

聖書

新世界訳

名前

聖書

新世界訳

原語を参照しつつ、英語の「新世界訳」（2013年版）からなされた翻訳

「主権者である主エホバ[יהוה, YHWH]はこう言う。
『……私は新しい天と新しい地を創造している。以前の事柄は
思い出されることも、心に浮かぶこともない』」。

（イザヤ 65:13, 17。ペテロ第二 3:13も参照。）

© 2019

WATCH TOWER BIBLE
AND TRACT SOCIETY
OF PENNSYLVANIA

200 Watchtower Drive
Patterson, NY 12563-9205
U.S.A.

発行者

ものみの塔聖書冊子協会

全巻または一部を240以上の
言語で入手できます。
入手可能な言語のリストは
www.jw.orgにあります。

「新世界訳」の全ての版の
総発行部数:

244,746,446部

2023年印刷版

この出版物は販売を目的としたもの
ではありません。エホバの証人の
世界的な聖書教育活動の一環
として提供されています。

新世界訳聖書

*New World Translation of the
Holy Scriptures*

Japanese (nwt-J)

Made in Japan

〒243-0496 神奈川県海老名市
中新田四丁目7番1号

Photo Credits:

Page 2048:

Top: Courtesy of Shrine of
the Book, Israel Museum,
Jerusalem

Bottom: Courtesy of Ben-Zvi
Institute; photographer:
Ardon Bar-Hama

Page 2050:

© The Trustees of the
Chester Beatty Library,
Dublin

Page 2052:

Shrine of the Book,
Photo © The Israel Museum,
Jerusalem

Page 2054:

© The British Library Board
(G.12161)

Page 2058:

Left: From the book
*A Pre-Massoretic Biblical
Papyrus*, by Stanley A. Cook,
M. A. (1903)

Page 2059:

From *The Codex Alexandrinus
in Reduced Photographic
Facsimile*, 1909



nwt-J
230518

初めて聖書を読む方へ

聖書には、私たち人間への神からのメッセージが書かれています。聖書を読むと、どうすれば幸せになれるか、どうすれば神に喜んでいただけるかが分かります。以下の質問の答えも知ることができます。

1. 神はどんな方ですか

2. どうすれば神について学べますか

3. 聖書を書いたのは誰ですか

4. 聖書に書かれていることは
科学と合っていますか

5. 聖書の中心テーマは何ですか

6. 聖書はメシアについてどんなことを
予告していましたか

7. 聖書は今の時代についてどんなことを
予告していましたか

8. つらいことや苦しいことがあるのは
神のせいですか

9. つらいことや苦しいことがあるのは
どうしてですか

10. 聖書は今後どんな良いことが起きると
約束していますか

11. 人は死ぬとどうなりますか

12. 亡くなった人にまた会えますか

13. 働くことについて聖書には
どんなことが書かれていますか

14. どうすれば家計をうまく
管理できますか

15. どうすれば幸せになれるですか

16. 心配事がある時どうしたらよいですか

17. 家族にとって聖書はどのように
役立ちますか

18. どうすれば神に支えていただけますか

19. 聖書の各書にはどんな特徴が
ありますか

20. 聖書を読む時どんなことを
心掛けるとよいですか

聖書の言葉の見つけ方

聖書は66冊の書から成っています。大きくは、ヘブライ語・アラム語聖書(旧約聖書)とギリシャ語聖書(新約聖書)の2つに分かれています。聖書の各書は章や節に分けられています。聖書の言葉の場所は「創世 1:1」のように記します。書名に続く最初の数字は章を、次の数字は節を指します。「創世 1:1」は、創世 1章1節ということです。

神はどんな方ですか

「人々があなたのことを知りますように。エホバという名を持つあなただけが、地球全体を治める至高者であるということを」。

詩編 83:18 [951ページ]

「エホバが神であることを知れ。その方が私たちを造った。私たちはその方のもの」。

詩編 100:3 [966ページ]

「私はエホバ。それが私の名。私は自分の栄光をほかの誰にも与えず、自分の栄誉をどんな彫像にも与えない」。

イザヤ 42:8 [1163ページ]

「エホバの名を呼ぶ人は皆救われる」。

ローマ 10:13 [1804ページ]

「言うまでもなく、家は全て誰かによって造られるのであり、全てのものを造ったのは神です」。

ヘブライ 3:4 [1917ページ]

「^{てん}天を^み見上げて^あみなさい。^{だれ}誰が^{もの}これらの^{そうぞう}物を創造したのか。
^{ほし}星の^{ぐんぜい}軍勢を^{かぞ}数え上げて^あ率^{ひき}いている^{もの}者である。その^{もの}者は
^{すべ}全ての^{ほし}星を^な名で^よ呼ぶ。膨^{ぼう}大な^{かつりよく}活力と^{きょういてき}驚異的^{ちから}な力を
^も持っている^{ひと}ので、一つとして^か欠ける^{ほし}星はない」。

イザヤ 40:26 [1159ページ]



どうすれば 神について学べますか

「この律法りっぽうの書しょについて語るかたのをやめてはいけない。あなたはそれを昼ひるも夜よるも小聲こごえで読よまなければいけない。そこに記しるされている全すべてのこを注意ちゅうい深く守まもるためである。そうすればあなたは成功せいこうし、賢かしこく行動こうどうできる」。

ヨシュア 1:8 [365ページ]

「彼らは真まの神しんの律法かみの書りっぽうを朗読しょうどくし続け、分わかりやすく説明せつめいして意味いを教おしえた。読よまれた箇所かしょを理り解かいできるよう、民たみを助たすけたのである」。

ネヘミヤ 8:8 [776ページ]

「何なんと幸しあわせなのだろう。悪人あくにんの意見いけんに従したがって歩あゆま……ない人ひとは。そのひとひとはエホバの律法りっぽうを喜よろこび、昼ひるも夜よるも小聲こごえで読よむ。……行おこなうことは全すべて成功せいこうする」。

詩編 1:1-3 [868ページ]

「フィリポは並ならんで走はしり、高官こうかんが預言者よげんしゃイザヤの書しょを朗読ろうどくしているのを聞きいて、『読よんでいる内容ないようが分わかりますか』と言いった。高官こうかんは、『誰だれかが教おしえてくれなければ、どうして分わかるのでしょうか』と言いった」。

使徒 8:30, 31 [1748ページ]

「^{かみ}神の^み見えない^{せいしつ}性質は、^せ世界の^{かい}創造以来^{そうぞう}明らかです。^{つく}造られた^{もの}物を見れば、^{かみ}神が^{えいえん}永遠に^{ちから}力を持^もっていて、^{たし}確かに^{かみ}神であるということが^わ分かります。ですから、^{かれ}彼らは^い言い^{わけ}訳ができません」。

ローマ 1:20 [1790ページ]

「これらのことについてよく^{かんが}考え、^う打ち込み^こなさい。そうすれば、あな^{しん}たの^ぼ進歩は^{だれ}誰の^め目にも^{あき}明らかになるでしょう」。

テモテ第一 4:15 [1901ページ]

「^{たが}互いのことをよく^{かんが}考えて、^{あい}愛を表し^{あらわ}立派^{りつ}な^ば行いをするよう^{おこな}勧め^{すす}合い^あましょう。^{なか}仲間と^ま集まることを^{あつ}怠^{おこた}ってはなりません」。

ヘブライ 10:24, 25 [1926ページ]

「^{みな}皆さんの中^{なか}に^ち知恵^えの^か欠けた^{ひと}人がいるなら、^{ひと}その人は^{かみ}神に^{もと}求め^{つづ}続けてください。^{かみ}神は^{かみ}とが^{かみ}めたりせず、^{すべ}全ての^{ひと}人に^お惜しみなく^{あた}与えてくださるからです。^{もと}求め^{つづ}続ければ^{あた}与えられます」。

ヤコブ 1:5 [1933ページ]

聖書を書いたのは誰ですか

「モーセはエホバの^{すべ}全ての^{ことば}言葉^かを書き^{しる}記した」。

出エジプト 24:4 [164ページ]

「ダニエルは夢^{ゆめ}を見た。床^みに就^{とこ}いていた時^つに頭^{とき}の中で幻^{あたま}を見たの^{なか}である。それで、その夢^{まぼろし}を書き留^みめ、見た内容^{ゆめ}を全て^か記録^とした」。

ダニエル 7:1 [1433ページ]

「皆さんが私^{みな}たちから神^{わたし}の言葉^{かみ}を聞いた時^{ことば}、それを人間^きの言葉^{とき}としてではなく、まさしく神^{にんげん}の言葉^{ことば}として受け入^{かみ}れたから^{ことば}です」。

テサロニケ第一 2:13 [1890ページ]

「聖書全体^{せいしよぜんたい}は神^{かみ}の聖^{せい}なる力^{ちから}の導^{みちび}きによって書^かかれた」。

テモテ第二 3:16 [1908ページ]

「どの預^{よげん}言^{にんげん}も、人間^{かみが}の考^{かた}えによつて語^{ひと}られたのではありません。人^{せい}が聖^{ちから}なる力^{みちび}に導^{かみ}かれて、神^{ことば}からの言葉^{かた}を語^{かた}ったのです」。

ペテロ第二 1:21 [1948ページ]

聖書に書かれていることは 科学と合っていますか

「^{かみ}神は^{きた}北の^{そら}空を何もない^{なに}所に^{ところ}広げ、^{ひろ}地球を^{ちきゅう}空間に^{くうかん}浮かせている」。

ヨブ 26:7 [834ページ]

「^{かわ}川は^{うみ}海に^{なが}流れていく。しかし^{うみ}海があふれることはない。^{かわ}川は^{はじ}始まりから、また^{なが}流れる」。

伝道 1:7 [1070ページ]

「^{まる}丸い^ち地の上に^{うへ}住む^す方^{かた}がいる」。

イザヤ 40:22 [1159ページ]



聖書の中心テーマは何ですか

「わたしは、あなたと女の間、またあなたの子孫と女の子孫の間に敵意を置く。彼はあなたの頭を砕き、あなたは彼のかかどに傷を負わせる」。

創世 3:15 [46ページ]

「あなたの子孫によって地上の全ての国民が祝福を受ける。あなたが私の言ったことに従ったからである」。

創世 22:18 [72ページ]

「あなたの王国が来ますように。あなたの望まれることが、天と同じように地上でも行われますように」。

マタイ 6:10 [1545ページ]

「平和を与える神により、間もなくサタンは皆さんの足の下で砕かれます」。

ローマ 16:20 [1813ページ]

「全てのものがキリストに服従させられた後、神の子自身も、全てのものを自分に服従させた方に服従します。こうして、誰にとっても神が全てになるのです」。

コリント第一 15:28 [1837ページ]

「さて、約束はアブラハムとその子孫に語られました。……子孫は1人で、キリストです。さらに、皆さんはキリストのものなので、まさにアブラハムの子孫で……す」。

ガラテア 3:16, 29 [1861, 1862ページ]

「世の王国は、私たちの主と、その方のキリストの王国となりました。主はいつまでも永遠に王として治めます」。

啓示 11:15 [1976ページ]

「こうして、大きな竜は投げ落とされた。あの初めの蛇で、悪魔サタンと呼ばれ、全世界を惑わしている者である。彼は地に投げ落とされ、邪悪な天使たちも共に投げ落とされた」。

啓示 12:9 [1976ページ]

「その天使は、あの初めの蛇である竜、悪魔サタンを捕らえて、1000年間動けないように縛った」。

啓示 20:2 [1986ページ]

聖書はメシアについて どんなことを予告していましたか

どう預言されていたか

「ベツレヘム・エフラタよ、……あ
なたから、^{わたし}私のためにイスラエ
ルで統治者になる者が出る」。

ミカ 5:2 [1491ページ]

実際にどうなったか

「イエスがヘロデ^{おう}王^{じだい}の時代にユ
ダヤのベツレヘムで生まれた」。
マタイ 2:1 [1538ページ]

「^{かれ}彼らは^{わたし}私の^{ふく}服を^わ分け^あ合い、^{わたし}私
の^い衣服^{ふく}のために^ひくじを^ひ引く」。

詩編 22:18 [886ページ]

「^{へい}兵士^したちはイエスを^{くい}杭に^くぎ
付けにしてから、イエスの^{がい}外衣^い
を取^とって4つに分^わけ……た。^{ない}内
衣……は縫^ぬい目^めがなく、上^うか
ら下^{した}まで^お織^おったものだった。そ
こで^{かれ}彼らは^{たが}互^いいに^い言^いった。『こ
れは^き裂^{だれ}かないで、誰^{だれ}のものに
するかを^きくじで^き決^きめよう』」。

ヨハネ 19:23, 24 [1726ページ]

どう預言されていたか

「^{かみ}神はその人の^{ひと}骨を^{ほね}全て^{すべ}守る。
^{ほん}1本も折られることはなかった」。

詩編 34:20 [898ページ]

実際にどうなったか

「イエスの^{ところ}所に来てみると、すでに死んでいたので、^{あし}脚を折ら
なかった」。

ヨハネ 19:33 [1727ページ]

「^{かれ}彼は私^{わたし}たちの違反^{いはん}のために^さ刺
^{とお}し通され……た」。

イザヤ 53:5 [1186ページ]

「^{へいし}兵士の^{ひとり}1人が脇腹^{わきばら}をやりで^つ突
き刺した。すると、すぐに^ち血と
^{みず}水が^で出た」。

ヨハネ 19:34 [1727ページ]

「^{かれ}彼らは、^{ほうしゅう}報酬として^{ぎん}銀30枚を
^{わたし}私に^し支払^{はら}った」。

ゼカリヤ 11:12, 13 [1526ページ]

「その^{とき}時、^{にん}12人の^{ひとり}1人でユダ・イ
スカリオテという^{ひと}人が、^{さいしちょう}祭司長
たちの^{ところ}所に行き、こう^い言った。
『イエスを^{うら}裏切^ぎって^{わた}渡したら、何^{なに}
をくれますか』。祭司長たちは
^{ぎん}銀30枚を^{まい}与^{あた}えることにした」。

マタイ 26:14, 15; 27:5

[1583, 1587ページ]

聖書は今の時代について どんなことを予告していましたか

「^{こくみん}国民は^{こくみん}国民に、^{おうこく}王国は^{おうこく}王国に^{てきたい}敵対して^た立ち上がり……ます。これ^{すべ}ら^{くる}全ては^{げきつう}苦しみ^{はじ}の^{はじ}激痛の始まりです」。

マタイ 24:7, 8 [1579ページ]

「^{おお}多くの^{にせ}偽^よ預言者^{げんしゃ}が^{あらわ}現れ、^{おお}多くの^{ひと}人を^{まど}惑わします。不法な^ふことが^{ほう}増え^ふるために、^{たいはん}大半^{ひと}の^{あい}人の^ひ愛が冷えます」。

マタイ 24:11, 12 [1579ページ]

「^{せんそう}戦争の^{おと}音や戦争の^{せんそう}知らせを^し聞いても、^き動揺してはなりません。これ^{どうよう}らのことは^{かなら}必ず^お起きますが、^お終わりはまだなのです」。

マルコ 13:7 [1617ページ]

「^{おお}大きな^じ地震^{しん}があり、^{しよくりょうぶそく}あちらこちらで^{りゅうこうびょう}食糧不足や流行病があります。
また、^{おそ}恐ろしい^{こうけい}光景や^{てん}天からの^{おお}大きな^おしるしがあります」。

ルカ 21:11 [1676ページ]

「終わりの時代は困難で
危機的な時になります。
人々は自分を愛し、
お金を愛し、自慢ばかりし、
傲慢で、神や人を冒瀆し、
親に従わず、感謝せず、
不忠実になります。
自然な愛情を持たず、
全く人に同意しようとせず、
中傷し、自制心がなく、
乱暴で、善いことを愛しません。
人を裏切り、強情で、思い上がり、
神ではなく快楽を愛し、
信心深く見えても
実際には神を敬っていません」。

テモテ第二 3:1-5 [1907ページ]



つらいことや苦しいことがあるのは 神のせいですか

「^{しん}真の^{かみ}神が^{あく}悪を行ったり、^{おこな}全能者が^{ぜんのうしや}不正を行ったりすることなどあり
^え得ません!」

ヨブ 34:10 [847ページ]

「^{しれん}試練に^あ遭う時、^{とき}『^{かみ}神から^{ため}試されている』^いと言っ^{わる}てはなりません。悪
^{ことがら}い事柄によ^{かみ}って^{ため}神が^{だれ}試されることはなく、^{ため}誰かを^{だれ}試すこともないから
です」。

ヤコブ 1:13 [1934ページ]

「^{しんばいごと}心配事を^{すべ}全て^{かみ}神に^{ゆだ}委ねましょ^{かみ}う。神は^{やさ}優しく^{きづか}氣遣^{きづか}って^{きづか}くださるから
です」。

ペテロ第一 5:7 [1946ページ]

「エホバは^{やくそく}約束を^は果たすのが^{おそ}遅いと^{かんが}考える^{ひと}人もいますが、^{ひと}そうでは
ありません。神は、^{かみ}一人も^{ひとり}滅^{ほろ}ぼされること^{すべ}なく、^{ひと}全ての^く人が^{あらた}悔い改^{あらた}め
^{のぞ}ることを^{みな}望んでいるので、^{しんぼう}皆さんのことを^{しんぼう}辛抱しているのです」。

ペテロ第二 3:9 [1950ページ]

つらいことや苦しいことがあるのは どうしてですか

「足の速い^{あし はや}人がいつも競走^{きようそう}に勝^かつわけでも、強い^{つよ}人が戦い^{たたか}に勝^かつわけでもない。また、賢い^{かしこ}人がいつも食事^{しょくじ}にありつけるとは限^{かぎ}らない。知的^{ちてき}な人が裕福^{ゆうふく}になるとも、知識^{ちしき}がある人^{ひと}が成功^{せいこう}するとも限^{かぎ}らない。なぜなら、思い^{おも}も寄^よらないことがいつ誰^{だれ}にでも起き^おるからだ」。

伝道 9:11 [1080ページ]

「1人^{ひとり}の人^{ひと}によって人類^{じんるい}に罪^{つみ}が入^{はい}り、罪^{つみ}によって死^しが入^{はい}り、こうして、全^{すべ}ての人^{ひと}が罪人^{つみびと}になったために、死^しが全^{すべ}ての人^{ひと}に広^{ひろ}がったように――」。

ローマ 5:12 [1796ページ]

「神^{かみ}の子^こが現^{あらわ}れたのは、悪魔^{あくま}の行^{おこな}いを終^おわらせるためです」。

ヨハネ第一 3:8 [1954ページ]

「全^{ぜん}世界^{せかい}は邪悪^{じゃあく}な者^{もの}の支配^し下^{はいか}にあります」。

ヨハネ第一 5:19 [1958ページ]

聖書は今後どんな良いことが起きると約束していますか

「^{ただ}正しい人は^{ひと}地上に^{ちじょう}住み続け、^すそこで^{つづ}永遠に^{えいえん}暮らす」。

詩編 37:29 [902ページ]

「^{ちきゅう}地球は^{えいえん}永遠に^{そんぞく}存続する」。

伝道 1:4 [1070ページ]

「^{かみ}神は^し死を^{えいきゅう}永久にのみ^こ込む。主権者である主^{しゅけんしや}エホバは^{しゅ}全ての^{すべ}顔^{かお}から^{なみだ}涙を^{ぬぐ}拭う」。

イザヤ 25:8 [1133ページ]

「^{とき}その時、^め目が見えない^み人は^{ひと}見えるようになり、^{みみ}耳が^き聞こえない^{ひと}人は^き聞こえるようになる。その時、^{とき}足が^{あし}不自由な^{ふじゆう}人は^{ひと}鹿のよう^{しか}に^と跳びは^{くち}ね、^き口が^{ひと}利けない^{かんせい}人は^あ歓声を^{こう}上げる。荒野に^や水が^{みず}湧き出^わて、^で砂漠^{さばく}平^{へい}原に^{げん}川が^{かわ}流^{なが}れる」。

イザヤ 35:5, 6 [1150ページ]

「^{かみ}神は^{ひと}人々の^{ひと}目から^め全ての^{すべ}涙を^{なみだ}拭い^{ぬぐ}去ります。もはや^し死はなくなり、^{かな}悲しみも^{なげ}嘆きも^く苦痛も^{つう}なくなります。以前のものは^{いぜん}過ぎ^す去った^きのです」。

啓示 21:4 [1987ページ]

「^{ひとびと}人々は^{いえ}家を^た建てて^す住み、
^{えん}ブドウ園を^{つく}造って^み実を^た食べる。
^た建てた^{いえ}家に^た他人が^す住むことはなく、
^う植えた^{もの}物を^た他人が^た食べることもない。
^{わたし}私の^{たみ}民の^{じゅみよう}寿命は^き木の^{じゅみよう}寿命のようになり、
^{わたし}私が^{えら}選んだ^{もの}者たちは^{はたら}働く^{よろこ}喜びを
^{ぞんぶん}存分に^{あじ}味わう」。

イザヤ 65:21, 22 [1206ページ]



人は死ぬとどうなりますか

「人は息絶え^{ひと いきた}ると地面^{じめん もど}に戻る。まさにその日^ひ, その人の考え^{ひと かんが}は消え^きうせる」。

詩編 146:4 [1014ページ]

「生^いきている人^{ひと}は自分^{じぶん}が死^しぬことを知^しっている。しかし、死^しんだ人^{ひと}は何^{なに}も知^しらない。……あなたにできることは何^{なん}でも、力^{ちから}を尽^つくして行^{おこな}いなさい。あなた^いの行^いく場^ば所^{しょ}, つまり墓^{はか}では、働^{はたら}くことも考^{かんが}えることも学^{まな}ぶことも理^り解^{かい}することもでき^きないからだ」。

伝道 9:5, 10 [1079, 1080ページ]

「イエスは……さら^いにこ^{とも}う言^{ねむ}った。『友^{わたし}のラザロは眠^{ねむ}っていますか^{わたし}, 私^{わたし}は起^おこしに行^いきます』。イエスは実^{じつ}際^{さい}にはラザロの死^しにつ^{はな}いて話^{はな}していたが、弟^で子^したち^{たち}は、眠^{ねむ}って休^{やす}んでいることにつ^{はな}いて話^{はな}しているとおも^{おも}った。それでイエスはは^いっきり言^いった。『ラザロは死^しにま^しした』」。

ヨハネ 11:11, 13, 14 [1710ページ]

亡くなった人にまた会えますか

「このことに驚いてはなりません。記念の墓の中にいる人が皆、彼の声を聞いて出てくる時が来るのです」。

ヨハネ 5:28 [1696ページ]

「神が正しい人も正しくない人も復活させてくださるという希望です」。

使徒 24:15 [1779ページ]

「さらに見ると、死んだ人々が、大きな者も小さな者も、王座の前に立っており、数々の巻物が開かれた。別の巻物、すなわち命の巻物も開かれた。死んだ人々は、数々の巻物に書かれている事柄に基づき、各自の行いに応じて裁かれた。海はその中の死者を出し、死と墓もその中の死者を出し、その人々は各自の行いに応じて裁かれた」。

啓示 20:12, 13 [1986ページ]

働くことについて聖書には どんなことが書かれていますか

「仕事に熟練した人を見たことがあるか。その人は王たちの前に立ち、庶民の前には立たない」。

格言 22:29 [1054ページ]

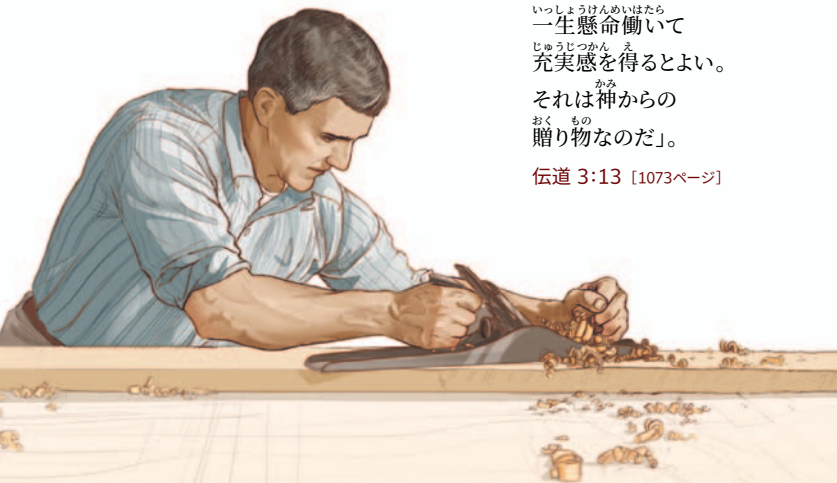
「盗んでいる人は、もう盗んではなりません。きちんと仕事をし、一生懸命働いてください。そうすれば、生活に困っている人に物を分けてあげられるでしょう」。

エフェソス 4:28 [1872ページ]

「人は皆、食べ、飲み、一生懸命働いて充実感を得るとよい。

それは神からの贈り物なのだ」。

伝道 3:13 [1073ページ]



どうすれば家計を うまく管理できますか

「^{かいらく}快楽^{あい}を^{ひと}愛する人は^{まず}貧しくなり、^{しゅ}ぶどう酒と^{あぶら}油を^{あい}愛する人は^{ひと}裕福^{ゆうふく}にならない」。

格言 21:17 [1051ページ]

「^か借りる人は^{ひと}貸す人の^か奴隷^{ひと}になる」。

格言 22:7 [1052ページ]

「^{とう}塔^たを^{おも}建てようと思う場合、^{おも}まず^ば座^{あい}って^{すわ}費用^ひを^{よう}計算^{けい}し、^{さん}完成^{かん}させるだけ^{せい}のものを^も持っているかどうかを^{たし}確かめるのではないのでしょうか。
そうしないなら、^ど土台^{だい}を^す据えても^し仕上げ^あられないかもしれず、^み見^ている人^{ひと}たちは^{みな}皆^はあざけり^{はじ}始めるでしょう。『この人は^{ひと}建て^た始めたが^{はじ}仕上げ^しられなかった』^あ』と言うのです」。

ルカ 14:28-30 [1663ページ]

「^{ひと}人々が^{びと}満腹^{まんぷく}になった^{とき}時、イエスは^で弟子^したちに^い言った。『^{あま}余^あったかけ^らを集^{あつ}め、^{なに}何も^む無駄^だにならないように^いしなさい』」。

ヨハネ 6:12 [1697ページ]

どうすれば幸せになれるか

「愛^{あい}がある家^{いえ}で野菜^{やさい}を食べる方^たが、憎^{ほう}しみのなか^{にく}で上等^{なか}な牛肉^{じょうとう}を食^{ぎゅうにく}べるよりも良^たい」。

格言 15:17 [1042ページ]

「私^{わたし}エホバは、あなた^{かみ}の神^いである。あなた^{かた}のためになる生^{おし}き方を教^{おし}え、あなた^{みちび}を導^{ただ}いて正^{みち}しい道^{あゆ}を歩^{あゆ}ませる」。

イザヤ 48:17 [1177ページ]

「神^{かみ}の導^{みちび}きが必要^{ひつよう}であることを自^じ覚^{かく}している人^{ひと}たちは幸^{こう}福^{ふく}です。天^{てん}の王^{おう}国^{こく}はそ^{ひと}の人^{ひと}たちのものだからです」。

マタイ 5:3 [1542ページ]

「あなた^{りんじん}は隣^{じん}人^{じん}を自^じ分^{ぶん}自^じ身^{しん}のよう^{あい}に愛^{あい}さなければならな^いい」。

マタイ 22:39 [1576ページ]

「人^{ひと}からしてほ^{おも}しいと思^{とお}う通^{ひと}りに、人^{ひと}にもしなさい」。

ルカ 6:31 [1640ページ]

「神^{かみ}の言^{こと}葉^ばを聞^きいて守^{まも}っている人^{ひと}たちこそ幸^{こう}福^{ふく}です！」

ルカ 11:28 [1655ページ]

「たくさんの物ものを持もっていても、命いのちは所有物しよゆうぶつからは生しょうじない」。

ルカ 12:15 [1657ページ]

「ですから、食しょく物もつと衣い服ふくがあれば、それまんぞくで満まん足ぞくします」。

デモテ第一 6:8 [1903ページ]



「受うけるより
ああたた 与ほうえる方が
幸こう福ふくである」。

使徒 20:35
[1772ページ]

心配事がある時 どうしたらよいですか

「重荷^{おもに}をエホバに委ね^{ゆだ}よ。そうすれば支^{ささ}えてくださる。神^{かみ}は正^{ただ}しい
人^{ひと}が倒^{たお}れることを決^{けつ}して許^{ゆる}さない」。

詩編 55:22 [920ページ]

「勤勉^{きんべん}な人^{ひと}の計^{けいかく}画^{かなら}は必^{せい}ず成^{せい}功^{こう}につながり、せ^{ひと}っかちな人^{かなら}は必^{びん}ず貧^{びん}乏^{ぼう}
へと向^むかう」。

格言 21:5 [1051ページ]

「恐^{おそ}れてはいけな^{わたし}い。私^{わたし}があなたと共^{とも}にいる。心^{しん}配^{ぱい}してはいけな^{わたし}
い。私^{わたし}があなたのか^{かみ}みである。私^{わたし}はあなたを強^{つよ}くし、必^{かなら}ず助^{たす}ける。私^{わたし}
の正^{せい}義^ぎの右^{みぎ}手^てであなたをしっ^{ささ}かりと支^{ささ}える」。

イザヤ 41:10 [1160ページ]

「心^{しん}配^{ぱい}したからとい^{だれ}って、誰^{だれ}が自^じ分^{ぶん}の寿^{じゅ}命^{めい}を少^{すこ}しでも延^のばせるでし^の
うか」。

マタイ 6:27 [1546ページ]

「それで、次^{つぎ}の日^ひのこ^{けつ}とを決^{しん}して心^{しん}配^{ぱい}してはな^{つぎ}りませ^ひん。次^{つぎ}の日^ひは次^{つぎ}
の日^ひで心^{しん}配^{ぱい}する事^{こと}がありま^ひす。その日^ひの問^{もん}題^{だい}は、その日^ひだけ^{じゅう}で十分^{ぶん}
です」。

マタイ 6:34 [1546ページ]

「^{みな}皆さんがより^{じゅうよう}重要なことを^{みきわ}見極め[ます]ように」。

フィリピ 1:10 [1876ページ]

「^{なに しんぱい}何も心配せず、いつでも^{いの}祈り、^{き がん}祈願を^{ささ}捧げ、^{かんしゃ}感謝しつつ、^{ねが}願いを^{かみ}神
に^し知っていただくようにしましょう。そうすれば、神からの^{へい わ}平和が、キ
リスト・イエスを^{とお}通して^{みな}皆さんの^{こころ}心と^{かんが}考えを^{まも}守ります。その^{へい わ}平和は^{にん}人
^{げん}間の^{り かい}理解をは^こるかに^こ超えています」。

フィリピ 4:6, 7 [1880ページ]



家族にとって聖書は どのように役立ちますか

夫・父親

「^{どうよう}同様に、^{おっと}夫は^{じぶん}自分の^{からだ}体を^{あい}愛するように^{つま}妻を^{あい}愛するべきです。^{つま}妻を^{あい}愛する人は^{ひと}自分を^{じぶん}愛しているのです。^{だれ}誰も^{じぶん}自分の^{からだ}体を^{にく}憎んだりはせず、^{やしな}養って^{たいせつ}大切にします。……^{おっと}夫の^{みな}皆さんはそれぞれ、^{じぶん}自分を^{あい}愛するように^{つま}妻を^{あい}愛さなければなりません」。

エフェソス 5:28, 29, 33 [1874ページ]

「^{ちちおや}父親は、^{こども}子供を^だいら立たせないようにし、^{のぞ}エホバが^{しどう}望む^{じょう}指導と^{けん}助言によって^{そだ}育ててください」。

エフェソス 6:4 [1874ページ]

妻

「^{つま}妻は^{おっと}夫を^{ふか}深く^{うやま}敬うべきです」。

エフェソス 5:33 [1874ページ]

「^{つま}妻の^{みな}皆さん、^{おっと}夫に従ってください。それは^{しゅ}主に^{したが}従う^{ひと}人にふさわしいことです」。

コロサイ 3:18 [1886ページ]

子供

「^{こども}子供は、^{しゅ}主に^{よろこ}喜ばれるよう^{おや}親に^{したが}従ってください。そうするのは^{ただ}正しいことです。『^{ちち}父と^{はは}母を^{うやま}敬いなさい』とあり、これは^{やくそく}約束を^{ともな}伴う^{さいしょ}最初の^{めいれい}命令です。『^{ものごと}そうすれば物事はうまくいき、^{ちじょう}地上で^{なが}長く^い生きられる』
という^{やくそく}約束です」。

エフェソス 6:1-3 [1874ページ]

「^{こども}子供の^{みな}皆さん、いつも^{おや}親に^{したが}従ってください。そうすれば、^{しゅ}主にとても^{よろこ}喜ばれます」。

コロサイ 3:20 [1886ページ]

どうすれば神に支えて いただけますか

「^{いの}祈りを^き聞く^{かた}方、^{ひと}あなたのもとに^きあらゆる人が来ます」。

詩編 65:2 [927ページ]

「^{こころ}心を^つ尽くしてエホバに^{たよ}頼れ。^{じぶん}自分の^{かんが}考えに^{たよ}頼ってはならない。ど
^{みち}んな道を行く^い時にも^{とき}神の^{かみ}ことを^{かんが}考えよ。そうすれば^{かみ}神が^ま真っすぐに
^{すす}進ませてください」。

格言 3:5, 6 [1022ページ]

「^{えいえん}永遠の^{いのち}命を得るには、^え唯一の^{ゆいいつ}真の^{しん}神である^{かみ}あなたと、^{つか}あなたが^つ遣
わされた^しイエス・キリストの^{ひつよう}ことを知る^し必要があります」。

ヨハネ 17:3 [1721ページ]

「^{じつ}実のところ^{かみ}神は、^{わたし}私たち^{ひとりひとり}一人一人から^{とお}遠く^{はな}離れてはいません」。

使徒 17:27 [1766ページ]

「^{わたし}私は^{いの}こう^{つづ}祈り^{みな}続けています。^{せいかく}皆さんが^ち正確な^{しき}知識と^{じゅうぶん}十分な^{しきべつ}識別
^{りよく}力を^え得て、^{あい}いっそう^{ゆた}愛の^{ひと}豊かな^{ひと}人になれるように」。

フィリピ 1:9 [1876ページ]

「皆さんの^{みな}中^{なか}に知恵^{ちえ}の欠^かけた人^{ひと}がいるなら、その人^{ひと}は神^{かみ}に求め続^{もと}けてくだ^{つづ}さい。神^{かみ}はとがめたりせず、全^{すべ}ての人^{ひと}に惜^おしみなく与^{あた}えてくださるからで^{もと}す。求め続^{つづ}ければ与^{あた}えられます」。

ヤコブ 1:5 [1933ページ]

「神^{かみ}に近^{ちか}づいてくだ^{かみ}さい。そうすれ^{ちか}ば、神^{かみ}は近^{ちか}づいてくだ^{かみ}さいます。
罪^{つみ}人^{びと}たち、手^てを清^{きよ}めてくだ^{ゆうじゆう}さい。優^{ふだん}柔^{ひと}不^{ひと}断^{ひと}な人^{ひと}たち、心^{こころ}を清^{きよ}めてくだ^{きよ}さい」。

ヤコブ 4:8 [1938ページ]

「神^{かみ}を愛^{あい}するとは、神^{かみ}のおきてを^{まも}ることで^{かみ}す。神^{かみ}のおきては重^{おも}荷^にではありませ^{かみ}ん」。

ヨハネ第一 5:3 [1957ページ]

聖書の各書には どんな特徴がありますか

ヘブライ語聖書（旧約聖書）

モーセ五書（5つの書）

創世記, 出エジプト記, レビ記, 民数記, 申命記
創造から, 古代イスラエル国民の誕生まで

歴史書（12の書）

ヨシュア記, 裁き人の書, ルツ記
イスラエルが約束の地に入った時とその後の出来事

サムエル記第一, サムエル記第二, 列王記第一, 列王記第二,
歴代誌第一, 歴代誌第二
エルサレムの陥落までのイスラエル国民の歴史

エズラ記, ネヘミヤ記, エステル記
ユダヤ人がバビロン捕囚から帰還した後の歴史

詩書（5つの書）

ヨブ記, 詩編, 格言の書, 伝道の書, ソロモンの歌
格言集, 詩集, 歌集

預言書（17の書）

イザヤ書, エレミヤ書, 哀歌, エゼキエル書, ダニエル書, ホセア書,
ヨエル書, アモス書, オバデヤ書, ヨナ書, ミカ書, ナホム書,
ハバクク書, ゼパニヤ書, ハガイ書, ゼカリヤ書, マラキ書
神の民に関係した預言

ギリシャ語聖書（新約聖書）

福音書（4つの書）

マタイ, マルコ, ルカ, ヨハネ
イエスの生涯と奉仕

使徒の活動（1つの書）

クリスチャン会衆の発足と宣教

手紙（21の書）

ローマ, コリント第一, コリント第二, ガラテア, エフェソス,
フィリピ, コロサイ, テサロニケ第一, テサロニケ第二
クリスチャン会衆に宛てられた手紙

テモテ第一, テモテ第二, テトス, フィレモン
クリスチャンの個人に宛てられた手紙

ヘブライ, ヤコブ, ペテロ第一, ペテロ第二,
ヨハネ第一, ヨハネ第二, ヨハネ第三, ユダ
クリスチャンたちに宛てられた他の手紙

啓示（1つの書）

使徒ヨハネが見た神からの幻

聖書を読む時どんなことを 心掛けるとよいですか

聖書を読みながら以下のことを考えましょう

ここからエホバ神についてどんなことが分かるか

この部分は聖書の中心テーマとどう関係しているか

自分の生活でこれをどのように役立てられるか

人を支え励ますためにこの言葉をどのように使えるか

「あなたの^{ことば}言葉は
^{わたし あしもと}私の足元を照らすランプ、
^{わたし すす みち}私の進む道を^{て ひかり}照らす光」。

詩編 119:105 [993ページ]



前書き

聖書には、エホバという名前の神が私たちに伝えたいと思っておられることが書かれています。聖書の著者は神なので、聖書を学ぶと神について知ることができます。(ヨハネ 17:3。テモテ第二 3:16) 人間が地球でどう暮らすことを神が願っているかが、聖書に記されています。(創世 3:15。啓示 21:3, 4)

これほど人に影響を与えてきた本はほかにありません。聖書を読むと、私たちはエホバのような愛や^{あわ}憐れみ、思いやりを示したいという気持ちになります。どんなにつらく苦しい時でも、聖書が約束している希望があるとやっていけます。神がどんな素晴らしい考えをお持ちで、世の中のどんなものがそれに反しているかも学べます。(詩編 119:105。ヘブライ 4:12。ヨハネ第一 2:15-17)

聖書はもともとヘブライ語、アラム語、ギリシャ語で書かれ、全巻または一部が3000以上の言語に訳されてきました。歴史上、これほど多くの言語に訳され、広く出版されてきた本はほかにありません。それもそのはずです。聖書の中でこう預言されていました。「王国の良い知らせ[聖書の大切な中心テーマ]は、全ての国の人々が聞けるように世界中で伝えられます。それから終わりが来ます」。(マタイ 24:14)

新世界訳聖書翻訳委員会は聖書の内容の重要性をわきまえ、聖書に深い敬意を抱きながら、この改訂版の作成に当たりました。聖書の内容を正確に伝えることは非常に重い責任です。この改訂版は、今から60年以上前に英語で初めて発行された「新世界訳聖書」のこれまでの版の優れた訳を基にしています。とはいえ、この半世紀の間に言葉は変化してきました。そうした変化を考慮し、現在の新世界訳聖書翻訳委員会は全面的な改訂をすることにしました。目指したのは、原文に忠実であるだけでなく、分かりやすく読みやすい翻訳にすることです。付録の「聖書翻訳の基本原則」、「この改訂版の特色」、「聖書はどのように現代にまで伝えられてきたか」に、この版で加えられた改訂の例が挙げられています。

エホバ神を愛し、崇拜する人たちは、神の言葉の正確で理解しやすい翻訳を求めています。(テモテ第一 2:4) それで、私たちは英語以外の多くの言語にも訳すことを念頭に置いて、改訂を行いました。聖書のこの改訂版が、「神を知ろうとするため、神を……本当に見つけるため」に励む皆さんのお役に立つことを心から願い、お祈りしています。(使徒 17:27)

新世界訳聖書翻訳委員会

2013年8月

日本語版の「新世界訳」全巻は1982年に発行されました。今回改訂されたこの日本語版は、英語の「新世界訳」2013年改訂版に倣っており、同じ特色を備えています。

目次

ヘブライ語・アラム語 聖書

書名	略号	ページ	書名	略号	ページ
創世	創	41	伝道	伝	1069
出エジプト	出	125	ソロモンの歌	ソロ	1083
レビ	レビ	190	イザヤ	イザ	1093
民数	民	238	エレミヤ	エレ	1209
申命	申	304	哀歌	哀	1321
ヨシュア	ヨシ	364	エゼキエル	エゼ	1333
裁き人	裁	402	ダニエル	ダニ	1420
ルツ	ルツ	442	ホセア	ホセ	1445
サムエル第一	サー	448	ヨエル	ヨエ	1461
サムエル第二	サニ	502	アモス	アモ	1467
列王第一	王一	548	オバデヤ	オバ	1480
列王第二	王二	599	ヨナ	ヨナ	1482
歴代第一	代一	649	ミカ	ミカ	1486
歴代第二	代二	694	ナホム	ナホ	1496
エズラ	エズ	749	ハバクク	ハバ	1500
ネヘミヤ	ネヘ	764	ゼバニヤ	ゼバ	1506
エステル	エス	787	ハガイ	ハガ	1511
ヨブ	ヨブ	799	ゼカリヤ	ゼカ	1514
詩編	詩	861	マラキ	マラ	1529
格言	格	1018			

ギリシャ語 聖書

書名	略号	ページ	書名	略号	ページ
マタイ	マタ	1535	テモテ第一	テモ一	1897
マルコ	マル	1591	テモテ第二	テモ二	1904
ルカ	ルカ	1625	テトス	テト	1909
ヨハネ	ヨハ	1685	フィレモン	フィレ	1912
使徒	使徒	1731	ヘブライ	ヘブ	1914
ローマ	ロマ	1788	ヤコブ	ヤコ	1933
コリント第一	コー	1814	ペテロ第一	ペ一	1940
コリント第二	コニ	1840	ペテロ第二	ペ二	1947
ガラテア	ガラ	1857	ヨハネ第一	ヨ一	1951
エフェソス	エフ	1866	ヨハネ第二	ヨ二	1958
フィリピ	フィリ	1875	ヨハネ第三	ヨ三	1959
コロサイ	コロ	1882	ユダ	ユダ	1960
テサロニケ第一	テサー	1888	啓示	啓	1962
テサロニケ第二	テサニ	1893			

聖書の各書の一覧	1990	付録A	2037
聖書語句索引	1992	付録B	2085
聖書用語集	2012		

概要

- | | |
|---|--|
| <p>1 天地創造 (1, 2)
地球を整える6日間 (3-31)
1日目: 光, 昼と夜 (3-5)
2日目: 空間 (6-8)
3日目: 乾いた所と草木 (9-13)
4日目: 天にある光体 (14-19)
5日目: 魚と鳥 (20-23)
6日目: 陸上の動物と人間 (24-31)</p> <p>2 神は7日目に休んでいる (1-3)
エホバ神は天と地を造った方 (4)
エデンの園と男女 (5-25)
人が土で形作られる (7)
知識の木の実を食べてはならない (15-17)
女性が創造される (18-25)</p> <p>3 人の罪の始まり (1-13)
最初のうそ (4, 5)
反逆者たちに対するエホバの裁き (14-24)
女の子孫についての予告 (15)
エデンからの追放 (23, 24)</p> <p>4 カインとアベル (1-16)
カインの子孫 (17-24)
セツと息子エノシュ (25, 26)</p> <p>5 アダムからノアまで (1-32)
アダムに息子や娘が生まれる (4)
エノクは神と共に歩んだ (21-24)</p> <p>6 神の子たちが地上の女性たちを妻にする (1-3)
ネフィリムが生まれる (4)
エホバは人々の悪を見て悲しむ (5-8)
ノアは箱船を造るよう命じられる (9-16)
神は洪水が来ることを告げる (17-22)</p> <p>7 箱船に入る (1-10)
地球規模の洪水 (11-24)</p> <p>8 洪水の水が引く (1-14)
ハトを放つ (8-12)
箱船から出る (15-19)
地球に関する神の約束 (20-22)</p> <p>9 全人類への指示 (1-7)
血に関する律法 (4-6)</p> | <p>虹の契約 (8-17)
ノアの子孫についての預言 (18-29)</p> <p>10 国民の一覧 (1-32)
ヤベテの子孫 (2-5)
ハムの子孫 (6-20)
エホバに敵対するニムロデ (8-12)
セムの子孫 (21-31)</p> <p>11 バベルの塔 (1-4)
エホバは言語を混乱させる (5-9)
セムからアブラムまで (10-32)
テラの家族 (27)
アブラムはウルを出る (31)</p> <p>12 アブラムはハランを出てカナンに行く (1-9)
アブラムへの神の約束 (7)
エジプトでのアブラムとサライ (10-20)</p> <p>13 アブラムはカナンに戻る (1-4)
アブラムとロトは別れる (5-13)
アブラムへの神の約束が再び述べられる (14-18)</p> <p>14 アブラムはロトを救い出す (1-16)
メルキゼデクはアブラムを祝福する (17-24)</p> <p>15 アブラムとの神の契約 (1-21)
400年間苦しむことが予告される (13)
アブラムへの神の約束が再び述べられる (18-21)</p> <p>16 ハガルとイシュマエル (1-16)</p> <p>17 アブラハムは多くの国の人々の父祖となる (1-8)
アブラムの名前がアブラハムになる (5)
割礼の契約 (9-14)
サライの名前がサラになる (15-17)
イサクの誕生が約束される (18-27)</p> <p>18 3人の天使がアブラハムの所に来る (1-8)
男の子ができるという約束を聞いてサラは笑う (9-15)
アブラハムはソドムのために懇願する (16-33)</p> <p>19 天使たちがロトを訪ねる (1-11)
ロトの一家は逃げるようにと言われる (12-22)
ソドムとゴモラが滅ぼされる (23-29)</p> |
|---|--|

- ロトの妻が塩の柱になる (26)
 ロトと娘たち (30-38)
 モアブとアンモンの起源 (37, 38)
- 20 アビメレクのもとからサラが助け出される (1-18)
- 21 イサクの誕生 (1-7)
 イシュマエルがイサクをからかう (8, 9)
 ハガルとイシュマエルが送り出される (10-21)
 アブラハムとアビメレクとの契約 (22-34)
- 22 アブラハムはイサクを捧げるよう命じられる (1-19)
 アブラハムの子孫による祝福 (15-18)
 リベカの家族 (20-24)
- 23 サラの死と葬られた場所 (1-20)
- 24 イサクのために妻を探す (1-58)
 リベカはイサクの所に行く (59-67)
- 25 アブラハムは再婚する (1-6)
 アブラハムの死 (7-11)
 イシュマエルの子たち (12-18)
 ヤコブとエサウの誕生 (19-26)
 エサウは長男の権利を売る (27-34)
- 26 イサクとリベカはゲラルに住む (1-11)
 神はイサクにも約束を伝える (3-5)
 井戸を巡る争い (12-25)
 イサクとアビメレクとの契約 (26-33)
 エサウはヘト人2人を妻とする (34, 35)
- 27 イサクはヤコブのために祝福を願い求める (1-29)
 エサウはイサクに懇願するが、悔い改めではない (30-40)
 エサウはヤコブに恨みを抱く (41-46)
- 28 イサクはヤコブをパダン・アラムに行かせる (1-9)
 ヤコブがベテルで見た夢 (10-22)
 神はヤコブにも約束を伝える (13-15)
- 29 ヤコブはラケルと出会う (1-14)
 ヤコブはラケルを愛するようになる (15-20)
 ヤコブはレアとラケルと結婚する (21-29)
 ヤコブとレアの間に生まれた4人の男の子:
 ルベン、シメオン、レビ、ユダ (30-35)
- 30 ビルハはダンとナフタリを産む (1-8)
 ジルパはガドとアシェルを産む (9-13)
 レアはイッサカルとゼブルンを産む (14-21)
- ラケルはヨセフを産む (22-24)
 ヤコブの家畜が増える (25-43)
- 31 ヤコブはカナンに向けてひそかに出発する (1-18)
 ラバンはヤコブに追い付く (19-35)
 ヤコブとラバンとの契約 (36-55)
- 32 ヤコブは天使たちに出会う (1, 2)
 ヤコブはエサウに会う準備をする (3-23)
 ヤコブは天使と取組み合いをする (24-32)
 ヤコブの名前がイスラエルになる (28)
- 33 ヤコブはエサウと会う (1-16)
 ヤコブはシェケムに行く (17-20)
- 34 ディナが犯される (1-12)
 ヤコブの息子たちによる策略 (13-31)
- 35 ヤコブは外国の神々の偶像を処分する (1-4)
 ヤコブは再びベテルに行く (5-15)
 ベニヤミンの誕生とラケルの死 (16-20)
 イスラエルの12人の息子 (21-26)
 イサクの死 (27-29)
- 36 エサウの子孫 (1-30)
 エドムの王と首長 (31-43)
- 37 ヨセフが見た夢 (1-11)
 ヨセフと嫉妬した兄弟たち (12-24)
 ヨセフは売られて奴隷となる (25-36)
- 38 ユダとタマル (1-30)
- 39 ボテバルの家でのヨセフ (1-6)
 ヨセフはボテバルの妻の誘いを拒む (7-20)
 牢獄でのヨセフ (21-23)
- 40 ヨセフは囚人たちの夢の意味を解き明かす (1-19)
 「神が解き明かしてくださる」(8)
 ファラオの誕生日に催された宴 (20-23)
- 41 ヨセフはファラオの夢の意味を解き明かす (1-36)
 ファラオはヨセフを高い地位に就ける (37-46 前半)
 ヨセフは食糧を管理する (46後半-57)
- 42 ヨセフの兄たちがエジプトに行く (1-4)
 ヨセフは兄たちと会い、兄たちを試す (5-25)
 兄たちはヤコブの所に戻る (26-38)
- 43 ヨセフの兄たちは、ベニヤミンと一緒に再びエジプトに行く (1-14)

- ヨセフは再び兄たちと会う (15-23)
 ヨセフは兄弟たちと食事をする (24-34)
- 44 ヨセフの銀の杯がベニヤミンの袋から見つかる (1-17)
 ユダはベニヤミンのために懇願する (18-34)
- 45 ヨセフは正体を明かす (1-15)
 ヨセフの兄弟たちはヤコブを迎えに返る (16-28)
- 46 ヤコブと家の人たちはエジプトに移住する (1-7)
 エジプトに移住した人たちの名前 (8-27)
 ヨセフはゴシェンでヤコブを迎える (28-34)
- 47 ヤコブはファラオに会う (1-12)

- ヨセフの賢い管理 (13-26)
 イスラエルはゴシェンに定住する (27-31)
- 48 ヤコブはヨセフの2人の息子のために祝福を願い求める (1-12)
 エフライムはより大きな祝福を受ける (13-22)
- 49 ヤコブの臨終の預言 (1-28)
 ユダからシロが出る (10)
 葬る場所についてのヤコブの指示 (29-32)
 ヤコブの死 (33)
- 50 ヨセフはカナンでヤコブを葬る (1-14)
 ヨセフは、許していることを確信させる (15-21)
 ヨセフの晩年と死 (22-26)
 自分の骨についてのヨセフの指示 (25)

1 最初に、神は天と地を創造した。

2 地は荒れていて何もなかった。深い水の上に闇があった。神が送り出す力が水の上を動いていた。

3 神は言った。「光よ、輝け」。すると光が輝いた。**4** 神が光を見ると、それは良かった。そして神は光と闇を分けた。**5** 神は光を昼と呼び、闇を夜と呼んだ。こうして、晩になり朝になり、1日目が過ぎた。

6 神は言った。「水の間は空間が生じよ。水と水とが分かれば」。 **7** それから神は空間を造り、空間の下の水と上の水とに分けた。そのようになった。**8** 神はその空間を天と呼んだ。こうして、晩になり朝になり、2日目も過ぎた。

9 神は言った。「天の下の水は1つ

1:2 *または、「波立つ水」。^a または、「神の聖なる力」。用語集の「聖なる力」参照。**1:8** *または、「空」。

第1章

(例) 詩 102:25
 イザ 42:5
 イザ 45:18
 ロマ 1:20
 ヘブ 1:10
 啓 4:11
 啓 10:6

(例) 格 8:27,28

(例) 詩 33:6

イザ 40:26

(例) 詩 104:5,6

(例) イザ 45:7

コ二 4:6

(例) 創 8:22

(例) 創 1:20

(例) ペ二 3:5

(例) 創 7:11

格 8:27,28

第2章

(例) ヨブ 38:8,11
 詩 104:6-9
 詩 136:6

(例) 詩 95:5

(例) 格 8:29

(例) 申 32:4

(例) 詩 104:14

(例) 詩 104:19

(例) 申 4:19

(例) 創 8:22

の場所に集まり、乾いた所が現れよ」。

するとそのようになった。**10** 神は乾いた所を陸と呼び、集まった水を海と呼んだ。神が見ると、それは良かった。

11 神は言った。「陸は、さまざまな種類の草木と果樹を芽生えさせよ。草木は種を、果樹は種のある果実を付ける」。するとそのようになった。**12** 陸は、さまざまな種類の草木と果樹を生み出した。草木は種を、果樹は種のある果実を付けた。神が見ると、それは良かった。**13** こうして、晩になり朝になり、3日目も過ぎた。

14 神は言った。「昼と夜が分かれるよう、天に光体が現れよ。それらは、季節、日、年を示すしとなる。**15** 天にある光体として地上を照らす」。するとそのようになった。**16** 神

1:11 *直訳、「種類に従って」。**1:14** *または、「大空」。直訳、「天の空間」。^a または、「光」。

は2つの大きな光体^{おお こうたい つく}を造^{おほ}った。大きい方^{ほう ひる}には昼^{ひる}を見守^{みまも}らせ、小さい方^{ちひさいほう}には夜^{よる}を見守^{みまも}らせた。神^{かみ}は星^{ほし}も造^{つく}った。

17 こうして神^{かみ}はそれらを天^{てん}に置^おいて、地上^{ちじょう}を照^てらさせ、18 昼^{ひる}と夜^{よる}を見守^{みまも}らせ、光^{ひかり}と闇^{やみ}を分けさせた。神^{かみ}が見^みると、それは良^よかった。19 こうして、晩^{ばん}になり朝^{あさ}になり、4日目^{よめ}が過ぎた。

20 神^{かみ}は言^いった。「水^{みづ}は生き物^{もの*}でいっぱいになれ。飛ぶ生き物^{と いるもの}が大^{だい}地^ちの上方^{じやうほう}を、空^{そら}を飛ぶようになれ」。

21 それから神^{かみ}は、さまざま^{しやうしやう}な種類^{しゆるい}の、海^{うみ}の大^{おお}きな生き物^{いもの}や水^{みづ}の中^{なか}を群^{むら}がって動^{うご}く生き物^{いもの}を創^{そうぞう}造^{ぞう}した。さまざま^{しやうしやう}な種類^{しゆるい}の、羽^{はね}のある飛ぶ生き物^{と いるもの}も創^{そうぞう}造^{ぞう}した。神^{かみ}が見^みると、それは良^よかった。

22 そこで神^{かみ}はそれらを祝福^{しゆくふく}して言^いった。「子^こを生^うみ、増^ふえて、海^{うみ}の水^{みづ}の中^{なか}でいっばいになれ。飛ぶ生き物^{と いるもの}は、地上^{ちじょう}で増^ふえよ」。23 こうして、晩^{ばん}になり朝^{あさ}になり、5日目^{かめ}が過ぎた。

24 神^{かみ}は言^いった。「陸^{りく}に、さまざま^{しやうしやう}な種類^{しゆるい}の生き物^{いもの}が現^{あらわ}れよ。さまざま^{しやうしやう}な種類^{しゆるい}の家畜^{かちく}と野生動物^{やせいどうぶつ}と地面^{じめん}を動^{うご}く生き物^{もの*}である。す^{すべ}るとそのようにな^なった。

25 神^{かみ}は、さまざま^{しやうしやう}な種類^{しゆるい}の野生動物^{やせいどうぶつ}、さまざま^{しやうしやう}な種類^{しゆるい}の家畜^{かちく}、地面^{じめん}を動^{うご}くさまざまな種類^{しゆるい}の生き物^{いもの}を造^{つく}った。神^{かみ}が見^みると、それは良^よかった。

26 神^{かみ}は言^いった。「私^{わたくし}たちに似^にた者^{もの}として人^{ひと}を造^{つく}ろ。そして人^{ひと}に、海^{うみ}の魚^{さかな}、

第1章
(詩) 詩 136:7,8

(イ) 詩 8:3
エレ 31:35

(例) 詩 74:16

(例) 創 2:19

(例) ネヘ 9:6
詩 104:25

(例) 創 2:19

(例) 格 8:30
ヨハ 1:3
コ口 1:16

(例) 創 5:1
コ一 11:7
ヤコ 3:9

第2欄
(例) 創 9:2

(イ) 詩 139:14
マタ 19:4
マル 10:6
コ一 11:7,9

(例) 創 9:1

(例) 創 2:15

(例) 詩 8:4,6

(例) 創 9:3
詩 104:14
使徒 14:17

(例) 詩 147:9
マタ 6:26

(例) 申 32:4
詩 104:24
テモ一 4:4

第2章
(例) ネヘ 9:6
詩 146:6

(例) 出 31:17
ヘブ 4:4

1:20 *ヘブライ語、ネフェシユ。用語集参照。
*または、「天」。1:24 *小動物、げっ歯類、爬虫類、虫などを指すと思われる。

空^{そら}を飛^とぶ生き物^{いもの}、家畜^{かちく}、地面^{じめん}を動^{うご}くあらゆる生き物^{いもの}を治^{おさ}めさせ、地球^{ちきゅう}を世話^{せわ}させよう」。27 それから神^{かみ}は人^{ひと}を自分^{おのれ}に似^にた者^{もの}、神^{かみ}に似^にた者^{もの}として創^{そうぞう}造^{ぞう}した。28 神^{かみ}は2人^{ふたり}を祝福^{しゆくふく}し、こう言^いった。「子^こを生^うみ、増^ふえて、地上^{ちじょう}全体^{ぜんたい}に広^{ひろ}がり、地球^{ちきゅう}を管理^{かんり}しなさい。また、海^{うみ}の魚^{さかな}、空^{そら}を飛^とぶ生き物^{いもの}、地上^{ちじょう}を動^{うご}くあらゆる生き物^{いもの}を治^{おさ}めなさい」。

29 神^{かみ}は言^いった。「私^{わたし}は、地上^{ちじょう}にある、種^{たね}をつける全^{すべ}ての草^{くさ}木^きと、種^{たね}のある果実^{かじつ}をつける全^{すべ}ての木^きを、あなたたち^{あなたたち}に食物^{しょくもつ}として与^{あた}える。30 また、地上^{ちじょう}のあらゆる野生動物^{やせいどうぶつ}と、空^{そら}を飛^とぶあらゆる生き物^{いもの}と、地上^{ちじょう}を動^{うご}くあらゆる生き物^{いもの}に、緑^{みどり}の草^{くさ}木^き全^{すべ}てを食物^{しょくもつ}として与^{あた}える」。そしてそのようになった。

31 その後^ご、神^{かみ}は造^{つく}った全^{すべ}てのものを見^みた。それは非常^{ひじょう}に良^よかった。こうして、晩^{ばん}になり朝^{あさ}になり、6日目^{かめ}が過ぎた。

2 こうして、天^{てん}と地^ちと全^{すべ}てのもの^{*}は完成^{かんせい}した。2 神^{かみ}は7日目^{かめ}にな^なる前に、それまで行^いってきた仕事^{しごと}を完^{かん}了^{りょう}し、7日目^{かめ}に、その仕事^{しごと}をやめて休^{やす}み始めた。3 それから神^{かみ}は7日目^{かめ}を祝福^{しゆくふく}し、その日^ひを神聖^{しんせい}なものとし^した。あらゆるもの^{もの}を目的^{もくてき}通りに創^{そうぞう}造^{ぞう}することを終^おえて、神^{かみ}はその日^ひ、休^{やす}んでいるのである。

4 これが、天^{てん}と地^ちが創^{そうぞう}造^{ぞう}された時^{とき}

2:1 *直訳、「その全軍」。

の記録、エホバ神が地と天を造った日に起きたことである。

5 地上に草木はなく、まだ何も生えていなかった。エホバ神は地上に雨を降らせておらず、地面を耕す人もいなかったからである。6 ただ、霧が地表から立ち上って地面を潤していた。

7 エホバ神は地面の土で人を形作り、その鼻に息を吹き込んで命を与えた。すると生きた人になった。8 さらにエホバ神は東方のエデンに庭園を造り、自分が形作った人をそこに置いた。9 エホバ神は、食べられる実を付けるさまざまな美しい木が地面から生えるようにし、庭園の真ん中に命の木を生えさせた。また、善悪の知識の木を生えさせた。

10 エデンから1本の川が流れ出ていた。川は庭園を潤し、そこから分かれて4本の川になっていた。11 第1の川の名はピションという。金を産出するハビラの全体を巡る川である。12 その地方の金は良質であり、そこはブデリウム樹脂やしまめのうも産出する。13 第2の川の名はギホンという。クシュの全体を巡る川である。14 第3の川の名はチグリスという。アッシリアの東を流れる川である。第

2:4 * 神固有の名前 יְהוָה (YHWH) が最初に出てくる箇所。付録A4参照。2:7 * または、「呼吸する生き物」。ヘブライ語、ネフェシム。用語集参照。2:10 * 直訳、「4つの頭」。2:14 * 直訳、「ヒデケル」。

第2章

(ア) イザ 45:18

(イ) 創 3:19
詩 103:14
伝 3:20(ウ) 創 7:22
イザ 42:5
使徒 17:25

(エ) コー 15:45,47

(イ) 創 2:15
創 3:23

(ウ) 創 1:26

(イ) 創 3:22,24
啓 2:7

(ウ) 創 2:17

(ウ) ダニ 10:4

(ウ) 創 10:8,11

第2欄

(ア) 創 15:18
申 11:24(イ) 創 1:28
創 2:8
詩 115:16(ウ) 創 2:8,9
創 3:2(エ) 創 3:19
詩 146:4
伝 9:5,10
エゼ 18:4
ロマ 5:12
コー 15:22(イ) コー 11:8,9
デモー 2:13

(ウ) 創 1:26

(イ) マル 10:9
デモー 2:13

(ウ) コー 11:8

4の川はユーフラテスである。

15 エホバ神は人をエデンの園に住ませた。そこを耕させ、管理させるためだった。16 エホバ神は人にこう命じた。「庭園の全ての木の実を満足するまで食べてよい。17 しかし、善悪の知識の木の実は、食べてはならない。それを食べた日にあなたは必ず死ぬからである」。

18 その後、エホバ神は言った。「人が独りのままでいるのは良くない。彼を補って助ける人を造ろう」。19 さて、地面からさまざまな野生動物と空を飛ぶ生き物を形作ったエホバ神は、生き物たちを人の所に連れてきて、人がそれぞれを何と呼ぶかを知らうとした。そして、人が呼んだ名がその生き物の名前になった。20 人はあらゆる家畜と空を飛ぶ生き物と野生動物に名前を付けたが、人には補って助けてくれる人がいなかった。21 そこでエホバ神は人を深く眠らせた。そして眠っている間にあばら骨を1本取り、その箇所を閉じた。22 それからエホバ神は、人から取ったあばら骨で女性を造り、女性を人の所に連れてきた。

23 すると人はいった。

「これこそ私の骨の骨、
私の肉の肉。」

これは女と呼ばれる。
おとこ# と (ウ)
男から取られたから」。

2:23 * ヘブライ語、イツシャー。# ヘブライ語、イージュ。

24 それで、男は父と母から離れて妻にしっかり付き、2人は一体となるのである。25 人とその妻は2人とも裸だったが、恥ずかしいとは思わなかった。

3 さて、エホバ神が造った野生動物の中で蛇が最も用心深かった。蛇が女に言った。「あなたたちは庭園の全ての木の実を食べてはならない、と神が言ったのは本当ですか」。

2 女は蛇に言った。「私たちは庭園の木の実を食べてよいのです。3 でも、庭園の真ん中にある木の実について、神は、『食べてはならない。触れてもならない。食べたり触れたりするなら死ぬ』と言いました。4 蛇は女に言った。「あなたたちは決して死にません。5 その木の実を食べた日に、目が開かれ、あなたたちが神のようになって善悪を知るようになることを神は知っているのです」。

6 そこで女がその木を見ると、おいしそうな実が付いていて、魅力的な美しい木に見えた。それで女はその木の実を取って食べ始めた。その後、一緒にいた時に夫にも渡した。夫もそれを食べ始めた。7 すると、2人の目は開かれ、自分たちが裸であることに気付いた。それで、イチジクの葉をつなぎ合わせて腰を覆う物を作った。

8 その後、そよ風が吹く頃、庭園の

第2章

(7) マラ 2:16
マタ 19:5
マル 10:7,8
ロマ 7:2
コ一 6:16
エフ 5:31
ヘブ 13:4

(1) 創 3:7

第3章

(7) コ二 11:3
啓 12:9
啓 20:2

(1) 創 2:17

(7) 創 2:16

(7) 創 2:8,9

(7) ヨハ 8:44
ヨ一 3:8

(7) 創 3:22

(7) コ二 11:3
テモ一 2:14
ヤコ 1:14,15

(1) ロマ 5:12

(7) 創 3:21

第2欄

(7) 創 2:25

(1) 創 2:17

(7) コ二 11:3
テモ一 2:14

(1) 創 3:1

(7) 啓 12:9

(7) 啓 12:1

(7) ヨハ 8:44
ヨ一 3:10

(7) 創 22:18
創 49:10
ガラ 3:16,29

(7) 啓 12:7,17

(1) 啓 20:2,10

(7) マタ 27:50
使徒 3:15

中を歩くエホバ神の声が聞こえた。人とその妻は、エホバ神に見つからないよう庭園の木々の中に隠れた。

9 エホバ神は人に何度も呼び掛けて、「どこにいるのか」と言った。10 ついに人は言った。「庭園の中であなたの声が聞こえましたが、裸だったので怖くなって隠れました」。11 神は言った。「裸であると言われたのか。食べてはならないと命じた木の実を食べたのか」。12 人は言った。「あなたが私に下さった女、その女がくれたので食べました」。13 そこでエホバ神は女に言った。「あなたがしたのは、いったいどういうことか」。女は答えた。「蛇が私をだましたのです。それで食べました」。

14 それからエホバ神は蛇に言った。「あなたはこうしたことを行ったので、全ての家畜と野生動物の中で卑しいものとなる。あなたは腹ばいになって動き、生涯ずっと土を食べる。

15 そして私は、あなたと女の間、またあなたの子孫と女の子孫の間に敵意を置く。彼はあなたの頭を砕き、あなたは彼のかかとに傷を負わせる」。

16 女にはこう言った。「私はあなたの妊娠中の苦痛を大きくする。あなたは苦しみながら子供を産む。あなたは夫との親密さを求め、夫はあなたを支配することになる」。

3:15 *直訳、「種」。「女の子孫のこと。^または、「を砕く」。

2:24 *または、「妻とずっと一緒にいて」。3:1 *または、「利口だった」。3:8 *夕方のこと。

17 アダムにはこう言った。「あなたは妻の言ったことに従い、『食べてはならない』と私が命じた木の实を食べたので、あなたのせいで地面は災いを受けた。それであなたは、地面から食物を得るために生涯ずっと苦労する。」

18 地面にはいばらとアザミが生え、あなたは野の草木を食べなければならぬ。19 あなたは額に汗して食物を得、やがて地面に戻る。そこから取られたからだ。あなたは土なので土に戻るのである」。

20 その後、アダムは妻をエバと名付けた。彼女は生きる人全ての母となるからだ。21 エホバ神は、アダムと妻のために皮の長い服を作り、2人に着せた。22 それからエホバ神は言った。「人は私たちのように善悪を知るようになった。人が命の木からも実を取って食べて永遠に生きるというのではないために、—」。23 エホバ神は人をエデンの園から出し、地面を耕させた。その地面から人は取られた。24 こうして神は人を追い出し、ケルブたちと、回転し続ける炎の剣とをエデンの園の東に配置して、命の木への道を守らせた。

4 さて、アダムは妻エバと関係を持ち、エバは妊娠した。エバはカインを生み、「私はエホバの助けで男の子を産んだ」と言った。2 その後、

3:17 *意味、「地の人」、「人間」、「人類」。3:19 *または、「パン」。3:20 *意味、「生きる人」。

第3章

(創) 創 2:17

(創) 創 5:29

(創) 創 8:20

(創) 創 2:7

(詩) 詩 104:29

伝 3:20

伝 12:7

(使) 使徒 17:26

(創) 創 3:7

(創) 創 3:5

(創) 創 2:9

(創) 創 2:8

(創) 創 3:19

(詩) 詩 80:1

イザ 37:16

エゼ 10:4

第4章

(創) 創 1:28

(創) 創 3:10-12

ユダ 11

第2欄

(マ) マタ 23:35

(創) 創 13:12

(創) 創 11:4

(マ) マタ 23:35

ヨハ 3:10-12

ユダ 11

(創) 創 12:24

エバは再び子を産んだ。カインの弟アベルである。

アベルは羊飼いとなり、カインは耕作者となった。3 しばらく後のこと、カインは土地から得た産物の幾らかを、エホバに捧げるために持ってきた。4 一方、アベルは羊の初子の何匹かを脂肪部分を含めて持ってきた。エホバはアベルとその捧げ物を好意的に見たが、5 カインとその捧げ物は好意的には見なかった。するとカインは激しく怒り、ふさぎ込んだ。6 それでエホバはカインに言った。「どうしてそんなに怒って、ふさぎ込んでいるのか。7 善いことを行うようになれば、好意を得られるのではないか。しかし、善いことを行うようにならなければ、戸口で待ち構えている罪があなたを捕らえようとする。あなたはそれを押しとどめるだろうか」。

8 その後カインは弟アベルに、「野原に行こう」と言った。そして2人で野原にいる時に、弟に襲い掛かって殺した。9 エホバはカインに言った。「あなたの弟アベルはどこにいるのか」。カインは言った。「知りません。私は弟の見張り番なのではないか」。10 神は言った。「あなたは何をしたのか。聞きなさい! あなたの弟の血が地面から私にむかって叫んでいる。11 地面はあなたが殺した弟の血を飲み込んだ。今、あなたは

4:11 *直訳、「口を開いて受けた」。

わざわ ころむ この と ち ついほう (7)
災いを被り、この土地から追放される。

12 あなたは地面を耕しても、産物を
思うように得られない。地上をさまよ

い、放浪する」。13 カインはエホバ
に言った。「私の過ちに対する処罰は

あまりにも重くて、耐えられません。

14 今日、私はあなたによってこの土
地から追い出されます。あなたに見守

られることはもうありません。私は地

上をさまよ、放浪し、誰かに見つ

かったなら必ず殺されるでしょう」。

15 エホバはカインに言った。「そうで
あれば、カインを殺す人は7倍の復讐

を受けることにしよう」。

それでエホバはカインのために1つ
のしるしを作り、カインが誰かに見つ

けられても打ち殺されることがないよ

うにした。16 こうしてカインはエホ
バの前から離れ、エデンの東方、逃亡

の地に住み着いた。

17 その後、カインは妻と関係を持
ち、妻は妊娠してエノクを産んだ。カ

インは町の建設に取り掛かり、その町

に息子の名を付けてエノクと呼んだ。

18 エノクにはイラドが生まれた。イ

ラドにはメフヤエルが生まれ、メフヤ

エルにはメトシャエルが生まれ、メト

シャエルにはレメクが生まれた。

19 レメクは2人の女性と結婚した。

1人目はアダといい、2人目はチラと

いった。20 アダはヤバルを産んだ。
ヤバルは、家畜を飼う天幕生活を最

第4章

(7) 創 9:5

(7) 創 2:8

(7) 創 5:4

第2欄

(7) 創 4:15

(7) 創 5:3
代一1:1(7) 創 4:8
マタ 23:35
ヘブ 11:4(7) 創 5:6
ルカ 3:23,38

第5章

(7) 創 1:26
ヤコ 3:9

初に始めた人だった。21 ヤバルの
兄弟はユバルといった。ユバルは、た

て琴と笛の演奏を最初に始めた人

だった。22 一方、チラはトバル・カ

インを産んだ。トバル・カインは、銅と

鉄のさまざまな道具を作る鍛冶屋

だった。彼の姉妹はナアマといった。

23 さて、レメクは妻のアダとチラに次
の詩を作って聞かせた。

「レメクの妻たち、私の声を聞け。

私の言葉に耳を傾けよ。

私は人を殺した。私を傷つけた

からだ。

若者を殺した。私を殴ったか

らだ。

24 カインを殺すと7倍の復讐を受け

るなら、

レメクについては77倍」。

25 アダムは再び妻と関係を持ち、

妻は男の子を産んだ。彼女はその子

をセツと名付けた。彼女が言うには、

「カインがアベルを殺したので、神は代

わりに別の子孫を与えてくださった」

からだった。26 セツにも息子が生

まれ、セツはその子をエノシュと名付

けた。その頃、人々はエホバの名を

呼び始めた。

5 これがアダムの系譜である。神

はアダムを創造した日に、アダム

を神に似た者として造った。2 神は

4:25 *意味、「立てられた」、「置かれた」、「据え
られた」。「または、立てて」。

4:12 *直訳、「力」。4:15 *何らかの禁令のこと
と思われる。4:16 *または、「ノドの地」。

だんせい じょせい そうぞう (イ) ひ かみ
男性と女性を創造した。その日、神は
かれ しよくふく ひと* な づ
彼らを祝福して人と名付けた。

3 アダムが130歳の時、息子が生まれた。アダムによく似た子だった。アダムはその子をセツと名付けた。

4 アダムは、セツが生まれてから、さらに800年生きた。ほかにも息子や娘たちが生まれた。5 アダムは930年の生涯を送り、死んだ。

6 セツが105歳の時、エノシュが生まれた。7 セツは、エノシュが生まれてから、さらに807年生きた。ほかにも息子や娘たちが生まれた。8 セツは912年の生涯を送り、死んだ。

9 エノシュが90歳の時、ケナンが生まれた。10 エノシュは、ケナンが生まれてから、さらに815年生きた。ほかにも息子や娘たちが生まれた。11 エノシュは905年の生涯を送り、死んだ。

12 ケナンが70歳の時、マハラレルが生まれた。13 ケナンは、マハラレルが生まれてから、さらに840年生きた。ほかにも息子や娘たちが生まれた。14 ケナンは910年の生涯を送り、死んだ。

15 マハラレルが65歳の時、ヤレドが生まれた。16 マハラレルは、ヤレドが生まれてから、さらに830年生きた。ほかにも息子や娘たちが生まれた。17 マハラレルは895年の生涯を送り、死んだ。

5:2 *または、「アダム」、「人間」。

第5章

(イ) 創1:27
創2:23
イザ45:12
マタ19:4
マル10:6

(イ) 創4:25

(イ) 創2:17
創3:19
ロマ6:23
コ一15:22

(イ) 創4:26
ルカ3:23,38

(イ) ルカ3:23,37

(イ) ルカ3:23,37

第2欄

(イ) ユダ14

(イ) ルカ3:23,37

(イ) 創6:9
申8:6
申13:4
ヨ三4
ユダ14,15

(イ) ヨハ3:13
ヘブ11:5

(イ) ルカ3:23,36

(イ) 創7:1
エゼ14:14
マタ24:37
ヘブ11:7
ペ一3:20
ペ二2:5

(イ) 創3:17

18 ヤレドが162歳の時、エノクが生まれた。19 ヤレドは、エノクが生まれてから、さらに800年生きた。ほかにも息子や娘たちが生まれた。20 ヤレドは962年の生涯を送り、死んだ。

21 エノクが65歳の時、メトセラが生まれた。22 エノクは、メトセラが生まれてから、さらに300年、真の神と共に歩み続けた。ほかにも息子や娘たちが生まれた。23 エノクは365年の生涯を送った。24 エノクは真の神と共に歩み続けた後、いなくなった。神が彼を取ったからである。

25 メトセラが187歳の時、レメクが生まれた。26 メトセラは、レメクが生まれてから、さらに782年生きた。ほかにも息子や娘たちが生まれた。27 メトセラは969年の生涯を送り、死んだ。

28 レメクが182歳の時、息子が生まれた。29 レメクはその子をノアと名付け、こう言った。「エホバが地面に災いを下したので私たちは苦労しながら働いているが、この子がそれから解放してくれるのだ」。30 レメクは、ノアが生まれてから、さらに595年生きた。ほかにも息子や娘たちが生まれた。31 レメクは777年の生涯を送り、死んだ。

5:22 *用語集参照。5:29 *意味は恐らく、「休息」、「慰め」。「または、「苦勞している私たちを慰めて」。

32 ノアが500歳さいになってから、セム、ハム、ヤベデ（イ）が生まれた。

6 さて、人が地上（イ）に増え始め、娘たちが生まれると、2 真の神の子たちは、人の娘たちが美しいことに気付くようになった。そして気に入った女性たちを妻にしていた。3 エホバは言った。「私がいつまでも人を大目に見ることはない。人は罪深いからだ。それで、人が生きるのはあと120年である」。

4 その頃、またその後にも、地上にネフィリム（イ）がいた。真の神の子たちが人の娘たちと関係を持ち、生まれた子たちである。ネフィリムは、古代の人々の中でよく知られた、力の強い者たちだった。

5 そのため、エホバは、地上の人々がひどく邪悪で、考え方全てが常に悪いのを見た。6 エホバは、地上に人を造ったことを嘆き、悲しいので、7 それでエホバは言った。「私が創造した人を地上から滅ぼそう。家畜や空を飛び生き物や地面を動く生き物も。私はこれらのものを造ったことを嘆いているからだ」。8 しかし、ノアはエホバからの好意を得ていた。

9 以下はノアについての記録である。

ノアは正しい人で、当時の人々とは

6:2 *ヘブライ語の慣用語。神の天使たちを指す。6:3 *直訳、「肉体だ」。6:4 *意味はもしかすると、「倒す者たち」。用語集参照。6:6 *または、「悔やみ」。「または、「心に痛みを感じた」。6:9 *または、「同世代」。

第5章

(イ) 創 10:21
創 11:10
ルカ 3:23,36

(イ) 創 6:10
創 10:6

(イ) 創 10:2

第6章

(イ) ヨブ 1:6
ヨブ 38:7
ペニ 2:4
ユダ 6

(イ) 創 7:4
ペー 3:20

(イ) ペニ 3:9

(イ) 創 8:21
エレ 17:9
マタ 15:19

(イ) 詩 78:40,41

(イ) 創 7:1
エゼ 14:14
ヘブ 11:7

第2欄

(イ) ペニ 2:5

(イ) 創 5:32

(イ) 啓 11:18

(イ) マタ 24:37-39
ペニ 2:5

(イ) 創 7:4

(イ) ヘブ 11:7

(イ) 創 14:10
出 2:3

(イ) 創 7:16

(イ) 創 1:7
創 7:6,11

(イ) 創 7:21
詩 104:29
マタ 24:39
ペニ 2:5

(イ) 創 7:13

ことなり、非の打ちどころがない人だった。ノアは真の神と共に歩んだ。10 やがてノアに3人の子、セム、ハム、ヤベデが生まれた。11 一方、地上は、真の神から見て堕落して、暴力があふれていた。12 神が地上を見ると、堕落していたのである。人々は皆、非常に悪い生き方をしていた。

13 神はノアに言った。「私は全ての人を滅ぼすことにした。彼らのせいで地上に暴力があふれているからだ。私は彼らを滅ぼして地上を荒廃させる。14 樹脂の多い木で箱船を造りなさい。箱船の中には部屋を造り、箱船の内側と外側をタールで塗りなさい。15 箱船は次のように造る。長さは134メートル、幅は22メートル、高

さは13メートル。16 上から45センチの所に採光窓を作る。箱船の側面に入り口を付け、1階、2階、3階を造る。

17 私は地上に洪水を起こして、息をする生き物全てを天の下から滅ぼそうとしている。地上の全てのものは息絶えることになる。18 私はあなたと契約を結ぶ。あなたは、息子たち、妻、息子たちの妻と一緒に箱船に入らなければならない。19 そして、あらゆる種類の生き物を2匹ずつ箱船の中

6:11, 12 *または、「破壊されて」。6:14 *直訳、「ゴーフールの木」。イトスキのことかもしれない。*直訳、「大箱」。^または、「ピッチ」。*または、「覆い」。6:16 *ヘブライ語、ツォーハル。もしかすると採光窓ではなく屋根のことで、高低差45センチの傾斜を付けるということなのかもしない。

に入れなさい。生き物を保護するため、雄と雌を入れるのである。20 さまざまな種類の飛ぶ生き物、さまざま種類の家畜、地面を動くさまざまな種類の生き物が2匹ずつ、あなたのいる箱船に入り、保護される。21 また、あらゆる種類の食物を集めて持ち込みなさい。あなたと動物たちがそれを食べる」。

22 ノアは、全て神に命じられた通りにした。まさにその通りにした。

7 やがてエホバはノアに言った。「あなたとあなたの家族は皆、箱船に入りなさい。あなたがこの世代の人々とは違って正しい人であることをわたしは知った。2 あなたは、あらゆる清い動物を7匹ずつ、雄と雌を入れなければならない。あらゆる清くない動物は2匹ずつ、雄と雌を入れなければならない。3 空を飛ぶ生き物も7匹ずつ、雄と雌を入れなければならない。動物たちを保護して、子孫が地球全体に広がるようにするのだ。4 私は、7日後から40日間ずっと、昼も夜も地上に雨を降らせ、私が造った生きているもの全てを地上から滅ぼす」。

5 ノアは、エホバが命じたことを全て行った。

6 地上に洪水が起きたのは、ノアが600歳の時だった。7 ノアは洪水

7:2 *もしかすると、「あらゆる清い動物のつがいを7組ずつ」。7:3 *もしかすると、「空を飛ぶ生き物のつがいを7組ずつ」。7:4 *直訳、「40日40夜」。

第6章

(ア) 創 8:17

(イ) 創 7:2

(ウ) 創 7:14,15

(エ) 創 1:29,30

(オ) 出 40:16

ヘブ 11:7

第7章

(カ) 創 6:9

ヘブ 10:38

ヘブ 11:7

ペー 3:12

ペニ 2:5,9

(キ) 創 8:20

(ク) 創 7:23

創 8:19

(コ) 創 7:11,12

(カ) 創 2:5

(キ) 創 6:7,17

(ク) 創 8:13

第2欄

(ア) ルカ 17:27

ヘブ 11:7

(イ) 創 6:19,20

(ウ) 創 1:7

創 8:2

(エ) 創 9:18

代一 4:4

(オ) 創 6:18

ペー 3:20

ペニ 2:5

(カ) ペニ 3:5,6

が起きる前に、息子たち、妻、息子たちの妻と一緒に箱船に入った。8 清い動物、清くない動物、飛ぶ生き物と地面を動くあらゆる生き物が9 2匹ずつ、雄と雌がノアのいる箱船に入った。神がノアに命じた通りになったのである。10 7日後、地上に洪水が起きた。

11 ノアが600歳だった年、第2の月の17日、空の泉から水が勢いよく流れ出し、天の水門が開いた。12 そして40日間ずっと、昼も夜も地上に激しい雨が降った。13 まさにその日、ノアは箱船に入った。息子のセムとハムとヤベテ、ノアの妻、息子たちの妻3人も一緒だった。14 さまざまな種類の野生動物、さまざまな種類の家畜、地面を動くさまざまな種類の生き物、さまざまな種類の飛ぶ生き物、あらゆる鳥や羽のある生き物も入った。15 息をするあらゆる生き物が2匹ずつ、ノアのいる箱船に入っていくた。16 あらゆる種類の生き物の雄と雌が入り、神がノアに命じた通りになった。それからエホバは扉を閉めた。

17 洪水は40日間続いた。水は増えていって箱船を押し上げるようになり、箱船は地表よりずっと高い所に浮かんだ。18 水はますます増えていって膨大な量になり、箱船は水の上を漂った。19 水かさはいくつまでも増え、地球全体の高い山々が水で覆い尽くされた。20 水の高さは、山々の

およそ7メートル上^{うえ}にまで達^{たっ}した。

21 そのため、地上^{ちじょう}を動^{うご}いていた生^いき物^{ぶつ}は、飛^とぶ生^いき物^{ぶつ}も、家畜^{けいしゆ}も、野生動^{やせいどう}物^{ぶつ}も、無^む数^{すう}の小さ^{ちい}な生^いき物^{ぶつ}も、人^{にん}間^{げん}も全^{ぜん}て息絶^{いきぜつ}えた。**22** 息^{いき}をする陸^{りく}の生^いき物^{ぶつ}全^{ぜん}てが死^しんだ。**23** こうして、神^{かみ}は地上^{ちじょう}の生^いきてい^いるもの全^{ぜん}てを滅^{ほろ}ぼした。人^{ひと}、動^{どう}物^{ぶつ}、地面^{じめん}を動^{うご}く生^いき物^{ぶつ}、そら^{そら}を飛^とぶ生^いき物^{ぶつ}が全^{ぜん}て地上^{ちじょう}から滅^{ほろ}びた。生^いき残^{のこ}ったのは、ノアと、一^{いっ}緒^{しょ}に箱船^{はこぶね}の中^{なか}にいた家^か族^{ぞく}や生^いき物^{ぶつ}だけだ^たった。**24** 水^{みづ}は150日^{にち}間^{かん}、地^ち表^{ひょう}をすっか^かり覆^{おほ}っていた。

8 神^{かみ}は、箱船^{はこぶね}の中^{なか}にいたノアと野生動^{やせいどう}物^{ぶつ}と家畜^{けいしゆ}に目^めを留^{とど}めた。そ^そして地上^{ちじょう}に風^{かぜ}を吹^ふかせた。す^すと水^{みづ}がへ^へは^はじ^じと減^へり始^{はじ}めた。**2** 空^{そら}の泉^{いずみ}と天^{てん}の水門^{すいもん}はふさがれ、天^{てん}から^{あめ}の雨^{あめ}はやんだ。**3** 水^{みづ}は徐^{じょ}々^{じょ}に引^ひいてい^いった。**150** 日^{にち}がた^たった頃^{ころ}には、水^{みづ}は少^{すく}なくな^なっていた。**4** 第^{だい}7^{しち}の月^{つき}の17^{じゅう}日^{にち}、箱船^{はこぶね}はアララト^{さんち}の山^{さん}地^ちに止^とま^とった。**5** そ^そして第^{だい}10^{じゅう}の月^{つき}になるま^まで水^{みづ}は減^へり続^{つづ}けた。第^{だい}10^{じゅう}の月^{つき}の1^{いち}日^{にち}に山^{さん}々^{さん}の頂^{たけ}が現^{あらわ}れ^れた。

6 40^{にち}日^ご後^ご、ノアは、箱船^{はこぶね}に作^{つく}ってお^おいた窓^{まど}を開^あけた。**7** そしてワタリガ^{はな}ラス^{はな}を放^{はな}った。ワタリガ^{はな}ラス^{はな}は、水^{みづ}が乾^{かわ}くま^{そと}で外^とに飛^とんでい^いつては戻^{もど}ってきた。

8 やがてノアは、地^ち表^{ひょう}から水^{みづ}が引^ひいたか^{たし}どうかを確^{たし}かめ^{たし}るため、ハト

8:1 *直訳、「を思い起こした」。**8:2** *または、「止められた」。

第7章

(例) 創 6:7,17
ルカ 17:27

(例) 創 2:7
創 7:15
伝 3:19
イザ 42:5

(例) 創 6:7
ペニ 3:5,6

(例) マタ 24:37-39
ペニ 3:20
ペニ 2:5,9

(例) 創 8:3

第8章

(例) 創 6:19,20
ヘブ 11:7

(例) 創 7:11,12

(例) 創 7:20

(例) 創 6:16

第2欄

(例) 創 7:19

(例) 創 7:20
創 8:3

(例) 創 7:6,11

(例) 創 7:7
ペニ 3:20
ペニ 2:5

(例) 創 6:19,20
創 7:14,15

(例) 創 1:22

(例) 創 6:10

(例) 創 7:13,14

(例) 創 12:7

はなを放^{はな}った。**9** ハトは、止^とまる所^{ところ}がどこにもな^なかったので、ノアのいる箱船^{はこぶね}にもど^{もど}り戻^{もど}ってきた。水^{みづ}がまだ地球全^{ちきゅうぜんたい}体を覆^{おほ}っていたのである。ノアは手^てを出^だしてハトを箱船^{はこぶね}の中^{なか}に入^いれた。**10** ノアは7日^か待^{まち}てから、もう一^{いち}度^どそのハトを箱船^{はこぶね}から放^{はな}った。**11** ハトは夕^{ゆう}方^{がた}ごろにノアの所^{ところ}に帰^{かえ}ってきた。ハトは取^とったばかりのオリブ^はの葉^はをくわえていたので、ノアは、水^{みづ}が引^ひいたことを知^しった。**12** さらに7日^か待^{まち}てからそのハトを放^{はな}つと、もう戻^{もど}ってこ^こな^なかった。

13 ノアが601歳^{さい}だ^{とし}った年^{ねん}、第^{だい}1^{いち}の月^{つき}の1^{いち}日^{にち}、水^{みづ}はす^すでに^はけ^けてい^いた。ノアが箱船^{はこぶね}の屋根^やの部^ぶ分^{ぶん}を^みず^みは^みず^み外^はへ^へ出^でて^みて^みると、地面^{じめん}は乾^{かわ}きつ^つつあ^あった。**14** 第^{だい}2^にの月^{つき}の27^{にち}日^{にち}には、す^すっか^かり乾^{かわ}いてい^いた。

15 神^{かみ}はノアに言^いった。**16** 「あな^{あな}たの妻^{つま}、息子^{むすこ}たち、息子^{むすこ}たちの妻^{つま}と一^{いっ}緒^{しょ}に箱船^{はこぶね}から出^でなさい。**17** 飛^とぶ生^いき物^{ぶつ}も、動^{どう}物^{ぶつ}も、地面^{じめん}を動^{うご}く生^いき物^{ぶつ}も、あらゆる種^{しゅるい}類^いの生^いき物^{ぶつ}全^{ぜん}てを連^つれ出^だしなさい。生^いき物^{ぶつ}たち^{たち}が子^こを生^うみ、増^ふえて、地上^{ちじょう}に広^{ひろ}がるようにするた^ため^めで^である」。

18 ノアは、息子^{むすこ}たち、妻^{つま}、息子^{むすこ}たち^{たち}の妻^{つま}と一^{いっ}緒^{しょ}に外^{そと}に出^でた。**19** あらゆ^いる生^いき物^{ぶつ}、地面^{じめん}を動^{うご}く生^いき物^{ぶつ}、飛^とぶ生^いき物^{ぶつ}、地上^{ちじょう}を動^{うご}く生^いき物^{ぶつ}は、種^{しゅるい}類^いご^ごとに箱船^{はこぶね}から出^でた。**20** それから

ノアはエホバのために祭壇^{さいだん}を作^{つく}り、**8:13** *または、「箱船の覆い」。

きよ 動物と 清い 飛ぶ 生き物の 幾らか
を 祭壇に 載せ、 全焼の 捧げ物に した。

21 エホバは心地よい香りを嗅ぎ始めた。それでエホバは心の中でこう言った。「私は二度と、人がしたことを理由に地面に災いを下したりはしない。人の考え方は子供の時から悪いのである。私は二度と、今回のようにすべての生きているものを滅ぼすことはない。」

9 それから神はノアとその息子たちを祝福し、こう言った。「子をうみ、増えて、地上全体に広がりなさい。2 地上のあらゆる生き物と空を飛ぶあらゆる生き物、地面を動くあらゆる生き物と海の全ての魚は、これからもあなたたちを恐れておびえる。生き物たちは今、あなたたちの手に委ねられる。3 生きている動物はどれも食物にしてよい。緑の草木と同じように、それら全てをあなたたちに与える。

4 ただし、血を含む肉を食ってはならない。血は命だからである。5 また私は、生き物が、人の命である血を流したなら、その生き物に責任を問う。人が自分の兄弟の命を奪ったなら、その人に責任を問う。6 人を殺して人の血を流す者は、人に殺されて自分の血を流すことになる。私は自分に似た者として人を造ったからである。7 あ

第8章

(例) 創 7:2
レビ 20:25

(例) 申 27:6

(例) 創 3:17
創 5:29

(例) 創 6:5
伝 7:20
マタ 15:19

(例) 創 6:7,17
創 9:11
イザ 54:9

(例) 創 1:14
詩 74:17
伝 1:4

第9章

(例) 創 1:28

(例) 創 1:26
ヤコ 3:7

(例) テモ 4:3

(例) 創 1:29

(例) レビ 3:17
レビ 7:26
レビ 17:10,13
申 12:16,23
使徒 15:20,29
使徒 21:25

(例) レビ 17:11,14

(例) 創 4:8,10
出 21:12

(例) 出 20:13
民 35:30
マタ 26:52

(例) 創 1:27

第2欄

(例) 創 1:28
創 10:32

(例) 創 9:15
イザ 54:9

(例) 創 8:17

(例) 創 8:21

(例) 創 8:21

(例) 創 9:12,13

(例) 創 5:32

創 7:7

創 10:1

なたたちは、子をうみ、増えて、ますます多くなり、地上に広がりなさい。

8 次いで神はノアとその息子たちに言った。9 「私は今、契約を結ぶ。私と、あなたたち、あなたたちの子孫、10 あなたたちと共にいる全ての生き物との契約である。鳥、動物、その他の生き物など、箱船から出た生き物、11 地上のあらゆる生き物があなたたちと共にいる。12 私は確かに、あなた

たちと次の契約を結ぶ。生きているもの全てが洪水で滅ぼされることは二度とない。地上が洪水で荒廃することはない。

12 さらに神は言った。「私があなたたちやあらゆる生き物と結ぶ、将来の全世代のための契約のしるしとして、13 私は雲に虹を懸ける。私と地上で生きる全てのものとの契約のしるしである。14 私が上空に雲を作るときに、虹が雲の中に現れる。15 私は、あなたたちやあらゆる種類の生き物と結んだ契約を決して忘れない。生きているもの全てが洪水で滅ぼされることは二度とない。16 雲の中に虹ができると、私は必ずそれを見て、私と地上のあらゆる種類の生き物との永遠の契約を思い出す。

17 神は再びノアに言った。「これは、私が地上の生きているもの全てと結ぶ契約のしるしである。」

18 箱船から出たノアの息子たちはセム、ハム、ヤペテだった。ハムに

はやがてカナンが生まれた。⁽⁷⁾ **19** この3人がノアの息子で、地上に広がっていった人々は皆、この3人の子孫である。

20 さて、ノアは農業をして暮らし、ブドウ園を造った。**21** ある時、ノアはぶどう酒を飲んで酔い、天幕の中で裸になっていた。**22** カナンの父ハムは父親の裸を見て、外にいた2人の兄弟にそのことを告げた。**23** そこでセムとヤベテは服を取り、自分たちの肩に掛けて後ろ向きに入っていき、裸の父親に掛けた。2人は顔を背けながらそうしたので、父親の裸を見なかった。

24 ぶどう酒で酔って寝ていたノアは目覚め、自分に対して一番下の子が行ったことについて知って、**25** こう言った。

「カナンは災いを受けよ。
兄弟たちの中で最も卑しい奴隷となれ」。

26 続けてこう言った。

「セムの神エホバが賛美されますように。

カナンはセムの奴隷となれ」。

27 神がヤベテに広大な土地をお与えになりますように。

ヤベテはセムの天幕に住むようになれ。

カナンはヤベテの奴隷ともなれ」。

第9章

(7) 創 10:6

(7) 創 10:32

(7) 申 7:1

(2) ヨシ 17:13

(7) 裁 1:28

第2欄

(7) 創 7:6

第10章

(7) ルカ 3:23,36

(7) 創 9:18,19

(2) エゼ 38:6

(7) エゼ 38:2

(7) イザ 66:19
エゼ 27:13(7) 詩 120:5
エゼ 32:26

(7) 代一 1:5-7

(7) エレ 51:27

(2) エゼ 27:14
エゼ 38:6

(7) エゼ 27:7

(2) ヨナ 1:3

(2) イザ 23:1

(2) 創 50:11

(7) エレ 46:9
ナホ 3:9(7) 民 34:2
代一 1:8-10

(7) 詩 72:10

(7) エゼ 27:22

(7) ダニ 2:2

(7) 創 11:9

(7) エズ 4:9

(2) ミカ 5:6

(7) ヨナ 3:3
マタ 12:41

28 ノアは洪水の後、350年生きた。

29 ノアは950年の生涯を送り、死んだ。

10 以下は、ノアの子、セム、ハム、ヤベテの系譜である。

洪水の後、3人に子が生まれた。

2 ヤベテの子は、ゴメル、マゴク、マダイ、ヤワン、トバル、メシェク、ティラス。

3 ゴメルの子は、アシュケナズ、リファト、トガルマ。

4 ヤワンの子、エリシャ、タルシシュ、キッテム、ドダニム。

5 これらの人の子孫は島々に住み、言語や種族や国民ごとに各地に広がった。

6 ハムの子は、クシュ、ミツライム、プト、カナン。

7 クシュの子は、セバ、ハビラ、サプタ、ラアマ、サブテカ。

ラアマの子は、シェバ、デダン。

8 クシュにはニムロデも生まれた。ニムロデは、地上で力を振るった最初の人だった。**9** そしてエホバに敵対する強い狩人になった。そのため、「エホバに敵対する強い狩人ニムロデのようだ」という言い方がある。**10** ニムロデの王国は当初、シナル地方にあるバベル、エレク、アッカド、カルネを治めた。**11** ニムロデはその地方からアッシリアに行き、ニネベ、レホボト・イル、カラハを築いた。**12** また、ニネ

べとカラハの間にレセンを築いた。
大きな町である。

13 ミツライムの子は、ルディム、
アナミム、レハビム、ナフトヒム、
14 パトルシム、カスルヒム(この家
系からフィリスティア人が出た)、カ
フトリム。

15 カナンの子は、長男シドン、ヘ
ト、16 およびエプス人、アモリ人、
ギルガシ人、17 ヒビ人、アルキ
人、シニ人、18 アルワド人、ツエマ
ル人、ハマト人である。やがてカナ
ン人の種族は散らばった。19 カ
ナン人の領土は、シドンから、ガザ
に近いゲラルまで、またラシャに近
いゾドム、ゴモラ、アドマ、ツェポイ
ムまでだった。20 以上が、種族、
言語、国民ごとに各地に住み着い
たハムの子である。

21 セムにも子ができた。セムはエ
ベルの子全ての父祖であり、長男ヤベ
テの弟である。22 セムの子は、エラ
ム、アシュル、アルパクシャド、ルド、ア
ラム。

23 アラムの子は、ウツ、フル、ゲ
テル、マシュ。

24 アルパクシャドの子はシェラ
ハで、シェラハの子はエベル。

25 エベルには2人の子が生まれ
た。一方はペレグといった。彼の生

第10章

(ア) エレ 46:9

(イ) 代一 1:11, 12

(ウ) エゼ 29:14

(カ) ヨシ 13:2, 3
エレ 47:4

(コ) 申 2:23

(ク) ヨシ 13:6
マル 7:24(ケ) 創 25:10
創 27:46
代一 1:13-16

(コ) 裁 1:21

(ク) 創 15:16
申 3:8

(コ) ヨシ 11:3

(ウ) エゼ 27:11

(シ) 王一 8:65

(ス) ヨシ 15:20, 47
使徒 8:26

(セ) 創 20:1

(イ) 創 13:10
創 19:24
ユダ 7

(ウ) 申 29:23

(イ) 創 11:17

(ウ) エズ 4:9
使徒 2:8, 9

(イ) エゼ 27:23

(ト) 創 11:10

(イ) 代一 1:17

(ニ) 創 11:12
ルカ 3:23, 35

(ウ) 創 11:16

第2欄

(イ) 代一 1:19

(イ) 代一 1:20-23

(ウ) 王一 9:28
王一 10:11

(ニ) 創 10:5

(コ) 創 9:7
創 9:19
使徒 17:26

第11章

(ウ) 創 10:9, 10

ダニ 1:2

(ケ) 創 9:1

涯中に地上の人々が分けられたか
らだった。ペレグの兄弟はヨクタン
といった。

26 ヨクタンの子は、アルモダド、
シェレフ、ハツアルマベト、エラ
ハ、27 ハドラム、ウザル、ディク
ラ、28 オバル、アビマエル、シェ
バ、29 オフィル、ハビラ、ヨバブ。
これらの人は皆、ヨクタンの子で
ある。

30 彼らは、メシャから、東方の山地
のセファルまでの地域に住んだ。

31 以上が、種族、言語、国民ごとに
各地に住み着いたセムの子である。

32 これが、家系や国民ごとに挙げ
たノアの子の種族である。洪水後、こ
れらの種族の子孫が各地に広がり、さ
まざまな国民となった。

11 さて、地上の人々は皆、1つの
言語、同じ言葉を話していた。
2 人々は東に移動すると、シナル地方
に谷あいの平原を見つけ、そこに住み
始めた。3 人々はこう話し合った。

「焼いてれんがを作ろう」。それで人々
は石の代わりにれんがを、モルタルの
代わりに歴青を使った。4 そして
言った。「町を造り、天にまで届く塔を
建てて、われわれの名をとどろかせよ
う。そうすれば、われわれが地上全体
に散らされることはない」。

5 その後エホバは、人々が建てた

10:25 *直訳、「地」。11:3 *天然アスファルト
のこと。

10:12 *もしかすると、「これらが1つの大きな町
を形成している」。10:21 *もしかすると、「ヤベ
テの兄」。10:25 *意味、「分離」。

町と塔を見ようとして下っていった。
6 エホバは言った。「彼らは1つの言語を話し、団結している。そして、このようなことをし始めた。今や彼らはしようと思ったことを何でもできる。**7** さあ、私たちは下っていき、言語を混乱させ、彼らが互いの言語を理解できないようにしよう」。**8** こうしてエホバは人々をそこから地上全体に散らした。人々は次第に町の建設をやめていった。**9** そこはバベルと名づけられた。エホバがその場所を地上の人々の言語を混乱させたからである。エホバは人々をそこから地上全体に散らした。
10 以下はセムの系譜である。
 洪水の2年後、セムが100歳だった時、アルパクシャドが生まれた。**11** セムは、アルパクシャドが生まれてから、さらに500年生きた。ほかにも息子や娘たちが生まれた。
12 アルパクシャドが35歳の時、シェラハが生まれた。**13** アルパクシャドは、シェラハが生まれてから、さらに403年生きた。ほかにも息子や娘たちが生まれた。
14 シェラハが30歳の時、エベルが生まれた。**15** シェラハは、エベルが生まれてから、さらに403年生きた。ほかにも息子や娘たちが生まれた。
16 エベルが34歳の時、ペレグが生まれた。**17** エベルは、ペレグが

11:9 *意味、「混乱」。

第11章

(ア) 創 11:1
 (イ) 創 1:26
 (ウ) 申 32:8
 (エ) エレ 50:1
 (オ) 創 6:10
 ルカ 3:23, 36
 (カ) 創 10:22
 代一 1:17
 (キ) 創 10:21
 (ク) 創 10:24
 代一 1:18
 ルカ 3:23, 35
 (ケ) 創 10:21
 代一 1:18
 (コ) 創 10:25
 代一 1:19

第2欄

(ア) ルカ 3:23, 35
 (イ) 創 11:32
 ルカ 3:23, 34
 (ウ) 創 12:7
 創 15:1, 6
 創 17:5
 ヤコ 2:23
 (エ) ヨシ 24:2
 (オ) 創 12:4
 創 19:1
 ペ二 2:7
 (カ) 使徒 7:4
 (キ) 創 15:7
 ネへ 9:7
 (ク) 創 12:11
 創 17:15
 創 20:12, 13
 ペ一 3:6
 (ケ) 創 22:20
 創 24:15
 (コ) 創 16:1, 2
 ロマ 4:19
 ヘブ 11:11

生まれてから、さらに430年生きた。ほかにも息子や娘たちが生まれた。

18 ペレグが30歳の時、レウが生まれた。**19** ペレグは、レウが生まれてから、さらに209年生きた。ほかにも息子や娘たちが生まれた。

20 レウが32歳の時、セルグが生まれた。**21** レウは、セルグが生まれてから、さらに207年生きた。ほかにも息子や娘たちが生まれた。

22 セルグが30歳の時、ナホルが生まれた。**23** セルグは、ナホルが生まれてから、さらに200年生きた。ほかにも息子や娘たちが生まれた。

24 ナホルが29歳の時、テラが生まれた。**25** ナホルは、テラが生まれてから、さらに119年生きた。ほかにも息子や娘たちが生まれた。

26 テラが70歳になってから、アブラム、ナホル、ハランが生まれた。

27 以下はテラについての記録である。

テラにはアブラム、ナホル、ハランが生まれた。ハランには口トが生まれた。**28** ハランは、出生地であるカルデア人の町ウルで死んだ。父テラがまだ生きている時だった。**29** アブラムとナホルはそれぞれ結婚した。アブラムの妻はサライといった。ナホルの妻はミルカといい、ハランの娘だった。ハランにはミルカとイスカという娘がいた。**30** サライは子供ができなかった。

31 ある時、テラは、息子アブラムと、ハランの息子である孫ロトと、アブラムの妻である嫁サライを連れ、カルデア人の町ウルを出てカナン地方に向かった。一行はやがてハランに着き、そこに住み始めた。**32** テラは205年生き、ハランで死んだ。

12 エホバはアブラムに言った。「あなたが住んでいる土地を出て、あなたの親族と父の家族から離れ、私が示す土地に行きなさい。**2** 私は、あなたから偉大な国民が生まれるようにし、あなたを祝福し、あなたの名を偉大なものにしよう。あなたの名を偉大なものにしよう。あなたを通して人々は祝福を受ける。**3** 私は、あなたに祝福があることを願う。求める人々を祝福し、あなたに不幸があることを願う。求める人に災いをもたらす。あなたによって地上の家族全てが必ず祝福を受ける」。

4 アブラムはエホバに言われた通りに旅立った。ロトも一緒だった。アブラムは、75歳の時にハランを出た。

5 妻のサライ、おのの口、蓄えてきた財産とハランで得た召し使いたちと共に、カナン地方に向かった。カナン地方に入ると、**6** アブラムは進んでいき、シェケムの所、モシの大木林の近くにきた。当時、その地方にはカナン人がいた。**7** エホバがアブラムに現れて、こう言った。「私はこの地方をあ

12:3 *または、「獲得する」。

第11章
(イ) 創 11:27, 28
(イ) 創 10:19
(イ) 創 12:4
(イ) 創 27:42, 43
使徒 7:2, 4

第12章
(イ) ヨシ 24:3
使徒 7:3, 4
(イ) 創 13:14, 16
創 15:1, 5
創 17:5
創 22:17, 18
申 26:5

(イ) 創 27:29, 30
(イ) 使徒 3:25
ガラ 3:8
(イ) ヘブ 11:8
(イ) 創 11:29
(イ) 創 11:31
(イ) 創 13:5, 6
(イ) 創 26:3
(イ) 使徒 7:15, 16
(イ) 創 35:4
申 11:29, 30

第2欄
(イ) 創 3:15
創 21:12
創 28:13, 14
ロマ 9:7
ガラ 3:16

(イ) 創 13:14, 15
創 15:1, 7
創 17:1, 8
申 34:4

(イ) 創 28:16-19
創 31:13

(イ) 創 13:1, 3
ヨシ 7:2

(イ) 創 8:20
創 35:2, 3
(イ) 創 26:25

(イ) 創 20:1
創 24:62

(イ) 創 26:1, 2
(イ) 詩 105:13

(イ) 創 26:7

(イ) 創 20:11, 12

なたの子孫に与えよう」。それでアブラムは、自分に現れたエホバのためにそこに祭壇を作った。**8** やがてアブラムはそこからベテルの東の山地に移動し、ベテルを西、アイを東にして天幕を張った。そしてエホバのためにそこに祭壇を作り、エホバの名を呼んだ。**9** その後、アブラムは天幕を畳んでネゲブに向けて出発し、宿営を移動させながら進んだ。

10 さて、その地方で飢饉が起きた。飢饉は深刻だったので、アブラムは一時的に住む場所を求めてエジプトに向かった。**11** エジプトに入ろうとしていた時、アブラムは妻サライに言った。「ちょっと聞いてほしい。あなたはとても美しい。**12** だから、あなたをみたエジプト人は、『この人はあの男の妻だ』と言い、私を殺してあなたを生かしておくだろう。**13** それで、私の妹だと言ってくれないか。そうすれば、私は無事でいられる。あなたのおかげで、死なずに済むのだ」。

14 アブラムがエジプトに入るとすぐ、エジプト人はサライを見て、非常に美しいと思った。**15** ファラオに仕える高官たちも彼女を見た。そしてファラオの前で彼女のことを褒めるようになった。そのため、サライはファラオの家に招き入れられた。**16** ファラオはサライを気に入ったため、アブラム

12:7 *直訳、「種」。**12:8** *または、「賛美した」。**12:10** *または、「外国人として」。

に^{よい}たいぐう^{ひつじ}をし、羊^{うし}、牛^{ろば}、男女^{だんじょ}の
召^めし使^{つか}い、ラクダ^{あだ}を与^けえた。 17 そこ
でエホバは、アブラムの妻^{つま}サライのこ
とで、ファラオとその家^{いえ}の人^{ひと}たちに大き
な災厄^{さいやく}をもたらした。 18 それでファ
ラオはアブラムを呼^よんで、こう言^いった。
「何^{なん}ということをしてくれたのだ。彼女^{かのじょ}
は自分^{じぶん}の妻^{つま}だ、どうして私^{わたし}に言^いわな
かったのか。 19 どうして、『妹^{いもうと}です』
などと言^いったのか。彼女^{かのじょ}を私^{わたし}の妻^{つま}にし
るところだ。さあ、あなた^{あなた}の妻^{つま}を連
れて、出^でていきなさい！」 20 ファラオ
は家^け来^{らい}たちに命^{めい}じて、アブラムと妻^{つま}、ア
ブラムの全^{すべ}ての物^{もの}を送^{おく}り出^ださせた。

13 アブラムは、妻^{つま}と全^{すべ}ての物^{もの}
の^と共^{とも}に、エジプト^でを出^でて
ネゲブ^いに行^いった。ロトも一^{いっしょ}緒^{しよ}だ。 2
アブラムは家畜^{かちく}と銀^{ぎん}と金^{きん}をたくさん
持^もっていた。 3 アブラムはネゲブ^い
を出^でて、宿営^{しゆくえい}を移^い動^{どう}させながらベテル^む
に向^むかった。そして、ベテルとアイの間^{あいだ}
の、天幕^{てんまく}を張^はったことがある場所^{ばしょ}に着^つ
いた。 4 以前^{いぜん}、祭壇^{さいだん}を作^{つく}った場所^{ばしょ}
である。そこでエホバの名^なを呼^よんだ。

5 さて、アブラムと一^{いっしょ}緒^{しよ}に旅^{たび}をして
いたロトも、羊^{ひつじ}と牛^{うし}と天幕^{てんまく}を持^もってい
た。 6 その一^{いっさい}帯^{たい}は、皆^{みな}が生^{せい}活^{かつ}するに
は狭^{せま}過ぎた。彼^{かれ}らの財^{ざい}産^{さん}が増^ふえたた
め、もう皆^{みな}で一^{いっしょ}緒^{しよ}に住^すむことはできな
なっていたのである。 7 そのため、ア
ブラム^{かちく}の家畜^{せわがり}とロト^{かちく}
の家畜^{せわがり}との間^{あいだ}に言^いい争^{あらそ}いが起^おきた。

13:4 *または、「賛美した」。

第12章

(7) 創 20:14
創 24:34, 35

(1) 創 11:29
創 17:15
創 23:2, 19

(7) 創 20:11, 12

(12) 詩 105:14

第13章

(7) 創 12:9, 8
創 20:1

(7) 創 24:34, 35

(7) 創 12:8, 9
ヨシ 7:2

第2欄

(7) 創 10:19

(1) 創 11:27

(7) 創 19:20-22

(12) 創 19:28

(7) 創 2:8, 9

(7) 創 19:28, 29

(7) 創 18:20
創 19:5
ペニ 2:6-8
ユダ 7

(7) 創 12:7
創 15:18
創 24:7
出 33:1

(当時、カナン^{じん}人とペリジ人^{じん}がそ^ちの地^ち
方^{ほう}に住^すんでいた。) 8 アブラムはロト^い
に言^いった。「聞^きいてください。私^{わたし}とあな
た、また家畜^{かちく}の世話係^{せわがり}同^{どう}士^しの間^{あいだ}に言^い
い争^{あらそ}いがあるのはよくありません。私^{わたし}
たちは兄弟^{きょうだい}なのですから。 9 どこで
も好^すきな地域^{ちいき}を選^{えら}んでください。別々^{べつべつ}
に暮^くらしましょう。あなた^{あなた}が左^{ひだり}に行^い
くのであれば、私^{わたし}は右^{みぎ}に行^いきます。あな
たが右^{みぎ}に行^いくのであれば、私^{わたし}は左^{ひだり}
に行^いきます」。 10 ロトは目^めを上げ、ゾ
アル^いまでのヨルダン^{ちいせんたい}地域^み全^{みず}体^{ゆた}を見^{そのめ}た。
そこは水^{みづ}が豊^{ゆた}かで、エホバの園^{そのめ}のよ
うであり、エジプト^{はる}のようでもあつた。
(エホバがソドムとゴモラを滅^まぼす前^{まえ}
のことだ。 11 そこでロトはヨ
ルダン^{ちいせんたい}地域^{えら}全^{しゆくえい}体^{どうほう}を選^{えら}び、宿営^{しゆくえい}を東^{とう}方^{ほう}
に移^い動^{どう}させた。こうして彼^{かれ}らは別^{わか}れた。
12 アブラムはカナン^す地方^{ちほう}に住^すみ、ロ
トはヨルダン^{ちい}地域^{いき}の町々^{まちまち}の辺^{あた}りに住^す
んだ。やがてロトはソドム^{ちか}の近^{ちか}くに天
幕^{てん}を張^はった。 13 ソドム^まの人^{ひと}たちは
邪悪^{じゃあく}で、エホバ^いに對^{たい}して甚^{はな}だしい罪^{つみ}を
犯^{おか}していた。

13:15, 16 *直訳、「種」。

ことができないように、あなたの^{し そん*}子孫も
^{かぞ}数え切れないほどになる。17 さあ、
 その土地の^{と ち}至る^{いた}所を^め巡りなさい。あな
 たにそれを^{あた}与えるからだ。18 それ
 でアブラムは^{てんまくせいかつ}天幕生活を^{つづ}続けた。や
 がて、^いヘbronにある^いマムレの^{たいぼくりん}大木林
 のそばに行き、そこに^い住んだ。そして
 エホバのためにそこに^{さいだん}祭壇を作った。

14 さて、アムラフェルがシナルの^{おう}王、
 アルヨクがエラサルの^{おう}王、
 ケドルオメルがエラムの^{おう}王、ティダル
 がゴイムの^{おう}王だった時代に、² 2
 それらの^{おう}王が^{いん}5人の^{おう}王と戦った。ソドム
 の^{おう}王ベラ、^いゴモラの^{おう}王ビルシャ、^いアドマ
 の^{おう}王シヌアブ、^いツェボイイムの^{おう}王シェム
 エベル、^いベラ(ゾアルとも呼ばれる)の^{おう}
 王である。3 王たちは、^いシディムの^{おう}
 谷つまり塩の^{うみ}海で、^い連合軍を組んだ。

4 5人の王はかつて12年間^{いん}ケド
 ルオメルに^{つか}仕えたが、^{いん}13年目に^{はん}反
 逆した。5 14年目に、ケドルオメ
 ルとその^い味方をした^い王たちは^{いん}進軍
 し、^いアシュテロト・カルナインで^いレファイ
 ム人を、^いハムで^いズジム人を、^いシャベ
 キルヤタイムで^いエミム人を^い打ち破り、
 6 ^いセイルの^い山にいる^いホリ人を^い攻めて、
^い荒野に^い面した^いエル・パランで^い制圧し
 た。7 それから^い彼らは^い引き返して^いエン
 ・ミシュパトつまり^いカデシュに着き、
 アマレク人の^い全領土を^い征服し、^いハザゾ

13:16 *直訳、「種」。13:17 *直訳、「長さと
 幅」。14:3, 8, 10 *または、「谷あいの平原」。
 14:3 *死海のこと。

第13章

(イ) 創 12:2
 創 15:1,5
 出 1:7
 ヘブ 11:12

(イ) 創 23:2

(イ) 創 18:1
 創 23:19
 創 25:9,10
 創 35:27

(イ) 創 12:7

第14章

(イ) 創 10:9,10

(イ) 創 14:17

(イ) 創 10:22

(イ) 創 10:19
 創 13:12

(イ) 創 13:10,12

(イ) 申 29:23

(イ) 創 14:10

(イ) 民 34:2,12

(イ) 申 2:10,11

(イ) 創 36:8

(イ) 申 2:12

(イ) 民 20:1

(イ) 創 36:12
 サ一 15:2

第2欄

(イ) 代二 20:2

(イ) 創 10:15,16

(イ) 創 14:1,2

(イ) 創 14:16

(イ) 創 19:1

(イ) 創 13:18

(イ) 創 14:24

(イ) 創 11:27

(イ) 裁 18:29

ン・タマルに住んでいた^{いん}アモリ人も^う打
 ち破った。

8 今や^いソドムの^{おう}王、^いゴモラの^{おう}王、^いアド
 マの^{おう}王、^いツェボイイムの^{おう}王、^いベラ(ゾア
 ルとも呼ばれる)の^い王は^い進軍し、^いシディ
 ムの^い谷で^い彼らに対して^い戦闘隊形を組
 んだ。9 5人の^{いん}王が、^いエラムの^{おう}王ケド
 ルオメル、^いゴイムの^{おう}王ティダル、^いシ
 ナルの^{おう}王アムラフェル、^いエラサルの^{おう}王
 アルヨクという^{いん}4人の^{おう}王と^い相対したの
 である。10 戦いの^い結果、^いソドムと^いゴ
 モラの^い王たちは^い逃げようとしたが、^い歴
 青の^い穴に^い落ちた。^いシディムの^い谷には^い歴
 青の^い穴が^い至る^い所にあつたのである。一
 方、^い山地に^い逃れた^い人もいた。11 そ
 の^い後、^い勝利した^{いん}4人の^{おう}王は、^いソドムと^いゴ
 モラの^い財産や^い食料を^い全て^い奪って^いいっ
 た。12 アブラムのおい^いロトと^いロトの
^い財産も^い奪って^いいった。ロトはその^い時^いソ
 ドムに住んでいたのである。

13 逃げ延びた^いある^{いん}人が^いヘブライ人
 アブラムの^い所に^いやって^い来て、^い起きたこ
 とを^い話した。アブラムはその^い時、^いアモリ
 人^{いん}マムレの^い大木林の^いそばに^い住んで
 いた。マムレは^いエシュコルと^いアネルの^い兄
 弟で、アブラムは^い彼らと^い同盟を^い結んで
 いた。14 アブラムは、^い親族が^い捕虜
 にされたことを^い聞くと、^い彼の^い家で^い生ま
 れて^い訓練された^い従者^{いん}318人を^い集め、^いダ
 ンまで^い追い^い掛けた。15 アブラムは
 よる^いに^い従者たちの^い部隊を^い分け、^い敵たちを

14:10 *天然アスファルトのこと。14:13 *また
 は、「天幕を張って」。14:14 *直訳、「兄弟」。

せめて^うやぶ^{やぶ}った。そしてダマスカスの北のホバまで敵たちを追っていった。**16** アブラムはあらゆるものを取り戻した。親族のロトとその財産、女性たちと他の人たちを取り戻した。

17 アブラムがケドルオメルとその味方をした王たちを打ち破り、戻てくると、ソドムの王はシャベの谷つまり王の谷まで出ていき、アブラムを迎えた。**18** また、サレムの王メルキゼデクはパンとぶどう酒を持ってきた。メルキゼデクは至高の神に仕える祭司だった。

19 メルキゼデクはアブラムを祝福し、こう言った。

「至高の神、天地を造った方によって、

アブラムが祝福されますように。

20 神は、あなたを虐げた人たちをあなたの手に渡されました。至高の神が賛美されますように」。

アブラムは、取り返した全ての物の10分の1をメルキゼデクに渡した。

21 ソドムの王はアブラムに言った。「人は私に渡してください。物はあなたが取ってください」。**22** アブラムはソドムの王に言った。「私は、至高の神エホバ、天地を造った方の前で、手を挙げて誓います。**23** 糸であれサンダルのもひもであれ、あなたのものは何一つ受け取りません。そうすれ

14:17 *または、「谷あいの平原」。

第14章
[例] サニ 18:18

[例] ヘブ 7:1,2

[例] 詩 110:4
ヘブ 6:20

[例] 詩 83:18
ヘブ 5:5,10

[例] ヘブ 7:4

第2欄
[例] 創 14:13

第15章
[例] 詩 27:1
イザ 41:10
ロマ 8:31
ヘブ 13:6

[例] 申 33:29
格 30:5

[例] 創 17:5,6

[例] 創 24:2,3

[例] 創 12:7
使徒 7:5

[例] 創 17:15,16
創 21:12

[例] 創 22:17
申 1:10
ロマ 4:18
ヘブ 11:12

[例] ヘブ 11:8

[例] ロマ 4:13,22
ガラ 3:6
ヤコ 2:23

ば、あなたが、『私ののおかげでアブラムは祝福になったのだ』と言うことはないでしょう。**24** 私の方は、若者たちがすでに食べた物以外は何も要りません。私と一緒に行ってくれた人たち、アネル、エシュコル、マムレには、分け前を取らせてあげてください。

15 こうしたことの後、アブラムは幻の中で、次のようなエホバの言葉を聞いた。「アブラム、恐れてはいけな。私はあなたの盾だ。あなたは非常に大きな報いを受ける」。

2 アブラムは答えた。「主権者である主エホバ、あなたは私に何を下さるのでしょうか。いまだに私には子供がおらず、私の家はダマスカスの人エリエゼルが継ぐことになっています」。

3 アブラムはさらに言った。「あなたが私に子孫を与えてくださらなかったで、私の家の者が跡を継ぐことになっています」。**4** エホバの答えはこうだった。「あなたの跡を継ぐのはその人ではなく、あなたの実の子だ」。

5 神はアブラムを外に連れていき、こう言った。「天を見上げ、星を数えてごらんさい。もしも数えることができるのなら」。そして言った。「あなたの子孫も星のように多くなる」。**6** そこでアブラムはエホバに信仰を持った。神はそのことを正しいと見なした。

7 それからアブラムに言った。「私エホバは、この地方を与えるためにあな

15:15 *直訳、「種」。

たをカルデア人の町ウルから連れ出した。8 アブラムは言った。「主権者である主エホバ、私がこの地方を所有するとどうすれば確信できるでしょうか。9 神は答えた。「私のために、3歳の雌牛、3歳の雌ヤギ、3歳の雄羊、ヤマバト、若いイエバトを持てきなさい。10 それでアブラムはその全てを持ってきて、それらを2つに切り裂き、それぞれを向かい合うように置いた。しかし鳥は切り裂けなかった。11 肉食の鳥が死骸の上に降りてきたので、アブラムは何度も追いつつた。

12 日が沈みかけた頃、アブラムは深い眠りに落ちた。そして恐ろしい暗闇に包まれた。13 すると神はアブラムに言った。「必ず、あなたの子孫は、よその国で外国人として暮らすことになる。その人々の奴隷になり、400年間苦しむ。14 しかし、私はあなたの子孫を奴隷にした国民を処罰する。そして、あなたの子孫は多くの財産を持ってそこを出る。15 あなた自身は、長生きした後、死の眠りに就き、父祖たちのように葬られる。16 あなたの子孫がここに帰ってくるのは、4代目になってからのことだ。アモリ人が処罰される時はまだ来ないからだ。

17 日が沈み、辺りは真つ暗になった。すると煙の立つ炉が現れ、燃えたいまつが、2つに切り裂かれた動物

第15章

(イ) 創 11:31
ネヘ 9:7

(イ) 創 21:9
出 11:13, 14
出 3:7
使徒 7:6, 7

(イ) 出 7:4
民 33:4

(イ) 出 3:22
詩 105:37

(イ) 創 25:8

(イ) ヨシ 14:1
使徒 7:7

(イ) 王一 21:26
王二 21:11

第2欄

(イ) 創 17:19
創 22:17

(イ) 王一 4:21

(イ) 出 3:8

(イ) サ一 15:6

(イ) ヨシ 1:4

(イ) 出 3:17

(イ) ヨシ 17:15

(イ) 申 7:1

第16章

(イ) 創 15:2, 3

(イ) ガラ 4:25

(イ) 創 30:1, 3

の間を通った。18 その日、エホバはアブラムと契約を結び、こう言った。「私はあなたの子孫に、エジプトの川から大河ユーフラテスまでの土地を与えよう。19 ケニ人、ケナズ人、カドモニ人の土地、20 ヘト人、ベリジン人、レファイム人の土地、21 アモリ人、カナン人、ギルガシ人、エブス人の土地である」。

16 さて、アブラムの妻サライは子供を一人も産んでいなかった。サライには、エジプト人の召し使いがいた。名前はハガルといった。2 そこでサライはアブラムにこう言った。「お願いがあります。エホバは、私が子供を産まないようにしておられます。それで、私の召し使いと関係を持ってください。私は彼女によって子供を持てるかもしれません」。アブラムはサライが言ったことを聞き入れた。3 アブラムの妻サライは、エジプト人の召し使いハガルを連れていき、夫アブラムに妻として与えた。アブラムがカナン地方に住んで10年がたった頃のことだった。4 こうしてアブラムはハガルと関係を持ち、ハガルは妊娠した。ハガルは妊娠したことが分かると、女主人を見下すようになった。

5 サライはアブラムに言った。「私が傷ついたのはあなたの責任です。召

15:18 * 直訳、「種」。

し^{つか}使い^{*}をあなたに与^{あた}えたのは私^{わたし}です
が、彼女^{かのじょ}は妊娠^{にんしん}したことが分^わかると、
私^{わたし}を見下^{みくだ}すようになりました。エホバ
が私^{わたし}とあなたを裁^{さば}いてくださいますよ
うに」。6 アブラムはサライ^いに言^いった。
「あなたの召^めし使^{つか}いのことは、あなた
が決^きめることができる。あなたが良^よ
いと思^{おも}う通^{とお}りにしなさい」。それでサラ
イはハガル^{てきび}を手厳^{あつか}しく扱^{あつか}い、ハガルは
逃^にげていった。

7 その後^ご、エホバの天使^{てんし}が、荒野^{こうや}の
泉^{いずみ}、シュル^{しゅる}への道^{みち}にある泉^{いずみ}の所^{ところ}でハガ
ルを見^みつけた。8 そしてこう言^いった。
「サライ^めの召^{つか}し使^{つか}いハガル、あなたほ
どこから来^きたのですか。どこへ行^いくので
すか」。ハガルは言^いった。「女主人^{おんなしゅじん}サ
ライのもとから逃^にげているところで
す」。9 するとエホバの天使^{てんし}は言^いった。
「女主人^{おんなしゅじん}のもとに歸^{かえ}って、謙遜^{けんそん}にな
りなさい」。10 それからエホバの天
使^しは言^いった。「私はあなたの子孫^{しそん}を非
常^{ひじょう}に多くし、数^{かず}え切^きれないほどにしま
す」。11 エホバの天使^{てんし}はさら^いに言^いっ
た。「今^{いま}あなたは妊娠^{にんしん}していて、やが
て男^{おとこ}の子^こを産^うみます。その子^こをイシュ
マエル^{*}と名^な付^づけなければなりません。
エホバがあなたの苦惱^{くのう}について聞^き
いたからです。12 あなたの子^こは、野
口^{*}バ^{ひと}のような人^{かれ}になります。彼^{だれ}は誰^{だれ}にで

16:5 *直訳、「あなたの懐」。16:10 *直訳、
「種」。16:11 *意味、「神は聞く」。16:12 *ま
たは、「オナガー」（野口バの一種）。シマウマのこ
とも考えられる。独立心に言及していると思わ
れる。

第16章

(イ) 創 25:17,18
出 15:22

第2欄

(イ) 格 15:3

第17章

(イ) 創 15:18
詩 105:8-11

(四) 創 22:17
申 1:10
ヘブ 11:11,12

(四) 詩 105:9-11

(四) 創 13:16
ロマ 4:17

も敵^{てき}対^{たい}し、だれ^{かれ}もが彼^{かれ}に敵^{てき}対^{たい}します。彼^{かれ}
は兄^{きょうだい}弟^むたちの向^むかい側^{がわ}に住^すみます」。

13 ハガルは自分^{じぶん}に語^{かた}り掛^かけていた
方^{かた}エホバの名^なを呼^よび、「あなた^{すべて}は全^{すべ}
てを^をご覧^{らん}になる神^{かみ}です」と言^いった。そし
て、「私^{わたし}を見ていてくださる方^{かた}を、私は
ここ^{じっさい}で実^み際^{さい}に見^みた」と言^いった。14 そ
れで、その井戸^{いど}はベエル・ラハイ・ロイ^{*}
と呼ばれた。(カデシュとベレドの間^{あいだ}
にある。) 15 ハガルは男^{おとこ}の子^こを産^う
み、アブラムはその子^こをイシュマエル^(イ)
と名^な付^づけた。16 ハガルがイシュ
マエル^うを産^{とき}んだ時^{とき}、アブラムは86歳^{さい}
だった。

17 アブラムが99歳^{さい}の時^{とき}、エホ
バはアブラムに現^{あらわ}れて、こう
言^いった。「わたし^{わたし}はぜん^{ぜん}のう^うかみ^{かみ}である。私の
道^{みち}を歩^{あゆ}み、非^ひの打^{うち}ちどころがない人^{ひと}に
なりなさい。2 私は、あなたと^{わたし}の契^{けい}
約^{やく}を確^{たし}かなものとし、あなたに非^ひ常^{じょう}
に多^{おほ}くの子孫^{しそん}を与^{あた}える」。

3 アブラムはひれ伏^{かみ}した。神^{つづ}は続
けてアブラムに言^いった。4 「私の
契^{けい}約^{やく}はあなたと^{わたし}のものであり、あな
たは必^{かな}ず、多^{おほ}くの国^{くに}の人^{ひと}々の父^ふ祖^そとな
る。5 あなたの名^な前はアブラムでは
なく、アブラハム[#]となる。私はあな
たを多^{おほ}くの国^{くに}の人^{ひと}々の父^ふ祖^そとするか

16:12 *もしかすると、「兄弟^{おとこ}たちに敵^{おとこ}対^ふ心^ふを抱^ふいて」。16:13 *または、「私^{わたし}を見ていてくださ
る」、「ご自分^{おお}をお見^くせになる」。16:14 *意味、
「私^{わたし}を見ている生^{おお}きている方^{くに}の方^ふの井戸^ふ」。
17:5 *意
味、「父^{おお}は高^くい(重^{ひと}んじ^とられる)」。*意味、「群衆^{おほ}
(多数^{おほ}の人^ふ)の父^ふ」、「多^{おほ}くの人^ふの父^ふ」。

らだ。6 あなたの^{し そん ひじょう おお}子孫を非常に多くし、あなたから幾つもの^{いく こくみん う}国民が生まれるようにする。あなたの子孫から王たちが^{で けい}出る。

7 私は、あなたやあなたの^{のち せ}後の世代の子孫との^{わかし}契約を守る。私があなたとあなたの子孫の神となるための^{えいえん けいやく}永遠の契約である。8 私は、あなたとあなたの子孫に、あなたが^{し そん*}外国人として住んでいる土地、つまりカナン全土を与える。そこはずっとあなたたちのものになる。そして私はあなたの^{そん かみ}子孫の神となる」。

9 神はアブラハムにさらに言った。^{かみ}「あなたも私の^{わかし けいやく まち}契約を守りなさい。あなたも、あなたの^{のち せ だい}後の世代の子孫でもある。10 私とあなたたちとの^{わかし}契約、あなたとあなたの子孫が守る^{やく し そん*}契約は、次の通りである。男性は皆、^{つぎ とお}割礼を受けなければならない。11 あなたたちは包皮に^{ほう ひ}割礼を施さなければならず、それが私とあなたたちとの^{わかし}契約のしるしとなる。12 後の世代にわたり、男の子は皆、^{だいい おとこ}生後8日目に^{かつれい う}割礼を受けなければならない。家で生まれた人も、^う外国人から買われた、あなたの^{し そん}子孫ではない人もである。13 あなたの家で生まれた人、あなたに買われた人は皆、^か割礼を受けなければならない。あなたたちの^{けいやく}体に関するこの契約は、^{い え}ずっと続く契約である。14 自分の包皮に^{じ ぶん}割礼を施さない男

第17章

[ゲ] 創 35:10,11

[イ] ルカ 1:72,73

[ゲ] 出 6:4
ヘブ 11:8,9

[マ] 申 14:2

[ゲ] 創 21:4
ロマ 2:29[ゲ] 使徒 7:8
ロマ 4:11

[イ] ルカ 2:21

[ゲ] 出 12:44

第2欄

[ゲ] 創 11:29

[イ] 創 18:10

[ゲ] 創 18:12

[マ] ロマ 4:19
ヘブ 11:11

[ゲ] 創 16:11

[ゲ] マタ 1:2

[イ] 創 26:24

[ゲ] 創 16:10
創 21:13,18
創 25:13-16
代一 1:29-31[ゲ] 創 26:3
ヘブ 11:8,9

性は、民の中から^{せい たみ なか}除かれなければならない。その人は私の^{せい}契約を破ったからだ」。

15 そして神はアブラハムに言った。^{かみ}「あなたの^{つま}妻を、もうサライと呼んではいけない。彼女の^{かのじょ}名前はサラになるからだ。16 私は彼女を祝福し、彼女によってあなたに男の子^{な まえ}を与える。17 アブラハムはひれ伏した。そして笑いだし、心の^{わかし}中でこう言った。「100歳の^{おとこ}人に子供が生まれるだろうか。サラが、90歳の^いにもなる女性が、子供を産むだろうか」。

18 アブラハムは真の神に言った。^{しん かみ い}「どうか、イシュマエルを祝福してくださいますように」。19 神は言った。「あなたの妻サラは必ずあなたの^{つま}子^{かみ}を産む。あなたはその子^こをイサクと名づけなければいけない。私は、私の^{わかし}契約をその子との間で^{こ あいだ}確かなものとする。その子^この^{し そん*}子孫にも及ぶ永遠の^{えいえん}契約である。20 とはいえイシュマエルに^{かん}関しても、あなたの^{ねが}願いを聞き入れよう。彼を祝福し、彼の^{かれ}子孫がたくさん^{しゆくふく}生まれ、非常に多くなるようにしよう。彼から^{ひじょう おお}長が12人出て、偉大な^{ちよう}国民が生まれる。21 しかし、私の^{わかし}契約については、イサクとの間で^{あいだ}確かなものとする。サラは来年の^{らいねん}今ごろ^{いま}出産する」。

17:14 *または、「死刑にされ」。17:15 *意味はもしかすると、「争いを好む」。*意味、「王妃」。17:19 *意味、「笑い」。

17:7-10, 19 *直訳,「種」。17:10 *用語集参照。

[マ] 創 18:10,14
創 21:1

22 神は話し終えると、アブラハム
の所から去った。23 そこでアブラ
ハムは、息子イシュマエル、自分の家
で生まれた人たち、買い取った人たち
など、アブラハムの家の男性全員を集
めた。そしてその日のうちに、神に言
われた通り、それらの人たちの包皮に
割礼を施した。24 アブラハムは、
包皮に割礼を受けた時、99歳だった。
25 息子のイシュマエルは、包皮に割
礼を受けた時、13歳だった。26 まさ
にその日のうちに、アブラハムも息子
イシュマエルも割礼を受けた。27 ま
た、アブラハムの家の男性は皆、その
家に生まれた人も外国人から買われ
た人も、アブラハムと共に割礼を受
けた。

18 その後、エホバはマムレの大
木林のそばでアブラハムの
前に現れた。昼の暑い頃、アブラハム
が天幕の入り口に座っていた時のこと
だった。2 アブラハムが目を上げ
ると、少し離れた所に3人の人が立っ
ているのが見えた。それでその人たちは
迎えるために走っていき、ひれ伏し
た。3 そしてこう言った。「エホバ、
私がもしあなたの好意を得てしま
たら、どうか、私の前を通り過ぎないで
ください。4 水を少し持ってきます
ので、皆さんの足を洗わせてください。
そして木の下で休んでいってください。
5 せっかく来られたのです。パンもお
持ちしますので、召し上がって疲れを

第17章
(7) 創 17:13

(4) 使徒 7:8
口マ 4:11

第18章
(4) 創 16:7
裁 13:21

(8) 創 13:18
創 14:13

(4) 創 19:1

(4) 創 19:2
創 24:32

第2欄
(7) ヘブ 13:2

(4) 創 17:15

(7) 創 17:21
創 21:2
口マ 9:9

(4) 創 17:17

(8) 口マ 4:19

(8) ヘブ 11:11
ペー 3:6

癒やし、旅をお続けください」。すると
その人たちは言った。「分かりました。
そのようにしてください」。

6 アブラハムは天幕にいるサラの
所に急いで行って、こう言った。「上等
の麦粉3杯分をこねて、パンを作っ
てくれないか。急いでほしい」。7 それ
からアブラハムは家畜の群れの所
に走っていき、柔らかくて上質の若い
牛を選んで召し使いに渡し、調理に急
いで取り掛からせた。8 その後、バ
ターとミルクと調理した肉を持ってき
て3人に出した。その人たちが食べて
いる間は、そばの木の下で立っていた。

9 彼らはアブラハムに言った。「あ
なたの妻サラはどこにいるのですか」。
アブラハムは、「この天幕の中にお
ります」と答えた。10 3人のうちの
1人が言った。「来年の今ごろ、私は必
ずあなたの所にまた来ます。あなたの
妻サラには男の子が生まれます」。そ
の時、天幕の入り口にいたサラは、後
ろで聞いていた。11 アブラハムと
サラは非常に高齢で、サラはもう子供
ができる年齢を過ぎていた。12 そ
のためサラは心の中で笑いだしてこう
言った。「私はすっかり衰え、主人も年
老いているのに、そんなにうれしいこ
とがあるのかしら」。13 するとエホ
バはアブラハムに言った。「サラが
笑って、『年老いた私が本当に子供
を産めるのだろうか』と言ったのは

18:6 *22リットル。

どうしてですか。14 エホバにとって
ふ か のう
不可能なことなどあるでしょうか。来
ねん いま わたし とところ
年の今ごろ、私はあなたの所にまた
き
来ます。サラには男の子が生まれま
す。15 しかしサラは、「私は笑って
いません!」と言った。恐れていたの
である。神は言った。「いいえ、あなた
は笑いました」。

16 3人は立ち上がって出発し、ソド
ムの方を見下ろした。アブラハムも、
見送りのために一緒に歩いていた。

17 エホバは言った。「私は、行おうと
していることをアブラハムから隠しま
せん。18 アブラハムから偉大な強
い国民が必ず生まれ、アブラハムに
よって地上の全ての国民が祝福を受
けます。19 私はアブラハムのことを
よく知るようにしました。それは、ア
ブラハムの命令によって、アブラハム
の子孫やその家の人たちが正しく公
正なことを行い、エホバの道を守るよ
うにするためでした。そのようにして、
エホバはアブラハムに関して約束し
た事柄を実現させるのです」。

20 そこでエホバは言った。「ソドム
とゴモラの罪は極めて重く、彼らにつ
いての苦情の叫びはあまりにも大きい
です。21 私は下って行って確かめま
す。私に届いた叫び通りのことが起き
ているかどうかを知りたいのです」。

22 ここで2人がその場を離れ、ソド
ムの方に向かった。しかしエホバは

18:18 *または、「獲得し」。

第18章

(イ) イザ 40:29
マタ 19:26
ルカ 1:36,37

(イ) 創 13:12

(イ) 詩 25:14
アモ 3:7

(イ) 創 12:1-3
ガラ 3:14

(イ) 申 4:9

(イ) 創 13:13
ユダ 7

(イ) ペニ 2:7,8

(イ) 創 11:5
出 3:7,8
詩 14:2

(イ) 創 31:11
創 32:30

第2欄

(イ) 民 16:22

(イ) 詩 37:10,11
格 29:16
マラ 3:18
マタ 13:49

(イ) 申 32:4

(イ) ヨブ 34:12
イザ 33:22

(イ) 民 14:18
詩 86:15

(イ) 出 34:6

アブラハムの所に残った。23 そ
れでアブラハムは近づいてこう言っ
た。「あなたは本当に、邪悪な人と一
緒に正しい人も滅ぼされるのですか。24 もし町の中に正しい人が50人い
るとしたらどうでしょうか。それでも滅
ぼされますか。50人の正しい人のた
めにその町を容赦することはされな
いのでしょうか。25 邪悪な人と一緒
に正しい人も滅ぼして、正しい人と
邪悪な人を同じ目に遭わせるようなこ
とを、あなたがなさるはずはありま
せん。あなたに限ってあり得ないこと
です。地上の人全てを裁く方は、正し
いことを行われるのではありません
か」。26 エホバは言った。「ソドム
の町に正しい人が50人いるなら、そ
の人たちのために町全体を容赦しま
しょう」。27 アブラハムは再び言っ
た。「エホバ、お願いです。土と灰にす
ぎない私ですが、申し上げさせてくだ
さい。28 もし正しい人の数が50人
に5人足りないとしたらどうでしょうか。
5人足りないの町全体を滅ぼされま
すか」。神は言った。「45人いるなら、
滅ぼしません」。

29 アブラハムはさらに言った。「も
し40人だとしたらどうでしょうか」。神
は答えた。「その40人のために、滅ぼ
すことはしません。30 アブラハム
は続けた。「エホバ、どうか、お怒りに
ならず聞いてください。もし30人し
かないとしたらどうでしょうか」。神

は答えた。「30人いるなら、滅ぼしません」。31 アブラハムはさらに続けた。「エホバ、お願いします。申し上げさせてください。もし20人しかいないとしたらどうでしょうか」。神は答えた。「その20人のために、滅ぼすことはいません」。32 アブラハムは言った。「エホバ、どうか、お怒りにならずにもう一度だけ聞いてください。もし10人しかいないとしたらどうでしょうか」。神は答えた。「その10人のために、滅ぼすことはしません」。33 エホバは話し終えると去っていき、アブラハムは天幕に帰った。

19 さて、2人の天使は夕方にソドムに着いた。ロトはソドムの門の所に座っていた。2人を見掛けると、立ち上がって迎え、ひれ伏した。2 そしてこう言った。「どうぞ私の家に来て、ぜひ泊まってください。足をお洗います。朝になったら、早く起きて旅をお続けください。2人は言った。「いいえ、結構です。広場で夜を過ごすことにします」。3 しかしロトがしきりに勧めたので、2人はロトと一緒に家に入った。ロトはごちそうを作り、無酵母パンを焼き、2人は食べた。

4 彼らが床に就く前、町の男たちがやって来た。少年から老人までソドムの男たちが集団になって家を取り囲んだのである。5 男たちはロトに向かって叫び続け、こう言った。「今夜おまえの所に来た者たちはどこだ。彼ら

第18章
[创] 創 18:2,22

第19章
[创] 創 18:2,22

第2欄
[创] ユダ7

[创] 裁 19:23,24

[创] 創 13:13
創 18:20

を渡せ。われわれは彼らと寝るのだ」。6 ロトは戸口から出て男たちの前に立ち、戸を閉めた。7 そして言った。「私の兄弟たち、どうか悪いことはしないでください。8 お願いします。私には、男性と関係を持ったことがない娘が2人います。2人を差し出しますから、どうぞいいようにしてください。でも、あの方たちには何もしないでください。私の屋根の下に来られた大切なお客さまなのです」。9 すると男たちは言った。「どけ!」そしてさらに言った。「こいつはここに住み着いたよそ者のくせに、われわれを裁こうとしている。あいつらよりおまえをひどい目に遭わせてやろう。男たちはロトに激しく詰め寄り、戸を押し破ろうとして迫った。10 すると、家にいた客たちは手を差し出してロトを家の中に引き入れ、戸を閉めた。11 そして、老若を問わず、戸口の前にいた男たちの目を見えなくした。そのため男たちは戸口を見つめようとして疲れ果てた。

12 客たちはロトに言った。「ほかにあなたの親族はいますか。婿であれ息子であれ娘であれ、町にいるあなたの親族を皆、ここから連れ出しなさい!」13 私たちはこの場所を滅ぼそうとしています。ここの住民についての苦情の大きな叫びがエホバに届いたので、エホバはこの町を滅ぼすために私たちを遣わされたのです。14 それで

19:8 *直訳、「屋根の陰に来たのです」。

ロトは出ていき、娘たちと結婚すること
 になっていった婿たちに何度もこう言っ
 た。「急いで、ここから出なさい！ エ
 ホバがこの町を滅ぼされます」。しか
 し、婿たちには、ロトが冗談を言ってい
 るようにしか思えなかった。

15 夜が明ける頃、天使たちはロト
 をせかして、こう言った。「急いで、
 妻と娘たち2人を連れて出なさい！
 この町の過ちのためにあなたが除き
 去られることがあってはいけません」。

16 ロトがぐずぐずしていると、その人
 たちはロトと妻と娘たちの手をつか
 み、町の外に連れ出した。エホバがロ
 トを思いやったのである。17 町の
 外に連れ出すとすぐにそのうちの1人
 は言った。「生き延びるために逃げな
 さい！ 後ろを振り返ってはいけませ
 ん。この地域のどこに立ち止まっても
 いけません。除き去られないよう、山
 地に逃げなさい！」

18 ロトはその人たちに言った。「エ
 ホバ、お願いです。そこは無理です！

19 あなたは私を好意的に見てくださ
 り、大きな親切を示して命を助けてく
 ださいました。ですが、山地には逃げ
 られません。災難に遭って死ぬのが
 怖いのです。20 近くにあるあの町
 になら、逃げられます。ただの小さな
 町です。どうか、そこに逃げさせていた
 だけませんか。ただの小さな町です。
 そこに逃げれば、生き延びられます」。

19:19 *または、「揺るぎない愛」。

第19章

(㉔) ルカ 17:28

(㉔) ルカ 17:29-31

(㉔) ペテ 2:7-9

(㉔) 出 33:19

(㉔) ルカ 9:62

(㉔) 創 13:10

(㉔) 詩 143:11

(㉔) 詩 6:4

第2欄

(㉔) 詩 34:15

(㉔) 創 19:30

詩 68:20

(㉔) ペテ 3:9

(㉔) 創 14:2

(㉔) 申 29:23

ルカ 17:29

ペテ 2:6

(㉔) 創 13:10

(㉔) ルカ 17:32

ヘブ 10:38

(㉔) 創 18:2,22

(㉔) ユダ 7

(㉔) ペテ 2:7,8

(㉔) 創 19:17

(㉔) 創 19:20,22

21 すると1人が言った。「いいでしょ
 う。その願いを聞き入れます。あなた
 が言った町は滅ぼしません。22 急
 いでそこに逃げなさい！ あなたがそ
 こに着かないことには、私は何もでき
 ないからです」。こういう訳で、その町
 はゾアルと名付けられた。

23 日が昇った頃、ロトはゾアルに
 着いた。24 そこでエホバはソドム
 とゴモラに硫黄と火を降らせた。エホ
 バのもとから、天から硫黄と火が降っ
 たのである。25 こうしてその町々を
 滅ぼした。その地域全体を、住民も
 植物も皆、滅ぼした。26 一方、ロト
 の後ろにいた妻は振り返ったため、塩
 の柱になった。

27 さて、アブラハムは朝早く起き
 て、以前エホバの前に立った場所に
 行った。28 ソドムとゴモラとその地
 域全体を見ると、恐ろしいことになっ
 いた。窯から出るような濃い煙がその
 一帯から立ち上っていたのである。

29 神はその地域の町を滅ぼした時、
 アブラハムのことを気に掛け、ロトを
 そこから助け出した。住んでいた町か
 ら出られるようにしたのである。

30 やがてロトは娘2人と一緒にゾ
 アルから山地に行き、そこに住むよう
 になった。ゾアルに住んでいるのが怖
 くなったのである。3人は洞窟に住み
 始めた。31 姉が妹に言った。「父
 は年老いていますし、この辺りには、世

19:22 *意味、「小ささ」。

のしきたりに従^{したが}って私^{わたし}たちと関係^{かんけい}を持^もつ男^{おとこ}の人^{ひと}がいませ^なん。32 父^{ちち}にぶどう酒^{しゅ}を飲^のませて父^{ちち}と寝^ねて、父^{ちち}の子孫^{しそん}が絶^たたれないようにしまし^しょう。

33 その夜^{よる}、彼女^{かのじょ}たちは父^{ちち}にぶどう酒^{しゅ}をたくさん飲^のませた。それから上^{うへ}の娘^{むすめ}が父^{ちち}の所^{ところ}に行^いって父^{ちち}と寝^ねた。ロトは娘^{むすめ}が寝^ねたことも起^おきたことも知ら^しなかった。34 次の日^{つぎ}、姉^{あね}は妹^{いもうと}に言^いった。「私は昨夜^{わたくし さくや}、父^{ちち}と寝^ねました。今夜^{こんや}もぶどう酒^{しゅ}を飲^のませま^ましょう。その後^{そのち}、あなた^{あなた}が父^{ちち}の所^{ところ}に行^いって父^{ちち}と寝^ねなさい。父^{ちち}の子孫^{しそん}が絶^たたれないようにしまし^しょう」。35 その夜^{よる}も、彼女^{かのじょ}たちは父^{ちち}にぶどう酒^{しゅ}をたくさん飲^のませた。それから下^{した}の娘^{むすめ}が行^いって父^{ちち}と寝^ねた。ロトは娘^{むすめ}が寝^ねたことも起^おきたことも知ら^しなかった。36 こうしてロトの娘^{むすめ}たちは父^{ちち}によって妊娠^{にんしん}した。37 やがて上^{うへ}の娘^{むすめ}は男^{おとこ}の子^こを産^うみ、モアブと名付^{なづ}けた。その子^こが現在^{げんざい}のモアブ人^{じん}の父祖^{ふそ}である。38 下^{した}の娘^{むすめ}も男^{おとこ}の子^こを産^うみ、ベン・アミと名付^{なづ}けた。その子^こが現在^{げんざい}のアンモン人^{じん}の父祖^{ふそ}である。

20 さて、アブラハムはネゲブ^{なげぶ}地方^{ちほう}に宿営^{しゅくえい}を移動^{いどう}させ、カデシュとシュル^すの間に住^すむようになった。ゲラル^がに住^すんでいた時^{とき}、2 アブラハムは妻^{つま}のサラ^{わたし}のことを「私の妹^{いもうと}です^す」と言^いっていた。そこでゲラル^がの王^{おう}アビメレク^あはサラ^{わたし}を逮^{とら}れてこさせ^せた。3 その後^{そのち}、神^{かみ}は夜^{よる}に夢^{ゆめ}の中でアビメレ

20:1 *または、「外国人として住んで」。

第19章

(例) 申 2:9

(例) 代一 18:2

(例) 申 2:19
裁 11:4
ネヘ 13:1
ゼバ 2:9

第20章

(例) 創 13:18

(例) 民 13:26

(例) 創 25:17,18

(例) 創 10:19
創 26:6

(例) 創 12:11-13
創 20:11,12

(例) 創 12:15

第2欄

(例) 創 12:17
詩 105:14

(例) 申 22:22

(例) 詩 105:14,15

(例) ヨブ 42:8

ク^{ところ}の所^きに来て、こう言^いった。「あなたが連^つれてきた女性^{じょせい}がもとで、あなた^しは死^しんだも同然^{どうぜん}である。彼女^{かのじょ}は結婚^{けっこん}しており、別^{べつ}の男性^{だんせい}のものだからだ」。4 アビメレク^あはまだサラ^{ちか}に近づ^{ちか}づいてはいなかったで、こう言^いった。「エホバ、あなたは無実^{むじつ}の国民^{こくみん}を殺^{ころ}されるのですか。5 彼は私^{かれ わたくし}に、『あの人は妹^{いと}です』と言^いったではありませ^なんか。彼女^{かのじょ}の方も、『あの人は兄^{あに}です』と言^いったのではないでし^しょうか。私は何^{なん}の悪気^{わるき}もありませんでした。悪いこと^{わる}をしてい^いるなどとは思^{おも}ってい^いなかったのです」。6 真^{しん}の神^{かみ}は夢^{ゆめ}の中でアビメレク^あに言^いった。「悪気^{わるき}がなかつたことは知^しっていた。だからこそ私^{わたし}は、あなた^{あなた}が私^{わたし}に對^{たい}して罪^{つみ}を犯^{おか}すことがないようにしてい^いた。彼女^{かのじょ}に触^ふれさせなかつたのだ。7 今^{いま}すぐ、あの男性^{だんせい}の妻^{つま}を返しなさい。彼は預言者^{よげんしゃ}なので、あなた^{あなた}のために祈願^{いのり}をしてく^くれて、あなたは生き続^{つづ}ける。しかし、彼女^{かのじょ}を返^{かえ}さないなら、あなた^{あなた}もあなた^{あなた}の家^{いえ}の人^{ひと}たちも皆^{みな}、必^{かな}ず死^しぬことになる」。

8 アビメレク^あは朝^{あさ}早く起^おき、家^け来^{らい}たち全^{ぜん}員^{いん}を呼^よんで、起^おきたことを全^{ぜん}部^ぶ話^わした。すると家^け来^{らい}たちは非^ひ常^{じょう}に恐^{おそ}れた。9 それからアビメレク^あはアブラハム^あを呼^よんで、こう言^いった。「何^{なん}というこ^{こと}をして^{して}くれたのだ。私^{わたし}があなた^{あなた}にどん^{どん}な悪い^{わる}ことをしたとい^いうので、あな

20:4 *サラと性関係^{せい}を持^もって^いなかつた、とい^いうこと。 *または、「正しい」。

わたしは私と私の王国をこんなにひどい目に遭わせたのか。あなたがしたことは間違っている。10 アビメレクは続けて言った。「どういふつもりでこのようなことをしたのか」。11 アブラハムは言った。「私はこう思ったのです。『この人たちには、神への畏れがない。だから私は、妻を奪おうとする人たちに殺されるだろう』。12 それに、彼女は実際に私の妹なのです。私の父の娘であり、母が違っただけです。妹が私の妻になったのです。13 それで、神に命じられて父の家族から離れ、旅を始めた時、私は彼女にこう言いました。『どこへ行くとしても、私のことを「兄です」と言ってくれないか。そうすることで、私への揺るぎない愛を示してほしい』」。

14 アビメレクは、羊、牛、男女の召し使いを連れてきて、アブラハムに与え、妻サラを返した。15 アビメレクは言った。「私の土地から好きな場所を選び、そこに住みなさい」。16 サラにはこう言った。「お兄さんに銀1000枚を与えます。それは、あなたが潔白であることを、あなたと共にいる人たちだけでなく全ての人に示す証拠です。あなたには非難されるようなところは何もありません」。17 そこで、アブラハムは真の神に祈願し始めた。すると、神はアビメレクとその妻と女奴隷たちを癒やし、その女性たちは子を産むようになった。18 エホバ

第20章

(イ) 創 12:18, 19
創 26:9, 10

(イ) 創 12:11, 12
創 26:7

(イ) 創 11:29

(ロ) 創 12:1

(イ) 創 12:13

(イ) 創 20:2, 12

第2欄

(イ) 創 12:17

第21章

(イ) 創 18:10

(イ) ヘブ 11:11

(ロ) 創 17:21
創 18:10, 14
ロマ 9:9

(イ) 創 17:19
ヨシ 24:3
ロマ 9:7

(イ) 創 17:12
レビ 12:3
使徒 7:8

(イ) 創 16:4, 15

(イ) 創 15:13
ガラ 4:22, 29

は、アブラハムの妻サラのことで、アビメレクの家のどの女性にも子供ができないようにしていたのである。

21 エホバは以前に語った通り、サラに注意を向けた。エホバは約束していたことをサラのために行った。2 それでサラは妊娠し、神が約束していた時に、老齢のアブラハムの子を産んだ。3 アブラハムは、生まれた息子、サラが産んだ子をイサクと名付けた。4 そして神に命じられた通り、生後8日目にイサクに割礼を施した。5 息子イサクが生まれた時、アブラハムは100歳だった。6 その時サラは言った。「神は私に笑いを与えてくださった。このことを聞いた人は皆、きっと私と一緒に笑う」。7 続けてこう言った。「『サラは必ず子供を育てるようになる』なんて、誰がアブラハムに言えただろう。それでも私は、年老いたあの人の子を産んだ」。8 やがてその子は成長し、乳離れした。そこでアブラハムはイサクの乳離れの日に盛大な宴を催した。9 ところでサラは、エジプト人ハガルの子、ハガルが産んだアブラハムの子が、イサクをからかっているのに気付いていた。10 それでサラはアブラハムに言った。「あの女奴隷とあの子を追いつて出してください! あの女奴隷の子が、私の子イサクと一緒に相続人になること20:18 * または、「女性の胎も固く閉じて」。21:6 * もしかすると、「私のことを笑う」。

とはないのですから」。**11** アブラハムにとって、自分の息子についてサラに言われた事は、とても不愉快だった。

12 すると神はアブラハムに言った。「あの子とあなたの女奴隷についてサラが言っている事を不愉快に思っていない。彼女の願いを聞き入れなさい。あなたの子孫と呼ばれる者はイサクから出るからだ。**13** 私は、女奴隷の子からも国民が生まれるようにする。彼もあなたの子孫だからだ。」

14 それでアブラハムは朝早く起き、パンと、水を入れた革袋を用意し、ハガルに与えた。それらをハガルの肩に掛け、子供と一緒に送り出した。ハガルは出ていき、ベエル・シェバの荒野をさまよった。**15** やがて革袋の水はなくなり、ハガルは子供を茂みの中に置き去りにした。**16** そして弓を射れば届くほどの所まで離れていき、1人で座り、「あの子が死ぬのは見たくない」と言った。こうしてハガルは離れた所に座り、声を上げて泣きだした。

17 神は子供の声を聞き、神の天使が天からハガルを呼んでこう言った。「ハガル、どうしたのですか。恐れてはいけません。神はあそこにいるあなたの子供の声を聞きました。**18** 立ち上がりなさい。あの子を起こしながら、あなたの手で支えなさい。私は彼から偉大な国民が生まれるようにする

第21章

(创) 15:2,4
ガラ 4:30

(イ) 創 17:18

(创) 創 17:19
口マ 9:7
ヘブ 11:18

(タ) ガラ 4:22

(创) 創 16:9,10
創 17:20
創 25:12,16

(创) 創 25:5,6

(创) 創 22:19

(创) 創 16:11

(创) 創 16:7,8

第2欄

(创) 代一 1:29-31

(イ) 創 16:16

(创) 民 10:12

(タ) 創 20:17,18
創 26:26,28

(创) 創 20:14,15

(创) 創 26:15,20

からです」。**19** それから神はハガルに井戸を見つけさせ、ハガルはそこに行って革袋に水をいっぱい入れ、息子に飲ませた。**20** そして神は、その子が成長する間、その子とずっと共にいた。彼は荒野に住み、弓を射る人となった。**21** 彼はパランの荒野に住み、母親は彼のためにエジプトから妻を迎えた。

22 その頃、アビメレクと軍隊の長フィコルがアブラハムに言った。「あなたが何をする時も、神はあなたと共にいます。**23** ですが今ここで、私と私の子孫を裏切ったりしないと、神に懸けて誓ってください。そして、私があなたに親切にしたように、あなたも、私と、あなたが住んできた土地の人とに親切にすることを誓ってください」。

24 それでアブラハムは、「誓います」と言った。

25 アブラハムは、アビメレクの家来たちに井戸を強引に奪われたことで、アビメレクに苦情を述べた。**26** アビメレクはこう答えた。「そんなことをした者がいるとは知りませんでした。あなたは私に話してくれませんでしたし、私も今日まで何も聞いていませんでした」。**27** そこでアブラハムは羊と牛を連れてきてアビメレクに与え、2人は契約を結んだ。**28** アブラハムが群れの中から雌の子羊7匹を取り分けると、**29** アビメレクは

21:23 *または、「揺るぎない愛を示し」。

21:12 *直訳、「種」。

アブラハムに言った。「7匹の雌の子
羊を取り分けたのはどうしてですか」。

30 アブラハムは言った。「私がこの
井戸を掘った証拠として、あなたは私
からこの7匹の雌の子羊を受け取るの
です」。31 それで、その場所はベエ
ル・シェバと呼ばれた。2人がそこで
誓いを立てたからだった。32 こうし
て彼らはベエル・シェバで契約を結ん
だ。アピメレクは軍隊の長フィコルと
共に、フィリスティア人の土地に帰っ
ていった。33 その後、アブラハムはベ
エル・シェバにギョリュウの木を植え、
そこで永遠の神エホバの名を呼んだ。

34 そしてアブラハムはフィリスティア
人の土地に長い間とどまった。

22 こうしたことの後、真の神は
アブラハムを試した。神が、
「アブラハム!」と言うと、アブラハム
は、「はい、ここにおります!」と答
えた。2 すると神は言った。「どうか、
あなたの子、あなたが深く愛する一人
息子イサクを連れてモリヤ地方に
行き、私が指定する山の上で、彼を捧
げ物として捧げてほしい」。

3 それでアブラハムは朝早く起き、
ロバにくら置いて、従者2人と息子
のイサクを呼んだ。全焼の捧げ物に
用いるまきを割り、それから出発し
て真の神が告げた場所に向かった。

21:31 *意味はもしかすると、「誓いの井戸」も
しくは「7の井戸」。21:33 *または、「賛美し
た」。21:34 *または、「外国人として住んだ」。
22:2 *直訳、「全焼の捧げ物」。

第21章

(创) 26:32,33

(创) 26:26,28

(创) 10:13,14

創 26:1

(创) 詩 90:2
イザ 40:28
テマ 1:17(创) 創 12:8,9
創 26:25

(创) ヘブ 11:8,9

第22章

(创) ヘブ 11:17

(创) ヨハ 3:16

(创) 創 17:19
ヨシ 24:3
ロマ 9:7

(创) 代 2:3:1

第2欄

(创) ヨハ 1:29
ペー 1:18,19

(创) ヨハ 10:17,18

(创) ヘブ 11:17

(创) ヘブ 11:17-19
ヤコ 2:21

4 3日目、アブラハムが目を上げると、
その場所が遠くに見えた。5 アブラ
ハムは従者たちに言った。「あなたた
ちはロバと一緒にここにいなさい。こ
の子と私は、あそこまで行って神を崇
拝し、それから戻ってきます」。

6 アブラハムは全焼の捧げ物に用
いるまきを息子イサクに背負わせ、自
分は火種と短刀を手にとった。そして
2人は一緒に歩いていった。7 やが
てイサクが父アブラハムに、「お父さ
ん」と言った。アブラハムが「どうし
た、イサク」と答えると、イサクは言っ
た。「火種とまきはありますが、全焼の
捧げ物にする羊はどこですか」。8 ア
ブラハムは言った。「神が捧げ物にし
る羊を与えてくださるだろう」。2人は
引き続き一緒に歩いた。

9 ついに2人は真の神が告げた場
所に着いた。アブラハムはそこに祭
壇を作り、その上にまきを並べた。そ
れから息子イサクの手足を縛り、祭壇
のまきの上に寝かせた。10 そして
短刀を手に取り、息子を殺そうとした。

11 ところが、エホバの天使が天から、
「アブラハム、アブラハム!」と呼び掛
けた。アブラハムは、「はい!」と答
えた。12 天使はこう言った。「少年
を傷つけてはいけません。何もしては
なりません。今、あなたが神を畏れて
いることがよく分かりました。あなた
は自分の子、一人息子を私に与える
ことを拒みませんでした」。13 アブ

ラハムが目を上げて見ると、向こうに、角がやぶに引っ掛かって動けなくなっている雄羊がいた。それでアブラハムは行って雄羊を捕まえ、息子の代わりに全焼の捧げ物として捧げた。14 アブラハムはその場所をエホバ・イルエと名付けた。そのため今も、「エホバの山で与えられる」という言い方がある。

15 エホバの天使は再び天からアブラハムに呼び掛け、16 こう言った。「エホバはこう宣言しています。『私は、私に懸けて誓う。あなたがこのようにして、自分の子、一人息子を与えることを拒まなかったで、17 私はあなたを必ず祝福し、あなたの子孫を必ず、天の星や海辺の砂のように多くしよう。あなたの子孫は敵の町を攻め略する。18 あなたの子孫によって地上の全ての国民が祝福を受ける。あなたが私の言ったことに従ったからである』」。

19 アブラハムは従者たちの所に帰り、一行は出発してベエル・シェバに帰っていった。アブラハムは引き続きベエル・シェバに住んだ。

20 その後アブラハムに次のような知らせがあった。「あなたの兄弟ナホルの妻ミルカが子を産みました。21 長男ウツ、次男ブズ、三男ケムエル(アラムの父)、22 ケセド、ハ

22:14 *意味、「エホバは与える」、「エホバは見る」。22:17,18 *直訳、「種」。22:17 *直訳、「門」。22:18 *または、「獲得する」。

第22章

(创) 創 22:2
代 二 3:1

(イ) ヘブ 6:13,14

(创) 创 8:16
ロ 8:32
ヘブ 11:17

(创) 創 13:14,16
創 15:1,5
使徒 3:25

(创) 詩 2:8
ダニ 2:44

(创) 創 3:15
ロ 9:7
ガラ 3:16

(创) ガラ 3:8

(创) 創 21:31

(创) 創 11:26,29

第2欄

(创) 創 25:20

(イ) 創 24:15
ロ 9:10

第23章

(创) 創 17:17

(创) 創 12:5

(创) ヨシ 14:15

(创) 創 35:27
民 13:22

(创) 創 10:15

(创) 創 17:1,8
ヘブ 11:9,13

(创) 創 21:22

(创) 代一 1:13

ゾ、ピルダシュ、イドラフ、ベトエルです。23 ベトエルにはリベカが生まれた。アブラハムの兄弟ナホルの妻ミルカはこの8人を産んだ。24 レウマという、ナホルのそばめも子を産んだ。テバハ、ガハム、タハシュ、マアカである。

23 さて、サラは死んだ時、127歳だった。2 サラはカナン地方のキルヤト・アルバ、つまりヘブロンで死んだ。アブラハムはサラの死を嘆き、泣いた。3 やがてアブラハムは亡くなった妻の前から離れ、ヘトの子孫たちに言った。4 「私は皆さんにとって外国人であり、移住者です。亡くなった妻を葬るため、皆さんの土地の一部を譲っていただけませんか」。

5 ヘトの子孫たちはアブラハムに答えた。6 「お聞きください。私たちは、あなたが神に選ばれた長であることを知っています。私たちの墓地の一番良い所に、亡くなった方を葬ってください。私たちの中に、あなたに墓地を譲らない人などいません」。

7 アブラハムは立ち上がり、その土地の人たち、ヘトの子孫たちにおじぎをし、8 こう言った。「妻を葬らせてくださるのでしたら、どうか私の願いを聞いてください。ツォハルの子エフロンと話して、9 マクペラの洞窟を私に売るように言っていただけまし

22:24 *用語集参照。23:6 *もしかすると、「あなたが偉大な長」。

第24章

(创) 創 12:1
ヘブ 11:8

ばは、父の家族と私の親族の土地から離れるよう私に命じ、『この地方をあなたの子孫に与える』と私に誓われました。その方が、あなたを導く天使を遣わしてください。あなたは必ず、そこからあの子のために妻を連れてきます。8 しかし、もしその女性があなたと一緒に来ることを望まない場合、あなたはこの誓いに縛られませんか。ですが、あの子をそこに連れていってはなりません。9 そこで従者は手を主人アブラハムのもの下に置き、このことをアブラハムに誓った。

(创) ヘブ 11:18

(创) 創 13:14,15
創 26:3,4
申 34:4
使徒 7:4,5

10 従者は主人のラクダの中から10頭を集め、主人から預かったさまざまな贈り物を持って、出発した。メソポタミアへ、ナホルの町へ出掛けにいったのである。11 やがて従者は、町の外にあった井戸のそばでラクダを座らせた。夕方ごろで、女性たちが水をくみに来る時間帯だった。12 従者は祈った。「私の主人アブラハムの神エホバ、どうか今日、物事がうまくいきますようお導きください。私の主人アブラハムに揺るぎない愛をお示しください。13 私は今、井戸のそばに立っており、間もなく町の娘たちが水をくみにやって来ます。14 私は、やって来た娘に、『水がめを下ろして、水を飲ませてくれませんか』と言おうと思います。それに対し、『どうぞお飲みください。ラクダにも水を飲ませましょう』と答える人、その人こそ、

(创) ミカ 7:20
ルカ 1:72,73
ヘブ 6:13,14

(创) ヘブ 1:7,14

(创) 創 12:5

(创) 創 24:2,3

第2編

(创) 創 11:26

(创) 創 11:29

(创) 創 22:23

あなたに仕えるイサクのために選ばになった女性でありますように。そのようにして、あなたが私の主人に揺るぎない愛をお示しになったことを、私に確信させてください」。

15 従者がまだ言い終えないうちに、リベカがやって来た。アブラハムの兄弟ナホルの妻ミルカの子ベトエルの娘である。リベカは肩に水がめを載せていた。16 とても美しい若い女性で、男性と関係を持ったことはなかった。リベカは井戸の下りていき、水がめに水をくんで上ってきた。17 従者はすぐに走り寄って、彼女に言った。「かめの水を一口飲ませてくれませんか」。18 リベカは、「どうぞお飲みください」と言い、すぐにかめを下ろして手で持ち、水をあげた。19 従者が飲み終わると、リベカは言った。「ラクダにもあげましょう。ラクダが飲むのをやめるまで、水をくんできます」。20 リベカはすぐにかめの水を水槽に注ぎ、水をくむために井戸に走った。それを何度も繰り返して、全てのラクダのために水をくみ続けた。21 その間ずっと、従者はとても驚きながら彼女を静かに見つめ、エホバがこの旅の目的を達成させてくださったかどうかを考えていた。

22 ラクダが飲み終わると、従者は彼女のために、重さ6グラムの金の鼻輪と、重さ110グラムの2つの金の腕輪を取り出し、23 こう言った。

「おし
教えてください。あなたはどなたの
むすめ
娘さんですか。お父さまの家には、私
たちが泊まれる場所があるでしょう
か」。24 すると彼女はいった。「私
は、ナホルとミルカの子ベトエルの娘
です」。25 さらに言った。「うちには、
わらも、たくさんの飼ひ葉もあり、お泊
めできる場所もあります」。26 それ
で従者は身をかがめ、エホバの前に
ひれ伏して、27 こう言った。「私の
主人アブラハムの神エホバが賛美さ
れますように。神は、私の主人に揺る
ぎない愛を示し続け、私の主人を支え
つづけてくださいました。エホバは私を、
主人の兄弟たちの家へと導いてくださ
いました」。

28 リベカは走っていき、母と家の人
たちに、あったことを話した。29 リ
ベカには、ラバンという兄がいた。ラ
バンは、町の外の井戸のそばにいる
従者の所に走っていった。30 ラバ
ンは、鼻輪と妹リベカの両手の腕輪を
見、「その人は私にこう言いました」と
妹が言うのを聞いて、その人に会い
に行ったのである。その人はまだ井戸
の所において、ラクダのそばに立ってい
た。31 ラバンは言った。「エホバに
祝福された方、どうぞおいでください。
どうしてこんな外に立っておられるの
ですか。家を整え、ラクダのための場
所も準備いたしました」。32 そこで
従者は家の中に入り、彼はラクダの装

第24章

(7) 創 11:29

(7) 創 22:23

(7) 創 25:20
創 29:10

第2欄

(7) 創 15:2,3

(7) 創 12:15,16
創 13:2
創 24:1(7) 創 21:1,2
ロマ 4:19
ヘブ 11:11

(7) 創 25:5

(7) 創 24:2,3
創 28:1

(7) 創 22:20-23

(7) 創 24:4

(7) 創 24:5

(7) 創 48:15

(7) ヘブ 1:7,14

(7) 創 11:25

ぐをはずしてわらと飼ひ葉を与え、従者
と付き添いの人たちの足を洗う水を
用意した。33 食べ物が出されると、
従者は言った。「いただく前に、用件
をお話しさせてください」。ラバンは、
「お話しください」と言った。

34 従者は言った。「私はアブラハ
ムの従者です。35 エホバは私の主
人を大いに祝福されました。羊と牛、
銀と金、男女の召し使い、ラクダと
ロバをお与えになりました。おかげ
で主人は非常に裕福になっていま
す。36 また、主人の妻サラは、年
老いてから子を産みました。主人は
全財産をその子に与えようとしていま
す。37 それで主人は次のように言
い、私に誓いをさせました。『私の
息子の妻を、私の周りに住んでいるカ
ナン人の娘の中から選んではなりませ
ん。38 私の父の家族、私の家族の
所に行つて、息子のために妻を連れて
くるのです』。39 私は主人に言いま
した。『もしその女性が私と一緒に来
ることを望まないとしたら、どういたし
ましょうか』。40 主人は言いました。
『私はエホバの道を歩んできました。
その方があなたのために天使を遣わ
して、必ず旅の目的を果たさせてくだ
さいます。あなたは私の息子のため
に、私の家族、私の父の家族から妻を
連れてこなければなりません。41 私
の家族の所に行つても、娘を渡しても
られない場合には、あなたはこの誓い

に縛られません。私への誓いから自由になるのです。』

42 今日、井戸の所に着いた時、私はこう祈りました。『私の主人アブラハムの神エホバ、あなたがもし、この旅がうまくいくようにしてくださいのでしたら、**43** ぜひともこうなりますように。私は今、井戸のそばに立っています。水をくみにやって来る娘に、「かめの水を少し飲ませてくれませんか」と言おうと思います。**44** それに対し、「どうぞお飲みください。ラクダのためにも水をくんできましょう」と言う人、その人こそ、主人の息子のためにエホバがえらびになった女性でありますように。』

45 私が心の中で言い終えないうちに、リベカが肩にかめを載せてやって来ました。彼女は井戸に下りていて、水をくみ始めました。私は、『飲ませてくれませんか』と言いました。

46 すると、彼女はすぐにかめを下ろし、『どうぞお飲みください。ラクダにもあげましょう』と言ったのです。私は飲み、彼女はラクダにも水をやってくれました。**47** その後、『あなたはどなたの娘さんですか』と聞くと、彼女は、『ナホルとミルカの子ベトエルの娘です』と答えました。それで私は、彼女の鼻に鼻輪を、両手に腕輪を着けて差し上げました。**48** そして身をかがめてエホバの前にひれ伏し、主人アブラハムの神エホバを賛美しま

第24章

(7) 創 24:9

(7) 創 24:16

(7) 創 24:14

(7) 創 24:15, 17

(7) 創 24:18

(7) 創 24:22, 23

第2欄

(7) 創 24:27

(7) 創 24:28

した。主人の息子のために、主人の兄弟の孫娘を連れて帰れるよう導いてくださったからです。**49** それで、もし皆さんが私の主人に揺るぎない愛を示し、私の主人を支え続けてくださるなら、そうおっしゃってください。また、もしそうでないなら、そうでないとおっしゃってください。それによって、どうするかを決めたいと思います。

50 ラバンとベトエルは答えた。「これはエホバが導いていることです。私たちは、よいかどうかを言うことなどできません。**51** リベカはここにいます。連れていって、エホバが言われた通り、あなたの主人のご子息の妻にしてください。」「**52** この言葉を聞いて、アブラハムの従者はすぐにエホバの前にひれ伏した。**53** そして、銀や金の装飾品と衣装を取り出してリベカに与え、貴重な品々をリベカの兄と母に与えた。**54** その後、従者と付き添いの人たちは食べて飲み、そこに泊まった。

従者は朝起きると、「主人の所に帰らせてください」と言った。**55** リベカの兄と母は言った。「せめて10日、あの子と一緒にいさせてください。その後でしたら、行って構いません。」「**56** 従者は言った。「私を引き留めないでください。エホバは旅の目的を果たさせてくださいました。主人の所に帰らせてください。」「**57** それで彼らは言った。「あの子と呼んで、聞いて

みましよう」。58 彼らはリベカを呼
び、「この方と一緒にいきますか」と聞
いた。リベカは、「はい。行きます」と
答えた。

59 そこで彼らは、リベカとその
乳母、またアブラハムの従者と付き添
いの人たちを送り出すことにした。

60 彼らはリベカのために祝福を願
い、こう言った。「リベカ、あなたの子
孫が幾千万にもなりますように。あな
たの子孫が敵の町を攻略しますよう
に」。61 リベカと付き人の女性たち
は立ち上がってラクダに乗り、従者に
付いていった。こうして従者はリベカ
を連れて帰っていった。

62 さて、ネゲブ地方に住んでいるイ
サクは、ベエル・ラハイ・ロイの方から
戻ってきた。63 夕暮れ時、イサクは
いろいろなことを思い巡らしながら野
原を歩いていた。目を上げると、ラク
ダの一隊が向かってくるのが見えた。

64 リベカもイサクの姿を見て、すぐに
ラクダから下りた。65 そして従者に
尋ねた。「野原を歩いてこちらに来る
方はどなたですか」。従者は、「私の主
人イサクです」と言った。それでリベ
カはパールを深くかぶった。66 従
者は、自分がしてきたことを全てイサ
クに話した。67 その後イサクはり
ベカを母サラの天幕に連れていった。
こうしてイサクはりベカを妻にした。イ

24:59 * かつての乳母が召し使いとしてリベカ
に仕えていた、ということ。24:60 * 直訳、「門」。

第24章
[イ] 創 28:5

[イ] 創 35:8

[イ] 創 22:15,17

[四] 創 12:9
創 20:1
民 13:22
裁 1:9

[四] 創 16:14
創 25:11

[四] 詩 77:12
詩 143:5

[四] ヘブ 11:9

第2欄
[イ] 創 26:8

[イ] 創 23:2,19

第25章
[イ] 創 37:28
出 2:15
民 31:2
裁 6:2

[四] 代一 1:32,33

[四] 創 24:36

[四] 創 21:14

[四] 創 23:8,9
創 49:29,30

[イ] 創 23:2,19

サクはりベカを愛するようになり、母を
亡くした悲しみは癒やされていった。

25 アブラハムは再び妻を迎え
た。名前はケトラといった。

2 やがてアブラハムとケトラの間に、
ジムラン、ヨクシャン、メダン、ミディア
ン、イシュバク、シュアハが生まれた。

3 ヨクシャンの子は、シェバ、デ
ダン。

デダンの子は、アシュリム、レトシ
ム、レウミム。

4 ミディアンの子は、エファ、エ
フェル、ハノク、アビダ、エルデア。

これらの人は皆、ケトラの子である。

5 アブラハムはやがて全財産をイ
サクに与えた。6 そばめたちとの間
にできた子たちには、贈り物を与えた。
そして自分がまだ生きているうちに、
かれらへ、東方の地へ行かせ、息子
イサクから離れさせた。7 アブラハ
ムの生涯は175年だった。8 年老い
たアブラハムは、充実した長い人生を
送った後、息を引き取り、先祖たちと
共に横たわった。9 息子のイサクと

イシュマエルが、ヘト人ツォハルの子エ
フロンの土地にあるマクペラの洞窟
にアブラハムを葬った。そこはマムレ
に面した所で、10 その土地はアブ
ラハムがヘトの子孫たちから買い取っ
た土地だった。妻サラが葬られた場
所に、アブラハムも葬られたのである。

25:3 * この3つのヘブライ語名は部族や民族を
指していると考えられる。

11 神はアブラハムの死後、息子イサクを祝福し続けた。イサクはベエル・ラハイ・ロイの近くに住んだ。

12 以下は、アブラハムの子イシュマエルについての記録である。イシュマエルは、サラの召し使いだったエジプト人ハガルとアブラハムの間に生まれた子だった。

13 イシュマエルの子の名前は次の通りである。イシュマエルの長男ネバヨト、ケダル、アドベエル、ミブサム、14 ミシュマ、ドマ、マサ、15 ハダド、テマ、エトル、ナフィシュ、ケドマ。16 これらの人がイシュマエルの子であり、各氏族の長12人である。彼らの居住地や宿营地もその名前前で呼ばれる。17 イシュマエルの生涯は137年だった。イシュマエルは息を引き取り、先祖たちと共に横たわった。

18 イシュマエルの子たちは、エジプトに程近いシュルのそばのハビラからアッシリアまでの地域に広がって住んだ。それぞれが兄弟たちの近くに住んだのである。

19 以下は、アブラハムの子イサクについての記録である。

アブラハムにはイサクが生まれた。20 イサクは40歳の時、リベカと結婚した。リベカはパダン・アラムのアラム人ベトエルの娘で、アラム人ラバンの妹である。21 イサクは妻のことでエ

25:16 *または、「壁で囲われた宿営」。25:18 *もしかすると、「兄弟たちに敵対心を抱いて」。

第25章

(創) 創 17:19

(創) 26:12-14

(創) 創 16:14

(創) 創 16:10,11

(創) ガラ 4:24

(創) 創 36:2,3

イザ 60:7

(創) 詩 120:5

エレ 49:28

エゼ 27:21

(創) 代一 1:29-31

(創) 創 17:20

(創) 創 16:7,8

(創) サ一 15:7

(創) 創 16:11,12

(創) 創 22:2

マタ 1:1,2

(創) 創 22:23

第2欄

(創) 創 10:9-10

(創) 詩 139:15

(創) 創 36:31

民 20:14

(創) 創 27:29,30

申 2:4

(創) サ二 8:14

マラ 1:2,3

ロマ 9:10-13

(創) 創 27:11

(創) 創 27:32

創 36:9

マラ 1:3

(創) ホセ 12:3

(創) 創 27:36

(創) 創 27:3,5

(創) ヘブ 11:9

ホバに何度も懇願した。子供ができなかったからである。エホバはイサクの願いを聞き入れ、妻リベカは妊娠した。22 やがて胎内の子どもたちが押し合うようになったため、リベカは言った。「こんな目に遭ってまで、どうして生き続けなければいけないの」。リベカはなぜこのようなことが起きるのか、エホバに尋ねた。23 するとエホバは言った。「2つの国民があなたの胎内にあり、2つの民があなたから生まれる。一方の国民がもう一方の国民より強くなり、兄が弟に仕えることになる」。

24 出産の時がやって来ると、胎内には確かに双子がいた。25 先に出てきた子は、全身が赤く、毛でできた服を着ているかのようなだった。それでその子はエサウと名付けられた。26 次に弟が出てくると、その子の手はエサウのかかとをつかんでいた。それでその子はヤコブと名付けられた。リベカがこの2人を産んだ時、イサクは60歳だった。

27 男の子たちは成長していった。エサウは腕のいい狩人になり、よく野原に出掛けた。ヤコブは非難されるところがない人で、よく天幕で時間を過ごした。28 イサクはエサウを愛していた。エサウが、食物となる獲物を捕らえてくるからだだった。一方、リベカは

25:25 *意味、「毛深い」。25:26 *意味、「かかとをつかむ者」、「奪い取る者」。

ヤコブを愛していた。**29** ある時、ヤコブが煮込み料理を作っていると、エサウが野原から疲れて帰ってきた。

30 エサウはヤコブに言った。「その赤いやつを少し食べさせてくれないか。早くしてくれ。疲れているんだ」。

それでエサウはエドムとも呼ばれるようになった。**31** ヤコブは言った。「ではまず、長男としての権利を売ってください!」

32 エサウは言った。「とにかく死にそうなんだ。長男の権利なんて何のためになる」。**33** ヤコブは言った。「まず、誓ってください!」するとエサウはヤコブに誓い、長男としての権利をヤコブに売った。**34** ヤコブがレンズマメの煮込みとパンをあげると、エサウは食べて飲み、その後たて上り出て掛けた。こうしてエサウは長男の権利を軽く見た。

26 さて、その地方で飢饉が起きた。アブラハムの時代に起きた1度目の飢饉とは別のものである。それでイサクは、フィリスティア人の王アビメレクの所、ゲラルに行った。**2** エホバはイサクに現れてこう言った。「エジプトに行つてはいけな

い。私が指定する土地に住みなさい。**3** この土地に外国人として住みなさい。そうすれば、私は引き続きあなたと共にいてあなたを祝福しよう。この地方一帯をあなたとあなたの子孫に

与える。私はあなたの父アブラハムへの誓いを果たす。**4** 『私はあなたの子孫を天の星のように多くし、あなたの子孫にこの地方一帯を与えよう。あなたの子孫によって地上の全ての国民が祝福を受ける』という誓いであ

る。**5** アブラハムが私の言ったことに従い、私の定めたこと、命令、法令、律法を守ったからである」。**6** それでイサクはゲラルに住み続けた。

7 イサクは、その人たちから妻についてよく尋ねられ、「私の妹です」と言っていた。「妻です」と言うのを恐れたのは、「この人たちはリベカを奪おうとして私を殺すかもしれない」と思ったからだった。リベカは美しかったのである。**8** しばらく後のこと、フィリスティア人の王アビメレクが窓から外を眺めていると、イサクが妻のリベカを抱き締めているのが見えた。

9 アビメレクは直ちにイサクを呼んで、こう言った。「彼女はあなたの妻ではないか! どうして、『妹です』などと言ったのか」。イサクは言った。「彼女のことで、死ぬことにならないだろうかと不安になったのです」。**10** アビメレクは言った。「何ということをしてくれたのだ。民の1人があなたの妻と寝てもおかしくなかった。あなたのせいで、私たちは罪を犯すところだったではないか」。**11** それからアビメレ

26:4 *または、「獲得する」。**26:8** *または、「リベカに愛情を表現して」。

第25章
(イ) 創 27:6,7,46

(イ) 創 36:1

(イ) 申 21:16,17

(イ) ヘブ 12:16

第26章
(イ) 創 12:10

(イ) 創 20:1
ヘブ 11:8,9

第2欄
(イ) 創 12:7
創 15:18

(イ) 創 22:16-18
詩 105:9-11
ヘブ 6:13,14

(イ) 創 15:1,5
ヘブ 11:12

(イ) 申 34:4

(イ) 創 12:1-3
使徒 3:25
ガラ 3:8

(イ) 創 17:10,23
創 22:3,12
ヘブ 11:8
ヤコ 2:21

(イ) 創 26:17

(イ) 創 12:11-13

(イ) 創 24:16

(イ) 創 24:67

(イ) 創 20:11

(イ) 創 12:18

(イ) 創 20:9

第25章
(イ) 創 27:6,7,46
(イ) 創 36:1
(イ) 申 21:16,17
(イ) ヘブ 12:16
第26章
(イ) 創 12:10
(イ) 創 20:1
ヘブ 11:8,9
第2欄
(イ) 創 12:7
創 15:18
(イ) 創 22:16-18
詩 105:9-11
ヘブ 6:13,14
(イ) 創 15:1,5
ヘブ 11:12
(イ) 申 34:4
(イ) 創 12:1-3
使徒 3:25
ガラ 3:8
(イ) 創 17:10,23
創 22:3,12
ヘブ 11:8
ヤコ 2:21
(イ) 創 26:17
(イ) 創 12:11-13
(イ) 創 24:16
(イ) 創 24:67
(イ) 創 20:11
(イ) 創 12:18
(イ) 創 20:9

7 イサクは、その人たちから妻についてよく尋ねられ、「私の妹です」と言っていた。「妻です」と言うのを恐れたのは、「この人たちはリベカを奪おうとして私を殺すかもしれない」と思ったからだった。リベカは美しかったのである。**8** しばらく後のこと、フィリスティア人の王アビメレクが窓から外を眺めていると、イサクが妻のリベカを抱き締めているのが見えた。**9** アビメレクは直ちにイサクを呼んで、こう言った。「彼女はあなたの妻ではないか! どうして、『妹です』などと言ったのか」。イサクは言った。「彼女のことで、死ぬことにならないだろうかと不安になったのです」。**10** アビメレクは言った。「何ということをしてくれたのだ。民の1人があなたの妻と寝てもおかしくなかった。あなたのせいで、私たちは罪を犯すところだったではないか」。**11** それからアビメレ

26:4 *または、「獲得する」。**26:8** *または、「リベカに愛情を表現して」。

クは民の全てに、「この人とその妻に触れる者は必ず死刑にされる」と告げた。

12 イサクはその土地で種をまいた。その年の収穫は、まいた物の百倍にもなった。エホバが祝福したからだった。**13** イサクは裕福になり、その後も成功していき、非常に裕福になった。**14** 幾つもの羊の群れと牛の群れを持ち、大勢の召し使いを抱えるようになったのである。それでフィリスティア人は彼をねたむようになった。

15 フィリスティア人は、父アブラハムの時代に召し使いたちが掘った井戸全てに土を詰め、ふさいだ。**16** アビメレクはイサクに言った。「あなたは私たちよりはるかに強くなりました。私たちの所から出ていってください」。

17 それでイサクはそこから移動し、ゲラルの谷に宿営を張って住んだ。

18 イサクは、父アブラハムの時代に掘られ、アブラハムの死後フィリスティア人にふさがれた井戸を掘り直した。そして、それぞれの井戸を、父が付けた名前で呼んだ。

19 イサクの召し使いたちが谷で井戸を掘ると、きれいな水が出てきた。

20 するとゲラルの羊飼いたちが、「その水はわれわれのものだ」と言って、イサクの羊飼いたちと言い争いを始めた。その井戸はエセクと名付けられ

26:17, 19 *または、「ワジ」。 26:20 *意味、「争い」。

第2章
(7) 創 24:34,35

(7) 創 12:16

(7) 創 21:27,30

(24) 創 10:19
創 20:1

(7) 創 21:25

(7) 創 21:31

第2欄

(7) 創 17:5,6
創 28:1,3

(7) 創 21:31

(7) 創 17:1
創 28:13

(24) 創 15:1

(7) 創 17:19
詩 105:9-11

(7) 創 12:8,9

(24) ヘブ 11:9

(7) 創 21:32

(7) 創 21:22

た。言い争いがあったからだった。

21 別の井戸を掘ると、それを巡ってまたも言い争いが起きた。その井戸はシントナと名付けられた。**22** その後イサクはそこから移動して別の井戸を掘った。今度は言い争いが起きなかった。その井戸はレホボトと名付けられた。イサクが言うには、「エホバが広い場所を与え、ここで子孫を増やせるようにしてくださったから」だった。

23 やがてイサクはそこからベエル・シェバに行った。**24** その夜、エホバがイサクに現れて、こう言った。「私はあなたの父アブラハムの神である。恐れてはいけな。私はあなたと共にいるからだ。私に仕えたアブラハムのゆえに、あなたを祝福し、あなたの子孫を多くする」。**25** それでイサクはそこに祭壇を作ってエホバの名を呼んだ。イサクはそこに天幕を張り、召し使いたちは井戸を掘った。

26 その後、アビメレクがゲラルからイサクの所にやって来た。相談役のアフザトと軍隊の長フィコルが一緒だった。**27** イサクは彼らに言った。「あなた方は私を嫌って出ていかせたのに、どうして私の所に來たのですか」。

28 彼らは言った。「私たちは、エホバがあなたと共におられるのがはつきり分かりました。それでこう言おうということになりました。『私たちと誓いを交

26:21 *意味、「訴え」。 26:22 *意味、「広い場所」。 26:25 *または、「賛美した」。

わたし けいやく むす けいやく
わたし 私たちと契約を結んでください。

29 私たちがあなたに危害を加えな
わたし けいやく むす けいやく
かったように、あなたも私たちに何も
わたし けいやく むす けいやく
悪いことはしないと約束してください。
わたし けいやく むす けいやく
私たちは、あなたによくしてあげて安
ぜん で
全に出ていかせたのではないでしょう
か。あなたはエホバに祝福された方
です。』。30 イサクはごちそうを用意
し、彼らは食べて飲んだ。31 翌朝、
いちどう はや お ちか こと ば か
一同は早く起き、誓いの言葉を交わし
た。彼らはイサクに送り出され、穏や
かに去っていった。

32 その日、召し使いたちがイサク
の所に来て、掘った井戸について報告
して言った。「水が出ました!」33 そ
れでその井戸はシブアと名付けられ
た。その町が今もベエル・シェバとい
われているのは、そのためである。

34 エサウは40歳の時、ヘト人ペ
リの娘ユディトと、ヘト人エロンの娘バ
セマトを妻とした。35 この女性たち
はイサクとリベカを非常に悩ませた。

27 ある時、年老いて目がほと
んど見えなくなっていたイ
サクは、上の息子エサウを呼び寄せ、
「息子よ」と言った。エサウは、「はい、
ここにいます」と言った。2 イサクは
言った。「私は年を取った。いつ死ぬ
かわからない。3 だから今、矢筒と
弓を持って野原に出掛け、獲物を捕
てきてくれないか。4 そして私の好
きなおいしい料理を作って、持ってきて

26:35 *または、「に苦々しさを抱かせた」。

第26章

(イ) 創 21:27

(イ) 創 21:22-24

(イ) 創 26:18

(イ) 創 20:1

(イ) 創 36:2,3

(イ) 創 27:46

創 28:8

第27章

(イ) 創 25:28

(イ) 創 25:27

第2欄

(イ) 創 27:30

(イ) 創 25:28

(イ) 創 27:30,31

(イ) 創 27:13,43

(イ) 創 25:25

創 27:23

(イ) 創 27:21

(イ) 創 27:8,43

ほしい。そうしたら、それを食べて、死
ぬ前にあなたのために祝福を願う求
めよう。

5 イサクが息子エサウに話してい
るのを、リベカが聞いていた。そして
エサウは、獲物を捕ってくるため、野原
に出掛けた。6 それでリベカは息子
ヤコブに言った。「さっきお父さんが、
兄さんのエサウにこう言っていました。
7 『獲物を捕ってきて、おいしい料理
を作ってほしい。そうしたら、それを食
べて、死ぬ前に、あなたのために祝福
をエホバに願う求めよう』。8 それ
でヤコブ、よく聞いて、私の言う通りに
してください。9 家畜の群れから最
上の子ヤギを2匹連れてきてください。
そうしたら、私がお父さん好みのおい
しい料理を作ります。10 あなたは
それを持っていってお父さんに食べて
もらうのです。そうすれば、亡くなる前
にあなたへの祝福を願ってくれるで
しょう」。

11 ヤコブは母リベカに言った。
「でも、エサウ兄さんは毛深いのに
私はそうではありません。12 お父さ
んが私に触ったらどうなるでしょう。私
は、お父さんをからかったと思われて
しまい、祝福どころか災いを受けるこ
とになります。13 母はヤコブに
言った。「その災いは私が代わりに受
けましょう。私の言う通りにして、子
ヤギを連れてきなさい。14 そこでヤ
コブは子ヤギを母の所に連れてきて、

母は父好みのおいしい料理を作った。

15 その後リベカは、家にあったエサウの一番良い服を選び、ヤコブに着せた。16 また、子ヤギの毛皮をヤコブの両手と首筋の毛のない所とに当てた。17 そして、作ったおいしい料理とパンを息子ヤコブに渡した。

18 ヤコブが父の所に入っていて、「お父さん」と言うと、父は言った。「おお、息子よ。エサウか。それとも、ヤコブか」。19 ヤコブは父に言った。「あなたの長男エサウです。言われた通りになりました。体を起こして、私が捕ってきた物をどうぞ食べてください。そして私への祝福を願ってください」。20 イサクは言った。「どうしてこんなに早く捕まえられたんだ」。ヤコブは答えた。「あなたの神エホバのおかげです」。21 イサクはヤコブに言った。「こっちに来てくれないか。あなたに触って、本当に私の子エサウなのかどうか確かめたい」。22 ヤコブが近寄ると、父イサクは触ってからこう言った。「声はヤコブの声だが、手はエサウの手だ」。23 ヤコブの手が兄エサウの手のように毛深かったので、イサクは気付かなかった。それでイサクはヤコブのために祝福を願い求めた。

24 そしてイサクは言った。「本当に私の子エサウなのか」。ヤコブは、「そうです」と答えた。25 イサクは言った。「捕ってきた物を持ってきなさい。

第27章

(イ) 創 25:23,26

(イ) 創 25:25
創 27:11

(イ) 創 27:9

(イ) 創 25:31-33
口マ 9:10-12

(イ) 創 27:4

(イ) 創 27:11,12

(イ) 創 27:16

(イ) ヘブ 11:20

第2欄

(イ) 創 48:10

(イ) 創 25:27
創 27:15

(イ) 申 11:11

(イ) 民 13:26,27

(イ) 創 27:37
申 7:13

(イ) 創 25:23

(イ) 創 12:1,3
創 28:1,3
創 31:42
エゼ 25:12,13

(イ) 創 27:3

食べた後、あなたのために祝福を願い求めよう」。ヤコブが食べ物を持っていくと、イサクは食べた。また、ぶどう酒を持っていくと、飲んだ。26 その後、父イサクは言った。「さあ、こっちに来て、私に口づけしなさい」。27 ヤコブは近寄って口づけし、イサクはヤコブが着ていた服のにおいを嗅いだ。イサクはヤコブへの祝福を願って、こう言った。

「ああ、わが子のおいは、エホバが祝福された野原のにおいのようです。28 真の神があなたに、天からの露と肥沃な土地、豊かな穀物と新しいぶどう酒を与えてくださいますように。29 さまざまな人々があなたに仕え、さまざまな国民があなたに頭を下げますように。あなたが兄弟たちの主人となり、あなたの母の母のあなたがあなたに頭を下げますように。あなたに災いがあることを願い求める人が災いを被り、あなたに祝福があることを願い求める人が祝福を受けますように」。

30 イサクがヤコブへの祝福を願い終え、ヤコブがイサクの所から立ち去ったちょうどその時、兄エサウが狩りから戻ってきた。31 エサウもおいしい料理を作って父の所に持ってきて、こう言った。「お父さん、体を起こして、私が捕ってきた物をどうぞ食べてください。そして私のために祝福を願い求めてください」。32 そこで父イサク

は言った。「あなたは誰なんだ」。エ
 サウは言った。「あなたの息子、長男
 のエサウです」。33 イサクはひどく
 身を震わせてこう言った。「では、さっ
 き獲物を捕って持ってきたのは誰だっ
 たのだろう。あなたが来る前に私はす
 でにそれを食べて、その人への祝福を
 願った。もうその人が祝福を受けるこ
 とになっているのだ」。

34 その言葉を聞いて、エサウは悲
 痛な声で大きく叫び、父に言った。「私
 のため、この私のために祝福を願い
 求めてください。お父さん!」35 イ
 サクは言った。「やって来たのはあな
 たの弟だ。あなたのための祝福を自
 分のものにしようともくろんだのだ」。

36 エサウは言った。「さすがヤコブと
 呼ばれるだけのことはあります。私か
 ら2度も奪い取るとは。私の長男の権
 利を奪い、今度は私のための祝福を
 奪ったのです」。さらに言った。「私の
 ためには、祝福を願い求めてくださ
 らないのですか」。37 イサクは答え
 た。「私はすでに、彼をあなたの主人
 とし、彼の兄弟全てを彼の召し使いと
 し、穀物と新しいぶどう酒を彼に与え
 た。そうした今、何かあなたにしてあ
 げられることがあるだろうか」。

38 エサウは父に言った。「お父さ
 ん、あなたが願い求める祝福はもうほ
 かにはないのですか。私のため、この私

27:36 *意味、「かかとをつかむ者」、奪い取る者」。

第27章

(例) 創 25:25,31
 ヘブ 12:16

(例) ヘブ 12:16,17

(例) 創 25:26
 創 32:28
 ホセ 12:3

(例) 創 25:32-34

(例) 創 27:28

(例) 創 25:23
 創 27:29
 ロマ 9:10,12

(例) 申 33:28

第2欄

(例) ヘブ 12:16,17

(例) ヨシ 24:4
 ヘブ 11:20

(例) 創 32:6
 民 20:18

(例) 創 25:23
 サニ 8:14
 マラ 1:2,3

(例) 王二 8:20
 代二 28:17

(例) アモ 1:11

(例) 創 35:28,29

(例) 創 28:5

のために祝福を願い求めてくださ
 い。お父さん!」エサウは声を上げて
 泣きだした。39 父イサクはエサウ
 に答えた。

「あなたは、肥沃な土地から離れ
 た所、天からの露がない所に住む。
 40 あなたは剣を振るって生き、兄弟

に仕えることになる。しかし、やがて不
 満を募らせ、束縛を振りほどく」。

41 父がヤコブのために祝福を願
 い求めたので、エサウはヤコブに恨み
 を抱き、心の中でこう言い続けた。「父
 の死は近い。喪の期間が終わったら
 おと、弟ヤコブを殺してやる」。42 エ
 サウのこの考えを知ったリベカは、す
 ぐに人を遣わしてヤコブを呼び、こう
 言った。「兄さんのエサウがあなた
 を殺して復讐しようとたくらんでいま
 す。43 今すぐ、私の言う通りにしな
 さい。ハランにいる私の兄ラバンの所
 に逃げなさい。44 そして、あなたの
 兄さんの怒りが収まるまでしばらくそ
 こにとどまるのです。45 あなたに対
 する兄さんの怒りが静まって、あなた
 のしたことを忘れたら、私は人を遣
 わしてあなたを呼び戻します。あなた
 たち2人を同じ日に失いたくはありま
 せん」。

46 その後、リベカはイサクにこう
 言い続けた。「へト人の娘たちのせい
 で、生きているのがつらくて仕方ありま

27:40 *直訳、「てんびん棒を折って首から外
 す」。

せん。もしヤコブもこの^{あた}辺りの^{むすめ}娘たち
のような^{じん}へ^{むすめ}人の^{つま}娘を^{わたし}妻にしたら、私
はもう^い生きて^いいけません。

28 それでイサクはヤコブを^よ呼
び、ヤコブのために^{しゆくふく}祝福を
願^{ねが}い、^{めい}こう命^ちじた。「カナン地方の娘
たち^{なか}の中から^{つま}妻を^{えら}選^{えら}んではいけない。

2 パダン・アラムへ、あなたのおじい
さん^{*}ベトエルの^{かぞく}家族の^{ところ}所へ^い行き、そこ
で^{つま}妻を^{えら}選^{えら}びなさい。あなたの^{おじ}伯父さん
ラバン^{むすめ}の娘たち^{なか}の中から^{えら}選^{えら}ぶのだ。

3 全能の神があなたを^{しゆくふく}祝福し、多く
の子孫^{しそん}を与えて^{あた}くださる。あなたから
必ず^いいく^{いく}つもの^{たみ*}民が^う生まれる。**4** 神
は、アブラハムに^{やくそく}約束した^{しゆくふく}祝福を^{あな}たと
あなたの子孫^{しそん}に^{あた}与えて^{あた}くださる。
あなたがこれまで^が外国人として^す住んで
きた^{とち}土地、神が^{かみ}アブラハムに^{さす}授けた^と土
地^ちはあなたのものになる。

5 こうしてイサクはヤコブを送り出
し、ヤコブはパダン・アラムへ、ラバン
の^{ところ}所へ^む向けて^{しゆくばつ}出発した。ラバンはアラ
ム人^{じん}ベトエルの^こ子で、ヤコブとエサウ
の^{はは}母リベカの^{あに}兄である。

6 エサウは、イサクがヤコブのため
に^{しゆくふく}祝福を^{ねが}願^{ねが}い、^{つま}妻を^{えら}選^{えら}ばせるためヤコ
ブを^しパダン・アラムに^{しゆくふく}行かせたことを
知^しった。また、^{しゆくふく}祝福を^{ねが}願^{ねが}った時、イサ
クが「カナン地方の娘たち^{ちほう}の中から^{むすめ}妻
を^{えら}選^{えら}んではいけない」と^い命^{めい}じたことや、

7 ヤコブが父と母に従ってパダン・ア

28:2 *直訳、「母の父」。**28:3** *または、「部
族」。

第27章

(7) 創 26:34,35
創 28:8

(7) 創 24:2,3

第28章

(7) 創 24:34,37
出 34:15,16
王一 11:1-3
コ二 6:14

(7) 創 29:16

(7) 創 17:5
創 46:15,19
代一 2:1,2

(7) 創 12:2,3

(7) 創 12:7
創 15:13
創 17:1,8
ヘブ 11:9

(7) 創 25:20

(7) 創 24:29

(7) 創 28:1
コ二 6:14

第2欄

(7) 創 27:43

(7) 創 27:46

(7) 創 36:2,3

(7) 創 11:31
創 27:43

(7) 創 28:18,19

(7) 創 31:1-51
ヘブ 1:7,14

(7) 創 26:24,25

(7) 創 12:7
創 28:4
詩 105:9-11

(7) 創 13:14,16
王一 4:20

(7) 創 18:18
創 22:15,18

(7) 創 35:6

(7) 創 31:3
民 23:19
ヨシ 23:14
ヘブ 6:18

ラムに向^むかったことを^し知^しった。**8** こ
うしてエサウは、父^{ちち}イサクが^ちカナン地
方^{ほう}の娘たち^{むすめ}のことを^よ良く^{おも}思^{おも}っていない
ことを^{さと}悟^いった。**9** それで、^{つま}すでに^{ところ}妻た
ち^{むすめ}がいたものの、^いイシュマエルの^{つま}所に
行^いって^{つま}マハラトを^{むすめ}妻とした。マハラトは
アブラハムの子^こイシュマエルの^{むすめ}娘で、
ネバヨトの^{しまい}姉妹^いだった。

10 ヤコブはベエル・シェバを出^で
て、^いハランに向^むかって^{すす}進^{すす}んで^いいった。

11 やがてある^{ばしょ}場所^きに来^きた時、^ひ日が^{しず}沈^{しず}
んだので、そこで^よ夜を^す過^すぐすことにし
た。そこに^{いし}あった^と石の^{あたま}1つを取^とって^い頭
の下^{した}に^お置き、^{よこ}横^いになった。**12** ヤコブ
は^{ゆめ}夢^みを見た。地^{じめん}面^{じょうほう}から^{かいだん*}上方^いに^い階段^い
が^の伸び^{てん}びて^{たつ}いて、^{かみ}天^{てん}に^いま^いで^い達^{たつ}して^いいた。そ
こを^{かみ}神の^{てん}天使^いたちが^い上^いり^い下^いり^いして^いいた。

13 ^{うえ}上に^いエホバが^いいて、^いこう^い言^いった。

「私は、あなたの^ふ父祖^そアブラハムの
神^{かみ}、イサクの^{かみ}神^いエホバである。あなた
が^{いまよこ}今^{とち}横^いにな^いっている^い土地^いを、あなたと
あなたの^{しそん*}子孫^{あた}に^い与^いえる。**14** あなた
の^{しそん*}子孫^いは必ず^い大地^{だいち}の^{すな}砂^いのよう^いに^い多く
なり、^い東^{ひがし}西南^{しを}北^{きた}に^い広^{ひろ}が^いって^いいく。あな
たとあなたの^{しそん*}子孫^いによって^{ちじょう}地上^かの家^い
族^{ぞく}全^いてが必ず^い祝福^{しゆくふく}を受^うける。**15** 私
はあなたと^{とも}共^いに^いいる。あなたが^いどこに
行^いくとしてもあなたを^{まも}守^もり、この^い地方^{ちほう}に
連^つれ^い戻^{もど}す。私はあなたから^い離^{はな}れず、あ
なたへの^{やくそく}約束^いを必ず^い果^はた^いす。

16 ヤコブは^め目を^い覚^さまし、^いこう^い言^いっ

28:12 *または、「はしご」。**28:13,14** *直訳、
「種」。**28:14** *または、「獲得する」。

た。「エホバは確かにここにおられる。
私は知らなかった」。17 ヤコブは
畏れを抱き、さらに言った。「ここは何
と厳肅な場所なのだろう。まさに神
の家だ。天の門がここにあるのだ」。

18 ヤコブは朝早く起き、頭の下に
置いていた石を取り、それを記念碑
として立ててつべんに油を注いだ。
19 そして、その場所をベテルと名付
けた。それまで町はルズと呼ばれて
いた。

20 ヤコブは誓約をして、こう言っ
た。「もし神がずっと私と共にいて、旅
の間私を守り、パンと服を与えてくだ
さり、21 私が無事に父の家に戻っ
たなら、エホバが確かに私の神となっ
てくださったことになります。22 私
が記念碑として立てたこの石は神の
家となります。私は必ず、あなたが下さ
る全ての物の10分の1をあなたに捧
げます」。

29 その後ヤコブは旅を続け、東
方の人たちがいる地方に向
かった。2 やがて野原に井戸があ
るのが見え、そばで羊の3つの群れが
休んでいた。その井戸は、羊の群れに
水をやるためによく使われていたので
ある。井戸の口には大きな石が置い
てあった。3 全部の群れがそこに集
まると、羊飼いたちは井戸の口から石
を転がしてだけ、羊に水をやり、それか
ら石を元に戻すのだった。

28:19 *意味、「神の家」。

第28章

(詩) 詩 47:2

(創) 創 35:1

(創) 創 31:13

(創) 創 35:6
ヨシ 16:1,2

(創) 創 35:1

第2欄

第29章

(創) 創 27:42,43
使徒 7:2

(創) 創 24:24
創 31:53

(創) 創 24:29

(創) 創 46:19
ルツ 4:11

(創) 創 24:29

4 ヤコブは羊飼いたちに言った。
「私の兄弟たち、皆さんはどこから来た
のですか。彼らは言った。「ハランか
ら来ました」。5 ヤコブが、「ナホル
の孫のラバンを知っていますか」と尋
ねると、彼らは、「知っています」と答
えた。6 「彼は元気になっていますか」
とヤコブが聞くと、彼らは言った。「元
氣になっています。ちょうど彼の娘ラケ
ルが、羊を連れてもうすぐやって来ます」。
7 ヤコブは言った。「まだ真昼です。
群れを戻す時間ではありません。羊に
水をやって、草を食べさせに行ったら
どうですか。8 彼らは言った。「全
部の群れが集まって、井戸の口から石
がどけられるまでは、羊に水をやって
はいけないことになっています」。

9 ヤコブがまだその人たちと話して
いるうちに、ラケルが父の羊を連れて
やって来た。ラケルは羊飼いだっ
たのである。10 ヤコブは、伯父ラバンの
娘ラケルとラバンの羊とを見ると、す
ぐに近づいていき、井戸の口から石を転
がしてだけ、ラバンの羊に水をやった。
11 それからラケルに口づけし、声
を上げて泣いた。12 そして、自分
がラケルの父の親族であり、リベカ
の子であることをラケルに話した。ラケ
ルは走っていき、あったことを父に話
した。

13 ラバンは妹の子ヤコブのことを
聞くと、すぐに走っていき、ヤコブを迎

29:12 *直訳、「兄弟」。

えた。そして抱擁して口づけし、家に連れてきた。ヤコブは起きたことを全てラバンに話した。 **14** ラバンはヤコブに言った。「あなたは確かに私の肉親です」。それでヤコブはそこに丸1カ月滞在した。

15 ラバンはヤコブに言った。「親族だからといってただで働いてもらうわけにはいきません。報酬は何がいいか、言ってください」。 **16** ラバンには娘が2人いた。姉はレア、妹はラケルといった。 **17** レアは目に輝きがなかったのに対し、ラケルはとても魅力的な美しい女性だった。 **18** ヤコブはラケルを愛するようになっていたので、こう答えた。「あなたの下の娘ラケルのため、私は喜んであなたに7年つかえます」。 **19** ラバンは言った。「あの子をほかの男性と一緒にならせるより、あなたと一緒にならせる方がいいと思います。このままここに住みなさい」。 **20** こうしてヤコブはラケルのために7年間働いたが、ラケルを愛していたので、ほんの数日のように思えた。

21 ヤコブはラバンに言った。「約束の期間が終わりましたので、彼女と一緒にならせてください。彼女と関係を持たせてください」。 **22** そこでラバンは地元の人たち皆を集めて宴を催した。 **23** ところがその晩、ラバン

第29章

(创) 創 28:5

(创) 創 30:27,28
創 31:7

(创) 創 4:11

(创) 創 31:41

(创) 創 30:26
ホセ 12:12

第2欄

(创) 創 16:1,2
創 30:9
創 46:18

(创) 創 31:7,42

(创) 創 31:41

(创) 創 35:22

(创) 創 30:1,3

(创) 創 30:12

(创) 創 46:15
ルツ 4:11

(创) 創 30:22

(创) 創 35:22
創 37:22
創 49:3,4
出 6:14
代一 5:1(创) 創 30:20
サー 1:5,6
ルカ 1:24,25

は娘のレアをヤコブの所に連れていき、ヤコブがレアと関係を持つようにした。 **24** ラバンはさらに、自分の召し使いの女性ジルパをレアの召し使いにした。 **25** 翌朝、ヤコブを見ると、そこにいたのはレアだった。それでヤコブはラバンに言った。「何ということをしたのですか。私はラケルのために、あなたに仕えたのではなかったのでしょうか。どうして私をだましたのですか」。 **26** ラバンは言った。「この習慣では、下の娘を長女より先に嫁にやることはしません。 **27** 祝いの週をあの子と一緒に過ごしなさい。その後、下の子も妻にすることができます。ただし、その代わりもう7年働いてもらいます」。 **28** ヤコブは言われた通り、祝いの週をレアと一緒に過ごした。その後、ラバンはラケルも妻としてヤコブに与えた。 **29** ラバンはさらに、自分の召し使いの女性ビルハをラケルの召し使いにした。

30 こうしてヤコブはラケルとも関係を持った。ヤコブはラケルをレアよりも愛した。そしてラバンにもう7年仕えた。 **31** エホバはレアが愛されていないのを見て、レアに子供ができるようにした。一方、ラケルは子供がでなかった。 **32** レアは妊娠して男の子を産み、ルベンと名付けた。「エホバが私の悩みを知ってくださった」。

29:31 *直訳、「憎まれている」。「直訳、「の胎を開いた」。**29:32** *意味、「見なさい。男の子です」。

29:14 *直訳、「骨と肉」。**29:15** *直訳、「兄弟」。

これからは夫に愛してもらえ」と^{おとこ あい}と彼女^{かの}は言った。^{おとこ}33 レアは再び^{ふたたび}妊娠^{にんしん}して男の子を産み、こう言った。「エホバは聞いてくださった。私が愛されていなかったで、この子も与えてくださった」。それで彼女は^{かのじよ}その子をシメオンと名付けた。³⁴ レアはまたも妊娠^{にんしん}して男の子を産み、こう言った。「私は夫と今度こそ結ばれる。私はあの人の子を3人も産んだのだから」。それでその子はレビと名付けられた。³⁵ レアはもう一度妊娠^{にんしん}して男の子を産み、こう言った。「今、私はエホバを賛美しよう。それで彼女は^{かのじよ}その子をユダと名付けた。その後、レアは子^こを産まなくなった。

30 ラケルは、自分がヤコブの子を一人も産んでいないので、姉に嫉妬するようになり、ヤコブにこう言いだした。「私にも子供を持たせてください。そうでないと、私は死んでも同然です」。² するとヤコブはひどく怒り、ラケルに言った。「私が神だともいうのか。あなたに子供ができないようにしているのは神なのだ」。³ ラケルは言った。「私の女奴隷ビルハがいます。彼女と関係を持つてください。そうすれば、彼女が私のために子^こを産み、彼女によって私も子供を持てます」。⁴ そうしてラケルは召し使いビルハをヤコブに妻として与え、ヤコブ

第29章

(7) 創 34:25
創 49:5
代 4-24

(1) 創 34:25
創 49:5
出 6:16
民 3:12
代 6:1

(7) 創 35:23
創 37:26
創 44:18
創 49:8
代 2:3
啓 5:5

第30章

(1) 創 29:29

第2欄

(7) 創 35:22

(1) 創 35:25
創 46:23
創 49:16

(7) 創 35:25
創 46:24
創 49:21
申 33:23

(1) 創 35:26

(7) 創 49:19
民 32:33

(7) ルカ 1:46, 48

(4) 創 35:26
創 46:17
創 49:20
申 33:24

(7) 創 29:32

(7) 創 29:30

はビルハと関係を持った。⁵ ビルハは妊娠^{にんしん}して男の子を産んだ。⁶ その時ラケルは言った。「神は私のことを裁き、私の声を聞いてくださった。私に男の子を下さった」。それで彼女は^{かのじよ}その子をダンと名付けた。⁷ ラケルの召し使いビルハは再び妊娠^{にんしん}し、2人目の男の子を産んだ。⁸ その時ラケルは言った。「私は姉と激しい闘いをした。そしてついに勝った!」それで彼女は^{かのじよ}その子をナフタリと名付けた。

⁹ レアは、子を産まなくなっていたので、自分の召し使いジルバをヤコブに妻として与えた。¹⁰ やがてレアの召し使いジルバは男の子を産んだ。¹¹ その時レアは、「私は恵まれている!」と言った。それで彼女は^{かのじよ}その子をガドと名付けた。¹² その後、レアの召し使いジルバは2人目の男の子を産んだ。¹³ その時レアは言った。「私は幸せ! 女たちはきっと私のことを幸せな人と呼ぶ」。それで彼女は^{かのじよ}その子をアシェルと名付けた。

¹⁴ さて、小麦の収穫の時期に、ルベンは野原を歩いていてコイナスを見つけ、母レアの所に持ってきた。するとラケルがレアに言った。「あなたの子が持ってきたコイナスを少しもらえませんか」。¹⁵ レアは言った。「私の夫を取っただけではまだ足りないのですか。今度は私の子のコイナスまで取

29:33 *意味、「聞くこと」。^{29:34} *意味、「密着」、「結ばれた」。^{29:35} *意味、「賛美された」、「賛美の対象」。^{30:3} *直訳、「私の膝に」。

30:6 *意味、「裁く者」。^{30:8} *意味、「私の闘い」。^{30:11} *意味、「豊かな恵み」。^{30:13} *意味、「幸せな」、「幸せ」。

ろうとするのですか」。ラケルは言った。
「分かりました。では、あなたの子の
コイナスをもらう代わりに、今夜はあな
たがあのひとと寝ていいです」。

16 夕方、ヤコブが野原から戻って
きた時、レアは迎えに出てこう言った。
「あなたは私と関係を持つことになっ
ています。そのために私は息子のコイ
ナスを支払ったのです」。そこでその
夜、ヤコブはレアと寝た。**17** 神はレ
アの願いを聞き入れ、レアは妊娠して、
5人目の男の子を産んだ。**18** その
時レアは言った。「私の召し使いを夫
に差し出したので、神は報酬を下さ
った」。それで彼女はその子^こをイッサカ
と名付けた。**19** レアはまた妊娠
し、6人目の男の子^こを産んだ。**20** そ
の時レアは言った。「神は素晴らしい
贈り物を下さった。これで夫は私の
ことを受け入れてくれる。あの人の
子を6人も産んだのだから」。それで
彼女はその子^こをゼブルンと名付けた。
21 その後、彼女は女の子を産み、
ディナと名付けた。

22 ついに神はラケルのことを思い
起こした。神は彼女の願いを聞き入
れ、子供ができるようにした。**23** ラ
ケルは妊娠して男の子を産んだ。その
時ラケルは言った。「神は私の恥辱を
取り去ってくださった!」 **24** それで

30:18 *意味、「彼は報酬」。 **30:20** *または、
「に寛容になって」。 *意味、「寛容」。 **30:22**
*直訳、「胎を開いた」。

第30章

(イ) 創 35:23
創 46:13
創 49:14
申 33:18

(イ) ルツ 4:11

(イ) 創 29:32

(イ) 創 35:23
創 46:15
詩 127:3

(イ) 創 46:14
創 49:13
申 33:18

(イ) 創 34:1

(イ) 創 29:31

(イ) ルカ 1:24, 25

第2欄

(イ) 創 35:24
創 45:4
申 33:13
使徒 7:9

(イ) 創 28:15
創 31:13

(イ) 創 31:41
ホセ 12:12

(イ) 創 31:7

(イ) 創 31:38

(イ) 創 32:9, 10

かのじよ 彼女は^こその子^こをヨセフと名付け、「エ
ホバは私に息子^{むすこ}を加えてくださった」
と言った。

25 ラケルがヨセフを産むと、すぐ
にヤコブはラバンに言った。「家族の
所、私の故郷^{こきょう}に戻らせてください。

26 私の妻と子供^{こども}を私の自由^{じゆう}にさせ
てください。そのために私はあなたに
仕えてきました。行かせてください。
あなたのためにどれだけ働いてきた

か、よくご存じ^{ぞんじ}のはずです」。**27** ラバ
ンは言った。「もし私のことを気に入っ
てくれているのでしたら、行かないでく
ださい。私は、あなたのおかげでエホ
バから祝福^{しゅくふく}されているというしるしを、
幾つも見たのです」。**28** さらに言っ
た。「あなたが望む報酬^{ぞうほうしゅう}を言ってくだ
さい。それを払います」。**29** ヤコブ

は言った。「私があなたにどれほど仕
え、私の世話^{せわ}によってあなたの家畜^{かちく}が
どうなったかを、ご存じ^{ぞんじ}のはずです。

30 私が来る前、あなたの家畜はわず
かでしたが、今は増えて多くなってい
ます。私が来てから、エホバはあなた
を祝福^{しゅくふく}してこられたのです。いつに
なったら私は自分の家族のためのこ
とを行えるのでしうか」。

31 ラバンは言った。「あなたに何
をあげたらいいでしょうか」。ヤコブは
言った。「何かを頂くには及びません。
ただ、もし次のようにしてくださるなら、

30:24 *「ヤハが加え(増やし)ますように」とい
う意味があるヨシファの短縮形。

今後^{こんご}もあなたの家畜^{かちく}を世話^{せわ}して見守^{みまも}りましょう。32 今日^{けふ}、あなたの家畜^{かちく}の群れ^む全部^{ぜんぶ}を見て回り^{まわ}ます。あなたは群れ^むの中から、ぶちとまだら^{なかつじ}の羊^{やぎ}、焦げ茶色^{ちやいろ}の若い雄羊^{わか おひつじ}、まだらとぶちの雌ヤギ^めを別^{べつ}にしてください。これからは、そういうものを私の報酬^{わたくし ほうしゅう}にしてください。33 今後^{こんご}、あなたが私の報酬^{わたくし ほうしゅう}をいつ見^みに来^こられても、私が正直^{わたくし しょうじき}であることがはっきりするはず^{はず}です。もし、ぶちでもまだらでもない雌ヤギ^めや、焦げ茶色^{ちやいろ}でない若い雄羊^{わか おひつじ}が私の所^{わたくし ところ}にいたとしたら、それは盗^{ぬす}んだものということになります。

34 ラバンは言^いった。「いいでしょう! あなたが言^いう通^とりにしましょう」。

35 ラバンはその日^ひ、しまとまだら^めの雄ヤギ^{しろう}、ぶちとまだら^めの雌ヤギ^{しろう}、白^{しろ}い所^{ところ}のあるもの、焦げ茶色^{ちやいろ}の若い雄羊^{わか おひつじ}を別^{べつ}にし、自分の息子^{じぶん}たちに渡^{わた}して世話^{せわ}をさせた。36 そして、自分^おとヤコブとの間^{あいだ}に、歩^{ある}いて3日^かかかるほどの距離^{きょり}を置^おいた。ヤコブは、ラバンの残^{のこ}りの家畜^{かちく}を世話^{せわ}するようになった。

37 ヤコブは、エゴノキとアーモンドとスズカケノキ^{えだ き と ところどころ}の枝^{えだ}を切り取り^{きり}、所々^{ところどころ}皮^{かわ}をむいて木^きの白^{しろ}い部分^{ぶぶん}が出^でるようにした。38 それから、皮^{かわ}をむいたそれらの棒^{ぼう}を、家畜^{かちく}が水^{みづ}を飲^のみに来る水路^{すいろう}と水槽^{なかに}の中^{なか}に置^おいた。発情^{はつじょう}した家畜^{かちく}が水^{みづ}を飲^のみに来た時^{とき}、棒^{ぼう}を見^みるようにしたのである。

30:33 *または、「正しい」。

第30章

(7) ホセ 12:12

(1) 創 31:7

(7) 創 31:8

第2欄

(7) 創 31:9

(1) 創 32:5
創 36:6,7

第31章

(7) 創 30:33

(1) 創 30:27

(7) 創 28:15
創 32:9
創 35:27

(7) 創 30:27

39 すると家畜^{かちく}は棒^{ぼう}の前^{まえ}で交尾^{こうび}し、しまやぶちやまだら^うのものを産^うんでいった。40 ヤコブは若い雄羊^{わか おひつじ}を取り分け^わけ、しまのものや焦げ茶色^{ちやいろ}のものとほかの家畜^{かちく}とを向^むかい合^あわせた。そして自分^{じぶん}の家畜^{かちく}を別^{べつ}にし、ラバンの家畜^{かちく}と交^まざらないようにした。41 強^{きよう}壮^{そう}な家畜^{かちく}が発情^{はつじょう}すると、ヤコブは家畜^{かちく}が来る水路^{すいろう}の中^{なか}に棒^{ぼう}を置^おき、棒^{ぼう}の前^{まえ}で家畜^{かちく}が交尾^{こうび}するようになった。42 しかし、家畜^{かちく}がひ弱^{よわ}だと、棒^{ぼう}を置^おくことはしなかった。それでひ弱^{よわ}な家畜^{かちく}はいつもラバンのものになり、強^{きよう}壮^{そう}な家畜^{かちく}はヤコブのものになった。

43 ヤコブはとても裕福^{ゆうふく}になり、多^{おほ}くの家畜^{かちく}の群れ^む、男女^{だんじょ}の召^めし使^{つか}い、ラクダ^{らくだ}やロバ^{ろば}を持つようになった。

31 やがてヤコブは、ラバンの息子^{むすこ}たちが次^{つぎ}のよう^いに言^いっているのを聞^きいた。「ヤコブは父^{ちち}のものを全部^{ぜんぶ}取^とった。父^{ちち}のものをからあれほど多^{おほ}くの財^{さい}を築^{つく}いた」。2 またヤコブは、ラバンの顔^{かお}色^{いろ}を見て、自分^{じぶん}に対する態度^{たいど}が以前^{いぜん}とは違^{ちが}うと感じ^{かん}じていた。3 ついにエホバはヤコブに言^いった。「あなたの父祖^{ふそ}たちの土地^{とち}に、あなたの親族^{しんぞく}の所^{ところ}に帰^{かえ}りなさい。これからも私はあなたと共^{とも}にいる。4 そこでヤコブはラケルとレアを、自分^{じぶん}の家畜^{かちく}の群れ^むが居^ゐる野原^のに呼^よび寄^よせた。5 そして2人^{ふたり}に言^いった。

「私^{わたし}に対するあなたたちのお父^{とう}さんの態度^{たいど}は変^かわってしまいました。でも

わたし ちち かみ わたし とち
私の父の神は私と共にいてください
ました。6 よく知っていると思います
が、私は力を尽くしてお父さんに仕え
てきました。7 それなのにあの人は
私をだまそうとして、報酬を10回も変
えました。それでも私は、神のおかげ
で損害を受けることはありませんで
した。8 あの人が『ぶちのものを報酬
にする』と言えば、群れ全体がぶちの
ものを産み、『しまのものを報酬にす
る』と言えば、群れ全体がしまのもの
を産みました。9 そのようにして神
はお父さんの家畜を取り上げて、私
に与えてくれました。10 家畜が
発情する頃、私は夢で、交尾している
雄ヤギがしまやぶちや斑点のものであ
るのを見ました。11 そして夢の中
で、真の神の天使が『ヤコブ!』と
言ったので、私は『はい』と答えまし
た。12 天使はこう続けました。『ご
覧なさい。交尾している雄ヤギはどれ
も、しまやぶちや斑点のものです。私
は、ラバンがあなたに対してしている
ことを全て見てきました。13 私は、
ペテルであなたに現れた真の神です。
あなたはそこで記念碑に油を注ぎ、私
に誓約しました。さあ、この地方から
出て、生まれ故郷に帰りなさい』。

14 ラケルとレアは言った。「父の
家には、私たちがもらえる財産はもう
何もありません。15 父は私たちを
売り、そのお金を使い果たしたのです

第31章

(7) 創 48:15

(1) 創 30:29,30

(7) 創 30:32

(1) 創 30:39

(1) 創 29:25

創 31:39

(7) 創 12:8,9

創 35:15

(1) 創 28:18,22

(7) 創 35:14

創 37:1

第2欄

(7) 創 31:41

ホセ 12:12

(1) 創 31:1

(7) 創 31:3

(1) 創 33:13

(1) 創 30:42,43

(7) 創 35:27

(1) 創 31:14

(7) 創 35:2

ヨシ 24:2

(7) 創 15:18

(1) 民 32:1

(7) 創 20:3

(1) 創 25:20

ホセ 12:12

(1) 詩 105:15

から、父は私たちをよそ者のように見
ているのではないのでしょうか。16 神
が父から取り上げた富は全部、私たち
と子供たちのものです。ですから、全て
神から言われた通りにしてください。

17 そこでヤコブは子供と妻たちを
ラクダに乗せた。18 そして、パダ
ン・アラムで増やしたすべての家畜や財
産と共に、カナン地方の父イサクの所
に向けて出発した。

19 ラバンの方は、羊の毛を刈りに
行っていた。ラケルはその間に、父の
ものであるテラフィム像を盗み出して
いた。20 ヤコブは、去ろうとしてい
ることをアラム人ラバンに言わず、
ひそかに出ていった。21 そして家
族と全所有物と共に、逃げていつて
川を渡った。それからギレアデの山
地に向かった。22 3日目になって、
ラバンはヤコブが逃げたことを聞い
た。23 そこでラバンは自分の兄弟
たちを連れて後を追っていった。7日
目に、ギレアデの山地でヤコブに追
いついた。24 その夜、神は夢の中で
アラム人ラバンの所に来て、こう言
った。「ヤコブを困らせるようなことは言
わないよう、気を付けなさい」。

25 ヤコブはギレアデの山地に天
幕を張り、ラバンと兄弟たちもその山
地に宿営を張っていた。ラバンはヤコ
ブの所に行き、26 こう言った。「何

31:19 *または、「家の神」、「偶像」。31:21
*ユーフラテス川のこと。31:23 *または、「親
族」。

ということをしてくれたのですか。どうして私に黙って、娘たちを捕虜のようにして連れ去ったのですか。27 どうして何も言わずにこっそり逃げていったのですか。言ってくれば、タンバリンとたて琴に合わせて歌って、あなたを快く送り出したのに。28 あなたは、私の孫や娘たちに口づけさせ

てくれませんでした。あなたは愚かなことをしました。29 私はあなたたちに害を加えることもできますが、昨夜あなたたちの父祖の神からこう言われました。『ヤコブを困らせるようなことは言わないよう、気を付けなさい』。30 あなたは父の家に帰ることを願って出ていきました。それなのに、どうして私の神を盗んだのですか。

31 ヤコブはラバンに答えた。「あなたが娘たちを私から力ずくで奪うのではないかと思い、恐れたのです。32 あなたの神を持っている人をあなたがみつけたなら、その人はもう生きてはいられません。兄弟たちの前で私の持ち物を調べ、あなたの物があれば取ってください」。ヤコブは、ラケルがラバンの神を盗んでいたことを知ら

なかったのである。33 ラバンは、ヤコブの天幕、レアの天幕、女奴隷2人の天幕に入ったが、見つけられなかった。ラバンはレアの天幕を出てからラケルの天幕に入った。34 一方、ラケルは前もってテラフィム像を取り、ラクダに掛ける女性用のくら籠の中に入

第31章

(7) 創 31:24

(1) 創 31:19
創 35:2

(7) 創 46:18,25

第2欄

(7) レビ 15:19

(1) 創 31:19

(7) 創 30:27

(1) サ一 17:34

(7) 創 47:9

れておき、その上に座っていた。それで、ラバンが天幕中を捜し回っても見つからなかった。35 その時ラケルは父に言った。「お怒りにならないでください。私は月のものが来ているため、お父さまの前に立つことができないのです」。ラバンは注意深く捜したが、テラフィム像は見つからなかった。

36 それでヤコブは怒ってラバンを責めるようになり、ラバンにこう言った。「私にどんな過ちがあるのですか。私がどんな罪を犯したというので、私の後を激しく追ってきたのですか。」

37 あなたは私の持ち物を全部調べました。あなたの家の物が何かありましたか。それをここに、私の兄弟たちとあなたの兄弟たちの前に出してください。あなたと私のどちらが正しいのかを決めてもらいましょう。38 私があなたの所で過ごしてきたこの20年の間、あなたの羊とヤギが流産したことはありませんでした。私があなたの群れの雄羊を食べたこともありません。39 私は、野獣に引き裂かれた家畜をあなたの所に持っていくことはせず、自分でその損失を負いました。家畜が昼に盗まれても夜に盗まれても、あなたは私に弁償を求めました。40 私は、昼の暑さと夜の寒さに苦しめられ、眠ることさえできませんでした。41 私はあなたの所で20年間過ごしてきました。あなたの2人の娘のために14年、あなたの家畜のため

に6年働いたのです。しかも、あなたは報酬を10回も変えました。42 もし私の父祖の神、アブラハムの神でイサクが畏れる方が、私の側にいてくださらなかったなら、あなたは私に何も持たせずに去らせたでしょう。神は、私の苦悩と苦勞を見て、昨夜あなたを戒められました。

43 ラバンはヤコブに答えた。「娘は私の娘、子供は私の子供、家畜は私の家畜です。あなたが知っているものは全部、私と私の娘たちのものです。娘と娘が産んだ子供に対して、私は悪いことを行えるでしょうか。44 さあ、あなたと私の間で契約を結びましょう。それがあなたと私の間の証人となります。45 そこでヤコブは石を1つ取り、記念碑として立てた。46 それから兄弟たちに、「石を拾ってきてください!」と言った。兄弟たちは石を拾い、積んで山にした。そして一同はその山の所で食事をした。47 ラバンはその山をエガル・サハドタと呼び、ヤコブはガルエドと呼んだ。

48 ラバンは言った。「今日、この山の山は、私とあなたの間の証人です。それでその山はガルエドと名付けられた。49 また、見張り台とも呼ばれた。ラバンがこう言ったからである。「私たちが離れている時も、エホバがあなたと私を見守っていてくださいま

31:47 *「証人である山」という意味のアラム語の表現。*「証人である山」という意味のヘブライ語の表現。31:49 *または、「物見の塔」。

第31章

(創) 31:7

(イ) 創 28:13
創 31:29

(イ) 創 31:53

(四) 創 31:24

(イ) 創 28:18

(四) 創 31:22,23

第2欄

(イ) 創 31:44,45

(イ) 創 17:1,7

(イ) 創 31:42

(四) 創 31:28

(イ) 創 24:59,60

(イ) 創 27:43
創 28:2

第32章

(イ) 創 27:39
創 36:8
申 2:5
ヨシ 24:4

(イ) 創 25:30

すように。50 もしあなたが私の娘たちをむごく扱ったり、娘たちのほかに妻を迎えたりするなら、たとえ人が見ていなくても、あなたと私の証人である神は見ています。そのことを忘れないでください。51 ラバンはさらにヤコブに言った。「ここに石の山と、私があなたとの間に立てた記念碑があります。52 この石の山は証人であり、記念碑も証人です。私はこの石の山を越えてあなたに害を加えることはなく、あなたもこの石の山と記念碑を越えて私に害を加えることはありません。53 アブラハムの神、ナホルの神、彼らの父の神が、私たちを裁かれますように」。それでヤコブは、父イサクが畏れる方に懸けて誓った。

54 その後ヤコブは山で犠牲を捧げ、パンを食べよう兄弟たちを招いた。それで彼らは食べ、山で夜を過ごした。55 ラバンは朝早く起きて自分の孫や娘たちに口づけし、彼らのために祝福を願い求めた。それから自分の家へ帰っていった。

32 ヤコブは旅を続け、やがて神の天使たちに出会った。2 天使たちを見ると、ヤコブは「ここは神の宿営だ!」と言った。それでその場所をマハナインと名付けた。

3 その後ヤコブは、セイル地方、エドムの領土にいる兄エサウの所へ前もって使者たちを遣わすことにした。

32:2 *意味、「2つの宿営」。

4 ヤコブは彼らにこう命じた。「エサウにこう伝えなさい。『ヤコブはこのように申しております。私はこれまでラバンの所にずっと住んできて、5 牛、ロバ、羊、男女の召し使いを持つようになりました。そのことをお知らせして、お兄さまの好意を得たいと思っています』」。

6 やがて使者たちはヤコブの所に戻ってきて、こう言った。「お兄さまのエサウに会いました。あなたに会おうとしてこちらに向かっています。400人の人たちが一緒です」。7 ヤコブは非常に怖くなり、不安になった。それで、共にいる人たち、羊、牛、ラクダを2つの宿営に分けた。8 そしてこう言った。「1つの宿営がエサウに攻撃されても、もう1つの宿営は助かるだろう」。

9 それからヤコブはこう祈った。「私の父祖アブラハムの神、父イサクの神、エホバ、あなたは私に、『あなたの土地に、あなたの親族の所に帰りなさい。あなたに良いことがあるようにする』と言っておられます。10 あなたは私のような者に揺るぎない愛を示し、支え続けてくださいました。私がヨルダン川を渡った時にはつえしか持っていませんでしたが、今では宿営が2つになりました。11 お願いです。兄エサウの手から私を救い出してください。彼がやって来て私も女性や

第2章

(イ) 創 31:41

(イ) 創 30:43
創 33:11

(イ) 創 33:1,2

(イ) 創 27:41
創 32:11

(イ) 創 31:3,13

(イ) 創 28:15
詩 100:5(イ) 創 28:10
創 30:43
創 32:7

(イ) 詩 34:4

第2欄

(イ) 創 27:41

(イ) 創 28:14
創 46:2,3
出 1:7
出 32:13
使徒 7:17

(イ) 創 33:10

(イ) 創 30:43

(イ) 創 33:8

(イ) 創 43:11
サー 25:18

子供たちも襲うのではないかと恐れています。12 あなたは、『私は必ずあなたに良いことがあるようにする。あなたの子孫を、数え切れない海の砂のように多くする』と言われました」。

13 ヤコブはそこで夜を過ごした。そして、自分の家畜の中から兄エサウへの贈り物を選んだ。14 雌ヤギ200匹、雄ヤギ20匹、雌羊200匹、雄羊20匹、15 子に乳を飲ませているラクダ30頭、雌牛40頭、雄牛10頭、雌ロバ20頭、雄ロバ10頭である。

16 ヤコブはそれらを群れごとに召し使いたちに託し、こう言った。「私より先に渡りなさい。群れと群れとの間に距離を置きなさい」。17 さらに、先頭の人にかこう命じた。「私の兄エサウがあなたと会い、『主人は誰か、あなたはどこへ行くのか、前に行く家畜は誰のものか』と尋ねてきたなら、18 こう言いなさい。『主人はヤコブでございます。これはエサウ様への贈り物です。ヤコブも後から参ります』」。19 ヤコブはまた、2番目の人、3番目の人、家畜の群れの後に行く人全てにかこう命じた。「あなたたちも、エサウに会ったなら同じことを話さない。20 そして、『ヤコブは後から参ります』と言いなさい」。ヤコブは、『贈り物を先に送ってなだめれば、私と会った時に優しく迎えてくれるかもしれない』と思ったのである。21 召し使いたちは贈り物を持って先に渡っていった。

いっぽう 一方ヤコブは宿営で夜をすごした。

22 その夜、ヤコブは起きて、妻 2 人と召し使いの女性 2 人と息子 11 人を連れ、ヤボクの浅瀬を渡った。23 家族を川の向こうに連れていき、ほかの持ち物全てを運んだのである。

24 その後ヤコブは 1 人残った。すると、ある人が現れてヤコブと取っ組み合いを始め、それは夜明けまで続いた。25 その人は優位に立てなかった。26 ヤコブの股関節に触れた。そのため、組み合っている最中にその股関節が外れた。27 その人は言った。「もう行きます。夜が明けますから」。ヤコブは言った。「私を祝福してくださいまでは放しません」。28 それでその人は、「あなたの名前は何か」。29 ヤコブは尋ねた。「あなたのお名前を教えてくださいませんか」。しかしその人は、「どうして私の名前を聞くのですか」と答えた。そうしてヤコブを祝福した。30 ヤコブはその場所をペニエルと名付けた。彼が言うには、「神と顔を合わせたのに、まだ生きている」からだだった。

32:23 *または、「奔流の谷」、「ワジ」。

*意味、「神と闘う(神に対して粘り強い)者」もしくは「神は闘う」。32:30 *意味、「神の顔」。

第 32 章

(例) 創 29:30
ルツ 4:11

(例) 創 30:3,9

(例) 申 3:16
ヨシ 12:2
裁 11:13

(例) ホセ 12:3

(例) 創 32:31,32

(例) ホセ 12:4

(例) 創 35:10

(例) ホセ 12:3

(例) 裁 13:17,18

(例) 王一 12:25

(例) 創 16:7,13
裁 6:22
ヨハ 1:18

第 2 欄

(例) 創 32:25

第 33 章

(例) 創 32:6

(例) 創 32:22

(例) 創 30:7,12

(例) 創 30:19

(例) 創 30:22-24

(例) 創 32:22
詩 127:3

(例) 創 33:2

31 ペニエルを過ぎると、日が昇った。ヤコブは股関節を傷めていたの
で、足を引きずっていた。32 このよ
うな訳で、イスラエルの子孫は今も、
動物の股関節にある筋を食べない。
取っ組み合いをした人がヤコブの股
関節に触れたからである。

33 ヤコブが目を上げると、エサ
ウが 400 人の人たちと一緒に
来るのが見えた。そこでヤコブは、
レアとラケルと召し使いの女性 2 人に、
それぞれの子供たちを託した。2 前
方に召し使いの女性たちとその子供
たちを、その後ろにレアとその子供
たちを、その後ろにラケルとヨセフを配
置した。3 そしてヤコブ自身は先頭
に立って進み、自分の兄に近づくまで
に 7 回ひれ伏した。

4 するとエサウはヤコブに走り寄り、
抱き締めて口づけした。2人は泣きだ
した。5 エサウは女性や子供たちの
方を見ると、こう言った。「あなたと一
緒にいるこの人たちは誰ですか」。ヤ
コブは言った。「神が私に授けてくだ
さった子供たちでございます」。6 そ
の時、召し使いの女性たちが子供た
ちと一緒に前に出てきて、ひれ伏した。
7 そして、レアも子供たちと一緒に前
に出てきて、ひれ伏した。それから、ヨ
セフがラケルと一緒に前に出てきて、
ひれ伏した。

32:31 *または、「ペニエル」。32:32 *座骨神
経のことと考えられる。

8 エサウは言った。「どうして私の所に、人と家畜の群れを来させたのですか」。ヤコブは答えた。「お兄さまの好意を得たいと思ったからです」。

9 エサウは言った。「弟よ、私は非常にたくさんの物を持っています。だから、あなたの物はそのままにしておきなさい」。10 ヤコブは言った。「いいえ、お願いします。もし私のことを良く思ってくださいているのでしたら、あなたの顔を見るために持ってきたこの贈り物を、私の手からぜひ受け取ってください。あなたの顔を見た時、神の顔を見ているようでした。私のことを喜んで迎えてくださったからです。11 心を込めた贈り物をお持ちしました。どうか受け取ってください。神が恵みを与えてくださり、私は必要な物を全て持っています」。ヤコブがしきりに勧めたので、エサウは贈り物を受け取った。

12 その後エサウは言った。「さあしゅばつわし。私があなたの先を行います」。13 ヤコブは言った。「お気づきのことと思いますが、子供たちは体力がなく、私が世話している羊や牛は子に乳を飲ませています。1日であつてもあまり速く進むと、群れは死に絶えてしまうことでしょう。14 どうぞ、お兄さま、ぜひ先に進んでいってください。私の方は、家畜と子供たちに合せてゆっくり旅を続け、セイルのお兄さまの所に参ります」。15 エサウは言った。「よければ、私と一緒にい

第33章

(7) 創 32:16

(1) 創 32:4,5

(7) 創 36:6,7

(12) 創 32:11,20

(7) 創 32:13-15

(7) 創 30:43

(7) 創 31:17

(7) 創 32:3

第2欄

(7) ヨシ 13:24,27
王一 7:46(1) 創 25:20
創 28:6(7) 創 10:19
創 12:6

(12) ヨシ 24:1

(7) ヨシ 24:32
使徒 7:15,16

(7) 創 35:1,7

第34章

(7) 創 30:19,21
創 46:15(7) 創 26:34,35
創 27:46(7) 申 7:1
代一 1:13-15

(12) 創 33:18,19

る何人かをあなたの所に残しましょう」。ヤコブは言った。「そうしていただくには及びません。お兄さまの好意を得られるだけで十分です」。16 それでエサウはその日、セイルに向けて帰っていった。

17 ヤコブはスコトに行き、自分の家と家畜小屋を造った。それでヤコブはその場所をスコトと名付けた。

18 パダン・アラムから旅をしてきたヤコブは、カナン地方のシェケムという町に無事に着いた。そしてその町の近くに宿営を張った。19 ヤコブは、シェケムの父ハモルの子たちに100枚のお金を払い、天幕を張った土地の一面を取得した。20 そしてそこに祭壇を作った。ヤコブはその祭壇を「神はイスラエルの神である」と呼んだ。

34 ヤコブとレアの間に生まれた娘ディナは、地元の娘たちと一緒にいようとしてよく出掛けていった。2 ある時、地元の長であるヒビ人ハモルの子シェケムがディナを見掛け、つかまえて犯した。3 シェケムはディナに心をひかれるようになった。若いディナを好きになり、優しく語り掛けた。4 やがてシェケムは父ハモルに言った。「この女性が私の妻になるよう取り計らってください」。

5 ヤコブは、娘ディナがシェケムにけがされたことを聞いた。その時、息子

33:17 *意味、「仮小屋」、「小屋」。34:1 *または、「会おう」。34:3 *または、「口説いた」。

たちは家畜の群れと一緒に野原に出
ていたので、ヤコブは息子たちが帰
てくるまで黙っていた。6 シェケムの
父ハモルが、ヤコブと話そうとしてや
て来た。7 ところが、ヤコブの息子た
ちが起きたことを聞き、野原からすぐ
に戻ってきた。彼らは不快に思い、憤
慨していた。シェケムがヤコブの娘と
寝てイスラエルを辱めたからである。
それはしてはならないことだった。

8 ハモルは彼らに言った。「私の
息子シェケムが、お嬢さんを慕ってい
ます。息子の妻にさせてくださいませ
んか。9 私たちと結婚による同盟を
結んでください。私たちが皆さんの娘
を迎え、皆さんが私たちの娘を迎える
のです。10 そうすれば、皆さんは私
たちと一緒に住めますし、土地を自由
に使っていただけます。そこに住んで
商売をし、定住なさってください」。
11 それからシェケムがディナの父と
兄たちに言った。「どうか私の願いを
聞いてください。ご希望のものがあ
れば、何でも差し上げます。12 どうぞ
高額の花嫁料と贈り物をお申し付けく
ださい。言ってくださいれば、何でも喜ん
で差し上げます。ぜひとも娘さんと一
緒にならせてください」。

13 ヤコブの息子たちは、妹ディナ
をシェケムに汚されたことで、シェケム
と父のハモルをわなに掛けようとして
答え、14 こう言った。「割礼を受け

第34章

(创) サニ 13:22

(创) ヘブ 13:4

(创) 創 24:2,3

(创) 創 24:53
ホセ 3:2

第2欄

(创) 創 17:9,12

(创) 創 17:10

(创) 創 33:18,19

(创) 創 34:2

(创) 創 34:15

(创) ゼカ 8:16

(创) 創 34:8,9

(创) 創 17:11

ていない男性に妹を渡すようなことは
とてもできません。そんなことをするの
は恥ずべきことです。15 ただし、皆
さんが私たちの同じように男性全員に
割礼を施すというのなら、承諾しましょ
う。16 そして、私たちは皆さんに娘
を与え、皆さんの娘を迎えます。皆さ
んと一緒に住み、1つの民となります。
17 しかし、皆さんが私たちの言うこと
を聞かず、割礼を受けないのであれば、
妹を連れて立ち去ります」。

18 ハモルも息子のシェケムも、彼
らの提案を良いと思った。19 シェ
ケムはヤコブの娘をととても気に入って
いたので、すぐに提案通りにすることに
した。シェケムは父の家の中で最も重
んじられていた。

20 ハモルと息子のシェケムは町の
門の所に行き、町の人々に言った。
21 「あの人たちは私たちに友好的で
す。この土地に住ませ、ここで商売をさ
せてあげませんか。住ませるのに十分
な広い土地があります。私たちは彼ら
の娘を妻として迎え、私たちの娘を彼
らに与えることができます。22 彼ら
は、私たちの男性全員が彼らと同じ
ように割礼を受けるのなら、私たちと
一緒に住んで1つの民になると言って
います。23 そうなれば、彼らの所有
物、財産、家畜全ては私たちのものにな
るのではないでしょう。彼らの言
う通りにして、一緒に住んでもらいま
しょう。24 町の門に集まる人たち

は皆、ハモルとシェケムの言葉^{ことば}を聞き^き入れ、男性^{おとこ}の全員^{ぜんいん}、町の門^{かど}に集まる人^{ひと}全員^{ぜんいん}が割礼^{かつれい}を受けた。

25 ところが、3日目^{かめ}のこと、その人^{ひと}たちがまだ痛み^{いた}に苦しんで^{くる}いる頃^{ころ}、ヤコブ^{やこぶ}の2人^{ふたり}の息子^{むすこ}でディナの兄^{あに}であるシメオン^{しめおん}とレビ^{れび}は、それぞれ剣^{つるぎ}を取って町^{まち}に入った。町の人々^{まちのひと}は何^{なん}の警戒^{けいかい}もしておらず、2人は男たち^{おとこ}を皆殺し^{みなころ}にしました。26 2人はハモルと息子^{むすこ}のシェケム^{しめく}も剣^{つるぎ}で殺した。それからディナ^{ぢな}をシェケム^{しめく}の家^{いえ}から連れ出し、そこを離^{はな}れた。27 ヤコブ^{やこぶ}のほかの息子^{むすこ}たちも、殺された人^{ころ}たちの所^{ところ}にやって来て、町^{まち}の物^{もの}を略奪^{りやくだつ}した。妹^{いも}を汚^{けが}されたからである。28 羊^{ひつじ}、牛^{うし}、ロバ^{ろば}、町^{まち}や野原^{のらはら}にあった物^{もの}を全て奪^{すべ}った。29 人々^{ひと}の所有物^{しよゆうぶつ}を全て奪^{すべ}い、小さな子供^{こども}や妻^{つま}たちを皆捕^{みなと}らえ、家々^{いえいえ}にあった物^{もの}を残^{のこ}らず強奪^{ごうだつ}した。

30 その後^ごヤコブ^{やこぶ}はシメオン^{しめおん}とレビ^{れび}に言^いった。「大変^{たいへん}なことをしてくれたものだ。あなたたちのせい^{せい}で、私^{わたし}は、この地方^{ちほう}に住^すむカナン^{かなん}人やペリジ^{じん}ン人^{じん}から憎^{にく}まれてしまった。私^{わたし}の方は人数^{にんずう}が少^{すく}ない。彼^{かれ}らはきつと束^{たば}になって私^{わたし}を攻^せめ、私^{わたし}と家族^{かぞく}を滅^{ほろ}ぼしてしまうだろう。」31 2人は言^いった。「妹^{いも}が娼婦^{しょうふ}のように扱^{あつか}われてもいいのですか」。

35 その後^ご、神^{かみ}はヤコブ^{やこぶ}に言^いった。「立^たってベテル^{べて}ルに行^いき、そこに住^すみなさい。そして、あなた^{あなた}が兄^{あに}エサウ^{えさう}から逃^にげていた時^{とき}にあなた

第34章

(7) 創 46:15

(1) 創 49:5-7

(7) 創 34:2

(1) 創 49:5

第35章

(7) 創 28:19

創 31:13

(7) 創 27:42-44

第2欄

(7) 創 31:19

申 5:7

ヨシ 23:7

コ一 10:14

(1) 創 28:13,15

創 31:42

(7) 創 28:19

(1) 創 28:20-22

(7) 創 24:59

に現^{あらわ}れた真^{しん}の神^{かみ}のため、そこ^{そこ}に祭壇^{さいだん}を作^{つく}りなさい。

2 そこでヤコブ^{やこぶ}は、家^{いえ}の人たち^{ひと}や共^{とも}に^{ひと}いる人^{ひと}全て^{すべて}に言^いった。「外国^{がいこく}の神々^{かみかみ}の偶像^{ぐわう}をあなた^{あなた}たちの中^{なか}から除^{のぞ}き、身^みを清^{きよ}め、服^{ふく}を着替^きえなさい。3 立^たってベテル^{べて}ルに行^いきましょう。私^{わたし}はそこ^{そこ}で真^{しん}の神^{かみ}のために祭壇^{さいだん}を作^{つく}ります。神^{かみ}は、私^{わたし}が苦^{くる}しい時^{とき}に答^{こた}えてくださり、私^{わたし}がどこ^{どこ}に行^いく時^{とき}も共^{とも}にいてくださったのです」。4 それで彼^{かれ}らは、持^もって^もいた外国^{がいこく}の神々^{かみかみ}の偶像^{ぐわう}全部^{ぜんぶ}と、付^つけていた耳飾^{みみかざ}りをヤコブ^{やこぶ}に渡^{わた}した。ヤコブ^{やこぶ}は、シェケム^{しめく}のそば^{そば}にあった大木^{たいぼく}の下^{した}にそれら^{それら}を埋^うめた。

5 旅^{たび}の道^{どうちゆう}中^{かみ}、神^{しゆうへん}が周辺^{まわ}の町^{まち}を恐怖^{きようふ}におとし、ヤコブ^{やこぶ}の息子^{むすこ}たちがに陥^{おとし}れたため、ヤコブ^{やこぶ}の息子^{むすこ}たちが人々^{ひと}に追跡^{ついせき}されることはなかつた。

6 ヤコブ^{やこぶ}の一行^{いっこう}はやがて、カナン^{かなん}地方^{ちほう}のルズ^{るず}つまりベテル^{べて}ルに着^ついた。7 ヤコブ^{やこぶ}はそこ^{そこ}に祭壇^{さいだん}を作^{つく}り、その場所^{ばしょ}をエル^え・ベテル^{べて}と呼^よんだ。以前^{いぜん}、彼^{かれ}が兄^{あに}から逃^にげていた時^{とき}、そこ^{そこ}で真^{しん}の神^{かみ}が彼^{かれ}に姿^{すがた}を見^みせたからだつた。8 その後^ごリベカ^{りべか}の乳母^{うば}デボラ^{どら}が死^しに、ベテル^{べて}ルのある巨木^{きよぼく}の下^{した}に葬^{ほうむ}られた。それ^{それ}でその木^きはアッロン^あ・バクト^{ばく}と名^な付け^{なづ}けられた。

9 神^{かみ}は再び^{ふた}び、パダン^{ぱだ}・アラム^{あらむ}から帰^{かえ}る途中^{とちゆう}のヤコブ^{やこぶ}に現^{あらわ}れ、ヤコブ^{やこぶ}を祝福^{しよくふく}した。10 神^{かみ}は彼^{かれ}に言^いった。「あなた

35:7 *意味、「ベテルの神」。35:8 *ブナ科の木^きと思われる。 *意味、「泣^なき悲^{かな}しみの巨木^{きよぼく}」。

の名前はヤコブだが、もうヤコブではなくなる。イスラエルがあなたの名前になる」。こうして神は彼をイスラエルと呼ぶようになった。**11** 神はさらに言った。「私は全能の神である。子を産んで、増えなさい。あなたから幾つもの国民、多くの国民が生まれ、あなたの子孫から王たちが出る。**12** 私がアブラハムとイサクに与えた土地をあなたに与える。そしてその土地をあなたの子孫に与える」。**13** それから神は、彼と話した場所を離れ、昇っていった。

14 ヤコブは神と話した場所に記念碑を立てた。それは石の記念碑で、ヤコブはそれに飲み物の捧げ物をそそぎ、油も注いだ。**15** そして、神と話したその場所をその後もベテルと呼んだ。

16 それから一行はベテルを出発した。エフラトまでまだ距離がある場所、ラケルが産気づいて出産し始めたが、ひどい難産だった。**17** 彼女が苦しんでいると、助産婦が彼女に言った。「頑張ってください。今度も男の子です」。**18** ラケルは息を引き取ろうとする時、その子をベン・オニと名づけた。しかし父はその子をベニヤミンと呼んだ。**19** こうしてラケルは死に、エフラトつまりベツレヘムに向かう道のそばで葬られた。**20** ヤコブはラケルの墓の上に大きな石を置い

35:11 *または、「部族」。「直訳、「腰」」。**35:12** *直訳、「種」。**35:18** *意味、「私の嘆きの子」。「意味、「右手の子」。

第35章

(7) 創 25:26
創 27:36

(4) 創 32:28

(7) 創 17:1
出 6:3
啓 15:3

(2) 創 48:3,4

(7) 創 17:5,6
ヨハ 12:13

(7) 創 15:18
申 34:4

(4) 創 28:18

(7) 創 28:19

(7) 創 30:22-24

(3) 創 46:21
創 49:27
申 33:12

(7) 創 48:7
ミカ 5:2
マタ 2:6

第2欄

(7) 創 49:3,4
代一 5:1

(4) 創 49:3

(7) 創 31:17,18

(2) 創 15:13
ヘブ 11:9

(7) 創 25:20,26

(7) 創 49:30,31

第36章

(4) 創 25:30
エゼ 25:12,13
ロマ 9:13

(7) 創 26:34

(7) 創 36:10

た。それが、今もあるラケルの墓の石である。

21 その後イスラエルはそこを出発し、エデルの塔を少し過ぎた辺りで天幕を張った。**22** イスラエルがそこに滞在していた時、ルベン之父のそばめビルハの所に行ってビルハと寝た。イスラエルはそのことについて聞いた。

ヤコブの息子は12人だった。**23** レアとの間にできた子は、ヤコブの長男ルベン、シメオン、レビ、ユダ、イッサカル、ゼブルン。**24** ラケルとの間にできた子は、ヨセフとベニヤミン。**25** ラケルの召し使いビルハとの間にできた子は、ダンとナフタリ。**26** レアの召し使いジルパとの間にできた子は、ガドとアシェル。これらの人たちが、パダン・アラムで生まれた、ヤコブの息子である。

27 ついにヤコブは、マムレにいる父イサクの所に着いた。そこは、キルヤト・アルバつまりヘブロンにあり、アブラハムもイサクも外国人として住んでいた場所である。**28** イサクは180歳まで生きた。**29** イサクは息を引き取り、先祖たちと共に横たわった。充実した長い人生だった。息子のエサウとヤコブが葬った。

36 以下は、エサウつまりエドムについての記録である。

2 エサウはカナン地方の娘たちを妻とした。ヘト人エロンの娘アダ、ヒビ人ツィベオンの孫娘でアナの娘である

オホリバマ^(ア)、**3** イシュマエル^{むすめ}の娘でネ
バヨト^(イ)の姉妹^{しまい}のバセマト^(ウ)である。

4 エサウとアダの間にはエリパ
ズ^うが生まれ、バセマトはレウエル^うを
産んだ。

5 オホリバマは、エウシュ、ヤラ
ム、コラを産んだ。

これらの人^{ひと}が、カナン^{ちほう}地方で生まれ
た、エサウの子である。**6** エサウは
やがて、妻と息子と娘たち、家の人た
ち、家畜^{かちく}とほかの動物、カナン地方
たくわ^{ざいさん}え財産^{とも}と共に、弟ヤコブ^(ウ)の所^{ところ}から
離^{はな}れ、別の土地^{べつ とち}に向かった。**7** それ
ぞれの所有物^{しよゆうぶつ}が増えたために一緒に
住むのが難^{むずか}しくなり、家畜^{かちく}もいるため、
住んでいた土地^{す * とち}は狭過ぎたのである。
8 こうしてエサウはセイル^(ウ)の山地に住
むようになった。エサウとはエドム^(ウ)の
ことである。

9 以下は、セイル^(ウ)の山地に住むエ
ドム人^{じん}の父エサウ^{ちち}の系譜^{けいふ}である。

10 エサウの子の名前は次の通り
である。エサウの妻アダ^{つま}の子エリパズ^こ、
エサウの妻バセマト^{つま}の子レウエル^(ウ)。

11 エリパズの子は、テマン、オ

マル、ツェフォ、ガタム、ケナス^(ウ)。

12 ティムナがエサウの子エリパズ
のそばめとなり、やがてエリパズと
ティムナの間^{あいだ}にアマレク^(ウ)が生まれ
た。これらの人^{ひと}が、エサウの妻アダ^{つま}
の子である。

13 レウエルの子は、ナハト、ゼラ

第36章

(イ) 創 36:18

(イ) 創 25:13
創 28:9

(ウ) 創 36:17

(ウ) 代一 1:35

(ウ) 創 33:9

(ウ) 創 27:39
創 32:3

(ウ) 創 14:6
申 2:5

(ウ) 創 25:30

(ウ) 申 2:12

(ウ) 代一 1:35

(ウ) 創 36:34

(ウ) 創 36:40,42
代一 1:36

(ウ) 出 17:8
民 13:29
民 24:20
申 25:19
サ一 15:8
サ一 30:1

第2欄

(ウ) 創 26:34

(イ) 出 15:15

(ウ) 代一 1:53,54

(ウ) 代一 1:36

(ウ) 民 20:23
王一 9:26

(ウ) 創 25:30
創 32:3

(ウ) 創 14:6
申 2:12,22

(ウ) 代一 1:40

(ウ) 代一 1:38

(ウ) 代一 1:39

ハ、シャマ、ミザ。これらの人^{ひと}が、エ
サウの妻バセマト^(ウ)の子だった。

14 エサウの妻オホリバマ^{つま}が産ん
だ子は、エウシュ、ヤラム、コラ。オホ
リバマはツィベオン^{まごむすめ}の孫娘^うでアナの
娘である。

15 エサウの子の首長^{こ しゅちょう*}たちは次の
通りである。エサウの長男^{ちやうなん}エリパズ^{つぎ}の
子は、テマン^{しゅちょう}首長、オマル^{しゅちょう}首長、ツェ
フォ^{しゅちょう}首長、ケナス^{しゅちょう}首長、**16** コラ^{しゅちょう}首長、
ガタム^{しゅちょう}首長、アマレク^{しゅちょう}首長。これらの
人^{ひと}が、エドム地方^{ちほう}のエリパズ^(ウ)から出た
首長^{しゅちょう}で、アダの子である。

17 エサウの子レウエル^この子は、ナ
ハト^{しゅちょう}首長、ゼラ^{しゅちょう}ハ首長、シャマ^{しゅちょう}首長、ミ
ザ^{しゅちょう}首長。これらの人^{ひと}が、エドム地方^{ちほう}の
レウエル^{しゅちょう}から出た首長^{つま}で、エサウの妻
バセマトの子である。

18 エサウの妻オホリバマ^{つま}の子は、
エウシュ^{しゅちょう}首長、ヤラム^{しゅちょう}首長、コラ^{しゅちょう}首長。
これらの人^{ひと}が、アナの娘^{むすめ}でエサウ^{つま}の妻
であるオホリバマ^{つま}から出た首長^{つま}である。

19 以上が、エサウ^{いじやう}つまりエドム^(ウ)の
子^この首長^{しゅちょう}である。

20 以下は、地元^{い か}の住民^{じもと}、ホリ人^{じゅんみん}セ
イル^{じん}の子である。ロタン^(ウ)、シヨバル^(ウ)、ツィ
ベオン^(ウ)、アナ、**21** ディション^(ウ)、エツエ
ル^(ウ)、ディシャン^(ウ)。これらの人^{ひと}が、エドム
地方^{ちほう}にいる、セイル^この子でホリ人^{じん}の首
長^{しゅちょう}である。

22 ロタン^この子は、ホリ、ヘマム。
ロタン^{しまい}の姉妹^(ウ)はティムナ。

36:7 *または、「外国人として住んでいた」。

36:15 *部族の長のこと。

23 ショバルの子は、アルワン、マナハト、エバル、シェフォ、オナム。

24 ツィベオンの子は、アヤ、アナ。アナは、父ツィベオンのロバの番をしていた時に荒野で温泉を見つけた。

25 アナの子は、ディション、娘オホリバマ。

26 ディションの子は、ヘムダン、エシュバン、イトラン、ケラン。

27 エツェルの子は、ビルハン、ザアワン、アカン。

28 ディシャンの子は、ウツ、アラン。

29 ホリ人の首長たちは、ロタン首長、ショバル首長、ツィベオン首長、アナ首長、30 ディション首長、エツェル首長、ディシャン首長。これらの人が、セイル地方のホリ人の首長である。

31 以下は、イスラエル人を治める王がまだいない時に、エドム地方で治めた王たちである。32 ペオルの子ペラがエドムで治めた。町の名前はディヌハバといった。33 ペラが死ぬと、ボツラの人ゼラハの子ヨバブが代わって治めた。34 ヨバブが死ぬと、テマン人の土地から出たフシャムが代わって治めた。35 フシャムが死ぬと、モアブの領土でミディア人を打ち破った、ベダドの子ハダドが代わって治めた。町の名前はアビトといった。36 ハダドが死ぬと、

36:31 *直訳、「イスラエルの子たち」。

第36章

(7) 創 36:2

(1) 代 1:41

(7) 代 1:42

(12) 代 1:38

(8) 申 17:14, 15
サー 10:19
代 1:43-50

(4) 民 20:14

(4) 創 25:1, 2
出 2:15
民 31:2

第2欄

(7) 代 1:51-54

(1) 申 2:5

(7) 創 25:30
創 36:8

第37章

(12) 創 23:3, 4
創 28:1, 4
ヘブ 11:8, 9

(8) 創 30:25
創 46:19

(4) 創 47:3

(4) 創 35:25

(7) 創 35:26

(7) 代 2:1, 2

マスレカの人サムラが代わって治めた。37 サムラが死ぬと、川のそばのレホボトの人シャウルが代わって治めた。38 シャウルが死ぬと、アクボルの子バル・ハナンが代わって治めた。39 アクボルの子バル・ハナンが死ぬと、ハダルが代わって治めた。町の名前はパウといった。妻はメヘタブエルといい、マトレドの娘でメザハブの孫娘である。

40 エサウから出た首長たちの名前は次の通りである。氏族や居住地もその名前で呼ばれる。ティムナ首長、アルワ首長、エテト首長、41 オホリバマ首長、エラ首長、ピノン首長、42 ケナズ首長、テマン首長、ミブツアル首長、43 マグディエル首長、イラム首長。これらが、エドムの首長および領地内の各居住地である。エドム人の父エサウの子は、以上の通りである。

37 ヤコブは、父が外国人として住んだカナン地方にずっと住んでいた。

2 以下はヤコブの家族についての記録である。

ヨセフは17歳の時、家畜の群れの番をしていた。兄弟たちも一緒だった。父の妻ビルハとジルバの子たちである。ヨセフは、彼らの悪い行いについて父に伝えた。3 イスラエルは、ほかのどの息子よりもヨセフを愛した。高齢になってできた子だったからである。イスラエルはヨセフのために特別

*なが ふく つく きょうだい
な長い服を作らせた。4 兄弟たちは自分たちよりヨセフの方が父に愛されているのを知って、ヨセフを憎むようになり、ヨセフと穏やかに話すことができなかった。

5 ある時、ヨセフは夢を見て、それについて兄弟たちに話した。すると兄弟たちはますます憎しみを募らせた。

6 ヨセフはこう言ったのである。「私が見た夢について聞いてください。

7 私たちが畑の真ん中で作物の束を作っている時、私の束が起き上がって

真っすぐに立ちました。そしてみんなの束が私の束の周りに来て、ひれ伏しました。

8 兄弟たちは言った。「おまえは俺たちの王になって支配するといふのか。こうして彼らは、ヨセフが見た夢と言った事柄のために、ヨセフをますます憎んだ。

9 その後ヨセフは別の夢を見、それについても兄弟たちに話した。「また夢を見ました。今度は、太陽と月と11の星が私にひれ伏していました」。

10 ヨセフは、兄弟たちだけでなく父にも話した。すると父はヨセフを叱って、こう言った。「あなたが見たその夢はどういうことなんだ。私とお母さんと兄弟たちがあなたのそばに行つてひれ伏すのか」。

11 兄弟たちはヨセフに嫉妬したが、父はヨセフが言ったことを心に留めた。

12 さて、兄弟たちは、父の羊の群

第37章

創 37:19

創 42:6,9

創 45:8
創 49:26創 44:14
創 45:9

使徒 7:9

第2欄

創 33:18

創 23:19
創 35:27

創 37:5

れをシェケムの近くの牧草地に連れていった。13 少ししてから、イスラエルはヨセフに言った。「あなたの兄弟たちはシェケムの近くで群れの番をしている。そこに使いに行ってくれないか」。ヨセフは言った。「分かりました」。14 それでイスラエルは言った。「では、行って、兄弟たちが無事かどうかを見てきてほしい。そして群れの様子も教えてもらいたい」。そうしてヨセフをヘブロン谷から送り出した。ヨセフはシェケムに向かった。15 ヨセフが野原をさまよっていると、ある人に出会った。その人はヨセフに尋ねた。「何を捜しているのですか」。16 ヨセフは言った。「兄弟たちを捜しています。どこで群れの番をしているか、ご存じですか」。17 その人は言った。「あの人たちなら、ここから引き揚げていきました。『ドタンに行こう』と言っていましたよ。それでヨセフは兄弟たちの後を追っていき、ドタンで見つけた。

18 兄弟たちは遠くにヨセフを見掛けた。ヨセフがまだ近くに来ないうちに、彼らはヨセフを殺そうとたくらみ始めた。19 こう言い合った。「見ろ、あの夢見る方がやって来るぞ。20 さあ、あいつを殺してどこかの貯水穴に投げ込んでやろう。どう猛な野獣に食い殺されたと言えればいい。あいつの夢がどうなるか、見てやろうじゃない

37:14 *または、「谷あいの平原」。

37:3 *または、「すてきな」。

4 彼女は再び妊娠して男の子を産み、オナンと名付けた。5 彼女はさらに男の子を産んで、シェラと名付けた。彼女がその子を産んだ時、ユダはアクジブにいた。

6 やがてユダは長男エルのために妻を迎えた。名前はタマルといった。

7 しかし、長男エルはエホバにとって不快なことをしていたため、エホバは彼を死に至らせた。8 それでユダはオナンに言った。「兄さんの妻と関係を持って義兄弟結婚をし、兄さんのために子孫を残しなさい」。9 オナンは、子孫が生まれても自分のものにはならないことを知っていた。それで兄の妻と関係を持つ時は精液を地面に流して、兄に子孫ができないようにしていた。10 彼がしたことはエホバから見ても悪いことだった。そのため神は彼も死に至らせた。11 ユダは嫁のタマルに言った。「息子のシェラが大人になるまでは、父親の家でやもめとして暮らしなさい」。ユダは、「あの子も上の子たちのように死んでしまうかもしれない」と思ったのである。タマルは父の家に行き、そこで暮らした。

12 しばらく後、シェラの娘であるユダの妻が死んだ。喪の期間が終わってから、ユダは羊の毛を刈る人たちがいるティムナに行った。アドラムの人である友人ヒラも一緒だった。13 ある人がタマルに告げた。「あなたの

第38章

[ア] ヨシ 19:29,31

[イ] マタ 1:3

[ロ] 申 25:5,6

マタ 22:24

[カ] ルツ 4:6

[コ] 申 25:7,9

[ク] 代一 2:3

[ケ] 民 26:19

[ク] 創 38:2

[ク] ヨシ 15:10,12
裁 14:1

[コ] 創 38:1

第2欄

[ア] 申 25:5

[イ] 創 38:11

[ク] 創 41:42

王一 21:8

[カ] 創 38:1

しゅうとが羊の毛を刈りにティムナに向かっています」。14 そこでタマルはやもめの服を脱ぎ、ベールをかぶってショールを巻き、エナイムの入り口の所に座った。エナイムはティムナに行く途中にある。彼女は、シェラが大人になったのに、自分が妻として迎えられていないのを知っていた。

15 ユダは彼女を見掛け、すぐに娼婦だと思った。彼女が顔を覆っていたからである。16 それで道端にいた彼女に近づき、「あなたと関係を持たせてくれませんか」と言った。息子の妻だと分からなかったのである。彼女は言った。「私と関係を持つために、何を下さいますか」。17 ユダは言った。「群れの中から子ヤギを送りましよう」。彼女は言った。「それを受け取るまで、何か保証になる物を頂いておけますか」。18 ユダは言った。「どんな物がいいですか」。彼女は言った。「あなたの印章付きの指輪とひも、お持ちのつえを下さい」。それでユダはそれらを渡して彼女と関係を持った。こうして彼女はユダによって妊娠した。19 その後、タマルは立ってそこを去り、ショールを外して、やもめの服を着た。20 ユダは、保証として渡した物を女性から取り戻すため、子ヤギをアドラムの人である友人に託して行かせた。ところが、その人はどうしても女性を見つけれなかった。21 それで地元の人たちに、「エナイムの道端に

(主)創 30:27

さんぶ ひいろ せいと と て
 産婦はすぐに緋色の糸を取ってその手
 にくり付け、「先に出したのはこの子」
 と言った。 **29** その子が手を引っ込
 めると、もう一方の子が出てきた。そ
 れで助産婦は叫んだ。「何でこんな裂
 け目を作るようなことをするの！」そ
 のためその子はペレツと名づけられ
 た。 **30** それから、手に緋色の糸を
 付けた子が出てきた。その子はゼラ
 ハと名づけられた。

詩 105:17
 使徒 7:9

4 ヨセフはその後も主人に気に入られ、主人のそばで仕えることになった。主人はヨセフに家の管理を任せ、自分のもの全てを委ねた。 5 その時から、エホバはヨセフのゆえにそのエジプト人の家を祝福し続けた。家でも戸外でも、主人のもの全てにエホバの祝福があった。 6 主人は、持っているあらゆるものをヨセフに任せただけで、自分が食べるもののことだけを考えた。

創 37:36
 創 40:8-31
 ヘブ 13:6

(主)創 30:27

(カ) ロマ 8:31
ヘブ 13:6

(主)創 30:27

ていれぱよかった。しかもヨセフは、り
りしい顔立ちの、たくましい人になって
いた。

7 こうしたことの後、主人の妻がヨ
セフに目を留め、「私と寝て」と言うよ
うになった。8 しかしヨセフは拒み、
主人の妻に言った。「ご主人さまは、
家の中のことを私に任せ、全く心配し
ておられません。全てのものを私に委
ねてくださっています。9 この家に
私の上に立つ人はいません。ご主人
さまが私に下さらないものはありませ
ん。でもあなたは別です。奥さまだけ
からです。そのような非常に悪いことを
して、神に対して罪を犯すことなど、ど
うしてできるでしょうか」。

10 彼女は毎日言い寄ったが、ヨセ
フは彼女のそばで横になることも一
緒に居続けることも決してなかった。

11 ある日のこと、ヨセフは仕事のた
め家に入った。その時、家の中には召
し使いが誰もいなかった。12 する
と彼女はヨセフの服をつかんで、「私
と寝て!」と言った。ヨセフは、服を残
したまま外に逃げた。13 彼女は、ヨ
セフが服を残したまま外に逃げて
いったのを見ると、14 叫んで家の人
たちを呼び、こう言った。「主人があん
なヘブライ人の男を連れてくるなんて。
あの男は私たちを笑いものにしようと
しているのよ。入ってきて私と寝ようと
したから、大声で叫んだの。15 叫び
声を聞いたら、服を残したまますぐ逃

第39章

(㉔) 創 2:24
創 20:3,6
詩 51:表題,4
マル 10:7,8
ヘブ 13:4

第2欄

(㉔) 詩 105:17,18

(㉔) 創 40:2,3
詩 105:19
使徒 7:9

(㉔) 創 39:6

(㉔) 創 49:22,25
使徒 7:9,10

第40章

(㉔) 創 40:11

(㉔) 創 40:20-22

(㉔) 創 37:36

げていったわ」。16 そうして彼女は、
主人が家に戻ってくるまで、ヨセフの
服をそばに置いておいた。

17 彼女は主人に同じことを話し
た。「あなたが連れてきたあのヘブラ
イ人の召し使いが、私の所に入ってきて
て、私を笑いものにしようとしたのよ。
18 でも、私が大声で叫んだから、服
を残したまますぐ逃げていったわ」。
19 主人は、妻が「あなたの召し使い
にこんなことをされた」と話すのを聞
いて、怒りに燃えた。20 それで主人
はヨセフを捕らえて牢獄に入れた。そ
こは王が囚人たちを収容しておく所で、
ヨセフはその牢獄にずっと入れられた。

21 それでも、エホバが引き続きヨ
セフと共にいて、揺るぎない愛を示し
たので、ヨセフは牢獄の長に気に入
られるようになった。22 長は、牢獄
内の囚人全員をヨセフに監督させ
た。囚人たちが行うことは全てヨセフ
が指示した。23 ヨセフに任せてお
けば、牢獄の長は安心だった。エホバ
がヨセフと共にいて、エホバがヨセフ
のすること全てを成功させていたから
である。

40 こうしたことの後、エジプト
の王の献酌人の長と料理人
の長が、主人である王に対して罪を犯
した。2 ファラオはその2人の家来に
対して憤り、3 2人を護衛官の長の

40:1 *王にぶどう酒などを給仕する人。*パン
などを焼く料理人。

家にある牢獄に入れた。ヨセフが入れられている所である。4 護衛官の長はヨセフに、2人の世話をするよう命じた。こうして2人は牢獄にしばらくいた。

5 エジプトの王の献酌人と料理人は牢獄の中で、同じ夜に別の夢を見た。それぞれの夢には意味が込められていた。6 翌朝、ヨセフが来ると、2人は元気がない様子だった。7 それでヨセフは尋ねた。「今日はどうして沈んだ顔をしているのですか」。8 彼らは言った。「夢を見たのですが、意味を解き明かしてくれる人がいないのです」。ヨセフは言った。「神が解き明かしてくださるのではないですか。どんな夢か、私に話してください」。

9 献酌人の長が、見た夢についてヨセフに話した。「夢の中で、私の前にブドウの木がありました。10 そのブドウの木には3本のつるがあり、新芽も出ていました。花が咲き、ブドウの房が熟しました。11 私はそのブドウを取り、持っていたファラオの杯に搾って入れました。そして杯をファラオに手渡しました」。12 ヨセフは言った。「その夢の意味はこうです。3本のつるは3日のことです。13 3日後、ファラオはあなたをここから出し、元の立場に戻します。献酌人として、以前と同じようにファラオに杯を渡すことになります。14 それで、その通

第40章

創 39:20
詩 105:17,18

創 39:22

創 41:15,16
ダニ 2:28,45

創 41:12,13

創 40:20,21

第2欄

創 37:28

創 39:7,8

創 40:20,22

創 6:21

創 40:8

創 40:14

りになったら、私のことを必ず思い出してください。そして揺るぎない愛を私に示し、私のことをファラオに話して、ここから出られるようにしてください。15 私はヘブライ人の土地から無理やり連れてこられたのです。ここでも、投獄されるようなことは何もしません」。

16 ヨセフが言った夢の意味が好ましいものでした。料理人の長はヨセフに言った。「私も夢を見ました。私の頭の上に、白いパンが入った3つの籠が載っていました。17 一番上の籠に、ファラオのために焼いたいろいろな物が入っていましたが、鳥たちがそれらを食べていました」。18 ヨセフは答えた。「その夢の意味はこうです。3つの籠は3日のことです。19 3日後、ファラオは、首をはねてあなたを杭に掛けます。そして鳥があなたの肉を食べます」。

20 3日後はファラオの誕生日だった。ファラオは家来たち全員を招いて宴を催し、家来たちの前に献酌人の長と料理人の長を連れてこさせた。21 そして献酌人の長を元の職務に戻した。彼は引き続きファラオに杯を手渡すことになった。22 一方、料理人の長は杭に掛けられ、ヨセフが言った通りになった。23 しかし、献酌人の長はヨセフのことを思い出さず、忘れてしまった。

40:15 *直訳、「水ために入れられる」。40:19 *直訳、「頭を上げて」。

40:13 *直訳、「あなたの頭を上げ」。

41 丸2年がたった頃、ファオは夢を見た。夢の中で、ファオはナイル川の近くに立っていた。

2 するとその川から、肉付きの良い美しい7頭の雌牛が上がってきて、川のそばで草を食べた。**3** その後、痩せ細った醜い7頭の雌牛がナイル川から上がってきて、川岸に肉付きの良い雌牛の横に立った。**4** それから、痩せ細った醜い雌牛が、肉付きの良い美しい7頭の雌牛を食い尽くしていった。ここでファオは目が覚めた。

5 ファオは再び眠り、別の夢を見た。穀物の1本の茎から、実の詰まった立派な穂が7つ出ている。**6** その後、東からの熱風で干からびた細い穂が7つ出てきた。**7** それから、その細い穂が、実の詰まった7つの立派な穂をのみ込んでいった。ここでファオは目が覚め、夢だと気付いた。

8 朝になり、胸騒ぎがしたファオは、人を使ってエジプト中の魔術師と賢者を呼び集めた。そして、見た夢について話した。しかし、誰一人として、ファオに夢の意味を解き明かすことはできなかった。

9 そこで献酌人の長がファオに話した。「ここに、私の罪を打ち明けます。**10** ファオは、家来のことでお怒りになりました。私と料理人の長のことで。それで私たちは、護衛官の長の家にある牢獄に入れられました。**11** その後、同じ夜に私たちは

第41章

(7) ダニ 2:1

(7) 創 41:18-21

(7) 創 41:22-24

(7) 創 40:2,3

第2欄

(7) 創 40:5

(7) 創 39:1

(7) 創 40:8

(7) 創 40:21,22

(7) 創 40:15
詩 105:20(7) ダニ 5:12
使徒 7:9,10(7) 創 40:8
ダニ 2:23,28

(7) 創 41:2-4

それぞれ夢を見ました。どちらも意味が込められた夢でした。**12** そこには、護衛官の長の召し使いであるヘブライ人の若者がいました。夢について彼に話すと、それぞれの意味を解き明かしてくれました。**13** そして彼が言った通りになりました。私は元の立場に戻り、もう1人は杭に掛けられました」。

14 ファオは、ヨセフを牢獄からすぐに連れてこさせた。ヨセフは毛をそって服を着替え、ファオの所に入った。**15** ファオはヨセフに言った。「私は夢を見たのだが、その意味を解き明かせる人がいない。聞くとところによると、おまえは夢を聞いて意味を解き明かせるようだ」。**16** ヨセフはファオに答えた。「私ではありません。神がファオの繁栄についてお告げになります」。

17 ファオはヨセフに話した。「夢の中で、私はナイル川の岸に立っていた。**18** するとナイル川から、肉付きの良い美しい7頭の雌牛が上がってきて、川のそばで草を食べ始めた。**19** その後、貧弱で痩せ細った、みずばらしい7頭の雌牛が上がってきた。エジプト中で、あれほどみずばらしい雌牛はこれまで見たことがない。

20 それから、その痩せこけたみずばらしい雌牛が、肉付きの良い初めの7頭の雌牛を食い尽くした。**21** 全部

41:14 * 直訳、「水ため」。

を平らげたにもかかわらず、見た目からはそうとは全く分からなかった。元のまま、みすばらしかったからだ。そこで私は目が覚めた。

22 そして、また夢を見た。穀物の1本の茎から、実の詰まった立派な穂が7つ出ていた。**23** その後、東からの熱風で干からび、しなびた細い穂が7つ出てきた。**24** それから、その細い穂が7つの立派な穂をのみ込んでいった。私は魔術師たちにこのことを話したが、誰も意味を説明できなかった。

25 するとヨセフはファラオに言った。「ファラオがご覧になった夢は、どちらにも同じ意味があります。真の神が、行おうとしていることをファラオにお告げになったのです。**26** 7頭の立派な雌牛は7年のことです。7つの立派な穂も7年のことです。2つの夢には同じ意味があります。**27** 後から上がってきた、痩せこけたみすばらしい7頭の雌牛は7年のことで、東からの熱風で干からびた、空の7つの穂は7年の飢饉のことで、**28** 私がファラオに申し上げた通り、真の神が、行おうとしていることをファラオにお示しになったのです。

29 これから7年の間、エジプト中で大豊作になります。**30** しかし、その後の7年は必ず飢饉になります。大豊作のことは忘れ去られ、飢饉がエジプトを襲います。**31** 以前の豊作をおもいだせないほどの非常に厳しい飢

第41章

[创] 創 41:5-7

[创] 創 41:8
ダニ 2:2[创] 創 2:2-27
ダニ 4:7[创] 創 2:28
アモ 3:7

[创] 使徒 7:11

第2欄

[创] 創 41:26,47

[创] 創 41:48,49
使徒 7:12[创] 創 45:9,11
創 47:13,19[创] 創 39:6
詩 105:21
使徒 7:9,10

[创] 創 5:7

饉です。**32** ファラオが夢を2度ご覧になったのは、真の神がこのことをしっかりお定めになったからです。真の神は速やかに事を運ばれます。

33 それで今すぐ、思慮深くて賢い人をお探しになり、その人にエジプト全土を管理させるのがよいかと思えます。**34** そして、ぜひとも監督たちを任命なさってください。7年の豊作の間、エジプトの収穫量の5分の1を集めるためです。**35** これから来る豊作の間、監督たちに穀物を集めさせ、町々で確実に備蓄させてください。それらの穀物は、ファラオの権限の下に置かれます。**36** その穀物があれば、エジプトで生じる7年の飢饉の間、食糧を供給でき、国は滅亡せずに済むでしょう。

37 ファラオと家来たち皆は、この提案を良いと思った。**38** ファラオは家来たちに言った。「神の力が働いているこのような人がほかにいるだろうか。**39** そしてヨセフに言った。「神がこうしたこと全てをあなたに知らせたのだから、あなたほど思慮深くて賢い人はいない。**40** あなたに私の家を管理させよう。私の民は皆、あなたに従服することになる。王である私だけがあなたの上に立つ。**41** ファラオはさらに言った。「ここに、私はあなたをエジプト全土の管理官とする。**42** そうしてファラオは認印指輪を自

41:40 *または、「王座に関してだけ私が」。

分の指から外してヨセフの指にはめ、
ヨセフに上等の亜麻布の服を着せ、金
の首飾りを掛けさせた。 **43** それか
ら、自分が持つ2番目に良い兵車に
乗らせた。ヨセフの前に行く人たちは
「アプレーク!」と叫ぶのだった。こう
してファラオはヨセフをエジプト全土
の管理官にした。

44 ファラオはヨセフに言った。
「ファラオは私だが、あなたの認可なし
では、エジプト全土の誰であれ、何一
つ行えない」。 **45** その後ファラオは
ヨセフに、ザフナテ・パネアという名前
を与え、オンの祭司ポティフェラの娘
アセナトを妻として与えた。こうしてヨ
セフはエジプト全土を監督することに
なった。 **46** エジプトの王ファラオの
前に立った時、30歳だった。

ヨセフはファラオの前から出て、エジ
プト全土を回った。 **47** 7年の豊作の
間、収穫は非常に多かった。 **48** ヨ
セフは7年間、エジプト全土で穀物を
集め、町々に備蓄した。周囲の畑で取
れた穀物を各町に保管したのである。
49 ヨセフは、膨大な量の穀物を備蓄
していた。それは海の砂のように多
くなり、量り切れなくなったので、やが
て量られることはなくなった。

50 飢饉の年が来る前に、ヨセフに

41:42 *直訳、「手」。**41:43** *敬意を表するよ
う呼び掛ける言葉と思われる。**41:44** *直訳、
「手や足を上げられない」。**41:45**, **50** *ヘリオ
ポリスのこと。**41:45** *または、「回る」。**41:**
46 *または、「ファラオに仕え始めた」。

第41章

(ㄱ) 創 44:18
創 45:8
使徒 7:9,10

(ㄴ) 創 46:20

(ㄷ) 詩 105:21

(ㄹ) 民 4:3
サニ 5:4
ルカ 3:23

第2欄

(ㄱ) 創 48:5

(ㄴ) 創 50:23
民 1:34,35

(ㄷ) 創 48:17
民 1:32,33
申 33:17
ヨシ 14:4

(ㄹ) 詩 105:17,18
使徒 7:9,10

(ㄱ) 創 41:26

(ㄴ) 創 41:30
使徒 7:11

(ㄷ) 創 45:9,11
創 47:17

(ㄹ) 創 47:13

(ㄱ) 詩 105:21

(ㄴ) 創 43:1

(ㄷ) 創 41:48,49
創 47:16

第42章

(ㄱ) 創 41:48,49

息子が2人生まれた。オンの祭司ポ
ティフェラの娘アセナトが産んだので
ある。 **51** ヨセフは長男をマナセと
名付けた。ヨセフが言うには、「神
が、私の苦勞と父の家族のことを全
て忘れさせてくださった」からだった。
52 そして2人目の子をエフライムと
名付けた。ヨセフが言うには、「神が、
私の苦難の土地で子供たちが生まれ
るようにしてください」からだった。

53 エジプトで続いた7年間の豊作
は終わる、 **54** ヨセフが言った通り、
7年間の飢饉が始まった。飢饉はあら
ゆる国を襲ったものの、エジプト全土
には食糧があった。 **55** しかし、や
がてエジプト各地で人々が飢饉に苦
しみようになり、ファラオにパンを求め
て叫ぶ声を上げた。ファラオはエジプ
ト人全てに言った。「ヨセフの所に
行って指示に従いなさい」。 **56** 地上
全域で飢饉が続いた。飢饉はエジプ
トでも猛威を振るったため、ヨセフは
町々にあった全ての穀物倉庫を開け、
エジプト人に売り始めた。 **57** 他の
あらゆる国の人々も、ヨセフから穀物
を買うためにエジプトにやって来た。
飢饉は地上全域で猛威を振るって
いたのである。

42 さて、ヤコブはエジプトに穀
物があることを知り、息子た
ちに言った。「どうして何もせずに顔を

41:51 *意味、「忘れやすくさせる者」、「忘れさ
せる者」。**41:52** *意味、「2倍生む」。**41:54**
*直訳、「パン」。

見^みあ^あわせているのか」。2 さらに^い言^いった。「エジプトには穀物^{こくもつ}があるそう^だ。エジプトに行^いって穀物^{こくもつ}を買^かってきなさい。そうすれば、私^{わたし}たちは飢え死^うにしない^すで済^すむ」。3 そこでヨセフの兄^いたち10人^{にん}が、穀物^{こくもつ}を買^かうためにエジプトに向^むか^かった。4 ヤコブは、ヨセフの弟^{おとうと}ベニヤミン^{いっしょ}と一緒に^い行^いかせな^こかった。ヤコブが言^いうには、「あの子^こにも^もしものことがあ^あったらいけない^い」から^から^から^かだ^だった。

5 イスラエル^{むすこ}の息子^{しよくりょう}たちは、食糧^かを買^いに行^いくほかの^い人^{ひと}たちと共^{とも}にエジプト^{ききん}に行^いった。飢饉^うはカナン^{ちほう}地方^{ちほう}にまで^まで^まひ^ひろ^ろが^がって^ていた^たのである。6 ヨセフ^{おさ}がエジプト^{おさ}を治^{おさ}めて^ていた。あらゆる^く国^{くに}の人^{ひと}々に^に穀物^{こくもつ}を売^うっている^うのも^も彼^{かれ}だ^だった。ヨセフ^{おに}の兄^{あに}たちも^もや^きって^て来^きて、身^みをか^かが^がめて^てヨセフ^ふに^にひ^ひれ^れ伏^ふした。7 兄^{あに}たち^みを見^みた^{とき}時^{とき}、ヨセフ^きは^きす^きぐに^き気^き付^ついた^あが、自^じ分^{ぶん}の^あこ^こは^あ明^{めい}か^かさ^さな^なか^かった。8 そ^そして^し彼^{かれ}ら^きに^き厳^{げん}しい^{くちよう}口^{くちよう}調^{てう}を^を言^いった。9 「ど^どこ^きから^か来^きた^かのか」。彼^{かれ}ら^かは^か言^いった。「カ^かナ^かン^か地^ち方^{ほう}から^{しよくりょう}食^か糧^{まい}を買^いに^まり^まり^ました^し」。

8 この^{あに}よ^ように^{あに}、ヨセフ^{きづ}は^{あに}兄^{きづ}たち^{あに}と^{あに}気^{あに}付^{あに}いた^{あに}が、兄^{あに}たち^{あに}は^{あに}ヨセフ^{あに}だ^{あに}と^{あに}気^{あに}付^{あに}かな^{あに}か^{あに}った。9 ヨセフ^{あに}は^{あに}す^{あに}ぐに^{あに}、兄^{あに}たち^{あに}につ^{あに}いて^{あに}見^{あに}た^{あに}夢^{あに}の^{あに}こ^{あに}と^{あに}を^{あに}思^{あに}い^{あに}だ^{あに}した。そ^{あに}れ^{あに}か^{あに}ら^{あに}彼^{あに}ら^{あに}に^{あに}言^{あに}った。「ス^{あに}パ^{あに}イ^{あに}だ^{あに}な! この^{あに}国^{あに}の^{あに}弱^{あに}み^{あに}を^{あに}探^{あに}ろ^{あに}う^{あに}と^{あに}し^{あに}て^{あに}や^{あに}っ^{あに}て^{あに}来^{あに}た^{あに}ん^{あに}だ^{あに}ろ^{あに}う^{あに}!」 10 彼^{あに}ら^{あに}は^{あに}言^{あに}った。「い^{あに}い^{あに}え、ご^{あに}主^{あに}人^{あに}さ^{あに}ま、私^{あに}ど^{あに}も

第42章

〔7〕使徒 7:12

〔1〕代一 2:1,2

〔7〕創 35:18,19

創 42:38

創 44:20

〔12〕創 43:14

〔7〕創 41:57

使徒 7:11

〔7〕創 41:44

創 45:8

詩 105:21

使徒 7:9,10

〔14〕創 47:14

〔7〕創 37:7,9

〔7〕創 42:23

〔12〕創 37:1

使徒 7:11,12

〔14〕創 37:7-9

第2欄

〔7〕出 1:1-4

〔1〕代一 2:1,2

〔7〕創 35:18,19

創 42:38

創 43:7

〔12〕創 37:27,35

創 44:20

〔7〕創 42:34

創 43:29

〔7〕創 45:21,23

は食糧^{しよくりょう}を買^かう^{まい}ために^{まい}参^{まい}りました。11 私^{わたし}ども^{みな}は^{みな}皆^{みな}兄^{きょう}弟^{てい}で、正^{しょう}直^{じき}な^{にん}人^{げん}間^まで

す。スパイ^すなど^なでは^では^はご^ござ^ざい^いま^ませ^せん^ん」。

12 ヨセフ^いは^い言^いった。「い^いや、この^こ国^{くに}の

弱^{よわ}み^{さぐ}を^{さぐ}探^{さぐ}ろ^{さぐ}う^{さぐ}と^{さぐ}し^{さぐ}て^{さぐ}や^{さぐ}っ^{さぐ}て^{さぐ}来^きた^きの^きだ^き!」

13 彼^{かれ}ら^いは^い言^いった。「私^{わたし}ども^ちは^ちカ^ちナ^ちン^ち地^ち

方^{ほう}に^{ちち}い^{むすこ}る^い父^いの^い息^い子^{にん}で、12人^{しよくりょう}兄^だ弟^いです。一^{いち}番^{ばん}下^{した}の^{おとうと}弟^いは^い今^{いま}父^{ちち}の^{ところ}所^{ところ}に^いお^いり、あ^あの^あの^あの^あ

1人^{ひとり}は^{ひとり}も^{ひとり}う^{ひとり}お^{ひとり}り^{ひとり}ま^{ひとり}せ^{ひとり}ん^{ひとり}」。

14 ヨセフ^いは^い言^いった。「そ^それ^そだ^そ。言^いった^い

通^{とお}り^{とお}だ^{とお}。や^やは^やり、ス^すパ^すイ^すだ^すな。15 あ^あ

な^なた^なた^なち^なを^な試^しそ^しう。私^{わたし}は^{わたし}ファ^かラ^かオ^かに^か懸^か

け^けて^け誓^{ちか}う。一^{いち}番^{ばん}下^{した}の^{おとうと}弟^いが^いこ^こに^こ来^きない

限^{かぎ}り、あ^あな^あた^あた^あち^あを^あこ^こか^から^か出^だす^だこ^こは^こ

し^しない。16 誰^{だれ}か^{ひとり}1人^{ひとり}が^い行^いっ^いて^い弟^{おとうと}

を^つ連^つれ^つて^つき^つな^つさい。そ^それ^そま^そで^そは^そあ^あな^あた^あた^あ

ち^とを^と捕^とら^とえ^とて^とお^とく。そ^そう^そす^それ^そば、あ^あな^あた^あ

た^たち^たが^た言^いっ^いて^いい^いる^いこ^こが^{しんじつ}真^{しん}実^{じつ}な^なの^なか^かど

う^うか^かが^か分^わか^わる^わだ^だろ^ろう。も^もし^{しんじつ}真^{しん}実^{じつ}で^でな^なけ

れ^れば、確^{たし}かに^{たし}ス^すパ^すイ^すだ^す」。17 ヨセフ^{たし}

は^はこ^かう^かし^めて^め彼^{かれ}ら^{かれ}を^{かれ}3日^か間^め拘^か禁^{かん}した^{しん}。

18 3日^か目^めに^めヨセフ^{かれ}は^{かれ}彼^{かれ}ら^{かれ}に^{かれ}言^いった。

「私^{わたし}は^{かみ}神^{おそ}を^{おそ}畏^{おそ}れ^{おそ}て^{おそ}い^{おそ}る。だ^だか^だら、私^{わたし}

の^い言^いう^い通^いり^いに^いし^いて、生^いき^い続^いけ^いな^いさい。

19 あ^いな^いた^いた^いち^いが^い正^{しょう}直^{じき}な^{にん}人^{げん}なら、今^{いま}

こ^{こう}う^{こう}き^{きん}ん^{きん}さ^{きん}れ^{きん}て^{きん}い^いる^い家^いに^い誰^{だれ}か^{ひとり}1人^{ひとり}が^こ残^{のこ}り、

ほ^ほか^{きん}の^{きん}人^{きん}は^{きん}行^{きん}っ^{きん}て^{きん}よ^{きん}い。飢^き饉^{きん}に^{きん}苦^{きん}し^{きん}む

家^か族^{ぞく}の^{こくもつ}た^もめ^もに^も穀^も物^もを持^もっ^もて^もい^もき^もな^もさ^もい。

20 そ^いれ^いか^いら、一^{いち}番^{ばん}下^{した}の^{おとうと}弟^いを^い連^いれ^いて^いき^いな^いさい。そ^その^{しんよう}よ^{しんよう}う^{しんよう}に^{しんよう}し^して、あ^あな^あた^あ

た^わち^わの^わ言^わっ^わた^わこ^わが^わ信^{しん}用^{よう}で^{しん}き^{しん}と^{しん}分^わか^わ

れ^わば、あ^わな^わた^わた^わち^わが^わ死^しぬ^しこ^しは^しない^し」。

彼^{かれ}ら^{かれ}は^{かれ}そ^その^{おと}通^{おと}り^{おと}に^{おと}す^{おと}こ^{おと}に^{おと}した^{おと}。

21 彼らはこう言い合った。「これはきつと、弟にしたことの罰だ。彼はさがり付いてきたのに、私たちは苦しむ様子を見ながら無視した。だからこんな苦しめ目に遭うのだ」。22 ルベンが言った。「『あの子を傷つけてはいけない』と私は言ったではないか。それなのに、あなたたちは聞かなかった。だから今、彼の血の代価を求められているのだ」。23 ヨセフが聞いて理解していることを、彼らは知らなかった。間には通訳がいたからである。24 ヨセフはその場を離れ、泣いた。そして戻ってから再び話し、シメオンを選んで彼らが見ている所で縛った。25 それからヨセフは命令を出して、彼らの袋に穀物をいっぱいに入れた。また、彼らのお金を各人の袋に戻させ、旅に必要な食べ物も渡させた。これらはその通りに行われた。

26 こうして彼らは穀物をロバに積んで出発した。27 宿で、ロバに飼料をやらうとして1人が自分の袋を開けた。すると、袋の口の所にお金が入っていた。28 彼は兄弟たちに言った。「私のお金に戻ってきている。袋の中に入っているのだ!」それで彼らは動揺し、おびえながら顔を見合わせて言った。「神はどうしてこんな罰をお与えになるのだろうか」。

29 カナン地方の父ヤコブの所に着くと、起きたことを全部話した。30 「あの国の主人は厳しい口調で話

第42章

(7) 創 37:18,28
創 50:17
使徒 7:9

(1) 創 37:21

(7) 創 9:5

(11) 創 43:30

(7) 創 42:19
創 43:23

第2欄

(7) 創 42:7,9

(1) 創 42:11

(7) 創 42:13

(11) 創 37:28,35

(7) 創 35:18,19
創 42:4

(7) 創 42:19

(7) 創 42:2

(7) 創 43:14

(7) 創 37:28,35

(11) 創 42:24

(7) 創 37:22
創 46:9

(11) 創 43:8,9
創 44:32

し、私たちのことを国の偵察に来たスパイだと非難しました。31 それで私たちは言いました。『私たちは正直な人間です。スパイではありません。32 私たちは同じ父の息子で、12人兄弟です。1人はもういませんが、一番下の弟は今、カナン地方の父の所にいます』。33 ところが、国の主人は言いました。『あなたたちが正直かどうか、確かめることにしよう。1人を私のもとに残し、飢饉に苦しむ家族のために穀物を持っていきなさい。34 それから、一番下の弟を連れてきなさい。そのようにして、あなたたちがスパイではなく正直であることが分かれば、ここに残った兄弟を返そう。そして、この国で取引することを許可しよう』。

35 その後、彼らは自分の袋の中身を出していった。すると各人のお金の包みが入っていた。彼らも父も、お金の包みを見て怖くなった。36 父ヤコブが声を上げた。「あなたたちは、私から次々と奪っていく! ヨセフはもういない。シメオンももういない。その上ベニヤミンまで連れていこうとするとは。私はどうしてこんな目に遭わなくてはいけないのだ!」37 ルベンが父に言った。「もし私がベニヤミンを連れて帰らないなら、私の2人の息子の命を取って構いません。彼を私に任せてください。必ず連れて帰ります」。38 父は譲らず、こう言った。

「^{わたし}私の子を^{あなたたちと}一緒に^{いっしょ}に行かせはしない。あの^この子の兄は^し死に、あの^こ子だけが^{のこ}残っているのだ。道中であの^こ子にも^しものことがあれば、^{しら}白髪^がの私は^{わたし}あなたたちの^{かな}せいで^{はな}悲しみながら^{はな}墓に入る^いことになる」。

43 その^{ちほう}地方^{きん}の^い飢饉^{ぜん}は、依然として^{しんこく}深刻^{こく}だった。**2** そのため、エジプトから^{もち}持ち帰った^{こくもつ}穀物^{みな}を皆で^た食べ^つ尽くすと、父は^{ちち}息子^{むすこ}たちに言った。「もう一度^{いちど}行って、^{しよくりよう}食糧^{すこ}を少し^か買ってきたさい」。**3** するとユダが言った。「あの^{ひと}人から、^{おとうと}『弟と一緒に^{いっしょ}に来ない限り、二度と^{ふたたび}私の顔^{おもうと}を見てはならない』とはっきり^い告げられました」。**4** 弟と一緒に^{いっしょ}に行かせてくださるのでしたら、あなたの^{しよくりよう}ために^か食糧^いを^{いっしょ}買いに行きます。**5** ですが、一緒に^い行かせてくださらないのでしたら、^い行きません。あの^{ひと}人に、^{おとうと}『弟と一緒に^{いっしょ}に来ない限り、二度と^{ふたたび}私の顔^{おもうと}を見てはならない』と言われたのです」。**6** イスラエルは^い尋ねた。「どうして^{わたし}私を^めこんな^あ目に^あ遭わせるのか。なぜ^{おとうと}ほかに^い弟が^いいると言ったのか」。**7** 息子^{むすこ}たちは^{こた}答えた。「あの^{ひと}人が、^{ちち}『父親^いはまだ^い生きているか。ほかに^{きょうだい}兄弟^いがいるか』と言って、^{わたし}私たちや^か家族^かの^{こと}について^き聞いてくるので、^{ほんとう}本当^{はな}のことを^い話したのです。まさか、^{おとうと}『弟を^い連れてこい』と^い言われるなどとは思っても^いみませんでした」。

42:38 *ヘブライ語、シェオル。用語集参照。

第42章

(7) 創 37:31-34
創 44:20

(1) 詩 89:48

伝 9:10

ホセ 13:14

使徒 2:27

啓 20:13

(7) 創 37:34,35

創 44:29

第43章

(1) 創 41:30

使徒 7:11

(1) 創 42:1,2

(1) 創 42:15

(1) 創 42:15

(7) 創 32:28

(7) 創 42:13

(1) 創 42:16

第2欄

(7) 創 37:26

創 42:38

(1) 創 42:1,2

(7) 使徒 7:14

(1) 創 44:32

(1) 創 32:20

(7) エレ 8:22

エゼ 27:17

(1) 創 37:25

(7) 創 42:25,35

(7) 創 42:36

8 それからユダが^{ちち}父イスラエルに^い言った。「弟を^{おとうと}私と^{いっしょ}に行かせてください。私たちもあなたも^{わたし}私たちの^こ子供たちも^{ども}飢え^う死に^いしないよう、^いどうか行かせてください」。**9** 弟のことは私が^{ほしょう}保証^{せき}します。私が^{おとうと}責任^{せきにん}を負います。もし弟を^{おとうと}連れて^{かえ}帰らず、あなたにお返ししないようなことがあれば、私は一生あなたに対する^{たい}罪^{つみ}を負います。**10** 私たちが^{おとうと}ちゅうち^おしていなければ、これまでに^{ふた}2度は^い行って^{かえ}こられたでしょう」。

11 父イスラエルは^{むすこ}息子^いたちに^い言った。「そういうことなら、^ここうしなさい。この^{ちほう}地方^{とくさんひん}のよりすぐり^{ふくろ}の特産品^{ふくろ}を^い袋^いに入れ、その人への^{おく}贈り物^{もの}として^も持っていきなさい。バルサムと^{みつ}蜜^{すこ}を少し、ラダナムゴム、^{じゅし}樹脂^{おお}の多い^{じゅ}樹皮^ひ、^いピスタチオ、^いアーモンド^いなどだ。**12** また、^{ばい}2倍^{かね}のお金^{ふくろ}を持っていき、^{くち}袋^{くち}の口^いの^い所^いに入っていた^{かね}お金^{かえ}は^い返しなさい。きつと^{おとうと}何か^いの間違^{まちが}い^いだったの^いだろう。**13** 弟を^{おとうと}連れて、もう一度^いその人^{ひと}の^な所^いに行きなさい。**14** その人^{ひと}が^な情け^{なさ}を^い掛け、あなたたちの^{きょうだい}兄弟^いとベニヤミンを^か返してくるよう、^{かえ}全能^{ぜんのう}の神^{かみ}が^い導いてくださいますように。しかし、もしこの私が^{わたし}子供^{こども}を^い失^うわなければならぬのであれば、それを^い受け入れる^いしかない」。

15 そこで^{きょうだい}兄弟^{おく}たちは^い贈り物^{もの}と2倍^{ばい}のお金^{かね}を持ち、ベニヤミンを^つ連れて^い出^{しゅつ}発^{はつ}した。そしてエジプトに行き、再び^{ふたたび}ヨ

43:9 *または、「私が弟の保証人になります」。

セフの前^{まえ}に立^たった。16 ベニヤミンが一緒^{いっしょ}にいるのを見^みて、ヨセフはすぐ^いに家の管理^{かんり}人に言^いった。「この人^{ひと}たちが家を連れていき^い、肉^{にく}を準備^{じゅんび}して調理^{ちようり}し、昼^{ひる}にこの人^{ひと}たちが私^{わたし}と一緒に^{いっしょ}に食^{しょく}事^じできるようにしなさい」。17 管理^{かんり}人は直^{ただ}ちにヨセフの言^いう通^{とお}りにし、一行^{いっこう}をヨセフの家^{いえ}に連れてい^つった。18 しかし、ヨセフの家^{いえ}に連れてこ^つられた兄弟^{きょう}たちは怖^{こわ}くなり、こ^いう言^いった。「あの時^{とき}、袋^{ふくろ}に入^{はい}っていたお金^{かね}のことで、こ^こに連れてこ^つられたんだ。き^きっとひどい目^めに遭^あわされて、奴^{どれい}隷^{れい}にさ^され、口^{くち}バも奪^{うば}われるだ^ろう」。

19 それで彼^{かれ}らはヨセフの家^{いえ}の管理^{かんり}人^{にん}に近^{ちか}づき、家^{いえ}の入り口^{ぐち}で話^{はな}し掛^かけた。20 「すみません。私^{わたし}たちは確^{たし}かに、以^い前^{ぜん}も食糧^{しょくりやう}を買^かいに来^きました。21 とこ^ころが、宿^{やど}に着^ついてそれぞ^れれの袋^{ふくろ}を開^あけてい^いくと、なぜ^なか、各^{かく}人^{じん}のお金^{かね}が袋^{ふくろ}の口^{くち}の所^{ところ}に入^{はい}っていました。そ^そっくりそのま^ま入^{はい}っていたの^のです。それ^{それ}で、それ^{それ}をお返^{かえ}したいと思^{おも}っています。22 食糧^{しょくりやう}を買^かうた^ために、さ^さらにお金^{かね}を持^もってきていま^いす。誰^{だれ}がお金^{かね}を袋^{ふくろ}に入^いれたのか^か、私^{わたし}たちは知^しりません」。23 管理^{かんり}人は言^いった。「大^{だい}丈^{じやう}夫^ふです。心^{しん}配^{ぱい}要^いりません。皆^{みな}さん^の神^{かみ}、皆^{みな}さん^のお父^{ちち}さま^の神^{かみ}が、袋^{ふくろ}に宝^{たから}をお入^いれにな^なったの^のです。皆^{みな}さん^のお金^{かね}は受^うけ取^とっています。24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

24 管理^{かんり}人は一行^{いっこう}をヨセフの家^{いえ}に

第43章

(7) 創 37:7,9

(4) 創 41:39,40

(7) 創 42:25,35

(4) 創 42:3

(7) 創 42:27

(7) 創 43:12

(4) 創 42:23,24

第2欄

(7) 創 43:11

(4) 創 43:16

(7) 創 37:7,9

創 42:6

(4) 創 43:7

(7) 創 37:7,9

(7) 創 35:24

(4) 創 42:13

(7) 創 42:23,24

(7) 創 46:33,34

出 8:26

入^いれ、水^{みづ}を持^もってき^きて足^{あし}を洗^{あら}えるよう^{よう}にし、口^{くち}バに飼^かい葉^はをや^やった。25 兄弟^{きょう}たちは、昼^{ひる}に来^きるヨセフのため^{ため}に贈^{おく}り物^{もの}を用^{よう}意^いした。そ^そこで一緒^{いっしょ}に食^{しょく}事^じをす^すると聞^きいていたの^のである。26 ヨセフが家^{いえ}の中^{なか}に入^いると、彼^{かれ}らは持^もってき^きた贈^{おく}り物^{もの}をヨセフに差^さし出^だし、ひれ伏^ふした。27 その後^ごヨセフは、元^{げん}氣^きかど^どうか^かを彼^{かれ}らに尋^{たず}ねた。「あ^あなた^たた^たちが話^{はな}していた高^{こう}齡^{れい}の父^{ちち}親^{おや}は元^{げん}氣^きでいま^いすか。今^{いま}も生^いきていま^いすか」。28 彼^{かれ}らは、「私^{わたし}ども^のの父^{ちち}は元^{げん}氣^きで、今^{いま}も生^いきてお^おりま^みす」と言^いった。そ^そして身^みをか^かがめ^め、ひれ伏^ふした。

29 ヨセフは目^めをあ^あげて、自^じ分^{ぶん}の母^{はは}の子^こである弟^{おとうと}ベニヤミン^みを見^みると、「こ^この^{ひと}人^{ひと}が、あ^あなた^たた^たちが言^いっていた一^{いち}番^{ばん}下^{した}の弟^{おとうと}で^ですか」と言^いった。そ^そしてベニヤミン^みに、「神^{かみ}があ^あなた^たを祝^{しゅく}福^{ふく}してくだ^ださいま^ますよう^{よう}に」と言^いった。30 ヨセフは急^{いそ}いでそ^その場^ばを離^{はな}れた。弟^{おとうと}への思^{おも}い^いが込^こみ上^あげてきた^なのである。泣^なくば^ばし^しよ^よさ^さがし^しつ^つは^はい^いな^なみ^みだ^だな^なが^が。31 ヨセフは顔^{かお}を洗^{あら}い、落^おち着^ちき^きを取^とり戻^もして出^でてい^いった。そ^そして、「食^{しょく}事^じを出^だしなさい」と言^いった。32 ヨセフ、兄^{きょう}弟^{だい}たち、共^{とも}に^にい^いるエジ^{じん}プ^{べつ}ト^{べつ}人^{じん}に別^{べつ}々^{べつ}に食^{しょく}事^じが出^だされた。エジ^{じん}プ^{べつ}ト^{べつ}人^{じん}はヘブ^{じん}ライ^{いっ}人^{しよ}と一緒に^{しょくじ}に食^{しょく}事^じをす^することができ^きな^なかつ^たた^たから^らである。そ^そう^うす^する^るこ^ことはエジ^{じん}プ^{べつ}ト^{べつ}人^{じん}にと^とつて忌^いまわ^わしいこ^ことな^なの^のである。

33 兄弟^{きょう}たちはヨセフの前^{まえ}に、長^{ちやうなん}男^{なん}

としての権利を持つ長男から一番下の弟まで、年齢順に座らされた。それで兄弟たちは驚いて顔を見合わせるのだった。34 ヨセフは、自分の食卓からそれぞれの分を運ばせ、ベニヤミンの分をほかの人たちの5倍にした。こうして一同は、ヨセフと共に十分に食べて飲んだ。

44 その後、ヨセフは家の管理人に命じた。「あの人たちの袋に、持っていけるだけの食糧をいっぱいに入れ、各人のお金をそれぞれ袋の口の所に入れておきなさい。2 そして一番年下の人の袋の口には、こくもつ だいきん いっしょ わたし ぎん さかづき 穀物の代金と一緒に、私の銀の杯を必ず入れておきなさい」。管理人はヨセフの指示通りにした。

3 朝、明るくなってから、一行は見送られ、ロバを連れて出発した。

4 一行がまだ町から遠く離れていない時に、ヨセフは家の管理人に言った。「今すぐ、あの人たちの後を追いなさい。追い付いたなら、こう言いなさい。『あなたたちはどうして、恩をあがで返すようなことをしたのか。5 あれは、私の主人が飲む時や将来を占う時に使うものではないか。あなたたちは悪いことをした』」。

6 管理人は一行に追い付き、言われたことを話した。7 彼らは言った。「どうしてそのようなことをおっしゃるのでしょうか。私どもはそんなことをするなど考えもしません。8 袋の口の

第43章

(7) 創 49:3
申 21:17

(7) 創 45:22

第44章

(7) 創 42:25

第2欄

(7) 創 43:12

(7) 創 44:2

(7) 創 43:8
創 44:32

(2) 創 37:7,9

(7) 創 44:5

(7) 創 37:18,28
創 42:21,22

ところへ入っていたお金をお返しするため、カナン地方から持ってきたではありませんか。それなのに、あなたのご主人さまの家から銀や金を盗み出すことなどあり得るでしょうか。9 私たちの中に、それを持っている者が見つかったなら、その者は死なせ、ほかの者はご主人さまの奴隷にしてください。10 管理人は言った。「いいでしょう。しかし、持っていた人が奴隷となります。ほかの人は無罪です」。11 そこで彼らは各自すぐに袋を地面に下ろし、中を開けた。12 管理人は注意深く捜した。一番年上の人からは始め、最後は一番年下の人だった。するとベニヤミンの袋の中に杯が見つかった。

13 それで彼らは自分の衣服を引き裂いた。荷物を再びロバに載せ、町に引き返した。14 ユダと兄弟たちがヨセフの家に入ると、ヨセフはまだそこにいた。彼らはヨセフの前でひれ伏した。15 ヨセフは言った。「あなたがしたこのことは、いったいどういうことなのか。私のような者は正確に将来を占えるということを知らなかったのか」。16 ユダが答えた。「ご主人さまに何を申し上げられるでしょう。何をお話しできるでしょう。どうやって私たちの無実を証明できるでしょう。眞の神は、私たちの過ちを見つけられました。これから私たちはご主人さまの奴隷です。私たちも杯を持っていた

ものもです。17 ヨセフは言った。「そうするつもりはない。杯を持っていた人だけが私の奴隷となる。ほかの人には何もしいない。父親の所に帰りなさい」。

18 ユダはヨセフに近づいて、言った。「お願いです、ご主人さま。どうか、ご主人さまに一言申し上げさせてください。どうかお怒りになりませんように。ご主人さまはファラオのように力のある方です。19 ご主人さまは私たちに、『父親や弟がいるか』とお尋ねになりました。20 それで私たちは、『年老いた父と、父が高齢になってから生まれた一番下の弟がおります。同じ母を持つ唯一の兄が死んだため、その弟だけが残されていて、父はその子を愛しております』とご主人さまに申しあげました。21 その後ご主人さまは、『その者を連れてきて、私がこの目で確かめられるようにしなさい』とおっしゃいました。22 私たちは、『あの弟が父のもとを離れることはできません。もし離れるようなことがあれば、父はきっと死んでしまいます』とご主人さまに申しあげました。23 するとご主人さまは、『一番下の弟が一緒に来ない限り、二度と私の顔を見ることはできない』とおっしゃいました。

24 それで、私たちは父の所に行つて、ご主人さまの言葉を伝えたのです。25 やがて父は、『もう一度行って、食糧を少し買ってきなさい』と言いまし

第44章

(7) 創 44:9

(7) 創 41:44
創 45:8(7) 創 42:13
創 43:7

(2) 創 37:31-34

(7) 創 35:18,19

(7) 創 42:15
創 43:29

(7) 創 42:38

(7) 創 42:20

第2欄

(7) 創 43:2

(7) 創 43:5

(7) 創 29:18
創 30:22-24
創 35:18,19
創 46:19

(2) 創 37:33

(7) 詩 16:10
伝 9:10
ホセ 13:14
使徒 2:27
啓 20:13(7) 創 37:34,35
創 42:38
詩 88:3

(7) 創 43:9

た。26 私たちは言いました。『行くことはできません。一番下の弟が一緒なら行きます。一緒でなければ、あの方の顔を見ることはできないのです』。

27 父は言いました。『あなたたちもよく知っている通り、私の妻が産んだ子は2人だけだった。28 それなのに、1人は私のもとからいなくなった。私は、『あの子はきっと切り裂かれたのだ!』と言った。以来ずっと、あの子を見ていない。29 この子まで私の前から連れていかれ、この子にもしものことがあれば、白髪のは私はあなたたちのせいで苦しみながら墓に入ることになる』。

30 それで、もしこの弟を連れずに父の所に戻るなら、父は弟を自分のことのように愛していますので、31 弟がないのを見てすぐに死んでしまうでしょう。白髪のは私は私たちのせいで悲しみながら墓に入ることになるのです。

32 私は父に、弟については私が責任を負うと申し出、『もし弟を連れて帰らなければ、私は一生、父に対する罪を負います』と言いました。33 ですから、どうか、弟の代わりに私がご主人さまの奴隷として残り、弟は兄たちと一緒に帰れるようにしていただけないでしょうか。34 弟を連れずに父の所に帰ることなど、どうしてできるでしょうか。父が苦しむ姿は見るに堪えません』。

44:29, 31 *ヘブライ語、シェオル。用語集参照。

45 ついにヨセフは、召し使^{め つか}いた
ちの前で気持ちを抑^{おさ}えてい
ることができなくなり、こう言った。「全
員^{せい ぎん}、席^{せき}を外しなさい」。そして自分と兄
弟たちだけになってから、ヨセフは自
分のことを明^あかした。

2 ヨセフは声^{こえ}を上げて泣きだした。
エジプト人^{じん}たちにも聞^きこえるほどで、
ファラオの家の人たちもそれ^{それ}を聞^き
いた。**3** ヨセフは兄弟^{きょうだい}たちに言った。
「私はヨセフです。父はまだ生きていま
すか」。しかし、兄弟^{きょうだい}たちは気^きが動^{どう}転^{てん}
し、何^{なに}も答^{こた}えられなかった。**4** ヨセフ
は言った。「どうぞ、そばに来てくださ
い」。彼らはそばに寄^よった。

ヨセフは言^いった。「私は弟^{わたくし おとうと}のヨセフ
です。皆さんは私^{みな わたくし}をエジプトに売^うりま
した。**5** しかし今は、私^{わたくし}を売^うったこと
で心^{こころ}を痛^{いた}めたり、互^{たが}いに責^せめ合^あったり
はしないでください。皆さんが生き続^{つづ}
けられるよう、神^{かみ}が私^{わたくし}を先^{さき}に遣^{つか}わした
のです。**6** 飢饉^{ききん}になって今は2年目
ですが、耕^がすことも収^{しゅう}穫^{くわく}するともない
年^{とし}があと5年^{ねん}あります。**7** 神^{かみ}は私^{わたくし}を
先^{さき}に遣^{つか}わし、皆さんが生き延^いびて地^ち上^{じょう}
に子孫^{しそん}を残^{のこ}せるよう、大^{おほ}きな救^{すく}いの手^て
を差^さし伸^のべました。**8** ですから、私^{わたくし}
がここに来^くるようにしたの^{みな}は皆さんで
はなく、真^{しん}の神^{かみ}です。私^{わたくし}をファラオの主^{しゅ}
席^{せき}顧問^{もん かん}官^{くわん}、ファラオの家^{いえ}全^{ぜん}体^{たい}の主人^{しゅじん}、
エジプト全^{ぜん}土^どを治^{おさ}める者^{もの}とするため
に、そうなさったのです。

9 急^{いそ}いで私^{わたくし}の父^{ちち}の所^{ところ}に戻^{もど}り、こう

第45章
(7) 創 43:30

(1) 使徒 7:13

(7) 創 37:28
使徒 7:9

(2) 創 47:23,25
創 50:20
詩 105:17

(7) 創 41:30
創 47:18

(7) 創 46:26

(7) 詩 105:21
使徒 7:9,10

第2欄
(7) 創 45:26

(1) 使徒 7:14

(7) 創 46:33,34
創 47:1
出 8:22
出 9:26

(2) 創 47:12

(7) 創 42:23

(7) 創 46:29

(7) 創 47:6

(7) 創 41:39,40

言^いってください。『あなたの子^こヨセフ
がこのように言^いいました。』神^{かみ}は私^{わたくし}を
エジプト全^{ぜん}土^どの主^{しゅ}人^{じん}としました。私の
所^{ところ}に来てください。すぐに来てくださ
い。**10** そして、ぜ^ちひゴシェン^{ほうしん}地方^{ちほう}に
住^すんでください。そうすれば、あなた
も、息^{むすこ}子^こや孫^{まご}も、羊^{ひつじ}や牛^{うし}も、あなた
の全^{すべ}てのものも、私^{わたくし}の近^{ちか}くで暮^くらせませう。
11 そこであなたに食糧^{しょくりょう}を供^{きょう}給^{きゅう}しま
す。そうしないと、あなたと家^か族^{ぞく}、あな
たの全^{すべ}てのものは困^{こん}窮^{きゆう}してしま^うでしよ
う。飢饉^{ききん}はあと5年^{ねん}続^{つづ}くからです』。
12 今^{いま}、皆さんも弟^{おとうと}ベニヤミン^{しゅじん}も自^じ分^{ぶん}
の目^めで見^みている通^{とお}り、確^{たし}かに私^{わたくし}ヨセフ
が話^{はな}しています。**13** ですから、エジ
プトで^{わたくし}の私^{わたくし}のあ^{えい}らゆる栄^{えい}光^{こう}と、皆さん
が見^みた全^{みな}てを、父^{ちち}に話^{はな}してくださ
い。急^{いそ}いで父^{ちち}を連^つれてきてください。

14 それからヨセフは弟^{おとうと}ベニヤミン^{しゅじん}
を抱^だいて泣^なき、ベニヤミンもヨセフに腕^{うで}
を回^{まわ}して泣^ないた。**15** ヨセフは兄弟^{きょうだい}
たち皆^{みな}に口^{くち}づけし、抱^だいて泣^ないた。そ
の後^ご、兄弟^{きょうだい}たちはヨセフと語^{かた}り合^あった。

16 「ヨセフの兄弟^{きょうだい}たちが来^きた!」と
いう知^しらせがファラオの家^{いえ}に届^{とど}き、ファ
ラオと家^け来^{らい}たちは喜^{よろこ}んだ。**17** ファラ
オはヨセフに言^いった。「兄弟^{きょうだい}たちに
こう言^いいなさい。『家^か畜^{ちく}に荷^に物^{ぶつ}を積^つん
でカナン^{ちほう}地方^{ちほう}に行^いき、**18** 父^{ちち}と家^{いえ}
の人^{ひと}たちを連^つれて私^{わたくし}の所^{ところ}に來^きなさい。
エジプト^よの良^よい物^{もの}を与^{あた}えよう。この土^と
地^ちで取^とれる最^{さい}高^{こう}の物^{もの}を食^くべなさい』。

19 そしてこ^こう告^つげなさい。『子^こや妻^{つま}の

ために、エジプトから牛車^{ぎゅうしゃ}を持^もてい
きなさい。その1つに父^{ちち}を乗^のせてここ
に來なさい。20 家財道具^{けざいどうぐ}のことは
心配^{しんぱい}要^いらない。エジプト^{えじぷと}全土^{ぜんと}の最高^{さいこう}
の品々^{しなな}を与^{あた}える』。

21 イスラエルの息子^{むすこ}たちはその
通り^{とお}にし、ヨセフはファラオの命令^{めいれい}
通り牛車^{ぎゅうしゃ}と道中^{どうちゅう}の食^たべ物^{もの}を与^{あた}えた。

22 また、それぞれに着替^きえを渡^{わた}し、
ベニヤミンには銀^{ぎん}300枚^{まい}と着替^きえ5着^{ちやく}
を渡^{わた}した。23 父^{ちち}には、エジプトの良^よ
い物^{もの}を載^のせたロバ^{ろう}10頭^{とう}と、父^{ちち}の道中^{どうちゅう}
のたのめ^めの穀物^{こくもつ}とパン^{ぱん}と他の食^たべ物^{もの}を

積^つんだ雌^めロバ^{ろう}10頭^{とう}を贈^{おく}った。24 こ
うしてヨセフは兄弟^{きょうだい}たちを送^{おく}り出^だした。

出発^{しゅっぱつ}の時^{とき}、ヨセフは兄弟^{きょうだい}たちと
道中^{どうちゅう}でい^いがみ合^あったらしいでください』
と云^いった。

25 彼^{かれ}らはエジプトをた^たって、カナ
ン地方^{かなん}に入り、父^{ちち}ヤコブの所^{ところ}に着^つ
いた。26 そしてヤコブに報^{ほう}告^{こく}した。

「ヨセフは生^いきています！ しかも、エ
ジプト全土^{ぜんと}を治^{おさ}める者^{もの}になっ^なっていま
す」。ヤコブの心^{こころ}は反^{はん}応^{おう}しなかつた。

彼^{かれ}らの言^いうこと^{こと}を信^{しん}じなかつたのであ
る。27 しかし父^{ちち}ヤコブは、ヨセフの
言^いったこと^{こと}を彼^{かれ}らから全^{ぜん}部^ぶ聞^きき、自^じ分^{ぶん}

のたのめ^めにヨセフが用^{よう}意^いしてくれ^いたとい
う牛車^{ぎゅうしゃ}を見^みて、生^{せい}気^きを取^とり戻^{もど}していっ

た。28 イスラエルは言^いった。「そう
か。よく分^わかった。私^{わたし}の子^こヨセフは生^い
きてい^いるのだ！ 死^しぬ前^{まえ}に、あの子^こに
あ^あい^いに行^いこう」。

第45章

(7) 創 45:27
創 46:5

(1) 創 47:9

(7) 創 46:6

(1) 創 43:34

(7) 創 42:21,22

(7) 詩 105:21

(7) 創 42:38
創 44:27,28

(7) 創 46:30

第2欄

第46章

(7) 創 21:31

(1) 創 31:42
出 3:6

(7) 創 28:13

(1) 創 12:1,2
出 1:7
申 26:5

(7) 創 15:16
創 28:15
創 47:29,30
創 50:13

(7) 創 50:1

(7) 出 1:1-4

(7) 創 35:23
代一 5:1

(7) 民 26:5,6

(1) 創 29:33

(7) 民 26:12,13
代一 4:24

46 イスラエルは、家族^{かぞく}と全^{すべ}ての
も^もと共^{とも}に出^{しゅっぱつ}発^{はつ}した。ペエ

ル・シェバ^{しや}に着^つくと、父^{ちち}イサクの神^{かみ}に犧^ぎ
牲^{せい}を捧^{ささ}げた。2 神^{かみ}は夜^{よる}に幻^{まぼろし}の中^{なか}で

イスラエルに話^{はな}し掛^かけ、「ヤコブ、ヤコ
ブ!」と言^いった。イスラエルは、「は
い!」と答^{こた}えた。3 神^{かみ}は言^いった。「私^{わたし}
は真^{しん}の神^{かみ}、あな^{あな}たの父^{ちち}の神^{かみ}である。エ

ジプトに行くこと^{こと}を恐^{おそ}れてはいけ^いない。
私^{わたし}はそこであな^{あな}たから偉^い大な国民^{こくみん}が

生^うまれ^まれるようにする。4 私^{わたし}があな^{あな}た
と共^{とも}にエジプト^{えじぷと}に行^いき、私^{わたし}があな^{あな}たを

そこ^{そこ}から連^つれ戻^{もど}す。また、あな^{あな}たの目^め
はヨセフの手^てで閉^とじられ^める」。

5 その後^ごヤコブはペエル・シェバ^{しゅっぱつ}を
出^{しゅっぱつ}発^{はつ}した。イスラエルの息子^{むすこ}たちは、
ファラオがヤコブのため^{ため}に用^{よう}意^いした牛^{ぎゅう}
車^{しゃ}に、父^{ちち}と子^こ供^{ども}たちと妻^{つま}たちを乗^のせて

い^いった。6 カナン地方^{かなん}で増^ふやした家
畜^{ちく}や財^{ざい}産^{さん}も持^もってい^いった。こうしてヤ
コブは家^か族^{ぞく}全^{ぜん}員^{いん}と一^{いっ}緒^{しょ}にエジプトに

入^{はい}った。7 息子^{むすこ}や娘^{むすめ}や孫^{まご}など、家^か族^{ぞく}
全^{ぜん}員^{いん}をエジプトに連^つれてきたのである。

8 以下^いが、エジプトに入^{はい}ったイスラ
エルの子^し孫^{そん}、つまりヤコブの子^し孫^{そん}の名^な
前^{まえ}である。ヤコブの長^{ちやう}男^{なん}はルベ^るン。

9 ルベンの子^こは、ハノク、パル、
ヘツロン、カルミ。

10 シメオンの子^こは、エムエル、ヤ
ミン、オハド、ヤキン、ツォハル、そし
てカナン人^{じん}女^{じょ}性^{せい}の子^こシャウル。

46:4 *死ぬ時のこと。

11 レビの子は、ゲルシオン、コハト、メラリ。

12 ユダの子は、エル、オナン、シェラ、ペレツ、ゼラハ。しかしエルとオナンはカナン地方で死んだ。

ペレツの子は、ヘツロン、ハムル。

13 イッサカルの子は、トラ、プワ、ヨブ、シムロン。

14 ゼブルンの子は、セレド、エロン、ヤフレエル。

15 ここまでが、パダン・アラムでヤコブとレアの間に生まれた子である。ほかに娘ディナもいた。全部で33人である。

16 ガドの子は、ツフヨン、ハギ、シュニ、エツボン、エリ、アロディ、アルエリ。

17 アシエルの子は、イムナ、イシュワ、イシュビ、ベリア。そして娘のセラハ。

ベリアの子は、ヘベル、マルキエル。

18 ここまでが、ラバンが娘レアに与えた召し使いジルパとヤコブの間に生まれた子である。全部で16人である。

19 ヤコブの妻ラケルの子は、ヨセフ、ベニヤミン。

20 ヨセフにはエジプトでマナセとエフライムが生まれた。オンの祭司ポティフェラの娘アセナトが産んだ子たちである。

第46章

(7) 創 29:34

(1) 代 6:16

(7) 創 29:35

啓 5:5

(22) 創 38:2-5

(7) ルカ 3:23,33

(7) 創 38:30

(4) 創 38:7,9,10

(7) 民 26:21

代 2:5

(7) 民 26:23,24

代 7:1

(2) 創 30:20

(7) 民 26:26

(12) 創 30:21

(22) 創 30:11

(12) 民 26:15-17

(7) 創 30:13

(7) 民 26:44,45

(7) 創 29:24

(7) 創 30:24

(7) 創 35:18

(12) 創 41:51

(7) 創 41:52

(2) 創 41:50

第2欄

(7) 代 7:6

(1) 代 8:1,3

(7) 代 7:12

(22) 民 26:38-40

(7) 創 30:6

(7) 民 26:42

(4) 創 30:8

(7) 民 26:48,49

(7) 創 35:10,11

(2) 出 1:5

申 10:22

使徒 7:14

(7) 創 43:8

創 44:18

(12) 創 45:10

創 47:1

(22) 創 41:39,40

21 ベニヤミンの子は、ベラ、ベケル、アシュベル、ゲラ、ナアマン、エヒ、ロシュ、ムピム、フピム、アルデ。

22 ここまでが、ヤコブとラケルの間に生まれた子である。全部で14人である。

23 ダンの子はフシム。

24 ナフタリの子は、ヤフツエエル、グニ、イエツエル、シレム。

25 ここまでが、ラバンが娘ラケルに与えた召し使いビルハとヤコブの間に生まれた子である。全部で7人である。

26 エジプトに入ったヤコブの子孫は、妻たちを別にすると、全部で66人だった。27 エジプトで生まれた、ヨセフの子は2人だった。それで、エジプトに入ったヤコブの家族は全部で70人である。

28 ヤコブはユダを先に遣わして、ゴシェンに向かっていることをヨセフに伝えさせた。一行がゴシェン地方に入ると、29 ヨセフは自分の兵車を用意させ、父イスラエルを迎えるためにゴシェンに行った。再会すると、ヨセフはすぐに父を抱き締めてしばらく泣いた。30 イスラエルはヨセフに言った。「私はもういつ死んでもいい。あなたが生きていて、顔を見ることができたのだから」。

31 ヨセフは、兄弟たちと父の家の人たちに言った。「ファラオのもとに行つて、こう報告します。『カナン地方

にいた私の兄弟たちと父の家の人たちがやって来ました。32 彼らは羊飼いで、家畜を飼っています。羊や牛など全てのものを連れてきました。』

33 皆さんがファラオと呼ばれて、『職業は何か』と聞かれたら、34 必ずこう言ってください。『私どもは、若い時からずっと家畜を飼ってきました。父祖たちもそうです。』そうすれば、ゴシェン地方に住めるでしょう。エジプト人は羊飼いをひどく嫌っているのです。』

47 ヨセフはファラオのもとに行って報告した。「私の父と兄弟たちが、羊や牛など全てのものを連れてカナン地方からやってきました。今、ゴシェン地方にいます。2 ヨセフは兄弟の中から5人を選び、ファラオのもとに連れていった。』

3 ファラオは兄弟たちに、『職業は何か』と言った。彼らは、『私どもは羊飼いでございます。父祖たちもそうでした』と答えた。4 そしてファラオに言った。「私どもは外国人として住まわせていただきたいと思い、やって参りました。カナン地方は飢饉が厳しく、家畜のための牧草がありません。どうかゴシェン地方に住まわせていただけないでしょうか。5 ファラオはヨセフに言った。「あなたの父親と兄弟たちはあなたの所に来た。6 エジプトの全土はあなたに任されている。父親と兄弟たちを最も良い地域に住

第46章

(7) 創 45:19
使徒 7:13

(1) 創 31:17,18
創 47:3

(7) 創 31:38

(12) 創 46:6

(7) 創 30:35,36

(7) 創 45:17,18
創 47:27

(7) 創 43:32

第47章

(7) 創 46:31

(7) 創 45:10
出 8:22

(12) 使徒 7:13

(7) 創 12:16
創 26:12,14
創 31:17,18
創 46:33,34

(7) 創 15:13
申 26:5
詩 105:23
使徒 7:6

(12) 使徒 7:11

(12) 創 45:10

第2欄

(7) 創 45:17,18

(1) ヨブ 14:1,2

(7) 創 25:7
創 35:28

(12) 創 45:10
出 1:8,11
出 12:37
民 33:3

(7) 創 41:30,31

(7) 創 41:56
創 44:25

ませなさい。ゴシェン地方でも構わない。そして、もし彼らの中に有能な人がいれば、私の家畜を世話させなさい。』

7 それからヨセフは父ヤコブをファラオのもとに連れてきた。ヤコブはファラオに、祝福を祈る言葉を述べた。

8 ファラオはヤコブに、『何歳になるのか』と尋ねた。9 ヤコブは言った。「各地を転々としながら130年生きてきました。短い、苦難の人生でした。父祖たちが各地を転々としながら生きた年月には及びません。10 ヤコブはファラオに祝福を祈る言葉を述べて、出ていった。

11 こうしてヨセフは、ファラオの命令通り、父と兄弟たちをエジプトに住ませ、最も良い地域であるラメセスにある土地を与えた。12 そして父と兄弟たちと父の家全体に、子供の数に応じて食糧を供給し続けた。

13 さて、飢饉は非常に厳しく、全土から食糧がなくなった。エジプトでもカナン地方でも飢饉のために人々は弱り果てた。14 ヨセフは人々に穀物を持って、エジプトとカナン地方の全てのお金を集めてファラオの家に納めていった。15 やがてエジプトとカナン地方のお金は尽き、エジプト人は皆ヨセフの所に来てこう言うようになった。「食糧を下さい! お金が無くなったというだけで、どうして私たち

47:9 *または、「外国人として生活しながら」。

はあなたの^{まえ}前で死ななければいけな^いいのでしょ^ううか」。16 ヨセフは言^いった。「お金^{かね}がなくな^{つた}のであれば、家畜^{ちく}を渡^{わた}しなさい。そうす^られば、引^ひき換^かえに食糧^{しよくりやう}をあげま^しょう」。17 それで人^{ひと}々は家畜^{かちく}をヨセフの所^{ところ}に連れてくるようになった。ヨセフは、馬^{うま}、羊^{ひつじ}、牛^{うし}、ロバ^ろと引^ひき換^かえに食糧^{しよくりやう}を与^{あた}えてい^いった。その年^{とし}の間^{あいだ}ずっと家畜^{かちく}と引^ひき換^かえに食糧^{しよくりやう}を供^{きょう}給^{きゅう}した。

18 その年^{とし}が終^おわり、次^{つぎ}の年^{とし}になると、人々^{ひとびと}はまたヨセフの所^{ところ}に來^きてこう言^いった。「ご主人^{しゅじん}さまにありのままを申^{もう}し上げます。お金^{かね}も家畜^{かちく}もご主人^{しゅじん}さまにお渡^{わた}してしま^いいました。私^{わたし}たちの体^{からだ}と土地^{とち}以外^{いがい}、お渡^{わた}しできる物^{もの}は何^{なに}も残^{のこ}っていません。19 どうしてあなたの前^{まえ}で私^{わたし}たちが死^しに、土地^{とち}が荒廢^{こうはい}してよい^いでしょ^ううか。私^{わたし}たちと土地^{とち}を買^かい、代価^{だい}として食糧^{しよくりやう}を与^{あた}えてくだ^いさい。私^{わたし}たちはファラオの奴隸^{なん}になり、土地^{とち}もファラオのものになります。そして種^{たね}を与^{あた}えてくだ^いさい。そうす^られば、私^{わたし}たちは死^しなずに生^いき延^のびることができ、土地^{とち}も荒廢^{こうはい}せずに済^すみます」。20 それでヨセフはエジプト^{じん}の全^{すべ}ての土地^{とち}をファラオのために買^かい取^とった。飢饉^{ききん}は非常^{ひじょう}に厳^{きび}しく、エジプト^{じん}人^{じん}たちが自分^{じぶん}の畑^{はたけ}を売^うったからである。こうして土^ち地^ちはファラオのものにな^なった。

21 ヨセフはまた、エジプト^{りやうど}の領土^{りやうど}中^{ちゅう}で、人々^{ひとびと}を町^{まち}に移^い動^{どう}させた。22 た^ただ祭司^{さいし}の土地^{とち}は買^かい取^とらなかつた。

第47章

(7) 創 41:48,49

(1) 創 41:45

第2欄

(7) 創 41:34

(1) 創 45:5

使徒 7:11

(7) 創 47:19

(2) 創 47:22

(7) 創 47:4

(7) 出 1:7

申 10:22

詩 105:24

使徒 7:17

(7) 創 47:9

(7) 創 49:33

(7) 創 46:4

創 50:13

使徒 7:15,16

(7) 創 25:9,10

創 49:29,30

祭司^{さいし}はファラオから食糧^{しよくりやう}を配給^{はいきゅう}されてお^り、それを食^たべて生活^{せいかつ}できたので土^ち地^ちを売^うらなかつたのである。23 ヨセフは人々^{ひとびと}に言^いった。「今日^{けふ}、皆^{みな}さんと皆^{みな}さんの土地^{とち}をファラオのために買^かい取^とりました。種^{たね}を渡^{わた}します。土地^{とち}にま^まきなさい。24 収獲^{しゅうかく}したなら、5分^{ぶん}の1をファラオに納^{おさ}めなさい。5分^{ぶん}の4は皆^{みな}さんの分^{ぶん}です。畑^{はたけ}にま^まく種^{たね}や、皆^{みな}さんと家^{いえ}の人^{ひと}たちと子^こ供^{ども}たちの食物^{しょくもつ}としなさい。25 人々^{ひとびと}は言^いった。「ご主人^{しゅじん}さま、あなたは命^{いのち}を救^{すく}ってくださいまし^た。認^りめていただけるなら、私^{わたし}たちはファラオの奴隸^どになります」。26 それでヨセフは、エジプト^{ぶん}の土地^{とち}について、5分^{ぶん}の1はファラオのものであると定^{さだ}めた。これは今^{いま}も有^{ゆう}効^{こう}である。ファラオのものにな^ならなかつたのは、祭司^{さいし}の土地^{とち}だけだ^だった。

27 イスラエルはエジプト^ちのゴシエ^{ごしえ}ン地方^{ちほう}に住^すみ続^{つづ}け、一族^{いちぞく}はそこ^こに定^{てい}住^{じゅう}し、子^こを生^うんで非常^{ひじょう}に多^おくな^なった。

28 ヤコブはエジプト^ちで17年^{ねん}生^{せい}きた。ヤコブの生涯^{しょうが}は147年^{ねん}だ^だった。

29 イスラエルは死^しが近^{ちか}いことが分^わかると、息子^{むすこ}ヨセフを呼^よんで言^いった。私^{わたし}のこ^こを思^{おも}ってく^くれているなら、私^{わたし}のもの^{もの}の下^{した}に手^てを置^おき、私^{わたし}に揺^ゆるぎな^ない愛^{あい}を示^{しめ}して支^さえ続^{つづ}けると誓^{ちか}ってく^くれないか。私^{わたし}をエジプト^{ほうむ}に葬^{ほうむ}らないでほ^ほしい。30 私^{わたし}が死^しんだら、ぜ^ぜび私^{わたし}をエジプト^{はこ}から運^ふび出^でし、父^ふ祖^そたち^{たち}の墓^{はか}に葬^{はこ}ってほ^ほしい」。ヨセフは言^いった。「その通^{とお}りにしま^ます」。31 イスラエル

は言った。「誓^{ちか}てくれないか」。それでヨセフは誓^{ちか}った。イスラエルはベッドの枕^{まくら}の所で頭^{あたま}を下^さげた。

48 こうしたことの後^{あと}、ヨセフに、「お父さまは弱^{よわ}てきています」という知らせがあった。そこでヨセフは2人の息子^{ふたり}、マナセとエフライムを連れてい^つった。**2** ヤコブは、「あなたの子ヨセフが来^きました」という知らせを受^うけた。イスラエルは力を振^ふり絞^{しぼ}ってベッドの上^{うへ}で体^{からだ}をおこした。

3 ヤコブはヨセフに言^いった。

「カナン地方^{ちほう}のルズで、全能^{ぜんのう}の神^{かみ}が私^{わたし}に現^{あらわ}れて祝福^{しゆくふく}してくださった。

4 神^{かみ}はこう言^いわれた。『私^{わたし}はあなたに子^こが生ま^うまれて増^ふえるようにし、あなたが生き^{いき}たみ^{たま}き^きしよ^うう^うに、あなたがわたし^{わたし}の民^{しん}が生^{せい}じるようにする。私^{わたし}はあなたの子孫^{しそん}にこの地方^{ちほう}を与^{たま}え、そこはずっとあなたの子孫^{しそん}のものになる』。**5** 私^{わたし}がエジプトのあなた^{あなた}の所^{ところ}に来^きる前^{まえ}にエジプトであなたに生ま^うれたふたり^{ふたり}の息子^{むすこ}、私^{わたし}のものだ。エフ

ライムとマナセは、ルベンやシメオンと同じように、私^{わたし}のものになる。**6** しかし、彼らの後^{あと}にあなたに生まれる子^こはあなた^{あなた}のものだ。その子^こたちは兄弟^{きょうだい}たちの相^{そう}続^{ぞく}地に住^すみ、兄弟^{きょうだい}たちの名^な前^{まえ}で呼^よばれる。**7** 私^{わたし}についてい^いえ^えば、パダンからの道^{どう}中^{ちゆう}、カナン地方^{ちほう}でのこと、ラケルが私^{わたし}のそばで死^しんだ。エフラトまでまだかなり距離^{きょり}がある場所^{ばしょ}だった。それで彼女^{かのじょ}をそこ、エフラト

第47章

(7) 創 50:5

(4) ヘブ 11:21

第48章

(7) 創 41:50
ヨシ 14:4(2) 創 28:13,19
ホセ 12:4

(2) 創 35:10,11

(7) 創 28:13,14

(2) ヨシ 14:4
代一 5:1

(7) 創 35:23

(7) ヨシ 13:29
ヨシ 16:5

(2) 創 35:19

(7) ミカ 5:2

第2欄

(7) サ一 17:12
マタ 2:6

(4) 創 41:50

(7) ヘブ 11:21

(2) 創 37:34,35
創 42:36
創 46:30

(7) 創 41:52

(7) 創 41:51

(2) 創 41:51
創 46:20

(7) 代一 5:2

(7) 創 17:1
創 24:40(2) 創 28:13
詩 23:1

つまりベツレヘム^{べつれへむ}に向^むかう道^{みち}のそばで葬^{むすこ}った」。

8 イスラエルはヨセフの息子^{むすこ}たちを見^みて、言^いった。「そこにいるのは誰^{だれ}なのか」。**9** ヨセフは父^{ちち}に言^いった。「ここで神^{かみ}から授^{さず}かった私^{わたし}の息子^{むすこ}たちです」。イスラエルは言^いった。「こちらに連^つれてきなさい。その子^こたちのために祝福^{しゆくふく}を願^{ねが}い求^{もと}めよう」。**10** イスラエルは年のせい^{とし}で目^めがほとんど見えなくなっていた。それでヨセフが2人^{ふたり}をすく近^{ちか}くに連^つれていくと、イスラエルは口^{くち}づけして2人^{ふたり}を抱^だき締^しめた。**11** イスラエルはヨセフに言^いった。「あなたの顔^{かお}さえ見^みられるとは思^{おも}っていなかったのに、神^{かみ}はあなたの子供^{こども}たちまで見^みさせてくださった」。**12** ヨセフは2人^{ふたり}をイスラエルの膝^{ひざ}元^{もと}から離^{はな}れさせ、ひれ伏^ふした。

13 それからヨセフは、右^{みぎ}手^てでエフライムをイスラエルの左^{ひだり}側^{がわ}に、左^{ひだり}手^てでマナセをイスラエルの右^{みぎ}側^{がわ}に行^いかせ、2人^{ふたり}をイスラエルに近^{ちか}寄せた。

14 ところが、イスラエルは右^{みぎ}手^てを出^だして、下^{した}の子^このエフライムの頭^{あたま}に置^おき、左^{ひだり}手^てをマナセの頭^{あたま}に置^おいた。マナセが長^{ちやう}男^{なん}だったのに、あえてそのように手^てを置^おいた。**15** そしてヨセフのた^しめ^めに祝福^{しゆくふく}を願^{ねが}い求^{もと}めた。

「私^{わたし}の父^ふ祖^そアブラハムとイサクが従^{したが}った真^{しん}の神^{かみ}、今日^{きょう}まで生涯^{しやうがい}にわたって私^{わたし}の牧^{ぼく}者^{しや}とな^なってくださった真^{しん}の神^{かみ}、

16 天使によってあらゆる苦難から立ち直らせてくださった方よ、この子たちを祝福してください。この子たちによって、私の名前や私の父祖アブラハムとイサクの名前が知られますように。この子たちの子孫が地上で多くなりますように。

17 ヨセフは、父が右手をずっとエフライムの頭に置いているのを見て、快く思わず、父の手を持ってエフライムの頭からマナセの頭に移そうとした。

18 ヨセフは父に言った。「そうではありません、お父さん。こちらが長男です。この子の頭に右手を置いてください」。19 しかし父はかたくなに拒んで言った。「分かっている、ヨセフ。分かっている。その子も1つの民となり、偉大な者となる。だが、弟はその子より偉大な者となり、弟の子孫は幾つもの国ができるほど多くなる」。20 そしてその日、2人のためにさらに祝福を願い求めた。

「イスラエルの民が互いのために祝福を願う時、あなたのことに触れて、こう言いますように。『神があなたを、エフライムやマナセのようにされますように』」。

こうして父はあくまでエフライムをマナセよりも先に挙げた。

21 イスラエルはヨセフに言った。「私はもうすぐ死ぬ。しかし神は、こ

第48章

(7) 創 28:15
創 31:11
詩 34:7

(1) 創 32:26

(7) 出 1:7
民 26:34, 37

(1) 創 41:51

(7) 民 2:18-21

(7) 民 1:32, 33

(7) ヘブ 11:21

(7) 創 50:24

第2欄

(7) 創 15:14
創 26:3
申 31:8

第49章

(1) 申 33:6

(7) 創 29:32
出 6:14
代一 5:1

(1) 創 35:22

(7) 創 29:33, 34
創 35:23

(7) 創 34:25

(7) 創 34:7

(7) 創 34:25

(7) ヨシ 19:1
ヨシ 21:41

(1) 創 29:35
申 33:7

(7) 創 43:8, 9
創 46:28
代一 5:2

(1) 裁 1:2

れからも必ずあなたたちと共にいて、父祖たちの土地に帰らせてくださる。

22 私はあなたに、兄弟たちより1地域多く土地を与える。私がアモリ人から剣と弓によって取得した土地だ。

49 ヤコブは息子たちを呼んで、言った。「みんな集まりなさい。最後の日々にあなたたちに起きることを話そう。2 ヤコブの息子たち、集まって聞きなさい。父イスラエルのことばを聞きなさい。言葉に耳を傾けなさい。

3 ルベン、あなたは私の長男、私の活力、私の生殖力が初めに生み出したもの。秀でた威厳と秀でた力があつた。4 だが、荒れ狂う水のように奔放なため、秀でることはない。父のベッドに上がったからだ。あの時、あなたは私のベッドを汚した。そこに上がったのだ。

5 シメオンとレビは兄弟。武器を用いて暴力を振るう。6 私が彼らの仲間になることがありますように。私が彼らの集いに加わりませんように。彼らは怒りに任せて人を殺し、雄牛の膝のけんを切って楽しんでからだ。7 彼らのひどい怒りと激しい憤りは、災いを受けよ。彼らをヤコブの中に追いや散らし、イスラエルの中に散らそう。

8 ユダ、兄弟たちはあなたを称賛する。あなたの手は敵の首を押さえる。あなたの父の子たちはあなたの前

48:22 * または、「1斜面」。直訳、「一肩」。49:6 * もしかすると、「私の心の傾向」。直訳、「私の栄光」。

でひれ伏す。9 ユダはライオンの子。
ユダ、あなたは必ず獲物の所から立ち
上がる。ライオンのように身をかがめ、
身を伸ばした。ライオンを誰があえて
起こすだろうか。10 王笏はユダから
離れず、司令官のつえも足の間から
離れない。ついにシロが来て、あらゆる
民が彼に従う。11 彼はロバをブ
ドウの木に、子ロバを立派なブドウの
木につなぎ、衣服をぶどう酒で、服を
ぶドウの果汁で洗う。12 彼の目は
ぶどう酒によって赤く、彼の歯はミル
クによって白い。

13 ゼブルンは海辺に、船が止まる
岸辺に住む。遠い側はシドンの方に
向く。

14 イッサカルは骨太なロバ、2つ
の荷物の中で身を伏せる。15 彼に
とって、休み場は良く、土地は好まし
い。彼は肩を下げて重い荷を担い、強
制労働に服する。

16 ダンはイスラエルの1部族と
して民を裁く。17 ダンは道端の
蛇、道沿いの角蛇となれ。馬のかかと
をかねで乗り手を後ろへ落とすのだ。

18 エホバ、私はあなたからの救いを
待つ。

19 ガドは略奪隊に襲われる。だが、
彼らのかかへと襲い掛かる。

20 アシエルパンは豊かになる。
彼は王にふさわしい食事を出す。

49:10 *意味、「それを持つ者」、「それが属する
者」。49:14 *荷役動物の荷物のこと。49:20
*または、「食物」。

第49章

(例)民 10:14

サニ 5:3

(例)啓 5:5

(例)民 24:17

サニ 2:4

サニ 7:16,17

(例)イザ 9:6

エゼ 21:27

ルカ 1:32

ヘブ 7:14

(例)詩 2:8

イザ 11:10

マタ 2:6

(例)申 33:18,19

(例)マタ 4:13

(例)ヨシ 19:10

(例)申 33:18

代一 7:5

(例)申 33:22

(例)裁 13:2,24

裁 15:20

(例)裁 14:19

裁 15:15

(例)申 33:20

(例)ヨシ 13:8

(例)申 33:24

(例)王一 4:7,16

第2欄

(例)申 33:23

(例)マタ 4:13,15

(例)申 33:13-17

(例)創 37:5,8

創 40:15

(例)創 50:20

(例)ヨシ 1:1,6

裁 11:32

(例)申 33:13

(例)ヨシ 17:14

(例)申 33:16

(例)申 33:12

(例)裁 20:15,16

サ一 9:16

(例)エス 2:5

エス 8:7

(例)ヘブ 11:21

(例)創 35:29

創 49:33

(例)創 23:17,18

21 ナフタリはすらりとした雌鹿。優
美な言葉を話す。

22 ヨセフは実を結ぶ木の枝、泉の
そばで実を結ぶ木の枝。その木の枝
は堀を越えて伸びる。23 だが、弓を
射る人たちが彼を攻めて狙い撃ち、敵
意を抱き続けた。24 それでも彼の
弓は準備が整っており、彼の手は常に
力強くしなやかだった。それは、ヤコ
ブの強力な者の手、イスラエルの石で
ある牧者による。25 ヨセフは父の
神から出る者。神はあなたを助ける。
ヨセフは全能者と共にいる。神はあな
たを祝福する。上は天からの祝福、下
は深みからの祝福、そして乳房と母胎
の祝福。26 あなたの父の祝福は永
続する山の祝福に勝り、永久にある丘
の恩恵に勝る。祝福はヨセフの頭に、
兄弟たちの中から選び出された者の
頭のとっぺんにとどまる。

27 ベニヤミンはオオカミのように
かみ裂く。朝には獲物を食い、晩には
奪った物を分ける。

28 イスラエルの12部族がこれら
の人から生まれた。父は彼らのため
に祝福を願い求めた時に以上の事柄
を語った。一人一人にふさわしい祝福
だった。

29 その後ヤコブは彼らに命じた。
「私は先祖たちと共に横たわろうとし
ている。へト人エフロン土地にある
洞窟に、父祖たちと一緒に葬ってほし
い。30 カナン地方のママレに面し

たマクペラの土地にある洞窟だ。アブラハムはその土地をヘト人エフロ
ンから買い取って墓地にした。31 そ
こにはアブラハムと妻のサラが葬ら
れ、イサクと妻のリベカも葬られた。
私もそこにレアを葬った。32 その土
地とそこにある洞窟はヘトの子孫たち
から買い取ったものだ。」

33 ヤコブは息子たちに指示を与
え終えた。そしてベッドの上に足を戻
して、息を引き取り、先祖たちと共に横
たわった。

50 ヨセフは父の上に泣き崩れ、
口づけした。2 その後ヨセ
フは召し使いや医者たちに、父の遺体
の防腐処置を命じた。医者たちはイ
スラエルに防腐処置を施した。3 丸
40日を費やした。防腐処置にはそれ
だけの日数をかけるのである。エジプ
ト人は彼のために70日間涙を流した。

4 ヨセフは父の喪の期間が終わる
と、ファラオの廷臣たちに言った。「も
し私のことを好意的に見てくれている
のでしたら、ファラオにこう伝えてくだ
さい。5 『父は、「私はもうすぐ死ぬ。
私がカナン地方で掘り抜いた墓に葬っ
てほしい」と言って、私に誓わせまし
た。それで、父を葬りに行かせてくだ
さい。済んだら戻ってきます』。6 ファ
ラオは答えた。「行って、あなたの父親
が誓わせた通りに葬てきなさい。」

7 ヨセフは父を葬るために出掛け

50:4 *または、「家の人たち」。

第49章

(㉔) 創 23:2,19
創 25:9,10

(㉔) 創 35:29

(㉔) 創 23:17,18

(㉔) 使徒 7:15

第50章

(㉔) 創 46:4

(㉔) 創 50:26

(㉔) 創 48:21

(㉔) 創 23:17,18
創 49:29,30

(㉔) 創 46:4
創 47:29

(㉔) 創 47:29-31

(㉔) 創 47:31

第2欄

(㉔) 詩 105:21,22

(㉔) 創 46:27

(㉔) 創 41:43
創 46:29

(㉔) 創 47:29

(㉔) 創 23:17,18
創 25:9,10
創 35:27
創 49:29,30

(㉔) 創 37:18,28
創 42:21
詩 105:17

た。ファラオの全ての家来、宮廷の長
老たち、エジプトの全ての長老たちも
共に行った。8 ヨセフの家の全ての
人、兄弟たち、父の家の人たちも一緒
だった。小さな子供たちと羊や牛はゴ
シェン地方に残した。9 兵車や騎手
たちも共に行き、一行は非常に大勢に
なった。10 そうして一行は、ヨルダ
ン地方のアタドの脱穀場に来た。彼ら
はそこで盛大で厳粛な葬儀を行った。
ヨセフの父のための葬儀は7日間続
いた。11 地元のカナン人は、アタド
の脱穀場での葬儀を見て、「エジプ
ト人の盛大な葬儀だ」と言った。そのた
め、ヨルダン地方にあるその場所は、
アベル・ミツライムと名付けられた。

12 ヤコブの息子たちは、父に指示
された通りにした。13 ヤコブをカ
ナン地方に運び、マムレに面したマク
ペラの土地にある洞窟に葬ったので
ある。アブラハムがヘト人エフロ
ンから買い取って墓地にした場所である。
14 ヨセフは父を葬り終えると、兄弟
たちや、葬るために一緒に行った全て
の人とエジプトに帰った。

15 父が死ぬと、ヨセフの兄弟たち
は言った。「ヨセフは私たちに恨みを
抱いていて、彼にした悪いことの仕返
しをしてくるかもしれない」。16 そ
れで兄弟たちはヨセフに次の言葉を
伝えた。「父は死ぬ前にこう命じまし
た。17 『ヨセフにこう伝えなさい。

50:11 *意味、「エジプト人の葬儀」。

「私^{わたし}からのお願^{ねが}い^がい^いだ。兄弟^{きょうだい}たちの違^{ちが}い^{はん}反^{はん}とあなたに害^{がい}を加^{くわ}えた罪^{つみ}を許^{ゆる}してやってほしい^い。』それで、あなた^{あなた}の父^{ちち}の神^{かみ}に仕^{つか}える者^{もの}たちの違^{ちが}い^{はん}反^{はん}をどうか許^{ゆる}してください^い。ヨセフはそれ^{それ}を聞^きくと、涙^{なみだ}を流^{なが}した。18 兄弟^{きょうだい}たちもやっ^やって来^きて、ヨセフの前^{まえ}でひれ伏^ふし、こう言^いった。「この通^{とお}り、私^{わたし}たちはあなた^{あなた}の奴^{やつ}隷^{れい}です」。19 ヨセフは言^いった。「恐^{おそ}れな^れい^いでくだ^さい。私^{わたし}が神^{かみ}だともい^いうのでし^しょうか。20 皆^{みな}さん^{さん}は私^{わたし}に對^{たい}して悪^{わる}いこと^{こと}をた^たくらみ^みしま^ましたが、神^{かみ}はそれ^{それ}を良^よいこと^{こと}につな^つな^なげて、多^{おほ}く^くの人^{ひと}が生^いき延^のび^びらる^るよう^{よう}にし^しよう^{よう}と考^{かんが}えま^ました。そし^して^て今^{いま}、実^じ際^{さい}にそ^そうな^なさ^さっていま^{いま}。21 だ^だす^すから恐^{おそ}れな^れい^いでくだ^さい。私^{わたし}はこれ^{これ}か^からも皆^{みな}さん^{さん}と小^{ちひ}さな^な子^こ供^{ども}たち^{たち}に食^{しょく}物^{もつ}を供^{きやう}給^{きやう}しま^ます。この^こよう^{よう}にヨセフは兄^{きやうだい}弟^{あんしん}たち^{たち}を安^{やす}心^{はな}させ、優^{やす}しく話^{はな}した。

第50章

(7) 創 37:7-9

(1) 創 37:18

(7) 創 45:5
詩 105:17

(14) 創 47:12

第2欄

(7) 代 7:20

(1) ヨシ 17:1
代 7:14

(7) 出 4:31

(14) 創 12:7
創 17:8
創 26:3
創 28:13(7) 出 13:19
ヨシ 24:32
ヘブ 11:22

(7) 創 50:2

22 ヨセフと父^{ちち}の家^{いえ}の人^{ひと}たちはその^ご後^ごもエジプト^{えじぷと}に住^すんだ。ヨセフは110年^{ねん}生^いきた。23 ヨセフはエフ^{えふ}ラ^らイ^いム^むの3^{だい}代^め目^しの子^み孫^{そん}を見た。また、マナセ^{まなせ}の子^こマ^まリ^りの^り子^こたち^{たち}も見^みた。ヨセフはそ^ごの^こ子^こたち^{たち}を自^じ分^{ぶん}の^こ子^この^{よう}に^かわ^わい^いが^がつた。24 や^やが^がて^てヨセフは兄^{きょうだい}弟^{だい}たち^{たち}に言^いった。「私^{わたし}はもう^{もう}す^すぐ^ぐ死^しに^にま^ます。し^しかし^し神^{かみ}は皆^{みな}さん^{さん}に必^{かな}ず^ず注^{ちゆう}意^いを^を向^むけ、皆^{みな}さん^{さん}をこ^ここ^こら^ら、ア^あブ^ぶラ^らハ^ハム^むとイ^いサ^さク^くとヤ^やコ^こブ^ぶに誓^{ちか}つた^た地^ち方^{ほう}に必^{かな}ず^ず連^{れん}れてい^いっ^くて^くだ^さい^ます。25 そ^それ^れか^からイ^いス^すラ^らエ^えル^るの^し子^{そん}孫^{つぎ}に^に次^{つぎ}の^いよ^うに^い言^いい、誓^{ちか}わ^わせ^せた。「神^{かみ}は皆^{みな}さん^{さん}に必^{かな}ず^ず注^{ちゆう}意^いを^を向^むけ^てく^くだ^さい^ます。ぜ^ぜひ^ひと^とも私^{わたし}の^{ほね}骨^{ほね}をこ^ここ^こら^ら運^{はこ}び^び出^だし^して^てく^くだ^さい^ます。26 ヨセフは110歳^{さい}で死^しに、エ^えジ^じプ^ぷト^とで防^{ぼう}腐^ふ処^{しよ}置^ちを^を施^{ほどこ}さ^されて^てひ^ひつ^つぎ^ぎに^に入^いれ^れら^られた。

50:23 *直訳、「彼らはヨセフの膝に生まれた」。

出エジプト記

概 要

- 1 イスラエル人はエジプトで増える (1-7)
ファラオはイスラエル人を圧迫する (8-14)
神を畏れる助産婦たちは命を救う (15-22)
- 2 モーセの誕生 (1-4)
ファラオの娘がモーセを養子にする (5-10)
モーセはミディアンに逃げ、チッボラと結婚する (11-22)
神はイスラエル人のうめきを聞く (23-25)
- 3 モーセと燃えるいばらの木 (1-12)

- エホバはご自分の名について説明する (13-15)
エホバはモーセに指示を与える (16-22)
- 4 モーセが行う3つの奇跡 (1-9)
モーセは自分は適任でないと感じる (10-17)
モーセはエジプトに戻る (18-26)
モーセはアロンと再会する (27-31)
 - 5 モーセとアロンはファラオの前に出る (1-5)
圧迫が強まる (6-18)
イスラエルはモーセとアロンを責める (19-23)

- 6 解放の約束が再び語られる (1-13)
エホバの名は十分に知られていない (2, 3)
モーセとアロンの系譜 (14-27)
モーセは再びファラオの前に出る (28-30)
- 7 エホバはモーセを力づける (1-7)
アロンのつえが大蛇になる (8-13)
災厄1: 水が血に変わる (14-25)
- 8 災厄2: カエル (1-15)
災厄3: ブヨ (16-19)
災厄4: アブ (20-32)
ゴシェンは被害を受けない (22, 23)
- 9 災厄5: 家畜の死 (1-7)
災厄6: 人間と動物に腫れ物 (8-12)
災厄7: ひょう (13-35)
ファラオが神の力を見るため (16)
エホバの名が広まるため (16)
- 10 災厄8: バッタ (1-20)
災厄9: 闇 (21-29)
- 11 10番目の災厄の知らせ (1-10)
イスラエル人は銀や金の物品を求める (2)
- 12 過ぎ越しの制定 (1-28)
血を戸口の柱に付ける (7)
災厄10: 初子が殺される (29-32)
エジプトを出る (33-42)
430年の終わり (40, 41)
過ぎ越しへの参加に関する指示 (43-51)
- 13 最初に生まれる男や雄は全てエホバのもの (1, 2)
無酵母パンの祭り (3-10)
最初に生まれる男や雄は全て神に差し出す (11-16)
イスラエルは紅海の方へ導かれる (17-20)
雲の柱、火の柱 (21, 22)
- 14 イスラエルは海に着く (1-4)
ファラオはイスラエルを追う (5-14)
イスラエルは紅海を渡る (15-25)
エジプト人は海で溺れ死ぬ (26-28)
イスラエルはエホバを信じるようになる (29-31)
- 15 モーセとイスラエルの勝利の歌 (1-19)
ミリアムが呼応して歌う (20, 21)
苦い水が飲めるようになる (22-27)
- 16 民は食べ物について不満を口にする (1-3)
エホバは不満を聞く (4-12)
ウズラとマナが与えられる (13-21)
安息日にマナはない (22-30)
マナを記念として保管する (31-36)
- 17 ホレブで、水がないという苦情が出る (1-4)
岩から水が出る (5-7)
アマレク人に攻められるが、打ち破る (8-16)
- 18 エテロとチツボラが到着する (1-12)
裁判人を任命するようエテロが助言する (13-27)
- 19 シナイ山で (1-25)
イスラエルは祭司たちが治める王国となる (5, 6)
民は神に会うために神聖なものとされる (14, 15)
- 20 十戒 (1-17)
イスラエルは壮大な光景を見て恐れる (18-21)
崇拝に関する指示 (22-26)
- 21 イスラエルの法規 (1-36)
ヘブライ人の奴隷 (2-11)
仲間への傷害 (12-27)
動物 (28-36)
- 22 イスラエルの法規 (1-31)
盗み (1-4)
作物の被害 (5, 6)
弁償と所有権 (7-15)
性的誘惑 (16, 17)
崇拝と社会的公正 (18-31)
- 23 イスラエルの法規 (1-19)
正直で公正な行い (1-9)
安息と祭り (10-19)
イスラエルを導く天使 (20-26)
土地の取得と領土 (27-33)
- 24 民は契約を守ることに同意する (1-11)
モーセはシナイ山に登る (12-18)
- 25 幕屋のための寄進物 (1-9)
箱 (10-22)
食卓 (23-30)
ランプ台 (31-40)
- 26 幕屋 (1-37)
布 (1-14)
木枠と受け台 (15-30)
2つの幕 (31-37)

- 27 全焼の捧げ物の祭壇 (1-8)
庭 (9-19)
ランプ台用の油 (20, 21)
- 28 祭司の服 (1-5)
エフォド (6-14)
胸掛け (15-30)
ウリムとトンミム (30)
袖なしの上着 (31-35)
ターバンと金の板 (36-39)
他の祭司の服 (40-43)
- 29 祭司の任命 (1-37)
日々の捧げ物 (38-46)
- 30 香の祭壇 (1-10)
人口調査と、贖罪のための銀 (11-16)
洗うための銅の水盤 (17-21)
注ぎ油の特別な配合 (22-33)
聖なる香の作り方 (34-38)
- 31 職人に神の聖なる力を満たす (1-11)
安息日、神とイスラエルの間のしるし (12-17)
2枚の石板 (18)
- 32 金の子牛の崇拜 (1-35)
モーセは聞き慣れない歌声を聞く (17, 18)
モーセは律法の石板を砕く (19)
レビ族はエホバの側にいる (26-29)
- 33 神の戒めの言葉 (1-6)
宿営の外に会見の天幕を張る (7-11)
モーセはエホバの栄光を見せてくださいと頼む (12-23)
- 34 新しい石板を用意する (1-4)
モーセはエホバの栄光を見る (5-9)
契約の内容が再び述べられる (10-28)
モーセの顔が光を放つ (29-35)
- 35 安息日に関する指示 (1-3)
幕屋のための寄進物 (4-29)
ベザレルとオホリアブが聖なる力に満たされる (30-35)
- 36 十分以上に寄進される (1-7)
幕屋を造る (8-38)
- 37 箱を作る (1-9)
食卓 (10-16)
ランプ台 (17-24)
香の祭壇 (25-29)
- 38 全焼の捧げ物の祭壇 (1-7)
銅の水盤 (8)
庭 (9-20)
幕屋の資材の目録 (21-31)
- 39 祭司の服を作る (1)
エフォド (2-7)
胸掛け (8-21)
袖なしの上着 (22-26)
他の祭司の服 (27-29)
金の板 (30, 31)
モーセが幕屋を調べる (32-43)
- 40 幕屋を組み立てる (1-33)
エホバの栄光が幕屋に満ちる (34-38)

1 エジプトに^き来たイスラエルの^{むすこ}息子たちの名前^{なまえ}は以下の通り^{い か とお}である。それぞれ家の人たち^{いえ}を連れて^{ひと}ヤコブ^とと共に^{とも}来た。**2** ルベン、シメオン、レビ、ユダ、**3** イッサカル、ゼブルン、ベニヤミン、**4** ダン、ナフタリ、ガド、アシェル。**5** ヤコブの子孫^しは合計^し70人^{じん}だった。ヨセフはすでにエジプト

1:5 * または、「ももから出た人たち」。

第1章

(7) 創 46:8

(1) 代一 2:3,4

(1) 創 46:17

第2欄

(7) 創 46:26

申 10:22

使徒 7:14

(1) 創 50:26

(1) 創 46:3

申 26:5

使徒 7:17-19

にいた。**6** やがてヨセフは死に^し、兄弟たちとその世代の人々も皆死んだ。

7 イスラエル人は子を生んで大いに増え始め、非常に勢いで多く強大になっていき、その地域はイスラエル人でいっぱいになった。

8 やがて、ヨセフのことを知らない新しい王がエジプトを治め始めた。

9 そして自分の民に言った。「見ろ、イ

イスラエルの民はわれわれより多くて強い。10 うまくやってあの者たちが増えないようにしよう。そうしないと、戦争が起きたら、彼らは敵に付いてわれわれと戦い、この国から出ていってしまう。

11 それで、イスラエルの民に重労働をさせて虐げるため、強制労働の長たちが置かれた。そしてファラオのものを蓄えておく町ピトムとラアムセスが築かれた。12 しかしイスラエル人は圧迫されればされるほど、増えて広がっていった。エジプト人は、イスラエル人のことで恐怖と嫌悪を感じた。

13 そこでエジプト人はイスラエル人を奴隷にして厳しく扱った。14 重労働を課して彼らの生活をつらいものにし、粘土モルタルやれんがを作らせたり、野原でのあらゆる奴隷労働をさせたりした。過酷な環境であらゆる奴隷労働をさせたのである。

15 その後エジプトの王は、シファとプアというヘブライ人の助産婦に話し、16 こう命じた。「ヘブライ人の女の出産を助ける時、よく見て、男の子であれば殺せ。女の子であれば生かしておけ。17 しかし助産婦たちは真の神を畏れていたで、エジプトの王が命じた通りにはせず、男の子も生かしておくのだった。18 やがてエジプトの王はその女性たちを呼んで、言った。「どうして男の子を生かし

第1章
(7) 詩 105:24, 25

(イ) 創 15:13
出 3:7
民 20:15
申 26:6

(7) 創 47:11

(イ) 出 1:7
詩 105:24, 25

(7) 出 2:23
使徒 7:6

(7) レビ 26:13

(7) エゼ 16:4

(7) 創 9:5, 6

第2欄
(7) 使徒 7:18, 19

第2章
(イ) 出 6:20
民 26:59

(7) 使徒 7:20
ヘブ 11:23

(7) 使徒 7:18, 19

(7) 出 15:20
代一 6:3
ミカ 6:4

(7) 使徒 7:21

ておいたのか。19 女性たちはファラオに言った。「ヘブライ人の女性はエジプト人の女性とは違います。元気があって、助産婦が着く前に、もう産み終えているのです」。

20 神はその助産婦たちを支え、イスラエルの民は増えて非常に強くなっていった。21 その女性たちは真の神を畏れていたため、神は家族を授けた。22 ついにファラオは自分の民全員に命じた。「ヘブライ人たちに生まれる男の子は皆ナイル川に投げ込み、女の子は皆生かしておくように」。

2 その頃、レビ族の男性がレビ族の娘と結婚した。2 その女性は妊娠し、男の子を産んだ。その子がとても美しいのを見て、3カ月隠し続けた。3 隠し切れなくなった時、パピルスの籠を取って歴青を塗り、子供をその中に入れてナイル川の岸辺のアシの間に置いた。4 その子の姉は離れた所に立って、弟がどうなるかを見ていた。

5 ファラオの娘がナイル川に水浴びをしに来た。付き人の女性たちはナイル川のほとりを歩いていた。ファラオの娘はアシの間にある籠を見つけ、すぐに女奴隷に取ってこさせた。6 開けてみると、男の子が入っていて泣いていた。ファラオの娘はかわいそ

2:3 *または、「ひつ」、「箱」。[#]または、「天然アスファルトやビツチ」。

うに^{おも}思い、「これはヘブライ人^{じん}の子^こです」と言った。7 その子の姉^{あね}がファラオ^この娘^{むすめ}に言った。「この子^こに乳^{ちち}を飲^のませるために、ヘブライ人^{じん}の乳母^{ちちの}を呼^よんできましょうか」。8 ファラオ^{むすめ}の娘^いは、「行^いっておいで!」と言^{あね}った。姉^{あね}はすぐにその子^この母親^{ははおや}を呼^よんできた。9 ファラオ^{むすめ}の娘^いは言^こった。「この子^こを連れていって、私^{わたし}の代^かわりに乳^{ちち}を飲^のませてください。報酬^{ほうしゅう}は払^{はら}います」。そこで女性^{じょせい}はその子^こをひき取^とって乳^{ちち}を与^{あた}えた。10 子供^{こども}は大きくなると、ファラオ^{むすめ}の娘^{むすめ}の所^{ところ}に連れていかれた。ファラオ^{むすめ}の娘^{むすめ}はその子^こを自^じ分の息子^{ぶんの}とし、モーセ^{むすめ}と名^な付け、「この子^こを水^{みづ}の中^{なか}から引^ひき出^だしたから」と言^いった。

11 さて、モーセ^{おとな}は大人^{おとな}になっただけで、兄弟^{きょうだい}であるヘブライ人^{じん}が負^おっている重荷^{おもに}を見^みようとして出^でていっただけ。そして、その1人^{ひと}がエジプト人^{じん}に打^うちたたかれているのを見^みた。12 それで、あ^あた^{みまわ}を見^み回^{だれ}し、誰^{たし}もいないのを確^{たし}かめ、そのエジプト人^{じん}を殺^{ころ}して砂^{すな}の中^{なか}に隠^{かく}した。

13 翌日^{よくじつ}、モーセ^でがで^でていくと、ヘブライ人^{じん}の男^{だんせい}性^{ふたり}2人^{ふたり}がけんかをしてい^いた。それで、悪い^{わる}方^{ほう}の男^{だんせい}性^{ふたり}に言^いった。「どうして仲^{なか}間^まを殴^{なぐ}るのですか」。

14 その男^{だんせい}性^{ふたり}は言^いった。「誰^{だれ}があなた^いをわれわれ^{はいしや}の支^{さい}配^{ばん}者^{にん}や裁^{さい}判^{ばん}人^{にん}にした

2:10 *意味、「引き出された」。水から救い出されたということ。 2:11 *または、「たくましくなっていく」。

第2章

(7) 出 6:20

(1) ヘブ 11:24, 25

(7) 使徒 7:21

(1) 出 1:11
出 3:7
使徒 7:23

(7) 使徒 7:24

(7) 使徒 7:26

第2欄

(7) 使徒 7:27, 28

(1) 創 25:1, 2
出 3:1
出 4:19

(7) 出 18:12

(1) 出 4:18
出 18:1
民 10:29

(7) 使徒 7:22

(7) 出 18:2-4
民 12:1

(4) 代一 23:15

のか。あのエジプト人^{じん}を殺^{ころ}したようにわたし^{わたし}も殺^{ころ}すつもりか」。それでモーセ^おは恐^{おそ}れ、「あのこ^こは知^しられてしまったのだ」と言^いった。

15 ファラオ^きはそのこ^このこ^こについて聞^きき、モーセ^きを殺^{ころ}そうとした。しかしモーセ^きはファラオ^きから逃^にげてミディア^いン地方^いに行^いき、井戸^いのそば^いに座^{すわ}った。

16 さて、ミディア^いンの祭^い司^いに7人^いの娘^いがいた。娘^いたちはや^いって来^いて、父^いの羊^いの群^いれに水^いをやるために水^いをくんで水槽^いに満^いたした。17 しかし、い^いつものよう^いに羊^い飼^いいた^いちがや^いって来^いて彼^い女^いたち^いを追^いい散^いらした。そこでモー^いセは立^いち上^いがり、女^い性^いたち^いを助^いけ、羊^い

の群^いれに水^いをや^いった。18 娘^いたちが家^いに帰^いってきた時^い、父^いレウエル^いは驚^いいて言^いった。「どうして今日^いはこ^いんなに早^いく帰^いってきたんだ」。19 娘^いたちは答^いえた。「エジプト^いの人^いが羊^い飼^いいた^いちから助^いけ出^いしてくれたのです。それ^いに、水^いをくんで羊^いに飲^いませてくれまし^いた」。20 父^いは娘^いたち^いに言^いった。「その人^いはどこに^いいるんだ。どうしてその人^いを置^いいてきた。呼^いんできて、一^い緒^いに食^い事を^いしてもらいなさい」。21 そのこ^い後^いモーセ^いはレウエル^いの所^いにとどまるこ^いに同意^いし、レウエル^いは娘^いチッポ^いラをモーセ^いに妻^いとして与^いえた。22 チッポ^いラは男^いの子^いを産^いみ、モーセ^いはその子^いをゲルシヨ^いムと名^い付^いけた。彼^いが言^いうに

2:17 *または、「守り」。 2:18 *エテロのこと。 2:22 *意味、「そここの外国人居住者」。

は、「^{わたし}私はこの^{とち}土地で^{がいこくじんきょじゅうしゃ}外国人居住者とな^つった」からだ^つった。

23 月^{つき}日が^ひたち、エジプト^{おふし}の王^{おう}が死^しんだ。しかし、奴隷^{どれいじょうたい}状態^{じょうたい}のイスラエル^{いすらえる}人^{じん}はうめき、悲痛^{ひつう}な叫^{さけ}びを上げ続^{つづ}けた。奴隷^{どれいじょうたい}状態^{じょうたい}のために助^{たす}けを求め^{もと}て絶^たえず真^{しん}の神^{かみ}に叫^{さけ}んだ。**24** やがて神^{かみ}は彼^{かれ}らのうめきを聞^きき、アブラハム^{あはらむ}、イサク^{いさく}、ヤコブ^{やこぶ}との契^{けい}約^{やく}を思^{おも}い起^{おこ}した。**25** してイスラエル^{いすらえる}人^{じん}に目^めを向^むけ、心^{こころ}を留^{とど}めた。

3 モーセ^{モーせい}は、ミディア^{さいし}ンの祭司^{さいし}であ^あるしゅうとエテロ^{えてろ}の羊飼^{ひつじか}いとな^あった。荒野^{こうや}の西側^{ひつじ}に羊^{ひつじ}の群^{ぐん}れを導^{みちび}いてい^いるうちに、真^{しん}の神^{かみ}の山^{やま}ホレブ^{ほれぶ}にや^やつて来^きた。**2** その時^{とき}、エホバ^{えほば}の天^{てん}使^しが、いば^{いば}らの木^きで燃^もえる炎^{えん}のう^うちに彼^{かれ}に現^{あらわ}れた。モーセ^{モーせい}が見^みていると、いば^{いば}らの木^きは燃^もえているのに、燃^もえ尽^つきな^なかった。**3** そこでモーセ^{モーせい}は言^いった。「な^なぜいば^{いば}らの木^きが燃^もえてしま^いわな^いのか、近^{ちか}くい^い行^いってこ^この思^ふ議^ぎな現^{げん}象^{しょう}を調^{しら}べてみ^みよう」。**4** エホバ^{えほば}は、モーセ^{モーせい}が調^{しら}べようとして近^{ちか}づい^いたのを見^みて、いば^{いば}らの木^きから呼^よび掛^かけ、「モーセ^{モーせい}、モーセ^{モーせい}」と言^いった。モーセ^{モーせい}は、「はい、こ^こに^こに^こります」と言^いった。**5** す^{かみ}ると神^{かみ}は言^いった。「そ^それ以^い上^{じょう}近^{ちか}づい^いてはい^いけな^いい。サンダル^{さんだる}を脱^めぎな^いさい。あな^あたが立^たっているの^のは聖^{せい}なる場^ば所^{しょ}だからだ」。

6 神^{かみ}は続^{つづ}けて言^いった。「私^{わたし}はあな^あたの父^ふ祖^その神^{かみ}、アブラハム^{あはらむ}の神^{かみ}、イサ

第2章

(ア) 使徒 7:29

(イ) 出 7:7
使徒 7:30(ウ) 出 3:7
王 1-8:51

(エ) 使徒 7:34

(オ) 創 15:13,14
出 6:5
民 20:15,16

第3章

(カ) 出 2:16
出 18:1(キ) 出 24:12,13
王 1-19:8,9

(ク) 使徒 7:30-34

(コ) 創 17:1,7

第2欄

(カ) 創 26:24

(イ) 創 28:13
創 32:9
マタ 22:32
使徒 7:32(ウ) 出 1:11
イザ 63:9
使徒 7:34

(エ) 出 12:51

(オ) 民 13:26,27
申 27:3(カ) 創 10:15-17
出 33:1,2
申 7:1
ヨシ 3:10
ネヘ 9:7,8

(キ) 出 1:11

(ク) 詩 105:26,38
使徒 7:34(コ) 申 31:23
ヨシ 1:5
イザ 41:10
ロマ 8:31
フィリ 4:13(カ) 出 19:2
申 4:11,12

ク^{かみ}の神^{かみ}、ヤコブ^{やこぶ}の神^{かみ}である」。モーセ^{モーせい}は顔^{かお}を隠^{かく}した。真^{しん}の神^{かみ}を見^みるのを恐^{おそ}れたからである。**7** エホバ^{えほば}はさら^さに言^いった。「私^{わたし}は、エジプト^{えじぷと}に^にいる私^{わたし}の民^{たみ}の苦^く悩^{のう}を確^{たし}かに見^みた。強^{きやう}制^{せい}勞^{ろう}働^{どう}をさ^させる者^{もの}たち^ののこ^こで叫^{さけ}ぶ彼^{かれ}らの声^{こえ}を聞^きいた。彼^{かれ}らの苦^く痛^{つう}をよく知^しっている。私^{わたし}は下^{くだ}つてい^いって彼^{かれ}ら^のをエジプト^{えじぷと}人^{じん}

から救^{すく}い出^だし、そ^そこから、広^{ひろ}くて良^よい土^ど地^ち、非^ひ常^{じょう}に肥^ひ沃^{わく}な土^ど地^ちへ連^つれてい^いく。カナン^{かなん}人^{じん}、ヘト^{へと}人^{じん}、アモリ^{あもり}人^{じん}、ペリジ^{ぺりじ}人^{じん}、ヒビ^{ひび}人^{じん}、エブス^{えぶす}人^{じん}の領^{りやう}土^どである。**9** 今^{いま}、イスラエル^{いすらえる}の民^{たみ}の叫^{さけ}びは私^{わたし}に達^たした。私^{わたし}はエジプト^{えじぷと}人^{じん}が彼^{かれ}ら^のを厳^{きび}しく虐^{しいた}げているの^のも見^みた。**10** さあ、あな^あたをファラオ^{つか}のもとに遣^{つか}わす。あな^あたは、私^{わたし}の民^{たみ}であるイスラエル^{いすらえる}人^{じん}をエジプト^{えじぷと}から連^つれ出^だすのだ」。

11 しかしモーセ^{モーせい}は真^{しん}の神^{かみ}に言^いった。「い^いつた^いい私^{わたし}が何^{なに}者^{もの}だとい^いうので、ファラオ^{つか}のもとに行^いった^いりイスラエル^{いすらえる}人^{じん}をエジプト^{えじぷと}から連^つれ出^だしたりするの^のでし^いょうか」。**12** 神^{かみ}は言^いった。「私^{わたし}があな^あたと共^{とも}に^いる。そ^そして、あな^あたが民^{たみ}をエジプト^{えじぷと}から連^つれ出^だした^{あと}後^ご、あな^あたたちはこ^この山^{やま}で真^{しん}の神^{かみ}に仕^{つか}える。そ^それによ^よって、私^{わたし}があな^あたを遣^{つか}わした^りこ^ことをあな^あたは理^り解^{かい}する」。

13 モーセ^{モーせい}は真^{しん}の神^{かみ}に言^いった。「私^{わたし}がイスラエル^{いすらえる}人^{じん}の所^{ところ}に行^いって、『父^ふ祖^そたちの神^{かみ}が私^{わたし}を皆^{みな}さん^のの所^{ところ}に遣^{つか}わし

3:8 *直訳、「乳と蜜が流れる地」。**3:12** *または、「を崇拜する」。

た』と言うとしても、『その方の名は何
か』と言われたら、何と言えよいで
しょうか」。14 神はモーセに言った。
「私は自分になろうとするものとなる」。
さらに言った。「イスラエル人にこう言
うように。『私はなるといふ方が私をあ
なたたちの所に遣わした』」。15 神
はもう一度モーセに言った。

「イスラエル人にこう言うように。
『父祖たちの神、アブラハムの神、イサ
クの神、ヤコブの神エホバが私をあな
たたちの所に遣わした』。これは永遠
に私の名であり、私はこの名によって
代々記憶される。16 行って、イスラ
エルの長老たちを集め、こう言いなさい。
『父祖たちの神、アブラハム、イ
サク、ヤコブの神エホバが私に現れて
言った。『私はあなたたちと、エジプト
であなたたちが受けている仕打ちと
に、確かに心を留めた。17 私は断
言する。あなたたちをエジプト人によ
る苦悩から救い出して、カナン人、ヘ
ト人、アモリ人、ペリジ人、ヒビ人、エ
ブス人の土地、非常に肥沃な土地に
導く』」。

18 イスラエルの長老たちは、必ず
あなたが言うことを聞く。それであな
たは長老たちと共にエジプトの王の
もとに行く。王にこう言いなさい。『ヘ
ブライ人の神エホバが私たちに話し
た。どうか荒野へ3日の旅をさせてほ

3:14 *または、「なりたい」。「または、「私は自
分がなるところのものとなる」。付録A4参照。
3:17 *直訳、「乳と蜜が流れる地」。

第3章

(ア) 出 15:3
詩 96:8
詩 135:13
ホセ 12:5
ヨハ 17:26
コマ 10:13

(イ) ヨブ 23:13
イザ 14:27
ヨハ 12:28

(ウ) 出 6:3,7
コマ 9:17

(エ) 創 17:1,7

(オ) 創 26:24

(カ) 創 28:13
マタ 22:32

(キ) 詩 135:13

(ク) 創 50:24
出 13:19

(ケ) 創 15:13,14
レビ 26:13

(コ) 創 15:16

(コ) 出 23:23

(セ) 民 13:27
申 8:7-9

(ソ) 出 4:31

(テ) 創 14:13

第2欄

(ア) 出 5:3
出 10:25,26

(イ) 出 5:2
出 14:8
コマ 9:17

(ウ) 出 7:3
出 12:33
申 6:22

(エ) 出 11:2
出 12:35,36

(オ) 創 15:13,14
出 12:36

第4章

(ア) 出 2:13,14

(イ) 出 7:9

(ウ) ルカ 20:37

しい。私たちの神エホバに犠牲を捧
げるためだ』。19 だが、エジプトの
王は強大な力を見せつけられなけれ
ばあなたたちに許可を与えないことを
私はよく知っている。20 それで私は
手を伸ばしてエジプトを打ち、エジプ
トであらゆる異例なことを行うことに
なる。その後、王はあなたたちを送り
出す。21 私はエジプト人がこの民
に好意を示すようにする。あなたたち
が出ていく時、何も持たずに出るよう
なことはない。22 女性はそれぞれ、
隣人や同居している女性に、銀や金の
物品、また服を求めなさい。あなたた
ちはそれを息子や娘に着けさせる。エ
ジプト人から奪い取るのである」。

4 モーセはこう答えた。「ですが、
彼らが私を信じず、私の言うこ
とを聞かなかったら、どうしたらよい
でしょうか。『エホバがあなたに現れ
たはずはない』と彼らは言うでしょ
う。2 エホバは言った。「あなたが
手に持っているのは何か」。モーセは
答えた。「つえです」。3 神は言った。
「それを地面に投げなさい」。そこで
地面に投げると、つえは蛇になった。
モーセは飛びのいた。4 エホバは
モーセに言った。「手を伸ばして尾を
つかみなさい」。そこで手を伸ばして
つかむと、蛇は手の中でつえになっ
た。5 神は言った。「こうするのは、
彼らの父祖たちの神エホバ、アブラ
ハムの神、イサクの神、ヤコブの神があ

な^{あらわ}に現れたことを彼ら^{かれ}が信^{しん}じるためである」。

6 エホバはまたモーセに言った。「手^てを懷^{ふところ}に入れてごらんさい」。モーセは手^てを懷^{ふところ}に入れた。出してみると、手^ては重^{おも}い皮膚病^{ひふびょう}で雪^{ゆき}のようになっていた。7 それから神は言った。「手^てを懷^{ふところ}に戻^{もど}しなさい」。モーセは手^てを懷^{ふところ}に戻^{もど}した。懷^{ふところ}から出してみると、手^ては元通り^{もととお}に、体^{からだ}のほかの部分^{ぶぶん}と同じようになっていた。8 神は言った。「彼ら^{かれ}があなたを信^{しん}じず、最初^{さいしょ}の奇跡^{きせき}を無視^{むし}するとしても、2番目^{ばんめ}の奇跡^{きせき}は認^{みと}めるに違^{ちが}いはない。9 だが、もし彼ら^{かれ}がこの2つの奇跡^{きせき}を信^{しん}じず、あなた^{あなた}の言うこと^{いうこと}を聞^きかないなら、ナイル川^{ないうが}の水^{みづ}をくんで乾^{かわ}いた地面^{じめん}に注^{そそ}ぐように。ナイル川^{ないうが}からくんだその水^{みづ}は、乾^{かわ}いた地面^{じめん}の上^{うへ}で血^ちになる」。

10 モーセはエホバに言った。「お許^{ゆる}しください、エホバ。私は流^{わた}ちように話^{りゆう}せません。以前^{いぜん}もそうで、あなた^{あなた}が私^{わたし}に話^{はな}されてからもうです。私は口^{くち}下手^{へた}で、舌^{した}が回^{まわ}りません」。11 エホバは言^いった。「誰^{だれ}が人^{ひと}に口^{くち}を与^{あた}えたのか。誰^{だれ}が、口^{くち}を利^きけなくしたり耳^{みみ}を聞^きこえなくしたり、視力^{しりよく}を良^よくしたり失^{うしな}わせたりするのか。それは私^{わたし}、エホバではないか。12 さあ、行^いきなさい。話^{はな}す時^{とき}は私^{わたし}が一緒^{いっしょ}にいて、何^{なに}を言^いうべきかを教^{おし}えよう」。13 しかしモーセは、
「お許^{ゆる}しください、エホバ。どうか、あな

4:8, 9, 17 *直訳, 「しるし」。4:12 *直訳, 「あなたの口と共に」。

第4章

(例) 出 3:16
出 4:31

(例) 民 12:10

(例) 使徒 7:36

(例) 出 4:30

(例) 出 6:12
民 12:3
エレ 1:6
使徒 7:22

(例) イザ 50:4
マル 13:11

第2欄

(例) 民 26:59

(例) 出 4:27

(例) 出 4:28

(例) エレ 1:9

(例) 出 7:1, 2

(例) 出 8:5
出 17:5, 6
民 20:11

(例) 出 2:18, 21
出 18:1
民 10:29

(例) 出 2:15

たが違^{ちが}わしたいと思^{おも}われる別^{べつ}の人^{ひと}を遣^{つか}わしてください」と言^いった。14 するとモーセに対してエホバの怒^{いか}りが燃^もえた。神は言^いった。「あなたにはレビ族^{そく}の兄^{あに}アロン^{あに}がいる。私^{わたし}は、彼^{かれ}が上手^{じょうず}に話^{はな}せることを知^しっている。彼^{かれ}は今^{いま}あなたに会^あおうとしてこちらに向^むかっている。あなたを見^みたら、喜^{よろこ}ぶだろう。15 彼^{かれ}に話^{はな}して、私^{わたし}の言葉^{ことば}を伝^{つた}えなさい。あなたたちが話^{はな}す時^{とき}は私^{わたし}が一緒^{いっしょ}にいて、何^{なに}をすべ^なきかを教^{おし}える。16 アロンがあなたに代^かわって民^{たみ}に話^{はな}す。彼^{かれ}はあなた^{あなた}の代^{だい}弁^{べん}者^{しや}となり、あなた^{あなた}は彼^{かれ}に対して神^{かみ}の役割^{やくわり}をする。17 あなたはそ^そのつえを持^もって、それ^{それ}で奇跡^{きせき}を行^{おこな}う」。

18 モーセはしゅうとエテロ^{エテロ}の所^{ところ}に返^{もど}り、こ^こう言^いった。「行^いかせてください。私^{わたし}は、エジプト^{エジプト}にいる私^{わたし}の兄^{きょうだい}弟^{だい}たちの所^{ところ}に戻^{もど}りたいと思^{おも}っています。まだ生^いきているかどうかを見るためです」。エテロはモーセに言^いった。「氣^きを付^つけて行^いきなさい」。19 その後^ごエホバはミディアン^{ミディアン}でモーセに言^いった。「さあ、エジプト^{エジプト}に戻^{もど}りなさい。あなた^{あなた}を殺^{ころ}そうとしていた人^{ひと}々は皆^{みな}死^しんだ」。

20 そこでモーセは、妻^{つま}と息子^{むすこ}たちをロバ^ろに乗^{のり}せて一緒^{いっしょ}にエジプト^{エジプト}へ向^むかった。真^まの神^{しん}のつえも持^もっていった。

21 エホバはモーセにさらに言^いった。「私^{わたし}は奇跡^{きせき}を行^{おこな}う力をあなた^{あなた}に与^{あた}えた。エジプト^{エジプト}に戻^{もど}ったら、全^{すべ}ての奇跡^{きせき}

4:16 *または、「代理」。

をファラオの前で実際に行いなさい。
しかし私は彼が強情になるままにする。彼は民を去らせない。 **22** あなたはファラオに言わなければならない。『エホバはこう言っている。「イスラエルは私の息子、私の長男である。**23** 私はあなたに告げる。私の息子を去らせて、私に仕えさせなさい。去らせることを拒むなら、あなたの息子、あなたの長男を殺す』』。

24 道中の宿でのこと、エホバは彼に会い、彼を殺そうとした。 **25** そこでチッポラは石の短刀を取り、息子に割礼を施して、息子の包皮を彼の両足に当て、「あなたは私にとって血の花婿だからです」と言った。 **26** それで神は彼を行かせた。この時チッポラが「血の花婿」と言ったのは、割礼のゆえだった。

27 エホバはアロンに言った。「荒野に行つてモーセに会いなさい」。それでアロンは行き、真の神の山でモーセに会い、あいさつの口づけをした。

28 モーセは、自分を遣わしたエホバの全ての言葉と、行うように命じられた全ての奇跡について、アロンに話した。 **29** その後モーセとアロンは行ってイスラエル人の長老を全員集めた。 **30** アロンはエホバがモーセに告げた全ての言葉を話し、モーセは

4:24 *もしかすると、モーセの息子を指す。 **4:25** *または、「火打ち石」。*用語集参照。△もしかすると、エホバの天使を指す。24節の「エホバ」はエホバの天使のこと。 **4:28, 30** *直訳、「しるし」。

第4章

(例) 出 7:9
(例) 出 7:3
出 8:15
出 9:12
出 11:10
ロマ 9:17,18

(例) 出 7:22

(例) 申 7:6
申 14:2
ホセ 11:1
ロマ 9:4

(例) 出 12:29

(例) 民 22:22
代一 21:16

(例) 創 17:14

(例) 出 2:16,21

(例) 出 4:14

(例) 出 3:1
出 20:18
出 24:16

(例) 出 4:15

(例) 出 4:8

(例) 出 3:16
出 24:1

第2欄

(例) 出 4:3,6,9

(例) 出 3:18

(例) 創 50:25

(例) 出 1:14
出 3:7
申 26:6

第5章

(例) 出 7:5
出 9:15,16

(例) 王二 18:28,35

(例) 出 3:19

(例) 出 3:18

(例) 出 1:11

(例) 出 1:14

民の前で奇跡を行った。 **31** それで民は信じた。そして、エホバがイスラエル人に注意を向け、苦悩を見たことを聞くと、身をかがめてひれ伏した。

5 その後モーセとアロンはファラオの所に行つて、こう言った。「イスラエルの神エホバはこう言っています。『私の民を去らせ、荒野で私のために祭りを行わせなさい』』。 **2** しかしファラオは言った。「エホバが何者だというので、言う通りにしてイスラエルを去らせなければいけないのか。エホバなど知らないし、イスラエルを去らせたりもしない」。 **3** それでも2人は言った。「ヘブライ人の神が私たちに話しました。どうか荒野へ3日の旅をさせ、私たちの神エホバに犠牲を捧げさせてください。そうしなければ、私たちは病氣や剣で打たれます」。 **4** エジプトの王は2人に答えた。「モーセとアロン、どうしてあの民を仕事から離れさせるのか。仕事に戻れ!」 **5** ファラオはさらに言った。「あの土地に何人いると思っているんだ。それなのに、おまへたちは彼らに仕事を休ませようとしている」。

6 その日、ファラオは、監督官たちと現場責任者たちにこう命じた。 **7** 「これからは、れんがを作るためのわらを民に与えてはならない。彼らに集めに行かせよ。 **8** だが、作らせるれんがの量はこれまでと同じだ。減らしては

5:4 *または、「荷を負え」。

ならない。彼らはたるんでいる。だから、『私たちの神に犠牲を捧げに行きたい!』などとわめくのだ。9 仕事をきつくし、ひたすら働かせて、ばかげた話に民が耳を傾けないようにせよ。

10 監督官と現場責任者たちは出ていって、民に言った。「ファラオはこう言われた。『これから、わらを与えない。11 どこでもわらが見つかる所に行って、自分たちで手に入れよ。だが、仕事の量は減らさない。』」

12 それで民はエジプト全土に散って、収穫後の畑からわらを集めた。

13 監督官たちは民にしつこく言い続けた。「わらが支給された時と同じように、皆、毎日の仕事を終わらせろ」。

14 また、ファラオの監督官たちが民の上に立てたイスラエル人の現場責任者たちは打ちたたかれ、「どうしてこれまでと同じ決められた量のれんがを作れなかったのか。昨日も今日もだ」と言われた。

15 そのため、イスラエル人の現場責任者たちはファラオの所に行き、苦情を述べた。「どうしてこのような仕打ちをなさるのでしょうか。16 私どもは、わらを与えられていないのに、『れんがを作れ!』と言われてます。しかも打ちたたかれておりますが、問題はあなたの民の方にあります」。

17 しかしファラオはこう言った。「おまえたちはたるんでいる、たるんでいるのだ! だから、『エホバに犠牲を捧

第5章
(例) 出 1:11

(例) 出 2:11

(例) 出 5:7,8

第2欄
(例) 出 5:3

(例) 出 6:9

(例) 出 5:1

(例) 出 5:6,9

(例) 出 3:8

第6章
(例) 出 14:13

(例) 出 9:3
出 11:1
出 12:29,31

げに行きたい』などと言っているのだ。18 さあ、戻って働け! わらは支給されないが、それでも決められた量のれんがを作るのだ」。

19 イスラエル人の現場責任者たちは、ひどく苦しい状況にいることを悟った。「毎日の決められたれんがの量を減らしてはならない」と命じられたからである。20 その後で彼らはモーセとアロンに出会った。2人は、ファラオの所から出てくる彼らに会おうと立っていた。21 すぐに彼らは言った。「エホバがあなた方を見て処罰されますように。あなた方のせいで、私たちはファラオと家来たちにひどく嫌われ、剣で殺されそうになっているのだ」。

22 それでモーセはエホバに向かって言った。「エホバ、なぜこの民が苦悩するようにされたのですか。なぜ私をお遣わしになったのですか。23 私がファラオの前に出てあなたの名によって語ってから、ファラオはこの民をさらにひどく扱っています。あなたは民を救い出してなどおられません」。

6 エホバはモーセに言った。「あなたは、私がファラオに行うことを見る。私の力強い手のゆえに、彼はこの民を去らせ、自分の国からこの民を追い出す」。

2 神はモーセにさらに言った。「私はエホバである。3 私は全能の神として、アブラハム、イサク、ヤコブに現

5:21 *または、「にとつて悪業を放つ者になり」。

れたが、私の名エホバについて十分に知らせることはしなかった。4 また、カナン地方を与えるという契約を彼らと結んだ。彼らが外国人として住んだ土地である。5 今、私は、エジプト人の奴隷になっているイスラエルの民のうめきを聞き、私の契約を思い起こした。

6 それで、イスラエル人にこう言いなさい。『私はエホバである。私は、エジプト人が課す強制労働からあなたたちを解放し、奴隷状態から救い出す。エジプト人に重い処罰を下し、腕を伸ばしてあなたたちを取り戻す。7 そして私の民として迎え入れ、私はあなたたちの神となる。あなたたちは、私が神エホバであり、エジプトでの強制労働からあなたたちを解放することを必ず知る。8 私は、アブラハム、イサク、ヤコブに与えると誓った地方にあなたたちを連れていく。そこをあなたたちに与えて所有させる。私はエホバである。』

9 その後モーセはこの言葉をイスラエル人に伝えたが、彼らは落胆しており、ひどい奴隷状態にあったため、耳を傾けなかった。

10 エホバはモーセに話した。11 「エジプトの王ファラオの所に行つて、イスラエル人を彼の国から去らせるようにと言いなさい。12 しかし

6:6 *または、「強力な腕によって」。6:8 *直訳、「手を挙げた」。

第6章

(7) 創 17:1
創 35:10,11

(1) 詩 83:18
ルカ 11:2
ヨハ 12:28
使徒 15:14
啓 15:3

(2) 創 12:8
創 28:16
エレ 32:20

(3) 創 15:18
創 28:4

(4) 創 17:1,7
出 2:24

(5) 申 4:20

(6) 申 26:8
代一 17:21
使徒 13:17

(7) 出 29:45
申 7:6
サニ 7:24
詩 33:12

(8) 創 15:18
創 26:3
創 35:12
出 32:13

(9) 出 20:2
イザ 42:8

(10) 出 5:21

第2欄

(11) 出 5:21
出 6:9

(12) 出 4:10
使徒 7:22

(13) 創 49:3

(14) 創 46:9

(15) 代一 4:24

(16) 創 29:34

(17) 創 46:11
民 26:57

(18) 民 3:18

(19) 民 3:19

(20) 民 3:20

(21) 出 2:1
民 26:59

(22) 代一 23:13

モーセはエホバにこう答えた。「ご覧ください、イスラエル人は私が言うことを聞きませんでした。どうしてファラオが聞くでしょうか。私はうまく話せないのです。13 それでもエホバはモーセとアロンに、イスラエル人とエジプトの王ファラオにどう命令すべきかを告げた。イスラエル人をエジプトから連れ出すためだった。

14 以下はイスラエル人の氏族の長たちである。イスラエルの長男ルベンの子は、ハノク、パル、ヘツロン、カルミ。これらがルベンから出た氏族である。

15 シメオンの子は、エムエル、ヤミン、オハド、ヤキン、ツォハル、カナン人女性の子シャウル。これらがシメオンから出た氏族である。

16 レビの子の名前は氏族ごとに、ゲルション、コハト、メラリである。レビの生涯は137年だった。

17 ゲルションの子は氏族ごとに、リブニ、シムイ。

18 コハトの子は、アムラム、イツハル、ヘブロン、ウジエル。コハトの生涯は133年だった。

19 メラリの子は、マフリ、ムシ。これらが氏族ごとに挙げたレビ族の氏族だった。

20 アムラムは父の姉妹ヨケベドを妻とし、ヨケベドはアロンとモーセを産んだ。アムラムの生涯は137年だった。

6:12 *直訳、「唇に割礼を受けていない」。

21 イツハルの子は、コラ、ネフェグ、ジクリ。

22 ウジエルの子は、ミシャエル、エルザパン、シトリ。

23 アロンは、アミナダブの娘でナフションの姉妹であるエリシエバを妻とし、エリシエバはナダブ、アビフ、エレアザル、イタマルを産んだ。

24 コラの子は、アシル、エルカナ、アビアサフ。これらがコラに属する氏族だった。

25 アロンの子エレアザルはプティエルの娘の1人を妻とし、彼女はピネハスを産んだ。

これらがレビ族の氏族の長たちである。

26 以上がアロンとモーセを含む系譜である。エホバは2人に、「イスraelの民をグループごとにエジプトから連れ出さない」と言った。27 その2人が、イスraelの民をエジプトから連れ出すため、エジプトの王ファラオと話した。モーセとアロンである。

28 エジプトでエホバがモーセに話した日、29 エホバはモーセに言った。「私はエホバである。私があなたに話すこと全てをエジプトの王ファラオに話さない。30 モーセはエホバの前で言った。「ご覧ください、私はうまく話せません。それなのに、どうしてファラオが聞くでしょうか」。

6:26 *直訳、「軍隊」。6:30 *直訳、「唇に割礼を受けていません」。

第6章

(例) 民 16:1,32
民 26:10

(例) レビ 10:4
民 3:30

(例) ルツ 4:19-21
マタ 1:4

(例) 民 3:2

(例) 民 26:10,11

(例) 民 26:58
代一 9:19

(例) 民 3:32

(例) 民 25:7
民 31:6
ヨシ 22:31
裁 20:28

(例) 出 6:19

(例) 出 7:2,4
出 12:41
使徒 7:35

(例) 詩 77:20

(例) 出 4:10
出 6:12

第2欄

第7章

(例) 出 4:14-16
出 4:30

(例) 出 4:21
出 7:13,22
出 8:15,19
出 9:12,35
出 10:20,27
出 11:10
出 14:8
口マ 9:17,18

(例) 出 3:19,20
詩 105:26,27
使徒 7:36

(例) 出 12:12,51

(例) 出 7:17
出 8:9,10
出 8:22
出 9:29
出 14:4

(例) 申 34:7
使徒 7:22,23

(例) 出 4:2,3

7 エホバはモーセに言った。「私はあなたをファラオに対して神

のような者とした。兄のアロンがあなたの預言者となる。2 あなたは私が命じること全てを伝え、アロンがファラオに話す。ファラオはイスrael人を国から去らせる。3 私としては、ファラオが強情になるままにし、しるしとなることや奇跡をエジプトで多く行う。

4 それでもファラオはあなたたちが言うことを聞かない。それで私は、エジプトの上に手を置いて重い処罰を下し、私の部隊、私の民、イスrael人をエジプトから連れ出す。5 私がエジプトに対して手を伸ばし、イスrael人をエジプト人の中から連れ出す時、エジプト人は私がエホバであることを必ず知る。6 モーセとアロンはエホバに命じられた通りにした。まさにその通りにした。7 2人がファラオに話した時、モーセは80歳、アロンは83歳だった。

8 エホバはモーセとアロンに言った。9 「ファラオが、『奇跡を行ってみよ』と言うなら、アロンに、『つえをとってファラオの前に投げなさい』と言いなさい。それは大蛇になる」。

10 それでモーセとアロンはファラオの所に行って、エホバに命じられた通りにした。アロンがつえをファラオと家来たちの前に投げると、大蛇になった。11 ところがファラオは賢者

7:1 *直訳、「神とした」。

や呪術師たちを呼び出し、エジプトの魔術師たちも魔術で同じことをした。12 彼らがそれぞれつえを投げると、それらも大蛇になった。しかしアロンのつえが彼らのつえをのみ込んだ。13 それでもファラオは強情になり、2人の言うことを聞かなかった。エホバが言った通りだった。

14 エホバはモーセに言った。「ファラオは心が固い。民を去らせることを拒んでいる。15 朝、ファラオの所に行きなさい。彼は水辺に出ていく。あなたは彼に会うため、ナイル川の縁に立たなければならない。蛇に変わったあのつえを持っていくように。

16 そして彼にこう言いなさい。『ヘブライ人の神エホバは私をあなたのもとに遣わして、「荒野で私に仕えられるように私の民を去らせなさい」と言ったが、あなたは今も従っていない。

17 エホバはこう言っている。「あなたは私がエホバであることを次のことによって知る。私は今、手にあるつえでナイル川の水を打つ。すると水は血に変わる。18 ナイル川の魚は死に、川は悪臭を放ち、エジプト人はナイル川の水を飲めなくなる。』」。

19 エホバはさらにモーセに言った。「アロンにこう言いなさい。『つえを持って、エジプトの水、川、運河、沼、ためである全ての水のうへに手を伸ばしなさい。水は血に変わる。』エジプ

7:19 *ナイル川から引いた運河のこと。

第7章

(イ) 創 41:8
テモニ 3:8

(イ) 出 7:20, 22
出 8:7, 18
出 9:11

(イ) 出 7:3

(イ) 出 10:1

(イ) 出 4:2, 3

(イ) 出 3:18

(イ) 出 7:5
出 8:9, 10
出 8:22
出 9:29
出 14:4

(イ) 出 8:5

(イ) 出 9:22
出 10:12
出 14:21

第2欄

(イ) 詩 78:44

(イ) 詩 105:29

(イ) 出 7:18, 24

(イ) 出 7:11, 12
出 8:7, 18
出 9:11
テモニ 3:8

(イ) 出 3:19

第8章

(イ) 出 3:12

(イ) 詩 78:45

(イ) 詩 105:30

ト全土で、木や石の器の中にさえ血があるようになる。20 すぐにモーセとアロンはエホバに命じられた通りにした。アロンがファラオと家来たちの目の前で、つえを振り上げてナイル川の水を打つと、川の水は全て血に変わった。21 川にいた魚は死に、川は悪臭を放ち始めた。それでエジプト人はナイル川の水を飲めなかった。エジプト全土に血があった。

22 しかし、エジプトの魔術師たちも秘術によって同じことを行った。そのためファラオは依然強情で、2人の言うことを聞かなかった。エホバが言った通りだった。23 ファラオは家に戻り、このことにも心を留めなかった。24 エジプト人は皆、飲み水を求めてナイル川の辺りを掘って回った。ナイル川の水は全く飲めなかったからである。25 こうしてエホバがナイル川を打ってから丸7日が過ぎた。

8 エホバはモーセに言った。「ファラオの所に行き、こう言いなさい。『エホバはこう言っている。「私の民を去らせて私に仕えさせなさい。2 もし去らせることを拒み続けるなら、私はあなたの全領土にカエルの災厄をもたらす。3 ナイル川はカエルでいっぱいになる。そしてカエルは上つきて、あなたの家、寝室に入り、ベッドにのび、家来たちの家に入り、民の所に上り、あなたのかまどやこね鉢の中にはい入る。4 あなたの所、民の所、全て

の家来たちの所にカエルが上^{のぼ}ってくる^{けらい}』」。

5 その後エホバはモーセに言った。「アロンにこう言^いいなさい。『つえを^も持^{かわ}って、川やナイルの運河や沼^{うみ}の上に^{うえ}手を伸^のばし、カエルをエジプト全土^{ぜんど}に上^{のぼ}ってこさせなさい』」。

6 そこでアロンがエジプトの水の上に手を伸^のばすと、カエルが上^{のぼ}ってきてエジプトを覆^{おお}っていた。7 ところが魔術師^{まじゅつし}たちも秘術^{ひじゅつ}によって同じことを行^{おこな}い、カエルをエジプトに上^{のぼ}ってこさせた。

8 ファラオはモーセとアロンを呼んで言^いった。「カエルを私と民の所^{わたくし}から取^とり除^{はず}くようエホバにお願^{いの}いせよ。私は、民がエホバに犠牲^{ぎせい}を捧^{ささ}げられるよう民を去^さらせたいと思う」。

9 モーセはファラオに言^いった。「では、あなたと家来たちと民の所^{けらい}、あなたの家々からカエルを取^とり除^{はず}いてくださるよう、いっお願^{いの}いすべきか、お申し付けください。カエルはナイル川^{がわ}にしかいなくなります」。

10 ファラオは言^いった。「明日だ」。モーセは言^いった。「お言葉の通りになります。あなたは、私たちの神エホバのような方がほかにはいないことをお知りになるでしょう」。

11 あなたとあなたの家々、家来たちと民の所^いにいるカエルは死にます。カエルはナイル川^{がわ}にだけ残^{のこ}ります」。

12 モーセとアロンはファラオの所^{ところ}から出た。そしてモーセはエホバに、ファラオの所^{ところ}に上^{のぼ}らせたカエル

第8章

〔出 7:11, 12
出 7:20, 22
出 8:17, 18
出 9:11
デモニ 3:8

〔出 10:16-19

〔出 9:14
出 15:11
詩 83:18
詩 86:8
イザ 46:9
エレ 10:6, 7
ロマ 9:17

〔出 8:3

第2欄

〔出 8:30, 31
出 9:33

〔出 4:21
出 7:3

〔出 詩 105:31

〔出 7:11, 12
出 7:20, 22
出 8:7
出 9:11

〔出 31:18
ルカ 11:20

を取^とり除^{のぞ}いてくださるようお願^{いの}いした。13 エホバはモーセが願^{いの}った通りにし、家や庭や野原にいたカエルは死んでいった。14 人々は死んだカエルを積^つんで無数の山^{むすう}にしてい、国に悪臭^{あくしゅう}が広^{ひろ}がった。15 事態^{じたい}が落ち着^おいたのを見ると、ファラオは心^{こころ}を固^{かた}くし、モーセとアロンが言^いうことを聞^きかなかった。エホバが言^いった通りだった。

16 エホバはモーセに言^いった。「アロンにこう言^いいなさい。『つえを差^さし出^だして地面^{じめん}を打^{うち}ちなさい。土^{つち}ばかりは必ずエジプト全土^{ぜんど}でブヨになる』」。

17 それで2人はそのようにした。アロンがつえを持^もって手^てを伸^のばし、地面^{じめん}の土^{つち}を打^{うち}つと、ブヨが^で人間^{にんげん}や動物^{どうぶつ}を襲^{おそ}った。エジプト全土^{ぜんど}で地面^{じめん}の土^{つち}がブヨになったのである。18 魔術師^{まじゅつし}たちは秘術^{ひじゅつ}によって同じようにブヨを生^{しょう}じさせようとしたが、できなかった。こうしてブヨが人間^{にんげん}や動物^{どうぶつ}を襲^{おそ}った。

19 そのため魔術師^{まじゅつし}たちは、「これは神^{かみ}の力^{ちから}です!」とファラオに言^いった。しかしファラオは依然強情^{いぜんきやうじやう}で、言^いうことを聞^きかなかった。エホバが言^いった通りだった。

20 エホバはモーセに言^いった。「朝^{あさ}早く起^はきて、ファラオの前^{まえ}に立^たちなさい。彼は水辺^{みづべ}にやって来る。あなたは彼^{かれ}にこう言^いわなければならない。『エホバはこう言^いった。『私の民^{わたくし}を去^さらせて私^{わたし}に仕^{つか}えさせなさい。21 もし去^さ

8:19 *直訳, 「指」。

せないなら、私は、あなたと家来たち
と民の所、あなたの家々にアブを送り
込む。エジプトの家々はアブでいっぱ
いになり、人々が立つ地面もアブで覆
われる。22 その日、私は、私の民が
住んでいるゴシェン地方を必ず別にし、
そこにはアブがいないようにする。そ
れによってあなたは、私エホバがここ
にいることを知る。23 こうして私の
民とあなたの民を区別する。明日、こ
の奇跡は起きる。』」。

24 エホバはその通りにした。アブ
の大群がファラオの家、家来たちの家、
エジプト全土を襲っていき、国はアブ
によって荒らされた。25 やがてファ
ラオはモーセとアロンを呼んで、言っ
た。「さあ、この土地でおまえたちの神
に犠牲を捧げよ。26 しかしモーセ
は言った。「それは良くありません。私
たちは、エジプト人にとって忌まわし
いものをエホバ神に犠牲として捧げ
るからです。目の前で忌まわしいもの
を犠牲として捧げたりしたら、エジプト
人は私たちを石打ちにするのではない
でしょうか。27 私たちは神に言わ
れた通り、荒野へ3日の旅をしてエホ
バ神に犠牲を捧げます。」

28 ファラオは言った。「おまえたち
を去らせ、荒野でエホバ神に犠牲を
捧げさせよう。ただし、そんなに遠く
に行くな。私のためにお願いせよ。」

29 モーセは言った。「では、あなたの

8:23 *直訳、「しるし」。

第8章

(ア) 出 9:4,26

出 10:23

出 12:13

(イ) サー 17:46

王一 20:28

王二 19:17,19

(イ) 出 8:3

(イ) 詩 78:45

詩 105:31

(イ) 創 46:33,34

出 10:25,26

(イ) 出 3:18

(イ) 出 8:8

出 9:28

第2欄

(イ) 出 8:15

(イ) 出 9:33

第9章

(イ) 出 5:1

出 8:1

(イ) 出 7:4

(イ) 出 9:15

(イ) 出 8:22

出 10:23

出 11:7

出 12:13

(イ) 詩 78:48

もとから出て、エホバにお願いします。
アブは明日、ファラオと家来たちと民
の所からいなくなります。ただし、ファ
ラオは私たちを軽く扱うのはやめ、民
を去らせてエホバに犠牲を捧げさせ
なければなりません。30 モーセ
はファラオのもとから出て、エホバに
お願いした。31 エホバはモーセが
言った通りにし、アブはファラオと家
来たちと民の所からいなくなった。1
匹も残らなかった。32 しかしファラ
オはやはり心を固くして民を去らせな
かった。

9 エホバはモーセに言った。「ファ
ラオの所に行き、こう言いなさい。
『ヘブライ人の神エホバはこう
言った。「私の民を去らせて私に仕え
させなさい。2 もし去らせることを拒
み、彼らをとどめておくら、3 エホ
バの手が野原にいるあなたの家畜に
及ぶ。馬、ロバ、ラクダ、牛、羊が恐ろ
しい病気になる。4 エホバはイスラ
エルの家畜とエジプトの家畜を必ず
区別し、イスラエル人のものは全く死
なない。』」5 さらに、エホバは時
を定め、こう言った。「明日、エホバは
この土地でそれを行う。」

6 エホバはまさに翌日、それを行っ
た。エジプトのあらゆる家畜が死に始
めた。イスラエルの家畜は1匹も死
ななかった。7 ファラオが調べてみ
ると、イスラエルの家畜はただの1匹
も死んでいなかった。それでもファラ

オは依然として心が固く、民を去らせなかった。

8 エホバはモーセとアロンに言った。「^{かま} 薫のすすを^{りょうて}両手いっぱいにとりなさい。モーセは^{まえ}ファラオの前でそれを^{くうちゅう}空中にまかなければならない。

9 それはエジプト全土で^{ぜん ど} 粉となつて舞い、エジプト全土の人間と動物に付いて、^は うみの出る^{もの} 腫れ物となる」。

10 それで2人は^{ふたり} 薫のすすを取つて^{まえ} ファラオの前に^た 立った。モーセがそれを^{くうちゅう} 空中にまくと、^は うみの出る^{もの} 腫れ物が人間と動物に生じた。11 ^は 魔術師たちは^は 腫れ物の^{せい} せいでモーセの前に^た 立てなかった。^は 腫れ物は^{まじゅつし} 魔術師と^{まえ} 全てのエジプト人^{じん} にできていたのである。

12 しかし、エホバは^{ごうじよう} ファラオが強情になるま^{ふたり} まにし、^き ファラオは2人が言うことを聞^き かなかつた。エホバがモーセに告^つ げた通り^{とお} だった。

13 エホバはモーセに言った。「^{あさ} 朝早く^{はや} 起きて^お ファラオの前に^{まえ} 立ち、^い こう言いなさい。『^{じん} ヘブライ人の^{かみ} 神エホバは^い こう言^{わたし} った。『^{わたし} 私の民を去^さ らせて^{わたし} 私に^つ 仕えさせなさい。14 私は、^つ 全ての打撃を^{ごころ} あなたの心と、^{けらい} 家来と^{くわ} 民に加えようとしている。私の^{わたし} ような者^{もの} は^{ちじよう} 地上のどこにも^し いないことを^{わたし} あなたが^つ 知るためである。15 私は^{わたし} 手を^{たみ} 突き出して^{おそ} あなたと^{びようき} 民を^う 恐ろしい病気で^{ちじよう} 打ち、^け あなたを^さ 地上から^き 消し去ることもできた。

16 だが、^{つぎ} 次の理由^{りゆう} であなたを^{もそい} 存在さ

第9章
[7] 出 4:21

[7] 出 7:11, 12
出 7:20, 22
出 8:7, 18
テモ二 3:8

[7] 出 4:21
出 8:31, 32
出 14:17

[4] 出 8:9, 10
サ二 7:22
詩 83:18

第2欄
[7] 出 14:17
ヨシ 2:9, 10
代一 16:24
格 16:4
イザ 63:12
ロマ 9:17

[7] 出 10:4, 5
詩 78:47
詩 105:32

[7] 出 9:18

せておいた。あなたに^{わたし} 私の^{ちから} 力を示すため、私の^{わたし} 名が^な 地上^{ちじよう} 全体に^{ひろ} 広まるようにするためである。17 あなたは私の民を去らせず、彼らに^{わたし} 対して^{ごう} まだ傲慢に^{まん} 振る舞うのか。18 私は^{わたし} 明日の^{あす} 今ごろ、エジプトで^{いま} かつて^な なかったほどの^{ひじよう} 非常に^{はげ} 激しい^の ひょうを^は 降らせる。

19 それで、あなたの^{すべ} 家畜と^{あんぜん} 野原の^{ところ} ものを^い 全ての^{つた} を安全な^の 所^の に入れて^い 伝えるように^{はい} 伝えないさい。野原に残^の った家^{いえ} に入^{はい} っていない人間や動物は^{にんげん} 皆、^{どうぶつ} ひょうに^う 打たれて死^し ぬる』。

20 ファラオの家来^{けらい} でエホバの言葉^{こと} を^ば 真剣に^{しんけん} 受け止めた人は、自分の^う 召し使^{ひと} いや家畜^{かちく} を^い すぐ家^{いえ} に入れた。

21 しかしエホバの言葉^{こと} に^{こころ} 心を^と 留めなかつた人は、^{ひと} 召し使^め いや家畜^{かちく} を^の 野原に残^の しておいた。

22 エホバはモーセに^い 言った。「^{てん} 天に向^む かって手^て を伸^の ばしなさい。そうすれば、エジプト全土に、エジプトの人^{じん} 間と動物と野原の^{ぜん} 全ての^{くさ} 草に^ふ ひょうが^い 降る」。23 それでモーセは^{てん} 天に向^む かって^さ つえを^だ 差し出した。するとエホバは^{かみなり} 雷と^{ひ*} ひょうと^{ちじよう} 火を^{おく} 地上に^{つづ} 送った。エホバはエジプトに^ふ ひょうを^{なか} 降らせ続けた。24 ひょうが^ひ 降る中で、^ふ 火が^な ぎらめいていた。ひょうは^{ひじよう} 非常に^{はげ} 激しく、^{けんこく} 建国以来^{いらい} エジプトで^{しじよう} 生じたことがないほどの^い もの^{ぜん} だった。25 エジプト全土で、人間も動物も^の 野原の^{すべ} 全ての^{くさ} のが^{すべ} ひょうに^{くさ} 打たれた。全ての草が

9:23 * 激しい稲妻のごときかもしれない。

9:15 * または、「拭い去る」。

倒され、野原のすべての木が砕かれた。

26 イスラエル人がいたゴシェン地方だけはひょうが降らなかった。

27 ファラオはモーセとアロンを呼び出し、こう言った。「今回私は罪を犯した。エホバは正しく、私と民は間違っている。28 神からの雷とひょう

がやむようにエホバにお願いせよ。そうしたら私は喜んでおまえたちを去らせよう。もうとどまらなくてよい。29 モーセは言った。「町を出

たらすぐ、エホバの前で両手を広げます。雷はやみ、ひょうもこれ以上続きません。あなたは、地球がエホバのものであることをお知りになるでしょう。

30 しかし、あなたと家来たちがその時になってもエホバ神を畏れないことを私はすでに知っています」。

31 亜麻と大麦は台無しになった。大麦は穂を出していて、亜麻はつぼみを付けていたのである。32 一方、小麦とスペルト小麦は大丈夫だった。実

る時期が遅いからだ。33 モーセはファラオの所から町の外へ出て、エホバの前で両手を広げた。すると雷とひょうはやみ、雨も地上に降り注がなくなった。34 ファラオは雨とひょうと雷がやんだのを見ると、また罪を犯し、心を固くした。彼も家来たちもだった。35 ファラオは依然強情

で、イスラエル人を去らせなかった。エホバがモーセを通して述べた通りだった。

第9章

(イ) 詩 105:33

(イ) 出 8:22

出 9:3,4

出 10:23

出 11:7

出 12:13

(イ) 出 7:5,17

出 8:9,10

出 8:22

出 14:4

申 10:14

詩 24:1

(イ) 出 10:17-19

(イ) 出 4:21

出 8:13,15

(イ) 出 7:4

第2欄

第10章

(イ) 出 4:21

出 9:34

(イ) 出 9:15,16

詩 78:12

口マ 9:17

(イ) 出 13:3,8

申 4:9

申 6:20-22

詩 44:1

(イ) 出 9:17

(イ) 出 9:31,32

(イ) 出 9:24

10 エホバはモーセに言った。「ファラオの所に行きなさい。

私は、彼の心と家来たちの心が固

くなるままにしてきた。それは、私がこれらの奇跡を彼に間近で見せるため、

2 そして、私がエジプトに対してどんな厳しい処置を取り、彼らの間でどんな奇跡を行ったかについて、あなたが子や孫に聞かせるためである。あなたたちは、私がエホバであることを必ず知る」。

3 モーセとアロンはファラオの所に行き、こう言った。「ヘブライ人の神エホバはこう言いました。『あなたは私にいつまで逆らうのか。私の民を去らせて私に仕えさせなさい。4 も

し私の民を去らせることを拒み続けるなら、明日、あなたの領土にバッタを送り込む。5 バッタは地表を覆い、地面が見えなくなる。バッタは、ひょう

に打たれずに残っていたものを全て食べ、生えている木を食い尽くす。6 あ

なたの家、あなたの全ての家来たちの家、全てのエジプト人の家はバッタ

でいっぱいになり、あなたの父や父祖もこれまでに見たことがないほどになる。』そしてモーセは後ろを向き、ファ

ラオの所から出た。

7 家来たちはファラオに言った。「あの男はいつまで私たちを脅かすのでしょうか。あの者たちを去らせて彼ら

10:1, 2 *直訳, 「しるし」。 10:7 *直訳, 「のわなどとなる」。

の神エホバに仕えさせてください。エジプトが壊滅してしまったことにまだ気付いておられないのですか」。8 それでモーセとアロンはファラオの所に連れ戻された。ファラオは2人に言った。「行って、おまえたちの神エホバに仕えよ。だが、行くのはどんな者たちか」。9 モーセは言った。「若者も年寄りも、息子や娘、羊や牛も一緒に行きます。エホバの祭りを行うからです」。

10 ファラオは言った。「おまえたちと子供たちを去らせると思っているのか。そうしたら、エホバが本当におまえたちと共にいるみたいだ。おまえたちが悪いことをたくさんしているのは分かっている。11 駄目だ！ 行ってエホバに仕えてよいのは男たちだけだ。それがおまえたちが求めたことだ」。こうして2人はファラオの前から追い出された。

12 エホバはモーセに言った。「エジプトの上に手を伸ばしなさい。そうすれば、バッタがエジプトに押し寄せ、国中の草木、ひょうの害を受けなかった全てのものを食い尽くす」。13 すぐにモーセはエジプトの上につえを差し出した。するとエホバはその日、昼も夜もずっとその土地に東風を吹かせた。朝になり、東風はバッタを運んできた。14 バッタはエジプト全土に押し寄せ、領土全体に降りてきた。ひどい状態だった。それほどバッタはこれまでに現れたことがなく、今後

第10章

(例) 出 10:25, 26

(例) 出 3:18
出 5:1

(例) 出 12:31, 32

(例) 詩 78:46

(例) 出 10:5
詩 105:34, 35

第2欄

(例) 出 8:30, 31

(例) 出 7:3
出 11:10
ロマ 9:17, 18

(例) 詩 105:28

(例) 出 8:21, 22
出 9:3, 6
出 9:26
出 11:7
出 12:13(例) 出 8:28
出 9:28

もないだろう。15 バッタは国中の地面を覆い、その土地は暗くなった。バッタは、ひょうを免れた国中の草と木の葉を食い尽くした。エジプト全土で、木の葉も草も全く残らなかった。

16 ファラオはすぐモーセとアロンを呼んで、こう言った。「私は、おまえたちの神エホバとおまえたちに対して罪を犯した。17 どうか、私の罪を今回だけは許してほしい。私に降り掛かっているこの死の災厄を取り除いてくれるよう、おまえたちの神エホバにお願いしてくれ」。18 モーセはファラオの所から出て、エホバにお願いした。19 エホバは風向きを変えて非常に強い西風に、バッタはそれに運ばれて紅海に落ちた。エジプトの全領土にバッタは1匹も残らなかった。20 しかし、エホバはファラオが強情になるままにし、ファラオはイスラエル人を去らせなかった。

21 エホバはモーセに言った。「天に向かって手を伸ばしなさい。そうすれば、エジプトを闇が覆う。非常に濃い闇である」。22 モーセがすぐ天に向かって手を伸ばすと、エジプト全土は3日間、深い闇に包まれた。23 人々は互いを見ることができず、3日間、誰もどこにも行けなかった。しかし、イスラエル人が住んでいる所には光があった。24 ファラオはモーセを呼んで、こう言った。「行って、エホバに仕えよ。羊と牛だけは残

しておけ。子供たちも一緒にい行つてよ。
25 モーセは言^いつた。「あなた^いが犠^い牲^いと全^い焼^いの捧^いげ物^いのための動物^いも持^いたせてくだ^いさり、私^いたちはそれ^いをエホバ神^いに捧^いげます。**26** 私^いたちの家畜^いも一^い緒^いに行^いきま^いす。1匹^いも後^いに残^いすことはでき^いません。私^いたちはその中^いのどれか^いを用^いいてエホバ神^いを崇^い拝^いするから^いです。その場^いに着^いくまでは、エホバへの崇^い拝^いで何^いを捧^いげるのか、分^いからないの^いです」。**27** エホバはファラオが強^い情^いになるま^いまに^いし、ファラオはイスラエル人^いを去^いらせることに同^い意^いしなかつた。**28** ファラオはモーセに言^いつた。「ここから出^いてい^いけ! 二^い度^いと私^いの顔^いを見^いようとす^いるな。私^いの顔^いを見^いる日^いにおま^いえは死^いぬ」。**29** これに對^いしてモーセは言^いつた。「おっしやる通^いり、あなた^いの顔^いを二^い度^いと見^いないよう^いにいたします」。

11 エホバはモーセに言^いつた。「私^いはファラオとエジプトにもう1^いつ災^い厄^いをもた^いらす。その後^い、彼^いはあなた^いたちをここから去^いらせる。その時^い、彼^いはあなた^いたちをここから完^い全^いに追^いいだす。**2** さあ、民^いに告^いげなさい。男^い性^いも女^い性^いも皆^い、銀^いや金^いの物^い品^いを隣^い人に求^いめるよう^いに、と」。**3** エホバはエジプト人^いが民^いに好^い意^いを示^いすようにした。モーセも、エジプトで、ファラオの家^い来^いと民^いから非^い常^いに偉^い大^いな人^い物^いと見^いなされるよう^いになつていた。

10:25 *または、「連れていくのを許して」。

第10章

(例) 出 3:18
出 5:3

(例) 出 4:21
出 14:4

第11章

(例) 申 4:34

(例) 出 12:31,32

(例) 出 3:21,22
出 12:35,36
詩 105:37

第2欄

(例) 出 12:29

(例) 出 4:22,23
詩 78:51
詩 105:36
詩 136:10
へブ 11:28

(例) 出 12:12

(例) 出 12:30

(例) 出 8:22

出 9:3,4

出 10:23

出 12:13

(例) 出 12:33

(例) 出 3:19

出 7:4

ロマ 9:17,18

(例) 出 7:3

(例) 詩 135:9

(例) 出 4:21

出 9:15,16

出 10:20

第12章

(例) 出 13:4

出 23:15

民 28:16

申 16:1

4 モーセは言^いつた。「エホバはこう言^いいました。『私^いは真^い夜^い中^いごろエジプトの中^いに出^いてい^いく。**5** エジプトに^いいる長^い男^いは全^いて死^いぬ。王^い座^いに座^いるファラオの長^い男^いも、ひき白^いをひく女^い奴^い隷^いの長^い男^いもである。家畜^いの初^い子^いも全^いて死^いぬ。**6** エジプト全^い土^いで、これま^いでになく今^い後^いもな^いいよう^いな大^いき^いな叫^いびが上^いがる。**7** し^いかし、イスラエル人^いにつ^いいては、人^いや家畜^いに犬^いがほえ^いることさ^いえな^いい。そしてあなた^いの方^いは、エホバがエジプト人^いとイスラエル人^いを区^い別^いでき^いるというこ^いとを知^いるだ^いらう』。**8** あな^いたの家^い来^いは皆^い、き^いつと私^いの所^いに來^いてひ^いれ伏^いし、こ^いう言^いいます。『あなた^いもあな^いたに從^いう民^いも皆^い、出^いてい^いつてくだ^いさい』。その後^い、私^いは出^いてい^いきます」。こ^いうしてモーセは怒^いりに燃^いえなが^いらファラオの所^いから出^いた。

9 エホバはモーセに言^いつた。「ファラオはあなた^いたちが言^いうこ^いとを聞^いかな^いい。それは、エジプトで私^いの奇^い跡^いがさ^いらに行^いわれ^いるため^いである」。**10** モーセとアロンはこ^いうした奇^い跡^い全^いてをファラオの前^いで行^いつてきた。し^いかし、エホバはファラオが強^い情^いになるま^いまにしたので、ファラオはイスラエル人^いを国^いから去^いらせな^いかつた。

12 エホバはエジプトでモーセとアロンにこ^いう言^いつた。**2** 「この月^いがあなた^いたちにと^いつて初^いめ^いの月^い、年^いの第^い1^いの月^いとなる。**3** イスラエル^いの民^い全^い体^いにこ^いう話^いしな^いさい。『こ

月の10日に、彼らは父の家ごとに1匹の羊を用意する。一家に1匹である。4 しかし、もし一家でその羊を食べ切れないようなら、すぐ近くの隣人と家の中で分け合う。人数と各自の食べる量に応じて配分する。5 羊は傷のない1歳の雄であるべきである。羊の代わりにヤギでもよい。6 この月の14日までその羊を世話し、イスラエルの会衆 全体は夕暮れ時にそれをほふらなければならない。7 そしてその血をいくらか取り、羊を食べる家の戸口の2本の柱と上部の横木に、血を付けなければならない。

8 彼らはその夜にその肉を食べなければならない。火で焼いて、無酵母パンと苦菜と一緒に食べる。9 どの部分も、生で、あるいは煮て食べてはならない。火で焼きなさい。頭やすねや内臓も一緒にである。10 どの部分も朝まで取っておいてはならない。朝まで残る物は火で燃やすべきである。11 食べる時には、帯を締め、サンダルを履き、つえを持ち、急いで食べる。これはエホバの過ぎ越しである。12 私はその夜エジプトを通して、人間から動物までエジプトの全ての初子を打ち、エジプトの全ての神々を裁いて処罰する。私はエホバである。

13 血が、あなたたちがいる家のしとなり、私はその血を見て過ぎ越す。

12:6 *用語集参照。#直訳、「2つの夕方の間」。
△または、「殺む」。

第12章

(例)ヨハ1:29
コエ5:7
啓5:6

(例)レビ22:18-20
申17:1
ペー1:19

(例)民28:16

(例)出12:18
レビ23:5
申16:6

(例)コエ5:7
ヘブ11:28

(例)申16:6,7

(例)出13:3
出34:25
申16:3
コエ5:8

(例)民9:11

(例)レビ7:15
レビ22:29,30
申16:4

(例)出11:4,5
出12:29

(例)民33:4

第2欄

(例)出8:22
出9:4,26
出10:23
出11:7

(例)出23:15
レビ23:6

(例)レビ23:8

(例)レビ23:6
ルカ22:1
コエ5:8

(例)レビ23:5,6

(例)民9:14

(例)申16:3
コエ5:7

私がエジプトを打つ時、あなたたちが災厄を受けて滅びることはない。

14 この日は記念すべき日であり、あなたたちはエホバの祭りとしてこの日を代々祝わなければならない。この法令をずっと守るべきである。15 あなたたちは7日間、無酵母パンを食べる。1日目にかから酸味のあるパン生地を取り除く。1日目から7日目の間にパン種が入った物を食べる人がいれば、その人はイスラエルの中から除かれなければならないからである。16 1日目に聖なる大会を開き、7日目にも聖なる大会を開く。それらの日には何の仕事もしてはならない。ただし、それぞれが食べる物、それだけは用意してよい。

17 あなたたちは無酵母パンの祭りを行わなければならない。この日に、私はあなたたちの部隊をエジプトから連れ出すからである。あなたたちはこの日を代々祝わなければならない。この法令をずっと守るように。18 あなたたちは第1の月、14日の夕方に無酵母パンを食べ、21日の夕方までそうする。19 7日間、酸味のあるパン生地が家にあってはならない。パン種が入った物を食べる人がいれば、外国人でも生来のイスラエル人でも、その人はイスラエルの民の中から除かれなければならないからである。

12:15 *または、「酵母」。#または、「死刑にされ」。

20 パン種^{だね}が入^{はい}った物^{もの}は食^たべてはな
らない。どの家^{いえ}でも無酵^{いせい}母^{むこう}パン^ぼを食^た
べる』。

21 モーセは直^{ただ}ちにイスラエル^{いすらい}の長^{ちやう}
老^{ろう}を全員^{ぜんいん}呼^よんで、こ^いう言^いった。「行^いって、
家^か族^{ぞく}ごと^ごに動^{どう}物^{ぶつ}を選^{えら}び取^とり、過^すぎ越^こし
の犠^ぎ牲^{せい}とし^してほふ^ふりなさい。22 それ
から、鉢^{はち}に入^いれた血^ちにヒソ^{ひそ}の束^{たば}を浸^{ひた}
し、その血^ちを戸^と口^{ぐち}の上部^{じやうぶ}の横^{よこ}木^ぎと2本^{ほん}
の柱^{はしら}に付^つけなればなりませ^あせん。朝^{あさ}
にな^なるま^まで誰^{だれ}も家^{いえ}の入^いり口^{ぐち}から出^でては
なりませ^あせん。23 そ^そうす^すれば、エホバ^{えほ}
がエジ^{じん}プト人^{さいやく}に災^{さい}厄^{やく}をもた^もたらすた^ために
通^とる時^{とき}、戸^と口^{ぐち}の上部^{じやうぶ}の横^{よこ}木^ぎと2本^{ほん}の柱^{はしら}
に^{ある}血^ちを見^みて、エホバ^{えほ}は必^{かな}ずそ^その入^い
り口^{ぐち}を過^すぎ越^こし、死^しの災^{さい}厄^{やく}が皆^{みな}さん^の
家^{いえ}に入^{はい}らな^いようにし^す。

24 皆^{みな}さん^ははこ^この行^{ぎやう}事^じを自^じ分^{ぶん}と自^じ分^{ぶん}
の子^し孫^{そん}のた^ための規^き定^{てい}とし^して行^いい続^{つづ}け
な^なければなりませ^あん。25 エホバ^{えほ}が
約^{やく}束^{そく}通^とり^と与^{あた}えてく^くださ^さる土^ど地^ちに皆^{みな}さん
が^入った時^{とき}、こ^この儀^ぎ式^{しき}を行^いわな^なければ
なりませ^あん。26 こ^この儀^ぎ式^{しき}に^はど^どうい^いう意^い味^みがあ^あるの^のです^すか』
と尋^{たず}ねら^られたら、27 『こ^これはエホバ^{えほ}
へ^への過^すぎ越^こし^しの犠^ぎ牲^{せい}です。神^{かみ}はエジ^{じん}
プト人^{さいやく}に災^{さい}厄^{やく}をもた^もたらした^し際^{さい}、エジ^{じん}
プト人^{さいやく}にイス^いラ^らエ^えル^る人^{じん}の家^{いえ}を過^すぎ越^こ
し、私^{わたくし}た^たち^の家^{いえ}を救^{すく}って^くださ^さった^ので
す』と^い言^いわな^なければなりませ^あん。

すると、民^{たみ}は身^みをか^かが^めてひ^ひれ伏^ふし
た。28 イス^いラ^らエ^えル^る人^{じん}は行^いって、エホ

第12章

(ア) 出 3:16
民 11:16

(イ) ヘブ 11:28

(ウ) 申 16:3

(エ) ヨシ 5:10

(オ) 出 13:3,8
申 6:6,7

第2欄

(ア) ヘブ 11:28

(イ) 民 33:4
詩 78:51
詩 105:36

(ウ) 創 15:14
出 11:4,5
民 3:13
詩 135:8

(エ) 出 11:6

(オ) 出 10:28,29

(イ) 出 3:19,20
出 6:1
出 10:8-11
詩 105:38

(ウ) 出 10:26

(エ) 出 12:11

(オ) 出 10:7

(イ) 創 15:14
出 3:21
出 11:2
詩 105:37

(ウ) 出 3:22

(イ) 創 47:11
出 1:11

(ウ) 民 33:5

バ^{めい}がモーセ^ととアロン^とに命^{めい}じ^とた通^とり^にし
た。ま^まさにそ^との通^とり^にした。

29 真^ま夜^よ中^{なか}にな^なって、エホバ^{えほ}は、王^{おう}
座^ざに座^{すわ}るファラオ^{ちやうなん}の長^{ちやう}男^{ごう}も牢^{ろう}獄^{ごく}に^いる
囚^{しゅう}人^{じん}の長^{ちやう}男^{なん}も、エジ^{ちやう}プト^{なん}の長^{ちやう}男^{なん}を全^{すべ}
て打^うち、動^{どう}物^{ぶつ}の初^{はつ}子^ごも全^{すべ}て打^うった。

30 ファラオ^ふと全^{ぜん}ての家^け来^{らい}をは^はじ^じめ、全^{ぜん}
てのエジ^{じん}プト人^{じん}は、そ^その夜^よ、起^おき上^あ
が^がった。エジ^{じん}プト人^{じん}の間^{あい}で大^おきな叫^{さけ}び
が上^いが^いった。死^し人^{にん}が出^でない家^{いえ}はな
か^かったから^{から}であ^ある。31 ファラオ^ふはす
ぐ、夜^よのう^うち^に、モーセ^ととアロン^をを呼^よん
で、こ^こう言^いった。「出^でてい^いけ、おま^おえ^えたち
も他^たのイス^いラ^らエ^えル^る人^{じん}も私^{わたくし}の民^{たみ}の間^{あい}か
ら^いな^なくな^なれ。行^いって、おま^おえ^えたち^が言^い
う通^とりエホバ^{えほ}に仕^{つか}えよ。32 おま^おえ^え
たち^が言^いう通^とり、羊^{ひつじ}も牛^{うし}も連^つれ^つてい^いけ。
私^{わたくし}のた^ため^もに神^{かみ}に祝^{しゅく}福^{ふく}を求^{もと}めよ」。

33 エジ^{じん}プト人^{じん}は、国^{くに}を早^{はや}く出^でるよ
う民^{たみ}をせ^せかし始^{はじ}め、「こ^このま^ままで^はわ
れ^れわ^れは皆^{みな}死^しん^{しん}で^いま^いう^う」^と言^いう
だ^だった。34 そ^それ^で民^{たみ}は、パ^ぱン^ん種^{しゅ}を入^い
れる前^{まえ}のパン^き生^じ地^ちとこ^こね鉢^{はち}を服^{ふく}で^でくる
ん^んで担^{かつ}いだ。35 イス^いラ^らエ^えル^る人^{じん}は
モーセ^とに言^いわ^われた通^とり^にし、銀^{ぎん}や金^{きん}の
物^{ぶつ}品^{ひん}、ま^また服^{ふく}をエジ^{じん}プト人^{じん}に求^{もと}めた。
36 エホバ^{えほ}はエジ^{じん}プト人^{じん}が民^{たみ}に好^{こう}意^い
を示^{しめ}すよ^うに^にし、エジ^{じん}プト人^{じん}は民^{たみ}が求^{もと}
める物^{もの}を^あた^たへ^た。こ^こうし^して民^{たみ}はエジ^{じん}
ト人^{じん}か^から奪^{うば}い^と取^とった。

37 イス^いラ^らエ^えル^る人^{じん}はラ^らメ^らセ^らス^すか^からス
コ^むト^{しゅ}に^{しゅ}向^むけ^けて出^{しゅ}発^{はつ}した。徒^と歩^ほで^い行^いく男^{だん}

12:21 *子羊^{こやぎ}か子^こヤギ^{やぎ}のこ^こと。

12:29 *直^{ちき}訳^{やく}、「水^{みづ}た^ため^めの家^{いえ}」。

出エジプト 12:38-13:5

せい やく まんにん こども
性は約60万人で、ほかに子供たちも
(例) ひと※おせい いっしょ
いた。38 さまざまな人も大勢一緒
(例) ひつじ うし たすう かちく いっしょ
に行き、羊や牛、多数の家畜が一緒
だった。39 イスラエル人は、エジプ
トから持ってきたパン生地を焼いて丸
い無酵母パンを作った。それにはパ
ン種が入っていないかった。エジプトか
ら突然追い出されたので、旅の食料を
用意していなかったからである。

40 エジプトに住んだイスラエル
人の居住期間は430年だった。
41 430年が終わったちょうどその日
に、エホバの民全体はエジプトを出
た。42 その夜は、エホバがエジプ
トから連れ出してくださったことを記
念する時となる。イスラエルの民全て
は代々、エホバをたたえてこの夜を祝
うべきである。

43 エホバはモーセとアロンに言っ
た。「以下は過ぎ越しに関する法令で
ある。外国人は過ぎ越しの犠牲を食
べてはならない。44 しかし、お金で買
われた男奴隷には割礼を施すべきで
あり、その後、その奴隷も食べてよい。
45 移住者と雇われた労働者は食
べてはならない。46 犠牲は1軒の家
の中で食べる。その肉を家の外に持
ち出してはならない。また、その骨を
折ってはならない。47 イスラエルの
民全員が過ぎ越しを祝う。48 あな
たたちの間に住んでいる外国人は、エ

12:38 *イスラエル人以外の人のことで、エジプ
ト人も含む。12:41 *直訳、「全軍」。

第12章

(例) 創 12:1,2
創 15:1,5
創 46:2,3
出 1:7
民 2:32

(例) 民 11:4

(例) 出 12:31

(例) 創 46:2,3
創 47:27
使徒 13:17

(例) ガラ 3:17

(例) 申 16:1

(例) レビ 22:10

(例) 創 17:12,23

(例) 民 9:12
詩 34:19,20
ヨハ 19:33,36

第2欄

(例) 民 9:14

(例) レビ 24:22
民 15:16

第13章

(例) 民 3:13
民 18:15
申 15:19
ルカ 2:22,23

(例) 出 12:42
申 16:3

(例) 申 4:34
ネヘ 9:10

(例) 申 16:1

ホバの過ぎ越しを祝い**たい**場合、その
人の家の男性全員が割礼を受けなけ
ればならない。その後、祝ってよい。そ
の人は生来のイスラエル人となる。
しかし、割礼を受けていない人は
犠牲を食べてはならない。49 生来
のイスラエル人にも、あなたたちの間
に住んでいる外国人にも、同じ律法が
適用される。

50 イスラエル人は皆、エホバが
モーセとアロンに命じた通りにした。
まさにその通りにした。51 ちょうど
その日に、エホバはイスラエル人とそ
の部隊をエジプトから連れ出したの
である。

13 エホバはモーセにさらにこ
う話した。2「イスラエル
人の長男は全て私のために神聖なも
のとしなさい。人間の男でも動物の雄
でも、最初に生まれるものは、私のも
のである」。

3 モーセは民に言った。「奴隷と
なっていた土地エジプトから出たこの
日を覚えておいてください。エホバは
力強い手で皆さんをここから連れ出し
てくださったからです。それで、パン
種が入った物を食べてはなりません。
4 皆さんはアビブの月のこの日に出
ていきました。5 エホバは、カナン
人、ヘト人、アモリ人、ヒビ人、エブス

13:2 *直訳、「それぞれの胎を開く初子」。

*または、「取り分け」。

13:3 *直訳、「奴隷の家」。

13:4 *付録B15参照。

人^{じん}の土地^{とち}をあなたに与^{あた}えることを父祖^{ふそ}たちに誓^{ちか}いました。その非常^{ひじょう}に肥沃^{ひよく}な土地^{ちか}に連れていっていただいたなら、あなたはこの月^{つき}にこの儀式^{ぎしき}を行^{おこな}わ

なければなりません。6 あなたは7日間^{かかん}、無酵^{むこうぼ}パン^たを食べ^{かめ}、7日目^{むこうぼ}にはエホバの祭^{まつ}りがあります。7 無酵^{むこうぼ}パン^たを7日間^{かかん}食べます。パン種^{もの}が入^{はい}った物^{もの}があなたのもとにあつてはならず、領土^{りょうど}内^{ない}のどこでも、酸味^{さんみ}のあるパン生^き地^じがあなたのもとにあつてはなりません。

8 あなたはその日^ひ、子供^{こども}に、『こうするのは、私がエジプトから出^でる時^{とき}にエホバがしてくださったことを忘れ^{わす}れないためだ』と話^{はな}さなければなりません。

9 この儀式^{ぎしき}はあなたにとって手^てや額^{ひたい}にあるしるし^{しるし}のようになり、あなた^{あなた}の口^{くち}はエホバの律法^{りつぽう}を語^{かた}ります。エホバは力^{ちから}強い手^てであなたをエジプトから連れ出^つしたのです。

10 あなたは毎年^{まいとし}、決められた時^{とき}にこの法令^{ほうれい}を守^{まも}らなければなりません。

11 エホバが、あなたに与^{あた}えることをあなたと父祖^{ふそ}たちに誓^{ちか}ったカナン人^{じん}の土地^{とち}に連れていくとき、

12 あなたは、長男^{ちやうなん}も、手^てに入れる家畜^いに生まれる最初^{さいしよ}の雄^{おす}も、全^{すべ}てエホバに差し出^ささなければなりません。それ

はエホバのもです。13 ロバの初子^{はつこ}については、代わり^かに羊^{ひつじ}を捧^{ささ}げま

13:5 *直訳、「乳と蜜が流れる地」。13:7 *または、「酵母」。13:9、16 *直訳、「目の間」。13:9 *または、「思い起こさせるもの」。

第13章

出 3:8
出 34:11

創 15:18
出 6:5,8

出 3:17
申 8:7-9

出 12:15
出 34:18

出 23:15

申 16:3

出 12:26,27

出 12:14
申 11:18

出 12:24,25

創 15:18

出 22:29
出 34:19,20
レビ 27:26
民 3:13
ルカ 2:22,23

第2欄

民 18:15

申 7:7,8

出 5:2

出 12:29
詩 78:51

申 11:18

出 14:2,3
民 33:5

す。もしそうしないのであれば、そのロバの首^{くび}を折^おらなければなりません。また、長男^{ちやうなん}は全^{すべ}て買^かい戻^{もど}さなければなりません。

14 いつか子供^{こども}から、『これはどういう意味^{いみ}ですか』と尋^{たず}ねられたら、こう言うべきです。『エホバは力^{ちから}強い手^てで、私

たちが奴隷^{どれい}となっていた土地^{ちか}エジプトから連れ出^つしてくださった。15 ファラオは私^{わたし}たちを去^さらせることをかたく

に拒^こんだので、エホバはエジプトの全^{すべ}ての初子^{はつこ}を、人間^{にんげん}の長男^{ちやうなん}も動物^{どうぶつ}の初子^{はつこ}も殺^{ころ}した。それで、最初^{さいしよ}に生まれる男^{おとこ}や雄^{おす}をエホバに犠牲^{ぎせい}として捧^{ささ}げる

のだ。ただし、長男^{ちやうなん}は全^{すべ}て買^かい戻^{もど}す』。16 この儀式^{ぎしき}はあなたの手^てにあるしるし、額^{ひたい}にある帯^{おび}のようであければなりません。エホバは力^{ちから}強い手^てで私^{わたし}たちをエジプトから連れ出^つしてくださったのです。

17 さて、ファラオが民^{たみ}を去^さらせた時^{とき}、フィリステア人^{じん}の土地^{とち}を通^{とお}る方^{かた}が近道^{ちかみち}だったが、神^{かみ}は民^{たみ}をそちらには導^{みちび}かなかった。神^{かみ}はこう言^いった。「民^{たみ}は、戦^{たたか}いに直面^{ちょくめん}したら考^{かんが}えを変^かえるかも

しれず、そうしたら、エジプト^{もど}に戻^{もど}てしまふ」。18 神^{かみ}は民^{たみ}に回^{まわ}り道^{みち}をさせ、紅海^{こうかい}の荒野^{こうや}を通^{とお}らせた。もつとも、イスラエル人^{じん}は戦^{せん}闘隊^{どうたい}形^{けい}を組^くんでエジプトから出^でていった。19 モーセはヨセフの骨^{ほね}を持^もっていった。ヨセフがイスラエルの子孫^{しそん}に次^{つぎ}のよう^いに言^いい、厳肅^{げんしゆく}に誓^{ちか}わせたからである。「神^{かみ}

は皆さんに必ず注意を向けてください
ます。ぜひとも私の骨をここから運ん
でいってください」。20 民はスコト
を出発して、荒野の端のエタムに宿営
を張った。

21 エホバは民の前を進んだ。昼
は雲の柱で道案内し、夜は火の柱で
照らし、民が昼も夜も進むようにし
た。22 昼は雲の柱が、夜は火の柱
が民の前から離れなかった。

14 エホバはモーセに言った。
2 「イスラエル人に告げな
さい。引き返して、ミグドルと海の間、ピ
ハヒロの手前に宿営を張るように、
と。バアル・ツェフォンが見える所、海
辺に宿営を張る。3 その時、ファラオ
はイスラエル人についてこう言う。『彼
らは道に迷っている。荒野から出られ
なくなっているのだ』。4 私はファラ
オが強情になるままにし、ファラオは
民の後を追う。私はファラオとその全
軍を打ち負かして自分に栄光をもたら
す。エジプト人は、私がエホバである
ことを必ず知る」。それでイスラエル人
はその通りにした。

5 その後、民が急いで去ったことが
エジプトの王に報告された。すぐに
ファラオと家来たちはその民について
考えを変え、こう言った。「われわれは
どうしてこんなことをしたのか。イスラ
エル人を奴隷労働から解放してしまう
とは」。6 ファラオは戦車を用意さ
せ、戦士たちを集めた。7 そして、特

第13章

(イ) 創 50:24, 25
ヨシ 24:32
ヘブ 11:22

(イ) 出 14:19

(イ) 民 9:15
詩 78:14

(イ) 詩 105:39
コヘ 10:1

第14章

(イ) 出 13:17, 18

(イ) 出 7:13
ロマ 9:17, 18

(イ) 出 9:15, 16
出 15:11
出 18:10, 11
ヨシ 2:9, 10

(イ) 出 7:5
出 8:22

(イ) 出 12:33

(イ) 出 14:23

第2欄

(イ) 民 33:3

(イ) 出 15:9

(イ) ヨシ 24:6, 7
ネヘ 9:9

(イ) 出 16:3
出 17:3
民 14:2-4
詩 106:7

(イ) 出 5:21
出 6:6, 9

(イ) 民 14:9
申 20:3
代 20:15, 17
詩 27:1
詩 46:1
イザ 41:10

(イ) 代 20:17

(イ) 出 14:30
出 15:5
詩 136:15

べつ 別の兵車600両とエジプトの他
の兵車を集め、それぞれに戦士た
ちを乗らせた。8 こうして、エホバは
エジプトの王ファラオが強情になるま
まにし、ファラオはイスラエル人の後
を追った。イスラエル人は意気揚々と
出ていった。9 エジプト人は後を追
い、ファラオの全ての馬と兵車、騎兵と
歩兵たちは、バアル・ツェフォンが見え
る所、ピハヒロのそばの海辺で宿営
しているイスラエル人に追い付いた。

10 ファラオが近くまで来た時、イス
ラエル人は目を上げ、エジプト人が
追ってきているのを見た。イスラエ
ル人はおびえ、エホバに向かって叫び
だした。11 そしてモーセに言った。
「エジプトに葬る場所がないので、荒
野で死なせるために私たちをここに連
れてきたのですか。何ということをし
てくれたのです。どうして私たちをエジ
プトから連れ出したりしたのですか。
12 エジプトで、『私たちのことは放っ
ておいて、このままエジプト人に仕
えさせてほしい』とあなたに言ったで
はありませんか。荒野で死ぬよりエ
ジプト人に仕えている方がましです」。
13 モーセは民に言った。「恐れては
なりません。しっかり立って、エホバが
今日どのように救ってくださるかを見
なさい。今日見ているこのエジプト人
をもう二度と見ることはありません。
14 エホバが皆さんのために戦ってく

14:8 * 直訳、「手を高く掲げて」。

ださいます。皆さんは静かにしていな
さい。

15 エホバはモーセに言った。「な
ぜ私に向かって呼び続けるのか。イス
ラエル人に、出発するように告げな
さい。16 あなたは、つえを掲げて、海
の上に手を伸ばし、海を2つに分けな
さい。イスラエル人が乾いた地面を歩

いて海の中を通れるようにするのだ。

17 私はエジプト人が強情になるまま
にしており、彼らは後を追って入ってい
く。こうして私は、ファラオとその歩兵、

戦車と騎兵たちを打ち負かして自分
に栄光をもたらす。18 私がファラオ
とその戦車と騎兵たちを打ち負かし

て自分に栄光をもたらす時、エジプト
人は、私がエホバであることを必ず

知る」。

19 その時、イスラエル人の前を進
んでいた真の神の天使はそこを離れて
後ろに行き、前にあった雲の柱が後ろ
に回って後方に立った。20 こうして、

それはエジプト人の陣営とイスラエル
の陣営の間に入り、一方の側では暗い
雲となり、他方の側では夜を明るく照
らした。それで一晩中、エジプト人が
イスラエルに近づくことはなかった。

21 モーセは海の上に手を伸ばし
た。エホバは一晩中、強い東風によっ
て海の水を押しのかけて、海底を乾いた
地面に変えた。水は2つに分かれた。

22 イスラエル人は乾いた地面を歩
いて海の中を通り、その間、水は左右

第14章

(ア) 申1:30

申20:4

代二20:29

(イ) 出9:15,16

(ウ) 出14:4

ロマ9:17,18

(エ) 創48:16

出32:34

民20:16

ユダ9

(オ) 出13:21

(カ) ヨシ24:6,7

(キ) 詩105:39

(ク) 出14:16

使徒7:36

(ケ) ヨシ2:9,10

詩66:6

詩106:9

詩114:3

(コ) ネヘ9:10,11

詩78:13

詩136:13

イザ63:12

(コ) コー10:1

ヘブ11:29

第2欄

(ア) 出15:8

(イ) 出14:17

(ウ) 出13:21

(エ) 出14:4

(オ) 出15:1,4

(カ) 出15:5,10

申11:3,4

ヨシ24:6,7

ネヘ9:10,11

詩78:53

ヘブ11:29

(キ) 出14:13

詩106:11

詩136:15

(ク) 詩77:19

(ケ) 出15:8

(コ) 申4:20

詩106:8-11

(コ) 出4:31

出19:9

詩106:12

で壁となっていた。23 エジプト人
は彼らを追い掛け、ファラオの全ての
馬、戦車と騎兵たちは後を追って海の
中に入っていた。24 エホバは朝

の見張りの時間に火と雲の柱のなか
らエジプト軍を見て、混乱に陥れた。

25 そして、兵車から次々に車輪を外
して進みにくくした。エジプト人はこう
言いだした。「イスラエル人に関わら
ないで逃げよう。エホバが彼らのため
にエジプト人と戦っているのだ」。

26 エホバはモーセに言った。「海
の上に手を伸ばしなさい。水はエジ
プト人の上、戦車と騎兵たちの上に戻

る」。27 モーセがすぐ海の上に手を
伸ばすと、夜が明ける前に海はいつも
の状態に戻った。エジプト人は逃げよ
うとしたが、エホバはエジプト人を海

の中に払い落とした。28 戻ってい
く水が、民を追って海に入ったファラオ
の全軍、戦車と騎兵たちに覆いかぶ
さった。誰一人生き残らなかった。

29 一方、イスラエル人は海底の乾
いた地面を歩き、水はその左右で壁と
なっていた。30 こうしてエホバはそ

の日、イスラエルをエジプト人から
救った。イスラエルはエジプト人が海
辺で死んでいるのを見た。31 また、

エホバがエジプト人に対して振るった
大きな力を見た。民はエホバへの畏
れを抱き、エホバとその下で仕える
モーセを信じるようになった。

14:24* 午前2時ごろから午前6時ごろまで。

15 その時^{とき}モーセとイスラエル人^{じん}
は、エホバに向かってこの歌^{うた}
を歌^{うた}った。

「私はエホバに向かって歌う。神

は輝かしい勝利を収めた。

馬^{うま}と乗り手を海に投げ入れた。

2 私の強さ^{つよく}、私の力^{ちから}はヤハ。私を
救^{すく}ってくださったから。

この方が私の神^{かみ}、私は賛美^{さんび}する。

私の父^{ちち}の神^{かみ}、私はこの方をた
たえる。

3 エホバは力強い戦士^{せんし}。エホバが
その名^な。

4 ファラオの兵車^{へいしゃ}と軍隊^{ぐんたい}を海に投
げ込み^こ、

精鋭^{せいえい}の戦士^{せんし}たちは紅海^{こうかい}に沈^{しず}
んだ。

5 波立つ水^{なみだ}が覆^{みず}いかぶさ^{おほ}り、彼ら^{かれ}
は石^{いし}のように深く沈^{ふか}んだ。

6 エホバ、あなたの右手^{みぎて}は非常^{ひじょう}に
力強い^{ちからづよ}。

エホバ、あなたの右手^{みぎて}は敵^{てき}を
くだ
砕く。

7 あなたは威厳^{いげん}に満ち^み、逆^{さか}らう者^{もの}
たちを倒^{たお}す。

燃^もえる怒^{いか}りを送^{おく}り出^だし、彼ら^{かれ}をわ
らのように焼^やき尽^つす。

8 あなたの鼻^{はな}からの息^{いき}によって、水^{みづ}
は集^{あつ}まり、
壁^{かべ}とな^なって、大水^{おおみづ}をせき止^とめた。

第15章

〔訳〕 裁 5:1
サニ 22:1
啓 15:3

〔イ〕 出 9:16
出 18:10,11
詩 106:11,12

〔イ〕 出 15:21
詩 136:15

〔ロ〕 イザ 2:2

〔ロ〕 サニ 22:47
イザ 5:1

〔イ〕 出 3:15

〔イ〕 詩 83:18
詩 148:13

〔イ〕 詩 24:8

〔イ〕 出 6:3
イザ 42:8

〔ロ〕 出 14:27

〔イ〕 出 14:6,7

〔ロ〕 ネヘ 9:10,11

〔イ〕 詩 60:5
詩 89:13

〔ロ〕 イザ 27:23

第2欄

〔イ〕 出 14:5,9

〔イ〕 出 14:21,28

〔イ〕 申 3:24
サニ 7:22

〔ロ〕 イザ 6:3

〔イ〕 出 11:9

〔イ〕 詩 78:53
ヘブ 11:29

〔イ〕 詩 106:10

〔イ〕 民 14:13,14

〔イ〕 民 22:1,3

なみだ みず うみ ま なか かた
波立つ水^{なみだ}が海^{うみ}の真^まん中^{なか}で固^{かた}

まった。

9 敵^{てき}は言^いった。『追^おい掛^かけよう。追^お
い付^つくのだ。』

私は奪^わった物^{もの}を分^わけ、やがて満^み
ち足りる。

剣^{つるぎ}を抜^ぬいて、この手^てで彼ら^{かれ}を抑^{おさ}え
込^こめよう。』

10 あなたが息^{いき}を吹^ふき掛^かけ、海^{うみ}が彼^{かれ}
らに覆^{おほ}いかぶさ^ふった。

彼ら^{かれ}は海^{うみ}の中に鉛^{なまり}のよう^{しず}に沈^{しず}
んだ。

11 エホバ、神^{かみ}々^なの中に、あなた^なの
よう^なな方が誰^{たれ}かいるでしょうか。

極^{きわ}めて聖^{せい}なるあなた^なのよう^なな方^{かた}
が誰^{たれ}かいるでしょうか。

賛美^{さんび}の歌^{うた}によってあがめるべき^{べき}
方^{かた}、不思議^{ふしぎ}なことを行^{おこな}う方^{かた}。

12 あなたが右^{みぎ}手^てを伸^のばすと、地面^{じめん}
は彼ら^{かれ}らのみだんだ。

13 あなたは、救^{すく}い出^だした民^{たみ}を揺^ゆ
ぎない愛^{あい}を示^{しめ}して導^{みちび}いた。

力^{ちから}を示^{しめ}て、民^{たみ}をご自^じ分の聖^{せい}なる
住^すまいに導^{みちび}く。

14 他^た国^{こく}の民^{たみ}は必^{かな}ず聞^きき、身^み震^{ふる}い
する。

フィリステア^{じゅうみん}の住^く民^{のう}は苦^く悩^うする。

15 その時^{とき}、エドム^{しゅばようま}の首^{しゅ}長^{ちやう}たちはお
びえ、

モアブ^{きょうりよく}の強^し力^{はい}な支^し配^{はい}者^{しや}たちは震^{ふる}
える。

15:13 直訳、「買い戻した」。**15:15** *部族の
長のこと。 *または、「君王」。

15:2 *エホバの短縮形。

カナンの住民は皆、おじけづく。

16 彼らは恐れと恐怖に襲われる。

あなたの腕が力強いので、あなたの民が通り過ぎるまで、彼らは石のように動かなくなる。

エホバ、あなたが生み出した民が通り過ぎるまで。

17 あなたは民を連れていき、所有する山に植える。

エホバ、ご自分が住むためにしっかり整えた場所に。

エホバ、あなたの手が造った聖なる所に。

18 エホバはいつまでも永遠に王として統治する。

19 ファラオの馬が戦車と騎兵たちと共に海に入った時、

エホバは海の水を彼らの上に戻した。

しかしイスラエルの民は海の中の乾いた地面を歩いた。

20 アロンの姉である女預言者ミリアムがタンバリンを手に取り、女性たちは皆タンバリンを持って踊りながら後に続いた。21 ミリアムは男性たちの歌に呼応して歌った。

「エホバに向かって歌いなさい。神は輝かしい勝利を収めた。馬と乗り手を海に投げ入れた」。

22 その後、モーセはイスラエルを紅海から出発させた。彼らはシュルの荒野へ行き、荒野を3日間進んだ

第15章

(ア) ヨシ 2:9-11
ヨシ 5:1

(イ) 申 11:25

(ウ) サニ 7:23
イザ 43:1

(エ) 民 20:14,17
民 21:21,22

(オ) 詩 80:8

(カ) 詩 10:16

(キ) 出 14:23

(ク) 出 14:28

(コ) 出 14:22

(コ) 出 9:16
出 18:11

(ウ) 出 14:27,28
詩 106:11,12

第2欄

(ア) 民 33:8

(イ) 出 16:2,3
出 17:3
コ一 10:6,10

(ウ) 出 17:4

(エ) 出 16:4
申 8:2

(オ) 申 28:1

(カ) 申 7:12,15

(キ) 出 23:25
詩 103:3

第16章

(ウ) 民 33:10,11

(ウ) 出 15:24
コ一 10:6,10

が、水を見つけることができなかった。

23 そしてマラに来たが、マラの水は苦くて飲めなかった。それでそこはマラと名付けられた。24 民はモーセに対して不満を口にしながら、「何を飲んだらいいのか」と言った。25 モーセはエホバに向かって叫んだ。するとエホバは1本の木を指し示し、モーセがそれを水中に投げ入れると、水は飲めるようになった。

神はこの件を裁きのための先例として定め、民への教訓とした。神は民を試していたのであり、26 こう言った。「あなたがエホバ神の声をしっかりと聞いて従い、神から見て正しいことを行い、神のおきてに注意を払い、全ての規定を守るなら、私はエジプト人にもたらした病気を何一つあなたにもたささない。私エホバはあなたを癒やしているのである」。

27 その後、民はエリムにきた。そこには12の泉と70本のヤシの木があった。それで彼らは泉の近くに宿営を張った。

16 イスラエル人の民全体はエリムを出発し、やがてエリムとシナイの間にあるシンの荒野にきた。エジプトを出た翌月、第2の月の15日のことである。

2 イスラエル人の民全体はその荒野でモーセとアロンに対して不満を口にするようになった。3 しきりにこう

15:23 *意味、「苦さ」。15:25 *直訳、「甘く」。

言った。「エジプトで肉の鍋のそばに
座り、パンを腹いっぱい食べていた頃
に、エホバの手に掛かって死んでいれ
ばよかった。あなたたちは私たちをこ
んな荒野に連れ出して、会衆全体を飢
え死にさせようとしている」。

4 エホバはモーセに言った。「私は
いまあなたたちのために天からパンを
降らせる。民は各自、外に出て毎日自
分の分を集めるべきである。こうして
私は民を試し、私の律法に従って歩む
かどうかを見る。5 6日目には、民は
ほかの日に拾う量の2倍を集め、食事
を準備する」。

6 モーセとアロンはイスラエル人全
員に言った。「夕方、エジプトから連
れ出てくださいったのがエホバである
ことが必ず分かります。7 朝、エホバ
の栄光を見ることになります。皆さん
は私たちに対して不満を口にしていま
すが、私たちが何者だというのでしょうか。
エホバは、その不満をご自分にたい
するものとして聞きました」。8 モー
セはさらに言った。「エホバが夕方に
肉を、朝にパンを与えて満足するまで
食べさせてくださる時、皆さんは、口に
している不満をエホバが聞いたとい
うことが分かります。私たちが何者だ
というのでしょうか。皆さんの不満は、
私たちではなくエホバに対するものな
のです」。

9 モーセはアロンに言った。「イ
スラエル人の民全体にこう言ってくだ

第16章

(例) 民 11:4
民 14:2,3

(例) 出 17:3
民 16:13

(例) 詩 78:24,25
詩 105:40
ヨハ 6:31,32
ヨハ 6:58
コ一 10:1,3

(例) マタ 6:11

(例) 申 8:2

(例) 出 35:2

(例) 出 16:22

(例) 出 6:7
民 16:28,29

(例) 民 21:7
サ一 8:7

第2欄

(例) 出 16:2
民 11:1

(例) 出 13:21
民 16:19
マタ 17:5

(例) 民 14:27

(例) 詩 105:40

(例) 出 4:5
出 6:7

(例) 民 11:31,34
詩 78:27-29

(例) 民 11:7
申 8:3
ネヘ 9:15

(例) 民 21:5
申 8:14,16
ヨシ 5:11,12
ヨハ 6:31,32
ヨハ 6:58
コ一 10:1,3

(例) 出 16:36

(例) コ二 8:15

さい。『エホバの前に近づきなさい。
神は皆さんの不満を聞きました』。

10 アロンがイスラエル人の民全体に
話すと、彼らはすぐに荒野の方を向い
た。すると、エホバの栄光が雲の中に
現れた。

11 エホバはモーセにさらにこう話
した。12 「私はイスラエル人の不満
を聞いた。彼らにこう告げなさい。『あ
なたたちは夕暮れ時に肉を食べ、朝
にパンで満腹になる。私があなたたち
の神エホバであることを必ず知る』。

13 こうして夕方にはウズラがやっ
て来て宿営を覆い、朝には宿営の辺り
一面に露が降りました。14 露が蒸発す
ると、荒野の地面には薄くて細かいも
のが広がっていた。霜のように細か
かった。15 イスラエル人はそれを見
て、「これは何だろう」と言い合った。
それが何か分からなかったのである。
モーセは言った。「これはエホバが
食物として与えてくださったパンです」。

16 エホバはこう命じました。『各自、
食べられる量を集めなさい。それぞれ
自分の天幕にいる人数に応じて1人
あたり2.2リットルを取る』。17 イ
スラエル人はその通りにし始め、それ
を集めた。ある人は多く集め、ある人
は少し集めた。18 何リットルあるか
を量てみると、多く集めた人にも余
分はなく、少し集めた人にも不足はな
かった。各自、食べられる量を集めた。

19 モーセは言った。「誰もそれを

朝まで残しておいてはなりません」。20 しかし、ある人たちはモーセの言うことを聞かず、幾らかを朝まで残しておいた。すると虫が湧いて臭くなった。それでモーセは憤った。21 民は毎朝、各自食べられる量を拾った。日差しが強くなると、それは溶けた。

22 6日目には、パンを2倍、つまり1人当たり4.4リットル拾った。それで民の長たち全員がモーセの所にきてそのことを報告した。23 モーセは言った。「これはエホバが言ったことです。明日は、完全な休み、エホバの聖なる安息日です。焼く物は焼き、煮る物は煮なさい。残った物は全部取っておき、朝まで保存しておきなさい」。24 それで民はモーセに命じられた通り朝まで取っておいた。それは臭くならず、うじも湧かなかった。25 モーセは言った。「それを今日食べなさい。今日はエホバの安息日だからです。今日は地面には見つかりません。26 6日間は拾えますが、7日目、安息日には、何もありません。27 それでも、7日目に拾おうとして出ていく人たちがいた。しかし、少しも見つからなかった。

28 このためエホバはモーセに言った。「あなたたちはいつまで私のおきてと律法を守ろうとしないのか。29 覚えておきなさい。エホバが安息日を与えたのである。だから6日目に

16:23 *または、「安息の祝い」。

第16章

(例) マタ 6:11, 34

(例) 出 16:5

(例) 出 20:8
出 31:15
出 35:2
レビ 23:3

(例) 民 11:7, 8

(例) 出 20:9, 10
出 31:13
申 5:15

(例) 民 14:11
詩 78:10
詩 106:13

(例) 出 31:13

第2欄

(例) レビ 23:3
申 5:13, 14

(例) 出 16:15
民 11:7

(例) 詩 105:5, 40

(例) ヘブ 9:4

(例) 出 27:21

(例) ヨシ 5:11, 12

(例) 申 8:2
ネヘ 9:21
詩 78:24

(例) 民 33:48
申 34:1

第17章

(例) 民 33:12

(例) 民 33:2

(例) 民 33:14

2日分のパンを与えている。7日目には、皆、自分の所にとどまらなければならず、どこにも出掛けてはならない」。30 それで民は7日目に安息日を守った。

31 イスラエルの民はそのパンをマナと名付けた。それはコリアンダーの種に似て白く、蜜入りの平焼きパンのような味だった。32 モーセは言った。「エホバはこう命じました。『それを2.2リットル取り、代々保管しなさい。私がエジプトからあなたたちを連れ出した時に荒野で食べさせたパンを後代の人々が見るためである』」。

33 モーセはアロンに言った。「つばを取ってマナを2.2リットル入れ、エホバの前に置いて代々保管してください」。34 エホバがモーセに命じた通り、アロンはそれを証しの箱の前に置いて、保管できるようにした。

35 イスラエル人は、人が住んでいる地方に来るまで40年間マナを食べた。カナン地方との境界に来るまでマナを食べた。36 なお、2.2リットルは乾量基準容器の10分の1である。

17 イスラエル人の民全体はシンの荒野を出発し、エホバの命令に従って各地に滞在しながら進んだ。そしてレフィディムに宿営を張った。ところが、そこには民の飲む水がなかった。

16:30 *または、「休んだ」。16:31 *恐らく、「これは何だろう」という意味のヘブライ語の表現に由来。

2 民はモーセに不平を言うようになり、「水を飲ませてくれ」と言った。モーセは言った。「なぜ私に不平を言うのですか。どうしてエホバを試し続けるのですか」。3 しかし民は水を非常に飲みたがり、何度もモーセに不満を言った。「どうしてエジプトから連れ出したのか。私たちや子供たちや家畜に水を飲ませずに、死なせるためか」。4 それでモーセはエホバに向かって叫んだ。「この民をどうすればよいでしょうか。このままだと石打ちにされてしまいます」。

5 エホバはモーセに言った。「民の前を歩き、イスラエルの長老を何人か伴って、ナイル川を打ったつえを取り、手に持って進んでいくように。6 さあ、私はホレブの岩の上であなたの前に立つ。あなたはその岩を打ちなさい。すると岩から水が出て、民はそれを飲む」。モーセはイスラエルの長老たちが見る前でその通りにした。7 モーセはその場所をマッサ、またメリバと名付けた。イスラエル人が不平を言ったから、また、「エホバは私たちの中にいるのか、いないのか」と言ってエホバを試したからである。

8 その後アマレク人がやって来て、レフィディムでイスラエルを攻めた。

9 そこでモーセはヨシュアに言った。「人を選び、アマレク人と戦うため

17:7 *意味、「試すこと」。
△または、「言い争った」。

第17章

(例) 出 5:19, 21
民 14:2, 3
民 20:3

(例) 民 14:22
詩 78:18, 22
詩 106:14

(例) 出 16:2, 3

(例) 出 7:20

(例) 民 20:8
申 8:14, 15
ネヘ 9:15
詩 78:15
詩 105:41
コヘ 10:1, 4

(例) 申 9:22

(例) 詩 81:7

(例) 申 6:16
詩 95:8, 9
ヘブ 3:8, 9

(例) 創 36:12

(例) 申 25:17
サー 15:2

(例) 民 11:28

第2欄

(例) ヨシ 11:15

(例) 出 24:13, 14

(例) ヨシ 11:12

(例) 民 24:20
申 25:19
代一 4:42, 43

(例) 啓 19:1

(例) サー 15:20
エス 9:24

第18章

(例) 出 2:16, 21
出 3:1

(例) ヨシ 2:9, 10
ヨシ 9:3, 9

に出ていきなさい。明日、私は真の神のつえを持って丘の頂上に立ちます」。

10 ヨシュアはモーセに言われた通りにし、アマレク人と戦った。モーセ、アロン、フルは丘の頂上に上った。

11 モーセが手を上げている間はイスラエル人が優勢で、手を下ろすとアマレク人が優勢になるのだった。

12 モーセの手が疲れてきた時、アロンとフルが石を持ってきて、モーセはそれに座った。2人が彼の手を左右から支えたので、日が沈むまで手は下がらなかつた。13 こうしてヨシュアは剣でアマレクの人たちを打ち破った。

14 エホバはモーセに言った。「これを記録のために書に記し、ヨシュアにも伝えなさい。『私はアマレクに関する記憶を天の下から完全に消し去る』と」。15 モーセは祭壇を作り、それをエホバ・ニシと名付け、16 こう言った。「アマレクはヤハの王座に敵対して手を上げるので、エホバは彼らの後の世代とずっと戦いをする」。

18 さて、ミディアン^(例)の祭司^(例)でモーセのしゅうとであるエテロ^(例)は、神^(例)がモーセとイスラエルの民のために行った全てのこと、エホバがどのようにイスラエルをエジプトから連れ出したかを聞いた。2 モーセは妻のチッポラ^(例)を親元に帰し、しゅうとのエテロ^(例)が引き取っていた。3 彼女

17:14 *または、「思い起こさせるために」。
15 *意味、「エホバは私の旗ざお」。

の2人の息子も一緒だった。1人はゲルシヨムという名前だった。モーセが、「私はこの土地で外国人居住者となった」と言ったからである。4 もう1人はエリエゼルという名前だった。モーセが、「私の父の神は私を助けてくださる方。私をファラオの剣から救い出してくださった」と言ったからである。

5 モーセが真の神の山の近くにある荒野で宿営している所へ、しゅうとのエテロがモーセの息子たちと妻を連れてきた。6 エテロは人を使ってモーセにこう伝えた。「あなたのしゅうとエテロです。あなたの妻と2人の息子たちと一緒に来ています」。7 モーセはすぐに出ていってしゅうとを迎え、ひれ伏し、口づけした。お互いに元氣かどうかを尋ね、その後、天幕に入った。

8 モーセはしゅうとに、エホバがイスラエルのためにファラオとエジプトにした全てのこと、道中で生じたさまざまな困難や、エホバが助け出してくださったことについて話した。9 エテロは、エホバがイスラエルのために行ってくださった全ての良いこと、エジプトから救い出してくださったことを喜んだ。10 エテロは言った。「エホバが賛美されますように。皆さんをエジプトから、ファラオから救い出し、民をエジプトの支配から救い出してくだ

18:3 *意味、「そこの外国人居住者」。18:4 *意味、「私の神は助ける方」。

第18章

(例) 使徒 7:29

(例) 出 2:22

(例) 出 2:15

(例) 出 19:2
王 19:8,9(例) 出 4:18
民 10:29(例) 出 7:3
出 14:27,28
申 4:34(例) 出 15:22
出 16:3

第2欄

(例) 出 15:11
詩 95:3
詩 97:9(例) 申 4:5
申 5:1

(例) ヨシ 1:5,17

(例) 出 20:19

出エジプト 18:4-19

さったのです。11 民に対して傲慢に振る舞った者たちになさったことから、エホバが他のどの神よりも偉大であることが分かりました。12 それからモーセのしゅうとエテロは神への全焼の捧げ物と犠牲を持ってきた。アロンとイスラエルの長老も皆やって来て、エテロと一緒に真の神の前で食事をした。

13 翌日、モーセはいつものように座って民のために裁きを行った。民は朝から晩までモーセの前にやって来た。14 しゅうとは、モーセが民のためにに行っていることを見て、こう言った。「なぜ民のためにこんなことをしているのですか。どうしてあなたが独りで座り、民が皆朝から晩まであなたの前にやって来るのですか」。15 モーセはしゅうとに言った。「民は神に尋ねるために絶えず私の所に来るのです。16 2人の人の間で問題が起きると、それは私の所に持ち出され、私は裁かなければなりません。そして、真の神の決定と律法とを知らせます」。

17 モーセのしゅうとは言った。「そのやり方は良くありません。18 あなたも一緒にいる民もきつと疲れ果ててしまいます。あなたに負担が掛かり過ぎています。この仕事はあなた独りでは果たせません。19 聞いてください。良い考えがあります。神も祝福してくださるはずです。あなたは真の神の前で民を代表しており、問題につ

いて真の神に伝えなければなりません。20 また、どのような規定と律法

があるかを民に教え、歩むべき道となすべきことを知らせる必要があります。

21 民の中から、神を畏れる有能な男性、不当な利益を得ようとしない信頼できる人たを選び、千人長、百人長、五十人長、十人長に任命しな

さい。22 問題が起きたら、その人たちが民を裁くのです。難しい問題は全てあなたの所に持っていくますが、小さい問題は全てその人たちが判断します。仕事を分担してあなたの負担を軽くしなさい。23 そのようにすれば、そして神がそう命じているのであ

れば、あなたは責任を果たすことができ、皆も満足して家に帰ります」。

24 モーセはすぐにしゅうとの言葉

を聞き入れ、言われたことを全て行った。25 モーセはイスラエル全体の

中から有能な男性を選び、民の長に任命し、千人長、百人長、五十人長、十人長とした。26 その人たちは、問題が起きると民を裁いた。難しい問題はモーセの所に持っていくが、小さい問題は皆その人たちが裁くのだ

た。27 その後しゅうとはモーセに見送られ、自分の土地へ戻っていった。

19 エジプトを出た翌々月、第3の月に、イスラエル人はシナ

19:1 *ヘブライ語ではここに「同じ日に」という句が入っている。レフィディムを出たのと同じ日という意味だと考えられる。

第18章

(7) 民 27:1-5

(4) 申 7:11

(7) 民 11:16,17

申 1:13

使徒 6:3

(2) 出 23:8

テモ 3:2,3

テト 1:7

ペー 5:2

(7) 申 1:15

使徒 14:23

(7) レビ 24:10,11

民 15:32,33

申 1:17

(7) 民 11:17

(7) 使徒 15:2

(7) 民 10:29

第2欄

第19章

(7) 出 17:1

(4) 出 3:1,12

(7) 使徒 7:38

(2) 申 4:34

(7) 申 32:11,12

イザ 63:9

(7) 王 8:53

詩 135:4

(7) 申 10:14

(7) レビ 11:44

申 7:6

ペー 2:9

啓 5:9,10

(7) 出 24:3

(2) 出 24:7

ヨシ 24:24

イの荒野にきた。2 レフィディムを出発してシナイの荒野に着き、そこで宿営を張った。イスラエルは山の前に宿営した。

3 モーセが真の神のもとに上っていくと、エホバが山から呼び掛け、こう言った。「ヤコブの子孫、イスラエル人にこう言いなさい。4 『あなたたち

は、私がエジプト人に行ったことを見た。それは、あなたたちをワシの翼に乗せて私の所に連れてくるためにしたことである。5 私の声にしっかり従い、私との契約を守るなら、あなた

たちは必ずあらゆる民の中から選ばれて私の特別な所有物となる。地球全

体は私のものである。6 あなたたちは私にとって、祭司たちが治める王

国、聖なる国民となる。』あなたはこれらのことをイスラエル人に言うべきで

ある」。

7 モーセは下りて行って民の長老たちを呼び、エホバが命じたこれらの

言葉を全て告げた。8 すると民は皆一致して答えた。「私たちは、エホバ

が話した全てのことを喜んで行います」。モーセはすぐに民の反応をエホ

バに知らせに行った。9 エホバはモーセに言った。「さあ、私はあなたの

所に行き、暗い雲の中から話す。私があなたと話す時に民が聞くため、民が

あなたのことも常に信じるためであ

19:5 *または、「宝のような」。

る」。モーセは民の言葉をエホバに報告した。

10 エホバはモーセに言った。「民の所に行き、今日と明日、彼らを神聖なものとしなさい。民は自分の服を洗わなければならない。**11** 彼らはあさってに備えなければならない。エホバはあさって民全員の目の前でシナイ山に下るからである。**12** あなたは民のために山の周囲に境を定めて、こう言うように。『山の登っていったりその境界に触れたりしないよう、気を付けなさい。この山に触れる人は必ず死刑にされる。**13** 誰もその人に触れてはならない。石打ちにするか矢で射る。動物でも人間でも、生きていることはできない』。ただし、雄羊の角笛の音がする時に山に近づくのはよい」。

14 モーセは山から民の所に下りていって、民を神聖なものと始め、民は自分の服を洗った。**15** モーセは民に言った。「あさってのために用意をせなさい。性関係を持つてはなりません」。

16 2日後の朝、雷が鳴って稲妻が光り、厚い雲が山に懸かり、角笛の非常に大きな音がした。宿営にいた民は皆、震えだした。**17** モーセは、民を真の神に会わせるために宿営から出し、民は山の麓に集まった。**18** エホバが火と共にシナイ山に下ってきたため、山は煙に覆われた。煙は窯の煙のように立ち上り、山全体が激しく

第19章
(イ) ヘブ 12:20

(イ) 出 20:18

(イ) 出 19:10

(四) 申 4:11
王一8:12
詩 97:2

(四) ヘブ 12:18-21

(四) 出 24:17
申 4:11, 12
代二7:1-3

第2欄
(イ) 詩 68:8

(イ) 出 24:12

(イ) レビ 10:1, 2
代一13:10

(四) 出 19:12

(四) 民 16:19, 35

第20章

(四) 申 5:22
使徒 7:38

(四) 申 5:6
ホセ 13:4

(イ) 申 5:7-10

震動した。**19** 角笛の音がますます大きくなった時、モーセが話し、それに答える真の神の聲がした。

20 こうしてエホバはシナイ山に、その山頂に下ってきた。エホバはモーセを山頂に呼び、モーセは上っていった。**21** エホバはモーセに言った。「下って行って、エホバを見ようとして突き進まないよう民に警告しなさい。そうしないと、民の多くが死ぬことになる。**22** エホバにいつも近づく祭司たちは自分を神聖なものとしなさい。エホバに打たれないためである」。**23** モーセはエホバに言った。「民はシナイ山に登ってくることはできません。あなたがすでに警告し、周囲に境を定めて、この山を神聖な所としなさい』と言われたからです」。**24** エホバは言った。「さあ、下って行って、今度はアロンと一緒に上ってきなさい。しかし、祭司と民はエホバのもとに上ろうとして突き進んではならない。神に打たれないためである」。**25** モーセは下って行って民に告げた。

20 神は次の全ての言葉を話した。

2 「私はあなたの神エホバである。奴隷となっていたあなたをエジプトから連れ出した。**3** あなたは私以外のどんなものも神としてはならない。

20:3 *または、「私に反抗して」。直訳、「私の顔に逆らって」。

4 あなたは、天や地や水の中に
るものに似たどんな彫刻像や形も作
てはならない。5 それにひれ伏して
はならず、誘われてそれを崇拝しても
ならない。あなたの神である私エホ
バは全くの専心を要求する神である。
私を憎む人については、父の過ちに
対する処罰を子や孫やひ孫に及ぼす。
6 私を愛して私のおきてを守る人に
ついては、子孫千代にまで揺るぎない
愛を示す。

7 あなたの神エホバの名をむやみ
に用いてはならない。その名をむやみ
に用いる人をエホバは処罰せずには
おかない。

8 神聖な日である安息日を忘れず
に守りなさい。9 6日間働いて全て
の仕事をする。10 しかし、7日目は
あなたの神エホバの安息日である。
どんな仕事もしてはならない。あなた
も息子や娘も、男奴隷や女奴隷も、家
畜も、あなたの町にいる外国人居住者
もである。11 エホバは6日間、天と
地と海とそこにある全てのものを造り、
7日目に休み始めたからである。それ
でエホバは安息日を祝福し、その日を
神聖なものとしたのである。

12 父と母を敬いなさい。そうすれ
ば、あなたの神エホバが与える土地で
長く生きられる。

13 殺人をしてはならない。

14 姦淫をしてはならない。

第20章

(ア) レビ 26:1
申 4:15, 16
イザ 40:25
使徒 17:29
(イ) 出 23:24
コ一 10:20
ヨ 5:21
(ウ) 出 34:14
マタ 4:10
ルカ 10:27
(エ) 伝 12:13
(オ) レビ 19:12
(カ) レビ 24:15, 16
申 5:11
(キ) 出 16:23
出 31:13, 14
申 5:12-14
(ク) 出 23:12
(ケ) 出 16:29
出 34:21
(コ) 創 2:2
(セ) 出 21:15
レビ 19:3
格 1:8
(ソ) 申 5:16
マタ 15:4
エフ 6:2, 3
(タ) 創 9:6
申 5:17
ヤコ 2:11
ヨ一 3:15
啓 21:8
(テ) 創 39:7-9
申 5:18
格 6:32
マタ 5:27, 28
ロマ 13:9
コ一 6:18
ヘブ 13:4

第2欄

(ア) レビ 19:11
申 5:19
マル 10:19
コ一 6:9, 10
エフ 4:28
(イ) レビ 19:16
申 5:20
申 19:16-19
(ウ) マタ 5:28
(エ) 申 5:21
ロマ 7:7
(オ) 出 19:16
ヘブ 12:18, 19
(カ) 使徒 7:38
ガラ 3:19
(キ) 申 8:2
(ク) ヨシ 24:14
ヨブ 28:28
格 1:7
(ケ) 申 5:5
詩 97:2
(コ) 申 4:36
ネヘ 9:13
(セ) 使徒 17:29

15 盗んではならない。

16 仲間について偽りの証言をして
はならない。

17 仲間の家を欲しいと思っ
てはならない。仲間の妻や、男奴隷、女奴隷、
牛、ロバなど、仲間のどんなものも欲し
いと思っではならない。

18 さて民は皆、雷鳴、稲妻、角笛の
音、煙る山を見聞きしていた。それで
震えながら、離れた所に立っていた。

19 そしてモーセに言った。「あなた
が私たちに話してください。私たちは
聞きます。でも、神が私たちに話すこ
とがないようにしてください。そうで
ないと、私たちは死んでしまいます」。

20 モーセは民に言った。「恐れては
なりません。真の神が来たのは、皆さ
んを試すため、皆さんが常に神を畏れ
て罪を犯さないためです。21 民は
離れた所にずっと立っていたが、モー
セは真の神がいる暗い雲に近づいて
いった。

22 エホバはモーセに言った。「イ
スラエル人にこう言うように。『私が
天からあなたたちに話すのを、あなた
たちは見た。23 あなたたちは銀や
金の神々を作ってはならない。私以外
のものを神としてしてはならないからで
ある。24 私のために土の祭壇を作
りなさい。あなたはその上に全焼の捧
げ物と共食の犠牲、羊と牛の犠牲を
捧げる。私が自分の名を唱えさせる全

ての場所^{ばしょ}で、私は^{わたし}あなたの所^{ところ}に来てあな^きたを祝福^{しゅくふく}する。25 もし私^{わたし}のために石^{いし}の祭壇^{さいだん}を作るのであれば、道具^{どうぐ}で切^きった石^{いし}を使^{つか}ってはならない。のみを振^ふるうと、汚^{けが}すことになるからである。26 また、踏み段^{ふみだん}で私の祭壇^{さいだん}の上^{のぼ}ってはならない。そこであなたの股^{また}があらわになることのないためである』。

21 以下^{い げ}は、あなた^{あなた}が彼^{かれ}らに知^しらせるべき法規^{ほうき}である。

2 ヘブライ人^{じん}の奴隷^{どれい}を買^かった場合^{ばい}、その奴隷^{どれい}は6年間^{ねんかん}仕^{つか}えるが、7年目^{ねんめ}には何も支^し払^{はら}わずに自由^{じゆう}になれる。

3 独^{ひと}りで来たのであれば、独^{ひと}りで出^でていく。妻^{つま}と来たのであれば、必^{かなら}ず妻^{つま}も一緒^{いっしょ}に出^でていく。4 もし主人^{しゅじん}が奴隷^{どれい}に妻^{つま}を与^{あた}え、その妻^{つま}が息子^{むすこ}や娘^{むすめ}を産^うんだのであれば、妻^{つま}と子供^{こども}たちは主人^{しゅじん}のものとなり、奴隷^{どれい}は独^{ひと}りで出^でていく。

5 しかしもし奴隷^{どれい}が、『ご主人^{しゅじん}や、妻^{つま}と子供^{こども}たちを愛^{あい}しています。自由^{じゆう}になっ^てて出^でていきたいはありません』とあくまでも言うのであれば、6 主人^{しゅじん}はその人^{ひと}を真^まの神^{かみ}の前^{まえ}に連^つれていく。そして、戸^とか戸^との柱^{はしら}の前^{まえ}に連^つれていき、彼^{かれ}の耳^{みみ}をきりて突^つき刺^さす。こうしてその人^{ひと}は生涯^{しやうが}、主人^{しゅじん}の奴隷^{どれい}となる。

7 人^{ひと}が娘^{むすめ}を女奴隷^{おんなどれい}として売^うったなら、彼女^{かのじょ}は男奴隷^{おとこどれい}と同じ仕^{しか}方で自由^{じゆう}の身^みになることはない。8 主人^{しゅじん}が彼女^{かのじょ}を気^きに入^いらないためにそばめ^{*}にはせ

20:25 *または、「切り石」。20:26 *直訳、
「裸」。21:8 *用語集参照。

第20章

(例) 申12:5,6
代2:6-6

(例) 申27:5
ヨシ8:30,31

第21章

(例) 出24:3
申4:14

(例) レビ25:39,40

(例) 申15:12

(例) 申15:12

(例) 申15:16,17

第2欄

(例) コー7:3

(例) 創9:6
民35:30
マタ5:21

(例) 民35:11
民35:22-25
申4:42
申19:3-5
ヨシ20:7-9

(例) 民15:30

(例) 申19:11,12
王1:50
王2:29
ヨ3:15

(例) 出20:12

(例) 創40:15

(例) 創37:28

(例) 申24:7

(例) レビ20:9
格20:20
格30:11,17
マタ15:4

ず、誰^{だれ}かに買^かってもらおうとする場合^{ばい}、外国人^{がいこくじん}に売^うることは許^{ゆる}されない。彼女^{かのじょ}を裏切^{うらぎ}ったからである。9 もし女奴隷^{おんなどれい}を息子^{むすこ}の妻^{つま}に選^{えら}ぶのであれば、その女性^{じょせい}に娘^{むすめ}の権利^{けんり}を与^{あた}えるべきである。

10 別^{べつ}の女性^{じょせい}も妻^{つま}にする場合^{ばい}、最初^{さいしょ}の妻^{つま}の食^{もの}べ物^{ぶつ}と服^{ふく}と夫婦^{ふうふ}の交^{まじ}わりを減^へ

らしてはならない。11 これら3つのもの^{もの}を与^{あた}えないのであれば、彼女^{かのじょ}はお金^{かね}を支^し払^{はら}わずに自由^{じゆう}の身^みになる。

12 人^{ひと}を毆打^{おうだ}して死^しなせた人^{ひと}は必^{かなら}ず死刑^{しけい}にされる。13 しかしそれが故意^{こい}ではなく、真^まの神^{かみ}がその事^じ故^こが起^おきるま^まに^にした場合^{ばい}、私^{わたし}はその人^{ひと}が逃^にげられる場所^{なから}をあなたに示^{しめ}す。

14 ひどく怒^{いか}って仲間^{なから}を故意^{こい}に殺^{ころ}した場合は、その人^{ひと}が私の祭壇^{さいだん}の所^{ところ}にいても、連^つれ出^でて死刑^{しけい}にしなければならぬ。15 父^{ちち}や母^{はは}を毆打^{おうだ}する人^{ひと}は必^{かなら}ず死刑^{しけい}にされる。

16 誰^{だれ}かを誘拐^{ゆうかい}して、売^うり渡^{わた}したり一^{いっしょ}緒^{しょ}にいるところを見^みつかったりした人^{ひと}は、必^{かなら}ず死刑^{しけい}にされる。

17 父^{ちち}や母^{はは}をのしる人^{ひと}は必^{かなら}ず死刑^{しけい}にされる。

18 言^いい争^{あらそ}いが起^おきて、1人^{ひとり}が石^{いし}やこぶ^{*}で毆打^{おうだ}し、相^あ手^てが死^しにはしなかつたもの^{もの}の寝床^{ねどこ}から動^{うご}けなくなつた場合^{ばい}、19 もしその人^{ひと}が起^おき上^あがり、つえ^{つか}を使^{つか}って戸外^{こがい}を歩^{ある}き回^{まわ}れるようになれば、毆打^{おうだ}した人^{ひと}は処罰^{しよばつ}されない。

21:8 *直訳、「買戻して」。21:17 *または、「災いがあるように言う」。21:18 *もしかすると、「道具」。

ただし、その人が完全に回復するまで、
仕事ができなかった時間分の賠償を
する。

20 自分の男奴隷や女奴隷を棒で
殴打してその場で死なせた場合、必ず
処罰される。21 しかし、奴隷が1日
か2日生き延びるなら、主人は処罰さ
れない。その奴隷は主人が買い取っ
た人だからである。

22 つかみ合いのけんかをし、妊娠
している女性にぶつかってけがをさせ、
子供が出てしまったものの、致命傷に
は至らなかった場合、加害者は女性
の夫が要求する損害賠償を支払わな
ければならない。裁判人の決定通り
に支払う。23 しかし、致命傷に至っ
たなら、命には命を与えなければな
らない。24 また、目には目、歯には
歯、手には手、足には足、25 やけど
にはやけど、傷には傷、打撲には打撲
である。

26 自分の男奴隷や女奴隷の目を
殴打して失明させた場合、代償とし
て、その奴隷を自由の身にすべきであ
る。27 自分の男奴隷や女奴隷の歯
を折った場合、代償として、その奴隷
を自由の身にすべきである。

28 牛が男性や女性を突いて死な
せた場合、その牛は必ず石打ちにされ
る。その肉を食べてはならない。牛の
所有者は処罰されない。29 しかし、
牛に以前から突き癖があつて注意を

21:22 *または、「重傷」。

第21章

(㊦) 創 9:5,6
レビ 24:17

(㊦) 詩 139:16
エレ 1:5

(㊦) 出 18:25,26
申 16:18
申 17:8

(㊦) 創 9:6
レビ 24:17
民 35:31
啓 21:8

(㊦) レビ 24:20
マタ 5:38

(㊦) エフ 6:9
コロ 4:1

(㊦) 創 9:5
民 35:33

第2欄

(㊦) 出 22:6
出 22:14
申 22:8

第22章

(㊦) サニ 2:6
ルカ 19:8

受けていたのに、所有者がきちんと管
理しなかったために、男性や女性を死
なせたのであれば、その牛は石打ちに
され、所有者も死刑にされる。30 も
自分の命を買い戻すための代価と
して贖いを求められるなら、要求され
るものを全て払わなければならぬ。
31 牛が突いたのが男の子や女の子
でも、牛の所有者はこの法規によって
扱われる。32 牛が男奴隷や女奴隷
を突いた場合、奴隷の主人に銀340
グラムを渡し、牛は石打ちにされる。

33 穴のふたを外したままにしたり
掘った穴にふたをしなかったりした
ために、牛やロバが穴に落ちた場合、
34 その穴の所有者は弁償する。代
価を牛やロバの所有者に支払い、死
んだ動物はその人のものになる。
35 ある人の牛が他の人の牛を傷つ
けて死なせた場合、2人は生きている
方の牛を売り、得た代価を分けなけ
ればならない。死んだ牛も分けるべきで
ある。36 牛に以前から突き癖があ
ることが知られていたのに、所有者が
きちんと管理していなかったものであ
れば、所有者は必ず牛には牛で弁償す
べきであり、死んだ牛はその人のもの
になる。

22 牛が羊を盗んで、それを殺
すか売るかした場合は、牛1頭
には5頭の牛、羊1匹には4匹の羊
で償う。

21:30 *または、「賠償」。用語集参照。 21:32
*直訳、「30シケル」。付録B14参照。

2 (もし泥棒が、押し入るところを見つかり、殴打されて死んだとしても、殺した人に流血の罪はない。3 しかし太陽が出ていたのであれば、流血の罪がある。)

泥棒は償いをしなければならない。何も持っていないなら、盗んだ物の償いをするために奴隷として売られる。4 牛でもロバでも羊でも、盗んだ物を生きたまま持っているなら、2倍にして返す。

5 畑やブドウ園に家畜を放って作物を食べさせていて、家畜が他人の畑の作物を食べってしまったなら、自分の畑やブドウ園の最も良い物で弁償する。

6 火が出ていばらの茂みに燃え広がりが、穀物の束や刈り取っていない穀物や畑が焼けてしまった場合、火を出した人は必ず、焼けた物の弁償をする。

7 仲間からお金や物品を預かり、それを家から盗まれた場合、泥棒が見つかると、泥棒が2倍にして返す。

8 泥棒が見つからなければ、その家の所有者を真の神の前に連れていき、仲間の物に手を出していないかどうかを見極めなければならない。9 ある人が、牛、ロバ、羊、服などをなくし、他の人が持っている物について、『それは私のだ』と訴えた場合はいつでも、両人がその件を真の神の前に持ち出す。神が有罪を宣告する人は、仲間に2倍にして返す。

第22章

(例) 出 20:15

(例) 出 22:4

(例) 申 16:18
申 19:17(例) 申 16:18
申 25:1

(例) 出 22:4

第2欄

(例) レビ 6:2-5

(例) 申 22:28, 29

(例) レビ 19:26
レビ 20:6
申 18:10-12
サー 28:3
ガラ 5:20
啓 22:15(例) レビ 18:23
レビ 20:15
申 27:21(例) 民 25:3
王一 18:40
コ一 10:20

10 仲間からロバ、牛、羊などの家畜を預かり、それが死ぬか、大けがをするか、奪われるかして、目撃者がいなかった場合、11 エホバの前で、仲間の物には手を出さなかったという誓いをすべきである。所有者はそれを受け入れなければならない。預かった人は弁償しなくてよい。12 しかし、もし盗まれたのであれば、所有者に弁償する。13 野生動物に引き裂かれたのであれば、証拠として死骸を持っていく。野生動物に引き裂かれた物については弁償しなくてよい。

14 しかし、仲間に頼んで家畜を借り、所有者と一緒にいない間にそれが大けがをするか死ぬかした場合、借りた人は弁償しなければならない。15 所有者と一緒にいたのであれば、弁償しなくてよい。賃借したのであれば、賃借料の支払いが弁償になる。

16 また、婚約していない処女を誘惑してその女性と寝た場合、花嫁料を払ってその女性を妻としなければならない。17 父親が彼女を渡すことを固く拒むなら、花嫁料に相当するお金を払うべきである。

18 女呪術師を生かしておいてはならない。

19 動物と性交をする人は必ず死刑にされなければならない。

20 エホバ以外の神に犠牲を捧げる人は滅ぼされる。

21 外国人居住者を虐待したり圧

ばく^(イ) 迫したりしてはならない。あなたたち^(イ)もエジプトで外国人居住者だったの^(イ)である。

22 どんなやもめや父親のいない^(イ)子供も苦しめてはならない。**23** もし苦しめるようなことがあって、その人^(イ)が私に向かって叫ぶなら、私は間違いなくその叫びを聞く。**24** 私は怒りに燃え、あなたたちを剣で殺す。あなたたちの妻はやもめになり、子供たちには父親がいなくなる。

25 私の民の貧しい人、あなたの近^(イ)くに住む人にお金を貸す場合、金貸し^(イ)のようになってはならない。利息を課してはならない。

26 仲間の服を担保として受け取る場合、日没までに返すべきである。

27 それはその人にとって体を覆う唯一^(イ)の服だからである。彼は^(イ)なににくるまって寝るのだろうか。彼が私に向^(イ)かって叫ぶ時、私は必ず聞く。私は思^(イ)いやりがあるからである。

28 神を冒瀆したり、あなたたち^(イ)の長をののしったりしてはならない。

29 豊かな産物とあふれ出るぶどう^(イ)酒や油を捧げ^(イ)ることを^(イ)はしてはならない。長男は私に差し出すべきである。

30 牛や羊の初子に関しては、7日間^(イ)ははおや^(イ)母親のもとにいさせて、8日目に私に^(イ)差し出す。

22:22 *または、「孤児」。**22:25** *または、「苦しんでいる」。**22:27** *または、「高利貸」。**22:27** *または、「慈しみ」。**22:28** *または、「支配者」。**22:28** *または、「に災いがあるように言ったり」。

第22章

(イ) レビ 25:35

(イ) レビ 19:33, 34
申 10:19(イ) 申 27:19
ヤコ 1:27(イ) 詩 10:18
ヤコ 5:4(イ) レビ 25:35, 36
申 23:19
ルカ 6:34, 35

(イ) 申 24:6

(イ) 申 24:13

(イ) 申 10:18
詩 34:6

(イ) レビ 24:11, 14

(イ) 伝 10:20
使徒 23:5
ユダ 8(イ) 格 3:9
コニ 9:7

(イ) 出 13:2

(イ) 申 15:19

(イ) レビ 22:27

第2欄

(イ) レビ 19:2
民 15:40
ペー 1:15

(イ) レビ 22:3, 8

第23章

(イ) レビ 19:16
格 6:16, 19(イ) 申 19:18, 19
格 19:5

(イ) レビ 19:15

(イ) 格 25:21
テサー 5:15(イ) 申 22:4
ルカ 6:27
ロマ 12:21(イ) 申 16:19
代二 19:7(イ) 格 17:15
ロマ 1:18
ロマ 2:6

(イ) 伝 7:7

31 あなたたちは私の聖なる民であるべきである。野原で野生動物に引き裂かれた物の肉を食べてはならない。それは犬に投げ与えるべきである。

23 真実でない話を広めてはならない。悪人に加担して悪意ある証人となつてはならない。**2** 悪を行う群衆に従つてはならない。群衆に受けが良い証言をして公正さをゆがめてはならない。**3** 貧しい人が関わる争いで、公平でなければならぬ。

4 敵対者の牛やロバが迷っているのを見つけたなら、その人に戻してあげなさい。**5** あなたを憎む人のロバが荷物の下でうずくまっているのを見たら、無視して立ち去ってはならない。ロバを助け出すの手伝ってあげなさい。

6 貧しい人の訴訟で、ゆがんだ裁きをすべきではない。

7 偽りの訴えに関わってはならず、無実の人や正しい人の命を奪うことがあってはならない。私は悪人を正しいと認めたりはしないからである。

8 賄賂を受け取ってはならない。賄賂によって、視力の良い人も目が見えなくなり、正しい人の言葉もゆがむからである。

9 外国人居住者を虐げてはならない。あなたたちは外国人の気持ち

23:2 *または、「群衆とうまくやっていくための」。**23:7** *または、「無罪とし」。**23:9** *または、「生活」。

わかる。エジプトに外国人として住んで
いたからである。

10 6年間、土地に種をまいて、できた物を収穫する。**11** しかし、7年目は土地を耕作せずに休ませておくべきである。民のうちの貧しい人たちがそこに生えた物を食べ、彼らが残した物は野生動物が食べる。ブドウ園やオリーブ畑についてもそうすべきである。

12 6日間自分の仕事をするが、7日目は働かない。あなたの牛やロバが休み、女奴隷の子や外国人居住者が体を休めるためである。

13 私が言った全てのことをしっかりと行わなければならない。他の神々の名を唱えてはならない。それがあなたの口から出ないようにすべきである。

14 年に3回、私の祭りを行うべきである。**15** 無酵母パンの祭りをこなう。私が命じた通り、アビブの月の決められた時に7日間、無酵母パンを食べる。その時にエジプトを出たからである。誰も、何も持たずに私の前に出てはならない。**16** また、畑にまいた種の初物の収穫の祭りをこなう。年の終わり、労働の成果を畑から取り入れる時期には、取り入れの祭りをこなう。**17** 年に3回、すべての男性は真の主エホバの前に出る。

18 私への犠牲の血を、パン種がはいった物と一緒に捧げてはならない。

23:15 *付録B15参照。**23:16** *七週の祭り、ペンテコステとしても知られている。*「仮小屋(幕屋)」の祭りとしても知られている。

第23章

[7] レビ 19:34

[1] レビ 25:3,4

[2] 出 20:9,10

申 5:14

[2] 申 4:9

[2] 申 12:3

ヨシ 23:6,7

[2] 申 16:16

[4] レビ 23:6

ルカ 22:7

[2] 出 12:18

[2] 申 16:17

[2] 民 28:26

申 16:9,10

使徒 2:1

[2] 申 16:13

ネヘ 8:14

ヨハ 7:2

[2] 申 12:5,6

第2編

[7] 民 18:8,12

コリ 15:20

[1] 申 14:21

格 12:10

[2] 出 14:19

[2] 民 20:16

[2] 民 14:35

ヨシ 24:19

[2] 出 34:11

ヨシ 5:13,14

ヨシ 24:8

[2] 出 20:5

レビ 18:3

申 12:30

代二 33:2

[2] 出 20:3

民 33:52

[2] 申 6:13

申 10:12

ヨシ 22:5

マタ 4:10

[2] 申 7:13

[2] 申 7:15

[2] 申 7:14

申 28:4

わたしの祭りで捧げられる犠牲の脂肪を
朝まで残しておいてはならない。

19 土地の初物のうち最も良い物をあなたの神エホバの家に持ってくるべきである。

子ヤギをその母の乳で煮てはならない。

20 私はあなたの前に行く天使を送り、道中あなたを守らせ、私が用意した場所に連れていかせる。**21** 彼の言うことに注意を払い、従いなさい。逆逆してはならない。彼はあなたたちの違反を容赦しない。彼は私の名によって行動するからである。**22** しかし、あなたが彼の声にしっかりと従い、私が言う全てのことを行なうなら、私は、あなたに敵対する者に敵対し、あなたに敵対する者に対抗する。**23** 私の天使はあなたの前を行き、あなたを、アモリ人、ヘト人、ペリジ人、カナン人、ヒビ人、エブス人の所に連れていく。私は彼らを滅ぼし尽くす。**24** 彼らの神々にひれ伏したり、勧められて仕えたりしてはならず、彼らの慣行にならぬ。偶像を打ち倒し、聖柱を打ち砕かなければならない。

25 あなたたちの神エホバに仕えなければならぬ。そうすれば、祝福されてパンと水を受ける。私はあなたたちの中から病気を除く。**26** あなたの土地の女性には流産や不妊に悩むことがない。私はあなたを長生きさせる。

23:24 *用語集参照。

27 私は、あなたが行く前から私
に対する恐れを人々に抱かせ、あ
なたと戦う民を全て混乱に陥れ、あ
なたの敵を全て敗走させる。28 彼
らに絶望感を抱かせ、ヒビ人、カナン
人、ヘト人をあなたの前から追い払う。

29 しかし1年で追い払うことはし
ない。土地が荒れ果てたり野生動物
が増え過ぎたりしないためである。
30 私は彼らをあなたの前から徐々
に追い払い、あなたはやがて子孫が
増えてその土地を所有することになる。

31 私は、紅海からフィリスティア人
の海まで、荒野から川までをあなたの
領土とする。私はその住民をあなた
たちの手に渡し、あなたは彼らを追い
払う。32 彼らや彼らの神々と契約
を結んではならない。33 あなたの
土地に彼らを住ませるべきではない。
彼らのせいであなたが私に対して罪
を犯すことのないためである。もしあ
なたが彼らの神々に仕えるようなこと
があれば、それは必ずあなたにとって
わなとなる。

24 神はモーセに言った。「あな
たとアロン、ナダブとアビフ、
イスラエルの長老70人は、エホバの
もとに上り、離れた所でひれ伏しな
さい。2 あなたが独りでエホバに近
づくべきである。他の人たちは近づい
てはならない。民はあなたと共に上っ
てはならない」。

23:28 *もしかすると、「恐怖」。23:31 *ユー
フラテス川のこと。

第23章

(例)申2:25
ヨシ2:9

(例)申7:23,24

(例)申7:20

ヨシ2:11

(例)ヨシ24:11

(例)申7:22

(例)申9:4

(例)創15:18

申1:7

ヨシ1:4

王一4:21

(例)裁1:4

裁11:21

(例)出34:12

民25:1,2

申7:2

二二6:14

(例)ヨシ23:12,13

裁1:28

詩106:36

第24章

(例)レビ10:1

(例)出20:21

民12:8

第2欄

(例)出21:1

申4:1

(例)申5:27

ヨシ24:22

(例)出34:27

申31:9

(例)レビ3:1

レビ7:11

(例)申31:11

使徒13:15

(例)出19:8

(例)ヘブ12:24

(例)ヘブ9:18-20

(例)ヨハ1:18

(例)エゼ1:26

啓4:3

(例)出24:1

3 モーセは民の所に来て、エホバ
の全ての言葉と全ての法規を伝え
た。民は皆、声をそろえて答えた。「私
たちは、エホバが話した全ての言葉
を喜んで守ります」。4 モーセはエ
ホバの全ての言葉を書き記した。そ
れから朝早く起き、山の麓に祭壇を
作り、イスラエルの12部族に対応する
12の石を立てた。5 その後、イスラ
エル人の若者たちを遣わした。その
人たちは全焼の捧げ物を捧げ、エホ
バへの共食の犠牲として雄牛を捧げ
た。6 モーセはその血の半分を取っ
て鉢に入れ、残りの半分を祭壇に振り
掛けた。7 そして契約の書を取り、
民に読み聞かせた。民は言った。「私
たちは、エホバが話した全てのことを
喜んで行い、それに従います」。8 そ
れでモーセはその血を取って民に振り
掛け、こう言った。「これは契約の血
です。エホバはこれらの全ての言葉
に基づいて皆さんと契約を結んだの
です」。

9 モーセとアロン、ナダブとアビフ、
イスラエルの長老70人は上っていっ
た。10 そしてイスラエルの神を見
た。神の足の下には、サファイアの石
畳のようなものがあり、青空のように
澄み切っていた。11 神はそれらイ
スラエルの主立った人たちを処罰せ
ず、その人たちは真の神の幻を見て、
食べて飲んだ。

12 エホバはモーセに言った。「山

に登って私のものに来て、そこにとどまりなさい。私は、民への指示として律法とおきてを石板に書き、あなたに与える」。13 モーセは、従者のヨシュアと一緒に、真の神の山に登っていった。14 しかし長老たちにはこう言った。「私たちが戻ってくるまで、ここで待っていてください。アロンとフルガがいるので、訴え事がある人は2人の所に行ってください」。15 モーセは、雲に覆われた山に登っていった。

16 エホバの栄光がシナイ山のの上にとどまり、雲は6日間、山を覆っていた。7日目に、神は雲の中からモーセに呼び掛けた。17 エホバの栄光はイスラエル人には、山頂で焼き尽くす火のように見えた。18 モーセは雲の中に入り、山を登った。そして40日間ずっと山にいた。

25 エホバはモーセに言った。2 「私のために寄進物を持ってくるよう、イスラエルの民に告げなさい。あなたたちは、心から捧げる人全てから私への寄進物を受け取る。3 受け取る寄進物は次の通りである。金、銀、銅、4 青糸、紫の羊毛、絳色の糸、上等の亜麻糸、ヤギの毛、5 赤く染めた雄羊の皮、アザラシの皮、アカシア材、6 火をとすための油、注ぎ油と香り高い香のための

24:18 *直訳、「40日4夜」。25:4 *または、「赤糸に染めた」。*または、「赤い」。25:6 *用語集の「油を注ぐ」参照。

第24章

(7) 申5:22
(1) 民11:28
(2) 出24:2
(3) 出32:1
(4) 出17:10
(5) 出18:25,26
(6) 出19:9
(7) 出16:10
レビ9:23
民16:42
(8) 出19:11
(9) 出19:20
(10) 出34:28
申9:9

第25章

(3) 出35:4-9
代一29:9
コ二9:7
(4) 出38:24
(5) 出38:25
(6) 出38:3
出38:29
(7) 出36:20
(8) 出27:20
(9) 出30:23-25

第2欄

(7) 出30:34,35
(1) 出28:6
(2) 出28:15
(3) 出29:45
王一6:13
へブ9:11
(4) 代一28:12
使徒7:44
へブ8:5
へブ9:9
(5) 出37:1-5
(6) へブ9:4
(7) 出30:1,3
(8) 出30:1,5
代一15:15
(9) 王一8:8
(10) 出31:18
出40:20
王一8:9
へブ9:4
(11) 出37:6-9
(12) サ一4:4
へブ9:5
(13) 王一8:7
代一28:18
(14) 出40:20
へブ9:4,5
(15) 出30:6
レビ16:2
民7:89
裁20:27
詩80:1

のバルサム、7 エホバの胸掛けに付けるしめめのうなどの石。8 民は私のために聖なる所を造らなければならない。私は民の中に住む。9 あなたたちは、私が示す型の通りに幕屋と全ての備品を作らなければならない。

10 アカシア材で箱を作る。縦は110センチ、横は67センチ、高さは67センチ。11 箱は内側も外側も純金をかぶせ、縁周りに金の飾りを付ける。12 金の輪を4つ鑄造し、箱の4つの脚の上方に取り付ける。片側に2つ、反対側に2つである。13 アカシア材で棒を2本作り、金をかぶせる。14 箱を運べるようにその棒を箱の両側の輪に通す。15 棒は箱の輪に通したままにし、外してはならない。16 私が与える証しの石板をその箱に入れておく。

17 純金のふたを作る。縦は110センチ、横は67センチ。18 金のケルブを2つ鍛造する。ふたの両端に作る。19 ケルブをふたの両端に1つずつである。20 ケルブは2つの翼を上方に、ふたに覆いかぶさるように広げ、互に向かい合う。顔はふたの方を向くようにする。21 そのふたを箱の上に置く。箱の中には、私が与える証しの石板を入れておく。22 私はふたの上に現れ、そこからあなたに話す。証しの箱の上にある2つのケルブ

25:7 *用語集参照。25:9 *または、「設計」。*付録B5参照。25:17 *または、「覆い」。

の間から、イスラエル人にあなたが伝えるべき全ての事柄を知らせる。

23 アカシア材で食卓を作る。縦は90センチ、横は45センチ、高さは67センチ。**24** 純金をかぶせ、縁周りに金の飾りを付ける。**25** 食卓の側面に幅7センチの板をぐりと張り、その縁周りに金の飾りを付ける。**26** 金の輪を4つ作り、食卓の四隅、4つの脚の付け根に取り付ける。**27** その輪は側面の板の近くに付け、そこに棒を通して食卓を運ぶ。**28** 棒はアカシア材で作し、金をかぶせる。その棒で食卓を運ぶ。

29 食卓用に皿と杯、飲み物のさげ物を注ぐための水差しと鉢を作る。それらを純金で作る。**30** そして、私の前、食卓の上にも供えのパンを置いておく。

31 純金のランプ台を鍛造する。その台座、幹、枝、がく、節、花の間に接ぎ目はない。**32** 6本の枝が横から出る。左に3本、右に3本である。**33** 左側のそれぞれの枝に、アーモンドの花のようながくが3つ付き、それぞれのがくの下に節と花が来る。右側も同じである。ランプ台の幹から出る6本の枝はそうになる。**34** ランプ台の幹には、アーモンドの花のようながくが4つ付き、それぞれのがくの下に節と花が来る。**35** 節は、幹から出る2本の枝の下に1つ、次の2本の枝の下に1つ、さらに次の2本の枝の

第25章

出 40:22
レビ 24:6
民 3:30, 31
ヘブ 9:2

出 37:10-15

出 37:16
民 4:7
王一 7:48, 50

出 24:5, 6
サ一 21:6
代一 9:32
代二 13:11
マタ 12:4

出 40:24
王一 7:48, 49
ヘブ 9:2

出 37:17-24

第2欄

民 8:4

出 30:8
レビ 24:2, 3
民 8:2
代二 13:11

民 4:9

出 39:42
民 8:4
使徒 7:44
ヘブ 8:5

第26章

出 へブ 8:5
ヘブ 9:9, 11

創 3:24
詩 99:1

出 36:8-13

民 4:25

出 39:33, 34

出 35:26

出 36:14-18

下に1つである。6本の枝が幹から出るのである。**36** ランプ台は、節も、その全体に接ぎ目がないように、純金で鍛造する。**37** ランプ台に載せるランプを7つ作る。ランプは、灯をともし、前方を照らす。**38** 芯つまみと燃えかす入れも純金である。**39** ランプ台とこれらの器具を34キロの純金で作る。**40** この山で示された型の通りに作るようにしなさい。

26 幕屋を10枚の布で造る。その布は、上等の亜麻のより糸、青糸、紫の羊毛、緋色の糸で作し、ケルブの絵を刺しゅうする。**2** 各布の長さは12.5メートル、幅は1.8メートルである。布は全て同じ寸法にする。**3** 5枚の布をつなぎ合わせて一組にし、他の5枚の布もつなぎ合わせて一組にする。**4** 一方の組の5枚目の布の端に青糸の輪を作り、もう一方の組も同じようにして、互いをつなぎ合わせるようにする。**5** 一方に50の輪、他方にも50の輪を作り、つなぐために互いを向き合わせる。**6** 金の留め金を50個作り、その留め金で布をつなぐ。このようにして1つの幕屋を造る。

7 また、幕屋の上に掛けるためにヤギの毛で布を作る。11枚の布を作る。**8** 各布の長さは13.4メートル、幅は1.8メートルである。11枚の布は全て同じ寸法にする。**9** 5枚の布をつな

25:38 *または、「火箸」。**25:40** *または、「設計」。

ぎ合わせ、他の6枚の布もつなぎ合わせ。6枚目の布は天幕の前面で折り返すことになる。10 一方の組の5枚目の布の端に50の輪を作り、もう一方の組の端にも50の輪を作って、つなぎ目とする。11 銅の留め金を50個作り、その留め金を輪にはめて布をつなぐ。こうしてそれは1つになる。12 布は余分の長さがあるので、長めに垂れ下がる。幕屋の後面では、布1枚の半分だけ長めに垂れ下がる。13 幕屋の側面では、布は45センチずつ長めに垂れ下がり、幕屋を覆う。

14 さらに、その天幕のために、赤く染めた雄羊の皮で覆いを作り、その上に掛ける覆いをアザラシの皮で作る。

15 幕屋のために、真っすぐに立つ木枠をアカシア材で作る。16 各木枠は高さ450センチ、幅67センチにする。17 各木枠には2つのほぞが並んで付く。幕屋の全ての木枠をそのように作る。18 幕屋の南側の面のために木枠を20作る。

19 20の木枠の下に置く銀の受け台を40作る。各木枠に付いている2つのほぞの下に2つの受け台を置く。20 幕屋のもう一方の面、北側の面のためにも、木枠を20作り、21 銀の受け台も40作る。各木枠の下に2つの受け台である。22 また、西側、つまり幕屋の後部のために木枠を

26:17 *もしかすると、「は2つの直立材をつないだものである」。

第26章

[例] 出 36:19

[例] 民 4:29,31

[例] 出 36:20-23

[例] 民 3:36

[例] 出 36:24-26

第2欄

[例] 出 36:27-30

[例] 出 36:31-33

[例] 出 12:35,36

出 36:34

[例] 出 19:3

出 25:9

使徒 7:44

ヘブ 8:5

[例] 出 36:35,36

ルカ 23:45

ヘブ 6:19

ヘブ 9:3

ヘブ 10:19,20

[例] 王一 8:6

[例] 出 40:22,26

[例] 出 40:21

レビ 16:2

王一 8:6

ヘブ 9:2-4

ヘブ 9:12,24

[例] レビ 24:2,3

王一 7:48,49

6つ作る。23 そして、幕屋後部の両方の隅の支えとして木枠を2つ作る。

24 この木枠は、離して立てた2枚の板を上部の第1の輪の所でつなぐ。2つの木枠ともそうすべきであり、それらが隅の支えとなる。25 それで8つの木枠と16の銀の受け台がある。各木枠の下に2つの受け台である。

26 アカシア材で横木を作る。幕屋の一方の側面の木枠のために5本、

27 もう一方の側面の木枠のために5本、西側つまり後部の木枠のために5本である。28 木枠の半分の高さのところに、真ん中の横木を端から端まで渡す。

29 木枠に金をかぶせ、木枠に付ける金の輪を作って横木を通す。横木にも金をかぶせる。30 この山で示された仕様の通りに幕屋を組み立てなければならぬ。

31 青糸、紫の羊毛、緋色の糸、上等の亜麻のより糸で幕を作り、ケルブの刺しゅうをする。32 金をかぶせたアカシアの4本の柱にその幕を掛ける。掛け金具は金である。柱は4つの銀の受け台の上に立てる。33 幕は留め金の下の位置に掛け、幕の内側に証しの箱を入れる。その幕は、聖所と至聖所の間仕切りとなる。34 至聖所の証しの箱の上にはふたを置かなければならぬ。

35 幕の外側に食卓を置き、その向かいにランプ台を置く。ランプ台

は幕屋の南側に、食卓は北側に置く。

36 天幕の入り口用の幕を、青糸、紫の羊毛、緋色の糸、上等の亜麻のより糸を織り合わせて作る。**37** その幕のためにアカシアの柱を5本作り、金をかぶせる。掛け金具は金である。柱のために銅の受け台を5つ製造する。

27 アカシア材で祭壇を作る。縦2.2メートル、横2.2メートルの四角い祭壇で、高さは1.3メートルである。**2** 四隅に角を作る。角も祭壇の一部で、祭壇には銅をかぶせる。**3** 灰を片付けるためのバケツ、シャベル、鉢、肉刺し、炭入れを作る。全ての器具を銅で作る。**4** 祭壇のために銅で格子状の網を作る。網には、四隅に銅の輪4つを付ける。**5** 網は祭壇のへりより下、祭壇の中ほどに取り付ける。**6** 祭壇のためにアカシア材で棒を2本作り、銅をかぶせる。**7** 棒は、祭壇を運ぶ時に、両側にある輪に差し込む。**8** 祭壇は、中が空洞になるよう厚板で箱型に作る。私がこの山であなたに示した通りに作る。

9 幕屋の周りに庭を設ける。庭の南側に、上等の亜麻のより糸でできた横幕を張る。長さは45メートルで、**10** 柱が20本、銅の受け台が20ある。柱に付ける掛け金具と連結金具は銀である。**11** 北側の横幕も、長

27:3 *犠牲にした動物の脂が染み込んだ灰のこと。**27:10,11** *または、「輪」、「帯」。つなぎ合わせるためのもの。

第26章

(例) 出 36:37,38

第27章

(例) 出 40:29

代二 4:1

ヘブ 13:10

(例) 出 38:1-7

(例) レビ 4:25

(例) 王一 8:64

(例) 王一 7:45

(例) 民 4:14,15

(例) 出 25:40

代一 28:12

使徒 7:44

ヘブ 8:5

(例) 出 40:8

王一 6:36

(例) 出 38:9-15

第2欄

(例) 出 39:33,40

(例) 出 35:25

(例) 出 38:18,19

(例) 出 38:17

(例) 出 27:9

(例) 出 38:20

民 3:36,37

(例) 出 39:33,37

レビ 24:1-3

(例) 出 26:33

出 40:3

ヘブ 9:2,3

(例) 出 30:8

(例) 民 18:23

さは45メートルで、柱が20本、銅の受け台が20あり、柱に銀の掛け金具と連結金具を付ける。**12** 西側の横幕

は22メートルで、これが庭の幅であり、柱は10本、受け台は10ある。**13** 日の出の方向である東側でも、庭の幅は22メートルで、**14** 入り口の片側に、6.7メートルの横幕、3本の柱と3つの受け台があり、**15** もう片側にも、6.7メートルの横幕、3本の柱と3つの受け台がある。

16 庭の入り口には、長さ8.9メートルの幕を張る。青糸、紫の羊毛、緋色の糸、上等の亜麻のより糸を織り合わせて作る。柱は4本、受け台は4つである。**17** 庭の周囲の全ての柱に銀の結合金具と掛け金具を付け、銅の受け台がある。**18** 庭は奥行き45メートル、幅22メートルであり、横幕は高さ2.2メートルで、上等の亜麻のより糸で作られ、受け台は銅である。**19** 幕屋の奉仕に使う全ての器具と付属品、天幕の杭と庭の全ての杭は、銅である。

20 イスラエル人に命じて、明らかに、オリーブをつぶして採った純粋な油を持ってこさせる。ランプをずっとともしておくためである。**21** 会見の天幕の中、証しの箱に近い幕の外側で、アロンとその子たちが夕方から朝までエホバの前でランプをずっとつけておく。イスラエル人はこの法令を代々ずっと守るべきである。

27:21 *用語集参照。

28 イスラエル人の中からあなた
 兄アロンとその子たち
 を呼びなさい。彼らは祭司として私に
 仕える。アロンと、アロンの子であるナ
 ダブ、アビフ、エレアザル、イタマル
 である。**2** あなたの兄アロンのため
 に、威厳と美しさを持つ聖なる服を作
 る。**3** 技能を持つ全ての人、私が知
 恵を授けた人たちに話し、アロンを神
 聖なものとするための服を作らせな
 さい。彼が祭司として私に仕えるため
 である。

4 以下の服を作る。胸掛け、エフォ
 ド、袖なしの上着、格子模様の長い服、
 ターバン、飾り帯である。職人たちはこ
 のような聖なる服を、あなたの兄アロ
 ンとその子たちが祭司として私に仕え
 るために作る。**5** 金、青糸、紫の羊
 毛、緋色の糸、上等の亜麻糸を使う。

6 エフォドは、金、青糸、紫の羊毛、
 緋色の糸、上等の亜麻のより糸を使っ
 た刺しゅう布で作る。**7** エフォドに
 は、2つの上端でつながれる2本の肩
 ひみがある。**8** エフォドがずれない
 ように結ぶ布帯も付く。それは同じ素
 ざい
 材で、つまり金、青糸、紫の羊毛、緋
 色の糸、上等の亜麻のより糸で作る。

9 しめめのう2つを取って、それに
 イスラエルの子たちの名前を彫る。

10 6つの名前を1つの石に、残りの6
 つの名前をもう1つの石に、出生順に
 彫る。**11** 石職人が、印章を彫るとき

第28章

(例) レビ 8:2
 ヘブ 5:1

(例) ヘブ 5:4

(例) 出 6:23
 代 6:3

(例) レビ 10:1
 民 26:61

(例) 出 38:21
 レビ 10:16
 代 24:2

(例) 出 29:5
 レビ 8:7

(例) 出 31:6
 出 36:1

(例) 出 39:8,15
 レビ 8:8

(例) 出 39:2

(例) 出 39:22

(例) 出 39:27,28
 出 39:30,31
 レビ 8:9

(例) 出 39:27,29
 レビ 8:7

(例) 出 39:2-5

(例) 出 29:5

(例) 出 35:5,9
 出 35:27

(例) 出 1:1-4

第2欄

(例) 出 39:6,14

(例) 出 39:7

(例) 出 39:15

(例) 出 39:18

(例) 出 28:30
 レビ 8:8
 民 27:21

(例) 出 39:8-14

(例) 出 39:15-18

のように、2つの石にイスラエルの子
 たちの名前を彫る。それぞれ金の台
 にはめ込む。**12** 2つの石はイスラ
 エルの子たちを思い起こさせる石で、
 エフォドの肩ひもに付ける。アロンは
 2本の肩ひもに彼らの名前を帯びてエ
 ホバの前に出なければならない。彼
 らのことが思い起こされるためである。
13 金の台を作る。**14** 縄のようによ
 り合わせた純金の鎖を2本作り、台に
 取り付ける。

15 刺しゅう職人に判断の胸掛けを
 作らせる。それは、金、青糸、紫の羊
 毛、緋色の糸、上等の亜麻のより糸で、
 エフォドと同じように作る。**16** 二つ
 折り、真四角にする。縦は22センチ、
 横も22センチである。**17** 石を台に
 はめ込んで、胸掛けに取り付ける。石
 は4列で、1列目はルビー、トパーズ、エ
 メラルド、**18** 2列目は、トルコ石、サ
 ファイア、碧玉、**19** 3列目は、レシエム
 石、めのう、紫水晶、**20** 4列目は、か
 らん石、しめめのう、ひすいである。

これらを金の台にはめ込む。**21** 石
 はイスラエルの12人の子たちの名前に対
 応する。それぞれの石に、印章に彫る
 ときのように、12部族の1つを表す名
 前を彫る。

22 胸掛けのために、より合わせた
 鎖を作る。それは縄のような純金の
 鎖である。**23** 胸掛けのために金の

28:19 *どんな宝石が分かっている。もしかす
 ると、琥珀、ヒヤシンス、オパール、トルマリ

28:4 *付録 B5参照。 **28:8** *または、「腰帯」。

輪^わを2つ作り、胸^{むね}掛けの2つの隅^{すみ}に付ける。24 2本の金^{きん}の縄^{なわ}を胸^{むね}掛けの隅^{すみ}にある2つの輪^わに通す。25 2本の縄^{なわ}の2つの端^{はし}を2つの台^{だい}に通し、それらをエフォドの前面^{ぜんめん}、肩^{かた}ひもの所^{ところ}に付ける。26 金の輪^わを2つ作り、胸^{むね}掛けの2つの隅^{すみ}、エフォドに接する面^{せん}の下^{した}の端^{はし}に付ける。27 金の輪^わをさらに2つ作り、エフォドの表側^{おもてがわ}、2本の肩^{かた}ひもの下^{した}、エフォドの布帯^{ぬのおび}の上^{うへ}、つなぎ目の近く^{ちかく}に付ける。28 胸^{むね}掛けの輪^わとエフォドの輪^わを青^{あお}ひもでつないで、胸^{むね}掛けを布帯^{ぬのおび}より上に固定^{こてい}し、エフォドからずれないようにする。

29 アロンは、聖所^{せいじょ}に入る時^{とき}、心臓^{しんぞう}の所^{ところ}に当^{あた}った判断^{はんぱん}の胸^{むね}掛けにイスラエルの子^こたちの名前^なを帯^おびてエホバの前^{まえ}に出^でなければならぬ。彼^{かれ}らのことがいつも思^{おも}い起^{おこ}されるためである。30 ウリムとトンミムを判断^{はんぱん}の胸^{むね}掛けの中^{なか}に入れる。それらは、アロンがエホバの前^{まえ}に出^でる時^{とき}、心臓^{しんぞう}の所^{ところ}になければならぬ。アロンはいつも、イスラエル人^{じん}のために用^{もち}いる判断^{はんぱん}の道具^{どうぐ}を心臓^{しんぞう}の所^{ところ}に持^もってエホバの前^{まえ}に出^でるのである。

31 エフォドの下^{した}に着^きる袖^{そで}なしの上^{うわ}着^ぎを青^{あお}糸^{いと}だけで作る。32 頭^{あたま}を通^{とお}す穴^{あな}を真^まん中^{なか}に開^あける。穴^{あな}の周^{しゅう}围^いには、織^おられた縁^{ふち}取りがある。よろいの首^{くび}回^{まわ}りのようにし、裂^さけないようにするので

28:27, 28 *または、「腰帯」。 28:30 *用語集参照。

第28章

(例) 出 39:19-21

(例) 出 28:8

レビ 8:7

(例) レビ 8:8

民 27:21

申 33:8

サー 28:6

エズ 2:62, 63

(例) 出 39:22-26

レビ 8:7

第2編

(例) レビ 16:2

民 18:7

(例) 出 39:30, 31

レビ 8:9

代一 16:29

詩 93:5

ペー 1:16

(例) 出 29:6

(例) レビ 22:9

民 18:1

(例) 出 28:4

出 39:27-29

(例) 出 28:2

(例) レビ 8:13

(例) 出 29:4, 7

出 30:30

使徒 10:38

コ二 1:21

(例) 出 29:8, 9

レビ 8:33

民 3:2, 3

ある。33 青^{あお}糸^{いと}と紫^{むらさき}の羊^{よう}毛^{もう}と緋^ひ色^{いろ}の糸^{いと}でザク^{かざ}クロの飾^{つく}りを作^{つく}って、上^{うわ}着^ぎの裾^{すそ}回^{まわ}りに付^つける。間^{かん}に金^{きん}の鈴^{すず}を付^{かざ}ける。

34 金の鈴^{すず}とザク^{かざ}クロの飾^{つく}りを交^{まわ}互^{あひだ}に、上^{うわ}着^ぎの裾^{すそ}回^{まわ}りに付^つける。35 アロンは、奉^{ほう}仕^しするた^{ほうし}めにそれ^{ほうし}を着^きなければならぬ。聖^{せい}なる所^{ところ}に入^{はい}ってエホバの前^{まえ}に行^いく時^{とき}や出^でてくる時^{とき}に、鈴^{すず}の音^{おと}が聞^きこえるようにする。死^しぬことのないためである。

36 輝^{かがや}く純^{じゅん}金^{きん}の板^{いた}を作^{つく}り、印^{いん}章^{しょう}を彫^ほるときのように、それ^ほに、『神^{しん}聖^{せい}さはエホバのもの』と彫^ほらなければならぬ。37 それ^ほを青^{あお}ひもでターバ^{たー}ンに固^こ定^{てい}する。ターバ^{ぜん}ンの前^く面^{めん}に来^きるよう^{ひたい}にする。38 それ^{うえ}はアロン^{うえ}の額^{ひたい}の上^{うへ}に来^きる。アロンは、誰^{だれ}か^{せい}が聖^{せい}なるもの^おに關^{かん}して過^{あやま}ちを犯^{おか}した場^{ばい}合^ご、責^{せき}任^{にん}を負^おう。イスラエル人^{じん}が聖^{せい}なる供^{そな}え物^{もの}とし^さて捧^さげる物^{もの}に關^{かん}する過^{あやま}ちである。民^{たみ}がエホバに認^{みと}めてもら^うえるよう^{ひたい}に、アロン^{うえ}の額^{ひたい}の上^{うへ}に常^{つね}にそ^{いた}の板^{いた}がなければならぬ。

39 上^{じょう}等^{とう}の亜^あ麻^{まい}糸^{いと}で格^{こう}子^し模^も樣^{よう}の長^{なが}い服^{ふく}を織^おり、上^{じょう}等^{とう}の亜^あ麻^{まい}糸^{いと}でターバ^{たー}ン^んを作^{つく}り、飾^{かざ}り帯^{おび}を織^おる。

40 アロンの子^こたちのた^{なが}めに、長^{なが}い服^{ふく}、飾^{かざ}り帯^{おび}、威^い厳^{げん}と美^みしさを持^もつ頭^{あたま}覆^{おほ}いを作^{つく}る。41 あな^{あに}たの兄^{あに}アロン^おと、共^{とも}に在^こるそ^この^{ふく}子^きたち^きに服^{ふく}を着^きせ、油^{あぶら}を注^{そそ}ぎ、彼^{かれ}ら^{にんめい}を任^{にんめい}命^{めい}し、神^{しん}聖^{せい}なもの

28:41 *用語集の「油を注ぐ」参照。*直訳、「手^てを満^みたし」。

とする。こうして彼らは祭司として私に仕える。42 彼らの股が見えないように亜麻のもも引きを作る。それは腰からももまでを覆う。43 アロンとその子たちは、会見の天幕に入ったり祭壇に近づいたりして聖なる場所で奉仕する時に、それを身に着けていなければならない。罪を負って死ぬことのないためである。彼とその子孫はこの法令をずっと守るべきである。

29 彼らを神聖なものとし、祭司として私に仕えさせるために、以下のようにしなさい。若い雄牛を1頭、傷のない雄羊を2匹用意する。2 無酵母パン、油を混ぜ込んだ無酵母の輪型パン、油を塗った無酵母の薄焼きパンも用意する。これらは上等の小麦粉で作る。3 それらを籠に入れて、雄牛と雄羊2匹と一緒に捧げる。

4 アロンとその子たちを会見の天幕の入り口に立たせ、彼らの体を水で洗う。5 一式の衣服を取り、長い服、エフォドの袖なしの上着、エフォド、胸掛けをアロンに着せ、エフォドの布帯を腰にしっかりと締める。6 頭にターバンを巻き、献じられたことの聖なる印をターバンに付ける。7 注ぎ油を取り、それをアロンの頭に注いで祭司とする。

8 アロンの子たちを前に連れてき

28:42 *または、「下着」。29:5 *または、「腰帯」。29:6 *または、「聖なる冠」。29:7 *用語集の「油を注ぐ」参照。*直訳、「油を注ぐ」。

第28章
[7] レビ 6:10

第29章
[1] レビ 8:2
申 17:1

[7] レビ 6:20
[2] レビ 8:26

[7] 出 26:36
出 40:28
レビ 8:2,3

[7] レビ 8:6
ヘブ 10:22

[7] 出 28:4
レビ 8:7
レビ 16:4

[7] 出 28:8
[7] 出 28:36
出 39:30
レビ 8:9

[7] 出 30:23-25

[7] レビ 8:12
詩 133:2
イザ 61:1
使徒 10:38

第2欄
[7] 出 28:40
レビ 8:13

[7] 出 28:1-3
出 28:40,43
出 40:15

[7] 出 28:41

[7] レビ 8:14-17

[7] レビ 4:3

[7] 出 27:2

[7] レビ 4:7

[7] レビ 3:17

[7] レビ 4:8-10

[7] レビ 1:4
レビ 8:18-21

[7] ヘブ 9:22

[7] レビ 1:13

[7] 創 8:21

て、長い服を着せる。9 アロンとその子たちに飾り帯を締め、頭覆いをかぶらせる。祭司職は彼らのものとなる。これはずっと守るべき法令である。このようにして、アロンとその子たちを祭司として任命する。

10 雄牛を会見の天幕の前に連れてきて、アロンとその子たちが雄牛の頭に手を置く。11 エホバの前、会見の天幕の入り口で、雄牛をほふる。

12 雄牛の血を指で取り、祭壇の角に付ける。残りの血は全て祭壇の基部に注ぐ。13 腸を覆う全ての脂肪、肝臓の付属物、2つの腎臓とそれに付いた脂肪を取り、祭壇で焼いて煙にする。

14 ただし、雄牛の肉と皮とふんは宿営の外で火で燃やす。これは罪の捧げ物である。

15 雄羊の片方を連れてきて、アロンとその子たちが雄羊の頭に手を置く。

16 雄羊をほふり、その血を取って、祭壇の全側面に振り掛ける。17 雄羊を各部分に切り分け、腸とすねを洗い、各部分を頭と一緒に並べる。18 雄羊全体を祭壇で焼いて煙にしななければならない。これはエホバへの全焼の捧げ物であり、心地よい香りとなる。これはエホバへの火による捧げ物である。

19 次に、もう一方の雄羊を連れてきて、アロンとその子たちが雄羊の頭

29:9 *または、「巻く」。*直訳、「の手を満たす」。29:18 *または、「安らぎの」。

に手を置く。20 雄羊をほふり、その血をいくら取って、アロンとその子たちの右の耳たぶ、右手の親指、右足の親指に付け、血を祭壇の全側面に振り掛ける。21 祭壇にある血と注ぎ油をいくら取り、アロンとその服、アロンの子たちとその服にはね掛ける。こうしてアロンとその服、アロンの子たちとその服は聖なるものとなる。

22 その雄羊から、脂肪、すなわち脂肪の多い尾、腸を覆う脂肪、肝臓の付属物、2つの腎臓とそれに付いた脂肪、および右の後脚を取る。これは任命の雄羊だからである。23 丸いパン、油を入れた輪型パン、薄焼きパンを、エホバの前にある無酵母パンの籠から取る。24 その全てをアロンとその子たちの手に載せ、振揺の捧げ物としてエホバの前で揺り動かす。25 それを彼らの手から取り、祭壇で全焼の捧げ物と共に焼く。それはエホバの前で心地よい香りとなる。これはエホバへの火による捧げ物である。

26 アロンのために捧げられる任命の雄羊の胸を取り、振揺の捧げ物としてエホバの前で揺り動かす。それはあなたの分となる。27 任命の雄羊、すなわちアロンとその子たちのために捧げられた物のうち、振揺の捧げ物の胸と神聖な分の脚を神聖なものとする。揺り動かされた物と寄進された物である。28 これは、イスラエル人がずっと守るべき規定によって、アロンと

第29章
(例) レビ 8:22-24

(例) 出 30:23-25

(例) レビ 8:30

(例) レビ 3:9,10

(例) レビ 8:22
レビ 8:25-28

(例) レビ 8:29
詩 99:6

(例) 出 29:22

第2欄

(例) レビ 7:34
レビ 10:14

(例) レビ 7:11,14

(例) 民 20:26

(例) 出 28:4

(例) レビ 8:35

(例) レビ 8:31

(例) コー 9:13

(例) レビ 22:10
民 3:10

(例) レビ 8:32

(例) レビ 8:4,33

その子たちのものとなる。それは神聖な分なのである。それはイスラエル人が納めるべき神聖な分となる。共食の犠牲のうち、エホバのための神聖な分である。

29 アロンの後の子たちは、油を注がれて祭司に任命される時に、アロンのものである聖なる服を使う。30 アロンの子たちのうちアロンの跡を継ぎ、会見の天幕に入って聖なる場所であつて奉仕する祭司は、7日間それを着る。

31 任命の雄羊を取り、その肉を聖なる場所で煮る。32 アロンとその子たちは、雄羊の肉と籠に入ったパンを会見の天幕の入り口で食べる。

33 それは、彼らを祭司に任命して神聖なものとするために贖罪に用いられ た物であり、彼らはそれを食べる。しかし、許可されていない人は食べてはならない。それは聖なるものだからである。34 もし任命の犠牲の肉やパンの幾らかが朝まで残ったなら、火で燃やさなければならない。それを食べてはならない。聖なるものだからである。

35 この通りに、全て私が命じた通りに、アロンとその子たちに行う。7日かけて彼らを祭司に任命する。36 罪の捧げ物の雄牛を贖罪のために毎日捧げる。贖罪を行って祭壇を罪から清め、油を注いで祭壇を神聖なものとする。

29:33 “直訳、「の手を満たして」。“直訳、「よそ者」。アロンの子孫ではない人のこと。29:35 “直訳、「の手を満たす」。

する。37 7日かけて祭壇のために贖罪を行う。それを神聖なものとし、極めて聖なる祭壇となるようにしなければならぬ。祭壇に触れる人は皆、聖なる人であるべきである。

38 以下の物を祭壇で捧げる。1歳の雄羊2匹を毎日欠かさず捧げる。

39 1匹は朝に、もう1匹は夕暮れ時に捧げる。40 オリーブをつぶして採った油0.9リットルを混ぜた上等の麦粉

2.2リットルと、飲み物の捧げ物であるぶどう酒0.9リットルを、1匹目の雄羊

に添える。41 2匹目の雄羊を夕暮れ時に、朝と同じように穀物の捧げ物

と飲み物の捧げ物を添えて捧げる。それは心地よい香り、エホバへの火による

捧げ物である。42 これは日々の全焼の捧げ物で、エホバの前、会見の天幕の入り口で代々捧げられる。私

はそこで民に現れてあなたに話す。

43 私はそこでイスラエル人に現れ、そこは私の栄光によって神聖なものとなる。44 私は会見の天幕と祭壇

を神聖なものとする。また、アロンとその子たちが祭司として私に仕えるために、彼らを神聖なものとする。45 私は

イスラエルの民の中に住み、彼らの神となる。46 民は、私が彼らの神

エホバであり、彼らの中に住むために彼らをエジプトから連れ出したこと

を必ず知る。私は彼らの神エホバである。

29:39, 41 *直訳、「2つの夕方の間」。

第29章

出 30:26, 28

レビ 8:11

民 7:1

出 40:10

代 2:4

ヘブ 7:27

ヘブ 10:11

民 28:4-6

出 25:22

レビ 1:1

民 17:4

出 40:34

民 12:5

王 1:8-11

レビ 22:9

出 25:8

レビ 26:12

ゼカ 2:11

二 6:16

出 20:2

第2欄

第30章

出 40:5

出 37:25-28

出 27:1, 2

レビ 4:7

出 26:33

ヘブ 9:3

出 25:22

代 1:23-13

出 30:34, 35

民 16:39, 40

サ 2:27, 28

ルカ 1:9

出 27:20

レビ 10:1

代 2:26-18

エゼ 8:11, 12

レビ 16:5, 6

レビ 16:18, 19

レビ 23:27

ヘブ 9:7

出 38:25

民 1:2

サニ 24:10, 15

30 香をたくための祭壇を作る。それをアカシア材で作る。

2 縦45センチ、横45センチの四角い形で、高さは90センチである。祭壇と

その角の間に接ぎ目はない。3 祭壇の上面、全側面、角に純金をかぶせ、

縁周りに金の飾りを付ける。4 金の輪を2つ作り、2つの向かい合う側面

それぞれに、飾りの下に付ける。その輪に棒を通して祭壇を運ぶ。5 アカ

シア材で棒を2本作り、金をかぶせる。6 祭壇は、証しの箱に近い幕の前に

置く。証しの箱のふたの上に私は現れる。

7 アロンはその祭壇で香り高い香をたく。毎朝、ランプの手入れをする

時に香の煙を立ち上らせる。8 アロンは夕暮れ時にランプをとともす時

にも香をたく。これは、エホバの前で代々捧げる日々の香の捧げ物である。

9 その祭壇で、許可されていない香や、全焼の捧げ物、穀物の捧げ物を捧

げてはならない。飲み物の捧げ物を注いでもならない。10 アロンは年

に1度その角に罪の捧げ物の血の一部を付けて、贖罪を行わなければならない。代々、年に1度、祭壇のため

に贖罪を行う。それはエホバにとって極めて聖なるものである。

11 エホバはモーセに言った。12 「人口調査を行ってイスラエルの

子たちを数える時、各人は自分の命のための贖いをエホバに納めなけ

ればならない。登録の際に、災厄が降り掛からないためである。13 登録された人は全員、聖なる標準重りで銀5.7グラムを納める。(標準重りは11.4グラムである。)これはエホバへの寄進である。14 20歳以上の登録された人は皆、エホバへの寄進をする。15 自分の命のための贖罪としてエホバへの寄進をする時、裕福な人も5.7グラムより多く納めるべきではなく、貧しい人もそれより少なく納めるべきではない。16 あなたはイスラエル人から贖罪のための銀を受け取り、会見の天幕での奉仕のために納める。それによってイスラエル人がエホバの前で覚えられ、命のための贖罪がなされるのである」。

17 エホバはモーセにさらにこう話した。18 「洗うために銅の水盤とその台を作りなさい。それを会見の天幕と祭壇の間に据え、水を入れる。19 アロンとその子たちがそこで手と足を洗う。20 会見の天幕に入る時や、捧げ物を焼いてエホバへの煙を立ち上らせたり奉仕したりするために祭壇に近づく時、水で洗い、死ぬことがないようにする。21 彼らは死ぬことがないように手と足を洗わなければならない。アロンとその子孫はこの規定を代々ずっと守っていかなければならない。

22 エホバは続けてモーセに言っ

30:13 *または、「聖なる場所の標準重り」。
30:16 *または、「お金」。

第30章

(7) レビ 27:25

(1) 代二 24:9
マタ 17:24(7) 出 38:26
民 1:3
民 26:1,2(2) 出 38:8
レビ 8:11
王一 7:38

(7) 出 40:7

(7) 出 40:30,31
へブ 10:22

(7) 代二 4:6

第2欄

(7) 民 3:47

(1) 出 37:29

(7) 出 40:9
民 7:1

(2) レビ 8:10

(7) 出 29:37

(7) レビ 8:12

(7) 民 3:2,3

(7) 出 40:15

(7) 出 37:29
王一 1:39
詩 89:20

(2) 出 30:37,38

た。23 「次に、最上の香料を用意しなさい。固まった没薬を6キロ、香りの良いシナモンをその半分の3キロ、香りの良いショウブを3キロ、24 カシアを6キロ、全て聖なる標準重りで量る。そしてオリーブ油を3.7リットル。25 これらで聖なる注ぎ油を作る。上手に調合すべきである。それは聖なる注ぎ油となる。

26 会見の天幕と証しの箱にその油を注ぐ。27 食卓とその全ての器具、ランプ台とその器具、香の祭壇、28 全焼の捧げ物の祭壇とその全ての器具、水盤とその台にも注ぐ。

29 それらを神聖なものとして、極めて聖なるものとしなければならない。それらに触れる人は皆、聖なる人であるべきである。30 アロンとその子たちに油を注ぎ、神聖なものとし、祭司として私に仕えさせる。

31 イスラエル人にこう言いなさい。『この油は代々、私のための聖なる注ぎ油となる。32 それは人の体に塗るべきではない。それと似た配合の物を作ってはならない。これは聖なるものであり、ずっとあなたたちにとって聖なるものとなる。33 それと似た香油を作り、許可されていない人に用いる人は、民の中から除かれなければならない』。

30:25 *用語集の「油を注ぐ」参照。*または、「調香師が作った物のようであるべき」。30:33 *直訳、「よそ者」。アロンの子孫ではない人のこと。

34 エホバはモーセに言った。「次^{つぎ}の香料^{こうりょう}を同量^{どうりょう}、用意^{ようい}しなさい。スタク^{じゅし}、テ樹脂^{じゅし}、オヌカ^{おぬか}、香り^{かお}高いガルバナム^{たか}、純粋^{じゆんすい}な乳香^{にゅうこう}。**35** それらを合^あわせて香^{かう}を作る。香料^{かうりょう}を上手^{じょうず}に調合^{ちようかう}し、塩^{しお}を加^{くわ}え、純良^{じゆんりょう}で聖^{せい}なるものとする。**36** その幾^{いく}らかを砕^{くだ}いて粉末^{ふんまつ}にし、その幾^{いく}らかを会^{かい}見^{けん}の天幕^{てんまく}の中^{なか}にある証^{あか}しの箱^{はこ}の前^{まえ}、私^{わたくし}が現^{あらわ}れる所^{ところ}の前^{まえ}に置^まく。あなたたちはこの香^{かう}を極^{きよく}めて聖^{せい}なるものとすべきである。**37** この配合^{はいごう}の香^{かう}を自分^{じぶん}用^{よう}に作^{つく}ってはならない。あなたはそれ^{それ}をエホバにとって聖^{せい}なるものと見る。**38** 香り^{かお}を楽しむた^ためにそれと似^にた物^{もの}を作^{つく}る人^{ひと}は、民^{たみ}の中^{なか}から除^{のぞ}かれなければならない」。

31 エホバは続^{つづ}けてモーセに言^いった。**2** 「見^みなさい、私^{わたくし}はユダ族^{そく}のフル^この子^こであるウリ^この子^こベザレ^{べざれ}を選^{えら}んだ。**3** 彼^{かれ}に神^{かみ}の聖^{せい}なる力^{ちから}を満^みたし、あらゆる工^{こう}芸^{げい}に関^{かん}する知^ち恵^えと理^り解^{かい}と知^ち識^{しき}を与^{あた}える。**4** デザイン^{ざいん}の作^{さく}成^{せい}のため、金^{きん}、銀^{ぎん}、銅^{どう}の加^か工^{こう}、**5** 石^{いし}のカッ^こト^ととはめ込^こみ、あらゆる木^{もく}製^{せい}品^{ひん}の製^{せい}作^{さく}のためである。**6** さら^{たす}に、ベザレ^{べざれ}を助^{たす}けるた^ためにダン族^{だんぞく}のアヒサマク^{あひさまく}の子^こオホリアブ^{おほりあぶ}を任^{にん}命^{めい}した。そして、技^ぎ能^{のう}を持^もつ全^{ぜん}ての人^{ひと}の心^{こころ}に知^ち恵^えを入^いれ、そ^その人^{ひと}たち^{わたくし}が、私^{わたくし}があ^あなたに命^{めい}じ^じた物^{もの}全^{ぜん}てを作^{つく}るよう^{よう}にする。**7** すなわ^なち、会^{かい}見^{けん}の天幕^{てんまく}、証^{あか}

30:35 *または、「調香師^{てうかうし}が作^{つく}った物^{もの}のよう^{よう}にし」。**31:3** *用語集^{ようごしゅう}参照^{さうじょう}。

第30章

(例) 出 25:3,6

(例) 出 37:29

詩 141:2

啓 5:8

(例) レビ 2:13

(例) 出 30:31,32

第31章

(例) 出 35:30-34

代一 2:20

(例) 出 37:1

(例) 出 28:9-11

(例) 代二 2:13,14

(例) 出 38:23

(例) 出 36:1

(例) 出 36:8

第2欄

(例) 出 37:1

(例) 出 37:6

(例) 出 37:10

(例) 出 37:17,24

(例) 出 37:25

(例) 出 38:1

出 40:6

(例) 出 30:18

出 38:8

(例) 出 28:2,15

出 39:1,27

レビ 8:7

(例) 出 30:25,35

出 37:29

(例) 出 20:8

レビ 19:30

コロ 2:16,17

(例) 申 5:12

(例) 出 35:2

民 15:32,35

(例) 出 16:23

出 20:10

(例) 出 31:13

し^{はこ}の箱^{はこ}とそ^そのふた^{ふた}、天幕^{てんまく}の全^{ぜん}ての備^び品^{ひん}、**8** 食^{しょく}卓^{たく}とそ^その器具^{きぐ}、純^{じゆん}金^{きん}のラン^{らん}ブ台^{だい}とそ^その全^{ぜん}ての器具^{きぐ}、香^{かう}の祭^{さい}壇^{だん}、**9** 全^{ぜん}焼^{しょう}の捧^{ささ}げ物^{ぶつ}の祭^{さい}壇^{だん}とそ^その全^{ぜん}ての器具^{きぐ}、水^{すい}盤^{ばん}とそ^その台^{だい}、**10** きれい^{きれい}に織^おり合^あわされ^{ふく}た服^{ふく}、祭^{さい}司^しアロ^ろンのた^ための聖^{せい}なる服^{ふく}、アロ^ろんの子^こたち^{さいし}が祭^{さい}司^しとし^して仕^{つか}えるた^{ふく}めの服^{ふく}、**11** 注^そぎ^{あぶ}油^{そせい}、聖^{せい}な^{ところ}のた^かめの香^{かう}り^{かう}高^{たか}い^{こう}香^{かう}である。職^{しよく}人^{にん}たちは、私^{わたくし}があ^あなたに命^{めい}じ^じたこ^{こと}全^{ぜん}て^{すべ}を行^いう」。

12 エホバはモーセにさら^いに言^いった。**13** 「イスラエル^{じん}人^{にん}にこ^こう告^つげなさい。『必^{かな}ず私^{わたくし}の安^{あん}息^{そく}日^びを守^{まも}りなさい。それは代^{だいたい}々^{わたくし}、私^{わたくし}とあ^あなたた^あちの間^{あいだ}のし^しるしである。私^{わたくし}エホバ^{わたくし}があ^あなたた^あちを神^{しん}聖^{せい}なも^ものとし^してい^いるこ^ことをあ^あなた^あちが知^しるた^ためである。**14** 安^{あん}息^{そく}日^びを守^{まも}らなければなら^ない。そ^その日^ひはあ^あなたた^あちにと^{せい}って聖^{せい}なるも^ものだからである。それ^{それ}を汚^{けが}す人^{ひと}は必^{かな}ず死^し刑^{けい}にされ^さる。そ^その日^ひに仕^し事^じをする人^{ひと}は民^{たみ}の中^{なか}から除^{のぞ}かれなければなら^ない。**15** 6 日^か間^{かん}仕^し事^じをしてよ^よいが、7 日^か目^めは完^{かん}全^{ぜん}な休^{やす}み、安^{あん}息^{そく}日^びである。それはエホバにと^{せい}って聖^{せい}なるも^ものである。安^{あん}息^{そく}日^びに仕^し事^じをする人^{ひと}は必^{かな}ず死^し刑^{けい}にされ^さる。**16** イスラエル^{じん}人^{にん}は安^{あん}息^{そく}日^びを守^{まも}らなければなら^ない。安^{あん}息^{そく}日^びを代^だ々^{だいたい}守^{まも}らなければなら^ない。これ^{これ}はず^{つづ}と続^{つづ}く契^{けい}約^{やく}である。**17** これは私^{わたくし}とイスラエル^{じん}の民^{たみ}の間^{あいだ}の長^{なが}く続^{つづ}くし^しるしである。エ

31:11 *用語集^{ようごしゅう}の「油^{あぶら}を注^{つづ}ぐ」参^{さん}照^{じょう}。

ホバは6日間、天と地を造り、7日目に
休み、爽やかさを感じたからである。』。

18 神はシナイ山でモーセに話し終
えると、証しの石板2枚を彼に与えた。
神の指によって書かれた石板だった。

32 ところで民は、モーセが山か
らなかなか下りてこないこと
に気づき、アロンの周りに集まって、こ
う言った。「さあ、私たちの前に行く神
を作ってください。私たちをエジプト
から連れ出したあのモーセがどうなっ
たか、分からないからです」。2 そこ
でアロンは言った。「妻や息子や娘の
耳から金の耳輪を外して、私の所に
持ってきたさい」。3 民は皆、着けて
いた金の耳輪を外して、アロンの所に
持ってきた始めた。4 アロンは金を受
け取り、彫り道具で形を整えて子牛の
像を作った。民は、「イスラエルよ、こ
れが私たちをエジプトから連れ出し
た私たちの神だ」と言い出した。

5 アロンはこれを見て、その前に祭
壇を作った。そして、「明日、エホバ
の祭りがある」と叫んだ。6 次の
日、民は早く起き、全焼の捧げ物と共
食の犠牲を捧げ始めた。その後、座っ
て食べたり飲んだりし、立ち上がって
楽しんだ。

7 エホバはモーセに言った。「さ
あ、下りていきなさい。あなたがエジ
プトから連れ出したあなたの民は墮
落してしまっただからだ。8 彼らは私

第31章

(创) 2:2

(イ) 出 24:12
出 32:15
申 4:13
申 9:15(创) マタ 12:28
ルカ 11:20
コリ 3:3

第32章

(创) 出 24:18
申 9:9

(创) 使徒 7:40

(创) 出 12:35,36

(创) 申 9:16
イザ 46:6
使徒 7:41(创) 出 20:4
ネへ 9:18
詩 106:19,20

(创) コー 10:7

(创) 申 4:15-18

第2欄

(创) 出 18:20
出 20:3(创) 出 34:9
申 9:6
使徒 7:51(创) 民 14:12
申 9:14

(创) 詩 106:23

(创) 申 9:18,19

(创) 申 9:28

(创) 創 22:15-17
創 35:10,11
へ 6:13,14(创) 創 13:14,15
創 26:3,4

(创) 詩 106:45

が命じた道から早くもそれた。自分た
ちのために子牛の像を作り、それに
ひれ伏して犠牲を捧げては、『イスラ
エルよ、これがあなたをエジプトから
連れ出したあなたの神だ』と言っ
ている。9 エホバは続けてモーセ
に言った。「私はこの民が強情である
ことが分かった。10 それで今、私を
止めるな。私は怒りに燃えて彼らを根
絶やしにし、代わりにあなたから偉大
な国民が生まれるようにしよう」。

11 モーセはエホバ神に懇願してこ
う言った。「エホバ、あなたは大きな力
と力強い手であなたの民をエジプト
から連れ出されたのに、なぜその民に
対して怒りを燃やされるのでしょうか」。

12 どうしてエジプト人が、『あの神は
悪意があって彼らを連れ出した。山で
殺して地上から根絶やしにしたかった
のだ』などと言ってよいのでしょうか。燃
える怒りを静め、考え直してください。
あなたの民に災難をもたらさないでく
ださい。13 あなたに仕えたアブラ
ハム、イサク、イスラエルを思い出して
ください。あなたはご自分に懸けて彼
らに誓われ、『私はあなたたちの子孫
を天の星のように多くし、私が指定し
たこの土地全体をあなたたちの子孫
に与え、彼らがずっと所有するようにす
る』と言われたのです。

14 それでエホバは考え直し、先に
言った災難を民にもたらさなかった。

32:12 *または、「悔やんで」。 32:14 *または、「悔やみ」。

32:4 *または、「鑄造された像」。

15 モーセは向きを変え、証しの石板2枚を持って山を下りた。石板は両面に、表にも裏にも、文字が書かれていた。16 石板は神が作ったものであり、文字は神が書いたもので、石板に刻まれていた。17 ヨシュアは民の叫び声を聞き、モーセに言った。「宿営で戦いの声がします」。18 モーセは言った。

「勝利について歌う声ではない。
敗北について嘆く声でもない。
別の歌声が聞こえる」。

19 モーセは宿営に近づき、子牛と踊りとを見ると、怒りに燃え、山の麓で、手にしていた石板を投げつけて砕いた。20 モーセは彼らが作った子牛を取って火で焼き、粉々に砕いた。そして水面にまき散らし、それをイスラエル人に飲ませた。21 モーセはアロンに言った。「この民に大きな罪を犯したらすとは、彼らがあなたに何を犯したのですか」。22 アロンは答えた。「どうか怒らないでください。あなたもよく知っている通り、この民はすぐ悪いことをします。23 彼らは私に言いました。『私たちの前に行く神を作ってください。私たちをエジプトから連れ出したあのモーセがどうなったか、分からないからです』。24 そこで私は言いました。『金を身に着けている人は、それを外して私に渡しなさい』。そして

32:18 *または、「力強い行い」。

第32章

(ア) 出 40:20
申 5:22

(イ) 申 9:15

(ウ) 出 31:18
申 9:10

(エ) ネヘ 9:18
詩 106:19, 20
使徒 7:41

(オ) 申 9:16, 17

(カ) 申 7:25

(キ) 申 9:21

(ク) 出 15:24
出 16:2
出 17:2
申 9:7
申 31:27

(コ) 出 32:1
使徒 7:40

第2欄

(ク) ヨシ 24:15
王二 10:15

(イ) 民 25:5

(ウ) 民 25:11
申 13:6-9

(エ) 申 33:8, 9

(オ) 民 16:47
民 21:7
申 9:18

(カ) 出 20:23

(キ) 民 14:19

わたし私がそれを火に投げ入れると、あの子牛が出てきたのです。

25 モーセは、民が好き勝手に振る舞っているのを見た。アロンが民を好き勝手に振る舞わせ、民は敵対する者たちの前で恥をさらしていた。

26 モーセは宿営の門の所に立って、言った。「エホバの側にいるのは誰ですか。私の所に来なさい!」するとレビ族が皆モーセのもとに集まった。

27 モーセは彼らに言った。「イスラエルの神エホバはこう言いました。『各自、剣を帯びて、門から門まで宿営の至る所を回り、自分の兄弟、隣人、友人を殺しなさい』。28 レビ族はモーセが言った通りにし、その日約3000人の男性が殺された。29 モーセは言った。「今日、エホバへの奉仕のために自分を取り分けなさい。皆さんは自分の子や兄弟に向かっている。神は今日、皆さんに祝福を与えてくださいます」。

30 その翌日、モーセは民に言った。「皆さんは非常に大きな罪を犯しました。私は、皆さんの罪を償えるかどうかを確かめに今からエホバのもとに上っていきます。31 モーセはエホバのもとに戻って、こう言った。「この民は本当に大きな罪を犯しました。自分たちのために金の神を作ったのです! 32 ですが今、もしそのお気持ちがありましたら、彼らの罪をお許しください。そうでなければ、どうか私の

名前をあなたの書から消し去ってくだ
さい」。33 しかしエホバはモーセに
言った。「私に罪を犯した人の名前を
私の書から消し去る。34 行って、私
が話した所に民を連れていきなさい。
私の天使があなたの前に行く。私は
裁く時に、罪を犯した人たちを罰す
る」。35 エホバは、子牛を作ったこ
とで民に災厄をもたらした。アロンが
それを作ったのである。

33 エホバはモーセにさらに
言った。「エジプトから連れ
出した民と一緒にここから進んでいき
なさい。私がアブラハム、イサク、ヤコ
ブに誓って『あなたの子孫に与える』
と言った土地に向かうのだ。2 私は
あなたたちより先に天使を送り、カナ
ン人、アモリ人、ヘト人、ペリジ人、ヒビ
人、エブス人を追い払う。3 非常に
肥沃な土地に行きなさい。とはいえ私
はあなたたちと共には行かない。強
情な民だからであり、私が途中であな
たたちを根絶やしにすることのないた
めである」。

4 民はこの厳しい言葉を聞いて、嘆
き悲しむようになった。そして、誰も装
飾品を着けなかった。5 エホバは
モーセに言った。「イスラエル人にこ
う言いなさい。『あなたたちは強情な
民である。私は一瞬であなたたちのた
だ中を通して、根絶やしにすることもで
きる。それで、私があなたたちをどうす

第32章

(ア) フリ4:3
啓3:5
(イ) 出23:20
出33:2

第33章

(イ) 創12:7
創26:3
(ロ) 出23:20
出32:34
(ヨ) 申7:1,22
ヨシ24:11
(ヨ) 出3:8
申8:7-9
(イ) 出32:9
申9:6
使徒7:51
(イ) 出32:10
民16:21
(イ) 出34:9
申9:6
使徒7:51
(ロ) 民16:45

第2欄

(ア) 出18:25,26
民27:1-5
(イ) 出13:21
詩99:7
(イ) 民11:16,17
民12:5
(ロ) 出33:22,23
民12:8
申34:10
ヨハ1:18
ヨハ6:46
使徒7:38
(ヨ) 出17:9
出24:13
(イ) 民11:28
申1:38
ヨシ1:1
(イ) 詩25:4
詩27:11
詩86:11
詩119:33
イザ30:21

るかを考える間、装飾品を外したまま
にしなさい。6 それでイスラエル
人は、ホレブ山の時以降、装飾品を着
けなくなった。

7 モーセは宿営の外、宿営から離
れた所に自分の天幕を張り直し、そ
れを会見の天幕と呼んだ。エホバ
に何かを尋ねる人は皆、宿営の外に
あるその会見の天幕に行くのだった。

8 モーセがその天幕に向かう時には、
民は皆立ち上がり、自分の天幕の入
り口に立って、モーセが天幕に入るま
で後姿を見つめていた。9 モーセ
が天幕に入ると、雲の柱が下ってきて、
神がモーセと話す間、天幕の入り口
にとどまった。10 民は皆、雲の柱が
その天幕の入り口にとどまっているの
を見て、それぞれ自分の天幕の入り口
でひれ伏した。11 エホバは、人が
他の人に話すかのように、顔を合わせ
てモーセに話した。モーセが宿営に
戻る時には、ヌンの子で従者であるヨ
シュアが会見の天幕を離れなかった。

12 モーセはエホバに言った。「あ
なたは、『この民を連れていきなさい』
と私に言うておられますが、誰を私と
共に遣わすかを知らせてくださってい
ません。また、『私はあなたをよく知っ
ている。あなたは私の好意を得た』と
言われました。13 もし私があなた
の好意を得ているのでしたら、どうか、
あなたの道を私に知らせてください。

33:12 *直訳、「名前で」。

33:3 *直訳、「乳と蜜が流れる地」。

わたくしがあなたを知り、あなたの好意を得続けるためです。この国民があなたの民であることもご考慮ください。

14 神は言った。「私自身が一緒に行き、あなたが安心して住めるようにする」。**15** モーセは言った。「あなたご自身が一緒に行かれるのでなければ、私たちをここから進んでいかせな

いでください。**16** 私とあなたの民とがあなたの好意を得ていることはどのように明らかになるでしょうか。あなたが私たちと一緒に往くことによつてではありませんか。そうしてくだされば、私とあなたの民が地上の他のどの民とも違うことが分かります」。

17 エホバは続けてモーセに言った。「私はあなたが願うそのことも行う。あなたは私の好意を得、私はあなたをよく知っているからだ」。**18** モーセは言った。「どうか、あなたの栄光を見せてください」。**19** しかし神は言った。「私は、私がどれほど善いかをあなたに見せ、あなたの前でエホバという名を宣言する。私は、好意を示したい者に好意を示し、憐れみを示したい者に憐れみを示す」。**20** 加えてこう言った。「あなたは私の顔を見ることはできない。私を見て生きていられる人はいない」。

21 エホバはさらに言った。「さあ、私の近くに場所がある。その岩の上に立ちなさい。**22** 私の栄光が通り

第33章

(ア) 申9:26
(イ) 出13:21
出40:34
ヨシ1:5,17
イザ63:9
(ウ) ヨシ21:44
ヨシ23:1
(エ) 民14:13,14
(オ) 申4:34
サニ7:23
詩147:20
(カ) 出3:13
出6:3
出34:6
(キ) ロマ9:15

第2欄

(ア) ヨハ1:18

第34章

(イ) 申10:1
(ウ) 出32:19
申9:17
(エ) 申9:10
(オ) 出19:20
出24:12
(カ) 出19:12,13
(キ) 使徒7:38
(ク) 出6:3
出33:19
(ケ) ルカ6:36
(コ) 出22:27
代2:30:9
ネヘ9:17
詩86:15
ヨエ2:13
(セ) 民14:18
ペニ3:9
(ソ) エレ31:3
哀3:22
ミカ7:18
(タ) 詩31:5
ロマ2:2
(チ) ダニ9:4
(ニ) 詩103:12
イザ55:7
エフ4:32
ヨ一1:9
(ホ) 申32:35
ヨシ24:19
ロマ2:5
ペニ2:4
ユダ14,15

過ぎる際、私はあなたを岩の裂け目に入れ、私が通り過ぎるまで私の手あなたの盾となる。**23** その後私は自分の手をのけ、あなたは私の後ろを見る。しかし私の顔を見ることはできない」。

34 エホバはモーセに言った。「初めの物と同じような石板2枚を切り出さない。私はそれに、あなたが砕いた初めの石板にあった言葉を書く。**2** 朝のために用意をしない。あなたは朝、シナイ山に登り、山頂で私の前に立つ。**3** しかし、誰もあなたと一緒に登ってこないように。山のどこにも人がいてはならない。羊も牛もその山の前で草を食べていてはならない」。

4 モーセは初めの物と同じような石板2枚を切り出し、朝早く起きて、エホバが命じた通りシナイ山に登った。石板2枚を持っていた。**5** エホバが雲のうちに下ってきて、モーセと共にそこに立ち、エホバという名を宣言した。**6** エホバはモーセの前を通り過ぎつつ、こう宣言した。「エホバ、エホバ、憐れみ深く、思いやりがある神、すぐに怒らず、揺るぎない愛に満ち、常に信頼できる。**7** 揺るぎない愛を幾千代までも示し、過ちと違反と罪を許す。しかし、罪がある人を処罰しないことは決してなく、父の過ちに対する処

34:6 *または、「慈しみ」。*または、「愛ある親切」。△または、「真実を語る」。

罰を子や孫やひ孫に及ぼす。

8 モーセは急いで身をかがめてひれ伏した。9 そしてこう言った。「ああエホバ、もし今、私があなたの好意を得ていましたら、私たちは強情な民ですが、エホバ、どうか私たちの中にいて一緒に進んでください。私たちの過ちと罪を許し、私たちをあなたのものとして受け入れてください」。10 すると神は言った。「今、私は契約を結ぶ。私はあなたの民全ての前で驚くべきことを行う。それはこれまで世界中のどの国民の中でもなされたことがない。あなたの周りの民は皆、エホバが行うことを見る。私はあなたのために驚異的なことを行うのである。

11 私が今日命じることにご注意を払いなさい。私は、アモリ人、カナン人、ヘト人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人をあなたの前から追い払う。12 あなたが行く土地の住民と契約を結ぶことがないように気を付けなさい。それはあなたたちの間でわなとなりかねない。13 彼らの祭壇を打ち壊し、聖柱を打ち砕き、聖木を切り倒すべきである。14 ほかの神にひれ伏してはならない。エホバは全くの専心を要求する神なのである。15 その土地の住民と契約を結ばないように気を付けなさい。彼らが自分たちの

34:10 *または、「造られ」。34:13 *用語集参照。34:14 *または、「対抗するものを容認しない」。*または、「という名前である」。

第34章

(例) 出 20:5
申 30:19
サ一 15:2
(例) 出 32:9
出 33:3
(例) 出 33:14
(例) 民 14:19
(例) サ二 7:23
詩 147:19, 20
(例) 出 33:16
申 10:21
(例) 出 19:5, 6
申 12:28
(例) 出 3:8
出 33:2
申 7:1
(例) 申 7:2
(例) 出 23:32, 33
(例) 出 23:24
申 12:3
(例) 出 20:3
コ一 10:14
コ一 5:21
(例) ヨシ 24:19

第2欄

(例) コ一 10:20
(例) 民 25:2
コ二 6:14
(例) エズ 9:2
(例) 申 7:4
申 31:16
裁 2:17
裁 8:33
王一 11:2
ネヘ 13:26
詩 106:28
(例) 出 32:8
レビ 19:4
(例) レビ 23:6
(例) 出 23:15
(例) 出 13:2
ルカ 2:23
(例) 出 22:30

(例) 出 13:15
民 18:15, 16
(例) 申 5:12
(例) 出 23:16
レビ 23:34

神々を崇拝するという不忠実なことをして犠牲を捧げる時、あなたは招かれて犠牲の一部を食べることになる。

16 あなたはきつと息子を彼らの娘と結婚させることになり、その娘は自分の神々を崇拝するという不忠実なことをし、あなたの息子にもその神々を崇拝するという不忠実なことをさせる。

17 鑄物の神々を作ってはならない。

18 無酵母パンの祭りを行いなさい。私が命じたと通り、無酵母パンを食べる。アピブの月の決められた時に7日間そうする。エジプトを出たのがアピブの月だからである。

19 長男は全て私のものである。牛や羊などの家畜に生まれる最初の雄でもある。20 ロバの初子については、代わりに羊を捧げなさい。しかし、もしそうしないのであれば、そのロバの首を折らなければならない。長男は全て買い戻すべきである。誰も、何も持たずに私の前に出てはならない。

21 6日間仕事をするが、7日目は休む。耕す時や収穫の時であっても休む。

22 小麦の収穫の初物を捧げて7週の祭りをを行い、年の変わり目に取り入れの祭を行う。

23 年に3回、全ての男性は真の主

34:15 *または、「と売春をして」。34:16 *または、「と売春をし」。*または、「と売春をさせる」。34:18 *付録B15参照。34:21 *または、「安息日を守る」。34:22 *仮小屋(幕屋)の祭りとしても知られている。

エホバ、イスラエルの神の前に出る。

24 私はあなたの前からさまざまな国民を追い払い、あなたの領土を広くする。年に3回あなたがエホバの顔を見に行っている間は、誰もあなたの土地を取ろうとはしない。

25 私への犠牲の血を、パン種が入った物と一緒に捧げてはならない。過ぎ越しの祭りの犠牲を朝まで残しておいてはならない。

26 土地の初物のうち最も良い物をあなたの神エホバの家に持つてくるべきである。

子ヤギをその母の乳で煮てはならない。

27 エホバは続けてモーセに言った。「これらの言葉を書き記しなさい。

私は、これらの言葉に基づいて、あなたおよびイスラエルと契約を結ぶからである」。28 モーセは40日間ずっとエホバと共にいた。パンを食べず、水も飲まなかった。神は、契約の言葉、十戒を石板に書いた。

29 モーセはシナイ山を下りた。証しの石板2枚を持っていた。山から下りた時、神と話したために自分の顔の肌が光を放っていることを知らなかった。30 アロンとイスラエル人は皆、モーセを見ると、顔の肌が光を放っていたので、モーセに近づくことを恐れた。

34:28 *直訳、「40日40夜」。*直訳、「十の言葉」。デカローグとも呼ばれる。

第34章

(例) 申 16:16

(例) 出 34:11

(例) 出 23:18

(例) 出 12:10

民 9:12

(例) 民 18:8,12

申 26:2

格 3:9

(例) 出 23:19

申 14:21

(例) 出 24:4

申 31:9,11

(例) 出 24:8

申 4:13

(例) 申 9:18

(例) 出 31:18

申 10:2

(例) 出 32:15

(例) コ二 3:7

第2欄

(例) 出 24:3

申 1:3

(例) コ二 3:13

(例) コ二 3:16

(例) 申 27:10

(例) コ二 3:7,13

第35章

(例) 出 34:32

(例) 出 20:9,10

レビ 23:3

(例) 出 31:14,15

民 15:32,35

(例) 出 25:2-7

出 35:29

(例) コ二 8:12

コ二 9:7

(例) 出 26:7

出 36:8

31 しかしモーセに呼ばれたので、アロンと民の長たちは皆、彼のもとに来了。モーセは彼らに話した。32 その後、イスラエル人も皆モーセに近づいた。モーセは、エホバがシナイ山で与えた命令全てを伝えた。33 モーセは話し終えると、顔にベールを掛けるのだった。34 しかし、エホバの前に行き話す時にはベールを外した。それから出ていって、与えられた命令をイスラエル人に告げた。35 イスラエル人はモーセの顔の肌が光を放っているのを見た。モーセは、入って行って神と話すまで再び顔にベールを掛けた。

35 その後モーセはイスラエル人の民全体を集めて、言った。「エホバは以下のことを行うよう命じました。2 6日間仕事をしないで、7日目には皆さんにとって聖なるもので、安息日、エホバのための完全な休みとなります。その日に仕事を人は必ず死刑にされます。3 安息日には、住まいで火を付けてはなりません」。

4 モーセはイスラエル人の民全体に言った。「エホバはこう命じました。5 『エホバのための寄進物を準備しなさい。心から進んで行う人は皆、エホバへの寄進物を持つてきなさい。金、銀、銅、6 青糸、紫の羊毛、絳色の糸、上等の亜麻糸、ヤギの毛、7 赤く染めた雄羊の皮、アザラシの皮、ア

カシア材^{ざい}、**8** 火をともしための油^{あぶら}、
 注ぎ油^{そそ}と香り高い香のためのパルサ^{かお たか こう}ム、
9 エフォドと胸掛けに付けるしま^めめ^{いし}のうなどの石である。

10 技能^{ぎのう}を持つ人は皆^{みな}、来て、エ
 ホバが命じた物^{もの}全て^{すべて}を作りなさい。

11 幕屋^{まくや}、その布と覆い^{おほ}、留め金^{とがね}と木
 枠^き、横木^{まき}、柱^{はしら}と受け台^{うけだい}、**12** 箱^{はこ}とその
 棒^{ぼう}、ふた^{ふた}、間仕切り^{まじきり}の幕^{まく}、**13** 食卓^{しょく}
 とその棒^{ぼう}と全ての器具^きと供え^{そな}のパン^{ぱん}、

14 明かりのためのランプ^{あんどん}台^{だい}、その器
 具^ぐとランプ^{らんぷ}と油^{あぶら}、**15** 香の祭壇^{かいだん}とその
 棒^{ぼう}、注ぎ油^{そそ}と香り高い香^{かお}、幕屋^{まくや}の入り
 口^{ぐち}用の幕^{まく}、**16** 全焼^{ぜんしょう}の捧げ物^{ささげもの}の祭壇^{かいだん}

とその銅^{どう}の網^{あみ}、その棒^{ぼう}と全ての器具^き、
 水盤^{すいばん}とその台^{だい}、**17** 庭^{にわ}の横幕^{よこまく}、その柱^{はしら}
 と受け台^{うけだい}、庭^{にわ}の入り口^{ぐち}の幕^{まく}、**18** 幕屋^{まくや}
 の杭^{くい}と庭^{にわ}の杭^{くい}、その網^{あみ}、**19** 聖なる所^{せいなるところ}

での奉仕^{ほうし}のためのきれいに織り合^あわ
 された服^{ふく}、祭司^{さいし}アロン^{あろん}のための聖なる
 服^{ふく}、アロンの子^こたちが祭司^{さいし}として仕え
 るための服^{ふく}である。』

20 イスラエル^{いすらい}人の民^{たみ}全員^{ぜんいん}はモーセ^{モー}
 の前^{まえ}から出ていった。**21** そして、心
 から応じた人^{おう}たち^{ひと}、気持ちが高^{たか}まった
 人^{ひと}たちが皆^{みな}、会見^{かいけん}の天幕^{てんまく}やそのため
 の奉仕^{ほうし}や聖なる服^{せいなるふく}に使^{つか}ってもらうた
 めに、エホバへの寄進物^{きしんぶつ}を持^もてき
 た。**22** 男性^{だんせい}も女性^{じょせい}も、心^{こころ}から進^{すす}
 んで行^いく人^{ひと}たちが次々^{つぎつぎ}にや^きって来た。
 プローチ^{みみわ}、耳輪^わ、輪^{りん}などの装飾品^{そうしよくひん}、あらゆ
 る金^{きん}の物品^{ぶつぽん}を持^もてきた。皆^{みな}、金^{きん}の捧^{ささ}

第35章

例出 25:3,6

例出 28:9

出 39:14

例出 28:15

例出 31:6

出 36:1

例出 25:10

例出 25:13

例出 25:17

例出 26:31

例出 25:23

例出 25:30

レビ 24:5,6

例出 25:31

例出 27:20

例出 30:1

出 37:25

出 40:5

例出 30:34,35

例出 27:1

例出 30:18

出 38:8

例出 27:9

例出 27:19

例出 31:6,10

出 39:33,41

例出 39:1

例出 25:2

出 36:2

コ二 8:12

コ二 9:7

第2欄

例出 38:24

例出 28:3

出 31:6

出 36:8

例出 28:15,28

出 39:15,21

例出 30:23-25

例出 30:34,35

例出 36:5

コ二 9:7

例出 31:2-6

げ物^{もの}をエホバに差^さし出^だした。**23** 青
 糸^{いと}、紫^{むらさき}の羊毛^{ようもう}、緋色^{ひいろ}の糸^{いと}、上等^{じょうとう}の亜
 麻糸^{まいと}、ヤギの毛^け、赤^{あか}く染^そめた雄羊^{おうつじ}の皮^{かわ}、
 アザラシ^{かわ}の皮^{ひと}があ^{みな}った人^{ひと}は皆^{みな}それ
 を持^もてきた。**24** 銀^{ぎん}や銅^{どう}を寄進^{きしん}する
 人^{ひと}は皆^{みな}それ^{しんぶつ}をエホバへの寄進物^{きしんぶつ}とし
 て持^もてきて、幕屋^{まくや}を造^{つく}るのに使^{つか}える
 アカシア材^{ざい}があ^{ひと}った人^{ひと}は皆^{みな}それ^もを持^も
 てきた。

25 技能^{ぎのう}を持つ女性^{じょせい}は皆^{みな}、手^てで糸^{いと}を
 紡^{つむ}ぎ、青糸^{あおい}、紫^{むらさき}の羊毛^{ようもう}、緋色^{ひいろ}の糸^{いと}、上
 等^{じょうとう}の亜麻糸^{あま}を持^もてきた。**26** 心^{こころ}か
 ら応^{おう}じた技能^{ぎのう}を持つ女性^{じょせい}は皆^{みな}、ヤギ^{やぎ}
 の毛^けを紡^{つむ}いだ。

27 長^{ちよう}たちはエフォドと胸掛け^{むねかけ}に付
 けるしまめ^{いし}のうなどの石^{いし}を持^もてきた。
28 パルサム^{あぶら}と油^あも持^もてきた。明^あか
 りや注ぎ油^{そそ}や香り高い香^{かお}に使う^{かう}もので
 ある。**29** 心^{こころ}から捧^{ささ}げる全^{ぜん}ての男^{だんな}女^{じよ}
 が、エホバがモーセ^{モー}を通して命^{いのち}じた仕
 事^{こと}のために何^{なに}かを持^もてきた。イスラ
 エル人^{いすらい}はそれ^じをエホバへの自^じ発^{はつ}的な
 捧^{ささ}げ物^{もの}として持^もてきた。

30 モーセ^{モー}はイスラエル人^{いすらい}に言^いっ
 た。「見^みなさい、エホバはユダ族^{そく}のフ
 ルの子^こであるウリ^{えら}の子^こベザレ^はルを
 選^{えら}びました。**31** そして彼^{かれ}に神^{かみ}の聖^{せい}
 なる力^{ちから}を満^みたし、あらゆる工芸^{こうげい}に関
 する知恵^{ちえ}と理解^{りかい}と知識^{ちしき}を与^{あた}えました。
32 デザイン^{さくせい}の作成^{さん}のため、金^{きん}、銀^{ぎん}、銅^{どう}
 の加工^{かこう}、**33** 石^{いし}のカット^ことはめ込^こみ、
 あらゆる木工^{もっこう}芸品^{げいひん}の製^{せい}作^{さく}のためです。

35:8 *用語集の「油を注ぐ」参照。

35:22 *または、「振揺の捧げ物」。

34 神は彼に、教える能力を与えまし
た。ダン族のアヒサマクの子オホリア
ブにもそうしました。35 彼らに技能
を授け、工芸、刺しゅう、青糸や紫の羊
毛や緋色の糸や上等の亜麻糸を使っ
た織物作り、機織りなど、さまざまな仕
事ができるようにしました。彼らはあ
らゆる仕事をを行い、あらゆるデザイン
を作成します。

36 ベザレルは、オホリアブと技
能を持つ全ての人と一緒に
働きます。エホバから知恵と理解を与
えられた人たちで、聖なる奉仕のさま
ざまな仕事をエホバが命じた通りに
行う方法を知っています。

2 モーセは、ベザレル、オホリアブ、
エホバが心に知恵を入れた技能を持
つ人全員を呼んだ。全員、心から応
じて自発的に働こうとする人たちだっ
た。3 その人たちは、聖なる奉仕の
仕事のためにイスラエル人が持ってきた
全ての寄進物をモーセから受け
取った。それでも人々は引き続き、毎
朝モーセの所に自発的な捧げ物を
持ってきた。

4 聖なる仕事が始まったが、技能
を持つ人たちが次々にやって来て、

5 モーセに言った。「民は、エホバが
命じた仕事に必要な分よりはるかに
多くの物を持っています」。6 そ
のためモーセは宿営中に次の発表を
するように命じた。「男性も女性も、も
う聖なる寄進物を持ってくる必要はあ

第35章

[例] 出 36:1

第36章

[例] 出 25:9

出 31:6

[例] 出 28:3

出 35:10

[例] 出 35:21,26

第2欄

[例] 出 31:6

[例] 出 25:9

出 39:32

ヘブ9:9

[例] 出 26:1-6

[例] 出 26:7-11

りません」。それで民は持つてくるのを
やめた。7 資材は全ての仕事をする
のに十分、いや十分以上だった。

8 技能を持つ人たちは幕屋を10枚
の布で造った。その布は、上等の亜麻
のより糸、青糸、紫の羊毛、緋色の糸
で作られ、ケルブの刺しゅうがされた。

9 各布の長さは12.5メートル、幅は
1.8メートルで、布は全て同じ寸法だっ
た。10 ベザレルは5枚の布をつな
ぎ合わせ、他の5枚の布もつなぎ合わ
せた。11 それから、5枚目の布の端
に青糸の輪を作ってつなぎ目とし、そ
こにつなげるようにもう一方の5枚目
の布の端も同じようにした。12 一
方に50の輪、他方にも50の輪を作っ
てつなげるようにし、互いを向き合わ
せた。13 最後に、金の留め金を50
個作り、その留め金で布をつなぎ、1つ
の幕屋を造った。

14 さらに、幕屋の上に掛けるため
にヤギの毛で布を作った。11枚の
布を作った。15 各布の長さは13.4
メートル、幅は1.8メートルで、11枚の
布は同じ寸法だった。16 5枚の布
をつなぎ合わせ、他の6枚の布もつな
ぎ合わせた。17 次に、5枚目の布の
端に50の輪を作ってつなぎ目とし、そ
こにつなげるようにもう一方の布の端
にも50の輪を作った。18 そして銅
の留め金を50個作り、布をつないで1
つにした。

19 その天幕のために、赤く染めた

おひつじ かわ おお つく うえ か
雄羊の皮で覆いを作り、その上に掛け
る覆いをアザラシの皮で作った。

20 幕屋のために、真っすぐに立つ
木枠をアカシア材で作った。**21** 各
木枠は高さが450センチ、幅が67セ
ンチだった。**22** 各木枠には2つの
ほぞが並んで付いた。幕屋の全ての
木枠をそのように作った。**23** 幕屋
の南側の面のために木枠を20作った。
24 20の木枠の下に置く銀の受け台
を40作り、各木枠に付いている2つの
ほぞの下に2つの受け台を置いた。
25 幕屋のもう一方の面、北側の面の
ためにも、木枠を20作り、**26** 銀の
受け台も40作った。各木枠の下に2
つの受け台である。

27 また、西側、つまり幕屋の後部
のために木枠を6つ作った。**28** そ
して、幕屋後部の両方の隅の支えと
して木枠を2つ作った。**29** この木枠
は、離して立てた2枚の板を上部の第
1の輪の所でつないだ。2つの隅の支
えのどちらもそのようにした。**30** 合
わせて8つの木枠と16の銀の受け台
となった。各木枠の下に2つの受け台
である。

31 アカシア材で横木を作った。幕
屋の一方の側面の木枠のために5本、
32 もう一方の側面の木枠のために
5本、西側つまり後部の木枠のために
5本である。**33** 真ん中の横木は、木

第36章

(イ) 出 26:14

(イ) 出 26:15-18

(イ) 出 25:10,23

出 27:1

出 30:5

出 36:36

(イ) 出 26:19-21

(イ) 出 26:22-25

(イ) 出 26:26-28

第2欄

(イ) 出 26:29

(イ) 出 40:21

ヘブ 10:19,20

(イ) 創 3:24

(イ) 出 26:31,32

(イ) 出 26:36,37

第37章

(イ) 出 31:2-5

出 38:22

(イ) 出 40:3

民 10:33

(イ) 出 25:10-15

(イ) ヘブ 9:4

(イ) 代二 5:9

(イ) ヨシ 3:8

(イ) レビ 16:2,14

代一 28:11

(イ) 出 25:17-20

(イ) 創 3:24

わく はんぶん たか ところ 端から 端まで
枠の半分の高さの所に端から端まで
わた 渡すものだった。**34** 木枠に金をか
ぶせ、木枠に付ける金の輪を作って横
木を通してのようにし、横木にも金をか
ぶせた。

35 青糸、紫の羊毛、緋色の糸、上
等の亜麻のより糸で幕を作り、ケルブ
の刺しゅうをした。**36** 幕のためにア
カシアの柱を4本作り、金をかぶせた。
金の掛け金具も作り、柱のために銀の
受け台を4つ鑄造した。**37** さらに、
天幕の入り口用の幕を、青糸、紫の
羊毛、緋色の糸、上等の亜麻のより糸
を織り合わせて作った。**38** 幕のた
めに5本の柱と掛け金具を作った。柱
頭と連結金具に金をかぶせたが、5つ
の受け台は銅だった。

37 ベザレルはアカシア材で箱
を作った。縦は110センチ、
横は67センチ、高さは67センチだっ
た。**2** 箱は内側も外側も純金をか
ぶせ、縁周りに金の飾りを付けた。
3 それから、金の輪を4つ鑄造し、箱
の4つの脚の上方に付けた。片側に
2つ、反対側に2つである。**4** アカ
シア材で棒を2本作り、金をかぶせた。
5 箱を運べるようにその棒を箱の両
側の輪に通した。

6 純金のふたを作った。縦は110
センチ、横は67センチだった。**7** 金
のケルブを2つ鍛造した。ふたの両

36:38 *または、「輪」、「帯」。つなぎ合わせるた
めのもの。

36:22 *もしかすると、「は2つの直立材をつない
だものだった」。

はし つく (例) いっぱう いっぱう
端に作った。8 一方のケルブを一方
はし いっぱう いっぱう
の端、もう一方のケルブをもう一方
はし りょうはし つく
の端に、ふたの両端にケルブを作った。

9 2つのケルブは翼を上方に、ふた
おお ひろ (例) たが む
に覆いかぶさるように広げ、互いに向
あ かお ほう む
かい合っていた。顔はふたの方を向
(例)
いていた。

10 アカシア材で食卓を作った。縦
はし よこ たか
は90センチ、横は45センチ、高さは
67センチだった。11 純金をかぶせ、
縁まわ きん かざ つ
緑周りに金の飾りをつけた。12 食
たく そくめん はば いた
卓の側面に幅7センチの板をぐるり
は ふちまわ きん かざ つ
と張り、その縁周りに金の飾りを付
きん わ ちゅうどう しよくたく
けた。13 金の輪を4つ鑄造し、食卓
よすみ 4つの脚の付け根に取り付け
た。14 その輪は側面の板の近くに
つき ぼう とお しよくたく ほこ
付き、そこに棒を通して食卓を運べた。
15 食卓を運ぶ棒はアカシア材で作
しよくたく ほこ ぼう ざい つく
り、金をかぶせた。16 食卓に置く器
ぐ じゆんきん つく さら さかづき の
具を純金で作った。皿と杯、飲み物
ささ もの そも はち みず さ
の捧げ物を注ぐための鉢と水差しで
(例)
ある。

17 純金のランプ台を鍛造した。そ
だい ざい みき ふし はな あいだ つ め
の台座、幹、がく、節、花の間に接ぎ目
(例)
はなかった。18 6本の枝が幹から
で ひだり ぼん みぎ ぼん
出ていた。左に3本、右に3本だった。
ひだりがわ えだ
19 左側のそれぞれの枝に、アーモン
はな つ
ドの花のようながくが3つ付き、そ
れぞれのがくの下に節と花が来てい
みぎがわ おな だい みき
た。右側も同じだった。ランプ台の幹
で ぼん えだ
から出る6本の枝はそうようになって
いた。20 ランプ台の幹には、アー
はな つ
モンドの花のようながくが4つ付き、そ

第37章
(例) 出 40:20

(例) ヘブ 9:5

(例) サー 4:4
詩 80:1

(例) 出 40:4

(例) 出 25:23-28

(例) 出 25:29

(例) 出 40:24
レビ 24:4
代二 13:11

(例) 出 25:31-39

第2欄
(例) 民 8:2

(例) 出 30:7
出 40:5
詩 141:2
啓 8:3

(例) 出 30:1-5

(例) 出 30:25,33
出 40:9

(例) 出 30:34,35
詩 141:2

第38章
(例) 出 27:1-8
出 40:10

(例) 代二 1:5

れぞれのがくの下に節と花が来てい
ふし ふし みき で ぼん えだ
た。21 節は、幹から出る2本の枝の
した つぎ ぼん えだ した
下に1つ、次の2本の枝の下に1つ、さ
らに次の2本の枝の下に1つあった。
ぼん えだ だい みき で
6本の枝がランプ台の幹から出てい
たのである。22 ランプ台は、節も枝
も、その全体に接ぎ目がなく、純金を
ぜんたい づ め じゆんきん
鍛造したものだった。23 ランプ7つ
たんぞう
と芯つまみと燃えかす入れを純金で
しん * も い じゆんきん
作った。24 ランプ台とその器具全
つく だい ふし
てを34キロの純金で作った。
じゆんきん つく

25 アカシア材で香の祭壇を作っ
(例) たて よこ
た。縦45センチ、横45センチの四角
かたち たか
い形で、高さは90センチだった。祭壇
つ の あいだ つ め (例)
とその角の間に接ぎ目はなかった。
さいだん じょうめん ぜんそくめん つ の じゆんきん
26 祭壇の上面、全側面、角に純金を
かぶせ、縁まわ きん かざ つ
かぶせ、縁周りに金の飾りをつけた。
きん わ つく
27 金の輪を2つ作り、2つの向かい
あ そくめん たか した つ
合う側面それぞれに、飾りの下に付け
わ ぼう とお さいだん ほこ
た。その輪に棒を通して祭壇を運べ
た。28 アカシア材で棒を2本作り、
きん ざい こそ あがら* (例)
金をかぶせた。29 聖なる注ぎ油と
じゆんりょう かお たか こう つく (例) じようん
純良で香り高い香も作った。上手に
ちようこう #
調合されたものだった。

38 全焼の捧げ物の祭壇をアカ
ぜんしょう ささ もの さいだん
シア材で作った。縦2.2メー
よこ し かく かたち たて
トル、横2.2メートルの四角い形で、高
さは1.3メートルだった。2 四隅に角
つく つ の さいだん あいだ つ め
を作った。角と祭壇の間に接ぎ目は
さいだん どう (例)
なく、祭壇に銅をかぶせた。3 それ

37:23 *または、「火箸」。37:29 *用語集の
「油を注ぐ」参照。*または、「調香師が作った物
のよう」。

から、祭壇の全ての器具、すなわちバケツ、シャベル、鉢、肉刺し、炭入れを作った。全ての器具を銅で作った。

4 祭壇のために銅で格子状の網も作り、祭壇のへりより下、真ん中の辺りに付けた。**5** 輪を4つ鑄造し、棒を通すために銅の網の近くの四隅に付けた。**6** アカシア材で棒を2本作り、銅をかぶせた。**7** 祭壇を運べるよう、その棒を祭壇の両側の輪に差し込んだ。祭壇は、中が空洞になるよう厚板で箱型に作った。

8 水盤とその台を銅で作った。銅は、会見の天幕の入り口で奉仕するために組織されていた女性たちの鏡を使った。

9 また、庭を設けた。庭の南側のために、上等の亜麻のより糸で45メートルの横幕を作った。**10** 柱が20本、受け台が20あり、それらは銅だった。柱に付ける掛け金具と連結金具は銀だった。**11** 北側にも45メートルの横幕があり、20本の柱と20の受け台は銅、柱に付ける掛け金具と連結金具は銀だった。**12** 西側の横幕は22メートルで、柱は10本、受け台は10あった。柱に付ける掛け金具と連結金具は銀だった。**13** 日の出の方向の東側でも、庭の幅は22メートルで、**14** 入り口の片側に、6.7メートルの横幕、3本の柱と3つの受け台があ

第38章

出 30:18
レビ 8:11
王一 7:23

イ 出 40:8

例 出 27:9-15

第2欄

例 出 27:17

イ 出 27:16

例 出 27:19

例 出 25:16

出 31:18
民 17:7

例 出 6:23

民 4:28
代一 6:3

例 民 3:6

民 46:47

例 出 31:2-5

出 35:30

出 36:1

出 37:1

代二 1:5

例 出 31:6

出 35:34

出 36:2

り、**15** 庭の入り口のもう片側にも、6.7メートルの横幕、3本の柱と3つの受け台があった。**16** 庭の周囲の横幕は全て上等の亜麻のより糸でできていた。**17** 柱の受け台は銅、柱に付ける掛け金具と連結金具は銀で、柱頭に銀がかぶせられ、庭の全ての柱のために銀の結合金具があった。

18 庭の入り口の幕は、青糸、紫の羊毛、緋色の糸、上等の亜麻のより糸で織られ、長さは8.9メートル、高さは庭の横幕と同じ2.2メートルだった。**19** 4本の柱と4つの受け台は銅、掛け金具と連結金具は銀で、柱頭に銀がかぶせられていた。**20** 幕屋の杭と庭の周囲の杭は全て銅だった。

21 幕屋すなわち証しの幕屋の資材の目録は以下の通りである。モーセが命令し、祭司アロンの子イタマルの指示の下で、レビ族が目録作成を担当した。**22** ユダ族のフルの子であるウリの子ベザレルは、エホバがモーセに命じた全ての事柄を行った。**23** ダン族のアヒサマクの子オホリアが彼と一緒にいて、工芸や刺しゅうを行い、青糸や紫の羊毛や緋色の糸や上等の亜麻糸で織物作りをした。

24 聖なる場所の全ての仕事に使用された金は振揺の捧げ物の金で、聖なる標準重りで1トンだった。**25** 民の登録された人たちが持ってきた銀は、聖なる標準重りで3.4トン余りだった。

38:24 *または、「聖なる場所の標準重り」。

38:8 *よく磨かれた金属の鏡のこと。**38:10-12, 17, 19** *または、「輪」、「帯」。つなぎ合わせるためのもの。

例 出 35:22

た。26 20歳以上の登録された人は60万3550人で、全員が聖なる標準重りで銀5.7グラムを持ってきた。

27 聖なる場所の受け台と幕の受け台の鑄造に銀3.4トンが使われた。100の受け台で3.4トン、1つの受け台に34キロだった。28 20キロの銀で、柱に付ける掛け金具を作り、柱頭を覆い、互いをつないだ。

29 捧げ物の銅は2.4トンだった。30 これを使って、会見の天幕の入り口の受け台、銅の祭壇と銅の網、祭壇の全ての器具を作り、31 庭の周囲の受け台、庭の入り口の受け台、幕屋の全ての杭、庭の周囲の全ての杭も作った。

39 技能を持つ人たちは、青糸と紫の羊毛と緋色の糸で、聖なる場所での奉仕のためのきれいに織り合わされた服を作った。アロンのための聖なる服を作った。エホバがモーセに命じた通りである。

2 ベザレルは、金、青糸、紫の羊毛、緋色の糸、上等の亜麻のより糸でエフォドを作った。3 技能を持つ人たちが金の板を打ち延ばして薄くし、ベザレルがそれを切って糸にし、青糸、紫の羊毛、緋色の糸、上等の亜麻糸と一緒に使って、刺しゅう布を作った。4 エフォドには肩ひもがあり、エフォドの2つの上端でつながれた。5 エフォドがずれないように結

38:29 *または、「振揺の捧げ物」。

第38章

(例) 出 12:37
民 1:45,46

(例) 出 30:15

(例) 出 26:19-21
出 26:25,32

(例) 出 27:19

第39章

(例) 出 35:23

(例) 出 28:4,5
出 29:5
出 35:10,19

(例) 出 28:6-8
レビ 8:7

第2欄

(例) 出 29:5

(例) 出 28:9,10

(例) 出 28:12

(例) レビ 8:8

(例) 出 28:15-21

ぶ布帯も付いていた。それは同じ素材で、つまり金、青糸、紫の羊毛、緋色の糸、上等の亜麻のより糸で作られた。エホバがモーセに命じた通りである。

6 2つのしまめのうの金の台にはめ込んだ。しまめのうには、印章を彫るときのように、イスラエルの子たちの名前を彫った。7 それらはイスラエルの子たちを思い起こさせる石で、ベザレルはそれをエフォドの肩ひもに付けた。エホバがモーセに命じた通りである。8 胸掛けをエフォドと同じように、刺しゅうの技術を使って、金、青糸、紫の羊毛、緋色の糸、上等の亜麻のより糸で作った。9 胸掛けは二つ折りで、真四角だった。縦も横も22センチである。10 技能を持つ人たちはそれに4列の石を取り付けた。1列目はルビー、トパーズ、エメラルド、11 2列目は、トルコ石、サファイア、碧玉、12 3列目は、レシエム石、めのう、紫水晶、13 4列目は、かんらん石、しまめのう、ひすいだった。これらは金の台にはめ込まれていた。14 石はイスラエルの12人の子の名前に対応した。印章に彫るときのように名前を彫った。それぞれの名前が12部族の1つを表した。

15 胸掛けのために、より合わせた鎖を作った。それは縄のような純金の

39:5 *または、「腰帯」。39:12 *どんな宝石が分かっている。もしかすると、琥珀、ヒヤシンス、オパール、トルマリン。

鎖^{くさり}だった。16 金^{きん}の台^{だい}2つと金^{きん}の輪^わ2つを作り、2つの輪^わを胸^{むね}掛けの2つの隅^{すみ}に付けた。17 それから、2本の金^{きん}の縄^{なわ}を胸^{むね}掛けの隅^{すみ}にある2つの輪^わに通^{とお}した。18 2本の縄^{なわ}の2つの端^{はし}を2つの台^{だい}に通^{とお}し、それらをエフォドの前^{ぜん}面^{めん}の肩^{かた}ひもの所^{ところ}に付けた。19 次に、金^{きん}の輪^わを2つ作り、胸^{むね}掛けの2つの隅^{すみ}、エフォドに接^{せつ}する面^{めん}の下^{した}の端^{はし}に付けた。20 金^{きん}の輪^わをさらに2つ作り、エフォドの表側^{おもてがわ}、2本の肩^{かた}ひもの下^{した}、エフォドの布帯^{ぬのおび}の上^{うえ}、つなぎ目^めの近く^{ちか}に付けた。21 胸^{むね}掛けの輪^わとエフォドの輪^わを青^{あお}ひもでつないで、胸^{むね}掛けを布帯^{ぬのおび}より上に固定^{こてい}し、エフォドからずれないようにした。エホバがモーセに命^{めい}じた通りである。

22 ベザレはエフォドの下^{した}に着^きる袖^{そで}なしの上着^{うわぎ}を作^{つく}った。青^{あおい}糸^{いと}だけで織^おった。23 頭^{かぶ}を通^{とお}す穴^{あな}を袖^{そで}なしの上着^{うわぎ}の真^ま中^{なか}に開^あけて、よろいの首^{くび}まわりのようにした。穴^{あな}の周囲^{しゅうい}を縁^{ふち}取りして、裂^さけないようにしたのである。24 技能^{ぎのう}を持つ人^{ひと}たちは、青^{あおい}糸^{いと}と紫^{むらさき}の羊毛^{ようもう}と緋^{ひいろ}色の糸^{いと}をより合わせてザクロの飾^{かざ}りを作り、袖^{そで}なしの上着^{うわぎ}の裾^{すそ}に付けた。25 純金^{じゆんきん}の鈴^{すず}を作り、袖^{そで}なしの上着^{うわぎ}の裾^{すそ}まわりの間に、ザクロの飾^{かざ}りの間^{あいだ}に付けた。26 奉仕^{ほうし}の時^{とき}に着^きる上着^{うわぎ}の裾^{すそ}まわりの鈴^{すず}とザクロの飾^{かざ}りを交互^{こうご}に付けた。エホバがモーセに命^{めい}じた通りである。

39:20, 21 *または、「腰帶」。

第39章

(例) 出 28:22-25

(例) 出 28:26-28

(例) 出 28:31-35

第2欄

(例) 出 28:39, 40

(例) 出 28:4

(例) 出 29:8, 9

(例) 出 28:42

(例) 出 28:36, 37
レビ 8:9

(例) 出 25:40
ヘブ 8:5

(例) 出 36:8

(例) 出 36:14

(例) 出 36:18

(例) 出 36:20

(例) 出 36:31

(例) 出 36:24

(例) 出 36:19

(例) 出 36:35

(例) 出 37:1, 4

(例) 出 37:6

(例) 出 37:10, 16

(例) 出 37:17, 23

(例) 出 25:38

(例) 出 35:27, 28

(例) 出 37:25

(例) 出 37:29

(例) 出 30:34, 35

(例) 出 36:37

(例) 出 38:1, 4

27 アロンとその子^こたちのために上等^{じょうとう}の亜麻糸^{あまいと}で長い服^{ながい}を織^おった。28 上等^{じょうとう}の亜麻糸^{あまいと}でターバンと美しい頭覆^{あたまおほい}い、上等^{じょうとう}の亜麻糸^{あまいと}で亜麻^{あま}のものも引きを作り、29 上等^{じょうとう}の亜麻糸^{あまいと}より糸^{いと}、青^{あおい}糸^{いと}、紫^{むらさき}の羊毛^{ようもう}、緋^{ひいろ}色の糸^{いと}を織^おり合わせて飾^{かざ}り帯^{おび}を作^{つく}った。エホバがモーセに命^{めい}じた通りである。

30 輝^{かがや}く板^{いた}、献^{けん}じられたこと^{こと}の聖^{せい}なる印^{しるし}を純金^{じゆんきん}で作^{つく}り、印章^{いんしょう}を彫^ほるときのように、それに、「神聖^{しんせい}さはエホバのもの」と刻^{きざ}み込^こんだ。31 それに青^{あおい}糸^{いと}のひもを付けて、ターバンの上^{うへ}に留^{とど}めた。エホバがモーセに命^{めい}じた通りである。

32 こうして、会見^{かいけん}の天幕^{てんまく}、幕屋^{まくや}のための仕事^{しごと}は全て^{すべ}完了^{かんりょう}した。イスラエル人^{じん}はエホバがモーセに命^{めい}じたことを全て^{すべ}おこな^{おこな}った。まさにその通り^{とお}にした。

33 それから、幕屋^{まくや}を、天幕^{てんまく}とその全て^{すべ}の備^び品^{ひん}をモーセの所^{ところ}に持^もってき^きた。留^{とど}め金^{きん}、木^き柱^{ちゆう}、横^{よこ}木^ぎと柱^{ちゆう}と受け^{うけ}台^{だい}、34 赤^{あか}く染^そめた雄羊^{おつじ}の皮^{かわ}の覆^{おほ}い、アザラシ^あの皮^{かわ}の覆^{おほ}い、間仕切^{まじきり}りの箱^{はこ}、35 証^{しょう}しの箱^{はこ}とその棒^{ぼう}とふた^{ふた}、36 食^{しょく}卓^{たく}、その全て^{すべ}の器^き具^ぐと供^{そう}えのパ^ぱン、37 純金^{じゆんきん}のランプ^{だいい}台^{だい}、そのランプ^{らふ}すなわち1列^{れつ}に並^{なら}ぶランプ、その全て^{すべ}の器^き具^ぐと明^あかりのための油^{あぶら}、38 金^{きん}の祭壇^{さいだん}、注^{そそ}ぎ油^{あぶら}、香^かり高^{たか}い香^{かう}、天幕^{てんまく}の入^いり口^{ぐち}用の幕^{まく}、39 銅^{どう}の祭壇^{さいだん}、それに

39:28 *または、「下着」。39:30 *または、「聖なる冠」。39:38 *用語集の「油を注ぐ」参照。

つか どう あみ ぼう すべて き ぐ い すいばん
 使う銅の網と棒と全ての器具、水盤と
 だい けい にわ よこまく はしら だい けい
 その台、40 庭の横幕、柱と受け台、
 にわ ぐちよう まく けい つな くい けい まく や
 庭の入り口用の幕、網と杭、幕屋すな
 かい けいん てんまく ほう し すべて
 わち会見の天幕での奉仕のための全
 き ぐ せい ところ ほう し
 での器具、41 聖なる所での奉仕の
 お あ ふく さい
 ためのきれいに織り合わされた服、祭
 せい ふく けい
 司アロンのための聖なる服、アロンの
 さい し つか ふく
 子たちが祭司として仕えるための服で
 ある。

42 イスラエル人は、全てエホバが
 めい とお せい ご と おこな けい
 モーセに命じた通りに仕事を行った。

43 モーセが全ての仕事を調べたところ、
 かれ めい とお
 彼らはエホバが命じた通りにして
 いた。モーセは彼らのために祝福を
 が もと
 願ひ求めた。

40 エホバはモーセに言った。
 だい 1 つき ついたち まく や
 2「第1の月の1日に、幕屋

すなわち会見の天幕を組み立てなさい。
 けい あか はこ なか お けい まく
 3 証しの箱をその中に置き、幕

を垂らして箱が見えないようにする。
 た はこ み けい
 4 食卓を運び入れてその上に物を並

べ、ランプ台を運び入れてランプをと
 けい あか はこ まえ こう
 もす。5 証しの箱の前に香のための

きん さいだん お けい まく や い ぐちよう まく
 金の祭壇を置き、幕屋の入り口用の幕
 と つ けい
 を取り付ける。

6 幕屋すなわち会見の天幕の入り
 ぐち まえ ぜんしやう ささ もの さいだん けい お
 口の前に全焼の捧げ物の祭壇を置

き、7 会見の天幕と祭壇の間に水盤
 かい けいん てんまく さいだん あいだ すいばん
 を据え、それに水を入れる。8 周囲

に庭を設け、庭の入り口用の幕を掛
 にわ けい けい にわ ぐちよう まく か
 ける。9 注ぎ油を取って幕屋とその

中の全ての物にその油を注ぎ、幕屋と

第39章

(例) 出 38:6
 (例) 出 38:30
 (例) 出 30:18
 出 38:8
 (例) 出 38:9-11
 (例) 出 38:18
 (例) 出 38:20
 (例) 出 28:3
 (例) 出 35:10
 出 36:1

第40章

(例) 民 7:1
 (例) 出 25:21
 (例) 民 4:5
 ヘブ 9:3
 (例) 出 26:35
 (例) 出 25:31
 ヘブ 9:2
 (例) 出 25:37
 (例) 出 30:1
 (例) 出 26:36
 (例) 出 38:1
 (例) 出 30:18
 (例) 出 27:9
 (例) 出 27:16
 出 38:18
 (例) 出 30:23-25
 (例) レビ 8:10
 民 7:1

第2欄

(例) 出 29:36,37
 レビ 8:11
 (例) レビ 8:6
 (例) 出 29:5
 レビ 8:7
 (例) レビ 8:12
 詩 133:2
 (例) レビ 8:13
 (例) レビ 8:30
 (例) ヘブ 7:11
 (例) 出 39:43
 申 4:2
 (例) 民 7:1
 民 9:15
 (例) 出 36:24
 (例) 出 26:15
 (例) 出 36:31
 (例) 出 26:7
 (例) 出 26:14
 (例) 出 31:18
 (例) レビ 16:2
 (例) 出 25:22
 出 37:1
 (例) 出 37:4
 王一 8:8
 (例) 出 37:6
 代一 28:11
 (例) 出 36:35
 ヘブ 10:19,20

すべて き ぐ しんせい
 全ての器具を神聖なものとす。こう
 せい
 してそれは聖なるものとなる。10 全
 しやう ささ もの さいだん すべ き ぐ
 焼の捧げ物の祭壇とその全ての器具
 あぶら こそ さいだん しんせい
 にも油を注いで祭壇を神聖なものとす
 る。こうしてそれは極めて聖なる祭壇
 せい
 となる。11 水盤とその台にも油を
 こそ しんせい
 注いでそれを神聖なものとす。

12 アロンとその子たちを会見の天
 こ かい けいん てん
 幕の入り口の近くに連れてきて、彼ら
 まく い ぐち ちか つ かれ
 の体を水で洗いなさい。13 アロン
 さい ふく せい けい あぶら こそ けい なら
 に聖なる服を着せ、油を注いで彼を
 しんせい せい せい せい せい せい せい
 神聖なものとす。こうして彼は祭司
 わたし つか
 として私に仕える。14 それからアロ
 こ ちか つ なが
 ンの子たちを近くに連れてきて、長い
 ふく せい せい せい せい せい せい
 服を着せる。15 父アロンに油を注
 おな かれ あぶら こそ
 いだのと同じように彼らにも油を注
 (例) かれ せい し わたし つか
 ぐ。こうして彼らは祭司として私に仕
 あぶら こそ せい せい せい せい せい せい
 える。このように油を注ぐことで、代々
 せい ししやく こ あた
 ずっと祭司職がアロンの子たちに与え
 られる。

16 モーセは全てエホバに命じられ
 とお せい
 た通りにした。まさにその通りにした。

17 22目の第1の月の1日に幕屋
 ねん め だい 1 つき ついたち まく や
 が組み立てられた。18 モーセは幕
 く た けい
 屋を組み立てる時、受け台を置き、木
 わく た けい よこぎ わたし けい はしら た
 枠を立て、横木を渡し、柱を立てた。

19 幕屋の骨組みの上に布を広げ、そ
 まく や ほわく うえ ぬの ひろ けい
 の上に覆いをかぶせた。エホバが
 うえ おお せい
 モーセに命じた通りである。

20 証しの石板を取って箱の中に
 あか せい ばん せい せい せい せい せい せい
 入れ、箱に棒をはめ、ふたを載せた。

21 箱を幕屋に運び入れ、間仕切りの
 まく けい と つ あか せい せい せい せい せい せい
 幕を取り付けて証しの箱が見えないよ

うにした。エホバがモーセに命じた通りである。

22 食卓を会見の天幕すなわち幕屋の中の北側、幕の外側に置いた。

23 エホバの前でその上にパンを重ね、並べた。エホバがモーセに命じた通りである。

24 ランプ台を会見の天幕すなわち幕屋の中の南側、食卓の正面に置いた。**25** エホバの前でランプをともした。エホバがモーセに命じた通りである。

26 金の祭壇を会見の天幕の中、幕の前に置いた。**27** そこで香り高い香の煙を立ち上らせる。エホバがモーセに命じた通りである。

28 幕屋の入り口用の幕を取り付けた。

29 会見の天幕すなわち幕屋の入り口の前に全焼の捧げ物の祭壇を据えた。そこで全焼の捧げ物と穀物の捧げ物を捧げる。エホバがモーセに命じた通りである。

第40章

(例) ヘブ 9:3

(例) 出 37:10

ヘブ 9:2

(例) 出 25:30

マタ 12:4

(例) 出 37:17

(例) 出 25:37

出 37:23

(例) 出 30:1

出 37:25

(例) 出 30:34,35

(例) 出 30:7

(例) 出 26:36

出 36:37

(例) 出 38:1

(例) 出 29:38

第2欄

(例) 出 30:18

(例) 出 30:18,19

(例) 出 27:9

出 38:9

(例) 出 38:18

(例) 民 9:15

啓 15:8

(例) 代二 5:14

(例) 民 10:11

ネヘ 9:19

(例) 民 9:17,22

(例) 出 13:21

民 9:16

詩 78:14

30 会見の天幕と祭壇の間に水盤を据え、洗うための水を入れた。

31 モーセ、アロンとその子たちが、その水で手と足を洗った。**32** 会見の天幕に入る時や祭壇に近づく時にはいつも洗った。エホバがモーセに命じた通りである。

33 幕屋と祭壇の周囲に庭を設け、庭の入り口用の幕を掛けた。

こうしてモーセは仕事を終えた。

34 すると、雲が会見の天幕を覆うようになり、エホバの栄光が幕屋に満ちた。**35** モーセは会見の天幕に入らなかった。雲がその上にとどまり、エホバの栄光が幕屋に満ちていたからである。

36 イスラエル人は旅の間ずっと、雲が幕屋から持ち上がると出発した。

37 しかし雲が上がらなければ、それが持ち上がる日まで出発しなかった。

38 旅の間ずっと、幕屋の上に、昼はエホバの雲があり、夜は火がとどまつて、イスラエルの民全てから見えた。

レビ記

概要

- | | |
|--|---|
| <p>1 全焼の捧げ物 (1-17)</p> <p>2 穀物の捧げ物 (1-16)</p> <p>3 共食の捧げ物 (1-17)</p> <p style="padding-left: 20px;">脂肪と血は食べてはならない (17)</p> <p>4 罪の捧げ物 (1-35)</p> | <p>5 罪の例と必要な捧げ物 (1-6)</p> <p style="padding-left: 20px;">ほかの人の罪を報告する (1)</p> <p style="padding-left: 20px;">貧しい場合の捧げ物 (7-13)</p> <p style="padding-left: 20px;">意図しない罪のための有罪の捧げ物 (14-19)</p> <p>6 有罪の捧げ物の続き (1-7)</p> |
|--|---|

- 捧げ物に関する指示 (8-30)
- 全焼の捧げ物 (8-13)
- 穀物の捧げ物 (14-23)
- 罪の捧げ物 (24-30)
- 7 捧げ物に関する指示 (1-21)
- 有罪の捧げ物 (1-10)
- 共食の捧げ物 (11-21)
- 脂肪と血を食べることは禁じられている (22-27)
- 祭司の分 (28-36)
- 捧げ物に関する結びの言葉 (37, 38)
- 8 アロンとその子たちを祭司に任命する (1-36)
- 9 アロンは捧げ物を捧げる (1-24)
- 10 エホバからの火によってナダブとアビフが死ぬ (1-7)
- 祭司の飲食に関する規定 (8-20)
- 11 清い動物と汚れた動物 (1-47)
- 12 出産後の清め (1-8)
- 13 重い皮膚病に関する規定 (1-46)
- 服のカビ (47-59)
- 14 重い皮膚病からの清め (1-32)
- カビが生じた家の清め (33-57)
- 15 生殖器からの流出物に関する汚れ (1-33)
- 16 贖罪の日 (1-34)
- 17 幕屋で犠牲を捧げる (1-9)
- 血を食べることは禁じられている (10-14)
- 死んでいた動物に関する規定 (15, 16)
- 18 正しくない性関係 (1-30)
- カナン人に倣ってはならない (3)
- 近親者との性関係 (6-18)
- 月経期間中 (19)
- 同性愛行為 (22)
- 動物との性交 (23)
- 清さを保たないと、その地方から追い出される (24-30)
- 19 聖なる人に関する律法 (1-37)
- 収穫の仕方 (9, 10)
- 耳が聞こえない人や目が見えない人への配慮 (14)
- 中傷してはならない (16)
- 恨みを抱いてはならない (18)
- 魔術や心霊術は禁じられている (26, 31)
- 入れ墨は禁じられている (28)
- 年配者への敬意 (32)
- 外国人への接し方 (33, 34)
- 20 モレク崇拜, 心霊術 (1-6)
- 聖なる人となり, 親を敬う (7-9)
- 正しくない性関係を持つ人は死刑にされる (10-21)
- 聖なる人となってその地方にとどまる (22-26)
- 心霊術をする人は死刑にされる (27)
- 21 祭司は汚れのない聖なる人であるべき (1-9)
- 大祭司は自分を汚してはならない (10-15)
- 祭司は体に障害があってはならない (16-24)
- 22 祭司の清さと, 聖なるものを食べる (1-16)
- 傷のない捧げ物だけが受け入れられる (17-33)
- 23 聖なる日と祭り (1-44)
- 安息日 (3)
- 過ぎ越し (4, 5)
- 無酵母パンの祭り (6-8)
- 初物を捧げる (9-14)
- 七週の祭り (15-21)
- 収穫の仕方 (22)
- ラッパの吹奏の祭り (23-25)
- 贖罪の日 (26-32)
- 仮小屋の祭り (33-43)
- 24 幕屋のランプ用の油 (1-4)
- 供えのパン (5-9)
- 神の名をのしる人は石打ちにされる (10-23)
- 25 安息年 (1-7)
- ヨベルの年 (8-22)
- 土地や家の返還 (23-34)
- 貧しい人を支える (35-38)
- 奴隷に関する律法 (39-55)
- 26 偶像崇拜から離れている (1, 2)
- 従順に対する祝福 (3-13)
- 不従順に対する罰 (14-46)
- 27 誓約したものの買い戻し (1-27)
- 人 (1-8)
- 動物 (9-13)
- 家 (14, 15)
- 畑 (16-25)
- 初子 (26, 27)
- 無条件でエホバに捧げたもの (28, 29)
- 10分の1の買い戻し (30-34)

1 エホバはモーセを呼び、会見の天幕の中から話した。**2** 「イスラエル人にこう告げなさい。『あなたたちのうちの誰かがエホバに家畜を捧げる場合、牛や羊を差し出すべきである。』

3 全焼の捧げ物として牛を捧げるのであれば、傷のない雄を差し出すべきである。会見の天幕の入り口で、エホバの前に自分の意志で差し出す。**4** そしてその全焼の捧げ物の頭に手を置く。そうすれば、それは受け入れられ、その人の贖罪がなされる。

5 その若い雄牛はエホバの前ではふられる。祭司であるアロンの子たちはその血を捧げ、会見の天幕の入り口にある祭壇の全側面に振り掛ける。**6** その全焼の捧げ物は皮を剥がされ、各部分に切り分けられる。

7 祭司であるアロンの子たちは祭壇に火を付け、火の上にまきを並べる。

8 そして捧げ物の各部分を、頭も脂肪も、祭壇で燃えているまきの上に並べる。**9** 腸とすねは水で洗う。祭司は全てを全焼の捧げ物として祭壇で焼いて煙にする。火による捧げ物であり、エホバにとって心地よい香りとなる。

10 全焼の捧げ物として若い羊あるいはヤギを捧げるのであれば、傷のない雄を差し出すべきである。**11** それはエホバの前で、祭壇の北側では

第1章

[出 40:34

[レビ 22:18-20

[申 15:19,21
マラ 1:14

[コニ 9:7

[ヘブ 10:11

[ヘブ 9:13,14

[レビ 7:8

[レビ 6:12

[王一 18:23

[創 8:20,21
民 15:2,3

[創 4:4

[レビ 12:6
レビ 22:18-20

第2欄

[出 29:16-18
レビ 8:18-21
レビ 9:12-14[レビ 5:7
レビ 12:8
ルカ 2:24[出 27:3
レビ 4:11,12
レビ 6:10

第2章

[レビ 9:17
民 15:2-4[出 29:1-3
レビ 6:14,15
民 7:13

ふられる。祭司であるアロンの子たちは、その血を祭壇の全側面に振り掛ける。**12** 捧げ物は頭や脂肪など各部分に切り分けられ、祭司はそれらを祭壇で燃えているまきの上に並べる。**13** 腸とすねは水で洗う。祭司は全てを捧げ、祭壇で焼いて煙にする。全焼の捧げ物、火による捧げ物であり、エホバにとって心地よい香りとなる。

14 もしエホバへの全焼の捧げ物として鳥を捧げるのであれば、ヤマバトか若いイエバトを差し出す。**15** 祭司はそれを祭壇の所に持っていき、首の部分に裂いて血を祭壇の側面に注いでから、祭壇で焼いて煙にする。**16** そのうと羽根を取り除いて、祭壇の東側の脇、灰捨て場に捨てる。

17 翼の所を切り開くが、2つに切り離してはならない。祭司はその鳥を祭壇で燃えているまきの上で焼いて煙にする。全焼の捧げ物、火による捧げ物であり、エホバにとって心地よい香りとなる。

2 エホバに穀物の捧げ物をする場合、それは上等の麦粉でなければならぬ。それに油を注いで乳香を添える。**2** それを祭司であるアロンの子たちのもとに持っていく。祭司は上等の麦粉と油を乳香全部と共に一握り取って、覚えてもらうための分と

1:16 *食べた物を一時的に蓄える器官。*犠牲にした動物の脂が染み込んだ灰のこと。**2:2** *または、「代表する部分」。

1:1 *用語集参照。**1:5** *または、「殺される」。**1:8**, **12** *または、「腎臓の辺りの脂肪」。**1:9** *または、「安らぎの」。

して祭壇で焼いて煙にする。火による
捧げ物であり、エホバにとって心地よ
い香りとなる。3 穀物の捧げ物の残
りは、アロンとその子たちのものとな
る。それはエホバへの火による捧げ
物のうち極めて聖なる部分である。

4 穀物の捧げ物として、かまどで焼
いた物を差し出すのであれば、それは
上等の麦粉で作ったものであるべきで
ある。油を混ぜ込んだ無酵母の輪型
パンか、油を塗った無酵母の薄焼きパ
ンである。

5 穀物の捧げ物として、焼き皿で
作った物を捧げるのであれば、それは
じょうとうをむぎこあぶらまこむこうぼ
上等の麦粉に油を混ぜ込んだ無酵母
のものであるべきである。6 それを
細かく分け、油を注ぐ。これは穀物の
捧げ物である。

7 穀物の捧げ物として、鍋で作った
物を捧げるのであれば、それは上等の
麦粉と油で作ったものであるべきであ
る。8 こうして作った穀物の捧げ物
をエホバのもとに持っていく。それを
祭司に差し出すと、祭司が祭壇の近く
に持っていく。9 祭司は穀物の捧げ
物の幾らかを、覚えてもらうための分
として取り、祭壇で焼いて煙にする。火
による捧げ物であり、エホバにとって
心地よい香りとなる。10 穀物の捧
げ物の残りは、アロンとその子たちの
ものとなる。それはエホバへの火によ

2:9, 16 *または、「代表する部分」。

第2章

(7) 民 5:25, 26

(7) レビ 7:9, 10

(7) レビ 10:12
民 18:9

(7) レビ 8:26, 28
民 6:13, 19

(7) レビ 6:20, 21

(7) 民 28:9

(7) レビ 2:2
レビ 5:11, 12

(7) 出 29:38-41
民 28:4-6

第2欄

(7) 民 18:9

(7) レビ 6:14, 17

(7) 出 23:19
民 15:20
代二 31:5
格 3:9

(7) エゼ 43:23, 24

(7) 出 23:16
出 34:22
民 28:26

(7) レビ 5:11, 12
レビ 6:14, 15

第3章

(7) レビ 22:21
民 6:13, 14

る捧げ物のうち極めて聖なる部分で
ある。

11 エホバに差し出す穀物の捧げ
物は、パン種が入っているではない。
酸味のあるパン生地や蜜をエホバへ
の火による捧げ物として焼いて煙にし
てはならない。

12 酸味のあるパン生地や蜜は、初
物の捧げ物としてエホバに差し出す
ことができる。しかし、心地よい香りの
ために祭壇に載せてはならない。

13 どの穀物の捧げ物にも塩を加
える。あなたの神の契約の塩が欠け
てはならない。どの捧げ物も塩を付け
て差し出す。

14 穀物の捧げ物として初物をエホ
バに差し出すのであれば、新しい穀粒
を火で炒って粗く砕いたものを差し出
すべきである。15 それに油を掛け
て乳香を置く。これは穀物の捧げ物で
ある。16 祭司は、粗く砕いた穀粒と
油の幾らかを乳香全部と共に、覚えて
もらうための分として焼いて煙にする。
エホバへの火による捧げ物である。

3 共食の犠牲として牛を捧げるの
であれば、雄であれ雌であれ傷
のないものをエホバの前に差し出す
べきである。2 そしてその捧げ物の
頭に手を置く。それは会見の天幕の
入り口ではふられ、祭司であるアロン
の子たちがその血を祭壇の全側面に

2:11 *または、「酵母」。2:14 *または、「緑の
穂」。3:1 *または、「平和の捧げ物の犠牲」。

振り掛ける。3 共食の犠牲の一部を、エホバへの火による捧げ物として差し出す。すなわち、腸を覆っている脂肪、腸に付いている全ての脂肪、4 2つの腎臓とそれに付いている腰の辺りの脂肪である。肝臓の付属物も腎臓と一緒に取る。5 アロンの子たちは、祭壇で燃えているまきの上にある全焼の捧げ物と共にそれを焼いて煙にする。火による捧げ物であり、エホバにとって心地よい香りとなる。

6 エホバへの共食の犠牲として羊やヤギを捧げるのであれば、雄であれ雌であれ傷のないものを差し出す。7 若い雄羊を捧げ物として差し出すのであれば、それをエホバの前に連れていく。8 そして捧げ物の頭に手を置く。それは会見の天幕の前でほふられ、アロンの子たちがその血を祭壇の全側面に振り掛ける。9 共食の犠牲のうち、脂肪はエホバへの火による捧げ物として差し出す。脂肪の多い尾を背骨の辺りから丸ごと取る。腸を覆っている脂肪、腸に付いている全ての脂肪、10 2つの腎臓とそれに付いている腰の辺りの脂肪も取る。肝臓の付属物も腎臓と一緒に取る。11 祭司はそれを祭壇で焼いて煙にする。それは食物、エホバへの火による捧げ物である。

12 ヤギを捧げるのであれば、それ

3:11, 16 *直訳、「パン」。共食の犠牲のうちの神の分ということ。

第3章

(例) レビ 7:29-31

(例) 出 29:13
レビ 7:23-25
王一 8:64

(例) レビ 7:1-4

(例) レビ 6:12

(例) レビ 4:29,31

(例) 民 6:13,14

(例) 出 29:22
レビ 9:18-20
代二 7:7

(例) レビ 4:8,9
レビ 9:10

(例) レビ 4:31

第2欄

(例) レビ 4:24,26

(例) レビ 7:23
サ一 2:15-17

(例) 創 9:4
レビ 17:10,13
申 12:23
使徒 15:20,29

第4章

(例) レビ 5:17
民 15:27,28

(例) レビ 8:12
レビ 21:10

(例) 民 12:1,11

(例) ヘブ 5:1-3
ヘブ 7:27

(例) レビ 6:25

(例) 出 29:10,11

(例) 出 30:30

をエホバの前に連れていく。13 そしてその頭に手を置く。それは会見の天幕の前でほふられ、アロンの子たちがその血を祭壇の全側面に振り掛ける。14 犠牲の一部を、エホバへの火による捧げ物として差し出す。腸を覆っている脂肪、腸に付いている全ての脂肪、15 2つの腎臓とそれに付いている腰の辺りの脂肪である。肝臓の付属物も腎臓と一緒に取る。16 祭司はそれを祭壇で焼いて煙にする。それは食物、火による捧げ物であり、心地よい香りとなる。脂肪は全てエホバのものである。

17 脂肪と血は一切食べてはならない。どこに住んでいても、この法令を代々ずっと守るべきである』。

4 エホバは続けてモーセに言った。2 「イスラエル人にこう告げなさい。『エホバに禁じられたことのいずれかを、意図せずに罪を犯した場合、以下のようにすべきである。

3 選ばれた祭司が罪を犯し、民にも罪があると見なされたのであれば、犯した罪のために、傷のない若い雄羊を罪の捧げ物としてエホバに差し出さなければならない。4 雄羊を会見の天幕の入り口に、エホバの前に連れていき、その頭に手を置く。そしてエホバの前でほふる。5 選ばれた祭司は雄羊の血をいくらか取り、会見の

4:3 *直訳、「油を注がれた祭司」。大祭司のこと。用語集の「油を注ぐ」参照。4:5 *直訳、「油を注がれた」。

てんまく なか も
天幕の中に持つていく。6 その血に
ゆび ひた けい まえ せい ばしょ
指を浸し、エホバの前、聖なる場所の
まく まえ かい ち と けい
幕の前で7回血をはね飛ばす。7 ま
かいけん てんまく なか
た、会見の天幕の中にある、エホバの
まえ かお たか こう さいだん つの ち つ
前の香り高い香の祭壇の角に血を付
ける。雄牛の血の残りは全部、会見の
けい おうし ち のこ ぜんぶ かいけん
てんまく い ぐち ぜんしょう ささ もの
天幕の入り口にある全焼の捧げ物の
さいだん きぶ そそ けい
祭壇の基部に注ぐ。

8 罪の捧げ物の雄牛から脂肪を全
て取る。腸を覆っている脂肪や、腸に
ついている脂肪、9 2つの腎臓とそ
れに付いている腰の辺りの脂肪であ
る。肝臓の付属物も腎臓と一緒に取
る。10 共食の犠牲の雄牛にするの
と同じである。祭司はそれを全焼の捧
げ物の祭壇で焼いて煙にする。

11 しかし、雄牛の皮と全ての肉、
あたま ちよう けい
頭たとすねと腸とふん、12 つまり雄牛
のこ ぶぶん すべ しゅくえい はず はい
の残りの部分は全て、宿営の外れ、灰
を捨てて清い場所に運ばせ、火の中の
まきの上で燃やす。灰を捨てる場所
でも 燃やすべきである。

13 もし、イスラエルの民全体が意
図せずして罪を犯して有罪であるにもか
かわらず、エホバに禁じられたことを
おこな かいしゅう* きづ けい
行ったことに会衆が気付かず、14 後
にその罪が知られるようになったので
あれば、会衆は罪の捧げ物として若い
おうし さ だ かいけん てんまく まえ
雄牛を差し出し、会見の天幕の前に連
れていかなければならない。15 民
ちようろう まえ おうし あたま
の長老たちはエホバの前で雄牛の頭

4:12 *犠牲にした動物の脂が染み込んだ灰の
こと。4:13 *用語集参照。

第4章
(例)レビ 8:15,16

(例)レビ 16:14,19

(例)出 30:10

(例)レビ 5:9

(例)レビ 9:8,10

(例)レビ 3:3,4

(例)出 29:14

(例)レビ 8:14,17
へブ 13:11

(例)ヨシ 7:11

(例)民 15:22-24

第2欄
(例)出 26:31
出 40:21
へブ 10:19,20

(例)出 30:1,6

(例)出 27:1
出 40:6

(例)レビ 3:16

(例)出 32:30
レビ 16:17
民 15:25
エフ 1:7
へブ 2:17

(例)レビ 4:11,12

(例)レビ 16:15
ヨ一 2:1,2

(例)出 18:21

(例)レビ 1:10,11
レビ 6:25
レビ 7:2

(例)レビ 9:8,9
レビ 16:18
へブ 9:22

(例)レビ 8:15

て お おうし まえ
に手を置く。雄牛はエホバの前では
ふられる。

16 選ばれた祭司は、その雄牛の血
の幾らかを会見の天幕の中に持つて
いく。17 その血に指を浸し、エホバ
のこ ぜんぶ かいけん てんまく い ぐち
の前、幕の前で7回血をはね飛ばす。

18 また、会見の天幕の中にある、エ
ホバの前、全焼の祭壇の角に血を付ける。
のこ ち ぜんぶ かいけん てんまく い ぐち
残りの血は全部、会見の天幕の入り口
にある全焼の捧げ物の祭壇の基部に
そそ けい おうし し しょう すべ と さい
注ぐ。19 雄牛の脂肪を全て取り、祭
壇で焼いて煙にする。20 先ほどの
罪の捧げ物の雄牛と同じことをする。
このようにして祭司は民のために贖罪
を行い、民は許される。21 雄牛を
しゅくえい はず 運ばせ、さき おうし
宿営の外れに運ばせ、先ほどの雄牛
と同じように燃やす。これは会衆のた
めの罪の捧げ物である。

22 長の1人が意図せずに罪を犯し、
エホバ神に禁じられていることを行っ
たとして有罪になったのであれば、
23 あるいは、おきてに違反して罪を
犯したことに気付いたのであれば、そ
の人は捧げ物として傷のない雄の子
ヤギを連れていかなければならない。

24 そしてヤギの頭に手を置き、エ
ホバの前で全焼の捧げ物をほふる場
所です。これは罪の捧げ
物である。25 祭司は罪の捧げ物の
血を指で取り、全焼の捧げ物の祭壇の
角に付ける。残りの血は全焼の捧げ
物の祭壇の基部に注ぐ。26 共食の

4:16 *直訳、「油を注がれた」。

犠牲^{ぎせい}の脂肪^{しぼう}と同じように、脂肪^{しぼう}全てを
祭壇^{さいだん}で焼いて煙^{けむり}にする。こうして祭司^{さいし}
はその人の罪^{つみ}のために贖罪^{しょくざい}を行い、
その人は許^{ゆる}される。

27 民^{たみ}の誰^{だれ}かが意図^{いど}せずに罪^{つみ}を犯^{おか}
し、エホバに禁^{きん}じられていることを
行^{おこな}ったとして有罪^{ゆうざい}になったのであれ
ば、28 あるいは、罪^{つみ}を犯^{おか}したことに
気付^{きづ}いたのであれば、その人は、犯^{おか}
した罪^{つみ}のための捧げ物^{さげもの}として傷^{きず}のない
雌^{めす}の子ヤギを連れていかなければな
らない。29 そして罪^{つみ}の捧げ物^{さげもの}の頭^{あたま}
に手^てを置き、全焼^{ぜんしょう}の捧げ物^{さげもの}と同じ場所^{ばしょ}
でほふる。30 祭司^{さいし}はその血^ちを指^さで
取り、全焼^{ぜんしょう}の捧げ物^{さげもの}の祭壇^{さいだん}の角^{つの}に付
ける。残り^{のこ}の血^ちは全部^{ぜんぶ}、祭壇^{さいだん}の基部^{きぶ}に
注^{そそ}ぐ。31 共食^{きよく}の犠牲^{ぎせい}から脂肪^{しぼう}を取
るのと同じように、脂肪^{しぼう}を全て取^とる。祭
司^{さいし}はそれを祭壇^{さいだん}で焼いて煙^{けむり}にする。そ
れはエホバにとって心地^{こちち}よい香り^{かお}とな
る。こうして祭司^{さいし}はその人のために贖
罪^{しょくざい}を行い、その人は許^{ゆる}される。

32 もしその人が罪^{つみ}の捧げ物^{さげもの}とし
て子羊^{こひつじ}を捧げるのであれば、傷^{きず}のない
雌^{めす}の子羊^{こひつじ}を連れていくべきである。
33 そして罪^{つみ}の捧げ物^{さげもの}の頭^{あたま}に手^てを置
き、全焼^{ぜんしょう}の捧げ物^{さげもの}をほふる場所^{ばしょ}で罪^{つみ}
の捧げ物^{さげもの}としてほふる。34 祭司^{さいし}は
罪^{つみ}の捧げ物^{さげもの}の血^ちを指^さで取り、全焼^{ぜんしょう}の捧
げ物^{さげもの}の祭壇^{さいだん}の角^{つの}に付^けける。残り^{のこ}の血^ち
は全部^{ぜんぶ}、祭壇^{さいだん}の基部^{きぶ}に注^{そそ}ぐ。35 共
食^{きよく}の犠牲^{ぎせい}の若い雄羊^{わかおひつじ}の脂肪^{しぼう}を取るの
と同じように、脂肪^{しぼう}を全て取^とる。祭司^{さいし}

第4章
(7) レビ 3:3-5

(1) 民 15:27-29

(7) レビ 1:10,11
レビ 6:25

(14) レビ 4:25
レビ 8:15
レビ 9:8,9
ヘブ 9:22

(10) レビ 3:3,4

(10) レビ 3:16

(14) レビ 1:10,11

(7) レビ 4:25
レビ 16:18

第2欄
(7) 出 29:13,14
レビ 3:3,4
レビ 6:12
レビ 9:8,10

(1) 民 15:28
ヨ一 1:7
ヨ一 2:1,2

第5章
(7) 格 29:24

(14) レビ 11:21-24
レビ 17:15
申 14:8

(10) レビ 12:2
レビ 13:3
レビ 15:3
民 19:11

(7) マタ 5:33

(14) 民 5:7
詩 32:5
格 28:13
ヨ一 1:9

(7) レビ 7:1
レビ 14:2,12
レビ 19:20,21
民 6:12

は祭壇^{さいだん}で、火^ひによるエホバへの捧げ
物^{もの}と共にそれを焼いて煙^{けむり}にする。こう
して祭司^{さいし}はその人が犯^{おか}した罪^{つみ}のため
に贖罪^{しょくざい}を行い、その人は許^{ゆる}される。

5 あることの証人^{しょうにん}であつたりそれを
見^みたり知^しつたりしている人が、証
言^{せんごん}を求^{もと}める呼び掛け^{よびかけ}を聞いたのに、そ
のこについて報告^{ほうこく}しないなら、罪^{つみ}
を犯^{おか}しているであり、その人は過ち^{あやま}の
責任^{せきにん}を負^おう。

2 また、汚^{けが}れた野生動物^{やせいどうぶつ}の死骸^{しかい}、
汚^{けが}れた家畜^{かちく}の死骸^{しかい}、汚^{けが}れた小さな生
き物の死骸^{しかい}など、汚^{けが}れたものに触^ふれた
人は、そのことを自覚^{じかく}していないとし
ても、汚^{けが}れていて有罪^{ゆうざい}である。3 ある
いは、人間^{にんげん}から生じる汚^{けが}れ(汚^{けが}れをも
たらす何らかのもの)に気付^{きづ}かずに触
れて、そのことを後^{あと}で知^しったとしても、
その人は有罪^{ゆうざい}である。

4 また、良いことであれ悪いことであ
れ、何^{なに}かを行うと性急^{せいきゅう}に誓^{ちか}い、後^{あと}で、
性急^{せいきゅう}に誓^{ちか}ったことを自覚^{じかく}したなら、そ
の人は有罪^{ゆうざい}である。

5 以上の事柄^{いじよう}の1つについて有罪^{ゆうざい}
であるなら、どんな罪^{つみ}を犯^{おか}したかを告
白^{はく}しなければならぬ。6 そして犯^{おか}
した罪^{つみ}のために、エホバへの有罪^{ゆうざい}の捧
げ物^{もの}を持^もてていく。雌^{めす}の子羊^{こひつじ}か雌^{めす}の
子ヤギを罪^{つみ}の捧げ物^{さげもの}とするのである。祭

5:1 *または、「災いを求める声(誓いの声)」。恐
らく、悪事が起きた時になされる知らせのこと
で、悪を行った人や、そのことについて証言^{せんごん}しない
人に対して、災いを求めることが含まれる。5:4
*誓いを守らなかった場合のことと思われる。

司はその人の罪のために贖罪を行う。

7 しかし羊を差し出す余裕がなければ、その罪のために、ヤマバト2羽か若いイエバト2羽を有罪の捧げ物としてエホバのもとに持っていかねばならない。1羽は罪の捧げ物のため、1羽は全焼の捧げ物のためである。8 それらを祭司の所に持つていく。祭司はまず罪の捧げ物の方を捧げる。喉の部分に裂くが、頭を切り離してはならない。9 罪の捧げ物の血の幾らかを祭壇の側面にはね掛ける。残りの血は祭壇の基部に注ぐ。これは罪の捧げ物である。10 次に全焼の捧げ物の方を決められた手順通りに扱う。こうして祭司はその人が犯した罪のために贖罪を行い、その人は許される。

11 もしヤマバト2羽か若いイエバト2羽を差し出す余裕がなければ、罪のために、上等の麦粉2.2リットルを罪の捧げ物として持っていかねばならない。それに油を加えたり乳香を置いたりすべきではない。これは罪の捧げ物だからである。12 それを祭司の所に持つていく。祭司は、覚えてもらうための分としてそれを一握り取って、祭壇で、火によるエホバへの捧げ物とともに焼いて煙にする。これは罪の捧げ物である。13 祭司は、前述のどの罪であれ、その人が犯した罪のために贖罪を行い、その人は許される。捧

第5章

(ア) ルカ 2:24

(イ) レビ 12:7,8
レビ 14:21,22
レビ 15:13-15(ウ) レビ 1:4,5
レビ 7:2
ヘブ 9:22

(エ) レビ 1:15-17

(イ) レビ 6:7

(ウ) 出 16:36

(イ) レビ 4:26

第2欄

(ア) レビ 6:14-16
コヘ 9:13(イ) レビ 2:10
レビ 7:1,6

(ウ) レビ 10:17,18

(エ) レビ 6:6

(ウ) 出 30:13
レビ 27:25(ウ) レビ 6:4,5
レビ 22:14
民 5:6,7

(イ) 出 32:30

(ウ) レビ 6:7
レビ 19:22

(ウ) レビ 5:2

(ウ) レビ 6:6

第6章

(イ) 民 5:6

(ウ) 出 22:7
レビ 19:11

物の残りは、穀物の捧げ物の場合と同じく、祭司のものととなる。』。

14 エホバは続けてモーセに言った。15 「エホバの聖なるものに関して意図せずに罪を犯し、不忠実なことをした場合、その人は有罪の捧げ物として、傷のない雄羊をエホバのもとに連れていく。銀でその価値が定められ、銀は聖なる標準重りで量られる。16 そして、聖なる場所に関して犯した罪の償いをする。その価値の5分の1を加えて祭司に渡す。祭司は、有罪の捧げ物の雄羊によってその人のために贖罪を行い、その人は許される。

17 エホバに禁じられていることのいずれかを行って罪を犯した場合、それに気付いていないとしても、その人は有罪であり、過ちの責任を負う。

18 算定された価値を基に、傷のない雄羊を有罪の捧げ物として祭司の所に連れていくべきである。祭司は、その人が気付かずに犯した間違いのために贖罪を行い、その人は許される。

19 これは有罪の捧げ物である。その人はエホバに対して罪を犯して有罪になったのである。

6 エホバは続けてモーセに言った。2 「罪を犯してエホバに不忠実なことをして、預かった物や託された物によって隣人をだましたり、隣人から奪い取ったり、だまし取ったり、3 遺失物を見つけたのに知らないふりをした

レビ 6:4-21

りし、しかも何の罪も犯していないという
 その誓いをした場合、以下のようにす
 べきである。4 罪を犯して有罪であ
 るなら、盗んだ物、おとし取った物、だま
 し取った物、預かった物、見つけた遺
 失物を返さなければならない。5 う
 その誓いをした物を返さなければならない。
 元通りに返すだけでなく、その
 価値の5分の1を加える。有罪である
 ことがはっきりした日に所有者に渡す。
 6 そしてエホバへの有罪の捧げ物と
 して、算定された価値を基に、傷のない
 雄羊を祭司の所に連れていく。これは
 有罪の捧げ物である。7 祭司は
 その人のためにエホバの前で贖罪を
 行い、その人は有罪となったどの行為
 についても許される。

8 エホバは続けてモーセに言った。
 9 「アロンとその子たちがこう命じな
 さい。『以下は全焼の捧げ物に関する
 律法である。全焼の捧げ物は祭壇の
 炉に朝まで夜通し置かれ、祭壇では火
 がずっと燃やされる。10 祭司は亜
 麻の職服を身に着け、肌を覆う亜麻の
 もも引きをはく。祭壇の火が焼き尽く
 した全焼の捧げ物の灰を取り、祭壇の
 脇に置く。11 それから別の服に着
 替え、灰を宿営の外の清い場所に運
 ぶ。12 祭壇では火がずっと燃やさ
 れる。火を絶やしてはならない。祭司
 は毎朝、火にまきをくべて全焼の捧げ
 物を並べ、共食の犠牲の脂肪を焼い

6:10 *または、「下着」。*犠牲にした動物の脂
 が染み込んだ灰のこと。

第6章

〔出 22:10,11
 レビ 19:12
 エフ 4:25
 コリ 3:9
 〔イ〕レビ 5:15,16
 民 5:6,7
 〔イ〕レビ 5:15
 レビ 7:1
 イザ 53:10
 〔イ〕レビ 5:18
 〔出 29:38-42
 民 28:3
 ヘブ 10:11
 〔出 28:39
 レビ 16:32
 エゼ 44:17
 〔イ〕出 28:42
 出 39:27,28
 〔出 27:3
 レビ 1:16
 〔イ〕レビ 16:23
 エゼ 44:19
 〔イ〕レビ 4:3,12
 〔イ〕レビ 1:7
 ネヘ 13:30,31

第2欄

〔イ〕レビ 3:5,16
 〔イ〕レビ 2:1
 民 15:3,4
 〔イ〕レビ 2:2,9
 レビ 5:11,12
 〔イ〕レビ 2:3
 レビ 5:13
 エゼ 44:29
 コー 9:13
 〔イ〕レビ 10:12
 〔イ〕レビ 2:11
 〔イ〕民 18:9
 〔イ〕レビ 2:3,10
 〔イ〕民 18:10
 〔イ〕レビ 24:8,9
 〔イ〕出 30:30
 ヘブ 5:1
 〔イ〕出 29:1,2
 出 29:40,41
 レビ 2:1
 レビ 9:17
 民 28:4,5
 〔イ〕出 16:36

〔イ〕レビ 2:5
 レビ 7:9
 代一 23:29

て煙にする。13 祭壇では火が常に
 燃やされる。火を絶やしてはならない。

14 以下は穀物の捧げ物に関する
 律法である。アロンの子たちが祭壇の
 前でエホバの前に差し出す。15 そ
 のうちの1人は、穀物の捧げ物の上等
 の麦粉と油を、その上に置かれた乳
 香全部と共に一握り取って、エホバに
 覚えてもらうための分として祭壇で焼
 いて煙にする。それは心地よい香りと
 なる。16 残りの分はアロンとその
 子たちが食べる。無酵母パンにし、聖
 なる場所、会見の天幕の庭で食べる。

17 それは、パン種を入れて焼いては
 ならない。私はそれを、私への火によ
 る捧げ物の中から彼らの分として与え
 た。それは、罪の捧げ物や有罪の捧
 げ物と同じく極めて聖なるものである。

18 アロンの子である男性だけがそれ
 を食べる。それは、代々ずっと、エホバ
 への火による捧げ物の中から与えら
 れる取り分である。それに触れる物は
 全て聖なるものとして扱われる。』。

19 エホバはさらにモーセに言っ
 た。20 「以下は、アロンが油を注が
 れる日に、アロンとその子たちがエホ
 バに差し出す捧げ物である。通常
 の穀物の捧げ物として上等の麦粉2.2
 リットルを、半分は朝に、半分は夕方
 に捧げる。21 それは、油を加え、
 焼き皿で作られる。それに油をよく

6:15 *または、「エホバへの、代表する部分」。

6:17 *または、「酵母」。6:18 *または、「捧げ
 物」。6:20 *用語集の「油を注ぐ」参照。

混ぜて持^もっていき、焼^やいた穀^{こく}物^{もつ}の捧^{ささ}げ物^{ぶつ}として細^{こま}かく分^わけて差^さし出^だす。それはエホバにとつて心地^{こころ}よい香^かりと^{にお}なる。22 アロンの子^こたちのうちアロンの跡^{あと}を継^つぐ選^{えら}ばれた祭^{まつり}司^しがそれを作る。それはエホバへの捧^{ささ}げ物^{ぶつ}として焼^やき尽^{つく}くされて煙^{けむり}にさ^される。この規定^{きぎてい}を守^{まも}り続^{つづ}けなければならない。23 祭^{まつり}司^しのための穀^{こく}物^{もつ}の捧^{ささ}げ物^{ぶつ}は皆^{みな}、焼^やき尽^{つく}くされるべきである。食^たべてはならない。

24 エホバはさらにモーセに言^いった。25 「アロンとその子^こたちにこう告^つげなさい。『以下^いは罪^{つみ}の捧^{ささ}げ物^{ぶつ}に関する律^{りつぽう}法^{ぽう}である。罪^{つみ}の捧^{ささ}げ物^{ぶつ}は、エホバの前^{まえ}、全^{ぜん}焼^{しょう}の捧^{ささ}げ物^{ぶつ}がほふられる場所^{ばしょ}でほふられる。それは極^きめて聖^{せい}なるものである。26 罪^{つみ}のためにそれを捧^{ささ}げる祭^{まつり}司^しがそれを食^たべる。聖^{せい}なる場所^{ばしょ}、会^{かい}見^{けん}の天^{てん}幕^{まく}の庭^{にわ}で食^たべる。

27 その肉^{にく}に触^ふれる物^{もの}は全^{ぜん}て聖^{せい}なるものとして扱^{あつか}われる。誰^{たれ}かがその血^ちを服^{ふく}にはね掛^かけた場^ば合^{あい}、血^ちが掛^かかった服^{ふく}を聖^{せい}なる場所^{ばしょ}で洗^{あら}う。28 煮^にえるのに使^{つか}った土^{つち}の器^{うつわ}は砕^{くだ}く。銅^{どう}の器^{うつわ}で煮^にえたのであれば、こすって水^{みづ}で洗^{あら}わなければならない。

29 祭^{まつり}司^しである男^{だんな}性^{せい}だけが捧^{ささ}げ物^{ぶつ}の肉^{にく}を食^たべる。それは極^きめて聖^{せい}なるものである。30 しかし、聖^{せい}なる場所^{ばしょ}で贖^{しょく}罪^{ざい}を行^{おこな}うために、血^ちの幾^{いく}らかを会^{かい}見^{けん}の天^{てん}幕^{まく}の中^{なか}に持^もっていった場^ば合^{あい}、そ

第6章

〔申 10:6

〔レビ 4:3

〔レビ 1:3, 11

〔民 10:17

民 18:9

エゼ 44:29

〔出 27:9

レビ 6:14, 16

エゼ 42:13

〔民 6:14, 18

レビ 21:21, 22

民 18:10

〔民 6:25

第2欄

〔レビ 4:5

レビ 10:18

レビ 16:27

ヘブ 13:11

第7章

〔レビ 5:6

レビ 6:6

レビ 14:2, 12

レビ 19:20, 21

民 6:12

〔民 9:22

〔民 3:1, 2

レビ 5:9

〔出 29:13, 14

レビ 3:9, 17

レビ 4:8, 9

レビ 8:18, 20

〔民 3:3, 4

〔民 3:14-16

〔民 5:13

レビ 6:14, 16

民 18:9

〔民 9:23

レビ 1:6

〔民 6:20, 21

代下 23:29

〔民 2:3-7

民 18:9

コリ 9:13

〔民 14:21

〔民 5:11

民 5:15

〔民 3:1

レビ 7:20

レビ 22:21

コリ 10:16

の罪^{つみ}の捧^{ささ}げ物^{ぶつ}は食^たべてはならない。火^ひで燃^もやすべきである。

7 以下^いは有^{ゆう}罪^{ざい}の捧^{ささ}げ物^{ぶつ}に関する律^{りつ}法^{ぽう}である。それは極^きめて聖^{せい}なるものである。2 全^{ぜん}焼^{しょう}の捧^{ささ}げ物^{ぶつ}をほふる場所^{ばしょ}で有^{ゆう}罪^{ざい}の捧^{ささ}げ物^{ぶつ}をほふる。その血^ちは祭^{さい}壇^{だん}の全^{ぜん}側^{そく}面^{めん}に振^ふり掛^かけられ^る。3 脂肪^{しぼう}は全^{ぜん}て差^さし出^だす。脂肪^{しぼう}の多い尾^おや、腸^{ちよう}を覆^{おお}っている脂肪^{しぼう}、4 2 つの腎^{じん}臓^{ぞう}とそれ^{それ}に付^ついている腰^{こし}の辺^{あた}りの脂肪^{しぼう}である。肝^{かん}臓^{ぞう}の付^ふ属^{ぞく}物^{ぶつ}も腎^{じん}臓^{ぞう}と一緒に取^とる。5 祭^{まつり}司^しは、エホバへの火^ひによる捧^{ささ}げ物^{ぶつ}として、それを祭^{さい}壇^{だん}で焼^やいて煙^{けむり}にする。これは有^{ゆう}罪^{ざい}の捧^{ささ}げ物^{ぶつ}である。6 祭^{まつり}司^しである男^{なん}性^{せい}だけが捧^{ささ}げ物^{ぶつ}の肉^{にく}を食^たべる。聖^{せい}なる場所^{ばしょ}で食^たべる。それは極^きめて聖^{せい}なるものである。7 罪^{つみ}の捧^{ささ}げ物^{ぶつ}に関する律^{りつ}法^{ぽう}は有^{ゆう}罪^{ざい}の捧^{ささ}げ物^{ぶつ}にも当^あてはまるので、それは贖^{しょく}罪^{ざい}を行^{おこな}う祭^{まつり}司^しのものである。

8 祭^{まつり}司^しが誰^{たれ}かのために全^{ぜん}焼^{しょう}の捧^{ささ}げ物^{ぶつ}を捧^{ささ}げる場^ば合^{あい}は、差^さし出^だされた全^{ぜん}焼^{しょう}の捧^{ささ}げ物^{ぶつ}の皮^{かわ}が祭^{まつり}司^しのものとなる。

9 穀^{こく}物^{もつ}の捧^{ささ}げ物^{ぶつ}で、かまどで焼^やいて、そのなべや煮^ゆぎ皿^{はち}で作^{つく}った物^{もの}は全^{ぜん}て、それを捧^{ささ}げる祭^{まつり}司^しのものである。

10 一方^{いっぽう}、穀^{こく}物^{もつ}の捧^{ささ}げ物^{ぶつ}で、油^{あぶら}を混^まぜた物^{もの}と乾^{かん}いた物^{もの}は皆^{みな}、アロンの子^こたち全^{かん}員^{じん}のものとなる。各^{かく}人^{じん}が同^{どう}量^{りょう}を受^うけ取^とる。

11 以下^いはエホバに捧^{ささ}げる共^{きよう}食^{しょく}の犠^ぎ牲^{せい}に関する律^{りつ}法^{ぽう}である。12 感謝^{かんしゃ}を表^{あらわ}すために共^{きよう}食^{しょく}の犠^ぎ牲^{せい}を捧^{ささ}げるの

であれば、その感謝の犠牲に添えて、
油を混ぜ込んだ無酵母の輪型パン、油
を塗った無酵母の薄焼きパン、上等の
麦粉に油をよく練り込んで作った輪型
パンを差し出す。13 それに加えて、
パン種入りの輪型パンも感謝の犠牲
である共食の犠牲と一緒に差し出す。
14 各パンを1つずつ、エホバへの神
聖な分として差し出す。それは共食の
犠牲の血を振り掛ける祭司のものとな
る。15 感謝の犠牲である共食の犠
牲の肉は、捧げた日に食べる。どの部
分も朝まで取っておいてはならない。

16 捧げる犠牲が誓約の捧げ物か
自発的な捧げ物であるなら、その犠牲
を差し出した日にそれを食べるが、次
の日も残っている物を食べてよい。

17 しかし、3日目まで残った犠牲の
肉は火で燃やす。18 もし3日目に
誰かが共食の犠牲の肉を食べたなら、
捧げた人は神に受け入れられない。
それは捧げ物とは見なされず、不快な
物となり、食べた人は過ちの責任を負
う。19 汚れたものに触れた肉は食
べてはならない。火で燃やすべきであ
る。清い人は皆、清い肉を食べてよい。

20 汚れている人がエホバのため
の共食の犠牲の肉を食べるなら、民
の中から除かれなければならない。

21 また、人間から生じる汚れ、汚れた
動物、汚れた極めて不快な物など、汚

7:13 *または、「酵母」。7:20 *または、「死刑
にされ」。

第7章

〔レビ 22:29
代二 29:31〕

〔レビ 6:25,26
レビ 10:14
民 18:8〕

〔レビ 22:29,30〕

〔レビ 22:21〕

〔レビ 22:23
申 12:5,6〕

〔レビ 19:5,6〕

〔レビ 19:7,8〕

〔レビ 19:20〕

〔レビ 12:2,4〕

〔レビ 11:21-24
申 14:7〕

〔レビ 11:10
申 14:10〕

第2欄

〔レビ 3:16,17
レビ 4:8-10
サ一 2:16,17〕

〔レビ 22:31
レビ 17:15〕

〔創 9:4
レビ 3:17
レビ 17:10
申 12:16
サ一 14:33
使徒 15:20,29〕

〔レビ 17:14〕

〔レビ 3:1〕

〔レビ 3:3〕

〔レビ 29:24
レビ 8:25-27
レビ 9:21〕

〔レビ 3:3-5〕

〔レビ 8:29〕

〔出 29:27,28
レビ 10:14
民 6:20〕

〔申 18:3〕

れたものに触れたのに、エホバのため
の共食の犠牲の肉を食べた人は、民
の中から除かれなければならない。』。

22 エホバは続けてモーセに言っ
た。23 「イスラエル人にこう告げな
さい。『雄牛や若い雄羊やヤギの脂肪
は一切食べてはならない。24 死ん
でいた動物の脂肪や野生動物に殺さ
れた動物の脂肪は、何に使ってもよい
が、決して食べてはならない。25 エ
ホバへの火による捧げ物として差し
出した動物の脂肪を食べた人は、民
の中から除かれなければならない。』

26 どこに住んでいても、鳥につい
ても動物についても、血は一切食べて
はならない。27 何らかの血を食べ
る人は、民の中から除かれなければ
ならない。』

28 エホバは続けてモーセに言っ
た。29 「イスラエル人にこう告げな
さい。『共食の犠牲をエホバに捧げる
人は、その犠牲の一部をエホバへの
捧げ物として持っていく。30 脂肪と
胸の部分をエホバへの火による捧げ
物として持っていく。そしてそれを振
揺の捧げ物としてエホバの前で揺り
動かす。31 祭司は脂肪を祭壇で焼
いて煙にする。しかし胸はアロンとそ
の子たちのものとなる。』

32 共食の犠牲のうち右の後ろ脚
は神聖な分として祭司に与える。

33 右の後ろ脚は、共食の犠牲の血と
脂肪を捧げるアロンの子の分となる。

34 私はイスラエル人の共食の犠牲から、振揺の捧げ物の胸と神聖な分の脚を取り、祭司アロンとその子たちに与える。イスラエル人はこの規定を守り続けなければならない。

35 これが、エホバへの火による捧げ物のうち、祭司のために取り分ける分である。アロンとその子たちが祭司としてエホバに仕えるようになった日にそう定められた。36 彼らが油を注がれた日に、エホバはその分を彼らに与えるようにと命じた。これは代々ずっと守るべき法令である』。

37 以上が、全焼の捧げ物、穀物の捧げ物、罪の捧げ物、有罪の捧げ物、任命の犠牲、共食の犠牲に関する律法であり、38 エホバがシナイ山でモーセに命じた事柄である。その日、イスラエル人はシナイの荒野でエホバに捧げ物を捧げるようにと命じられた。

8 エホバは続けてモーセに言った。2 「アロンとその子たちを連れてきて、職服、注ぎ油、罪の捧げ物の雄牛、2匹の雄羊、無酵母パンの籠を用意しなさい。3 会見の天幕の入り口に民全員を集合させなさい。

4 モーセはエホバに命じられた通りにし、民は会見の天幕の入り口に集合した。5 モーセは民に言った。「エホバはこうするようにと命じました。6 モーセはアロンとその子たち

7:36; 8:2 *用語集の「油を注ぐ」参照。

第7章

(ア) レビ 10:14

(イ) 出 28:1

出 29:4,7

出 40:13

(ウ) 出 40:15

レビ 8:12

(エ) レビ 6:9

(オ) レビ 2:1

レビ 6:14

(カ) レビ 6:25

(キ) レビ 5:6

レビ 7:1

(ク) 出 29:1

レビ 6:20

(ケ) レビ 3:1

(コ) 出 34:27

(ク) レビ 1:2

第8章

(イ) 出 28:1

(ウ) 出 28:4

出 39:33,41

(エ) 出 30:23-25

出 40:15

(イ) 出 29:1,2

第2欄

(イ) 出 29:4

出 40:12

(イ) 出 28:39

(ウ) 出 39:27,29

(ウ) 出 39:22

(イ) 出 28:6

出 39:2

(イ) 出 28:8

出 29:5

出 39:20

(イ) 出 28:15

出 39:9

(イ) 出 28:30

(イ) 出 29:6

出 39:27,28

(ウ) 出 28:36

出 39:30

(イ) 出 30:26-28

(イ) 出 29:4,7

出 30:30

出 40:13

レビ 21:10

詩 133:2

(ウ) 出 28:40

出 29:8,9

(エ) 出 29:10-14

レビ 4:3,4

レビ 16:6

(イ) ヘブ 9:21,22

ちを近くに連れてきて、彼らの体を水で洗った。7 アロンに長い服を着せ、飾り帯を締め、袖なしの上着とエフォドを着せ、その上にエフォドの布帯をしっかりと締めた。8 胸掛けを付け、その中にウリムとトンミムを入れた。9 頭にターバンを巻き、ターバンの前面に、献じられたことの聖なる印である輝く金の板を付けた。エホバがモーセに命じた通りである。

10 モーセは注ぎ油を取り、幕屋とその全てのものに油を注ぎ、それらを神聖なものとした。11 祭壇に油を7回はぬ掛け、祭壇とその全ての器具、水盤とその台に油を注ぎ、それらを神聖なものとした。12 注ぎ油をアロンの頭に注いで祭司とし、アロンを神聖なものとした。

13 モーセはアロンの子たちを近くに連れてきて、長い服を着せ、飾り帯を締め、頭覆いをかぶらせた。エホバがモーセに命じた通りである。

14 モーセは罪の捧げ物の雄牛を連れてきた。アロンとその子たちは雄牛の頭に手を置いた。15 モーセは雄牛をほふり、その血を指で祭壇の四隅の角に付けて、祭壇を罪から清め、残りの血は祭壇の基部に注いだ。こうして祭壇を神聖なものとし、そこで贖罪を行えるようにした。16 腸の周りの脂肪、肝臓の付属物、2つの腎臓と

8:7 *または、「腰帯」。8:9 *または、「聖なる冠」。8:12 *直訳、「油を注ぎ」。8:13 *または、「巻いた」。

レビ 8:17-33

その脂肪を取り、祭壇で焼いて煙にした。⁽¹⁾ 17 雄牛の残りの部分、皮と肉とふんは宿営の外で火で燃やした。エホバがモーセに命じた通りである。

18 モーセは全焼の捧げ物の雄羊を近くに連れてきた。アロンとその子たちは雄羊の頭に手を置いた。

19 モーセは雄羊をほふり、その血を祭壇の全側面に振り掛けた。20 雄羊を各部分に切り分け、頭と各部分と脂肪を焼いて煙にした。21 腸とすねを水で洗い、雄羊全体を祭壇で焼いて煙にした。それは全焼の捧げ物であり、心地よい香りとなった。エホバへの火による捧げ物だった。エホバがモーセに命じた通りである。

22 モーセは2匹目の雄羊、任命の雄羊を連れてきた。アロンとその子たちは雄羊の頭に手を置いた。

23 モーセは雄羊をほふり、その血を取って、アロンの右の耳たぶ、右手の親指、右足の親指に付けた。

24 モーセはアロンの子たちを前に連れてきて、その血を彼らの右の耳たぶ、右手の親指、右足の親指に付けた。残りの血は祭壇の全側面に振り掛けた。

25 モーセは脂肪、すなわち脂肪の多い尾、腸の周りの全ての脂肪、肝臓の付属物、2つの腎臓とその脂肪、および右の後ろ脚を取った。26 エホバの前にあった無酵母パンの籠から、無

第8章

(1)レビ 4:8,9

(1)レビ 4:11,12
レビ 16:27(1)出 29:15-18
レビ 1:4

(1)レビ 8:33

(1)出 29:19,20

(1)出 24:6

(1)出 29:22-25

第2欄

(1)レビ 2:4

(1)出 29:1,2

(1)レビ 7:29,30

(1)出 29:26,27
レビ 7:34,35

(1)出 30:30

(1)民 3:2,3

(1)出 29:21

(1)レビ 6:28

(1)出 29:31,32
コー9:13

(1)出 29:34

こうぼの輪型パンを1つ、油を入れた。⁽¹⁾ 輪型パンを1つ、薄焼きパンを1つ取り、脂肪の部分と右の後ろ脚の上に置いた。27 その全てをアロンとその子たちの手のひらに載せ、振揺の捧げ物としてエホバの前で揺り動かしていった。28 モーセはそれを彼らの手から取り、祭壇で全焼の捧げ物と共に焼いて煙にした。それは任命の犠牲であり、心地よい香りとなった。エホバへの火による捧げ物だった。

29 モーセは胸の部分を取り、振揺の捧げ物としてエホバの前で揺り動かした。任命の雄羊のうちそれがモーセの分となった。エホバがモーセに命じた通りである。

30 モーセは注ぎ油と祭壇にある血をいくらか取り、アロンとその服、アロンの子たちとその服にはね掛けた。こうしてアロンとその服、アロンの子たちとその服を神聖なものとした。

31 モーセはアロンとその子たちに言った。「その肉を会見の天幕の入り口で煮てください。あなたたちはそこで、任命の籠にあるパンと一緒にその肉を食べます。『アロンとその子たちがそれを食べる』と、私は命じられたのです。32 残った肉とパンは火で燃やします。33 あなたたちは任命の期間が終わるまで、7日間、会見の天幕の入り口から離れてはいけません。祭司に任命するのに7日かかる

8:20 *または、「腎臓の辺りの脂肪」。

8:33 *直訳、「あなたたちの手を満した」。

からです。34 今日行ったようにして、あなたがたの贖罪をするよう、エホバは命じました。35 あなたたちは7日間、会見の天幕の入り口に昼も夜もとどまってエホバへの務めを果たします。そうすれば死ぬことはありません。私はそう命じられました」。

36 アロンとその子たちは、エホバがモーセを通して命じたことを全て行った。

9 8日目に、モーセはアロンとその子たちとイスラエルの長老たちを呼んだ。2 モーセはアロンに言った。「自分のために、罪の捧げ物として子牛を、全焼の捧げ物として雄羊を、どちらも傷のないものを用意し、エホバの前に捧げてください。3 イスラエル人にはこう言うのです。『罪の捧げ物として雄ヤギを、全焼の捧げ物として子牛と若い雄羊、どちらも1歳で傷のないものを、持ってきてください。』

4 また、共食の犠牲としてエホバの前で犠牲にする雄牛と雄羊、そして油を混ぜた穀物の捧げ物を持ってきてください。今日、エホバは皆さんに現れます』。

5 イスラエル人はモーセが命じたものを会見の天幕の前に持ってきた。民全体が来て、エホバの前に立った。6 モーセは言った。「エホバはこうするようにと命じました。その通りにすれば、エホバの栄光が皆さんの前に現れます」。7 モーセはアロン

第8章
(例) 出 29:30, 35
民 3:2, 3

(例) 出 29:36
レビ 17:11

(例) 出 29:37

(例) 民 1:53

第9章
(例) レビ 8:35

(例) レビ 4:3

(例) レビ 3:1

(例) レビ 2:4
レビ 6:14

(例) 出 29:43

(例) 出 16:10
出 24:16
出 40:34

第2欄
(例) レビ 4:3

(例) ヘブ 7:27

(例) ヘブ 5:1-3

(例) レビ 16:33

(例) レビ 4:3, 4

(例) ヘブ 9:22

(例) レビ 4:7
レビ 8:14, 15

(例) レビ 4:8-10

(例) レビ 4:11, 12
ヘブ 13:11

(例) レビ 1:5

(例) レビ 1:3
レビ 6:9

に言った。「祭壇に近づいて、自分の罪の捧げ物と全焼の捧げ物を捧げ、自分と自分の家のために贖罪を行ってください。また、民の捧げ物を捧げ、民のために贖罪を行ってください。エホバが命じた通りにするのです」。

8 アロンはすぐに祭壇に近づき、自分のための罪の捧げ物である子牛をほふた。9 アロンの子たちがその血をアロンに差し出すと、アロンはそれに指を浸して血を祭壇の角に付け、残りの血を祭壇の基部に注いだ。10 そして、罪の捧げ物から取った脂肪と腎臓と肝臓の付属物を祭壇で焼いて煙にした。エホバがモーセに命じた通りである。11 肉と皮は宿宮の外で火で燃やした。

12 アロンは全焼の捧げ物をほふた。アロンの子たちがその血をアロンに渡すと、アロンはそれを祭壇の全側面に振り掛けた。13 アロンの子たちが全焼の捧げ物の各部分を頭と共にアロンに渡すと、アロンはそれを祭壇で焼いて煙にした。14 アロンは腸とすねを洗い、祭壇で全焼の捧げ物と共に焼いて煙にした。

15 アロンは次に民の捧げ物を捧げた。民のための罪の捧げ物であるヤギをほふり、先ほどの罪の捧げ物と同じようにしてそれを捧げた。16 全焼の捧げ物も捧げた。決められた手順通りに扱った。

17 アロンは穀物の捧げ物を捧げ

た。その幾らかを手に取り、朝の全焼の捧げ物とは別に、祭壇で焼いて煙にした。

18 アロンは、民のための共食の犠牲である雄牛と雄羊をほふった。アロンの子たちがその血をアロンに渡すと、アロンはそれを祭壇の全側面に振り掛けた。19 雄牛の脂肪の部分、雄羊の脂肪の多い尾、内臓を覆っている脂肪、腎臓、肝臓の付属物については、20 アロンの子たちが胸の部分の上に置き、アロンがそれらの脂肪を祭壇で焼いて煙にした。21 しかし胸と右の後ろ脚は、アロンが振揺の捧げ物としてエホバの前で揺り動かした。モーセが命じた通りである。

22 アロンは民の方に両手を上げて民のために祝福を願った。罪の捧げ物と全焼の捧げ物と共食の犠牲を捧げ終え、祭壇の所から下りた。23 モーセとアロンは会見の天幕に入り、その後、出てきて民のために祝福を願った。

するとエホバの栄光が皆の前に現れ、24 エホバのもとから火が出て、祭壇の全焼の捧げ物と脂肪の部分を焼き尽くしていった。民は皆、これを見て叫び声を上げ、ひれ伏した。

10 さて、アロンの子であるナダブとアビフは、それぞれ自分の香入れを取って炭火を入れ、香を載せた。そして許可されていない火をエホバの前に捧げ始めた。それは命じ

第9章

(例)レビ 2:1,11,13

(例)出 29:39

(例)レビ 3:1,2

(例)レビ 3:3,4

(例)レビ 3:9,10

(例)レビ 7:29-31

(例)出 29:27,28

(例)民 6:23-27

申 10:8

申 21:5

代一 23:13

(例)サニ 6:18

代二 6:3

(例)レビ 9:6

(例)裁 6:21

代一 21:26

(例)王一 18:38,39

代二 7:1,3

第10章

(例)出 6:23

代一 24:2

(例)出 30:34,35

レビ 16:12

(例)出 30:9

レビ 10:9

レビ 16:1,2

第2欄

(例)民 16:35

(例)民 26:61

(例)出 19:22

(例)出 6:18

(例)レビ 21:10

(例)出 28:41

レビ 8:12

レビ 21:11,12

られていたことに反していた。2 するとエホバのもとから火が出て2人をのみ込み、2人はエホバの前で死んだ。3 モーセはアロンに言った。「エホバはこう言いました。『私は、私に近い者たちの間で神聖なものとされる。私は、民全ての前でたたえられ』」。アロンは黙っていた。

4 モーセは、アロンの叔父ウジエルの子のミシャエルとエルザパンを呼んで、言った。「こちらに来て、身内の者たちを聖なる場所の前から宿営の外に運び出してください」。5 彼らは来て、モーセに言われた通り、長い服を着たまの2人を宿営の外に運び出した。

6 モーセは、アロンとその残りの息子であるエレアザルとイタマルに言った。「乱れた髪のままでははいけません。衣服を裂いてもいいけません。あなたが死ぬことのないため、また神が民全員に対して憤ることのないためです。イスラエルの民は皆、エホバが火によって除き去った2人について泣き悲しむでしょう。7 あなたたちは会見の天幕の入り口から離れてはいけません。死ぬことのないためです。あなたたちにはエホバの注ぎ油が掛けられているからです。彼らはモーセに言われた通りにした。

8 エホバはアロンに言った。9 「あなたもあなたの子たちも、会見の天幕

10:7 *用語集の「油を注ぐ」参照。

は い と き し ゅ の さ け の
 に入る時はぶどう酒などの酒を飲んで
 は い け な い。死ぬことのないためであ
 る。これは代々ずっと守るべき法令で
 ある。10 そうするのは、^{せい}聖なるもの
 と^せ世俗のもの、^けけがれたものと^{きよ}清いもの
 を区別するため、11 モーセを通して
 エホバが話した規定全てをイスラエ
 ル人に教えるためである。

12 モーセは、アロンに残った息子
 であるエレアザルとイタマルに言った。
 「エホバへの火による^い捧げ物の中
 から、穀物の^{こくもつ}捧げ物の残りを取り、無
 酵^{こう}母パンにして祭壇の近くで食べてく
 ださい。それは極めて^{せい}聖なるものだ
 からです。13 それを^{せい}聖なる場所で
 食べなければなりません。それは、エ
 ホバへの火による^い捧げ物の中から与
 えられるあなたの取り分、あなたの
 子たちの取り分だからです。私はそう
 命じられました。14 また、あなたも
 息子も娘も、振揺の^{しんよう}捧げ物の胸と神
 聖な^{せい}分の脚を^{あし}清い場所で食べます。
 それらは、イスラエル人の共食の犠牲
 の中から与えられるあなたの取り
 分、あなたの子たちの取り分だからで
 す。15 振揺の^{しんよう}捧げ物としてエホバ
 の前で揺り動かすため、^{まへ}神聖な^{しんせい}分の脚
 と振揺の^{しんよう}捧げ物の胸が、火による^い捧げ
 物の脂肪部分と共に差し出されます。
 脚と胸は、あなたとあなたの子たちの
 ためにずっと与えられる取り分です。
 エホバが命じた通りです。

16 モーセが罪の捧げ物のヤギを

第10章
 (例) エゼ 44:21

(例) エゼ 44:23

(例) 申 33:10
 代二 17:8,9
 ネヘ 8:7,8
 マラ 2:7

(例) レビ 6:14,16

(例) レビ 21:22

(例) レビ 6:26
 民 18:10

(例) レビ 22:13
 民 18:11

(例) 出 29:26-28
 レビ 7:31,34
 レビ 9:21

(例) コー 9:13

(例) レビ 9:3,15

第2欄

(例) レビ 6:25,26
 エゼ 44:29

(例) レビ 6:29,30

(例) レビ 9:8,12

第11章

(例) 申 14:4-6
 エゼ 4:14

さが まわ
 捜し回ると、それは焼かれてしまっ
 いた。それでモーセは、アロンの残っ
 た息子であるエレアザルとイタマルに
 対して^{たい}憤り、こう言った。17 「どうし
 つみ ささ もの せい ばしょ た
 て罪の捧げ物を^{せい}聖なる場所で食べ
 なかったのですか。あれは極めて^{せい}聖な
 るものであり、あなたたちが民の過ち
 の責任を負い、民のためにエホバの
 前で贖罪を行うようにと、あなたたち
 に与えられたものです。18 いいです
 か。誰も捧げ物の血を^{せい}聖なる場所の
 中に持っていきませんでした。あなた
 たちは、捧げ物を^{せい}聖なる場所で食べる
 べきだったのです。私はそう命じられ
 ました」。19 アロンがモーセに答え
 た。「考えてみてください。今日、彼ら
 つみ ささ もの ぜんしやう ささ もの
 は罪の捧げ物と全焼の捧げ物をエホ
 バの前に捧げました。けれども、私に
 このようなことが起きました。今日
 私が罪の捧げ物を食べていたら、エ
 ホバは喜んでくださったのでしょ
 うか」。20 これを聞いて、モーセは状
 況を理解した。

11 エホバはモーセとアロンに
 言った。2 「イスラエル人
 にこう告げなさい。『食べてよい地上
 の生き物は次の通りである。3 ひづ
 めが割れていて完全に分かれており、
 しかも反すうする動物は全て、食べて
 よい。

4 しかし、反すうしたりひづめが割
 れていたりしても、以下の動物は食べ

11:2 *または、「陸生動物」。

てはならない。ラクダ。これは反すうするがひづめが割れていない。それはあなたたちにとって汚れたものである。5 イワダヌギ。これは反すうするがひづめが割れていない。それはあなたたちにとって汚れたものである。6 野ウサギ。これは反すうするがひづめが割れていない。それはあなたたちにとって汚れたものである。7 豚。これはひづめが割れていて完全に分かれているが、反すうしない。それはあなたたちにとって汚れたものである。8 これらの動物の肉を一切食べてはならず、その死骸に触れてもならない。これらはあなたたちにとって汚れたものである。

9 水の中にいるあらゆるものうち食べてよいものは次の通りである。海や川など水の中にいるひれとうろこがあるものは、食べてよい。10 しかし、水の中にいる無数の小さな生き物や他の全ての生き物のうち、海や川にひれとうろこがないものは、あなたたちにとって忌まわしいものである。11 それらはあなたたちにとって忌まわしいものなのである。その身を一切食べてはならず、その死骸も忌み嫌うべきである。12 水の中にいるひれとうろこがないものは皆、あなたたちにとって忌まわしいものである。

13 以下は翼のある忌み嫌うべき生き物である。これらは忌まわしいものであり、食べてはならない。ワシ、ミサ

第11章
〔イ〕申 14:7,8

〔イ〕格 30:26

〔イ〕イザ 65:4
イザ 66:3,17

〔イ〕使徒 10:14

〔イ〕申 14:9,10

〔イ〕申 14:3

〔イ〕ヨブ 39:27,30

第2欄
〔イ〕申 14:12-19

〔イ〕マタ 3:4
マル 1:6

〔イ〕レビ 14:46,47
レビ 15:8
レビ 17:15
レビ 22:4-6

〔イ〕レビ 14:2,8
レビ 15:2,5
民 19:10

〔イ〕申 14:7,8

〔イ〕レビ 17:15,16

ゴ、クロハゲワシ、14 アカトビ、トビの類、15 ワタリガラスの類、16 ダチョウ、フクロウ、カモメ、ハヤブサの類、17 コキンメフクロウ、鵜、トラフズク、18 白鳥、ペリカン、ハゲワシ、19 コウノトリ、サギの類、ヤツガシラ、コウモリ。20 羽があって4本の足で歩く小さな生き物は皆、あなたたちにとって忌まわしいものである。

21 羽があって4本の足で歩く小さな生き物のうち、折れ曲がった足がほかの足よりも上に突き出ている、地面を跳びはねるものは食べてよい。

22 すなわち、さまざまな種類のバッタ、コオロギ。23 羽があって4本の足を持つ他の小さな生き物は全て、あなたたちにとって忌まわしいものである。24 それらはあなたたちを汚すものである。その死骸に触れた人は夕方まで汚れた人となる。25 その死骸を運んだ人は服を洗うべきである。その人は夕方まで汚れた人となる。

26 ひづめが割れていても完全にひづめが割れていない動物は、あなたたちにとって汚れたものである。それに触れた人は汚れた人となる。27 4本の足で歩く生き物のうち、ひづめのない生き物は皆、あなたたちにとって汚れたものである。その死骸に触れた人は夕方まで汚れた人となる。28 その死骸を運んだ人は服を洗うべきである。その人は夕方まで

11:20 *または、「昆虫」。

で汚れた人となる。それらはあなたたちにとって汚れたものである。

29 地上の小さな生き物のうち、以下はあなたたちにとって汚れたものである。モグラネズミ、ハツカネズミ、トカゲの類、**30** ヤモリ、オオトカゲ、イモリ、カナヘビ、カメレオン。**31** これらの小さな生き物は、あなたたちにとって汚れたものである。その死骸に触れた人は夕方まで汚れた人となる。

32 これらの生き物が死んで、木の器、服、革、粗布などの上に落ちたなら、それは汚れたものとなる。使用する器は水に漬けるべきである。それは夕方までは汚れたものであり、その後

は清いものとなる。**33** 死骸が土の器の中に落ちたなら、それを打ち砕くべきであり、中にあった物は汚れたものとなる。**34** そうした器の中の水が何かの食べ物に掛かるなら、それは汚れたものとなる。そうした器に入っていた飲み物は汚れたものとなる。

35 死骸が上に落ちた物は全て汚れたものとなる。かまども、こんろも、打ち砕くべきである。それらは汚れており、あなたたちにとってずっと汚れたものである。**36** 泉と水のための場合、そこに死骸が落ちてても清いままであるが、その死骸に触れた人は汚れた人となる。**37** また、まく前の植物の種類は、その上に死骸が落ちてても、清い。

38 しかし、種に水が掛けられていて、その上に死骸の一部が落ちたのであ

第11章
レビ 5:2

イザ 66:17

申 14:19

レビ 11:24
レビ 22:4,5

レビ 15:12

第2欄
レビ 11:23,24
民 19:11,16

レビ 17:15
レビ 22:3,8
申 14:21
エゼ 4:14
エゼ 44:31

レビ 11:21

申 14:3

レビ 20:25

出 20:2

出 19:6
レビ 19:2
申 14:2
テサラ 4:7

ペー 1:15,16
啓 4:8

出 6:7
出 29:46
ホセ 11:1

レビ 20:7,26
ヨシ 24:19
サー 2:2

出 22:31
民 15:40
申 7:6

れば、その種はあなたたちにとって汚れたものである。

39 食用にする動物が死んだ場合、その死骸に触れた人は夕方まで汚れた人となる。**40** その死んだ動物の一部を食べた人は服を洗うべきであり、夕方まで汚れた人となる。その死骸を運んだ人は服を洗うべきであり、夕方まで汚れた人となる。**41** 地上の小さな生き物は忌まわしいものである。食べてはならない。**42** 腹ばいで動く生き物や4本の足で歩く生き物、足がたくさんある小さな生き物は、食べてはならない。それらは忌まわしいものだからである。**43** 小さな生き物を食べて忌まわしいものとなつてはならない。それらによって自分を汚してはならない。汚れた人となつてはならない。**44** 私はあなたたちの神工ホバである。あなたたちは自分を神聖なものとし、聖なる人とならなければならぬ。私は聖なる者だからである。地面を行く小さな生き物によって自分を汚してはならない。**45** 私はエホバであり、あなたたちをエジプトから連れ出し、あなたたちの神であることを示している。私は聖なる者なのだから、あなたたちも聖なる人でなければならぬ。

46 以上が、動物、飛ぶ生き物、水の中を動き回る生き物、地面を行く小さな生き物に関する律法であり、**47** 汚れたものと清いものと、食べてよい生き

レビ 12:1-13:9

物のた 食べてはならない生き物を区別す
るためのものである』。

12 エホバは続けてモーセに
言った。2「イスラエル人
にこう告げなさい。『女性が妊娠して
男の子を産んだ場合、7日間、汚れた
人となる。月経中の汚れの期間と同
様である。3 8日目には、その子の
包皮に割礼を施す。4 さらに33日
間、女性は自分を清める。血が流出し
たからである。聖なるものに一切触れ
てはならない。清めの期間が終わる
まで聖なる場所に入ってはならない。

5 女の子を産んだ場合、女性は14
日間、月経の時と同じように汚れた人
となる。さらに66日間、自分を清める。
血が流出したからである。6 息子や
娘についての清めの期間が終わった
なら、女性は全焼の捧げ物として
1歳未満の若い雄羊を、また罪の捧
げ物として若いイェバトかヤマバト
を、会見の天幕の入り口、祭司の所に
持っていく。7 祭司はそれをエホバ
の前に差し出して、女性のために贖
罪を行い、血の流出があった女性は
清くなる。これが男の子あるいは女
の子を産んだ女性に関する律法であ
る。8 もし羊を差し出す余裕がなけ
れば、ヤマバト2羽か若いイェバト2羽
を持っていかなければならない。1羽
は全焼の捧げ物のため、1羽は罪の捧

第11章

(例)レビ 20:25
エゼ 44:23

第12章

(例)レビ 15:19

(例)創 17:12
創 21:4
ルカ 1:59
ルカ 2:21, 22
ヨハ 7:22

(例)レビ 1:10

(例)レビ 1:14
レビ 5:7
レビ 14:21, 22
ルカ 2:24

第2欄

第13章

(例)民 12:10, 12
代二 26:19
マタ 8:3

(例)申 24:8
エゼ 44:23
マラ 2:7
ルカ 17:14

(例)レビ 13:50
レビ 14:38
民 12:15

(例)マタ 8:4
マル 1:44
ルカ 5:14
ルカ 17:14

(例)レビ 13:15, 25,
30, 42
民 12:10, 12

げ物のためである。祭司は女性のた
めに贖罪を行い、女性は清くなる』。

13 エホバは続けてモーセとア
ロンに言った。2「人の皮
膚に腫れ物やかさぶたや斑点ができ、
重い皮膚病かもしれない場合、その人
を祭司アロンか、祭司であるアロンの
子たちの1人の所に連れていかなけ
ればならない。3 祭司は皮膚の患
部を診る。患部の毛が白くなっていて、
見た目からして皮膚の下まで及んでい
るなら、重い皮膚病である。祭司は患
部を診て、その人のことを汚れている
と宣言する。4 しかし、斑点が白く、
見た目からして皮膚の下まで及んでお
らず、毛が白くなっていないなら、祭司
は患者を7日間隔離する。5 祭司は
7日目にその患者を診る。患部が元の
ままで、広がっていないようなら、もう7
日間隔離する。

6 祭司は7日目にまた診るべきであ
る。もし患部が良くなってきていて、広
がっていないなら、その人のことを清
いと宣言する。ただのかさぶただった
のである。その人は服を洗い、清くな
る。7 祭司に診てもらった後、かさぶ
たが明らかに広がっているなら、その
人は祭司の所にもう一度行く。8 祭
司は患部を診る。かさぶたが広がっ
ているなら、その人のことを汚れている
と宣言する。重い皮膚病なのである。

9 人が重い皮膚病にかかったなら、

13:7 *または、「患部」。

12:3; 13:2 *用語集参照。

その人を祭司の所に連れていかなければならない。10 祭司はその人を診る。皮膚に白い腫れ物があり、そのために毛が白くなっていて、腫れた部分がただれていれば、11 慢性の重い皮膚病であり、その人のことを汚れていると宣言する。汚れているので、確認のために隔離する必要はない。12 もし、祭司が見る限り、重い皮膚病が皮膚全体を侵し、頭から足までを覆っていれば、13 そして祭司がその人を診て、重い皮膚病が体の皮膚全体を覆っているのが分かれれば、その患者のことを清いと宣言する。患部全体が白いので、その人は清い。14 しかし、患部にただれが生じることがあれば、汚れた人となる。15 祭司はただれを確認し、その人のことを汚れていると宣言する。ただれは汚れている。重い皮膚病である。16 とはいえ、ただれが再び白くなったなら、その人は祭司の所に行く。17 祭司はその人を診て、患部が白くなっていれば、その患者のことを清いと宣言する。その人は清い。

18 人の皮膚にできものができて、それが治り、19 そのできものの場所に白い腫れ物か赤みがかった白い斑点ができた場合、祭司に見せなければならぬ。20 祭司は患部を診る。皮膚の下まで及んでいるようで、毛が白くなっていれば、その人のこと

第13章

(イ) レビ 13:3

(イ) レビ 13:24, 25

(イ) レビ 13:4

(ロ) 申 24:8

(イ) レビ 13:8

(イ) ルカ 5:14
ルカ 17:14

(イ) エゼ 44:23

第2欄

(イ) レビ 13:4, 50
レビ 14:38
民 12:15(イ) マタ 8:4
マル 1:44
ルカ 5:14
ルカ 17:14(イ) レビ 13:4, 50
レビ 14:38
民 12:15

を汚れていると宣言する。できものの場所に重い皮膚病が生じたのである。21 しかし、祭司が患部を診て、白い毛がなく、皮膚の下まで及んでおらず、良くなっているようであれば、その人とかかんかくり(イ) かんぶん(イ) 人を7日間隔離する。22 もし患部が明らかに広がっているなら、祭司はその人のことを汚れていると宣言する。病気なのである。23 しかし、もし斑点がそのまま、広がっていないなら、できものの炎症にすぎない。祭司はその人のことを清いと宣言する。

24 また、人がやけどをして肉が見えた所に、白い斑点か赤みがかった白い斑点ができた場合、25 祭司は患部を診る。斑点の所の毛が白くなっている、皮膚の下まで及んでいるようであれば、それはやけどした場所に生じた重い皮膚病である。祭司はその人のことを汚れていると宣言する。重い皮膚病なのである。26 しかし、祭司が患部を診て、斑点の所に白い毛がなく、皮膚の下まで及んでおらず、良くなっているのであれば、その人を7日間隔離する。27 祭司は7日目にその患者を診る。もし患部が明らかに広がっているなら、その人のことを汚れていると宣言する。重い皮膚病なのである。28 しかし、もし斑点がそのまま、広がっておらず、良くなっているなら、やけどによる腫れ物にすぎない。祭司はその人のことを清いと宣言する。やけどの炎症だからである。

29 男性または女性の頭や顎に何らかの症状が現れる場合、30 祭司は患部を診る。もし皮膚の下まで及んでいるようで、その毛が黄色く、薄くなっていれば、その人のことを汚れていると宣言する。それは頭皮や顎ひげの病気、頭や顎の重い皮膚病である。

31 しかし、祭司が確認して、患部が皮膚の下まで及んでいないようで、そこに黒い毛がない場合、その患者を7日間隔離すべきである。32 祭司は7日目に患部を診る。もし患部が広がっておらず、そこに黄色い毛も生じておらず、見た目からして患部が皮膚の下まで及んでいなければ、33 その人は毛をそってもらうべきである。ただし、患部の毛はそらない。祭司はその患者をさらに7日間隔離する。

34 祭司は7日目にまた患部を診る。もし頭皮や顎ひげの病気が広がっておらず、皮膚の下まで及んでいないようであれば、その人のことを清いと宣言しなければならぬ。その人は服を洗い、清くなる。35 しかし、清いとされた後に患部が明らかに広がるなら、36 祭司はその人を診る。患部が広がっているなら、黄色い毛を採す必要はない。その人は汚れている。37 しかし、診察の結果、患部が広がっておらず、そこに黒い毛が生えているなら、病気は治っている。その人は清い。祭司はその人のことを清いと宣言する。

第13章

(例)申 24:8
マラ 2:7

(例)レビ 13:4,50
レビ 14:38
民 12:15

(例)マタ 8:4
マル 1:44
ルカ 5:14
ルカ 17:14

第2欄

(例)レビ 13:2

(例)民 5:2
民 12:14
王二 7:3
代二 26:20,21

38 男性または女性の皮膚に白い斑点ができた場合、39 祭司はその人を診る。皮膚の斑点が薄い白色であれば、それは皮膚に生じた害のない斑点である。その人は清い。

40 男性の髪の毛が抜けてはげてくる場合、その人は清い。41 頭の前の毛が抜けてはげてくる場合、その人は清い。42 しかし、はげた頭皮や顎に赤みがあった白いただれができる場合、それは頭皮や顎に生じた重い皮膚病である。43 祭司はその人を診る。もし頭頂部や額のほげに赤みがあった白い腫れ物ができて、これまでに述べてきた重い皮膚病の症状に似ていれば、44 その人は重い皮膚病である。その人は汚れている。祭司はその人のことを汚れていると宣言すべきである。頭に生じた病気のためである。45 こうした重い皮膚病の人は、自分の衣服を裂き、頭を整えずにいるべきである。そして、口ひげを覆って、『汚れている、汚れている!』と叫ぶべきである。46 その人はその病気の間ずっと汚れている。それで、ほかの人から離れて生活すべきであり、宿営の外に住む。

47 服にカビが生じた場合で、羊毛の服でも亜麻の服でも、48 亜麻あるいは羊毛の縦糸や横糸でも、草や草製のどんな物でも、49 黄緑の染みや赤みがかった染みが、服、草、縦糸、

13:47 用語集の「重い皮膚病」参照。

よこいと なん かわけいひん ば
横糸、また何らかの革製品にできた場
あい
合、それはカビによる汚染であり、祭
し み さい し
司に見せるべきである。50 祭司は

カビを調べ、カビが生えた物を7日
かんかくり
間隔離しなければならぬ。51 7
か め しら ふく たいてい
日目にカビを調べて、それが服、縦糸、
よこいと なん かわけいひん ちの ひろ
横糸、何らかの革製の物に広がってい
るのが分かれば、それは悪性のカビ
であり、その物品は汚れたものである。

52 そのカビが生じた羊毛あるいは
あま ふく たいてい よこいと なん かわけいひん
亜麻の服、縦糸、横糸、何らかの革製
品は燃やすべきである。それは悪性の
カビだからである。その物品を火で燃
やす。

53 しかし、祭司が調べて、服、縦糸、
よこいと なん かわけいひん ひろ
横糸、何らかの革製品にカビが広がっ
ていないなら、54 祭司は汚染され
た物を洗うように命じ、それをもう7日
かんかくり
間隔離する。55 そして、そのしっかり
あら もの しら み め
洗った物を調べる。見た目からして
おせんじょうたい か
汚染状態が変わっていないなら、カビ
が広がっていないくても、その物品は汚
れたものである。あなたはそれを火
で燃やすべきである。それは表か裏が
おか
侵されているからである。

56 一方、祭司が調べて、汚染され
ぶ ぶん あら あと うす
た部分がしっかり洗われた後に薄く
なっているなら、そこを服、革、縦糸、
よこいと き と
横糸から切り取る。57 しかしカビ
が、服、縦糸、横糸、何らかの革製品の
べつ か しょう あらわ ひろ
別の箇所に現れるなら、それは広が
る。汚染された物を火で燃やすべきで
ある。58 洗った服、縦糸、横糸、何

第13章

例レビ13:4
レビ14:38
民12:15

例レビ14:44,45

例レビ13:52

第2欄

第14章

例レビ13:2
マタ8:4
マル1:44
ルカ5:14
ルカ17:14

例レビ14:49-53
民19:6,9
詩51:7

例レビ16:22

らかの革製品から汚染が消えたなら、
いち ど あら きよ
もう一度洗うべきである。それは清く
なる。

59 以上が、羊毛あるいは亜麻の
ふく たいてい よこいと なん かわけいひん は
服、縦糸、横糸、何らかの革製品に生
えたカビに関する律法であり、清いか
けが せんげん
汚れているかを宣言するためのもので
ある」。

14 エホバは続けてモーセに
言った。2「以下は、重い皮
ふびょう ひと きよ せんげん ひ かん
膚病の人が清いと宣言される日に関
する律法である。その人を祭司の所に
連れていく。3 祭司は宿営の外に出
て、その人を診る。重い皮膚病が治っ
ているなら、4 祭司は、清めのため
に、生きた清い鳥2羽、杉の枝、緋色の
ぬの ぬの さいし しゆくえい そと めい
布、ヒソブを持ってくるようその人に命
じる。5 そして一方の鳥を、きれいな
みず はい ど き うえ ころ
水が入った土器の上で殺すように
命じる。6 生きている方の鳥につい
ては、水の上で殺した鳥の血の中に、
すぎ えだ ひいろ ぬの ひっしょ
杉の枝と緋色の布とヒソブと一緒に
ひた ひ おも ひ ふびょう
浸す。7 それから、重い皮膚病から
の清めをしている人にその血を7回は
か け ひと きよ せんげん はな けい
ね掛け、その人のことを清いと宣言し、
い ほう とりの けらは はな けい
生きている方の鳥を野原に放つ。

8 清めをしている人は服を洗い、全
ての毛をそり、水を浴びなければなら
ない。その人は清くなる。その後は宿
えい はい か かん じ ぶん てん
営に入ってよいが、7日間は自分の天
まく そと す か め あたま あご
幕の外に住む。9 7日目に、頭と顎
け まゆげ すべ
の毛と眉毛を全てそるべきである。全

14:4 *または、「赤い」。

レビ 14:10-28

ての毛をそってから、服を洗い、水を浴びる。その人は清くなる。

10 8日目にその人は、傷のない若い雄羊2匹、傷のない1歳未満の雌の子羊1匹、穀物の捧げ物として油を混ぜた上等の麦粉6.6リットル、油0.3リットルを持っていく。**11** その人のことを清いと宣言する祭司は、清めをしているその人と捧げ物を、会見の天幕の入り口でエホバの前に差し出す。

12 一方の若い雄羊を有罪の捧げ物として油0.3リットルと一緒に捧げ、それらを振揺の捧げ物としてエホバの前で揺り動かす。**13** そしてその若い雄羊を、罪の捧げ物や全焼の捧げ物の雄羊を、いともほふる場所、聖なる場所ではふる。有罪の捧げ物も罪の捧げ物と同じように祭司のものだからである。それは清めて聖なるものである。

14 祭司はその有罪の捧げ物の血をいくらか取り、清めをしている人の右の耳たぶ、右手の親指、右足の親指に付ける。**15** また、油0.3リットルの一部を取り、自分の左の手のひらに注ぐ。**16** 左の手のひらにある油に右手の指を浸し、指で油をエホバの前で7回はね飛ばす。**17** 手のひらに残った油の一部を、清めをしている人の右の耳たぶ、右手の親指、右足の親指に付ける。有罪の捧げ物の血を付けた場所に付けるのである。**18** 手のひらに残りの油は、清めをしている人の頭に付ける。こうして祭司はその

第14章

(例)レビ 4:32

(例)レビ 2:1

(例)マル 1:44

(例)レビ 6:6

(例)レビ 14:21,24

(例)レビ 1:10,11
レビ 4:3,4(例)レビ 2:3
レビ 7:7
コー 9:13
コー 10:18

(例)レビ 6:25

(例)レビ 14:10

第2欄

(例)レビ 6:7
コー 1:7
コー 2:1,2

(例)レビ 5:6

(例)レビ 2:1
レビ 14:10
民 15:4

(例)マタ 8:4

(例)レビ 14:9
マル 1:44
ルカ 5:14
ルカ 17:14(例)レビ 1:14
レビ 5:7
レビ 12:8

(例)レビ 15:13,14

(例)レビ 14:10,11

(例)レビ 6:6

(例)レビ 14:12

(例)レビ 14:14

(例)レビ 14:15-18

人のためにエホバの前で贖罪を行う。

19 祭司は罪の捧げ物を捧げ、汚れからの清めをしている人のために贖罪を行う。その後、全焼の捧げ物をほふる。**20** 祭司は祭壇で全焼の捧げ物と穀物の捧げ物を捧げる。こうして祭司はその人のために贖罪を行い、その人は清くなる。

21 もし貧しくて資力がないのであれば、贖罪のために、以下の物を持っていく。振揺の捧げ物にする有罪の捧げ物として若い雄羊1匹、穀物の捧げ物として油を混ぜた上等の麦粉2.2リットル、油0.3リットル、**22** ヤマバト2羽か若いイエバト2羽。資力に応じて持っていくのである。ハトは1羽を罪の捧げ物、もう1羽を全焼の捧げ物とする。**23** 8日目に、清いと宣言してもらうため、捧げ物を会見の天幕の入り口の祭司の所、エホバの前に持っていく。

24 祭司は有罪の捧げ物の若い雄羊と油0.3リットルを取り、振揺の捧げ物としてエホバの前で揺り動かす。**25** それから有罪の捧げ物の若い雄羊をほふる。祭司はその血をいくらか取り、清めをしている人の右の耳たぶ、右手の親指、右足の親指に付ける。

26 また、油の一部を自分の左手のひらに注ぐ。**27** 左の手のひらにある油を右手の指でエホバの前で7回はね飛ばす。**28** 手のひらにある油の幾らかを、清めをしている人の右の

みみ みぎ て おやゆび みぎあし おやゆび つ
耳たぶ、右手の親指、右足の親指に付
ける。有罪の捧げ物の血を付けたの
と
おな ばしよ つ
と同じ場所に付ける。29 手のひら
のこ あぶら きよめを
の残りの油は、清めをしている人の頭
に付ける。その人のためにエホバの
まえ しょうざい おこな
前で贖罪を行うためである。

30 祭司は、その人が資力に応じて
さ だ かわ
差し出したヤマバトか若いイエバトを
ささ けい ひと さ だ せいの
捧げる。31 その人が差し出した物
の一方を罪の捧げ物、もう一方を全
いっぼう つみ ささ もの いっぼう ぜん
焼の捧げ物として、穀物の捧げ物とい
しょう ささ もの けい こくもつ ささ もの いっ
焼の捧げ物として、穀物の捧げ物とい
しょ ささ さいし きよめをし
緒に捧げる。こうして祭司は清めをし
て
ひと まえ しょうざい
ている人のためにエホバの前で贖罪
おこなけい
を行う。

32 これは、重い皮膚病だった人に
しりよく ば あい きよ せんげん
資力がない場合、清いと宣言してもら
うための律法である」。

33 エホバはモーセとアロンに言っ
た。34 「私が所有地として与える
かなん ちほう ちほう (はい) けい
地方にあなたたちが入り、そ
こで私が家にカビを生じさせた場合、
わたし いえ * しょう ばあいけい
35 家の持ち主は祭司の所に行って、
『家の中にカビのようなものが生じ
ました』と言うべきである。36 祭司
は、入ってカビを調べる前に、家の中
を片付けて空にするよう命じる。家に
ある全ての物が汚れていると宣言され
てしまわないためである。その後、祭
し いえ み はい さいし
司は家を見るために入る。37 祭司
は汚染された箇所を調べる。家の壁
きみどり し あか し
に黄緑の染みや赤みがかった染みが
あり、見た目からして壁の中にまで及

第14章

(例) レビ 12:8
レビ 14:22

(例) レビ 5:7

(例) レビ 14:20

(例) 創 17:8

(例) 民 35:10

(例) 申 7:12,15

第2欄

(例) レビ 13:4,50
民 12:15

(例) レビ 13:51

(例) レビ 14:41

(例) レビ 14:38

(例) レビ 11:23-25
レビ 15:8
レビ 17:15
レビ 22:4-6

(例) レビ 14:3,4
民 19:6,7

んでいれば、38 家の入り口から出
て、家を7日間閉鎖する。

39 祭司は7日目に戻って調べる。
カビが家の壁に広がっていれば、
40 祭司が命令を出し、カビが生えた
石を取り外して町の外の汚れた場所
に捨てる。41 また、家の内側全体
を削り取り、取り除いたしっくい
を町の外の汚れた場所に捨てる。42 石
を外した場所にほかの石をはめ込み、
新しいしっくいを家に塗る。

43 石を取り外し、家の内側を削り
取り、しっくいを塗り直した後に、家の
中にカビが再び生じたなら、44 祭
司は中に入って調べる。カビが家の
中に広がっているなら、悪性のカビで
ある。その家は汚れている。45 そ
の家を取り壊す。石も材木も全部の
しっくいでもある。それらを町の外の
汚れた場所に運び出す。46 家の閉
鎖期間中にそこにいった人は、夕方ま
で汚れた人となる。47 その家で寝
た人は服を洗うべきである。その家で
食事をした人も服を洗うべきである。

48 一方、祭司が行って、家にしっく
いを塗り直した後にカビが広がってい
ないことが分かったなら、その家のこ
とを清いと宣言する。カビは消えたか
らである。49 その家を汚れから清
めるため、祭司は2羽の鳥、杉の枝、緋
色の布、ヒソブを取る。50 一方の
鳥を、きれいな水が入った土器の上

14:49 * 直訳、「罪」。

レビ 14:51-15:15

で殺す。51 杉の枝、ヒソブ、緋色の布、生きている方の鳥を取って、水の上で殺した鳥の血に浸す。その血を家に7回はね掛けなければならない。52 こうして、鳥の血、きれいな水、生きた鳥、杉の枝、ヒソブ、緋色の布によって、家を汚れから清める。53 祭司は生きている方の鳥を町の外の野原に放ち、その家から汚れを取り除く。それは清くなる。

54 以上が、あらゆる重い皮膚病とカビに関する律法である。頭皮や顎ひげの病気、55 服や家のカビ、56 腫れ物、かさぶた、斑点に関する律法であり、57 どんな場合に汚れているか、どんな場合に清いかを判断するためのものである。これが重い皮膚病とカビに関する律法である。

15 エホバは続けてモーセとアロンに言った。2 「イスラエル人にこう告げなさい。『男性の生殖器から流出物がある場合、その男性は汚れている。3 生殖器からの流出物が出続けていても詰まっても、その男性は汚れている。』

4 流出物がある人が横になった寝床は汚れたものとなり、その人が座った物も汚れたものとなる。5 その人の寝床に触れた人は自分の服を洗って、水を浴びなければならない、夕方まで汚れた人とされる。6 流出物がある

14:52 *直訳、「罪」。14:53 *直訳、「のために贖罪を行う」。15:2 *直訳、「肉体」。

第14章

(例)レビ 14:6,7

(例)レビ 13:30

(例)レビ 13:47

(例)レビ 14:34

(例)レビ 13:2

(例)レビ 10:10
エゼ 44:23

(例)申 24:8

第15章

(例)レビ 22:4
民 5:2(例)レビ 11:24,25
レビ 14:46,47
レビ 17:15
レビ 22:6

第2欄

(例)レビ 15:2

(例)レビ 11:32,33

(例)レビ 14:8

(例)レビ 14:14

人が座った物に座る人も自分の服を洗って、水を浴びるべきであり、夕方まで汚れた人とされる。7 流出物がある人の体に触れた人も自分の服を洗って、水を浴びるべきであり、夕方まで汚れた人とされる。8 流出物がある人の唾が清い人に掛かったなら、その人は自分の服を洗って、水を浴びなければならない、夕方まで汚れた人とされる。9 流出物がある人が乗ったくらは汚れたものとなる。10 その人の下にあった物に触れた人は、夕方まで汚れた人となる。それを運んだ人は自分の服を洗って、水を浴び、夕方まで汚れた人となる。11 流出物がある人が手を洗わずに触れた人は、自分の服を洗って、水を浴びなければならない、夕方まで汚れた人とされる。12 流出物がある人が触れた土の器は打ち砕き、木の器は水で洗うべきである。

13 流出が止まって清くなったなら、その人は、清めのために7日が経過した後、自分の服を洗い、きれいな水を浴びなければならない。こうして清くなる。14 8日目にその人は、ヤマバト2羽か若いイエバト2羽を持って、エホバの前、会見の天幕の入り口に来て、それを祭司に渡すべきである。15 祭司は、1羽を罪の捧げ物として、もう1羽を全焼の捧げ物として捧げる。その人のために、流出に関してエホバの前で贖罪を行う。

16 男性が射精した場合、全身に水を浴びるべきであり、夕方まで汚れた人とされる。17 精液が付いた服や革製品は水で洗わなければならない、夕方まで汚れたものとなる。

18 男性が女性と寝て射精したなら、2人は水を浴びるべきであり、夕方まで汚れた人とされる。

19 女性は月経のために血の流出がある場合、7日間汚れている。その女性に触れた人は夕方まで汚れた人となる。20 月経期間中の女性が横になった物は汚れたものとなり、その人が座った物も汚れたものとなる。21 その女性の寝床に触れた人は自分の服を洗って、水を浴びるべきであり、夕方まで汚れた人とされる。22 その女性が座った物に触れた人は自分の服を洗って、水を浴びるべきであり、夕方まで汚れた人となる。23 その女性が寝床や他の物に座ったなら、それに触れる人は夕方まで汚れた人となる。24 もし男性が女性と寝て月経による血が付いたなら、その男性は7日間汚れた人となり、その人が横になる寝床も汚れたものとなる。

25 女性の血の流出が、月経期間ではないのに何日もある場合、あるいは普段の月経期間より長く続く場合、その人は流出がある間ずっと、月経の時と同じく、汚れた人となる。26 血の流出がある間にその人が横になっ

第15章

(例) レビ 22:4
申 23:10,11

(例) 出 19:15
サ 21:5

(例) レビ 12:2,5

(例) レビ 20:18

(例) レビ 15:4-6

(例) レビ 15:10

(例) レビ 18:19
レビ 20:18

(例) レビ 15:19

(例) マタ 9:20
ルカ 8:43

第2欄

(例) レビ 15:21

(例) レビ 15:22

(例) レビ 15:13

(例) レビ 1:14

(例) レビ 15:14,15

(例) レビ 12:7

(例) レビ 19:30
民 5:3
民 19:20

(例) レビ 15:16

(例) レビ 15:19

(例) レビ 15:2,25

第16章

(例) レビ 10:1,2

(例) 出 40:21

ペ 6:19

ペ 9:3,7

た寝床は、月経の時と同じように汚れたものとなる。その人が座った物も、月経の時と同じように汚れたものとなる。27 それらに触れた人は汚れた人となる。その人は自分の服を洗って、水を浴びなければならない、夕方まで汚れた人とされる。

28 流出が止まって清くなったなら、その女性は7日が経過した後、清くなる。29 8日目にその人は、ヤマバト2羽か若いイエバト2羽を取って、会見の天幕の入り口にいる祭司の所に持っていく。30 祭司は1羽を罪の捧げ物、もう1羽を全焼の捧げ物とする。その人のために、汚れた流出に関してエホバの前で贖罪を行う。

31 こうしてイスラエル人を汚れから離しておかなければならない。民が自分たちの真ん中にある私の幕屋を汚して死ぬということのないためである。

32 以上が、流出物がある男性、射精のために汚れている男性に関する律法であり、33 月経期間中の女性、何らかの流出がある男性と女性、汚れた女性と寝た男性に関する律法である。』。

16 エホバは、アロンの2人の子がエホバに近づいて死んだ後、モーセに話した。2 エホバはモーセに言った。「あなたの兄アロンにこう告げなさい。幕の内側の聖なる場所、箱のふたの前へ勝手に入っては

ならない。死ぬことのないためである。
わたし くも とち(例) うえ あらわ
私は雲と共にふたの上に現れるから
である。

3 アロンは聖なる場所に入る時には、罪の捧げ物のための若い雄牛と全焼の捧げ物のための雄羊を持っていくべきである。4 聖なる亜麻の長い服を身に着け、亜麻のものも引きで体を覆い、亜麻の飾り帯を締め、亜麻のターバンを頭に巻くべきである。これらは聖なる服であり、水を浴びてから身に着ける。

5 イスラエル人の会衆から、罪の捧げ物のために雄の子ヤギ2匹、全焼の捧げ物のために雄羊1匹を取るべきである。

6 アロンは、自分のための罪の捧げ物である雄牛を差し出さなければならず、自分と自分の家のために贖罪を行う。

7 次にヤギ2匹を取り、エホバの前、会見の天幕の入り口に立たせる。

8 その2匹のヤギについてくじを引く。1つのくじはエホバのため、もう1つのくじはアザゼルのためである。9 アロンは、くじでエホバのためのものと決まったヤギを差し出し、罪の捧げ物とする。10 一方、くじでアザゼルのためのものと決まったヤギは、生きたままエホバの前に立たせるべきであ

16:4 *または、「下着」。*または、「むき出しの肉体」。16:8 *意味はもしかすると、「いなくなるヤギ」。

第16章

(例)レビ 23:27
(例)民 4:19,20
(例)出 40:34
(例)出 25:22
(例)レビ 4:3
(例)レビ 1:3
(例)出 28:39
(例)出 28:42
(例)出 39:27,29
(例)出 28:4
(例)出 28:2
(例)出 30:20
ヘブ 10:22
(例)ヘブ 7:27
(例)ヘブ 5:1-3
(例)格 16:33

第2欄

(例)レビ 14:7,53
レビ 16:21,22
イザ 53:4
ロマ 15:3
(例)レビ 16:6
(例)出 40:29
レビ 6:13
民 16:46
(例)ヘブ 9:4
(例)出 30:34-36
啓 5:8
啓 8:3-5
(例)レビ 16:2
ヘブ 6:19
ヘブ 10:19,20
(例)出 25:22
王二 19:15
(例)出 34:29
(例)出 25:18,21
代一 28:11
(例)ヘブ 9:22
(例)ロマ 3:25
ヘブ 9:12
ヘブ 9:24,25
ヘブ 10:4,12
(例)レビ 16:5
ヘブ 2:17
ヘブ 5:1-3
ヘブ 9:26
ヨ一 2:1,2
(例)ヘブ 6:19
ヘブ 9:3,7
ヘブ 10:19,20
(例)レビ 17:11
(例)伝 7:20

る。そして、その上で贖罪を行い、アザゼルのため荒野に送り出す。

11 アロンは自分のための罪の捧げ物である雄牛を差し出し、自分と自分の家のために贖罪を行う。その後、自分のための罪の捧げ物である雄牛をほふる。

12 エホバの前にある祭壇の燃える炭を香入れに満たし、両手1杯分の香り高い香の粉末と一緒に、幕の内側に持っていく。13 そして、エホバの前でその香を炭火の上に載せ、香の煙が証しの箱のふたを覆うようにする。死ぬことのないためである。

14 雄牛の血をいくらか取って、それを指でふたの東側、正面ではね飛ばす。ふたの前で血を指で7回はね飛ばすのである。

15 次に、民のための罪の捧げ物であるヤギをほふり、その血を幕の内側に持っていく、雄牛の血でしたのと同じことをする。ふたのほうに向けて、ふたの前ではね飛ばすのである。

16 アロンは聖なる場所のために、イスラエル人の汚れた行為と違反と罪に關して、贖罪をしなければならぬ。また、汚れた行為をする民の間にある会見の天幕のために、そのようにすべきである。

17 聖なる場所で贖罪をするためにアロンが入ってから出てくるまで、他の人は会見の天幕の中にはいない。アロンは自分のため、自分の家

のため、イスラエルの会衆衆のため
に贖罪を行う。

18 次に、エホバの前にある祭壇
の所に出てきて、祭壇のために贖罪
を行う。雄牛の血とヤギの血をいく
らか取り、祭壇の四隅の角に付ける。
19 また、祭壇に血を指で7回はね掛
け、イスラエル人の汚れた行為から清
めて神聖なものとす。

20 聖なる場所と会見の天幕と祭
壇のための贖罪を終えたら、生きてい
る方のヤギを連れてくる。21 アロン
はヤギの頭に両手を置き、イスラエル
人の全ての過ちと違反と罪をその上
に告白して、それら全てをヤギの頭に
置き、指定された人がヤギを荒野に送
り出す。22 ヤギは民の全ての過ち
を担って砂漠の地に行く。ヤギを荒野
に送り出すのである。

23 アロンは会見の天幕に入り、聖
なる場所に入る時に身に着けた亜麻
の服を脱ぎ、そこに置く。24 聖なる
場所で水を浴び、職服を着なければな
らない。そして、出てきて自分の全焼
の捧げ物と民の全焼の捧げ物を捧げ
て、自分と民のために贖罪を行う。
25 罪の捧げ物の脂肪を祭壇で焼い
て煙にする。

26 アザゼルのためのヤギを送り出
した人は、自分の服を洗って、水を浴
びるべきである。その後、宿営に入っ
てよい。

16:21 *または、「用意ができてい人」。

第16章

〔レ〕レビ 16:6
〔イ〕マル 10:45
ヘブ 2:9
ヘブ 7:27
ヘブ 9:7,12
啓 1:5
〔例〕出 38:1
〔ロ〕レビ 16:16
〔例〕ヘブ 9:23
〔例〕レビ 16:8,10
〔イ〕イザ 53:5,6
コニ 5:21
〔例〕イザ 53:12
エフ 1:7
ヘブ 9:28
ペー 2:24
ヨー 3:5
〔例〕詩 103:12
ヘブ 13:12
〔ロ〕レビ 16:10
〔例〕出 30:20
〔例〕出 28:4
レビ 8:7
〔例〕レビ 16:3
〔例〕レビ 16:5
〔例〕エフ 1:7
〔例〕レビ 16:8,21

第2欄

〔例〕レビ 4:11,12
ヘブ 13:11,12
〔イ〕レビ 23:27,28
民 29:7
〔例〕ヨハ 3:16
ロマ 8:32
テト 2:13,14
ヨー 1:7
ヨー 3:16
〔ロ〕エレ 33:8
ヘブ 9:13,14
ヘブ 10:2
〔例〕レビ 23:32
〔例〕出 29:4,7
レビ 8:12
〔例〕民 20:26
〔例〕レビ 8:33
〔例〕出 28:39
出 39:27,28
〔ロ〕出 28:2
出 29:29
レビ 16:4
〔例〕レビ 16:16
〔例〕レビ 16:20
〔例〕レビ 16:18
〔例〕レビ 16:24
ヨー 2:1,2
〔例〕レビ 23:31
民 29:7
〔例〕出 30:10
ヘブ 9:7

27 罪の捧げ物の雄牛と罪の捧げ
物のヤギ(その血は贖罪を行うため
に聖なる場所に持っていった)は、宿
営の外に持ち出し、皮と肉とふんを火
で燃やす。28 それらを燃やした人
は、自分の服を洗って、水を浴びるべ
きである。その後、宿営に入ってよい。

29 あなたたちは次の法令をずっと
守るべきである。第7の月の10日に、
自分を苦しめるべきである。あなたた
ちも、あなたたちの間に住んでいる外
国人も、どんな仕事もしてはならない。
30 その日、あなたたちのことを清い
と宣言するために、贖罪がなされる。
あなたたちはエホバの前で全ての罪
から清くなる。31 その日はあなた
たちにとって完全な休み、安息日であ
る。これはずっと守るべき法令で
ある。

32 油を注がれて父の代わりに仕
えるよう任命された祭司が、贖罪を
行い、亜麻の服、聖なる服を身に着け
る。33 そして、至聖所と会見の天幕
と祭壇のために贖罪を行い、祭司た
ちと会衆の民全員のために贖罪を行
う。34 これはあなたたちがずっと守
るべき法令である。イスラエル人のた
めに、全ての罪に関して年に1度贖罪
を行うためである。

16:29 *「自分を苦しめる」とは、断食などの制
限を自分に課すことだと一般に理解されてい
る。16:32 *用語集の「油を注ぐ」参照。『直
訳、手」を満たされた』。

アロンはエホバがモーセに命じたとお通りにした。

17 エホバは続けてモーセに言った。**2**「アロンとその子たちとイスラエル人全員に話しなさい。『エホバはこう命じた。

3「イスラエルの民の誰かが、雄牛、若い雄羊、ヤギを宿営の中で、あるいは宿営の外でふふるなら、**4** エホバの幕屋の前でエホバへの捧げ物として差し出すためにそれを会見の天幕の入り口を持ってこないでそうするなら、その人は流血の罪があると見なされる。その人は血を流した。民の中から除かれなければならない。**5** それ

でイスラエル人は、今は野原でふつてい犠牲をエホバのもとに、会見の天幕の入り口の祭司の所に持つてくる。民はそれをエホバへの共食の犠牲として犠牲にする。**6** 祭司はその血を、会見の天幕の入り口にあるエホバの祭壇に振り掛け、脂肪を焼いて煙にする。それはエホバにとって心地よい香りとなる。**7** 民は、ヤギのような邪悪な天使たちを崇拜するという不忠実なことをしているが、もうそれらに犠牲を捧げてはならない。この法令を代々ずっと守るべきである』」。

8 また、こう言いなさい。『イスラエルの民や、あなたたちの間に住んでいる外国人の誰かが、全焼の捧げ物や何らかの犠牲を捧げながら、**9** エホ

第17章

㉒ レビ 3:1,2
レビ 7:11

㉒ レビ 3:3-5
レビ 7:29-31

㉒ 出 34:15
申 31:16

㉒ 申 32:17
ヨシ 24:14

第2欄

㉒ レビ 1:3
申 12:5,6
申 12:13,14

㉒ 創 9:4
レビ 3:17
レビ 7:26
レビ 19:26
サー 14:33
使徒 15:20,29

㉒ レビ 17:14
申 12:23

㉒ レビ 8:15
レビ 16:18

㉒ マタ 26:28
ロマ 3:25
ロマ 5:9
エフ 1:7
ヘブ 9:22
ヘブ 13:12

ペー 1:2
ヨー 1:7
啓 1:5

㉒ 出 12:49

㉒ 申 12:23

㉒ 申 12:16
申 15:23

㉒ レビ 17:10,11

㉒ 出 22:31
申 14:21

バに捧げられるためにそれを会見の天幕の入り口を持ってこないなら、その人は民の中から除かれなければならない。

10 イスラエルの民や、あなたたちの間に住んでいる外国人の誰かが、何らかの血を食べるなら、私は血を食べているその人に必ず厳しい顔を向け、その人を民の中から除く。**11** 生き物の命は血の内にあるからであり、私がそれをあなたたちに与え、自分たちのために祭壇で贖罪を行えるようにした。血が、その内にある命によって贖罪を行うからである。**12** それで私はイスラエル人に言った。「あなたたちのうちの誰も血を食べてはならない。あなたたちの間に住んでいる外国人も血を食べてはならない」。

13 イスラエル人やあなたたちの間に住んでいる外国人が狩りをしていて、食べてよい野生動物や鳥を捕まえた場合、その血を注ぎ出して土で覆わなければならない。**14** あらゆる生き物の命はその血であり、命が血の内にあるのである。そのため私はイスラエル人にこう言った。「どんな生き物の血も食べてはならない。あらゆる生き物の命はその血だからである。血を食べる人は皆、除かれる」。**15** あなたたちでも外国人でも、死んでいた動物や野生動物に引き裂かれた動物を食べた場合は、自分の服を洗い、水を浴びなければならない、夕方まで汚れた人

とされる。その後、清くなる。16 しかし、服を洗わず、水を浴びないのであれば、その人は過ちの責任を負う』。

18 エホバは続けてモーセに言った。2「イスラエル人にこう話さない。『私はあなたたちの神エホバである。3 あなたたちが住んでいたエジプトの人たちのように行動してはならない。また、私があなたたちを連れていくカナン地方の人たちがすることをしてはならない。彼らの法令に従ってはいらない。4 私の法規を実行し、私の法令を守り、それに従うべきである。私はあなたたちの神エホバである。5 私の法令と法規を守らなければならない。そうする人は、生きることができる。私はエホバである。』

6 あなたたちのうちの誰も、近い親族に近寄って性関係を持つてはならない。私はエホバである。7 父と性関係を持つてはならず、母と性関係を持つてはならない。彼女はあなたの母なので、性関係を持つてはならない。

8 父の妻と性関係を持つてはならない。父に恥をかかせることになる。

9 姉妹と性関係を持つてはならない。父の娘であれ母の娘であれ、同じ家で生まれていてもそうでなくてもである。

10 息子の娘や娘の娘と性関係を

18:6 *直訳、「裸をあらわにして」。以下同様。
18:8 *直訳、「それは父の裸である」。

第17章
(7) レビ 11:40

(1) 民 19:20

第18章
(7) 創 17:7
出 6:7

(10) 出 23:24
レビ 20:23

(7) レビ 20:22
申 4:1

(7) ルカ 10:27,28
ロマ 10:5
ガラ 3:12

(7) レビ 20:17

(7) 創 35:22
創 49:4
レビ 20:11
申 27:20
サニ 16:21
コヘ 5:1

(7) レビ 20:17
申 27:22
サニ 13:10-12

第2欄
(7) レビ 20:19

(1) レビ 20:20

(7) レビ 20:12

(10) レビ 20:21
申 25:5
マル 6:17,18

(7) レビ 20:14
申 27:23

(7) 創 30:15

持つてはならない。あなたの恥となるからである。

11 父の妻の娘、父に生まれた子と性関係を持つてはならない。あなたの姉妹だからである。

12 父の姉妹と性関係を持つてはならない。彼女はあなたの父の肉親である。

13 母の姉妹と性関係を持つてはならない。彼女はあなたの母の肉親だからである。

14 父の兄弟の妻と性関係を持つて、父の兄弟に恥をかかせてはいらない。彼女はあなたのおばである。

15 息子の嫁と性関係を持つてはならない。彼女は息子の妻である。関係を持つてはならない。

16 兄弟の妻と性関係を持つてはならない。兄弟に恥をかかせることになるからである。

17 ある女性を妻にした場合、その女性の娘と性関係を持つてはならない。女性の息子の娘や娘の娘を妻にして関係を持つてはならない。彼女たちは女性の肉親である。それはみだらな行為である。

18 妻が生きている間に、妻の姉妹も妻にして性関係を持つてはならない。2人は張り合うことになる。

19 月経で汚れた状態の女性に近

18:10 *直訳、「それらはあなたの裸である」。
18:14 *直訳、「父の兄弟の裸をさらして」。
18:16 *直訳、「それは兄弟の裸である」。
18:17 *または、「恥ずべき行い」。

レビ 18:20-19:8

づいて性関係を持つてはならない。

20 仲間の妻と性交をして、汚れた人となつてはならない。

21 あなたの子がモレクに捧げられるようなことを許してはならない。あなたの神の名をそのようにして汚してはならない。私はエホバである。

22 女性と寝るようにして男性と寝てはならない。それは忌まわしい行為である。

23 男性は動物と性交をして、汚れた人となつてはならない。女性も動物の所に行って性交をしてはならない。それは自然に背くことである。

24 このうちのどれによつても自分を汚してはならない。私があなたたちの前から追い払う国民はこの全てによつて自分を汚してきたのである。**25** そのためその地方は汚れており、私はその過ちのために処罰を加える。その地方は住民を追い出す。**26** だが、あなたたちは私の法令と法規を守らなければならない。あなたたちも、あなたたちの間に住んでいる外国人も、これら忌まわしいことはどれもしてはならない。**27** あなたたちより前に住んでいた人々がこれら全ての忌まわしいことをしたために、その地方は汚れている。**28** その地方はあなたたちより前にいた国民を追い出すが、あなたたちまでが、その地方を汚して

18:20 *または、「隣人」。**18:21** *または、「犠牲にされる」。

第18章

(イ) レビ 15:19, 24
レビ 20:18

(イ) 出 20:14
レビ 20:10
申 22:22
格 6:29
マタ 5:27, 28
コヘ 6:9, 10
ヘブ 13:4

(イ) レビ 20:2
申 18:10
王一 11:7
王二 23:10

(イ) レビ 20:3

(イ) 創 19:5

レビ 20:13
裁 19:22
ロマ 1:26, 27
コヘ 6:9, 10
ユダ 7

(イ) 出 22:19
レビ 20:15, 16

(イ) レビ 20:23
申 18:12

(イ) 創 15:16

(イ) レビ 20:22
申 4:1, 40

(イ) 出 12:49

(イ) 申 20:17, 18
王二 16:2, 3
王二 21:1, 2

第2欄

(イ) レビ 18:3
レビ 20:23
申 18:9

第19章

(イ) レビ 11:44
イザ 6:3
ペー 1:15, 16
啓 4:8

(イ) 出 20:12
エフ 6:2
ヘブ 12:9

(イ) 出 20:8, 11
出 31:13
ルカ 6:5

(イ) レビ 26:1
詩 96:5
ハバ 2:18
コヘ 10:14

(イ) 出 20:4, 23
申 27:15

(イ) レビ 3:1

(イ) レビ 7:11, 12
(イ) レビ 7:17, 18

お追い出される必要はない。**29** これら忌まわしいことのどれかをする人がいるなら、誰であっても、民の中から除かれなければならない。**30** あなたたちは私の命令を守り、あなたたちより前に行われていた忌まわしい習慣のどれも行ってはならない。自分を汚さないためである。私はあなたたちの神エホバである』。

19 エホバはモーセにさらにこう話した。**2** 「イスラエル人の民全体に告げなさい。『あなたたちは聖なる人であるべきである。あなたたちの神である私エホバは聖なる者だからである。』

3 各自、母と父を敬いなさい。また、私の安息日を守りなさい。私はあなたたちの神エホバである。**4** 無価値な神々をあがめたり、鑄物の神々を作ったりしてはならない。私はあなたたちの神エホバである。

5 エホバに共食の犠牲を捧げる場合、受け入れられるように正しい方法で犠牲としなさい。**6** 犠牲は捧げる日とその次の日に食べ、3日目までの残った物は火で燃やすべきである。

7 もし3日目に犠牲を少しでも食べたなら、それは不快な物となり、受け入れられない。**8** 食べた人は過ちの責任を負う。エホバの聖なるものを汚したからである。その人は民の中から除かれなければならない。

19:3 *直訳、「恐れ」。

9 土地の作物を刈り取るとき、畑の端まで刈り尽くしてはならない。収穫の落ち穂を拾ってはならない。10 ブドウ園の採り残しを集めてはならず、ブドウ園に散らばったブドウを拾ってはならない。貧しい人や外国人居住者のために残しておくべきである。私はあなたたちの神エホバである。

11 盗んではならず、だましてはならず、互いに不誠実に接してはならない。

12 私の名によって偽りの誓いをしてあなたの神の名を汚してはならない。私はエホバである。13 仲間からだまし取ってはならず、奪い取ってもならない。雇った労働者の賃金を朝までずっと渡さずに持っているはならない。

14 耳が聞こえない人をののしったり、目が見えない人の前に障害物を置いてはならない。あなたの神を畏れなければならない。私はエホバである。

15 裁きの時に不正正であってはならない。貧しい人の肩を持ったり、裕福な人を優遇したりしてはならない。仲間を公正に裁くべきである。

16 中傷しながら民の間を歩き回ってはならない。仲間の命を奪うような言動をしてはならない。私はエホバである。

19:9 *または、「後に残った物」。19:10 *または、「苦しんでいる」。19:14 *または、「に災いがあるようにと言ったり」。19:16 *直訳、「血」。*もしかすると、「仲間の命が危険にさらされた時に傍観してはならない」。

第19章

(例) レビ 23:22
申 24:19

(例) 申 15:7

(例) 出 20:15
エラ 4:28

(例) レビ 6:2
格 12:22
エラ 4:25

(例) 出 20:7
マタ 5:33,37
ヤコ 5:12

(例) 格 22:16
マル 10:19

(例) 格 22:22

(例) 申 24:15
エラ 22:13
ヤコ 5:4

(例) 申 27:18

(例) レビ 25:17
ネヘ 5:15
格 1:7
格 8:13
ペー 2:17

(例) 出 23:3
申 1:16,17
申 16:19
代二 19:6
ロマ 2:11
ヤコ 2:9

(例) 詩 15:1,3

(例) 出 20:16
王一 21:13

第2欄

(例) 格 10:18
ヨ一 2:9
ヨ一 3:15

(例) 詩 141:5
格 9:8
マタ 18:15

(例) 格 20:22
ロマ 12:19

(例) マタ 5:43,44
マタ 22:39
ロマ 13:9
ガラ 5:14
ヤコ 2:8

(例) 申 22:9

(例) 申 22:11

(例) レビ 6:6,7

17 心の中で兄弟を憎んではならない。仲間と共に罪を負うことがないよう、仲間をぜひと戒めなさい。

18 隣人に復讐をし、恨みを抱いたりしてはならない。仲間を自分自身のように愛さなければならない。私はエホバである。

19 以下の私の法令を守るべきである。2種類の家畜を交配させてはならない。畑に2種類の種をまいてはならず、2種類の糸を織り交ぜた服を着てはならない。

20 男性が女性と寝て性交をし、その女性が別の男性に迎えられることになっていた奴隷である場合、代価が支払われておらず自由が与えられていなかったなら、処罰はなされるべきであるが、2人を死刑にすべきではない。女性はまだ自由にされていなかったからである。21 男性はエホバへの有罪の捧げ物を会見の天幕の入り口に持ってくるべきである。有罪の捧げ物の雄羊である。22 祭司はその雄羊によって、その人のためにエホバの前で贖罪を行い、その人は犯した罪を許される。

23 私が与える土地に入、食物のために木を植えた場合、その実を汚れたもの、禁じられたものと見なさなければならない。その木は3年間、禁じられたものである。実を食べてはならない。24 しかし4年目に、全ての

19:23 *直訳、「その包皮」。*直訳、「無割礼」。

実は聖なるもの、エホバの前で喜ぶためのものとなる。25 5年目に、その実を食べてよい。収穫は増える。私はあなたたちの神エホバである。

26 血を含む物は一切食べてはならない。
吉凶を判断したり魔術を行ったりしてはならない。

27 頭の横の毛をそってはならず、顎ひげの端を切り落としてはならない。

28 死んだ人のために自分の体に切り傷を付けてはならない。体に入れ墨をしてはならない。私はエホバである。

29 娘を娼婦にして辱めてはならない。土地が売春によって汚され、みだらな行いで満ちることのないためである。

30 私の安息日を守らなければならない。私の聖なる所に深い敬意を示さなければならない。私はエホバである。

31 霊媒師に頼ってはならず、占い師に相談してはならない。汚れることのないためである。私はあなたたちの神エホバである。

32 白髪の人の前では立ち上がりなさい。年長者を敬い、神を畏れなければならない。私はエホバである。

33 あなたたちの土地に外国人が

19:27 *または、「びんの毛を切つて」。19:28 *ヘブライ語、ネフェシュ。用語集参照。ここでは、死んだ人を指す。*直訳、「入れ墨の印」。19:30 *直訳、「を畏れ」。

第19章

(例) 申 26:1,2
格 3:9

(例) レビ 3:17
レビ 17:13
申 12:23
使徒 15:20,29

(例) 出 8:7
申 18:10-12
ガラ 5:19,20
啓 21:8

(例) レビ 21:1,5

(例) 申 14:1

(例) 申 23:17

(例) ヘブ 13:4
ペー 4:3

(例) 出 20:10
出 31:13

(例) レビ 20:6
申 18:10-12
代一 10:13
イザ 8:19

(例) レビ 20:27
使徒 16:16

(例) 格 16:31
格 20:29

(例) ヨブ 32:6
格 23:22
テモ一 5:1

(例) ヨブ 28:28
格 1:7
格 8:13
ペー 2:17

第2欄

(例) 出 23:9

(例) 出 12:49

(例) 出 22:21

(例) 申 25:13,15
格 20:10

(例) 格 11:1

(例) レビ 18:5
申 4:6

第20章

(例) 申 18:21
申 18:10

(例) エゼ 5:11

(例) 申 13:6-9

(例) 出 20:5

一緒に住んでいるなら、虐待してはならない。34 一緒に住んでいる外国人は、あなたたちイスラエル人と同じように見なされるべきである。その人を自分自身のように愛さなければならない。あなたたちもエジプトで外国人居住者だったのである。私はあなたたちの神エホバである。

35 長さや重さや量を測定するとき、不正をしてはならない。36 正確なかり、正確な重り、正確な計量容器を使うべきである。私は、あなたたちをエジプトから連れ出した神、エホバである。37 あなたたちは、私の法令と法規を全て守り、それに従わなければならない。私はエホバである。』

20 エホバは続けてモーセに言った。2 「イスラエル人にこう言いなさい。『イスラエル人やイスラエルに住む外国人で、自分の子をモレクに捧げる人は、必ず死刑にされるべきである。民はその人を石打ちにすべきである。3 私はその人に厳しい顔を向け、民の中から除く。その人は自分の子をモレクに捧げて、私の聖なる場所を汚し、私の聖なる名を汚したからである。4 その人が自分の子をモレクに捧げているのに、もし民があえて目をつぶって、死刑にしないなら、5 私はその人と家族に必ず厳しい顔を向け、モレクを崇拜するという不忠実なことをしたその人と、それに20:5 *または、「モレクと売春をした」。

くわ た すべ ひと たみ なか
 加わった他の全ての人を民の中から
 のぞ 除く。

れいばい しの うらな しの たよ ふちゅうじつ
 6 霊媒師や占い師に頼って不忠実
 なる人がいるなら、私はその人に必
 ず厳しい顔を向け、民の中から除く。

7 あなたたちは自分を神聖なもの
 とし、聖なる人とならなければならない。
 (四) わたし はは かみ
 私はあなたたちの神エホバだか
 らである。8 私の法令を守り、実行
 しなければならない。私はエホバで
 あり、あなたたちを神聖なものとして
 いる。

ちち はは *ひと
 9 父や母をのしる人がいるなら、
 その人は必ず死刑にされるべきであ
 る。父や母をのしただけだから、死
 せきん ひと しん
 の責任は那人自身にある。

つぎ ひと つま かんいん だんせい
 10 次は、人の妻と姦淫をする男性
 についてである。男性が仲間の妻と姦
 いん かんいん だんせい じょせい
 淫をするなら、姦淫をした男性も女性
 も、必ず死刑にされるべきである。

ちち つま ね だんせい ちち はじ
 11 父の妻と寝た男性は、父に恥をか
 かせた。2人とも必ず死刑にされるべ
 きである。死の責任は那人たち自身
 にある。12 男性が息子の嫁と寝る
 なら、2人とも必ず死刑にされるべきで
 ある。2人は自然に背くことをした。
 し せきん ひと しん (四)
 死の責任は那人たち自身にある。

だんせい じょせい ね だん
 13 男性が女性と寝るようにして男
 性と寝るなら、2人とも忌まわしいこと
 をしたのである。2人は必ず死刑にさ

第20章

(四) レビ 19:31
 申 10:12
 ガラ 5:19,20
 啓 21:8

(四) レビ 20:27
 使徒 16:16

(四) 代一 10:13

(四) レビ 11:44
 ペー 1:15,16

(四) レビ 18:4
 伝 12:13

(四) 出 31:13
 レビ 21:8
 テサー 5:23
 テサ二 2:13

(四) 出 21:17
 申 27:16
 格 20:20
 マタ 15:4

(四) 申 5:18
 申 22:22
 ロマ 7:3
 コー 6:9,10

(四) レビ 18:8
 申 27:20

(四) レビ 18:15,29

(四) 創 19:5
 レビ 18:22
 裁 19:22
 ロマ 1:26,27
 コー 6:9,10
 ユダ 7

第2欄

(四) レビ 18:17
 申 27:23

(四) レビ 21:9

(四) 出 22:19
 申 27:21

(四) レビ 18:23

(四) レビ 18:9
 申 27:22

(四) レビ 18:19

(四) レビ 18:12,13

れるべきである。死の責任は那人た
 ち自身にある。

だんせい じょせい つま
 14 男性がある女性を妻にし、その
 じょせい はは かんけい も
 女性の母とも関係を持つなら、それは
 みだらな行為である。その男性も女性
 たちも火で焼かれるべきである。みだ
 らな行いがあなたたちの間で続くこと
 のないためである。

だんせい どうぶつ せいこう
 15 男性が動物と性交をするなら、
 その人は必ず死刑にされるべきであり、
 どうぶつ ころ (四)
 動物も殺されるべきである。16 女
 せい どうぶつ ちか せいこう (四)
 性が動物に近づいて性交をするなら、
 女性も動物も必ず殺されなければなら
 ない。死の責任は那人自身にある。

だんせい しまい ちち むすめ
 17 男性が、姉妹すなわち父の娘か
 はは むすめ せいかんけい も たが はだか
 母の娘と性関係を持ち、互いの裸を
 み は (四)
 見るなら、それは恥ずべきことである。
 ふたり たみ め まえ しけい
 2人は民の目の前で死刑にされなけ
 ればならない。その男性は姉妹に恥
 * あやま せきん お
 をかせた。過ちの責任を負うべきで
 ある。

だんせい げつけいちゅう じょせい ね せい
 18 男性が月経中の女性と寝て性
 かんけい も ふたり ち りゅうしゅつ
 関係を持ったなら、2人は血の流出を
 おお かく (四) ふたり
 覆い隠さなかったのである。2人とも
 なか のぞ
 民の中から除かれなければならない。

はは し まい ちち し まい せいかんけい
 19 母の姉妹や父の姉妹と性関係
 も にくしん はじ
 を持つてはならない。肉親に恥をかか
 せることになるからである。その人た
 ちは過ちの責任を負うべきである。

20 おじの妻と寝た男性は、おじに恥

20:6 *または、「他の神と売春をする」。20:9
 *または、「に災いがあるように言う」。20:11
 *直訳、「父の裸をさらした」。

レビ 20:21-21:8

を[＊]か[＊]せ[＊]た。そ[＊]の[＊]人[＊]た[＊]ち[＊]は[＊]罪[＊]の[＊]責[＊]任[＊]を[＊]負[＊]う[＊]べ[＊]き[＊]で[＊]あ[＊]る。子[＊]供[＊]が[＊]な[＊]い[＊]ま[＊]ま[＊]死[＊]ぬ[＊]べ[＊]き[＊]で[＊]あ[＊]る。21 男[＊]性[＊]が[＊]兄[＊]弟[＊]の[＊]妻[＊]を[＊]自[＊]分[＊]の[＊]妻[＊]と[＊]す[＊]る[＊]な[＊]ら[＊]、そ[＊]れ[＊]は[＊]汚[＊]ら[＊]わ[＊]し[＊]い[＊]こ[＊]と[＊]で[＊]あ[＊]る。男[＊]性[＊]は[＊]兄[＊]弟[＊]に[＊]恥[＊]を[＊]か[＊]せ[＊]た。そ[＊]の[＊]人[＊]た[＊]ち[＊]は[＊]子[＊]供[＊]が[＊]な[＊]い[＊]ま[＊]ま[＊]死[＊]ぬ[＊]べ[＊]き[＊]で[＊]あ[＊]る。

22 私[＊]の[＊]法[＊]令[＊]と[＊]法[＊]規[＊]を[＊]全[＊]て[＊]守[＊]り[＊]、実[＊]行[＊]し[＊]な[＊]け[＊]ば[＊]な[＊]ら[＊]な[＊]い。私[＊]が[＊]連[＊]れ[＊]て[＊]い[＊]っ[＊]て[＊]住[＊]ま[＊]わ[＊]せ[＊]る[＊]地[＊]方[＊]が[＊]あ[＊]な[＊]た[＊]ち[＊]を[＊]追[＊]い[＊]出[＊]す[＊]こ[＊]と[＊]の[＊]な[＊]い[＊]た[＊]め[＊]で[＊]あ[＊]る。

23 私[＊]が[＊]あ[＊]な[＊]た[＊]ち[＊]の[＊]前[＊]か[＊]ら[＊]追[＊]い[＊]払[＊]う[＊]国[＊]民[＊]の[＊]法[＊]令[＊]に[＊]従[＊]っ[＊]て[＊]は[＊]な[＊]ら[＊]な[＊]い。彼[＊]ら[＊]が[＊]そ[＊]の[＊]全[＊]て[＊]を[＊]行[＊]っ[＊]た[＊]の[＊]で[＊]、私[＊]は[＊]彼[＊]ら[＊]を[＊]憎[＊]悪[＊]し[＊]て[＊]い[＊]る[＊]か[＊]ら[＊]で[＊]あ[＊]る。24 そ[＊]の[＊]た[＊]め[＊]私[＊]は[＊]あ[＊]な[＊]た[＊]ち[＊]に[＊]言[＊]っ[＊]た。「あ[＊]な[＊]た[＊]ち[＊]は[＊]彼[＊]ら[＊]の[＊]土[＊]地[＊]を[＊]取[＊]得[＊]し[＊]、私[＊]は[＊]そ[＊]れ[＊]を[＊]あ[＊]な[＊]た[＊]ち[＊]に[＊]所[＊]有[＊]物[＊]と[＊]し[＊]て[＊]与[＊]え[＊]る。

非[＊]常[＊]に[＊]肥[＊]沃[＊]な[＊]土[＊]地[＊]で[＊]あ[＊]る。私[＊]は[＊]あ[＊]な[＊]た[＊]ち[＊]の[＊]神[＊]エ[＊]ホ[＊]バ[＊]で[＊]あ[＊]り[＊]、あ[＊]な[＊]た[＊]ち[＊]を[＊]ほ[＊]か[＊]の[＊]民[＊]と[＊]は[＊]別[＊]に[＊]し[＊]た」。25 あ[＊]な[＊]た[＊]ち[＊]は[＊]、清[＊]い[＊]動[＊]物[＊]と[＊]汚[＊]れ[＊]た[＊]動[＊]物[＊]、汚[＊]れ[＊]た[＊]鳥[＊]と[＊]清[＊]い[＊]鳥[＊]と[＊]を[＊]区[＊]別[＊]し[＊]な[＊]け[＊]れ[＊]ば[＊]な[＊]ら[＊]な[＊]い。私[＊]が[＊]汚[＊]れ[＊]た[＊]も[＊]の[＊]と[＊]し[＊]て[＊]べ[＊]つ[＊]に[＊]し[＊]た[＊]動[＊]物[＊]、鳥[＊]、地[＊]面[＊]を[＊]動[＊]く[＊]ど[＊]ん[＊]な[＊]生[＊]き[＊]物[＊]によ[＊]っ[＊]て[＊]も[＊]、忌[＊]ま[＊]わ[＊]し[＊]い[＊]も[＊]の[＊]と[＊]な[＊]っ[＊]て[＊]は[＊]な[＊]ら[＊]な[＊]い。26 あ[＊]な[＊]た[＊]ち[＊]は[＊]私[＊]に[＊]と[＊]っ[＊]て[＊]聖[＊]な[＊]る[＊]人[＊]と[＊]な[＊]ら[＊]な[＊]け[＊]れ[＊]ば[＊]な[＊]ら[＊]な[＊]い。私[＊]エ[＊]ホ[＊]バ[＊]は[＊]聖[＊]な[＊]る[＊]者[＊]だ[＊]か[＊]ら[＊]で[＊]あ[＊]る。私[＊]は[＊]、あ[＊]な[＊]た[＊]ち[＊]を[＊]ほ[＊]か[＊]の[＊]民[＊]と[＊]は[＊]

第20章

[7] レビ 18:14

[1] レビ 18:16

申 25:5

[2] 出 21:1

申 5:1

[3] 伝 12:13

[3] レビ 18:26, 28

[3] レビ 18:3, 24

申 12:30

[4] レビ 18:27

申 9:5

[2] 出 3:17

出 6:8

申 8:7-9

エゼ 20:6

[2] 出 19:5

出 33:16

王 1-8:53

ペー 2:9

[2] レビ 11:46, 47

申 14:4-20

[3] レビ 11:43

[3] レビ 19:2

詩 99:5

ペー 1:15, 16

啓 4:8

第2欄

[7] 申 7:6

[1] 出 22:18

レビ 19:31

レビ 20:6

申 18:10-12

啓 21:8

第21章

[2] 民 19:14

[3] 申 14:1

[3] レビ 19:27, 28

[2] 出 29:44

[3] レビ 18:21

レビ 19:12

レビ 22:32

[2] イザ 52:11

ペー 1:15, 16

[2] レビ 19:29

[2] 申 24:1

エゼ 44:22

[2] 出 28:41

べつ[＊]に[＊]し[＊]て[＊]私[＊]の[＊]も[＊]の[＊]と[＊]な[＊]ら[＊]せ[＊]て[＊]い[＊]る。

27 霊[＊]媒[＊]師[＊]や[＊]占[＊]い[＊]師[＊]と[＊]な[＊]る[＊]男[＊]性[＊]も[＊]女[＊]性[＊]も[＊]、必[＊]ず[＊]死[＊]刑[＊]に[＊]さ[＊]れ[＊]る[＊]べ[＊]き[＊]で[＊]あ[＊]る。民[＊]は[＊]そ[＊]の[＊]人[＊]を[＊]石[＊]打[＊]ち[＊]に[＊]す[＊]べ[＊]き[＊]で[＊]あ[＊]る。死[＊]の[＊]責[＊]任[＊]は[＊]そ[＊]の[＊]人[＊]自[＊]身[＊]に[＊]あ[＊]る』。

21 エ[＊]ホ[＊]バ[＊]は[＊]続[＊]け[＊]て[＊]モ[＊]ー[＊]セ[＊]に[＊]言[＊]っ[＊]た。「祭[＊]司[＊]た[＊]ち[＊]、す[＊]な[＊]わ[＊]ち[＊]ア[＊]ロ[＊]ン[＊]の[＊]子[＊]た[＊]ち[＊]に[＊]話[＊]し[＊]な[＊]さ[＊]い。『民[＊]の[＊]中[＊]の[＊]死[＊]ん[＊]だ[＊]人[＊]の[＊]た[＊]め[＊]に[＊]自[＊]分[＊]を[＊]汚[＊]し[＊]て[＊]は[＊]な[＊]ら[＊]な[＊]い。2 た[＊]だ[＊]し[＊]、肉[＊]親[＊]の[＊]た[＊]め[＊]、す[＊]な[＊]わ[＊]ち[＊]母[＊]、父[＊]、息[＊]子[＊]、娘[＊]、兄[＊]弟[＊]の[＊]た[＊]め[＊]に[＊]は[＊]、そ[＊]う[＊]し[＊]て[＊]も[＊]よ[＊]い。3 ま[＊]た[＊]、身[＊]近[＊]な[＊]姉[＊]妹[＊]が[＊]未[＊]婚[＊]の[＊]処[＊]女[＊]で[＊]あ[＊]る[＊]な[＊]ら[＊]、そ[＊]の[＊]姉[＊]妹[＊]の[＊]た[＊]め[＊]に[＊]も[＊]、そ[＊]う[＊]し[＊]て[＊]よ[＊]い。4 民[＊]の[＊]1[＊]人[＊]と[＊]結[＊]婚[＊]し[＊]て[＊]い[＊]る[＊]女[＊]性[＊]の[＊]た[＊]め[＊]に[＊]自[＊]分[＊]を[＊]汚[＊]し[＊]、神[＊]聖[＊]で[＊]な[＊]い[＊]も[＊]の[＊]と[＊]な[＊]っ[＊]て[＊]は[＊]な[＊]ら[＊]な[＊]い。5 祭[＊]司[＊]は[＊]頭[＊]を[＊]そ[＊]つ[＊]た[＊]り[＊]顎[＊]ひ[＊]げ[＊]の[＊]端[＊]を[＊]そ[＊]つ[＊]た[＊]り[＊]す[＊]べ[＊]き[＊]で[＊]は[＊]な[＊]い。体[＊]に[＊]切[＊]り[＊]傷[＊]を[＊]付[＊]け[＊]る[＊]べ[＊]き[＊]で[＊]も[＊]な[＊]い。6 神[＊]に[＊]と[＊]っ[＊]て[＊]聖[＊]な[＊]る[＊]人[＊]で[＊]あ[＊]る[＊]べ[＊]き[＊]で[＊]、神[＊]の[＊]名[＊]を[＊]汚[＊]し[＊]て[＊]は[＊]な[＊]ら[＊]な[＊]い。エ[＊]ホ[＊]バ[＊]へ[＊]の[＊]火[＊]に[＊]よ[＊]る[＊]捧[＊]げ[＊]物[＊]、神[＊]の[＊]パ[＊]ン[＊]を[＊]捧[＊]げ[＊]る[＊]か[＊]ら[＊]で[＊]あ[＊]る。聖[＊]な[＊]る[＊]人[＊]で[＊]な[＊]け[＊]れ[＊]ば[＊]な[＊]ら[＊]な[＊]い。7 娼[＊]婦[＊]、辱[＊]め[＊]ら[＊]れ[＊]た[＊]女[＊]性[＊]、夫[＊]か[＊]ら[＊]離[＊]婚[＊]さ[＊]れ[＊]た[＊]女[＊]性[＊]と[＊]結[＊]婚[＊]し[＊]て[＊]は[＊]な[＊]ら[＊]な[＊]い。祭[＊]司[＊]は[＊]神[＊]に[＊]と[＊]っ[＊]て[＊]聖[＊]な[＊]る[＊]人[＊]だ[＊]か[＊]ら[＊]で[＊]あ[＊]る。8 民[＊]は[＊]祭[＊]司[＊]を[＊]神[＊]聖[＊]な[＊]も[＊]の[＊]と[＊]し[＊]な[＊]け[＊]れ[＊]ば[＊]な[＊]ら[＊]な[＊]い。神[＊]の[＊]パ[＊]ン[＊]を[＊]捧[＊]げ[＊]る[＊]人[＊]だ[＊]か[＊]ら[＊]で[＊]あ[＊]る。祭[＊]司[＊]は[＊]聖[＊]な[＊]る[＊]人[＊]と[＊]見[＊]な[＊]さ[＊]れ[＊]る[＊]べ[＊]き[＊]で[＊]あ[＊]る。あ[＊]な[＊]た[＊]ち[＊]を[＊]神[＊]聖[＊]な[＊]も[＊]の[＊]と[＊]し[＊]て[＊]い[＊]

21:1 *または、「一族」。 21:6 *または、「食物」。犠牲のこと。

20:20 *直訳、「おじの裸をさらした」。 20:21

*直訳、「兄弟の裸をさらした」。 20:24 *直訳、「乳と蜜が流れる地」。

わたし^ワは、せい^セなるもの^{モノ}だからである。

9 もし祭司^{さいし}の娘^{むすめ}が売^{ばいしゅん}春^{しゅん}をして自分^{じぶん}を汚^{けが}すなら、自分の父^{ちち}を汚^{けが}している。その娘^{むすめ}は火^ひで焼^やかれるべきである。

10 兄弟^{きょうだい}たちのうち大祭司^{だいにさいし}として、^{そそ}あぶら^あき^あたま^あ ^{そそ} ^ゆにんめい^い ^せさいし^い ^{にんめい}注^しぎ油^{あぶら}を頭^{かみ}に注^いがれ、任命^{にんめい}されて祭司^{さいし}の服^{ふく}を着^きる人は、乱^{みだ}れた髪^{かみ}のままでい^いたり衣服^{いふく}を裂^さいたりしてはならない。

11 大祭司^{だいにさいし}は、死^しんだ人^{ひと}には誰^{だれ}にも近^{ちか}づくべきではない。父^{ちち}や母^{はは}のためにも自分^{じぶん}を汚^{けが}してはならない。12 聖^{せい}なるところ^{ところ}から出^でてはならず、神^{かみ}の聖^{せい}なる所^{ところ}を汚^{けが}してはならない。大祭司^{だいにさいし}には、献^{けん}じられたこと^{こと}の印^{いん}、神^{かみ}の注^しぎ油^{あぶら}が掛^かけられてい^いるからである。私^{わたし}はエホバである。

13 大祭司^{だいにさいし}は処女^{しょじょ}を妻^{つま}にしな^なけ^いばならない。14 やもめ^{やもめ}、離婚^{りこん}された女性^{じょせい}、はずかし^{はずかし}に辱^はめられた女性^{じょせい}、娼婦^{しょうふ}と結婚^{けっこん}してはならない。民^{たみ}の中^{なか}から処女^{しょじょ}を妻^{つま}にすべきである。15 民^{たみ}の中^{なか}で自分^{じぶん}の子孫^{しそん}を汚^{けが}さないようにすべきである。私^{わたし}はエホバであり、彼^{かれ}を神聖^{しんせい}なものとしている』。

16 エホバは続^{つづ}けてモーセに言^いった。17 「アロンにこ^こう告^つげなさい。『代^{だい}々^{だい}、あなたの子孫^{しそん}で体^{からだ}に障^{しょう}害^{がい}がある人^{ひと}は誰^{だれ}も、神^{かみ}のパン^{パン}を捧^{ささ}げるために近^{ちか}づいてはならない。18 体^{からだ}に障^{しょう}害^{がい}がある人^{ひと}がいるなら、その人^{ひと}は近^{ちか}づい

21:10 *用語集の「油を注ぐ」参照。『直訳、
「手を満たされて」』。21:11 *ヘブライ語、ネフェ
シユ。用語集参照。ここでは、ネフェシユという語
に、「死んだ」を意味する語が付いている。

第21章

出 28:36
レビ 11:45
レビ 20:7,8

レビ 20:14

レビ 8:12

出 28:2
出 29:29
レビ 16:32

創 37:34
レビ 10:6

民 6:7
民 19:11,14

レビ 10:7

レビ 8:12

エゼ 44:22

エズ 9:2

第2章

申 23:1

レビ 22:10
民 18:19

レビ 21:10
レビ 6:14,16
レビ 24:8,9
民 18:9

出 30:6

出 38:1

出 25:8

レビ 28:41

第22章

出 28:38
民 18:32

レビ 21:6

てはならない。すなわち、目^めが見^みえな
い人^{ひと}、足^{あし}が不自由^{ふじゆう}な人^{ひと}、鼻^{はな}が裂^さけた
人^{ひと}、手足^{てしう}の一方^{いつぱう}が長^{なが}過ぎる人^{ひと}、19 足^{あし}
や手^ての骨^{ほね}が砕^{くだ}けている人^{ひと}、20 背^せ骨^{こつ}
がひどく曲^まがっている人^{ひと}、背^せが極^{きよく}端^{たん}に
ひく^{ひく}ひどく^{ひどく}め^めしょうがい^{しょうがい}ひどく^{ひどく}しっしん^{しっしん}はく^{はく}
低い人^{ひくい}、目^めに障^{しょう}害^{がい}がある人^{ひと}、湿^し疹^{しん}や白^{はく}
癬^{せん}がある人^{ひと}、睪^{こう}丸^{がん}が損^{そこ}なわれている
人^{ひと}。21 祭司^{さいし}アロン^{あろん}の子孫^{しそん}で体^{からだ}に障^{しょう}
害^{がい}がある人^{ひと}は誰^{だれ}も、エホバ^{えほ}の火^かによ
る捧^{ささ}げ物^{もの}を捧^{ささ}げるために近^{ちか}づいては
ならない。その人^{ひと}は障^{しょう}害^{がい}があるので、
神^{かみ}のパン^{パン}を捧^{ささ}げるために近^{ちか}づいては
ならない。22 その人^{ひと}は、神^{かみ}のパン^{パン}、
すなわち聖^{せい}なるもの^{もの}や極^{きよく}めて聖^{せい}なるも
の^{もの}を食^たべてもよい。23 しかし、幕^{まく}の
ちか^{ちか}きさいだん^{さいだん}ちか^{ちか}
近^{ちか}く来^きても祭壇^{さいだん}に近^{ちか}づいてもならな
い。体^{からだ}に障^{しょう}害^{がい}があるからである。私^{わたし}の
聖^{せい}なる所^{ところ}を汚^{けが}してはならない。私^{わたし}はエ
ホバであり、人々^{ひとびと}を神聖^{しんせい}なものとし
ている』。

24 モーセはアロンとその子^こたちと
イスラエル人^{いん}全員^{ぜんいん}に話^{はな}した。

22 エホバはモーセにさらにこ
う話^{はな}した。2 「アロンとそ
の子^こたちに、イスラエル人^{いん}が神聖^{しんせい}な
ものとして私^{わたし}に捧^{ささ}げている聖^{せい}なるも
の^{もの}を注^{ちゅう}意^いして扱^{あつか}い、私^{わたし}の聖^{せい}なる名^なを
汚^{けが}さないように、と告^つげなさい。私^{わたし}は
エホバである。3 また、こ^こう言^いいな
さい。『代^{だい}々^{だい}、あなたたちの子孫^{しそん}のう
ち、イスラエル人^{いん}がエホバにとつて神

21:20 *もしかすると、「痩せ細った人」。22:2
*直訳、「から離れ」。

せい 聖なるものとする聖なるものに、^{けが}汚れた^{せい}状態^{じょうたい}で近づく^{ちか}人がい^{ひと}れば、その人は^{わたし}私の前^{まえ}から除^{のぞ}かれなければならない。^{わたし}私はエホバである。4 アロンの^し子孫^{そん}で、^{おも}重い皮膚病^{ひふびょう}だ^りり流出物^{りゅうしゅつぶつ}があ^つたりする人は誰^{たれ}も、清^{きよ}くなるまで、聖なるものを食^くべてはならない。死^し体^{たい}によ^{けが}って汚^{ひど}された人^{ひと}に触^ふれたり、射^や精^{せい}したりした人^{ひと}もである。5 汚^{ひど}れた小^{せう}さな生^{せい}き物^{ぶつ}に触^ふれた人^{ひと}や、何^{なん}らかの理^り由^{ゆう}で汚^{けが}れている人^{ひと}に触^ふれた人^{ひと}も、同^{どう}様^{よう}である。6 そのようなもの^{もの}に触^ふれた人^{ひと}は夕^{ゆう}方^{がた}まで汚^{けが}れた人^{ひと}となる。聖なるものを食^くべてはならず、水^{みづ}を浴^あびるべきである。7 日^ひが沈^{しず}んだ時^{とき}に清くなる。その後^ご、聖なるもの^{もの}を食^くべてもよい。それはその人^{ひと}の食^{しょく}物^{ぶつ}だからであ^る。8 また、死^しんでい^{どう}た動物^{どうぶつ}や野^や生^{せい}動物^{どうぶつ}に引^ひき裂^さかれた物^{もの}を食^くべて汚^{けが}れた人^{ひと}とな^りてはならない。私^{わたし}はエホバである。

9 アロンの^し子孫^{そん}は私^{わたし}の命^{めい}令^{れい}を守^{まも}らなければならない。そうせ^{つみ}ずに罪^{つみ}を負^おい、その罪^{つみ}のせいで聖なるもの^{もの}を汚^{けが}していたゆえに死^しぬ、とい^いうことがないためである。私^{わたし}はエホバであり、彼^{かれ}ら^{しんせい}を神聖なるもの^{もの}としている。

10 許^{きょ}可^かされてい^いない人^{ひと}は聖なるもの^{もの}を食^くべてはならない。祭^{さい}司^しのもとに^{たい}滞^{ざい}している外^{がい}国^{こく}人^{じん}や雇^{やと}わ^られた勞^{ろう}働^{どう}者^{しや}も聖なるもの^{もの}を食^くべてはならない。

22:10, 13 *直訳, 「よそ者」。アロンの子孫ではない人のこと。

第22章

(例) レビ 7:20

(例) レビ 13:2

(例) レビ 15:2

(例) レビ 14:2

レビ 15:13

(例) レビ 21:1

民 19:11, 22

(例) レビ 15:16

(例) レビ 11:24, 43

(例) レビ 15:7, 19

(例) 民 19:6, 7

(例) 民 18:11

(例) 出 22:31

レビ 17:15

申 14:21

(例) 出 29:33

第2欄

(例) 民 18:11

(例) レビ 10:14

民 18:19

(例) レビ 5:15, 16

(例) 民 18:32

(例) レビ 7:16

民 15:3

申 12:5, 6

(例) 民 15:14, 16

(例) レビ 1:3

レビ 22:22

(例) 申 15:19, 21

申 17:1

マラ 1:8

ヘブ 9:14

ペー 1:19

11 ただし、祭^{さい}司^しが自^じ分^{ぶん}のお金^{かね}で買^かった人^{ひと}であれば、その人^{ひと}も食^くべてよい。祭^{さい}司^しの家^{いえ}で生^うまれた奴^ぬ隷^{れい}も、祭^{さい}司^しの食^{しょく}物^{ぶつ}を食^くべてよい。12 祭^{さい}司^しの娘^{むすめ}は、祭^{さい}司^しでな^い人^{ひと}と結^{けっ}婚^{こん}したなら、聖なるものである寄^き進^{しん}物^{ぶつ}を食^くべてはならない。13 とはいえ、祭^{さい}司^しの娘^{むすめ}が子^こ供^{ども}を持^もたないうち^{うち}にやもめになるか離^り婚^{こん}されるかして、若^{わか}い時^{とき}にいた父^{ちち}の家^{いえ}に戻^{もど}る場合^{ばい}、父^{ちち}の食^{しょく}物^{ぶつ}を食^くべてよい。しかし、許^{きょ}可^かされてい^いない人^{ひと}は食^くべてはならない。

14 人^{ひと}が間^ま違^{ちが}って聖なるもの^{もの}を食^くべたなら、その価^か値^ちの5分^{ぶん}の1を加^{くわ}えて、聖なる捧^{さい}げ物^{ぶつ}をあらためて祭^{さい}司^しに渡^{わた}さなければならぬ。15 祭^{さい}司^しは、イスラエル人^{いすらいへるじん}がエホバに寄^き進^{しん}する聖なるもの^{もの}を汚^{けが}してはならない。16 すなわち、人^{ひと}々^{びと}が聖なるもの^{もの}を食^くべて罪^{つみ}の処^{しょ}罰^{ばつ}を受けるとい^いうことがないようにすべきである。私^{わたし}はエホバであり、人^{ひと}々^{びと}を神聖なるもの^{もの}としている』。

17 エホバは続^{つづ}けてモーセに言^いった。18 「アロンとその子^こたちとイスラエル人^{いすらいへるじん}全員^{はな}にこう話^{はな}しなさい。『イスラエル人^{いすらいへるじん}やイスラエルに在^がい^いく^こじん居住者^{きょじゅうしや}が、誓^{せい}約^{やく}を果^はたしたり自^じ発^{はつ}的な捧^さげ物^{ぶつ}をし^したりするためにエホバへ^{ぜんしやう}の全^{ぜん}焼^{しょう}の捧^さげ物^{ぶつ}を差^さし出すときは、19 受け入れられるために、牛^{うし}や若^{わか}い羊^{ひつじ}やヤギの群^むれの中^{なか}から、傷^{きず}のない雄^{おす}を差^さし出すべきである。20 欠^け陥^{たん}があるもの^{もの}を捧^さげてはならない。それ

によってあなたがたが神に受け入れられることはないからである。

21 人が、誓約を果たすため、あるいは自発的な捧げ物として、其食の犠牲をエホバに捧げる場合、受け入れられるために、犠牲は傷のない牛か羊であるべきである。どんな欠陥があってもならない。**22** 目が見えないものや骨が砕けているもの、切り傷、こぶ、かさぶた、白癬があるものであってはならない。そのようなものをエホバに差し出したりエホバのために祭壇で捧げ物としたりしてはならない。**23** 脚の1本が長過ぎたり短過ぎたりする牛や羊は、自発的な捧げ物として差し出してよいが、誓約の捧げ物としては受け入れられない。**24** 睪丸がそこ損なわれたもの、砕かれたもの、抜きと取られたもの、切り取られたものをエホバに差し出してはならない。あなたがたの土地でそのような動物を捧げるべきではない。**25** そのようなものをがいこくじんから受け取ってあなたがたの神のパンとして捧げてはならない。傷や欠陥があるからである。それがあなたがたのために受け入れられることはない』。

26 エホバはモーセにさらにこう話した。**27** 「雄牛、若い雄羊、ヤギは、生まれてから7日間、母親のもとにいないなければならない。8日目以降は、エホバへの火による捧げ物として受け入れられる。**28** 牛や羊は、親と子

第22章

(㉔) レビ 3:1

(㉔) 出 22:30

第2欄

(㉔) 出 23:19
申 22:6

(㉔) レビ 7:12

(㉔) レビ 7:15

(㉔) レビ 19:37
民 15:40
申 4:40(㉔) レビ 18:21
レビ 19:12

(㉔) レビ 10:3

(㉔) 出 19:5
レビ 20:8
レビ 21:8(㉔) 出 6:7
レビ 11:45

第23章

(㉔) 出 23:14
レビ 23:37

(㉔) 民 10:10

(㉔) 出 16:30
出 20:10
使徒 15:21

(㉔) ネヘ 13:22

を同じ日にほふつてはならない。

29 エホバに感謝の犠牲を捧げる場合、受け入れられるように正しい方法で犠牲としなさい。**30** その日のうちにそれを食べるべきである。どの部分も朝まで残しておいてはならない。私はエホバである。

31 私のおきてを守り、実行しなければならぬ。私はエホバである。**32** 私の聖なる名を汚してはならない。私はイスラエル人の中で神聖なものとされなければならない。私はエホバであり、あなたがたを神聖なものとしている。**33** あなたたちをエジプトから連れ出してあなたがたの神であることを示している。私はエホバである」。

23 エホバは続けてモーセに言った。**2** 「イスラエル人にこう告げなさい。『エホバの季節ごとの祭りは聖なる大会であり、あなたがたはそれらを広く知らせるべきである。それらは私の季節ごとの祭りである。』

3 6日間仕事をしなさい、7日目は完全な休み、安息日、聖なる大会である。どんな仕事もしてはならない。どこに住んでいても、その日はエホバの安息日である。

4 決められた時に広く知らせるべきエホバの季節ごとの祭り、聖なる大会は、以下の通りである。**5** 第1の

レビ 23:6-22

つき かげ ゆうぐ どき* す
月の14日、夕暮れ時は、エホバの過
ぎ越しである。

6 この月の15日からエホバの無酵
母パンの祭りが始まる。7日間、無酵
母パンを食べるべきである。7 初日
に聖なる大会を開く。どんな労働もし
てはならない。8 とはいえ7日間、エ
ホバへの火による捧げ物を捧げる。7
日目には聖なる大会がある。どんな
労働もしてはならない』。

9 エホバは続けてモーセに言った。
10 「イスラエル人にこう告げなさい。
『私が与える土地にやがて入り、作物
を刈り取ったなら、収穫の初物の束を
祭司の所に持ってこなければならな
い。11 祭司は、あなたたちが受け
入れられるために、その束をエホバの
前で揺り動かす。安息日の翌日に揺り
動かすべきである。12 あなたたち
は、束が揺り動かされる日に、傷のな
い1歳未満の若い雄羊をエホバへの
全焼の捧げ物として捧げなければな
らない。13 それに伴う穀物の捧げ
物は、油を混ぜた上等の麦粉4.4リッ
トルで、エホバへの火による捧げ物で
あり、心地よい香りとなる。飲み物の
捧げ物はぶどう酒0.9リットルである。
14 その日まで、すなわち神への捧げ
物を持ってくる時まで、パンも、炒っ
た穀物も、新しい穀物も食べはなら
ない。どこに住んでいても、この法令を
代々ずっと守るべきである。

23:5 *直訳、「2つの夕方の間」。

第23章

(例) 民9:2,3
民28:16

(例) 出12:3,6
申16:1
コ—5:7

(例) 民28:17
コ—5:8

(例) 出12:15
出13:6
出34:18

(例) 出12:16

(例) コ—15:20,23

(例) 民18:8,12
格3:9
エゼ44:30

第2欄

(例) 出34:22
申16:9,10

(例) 使徒2:1

(例) 民28:26-31
申16:16

(例) レビ7:11,13

(例) 出23:16
出34:22

(例) 民28:26,27

(例) レビ4:23

(例) レビ3:1

(例) レビ7:34
レビ10:14
民18:9
申18:4
コ—9:13

(例) 民10:10

(例) レビ19:9
申24:19
ルツ2:2,3

(例) イザ58:7

(例) レビ19:33

15 安息日の翌日、すなわち振揺の
捧げ物の束を持ってくる日から、安
息日を7回数える。丸7週間である。

16 7回目の安息日の翌日まで50日
を数える。それから新しい穀物の捧
げ物をエホバに捧げるべきである。
17 家からパンを2つ、振揺の捧げ物
として持ってくる。それは上等の麦粉
4.4リットルで作り、パン種を入れて焼
いたもので、エホバへの初物とする。

18 パンと共に、傷のない1歳の雄の
子羊7匹と若い雄牛1頭と雄羊2匹を
捧げるべきである。それらをエホバへ
の全焼の捧げ物として、穀物の捧げ
物と飲み物の捧げ物と共に捧げる。こ
れは火による捧げ物であり、エホバに
とつて心地よい香りとなる。19 また、
罪の捧げ物として子ヤギ1匹、共食の
犠牲として1歳の雄の子羊2匹を捧げ
なければならない。20 祭司は、雄
の子羊2匹を初物のパンと共に振揺
の捧げ物としてエホバの前で揺り動
かす。それらはエホバにとって聖なる
もので、祭司のものでされるべきであ
る。21 この日、聖なる大会があるこ
とを広く知らせる。どんな労働もし
てはならない。どこに住んでいても、この
法令を代々ずっと守るべきである。

22 土地の作物を刈り取るとき、畑
の端まで刈り尽くしてはならない。収
穫の後に残った物を拾うべきではな
い。貧しい人や外国人居住者のため

23:22 *または、「苦しんでいる」。

に残しておくべきである。私はあなたたちの神エホバである』。

23 エホバは続けてモーセに言った。**24** 「イスラエル人にこう告げなさい。『第7の月の1日に、完全な休みを取るべきである。聖なる大会があることを忘れないようラッパによる合図がある。**25** どんな労働もしてはならない。エホバへの火による捧げ物を捧げる』」。

26 エホバはモーセにさらにこう話した。**27** 「さらに、この第7の月の10日は贖罪の日である。聖なる大会を開きなさい。自分を苦しめ、エホバへの火による捧げ物を捧げなければならない。**28** この日にはどんな仕事もしてはならない。エホバ神の前であなたたちのために贖罪を行う贖罪の日だからである。**29** この日に自分を苦しめない人は民の中から除かれる。**30** 私は、この日に仕事をする人全てを民の中から滅ぼす。**31** どんな仕事もしてはならない。どこに住んでいても、この法令を代々ずっと守るべきである。**32** その日はあなたたちにとって完全な休み、安息日であり、あなたたちはこの月の9日の夕方から自分を苦しめる。夕方から夕方まで安息日を守るべきである」。

33 エホバは続けてモーセに言った。**34** 「イスラエル人にこう告げな

23:27 *「自分を苦しめる」とは、断食などの制限を自分に課すことだと一般に理解されている。
23:29 *もしかすると、「断食をしない」。

第23章

(7) 民 10:10
民 29:1
(1) 出 30:10
レビ 25:9
(2) レビ 16:29,30
民 29:7
(3) レビ 16:34
ヘブ 9:12,24-26
ヘブ 10:10
ヨハ 2:1,2
(4) 民 9:13
民 15:30
(5) レビ 16:29-31
レビ 23:27
民 29:7

第2欄

(7) 出 23:16
民 29:12
申 16:13
エズ 3:4
ネハ 8:14-18
ヨハ 7:2
(1) ネハ 8:18
(2) 民 28:26
民 29:7
(3) 出 23:14
申 16:16
(4) レビ 1:3
(5) レビ 2:1,11
(6) 民 15:5
民 28:6,7
(7) 出 16:23
出 20:8
出 31:13
(8) 出 28:38
民 18:29
(9) 申 12:11
(10) 民 29:39
申 12:6
代一 29:9
代二 35:8
エズ 2:68
(11) 申 16:13
(12) 民 29:12
(13) ネハ 8:15
啓 7:9
(14) 申 16:15
ネハ 8:10
(15) 民 29:12
(16) 申 31:10,11

さい。『この第7の月の15日からエホバのために7日間、仮小屋の祭りを行う。**35** 初日に聖なる大会がある。どんな労働もしてはならない。**36** 7日間エホバへの火による捧げ物を捧げなければならない。8日目には聖なる大会を開き、エホバへの火による捧げ物を捧げるべきである。それは特別な集まりである。どんな労働もしてはならない」。

37 以上が、聖なる大会として広く知らせるべきエホバの季節ごとの祭りであり、エホバへの火による捧げ物を捧げる時である。全焼の捧げ物、穀物の捧げ物、飲み物の捧げ物を毎日の予定に従って捧げる。**38** これは、エホバの安息日に捧げられる物とは別であり、あなたたちの供え物、誓約の捧げ物、自発的な捧げ物とも別である。それらはあなたたちがエホバに供えるべき物である。**39** さらに、土地の産物を収穫した時、第7の月の15日から7日間エホバの祭りを行いなさい。初日は完全な休みであり、8日も完全な休みである。**40** 初日に、見事な木の実、ヤシの木の葉、茂った木の枝、谷のポプラの枝を取り、エホバ神の前で7日間喜ぶ。**41** 年に7日、エホバの祭りとして祝う。第7の月に祝うべきであり、これは代々ずっと守るべき法令である。**42** 仮小屋に7日間住むべきである。イスラエル

23:40 *または、「ワジ」。

に生まれた全ての人が仮小屋に住む。

43 これは、エジプトから連れ出した時に私がイスラエル人を仮小屋に住ませたことを、あなたたちの後の世代が知るためである。私はあなたたちの神エホバである』。

44 モーセは、エホバの季節ごとの祭りについてイスラエル人に話した。

24 エホバは続けてモーセに言った。 **2** 「イスラエル人に命じて、明かりのために、オリーブをつぶして採った純粋な油を持ってこさせなさい。ランプをずっとともしておくためである。 **3** アロンは、会見の天幕の中、証しの幕の外側で、夕方から朝までエホバの前でランプをずっともしたままにする。これは代々ずっと守るべき法令である。 **4** エホバの前で、純金のランプ台のランプをずっと整えておくべきである。

5 上等の麦粉を使って輪型パンを12個焼く。1つのパンに4.4リットルつかう。 **6** パンを6つずつ重ねて2つの山にし、純金の食卓の上、エホバの前に置く。 **7** それぞれの山に純粋な乳香を添えなさい。それはパンの代わり、覚えてもらうための分として、エホバへの火による捧げ物となる。 **8** 安息日ごとに、いつもパンをエホバの前に並べるべきである。これはイスラエル人とのずっと続く契約である。 **9** パンはアロンとその子たち

24:7 *または、「代表する部分」。

第23章

出 12:37,38
民 24:5

申 31:13
詩 78:6

第24章

出 27:20,21
民 8:2

出 25:31
出 39:33,37
ペ 9:2

出 40:22,23
サー 21:4
マル 2:25,26

出 25:23,24
王 7:48

レビ 2:2
レビ 6:15

民 4:7
代 9:32
代 2:4

第2欄

レビ 21:22
レビ 22:10
サー 21:4,6
マ 12:3,4
ルカ 6:3,4

レビ 6:14,16

出 12:38
民 11:4

出 20:7
出 22:28
レビ 19:12

出 18:22

出 18:15,16
民 15:32,34

民 15:32,35
申 17:7

申 5:11

のものととなり、それを聖なる場所で食べる。エホバへの火による捧げ物のうち、祭司のための極めて聖なるものだからである。この規定を守り続けるべきである」。

10 さて民の中に、イスラエル人女性の息子が父親がエジプト人の人であった。宿営の中で、その人とあるイスラエル人男性とがけんかを始めた。 **11** イスラエル人女性の息子が神の名をののしって冒瀆したので、人々はその人をモーセの所に連れていった。ところで、その人の母親はダン族のディブリの娘で、シェロミトといった。 **12** 人々は、エホバの決定が明らかになるまでその人を拘禁した。

13 エホバはモーセに言った。 **14** 「ののした人を宿営の外に連れ出しなさい。その言葉を聞いた人全員が手をその人の頭に置き、それから民全体はその人を石打ちにしなければならぬ。 **15** あなたはイスラエル人にこう告げなさい。『神を冒瀆する人がいるなら、その人は罪の責任を負う。 **16** エホバの名をののした人は必ず死刑にされるべきである。民全体はその人を必ず石打ちにする。外国人居住者も、あなたたちと同じく、神の名をののしるなら死刑にされるべきである。』

24:11 *または、「それに災いがあるようにと言い」。

17 人が誰かの命を取るなら、必ず死刑にされるべきである。18 家畜を打って殺した人は、弁償をすべきである。命には命である。19 人が仲間

間に傷を負わせた場合、その人にも同じことがなされるべきである。20 骨折には骨折、目には目、歯には歯である。負わせたのと同様の傷を負わされる。21 動物を打って殺した人は弁償をすべきであるが、人を打って殺した人は死刑にされるべきである。

22 イスラエル人にも外国人居住者にも、同じ法規が適用される。私はあなたたちの神エホバだからである。』

23 モーセはイスラエル人に話し、民は、冒瀆した人を宿営の外に連れ出して、石打ちにした。イスラエル人はエホバがモーセに命じた通りにした。

25 エホバはシナイ山でモーセにさらにこう話した。2 『イスラエル人に告げなさい。『私が与える土地にやがて入ったなら、その土地を休ませてエホバの安息年を守らなければならない。3 6年間、畑に種をまき、ブドウ園の剪定をする。そして土地の産物を集める。4 しかし、7年目には、土地のために完全な休み、エホバの安息年が設けられるべきである。畑に種をまいたりブドウ園の剪定をしたりしてはならない。5 収穫さ

24:17 *または、「を打って死なせる」。24:18 *または、「動物を打って死なせた」。

第24章

(例) 創 9:6
出 21:12
民 35:31
申 19:11-13

(例) 出 21:23, 24

(例) 申 19:21
マタ 5:38

(例) 出 22:1

(例) 創 9:6
出 21:12

(例) 出 12:49
レビ 17:10
レビ 19:34
民 9:14
民 15:16

(例) 民 15:33, 36
申 17:7

第25章

(例) 創 15:16

(例) レビ 26:34
代二 36:20, 21

(例) 出 23:10, 11

第2欄

(例) レビ 16:30
レビ 23:27, 28

(例) イザ 61:1, 2
ルカ 4:18, 19
ロマ 8:20, 21

(例) レビ 27:24
民 36:4
申 15:1

(例) レビ 25:5

(例) 出 23:11
レビ 25:6

(例) レビ 25:29, 30
レビ 27:24

れずに残った穀物から自然に生えた物を刈り取ってはならず、剪定しなかった木のブドウを集めてもならない。土地のために完全な休みの年を設ける。

6 しかし、安息の期間に土地に生えた物は食べてよい。あなたも、男奴隷や女奴隷も、雇った労働者も、一緒に住んでいる外国人移住者も、7 家畜や土地にいる野生動物でもある。土地にできる物は何でも食べてよい。

8 安息年を7回数える。7年を7回で、その期間は49年になる。9 そして第7の月の10日に、角笛を鳴り響かせる。贖罪の日に、全土で角笛の音が聞こえるようにすべきである。10 50年目を神聖なものとし、その地方の全住民に自由を広く知らせなければならない。その年はあなたたちにとってヨベルとなる。それぞれ自分の所有地に帰る。それぞれ家族のものに帰るべきである。11 その50年目はあなたたちにとってヨベルとなる。種をまいたり、採り残した穀物から自然に生えた物を刈り取ったりせず、剪定しなかった木のブドウも集めない。12 ヨベルだからである。その年はあなたたちにとって聖なるものであるべきである。ひとりで土地にできる物だけは食べてよい。

13 このヨベルの年に、それぞれ自分の所有地に帰るべきである。14 仲間に何かを売ったり仲間から何かを買ったりする場合、互いを不当に利用

してはならない。^(ア) **15** あなたはヨベルから何年たっているかを考慮して仲間から買うべきであり、仲間は収穫できる残りの年数に従ってあなたに売るべきである。^(イ) **16** 残りの年数が多ければ買い取り額を増やし、少なければ買い取り額を減らす。仲間が売っているのは収穫の回数だからである。**17** あなたたちのうちの誰も仲間を不当に利用してはならない。神を畏れなければならない。^(ロ) 私はあなたたちの神エホバだからである。**18** あなたたちは私の法令を施行し、私の法規を守ることにより、その土地に安心して住むことができる。^(ハ) **19** 土地には作物が実り、あなたたちは満足するまで食べ、安心して住む。

20 あなたたちは、「7年目に、種をまいたり収穫したりしてはならないのなら、何を食べるのか」と言うかもしれない。^(ニ) **21** 私は6年目にあなたたちのために祝福を与え、土地には3年分の作物が実る。^(ヘ) **22** あなたたちは8年目に種をまき、9年目まで古い収穫物を食べる。収穫できるようになるまで、古いものを食べる。

23 土地はずっと売り渡されたままであってはならない。土地は私のものだからである。^(ホ) あなたたちは私から見れば外国人居住者で移住者である。**24** あなたたちが所有する地方全体で、土地を買い戻す権利を認めるべきである。

第25章

(ア) サー 12:3
格 14:31

(イ) レビ 27:18

(ロ) レビ 19:13
格 22:22(ロ) レビ 25:43
格 1:7
格 8:13

(ロ) イザ 33:22

(ロ) 申 12:10
詩 4:8
格 1:33

(ホ) 詩 67:6

(ロ) レビ 26:3-5

(ロ) レビ 25:4,5
マタ 6:25(ロ) 創 26:12
申 28:8
マラ 3:10

(ロ) 王一 21:3

(ロ) 詩 24:1

(ロ) 代一 29:15

第2欄

(ロ) ルツ 2:20
ルツ 4:4-6

(イ) レビ 25:50

(ロ) レビ 27:24

(ロ) レビ 25:10,13

(ロ) レビ 25:25-27

(ロ) 民 35:2,8

(ホ) レビ 25:28

^{ナカ マ マズ} **25** 仲間が貧しくなると所有地を売った場合、^ウ 買い戻す権利を持つ近親者が来て、兄弟が売ったものを買ひ戻さなければならない。**26** 買い戻してくれる人がいなくても、当人が裕福になって買い戻せるようになった場合、**27** 土地を売ってからの年数分の金額を計算し、それを差し引いた額を、売った相手に返すべきである。こうして自分の所有地に帰ることができる。

28 しかし、買い戻せるだけのお金がないければ、売ったものはヨベルの年まで、買った人のものである。その土地はヨベルの時に本来の持ち主に返され、その人は自分の所有地に帰る。

29 城壁に囲まれた町にある家を売る場合、売却の時から1年の終わりは買い戻すことができる。買い戻しの権利は丸1年有効である。**30** しかし、丸1年が過ぎる前に買い戻されないなら、城壁に囲まれた町にある家は代々ずっと、買った人の所有となる。ヨベルの時に返還されるべきではない。**31** 一方、周囲に城壁がない集落の家は田舎の畑の一部と見なされる。買い戻しの権利は保たれ、家はヨベルの時に返還されるべきである。

32 レビ族の町にある家については、^(ロ) レビ族は買い戻しの権利を失わない。**33** レビ族の町で家が売られて買い戻されなかった場合、ヨベルの時に返還されなければならない。レビ族の町の家はイスラエルの中で彼ら

の所有物だからである。34 さらに、
レビ族の町の周りの牧草地は売って
はならない。それはずっと彼らの所有
地なのである。

35 近所の仲間が貧しくなって生計
を立てられないなら、外国人居住者や
移住者を支えるようにその仲間を支え
なければならない。仲間があなたと
共に生き続けるためである。36 仲
間を相手に利息を取ったりもうけたり
してはならない。神を畏れなければな
らない。仲間はあなたと共に生き続け
る。37 仲間に利息を付けてお金を
貸したりもうけのために食物を渡した
りしてはならない。38 私はあなた
たちの神エホバ、あなたたちをエジプ
トから連れ出してカナン地方を与え、
あなたたちの神であることを示す者で
ある。

39 近所の仲間が貧しくなって自分
をあなたに売るしかない場合、奴隷の
ように働かせてはならない。40 仲
間は、雇われた労働者や、移住者のよ
うに見なされるべきである。ヨベルの
年まであなたの所で働く。41 それ
から仲間は、子供を連れてあなたの
ところを去り、家族のもとに帰る。自分の
父祖たちの所有地に帰るべきである。

42 イスラエル人は私がエジプトから
連れ出した私の奴隷だからである。イ
スラエル人は自分を奴隷のように売っ
てはならない。43 あなたは仲間を

第25章

- (7) 民 18:20
民 35:2,4
申 18:1
(1) 民 35:7
ヨシ 14:4
(7) 出 22:21
出 23:9
レビ 19:34
申 10:18
(1) 申 15:7
詩 41:1
詩 112:5
格 3:27
格 19:17
マル 14:7
使徒 11:29
テモ一 6:18
ヨ一 3:17
(7) 出 22:25
申 23:19
詩 15:5
格 28:8
(7) 格 8:13
(7) 申 23:20
ルカ 6:34,35
(7) 出 20:2
王一 8:51
(7) 出 6:7
(1) 出 21:2
申 15:12
(7) 王一 9:22
(7) レビ 25:53
(7) 出 21:3
レビ 25:10
(7) 出 1:13,14
出 19:5
レビ 25:55
第2欄
(7) 出 3:7
エフ 6:9
コ口 4:1
(1) レビ 25:17
伝 12:13
(7) 出 12:38
ヨシ 9:21
(1) レビ 25:39,43
(7) レビ 25:25
(7) レビ 25:26,27
(7) レビ 25:10
(7) レビ 25:15,16
(7) 申 15:18

残酷に扱ってはならない。神を畏れな
ければならない。44 男奴隷や女奴
隷になるのは周辺諸国の人である。
その人たちを男奴隷や女奴隷として
買ってよい。45 また、一緒に住んで
いる外国人移住者や、あなたたちの土
地で生まれた彼らの家族を、奴隷とし
て買ってよい。その人たちはあなたた
ちの所有となる。46 彼らを相続財
産として子供たちに譲り渡し、所有物
としてずっと相続させてよい。その人
たちを労働者として使うのはよい。し
かし、あなたたちの仲間であるイスラ
エル人を残酷に扱ってはならない。

47 一方、イスラエルの中にいる外
国人居住者や移住者が祝福になり、
近所に住む仲間が貧しくなって、その
外国人居住者や移住者、外国人居住
者の家族に自分を売らなければなら
ない場合、48 自分を売った後も、買
い戻しの権利がある。その人の兄弟
が買い戻せる。49 あるいは、おじか
おじの子が買い戻せる。さらに、近い
親族の誰か、家族の1人が買い戻せる。

また、その人自身が祝福になったな
ら、自分でも買い戻せる。50 自分を
買った人と一緒に、自分を売った年か
らヨベルの年までの期間を計算する。
その年数に応じて金額が決まる。その
期間の労働は雇われた労働者の場合
と同じように評価される。51 まだ何
年もあるなら、残りの年数に応じて買

い^{もど}戻し^{がく}額^{しはら}を支^し払^{はら}うべきである。52 し^しかし、ヨベルの年^{ねん}までの年^{ねん}数が^あわ^わずか^かなら、自^じ分^{ぶん}で計^{けい}算^{さん}する。残^{ねん}っ^{ねん}てい^{りう}る年^{ねん}数^{すう}に^お応^{おう}じて買^かい^{もど}戻し^{がく}額^{しはら}を支^し払^{はら}うべきであ^ある。53 仕^{つか}え^えてい^いる間^{かん}は、雇^{やと}わ^われた^{らう}労^{らう}働^{どう}者^{しゃ}のよう^{よう}に扱^{あつか}わ^われるべきである。あ^あなたは、そ^その^の人^{ひと}が^{ごん}残^{ざん}酷^{こく}な扱^{あつか}い^いを受^うけ^けないよう^{よう}に注^{ちゅう}意^いすべきである。54 し^しかし、以^い上^{じょう}のよう^{よう}に^にし^じて自^じ分^{ぶん}を買^かい^{もど}戻し^{がく}すこ^こが^かで^でき^きな^なければ、ヨベルの年^{ねん}に^に自^じ由^{ゆう}に^いなる。子^こ供^{ども}も^も連^つれ^れて^てい^いく。

55 イスラエル人^{じん}は私^{わたくし}の奴^{やつ}隷^{れい}なのである。私^{わたくし}がエジプト^{えじぷと}から連^つれ^れ出^だした奴^{やつ}隷^{れい}である。私^{わたくし}はあ^あなた^{なた}た^たち^ちの神^{かみ}エホバ^{えほ}である。

26 無^む価^か値^ちな神^{かみ}々^々を作^{つく}って^はな^なら^らない。彫^{ちやう}刻^{こく}像^{ざう}や聖^{せい}柱^{ちゆう}を立^たて^ては^はな^なら^らない。あ^あなた^{なた}た^たち^ちの土^ど地^ちに^いし^しの^ほ影^{えい}の物^{もの}を^お置^おいて、そ^それ^れに^む向^むか^かつて^てひ^ひれ^れ伏^ふして^はな^なら^らない。私^{わたくし}はあ^あなた^{なた}た^たち^ちの神^{かみ}エホバ^{えほ}である。2 あ^あなた^{なた}た^たち^ちは私^{わたくし}の安^{あん}息^{そく}日^びを守^{まも}り、私^{わたくし}の聖^{せい}なる所^{ところ}に^ふか^かた^たい^い敬^{けい}意^いを示^{しめ}す^すべきである。私^{わたくし}はエホバ^{えほ}である。

3 あ^あなた^{なた}た^たち^ちが私^{わたくし}の法^{ほう}令^{れい}に従^{したが}い、私^{わたくし}のお^おき^きて^てを守^{まも}り^{つづ}け^{つづ}て、そ^それ^れら^らを^{じっ}実^{じつ}行^{こう}する^{する}なら、4 私^{わたくし}はふ^ふさ^さわ^わしい^{とき}時^{とき}に^{あめ}雨^{あめ}を^{じゅう}十^{じゅう}分^{ぶん}に^ふ降^おろ^ろせ、土^ど地^ちに^{さく}作^{さく}物^{ぶつ}が^み実^みり、野^のの^き木^きに^だ実^みが^くなる。5 脱^{だつ}穀^{こく}は^{しゅう}ブ^ぶドウ^{どう}の^{しゅう}取^と穫^くの^{しゅう}時^じ期^きま^まで^{つづ}続^{つづ}き、^{しゅう}ブ^ぶドウ^{どう}の^{しゅう}取^と穫^くは^た種^{しゅ}ま^まき^きの^{しゅ}時^じ期^きま^まで^{つづ}続^{つづ}く。あ^あなた^{なた}た^たち

26:1 *用語集参照。26:2 *または、「安息年」。「直訳」を畏れる。

第25章

(例)レビ 25:40, 43
コロ 4:1

(例)出 21:3

(例)出 20:2
レビ 25:42

第26章

(例)出 20:4
レビ 19:4
使徒 17:29
コロ 8:4

(例)申 5:8

(例)民 33:52

(例)ダニ 3:18
コロ 10:14

(例)申 11:13-15
伝 12:13

(例)申 28:12
イザ 30:23
エゼ 34:26
ヨエ 2:23

(例)詩 67:6
詩 85:12

第2欄

(例)レビ 25:18

(例)代一 22:9
詩 29:11
ハガ 2:9

(例)ミカ 4:4

(例)申 28:7
ヨシ 23:10
裁 7:15, 16
裁 15:15, 16
代一 11:20

(例)申 28:4

(例)出 6:4

(例)出 25:8
エゼ 21:3
啓 21:3

(例)申 23:14

(例)出 6:7
コニ 6:16

(例)申 28:15

(例)王二 17:15

は満^{まん}足^{そく}する^{まで}まで^たパン^{ぱん}を^じ食^{しょく}べ、自^じ分^{ぶん}の土^ど地^ちに^ち安^{あん}心^{しん}して^す住^わむ。6 私^{わたくし}はそ^その^の土^ど地^ちに^{へい}平^{へい}和^わを^{あた}与^いえ、あ^あなた^{なた}た^たち^ちは誰^{だれ}にも^お脅^{おび}か^おされ^はず^よに^わ横^わになる。私^{わたくし}はど^{どう}う^{もう}も^や野^の獣^{じゅう}を^とそ^との^の土^ど地^ちから^ぞ除^ぞき^さ去^つる。剣^{けん}を持^もつ^もひ^ひと^と人^{ひと}があ^あなた^{なた}た^たち^ちの土^ど地^ちを^か通^{とお}つて^てい^いくこ^こと^とも^もない。7 あ^あなた^{なた}た^たち^ちは必^{かな}ず^て敵^{てき}を^おつ^つて^つて^つ倒^{たお}す。8 あ^あなた^{なた}た^たち^ちは、5人^{にん}で^{にん}100人^おを^{にん}追^おひ、100人^{にん}で^{にん}1万^{まん}人^{にん}を^お追^おひ、敵^{てき}を^お倒^{たお}す。

9 私^{わたくし}はあ^あなた^{なた}た^たち^ちを^{しゅく}祝^{しゅく}福^{ふく}し、子^し孫^{そん}が^うた^たく^おさ^おん^お生^{せい}ま^まれ^れて^て多^たく^くな^なる^るよう^{よう}に^にす^する。あ^あなた^{なた}た^たち^ちと^{けい}の^い契^{けい}約^{やく}を^ま守^もる。10 あ^あなた^{なた}た^たち^ちは、前^{まえ}の^{とし}年^{ねん}の^{ふる}古^こい^{もの}物^{もの}を^たま^まだ^だ食^{しょく}べ^{つく}て^てい^いる^るう^うち^ちに、新^{あらた}し^しい^{もの}物^{もの}の^ば場^{じょう}所^{ところ}を^つ作^{つく}る^るた^ために^に古^{ふる}い^{もの}物^{もの}を^か片^か付^づけ^ける^るこ^こが^{ひつ}必^{ひつ}要^{よう}に^なる。11 私^{わたくし}はあ^あなた^{なた}た^たち^ちの中^{なか}に^{わたくし}私^{わたくし}の^{まく}幕^{まく}屋^やを^お置^おき、あ^あなた^{なた}た^たち^ちを^{しりぞ}退^{しりぞ}け^けない。12 私^{わたくし}はあ^あなた^{なた}た^たち^ちの中^{なか}を^{ある}歩^{ある}き、あ^あなた^{なた}た^たち^ちの神^{かみ}と^しなる。あ^あなた^{なた}た^たち^ちも^も私^{わたくし}の^{わたくし}民^{たみ}と^{わたくし}なる。13 私^{わたくし}はあ^あなた^{なた}た^たち^ちの^{かみ}神^{かみ}エホバ^{えほ}であ^あり、あ^あなた^{なた}た^たち^ちを^つエ^えジ^じプ^ぷト^とから^だ連^だれ^れ出^だし、奴^{やつ}隷^{れい}状^{じょう}態^{たい}から^{じゅう}自^じ由^{ゆう}に^あした。あ^あなた^{なた}た^たち^ちを^あ圧^あ制^{せい}か^から^{かい}解^{かい}放^{ほう}し、あ^あなた^{なた}た^たち^ちが^あ頭^{あたま}を^{ある}上^あげ^あて^あて^ある^るよう^{よう}に^にした。

14 し^しかし、も^もし^しあ^あなた^{なた}た^たち^ちが^{わたくし}私^{わたくし}の^い言^いう^{すべ}こ^こと^とを^ま聞^きか^かず、全^{ぜん}て^ての^おお^おき^きて^てを^し守^{まも}ら^らない^{なら}、15 私^{わたくし}の^{ほう}法^{ほう}令^{れい}を^{しりぞ}退^{しりぞ}ける^るなら、また、私^{わたくし}の^き法^{ほう}規^きを^{ひどく}嫌^{きら}つて^て私^{わたくし}の^{すべ}全^{ぜん}て^ての^おお^おき^きて^てを^し守^{まも}ら^らず、私^{わたくし}と^{わたくし}の^{けい}契^{けい}約^{やく}を^を

26:13 *直訳、「あなたたちのてんびん棒を折り」。

やぶ^(例) わたし^(例) つぎ^(例)
 破るなら、**16** 私もあなたたちに次の
 ようにする。あなたたちを苦悩によつ
 て、結核と熱病によって罰し、目を衰え
 させ、力を失わせる。あなたたちが種
 をまいても報われない。敵が作物を食
 べるからである。**17** 私はあなたた
 ちに厳しい顔を向け、あなたたちは敵
 に打ち破られる。あなたたちを憎むもの
 たちに踏みつけられ、誰も追い掛けて
 いないのに逃げる。

18 それでもなお、私の言うことを聞
 かないなら、私はあなたたちの罪のため
 により厳しく懲らしめる。**19** あなた
 たちの傲慢さを砕き、天を鉄のよう
 に、地を銅のようにする。**20** 土地に
 作物は実らず、木には実がならないの
 で、あなたたちは無駄に体力を消耗
 する。

21 それでもあなたたちが私に逆ら
 い続け、私の言うことを聞こうとしない
 なら、私は罪に応じてより厳しくあなた
 たちを打つ。**22** 私は野生動物を
 あなたたちの中に送る。それはあなた
 たちの子供を襲い、家畜を全滅さ
 せ、あなたたちは少なくなる。道路は
 荒れ果てる。

23 こうしたことがあっても、私の
 矯正を受け入れず、あくまで私に逆ら
 うなら、**24** 私もあなたたちに立ち向
 かう。あなたたちの罪のためにより厳
 しくあなたたちを打つ。**25** 私はあ
 なたたちに剣で復讐する。あなたたち

第26章

(例) 出24:7
 申31:16
 ヘブ8:9
 (例) 申28:22,33
 裁6:3
 (例) 申28:15,25
 裁2:14
 サー4:10
 (例) 詩106:41
 哀1:5
 (例) レビ26:36
 (例) 申11:17
 王ー17:1
 (例) エレ12:13
 ハガ1:6,10
 (例) 申32:24
 エレ15:3
 (例) エゼ5:17
 (例) 裁5:6
 イザ33:8
 ゼカ7:14
 (例) イザ1:16
 エレ2:30
 エレ5:3

第2欄

(例) 出24:7
 (例) 申28:21
 エレ24:10
 アモ4:10
 (例) 裁2:14
 サー4:10
 (例) エゼ5:16
 (例) エゼ4:16
 (例) イザ9:20
 ミカ6:14
 ハガ1:6
 (例) エレ21:5
 (例) 申28:53
 王二6:29
 エレ19:9
 哀4:10
 エゼ5:10
 (例) 代二34:3
 イザ27:9
 (例) 王ー13:2
 王二23:8,20
 エゼ6:5
 (例) 詩78:58,59
 (例) 王二25:9,10
 代二36:17
 ネヘ2:3
 イザ1:7
 エレ4:7
 (例) エレ9:11
 (例) 申28:37
 申29:22-24
 エレ18:16
 哀2:15
 エゼ5:15
 (例) 詩44:11
 (例) エレ9:16
 エゼ12:14
 (例) ゼカ7:14

わたし^(例) けいやく^(例) やぶ^(例)
 が私との契約を破ったからである。あ
 なたたちが自分たちの町に集まっ
 て、私はあなたたちの間に病気を送り
 込み、あなたたちを敵の手に渡す。
26 私がパンの供給を断つと、たった
 1つのかまどで10人の女性がパンを
 焼き、重さを量ってパンを分配する。
 あなたたちは食べても満足すること
 はない。

27 それにもかかわらず私の言うこ
 とを聞かず、あくまで私に逆らうなら、
28 私もあなたたちに激しく立ち向か
 う。あなたたちの罪のためにより厳し
 く懲らしめる。**29** あなたたちは息子
 の肉を食べ、娘の肉を食べることにな
 る。**30** 私はあなたたちの聖なる高
 い場所を一掃し、香台を切り倒し、汚
 らわしい偶像の死体の上にあなたた
 ちの死体を積み上げる。私はあなた
 たちのことを極めて不快に思い、目を
 背ける。**31** あなたたちの町を剣で
 破壊し、あなたたちの聖なる所を荒廃
 させる。あなたたちの犠牲の心地よい
 香りを嗅ぐことはない。**32** 私はその
 土地を荒廃させる。あなたたちの敵は
 そこに住み、驚いて見つめる。**33** 私
 はあなたたちを国々に散らし、剣をさ
 やから抜いてあなたたちを追う。あな
 たたちの土地は荒廃し、町は廃虚と
 なる。

26:26 *または、「食物」。「直訳」。「棒」。パンを
 掛けておくために使われた棒のこともしれない。
26:30 *ヘブライ語で「ふん」を意味する
 言葉と関連があると考えられる、嫌悪を表す表現。

34 その時、荒廃している期間中ずっと、その土地は安息を取り戻す。あなたが敵の土地にいる間である。その時、土地は休み、安息を取り返すことになる。35 荒廃している期間中ずっと休む。あなたがそこに住んでいた間、安息の時に土地を休ませなかったからである。

36 私は敵の土地で、生き残る人たちの心を絶望で満たす。彼らは、吹き散らされる木の葉の音に追い立てられ、誰も追い掛けていないのに、剣から逃げる人のように逃げて倒れる。37 誰も追い掛けていないのに、剣から逃げる人のように互いにつまづく。敵に抵抗することができない。38 国々で死に、敵の土地で息絶える。39 あなたのうちの残る人たちも、自分の過ちのために敵の土地で朽ち果てる。父たちの過ちのために朽ち果てるのである。40 彼らは、自分の過ち、および父たちの過ちと不忠実さを告白し、次のことを認める。彼らが私に逆らって歩んで不忠実に行動し、41 それでも私も彼らに立ち向かい、敵の土地に連れていった、ということ。

その時には、彼らは心がたかくなではなくなり、謙遜になるかもしれない。また、自分の過ちを償うことになる。42 私はヤコブとの契約と、イサクとの契約を思い起こす。アブラハムと

26:34 *または、「安息を守り」。26:41 *直訳、「無割礼」。

第26章

(例) 代二 36:20,21

(例) イザ 24:6

(例) レビ 26:17

イザ 30:17

(例) ヨシ 7:12

箴 2:14

(例) エレ 37:10

(例) 申 4:27

申 28:48

エレ 42:17

(例) 申 28:65

(例) 出 20:5

民 14:18

(例) 王一 8:33

ネヘ 9:2

エゼ 6:9

ダニ 9:5

(例) エゼ 36:31

(例) レビ 26:24

(例) 王一 8:47

代二 36:20

(例) 申 30:6

エレ 4:4

使徒 7:51

(例) 創 28:13

(例) 創 26:3

第27章

(例) 創 12:7

申 4:31

詩 106:45

(例) レビ 26:34

代二 36:20,21

(例) 王二 17:15

(例) 申 4:31

王二 13:23

ネヘ 9:31

(例) 申 4:13

エレ 14:21

(例) 出 24:3,8

申 9:9

(例) エゼ 20:9

(例) レビ 27:34

申 6:1

第27章

(例) 申 23:21

箴 11:30,31

サー 1:11

の契約を思い起こし、その土地のことを思い起こす。43 その土地は、彼らに見捨てられている間、安息を取り戻し、彼らがいないまま荒廃する。彼らは自分の過ちを償う。私の法規を退け、私の法令をひどく嫌ったからである。44 それでも、彼らが敵の土地にいる間、私は決して彼らを完全には退けず、捨て去って根絶やしにすることもしない。彼らとの契約を破らないためである。私は彼らの神エホバである。45 私は彼らのために、彼らの先祖たちとの契約を思い起こす。私は国々が見る前でその者たちをエジプトから連れ出した。その者たちの神であることを示すためである。私はエホバである』。

46 以上が、エホバがシナイ山でモーセを通してご自分とイスラエル人との間に設けた規定と法規と律法である。

27 エホバは続けてモーセに言った。2「イスラエル人にこう告げなさい。『ある人を差し出すという特別な誓約をして、その人の評価額をエホバに捧げる場合、3 20歳以上60歳未満の男性の評価額は、聖なる標準重りで銀570グラムである。4 女性であれば、評価額は340グラムである。5 5歳以上20歳未満の場合、男性の評価額は230グラム、女性は110グラムである。6 生

27:3 *または、「聖なる場所の標準重り」。

後^ご1カ月^{げつ}以上^{いじょう}5歳^{さい}未^み満^{まん}の場合^{ばい}, 男性^{だんせい}の
 評価額^{ひょうかがく}は銀^{ぎん}57グラム^{ごん}, 女性^{じょせい}は銀^{ぎん}34グラ
 ムである。

7 60歳^{さいじゅう}以上^{いじょう}の場合^{ばい}, 評価額^{ひょうかがく}は男性^{だんせい}
 が170グラム^{ごん}, 女性^{じょせい}は110グラムであ
 る。8 しかし, 貧^{みず}しくて評価額^{ひょうかがく}を払^{はら}
 えないのであれば, 差^さし出^だされる人^{ひと}は祭
 司^しの前に立^たち, 祭司^{さいし}がその人の価^{ひと}を
 決^きめる。祭司^{さいし}は, 誓^{せい}約^{やく}した人^{ひと}が払^{はら}える
 範^{はん}囲^いで評価^{ひょうか}する。

9 誓^{せい}約^{やく}して差^さし出^だすのが, エホバに
 捧^{ささ}げるのにふさわしい動物^{どうぶつ}であれば,
 エホバに与^{あた}えられる物^{もの}は全^{すべ}て聖^{せい}なる
 ものとなる。10 それを取り換^とえては
 ならぬ。悪^{わる}いものを良^よいものと, ま
 た良^よいものを悪^{わる}いものと交^{こう}換^{かん}してはな
 らない。もし別^{べつ}の動物^{どうぶつ}と交^{こう}換^{かん}するよう
 なことがあれば, 元^{もと}の動物^{どうぶつ}も交^{こう}換^{かん}した
 動物^{どうぶつ}も聖^{せい}なるものとなる。11 エホ
 バへの捧^{ささ}げ物^{もの}としては差^さし出^だせない
 けが汚^{けが}れた動物^{どうぶつ}の場合^{ばい}, その人^{ひと}はその動
 物^{ぶつ}を祭^{さい}司^しの前に連^つれてくる。12 祭
 司^しは, それが良^よいか悪^{わる}いかに従^{したが}ってそ
 の価^{あた}を決^きめる。祭司^{さいし}が評価^{ひょうか}した額^{がく}が
 使^{つか}われる。13 もしそれを買^かい戻^{もど}
 したければ, 評価額^{ひょうかがく}にその5分^{ぶん}の1^{くわ}を加
 えて納^{おさ}めなければならぬ。

14 自^じ分の家^{いえ}を神^{しん}聖^{せい}なものとし, エ
 ホバにとって聖^{せい}なるものとして捧^{ささ}げ
 る場合^{ばい}, 祭司^{さいし}は, それが良^よいものか
 悪^{わる}いものかに従^{したが}ってその価^{あた}を決^きめ
 る。祭司^{さいし}が決^きめた価^{あた}がその価^か格^{かく}とな
 る。15 家^{いえ}を神^{しん}聖^{せい}なものとした人^{ひと}が

第27章

(例) レビ 5:7, 11
 レビ 12:8
 レビ 14:21

(例) ルカ 21:2-4
 コロ 8:12

(例) レビ 20:25
 申 14:7, 8

(例) レビ 27:19

(例) レビ 27:11, 12

第2欄

(例) レビ 25:10

(例) レビ 25:15, 16

(例) 民 18:8, 14

(例) レビ 25:25

(例) レビ 27:11, 12
 レビ 27:18

(例) レビ 25:10, 28

それを買^かい戻^{もど}したければ, 評価額^{ひょうかがく}にそ
 の5分^{ぶん}の1^{くわ}を加^{おさ}えて納^いめる。こうして家
 はその人^{ひと}のものとなる。

16 所有^{しりょう}する煙^{えん}の一部^{いちぶ}をエホバに
 犠^ぎ牲^{せい}として捧^{ささ}げる場合^{ばい}, 評価額^{ひょうかがく}は煙^{えん}に
 まくのに必要^{ひつよう}な種^{たね}の量^{りょう}で決^きまる。大^お麦^{むぎ}
 の種^{たね}220リットルに対して銀^{ぎん}570グラ
 ムである。17 煙^{えん}をヨベルの年^{とし}から
 神^{しん}聖^{せい}なものとするのであれば, 評価額^{ひょうかがく}
 がそのまま使^{つか}われる。18 ヨベルの
 後^{あと}に煙^{えん}を神^{しん}聖^{せい}なものとするのであれ
 ば, 祭司^{さいし}は, 次^{つぎ}のヨベルの年^{とし}までの年
 数^{すう}に応^{おう}じてその価^{あた}を計^{けい}算^{さん}する。評価額^{ひょうかがく}
 より低^{ひく}い額^{がく}になる。19 もし煙^{えん}を神
 聖^{せい}なものとし人^{ひと}がそれを買^かい戻^{もど}そう
 するのであれば, 評価額^{ひょうかがく}にその5分^{ぶん}
 の1^{くわ}を加^{おさ}えて納^いめなければならぬ。
 そうすれば煙^{えん}はその人^{ひと}のものである。
 20 もしその人^{ひと}が煙^{えん}を買^かい戻^{もど}さずに他
 の人^{ひと}に売^うったなら, もう買^かい戻^{もど}すこと
 はできない。21 その煙^{えん}がヨベルの
 時^{とき}に手^て放^{はな}される際^{さい}, それはエホバに
 とつて聖^{せい}なるもの, 完全^{かんぜん}に捧^{ささ}げられた
 煙^{えん}となる。祭司^{さいし}の所有^{しりょう}地^ちとなる。

22 世^せ襲^{しりゅう}所有^{しりょう}地^ちではなく, 買^かった煙^{えん}
 をエホバに犠^ぎ牲^{せい}として捧^{ささ}げる場^{ばい}合^{がい},
 23 祭司^{さいし}が計^{けい}算^{さん}するヨベルの年^{とし}まで
 の評価額^{ひょうかがく}をその日^ひに納^{おさ}める。それは
 エホバにとって聖^{せい}なるものである。
 24 その煙^{えん}はヨベルの年^{とし}に, 煙^{えん}の売^う
 手^てすなわち本^{ほん}来^{らい}の所有^{しりょう}者^{しゃ}に返^{かえ}される。

25 評価額^{ひょうかがく}は全^{すべ}て聖^{せい}なる標^{ひょう}準^{じゅん}重^{じゅう}りに
 基^{もと}づき, 標^{ひょう}準^{じゅん}重^{じゅう}りは11.4グラムである。

レビ 27:26-民数 概要

26 動物の初子は、誰も神聖なものである。それはエホバのための初子として生まれたからである。牛であれ羊であれ、それは最初からエホバのものである。 **27** それが汚れた動物で、買い戻す場合、評価額にその5分の1を加えて納めるべきである。買い戻されなければ、評価額に従って売られる。

28 また、完全に捧げられたもの、人が自分のものの中から無条件でエホバに捧げたものは、人間でも動物でも所有する畑でも、売ったり買い戻したりしてはならない。完全に捧げられたものは全てエホバにとって極めて聖なるものである。 **29** 滅びるよう定められた人か物を買戻してはならない。そ

27:28 *または、「滅びのために」。 **27:29** *または、「完全に捧げられた」。

第27章

(イ) 出 13:2
民 18:17

(イ) 出 22:30
申 15:19

(イ) レビ 27:11-13

(イ) 民 18:8,14

(イ) 民 21:2

第2欄

(イ) ヨシ 6:17
サー 15:3,18

(イ) 創 14:20
創 28:22
民 18:21,26
申 14:22
代二 31:5
ネヘ 13:12
マラ 3:10
ルカ 11:42
ヘブ 7:5

(イ) レビ 27:9,10

(イ) 出 3:1
民 1:1

の人は必ず死刑にされるべきである。

30 土地の10分の1は、畑の作物であれ木の実であれ、全てエホバのものである。それはエホバにとって聖なるものである。 **31** 10分の1の幾らかを買い戻したければ、その価に加えてその5分の1を納めるべきである。 **32** 牛や羊の10分の1, すなわち牧者のつえの下を通る動物は10匹目ごとに、全てエホバにとって聖なるものとなる。 **33** それが良いものか悪いものかを調べてはならず、それを交換してもならない。もし交換しようとするなら、元の動物も交換した動物も、聖なるものとなる。それを買い戻してはならない。』

34 以上が、エホバがシナイ山でイスラエル人のためにモーセに与えたおきてである。

民数記

概要

- 兵役に就く男性の登録 (1-46)
レビ族は兵役を免除される (47-51)
宿営の秩序ある配置 (52-54)
- 宿営は3部族から成る分隊に組織される (1-34)
ユダの分隊は東側 (3-9)
ルベンの分隊は南側 (10-16)
レビの宿営は真ん中 (17)
エフライムの分隊は西側 (18-24)
ダンの分隊は北側 (25-31)
登録された男性の総数 (32-34)

- アロンの子たち (1-4)
レビ族が仕えるよう選ばれる (5-39)
長男の買い戻し (40-51)
- コハト氏族の奉仕 (1-20)
ゲルシオン氏族の奉仕 (21-28)
メラリ氏族の奉仕 (29-33)
人口調査のまとめ (34-49)
- 汚れた人の隔離 (1-4)
告白と弁償 (5-10)
姦淫の疑いを水で判定する (11-31)

- 6 ナジルの誓約 (1-21)
祭司が祝福を願う (22-27)
- 7 幕屋を献じる時の捧げ物 (1-89)
- 8 アロンは7つのランプをともす (1-4)
レビ族は清められ、奉仕を始める (5-22)
レビ族の奉仕の年齢制限 (23-26)
- 9 月遅れの過ぎ越し (1-14)
幕屋の上の雲と火 (15-23)
- 10 銀のラツパ (1-10)
シナイを出発 (11-13)
出発の順番 (14-28)
ホバブはイスラエル人の案内を頼まれる (29-34)
宿営を畳む時のモーセの祈り (35, 36)
- 11 民は文句を言い、神の火が燃え上がる (1-3)
民は肉を求める (4-9)
モーセは自分が力不足だと感じる (10-15)
エホバは70人の長老に聖なる力を与える (16-25)
エルダドとメダドのことで、ヨシュアはモーセの心配をする (26-30)
ウズラが送られ、民は貪欲さのために処罰される (31-35)
- 12 ミリアムとアロンがモーセに逆らう (1-3)
モーセは際立って温厚 (3)
エホバはモーセを擁護する (4-8)
ミリアムは重い皮膚病にかかる (9-16)
- 13 カナンの偵察に12人が遣わされる (1-24)
10人からの悪い報告 (25-33)
- 14 民はエジプトに戻りたがる (1-10)
ヨシュアとカレブの良い報告 (6-9)
エホバの怒り、モーセのとりなし (11-19)
罰: 荒野で40年 (20-38)
イスラエルはアマレク人に打ち破られる (39-45)
- 15 捧げ物に関する律法 (1-21)
生来のイスラエル人と外国人居住者に同じ律法 (15, 16)
意図しない罪のための捧げ物 (22-29)
故意の罪に対する罰 (30, 31)
安息日を破った人が死刑にされる (32-36)
服の裾に飾りをつける (37-41)
- 16 コラ、ダタン、アビラムの反逆 (1-19)
反逆者たちに対する裁き (20-50)
- 17 芽が出たアロンのつえ (1-13)
- 18 祭司とレビ族の務め (1-7)
祭司の取り分 (8-19)
塩の契約 (19)
レビ族が受け取る10分の1と、与える10分の1 (20-32)
- 19 赤い雌牛と清めの水 (1-22)
- 20 ミリアムがカデシュで死ぬ (1)
モーセは岩を打って罪を犯す (2-13)
エドムはイスラエルを通らせない (14-21)
アロンの死 (22-29)
- 21 アラドの王を打ち破る (1-3)
銅の蛇 (4-9)
イスラエルはモアブを迂回して進む (10-20)
アモリ人の王シホンを打ち破る (21-30)
アモリ人の王オグを打ち破る (31-35)
- 22 バラクがバラムを雇う (1-21)
バラムのロバが話す (22-41)
- 23 バラムの最初の格言的な詩 (1-12)
バラムの2つ目の格言的な詩 (13-30)
- 24 バラムの3つ目の格言的な詩 (1-11)
バラムの4つ目の格言的な詩 (12-25)
- 25 モアブ人の女性たちとのイスラエルの罪 (1-5)
ピネハスは行動する (6-18)
- 26 イスラエルの部族の2度目の人口調査 (1-65)
- 27 ツエロフハドの娘たち (1-11)
ヨシュアがモーセの後継者として任命される (12-23)
- 28 さまざまな捧げ物の手順 (1-31)
毎日 (1-8)
安息日 (9, 10)
毎月 (11-15)
過ぎ越しの時 (16-25)
七週の祭りの時 (26-31)
- 29 さまざまな捧げ物の手順 (1-40)
ラツパの吹奏の日 (1-6)
贖罪の日 (7-11)
仮小屋の祭りの時 (12-38)
- 30 男性の誓約 (1, 2)
女性と娘の誓約 (3-16)

- 31 ミディアンに対する復讐 (1-12)
 パラムは殺される (8)
 戦利品に関する指示 (13-54)
- 32 ヨルダン川の東での定住 (1-42)
- 33 荒野でのイスラエルの行程 (1-49)
 カナン征服に関する指示 (50-56)

- 34 カナンの境界線 (1-15)
 土地を分けるよう指名された人たち (16-29)
- 35 レビ族の町 (1-8)
 避難の町 (9-34)
- 36 女性相続人の結婚に関する律法 (1-13)

1 エホバは、民がエジプトを出て2年目の第2の月の1日に、シナイの荒野で、会見の天幕の中でモーセに話した。2「イスラエル人の民全体の人口調査を行い、氏族ごとに、父方の家ごとに、全ての男性の名前をひとりずつ挙げなさい。3 あなたとアロンは、イスラエルで兵役に就くことができる20歳以上の人全員をグループごとに登録する。

4 それぞれの部族から、部族の長1人があなたたちのもとにいるようにしなさい。5 あなたたちを補佐する人たちの名前は以下の通りである。ルベンからは、シェデュルの子エリツル。6 シメオンからは、ツリシャダイの子シェルミエル。7 ユダからは、アミナダブの子ナフシオン。8 イッサカルからは、ツアルの子ネタヌエル。9 ゼブルンからは、ヘロンの子エリアブ。10 ヨセフの子のうち、エフラムからは、アミフドの子エリシャマ、マナセからは、ペダツルの子ガマリエル。11 ベニヤミンからは、ギドオ

1:1 *用語集参照。1:2 *または、「頭ごとに」。
 1:13 *直訳、「軍隊」。

第1章

(イ) 出 40:17
 (イ) 出 19:1
 使徒 7:38
 (イ) 出 25:22
 (イ) 出 30:12
 (イ) 出 30:14
 (イ) 出 18:25
 民 1:16
 ヨシ 22:13, 14
 ヨシ 23:2
 代一 27:1
 (イ) 民 2:10
 (イ) 民 7:11, 36
 (イ) ルツ 4:20
 ルカ 3:23, 32
 (イ) 民 10:15
 (イ) 民 7:11, 24
 (イ) 創 48:20

第2欄

(イ) 民 2:22
 (イ) 民 7:11, 66
 (イ) 民 7:11, 72
 (イ) 民 2:14
 民 7:11, 42
 民 10:20
 (イ) 民 2:29
 民 10:27
 (イ) 出 18:21
 民 7:2
 (イ) 申 1:15
 (イ) 出 30:14
 (イ) 民 26:1, 2
 (イ) 創 29:32
 民 2:10, 11
 (イ) 創 29:33
 創 46:10
 民 2:12, 13

ニの子アビダン。12 ダンからは、アミシャダイの子アヒエゼル。13 アシェルからは、オ克蘭の子パグイエル。14 ガドからは、デウエルの子エルヤサブ。15 ナフタリからは、エナンの子アヒラ。16 以上が民の中から呼び出される人で、父の部族の長、イスラエルの数千人を率いる人たちである。

17 モーセとアロンは指名された人々を来させた。18 そして第2の月の1日に民全員を集合させた。20歳以上の人を、父方の家ごとに、氏族ごとに、1人ずつ名前を登録するためである。19 エホバがモーセに命じた通りである。モーセはシナイの荒野で登録をした。

20 ルベンの子たち、イスラエルの長男の子孫について、父方の家ごとに、氏族ごとに名前が記載された。兵役に就ける20歳以上の男性全員が1人ずつ数えられ、21 ルベン族で登録された人は4万6500人だった。

22 シメオンの子孫について、父方の家ごとに、氏族ごとに名前が記載さ

れた。兵役に就ける20歳以上の男性全員が1人ずつ数えられ、**23** シメオン族で登録された人は5万9300人だった。

24 ガドの子孫について、父方の家ごとに、氏族ごとに名前が記載された。兵役に就ける20歳以上の男性全員が数えられ、**25** ガド族で登録された人は4万5650人だった。

26 ユダの子孫について、父方の家ごとに、氏族ごとに名前が記載された。兵役に就ける20歳以上の男性全員が数えられ、**27** ユダ族で登録された人は7万4600人だった。

28 イッサカルの子孫について、父方の家ごとに、氏族ごとに名前が記載された。兵役に就ける20歳以上の男性全員が数えられ、**29** イッサカル族で登録された人は5万4400人だった。

30 ゼブルンの子孫について、父方の家ごとに、氏族ごとに名前が記載された。兵役に就ける20歳以上の男性全員が数えられ、**31** ゼブルン族で登録された人は5万7400人だった。

32 ヨセフの子エフライムの子孫について、父方の家ごとに、氏族ごとに名前が記載された。兵役に就ける20歳以上の男性全員が数えられ、**33** エフライム族で登録された人は4万5000人だった。

34 マナセの子孫について、父方の家ごとに、氏族ごとに名前が記載され

第1章

(7) 創 30:10,11
創 46:16
民 2:14,15

(7) 創 29:35
創 46:12
民 2:3,4
代一5:2
マタ1:2
ヘブ7:14

(7) 創 30:17,18
創 46:13
民 2:5,6

(7) 創 30:20
民 2:7,8

(7) 創 41:51,52
創 46:20
創 48:17-19
民 2:18,19

第2欄

(7) 創 43:29
創 46:21
民 2:22,23

(7) 創 30:4-6
創 46:23
民 2:25,26
民 10:25

(7) 創 35:26
民 2:27,28

(7) 創 30:7,8
創 46:24
民 2:29,30
民 26:48

(7) 創 13:16
創 22:17
創 46:3
出 38:26
民 2:32

(7) 創 29:34
創 46:11
民 3:12

た。兵役に就ける20歳以上の男性全員が数えられ、**35** マナセ族で登録された人は3万2200人だった。

36 ベニヤミの子孫について、父方の家ごとに、氏族ごとに名前が記載された。兵役に就ける20歳以上の男性全員が数えられ、**37** ベニヤミ族で登録された人は3万5400人だった。

38 ダンの子孫について、父方の家ごとに、氏族ごとに名前が記載された。兵役に就ける20歳以上の男性全員が数えられ、**39** ダン族で登録された人は6万2700人だった。

40 アシエルの子孫について、父方の家ごとに、氏族ごとに名前が記載された。兵役に就ける20歳以上の男性全員が数えられ、**41** アシエル族で登録された人は4万1500人だった。

42 ナフタリの子孫について、父方の家ごとに、氏族ごとに名前が記載された。兵役に就ける20歳以上の男性全員が数えられ、**43** ナフタリ族で登録された人は5万3400人だった。

44 以上の人たちが、モーセとアロンとイスラエルの長12人によって登録された。12人はそれぞれ部族を代表していた。**45** イスラエルで兵役に就くことができる20歳以上のイスラエル人全員が父方の家ごとに登録され、**46** 登録された人の総数は60万3550人だった。

47 ただしレビ族は、父の氏族に

したが た ひと いっしょ どうろく
従って他の人たちと一緒に登録される
ことはなかった。48 エホバはモー
セに告げた。49 「レビ族だけは登
録しない。彼らの数他イスラエル
人と一緒にしてはならない。50 レビ
族には、証しの幕屋、その全ての器具、
関係する全ての物を管理させるべきで
ある。レビ族は幕屋とその全ての器具
を運び、幕屋に関する奉仕をする。そ
して幕屋の周囲に宿営する。51 幕
屋を移動するときにはレビ族が解体
し、幕屋を設営するときにもレビ族が
組み立てる。許可されていない人が近
づくなら、死刑にされるべきである。

52 イスラエル人はそれぞれ割り当
てられた宿営地に自分の天幕を張る
べきである。それぞれ自分の分隊に
従ってグループごとに張る。53 レビ
族は証しの幕屋の周囲に宿営を張る。
イスラエル人の会衆に対する憤りが
生じないようにするためである。レビ
族は証しの幕屋を世話する責任を果
たさなければならない。

54 イスラエルの民は、エホバが
モーセに命じた全ての事柄を行った。
まさにその通りにした。

2 エホバはモーセとアロンに話し
た。2 「イスラエル人は、自分
の分隊が割り当てられた場所、父方の

1:51 直訳、「よそ者」。レビ族ではない人のこと。
1:52 *または、「旗」。1つの分隊は3つの
部族で構成される。1:52; 2:3, 10 *直訳、
「軍隊」。1:53 *用語集参照。*または、「を守る」、
「での奉仕を行う」。2:2 *1つの分隊は3
つの部族で構成される。

第1章

(7) 民 2:33
民 26:63, 64

(1) 民 26:62, 63

(2) 出 31:18

(2) 出 38:21

民 3:6, 8

(2) 民 4:15

民 4:24-26

民 4:31-33

(2) 民 3:30, 31

民 4:12

(2) 民 2:17

民 3:23, 29

民 3:35, 38

(2) 民 10:17, 21

(2) 民 3:10

民 18:22

(2) 民 2:2, 34

(2) 民 8:19

民 18:5

(2) 民 8:24

民 18:2, 3

代一 23:32

第2章

(2) 民 1:52

第2欄

(7) 民 7:12

民 10:14

ルツ 4:20

マタ 1:4

(1) 民 1:27

(2) 民 7:11, 18

民 10:15

(2) 民 1:29

(2) 民 7:11, 24

民 10:16

(2) 民 1:31

(2) 民 10:14

(2) 民 1:20

(2) 民 7:11, 30

民 10:18

(2) 民 1:21

(2) 民 7:11, 36

民 10:19

(2) 民 1:23

(2) 民 7:11, 42

民 10:20

いえ はた* ちか しゅくえい は
家の旗の近くに宿営を張るべきであ
る。会見の天幕の方に向かってその
周囲に宿営する。

3 日の出の方角である東側にグ
ループごとに宿営するのは、ユダの
宿営を含む分隊である。ユダの子
ちの長はアミナダブの子ナフション
で、4 彼の軍に登録された人は7万
4600人である。5 その横に宿営す
るのは、一方の側にイッサカル族であ
る。イッサカルの子たちの長はツアル
の子ネタヌエルで、6 彼の軍に登録
された人は5万4400人である。7 も
う一方の側にゼブルン族である。ゼブ
ルンの子たちの長はヘロンの子エリ
アブで、8 彼の軍に登録された人は
5万7400人である。

9 ユダの宿営の軍隊に登録された
ひと 合計18万6400人である。最初
に出発すべきである。

10 ルベンの宿営を含む分隊は南
側に、グループごとに位置する。ルベ
ンの子たちの長はシェデウルの子エリ
ツルで、11 彼の軍に登録された人
は4万6500人である。12 その横に
宿営するのは、一方の側にシメオン族
である。シメオンの子たちの長はツリ
シャダイの子シェルミエルで、13 彼
の軍に登録された人は5万9300人
である。14 もう一方の側にガド族
である。ガドの子たちの長はレウエルの
子エルヤサブで、15 彼の軍に登録

2:2 *または、「標識」。

された人は4万5650人である。

16 ルベン^{しゅくえい}の宿営^{ぐんたい}の軍隊^{どうろく}に登録された人は合計15万1450人である。2番目に出発すべきである。

17 会見^{かいけん}の天幕^{てんまく}が移動するとき、レビ族^{しゅくえい}の宿営は全ての宿営の真ん中に来るべきである。

全ての部族は宿営を張るときと同じ順番で、それぞれ自分の位置を保って分隊ごとに進む。

18 エフライムの宿営を含む分隊は西側に、グループごとに位置する。エフライムの子たちの長はアミフドの子エリシャマで、**19** 彼の軍に登録された人は4万500人である。**20** その横に来るのは、一方の側にマナセ族である。マナセの子たちの長はペダツルの子ガマリエルで、**21** 彼の軍に登録された人は3万2200人である。**22** もう一方の側にベニヤミン族である。ベニヤミンの子たちの長はギドオニの子アビダンで、**23** 彼の軍に登録された人は3万5400人である。

24 エフライムの宿営の軍隊に登録された人は合計10万8100人である。3番目に出発すべきである。

25 ダンの宿営を含む分隊は北側に、グループごとに位置する。ダンの子たちの長はアミシャダイの子アヒエゼルで、**26** 彼の軍に登録された人は6万2700人である。**27** その横に宿営するのは、一方の側にアシェル族

第2章

(例) 民 1:25
(例) 民 10:18
(例) 民 1:51
(例) コー 14:33,40
(例) 民 7:11,48
民 10:22
(例) 民 1:33
(例) 創 48:20
(例) 民 7:11,54
民 10:23
(例) 民 1:35
(例) 民 7:11,60
民 10:24
(例) 民 1:37
(例) 民 10:22
(例) 民 7:11,66
民 10:25
(例) 民 1:39

第2欄

(例) 民 7:11,72
民 10:26
(例) 民 1:41
(例) 民 7:11,78
民 10:27
(例) 民 1:43
(例) 民 10:25
(例) 創 15:5
出 38:26
民 1:46
民 14:29
民 26:51,64
(例) 民 1:47
民 3:15
民 26:62,63
(例) 民 2:2
(例) 民 10:28

第3章

(例) 出 19:2
(例) レビ 10:1
代 24:2
(例) 出 6:25
申 10:6
(例) 出 6:23
出 38:21
代 6:3
(例) 出 28:1
レビ 8:2,3

である。アシェルの子たちの長はオ克兰の子パグイエルで、**28** 彼の軍に登録された人は4万1500人である。

29 もう一方の側にナフタリ族である。ナフタリの子たちの長はエナンの子アヒラで、**30** 彼の軍に登録された人は5万3400人である。

31 ダンの宿営に登録された人は合計15万7600人である。全ての分隊の最後に出発すべきである。

32 以上が、父方の家ごとに登録されたイスラエル人である。宿営で軍隊のために登録された人の総数は60万3550人だった。**33** ただし、エホバがモーセに命じた通り、レビ族は他のイスラエル人と一緒に登録されることはなかった。**34** イスラエル人はエホバがモーセに命じたことを全てその通りに行い、分隊ごとに宿営を張り、また置んだ。それぞれ氏族ごとに、父方の家ごとにそのようにした。

3 以下は、エホバがシナイ山でモーセと話した時点のアロンとモーセの一族である。**2** アロンの子の名前は、長男ナダブ、アビフ、エレアザル、イタマルである。**3** これらがアロンの子たちの名前であり、選ばれた祭司で、祭司として仕えるよう任命されていた。**4** しかしナダブとアビフは、シナイの荒野で、許可されていない火をエホバの前に捧げた時にエ

3:1 *直訳、「世代」。**3:3** *直訳、「油を注がれた」。用語集の「油を注ぐ」参照。*直訳、「手を満たされて」。

ホバの前で死んだ。2人には子供がいなかった。エレアザルとイタルは父アロンと共に引き続き祭司として仕えた。

5 エホバはモーセに言った。6 「レビ族を来させ、祭司アロンの前に立たせなさい。レビ族はアロンに仕える。

7 会見の天幕の前で、アロンと民全員のために務めを果たし、幕屋に関係する奉仕を行う。8 会見の天幕の全ての備品を管理し、イスラエル人のために務めを果たし、幕屋に関係する奉仕を行う。9 あなたはレビ族をアロンとその子たちに与える。レビ族は与えられた者たちで、イスラエル人の中からアロンに与えられている。10 あなたはアロンとその子たちを任命し、彼らが祭司職を担う。許可されていない人が近づくな、死刑にされるべきである。

11 エホバは続けてモーセに言った。12 「さあ、私はイスラエル人の中からレビ族を取ってイスラエル人の長男の代わりとする。レビ族は私のものとなる。13 初子は全て私のものだからである。私は、エジプトで全ての初子を打った日に、人間から動物までイスラエルの全ての初子を私のために神聖なものとした。彼らは私のものとされるべきである。私はエホバである。

3:10 *直訳、「よそ者」。アロンの子孫ではない人のこと。

第3章

(例) レビ 10:1,2

(例) 民 3:32
民 20:26

(例) 民 4:28
民 7:8

(例) 民 8:6
民 18:2

(例) 民 1:50
民 8:11

(例) 民 4:12
(例) 民 1:51

(例) 民 8:15,16
民 18:6

(例) 出 40:15
民 18:7

(例) 民 16:39,40
サ一 6:19

代二 26:16,18
(例) 民 3:41,45

(例) 出 13:2
出 34:19

民 18:15
ルカ 2:23

(例) 出 13:15
(例) レビ 27:26

第2欄

(例) 出 19:1

(例) 民 3:39
(例) 出 6:16

民 26:57
代一 23:6

(例) 出 6:17
(例) 出 6:18

(例) 代一 6:29
(例) 出 6:19

(例) 代一 6:20
(例) 民 4:38-40

(例) 民 1:53
(例) 民 4:24-26

(例) 出 26:7
(例) 出 26:14

(例) 出 26:36
(例) 出 27:9

(例) 出 27:16

14 エホバはシナイの荒野で、モーセにさらにこう話した。15 「レビの子たちを、父方の家ごとに、氏族ごとに登録しなさい。生後1か月以上の全ての男性を登録する」。16 モーセはエホバの指示に従って彼らを登録し、命じられた通りにした。17 レビの子の名前は、ゲルション、コハト、メラリである。

18 ゲルションの子の名前を氏族ごとに挙げると、リブニ、シムイ。

19 コハトの子は氏族ごとに、アムラム、イツハル、ヘブロン、ウジエル。

20 メラリの子は氏族ごとに、マフリ、ムジ。

これらが父方の家ごとに挙げたレビ族の氏族だった。

21 ゲルションから出たのは、リブニ氏族とシムイ氏族で、これらがゲルションに属する氏族だった。22 登録された生後1か月以上の男性の数は7500人だった。23 ゲルション氏族は幕屋の後ろ、西側に宿営を張った。24 ゲルション氏族の家長は、ラエルの子エルヤサフだった。25 ゲルションの子たちが会見の天幕で担当したのは、幕屋、その布と覆い、会見の天幕の入り口の幕、26 庭の横幕、幕屋と祭壇を囲む庭の入り口の幕、その綱、および関係する種々の奉仕である。

27 コハトから出たのは、アムラム氏

3:24 *または、「父方の家の長」。

族^{ぞく}、イツハル氏族^{しぞく}、ヘブロン氏族^{しぞく}、ウジエル氏族^{しぞく}で、これらがコハトに属する氏族^{しぞく}だった。28 生後^{せいご}1か月以上の男性^{おとこ}の数は8600人で、聖なる場所^{せいじょう}を担当^{たんとう}した。29 コハトの子たちの氏族^{しぞく}は幕屋^{まくや}の南側^{みなみがわ}に宿営^{しゆくえい}した。30 コハト氏族^{しぞく}の家長^{かちょう}は、ウジエルの子エリザバン^{しぞく たん}だった。31 コハト氏族^{しぞく}が担当^{たんとう}したのは、証^{あかし}の箱^{はこ}、食卓^{しょくたく}、ランブ台^{らんぶだい}、2つの祭壇^{さいだん}、聖なる場所^{せいじょう}での奉仕^{ほうし}に使う器具^{きぐ}、間仕切り^{まじきり}の幕^{まく}、および関係^{かんけい}する種々^{しゅじゅ}の奉仕^{ほうし}である。

32 レビ族^{しぞく}の長老^{ちやう}たちの長^{ちやう}は、祭司^{さいし}であるアロンの子エレアザル^{こ い}で、聖なる場所^{せいじょう}の務め^{むめ}を果たす人^{ひと}たちを監督^{かんとく}した。

33 メラリ^でから出た^でのは、マフリ氏族^{しぞく}とムシ氏族^{しぞく}で、これらがメラリに属する氏族^{しぞく}だった。34 登録^{とうろく}された生後^{せいご}1か月以上の男性^{おとこ}の数は6200人だった。35 メラリ氏族^{しぞく}の家長^{かちょう}は、アビハイの子ツリエル^こだった。メラリ氏族^{しぞく}は幕屋^{まくや}の北側^{きたがわ}に宿営^{しゆくえい}を張^はった。36 メラリの子たちが監督^{かんとく}するよう割り当て^{わかれあて}られたのは、幕屋^{まくや}の木杵^{きぐ}、横木^{よこぎ}、柱^{はしら}、受け台^{うけだい}、全ての器具^{きぐ}、および関係^{かんけい}する種々^{しゅじゅ}の奉仕^{ほうし}、37 庭^{にわ}の周囲^{しゅうい}の柱^{はしら}、その受け台^{うけだい}と杭^{くい}と綱^{つな}である。

38 幕屋^{まくや}の正面^{しょうめん}である東側^{ひがしがわ}、会見^{かいけん}の天幕^{てんまく}の前^{まえ}、日の出^{ひで}の方向^{ほうこう}に宿営^{しゆくえい}するのは、モーセ、アロンとその子たち^こで、イスラエル人^{じん}のために聖なる所^{せいじょう}で

第3章

例 民 3:19

例 民 4:34-36

例 民 1:53

例 出 6:22
代 6:18

例 出 25:10

例 出 25:23

例 出 25:31

例 出 27:1,2
出 30:1-3

例 出 38:3

例 出 26:31

例 民 4:15

例 民 4:16
民 20:28例 民 3:20
民 26:58

例 民 4:42-44

例 民 1:53

例 出 36:20

例 出 36:31

例 出 26:32,37
出 36:37,38

例 出 27:19

例 民 4:31,32

例 出 27:10,11

第2欄

例 民 3:10

例 民 3:15

例 民 3:12

例 出 13:2
民 18:15

例 民 3:39,43

例 民 18:15

例 民 18:15,16

例 レビ 27:25

の務め^{つとめ}を担当^{たんとう}した。許可^{きょか}されていない人^{ひと}が近づ^かくなら、死刑^{しけい}にされる。

39 モーセとアロンがエホバの指示^しに従^{したが}って氏族^{しぞく}ごとに登録^{とうろく}した生後^{せいご}1か月以上のレビ族^{しぞく}の男性^{おとこ}の総数^{そうすう}は、2万2000人^{まん にん}だった。

40 エホバはモーセに言^いった。「イスラエル人^{じん}の生後^{せいご}1か月以上の長男^{ちやうなん}を全員登録^{ぜんいんとうろく}し、人数^{にんずう}を数^{かず}えて名前^{なまえ}を書き出^だしなさい。41 私^{わたし}のためにレビ族^{しぞく}を取^とってイスラエル人^{じん}の長男^{ちやうなん}の代わり^{かわり}とし、レビ族^{しぞく}の家畜^{かちく}を取^とってイスラエル人^{じん}の家畜^{かちく}の初子^{はつこ}の代わり^{かわり}としなければならぬ。私^{わたし}はエホバである」。42 モーセは、エホバに命^{めい}じられた通り^{とお}、イスラエル人^{じん}の全ての長男^{ちやうなん}を登録^{とうろく}した。43 名前^{なまえ}で登録^{とうろく}された生後^{せいご}1か月以上の長男^{ちやうなん}の数は2万2273人^{まん にん}だった。

44 エホバは続^{つづ}けてモーセに言^いった。45 「レビ族^{しぞく}を取^とってイスラエル人^{じん}の長男^{ちやうなん}の代わり^{かわり}とし、レビ族^{しぞく}の家畜^{かちく}を取^とってイスラエル人^{じん}の家畜^{かちく}の代わり^{かわり}としなさい。レビ族^{しぞく}は私^{わたし}のものとならなければならぬ。私^{わたし}はエホバである。46 イスラエル人^{じん}の長男^{ちやうなん}のうち、レビ族^{しぞく}の人数^{にんずう}を上^う回^{まわ}った273人の贖^{にんあが}いの代価^{だいか}として、47 あなたは1人^{ひとり}当たり^{あたり}聖なる標準^{せいじょう}重^{おも}りで57グラム^{グラム}を取^とる。標準^{せいじょう}重^{おも}りは11.4グラム^{グラム}である。

3:38 *直訳、「よそ者」。レビ族ではない人のこと。3:46 *用語集参照。3:47 *または、「聖なる場所の標準重り」。

48 そのお金を、レビ族の人数を上
 回った人たちの贖いの代価としてアロ
 ンとその子たちに渡す。49 モーセ
 は、レビ族によって贖われる人数を上
 回った人たちのために買い戻しの代
 価のお金を集めた。50 イスラエル
 人の長男のために聖なる標準重りで
 16キロを集めた。51 そして、贖い
 の代価のお金をエホバの言葉に従っ
 てアロンとその子たちに渡した。エホ
 バに命じられた通りである。

4 エホバはモーセとアロンに話し
 た。2 「レビの子たちのうちコ
 ハトの子たちについて、氏族ごとに、父
 方の家ごとに人口調査をすべきであ
 る。3 30歳以上50歳未満で、会見
 の天幕での仕事を割り当てられるグ
 ループに属する全ての人についてで
 ある。

4 会見の天幕でコハトの子たちが
 行う奉仕は、極めて聖なるものに関す
 ることで、以下の通りである。5 宿営
 を置んで出発するとき、アロンとその子
 たちが中に入り、間仕切りの幕を取り
 外し、それで証しの箱を覆う。6 そ
 れにアザラシの皮の覆いを掛け、その
 上に青色の一枚布を広げ、箱を運ぶ
 棒をはめる。

7 また、供えのパンの食卓の上に
 青色の布を広げ、その上に、皿と杯と
 鉢、飲み物の捧げ物のための水差し
 を置く。いつも捧げるパンはそこに置
 いたままにすべきである。8 それら

第4章
 (例) 民 3:19,27

(例) 代 23:3
 ルカ 3:23

(例) 民 8:25,26

(例) 民 4:30
 代 6:48

(例) 民 3:30,31
 民 4:15

(例) 出 26:31
 出 40:3
 レビ 16:2

(例) 出 25:10

(例) 出 25:13

(例) 出 25:23,24

(例) 出 25:29

(例) レビ 24:5,6

第2欄
 (例) 出 25:28

(例) 出 25:31

(例) 出 25:37

(例) 出 25:38

(例) 出 30:1
 出 37:25,26

(例) 出 30:5

(例) 民 3:30,31

(例) レビ 6:12

(例) 出 27:3

(例) 出 27:6

(例) 民 4:5

(例) 民 7:6-9
 代 15:2

(例) サニ 6:6,7

の上に絳色の布を広げ、それをアザラ
 シの皮の覆いで覆い、食卓を運ぶ棒を
 はめる。9 青色の布を取って、明か
 りのためのランプ台を、ランプ、芯つま
 み、燃えかす入れ、ランプに使う油の
 入れ物全てと一緒に覆う。10 それ
 を全ての器具と一緒にアザラシの皮
 の覆いで包み、それを運ぶ台の上に
 置く。11 また、金の祭壇の上に青
 色の布を広げ、それをアザラシの皮の
 覆いで覆い、祭壇を運ぶ棒をはめる。

12 聖なる場所での奉仕にいつも使う
 全ての器具を取って、青色の布に入
 れ、アザラシの皮の覆いで覆い、それ
 を運ぶ台の上に置く。

13 祭壇から灰を取り除き、その上
 に紫の羊毛の布を広げる。14 その
 上に、祭壇での奉仕に使う全ての器具
 を置く。炭入れ、肉刺し、シャベル、鉢
 など、祭壇の全ての器具である。その
 上にアザラシの皮の覆いを広げ、祭壇
 を運ぶ棒をはめる。

15 アロンとその子たちは、宿営を
 置んで出発するとき、聖なる場所と
 聖なる場所の全ての備品とを覆い終
 えていなければならない。その後、コ
 ハトの子たちが中に入ってそれらを運
 ぶ。しかし、聖なる場所に触れてはな
 らない。死ぬことのないためである。
 以上が会見の天幕に関係するコハト
 の子たちの務めである。

4:8 *または、「赤い」。4:9 *または、「火箸」。
 4:13 *犠牲にした動物の脂が染み込んだ灰の
 こと。4:15 *直訳、「荷」。

16 祭司であるアロンの子エレアザルは、明かりの油、香り高い香、日々の穀物の捧げ物、注ぎ油について監督する責任がある。聖なる場所とその器具をはじめ、幕屋全体とその中の全ての物を監督する。

17 エホバはモーセとアロンにさらにこう話した。18「コハト氏族がレビ族の中から除かれるようなことがあってはならない。19 コハト氏族のためにこのことを行って、彼らが生き続け、極めて聖なるものに近づいて死ぬことがないようにしなさい。アロンとその子たちが中に入り、それぞれに奉仕と運ぶ物とを割り当てる。20 コハト氏族は、中に入って一瞬でも聖なるものを見てはならない。死ぬことのないためである。」

21 エホバはモーセに話した。22「ゲルシヨンの子たちについて、父方の家ごとに、氏族ごとに人口調査をすべきである。23 30歳以上50歳未満で、会見の天幕で奉仕するグループの全ての人を登録する。24 ゲルシヨン氏族が手入れや運搬を割り当てられる物は、以下の通りである。25 彼らが運ぶのは、幕屋の布、会見の天幕の布、その覆い、その上に掛けるアザラシの皮の覆い、会見の天幕の入り口の幕、26 庭の横幕、幕屋と祭壇をかこむ庭の入り口の幕、綱と全ての器具、幕屋の奉仕に使う全ての物であ

第4章
[例] 民 3:32
[イ] 出 27:20
[ウ] 出 30:34,35
[エ] 出 30:23-25
[例] 民 3:27
[例] 民 4:4
[イ] 出 19:21
[例] サ一 6:19
[例] 民 3:21
[例] 民 3:25,26
[ウ] 出 26:1
[例] 出 26:7,14
[ウ] 出 26:36
[エ] 出 27:9
[例] 出 27:16

第2欄
[例] 民 3:21,23
[イ] 民 3:25,26
[ウ] 出 6:23
[例] 民 4:33
[例] 民 7:8

[ウ] 出 6:19
[例] 民 3:33
[例] 民 3:36,37
[ウ] 出 26:15
[イ] 出 26:26
[ウ] 出 26:37
[例] 出 36:38
[ウ] 出 26:19
[例] 出 38:27
[ウ] 出 27:10
[例] 出 27:11
[ウ] 出 27:19
[ウ] 民 4:28
[例] 民 3:33
[イ] 民 1:16
[例] 民 3:19,27
[イ] 民 4:47
[例] 民 8:25,26
[イ] 民 3:27,28

る。これが彼らの仕事である。27 ゲルシヨン氏族の全ての奉仕と運ぶ荷は、アロンとその子たちが監督すべきである。これらの全ての荷を彼らに割り当てる。28 以上が、会見の天幕でゲルシヨン氏族が行う奉仕であり、祭司アロンの子イタマルの指示の下で務めを果たす。

29 メラリの子たちについて、父方の家ごとに、氏族ごとに登録する。30 30歳以上50歳未満で、会見の天幕で奉仕するグループの全ての人を登録する。31 メラリの子たちは会見の天幕での奉仕に関係して以下の物と運ぶ責任がある。幕屋の木柱、横木、柱、受け台、32 周囲の庭の柱、その受け台、杭、綱、全ての付属品。そして関係する奉仕がある。あなたたちは名前を挙げて、彼らが運ぶ責任がある物を割り当てる。33 これが、祭司アロンの子イタマルの指示の下、メラリの子たちの氏族が会見の天幕で行う奉仕である。」

34 モーセとアロンと民の長たちは、コハト氏族の子たちを、氏族ごとに、父方の家ごとに登録した。35 30歳以上50歳未満で、会見の天幕で奉仕するグループの全ての人である。36 氏族ごとに登録された人の総数は2750人だった。37 これらがコハトに属する氏族のうち登録された人で、全員、会見の天幕で仕える人である。モーセとアロンが、モーセを通して与えられ

たエホバの指示に従って登録した。

38 ゲルシヨンの子たちが、氏族ご
とに、父方ちちかたの家ごといえに登とう録ろくされた。

39 30歳以上50歳未満で、会見の天幕で奉仕するグループの全ての人である。40 氏族ごとに、父方の家ごとに登録された人の総数は2630人だった。41 これらがゲルシヨンの子たちの氏族の登録された人で、全員、会見の天幕で仕える人である。モーセとアロンがエホバの指示に従って登録した。

42 メラリの子たちが、氏族ごとに、
父方の家ごとに登録された。43 30
歳以上50歳未満で、会見の天幕で奉
仕するグループの全ての人である。
44 氏族ごとに登録された人は3200
人だった。45 これらがメラリの子た
ちの氏族の登録された人たちで、モー
セとアロンが、モーセを通して与えら
れたエホバの指示に従って登録した。

46 モーセとアロンとイスラエル
ちやう ぞく しぞく
の長たちがこれらのレビ族を、氏族
ごに、父方の家ごとに登録した。
さいいじょう さいい まん ひと
47 30歳以上50歳未満の人たちで、
ぜんいん かいいん てんまく かんけい ほうし
全員、会見、天幕に関係する奉仕
うんばん わ あ (例) とうろく
と運搬を割り当てられた。 48 登録
ひと そうそう にん (例)
された人の総数は8580人だった。
とお あた
49 モーセを通して与えられたエホバ
しじ したが わ あ
の指示に従って、それぞれ割り当てら
ほうし に な に もと とうろく
れた奉仕と担う荷に基づいて登録さ
めい (例) とお
れた。エホバがモーセに命じた通り
とうろく
に登録された。

第4章

(ア) 民 3:15

(4) 民 3:21

(2) 民 3:21-22

(工) 民 4:22, 23

(才)民 8:25,26

(カ) 民 3:33,34

(牛)民 4:29

(ク) 民 4:15
民 4:24-26
民 4:31-33

(ク) 民 3:39

第2欄

第5章

(ア) レビ 13:45, 46

(イ) レビ 15:2

(ウ) レビ 22:4
民 19:11

(工) 民 19:22

(オ) 出 25:8
レビ 26:11

(カ) レビ 5:1-17

(*) レビ 5:5
ヨシ 7:19
ヤコ 5:16

(ク)レピ 6:4.5

(ケ) レビ 5:16
レビ 6:6,7
レビ 7:7

(カ) レビ 6:14, 17
 レビ 7:1, 6
 レビ 10:12, 13

(マ) 出 29:27, 28
民 18:8
申 18:3
エゼ 44:29
コ一 9:13

5 エホバはモーセにさらにこう話した。2 「イスラエル人に命じて、重い皮膚病の人や何らかの流出がある人、死体によって汚された人等を皆、宿営から出しなさい。3 男性でも女性でも出すべきである。宿営の外に出し、彼らが私の民の宿営を汚すことがないようにすべきである。私は民のただ中に住んでいる」。4 イスラエル人はその通りにし、その人たちを宿営の外に出した。エホバがモーセに告げたと通りにした。

5 エホバは^{つづ}続けてモーセに^い言った。

6 「イスラエル人^{じん}に^つこう告^つげなさい。

『男性^{だんせい}または女性^{じょせい}が何^{なん}らかの罪^{つみ}を犯^{おか}してエホバに^{ふちゅうじつ}不忠実^{ふちゅうじつ}なことをした場^ば合^{あひ}、その人^{ひと}は有罪^{ゆうざい}である。 7 犯^{おか}した^例つみ^{つみ}、こくはく^{こくはく}、^例つみ^{つみ}、つぐな^{つぐな}、ぜんがく^{ぜんがく}、べん^{べん}罪^{つみ}を告白^{こくはく}し、罪^{つみ}の償^{しやう}いとして全額^{ぜんがく}を弁^{べん}償^{しやう}するだけでなく、その5分^{ぶん}の1^{くわ}を加^{くわ}え^例る。それを被害者^{ひがいしや}に与^{あた}える。 8 し^例か^{ひがいしや}ひが^{あた}いし^しや^{べんしやう}し^{くわ}べん^{しやう}し^{くわ}や^{べんしやう}が死^しんでいて、弁償^{べんしやう}を受け^{くわ}る近親者^{きんしんしや}がいなければ、それはエホバ^{かえ}に返^{かえ}され、祭司^{さいし}のものとなる。贖罪^{しょくざい}おこな^{しょくざい}う。 9 おひつじ^{おひつじ}、くわ^{くわ}を行^{くわ}うための贖罪^{しょくざい}の雄羊^{おひつじ}に加えてで^例ある。

9 イスラエル人から祭司に差し出される聖なる寄進物は全てその祭司のものとなる。10 各人が差し出す聖なるものは祭司自身のものであり、各人が祭司に与える物は何でも、その祭司のものとなる』。

11 エホバは^{つづ}けてモーセに^い言っ
た。 12 「イスラエル人^{じん}に^つこう告げな

さい。『以下のような場合の扱いであるが、仮に、ある人の妻が道を踏み外して夫に不忠実になり、**13** 別の男性と性関係を持ったが、そのことが夫に知られず発覚することもなく、妻は自分を汚したのに証人がいなくて捕らえられずにいて、**14** 夫が嫉妬し、身を汚した妻の忠実さを疑うようになった場合、あるいは、夫が嫉妬し、身を汚していないのに妻の忠実さを疑う場合、**15** 夫は妻を祭司の所に連れていき、妻のための捧げ物として大麦粉2.2リットルを持っていかなければならない。捧げ物に油を注いだり乳香を添えたりしてはならない。それはしっとくもつささのつみおもおの嫉妬の穀物の捧げ物、罪を思い起こさせる穀物の捧げ物だからである。

16 祭司はその女性を来させ、エホバの前に立たせる。**17** 祭司は土の器に聖なる水を取り、幕屋の地面からつちとみずいしを土を取って水に入れる。**18** 祭司は女性をエホバの前に立たせ、女性の髪をほどこし、思い起こしの穀物の捧げ物、つまり嫉妬の穀物の捧げ物を女性の手のひらに載せる。祭司は、処罰をもたらす苦い水を手に取る。

19 祭司は女性に次のように言い、誓わせる。「夫と結婚して以来ほかの男性と性関係を持っておらず、道を踏み外して汚れてはいないなら、処罰をもたらすこの苦い水の影響を受けませんように。**20** しかし、夫と結婚し

第5章

(例) レビ 18:20
申 5:18

(例) エレ 17:10
ヘブ 13:4

(例) 民 5:15, 25

(例) 民 5:22, 24

(例) ロマ 7:2

第2欄

(例) レビ 18:20
コヘ 6:9, 10

(例) 民 5:15

(例) レビ 2:9

ているのに道を踏み外して自分を汚し、夫以外の男性と性関係を持ったのなら、一」。 **21** 祭司は処罰を伴う誓いを女性にさせる。祭司はこう言う。「エホバがあなたを、処罰を伴う誓いで述べられる前例としますように。エホバはあなたのものを衰えさせ、あなたの腹を膨れさせる。**22** 処罰をもたらすこの水はあなたの腸に入って腹を膨れさせ、ものを衰えさせる」。女性はいはこれに対して、「アーメン、アーメン!」と言うべきである。

23 祭司はこの誓いの言葉を書に記し、それを苦い水の中で洗い落とす。

24 処罰をもたらす苦い水を女性に飲ませると、その水は体内に入り、苦い結果を生じさせる。**25** 祭司は嫉妬の穀物の捧げ物を女性の手から取って、エホバの前で揺り動かし、祭壇の近くに持っていく。**26** そして、覚えてもらうための分として穀物の捧げ物を一握り取って、祭壇で焼いて煙にする。その後、その水を女性に飲ませる。

27 その水を飲ませると、もし女性が自分を汚して夫に不忠実な行いをしていたなら、処罰をもたらす水は体内に入って苦いものとなり、腹は膨れ、ものは衰え、女性は処罰を伴う誓いで述べられる前例となる。**28** しかし、もし女性が自分を汚していないで清いな

5:21, 22, 27 *生殖器のことと考えられる。 5:21, 22 *または、「萎縮」。子供を産めなくなるといことだろう。 5:22 △または、「そうなりますように、そうなりますように」。 5:27 *または、「萎縮」。子供を産めなくなるといことだろう。

5:18 *または、「災い」。

ら、そのような処罰を受けることはない。女性は妊娠して子供を産むことができる。

29 以上が嫉妬に関する律法であり、女性が夫と結婚しているのに道を踏み外して自分を汚した場合、**30** あるいは、夫が嫉妬し、妻の忠実さを疑う場合の律法である。夫は妻をエホバの前に立たせるべきであり、祭司はその女性に対してこの律法にある全てのことを行わなければならない。**31** 夫は罪を問われないが、妻は罪の責任を負う』。

6 エホバはモーセにさらにこう話した。**2** 「イスラエル人に告げなさい。『男性でも女性でも、特別な誓約をしてエホバとの関係でナジルとして生活する場合、**3** ぶどう酒などの酒を避けるべきである。ぶどう酒などの酒からできた酢を飲んでもならない。ブドウから作ったどんな飲み物も飲んでではなく、生でも干した物でもブドウを食べてはならない。**4** ナジルである間はずっと、熟していない実も皮も、ブドウのつるにできる物は一切食べてはならない。

5 ナジルの誓約が続いている間はずっと、頭にかみそりを当ててはならない。エホバのために取り分けられている期間が終わるまで、髪の毛を伸ばしておくことによって聖なる人であるべ

6:2 *ヘブライ語、ナージール。「選び出された者」、「献じられた者」、「分けられた者」という意味。用語集参照。

第5章
[民 5:14,15]

第6章
[民 13:5]

[民 10:9
アモ 2:11,12
ルカ 1:15]

[民 13:5
裁 16:17
サー 1:11]

第2欄
[民 21:1,11]

[民 19:14]

[民 6:13,18]

[民 5:8,10]

[民 30:2
伝 5:4]

きである。**6** エホバのために分けられていた間はずっと、死んだ人に近づいてはならない。**7** 父、母、兄弟、姉妹が死んだとしても、自分を汚してはならない。神との関係でナジルであることを示す髪が頭にあるからである。

8 ナジルである間はずっと、エホバにとって聖なる人である。**9** しかし、誰かがそばで急に死んだために、神のために分けられていることを示す髪を汚したなら、清いと宣言される日に頭をそらなければならない。**7** 日目にそるべきである。**10** **8** 日目に、ヤマト2羽か若いイエバト2羽を会見の天幕の入り口にいる祭司の所に持っていくべきである。**11** 祭司は1羽を罪の捧げ物、もう1羽を全焼の捧げ物とし、死んだ人に関するその人の罪のために贖罪を行う。その日、その人は頭を神聖なものとしなければならない。**12** そして、ナジルとしての日数だけ再度エホバのために分けられた人ととならなければならない。また、1歳未満の若い雄羊を有罪の捧げ物として持っていく。ナジルとしての立場を汚したので、以前の日数は数えられない。

13 さて、以下はナジルに関する律法である。ナジルである期間が終わった時に、その人は会見の天幕の入り口に連れてこられる。**14** エホバに

6:6 *ヘブライ語、ネフェシュ。用語集参照。『または、「の近くに行つて」。**6:9** *または、「ナジルとしての頭」。

捧げ物を差し出さなければならない。
傷のない1歳未満の若い雄羊1匹を全
焼の捧げ物として、傷のない1歳未満

の雌の子羊1匹を罪の捧げ物として、
傷のない雄羊1匹を共食の犠牲とし
て、**15** また、上等の麦粉で作って油
を混ぜ込んだ無酵母の輪型パンと油
を塗った無酵母の薄焼きパンが入っ
た籠、穀物の捧げ物と飲み物の捧げ
物を差し出す。**16** 祭司はそれらを

エホバの前に差し出し、罪の捧げ物と
全焼の捧げ物を捧げる。**17** エホバ
への共食の犠牲である雄羊を、籠に
入った無酵母パンと一緒に捧げ、穀物
の捧げ物と飲み物の捧げ物も捧げる。

18 ナジルは会見の天幕の入り口
で、頭をそらなければならない。ナ
ジルである間に伸びたその髪の毛
を取って、共食の犠牲の下にある火
で燃やす。**19** 祭司は、その雄羊の
肩を煮た物と、籠にある無酵母の輪
型パン1つと無酵母の薄焼きパン1つ
を取り、ナジルであることを示す髪を
そり落とされた人の両手のひらに置
く。**20** 祭司はそれらを振揺の捧げ
物としてエホバの前で揺り動かさなけ
ればならない。それは、振揺の捧げ
物の胸と寄進物の脚に加えて、祭司に
とって聖なるものである。その後、ナジ
ルだった人はぶどう酒を飲んでもよい。

21 ナジルが誓約をする場合の律
法は次の通りである。自分にできる範

第6章

〔レビ 1:10

〔レビ 4:32

〔レビ 3:1

〔レビ 2:1
レビ 6:14

〔民 15:8,10

〔レビ 2:9

〔民 6:5

〔レビ 8:31

〔出 29:23,24

〔レビ 7:34

〔民 13:5

第2欄

〔レビ 9:22
申 10:8〔ルツ 2:4
詩 134:3〔詩 31:16
詩 67:1〔詩 29:11
ルカ 2:14〔申 28:10
イザ 43:7,10〔詩 5:12
詩 67:7

第7章

〔民 40:17

〔出 30:26

〔レビ 8:10

〔出 40:10

〔出 18:21
民 1:4,16

囲で、ナジルとして要求されている以
上にエホバに捧げ物をするという誓
約をする場合、ナジルについての律法
に配慮しつつ誓約を果たさなければ
ならない』。

22 エホバはモーセに言った。
23 「アロンとその子たちに告げな
さい。『あなたたちはイスラエルの民の
ためにこのように祝福を願うべきであ
る。こう言いなさい。

24 「エホバがあなたを祝福して守っ
てくださいますように。

25 エホバが笑顔をあなたに向け、
恵みを与えてくださいますよ
うに。

26 エホバがあなたに向かって顔を
上げ、平和を与えてくださいま
すように』。

27 彼らはイスラエルの民のために私
の名を言わなければならない。私が
民を祝福するためである』。

7 モーセは、幕屋を組み立て終
わった日に、それに油を注ぎ、全
ての備品、祭壇とその全ての器具と共
に、幕屋を神聖なものとした。油を注
いで神聖なものとするのが終わった
時、**2** イスラエルの長たち、すなわち
部族の長たちは、捧げ物をした。登録
を監督したこの長たちは、**3** 覆いの
付いた荷車6台と牛12頭を捧げ物と
してエホバの前に持ってきた。長2人

7:1 *用語集の「油を注ぐ」参照。

6:18 *または、「ナジルとしての頭」。

につき荷車^{にぐるま だい ひとり}1台, 1人につき雄牛^{おうれい}1頭であ
ある。これらを幕屋^{まくや}の前に差し出し
た。4 エホバはモーセに言った。
5 「それを受け取りなさい。会見^{かいけん}の天
幕^{まく}の奉仕^{ほうし}に使^{つか}える。それをレビ族^{れびぞく}に、
それぞれの仕事^{しごと}に応じて与^{あた}えるべきで
ある」。

6 モーセは荷車^{にぐるま}と牛^{うし}を受け取り、レ
ビ族^{れびぞく}に与えた。7 ゲルシヨンの子^こた
ちに、仕事^{しごと}に応じて荷車^{にぐるま}2台と牛^{うし}4頭
を与え、8 メラリの子^こたちに、仕事^{しごと}に
応じて荷車^{にぐるま}4台と牛^{うし}8頭を与え、祭司
アロンの子イタマルに監督^{かんとく}させた。
9 しかし、コハトの子^こたちには何も与
えなかった。聖なる場所^{せいばしょ}の奉仕^{ほうし}が関
係する仕事^{しごと}だからである。彼らは
聖なるもの^{せいなるもの}を肩^{かた}に担^{かつ}いで運んだ。

10 長^{ちやう}たちは、祭壇^{さいだん}が油^{あぶら}を注^{そそ}がれる
日^ひ, それ^{けん}が献^{けん}じられる際に捧^{ささ}げ物^{もの}をし
た。長^{ちやう}たちが捧^{ささ}げ物^{もの}を祭壇^{さいだん}の前に差
し出した時^{とき}, 11 エホバはモーセに
言った。「毎日^{まいにち}, 長^{ちやう}の1人^{ひとり}が順番^{じゅんばん}に、祭
壇^{だん}を献^{けん}じするための捧^{ささ}げ物^{もの}を差し出す」。

12 1日目に捧^{ささ}げ物^{もの}を差し出したの
は、ユダ族^{よだぞく}のアミナダブの子^こナフショ
ンだった。13 彼の捧^{ささ}げ物^{もの}は、聖な
る標準重^{ひやうじゅんおも}り^きで1.5キロの銀^{ぎん}の皿^{さら}1枚と
0.8キロの銀^{ぎん}の鉢^{はち}1個で、両方^{りやうほう}とも、穀
物^{こくぶつ}の捧^{ささ}げ物^{もの}として油^{あぶら}を混^まぜた上等^{じやうとう}
の麦粉^{むぎこ}が満^みたしてあった。14 さらに、
香^{かう}を満^みたした110グラム^{きん}の金^{きん}の杯^{さかずき}1

7:13 *または、「聖なる場所の標準重り」。7:
14 *または、「小鉢」。

第7章

(例) 民 3:25, 26
民 4:24-26

(例) 民 3:36, 37
民 4:31-33

(例) 民 3:30, 31
民 4:15

(例) サ二 6:13
代一 15:15

(例) 王一 8:63
代二 7:5

(例) 民 1:4, 7
民 2:3
ルツ 4:20
マタ 1:4

(例) レビ 27:25

(例) レビ 2:1

第2欄

(例) レビ 1:3

(例) レビ 4:22, 23

(例) レビ 3:1

(例) 出 6:23
ルカ 3:23, 33

(例) 民 1:4, 8
民 2:5
民 10:15

(例) レビ 27:25

(例) レビ 2:1

(例) レビ 1:3

(例) レビ 4:22, 23

(例) レビ 3:1

(例) 民 2:7
民 10:16

(例) レビ 27:25

(例) レビ 2:1

(例) レビ 1:3

(例) レビ 4:22, 23

(例) レビ 3:1

個^こ, 15 全焼^{ぜんしょう}の捧^{ささ}げ物^{もの}として若い雄
牛^{うし}1頭, 雄羊^{おひつじ}1匹, 1歳^{さい}未満^{まん}の雄^{おす}の子羊^{こひつじ}
1匹, 16 罪^{つみ}の捧^{ささ}げ物^{もの}として子ヤギ^こ1
匹^{ひき}, 17 共食^{きやうしょく}の犠牲^{ぎせい}として牛^{うし}2頭, 雄
羊^{ひつじ}5匹, 雄ヤギ^お5匹, 1歳^{さい}の雄^{おす}の子羊^{こひつじ}5
匹。以上^{ひき いじやう}がアミナダブの子^こナフショ
ンの捧^{ささ}げ物^{もの}である。

18 2日目は、イッサカ^{かめ}の長^{ちやう}, ツア
ルの子ネタヌエル^こが捧^{ささ}げ物^{もの}をした。
19 彼^{かれ}が捧^{ささ}げ物^{もの}として差^さし出したの
は、聖^{せい}なる標準重^{ひやうじゅんおも}り^きで1.5キロの銀^{ぎん}
の皿^{さら}1枚と0.8キロの銀^{ぎん}の鉢^{はち}1個で、
両方^{りやうほう}とも、穀物^{こくぶつ}の捧^{ささ}げ物^{もの}として油^{あぶら}を
混^まぜた上等^{じやうとう}の麦粉^{むぎこ}が満^みたしてあった。

20 さらに、香^{かう}を満^みたした110グラム^{きん}の
金^{きん}の杯^{さかずき}1個, 21 全焼^{ぜんしょう}の捧^{ささ}げ物^{もの}とし
て若い雄牛^{わか おうれい}1頭, 雄羊^{おひつじ}1匹, 1歳^{さい}未満^{まん}の
雄^{おす}の子羊^{こひつじ}1匹, 22 罪^{つみ}の捧^{ささ}げ物^{もの}として
子ヤギ^こ1匹, 23 共食^{きやうしょく}の犠牲^{ぎせい}として牛^{うし}
2頭, 雄羊^{わか おひつじ}5匹, 雄ヤギ^お5匹, 1歳^{さい}の雄^{おす}
の子羊^{こひつじ}5匹。以上^{ひき いじやう}がツアルの子^こネタヌエ
ルの捧^{ささ}げ物^{もの}である。

24 3日目は、ゼブルン^{かめ}の子^こたちの
長^{ちやう}, ヘロン^この子エリアブ^例が 25 捧^{ささ}
げ物^{もの}をした。聖^{せい}なる標準重^{ひやうじゅんおも}り^きで1.5キロ
の銀^{ぎん}の皿^{さら}1枚と0.8キロの銀^{ぎん}の鉢^{はち}1個
で、両方^{りやうほう}とも、穀物^{こくぶつ}の捧^{ささ}げ物^{もの}として油^{あぶら}を
混^まぜた上等^{じやうとう}の麦粉^{むぎこ}が満^みたしてあった。

26 さらに、香^{かう}を満^みたした110グラム^{きん}の
金^{きん}の杯^{さかずき}1個, 27 全焼^{ぜんしょう}の捧^{ささ}げ物^{もの}とし
て若い雄牛^{わか おうれい}1頭, 雄羊^{おひつじ}1匹, 1歳^{さい}未満^{まん}の
雄^{おす}の子羊^{こひつじ}1匹, 28 罪^{つみ}の捧^{ささ}げ物^{もの}として
子ヤギ^こ1匹, 29 共食^{きやうしょく}の犠牲^{ぎせい}として牛^{うし}

2頭、雄羊5匹、雄ヤギ5匹、1歳の雄の子羊5匹。以上がヘロンの子エリアブの捧げ物である。

30 4日目は、ルベンの子たちの長、シェデウルの子エリツルが 31 捧げ物をした。聖なる標準重りで1.5キロの銀の皿1枚と0.8キロの銀の鉢1個で、両方とも、穀物の捧げ物として油を混ぜた上等の麦粉が満ちてあった。

32 さらに、香を満ちした110グラムの金の杯1個、33 全焼の捧げ物として若い雄牛1頭、雄羊1匹、1歳未満の雄の子羊1匹、34 罪の捧げ物として子ヤギ1匹、35 共食の犠牲として牛2頭、雄羊5匹、雄ヤギ5匹、1歳の雄の子羊5匹。以上がシェデウルの子エリツルの捧げ物である。

36 5日目は、シメオンの子たちの長、ツリシャダイの子シェルミエルが 37 捧げ物をした。聖なる標準重りで1.5キロの銀の皿1枚と0.8キロの銀の鉢1個で、両方とも、穀物の捧げ物として油を混ぜた上等の麦粉が満ちてあった。38 さらに、香を満ちした110グラムの金の杯1個、39 全焼の捧げ物として若い雄牛1頭、雄羊1匹、1歳未満の雄の子羊1匹、40 罪の捧げ物として子ヤギ1匹、41 共食の犠牲として牛2頭、雄羊5匹、雄ヤギ5匹、1歳の雄の子羊5匹。以上がツリシャダイの子シェルミエルの捧げ物である。

42 6日目は、ガドの子たちの長、デウエルの子エルヤサフが 43 捧げ

第7章

(例) 民 1:4,9

(例) 民 2:10
民 10:18

(例) レビ 27:25

(例) レビ 2:1

(例) レビ 1:3

(例) レビ 4:22,23

(例) レビ 3:1

(例) 民 1:4,5

(例) 民 2:12

(例) レビ 27:25

(例) レビ 2:1

(例) レビ 1:3

(例) レビ 4:22,23

(例) レビ 3:1

(例) 民 1:4,6

(例) 民 2:14
民 10:20

第2欄

(例) レビ 27:25

(例) レビ 2:1

(例) レビ 1:3

(例) レビ 4:22,23

(例) レビ 3:1

(例) 民 1:4,14

(例) 民 2:18
民 10:22

(例) レビ 27:25

(例) レビ 2:1

(例) レビ 1:3

(例) レビ 4:22,23

(例) レビ 3:1

(例) 民 1:4,10

(例) 民 2:20
民 10:23

(例) レビ 27:25

(例) レビ 2:1

もの物をした。聖なる標準重りで1.5キロの銀の皿1枚と0.8キロの銀の鉢1個で、両方とも、穀物の捧げ物として油を混ぜた上等の麦粉が満ちてあった。

44 さらに、香を満ちした110グラムの金の杯1個、45 全焼の捧げ物として若い雄牛1頭、雄羊1匹、1歳未満の雄の子羊1匹、46 罪の捧げ物として子ヤギ1匹、47 共食の犠牲として牛2頭、雄羊5匹、雄ヤギ5匹、1歳の雄の子羊5匹。以上がデウエルの子エルヤサフの捧げ物である。

48 7日目は、エフライムの子たちの長、アミフドの子エリシャマが 49 捧げ物をした。聖なる標準重りで1.5キロの銀の皿1枚と0.8キロの銀の鉢1個で、両方とも、穀物の捧げ物として油を混ぜた上等の麦粉が満ちてあった。50 さらに、香を満ちした110グラムの金の杯1個、51 全焼の捧げ物として若い雄牛1頭、雄羊1匹、1歳未満の雄の子羊1匹、52 罪の捧げ物として子ヤギ1匹、53 共食の犠牲として牛2頭、雄羊5匹、雄ヤギ5匹、1歳の雄の子羊5匹。以上がアミフドの子エリシャマの捧げ物である。

54 8日目は、マナセの子たちの長、ベダツルの子ガマリエルが 55 捧げ物をした。聖なる標準重りで1.5キロの銀の皿1枚と0.8キロの銀の鉢1個で、両方とも、穀物の捧げ物として油を混ぜた上等の麦粉が満ちてあった。

56 さらに、香を満ちした110グラムの

金^{きん}の杯^{さかずき}1個^こ, 57 全焼^{ぜんしょう}の捧げ物^{ささ}とし
て若い雄牛^{わか おうし}1頭^{とう}, 雄羊^{おひつじ}1匹^{びき}, 1歳未満^{さいみまん}の
雄^{おす}の子羊^{こひつじ}1匹^{びき}, 58 罪^{つみ}の捧げ物^{ささ}として
子ヤギ^{こやぎ}1匹^{びき}, 59 共食^{きやうしょく}の犠牲^{ぎせい}として牛^{うし}
2頭^{とう}, 雄羊^{おひつじ}5匹^{びき}, 雄ヤギ^お5匹^{ひき}, 1歳^{さい}の雄^{おす}の
子羊^{こひつじ}5匹^{びき}。以上^{いじょう}がバダツルの子ガマリ
エル^えの捧げ物^{ささ}である。

60 9日^{かめ}目は、ベニヤミンの子たち^こ
の長^{ちやうめい}, ギドオニの子アビダン^あが 61 捧
げ物^{ささ}をした。聖なる標準^{せい ひやうじゆん}重り^{おも}で1.5キ
ロ^{きん}の銀^{ぎん}の皿^{さら}1枚^{まい}と0.8キロ^{ぎん}の鉢^{はち}
1個^こで、両方^{りやうほう}とも、穀物^{こくもつ}の捧げ物^{ささ}とし
て油^{あぶら}を混ぜた上等^{まじょうとう}の麦粉^{むぎこ}が満たし
てあった。62 さらに、香^{かう}を満たした
110グラム^{きん さかずき}の金^{きん}の杯^{さかずき}1個^こ, 63 全焼^{ぜんしょう}
の捧げ物^{ささ}として若い雄牛^{わか おうし}1頭^{とう}, 雄羊^{おひつじ}1匹^{びき},
1歳未満^{さいみまん}の雄^{おす}の子羊^{こひつじ}1匹^{びき}, 64 罪^{つみ}の捧
げ物^{ささ}として子ヤギ^{こやぎ}1匹^{びき}, 65 共食^{きやうしょく}の犠
牲^{せい}として牛^{うし}2頭^{とう}, 雄羊^{おひつじ}5匹^{びき}, 雄ヤギ^お5匹^{ひき},
1歳^{さい}の雄^{おす}の子羊^{こひつじ}5匹^{びき}。以上^{いじょう}がギドオニ
の子アビダン^あの捧げ物^{ささ}である。

66 10日^{かめ}目は、ダンの子たち^この長^{ちやうめい},
アミシャダイの子アヒエゼル^あが 67 捧
げ物^{ささ}をした。聖なる標準^{せい ひやうじゆん}重り^{おも}で1.5キ
ロ^{ぎん}の銀^{ぎん}の皿^{さら}1枚^{まい}と0.8キロ^{ぎん}の鉢^{はち}
1個^こで、両方^{りやうほう}とも、穀物^{こくもつ}の捧げ物^{ささ}とし
て油^{あぶら}を混ぜた上等^{まじょうとう}の麦粉^{むぎこ}が満たし
てあった。68 さらに、香^{かう}を満たした
110グラム^{きん さかずき}の金^{きん}の杯^{さかずき}1個^こ, 69 全焼^{ぜんしょう}
の捧げ物^{ささ}として若い雄牛^{わか おうし}1頭^{とう}, 雄羊^{おひつじ}1匹^{びき},
1歳未満^{さいみまん}の雄^{おす}の子羊^{こひつじ}1匹^{びき}, 70 罪^{つみ}の捧
げ物^{ささ}として子ヤギ^{こやぎ}1匹^{びき}, 71 共食^{きやうしょく}の犠
牲^{せい}として牛^{うし}2頭^{とう}, 雄羊^{おひつじ}5匹^{びき}, 雄ヤギ^お5匹^{ひき},
1歳^{さい}の雄^{おす}の子羊^{こひつじ}5匹^{びき}。以上^{いじょう}がエナンの子アヒラ
の捧げ物^{ささ}である。

第7章

(例) レビ 1:3
(イ) レビ 4:22,23
(例) レビ 3:1
(イ) 民 1:4,10
(例) 民 1:16
(例) 民 2:22
(例) 民 10:24
(例) レビ 27:25
(例) レビ 2:1
(例) レビ 1:3
(例) レビ 4:22,23
(例) レビ 3:1
(イ) 民 1:4,11
(イ) 民 2:25
(例) 民 10:25
(例) レビ 27:25
(例) レビ 2:1
(例) レビ 1:3
(例) レビ 4:22,23
(例) レビ 3:1

第2欄

(例) 民 1:4,12
(イ) 民 2:27
(例) 民 10:26
(例) レビ 27:25
(例) 民 2:1
(例) レビ 1:3
(例) レビ 4:22,23
(例) レビ 3:1
(イ) 民 1:4,13
(例) 民 2:29
(例) 民 10:27
(例) レビ 27:25
(例) レビ 2:1
(例) レビ 1:3
(例) レビ 4:22,23

(例) レビ 3:1
(イ) 民 1:4,15
(例) 民 7:10
(イ) エズ 6:28

1歳^{さい}の雄^{おす}の子羊^{こひつじ}5匹^{びき}。以上^{いじょう}がアミシャ
ダイの子アヒエゼル^あの捧げ物^{ささ}である。

72 11日^{ちゆめ}目は、アシェルの子たち^こ
の長^{ちやうめい}, オ克蘭の子パグイエル^あが 73 捧
げ物^{ささ}をした。聖なる標準^{せい ひやうじゆん}重り^{おも}で1.5キ
ロ^{ぎん}の銀^{ぎん}の皿^{さら}1枚^{まい}と0.8キロ^{ぎん}の鉢^{はち}
1個^こで、両方^{りやうほう}とも、穀物^{こくもつ}の捧げ物^{ささ}とし
て油^{あぶら}を混ぜた上等^{まじょうとう}の麦粉^{むぎこ}が満たし
てあった。74 さらに、香^{かう}を満たした
110グラム^{きん さかずき}の金^{きん}の杯^{さかずき}1個^こ, 75 全焼^{ぜんしょう}
の捧げ物^{ささ}として若い雄牛^{わか おうし}1頭^{とう}, 雄羊^{おひつじ}1匹^{びき},
1歳未満^{さいみまん}の雄^{おす}の子羊^{こひつじ}1匹^{びき}, 76 罪^{つみ}の捧
げ物^{ささ}として子ヤギ^{こやぎ}1匹^{びき}, 77 共食^{きやうしょく}の犠
牲^{せい}として牛^{うし}2頭^{とう}, 雄羊^{おひつじ}5匹^{びき}, 雄ヤギ^お5匹^{ひき},
1歳^{さい}の雄^{おす}の子羊^{こひつじ}5匹^{びき}。以上^{いじょう}がオ克蘭
の子パグイエル^あの捧げ物^{ささ}である。

78 12日^{ちゆめ}目は、ナフタリの子たち^こ
の長^{ちやうめい}, エナンの子アヒラ^あが 79 捧
げ物^{ささ}をした。聖なる標準^{せい ひやうじゆん}重り^{おも}で1.5キロ^{ぎん}の
銀^{ぎん}の皿^{さら}1枚^{まい}と0.8キロ^{ぎん}の鉢^{はち}1個^こで、
両方^{りやうほう}とも、穀物^{こくもつ}の捧げ物^{ささ}として油^{あぶら}を混
ぜた上等^{まじょうとう}の麦粉^{むぎこ}が満たしてあった。

80 さらに、香^{かう}を満たした110グラム^{きん さかずき}の金^{きん}の杯^{さかずき}1個^こ, 81 全焼^{ぜんしょう}の捧
げ物^{ささ}として若い雄牛^{わか おうし}1頭^{とう}, 雄羊^{おひつじ}1匹^{びき}, 1歳未満^{さいみまん}の
雄^{おす}の子羊^{こひつじ}1匹^{びき}, 82 罪^{つみ}の捧げ物^{ささ}として
子ヤギ^{こやぎ}1匹^{びき}, 83 共食^{きやうしょく}の犠牲^{ぎせい}として牛^{うし}
2頭^{とう}, 雄羊^{おひつじ}5匹^{びき}, 雄ヤギ^お5匹^{ひき}, 1歳^{さい}の雄^{おす}の
子羊^{こひつじ}5匹^{びき}。以上^{いじょう}がエナンの子アヒラ
の捧げ物^{ささ}である。

84 イスラエルの長^{ちやうめい}たちは以上^{いじょう}の物
を、祭壇^{さいだん}に油^{あぶら}が注^{そそ}がれた時に、祭壇^{さいだん}を
献^{けん}じるための捧げ物^{ささ}として捧げた。銀^{ぎん}

の皿^さ12枚^{まい}、銀^{ぎん}の鉢^{はち}12個^こ、金^{きん}の杯^{さかずき}12個^こであり、**85** 重^{おも}さは、銀^{ぎん}の皿^さ1枚^{まい}が1.5キロ、鉢^{はち}1個^こが0.8キロで、器^{うつわ}の銀^{ぎん}を全て合^あわせると、聖^{せい}なる標準^{ひょうじゆん}重^{おも}りで27キロ余^{あま}りになった。**86** 香^{かう}を満^みたした12^{きん}の金^{さかずき}の杯^こは、1個^{おも}の重^{せい}さが聖^{ひよう}なる標^{ひよう}準^{じゆん}重^{おも}りで110グラムであり、杯^{さかずき}の金^{きん}は全部^{ぜんぶ}で1.3キロ余^{あま}りになった。**87** 全^{ぜん}焼^{しょう}の捧^{ささ}げ物^{もの}のため^のの家^か畜^{ちく}を全^{すべ}て合^あわせると、雄^お牛^{うし}12頭^{とう}、雄^お羊^{ひつじ}12匹^{びき}、1歳^{さい}の雄^おの子^こ羊^{ひつじ}12匹^{びき}で、穀^こ物^{ぶつ}の捧^{ささ}げ物^{もの}もあり、罪^{つみ}の捧^{ささ}げ物^{もの}のため^のの子^こヤギ^{やぎ}は12匹^{びき}だった。**88** 共^き食^{じき}の犠^ぎ牲^{せい}の家^か畜^{ちく}を全^{すべ}て合^あわせると、雄^お牛^{うし}24頭^{とう}、雄^お羊^{ひつじ}60匹^{びき}、雄^おヤギ^{やぎ}60匹^{びき}、1歳^{さい}の雄^おの子^こ羊^{ひつじ}60匹^{びき}だった。以上^{いじよう}が、祭^{さい}壇^{だん}に油^{あぶら}が注^{そそ}がれた後^{あと}に、祭^{さい}壇^{だん}を献^{けん}じるため^のの捧^{ささ}げ物^{もの}として捧^{ささ}げられた。

89 モーセは、神^{かみ}と話^{はな}すために会^{かい}見^{けん}の天^{てん}幕^{まく}に入^{はい}る時^{とき}にはいっも、証^{あか}しの箱^{はこ}のふた^{ふた}の上^{うへ}、2つ^{ふた}のケル^{うさ}ブの間^{あいだ}から話^{はな}す声^{こえ}を聞^きいた。神^{かみ}がモーセに話^{はな}したのである。

8 エホバはモーセに話^{はな}した。**2** 「アロンに告^つげなさい。『ラン^{らん}プをともし時^{とき}、7つ^{なな}のラン^{らん}プがラン^{らん}プ台^{だい}の前^{ぜん}方^{ぽう}を照^てらすようにすべきである』。」「**3** アロンはその通^{とお}りにした。ラン^{らん}プ台^{だい}の前^{ぜん}方^{ぽう}に向けてラン^{らん}プをともし、エホバがモーセに命^{めい}じた通^{とお}りにした。**4** ラン^{らん}プ台^{だい}の作^{つく}りについては、それは金^{きん}を鍛^{たん}造^{ぞう}したもの、幹^{かん}から花^{はな}ま^まで鍛^{たん}造^{ぞう}したもので、エホバがモーセに

第7章

(7) 民 7:13-17

(1) レビ 27:25

(7) 民 7:1

(2) 民 7:10

(2) 出 33:9

民 11:17

民 12:8

(7) 出 25:22

出 37:6

(4) 出 25:18

サ-4:4

詩 80:1

第8章

(7) 出 25:37

出 40:24,25

レビ 24:2

(7) ヘブ 9:2

(2) 出 37:17

第2欄

(7) 出 25:9,40

代-28:12,19

(1) 出 29:4

イザ 52:11

(7) 出 30:18,19

レビ 16:28

民 19:7

(2) レビ 1:3

(7) レビ 2:1

(7) レビ 4:3

(4) レビ 8:2,3

(7) 民 3:9,41

(7) レビ 7:30

民 8:21

(2) 民 1:50

民 3:6

代二 31:2

(7) 出 29:10

(2) レビ 1:4

(2) 民 3:45

民 16:9

しめ まぼろし^{しめ}の^{まぼろし}した^{しめ}が^{まぼろし}つ^{まぼろし}く示^{しめ}した^{まぼろし}幻^{まぼろし}に従^{したが}って作^{つく}られていた。

5 エホバはさらにモーセに言^いった。**6** 「イスラエル人^{いすらいへるじん}の中^{なか}からレビ族^{れびぞく}を取^とって、清^{きよ}めなさい。**7** 次^{つぎ}のよう^{きよ}に清^{きよ}めるべきである。罪^{つみ}を清^{きよ}める水^{みづ}をレビ族^{れびぞく}に振^ふり掛^かける。レビ族^{れびぞく}は全^{ぜん}身^{しん}をかみそり^{きよ}でそり、服^{ふく}を洗^{あら}い、自^{みづか}分^{ぶん}を清^{きよ}めなければならぬ。**8** そして、若^{わか}い雄^お牛^{うし}と、それ^{ともな}に伴^{ともな}う穀^こ物^{ぶつ}の捧^{ささ}げ物^{もの}として油^{あぶら}を混^まぜた上^{じよう}等^{とう}の麦^{むぎ}粉^{こな}を用^{よう}意^いする。あなた^{あな}は罪^{つみ}の捧^{ささ}げ物^{もの}のため^のに別^{べつ}の若^{わか}い雄^お牛^{うし}を用^{よう}意^いする。**9** レビ族^{れびぞく}を会^{かい}見^{けん}の天^{てん}幕^{まく}の前^{ぜん}に立^たたせ、イスラエル人^{いすらいへるじん}の民^{たみ}全^{ぜん}員^{いん}を集^{しゅう}合^{ごう}させ^ある。**10** レビ族^{れびぞく}をエホバの前^{まえ}に立^たたせ、イスラエル人^{いすらいへるじん}がレビ族^{れびぞく}に手^てを置^おく。**11** アロンは、レビ族^{れびぞく}をイスラエル人^{いすらいへるじん}からの振^{しん}揺^{よう}の捧^{ささ}げ物^{もの}としてエホバに捧^{ささ}げなければならぬ。レビ族^{れびぞく}はエホバの奉^{ほう}仕^しを行^{おこな}うことになる。

12 レビ族^{れびぞく}は2頭^{とう}の雄^お牛^{うし}の頭^{あたま}に手^てを置^おく。その後^{のち}、1頭^{とう}は罪^{つみ}の捧^{ささ}げ物^{もの}、もう1頭^{とう}は全^{ぜん}焼^{しょう}の捧^{ささ}げ物^{もの}としてエホバに捧^{ささ}げられ、レビ族^{れびぞく}のため^のに贖^{しよく}罪^{ざい}が行^{おこな}われる。**13** あなた^{あな}はレビ族^{れびぞく}をアロンとその子^こたち^{たち}の前^{まえ}に立^たたせ、エホバへの振^{しん}揺^{よう}の捧^{ささ}げ物^{もの}として捧^{ささ}げる。**14** レビ族^{れびぞく}をイスラエル人^{いすらいへるじん}から分^わけなければならぬ。レビ族^{れびぞく}は私^{わたくし}のものとなる。**15** その後^{のち}、レビ族^{れびぞく}は中^{なか}に入^{はい}って会^{かい}見^{けん}の天^{てん}幕^{まく}で奉^{ほう}仕^しする。あなた^{あな}は以上^{いじよう}のようにレビ族^{れびぞく}を清^{きよ}め、振^{しん}揺^{よう}の捧^{ささ}げ

8:11 *直訳、「の前で揺り動かさ」。

ものとして捧げ^{ささ}るべきである。16 レビ族は与えられた者であり、イスラエル人の中から私に与えられている。イスラエル人の全ての長男の代わりとして、私は自分のためにレビ族を取る。

17 イスラエル人の全ての初子は、人間も動物も、全て私のものだからである。私は彼らを、エジプトの全ての初子を打った日に、私のために神聖なものとした。18 私はレビ族を取ってイスラエル人の全ての長男の代わりとする。19 イスラエル人の中から与えられた者としてレビ族をアロンとその子たちに与え、会見の天幕でイスラエル人のための奉仕を行わせ、イスラエル人のために贖罪を行わせる。イスラエルの民が聖なる場所に近づいてイスラエル人の間に災厄が起きる、ということのないためである。

20 モーセとアロンとイスラエル人の民全員は、レビ族についてそのようにした。エホバがレビ族に関してモーセに命じたこと全てに従って、イスラエル人は行った。21 レビ族は自分を清めて服を洗い、その後、アロンはレビ族を振揺の捧げ物としてエホバに捧げた。そして贖罪を行ってレビ族を清めた。22 その後、レビ族は中に入り、アロンとその子たちの前で会見の天幕での奉仕を行った。民は、エホバがレビ族に関してモーセに命じたとお通りに行った。

23 エホバはモーセに話した。

第8章

(例) 民 3:12

(例) 出 13:2, 12
レビ 27:26

(例) 出 12:29
出 13:15

(例) 民 3:9
民 18:6
代一 23:32
エゼ 44:11

(例) 民 1:53
民 18:5
サ一 6:19

(例) 民 8:7

(例) 民 8:11

(例) 民 8:12

第2欄

(例) 民 1:53
民 3:32
民 18:4

第9章

(例) 出 40:2
民 1:1

(例) 出 12:3, 6
レビ 23:5
申 16:1
コ一 5:7

(例) 出 12:27

(例) 出 12:8

(例) 民 5:2
民 19:14, 16

(例) 出 18:15
民 15:33
民 27:1, 2

(例) レビ 7:21
申 16:2

24 「以下はレビ族に関することである。25歳以上の人が会見の天幕での奉仕に加わる。25 しかし、50歳を過ぎたら奉仕から退き、もう奉仕をしない。26 会見の天幕で務めを果たす兄弟たちに仕えることはできるが、そこで奉仕を行ってはならない。あなたはレビ族とその務めに関して、このようにすべきである。」

9 エホバは、民がエジプトを出て2年目の第1の月に、シナイの荒野でモーセに話した。2 「イスラエル人は、決められた時に過ぎ越しの犠牲を用意すべきである。3 この月の14日の夕暮れ時、決められた時に用意すべきである。全ての法令と決められた手順に従って用意する。」

4 モーセはイスラエル人に、過ぎ越しの犠牲を用意するように告げた。5 民は、第1の月の14日の夕暮れ時に、シナイの荒野で過ぎ越しの犠牲を用意した。イスラエル人は、全てエホバがモーセに命じた通りに行った。

6 死体に触って汚れたためにその日に過ぎ越しの犠牲を用意できない人たちがいた。その人たちがその日にモーセとアロンの前にやって来て、7 こう言った。「私たちは死体に触って汚れています。でもどうして、ほかのイスラエル人と一緒に、決められた時にエホバへの捧げ物を捧げてはいけないのでしょうか。8 モーセは言った。「そこで待っていてください。あな

たたちについてエホバが何と指示するか、私が聞きましょう。

9 エホバはモーセに言った。

10 「イスラエル人にこう告げなさい。

『あなたたちや後の世代の誰かが死体に触って汚れたり、遠くに旅に出たりしている場合でも、その人はエホバへの過ぎ越しの犠牲を用意しなければならぬ。』

11 第2の月の14日の夕暮れ時に用意し、それを無酵パンと苦菜と一緒に食べなさい。

12 どの部分も朝まで残しておいてはならない。

その骨を折ってはならない。過ぎ越しに関する全ての法令に従って用意すべきである。

13 しかし、清い状態にあり、旅に出ていたのでもないのに、過ぎ越しの犠牲の用意を怠ったのなら、その人は民の中から除かれなければならない。

決められた時にエホバへの捧げ物を捧げなかったからである。その人は罪の責任を負う。

14 外国人居住者があなたたちと一緒にに住んでいるなら、その人もエホバへの過ぎ越しの犠牲を用意すべきである。

過ぎ越しに関する法令と決められた手順に従って用意する。外国人居住者にもあなたたちにも、同じ法令が適用されるべきである。』

15 幕屋を組み立てた日、雲が幕屋つまり証しの天幕を覆い、夕方から朝までは火のようなものが幕屋の上にとどまった。

16 その後もそうなり、昼

9:13 *または、「死刑にされ」。

第9章

(例) 出 25:22
レビ 16:2
詩 99:6

(例) 民 5:2

(例) 代 2 30:2,15

(例) 出 12:8

(例) 出 12:10

(例) 出 12:46
詩 34:20
ヨハ 19:36

(例) 出 12:15

(例) 出 12:19,48

(例) 出 12:8

(例) レビ 24:22
申 31:12

(例) 出 40:2,17

(例) 出 40:34,38

第2欄

(例) 出 13:22
ネ 9:19

(例) 民 10:11,34

(例) 出 40:36,37

(例) 出 17:1
民 10:11-13

(例) 出 40:37

(例) 出 40:36
詩 78:14

第10章

(例) レビ 23:24

(例) 民 1:18
申 29:10,11

には雲が、夜には火のようなものが幕屋を覆った。17 イスラエル人は、雲が天幕から持ち上がるとすぐに出発し、雲がとどまる場所に宿営した。

18 エホバの指示で出発し、エホバの指示で宿営した。雲が幕屋の上にとどまっている間は、そのまま宿営していた。

19 雲が幕屋の上に何日もとどまる時、イスラエル人はエホバに従い、出発しなかった。20 雲が幕屋の上に数日とどまることがあった。民

はエホバの指示で宿営し続け、エホバの指示で出発した。21 雲が夕方から朝までしかとどまらないこともあり、雲が朝に持ち上がると、民は出発した。

雲が持ち上がるのが昼でも夜でも、民は出発した。22 2日でも1ヵ月でもそれ以上でも、雲が幕屋の上にとどまっている間は、イスラエル人は宿営し続け、出発しなかった。しかし、雲が持ち上がる時、出発した。23 民

はエホバの指示で宿営し、エホバの指示で出発した。モーセを通して与えられたエホバの指示通りにし、エホバに従った。

10 エホバはモーセに言った。2 「あなたのために銀のラッパを2つ作りなさい。銀を鍛造して作り、民を呼び集めるためと宿営を置くために用いなさい。3 ラッパが2つとも吹かれたら、民全体が会見の天幕の入り口にいるあなたの所に集まらなければならない。4 1つだけ吹か

には雲が、夜には火のようなものが幕屋を覆った。17 イスラエル人は、雲が天幕から持ち上がるとすぐに出発し、雲がとどまる場所に宿営した。

18 エホバの指示で出発し、エホバの指示で宿営した。雲が幕屋の上にとどまっている間は、そのまま宿営していた。

19 雲が幕屋の上に何日もとどまる時、イスラエル人はエホバに従い、出発しなかった。20 雲が幕屋の上に数日とどまることがあった。民

はエホバの指示で宿営し続け、エホバの指示で出発した。21 雲が夕方から朝までしかとどまらないこともあり、雲が朝に持ち上がると、民は出発した。

雲が持ち上がるのが昼でも夜でも、民は出発した。22 2日でも1ヵ月でもそれ以上でも、雲が幕屋の上にとどまっている間は、イスラエル人は宿営し続け、出発しなかった。しかし、雲が持ち上がる時、出発した。23 民

はエホバの指示で宿営し、エホバの指示で出発した。モーセを通して与えられたエホバの指示通りにし、エホバに従った。

10 エホバはモーセに言った。2 「あなたのために銀のラッパを2つ作りなさい。銀を鍛造して作り、民を呼び集めるためと宿営を置くために用いなさい。3 ラッパが2つとも吹かれたら、民全体が会見の天幕の入り口にいるあなたの所に集まらなければならない。4 1つだけ吹か

れたら、イスラエルの^{すうせん}数千人^{にん}を率^{ひき}いる
長^{ちやう}たちだけがあなたの所^{ところ}に集^{あつ}まる。

5 音を震^{おと}わせてラッパを吹^ふいたら、
ひしがわ^{ひしがわ} しゅくえい^{しゅくえい} ひと^{ひと} しゅっぱつ^{しゅっぱつ}
東側^{ひがし}に宿営^{しゅくえい}している人^{ひと}たちが出^で発^{はつ}す。
る。6 2度目に音を震^{おと}わせてラッパ
を吹^ふいたら、南側^{みなみ}に宿営^{しゅくえい}している人^{ひと}
たち^{しゅっぱつ}が出^で発^{はつ}する。各分隊^{さくぶんたい}が出^で発^{はつ}する際^{さい}
に、そのように吹^ふくべきである。

7 会衆^{かいしゅう}を呼び集^{あつ}める時^{とき}にもラッパ
を吹^ふくべきだが、音を震^{おと}わせてはなら
ない。8 祭司^{さいし}であるアロンの子^こたち
がラッパを吹^ふくべきであり、その用^{もち}い
方^{かた}は法令^{ほうれい}として代々^{だいたい}ずつと守^{まも}るべきで
ある。

9 もしあなたたちの土地^{とち}で、攻^せめて
くる侵略者^{しんりやくしゃ}たちと戦^{たたか}いは始めるのであ
れば、ラッパで軍隊^{ぐんたい}招集^{しょうしゅう}の合図^{あいず}をすべ
きである。あなたたちの神^{かみ}エホバが
おも^{おも}い出^でて、敵^{てき}から救^{すく}ってくださる。

10 祭り^{まつ}や月初^{つきはじ}めという喜^{よろこ}ばしい時^{とき}
にも、全焼^{ぜんしょう}の捧^{ささ}げ物^{もの}と共食^{きょうしょく}の犠牲^{ぎせい}に
向^むけてラッパを吹^ふくべきである。神^{かみ}は
あなたたちのこと^{こと}を思^{おも}い起^{おこ}す。私^{わたし}は
あなたたちの神^{かみ}エホバである。」

11 2年目の第2^{ねんめ}の月^{だい}の20日^{にち}に、雲^{くも}
は証^{あかし}し幕屋^{まくや}の上^{うへ}から持^もち上^あがった。

12 イスラエル人^{じん}は、決^きまった順番^{じゅんばん}で
シナイの荒野^{こうや}を旅^{たび}立ち始^{はじ}めた。やが
て雲^{くも}はパランの荒野^{こうや}にとどまった。

13 こうして、モーセ^{もー}を通^{とお}して与^{あた}えられ
たエホバ^しの指示^しに従^{したが}って、初^{はじ}めて出^{しゅっぱつ}発^{はつ}
した。

10:6 *1つの分隊は3つの部族で構成される。

第10章

(例) 出 18:21
民 1:16
民 7:2
申 1:15
申 5:23
(イ) 民 2:3
(例) 民 2:10
(例) 民 10:3
(例) 民 31:6
代一 15:24
代一 16:6
代二 29:26
ネヘ 12:35, 41
(例) 代二 13:12
(例) レビ 23:24
民 29:1
(例) 代一 15:28
代二 5:12
代二 7:6
エズ 3:10
(例) 民 28:11
(例) レビ 3:1
(例) 出 6:7
レビ 11:45
(イ) 民 1:1
(例) 民 9:17
詩 78:14
(例) 出 40:36
民 2:9, 16, 17, 24, 31
(例) 民 12:16
民 13:26
申 1:1, 2
(例) 民 2:34
民 9:23

第2欄

(例) 民 1:4, 7
民 2:3
(イ) 民 1:4, 8
民 2:5
(例) 民 2:7
(例) 民 1:51
(例) 民 3:25, 26
(例) 民 3:36, 37
(例) 民 1:4, 5
民 2:10
(例) 民 1:5, 6
民 2:12
(例) 民 1:4, 14
民 2:14
(例) 民 3:30, 31
民 4:15
民 7:9
(例) 民 1:4, 10
民 2:18, 24
(イ) 民 1:4, 10
民 2:20
(例) 民 1:4, 11
民 2:22
(例) 民 1:4, 12
民 2:25, 31

14 ユダの子^こたちの宿営^{しゅくえい}を含む^{ふく}分^{ぶん}隊^{たい}がグループごと^{さいしよ}に最初^{しゅっぱつ}に出^で発^{はつ}した。

アミナダブの子^こナフシオン^{なふしおん}がユダ族^{よだぞく}を率^{ひき}いた。15 イッサカル族^{いさかるぞく}を率^{ひき}いた。

16 ゼブルン族^{ぜぶろんぞく}を率^{ひき}いたのは、ヘロン^{へろん}の子^こエリアブ^{えりあぶ}だった。

17 幕屋^{まくや}が解体^{かいたい}されると、幕屋^{まくや}を運^{はこ}ぶゲルシオン^{げるしおん}の子^こたちとメラリ^{めらり}の子^こたち^{しゅっぱつ}が出^で発^{はつ}した。

18 次に、ルベン^{るべん}の宿営^{しゅくえい}を含む^{ふく}分^{ぶん}隊^{たい}がグループごと^{さいしよ}に出^で発^{はつ}した。シェデウ^{しやでう}ルの子^こエリツル^{えりつる}がルベン族^{るべんぞく}を率^{ひき}いた。

19 シメオン族^{しめおんぞく}を率^{ひき}いたのは、ツ^つリシャダイ^{りしやだい}の子^こシェルミエル^{しやるみえ}だった。

20 ガド族^{かどぞく}を率^{ひき}いたのは、デウエル^{でうえ}の子^こエルヤサブ^{えりやさぶ}だった。

21 次に、聖^{せい}なる所^{ところ}の物^{もの}を運^{はこ}ぶコハ^こト氏族^{しやくしやう}が出^で発^{はつ}した。彼^{かれ}らが着^つくまでに、幕屋^{まくや}は組^{くみ}み立^たてられている。

22 次に、エフライム^{えふらいむ}の子^こたちの宿^{しゅく}営^{えい}を含む^{ふく}分^{ぶん}隊^{たい}がグループごと^{さいしよ}に出^で発^{はつ}した。アミフド^{あみふど}の子^こエリシャマ^{えりしやま}がエフ^{えふ}ライム族^{らいむぞく}を率^{ひき}いた。23 マナセ族^{まなせぞく}を率^{ひき}いたのは、ベダツル^{べだつる}の子^こガマリエル^{がまりえ}だった。24 ベニヤミン族^{べんやみんぞく}を率^{ひき}いたのは、ギドオニ^{ぎどおに}の子^こアビダン^{あびだん}だった。

25 次に、ダン^{だん}の子^こたちの宿^{しゅく}営^{えい}を含む^{ふく}分^{ぶん}隊^{たい}が、宿^{しゅく}営^{えい}全^{ぜん}体^{たい}の後衛^{こうゑい}となり、グ^ぐループごと^{さいしよ}に出^で発^{はつ}した。アミシャ^{あみしや}ダイ^{だい}の子^こアヒエゼル^{あひえぜ}がダン族^{だんぞく}を率^{ひき}いた。26 アシェル族^{あしやろく}を率^{ひき}いたのは、オ

クランの子バグイエルだった。27 ナ
フタリ族を率いたのは、エナンの子ア
ヒラだった。28 このような順番
で、イスラエル人はグループごとに
出発した。

29 モーセは、しゅうとであるミディ
アン人レウエルの子ホバブに言った。
「私たちは、エホバが与えたと約束し
た場所に向かいます。ぜひ一緒に
来てください。私たちはあなたを大切
にします。エホバはイスラエルに良
いことを約束しているのです。30 し
かしホバブは言った。「私は行きま
せん。親族がいる故郷に戻ります」。

31 モーセは言った。「どうか、私た
ちを見捨てないでください。荒野で
どこに宿営したらよいかを知ってい
るあなたに、案内をしてほしいのです。

32 一緒に来てくれたら、エホバが私
たちに与えてくださる良いものを必ず
あなたにも差し上げます。

33 こうしてエホバの山から出発し、
3日間の旅をした。エホバの契約の
箱は3日の旅の間、民の前を歩き、民
の休み場所を探した。34 宿営した
場所を旅立つ時、昼はエホバの雲が
民の上にあった。

35 箱が移動する時にはいつも、
モーセはこう言った。「エホバ、立ち上
がってください。あなたの敵が散らさ
れますように。あなたを憎む人たちが

第10章

(イ) 民 1:4,13
民 2:27

(イ) 民 1:4,15
民 2:29

(イ) 民 2:34

(ロ) 出 2:16,18
出 3:1
出 18:1,5

(イ) 創 12:7
創 13:14,15
創 15:18

(イ) 裁 1:16
裁 4:11
サ 15:16

(イ) 出 3:8
出 6:7

(イ) 裁 1:16
裁 4:11

(イ) 出 3:1
出 19:3
出 24:16
申 5:2

(ロ) 裁 1:16
裁 4:11

(イ) 出 3:1
出 19:3
出 24:16
申 5:2

(ロ) 出 25:10,17

(イ) 申 1:32,33
ヨシ 3:3,4

(イ) 出 13:21
申 9:12
詩 78:14

(イ) 詩 132:8

第2欄

(イ) 申 1:10

第11章

(イ) 出 32:11
申 9:19
詩 106:23
ヤコ 5:16

(イ) 申 9:22

(ロ) 出 12:37,38
レビ 24:10

(イ) コー 10:6,10

(イ) 詩 78:18,22
詩 106:14

(イ) 出 16:3

(イ) 出 16:35
民 21:5

(イ) 出 16:14
ネヘ 9:20
ヨハ 6:31

(イ) 出 16:31

(イ) 出 16:16,23
詩 78:24

あなたの前から逃げ去りますように」。

36 箱を下ろす時にはこう言った。「エ
ホバ、戻ってきてください。イスラエル
の無数の人々の所に」。

11 民はエホバの前でひどく文
句を言い始めた。エホバは

それを聞くと怒りに燃え、エホバの火
が民に対して燃え上がり、宿営の外れ
にいる人たちを焼き尽くし始めた。

2 民がモーセに向かって叫びだすと、
モーセはエホバに祈願し、火は収まっ
た。3 その場所はタブエラと呼ばれ
るようになった。エホバの火が民に対
して燃え上がったからだ。

4 民の中にいたさまざまな外国人
が利己的な願望を口にし、イスラエル
人も泣いてこう言いだした。「誰が肉
を食べさせてくれるのか。5 エジプ
トでただで食べていた魚が本当に懐
かしい。それに、キュウリやスイカ、ネ
ギ、タマネギ、ニンニクもだ。6 それ
が今、私たちは痩せ衰えている。目に
するのはこのマナばかりだ」。

7 ところで、マナはコリアンダーの
種に似ていて、プデリウム樹脂のよう
に見えた。8 民は散らばってそれを
拾い、ひき臼でひくか、つき臼でつぶ
し、鍋で煮たり丸いパンにしたりした。
油を入れた甘い菓子のような味がし
た。9 夜に露が宿営に降りると、マ
ナもそこに降りた。

10:36 *または、「幾千幾万」。11:3 *意味、
「燃焼」。つまり、猛火、火災。

10:29 *エテロのこと。10:31 *または、「目に
なつて」。

10 モーセは、民がどの家族も、それぞれ自分の天幕の入り口で泣いているのを聞いた。エホバは非常に怒り、モーセも不快に思った。**11** モーセはエホバに言った。「どうして私を苦しめるのですか。どうして私はあなたの好意を得られず、この民全てを重荷として負わされているのでしょうか。**12** 私がこの民全てを身ごもったのでしょうか。彼らを産んだのは私でしょうか。それであなたは私に、父祖たちに誓った土地に連れていくため、『子守が赤ん坊を抱くように彼らを懐に入れて抱きなさい』とおっしゃるのですか。**13** この民全てに与える肉がどこで手に入るでしょうか。民は私の前で泣き続け、『肉を食べさせてくれ』と言っているのです。**14** 私独りで、この民全てを負うことはできません。私には無理です。**15** このままにされるつもりでしたら、どうぞ今、私を殺してください。私があなたの好意を得ているのでしたら、もう災難を見ないで済むようにしてください。

16 エホバはモーセに答えた。「イスラエルの長老を70人集めなさい。民の長老で主立った人だとあなたが認める人たちだ。その人たちを会見の天幕に連れていき、あなたと一緒に立たせなさい。**17** 私は下っていく、そこであなたと話す。あなたが受けている聖なる力の一部を取って、その人た

11:17 *用語集参照。

第11章

(7) 民 11:1

(4) 出 17:4
申 1:12(7) 創 13:14,15
創 26:3(4) 出 18:17,18
申 1:9(8) 王一 19:2,4
ヨブ 6:8,9

(7) 申 16:18

(4) 出 19:11
出 25:22
出 34:5
民 12:5(7) 民 11:25
民 12:8(7) サ一 10:6
王二 2:15
ネハ 9:20
使徒 2:17

第2欄

(7) 出 18:21,22

(4) 出 19:10

(7) 出 16:7

(4) 民 11:4,5

(7) 出 16:8

(7) 詩 78:29

(4) 民 21:5

(7) 出 12:37
出 38:26
民 1:45,46(7) 創 18:14
イザ 59:1
マル 10:27
ルカ 1:37

ちに与える。その人たちは、あなたが民の重荷を負うのを助け、あなたが独りで負わずに済むようにする。**18** あなたは民にこう言うべきである。『明日のために自分を神聖なものとしなさい。あなたたちは必ず肉を食べる。エホバに聞こえる所で泣いて、「誰が肉を食べさせてくれるのか。エジプトにいた時の方がよかった」と言ったからである。エホバは必ず肉を与え、あなたたちは食べる。**19** 食べるのは、1日ではなく、2日、5日、10日、20日でもなく、**20** 丸1カ月、肉が鼻から出て、肉にうんざりするまでである。あなたたちのただ中にいるエホバを退け、その方の前で泣いて、「どうして私たはエジプトを出たりしたのか」と言ったからである』。

21 モーセは言った。「私と一緒にいる民は、徒歩で行く男性だけで60万人います。それなのに、あなたは、『肉を与える。民は丸1カ月は食べられる』と言われました。**22** 羊や牛を全て殺しても、それで足りるでしょうか。海の魚を全て捕っても、それで足りるでしょうか。

23 エホバはモーセに言った。「それはエホバにできないことだろうか。私が言った通りになるかどうか、すぐに分かる」。

24 モーセは出ていって、エホバの

11:23 *または、「エホバの手はそんなに短いのだろうか」。

ことば たみ はな たみ ちやうろう
言葉を民に話した。そして民の長老の
なかから 70 人を集め、天幕の周囲に立
たせた。25 するとエホバは雲のう
ちに下ってきてモーセに話し、モーセ
が受けている聖なる力の一部を取っ
て、70 人の長老一人一人に与えた。
その人たちは聖なる力を受けるとすぐ、
預言者のように振る舞い始めた。しか
し、再びそう振る舞うことはなかった。

26 70 人のうちの2人が宿営に残っ
ていた。2 人の名前はエルダドとメダ
ドだった。この2人も名前を書き記さ
れた人たちで、天幕の所には出て
いかなかったが、聖なる力を受けて宿
営で預言者のように振る舞い始めた。

27 ある若者が走ってきて、モーセに
報告した。「エルダドとメダドが宿営
で預言者のように振る舞っています」。

28 それを受けて、若い時からモーセ
の奉仕者だったヌンの子ヨシュアが
言った。「モーセ、どうか2人を止めて
ください」。

29 しかしモーセは言っ
た。「私が軽く扱われないかと心配し
ているのですか。でも私は、エホバの
民全員が預言者で、エホバが皆に聖
なる力を与えてくださったと願いま
す」。

30 その後モーセは、イスラエ
ルの長老たちと宿営に戻った。

31 エホバのもとから風が吹き、海
からウズラを運んできて、宿営の周り
に落としました。ウズラは宿営の周囲一
帯に、歩いて1日かかる所まで、1メー

11:25 *または、「預言し」。

第11章

(例) 民 11:16

(例) 出 33:9

民 12:5

申 31:15

(例) 詩 99:7

(例) 民 11:17

王二 2:9,15

(例) サ一 10:6

サ一 19:20

(例) 出 17:9

出 24:13

出 33:11

民 27:18-20

申 31:3

(例) マル 9:38

(例) 出 16:13

詩 78:26,27

第2欄

(例) 詩 78:30,31

コ一 10:10

(例) 民 33:16

申 9:22

(例) コ一 10:6

(例) 民 33:17

第12章

(例) 出 2:16,21

(例) 出 4:14-16

出 4:30

出 15:20

出 28:30

ミカ 6:4

(例) 民 11:1

(例) マタ 11:29

トルほどの高さで積もった。32 民は
その日1日、また夜通し、さらに次の日
も1日、寝ずにウズラを集めた。一番
少ない人でも2200リットルは集めた。
そして、自分たちのために宿営の周囲
一帯に並べていった。33 しかし、肉
を口に入れて食べている間に、民に対
してエホバの怒りが燃え、エホバは民
を打ち始め、非常に大勢の人を滅ぼ
した。

34 その場所はキプロト・ハタアワ
と呼ばれるようになった。利己的な渴
望を示した人々をそこで葬ったからで
ある。35 民はキプロト・ハタアワか
らハツェロトに向けて出発し、ハツェロ
トにとどまった。

12 ミリアムとアロンがクシュ人
の妻のことでモーセを非難

するようになった。モーセにはクシュ
人の妻がいたのである。2 2人は
言った。「エホバが話したのはモーセ
を通してだけではいでしょうか。私たちを通
しても話したではありませんか」。エ
ホバはこれを聞いていた。3 ところ
で、モーセは地上の全ての人の中で際
立って温厚な人だった。

4 突然エホバはモーセとアロンと
ミリアムに言った。「3人とも、会見の
天幕の所に出なさい」。3人は出て
いった。5 エホバは雲の柱のうちに

11:34 *意味、「渴望の墓場」。12:3 *または、
「とても謙遜(温和)で、地上のほかの誰よりも
そう」。

くだ 下^(レ)ってきて、天幕^(ヲ)の入り口^(ニ)に立ち、ア
ロン^(ヲ)とミリアム^(ヲ)を呼んだ。2人は前^(ニ)に
出た。6 神は言った。「私の言葉^(ヲ)を
聞いてもらいたい。あなたたちの間に
エホバ^(ノ)の預言者^(ガ)がいるとしたら、私
は幻^(ヲ)の中で自分のことをその人に知
らせ、夢^(ヲ)の中でその人に話す。7 私
に仕えるモーセ^(ノ)についてはそうではな
い! 彼は私の民全体^(ヲ)を託^(ス)されている。
8 私は顔^(ヲ)を合わせて彼に話し、謎^(ヲ)を
もち^(ノ)いずにはつきり語る。彼はエホバの
姿^(ヲ)を見る。それなのに、どうしてあなた
たちは恐れずに、私に仕えるモーセ^(ノ)を
非難^(ス)したのか」。

9 エホバは2人^(ノ)に対して怒りに燃^(ス)
え、去^(リ)っていった。10 雲は天幕^(ノ)の上
から離れた。すると、ミリアムは重い
皮膚病^(ノ)にかかって雪^(ノ)のように白くなっ
た。アロンがミリアムの方^(ニ)を振り向く
と、ミリアムは重い皮膚病^(ノ)にかかって
いた。11 すぐにアロンはモーセに
言った。「お願いです。どうかこの罪^(ヲ)を
私たち^(ノ)に負^(ツ)わせないでください! 私
たちは愚かなことをしました。12 ど
うかミリアムを、死^(シ)んで生^(ナ)まれた子供^(ノ)
のように、腐^(ク)りかけの状態^(ニ)にはしてお
かないでください!」13 モーセはエ
ホバに向^(カ)かって叫^(セ)び、「神よ、どうか姉^(ヲ)
を癒^(ス)やしてください! お願い^(ス)します」
と言い始めた。

14 エホバはモーセに答えた。「父

12:7 *直訳、「私の家全体で、彼は忠実であるこ
とを示して」。

第12章

(ヲ) 出 34:5
民 11:25

(イ) 創 15:1
創 46:2
出 24:9-11

(ヲ) 創 31:10, 11

(タ) ヘブ 3:2, 5

(ヲ) 出 33:11
申 34:10

(ヲ) 申 24:9

(ヲ) 代 二 26:19

(ヲ) 出 32:11
ヤコ 5:16

第2欄

(ヲ) レビ 13:45, 46
民 5:2

(イ) 申 24:9

(ヲ) 民 11:35
民 33:18

(タ) 民 10:12

第13章

(ヲ) 出 18:25
申 1:15

(ヲ) 申 1:22, 23

(ヲ) 民 12:16
申 1:19

(ヲ) 民 13:30
民 14:30, 38
民 34:18, 19
代一 4:15

(ヲ) 民 11:28
民 13:16
民 14:30
民 34:17

(ヲ) 創 48:5

(ヲ) 創 48:17, 19

おや 親^(ガ)が彼女^(ノ)の顔^(ニ)に唾^(ヲ)を吐^(キ)き掛けたとす
れば、彼女^(ノ)は7日間^(ヲ)辱められるのでは
ないか。彼女^(ノ)を7日間^(ヲ)宿営^(ノ)の外^(ニ)に隔
離^(ス)しなさい。その後^(ニ)、連れ戻^(ス)してもよ
い」。15 ミリアムは7日間^(ヲ)宿営^(ノ)の外^(ニ)
に隔離^(ス)された。民はミリアムが連れ戻
されるまで旅立^(ス)たなかった。16 そ
の後^(ニ)、民はハツエロトを出発^(ス)し、パラン
の荒野^(ニ)に宿営^(ス)するようになった。

13 エホバはモーセに話した。
2 「男性^(ノ)たちを遣^(ハ)わして、私
がイスラエル人^(ノ)に与^(ユ)えるカナン^(ノ)地方^(ノ)
を偵察^(ス)させなさい。父祖^(ノ)の部族^(ノ)ごとに
ひとり、長^(ヲ)である人^(ヲ)を遣^(ハ)わすべきである」。

3 モーセは、エホバの指示^(ヲ)通り、
その人^(ノ)たちをパランの荒野^(ノ)から遣
わした。皆^(ノ)イスラエル人^(ノ)の長^(ヲ)だった。

4 名前は以下の通りである。ルベン
族^(ノ)からは、ザクルの子^(ノ)シャムア。5 シ
メオン族^(ノ)からは、ホリの子^(ノ)シャファ
ト。6 ユダ族^(ノ)からは、エフネの子^(ノ)カレ
ブ。7 イッサカル族^(ノ)からは、ヨセフの
子^(ノ)イグアル。8 エフライム族^(ノ)からは、
ヌンの子^(ノ)ホシェア。9 ベニヤミン族^(ノ)
からは、ラフの子^(ノ)パルティ。10 ゼブ
ulun族^(ノ)からは、ソディの子^(ノ)ガディエル。
11 ヨセフ族^(ノ)からは、マナセ族^(ノ)のため
にスシの子^(ノ)ガッディ。12 ダン族^(ノ)から
は、ゲマリの子^(ノ)アミエル。13 アシエ
ル族^(ノ)からは、ミカエルの子^(ノ)セトル。
14 ナフタリ族^(ノ)からは、ボフシの子^(ノ)ナ
フビ。15 ガド族^(ノ)からは、マキの子^(ノ)グ

13:2 *または、「調べさせ」。

ウエル。16 以上が、土地を偵察させるためにモーセが遣わした人たちの名前である。モーセはヌンの子ホシュアをヨシュアと呼んだ。

17 モーセは、カナン地方を偵察させるためにその人たちを遣わす時、こう言った。「ネゲブに行き、山地に上っていきなさい。18 そこがどんな土地か、そこに住む人々が強いかわい、少ないか多いかを見なければなりません。19 その土地が良いか悪いか、人々が住む町は防備されているかないかについてもです。20 肥沃な土地か不毛な土地か、そこに木があるかどうか調べなさい。勇気を出し、土地の果物をいくらか取ってこなければなりません。それは、熟したブドウの初物の時期だった。

21 その人たちは出ていき、その土地をチンの荒野からレボ・ハマトに近いレホブまで偵察した。22 ネゲブに入った時にヘブロンにきた。そこには、アナク人であるアヒマン、シェシャイ、タルマイがいた。なお、ヘブロンはエジプトのツォアンより7年前に建てられた。23 その人たちはエシュコルの谷にきた時、ブドウが1房付いた枝を切り取った。それは、棒に掛けて2人で運ばなければならなかった。ザクロとイチジクも同じようにし

13:16 *または、「エホシュア」。「エホバは救い」という意味。13:21 *または、「ハマトの入り口」。13:22 *または、「アナキム」。13:23, 24 *または、「ワジ」。

第13章

(例) 出 17:9
(イ) 申 1:7
(例) 出 3:8
申 8:7
(例) ネヘ 9:25
エゼ 20:6
(例) 申 31:6
ヨシ 1:6,9
(例) 民 13:23
(例) 民 34:2,3
ヨシ 15:1
(例) 民 34:8
(例) サニ 10:6,8
(例) 創 13:18
ヨシ 15:13
ヨシ 21:11,12
(例) 申 9:1,2
ヨシ 11:21
(例) 裁 1:10
(例) 民 32:9
(例) 申 1:25
申 8:7-9

第2欄

(例) 申 1:24
(イ) 民 14:33,34
(例) 申 1:19
(例) 出 3:8
レビ 20:24
(例) 申 1:25
(例) 民 13:22,33
申 1:27,28
(例) 民 13:17
(例) 創 36:12
出 17:8
サー 15:3
(例) 裁 1:21
サニ 5:6,7
(例) 創 10:15,16
(例) 創 10:19
(例) 出 23:23
申 7:1
申 20:17
(例) ヨシ 14:7,8
(例) 民 32:9
(例) 民 14:36

た。24 その場所をエシュコルの谷と呼んだのは、イスラエル人がそこで切り取った房にちなんでのことだった。

25 40日がたち、その人たちは偵察から戻った。26 そして、パランの荒野のカデシュにいたモーセとアロンおよびイスラエル人の民全員のもとに。民全員に報告を持ち帰り、土地の果物を見せた。27 モーセに次のように報告した。「あなたが遣わした土地に入りました。まさしく非常に肥沃な所でした。これがその果物です。28 でも、そこに住む人々は強く、町は非常に大きく、防備されています。

しかも、アナク人も見えました。29 ネゲブ地方にはアマレク人が住み、山地にはヘト人、エブス人、アモリ人、海辺とヨルダン川沿いにはカナン人が住んでいます。

30 カレブは、モーセの前にいる民を静めようとして、言った。「すぐに向かっていきましょう。必ずその土地を取得できます。間違いなく征服できるのです」。31 しかし、一緒に行った人たちは言った。「あの人たちの所に攻めにくいなんて無理だ。彼らは私たちより強い」。32 そして、偵察してきた土地についてイスラエル人にあれこれ悪い報告をして言った。「偵察のために通った土地は、住む人々を食い尽くす土地だ。そこで見た人々

13:24 *意味、「ブドウの房」。13:27 *直訳、「乳と蜜が流れる」。

ちは皆、並外れて大きかった。33 そこでネフィリムを見た。ネフィリムから出たアナクの子たちだ。それに比べると、私たちはバツタのようだった。彼らもそう思ったに違いない。

14 民全員が声を上げ、夜通し大声で泣き続けた。2 イスラエル人は皆モーセとアロンに対して不満を口に始め、民全体がこう言った。「私たちはエジプトで死んでいればよかった。あるいは、この荒野で死んでいればよかった。3 どうしてエホバは私たちをこの土地に連れてきて、剣によって倒れるようにするのか。妻や子供たちも連れ去られてしまう。エジプトに戻った方がよいのではないか。4 民は、「指導者を立ててエジプトに戻ろう」と言い合うまでになった。

5 モーセとアロンは、集まったイスラエル人の会衆全体の前でひれ伏した。6 土地を偵察しに行った人たちのうちヌンの子ヨシュアとエフネの子カレブは、自分の衣服を引き裂き、7 イスラエル人の民全員にこう言った。「私たちが偵察のために通った土地は、とても、とても良い土地です。8 エホバが私たちのことを喜んでくださっているなら、私たちをその土地に連れて入り、その非常に肥沃な土地を与えてくださるはずですよ。9 エホ

13:33 *または、「の子孫である」。14:8 *直訳、「乳と蜜が流れる地」。

第13章

(ア) アモ 2:9

(イ) 申 1:28
申 9:1,2

第14章

(ウ) 申 1:32,33

(ロ) 申 1:27
詩 106:25

(ハ) 詩 78:40

(ニ) 民 14:31
申 1:39

(ヒ) 民 11:5

(コ) ネヘ 9:17

(セ) 民 13:8,16

(カ) 民 13:6,16
民 14:30(キ) 民 13:26,27
申 1:25
申 8:7,8

(ク) 出 3:8

第2欄

(ア) 申 7:17,18
申 20:3(イ) 出 33:16
申 20:1

(ウ) 出 17:4

(ロ) 出 16:10

(ハ) 出 16:28
民 14:22,23(ニ) 申 9:23
ヘブ 3:19

(ヒ) 出 32:10

(コ) 出 32:12
エゼ 20:9(セ) 出 15:13,14
ヨシ 2:10
ヨシ 5:1(カ) 申 4:12
申 5:4(キ) 出 13:21
詩 78:14

バに反逆してはなりません。その土地の民を恐れてはなりません。彼らを征服できます。彼らを保護するものはなくなっており、エホバは私たちと共にいます。彼らを恐れなくてください。

10 しかし民は皆、2人を石打ちにすることについて話した。すると、エホバの栄光がイスラエルの民全てに、会見の天幕の上に現れた。

11 エホバはモーセに言った。「この民はいつまで私に不敬な振る舞いをするのか。私が彼らの間で行った全ての奇跡を見ながら、いつまで私に信仰を持たないのか。12 私は彼らを疫病で打って追い払おう。あなたから彼らより偉大で強い国民が生まれるようにしよう」。

13 しかしモーセはエホバに言った。「そうすると、エジプト人がそれを耳にするでしょう。彼らは、あなたがこの民を自分たちの中から力によって連れ出したことを知っており、14 そのことをこの土地の住民たちに話すでしょう。住民たちは、あなたエホバがこの民のうちにいて、民の目の前に現れたことも聞いています。あなたはエホバであられ、あなたの雲は民の上に立っており、あなたは、昼は雲の柱のうち、夜は火の柱のうちにいて民の前を進んでおられるのです。15 あなたがこの民を一度に死に至らせたなら、あ

14:9 *直訳、「彼らは私たちのパンです」。14:11 *直訳、「しるし」。

なたの^{めいせい}名声を^き聞いていた^{くにぐに}国々の^{ひと}人は
 こう^い言う^いでしょう。16『エホバは、^{あた}与
 え^{ちか}と^ち誓^{たみ}った^つ土地に^{はい}この民を^は連れて入
 る^ろことが^ろでき^ろな^ろかった^ろので、^{こうや}荒野で^{ころ}殺
 した^ののだ』と。17 ^{いま}ですから^い今、エホ
 バよ、^{せんげん}どうか、^{とお}宣言^おなさ^おった^お通り^おにあ^おな
 たの^お大きな^お力を^お発^お揮^おして^おくだ^おさい。^おあ
 なたは^いこう^い言^いわれ^いまし^いた。18『エホ
 バ、^いす^いぐに^い怒^いら^いず、^ゆ揺^ある^あぎ^あない^あ愛に^あ満
 ち、^(イ)あ^いや^いま^いは^いん^い ^{ゆる}ゆる^{かみ}か^みみ^{つみ}つ^{つみ}ち、^{ひと}過^{ひと}ち^{ひと}と^{ひと}違^{ひと}反^{ひと}を^{ひと}許^{ひと}す^{ひと}神。し^{けつ}かし、^{けつ}罪^{けつ}が
 ある^{けつ}人^{けつ}を^{けつ}処^{けつ}罰^{けつ}しない^{けつ}こ^{けつ}とは^{けつ}決^{けつ}して^{けつ}な
 く、^{ちち}父^{あやま}の^{たい}過^{しよ}ち^{ばつ}に^こ対^{まご}する^{まご}処^{まご}罰^{まご}を^{まご}子^{まご}や^{まご}孫^{まご}や^{まご}
^{まご}ひ孫^{およ}に^{およ}及^{かみ}ぶ^{かみ}す^{かみ}神』と。19 ^おあ^おな^おた^おの^お
^お大^おき^おく^おて^お揺^おる^おぎ^おな^おい^お愛に^お従^おつ^おて、^おど^おう^おか
 この^お民^おの^お過^おち^おを^おお^お許^おし^おく^おだ^おさい。^おエ^おジ
 プト^おの^お時^おか^おら^おず^おと^おこの^お民^おを^お許^おして^おこ^おら
 れ^おた^おの^おと^おじ^およ^おう^おに^おで^おす』。

20 エホバは^い言^いった。^お「あ^おな^おた^おの^おこ^おの^お
^お言^お葉^おを^お受^おけ^おて、^お彼^おら^おを^お許^おす。21 ^おそ^おれ
^おで^おも、^お生^おきて^おい^おる^お私^お自^お身^おに^お懸^おけ^おて^お誓^お
^おう^おが、^おエ^おホ^おバ^おの^お栄^お光^おが^お地^お上^お全^お体^おに^お満
 ち^おる。22 ^おと^おは^おい^おえ、^お私^おの^お栄^お光^おと^お、^お私^お
^おが^おエ^おジ^おプ^おト^おと^お荒^お野^おで^お行^おった^お奇^お跡^おと^おを^お
^お見^おな^おが^おら、^おこ^おれ^おま^おで^お10^お回^おも^お私^おを^お試^おし、^お
^お私^おの^お言^おう^おこ^おと^おを^お聞^おか^おな^おか^おつ^おた^お人^おは^お誰^お
 も、23 ^お私^おが^お父^お祖^おた^おち^おに^お誓^おった^お土^お
^お地^おを^お見^おる^おこ^おと^おは^おな^おい。^お私^おに^お不^お敬^おな^お振^お
^おる^お舞^おい^おを^おす^おる^お人^おは^お誰^おも^おそ^おれ^おを^お見^おな^おい。
 24 ^おた^おだ^おし、^お私^おに^お仕^おえ^おる^おカ^おレ^おブ^おは、^お異^お
^おな^おる^お精^お神^おを^お持^おつ^おて^おお^おり、^お心^おか^おら^お私^おの^お後^おに^お
^お従^おつ^おて^おき^おた^おので、^お私^おは、^お彼^おが^お行^おつ^おた^お土^お

14:18 *または、「愛ある親切」。14:22 *直訳、「しるし」。

第14章

(ア) 申9:28
 (イ) 詩103:8
 ミカ7:18
 (ウ) 出34:6,7
 (エ) 出34:9
 詩78:38
 (オ) ヤコ5:16
 (カ) 詩72:19
 ハバ2:14
 (キ) ネヘ9:17
 (ク) 出17:2
 詩95:9
 詩106:14
 ヘブ3:16
 (ケ) 詩81:11
 (コ) 民26:63,64
 民32:11
 申1:35
 詩95:11
 詩106:26
 ヘブ3:18
 ヘブ4:3
 (コ) 民13:30
 民26:65

第2欄

(ア) ヨシ14:9,14
 (イ) 民13:29
 (ウ) 申1:40
 (エ) 出16:28
 民14:11
 (オ) コー10:6,10
 (カ) 民14:2
 民26:64
 民32:11
 申1:35
 (キ) 詩106:26
 コー10:5
 ヘブ3:17
 (ク) 民1:45,46
 ユダ5
 (ケ) 出6:8
 (コ) 民26:65
 民32:11,12
 申1:34-38
 (ケ) 民14:3
 申1:39
 (コ) 詩106:24
 (ウ) 民32:13
 ヨシ14:10
 (エ) 申1:3
 申2:14

ち^ちに^ち必^ちず^ち彼^ちを^ち連れて^ちいく。彼の^ち子^ち孫^ちは
 そ^ちこ^ちを^ち所^ち有^ちす。25 ^ちアマ^ちレ^ちク^ち人^ちと^ちカ
 ナ^ちン^ち人^ちが^ち谷^ちに^ち住^ちん^ちで^ちい^ちる^ちので、^ちあ^ちな^ちた
 た^ちち^ちは^ち明^ち日^ち引^ちき^ち返^ちし、^ち紅^ち海^ちの^ち道^ちを^ち通^ちつ
 て^ち荒^ち野^ちに^ち向^ちか^ちう^ちべ^ちき^ちで^ちあ^ちる』。

26 エホバは^いモー^いセ^いと^いア^いロ^いン^いに^い言^いつ^いた。27 「この^い悪^いい^い民^いは、^いい^いつ^いま^いで^い私^い
 に^い対^いして^い不^い満^いを^い口^いに^い続^いける^いのか。イ
 ス^いラ^いエ^いル^い人^いが^い私^いに^い対^いして^い不^い満^いを^い口^いに
 す^いる^いの^いを^い私^いは^い聞^いい^いて^いい^いる。28 ^い民^いに^い
 言^いい^いな^いさい。『エホバは^い宣^い言^いす^いる。『生^い
 き^いて^いい^いる^い私^い自^い身^いに^い懸^いけ^いて^い誓^いう。私^いは^いあ
 な^いた^いた^いち^いが^い話^いした^いこ^いと^いを^い聞^いい^いて^いお^いり、
 そ^いの^い通^いり^いあ^いな^いた^いた^いち^いに^い行^いう! 29 ^いあ^いな
 た^いた^いち^いは^いこ^いの^い荒^い野^いで^い倒^いれ^いて^い死^い体^いと^いな
 る。20 ^い歳^い以^い上^いの^い登^い録^いさ^いれ^いた^い人^い全^いて、
 私^いに^い対^いして^い不^い満^いを^い口^いに^いした^い人^い全^い員^いで
 ある。30 ^いあ^いな^いた^いた^いち^いは^い私^いが^い住^いま^いわ
 せ^いと^い誓^いった^い土^い地^いに^い入^いる^いこ^いと^いは^いな^いい。
 た^いだ^いし、^いエ^いフ^いネ^いの^い子^いカ^いレ^いブ^いと^いヌ^いン^いの^い子^い
 ヨ^いシュ^いア^いは^い別^いで^いあ^いる。
 31 ^い私^いは、^い連^いれ^い去^いら^いれ^いる^いと^いあ^いな^いた^いた^い
 ち^いが^い言^いつ^いた^い子^い供^いた^いち^いを^いそ^いの^い土^い地^いに^い入^い
 ら^いせ^いる。あ^いな^いた^いた^いち^いが^い拒^い否^いした^い土^い地^い
 を^い子^い供^いた^いち^いが^い知^いる^いよ^いう^いに^いな^いる。32 ^いし
 か^いし、^いあ^いな^いた^いた^いち^いは^いこ^いの^い荒^い野^いで^い倒^いれ^いて^い
 死^い体^いと^いな^いる。33 ^いあ^いな^いた^いた^いち^いの^い息^い子^い
 は^い40^い年^い間^い、^い荒^い野^いで^い羊^い飼^いい^いと^いな^いり、^いあ^いな
 た^いた^いち^いの^い不^い忠^い実^いな^い行^いい^いの^い責^い任^いを^い負^いわ
 な^いけ^いば^いな^いら^いな^いい。あ^いな^いた^いた^いち^いの^い最^い
 後^いの^い1^い人^いが^い荒^い野^いで^い倒^いれ^いて^い死^い体^いと^いな^いる^いま
 で^いあ^いる。34 ^い土^い地^いを^い偵^い察^いす^いる^いの^いに

14:25 *または、「谷あいの平原」。

かけた日数が40日だったので、1年に
対して1日、1年に對して1日として、あ
なたたちは40年、過ちの責任を負う。
私に反抗するとどうなるかを知る。

35 私エホバが語っている。この悪い民全員、私に逆らって集合した人たちに、このことを行う。彼らはこの荒野で終わりを迎え、そこで死ぬ。**36** 土地を偵察させるためにモーセが遣わした人々、戻った時にその土地について悪い報告をして民全体がモーセに對して不満を口にするようにした人たち、**37** すなわち、その土地について悪い報告を持ち帰った人たちは、エホバの前で打たれて死ぬ。**38** しかし、土地を偵察しに行った人たちのうちヌンの子ヨシュアとエフネの子カレブは必ず生き続ける。』』。

39 モーセがこの言葉をイスラエル人全員に話すと、民は深く嘆き悲しむようになった。**40** さらに、民は朝早く起き、山頂に登っていくとして、こう言った。「さあ、用意ができた。エホバが言った場所へ上っていく。私たちは罪を犯したのだ」。**41** しかしモーセは言った。「どうしてエホバの指示に背こうとするのですか。それは成功しません。**42** 上っていくのはなりません。エホバは皆さんと共にいせん。皆さんは敵に打ち破られます」。**43** そこではアマレク人とカナン人が向かってきて、皆さんは剣によって倒

第14章

(例) 民 13:25

(例) 詩 95:10
使徒 7:36
使徒 13:18(例) 民 14:29
ヘブ 3:17

(例) 民 13:32

(例) コー 10:6,10
ユダ 5(例) 民 14:30
民 26:65
民 32:11,12
申 1:35,36
ヨシ 14:6

(例) 申 1:41

(例) レビ 26:14,17
申 1:42

(例) 民 13:29

第2欄

(例) 代二 15:2

(例) 申 1:43

(例) 民 10:33

(例) 民 21:1,3
申 1:44

第15章

(例) 創 15:18

(例) レビ 1:9

(例) レビ 1:2,3

(例) レビ 7:16
レビ 22:18,19
レビ 22:21(例) レビ 23:4
民 28:16
民 29:1
申 16:13,16(例) 出 29:40
レビ 2:1,11(例) 民 28:6,7
民 28:11,14

れます。皆さんがエホバに従うことをやめたので、エホバは共にいてくださらないのです」。

44 ところが、民はあえて山頂に向かった。しかし、エホバの契約の箱とモーセは宿営の中から出ていかなかった。**45** その山に住むアマレク人とカナン人が下ってきてイスラエル人を討ち、ホルマまで追い散らした。

15 エホバはモーセにさらに話した。**2** 「イスラエル人にこう話しなさい。『私が与えて住まわせる土地にやがて入ったなら、**3** 牛や羊の群れの中からエホバへの火による捧げ物を捧げるとき、すなわち、エホバにとって心地よい香りとするために全焼の捧げ物、特別な誓約を果たすための犠牲、自発的な捧げ物、季節ごとの祭りの際の捧げ物を捧げるとき、**4** 捧げ物をする人は、上等の麦粉2.2リットルに油0.9リットルを混ぜた穀物の捧げ物も、エホバに差し出さなければならぬ。**5** また、全焼の捧げ物や犠牲である雄の子羊1匹ごとに、飲み物の捧げ物としてぶどう酒0.9リットルも捧げるべきである。**6** 雄羊の場合には、上等の麦粉4.4リットルに油1.2リットルを混ぜた穀物の捧げ物を捧げるべきである。**7** そして、飲み物の捧げ物としてぶどう酒1.2リットルを差し出す。それはエホバにとって心地よい香りとなる。』

15:3 *または、「安らぎの」。

14:34 *または、「を敵に回す」。

8 全焼の捧げ物、特別な誓約を果たすための犠牲、共食の犠牲として、雄牛をエホバに捧げるのであれば、
9 雄牛と共に、上等の麦粉6.6リットルに油1.8リットルを混ぜた穀物の捧げ物も差し出すべきである。10 また、飲み物の捧げ物としてぶどう酒1.8リットルも差し出す。それは火による捧げ物であり、エホバにとって心地よい香りとなる。11 雄牛、雄羊、雄の子羊、ヤギの1匹ごとに、以上のようにする。12 何匹捧げるとしても、1匹ごとにそうしない。13 生来のイスラエル人は皆、火による捧げ物をこの通りに差し出すべきである。それはエホバにとって心地よい香りとなる。
14 外国人があなたたちと一緒にに住んでいたり代々あなたたちの中にいたりして、その人が、エホバにとって心地よい香りとして、火による捧げ物を捧げるのであれば、あなたたちがする通りにすべきである。15 会衆に属するあなたたちと、あなたたちと一緒にに住む外国人とは、同じ法令を持つ。それはあなたたちが代々ずっと守るべき法令である。外国人居住者はエホバの前であなたたちと同じでなければならない。16 あなたたちにも、一緒にに住む外国人にも、同じ律法と同じ法規が適用されるべきである』。

17 エホバは続けてモーセに言った。18 「イスラエル人にこう告げなさい。『私が連れていく土地に入った

第15章

(例) レビ 1:3

(例) レビ 7:16

(例) レビ 3:1,3
レビ 7:11(例) レビ 6:14
民 28:11,12
民 29:6

(例) 民 28:11,14

(例) 出 12:49
レビ 24:22
民 9:14

(例) レビ 19:34

第2欄

(例) ヨシ 5:11,12

(例) 出 23:19
レビ 2:14
民 18:8,12
申 26:1,2
格 3:9

(例) 民 15:8-10

(例) 民 28:15

(例) レビ 4:20
ヘブ 2:17
ヨエ 2:1,2

なら、19 土地の産物を食べる時に、エホバへの奇進をしない。20 粗びき粉の初物で輪型パンを作って寄進すべきである。脱穀場からの奇進物と同じようにして寄進する。21 粗びき粉の初物の幾らかをエホバへの奇進物として代々供えるべきである。

22 もしあなたたちが間違いをして、エホバがモーセに話したこれら全てのおきてを守らなかった場合、23 すなわち、エホバが命令を出した日から代々にわたるものとしてモーセを通してエホバが命じた全てのことを守らなかった場合、24 民が知らない間に、間違っとなされたことであるなら、民ぜんたい、ぜんしょう、ささ、もの、わか、おうし、全体は全焼の捧げ物として若い雄牛1頭を捧げてエホバにとって心地よい香りとし、決められた手順通りに穀物の捧げ物と飲み物の捧げ物も捧げ、子ヤギ1匹を罪の捧げ物として捧げなければならない。25 祭司はイスラエル人の民全体のために贖罪を行い、民は許される。それは間違っとなされたことであり、民は、その間違いのために捧げ物として、エホバへの火による捧げ物と罪の捧げ物をエホバの前に持ってきたからである。26 イスラエル人の民全体と民の間に住んでいる外国人は許される。民の全てが間違っ

27 もしある人が間違っ

ならない。28 祭司は、意図しない罪^{つみ}によってエホバの前で間違いをした人^{ひと}のために贖罪^{しょくざい}を行う。そのために贖罪^{しょくざい}を行い、その人は許される。29 生^{せい}来のイスラエル人とその間に住んでい^いる外国人には、意図せずにしたことに関^{かん}して、同じ律法が適用されるべきである。

30 しかし、何かを故意に行う人は、生^{せい}来のイスラエル人であれ外国人居住者であれ、エホバを冒瀆している^{ぼうとく}のであり、民の中から除かれなければならない。31 その人はエホバの言葉^{ことば}を軽んじ、おきてを破ったので、必ず除かれるべきである。過ちの責任を負^おう。』

32 イスラエル人は、こうや^{こうや}あいだ^{あいだ}に、安息日に薪を拾い集めている人を見つけた。33 薪を拾い集めている人を見つけた人たちは、その人をモーセとアロンおよび民全体の所に連れてきた。34 その人は拘禁された。その人をどうすべきか、はっきり述べられていなかったからである。

35 エホバはモーセに言った。「その人は必ず死刑にされるべきである。民全体が宿営の外で石打ちにすべきである」。36 民全体がその人を宿営の外に連れていって石打ちにし、その人は死んだ。エホバがモーセに命じた通りである。

37 エホバは続けてモーセにこう

第15章

(例) レビ 4:27,28

(例) レビ 4:32,35

(例) 出 12:49

レビ 24:22

民 9:14

民 15:15

(例) 出 21:14

申 17:12

ヘブ 10:26,27

(例) ヘブ 10:28

(例) エゼ 18:20

(例) 出 20:9,10

出 35:2

申 5:13,14

(例) レビ 24:11,12

(例) 出 31:14

(例) レビ 24:14

第2欄

(例) 申 22:12

マタ 23:5

(例) 申 11:18

(例) 出 34:15

(例) レビ 11:44

ロマ 12:1

ペー 1:15

(例) 創 17:8

出 29:45

レビ 25:38

(例) 出 3:15

出 6:2,3

第16章

(例) 出 6:16

(例) 出 6:18

(例) 出 6:21

(例) ユダ 11

(例) 民 26:7-9

(例) 創 46:8

(例) 民 12:1,2

民 14:2

詩 106:16

(例) 出 19:6

(例) 出 29:45

い^い言った。38 「イスラエル人に話し、代々、自分のために服の裾に飾りをつくように告げなさい。そして裾の飾りの上に青ひもを付けなければならない。39 『この飾りを付けなければならない。それを見てエホバの全てのおきてを思い出し、守るためである。自分の心と目に従ってはならない。それらに従うなら、私に不忠実になる。』

40 この命令によって、あなたたちは思い出すことができ、私の全てのおきてを守って、神にとって聖なる人となる。41 私はあなたたちの神エホバであり、あなたたちの神であることを示すためにあなたたちをエジプトから連れ出した。私はあなたたちの神エホバである。』

16 レビの子コハトの子であるイツハルの子コラが、エリアブの子であるダタンとアビラム、およびレトの子オン、すなわちルベンの子孫と共に立ち上がった。2 その人たちは、イスラエル人男性250人と共にモーセに対して立ち上がった。民の長で、会衆の選ばれた著名な人たちである。3 モーセとアロンに逆らって集結し、こう言った。「あなたたちにはもううんざりだ。民全体、その全員が聖なる人で、エホバはそこにいるのだ。それなのに、どうしてエホバの会衆の上に立とうとするのか。』

15:38 *または、「フリンジ」。15:39 *または、「他の神と売春をすること」。

4 モーセはそれを聞いて、直ちにひれ伏した。5 そして、コラとその支持者たちに言った。「朝になったら、エホバは、誰がご自分のものか、聖なる人か、ご自分に近づくべきかを知らせます。誰でも神が選ぶ人が近づくことになります。6 こうしてください。コラとその支持者の皆さんは、香入れを取り、7 明日、エホバの前でそれに炭火を入れ、香を載せてください。エホバが選ぶ人、それが聖なる人です。レビの子たち、皆さんはすでに度を越えています!」

8 モーセはコラに言った。「レビの子たち、どうか聞いてください。9 イスラエルの神は皆さんをイスラエルの民から取り分けてご自分に近づかせ、エホバの幕屋の奉仕を行い、民の前に立って民に仕えるようにしてくださいました。それは皆さんにとってそんなに小さなことなのですか。10 神はあなたを、レビの子であるあなたの兄弟全員と共に近くに來させてくださったではありませんか。祭司職まで自分のものにしなければならないというのですか。11 ですから、あなたも、集結している支持者たちも、エホバに逆らっているのです。アロンが何者だというので彼に対して不満を口にするのですか。」

12 その後モーセはエリアブの子であるダタンとアビラムを呼びに行かせたが、2人はこう言った。「私たちは行

第16章

(7) テモニ 2:19

(4) 出 28:43
レビ 21:6(4) 出 28:1
民 17:5
詩 105:26

(4) 民 16:2

(4) レビ 10:1

(4) 民 3:10

(4) 民 16:1

(4) 民 3:9,41

(4) 民 1:53
民 3:6
民 4:4
申 10:8

(4) フィリ 2:3

(4) 出 16:8
詩 106:16

(4) 民 16:1

第2欄

(4) 出 16:3
民 14:28,29(4) 出 3:8
レビ 20:24(4) サイ 12:1,3
使徒 20:33
コ二 7:2

(4) 民 16:2

かない! 13 あなたは私たちを非常に肥沃な土地から連れ出して荒野で死なせようとしている、これはそんなに小さなことか。しかも、私たちの上に君臨しようとしているではないか。14 だが、あなたは非常に肥沃な土地に連れていってくれてもいいし、畑やブドウ園を所有地として与えてくれてもいい。この人たちの目をえぐり取ろうというのか。私たちは行かない!」

15 モーセは非常に怒り、エホバに言った。「彼らの穀物の捧げ物には目を向けなくてください。私は彼らからロバ1頭も取り上げたことはなく、彼らのうちの誰かを傷つけたこともありません。」

16 モーセはコラに言った。「あなたと支持者の皆さんは、明日エホバの前に出てください。あなたたちとアロンが出ます。17 各自、自分の香入れを取って、その上に香を置くべきです。そして香入れをエホバの前に差し出します。250個の香入れです。あなたとアロンも、それぞれ香入れを持っていきます。18 彼らは一人一人、自分の香入れを取って炭火を入れ、香を載せて、モーセとアロンと共に会見の天幕の入り口に立った。19 コラが支持者を集めて会見の天幕の入り口で2人に向かわせる

16:13, 14 *直訳、「乳と蜜が流れる地」。16:13 *または、「に対して威張ろう」。

と、エホバの栄光が民全員の前に現れた。

20 エホバはモーセとアロンに告げた。**21** 「この人たちから離れなさい。私は彼らを瞬間に根絶やしにする」。**22** 2人はひれ伏して、言った。「神よ、全ての人に命を与える神よ、1人の人の罪のせいで民全体に対して憤られるのですか」。

23 エホバはモーセに言った。**24** 「民に告げなさい。『コラ、ダタン、アビラムの天幕の周りに離れなさい!』と」。

25 モーセは立ってダタンとアビラムの所に行った。イスラエルの長老たちも一緒に行った。**26** モーセは民に告げた。「どうか、この邪悪な人たちの天幕から離れてください。彼らのものに触れてはなりません。彼らの全ての罪のために皆さんも滅ぼされることのないためです」。**27** 民は直ちにコラ、ダタン、アビラムの天幕から、その辺りから離れた。ダタンとアビラムが出てきて、自分の天幕の入り口に立った。妻、息子、幼い子供も一緒だった。

28 モーセは言った。「これから分かりますが、エホバが私を遣わしてこの全てを行わせているのであり、それは私の心から出ているものではありません。この人たちが全ての人と同じようにして死に、全ての人が受ける

第16章

(例) 民 12:5
民 14:10

(例) 民 3:10,38
民 16:45

(例) ヨブ 12:10
伝 3:19
伝 12:7

(例) 創 18:23

(例) 民 16:1,2

(例) 民 11:16

第2欄

(例) 申 18:21,22

(例) 民 26:10
申 11:6
詩 106:17

(例) 出 6:24
民 26:11
代一 6:31,37

(例) ユダ 11

(例) レビ 10:1,2
民 11:1

(例) 民 16:17
民 26:10
詩 106:18

(例) 民 16:6,7

(例) 出 38:1

のと同じ処罰を受けるのであれば、エホバが私を遣わしたのではありません。**30** しかし、エホバが普通でないことを行い、地面が開いて彼らと彼らの全てのものをのみ込み、彼らが生きたまま墓に下るのであれば、この人たちがエホバに不敬な振る舞いをしたということがはっきり分かります」。

31 モーセがこの全てを話し終える
とすぐ、彼らの足元の地面が裂けた。

32 大地が開いて、彼らと彼らの家の人たち、コラの側に付いた全ての人、全ての物をのみ込んだ。**33** 彼らと彼らの側に付いた全ての人、生きたまま墓に下り、大地が彼らを覆った。こうして彼らは会衆から消え去った。

34 周りにいたイスラエル人は皆、彼らの絶叫を聞いて逃げた。「大地が私たちのみ込むかもしれない」と言った。**35** また、エホバのもとから火が出て、香を捧げていた250人を焼き尽くした。

36 エホバはモーセに言った。**37** 「祭司であるアロンの子エレアザルに、火の中からそれらの香入れを取るよう言いなさい。それらは聖なるものである。そして、炭火を遠くにまき捨てるよう言いなさい。**38** 罪を犯して命を落とした人たちの香入れは、板金にし、祭壇に張るべきである。それはエホバの前に差し出され、聖な

16:30, 33 *ヘブライ語、シエオル。用語集参照。

16:32 *直訳、「口を開いて」。

16:28 *または、「私が勝手にして」。

るものとなったからである。それはイスラエル人に対する警告のしるしとなる」。39 祭司エレアザルは、焼き尽くされた人たちが差し出した銅の香入れを取り、打ち延ばして祭壇に張った。40 エホバがモーセを通して告げた通りである。それは、アロンの子孫でない許可されていない人が近づいてエホバの前で香をたいてはならないこと、誰もコラとその支持者のようになってはならないことを、イスラエル人が思い起こすためだった。

41 その次の日、イスラエル人の民全体がモーセとアロンに対して不満を口に始め、「あなたたちはエホバの民を死なせた」と言った。42 民はモーセとアロンに逆らって集合した。皆が会見の天幕の方を向くと、雲がそれを覆い、エホバの栄光が現れ始めた。

43 モーセとアロンは会見の天幕の前に行った。44 エホバはモーセに言った。45 「民から遠ざかりなさい。私は彼らを瞬間に根絶やしにする」。2人はひれ伏した。46 モーセはアロンに言った。「香入れを取り、祭壇からそれに炭火を入れ、香を載せ、急いで民の所に行き、彼らのために贖罪をしなさい。エホバの憤りが表されたからです。災厄が始まっています」。47 アロンはすぐ、モーセが言った通りに香入れを取り、会衆の中に走って

16:40 *直訳、「よそ者」。

第16章

(例) 民 16:5
民 17:10

(イ) 民 3:10
民 18:7
代二 26:16-18

(例) 詩 106:17
ユダ 11

(イ) 民 14:2

(例) 出 16:7
民 14:10
民 16:19

(例) 民 20:2,6

(イ) 出 23:20,21
コ一 10:6,10

(例) 民 16:21,22

(例) レビ 6:12

(イ) 出 34:9
民 8:19

第2欄

第17章

(例) 民 1:4,16

(イ) 出 34:29

(例) 出 25:22
出 30:36
レビ 16:2

(イ) 民 16:5

(例) 民 11:1
民 14:27
民 16:11
コ一 10:6,10

(例) 民 14:2
民 16:13,41

いった。民の間で災厄が始まっていた。アロンは香を載せ、民のために贖罪を始めた。48 そして死んだ人と生きている人との間に立ち続け、神罰はついにやんだ。49 この神罰で死んだ人は1万4700人で、ほかにコラの件で死んだ人たちがいた。50 神罰がやんだ後、アロンは会見の天幕の入り口にいたモーセの所に戻った。

17 エホバはモーセに言った。2 「イスラエル人に話して、部族ごとに1本のつえを、それぞれの部族の長から取りなさい。全部で12本である。つえにそれぞれの人の名前を記す。3 レビのつえにはアロンの名前を記しなさい。部族ごとに、長のつえは1本なのである。4 それらのつえを、会見の天幕の中の証しの箱の前、私がいつも現れる場所に置きなさい。5 私が選ぶ人のつえから芽が出る。こうして私は、イスラエル人が私に対して、またあなたたちに対して口に行っている不満を静める」。

6 モーセはイスラエル人に話し、長たちは皆、つえを渡した。部族の長それぞれが1本、全部で12本である。アロンのつえもそこにあった。7 モーセはそれらのつえをエホバの前、証しの天幕の中に置いた。

8 次の日、モーセが証しの天幕に入ると、何と、レビの家のアロンのつえが芽を出していた。芽が出て花が咲き、アーモンドの実がなってい

第17章

(4) 申 9:7
申 31:27

(7) 民 16:38

民 18:4.7

(カ) 出 25:8
レビ 21:10-12

(キ) 出 28:38
レビ 22:9
民 18:23

(夕)民 1:53

(ウ) 民 3:6
民 8:22
民 16:9

(二) 民 3:25,26
民 3:30,31
民 3:36,37

(*) 民 4:15, 20
民 16:39, 40

(ア) 民 1:51
民 3:10

(イ) 出 30:7

(ウ) レビ 24:2,3
民 3:32

(工) 民 16:46

(才) 民 3:9,12
民 8:15,16

(力) 民 8:19

(*) レビ 16:2,12
ヘブ 9:3,7

(ク) サ一 2:28
ヘブ 5:4

(ク) 民 3:10
民 16:39 40

(コ) 出 23:19
レビ 27:28, 30
民 18:11, 26

(サ) レビ 7:34
民 5:9

(シ)レピ2:3

(ヌ) レビ 5:11, 12
レビ 6:25, 26

(セ) レビ 7:1-7

会^い見^{けん}の天^{てん}幕^{まく}に關^{かん}する務^{つと}めと天^{てん}幕^{まく}の全^{すべ}
 ての奉^{ほう}仕^しに關^{かん}する務^{つと}めを果^はたす。許^き可^{きゃ}
 されてい^いない人^{ひと}はあな^あなた^なた^たち^ちに近^{ちか}づ^き
 い^いてはな^なら^らない。⁽⁷⁾ 5 あな^あなた^なち^ちは聖^{せい}
 な^なる場^{ばう}所^{じょ}と祭^{さい}壇^{だん}のた^ため^めの務^{つと}めを果^はた^た
 し、イスラ^いエル^{えろ}の民^{たみ}に對^{たい}して、これ^いれ^{じよう}以上^{じょう}
 憤^{いきどお}り⁽⁸⁾が生^いじ^じないよ^{よう}うに^にしな^しな^なけ^けばな^なら^ら
 ない。6 私^わが、あな^あなた^なち^ちの兄^{きょう}弟^{だい}で
 あるレ^れビ^び族^{ぞく}をイスラ^いエル^{えろ}人^{じん}の中^{なか}から
 取^とつて、あな^あなた^なち^ちへ^への贈^{おく}り^{もの}物^{ぶつ}とし^した。⁽⁹⁾
 レ^れビ^び族^{ぞく}は、会^い見^{けん}の天^{てん}幕^{まく}の奉^{ほう}仕^しを^をお^おな^な
 めにエ^あホ^ほバ^ばに与^よえ^えら^られ^れて^てい^いる。⁽¹⁰⁾ 7 あ^あ
 な^なとあ^こな^こなた^この^{さいだん}子^またち^くは、祭^{さい}壇^{だん}と幕^{まく}の
 内^{うち}側^{がわ}の事^{こと}柄^{がら}に關^{かん}する祭^{さい}司^し職^{しやく}の責^{せき}任^{にん}が
 ある。⁽¹¹⁾ あな^あなた^なち^ちがこ^この奉^{ほう}仕^しを^をお^おな^な
 めにエ^あホ^ほバ^ばに与^よえ^えら^られ^れて^てい^いる。⁽¹²⁾ 8 あ^あ
 な^なとあ^こな^こなた^この^{さいしやく}子^またち^くは、祭^{さい}壇^{だん}と幕^{まく}の
 内^{うち}側^{がわ}の事^{こと}柄^{がら}に關^{かん}する祭^{さい}司^し職^{しやく}の責^{せき}任^{にん}が
 ある。⁽¹³⁾ あな^あなた^なち^ちがこ^この奉^{ほう}仕^しを^をお^おな^な
 めにエ^あホ^ほバ^ばに与^よえ^えら^られ^れて^てい^いる。⁽¹⁴⁾ 9 あ^あ
 な^なとあ^こな^こなた^この^{さいしやく}子^またち^くは、祭^{さい}壇^{だん}と幕^{まく}の
 内^{うち}側^{がわ}の事^{こと}柄^{がら}に關^{かん}する祭^{さい}司^し職^{しやく}の責^{せき}任^{にん}が
 ある。⁽¹⁵⁾ あな^あなた^なち^ちがこ^この奉^{ほう}仕^しを^をお^おな^な
 めにエ^あホ^ほバ^ばに与^よえ^えら^られ^れて^てい^いる。⁽¹⁶⁾ 10 あ^あ
 な^なとあ^こな^こなた^この^{さいしやく}子^またち^くは、祭^{さい}壇^{だん}と幕^{まく}の
 内^{うち}側^{がわ}の事^{こと}柄^{がら}に關^{かん}する祭^{さい}司^し職^{しやく}の責^{せき}任^{にん}が
 ある。⁽¹⁷⁾ あな^あなた^なち^ちがこ^この奉^{ほう}仕^しを^をお^おな^な
 めにエ^あホ^ほバ^ばに与^よえ^えら^られ^れて^てい^いる。⁽¹⁸⁾ 11 あ^あ
 な^なとあ^こな^こなた^この^{さいしやく}子^またち^くは、祭^{さい}壇^{だん}と幕^{まく}の
 内^{うち}側^{がわ}の事^{こと}柄^{がら}に關^{かん}する祭^{さい}司^し職^{しやく}の責^{せき}任^{にん}が
 ある。⁽¹⁹⁾ あな^あなた^なち^ちがこ^この奉^{ほう}仕^しを^をお^おな^な
 めにエ^あホ^ほバ^ばに与^よえ^えら^られ^れて^てい^いる。⁽²⁰⁾ 12 あ^あ
 な^なとあ^こな^こなた^この^{さいしやく}子^またち^くは、祭^{さい}壇^{だん}と幕^{まく}の
 内^{うち}側^{がわ}の事^{こと}柄^{がら}に關^{かん}する祭^{さい}司^し職^{しやく}の責^{せき}任^{にん}が
 ある。⁽²¹⁾ あな^あなた^なち^ちがこ^この奉^{ほう}仕^しを^をお^おな^な
 めにエ^あホ^ほバ^ばに与^よえ^えら^られ^れて^てい^いる。⁽²²⁾ 13 あ^あ
 な^なとあ^こな^こなた^この^{さいしやく}子^またち^くは、祭^{さい}壇^{だん}と幕^{まく}の
 内^{うち}側^{がわ}の事^{こと}柄^{がら}に關^{かん}する祭^{さい}司^し職^{しやく}の責^{せき}任^{にん}が
 ある。⁽²³⁾ あな^あなた^なち^ちがこ^この奉^{ほう}仕^しを^をお^おな^な
 めにエ^あホ^ほバ^ばに与^よえ^えら^られ^れて^てい^いる。⁽²⁴⁾ 14 あ^あ
 な^なとあ^こな^こなた^この^{さいしやく}子^またち^くは、祭^{さい}壇^{だん}と幕^{まく}の
 内^{うち}側^{がわ}の事^{こと}柄^{がら}に關^{かん}する祭^{さい}司^し職^{しやく}の責^{せき}任^{にん}が
 ある。⁽²⁵⁾ あな^あなた^なち^ちがこ^この奉^{ほう}仕^しを^をお^おな^な
 めにエ^あホ^ほバ^ばに与^よえ^えら^られ^れて^てい^いる。⁽²⁶⁾ 15 あ^あ
 な^なとあ^こな^こなた^この^{さいしやく}子^またち^くは、祭^{さい}壇^{だん}と幕^{まく}の
 内^{うち}

8 エホバはアロンにさらに話した。
わたし わたし きんぶつ ゆだ
「私は、私への寄進物をあなたに委ね
(こ) (は) きん きん すべ
た。イスラエル人が寄進する全ての聖
いぢ ぶん
なるものの一部分を、あなたとあなた
のこ たち、つづ とぶん とあ
子たちに、ずっと続く取り分として与
(例) ひ ささ もの きわ せい
えた。9 火による捧げ物で極めて聖
いぢ ぶん ぶん
なるものの一部分があなたの分とな
る。民が私のもに持つてくる穀物の
ささ もの(け)つみ ささ もの(け)うざい ささ もの(け)
捧げ物、罪の捧げ物、有罪の捧げ物な
ど、全ての捧げ物である。それはあな
たとあなたの子たちのための極めて
せい きわ
聖なるものである。10 極めて聖な

18:4, 7 *直訳,「よそ者」。アロンの子孫ではない人のこと。

る場所^{ばしょ}でそれ^たを食べ^たるべきである。全^{すべ}ての男性^{だんせい}が食^たべてよい。それはあなた^いにとって聖^{せい}なるものとなる。11 以下の物^{もの}もあなた^{たみ}のものである。民^{じん}が寄進^{きしん}する供え物^{そな}とイスラエル人^{しん}の全ての振^{しん}揺^ぶの捧げ物^{もつ}である。私はそれ^{わたし}を、あなた^{おな}とあなた^{おな}の息子^{むすこ}や娘^{むすめ}に、ずっと続^{つづ}くと分^{ぶん}として与^{あた}えた。あなた^いの家の清^{きよ}い人^{ひと}は皆^{みな}、それ^たを食^たべてよい。

12 最も良^{もつと}い油^よの全^{あふら}て、最も良^{もつと}い新^{あら}しいぶどう酒^{しゅ}と穀物^{こくもつ}の全^{すべ}て、すなわち民^{たみ}がエホバ^{ささ}に捧^{はつ}げる初^{はつ}物^{もつ}は、私^{わたし}はあなた^{あた}に与^{あた}える。13 土地^ちの全^{すべ}ての初^{はつ}物^{もつ}で、民^{たみ}がエホバ^いのもとに持^{もつ}てくる物^{もの}は、あなた^いのものとなる。あなた^いの家の清^{きよ}い人^{ひと}は皆^{みな}、それ^たを食^たべてよい。

14 イスラエル^{かんぜん}で完全^{ささ}に捧^{はつ}げられた全^{すべ}ての物^{もの}は、あなた^いのものとなるべきである。

15 生き物^いの全^{すべ}ての初^{はつ}子^ご、民^{たみ}がエホバ^いに差^さし出^だすものは、人間^{にんげん}も動物^{どうぶつ}も、あなた^いのものとなるべきである。ただし、長男^{ちやうなん}は必ず買^かい戻^{もど}し、汚^{けが}れた動物^{どうぶつ}の初^{はつ}子^ごも買^かい戻^{もど}しなさい。16 生^{せい}後^ご1カ月^{げつ}以後^{いご}、買^かい戻^{もど}しの代価^{だいか}、聖^{せい}なる標準^{ひょうじゆん}重^{おも}りで銀^{ぎん}57グラムという評^{ひやう}価^か額^{がく}で買^かい戻^{もど}すべきである。標準^{ひょうじゆん}重^{おも}りは11.4グラムである。17 ただし、雄牛^{おうれう}の初^{はつ}子^ご、雄羊^{おひつじ}の初^{はつ}子^ご、ヤギ^{やぎ}の初^{はつ}子^ごは買^か

18:14 *つまり、取り消しも買^かい戻^{もど}しできない物^{もの}として神^{かみ}に捧^{はつ}げられて、神^{かみ}にとって神聖^{しんせい}なものとした全^{すべ}ての物^{もの}。18:16 *または、「聖^{せい}なる場所^{ばしょ}の標準^{ひょうじゆん}重^{おも}り」。

第18章

(ア) 出 29:32
レビ 6:14,16
レビ 10:12,13
(イ) レビ 6:18
レビ 7:1,6
レビ 14:13
レビ 21:22
(ウ) 民 15:20
エゼ 44:30
(エ) 出 29:27
レビ 7:34
(オ) レビ 10:14
申 18:3
(カ) レビ 22:4-6

(キ) 格 3:9
(ク) レビ 2:14
申 18:4
(ケ) 出 23:19
(コ) レビ 27:21,28
(ク) 出 13:2
レビ 27:26
民 3:13
(カ) 出 13:13
(ク) 出 34:20
レビ 27:27
(セ) レビ 27:6

第2欄

(ア) 出 22:30
申 15:19
(イ) レビ 17:11
(ウ) レビ 3:16
(エ) 出 29:26
レビ 7:31,34
(オ) 出 23:19
民 15:18,19
民 18:11,26
民 31:28,29
(カ) 代 31:4
(キ) 民 26:62,63
申 10:9
申 14:27
ヨシ 14:3
(ク) 申 18:1,2
ヨシ 18:7
エゼ 44:28
(ケ) レビ 27:30
ネヘ 10:37
ネヘ 12:44
ヘブ 7:5
(コ) 民 3:6,7
民 18:1
(カ) ヨシ 13:33

い戻^{もど}してはならない。それは聖^{せい}なるものである。その血^ちは祭壇^{さいだん}に振^ふり掛^かけ、脂肪^{しぼう}は火^ひによる捧^{ささ}げ物^{もの}として焼^やいて煙^{けり}にすべきである。それはエホバ^いにとって心^こ地^ちよい香^かりとなる。18 その肉^{にく}はあなた^{しん}のものとしさる。振^{しん}揺^{よう}の捧^{ささ}げ物^{もの}の胸^{むね}や右^{みぎ}の後^{うし}ろ脚^{あし}と同じようにである。19 私は、イスラエル人^{しん}がエホバ^いに寄進^{きしん}する全^{すべ}ての聖^{せい}なる寄進^{きしん}物^{ぶつ}を、ずっと続^{つづ}くと分^{ぶん}として、あなた^いとあなた^いの息子^{むすこ}や娘^{むすめ}に与^{あた}えた。これはあなた^{おな}とあなた^{おな}の子孫^{しそん}のための、エホバ^いの前^{まえ}でずっと続^{つづ}く塩^{しお}の契^{けい}約^{やく}である」。

20 エホバ^いは続^{つづ}けてアロン^{あいら}に言^いった。「あなた^いはイスラエル^いで、相^{そう}続^{ぞく}させる土地^{とち}を持^もたない。イスラエル^いの土地^{とち}にあなた^いの分^{ぶん}はない。イスラエル人^{しん}の間^{あいだ}で、私^{わたし}があなた^{わたし}の分^{ぶん}であり、私^{わたし}があなた^{わたし}を養^{やしな}う」。

21 さあ、私^{わたし}はレビ^この子^こたち^{かれ}に、彼^{おこな}らが行^{おこな}っている奉^{ほう}仕^し、会^{かい}見^{けん}の天幕^{てんまく}の奉^{ほう}仕^しに對^{たい}して、イスラエル^いで生^{せい}み出^だされる物^{もの}の10分^{ぶん}の1^いを全^{すべ}て財^{ざい}産^{さん}として与^{あた}えよう。22 今後^{こんご}、イスラエル^いの民^{たみ}は会^{かい}見^{けん}の天幕^{てんまく}に近^{ちか}づいてはならない。そうしないと、罪^{つみ}を負^おうて死^しぬ。23 レビ^い族^{ぞく}が会^{かい}見^{けん}の天幕^{てんまく}の奉^{ほう}仕^しを行^{おこな}い、民^{たみ}の過^{あやま}ち^{せき}の責^{せき}任^{にん}を負^おう。レビ^い族^{ぞく}はイスラエル人^{しん}の間^{あいだ}で土地^{とち}を所^し有^{いう}しないというの^いが、代^だ々^{だいい}ずっと守^{まも}るべき法^{ほう}令^{れい}となる。

24 私はレビ^い族^{ぞく}に、イスラエル^いの民^{たみ}がエホバ^いに寄進^{きしん}する10分^{ぶん}の1^いを財^{ざい}産^{さん}と

18:19 *つまり、永続^{えいぞく}する不^ふ変^{へん}の契^{けい}約^{やく}。

して与えた。それで、『イスラエル人の間で、レビ族は土地を所有しない』と言ったのである。

25 エホバはモーセに言った。

26 「レビ族にこう告げなさい。『あなたたちはイスラエル人から、私があなたたちに財産として与えた10分の1を受け取る。あなたたちは、その中から10分の1をエホバへの寄進物として寄進すべきである。27 それはあなたたちの寄進物と見なされ、あなたたちが脱穀した穀物、ブドウや油の搾り場で作った物として扱われる。28 こうして、あなたたちも、イスラエル人から受け取る全ての10分の1の中からエホバへの寄進物を差し出す。エホバへの寄進物を祭司アロンに与えるのである。29 あなたたちへの全ての贈り物のうち最も良いものの中から、エホバへのあらゆる寄進物を捧げる。それは聖なるものである。』

30 レビ族にこう言わなければならない。『あなたたちが贈り物のうち最も良い物を寄進したなら、後はあなたたちのものであり、レビ族が脱穀した物、ブドウや油の搾り場で作った物と見なされる。31 あなたたちと家の人たちは、どこでもそれを食べてよい。それは、会見の天幕での奉仕に對して与えられる報酬だからである。32 贈り物の中から最も良い物を寄進する限り、罪を負うことはない。イスラエル人の聖なるものを汚しては

第18章

〔例〕申 10:9

〔例〕民 18:21
申 12:19

〔例〕ネヘ 10:38

〔例〕民 15:20

〔例〕民 18:8,12

〔例〕コ— 9:13

第2欄

〔例〕レビ 22:2,15

第19章

〔例〕レビ 22:20
マラ 1:14

〔例〕ヘブ 9:13,14

〔例〕レビ 4:11,12

〔例〕詩 51:7

〔例〕ヘブ 9:13,14

〔例〕民 19:13,21

ならない。そうしないと死ぬことになる。』

19 エホバはさらにモーセとアロンに言った。2 「これはエホバが命じた律法による法令である。『イスラエル人に告げて、傷のない赤い雌牛、欠陥がなく、くびきを負ったことがないものを連れてこさせなさい。

3 それを祭司エリエザルに与える。エリエザルはそれを宿営の外に連れていき、それは彼の前でほふられる。

4 祭司エリエザルはその血を指で取り、会見の天幕の正面に向けて真つぐ7回はね飛ばす。5 雌牛は彼の目の前で焼かれる。皮と肉と血がふんと共に焼かれる。6 祭司は杉の枝とヒソブと緋色の布を取り、雌牛を焼いている火に投げ込む。7 祭司は服を洗い、水を浴びる。その後、宿営に入ってよい。しかし、夕方まで汚れた人となる。

8 雌牛を焼いた人も服を洗い、水を浴びる。夕方まで汚れた人となる。

9 清い人が雌牛の灰を集め、宿営の外の清い場所に置く。イスラエル人の会衆は、清めに使う水のためにそれを保管すべきである。この雌牛は罪の捧げ物である。10 雌牛の灰を集めた人は服を洗う。夕方まで汚れた人となる。

イスラエル人とその間に住んでいる

19:2 *用語集参照。19:3 *または、「殺される」。

がいこくじんは、以下の法令をずっと守るべきである。11 死んだ人に触れた人は、7日間、汚れた人となる。12 その人は3日目に清めの水で自分を清めるべきであり、7日目に清くなる。しかし、3日目に自分を清めないなら、7日目に清くはならない。13 死んだ人の体に触れたのに自分を清めない人は皆、エホバの幕屋を汚しているのであり、その人はイスラエルの中から除かれなければならない。清めの水が振り掛けられていないので、その人は汚れたままである。依然として汚れている。

14 人が天幕の中で死んだ場合は、次の律法が適用される。その天幕に入る人やその中にいた人は皆、7日間、汚れた人となる。15 ふたが閉まっていないくちが開いていた器は全て、汚れている。16 野原で、剣で殺された人、死体、人の骨、墓に触れた人は皆、7日間、汚れた人となる。17 汚れた人のために、罪の捧げ物を焼いてできた灰をいくらか取って器に入れ、きれいな水を注ぐべきである。18 清い人がヒソプを取ってその水に浸し、その天幕と全ての器とそこにいた人たちに、また骨、殺された人、死体、墓に触れた人にはね掛ける。19 清い人は3日目と7日目に、汚れた人に水をはね掛け、7日目にその人を罪から清める。その人は服を洗い、水を浴びる。そして夕方に清くなる。

第19章

(7) 出 12:49
レビ 24:22
民 15:15

(7) レビ 21:1,11

民 5:2
民 6:9
民 9:6
民 31:19

(7) レビ 15:31

(7) レビ 22:3
ヘブ 10:28

(7) 民 19:9

(7) レビ 11:31,32

(7) 民 19:11
民 31:19

(7) 民 19:9

(7) 詩 51:7

(7) レビ 14:9
民 19:12
民 31:19

第20章

(7) 民 19:13

(7) 民 19:18
ヘブ 9:10,10
ヘブ 9:13,14

(7) レビ 15:4,5

第20章

(7) 民 13:26
民 20:22
民 33:36
申 2:14

(7) 出 15:20
民 26:59
ミカ 6:4

(7) 出 17:1

(7) 出 17:2

(7) 出 14:11
出 17:3
民 16:13,14
民 21:5

(7) 申 8:14,15

(7) 申 8:7,8

(7) 出 16:10
民 14:10

20 しかし、汚れているのに自分を清めない人は、会衆の中から除かれなければならない。エホバの聖なる所を汚したからである。清めの水が振り掛けられなかったので、その人は汚れている。

21 この法令をずっと守るべきである。清めの水をはね掛ける人も服を洗うべきであり、清めの水に触れた人は夕方まで汚れた人となる。22 汚れた人が触れた物は全て汚れたものとなり、それに触れた人も夕方まで汚れた人となる。』

20 イスラエル人の民全体は、第1の月にチンの荒野に入り、民はカデシュにとどまることになった。ミリアムはそこで死に、葬られた。

2 そこには民のための水がなく、民はモーセとアロンに逆らって集合した。3 民はモーセに不平を言った。「兄弟たちがエホバの前で死んだ時に、私たちも死んでいればよかった。4 どうしてエホバの会衆をこの荒野に連れてきて、私たちと家畜をここで死なせるのか。5 どうして私たちをエジプトから連れ出して、こんなひどい場所に連れてきたのか。ここでは種をまけず、イチジクやブドウやザクロも育たない。飲む水もない」。6 モーセとアロンは会衆の前から離れ、会見の天幕の入り口に来てひれ伏した。するとエホバの栄光が現れ始めた。

7 エホバはモーセに言った。8 「つ

えを取って民を呼び集め、あなたと兄のアロンが民の目の前で大岩に話して、水を出させなさい。あなたは民のために大岩から水を出し、民と家畜に飲ませる。

9 モーセは命じられた通りにエホバの前からつえを取った。10 モーセとアロンは会衆を大岩の前に呼び集め、モーセが民に言った。「さあ聞きなさい、反逆者たち！ この大岩から私たちがあなたたちのために水を出さないといけなのですか」。11 モーセは手を上げ、つえで大岩を2度打った。すると、たくさんの水が出てきて、民と家畜は飲みだした。

12 その後エホバはモーセとアロンに言った。「あなたたちは、私に信仰を示さず、イスラエルの民の目の前で私を神聖なものとしなかったの、私が与える土地にこの会衆を連れて入ることはない」。13 これがメリバの水である。イスラエル人がそこでエホバに不平を言い、神は彼らの間で自分を神聖なものとした。

14 モーセはカデシュからエドムの王に使者を遣わして、こう言わせた。「あなたの兄弟イスラエルはこのように申しております。『あなたは、私たちが経験したさまざまな困難をよくご存じです。15 父祖たちがエジプトに行き、私たちは長年エジプトに住んで

第20章

〔出〕 17:5,6
詩 78:15
詩 105:41
詩 114:8
イザ 48:21

〔イ〕 出 7:12,19
民 17:10

〔イ〕 詩 106:32,33

〔出〕 コー 10:1,4

〔民〕 民 27:12-14
申 1:37
申 3:26
申 32:51,52
申 34:4
ヨシ 1:2

〔民〕 詩 106:32,33

〔民〕 裁 11:17

〔イ〕 創 36:8
申 2:4
申 23:7

〔イ〕 創 46:6

第2欄

〔イ〕 創 15:13
出 12:40

〔イ〕 出 1:11,14

〔イ〕 出 2:23
出 3:7

〔出〕 出 14:19
出 23:20
出 33:2

〔民〕 民 21:21,22
申 2:26,27

〔民〕 申 2:5,6

〔民〕 申 2:26,28

〔イ〕 裁 11:17

〔イ〕 申 2:8
裁 11:18

〔民〕 民 21:4
民 33:37

〔民〕 民 33:38
申 32:50

いました。エジプト人は私たちと父祖たちを虐待しました。16 それで私たちがエホバに向かって叫ぶと、神はそれを聞いて天使を送り、私たちをエジプトから連れ出してくださいました。私たちは今、あなたの領土の境界の町カデシュにきています。17 どうかあなたの土地を通してください。私たちは畑やブドウ園は通らず、井戸の水も飲みません。王の道路を進み、右にも左にも曲がらずに領土を通り抜けます』。

18 ところがエドムの王は言った。「われわれの領土を通してはならない。通ろうとしたら、剣を持って出迎える」。

19 イスラエル人は言った。「私たちは街道を進みます。もし私たちが家畜があなたの水を飲んだら、代金をお支払いします。歩いて通り抜けたいだけなのです」。20 それでも王は、「通ってはならない」と言った。そして、イスラエル人と戦うために強力な大軍を率いて出てきた。21 このようにエドムの王は、イスラエルが領土を通るのを許さなかった。それでイスラエルはそこを離れた。

22 イスラエルの民全体は、カデシュを出発してホル山にきた。23 エホバは、エドム地方の境界に近いホル山で、モーセとアロンに言った。

24 「アロンは死んで先祖たちと共に横たわる。私がイスラエル人に与える土地には入らない。あなたたちはメリ

20:13 *意味、「言い争い」。#または、「と言い争い」。

バの水^{みづ}に関して私の指示^{わたし し じ}に背^{そむ}いたからである。25 アロンとその子エレアザル^{さん}を連れて、ホル山^{さん}に登^{のぼ}りなさい。26 アロンの服^{ふく}を脱^ぬがせて、その子エレアザル^{えりあざる}に着^きせなさい。アロンはそこで死^しぬ。

27 モーセはエホバに命^{めい}じられた通り^{とお}にし、3人^{にん}は民全員の目^めの前^{まえ}でホル山^{さん}に登^{のぼ}っていった。28 モーセはアロンの服^{ふく}を脱^ぬがせて、その子エレアザル^{えりあざる}に着^きせた。その後アロンは山頂^{さんちよう}で死^しに、モーセとエレアザル^{えりあざる}は山^{やま}を下^{くだ}りた。29 民全員の死^しんだことを知り、イスラエルの民全体^{たみぜんたい}はアロンのために30日間泣^ないた。

21 カナン人^{じん}でネゲブ^すに住むアラド^{あらう}の王^{おう}は、イスラエルの王^{おう}がアタリム^{あたりむ}を通してやって来たことを聞き、イスラエルを攻撃^{こうげき}して、何人^{なんにん}かを捕虜^{ほりよ}として連れ去^さった。2 イスラエルはエホバに誓約^{せいやく}をしてこう言った。「この民^{たみ}を私の手^{わたし}に渡^{わた}してください。なら、必ず彼ら^{かなら}の町^{まち}を滅^{ほろ}ぼし尽くします」。3 エホバはイスラエルの声^{こえ}に耳^{みみ}を傾^{かたむ}け、そのカナン人^{さん}たちを渡^{わた}した。イスラエルは彼らと彼ら^{かれ}の町^{まち}を滅^{ほろ}ぼし尽くした。それで、その場所^{ばしょ}はホルマ^{ほるま}と名^なづけられた。

4 民はホル山^{さん}からの旅^{たび}を続け、エドム^{えどむ}地方^{ちほう}を通^{とお}り抜^ぬけずに紅海^{こうかい}の道^{みち}を進^{すす}み、旅^{たび}のために疲^{つか}れ果^はてた。5 民は神^{かみ}とモーセ^{なん}を何度^{なんど}も非難^{ひなん}し、こう

21:3 *意味、「滅ぼし尽くすこと」。

第20章

(例) 民 20:12
申 32:51,52

(イ) 出 28:2
出 29:29

(例) 出 6:23
民 4:16

(ロ) 民 33:39
申 10:6
申 32:50

(例) 申 34:8

第21章

(例) 民 33:40
ヨシ 12:7,14

(例) 民 14:45

(例) 民 33:41

(例) 民 20:21
申 2:8
裁 11:18

(ロ) 出 14:11
出 15:24
民 16:13

第2欄

(例) 民 20:5

(イ) 出 16:15
民 11:6
詩 78:24,25

(例) コー 10:6,9

(ロ) 詩 78:34

(例) 出 32:11

(例) 王二 18:1,4

(例) ヨハ 3:14,15

(例) ヨハ 6:40

(例) 民 33:43

(ロ) 民 33:44

(例) 申 2:13

(ロ) 民 22:36
裁 11:18

い言った。「どうして私^{わたし}たちをエジプト^いから連れ出^だして荒野^{こうや}で死^しなせるのか。食べ物^{たべもの}も水^{みづ}もない。私たちはこの貧弱^{ひんじやく}なパン^{パン}にうんざり^{うんざり}した」。6 エホバは民^{たみ}の中に毒蛇^{どくへび}を送^{おく}り、蛇^{へび}が民^{たみ}を次々^{つぎつぎ}に殺^{ころ}した。多くのイスラエル人^{いすらいへるじん}が死^しんだ。

7 民^{たみ}はモーセ^{モーせ}の所^{ところ}に来て、い^いった。「私^{わたし}たちはエホバ^{えい}とあなた^{なん}を非難^{ひなん}して、罪^{つみ}を犯^{おか}しました。蛇^{へび}を取り除^{のぞ}いてくださ^{くだ}さよう、エホバ^{えい}に祈^{いの}ってください」。モーセ^{モーせ}は民^{たみ}のために祈^{いの}った。8 エホバはモーセ^{モーせ}に言^いった。「毒蛇^{どくへび}の複製^{ふくせい}を作り、さおに取り付^{つく}けなさい。かま^{かま}れた人^{ひと}は、それを見て生き続^{つづ}けるように」。9 モーセはすぐ^{すぐ}に銅^{どう}の蛇^{へび}を作^{つく}り、さおに取り付^{つく}けた。蛇^{へび}にかまれ^{かまれ}ても銅^{どう}の蛇^{へび}を見るなら、その人^{ひと}は生き延^{のび}びた。

10 その後^ご、イスラエル人^{いすらいへるじん}は出^{しゅつぱつ}発^{はつ}し、オボト^{おぼと}に宿^{しゅくえい}営^{えい}した。11 それからオボト^{おぼと}を出^{しゅつぱつ}発^{はつ}し、イエ・アバリム^{いゑ・あばりむ}、すなわちモアブ^{もあぶ}に面^{めん}する東方^{とうほう}の荒野^{こうや}に宿^{しゅくえい}営^{えい}した。12 そこを出^{しゅつぱつ}発^{はつ}し、ゼレド^{ぜれど}の谷^{たに}のそば^{そば}に宿^{しゅくえい}営^{えい}した。13 そこを出^{しゅくえい}発^{はつ}し、アルノン^{あるのん}の地域^{ちいき}に宿^{しゅくえい}営^{えい}した。それはアモリ人^{あもりじん}の国境^{こくきよう}から広^{ひろ}がる荒野^{こうや}にある。アルノン^{あるのん}の谷^{たに}はモアブ^{もあぶ}の境界^{きようかい}であり、モアブ^{もあぶ}とアモリ人^{あもりじん}との間^{あいだ}にある。14 そのため、「エホバ^{えい}の戦^{たたか}いの書^{しょ}」でこう言^いわれている。「スファ^{すふあ}のワヘブ^{わへぶ}

21:5 *または、「を憎悪するようになった」。21:6, 8 *または、「燃える蛇」。21:12 *または、「ワジ」。

とアルノンの谷^{たに*}、15 その谷^{たに*}の流れ^{なが}。それはアルという場所^{ばしょ}に向かい、モアブ^むの国境^{こくけい}に接する^{つぎ}。

16 次にベエルに進んだ^{すす}。これは、エホバがモーセに「民を集めなさい^{あつ}。私は彼らに水を与える^{みづ あた}」と言った井戸^{いど}である。

17 その時イスラエルはこの歌^{うた}を歌った^{うた}。

「井戸^{いど}よ、湧き上^わがれ! (応えよ!)

18 高位の人^{こうい ひと}たちが掘り^ほ、高貴な人^{こうき ひと}たちが掘り下げた井戸^{いど}。

司令官^{しらいかん}のつえと自分たちのつえ^{いど}で。

次に荒野^{こうや}からマタナ^いに行った^{つぎ}。

19 そしてマタナからナハリエルに、ナハリエルからバモトに、20 バモトからモアブ^{りょうど*}の領土^{たに}にある谷^や、ピスガ^{ちよう}の頂上^{じよう}に行った^い。そこからはエシモン^みを見下ろせる^お。

21 イスラエルは、アモリ人^{じん}の王^{おう}シホン^{ししや}に使者^{ししや}を送^{おく}って、こう言^いった^い。

22 「あなたの土地^{とち}を通^{とお}らせてください^い。私たちは道^{みち}からそれで畑^{はたけ}やブドウ園^{いど}に入^{はい}ったりはしません。井戸^{いど}の水^{みづ}も飲みません。王^{おう}の道路^{どうろ}を進^{すす}んで領土^{りょうど}を通^{とお}り抜^ぬけます^い」。23 ところが、シホンはイスラエルが領土^{りょうど}を通^{とお}るのを許^{ゆる}さなかった。かえって兵士^{へいし}全^してを集^{あつ}め、

21:14, 15 *または、「ワジ」。21:17 *または、「歌え」。21:20 *直訳、「野原」。*もしかすると、「砂漠」、「荒野」。

第21章
(例) ヨシ 13:15,17

(例) 民 33:49

(例) 申 3:27
申 34:1

(例) 民 23:28

(例) 申 2:26-28

(例) 民 20:14,17

第2編

(例) 申 2:30-35
申 29:7
裁 11:19,20

(例) 詩 135:10,11

(例) 民 21:13
申 3:16

(例) 裁 11:21,22

(例) 民 32:33
ネヘ 9:22

(例) 民 32:1
代一 6:77,81

(例) ヨシ 12:1,2

(例) 創 10:15,16
創 15:16
出 3:8
申 7:1

(例) 裁 11:23,24
王一 11:7
王二 23:13

こうや荒野^{こうや}にいるイスラエル^{いすらえ}に向^むかって出^でてきた。そしてヤハツ^{はつ}に来て、イスラエル^{いすらえ}と戦^{いくさ}い始^{はじ}めた。24 しかし、イスラエルはシホン^{しほん}を剣^さで討^うった。彼の土地^{かれのち}をアルノンの谷^{たに}からヤボク^{やぼく}の谷^{たに}まで、アンモン^{あんもん}人の近^きくまでを手^てに入^いれたが、ヤゼル^{やぜ}は越^こえなかった。そこがアンモン^{あんもん}人の領土^{りょうど}の境界^{きょうがい}だからである。

25 イスラエルはそれらの町^{まち}全^してをと取^とった。そして、アモリ人^{あもりじん}の全^しての町^{まち}、ヘシュボン^{しゅへん}と周辺^{すべ}の全^しての町^{まち}に住むようになった。26 ヘシュボンはアモリ人^{あもりじん}の王^{おう}シホン^{しほん}の都市^{とし}だった。シホンは以前^{いぜん}にモアブ^{おう}の王^{たか}と戦^{いくさ}って、アルノンの谷^{たに}まで彼の全^しての土地^{すべ}を取^とったのである。27 そのため、次のよう^{つぎ}なあざけりの格言^{かくげん}がある。

「ヘシュボン^{しゅへん}に來^こい。

シホンの都市^{とし}は築^{きず}かれ、しっかり据^すえられよ。

28 火^ひがヘシュボン^{しゅへん}から、炎^{ほのお}がシホンの町^{まち}から出^でたからだ。

それはモアブ^{たに}のアル^{たか}を、アルノンの谷^{たに}の高^{たか}い所^{ところ}の領主^{りょうしゅ}たちを焼^やき尽^つくした。

29 おまえには災^{わざわ}いがある、モアブ^い! おまえは滅^{ほろ}ぼされる、ケモシュ^{けもしゅ}の民^{たみ}!

ケモシュ^{むすこ}は息子^{なんみん}たちを難民^{むすめ}に、娘たち^{むすめ}をアモリ人^{あもりじん}の王^{おう}シホンの捕虜^{ほりよ}にする。

21:25 *または、「それに依存する」。

30 彼らを討とう。

ヘシュボン^(ア)はディボン^(ア)まで滅

びる。

ノファハ^(ア)まで荒廃^(ア)させよう。

火^(ア)はメデバ^(ア)まで広がる^(ア)。

31 イスラエル^(ア)はアモリ人^(ア)の土地^(ア)に住むようになった。32 モーセ^(ア)はヤ

ゼル^(ア)を偵察^(ア)させた。イスラエル人^(ア)はヤゼル^(ア)周辺の町^(ア)を攻め取り、そこにいたアモリ人^(ア)を追い払った。33 そ

の後^(ア)、向きを変えてバシヤン^(ア)の道^(ア)を上^(ア)っていった。バシヤン^(ア)の王オグ^(ア)は兵士^(ア)全^(ア)てと共に出てきて、エドレイ^(ア)で迎え

撃^(ア)とうとした。34 エホバ^(ア)はモーセ^(ア)に言った。「彼^(ア)を恐^(ア)れてはならない。私は彼^(ア)と兵士^(ア)全^(ア)てと彼の土地^(ア)をあなた^(ア)の手に渡^(ア)す。あなたは、ヘシュボン^(ア)に住^(ア)んでいたアモリ人^(ア)の王シホン^(ア)にし

たように、彼^(ア)にもしなければならぬ^(ア)」。35 イスラエル人^(ア)はオグ^(ア)とその子^(ア)たちと兵士^(ア)を一人残^(ア)らず討^(ア)っていった。こうして彼の土地^(ア)を手に入れた^(ア)。

22 イスラエル人^(ア)は出発^(ア)し、モアブ^(ア)の砂漠^(ア)平原^(ア)に宿営^(ア)した。

そこはヨルダン^(ア)川^(ア)を挟^(ア)んでエリコ^(ア)の対岸^(ア)である。2 チッポルの子^(ア)バラク^(ア)は、イスラエル^(ア)がアモリ人^(ア)に行った全

ての^(ア)ことを知^(ア)った。3 モアブ人^(ア)はイスラエル人^(ア)を非常^(ア)に恐^(ア)れるようになった。数^(ア)が多^(ア)かったからである。モ

アブ人^(ア)は恐怖^(ア)と嫌悪^(ア)を感じ^(ア)るのだった。4 モアブ人^(ア)はミディアン^(ア)の長老^(ア)たちに言^(ア)った。「今^(ア)にこの群衆^(ア)は、牛

第21章

(ア) ヨシ 13:15,17

(イ) ヨシ 13:8,9

(ア) 民 32:1

(ロ) 申 3:11
申 4:47
ヨシ 13:8,12

(ロ) 申 3:1
申 3:8,10

(ア) 申 20:3

(ロ) 出 23:27
申 7:24

(ア) 申 3:2
詩 135:10,11

(ア) 申 3:3

(ロ) ヨシ 12:4-6

第22章

(ア) 民 33:48

(ロ) ヨシ 24:9
裁 11:25

(ロ) 出 15:15
申 2:25

(ロ) 民 31:7,8
ヨシ 13:15,21

第2欄

(ア) 申 23:3,4
ヨシ 13:22
ペニ 2:15

(イ) 創 13:14,16

(ア) 民 23:7
ヨシ 24:9
ネヘ 13:1,2

(ロ) ペニ 2:15
ユダ 11

(ア) 民 22:20

が野原^(ア)の草^(ア)を食^(ア)い尽^(ア)くすようにして私^(ア)たちの周囲^(ア)のものを全^(ア)て食^(ア)い尽^(ア)くしてしま^(ア)うだろう^(ア)。

チッポルの子^(ア)バラク^(ア)はその時^(ア)モアブ^(ア)の王^(ア)だった。5 バラク^(ア)はペトル^(ア)に^(ア)いるベオル^(ア)の子^(ア)バラム^(ア)に使者^(ア)を送^(ア)った。そこは彼^(ア)が生^(ア)まれた土地^(ア)を流^(ア)れる川^(ア)の近^(ア)くだった。バラク^(ア)はバラム^(ア)を呼^(ア)んで、こう言^(ア)った。「見^(ア)てください、あ

る民^(ア)がエジプト^(ア)から出^(ア)てきました。見^(ア)てください、彼^(ア)らは地上^(ア)を覆^(ア)ってしま^(ア)い、私の真^(ア)ん前^(ア)に住^(ア)んでいます。6 ど^(ア)うか来^(ア)て、私のた^(ア)めにこの民^(ア)に災^(ア)いがあ^(ア)るよう願^(ア)い求^(ア)めてください。彼^(ア)らは私^(ア)より強^(ア)大^(ア)なです。もしかしたら、私^(ア)は彼^(ア)らを打^(ア)ち破^(ア)ってこの土地^(ア)から追^(ア)い払^(ア)えるかもしれませ^(ア)ん。私^(ア)は次のこ^(ア)をよ^(ア)く知^(ア)っているからです。あなた^(ア)が、ある人^(ア)への祝^(ア)福^(ア)を願^(ア)うとその人^(ア)は祝^(ア)福^(ア)を受け、災^(ア)いを願^(ア)うとその人^(ア)は災^(ア)いを受け^(ア)るのです^(ア)。

7 モアブ^(ア)の長老^(ア)たちとミディアン^(ア)の長老^(ア)たちは占^(ア)いの謝^(ア)礼^(ア)を携^(ア)えて旅^(ア)をし、バラム^(ア)のもとに行^(ア)って、バラク^(ア)の言^(ア)葉^(ア)を伝^(ア)えた。8 バラム^(ア)はその人^(ア)たち^(ア)に言^(ア)った。「今^(ア)夜^(ア)はここ^(ア)に泊^(ア)まってくだ^(ア)さい。エホバ^(ア)が私^(ア)に告^(ア)げる言^(ア)葉^(ア)を伝^(ア)えに戻^(ア)ってきま^(ア)す。モアブ^(ア)の高^(ア)官^(ア)たち^(ア)はバラム^(ア)の所^(ア)にとどま^(ア)った。

9 神^(ア)はバラム^(ア)の所^(ア)に來^(ア)て、言^(ア)った。「あなた^(ア)の所^(ア)に^(ア)いるこの人^(ア)たちは誰^(ア)か」。10 バラム^(ア)は真^(ア)の神^(ア)に言^(ア)った。

22:5 * ユーフラテス川と考えられる。

「モアブの王でチッポルの子であるバ
ラクが使者を遣わし、こう言ってきま
した。11『見てください、エジプトか
ら出てきている民が地上を覆っていま
す。来て、私のために彼らに災いがあ
るようお願い求めてください。もしかし
たら私は彼らと戦って追い払えるかも
しれません』。12 神はバラムに
言った。「その人たちと一緒に行って
はいけない。あの民への災いを願っ
てはいけない。彼らは祝福されている
からだ」。

13 バラムは朝起きて、バラクに仕
える高官たちに言った。「国に戻ってく
ださい。エホバは、私があなた方とい
っ
緒に行くことを許しませんでした」。
14 モアブの高官たちは去っていき、
バラクのもとに戻って、「バラムは一緒
に来ることを断りました」と言った。

15 バラクは再び高官たちを遣わ
した。前より大人数で、さらに位の高
い人たちである。16 その人たちが
バラムの所に来て、言った。「チッポ
ルの子バラクはこのように申しまし
た。『どうか、ぜひともおいでください。
17 私はあなたに大きな栄誉を与え、
あなたが言われることを何でもいたし
ます。ですから、どうかおいでください。
私のためにこの民に災いがあるよう
願い求めてください』。18 しかし、
バラムはバラクの家来たちにこう答え
た。「たとえバラクが銀や金でいっぱ
いの彼の家を与えてくれるとしても、私

第22章

(7) 民 22:5,6
民 23:7,11
民 24:10

(1) 創 12:1-3
創 22:15,17
申 33:29

第2欄

(7) 民 24:13

(1) 民 22:8

(7) 民 22:35
民 23:11,12

(14) ペニ 2:15
ユダ 11

は事の大小にかかわらず、私の神工
ホバの指示に背くことは何も行えませ
ん。19 でもあなた方も、どうぞ今夜
はここにとどまってください。そうした
ら、私はエホバがさらに告げることを
聞くことができます」。

20 神は夜にバラムの所に来て、
言った。「この人たちがあなたを呼
びに来たのであれば、一緒に行きな
さい。ただし、話してよいのは、私があな
たに告げる言葉だけである」。21 バ
ラムは朝起きてロバにくら置き、モ
アブの高官たちと一緒に出掛けた。

22 ところが、バラムが出掛けたた
めに神の怒りが燃え、エホバの天使
が彼を行かせまいとして道路に立っ
た。バラムはロバに乗り、従者2人を
連れていた。23 ロバは、エホバの
天使が剣を抜いて道路に立っている
のを見て、道路から脇にそれようとし
た。しかしバラムは、ロバを道路に戻
そうとしてたたき始めた。24 すると、
エホバの天使はブドウ園の間の狭い
道に立った。両側に石の塀があった。
25 ロバはエホバの天使を見て、体を
塀に押し付けたので、バラムの足も塀
に押し付けられた。それでバラムはま
たロバをたたき始めた。

26 エホバの天使は再びそばを通
り過ぎて、右にも左にもよけられない
狭い場所に立った。27 ロバはエホ
バの天使を見て、バラムを乗せたまま
うずくまった。バラムは激怒し、ロバを

ついでにたき続けた。28 ついにエホバはロバが話せるようにした。ロバはバラムに言った。「私が何をしたので、3度もたたくのですか」。29 バラムはロバに答えた。「おまえが私をばかにしたからだ。剣を持っていれば、おまえを殺してやるのに」。30 ロバはバラムに言った。「私は、今日まであなたがずっと乗ってこられたロバではありませんか。私が今まで、あなたにこんなふうにしたことがあったでしょうか」。バラムは、「いや、ない」と答えた。31 エホバがバラムの目を開くと、バラムにも、エホバの天使が剣を抜いて道路に立っているのが見えた。バラムはすぐに身をかがめてひれ伏した。

32 エホバの天使はバラムに言った。「どうしてロバを3度もたたいたのですか。私はあなたを行かせまいとして出てきたのです。あなたの道が私の意志に反しているからです。33 このロバは私を見て、3度もよけようとしませんでした。よけようとしていなかったら、どうでしょうか。私はあなたを殺して、ロバは生かしておいたでしょう」。34 バラムはエホバの天使に言った。「私は罪を犯しました。あなたが道路に立って行く手を阻んでおられることを知らなかったのです。行くのが良くないようでしたら、私は引き返します」。35 エホバの天使はバラムに言った。「この

22:28 *直訳、「の口を開いた」。

第22章
(例) ペ二 2:15, 16

(例) 民 22:32

(例) 王二 6:17

(例) 民 22:12
ペ二 2:15, 16

(例) 民 22:23
民 22:25
民 22:27

第2欄
(例) 民 22:16, 17
民 24:10, 11

(例) 民 23:26
民 24:13

(例) 民 23:13, 14

第23章
(例) 民 22:41

(例) 民 23:13, 14
民 28:28-30

ひと 人たちと一緒にに行きなさい。ただし、話はよいのは、私があなたに告げる言葉だけです。バラムはそのまま、バラクに仕える高官たちと行った。

36 バラクは、バラムが来たことを聞くと、モアブの町で迎えるため直ちに出ていった。アルノンの谷の川岸、領土の境界にある町である。37 バラクはバラムに言った。「使者を遣わしてお招きしませんでしたか。どうして来てくださらなかったのですか。私があなたに大きな栄誉を与えることができなと思われたのですか」。38 バラムは答えた。「私は今あなたの所に来ています。しかし、私は語ることを許されるでしょうか。神が伝えてくださることばは、言葉しか話せません」。

39 バラムはバラクと一緒に出掛け、キルヤト・フツォトに来た。40 バラクは牛と羊を犠牲として捧げ、その一部をバラムおよび彼と共にいた高官たちに渡した。41 朝になると、バラクはバラムを連れていき、バモト・バルに上らせた。そこから民全てを見ることができた。

23 バラムはバラクに言った。「ここに祭壇を7つ作り、雄牛7頭と雄羊7匹を用意してください」。

2 バラクはすぐバラムが言った通りにした。バラクとバラムは各祭壇で雄牛と雄羊を捧げた。3 バラムはバラクに言った。「全焼の捧げ物のそばにいてください。私は行ってきます。エホ

バは私と接触を持つかもしれません。
何でも神が明らかにしてくださること
をあなたに話します」。バラムは不毛
の丘に行った。

4 神が接触を持ち、バラムは神に
言った。「私は7つの祭壇を並べて、各
祭壇で雄牛と雄羊を捧げました」。

5 エホバは、話すべき言葉をバラムに
伝えて、こう言った。「バラクの所に戻
りなさい。このことをあなたは話すべ
きである」。6 戻ると、バラクとモア
ブの全ての高官たちは全焼の捧げ物
のそばに立っていた。7 バラムは格
言的な詩を述べた。

「モアブの王バラクが私をアラム

から、
ひがし やまやま つ
東の山々から連れてきた。

『ぜひ来て、私のためにヤコブに
わざわ ねが もと
災いがあるよう願い求めよ。

きて、イスラエルを糾弾せよ』と。

8 神が災いを宣告していない人た
ちへの災いをどうして願い求
められるだろうか。

エホバが糾弾していない人たち
をどうして糾弾できるだろうか。

9 私は岩の頂上から彼らを見、
おか かね み
丘から彼らを見る。
かれ たみ じ ぶん
彼らは1つの民として自分たちだ
けで住む。

自分たちは他の国民とは違うと
かんが け
考えている。

10 誰が、砂のような多さのヤコブを
だれ すな おお
数えられるか。

第23章

(7) 民 22:20

(1) 民 22:35

(7) 民 23:18
民 24:3(2) 創 10:22
民 22:5
申 23:3,4

(7) 民 22:6

(7) 民 22:12

(4) 王一 8:53

(7) 出 33:16

(7) 創 13:14,16
創 22:17
出 1:7

第2欄

(7) 民 24:10
ヨシ 24:10
ネヘ 13:1,2(1) 民 22:38
民 24:13

(7) 民 22:11

(2) 申 34:1

(7) 民 22:41
民 23:1
民 23:28,29(7) 民 22:35
民 23:5(4) 民 23:7
民 24:3

イスラエルの4分の1をさえ数え
られるか。

わたし しょうじきの し
私は正直者として死に、
かれ お むか
彼らのように終わりを迎えよう」。

11 バラクはバラムに言った。「何
ということをしてくれたのですか。敵へ
の災いを願うためにお連れしたの
に、ひたすら彼らへの祝福を願われま
した」。12 バラムは答えた。「私は、
何でもエホバが伝えてくださる言葉
を話すべきではありませんか」。

13 バラクは言った。「どうか、彼ら
が見える別の場所に一緒に来てくだ
さい。彼らの一部だけが見えて、全て
は見えません。私のためにそこから彼
らへの災いを願い求めてください」。

14 そしてバラムをツォフィムの野原、
ピスガの頂上に連れていき、祭壇を7
つ作って各祭壇で雄牛と雄羊を捧げ
た。15 バラムはバラクに言った。
「私があちらで神と接触を持つ間、全
焼の捧げ物のそばにいてください」。

16 エホバはバラムと接触を持ち、話
すべき言葉を伝えて、こう言った。「バ
ラクの所に戻りなさい。このことをあ
なたは話すべきである」。17 バラム
が戻ると、バラクは全焼の捧げ物のそ
ばで待っており、モアブの高官たちも
一緒にいた。バラクは、「エホバは何
と言いましたか」と尋ねた。18 バ
ラムは格言的な詩を述べた。

た みみ かたむ
「立て、バラク、そして耳を傾けよ。
き こ
聞け、チッポルの子。」

19 神は、偽りを語る人間のようにでは
なく、

考えを変える人のようでもない。

神は何かを言ったら、それを行う

のではない。

語ったら、それを実行するのでは

ないか。

20 私は祝福を願うために連れてこ

られた。

神は祝福した。私がそれを覆す

ことはできない。

21 神はヤコブに対する魔力の行使

を容認せず、

イスラエルに災難が降り掛かる

のを許さない。

エホバ神は彼らと共におり、

彼らの間で王として熱烈に称賛

される。

22 神は、彼らをエジプトから連れ

出していく。

彼らにとって野牛の角のようで

ある。

23 ヤコブに対する不吉なしるしは

なく、

イスラエルに対する悪い占いも

ない。

今、ヤコブとイスラエルに関して

言える。

『神がしたことを見よ』と。

24 民がライオンのように起き上

がり、

第23章

(詩) 89:35
テト 1:2

(イ) サー 15:29

(イ) イザ 14:24
イザ 46:10
ミカ 7:20

(創) 12:1,2
創 22:15,17
民 22:12

(創) 民 22:18

(出) 13:21
出 23:20
出 29:45
イザ 8:10

(出) 出 20:2

(創) 民 24:8

(創) 創 12:1,3

(創) 民 22:7

第24章

(創) 民 24:9

(イ) 民 22:38
民 23:12

(創) 民 23:13

(創) 民 21:20

(創) 民 22:41
民 23:1,14

第24章

(創) 民 23:3,15
民 23:23

(創) 民 2:2
民 23:9

(創) サー 19:20

(創) 民 23:7,18

ライオンのように身を起こす。

獲物を食ひ、殺された動物の血

を飲むまで、

民は横たわらない。

25 バラクはバラムに言った。「あ
なたが彼らへの災いを願えないので

あれば、祝福も願うべきではありません
ん」。26 バラムは答えた。「『私はエ

ホバが話すことを全て行います』と言
わなかったでしょうか。

27 バラクはバラムに言った。「どう
か来てください。もう1つの場所にお

連れしましょう。私のためにそこから
彼らへの災いを願うのは正しいことだ

と、真の神から見なされるかもしれま
せん」。28 バラクはエシモンに面す

るペオルの頂上にバラムを連れていっ
た。29 バラムはバラクに言った。

「ここに祭壇を7つ作り、雄牛7頭と雄
羊7匹を用意してください」。30 バ

ラクはバラムが言った通りにし、各祭
壇で雄牛と雄羊を捧げた。

24 バラムは、イスラエルへの祝
福を願うことがエホバに喜

ばれるのが分かり、もう不吉なしるし
を求めに行こうとはせず、荒野の方に

顔を向けた。2 バラムが目を上げ
て、イスラエルが部族ごとに宿営して

いるのを見ると、神の聖なる力が彼に
働いた。3 バラムは格言的な詩を

述べた。

23:28 *もしかすると、「砂漠」、「荒野」。

23:19 *または、「後悔する」。

「ベオルの子バラムの言葉、

目を開かれた男の言葉、

4 神の言葉を聞く者、

ぜんのうしや まぼろし み
全能者の幻を見て、

目を開いたまま倒れ込んだ者の
言葉。

5 ヤコブよ、あなたの天幕は何と

美しいとか、

イスラエルよ、あなたの幕屋は！

6 それは長く延びた。谷のように、

川辺にある庭園のように、

エホバが植えた沈香樹のよ

うに、

水辺にある杉のように。

7 彼の2つの革製のバケツから水

が常に滴り、

彼の種は水がたくさんある所に

まかれる。

彼の王もアガブより偉大で、

彼の王国は強大になる。

8 神は、彼をエジプトから連れ出

していく。

彼にとって野牛の角のようで

ある。

彼は、自分を虐げる国々を食い
尽くす。

彼らの骨をしゃぶり、彼らを矢で
砕く。

9 彼は身をかがめ、ライオンのよう

に横たわる。

24:6 *または、「ワジ」。24:7 *イスラエルのことと考えられる。 *または、「子孫」。

第24章

(例) 民 24:16

(例) 民 1:52

民 2:2

(例) 民 22:11

(例) 申 8:7

(例) 創 49:10

詩 2:6

ヨハ 1:49

(例) 民 24:20

(例) 代一 14:2

ダニ 2:44

啓 11:15

(例) 出 23:27

申 9:5

第2欄

(例) 創 12:1-3

創 27:29

(例) 民 22:10,11

民 23:11

ネヘ 13:1,2

(例) 民 22:16,17

(例) 民 22:18,38

(例) 民 23:7

(例) 民 24:3,4

ライオンのようにである。誰が
えて起こすだろうか。

あなたへの祝福を願う人は祝福

を受け、

あなたへの災いを願う人は災い

を受ける」。

10 バラクはバラムに激怒した。あ

ざけるように手をたたき、バラムに言っ

た。「あなたを呼んだのは、私の敵へ

の災いを願うためだ。それなのに、あ

なたは3度もひたすら彼らへの祝福を

願った。11 さあ、早く家に帰れ。私

はあなたに大きな栄誉を与えるつもり

だったが、エホバが栄誉を受けさせな

かったのだ」。

12 バラムは答えた。「あなたが遣

わした使者にこう言わなかったでしょ

うか。13 『たとえバラクが銀や金で

いっぱい彼の家を与えてくれるとし

ても、私は、エホバの指示に背くこと

は、良いことも悪いことも自分の意志

で行うことはできない。エホバが告げ

ることしか話さない』と。14 今、私

は自分の民の所に行きます。さあ、こ

の民が将来あなたの民に行うことを

知らせましょう。15 バラムは格言

的な詩を述べた。

「ベオルの子バラムの言葉、

目を開かれた男の言葉、

16 神の言葉を聞く者、

至高者についての知識を持つ者

の言葉。

24:14 *または、「日々の終わりに」。

かれ め ひら たお こ
彼は目を開いたまま倒れ込んで

いた間に、

ぜんのうち まぼろし み
全能者の幻を見た。

17 私は彼を見る。今ではない。

わたし かれ み いま
私は彼を見つめる。すぐには
ない。

ほし(7) で
星がヤコブから出て、

おうしゃく(7) あらわ (7)
王笏がイスラエルから現れる。

かれ かなら ひたいき わ (7)
彼は必ずモアブの額を割り、
あらあら せんし すべ ず がいつ
荒々しい戦士全ての頭蓋骨を

割る。

18 エドムは所有物となる。

そうだ、セイルは敵の所有物と
なる。

イスラエルは勇氣を示す。

19 ヤコブから出る者が従わせて

いき、
まち い のこ ひと ほろ
町で生き残った人を滅ぼす。

20 バラムはアマレクを見た時、格
言的な詩を続けた。

「アマレクは国々の最初、
しかし、最後には滅びる」。

21 ケニ人を見た時、格言的な詩を
続けた。

「あなたの住まいは安全で、あな
たの家は大岩の上に据えられ
ている。

22 しかしカインは焼き払われる。
アッシリアがあなたを捕虜にし
て連れ去るまで、あとどれほ
どか」。

24:17 *または、「こめかみ」。

第24章

(7) 啓 22:16

(7) 詩 110:2
ヘブ 1:8

(7) サニ 7:16,17
イザ 9:7

(7) サニ 8:2
代一 18:2
詩 108:9

(7) 創 27:37
サニ 8:14
アモ 9:11,12

(7) 創 36:8
ヨシ 24:4

(7) 代一 4:42,43
エゼ 25:14

(7) 創 49:10
詩 2:9
詩 72:11
啓 6:2
啓 19:15

(7) 出 17:8,14

(7) 申 25:19
サ一 15:3
代一 4:43

(7) 創 15:18,19
裁 1:16

第2欄

(7) 創 10:2,4
エゼ 27:6

(7) ナホ 3:18

(7) 民 31:7,8

第25章

(7) ヨシ 2:1
ミカ 6:5

(7) 民 31:16
コ一 10:8
啓 2:14

(7) 出 34:15
コ一 10:20

(7) 出 20:5

(7) 申 4:3
ヨシ 22:17
詩 106:28,29
ホセ 9:10

(7) 出 18:21

(7) 出 22:20
出 32:25,27
申 13:6-9

(7) 民 25:14,15

23 バラムは格言的な詩を続けた。

「ああ！ 神がそうする時、誰が生
き残れるだろうか。

24 船がキッテムの沿岸から来て、

アッシリアを苦しめ、

エベルを苦しめる。

しかし彼も完全に滅びる」。

25 バラムはそこを去り、自分の所
に戻った。バラクも自分の道を行った。

25 イスラエルがシッテムに住ん
でいた時、民はモアブの娘

たちと性的に不道德な行為をし始め
た。2 女性たちは、自分たちの神々

に犠牲を捧げる時に民を誘い、民は
食べたり神々にひれ伏したりするよう

になった。3 イスラエルはベオルの
バアルの崇拜に加わり、エホバはイス

ラエルに激怒した。4 エホバはモー
セに言った。「この人々の指導者は全

員捕らえて処刑し、真昼にエホバの前
で杭に掛けなさい。エホバの燃える

怒りがイスラエルから離れるためであ
る」。5 モーセはイスラエルの裁判

人たちに言った。「それぞれ、ベオルの
バアルの崇拜に加わったこの男たち

を殺しなさい」。

6 ちょうどその時、1人のイスラエル
人がミディアン人女性を兄弟たちの
近くに連れてきた。それはモーセとイ
スラエル人の民全員の目の前であり、

25:3 *または、「を慕い」。25:5 *または、「を
慕った」。

民は会見の天幕の入り口で泣き悲しんでいた。7 祭司であるアロンの子エレアザルの子ピネハスはそれを見ると、すぐに民の中から立ち上がり、やりを手に取った。8 そして、そのイスラエルの男性の後を追って天幕に入り、2人を突き刺した。そのイスラエルの男性とその女性の生殖器とを刺し通したのである。すると、イスラエル人に対する神罰はやんだ。9 神罰で死んだ人は2万4000人になった。

10 エホバはモーセに言った。11 「祭司であるアロンの子エレアザルの子ピネハスは、私の憤りを民から遠ざけた。イスラエルの民の間で私に対抗するものを一切容認しなかったのである。それで私は、全くの専心を求めてイスラエル人を根絶やしにすることはしなかった。12 そこで、こう言いなさい。『私は平和の契約を彼と結ぶ。13 それは、彼と彼の子孫にとって、ずっと続く祭司職の契約となる。ピネハスが自分の神に対抗するものを容認せず、イスラエルの民のために贖罪を行ったからである』」。

14 ところで、ミディアンの女性と一緒に殺されたイスラエル人男性はゾマリといい、サルの子で、シメオン族の家長だった。15 殺されたミディアン人女性にはコズビといい、ツルの娘だった。ツルは、ミディアンで父の氏族の指導者だった。

25:14 *または、「父方の家の長」。

第25章

(ア) 出 6:25
ヨシ 22:30
(イ) 詩 106:30
(ウ) 民 25:4
申 4:3
コ 10:8
(カ) 民 25:7
(ク) 詩 106:30, 31
(ケ) 出 20:5
出 34:14
申 4:24
(コ) 代 6:4
エズ 7:1, 5
エズ 8:1, 2

(ク) 王 19:10

(ウ) 民 31:7, 8
ヨシ 13:21
(カ) 代 1:32, 33

第2欄

(ア) 民 31:1, 2
(イ) 民 25:3
民 31:16
(ウ) 民 25:9
(カ) 民 25:8, 15

第26章

(ア) 民 25:7, 8
(カ) 出 30:12
出 38:26
民 1:2
(ケ) 民 20:26
(ク) ヨシ 6:1
(コ) 民 22:1
民 33:48
(カ) 民 1:3
(ケ) 創 29:32
(ク) 創 46:8, 9
出 6:14
(カ) 民 1:21
(ケ) 民 16:1
(ク) 民 16:12
(コ) 民 16:5, 19
申 11:6
詩 106:17

16 その後エホバはモーセに言った。17 「ミディアン人を攻めて、倒しなさい。18 彼らは、ペオルの件、またその件で神罰が下された日に殺されたミディアンの長の娘コズビの件で、ずる賢く行動してあなたたちを苦しめているからである」。

26 神罰の後、エホバはモーセと祭司であるアロンの子エレアザルに言った。2 「イスラエル人の民全体の人口調査を行い、父方の家ごとに、イスラエルで兵役に就くことができる20歳以上の人全員を数えなさい。3 モーセと祭司エレアザルは、ヨルダン川のそば、エリコに向かいのモアブの砂漠平原で民に話した。4 「エホバがモーセに命じたとお、20歳以上の人口調査を行いなさい」。

エジプトを出たイスラエルの子たちは以下の通りだった。5 イスラエルの長男ルベン。ルベンの子たちは、ハノクからハノク氏族、パルからパル氏族、6 ヘツロンからヘツロン氏族、カルミからカルミ氏族。7 これらがルベン氏族の氏族で、登録された人は4万3730人となった。

8 パルの子はエリアブ。9 エリアブの子はネムエル、ダタン、アビラム。このダタンとアビラムは民の選ばれた人で、コラたちと一緒にモーセとアロンに逆らった。エホバに逆らったのである。

10 その時、大地が開いて彼らをのみ込んだ。コラは、火が250人焼く尽くした時に、支持者と共に死んだ。彼らに起きたことは警告となっている。11 しかし、コラの子たちは死ななかった。

12 シメオンの子たちは氏族ごとに、ネムエルからネムエル氏族、ヤミンからヤミン氏族、ヤキンからヤキン氏族、13 ゼラハからゼラハ氏族、シャウルからシャウル氏族。14 これらがシメオン族の氏族で、2万2200人だった。

15 ガドの子たちは氏族ごとに、ツェフォンからツェフォン氏族、ハギからハギ氏族、シュニからシュニ氏族、16 オズニからオズニ氏族、エリからエリ氏族、17 アロドからアロド氏族、アルエリからアルエリ氏族。18 これらがガドの子たちの氏族で、登録された人は4万5000人だった。

19 ユダの子はエルとオナン。しかし、エルとオナンはカナン地方で死んだ。20 ユダの子たちは氏族ごとに、シェラからシェラ氏族、ペレツからペレツ氏族、ゼラハからゼラハ氏族。21 ペレツの子たちは、ヘツロンからヘツロン氏族、ハムルからハムル氏族。22 これらがユダ族の氏族で、登録された人は7万6500人だった。

23 イッサカルの子たちは氏族ごとに、トラからトラ氏族、プワからプニ氏族、24 ヤシュブからヤシュブ氏族、シムロンからシムロン氏族。25 こ

第26章

(ア) 民 16:32, 35
詩 106:18
(イ) 民 16:38
コ 10:10, 11
(ウ) 出 6:24
民 26:58
詩 42:表題
(エ) 創 35:23
創 46:10
出 6:15
代 1:4, 24
(オ) 民 1:23
(カ) 創 35:26
創 46:16
(キ) 民 1:25
(ク) 創 29:35
創 46:12
(コ) 創 38:2-4
(カ) 創 38:7-10
(ク) 創 38:2, 5
創 38:26
代 1:4, 21
(ケ) 創 38:29
ルツ 4:18
マタ 1:3
(コ) 創 38:30
代 1:2, 4
(セ) ルツ 4:19
(イ) 代 1:2, 5
(イ) 民 1:27
(イ) 創 30:18
創 35:23
創 46:13
代 1:7, 1
(イ) 代 1:7, 2

第2欄

(ア) 民 1:29
(イ) 創 30:20
創 46:14
(イ) 民 1:31
(エ) 創 30:24
創 35:24
創 46:20
(オ) 創 41:52
(カ) 創 41:51
(キ) 創 50:23
申 3:15
代 1:7, 14
(ク) ヨシ 17:1
(ク) 民 27:7
代 1:7, 15
(コ) 民 36:11
(イ) 民 1:35
(イ) 創 41:52
(ウ) 代 1:7, 20
(セ) 民 1:33
ヨシ 17:17
(イ) 創 35:24
創 46:21
代 1:8, 1

れらがイッサカル族の氏族で、登録された人は6万4300人だった。

26 ゼブルンの子たちは氏族ごとに、セレドからセレド氏族、エロンからエロン氏族、ヤフレエルからヤフレエル氏族。27 これらがゼブルン族の氏族で、登録された人は6万5000人だった。

28 ヨセフの子たちは氏族ごとに、マナセとエフライム。29 マナセの子たちは、マキルからマキル氏族。マキルの子たちはギレアデで、ギレアデからギレアデ氏族。30 ギレアデの子たちは、イエゼルからイエゼル氏族、ヘレクからヘレク氏族、31 アスリエルからアスリエル氏族、シェケムからシェケム氏族、32 シェミダからシェミダ氏族、ヘフェルからヘフェル氏族。33 ヘフェルの子ツェロフハドには息子がなく娘しかいなかった。ツェロフハドの娘たちの名前はマフラ、ノア、ホグラ、ミルカ、ティルツァだった。

34 これらがマナセ族の氏族で、登録された人は5万2700人だった。

35 エフライムの子たちは氏族ごとに、シュテラハからシュテラハ氏族、ベケルからベケル氏族、タハンからタハン氏族。36 シュテラハの子たちは、エランからエラン氏族。37 これらがエフライムの子たちの氏族で、登録された人は3万2500人だった。以上が、氏族ごとに挙げたヨセフの子たちである。

38 ベニヤミンの子たちは氏族ごと

に、ベラからベラ氏族、アシュベルからアシュベル氏族、アヒラムからアヒラム氏族、**39** シェフファムからシェフファム氏族、フファムからフファム氏族。**40** ベラの子はアルデとナアマンで、アルデからアルデ氏族、ナアマンからナアマン氏族。**41** これらが氏族ごとに挙げたベニヤミンの子たちで、登録された人は4万5600人だった。

42 ダンの子たちは氏族ごとに、シュハムからシュハム氏族。これが氏族ごとに挙げたダン族の氏族だった。

43 シュハム氏族に属する全ての氏族の登録された人は6万4400人だった。

44 アシエルの子たちは氏族ごとに、イムナからイムナ氏族、イシュビからイシュビ氏族、ベリアからベリア氏族。

45 ベリアの子たちのうち、ヘベルからヘベル氏族、マルキエルからマルキエル氏族。**46** アシエルの娘の名前はセラハだった。**47** これらがアシエルの子たちの氏族で、登録された人は5万3400人だった。

48 ナフタリの子たちは氏族ごとに、ヤフツェエルからヤフツェエル氏族、グニからグニ氏族、**49** イエツェルからイエツェル氏族、シレムからシレム氏族。**50** これらが氏族ごとに挙げたナフタリ族の氏族で、登録された人は4万5400人だった。

51 イスラエル人の登録された人の総数は60万1730人になる。

52 その後エホバはモーセに言っ

第26章

(例) 代一 7:6
(例) 代一 8:3,4
(例) 民 1:37
(例) 創 30:6
(例) 民 1:39
(例) 創 30:13
創 35:26
創 46:17
代一 7:30

(例) 民 1:41
(例) 創 30:8
創 35:25
創 46:24
代一 7:13
(例) 民 1:43
(例) 出 38:26
民 14:46,49
民 14:29

第2欄

(例) ヨシ 11:23
ヨシ 14:1
(例) 民 33:54
(例) 民 34:13
ヨシ 14:2
ヨシ 17:4
ヨシ 18:6
格 16:33
(例) 創 46:11
出 6:16
(例) 民 3:19
(例) 出 6:17
民 3:18
(例) 民 3:27
(例) 出 6:19
民 3:33
(例) 民 3:20
代一 23:23

(例) 出 6:24
(例) 出 6:18
民 3:19
(例) 出 2:1
出 6:20
(例) 出 15:20
ミカ 6:4
(例) 出 6:23
出 24:9
(例) レビ 10:1,2
民 3:2,4
代一 24:2

(例) 民 3:39
(例) 民 1:49
(例) 民 18:24
申 10:9
申 14:27
ヨシ 14:3

た。**53** 「この人たちの間で、名前の一覧表に従って土地を分け、相続していく土地とするべきである。**54** 大人数であれば、相続していく土地を多くし、小人数であれば、少なくすべきである。それぞれ、登録された人の数に比例して与えられるべきである。**55** ただし、くじによって土地を配分し、民は父の部族の名前に従って土地を得るべきである。**56** 土地はくじの結果に基づいて、大きな部族にも小さな部族にも配分される。」

57 レビ族の登録された人は氏族ごとに、ゲルシオンからゲルシオン氏族、コハトからコハト氏族、メラリからメラリ氏族。**58** レビ族の氏族を挙げると、リブニ氏族、ヘブロン氏族、マフリ氏族、ムシ氏族、コラ氏族。

コハトの子はアムラム。**59** アムラムの妻はヨケベドといい、レビの娘で、エジプトでレビに生まれた。彼女はアムラムに、アロン、モーセ、彼らの姉ミリアムを産んだ。**60** アロンには、ナダブ、アビフ、エレアザル、イタマルが生まれた。**61** しかしナダブとアビフは、許可されていない火をエホバの前に差し出したために死んだ。

62 登録された人の総数は2万3000人で、生後1か月以上の男性全員である。レビ族はイスラエル人の中には登録されなかった。イスラエル人の間で彼らに土地は与えられないことになっていたからである。

26:53 * または、「記された名前の数に応じて」。

63 以上が、ヨルダン川のそば、エリコの向かいのモアブの砂漠平原でモーセと祭司エレアザルがイスラエル人を登録した際に登録された人たちである。64 しかし、この中に、シナイの荒野でモーセと祭司アロンがイスラエルの人口調査を行った際に登録された人はいなかった。65 エホバはその人たちについて、「必ず荒野で死ぬ」と言っていた。そのため、エフネの子カレブとヌンの子ヨシュア以外は、誰も残っていなかった。

27 ツェロフハドの娘たちが近づいてきた。ツェロフハドは、マナセの子マキルの子であるギレアデの子ヘフェルの子で、ヨセフの子マナセに属する氏族の人だった。娘たちの名前は、マフラ、ノア、ホグラ、ミルカ、ティルツァである。2 娘たちは、会見の天幕の入り口で、モーセと祭司エレアザルと長たちと民全員の前^(イ)に立^(イ)って、こう言^(イ)った。3 「父は荒野で死にましたが、コラの支持者、エホバに逆^(イ)らった集団の1人ではありませんでした。自分の罪のために死んだのです。そして、息子がいませんでした。4 息子がいなかったからといって、どうして父の名前が氏族から消えてよいでしょうか。父の兄弟たちと同じく私たちにも所有地を与えてください。5 モーセは彼女たちの訴えをエホバの前に提出した。

第26章

(イ) 民 1:2
申 2:14
コ 10:5

(イ) ヘブ 3:17

(イ) 民 14:29,30
ヨシ 14:14
ヨシ 19:49

第27章

(イ) 民 26:33

(イ) 出 18:25,26

(イ) 民 14:35
民 16:1,2
民 16:19,35

(イ) 出 18:15,16
出 33:11
レビ 24:11,12

第2欄

(イ) 民 36:2
ヨシ 17:3,4

(イ) 民 33:47
申 32:48,49

(イ) 創 13:14,15
申 33:27
申 32:52
申 34:1

(イ) 民 31:2
申 34:7

(イ) 民 20:24,28
民 33:38
申 10:6
申 32:50

(イ) 民 20:10,12
申 1:37

(イ) ヨシ 15:1

(イ) 申 1:2

(イ) 詩 106:32,33

6 エホバはモーセにこう言^(イ)った。7 「ツェロフハドの娘たちは正しい。彼女たちに、父の兄弟たちと同じく相続地として所有地をぜひと与えるべきである。父が受ける分を渡さない。8 イスラエル人に告げなさい。『人が死んで息子がいない場合、相続地は娘に渡さなければならない。9 娘もいなければ、相続地はその人の兄弟に与える。10 兄弟もいなければ、相続地はその人の父の兄弟に与える。11 その人の父に兄弟がいなければ、その人の父に兄弟がいなければ、相続地は氏族の中で一番近い肉親に与え、その人が所有する。この法規はイスラエル人のための法令となる。エホバがモーセに命じた通りである。』」12 エホバはモーセに言^(イ)った。「アバリムのあの山に登り、私がイスラエル人に与える土地を見なさい。13 あなたはそこを見てから、死んで先祖たちと共に横たわる。あなたの兄弟アロンと同様である。14 あなたたちは、チンの荒野で民が私に不平を言^(イ)った時、水に関して民の前で私を神聖なものとするようにという指示に背いたからである。チンの荒野にあるカデシュのメリバの水のことである。15 モーセはエホバに言^(イ)った。16 「すべてのいのちを与える神エホバが、民の上に立つ1人の男性を任命してください。17 民の先頭に立つ人、民を率いて出入りする人で、民が羊飼いのいない羊

のようにならないためです」。18 エホバはモーセに言った。「健全な精神を持つ、ヌンの子ヨシュアを選び、彼に手をおきなさい。19 そして彼を祭司エレアザルと民全員の前に立たせ、皆の目の前で彼を指導者に任命しなければならぬ。20 あなたの権威の一部を彼に授けなさい。イスラエル人の民全員が彼の言うことを聞くためである。21 ヨシュアは祭司エレアザルの前に立ち、エレアザルが彼のためにエホバに尋ね、ウリムによって判断を知る。皆、指示を受けて出ていき、指示を受けて入ってくる。ヨシュア、彼と一緒にいるイスラエル人全員、民全員がそうする」。

22 モーセはエホバに命じられた通りにした。ヨシュアを選び、祭司エレアザルと民全員の前に立たせ、23 手置いて彼を指導者に任命した。エホバがモーセを通して告げた通りである。

28 エホバはモーセに言った。2 「イスラエル人に命じて言いなさい。『私のパンである私への捧げ物を確実に差し出すべきである。私にとって心地よい香りとなる火による捧げ物は、決められた時に捧げられなければならない』。

3 そしてこう言いなさい。『エホバに差し出す火による捧げ物は以下の通りである。全焼の捧げ物として、傷

第27章

(ア) 申 34:9
使徒 6:5,6

(イ) 申 31:7

(ウ) 申 1:38
申 31:3
申 34:10

(エ) ヨシ 1:17

(オ) 出 28:30
サー 23:9
サー 28:6
ネヘ 7:65

(カ) 民 27:18

(キ) 申 3:28
申 14:14,23

第28章

(ク) 代二 8:13
ネヘ 10:32,33

第2欄

(ク) 出 29:38
レビ 6:9
エゼ 46:15

(イ) 出 29:39

(ウ) 出 29:40
民 15:4

(エ) 出 29:38,42
代二 2:4
エズ 3:3

(オ) 出 29:39,40

(カ) 出 29:41

(キ) 出 16:29
出 20:10
エゼ 20:12

(ク) 民 28:3,7

(ケ) 民 10:10
代一 23:31
代二 2:4
ネヘ 10:32,33

(コ) レビ 2:11

(カ) レビ 1:10

のない1歳の雄の子羊を毎日2匹、4 1匹は朝に捧げ、もう1匹は夕暮れ時に捧げる。5 オリーブをつぶして採った油0.9リットルを混ぜた上等の麦粉2.2リットルを穀物の捧げ物として添える。6 これは日々の全焼の捧げ物であり、心地よい香り、エホバへの火による捧げ物としてシナイ山で定められたものである。7 雄の子羊1匹につき飲み物の捧げ物0.9リットルと一緒に捧げる。聖なる場所で飲み物の捧げ物としてエホバに酒をそぎ出すのである。8 夕暮れ時に2匹目の雄の子羊を、朝と同じ穀物の捧げ物と飲み物の捧げ物と一緒に、火による捧げ物として捧げる。それはエホバへの心地よい香りとなる。

9 また安息日には、傷のない1歳の雄の子羊2匹、穀物の捧げ物として油を混ぜた上等の麦粉4.4リットル、飲み物の捧げ物を捧げる。10 これは安息日のための全焼の捧げ物であり、日々の全焼の捧げ物やそれに伴う飲み物の捧げ物と共に捧げられる。

11 月の初めには、エホバへの全焼の捧げ物として、若い雄牛2頭と雄羊1匹、傷のない1歳の雄の子羊7匹を差し出す。12 雄牛1頭につき穀物の捧げ物として油を混ぜた上等の麦粉6.6リットル、雄羊1匹については穀物の捧げ物として油を混ぜた上等の麦粉4.4リットル、13 雄の子羊1匹につき穀物の捧げ物として油を混ぜ

た^{じょうとう}上等の麦粉^{2.2}リットルを^{ささ}捧^{ぜん}げる。全^{しやう}焼^{ささ}の捧^{もの}げ物^こ、心地^{ここち}よい香り^{かお}、エホバ^ひへの火^{ささ}による捧^{もの}げ物^さである。14 飲み^ひ物の^{ささ}捧^{もの}げ物^さは、雄牛^{おしうし}1頭^{とう}についてぶど^{しゅ}う酒^い1.8リットル、雄羊^{おひつじ}について1.2リットル、雄^{おす}の子羊^{こひつじ}1匹^{びき}について0.9リットル、雄^おの子羊^{こひつじ}1匹^{びき}について0.9リットルとすべきである。これが月々の全焼^{しやう}の捧^さげ物^{もの}であり、1年^{ねん}を通して毎月^{まいつき}捧^さげられる。15 さらに、子ヤギ^こ1匹^{びき}、エホバ^{つみ}への罪^{ささ}の捧^{もの}げ物^さとして、いつも^{ぜんしやう}の全焼^{ささ}の捧^{もの}げ物^さや飲み物の捧^さげ物^{もの}に加^くえて捧^さげられるべきである。

16 第^{だい}1の月^{つき}の14日^かにはエホバ^すの過^こぎ越^{おこな}しが行^いわれる。17 この月^{つき}の15日^{にち}には祭^{まつ}りがある。7日間^{かかん}、無酵母^{むこうぼ}パン^たを食べ^くる。18 初日^{しよにち}に聖^{せい}なる大^{たい}会^{かい}がある。どんな労働^{らうどう}もしてはならない。19 エホバ^ひへの火^{ささ}による全焼^{しやう}の捧^さげ物^{もの}として、若い雄牛^{わか おうし}2頭^{とう}、雄羊^{おひつじ}1匹^{びき}、1歳^{さい}の雄^{おす}の子羊^{こひつじ}7匹^{ひき}を差^さし出^だす。傷^{きず}のないもの^{もの}を捧^さげるべきである。20 そ^{ともな}れに伴^{ともな}う穀物^{こくもつ}の捧^さげ物^さとして油^{あぶら}を混^まぜた上^{じやうとう}等^{むぎ}の麦粉^{ささ}を捧^いげる。雄牛^お1頭^{とう}について6.6リットル、雄羊^{おひつじ}について4.4リットルである。21 7匹^{ひき}の雄^おの子羊^{こひつじ}について、1匹^{びき}につき2.2リットルを捧^さげる。22 罪^{つみ}の捧^さげ物^さとしてヤギ^さ1匹^さも捧^さげ、あなた^おたちのために贖^{しよく}罪^{ざい}を行^いう。23 これ^{おこな}らを日^ひ々^びの全焼^{ぜんしやう}の捧^さげ物^さである朝^{あさ}の全焼^{ぜんしやう}の捧^さげ物^さのほかに捧^さげる。24 これ^あらを7日間^{かかん}、毎日^{まいにち}同^{おこな}じように捧^さげる。それ^{しよくもつ}は食物^{しよくもつ}、

第28章

(例) レビ 1:10, 13

(例) 民 15:8, 10

(例) 民 15:6, 7

(例) 民 15:5

(例) 出 12:14

レビ 23:5

申 16:1

エゼ 45:21

コヘ 5:7

(例) 出 12:15

レビ 23:6

コヘ 5:8

(例) レビ 22:20, 22

申 15:21

(例) レビ 2:1

第29章

(例) 出 13:6

(例) 出 12:16

レビ 23:8

申 16:8

(例) レビ 23:15, 16

(例) 出 23:16

(例) 出 34:22

申 16:10

使徒 2:1

(例) レビ 23:16, 21

(例) レビ 23:16, 18

(例) レビ 23:16, 19

(例) レビ 1:3

第29章

(例) レビ 23:24, 25

(例) 民 10:2

詩 81:3

火^ひによる捧^さげ物^{もの}であり、エホバ^ちへの心^こ地^ちよい香り^{かお}となる。日^ひ々^びの全焼^{ぜんしやう}の捧^さげ物^さや飲み物^{もの}の捧^さげ物^さと共に捧^さげるべきである。25 7日^{かめ}目に聖^{せい}なる大^{たい}会^{かい}を開^{ひら}く。どんな労働^{らうどう}もしてはならない。

26 新^{あた}しい穀物^{こくもつ}の捧^さげ物^さをエホバ^さに差^さし出^だす初^{はつ}物の日^{にち}、七週^{しちしゅう}の祝祭^{しよくさい}の時^{とき}に、聖^{せい}なる大^{たい}会^{かい}を開^{ひら}くべきである。どんな労働^{らうどう}もしてはならない。27 全^{ぜん}焼^{しやう}の捧^さげ物^さとして、若い雄牛^{わか おうし}2頭^{とう}、雄羊^{おひつじ}1匹^{びき}、1歳^{さい}の雄^{おす}の子羊^{こひつじ}7匹^{ひき}を差^さし出^だす。

それはエホバ^ちへの心^こ地^ちよい香り^{かお}となる。28 そ^{ともな}れに伴^{ともな}う穀物^{こくもつ}の捧^さげ物^さとして油^{あぶら}を混^まぜた上^{じやうとう}等^{むぎ}の麦粉^{ささ}を捧^いげる。雄牛^お1頭^{とう}につき6.6リットル、雄羊^{おひつじ}1匹^{びき}について4.4リットル、29 7匹^{ひき}の雄^おの子羊^{こひつじ}について1匹^{びき}につき2.2リットルである。30 子ヤギ^こ1匹^{びき}も捧^さげ、あなた^おたちのために贖^{しよく}罪^{ざい}を行^いう。31 これ^ひら日^ひ々^びの全焼^{ぜんしやう}の捧^さげ物^さや穀物^{こくもつ}の捧^さげ物^さに加^くえて捧^さげる。それ^{もの}らの動物^{どうぶつ}は傷^{きず}のないものであるべきで、飲み物^のの捧^さげ物^さを添^そえる。

29 第^{だい}7の月^{つき}の1日^{いつ}に、聖^{せい}なる大^{たい}会^{かい}を開^{ひら}くべきである。どんな労働^{らうどう}もしてはならない。それはラッパ^{らうどう}を吹^ふくべき日^{にち}である。2 全焼^{ぜんしやう}の捧^さげ物^さとして、若い雄牛^{わか おうし}1頭^{とう}、雄羊^{おひつじ}1匹^{びき}、1歳^{さい}の雄^{おす}の子羊^{こひつじ}7匹^{ひき}、すべて傷^{きず}のないもの^{もの}を捧^さげる。それはエホバ^ちへの心^こ地^ちよい香り^{かお}となる。3 そ^{ともな}れに伴^{ともな}う穀物^{こくもつ}の捧^さげ物^さとして油^{あぶら}を混^まぜた上^{じやうとう}等^{むぎ}の麦粉^{ささ}を捧^いげる。雄牛^お1頭^{とう}につき6.6リットル、雄

羊について4.4リットル、**4** 7匹の雄の子羊について1匹につき2.2リットルである。**5** 罪の捧げ物として雄の子ヤギ1匹を捧げ、あなたたちのために贖罪を行う。**6** これとは別に、月々の全焼の捧げ物と日々の全焼の捧げ物、それらに伴う穀物の捧げ物と飲み物の捧げ物があり、決められた手順通りに捧げられる。それは心地よい香り、エホバへの火による捧げ物となる。

7 この第7の月の10日に、聖なる大会を開くべきである。自分を苦しめなければならない。どんな仕事もしてはならない。**8** エホバへの全焼の捧げ物として、若い雄牛1頭、雄羊1匹、1歳の雄の子羊7匹、全て傷のないものを差し出す。それは心地よい香りとなる。**9** それに伴う穀物の捧げ物として油を混ぜた上等の麦粉を捧げる。雄牛について6.6リットル、雄羊1匹について4.4リットル、**10** 7匹の雄の子羊について1匹につき2.2リットルである。**11** 罪の捧げ物として子ヤギ1匹を捧げる。これらは、贖罪のための罪の捧げ物や、日々の全焼の捧げ物とそれに伴う穀物の捧げ物、それらに伴う飲み物の捧げ物とは別である。

12 第7の月の15日に、聖なる大会を開くべきである。どんな労働してはならない。7日間、エホバの祭りを行わなければならない。**13** 全焼の

第29章

(イ) 民 28:3,5
民 28:11-13

(イ) 民 28:6,7

(イ) レビ 16:29

(イ) レビ 23:27-31

(イ) レビ 1:3
レビ 22:22
申 15:21
申 17:1

(イ) レビ 16:3

(イ) 出 23:16
レビ 23:34-36
申 16:13-15
ネヘ 8:14-18

第2欄

(イ) エズ 3:4

(イ) レビ 22:22
申 17:1

(イ) 民 28:3-8

(イ) レビ 22:22
申 17:1

(イ) 民 28:3-8

(イ) レビ 22:22
申 17:1

(イ) 民 28:3-8

捧げ物として、若い雄牛13頭、雄羊2匹、1歳の雄の子羊14匹、全て傷のないものを差し出す。それは火による捧げ物、エホバへの心地よい香りとなる。**14** それに伴う穀物の捧げ物として油を混ぜた上等の麦粉を捧げる。13頭の雄牛について1頭につき6.6リットル、2匹の雄羊について1匹につき4.4リットル、**15** 14匹の雄の子羊について1匹につき2.2リットルである。**16** 罪の捧げ物として子ヤギ1匹を捧げる。これらは、日々の全焼の捧げ物とそれに伴う穀物の捧げ物や飲み物の捧げ物とは別である。

17 2日目には、若い雄牛12頭、雄羊2匹、1歳の雄の子羊14匹、全て傷のないもの。**18** 雄牛、雄羊、雄の子羊の数に応じて、決められた手順通りに捧げる穀物の捧げ物と飲み物の捧げ物。**19** 罪の捧げ物である子ヤギ1匹。これらは、日々の全焼の捧げ物とそれに伴う穀物の捧げ物とそれらに伴う飲み物の捧げ物とは別である。

20 3日目には、雄牛11頭、雄羊2匹、1歳の雄の子羊14匹、全て傷のないもの。**21** 雄牛、雄羊、雄の子羊の数に応じて、決められた手順通りに捧げる穀物の捧げ物と飲み物の捧げ物。**22** 罪の捧げ物であるヤギ1匹。これらは、日々の全焼の捧げ物とそれらに伴う穀物の捧げ物や飲み物の捧げ物とは別である。

23 4日目には、雄牛10頭、雄羊2

29:7 *「自分を苦しめる」とは、断食などの制限を自分に課すことだと一般に理解されている。

ひき さい おす こひつじ ひき すべ きず
匹, 1歳の雄の子羊14匹, 全て傷のないもの。24 雄牛, 雄羊, 雄の子羊の数に応じて, 決められた手順通りに捧げる穀物の捧げ物と飲み物の捧げ物。25 罪の捧げ物であるヤギ1匹。これらは, 日々の全焼の捧げ物とそれに伴う穀物の捧げ物や飲み物の捧げ物とは別である。

26 5日目には, 雄牛9頭, 雄羊2匹, 1歳の雄の子羊14匹, 全て傷のないもの。27 雄牛, 雄羊, 雄の子羊の数に応じて, 決められた手順通りに捧げる穀物の捧げ物と飲み物の捧げ物。28 罪の捧げ物であるヤギ1匹。これらは, 日々の全焼の捧げ物とそれに伴う穀物の捧げ物や飲み物の捧げ物とは別である。

29 6日目には, 雄牛8頭, 雄羊2匹, 1歳の雄の子羊14匹, 全て傷のないもの。30 雄牛, 雄羊, 雄の子羊の数に応じて, 決められた手順通りに捧げる穀物の捧げ物と飲み物の捧げ物。31 罪の捧げ物であるヤギ1匹。これらは, 日々の全焼の捧げ物とそれに伴う穀物の捧げ物や飲み物の捧げ物とは別である。

32 7日目には, 雄牛7頭, 雄羊2匹, 1歳の雄の子羊14匹, 全て傷のないもの。33 雄牛, 雄羊, 雄の子羊の数に応じて, 決められた手順通りに捧げる穀物の捧げ物と飲み物の捧げ物。34 罪の捧げ物であるヤギ1匹。これらは, 日々の全焼の捧げ物とそれに

第29章

(例) レビ 22:22
申 17:1

(例) 民 28:3-8

(例) 申 15:21
申 17:1

(例) 民 28:3-8

(例) レビ 22:22
申 17:1

(例) 民 28:3-8

(例) レビ 22:22
申 17:1

第2欄

(例) 民 28:3-8

(例) レビ 23:36, 39

(例) レビ 22:22
申 17:1

(例) 民 28:3-8

(例) レビ 23:2
申 16:16

(例) 申 12:5, 6

(例) レビ 7:16
レビ 22:21

(例) レビ 1:3

(例) レビ 2:1

(例) 民 15:5

(例) レビ 3:1

第30章

(例) 出 18:25

(例) 創 28:20-22
裁 11:30, 31

(例) 詩 132:1-5

(例) 申 23:21
詩 116:14

詩 119:106
伝 5:4
マタ 5:33

(例) 詩 50:14
詩 66:13

ともな こくもつ ささ もの の もの ささ もの
伴う穀物の捧げ物や飲み物の捧げ物
とは別である。

35 8日目に, 特別な集まりを開くべきである。どんな労働もしてはならない。36 全焼の捧げ物として, 雄牛1頭, 雄羊1匹, 1歳の雄の子羊7匹, 全て傷のないものを差し出す。それは火による捧げ物, エホバへの心地よい香りとなる。37 それに伴う穀物の捧げ物と飲み物の捧げ物, 雄牛, 雄羊, 雄の子羊の数に応じて, 決められた手順通りに捧げ, 38 罪の捧げ物としてヤギ1匹を捧げる。これらは, 日々の全焼の捧げ物とそれに伴う穀物の捧げ物や飲み物の捧げ物とは別である。

39 これらのものを, 季節ごとの祭りの時に, 誓約の捧げ物や自発的な捧げ物に加えてエホバに捧げる。それらは全焼の捧げ物, 穀物の捧げ物, 飲み物の捧げ物, 共食の犠牲である。40 モーセは, エホバが命じたことを全てイスラエル人に告げた。

30 モーセはイスラエルの部族の長たちに話した。「エホバはこう命じました。2 男性がエホバに誓約するか, 誓いを立てて, 何かをしないという誓約をした場合, 自分の言葉に背いてはなりません。誓約した通りにすべきです。

3 女性が若くて父親の家に住んで

30:2 * または, 「義務を自分の命に課した」。

いる間に、何かをする誓約あるいは何
 かをしない誓約をエホバにした場合、
 4 父親がその娘の誓約を聞きながら、
 異議を唱えないなら、何かをするとか
 しないという娘の誓約は全て有効に
 なります。5 しかし、父親が娘の誓
 約を聞いた時に反対するなら、誓約は
 有効にはなりません。エホバは彼女
 を許します。父親が反対したからです。

6 もし女性が誓約や軽率な約束を
 したまま結婚する場合、7 夫がそれ
 を聞きながら、それを聞いた日に異議
 を唱えないなら、何かをするとかしな
 いという妻の誓約は有効になります。
 8 しかし、夫がそれを聞いた日に反
 対するなら、妻の誓約や軽率な約束を
 無効にできます。エホバは彼女を許し
 ます。

9 やもめや離婚された女性が誓約
 した場合、誓った全てのことに拘束力
 があります。

10 女性が夫の家で、何かをする
 とかしないという誓約をした場合、
 11 夫がそれを聞きながら、異議を唱
 えたり反対したりしないなら、その妻
 の誓約は全て有効になります。12 し
 かし、何かをするとかしないという妻
 のどんな誓約も、夫がそれを聞いた日
 に完全に無効にしたなら、それは有効
 にはなりません。夫がそれを無効にし
 たのであり、エホバは彼女を許します。
 13 どんな誓約も、自分に制限を課す

30:13 *または、「自分を苦しめる」。

第30章

(例) 出 20:12

(例) ロマ 7:2

コ一 11:3

エフ 5:22

(例) コー 11:3

ペー 3:1

第2欄

(例) 申 23:21

第31章

(例) 民 22:7

民 25:1-3

民 25:17, 18

コ一 10:8

啓 2:14

(例) 詩 94:1

イザ 1:24

ナホ 1:2

(例) 民 27:12, 13

申 32:48-50

(例) 民 26:51

(例) 民 25:7, 8

誓約に関するどんな誓いも、夫が有効
 にするが無効にするべきです。14 夫
 が全く異議を唱えずに日が過ぎるな
 ら、夫は妻の誓約を全て有効と認めて
 いるのです。誓ったことを聞いた日に
 異議を唱えなかったので、有効と認め
 ていることになります。15 それを聞
 いた日からしばらく後に無効にするな
 ら、夫が妻の罪の責任を取ります。

16 以上は、夫と妻について、また
 父親と若く父親の家に住んでいる娘
 について、エホバがモーセに命じた規
 定である。

31 エホバはモーセに告げた。
 2 「イスラエル人のためにミ
 ディアン人に復讐しなさい。その後、
 あなたは死んで先祖たちと共に横た
 わる。」

3 モーセは民に話した。「皆さんの
 中から人々を選んでミディアンと戦う
 ための装備をさせ、ミディアンに対す
 るエホバの復讐を行いなさい。4 イ
 スラエルの各部族から1000人ずつ軍
 隊に出すように」。5 そこで、イスラ
 エルの大勢の人のうち各部族から
 1000人が割り当てられ、1万2000人
 が戦いの装備をした。

6 モーセは、各部族から1000人ず
 つ兵士を送り出した。エレアザルの子
 で軍隊に同行する祭司ピネハスも一
 緒だった。ピネハスは、聖なる器具と

31:3 *または、「に対する軍隊」。31:5 *また
 は、「軍隊」。

あいず 合図の⁽⁷⁾ラッパを持っていた。7 彼らは、エホバがモーセに命じた通りミディアンと戦い、男性を全員殺した。

8 殺された人の中には、ミディアンの王たち、すなわちエビ、レケム、ツル、フル、レバというミディアンの5人の王がいた。ベオルの子バラムも剣で殺された。9 とはいえイスラエル人は、ミディアンの女性と子供を捕虜として連れ去った。また、ミディアンの全ての家畜、全ての所有物を奪い取った。10 そして、ミディアン人が定住していた全ての町と宿営を火で焼いた。11 イスラエル人は、人も動物も全ての戦利品と略奪品を手に入れた。12 そして、捕虜と略奪品と戦利品を、モーセと祭司エレアザルとイスラエル人の会衆の所に運んできた。宿営は、ヨルダン川の近く、エリコの向かいのモアブの砂漠平原にあった。

13 モーセと祭司エレアザルと民の長たち全員は、宿営の外まで迎えに出た。14 ところがモーセは、戦闘部隊の任命された人たち、軍事遠征から戻った千人長と百人長に対して憤った。15 モーセは言った。「女性を皆生かしておいたのですか。16 見なさい、この女性たちこそ、バラムの言葉に促されてイスラエル人を唆し、ベオルの件でエホバに対して不忠実な行為をさせた人たちです。そのためエホバの民に神罰が下ったのです。

31:10 *または、「壁で囲まれた宿営」。

第31章

(7) 民 10:2,9

(7) 民 22:12
ペニ 2:15
啓 2:14

(7) 民 22:1

(2) 民 25:17,18
申 4:3
ヨシ 22:17

(7) 民 25:1,2
啓 2:14

(7) 民 25:9
コ一 10:8

第2欄

(7) 民 31:35

(7) 民 5:2
民 19:11,16

(7) 民 19:20

(2) 民 19:9

(7) 民 19:19,20

(7) ヨシ 22:7,8
サ一 30:24

17 さあ、男の子は全員殺し、男性と性関係を持ったことがある女性も全員殺しなさい。18 男性と性関係をを持ったことがない娘は生かしておいてよいでしょう。19 皆さんは7日間、宿営の外にとどまりなさい。誰かを殺した人や、殺された人に触れた人は全員、皆さんも捕虜も、3日目と7日目に自分を清めるべきです。20 また、服、革製品、ヤギの毛でできた物、木製品も全部、罪から清めるべきです」。

21 祭司エレアザルが、戦いに行ってきた兵士たちにこう言った。「これはエホバがモーセに命じた律法による法令です。22 『金、銀、銅、鉄、スズ、鉛、23 すなわち火で処理できる物は全部、火の中を通しなさい。それは清くなる。ただし、清めの水によっても清める。そして、火で処理できない物は全部、水の中を通しなさい。24 あなたたちは7日目に服を洗って清くなるべきである。それから宿営に入るとよい』。

25 エホバはモーセにこう言った。26 「祭司エレアザルと民の家長たちと一緒に、捕らえた人と動物の両方を数え、略奪品の目録を作りなさい。27 略奪品を2つに分け、戦いに加わった兵士の方と民の残りの人たちの分とするように。28 エホバへの税として、戦いに行った兵士たちから、

31:26 *または、「父方の家の頭」。

人、牛、ロバ、羊について500分の1を
取る。29 彼らに与える半分の中か
らそれを取り、祭司エレアザルに渡し
てエホバへの寄進物とすべきである。
30 他のイスラエル人に与える半分か
らは、人、牛、ロバ、羊、あらゆる家畜に
ついて50分の1を取り、エホバの幕屋
に關係する務めを果たすレビ族に渡す
べきである。

31 モーセと祭司エレアザルは、エ
ホバがモーセに命じた通りにした。

32 戦利品、すなわち遠征に行った
人々が略奪した物の残りは次の通
りである。羊67万5000匹、33 牛
7万2000頭、34 ロバ6万1000頭。

35 男性と性關係を持ったことがない
女性には3万2000人だった。36 戦い
に行った人たちが受ける分である半
分は、羊について33万7500匹となり、

37 そのうちエホバへの税は675匹と
なった。38 牛は3万6000頭で、エ
ホバへの税は72頭だった。39 ロバ
は3万500頭で、エホバへの税は61頭
だった。40 人は1万6000人で、エ
ホバへの税は32人だった。41 モー
セは、税をエホバへの寄進物として
祭司エレアザルに渡した。エホバが
モーセに命じた通りである。

42 イスラエル人のものとなる半分、
すなわち戦った人たちのものとは別
にした分は、次の通りである。43 羊
33万7500匹、44 牛3万6000頭、

31:28 *または、「500ごとに1つの命」。ヘブライ
語、ネフェシュ。用語集参照。

第31章
(例)民18:20,29

(例)民3:6,7
民18:2,3
代一23:32

(例)申12:19

(例)民31:18

(例)民18:8,19

第2欄

(例)民3:6,7
民18:2,3
代一23:32

(例)申12:19

(例)民31:4

(例)出23:27
レビ26:7,8

第32章
(例)民26:7

(例)民26:18

(例)民21:32

45 ロバ3万500頭、46 人1万6000
人。47 モーセは、イスラエル人のも
のとなる半分から、人と動物について
50分の1を取り、エホバの幕屋の務め
を果たすレビ族に渡した。エホバが
モーセに命じた通りである。

48 千人隊の任命された人たち、千
人長と百人長がモーセの所に来て、
49 こう言った。「指揮下の兵士を数
え、全員無事であることを確認いたし
ました。50 ですから、各自が見つけ
た物、すなわち金の物品、足首の飾り、
腕輪、認印指輪、耳輪などの装飾品を
エホバへの捧げ物として差し出させ
てください。エホバの前で私たち自身
のために贖罪を行うためです」。

51 モーセと祭司エレアザルは、彼
らから金を、装飾品全部を受け取った。
52 千人長と百人長がエホバに捧
げた寄進物の金は全部で190キロと
なった。53 兵士たちはそれぞれ自
分のために略奪品を手に入れていた。
54 モーセと祭司エレアザルは、千人
長と百人長から金を受け取って会見
の天幕の中に持っていく、エホバがし
てくださったことをイスラエルの民が
思い起こすようにした。

32 ルベンの子たちとガドの子
たちは非常に多くの家畜を
持っていた。そしてヤゼルやギレアデ
の土地を見ると、そこは家畜に適し

31:54 *もしかすると、「イスラエルの民がエホ
バに思い起こされる」。

た場所^{ばしょ}だった。2 それでモーセと祭^{さい}司^しエレアザルと民の長たちの所^{ところ}に来て、こう言った。3 「アタロト、ディボン、ヤゼル、ニムラ、ヘシュボン、エルアレ、セバム、ネボ、ベオンなど、4 エホバがイスラエルの民のために征服してくださった土地は、家畜に適した土地です。そして私たちには家畜がたくさんあります」。5 さらにこう言った。「私たちがあなたの好意を得ていましたら、この土地を私たちの所有地としてお与えください。私たちがヨルダン川を渡らなくてもよいようにしてください」。

6 モーセはガドの子たちとルベンの子たちに言った。「兄弟たちが戦いに行く一方で、皆さんはここで暮らしているのですか。7 一体どうして、エホバが与えてくださるはずの土地に渡っていかうとするイスラエルの民の意欲を失わせるのですか。8 皆さんの父親たちも、その土地を見るためにカデシュ・バルネアから遣わされた時に、そのようにしました。9 エシュコルの谷まで上っていった、エホバが与えてくださるはずの土地を見た時に、その土地に入っていこうとするイスラエルの民の意欲を失わせたのです。10 その日、エホバは怒りに燃え、こう誓いました。11 『エジプトから出てきた20歳以上の人たちは、私がアブラハム、イサク、ヤコブに誓った

第32章

(7) 民 21:26

(1) 民 33:47

(7) 民 32:37,38

(12) 民 21:23,24
申 2:24

(7) 申 2:35

(7) 民 13:31
ヨシ 14:7,8(14) 民 13:23
申 1:24(7) 民 13:32
申 1:26-28(7) 詩 95:11
エゼ 20:15
ペブ 3:18

第2欄

(7) 創 13:14,15
創 26:3
創 28:13(1) 民 14:29,30
申 2:14

(7) 民 13:30

(12) ヨシ 19:49

(7) 民 14:24
申 1:34-38
ヨシ 14:8(7) 民 14:33
申 29:5
ヨシ 5:6
詩 95:10
使徒 13:18(14) 民 26:63,64
申 2:14
コ一 10:5
ペブ 3:17(7) 申 3:18
ヨシ 4:12

(7) ヨシ 22:1,4

(12) 民 32:33
ヨシ 12:1
ヨシ 13:8

と土地^{ちど}を見ない。私に心から従^{したが}わなかったからである。12 ただし、ケナズ人エフネの子カレブとヌンの子ヨシュアは別である。2人はエホバに心から従ったからである。13 エホバはイスラエルに対して怒りに燃え、彼らを40年間、荒野でさまよわせました。そしてエホバから見て悪を行っていた世代の人は皆、終わりを迎えました。14 今度は皆さんが、イスラエルに対するエホバの燃える怒りを激しくさせる罪深い人たちの子として、父親たちと同じように立ち上がっています。15 神に従うことをやめるなら、神は必ず民を再び荒野に置きます。皆さん

のせいで、この民全てが滅びることになります。16 その後、彼らはモーセの所に来て、こう言った。「ここに、家畜のために石囲いを、子供たちのために町を造らせてください。17 それでも、私たちは戦う態勢を保ち、イスラエル人を皆彼らの場所に連れていくまで、先頭を行きます。その間、私たちの子供たちは防備された町にいて、この土地の住民から守られます。18 私たちは、イスラエル人がそれぞれ自分の土地を得るまでは家に帰ります。19 とはいえ、ヨルダン川の向こう側で彼らと一緒に土地を得ることはしません。ヨルダン川の東側で土地を得ているからです」。

20 モーセは答えた。「もし皆さん

がエホバの前で戦いのために武器
を取るつもりなら、**21** エホバの前
で武器を取ってヨルダン川を渡るな
ら、神が敵をご自分の前から追い払
い、**22** 土地がエホバの前で制圧さ
れた後、皆さんは帰ることができま
す。エホバとイスラエルの前で罪はあ
りません。この土地はエホバの前で
皆さんの所有地となります。**23** しか
し、もしそうしないなら、エホバに対
して罪を犯すことになります。その場
合、罪の報いを受けることになるでし
ょう。**24** 子供たちのために町を、羊
のために石囲いを造って構いません。
しかし、約束したことを果たさなけれ
ばなりません。

25 ガドの子たちとルベンの子たち
はモーセに言った。「私たちはご命令
通りにいたします。**26** 子供と妻たち
と全ての家畜は、ギレアデの町々にと
どまります。**27** しかし男性は、お言
葉通り、皆エホバの前で戦うために武
装して渡っていきます」。

28 モーセは彼らに関して、祭司エ
レアザルとヌンの子ヨシュア、イスラ
エルの部族の家長たちに命令を与え
た。**29** モーセは言った。「ガドの子
たちとルベンの子たちでエホバの前
で戦うために武装した男性全員が、皆
さんと一緒にヨルダン川を渡り、みな
さんが土地を制圧したなら、ギレアデの
土地を彼らの所有地として与えな

第32章

(例) ヨシ 4:13

(例) 詩 78:55

(例) ヨシ 11:23

ヨシ 18:1
詩 44:2

(例) ヨシ 22:4, 9

(例) 申 3:19, 20
ヨシ 1:14, 15
ヨシ 13:8(例) 民 32:16
民 32:34-38

(例) ヨシ 1:12-14

(例) ヨシ 4:12

第2欄

(例) ヨシ 13:15, 24

(例) ヨシ 4:13

(例) 申 3:12

(例) ヨシ 22:7

(例) 民 21:23, 24
申 2:31

(例) 申 3:4

(例) 民 33:45
ヨシ 13:15, 17

(例) 民 32:3, 4

(例) 申 2:36
ヨシ 12:1, 2

(例) 民 21:32

(例) 裁 8:11

(例) 民 32:3, 4

(例) ヨシ 13:27, 28

(例) 民 21:26

(例) 民 32:3, 4

(例) ヨシ 13:15, 19

(例) 民 32:3, 4

(例) ヨシ 13:15, 17

(例) 民 26:29

い。**30** しかし、もし武器を取って皆
さんと一緒に渡っていかないなら、彼
らはカナン地方で皆さんの間に定住
することになります」。

31 それに対してガドの子たちとル
ベンの子たちは言った。「エホバが私
たちに話されたことをその通りにい
たします。**32** 私たちは武器を取っ
て、エホバの前でカナン地方に渡って
いきます。それでも、私たちが授かる
所有地はヨルダン川のこちら側です」。

33 モーセは、ガドの子たちとルベン
の子たち、またヨセフの子マナセの部
族の半分に、アモリ人の王シホンの王
国とバシヤンの王オグの王国、領土内
の町々の土地や周辺地域の町々を与
えた。

34 ガドの子たちは以下の町を造っ
た。ディボン、アタロト、アロエル、

35 アトロト・ショファン、ヤゼル、ヨグ
ベハ、**36** ベト・ニムラ、ベト・ハラン。
防備された町である。また、羊のため
に石囲いを造った。**37** ルベンの子
たちは以下の町を造った。ヘシュボン、
エルアレ、キルヤタイム、**38** ネボ、バ
アル・メオン(これらの名前は変えられ
ている)、そしてシブマ。彼らは再建し
た町の名前を変えていった。

39 マナセの子マキルの子たちは
ギレアデに進軍し、そこを攻め取り、
そこにいたアモリ人を追い払った。

40 モーセはギレアデをマナセの子マ

32:34 *または、「再建した」。

32:28 *または、「父方の家の頭」。

キルの子たちに^こ与え、彼ら^あはそこに^{かれ}住むようになった。**41** マナセの子ヤイル^{しんぐん}も進軍してその地域の^{ちいき}天幕村^{てんまくむら}を攻め取り、ハボト・ヤイルと呼ぶことにした。**42** ノバハも進軍してケナトと^{しゅうへん}周辺の町を攻め取り、そこに自分の名前^{せと}を付けてノバハと呼ぶことにした。

33 モーセとアロンに^{ひき}率^{すべ}いられてグループごとにエジプトを出たイスラエルの民の行程は以下の通りだった。**2** モーセはエホバの指示で各行程の出発地を記録していた。以下が、ある出発地から次の所までの行程である。**3** イスラエル人は第1の月の15日にラメセスを出発した。過ぎ越しの翌日に、全てのエジプト人が見る中、意気揚々と出ていった。**4** エジプト人は、エホバが打った全ての初子を葬っていた。エホバは彼らの神々を裁いて処罰したのである。

5 イスラエル人はラメセスを出発して、スコトに宿営した。**6** スコトを出発して、荒野の端にあるエタムに宿営した。**7** エタムを出発し、バアル・ツェフォンが見えるピハヒロトに向かって引き返し、ミグドルの前に宿営した。**8** ピハヒロトを出発し、海の中を通して荒野に入り、エタムの荒野を3日間進んで、マラに宿営した。

9 民はマラを出発してエリムに来了。エリムには12の泉と70本のヤシ

32:41 *意味、「ヤイルの天幕村」。**33:1** *直訳、「軍隊」。

第32章

(例)申3:13
ヨシ13:31
ヨシ17:1
(例)申3:14
ヨシ13:29,30

第33章

(例)ヨシ24:5
サー12:8
(例)出13:18
(例)出12:51
(例)民9:17
(例)出12:2
出13:4
(例)創47:11
出12:37
(例)出12:3,6
申16:1
(例)出12:29
詩78:51
(例)出12:12
出18:11
(例)出12:37
(例)出13:20
(例)出14:9
(例)出14:2
(例)出14:22
(例)出15:22
(例)出13:20
(例)出15:23

第2欄

(例)出15:27
(例)出16:1
(例)出17:1,8
(例)出18:5
出19:1,2
民1:1
民3:4
民9:1
(例)民11:34
申9:22
(例)民11:35
出12:16
(例)民9:17
(例)申10:6

の木があったので、そこに宿営した。**10** エリムを出発して、紅海のそばに宿営した。**11** 紅海を出発して、シンの荒野に宿営した。**12** シンの荒野を出発して、ドフカに宿営した。**13** ドフカを出発して、アルシュに宿営した。**14** アルシュを出発して、レフィディムに宿営した。そこには民の飲む水がなかった。**15** レフィディムを出発して、シナイの荒野に宿営した。

16 民はシナイの荒野を出発して、キプロト・ハタアワに宿営した。**17** キプロト・ハタアワを出発して、ハツエロトに宿営した。**18** ハツエロトを出発して、リトマに宿営した。**19** リトマを出発して、リモン・ペレツに宿営した。**20** リモン・ペレツを出発して、リブナに宿営した。**21** リブナを出発して、リサに宿営した。**22** リサを出発して、ケヘラタに宿営した。**23** ケヘラタを出発して、シェフル山に宿営した。

24 民はシェフル山を出発して、ハラダに宿営した。**25** ハラダを出発して、マクヘロトに宿営した。**26** マクヘロトを出発して、タハトに宿営した。**27** タハトを出発して、テラに宿営した。**28** テラを出発して、ミトカに宿営した。**29** ミトカを出発して、ハシュモナに宿営した。**30** ハシュモナを出発して、モセロトに宿営した。**31** モセロトを出発して、ベネ・ヤアカンに宿営した。**32** ベネ・ヤア

カンを出発して、ホル・ハギドガドに宿営した。33 ホル・ハギドガドを出発して、ヨトバタに宿営した。34 ヨトバタを出発して、アブロナに宿営した。35 アブロナを出発して、エツヨン・ゲベルに宿営した。36 エツヨン・ゲベルを出発して、チンの荒野、カデシュに宿営した。

37 民はカデシュを出発して、エドム地方の境界にあるホル山に宿営した。

38 祭司アロンはエホバの指示でホル山に登っていき、イスラエル人がエジプトを出てから40年目、第5の月の1日にそこで死んだ。39 アロンはホル山で死んだ時、123歳だった。

40 カナン地方のネゲブに住むカナン人、アラドの王は、イスラエル人が来ることを聞いた。

41 民はホル山を出発して、ツアルモナに宿営した。42 ツアルモナを出発して、プノンに宿営した。43 プノンを出発して、オボトに宿営した。

44 オボトを出発して、モアブの国境にあるイエ・アバリムに宿営した。

45 イイムを出発して、ディボン・ガドに宿営した。46 ディボン・ガドを出発して、アルモン・ディブラタイムに宿営した。47 アルモン・ディブラタイムを出発して、ネボの前にあるアバリム

の山地に宿営した。48 アバリムの山地を出発して、ヨルダン川のそば、エリコの向かいのモアブの砂漠平原に宿営した。49 民は、ペト・エシモ

第33章

[7] 申 10:7

[1] 申 2:8
王一9:26[2] 民 20:1
民 27:14
申 32:51
ヨシ 15:1

[2] 民 20:22

[2] 申 10:6

[2] 民 21:1

[2] 民 21:4

[2] 民 21:10

[2] 創 19:36,37
民 21:11,13

[2] 民 32:34

[2] 申 34:1

[2] 民 27:12
申 32:48,49

[2] 民 22:1

第2欄

[7] 民 25:1
ヨシ 2:1

[1] ヨシ 3:17

[2] レビ 26:1

[2] レビ 19:4
申 27:15[2] 出 23:24
出 34:13,17
申 7:5
申 12:3

[2] 申 32:8

[2] 格 16:33

[2] 民 26:53,54

[2] ヨシ 15:1
ヨシ 16:1
ヨシ 18:11[2] 裁 1:21
詩 106:34[2] 出 23:31-33
申 7:3,4
ヨシ 23:12,13
裁 2:2,3[2] レビ 18:28
ヨシ 23:15

トからアベル・シッテムにかけて、モアブの砂漠平原に、ヨルダン川沿いに宿営していた。

50 エホバは、ヨルダン川のそば、エリコの向かいのモアブの砂漠平原でモーセに話した。51 「イスラエル人にこう告げなさい。『あなたたちはヨルダン川を渡ってカナン地方に入る。52 その土地の住民を皆あなたの前から追い払い、彼らの石の彫り物や金属像を全て打ち壊さなければならない。彼らの聖なる高い場所を全て破壊すべきである。53 あなたたちはその土地を手に入れてそこに住む。私が必ず所有地として与えるからである。54 あなたたちは、氏族間でくじによって土地を配分しなければならない。大人数があれば、相続していく土地を多くし、小人数であれば、少なくすべきである。くじで当たる所が所有地となる。父の部族に従って、相続していく所有地を得る。』

55 しかし、もしその土地の住民をあなたたちの前から追い払わないなら、残しておいた人たちは目に入ると、脇腹を刺すいばらとなって、あなたが住む土地であなたたちを悩ませる。56 私は、彼らに行うつもりだったことをあなたたちに行う。』

34 エホバはモーセにさらにこう話した。2 「イスラエル人にこう指示しなさい。『あなたたち

33:52 * または、「鍛造された像」。

がカナン^{ち ほう はい としき}地方に入る時、あなたが授^{さず}かる土地^{とち}、カナン^{ち ほう きょうかいせん}地方の境界線は以下の通りとする。

3 南^{みな きょうかい}の境界は、エドム^{よこ}の横^{よこ}のチン^{ちん}の荒野^{こうや}から延^のびる。南^{みな}の境界線^{きょうかいせん}は、東^{ひがし}は荒野^{こうや}から延^のびる。南^{みな}の境界線^{きょうかいせん}は、東^{ひがし}は塩^{しほ}の海^{かい}の先端^{せんたん}から始^{はじ}まる。**4** 境界線^{きょうかいせん}は向きを変^かえてアクラビム^{うみ}の上^{うみ}り坂^{さか}の南^{みなみ}を通^{とつ}り、チン^{ちん}に続^{つづ}き、カデシュ・バルネア^{か だ しゅ ば る ね あ}の南^{みなみ}に達^{たつ}する。それからハツアル・アッダル^{はつ いう かる あつ だ ら}に延^のびて、アツモン^{あつ ぶん}に続^{つづ}く。

5 そしてアツモン^{あつ ぶん}で向きを変^かえてエジプト^{え じ ぷ と}の谷^{たに}に向^むかい、海^{うみ}に達^{たつ}する。

6 西^{にし きょうかいせん}の境界線^{きょうかいせん}は、大海^{お かい}とその沿岸^{えんがん}である。これが西^{にし}の境界線^{きょうかいせん}となる。

7 北^{きた きょうかいせん}の境界線^{きょうかいせん}は次の通りである。大海^{お かい}からホル山^{さん}まで境界線^{きょうかいせん}を引^ひく。

8 ホル山^{さん}からレボ^{ら ぶ}・ハマト^{は ま と}まで境界線^{きょうかいせん}を引^ひき、境界線^{きょうかいせん}はツェダド^{たつ}に達^{たつ}する。

9 そしてジフロン^のに延^のびて、ハツアル・エナン^{はつ いう かる えん}に達^{たつ}する。これが北^{きた}の境界線^{きょうかいせん}となる。

10 東^{ひがし}は、ハツアル・エナン^{はつ いう かる えん}からシェファム^{しや ふ ん}まで境界線^{きょうかいせん}を引^ひく。**11** 境界線^{きょうかいせん}はシェファム^{しや ふ ん}から、アイン^{あ い ん}の東^{ひがし}のリブラ^{ら ぶ ら}に延^のびる。境界^{きょうかい}は下^{くだ}ってキネレト湖^{き ね れ と け}の東^{ひがし}斜^{しや}面^{めん}を横^{よこ}切^きる。**12** そしてヨルダン^{う り だ ん}川^{がわ}に延^のび、塩^{しほ}の海^{かい}に達^{たつ}する。以上^{いじょう}があなたたちの土地^{とち}と周囲^{しゅうい}の境界線^{きょうかいせん}となる。』

13 モーセ^{じん し じ}はイスラエル^{いす ら え る}人に指示^{し し}

34:3 *死海のこと。**34:5** *または、「ワジ」。
*大海、地中海のこと。**34:6** *地中海のこと。
34:8 *または、「ハマトの入り口」。**34:11** *ゲネサレ湖つまりガリラヤ湖のこと。

第34章

(7) 創15:18
創17:8
(1) 創10:19
申4:38
ヨシ1:4
ヨシ14:1
エシ3:19
使徒17:26
(7) ヨシ15:1,2
(12) 裁1:36
(8) 民13:26
民32:8
(7) ヨシ15:1,3
(14) 出23:31
ヨシ15:1,4
(7) ヨシ1:4
ヨシ15:12
(7) 民13:21
王二14:25
(10) エゼ47:15
(11) エゼ47:17
(12) 申3:16,17
ヨシ11:1,2
ルカ5:1
ヨハ6:1
(12) ヨシ15:1,2
(14) 申8:7-9

第2欄

(7) 民26:55
民33:54
ヨシ14:2
ヨシ18:6
格16:33
(1) 民32:33
申3:12,13
ヨシ13:8
(7) 民32:5,32
(12) 民3:32
民20:26
ヨシ14:1
(8) 民14:38
民27:18
ヨシ19:51
(7) 民1:4,16
(14) ヨシ15:1
(7) 民14:30
民26:65
(7) ヨシ19:1
(10) ヨシ18:11
(11) ヨシ19:40
(12) 創46:20
創48:5
ヨシ16:1
(12) ヨシ17:1
(14) ヨシ16:5
(7) ヨシ19:10
(11) ヨシ19:17
(11) ヨシ19:24
(7) ヨシ19:32

し、こう言^いった。「これがくじによつて所^{しよ}有^{ゆう}地^ちとして配^{はい}分^{ぶん}する土地^{とち}です。エホバが9部族^{ぶ ぞく}半^{はん}に与^{あた}えるようにと命^{めい}じた通^{とお}りです。**14** ルベン^{る べ ん}族^{ぞく}とガド^{が だ}族^{ぞく}、マナセ^{ま な せ}族^{ぞく}の半分^{はん ぶん}は、すでに土地^{とち}を得^えているからです。**15** その2部族^{ぶ ぞく}半^{はん}は、エリコ^{え り こ}のそばのヨルダン^{がわ}川^{ち ほう}の地方^{ひがし}の東^{ひがし}、日^ひの出^での側^{がわ}ですでに土地^{とち}を得^えています」。

16 エホバはモーセ^{はな}にさら^{はな}に話^{はな}した。**17** 「あなたたちに所有^{しよゆう}地^ちとして土地^{とち}を分^わける人^{ひと}たちの名^な前は、祭司^{さいし}エレアザ^{え り あ ざ}ルとヌン^この子^こヨシュア^{しや}である。**18** また、あなたたちが授^{さず}かる土^と地^ちを分^わけるため、各部族^{ぶ ぞく}から長^{ちやう}を1人^{ひとり}と^と 以下^{い げ}がその人^{ひと}たちの名^な前^{まえ}である。ユダ^{ぶ だ}族^{ぞく}からエフネ^{え ぶ ね}の子^こカレブ^か。

20 シメオン^{し め お ん}の子^こたちの部族^{ぶ ぞく}からアミフド^{あ み ふ と}の子^こシエムエル^{し め ん ぐ}。**21** ペニヤミン^{べ に や み ん}族^{ぞく}からキスロン^{き す ろ ん}の子^こエリダド^{え り だ と}。**22** ダン^{だ ん}の子^こたちの部族^{ぶ ぞく}から長^{ちやう}としてヨグリ^{よ ぐ り}の子^こズビキ^{ず び き}。**23** ヨセフ^{よ せ け}の子^このうち、マナセ^{ま な せ}の子^こたちの部族^{ぶ ぞく}からは長^{ちやう}としてエフオド^{え ぶ お ど}の子^こハニエル^{は に え ん}。**24** エフライム^{え ぶ ら い ん}の子^こたちの部族^{ぶ ぞく}からは長^{ちやう}としてシフトン^{し ふ と ん}の子^こケムエル^{け ん ぐ}。**25** ゼブルン^{ぜ ぶ る ん}の子^こたちの部族^{ぶ ぞく}からは長^{ちやう}としてパルナク^{ぱ る な く}の子^こエリザパン^{え り ざ ぱ ん}。**26** イッサカル^{い っ さ か る}の子^こたちの部族^{ぶ ぞく}からは長^{ちやう}としてアザン^{あ ざ ん}の子^こパルティエル^{ぱ る て い え ん}。**27** アシエル^{あ し え ん}の子^こたちの部族^{ぶ ぞく}からは長^{ちやう}としてシェロミ^{し ょ ろ み}の子^こアヒフド^{あ ひ ふ と}。**28** ナフタリ^{な ぷ た り}の子^こたちの部族^{ぶ ぞく}からは長^{ちやう}としてアミフド^{あ み ふ と}の子^こペダフエル^{ぺ だ ふ え ん}」。
29 以上^{いじょう}が、カナン^{ち ほう}地方^{ち ほう}でイスラエル^{いす ら え る}

人に土地を分配するようエホバが命じた人々たちである。

35 エホバは、ヨルダン川のそば、エリコの向かいのモアブの砂漠平原で、続けてモーセに言った。**2** 「イスラエル人に、所有する土地の中からレビ族に住む町を与えるよう指示しなさい。町の周囲の牧草地もレビ族に与えるべきである。**3** レビ族はそれらの町に住み、牧草地は彼らの家畜、所有物、他の全ての動物のためのものとなる。**4** レビ族に与える町の牧草地は、町の周囲の城壁から外側に450メートルである。**5** 町を真ん中にして外側を、東側は900メートル、南側は900メートル、西側は900メートル、北側は900メートル測るべきである。これがレビ族の町の牧草地となる。

6 レビ族に与える町は、6つの避難の町、すなわち人を殺した者が逃げるための町、および42の町である。**7** レビ族に合計48の町とその牧草地を与える。**8** イスラエル人の所有地の中からそれらの町を与える。大きな部族からは多く取り、小さな部族からは少なく取る。各部族が、授かった土地に応じて幾つかの町をレビ族に与える。

9 エホバは続けてモーセに言った。**10** 「イスラエル人に告げなさい。『あなたたちはヨルダン川を渡ってカナン地方に行く。**11** 自分たち

第34章

(イ) 民 34:18
申 32:8
ヨシ 19:51
使徒 17:26

第35章

(イ) 民 22:1
民 36:13

(イ) 創 49:7
申 18:1
ヨシ 14:4

(イ) レビ 25:32-34
ヨシ 21:3
代二 11:14

(イ) ヨシ 20:2, 3, 7, 8
ヨシ 21:13, 21, 27, 32, 36, 38

(イ) 申 4:42

(イ) ヨシ 21:3

(イ) 創 49:7

(イ) 民 26:54
民 33:54

(イ) 出 3:8
出 23:23
民 34:2

第2欄

(イ) 出 21:12, 13
申 4:42
申 19:4, 5

(イ) 民 35:19
申 19:6

(イ) 申 19:11, 12
ヨシ 20:5, 9

(イ) 申 4:41-43

(イ) 申 19:8, 9
ヨシ 20:7

(イ) 出 12:49
レビ 19:34
民 15:16

(イ) ヨシ 20:2, 3

(イ) 創 9:5
出 21:12
レビ 24:17
申 19:11, 12

にとつて都合の良い町を選び、避難の町とすべきである。意図せずに人を殺した者はそこに逃げるべきである。

12 それらの町は復讐者からの避難所となる。これは、人を殺した者が民の前で裁かれるまでに死ぬことのないためである。**13** あなたたちが与える6つの避難の町がこの目的を果たす。**14** ヨルダン川のこちら側で3つの町、カナン地方で3つの町を避難の町とする。**15** これら6つの町は、イスラエル人、外国人居住者、共にいる移住者にとつて避難所となり、誰でも意図せずに人を殺した者はそこに逃げられる。

16 しかし、ある者が鉄の道具で誰かを打って、その人が死んだなら、その者は殺人者である。必ず死刑にされるべきである。**17** また、人を死なせかねない石で誰かを打って、その人が死んだなら、その者は殺人者である。必ず死刑にされるべきである。**18** また、人を死なせかねない木の道具で誰かを打って、その人が死んだなら、その者は殺人者である。必ず死刑にされるべきである。

19 復讐者である人が殺人者を死刑にする。その人が、殺人者に出会った時に、死刑にされる。**20** また、ある者が誰かを憎んで突き飛ばしたり、悪意をもって物を投げ付けたりして、そ

35:11, 15 *または、「打った」。**35:12** *または、「流血に対する復讐者」。**35:20** *直訳、「待ち伏せて」。

(イ) 出 21:12,13
申 19:4,5
ヨシ 20:2,3

第2欄

第36章

(カ) 民 26:55
民 33:54

(牛)民27:1-7

33 あなたたちが住む土地を汚して
はならない。血が土地を汚すのであ
る。土地に流された血に関して、それ
を流した者の血による以外に贖罪は
なされない。34 あなたが暮らす土
地、私が住んでいる土地を汚しては
ならない。私エホバはイスラエルの民
の中に住んでいるのである。」

36 ヨセフの子たちの氏族のう
ち、マナセの子マキルの子ギ
レアデの子孫の氏族の長たちが近
づいてきて、モーセとイスラエル人の
長老たちの前で話した。2 こう言った。
「エホバはあなたに、土地をくじによ
ってイスラエル人に所有地として分配す
るようにとお命じになりました。また、
あなたは、私たちの兄弟ツェロフハド
が授かる土地を彼の娘たちに与える
ようにとの命令をエホバからお受け
になりました。3 とはいえ、彼女たち
がイスラエルの他の部族の男性と結
婚したら、彼女たちが相続する土地は、
私たちの父たちの相続分から外れ、彼
れと女たちが所属するようになる部族の土
地に加えられます。くじで配分された

わたしとちはず
私たちの土地からは外れてしまうので
す。4 イスラエルの民にとってヨベ
ルが来ても、彼女たちが相続する土地
は彼女たちが所属している部族の土
地に加えられたままです。こうして、彼
女たちが相続する土地は、私たちの父
たちの部族の土地から外れることに
なります。

5 モーセは、エホバの指示でイス
ラエル人にこう命じた。「ヨセフの
子たちの部族が言うことは正しいで
す。6 ツェロフハドの娘たちのため
にエホバはこう命じました。『彼女た
ちは望む人と結婚してよい。ただし、
父親の部族内の氏族のひとと結婚すべ
きである。7 イスラエル人の相続地
を部族から部族へと移してはならな
い。イスラエル人は父祖の部族の相
続地を保持するべきである。8 イス
ラエルの部族の中で相続地を所有す

第36章
[7]レビ 25:10

第2欄
[7]代一 23:22

[7]民 36:6

[7]民 27:1

[7]民 26:3
民 33:50
民 35:1

むすめ みな ちちおや ぶぞく ひと つま
る娘は皆、父親の部族の人の妻となる
べきである。イスラエル人が自分の父
祖の相続地を所有し続けるためであ
る。9 相続地を1つの部族から別の
部族へと移してはならない。イスラエ
ルの各部族は自分の相続地を保持す
べきである』。

10 ツェロフハドの娘たちはエホバ
がモーセに命じた通りにした。11 マ
フラ、ティルツァ、ホグラ、ミルカ、ノ
ア、すなわちツェロフハドの娘たち
は、父親の兄弟の子どもたちと結婚した。
12 ヨセフの子マナセに属する氏族の
男性の妻となった。彼女たちが相続す
る土地が、父親の部族内にとどまるた
めだった。

13 以上が、ヨルダン川のそば、エ
リコの向かいのモアブの砂漠平原で、
エホバがモーセを通してイスラエル
人に与えたおきてと法規である。

申命記

概要

- ホレブ山を出発する (1-8)
長と裁判人の任命 (9-18)
カデシュ・バルネアでの不従順 (19-46)
イスラエルは土地に入ろうとしない (26-33)
カナンの征服は失敗に終わる (41-46)
- 荒野を38年間さまよう (1-23)
ヘシュボンの王シホンに対する勝利 (24-37)
- バシヤンの王オグに対する勝利 (1-7)
ヨルダン川より東の土地の区分 (8-20)

- ヨシュアは、恐れてはならないと言われる
(21, 22)
モーセは土地に入れない (23-29)
- 従順の勧め (1-14)
神が行った事を忘れてはならない (9)
エホバは全くの専心を要求する (15-31)
エホバのほかに神はいない (32-40)
ヨルダン川より東の避難の町 (41-43)
律法の前置き (44-49)
 - ホレブでのエホバの契約 (1-5)

- 十戒がもう一度述べられる (6-22)
民はシナイ山で恐れる (23-33)
- 6 心を尽くしてエホバを愛する (1-9)
「聞きなさい、イスラエル」 (4)
親は子供を教える (6, 7)
エホバを忘れてはならない (10-15)
エホバを試してはならない (16-19)
次の世代に語る (20-25)
- 7 滅ぼされる7つの国民 (1-6)
イスラエルが選ばれた理由 (7-11)
従うなら成功する (12-26)
- 8 エホバからの祝福を振り返る (1-9)
パンだけで生きるのではない (3)
エホバを忘れてはならない (10-20)
- 9 イスラエルに土地が与えられる理由 (1-6)
イスラエルはエホバを4度怒らせる (7-29)
金の子牛 (7-14)
モーセのとりなし (15-21, 25-29)
3度怒らせる (22)
- 10 新たな石板2枚 (1-11)
エホバが求めていること (12-22)
エホバを畏れ、愛する (12)
- 11 エホバの偉大さを見た (1-7)
約束の地 (8-12)
従順の報い (13-17)
神の言葉を中心に刻む (18-25)
「祝福と災い」 (26-32)
- 12 神が選ぶ場所で崇拜する (1-14)
肉は食べてよいが、血は食べてはならない (15-28)
他の神々によってわなに掛かってはならない (29-32)
- 13 背教者の扱い方 (1-18)
- 14 嘆き悲しむ時の不適切な行為 (1, 2)
清い食物と汚れた食物 (3-21)
エホバへの10分の1 (22-29)
- 15 7年ごとに債務を取り消す (1-6)
貧しい人を援助する (7-11)
7年ごとに奴隷を解放する (12-18)
奴隷の耳にきりを刺し通す (16, 17)
動物の初子を神聖なものとする (19-23)
- 16 過ぎ越し、無酵母パンの祭り (1-8)
- 七週の祭り (9-12)
仮小屋の祭り (13-17)
裁判人を任命する (18-20)
禁じられた崇拜の対象 (21, 22)
- 17 犠牲に欠陥があってはならない (1)
背教の問題を扱う (2-7)
裁くのが難しい問題 (8-13)
将来の王のための指針 (14-20)
王は律法の写しを作る (18)
- 18 祭司とレビ族の分 (1-8)
占いや魔術などは禁じられている (9-14)
モーセのような預言者 (15-19)
偽りの預言者を見分ける方法 (20-22)
- 19 流血の罪と避難の町 (1-13)
境界標識をずらしてはならない (14)
法廷の証人 (15-21)
2人が3人の証人が必要 (15)
- 20 戦争に関する規則 (1-20)
兵役の免除 (5-9)
- 21 犯人不明の殺人 (1-9)
捕虜の女性との結婚 (10-14)
長男の権利 (15-17)
頑固な息子 (18-21)
杭に掛けられる人は忌まわしい (22, 23)
- 22 隣人の動物を無視しない (1-4)
異性の服を着ること (5)
動物への思いやり (6, 7)
屋上のへりの低い壁 (8)
不適切な組み合わせ (9-11)
衣服に房を作る (12)
性的な罪に関する律法 (13-30)
- 23 神の会衆に入れない人たち (1-8)
陣営の清さ (9-14)
逃げてきた奴隷 (15, 16)
売春は禁じられている (17, 18)
利息と誓約 (19-23)
通りすがりの人が食べてもよい物 (24, 25)
- 24 結婚と離婚 (1-5)
命への敬意 (6-9)
貧しい人への配慮 (10-18)
落ち穂拾いに関する規則 (19-22)
- 25 打ちたたくことに関する規定 (1-3)

- 脱穀している牛に口籠を付けてはならない (4)
 義兄弟結婚 (5-10)
 けんかの時に不適当な所をつかむ (11, 12)
 ごまかしのない重りと計量容器 (13-16)
 アマレク人は滅ぼされなければならない (17-19)
- 26 初物を捧げる (1-11)
 もう1つの10分の1 (12-15)
 イスラエルはエホバの特別な所有物 (16-19)
- 27 律法を石に書く (1-10)
 エバル山とゲリジム山で (11-14)
 災いの対象が挙げられる (15-26)
- 28 従順に対する祝福 (1-14)
 不従順に対する災い (15-68)
- 29 モアブでのイスラエルとの契約 (1-13)
 不従順に対する警告 (14-29)
 秘められている事柄、啓示された事柄 (29)
- 30 エホバのもとに帰る (1-10)

- エホバの命令は難し過ぎるものではない (11-14)
 命と死のどちらかを選ぶ (15-20)
- 31 モーセの死が近い (1-8)
 律法の朗読 (9-13)
 ヨシュアの任命 (14, 15)
 イスラエルの反逆が予告される (16-30)
 イスラエルを教えるための歌 (19, 22, 30)
- 32 モーセの歌 (1-47)
 エホバは岩のような方 (4)
 イスラエルは岩のような方を忘れる (18)
 「復讐は私がする」 (35)
 「国々よ、神の民と共に喜べ」 (43)
 モーセが死ぬのはネボ山 (48-52)
- 33 モーセは各部族が受ける祝福を述べる (1-29)
 エホバの「永遠の腕」 (27)
- 34 エホバはモーセに土地を見せる (1-4)
 モーセの死 (5-12)

1 これは、ヨルダン地方の荒野、ス
 フに面する砂漠平原、パラン、ト
 フェル、ラバン、ハツエロト、ディザハブ
 の間でモーセがイスラエル全体に話
 した言葉である。2 ホレブからセイ
 ル山の間を道を経てカデシュ・バルネアま
 では11日間である。3 第40年の第
 11の月の1日、モーセは、イスラエル
 人に告げるとエホバが命じた
 ことごとをその通りに話した。4 ヘ
 シボンに住んでいたアモリ人の王シ
 ホンを倒し、アシュタロテに住んでい
 たバシャンの王オグをエドレイで打ち
 破った後のことである。5 モーセは、
 モアブ地方のヨルダン川近くで、以下
 のように律法を説明し始めた。

第1章

(ア) 申 9:23
 (イ) 民 32:13
 民 33:38
 (ウ) 民 21:23,24
 ヨシ 12:1,2
 (エ) 民 21:33-35
 (オ) ヨシ 13:8,12
 (カ) 申 4:8
 申 17:18
 ネヘ 8:7

第2欄

(ア) 出 19:1
 民 10:11,12
 (イ) 創 15:16
 (ウ) ヨシ 12:2,3
 (エ) ヨシ 9:1,2
 (オ) ヨシ 13:1,5
 王一 9:19
 (カ) 創 15:18
 (キ) 創 26:3
 (ク) 創 28:13
 (ケ) 創 12:7
 創 13:14,15
 創 17:1,7

6 「私たちの神エホバはホレブで
 私たちにこう話しました。『あなたた
 ちはこの山地に長くどまつている。
 7 準備して旅立ち、アモリ人の山地に
 行き、その近隣のアラバや山地やシェ
 フェラやネゲブや海岸地方、カナン人
 の土地、またレバノンに向かい、さ
 らに大河ユーフラテスまで行きなさい。
 8 さあ、私はその土地をあなたたちの
 ために用意した。行って、エホバが父
 祖たち、アブラハム、イサク、ヤコブに、
 彼らとその子孫に与えると誓った土地
 を取得しなさい。』
 9 私はその時、皆さんに言いまし
 れる。

1:7 *用語集参照。#レバノン山脈と考えら
 れる。

だろうか。兄弟たちは「私たちより大きく背の高い民、大きくて天に届く城壁に囲まれた町、それにアナクの子たちを見た」と言って、私たちの心をくじいた』。

29 私は言いました。『彼らのためにおじけついたり恐れたりしてはなりません。 **30** エホバ神が皆さんの前をいき、戦ってくださいます。エジプトで皆さんの目の前でしたのと同じようにです。 **31** 皆さんが見た通り、エホバ神は荒野で、人が子供にするように皆さんを抱いて運んでくださいました。ここに来るまでの間ずっとそうでした』。

32 それでも、皆さんはエホバ神に信仰を持ちませんでした。 **33** 皆さんの前を進み、宿営する場所を偵察してくださった神にです。神は、夜は火により、昼は雲によって現れ、皆さんが歩むべき道を示してくださいました。

34 その間ずっと、エホバは皆さんが話すことを聞いていました。そして憤り、こう誓いを聞いた。 **35** 『この悪い世代の人のうち誰も、私が父祖たちに与えると誓った良い土地を見ない。

36 ただし、エフネの子カレブは別である。カレブはそれを見る。私は彼が歩いた土地を彼とその子たちに与える。エホバに心から従ったからである。

37 (皆さんのことでエホバは私にも怒り、こう言いました。「あなたもそこには入らない。 **38** あなたに仕えている人、ヌンの子ヨシュアがそこに入

第1章

(例) 民 13:28, 33

(例) 民 13:22
ヨシ 11:21(例) 民 32:9
ヨシ 14:7, 8

(例) 民 14:9

(例) 出 14:14
ヨシ 10:42

(例) 民 14:22

(例) 詩 78:22
詩 106:24
ヘブ 3:16, 19
ユダ 5(例) 出 13:21
出 40:36
民 10:33, 34
詩 78:14(例) 民 14:28, 35
民 32:10-12
申 2:14
詩 95:11
ヘブ 3:11(例) 民 14:29, 35
コー 10:1, 5
ヘブ 3:17(例) 民 14:24
ヨシ 14:9(例) 民 20:12
民 27:13, 14
申 3:26
詩 106:32(例) 出 33:11
民 11:28

第2欄

(例) 民 14:38

(例) 民 27:18
申 31:7
ヨシ 1:6, 9

(例) 民 14:3

(例) 民 14:30, 31

(例) 民 14:25

(例) 民 14:39-45

(例) レビ 26:14, 17

第2章

(例) 民 14:25

る。ヨシュアを力づけない。彼がイスラエルにその土地を取得させるからである。 **39** さらに、連れ去られてしまおうあなたたちが言った子供たち、今は善悪が分からない子供たちも入り、私はそこを彼らに与えて所有させる。

40 あなたたちは引き返し、荒野に向かって出発し、紅海の道を行くように』。

41 皆さんは私に言いました。『エホバに対して罪を犯しました。エホバ神に命じられた通り、上って行って戦います!』そしてそれぞれ武器を身に着け、山に登っていくのは簡単なことと考えました。 **42** しかしエホバは私に言いました。『彼らに告げなさい。「上って行って戦ってはならない。私はあなたたちと共にいないからだ。上っていくなら、敵に打ち破られる。』」。

43 私はそのことを伝えましたが、皆さんは聞こうとせず、エホバの指示に背いて、あえて山に登っていくことしました。 **44** すると、その山に住むアモリ人が出てきて皆さんを迎え撃ち、蜜蜂のように皆さんを追撃し、セイルに、ホルマにまで散らしました。 **45** 皆さんは戻ってきてエホバの前で泣き始めましたが、エホバは聞かず、注意を払いませんでした。 **46** こうして皆さんはカデシュに長い間とどまりました。

2 エホバが私に告げた通り、私たちは向きを変え、荒野に向かって出発し、紅海の道を行きました。私

2:5 *または、「を挑発して」。

2:13. 14 *または、「ワジ」。

31 エホバは私に言いました。『さ
あ、私はシホンと彼の土地をあなたに
渡し始めた。彼の土地を取得し始めな
さい』。32 シホンが兵士全てと共に
出てきて、ヤハツで私たちを迎え撃とう
とした時、33 エホバ神は彼を私た
ちに渡しました。そのため私たちは彼
とその子たちと兵士全てを打ち破りま
した。34 私たちはその時、彼の全て
の町を攻め取り、どの町も、男性も女
性も子供たちも滅ばし尽くし、一人も
生かしてはおきませんでした。35 奪
め取った町からの戦利品以外に、奪
い取ったのは家畜だけです。36 ア
ルノンの谷のへりにあるアロエルか
ら、谷にある町を含め、ギレアデまで、
私たちの手に負えない町はありません
でした。私たちの神エホバはその
全てを渡してくださいました。37 し
かし、アンモン人の土地、ヤボクの谷
全体や山地の町々、また私たちの神
エホバが禁じたその他の場所には近
づきませんでした。

18 私はその時こう命じました。『皆さんの神エホバはこの土地を取得するようにと与えてくださいました。勇士は皆、武器を取って、自分の兄弟であるイスラエル人の前を渡っていきます。』

19 ただし、皆さんの妻、子供、家畜は(私は、皆さんが非常に多くの家畜を持っていることをよく知っています)、私が皆さんに与えた町にそのままどまります。20 エホバが、皆さんと同じように兄弟たちが安心して住めるようにしてくださるまでです。兄弟たちは、ヨルダン川の向こうでエホバ神が与えてくださる土地を取得します。その後、皆さんはそれぞれ、与えられた所有地に戻ってきます。』

21 私はその時ヨシュアにこう命じました。『あなたは自分の目で、エホバ神がこの2人の王にしたことを見ました。これから渡っていく全ての王国にも、エホバは同じことをします。22 皆さんは恐れてはなりません。エホバ神が戦ってくださるからです。』

23 その時、私はエホバに嘆願しました。24 『主権者である主エホバ、あなたは、ご自分の偉大さと力強い腕を私のような者に示し始められました。天や地のどんな神が、あなたが行われたような強大なことを行うでしょう。25 どうか私に渡っていかせ、ヨルダン川の向こうの良い土地、良い山地とレバノンを見させてください。』26 しかし、エホバは皆さんのことで

第3章

(例) 民 32:20-22

(イ) ヨシ 1:14, 15
ヨシ 22:4, 8

(例) 民 11:28

民 14:30

民 27:18

(例) ヨシ 10:25

(例) 出 14:14
出 15:3

申 1:30

申 20:4

ヨシ 10:42

(例) 出 15:16
申 11:2(例) 出 15:11
サニ 7:22

王一 8:23

詩 86:8

エレ 10:6, 7

(例) 出 3:8
申 1:7

申 11:11, 12

第2欄

(例) 民 20:12
民 27:13, 14

申 4:21

詩 106:32

(イ) 民 27:12

(例) 申 34:1, 4

(例) 民 27:18-20
申 1:38

申 31:7

(例) ヨシ 1:1, 2

(例) 申 4:45, 46
申 34:5, 6

第4章

(例) レビ 18:5

(例) 申 12:32
格 30:5, 6
啓 22:18, 19(例) 民 25:5, 9
詩 106:28
ホセ 9:10

コ一 10:7, 8

(例) レビ 26:46
民 30:16

民 36:13

申 6:1

わたしに激怒したままで、願いを聞き入れてくださいませんでした。エホバはこう言いました。『あなたの話はもう十分だ! この件について二度と私に話してはならない。27 ピスガの頂上に登り、西、北、南、東に目を向けて、その土地を自分の目で見なさい。あなたはこのヨルダン川を渡らないからである。28 ヨシュアを指導者に任命し、励まして力づけなさい。ヨシュアがこの民の前に立って渡っていき、あなたが見る土地を民に取得させるからである。』29 この間ずっと、私たちはベト・ペオルに面する谷にとどまっていた。』

4 イスラエル、私が教える規定と法規を聞いて、守りなさい。皆さんが生き、父祖の神エホバが与えてくださる土地に入ってそれを取得するためです。2 私が命じる言葉に付け加えてはならず、それから取り去ってもなりません。私が命じる、皆さんの神エホバのおきてを守りなさい。』

3 皆さんは自分の目で、ペオルのバアルに関してエホバが行ったことを見ました。エホバ神は、ペオルのバアルに従って歩んだ人を全員、皆さんの中から滅ぼしました。4 しかし、エホバ神にしっかりとついている皆さんは、今日生きています。5 私は、エホバ神から命じられた通りに規定と法規を教えました。皆さんが、取得する土地でそれを守るためです。6 それ

に注意深く従わなければなりません。

そうすることにより、その全ての規定に

ついて聞くさまざまな民は、皆さんに

知恵と理解力があることを見て取りま

す。彼らは、『この強大な国民は確か

に知恵と理解力がある民だ』と言うで

しょう。7 私たちの神エホバは私た

ちが呼び掛けるときいつでも近くに

てくださいますが、どんな強大な国民

がそのような神々を持っているでしょ

うか。8 また、どんな強大な国民が、

私が今日皆さんに提示するこの律法

全体のように正しい規定と法規を持っ

ているでしょうか。

9 ただ注意してよく気を付け、自分

の目で見た事を忘れないようにし、そ

れが生涯ずっと心から離れないように

しなさい。また、それを子や孫に知ら

せなければなりません。10 あなた

がホレブでエホバ神の前に立った日

に、エホバは私にこう言いました。

『民を私のものに集合させなさい。民

が私の言葉を聞いて、地上で生きてい

る間ずっと私を畏れることを学ぶため、

子供たちを教えるためである』。

11 皆さんは近くに来て、山の麓に

立ちました。山は燃えていて火が天に

まで達し、闇と雲と濃い暗闇がありま

した。12 エホバが火の中から皆さんに話し始め、皆さんは声を聞きました。何の形も見ませんでした。声だ

第4章

(例) 王1:2-3

(例) 詩 111:10

(例) 詩 119:98,100

(例) 王1:4-34

王10:4-7

ダニ1:19,20

(例) 出 25:8

レビ 26:12

申 5:26

サニ 7:23

(例) 詩 147:19,20

(例) 創 18:19

申 6:6,7

(例) 出 19:9

(例) 出 20:20

申 5:29

(例) 格 22:6

エフ 6:4

(例) 出 19:18

ヘブ 12:18,19

(例) 申 9:10

(例) イザ 40:18

ヨハ 1:18

ヨハ 4:24

第2欄

(例) 出 20:22

(例) 出 19:5

申 5:2

申 9:9

ヘブ 9:19,20

(例) 出 20:1

出 34:28

申 10:4

(例) 出 24:12

出 31:18

出 32:19

出 34:1

(例) 出 20:4

申 27:15

イザ 40:18

使徒 17:29

コリ 10:14

(例) 申 5:8

ロマ 1:22,23

(例) サ1:5-4

(例) 申 17:2,3

王二 17:16

エゼ 8:16

(例) 出 19:5

(例) 詩 106:32

(例) 民 20:12

申 31:1,2

けでした。13 神は、ご自分の契約

を皆さんに述べ、それを、つまり十戒

を守るようにと命じました。その後、石

板2枚にそれを書きました。14 その

ときエホバは、入っていつて取得する土

地で守るべき規定と法規を皆さんに

教えるよう、私に命じました。

15 エホバがホレブで火の中から

話した日に、皆さんは何の形も見ませ

ませんでした。ですから、よく気を付けな

さい。16 墮落して彫刻像を作った

りすることがないようにしなさい。す

なわち、どんな象徴の形も、男性や女

性をかたどった物も、17 地上のど

んな動物をかたどった物も、空を飛ぶ

どんな鳥をかたどった物も、18 地面

を動くどんな物をかたどった物も、水

の中のどんな魚をかたどった物もです。

19 また、天を見上げて太陽と月と星

を、天の全ての物を見る時、惑わされ

たりひれ伏したり崇拜したりしてはな

りません。あなたの神エホバはそれら

を地上全体の全ての民に与えました。

20 しかし皆さんは、エホバがとって、

溶鉱炉から、エジプトから連れ出した

人たちがであり、今日のように神自身が

所有する民となりました。

21 エホバは皆さんのことで私に怒

り、私がヨルダン川を渡ることも、エホ

バ神が皆さんに授ける良い土地に入

ることもない、と誓いました。22 私

4:13 *直訳、「十の言葉」。デカログとも呼ば

れる。4:19 *直訳、「全軍」。4:20 *または、

「神の財産である」。

はこの土地^{とち し}に死^しに、ヨルダン^{がわ わた}川^をを渡^{わた}り
ません。皆さんは渡^{わた}っていき、良い土^{よき}
地^ちを取得^{しゅとく}します。23 エホバ神^{かみ みな}が皆^{みな}
さんと結^{むす}んだ契約^{けいやく}を忘^{わす}れないように気^き
を付^つけなさい。また彫刻^{ちようこく}像^{ぞう}を、エホバ
神^{かみ}が禁^{きん}じたどんなもの^{なにか}の形^{かたち}も、作^{つく}つて
はなりません。24 あなたの神^{かみ}エホバ
は焼^やき尽^{つく}す火^ひであり、全^{せん}く^{しん}の専心^{せんしん}
を要求^{ようきゅう}する神^{かみ}だからです。

25 あなたに子^こや孫^{まご}が生まれ、その
土地^{とち}に長^{なが}く住^すんだ後^{あと}に、身^みを滅^{ほろ}ぼすよ
うな行^{こう}動^{どう}を取り、どんな物^{もの}でも彫刻^{ちようこく}像^{ぞう}
を作^{つく}り、あなた^{おこな}の神^{かみ}エホバから見て悪^{あく}
いことを行^{おこな}って神^{かみ}を怒^{いか}らせるなら、
26 私は今日^{けふ}、天^{てん}と地^ちを証^{しょう}人に^{にん}にします
が、皆さん^{みな}は必^{かな}ず、ヨルダン川^{がわ わた}を渡^{わた}つて
取得^{しゅとく}する土地^{とち}からすぐ^{すぐ}に滅^{ほろ}びます。
そこで長^{なが}く生^いきることはなく、滅^{ほろ}ぼされ
てしまいます。27 エホバは皆さん^{みな}
をさまざまな民^{たみ}の中^{なか}に散^ちらして、少^{しょう}数^{すう}の
人^{ひと}だけが、エホバによつて追^おいやられ
るその国^{くに}々^{くに}で生^いき残^{のこ}ります。28 そこ
で、人^{ひと}が作^{つく}った木^きや石^{いし}の神^{かみ}々^{かみ}に仕^{つか}える
ことになりま^{なり}す。見^みることも聞^きくことも
食^たべることも嗅^かぐこともで^かきない神^{かみ}々^{かみ}
にです。

29 もしそこからあなた^{かみ}の神^{かみ}エホバ
を探^{さが}し求^{もと}めるなら、心^{こころ}を尽^{つく}し、自^じ分^{ぶん}
の全^{ぜん}てを尽^{つく}くして探^{さが}し求^{もと}めるなら、必^{かな}ず
神^{かみ}は見^みつかりま^{なり}す。30 あなたは、や
がて窮^{きやう}地に^ち陥^{おち}り、この全^{ぜん}てが自^じ分^{ぶん}の身^み
に起^おきる時^{とき}、エホバ神^{かみ}のもとに帰^{かえ}つて、
その方^{かた}の言^いうこと^{こと}を聞^ききます。31 あ

第4章

(例) 申 3:27
(例) 出 24:3
(例) 出 20:4
(例) 出 24:17
申 9:3
ヘブ 12:29
(例) 出 20:5
出 34:14
民 25:11
ルカ 10:27
(例) 裁 18:30
王二 21:1,7
(例) 王二 17:16,17
(例) レビ 18:24,28
レビ 26:27,32
(例) 申 28:64
ネヘ 1:8
(例) 申 28:62
(例) 申 28:15,36
エレ 16:13
エゼ 20:39
(例) 申 30:1-3
申 30:8-10
王一 8:48,49
エレ 29:13
ヨエ 2:12
(例) 代二 15:4,15
(例) 代二 33:13
ネヘ 1:9

第2欄

(例) 出 34:6
申 30:3
代二 30:9
ネヘ 9:31
イザ 54:7
イザ 55:7
(例) レビ 26:42
(例) 詩 44:1
(例) 申 5:26
(例) 出 7:3
(例) 出 15:3
(例) 出 13:3
(例) 申 26:8
詩 78:43-51
(例) 出 6:7
(例) 出 15:11
申 32:39
サー 2:2
イザ 45:18
マル 12:32
(例) 出 19:18
出 20:22
(例) 申 10:15
詩 105:6

なたの神^{かみ}エホバは憐^{あわ}れみ深^{ふか}い神^{かみ}です。
あなたを見^み捨てたり、破^は滅^{めつ}に至^{いた}らせたり、
父^ふ祖^そたち^{たち}に誓^{ちか}った契^{けい}約^{やく}を忘^{わす}れたり
はしません。

32 さあ、あなたより前^{まえ}の時代^{じだい}、神^{かみ}
地上^{ちじょう}に人間^{にんげん}を創^{そう}造^{ぞう}した日^ひからのこと
を、尋^{たず}ねてみなさい。空^{そら}の一方^{いつぱう}の端^{はし}か
ら他^た方^{ほう}の端^{はし}まで探^{さが}してみなさい。これ
ほど偉^い大なこと^{こと}がなされたこと^{こと}があり
ますか。このようなこと^{こと}を聞^きいたこと
があるでし^なょうか。33 火^かの中^{なか}から話^{はな}
す神^{かみ}のこえをあなた^{おこな}と同じ^{おな}じように聞^きいて、
生^いき続^{つづ}けている民^{たみ}がほかにい^いるでし^なょうか。
34 また神^{かみ}がご自^じ分^{ぶん}のため^{ため}に、
裁^{さい}さ^{*}し、しるし、奇^き跡^{せき}、戦^{せん}い、力^{ちから}強い手^て、
伸^のばした腕^{うで}、恐^{おそ}るべき行^{こう}為^いによつて、
1つ^{ひとつ}の国民^{こくみん}を他^たの国民^{こくみん}の中^{なか}から取^とろう
としたこと^{こと}がありま^{あり}したか。皆さん^{みな}の
神^{かみ}エホバはエジ^えプトで、皆さん^{みな}の目^め
前^{まえ}でそうしてくだ^{くだ}さいました。35 あ
なたにそれ^{それ}らのこと^{こと}が示^{しめ}されたのは、
エホバこそ真^{しん}の神^{かみ}であること^{こと}をあなた^{あなた}
が知^しるため^{ため}です。そのほかにい^いない
のです。36 あなたを正^{ただ}すため^{ため}に神^{かみ}
は天^{てん}からご自^じ分^{ぶん}の声^{こゑ}を聞^{きこ}かせ、地上^{ちじょう}で
あなた^{あなた}に大^{おお}きな火^ひを見^みせました。あな
たは火^ひの中^{なか}から出^でる神^{かみ}の言^{こと}ばを聞^きき
ました。

37 神^{かみ}は、あなた^{あなた}の父^ふ祖^そたち^{たち}を愛^{あい}
して彼^{かれ}らの子^し孫^{そん}を選^{えら}んだで、自^じら大^{だい}
きな力^{ちから}をもつてあなた^{あなた}をエジ^えプトから連^つ
れ出^だしました。38 そして、あなた^{あなた}よ

4:34 *または、「試すこと」。

り大きく強い国民をあなたの前から追ひ払って、あなたを彼らの土地に連れていき、今日のように、そこをあなたに授けてくださいました。39 それで今日、エホバが天でも地でも真の神であることを知って、心に留めなさい。ほかにいないのです。40 あなたは、私が今日命じる神の規定とおきてを守らなければなりません。あなたとあなたの子たちにとって物事がうまくいくため、あなたの神エホバが与えてくださる土地で長く生きるためです」。

41 その時モーセはヨルダン川の東側で3つの町を取り分けた。42 意図せずに仲間を殺してしまい、以前から憎んでいたのではない場合、これらの町のいずれかに逃げて生きなければならぬ。43 3つの町は、ルベン族の台地の荒野にあるベツェル、ガド族のギレアデのラモト、マナセ族のバシャンのゴランである。

44 これはモーセがイスラエルの民の前に示した律法である。45 モーセはこれらの教えと規定と法規をエジプトから出た後にイスラエル人に与えた。46 ヨルダン地方、ベト・ペオルに面する谷、アモリ人のシホン王の土地でのことだった。エジプトから出てきたモーセとイスラエル人は、ヘシュボンに住んでいたシホンを打ち破った。47 そして、シホンの土地とバ

4:43 *または、「高原」。4:45 *または、「思い出させるもの」。

第4章

[ア] 出 23:28
申 7:1
申 9:1
ヨシ 3:10
[イ] 代 20:6
[ウ] イザ 44:6
[エ] 創 48:3,4
[オ] 民 35:14
[カ] 民 35:22-24
[キ] 民 35:11,25
申 19:4,5
[ク] ヨシ 21:8,36
[ケ] ヨシ 21:8,38
[コ] ヨシ 20:8,9
[ク] ヨシ 21:27
[セ] 申 17:18
申 27:2,3
ガラ 3:24
[ソ] レビ 26:46
申 4:1
[タ] 申 1:5
申 3:29
[チ] 民 21:26
[リ] 民 21:23,24

第2欄

[ア] 民 21:33
申 3:4
[イ] 申 2:36
申 3:12
[ウ] 申 3:8,9
[エ] 申 3:16,17
申 34:1

第5章

[ア] 出 19:5
ヘブ 9:19,20
[イ] 出 19:9,18
使徒 7:38
[ウ] 出 20:19
ガラ 3:19
[エ] 出 19:16
[イ] 出 13:3
出 20:2
[ロ] 出 20:3-6
王二 17:35
[ハ] レビ 26:1
申 4:15,16
申 4:23
申 27:15
使徒 17:29

シャンのオグ王の土地を取得した。ヨルダン川の東側にいたアモリ人の2人の王の土地である。48 それは、アルノンの谷のへりにあるアロエルから、シーオン山つまりヘルモン山までであり、49 ヨルダン川の東側のアラバ全体、ピスガの傾斜地の麓にあるアラバの海までを含む。

5 モーセはイスラエル全体を呼んで、こう言った。「イスラエル、私が今日皆さんに知らせる規定と法規を聞きなさい。それを学び、注意深く守らなければなりません。2 私たちの神エホバはホレブで私たちと契約を結びました。3 エホバはその契約を父祖たちと結んだのではなく、今日ここに生きている私たち全員と結びました。4 エホバはその山で、火の中から皆さんと顔を合わせて話しました。5 私はその時エホバと皆さんの間に立って、エホバの言葉を伝えました。皆さんは火のために恐れて山に登らなかったからです。神はこう言いました。

6 『私はあなたの神エホバである。奴隷となっていたあなたをエジプトから連れ出した。7 あなたは私以外のどんなものも神としてはならない。

8 あなたは、天や地や水の中にあるものに似たどんな彫刻像や形も作ってはならない。9 それにひれ伏して

4:48 *または、「ワジ」。4:49 *塩の海つまり死海のこと。5:7 *または、「私に反抗して」。直訳、「私の顔に逆らって」。

はならず、誘^{さそ}われてそれを崇拜^{すうはい}しても
ならない。あなたの神^{かみ}である私^{わたし}エホ
バは全くの専心^{せんしん}を要求^{ようきゅう}する神^{かみ}である。
わたしに^{にく}ひと^{ひと}と^{ちち}あやま
私^{わたし}を憎^{にく}む人^{ひと}については、父^{ちち}の過^{あやま}ちに
対^{たい}する処罰^{しよばつ}を子^こや孫^{まご}やひ孫^{まご}に及^{およ}ぼす。
10 私^{わたし}を愛^{あい}して私^{わたし}のおきてを守^{まも}る人^{ひと}に
ついては、子孫^{しそん}千代^{せんだい}にまで揺^ゆるぎない
愛^{あい}を示^{しめ}す。

11 あなたの神^{かみ}エホバの名^なをむや
みに用^{もち}いてはならない。その名^なをむや
みに用^{もち}いる人^{ひと}をエホバは処罰^{しよばつ}せずに
はおかない。

12 あなたの神^{かみ}エホバに命^{めい}じられ
た通り、安息日^{あんそくび}を守^{まも}ってそれを神聖^{しんせい}な
日^ひとしなさい。**13** 6日間^{かかん}働^{はたら}いて全て
の仕^し事^{ごと}をする。**14** しかし、7日^{しちにち}目は
あなたの神^{かみ}エホバの安息日^{あんそくび}である。
どんな仕^し事^{ごと}もしてはならない。あなた
も息子^{むすこ}や娘^{むすめ}も、男奴隷^{おとこどれい}や女奴隷^{おんなどれい}も、牛^{うし}
やロバやどんな家畜^{かちく}も、あなたの町^{まち}に
いる外国^{がいこく}人居住者^{じんきゅうしや}もである。男奴隷^{おとこどれい}
や女奴隷^{おんなどれい}があなたと同じように休^{やす}
みためである。**15** 自分がエジプト^{じぶん}で
奴隷^{おとこどれい}となり、エホバ神^{かみ}の力^{ちから}強い手^てと伸^の
ばした腕^{うで}によってそこから連^つれ出^だされ
たことを覚えていなさい。そのためあ
なたの神^{かみ}エホバは、安息日^{あんそくび}を守^{まも}るよう
命^{めい}じたのである。

16 あなたの神^{かみ}エホバに命^{めい}じられ
た通り、父^{ちち}と母^{はは}を敬^{うやま}いなさい。そうす
れば、あなた^{かみ}の神^{かみ}エホバが与^{あた}える土^ど
地^ちで長^{なが}く生^{せい}き、成^{せい}功^{こう}できる。

5:10 *または、「愛ある親切」。**5:16** *または、「
「物事がうまくいく」。

第5章

〔イ〕出 23:24
コ一 10:14

〔イ〕出 34:14
申 4:24

イザ 42:8
マタ 4:10

〔イ〕出 34:6,7
〔ユ〕出 22:28

レビ 19:12
〔イ〕出 20:7

レビ 24:16
〔イ〕出 16:23

出 20:8-10
出 31:13

〔イ〕出 34:21
〔イ〕出 16:29

〔イ〕ネヘ 13:15
〔ユ〕出 23:12

〔イ〕申 10:17
エフ 6:9

〔イ〕出 6:6
申 4:34

〔ユ〕出 21:15
レビ 19:3

申 27:16
格 1:8

マル 7:10
〔イ〕出 20:12

エフ 6:2,3

第2欄

〔イ〕創 9:6

出 20:13
民 35:20,21

マタ 5:21
ロマ 13:9

〔イ〕出 20:14
コ一 6:18

ヘブ 13:4
〔イ〕出 20:15

レビ 19:11
格 30:8,9

コ一 6:10
エフ 4:28

〔ユ〕出 20:16
出 23:1

レビ 19:16
申 19:16-19

格 6:16,19
格 19:5

〔イ〕マタ 5:28
〔イ〕出 20:17

ルカ 12:15
ロマ 7:7

〔イ〕出 19:9,18
〔イ〕出 24:12

出 31:18
申 4:12,13

〔イ〕出 20:18
ヘブ 12:18,19

〔ユ〕出 24:17
〔イ〕申 4:33,36

17 殺人^{さつじん}をしてはならない。
18 姦淫^{かんいん}をしてもらならない。

19 盗^{ぬす}んでもならない。

20 仲間^{なかま}について偽^{いつわ}りの証言^{しょうげん}をして
もらならない。

21 仲間^{なかま}の妻^{つま}を欲^ほしいと思^{おも}ってもな
らない。仲間^{なかま}の家^{いえ}や、畑^{はたけ}、男奴隷^{おとこどれい}、女
奴隷^{おんなどれい}、牛^{うし}、ロバなど、仲間^{なかま}のどんなも
のも利己^{りこ}的に欲^ほしいと思^{おも}ってはなら
ない。』

22 エホバは、これらのおきてを会
衆^{しゅう}の全員^{ぜんいん}に山^{やま}で話^{はな}しました。火^ひと雲^{くも}と
濃^こい暗闇^{くらやみ}の中^{なか}から大^{おほ}きな声^{こえ}で話^{はな}し、ほ
かには何^{なん}も付^{くわ}け加^かえませんでした。そ
して、それ^{それ}を石板^{せきばん}2枚^{まい}に書^かいて私^{わたし}に与^{あた}
えました。

23 ところが、山^{やま}が火^ひで燃^もえている
間に、闇^{くらやみ}の中^{なか}から出^でる声^{こえ}を聞^きくとすぐ、
部族^{ぶぞく}の長^{ちやうぜんいん}全員^{ぜんいん}と長^{ちやうろう}老^{わとし}たちが私^{わたし}の所^{ところ}に
来^きました。**24** そして言^いいました。
『今^{いま}、私^{わたし}たちの神^{かみ}エホバはご自分^{じぶん}の榮^{えい}
光^{こう}と偉^わ大^{だい}さを私^{わたし}たちに示^{しめ}し、私^{わたし}たちは
火^ひの中^{なか}から出^でる声^{こえ}を聞^ききました。今日^{けふ}
私^{わたし}たちは、神^{かみ}が人^{ひと}と話^{はな}して、人^{ひと}がな
お生^いきているのを見^みました。**25** し
かし、今^{いま}、私^{わたし}たちはどうして死^しななけれ
ばならないのでしょうか。この大^{おほ}きな火^ひ
が私^{わたし}たちを焼^やき尽^{つく}すかもしれませ
ん。エホバ神^{かみ}の声^{こえ}を聞^きき続^{つづ}けたら、
きつと死^しんでしまいます。**26** 全て^{すべて}の
人^{ひと}の中^{なか}で、生^{せい}きている神^{かみ}が火^ひの中^{なか}から
話^{はな}す声^{こえ}を私^{わたし}たちのよう^{よう}に聞^きいて、それ

5:22 *直訳、「言葉」。*用語集参照。

でも生き続けている人がいるでしょう
か。 **27** あなたが近くに行って、私
たちの神エホバが言う全てのことを聞
いてください。そして、エホバ神が言
う全てのことを私たちに話すのです。
私たちはそれを聞いて行きます。』

28 エホバは、皆さんが私に話した
言葉を聞いていました。エホバは私
に言いました。『私はこの民があな
たに話す言葉を聞いた。彼らが言っ
た通りでよい。 **29** 彼らが、私を畏れ
て私の全てのおきてを守ろうとする。心
をいつも持っていてよいのである。

そうすれば、彼らと彼らの子たちにとっ
て永遠に物事がうまくいく。 **30** 行っ
て、「自分の天幕に帰りなさい」と彼ら
に言いなさい。 **31** しかしあなたは
私と共にここにるように。私は全て

のおきてと規定と法規をあなたに話そ
う。あなたはそれを民に教えるべきで
あり、民は私が与えて取得させる土地
でそれを守らなければならない。』

32 皆さんは注意して、エホバ神に命
じられた通りにすべきです。右にも左
にもそれではなりません。 **33** 皆さんの
神エホバが命じたし道をひたすら歩
みなさい。皆さんが生きて、繁栄し、取
得する土地で長く生きるためです。

6 これは、皆さんに教えるようにと
エホバ神が与えてくださったお
きてと規定と法規です。皆さんが渡っ
ていって取得する土地で守るためのも
のです。 **2** それは、あなたとあなた

第5章

(例) 出 20:19
ヘブ 12:18,19

(例) 申 18:16,17

(例) 格 4:4
格 7:2
伝 12:13
イザ 48:18
ヨ一 5:3

(例) 申 10:12
ヨブ 28:28
格 1:7
マタ 10:28
ペ一 2:17

(例) 詩 19:8,11
ヤコ 1:25

(例) 申 6:3,25
申 8:1

(例) 申 12:32
ヨシ 1:7,8

(例) 申 10:12

(例) 申 4:40
申 12:28
ロマ 10:5

第2欄

第6章

(例) 創 18:19
申 4:9

(例) 格 3:1,2

(例) 申 5:7
イザ 42:8
ゼカ 14:9
マル 12:29,32
コ一 8:6

(例) 申 10:12
申 11:13
申 30:6
マタ 22:37
マル 12:30,33
ルカ 10:27

(例) 創 18:19
申 4:9

格 22:6

エフ 6:4

(例) 申 11:19

(例) 申 11:18

(例) 創 15:18

(例) ヨシ 24:13

詩 105:44

の子と孫が生涯ずっと、エホバ神を畏
れ、私が命じる神の法令とおきて全て
を守るため、そして長く生きるためで
す。 **3** イスラエル、あなたは聞き、そ
れを注意深く守らなければなりません。
父祖たちの神エホバが約束した
とおひじょうひよくとちちはんえいとお
通り、非常に肥沃な土地で繁栄して大
いに増えるためです。

4 聞きなさい、イスラエル、私たち
の神エホバはただひとりのエホバで
す。 **5** あなたは、心を尽くし、力を尽
くし、自分の全てを尽くして、あなたの
神エホバを愛さなければなりません。

6 私が今日命じるこれらの言葉があ
なたの心に入っていないければなりませ
ん。 **7** あなたはその言葉を自分の

子にしっかり教え、家で座るときも、道
を歩くときも、寝るときも、起きるときも
それについて話さなければなりません。
8 それを思い起こすためにあな
たの手に結び、額にある帯のようにし
なければなりません。 **9** それをあな
たの家の戸口の柱と門に書きなさい。

10 あなたの神エホバが、あなたに
与えたと父祖たち、アブラハム、イサク、
ヤコブに誓った土地に連れていってく
ださる時、自分で建てたのではない大
きくて良い町を得、 **11** 自分で働いて
手に入れたのではないあらゆる良い
物でいっぱいの家、自分で掘ったので

6:3 *直訳、「乳と蜜が流れる地」。**6:5** *また
は、「活力」、「資力」。**6** *ヘブライ語、ネフェシュ。
用語集参照。**6:7** *または、「繰返し言い」、
「銘記させ」。**6:8** *直訳、「目の間」。

はない水^{みづ}ため、自分で植^うえたのではないブドウやオリーブの木^きも得^え、食^たべて満足^{まんぞく}するようになった時^{とき}、**12** 奴隷^{どれい}となっていた土地^ちエジプトからあなたを連れ出^つしてくださったエホバを忘れないう^う注意^{ちゅうい}しなさい。**13** あなたの神^{かみ}エホバを畏^{おそ}れ、この方^{かた}に仕^{つか}え、その名^なに懸^かけて誓^{ちか}うべきです。**14** ほかの神々^{かみかみ}、周囲^{しゅうい}の民^{たみ}のどんな神々^{かみかみ}にも従^{したが}ってはなりません。**15** あなたのただ中^{なか}にいるエホバ神^{かみ}は全^{まった}くの専心^{せんしん}を要求^{ようきゅう}する神^{かみ}だからです。この命令^{めいれい}通り^{どおり}にしないなら、エホバ神^{かみ}の怒^{いか}りがあるあなたに對^{たい}して燃^もえ、あなたは地上^{ちじょう}から滅^{ほろ}ぼされます。

16 あなたはマッサで試^{ため}したよう^{よう}にエホバ神^{かみ}を試^{ため}してはなりません。**17** エホバ神^{かみ}のおきてと神^{かみ}から従^{したが}うようにと命^{めい}じられた教^{おし}えと規定^{きてい}を懸念^{けんめい}に守^{まも}りなさい。**18** エホバから見て正^{ただ}しくて良^よいことを行^{おこな}わなければなりません。あなたが繁栄^{はんえい}し、エホバが父祖^{ふそ}たちに誓^{ちか}った良^よい土地^ちに入^{はい}って、それを取^{しゅとく}得^えるため^{ため}です。**19** エホバの約束^{やくそく}通り、全^{すべ}ての敵^{てき}をあなたの前^{まえ}から追^おい払^{はら}うのです。

20 将来^{しょうらい}、あなたの子^こが、『私^{わたし}たちの神^{かみ}エホバがこれらの教^{おし}えと規定^{きてい}と法規^{ほうき}を与^{あた}えたのはどうしてですか』と尋^{たず}ねる時^{とき}、**21** あなたの子^こにこう言^いいなさい。『私^{わたし}たちはエジプトでファラオの奴隷^{どれい}となったが、エホバが力強^{ちからつよ}

第6章

(例) 申 8:10
(例) 裁 3:7
(例) 申 10:12
申 13:4
(例) ルカ 4:8
(例) エレ 12:16
(例) 出 34:14
(例) 出 20:5
申 4:24
(例) 出 32:9,10
民 25:3
申 11:16,17
裁 2:14
(例) 王二 17:18
(例) 出 17:2,7
詩 95:8,9
へブ 3:8,9
(例) マタ 4:7
ルカ 4:12
コ一 10:9
(例) 創 15:18
(例) 出 23:30

第2欄

(例) 出 7:3
(例) 申 4:34
(例) 出 13:5
申 1:8
(例) 詩 111:10
格 14:27
(例) レビ 18:5
申 4:1
ガラ 3:12
(例) 伝 12:13
ロマ 10:5

第7章

(例) 申 31:3
(例) 出 33:2
ヨシ 3:10
(例) 創 15:16
(例) 創 10:15-17
(例) 申 20:1
(例) 民 33:52
(例) レビ 27:29
ヨシ 6:17
ヨシ 10:28
(例) 出 23:32
出 34:15
申 20:16,17
(例) ヨシ 23:12,13
王一 11:1,2
エズ 9:2

い手^てでエジプトから連れ出^つしてくださった。**22** エホバは私^{わたし}たちの目の前^{まえ}で、大き^{おお}くて恐^{おそ}ろしいしと奇跡^{きせき}をエジプトに、ファラオとその家^{いえ}の全^{すべ}ての人^{ひと}たちにもたらしていった。**23** 神^{かみ}は私^{わたし}たちをそこから連れ出^つし、ここ^{ここ}に連れてきて、父祖^{ふそ}たちに誓^{ちか}った土地^ちを私^{わたし}たちが得^えられるようにしてくださった。**24** エホバは私^{わたし}たちに、これら^{これら}の全^{すべ}ての規定^{きてい}を守^{まも}り、幸福^{きふく}がずと続^{つづ}くためにエホバ神^{かみ}を畏^{おそ}れるようにと命^{めい}じた。それは今日^{けふ}のように私^{わたし}たちが生^いき続^{つづ}けるためだ。**25** 注意^{ちゅうい}して、エホバに命^{めい}じられた通^{とお}りに、神^{かみ}に従^{したが}ってこれら^{これら}全^{すべ}てのおきてを守^{まも}るなら、私^{わたし}たちは正^{ただ}しいと見^みなされる』。

7 エホバ神^{かみ}は、あなたが入^{はい}って取^{しゅ}得^{とく}しようとしている土地^ちに連れてい^いつてくださる時^{とき}、人口^{じんこう}の多^{おほ}い国民^{こくみん}をあなたの前^{まえ}から取り除^ときます。それは、ヘト人^{へいじん}、ギルガシ人^{ぎるがしじん}、アモリ人^{あもりじん}、カナン人^{かなんじん}、ペリジ人^{ぺりじじん}、ヒビ人^{ひびじん}、エブス人^{えぶすじん}で、あな^{あな}たより人口^{じんこう}が多^{おほ}くて強^{つよ}い7つ^{なな}の国民^{こくみん}です。**2** エホバ神^{かみ}は彼^{かれ}らをあなたに渡^{わた}し、あなた^{あな}たは彼^{かれ}らを打^うち破^{やぶ}ります。かならず滅^{ほろ}ぼし尽^{つく}くしなさい。彼^{かれ}らと契約^{けいやく}を結^{むす}んだり、好意^{こうい}を示^{しめ}したりしてはなりません。**3** 彼^{かれ}らと結婚^{けっこん}による同盟^{どうめい}を結^{むす}んでもなりません。あなた^{あな}たの娘^{むすめ}を彼^{かれ}らの息子^{むすこ}に与^{あた}えてはならず、彼^{かれ}らの娘^{むすめ}をあなた^{あな}たの息子^{むすこ}のために迎^{むか}えてもなりません。**4** 彼^{かれ}らはあなた^{あな}たの息子^{むすこ}に、

6:17 * または、「思^{おも}い出^でさせるもの」。

7:3 * または、「姻戚^{いんせき}関係^{かんけい}になつて」。

神に從うことをやめさせて、ほかの神々に仕えさせるからです。その時エホバの怒りが燃え、あなたはすぐに滅ぼされます。

5 もしもあなたは彼らに次のようにすべきです。彼らの祭壇を取り壊し、聖柱を打ち砕き、聖木を切り倒し、彫像を焼くべきです。6 あなたはエホバ神の聖なる民だからです。エホバ神は、地上の全ての民の中からあなたを選んでご自分の民とし、特別な所有物としたのです。

7 エホバが愛情を示して皆さんを選ばれたのは、皆さんが全ての民の中で最も数が多い民だったからではありません。皆さんは全ての民の中で一番少なかったのです。8 ただ、エホバは皆さんを愛し、父祖たちにした誓いを守るために、エホバは力強い手で皆さんを連れ出し、奴隷となっていた土地から、エジプトの王ファラオの手から救い出したのです。9 あなたがよく知っている通り、あなたの神エホバは真の神、信頼できる神であり、神を愛しておきてを守る人には、千代に至るまで契約を守り、揺るぎない愛を示します。10 しかし神を憎む人については、神はそなたたちを滅ぼし、面々向かって報復します。神を憎む人への処罰を先延ばしにすることはなく、面々向かって報復します。11 それで、

7:5 *用語集参照。7:6 *または、「宝のような」。7:8 *直訳、「買い戻し」。

第7章

〔例〕出 34:16
王一11:4

〔例〕申 6:14,15

〔例〕出 23:24
出 34:13

〔例〕申 16:21,22

〔例〕申 7:25
申 12:2,3

〔例〕出 19:5,6
申 14:2
アモ 3:2

〔例〕申 10:15

〔例〕申 10:22

〔例〕創 22:16,17

〔例〕出 6:6
出 13:3,14

〔例〕出 34:6,7

〔例〕格 2:22
ペ二 3:7

第2欄

〔例〕創 13:14,15

〔例〕レビ 26:9

〔例〕レビ 26:4

〔例〕申 33:29
詩 147:20

〔例〕出 23:26
申 28:11
詩 127:3

〔例〕申 28:15,27

〔例〕申 7:1,2
申 20:16
ヨシ 10:28

〔例〕創 15:16
レビ 18:25
申 9:5

〔例〕出 20:3

〔例〕出 23:33
申 12:30
裁 2:2,3
詩 106:36

〔例〕民 13:31

〔例〕申 1:29
申 31:6
詩 27:1
イザ 41:10

わたしきょうめい
私が今日命じるおきてと規定と法規を
ちゅうい
注意して守りなさい。

12 皆さんがこれらの法規を引き続き聞き、守って実行するなら、あなたの神エホバも、父祖たちに誓った契約を守り、揺るぎない愛を示します。

13 そして、あなたを愛し、祝福し、数を増やします。あなたに与える父祖たちに誓った土地で、多くの子供たちと、大地の産物、穀物、新しいぶどう酒、油、子牛、子羊を与えて祝福して

くださるのです。14 あなたは全ての民のうちで最も祝福された民となります。あなたの中の全ての男女が子供を持つことになり、家畜も同様です。

15 エホバはあなたから全ての病氣を取り去ってください。あなたが知っているエジプトのどんなひどい病氣もあなたにはもたらさず、あなたを憎む全ての人にもたらします。16 あなたは、エホバ神が与えるどの民も滅ぼさなければなりません。彼らを哀れに思ってはなりません。彼らの神々に仕えてはなりません。それはわなとなるからです。

17 あなたは、『これらの国民は私たちより数が多い。どうして追い払えるだろうか』と心の中で言うとしても、18 彼らを恐れてはなりません。あなたの神エホバがファラオとエジプト全体に行ったことを思い出すべきで

7:13 *直訳、「胎の美」。

す。19 あなたが見た大々的な裁き^{ミサカ}をし、奇跡^{キセキ}、力強い手^{チカラツヨクテ}、伸ばした腕^{ウデ}によって、エホバ神はあなたを連れ出していただきました。エホバ神は、あなたが恐れるどの民にも同じようにします。20 エホバ神は彼らに絶望感^{ゼツボウカン}を抱かせ、生き残ってあなたの前から隠れている人たちもやがて滅びます。

21 彼らのためにおじけづいてはなりません。あなたの神エホバ、偉大で威厳に満ちる神が、あなたと共にいるからです。

22 エホバ神は必ずこれらの国民をあなたの前から徐々に追い払います。あなたは彼らをすぐに一掃してはなりません。野生動物が増えてあなたに危害を加えたりしないためです。

23 エホバ神は彼らをあなたに渡し、全滅するまで打ち負かしていきます。

24 彼らの王たちをあなたの手に渡します。あなたは彼らの名前を天の下から消し去ります。誰もあなたに立ち向かうことはなく、あなたは彼らを根絶やしにします。25 彼らの神々の彫像は火で焼くべきです。それに付いていた銀や金を欲しがったり自分のために取ったりしてはなりません。わなに掛からないためです。それはあなたの神エホバにとって忌まわしいものなのです。26 忌まわしいものを家に持ち込んで、それと同じく滅ぼし尽くされるものとなってはなりません。それ

7:19 *または、「試すこと」。 7:20 *もしかすると、「恐怖」。

第7章

〔出 14:13
〔イ ネ 9:10, 11
エレ 32:20

〔申 4:34
〔出 23:28
ヨシ 3:10
〔出 23:29
申 2:25
ヨシ 2:9
ヨシ 24:12

〔申 10:17
サー 4:7, 8

〔民 14:9
〔出 23:30
〔申 9:3

〔ヨシ 10:24
ヨシ 12:1

〔出 17:14
詩 9:5

〔申 11:25
ヨシ 1:5
口マ 8:31

〔ヨシ 11:14

〔代 12:3
代一 14:12

〔イザ 30:22

〔申 27:15

第2欄

第8章

〔格 3:1, 2

〔イ 創 15:18

〔申 2:7

〔出 16:4

出 20:20

〔申 13:3

格 17:3

〔出 16:3

〔申 16:31

詩 78:24

〔マタ 4:4

〔申 29:5

ネ 9:21

〔格 3:12

コー 11:32

ヘ 12:5-7

啓 3:19

〔出 3:8

レビ 26:4

申 11:11, 12

を徹底的に忌み嫌い、全く嫌悪しなさい。それは滅ぼし尽くされるものだからです。

8 皆さんは、私が今日命じるおきてを全てを注意して守るべきです。生き続けて数が増え、エホバが父祖たちに誓った土地に入ってそれを取得する

ためです。2 あなたの神エホバがこの40年荒野であなたに歩ませた長い道のりを覚えていなさい。神がそうしたのは、あなたを謙遜にならせるため、あなたを試して、おきてを守るかどうか、あなたの心の内にあるものを知るためでした。3 神はあなたを謙遜にならせ、空腹にならせて、あなたもあなたの父たちも知らなかったマナを食べさせました。それは、人がパンだけで生きるのではなく、エホバの口か

ら出る全ての言葉によって生きる、ということをあなたに知らせるためでした。4 この40年、あなたが着ていた服は擦り切れず、足も腫れませんでした。5 あなたがよく知っている通り、あなたの神エホバは、人が自分の子

を正すように、あなたを正しました。

6 あなたは、あなたの神エホバの道を歩み、神を畏れて、おきてを守らなければなりません。7 エホバ神は、あなたをよい土地に連れて入ろうとしています。そこは、谷あいの平原や山地に川が流れ、泉が湧き出る土地、

8:7 *または、「のワジに水が」。 *または、「泉や深い水源」。

8 小麦^{こむぎ}、大麦^{おおむぎ}、ブドウ^{ぶどう}、イチジク^{いちじく}、ザクロ^{ざくろ}の土地^{とち}、オリーブ油^{あぶら}と蜜^{みつ}の土地^{とち}、9 食物^{もつ}が不足^{ふそく}せず、何^{なん}にも事^{こと}欠^かかない土地^ち、石^{いし}には鉄^{てつ}が含ま^{ふく}れ、山々^{やま}から銅^{どう}を掘^ほり出^だせる土地^{とち}です。

10 あなたは食^たべて満^{まん}足^{ぞく}した時^{とき}に、与^{あた}えられた良^よい土^{とち}地のこ^{こと}であなた^{あなた}の神^{かみ}エホバ^{さん}を賛^{さん}美^びしなけれ^なばなりませ^なん。11 私^{わたし}が今^{きょう}日^{めい}命^{めい}じるおき^{おき}てと法^{ほう}規^ぎと法^き令^{れい}からそ^それであなた^{あなた}の神^{かみ}エホバ^{さん}を忘^{わす}れるとい^いうこ^{こと}がな^ないよう注^{ちゅう}意^いしなさい。12 食^たべて満^{まん}足^{ぞく}し、立^{りっ}派^ぱな家^{いえ}を建^たてて住^すむ時^{とき}、13 牛^{うし}や羊^{ひつじ}が多^{おほ}くなり、銀^{ぎん}や金^{きん}が増^ふえ、あ^あらゆ^らるもの^{もの}を^て手^いに入^いれた時^{とき}、14 心^{こころ}が高^{こう}慢^{まん}にな^なって、あなた^{あなた}の神^{かみ}エホバ^{さん}を忘^{わす}れては^はなりませ^なん。神^{かみ}は、奴^{だれ}隷^{れい}とな^なって

いた土^{とち}地^ちエジ^えプ^ぷトからあなた^{あなた}を連^れ出^だし、15 毒^{どく}蛇^{へび}とサソ^{みづ}リがいて、水^{みづ}がな^なく乾^{かわ}き切^きった地^ち面^{めん}が續^{つづ}く広^{こう}大^{だい}で恐^{おそ}ろし

い荒^{こう}野^やを通^{とお}り抜^ぬけさせ^せました。硬^{こう}い岩^{いわ}から水^{みづ}を出^だし、16 父^{ちち}たち^{たち}が知^しらな

かつたマ^まナを荒^{こう}野^やであなた^{あなた}に食^たべさせ^せました。それ^{それ}は、あなた^{あなた}を謙^{けん}遜^{そん}にな^なら

せるた^{ため}め、あなた^{あなた}を試^{こころ}して、その後^{のち}あなた^{あなた}が良^よい生^{せい}活^{かつ}を送^{おく}れるよう^{よう}にするた^{ため}め^でした。17 もしあなた^{あなた}が、『自^じ力^{ぶん}で、自^て分の^{ちから}手^ての力^{ちから}で、この^{この}富^{とみ}を築^{きず}いた』と心^{こころ}の中^{なか}で言^いうよう^{よう}なこ^{こと}があら^ばば、

18 次^{つぎ}のこ^{こと}を思^{おも}い出^だしなさい。あなた^{あなた}の神^{かみ}エホバ^{さん}が、力^{ちから}を与^{あた}えて富^{とみ}を得^えさせ^せてくだ^ささっている^{こと}のであ^る、それ^{それ}は今^{こん}

第8章

〔民 13:23

〔イ エゼ 20:6

〔イ 申 6:10-12

〔ホセ 13:6

〔イ 申 9:4

申 32:15

〔詩 106:21

〔イ 申 1:19

エゼ 2:6

〔イ 民 20:11

〔イ 出 16:35

〔イ 申 8:2

〔イ ヘブ 12:11

〔イ ホセ 12:8

〔イ 詩 127:1

ホセ 2:8

第2欄

〔イ 申 7:12

〔イ 申 4:25, 26

申 30:17, 18

ヨシ 23:12, 13

〔イ ダニ 9:11, 12

第9章

〔イ ヨシ 4:19

〔イ 申 7:1

〔イ 民 13:28

〔イ 民 13:33

〔イ 申 1:30

申 20:4

申 31:3

〔イ 申 4:24

ヘブ 12:29

〔イ 出 23:31

申 7:23, 24

〔イ 申 7:7, 8

エゼ 36:22

に^に日^{にち}のよう^{よう}に、父^ふ祖^そたち^{たち}に誓^{ちか}った契^{けい}約^{やく}を^{じつこう}実^{じつ}行^{こう}するた^{ため}め^めなの^のです。

19 もしあなた^{あなた}が、あなた^{あなた}の神^{かみ}エホバ^{さん}を忘^{わす}れ、ほか^{ほか}の神^{かみ}々に^が従^{したが}って歩^{あゆ}み、それ^{それ}に仕^{つか}えたりひ^ひ伏^ふしたりする^{する}よう^{よう}なこ^{こと}があら^ばば、私^{わたし}は今^{きょう}日^{めい}警^{けい}告^{こく}し^{こく}てお^おきませ^なうが、皆^{みな}さん^{さん}は必^{かな}ず滅^{ほろ}びませ^なう。

20 エホバ^{みな}が皆^{みな}さん^{さん}の前^{まへ}で滅^{ほろ}ぼして^いいく国^{こく}民^{みん}と同^{おな}じよう^{よう}に、滅^{ほろ}びませ^なう。エホバ^{かみ}神^いの言^いうこ^{こと}を聞^きか^なないから^{から}です。

9 聞^ききなさい、イス^いラ^さエ^えル、あなた^{あなた}は今^{きょう}日^{めい}ヨ^よル^らダ^だン^ん川^{がわ}を渡^{わた}って入^{はい}っ^てい^き、あなた^{あなた}より大^{だい}きく^くて強^{つよ}い国^{こく}民^{みん}を^を追^おい^お立^だてよう^{よう}とし^してい^います。それ^{それ}は、大^{だい}きく^くて天^{てん}に届^{とど}く城^{じょう}壁^{へき}に^{かこ}囲^まち^ちめ^めれた^{れた}町^{まち}、2 大^{だい}きく^くて背^せの高^{たか}い民^{たみ}、ア^あナ^なク^く人^{じん}の^こ子^こたち^{たち}です。あなた^{あなた}は彼^{かれ}ら^らにつ^しいて知^しっ^てお^おり、『誰^{だれ}がア^あナ^なク^くの^こ子^こたち^{たち}に^に立^たち

向^むか^かえるだ^{らう}か』と^い言^いわ^れてい^いるの^のを^きき^きました。3 そ^それで、あなた^{あなた}は

今^{きょう}日^{めい}、エホバ^{かみ}神^いがあなた^{あなた}の前^{まへ}を^を渡^{わた}っ^てい^いくこ^{こと}を^しる^{べき}です。神^{かみ}は焼^やき^き尽^つく^す火^ひで^いあり、彼^{かれ}ら^らを全^{ぜん}滅^{めつ}させ^せませ^なう。神^{かみ}があなた^{あなた}の目^めの前^{まへ}で彼^{かれ}ら^らを^を制^{せい}圧^{あつ}する^{する}ので、あなた^{あなた}は彼^{かれ}ら^らを^をす^すぐに^に追^おい^おひ^ひ払^はっ^て滅^{ほろ}ぼさせ^せませ^なう。エホバ^{かみ}が約^{やく}束^{そく}した^{とお}り^りです。

4 あなた^{あなた}の神^{かみ}エホバ^{さん}が彼^{かれ}ら^らをあ^あなた^{あなた}の前^{まへ}から^{から}追^おい^おひ^ひ払^はう^{とき}、心^{こころ}の中^{なか}で、『私^{わたし}が正^{ただ}しい^{もの}者^{もの}なので、エホバ^{わたし}は私^{わたし}を^を連^はい^いて入^いってこの^{この}土^ち地^ちを^を取^{しゅ}得^{とく}させ^せてく^くだ^さった^{のだ}』など^{など}と^と言^いって^はなり^ませ^なん。エホバ^{かみ}は、それ^{それ}ら^らの^{こく}民^{みん}が^{じゃ}邪^{あく}悪^{あく}

なので、あなたの前から追ひ払うので
す。5 あなたが正しく心が正直な
で、入って行って彼らの土地を取得す
るではありません。エホバ神は、そ
れらの国民が邪悪なので、あなたの
前から追ひ払うのであり、またそれは
エホバが、あなたの父祖たち、アブラ
ハム、イサク、ヤコブに誓った言葉を
実行するためです。6 エホバ神がこ
の良い土地を与えて取得させてくださ
るのはあなたの正しさによるのではない
、ということを知りなさい。あなたは
強情な民だからです。

7 あなたが荒野でああなたの神エホ
バを怒らせたことを覚えていなさい。
決して忘れてはなりません。皆さん
はエジプトを出た日からこの場所に
来るまで、エホバに反逆してきました。

8 ホレブでもエホバを怒らせたので、
エホバは怒って皆さんを全滅させよう
としました。9 私は、石板、すなわち
エホバが皆さんと結んだ契約の板を
受け取りに山に登った時、40日間ず
と山にとどまり、何も食はず水も飲みま
せませんでした。10 エホバは、神の指
で書いた石板2枚を私に与えてくださ
り、それには、民が集まった日にエホ
バが山で火の中から話した全ての言
葉が書かれていました。11 40日間
の終わりに、エホバは、石板すなわち
契約の板2枚を与えてくださったので

9:6、13 *直訳、「うなじが固い」。9:9 *直訳、
「40日40夜」。9:10 *または、「会衆の日」。

第9章

〔イ〕創 15:16
申 12:31
申 18:9,12

〔イ〕レビ 18:25

〔イ〕創 13:14,15
創 17:1,8

〔イ〕創 26:3

〔イ〕創 28:13

〔イ〕出 34:9
詩 78:8

〔イ〕申 9:22
詩 78:40
ヘブ 3:16

〔イ〕出 17:2
民 11:4
民 16:1,2
民 25:2,3
申 31:27

〔イ〕出 32:4,10

〔イ〕出 24:12
出 31:18
出 32:16

〔イ〕出 24:7

〔イ〕出 24:18

〔イ〕出 19:19
申 4:10-13

第2欄

〔イ〕出 32:7

〔イ〕出 32:4

〔イ〕出 32:9

〔イ〕出 32:10

〔イ〕出 19:18

〔イ〕出 32:15

〔イ〕出 20:3,4

〔イ〕出 32:19

〔イ〕出 34:28

〔イ〕出 32:10

〔イ〕出 32:11,14
詩 106:23

す。12 エホバは私に言いました。
『立って、すぐにここから下りていきな
い。あなたの民、あなたがエジプトか
ら連れ出した民は墮落してしまったか
らだ。彼らは私が命じた道から早くも
それ、自分たちのために金属像を作っ
た』。13 エホバはさらに言いまし
た。『私はこの民を見た。強情な民で
ある。14 私を止めるな。私は彼ら
を全滅させ、彼らの名前を天の下から
消し去る。そして、あなたを彼らより多
く強い国民にしよう』。

15 私は向きを変え、山を下りまし
た。山は火で燃えており、契約の板2
枚が私の両手にありました。16 私
が見ると、皆さんはエホバ神に対して
罪を犯していました。自分たちのため
に金属の子牛を作ったのです。エホバ
が命じた道から早くもそれしていました。

17 私はその2枚の板をつかんで両手
で投げ付け、皆さんの目の前で碎きま
した。18 そして、初めの時と同じよ
うに40日間ずつとエホバの前にひれ
伏しました。何も食はず水も飲みませ
ませんでした。皆さんが犯した全ての罪の
ためです。皆さんは、エホバから見
て悪いことを行って神を怒らせました。
19 皆さんを全滅させようとしたエホ
バの大きな怒りのために、私はおびえ
ました。とはいえ、エホバはこの時も
私の願いを聞いてくださいました。

20 エホバはアロンに対して非常に

9:12 *または、「铸造された像」。

怒り、アロンを殺そうとしましたが、私はその時アロンのために祈願をしました。21 そして、皆さんが作った罪深いもの、その子牛を取って火の中で焼き、それを碎き、土のように細くなるまでよくすりつぶし、山から流れ下る川に投げ込みました。

22 さらに皆さんは、タブエラ、マッサ、キプロト・ハタアワでもエホバを怒らせました。23 エホバが皆さんをカデシュ・バルネアから遣わし、『上っていて、私が与える土地を取得しなさい』と言った時、エホバ神の指示に背き、神に信仰を抱かず、従いませんでした。24 皆さんは、私が知った日以来、エホバに反逆してきました。

25 私は40日間ずっとエホバの前にひれ伏し続けました。エホバが皆さんを全滅させると言ったので、私はそのようにひれ伏したのです。26 そしてエホバに祈願し始め、こう言いました。『主権者である主エホバ、ご自分の民を破滅に至らせないでください。彼らは、あなた自身が所有するもの、あなたが偉大さを示して救い出し、力強い手でエジプトから連れ出した民です。27 あなたに仕えたアブラハム、イサク、ヤコブのことを思いだしてください。この民の頑固さ、邪悪さ、罪に注意を向けないでください。』

28 そうしないと、あなたが私たちを

9:26, 29 *または、「あなたの財産」。9:26 #直訳、「買い戻し」。

第9章

(例) 出 32:2, 21

(例) 出 32:4

(例) 出 32:20

(例) 民 11:3

(例) 出 17:7

(例) 民 11:4, 34

(例) 民 13:26

(例) 民 14:3, 4

(例) 申 1:32
詩 106:24, 25
へブ 3:19

(例) 出 34:28

(例) 出 19:5
詩 135:4

(例) 出 32:11

(例) 出 3:6
出 6:8
申 9:5

(例) 出 32:31, 32

第2欄

(例) 出 32:12
民 14:15, 16

(例) 王一 8:51
ネヘ 1:10

(例) 出 6:6
申 4:20, 34

第10章

(例) 出 34:1

(例) 出 34:4

(例) 出 32:15

(例) 出 20:1
出 34:28
申 4:13

(例) 出 19:17
申 5:22

(例) 申 4:36
申 5:4

(例) 出 34:29

(例) 民 20:23, 24
民 33:31, 38

(例) 民 20:28

連れ出したあの土地の人々が、「エホバは約束した土地に彼らを連れて入ることができず、彼らを憎んだので、連れ出して荒野で死なせたのだ」と言うかもしれません。29 この民はあなたの民、あなたが自身が所有するもの、おお ちからのうで つくだ 大きな力と伸ばした腕によって連れ出した民なのです。』

10 その時エホバは私に言いました。『初めの物と同じような石板2枚を切り出し、山に登って私の所に来なさい。また、木で箱を作るように。2 私はそれに、あなたが砕いた初めの石板にあった言葉を書く。それを箱に入れなさい。』3 それで私はアカシアの木で箱を作り、初めのもの おな のおな せきばん まい き だ (例) のぼ わたし のぼ 物と同じような石板2枚を切り出し、それを持って山に登りました。4 神は石板に以前と同じ言葉、十戒を書きました。それは、民が集まった日にエホバが山で火の中から話したものです。エホバはそれを私に下さいました。5 私は向きを変えて山を下り、エホバに命じられた通り、作っておい た箱に石板を入れました。今もそこにあります。

6 イスラエル人はベエロト・ベネ・ヤアカンを出発してモセラに向かいました。アロンはそこで死んで葬られ、彼に代わって息子のエレアザルが祭司として仕えるようになりました。

10:4 *直訳、「十の言葉」。デカログとも呼ばれる。*または、「会衆の日」。

7 そこを出発してグドゴダに向かい、
グドゴダからヨトバタに、川が流れて
いる土地に向かいました。

8 その時エホバはレビ族を取り分
けました。エホバの契約の箱を運び、
エホバの前に立って奉仕を行い、神
の名によって民への祝福を願うため
です。レビ族が今日もしている通りです。

9 それでレビ族は兄弟たちと一緒に
土地を受けていません。エホバが彼
らを養います。あなたの神エホバが
言った通りです。10 私は、初めの時
と同じように40日間ずっと山にとど
まりました。エホバはこの時も私の願い
を聞いてくださり、エホバはあなたを
滅ぼそうとしませんでした。11 エホ
バは私に言いました。『民の先頭に
立つ出発の準備をしなさい。彼らに
与えると私が父祖たちに誓った土地
に彼らが入って取得するためである。』

12 イスラエル、あなたの神エホバ
は何を求めていますか。ただ、あなた
の神エホバを畏れ、神の道をひたすら
歩み、神を愛し、心を尽くし自分の全
てを尽くしてあなたの神エホバにつか
え、13 私が今日命じるエホバのお
きてと法令を自分のために守ること
です。14 見なさい、天も、天の天
も、地とそこにある全てのものも、エホ
バ神のもです。15 でもエホバは
あなたの父祖たちだけに近づいて愛

10:7 *または、「ワジに水が」。10:10 *直訳、
「40日40夜」。10:14 *または、「最も高い天」。

第10章

(例) 民 33:3
(例) 民 1:50
民 3:6
民 8:14
(例) 民 3:30,31
(例) 民 6:23-27
申 21:5
代 20:30,37
(例) 民 18:20,24
申 18:1
(例) 出 24:18
出 34:28
(例) 出 32:14
(例) 創 15:18
(例) ミカ 6:8
(例) 申 5:29
(例) 申 5:33
ヨシ 22:5
(例) 申 6:5
ルカ 10:27
(例) 申 6:24
(例) 代一 29:11
詩 24:1
詩 115:16

第2欄

(例) 申 4:37
(例) 申 30:6
(例) 出 34:9
申 9:6
申 31:27
(例) 出 18:11
代 二 2:5
詩 97:9
(例) 使徒 10:34
ロマ 2:11
(例) 詩 68:5
ヤコ 1:27
(例) レビ 19:10
申 24:14
詩 146:9
(例) 出 22:21
レビ 19:34
(例) ルカ 4:8
(例) 出 15:2
啓 19:6
(例) サ二 7:23
(例) 創 46:27
出 1:5
使徒 7:14
(例) 創 15:1,5

第11章

(例) 申 6:5
申 10:12
マル 12:30

を示し、彼らの子孫である皆さんをあ
らゆる民の中から選んで、今日のよう
にしてくださいました。16 皆さんは
心を清め、頑固さを捨てなければなり
ません。17 皆さんの神エホバは神
の中の神、主の中の主、偉大で力強
く、威厳に満ちる神であり、誰をも不
公平に扱わず、賄賂を受け取りませ
ん。18 父親のいない子供ややもめ
が公正な裁きを受けられるようにし、
外国人居住者を愛して食物と服を与
えます。19 皆さんも外国人居住者
を愛さなければなりません。皆さんも
エジプトで外国人居住者となったから
です。

20 あなたの神エホバを畏れな
さい。この方に仕え、しっかりと付き、そ
の名に懸けて誓うべきです。21 こ
の方こそあなたが賛美すべき方で、あ
なたの神であり、あなたが自分の目
で見た偉大で驚異的なこと全てを行って
くださった方です。22 父祖たちは
70人でエジプトに下りましたが、今エ
ホバ神はあなたを天の星のように多
くしました。

11 あなたの神エホバを愛し、神
の命令と法令と法規とおきて
をいつも守らなければなりません。
2 皆さんが知っている通り、今日 私
が話しているのは、皆さんに対して

10:16 *直訳、「心の包皮に割礼を施し」。10:
18 *または、「孤児」。

いに^{きざ}刻み、それを^{おも}思い起^おこすために
て^て手に^{むす}結ばなければなりません。そ
れを^{ひたい*}額にある^{おび}帯のように^{すべ}すべきです。

19 それを^{じぶん}自分の^こ子に^{おし}教えて、^{いえ}家で^{すわ}座
るときも、^{みち}道を^{ある}歩くときも、^ね寝るときも、
^お起きるときも^{はな}それについて^{はし}話さない。

20 それを^{いえ}あなたの家の^{とぐち}戸口の^{はしら}柱と
もん^{もん}門に^か書きなさい。 21 これは、エホバ
が^ふ父祖^{あた}たちに^{ちか}与え^{とち}と誓^{ちか}った土地で、
^{みな}皆さんと^{みな}皆さんの^こ子たちが、^{てん}天が^ち地を
^お覆っている^{かぎ}限り、^{なが}長く^い生きる^{すべ}ためです。

22 私が^{わたし}命^{めい}じるこの^{すべ}全てのおきてを
きちんと^{まも}守って^{じつこう}実行し、^{みな}皆さんの^{かみ}神エ
ホバを^{あい}愛し、^{あひ}神の^{みち}道を^おひたすら^{あひ}歩み、
^{かみ}神に^つしっかりと^あ付^あくら、 23 エホバ
は^{こくみん}これらの国民^{すべ}全てを^{みな}皆さんの^{まえ}前から
^お追^おい^{はら}ひ、^お皆さんは^お自分^おたちより^お大
^かき^おくて^お数^おが多い^お国民^おを^た追^たいます。

24 皆さんが^{みな}踏^ふむ^{ところ}所は^{すべ}全て^{みな}皆さんの
もの^おとなります。荒野^{こうや}から^やレバノン^{にし}まで、
大河^{たいが}すなわち^おユーフラテス^お川^にから^お西^{にし}の
^{うみ*}海^{うみ*}までが、^{みな}皆さんの^{りょうど}領土^{りょうど}となります。

25 誰も^{だれ}皆さんに^{みな}立ち向^{たむ}かい^あいません。
エホバ神は、^{かみ}約束^{やくそく}した^お通り、^{みな}皆さんに
^{たい}対する^{きょうふ}恐怖^{おそ}と^{おそ}恐れを^{ある}皆さんが^{とち}歩^あく土地
^いに行^いき^わたせ^あます。

26 さあ、私は^{わたし}今日^{きょう}、^{みな}皆さんの^{まえ}前に
^{しゅくふく}祝福^{しゅくふく}と^{わざわ}災^{わざわ}いを^お置^おきます。 27 私が
^{きょうめい}今日^{きょうめい}命^{かみ}じるエホバ神^おのおきてに^{したが}従^{したが}う
^{しゅくふく}なら、^お祝福^{しゅくふく}を受^あけます。 28 エホバ神
^{したが}のおきてに^{わたし}従^{きょうめい}わず、^あ私が^あ今日^あ命^あじる道

11:18 *直訳、「目の間」。 11:24 *大海、地中海のこと。

第11章

(例) 格 7:1-3

(例) 申 6:6-9
格 22:6
エフ 6:4

(例) 創 13:14,15

(例) 申 4:40
格 4:10(例) 申 6:5
ルカ 10:27(例) 申 10:20
申 13:4
ヨシ 22:5(例) 出 23:28
ヨシ 3:10(例) 申 7:1
申 9:1,5

(例) ヨシ 14:9

(例) 創 15:18
出 23:31(例) 申 7:24
ヨシ 1:5(例) 出 23:27
ヨシ 2:9,10
ヨシ 5:1

(例) 申 30:15

(例) 申 28:1,2
詩 19:8,11

第2欄

(例) レビ 26:15,16
イザ 1:20(例) 申 27:12,13
ヨシ 8:33,34

(例) 創 12:6

(例) ヨシ 1:11

(例) 申 5:32
申 12:32

第12章

(例) 出 34:13

(例) 出 23:24

(例) 申 7:25

(例) 出 23:13
ヨシ 23:7(例) レビ 18:3
申 12:31

(例) 代二 7:12

から^しそれ^{かみ}で、^{したが}知ら^{かみ}なかつた^{したが}神^{かみ}々に^{したが}従^{かみ}う
なら、^{わざわ}災^{わざわ}いを受^あけます。

29 所有^{しよゆう}することになる^{とち}土地^{とち}にエホ
バ神^{かみ}が^つ連^つれて^{とき}い^かって^{かみ}くださる^{かみ}時^{かみ}、^{さん}ゲリ
^{さん}ジム山^{さん}で^{さん}祝福^{さん}について、^{さん}エバル山^{さん}で^{さん}災
^いいについて^い述^いべなければなりません。

30 それらの山^{がわ}は^{やま}ヨルダン^{がわ}川の^む向^むこう
側^{がわ}、^{にしがわ*}西側^{にしがわ*}に、^すアラバ^すに住^{じん}む^{じん}カナン^{じん}人の
土地^{とち}、^{まえ}ギルガル^{まえ}の前^{たいぼくりん}、^いモレ^いの大^い木^い林^いの
そば^{みな}にある^{みな}では^{みな}あり^{みな}ませ^{みな}んか。 31 皆
さんは^{がわ}ヨルダン^{がわ}川^むを^む渡^むり、^{かみ}エホバ^{かみ}神^{かみ}が
^{あた}与^{あた}えて^{とち}くださる^{はい}土地^{はい}に入^{しゅ}って^{しゅ}それ^{しゅ}を取^{しゅ}
^{とく}得^{とく}しよう^{とく}として^{とく}いま^{とく}す。取^{しゅ}得^{しゅ}して^{しゅ}そ^{しゅ}に
^{とく}住^{しゅ}む^{しゅ}時^{しゅ}、 32 私が^{わたし}今日^{きょう}皆^{きょう}さん^{きょう}の^{きょう}前^{きょう}に
^お置^おく^お全^おて^おの^お規^お定^おと^お法^お規^おを^お注^お意^おして^お守^おら
なければなりません。

12 父祖^{ふそ}たちの^{かみ}神^{かみ}エホバ^{かみ}が^{あた}与^{あた}え
て^{しよゆう}所有^{しよゆう}させて^{とち}くださる^{とち}土地^{とち}で
^い生^いきて^いいる^い間^いず^いと、^か以^か下^かの^か規^か定^かと
^{ほう}法^{ほう}規^{ほう}を^き注^き意^きして^き守^きり^きな^きい。 2 皆
さん^{みな}が^{みな}追^{みな}い^{みな}立^{みな}てる^{みな}国民^{みな}は^{みな}高^{みな}い^{みな}山^{みな}や^{みな}丘^{みな}や
^お生^おい^お茂^おった^お木^おの^お下^おで^お神^お々^おに^お仕^おえ^おて^おい
^おま^おす。それ^おら^おの^お場^お所^お全^おて^おを^お完^お全^おに^お破^お壊^お
^おす^おべ^おき^おです。 3 彼^おら^おの^お祭^お壇^おを^お打^おち^お壊^お
^{せい}し^{せい}聖^{せい}柱^{せい}を^{せい}打^{せい}ち^{せい}砕^{せい}き、^ひ聖^ひ木^ひを^ひ火^ひで^ひ焼^ひき、
^{かみ}神^{かみ}々^{かみ}の^{かみ}彫^{かみ}像^{かみ}を^{かみ}切^{かみ}り^{かみ}倒^{かみ}し、^{かみ}そ^{かみ}の^{かみ}神^{かみ}々^{かみ}の^{かみ}名^{かみ}
^{まえ}前^{まえ}を^{まえ}そ^{まえ}こ^{まえ}ら^{まえ}消^{まえ}し^{まえ}去^{まえ}る^{まえ}べ^{まえ}き^{まえ}です。

4 皆^{みな}さん^{みな}の^{かみ}神^{かみ}エホバ^{かみ}を^{かみ}彼^{かみ}ら^{かみ}の^{かみ}よ
う^{すうはい}に^{すうはい}崇^{すうはい}拝^{すうはい}して^{すうはい}は^{すうはい}な^{すうはい}り^{すうはい}ませ^{すうはい}ん。 5 エホ
バ神^{かみ}を^{かみ}崇^{かみ}拝^{かみ}する^{かみ}た^{かみ}めに、^{かみ}神^{かみ}が^{かみ}皆^{かみ}さん
^{ぜん}の^{ぜん}全^{ぜん}部^{ぜん}族^{ぜん}中^{ぜん}で^{ぜん}ご^{ぜん}自^{ぜん}分^{ぜん}の^{ぜん}名^{ぜん}を^{ぜん}置^{ぜん}いて
^す住^すむ^す所^すとして^す選^すぶ^す場^す所^すに^す行^すきな^すさい。

11:30 *または、「日」が沈む側。

6 そこに、全焼の捧げ物、犠牲、10分の1、寄進物、誓約の捧げ物、自発的な捧げ物、牛や羊の初子を持っていくべきです。7 皆さんと家の人たちはそこで、皆さんの神エホバの前で食べ、自分の全ての働きを喜ばなければなりません。エホバ神が祝福してくださったからです。

8 皆さんは、私たちが今日ここで行っているようにしてはなりません。各自が自分の正しいと思うことをしています。9 エホバ神が与えてくださる定住地にまだ入っていないからです。10 ヨルダン川を渡って、エホバ神が与えて所有させてくださる土地に住む時には、神が周囲の全ての敵から必ず守ってください、皆さんは安心して住むことができます。11 皆さんは、エホバ神がご自分の名のために選ぶ場所に、私が命じる全ての物を持っていきます。全焼の捧げ物、犠牲、10分の1、寄進物、皆さんがエホバに誓約する全ての誓約の捧げ物です。

12 皆さんも、息子や娘も、男奴隷や女奴隷も、皆さんの町にいるレビ族も、エホバ神の前で喜びます。レビ族は皆さんと一緒に土地を受けていないのです。13 目にするほかのどんな場所でも全焼の捧げ物を捧げないように注意しなさい。14 1つの部族の領土にあるエホバが選ぶ場所だけで

第12章

〔レ〕レビ 1:3
〔イ〕申 14:22
〔ウ〕民 18:19
申 12:11
〔エ〕代一 29:9
エズ 2:68
〔オ〕申 12:17
申 15:19
〔カ〕申 15:19, 20
〔キ〕レビ 23:40
申 12:12, 18
申 14:23, 26
詩 32:11
詩 100:2
フイリ 4:4
〔ク〕王一 8:56
代一 23:25
〔コ〕ヨシ 3:17
〔ク〕申 33:28
王一 4:25
〔ケ〕申 16:2
申 26:2
〔セ〕申 14:22, 23
〔ス〕申 14:26
王一 8:66
ネヘ 8:10
〔セ〕民 18:20, 24
申 10:9
申 14:28, 29
ヨシ 13:14
〔レ〕レビ 17:3, 4
王一 12:28

第2欄

〔ワ〕代二 7:12
〔イ〕申 12:21
〔ウ〕創 9:4
レビ 7:26
レビ 17:10
使徒 15:20, 29
〔エ〕レビ 17:13
申 15:23
〔オ〕申 14:22, 23
〔カ〕申 12:11
申 14:26
〔キ〕民 18:21
申 14:27
代二 31:4
ネヘ 10:38, 39
マラ 3:8
〔ク〕創 15:18
出 34:24
申 11:24
〔ケ〕王一 4:21
〔セ〕レビ 11:2-4
〔ス〕申 14:23
代二 7:12

全焼の捧げ物を捧げ、私が命じる全てのことをそこで行うべきです。

15 とはいえ、肉を食べたいときには、どの町でも、あなたの神エホバが与えてくださった祝福に応じて、あなたの動物をほふことができます。汚れた人も清い人も、ガゼルや鹿を食べるように、食べて構いません。16 ただし、血食べてはならず、それを水のように地面に注ぎ出すべきです。17 穀物や新しいぶどう酒や油の10分の1、牛や羊の初子、何でもあなたが誓約する誓約の捧げ物、自発的な捧げ物、寄進物は、町の中で食べてはなりません。

18 エホバ神の前、エホバ神が選ぶ場所です。それを食べます。あなたも、息子や娘も、男女の召し使いも、あなたの町にいるレビ族もです。自分の全ての働きをエホバ神の前で喜びます。19 自分の土地に住んでいる限り、レビ族をながしにしないように注意しなさい。

20 あなたの神エホバが、約束した通りに領土を広げてくださり、あなたが肉を食べたくて、『肉が食べたい』と言うなら、食べたい時に食べて構いません。21 エホバ神がご自分の名のために選ぶ場所が遠く離れている場合、エホバが与えてくださった牛や羊は私が命じた通りにほふり、食べた時に町の中で食べなさい。22 ガゼルや鹿を食べるように、食べて構い

12:6 *用語集参照。12:8 *または、「自分から見て正しいこと」。

12:15 *または、「殺す」。

ません。汚れた人も清い人も食べること
ができます。23 ただ、血を食べない
ように固く決意していなさい。血は
命だからです。肉と一緒に命を食べて
はなりません。24 血を食べてはな
らず、それを水のように地面に注ぎ出
すべきです。25 それを食べてはなり
ません。エホバから見て正しいことを
行って、あなたとあなたの子たちにとっ
て物事がうまくいくためです。26 あ
なたのものである聖なるものと誓約の
捧げ物だけは、エホバが選ぶ場所に
行く時に、持っていくべきです。27 そ
こで、全焼の捧げ物、その肉と血を、エ
ホバ神の祭壇で捧げます。ほかの犠
牲の血はエホバ神の祭壇に向けて注
ぎ出すべきですが、肉は食べることが
できます。

28 注意して、私が命じるこれらの
全ての言葉に従いなさい。あなたの
神エホバから見て正しくて良いことを
行って、あなたとあなたの子たちにとっ
ていつも物事がうまくいくためです。

29 あなたが追い立てようとしてい
る国民をエホバ神が全滅させ、あな
たが彼らの土地に住むようになったな
ら、30 あなたの前から彼らが全滅
させられた後で、わなに掛からないよ
うに注意しなさい。彼らの神々につ
いて尋ね、『これらの国民はどのよう
に神々に仕えていたのか。私も同じ
ようにしよう』と言ってはなりません。

31 あなたの神エホバに対して同じよ

第12章

(ア)申 14:4,5

(イ)レビ 3:17

申 12:16

(ウ)創 9:4

レビ 17:11,14

(エ)レビ 17:13

申 15:23

(オ)レビ 17:11

(カ)レビ 4:29,30

(キ)出 23:23

詩 44:2

詩 78:55

(ク)申 7:16

詩 106:36

エゼ 20:28

第2欄

(ア)レビ 18:3,21

レビ 20:2

申 18:10-12

エレ 32:35

(イ)ヨシ 22:5

(ウ)申 4:2

ヨシ 1:7

第13章

(エ)イザ 8:19

エレ 27:9

(オ)申 6:5

申 10:12

マタ 22:37

(カ)申 8:2

(キ)申 10:20

(ク)申 18:20

(ウ)申 17:2,3,7

コ 5:13

うにしてはなりません。彼らは、エホ
バが憎む忌まわしいこと全てを自分
たちの神々のために行い、息子や娘
を火で焼いて神々に捧げることまでし
ます。32 注意して、私が命じる全て
の言葉の通りにすべきです。それに付
け加えても、それから取り去ってもなり
ません。

13 預言者や夢のお告げを受け
る者が皆さんの間に現れて
しるしを知らせたり何かを予告したり
する場合、2 そのしるしや予告が実
現し、その人から、『ほかの神々に(つ
まり、あなたが知らなかった神々に)
従って歩み、それに仕えよう』と言わ
れても、3 その預言者や夢を見る者
の言葉に耳を傾けてはなりません。皆
さんの神エホバは、皆さんが心を尽く
し自分の全てを尽くしてエホバ神を愛
しているかどうかを知るために、試
しているのです。4 皆さんは、皆さん
の神エホバに従って歩み、その方を畏
れ、おきてを守り、言うことを聞くべ
きです。その方に仕え、しっかりと付きな
さい。5 その預言者や夢を見る者は
死刑にされるべきです。皆さんをエジ
プトから連れ出したエホバ神、奴隷と
なっていた土地から救い出した方に
対する反抗を唆し、エホバ神が歩むよ
うに命じた道からそれさせようとした
からです。皆さんの間から悪を除き去
らなければなりません。

13:5 *直訳,「買い戻した」。

6 同じ母親の子であるあなたの兄弟、あなたの息子、娘、愛する妻、親友が、ひそかにあなたを誘おうとして、『行ってほかの神々に仕えよう』と言う場合、すなわち、あなたが父祖たちも知らなかった神々に、7 その土地のどこであれ、近くても遠くても、周囲の民の神々に仕えるようにあなたを誘う場合、8 応じたり耳を傾けたりしてはなりません。その人を哀れに思ったり、同情したり、かばったりすべきではありません。9 その人を必ず殺すべきです。死刑にするために、最初にああなたが手を下し、その後、民が手を下します。10 その人を石打ちにしなければなりません。あなたの神エホバ、奴隷となっていた土地エジプトからあなたを連れ出した方から、あなたを離れさせようとしたからです。11 イスラエル全体は聞いて恐れ、皆さんのうちの誰もそのような悪事を二度と行わないでしよう。

12 エホバ神が与えて住まわせてくださる町の1つで、13 『どうしようもない者たちが皆さんの中から出て町の住民たちをそれさせようとし、「行ってほかの神々に仕えよう」と言っています。皆さんが知らなかった神々です』という言葉を聞いた場合、14 その件を調べ、徹底的に調査して問いただすべきです。この忌まわしいことが皆さんの間で行われたことが確認されたなら、15 その町の住民を必ず

第13章

(例) 王ー11:4
ペニ2:1

(例) ガラ1:8

(例) 出22:20
出32:27
民25:5

(例) 申17:2,3,7

(例) レビ20:2,27

(例) 申17:13
デモー5:20

(例) 申19:15
デモー5:19

第2欄

(例) 申17:4,5
代ニ28:6

(例) 出22:20

(例) ヨシ6:18

(例) 創22:15,17
創26:3,4

(例) 申6:18

第14章

(例) レビ19:28

(例) レビ21:1,5

(例) レビ19:2
レビ20:26
申28:9
ペー1:15

(例) 出19:5,6
申7:6

(例) レビ11:43
レビ20:25
使徒10:14

(例) レビ11:2,3

剣で討つべきです。その町とそこにある全ての物を、家畜も含め、剣で滅ぼし尽くしなさい。16 奪った物全てを町の広場の中央に集め、町を火で焼くべきです。奪った物はあなたの神エホバへの焼き尽くす捧げ物のようになります。町は永久に廃墟となります。決して再建してはなりません。17 処分するよう定められた物は何一つ取ってはなりません。エホバが燃える怒りを静め、父祖たちに誓った通りに、あなたに憐れみと同情を示して子孫を増やしてくださるようになるためです。18 あなたの神エホバに従い、私が今日命じる神のおきてを全て守り、こうしてあなたの神エホバから見て正しいことを行うべきなのです。

14 皆さんはエホバ神の子です。死んだ人のために自分の体に切り傷を付けたり額をそったりしてはなりません。2 あなたはエホバ神の聖なる民だからです。エホバは、地上の全ての民の中からあなたを選んでご自分の民とし、特別な所有物としたのです。

3 忌まわしいものを一切食べてはなりません。4 食べてよい動物は次の通りです。牛、羊、ヤギ、5 鹿、ゲゼル、ノロジカ、野ヤギ、レイヨウ、野生の羊、山の羊。6 ひづめが2つに割

13:17 *または、「禁令によって神聖にされた」。
13:18 *または、「の声を聞き」。
14:1 *または、「肩」。直訳、「目の間」。
14:2 *または、「宝のような」。

れていて反すうする動物は、食^たべるこ
とができます。7 ただし、反すうした
りひづめが割^われていたりしても、以下
の動物は食^たべてはなりません。ラクダ、
野ウサギ、イワダヌキ。これらは反すう
しますが、ひづめが割^われていないから
です。皆さんにとって汚^{けが}れたものです。
8 豚^{ぶた}もそうです。それはひづめが割^われ
ていますが、反すうしないからです。皆
さんにとって汚^{けが}れたものです。それら
の肉^{にく}を食^たべたり死骸^{しかい}に触^ふれたりして
はなりません。

9 水^{みず}の中^{なか}にいるあらゆるもののお
ち、ひれとうろこがあるものは全て食^{すべ}
べることができます。10 ひれとうろ
こがないものは食^たべてはなりません。
それは皆さんにとって汚^{けが}れたものです。

11 清^{きよ}い鳥^{とり}は全て食^{すべ}べることができ
ます。12 しかし、以下^いのもの^かは食^たべ
てはなりません。ワシ、ミサゴ、クロハ
ゲワシ、13 アカトビやトビなど、トビ
の類^{るい}、14 ワタリガラスの類^{るい}、15 ダ
チョウ、フクロウ、カモメ、ハヤブサの
類^{るい}、16 コキンメフクロウ、トラフズ
ク、白^{はく}鳥^{ちよう}、17 ペリカン、ハゲワシ、
鶇^う、18 コウノトリ、サギの類^{るい}、ヤツガ
シラ、コウモリ。19 羽^{はね}がある小^{ちい}さな
生き物^いも皆^{みな}、皆さんにとって汚^{けが}れたも
の^のです。それを食^たべてはなりません。
20 清^{きよ}い飛^とぶ生き物^いは全て食^{すべ}べること
ができます。

21 死^しんでいた動物^{どうぶつ}は一切食^{いっさい}べて

14:19 *または、「昆虫」。

第14章

(7) レビ 11:4-8

(1) レビ 11:9,10

(7) レビ 11:13-20

第2欄

(7) 出 22:31
レビ 17:15

(1) 出 23:19
出 34:26

(7) 申 12:11
申 26:12

(1) 申 12:5,17
申 15:19,20

(7) 詩 111:10

(7) 申 12:5,6

(1) 申 12:7
申 26:11
詩 100:2

(7) 民 18:21
代二 31:4
コ—9:13

(7) 民 18:20
申 10:9

はなりません。あなたの町^{まち}にいる外国^{がいこく}
人^{じん}居住者^{きゆうしや}に与^{あた}えて、その人^{ひと}が食^たべるの
は構^{かま}いません。外国人^{がいこくじん}に売^うることもで
きます。あなたはエホバ神^{かみ}の聖^{せい}なる民^{たみ}
なのです。

子^こヤギをその母^{はは}の乳^{ちち}で煮^にてはなりま
せん。

22 毎年^{まいとし}、種^{たね}をまいて畑^{はたけ}にできる全^{すべ}
ての産物^{さんぶつ}の10分の1^{ぶん}を必ず納^{かな}めなけ
ればなりません。23 エホバ神^{かみ}の前^{まえ}、
神^{かみ}がご自分^{じぶん}の名^なのために選^{えら}ぶ場所^{ばしょ}で、
穀物^{こくもつ}や新^{あたら}しいぶどう酒^{しゅ}や油^{あぶら}の10分の
1^{ぶん}、牛^{うし}や羊^{ひつじ}の初子^{はつこ}を食^たべます。いつも
あなた^{かみ}の神^{かみ}エホバを畏^{おそ}れることを学^{まな}
ぶためです。

24 しかし、あなた^{かみ}の神^{かみ}エホバがご
自分^{じぶん}の名^なのために選^{えら}ぶ場所^{ばしょ}が遠^{とほ}くて、
そこまでの道^{みち}のりがあまりに長^{なが}いために、
また、あなた^{かみ}の神^{かみ}エホバがあなた^{かみ}
を祝福^{しゆくふく}したために、供^{そな}え物^{もの}を運^{はこ}んでい
けない場合^{ばい}、25 それら^{かみ}をお金^{かね}に換^か
え、そのお金^{かね}を持ってエホバ神^{かみ}が選^{えら}
ぶ場所^{ばしょ}まで行くことができます。26 そ
のお金^{かね}で、何でもあなた^{かみ}が望^{のぞ}む物^{もの}、牛^{うし}、
羊^{ひつじ}、ヤギ、ぶどう酒^{しゅ}などの酒^{さけ}や、好き^すきな
物^{もの}を買^かうことができます。あなた^いと家^{いえ}
の人^{ひと}たちはそこで、あなた^{かみ}の神^{かみ}エホバ
の前^{まえ}で食^たべ、喜^{よろこ}びます。27 あなたの
町^{まち}にいるレビ族^{ぜき}をないがしろにしては
なりません。レビ族^{ぜき}はあなた^{いっしょ}と一緒に
土地^ちを受け^うけていないのです。

28 3年^{ねん}目^めごとに、その年^{とし}の産物^{さんぶつ}の

10分の1をすべて持ってきて、町の中に置くべきです。29 そして、あなたと一緒に土地を受けていないレビ族、あなたの町にいる外国人居住者、父親のいない子供、やもめが来て、十分に食べます。そうすれば、あなたが行う全てのことをエホバ神が祝福してくださいます。

15 7年目ごとに、免除を与えるべきです。2 以下のように免除がなされます。債権者は皆、隣人が負っている債務を免除します。隣人や兄弟に支払いを要求すべきではありません。エホバの免除が広く知られるのです。3 外国人には支払いを要求することもできますが、兄弟が負っているどんな債務も免除すべきです。

4 とはいえ、イスラエルの中では誰も貧しくならないはずで、あなたの神エホバが授けて所有させてくださる土地で、エホバは必ずあなたを祝福するからです。5 ただエホバ神の声にしっかりと従い、私が今日命じるこの全てのおきてを注意深く守ればよいのです。6 あなたの神エホバは約束したとお通り祝福してくださり、あなたは多くの国の人々に貸しますが、借りることはありません。あなたは多くの国の人々を支配し、彼らがあなたを支配することはありません。

7 あなたの神エホバが与えてくだ

14:29 *または、「孤児」。15:6 *または、「担保を取って貸し」。

第14章

(例) 申 26:12

(例) 出 22:21
申 10:18
ヤコ 1:27

(例) 申 15:10
詩 41:1
格 11:24
格 19:17
マラ 3:10
ルカ 6:35

第15章

(例) レビ 25:2

(例) 申 31:10

(例) 出 12:43
申 14:21
申 23:20

(例) 申 28:8

(例) ヨシ 1:7,8
イザ 1:19

(例) 申 28:12

(例) 申 28:13
王 4:24,25

第2欄

(例) 格 21:13
ヤコ 2:15,16
ヨ 3:17

(例) レビ 25:35
格 19:17
マタ 5:42
ルカ 6:34,35
ガラ 2:10

(例) 申 15:1

(例) 出 22:22,23
申 24:14,15
格 21:13

(例) 使徒 20:35
コニ 9:7
テモ 6:18
ヘブ 13:16

(例) 申 24:19
詩 41:1

(例) マタ 26:11

(例) 格 3:27
マタ 5:42
ルカ 12:33

(例) 出 21:2
レビ 25:39

さる土地の町の1つで、兄弟の1人が貧しくなるなら、その貧しい兄弟に冷淡になったり出し惜しみしたりしてはなりません。8 気前よくし、兄弟が必要としている物や足りない物をぜひとも貸すべきです。9 『7年目の免除の年が近い』という卑しい考えを心に抱き、貧しい兄弟に対して出し惜しみして何も与えない、ということがないよう注意しなさい。兄弟があなたのことをエホバに訴えるなら、あなたには罪があります。10 兄弟に気前よく与えるべきであり、嫌々与えるべきではありません。このような理由で、あなたの神エホバは、あなたの全ての行いと働きを祝福してくださるのです。11 その土地には、貧しい人がいつもいます。そのため私は、『あなたの土地で苦しむ貧しい兄弟に気前よくするように』と命じているのです。

12 兄弟であるヘブライ人の男性か女性があなたの所に売られ、6年間仕えたなら、あなたは7年目に自由にすべきです。13 自由にする場合に、何も持たせずに去らせてはなりません。14 羊の群れ、脱穀場、油やブドウの搾り場から気前よく提供しなさい。あなたの神エホバが祝福してくださった通りに、あなたもその人に与えるべきです。15 思い出しなさい。あなたは

15:7 *直訳、「手を閉じ」。15:8 *直訳、「手を開き」。*または、「担保を取って貸す」。15:11 *直訳、「に対して手を開く」。

エジプトで奴隷となり、エホバ神が救い出してくださりました。そのため私は、このことを行うように今日命じているのです。

16 とはいえ、その人があなたとあなたの家の人を愛し、あなたのもとにいるのが幸せなので、『あなたのもとから出ていきません!』と言うなら、**17** あなたはきりを取り、その人の耳を戸に付けて刺し通すべきです。こうしてその人は生涯あなたの奴隷となります。女奴隷についても同じようにすべきです。**18** その人を自由にして去らせるとき、それを難しいと考えてはなりません。その人の6年間の働きは雇った労働者の2倍の価値がありました。あなたの神エホバは全てのことにおいてあなたを祝福しています。

19 牛や羊の群れの雄の初子は全て、あなたの神エホバにとって神聖なものとすべきです。牛の初子を使って仕事をしてはならず、羊の初子の毛を刈ってはなりません。**20** あなたと家の人たちは、エホバ神の前、エホバが選ぶ場所で毎年それを食べなさい。**21** しかし、欠陥があるもの、足が不自由だったり目が見えなかったりという重大な欠陥があるものを、エホバ神に犠牲として捧げてはなりません。**22** あなたの町の中で、汚れた人も清い人も一緒に、ガゼルや鹿の場合のようにそれを食べなさい。**23** ただし、

第15章

出 21:5,6

イ 出 13:2
出 22:30
民 3:13
民 18:15,17

例 申 12:5,6
申 14:23
申 16:11

例 レビ 22:20
申 17:1
マラ 1:8
ヘブ 9:14

例 申 12:15
申 14:4,5

第2欄

例 創 9:4
レビ 7:26
使徒 15:20,29

イ レビ 17:10,13
申 12:16

第16章

例 出 12:14
レビ 23:5
民 9:2
民 28:16
コエ 5:7

例 出 34:18

例 王 一 8:29

例 出 12:5,6
代 二 35:7

例 マタ 26:17

例 出 13:3
レビ 23:6
民 28:17
コエ 5:8

例 出 12:33

例 出 12:14
出 13:8,9

例 出 12:15
出 13:7

例 出 12:10
出 34:25

例 出 12:3,6
民 9:2,3
マタ 26:19,20

例 ヨハ 2:13
ヨハ 11:55

例 出 12:8
代 二 35:13

その血を食べてはなりません。それを水のように地面に注ぎ出すべきです。

16 アビブの月を覚えていて、あなたの神エホバの過ぎ越しを祝いなさい。あなたの神エホバはアビブの月に、夜の間にあなたをエジプトから連れ出したからです。**2** エホバがご自分の名のために選ぶ場所で、羊や牛の群れの中からエホバ神に過ぎ越しの犠牲を捧げなさい。**3** 犠牲と一緒に、パン種が入った物を食べてはなりません。7日間、無酵母パン、苦悩のパンを食べるべきです。あなたはエジプトを急いで出たからです。生きている限りエジプトを出た日を覚えておくために、そうしなさい。**4** 7日間、あなたの領土のどこでも、酸味のあるパン生地があなたのもとにあってはなりません。最初の日の夕方に犠牲にした物の肉のどの部分も、翌朝までずっと残ってはいけません。**5** 過ぎ越しの犠牲を捧げるのは、エホバ神が与えてくださるどの町でもよいわけではありません。**6** エホバ神がご自分の名のために選ぶ場所でそうすべきです。夕方の日が沈んですぐ、エジプトを出た時に、過ぎ越しの犠牲を捧げなさい。**7** エホバ神が選ぶ場所でそれを調理して食べなければなりません。朝には自分の天幕に戻る事ができます。**8** 6日間、無酵母パンを

16:1 *付録B15参照。**16:3** *または、「酵母」。

食べなさい。7日目にはエホバ神のた
めの特別な集まりがあります。何の仕
事もしてはなりません。

9 7週を数えるべきです。刈り取っ
ていない穀物に最初に鎌を入れる時
から7週を数え始めなさい。10 こう
してあなたの神エホバの七週の祭り
を祝い、エホバ神が祝福してくださ
るところに応じて自発的な捧げ物を捧
げます。11 あなたも、息子や娘も、
男奴隷や女奴隷も、あなたの町にい
るレビ族も、あなたと共にいる外国人
居住者、父親のいない子供、やめ
も、エホバ神の前、エホバ神がご自
分の名のために選ぶ場所で喜びます。

12 自分がエジプトで奴隷となったこ
とを覚えていて、これらの規定を守って
実行しなさい。

13 脱穀場と油やブドウの搾り場か
らの取り入れをする時、7日間、仮小屋
の祭りを祝うべきです。14 祭りの間、
あなたも、息子や娘も、男奴隷や女奴
隷も、あなたの町にいるレビ族、外国
人居住者、父親のいない子供、やめ
も、喜びなさい。15 7日間、エホ
バが選ぶ場所で、あなたの神エホバ
の祭りを祝います。エホバ神が、あな
たが収穫する全ての物とあなたが行う
全てのことを祝福するからです。あな
たはただ喜びます。

16 年に3回、全ての男性はエホバ
神が選ぶ場所で神の前に出るべきで

第16章

(例) 出 12:16
レビ 23:8
(例) 出 23:16
出 34:22
レビ 23:15
(例) 民 28:26
(例) 申 16:17
コ一 16:2
コ二 8:12
(例) 申 12:5-7
(例) 出 3:7
申 5:15
(例) 出 23:16
レビ 23:34
民 29:12
申 31:10,11
ヨハ 7:2
(例) 申 12:12
ネへ 8:10,17
伝 5:18
(例) レビ 23:36,40
ネへ 8:18
(例) 申 7:13
申 28:8
申 30:16
(例) フィリ 4:4
テサ一 5:16

第2欄

(例) 出 23:14,15
(例) 申 16:10
(例) 申 16:13
(例) コ二 8:12
(例) 出 18:25,26
申 1:16
代二 19:4,5
(例) 出 23:2
レビ 19:15
(例) 申 1:17
(例) 出 23:8
サ一 12:3
伝 7:7
(例) ミカ 6:8
(例) 出 34:13
(例) 出 23:24
レビ 26:1
申 12:3

第17章

(例) レビ 22:20
申 15:21
マラ 1:8
(例) 申 4:23
申 13:6-9

す。無酵母パンの祭り、七週の祭り、仮
小屋の祭りの時です。誰も、何も持た
ずにエホバの前に出てはなりません。
17 各自が持つてくる供え物は、エホ
バ神が与えてくださった祝福に応じた
ものであるべきです。

18 あなたの神エホバが与えてくだ
さる全ての町で、部族ごとに裁判人と
役人たちを任命すべきです。その人た
ちは民を裁く際、正しく裁かなければ
なりません。19 公正さをゆがめた
り、不公平であったり、賄賂を受け取
ったりしてはなりません。賄賂によって、
賈い人も目が見えなくなり、正しい人
の言葉もゆがむからです。20 公正、
ただ公正を期すべきです。生き続けて、
エホバ神が与えてくださる土地を取得
するためです。

21 あなたが作るエホバ神の祭壇
の近くに、聖木としてどんな木も植えて
はなりません。

22 聖柱を立ててもなりません。そ
れはエホバ神が憎むものです。

17 欠陥や傷がある牛や羊をあ
なたの神エホバに犠牲とし
て捧げてはなりません。それはあなた
の神エホバにとって忌まわしいものだ
からです。

2 エホバ神が与えてくださる町の
いずれかで、エホバ神から見ても悪いこ
とを行って神との契約を破る男性や女
性が見つかるとします。3 その人は

道を踏み外して他の神々を崇拜し、それらや太陽や月や天の全ての星にひれ伏します。それは私が命じなかったことです。4 そのことについて報告を受けるか、耳にしたのであれば、徹底的に調査すべきです。その忌まわしいことがイスラエルで行われたことが確認されたなら、5 その悪を行った男性または女性が町の門の所に連れ出し、その人を石打ちにしなければなりません。6 その人は2人か3人の証言によって死刑にされるべきです。1人の証言によって死刑にされることはありません。7 死刑にする時に、最初に証人たちが手を下し、その後、民が手を下します。イスラエルの中から悪を除き去らなければなりません。

8 あなたの町の1つで、流血や法的な請求や暴力行為などの論争となる問題、裁くのが難し過ぎる問題が起きた場合、あなたは立て、あなたの神エホバが選ぶ場所に行くべきです。9 レビ族の祭司とその時に務めを果たしている裁判人の所に行き、尋ねなさい。その人たちがあなたに決定を言い渡します。10 エホバが選ぶ場所から言い渡される決定の通りに行動しなければなりません。注意して全てその人たちの指示通りにしなさい。11 示される律法の通りに、告げられる決定の通りに行動しなければなりません。その人たちが言い渡

第17章

(例) 申 4:19
(例) 申 13:12-15
(例) ヨハ 7:51
(例) 申 13:6,10
(例) マタ 18:16
ヨハ 8:17
テモ— 5:19
ヘブ 10:28
(例) 民 35:30
申 19:15
(例) 申 13:5
コ— 5:13
(例) 民 35:11
(例) 申 12:5
王— 3:16,28
詩 122:2,5
(例) サ— 7:15,16
(例) 申 19:17
申 21:5
(例) マラ 2:7

第2欄

(例) 申 5:32
申 12:32
(例) 格 11:2
ヘブ 10:28
(例) 申 13:5
コ— 5:13
(例) 申 13:11
申 19:20
(例) サ— 8:5,20
サ— 10:19
(例) サ— 9:17
サ— 10:24
サ— 16:12,13
(例) 申 20:1
サニ 8:4
詩 20:7
格 21:31
(例) イザ 31:1
(例) 王— 11:1-3
ネハ 13:26
(例) ヨブ 31:24,28
テモ— 6:9
(例) 申 31:9,26
王ニ 22:8

す決定から右にも左にもそれではなりません。12 あなたの神エホバに仕える祭司や裁判人の言うことを聞かずに思い上がった行動をする人は死ななければなりません。あなたはイスラエルから悪を除き去らなければなりません。13 そうすれば民は皆、聞いて恐れ、もう思い上がった行動はしないでしょう。

14 エホバ神が与えてくださる土地に入り、それ取得してそこに住むようになり、『周りの全ての国のように、私たちを治める王を立てよう』と言うとき、15 必ず、エホバ神が選ぶ人を王として立てるべきです。兄弟たちの中から王を立てなさい。皆さんを治める王として兄弟でない外国人を立てることは禁じられています。16 王は、自分のために多くの馬を手に入れたり、そうするために民をエジプトに戻せたりしてはなりません。エホバは皆さんに、『二度とこの道に戻ってはならない』と告げました。17 王は自分のために多くの妻を持つべきではありません。心がそれることのないためです。自分のために大量の銀や金を手に入れるべきでもありません。18 王国の王座につく時には、レビ族の祭司が保管するものを巻物に書き写し、自分のためにこの律法の写しをつくらなければなりません。

19 それを手元に置いて、生涯ずっ

と読まなければなりません。エホバ神
を畏れることを学び、この律法の全て
の言葉とこれらの規定を守って実行す
るためです。20 こうして兄弟たちに
対して高ぶることなく、おきてから右に
も左にもそれることなく、王もその子た
ちもイスラエルの中で王国を長く治め
るためです。

18 レビ族の祭司、レビ族全体
は、イスラエルと一緒に土地
を受けることはありません。彼らはエ
ホバへの火による捧げ物を食べます。
それは神のもです。2 彼らは兄弟
たちの中で土地を受けることはありま
せん。エホバが、彼らに告げた通り、
彼らを養います。

3 祭司が民から受け取る分は、次
の通りです。牛でも羊でも犠牲を捧げ
る人は、肩と両顎と胃を祭司に与えま
す。4 穀物や新しいぶどう酒や油の
初物と、羊から刈り取った最初の羊毛
も与えるべきです。5 あなたの神エ
ホバが全部族の中からレビ族を選び、
エホバの名によって常に仕えるように
させました。

6 レビ族の人が、生活しているイス
ラエルの町を離れて、エホバが選ぶ
場所に行くことを望む場合、7 そ
こでエホバの前で仕えている兄弟た
ち、レビ族全員と同じように、エホバ
神の名によって仕えることができます。

18:6 *エホバが崇拝の中心地として選ぶ場所の
こと。

第17章

(例)代二 34:18

(例)詩 1:2

詩 119:97

第18章

(例)民 18:20,24

申 10:9

ヨシ 13:14,33

コ一 9:13

(例)出 23:19

民 18:8,12

代二 31:4

ネヘ 12:44

(例)出 28:1

民 3:10

申 10:8

(例)民 35:2

(例)申 12:5,6

申 16:2

詩 26:8

(例)代二 31:2

第2欄

(例)レビ 7:10

(例)レビ 18:26

申 12:30

(例)申 12:31

王二 16:1,3

代二 28:1,3

詩 106:35-37

エレ 32:35

(例)王二 17:17

使徒 16:16

(例)レビ 19:26

使徒 19:19

(例)エゼ 21:21

(例)出 22:18

(例)レビ 20:27

代一 10:13

(例)レビ 19:31

(例)サ一 28:7-11

イザ 8:19

ガラ 5:19,20

(例)マタ 5:48

ペ二 3:14

(例)レビ 19:26

王二 21:1,2,6

(例)ヨシ 13:22

(例)創 49:10

民 24:17

ルカ 7:16

ヨハ 1:45

ヨハ 6:14

使徒 3:22

使徒 7:37

(例)出 19:17

8 その人も同じだけ食べ物を受けま
す。先祖から受け継いだ物を売って得
るものとは別にです。

9 あなたの神エホバが与えてくだ
さる土地に入った時、その国民の忌
まわしい行いをまねてはなりません。

10 あなたの中に以下のような人が
いてはなりません。息子や娘を火で焼
く人、占いをする人、魔術を行う人、
吉凶を判断する人、呪術師、11 呪
文をかける人、霊媒師や占い師に相
談する人、死者に尋ねる人などです。

12 エホバはこうしたことを行う人
をひどく嫌い、これらの忌まわしい行
いのためにエホバ神はそれらの国
民をあなたの前から追い払います。
13 あなたは、あなたの神エホバの前
で非難されるところがない人となるべ
きです。

14 あなたが追い立てるそれらの国
民は、魔術や占いをする人たちに従っ
ていました。しかし、あなたの神エホ
バはあなたがそのようなことをするの
を許しませんでした。15 エホバ神
は、あなたのために兄弟たちの中から
私のような預言者を立てます。その人
に従わなければなりません。16 こ
れは、民が集まった日にあなたがホレ
ブでエホバ神に求めた事に応じての
ことです。あなたはこう言いました。
『もう私の神エホバの声を私に聞かせ

18:10 *直訳、「火の中を通らせる」。

18:12 *または、「忌まわしく思い」。

18:16 *または、「会衆の日」。

たり、この大きな火を私に見させたりしないでください。私が死なないためです』。17 それでエホバは私に言いました。『彼らが言ったことはもつともだ。18 私は彼らのために兄弟たちの中からあなたのような預言者を立てる。私は自分の言葉をその人に伝え、その人は私が命じるすべてのことを彼らに話す。19 私は、彼が私の名によって話す私の言葉に従わない人に責任を問う。

20 思い上がって私が命じたのではない言葉を私の名によって話したり、他の神々の名によって話したりする預言者がいれば、その預言者は死ななければならない。21 あなたは心の中で、「エホバが話したのではない言葉だ」とどのようにして分かるのか」と言うかもしれない。22 預言者がエホバの名によって話しても、その言葉が実現せず、その通りにならなければ、エホバはその言葉を話していない。預言者が思い上がってそれを話したのである。その人を恐れてはならない。』

19 あなたの神エホバが国々を滅ぼし、あなたの神エホバがそれらの土地を与えてくださって、あなたがそれらの国民を追い立て彼らの町や家に住むようになった時、2 あなたの神エホバが与えて所有させてくださる土地で3つの町を取り分けなさい。3 エホバ神が所有するよう与え

第18章

〔出 20:19

〔出 34:28

民 12:3

マタ 4:1,2

マタ 11:29

ヨハ 5:46

〔ヨハ 17:8

〔ヨハ 12:49

ヘブ 1:2

〔使徒 3:23

〔申 13:1-5

エレ 28:11-17

第19章

〔申 7:1

申 9:1

〔民 35:14

ヨシ 20:7,9

第2欄

〔民 35:15

申 4:42

〔民 35:25

〔民 35:12,19

〔ヨシ 20:4,5

〔創 15:18

出 23:31

申 11:24

〔創 28:14

〔申 11:22,23

〔ヨシ 20:7,8

てくださった領土を3つの部分に分け、道を整えて、人を殺した者が3つの町の1つに逃げられるようにすべきです。

4 以下のようにして、人を殺した者はそこに逃げて生きることができません。意図せずに仲間を打ってしまい、以前から憎んでいたのではない場合、5 例えば、まきを集めるために仲間と一緒に森に入り、おのの木を切ろうと手を上げたところ、刃が柄から外れて仲間に当たり、死んでしまった場合、人を殺した者はそれらの町の1つに逃げべきです。6 それでも町までの距離が長いと、復讐者が怒りに燃えて、人を殺した者の後を追ひ、追ひ付いて殺してしまうかもしれません。しかし、その者は殺されるべきではありません。以前から仲間を憎んでいたのではないからです。7 そのため私は、『3つの町を取り分けるように』と命じているのです。

8 あなたの神エホバが、父祖たちに誓ったようにあなたの領土を広げ、父祖たちに与えると約束した全ての土地を与えてくださったなら 9 (それは、私が今日命じるこの全てのおきてをあなたが忠実に守り、エホバ神を愛して常に神の道を歩むからです)が、その時あなたは、これら3つの町にさらに3つを加えなければなりません。10 そうすれば、エホバ神が授

19:6 *または、「流血に対する復讐者」。*直訳、「心が熱くて」。

けてくださる土地で無実の人の血が流
されることはなく、あなたが流血の罪
を負うことはありません。

11 しかし、ある者が仲間を憎んで
待ち伏せし、致命的な傷を負わせて死
なせ、これらの町の1つに逃げたので
あれば、**12** 住んでいた町の長老た
ちはその者を呼び戻し、復讐者に引き
渡すべし。その者は死ななければ
なりません。**13** あなたはその者を
哀れに思ってはならず、無実の人の血
を流した罪をイスラエルから除き去ら
なければなりません。あなたにとって
物事がうまくいくためです。

14 あなたの神エホバが与えてし
有らせてくださる土地で相続地を受け
る時、先祖たちが境界として定めた場
所から、あなたの隣人の境界標識をず
らしてはなりません。

15 過ちや罪を犯したという1人の
証言だけで有罪の宣告をしてはなり
ません。その件は2人か3人の証言に
よって確かめられるべきです。**16** 悪
意ある証人が、ある人について証言し、
何らかの違反で訴える場合、**17** 争っ
ているその2人は、エホバの前、その
時に務めを果たしている祭司と裁判
人たちの前に立ちます。**18** 裁判人
たちは徹底的に調査します。もしその
証人が偽りの証言をしており、自分の
兄弟に無実の罪を着せていたのであ
れば、**19** その者が自分の兄弟に対

第19章

(イ) 格 6:16, 17

(イ) 申 21:6-9

(イ) ヨー 3:15

(イ) 創 9:6

出 21:12

民 35:16

申 27:24

(イ) レビ 24:17, 21

民 35:33

サニ 21:1

(イ) 申 27:17

(イ) 民 35:30

申 17:6

(イ) マタ 18:16

ヨハ 8:17

コ二 13:1

テモ一 5:19

(イ) 出 23:1

王一 21:13

マル 14:56

(イ) 申 17:8, 9

(イ) 申 13:14

申 17:4

代二 19:6

第2編

(イ) 格 19:5

(イ) 申 21:20, 21

申 24:7

コ一 5:13

(イ) 申 13:11

申 17:13

テモ一 5:20

(イ) 申 19:13

(イ) 出 21:23-25

レビ 24:20

マタ 5:38

第20章

(イ) 申 3:22

申 31:6

詩 20:7

格 21:31

(イ) 民 31:6

(イ) 出 14:14

ヨシ 23:10

してたくらんでいた通りのことをその
者に対して行うべきです。イスラエル
の中から悪を除き去らなければなりま
せん。**20** ほかに人たちは聞いて恐
れ、皆さんの間で誰もそのような悪事
を二度と行わないでしょう。**21** 哀れ
に思ってはなりません。命には命、目
には目、歯には歯、手には手、足には
足です。

20 敵と戦うために出掛けて、敵
の馬や兵車や兵士の方が数

が多くても、恐れてはなりません。あな
たの神エホバ、あなたをエジプトから
連れ出してくださった方があなたと共
にいますからです。**2** 皆さんが戦い始
める時には、祭司が皆の所に来て話す
べきです。**3** 祭司はこう言います。

『イスラエル、聞きなさい。あなたたち
は敵と戦おうとしている。臆病になっ
てはならない。敵のことで恐れたり、お

びえたり、震えたりしてはならない。

4 あなたたちの神エホバが共に進
み、あなたたちのために敵と戦ってあ
なたたちを救うからだ』。

5 士官たちも皆にこう言うべきです。

『新しい家を建てて、まだ住み始めて
いない人はいるか。その人は家に帰
るように。もし戦死したら、別の人が
住むことになる。**6** ブドウ園を造っ
て、まだ収穫し始めていない人はい
るか。その人は家に帰るように。もし戦
死したら、別の人が収穫することにな
る。**7** 女性と婚約して、まだ結婚して

いない人はいるか。その人も家に帰る
 ように。もし戦死したら、別の人が彼
 女と結婚することになる』。8 士官た
 ちはさらにこう尋ねなさい。『恐れて臆
 病になっている人はいるか。その人は
 家に帰りなさい。兄弟たちの士気を下
 げないためである』。9 士官たちは
 話し終えたなら、皆を指揮する軍隊の
 長たちを任命すべきです。

10 ある町に近づいて戦おうとする
 場合、まず和平の条件を告げなさい。

11 もし和平を受け入れて、あなたに
 対して門を開くのであれば、その人
 は皆、あなたのものとなって強制労働
 に服し、あなたに仕えます。12 しか
 し、和平に応じず、あなたと戦うとい
 うのであれば、あなたはその町を包囲す
 べきであり、13 あなたの神エホバ
 が必ずそれを与えてくださいます。あ
 なたはそこにいる男性全員を剣で討
 たなければなりません。14 ただし、
 女性と子供と家畜、その町にある全て
 の物を、戦利品として奪い取ることが
 できます。あなたは、あなたの神エホ
 バが与えてくださった敵からの戦利品
 を使います。

15 これは遠くの町に対してするこ
 とであり、近くの国の町については別
 です。16 あなたの神エホバが授け
 てくださるそれらの民の町では、息を
 するものを一切生かしておいてはなり
 ません。17 あなたの神エホバが命

20:8 *または、「兄弟たちの心を自分の心と同
 じようになえさせることがない」。

第20章

(例)申 24:5

(例)裁 7:3

(例)民 13:33

(例)民 14:1-3

民 32:9

申 1:28

(例)ヨシ 11:19

(例)レビ 25:44,46

ヨシ 9:22,27

(例)代二 14:13

(例)ヨシ 22:8

(例)ヨシ 6:17

ヨシ 10:28

ヨシ 11:11

第21章

(例)申 7:1

(例)出 34:15

申 7:4

ヨシ 23:12,13

イザ 2:6

コエ 5:6

コエ 15:33

(例)ネ 9:25

第21章

(例)申 16:18

(例)民 35:33

じたと通り、ヘト人、アモリ人、カナン人、
 ペリジ人、ヒビ人、エブス人を完全に
 滅ぼし尽くすべきです。18 彼らが自
 分たちの神々のために行った全ての
 忌まわしいことを皆さんに教えて行わ
 せ、皆さんがエホバ神に対して罪を犯
 すことのないためです。

19 ある町を攻めようとして包囲して
 長い間戦っている場合、その木をお
 ので伐採してはなりません。その木の
 実を食べても構いませんが、切り倒し
 てはなりません。あなたは人にするよ
 うに野原の木を攻めるべきでしょうか。

20 食用でないとか分かっていいる木だけ
 は伐採しても構いません。それを切り
 倒して、あなたと戦う町を包囲する柵
 を築くことができ、やがて町は陥落し
 ます。

21 あなたの神エホバが与えて
 所有させてくださる土地の野
 原で人が殺されているのが見つかり、
 誰が殺したのか分からないなら、
 2 長老と裁判人たちが出ていって、死
 体から周辺の町までの距離を測りま
 す。3 死体が一番近い町の長老た
 ちは、群れの中から若い雌牛、働かさ
 れたことも、くびきを負ったこともない
 ものを取りなさい。4 町の長老たち
 は、水が流れ、耕作も種まきもされて
 いない谷に若い雌牛を引いていき、そ
 の谷で若い雌牛の首を折るべきです。

5 それからレビ族の祭司たちが近

21:3 *用語集参照。21:4 *または、「フジ」。

づきます。あなたの^{かみ}神エホバは、ご^じ自
 分^{ぶん}に仕え、エホバの名によって祝福^{しゅくふく}を
 の^の述べるよう彼らを選んだからです。
 彼^{かれ}らは、暴力^{ぼうりよく}が関係する論争^{ろんそう}すべてに
 ついて、どう解決^{かいけつ}すべきかを述^のべま
 す。6 死^し体^{たい}に一番^{いちばん}近い町^{まち}の長老^{ちやうろう}は
 皆^{みな}、谷^{たに}で首^{くび}を折^おられた若い雌牛^{わかめうし}の上^{うへ}で
 手^てを洗^{あら}い、7 こう言^いうべきです。『私^{わたし}
 たちの手^てはこの血^ちを流^{なが}しておらず、私^{わたし}
 たちの目^めは血^ちが流^{なが}されるのを見^みま
 せんでした。8 エホバ、あなたが救^{すく}い
 出した民^{たみ}イスラエルを責^せめないでくだ
 さい。無実^{むじつ}の人の血^ちを流^{なが}した罪^{つみ}をあな
 たの民^{たみ}イスラエルのうちにとどめない
 でください。』こうすれば、民^{たみ}は流血^{りゅうけつ}
 の罪^{つみ}のことで責^せめられません。9 こう
 して、エホバから見て正^{ただ}しいこと
 を行^{おこな}って、無実^{むじつ}の人の血^ちを流^{なが}した罪^{つみ}をあ
 なたの間^{あいだ}から除^{のぞ}き去^さるのです。

10 あなたが敵^{てき}と戦^{たたか}うた^でに出掛^{でか}
 け、あなたの神エホバが敵^{かみ}を打ち破^{やぶ}
 てくださり、あなたが捕虜^{ほりよ}を連れてき
 ば、あ^いい場合^{ばい}、11 捕虜^{ほりよ}の中に美^{うつく}しい女性^{じょせい}
 がいるのを見て、好^すきになり、その女^{じょ}
 性^{せい}を妻^{つま}にしたいなら、12 家^{いえ}に連れ
 ていくことができます。その女性^{じょせい}は頭^{あたま}
 をそって、爪^{つめ}の手入^{てい}れをすべきです。
 13 そして捕虜^{ほりよ}になった時^{とき}の服^{ふく}を脱^ぬい
 で、あなたの家^{いえ}に住^すむべきです。彼女^{かのじょ}
 は自^じ分の父^{ちち}と母^{はは}のために丸^{まる}1カ月^{げつ}泣^な
 き、その後^{のち}、あなたは彼女^{かのじょ}と関係^{かんけい}を持^も
 つことができます。あなたは彼女^{かのじょ}の夫^{おつと}

21:8 *直訳、「買い戻した」。

第21章

〔出〕28:1
民6:23-27
代一23:13

〔イ〕申17:8,9

〔例〕詩26:6
マタ27:24

〔サ〕サニ7:23

〔例〕イザ26:21
エレ26:15

〔例〕民31:9
申20:13,14

〔例〕民20:29
申34:8

第2欄

〔例〕申24:1

〔例〕創29:30,33

〔例〕創25:31
代二21:3

〔出〕20:12
申27:16
格1:8
エフ6:1

〔例〕申8:5
格13:24
格19:18
格23:13
ヘブ12:9

〔例〕格28:7

〔例〕ロマ13:13
コ一6:10
エフ5:18

になり、彼女^{かのじょ}はあなた^{つま}の妻^{つま}になります。

14 もしその女性^{じょせい}を氣^きに入^いらないなら、
 彼女^{かのじょ}が望^ぞむ所^{ところ}に行^いかせてあげなさい。
 彼女^{かのじょ}を金^{きん}銭^{せん}で売^うつたり厳^{きび}しく扱^{あつか}つたり
 してはなりません。彼女^{かのじょ}を辱^{はづかし}めたから
 です。

15 ある人^{ひと}に2人^{ふたり}の妻^{つま}がいて、一方^{いっほう}
 がもう一方^{もうひと}よりも愛^{あい}されてお^つり、2人^{ふたり}
 とも息子^{むすこ}を産^うみ、愛^{あい}されてい^ない妻^{つま}の
 息子^{むすこ}が長男^{ちやうなん}である場合^{ばい}、16 その人^{ひと}
 は、息子^{むすこ}たちに相続^{そうぞく}分^{ぶん}を与^{あた}える日^ひに、
 愛^{あい}してい^ない妻^{つま}の子^こつまり長男^{ちやうなん}を差^さ
 置^おいて、愛^{あい}する妻^{つま}の子^こを長男^{ちやうなん}として扱^{あつか}
 うことは許^{ゆる}されません。17 愛^{あい}してい
 ない妻^{つま}の子^こを長男^{ちやうなん}として認^{みと}め、自^じ分^{ぶん}が
 持^もつ全^{すべ}ての物^{もの}につ^いて2倍^{ばい}の分^{ぶん}け前^{まえ}
 を与^{あた}えるべきです。その子^こが初^{はじ}めに生^う
 まれた者^{もの}だからです。長男^{ちやうなん}の立場^{たちば}に
 とまなけ^りん^りかれ^り。伴^{ともな}う権^{けん}利^りは彼^{かれ}のもの^{もの}です。

18 ある人^{ひと}に頑固^{がんこ}で反^{はん}抗^{かう}的な息子^{むすこ}
 がいて、息子^{むすこ}が父^{ちち}親^{おや}にも母^{はは}親^{おや}にも従^{したが}わ
 ず、両^{りやう}親^{しん}が正^{ただ}そうとしてい^いくことを聞^き
 かない場合^{ばい}、19 父^{ちち}親^{おや}と母^{はは}親^{おや}は息子^{むすこ}
 を捕^{つか}まえて、町^{まち}の門^{もん}に在^ある長老^{ちやうろう}たちの
 所^{ところ}へ連^つれていきなさい。20 そして、
 町^{まち}の長老^{ちやうろう}たちにこ^いう言^いいます。『この
 息子^{むすこ}は頑固^{がんこ}で反^{はん}抗^{かう}的で、私^{わたし}たちが従^{したが}お
 うとしません。大^{おお}食^くい、い^いつも酔^よっぱ
 らっています。』21 町^{まち}の人^{ひと}は皆^{みな}、彼^{かれ}
 を石^{いし}打^{うち}にしなればなりません。こ

21:15 *直訳、「1人は愛される者、1人は憎まれる者で」。21:17 *または、「自分の生殖力が初めに生み出した者」。

うしてイスラエルの中から悪を^なき^あく^のぞ^さ去^さらなければならず、イスラエル全体は^{ぜんたい}聞いて恐れます。

22 ある人が死刑に当たる罪を^{ひと し けい あ つみ おか}犯し^{けい}て処刑され、あなたがその人を^{ひと}杭^{くい}に掛^かけた場合、**23** 死体を夜通し杭に^{ば あい}掛^かけたままにすべきではありません。^い必ずその日のうちに^ひ葬^{ほうむ}るべきです。杭に^か掛^かけられる人は神にとって忌まわしいものだからです。あなたの神エホバが^き授^おけてくださる土地を汚してはなりません。^な

22 兄弟の牛や羊が迷い出^{きょうだい うし ひつじ まよ で}てい^いるのを見たなら、無視しては^ななりません。必ず兄弟の所に^い連^れれ^か戻^かすべきです。**2** その兄弟が近くに^{きょうだい}住^すんでいないとか、飼^かい主^{ぬし}が分^わか^わらないという^{ば あい}場合^{どうぶつ}は、その動物を自分の家^いに^つ連^れれ^{かえ}帰^{かえ}ってあなたのもとにとど^つま^らせ、兄弟が^{きょうだい}捜^{さが}しに^き来^{かえ}たら返^{かえ}すべきです。**3** ロバや服など、兄弟が^{ふく}なくしてあ^{きょうだい}な^なた^たが見^みつけた^{もの}ど^んな物^{もの}について、そ^うしなさい。それを無視してはなりません。

4 兄弟のロバや牛が路^{きょうだい うし ろじょう たお}上で倒^{たお}れてい^いるのを見たなら、無視してはなり^なません。必ず兄弟を^{かなら きょうだい たす どうぶつ お あ}助^{たす}け、動物を起^おき上^あがらせなさい。

5 女性^{じょせい}が男性^{だんせい}の服^{ふく}を身^みにつけてはならず、男性^{だんせい}が女性^{じょせい}の服^{ふく}を着^きてはなりません。そうする人は、あなたの神

21:23 *または、「神の前で災いを被っている者」。

第21章
(イ) 申 13:10,11

(イ) 民 25:5

(イ) ヨシ 10:26
使徒 10:39

(イ) ヨシ 8:29
ヨハ 19:31

(イ) ガラ 3:13

(イ) 民 35:34

第22章
(イ) 出 23:4

(イ) マタ 7:12

(イ) 出 23:5
レビ 19:18
ルカ 10:27
ガラ 6:10

第2欄
(イ) レビ 22:28
詩 145:9
格 12:10
マタ 10:29

(イ) サニ 11:2
使徒 10:9

(イ) レビ 19:19

(イ) 格 12:10

(イ) レビ 19:19

(イ) 民 15:38
マタ 23:2,5

エホバにとって忌まわしいものとなり^います。

6 道端の木や地面に、ひなや卵^{たまご}が^{はい}入^{はい}った鳥^{とり}の巢^すを見^みつけ、母鳥^{ははどり}がひな^{たまご}や卵^だを抱^ばえている場合、ひなと一緒^{いっしょ}に^{ははどり}母鳥^{ははどり}を取^とってはなりません。**7** 必ず^{ははどり}母鳥^{ははどり}は逃^にがしなさい。しかし、ひなは^と取^とっても構^{かま}いません。あなたにとって^{ものごと}物事^ながうまくい^いき、あなたが長^{なが}く生^いきるために、そうしなさい。

8 新しい家^{あたらしい}を建^たてる場合、屋上^いの^おへりに低^{ひく}い壁^{かべ}も造^{つく}らなければなりませ^いん。誰^{だれ}かが屋上^{おくじょう}から落^おちて、あなた^いの家^えの人^{ひと}たちが流^{りゅう}血^{けつ}の罪^{つみ}を負^おうことが^いないためです。

9 ブドウ園に2種類^{えん しゅるい}の種^{たね}をまいてはなりません。そうしないと、まい^いた種^{たね}から^いで^いる全^{ぜん}ての物^{もの}もブドウ園^{えん}のブドウ^{ぶどう}に^{せい}ま^いる所^{ところ}に没^{ぼつ}収^{しゅう}されます。

10 牛^{うし}とロバ^{ろば}を一^{いっしょ}緒^{しょ}にして畑^{はたけ}を耕^かしてはなりません。

11 羊毛^{ようもう}と亜麻^{あま}の糸^{いと}をお^おま^まに^い織^おり交^かぜた^た服^{ふく}を着^きてはなりません。

12 あなたが着^きる衣服^{いふく}の四隅^{よすみ}に房^{ふさ}を作^{つく}るべきです。

13 男性^{だんせい}が結婚^{けっこん}して妻^{つま}と関係^{かんけい}を持^もつてから、彼女^{かのじょ}を嫌^{きら}うようになった場^{ばい}合^あ、**14** 彼女^{かのじょ}の不道徳^{ふどうとく}な行^{おこな}い^うを訴^うえて汚名^{おめい}を着^きせ、『この女^{おんな}と結婚^{けっこん}した^{した}が、関係^{かんけい}を持^もった時^{とき}、処女^{しよじょ}である証^{しょうじ}証^じはなかつた』と言^いったなら、**15** 彼女

22:12 *または、「タッセル」。**22:13** *または、「拒否した」。

ちちおや ははおや しよじょ しやうこ まち もん
の父親と母親は処女の証拠を町の門
のところ ちょうろう ていしゆつ
の所にいる長老たちに提出すべきで

す。16 父親は長老たちにこう言わ

なければなりません。『この男に娘を

つま あた かれ むすめ くら *
妻として与えましたが、彼は娘を嫌い、

17 不道徳な行いで訴えて、「あなた

の娘には処女の証拠がないことが分

かった」と言っています。ですが、これ

が娘の処女の証拠です。両親はその

布を町の長老たちの前に広げます。

18 町の長老たちはその男を捕らえて

懲らしめます。19 そして男に銀1.1

キロの罰金を科し、それを娘の父親に

与えます。男はイスラエルの処女をけ

なしたからです。彼女を引き続き妻と

し、生きている限り彼女と離婚すること

は許されません。

20 しかし、もし訴えが真実で、女

性が処女である証拠がないなら、

21 女性を父親の家の入り口の所に

連れ出し、町の人々が石打ちにすべき

です。彼女は父親の家で性的不道徳

を行い、イスラエルで恥すべき行いを

したからです。イスラエルの中から悪

を除き去らなければなりません。

22 男性が別の人の妻と寝ていると

ころを見つけた場合、2人とも、す

なわち女性と寝た男性もその女性も

死ななければなりません。あなたはイ

スラエルから悪を除き去らなければ

なりません。

22:16 *または、「拒否し」。22:21 *または、「売春」。

第22章

(例) 出 18:21

申 1:13

申 16:18

(例) 申 25:2

格 10:13

格 19:29

(例) マラ 2:16

(例) レビ 21:9

(例) ヘブ 4:4

(例) レビ 11:45

コヘ 5:13

(例) 創 20:3

出 20:14

レビ 20:10

コヘ 6:9, 10

コヘ 6:18

第2欄

(例) レビ 20:10

申 5:18

テサー 4:3, 6

ヘブ 13:4

(例) 創 4:8

民 35:20, 21

ヤコ 2:11

(例) 創 34:2, 5

(例) 創 34:11, 12

出 22:16

(例) レビ 18:8

レビ 20:11

申 27:20

コヘ 5:1

第23章

(例) レビ 21:18, 20

イザ 56:4, 5

23 処女がある男性と婚姻してい

て、別の男性が町の中で彼女と出会っ

て一緒に寝た場合、24 2人を町の

門の所に引き出して、石打ちにすべき

です。娘は町にいたのに叫ばなかつ

たため、男性は仲間の妻を辱めたた

めです。イスラエルの中から悪を除き

去らなければなりません。

25 しかし、その男性が婚姻中のそ

の娘と野原で出会い、無理やり彼女と

寝たのであれば、彼女と寝た男性だけ

が死ななければなりません。26 娘

には何もしてはなりません。死刑に当

たる罪を犯していません。これは、人

が仲間を襲って殺した場合と同じで

す。27 男性が娘に出会ったのは野

原であり、婚姻中の娘は叫びましたが、

救い出す人がいなかったのです。

28 ある男性が、婚姻していない処

女と出会い、彼女を捕まえて一緒に寝

て、2人が見つかった場合、29 娘と

寝た男性は彼女の父親に銀570グラ

ムを渡さなければなりません。娘はそ

の男性の妻になります。男性は彼女を

辱めたので、生きている限り彼女と離

婚することは許されません。

30 誰も父の妻と結婚してはなりま

せん。父を辱めることのないためです。

23 睪丸を砕いて去勢された人

や陰茎を切り取られた人は、

エホバの会衆に入ることはできま

せん。2 嫡出ではない子はエホバの会衆

はいることはできません。その人の子
孫は10代目でも、エホバの会衆に入
ることはできません。

3 アンモン人とモアブ人はエホバ
の会衆に入ることはできません。そ
の子孫は10代目でも、何代目でも、エ
ホバの会衆に入ることはできません。

4 エジプトから出て旅をしている皆さ
んを食べ物と水を持って援助しに来な
かったため、また皆さんに災いがある
ようお願いするためにメソポタミアの
ペトルからベオルの子バラムを雇った
ためです。5 しかし、あなたの神エ
ホバはバラムの願いを聞きませんでした。
エホバ神は、あなたのために災
いを祝福に変えました。エホバ神は
あなたを愛したからです。6 あなた
は生涯ずっと、決して彼らの平和や繁
栄を求めてはなりません。

7 エドム人を憎んではなりません。
あなたの兄弟だからです。

エジプト人を憎んではなりません。
あなたはその国で外国人居住者とな
ったからです。8 彼らに生まれる
子たちの3代目は、エホバの会衆に入
ることができます。

9 敵に対して陣営を張るとき、あら
ゆる悪を避けなさい。10 夜に射精
して汚れたなら、陣営の外に出るべき
であり、陣営に再び入ってはなりま
せん。11 夕方になったら水で体を
洗い、日没時に陣営に戻ることで可

23:9 *または、「汚れ」。

第23章

出 20:14
レビ 20:10

ネヘ 13:1,2

裁 11:18

民 22:6
ヨシ 24:9

民 22:35

民 23:11,25
民 24:10

申 7:7,8

サニ 8:2
サニ 12:31

創 25:25,26
創 36:1
民 20:14

創 46:6
レビ 19:34
詩 105:23

サニ 21:5
サニ 11:11

レビ 15:16

第2欄

レビ 15:31

レビ 26:12

ペー 1:16

出 22:21

レビ 19:29
レビ 21:9

王 14:24
王 23:7

出 22:25
レビ 25:36,37
ネヘ 5:10
詩 15:5

申 15:6

格 28:8

ます。12 また、陣営の外に人目に
つかない場所を設け、そこに出ていく
ようにします。13 用具類に小べらを
含めておき、外でしゃがむ時にはそれ
で穴を掘り、後で排せつ物を覆うべき
です。14 あなたの神エホバは、あ
なたを救い出して敵をあなたに渡す
ために、あなたの陣営の中を歩き回
っているからです。陣営は聖なる状態
でなければなりません。神が見苦しいも
のを見て、あなたに伴うのをやめて引
き返してしまわないためです。

15 奴隷が主人のもとから逃げて
きたとき、その奴隷を主人に引き渡し
てはなりません。16 その奴隷は町
の中のどこでも好きな場所を選んで住
むことができます。彼を虐待してはな
りません。

17 イスラエルの娘は誰も神殿婦
となってはなりません。イスラエル
の息子は誰も神殿男娼となってはなり
ません。18 誓約を果たすために、
娼婦の報酬や男娼の報酬をあなたの
神エホバの家に持ってきてはなりませ
ん。どちらも、あなたの神エホバに
とって忌まわしいものだからです。

19 自分の兄弟に利息を払わせて
はなりません。金銭、食物、他のどん
なものの利息もです。20 外国人に
は利息を払わせても構いませんが、兄
弟には利息を払わせてはなりません。

23:12 *トイレのこと。23:18 *直訳、「犬」。
*または、「稼ぎ」。

あなたが行って取得する土地でああなたの神エホバが全ての働きを祝福してくださるためです。

21 あなたの神エホバに誓約したなら、先延ばしせずに果たさない。エホバ神は必ずそれをあなたに求めます。果たさないなら、あなたには罪があります。**22** しかし、誓約しなければ、あなたは罪を負いません。**23** あなたの唇から出る言葉を守るべきであり、エホバ神への自発的な捧げ物として誓約したことを行わなければなりません。

24 隣人のブドウ園に入る場合、食欲が満たされるまで食べることはできませんが、決して入れ物に入れてはなりません。

25 刈り取っていない隣人の穀物畑に入る場合、熟した穂を手でむしることはできませんが、隣人の穀物に鎌を入れてはなりません。

24 男性が女性と結婚したものの、女性が恥ずべき点があるのが分かって好きでなくなったなら、離婚証書を書いて手渡し、家から去らせなければなりません。**2** 女性は自分の家を去った後、行って別の男性の妻となることができます。**3** この2番目の男性も彼女を嫌い、離婚証書を書いて手渡し、家から去らせた場合でも、あるいは彼女と結婚した2番目の男性が死んだとしても、**4** 彼女を去らせ

24:3 *または、「拒否し」。

第23章

(例) 申 15:4
申 15:7,10
格 19:17
ルカ 6:34,35

(例) 裁 11:30,31
サー 1:11

(例) ヨナ 2:9

(例) 伝 5:4,6

(例) 伝 5:5

(例) 民 30:2
詩 15:4
格 20:25

(例) 裁 11:35
サー 14:24
マタ 5:33

(例) マタ 6:11
ロマ 13:10

(例) マタ 12:1
ルカ 6:1

第24章

(例) マタ 5:31,32
マル 10:4,11

(例) マラ 2:16
マタ 1:19
マタ 19:3-8

(例) レビ 21:7

第2欄

(例) 申 20:7
格 5:18
伝 9:9

(例) 出 22:26,27

(例) 創 37:28
創 40:15

(例) 出 21:16

(例) 申 19:18,19
申 21:20,21

(例) レビ 13:2,15
マル 1:44
ルカ 17:14

(例) 民 12:10,15
申 15:7,8
格 3:27

最初の夫が、汚された彼女を再び妻にすることは許されません。それはエホバにとって忌まわしいことだからです。あなたは、あなたの神エホバが授けてくださる土地に罪を持ち込んではいけません。

5 新婚の男性は、兵役に就くべきではなく、他のどんな務めも課されるべきではありません。1年間務めを免除され、家にいて、妻を喜ばせるべきです。

6 誰もひき白やその上石を担保として取ってはなりません。生活そのものを担保として取ることになるからです。

7 ある人がイスラエル人の兄弟を誘拐したことが分かり、兄弟を虐待して売り渡していたなら、その誘拐犯は死ななければなりません。イスラエルの中から悪を除き去るべきです。

8 重い皮膚病が発生したとき、よく注意して、全てレビ族の祭司の指示通りに行ないさい。注意して、私が彼らに命じた通りに行ないさい。**9** エジプトから出て旅をしている時にあなたの神エホバがミリアムに行ったことを覚えておきなさい。

10 隣人に何かを貸す場合、担保にする約束の物を取ろうとして相手の家に入ってはなりません。**11** あなたは外に立って、借りる人があなたのもとに、担保にする物を持って出て

24:6 *または、「命」。**24:8** *用語集参照。

くるようにすべきです。12 もしその人が困窮しているなら、担保となっている物を預かったまま寝てはなりません。13 日が沈んだらすぐ、担保となっている物をぜひとも返すべきです。その人は服を自分に掛けて寝ることができ、あなたに祝福があることを願い求めます。それは、あなたの神エホバに正しいことと見なされます。

14 あなたの兄弟であれ、あなたの町にいるあなたの土地の外国人居住者であれ、雇った労働者で、困窮している貧しい人からだまし取ってはなりません。15 その日のうちに、日が沈む前に、賃金を渡すべきです。その人は困窮しており、生活が懸かっているからです。渡さないなら、その人があなたを責めてエホバに叫び、あなたは罪を負います。

16 父親は子供がすることのゆえに死刑にされるべきではなく、子供も父親がすることのゆえに死刑にされるべきではありません。人はそれぞれ自分の罪のゆえに死刑にされるべきです。

17 外国人居住者や父親のいない子供に関してゆがんだ裁きをしてはなりません。やもめの服を担保に取ってはなりません。18 自分がエジプトで奴隷となったことを覚えていなさい。あなたの神エホバはあなたをそこから救い出してくだしました。そのた

24:17 *または、「孤児」。24:18 *直訳、「買戻し」。

第24章
[イ] ヨブ 24:9,10

[イ] 出 22:26,27

[イ] レビ 25:39,43
格 14:31

[ロ] レビ 19:13
エレ 22:13
マタ 20:8

[ヨ] 格 22:22,23
ヤコ 5:4

[ヨ] 代二 25:3,4

[イ] エゼ 18:20

[イ] 出 22:21,22

[イ] 出 22:26,27

[ヨ] 申 5:15

第2欄

[イ] レビ 19:9
レビ 23:22
ルツ 2:16
詩 41:1

[イ] 申 15:7,10
格 11:24
格 19:17
ルカ 6:38
コ二 9:6
ヨ一 3:17

[イ] レビ 19:10
申 26:13

第25章

[ロ] 申 16:18
申 17:8,9
申 19:16,17

[ヨ] 出 23:6
代二 19:6
格 17:15
格 31:9

[ヨ] 格 10:13
格 20:30
格 26:3
ルカ 12:48
ヘブ 2:2

わたし、このことを行うように命じているのだ。

19 畑の作物を刈り取るとき、畑に束を1つ置き忘れたとしても、取りに戻ってはなりません。外国人居住者、父親のいない子供、やもめのために残しておくべきです。そうすれば、あなたが行う全てのことをエホバ神が祝福してくださいます。

20 オリーブの木の枝をたたいて実を採るとき、その作業をもう一度繰り返してはなりません。残った物は、外国人居住者、父親のいない子供、やもめのためにそのままにしておくべきです。

21 ブドウ園のブドウを集めるとき、採り残しを集めて戻ってはなりません。外国人居住者、父親のいない子供、やもめのために残しておくべきです。22 自分がエジプトで奴隷となったことを覚えていなさい。そのため私は、このことを行うように命じているのだ。

25 人と人との間に争いが生じ、その人たちが裁判人たちの前に来たなら、裁判人たちはその人たちを裁き、正しい人に無実を、邪悪な人に有罪を宣告します。2 邪悪な人を打ちたたくべきであれば、裁判人はその人をうつぶせにさせ、自分の前で打ちたたかせます。行為の邪悪さに応じた回数だけ打ちなさい。3 40回

まで打つことができますが、それ以上打ってはなりません。それ以上打ち続けるなら、あなたの兄弟があなたの目の前で辱められることになります。

4 脱穀している牛に口籠を付けてはなりません。

5 兄弟たちが共に住み、その1人が息子を持たずに死んだら、死んだ人の妻は夫の家族以外の人と結婚すべきではありません。彼女にとって義理の兄弟である人が彼女の所に行って、自分の妻とし、義兄弟結婚をするべきです。6 彼女が産む最初の息子は死んだ夫の名前を受け継ぎます。その名前がイスラエルから消し去られないためです。

7 もしその人が自分の兄弟が残したやもめと結婚しながらないなら、そのやもめは町の門にいる長老たちの所へ行って、『私の夫の兄弟は自分の兄弟の名前をイスラエルの中に残すことを拒み、私と義兄弟結婚することとに同意しません』と言うべきです。

8 町の長老たちはその人と呼んで話します。その人が、『彼女と結婚したくない』と言い張るなら、9 やもめは長老たちの前でその人に近づき、彼のサンダルを脱がせ、顔に唾を吐き掛け、『兄弟の家系を保とうとしない男はこうされる』と言うべきです。10 その後、その人の家はイスラエルで、『サン

25:4 *または、「牛の口を覆って」。25:5 *用語集参照。25:10 *または、「家の名前」。

第25章

(例) コニ 11:24

(例) 格 12:10
コ—9:9
テモ—5:18(例) 創 38:7,8
ルツ 4:5
マル 12:19(例) 創 38:9
ルツ 4:10,17

(例) 民 27:1,4

(例) ルツ 4:7

第2欄

(例) 格 11:1
格 20:10
ミカ 6:11

(例) レビ 19:36

(例) 申 4:40

(例) レビ 19:35

(例) 出 17:8
民 24:20

(例) ヨシ 22:4

(例) 出 17:14
サー 14:47,48
サー 15:1-3
代—4:42,43

ダルを脱がされた者の家』と呼ばれます。

11 男性2人がけんかをし、一方の妻が間に入り、夫を殴る人から夫を守ろうとして、手を伸ばして相手の股間をつかんだなら、12 彼女の手を切断しなければなりません。哀れに思っ

てはなりません。13 袋に大小2種類の石の重りを持っていてはなりません。14 家に大小2種類の計量容器を置いてはなりません。15 ごまかしのない正確な重り、ごまかしのない正確な計量容器を持っているべきです。あなたの神エホバが与えてくださる土地で長く生きるためです。16 そうしたことを行なう不正な人は皆、あなたの神エホバにとって忌まわしいもののなのです。

17 皆さんがエジプトから出て旅をしている時にアマレク人が皆さんに行ったことを覚えておきなさい。

18 アマレク人は道であなたに出会い、あなたが疲れ果ててへとへとになつていた時に後方で脱落しかけていた人たちを攻撃しました。神を畏れませんでした。19 あなたの神エホバが授けて所有させてくださる土地で、あなたの神エホバが周囲の全ての敵から守って安心させてくださった時、アマレクに関する記憶を天の下から消し去るべきです。忘れずにそうしなければなりません。

26 あなたの神エホバが授けてくださる土地にやがて入り、それを取得してそこに住む時、**2** エホバ神が与えてくださる土地から集める産物 全てについて、初物の幾らかを取り、籠に入れて、エホバ神がご自分の名のために選ぶ場所に行きなさい。**3** その時に務めを果たしている祭司の所に行つて、こう言わなければならない。『私たちに与えるとエホバが父祖たちに誓った土地に私が入ったことを今日あなたの神エホバに報告いたします』。

4 祭司はあなたの手から籠を取り、あなたの神エホバの祭壇の前に置きます。**5** あなたはエホバ神の前でこう言わなければならない。『私の父祖は各地を転々とするアラム人で、エジプトに下り、少数の家族と一緒に外国人としてそこにとどまりました。しかしそこで、強く、多く、強大な国民になりました。**6** エジプト人は私たちを虐待し、圧迫し、過酷な奴隷労働をさせました。**7** 私たちは父祖の神エホバに向かって叫ぶようになり、エホバは私たちの声を聞き、私たちの苦悩と災難と圧迫に目を留めました。**8** ついにエホバは、力強い手と伸ばした腕、恐るべき行為としと奇跡によって、エジプトから連れ出してくださいました。**9** そしてこの場所に連れてきて、この土地を、非常

第26章

〔例〕出 23:19
レビ 23:10
民 18:8, 12
代 2:6-6
代 2:31-5
格 3:9

〔例〕創 17:1, 8
創 26:3

〔例〕創 28:5
ホセ 12:12

〔例〕創 46:3
使徒 7:15

〔例〕創 46:27

〔例〕出 1:7
申 10:22
詩 105:24

〔例〕出 1:11

〔例〕出 3:9
出 4:31
使徒 7:34

〔例〕出 6:6

〔例〕出 7:3
申 4:33, 34

第2欄

〔例〕出 3:8
申 8:7, 8
エゼ 20:6

〔例〕申 26:2

〔例〕申 12:7
申 16:14

〔例〕申 12:5, 6
申 14:22

〔例〕申 14:28, 29
格 14:21
ヨ 3:17

に肥沃な土地を与えてくださいました。**10** 今、私はエホバが与えてくださった土地の産物の初物を持ってまいりました』。

あなたはそれをあなたの神エホバの前に置き、あなたの神エホバの前でひれ伏さなければなりません。**11** そしてエホバ神があなたと家の人たちに与えてくださった全ての良いものについて喜びます。あなたも、レビ族の人も、あなたと共にいる外国人居住者もです。

12 3年目すなわち10分の1を納める年に、産物の10分の1をすべて取り分けたなら、それをレビ族の人、外国人居住者、父親のいない子供、やもめ、に与えます。彼らはあなたの町で十分に食べます。**13** あなたは、あなたの神エホバの前でこう言います。『私は聖なるものを家からすっかり出し、レビ族の人、外国人居住者、父親のいない子供、やもめに与えました。あなたがお命じになった通りです。あなたのおきてを破ったり無視したりしてはいません。**14** 喪の間にそれを食べた、汚れている間にそれを取ったり、死んだ人のためにそれを与えたりませんでした。私の神エホバの声に従い、あなたが命じになった全てのことを行いました。**15** それで、聖なる住まいである天からご覧になり、あなたの

26:2 *直訳、「実」。26:5 *もしかすると、「滅びゆこうとする」。

26:9 *直訳、「乳と蜜が流れる地」。26:12 *または、「孤児」。

〔例〕ヤコ 1:27

民イスラエルを祝福し、父祖たちに誓われた通りに、私たちに与えてくださった土地、非常に肥沃な土地を祝福してください。』

16 今日、あなたの神エホバは、これらの規定と法規を実行するようあなたに命じています。あなたは心を尽くし自分の全てを尽くしてそれらを守り、実行しなければなりません。**17** あなたは今日エホバから、あなたが神の道を歩んで神の規定とおきてと法規を守り、神の声に従う間、あなたの神になる、という宣言を聞くことができました。**18** エホバも今日あなたから、約束してくださった通り神の民、特別な所有物となって、神の全てのおきてを守る、という宣言を聞くことができました。**19** また神は、あなたがエホバ神にとって聖なる民である間、約束通りに、ご自分が造った他のあらゆる国民よりもあなたを上位に置いて賛美と名声と栄光を与える、と言いました。』

27 モーセはイスラエルの長老たちと一緒に、民にこう命じた。「私が今日命じるおきて全てを守りなさい。**2** ヨルダン川を渡ってあなたの神エホバが与えてくださる土地に入る日に、大きな石を幾つか立てて、しっくいを塗りなさい。**3** 渡り終えたら、この律法の全ての言葉をそれ

第26章

〔出 23:25

〔創 15:18
創 26:3

〔出 8:7,8

〔出 6:6
申 11:1
詩 119:34
ヨ 5:3

〔申 26:46

〔申 12:13

〔申 19:37

〔申 14:2
申 29:10-13〔申 7:6
申 28:1,9

〔申 4:8

第27章

〔申 8:30-32

第2欄

〔民 13:26,27

〔申 11:29

〔出 20:25

〔申 3:1

〔申 7:15

〔申 12:7

〔申 24:12

〔出 19:5
申 26:18〔申 19:2
マタ 19:17
ヨ 5:3

〔申 11:29

〔申 8:33

らに書きなさい。あなたの神エホバが与えてくださる土地、非常に肥沃な土地に入ります。父祖たちの神エホバが約束した通りです。**4** ヨルダン川を渡った時、私が今日命じる通りに、それらの石をエバル山に立てて、しっくいを塗るべきです。**5** またそこに、あなたの神エホバのための祭壇、石の祭壇を作らなければなりません。鉄の道具で石を切ってはなりません。**6** 自然のままの石でエホバ神の祭壇を作り、エホバ神への全焼の捧げ物を祭壇で捧げるべきです。**7** 共食の犠牲を捧げてそこで食べるべきであり、エホバ神の前で喜びます。**8** この律法の全ての言葉をそれらの石にはっきり書きなさい。』

9 モーセとレビ族の祭司たちはイスラエル全体に話した。「静かにして聞きなさい、イスラエル。今日、あなたは、あなたの神エホバの民となりました。**10** あなたの神エホバの言うことを聞き、私が今日命じる神のおきてと規定を実行しなければなりません。』

11 その日モーセは民にこう命じた。**12** 「ヨルダン川を渡った時、次の部族はゲリジム山に立って、民が受ける祝福を述べます。シメオン、レビ、ユダ、イッサカル、ヨセフ、ベニヤミン。**13** また、次の部族はエバル山に立って、災いを述べます。ルベン、ガド、アシェル、ゼブルン、ダン、ナフタリ。

27:4 *または、「石灰で白く塗り上げる。』

26:15; 27:3 *直訳、「乳と蜜が流れる地。』

26:18 *または、「宝のような。 **27:2** *または、「石灰で白く塗り上げ。』

14 レビ族はイスラエルの全ての人の
おおごえ い げ
大声でこう言います。

15 『彫刻像や金属像を作って隠し
も ひと わざわ う しよくにん* つく かく
持った人は災いを受ける。職人が作
るそのような物はエホバにとって忌ま
わしい』。(民は皆、「アーメン!」と答
える。)

16 『父や母を軽視する人は災いを受
う け けい し ひと わざわ
ける』。(民は皆、「アーメン!」と
いう。)

17 『隣人の境界標識をずらす人は
わざわ う けい し ひと
災いを受ける』。(民は皆、「アーメ
ン!」と言う。)

18 『目が見えない人を道に迷わ
せ せ め けい し ひと
せる人は災いを受ける』。(民は皆、
「アーメン!」と言う。)

19 『外国人居住者、父親のいない
こども* かん けい し
子供、やもめに関して、ゆがんだ裁き
を する 人は 災いを受ける』。(民は皆、
「アーメン!」と言う。)

20 『父の妻と寝る人は災いを受け
る。父を辱めたからである』。(民は
皆、「アーメン!」と言う。)

21 『動物と寝る人は災いを受け
る』。(民は皆、「アーメン!」と言う。)

22 『姉妹すなわち父の娘か母の娘
と寝る人は災いを受ける』。(民は皆、
「アーメン!」と言う。)

23 『しゅうとめと寝る人は災いを受
ける』。(民は皆、「アーメン!」言う。)

27:15 *または、「木や金属の細工人」。
「または」、「そうなりますように」。
27:19 *または、「孤児」。

第27章

申 33:10

イ 出 20:4

申 4:15,16

イザ 44:9

出 34:17

レビ 19:4

申 7:25

申 29:17

出 20:12

申 21:18-21

格 20:20

格 30:17

マタ 15:4

出 申 19:14

格 23:10

レビ 19:14

出 22:21,22

申 10:17,18

マタ 3:5

ヤコ 1:27

出 申 16:20

格 17:23

ミカ 3:11

レビ 18:8

コ 5:1

出 22:19

レビ 18:23

レビ 20:15

レビ 18:9

レビ 20:17

レビ 18:17

レビ 20:14

第2欄

出 20:13

出 21:12

民 35:31

イ 出 27:3,4

出 申 28:15

ガラ 3:10

第28章

申 26:18,19

レビ 26:3,4

格 10:22

イザ 1:19

出 申 11:14

レビ 26:9

詩 127:3

詩 128:3

出 申 7:13

出 申 26:2

出 23:25

出 申 32:30

ヨシ 10:11

出 申 7:23

代二 14:13

24 『待ち伏せて隣人を殺す人は
わざわ う けい し ひと
災いを受ける』。(民は皆、「アーメ
ン!」と言う。)

25 『賄賂を受け取って無実の人を
ころ * ひと わざわ う けい し
殺す人は災いを受ける』。(民は皆、
「アーメン!」と言う。)

26 『この律法の言葉を守らず実行
し ない 人は 災いを受ける』。(民は皆、
「アーメン!」言う。)

28 あなたが、あなたの神エホ
バの言うことをしっかり聞き、
わ した きょうめい かみ すべ
私が今日命じる神の全てのおきてを
ちやうい まも
注意して守るなら、あなたの神エホバ
は、あなたを必ず地上の他のあらゆる
国民よりも上位に置いてくださいます。

2 あなたの神エホバの言うことを常
に聞くので、以下のような祝福全てが
あなたを訪れ、あなたに追い付きま
す。

3 あなたは町で祝福され、野原で
祝福されます。

4 子供、土地の産物、家畜の子、牛
や羊の子を豊かに与えられ、祝福され
ます。

5 籠とこね鉢は満たされ、祝福され
ます。

6 入る時に祝福され、出る時に祝
福されます。

7 エホバは、あなたに敵対する者
たちをあなたの前で敗北させます。彼
らは1方向から攻めてきますが、7方向
に逃げていきます。8 エホバは、あ

27:25 *または、「打ち殺す」。

あなたの倉があふれ、あなたの全ての働きが祝福されることを定め、あなたの神エホバが与えてくださる土地で確かにあなたを祝福します。9 あなたがエホバ神のおきてを守り続け、神の道を歩むので、エホバは誓った通りにあなたをご自分の聖なる民としてくださいます。10 地上の全ての民は、あなたがエホバの名で呼ばれているのを見ることになり、あなたを恐れます。

11 エホバは、あなたに与えるエホバが父祖たちに誓った土地で、子供や家畜や産物をあふれるほどに与えてくださいます。12 エホバは恵みの倉である天をあなたに開き、季節ごとにああなたの土地に雨を与え、あなたが行う全てのことを祝福してくださいます。あなたは多くの国の人々に貸しますが、借りることはありません。13 守って行うように私が今日命じるエホバ神のおきてに常に従うなら、エホバはあなたを先頭にし、末尾にはしません。あなたは上位になり、下位にはなりません。14 私が今日命じる全ての言葉から右にも左にもそれてはならず、ほかの神々に従って歩んでそれに仕えることがあってはなりません。

15 しかし、あなたが、あなたの神エホバの言うことを聞かず、私が今日命じる神の全てのおきてと法令を注意して守らないなら、以下のような災い

第28章

(例) レビ 26:10
格 3:9,10
マラ 3:10

(例) 出 19:6

(例) 申 7:6

(例) イザ 43:10
ダニ 9:19
使徒 15:17

(例) 民 22:3
申 11:25
ヨシ 5:1

(例) 創 15:18

(例) 申 30:9
詩 65:9

(例) レビ 26:4
申 11:14

(例) 申 15:6

(例) 王一 4:21

(例) 申 5:32
ヨシ 1:7
イザ 30:21

(例) 列 19:4

第2欄

(例) レビ 26:16,17
ダニ 9:11

(例) 王一 17:1

(例) 申 26:2

(例) レビ 26:26

(例) 哀 2:11,19
哀 4:10

(例) レビ 26:20,22

(例) ヨシ 23:16

(例) レビ 26:25
エレ 24:10

(例) レビ 26:16

(例) レビ 26:33

(例) アモ 4:9

(例) レビ 26:19
申 11:17
王一 17:1

(例) レビ 26:14,17
サー 4:10

(例) エレ 29:18
ルカ 21:24

全てがあなたを訪れ、あなたに追い付きます。

16 あなたは町で災いを受け、野原で災いを受けます。

17 籠とこね鉢は空になり、災いを受けます。

18 子供、土地の産物、牛や羊の子をほとんど与えられず、災いを受けます。

19 入る時に災いを受け、出る時に災いを受けます。

20 エホバはあなたの全ての働きに災いと混乱と処罰をもたらし、あなたを滅ぼし、すぐに消し去ります。あなたが悪を行い、神を捨てたからです。

21 エホバは病気をあなたに付きまとわせ、あなたが行って取得する土地からあなたを根絶やしにします。22 エホバはあなたを、結核、熱病、炎症、高熱、剣、立ち枯れ、病害で打ち、それらはあなたを追い詰めて、滅ぼします。23 頭上の空は銅になり、足元の大地は鉄になります。24 エホバはあなたの土地の雨として砂とほこりを天から降らせ、あなたは滅びます。

25 エホバはあなたを敵の前で敗北させます。あなたは1方向から攻めますが、7方向に逃げていきます。地上の全ての王国はあなたに起きたことを見聞きして恐怖を感じます。26 あなたの死体はあらゆる天の鳥や地の動物

28:20 *直訳、「私」。

に食べられ、誰もそれらを追い払いま
せん。

27 エホバは、エジプトの腫れ物、
痔、湿疹、吹き出物であなを打ち、あ
なたが癒やされることはありません。

28 エホバはあなたを打って、気を狂
わせ、失明させ、混乱させます。 **29** あ
なたは、目が見えない人が闇の中で手

探りするように、真昼に手探りし、何を
しても成功しません。いつもだまし取

られ、奪い取られ、誰も救ってくれませ
ん。 **30** あなたが女性と婚約しても、
別の男性が彼女を奪います。家を建て

ても、そこに住めず、ブドウ園を造って
も、収穫できません。 **31** あなたの雄

牛が目の前でほふられても、あなたは
それを食べられず、ロバがすぐ目の前

で奪われても、それを取り戻せず、羊が
敵たちに取られても、誰にも助けて

もらえません。 **32** あなたが見ている
前で息子と娘がほかの民に渡され、会

いたいと切に願っても、何もできませ
ん。 **33** あなたの土地に実る物とあ

なたが生産する全ての物を、あなたが
知らなかった民が食べます。あなた

はいつもだまし取られ、虐げられます。
34 自分が目にする事柄で気が狂って

しまいます。

35 エホバは、あなたの両膝と両
脚を痛くて治らない腫れ物で打ち、そ

れは足の裏から頭のてっぺんまで広
がります。 **36** エホバは、あなたとあ

28:28 *または、「心を困惑させ」。

第28章

(例) エレ 7:33

(例) 出 4:11

(例) イザ 59:10

(例) 裁 3:14

裁 6:1-5

ネヘ 9:27

(例) イザ 5:9

哀 5:2

(例) アモ 5:11

ミカ 6:15

(例) 代二 29:9

(例) ネヘ 9:37

イザ 1:7

第2欄

(例) 王二 17:6

王二 25:7

代二 33:11

代二 36:5,6

(例) エレ 16:13

(例) 王一 9:8

代二 7:20

エレ 24:9

エレ 25:9

(例) イザ 5:10

ハガ 1:6

(例) ゼバ 1:13

(例) 王二 24:14

エレ 52:15,30

(例) 格 22:7

(例) エズ 9:7

(例) 申 28:15

申 29:27

(例) 王二 17:20

エレ 24:10

あなたが自分の上に立てた王を、あなた
も父祖たちも知らなかった国に行か
せ、あなたはそこで木や石でできた他
の神々に仕えます。 **37** エホバがあ
なたを行かせるどの民の間でも、あ
なたに生じたことは恐怖のもとにな
り、あなたは軽蔑やあざけりの的にな
ります。

38 あなたはたくさん種の種を畑に
持っていきませんが、ほとんど収穫でき
ません。バッタが食い尽くすからです。

39 ブドウ園を造って手入れしますが、
ぶどう酒を飲むことも収穫することも
ありません。虫が食い尽くすからです。

40 全領地にオリーブの木を持つよう
になりますが、自分の体に油を塗るこ
とはありません。オリーブの実が落ち
てしまうからです。 **41** 息子や娘が生

まれますが、あなたのもではなくなり
ます。捕囚にされるからです。 **42** 昆

虫の大群があなたの全ての木と大地
の実りを覆い尽くします。 **43** あなた

と共にいる外国人居住者はあなたよ
り上へ上へと上がっていき、あなたは

下へ下へと下がっていきます。 **44** 外
国人居住者はあなたに貸しますが、あ

なたは彼に貸しません。彼は先頭にな
り、あなたは末尾になります。

45 以上の災い全てが必ずあなたを
訪れ、追い掛け、追い付き、やがてあな

たは滅びます。あなたの神エホバの
言うことを聞かず、神が命じたおきてと

28:42 *または、「羽音を立てる昆虫」。

ほうれい まも
法令を守らなかったからです。 46 そ
れはあなたとあなたの子孫にもたら
され、永久にしるしました警告となりま
す。 47 あなたは、全ての物が豊かな
にありながら、あなたの神エホバに楽
しく心から喜んで仕えなかったからで
す。 48 エホバはあなたに敵を差し
向け、あなたは、飢えと渇きを覚え、着
る物がなく、全ての物が不足する中で、
彼らに仕えます。神はあなたの首に鉄
のてんびん棒を掛け、やがてあなたを
滅ぼします。

49 エホバは遠くの国民を地の果
てからあなたに向かわせ、彼らはワシ
のように襲い掛かります。あなたは彼
らの言語を理解できません。 50 彼
らは顔つきがどう猛な国民で、老人に
配慮を示さず若者に憐れみを示しま
せん。 51 彼らはあなたの家畜の子
と大地の実りを食べ、やがてあなたを
滅ぼします。あなたに、穀物も、新しい
ぶどう酒や油も、牛や羊の子も残さず、
やがてあなたを滅ぼしてしまいます。
52 彼らは全土であなたを包囲して全
ての町の中に閉じ込め、あなたが頼り
にする高くて強固な城壁も崩れ落ちま
す。あなたの神エホバが与えてくだ
さった土地全体で、全ての町であなた
を包囲するのです。 53 その時あな
たは、敵の包囲が厳しくて窮乏させら
れるために、自分の子供たち、あなた
の神エホバが与えてくださった息子や

第28章

(例) 申 11:26-28

(例) コー 10:11

(例) 申 12:7
ネヘ 9:35

(例) エレ 44:27

(例) 代二 12:8,9
エレ 5:19(例) エレ 6:22
ハバ 1:6(例) エレ 4:13
ホセ 8:1

(例) エレ 5:15

(例) 代二 36:17
イザ 47:6
ルカ 19:44(例) レビ 26:26
エレ 15:13(例) 王二 17:5
王二 25:1
ルカ 19:43

第2欄

(例) 王二 6:28
哀 4:10
エゼ 5:10

(例) エレ 52:6

(例) 哀 4:5

(例) 出 24:7
申 31:26(例) 申 10:17
詩 99:3(例) 出 3:15
出 6:3
出 20:2
詩 83:18
詩 113:3
イザ 42:8(例) レビ 26:21
ダニ 9:12

(例) 申 10:22

(例) 申 4:27

むすめ にく た
娘の肉を食べることになります。

54 皆さんのうち最も優雅で繊細な
男性でさえ、兄弟、愛する妻、残りの子
供たちに思いやりを示さず、 55 自分
が食べる子供の肉を分け与えませ
ん。町が敵に厳しく包囲されて窮乏す
るため、彼にはそれしかないからで
す。 56 皆さんのうち優雅で繊細な
女性、とても優雅で地面に足の裏を付
けることなど考えもしない人でさえ、愛
する夫、息子や娘に思いやりを示しま
せん。 57 自分が産んだ子供と出産
後に排出される物にもです。町が敵に
厳しく包囲されて窮乏するために、そ
れをひそかに食べるのです。

58 もしあなたが、書に記されたこ
の律法の全ての言葉を注意深く守ら
ず、この輝かしい崇高な名、あなたの神
エホバの名を畏れないなら、 59 エ
ホバはあなたとあなたの子孫に非常
に深刻な災厄をもたらします。大きく
て長く続く災厄(例) ひつう なが につづ びょうき
です。 60 神はあなたが恐れていた
エジプトの全ての病気をあなたにもた
らし、それらは必ずいつもあなたを悩
ませます。 61 エホバはさらに、この
律法の書に記されていないあらゆる
病気や災厄をあなたにもたらし、やが
てあなたは滅ぼされます。 62 天の
星のように数が多くなっていたとして
も、ごくわずかな人しか残りません。あ
なたの神エホバの言うことを聞かな
かったからです。

63 エホバは、かつて喜んで皆さんを繁栄させ多くならせましたが、同じようにエホバは、喜んで皆さんを滅ぼし全滅させます。皆さんは、取得しようとしている土地から引き離されます。

64 エホバはあなたを地の果てから果てまで、あらゆる国々に散らします。あなたはそこで、あなたも父祖たちも知らなかった木や石の神々に仕えることになります。**65** それらの国々で、あなたに平和はなく、足を休める場所もありません。エホバはそこであなただけに、心の不安、目の衰え、絶望感を生じさせます。**66** あなたの命は大きな危険にさらされ、あなたは昼も夜も恐怖を感じます。生き残れるか分からないのです。**67** 朝には、『ああ晩だったら!』と言い、晩には、『ああ朝だったら!』と言います。心に抱く恐怖のため、目にする光景のためです。**68** 『あなたは二度とそれを見ない』と私が言ったエジプトに、エホバは必ずあなたを船で連れ戻します。皆さんはそこで、自分を男奴隷や女奴隷として敵に売ることになりますが、買う人はいません。

29 以下は、エホバがモーセに命じてモアブ地方でイスラエルの民と結ばせた契約の言葉であり、ホレブで彼らと結んだ契約とは別のものである。

2 モーセはイスラエル全体を呼び集めて、こう言った。「皆さんは、エホ

第28章

〔レビ 26:33
ネヘ 1:8
ルカ 21:24

〔イ 申 4:27,28

〔イ アモ 9:4

〔イ エゼ 12:19

〔イ レビ 26:16,36

第29章

〔イ 出 24:8

第2欄

〔イ 出 19:4
ヨシ 24:5

〔イ 申 4:34
ネヘ 9:10

〔イ ロマ 11:8

〔イ 申 1:3
申 8:2

〔イ 申 8:4
ネヘ 9:21
マタ 6:31

〔イ 民 21:26

〔イ 民 21:33

〔イ 詩 135:10,11

〔イ 民 32:33
申 3:12,13

〔イ 申 4:6
申 8:18
ヨシ 1:7,8
王 2:3
詩 103:17,18
ルカ 11:28

〔イ 申 8:2

〔イ 出 12:38

バが皆さんの目の前でファオと全ての家来とエジプト全土に行った事柄全てを見ました。**3** 大々的な裁き、大きなしるしと奇跡を見ました。**4** しかしエホバは今日まで、理解する心と見る目と聞く耳を皆さんに与えていません。**5** 『私が荒野であなたたちを導いた40年間、あなたたちが着ていた服は擦り切れず、履いていたサンダルはすり減らなかった。**6** あなたたちはパンを食べず、ぶどう酒などの酒も飲まなかった。私があなたたちの神エホバであることをあなたたちが知るためである』。**7** 皆さんはようやくこの場所にきました。ヘシュボンの王シホンとバシヤンの王オグが出てきて私たちを迎え撃とうとしましたが、私たちは彼らを打ち破りました。**8** その後、彼らの土地を取って、ルベン族とガド族、マナセ族の半分に、相続していく土地として与えました。**9** それで、この契約の言葉を守ってそれに従いなさい。皆さんが行う全てのことが良い結果になるためです。

10 今日、皆さんは、皆さんの神エホバの前に立っています。部族長、長老、役人、イスラエルの全ての男性、

11 子供、妻、あなたの宿営の中にいようとする外国人居住者、まきを集める人や水をくむ人が立っています。**12** エホバ神と誓いによって契約を交わすためです。エホバ神はそれを今日あなたと

29:3 *または、「試すこと」。

結びます。13 あなたに約束した通り、また父祖たち、アブラハム、イサク、ヤコブに誓った通り、あなたを今日ご自分の民とし、あなたの神となるためです。

14 私は誓いによるこの契約を皆さんとだけ結ぶではありません。

15 私たちの神エホバの前で今日一緒にここに立っている人たちとも、今日一緒にここにいない人たちとも結びま

す。16 (私たちがエジプトでどのように暮らし、道中さまざまな国をどのように通り抜けてきたかは、皆さんがよく知っています。17 皆さんは、彼ら

の間にあった忌まわしいものや、木や石、銀や金でできた汚らしい偶像をよく目にしました。)

18 今日、皆さんの間に、エホバ神から心が離れて、それらの国の神々に仕えに行くような男性や女性、家族や部族がいないように、気を付けなさい。皆さんの間に、有毒な実やニガヨモギを生み出すような根が生じないためです。

19 もしこの誓いの言葉を聞きながら、心の中で思い上がり、『私は自分の心のままに歩んでも大丈夫だ』と言い、通り道で全てを破壊していく人がいるなら、20 エホバはその人を許そうとはしません。かえて、エホバの大きな怒りがその人に対して燃え、こ

29:17 *ヘブライ語で「ふん」を意味する言葉と関連があると考えられる、嫌悪を表す表現。
29:19 *直訳、「潤っているものも乾いているものも」。

第29章

(例) 申1:3
申29:1

(例) 創17:1,7
創22:16,17

(例) 創26:3

(例) 創28:13

(例) 出19:5

申7:6

申28:9

(例) 出6:7

出29:45

(例) 申2:4

(例) 民25:1,2

(例) 申11:16

ヘブ3:12

(例) ヘブ12:15

(例) ヨシ24:19

第2欄

(例) 申27:26

申28:15

(例) 創19:24

ユダ7

(例) 創10:19

創14:2

(例) 王上9:8,9

代下7:21,22

エゼ22:8,9

(例) 王上19:10

(例) エゼ31:32

(例) 裁2:12

(例) レビ26:16

申27:26

(例) 申28:45,63

王上14:15

王上17:18

ルカ21:24

(例) エズ9:7

ダニ9:7

の書に記された災い全てが必ずその人にもたらされ、エホバはその人の名前を天の下から確実に消し去ります。

21 エホバはその人をイスラエルの全ての部族から分け、災難をもたらします。これは、この律法の書に記された契約にある災い全てに沿うものです。

22 後の世代である皆さんの子や遠くの土地から来た外国人は、この土地の災厄、エホバがもたらした病気をみます。23 硫黄と塩と火によって、全土は、種をまかれず、芽が出ず、何の草木も生えない所となり、エホバが怒りと憤りのうちに滅ぼしたソドム、ゴモラ、アドマ、ツェボイムのようになります。

24 その人たちと全ての国の民は、『どうしてエホバはこの土地に対してこのようにしたのか。これほど激しく怒ったのはなぜなのか』と言いま

す。25 その時人々はこう言います。『彼らが父祖たちの神エホバとの契約を破ったからだ。神は彼らをエジプトから連れ出した時にその契約を結ん

だ。26 それなのに彼らは行って他の神々に仕え、ひれ伏した。彼らが知らず、崇拜してはならない神々にだ。

27 それでエホバは、その土地に対して燃える怒りを表し、この書に記された災い全てをもたらした。28 こうしてエホバは、怒りと激怒と大きな憤りを抱いて彼らをその土地から立ち退かせ、別の土地に、今いる所に追いやったのだ。』

29 私たちの神エホバは秘められ

ている事柄 全てを知っていて、私たち
と子孫のために代々啓示してください
ました。私たちがこの律法の全ての言
葉を実行するためです。

30 私があなたの前に置いた祝
福と災い、これらの言葉通り
のことがあなたに起きる時、エホバ神
があなたを離散させた全ての国民の
間で、あなたがそれらの言葉を思い
出し、**2** あなたの神エホバのもとに
帰り、あなたもあなたの子も、全て私
が今日命じる通りに、心を尽くし自分
の全てを尽くして神の言うことを聞く
なら、**3** あなたの神エホバは、捕ら
われているあなたを連れ戻し、あなた
に憐れみを示し、エホバ神があなた
を散らした全ての民の中から再びあ
なたを集めてくださいます。**4** あな
たが天の果てに離散しているとしても、
エホバ神はそこからあなたを集め、連
れ戻してください。 **5** エホバ神
は父たちが取得した土地にあなたを
連れていってください、あなたはそれ
を所有します。神はあなたを繁栄させ、
父たちよりも多くならせてくださいま
す。**6** エホバ神はあなたの心とあな
たの子孫の心を清めます。あなたが、
心を尽くし自分の全てを尽くしてあな
たの神エホバを愛し、生きるためです。

7 エホバ神は、あなたを憎んで迫害
する敵にこれらの災い全てをもたらし
ます。

30:6 *直訳、「に割礼を施し」。

第29章

【イ】ロマ 11:33

【イ】詩 78:5

伝 12:13

第30章

【イ】申 11:26-28

申 28:2,15

【イ】王二 17:6

代二 36:20

【イ】王一 8:47

ネへ 1:9

【イ】エゼ 18:28

ヨエ 2:13

【イ】イザ 55:7

ヨ一 1:9

【イ】申 4:29

【イ】エレ 29:14

【イ】哀 3:22

【イ】エズ 1:2,3

詩 147:2

エレ 32:37

エゼ 34:13

【イ】申 28:64

ゼバ 3:20

【イ】ネへ 1:9

【イ】エレ 32:37,39

【イ】申 6:5

【イ】創 12:2,3

エレ 25:12

哀 3:64

ロマ 12:19

第2欄

【イ】イザ 65:21,22

マラ 3:10

【イ】エレ 32:37,41

【イ】ネへ 1:9

使徒 3:19

【イ】イザ 45:19

【イ】ロマ 10:6

【イ】ロマ 10:8

【イ】マタ 7:21

ヤコ 1:25

【イ】申 11:26

【イ】申 6:5

8 あなたは、再びエホバの言うこと
を聞き、私が今日命じる神の全てのお
きてを守ります。**9** あなたの神エホ
バは、あなたが行う全てのことを豊か
に祝福し、あなたの子供と家畜と土地
の産物を多くします。エホバは父祖た
ちのことを喜んだのと同じように、再
びあなたのことを喜んで繁栄させてく
ださい。 **10** それは、あなたがあ
なたの神エホバの言うことを聞き、こ
の律法の書に記された神のおきてと
法令を守り、心を尽くし自分の全てを
尽くしてあなたの神エホバのもとに帰
るからです。

11 私が今日命じるこのおきては、
あなたにとって難し過ぎるものでも、遠
くにあるものでもありません。**12** そ
れは天にあるわけではないので、『私
たちが聞いて守れるように、誰が天に
昇ってそれを取ってきてくれるのか』と
言う必要はありません。**13** それは
海の向こうにあるわけではないので、
『私たちが聞いて守れるように、誰が
海を渡ってそれを取ってきてくれるの
か』と言う必要もありません。**14** そ
の言葉はあなたのすぐ近く、あなたの
口と心にあるので、それを守ることが
できます。

15 さあ、私は今日、あなたの前に、
命と善、死と悪を置きます。**16** あな
たが、私が今日命じるあなたの神エホ
バのおきてを聞くな、あなたの神エ
ホバを愛し、神の道を歩み、神のおき

てと法令と法規を守るなら、あなたは生きて数が多くなり、エホバ神は、あなたが行って所有する土地で祝福してください。

17 しかし、あなたの心が離れ、あなたが聞かず、誘われて他の神々にひれ伏して仕えるなら、18 今日ははっきり言うておきますが、皆さんは必ず滅びます。ヨルダン川を渡って行って所有する土地で長く生きることはありません。19 私は今日、天と地を証人にして、あなたの前に、命と死、祝福と災いを置きました。あなたは生きるために、命を選ばなければなりません。あなたもあなたの子孫もです。20 すなわち、あなたの神エホバを愛し、神の言うことを聞き、神にしっかり付くのです。エホバはあなたに命を与え、父祖たち、アブラハム、イサク、ヤコブに与えると誓った土地で長く生きていくようにしてください。

31 モーセは出て行って、次の言葉イスラエル全体に話した。2 こう言った。「私は今120歳です。もう皆さんを率いることはできません。『あなたはこのヨルダン川を渡らない』とエホバから言われました。3 あなたの神エホバがあなたの前を渡って行ってその国民をあなたの前で滅ぼし、あなたは彼らを追い払います。エホバが話した通り、ヨシュアがあなたを率いて渡ります。4 エホバはその国民に対して、アモリ人の王

第30章

(7) レビ 18:5
(1) レビ 25:18
申 30:5
(2) 申 29:18
ヘブ 3:12
(2) 申 4:19
(3) 申 8:19
ヨシ 23:15
サー 12:25
(2) 申 11:26
申 27:26
申 28:2,15
(2) 申 32:47
(2) ヨシ 24:15
(2) 申 10:12
(2) 申 4:4
(2) 創 12:7
創 15:18

第31章

(2) 出 7:7
申 34:7
使徒 7:23
(2) 民 20:12
申 3:27
(2) 申 9:3
(2) 民 27:18
申 3:28
ヨシ 1:2

第2欄

(7) 民 21:23,24
(1) 民 21:33,35
(2) 出 23:23
(2) 民 33:52
申 7:2,24
申 20:16
(2) ヨシ 1:6
詩 27:14
詩 118:6
(2) 民 14:9
申 7:18
(2) 申 4:31
ヨシ 1:5
ヘブ 13:5
(2) ヨシ 10:25
(2) 申 1:38
(2) 出 33:14
(2) ヨシ 1:9
(2) 出 34:27
(2) 申 15:1
(2) レビ 23:34
(2) 申 16:16
(2) ネヘ 8:7
(2) 申 4:10
ヘブ 10:25

シホンとオグおよび彼らの土地を全滅させた時と同じようにします。5 エホバが彼らを打ち破ってください。皆さんは彼らに對し、全て私が命じたおきての通りにしなければなりません。6 勇気を出し、強くありなさい。彼らの前で、恐れたりおじけづいたりしてはなりません。あなたの神エホバと共に進んでいくからです。神はあなたを見放したり見捨てたりはしません。

7 モーセはヨシュアを呼び、イスラエル全体が見ている所でこう言った。「勇気を出し、強くありなさい。エホバが父祖たちに与えると誓った土地に、あなたがこの民を連れて入るのです。あなたは、相続していく土地としてそれを彼らに与えます。8 エホバがあなたの前を進み、ずっと共にいてくださいます。あなたを見放したり見捨てたりはしません。恐れたりおびえたりしてはなりません。

9 モーセはこの律法を記し、祭司、レビ族、すなわちエホバの契約の箱を運ぶ人と、イスラエルの全ての長老に与えた。10 モーセは彼らにこう命じた。「7年目ごとに、その免除の年の決められた時、仮小屋の祭りの間に、11 神が選んだ場所で、イスラエル全体がエホバ神の前に出る時、イスラエル全体が聞けるようにこの律法を読み上げるべきです。12 民を、男性も、女性も、子供も、イスラエルの町にいる外国人居住者も集合させない。

ます。私が生きてまだ共にいる間に皆
さんがエホバに反逆の振る舞いをし
たのであれば、私の死後はなおさら
でしょう。28 皆さんの部族の長老全
員と役人を私のもとに集合させなさい。
私はこれらの言葉を話して彼らに聞
かせ、天と地を証人にします。29 私
の死後、皆さんがきつとひどいことを
行い、私が命じた道からそれることを、
私はよく知っているのです。最終的に
皆さんに必ず災難が降り掛かります。
エホバから見ても悪いことを行い、自分
たちの行動によって神を怒らせるから
です。

30 モーセはイスラエルの会衆全
体に、この歌の言葉を最初から最後ま
で語って聞かせた。

32 「天よ、耳を貸せ、私は語
ろう。

地は私の口の言葉を聞け。

2 私の教えは雨のように降り、
私の言葉は露のように滴る。

草に降る優しい雨、
草木に降る豊かな雨のように。

3 私はエホバの名を広めるからだ。
私たちの神の偉大さを語れ!

4 神は岩のような方で、行くことは
完全、
神の道は全て公正である。
決して不正ではなく、信頼でき
る神。

正しく、真つすぐな方。

第31章

(例) 申 9:24
ネ 9:26

(例) 申 30:19

(例) 裁 2:19

(例) 申 28:15

(例) 申 32:44

第32章

(例) ヨハ 17:26

(例) 代一 29:11

詩 145:3

(例) サ二 22:31

詩 18:2

詩 19:7

ヤコ 1:17

(例) 詩 33:5

(例) 申 25:16

(例) 申 7:9

ペー 4:19

(例) 創 18:25

第2欄

(例) 申 31:27

裁 2:19

詩 14:1

(例) イザ 1:4

(例) 詩 78:8

ルカ 9:41

(例) イザ 1:2

(例) エレ 4:22

(例) 出 4:22

申 32:18

イザ 63:16

(例) 出 13:14

詩 44:1

(例) 創 10:5

詩 115:16

(例) 創 11:9

(例) 申 2:5,19

使徒 17:26

(例) 創 15:18

出 23:31

(例) 出 19:5

申 7:6

(例) 詩 78:71

(例) 申 8:14,15

(例) エレ 2:6

5 墮落したことを行ったのは民で

ある。
彼らは神の子供ではなく、自ら欠
陥を負った。

曲がった不健全な世代!

6 それがエホバに対して取るべき
態度なのか。

愚かで知恵がない民よ。

その方は、あなたを生み出し
た父、

あなたを造り、1つの民とした方
ではないか。

7 昔の日々を思い出し、
何世代にも及ぶ過去の年月につ
いて考えよ。

父に尋ねよ。彼は告げることが
できる。

長老たちに尋ねよ。彼らは語る。

8 至高者はさまざまな国民に土地
を与えた時、

アダムの子たちを互いに引き離
した時、

さまざまな民の境界を定めて、
イスラエルの子たちの数を考慮
した。

9 エホバの民はその方のもの、
ヤコブはその方の財産だからで
ある。

10 その方はヤコブを荒野で見つ
けた。

人がいない、遠ばえが聞こえる
砂漠で。

32:8 *もしかすると、「人類」。

かれ かみ せ わ け
彼を囲み、世話し、
じ ぶん ひとみ まも け
自分の瞳のように守った。

- 11 ワシが巢のひなを追い立てて、
じょうほう ま みまも
上方を舞って見守りつつ、
つばさ ひろ う
翼を広げてひなを受け、
う よく の はこ け
羽翼に乗せて運ぶように、

- 12 エホバだけがずっとヤコブを
みちび け
導き、
がいこく かみ とも け
外国の神は共にいなかった。

- 13 私たちの神は、彼を地上の高い
ところ の すず け
所に乗り進ませ、

と ち さんぶつ た け
土地の産物を食べさせた。
おおいわ みつ
大岩からの蜜や、
かた めいわ あぶら やしな
硬い岩からの油で養った。

- 14 牛のバターや羊のミルク、

さいじょう ひつじ*
最上の羊で、
おひつじ お
バシヤンの雄羊や雄ヤギ、
さいりょう こ むぎ* け
最良の小麦で。

そしてあなたはブドウの果汁をぶ
どう の しゅ
どう酒にして飲んだ。

- 15 エシュルン、あなたは太ると、反
こう け
抗して蹴った。

あなたは太り、肥満し、膨れた。
かみ じ ぶん つく かた す け
神を、自分を造った方を捨て、
じ ぶん すく いわ かた かる
自分を救う君のような方を軽ん
じた。

- 16 彼らはその神を外国の神々に
げき ど け
よって激怒させ、
い け
忌まわしいものによって神を怒ら
せていた。

32:13 *または、「火打ち石のような」。 32:14
*直訳、「羊の脂肪」。 *直訳、「小麦の腎臓脂
肪」。 ^直訳、「血」。 32:15 *意味、「正しい
者」。イスラエルの名誉称号。

第32章
け ねへ 9:19,20

け ぜか 2:8
け 出 19:4
け 申 1:31
け イザ 43:12
け 申 33:29
け 申 8:7,8
け 詩 147:14
け 申 31:20
ねへ 9:25
け イザ 1:4
ホセ 13:6
け 裁 2:12
王一 14:22
コ一 10:21,22
け 王二 23:13
エゼ 8:17

第2欄

け レビ 17:7
詩 106:37
コ一 10:20
け 詩 106:21
イザ 17:10
エレ 2:32
け 申 4:34
け 裁 2:14
詩 78:59
け 申 31:17
け 申 32:5
イザ 65:2
マタ 17:17
け イザ 1:2
け 詩 96:5
コ一 10:21,22
け サ一 12:10,21
け ホセ 2:23
ロマ 9:25
ロマ 11:11
ペ一 2:10
け ロマ 10:19

け 哀 4:11
け アモ 9:2

- 17 神ではなく邪悪な天使たちに犠
せい さき け
牲を捧げていた。

し かみがみ
知らなかった神々、
さいきんあらわ あたら もの
最近現れた新しい者たちに、
ふ そ かみがみ
父祖たちが知らなかった神々に。

- 18 あなたは、あなたの父となった
いわ かた わす け
岩のような方を忘れた。

う だ かみ おも だ
あなたを生み出した神を思い出
さなかった。

- 19 エホバはそれを見て、ご自分の
むすこ むすめ しりぞ け
息子と娘たちを退けた。

かれ いか
彼らが怒らせたからだ。

- 20 それでこう言った。『私は彼らか
かお かく け
ら顔を隠す。

かれ
彼らがどうなるかを見よう。

かれ
彼らはゆがんだ世代、

ちゅうじつ こ け
忠実がない子たちだから。

- 21 彼らは、神ではないものによって
わたし げき ど* け
私を激怒させた。

む か ち ぐうそう わたし いか
無価値な偶像によって私を怒ら
せた。

それで私は、民ではないものに
わたし たみ
よって彼らを嫉妬させ、

おろ こくみん くれ いか
愚かな国民によって彼らを怒ら
せる。

- 22 私の怒りによって火が燃え上
わたし いか ひ も あ
がり、

それは墓の底にまで及ぶ。

だい ち さんぶつ や つ
大地とその産物を焼き尽くし、
やまやま ど だい も た
山々の土台を燃え立たせる。

32:21 *または、「嫉妬」。 32:22 *ヘブライ語、
シェオル。用語集参照。

23 私は彼らの災難を増やす。
私の矢を彼らに対して使い尽
くす。

24 彼らは飢えて力尽き、
熱病に侵され、悲惨な滅びを身
に招く。

私は彼らに、野獣の牙と
地面をばう爬虫類の毒を送る。

25 屋外では剣が奪い、
屋内では恐怖が襲う。
若者も乙女も、
幼児も白髪の人も。

26 私は言おうと思った。「彼らを散
らす。
彼らに関する記憶を人々の間か
ら絶やす」と。

27 そうしなかったのは、敵の反応を
気に掛けたためだ。
敵対者たちが誤解し、
「われわれの力が勝利を収めた
のだ。
この全てを行ったのはエホバで
はない」と言いかねなかった
からだ。

28 彼らは分別のない国民で、
理解力がない。

29 彼らが賢かったなら！ そうした
ら、彼らはこのことをじっくり
考えるだろう。

自分たちがどうなるかを考えるだ
ろう。

32:28 *もしかすると、「助言を聞かない」。

第32章

(7) 申 28:53

(1) 申 28:21,22

(7) レビ 26:22

(12) 哀 1:20

(7) エゼ 7:15

(7) 代 2:36:17
哀 2:21

(7) サー 12:22
エゼ 20:14

(7) 出 32:12
民 14:15,16

(7) 詩 115:2

(12) マタ 13:15

(7) 詩 81:13

(12) ホセ 14:9

(12) エレ 2:19

第2欄

(7) 代 2:24:24

(1) 裁 2:14
サー 12:9

(7) サー 2:2

(12) 出 14:25
サー 4:8
エズ 1:2,3

(7) ユダ 7

(7) イザ 5:4
エレ 2:21

(7) ロマ 2:5

(7) ナホ 1:2
ロマ 12:19
ヘブ 10:30

(7) 詩 73:12,18

(12) ヘブ 10:30

(7) 裁 2:18
詩 90:13
詩 106:45
詩 135:14

30 どうして1人が1000人を追跡し、
2人が1万人を敗走させられるだ
ろうか。

岩のような方が彼らを売り渡し、
エホバが彼らを引き渡したので
ない限り。

31 (敵たちの岩は私たちの岩のよう
ではない。

敵でもこれは分かっている。)

32 彼らのブドウの木はソドムのブド
ウの木から、

またゴモラの段丘から来た。

彼らのブドウは毒ブドウ、
それは苦い。

33 彼らのぶどう酒は蛇の毒、
コブラの猛毒。

34 それは私のものに蓄えられ、
封をされて私の倉にあるのでは
ないか。

35 復讐は私がすることであり、報復
でもある。

彼らが足を滑らせる時、決めら
れた時に。

彼らの災難の日は近く、
彼らに起きることは速やかに
来る。』

36 エホバはご自分の民を裁き、
ご自分に仕える人たちを哀れに
思う。

彼らの力が弱まり、
無力で弱い人だけが残るのを見
る時に。

32:36 *または、「のこを悔やむ」。

37 そして言う。『彼らが保護を求めた若は、

彼らの神々は、どこにいるのか。

38 神々は、彼らの犠牲の脂肪を食べ、

飲み物の捧げ物のぶどう酒を飲

んでいたではないか。

神々に助けに来てもらえ。

避難所となってもらえ。

39 今こそ知れ、私、この私が神である。

私のほかに神はいない。

私が死なせ、また生かす。

私が傷つけ、そして癒やす。

私の手から救い出せる者はい

ない。

40 私は手を天に挙げて、永遠に生きている私自身に懸けて誓う。

41 私は、きらめく剣を研ぎ、処罰する用意ができたなら、

敵対者たちに復讐し、

私を憎む人たちに報復する。

42 私は自分の矢を血で酔わせ、私の剣は肉を食べる。

殺された人と捕虜の血、

敵の指導者たちの頭を』。

43 国々よ、神の民と共に喜べ。

神は、ご自分に仕える人の血の

復讐をするからだ。

敵対者に報復し、

32:38 *または、「最良の犠牲」。

第32章

【啓 10:14

【イ】ホセ 2:8

コ— 10:20, 21

【イ】イザ 41:4

イザ 48:12

【申】申 4:35

【詩】サ— 2:6

詩 68:20

【代】代 21:16, 18

【民】民 12:13

エリ 17:14

【イ】イザ 43:13

【テ】テモ— 1:17

啓 10:5, 6

【ナ】ナホ 1:3

【イ】イザ 1:24

イザ 59:18

【創】創 12:2, 3

王— 8:43

口マ 3:29

口マ 15:10

【王】王二 9:7

啓 6:10

【ミ】ミカ 5:15

【ミ】ミカ 5:15

第2欄

【民】民 11:28

申 31:22, 23

【啓】啓 15:3

【申】申 11:18

【申】申 6:6, 7

【レ】レビ 18:5

申 30:19

口マ 10:15

【民】民 27:12

【申】申 34:1

【創】創 10:19

創 15:18

ヨシ 1:3

【民】民 20:28

民 33:38

【民】民 20:12, 13

【レ】レビ 22:32

イザ 8:13

ご自分の民の土地のために贖罪を行う。

44 こうしてモーセはヌンの子ホシエと共に来て、この歌の全ての言葉

を民に語って聞かせた。45 モー

セはこれらの全ての言葉をイスラエル

全体に語り終えてから、46 こう言っ

た。「私が今日話している警告の言葉

を全て心に留めなさい。注意してこの

律法の全ての言葉を守ろう、子供た

ちに命じるためです。47 それは皆

さんにとって無価値な言葉ではなく、

命を意味しています。その言葉によっ

て、ヨルダン川を渡って行って所有す

る土地で長く生きられるのです。

48 エホバは同じ日にモーセに話

した。49 「アバリムのあの山、ネボ

山に登りなさい。それはモアブ地方

にあり、エリコに面している。そして、

私がイスラエル人に所有地として与え

るカナン地方を見なさい。50 あな

たは、これから登るその山で死に、先

祖たちと共に横たわる。兄のアロンが

ホル山で死んで先祖たちと共に横た

わったように。51 2人とも、チンの

荒野にあるカデシュのメリバの水の

所で、イスラエル人の間で私に不忠実

だったからだ。イスラエルの民の前で

私を神聖なものとしなかったのだ。

52 あなたは、私がイスラエルの民に

32:43 *または、「土地を清める」。32:44 *ヨ

シエアの元の名前。「ヤハに救われた」、「ヤハは

救った」という意味のホシャヤの短縮形。

あた と ち とお み
与える土地を遠くから見るが、そこに
はい (7) 入ることはない。

33 真の神に仕える人モーセは
し まえ
死ぬ前に、イスラエル人が
う い か しゅくふく の (4) 受ける以下の祝福を述べた。2 こう
い 言った。

「エホバがシナイから来た。
き (7)
セイルから人々を照らした。
ひとびと て
パランの山地から栄光を輝かせ、
さん ち えいこう かがや (4)
無数の聖なる者を率い、
む すう* せい もの ひき (4)
みぎ せん し (4) 右には戦士たちがいた。

3 神はご自分の民に愛情を抱
かみ じぶん たみ あいじよう いだ (4)
いた。

かみ せい もの みな て
神よ、聖なる者は皆あなたの手
なか (7)
の中にあります。

かれ あしもと すわ (4)
彼らはあなたの足元に座り、
こと ば き
あなたの言葉を聞くようになりま
(4)
した。

4 (モーセが私たちに律法を与え、
わたし りっぼう あた (4)
それをヤコブの会衆が所有して
(4)
いる。)

5 神はエシュルンで王となった。
かみ * おう (4)
たみ ちょう ぜん ぶ
民の長たちがイスラエルの全部
そく ども あつ とき (4)
族と共に集まった時に。

6 ルベンは生き、死に絶えません
い た
ように。

おとこ すく
ルベンの男たちが少なくなりま
(4)
せんように。

7 モーセはユダについてこう
い (4)
言った。

33:2 *または、「幾万」。**33:5** *意味、「正しい
者」。イスラエルの名誉称号。

第32章
(7) 民 27:13,14
申 3:27
申 34:4,5

第33章

(4) 創 49:28
(7) 出 19:18
(4) ハバ 3:3
(4) ダニ 7:10
ユダ 14

(4) 詩 68:17
(4) 申 7:8
ホセ 11:1

(7) 出 19:6
(7) 出 19:23
(4) 出 20:19

(4) 出 24:8
(4) 申 4:8
使徒 7:53

(4) イザ 44:2
(4) 出 18:25
出 19:7
民 1:44,46

(7) 創 49:3
(4) 民 26:7
ヨシ 13:15
(4) 創 49:8
代一 5:2

第2欄

(7) 詩 78:68
(4) 裁 1:2
サニ 7:8,9

(7) 創 49:5
民 3:12
(4) 出 28:30
レビ 8:6,8

(4) 出 32:26
(4) 出 17:7
(4) 民 20:13

(4) 出 32:27
レビ 10:6,7
(4) マラ 2:4,5

(4) 申 17:9
(4) 代二 17:8,9
マラ 2:7

(4) 出 30:7
民 16:40
(4) レビ 1:9

「エホバ、ユダの声を聞いてくだ
さい。

かれ たみ ところ つ もど
彼を民の所に連れ戻してくださ
いますように。

かれ りょうで じぶん まも *
彼の両腕は自分のものを守りま
した。

てきたいしや たたか かれ たす
敵対者たちと戦う彼を助けてくだ
さいますように。

8 レビについてこう言った。

「あなたのトンミムとウリムはあな
* (4)
たに尽くす人のものです。

あなたはその人をマッサで試さ
ひと ため
れました。

みず かせ あらそ
メリバの水のそばで彼と争われ
(4)
るようになりました。

9 彼は自分の父と母に『私は配慮
じ ぶん ちち はは わたし はいりよ
を示さない』と言いました。

じ ぶん きょうだい みと (4)
自分の兄弟たちをささ認めず、
じ ぶん むすこ むし (4)
自分の息子たちを無視しました。

あなたの言葉を守り、
こと ば まも
あなたの契約を守り続けたの
けいやく まも つづ
です。

10 彼らがヤコブにあなたの法規を、
かれ (4)
イスラエルにあなたの律法を教
(4)
えますように。

かれ (4) 彼らがあなたのために香を捧げ、
こう ささ (4)
や つ ささ もの さいだん ささ
焼き尽くす捧げ物を祭壇で捧げ
(4)
ますように。

11 エホバ、彼の力を祝福してくだ
さい。

33:7 *または、「のために戦い」。**33:8** *この
節の「あなた」は神を指す。*または、「を揺る
ぎなく支持する」、「から離れない」。

かれ はたら よろこ
彼の働きを喜んでくださいますよ
うに。

かれ てきたい もの あしき くだ
彼に敵対する者たちの脚を砕き、
かれ にく もの た あ
彼を憎む者たちがもう立ち上が
れないようにしてください。

12 ベニヤミンについてこう言った。

「エホバの愛する人が彼のそば
に安心して住めますように。
その人は、彼に一日中保護され、
かれ* りょうかた あいだ す
彼の両肩の間に住みます」。

13 ヨセフについてこう言った。

「彼の土地がエホバに祝福され
ますように。

てん め もの
天のえり抜きの物によって、
つゆ ち か わ みず (2)
露と地下から湧く水によって、
たいよう せいしやう め

14 太陽が成長させるえり抜きの物と、

まいつき め さんぶつ (4)
毎月のえり抜きの産物によって、

15 古来の山々からのえりすぐりの物と、

えいきやう おか め もの
永久にある丘のえり抜きの物に
よって、

16 大地とそこに満ちる物からのえり抜きの物によって、 いばらの木の中に現れた方に良 いと認められることによって。

これらがヨセフの頭に、
きやうだい なか えら だ
兄弟たちの中から選び出された
者の頭のとっぺんにありますよ
うに。

第33章

(7) 創 49:27

(4) 創 49:22

(2) ヨシ 16:1

(2) 創 49:25

(2) レビ 26:5
詩 65:9

(2) ヨシ 17:17,18

(4) 申 8:7,8

(2) 出 3:4
使徒 7:30

(2) 創 37:7
創 49:26
代一 5:1,2

第2欄

(7) 創 48:19,20

(4) 創 49:13

(2) 創 49:14

(2) 創 49:19

(2) ヨシ 13:24-28

(2) 民 32:1-5

(4) ヨシ 22:1,4

17 彼は雄牛の初子のように見事であ

あり、
かれ つの やぎやう つの
彼の角は野牛の角である。
かれ つの ひとびと お *
彼はその角で人々を押す。

いっせい ち は
一斉に地の果てにまで。
それらはエフライムの幾万、
マナセの幾千である」。

18 ゼブルンについてこう言った。

「喜べ、ゼブルン、出ていく時に。
よろこ へんまく なか (2)
喜べ、イッサカル、天幕の中で。

19 彼らは人々を山に呼ぶ。

そこで犠牲を正しく捧げる。
かれ うみ ゆた とみ
彼らは海の豊かな富と
すな かく たから* て い
砂に隠された宝を手に入れる」。

20 ガドについてこう言った。

「ガドの境界を広くする者は祝福
される。

彼はライオンのように伏し、
うで あたま ひ さ
腕を、頭のとっぺんを引き裂こう
としている。

21 彼は自分のために第一の場所を

選ぶ。
ほう さだ もの わ あ ぶん
法を定める者からの割り当て分
がそこに取っておかれている。

民の長たちが集合する。
かれ ちやう しやうごう
彼はエホバの正義を執行し、
かれ せいぎ しつこう
イスラエルのために神の法規を
てきやう ほうき
適用する」。

22 ダンについてこう言った。

33:17 *または、「突く」。 33:19 *または、「蓄え」。

33:11 *または、「腰」。 33:12 *もしかすると、「神」。 33:15 *もしかすると、「東」。

(2) 創 49:16

「ダン^{こ(ア)}はライオンの子。

パシヤン^{おど で (イ)}から躍り出る」。

23 ナフタリについてこう言った。

「ナフタリ^{みと まんぞく}は認められて満足し、
エホバ^{しゆくふく}の祝福をあふれるほど受
ける。

にし^{にしみ}と南^{しゆくふく}を取得せよ」。

24 アシエルについてこう言った。

「アシエル^{こども さす}は子供を授かり、祝福
される。

かれ^{きょうだい}が兄弟たちの好意^{こうい}を受け、
あし^{あぶら}を油^{ひた}に浸しますように。

25 あなたの門のかんぬきは鉄と銅。 あなたは生涯^{しやうがい}ずっと安全^{あんぜん}。

26 エシュルンの真^{まこと}の神^{しん}のような方^{かた} はいない。

てん^のを^{すす}乗り進んであなた^{たす}を助け、
い^{こう}を^おくも^のの^例威光^{いこう}を帯びて雲^{くも}に乗る。

27 神^{かみ}は昔^{むかし}から避難所^{ひなんじょ}であり、 神^{かみ}の永遠^{えいえん}の腕^{うで}があなた^{ささ}を支える。 神^{かみ}はあなた^{まえ}の前^{まへ}から敵^{てき}を追い 払い^{はらい}、 『全滅^{ぜんめつ}させよ!』^{い (イ)}と言う。

28 イスラエルは安心^{あんしん}して住み、 ヤコブ^{いずみ}の泉^あは荒らされない。 こくもつ^{あたら}と穀物^{しゆく}と新しい^{しゆ}ぶどう酒^{とち}の土地^(イ)、 そら^{つゆ}から露^おが降りる土地^{とち (イ)}で。

29 イスラエル、あなたは幸^{しあわ}せだ! あなた^{もの}のような者^{だれ}が誰^{たれ}かいるだ ろうか。

第33章

(ア) 裁 13:2,24

裁 15:8,20

裁 16:30

(イ) ヨシ 19:47

(イ) 創 49:21

(イ) 創 49:20

(イ) 申 8:7,9

(イ) イザ 44:2

(イ) 出 15:11

(イ) 詩 68:32-34

(イ) 詩 46:11

詩 91:2

(イ) イザ 40:11

(イ) 申 9:3

(イ) 申 31:3,4

(イ) 申 8:7,8

(イ) 申 11:11

(イ) 詩 33:12

詩 144:15

詩 146:5

(イ) 申 4:7

サ二 7:23

詩 147:20

第2欄

(イ) 詩 27:1

イザ 12:2

(イ) 詩 115:9

(イ) 詩 66:3

第34章

(イ) 申 32:49

(イ) 民 36:13

(イ) 申 3:27

(イ) 裁 18:29

(イ) 出 23:31

民 34:2,6

申 11:24

(イ) ヨシ 15:1

(イ) 創 13:10

(イ) 創 19:22,23

(イ) 創 12:7

創 26:3

創 28:13

(イ) 民 20:12

(イ) 申 32:50

ヨシ 1:2

(イ) ユダ 9

(イ) 申 31:1,2

使徒 7:23

使徒 7:30,36

あなたはエホバ^{すく}に救^{たみ}われる民、

神^{かみ}があなた^{まも}を守る盾^{たて}、

堂々^{どうどう}とした剣^{つるぎ}である。

敵^{てき}はあなた^{まえ}の前^みで身をすくめ、

あなたは彼ら^{かれ}の背^せ中^{せなか}を踏み^ふつ

ける」。

34 モーセは、モアブ^{さばくへい}の砂漠^{さん}平^げ原^{げん}からネボ山^{さん}に、エリコ^{めん}に面

するピスガ^{ちやうじやう}の頂上^{のぼ}に登^{のぼ}った。エホバは
モーセ^{すべ}に全ての土地^{とち}を見^みせた。すな
わち、ギレアデ^ギからダン^{だん}まで、**2** ナフ
タリ^{ぜんど}の全土^{ぜんど}、エフラ^えイム^いとマナ^まセ^せの土
地^ち、ユダ^{ぜんど}の全土^{ぜんど}を西^{にし}の海^{うみ}まで、**3** ネゲ
ブ^のとヨルダン^い地域^き、ヤシ^いの木の町^きエリ
コ^のの谷^やあい^のの平原^{へいげん}をゾアル^のまでで
ある。

4 エホバはモーセ^いに言った。「これ
が、私がアブラハム^{わたくし}、イサク^い、ヤコブ^{わたくし}
に誓^{ちか}って、『あなたの子孫^{しそん}に与^{あた}える』と
言った土地^いである。私はあなた^{わたくし}が自
分の目^めでそれを見^みるようにしたが、あ
なたはそこに渡^{わた}ってはいかない^(イ)」。

5 その後、エホバ^ごに仕えたモーセ^い
は、エホバ^ごが言った通り^{とつ}、そこで、モ
アブ^{ちほう}地方^しで死^しんだ。**6** 神^{かみ}は、ベト・ペ
オル^{めん}に面^ちするモアブ^{ちほう}地方^{たに}の谷^ににモー
セ^{ほうむ}を葬^{きよう}った。今日^{けふ}まで、彼^{かれ}の墓^{はか}を知る
人^{ひと}はいない^(イ)。**7** モーセ^いは死^しんだ時^{とき}、
120歳^{さい}だった。目^めはかすまず、力^{ちから}は失^{うしな}
われていなかった。**8** イスラエル^い
の民^{たみ}はモアブ^{さばくへいげん}の砂漠^{さばく}平^{へい}原^{げん}でモーセ^のの

33:29 *もしかすると、「高い所」。**34:2** *大
海、地中海のこと。

ために30日間泣いた。そしてモーセのために泣いて嘆き悲しむ日々は終わった。

9 ヌンの子ヨシュアは、神の力による知恵に満ちていた。モーセがかつて彼に手を置いたからである。イスラエル人はヨシュアの言うことを聞くようになり、エホバがモーセに命じた通りにした。10 しかし、エホバが

第34章

(7) 民 20:29
(1) 申 31:14
デモ 4:14
(7) 民 27:18, 21
ヨシ 1:16

第2欄

(7) 出 33:11
民 12:8
(1) 申 18:15
使徒 3:22
使徒 7:37
(7) 申 4:34
(12) 申 26:8
ルカ 24:19

親しく知ったモーセのような預言者はイスラエルにこれまで現れていない。11 モーセはエホバから遣わされ、ファラオと全ての家来とエジプト全土に対して行うべきしるしとなることや奇跡を全て行い、12 イスラエル全体が見ている所で力強さと驚異的な力を示した。

34:10 * 直訳、「顔と顔を合わせて」。

ヨシュア記

概要

- エホバはヨシュアを励ます (1-9)
律法を小声で読む (8)
ヨルダン川を渡る準備 (10-18)
- ヨシュアは2人の偵察者をエリコに遣わす (1-3)
ラハブは偵察者を隠す (4-7)
ラハブへの約束 (8-21前半)
緋色の綱がしるしとなる (18)
偵察者はヨシュアのもとに戻る (21後半-24)
- イスラエルはヨルダン川を渡る (1-17)
- 記念碑となる石 (1-24)
- ギルガルでの割礼 (1-9)
過ぎ越しが執り行われる。マナが生じなくなる (10-12)
エホバの軍の長 (13-15)
- エリコの城壁が崩れる (1-21)
ラハブと家族は救われる (22-27)
- イスラエルはアイで敗北する (1-5)
ヨシュアの祈り (6-9)
イスラエルの敗北は罪が原因 (10-15)
アカンは罪を暴かれ、石打ちにされる (16-26)
- ヨシュアはアイに対して伏兵を配置する (1-13)
アイは攻略される (14-29)
エバル山で律法が読まれる (30-35)
- 抜け目ないギベオンの人は平和を求める (1-15)
ギベオンの人の策略が明らかになる (16-21)
ギベオンの人はまき集めと水くみをする (22-27)
- イスラエルはギベオンを守る (1-7)
エホバがイスラエルのために戦う (8-15)
逃げる敵にひょうが降る (11)
太陽が静止する (12-14)
攻めてきた5人の王は殺される (16-28)
南部の町の攻略 (29-43)
- 北部の町の攻略 (1-15)
ヨシュアの征服のまとめ (16-23)
- ヨルダン川の東で打ち破られた王 (1-6)
ヨルダン川の西で打ち破られた王 (7-24)
- まだ征服していない土地 (1-7)
ヨルダン川より東の土地の区分 (8-14)
ルベンの土地 (15-23)
ガドの土地 (24-28)
マナセの土地、東側 (29-32)
レビ族はエホバへの特別な奉仕を担当する (33)
- ヨルダン川より西の土地の区分 (1-5)
カレブはヘブロンを所有する (6-15)

- 15 ユダの土地 (1-12)
カレブの娘が土地を得る (13-19)
ユダの町々 (20-63)
- 16 ヨセフの子孫の土地 (1-4)
エフライムの土地 (5-10)
- 17 マナセの土地, 西側 (1-13)
山地もヨセフの子孫の土地 (14-18)
- 18 残りの土地をシロで分配する (1-10)
ベニヤミンの土地 (11-28)
- 19 シメオンの土地 (1-9)
ゼブルンの土地 (10-16)
イッサカルの土地 (17-23)
アシエルの土地 (24-31)
ナフタリの土地 (32-39)
ダンの土地 (40-48)
ヨシュアの土地 (49-51)
- 20 避難の町 (1-9)
- 21 レビ族の町 (1-42)
アロンの子孫の町 (9-19)

- 残りのコハト氏族の町 (20-26)
ゲルシオン氏族の町 (27-33)
メラリ氏族の町 (34-40)
エホバの約束は実現する (43-45)
- 22 東側の部族は家に帰る (1-8)
ヨルダン川の所に作られた祭壇 (9-12)
祭壇の意味が説明される (13-29)
問題は解消する (30-34)
- 23 イスラエルの指導者たちへのヨシュアの別れの言葉 (1-16)
エホバの言葉で果たされなかったものはない (14)
- 24 ヨシュアはイスラエルの歴史を振り返る (1-13)
エホバに仕えるようにとの勧め (14-24)
「私と私の家の者はエホバに仕えます」(15)
ヨシュアとイスラエルの契約 (25-28)
ヨシュアは死んで葬られる (29-31)
ヨセフの骨がシケムに葬られる (32)
エレアザルは死んで葬られる (33)

1 エホバに仕えたモーセの死後、エホバは、モーセの従者だったヌンの子ヨシュアに言った。 **2** 「私に仕えたモーセは死んだ。さあ、あなたとこの民全ては、準備してヨルダン川を渡り、私がイスラエルの民に与える土地に入りなさい。 **3** モーセに約束した通り、あなたたちが踏む所全てを、私はあなたたちに与える。 **4** あなたたちの領土は、荒野からレバノンや大河ユーフラテスまで、また西の大海まで広がり、ヘト人の全土を含む。 **5** あなたが生きている限りあな

1:1 *または、「奉仕者」。「または」、「エホシュア」。「エホバは救い」という意味。 **1:4** *または、「日が沈む方」。「地中海のこと」。

第1章

(イ) 出 24:13
民 11:28
(イ) 申 31:14
(イ) 申 34:5
(イ) 申 3:28
(イ) 申 11:24
(イ) 創 15:18
出 23:31
民 34:2,3
申 1:7
ヨシ 15:1,4
(イ) 民 13:29

第2欄

(イ) 申 7:24
申 11:25
(イ) 出 3:12
ヨシ 3:7
(イ) 申 31:6
(イ) 申 31:23
(イ) 創 12:7
創 15:18
創 26:3
(イ) 申 5:32
(イ) 申 29:9
王 2:3

たに立ち向かえる者は誰もいない。私は、モーセと共にいたように、あなたと共にいる。あなたを見放したり見捨てたりしない。 **6** 勇気を出し、強くありなさい。あなたがこの民に、私が父祖たちに与えたと誓った土地を取得させるからである。

7 ただ勇気を出し、大いに強くありなさい。私の奉仕者モーセがあなたに命じた律法全体を注意深く守りなさい。それから右にも左にもそれはいけない。どこに行ってもあなたが賢く行動するためである。 **8** この律法の書について語るのをやめてはいけな

1:8 *直訳、「書が口から離れて」。

い。あなたはそれを昼も夜も小声で読
まなければいけない。そこに記されて
いる全てのことを注意深く守るため
である。そうすればあなたは成功し、賢
く行動できる。9 私はもう一度命じ
る。勇気を出し、強くありなさい。おじ
けづいたり恐れしたりしてはいけない。
あなたがどこに行っても、あなたの神
エホバが共にいる。

10 ヨシュアは民の役人たちにこう
命じた。11「宿営中を巡り、民にこ
う命じなさい。『食糧を用意しなさい。
3日後に皆さんはヨルダン川を渡り、
エホバ神が与えて所有させてくださ
る土地に入ってそれを取得するから
です』」。

12 ヨシュアは、ルベン族とガド族、マ
ナセ族の半分にこう言った。13「エ
ホバの奉仕者モーセが皆さんに命
じた事を覚えておきなさい。『皆さん
の神エホバは皆さんが安心して住め
るように、この土地を与えてくださ
いました。14 皆さんの妻、子供、家畜は、
ヨルダン川のこちら側でモーセが皆
さんに与えた土地にとどまります。し
かし、強い戦士である皆さんは戦闘
隊形で兄弟たちの前を渡っていきな
さい。兄弟たちを助けなければならま
せん。15 エホバが、皆さんと同じよ
うに兄弟たちが安心して住めるよう
にしてください。兄弟たちも、エホ

1:8 *または、「思い巡らさ」。#直訳、「あなた
の道」。1:14 *東側のこと。

第1章

〔イ〕申 6:6
申 30:14

〔イ〕申 17:18, 19
詩 1:1, 2
テモ 4:15
ヤコ 1:25

〔イ〕代 22:13

〔出〕出 23:27
申 31:7, 8

〔申〕申 9:1
ヨシ 3:2, 3

〔民〕民 32:20-22
ヨシ 22:1-4

〔申〕申 3:19, 20
申 29:8
ヨシ 13:8

〔民〕民 1:3
民 26:2

〔申〕申 3:18

第2欄

〔民〕民 32:33
ヨシ 22:4, 9

〔民〕民 32:17, 25

〔民〕民 27:18, 20
申 34:9

〔申〕申 17:12

〔申〕申 31:7
ヨシ 1:6, 9

第2章

〔民〕民 25:1
民 33:49

〔申〕ヨシ 6:17
マタ 1:5
ヘブ 11:31
ヤコ 2:25

バ神が与えてくださる土地を取得しま
す。その後、皆さんは、与えられた土地
に戻ってそれを所有しなさい。エホバ
の奉仕者モーセがヨルダン川の東側
で皆さんに与えた土地です』。

16 彼らはヨシュアに答えた。「あな
たが命じた全てのことを行います。あ
なたが遣わす所へどこへでも行きます。
17 モーセが言った全てのことに従っ
たように、あなたに従います。ただあ
なたの神エホバが、モーセと共にい
たように、あなたと共にいてくださ
いように。18 あなたの指示に背き、
あなたが与える命令に従わない人は
皆、死刑になります。ただ勇気を出し、
強くあってください」。

2 スンの子ヨシュアはシテムから
2人の子を偵察としてひそかに遣
わし、こう命じた。「行って、あの土地、
特にエリコを探ってください。2人は
出掛け、ラハブという名前の娼婦の家
に来て、そこに滞在した。2 エリコ
の王に、「今夜、イスラエル人の男た
ちがこの土地を偵察しに忍び込みま
した」と伝えられた。3 エリコの王
は人を遣わしてラハブにこう伝えた。
「あなたの家に来ている男たちを引き
渡しなさい。彼らはこの土地一帯を偵
察しに来たのだ」。

4 しかしラハブは2人を隠した。そ
してこう言った。「ええ、その男たちは
来ましたが、どこから来たかは知りませ
んでした。5 暗くなって町の門が閉

まる頃に^{ころで}出ていきました。どこに行^いったかは知りませんが、すぐに追^おい掛^かければ、追^おい付け^{つけ}るでしょう。6（実際には、ラハブは2人を屋上^{おくじょう}に連れていって、そこに並べた亜麻^{あま}の茎^きの間に隠^{かく}れさせていた。）7 追っ手^{おって}はヨルダン川の渡り場^{わたりの}の方に2人を追^おっていった。追っ手^{おって}がで^でていくと町^{まち}の門^{もん}は閉められた。

8 屋上^{おくじょう}の2人が横^{よこ}になって眠^{ねむ}る前に、ラハブが2人の所^{ところ}に上^{のぼ}ってきて、

9 こう言^いった。「私^{わたし}にははっきり分^わかります。エホバはこの土地^ちをあなた方^{がた}に与^{あた}えます。私たち^{われたち}の間^{あいだ}にはあなた方^{がた}に与^{あた}えます。私^{わたし}たちの間^{あいだ}にはあなた方^{がた}への恐^{おそ}れが生^{しょう}じていて、この土地^ちの住^{じゅう}民^{みん}は皆^{みな}あなた方^{がた}のためにおじけい

ています。10 エジプトを出^でた時^{とき}エホバがあなた方^{がた}の前^{まえ}で紅海^{こうかい}の水^{みづ}を干^ひ上^あがらせたことや、あなた方^{がた}がヨルダン川の向こう側^{むこう}でアモリ人^{あもりじん}の2人の王^{おう}シホンとオグに行^いったこと、2人を殺^{ころ}したことを聞^きいたからです。11 私^{わたし}たちはそれを聞^きいて心がくじけ、皆^{みな}あなた方^{がた}のために勇気^{ゆうき}を失^{うしな}っています。あなた方^{がた}の神^{かみ}エホバは天^{てん}でも地^ちでも神^{かみ}なのです。12 今^{いま}、どうかエホバに懸^かけて誓^{ちか}ってください。私^{わたし}はあなた方^{がた}を助^{たす}けましたから、あなた方も私の父^{ちち}の家の者^{もの}たちを助^{たす}けてくださる、と。そして、信^{しん}頼^{らい}できるしを^あたえてください。

13 私^{わたし}の父^{ちち}と母^{はは}、兄弟^{きょうだい}や姉妹^{しまい}、彼^{かれ}らの

2:10 * 東側のこと。 * または、「滅ぼし尽くし」。 2:12, 14 * または、「に揺るぎない愛を示し」。

第2章

〔訳〕 裁3:28
裁12:5

〔イ〕 出3:8

〔例〕 出23:27
申2:25
申11:25

〔例〕 出15:15
ヨシ5:1

〔例〕 出14:21
出15:13,14

〔例〕 民21:21-24

〔例〕 民21:33,34
申3:3
ヨシ9:9,10

〔例〕 申4:39
代二20:6
ダ二4:35

第2欄

〔例〕 ヨシ6:23

〔例〕 ヘブ11:31

〔例〕 民30:2

〔例〕 ヨシ6:23

〔例〕 ヨシ2:14

い^いえ すべ^{すべ} ひと^{ひと} い^い わたし^{わたし} いのち^{いのち}を
すく^{すく} 救^{すく}ってください。

14 2人は言^いった。「あなた方^{がた}のため^{ため}に命^{いのち}を懸^かけましょ^しう! もしあなた方^{がた}が私^{わたし}たちのこと^{こと}を漏^もらさなければ、私^{わたし}たちは、エホバがこの土地^ちを与^{あた}えてくだ^{くだ}さる時^{とき}、あなた方^{がた}を助^{たす}け、約束^{やくそく}を守^{まも}ります。15 その後^ご、ラハブは2人^{ふたり}が窓^{まど}から縄^{なわ}で下^おりられるようにした。彼女^{かのじょ}の家^{いえ}は町^{まち}の城壁^{じょうへき}に接^{せつ}していて、ラハブは城壁^{じょうへき}の上部^{じょうぶ}に住^すんでいたのである。

16 ラハブは2人^{ふたり}に言^いった。「追っ手^{おって}にみ^みつからないよう、山地^{さんち}に行^いって3日^か見^みつからないよう、山^{さん}地^ちに行^いって3日^か隠^{かく}れていてください。追っ手^{おって}が戻^{もど}ってきた後^{あと}に、あなた方^{がた}は帰^{かえ}れます」。

17 2人は言^いった。「あなたが誓^{ちか}わせたこの誓^{ちか}いが有^{ゆう}効^{こう}であるために、

18 あなたは、私たち^{われたち}がこの土地^ちに入^{はい}ってくる時^{とき}に、緋色^{ひいろ}の糸^{いと}でできたこの綱^{なわ}を、私たち^{われたち}を下^{くだ}ろすこの窓^{まど}に結^{むす}んでおかなければなりません。あなた^{あなた}の父^{ちち}親^{おや}と母親^{はは}と兄弟^{きょうだい}たち、父^{ちち}親^{おや}の家^{いえ}の全^{すべ}ての人^{ひと}をあなた^{あなた}の家^{いえ}に集^{あつ}めなさい。

19 誰^{だれ}でもあなた^{あなた}の家^{いえ}の戸口^{とぐち}の外^{そと}に出^でるなら、その人^{ひと}の死^しはその人^{ひと}自身の責任^{せきにん}です。私^{わたし}たちに罪^{つみ}はありません。しかし、あなたと一緒^{いっしょ}に家^{いえ}の中^{なか}にとどまっている人^{ひと}に害^{がい}が及^{およ}ぶなら、その人^{ひと}の死^しは私たち^{われたち}の責任^{せきにん}です。20 また、あなたが私^{わたし}たちのこと^{こと}を通^{つう}報^{ほう}するなら、

2:14 * または、「あなた方^{がた}の代^{しろ}わりに私^{わたし}たちが死^しにます」。 2:18 * または、「赤^{あか}い」。 2:19 * 直^ち訳^{やく}、「その人^{ひと}の血^ちはその人^{ひと}自身の頭^{かぶ}上にありま^ます」。 * または、「手^てが置^おかれる」。

あなたが誓わせた誓いに関して、私たちに罪はありません。21 ラハブは答えた。「あなた方の言う通りにします」。

こうしてラハブは2人を送り出した。その後、その緋色の綱を窓に結んだ。

22 2人は去って山地に行き、追っ手が戻ってくるまでそこに3日とどまった。追っ手は全ての道を捜し回ったが、彼らを見つけれなかった。

23 2人は山地を下り、川を渡ってヌンの子ヨシュアのもとに来て、自分たちに起きたことを全て話した。24 そしてヨシュアにこう言った。「エホバは全土を私たちに引き渡してくださいました。

土地の住民は皆、私たちのためにおじけづいています」。

3 ヨシュアは朝早く起き、彼とイスラエル全員はシッテムを出発してヨルダン川に来了。川を渡る前にそこで夜を過ごした。

2 3日後、役人たちは宿営中を巡り、3 民にこう命じた。「皆さんの神エホバの契約の箱をレビ族の祭司が運んでいるのを見たら、すぐ自分の場所から出発して、その後には続きなさい。

4 ただし、箱との間に約1キロの距離を置き、それ以上近寄ってはなりません。どの道を行くべきかを知るためです。これまでに通ったことがない道だからです」。

5 ヨシュアは民に言った。「自分を神聖なものとしなさい。エホバは

第2章

(イ) 出 23:31
ヨシ 6:2
ヨシ 21:44

(イ) 出 15:14-16
ヨシ 2:9-11
ヨシ 5:1

第3章

(イ) 民 25:1
ヨシ 2:1

(イ) 申 1:15
ヨシ 1:10,11

(イ) 民 4:15
代一 15:2

(イ) 出 19:10
レビ 20:7

第2欄

(イ) 出 34:10

(イ) 出 25:10
民 4:15

(イ) ヨシ 4:14

(イ) 出 3:12
出 14:31

(イ) ヨシ 1:5,17

(イ) ヨシ 3:17

(イ) 申 7:21

(イ) 出 3:8
申 7:1
詩 44:2

(イ) ヨシ 4:2,3

(イ) 詩 114:1,3

あすみなあいだおどろおこな
明日、皆さんの間で驚くべきことを行います」。

6 ヨシュアは祭司たちに言った。「契約の箱を担いで、民の前を進みなさい」。それで祭司たちは契約の箱を担いで民の前を行った。

7 エホバはヨシュアに言った。「今日から私はイスラエル全体の前であなたを重んじる。私がモーセと共にいたようにあなたと共にいることを民が知るためである。8 あなたは、契約の箱を運ぶ祭司たちにこう命じるべきである。『ヨルダン川の水際まで来たら、川に入ってじっと立っていなさい』」。

9 ヨシュアはイスラエル人に言った。「ここに来て、皆さんの神エホバの言葉を聞きなさい」。10 それからこう言った。「皆さんは、生きている神が皆さんの間にいて、カナン人、ヘト人、ヒビ人、ペリジ人、ギルガシ人、アモリ人、エブス人を皆さんの前から必ず追い払ってくださることを次のことにより知ります。11 見なさい、全世界の主の契約の箱が皆さんの前を進んでヨルダン川に入っていきます。12 イスラエルの部族から12人、各部族から1人ずつを選びなさい。13 全世界の主エホバの箱を運ぶ祭司たちの足の裏がヨルダン川の水に触れるとすぐ、上流から流れてくる水はせき止められて、壁のようになります」。

14 民がヨルダン川を渡るために宿

えい しゅっぱつ とき けいやく はこ はこ
 宮から出発した時、契約の箱を運ぶ
 さいし たみ まえ い はこ
 祭司たちは民の前を行った。 15 箱
 はこ さいし がわ
 を運ぶ祭司たちがヨルダン川に着い
 て、あし みず い
 足を水に入るとすぐ(ヨルダン川
 しゅうかくき あいだ みず きし
 は収穫期の間ずっと水が岸にあふれ
 ている)、(イ) 16 上流から流れてくる水
 は止まった。それはずっと遠く、ツアレ
 タンのそばの町アダムの所で、せき
 と 止められたかのように盛り上がった。
 いっぽう うみ しお うみ# む
 一方、アラバの海、塩の海に向かって
 くだ みず し だいい
 下る水は次第になくなった。水が止
 まり、(イ) 民はエリコに面する所を渡った。
 17 エホバの契約の箱を運ぶ祭司た
 ちがヨルダン川の中ほどの乾いた地
 面にじっと立ち続けている間に、イス
 ラエル全体が乾いた地面を渡ってい
 き、(イ) ついに国民全体がヨルダン川を渡
 り終えた。

4 国民全体がヨルダン川を渡り終
 えるとすぐ、エホバはヨシュアに
 こう言った。 2 「民の中から12人、
 かくぶぞく ひとり えら (イ)
 各部族から1人ずつを選び、 3 こう
 めい がわ なか さい
 命じなさい。『ヨルダン川の中ほど、祭
 し た ばしよ(イ)
 司たちがじっと立っている場所から12
 こ いし と はこ
 個の石を取って、運んでいき、夜を過
 ぐす場所に置きなさい』」。

4 ヨシュアは、かくぶぞく ひとり
 各部族から1人ずつ、
 じん なか じん にんめい
 イスラエル人の中から自分が任命し
 た12人を呼び寄せた。 5 ヨシュアは
 いう 川 なか みな
 言った。「ヨルダン川の中ほど、皆さん
 かみ はこ まえ い
 の神エホバの箱の前に行き、イスラ
 じん ぶぞく かず あ かくじ
 エル人の部族の数に合わせて、各自1つ

第3章

(イ) 出 25:10
 ヨシ 3:6
 使徒 7:44, 45

(イ) ヨシ 4:18
 代一 12:15

(イ) ヨシ 4:3

(イ) 詩 66:6

第4章

(イ) ヨシ 3:12, 13

(イ) ヨシ 3:17

(イ) ヨシ 4:19, 20

第2欄

(イ) 出 13:14
 申 6:20, 21
 詩 78:3, 4

(イ) ヨシ 3:13, 16

(イ) 申 4:9

(イ) ヨシ 3:17

(イ) ヨシ 3:8, 17

(イ) 民 32:20-22
 民 32:25-29

(イ) ヨシ 1:12, 14

いし かた の
 の石を肩に載せなさい。 6 皆さんの
 あいだ
 間でするしとするためです。将来、もし
 こども けいやく いし お
 子供が、『どうしてこれらの石が置いて
 あるのですか』と尋ねるなら、 7 皆さ
 んはこう言わなければなりません。
 『ヨルダン川の水がエホバの契約の
 箱の前で止まったからだ。箱がヨルダ
 ン川を渡る時、川の水は止まった。こ
 れらの石はイスラエルの民にとって
 ずっと記念碑となるのだ』」。

8 イスラエル人はヨシュアが命じた
 とお 通りにした。エホバがヨシュアに指示
 した通り、ヨルダン川の中ほどから、イ
 スラエル人の部族の数に対応した12
 こ いし と 夜を過ぐす場所
 個の石を取った。それを過ぐす場所にそ
 れを持っていき、そこに置いた。

9 またヨシュアは、ヨルダン川の
 けいやく はこ はこ さいし た
 中ほど、契約の箱を運ぶ祭司たちが立
 ばしよ(イ) こ いし す
 った場所に12個の石を据えた。それは
 いま
 今もそこにある。

10 エホバがヨシュアに命じて民に
 はな すべ こと ごとから すべ
 話させた全ての事柄がなされ、全て
 モーセがヨシュアに命じた通りになる
 まで、箱を運ぶ祭司たちはヨルダン川
 の中ほどに立っていた。そうしてい
 る間に民は急いで渡った。 11 民
 ぜんいんわた お
 が全員渡り終えたとすぐ、エホバの
 箱と祭司たちが民の見る前で渡っ
 た。 12 ルベン族とガド族、マナセ
 ぞく はんぶん し じ ぶ(イ) せんとう
 族の半分も、モーセの指示通り、戦闘
 たいけい た じん まえ わた
 隊形で他のイスラエル人の前を渡っ
 た。 13 約4万人の武装した兵士が

4:7 * または、「思い起こさせるもの」。

3:16 * または、「壁のように」。

死海のこと。

エホバの前でエリコの砂漠平原へと渡った。

14 その日エホバはイスラエル全体の前にヨシュアを重んじた。民はモーセに深い敬意を示したように、ヨシュアにもその一生の間、深い敬意を示した。

15 エホバはヨシュアに言った。

16 「証しの箱を運ぶ祭司たちに、ヨルダン川から上がるように命じなさい。17 ヨシュアは祭司たちに、「ヨルダン川から上がりなさい」と命じた。18 エホバの契約の箱を運ぶ祭司たちがヨルダン川の中ほどから上がってきて、祭司たちの足の裏が川岸を踏むと、ヨルダン川の水は元に戻り、以前と同じように岸にあふれた。

19 民は第1の月の10日にヨルダン川から上がり、エリコの東の境界にあるギルガルに宿営した。

20 ヨシュアは、ヨルダン川から取った12個の石をギルガルに据えた。21 そしてイスラエル人にこう言った。「将来、子供が父親に、『これらの石にはどういう意味があるのですか』と尋ねるなら、22 子供にこう説明しなければなりません。『イスラエルはヨルダン川の乾いた地面を渡った。23 その時あなたたちの神エホバは、民が渡れるように民の前でヨルダン川の水を干上らせてくださった。あなたたちの神エホバが紅海で、

4:14 *直訳、「を恐れた」。

第4章

(例) ヨシ 3:7

(例) 出 14:31

(例) 出 25:22

(例) 民 4:15

(例) ヨシ 3:13,15

(例) ヨシ 4:3

ヨシ 5:8,9

ヨシ 10:6

(例) ヨシ 4:8

(例) 詩 44:1

(例) ヨシ 3:17

詩 66:6

第2欄

(例) 出 14:21

イザ 63:12

ヘブ 11:29

(例) 出 9:16

出 15:6

申 28:10

サー 17:46

王二 19:19

詩 106:8

第5章

(例) 創 10:15,16

(例) 民 13:29

(例) 出 15:15

ヨシ 2:24

(例) ヨシ 2:9-11

(例) 創 17:9-11

(例) ヨシ 5:8,9

(例) 民 14:29

民 26:65

申 2:14

(例) 民 14:22,23

(例) 民 14:33

申 1:3

わたし 私たちが渡れるように私たちの前でその水を手を干上らせてくださったのと同じだ。24 これは、地上の全ての民がエホバの手の力強さを知るため、あなたたちがエホバ神をいつも畏れるためだ。』

5 ヨルダン川の西側にいたアモリ人の全ての王と海沿いにいたカナン人の全ての王は、エホバがイスラエル人の前でヨルダン川の水を干上らせて彼らがそれを渡ったことを聞くと、心がくじけ、イスラエル人のゆえにすっかり勇気を失った。

2 その時、エホバはヨシュアに言った。「あなたのために石の短刀を作り、もう一度、イスラエルの男性に割礼を施しなさい。3 ヨシュアは石の短刀を作り、ギブアト・ハアラロトでイスラエルの男性に割礼を施した。4 ヨシュアが割礼を施した理由は次の通りである。エジプトを出た民の男性、兵士は皆、エジプトを出てから途中の荒野で死んだ。5 エジプトから出た人は皆、割礼を受けていたが、エジプトを出てから途中の荒野で生まれた人は皆、割礼を受けていなかった。6 国民全体、すなわちエジプトを出たのにエホバの声に従わなかった兵士たちが死に絶えるまで、イスラエル人は荒野を40年歩いた。エホバは彼らに、

5:1 *直訳、「海の方の側」。

5:2 *用語集参照。

5:3 *意味、「包皮の丘」。

5:4 *または、「兵役年齢の男性」。

わたしに与えたとエホバが父祖たちに誓った土地、非常に肥沃な土地を決して見させないと誓った。7 そして彼らの子たちを代わりに立てた。ヨシュアはその人たちに割礼を施したのである。旅の途中で割礼を施されず、割礼を受けないままだったからである。

8 国民全体に割礼が施されると、回復するまで民は宿営内にそのままとどまっていた。

9 エホバはヨシュアに言った。「今日、私はエジプトの恥辱をあなたたちから取り除いた」。それで、その場所は今日までギルガと呼ばれる。

10 イスラエル人はそのままギルガに宿営し、その月の14日の夕方にエリコの砂漠平原で過ぎ越しを執り行った。11 過ぎ越しの翌日にその土地の産物を食べるようになった。無酵母パンと炒った穀物をその日に食べた。12 翌日、つまり土地の産物を食べた日、マナは生じなくなった。イスラエル人のためにもうマナはなかった。民はその年にカナン地方の産物を食べるようになった。

13 ヨシュアがエリコの近くにいた時のこと、目を上げて見ると、すぐ前に1人の人が剣を抜いて立っていた。ヨシュアは歩み寄って尋ねた。「あなたは

5:6 *直訳、「乳と蜜が流れる地」。5:9 *直訳、「転がしてどけた」。*意味、「転がすこと」、「転がしてどけること」。

第5章

(7) 創 13:14, 15
出 33:1

(7) 出 3:8
民 13:26, 27
エゼ 20:6

(7) 申 1:35

(24) 民 14:31

(7) ヨシ 4:19
ヨシ 5:3

(7) 出 12:24, 25
民 9:5

(24) 出 12:18

(7) 出 16:35

(7) 申 6:10-12
申 8:10

(24) 創 18:2
裁 13:6
使徒 1:10

(7) 出 23:23
民 22:23
代一 21:16

第2欄

(7) 出 23:20
王一 22:19
ダニ 10:13

(7) 出 3:4, 5

第6章

(7) ヨシ 2:9

(24) 民 14:9
申 7:24
ネヘ 9:24

(7) 裁 7:22

(7) ヘブ 11:30

(24) 民 4:15

味方ですか、敵ですか」。14 彼は言った。「いえ、私はエホバの軍の長として来ました」。そこでヨシュアはひれ伏して敬意を表し、こう言った。「何かお言葉を頂けるのでしょうか」。15 エホバの軍の長はヨシュアに言った。「サンドルを脱ぎなさい。あなたが立っているのは聖なる場所だからです」。すぐにヨシュアはそうした。

6 エリコの門はイスラエル人の前で固く閉じられていて、誰も出入りしなかった。

2 エホバはヨシュアに言った。「さあ、私はエリコとその王と強い戦士たちをあなたに与えた。3 あなたたち兵士全員は町の周りを行進し、町を1周するように。6日間そうすべきである。4 7人の祭司が雄羊の角笛7本を持って契約の箱の前に行く。7日目は町の周りを7回行進し、祭司たちは角笛を吹く。5 雄羊の角笛が鳴らされる時、角笛の音を聞いたらすぐ、軍勢は皆、大きなときの声を上げるように。町の城壁は完全に崩れ落ちる。軍勢の一人一人は真つすぐ突入しななければならない」。

6 ヌンの子ヨシュアは祭司たちを呼び集めてこう言った。「契約の箱を担ぎなさい。そして、7人の祭司が雄羊の角笛7本を持ってエホバの箱の前に行くべきです。7 それから軍勢に

5:14 *または、「將軍」。6:5 *または、「長く吹き鳴らされる音」。

言った。「進んでいってこの町の周りを
行進しない。武装した人たちはエホ
バの箱の前を行くべきです」。8 ヨ
シュアが言った通り、雄羊の角笛7本
を持った7人の祭司がエホバの前を
進み、角笛を吹いた。エホバの契約
の箱がその後に続いた。9 武装し
た人たちは角笛を吹く祭司たちの前
を行き、後衛が箱の後に続いた。角笛
が絶えず吹き鳴らされていた。

10 ヨシュアは軍勢にこう命じてお
いた。「声を上げてください。黙っ
ていなさい。私が『声を上げよ!』と言
う日まで、一言も発してはなりません。
そのときが来たら、声を上げなさい」。

11 ヨシュアは、エホバの箱が町の周
りを回り、1周するようにした。その後、
軍勢は宿営に戻って夜を過ごした。

12 翌朝、ヨシュアは早く起き、祭司
たちはエホバの箱を担ぎ、13 雄羊
の角笛7本を持った7人の祭司はエホ
バの箱の前を歩いて絶えず角笛を吹
いた。武装した人たちがその前を歩
き、後衛がエホバの箱の後に続いた。
角笛が絶えず吹き鳴らされていた。

14 2日目にも町の周りを1回行進し、
その後宿営に戻った。6日間そうした。

15 7日目、夜が明けるとすぐ、早く
起き、これまでのようにして町の周
りを7回行進した。この日だけ7周し
た。16 7周目、祭司たちが角笛を吹
くと、ヨシュアは軍勢にこう言った。
「声を上げよ! エホバはこの町を与え

第6章

(例)民 10:14, 18,
22
ヨシ 1:12, 14

(例)代 15:2

(例)ヨシ 6:3

(例)ヨシ 6:4

(例)ヨシ 6:5, 10

第2欄

(例)レビ 27:29
申 7:2
申 20:16

(例)ヨシ 2:1
マタ 1:5
ヘブ 11:31

(例)創 12:3
ヨシ 2:4, 6
ヤコ 2:25

(例)申 7:26

(例)申 13:17
ヨシ 7:11, 21

(例)ヨシ 7:25

(例)民 31:22, 23

(例)ヨシ 6:24
王 1:7, 51
代 18:11

(例)ヨシ 6:4, 16

(例)ヨシ 6:5
ヘブ 11:30

(例)申 7:2
申 20:16

(例)ヨシ 2:14
ヘブ 11:31

(例)ヨシ 2:12, 13
ヨシ 2:17-19

てくださった。17 この町とその中の
全てのものは滅ぼし尽くさなければ
ならない。全てエホバのものだ。た
だし娼婦ラハブと彼女の家に一緒に
いる人は皆、生かしておくように。彼
女は私たちが遣わした使者をかくまっ
たからだ。18 処分されるものから
は離れていなさい。その幾らかが欲し
くなくて取ったりしないためだ。取
るなら、イスラエルの宿営は滅ぼし尽
くされるものとなり、災難がもたらされ
る。19 ただし、銀と金、銅や鉄の物
品は全てエホバにとって聖なるもので
あり、エホバの宝物庫に入れられるべ
きである」。

20 角笛が吹き鳴らされた時、軍勢
は声を上げた。軍勢が角笛の音を聞
いて大きなときの声を上げるとすぐ、城
壁は完全に崩れ落ちた。その後、軍勢
の一人一人は真つすぐ町に突入り、町
を攻め取った。21 町の中の全ての
ものを、男性も女性も、若者も老人も、
牛も羊もロバも剣で滅ぼし尽くした。

22 ヨシュアは、土地を偵察した2人
に言った。「あの娼婦の家に入り、
彼女と家の全ての人を連れ出して、あ
なたたちが誓った通りにしなさい」。

23 偵察をした若者たちは入っていっ
て、ラハブと彼女の父、母、兄弟たち、
彼女の家の全ての人を連れ出した。
彼女の親族全員を連れ出し、イスラエ

6:18 *または、「滅ぼし尽くされる」。
*または、「悩み」、「追放」。

ルの宿営の外の場所に避難させた。

24 町とその中の全てのものを火で焼いた。ただし、銀と金、銅や鉄の物品はエホバの家の宝物庫に納めた。

25 ヨシュアは、娼婦ラハブと彼女の父の家の人、彼女の家の全ての人だけ生かしておいた。ラハブは今日までイスラエルの中に住んでいる。エリコの偵察にヨシュアが遣わした使者たちをかくまったからである。

26 ヨシュアはそのときこう宣言した。「この町エリコの再建を企てる人は、エホバの前で災いを受けよ。その人は土台を据える時に長男を失い、雇を付ける時に一番下の子を失う」。

27 エホバはヨシュアと共にいた。彼の名声は世界中に広まった。

7 イスラエル人は、処分されるものに関して不忠実なことをした。ユダ族のゼラハの子ザブディの子であるカルミの子アカンが、処分されるものの幾らかを取ったのである。イスラエル人に対してエホバの怒りが燃えた。

2 ヨシュアは、ペテルの東でベト・アベンのおすぐ近くにあるアイにエリコから人々を遣わし、「上って行ってその土地を偵察しなさい」と言った。その人たちは上って行ってアイを偵察した。3 ヨシュアのもとに戻って、こう

6:26 *もしかすると、「民にこう宣言させた」。
6:27 *もしかすると、エホバの名声のこと。7:1 *または、「滅ぼし尽くされる」。

第6章

(7) ヨシ 6:19

(4) ヨシ 2:14
ヨシ 6:17,22

(7) マタ 1:5

(4) ヘブ 6:10
ヤコ 2:25

(7) 王一 16:34

(7) 申 31:6
ヨシ 1:5

(4) ヨシ 9:1,2
ヨシ 9:9,10

第7章

(7) ヨシ 22:20
代一 2:7

(7) 申 7:26

(4) ヨシ 6:17,18

(7) 創 28:19

(4) 創 12:8

第2欄

(7) レビ 26:14,17
申 28:15,25
申 32:30

(4) 申 32:26,27
詩 106:8
詩 143:11
エゼ 20:9

い言った。「軍勢が皆上っていく必要はありません。2000人か3000人でアイを討てます。皆を行かせて疲れさせないでください。住民は少数です」。

4 それで、3000人ほどが上っていったが、アイの人たちの前から逃げることになった。5 アイの人たちは36人を討ち、町の門の外からシェバリムまで追い掛け、下り坂の所でさらに討った。そのため民は心がくじけて恐れるようになった。

6 ヨシュアは自分の衣服を引き裂き、エホバの箱の前で夕方までひれ伏した。ヨシュアとイスラエルの長老たちがそのようにし、しきりに頭に土をかぶった。7 ヨシュアは言った。「ああ、主権者である主エホバ、どうしてこの民にわざわざヨルダン川を渡らせ、アモリ人に引き渡して滅ぼされるようにしたのでですか。私たちはヨルダン川の向こう側で満足してどまっていればよかったのです。8 お許しください、エホバ。イスラエルが敵の前から逃げてきた今、私は何と言えよいのでしょうか。9 カナン人とこの土地の他の住民はこのことを聞き、私たちを取り囲んで私たちの名前を地上から消し去るでしょう。そうしたら、あなたはご自分の偉大な名に関して何をなさるのでしょうか」。

10 エホバはヨシュアに答えた。「立

7:5 *意味、「石切り場」。「直訳、「の心は溶けて水のように」。
7:7 *東側のこと。
7:8 *または、「背を向けた」。

ちなさい! どうしてひれ伏しているのか。11 イスラエルは罪を犯した。私が命じた契約を破った。処分されるものの幾らかを取って盗み、こっそり自分の物にした。12 だからイスラエル人は敵に立ち向かえない。民は滅ぼし尽くされるものとなったので、敵に背を向けて逃げる。死刑にされるものをあなたたちの中から除き去ってしまわない限り、私は二度とあなたたちと共にはいない。13 立て、民を神聖なものとしなさい! こう告げなさい。『明日のために自分を神聖なものとしなさい。イスラエルの神エホバはこう言っている。「イスラエル、死刑にされるものがあなたたちの間にある。その死刑にされるものをあなたたちの間から除き去るまで、あなたたちは敵に立ち向かえない。14 朝、部族ごとにでてくるように。そして、エホバが選ぶ部族が氏族ごとに近くに来る。エホバが選ぶ氏族が家族ごとに近くに来る。エホバが選ぶ家族の男性が1人ずつ近くに来る。15 処分されるものを取ったことが明らかになった人は、その人の全てのものと共に火で焼かれる。エホバの契約を破ったから、イスラエルで恥ずべき行いをしたからである。』」。

16 翌朝、ヨシュアは早く起き、イスラエルを部族ごとに近くに来させた。ユダ族が選ばれた。17 ユダの各氏族を近くに来させ、ゼラハ氏族が

第7章

[例] 出 24:7

[例] ヨシ 6:17

[例] 出 20:15

[例] ヨシ 7:21

[例] 申 7:26

ヨシ 6:18

イザ 59:2

[例] 出 19:10

[例] 格 16:33

[例] ヨシ 1:18

ヨシ 7:25

[例] 出 24:7

[例] 創 38:30

民 26:20

代一 2:4,6

第2欄

[例] 格 16:33

使徒 5:3

[例] 創 10:10

[例] ヨシ 22:20

[例] ヨシ 6:19

[例] ヨシ 15:7,12

イザ 65:10

ホセ 2:15

[例] ヨシ 6:18

代一 2:7

選ばれた。その後ゼラハ氏族の男性を1人ずつ近くに来させ、ザブディが選ばれた。18 最後に、ザブディの家の男性を1人ずつ近くに来させたと、ユダ族のゼラハの子ザブディの子であるカルミの子アカンが選ばれた。19 ヨシュアはアカンに言った。「どうかイスラエルの神エホバを尊び、その方に告白してください。何をしたのか、どうか言ってください。私に隠さないでください」。

20 アカンはヨシュアに答えた。「確かに私がイスラエルの神エホバに対して罪を犯しました。実は、21 戦利品の中に、シナル製の美しい職服、2.3キロの銀、0.6キロの金の延べ棒1本を見た時、欲しくなって取りました。それらは金銀を下にして、私の天幕の中、地中に隠してあります」。

22 ヨシュアは直ちに人々を遣わし、彼らは天幕に走っていった。アカンの天幕の中に、金銀を下にして職服が隠してあった。23 彼らはそれらを天幕の中から取り、ヨシュアと全てのイスラエル人の所に持ってきて、エホバの前に広げた。24 ヨシュアとイスラエル全体は、ゼラハの子アカンと、銀、職服、金の延べ棒を、彼の息子と娘、牛、ロバ、羊、天幕、彼のものの全てと一緒に、アコルの谷に運んだ。25 ヨシュアは言った。「どうしてあなたは私たちに災難をもたらしたのですか。今日、エ

7:24 *または、「谷あい」の平原。7:25 *または、「惱み」、「追放」。

7:11, 12 *または、「滅ぼし尽くされる」。

ホバはあなたに災難をもたらします」。イスラエル全体がアカンと彼の家族を石打ちにし、その後、彼らを火で焼いた。こうして民は彼らを石打ちにした。

26 そして彼の上に石を大きく積み重ねたが、それは今も残っている。エホバの激しい怒りは収まった。それでその場所の名前は今もアコルの谷となっている。

8 エホバはヨシュアに言った。「恐れたりおびえたりしてはいけな

い。兵士全員を連れて、アイに攻め上りなさい。さあ、私はアイの王と民と町と土地をあなたに与えた。2 エリコとその王にしたように、アイとその王にもしなければならぬ。ただし、戦利品と家畜は自分たちのものとして奪い取ってよい。町の背後に伏兵を配置しなさい」。

3 ヨシュアと兵士は皆、アイに攻め上った。ヨシュアは3万人の強い戦士を選び、夜のうちに送り出した。4 こう命じた。「町の背後で伏兵として潜んでいなさい。町からあまり遠くに離れず、全員待機していなさい。5 私は軍勢を率いて町に近づき、以前のよう

に彼らが出撃してきたら、退却します。6 彼らが後を追って出てきたら、町から引き離すようにします。彼らは、『以前のように退却していくぞ』と言うでしょう。私たちは退却します。7 その時、皆さんは潜んでいた場所から立

第7章

(例) レビ 24:14
ヨシ 1:18

(例) ヨシ 7:15

(例) 申 13:17

第8章

(例) 申 7:18
申 31:8
ヨシ 1:9
イザ 12:2
ロマ 8:31

(例) 詩 44:3

(例) ヨシ 6:2,21

(例) ヨシ 7:5

(例) ヨシ 8:16

第2欄

(例) ヨシ 8:19,28

(例) ヨシ 8:1,3

(例) 創 28:19

(例) ヨシ 8:2

(例) ヨシ 8:5

(例) ヨシ 8:4

(例) ヨシ 8:6

ち上がり、町を攻略するのです。エホバ神はその町を与えてくださいます。8 町を占拠したらすぐ火を放ちなさい。エホバの言葉の通りにすべきです。さあ、命令は与えました」。

9 ヨシュアはその人たちを送り出した。彼らは伏兵として潜む場所に進んでいて、ベテルとアイの間、アイの西方で配置に就いた。ヨシュアはその夜、軍勢と共にいた。

10 ヨシュアは朝早く起きて部隊を集めてから、イスラエルの長老たちと共に部隊をアイに率いていった。

11 共にいた兵士全員が上っていき、町の正面まで進み、谷を隔ててアイの北側に宿営した。12 ヨシュアは約5000人をベテルとアイの間、町の西方に伏兵として配置しておいた。

13 軍勢は、町の北側に本陣を、町の西側に伏兵部隊を置いた。ヨシュアはその夜、谷の真ん中に行った。

14 アイの王がそれに気付くとすぐ、王と町の人たちは朝早くに急いで出てきて、砂漠平原を見渡せる場所ですラエルを迎え撃とうとした。町の後方に伏兵がいることを知らなかった。

15 ヨシュアとイスラエル全体は、攻撃を受けると、荒野に向かう道逃げた。16 すると、町にいた全ての兵士が追撃のために呼び出されて、ヨシュアを追い掛けていき、町から引き離さ

8:10 *または、「招集して」。8:13 *または、「谷あいの平原」。

れた。17 イスラエルを追って出ていかずにアイとベテルに残っていた人は一人もいなかった。町を無防備にしたままイスラエルを追い掛けていった。

18 エホバはヨシュアに言った。「手にある投げやりをアイに向かって差し出さない。その町をあなたに与えろ」。ヨシュアは手にあった投げやりを町に向かって差し出した。19 ヨシュアが手を差し出すと、伏兵がすぐに立ち上がって町に走り込み、これを攻略した。そしてすぐに火を放った。

20 アイの人たちが振り返ると、町から煙が空に立ち上っていた。彼らはどちらにも逃げることができず、追い掛けていた彼らの方に向かっで逃げていた軍勢が向き直った。21 ヨシュアとイスラエル全体は、伏兵が町を攻略して町から煙が立ち上るのを見て、向きを変えてアイの人たちを攻撃した。22 伏兵たちが町から出て向かってくると、アイの人たちはこちらとあちらのイスラエル人の間に挟まれた。イスラエル人は彼らを討ち、生き残った人も逃げ延びた人もいなかった。23 ただし、アイの王は生け捕りにして、ヨシュアの前に連れてきた。

24 イスラエルは、追い掛けてきたアイの住民すべてを野原で、荒野で殺し、一人残らず剣で滅ぼした。その後、イスラエル全体はアイに戻って、そこを剣で討った。25 その日に倒れた人は男女合わせて1万2000人で、アイ

第8章

(例) 出 17:11
ヨシ 8:26

(例) 申 7:24

(例) ヨシ 8:8,28

(例) レビ 27:29
申 7:2

(例) ヨシ 8:29
ヨシ 12:7,9

第2欄

(例) レビ 27:29

(例) 出 17:11
ヨシ 8:18

(例) ヨシ 8:2

(例) ヨシ 8:8

(例) 申 21:22,23

(例) 申 11:29
申 27:4,5

(例) 申 31:9
ヨシ 1:8

(例) 出 20:25

(例) 申 27:6,7

(例) 出 24:4
出 34:27

(例) 申 27:2,3

の民全てに焼いた。26 ヨシュアは、アイの住民を滅ぼし尽くすまで、投げやりを差し出した手を引っ込めなかった。27 その町の家畜と戦利品は、イスラエルが自分たちのものとして取った。エホバがヨシュアに与えた命令通りだった。

28 ヨシュアはアイを焼いて、ずっと荒廃したままの廃墟の丘とした。今もそのままである。29 ヨシュアはアイの王を夕方まで杭に掛け、日が沈もうとする頃に命令を出して、死体を杭から下ろさせた。人々は死体を町の門の入り口に投げ捨て、その上に石を大きく積み重ねた。それは今もそこにある。

30 この時、ヨシュアはエバル山にイスラエルの神エホバのための祭壇を作って、31 エホバの奉仕者モーセがイスラエル人に命じた通りにした。モーセの律法の書に、「鉄の道具を振るっていない自然のままの石の祭壇」と書かれているのである。その祭壇の上でエホバへの全焼の捧げ物と共食の犠牲を捧げた。

32 ヨシュアはそこで、モーセがイスラエル人の前で書いた律法を石に書き写した。33 イスラエル全体、長老と役人と裁判人たちは、エホバの契約の箱を担ぐレビ族の祭司の方を向いて、箱の両側に立っていた。イスラエル人だけでなく外国人居住者も

8:29 *または、「木」。

いた。半分はゲリジム山の前に、あと半分はエバル山の前に立った。(エホバに仕えたモーセが命じた通りだった。) こうしてイスラエルの民のために祝福が願い求められた。34 その後ヨシュアは、律法の全ての言葉、祝福と災いを、全て律法の書に記されている通りに朗読した。35 モーセが命じた全ての事柄のうち、イスラエルの会衆全体、女性と子供、一緒に住む外国人居住者の前でヨシュアが朗読しなかった言葉は一言もなかった。

9 ヨルダン川の西側、すなわち山地、シェフェラ、大海の沿岸全域、レバノンまでの全ての王は、起きたことを聞いた。ヘト人、アモリ人、カナン人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人の王たちである。2 彼らはヨシュアおよびイスラエルと戦うために同盟を結んだ。

3 ギベオン^(例)の住民も、ヨシュアがエリコとアイにしたことを聞いた。4 そして抜ける目ない行動を取った。すり切れた袋に食料を入れ、張り裂けて繕ってあるすり切れたぶどう酒用の革袋と一緒にロバに載せた。5 すり切れて継ぎを当てたサンダルを履き、すり切れた服を着た。食料のパンはどれも、乾いてぼろぼろ砕けるものだった。

6 それから、ギルガルの宿営にいるヨシュアのもとに行き、ヨシュアとイスラエルの人たちに言った。「私どもは遠く

第8章

(例) レビ 24:22
民 15:16
(イ) 申 27:12, 13
(例) 申 11:29
(イ) 申 28:2
(例) 申 27:15
申 28:15
(例) 申 31:9
ネヘ 8:3
(イ) 申 29:10, 11
申 31:12
ネヘ 8:2
(例) レビ 24:22
民 15:16
(例) 申 4:2
申 12:32

第9章

(例) ヨシ 12:7, 8
(例) 民 34:2, 6
(イ) 創 15:18-21
出 3:17
出 23:23
申 7:1
(イ) ヨシ 24:11
(例) ヨシ 10:2
ヨシ 11:19
(例) ヨシ 6:20
(例) ヨシ 8:24
(例) ヨシ 5:10
ヨシ 10:43

第2欄

(例) 創 10:15, 17
創 34:2
出 3:8
(イ) 出 34:12
申 7:2
申 20:16-18
(例) 申 20:10, 15
(イ) 出 9:16
出 15:13, 14
ヨシ 2:9, 10
(例) 民 21:21-24
申 2:32-34
(例) 民 21:33-35
申 3:3
(イ) 申 20:10, 11
(例) ヨシ 9:6
(例) ヨシ 9:5

の土地から参りました。どうか私どもと契約を結んでください。7 しかしイスラエルの人たちはそのヒビ人たちに言った。「あなたたちは近くに住んでいるのかもしれない。どうしてあなたたちと契約を結べるだろうか。8 彼らはヨシュアに言った。「私どもはあなたに仕えます」。

ヨシュアは言った。「あなたたちは何者ですか。どこから来たのですか」。

9 彼らは言った。「私どもは、あなたの神エホバのお名前を伺って非常に遠い土地からやって参りました。その方の名声、エジプトでなさった全てのことについて聞いたからです。10 また、ヨルダン川の向こう側にいたアモリ人の2人の王、ヘシュボンのシホン王と、アシュタロテにいたバシャンのオグ王になされた全てのことについても聞きました。11 それで、私どもも長老たちと土地の住民は皆、こう言いました。『旅の食料を持って、その方たちに会いに行き、こう申し上げなさい。『私どもはあなた方に仕えます。どうか私どもと契約を結んでください』。』12 食料として持ってきたこのパンも、皆さんのもつて来るために家を出た日にはまだ熱かったのですが、今ではご覧の通り、乾いてぼろぼろ砕けております。13 ぶどう酒を入れた時には新しかったこの革袋も、今では張り裂

けてしまいました。私どもの服やサンダルも、非常な長旅のために擦り切れております」。

14 人々は彼らの食料をいくらか手に取って見たが、エホバに尋ねることはしなかった。**15** ヨシュアは平和を約束し、彼らを生かしておくという契約を結んだ。民の長たちもそのことを彼らに誓った。

16 契約を結んで3日がたち、人々は、彼らが近くに、近辺に住んでいることを聞いた。**17** そこでイスラエル人は出掛け、3日目に彼らの町に来た。ギベオン、ケフィラ、ベエロト、キルヤト・エアムである。**18** しかし、イスラエル人は彼らを攻撃しなかった。民の長たちがイスラエルの神エホバに懸けて誓っていたからである。民全員が長たちに對して不満を口に始めた。**19** 長たちは皆、民全体に言った。「私たちは、イスラエルの神エホバに懸けて誓ったので、彼らを傷つけることは許されない。**20** 私たちはこうする。彼らを生かしておき、彼らに誓った誓いのために私たちに對していきどおしようにする」。**21** 長たちはさらに言った。「彼らを生かしておくが、民全員のためにまきを集める者、水をくむ者とする」。これは長たちが彼らに約束したことだった。

22 ヨシュアは彼らを呼んで、こう言った。「あなたたちはすぐそこに住ん

第9章
[7] ヨシ 9:4
[4] 民 27:18,21
サ- 30:7,8
[7] ヨシ 11:19
[4] サニ 21:2
[7] ヨシ 10:2
[7] ヨシ 18:11,14
サ- 7:1
代- 13:5
[4] 民 30:2
申 6:13
[7] サニ 21:1
詩 15:4
伝 5:4,6

第2欄

[7] ヨシ 9:6,16
[4] 創 9:25,26
[7] 申 7:1
申 20:16
[4] 申 2:25
申 11:25
ヨシ 5:1
[7] ヘブ 11:31
[7] 王- 8:29
代二 6:6
[4] ヨシ 9:21

[7] 代- 9:2
エズ 7:24
エズ 8:17
ネヘ 3:26
ネヘ 7:60

第10章

[7] ヨシ 6:2,21
[4] ヨシ 8:24,29
[7] ヨシ 9:9,15
ヨシ 11:19
[4] 申 2:25
申 11:25
ヨシ 2:10,11
ヨシ 5:1
[4] ヨシ 8:25

でいるのに、どうして『非常に遠い所から来た』と言って、私たちをだましたのですか。**23** あなたたちは今後、卑しい者です。ずっと奴隷となり、私の神の家のためにまきを集め、水をくむのです」。**24** 彼らはヨシュアに答えた。「私どもは、あなたの神エホバがご自分の奉仕者モーセに、この土地全てを皆さんに与えて住民全てを全滅させるようにお命じになったことをはっきりと知らされたのです。それで、皆さんのゆえに自分たちは殺されるのではないかと不安になりました。ですから、あのようにしたのです。**25** どんな扱いも受け入れます。正しくて良いと思われれることを何でも行ってください」。**26** ヨシュアは彼らにそのようにした。そして彼らを守り、イスラエル人に殺させなかった。**27** その日、ヨシュアは彼らを、神が選ぶ場所で民およびエホバの祭壇のためにまきを集める者、水をくむ者とした。今もそうである。

10 エルサレムのアドニ・ツエデク王は、ヨシュアがアイを攻略して滅ぼし尽くし、エリコとその王にしたのと同じようにアイとその王にしたこと、ギベオンの住民がイスラエルと平和な関係を結んで彼らの中にとどまるのを許されたことを聞くと、**2** 非常に動揺した。ギベオンは大きな町で、王がいる町のようなところである。その町はアイより大きく、その男

たちは皆、戦士だった。3 エルサレムの王アドニ・ツェデクは、ヘブロン^(イ)の王ホハム、ヤルムトの王ビルアム、ラキシユの王ヤフィア、エグロンの王デビルに使者を送って、こう伝えた。

4 「助けに来てほしい。ギベオンを攻撃しよう。ヨシュアとイスラエル人と平和な関係を結んだからだ」。5 アモリ人の5人の王、すなわちエルサレムの王、ヘブロン^(イ)の王、ヤルムト^(イ)の王、ラキシユ^(イ)の王、エグロン^(イ)の王は、軍隊を率いて集合し、進軍して、ギベオンと戦うために陣営を敷いた。

6 ギベオンの人たちはギルガルの宿営^(イ)にいるヨシュアのもとに人を遣わして、こう言った。「あなたの奴隷たちを見捨てないでください。急いで来て、私たちを救い、助けてください。山地のアモリ人の王たちが皆私^(イ)たちを攻めようと集結しました」。7 ヨシュアは全軍を率い、強い戦士と共にギルガルから上^(イ)っていった。

8 エホバはヨシュアに言った。「彼らを恐れてはいけ^(イ)ない。私は彼ら^(イ)をあな^(イ)たの手^(イ)に渡したからである。誰一人、あなたに立ち向^(イ)かえない」。9 ヨシュアはギルガルから夜通し進軍し、彼らに不意打ちを掛けた。10 エホバは彼らを混乱に陥^(イ)れ、イスラエルはギベオンで彼ら^(イ)を大勢殺し、ベト・ホロンの上り坂^(イ)を通して彼ら^(イ)を追^(イ)い掛^(イ)けて討ち、アゼカとマケダまで進んだ。11 彼らがイスラエルから逃^(イ)げてベト・ホロン

第10章

(イ) 創 23:2
民 13:22

(イ) ヨシ 12:7, 10-12

(イ) ヨシ 9:9, 15
ヨシ 11:19

(イ) 創 15:16

(イ) ヨシ 5:10

(イ) ヨシ 9:25, 27

(イ) ヨシ 8:3

(イ) 申 3:2
申 20:1

(イ) 申 7:24
ヨシ 11:6

(イ) ヨシ 1:3-5

(イ) 詩 44:3

第2欄

(イ) 王二 20:10
詩 135:6
イザ 38:8

(イ) イザ 28:21

(イ) サニ 1:17, 18

(イ) 申 9:18, 19
王一 17:22
ヤコ 5:16

(イ) 申 1:30
ヨシ 23:3

(イ) ヨシ 5:10
ヨシ 9:6

(イ) ヨシ 10:10

(イ) ヨシ 10:28

の下り坂^(イ)にいた時、エホバが空から大きなひょうを降^(イ)らせたので、彼らは死んだ。それはアゼカに敗走するまで続いた。イスラエル人の剣で死んだ人より、ひょうで死んだ人の方が多かった。

12 エホバがイスラエル人の目の前でアモリ人を打ち負かした日に、ヨシュアはイスラエルの前でエホバにこう言った。

「太陽よ、止まれ！ ギベオンの上で。

月よ、アヤロンの谷の上で」。

13 太陽は止まり、月も動かず、イスラエル国民は敵に報復することができた。そのことはヤシャルの書に記されている。太陽は空のなかで静止し、ほぼ丸1日、急いで沈むことはなかった。14 エホバが人間の声を聞き入れたこのような日は、後にも先にも一度もない。エホバがイスラエルのために戦っていたのである。

15 その後、ヨシュアはイスラエル全体と共にギルガルの宿営に帰った。

16 一方、5人の王は逃げて、マケダの洞窟に隠れた。17 ヨシュアのもとに、「5人の王がマケダの洞窟に隠れているのが見つかった」という知らせが届いた。18 ヨシュアは言った。「大きな石を転がして洞窟の入り口をふさぎ、見張りを立てなさい。19 ほかの人は立ち止まらずに、敵を追撃し

10:12 *または、「谷あいの平原」。

て討ちなさい。彼らを町に連れさせてはなりません。皆さんの神エホバは彼らを皆さんの手に渡したのです」。

20 ヨシュアとイスラエル人が彼らを非常に大勢殺し、防備された町に逃げ込んだ人たち以外を一掃した後、

21 軍勢は皆マケダの宿営のヨシュアのもとに無事に戻ってきた。あえてイスラエル人をのしる人は一人も

いなかった。**22** ヨシュアは言った。「洞窟の入り口を開け、5人の王を洞窟から連れてきなさい」。**23** 5人の王、

すなわちエルサレムの王、ヘブロン^の王、ヤルムト^の王、ラキシュ^の王、エグロン^の王が洞窟から連れてこられた。

24 王たちが連れてこられると、ヨシュアはイスラエルの全ての人を呼び、共に

行った兵士の司令官たちにごう言った。「進み出なさい。この王たちの首を踏みなさい」。司令官たちは進み出

て、彼らの首を踏んだ。**25** ヨシュアは言った。「恐れたりおびえたりしてはなりません。勇気を出し、強くありな

さい。エホバは皆さんが戦う全ての敵にこうするからです」。

26 その後ヨシュアはその者たちを殺し、死体を5本の杭に掛けた。夕方まで杭に掛けられていた。**27** ヨシュアは日没時に、死体を杭から下ろし、

彼らが隠れていた洞窟に投げ込むように命じた。洞窟の入り口には大きな石が置かれ、今日までそのままである。

10:24 *首の後ろのこと。 **10:26** *または、「木」。

第10章

(ア) 申 28:7

(イ) ヨシ 10:3-5
ヨシ 12:7, 10-12

(ウ) 出 23:27

(エ) 申 31:6
ヨシ 1:9

(オ) 申 3:21
申 7:18, 19

(カ) 申 21:22, 23
ヨシ 8:29

第2欄

(ア) ヨシ 10:10
ヨシ 15:20, 41

(イ) 申 20:16

(ウ) ヨシ 12:7, 16

(エ) ヨシ 15:20, 42
ヨシ 21:13

(オ) ヨシ 12:7, 15

(カ) ヨシ 6:2, 21

(キ) ヨシ 10:3, 4
ヨシ 12:7, 11
ヨシ 15:20, 39

(ク) 申 20:16

(コ) ヨシ 12:7, 12
ヨシ 16:10
ヨシ 21:20, 21
王一 9:16

(カ) ヨシ 10:3, 4
ヨシ 12:7, 12
ヨシ 15:20, 39

(ウ) 申 20:16
ヨシ 10:32

(エ) 創 13:18
創 23:19
民 13:22
ヨシ 10:3, 4
ヨシ 15:13
ヨシ 21:13

28 その日ヨシュアは、マケダを攻略し、剣で討った。その王と全ての人を滅ぼし尽くし、一人も生かしておかなかった。エリコの王にしたようにマケダの王にもした。

29 ヨシュアはイスラエル全体を率いてマケダからリブナに進み、リブナと戦った。**30** エホバはリブナとその王もイスラエルに与え、彼らはその町とそこの全ての人を剣で討ち、一人も生かしておかなかった。エリコの王にしたのと同じようにリブナの王にもした。

31 ヨシュアはイスラエル全体を率いてリブナからラキシュに進み、陣営を敷いて戦った。**32** エホバはラキシュをイスラエルに与え、彼らは2日目に攻略した。その町とそこの全ての人を剣で討ち、リブナにしたのと同じようにした。

33 その時ゲゼルの王ホラムがラキシュを助けに来たが、ヨシュアは彼と彼の軍勢を討ち、一人も生かしておかなかった。

34 ヨシュアはイスラエル全体を率いてラキシュからエグロンに進み、陣営を敷いて戦った。**35** その日に町を攻略し、剣で討った。その日、そこの全ての人を滅ぼし尽くし、ラキシュにしたのと同じようにした。

36 ヨシュアはイスラエル全体を率いてエグロンからヘブロンに上り、戦った。**37** ヘブロンを攻略し、その

町^{まち}、王^{おう}、周辺^{しゅうへん}の町^{まち}、全て^{すべ}の人^{ひと}を剣^{つるぎ}で討^うち、一人^{ひとり}も生^いかしておか^いなかつた。エ
グロン^{えい}にしたように、町^{まち}とそこ^{そこ}の全て^{すべ}の人^{ひと}を滅^{ほろ}ぼし尽^{つく}くした。

38 ヨシュア^{よし}はイスラエル^{いすらい}全体^{けんたい}を率^{ひき}いてデビル^{てい}に向^むかい、戦^{たたか}った。**39** デビル^{てい}とその王^{おう}とその全て^{すべ}の町^{まち}を攻^{こう}略^{りやく}し、剣^{つるぎ}で討^うって全て^{すべ}の人^{ひと}を滅^{ほろ}ぼし尽^{つく}くし、一人^{ひとり}も生^いかしておか^いなかつた。ヘ
ブロン^{へい}やリブナ^{りい}とその王^{おう}にしたのと同^{おな}じようにデビル^{てい}とその王^{おう}にもした。

40 ヨシュア^{よし}は、山地^{さんち}とネゲブ^{ねがふ}とシェ
フェア^{せい}と傾斜^{けいしゃ}地の全体^{けんたい}、その全て^{すべ}の王^{おう}を征^{せい}服^{ふく}し、一人^{ひとり}も生^いかしておか^いなかつた。息^{いき}をする全て^{すべ}のもの^{もの}を滅^{ほろ}ぼし尽^{つく}くし、イスラエル^{いすらい}の神^{かみ}エホバ^{えい}が命^{めい}じた通^{とお}り^りにした。**41** カデシュ^か・バルネア^{ばる}からガザ^がまで、ゴシェン^ご全^{ぜん}域^{いき}、ギベオン^ぎま
でを征^{せい}服^{ふく}した。**42** これら^{すべ}の王^{おう}と土地^{とち}を1度^どの遠^{えん}征^{せい}で攻^{こう}略^{りやく}した。イス
ラエル^{いすらい}の神^{かみ}エホバ^{えい}がイスラエル^{いすらい}のた
めに戦^{たたか}っていたからである。**43** ヨ
シュア^{よし}はイスラエル^{いすらい}全体^{けんたい}と共^{とも}にギルガ
ルの宿^{しゆく}営^{えい}に帰^{かえ}った。

11 ハツォル^おの王^{おう}ヤビン^やは、その
こと^{こと}について聞^きくとすぐ、マド
ン^まの王^{おう}ヨバブ^よ、シムロン^しの王^{おう}、アクシャ
フ^あの王^{おう}に知^しらせを送^{おく}った。**2** 北部^{ほく}の
山地^{さんち}、キネレト^きの南^{みなみ}の平^{へい}原^{げん}、シェフェ
ラ^{せい}、西方^{せいほう}のドル^どの傾斜^{けいしゃ}地^ちに居^おる王^{おう}たち
に、**3** 東方^{とうほう}と西方^{せいほう}のカナン^{かん}人^{じん}、山地^{さんち}
のアモリ^あ人^{じん}とヘト^へ人^{じん}とペリジ^ぺ人^{じん}とエブ

第10章

(ア) ヨシ 12:7, 13
ヨシ 15:15

(イ) 申 7:2

(ウ) ヨシ 11:14

(エ) ヨシ 9:1, 2
裁 1:9

(オ) レビ 27:29
申 20:16
ヨシ 11:14

(カ) 申 7:2
申 9:5

(キ) 民 34:2, 4
申 9:23

(ク) 申 2:23

(コ) ヨシ 15:20, 51

(カ) ヨシ 11:16, 19

(ウ) 出 14:14
申 1:30

(シ) ヨシ 4:19

第11章

(ア) ヨシ 12:7, 19

(イ) ヨシ 12:7, 20

(ウ) ヨシ 17:11
裁 1:27

(エ) 民 13:29

(オ) 創 15:16

第2欄

(ア) 申 4:48

(イ) 申 7:1
申 20:17

(ウ) ヨシ 10:8

(エ) 申 17:16
格 21:31

(オ) ヨシ 21:44

(カ) 創 10:19
ヨシ 19:28, 31

(キ) ヨシ 13:1, 6

(ク) 申 20:16

(コ) ヨシ 11:6

(カ) ヨシ 12:7, 19

(ウ) レビ 27:29

(シ) 申 20:16
ヨシ 11:14

(ス) 申 9:5

(セ) 申 7:2, 16

人^{じん}、ミツパ^{みつ}のヘルモン^{へる}山^{さん}の麓^{ふもと}のヒビ
人^{じん}にも知^しらせを送^{おく}った。**4** 彼^{かれ}らは全
軍^{ぐん}を率^{ひき}いて出^でてきた。海^{うみ}辺^べの砂^{すな}のよ
うに大^{おお}勢^{せい}で、馬^{うま}と戦^{せん}車^{しゃ}も非^ひ常^{じょう}に多^{おほ}かっ
た。**5** これら^{すべ}の全て^おの王^{だん}は団^{けつ}結^つし、
イスラエル^{いすらい}と戦^{せん}うためにメロム^いの泉^{ずみ}に
来^きて陣^{じん}営^{えい}を敷^しいた。

6 エホバ^{えい}はヨシュア^{よし}に言^いった。「彼^{かれ}
ら^おのため^おに恐^{おそ}れてはいけ^いない。明日^{あす}の
今^{いま}ごろ、私^{わたし}は彼^{かれ}ら^{すべ}全^{すべ}てをイスラエル^いに
渡^{わた}し、殺^{ころ}させる。彼^{かれ}ら^うの馬^{うま}の膝^{ひざ}のけん
を切^きり、兵^{へい}車^{しゃ}を火^ひで焼^やかなければなら
ない」。**7** ヨシュア^{よし}は兵^{へい}士^し全^{ぜん}員^{いん}を率^{ひき}
いて、メロム^いの泉^{ずみ}の所^{ところ}で不^ふ意^い打^{うち}ちを掛^か
けた。**8** エホバ^{えい}は彼^{かれ}ら^おをイスラエル^い
の手^てに渡^{わた}し、イスラエル^{いすらい}は彼^{かれ}ら^うを打^{うち}
破^{やぶ}り、大^{だい}シドン^{だい}やミスレ^みフォ^ふト・マイム^{まい}や
東^{とう}方^{ほう}のミツベ^{みつ}の谷^{たに}まで追^{つい}撃^{げき}した。彼^{かれ}
ら^うを討^うち、一人^{ひとり}も生^いかしておか^いなかつた。

9 ヨシュア^{よし}は彼^{かれ}ら^おに、エホバ^{えい}が告^つげた
通^{とお}り^りにした。彼^{かれ}ら^うの馬^{うま}の膝^{ひざ}のけんを切^き
り、兵^{へい}車^{しゃ}を火^ひで焼^やいた。

10 さらに、ヨシュア^{よし}は引^ひき返^{かえ}してハ
ツォル^おを攻^{こう}略^{りやく}し、その王^{おう}を剣^{つるぎ}で討^うった。
ハツォル^おはこれら^{すべ}の王^{おう}国^{こく}全^{ぜん}ての中心^{しん}
だつたからである。**11** その全^{すべ}ての
人^{ひと}を剣^{つるぎ}で討^うち、滅^{ほろ}ぼし尽^{つく}くした。息^{いき}
をするものは一切^{いっさい}残^{のこ}さなかつた。そして
ハツォル^おを火^ひで焼^やいた。**12** ヨシュア^{よし}
はこれら^{すべ}の王^{おう}の全^{ぜん}ての町^{まち}を攻^{こう}略^{りやく}し、全
ての王^{おう}を剣^{つるぎ}で討^うち、エホバ^{えい}の奉^{ほう}仕^し者^{しや}
モーセ^もが命^{めい}じた通^{とお}り、滅^{ほろ}ぼし尽^{つく}くした。

11:2 *または、「アラバ」。

11:5 *直訳、「水」。

13 ただしイスラエル人は、丘にある町は焼かなかった。ヨシュアが焼いた

ハツォルは例外だった。14 イスラエル人は、それらの町からの戦利品と家畜は自分たちのものとして取った。しかし人間はことごとく剣で討ち、全滅させた。息をする人を誰も残さなかった。

15 エホバがご自分の奉仕者モーセに命じた通りに、モーセはヨシュアに命じ、ヨシュアはその通りにした。エホバがモーセに命じた全てのこのうち、やり残したことは一つもなかった。

16 ヨシュアは全土を征服した。山地、ネゲブ全体、ゴシェン全域、シェフェラ、アラバ、イスラエルの山地とそのシェフェラであり、17 セイルに面するハラク山から、ヘルモン山の麓にあるレバノンの谷のバアル・ガドまでである。ヨシュアはその全ての王を

攻略して打ち破り、殺した。18 ヨシュアかなりの期間をかけてこれらの全ての王と戦った。19 ギベオンに住むヒビ人以外にイスラエル人と平和な関係を結んだ町はなく、ほかは全て戦って征服した。20 彼らの心が頑固になるままにしてイスラエルと戦うようにさせたのは、エホバだった。彼らに憐れみを示さず、滅ぼし尽くすためだった。エホバがモーセに命じた通り、彼らは全滅すべきだった。

21 その時ヨシュアは、山地から、ヘブロン、デビル、アナブ、ユダとイスラエ

11:16 *用語集参照。*または、「麓の丘陵」。

第11章

(ア) ヨシ 8:2,27
(イ) 申 7:2
(ウ) 申 20:16
(エ) 申 3:28
(オ) 申 7:1
(カ) 申 31:7
(キ) 申 4:2,5
(ク) 民 13:17
(コ) 申 1:7
(ケ) ヨシ 10:40,41
(コ) ヨシ 12:7,8
(ク) 申 4:48
(コ) ヨシ 13:8,11
(コ) ヨシ 13:1,5
(ウ) ヨシ 9:7,15
(イ) 申 20:17
(ウ) 申 2:30
(エ) 出 34:12
(申) 申 7:2
(イ) 申 20:16

第2欄

(ア) 民 13:22
(イ) 申 1:28
(ウ) ヨシ 15:13,14
(イ) レビ 27:29
(ウ) ヨシ 11:12
(ウ) ヨシ 24:11
(イ) 裁 1:18
(ウ) サー 17:4
(イ) 代 26:1,6
(ウ) 出 23:28-30
(イ) 出 23:27
(イ) 申 11:23
(イ) 民 26:53,54
(ウ) ヨシ 14:1
(イ) ヨシ 14:15
(ウ) ヨシ 21:44
(ウ) ヨシ 23:1

第12章

(ウ) 申 2:24
(イ) 申 3:8
(イ) 申 4:47-49
(ウ) 民 21:23,24
(イ) 民 21:13
(イ) 申 3:12
(イ) ヨハ 6:1
(イ) 申 3:27
(イ) 民 21:33-35
(イ) 申 3:11
(イ) 申 29:7
(イ) ヨシ 13:13

ルの全ての山地から、アナク人を一掃した。彼らと彼らの町を滅ぼし尽くした。22 イスラエル人の土地にアナク人は残されなかった。ガザとガトとアシュドドにだけ残っていた。23 ヨシュアは、エホバがモーセに約束した通り、全土を制圧した。そしてそれをイスラエルに、相続していく土地として部族ごとにそれぞれの分に從って与えた。その土地は平穏で、戦争はなかった。

12 イスラエル人はヨルダン川の東側で、その地方の以下の王たちを打ち破り、アルノンの谷からヘルモン山まで、またアラバの東部全体で土地を取得した。2 1人はアモリ人のシホン王で、ヘシュボンに住み、アルノンの谷の真ん中から、その谷のへりにあるアロエルを含め、ギレアデの半分、アンモン人との境界であるヤボクの谷までを支配していた。3 また、アラバの東部をキネレト湖からベト・エシモトに向かってアラバの海すなわち塩の海まで、南はピスガの傾斜地の下まで支配していた。

4 もう1人はバシヤンのオグ王で、レファイム人の生き残りの1人であり、アシュタロテとエドレイに住み、5 ヘルモン山とサレカとバシヤン全体を支配していた。ゲシュル人やマアカト人との境界まで、ギレアデの半分、ヘシュ

11:21 *または、「アナキム」。12:1, 2 *または、「ワジ」。12:3 *ゲネサレ湖つまりガリラヤ湖のこと。*死海のこと。

ボンのシホン王の領土までである。

6 エホバに仕えたモーセとイスラエル人が彼らを打ち破った。その後、エホバに仕えたモーセは彼らの土地をルベン族とガド族、マナセ族の半分に所有地として与えた。

7 ヨシュアとイスラエル人は、ヨルダン川の西側、レバノンの谷のバアル・ガドからセイルに面するハラク山まで、その地方の以下の王たちを打ち破った。(その後ヨシュアは彼らの土地をイスラエルの各部落にそれぞれの分に従って所有地として与えた。)

8 山地とシェフェラとアラバと傾斜地と荒野とネゲブであり、ヘト人、アモリ人、カナン人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人の土地である。)

9 エリコ王、1人。ベテルのそばのアイ王、1人。

10 エルサレムの王、1人。ヘブロン王、1人。

11 ヤルムト王、1人。ラキシユ王、1人。

12 エグロンの王、1人。ゲゼルの王、1人。

13 デビルの王、1人。ゲデル王、1人。

14 ホルマ王、1人。アラド王、1人。

15 リブナ王、1人。アドラム王、1人。

16 マケダ王、1人。ベテル王、1人。

第12章

(例) 民 21:26

(例) 民 21:23, 24
民 21:33-35

(例) 民 32:33
申 3:12, 13

(例) ヨシ 1:4

(例) ヨシ 13:1, 5

(例) 申 2:12

(例) ヨシ 11:16, 17

(例) ヨシ 11:23

(例) ヨシ 10:40
ヨシ 11:16

(例) 創 15:16

(例) 出 3:8
出 23:23
申 7:1

(例) ヨシ 6:2

(例) ヨシ 8:29

(例) ヨシ 10:23, 26

(例) ヨシ 10:33

(例) ヨシ 10:38

(例) ヨシ 10:29

(例) ヨシ 10:28

(例) 裁 1:22

第2欄

(例) ヨシ 11:1, 10

(例) ヨシ 21:34

(例) ヨシ 11:1, 2

第13章

(例) ヨシ 23:1
ヨシ 24:29

(例) 出 23:29, 30

(例) サー 27:8

(例) 創 10:19

(例) 裁 3:1, 3
サー 6:4

(例) ヨシ 15:20, 46

(例) 裁 14:19

(例) サニ 21:19

(例) サー 5:10

(例) 申 2:23

(例) 裁 1:31

17 タプアハ王、1人。ヘフェルの王、1人。

18 アフェク王、1人。ラシャロンの王、1人。

19 マドンの王、1人。ハツォルの王、1人。

20 シムロン・メロンの王、1人。アクシャフ王、1人。

21 タアナク王、1人。メギド王、1人。

22 ケデシュ王、1人。カルメル王、1人。

23 ドルの傾斜地にあるドル王、1人。ギルガルのゴイムの王、1人。

24 ティルツァ王、1人。合計31人の王である。

13 ヨシュアは年を取って高齢になっていた。エホバは言った。「あなたは年を取って高齢になった。だが、取得すべき土地はまだ多く残っている。2 以下の土地が残っている。フィリスティア人とゲシュル人の全地域 3 (エジプトの東にあるナイル川の支流から北のエクロンの境界まで、そこはカナン人の領土と見なされていた)、フィリスティア人の領主5人、つまりガザ、アシュド、アシュケロン、ガト、エクロンの領土の土地を含む。アビム人の土地、4 南の方。カナン人の全土。シドン人のメアラ、お

13:1 *または、「征服」。13:3 *直訳、「前」。
#または、「シホル」。

バに面するアロエルまでのアンモン人の土地の半分を含んでいた。26 ヘシュボンからラマト・ミツペとベトニムまで、またマハナインからデビルの境界まで。27 谷には、ベト・ハラム、ベト・ニムラ、スコト、ツァフォンがあり、これらはヘシュボンのシホン王の領土の残りで、キネレト湖の下端からヨルダン川を境界としてその東側である。28 以上が、ガド族の氏族が相続していく土地で、町や集落もあった。

29 モーセは、マナセ族の半分の氏族が相続していく土地も与えた。

30 彼らの領地は、マハナインから広がり、バシヤン全体、すなわちバシヤンのオグ王の領土全体と、バシヤンにあるヤイルの天幕村 全て、60の町を含んでいた。31 ギレアデの半分と、バシヤンのオグ王が領有していた町アシュタロテとエドレイは、マナセの子マキルの子孫、マキルの子孫の半分の氏族に与えられた。

32 モーセは以上の土地を、エリコ^イの東、ヨルダン川の向こうのモアブの砂漠平原で、相続していく土地として彼らに与えた。

33 しかし、モーセはレビ族には土地を与えなかった。約束された通り、レビ族はイスラエルの神エホバへの特別な奉仕を担当した。

14 以下は、イスラエル人が相続していくものとしてカナン地

第13章

(7) サニ 11:1
(1) ヨシ 12:2
裁 11:13
(7) 民 21:26
(12) 創 32:2
ヨシ 21:8,38
(7) 民 32:34,36
(7) 創 33:17
(7) 民 21:26
(7) 民 34:2,11
申 3:16,17
ヨハ 6:1
(7) 申 3:13
(12) 代一 6:77,80
(7) 民 32:40,41
申 3:14
(7) 民 21:33
(7) 民 32:39
(7) 民 32:33
(7) 申 10:9
ヨシ 18:7
(7) 民 18:24
民 26:62,63
申 18:1

第2欄

第14章

(7) 民 34:17
ヨシ 19:51
(1) 民 34:13
(7) 民 26:55
民 33:54
格 16:33
使徒 13:19
(12) 民 32:29
(7) 申 10:9
ヨシ 13:14
(7) 創 48:19,20
(7) 創 48:5
代一 5:2
(7) 民 35:7
ヨシ 21:1,2
(7) 民 35:2,5
(12) ヨシ 4:19
ヨシ 10:43
(7) 民 32:11,12
(7) 民 13:26
(7) 民 12:7,8
(7) 申 1:35,36
(7) 民 13:2,6
(7) 民 13:30
民 14:6,7
(7) 民 14:24
民 32:11,12

方で得た土地についてである。祭司エレアザルとヌンの子ヨシュアとイスラエルの部族の家長たちがそれを与えた。2 9部族半のためにエホバがモーセを通して命じた通り、土地はくじによって配分された。3 モーセは他の2部族半にヨルダン川の向こう側で土地を与えており、レビ族には土地を与えなかった。4 ヨセフの子孫はマナセとエフライムの2つの部族と見なされた。レビ族には、住む町と家畜や所有物のための牧草地 以外は、土地は割り当てられなかった。5 イスラエル人は、エホバがモーセに命じた通りに土地を配分した。

6 ユダの人たちがギルガルでヨシュアの所に来て、ケナズ人エフネの子カレブがヨシュアに言った。「あなたは、エホバがカデシュ・バルネアであなたと私について、真の神に仕えた人モーセに話した事をよく知っています。

7 エホバに仕えたモーセによりカデシュ・バルネアから遣わされてこの土地を偵察した時、私は40歳でした。私は戻って率直な報告をしました。

8 一緒に行った兄弟たちは民の心をくじきましたが、私は自分の神エホバに心から従いました。9 モーセはその日に誓って言いました。『あなたが歩いた土地はずっとあなたとあなたの子たちの所有地となる。あなたが私

14:1 *または、「父方の家の頭」。14:3 *東側のこと。

13:27 *または、「谷あいの平原」。[#]ゲネサレ湖つまりガリラヤ湖のこと。

の神エホバに心から従ったからである。10 エホバは約束通り、私を生
き続けさせてくださいました。イス
ラエルが荒野を歩いていた時にエホ
バがモーセにその約束をしてから45
年たち、私は今85歳です。11 私は
今も、モーセに追わされた日と同じく
強健です。戦いでもほかのことで、
私の今の力はその時と変わりません。
12 ですから、エホバがその日に約束
してくださったこの山地を私に与えて
ください。その日にあなたも聞いたよ
うに、そこにはアナク人がいて、防備さ
れた大きな町がありますが、エホバは
きっと私と共にいてくださいます。エ
ホバの約束通り、私は彼らを追い払い
ます」。

13 ヨシュアはエフネの子カレブの
ために祝福を願い求め、ヘブロンを与
えた。14 こうしてヘブロンはケナズ
人エフネの子カレブの所有地となつて
今に至っている。カレブがイスラエル
の神エホバに心から従ったからであ
る。15 ヘブロン以前の名前はキ
ルヤト・アルバだった。(アルバはアナ
ク人の間で最も偉大な人だった。)そ
の土地は平穏で、戦争はなかった。

15 ユダ族の氏族のために割り
当てられた土地は、エドムと
の境界、チンの荒野まで、ネゲブの南
の端まで広がっていた。2 南の境

第14章

(ア) 申1:36
(イ) ヨシ21:45
(ロ) 民14:29,30
(ハ) 民14:33
(ニ) 民13:33
(ホ) 民13:22,28
(ヘ) 民14:8
ロマ8:31
(コ) ヨシ15:14
裁1:20
(ク) ヨシ10:36,37
ヨシ15:13
ヨシ21:11,12
代一6:55,56
(カ) 民14:24
申1:35,36
ヨシ14:8
(キ) 創23:2
(ク) レビ26:6
ヨシ11:23

第15章

(ク) 民26:55
(ケ) 創36:19

第2欄

(ア) 民34:2,3
(イ) 裁1:36
(ロ) 民34:4
(ハ) 民34:2,5
(ニ) 王一8:65
(ホ) 民34:12
(ヘ) ヨシ18:19,20
(コ) ヨシ18:21,22
(ク) ヨシ18:17,20
(カ) ヨシ7:26
(キ) ヨシ5:8,9
(ク) ヨシ18:17,20
(ク) 王一1:9
(ケ) ヨシ18:16,20
王二23:10
エレ7:31
(コ) 裁1:21
(ロ) ヨシ18:28
裁19:10
(イ) ヨシ18:15,20
(ロ) ヨシ9:16,17
サニ6:2
代一13:6
(イ) ヨシ21:8,16
(ロ) ヨシ19:43,48
裁14:1,2
代二28:18

かいせん しお うみ* せんたん(の)みなみがわ わん
界線は、塩の海の先端、南側の湾を
起点とし、3 アクラビムの上り坂の
南に進み、チンに続き、カデシュ・バル
ネアの南から、ヘツロンに、アッダルに
上り、カルカに回った。4 さらにアツ
モンに進み、エジプトの谷に出て、海
が終点だった。これがユダ族の南の
境界線である。

5 東の境界線は塩の海で、ヨルダ
ン川の河口までである。北の境界線
はその海の湾、ヨルダン川の河口を起
点とし、6 ベト・ホグラに上り、ベト・
アラバの北を越え、ルベンの子ボハン
の石の所に上った。7 そしてアコル
の谷でデビルに上り、北のギルガル
に向かった。それはアドミムの上り坂
に面していて、その坂は谷の南にあ
る。境界線はエン・シェメシュの泉に
続き、エン・ロゲルに達した。8 境
界線はヒンノムの子(の)谷、エプス人の
斜面つまりエルサレムの南側を進み、
ヒンノムの谷の西にある山の頂上に
上った。それはレファイムの谷の北の
端に位置する。9 境界線はその山
頂からネフトアアの泉まで引かれ、エ
フロン山にある町に出た。さらにバア
ラつまりキルヤト・エアリムまで引かれ
た。10 そしてバアラから回りながら
西に進んでセイル山に行き、エアリム
山の北斜面つまりケサロンに進み、ベ
ト・シェメシュに下り、ティムナに続い

15:2, 5 *死海のこと。15:4, 7 *または、「ワ
ジ」。15:4 *大海、地中海のこと。15:7, 8
*または、「谷あいの平原」。

15:1 *または、「くじによって与え」。

た。11 境界線はエクロンの北斜面⁽⁷⁾に出て、シケロンまで引かれ、バアラ山に進み、ヤブネエルに延びて、海が終点だった。

12 西の境界線は大海とその沿岸だった。以上が、ユダの子孫の氏族の土地を囲む境界である。

13 ヨシュアはエホバの指示で、エフネの子カレブにユダの子孫の間で土地を与えた。キルヤト・アルバ(アルバはアナクの父)、つまりヘブロンである。14 カレブはそこからアナクの子たち3人を追い払った。シェシャイとアヒマンとタルマイ、アナクの子孫である。15 そこからカレブはデビルの住民との戦いに出掛けた。(デビルの以前の名前はキルヤト・セフェルだった。)

16 カレブは言った。「キルヤト・セフェルを討って攻略した人に、私の娘アクサを妻として与えよう」。17 カレブの兄弟ケナズの子オテニエルがその町を攻略し、カレブは娘アクサを妻として与えた。18 アクサは夫の家に行く時に、父カレブに畑を求めよう夫を促した。そしてロバから下りると、カレブが言った。「何か欲しいか」。19 アクサは言った。「お祝いの贈り物を下さい。南の1つの土地を下さいましたが、グロト・マイムも下さい」。カレブは上グロトと下グロトを与えた。

15:12 *地中海のこと。15:18 *もしかすると、「ロバに乗ったまま手をたたく」。15:19 *または、「ネゲブ」。*意味、「水の盆地(くぼ地)」。

第15章

(7) サー 5:10
サー 7:14
王二 1:2

(7) 民 34:2,6
申 11:24

(7) 民 13:30
申 1:36

(2) 創 23:2
創 35:27
ヨシ 20:7
ヨシ 21:11,12

(7) 民 13:33
ヨシ 11:21

(7) 民 13:22
裁 1:10,20

(7) ヨシ 10:38,39

(7) 代一 4:13

(7) 裁 3:9-11

(7) 代一 2:49

(7) 裁 1:14,15

第2欄

(7) 民 34:2,3
申 2:5

(7) ヨシ 19:1,2

(7) 代 11:25,26

(2) 創 21:31
ヨシ 19:1-3

(7) 民 14:44,45
ヨシ 19:1,4
裁 1:17

(7) ヨシ 19:1,5
サー 27:5,6
代一 12:1

(7) ヨシ 19:1,7
ネヘ 11:25,29

(7) 裁 1:9

(7) ヨシ 19:40,41
裁 16:31

(7) サー 22:1

(7) サー 17:1

(7) サー 17:52

(7) 王二 18:14

(7) ヨシ 10:28

(7) ヨシ 10:29

王二 8:22

(7) ヨシ 19:1,7

20 以下はユダ族の氏族が相続していく土地である。

21 ユダ族の端、南のエドムとの境界の方の町は、カブツエエル、エデル、ヤグル、22 キナ、ディモナ、アドアダ、23 ケデシュ、ハツオル、イトナン、24 ジフ、テレム、ベアロト、25 ハツオル・ハダタ、ケリヨト・ヘツロンつまりハツオル、26 アマム、シェマ、モラダ、27 ハツアル・ガダ、ヘシュモン、ベト・ベレト、28 ハツアル・シュアル、ベエル・シェバ、ピズヨテヤ、29 バアラ、イイム、エツェム、30 エルトラド、ケシル、ホルマ、31 チクラグ、マドマナ、サヌサナ、32 レバオト、シルヒム、アイン、リモン。全部で29の町で、その周りに集落があった。

33 シェフェラには、エシュタオル、ツオルア、アシュナ、34 ザノアハ、エン・ガニム、タプアハ、エナム、35 ヤルムト、アドラム、ソコ、アゼカ、36 シャアライム、アディタイム、ゲデラ、ゲデロタイム。14の町とその周りの集落。

37 ツェナン、ハダシャ、ミグダル・ガド、38 ディルアン、ミツペ、ヨクテエル、39 ラキシユ、ボツカト、エグロン、40 カボン、ラフマム、キトリシュ、41 ゲデロト、ベト・ダゴン、ナアマ、マケダ。16の町とその周りの集落。

42 リブナ、エテル、アシャン、43 イフタハ、アシュナ、ネツィブ、44 ケイラ、

15:36 *もしかすると、「その羊の囲い」。

アクジブ、マレシャ。9つの町とその周
りの集落。

45 エクロンと周辺の町と周りの集
落。**46** エクロンから西に進んでア
シュドドの付近一帯とその周りの集落。

47 アシュドド、その周辺の町と周り
の集落。ガザ、その周辺の町と周りの
集落、エジプトの谷と大海と沿岸地域
まで。

48 山地には、シャミル、ヤティル、ソ
コ、**49** ダナ、キルヤト・サナつまりデ
ビル、**50** アナブ、エシュテモ、アニ
ム、**51** ゴシェン、ホロン、ギロ。11の
町とその周りの集落。

52 アラブ、ドマ、エシュアン、
53 ヤニム、ベト・タプアハ、アフエカ、
54 フムタ、キルヤト・アルバつまりヘ
ブロン、ツィオル。9つの町とその周り
の集落。

55 マオン、カルメル、ジフ、ユタ、
56 エズレル、ヨクデアム、ザノアハ、
57 カイン、ギベア、ティムナ。10の町
とその周りの集落。

58 ハルフル、ベト・ツル、ゲドル、
59 マアラト、ベト・アノト、エルテコン。
6つの町とその周りの集落。

60 キルヤト・バルつまりキルヤ
ト・エアリム、ラバ。2つの町とその周
りの集落。

61 荒野には、ベト・アラバ、ミディ

15:45 *または、「それに依存する」。**15:47**;
16:8 *または、「ワジ」。**15:47** #地中海の
こと。

第15章

(ア) サー 5:1
(イ) 創 10:19
(ロ) 民 34:2,5
(カ) ヨシ 21:8,14
(ク) 代一 6:57
(コ) ヨシ 11:16
(ケ) サニ 15:12
(ク) ヨシ 14:15
(コ) サー 23:25
サー 25:2,3
(コ) サー 23:14
(ヨ) 創 18:12
(シ) ヨシ 9:16,17
ヨシ 18:11,14
サー 7:1
(ス) ヨシ 18:21,22

第2欄

(ア) サー 23:29
(イ) 代一 11:4
(ロ) 創 10:15,16
(カ) 民 33:55
裁 1:8,21
裁 19:11
サニ 5:6

第16章

(ア) 創 49:22
申 33:13
(カ) 民 26:55
民 33:54
格 16:33
(イ) ヨシ 18:11,13
(ク) ヨシ 18:11,13
代一 7:24
(ロ) 代一 7:20,28
(コ) 創 48:5
(ヨ) 申 33:13-15
ヨシ 17:17,18
(シ) ヨシ 18:11,13
(ス) 代二 8:1,5
(セ) ヨシ 17:7
(フ) ヨシ 6:20,26
(ヘ) ヨシ 17:8
(ロ) 民 34:2,6

ン、セカカ、**62** ニブシャン、塩の町、
エン・ゲディ。6つの町とその周りの
集落。

63 ユダの人たちは、エルサレムに
住むエブス人を追い払えなかった。そ
れでエブス人は今もユダの人々と一
緒にエルサレムに住んでいる。

16 ヨセフの子孫にくじで当たっ
た土地の境界線は、エリコに
近いヨルダン川からエリコの東の泉
に進み、荒野を通してエリコからペテ
ルの山地に上った。**2** そしてルズの
そばのペテルを出て、アルキ人との
境界であるアタロトに続き、**3** 西に
下ってヤフレト人との境界へ、下ベト・
ホロンの境界まで進み、ゲゼルに行
き、海が終点だった。

4 ヨセフの子孫、マナセとエフライ
ムは土地を取得した。**5** エフライム
の子孫の氏族の境界線は次の通り
だった。相続していく土地の境界線
は、東のほうはアタロト・アッダルで、
上ベト・ホロンに進み、**6** 海に出
た。境界線は、北にあるミクメタか
ら東に回ってタアナト・シロとヤノアハ
に進んだ。**7** そしてヤノアハからア
タロトとナアラに下り、エリコに達して
ヨルダン川に出た。**8** 境界線はタ
プアハから西に進んでカナの谷に続
き、海が終点だった。これが、エフラ
イム族の氏族が相続していく土地であ
る。**9** エフライムの子孫は、マナセ

16:1 *または、「に割り当てられた」。

の土地の中に飛び地の町とその周りの集落を持っていた。

10 彼らはゲゼルに住むカナン人を追い払わなかった。カナン人が今もエフライムの中に住んでいて、強制労働に服している。

17 ヨセフの長男マナセの部族にくじが当たった。マナセの長男でギレアデの父であるマキルは戦士で、ギレアデとバシヤンを得た。**2** マナセの子孫の残りに、氏族ごとにくじが当たった。すなわちアビエゼルの子孫、ヘレクの子孫、アスリエルの子孫、シェケムの子孫、ヘフェルの子孫、シェミダの子孫である。これらが氏族ごとに挙げたヨセフの子マナセの子孫の男性である。**3** マナセの子マキルの子であるギレアデの子ヘフェルの子ツエロフハドには、息子がなく娘しかないなかった。娘たちの名前はマフラ、ノア、ホグラ、ミルカ、ティルツァだった。**4** 娘たちは祭司エレアザルとヌンの子ヨシュアと長たちの前に出てこう言った。「エホバが、兄弟たちと同じく私たちにも相続地を与えるようにとモーセに命じました」。エホバの指示通り、彼女たちに父の兄弟たちと同じく相続地が与えられた。

5 ヨルダン川の向こう側のギレアデとバシヤンの土地は別にして、マナセには10の土地が割り当てられた。**6** マナセ族の娘たちが息子たちと共に

17:5 * 東側のこと。

第16章

(ア) ヨシ 17:9

(イ) 裁 1:29

(ウ) 民 33:52,55

(エ) ヨシ 17:13

第17章

(ア) 申 21:17

(ウ) 創 41:51

創 46:20

創 48:17,18

(キ) 民 26:55

民 33:54

格 16:33

(ク) 創 50:23

民 26:29

代一 7:14

(ク) 申 3:13

ヨシ 13:31

(カ) 裁 6:11

(ウ) 民 26:29-32

(シ) 民 26:33

(ウ) 民 27:1,2

民 34:17

ヨシ 14:1

(ヒ) 民 27:7,11

(ハ) 民 36:6,12

(ウ) ヨシ 13:29

第2欄

(ア) ヨシ 20:7

ヨシ 24:1

代一 6:66,67

(イ) ヨシ 16:5,6

(ウ) ヨシ 16:8

(エ) ヨシ 16:9

(ウ) ヨシ 16:8

(ウ) 民 34:2,6

(ウ) 王二 9:27

(ク) ヨシ 12:7,23

(ウ) サ一 28:7

(カ) ヨシ 12:7,21

(ウ) 裁 1:27

(シ) ヨシ 16:10

裁 1:30

代二 8:8

(ウ) 出 23:33

民 33:55

申 20:16,17

ヨシ 23:12,13

裁 1:28

に土地を得たからである。ギレアデの土地は残りのマナセの子孫の所有地となった。

7 マナセの領地は、アシェルから、シェケムに面するミクメタトまでで、境界線は南へと続いてエン・タプアハの住民の土地に行った。**8** タプアハの土地はマナセのものとなったが、マナセの境界線にあるタプアハの町はエフライムの子孫のものだった。**9** 境界線はカナの谷に、谷の南に下った。マナセの町々の間にエフライムの町々があり、マナセの境界線は谷の北側で、海が終点だった。**10** 南側がエフライム、北側がマナセである。また海が境界だった。マナセは、北はアシェルに、東はイッサカルに接した。

11 マナセには、イッサカルとアシェルの領地の中で、ベト・シェアンと周辺の町、イブレアムと周辺の町、ドルの住民と周辺の町、エン・ドルの住民と周辺の町、タアナクの住民と周辺の町、メギドの住民と周辺の町が与えられた。高台3つである。

12 しかし、マナセの子孫はこれらの町を取得できず、カナン人がこの土地に居座った。**13** イスラエル人は強くなると、カナン人を強制労働に服させたが、完全には追い払わなかった。

14 ヨセフの子孫はヨシュアに言った。「どうして私たちに、1つのくじの

17:7 * 直訳、「右に」。17:9 * または、「ワジ」。

ぶん¹⁷分, 1つの割り当て地しか下さらない
 のでしょうか。エホバがこれまで祝福
 してくださったので、私たちは数が多
 くなっています」。15 ヨシュアは答え
 た。「数が多いなら、ペリジ人とレファ
 イム人の土地に行って、森を切り開き
 なさい。エフライムの山地が狭過ぎる
 のですから」。16 ヨセフの子孫は
 言った。「その山地は私たちにとって
 じゅうぶん十分ではありません。しかも、谷の土
 地に住むカナン人は皆、ベト・シェアン
 と周辺の町にいる者も、エズレルの谷
 にいる者も、車輪に鉄の刃が付いた
 戦車を持っています」。17 ヨシュア
 は、ヨセフの子孫、エフライムとマナセ
 にこう言った。「あなたは数が多く、大
 きな力があります。ただ1つのくじの分
 を受けるではありません。18 山
 地もあなたのものになります。そこは
 森ですが、切り開きなさい。そこがあな
 たの領地の端です。カナン人が強くて
 車輪に鉄の刃が付いた戦車を持って
 いても、追い払うのです」。

18 イスラエル人の民の全ての
 人はシロに集合し、そこで会
 見の天幕を組み立てた。今や土地を
 制圧していたからである。2 しかし、
 イスラエル人の中に、相続していく土
 地を自分たちの間で割り当てていな
 い部族が7つ残っていた。3 ヨシュ
 アはイスラエル人に言った。「父祖た

17:16 *または、「谷あいの平原」。17:16, 18
 #直訳、「鉄の戦車」。18:1 *用語集参照。

第17章

(7) 民 33:54
 (1) 創 48:19
 民 26:34, 37
 (2) 出 33:2
 (2) 創 15:18-20
 (2) ヨシ 24:33
 (2) ヨシ 17:11
 (4) ヨシ 19:17, 18
 裁 6:33
 (2) 申 20:1
 裁 1:19
 (2) ヨシ 17:14
 (2) 民 33:53
 ヨシ 20:7
 裁 4:5
 (2) 申 20:1
 申 31:6
 ヨシ 13:6
 格 21:31

第18章

(2) ヨシ 19:51
 ヨシ 22:9
 裁 21:19
 (2) サ一 1:3
 サ一 4:3
 詩 78:60
 エレ 7:12
 使徒 7:44, 45
 (2) 民 14:8
 申 7:22
 申 33:29

第2欄

(7) 民 33:53, 55
 (1) 民 34:13
 ヨシ 19:51
 (2) ヨシ 15:1
 (2) ヨシ 16:1, 4
 (2) 民 26:55
 民 33:54
 ヨシ 14:2
 格 16:33
 使徒 13:19
 (2) 民 18:20
 ヨシ 13:33
 (2) 申 10:9
 申 18:1
 (2) 申 3:12, 13
 (2) ヨシ 19:51
 裁 21:19

ちの神エホバが与えてくださった土地
 に入ってそれを取得することを、いつま
 で先延ばしにするのですか。4 各部
 族から、送り出せる人を3人出しな
 さい。その人たちは出ていって土地を行
 き巡り、自分たちが受ける土地につい
 て記録し、それから私の所に戻って
 べきです。5 そして、土地を7つの
 部族に配分しなければなりません。ユ
 ダは南で自分の領地にとどまり、ヨセ
 フの子孫は北で自分の領地にとどま
 ります。6 さあ、土地について記録して
 7つに分け、私の所に持ってきなさい。
 私はここで、私たちの神エホバの前で
 皆さんのためにくじを引きます。7 レ
 ビ族は皆さんの中で土地を受けること
 はありません。エホバの祭司職を割り
 当てられているからです。ガド族とル
 ベン族、マナセ族の半分は、ヨルダン
 川の東側です。土地を取得してい
 ます。エホバに仕えたモーセがそれ
 を与えました。

8 土地について記録する人たちは
 出掛ける準備をし、ヨシュアはこう
 命じた。「行って土地を巡り、記録し
 て戻ってきなさい。私はここシロで、
 エホバの前で皆さんのためにくじを
 引きます」。9 その人たちは出ていっ
 て土地を通り、記録して町々を7つに
 分け、1つの書にまとめた。その後、シ
 ロの宿営にいるヨシュアの所に戻っ
 た。10 ヨシュアは7部族のためにシ

18:4 *または、「地図を描き」。

口で、エホバの前でくじを引いた。ヨシュアはイスラエル人にそれぞれの分に従って土地を配分した。

11 1番目のくじはベニヤミン族の氏族のために出た。くじによる彼らの領地は、ユダとヨセフの間だった。

12 ベニヤミン族の北の境界線はヨルダン川を起点とし、エリコをたしやめんの上り、西方の山に上り、ベト・アベン^(イ)の荒野に出た。**13** 境界線はそこからルズに、ルズの南斜面に続いた。つまりベテルである。そして、下ベト・ホロン^(イ)の南の山にあるアタロト・アッダ^(イ)ルに下った。**14** そこから西側の境界線が引かれ、ベト・ホロンに面する山から南に回り、キルヤト・バアル、つまりユダの町キルヤト・エアリムに達した。これが西側である。

15 南の境界線はキルヤト・エアリム^(イ)の端から西に延び、またネフトアハの泉に出た。**16** そして、ヒンノムの子^(イ)の谷に面する山の麓に下った。それはレファイムの谷の北にある。境界線はヒンノムの谷、エブス人の斜面の南側を進み、エン・ロゲルに下った。

17 それから北に引かれてエン・シエメシュに延び、アドミムの上り坂に面するゲリロトに出て、ルベンの子^(イ)バハンの石の所に下った。**18** アラバに面する北斜面に続き、アラバに下った。**19** 境界線はベト・ホグラの北斜面に続き、塩の海の北側の湾、ヨルダン

18:16 *または、「谷あいの平原」。**18:19** *死海のこと。

第18章

(イ) 格 16:33
(イ) 民 33:54
使徒 13:19
(イ) ヨシ 15:1
(イ) ヨシ 16:1
(イ) ヨシ 2:1
ヨシ 16:1
(イ) ヨシ 7:2
(イ) 創 28:18,19
(イ) ヨシ 10:11
ヨシ 21:20,22
(イ) ヨシ 16:5
(イ) ヨシ 15:9
(イ) ヨシ 15:9,12
(イ) ヨシ 15:8,12
エレ 7:31
エレ 19:2
マタ 5:22
(イ) 申 2:11
(イ) ヨシ 15:63
(イ) ヨシ 15:7,12
王 1:9
(イ) ヨシ 15:7,12
(イ) ヨシ 15:6,12
(イ) 申 19:14
(イ) ヨシ 15:6,12
(イ) 民 34:12

第2欄

(イ) ヨシ 15:6,12
(イ) 創 12:8
王 12:28,29
(イ) ヨシ 21:8,17
(イ) ヨシ 9:16,17
王 3:4
(イ) サニ 21:14
(イ) ヨシ 15:8,12
代 11:4
代 2:3
(イ) サ 10:26

第19章

(イ) ヨシ 18:6
(イ) 創 46:10
(イ) 創 49:5,7
(イ) 創 21:31
創 26:32,33
ヨシ 15:21,28
(イ) ヨシ 15:21,26
代 4:28-31
(イ) ヨシ 15:21,28
(イ) ヨシ 15:20,29
(イ) ヨシ 15:21,30
(イ) ヨシ 15:21,31
サ 27:6
(イ) ヨシ 15:21,32
(イ) ヨシ 15:20,42
代 4:24,32
代 6:59,64

川の河口が終点だった。これが南の境界線である。**20** ヨルダン川が東の境界線となった。これが、ベニヤミンの子孫の氏族の土地を囲む境界である。

21 ベニヤミン族の氏族の町は、エリコ、ベト・ホグラ、エメク・ケジツ、**22** ベト・アラバ、ツェマライム、ベテル、**23** アビム、パラ、オフラ、**24** ケファル・アモニ、オフニ、ゲバ。12の町とその周りの集落。

25 ギベオン、ラマ、ベエロト、**26** ミツベ、ケフィラ、モツァ、**27** レケム、イルペエル、タルアラ、**28** ツェラ、ハ・エレフ、エブシつまりエルサレム、ギベア、キルヤト。14の町とその周りの集落。

これが、ベニヤミンの子孫の氏族が相続していく土地だった。

19 2番目のくじはシメオンのため、シメオン族の氏族のために出た。彼らの土地はユダの土地の中にあつた。**2** 彼らの土地は、ベエル・シェバおよびシェバ、モラダ、**3** ハツアル・シュアル、バラ、エツェム、**4** エルトラド、ベトル、ホルマ、**5** チクラグ、ベト・マルカボト、ハツアル・サ、**6** ベト・レバオト、シャルヘン。13の町とその周りの集落。**7** アイン、リモン、エテル、アシャン。4つの町とその周りの集落。**8** これらの町の周囲にある全ての集落、バアラト・ベエル、南のラマまでの集落。これが、シメオン

ぞく しぞく そうぞく とち
族の氏族が相続していく土地だった。

9 シメオンの子孫の土地は、ユダの割り当て地の中から与えられた。ユダが受けた分が彼らにとって広過ぎたからである。シメオンの子孫は彼らの土地の中に所有地を得た。

10 3番目のくじがゼブルンの子孫の氏族のために出た。彼らの土地の境界はサリドまでだった。11 境界線は西方に上ってマルアラに行き、ダベシトに、ヨクネアムに面する谷に達した。12 またサリドから東方へ、日の出の方向に向かってキスロ・タボルの境界に進み、ダベラトに出て、ヤフィアに上った。13 そこから東方に、日の出の方向に向かってガト・ヘフェルに、エト・カツインに進み、リモンに出て、ネアに行った。14 境界線はその北を回ってハナトンに行き、イフタハ・エルの谷に達した。15 それに、カタト、ナハラル、シムロン、イデアラ、ベツレヘム。12の町とその周りの集落。16 これが、ゼブルンの子孫の氏族が相続していく土地だった。町とその周りの集落である。

17 4番目のくじがイッサカルのため、イッサカルの子孫の氏族のために出た。18 彼らの境界線が向かうのは、エズレル、ケスロト、シュネム、19 ハファライム、シオーン、アナハラト、20 ラビト、キシオン、エベツ、21 レメト、エン・ガニム、エン・ハダ、

19:11 *または、「ワジ」。

第19章

(例) 裁 1:3
(例) ヨシ 18:6
(例) 創 49:13
(例) ヨシ 21:27, 28
(例) 王二 14:25
(例) ヨシ 12:7, 20
(例) 裁 12:8
(例) 民 26:27
(例) 民 33:54
(例) 創 49:14
(例) ヨシ 17:16
裁 6:33
王一 21:1
(例) サ一 28:4
王一 1:3
王二 4:8
(例) ヨシ 21:8, 29

第2欄

(例) 裁 4:6
(例) 民 26:25
(例) 民 26:55
ヨシ 18:6
(例) 創 49:20
(例) ヨシ 21:8, 31
(例) 王一 18:19
(例) 創 10:15
裁 1:31
(例) サ二 5:11
王一 5:1
(例) 裁 1:31
(例) ヨシ 21:8, 31
(例) 民 26:47
(例) 民 26:55
ヨシ 18:6
(例) 裁 4:11

ベト・パツェツ。22 境界線はタバル、シャハツマ、ベト・シメシュに達し、ヨルダン川が終点だった。16の町とその周りの集落。23 これが、イッサカルの氏族が相続していく土地であり、町とその周りの集落だった。

24 5番目のくじがアシェル族の氏族のために出た。25 彼らの境界線にあるのは、ヘルカト、ハリ、ペテン、アクシャフ、26 アラメレク、アムアド、ミシュアル。境界線は、西はカルメル、シホル・リブナトに達し、27 東に戻ってベト・ダゴンに行き、ゼブルンに接し、イフタハ・エルの谷の北に、ベト・エメク、ネイエルに達し、カブルの左に延び、28 エブロン、レホブ、ハモン、カナに、大シドンにまで進んだ。29 境界線は戻ってラマに、防備された町ティルスにまで進み、ホサに戻り、海に達した。その地方にあるのは、アクジブ、30 ウマ、アフエク、レホブ。22の町とその周りの集落。31 これが、アシェル族の氏族が相続していく土地だった。町とその周りの集落である。

32 6番目のくじがナフタリの子孫のため、ナフタリの子孫の氏族のために出た。33 彼らの境界線は、ヘレフから、ツァアナニムの大木からで、アダミ・ネケブ、ヤブネエル、ラクムに行き、ヨルダン川が終点だった。34 境界線は西に戻ってアズノ・タボルに進み、そこからフツコクに行った。南側でゼブルンに、西側でアシェルに、東

のヨルダン^{がわ}川の所でユダ^{せつ}に接した。

35 防備^{ぼうび}された町^{まち}はツイディム、ツェル、ハムマト、ラカト、キネレト、**36** アダマ、ラマ、ハツォル、**37** ケデシュ、エドレイ、エン・ハツォル、**38** イルオン、ミグダル・エル、ホレム、ベト・アナト、ベト・シェメシュ。19の町とその周りの集落^{しゅうらく}。 **39** これが、ナフタリ族^{ぞく}の氏族^{しぞく}が相続^{そうぞく}していく土地^{とち}であり、町^{まち}とその周り^{まわ}の集落^{しゅうらく}だった。

40 7番^{ばん}目のくじ^めがダン族^{ぞく}の氏族^{しぞく}のために出た。**41** 彼ら^{かれ}の土地^{とち}の境界^{きょうかい}線^{せん}にあるのは、ツォルア、エシュタオル、イル・シェメシュ、**42** シャアラビン、アヤロン、イトラ、**43** エロン、ティムナ、エクロン、**44** エルテケ、ギベトン、バアラト、**45** エフド、ベネ・ペラク、ガト・リモン、**46** メ・ヤルコン、ラコンで、境界線^{きょうかいせん}はヨッパの近く^{ちか}を通^{とお}った。**47** しかし、ダン^{だん}の領地^{りょうち}は彼ら^{かれ}にとって狭過ぎ^{せま}たので、上^あって行ってレシエムと戦^{たたか}い、その町^{まち}を攻略^{こうりやく}して剣^{つるぎ}で討^うった。そこを取得^{しゅとく}して住む^すようになり、父祖^{ふそ}ダンにちなんでレシエムをダン^{だん}という名前^{なまえ}に変^かえた。**48** これが、ダン族^{ぞく}の氏族^{しぞく}が相続^{そうぞく}していく土地^{とち}だった。町^{まち}とその周り^{まわ}の集落^{しゅうらく}である。

49 土地^{とち}をそれぞれの領地^{りょうち}に分^わけることが終^おわった。イスラエル人はヌンの子^こヨシュアに自分^{じぶん}たちの間^{あいだ}で土地^{とち}を与^{あた}えた。**50** 彼^{かれ}が求めた町^{まち}、エフライムの山地^{さんち}にあるティムナト・セラハ^しをエホバの指示^{しじ}で与^{あた}えた。ヨシュアは

第19章

(ア) ヨシ 21:32
(イ) ヨシ 11:10
裁 4:2
サ 12:9
(ウ) ヨシ 20:7
(エ) 裁 1:33
(オ) 民 26:50
(カ) ヨシ 18:6
(キ) 創 49:17
(ク) ヨシ 15:20, 33
裁 13:2
(コ) 裁 1:35
(コ) ヨシ 10:12
ヨシ 21:8, 24
(ケ) 裁 14:1
(コ) ヨシ 15:20, 45
(ク) ヨシ 21:8, 23
(ケ) ヨシ 21:8, 24
(コ) ヨナ 1:3
使徒 9:36
(イ) 民 26:54
民 33:54
(ウ) 裁 18:7
(ウ) 裁 18:29
(ウ) ヨシ 24:29, 30

第2欄

(ア) 裁 21:19
エ 7:12
(イ) ヨシ 18:1, 8
(ウ) 民 34:17
ヨシ 14:1

第20章

(ウ) 出 21:12, 13
民 35:14, 15
申 4:41
(ウ) 創 9:6
出 21:23
民 35:26, 27
(ウ) 申 19:3
(キ) 格 31:23
(ウ) 民 35:22-24
申 19:4-6
(ウ) 民 35:12, 24
(ウ) 民 35:25
(ウ) 民 35:28
(ウ) ヨシ 21:32

その町^{まち}を建て直^{なお}して住む^すようになった。
51 以上^{いじょう}が、祭司^{さいし}エレアザルとヌンの子^こヨシュアとイスラエルの部族^{ぶぞく}の家^か長^{ちやう}がシロで、エホバの前^{まえ}、会見^{かいけん}の天幕^{てんまく}の入り口^{いぐち}で、くじによって分配^{ぶんぱい}した土地^{とち}だった。こうして土地^{とち}の配分^{はいぶん}は終^おわった。

20 エホバはヨシュアに言^いった。
2 「イスラエル人^{じん}にこう告^つげなさい。『私がモーセを通して話^{はな}した避難^{ひなん}の町^{まち}を自分^{じぶん}たちのために選^{えら}びなさい。**3** 意図^{いど}せず^ににまたは誤^{あやま}って人を殺^{ころ}した者がそこに逃^にげるためである。そこは復讐^{ふくしゅう}者^{しや}からの避難^{ひなん}所^{じょ}となる。**4** その者は避難^{ひなん}の町^{まち}の1つに逃^にげ、町の門^{もん}の入り口^{いぐち}に立ち、そのの長^{ちやう}老^{ろう}たちに事情^{じじよう}を話^{はな}さなければならぬ。長^{ちやう}老^{ろう}たちはその者^{もの}を町^{まち}に受け入れ、場所^{ばしょ}を与^{あた}え、その者は彼ら^{かれ}と共に住^すむ。**5** 復讐^{ふくしゅう}者が追^おい掛^かけてきても、その者^{もの}を引き渡^{わた}してはならない。あやま * なか * ま * ころ * 誤^{あやま}って仲間^{ななか}を殺^{ころ}したのであって、以前^{いぜん}から憎^{にく}んでいたのではないからである。**6** その者は、民^{たみ}の前^{まえ}で裁^{さば}られるまでその町^{まち}に住^すみ、その時の大祭司^{だいさいし}の死^しまでそこにどとまらなければならない。その後^{のち}、以前^{いぜん}いた町^{まち}に戻^{もど}って自分^{じぶん}の家^{いえ}に入^{はい}ってよい』。

7 イスラエル人は、ナフタリの山地^{さんち}にあるガリラヤのケデシュ、エフライム

19:51 * または、「父方の家の頭」。 **20:3, 5** * または、「知らずに」。 **20:3** * または、「打った」。 * または、「流血に対する復讐者」。

の山地^{さんち}のシェケム^シ、ユダ^{さんち}の山地^{さんち}にある
 キルヤト・アルパ^イつまりヘブロン^{しん}を神
 聖^{せい}な所^{ところ}とした。8 ヨルダン^{せい}地方^{ところ}、エ
 リコ^{ひがし}の東^{ひがし}では、ルベン^{ぞく}族^{ぞく}から台地^{だいち}の荒
 野^やにあるベツェル^い、ガド^{ぞく}族^{ぞく}からギレア
 デ^いのラモト^い、マナセ^{ぞく}族^{ぞく}からバシヤ^いンの
 グラン^いを選んだ。

9 これらが、イスラエル^{じんすべ}人^{じんすべ}全てとそ
 の間^{あいだ}に住む外国人^{がいこくじん}居住者^{きゆうしや}のための町^{まち}
 として定められた。誰でも意図^{いど}せずに
 人^{ひと}を殺した者^{ころもの}がそこに逃げるため^に、そ
 の者^{もの}が民^{たみ}の前^{まえ}で裁^{さば}かれる前^{まえ}に復讐^{ふくしゆう}者^{しや}
 の手に掛^かかって死ぬ^しことのないため^で
 ある。

21 レビ^{ぞく}族^{ぞく}の家長^{かちょう}たちが、祭司^{さいし}エ
 レアザル^いとヌンの子^こヨシュア^い
 とイスラエル^ぶの部族^{ぶく}の家長^{かちょう}たち^{ところ}
 に来て、2 カナン^ち地方^{ほう}のシロ^いで話し
 た。「エホバは、住む町^すと家畜^{かちく}のため
 の牧草地^{ぼくそうち}が私^{わたし}たちに与えられるように
 とモーセ^とを通して命^{めい}じました」。3 イ
 スラエル^{じん}人はエホバ^しの指示^{しじ}通り^{どお}、自分^{じぶん}
 たちの土地^{どち}の中から以下^なの町^{まち}とその
 牧草地^{ぼくそうち}をレビ^{ぞく}族^{ぞく}に与えた。

4 コハト^し氏族^{しぞく}のためにくじ^{くじ}が出た。
 レビ^{ぞく}族^{ぞく}のうち祭司^{さいし}アロン^{しん}の子孫^{しそん}に、ユ
 ダ^{ぞく}族^{ぞく}、シメオン^{ぞく}族^{ぞく}、ベニヤミン^{ぞく}族^{ぞく}から、
 13の町^{まち}がくじによって与えられた。

5 残り^{のこ}のコハト^し氏族^{しぞく}のために、エフ
 ライム^{ぞく}族^{ぞく}、ダン^{ぞく}族^{ぞく}、マナセ^{ぞく}族^{ぞく}の半分^{はんぶん}か

20:7 *または、「取り分けた」。20:8 *または、
 「高原」。21:1 *または、「父方の家の頭」。
 21:4 *または、「割り当て」。

第20章

(イ) 創33:18
 ヨシ21:20,21
 (イ) ヨシ14:15
 ヨシ21:13
 (イ) ヨシ21:8,36
 代一6:77,78
 (イ) ヨシ21:8,38
 代一6:77,80
 (イ) 申4:41-43
 (イ) ヨシ21:27
 代一6:71
 (イ) 民35:11,15
 (イ) 民35:12,24
 申21:5

第21章

(イ) 民34:17
 (イ) ヨシ18:1
 (イ) レビ25:33,34
 民35:2-4
 ヨシ14:4
 (イ) 民35:8
 (イ) 創49:5,7
 (イ) 創46:11
 民3:27-31
 (イ) 代一6:54,55
 (イ) ヨシ19:1
 (イ) 代一6:60,64
 (イ) 代一6:66
 (イ) 代一6:61,70

第2欄

(イ) 出6:17
 民3:21,22
 (イ) 民32:33
 代一6:62
 (イ) 出6:19
 (イ) 代一6:63
 (イ) 民35:2,5
 (イ) 代一6:64,65
 (イ) 創23:2
 創35:27
 ヨシ15:13,14
 ヨシ20:7
 裁1:10
 (イ) サニ2:1
 サニ15:10
 代一6:54-56
 (イ) 裁1:20
 (イ) 民35:6,15
 (イ) ヨシ15:20,54
 (イ) ヨシ15:20,42
 (イ) ヨシ15:20,48
 (イ) ヨシ15:20,50
 (イ) ヨシ15:20,51
 (イ) ヨシ15:20,49
 代一6:57,58
 (イ) ヨシ19:1,7
 (イ) ヨシ15:20,55
 (イ) ヨシ9:3
 ヨシ18:21,25

ら、10の町^{まち}が割り^わ当て^あてられた。

6 ゲルシオン^し氏族^{しぞく}のために、イッサ
 カル^{ぞく}族^{ぞく}、アシェル^{ぞく}族^{ぞく}、ナフタリ^{ぞく}族^{ぞく}、バ
 シヤ^いンにいるマナセ^{ぞく}族^{ぞく}の半分^{はんぶん}から、13
 の町^{まち}が割り^わ当て^あてられた。

7 メラリ^し氏族^{しぞく}のために、ルベン^{ぞく}族^{ぞく}、
 ガド^{ぞく}族^{ぞく}、ゼブルン^{ぞく}族^{ぞく}から、12の町^{まち}が与
 えられた。

8 イスラエル^{じん}人は、エホバ^しがモー
 セ^とを通して命^{めい}じた通り^{どお}、これらの町^{まち}と
 その牧草地^{ぼくそうち}をくじによってレビ^{ぞく}族^{ぞく}に与
 えた。

9 ユダ^{ぞく}族^{ぞく}とシメオン^{ぞく}族^{ぞく}から、以下^いで
 名前^なを挙^あげる町^{まち}を与え、10 それは
 レビ^{ぞく}族^{ぞく}のコハト^し氏族^{しぞく}のうちアロン^しの子
 孫^{そん}に与えられた。最初^{さいし}のくじ^{くじ}が当た^あった
 からである。11 ユダ^ちの山地^{ちち}のキ
 ルヤト・アルバ^い(アルバはアナク^いの父)
 つまりヘブロン^いと周囲^{しゅうい}の牧草地^{ぼくそうち}が与
 えられた。12 ただし、その町^{まち}の野原^の
 と周^{まわ}りの集落^{しゅうらく}はエフネ^いの子カレブ^いに所
 有^{ゆう}地^ちとして与えられた。

13 祭司^{さいし}アロン^しの子孫^{しそん}に与えられた
 のは、人^{ひと}を殺した者^{ころもの}のための避難^{ひなん}の
 町^{まち}すなわちヘブロン^いとその牧草地^{ぼくそうち}、リ
 ブナ^いとその牧草地^{ぼくそうち}、14 ヤテイル^いとそ
 の牧草地^{ぼくそうち}、エシュテモア^いとその牧草地^{ぼくそうち}、
 15 ホロン^いとその牧草地^{ぼくそうち}、デビル^いとそ
 の牧草地^{ぼくそうち}、16 アイン^いとその牧草地^{ぼくそうち}、
 ユタ^いとその牧草地^{ぼくそうち}、ベト・シェメシュ^いと
 その牧草地^{ぼくそうち}。この2部族^{ふぞく}から9つの町^{まち}。

17 ベニヤミン^{ぞく}族^{ぞく}から、ギベオン^いとそ

21:5 *または、「くじによって与え」。

の牧草地, ギバとその牧草地, **18** ア
ナトテとその牧草地, アルモンとその
牧草地。4つの町。

19 祭司たち, アロンの子孫に与え
られた町は全部で13の町とその牧草
地だった。

20 レビ族のうち, 残りのコハト氏
族に, くじによってエフライム族から町
が与えられた。 **21** 人を殺した者の

ための避難の町すなわちエフライムの
山地にあるシェケムとその牧草地, ギ
ゼルとその牧草地, **22** キブツァイム
とその牧草地, ベト・ホロンとその牧草
地。4つの町。

23 ダン族から, エルテケとその牧
草地, ギバトンとその牧草地, **24** ア
ヤロンとその牧草地, ガト・リモンとそ
の牧草地。4つの町。

25 マナセ族の半分から, タアナク
とその牧草地, ガト・リモンとその牧草
地。2つの町。

26 残りのコハト氏族が得た町とそ
の牧草地は全部で10だった。

27 レビ族のゲルシオン氏族が得た
のは, マナセ族の半分から, 人を殺
した者のための避難の町すなわち
バシヤンのゴランとその牧草地, ペエ
シュテラとその牧草地。2つの町。

28 イッサカル族から, キションと
その牧草地, ダベラトとその牧草地,

29 ヤルムトとその牧草地, エン・ガニ
ムとその牧草地。4つの町。

第21章
(例) 代一6:57,60

(例) エレ1:1

(例) レビ25:33,34
民35:4

(例) 民35:11,15

(例) ヨシ20:7
王一12:1

(例) ヨシ16:10

(例) ヨシ16:1,3
ヨシ18:11,13

(例) ヨシ10:12
裁1:35
代二28:18

(例) ヨシ17:11

(例) ヨシ21:6

(例) 代一6:71

(例) 代一6:72,73

(例) ヨシ19:12,16

第2欄

(例) 代一6:74,75

(例) ヨシ19:25,31

(例) ヨシ19:28,31
裁1:31

(例) 民35:14,15

(例) ヨシ20:7

(例) ヨシ21:7

(例) 代一6:77

(例) ヨシ19:10,11

(例) 裁1:30

(例) 申4:41-43
ヨシ20:8

(例) 代一6:78,79

(例) 代一6:80,81

(例) ヨシ20:8,9
王一22:3

(例) 創32:2
サニ2:8

(例) 民21:26
民32:37

(例) 民32:1

(例) 民35:5,7

30 アシエル族から, ミシュアルと
その牧草地, アブドンとその牧草地,
31 ヘルカトとその牧草地, レホブと
その牧草地。4つの町。

32 ナフタリ族から, 人を殺した者
のための避難の町すなわちガリラヤ
のケデシュとその牧草地, ハモト・ドル
とその牧草地, カルタンとその牧草地。
3つの町。

33 ゲルシオン氏族の町は全部で13
の町とその牧草地だった。

34 メラリ氏族, レビ族の残りが得
たのは, ゼブルン族から, ヨクネア
ムとその牧草地, カルタとその牧草地,

35 ディムナとその牧草地, ナハラルと
その牧草地。4つの町。

36 ルベン族から, ベツェルとその
牧草地, ヤハツとその牧草地, **37** ケ
デモトとその牧草地, メファアトとその
牧草地。4つの町。

38 ガド族から, 人を殺した者のた
めの避難の町すなわちギレアデのラ
モトとその牧草地, マハナイルとその牧
草地, **39** ヘシュボンとその牧草地,
ヤゼルとその牧草地。全部で4つの町。

40 メラリ氏族, レビ族の残りに割り
当てられた町は全部で12の町だった。

41 イスラエル人の所有地の中に
あるレビ族の町は全部で48の町とそ
の牧草地だった。 **42** それぞれの町
の周囲に牧草地があった。これらの
全ての町がそうだった。

43 エホバは、父祖たちに与えたと誓った全ての土地をイスラエルに与え、彼らはそれ取得して住むようになった。**44** エホバはさらに、父祖たちに誓った通りに彼らが全ての場所で安心して住めるようにし、敵は誰一人、彼らに立ち向かえなかった。エホバは全ての敵を彼らの手に渡し、**45** エホバがイスラエル国民にした全ての良い約束のうち、果たされない約束は一つもなかった。全てその通りになった。

22 ヨシュアはルベン族とガド族、マナセ族の半分を呼んで、**2** こう言った。「皆さんは、エホバの奉仕者モーセが命じた全てのことを行いました。私が命じた全てのことに従いました。**3** 今日までずっと、皆さんは兄弟たちを見捨てず、エホバ神のおきてを守ってきました。**4** エホバ神は、約束通り皆さんの兄弟たちが安心して住めるようにしてくださいました。それで、自分たちの天幕に、エホバの奉仕者モーセがヨルダン川の向こう側で皆さんに与えた土地に戻りなさい。**5** ただ、エホバの奉仕者モーセが命じたおきてと律法をよく注意して守りなさい。皆さんの神エホバを愛し、神の道をひたすら歩み、おきてを守り、神にしっかり付き、心を尽くし自分の全てを尽くして仕えるのです。」

6 ヨシュアは彼らのために祝福を願

21:45 *または、「言葉」。 22:4 *東側のこと。

第21章

(7) 創 13:14, 15
創 15:18
創 26:3
創 28:4
(1) 出 23:30
(2) 出 33:14
申 12:10
ヨシ 1:13
ヨシ 11:23
ヨシ 22:4

(3) 申 28:7

(4) 申 7:24
申 31:3

(5) ヨシ 23:14
王一 8:56
ヘブ 6:18

第22章

(4) 民 32:20-22
申 3:18
(2) ヨシ 1:16
(2) ヨシ 11:18
(3) 民 32:25-27
(4) ヨシ 21:44
(3) 民 32:33
(2) 申 6:6
申 12:32
王二 21:8
(2) 申 6:5
申 11:1
マタ 22:37

(1) 申 10:12
(2) 申 13:4
ヨ一 5:3
(2) 申 4:4
申 10:20
ヨシ 23:8
(2) 申 4:29
申 11:13
マル 12:30, 33
(2) 申 6:13
ヨシ 24:15
ルカ 4:8

第2欄

(7) ヨシ 13:29, 30
(1) ヨシ 17:5
(2) 申 28:8
(2) 民 31:27
(2) 民 32:1
(2) 民 32:33
(4) 申 13:12-15
(2) ヨシ 18:1
ヨシ 19:51

い求めて送り出し、彼らは自分たちの天幕に向かった。**7** マナセ族の半分はモーセからバシャンで土地を与えられており、残りの半分は兄弟たちと一緒にヨシュアからヨルダン川の西側で土地を与えられた。さらに、ヨシュアは彼らを天幕へと送り出す際、彼らのために祝福を願い求め、**8** こう言った。「たくさんの富と非常に多くの家畜、銀、金、銅、鉄、大量の衣服を持って自分たちの天幕に帰りなさい。敵から奪った戦利品を兄弟たちと分けなさい。」

9 こうして、ルベン族とガド族、マナセ族の半分は他のイスラエル人のもとから、カナン地方のシロから出発した。ギレアデの土地へ、モーセを通して与えられたエホバの指示で住むようになった所有地へ戻るためだった。**10** ルベン族とガド族、マナセ族の半分は、カナン地方のヨルダン川付近に来た時、ヨルダン川のそばに祭壇を作った。目を引くような大きな祭壇だった。**11** その後、他のイスラエル人は、「ルベン族とガド族、マナセ族の半分が、カナン地方の境界、ヨルダン地方のイスラエル人の側に祭壇を作った」と伝え聞いた。**12** そのことを聞くと、イスラエル人の民全体は彼らを攻めようとしてシロに集合した。

13 イスラエル人は、ギレアデの土地にルベン族とガド族、マナセ族の半分が、祭司であるエiezアルの子

ピネハス^{(ア) つか}を遣わした。14 イスラエルの各部族^{かくぶぞく}の長^{ちやう}10人も一緒^{いっしょ}だった。それぞれがイスラエルの数千人^{すうせんにん}の間で家長^{かちやう}だった。15 その人たちはギレアデ^{とち}の土地^ちにいたルベン族^{ぞく}とガド族^{ぞく}、マナセ族^{ぞく}の半分^{はんぶん}の所^{ところ}に来て、こう言った。

16 「エホバの民全員^{たみぜんいん}はこう言っています。『イスラエルの神^{かみ}に対してしたこの不忠実^{ふちゆうじつ}な行い^{おこな}はどういうことですか。皆さんは今日^{けふ}、エホバに従う^{したが}のをやめ、自分たちで祭壇^{さいだん}を作ってエホバに反逆^{はんぎやく}しました。17 ペオルでの過ち^たでは足りないのですか。エホバの民に災厄^{さいやく}が降り掛かったとはいえ、私たちは今もその過ち^{おち}から清められていません。18 今日^{けふ}、皆さんはエホバに従う^{したが}のをやめようとしています。皆さんがエホバに反逆^{はんぎやく}するなら、神は明日^{あす}、イスラエルの民全体^{たみぜんたい}に対して憤り^{いきどお}ります。19 皆さんが所有^{しやうゆう}する地方^{ちほう}が汚れてい^{けが}るのであれば、エホバが所有^{しやうゆう}する地方^{ちほう}、エホバの幕屋^{まくや}がある所^{ところ}へ渡^{わた}ってきて、私たちの間に定住^{ていじゆう}してください。エホバに反逆^{はんぎやく}してはなりません。私たちの神^{かみ}エホバの祭壇^{さいだん}のほか^{ほか}に自分たちで祭壇^{さいだん}を作らないでください。19 わたしはんぎやくしや。私たちは反逆者^{はんぎやくしや}とならないためです。20 ゼラハの子アカン^{あかん}が、処分^{ふちゆうじつ}されるものに関して不忠実^{ふちゆうじつ}な行い^{おこな}をしたとき、イスラエルの民全員^{たみぜんいん}に対して憤^{いきどお}った時、

第22章

(ア) 出 6:25
民 25:11
裁 20:28

(イ) 民 1:16
申 1:13

(ウ) ヨシ 22:11,12

(四) 申 12:13,14

(五) 民 25:3,9
申 4:3

(六) ヨシ 7:1
代一 21:14

(七) 民 34:2
ヨシ 1:11

(八) ヨシ 18:1

(九) 申 12:13,14

(十) ヨシ 7:1

第2欄

(ア) ヨシ 7:11,15

(イ) ヨシ 7:5
ヨシ 7:24,25

(ウ) ヨシ 22:13,14

(四) 申 10:17

(五) 申 12:11,13

りが生じたではありませんでしたか。過ち^{あやまち}のせいで死^しんだのは彼^{かれ}だけではありませんでした。』。

21 ルベン族^{ぞく}とガド族^{ぞく}、マナセ族^{ぞく}の半分^{はんぶん}は、イスラエルの数千人^{すうせんにん}を率^{ひき}いる長^{ちやう}たちにこう答えた。22 「神の中の神^{かみなか}、エホバ！ 神の中の神^{かみなか}、エホバ！ その方は知^しっており、イスラエルも知^しるでしょう。もし私^{わたし}たちがエホバに反^{はん}逆^{ぎやく}し不忠実^{ふちゆうじつ}なら、今日^{けふ}私^{わたし}たちを容赦^{ようしや}

しないでください。23 もしエホバに従^{したが}うのをやめて、全焼^{ぜんしょう}の捧げ物^{さく}や穀物^{こくもつ}の捧げ物^{さく}や共食^{きやうしょく}の犠牲^{ぎせい}を捧^{ささ}げるために、自分たちで祭壇^{さいだん}を作^{つく}ったのであれば、エホバに処罰^{しよばつ}されます。24 でも、そうしたの^{しんばい}は心配^{しんぱい}だったからです。将来^{しやうらい}、皆さんの子^{みな}が私^{わたし}たちの子^こにこう言う^{いう}のではないかと思^{おも}ったのです。『皆さんはイスラエルの神^{かみ}エホバとど

んな関係^{かんけい}があるのですか。25 エホバはヨルダン川^{がわ}を、私^{わたし}たちと皆さんルベン族^{ぞく}やガド族^{ぞく}との境界^{きやうかい}としました。皆さんはエホバと何^{なん}の関わり^{かんが}もありません。』。そうして私^{わたし}たちの子^こがエホバを崇拜^{すうはい}できなくなるのではないかと思^{おも}いました。

26 それで言^いいました。『ぜひともこうどうおさいだんつくぜん行動^{こうどう}を起こし、祭壇^{さいだん}を作りましよう。全^{ぜん}焼^{しょう}の捧げ物^{さく}や犠牲^{ぎせい}のためではありません。27 それを皆さんと私^{わたし}たちと私^{わたし}たちの子孫^{しそん}との間の証^{あいだ}拠^{しやうこ}とし、私^{わたし}

22:14,21 *または、「氏族」。22:14 *または、「父方の家の頭」。22:20 *または、「滅ぼし尽くされる」。

22:22 *または、「神である者、神」。22:25 *直訳、「畏れることが」。22:27 *直訳、「後の世代」。

(六) 創 31:48
ヨシ 24:27

ちが全焼の捧げ物と犠牲と共食の犠
牲によってエホバへの奉仕を行うとい

うことを示すのです。将来、皆さんの
子が私たちの子に、「皆さんはエホバ
と何の関わりもありません」などと言

わないためです』。28 私たちは言
いました。『将来、もし私たちや私
たちの子孫がそう言われたら、こう言

いましょう。「父祖たちが作ったエホ
バの祭壇の複製を見てください。全
焼の捧げ物や犠牲のためのものでは

なく、皆さんと私たちとの間の証拠で
す』。29 私たちがエホバに反逆し、
幕屋の前にある私たちの神エホバの

祭壇以外に、全焼の捧げ物や穀物の
捧げ物や犠牲のための祭壇を作って、
今日エホバに従うのをやめることなど

考えられません』。
30 祭司ピネハスと、民の長たち、イ
スラエルの数千人を率いる長たちは、
ルベン、ガド、マナセの子孫が話した

ことばを聞いて、納得した。31 祭司
であるエレアザルの子ピネハスは、ル
ベン、ガド、マナセの子孫に言った。

「エホバが私たちの間におられること
が今日分かりました。皆さんはエホ
バに対して不忠実な行いをしていませ

ん。皆さんはイスラエル人をエホバか
ら救い出しました」。
32 祭司であるエレアザルの子ピネ
ハスと長たちは、ギレアデの土地にい

第22章

〔ヨシ 12:5,6

〔イ 申 12:14

〔イ 申 6:14

〔ヨシ 22:13,14

第2欄

第23章

〔イ 出 33:14

レビ 26:6

ヨシ 21:44

〔イ ヨシ 13:1

〔イ 申 31:28

〔ヨシ 申 16:18

〔イ 申 20:4

ヨシ 10:11-14

ヨシ 10:40,42

〔イ ヨシ 18:10

〔イ 申 13:2-6

〔イ 申 7:1

〔イ 出 23:30

出 33:2

申 11:23

〔イ 民 33:53

たルベン族やガド族の所からカナン
地方に戻り、他のイスラエル人に報告
した。33 イスラエル人は報告に納
得した。神を賛美し、ルベン族やガド
族を攻めて彼らが住む土地を荒廃さ
せることについてはもう話さなかった。

34 ルベン族やガド族はその祭壇
に名前を付けた。「それは、エホバが
真の神であるという私たちの間での証
拠である」からだった。

23 エホバがイスラエルを周囲
の全ての敵から守って安心

させてから多くの月日がたった。ヨ
シュアは年を取って高齢になってお

り、2 イスラエル全体、長老と長と
裁判人と役人たちを呼んで、こう言っ
た。「私は年を取り、高齢になりました。

3 皆さんは、エホバ神が皆さん
のためにこれらの全ての国民に行っ
た全てのことを見ました。エホバ神
が戦ってくださっていたのです。4 私

は、残っている国民の土地を部族の土
地としてくじによって割り当てました。

ヨルダン川から西の大海まで、滅ぼし
た全ての国民の土地もです。5 彼ら

を皆さんの前から押しのけていったの
は皆さんの神エホバです。神が彼らを
追い払ってくださり、皆さんはその土
地を取得しました。エホバ神が約束
した通りです。

22:34 *文脈からすると、祭壇は「証拠」という
名前を付けられたと思われる。23:4 *または、
「日が沈む方」。

てイサクにヤコブとエサウを^{あた}与えた。^(ア)
その後、エサウにセイル山を^{さん}所有地と^しして与えた。ヤコブとその子たちはエ^ごジプトに^{くだ}下った。^(イ) **5** 私はその後モー^こセとアロンを^{つか}遣わし、エジプトに^{さいやく}災厄^{くだ}を下し、それからあなたたちを^{ちち}連れ出^しした。**6** あなたたちの父たちをエジ^つプトから^だ連れ出^して、あなたたちが^{うみ}海^きまで来た時、エジプト人が^{せんしや}戦車^きと^{へい}騎兵^{こうかい}で^お紅海^おまで^か追^けい掛^けてきた。^(イ) **7** 皆^{おこな}はエホバに向^むかって^{さけ}叫^よびだした。それで^お私はあなたたちとエジプト人との^{あいだ}間に^{やみ}闇^おを^{うみ}置き、海を引き寄せてエジプト人^おを^お覆^おった。あなたたちは私がエジプト^{おこな}で^{じぶん}行^めったことを自分の目で見^めた。その^あ後^{おこな}あなたたちは^{ながねんこう}長年^や荒^く野^やで^お暮^あらした。^(イ)

8 私はあなたたちをヨルダン川^{わだし}の^{がわ}向^むこう側^{がわ}に住^すむアモリ人の^{おこな}土地^{おこな}に^む連^つれて^おい^おった。彼らはあなたたちと^た戦^{たたか}ったが、私は彼らをあなたたちの手^てに^{わた}渡^{わた}して彼らの^{かれ}土地^{かれ}を^と取^{しゅ}得^{とく}させ、彼らを^{おこな}あなたたちの^{まえ}前^{ぜんめつ}から^お全^{ぜん}滅^{めつ}させた。^(イ) **9** モ^おア^あブ^あの王^たで^あチッポルの^た子^たである^たバラク^たは^あ立^たち上^あがってイスラエルと^た戦^{たたか}った。そしてベオルの子^こバラムを^お呼^よんで、あ^おなたたちに^お災^{わざ}いがあるよう^お願^{ねが}い求^{もと}めようとした。^(イ) **10** しかし、私はバラムの^{こと}言^ごえを^お聞^きこうとしな^しか^しな^しか^しった。それで彼^{かれ}は^お繰^くり返^{かえ}しあなたたちへの^{しゅくふく}祝^{しゅく}福^{ふく}を^お願^{ねが}い、私はあなたたちを^お彼^{かれ}から^{すく}救^{きう}い^だした。^(イ)

11 あなたたちはヨルダン川^{がわ}を^{わた}渡^{わた}っ

第24章

(ア) 創 25:26
(イ) 創 36:8
申 2:5
(イ) 創 46:2,3
(イ) 出 3:10
(イ) 出 11:1
(イ) 出 12:37
(イ) 出 14:9
(イ) 出 14:10
(イ) 出 14:20,27
詩 106:11
(イ) 出 3:20
申 4:34
(イ) 民 14:34
(イ) 民 21:23
(イ) 民 21:23
(イ) 民 22:2,5
申 23:3,4
(イ) 民 22:12
(イ) 民 23:11,25
民 24:10
(イ) 民 31:7,49

第2欄

(イ) ヨシ 3:17
(イ) ヨシ 5:10
(イ) ヨシ 11:16
ヨシ 21:44
ヘブ 11:30
(イ) 出 23:28
ヨシ 2:9,10
(イ) 詩 44:3
(イ) ヨシ 11:14
(イ) 申 6:10,11
申 8:7,8
(イ) 創 17:1
申 10:12
申 18:13
サー 12:24
(イ) レビ 17:7
エゼ 23:8
(イ) ヨシ 24:2
(イ) 出 23:32
申 7:25
裁 6:10
裁 10:6
(イ) 申 30:19,20
王 一 18:21

てエリコに^き来^きた。エリコの^し指^し導^{どう}者^{しや}たち、^(イ)
アモリ人、^{じん}ペリジ人、^{じん}カナン人、^{じん}ヘト人、^{じん}
ギルガシ人、^{じん}ヒビ人、^{じん}エブス人はあな^たたちと^た戦^{たたか}ったが、私はあなたたちを^た勝^かたせた。^(イ) **12** 私は彼らに^た絶^{ぜつ}望^{ぼう}感^{かん}を^お抱^だかせ、彼らをあなたたちの^{まえ}前^{まえ}から^お追^おい^おひ^おつ^おた。アモリ人の^{ふたり}2人^{おう}の王^{おう}も^だだ^だつた。あなたの^{つるぎ}剣^{ゆみ}や^{ゆみ}弓^{ゆみ}によってではな^なか^なった。^(イ) **13** こうして私は^{わたし}土地^とや^{まち}町^{まち}を^あ与^よえ、あなたたちはそこに^す住^すむよう^すにな^なった。あなたたちは、その^{とち}土地^{とち}を^{じぶん}自^じ分^{ぶん}で^く苦^く勞^{ろう}して^え得^えたのでもその^{まち}町^{まち}を^{じぶん}自^じ分^{ぶん}で^た建^たてたのでもない。そして、自^{じぶん}分^{ぶん}で^た造^{つく}ったのではない^{えん}ブドウ園^{えん}と^おオリ^おー^おブ^お煙^{えん}の実^みを^た食^くべている。^(イ)

14 それで、エホバを^お畏^{おそ}れ、清^{きよ}い心^{こころ}で^お忠^{ちゅう}実^{じつ}に^お仕^しえなさい。川の向^むこうやエ^おジ^おプトで^お父^ふ祖^そたちが^{つか}仕^かま^かみ^かの^{のぞ}神^{しん}々^{しん}を除^{のぞ}き^お去^さり、エホバに^お仕^しえなさい。**15** もし^おエ^おホ^おバに^お仕^しえることが^よ良^よく^おないと思^{おも}え^おるなら、川の向^むこうで^お父^ふ祖^そたちが^{つか}仕^かま^かみ^かの^{のぞ}神^{しん}々^{しん}であ^あれ、今^{いま}住^すんで^おいる^お土地^{とち}の^あア^あモ^あリ^あ人の^{じん}神^{しん}々^{しん}であ^あれ、誰^{だれ}に^{つか}仕^しえるか^かを^お今^{いま}自^{じぶん}分^{ぶん}で^{えら}選^{せん}びなさい。しかし、私^{わたし}と^{わたし}私^{わたし}の^{いえ}家^かの^{もの}者^{もの}は^{つか}エ^えホ^えバに^お仕^しえ^すます。^(イ)

16 民は答^{こた}えた。「エホバを^す捨^すてて^お他^たの^{かみ}神^{しん}々^{しん}に^{つか}仕^しえることなど^{かんが}考^{かんが}えられ^れま^ません。**17** 私^{わたし}たちの^{かみ}神^{しん}エホバが、私^{わたし}たちと^{ちち}父^ふたちを^{どれい}奴^ぬ隷^{れい}とな^なって^といた土^と

24:11 *もしかすると、「地主」。**24:12** *もしかすると、「恐怖」。**24:14** *または、「非難せられるところがない方法で」、「忠誠を尽くして」。「または」、「真実をもって」。**24:14**, **15** ^ ユーフラテス川のこと。

24:8 *東側のこと。

地エジプトから連れ出し、私たちの
目の前で大きな奇跡を行い、歩いてき
た全ての道で、通ってきた全ての民の
間でずっと私たちを守ってくださいました。
18 エホバは、アモリ人をはじめ、この土地に住む全ての民を私たちの前から追ひ払ってくださいました。
ですから、私たちもエホバに仕えます。
私たちの神だからです」。

19 ヨシュアは民に言った。「皆さんはエホバに仕えることができません。この方は聖なる神、全くの専心^{しん}を要求する神なのです。皆さんの違反と罪を容赦しません。20 皆さんがエホバを捨てて外国の神々に仕えるなら、神は皆さんに良いことをした後でも、皆さんを退けて根絶やしにします」。

21 民はヨシュアに言った。「いいえ、私たちはエホバに仕えます！」
22 ヨシュアは民に言った。「皆さんはエホバに仕えることを自分で選びました。皆さん自身がそのことの証人です」。民は言った。「私たちは証人です」。

23 「では、皆さんの中にある外国の神々を除き去って、イスラエルの神エホバに心を向けなさい」。24 民はヨシュアに言った。「私たちの神エホバに仕え、その方の声に従います！」

25 ヨシュアはその日に民と契約を

24:17 *直訳、「しるし」。24:19 *または、「叛逆」。

第24章

〔イ〕申 6:12

〔イ〕出 19:4
申 32:12

〔例〕出 14:31
申 4:34
申 29:2

〔出〕出 23:23

〔例〕レビ 19:2
詩 99:5
イザ 6:3
ペー 1:15

〔例〕出 20:5
出 34:14
民 25:11
マタ 4:10

〔例〕出 23:20,21
民 14:35

〔例〕申 28:15,20
ヨシ 23:16
代二 15:2
イザ 63:10
エレ 17:13

〔例〕出 19:8

〔出〕申 26:17
ヨシ 24:15

第2欄

〔例〕申 31:26

〔イ〕創 31:45

〔例〕創 31:48

〔出〕裁 2:6

〔例〕裁 2:8,9

〔例〕ヨシ 19:49,50

〔例〕申 31:12,13
裁 2:7

〔例〕創 50:25
出 13:19
ヘブ 11:22

〔例〕創 33:18,19

〔例〕使徒 7:15,16

〔例〕ヨシ 20:7

〔例〕民 3:4
民 20:26

〔例〕出 6:25
裁 20:28

むす^{むす}結び、民のためにシェケム^{シェケム}で規定と決まりを設けた。26 ヨシュアはそれらの言葉^{ことば}を神の律法^{りつぽう}の書^{しょ}に記し、大きな石^{いし}を取って、エホバの聖なる所^{せい}のそばにある大木^{たいぼく}の下^{した}に立てた。

27 ヨシュアは続けて民の全てにこう言った。「見なさい、この石が私たちにとって証人^{しやうにん}となります。この石は、エホバが私たちに話した全てのことを聞いたからです。皆さんが自分の神を否定しないように、これが証人^{しやうにん}となります」。28 ヨシュアは民を各自の土地^ちに送り出した。

29 こうしたことの後、ヌンの子でエホバに仕えたヨシュアは110歳^{さい}で死んだ。30 ヨシュアは彼の領地^{りやうち}のティムナト・セラハ^{ティムナト・セラハ}に葬られた。それはエフライムの山地^{さんち}、ガアシュ山^{さん}の北にある。

31 イスラエルは、ヨシュアがいた間ずっと、またヨシュアの後^{あと}も、イスラエルのためのエホバの行い^{おこな}全てを知る長老^{ちやうろう}たちがいた間ずっと、エホバに続^{つづ}け続けた。

32 イスラエル人がエジプトから持^もってきたヨセフの骨^{ほね}は、シェケム^{シェケム}の父ハモルの子たちから100枚のお金^{かね}で得た土地^ちの一面^{いつぱく}に葬られた。そこはヨセフの子たちの土地^ちとなった。

33 アロンの子エレアザル^{えりやざる}も死に、ピネハスの丘^{おか}に葬られた。それはエフライムの山地^{さんち}にあり、エレアザルの子ピネハス^{ピネハス}に与えられたものだった。

裁き人の書

概要

- 1 ユダ族とシメオン族による征服 (1-20)
エブス人はエルサレムに住み続ける (21)
ヨセフの子孫はベテルを取得する (22-26)
カナン人は完全には追い払われない (27-36)
- 2 エホバの天使からの警告 (1-5)
ヨシュアの死 (6-10)
裁き人が立てられ、イスラエルを救う (11-23)
- 3 エホバはイスラエルを試す (1-6)
最初の裁き人オテニエル (7-11)
裁き人エフダが太ったエグロン王を殺す (12-30)
裁き人シャムガル (31)
- 4 カナンの王ヤビンがイスラエルを虐げる (1-3)
女預言者デボラと裁き人バラク (4-16)
ヤエルが軍隊の長シセラを殺す (17-24)
- 5 デボラとバラクの勝利の歌 (1-31)
星がシセラと戦う (20)
キシヨンの激流が襲い掛かる (21)
エホバを愛する人たちは太陽のよう (31)
- 6 ミディアンがイスラエルを虐げる (1-10)
天使が裁き人ギデオンを力づける (11-24)
ギデオンはバアルの祭壇を取り壊す (25-32)
神の聖なる力がギデオンに働く (33-35)
羊毛で試す (36-40)
- 7 ギデオンと300人 (1-8)
ギデオンの軍隊はミディアンを打ち破る (9-25)
「エホバの剣、ギデオンの剣!」 (20)
ミディアンの陣営は混乱する (21, 22)
- 8 エフライム族はギデオンに文句を言う (1-3)
ミディアンの王たちは追撃され、殺される (4-21)
ギデオンは王になることを拒む (22-27)
ギデオンの生涯 (28-35)
- 9 アビメレクがシェケムで王になる (1-6)
ヨタムの例え話 (7-21)
アビメレクのひどい支配 (22-33)
アビメレクはシェケムを攻撃する (34-49)
アビメレクは女性に傷を負わされ、死ぬ (50-57)
- 10 裁き人トラ、ヤイル (1-5)
イスラエルは反逆し、悔い改める (6-16)
アンモン人がイスラエルを脅かす (17, 18)
- 11 裁き人エフタは追い払われるが、後に指導者にされる (1-11)
エフタはアンモン人と論じ合う (12-28)
エフタの誓約と娘 (29-40)
娘は独身を保つ (38-40)
- 12 エフライム族との争い (1-7)
シボレトと言えるかどうか (6)
裁き人イブツァン、エロン、アブドン (8-15)
- 13 天使がマノアと妻の所を訪れる (1-23)
サムソンの誕生 (24, 25)
- 14 裁き人サムソンはフィリステア人の妻を求める (1-4)
サムソンはエホバの聖なる力によってライオンを殺す (5-9)
サムソンは結婚式で謎を掛ける (10-19)
サムソンの妻は別の男性に与えられる (20)
- 15 フィリステア人に対するサムソンの復讐 (1-20)
- 16 ガザでのサムソン (1-3)
サムソンとデリラ (4-22)
サムソンの復讐と死 (23-31)
- 17 ミカの偶像と祭司 (1-13)
- 18 ダン族は土地を探す (1-31)
ミカの偶像と祭司が奪われる (14-20)
ライシュは攻略され、ダンと改名される (27-29)
ダンでの偶像崇拜 (30, 31)
- 19 ギベアでのベニヤミン族の性犯罪 (1-30)
- 20 ベニヤミン族に対する戦い (1-48)
- 21 ベニヤミンは部族として存続する (1-25)

1 ヨシュアの死後、イスラエル人はエホバに尋ねた。「私たちのうち誰が最初に行きカナン人と戦えばよいでしょうか。」**2** エホバは答えた。「ユダ族が行く。さあ、私はその土地をユダ族に与える」。**3** ユダ族は兄弟であるシメオン族に言った。「私たちに割り当てられた領地に一緒に来て、カナン人と戦ってください。私たちも皆さんに割り当てられた領地に一緒にいきます」。シメオン族はユダ族と一緒にいった。

4 ユダ族が行くと、エホバがカナン人とペリジ人を彼らの手に渡し、かれらはベゼクで1万人を打ち破った。

5 ベゼクでアドニ・ベゼクを見つけて戦い、カナン人とペリジ人を打ち破った。**6** アドニ・ベゼクが逃げると、追撃して捕らえ、彼の両手両足の親指を切り取った。**7** アドニ・ベゼクは言った。「私に両手両足の親指を切り取られた70人の王が、私の食卓から落ちた食べ物を拾っていた。神は、私がした通りのことを私にしたのだ」。その後、アドニ・ベゼクはエルサレムに連れていかれ、そこで死んだ。

8 さらに、ユダの人たちはエルサレムと戦ってその都市を攻略した。剣で討ち、火を放った。**9** その後、山地やネゲブやシェフェラに住むカナン人と戦うために出掛けた。**10** ユダの人たちはヘブロンに住むカナン人と

第1章

[例] ヨシ 24:29

[イ] 民 27:18, 21
裁 20:18[例] 創 49:8
申 33:7
代 1:5-2[例] ヨシ 15:1
ヨシ 19:1, 9

[例] 申 9:3

[例] 創 10:6
申 20:17[例] 創 15:18-21
出 3:8
裁 3:5
王 9:20, 21

[例] ヨシ 15:8, 12

[例] ヨシ 15:63
裁 1:21[例] ヨシ 11:16
ヨシ 15:20, 33

第2欄

[例] ヨシ 11:21
ヨシ 15:13, 14

[イ] ヨシ 10:38

[例] ヨシ 15:15

[例] 民 13:3, 6
民 14:24
申 1:35, 36
ヨシ 14:13

[例] ヨシ 15:16-19

[例] 代 1:4-13

[例] 裁 3:9

[例] 出 3:1
出 4:18
出 18:1
民 10:29[例] 民 24:21
裁 4:11[例] 申 34:3
裁 3:13

[例] 民 21:1

[例] 民 10:29-32

[例] レビ 27:29
申 20:16

[例] ヨシ 19:1, 4

[例] 創 10:19
ヨシ 11:22

[例] 裁 14:19

戦いに向かい(ヘブロン)の以前の名前はキルヤト・アルバだった)、シェシャイとアヒマンとタルマイを討った。

11 ユダの人たちはそこからデビルの住民との戦いに向かった。(デビルの以前の名前はキルヤト・セフェルだった。)**12** カレブは言った。「キルヤト・セフェルを討って攻略した人に、私の娘アクサを妻として与えよう」。**13** カレブの弟ケナズの子オテニエルがその町を攻略し、カレブは娘アクサを妻として与えた。**14** アクサは夫の家に行く時に、父カレブに烟を求めるよう夫を促した。そしてロバから下りると、カレブが言った。「何か欲しいのか」。**15** アクサは言った。「お祝いの贈り物を下さい。南の1つの土地を下さいましたが、グロト・マイムも下さい」。カレブは上グロトと下グロトを与えた。

16 モーセのしゅうとだったケニ人の子孫が、ユダの人々と共にヤシの木の町からユダの荒野、アラドの南に来て、そこの人々と共に住むようになった。**17** ユダ族は兄弟であるシメオン族と共にさらに進軍し、ツェファトに住むカナン人をめけて、そこを滅ぼし尽くした。その町はホルマと名付けられた。**18** ユダ族は、ガザとその領地、アシュケロンとその領地、エク

1:14 *もしかすると、「ロバに乗ったまま手をたたく」。**1:15** *または、「ネゲブ」。「意味、「水の盆地(くぼ地)」。**1:17** *意味、「滅ぼし尽くすこと」。

1:2 *または、「与えた」。

ロンとその領地を攻略した。19 エホバが共にいて、ユダ族は山地を取
得した。しかし、平原の住民は追い
えなかった。住民は車輪に鉄の刃が
付いた戦車を持っていたからである。
20 カレブは、モーセの約束通りヘ
ブロンを与えられ、アナクの子たち
人をそこから追い払った。

21 しかし、ベニヤミン族はエルサ
レムに住むエブス人を追い払わな
かった。それでエブス人は今もベニヤ
ミン族と一緒にエルサレムに住んで
いる。

22 一方、ヨセフの子孫はベテル
を攻めに行った。エホバは彼らと共
にいた。23 ヨセフの子孫はベテル
（以前の名前はルズ）を偵察していた。

24 偵察者たちは町から出て、男
性を見掛け、こう言った。「どうか
町に入る道を教えてください。私たち
もあなたに親切にしますから」。25
男性は町に入る道を教え、彼らは
剣で討ったが、男性とその家族全
員は解放した。26 男性はヘト人の
土地に行って町を築き、ルズと名付
けた。それが今日まで町の名前であ
る。

27 マナセ族は、ベト・シェアンと
周辺の町、タアナクと周辺の町、ド
ルの住民と周辺の町、イブレアムの
住民と周辺の町、メギドの住民と
周辺の町、メギドの住民と周辺の町
は取得しなかった。カナナ人がこの
土地にずっと住み続けた。28 イスラ

1:19, 34 *または、「谷あいの平原」。1:19
“直訳、「鉄の戦車」。1:24 *または、「揺るぎ
ない愛を示し」。1:27 *または、「それに依存
する」。

第1章

(例) ヨシ 13:1-3
ヨシ 15:20, 45

(例) 申 20:1
ヨシ 17:16

(例) 民 14:24
ヨシ 14:9

(例) 民 13:22

(例) ヨシ 15:63
サニ 5:6

(例) ヨシ 14:4

(例) 創 49:22, 24
ヨシ 16:1
詩 44:3

(例) 創 35:6

(例) ヨシ 6:25
サニ 15:6

(例) ヨシ 21:8, 25
裁 5:19

(例) ヨシ 17:11, 12

第2欄

(例) 創 9:25
王一 9:20, 21

(例) 民 33:55
申 7:2
申 20:16
ヨシ 17:13

(例) ヨシ 16:10
王一 9:16

(例) ヨシ 19:15, 16

(例) 申 20:17
裁 2:2

(例) ヨシ 11:8
ヨシ 19:28, 31

(例) ヨシ 19:29, 31

(例) ヨシ 19:30, 31

(例) ヨシ 21:8, 31

(例) ヨシ 19:38, 39

(例) 申 7:2

(例) ヨシ 19:47
裁 18:1

(例) ヨシ 10:12

(例) ヨシ 19:42, 48

(例) 民 34:2, 4
ヨシ 15:3, 12

第2章

(例) 出 23:20, 23
ヨシ 5:13, 14

(例) ヨシ 5:8, 9

エルは強くなると、カナナ人を強制
労働に服させたが、完全には追い
払わなかった。

29 エフライム族もゲゼルに住む
カナナ人を追い払わなかった。カナ
ナ人がゲゼルで彼らの間に住み続
けた。

30 ゼブルン族はキトロンの住民と
ナハロルの住民を追い払わな
かった。カナナ人が彼らの間に
住み続け、強制労働に服した。

31 アシエル族は、アコの住民とシ
ンの住民と、アフラブ、アクジ
ブ、ヘルバ、アフイク、レホ
ブの住民を追い払わな
かった。32 アシエル族は、その
土地に住むカナナ人の間に
住み続けた。彼らを追い
払わなかったからである。

33 ナフタリ族は、ベト・シェメ
シュの住民とベト・アナトの
住民を追い払わず、その土地に
住むカナナ人の間に住み
続けた。ベト・シェメシュと
ベト・アナトの住民は強制
労働に服した。

34 アモリ人はダン族を山地に
押し込め、平原に下りてこ
させなかった。

35 そして、ヘレス山、アヤ
ロン、シャアルビムにずっと
住み続けていた。しかし、
ヨセフの子孫の力が強くな
ると、アモリ人は重労働を
強いられた。

36 アモリ人の領地は、ア
クラビムののぼり坂から、
セラから上方だった。

2 エホバの天使がギルガル
からボキムに上ってきてこ
う言った。「私はあなたたち
をエジプトから連れ出して、
父祖たちに誓った土地に
入る」。

せ、こう言いました。『私はあなたたちとの契約を決して破らない。2 あなたたちも、この土地の住民と契約を結んではならない。彼らの祭壇を打ち壊すべきである』。それなのに、あなたたちは私の声に従いませんでした。どうしてですか。3 それで私もこう言いました。『私は彼らをあなたたちの前から追い払わない。あなたたちにとって彼らは彼らとなり、彼らの神々は誘惑となる』。

4 エホバの天使がこの言葉をイスラエル人全員に話すと、民は声を上げて泣き始めた。5 そしてその場所をボキムと名づけ、そこでエホバに犠牲を捧げた。

6 ヨシュアが民を送り出すと、イスラエル人はそれぞれ自分の土地を取得しに行った。7 民は、ヨシュアがいた間ずっと、またヨシュアの後、イスラエルのためのエホバの偉大な行い全てを見た長老たちがいた間ずっと、エホバに仕え続けた。8 ヌンの子でエホバに仕えたヨシュアは110歳で死んだ。9 ヨシュアは彼の領地のティムナト・ヘレスに葬られた。それはエフライムの山地、ガアシュ山の北にある。10 その世代の人々は皆死んで先祖たちと共に横たわり、その後、エホバを知らず、イスラエルのためにその方が行ったことも知らない別の世代が出てきた。

2:5 *意味、「泣く者たち」。

第2章

(7) 創 12:7
創 26:3
(1) 創 17:1,7
レビ 26:42
(7) 出 23:32
申 7:2
コニ 6:14
(12) 出 34:13
民 33:52
(7) 裁 1:28
(7) 裁 2:20-23
(1) 民 33:55
ヨシ 23:12,13
(7) 出 23:33
申 7:16
王一 11:2
(7) ヨシ 24:28
(12) ヨシ 23:3
ヨシ 24:31
(7) ヨシ 24:29
(7) ヨシ 19:49,50
(12) ヨシ 24:30

第2編

(7) 裁 3:7
裁 10:6
王一 18:17,18
(1) 申 31:16
(7) 申 6:14
(12) 出 20:5
(7) 裁 3:7
裁 10:6
王一 11:5
(7) 裁 3:8
王二 17:20
詩 106:40,41
(1) 裁 4:2
(7) レビ 26:17,37
申 28:15,25
(7) 申 28:15
(12) 申 4:25,26
(7) 裁 10:9
(12) 裁 3:9
サー 12:11
ネヘ 9:27
詩 106:43

(12) 裁 2:7

(12) 裁 3:9

11 イスラエル人はエホバから見えて悪いことを行い、バアルに仕えた。

12 こうして父たちの神エホバ、エジプトから連れ出してくださった方を捨てた。ほかの神々、周囲の民の神々に従い、それらにひれ伏してエホバを怒らせた。13 エホバを捨てて、バアルやアシュトレテの像を崇拜した。

14 エホバはイスラエルに対して怒りに燃え、彼らを略奪者たちに渡して、略奪されるままにした。神がイスラエルを周囲の敵に引き渡したため、彼らはもう敵に対抗できなかった。

15 彼らがどこに行っても、エホバの手が彼らに及び、災難をもたらした。

エホバが言った通り、エホバが誓った通りであり、彼らは窮地に陥った。

16 エホバは裁き人たちを立て、その人たちがイスラエルを略奪者から救うのだった。

17 ところが、イスラエルは裁き人たちの言うことも聞かず、ほかの神々を崇拜するという不忠実なことをして、それらにひれ伏した。彼らは父祖たちが歩んだ道からすぐにそれた。父祖たちはエホバのおきてに従ったが、彼らはそうしなかった。18 エホバがイスラエルのために裁き人を立てると、エホバは裁き人と共にいて、裁き人がいる間ずっと、彼らを敵から救い出すのだった。エホバは、圧迫する人や虐

2:11 *または、「を崇拜した」。2:14 *直訳、「売った」。2:16 *用語集参照。2:17 *または、「神々と売春をして」。

ける人たちのために彼らがうめくのを
哀れに思ったからである。

19 しかし、裁き人が死ぬと、イスラエルは再び父たちよりさらに墮落してほかの神々に従い、仕え、ひれ伏すのだった。自分たちの行いと頑固な振舞いをやめなかった。**20** エホバはイスラエルに対して怒りに燃え、こう言った。「この国民は私が父祖たちに命じた契約を破り、私に従わなかったので、**21** 私は、ヨシュアの死後に残ったどの国民も、イスラエルの前から追い払わない。**22** イスラエルがエホバの道を歩んで父たちのようにその道を守るかどうか、試すためである。**23** こうしてエホバはそれらの国民が残るままにした。すぐに追い払わず、ヨシュアの手に渡さなかった。

3 カナンで戦いをしたことがないイスラエルの全ての人を試すために、エホバによって残るままにされた国民は、以下の通りである。**2** (これは、イスラエル人の後の世代、以前に戦いを経験したことがない人たちに、経験させるためだった。)**3** フィリスティア人の領主5人、全てのカナン人、シドン人、ヒビ人。ヒビ人はバアル・ヘルモン山からレボ・ハマトまでのレバノン山一帯に住んでいた。**4** イスラエルはこれらの国民によって、エホバがモーセを通して父たちに

2:18 *または、「悔やんだ」。**3:3** *または、「ハマトの入り口」。

第2章

(例) 裁 4:3
(例) 申 32:36
詩 106:45
(例) 裁 4:1
裁 8:33
(例) 申 7:4
裁 10:7
詩 106:40
(例) 出 24:3,8
出 34:27
申 29:1
ヨシ 23:16
(例) レビ 26:14,17
(例) ヨシ 13:1,2
(例) 民 33:55
申 8:2
ヨシ 23:12,13
裁 3:4

第3章

(例) 申 8:2
裁 2:10
(例) 裁 1:18,19
(例) ヨシ 13:1,4
裁 1:31
(例) ヨシ 9:1,2
(例) 民 34:2,8
ヨシ 13:1,5
(例) ヨシ 13:1,6

第2欄

(例) 出 23:33
裁 2:21,22
(例) 裁 1:29
詩 106:34
(例) 出 34:15,16
民 25:1,2
申 7:3,4
王一 11:1,4
(例) 申 31:16
裁 2:11
裁 10:6
(例) 出 34:13
申 12:3
申 16:21
(例) 申 4:30
裁 10:10,15
(例) 裁 2:16,18
裁 3:15
(例) 代一 4:13
(例) 民 11:16,17
裁 6:34
裁 11:29
裁 14:5,6
裁 15:14
サ一 11:6
サ一 16:13
代二 15:1
(例) 裁 2:19
(例) 創 19:36,37

あたと与えたおきてに従うかどうかを試され
た。**5** イスラエル人は、カナン人、ヘト人、アモリ人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人の間に住んだ。**6** そして、彼らの娘を妻として迎え、自分たちの娘を彼らの息子に与え、彼らの神々に仕え始めた。

7 イスラエル人はエホバから見て悪いことを行い、自分たちの神エホバを忘れて、バアルや聖木を崇拝するようになった。**8** エホバはイスラエルに対して怒りに燃え、彼らをメソポタミアの王クシャン・リシュアタイムに引き渡した。イスラエル人はクシャン・リシュアタイムに8年仕えた。**9** イスラエル人がエホバに助けを求めると、エホバはイスラエル人を救うために救出者を立てた。カレブの弟ケナズの子オテニエルである。**10** 彼はエホバの聖なる力を受け、イスラエルの裁き人となった。オテニエルが戦いに出ると、エホバはメソポタミアの王クシャン・リシュアタイムを彼の手に渡し、彼はクシャン・リシュアタイムに打ち勝った。**11** その後、この土地は40年間平穏だった。やがてケナズの子オテニエルは死んだ。

12 イスラエル人は再び、エホバから見て悪いことを行うようになった。エホバはモアブの王エグロンをイスラエルに対して優勢にならせた。イス

3:7, 10 *用語集参照。**3:8** *直訳、「アラム・ナハライム」。**直訳**、「売った」。**3:10** *直訳、「アラム」。

ラエルがエホバから見て悪いことを
 おこなったからである。13 エグロンは
 アンモン人とアマレク人も引き入れて
 イスラエルを共に攻め、ヤシの木の町
 を攻め落とした。14 イスラエル人
 はモアブの王エグロンに18年仕え
 た。15 イスラエル人がエホバに助
 けを求めたので、エホバは彼らの
 ために救出者を立てた。ゲラの子エ
 フドである。ベニヤミン族の人で、左
 ききだった。やがてイスラエル人は
 貢ぎ物をエフドに託してモアブの王
 エグロンに届けた。16 エフドは自
 分のために長さ40センチの両刃の剣
 を作り、服の下に右ももにくくり付け
 た。17 エフドはモアブの王エグロ
 ンに貢ぎ物を差し出した。エグロンは
 非常に太っていた。

18 エフドは貢ぎ物を差し出し終え
 ると、貢ぎ物を運んできた人たちを帰
 らせた。19 しかし、彼自身はギルガ
 ルの彫刻像の所まで来ると引き返し、
 こう言った。「王よ、内密にお伝えした
 いことがございます」。王は「ちょっと
 待て!」と言った。すると、そばにいた
 人は皆立ち去った。20 エフドは、涼
 い屋上の部屋に1人で座っている王
 に近づき、こう言った。「神からの言葉
 がございます」。王は王座から立ち上
 がった。21 その時、エフドは左手で
 右ももの剣を抜き、王の腹に突き刺し

3:19, 26 *もしかすると、「石切り場」。3:20
 *または、「席」。

第3章

(7) 創 19:36, 38
 裁 11:4, 5

(7) 出 17:8
 裁 6:3

(7) 申 34:3

(7) 申 28:48

(7) 詩 78:34

(7) 裁 3:9

(7) 裁 4:1

(7) 創 49:27

(7) 裁 20:15, 16

(7) ヨシ 4:19
 ヨシ 5:8, 9

第2欄

(7) 裁 3:19

(7) 裁 7:24

(7) 裁 6:34
 サー 13:3

(7) 申 28:7

(7) レビ 26:7, 8

た。22 刃も持ち手も入っていき、脂
 肪が刃にすっかりかぶさった。腹から
 剣を抜かなかったからである。そして
 汚物が出てきた。23 エフドは出入
 り口を通して外に出た。屋上の部屋
 の扉は閉め、鍵を掛けた。24 エフ
 ドが去った後、家来たちが戻ってき
 て、屋上の部屋の扉に鍵が掛かって
 いると分かり、こう言った。「涼しい奥
 の部屋で用を足しておられるのだろ
 う」。25 そしてずっと待っていたが、
 やがてそわそわし始めた。それでも主
 人が屋上の部屋の扉を開けないので、
 鍵を使って扉を開けると、主人が床に
 倒れて死んでいた。

26 エフドは、彼らがぐずぐずしてい
 る間に逃げ、彫刻像のそばを通過してセ
 イラに逃げ延びた。27 そこに着く
 と、エフライムの山地で角笛を鳴らし
 た。イスラエル人は彼に率いられて
 山地から下りていった。28 エフドは
 言った。「付いてきなさい。エホバは
 敵のモアブ人を皆さんの手に渡してく
 だしました」。イスラエル人は付い
 ていき、モアブ人が逃げられないよう
 にヨルダン川の渡り場を占拠し、誰に
 も渡らせなかった。29 その時、イス
 ラエル人はモアブ人の強い勇士、約1
 万人を討った。逃げられた人は一人
 もいなかった。30 その日、モアブ
 は制圧されてイスラエルの手に落ち

3:23 *もしかすると、「換気口」。3:24 *直訳、
 「足を覆って」。

た。この土地は80年間平穏だった。

31 エフドの後にアナトの子ヤムガルが現れ、牛を追う突き棒でフィリステア人600人を討った。彼もイスラエルを救った。

4 エフドが死んだ後、イスラエル人は再び、エホバから見て悪いことを行なった。2 エホバは彼らをカナンの王ヤビンに引き渡した。ヤビンはハツォルで治めていた。彼の軍隊の長はシセラで、ハロシエト・ハ・ゴイムに住んでいた。3 イスラエル人は助けを求めてエホバに叫んだ。ヤビンは車輪に鉄の刃が付いた戦車900両を持ち、イスラエル人を20年間ひどく虐げたからである。

4 その頃、ラビドの妻である女預言者デボラがイスラエルを裁いていた。5 彼女は、エフライムの山地、ラマとベテルの間にあるデボラのヤシの木の下に座っていた。イスラエル人は裁きを求めて彼女の所に上ってくるのだった。6 デボラはアビノアムの子バラクをケデシュ・ナフタリから呼び寄せ、こう言った。「イスラエルの神エホバは命じました。『さあ、タボル山に進軍しなさい。ナフタリとゼブルンから1万人を連れていくように。7 私は、ヤビンの軍隊の長シセラ、彼の戦車と部隊をあなたの所に、キシヨンの

4:2 *直訳、「売った」。「または、「異国の人々のハロシエト」。

4:3 *直訳、「彼」。

4:3, 13 *直訳、「鉄の戦車」。

4:6 *または、「展開」。

第3章

(例) 裁 3:11

(例) 裁 5:6

(例) 裁 15:3, 15
サー 17:47, 50

(例) ヨシ 13:1, 2

第4章

(例) 裁 2:19

(例) 裁 2:14

裁 3:8

裁 10:7

(例) 裁 4:16

(例) 裁 2:18

裁 3:9

詩 107:19

(例) ヨシ 17:16

裁 1:19

(例) 申 28:48

(例) 出 15:20

王二 22:14

ルカ 2:36

使徒 21:8, 9

(例) ヨシ 18:21, 25

(例) 創 28:17, 19

(例) ヘブ 11:32

(例) ヨシ 21:32

第2欄

(例) 王一 18:40

詩 83:9

(例) 申 20:1

(例) 裁 4:21, 22

裁 5:24, 26

(例) ヨシ 20:7, 9

ヨシ 21:32

(例) 裁 5:18

(例) 民 10:29

(例) 民 24:21

裁 1:16

サー 15:56

(例) 裁 4:6

(例) 裁 5:20, 21

かわ*川に連れてきて、あなたを勝たせる』。

8 バラクはデボラに言った。「あなたが一緒に行ってくださいなら、私もいきます。一緒に行ってくださいなら、行きません。9 デボラは言った。「私は必ず一緒に行きます。ただし、今回の戦いによってあなたがたえられることはありません。エホバはシセラを、ある女性の手に渡すからです」。デボラは立って、バラクと一緒にケデシュに行った。10 バラクはゼブルンとナフタリをケデシュに呼び、1万人が彼の後に従った。デボラも一緒だった。

11 ところで、ケニ人ヘベルは、モーセのしゅうとホバブの子孫であるケニ人たちから離れて、ツァアナニムの大木の近くに天幕を張っていた。それはケデシュにある。

12 アビノアムの子バラクがタボル山に登ったことがシセラに伝えられた。13 シセラは直ちに、全ての戦車、車輪に鉄の刃が付いた戦車900両と、自分と共にいる全ての部隊を集め、ハロシエト・ハ・ゴイムからキシヨンの川に向かった。14 デボラはバラクに言った。「立ち上がりなさい。今日は、エホバがあなたをシセラに勝たせる日です。エホバがあなたの前を進むではありませんか」。バラクは1万人を率いてタボル山を下った。15 エホバは、シセラと彼の戦

4:7, 13 *または、「ワジ」。

しや ぐんたいすべ つるぎ まえ こん
車と軍隊全てをバラクの剣の前で混
らん おどしい けい へいしや
乱に陥れた。ついにシセラは兵車か
ら降り、自分の足で逃げた。16 バラ
クは戦車と軍隊をハロシェト・ハ・ゴイ
ムまで追撃した。シセラの全軍は剣に
よって倒れ、一人も残らなかった。

17 しかしシセラは逃げて、ケニ人
へベルの妻ヤエルの天幕に行った。
ハツォルの王ヤビンとケニ人へベル
の家は友好関係にあったからである。

18 ヤエルは出てきてシセラを迎え、
こう言った。「お入りください。どうぞこ
ちらです。心配なさらないでください」。
シセラは天幕に入り、ヤエルは彼に
毛布を掛けた。19 シセラは言った。
「水を少しくれないか。喉が渴いた」。
ヤエルはミルクが入った革袋を開けて
飲ませ、その後、彼に毛布を掛け直し
た。20 シセラは言った。「天幕の入
り口に立ち、『ここに男がいるか』と誰
かに尋ねられたら、『いない』と言って
くれ」。

21 へベルの妻ヤエルは、天幕の
杭と木づちを手にとった。そして、疲
れてぐっすり眠っているシセラに忍び
足で近づき、杭を彼のこめかみに突き
刺して地面に打ち込んだ。こうしてシ
セラは死んだ。

22 バラクがシセラを追ってやって
来ると、ヤエルは迎えに出て、こう言っ
た。「おいでください。捜している人を
ご覧に入れましょう」。バラクが彼女と

第4章

(例) 出 14:24
ヨシ 10:10

(例) レビ 26:7

(例) 裁 4:11

(例) 裁 5:24

(例) 裁 4:1,2

(例) 裁 5:25

(例) 裁 4:9
裁 5:26,27

第2欄

(例) ヘブ 11:32,33

(例) 創 9:25

(例) 申 7:24

第5章

(例) 裁 4:4

(例) 裁 4:6
ヘブ 11:32

(例) 出 15:1
詩 18:表題

(例) 裁 4:10

(例) 出 20:2

(例) サニ 22:50
詩 7:17

(例) 申 33:2

(例) 申 4:11

(例) 出 20:2

(例) 出 19:18
ネへ 9:13

(例) 裁 3:31

(例) 裁 4:17

いっしょ へい
一緒に入ると、シセラはこめかみに杭
を刺されて死んでいった。

23 神はその日、カナンの王ヤビン
をイスラエル人の前に屈服させた。

24 イスラエル人はカナンの王ヤビン
を圧倒していき、やがてヤビンを殺
した。

5 その日、デボラはアビノアムの子
バラクと一緒にこの歌を歌った。

2 「髪を縛っていないイスラエルの
戦士のゆえに、
志願した民のゆえに、
エホバを賛美せよ。
3 王たち、聞け。支配者たち、耳を
傾けよ。

わたし エホバにむ 向かって 歌う。
イスラエルの神エホバを賛美し
て歌う。

4 エホバ、あなたがセイルから
出て、
エドムの領土から進み出られ
た時、
地面は揺れ、天は水を注ぎ、
雲が水を注ぎ出した。

5 山々はエホバの顔の前で溶け、
シナイもイスラエルの神エホバ
の顔の前で溶けた。

6 アナトの子シャムガルの日に、
ヤエルの日に、街道には人けが
なく、

5:3 *または、「のために音楽を奏でる」。5:5
*もしかすると、「揺れ」。

たびと うらみち とお
旅人たちは裏道を通った。

7 イスラエルに村人がいなく

なった。

かれ 彼らがいなくなり、ついに私、デ

ボラは立ち上がった。

イスラエルで母として立ち上

がった。

8 民は新しい神々を選んだ。

その時、町の門の中で戦いが

あった。

イスラエルの4万人の中には

盾も小やりも見えなかった。

9 私の心はイスラエルの司令官た

ちと共にある。

民と共に志願して行った人たちで

ある。

エホバを賛美せよ。

10 栗毛のロバに乗る者たち、

上等なじゅうたんに座る者たち、

道を歩く者たち、

考えよ！

11 水くみ場で水を配る者たちの声

が聞こえた。

そこで語っていたのは、エホバの

正しい行い、

イスラエルの村人たちの正しい

行い。

その時、エホバの民は町の門に

下っていった。

12 目を覚ませ、目を覚ませ、デ

ボラ。

第5章

(7) 裁 4:4

(7) 裁 4:5

(7) 申 32:16, 17
裁 2:12

(12) 裁 4:1-3

(7) 裁 4:6

(7) 裁 4:10

(7) 裁 4:4

第2欄

(7) 裁 5:1

(7) 裁 4:6

(7) 民 32:39

(12) 裁 4:6
ヘブ 11:32

(7) 裁 4:14

(7) 民 32:1

め さ め さ うた
目を覚ませ、目を覚ませ、歌を
歌え！

立ち上がれ、バラク。捕虜たちを

連れていけ、アビノアムの

子よ！

13 その時、残っていた人たちは高

貴な人たちのもとに来た。

エホバの民は私のもとに来て、

勇士たちを攻めた。

14 エフライム族から来た人たちが

谷にいた。

ベニヤミンよ、彼らはあなたの後

に従っている。あなたの兵士

たちと共にいる。

マキルから司令官たちが下り、

ゼブルンから徴兵のつえを持つ

人たちが下った。

15 イッサカルの高官たちはデボラと

共におり、

イッサカルと同じようにバラクも

共にいた。

バラクは谷あいの平原に向

かった。

ルベンの人たちの間では、激し

い心の葛藤があった。

16 なぜあなたは2つの荷物の間に

座り、

群れのための笛の音を聞いている

たのか。

5:14 *または、「谷あいの平原」。「もしかすると、「書記の装備を扱う」。

5:16 *荷役動物の荷物のこと。

ルベン^{ひと}の人たちには、激^{はげ}しい心^{こころ}
の葛藤^{かつどう}があった。

17 ギレアデはヨルダン川^{がわ む}の向こう
にとどまっていた⁽⁷⁾。

ダン^{ふね}はなぜ船^{ちか}の近く^{いり}にいたのか。
アシェル^{うみ}は海^べ辺^{なに}で何もせずに
座^{すわ}り、

みなと* 港⁽⁹⁾のそばにとどまっていた。

18 ゼブルン^{たみ}の民^{いのち}は命^かを懸^{*}けた。
ナフタリ⁽²⁾も、高^{たか}い所^{ところ}で。

19 王^{おう}たちが来^きて戦^{たたか}った。

その時^{とき}、カナン^{おう}の王^{おう}たちは
戦^{たたか}った。

メギド^{なが}の流れ^{なが}のそば⁽⁴⁾のタアナ
クで。

銀^{ぎん}の戦利品^{せんりひん}は得^えられなかった⁽⁹⁾。

20 星^{ほし}が天^{てん}から戦^{たたか}い、
その軌道^{きどう}からシセラ^{たか}と戦^{たたか}った。

21 キション^{げきりゅう*}の激流^{かれ}が彼^{なが}らを流^{なが}し
去^さった。

むかし げきりゅう* げき
昔^{むかし}からの激流^{げきりゅう*}、キション^{げき}の激
流^{りゅう*}が。

わたし きょうりよく もの ふ
私は強力^{きょうりよく}な者^{もの}たちを踏^ふみつ

けた。

22 その時^{とき}、雄馬^{おうま}はひづめ^ふを踏^なみ鳴^な
らし、
もうれつ いきお はし
猛烈^{もうれつ}な勢^{いきお}いで走^{はし}った。

23 『メロズ^{わざわ}は災^ういを受けよ』とエホ
バ^{てんし}の天使^いは言^いった。

5:17 *または、「波止場」。 5:18 *または、「死
に至るまで自分の命を軽んじた」。 5:21 *また
は、「川」。

第5章

(7) ヨシ 22:9

(7) ヨシ 19:46, 48

(7) ヨシ 19:24, 29

(2) 裁 4:6, 10

(2) 裁 4:14

(2) 裁 4:13

(4) 裁 1:27

(7) 裁 4:16

(7) 裁 4:7, 13
詩 83:9(2) 詩 20:7
格 21:31

第2欄

(7) 裁 4:11

(7) 裁 4:17

(7) 裁 4:19

(2) 裁 4:21, 22

(2) 裁 4:15, 16

『そうだ、その住民^{じゅうみん}は災^{わざわ}いを受^う
けよ。

エホバ^{たす}を助^こけに来^こなかつたか
らだ。

エホバ^{たたか}の戦^{ゆうし}いに勇^{とし}士^{とし}たちと共に
加勢^{かせい}しなかつた』。

24 ケニ人^{じん}へベル⁽⁷⁾の妻^{つま}ヤエル⁽⁷⁾は女性⁽⁷⁾
のうち最^もも祝福^{しゅくふく}された人^{ひと}。

天幕^{てんまく}に住^すむ女性^{じょせい}のうち最^もも 祝福^{しゅくふく}
された人^{ひと}。

25 シセラ^{みず}は水^{もと}を求^{もと}め、彼女^{かのじょ}はミル
ク^{あた}を与^{あた}えた。

みごと おおぼち ぎょうにゆう* さ だ (9)
見事^{みごと}な大鉢^{おおぼち}で凝乳^{ぎょうにゆう*}を差^さし出^だした。

26 彼女^{かのじょ}は手^てを天幕^{てんまく}の杭^{くい}に、
みぎて しょくにんよう き の
右手^{みぎて}を職人用^{しょくにんよう}の木^きづちに伸^のば
した。

シセラ^うを打^{あた}ち、頭^{あたま}を砕^{くだ}いた。
こめかみ^うを打^うちたたき、刺^さし通^{とお}
した。

27 彼^{かれ}は彼女^{かのじょ}の足^{あし}の間^{あいだ}に崩^{くず}れ落^おち、
たお うご
倒^{たお}れて動^{うご}かなかつた。

かのじょ あし あいだ くず お たお
彼女^{かのじょ}の足^{あし}の間^{あいだ}に崩^{くず}れ落^おち、倒^{たお}
れた。

くず お ところ
崩^{くず}れ落^おちた所^{ところ}、そこ^いで息^{いき}絶^たえた。

28 女性^{じょせい}が窓^{まど}から外^{そと}を見^みた。

シセラ^はの母^{はは}が格子^{こうし}越^ごしに見^みつ
めた。

『どうして息^{むすこ}子の兵車^{へいしや}はまだ戻^{もど}
ないのか。

どうして馬^{うま}のひづめ^{おと}の音^{おと}がまだ
聞^きこえてこないのか⁽⁹⁾』。

5:25 *または、「クリーム」。

29 貴婦人のうち特に賢い人たちが
答える。

彼女も自分に言い聞かせる。

30 『手に入れた戦利品を分配して
いるに違いない。

娘を1人、2人、戦士全員に。

戦利品の染め物をシセラに、戦
利品の染め物を。

刺しゅうが施された服、染め物を
1枚、2枚、

略奪をした者たちの首に』。

31 エホバ、このように、あなたの敵
は皆滅びますように。

あなたを愛する人たちは、輝き
昇る太陽のようになりますよ
うに』。

この土地は40年間平穏だった。

6 イスラエル人は再び、エホバか
ら見て悪いことを行った。それで
エホバは彼らを7年間ミディアンの
手に渡した。2 ミディアンはイスラ
エルを支配した。それでイスラエル人
は、山の中や洞窟や簡単には行けな
い所に隠れ場を作った。3 イスラエ
ルが種をまくと、ミディアンとアマレク
と東方の人々が攻めてくるのだった。

4 彼らはイスラエルに対して陣営を
敷き、遠くガザまで土地の産物を損な
い、イスラエルが食べる物や、羊や牛
やロバを全く残さなかった。5 彼ら

5:30 *直訳、「胎」。6:2 *もしかすると、「地下
の貯蔵所」。

第5章

(ア) 詩 83:9

(イ) 裁 3:10,11
裁 3:30

第6章

(イ) 裁 2:19

(エ) 申 28:15,48
裁 2:14
ネヘ 9:28

(イ) 民 33:55

(イ) サー 13:5,6

(イ) 裁 3:13

(イ) 裁 8:10

(イ) 申 28:15,33
申 28:31,48

第2欄

(イ) 裁 8:10

(イ) 裁 7:12

(イ) 申 4:30

(エ) 裁 2:18
詩 107:19

(イ) 出 20:2
レビ 26:13
裁 2:1

(イ) ヨシ 10:42
ネヘ 9:24

(イ) 申 6:4

(イ) ヨシ 24:15

(イ) 申 28:15
裁 2:2
エレ 3:13

(イ) 裁 2:1

(イ) ヨシ 17:2
裁 6:24
裁 8:32

(イ) 創 49:22,24
ヘブ 11:32

(エ) 裁 2:18

は家畜を連れ、天幕も持ってきた。
バッタのように数が多く、彼らも彼らの
ラクダも数えられなかった。彼らはそ
の土地に入ってきて、そこを荒らした。

6 イスラエルはミディアンのためにひ
どく衰退した。イスラエル人はエホバ
に助けを求めた。

7 イスラエル人がミディアンからの
救出をエホバに求めると、8 エホバ
はイスラエル人に1人の預言者を遣
わし、その人はこう言った。「イスラ
エルの神エホバはこう言っています。
『私はあなたたちを、奴隷となっていた
土地エジプトから連れてきた。9 あ
なたたちをエジプトから、また虐げる
全ての人から救い出し、彼らを追い
払って、彼らの土地をあなたたちに与
えた。10 私は言った。『私はあなた
たちの神エホバである。あなたたちは
アモリ人の土地に住んでいるが、彼ら
の神々を畏れてはならない』。しかし、
あなたたちは私に従わなかった』。

11 その後、エホバの天使が来て、
オフラの大木の下に座った。それはア
ビ・エゼルの子孫ヨアシュのものだっ
た。ヨアシュの子ギデオンは、ミディ
アン人に見つからないようにブドウ搾り
場の中で小麦を打って脱穀していた。

12 エホバの天使が現れてこう言っ
た。「勇士よ、エホバはあなたと共に
います。13 ギデオンは言った。「失
礼ですが、もしエホバが私たちと共に

いるなら、どうしてこのようなことが私たちに起きているのでしょうか。父たちが『エホバは私たちをエジプトから連れ出してくださいではないか』と言って話してくれた全ての驚くべき行いは、今どこにあるでしょうか。エホバは私たちを見捨て、ミディアンの手に渡しました」。14 エホバはギデオンの方を向いてこう言った。「出掛けていき、あなたの力を用いてイスラエルをミディアンから救いなさい。私があるあなたを遣わすではありませんか」。15 ギデオンは答えた。「失礼ですが、エホバ、私はどうやってイスラエルを救うのでしょうか。私の氏族はマナセの中で一番小さく、私は父の家の中で最も取るに足りない者です」。16 しかしエホバは言った。「私があなたととも共にいるので、あなたは1人の人を討つかのようにミディアンを討ちます」。

17 ギデオンは言った。「もし今私があなたの好意を得ているのでしたら、私と話しているのがあなただというしるしを見せてください。18 私が捧げ物を持って戻り、あなたの前に置くまで、どうかここにいてください」。天使は言った。「あなたが戻ってくるまでここにいます」。19 ギデオンは行って、子やぎを1匹用意し、麦粉22リットルで無酵母パンを作った。肉は籠に、煮汁は鍋に入れて持っていく、大木の下にいる天使に出した。

第6章

(7) 裁 6:2

(1) 出 13:14

(2) 申 4:9

詩 44:1

(3) 申 31:17

代 2:15-2

(4) 裁 8:22

ヘブ 11:32

(5) 申 20:3,4

裁 2:18

(6) 創 18:3,5

裁 13:15

(7) 創 18:6,7

創 19:1,3

第2欄

(1) レビ 9:24

裁 13:19,20

王 18:38

代 21:26

代 2:7-1

(1) 裁 13:8,9

ヘブ 13:2

(2) 創 16:7,13

創 32:24,30

裁 13:21,22

ルカ 1:11,12

(3) ダニ 10:19

(4) 創 22:14

出 17:15

(5) 出 23:24

申 12:3

20 真の神の天使は言った。「肉と無酵母パンをその大岩の上に置き、煮汁を注ぎなさい」。ギデオンはその通りにした。21 エホバの天使は、持っていたつえの先を肉と無酵母パンに当てた。すると、その岩から火が上がって肉と無酵母パンを焼き尽くし、エホバの天使は目の前から消えた。22 ギデオンは、それがエホバの天使だったことを悟った。

直ちにギデオンは言った。「ああ、主権者である主エホバ、私はエホバの天使を面と向かって見てしまいました」。23 しかしエホバは言った。「安心しなさい。恐れなくてよい。あなたは死ぬことはない」。24 ギデオンはそこにエホバのための祭壇を作った。それは今日までエホバ・シャロムと呼ばれており、アビ・エゼルの子孫の町オフラにある。

25 その夜、エホバはギデオンに言った。「あなたの父の若い雄牛、7歳になる第2の若い雄牛を取りなさい。そして、あなたの父のものであるバアルの祭壇を取り壊し、そばにある聖木を切り倒すように。26 この安全な場所の一番高い所に石を並べてあなたの神エホバのための祭壇を作ってください。27 ギデオンは召し使いを10人連れていき、エホバから告げら

6:24 *意味、「エホバは平和」。

れた通りにした。しかし、父の家の人
たちや町の人たちを恐れて日中には
行わず、夜中に行った。

28 翌朝、町の人たちが早く起きる
と、バアルの祭壇は打ち壊され、その
脇の聖木は切り倒され、第2の若い雄
牛は新たに作られた祭壇で捧げられ
ていた。**29** 人々は、「誰がこんなこ
とをしたのか」と互いに言い、調べた
結果、「ヨアシュの子ギデオンがした
のだ」と言った。**30** 町の人たちは
ヨアシュに言った。「息子を連れてこ
い。彼は死に値する。バアルの祭壇を
打ち壊し、そばの聖木も切り倒したか
らだ」。**31** ヨアシュは詰め寄る全て
の人にこう言った。「皆さんがバアル
を弁護するのですか。バアルを救うの
ですか。バアルを弁護する人はこの朝
にも死刑にされるべきです。もしバア
ルが神なら、祭壇を打ち壊されたので
すから、バアル自身に弁護させたい
いでしょう」。**32** ヨアシュはその日
ギデオンのことをエルバアルと呼び、
「バアル自身に弁護させたい。自
分の祭壇を打ち壊されたのだから」と
言った。

33 ミディアンとアマレクと東方の
人々が連合を組んだ。そして川を渡っ
てエズレルの谷に来て、陣営を張った。

34 エホバの聖なる力がギデオンに
働き、彼が角笛を鳴らすと、アビ・エゼ

6:32 *意味、「バアルに法的弁護をさせよ(闘わ
せよ)」。6:33 *または、「谷あいの平原」。6:
34 *または、「を包み」。

第6章
(例) 裁 6:11

(例) 申 13:5
申 17:2-5

(例) 王一 18:26,27
詩 115:5
エレ 10:5

(例) 民 25:17,18
裁 6:2

(例) 出 17:16
民 24:20
申 25:19

(例) 裁 6:3
裁 7:12

(例) 裁 3:9,10
裁 11:29
裁 13:24,25
裁 14:6
裁 15:14
ゼカ 4:6

(例) 裁 3:26,27

第2欄
(例) 申 17:2

(例) 裁 6:14

第7章
(例) 裁 6:11,32

ルの子孫がギデオンの下に集結し
た。**35** ギデオンはマナセ全域に使
者を送り、その人々も彼の下に集結し
た。アシェルとゼブルンとナフタリにも
使者を送ると、その人々もギデオンに
会いに来た。

36 ギデオンは真の神に言った。
「約束なされた通り私によってイスラ
エルを救われるのであれば、**37** 今、1
匹分の羊毛を脱穀場に広げておきま
すので、教えてください。もし羊毛だ
けに露が降りて周りの地面が全て乾
いているなら、あなたは約束通り私に
よってイスラエルを救われるのです」。

38 するとその通りになった。次の日
早く起きて、露にぬれた羊毛を絞ると、
大鉢が水でいっぱいになるほどだっ
た。**39** それでもギデオンは真の神
に言った。「私に対して怒りを燃やさ
れませんか。もう一度だけお願い
します。どうか、もう一度だけこの羊毛
を試させてください。どうか地面全体
に露が生じ、この羊毛だけが乾いてい
るようにしてください」。**40** その夜、
神はその通りにした。羊毛だけが乾
いていて、地面全体に露が降りていた。

7 エルバアルつまりギデオンと、共
にいた人々は皆、早く起きて、ハ
ロドの泉の所に陣営を敷いた。ミディ
アンの陣営はその北、谷あいの平原
にあるモレの丘にあった。**2** エホバ
はギデオンに言った。「あなたと共に
いる人々は多過ぎるので、私はあなた

たちをメディアンに勝たせることはし
ない。イスラエルは私に向かって自
慢し、『自分の力で勝ったのだ』と言
いかねない。3 さあ、皆の前で、『怖
がって震えている人は家に帰ってもよ
い』と言いなさい。ギデオンは人々
を試した。すると2万2000人が家に
帰り、1万人が残った。

4 エホバはさらにギデオンに言っ
た。「まだ多過ぎる。人々を水辺に行
かせなさい。私がそこで彼らを試した
めだ。私があなたに『この人はあなた
と共に行く』と言ったら、その人はあな
たと共に行くが、『この人はあなたと
一緒に行かない』と言ったら、一緒に
は行かない。5 それでギデオンは
人々を水辺に連れていった。

エホバはギデオンに言った。「犬が
みずを飲む時のように警戒しながらみ
ずを飲む人全員を、膝を突いてかがんで
飲む人と別にしなさい。6 手で水
を口に持って行って飲んだ人は300人
で、残りの人は膝を突いてかがんで飲
んだ。

7 エホバはギデオンに言った。「手
から飲んだ300人によって私はあなた
たちを救い、あなたをメディアンに勝
たせる。他の人々は皆、家に帰らせな
さい。8 300人が人々から食糧と
角笛を受け取った後、ギデオンはイス
ラエルの人たちを皆家に帰らせ、300
人だけとどませた。メディアンの

第7章

(7) サー 14:6
代二 14:11

(7) サー 17:47

(7) 申 20:8

(7) 裁 7:2

第2編

(7) 裁 6:33

(7) 裁 3:9,10
裁 4:14

(7) 裁 6:33

(7) 裁 6:3,5

(7) 裁 6:16

(7) 裁 6:14

(7) 裁 7:7

(7) 裁 7:11

陣営は、下に広がる谷あいの平原に
あった。

9 その夜のこと、エホバはギデオン
に言った。「起きて、敵の陣営を攻め
なさい。私はそれをあなたの手に渡
した。10 しかし、攻めるのが怖けれ
ば、従者プラと一緒にその陣営に下っ
ていくように。11 彼らが話している
ことを聞きなさい。そうすれば、陣営を
攻める勇気が出る。そこでギデオン
と従者プラは陣営の端の方に下って
いった。

12 ミディアンとアマレクと東方の
人々はバツタの大群のように谷あい
の平原を覆っていた。ラクダは数限
りなく、海辺の砂のように多かった。

13 ギデオンが近づくと、1人の男性
が夢について仲間と話していた。こう
言った。「こんな夢を見た。丸い大麦
パンが転がりながらメディアンの陣営
に入ってきた。そして天幕に激しくぶ
つかったので、天幕がつぶれた。いや、
ひっくり返ってべしゃんこになったん
だ。14 仲間は言った。「それは、ヨ
アシュの子、イスラエル人ギデオンの
剣に違いない。神はメディアンと全陣
営を彼の手に渡したんだ」。

15 ギデオンは夢とその解釈を聞く
と、すぐにひれ伏して神を崇拝した。
その後、イスラエルの陣営に戻って、こ
う言った。「起きなさい。エホバはミ
ディアンの陣営をあなたたちの手に渡

しました」。16 そして300人^{にん}を3つ^{さん}の部隊^{ぶたい}に分け、全員^{ぜんいん}に角笛^{つのぶえ}と大がめ^{おおめ}を与えた。大がめにはたいまつを入れた。17 ギデオン^いは言った。「私^{わたし}を見て、同じことを行いなさい。私が陣営^{じんえい}の端^はに行った時に、私がする通りにするのです。18 私が、一緒にいる人^{ひと}すべてと共に角笛^{つのぶえ}を吹いたら、あなたたちも陣営^{じんえい}の周囲^{しゅうい}で角笛^{つのぶえ}を吹き、『エホバのため、ギデオンのため!』と叫びなさい」。

19 ギデオンは自分^{じぶん}と一しょ^{いっしょ}にいた100人^{にん}と共に陣営^{じんえい}の端^はまで来た。真ん中^{まんなか}の夜警時^{やけいじ}が始まり、見張り^{みはり}は持ち場^{もちば}に就いたばかりだった。ギデオンたち^つは角笛^{つのぶえ}を吹き、持っていた大きな水^{みづ}がめを打ち砕いた。20 3つの部隊^{ぶたい}が角笛^{つのぶえ}を吹き、大がめを砕いた。たいまつ^{たいまつ}を左手^{ひだりて}に持ち、右手^{みぎて}にある角笛^{つのぶえ}を吹き、「エホバの剣^{つるぎ}、ギデオンの剣^{つるぎ}!」と叫んだ。21 その間^{かん}ずっとそれぞれは陣営^{じんえい}の周囲^{しゅうい}で自分の場所^{ばしょ}に立っていたが、陣営^{じんえい}にいる人たちは皆走りだし、逃げながら叫んでいた。22 300人^{にん}が角笛^{つのぶえ}を吹き続けると、エホバは陣営^{じんえい}の至る所で互^{たが}に向かつて剣^{つるぎ}を振るわせた。軍勢^{ぐんせい}はベト・シタまで、さらにツエレラ、またタバトに近いアベル・メホラの外れにまで逃げていった。

23 イスラエルの人たちがナフタリ、アシェル、マナセ^{ぜんいき}全域^{よあつ}から呼び集められ、ミディアンを追撃した。24 ギデ

第7章
(7) 裁 7:8

(1) 裁 7:8

(1) 裁 7:16

(4) 出 14:25
王二 7:6,7

(4) 代二 20:23

(4) 王一 19:16

(4) 裁 6:35

第2欄
(7) 詩 83:11
イザ 10:26

(1) 裁 8:4

第8章
(1) 裁 7:2

(4) 裁 12:1
代二 25:10

(4) 裁 7:24

(4) 裁 6:11,34

(4) 裁 7:24,25

オンはエフライムの山地^{さんちぜんいき}全域^{ししや}に使者^{しや}を送ってこう言った。「下^{くだ}って行ってミディアン^{みでいあん}を攻め、ベト・バラとヨルダン川^{せんきよ}の渡り場^{わたりば}を占拠してください」。エフライムの全ての兵士^{しゅうけつ}が集結し、ベト・バラとヨルダン川^{せんきよ}の渡り場^{わたりば}を占拠した。25 さらにミディアンの2人の高官^{こうかん}オレブとゼエブを捕らえて、オレブをオレブの岩^{いわ}の上で殺し、ゼエブをゼエブのブドウ搾り場^{しぼりば}で殺した。そしてミディアン^{みでいあん}を引き続き追撃し、オレブとゼエブの首^{くび}をヨルダン地方^{ちほう}にいたギデオン^との所^{ところ}に届けた。

8 エフライムの人たちはギデオン^{ひと}に言った。「一体^{いったい}どういうつもりだ。ミディアンと戦う時に、なぜわれわれを呼ばなかったんだ」。そしてひどく文句^{もんく}を言った。2 ギデオンは言った。「皆さんがしたことに比べれば私は大したことはしていません。エフライムのブドウの収穫^{しゅうかく}の残りは、アビ・エゼル^{あひえさる}の収穫^{しゅうかく}に勝っているではありませんか。3 神はミディアンの高官^{こうかん}オレブとゼエブを皆さんの手^てに渡しました。皆さんがしたことに比べれば私は大したことはしていません」。ギデオンがこう話すと、エフライムの人たち^{ひと}の気持ちは治まった。

4 ギデオンはヨルダン川^{がわ}まで来て、それを渡った。ギデオンと300人^{にん}は疲れていましたが、追撃^{ついげき}を続けた。5 ギデオンはスコトの人たちに言った。「私^{わたし}に従^{したが}っている人たちに、どうかパンを

くだ かれ つか わたし
下さい。彼らは疲れていて、私たちは
ついでき
ミディアンの王ゼバハとツアルムナを
おう
追撃しているのです」。6 ところがス
こうかん
コトの高官たちは言った。「ゼバハと
と
ツアルムナを捕らえたとしてもいいのか。
ぐんたい あた
どうしてあなたの軍隊にパンを与えな
ければならないのか」。7 ギデオン
は言った。「では、エホバがゼバハと
わたし て わた
ツアルムナを私の手に渡してくださる
とき わたし こう や
時、私は荒野のいばらであなたたち
う
を打ちたたきます」。8 そこからペヌ
のぼ おな たの
エルに上っていき、同じことを頼んだ
が、ペヌエルの人たちもスコトの人たち
ひと ひと
と同じように答えた。9 ギデオン
はペヌエルの人たちにもこう言った。
ふじ もど とき どう こう
「無事に戻ってくる時、この塔を打ち壊
します」。

10 ゼバハとツアルムナはカルコル
やく まん にん ぐんたい いっしょ
にいて、約1万5000人の軍隊も一緒
とうほう ひとびとぜんぐん
だった。これは東方の人々の全軍のう
のこ ひと つるぎ お ひと
ち残った人たちで、剣を帯びた人がす
まんになたお
でに12万人倒れていた。11 ギデオ
ンは、ノバハとヨグベハの東、天幕に
す ひとびと みち のぼ じんえい ゆ
住む人々の道を上っていき、陣営が油
だん こうげき
断しているところを攻撃した。12 ミ
ディアンの2人の王ゼバハとツアルムナ
に
が逃げると、ギデオンは追跡して2人
と じんえいぜんたい こんらん おどしい
を捕らえ、陣営全体を混乱に陥れた。

13 ヨアシュの子ギデオンは、ヘレ
のぼ さんどう とお たたか もど
スに上る山道を通って戦いから戻っ
た。14 その途中、スコトの1人の若
もの と と わかもの
者を捕らえて聞いた。その若者

第8章

(例) 裁 8:16

(例) 裁 8:17

(例) 裁 7:12

(例) 民 32:34,35

第2欄

(例) 裁 8:5,6

(例) 裁 8:7

(例) 裁 8:8,9

(例) 詩 83:11

はスコトの高官と長老たち77人の名
まえ か た
前を書き出した。15 ギデオンはス
ひと ところ い
コトの人たちの所に行つてこう言った。
「あなたたちは私をあげけり、『ゼバハ
とツアルムナを捕らえたとしてもいいの
か。どうしてあなたの疲れ切った男た
ちにはパンを与えなければならないの
か』と言いましたが、そのゼバハとツア
ルムナがここにいます」。16 それか
まち ちょうろう つ こう や
ら町の長老たちを連れていき、荒野の
ひと おも し
いばらでスコトの人たちに思い知らせ
た。17 またペヌエルの塔を打ち壊
し、町の人たちを殺した。

18 ギデオンはゼバハとツアルムナ
に尋ねた。「タボルで殺したのはど
んな人たちだったのか」。2人は言っ
た。「あなたと似ていて、皆、王の子
のような感じだった」。19 ギデオン
は言った。「それは私の兄弟たち、私
の母の子たちだ。生きている神エホ
バに懸けて誓う。あなたたちがその者
たちを生かしておいたなら、私もあな
たたちを殺さなくてよかっただろう」。
20 そして長男エテルに言った。「さあ、
この2人を殺しなさい」。しかし、エテ
ルは剣を抜かなかった。まだ若者で、
怖かったのである。21 ゼバハとツア
ルムナは言った。「おまえが殺せ。男
だったら力を見せてしろ」。そこでギデ
オンはゼバハとツアルムナを殺し、彼
らのラクダの首にあった三日月形の
飾りを取った。

22 その後、イスラエルの人たちは

ギデオンに言った。「あなたが、あなたの子と孫が、私たちを治めてください。あなたは私たちをミディアンから救ったからです」。**23** しかしギデオンは言った。「私は皆さんを治めません、私の子もそうしません。エホバが皆さんを治めるのです」。**24** さらにこう言った。「1つだけお願いがあります。それぞれ、戦利品の中から鼻輪を私に下さい」。(敵たちはイシュマエル人で、金の鼻輪を着けていたのである。)**25** 人々は、「もちろん差し上げます」と答え、長い服を1枚広げて、それぞれが戦利品の中から鼻輪を投げ入れた。**26** ギデオンが求めた金の鼻輪は全部で重さが19キロになった。そのほかに、三日月形の飾り、ペンダント、ミディアンの王たちが着ていた紫の羊毛の服、ラクダに付いていた首飾りがあった。

27 ギデオンはその金でエフォドを作り、自分の町オフラに展示した。イスラエル全体は、そこでエフォドを崇拜するという不忠実なことをした。それはギデオンと家の人たちにとってわ

28 ミディアンはイスラエル人に制圧され、二度と挑んでこなかった。ギデオンの時代、この土地は40年間平穏だった。

29 ヨアシュの子エルバアルは自分

8:27, 31 *用語集参照。8:27 *または、「エフォドと売春をした」。**8:28** *直訳、「頭を上げ」。**8:29** *ギデオンのこと。裁 6:32参照。

第8章

(7) 裁 6:14

(1) 出 15:18
サー 10:19
イザ 33:22
イザ 43:15

(1) 創 16:11
創 25:13
創 28:9
創 37:28

(12) 裁 8:21

(1) 出 28:6
裁 17:5

(1) 裁 6:11

(14) 裁 2:17

(1) 詩 106:36

(1) 裁 6:1

(12) 裁 3:11
裁 5:31

(1) 裁 6:32
サー 12:11

第2欄

(1) 裁 9:1,2
サニ 11:21

(1) 裁 6:11,24

(1) 裁 2:17,19
裁 10:6

(12) 裁 9:4

(1) 詩 106:43

(1) 裁 3:7

(14) 裁 9:16-18

第9章

(1) 裁 8:30,31

(1) 裁 8:30

の家に戻り、そこに住んだ。

30 ギデオンには息子が70人生まれた。多くの妻がいたからである。

31 シェケムにいた彼のそばめも男の子を産み、彼はその子をアビメレクと名付けた。**32** ヨアシュの子ギデオンは長生きした後、アビ・エゼルの子孫の町オフラにある父ヨアシュの墓に葬られた。

33 ギデオンが死ぬとすぐ、イスラエル人は再びバアルを崇拜するという不忠実なことをし、バアル・ペリトを自分たちの神とした。**34** イスラエル人は、周囲の全ての敵から救い出してくださいと自分たちの神エホバを思い出さなかった。**35** エルバアルつまりギデオンがイスラエルのために行った全ての良いことを忘れ、彼の家の人たちに揺るぎない愛を示さなかった。

9 やがてエルバアルの子アビメレクは、シェケムにいる自分の母の兄弟たちの所に行き、彼らと母方の祖父の家族全員にこう言った。**2** 「どうかシェケムの指導者 全員に尋ねてください。『エルバアルの70人の息子全員に治められるのと、1人に治められるのと、皆さんにとってどちらが良いでしょうか。忘れないでください。私は皆さんの肉親です』」。

8:30 *直訳、「は自分のももから出た70人の息子を持った」。**8:33** *または、「バアルと売春をし」。**9:2** *もしかすると、「地主」。**3** 直訳、「骨と肉」。

3 アビメレクの母の兄弟たちは、彼に代わってシェケムの指導者全員にそのことを伝えた。彼らはアビメレクに従おうという気持ちになった。「彼はわれわれの兄弟だ」と言ったのである。4 そしてパアル・ペリトの家から銀70枚を彼に与えた。アビメレクはその銀でならずものを雇い、引き連れた。5 その後、オフラにある父の家に行き、自分の兄弟たち、エルバアルの息子たち70人を1つの石の上で殺した。エルバアルの一番下の息子ヨタムだけは、隠れていたので生き残った。

6 シェケムの指導者全員とベト・ミロの全ての人は集まり、大木のすぐ近く、シェケムの柱の近くで、アビメレクを王にした。

7 ヨタムは、そのことを知らされると、すぐに仕掛けてゲリジム山の山頂に立ち、大声でこう言った。「シェケムの指導者たち、私の話すことを聞きなさい。そうすれば、神もあなたたちの話すことを聞きます。

8 ある時、木々が自分たちの王を立てて油を注ぐために仕掛けていきました。そしてオリーブの木に、『私たちを治めてください』と言いました。9 しかしオリーブの木は言いました。『私は神と人に栄光をもたらす油を生み出すのをやめて、他の木々の上で枝を

9:4 *または、「神殿」。9:8 *用語集の「油を注ぐ」参照。9:9 *または、「実りを捨てて」。

第9章
[7] 裁 8:33
裁 9:46

[1] 裁 6:11
裁 8:27

[例] 王 21:1
代 21:4

[中] 申 17:14
サ—8:7

[例] 申 11:29
ヨシ 8:33
ヨハ 4:20

[例] 裁 8:22

第2欄
[例] 裁 9:6

[1] 裁 9:6

[例] 裁 8:28

[中] 裁 7:9

[例] 裁 9:5

[例] 裁 8:30, 31

揺らすために行かないといけなのですか』。10 木々はイチジクの木に言いました。『来て、私たちを治めてください』。11 ところがイチジクの木は言いました。『私は甘くておいしい実を生み出すのをやめて、他の木々の上で枝を揺らすために行かないといけなのですか』。12 木々はブドウの木に、『来て、私たちを治めてください』と言いました。13 ブドウの木は答えました。『私は神と人が喜ぶ新しいぶどう酒を生み出すのをやめて、他の木々の上で枝を揺らすために行かないといけなのですか』。14 最後に全ての木はノイバラに言いました。『来て、私たちを治めてください』。15 ノイバラは木々に言いました。『あなたたちが本当に私に油を注いで王にするというなら、来て私の陰に避難せよ。でも、そうでないなら、このノイバラから火が出て、レバノンの杉も焼き尽くす』。16 皆さんがアビメレクを王にしたのは誠意ある立派なことでしょうか。皆さんは、エルバアルとその家の人たちに良いことをしましたか。彼の働きに報いたでしょうか。17 私の父は皆さんをメディアンから救うために命懸けで戦いました。18 それなのに、皆さんは今日、私の父の家の人たちに敵対して父の息子70人を1つの石の上で殺し、女奴隷の子アビメレクを、自分たちの兄弟というだけの理由で、シェケムの指導者たちの王にしま

した。19 皆さんがエルバアルとその家の人たちに今日行ったのが誠意ある立派なことであるなら、アビメレクのことを喜びなさい。彼も皆さんのことを喜ぶでしょう。20 でも、そうでないなら、アビメレクから火が出てシェケムの指導者たちとベト・ミロを焼き尽くし、シェケムの指導者たちとベト・ミロからも火が出てアビメレクを焼き尽くしますように」。

21 ヨタムは逃げてベエルに行き、兄アビメレクを恐れてそこに住んだ。

22 アビメレクはイスラエルを3年治めたが、23 神はアビメレクとシェケムの指導者たちの間に敵意を生じさせ、シェケムの指導者たちはアビメレクを裏切った。24 これは、エルバアルの70人の息子に対する残虐行為の復讐がなされるため、彼らを殺した兄弟アビメレクとそれを手助けたシェケムの指導者たちに流血の責任を取らせるためだった。25 シェケムの指導者たちは山々の頂上にアビメレクを待ち伏せする者たちを配置し、その者たちは、そばを通行する全ての人の物を強奪した。やがてそのことがアビメレクに伝えられた。

26 エバドの子ガアルとその兄弟たちがシェケムにやって来た。シェケムの指導者たちはガアルを信用した。27 シェケムの人々は出ていってブド

9:22 *または、「に対して3年、長として振る舞った」。

第9章
(イ) 裁 9:6,49

(イ) 裁 9:39,53

(イ) 裁 9:5

(イ) 創 9:6
裁 9:5

(イ) ヨシ 21:20,21
ヨシ 24:1

第2欄
(イ) 裁 8:33

(イ) 裁 6:32

ウ園のブドウを集め、それを踏んでぶどう酒を造り、祭りを行った。その後、自分たちの神の家に入って飲み食いし、アビメレクに災いがあるようお願いした。28 エバドの子ガアルは言った。「アビメレクが何者で、シェケムが何者だというので、われわれは仕えるべきなのか。彼はエルバアルの子で、ゼブルは彼の事務官ではないか。シェケムの父ハモルの子たちに仕えなさい。どうしてアビメレクに仕えるべきなのか。29 もしこの民が私の指揮下にあったなら、私はアビメレクを退陣させるのだが」。ガアルはアビメレクに対して、「軍隊を増強して出てこい」と言った。

30 町の高官ゼブルはエバドの子ガアルの言葉を聞き、怒りに燃えた。

31 そして、ひそかにアビメレクに使者を送ってこう言った。「申し上げます。エバドの子ガアルとその兄弟たちが今シェケムにいて、町の人々をあなたに逆らわせようとしています。32 ですから、配下の人たちと共に夜のうちに来て、野原で待機しててください。

33 そして、朝日が昇ったらすぐに起き上がって町を攻めてください。ガアルと民が向かって出てきたら、彼を倒すために何でもしてください」。

34 アビメレクと配下の人々は皆、夜のうちに行動を起こし、4部隊に

9:31 *または、「悪賢く」。9:33 *または、「彼に対してあらゆる手を使って」。

分かれてシケムの外で待機した。

35 エベドの子ガアルが出てきて町の門の入り口に立つと、アビメレクと配下の人々は待機していた場所から立ち上がった。36 ガアルはその人々を見て、ゼブルに言った。「見てください、山々の頂上から人々が下りてきます。しかしゼブルは言った。「山の影が人々のように見えるのです」。

37 その後ガアルは言った。「見てください、人々が大地の中央から下りてきます。1つの部隊はメオネニムの太木^{たいぼく}の所^{ところ}を通^{とお}ってきます」。38 ゼブルは答えた。「『アビメレクが何者だというの、われわれは仕えるべきなのか』と豪語していませんでしたか。これはあなたが退けた人々ではありませんか。さあ、出ていって戦いなさい」。

39 ガアルはシケムの指導者たちの先頭^{せんとう}に立^たって出^でていき、アビメレクと戦った。40 ガアルはアビメレクに追^おい掛^かけられて逃^にげた。大勢^{おほい}の人がころ殺^{ころ}され、町の門の入り口の所^{ところ}にまで及んだ。

41 アビメレクは引き続きアルマに住^すみ、ゼブルはガアルとその兄弟^{きょうだい}たちをシケムから追^おい出^だした。42 次の日^ひも人々が町^{まち}から出^でていき、そのことがアビメレクに告^つげられた。43 アビメレクは配下の人々^{はいか}を連^ひれていって3部隊^{ぶたい}に分^わけ、野原^{のほら}で待機^{たいき}した。町^{まち}から人々^{ひと}が出てくるのを見^みると、その人

第9章
[7] 裁 9:28, 29

[1] 裁 9:30

第2欄
[7] 王一 12:25

[1] 裁 8:33
裁 9:4, 27

たちを攻撃^{こうげき}して討^うった。44 アビメレクと彼^{かれ}と共にいた部隊^{ぶたい}は突撃^{とつげき}して町の門の入り口^{もん}を占^い拠^{ぐち}し、2つの部隊^{せんきょ}は野原^{のほら}にいる全^{すべ}ての人^{ひと}を攻撃^{こうげき}して討^うった。45 アビメレクは一日^{いちにち}中^{じゅう}その町^{まち}に對^{たい}して戦^{たたか}い、攻^{こう}略^{りやく}した。その中^{なか}にい^いひと^{ひと}とこ^ころ^{ところ}ま^まち^ちう^うこ^こわ^わに^にお^おた人々^{ひと}を殺^{ころ}し、その町^{まち}を打^{うち}ち壊^{くわい}して塩^{しお}をまいた。

46 シケムの塔^{とう}の指導者^{しどうしや}は皆^{みな}、そのことを聞^きくと、すぐエル・ベリトのいえ^{いえ}と^とまるてんじようひろま^{まる}に家^いの円天井^{えんてんきやう}広間^{くわかん}に行^いった。47 シケムの塔^{とう}の指導者^{しどうしや}が皆^{みな}あつまっていることがアビメレクに伝^{つた}えられると、48 アビメレクと配下^{はいか}の人々^{ひと}は皆^{みな}ツアルモン山^{ぜん}に登^{のぼ}った。アビメレクはおのて^てに手^てを、木^きの枝^{えだ}を1本^{ぼん}切り落^おとし肩^{かた}に載^のせ、人々^{ひと}に言^いった。「私がしたことを見たか。急^{いそ}いで同^{おな}じようにしなさい!」49 皆^{みな}は枝^{えだ}を切^きり落^おとして、アビメレクの後^{あと}に従^{したが}った。そして枝^{えだ}を円天井^{えんてんじよう}ひろまの周^{まわ}りに立^たて掛^かけて火^ひを放^{はな}った。シケムの塔^{とう}の人々^{ひと}、約^{やく}1000人^{にん}の男^{おとこ}女^めが皆^{みな}死^しんだ。

50 アビメレクはテベツに行^いき、テベツに對^{たい}して陣^{じん}營^{えい}を敷^しいて占^{せん}領^{りやう}した。51 町^{まち}の真^ま中^{なか}に強^{きやう}固^こな塔^{とう}があり、全^{すべ}ての男^{だんじや}女^め、町^{まち}の全^{すべ}ての指導者^{しどうしや}がそこに逃^にげ込^こんで立^たてこもり、塔^{とう}の屋上^{おくじやう}に上^{のぼ}った。52 アビメレクはその塔^{とう}まで行^いって攻^{こう}撃^{げき}し、塔^{とう}の入り口^{いりぐち}に近^{ちか}づいて火^ひを放^{はな}とうとした。53 その時^{とき}、ある女性^{じよせい}がひき臼^{うす}の石^{いし}をアビメレク

9:46 *または、「神殿」。「または」、「避難所」。

の頭の上に落とし、頭蓋骨を砕いた。

54 アビメレクは武器を持つ従者を急いで呼び、こう言った。「剣を抜いて、私を殺せ。『女に殺された』と言われたくない」。従者はアビメレクを刺し通し、彼は死んだ。

55 イスラエルの人たちは、アビメレクが死んだのを見ると、皆、家に帰った。**56** こうして神は、兄弟70人を殺すという、父親に対するアビメレクの悪事に報いた。**57** 神はシェケムの人たちの全ての悪事にも報い、エルバアルの子ヨタムが述べた災いが彼らに降り掛かった。

10 アビメレクの後、イッサカル族の人で、ドドの子プアの子トラが、イスラエルを救うために立ち上がった。トラはエフライムの山地のシャミルに住んでいた。**2** イスラエルを23年間裁いた後、死んでシャミルに葬られた。

3 トラの後、ギレアデの人ヤイルが立ち上がり、イスラエルを22年間裁いた。**4** ヤイルには30人の息子がいて、彼らは30頭のロバに乗り、30の町を持っていた。それらは今日までハボト・ヤイルと呼ばれており、ギレアデ地方にある。**5** その後ヤイルは死んでカモンに葬られた。

6 イスラエル人は再びエホバから見て悪いことを行い、バアル、アシュ

9:57 *または、「悪事も彼らの頭上に戻ってこさせ」。

第9章
(7) サニ 11:21

(1) 創 9:6
裁 9:5,24

(7) 裁 6:32
(2) 裁 9:7,20

第10章
(7) 裁 2:16

(7) 申 3:14

(4) 裁 2:19
裁 4:1
裁 6:1
ネへ 9:28

(7) 裁 3:7
詩 106:36-38

第2欄
(7) 民 25:1,2

(1) 王一 11:5
王二 23:13

(7) 裁 16:23
サ一 5:4
王二 1:2

(2) 申 28:15,48
申 31:17
裁 2:14
裁 4:2

(7) 申 4:30

(7) 裁 2:13
裁 3:7
サ一 12:9,10

(4) 出 14:30

(7) 民 21:23-25

(7) 裁 3:31

(2) 裁 2:12

(7) 代二 15:2
ミカ 3:4

(7) 王一 18:27

トレテの像、アラムの神々、シドンの神々、モアブの神々、アンモン人の神々、フィリスティア人の神々を崇拜するようになった。エホバを捨て、その方に仕えなかった。**7** エホバはイスラエルに対して怒りに燃え、彼らをフィリスティア人やアンモン人に引き渡した。**8** その人たちはその年にイスラエル人を痛めつけ、ひどく虐げた。ヨルダン川の東側、ギレアデにあるアモリ人の土地にいるイスラエル人すべてを18年間虐げた。**9** アンモン人はヨルダン川を渡ってユダやベニヤミンやエフライムとも戦った。イスラエルは非常に苦しめられた。**10** イスラエル人はエホバに助けを求めて、こう言った。「私たちはあなたに罪を犯しました。私たちの神であるあなたを捨てて、バアルに仕えました」。

11 しかしエホバはイスラエル人に言った。「私はあなたたちをエジプトから、アモリ人、アンモン人、フィリスティア人から救い出したのではないか。**12** シドン人、アマレク、ミディアンからも救い出した。あなたたちが彼らに圧迫され、私に向かって叫んだ時に、救い出した。**13** それなのに、あなたたちは私を捨てて他の神々に仕えた。だから私は二度とあなたたちを救わない。**14** 自分たちが選んだ神々の所に行き、助けを求めよ。苦

10:6 *または、「シリア」。**10:7** *直訳、「売った」。

難^{なん}の時^{とき}には彼^{かれ}らに救^{すく}ってもらうがよ
い^い。15 イスラエル人^{じん}はエホバに
言^いった。「私^{わたし}たちは罪^{つみ}を犯^{おか}しました。
何^{なん}でも良^よいと思^{おも}われることを私^{わたし}たちに
なさ^なしてください。ただ、どう^{どう}か今^{きょう}日^{にち}、
私^{わたし}たちを救^{すく}ってください」。16 そし
て自分^{じぶん}たちの中^{なか}から外国^{がいこく}の神^{かみ}々^{がみ}を除^{のぞ}
き去^さって、エホバ^{つか}に仕^{つか}へた。そのため
イスラエル^{くろ}の苦^{くる}しみは神^{かみ}にとつて耐^たえ
難^{がた}いものとな^なった。

17 やがてアンモン人^{じん}は集^{しゅう}結^{けつ}し、ギ
レアデ^{じん}に陣^{じん}営^{えい}を敷^しいた。イスラエル
人^{じん}も集^{しゅう}合^{ごう}し、ミツパ^{じん}に陣^{じん}営^{えい}を敷^しいた。

18 ギレアデ^{じん}の民^{たみ}と高官^{こうかん}たちはこう言^い
合^あ合^あった。「先^{せん}頭^{とう}に立^たってアンモン人^{じん}
と戦^{たたか}うのは誰^{だれ}か。その人^{ひと}がギレアデ^{じん}
の全^{ぜん}住^{じゅう}民^{みん}の長^{ちやう}になるのだ」。

11 ギレアデ^{じん}の人^{ひと}エフタ^{つよ}は強^{つよ}い
戦^{せん}士^しだっ^た。娼^{しょう}婦^ふの子^こで、父^{ちち}
親^{おや}はギレアデ^{じん}という人^{ひと}だっ^た。2 ギ
レアデ^{じん}の妻^{つま}も息^{むすこ}子^うたちを産^{むす}んだ。息^{むすこ}
子^うたちは大^{おお}きくなると、エフタ^おを追^おい出^だ
し、こう言^いった。「あなた^{べつ}は別^{べつ}の女^{じょ}性^{せい}の
子^こだから、私^{わたし}たちの父^{ちち}の家^{いえ}にあなた
が相^{そう}続^{ぞく}する物^{もの}のな^{なに}に何^{なん}もな^{ない}い」。3 エフ
タ^{きやうだい}は兄^{きやうだい}弟^{だい}たち^さの物^{もの}とを去^すり、トブ^す
に住^すむようにな^なった。するこ^{おとこ}の事^{こと}のな^{ない}男^{おとこ}
た^たちがエフタ^なの仲^な間^まにな^なり、彼^{かれ}の後^{あと}に
従^{したが}った。

4 しばらくして、アンモン人^{じん}はイス
ラエル^{たか}と戦^{たたか}った。5 アンモン人^{じん}がイ

10:16 *または、「のゆえに神はじっとしていられ
なかった」。

第10章

(イ) エレ 2:28

(イ) 申 7:26

(イ) 代二 7:14

代二 33:13,15

詩 106:44

イザ 63:9

(イ) 創 19:36,38

裁 3:13

(イ) 裁 11:1

第11章

(イ) 裁 12:7

サ一 12:11

ヘブ 11:32

(イ) 裁 10:17

第2欄

(イ) 裁 11:2

(イ) 裁 10:18

(イ) 裁 10:17

裁 11:34

(イ) 創 19:36,38

スラエル^{たか}と戦^{たたか}うようになると、ギレアデ^{じん}
の長^{ちやうろう}老^{ろう}たちはエフタ^つをトブ^{もど}から連^つれ戻^{もど}
すためにすぐに出^で掛^かけた。6 そして
エフタ^いに言^きった。「来^きて、私^{わたし}たちの司^し
令^{れいかん}官^{かん}にな^なってください。アンモン人^{じん}と
戦^{たたか}うのです。7 しかしエフタ^{ちやうろう}はギレ
アデ^いの長^い老^{ろう}たち^{みな}に言^いった。「皆^{みな}さんが
私^{わたし}を憎^{にく}んで父^{ちち}の家^{いえ}から追^おい出^だしたの
ではありませ^なんか。どう^{どう}していま^{いま}私^{わたし}
の所^{ところ}に来^きるのですか。自分^{じぶん}たちが苦^{くる}
難^{なん}に遭^あった時^{とき}にな^なって」。8 長^{ちやうろう}老^{ろう}た
ち^いは言^いった。「だからこ^こそ今^{いま}あなた^{あなた}の
も^もとに戻^{もど}ったのです。私^{わたし}たちと一^{いっ}緒^{しょ}に
行^いってアンモン人^{じん}と戦^{たたか}ってくださ^なるな
ら、あなた^{ぜんじゅうみん}はギレアデ^しの全^し住^{じゅう}民^{みん}の指^し導^{どう}
者^{しゃ}にな^なります」。9 エフタ^いは言^いった。
「皆^{みな}さんがアンモン人^{じん}と戦^{たたか}うために私^{わたし}
を連^つれ戻^{もど}し、エホバ^{かれ}が彼^{かれ}ら^うを打^うち破^{やぶ}
てくださ^なるなら、私^{わたし}は皆^{みな}さん^{しどうしゃ}の指^し導^{どう}者^{しゃ}
にな^なります」。10 長^{ちやうろう}老^{ろう}たちは言^い
った。「私^{わたし}たちがあなた^{あなた}の言^いった通^{とお}りに
しな^{しな}いなら、エホバ^{わたし}が私^{わたし}たち^{あいだ}の間の
証^{しょうにん}人^{にん}とな^なりますように」。11 エフタ^い
はギレアデ^{ちやうろう}の長^い老^{ろう}たちと一^{いっ}緒^{しょ}に行^いき、
た^たみは彼^{かれ}を指^し導^{どう}者^{しゃ}また司^し令^{れいかん}官^{かん}とし^した。
エフタ^いはミツパ^いで、自分^{じぶん}の言^{こと}葉^は全^{ぜん}てを
エホバ^{まえ}の前^{まえ}で繰^{かえ}り返^{かえ}した。

12 エフタ^{じん}はアンモン人^{じん}の王^{おう}に使^し
者^{しゃ}を送^{おく}って、こう言^いった。「どう^{どう}して私^{わたし}に
敵^{てき}対^{たい}して私^{わたし}の土^ど地^ちに攻^せめ^せてきたのです
か」。13 アンモン人^{じん}の王^{おう}はエフタ^いの

11:12 *直^ち訳^{やく}、「私とあなたとは何が[あるの
ですか]」。

使者に言った。「イスラエルはエジプトから上ってきた時、私の土地を、アルノンの谷からヤボクの谷まで、またヨルダン川までを取ったからだ。今、それをおとなく返すように」。14 しかしエフタはアンモン人の王に使者を送って、15 こう言った。

「エフタはこう申しております。『イスラエルはモアブ人の土地とアンモン人の土地を取ったものではありません。

16 イスラエルはエジプトから上ってきた時、荒野を歩いて紅海まで行き、カデシュに来ました。17 その時イスラエルはエドムの王に使者を送って、「どうかあなたの土地を通らせてください」と言いましたが、エドムの王は聞き入れませんでした。モアブの王にも使者を遣わしましたが、彼は応じませんでした。それでイスラエルはカデシュにとどまっていた。18 荒野を歩いた時はエドムの土地とモアブの土地を迂回して進み、モアブの土地の東を通ってアルノンの地域に宿営しました。アルノンの谷がモアブの境界だったので、モアブの境界内には入りませんでした。

19 その後イスラエルは、ヘシュボンの王、アモリ人の王シホンに使者をおくって、こう言いました。「どうか目的の地に行くためにあなたの土地を通らせてください」。20 しかしシホンは、領土を通ろうとするイスラエルを信用せず、兵士全てを集めてヤハツに

第11章

(7) 民 21:23,24

(7) 民 21:26

(7) 申 3:16,17

(7) 創 19:36,37
申 2:9

(7) 申 2:19,37

(7) 民 14:25

(7) 民 20:1

(7) 創 36:1
民 20:14
申 2:4

(7) 創 19:36,37

(7) 民 20:22

(7) 民 21:4

(7) 民 21:11

(7) 民 21:13

(7) 民 21:21-26
申 2:26,27

第2欄

(7) 申 2:32,33

(7) ヨシ 13:15,21

(7) 申 2:36

(7) 申 9:22

(7) 申 11:7

(7) 申 23:28

(7) 申 33:53

(7) 申 9:5

(7) 申 18:12

(7) 民 22:2,3

(7) ヨシ 24:9

(7) 民 21:25

(7) 民 21:26

(7) イザ 33:22

陣営を敷き、イスラエルと戦いました。

21 イスラエルの神エホバがシホンと彼の兵士全てをイスラエルの手に渡したので、イスラエルは彼らを打ち破り、その土地に住むアモリ人の全ての土地を取得しました。22 こうしてアモリ人の全領土を、アルノンの谷からヤボクの谷まで、また荒野からヨルダン川までを取得しました。

23 イスラエルの神エホバがアモリ人をご自分の民イスラエルの前から追い払ったのに、今、あなた方はイスラエルを追い払おうとするのですか。24 あなたの神ケモシュが与えるものは何でも、あなたは所有するものではありませんか。私たちの神エホバが私たちの前から追い払った全ての者の土地を、私たちは所有するのです。25 あなたは、モアブの王でチッポルの子であるバラクに勝っているのでしょうか。彼がイスラエルと争ったり戦ったりしたことがありましたか。26 イスラエルはヘシュボンと周辺の町、アロエルと周辺の町、アルノンの谷の川岸に近い全ての町に300年も住んでいたのに、どうしてその間に取り返そうとしなかったのですか。27 私はあなたに罪を犯してはいません。私を攻撃するのは間違っています。裁く方エホバが今日、イスラエルの民とアンモンの民を裁かれますように』。

28 しかし、アンモン人の王はエフ

タからの言葉を聞き入れなかった。

29 エフタはエホバの聖なる力を受け、ギレアデとマナセを通してギレアデのミツベに行き、ギレアデのミツベからアンモン人の所に向かった。

30 エフタはエホバに誓約してこう言った。「私をアンモン人に勝たせてくださるなら、31 私がアンモン人のもとから無事に戻った時に、私の家の戸口から誰が迎えに出てきても、その者はエホバのものになります。私はその者を全焼の捧げ物としてお捧げします」。

32 エフタは行ってアンモン人と戦い、エホバはエフタを勝たせた。

33 エフタは彼らを討ち、アロエルから遠くミニトまで、20の町で、さらにアベル・ケラミムまで非常に大勢を殺した。こうしてアンモン人はイスラエル人に制圧された。

34 エフタがミツパの自分の家に戻ると、何と、娘がタンバリンを鳴らし、踊りながら迎えに出てきた。彼女はたった1人の子で、ほかに息子も娘もいなかった。35 エフタは娘を目にし、衣服を引き裂いてこう言った。「ああ、何ということをしてくれたのだ。私はおまえを追い出さなければならぬ。エホバに約束した以上、取り消すことはできない」。

36 娘は言った。「お父さま、エホバ

11:35 *または、「ああ、娘よ！ おまえは私をかがませた」。

第11章

(例) 裁 3:9,10
ゼカ 4:6

(例) 裁 10:17

(例) 申 23:21

(例) サー 1:11

(例) サー 1:24

(例) 裁 10:17
裁 11:11

(例) 民 30:2
詩 15:4
伝 5:4

第2欄

(例) 裁 11:30,31

第12章

(例) 裁 8:1

に約束されたのでしたら、その通りにわたしになさってください。エホバは敵のアンモン人に復讐してくださったのですから」。

37 さらに父親に言った。「お願いがあります。2カ月間山に行つて、友達と一緒に泣くことをお許しください。私が結婚することはないからです」。

38 エフタは、「行きなさい」と言つて、娘が2カ月間行くことを許した。娘は友達と一緒に山に行き、結婚しないことについて泣いた。

39 2カ月たつて娘は父のもとに帰り、その後エフタは娘に関する誓約を果たした。娘が男性と関係を持つことはなかった。イスラエルで次のことが慣例となった。

40 毎年、イスラエルの若い女性たちは出掛けていき、年に4日ギレアデの人エフタの娘を褒めるのだった。

12 エフライムの人たちが集結し、ツァフォンに渡つてきて、エフタに言った。「アンモン人との戦いに一緒に行くようわれわれを誘わなかったのはどうしてか。おまえの家をおまえと一緒に焼かしてやる」。

2 しかしエフタは言った。「私は私の民と共にアンモン人と激しく争いました。あなた方に助けを求めましたが、彼らから救ってくれませんでした。3 あなた方が救ってくれないと

11:37 *女性の友達のこと。*または、「私は処女なのです」。

11:39 *または、「規定」。

12:1 *もしかすると、「北の方」。

わ 分かって、いのちが * アンモン人に向
かっていくことにしました。そしてエホ
バが勝たせてくださったのです。どうし
て今日、私と戦おうとするのですか。

4 エフタはギレアデの全ての人を集
めてエフライムと戦った。エフライム
族は、「ギレアデの者ども、おまえたち
はエフライムとマナセの中で、エフライ
ムからの逃亡者にすぎない」と言って
いたが、ギレアデの人たちはエフライ
ムを打ち破った。5 ギレアデはエフ
ライムより先にヨルダン川の渡り場を
占拠した。エフライムの人たちが逃げ
ようとし、「渡らせてくれ」と言うと、ギ
レアデの人々は一人一人に、「エフ
ライムの人か」と尋ねた。その人が「違
う」と言うと、6 「シボレトと言ってみ
なさい」と言った。その人が正しく発
音できず、「スイボレト」と言うと、その
人を捕らえてヨルダン川の渡り場で殺
した。この時エフライム族の4万2000
人が倒れた。

7 ギレアデの人エフタはイスラエル
を6年間裁いた後、死んでギレアデの
自分の町に葬られた。

8 エフタの後、バツレヘムの人イ
ブツァンがイスラエルを裁いた。9 イ
ブツァンには30人の息子と30人の娘
がいた。娘たちを氏族外の男性に嫁
がせ、30人の女性を迎えて息子たちと
結婚させた。彼はイスラエルを7年間
裁いた。10 イブツァンは死んで、バ
ツレヘムに葬られた。

12:3 * または、「自分の命を握って」。

第12章
(例) 裁 11:29

(例) 申 3:12,13

(例) 裁 3:28
裁 7:24

(例) 裁 2:16

第2編

(例) 創 36:12
出 17:16
民 13:29
サー 15:2

第13章

(例) 裁 2:11,19
裁 10:6

(例) ヨシ 13:1-3
裁 10:7

(例) ヨシ 15:20,33
ヨシ 19:41,48

(例) 創 49:16

(例) 裁 16:31

(例) 創 30:22,23

(例) 創 18:10
サー 1:20
ルカ 1:11,13

(例) 民 6:2,3
ルカ 1:15

(例) レビ 11:26,27

(例) 民 6:2,5

(例) 裁 2:16
裁 13:1
ネヘ 9:27

11 イブツァンの後、ゼブルン族の
エロンがイスラエルを10年間裁いた。
12 ゼブルン族のエロンは死んで、ゼ
ブルンの領地のアヤロンに葬られた。

13 エロンの後、ピルアトンの人ヒ
レルの子アブドンがイスラエルを裁い
た。14 アブドンには40人の息子と
30人の孫がいて、70頭のロバに乗っ
ていた。彼はイスラエルを8年間裁い
た。15 ピルアトンの人ヒレルの子
アブドンは死んで、エフライムの領地、
アマレク人の山にあるピルアトンに葬
られた。

13 イスラエル人は再びエホバ
から見て悪いことを行うよう
になった。エホバは彼らを40年間フィ
リスティア人の手に渡した。

2 その頃、ツォルアの人で、ダン族
のマノアという男性がいた。妻は子
供ができなかった。3 やがてエホバ
の天使がその女性の前に現れてこう
言った。「あなたは子供ができません
でしたが、妊娠して男の子を産みます。
4 それで注意してぶどう酒などの酒を
飲まないようにし、汚れたものを食べ
ないようにしなさい。5 あなたは妊
娠して男の子を産みます。その子の頭
にかみそりを当ててはなりません。生
まれた時から神のナジルとなるからで
す。彼は先頭に立ってイスラエルを
フィリスティア人から救います」。

13:5 * 用語集参照。

6 女性は夫の所に行つてこう伝え
た。「真の神に仕える人が私の所に来
ました。真の神の天使のような姿だ
つたので、圧倒されてしまいました。どこ
から来たかを私は尋ねず、その方も名
乗りませんでした。7 その方はこう
言いました。『あなたは妊娠して男の
子を産みます。それで、ぶどう酒などの
酒を飲まないようにし、汚れたものを
食べないようにしなさい。その子は生
まれた時から死ぬ日まで神のナジル
となるからです』。

8 マノアはエホバに懇願した。「お
願いがあります、エホバ。どうか、先
ほどの真の神に仕える人をもう一度遣
わしてください。生まれてくる子をどう
育てたらよいかを教えてくださいな
いのです。9 真の神はマノアの願い
を聞き入れ、真の神の天使が再びマ
ノアの妻の所にやって来た。野原に座っ
ている時で、夫は一緒ではなかった。
10 妻はすぐに夫の所に走っていき、
「先日の方が来ています」と告げた。

11 マノアは立って妻と一緒に行き、
その人の所に来て、こう言った。「あな
たが妻に話をしてくださった方でしょ
うか」。彼は、「そうです」と言った。
12 マノアは言った。「あなたのお言
葉がその通りになりますように。その
子はどんな生活をし、どんな仕事をす
るのでしょうか」。13 エホバの天使
はマノアに言った。「あなたの妻は、私
が伝えた物を全て避けるべきです。

第13章
(例) 裁 13:17,18

(例) 裁 13:3

(例) 裁 13:8

(例) 裁 13:4

第2欄
(例) 民 6:2,3

(例) レビ 11:26,27

(例) 創 18:5,7
裁 6:18,19
ヘブ 13:2

(例) 創 32:29
裁 13:6

(例) 裁 6:22,23

(例) 出 33:20
ヨハ 1:18

14 ブドウの木にできるものを食べては
ならず、ぶどう酒などの酒を飲んでは
なりません。汚れたものを食べないよ
うにしなさい。私が命じたこと全てを
彼女に守らせなさい。

15 マノアはエホバの天使に言っ
た。「どうぞここにいてください。子ヤ
ギを調理いたしましょう」。16 しか
しエホバの天使はマノアに言った。
「ここにいらしても、あなたが準備す
る物を食べません。でも、エホバに全
焼の捧げ物を捧げたいなら、そうして
ください」。マノアは、それがエホバの
天使だとは知らなかった。17 マノ
アはエホバの天使に言った。「お名前
を教えてください。お言葉がその通り
になる時、あなたをたたえるため
です。18 しかしエホバの天使は言っ
た。「どうして私の名前を尋ねるの
ですか。それは驚くべき名前です」。

19 マノアは子ヤギと穀物の捧げ物
を持ってきて、岩の上でエホバに捧げ
た。マノアと妻が見ていると、神は
驚くべきことを行った。20 祭壇か
ら炎が天の方に上がると、エホバの
天使が、マノアと妻が見ている中、そ
の炎の中を上っていった。直ちに2人
は地面にひれ伏した。21 その時マ
ノアは、それがエホバの天使だと悟っ
た。エホバの天使はマノアと妻に二
度と現れなかった。22 マノアは妻
に言った。「私たちは神を見てしまっ
た。きっと死んでしまう。23 しかし

妻は言った。「エホバが私たちを殺すつもりなら、私たちから全焼の捧げ物と穀物の捧げ物を受け入れなかったはずです。こうしたことを見せたり、あのようなことを告げたりもしなかったでしょう。」

24 その後、マノアの妻は男の子を産み、サムソンと名付けた。男の子は成長し、エホバはその子を祝福し続けた。25 やがて、ツォアルとエシュタオルの間のマハネ・ダンで、エホバの聖なる力がサムソンに働くようになった。

14 サムソンはティムナに下っていき、ティムナで、あるフィリスティア人女性を見た。2 そして上って行って、自分の両親にこう話した。「ティムナで、あるフィリスティア人の女性が目にと留まりました。彼女を私の妻として迎えてください。」3 両親は言った。「親族や私たちの民の中から女性が見つけれられないのか。無割礼のフィリスティア人の中から妻を迎えなければならないのか」。サムソンは父に言った。「彼女を迎えてください。私にふさわしい女性なのです。」4 両親は、このことがエホバから出ていることが分からなかった。彼はフィリスティア人と戦う機会をうかがっていたのである。その頃フィリスティア人はイスラエルを支配していた。

14:1 *直訳、「フィリスティア人の娘たちのうちの1人の女性」。14:3 *用語集参照。14:4 *もしかすると、「神」。

第13章

(例) 裁 13:16

(例) ヘブ 11:32

(例) ヨシ 15:20,33

(例) 裁 18:11,12

(例) 裁 3:9,10

裁 6:34

裁 11:29

サー 11:6

第14章

(例) 申 7:3

(例) 裁 13:1

第2欄

(例) 裁 13:24,25

(例) 裁 14:2

(例) 創 24:67

マタ 1:24

5 サムソンは両親と共にティムナに下っていった。彼がティムナのブドウ園まで来ると、突然、ライオンがほえながら向かってきた。6 サムソンはエホバの聖なる力を受けて、子ヤギを2つに引き裂くかのようにライオンを素手で2つに引き裂いた。しかし、自分がした事を父や母に話さなかった。7 そして下って行って、その女性と話した。サムソンから見、彼女は依然ふさわしい人だった。

8 その後、サムソンが彼女を連れてようとしてそこに戻る時に、脇に寄ってあのライオンの死骸を見ると、その中に蜜蜂の群れがいて、蜜があった。

9 サムソンは蜜を手にかき集め、歩きながら食べた。両親の所に戻って2人にも分けたが、ライオンの死骸から蜜をかき集めたことは話さなかった。

10 サムソンの父はその女性の所に下っていき、サムソンはそこで宴会を開いた。若者たちはよくそうしていたのである。11 人々は彼を見ると、30人の花婿付添人を連れてきて、付き添わせた。12 サムソンは彼らに言った。「どうか謎を掛けさせてください。もしこの7日間の宴会の間に解いて答えられたら、30枚の亜麻の下着と30着の衣装を差し上げます。13 でも、答えられなかったら、皆さんが30枚の亜麻の下着と30着の衣装を下さなければなりません」。彼らは言った。

「謎^{なぞ}を掛^かけてもらおう。聞^きこうじゃないか」。

第14章

(7) 裁 14:8,9

「食^たべる者^{もの}から食^たべる物^{もの}が出^で、
強^{つよ}い者^{もの}から甘^{あま}い物^{もの}が出^でた」。

(4) 裁 16:5

彼^{かれ}らは3日^{か かん}間^のこの謎^{なぞ}が解^とけなかつた。

第15章 4日^{か ぬ}目に、彼^{かれ}らはサムソンの妻^{つま}に言^いった。「夫^{おつと}をだまして、あ^いの謎^{なぞ}の

(7) 裁 16:15

答^{こた}えを聞^きいてきてくれ。さもないと、おまえもおまえの父^{ちち}親^{おや}の家^か族^{ぞく}も火^ひで焼^やいてやる。われわれの持^もち物^{もの}を取^とる

(4) 裁 16:16,18

た^{まね}めにここ^こに招^{まね}いたのか」。

(7) 裁 14:14

第16章 サムソンの妻^{つま}は彼^{かれ}に泣^なき付^ついてこ^こう言^いった。「あ^あなたは私^{わたし}が嫌^{きら}いな^なのね。愛^{あい}し

(7) 裁 14:15

て^ているわけ^{わけ}ないわ。私^{わたし}の民^{たみ}に謎^{なぞ}を掛^かけてお^おいて、私^{わたし}に答^{こた}えを教^{おし}えてくれな

第2欄

(7) 裁 13:24,25

裁 14:6

裁 15:14

い^いんだもの」。

第17章 サムソンは、しきりにせがまれたため、ついに7日^な目に謎^{なぞ}の答^{こた}えを教^{おし}え、彼^{かれ}女^{かのじょ}はそれ^{それ}を自^じ分^{ぶん}の民^{たみ}に伝^{つた}

(4) ヨシ 13:2,3

裁 1:18

えた。第18章 町^{まち}の人^{ひと}たちは7日^{か ぬ}目^ひ、日^ひが沈^{しず}む前^{まえ}にサムソンに言^いった。

(7) 裁 14:12

「蜜^{みつ}より甘^{あま}い物^{もの}がある^{ある}だろう^{らう}か。

ライオンより強^{つよ}い者^{もの}がある^{ある}だろ

う^うか」。

(4) 裁 14:2

サムソンは答^{こた}えた。

(7) 裁 14:11

裁 15:1,2

「私^{わたし}の若^{わか}い雌^{めう}牛^{うし}で耕^{たが}さなかつた

第15章

(7) 裁 14:17

なら、

あなた方^{がた わたし}は私^{なぞ}の謎^とを解^とけなかつた」。

第19章 サムソンはエホバの聖^{せい}なる力^{ちから}を受けて、アシュケロン^{う (7) アシュケロン}に下^{くだ}ってい^いてそこの人^{ひと}たちを30人^{にん}討^うち、彼^{かれ}らの着^きていた物^{もの}を取^とって、謎^{なぞ}に答^{こた}えた人^{ひと}たち^{たち}に衣^い装^{そう}を与^{あた}えた。そ^そして憤^{いきどお}ったま^ま父^{ちち}の家^{いえ}に戻^{もど}った。

第20章 サムソンの妻^{つま}は、花^{はな}婿^{むこ}付^{つき}添^そ人^{にん}として付^つき添^そっていた1人^{ひとり}に与^{あた}えられた。

第15章 しばらくして、小^こ麦^{むぎ}の収^{しゅう}穫^{かく}の時^{とき}期^きに、サムソンは子^こヤギ^{やぎ}を持^もって妻^{つま}を訪^{たず}ねた。そ^そして、「寝^{しん}室^{しつ}に

い^いる妻^{つま}の所^{ところ}に行^いきたい」と言^いったが、彼^{かれ}女^{かのじょ}の父^{ちち}親^{おや}はそれ^{それ}を許^{ゆる}さなかつた。

第2章 父^{ちち}親^{おや}は言^いった。「あ^あなたがあ^あの子^こを嫌^{きら}いにな^なったと思^{おも}ったので、花^{はな}婿^{むこ}付^{つき}添^そ人^{にん}に与^{あた}えま^ました。妹^{いもうと}の方^{ほう}が美^{うつく}しいで

は^はないで^ですか。ど^どうぞ妹^{いもうと}を代^かわり^りに妻^{つま}に^いしてくだ^{くだ}さい」。

第3章 サムソンは言^いった。「私^{わたし}がフィリスティア人^{じん}に害^{がい}を加^{くわ}えても、今^{こん}回は責^せめられ^{られ}ないはず^{はず}です」。

第4章 サムソンは出^で掛^かけてい^いってキツネ^{きつね}を300匹^{びきつ}捕^{つか}まえた。た^たい^いまつを^{よう}用^い意^いし、キツネ^{きつね}の尾^おと尾^おが向^むき合^あうよう^{よう}にさ

せ、2つ^{ふた}の尾^おを縛^{しば}り合^あわせて^あたい^いまつを1本^{ぽん}ず^つと^とり^り付^つけた。

第5章 その後^ごた^たい^いまつに火^ひを付^つけて、キツネ^{きつね}をフィリスティア人^{じん}の刈^かってない穀^{こく}物^{もつ}畑^{はたけ}に放^{はな}つた。

穀^{こく}物^{もつ}の束^{たば}から刈^かり取^とってない穀^{こく}物^{もつ}ま^まで全^{ぜん}ての物^{もの}と、ブドウ園^{ぶどうえん}とオリブ^{おリーブ}畑^{はたけ}に火^ひを放^{はな}つた。

(4) 裁 14:11,20

15:1 *または、「奥^{おく}の部屋^{へや}」。14:18 *もしかすると、「彼^{かれ}が奥^{おく}の部屋^{へや}に入る」。

6 フィリスティア人は「誰がこんなことをしたのか」と尋ね、こう告げられた。「サムソンだ。ティムナの人が娘婿サムソンの妻を取って花婿付添人に与えたからだ」。そこでフィリスティア人は出掛けていき、彼女と彼女の父親を火で焼いた。7 サムソンは言った。「そういうことをするなら、私はあなたたちに必ず復讐する」。8 そして彼らを次々に討ち、大勢を殺した。その後、エタムの大岩の洞窟に行ってそこに住んだ。

9 後に、フィリスティア人が来て、ユダの中に宿営を張り、レビをうろつき回った。10 ユダの人たちが、「どうして私たちを攻めに來たのですか」と言うと、こう答えた。「サムソンを捕まえて來た。あの男がわれわれにしたとおりにしてやるのだ」。11 ユダの人たち3000人がエタムの大岩の洞窟に行き、サムソンに言った。「フィリスティア人が私たちを支配していることを知らないのですか。それなのに、どうしてこんなことをしてくれたのですか」。サムソンは言った。「彼らにされた通りに彼らにしたのです」。12 ユダの人たちは言った。「あなたを捕まえてフィリスティア人に引き渡すために來ました」。サムソンは言った。「私を襲わない、と誓ってください」。13 人々は言った。「私たちは

15:8, 11 *または、「裂け目」。15:10 *または、「縛り」。15:12 *または、「縛って」。

第15章

(7) 裁 14:11,20

(7) 裁 14:15

(7) 裁 14:4

(7) サニ 23:11,12

(7) 裁 13:1

第2欄

(7) 裁 13:24,25
裁 14:5,6

(7) 裁 16:9,12

(7) 裁 3:31

(7) 裁 16:30

(7) 裁 15:9

(7) 出 17:6

あなたを縛って引き渡すだけで、殺したりはしません」。

人々はサムソンを2本の新しい縄で縛って大岩から連れていった。

14 サムソンがレビまで来ると、彼を見たフィリスティア人は、勝ち誇ったように叫んだ。その時エホバの聖なる力がサムソンに働き、両腕にあった縄は火で焦げた亜麻糸のようになり、彼の手から縄が外れた。15 サムソンは、死んだばかりの雄ロバの顎骨を見つけ、手を伸ばしてつかみ、その顎骨で1000人を討った。16 サムソンは言った。

「ロバの顎骨で、1山、2山!

ロバの顎骨で、1000人を討った」。

17 こう言い終わると、顎骨を投げ捨て、その場所をラマト・レビと呼んだ。18 サムソンは非常に喉が渇き、エホバに呼び掛けてこう言った。「この大勝利を私に与えてくださったのはあなたです。それなのに今、私は喉が渇いて死に、無割礼の者たちの手に落ちるのでしょうか」。19 神がレビにあるくぼ地を割って開けると、そこから水が出てきた。サムソンはそれを飲むと、元氣を取り戻し、回復した。それでその場所をエン・ハコレと名付けた。それは今もレビにある。

15:17 *意味、「顎骨の高大な所」。15:19 *意味、「呼ぶ者の泉」。

20 サムソンはフィリスティア人の時にイスラエルを20年間裁いた。

16 ある時サムソンはガザに行き、そこで娼婦を見て彼女の所に入った。2 ガザの人たちに、「サムソンが来た」という知らせがあった。それで人々は周りを取り囲み、町の門の中で夜通し待ち伏せした。「夜が明けたら彼を殺そう」と言って、一晩中静かにしていた。

3 サムソンは真夜中まで横になっていたが、真夜中に起き上がり、町の門の扉と両脇の柱をつかんで、かんぬきをつけたまま引き抜き、両肩に担いで、ヘブロンに面する山の頂上に運んだ。

4 その後、サムソンはソレクの谷にいた。5 フィリスティア人の領主たちは彼女の所に来て、こう言った。「彼をだまして、どうしてあんなに力があるのか、どうすれば彼を取り押さえて縛り、身動きできないようにさせられるのかを探り出してくれ。そうすれば、それぞれが銀1100枚を与えよう。」

6 デリラはサムソンに言った。「ねえ、教えて。あなたにはどうしてそんなに力があるの。何で縛れば、あなたは身動きできなくなるの。」7 サムソンは言った。「まだ乾いていない新しい弓弦7本で縛ったら、私も普通の人のように弱くなる。」8 フィリスティア人

第15章

創 49:16
裁 2:16
裁 13:1,5
裁 16:31
ヘブ 11:32

第16章

裁 16:18

裁 14:15

第2編

裁 15:14

裁 16:9

裁 16:7,11

の領主たちが、まだ乾いていない新しい弓弦7本を持ってきたので、彼女はそれでサムソンを縛った。9 人々が奥の部屋に待機し、彼女は、「サムソン、フィリスティア人が来たわ!」と叫んだ。すると、サムソンは弓弦を引きちぎった。火であぶられた亜麻糸がちぎれるかのようにだった。彼の力の秘密は知られなかった。

10 デリラはサムソンに言った。「もう、私をからかって、うそをついたのね。今度こそ、何で縛ったらいいか教えてちょうだい。」11 サムソンは言った。「新品の縄でしっかり縛ったら、私も普通の人のように弱くなる。」12 デリラは新しい縄で彼を縛ってこよう叫んだ。「サムソン、フィリスティア人が来たわ!」(その間ずっと、人々が奥の部屋に待機していた。)すると、サムソンはそれを糸のように引きちぎって腕から落とした。

13 その後デリラはサムソンに言った。「これまでずっと私をからかって、うそをついたわね。何で縛ったらいいか教えてなさい。」サムソンは言った。「7つに編んだ私の髪と織物用の糸を織り合わせたらいい。」14 デリラはサムソンの髪を機織り道具で留め、「サムソン、フィリスティア人が来たわ!」と叫んだ。するとサムソンは眠りから覚め、機織り道具と織物用の糸を引き抜いた。

16:9 *または、「粗麻糸」。16:14 *または、「おさ」。縦糸を整え、横糸を押さえるための道具。

16:4 *または、「ワジ」。16:5 *または、「説得して」。16:7 *または、「筋」。

15 デリラは言った。「私に心を開いてくれないのに、『愛している』なんてよく言えるわね。3回も私をからかって、どうしてそんなに力があるのか教えてくれないじゃない」。16 デリラが毎日小言を言って、しきりにせがんだため、サムソンは参ってしまった。17 とうとうサムソンは全てを打ち明けた。「私の頭にはかみそりが当てられたことがない。私は生まれた時から神のナジルなのだ。もし髪の毛をそり落とされたら、私は力を失って弱くなり、みんなのようになる」。

18 デリラは、サムソンが全てを打ち明けたのを見て取り、すぐにフィリスティアの領主たちを呼び、こう言った。「今度こそ来てください。あの人は全てを打ち明けました」。フィリスティアの領主たちはお金を持って彼女の所に来た。19 デリラは膝の上でサムソンを眠らせた。そして人々を呼んで、7つに編んだ彼の髪をそり落とさせた。その後、サムソンを制することができるようになった。サムソンは力を失っていったのである。20 デリラは叫んだ。「サムソン、フィリスティア人が来たわ!」サムソンは眠りから覚めて、「これまでのように出ていって振りほどこう」と言った。エホバが自分から離れたことを知らなかった。21 フィリスティア人は彼を捕まえて両目をえぐり取り、ガザに連れていって銅の足かせ2つをはめた。サムソンは牢屋で粉を

第16章
(例) 裁 14:16

(例) 裁 16:7
裁 16:11
裁 16:13

(例) 裁 14:17

(例) 民 6:5
裁 13:5,7

(例) 裁 16:5

(例) 裁 16:9
裁 16:12
裁 16:14

第2欄
(例) 裁 13:5

(例) サー 5:4

(例) 裁 15:4,5

(例) 裁 15:7,8
裁 15:15,16

(例) ヘブ 11:32

(例) 裁 14:5,6
裁 14:19
裁 15:14

(例) 裁 16:21

ひく者となった。22 彼の髪の毛は、そり落とされた後また伸び始めた。

23 フィリスティアの領主たちは、自分たちの神ダゴンに盛大に犠牲を捧げて祝うために集まった。こう言っていた。「われわれの神が敵のサムソンを引き渡してくれた!」24 民は自分たちの神の像を見ると、質美してこう言った。「われわれの神が敵を引き渡してくれた。われわれの土地を荒らして大勢を殺した者」。

25 人々はいい気分だったので、「サムソンを呼んで、笑いものにしよう」と言って、見せ物にするためにサムソンを牢屋から呼び出した。そして、柱の間に立たせた。26 サムソンは手をつかんでいた少年にこう言った。「この家を支える柱に触らせてくれないか。寄り掛かりたいんだ」。27 (ところで、その家は男女でいっぱい、フィリスティアの領主たちは皆そこにいた。屋上にいる約3000人の男女がサムソンを見て、笑いものにしていた。)

28 サムソンはエホバに向かって叫んだ。「主権者である主エホバ、どうか私を思い出してください。どうかもう一度だけ私を強くしてください、神よ。フィリスティア人に復讐させてください。私の2つの目のうち1つ分だけでも」。

29 サムソンは、その家を支える真ん中の2本の柱の間にしっかりと立ち、

その一方に右手を、もう一方に左手を押し付けた。30 サムソンは、「フィリステア人と共に死なせてください」と叫んだ。そして力いっぱい押すと、家は領主とそこにいた全ての人の上に崩れ落ちた。サムソンが死ぬ時にころひとを殺した人は、生きていた間に殺した人より多かった。

31 その後、サムソンの兄弟たちと父の家の全ての人が遺体を取りに来た。そして運んで行ってツォルアとエシュタオルの間にある父マノアの墓に葬った。サムソンはイスラエルを20年間裁いた。

17 エフライムの山地の人で、ミカという男性がいた。2 ミカは母親に言った。「お母さんは、銀1100枚を盗まれた時に、盗んだ人に災いがあるようお願いしていましたね。実は、その銀は私が持っています。取ったのは私です」。母親は言った。「エホバがわが子を祝福してくださいますように」。3 ミカが銀1100枚を返すと、母親は言った。「私は必ずこの銀をエホバにとって神聖なものとします。あなたが銀を使って彫刻像と金属像を作るためです。さあ、これはあなたのものです」。

4 ミカが銀を母親に返すと、母親は銀200枚を取って銀細工人に渡した。彫刻像と金属像が作られ、ミカの家に置かれた。5 ミカは神々の家を

17:3 *または、「鋳造された像」。

第16章
(例) 裁 16:27

(例) 裁 14:19
裁 15:7,8
裁 15:15,16

(例) 裁 13:2

(例) 裁 13:8

(例) 裁 2:16
裁 15:20

第17章
(例) ヨシ 17:14,15

(例) 出 20:4
レビ 26:1
申 27:15

第2欄
(例) 出 28:6
裁 8:27

(例) 創 31:19

(例) 民 3:10
申 12:11,13
代二 13:8,9

(例) サ一 8:4,5

(例) 裁 21:25

(例) ミカ 5:2

(例) 民 3:45
ヨシ 14:3
ヨシ 18:7

(例) 裁 17:1,5

(例) 民 3:10
裁 17:5

第18章
(例) 裁 8:23
サ一 8:4,5

(例) ヨシ 19:40

も持つていて、エフォドとテラフィム像を作り、息子の1人を自分のために祭司として任命した。6 その頃イスラエルに王はいなかった。各自が自分の正しいと思うことをしていた。

7 ユダのベツレヘムの若者で、ユダの家族の男性がいた。レビ族の人で、しばらくそこに住んでいた。8 この男性はどこか別の場所に住もうとしてユダのベツレヘムの町を出た。旅の途中でエフライムの山地に入り、ミカの家まで来た。9 ミカは言った。「どちらから来られたのですか」。その人は答えた。「私はレビ族の者で、ユダのベツレヘムから来ました。住む場所を探しているところです」。10 ミカは言った。「私の所に住んで、私の助言者に、また祭司になってください。年に銀10枚と、衣服一式、食べる物を差し上げます」。そこでレビ族の人は中に入った。11 レビ族の若者はミカの所に住むことに同意し、彼の息子の1人のようになった。12 ミカはレビ族の人を自分のために祭司として任命し、その人はミカの家に住んだ。13 ミカは言った。「エホバは私に良くしてくださるに違いない。レビ族の私が私の祭司になったからだ」。

18 当時、イスラエルに王はいなかった。その頃ダン族は住

17:5 *または、「家の神」、「偶像」。
#直訳、「手を満たした」。
17:6 *または、「自分から見て正しいこと」。
17:10 #直訳、「父」。
17:12 #直訳、「手を満たし」。

む土地を探していた。その時まで、イスラエルの諸部族の間で領地を十分に得ていなかったからである。

2 ダン族は、土地を偵察して探らせるために有能な5人をツオルアとエシュタオルから送り出し、「行って、土地を探ってきたさい」と言った。5人はエフライムの山地に入り、ミカの家の所まで来て、そこで夜を過ごした。3 ミカの家の近くにいる間に、レビ族の若者の声に気付いて、彼の所に立ち寄り、こう尋ねた。「誰に連れてこられたのですか。こんな所で何をしているのですか。なぜここにどまっているのですか。」4 若者は答えた。「ミカがこれのことをして、私を彼の祭司として雇ってくれたのです。」5 その人たちは、「私たちの旅がうまくいくかどうかを神に尋ねてください」と言った。6 祭司は言った。「安心して行きなさい。旅の間、エホバが共にいてくださいます。」

7 5人は進んでいったライシュにきた。そして、その人々がシドン人のように自立して住んでいるのを見た。人々は何の警戒もせずに平穩に暮らし、征服者の圧制に悩まされてもいなかった。シドン人たちからは遠く離れ、他の人々との関わりも全くなかった。

8 5人は、ツオルアとエシュタオルにいる兄弟たちの所に戻ると、「どうだったか」と聞かれた。9 こう答えた。

18:3 *または、「なまり」。

第18章

(ア) ヨシ 19:47,48
裁 1:34

(イ) ヨシ 19:41,48

(ウ) 裁 17:1,5

(エ) 裁 17:9,10

(オ) ヨシ 19:47,48
裁 18:29

(カ) 裁 18:27

(キ) ヨシ 15:20,33
裁 18:2

第2欄

(ア) 裁 18:7,27

(イ) 出 3:8
申 8:7-9

(ウ) 裁 18:2

(エ) サー 7:1

(オ) 裁 13:24,25

(カ) 裁 17:1,5

(キ) 裁 18:2
裁 18:29

(ク) 申 27:15
裁 17:4,5

(ケ) 裁 17:7,12
裁 18:30

(コ) 裁 18:11

(ク) 裁 18:2

(ケ) 出 28:6
裁 8:27

(コ) 創 31:19

(ヘ) レビ 19:4
申 27:15
裁 17:3-5

(ト) 裁 17:12

「攻め取りに行きましょう。非常に良い土地がありました。ためらう必要はありません。急いでその土地を取得しに行きましょう。10 そこに行くとき、何の警戒もしていない人々がいます。しかも土地は広々としています。神はそれらを皆さんに与えてくださいました。どんな物にも事欠かない所です」。

11 ダン族の武装した600人がツオルアとエシュタオルから出発した。

12 彼らは上っていった、ユダのキルヤト・エアリムの近くに宿営した。それで、キルヤト・エアリムの西にあるその場所は、今日までマハネ・ダンと呼ばれている。13 彼らはそこからエフライムの山地に進み、ミカの家の所まで来た。

14 ライシュを偵察してきた5人が兄弟たちに言った。「これらの家にエフォドやテラフィム像、彫刻像、金属像があるのを知っていましたか。どうしたらよいかを考えてください。15 彼らはそこに立ち寄り、5人はミカの家のそばにあるレビ族の若者の家に行き、どうしているかを尋ねた。16 その間ずっと、武装したダン族の600人は門の所に立っていた。17 土地を偵察してきた5人は、彫刻像、エフォド、テラフィム像、金属像を取ろうとして中に入った。(祭司は、武装した600人と門の所に立っていた。)

18:12 *意味、「ダンの宿営」。18:14, 17 *または、「家の神」、「偶像」。

がミカの家に^{いえ}入^{はい}って、彫^{ちよう}刻^{こく}像^{ぞう}、エフォ^エド、テラフィム像^{ぞう}、金属像^{きんぞく}を取^とると、祭^{さい}司^しは言^いった。「何^{なに}をしてい^いるのですか」。

19 彼^{かれ}らはい^い言^いった。「静^{しず}かにしなさい。手^てで口^{くち}を押^おさえて一^{いっ}緒^{しょ}に來^きて、私^{わたし}たちの助^{じよ}言^{げん}者^{しゃ}に、また祭^{さい}司^しになりなさい。1人^{ひとり}の人の家の祭^{さい}司^しでいるのと、イスラエル^いの1氏^し族^{ぞく}あるいは1部^ぶ族^{ぞく}の祭^{さい}司^しになるのとでは、どちらが良^よいでしょうか」。

20 祭^{さい}司^しは納^な得^{とく}し、エフォド^エとテラフィム像^{ぞう}と彫^{ちよう}刻^{こく}像^{ぞう}を持^もって人^{ひと}々^{たち}に加^{くわ}わった。

21 ダン^{だん}の人^{ひと}々^{たち}は向^むきを変^かえ、子^こ供^{ども}と家^か畜^{ちく}と貴^き重^{じゆう}品^{ひん}を先^{せん}頭^{とう}にし進^{すす}んだ。22 彼^{かれ}ら^らがミカ^{みか}の家^{いえ}から少^{せう}し離^りれた頃^{ころ}、ミカ^{みか}の家^{いえ}の近^{きん}所^{じよ}の人^{ひと}々^{たち}は集^{しゆう}合^{ごう}し、やがて彼^{かれ}らに追^おい付^ついた。

23 ダン^{だん}の人^{ひと}々^{たち}に向^むかっ^て叫^{さけ}ぶと、彼^{かれ}らは振^ふり返^{かえ}ってミカ^{みか}に言^いった。「どうしたのか。そん^おなに大^お勢^{せい}で」。24 ミカ^{みか}は言^いった。「あな^{わたし}た^{たち}は、私^{わたし}が作^{つく}った神^{かみ}々^{がみ}を取^とり、祭^{さい}司^しまで連^つれてい^いきまし^た。私^{わたし}には何^{なに}も残^{のこ}っていません。『どうしたのか』など^いと、よく言^いえま^すね」。

25 ダン^{だん}の人^{ひと}々^{たち}は言^いった。「つべこべ言^いうな。さ^ちもな^けいと、血^ちの氣^けの多^{おほ}い男^{おとこ}々^{たち}が襲^{おそ}い掛^かかっ^て、おま^いえも家^{いえ}の者^{もの}たちも死^しめ^ることにな^るぞ」。26 ダン^{だん}の人^{ひと}々^{たち}は進^{すす}んでい^いき、ミカ^{みか}は彼^{かれ}らの方^{ほう}が強^{つよ}い^みのを見^みて引^ひき返^{かえ}し、家^{いえ}に戻^{もど}った。

27 ダン^{だん}の人^{ひと}々^{たち}は、ミカ^{みか}が作^{つく}った物^{もの}

18:18, 20 *または、「家の神」、「偶像」。18:19 *直訳、「父」。18:25 *または、「苦々しく思う」。

第18章

(例) 裁 17:12

(例) 裁 18:30

(例) 裁 17:4,5

第2欄

(例) ヨシ 19:47,48
裁 18:29

(例) 裁 18:7,10

(例) 民 13:17,21

(例) ヨシ 19:47,48
裁 20:1
王一 4:25
王一 12:28,29(例) 創 30:6
創 32:28

(例) 裁 18:7

(例) 裁 17:1,4
裁 18:18

(例) 出 2:21,22

(例) 裁 17:12

(例) 出 40:2
ヨシ 18:1
サー 1:3

第19章

(例) サー 8:4,5

(例) ヨシ 17:14,15

(例) 創 35:19
ミカ 5:2

と彼^{かれ}の祭^{さい}司^しを奪^{うば}った後^{あと}、ライシュに^い行^いった。そし^いて、何^{なん}の警^{けい}戒^{かい}もせ^いず^{へい}に平^{へい}行^いった。おん^{おん}く^くと^{ひと}び^と何^いつ^らる^るま^まち^ち穩^まに暮^くらして^いる人^{ひと}々^{たち}を剣^{けん}で討^うち、町^{まち}を火^ひで焼^やいた。28 ライシュ^{らいしゅ}を救^{すく}う人^{ひと}はい^いな^なか^かつ^つた。そこはシドン^{しどん}から^は遠^{とお}く、バト・レホ^{ばと・れほ}ブ^ぶが所^{しよ}有^{ゆう}する谷^{たに}あい^{へい}の平^{へい}原^{げん}に^たあり、他^たの人^{ひと}々^{たち}との関^{かん}わりも全^まく^もな^なか^かつ^つたから^{であ}る。ダン^{だん}の人^{ひと}々^{たち}は町^{まち}を建^たて直^{なお}してそ^そこに住^すむよ^{よう}にな^なつ^つた。

29 そし^そて、そ^その町^{まち}を自^じ分^{ぶん}たち^{たち}の父^{ちち}の^なま^{まえ}に^なち^ちな^なん^んで^でダン^{だん}と呼^よんだ。ダン^{だん}はイス^いス^すラ^らエ^えル^るの息^{むすこ}子^こである。町^{まち}の名^な前^{まえ}は^いぜ^{ぜん}ん^んライ^{らい}シュ^{しゅ}だ^だつ^つた。30 そ^その^ご後^ごダ^だン^んの人^{ひと}々^{たち}はそ^そこに彫^{ちよう}刻^{こく}像^{ぞう}を立^たて^た。モー^もー^おセ^せの^こ子^こゲ^げル^るシ^しョ^ょム^むの^し子^こ孫^{そん}ヨ^よナ^なタ^たン^んとそ^その^し子^こ孫^{そん}が、捕^{ほし}囚^{しゆう}の時^{とき}ま^でダン^{だん}族^{ぞく}の^{さい}し^しと^なつ^つた。31 人^{ひと}々^{たち}は、真^{しん}の^{かみ}神^{かみ}の^いえ^えが^しロ^ろにあ^あつ^つた間^{あいだ}ず^ずつ^つと、ミカ^{みか}が^{つく}つ^つた^{ちようこくぞう}彫^{ちよう}刻^{こく}像^{ぞう}をそ^そこに立^たて^てお^おい^いた。

19 イス^いス^すラ^らエ^えル^るに王^{おう}がい^いな^なか^かつ^つた時^{とき}の^{こと}、レ^れビ^び族^{ぞく}の^{ある}人^{ひと}がエ^えフ^ふラ^らイ^いム^むの^山地^ちの奥^{おく}深^{ふか}く^に住^すんで^{いて}、ユ^よダ^だの^ベツ^つレ^れヘ^へム^むの^女性^{せい}をそ^{そば}め^めとして迎^{むか}えた。2 とこ^{ところ}が、そ^{そば}め^めは彼^{かれ}に不^ふ忠^{ちゆう}実^{じつ}で、彼^{かれ}の^{もと}を去^さってユ^よダ^だの^ベツ^つレ^れヘ^へム^むに^{ある}父^{ちち}親^{おや}の^家に行^いき、そ^{そこ}こに4^{げつ}カ^か月^{げつ}とど^まつ^つた。3 夫^{おとこ}は、戻^{もど}る^{よう}説^{せつ}得^{とく}する^ため^にに^{彼女}の^後を^追つ^つた。従^{じゆう}者^{しや}と^{ロバ}2^に頭^{あたま}が^一緒^{いっしょ}だ^だつ^つた。そ^{そば}め^めは彼^{かれ}を^父親^{ちちおや}の^家に^いら^はせ^せた。父^{ちち}親^{おや}は彼^{かれ}を見^みて、喜^{よろこ}んで^{むか}え^えた。4 し^しゅ^うとは^彼を³日^か間^{かん}引^ひき^と留^どめ^めた。

かれ た の かれ
彼らは食べたり飲んだりし、彼はそこ
に泊まった。

5 4日目、朝早く起きて出掛けよう
とすると、しゅうとは娘婿にこう言っ
た。「体力が持つよう何か食べなさい。
それから出掛けたい」。6 そこ
で彼らは腰を下ろし、一緒に食べたり
飲んだりした。その後、しゅうとは言っ
た。「泊まってゆっくりしていきな
さい」。7 その人は立って出掛けよう
としたが、しゅうとがしきりに頼むので、
もう1晩泊まった。

8 5日目、娘婿が朝早く起きて出掛
けようとする、しゅうとは言った。「体
力が持つように何か食べていきな
さい」。彼らがぐずぐずしているうちに、
屋が過ぎたが、2人とも食べ続けてい
た。9 娘婿がそばめと従者と共に
立って出掛けようとする、しゅうとは
言った。「見なさい、間もなく夕方にな
る。泊まっていきなさい。1日がもう終
わろうとしている。ここに泊まってゆっ
くりしていなさい。明日、旅のために
早く起きて家に向かったらいい」。

10 しかし、その人はもう1晩泊まりた
いとは思わず、出発し、エブスつまりエ
ルサレムまで旅した。くらを置いたロ
バ2頭、そばめと従者が一緒だった。

11 一行がエブスの近くにきた頃、
日がかなり傾いてきたため、従者は主
人に言った。「このエブス人の町で1

第19章

㉔ ヨシ 15:8, 63
ヨシ 18:28
裁 1:8

第2欄

㉔ ヨシ 18:28

㉔ ヨシ 18:21, 25

㉔ 創 19:2

㉔ 裁 19:1

㉔ ヨシ 18:21, 28

㉔ 裁 19:1, 2

㉔ 創 24:32

㉔ 創 18:5

創 19:3

ばん と ほう
晩泊まった方がよろしいでしょうか」。

12 しかし主人は言った。「イスラエル
人ではない外国人の町には立ち寄ら
ない方がいい。ギベアまで行こう」。

13 さらにこう言った。「さあ、ギベア
からマまで行こう。そのどちらかに泊
まるのだ」。14 一行は進んでいき、
ベニヤミンの町ギベアに近づいた頃
に日が沈み始めた。

15 一行はそれ以上進まず、ギベア
に泊まることにした。そして町に入っ
て広場に腰を下ろしたが、家に連れて
いって泊めようとする人は一人もい
なかった。16 やがて、その晩、ある老
人が畑仕事から戻ってきた。その人は
エフライムの山地の人で、しばらくギ
ベアに住んでいた。町の住民はベニ
ヤミン族だった。17 老人は目を上
げて、旅人が町の広場にいるのを見
ると、こう言った。「どちらへ行かれるの
ですか。どこからおいでになったので
すか」。18 彼は言った。「ユダのベ
ツレヘムからエフライムの山地の奥深
くに向かっています。私はその者で、
ユダのベツレヘムへ行ってきました。
エホバの家に行くところですが、誰も
自分の家に迎えてくれないのです」。

19 ロバのためのわらも飼い葉もあ
り、私とこの女性と従者のためのパン
もぶどう酒もあります。足りないものは
何もありません」。20 老人は言っ
た。「あなたに平和がありますように！

19:18 *もしかすると、「で仕えています」。

19:5, 8 *または、「心を養うために」。19:6
*または、「心を楽しませて」。

必要な物があれば私が面倒を見ます。
 広場で夜を過ごすのだけはおやめな
 さい」。21 そして彼らを自分の家に
 連れていき、ロバに餌を与えた。一行
 は足を洗って、食べたり飲んだりした。

22 彼らがぐつろいでいると、町のど
 うしようもない男たちが家を取り囲ん
 で戸を激しくたたきながら、家の持ち
 主である老人にこう言い続けた。「お
 まえの家にいった男を出せ。われわ
 れはそいつと寝るのだ」。23 家の
 持ち主は出ていって、こう言った。「い
 や、兄弟たち、悪いことはしないでく
 れ。お願いだ。あの人は私の家の客
 だ。そのような恥ずべき行いをしては
 いけない。24 私の処女の娘とあ
 の人のそばめがいる。2人を出すか
 ら、どうしても言うなら彼女たちを辱
 めるがよい。しかし、あの人にそのよ
 うな恥ずべき行いをすることは許され
 ない」。

25 それでも、男たちが耳を貸そう
 としなかったので、旅人は自分のそば
 めをつかんで、彼らのもとに連れ出し
 た。男たちはその女性を犯して朝まで
 夜通し虐待し、夜明けに去らせた。
 26 そばめは朝早くに戻ったが、主人
 がいる家の入り口で倒れ、明るくなる
 までそのままだった。27 主人が朝
 起きて、旅を続けるために家の戸を開
 けて外に出ると、その女性、自分のそ

19:21 *または、「混合飼料」。19:24 *または、「彼女たちを虐待してあなたたちが良いと思うことをする」。

第19章

(イ) 創 19:4,5
 レビ 20:13
 ロマ 1:27
 コー 6:9,10
 ユダ 7

(イ) 創 19:6-8

(イ) 裁 19:2

第2欄

(イ) 裁 20:7

第20章

(イ) ヨシ 19:47,48
 裁 18:29

(イ) ヨシ 22:9

(イ) サー 7:5
 サー 10:17
 王二 25:23

(イ) 裁 20:17
 サニ 24:9

(イ) 裁 19:22

(イ) 裁 19:1,2

ばめが両手を敷居に掛けたまま家の
 入り口に倒れていた。28 「起きな
 い。さあ行こう」と言ったが、返事はな
 かった。その人は彼女をロバに乗せ、
 自分の家に向かった。

29 その人は家に着くと、短刀を取
 り、そばめの遺体をつかんで12の部分
 に切り分け、イスラエルの各領地に1
 つずつ送った。30 それを見た人は
 皆こう言った。「このようなことは、イス
 ラエル人がエジプトから上ってきてか
 ら今日まで起きたことも見たこともな
 い。この件をよく考え、話し合い、意見
 を述べなさい」。

20 そのため、ダンからベエル・
 シェバまで、またギレアド地
 方から、全てのイスラエル人が出てき
 た。民全体はミツパでエホバの前に結
 集した。2 民すなわちイスラエル全
 部族の長たちは、神の民の会衆の中
 に立った。剣を帯びた歩兵が40万人
 いた。

3 ベニヤミン族は、イスラエルの人
 たちがミツパに来たことを聞いた。

イスラエルの人たちは言った。「教
 えてほしい。どうしてこれほどひどい事
 件が起きたのか」。4 殺害された女
 性の夫であるレビ族の人が答えた。
 「私はそばめと一緒に、1晩泊まるた
 めにベニヤミンのギベアに行きまし

19:30 *または、「に心を留め」。20:1 *直訳、
 「1人の人のように集まった」。20:2 *用語集
 参照。

た。5 ギベアの住民は私に向かつて立ち上がり、夜、家を取り囲みました。私を殺すつもりでしたが、代わりに私のそばめを犯し、彼女は死にしました。6 私はそばめの遺体をつかんで切り分け、イスラエルの各地に送りました。イスラエルで非常に恥ずべき行いがなされたからです。7 イスラエルの民の皆さん、どうすべきか考えを聞かせてください」。

8 民全員が一斉に立ち上がって、こう言った。「私たちは誰も自分の天幕に行ったり家に戻ったりしない。9 ギベアに対して次のようにする。くじを引いてそこを攻める。10 イスラエルの全部族から、100人のうち10人、1000人のうち100人、1万人のうち1000人を取って、軍隊のために食糧を集めさせ、ベニヤミンのギベアに対して行動できるようにする。イスラエルでの彼らの恥ずべき行いのためだ。11 こうしてイスラエルの全ての人は同盟し、その町に対して結集した。

12 イスラエルの諸部族は、ベニヤミン族全員に向けて使いを送り、こう言った。「皆さんの間で起きたこのひどい事件はどういうことですか。13 さあ、ギベアのどうしようもない男たちを引き渡してください。その者たちを殺してイスラエルから悪を除き去

20:5 *もしかすると、「地主」。20:8 *直訳、「1人の人のように」。20:11 *直訳、「1人の人のように集まった」。

第20章
(例) 裁 19:12,14

(例) 裁 19:25,26

(例) 裁 19:29

(例) 裁 19:30

(例) 裁 20:18
格 16:33

(例) 裁 19:22,25

第2欄

(例) 申 13:5
申 17:7
申 22:22
コー 5:6,13

(例) 裁 20:2

(例) 出 28:30
民 27:21
裁 20:27

ります」。しかしベニヤミン族は、兄弟であるイスラエル人が言うことを聞くとしなかった。

14 ベニヤミン族はイスラエルの人々と戦うために町々からギベアに集まった。15 その日、ベニヤミン族はギベアの精鋭700人のほかに、剣を帯びた2万6000人を町々から招集した。16 この軍隊には左利きの精鋭700人がいた。皆、石投げ器で髪の毛1本を狙って外さない人たちだった。

17 ベニヤミン以外のイスラエルの人たちは、剣を帯びた40万人を招集した。皆、経験を積んだ戦士だった。18 彼らは立ってベテルに上っていき、神に尋ねた。イスラエルの人々が、「私たちのうち誰が先頭に立ってベニヤミン族と戦うべきでしょうか」と言うとき、エホバは「ユダが先頭に立つ」と答えた。

19 この後、イスラエル人は朝に立ち上がり、ギベアに対して陣営を張った。

20 イスラエルの人たちはベニヤミンと戦うために出ていき、ギベアで彼らに対して戦闘隊形を組んだ。21 ベニヤミン族はギベアから出てきて、その日、イスラエルの2万2000人を討った。22 しかし、イスラエルの人たちの軍隊は勇気を示し、最初の日と同じ場所で再び戦闘隊形を組んだ。23 イスラエル人は上っていった。24 エホバの前で泣き、エホバ

に尋ねた。「兄弟であるベニヤミンの人々との戦いに再び行くべきでしようか」。エホバは「攻めに行きなさい」と言った。

24 イスラエル人は2日目にベニヤミン族に近づいた。**25** ベニヤミン族は2日目もギベアから出てきて迎え撃ち、イスラエル人をさらに1万8000人討った。皆、剣を帯びた人たちだった。**26** イスラエルの全ての人はベテルに上っていき、そこで泣きながらエホバの前に座り、その日、夕方まで断食をして、全焼の捧げ物と共食の捧げ物をエホバの前に捧げた。**27** それからイスラエルの人たちはエホバに尋ねた。当時はそこに真の神の契約の箱があったのである。**28** 当時、アロンの子エレアザルの子であるピネハスがその前で奉仕していた。人々が、「兄弟であるベニヤミンの人々と戦うためにもう一度出ていくべきでしようか。それともやめるべきでしようか」と尋ねると、エホバはこう答えた。「行きなさい。明日、私はあなたたちを勝たせるからである」。**29** イスラエルはギベアの周囲に伏兵を配置した。**30** イスラエル人は3日目にベニヤミン族に向かっていき、それまでと同じようにギベアに対して隊形を組んだ。**31** ベニヤミン族は迎え撃とうと出てきて、町から引き離された。そして、それまでと同じように人々を襲って

第20章

(7) 裁 20:28

(1) 裁 20:21

(7) 裁 20:23

(2) 代ニ 20:3
エズ 8:21

(7) レビ 1:3

(7) レビ 3:1

(4) 民 27:21
裁 20:18(7) 出 6:25
民 25:7

(7) 裁 20:23

(7) ヨン 8:3,4

(7) 裁 20:20,22

(7) 裁 20:36

第2欄

(7) 裁 20:39

(1) 裁 20:21,25

(7) 裁 20:28,48

(2) 裁 20:14,15
裁 20:46

(7) 裁 20:31

(7) 裁 20:29

殺し始めた。一方はベテルに他方はギベアに通じる街道で、イスラエルの30人ほどの死体が野原に残された。**32** ベニヤミン族は言った。「彼らは今までと同じようにわれわれの前で敗北していくぞ」。一方イスラエル人は言った。「退却し、彼らを町から引き離して街道におびき出そう」。**33** イスラエルの全ての人は自分たちの場所から立ち上がってバアル・タマルで隊形を組み、伏兵のイスラエル人はギベア近辺の潜んでいた場所から突撃した。**34** イスラエル全体の精鋭1万人がギベアの正面に進んで、激戦になった。ベニヤミン族は、災難が迫っていることを知らなかった。

35 エホバはベニヤミンをイスラエルの前で打ち破った。その日、イスラエル人はベニヤミンの2万5100人を討った。皆、剣を帯びた人たちだった。

36 ベニヤミン族は、イスラエルの人たちが退却するので彼らが敗北すると思った。しかし、イスラエルの人たちはギベアに対して配置した伏兵を信賴して退却したのだった。**37** 伏兵は素早く行動し、ギベアに突撃した。それから散らばって町中の人々を剣で討った。

38 イスラエルの人たちは、伏兵が町から煙で合図することに決めていた。

39 イスラエル人が戦闘中に向きを変えると、ベニヤミンの人たちはイスラエルを襲い始め、30人ほどを殺し

た。そして、「彼らは前回の戦闘の時と同じように今回もわれわれの前で敗北していくぞ」と言った。40 合図の煙が町から上り始めた。ベニヤミンの人たちが振り返ると、町全体が火に包まれて炎が空に上っていくのが見えた。41 イスラエルの人たちは反撃を始めた。ベニヤミンの人たちは、災難が降り掛かってくるのを見て、うろたえた。42 そしてイスラエルの人たちの前から荒野の方に退却したが、戦闘は避けられなかった。町々から出てきた人々も彼らを討つことに加わった。43 イスラエル人はベニヤミン族を取り囲んで激しく迫り、ギベアのすぐ前、その東側で打ち破った。44 ベニヤミンの1万8000人が倒れた。皆、強い戦士だった。

45 ベニヤミンの人たちは向きを変えて荒野に逃げ、リモンの大岩に向かった。イスラエル人は街道で彼らのうち5000人を殺し、ギドオムまで追って行ってさらに2000人を討った。46 その日に倒れたベニヤミンの人たちは合計2万5000人になった。剣を帯びた人たちで、皆、強い戦士だった。47 600人は荒野に退却してリモンの大岩に行き、リモンの大岩に4カ月いた。

48 イスラエルの人たちはベニヤミン族に向かって引き返し、町にあるもの、人から家畜まで残っていたもの全

第20章

(イ) 裁 20:31

(イ) 裁 20:21,25

(イ) 裁 20:15

(イ) 裁 21:13

(イ) 裁 20:15,35

第2欄

第21章

(イ) 裁 20:1

(イ) 裁 21:18

(イ) 裁 20:18,26

(イ) レビ 3:1

(イ) 裁 21:1,18

(イ) レビ 5:4
レビ 19:12
マタ 5:33

(イ) 裁 20:1

てを剣で討った。さらに、通り道の全ての町に火を放った。

21 イスラエルの人たちはミツパで、「私たちは誰も娘をベニヤミンの男性に妻として与えない」という誓いを立てていた。2 そのため、民はベテルに行き、そこで夕方まで真の神の前に座り、声を上げて激しく泣いた。3 こう言っていた。「イスラエルの神エホバ、なぜこのようなことがイスラエルで起きたのでしょうか。なぜ1つの部族が今日イスラエルからなくなればならないのでしょうか」。4 次の日、民は早く起きてそこに祭壇を作り、全焼の捧げ物と共食の捧げ物を捧げた。

5 イスラエルの民は言った。「イスラエルの全部族の中で、上ってきてエホバの前に集まらなかったのは誰か」。民は、ミツパに、エホバのもとに上ってこなかった人を必ず死刑にする、と固く誓っていた。6 イスラエルの民は、兄弟であるベニヤミンに起きたことを悲しみ、こう言った。「今日1つの部族がイスラエルから切り落とされた。7 残った人たちが妻を持つためにどうしたらよいだろうか。私たちは、自分の娘を彼らに妻として与えないとエホバに懸けて誓ったのだ」。

8 民は言った。「イスラエルの部族の中で、ミツパに、エホバのもとに上ってこなかったのは誰か」。民が集まる陣営にヤベシュ・ギレアデからは

だれも来ていなかったことが分かった。

9 民を数えてみると、ヤベシュ・ギレア

デの住民はそこに一人もいなかった。

10 民は、最も強い人たち1万2000

人をそこに遣わし、こう命じた。「行っ

て、ヤベシュ・ギレアデの住民を女性や

子供も剣で討ちなさい。11 こうすべ

きである。全ての男性と、男性と性関

係を持ったことのある全ての女性を滅

ぼし尽くしなさい。12 ヤベシュ・ギ

レアデの住民の中に、男性と性関係を

持ったことのない400人の処女娘

が見つかり、カナン地方にあるシロの

宿営に連れてこられた。

13 民全員は、リモンの大岩にいる

ベニヤミン族に人を遣わし、和平を

呼び掛けた。14 その時ベニヤミ

ン族は戻ってきた。民は、生かして

おいたヤベシュ・ギレアデの女性た

ちを引き渡したが、人数が足りなかつ

た。15 民はベニヤミンに起きたこ

とを悲しんだ。エホバがイスラエルの

部族間に分裂を生じさせたからだっ

た。16 民の長老たちは言った。「残

りの人たちが妻を持つためにどうした

らよいだろうか。ベニヤミンの女性は

全滅しているのだ。17 そしてこう

言った。「1つの部族がイスラエルから

消し去られることがないよう、ベニヤミ

ンの生き残った人たちが相続地を維

持できるようにすべきだ。18 だが、

私たちが自分の娘の中から彼らに妻

を与えることは許されない。イスラエ

第21章

(例) 裁 21:5

(例) ヨシ 18:1

(例) 裁 20:46,47

(例) 裁 21:8,12

(例) 裁 21:6

第2欄

(例) レビ 19:12

裁 21:1

(例) ヨシ 18:1

(例) 裁 21:12,14

(例) 裁 21:1,18

(例) 裁 20:48

(例) 裁 17:6

サ-8:4,5

ルの民は、『ベニヤミンに妻を与える
人は災いを受ける』と誓ったからだ」。

19 長老たちは言った。「そうだ、シ

ロで毎年エホバの祭りがあ

る。シロはベテルの北、ベテルからシェケムに

上る街道の東、レボナの南にある」。

20 そしてベニヤミンの人たちにこう

命じた。「行って、ブドウ園で待ち伏せ

しなさい。21 シロの若い女性たち

が出てきて輪になって踊る時、ブドウ

園から出ていって、各自その女性たち

の中から妻を取り、ベニヤミンの土地

に戻りなさい。22 もし父親や兄弟

たちが訴えてきたら、私たちはこう言

おう。『彼らを助けてやってほしい。私

たちは戦争だけでは全員に妻を持た

せてやれなかつたし、あなたたちは彼

らに妻を与えれば罪を負うことになっ

たのだ』。

23 ベニヤミンの人たちはその通り

にし、踊っている女性たちの中から妻

を各自さらい取った。その後、自分

たちの相続地に戻り、町を建て直して

そこに住むようになった。

24 イスラエル人はその時そこから

散って、それぞれ自分の部族と家族の

もとに戻った。そこから出ていって、そ

れぞれ自分の相続地に戻った。

25 その頃イスラエルに王はいな

かった。各自が自分の正しいと思うこ

とをしていた。

21:21 * 直訳、「娘」。21:25 * または、「自分

から見て正しいこと」。

ルツ記

概要

- エリメレクの一家がモアブに移住する (1, 2)
ナオミ、オルバ、ルツは夫を亡くす (3-6)
ルツは、ナオミとナオミの神から離れない (7-17)
ナオミはルツと一緒にベツレヘムに戻る (18-22)
- ルツはボアズの畑で落ち穂を拾う (1-3)
ルツとボアズが出会う (4-16)
- ルツはボアズの親切についてナオミに話す (17-23)
- ナオミはルツに指示を与える (1-4)
脱穀場でのルツとボアズ (5-15)
ルツはナオミの所に戻る (16-18)
- ボアズは買い戻しをする (1-12)
ボアズとルツの間にオベダが生まれる (13-17)
ダビデの系譜 (18-22)

1 裁き人が裁きを行っていた時代に、ある男性が妻と2人の息子連れて、ユダのベツレヘムからモアブの田舎に移住した。2 その男性の名前はエリメレク、妻はナオミ、息子はマフロンとキルヨンで、皆、ユダのベツレヘムつまりエフラタの人だった。一家はモアブの田舎に落ち着いた。

3 やがてエリメレクは死に、妻のナオミと息子2人が後に残された。

4 その後、息子たちはそれぞれオルバとルツというモアブ人の女性と結婚した。それから10年ほどが過ぎた。

5 そして息子のマフロンとキルヨンが死に、ナオミは夫にも子供にも先立たれてしまった。6 それでナオミは、嫁たちと一緒にモアブの田舎から

1:2 *意味、「私の神は王」。*意味、「私の快さ」。△もしかすると、「弱くなる」、「病気になる」という意味のヘブライ語に由来。*意味、「衰える者」、「終わりを迎える者」。

第1章
例裁 2:16

例ミカ 5:2

例創 19:36, 37
申 2:9
裁 3:30

例マタ 1:5

第2欄
例出 34:6
ルツ 2:20

例ルツ 3:1

故国に帰ることにした。エホバがご自分の民に注意を向けて食物を与えていることを、モアブで聞いたからだった。

7 ナオミは嫁2人と一緒に、住んでいた場所を離れた。ユダの土地に戻る道を歩いている途中、8 ナオミは嫁たちに言った。「さあ、2人とも実家に帰りなさい。エホバがあなたたちに揺るぎない愛を示してくださいますように。あなたたちも、死んだあの子たちや私に揺るぎない愛を示してくださいました。9 あなたたちが夫を見つけ、安心して暮らせるよう、エホバが助けてくださいますように」。そしてナオミは2人の頬に口づけした。彼女たちは大きな声で泣いた。10 2人は、「お母さんの国と一緒にいきます」と言い続けた。11 しかしナオミは言った。

1:6 *直訳、「パン」。1:9 *または、「エホバが贈り物を与え、あなたたちが夫の家で休み場を見つけれられますように」。1:10 *直訳、「民の所」。

「2人とも、帰らないさい。一緒に来てどう
 するの。私がまだ男の子を産むことが
 できて、その子たちがあなたたちの夫
 になるとでもいうの? 12 2人とも、帰
 りなさい。私はもうこの年では結婚で
 きないわ。もし今晚誰かと結婚できて、
 男の子を産めたとしても、13 その子
 たちが大人になるのを待つつもりな
 の? それまで再婚しないの? そんな
 ことはしないで。あなたたちがあまり
 にもかわいそうだわ。エホバに突き
 放されたのは私なのに」。

14 彼女たちはまた大きな声で泣い
 た。その後、オルパはしゅうとめの類
 に口づけて去っていった。しかし、ル
 ツは離れようとしなかった。15 それ
 でナオミは言った。「オルパは自分の
 民と神々のもとに帰ったわよ。あなた
 も一緒に帰りなさい」。

16 しかしルツは言った。「お母さ
 ンを見捨てて帰りなさいなんて言わな
 いでください。お母さんと同じ所に行
 き、同じ所で夜を過ごしたいんです。お
 母さんの民が私の民、お母さんの神が
 私の神です。17 お母さんと同じ所
 で死に、そこで葬ってもらいます。生き
 ている限り、ずっと一緒にいます。もし
 そうしなかったら、エホバが私を厳し
 く罰しますように」。

18 ルツがどうしても付いてようと
 するので、ナオミは説得するのをやめ
 た。19 2人は旅を続け、ベツレヘム

第1章
 (例) 申 25:5,6

(例) ルツ 1:20

(例) ルツ 2:11,12

第2欄
 (例) ルツ 1:1,2

(例) ルツ 1:13

(例) ルツ 1:3,5

(例) 民 21:13
 ルツ 1:1

(例) ルツ 2:23

第2章
 (例) ルツ 2:20
 ルツ 4:21,22
 マタ 1:5
 ルカ 23:23,32

(例) レビ 23:22
 申 24:19

(例) ルツ 1:2

(例) ルツ 2:20

に着いた。するとすぐに町全体がざわ
 めき始め、女性たちは「あの人は本当
 にナオミなの?」と言った。20 ナオ
 ミは女性たちに言った。「私をナオミ
 ではなく、マラと呼んでください。全能
 者は私にとても苦しい経験をさせたから
 です。21 私は多くのものを持って出
 ていきましたが、エホバは私が全てを
 失って帰るようにされました。全能者
 エホバが私をつらい目に遭わせ、不
 幸にされたのですから、私をナオミと
 は呼ばないでください」。

22 こうしてナオミはモアブ人の嫁
 ルツと一緒にモアブの田舎から帰っ
 てきた。2人がベツレヘムに着いたの
 は、大麦の収穫が始まる頃だった。

2 さて、ナオミには、夫の親族でと
 ても裕福な人がいた。ボアズと
 いう名前で、エリメレクと同じ氏族の
 人だった。

2 モアブ人のルツはナオミに言っ
 た。「畑に行かせてください。どなた
 か親切に受け入れてくださる方の後ろ
 に付いて落ち穂を拾います」。ナオミ
 は言った。「行ってきたさい」。3 そ
 こでルツは出ていって、収穫する人た
 ちの後ろで落ち穂を拾い始めた。そこ
 は偶然にも、エリメレクと同じ氏族の
 ボアズの土地だった。4 ちょうどそ
 の時、ボアズがベツレヘムから来て、
 収穫する人たちに言った。「エホバが

1:20 *意味、「私の快さ」。#意味、「苦しい」。

あなたたちと共にいてくださいますように」。彼らは、「あなたにエホバの祝福がありますように」と答えた。

5 ボアズは、収穫する人たちを監督する若者に尋ねた。「あの若い女性はどこの家の人ですか」。6 若者は答えた。「モアブ人で、ナオミと一緒にモアブの田舎から来ました」。7 あの女性性は、『落ち穂を拾ってもいいでしょうか。収穫する人たちが刈り取って残した穂の間で拾います』と言いました。今朝来た時から、たったいま小屋で少し座って休むまで、ずっと働いていました」。

8 ボアズはルツに言った。「ちよつとよろしいですか。ほかの畑に落ち穂拾いに行く必要はありません。ほかの所へは行かず、うちの若い女性たちのそばにいます。9 うちの女性たちが収穫する畑に目を留めて、付いていきなさい。若い男たちには、あなたに手出ししないよう命じておきました。喉が渇いたら、水がめの所に行つて、若者たちがくんだ水を飲みなさい」。

10 ルツは、ひれ伏して言った。「親切に受け入れ、気に掛けてくださるの、はどうしてでしょうか。私は外国人ですのに」。11 ボアズは答えた。「あなたが夫の死後もしゅうとめに尽くしてきたこと、父や母や故国を離れて知らない国へ来たことについて、詳しい

2:7、15 *もしかすると、「束」。2:9 *または、「あなたの邪魔を」。2:11 *直訳、「民の所」。

第2章

(例) ルツ 1:3,4

(例) ルツ 1:16,22

(例) レビ 23:22
申 24:19

(例) ルツ 2:22

(例) 出 23:9
レビ 19:34

第2欄

(例) ルツ 1:14,16

(例) ルツ 4:11,17
マタ 1:5,16(例) 詩 17:8
詩 36:7
詩 57:1
詩 63:7(例) レビ 19:9
ルツ 2:2

(例) ルツ 2:9

(例) ルツ 2:7

はなし話を聞きました。12 エホバがあなたの行いを祝福し、イスラエルの神エホバが十分に報いてくださいますように。あなたは神の翼の下に逃れてきたのです。13 ルツは言った。「これから親切に受け入れていただけますように。ご主人さまは、私のような者を慰め、励ましの言葉を掛けてくださいました。私はあなたの召し使いでさえありませんのに」。

14 ボアズは食事の時にルツに言った。「こちらに来て、パンを食べなさい。ちぎって酢に付けなさい」。それでルツは、収穫する人たちのそばに座った。そしてボアズから、炒った穀物を渡され、食べて満ち足りたが、それでも余った。15 ルツが落ち穂を拾うために立ち上がると、ボアズは若者たちに命じて言った。「この人には、刈り取った穂の間でも拾わせてあげなさい。嫌がらせをはいけません」。16 また、束の中から必ず幾らかを引き抜いて残しておき、この人が拾えるようにしてあげなさい。とがめるようなことを言うてはいけません」。

17 こうしてルツは、夕方まで畑で落ち穂拾いを続けた。拾い集めたものを打って脱穀すると、大麦が22リットルほどもあった。18 ルツはそれを持って町に戻り、拾い集めたものをしゅうとめに見せた。また、おなかいっ

2:12 *または、「最高の報酬を与えて」。

ばい^た食べても余^{あま}ったものを取り出して、
渡^{わた}した。

19 しゅうとめのナオミは言った。
「今日^{きょう}はどこで落ち穂^{お ぼ しろ}を拾^{ひろ}ったの？ ど
こで働^{はたら}いたの？ あなたの^きことを気に
掛^かけてくださった方に祝福^{しゅくふく}があります
ように」。ルツは、誰^{だれ}の^{ところ}で働^{はたら}いたか
を話^{はな}して、こ^いう言^きった。「今日^{きょう}、ボアズ
という方^{かた}の^{ところ}で働^{はたら}きました」。20 ナ
オミはルツに言^いった。「その人^{ひと}にエホ
バの祝福^{しゅくふく}がありますように。神^{かみ}は、生
きて^{いのち}いる者^{もの}にも死^しんだ者^{もの}にも揺^ゆるぎな
い愛^{あい}を示^{しめ}してくださったのだわ」。ナオ
ミはさらに言^いった。「その人^{ひと}は私^{わたし}たち
の親戚^{しんせき}で、私^{わたし}たちを買^かい戻^{もど}す権利^{けんり}
を持^もつ人^{ひと}の1人^{ひとり}なのよ」。21 モアブ
人^{じん}のルツは言^いった。「その方^{かた}は、『うち
の若^{わか}者^{もの}たちが収^{しゅう}穫^{かく}を全^{ぜん}部^ぶ終^おえるま
で、彼^{かれ}らのそばにいなさい』と言^いいま
した」。22 ナオミは嫁^{よめ}のルツに言^い
った。「ほかの畑^{はたけ}で嫌^{いや}な思^{おも}いをするより、
ボアズの所^{ところ}の若^{わか}い女^{よめ}性^{せい}たち^つに付^ついて
いく方^{ほう}がいいわね」。

23 こうしてルツは、ボアズの所^{ところ}の
若^{わか}い女^{よめ}性^{せい}たちのそばで、大^{おお}麦^{むぎ}と小^こ麦^{むぎ}
の収^{しゅう}穫^{かく}が終^おわるまで落^{おち}ち穂^ほを拾^{ひろ}った。そ
して、しゅうとめと一^{いっしょ}緒^ずに住^すんでいた。

3 さて、しゅうとめのナオミはルツ
に言^いった。「ねえ、あなた^{あんしん}が安^{あん}心^{しん}
して暮^くらせるよう結^{けっ}婚^{こん}相^{あい}手^てを見^みつけ
てあげたいわ。幸^{しあわ}せになっ
てほしいの」。

3:1 *直訳、「休み場を探して」。

第2章
(例) ルツ 2:14

(例) 詩 41:1

(例) 出 34:6
ルツ 1:8
詩 36:7

(例) ルツ 2:1

(例) レビ 25:25
申 25:5,6
ルツ 3:9,12

(例) ルツ 2:8

(例) ルツ 1:22

(例) ルツ 1:16

第3章
(例) ルツ 1:9

第2欄
(例) ルツ 2:1,20

(例) レビ 25:25
申 25:5,6
ルツ 2:20

(例) ルツ 1:14,16

2 ボアズは私^{わたし}たちの親戚^{しんせき}で、その若^{わか}
い女^{よめ}性^{せい}たちとあなたは一^{いっしょ}緒^ずにいたで
しょう？ 今夜^{こんや}ボアズは脱^{だつ}穀^{こく}場^ばで作^さ業^{ぎょう}
して^いるわ。3 だから、あなた^{からだ}は体^み
を洗^{あら}って香^{かう}油^ゆを塗^ぬり、きちんとした身^みな
り^で脱^{だつ}穀^{こく}場^ばに行^いきなさい。ボアズが食^た
べたり飲^のんだりし終^おえるまで気^き付^づかれ
てはいけません。4 ボアズが横^{よこ}にな
る時^{とき}、その場^ば所^{しょ}をしっか^みり見^みてお^あく
のよ。それから、行^いって、ボアズの足^{あし}元^{もと}
の服^{ふく}をま^{よこ}くって横^{よこ}になりなさい。どうした
らいいかを教^{おし}えてくれるわ」。

5 ルツは答^{こた}えた。「お母^{かあ}さん^いの言^い
通^{とお}りにし^します」。6 それでルツは脱^{だつ}穀^{こく}
場^ばに行^いき、全^{ぜん}てしゅうとめ^いに言^いわれ
た通^{とお}りにし^した。7 一^{いっ}方^{ぽう}ボアズは、食^た
べたり飲^のんだりして楽^{たの}しんで^いた。そし
て、穀^こ物^{ぶつ}の山^{やま}のそばへ行^いって横^{よこ}にな
った。その後^ご、ルツはそ^{ふく}と近^{ちか}寄^より、ボ
アズの足^{あし}元^{もと}の服^{ふく}をま^{よこ}くって横^{よこ}にな^なった。
8 真^ま夜^や中^{なか}にボアズは身^み震^{ふる}いした。体^{からだ}
を起^おこすと、足^{あし}元^{もと}に横^{よこ}たわ^たって^いる女^{よめ}
性^{せい}が見^みえた。9 「誰^{だれ}ですか」と尋^{たず}ね
ると、ルツは答^{こた}えた。「ルツでございま
す。どうか私^{わたし}を保^ほ護^ごしてくださ^さい。あな
たは買^かい戻^{もど}す権利^{けんり}をお持^もちですから」。
10 ボアズは言^いった。「あなたにエホ
バの祝福^{しゅくふく}がありますように。あなた^{からだ}は
揺^ゆるぎない愛^{あい}を、今^{こん}回^{かい}、初^{はじ}め^{とき}の時^{じょう}以上^{いじょう}
に示^{しめ}しました。貧^{ひん}富^ふを問^{もん}わ^ずず、若^{わか}い男^{だん}

3:2 *脱穀したもの^をを放^{はな}り上^あげ、もみ殻^をを風^をで吹^ふき分^わける作^さ業^{ぎょう}。3:3 *または、「外衣^をを着^きて」。

3:9 *または、「あなたの衣^をの裾^をで覆^おって」。

性^{せい}を夫^{おつと}にしようとはしませんでした。

11 心配^{しんぱい}は要^いりません。あなた^いの言う^い通りに^{りっぱ}しまし^{じょ}ょう。あなた^いが立派^{りっぱ}な女^{じょ}

性^{せい}である^{まちじゅう}ことを、町^{まち}中^{ちゅう}の人^{ひと}が知^しっています。12 ただ、私^{わたし}には買^かい戻^{もど}す権^{けん}利^りがある^りのですが、私^{わたし}より近^{ちか}い親^{しん}族^{ぞく}で権^{けん}利^りを持^もつ人^{ひと}がいます。13 今夜^{こんや}はこ^こにいな^いさい。朝^{あさ}になっ^{ひと}て、そ^その人^{ひと}

があなた^かを^{もど}買^かい戻^{もど}すなら、それ^はでよい^{わたし}でしょう。そう^はしてもら^かいまし^{もど}ょう。しか^{わたし}し、買^かい戻^{もど}そうとし^かないなら、こ^いの私^{わたし}があなた^かを^{もど}買^かい戻^{もど}すこと^いを、生^{あさ}きてい^{よこ}る神^{かみ}工^{こう}ホバ^はに懸^かけて誓^{ちか}います。朝^{あさ}までこ^{よこ}で横^{よこ}になっ^いていな^いさい」。

14 それでルツ^{あさ}は、朝^{あさ}までボアズ^{あしちと}の足^{よこ}元^{あか}で横^{よこ}になり、明^{あか}るく^{ひと}なっ^きて人^{ひと}に気^き付^つかれる前^{まえ}に起^おきた。そ^{とき}の時^{とき}ボアズ^いは言^いった。「脱^{だつ}穀^{こく}場^ばに女^{じょ}性^{せい}が来^きたこ^しとが知^しられてはい^いけな^いい」。15 さら^{ひろ}に、「着^きてい^いるマント^{マント}をこ^{ひろ}こに広^{ひろ}げな^いさい」と言^いった。ルツ^いが広^{ひろ}げると、ボアズ^いはそ^いこに大^お麦^{おむぎ}を6^{ばいぶん}杯^{はい}分^{ぶん} 入^いれて持^もたせた。そ^ごの後^ご、ボアズ^{まち}は町^{まち}に^{もど}戻^{もど}った。

16 ルツ^{ところ}はし^{かえ}しゅうとめ^{かえ}の所^{ところ}に帰^{かえ}ると、「どうだ^{*}った?」と聞^きかれ、ボアズ^{すべ}がし^{はな}てくれ^いたこと^いを全^{ぜん}て話^{はな}した。17 ルツ^いは言^いった。「こ^いの6^{ばいぶん}杯^{はい}分^{ぶん}の大^お麦^{おむぎ}を下^{くだ}さ^いり、『何^{なに}も持^もたず^いにしゅうとめ^{ところ}の所^{ところ}に^{もど}戻^{もど}ってはい^いけません』とお^いっしや^いいました」。18 ナオミ^いは言^いった。「こ^いのこ

3:15 *44リットルに相当するかもしれない。3:16 *直訳、「あなたは誰」。

第3章

(7) ルツ 3:9

(4) レビ 25:25
ルツ 2:20

(7) ルツ 4:1

(4) ルツ 4:5

第2欄

第4章

(7) 申 25:7
格 31:23

(4) ルツ 3:12

(7) 申 16:18

(4) レビ 25:25
申 25:5,6
ルツ 2:20
ルツ 3:9,12

(7) ルツ 1:1,6

(7) ルツ 1:2

(4) 創 23:18
エレ 32:9,10

(7) ルツ 3:13

(7) 創 38:7,8
申 25:5,6

とがどうなるか分^わかるまで、こ^こにいな^いさい。ボアズ^{きょうじゅう}は、今^{けふ}日^{にち}中^{ちゅう}に話^{はな}がま^いとま^いるよう手^てを尽^{つく}してくれ^いるわ」。

4 ボアズ^{まち}は町^{まち}の門^{もん}の所^{ところ}に行^いき、そ^こに座^{すわ}った。す^すると、ボアズ^いが言^いっていた買^かい戻^{もど}す権^{けん}利^りを持^もつ人^{ひと}が通^{とお}り掛^かかった。ボアズ^いが、「こ^こに來^きて、座^{すわ}ってくだ^いさい」と言^いうと、そ^その人^{ひと}は來^きて、座^{すわ}った。2 そしてボアズ^{まち}は長^{ちやうろう}老^{らう}10^{いん}人^{にん}を連^つれてき^{すわ}て、「こ^こに座^{すわ}ってくだ^いさい」と言^いい、長^{ちやうろう}老^{らう}た^いち^{ちやうろう}は座^{すわ}った。

3 ボアズ^いは、買^かい戻^{もど}す権^{けん}利^りを持^もつ人^{ひと}に言^いった。「モアブ^いの田^{いなか}舎^かから戻^{もど}ってきたナオミ^いは、私^{わたし}たち^{しんぞく}の親^い族^{ぞく}エリメ^いレク^いの土^{どち}地^ちを売^うらな^いければなりませ^いん。4 私^{わたし}は、こ^この件^{けん}をあなた^しに知^しら^いせてこ^こう言^いうべきだと思^{おも}いまし^また。『こ^この住^{じゅう}民^{みん}と民^{たみ}の長^{ちやうろう}老^{らう}た^いち^{ちやうろう}の前^{まえ}でそ^その土^{どち}地^ちを買^かってくだ^いさい。(4) あなた^かが買^かい戻^{もど}すのでし^いたら、そ^そうしてくだ^いさい。し^しかし、そ^そうし^いないの^いでしたら、私^{わたし}に言^いってくだ^いさい。買^かい戻^{もど}す権^{けん}利^りはま^まずあ^あなた^いにあり、私^{わたし}はそ^その次^{つぎ}だ^いからです』。そ^その人^{ひと}は答^{こた}えた。「私^{わたし}が買^かい戻^{もど}しま^いし^いょう」。5 ボアズ^いは言^いった。「あ^あなた^いがそ^{とち}の土^ち地^ちをナオミ^かから買^ひう日^にに^いは、夫^{おつと}を亡^なくしたモアブ^{じん}人^{じん}のルツ^いから^いもそ^かれを買^しい、死^{ひと}んだ人^{ひと}の名^な前^{まえ}を相^あ続^{そく}地に^ち残^{のこ}さな^いければなりませ^いん」。6 す^すると、そ^その人^{ひと}は言^いった。「私^{わたし}は買^かい戻^{もど}す

4:1 *名前は述べられていない。

せません。私の相続財産が減ることに
なりかねません。権利を放棄しますの
で、あなたが買い戻してください。私
は買い戻せないからです。

7 かつてイスラエルでは、買い戻し
の権利やその譲渡に関するあらゆる
取引を有効にする場合、人は自分の
サンダルを脱いで相手に与えなけれ
ばならなかった。これがイスラエルで
合意を確認する方法だった。8 それ
で、買い戻す権利を持つ人はボアズ
に、「あなたが買ってください」と言っ
て、サンダルを脱いだ。9 ボアズは
長老たちと全ての人に言った。「今日、
皆さんは証人です。私はエリメレクの
全てのもの、キルヨンとマフロンの
全てのものを、ナオミから買います。

10 また、マフロンの妻だったモアブ
人のルツを私の妻にし、死んだ人の名
前を相続地に残します。死んだ人の
名前が兄弟たちの間から、町の人々
の間から忘れ去られないようにするた
めです。皆さんは今日、証人です。

11 すると、町の門の所にいた全て
の人と長老たちは言った。「私たちは
証人です！ エホバが、あなたの家に
入るその妻を、ラケルとレアのようにし
てくださいますように。この2人からイ
スラエル国民が生まれました。あなた
がエフラタで豊かになり、ベツレヘム
で名声を得ますように。12 エホバ

第4章

(7) 申 25:7,9

(1) 創 23:18
ルツ 4:4
エレ 32:12(7) 創 38:7,8
申 25:5,6

(1) ルツ 4:4

(7) 創 28:3
創 35:23-26
創 46:15,18
創 46:22,25

(7) 創 35:19

(7) ルツ 1:1
ミカ 5:2

第2欄

(7) 詩 127:3

(1) 創 38:29
民 26:20
マタ 1:3

(7) ルツ 1:14,16

(1) マタ 1:5
ルカ 3:23,32(7) サー 17:12
イザ 11:1
ロマ 15:12(7) ルツ 4:12
マタ 1:2-6(7) 創 46:12
民 26:21
代一 2:5

(7) 代一 2:9-15

(7) 出 6:23

(1) ルツ 4:17
サー 16:1(7) サ二 7:8
代一 2:13,15

がその若い女性を通してあなたに子
孫を与え、あなたの家族が、タマルと
ユダの間の子ペレツの一族のように
なりますように」。

13 こうしてボアズはルツを妻と
して迎え、関係を持った。エホバの祝
福によってルツは妊娠し、男の子を
産んだ。14 すると、女性たちはナオ
ミに言った。「エホバが賛美されます
ように。今日まであなたに、買い戻す
人を残してくださいました。生まれた
子の名前がイスラエルで広く知られ
ますように。15 その子は、あなたに
かつりよく、あたゝき、ろうなん、ささ
活力を与え、老年のあなたを支える
でしょう。あなたを愛する嫁、7人の
息子に勝る嫁が産んだ子だからで
す」。16 ナオミはその子を抱き寄せ、
子守をした。17 近所の女性たちは
その子に名前を付けた。「ナオミに男
の子が生まれた」と言って、オベデと
名付けた。オベデの子はエッサイ、
エッサイの子はダビデである。

18 さて、ペレツの家系は次の通りで
ある。ペレツの子はヘツロン、19 ヘ
ツロンの子はラム、ラムの子はアミ
ナダブ、20 アミナダブの子はナフ
ション、ナフションの子はサルモン、
21 サルモンの子はボアズ、ボアズの
子はオベデ、22 オベデの子はエッ
サイ、エッサイの子はダビデである。

4:15 * または、「あなたの命を回復させる人とな
り」。4:18 * 直訳、「世代」。

サムエル記 第一

概要

- | | |
|---|---|
| <p>1 エルカナと2人の妻 (1-8)
子供のいないハンナは男の子を祈り求める (9-18)
サムエルが生まれ、エホバのものとなる (19-28)</p> <p>2 ハンナの祈り (1-11)
エリの2人の息子の罪 (12-26)
エリの家系へのエホバの処罰 (27-36)</p> <p>3 サムエルは呼ばれて預言者になる (1-21)</p> <p>4 フィリスティア人が箱を奪う (1-11)
エリと息子たちが死ぬ (12-22)</p> <p>5 箱がフィリスティア人の領土に運ばれる (1-12)
ダゴンへの災い (1-5)
フィリスティア人は神罰を受ける (6-12)</p> <p>6 フィリスティア人は箱をイスラエルに返す (1-21)</p> <p>7 箱がキルヤト・エアリムに運ばれる (1)
サムエルは「エホバだけに仕えなさい」と勤める (2-6)
ミツパでのイスラエルの勝利 (7-14)
サムエルはイスラエルを裁く (15-17)</p> <p>8 イスラエルは王を求める (1-9)
サムエルは民に警告する (10-18)
エホバは、王を求める願いに応じる (19-22)</p> <p>9 サムエルはサウルと会う (1-27)</p> <p>10 サウルは油を注がれて王になる (1-16)
サウルは民の前に立つ (17-27)</p> <p>11 サウルはアンモン人を打ち破る (1-11)
サウルが王であることが再び宣言される (12-15)</p> <p>12 サムエルの最後の講話 (1-25)
実体のないものに従ってはならない (21)
エホバは民を見捨てることはしない (22)</p> <p>13 サウルは兵士たちを選ぶ (1-4)
サウルは出過ぎたことをする (5-9)
サムエルはサウルを戒める (10-14)
イスラエルには武器がない (15-23)</p> <p>14 ミクマシュでのヨナタンの快挙 (1-14)</p> | <p>神がイスラエルの敵を敗走させる (15-23)
サウルの軽率な誓約 (24-46)
兵士たちが肉を血抜きせずに食べる (32-34)
サウルの戦いとサウルの家族 (47-52)</p> <p>15 サウルは神に従わず、アガグを生かしておく (1-9)
サムエルはサウルを戒める (10-23)
「犠牲よりも、従うことが重要」(22)
サウルは王位から退けられる (24-29)
サムエルはアガグを殺す (30-35)</p> <p>16 サムエルは次の王になるダビデに油を注ぐ (1-13)
「エホバは心の中を見る」(7)
サウルから神の聖なる力が取り去られる (14-17)
ダビデがサウルのたて琴奏者になる (18-23)</p> <p>17 ダビデはゴリアテを打ち負かす (1-58)
ゴリアテがイスラエルに挑む (8-10)
ダビデは受けて立つ (32-37)
ダビデはエホバの名によって戦う (45-47)</p> <p>18 ダビデとヨナタンの友情 (1-4)
サウルはダビデの活躍を見て嫉妬する (5-9)
サウルはダビデを殺そうとする (10-19)
ダビデはサウルの娘ミカルと結婚する (20-30)</p> <p>19 サウルは依然としてダビデを憎む (1-13)
ダビデはサウルから逃げる (14-24)</p> <p>20 ヨナタンのダビデへの揺るぎない愛 (1-42)</p> <p>21 ダビデはノブで供えのパンを食べる (1-9)
ダビデはガトで気が狂ったふりをする (10-15)</p> <p>22 ダビデはアドラムとミツパに行く (1-5)
サウルはノブの祭司たちを殺させる (6-19)
アビヤタルが逃れる (20-23)</p> <p>23 ダビデはケイラの町を救う (1-12)
サウルはダビデを追う (13-15)
ヨナタンがダビデを力づける (16-18)
ダビデは辛うじてサウルから逃れる (19-29)</p> <p>24 ダビデはサウルに危害を加えない (1-22)
ダビデはエホバが選んだ人に敬意を払う (6)</p> |
|---|---|

- 25 サムエルの死 (1)
ナバルがダビデの部下たちを追い返す (2-13)
アビガイルの賢い行動 (14-35)
「エホバ神の命の袋」(29)
分別がないナバルはエホバに打たれる (36-38)
アビガイルがダビデの妻になる (39-44)
- 26 ダビデは今回もサウルに危害を加えない (1-25)
ダビデはエホバが選んだ人に敬意を払う (11)

- 27 ダビデはフィリスティア人からチクラグをもらう (1-12)
- 28 サウルはエン・ドルの霊媒師を訪ねる (1-25)
- 29 フィリスティア人がダビデを疑う (1-11)
- 30 アマレク人がチクラグを襲撃して焼き払う (1-6)
ダビデは神から力を得る (6)
ダビデはアマレク人を打ち破る (7-31)
ダビデは捕虜たちを奪還する (18, 19)
戦利品についてのダビデの規定 (23, 24)
- 31 サウルと3人の息子の死 (1-13)

1 エフライムの山地のラマタイム・ツォフィムに1人の男性がいた。

エフライムの人で名前をエルカナといった。父はエロハムで、順にさかのぼると、エリフ、トフ、ツフである。

2 エルカナには妻が2人いた。一方はハンナ、もう一方はペニンナである。

ペニンナには子供がいたが、ハンナには子供がいなかった。

3 エルカナは、大軍を率いるエホバを崇拝して犠牲を捧げるため、毎年自分の町からシロに上った。そこでは、エリの2人の息子ホフニとピネハスが祭司としてエホバに仕えていた。

4 エルカナは犠牲を捧げたある日、妻ペニンナとその息子や娘たち皆に犠牲の中からそれぞれの分を与えた。

5 一方、ハンナには特別の分を与えた。ハンナを愛していたからである。しかしエホバは彼女に子供を授

けていなかった。6 しかも、彼女と張り合う妻ペニンナが彼女を傷つけようとして、エホバから子供を授けていないことをしきりにあざけていた。

7 毎年、エホバの家に上っていた。8 夫エルカナは言った。「ハンナ、どうして泣いているのか。なぜ食事をしないのか。そんなに悲しまないでほしい。私がいるではないか。10人の息子がいるよりもいいではないか。」

9 皆がシロで食べて飲んだ後、ハンナは立ち上がった。そのとき、祭司エリはエホバの神殿の入り口のそばの席に座っていた。

10 ハンナは非常に苦しんでいて、エホバに祈って激しく泣きだした。

11 そしてこう誓約した。「大軍を率いるエホバ、もしあな

1:1 *または、「ラマにツフ人の」。1:3 *または、「にひれ伏して」。

第1章

(7) ヨシ 16:5

(7) サー 1:19

サー 7:15, 17

(7) 代 6:22, 27

(2) 出 23:14

出 34:23

申 12:5, 6

ヨシ 18:1

裁 21:19

ルカ 2:41

(7) サー 2:12, 22

サー 4:17

(7) 民 3:10

申 33:10

マラ 2:7

(7) レビ 7:15

第2欄

(7) 申 16:16

サー 2:18, 19

(7) 出 25:8

サー 3:3

サー 2:7

(7) 詩 55:22

詩 65:2

けていなかった。6 しかも、彼女と張り合う妻ペニンナが彼女を傷つけようとして、エホバから子供を授けていないことをしきりにあざけていた。

7 毎年、エホバの家に上っていた。8 夫エルカナは言った。「ハンナ、どうして泣いているのか。なぜ食事をしないのか。そんなに悲しまないでほしい。私がいるではないか。10人の息子がいるよりもいいではないか。」

9 皆がシロで食べて飲んだ後、ハンナは立ち上がった。そのとき、祭司エリはエホバの神殿の入り口のそばの席に座っていた。

10 ハンナは非常に苦しんでいて、エホバに祈って激しく泣きだした。

11 そしてこう誓約した。「大軍を率いるエホバ、もしあな

1:8 *または、「心を痛めない」。1:9 *幕屋のこと。

たが私の苦悩をご覧になり、私のことを思い出してお忘れにならず、男の子を授けてくださるなら、私はその子をエホバにお捧げし、一生涯、仕えさせます。その子の頭には決してかみそりを当てません」。

12 ハンナはエホバの前で長く祈った。その間、エリは彼女の口元を見ていた。13 ハンナは心の中で話していたので、唇が震えているだけだった。その声が聞こえなかったため、エリは彼女が酔っていると思った。14 エリは言った。「いつまで酔っているのか。ぶどう酒を飲むのをやめなさい」。

15 ハンナは答えた。「酔っているのではございません。私はひどく思い悩んでいるのです。ぶどう酒などは飲んでおりません。ただ、エホバに気持ちを全てお伝えしているのです。16 私をどうしようもない女のように見ないでください。あまりに苦しくてつらいので、今まで祈っていたのです。17 エリは言った。「安心して行きなさい。あなたが願ひ求めたことをイスラエルの神がかなえてくださいますように」。

18 ハンナは言った。「これから私のことを良く思ってくださいますように」。彼女はそこを離れて、食事をした。もう沈んだ顔ではなかった。

19 一行は朝早く起き、エホバの前でひれ伏してから、ラマにある家に帰った。エルカナは妻のハンナと関係を持った。エホバは彼女に目を留めた。

第1章

(7) 創 30:22

(1) 民 6:5

(7) 詩 42:6
詩 62:8
詩 142:2

(1) サー 1:11

(7) サー 1:1

(7) サー 1:11
詩 66:19
格 15:29

第2欄

(7) 創 5:29
創 41:51
出 2:21, 22
マタ 1:21

(1) サー 1:3

(7) 申 16:16

(1) サー 1:11
サー 2:11
代二 31:16

(7) ヨシ 18:1

(7) 民 15:8-10

(7) サー 1:15

(7) サー 1:11, 17
詩 66:19

20 1年もしないうちに、ハンナは妊娠して男の子を産み、サムエルと名付けた。彼女が言うには、「エホバにこの子を願ひ求めていた」からである。

21 やがてエルカナは家の人全てと共に、エホバに年ごとの犠牲と誓約の捧げ物を捧げるために上った。

22 しかしハンナは上っていかなかった。夫にこう言った。「この子が乳離れしたらずぐに連れていきます。そしてこの子はエホバの前に出て、ずっとそこにとどまります」。23 夫エルカナは彼女に言った。「あなたが良いと思うようにしなさい。その子が乳離れするまで家にいたらよい。エホバがあなたの言った通りにしてくださいますように」。こうしてハンナは家にとどまり、その子が乳離れするまで育てた。

24 その子が乳離れするとすぐにハンナはその子連れて上り、シロにあるエホバの家に行った。3歳の雄牛1頭、麦粉22リットル、ぶどう酒が入った大きなつぼを持って、その子連れていった。25 雄牛はほふられ、その子はエリの所に連れていかれた。26 そこでハンナは言った。「私は確かに、この場所であなたのもとに立ち、エホバに祈った者です。27 この子のことを私は祈り、エホバは願いをかなえてくださいました。28 それで私はこの子をエホバにお渡します。こ

1:20 *もしかすると、「やがて」。^{*}意味、「神の名」。1:25 *または、「殺され」。1:28 *直訳、「お貸し」。

の子は一生涯、エホバのものです。
すると彼はそこでエホバにひれ伏した。

2 ハンナは祈った。
「私の心はエホバのゆえに喜び、
私の角はエホバによって高く上げられます。
私の口は敵に向かって大きく開きます。
あなたによる救いを喜ぶからです。

2 エホバのように聖なる方はいません。

あなたのほかにはいないのです。
私たちの神のような岩はありません。

3 傲慢に語ってはなりません。
横柄な言葉を口から出してはなりません。

エホバは知識の神であり、
人々の行いを正しく評価なさるからです。

4 強い人の弓は砕かれますが、
つまずく人は力を得ます。

5 十分に食べていた人はパンのために働かなければならなりません、
飢えていた人はもう飢えることがありません。

1:28 *エルカナのことと考えられる。 2:1 *用語集参照。*または、「私の力はエホバによって強められ」。

第2章

(7) 詩 13:6
ルカ 1:46

(4) 出 15:11
申 4:35
詩 73:25
詩 86:8
詩 89:6

(7) 申 32:4

(2) ヨブ 36:4
ヨブ 37:16
口マ 11:33

(7) イザ 40:29

(7) ルカ 1:53

第2欄

(7) サー 1:11,20

(4) 申 32:39
ヨブ 14:13
詩 30:3
詩 49:15
詩 68:20
ホセ 13:14
ヨハ 11:24
コ一 15:55

(7) 申 8:18
申 28:12
代 2:11,12
ヨブ 42:12
格 10:22

(2) 詩 75:7

(7) 詩 113:5,7
ルカ 1:52

(7) 詩 102:25

(4) 詩 91:11
詩 97:10
詩 121:3

(7) 詩 37:28

(7) 詩 33:16
ゼカ 4:6

(2) 出 15:6

(7) サー 7:10
サニ 2:24
詩 18:13

子供がたくさんできた人は産めなくなり、
子供ができなかった人は7人も産みます。

6 エホバは殺すことも生かすこともします。

墓に下らせることも、そこから引き上げることもします。

7 エホバは貧しくすることも裕福にすることもします。

卑しめることも重んじることもします。

8 立場が低い人を地面から起き上げさせます。

貧しい人を灰の山から引き上げて、
高官たちと共に座らせ、榮譽ある席を与えます。

大地の土台はエホバのもので、
神はその上に土地を据えます。

9 神はご自分に尽くす人の一歩一歩を守りますが、
悪い人は闇の中で沈黙させられます。

人は力によって勝利することはいきないのです。

10 エホバは逆らう人を砕きます。
彼らの上に天から雷を落とします。

2:6 *または、「生き返らせる」。[#]ヘブライ語、シェオル。用語集参照。 2:8 *もしかすると、「ごみ捨て場」。 2:9 *または、「を揺るぎなく支持する」、「から離れない」。 2:10 *もしかすると、「エホバに敵対する人は恐れ」。

エホバは地の果てまで裁きます。
任命した王に力を与え、
選んだ者の角を高く上げます」。

11 エルカナはラマの家に帰った。
少年サムエルは祭司エリの前でエホバの奉仕者になった。

12 さて、エリの息子たちは悪く、エホバへの敬意がなかった。13 民から受け取る祭司の分に満足せず、次のようにしていた。誰かが犠牲を捧げていると、肉を煮ている間にいつも祭司の従者が大きな肉刺しを持ってやって来て、14 それを釜、両手鍋、大釜、かた手鍋などに突き入れた。祭司は、肉刺しに刺さった物をどれも自分のために取った。彼らは、シロに来る全てのイスラエル人に対してこのようにしていた。15 また、犠牲を捧げる人が脂肪を焼いて煙にする前に、祭司の従者が来て、こう言っていた。「祭司のために焼く肉を渡しなさい。祭司は、煮た肉はお受け取りにならない。生の肉でなければならぬ」。16 その人が、「どうか、まず脂肪を焼いて煙にさせてください。それから、お望みの物を何でもお取りください」と言うと、従者は、「駄目だ。今よこせ。さもないと、力ずくで取るぞ」と言った。17 このように、従者たちはエホバの前で非常に重大な罪を犯した。エホバへの

2:10 *直訳、「油を注いだ」。用語集の「油を注ぐ」参照。2:10, 22 *用語集参照。2:10 △または、「選んだ者の力を強め」。2:11 *または、「に仕えていた」。

第2章

(詩) 96:13
使徒 17:31

(詩) 2:6
詩 110:1
マタ 28:18

(ルカ) 1:69
使徒 4:27

(サ) 1:11
サ 3:1, 15

(サ) 2:22

(レビ) 7:34

(レビ) 3:3-5

(レビ) 3:16
レビ 7:25, 31

(サ) 2:29

第2欄

(サ) 2:6-14

(サ) 2:11
サ 3:15

(出) 23:14
サ 1:3, 21

(サ) 1:27, 28

(創) 21:1, 2
サ 1:19

(サ) 2:26
サ 3:19

(サ) 2:12-17

(出) 38:8
レビ 21:6

(民) 15:31
サ 2:17
サ 3:13, 14

ささ 捧げ物を不敬に扱ったのである。

18 さて、サムエルは少年だったが、亜麻布のエフォドを着てエホバの前で奉仕していた。19 母親はサムエルのために小さな袖なしの上着を作り、夫と一緒に年ごとの犠牲を捧げに来る時、毎年それを持ってきた。20 エリはエルカナと妻のために祝福を願い求め、こう言った。「あなたがエホバに渡した子供の代わりに、エホバがあなたと妻の間に子供を与えてくださいますように」。そして彼らは家に帰った。21 エホバがハンナに注意を向けたので、ハンナは妊娠し、さらに3人の息子と2人の娘を産んだ。少年サムエルはエホバの前で成長していった。

22 エリは非常に年を取っていた。かれは息子たちがイスラエル全体に対していた全てのことを聞いていた。会見の天幕の入り口で仕える女性たちと寝ていたことについても聞いていた。23 息子たちにこう言っていた。「なぜそのようなことをしているのだ。民の皆から、あなたたちについて悪いことを聞いている。24 息子たち、それはいけないことだ。エホバの民の間に良くないうわさが広まっている。私もそれを聞いた。25 人に対して罪を犯すなら、誰かがその人のためにエホバに懇願してくれる。だが、エホバに対して罪を犯すなら、いったい

2:20 *直訳、「貸した」。2:25 *もしかすると、「神がその人のために仲裁してくださる」。

だれ^{ひと}がその人のために祈^{いの}ってくれるのだろ
うか。ところが、息子たちは父親の言

うことを聞こうとしなかった。エホバは彼らを死に至らせることにしていた。

26 その間、少年サムエルはすくすくと成長していき、エホバからも人からもますます好まれるようになった。

27 神に遣わされた人がエリの所に来て、言った。「エホバはこう言っ

ています。『あなたの父祖の一家がエジプトでファラオの奴隷だったとき、

私は父祖たちに私のことをはっきり知らせてではないか。28 あなたの父祖がイスラエルの全部族の中から選

ばれた。祭司として私に仕え、祭壇にのぼり、犠牲を捧げ、香を捧げ、私の前

でエフォドを身に着けるためである。私は、イスラエル人の火による捧げ物

すべてをあなたの父祖とその子孫に与えた。29 あなたたちは、私が私の

住まいのために命じた犠牲と捧げ物をなぜ軽く扱うのか。なぜあなたは私

よりも息子たちを尊んでいるのか。あなたたちは、私の民イスラエルのどの

捧げ物からも最良の部分^きを奪^うって私^{ふく}の腹^こを肥^いやしているではないか。

30 それでイスラエルの神エホバは言う。「私は確かに、あなたの家系の人とあなたの父祖の家系の人はい

つまでも私に仕える、と言った」。しかし今、エホバは宣言する。「もうその

2:28 *もしかすると、「犠牲の煙を立ち上らせ」。2:30 *直訳、「の前で歩む」。

第2章

(例) 格 29:1
格 30:17

(例) サー 2:21

(例) 出 4:14, 27

(例) 出 28:1
レビ 8:12
民 17:5, 8

(例) 民 18:7

(例) レビ 2:3
レビ 6:16
レビ 10:14
民 5:9
民 18:9

(例) 出 25:8
ヨシ 18:1
サー 1:3

(例) サー 2:14-16

(例) 出 28:43

第2欄

(例) 詩 18:20
詩 91:14

(例) サー 3:14
サー 4:11, 18
サー 22:18
王 2:27

(例) 詩 78:60, 61

(例) サー 22:18, 21

(例) サー 4:11, 17

(例) 王 2:27, 35
代 29:22

(例) レビ 2:3
民 5:9

第3章

(例) サー 2:11, 18

(例) 民 12:6

代 17:15

サムエル第一 2:26-3:2

ようにはならない。私を敬う人は私に
尊ばれ、私を侮る人は軽んじられるか

らだ。31 私があなたの力とあなたの父祖の家系の力を奪う時^{とき}が来て、あ

なたの家系の人は誰も寿命を全うしなくなる。32 イスラエルがあらゆる

良いことを経験する中、あなたは私の住まいで敵対者を見、あなたの家系に

とし、年を重ねた人はいなくなる。33 私が祭壇での奉仕をやめさせずに残し

ておく人が、あなたの目を衰えさせ、悲嘆に暮れさせる。あなたの家系の多

数^たは剣によって死ぬ。34 あなたの2人の息子ホフニとピネハスに起き

ることがしるしとなる。1日のうちに2人は死ぬのである。35 私は1人の

忠実な祭司を私のために立てる。彼は私の心の願いに沿って行動する。

私は彼の家系がずっと続くようにし、彼は私が選んだ者のために奉仕する。

36 あなたの家系の生き残っている人は、賃金と1個のパンを求めてその

祭司の所に来てひれ伏し、「どうか私を祭司の職に就けて、1切れでもパン

を食べられるようにしてください」と言う』。

3 その間、少年サムエルはエリの前^{まえ}でエホバに奉仕していた。そ

の頃、エホバからの言葉はまれで、幻もあまりなかった。

2 ある日、エリはいつもの場所^{ばしょ}で寝ていた。目はかすみ、見ることができ

2:35 *直訳、「油を注いだ」。

なかった。**3** 神のランプはまだ消されておらず、サムエルは神の箱があるエホバの神殿で寝ていた。**4** そのとき、エホバはサムエルを呼んだ。サムエルは、「はい、何でしょうか」と答えた。**5** そしてエリの所に走っていき、「お呼びになりましたか」と言った。しかしエリは、「呼んではいない。戻って寝なさい」と言った。それでサムエルは戻って寝た。**6** エホバはもう一度、「サムエル!」と呼んだ。サムエルは起きてエリの所に行き、「お呼びになりましたか」と言った。しかしエリは、「サムエル、呼んではいない。戻って寝なさい」と言った。**7** (サムエルはまだエホバをよく知らず、エホバの言葉はまだサムエルに啓示されていなかった。)**8** エホバは3度目に、「サムエル!」と呼んだ。サムエルは起きてエリの所に行き、「お呼びになりましたか」と言った。

その時エリは、エホバが少年サムエルを呼んでいることに気付いた。**9** エリはサムエルに言った。「戻って寝なさい。もし呼ばれたら、『エホバ、お話しください。聞いております』と言いなさい」。そこでサムエルは自分の場所に帰って寝た。

10 エホバはもう一度、「サムエル、サムエル!」と呼んだ。サムエルは、「お話しください。聞いております」と言った。**11** エホバはサムエルに

第3章

(7) サー 4:15

(1) レビ 24:2

(7) サー 1:9
サー 3:15

(12) アモ 3:7

第2欄

(7) サー 4:17

(1) 民 23:19
サー 2:31-34
イザ 55:10,11(7) サー 2:22,23
ヨハ 15:22
ヤコ 4:17(12) 民 15:30
サー 2:12,17

(7) 伝 8:11

(7) サー 4:11
サー 22:21
王 2:27

(4) サー 2:21

言った。「私はイスラエルで、あることをしようとしている。それについて聞く人は皆、衝撃を受けるだろう。**12** その日、私はエリとその家系について言ったことを全て、初めから終わりまで実行する。**13** あなたはエリに伝えなければならない。彼も知っている過ちのゆえに、私が彼の家系に永遠の処罰を下すということを。息子たちが神を侮辱しているのに、彼は叱らなかったのである。**14** それで私はエリの家系に関して誓った。エリの家族の過ちは、犠牲によっても捧げ物によっても決して贖われることはない。

15 サムエルは朝まで眠り、それからエホバの家の戸を開けた。彼は、見た幻についてエリに伝えるのを恐れた。**16** ところがエリから、「サムエル!」と呼ばれた。そこでサムエルは、「はい、ここにあります」と言った。**17** エリは尋ねた。「どんな知らせを聞いたのか。どうか隠さないでほしい。もし聞いた言葉を一言でも隠すなら、神があなたを厳しく罰しますように」。**18** それでサムエルは全てを話し、何も隠さなかった。エリは言った。「それはエホバだ。神が、良いと思われることを行われますように」。

19 サムエルはさらに成長していった。エホバが共にいて、彼の言葉をどれも実現させた。**20** イスラエル全体はダンからベエル・シェバまで、サム

エルがエホバの預言者として認められたことを知った。21 エホバは引き続きシロで現れた。エホバは自分のことをサムエルに明らかにしたのである。エホバの言葉によってそうした。

4 サムエルの言葉はイスラエル全体に広まった。

イスラエルはフィリスティア人と戦うために出ていった。そしてエベネゼルのそばに野営した。フィリスティア人の方はアフエクで野営した。2 フィリスティア人はイスラエルに対して戦闘隊形を組んだ。戦いでイスラエルは劣勢になり、フィリスティア人に打ち破られた。戦場で約4000人が討たれた。3 民が陣営に戻ると、イスラエルの長老たちは言った。「今日、エホバはなぜ私たちがフィリスティア人に打ち破られるままにしたのだろう。シロからエホバの契約の箱をここに持つてこよう。それがあれば、敵の手から救われるかもしれない」。4 そこで民はシロに人を遣わした。そして、ケルベたちの上に王として座っている、大軍を率いるエホバの契約の箱を運んでこさせた。エリの2人の息子ホフニとピネハスも真の神の契約の箱のそばにいた。

5 エホバの契約の箱が陣営に入ると、イスラエル人は皆、大きな叫び声を上げ、地面が揺れた。6 フィリスティア人はその叫び声を聞いて、言っ

4:4 * もしかすると、「間」。

第3章

(ア) サー 3:1,4
詩 99:6

第4章

(イ) 申 28:15,25
申 32:30
裁 2:14

(ウ) サ二 15:25

(ロ) 出 25:18
民 7:89
王二 19:15
詩 80:1

(カ) サ一 2:12

第2欄

(ア) 出 14:25
出 15:14

(イ) 出 7:5
詩 78:43,51

(ウ) 申 28:48
裁 10:7
裁 13:1

(ロ) レビ 26:14,17
申 28:25
サー 4:2

(カ) サ一 2:31,34
サー 4:3,17
詩 78:61,64

(ウ) ヨシ 7:6

(カ) サ一 4:4

た。「ヘブライ人の陣営のあの叫び声はいったい何だ」。やがて彼らはエホバの箱が陣営に入ったことを知った。7 フィリスティア人は怖くなって言った。「神が陣営に入った！」そして言った。「大変なことになった！これまでこんなことは起きたことがない。8 大変だ！この強力な神の手から、誰がわれわれを救えるだろうか。あの神は、荒野でエジプトをあらゆる災いで打った神だ。9 フィリスティア人よ、勇気を出し、男らしく戦え。ヘブライ人はおまえたちに仕えたが、おまえたちが彼らに仕えることがあってはならない。男らしく戦え！」10 こうしてフィリスティア人は戦った。イスラエルは打ち破られ、おのおのが自分の天幕に逃げていった。戦死者は非常に多く、イスラエルの側は歩兵3万人が倒れた。11 その上、神の箱は奪われ、エリの2人の息子ホフニとピネハスは死んだ。

12 ベニヤミン族のある人が戦場から出て走り、その日のうちにシロに着いた。衣服は引き裂かれ、頭に土をかぶっていた。13 到着した頃、エリは道端の席に座って見張っていた。真の神の箱のことが気掛かりだったのである。その人が町の中に入り、事の次第を伝えと、町中が叫びだした。14 エリはその叫び声を聞き、言った。「この騒ぎは何事か」。その人は急いでエリに報告しにやって来た。15 (エ

リは98歳で、目が動かず、見ることができなかつた。) 16 その人はエリに言った。「私は戦場から来た者です。今日、戦場から逃げてきたのです」。するとエリは、「どうなったのか」と尋ねた。17 知らせを持ってきた人は言った。「イスラエルはフィリスティア人から逃げ、民は大敗を喫しました。それに、あなたの2人のご息ホフニとピネハスも亡くなり、真の神の箱までも奪われてしまいました」。

18 その人が真の神の箱のことを話したとき、エリは門のそばの席から後ろ向きに倒れ、首が折れて死んだ。高齢で、体重が重かったからである。エリは40年イスラエルを裁いた。19 エリの息子ピネハスの妻は妊娠していてしゅっさん、ちか、真の神の箱が奪いと取られ、しゅうとと夫が死んだという知らせを聞くと、彼女はうずくまり、突然、陣痛が起こって出産した。20 彼女は死にそうになり、そばに立っていた女性たちが、「しっかりしてください。男の子が生まれましたよ」と言った。彼女が答えず、何も反応しなかつた。21 ただ、その子をイカボドと名付け、「イスラエルから栄光は去った」と言った。真の神の箱が奪われたことと、しゅうとと夫が死んだことについて言っていたのである。22 彼女は、「イスラエルから栄光は去った。真の神の箱が奪われてしまったから」と言った。

4:21 *意味、「栄光はどこにあるのか」。

第4章

(ア) サ-3:2

(イ) サ-3:11

(ロ) サ-2:34

(ロ) サ-4:10,11

(ロ) サ-14:3

(ロ) 詩 78:61

(ロ) サ-2:32,34
サ-4:5,11

(ロ) サ-4:11
エレ 7:12

第2欄

第5章

(ア) サ-4:11

(イ) 裁 16:23
代-10:8-10

(ロ) 出 12:12
代-16:26
詩 97:7

(ロ) イザ 46:6,7

(ロ) サ-6:5,6

(ロ) サ-17:4

5 フィリスティア人は真の神の箱を奪って、エベネゼルからアシュドに運んだ。2 それから真の神の箱を持ってダゴンの家に運び、ダゴンのそばに置いた。3 翌日、アシュドの人たちが早く起きると、ダゴンはエホバの箱の前でうつぶせに倒れていた。そこで彼らはダゴンを起こし、元の場所に戻した。4 その翌朝、早く起きると、ダゴンはエホバの箱の前でうつぶせに倒れていた。ダゴンのあたまりょうてき、おえ、頭と両手が切り落とされて、敷居の上にあった。魚の部分はそのままだった。5 こうしたことがあったため、ダゴンの祭司やダゴンの家に入る人は皆、今もアシュドのダゴンの敷居を踏まない。

6 エホバはアシュドの人たちを処罰した。アシュドとその地域の人たちを痔にならせて苦しめた。7 アシュドの人たちは起きていてることを見て、言った。「イスラエルの神の箱をここにどどまらせるな。イスラエルの神が、われわれとダゴン神に災いをもたらしているからだ」。8 そこで彼らは人を遣わしてフィリスティア人の全領主を集め、尋ねた。「イスラエルの神の箱をどうしたらよいか」。領主たちは言った。「イスラエルの神の箱をガトに移動させるとよい」。こうして彼らはイスラエルの神の箱をそこに移動させた。

5:2 *または、「神殿」。5:4 *直訳、「ダゴンだけ」。

9 彼らが箱をガトに移動させると、エホバはその町に災いをもたらし、大混乱に陥れた。若者も年寄りも、町の皆が痔になった。10 それで彼らは真の神の箱をエクロンに送った。真の神の箱がエクロンに着くと、エクロンの人たちは叫びだした。「彼らはイスラエルの神の箱を持ってきて、われわれと民を死なせようとしているのだ!」11 そして彼らは人を遣わしてフィリスティア人の全領主を集め、言った。「イスラエルの神の箱を運び出して元の場所に戻し、われわれと民が死なずに済むようにしてもらいたい」。死の恐怖が町全体に広がっていたのである。真の神は厳しい処罰を下し、12 死ななかった人たちも痔になった。町の人々は、天に向かって助けを求めて叫んだ。

6 エホバの箱は7カ月間、フィリスティア人の領土にあった。2 フィリスティア人は祭司と占い師たちを呼んで、尋ねた。「エホバの箱をどうしたらよいか。どうやって元の場所に送り返したらよいか教えてほしい」。3 彼らは答えた。「イスラエルの神エホバの契約の箱を送り返すのなら、捧げ物なしで送り返してはなりません。必ず有罪の捧げ物と一緒に返すべきです。そうすれば、皆さんは癒やされ、なぜ神が皆さんを処罰し続けるのかが分かります」。4 するとフィリスティア人は、「どんな有罪の捧

第5章
(7) サー 5:6

(1) ヨシ 15:20, 45
王二 1:2
アモ 1:8

(2) サー 5:7

(3) サー 5:6, 9

第6章
(8) サー 4:11
サー 5:1
詩 78:61

(9) 申 18:9, 10
イザ 2:6

(10) サー 6:4, 17

第2欄
(11) ヨシ 13:2, 3
サー 6:16

(12) サー 6:18

(13) サー 5:6, 11

(14) 出 7:13
出 8:15
出 14:17

(15) 出 9:14, 16
ロマ 9:17, 18

(16) 出 6:1
出 11:1
出 12:33

(17) サー 6:3, 4

(18) ヨシ 15:10, 12
ヨシ 21:8, 16
代二 28:18

げ物を送るとよいか」と尋ねた。彼らは言った。「フィリスティア人の領主の人数に合わせて、5つの金の痔と5つの金のネズミを送ってください。皆さんも領主たちも同じ神罰を受けているからです。5 痔の像と、土地を荒らしているネズミの像を作り、イスラエルの神を敬わなければなりません。神はおそらく、皆さんと皆さんの神と土地への処罰を軽くしてくださるでしょう。6 皆さんは、エジプトやファラオのように心を固くしてはいけません。イスラエルの神の厳しい扱いにより、彼らはイスラエルを去らせざるを得なくなり、イスラエルは出ていきました。7 それで、新しい牛車を1台と、くびきを付けたことがない、子牛のいる雌牛を2頭用意してください。雌牛は牛車につなぎ、子牛は離れて帰らせます。8 エホバの箱を牛車に載せ、有罪の捧げ物として神に送る金の像はその横の入れ物に入れます。そしてそれを送り出し、9 見守ります。もしそれが元の土地、ベト・シェメシュへの道を上っていけば、私たちに災厄をもたらしたのは神です。しかし、そうならなければ、災厄は神によるのではなく偶然に起きたことだったのです。

10 人々はその通りにした。子牛のいる雌牛2頭を用意して牛車につなぎ、子牛は小屋に入れた。11 エホバの箱を牛車に載せ、金のネズミと痔の

6:7 *用語集参照。

ぞう い い もの の 載 せ た。 12 雌
 像を入れた入れ物も載せた。 12 雌
 うし (ワ) サ 6:8,9
 牛はベト・シェメシュへの道を真っす
 すす (ワ) サ 6:7
 進んだ。1本の街道を鳴きながら進
 み、右にも左にもそれなかった。その
 あいだ (ワ) 民 3:30,31
 間ずっと、フィリスティア人の領主たち
 はベト・シェメシュの境界まで後を付
 いていった。 13 ベト・シェメシュの
 ひと たに へいげん こむぎ か
 人たちは谷あいの平原で小麦の刈り
 い め あ はこ み
 入れをしていた。目を上げて箱を見る
 よろこ (ワ) サ 5:8
 と、喜びにあふれた。 14 牛車はベ
 ト・シェメシュの人ヨシュアの土地に入
 り、大きな石の近くに止まった。彼らは
 おお いし ちか と かれ
 牛車の木を割り、雌牛を全焼の捧げ
 ぎゅうしゃ き わ めうし(ワ) ゼんしやう ささ
 物としてエホバに捧げた。

15 レビ族の人たちがエホバの箱
 と、金の像が入った入れ物を降ろし、
 おお いし うえ お
 大きな石の上に置いた。ベト・シェメ
 (ワ) ひと ゼんしやう ささ もの ささ
 シュの人たちは全焼の捧げ物を捧
 げ、その日、ほかの犠牲もエホバに捧
 げた。

16 フィリスティア人の5人の領主は
 それを見て、その日、エクロンに帰って
 いった。 17 フィリスティア人がエホ
 ばに有罪の捧げ物として送った金の
 ゆうざい ささ もの おく きん
 痔は、アシュドドのために1つ、ガザの
 (ワ) (ワ)
 ために1つ、アシュケロンのために1つ、
 (ワ) (ワ)
 ガトのために1つ、エクロンのために1
 つである。 18 金のネズミの数は、防
 び まち むぼう ひ いなか むら
 備された町から無防備の田舎の村ま
 で、5人の領主のものであるフィリス
 (ワ) じん まちぜん ぶ かず そうとう
 ティア人の町全部の数に相当した。

彼らがエホバの箱を据えた大き
 いし (ワ) くれ はこ す おお
 な石は、記念碑として今もベト・シェ

第6章

(ワ) サ 6:8,9

(ワ) サ 6:7

(ワ) 民 3:30,31

(ワ) ヨシ 21:8,16

(ワ) サ 6:4

(ワ) サ 5:1

(ワ) サ 5:8

(ワ) 裁 1:18
サ 5:10

第2欄

(ワ) 民 4:15,20
代 13:10

(ワ) レビ 11:45

(ワ) 民 17:12,13
サ 2:6-8,9
詩 76:7(ワ) ヨシ 18:14
代 13:5,6(ワ) 代 16:1
代 2:14

第7章

(ワ) サ 2:6,24
代 13:5,7

(ワ) ネ 9:28

(ワ) サ 12:24

(ワ) ヨシ 24:14,23
裁 3:7(ワ) 裁 2:13
裁 10:6
王 11:33(ワ) 申 10:20
申 13:4
ルカ 4:8

メシュの人ヨシュアの土地にある。

19 神はベト・シェメシュの人たちを
 う かれ ほこ み
 打った。彼らがエホバの箱を見たか
 らである。民のうち5万70人が打たれ
 し たみ まん にん* う
 て死んだ。エホバが大勢の人を死な
 せたので、民は嘆き悲しんだ。 20 ベ
 ト・シェメシュの人たちは言った。「こ
 せい かみ まえ だれ が
 の聖なる神エホバの前に誰が立てる
 (ワ) わたし ところ はな べつ ひと
 だろう。私たちの所から離れて別の
 たちの所へ行ってくだらないだろ
 うか。 21 彼らはキルヤト・エアリム
 (ワ) (ワ) じゅうみん ししや おく つた
 の住民に使者たちを送り、こう伝えさ
 せた。「フィリスティア人がエホバの箱
 を返してきました。下ってきて、あなた
 たちの所へ持って行ってください」。

7 キルヤト・エアリムの人たちは
 やって来て、エホバの箱を持っ
 てのり おか うえ (ワ) いえ い
 上り、丘の上のアビナダブの家に入
 れた。そしてエホバの箱を守らせるた
 め、アビナダブの子エレアザルを神聖
 なものとした。

2 箱がキルヤト・エアリムに来た日
 から長い年月がたつて20年が過ぎ、イ
 スラエルの民全体は、エホバに助け
 を求めるようになった。 3 それでサ
 ムエルはイスラエルの民全体に言っ
 た。「もし皆さんが心を尽くしてエホ
 ばのもとに戻ろうとしているなら、皆さ
 んの中から外国の神々やアシュトレテ
 の像を取り除き、心を真っすぐに向け
 てエホバだけに仕えなさい。そうすれ

6:19 *直訳、「70人、5万人」。 7:2 *または、「を求めて嘆き悲しむ」。

ば、神はフィリスティア人の手から救い出してくださいます」。4 そこでイスラエル人はバルやアシュトレテの像を処分し、エホバだけに仕えるようになった。

5 サムエルは言った。「イスラエル全体をミツパに集めてください。皆さんのためにエホバに祈ります」。

6 民はミツパに集まり、水をくんでエホバの前に注いで、その日は断食をした。そして言った。「私たちはエホバに対して罪を犯しました」。こうしてサムエルはミツパでイスラエル人を裁き始めた。

7 フィリスティア人はイスラエル人がミツパに集まったことを聞いた。そしてフィリスティア人の領主たちがイスラエルに攻め上ってきた。イスラエル人はそのことを聞き、フィリスティア人を恐れた。8 イスラエル人はサムエルに言った。「私たちを助け、フィリスティア人から救ってくださいよう、私たちの神エホバに祈り続けてください」。

9 そこでサムエルは、乳離れしていない1匹の子羊を全焼の捧げ物としてエホバに捧げた。サムエルはイスラエルのためにエホバに助けを求め、エホバはサムエルに答えた。10 サムエルが全焼の捧げ物を捧げていると、フィリスティア人がイスラエルと戦うために向かってきた。その日、エホバは雷鳴をとどろかせてフィリスティア人を混乱に陥れた。彼らはイスラ

第7章

(7) 申 28:1
(1) 裁 10:16
(2) 裁 20:1
サー 10:17
王ニ 25:23
エ工 40:6
(3) サー 12:23
ヤコ 5:16
(4) 代ニ 20:3
ネヘ 9:1
ヨエ 2:12
(5) 裁 10:10
(6) 裁 2:18
(7) ヨシ 13:2,3
サー 6:4
(8) サー 12:19
イザ 37:4
(9) レビ 1:10
(10) 詩 99:6
(11) サー 2:10
サニ 22:14
(12) ヨシ 10:10
裁 4:15

第2欄

(7) 申 20:4
申 28:7
(1) ヨシ 4:9
ヨシ 24:26
(2) 詩 44:3
(3) サー 9:16
サー 13:5
(4) サー 14:22,23
サー 17:51
(5) 創 15:18,21
(6) サー 3:20
サー 12:11
サー 25:1
使徒 13:20
(7) ヨシ 16:1
(8) ヨシ 15:7,12
サー 11:15
(9) サー 7:5
(10) サー 1:1
サー 8:4
サー 19:18
(11) 出 20:25

第8章

(12) 代一 6:28

エルの前で打ち破られた。11 イスラエルの人たちはミツパから出てフィリスティア人を追い、討ちながらベト・カルの南まで行った。12 サムエルは石を取ってミツパとエシャナの間に置き、その石をエベネゼルと名付けた。彼が言うには、「今までエホバが私たちを助けてくださった」からだ。13 こうしてフィリスティア人は制圧され、もうイスラエルの領土には入ってこなかった。サムエルの時代中ずっとエホバがフィリスティア人を押しとどめていた。14 フィリスティア人がイスラエルから奪った町は、エクロンからガトまで、イスラエルに戻され、イスラエルはフィリスティア人から領土を取り返した。

そして、イスラエルとアモリ人の間に平和があった。

15 サムエルは生涯にわたってイスラエルを裁いた。16 彼は毎年、ベテルとギルガルとミツパを回り、その各地でイスラエルを裁いた。17 戻る場所はラマだった。そこに家があったからである。そこでもイスラエルを裁いた。また、エホバのためにそこに祭壇を作った。

8 サムエルは年を取り、息子たちを任命してイスラエルを裁かせた。2 長男はヨエルといい、次男はアビヤといった。2人はベエル・シェバで裁いていた。3 しかし、息子たち

7:12 *意味、「助けの石」。

は父親の歩みに倣わなかった。不当な利益を得ようとし、賄賂を受け取り、公正をゆがめた。

4 やがてイスラエルの長老の皆が集まり、ラマのサムエルの所にやって来た。5 そして言った。「あなたは年を取られましたが、ご子息たちはあなたの歩みに倣ってはいません。どうか、他の国々と同じように、私たちを裁く王を立ててください」。6 サムエルは、彼らが「私たちを裁く王をお与えください」と言ったのを不快に思った。それでエホバに祈った。7 エホバはサムエルに言った。「民が言うことを全て聞き入れなさい。彼らが退けたのはあなたではない。彼らは、私が王であることを認めず、私を退けたのである。8 私がエジプトから連れ出した日から今日までの間、彼らはいつも私を捨て、ほかの神々に仕えてきた。それと同じことをあなたにもしているのだ。9 彼らが言うことを聞き入れなさい。ただし、嚴重に警告すべきである。統治する王には民に何を要求する権利があるのか、彼らに伝えなさい」。

10 それでサムエルは、王を求める民にエホバの言葉を全て伝えた。11 こう言った。「王には、民に次のことを要求する権利があります。王は皆さんの息子を集めて兵車に乗せ、騎手にします。ある人たちは、兵車の前を走ることになります。12 王は、千人

第8章

[例] 出 18:21

[例] 出 23:8
申 16:19
詩 15:4
格 29:4

[例] 申 24:17

[例] 申 17:14, 15
サ一 12:13
使徒 13:21[例] 裁 8:23
サ一 10:19
サ一 12:12
イザ 33:22

[例] 申 9:24

[例] 裁 2:19

[例] サ一 10:25

[例] サ一 14:52

[例] 王一 9:22
王一 10:26

[例] 王一 4:26

第2欄

[例] サ二 18:1
代一 27:1

[例] 王二 1:14

[例] 代一 27:26

[例] 王一 4:7

[例] 王一 4:26

[例] 王一 4:22

[例] 代一 27:28, 31

[例] 王一 5:15, 16

[例] 王一 4:22, 23

[例] 王一 12:3, 4

[例] サ一 8:7
ホセ 13:11

第9章

[例] サ一 14:51
代一 8:33
使徒 13:21

[例] 裁 21:17

ちょうじんちゅうにんちやうにんめい こうさく(例) 長や五十人長を任命します。耕作や刈り入れ、武器や兵車の製造をさせられる人もいます。13 王は、皆さんのむね あつ こうじゅう ちやうごう * りやうり 娘を集めて、香油を調合させたり料理をさせたりパンを焼かせたりします。

14 皆さんの畑やブドウ園やオリーブ畑の最良の部分を取って家来たちに与えます。15 穀物畑やブドウ園のしゅうかく ぶん と ていしん けらい 収穫の10分の1を取って廷臣や家来たちに与えます。16 皆さんから男の召し使いや最良の牛やロバを女と召し使いや最良の牛やロバを取って働かせます。17 皆さんの羊の10分の1を取ります。皆さんは王の召し使いになります。18 皆さんが自分のために選んだ王のことで泣き叫ぶ日が来ます。それでも、エホバは答えてくさいません。

19 しかし、民はサムエルの言ったことに耳を貸さず、こう言った。「いや、私たちはどうしても王に治めてほしいのです。20 そうすれば私たちは他の国々と同じようになります。王が私たちを裁き、率い、敵と戦うのです」。

21 サムエルは民が言うことを全部聞いてから、それをエホバに話した。22 エホバはサムエルに言った。「彼らが言うことを聞き入れ、王を立てて治めさせなさい」。サムエルはイスラエルの人たちに、「それぞれ自分の町に帰らなさい」と言った。

9 さて、キシという名前のペニヤミン族の男性がいた。とても裕

8:13 * または、「香料を作らせ」。8:20 * または、「導き」。

ふく ひと だ。父^ふ祖^そはアビエルで、順^{じゆん}にさかのぼると、ツェロル、ペコラト、アフィアハである。2 キシュには、サウル^{さうる}という若^{わか}くてりしい顔^{かお}立ち^{だて}の息子^{むすこ}がいた。イスラエル人^{いすらえるじん}の中に彼^{かれ}よりもりしい人^{ひと}はいなかった。そして、民^{たみ}の誰^{だれ}よりも、頭^{あたま}1つ分^{ぶん}、背^せが高^{たか}かった。

3 ある時^{とき}、サウル^{さうる}の父^{ちち}キシュのロバがいなくなった。キシュは息子^{むすこ}サウルに言った。「従者^{じゆうしや}を1人^{ひとり}連れて、ロバをさがしに行^いってくれないか」。4 彼^{かれ}らはエフライム^{えふらいむ}の山地^{さんち}を通^{とお}り、シャリシャ^{しゃりしゃ}の地域^{ちいき}を抜^ぬけたが、見^みつからなかった。シャアリム^{しゃありむ}の地域^{ちいき}を巡^{めぐ}ったが、ロバはそこにもいなかった。ベニヤミン^{べにやみん}族^{ぞく}の土地^{とち}全体^{ぜんたい}を通^{とお}ったが、見^みつからなかった。

5 ツフの地域^{ちいき}に来^きた時^{とき}、サウルは一緒^{いっしょ}にいた従者^{じゆうしや}に言った。「さあ、もう帰^{かえ}ろう。父^{ちち}がロバではなく私^{わたし}たちのことを心配^{しんぱい}し始め^{はじ}めるといけない」。6 従者^{じゆうしや}は言^いった。「あ^あの町^{まち}には神^{かみ}に仕^{つか}える人^{ひと}がいて、尊^{そんけい}敬^{けい}されています。その人^{ひと}の言^いうことは全部^{ぜんぶ}、必^{かなら}ずその通^{とお}りになります。これからそこに行^いってみましょ。どこへ行^いけばよいか教^{おし}えてくれるかもしれません」。7 サウルは従者^{じゆうしや}に言^いった。「行^いくとしても、その人^{ひと}の所^{ところ}に何^{なに}を持^もっていけるだろうか。袋^{ふくろ}にはパン^{パン}が一つもなく、真^{しん}の神^{かみ}に仕^{つか}える人^{ひと}に贈^{おく}り物^{もの}として持^もっていけるものは何^{なに}もない。何かあるだろうか」。8 従者^{じゆうしや}はさら^{さら}に言^いった。「ご覧^{らん}ください。私^{わたし}の

第9章

例 サ一 11:15
サ一 13:13
サ一 15:26
サ一 28:7
サ一 31:4
サ二 1:23

例 サ一 10:2

例 サ一 3:19

第2欄

例 サ一 9:19
サ二 15:27
代一 9:22
代一 29:29

例 サ一 9:19

例 王一 3:2
代一 16:39
代二 1:3

例 サ一 7:9
サ一 16:5

て 手^てに銀^{ぎん}が3グラムあります。真^{しん}の神^{かみ}に仕^{つか}える人^{ひと}にこれ^{これ}を差^さし上げます。そうすれば、どこへ行^いけばよいかきつと教^{おし}えてくれます」。9 (昔^{むかし}、イスラエルで、神^{かみ}の導^{みちび}きを求め^{もと}めに行^いくときに、「さあ、予見者^{よけんしや}の所^{ところ}に行^いこう」と言^いった。いま 予見者^{よけんしや}は昔^{むかし}、予見者^{よけんしや}と呼ばれていたのである。) 10 サウルは従者^{じゆうしや}に言^いった。「おお、それはいい。行^いこう」。2人^{ふたり}は真^{しん}の神^{かみ}に仕^{つか}える人^{ひと}が在^ある町^{まち}に向^むかかった。

11 その町^{まち}に行^いく坂道^{さかみち}を上^{のぼ}っていると、水^{みづ}をくみに出^でてきた若い女性^{じやうせい}たち^{たち}に会^あった。それで、「ここ^{ここ}に予見者^{よけんしや}がおられますか」と話^{はな}し掛^かけた。12 彼女^{かの}たちは答^{こた}えた。「いらっしゃいます。このすぐ先^{さき}です。お急^{いそ}ぎください。町^{まち}に今日^{きよう}来^こられたところ^{ところ}です。今日^{きよう}、民^{たみ}が高^{たか}い場所^{ばしょ}で犠^ぎ牲^{せい}を捧^{ささ}げるからで

す。13 町^{まち}に入^{はい}ると、あ^あの方^{かた}を見^みつけられます。まだ、食^{しょく}事^じをするために高^{たか}い場所^{ばしょ}に上^{のぼ}ってはおられないでしょう。あ^あの方^{かた}が来^くるまでは、民^{たみ}は食^{しょく}事^じをしません。あ^あの方^{かた}が来^きて祈^{いの}って初^{はじ}めて、招^{まね}かれた人^{ひと}たちは食^{しょく}事^じができます。ですから、今^{いま}すぐ上^{のぼ}っていってください。みつけられると思^{おも}います」。14 そこで2人^{ふたり}は町^{まち}に行^いった。町^{まち}の中心^{しんしん}に入^{はい}ていくと、サムエル^{さむえる}が会^あいに

で出^でてきた。彼^{かれ}らと一緒^{いっしょ}に高^{たか}い場所^{ばしょ}に上^{のぼ}るためだった。

15 サウルが来^くる前^{まえ}の日^ひに、エホ

バはサムエルにこう言^いって^{*}いた。

16 「明日^{あす}の今^{いま}ごろ、ベニヤミン^{ベニヤミン}の土^{つち}地^ぢから1人^{ひとり}の人^{ひと}をあなた^{あなた}の所^{ところ}に遣^{つか}わす。あなたはそ^{ひと}の人^{ひと}に油^{あぶら}を注^{そそ}いで私^{わたし}の民^{たみ}イスラエル^{イスラエル}の指^し導^{どう}者^{しや}としなければなら^いない。そ^{ひと}の人^{ひと}はフィリステイア^{フィリステイア}人^{じん}から私^{わたし}の民^{たみ}を救^{すく}う。私^{わたし}は民^{たみ}の苦^く悩^うを見^み、民^{たみ}の叫^こびが私^{わたし}の^いも^もとに届^{とど}いた^いのであ^いる」。17 サムエル^{サムエル}がサウル^{サウル}を見^みる^いと、エホバ^{エホバ}は言^いった。「『私^{わたし}の民^{たみ}を治^{おさ}め^いる人^{ひと}』と私^{わたし}があなた^{あなた}に言^いったのは、こ^{ひと}の人^{ひと}のこ^{こと}だ^い」。

18 サウル^{サウル}は門^{もん}の所^{ところ}でサムエル^{サムエル}に近^{ちか}寄^よって言^いった。「予^よ見^{けん}者^{しや}の家^{いえ}はどこ^いか、どう^いか教^{おし}えてくだ^いさい」。19 サムエル^{サムエル}はサウル^{サウル}に答^{こた}えた。「私^{わたし}がそ^{わたし}の予^よ見^{けん}者^{しや}です。私^{わたし}の前^{まえ}を行^いって高^{たか}い場^ば所^{しよ}に上^あってくだ^いさい。あなた^{あなた}たちは今^{いま}日^{にち}、私^{わたし}と一^{いっ}緒^{しょ}に食^{しょく}事^じをし^います。朝^{あさ}にな^いった^いら、あなた^{あなた}をお送^{おく}りし、あなた^{あなた}が知^しりた^いいこ^{こと}を全^{ぜん}部^ぶ教^{おし}えま^いし^いよう。20 3日^{まい}前^{まえ}にい^いなくな^いった口^{くち}バ^ばのこ^{こと}は心^{しん}配^{ぱい}要^いりま^いせん。見^みつかりま^いした。それ^{それ}に、イ^いスラエル^{イスラエル}にある貴^き重^{ちゆう}なも^{もの}は全^{すべ}て、あ^あなたとあ^あなたの父^{ちち}の一^{いち}族^{そく}全^{ぜん}体^{たい}のも^{もの}です」。21 サウル^{サウル}は言^いった。「私^{わたし}はイ^いスラエル^{イスラエル}の部^ぶ族^{そく}の中^{なか}で最^もも小^{ちひ}さい^いベニヤミ^{ベニヤミ}ン族^{そく}の者^{もの}で、私^{わたし}の氏^し族^{そく}はベニヤミ^{ベニヤミ}ン族^{そく}の中^{なか}で最^もも取^とるに足^たりな^いい氏^し族^{そく}です。それ^{それ}な^いに、どう^いしてこ^このよ^ようなこ^{こと}を私^{わたし}に話^{はな}さ^いれるの^いですか^い」。

9:15 *直訳、「の耳の覆いを外して」。9:16 *用語集の「油を注ぐ」参照。9:17 *または、「制御する」。

第9章

例 ヨシ 18:11

例 サー 10:1
サー 15:1

例 詩 106:43, 44
詩 107:19

例 サー 10:24
サー 15:17
使徒 13:21

例 サー 9:13, 24

例 サー 9:3

例 サー 8:5, 19
サー 12:13

例 裁 20:46, 47

第2欄

例 サー 9:13, 19

例 サー 9:3, 10

第10章

例 サー 16:13
王二 9:2, 3

例 出 19:5
申 32:9

例 サー 9:16
使徒 13:21

22 サムエルはサウル^{サウル}と従^{じゆう}者^{しや}を食^{しょく}堂^{どう}に連^つれてい^いき、上^{かみ}座^ざに座^{すわ}らせた。そ^{そこ}に30人^{にん}ほ^{ひと}ど^{ひと}の^{ひと}が^いいた。23 サムエル^{サムエル}は料^{りよう}理^り人^{にん}に言^いった。「取^とり分^{ぶん}けてお^いくよ^いうに^いと^い言^いって渡^{わた}した^{ぶん}分^{ぶん}を持^もってき^きてくだ^いさい」。24 料^{りよう}理^り人^{にん}は、も^もも^もとそ^その周^{まわ}り^にの肉^{にく}を取^とり出^だしてサウル^{サウル}の前^{まえ}に置^おいた。サムエル^{サムエル}は言^いった。「取^とり分^{ぶん}けてお^いいたも^ものをお^お出^だし^しま^した。召^めし上^あが^いってくだ^いさい。『来^{らい}客^{きやく}がある』』と^い言^いって、あ^あなたのた^ため^めに取^とり分^{ぶん}けてもら^{もら}った^いので^いす。こ^こう^いしてサウル^{サウル}はそ^その^ひ日^{にち}、サムエル^{サムエル}と一^{いっ}緒^{しょ}に食^{しょく}事^じをし^いた。25 そ^その後^ご、高^{たか}い場^ば所^{しよ}か^から町^{まち}ま^まで下^{くだ}り、サムエル^{サムエル}は家^{いえ}の屋^{おく}上^{じやう}でサウル^{サウル}と話^{はな}しつ^つづ^くけ^いた。26 朝^{あさ}にな^いり、彼^{かれ}ら^らは早^{はや}く起^おき^きた。夜^よが明^あけ^いる^いと、サムエル^{サムエル}は屋^{おく}上^{じやう}のサウル^{サウル}に言^いった。「支^し度^{たく}をし^いてくだ^いさい。お送^{おく}りし^しま^すす。そ^それでサウル^{サウル}は支^し度^{たく}をし^い、サウル^{サウル}とサムエル^{サムエル}は外^{そと}に^いで出^でてい^いった。27 町^{まち}の外^{はう}れま^まで下^{くだ}つてい^いくと、サムエル^{サムエル}がサウル^{サウル}に言^いった。「従^{じゆう}者^{しや}に、先^{さき}に行^いくよ^いうに言^いってくだ^いさい。従^{じゆう}者^{しや}は先^{さき}に行^いき、サムエル^{サムエル}は続^{つづ}けて言^いった。「あ^あなたはこ^ここに^いとどま^まつてくだ^いさい。神^{かみ}の言^{こと}ば^ばをお^お聞^きかせ^いしま^しし^いよう」。

10 サムエル^{サムエル}は油^{あぶら}の瓶^{びん}を取^とって、サウル^{サウル}の頭^{あたま}に油^{あぶら}を注^{そそ}いで^いた。そ^そしてサウル^{サウル}に口^{くち}づ^づけ^いて言^いった。「エホバ^{エホバ}は確^{たし}かにあ^あなたを選^{えら}んで、あ^あなたを^いご自^じ分^{ぶん}の民^{たみ}の指^し導^{どう}者^{しや}にし^しま^しす」。

10:1 *直訳、「に油を注いで」。用語集の「油を注ぐ」参照。

た。2 今日あなたが私のもとから
去っていく時、ベニヤミンの領地のゼ
ルザにあるラケルの墓のそばで2人の
人に会おうでしょう。2人はあなたにこ
う言います。『あなたが捜しに行った
ロバは見つかりましたが、お父さまは
ロバのことは忘れてあなたたちのこと
を心配し、「息子のために何をしたら
よいだろう」と言っています』。3 そ
こからさらに進むと、タボルの大木の
所で、ベテルの真の神のもとに向かっ
ている3人の人に会います。1人は子
やぎを3匹、1人はパンを3つ、1人はぶ
どう酒の入った大きなつぼを持ってい
るでしょう。4 彼らはあなたに元氣
かどうか尋ね、パンを2つくれます。そ
れを受け取ってください。5 その後、
フィリスティア人の守備隊がいる真の
神の丘に行きます。町に行くと、高い
場所から下ってくる預言者の一団に会
います。弦楽器、タンバリン、笛、たて
鼓を演奏する人たちが前を進み、預言
者たちは預言しているでしょう。6 あ
なたはエホバの聖なる力を受け、彼ら
と共に預言し、別人のようになります。
7 こうしたしるしがその通りに起きた
なら、あなたはできることを何でも行っ
てください。真の神があなたと共にい
るからです。8 それで、先にギルガル
に行ってください。私もそこに行って、
全焼の犠牲と共食の犠牲を捧げます。
私があなたの所に行くまで、7日間、あ

第10章

(7) 創 35:19

(1) サ- 9:3,5

(7) 創 28:19,22

(2) 民 11:25

(7) サ- 10:10

(7) サ- 7:15,16
サ- 11:14

第2欄

(7) 裁 14:5,6
サ- 11:6
サ- 16:13(1) サ- 10:6
サ- 19:23

(7) サ- 19:24

(2) サ- 9:3

なたは待っていなければなりません。
それから、すべきことをあなたに知ら
せます。

9 サウルが立ち去ろうとしてサムエ
ルに背を向けると、神はサウルの心を変えていき、別人の心のようにした。そしてその日、全てのしるしがその通りに起きた。10 彼らが丘に行くと、預言者の一団に会った。するとサウルは神の聖なる力を受け、預言者たちの中で預言し始めた。11 以前から彼を知っている人は皆、彼が預言者たちと共に預言しているのを見て、こう言い合った。「キシユの子に何が起きたのか。サウルも預言者の1人なのか」。12 そこにいた1人の人は、「あの預言者たちの父親はどうなのか」と言った。こうして、「サウルも預言者の1人なのか」という言い方が生まれた。

13 サウルは預言し終えると、高い場所に行った。14 その後、サウルのおじがサウルと従者に言った。「どこに行っていたのか」。サウルは言った。「ロバを捜しに行っていました。でも見つからなかったもので、サムエルの所に行きました」。15 サウルのおじは尋ねた。「話してくれないか。サムエルは何と言ったのか」。16 サウルはおじに、「ロバは見つかったと教えてくれました」と答えた。しかし、王になるとサムエルから言われたことは話さなかった。

17 サムエルはミツパで民をエホバのもとに呼び集め、18 イスラエル人に言った。「イスラエルの神エホバはこう言っています。『私は、エジプトからイスラエルを連れ出し、エジプトや、あなたたちを圧迫していた全ての王国からあなたたちを救い出した。19 それなのに、あなたたちは今日、あなたたちのためにあらゆる悪と苦難からの救い主となった神を退け、「いや、あなたは私たちを治める王を立てるべきだ」と言った。それで今、部族ごと、氏族ごとにエホバの前に立ちなさい』」。

20 サムエルはイスラエルの全部族を近くに來させた。そしてベニヤミン族が選ばれた。21 サムエルはベニヤミン族を氏族ごとに近くに來させた。そしてマトリ氏族が選ばれ、最終的にキシウの子サウルが選ばれた。それで人々はサウルを捜しに行ったが、見つからなかった。22 彼らはエホバに尋ねた。「彼はここに来ているのですか。エホバは答えた。「彼は荷物の中に隠れている」。23 それで彼らは走って行って、そこからサウルを連れてきた。サウルが民の真ん中に立つと、ほかの誰よりも頭1つ分、背が高かった。24 サムエルは民の皆に言った。「エホバが選んだ人を見ましたか。民の中に彼のような人はいません」。民は皆、「王が栄えますように！」と叫びだした。

第10章

(7) サー 7:5

(4) 出 13:14
申 4:34(4) サー 8:7
サー 12:12(4) ヨシ 7:16-18
使徒 1:24

(4) サー 9:21

(7) 使徒 13:21

(4) 裁 1:1
裁 20:18, 28
サー 23:2

(4) サー 9:2

(4) 申 17:14, 15
サー 9:17

第2欄

(7) サー 8:11-18

(4) サー 11:12

(4) 王一 10:1, 10
代二 17:5

第11章

(4) 申 2:19

(4) 裁 21:8
サー 31:11, 12(4) サー 10:26
サー 14:2

25 サムエルは王の権限について民に話した。それを書物に記し、エホバの前に納めた。そして民を皆、家に帰した。26 サウルもギベアにある家に帰った。エホバに心を動かされた戦士たちも付いていった。27 一方、どうしようもない人たちは、「こんな人がどうしてわれわれを救えるだろうか」と言った。サウルを見下し、何の贈り物もしなかった。しかしサウルは何も言わなかった。

11

アンモン人ナハシュがやって来て、ギレアデのヤベシュを攻めるため陣営を張った。ヤベシュの人たちは皆、ナハシュに言った。「私たちと契約を結んでください。私たちはあなたに仕えます」。2 アンモン人ナハシュは言った。「契約を結びたいなら、条件がある。おまえたち皆の右目をえぐり取るという条件だ。イスラエル全体に屈辱を味わわせてやる」。3 ヤベシュの長老たちは彼に言った。「7日間猶予を下さい。イスラエルの領土中に使者を送るためです。私たちが救える人が誰もいなければ降伏します」。4 やがて使者たちはサウルがいるギベアに来て、民に報告した。民は皆、声を上げて泣きだした。5 野原から、サウルが牛の群れを追いつながって來た。サウルは言った。「民に何があったのですか。どうして泣いているのでしょうか」。そこで使

11:1 *または、「合意」。

者たちはヤベシュの人たちが言ったことを伝えた。6 サウルはそれを聞くと、神の聖なる力を受け、激しく怒った。7 サウルは2頭の雄牛を切つて

ばらばらにし、使者たちに渡してイスラエルの領土中に送って、サウルとサムエルに付いていけない人がいれば、その人の牛はこのようになる!」と伝えさせた。すると民はエホバからの恐れに襲われ、同じ思いで出てきた。

8 サウルがベゼクで民を数えると、イスラエル人は30万人、ユダの人たちは3万人だった。9 サウルたちは、ヤベシュから来ていた使者たちに言った。「ギレアデのヤベシュの人たちにこう言ってください。『明日、日差しが強くなる頃、皆さんは救われます』。使者たちがヤベシュに戻って報告すると、人々は喜びにあふれた。10 ヤベシュの人たちはアンモン人に言った。『明日、私たちはあなた方に降伏します。良いと思うことを何でも私たちにしてください』。

11 翌日、サウルは民を3つの部隊に分け、部隊は朝の見張りの時間に陣営の真ん中に侵入し、真昼ごろまでアンモン人を討った。生き残った人たちはおのおの散り散りに逃げていった。12 民はサムエルに言った。「『サウルがわれわれの王となるのか』と言っていたのは誰ですか。その人たちを引き渡してください。殺します」。

11:11 *午前2時ごろから午前6時ごろまで。

第11章

(ア) 裁 3:9,10
裁 6:34
裁 11:29
裁 14:5,6
サー 10:10,11
サー 16:13

(イ) サー 11:3

(ウ) サー 11:1

(エ) サー 10:26,27

第2欄

(ア) サニ 19:22

(イ) サー 7:15,16

(ウ) サー 10:17,24

(エ) レビ 7:11

(オ) 王一 1:39,40
王二 11:12,14
代一 12:39,40

第12章

(ウ) サー 8:5
サー 10:24
サー 11:14,15

(イ) サー 8:20

(ウ) サー 8:1,3

(ウ) サー 3:19

(ウ) サー 9:16,17
サー 10:1

(イ) 民 16:15

(イ) 申 16:19

(ウ) 出 22:4
レビ 6:4

13 しかしサウルは、「今日は誰も殺してはいけない。エホバが今日イスラエルを救ってくださったのだから」とと言った。

14 その後サムエルは民に言った。「さあ、ギルガルに行つて、サウルが王であることをもう一度宣言しましょう」。

15 それで民は皆ギルガルに行き、エホバの前でサウルを王とした。それからそこでエホバの前に共食の犠牲を捧げた。サウルとイスラエルの全ての人たちは、非常に喜んで祝いの時を過ごした。

12 サムエルはイスラエル全体に言った。「私は皆さんが求めたことを全て行い、皆さんを治める王を立てました。2 今ここに、皆さんを導く王がいます! 私は年老いて白髪になり、息子たちは皆さんと共にいます。私は若い時から今日まで皆さんを導いてきました。3 私はここにいます。私に関して訴えたいことがあるなら、エホバとその方が選んだ人の前で言いなさい。私は誰かの雄牛や口バを取りましたか。誰かからだまし取ったり、誰かを虐げたりしましたか。賄賂を受け取って、見て見ぬふりをしたでしょうか。もしそうなら、償いをします。4 民は言った。「あなたはだまし取ったことも、虐げたことも、誰かの手から何かを受け取ったこともあり

12:3 *直訳、「油を注いだ」。用語集の「油を注ぐ」参照。 *または、「口止め料」。

ません」。5 サムエルは言った。「皆さんは私に関して訴えたいことを何も挙げませんでした。今日、エホバがそのことの証人です。神が選んだ人も証人です」。民は言った。「その方が証人です」。

6 サムエルは民に言った。「モーセとアロンを用い、父祖たちをエジプトから連れ出したエホバが証人です。7 それで今、しっかりと立ちなさい。私は、エホバが皆さんと父祖たちのために行われたあらゆる正しい事柄に照らして、皆さんをエホバの前で裁きます。

8 ヤコブがエジプトに入り、父祖たちがエホバに助けを求めると、エホバはモーセとアロンを遣わしました。2人は父祖たちをエジプトから連れ出し、この場所に住ませました。9 ところが、父祖たちは自分たちの神エホバを忘れました。神は彼らをハツォルの軍隊の長シセラ、フィリスティア人、モアブの王に売り渡し、戦いになりました。10 彼らはエホバに助けを求めて言いました。「私たちは罪を犯しました。エホバから離れてバアルやアシュトレテの像を崇拜しました。今、私たちを敵から救い出してください。私たちはあなたに仕えます」。11 それでエホバはエルバアルやベダンやエフタやサムエルを遣わして、皆さんを周囲の敵から救い出し、安

第12章

【例】出6:26
【例】創46:6
【例】出2:23
【例】出3:9,10
【例】ヨシ11:23
【例】裁4:2
【例】裁10:7
裁13:1
【例】裁3:12
【例】申32:18,30
裁2:12,14
【例】裁2:18
裁3:9
【例】裁10:10,15
【例】裁3:7
【例】裁2:13
【例】裁6:32
【例】裁11:1
【例】ヘブ11:32

第2欄

【例】レビ26:6
【例】サ一11:1
【例】サ一8:5,19
【例】裁8:23
サ一8:7
イザ33:22
【例】サ一9:16,17
サ一10:24
【例】申10:12
申17:19
【例】ヨシ24:14
【例】申13:4
申28:2
【例】レビ26:14,17
申28:15
ヨシ24:20
【例】サ一8:7
ホセ13:11
【例】サ一7:5
サ一12:23

心して暮らせるようにしてくださいました。12 皆さんは、アンモン人の王ナハシュが攻めてくるのを見た時、『いや、私たちはどうしても王に治めてほしいのです!』と私に言い張りました。エホバ神が皆さんの王であるにもかかわらず、そうしたのです。13 そして今ここに、皆さんが選んだ王、求めた王がいます。エホバは皆さんを治める王を立てました。14 皆さんがエホバを畏れ、その方に仕え、その声に従い、エホバの命令に背かず、皆さんも皆さんを治める王もエホバ神に従うなら、うまくいきます。15 しかし、エホバの声に従わず、エホバの命令に背くなら、エホバは皆さんと皆さんの父たちを処罰します。16 今しっかりと立ち、目の前でエホバがこれから行われる偉大な事柄を見なさい。17 今小麦の収穫の時ですが、私は雷が生じて雨が降るようにとエホバに呼びかけます。その時、皆さんは、王を求めることによってエホバの前でどれほど悪いことを行ったのかを悟りなさい。18 サムエルはエホバに呼び掛けた。するとその日、エホバは雷を起こして雨を降らせた。それで民は皆、エホバとサムエルを非常に畏れた。19 民は皆、サムエルに言った。「私たちのためにあなたの神エホバに祈ってください。死にたくありません。私たちは王を求めることによって、あらゆる罪の上にさらに悪を加えました」。

20 サムエルは民に言った。「おびえてはなりません。皆さんがそうしたあらゆる悪いことを行ったのは確かです。とにかく、エホバに従うのをやめてはなりません。心を尽くしてエホバに仕えなさい。21 実体のないものに従おうとしてはなりません。そうしたものは役に立たず、救ってもくれません。実体がないからです。22 エホバはご自分の偉大な名のために、民を見捨てることはしません。エホバは自ら皆さんをご自分の民としたのです。23 私としても、皆さんのために祈るのをやめたりしてエホバに対して罪を犯すことなど考えられません。これから皆さんに、正しい良い生き方を教えます。24 エホバをただ畏れ、心を尽くして忠実に仕えなさい。どんな偉大なことをしてくださったのかを覚えていなさい。25 もし悪いことをかたくなに行うなら、皆さんも王も滅ぼされます」。

13 サウルは……歳で王になり、イスラエルを2年治めた。2 サウルはイスラエルから3000人を選んだ。そのうち2000人はサウルとともにミクマシュとベテルの山地に、1000人はヨナタンと共にベニヤミンのギベアに配置された。そのほかの民は、それぞれ自分の天幕に帰された。3 ヨナタンはゲバにいたフィリ

12:21 *または、「無価値な神」。*または、「無価値だ」。12:24 *または、「真実をもって」。13:1 *ヘブライ語本文から数字が抜けている。

第12章

(7) 申 31:29
ヨシ 23:6
サ 12:15

(1) 申 6:5

(2) 申 32:21
エ 2:11

(2) 詩 115:4,5
エ 16:19

(2) ヨシ 7:9
詩 23:3

詩 106:8
エ 14:21
エ 20:14

(2) 王 6:13
詩 94:14
ロ 11:1

(2) 出 19:5
申 7:7

(2) サ 12:14
詩 111:10
伝 12:13

(2) 申 10:12,21

(2) 申 28:15,36

(2) ヨシ 24:20

第13章

(2) 使徒 13:21

(2) サ 18:1
サニ 1:4
サニ 21:7

(2) ヨシ 18:28
サ 10:26

(2) ヨシ 21:8,17

第2欄

(2) ヨシ 13:2,3

サ 9:16

(1) 裁 3:26,27

裁 6:34

サニ 2:28

(2) ヨシ 5:9

サ 11:14

(2) 申 20:1

(2) ヨシ 7:2

ヨシ 18:11,12

サ 14:23

(2) サ 14:11

(2) 民 32:1,33

ヨシ 13:24,25

(2) サ 15:22,23

スティア人の守備隊を討ち、フィリスティア人はそのことを聞いた。サウルは、国中で角笛を吹き鳴らすよう命じ、「ヘブライ人たち、聞きなさい」と言わせた。4 イスラエル全体は、「サウルがフィリスティア人の守備隊を討ち、イスラエルはフィリスティア人に憎まれるようになった」という知らせを聞いた。それで民はギルガルのサウルのもとに招集された。

5 フィリスティア人も、イスラエルと戦うために集結した。戦車は3万両、騎手は6000人で、兵士は海辺の砂のように多かった。彼らは上ってきて、ベト・アベン⁽²⁾の東、ミクマシュに陣営を張った。6 イスラエルの人たちは、窮地に立たされたのを知った。非常に追い詰められたのである。民は、洞窟、岩の裂け目、岩陰、穴蔵、水ために隠れた。7 中には、ヨルダン川を渡ってガドとギレアデの土地に行った

ヘブライ人もいた。しかしサウルはギルガルにとどまり、サウルに従う民は皆おびえていた。8 サウルはサムエルが決めた所定の時まで7日間待ったが、サムエルはギルガルに来なかった。民はサウルのもとから去り始めていた。9 ついにサウルは、「全焼の犠牲と共食の犠牲を私の所⁽²⁾に持ってきなさい」と言った。そして全焼の犠牲を捧げた。

10 サウルが全焼の犠牲を捧げ終えると、間もなくサムエルがやって来

サムエル第一 13:11-14:2

た。サウルは迎えに出ていき、あいさつした。11 するとサムエルは言った。「いったい何をしたのですか」。サウルは言った。「民が私のもとから離れ始めていました。それに、あなたは所定の時までに来てくださいませんでしたし、フィリスティア人がミクマシュに集結していました。12 それでこう思いました。『今フィリスティア人がギルガルの私の所に向かってくるのに、わたしはエホバの恵みを求めている。』私は全焼の犠牲を捧げなければならぬと感じたのです」。

13 サムエルはサウルに言った。「あなたは愚かなことをしました。エホバ神から与えられたおきてを守りませんでした。もし守っていたら、エホバは、イスラエルを治めるあなたの王国がいつまでも続くようにしたでしょう。14 しかしもう、あなたの王国は長続きしません。エホバはご自分の心にかなう人を見つけます。エホバはそのひとを、ご自分の民の指導者に任命します。あなたはエホバに命じられたことを守らなかったからです」。

15 サムエルは立って、ギルガルからベニヤミンのギベアへ上っていった。サウルが民の人数を数えると、なおも共にいたのはおよそ600人だった。16 サウルと息子のヨナタン、そして2人のもとから離れずにいた民は、ベニヤミンのゲバにとどまっていた。フィリスティア人の方はミクマシュで陣

第13章

[ア] サー 13:6,8

[イ] サー 13:5

[ウ] サー 15:11

[エ] サー 15:28

[オ] サー 16:1

[カ] サ二 7:15

詩 78:70

使徒 13:22

[ク] 創 49:10

サ二 5:2

サ二 7:8

代一 28:4

[ケ] 格 11:2

[コ] サ一 13:7

サー 14:2

[ク] サ一 13:3

[コ] サ一 13:2

第2欄

[ウ] ヨシ 10:11

[イ] サ一 17:47,50

[ウ] サ一 13:2

サー 14:4,5

第14章

[エ] サ一 14:49

サー 18:1

サ二 1:4

[オ] サ一 10:26

営を張っていた。17 フィリスティア人の陣営から3つの襲撃部隊が出ていった。1つはシュアルの土地の方、オフラへの道に向かい、18 1つはベト・ホロンの道に向かい、もう1つは荒野の方、ツェボイムの谷を望む境界への道に向かった。

19 さて、イスラエルにはどこにも鍛冶屋がいなかった。フィリスティア人が、「ヘブライ人に剣ややりを作らせてはならない」と言ったためである。

20 そのためイスラエル人は皆、すき、つるはし、おの、鎌を研いでもらうため、フィリスティア人の所に行かなければならなかった。21 すき、つるはし、フォーク、おのを研いでもらう場合、また牛追い棒を修理してもらう場合、代金は銀8グラムだった。22 それで戦いの日、サウルやヨナタンと共にいた民は誰も、剣もやりも手にしていなかった。サウルと息子のヨナタンだけが武器を持っていた。

23 フィリスティア人の守備隊はミクマシュの峡谷を渡る場所に出てきていた。

14 ある日、サウルの子ヨナタンは、武器を運ぶ従者に言った。「さあ、向こう側にいるフィリスティア人の前哨部隊の所に渡っていきましよう」。ヨナタンはそのことを父親に告げなかった。2 サウルは、ギベアの外れのミグロンにあるザクロの木

13:23 *または、「前哨部隊」。

の下にいた。およそ600人が彼と共にいた。3 (そして、シロでエホバの祭司だったエリの子ピネハスの子カボドの兄弟アヒトブの子アヒヤが、エフォドを持っていた。) 兵士たちはヨナタンが出ていったことを知らなかった。4 ヨナタンがフィリスティア人の前哨部隊を目掛けて渡っていこうとしていた道の両側には歯のような大岩があり、一方はボツツツ、他方はセネと呼ばれていた。5 一方の岩は北にあり、ミクマシュに面して柱のように立っていた。他方は南にあり、ゲバに面していた。

6 ヨナタンは、武器を運ぶ従者に言った。「さあ、あの割礼を受けていない人たちの前哨部隊の所に渡っていきましょう。おそらくエホバが私たちのために行動してください。こちらの人数が多くて少なくとも、エホバにとっては救う上で問題ではありません。7 従者は言った。「心に感じた通りになさってください。お望みの所へ向かってください。どこへでも付いていきます」。8 ヨナタンは言った。「これから、あの人たちの所まで渡って行って、私たちの姿を見せます。9 もし彼らが、『われわれがそっちへ行くまで、じっとしている!』と言ったなら、私たちは動かず、登ってはいきません。10 しかし、もし彼らが、『われわれに向かって上がってこい!』と言っ

14:6 *用語集参照。

第14章

(ア) サー 13:15

(イ) ヨシ 18:1

サー 1:3

(ウ) サー 1:9

(エ) サー 2:12

サー 4:17

(オ) サー 4:21

(カ) サー 22:9

(キ) 出 29:5

民 27:21

(ク) サー 13:2,3

(ケ) 創 17:9,10

裁 14:3

裁 15:18

サー 17:36

代一 10:4

(コ) 裁 7:2

王二 6:15,16

代二 14:11

第2欄

(ク) 創 24:14

裁 7:11

サー 10:7

(イ) サー 13:6

サー 14:22

(ウ) サー 14:10

(エ) サー 14:6

サ二 5:23,24

王二 6:15,16

(オ) サー 13:17

(カ) サー 10:26

サー 14:2

(キ) サー 14:20

たなら、私たちは登っていきます。それは、エホバが私たちを勝たせてくださることのしるしだからです。

11 2人はフィリスティア人の前哨部隊に姿を見せた。するとフィリスティア人は言った。「見ろ、ヘブライ人が、隠れていた穴から出てきたぞ」。12 前哨部隊の人たちはヨナタンと従者に言った。「われわれの所に上がってこい。思い知らせてやる!」ヨナタンは直ちに従者に言った。「付いてきなさい。エホバはイスラエルを勝たせてくださいます」。13 ヨナタンはよじ登り、従者も付いていった。フィリスティア人はヨナタンに倒されていき、従者はヨナタンの後ろで彼らを殺していった。14 ヨナタンと従者は最初の攻撃により、短い距離の間でおよそ20人を討った。

15 そのため、恐怖が陣営にも前哨部隊の皆にも広まり、襲撃部隊さえもおびえた。地面は揺れ、神が人々を恐怖に陥れた。16 ベニヤミンのギベアでサウルのために見張っていた人たちが見ると、混乱が至る所に広まり始めていた。

17 サウルと共にいた兵士たちに言った。「人数を数えて、誰が出ていったかを調べてくれないか」。彼らが人数を数えると、ヨナタンと武器を運ぶ従者がいなかった。18 サウル

14:14 *直訳、「1対の畑の畝の半分」。1対の牛が1日にすき返す畑(約4000平方メートル)の半分のこと。

はアヒヤに言った。「^(ア) 真^{しん}の^{かみ}箱^{はこ}を持^もってき^きてください!」(真^{しん}の^{かみ}箱^{はこ}はその時^{とき}, イスラエル人^{じん}の所^{ところ}にあった。)

19 サウルが祭司^{さいし}アヒヤと話^{はな}している間^{あいだ}にも、フィリスティア人^{じん}の陣営^{じんえい}で生^{しょう}じた混^{こん}乱^{らん}はますます大^{おお}きな^{おほ}っていった。それでサウルは祭司^{さいし}に、「もう結^{けつ}構^{こう}です」と言^いった。**20** サウルと、共^{とも}にいた兵士^{へいし}たちは皆^{みな}, 集^{あつ}まって戦^{せん}場^{じょう}に向^{むか}かった。すると、フィリスティア人^{じん}は互^{たが}いに剣^{つるぎ}を振^ふるい合^あい, 大^{だい}混^{こん}乱^{らん}に陥^{おち}っていた。**21** それまではフィリスティア人^{じん}の味方^{みかた}をして共^{とも}に陣営^{じんえい}まで来ていたヘブライ人^{へいし}も, サウルやヨナタン^{じん}が率^{ひき}いるイスラエル^{いすらえ}の側^{がわ}に付^つき始^{はじ}めた。**22** エフライム^{えふらいむ}の山地^{さんち}に隠^{かく}れていたイスラエル^{いすらえ}の人^{ひと}たちも皆^{みな}, フィリスティア人^{じん}が逃^にげ去^さったことを聞^きき, 戦^{せん}場^{じょう}に行^いって追^{つい}撃^{げき}に加^{くわ}わった。**23** こうしてエホバ^{えほ}はその日^ひ, イスラエル^{いすらえ}を救^{すく}った。ベト・アベン^{べとあべん}にまで及^{およ}ぶ戦^{たたか}いだった。

24 とはいえ、その日^ひイスラエル^{いすらえ}の人^{ひと}たちは消耗^{しょうもう}し切^きっていた。サウルが兵士^{へいし}たちに関^{かん}して次^{つぎ}のよう^{せいやく}な誓^{せい}約^{やく}をしてい^いたからである。「日^ひが暮^まれる前^{まえ}, わたし^{わたし}てき^{てき} 復^{ふく}讐^{しゅう}をする前^{まえ}に, 食^たべ物^{もの}を口^{くち}にする人^{ひと}は災^{わざ}いを受^うける!」それで兵士^{へいし}は誰^{だれ}も食^たべ物^{もの}を口^{くち}にしてい^いなかった。

25 兵士^{へいし}たち皆^{みな}が森^{もり}に入^{はい}ると、そこ^{そこ}に蜂^{はちみつ}蜜^{みつ}があ^あった。**26** 兵士^{へいし}たちが森^{もり}に入^{はい}った時^{とき}, 蜂^{はちみつ}蜜^{みつ}が滴^{した}り落^おちていたが、

第14章

(ア) サー 14:3

(イ) サー 13:6

(ウ) 申 33:29

裁 2:18

(エ) サー 13:5

(オ) レビ 5:4

民 30:2

申 23:21

第2欄

(ア) サー 14:17

(イ) サー 14:24

(ウ) サー 14:26

(エ) ヨシ 10:12

(オ) 創 9:4

レビ 3:17

レビ 17:10

申 12:16

使徒 15:29

(ウ) 申 12:23

だれ^{だれ}も食^たべな^なかった。誓^{せいやく}約^{やく}のこ^{こと}を恐^{おそ}れていたからである。**27** しかしヨナタン^{ちちおや}は、父^{ちち}親^{おや}が兵士^{へいし}たちに関^{かん}して誓^{せいやく}約^{やく}したのを聞^きいてい^いな^なかったの^{のも}で、持^もっていたつえ^{さき}の先^{みづち}を蜜^{みつ}蜂^{はち}の巣^すに付^つけた。そ^そして食^たべると、生^{せい}き返^{かえ}ったよう^{よう}に元^{げん}氣^きにな^なった。**28** す^すると兵士^{へいし}の1人^{ひとり}が言^いった。「あ^あな^なた^たの父^{ちち}上^{うへ}は兵士^{へいし}に關^{かん}して敵^{げんじゆう}重^{せいやく}な誓^{せいやく}約^{やく}をし、『今日^{きょう}食^くべ物^{ぶつ}を口^{くち}にする人^{ひと}は災^{わざ}いを受^うける!』と言^いいました。それ^{それ}でみ^みん^んな疲^{つか}れているの^のです」。**29** ヨナタン^{ちち}は言^いった。「父^{ちち}は兵士^{へいし}たちを困^{こま}らせるよう^{よう}なこ^{こと}をし^しました。見^みてくだ^{くだ}さい。蜂^{はちみつ}蜜^{みつ}を少^{すこ}し食^たべただけ^{だけ}で、私^{わたし}はこ^こんなに元^{げん}氣^きにな^なり^りました。**30** 今日^{きょう}み^みん^んなが戦^{せん}利^り品^{ひん}を自^じ由^{ゆう}に食^くべてい^いれば、ど^どんなに^にか^かよ^よかつたで^でしょう。も^もつと多^{おほ}く^くの^のフィリスティア人^{じん}を打^{うち}ち負^まか^かして^{して}い^いたは^はず^ずです」。

31 その日^ひ, 兵士^{へいし}たちはミクマシュ^{ミクマシュ}からアヤロン^{アヤロン}に^にか^かけてフィリスティア人^{じん}を討^うち^うて^てい^いった。そのた^ため非^ひ常^{じょう}に疲^{つか}れた。**32** 兵士^{へいし}たちは欲^{よく}のままに戦^{せん}利^り品^{ひん}を飛^とび^とび付^つき, その場^ばで羊^やや牛^{うし}や子^こ牛^{ごう}を殺^{ころ}し, 血^ちをぬ^ぬか^かず^ずに食^くべた。

33 サウル^しに知^しら^らせ^せが届^{とど}いた。「兵士^{へいし}たちは肉^{にく}を血^ち抜^ぬき^きず^ずに食^くべて, エホバ^{えほ}に對^{たい}して罪^{つみ}を犯^{おか}して^{して}います」。サウル^いは言^いった。「あ^あな^なた^たち^ちは不^ふ忠^{ちゅう}実^{じつ}なこ^{こと}をし^した。す^すぐに私^{わたし}の^のも^もとに大^{おほ}き^きな石^{いし}を転^{ころ}が^がして^{して}きなさい」。**34** サウ

14:27 *直訳, 「目が輝いた」。**14:29** *直訳, 「目が輝き」。

ルはさらに言った。「兵士の中に散らばって、こう言いなさい。『各自、雄牛や羊をここに連れてきて、殺して食べなさい。血抜きせずに食べてエホバに対して罪を犯してはならない』。それでその夜、兵士はそれぞれ雄牛を連れてきて殺した。35 サウルはエホバのために祭壇を作った。エホバのために彼が作った最初の祭壇だった。

36 その後サウルは言った。「夜のうちにフィリスティア人を追ひ、明け方まで略奪し続けよう。一人も生かしてはおかない」。兵士たちは言った。「良いと思う通りにしてください」。それから祭司が言った。「ここで真の神に近づきましょう」。37 それでサウルは神に尋ねた。「フィリスティア人を追っていくとよいでしょうか。あなたはイスラエルを勝たせてくださるでしょうか」。ところがその日、神は答えなかった。38 そこでサウルは言った。「兵士たちの長は皆、ここに来て、今日どのような罪が犯されたのかをはっきりさせなさい。39 イスラエルを救い出した方、生きている神エホバに懸けて私は誓う。罪を犯した人は、それがたとえ私の子ヨナタンでも、死ななければならない」。しかし兵士の誰も答えなかった。40 サウルはイスラエル人たちに言った。「あなたたちはそちら側にいなさい。息子ヨナタンと私はこちら側にいる」。彼らはサウルに言った。「良いと思う通りにしてください」。

第14章

(例) サー 14:32

(例) サー 7:15, 17

(例) 民 27:21
サー 30:7, 8(例) 裁 1:1
サー 30:8
サニ 5:19

第2欄

(例) 出 28:30
申 33:8
エズ 2:62, 63

(例) 格 16:33

(例) サー 14:27

(例) サー 14:24

(例) サー 14:14

(例) サー 14:6

(例) サー 12:9

(例) サー 11:11

(例) 創 36:8

(例) サニ 10:6

(例) サー 9:16, 17

41 サウルはエホバに言った。「イスラエルの神、トンミムで答えてください!」するとヨナタンとサウルが選ばれ、ほかの人たちは解放された。42 サウルは言った。「私と息子ヨナタンのどちらなのか、くじを引きなさい」。するとヨナタンが選ばれた。43 サウルはヨナタンに言った。「何をしたのか、話しなさい」。ヨナタンは言った。「持っていたつえの先で蜂蜜を少し食べました。私はここにいます! 死ぬ覚悟はできています!」

44 サウルは言った。「ヨナタン、もし死なないなら、神が私を厳しく罰しますように」。45 兵士たちはサウルに言った。「イスラエルに大勝利をもたらした、このヨナタンが死ななければならぬのですか。そのようなことは考えられません! 生きている神エホバに懸けて言います。ヨナタンの髪の毛1本でさえ地面に落ちるべきではありません。ヨナタンは今日、神と共に行動したのです。こうして兵士たちがヨナタンを救ったので、ヨナタンは死ななかった。

46 サウルはフィリスティア人を追うのをやめ、フィリスティア人は領土に戻った。

47 サウルはイスラエルに対する王権を確立し、モアブ人、アンモン人、エドム人、ツォバの王たち、フィリスティア人など周囲の全ての敵たちと

14:45 * または、「大救出」。

戦った。行く先々で相手を打ち破った。48 勇敢に戦ってアマレク人を征服し、イスラエルを略奪者から救い出した。

49 サウルの息子はヨナタン、イシュビ、マルキ・シュアだった。2人の娘の名前は、長女がメラブ、次女がミカルだった。50 サウルの妻はアヒノアムといい、アヒマアツの娘だった。サウルの軍隊の長はアブネルといい、サウルのおじ、ネルの子だった。51 サウルの父はキシデ、アブネルの父ネルはアビエルの子だった。

52 サウルの時代中、フィリスティア人との激しい戦いが続いた。サウルは強い人や勇敢な人を見つけると、軍務に就かせるのだった。

15 サムエルはサウルに言った。「エホバは私を遣わして油を注がせ、あなたを神の民イスラエルの王にしました。ですから今、エホバの言うことを聞きなさい。2 大軍を率いるエホバはこう言っています。『私にはアマレク人に対して、イスラエルにした仕打ちの責任を問う。彼らはイスラエルがエジプトから上ってきた時、敵対した。3 さあ、アマレク人を討ちにいき、所有物も一緒に滅ぼし尽くしなさい。生かしておいてはならない。男性も女性も、子供も幼児も、牛も羊も、ラクダもロバも殺しなさい』」。

15:1 *用語集の「油を注ぐ」参照。15:3 *または、「同情して」。

第14章

(ア) 出 17:14
申 25:19
サ 15:3
(イ) サ 31:2
代 8:33
代 9:39
(ウ) サ 18:17
(エ) サ 18:27
サ 25:44
サ 3:13
サ 6:20
(オ) サ 17:55
サ 2:8
サ 3:27
(カ) サ 9:1
(キ) 王 2:5
(ク) 創 49:27
サ 9:16,17
(ケ) サ 8:11
サ 10:26

第15章

(コ) サ 9:16
サ 10:1
(ク) サ 12:14
(ケ) 出 17:8
民 24:20
申 25:17,18
(コ) 出 17:14
申 25:19
代 4:43
(セ) レビ 27:29
サ 15:18
(ソ) 申 9:1,3
申 13:17
ヨシ 6:18

第2欄

(ア) サ 11:8
サ 13:15
(イ) 民 10:29,32
民 24:21
裁 1:16
(ウ) 創 18:25
創 19:12,13
ヨシ 6:17
(エ) 出 18:9,12
創 25:17,18
(オ) サ 27:8
(カ) 申 25:19
サ 14:47,48
(キ) サ 15:33
(ク) レビ 27:29
サ 15:3
(コ) ヨシ 7:12
(ケ) サ 13:13
サ 15:3
(セ) サ 16:1

4 サウルは兵士を招集した。テライムで人数を数えると、歩兵は20万人、ユダの人は1万人だった。

5 サウルはアマレクの町まで進み、谷のそばで待ち伏せした。6 サウルはケニ人に言った。「アマレク人の中から出ていきなさい。あなたを彼らと共に滅ぼしてしまわないためです。イスラエルの民がエジプトから上ってきた時、あなたは民の皆に揺るぎない愛を示しました」。そこでケニ人はアマレクの中から出ていった。7 その後、サウルはハビラからエジプトの近くのシュルにかけてアマレク人を討った。8 サウルはアマレクの王アガグを生け捕りにし、他の人々は剣で滅ぼし尽くした。9 しかし、サウルと部下たちは、アガグと羊や牛の最も良いものを、肥えた家畜や雄羊やさまざまな良いものを生かしておいた。それらを滅ぼそうとしなかったのである。一方、価値のない、好ましくないものは滅ぼし尽くした。

10 エホバはサムエルに言った。11 「私はサウルを王にしたことを嘆いている。彼は私に従うのをやめ、私の言った通りにしなかった」。サムエルは非常に心を痛め、夜通しエホバに向かって叫んだ。12 サウルに会うためにサムエルが朝早く起きると、次のような知らせがあった。「サ

15:5 *または、「ワジ」。15:9 *または、「に同情した」。15:11 *または、「悔やんで」。

ウルはカルメル⁽⁷⁾に行^いって自^じ分^{ぶん}のため
に記念碑^{きねんひ}を建^たて、そこ⁽⁴⁾から向^むきを変^かえ
てギルガル^いに行^いきました」。13 サム
エルがついにサウル^いの所^{ところ}に行^いくと、サ
ウルは言^いった。「あなたにエホバの
祝福^{しゅくふく}がありま^わすよう^しに。私^{わたし}はエホバが
言^いった通^{とお}りにいたしま^しした」。14 サ
ムエルは言^いった。「では、聞^きこえてくる
この羊^{ひつじ}の鳴^なき声^{こえ}、牛^{うし}の鳴^なき声^{こえ}は何^{なん}です
か」。15 サウルは言^いった。「部下^{ぶか}
たち⁽⁴⁾がアマレク^{じん}人^{ひと}の所^{ところ}から連^つれてきま
した。彼^{かれ}ら⁽⁴⁾が羊^{ひつじ}や牛^{うし}の最^もも良^よいもの^を
を^いか^かして^{*}おいた^かのです。あな^かたの神^{かみ}エ
ホバに犠^ぎ牲^{せい}として捧^{ささ}げ^かるため^めです。で
も、ほ^かの^{もの}は滅^めぼし^くし^まし
た」。16 サムエルはサウルに言^いっ
た。「もう結^{けつ}構^{こう}です！ エホバが昨^{さく}夜^や私^{わたし}
に話^はした^おこと^{こと}を教^おえ^しま^しょう」。サウル
は言^いった。「お話^いし^きくだ^いさい」。

17 サムエルは言^いった。「あなた^いが
イスラエル^{いすらい}の諸^{しよ}部^ぶ族^{ぞく}の長^{ちやう}にさ^{とき}れた時^{とき}、
エホバ^{えら}があなた^{*}を選^{えら}んでイスラエル^{いすらい}
の王^{おう}に^{とき}した時^{とき}、あな^おたは自^じ分^{ぶん}の^{こと}を
取^とるに足^たり^{もの}な^おい^から^い思^{おも}っ^いた^いの^では
ない^かですか。18 その^ご後^ごエホバはあ
なたに任^{にん}務^むを^{あた}え、『罪^{つみ}深^{ふか}いアマレク
じん^{じん}を^つ滅^めぼし^くし^ます^い。全^{ぜん}滅^{めつ}
さ^たせる^かま^いで戦^{いくさ}い^かな^いさい』と^いい^まし^たた。
19 それ^なの^に、ど^うし^てエホバの^言
う^{こと}に^{したが}従^{したが}わ^ず、貪^{どん}欲^{よく}に^も敵^{てき}の^{もの}に
飛^とび^つ付^けき、エホバ^{えら}から^みて^{わる}い^{こと}を
し^たの^です^か！」

15:15 *または、「に同情した」。 15:17 *直訳、
「に油を注いで」。

第15章
(7) ヨシ 15:20,55

(4) サニ 18:18

(7) サー 15:3

(4) サー 15:10,11

(7) サー 9:16
サー 10:1

(7) サー 9:21
サー 10:22

(4) サー 15:3

(7) 申 25:19

(7) 申 13:17
サー 15:9

第2欄
(7) レビ 27:29
申 7:16
サー 15:3,9

(4) サー 15:15

(7) イザ 1:11

(4) 格 21:3
ホセ 6:6
マル 12:33

(7) レビ 3:16

(7) サー 12:15

(4) レビ 20:6
申 18:10,12
代 10:13

(7) サー 15:3

(7) サー 13:14
サー 16:1
使徒 13:22

(4) サー 15:30

20 サウルはサムエルに言^いった。
「でも、私^{わたし}はエホバの言^いった^{したが}こと^{こと}に^従
いま^はした！ エホバ^{えら}からの任^{にん}務^むを^は果^は
し^にに出^で掛^かけ^ました。アマレク^{おう}の王^{わう}アガ
グ^つを^つ連^つれて^てきて、アマレク^{じん}人^{じん}を^{ほろ}
滅^めぼし^くしま^した。21 でも^で部^ぶ下^かたち^が、
敵^{てき}の^{もの}の^中から^な羊^{ひつじ}と^{うし}牛^{うし}の^も最^もも良^よい
もの^をを取^とった^のです。ギルガル^いで^あな
たの神^{かみ}エホバに犠^ぎ牲^{せい}として^{ささ}げ^て滅^め
ぼし^くす^ため^めです」。

22 サムエルは言^いった。「エホバの
言^いう^{こと}に^{したが}従^{したが}う^{より}も、動^{どう}物^{ぶつ}を^や焼^さいて^さ捧^さ
げ^た方^{かた}が、エホバは喜^{よろこ}んで^よくだ^さる^の
で^しょう^か。い^いい^です^か。犠^ぎ牲^{せい}よ^りも、
私^{わたし}が^{じゅうよう}じゅうよう⁽⁴⁾雄^お羊^{ひつじ}の^{しぼう}脂^{あぶら}肪^{ほう}よ
りも、注^{ちゅう}意^いを^{ひら}払^はう^{こと}が^{じゅうよう}重^{じゅう}要^{よう}な^です。
23 反^{はん}抗^{かう}は^{はん}占^{せん}いの^{はん}罪^{ざい}と^{おな}同^{どう}じ^で、出^で過^か
ぎ^{こう}た^{どう}行^{こう}動^{どう}は^まり^まろ^う魔^ま力^{りき}や^{えん}偶^ぐ像^{ざう}を^{おな}使^{つか}う^のと^{おな}同^{どう}じ
です。あな^かた^がエホバの^{こと}言^ご葉^はを^{しりぞ}退^{たい}け^ま
た^ので、神^{かみ}もあな^かた^がを^お王^{おう}位^いから^{しりぞ}退^{たい}け^ま
し^た」。

24 サウルはサムエルに言^いった。
「私^{わたし}は罪^{つみ}を^お犯^{おか}しま^した。エホバの命^{めい}令^{れい}
とあな^かたの^{こと}言^ご葉^はを^ふ踏^ふみ^こ越^こえ^ました。部
下^かたち^をを^お恐^{おそ}れて、言^いう^{こと}を^き聞^きい^れ
た^のです。25 ど^うか^か今^{いま}、私^{わたし}の^{つみ}罪^{ゆる}
を^許し、一^{いっ}緒^{しょ}に^{かえ}帰^{かえ}っ^て、私^{わたし}が^わエホバに^ひひ^れ
伏^ふす^こが^いで^きる^よう^にに^して^くだ^さい」。

26 サムエルはサウルに言^いった。「あ
なたと一^{いっ}緒^{しょ}に^{かえ}は^りま^せん。あな^かた^が
エホバの^{こと}言^ご葉^はを^{しりぞ}退^{たい}け、エホバ^{えら}が^あな

15:23 *直訳、「テラフィム像」。家の神や偶像の
こと。

たをイスラエルの王位から退けたからです」。**27** サムエルが背を向けて去ろうとした時、サウルはサムエルの袖なしの上着の裾をつかんだ。するとそれは裂けた。**28** サムエルはサウルに言った。「エホバは今日、イスラエルの王権を引き裂いてあなたから取り上げました。神は王権をあなたより優れた仲間の1人に与えます。**29** イスラエルの卓越した神は偽ったり意思を変えたりはしません。神は人間ではないので意思を変えることはないのです」。

30 サウルは言った。「私は罪をお犯しました。でも、どうか私の民の長老たちとイスラエルの前で私の顔を立ててください。私と一緒に帰ってください。あなたの神エホバにひれ伏します」。**31** それでサムエルはサウルに付いて帰り、サウルはエホバにひれ伏した。**32** サムエルは言った。「アマレクの王アガグを私の所に連れてきなさい」。アガグは渋々 彼の所に行った。「死の危険は去ったのだ」と思っていたからである。**33** ところが、サムエルは言った。「あなたが剣で女性たちから子供を奪ったように、あなたの母親も子供を奪われる」。そしてギルガルで、サムエルはエホバの前でアガグを剣で切り刻んだ。

15:29 *または、「悔やんだり」。**32** *または、「悔やむ」。**15:32** *もしかすると、「何の不安も抱かずに」。**33** 直訳、「苦さ」。

第15章

(7) サー 13:14
サー 16:1

(4) サー 13:14
サー 16:12, 13
使徒 13:22

(7) 代一 29:11

(10) テト 1:2
ヘブ 6:18

(7) 民 23:19

(7) サー 15:25

(4) 出 17:14
申 25:19
サー 15:3

第2欄

(7) サー 16:1

(4) サー 15:11

第16章

(7) サー 15:35

(10) サー 15:23, 26

(7) 王一 1:39

(7) ルツ 4:17
代一 2:12

(4) 創 49:10
サー 13:14
詩 78:70
使徒 13:22

(7) サー 22:17

(7) 詩 89:20

(10) ルツ 4:11
サー 20:6

34 サムエルはラマに行き、サウルはギベアにある家に帰った。**35** サムエルは死ぬ日まで、二度とサウルに会わなかった。サウルのことで嘆き悲しんだからである。エホバもサウルをイスラエルの王にしたことを嘆いた。

16 エホバはやがてサムエルに言った。「あなたはいつまでサウルのことで嘆き悲しむのか。私は彼をイスラエルの王位から退けたのである。角に油を満たし、行きなさい。あなたをベツレヘムの人エッサイの所に遣わす。私は、彼の息子の中から私のために王を選んだからだ」。**2** サムエルは言った。「どうして行けましよう。サウルが聞いたら、きっと私を殺します」。エホバは言った。「1頭の若い雌牛を連れていき、『エホバに犠牲を捧げに来ました』と言いなさい。**3** そしてエッサイを犠牲の所に呼びなさい。その後、何をすべきか知らせよう。あなたは、私が指名する人に私に代わって油を注がなければならない」。

4 サムエルはエホバに言われたことを行った。サムエルがベツレヘムにやってくると、町の長老たちは恐れながら迎え、「平和なことで来られたのですか」と言った。**5** サムエルは言った。「平和なことです。エホバに犠牲を捧げに来ました。あなたたちは自分を神聖なものとし、私と一緒に

15:35 *または、「悔やんだ」。**16:1** *用語集参照。**16:3** *用語集の「油を注ぐ」参照。

に犠牲の所に来てください」。サムエルはその後、エッサイとその息子たちを神聖なものとしてから、犠牲の所に呼んだ。6 一同が入ってくると、サムエルはエリアブを見て言った。「エホバが選んだ人はこの人に違いない」。7 しかしエホバはサムエルにこう言った。「彼の容姿や背の高さに注目してはいけない。私は彼を選んでいない。人間の見方と神の見方は違う。人間は目に見えるものを見るが、エホバは心の中を見る」。8 それからエッサイはアビナダブを呼んでサムエルの前に来させたが、サムエルは、「この人もエホバが選んだ人ではありません」と言った。9 次にエッサイはシャマを来させたが、サムエルは、「この人もエホバが選んだ人ではありません」と言った。10 エッサイは7人の息子をサムエルの前に来させたが、サムエルはエッサイに、「どの人もエホバが選んだ人ではありません」と言った。

11 サムエルはエッサイに言った。「息子さんはこれで全員ですか」。エッサイは言った。「一番下の子がまだいます。その子は今、羊を連れて牧草地に行っています」。そこでサムエルはエッサイに言った。「誰かに連れてきてもらってください。その子がここに来るまで、私たちは食事をしません」。

12 それでエッサイはその子を連れて

16:6 *直訳、「油を注いだ」。

第16章

(ア) サー 17:28
代一 2:13

(イ) サー 10:21, 23

(ウ) 王一 8:39
代一 28:9

詩 7:9
格 24:12
エレ 17:10
使徒 1:24

(エ) サー 17:13
代一 2:13

(オ) サニ 13:3

(カ) サー 17:14

(キ) サニ 7:8
詩 78:70

第2欄

(ク) サー 17:42

(ケ) サー 13:14
詩 89:20
使徒 13:22

(コ) サー 16:1
王一 1:39

(コ) 民 11:17
裁 3:9, 10
サー 10:6
サニ 23:2

(コ) サー 1:1, 19

(コ) サー 18:12
サー 28:15

(ケ) サー 18:10
サー 19:9

(ク) 格 22:29

(ウ) サー 17:32, 36
サー 17:45, 46

(コ) サー 16:12

(ウ) サー 18:12

(イ) サー 17:15

こさせた。その子は血色が良く、美しい目をしていた、姿がりりしかった。エホバは言った。「この人だ。立ち上がって、油を注ぎなさい!」 13 サムエルは油が入った角を取り、兄たちの前で彼に油を注いだ。その日からダビデはエホバの聖なる力を受けるようになった。その後サムエルは立ってラマに向かった。

14 エホバはサウルから聖なる力を取り去った。そしてエホバはサウルが陰鬱な気持ちに襲われるままにした。15 家来たちはサウルに言った。「神はあなたが陰鬱な気持ちに襲われるままにしています。16 王よ、どうかて琴を上手に弾く人を探そう私どもに命じてください。あなたが陰鬱な気持ちになる時、その人に弾かせるのです。そうすれば、気持ちが楽になるでしょう。17 サウルは家来たちに言った。「上手に弾く人を見つけ、私の所に連れてきてくれないか」。

18 従者の1人が言った。「私はベツレヘムの人エッサイの子がたて琴を上手に弾くのを見たことがあります。勇敢な強い戦士です。雄弁でりりしく、エホバが共にいる人です」。19 サウルはエッサイの所に使者を遣わし、こう言わせた。「羊の群れと共にいる、あなたの息子ダビデを私の所に来させなさい」。20 それでエッサイはロバに、パン、ぶどう酒が入った草袋、子ヤギを載せ、息子ダビデに託して

サウルのもとに送^{おく}った。21 こうしてダビデはサウルのもとに来て仕^きえ始^{はじ}めた。サウルはダビデをとて愛^{あい}するようになり、ダビデはサウルの武器^{ぶき}をはこ^{はこ}ひ^ひ人^{ひと}になった。22 サウルはエッサイの所^{ところ}に人^{ひと}を遣^{つか}わし、こ^こう伝^{つた}えさせ^あた。「ダビデを氣^きに入^いった。彼^{かれ}が私^{わたし}にず^づつと仕^{つか}えるようにさせ^あせてもらいた^いい」。23 神^{かみ}が、サウルが陰鬱^{いんうつ}な氣持^{きもち}たくなるま^まに^{とき}した時^{とき}、ダビデはたて琴^{こと}を取^とって弾^ひいた。するとサウルは安^{あん}心^{しん}して氣持^{きもち}ちが楽^{らく}になり、陰鬱^{いんうつ}ではな^なく^なった。

17 フィリスティア人^{じん}は戦^{たたか}いのた^ため^めに兵士^{へいし}たちを集^{あつ}めた。軍^{ぐん}隊^{たい}はユダ^いのソコ^{すこ}に集^{あつ}まり、ソコ^{すこ}とアゼ^あカ^かの間^{あいだ}、エフェス・ダミム^{じんえい}に陣^は営^{えい}を張^はつ^つた。2 サウルとイスラエル^{いと}の人^{ひと}たち^{たち}は集^{あつ}ま^まって、エラ^{えら}の谷^{たに}に陣^は営^{えい}を張^はり、フィリスティア人^{じん}に立^たち向^むかうた^ため戦^{せん}闘^{とう}隊^{たい}形^{けい}を組^くんだ。3 フィリスティア人^{じん}は一^{いっ}方^{ぽう}の側^{がわ}の山^{やま}に、イスラエル人^{じん}はもう一^{いっ}方^{ぽう}の側^{がわ}の山^{やま}に陣^{じん}取^とった。その間^{あいだ}には谷^{たに}があ^あった。

4 フィリスティア人^{じん}の陣^{じん}営^{えい}から1人^{ひとり}の代^{だい}表^{ひょう}戦^{せん}士^しがで^でてきた。ゴリアテ^{ごりあて}とい^いう名^な前^{まえ}で、ガト^がの人^{ひと}だ^たった。背^せ丈^{たけ}は290センチほ^ほどあ^あった。5 銅^{どう}のかぶ^{かぶ}とをかぶ^{かぶ}り、うろこ^{うろこ}じの銅^{どう}のよろい^{よろい}を着^きていた。そのよろい^{よろい}の重^{おも}さは60キロほ^ほどだ^だった。6 銅^{どう}のすね^{すね}当^あて^てを着^きて、銅^{どう}の投げ^なやり^{やり}を背^せ負^おっていた。

17:2 *または、「谷あいの平原」。

第16章

(イ) 格 22:29

(イ) サー 16:14
サー 18:10
サー 19:9

第17章

(イ) 裁 3:1,3
サー 9:16
サー 14:52

(イ) 代 28:18

(イ) ヨシ 15:20,35
エレ 34:7

(イ) 代 11:12,13

(イ) サー 21:9

(イ) サー 17:23

(イ) ヨシ 11:22
サニ 21:20,21

(イ) サー 17:38,39
王 22:34

(イ) サー 17:45

第2欄

(イ) 代 20:5

(イ) 民 33:55

(イ) サー 17:26
王 21:19,22

(イ) サー 17:58
ミカ 5:2
マタ 2:6

(イ) 創 35:16,19
ルツ 1:2

(イ) ルツ 4:22

(イ) 代 2:13-15

(イ) 民 1:3

(イ) サー 16:6

(イ) サー 16:8

(イ) サー 16:9

(イ) 代 2:13,15

7 やりの木^きの柄^へは機織^{はたお}りが使^{つか}う巻^{まき}き棒^{ぼう}のよう^{よう}に太^{ふと}く、やりの鉄^{てつ}の刃^はは7キ口^{くち}ほ^ほどあ^あった。そし^そて盾^{たて}を持^もつ兵士^{へいし}が彼の^{かれ}の前^{まえ}を歩^{ある}いていた。8 ゴリアテ^{ごりあて}は立^たち止^どまり、イスラエル^{いすらえ}の戦^{せん}列^{れつ}に呼^よび掛^かけて言^いった。「どうし^{どう}てお^おま^まえ^えたち^{たち}はや^やって来^きて戦^{せん}闘^{とう}隊^{たい}形^{けい}を組^くんだのか。俺^{おれ}はフィリスティア人^{じん}だが、お^おま^まえ^えたち^{たち}はサウル^{さうる}の手^て下^{した}ではな^ないか。お^おま^まえ^えたち^{たち}の中^{なか}から1人^{ひとり}を選^{えら}んで、こ^こっ^こち^ちに^に来^きさせ^せろ。9 もしそ^{もし}いつ^{いつ}が俺^{おれ}と戦^{せん}って俺^{おれ}を倒^{たお}したら、俺^{おれ}たち^{たち}はお^おま^まえ^えたち^{たち}に仕^{つか}えてや^やらう。だ^だが、俺^{おれ}がそ^そいつ^{いつ}に勝^かって倒^{たお}したら、お^おま^まえ^えたち^{たち}が仕^{つか}えるのだ。10 フィリスティア人^{じん}ゴリアテ^{ごりあて}は言^いった。「今日^{きょう}、俺^{おれ}がイスラエル^{いすらえ}の戦^{せん}列^{れつ}に挑^{いど}んでや^やる。誰^{たれ}か1人^{ひとり}を出^だせ。掛^かか^かってこ^こい!」

11 サウルとイスラエル^{いすらえ}全体^{ぜんたい}はこのフィリスティア人^{じん}の言^{こと}葉^はを聞^きき、お^おび^びえ、非^ひ常^{じょう}に恐^{おそ}れた。

12 ダビデ^だは、ユダ^いのベツレヘム^{べつれへむ}つ^つまりエフラタ^{えふらた}の人^{ひと}エッサイ^{えさ}の息子^{むすこ}だ^だった。エッサイ^{えさ}は8人^{はち}の息^{むすこ}子^こを持^もち、サウル^{さうる}の時^じ代^{だい}にはす^すで^でに年^{とし}老^おえていた。13 エッサイ^{えさ}の上^{うへ}の3人^{さん}の息^{むすこ}子^こはサウル^{さうる}に從^{したが}って戦^{たたか}いに行^いった。長^{ちやう}男^{なん}エリアブ^{えりあぶ}、次^{いち}男^{なん}アビナダブ^{あびなだぶ}、三^{さん}男^{なん}シャマ^{しゃま}である。14 ダビデ^だは一番^{いちばん}下^{した}の子^こだ^だった。上^{うへ}の3人^{さん}の子^こがサウル^{さうる}に從^{したが}って出^でてい^いった。

15 ダビデ^だはサウル^{さうる}の所^{ところ}で仕^{つか}えなが

17:10 *または、「をあげて」。

ら、父親の羊の番をするため、ベツレヘムとの間を歩き来していた。16 その間、例のフィリスティア人は40日にわたり、朝と夕方に出てきては挑発した。

17 エッサイは息子ダビデに言った。「この炒った穀物22リットルとパン10個を、陣営にいる兄さんたちの所に急いで届けてくれないか。18 このチーズ10個は千人長の所に持って行ってほしい。あと、兄さんたちが無事かどうかを確かめ、その証拠をもらってきなさい」。19 兄たちは、サウルやイスラエルの人たち皆と共に、フィリスティア人と戦うためエラの谷にいた。

20 ダビデは朝早く起きて羊を代わりの人に任せ、エッサイに命じられたとおり、荷物をまとめて出掛けた。陣営の固いの所に来ると、軍勢はときの声を上上げて戦場に出ていくところだった。21 イスラエルとフィリスティア人は戦列を整え、向き合った。22 すぐにダビデは持ってきた物を荷物の番人に預け、戦列に走っていった。そこに着くと、兄たちが無事かどうかを尋ねた。

23 ダビデが話していた時、ガトのフィリスティア人、代表戦士ゴリアテがやって来た。フィリスティア人の戦列から出てきて、前と同じことを言いだしたのである。ダビデはそれを聞いた。

17:18 *直訳、「乳」。17:19 *または、「谷あいの平原」。

第17章

(例) サー 16:11,19

(例) サー 9:16,17

(例) サー 17:2
サー 21:9

(例) サー 17:17,18

(例) サー 17:4

(例) サー 17:10

第2欄

(例) サー 17:11

(例) サー 17:10

(例) ヨシ 15:16
サー 14:49
サー 18:17,21(例) サー 17:10
エレ 10:10(例) サー 16:6,7
代 2:13

(例) サー 17:20

(例) サー 17:26

(例) サー 17:25

24 イスラエルの人たちは皆、その男を見て恐れ、逃げ出した。25 イスラエルの人たちは言った。「やって来たあの男を見たか。イスラエルに挑むために来たのだ。あの男を討ち取る人がいれば、王は多額の報酬を出し、自分の娘を与え、その人の父の一家をイスラエルの中で優遇してさまざまな義務を免除するそうだ」。

26 ダビデはそばにいた人たちに言った。「あのフィリスティア人を討ち取ってイスラエルの屈辱を晴らす人には、何が与えられるのですか。生きている神の戦列に挑むとは、この割礼を受けていないフィリスティア人はいったい何者なのですか」。27 そこで人々は「あの男を討ち取る人には、これこれのものが与えられるそうだ」と言い、前に言っていたのと同じことを伝えた。28 一番上の兄エリアブは、ダビデが話しているのを聞き、怒ってこう言った。「どうして来たのか。荒野のわずかな羊は誰に預けてきたのか。おまえはいつも出しやばる。魂胆はよく分かっている。ただ戦いを見に来たんだろう。29 ダビデは言った。「私が何をしたというのですか。ただ質問しただけではないですか」。30 ダビデが別の人の方を向いて前と同じことを尋ねると、前と同じ答えが返ってきた。

31 ダビデが語った言葉は、人々の

17:25, 26 *または、「をあざける」。

みみはい、サウルに伝えられた。それでサウルはダビデを連れてこさせた。

32 ダビデはサウルに言った。「あの男のせいで士気が下がることがありませんように。私が行って、あのフィリスティア人と戦います」。33 サウルはダビデに言った。「あなたがあのフィリスティア人と戦うことはできない。あなたはまだ少年だが、彼は若い時から戦士なのだ」。34 ダビデはサウルに言った。「私は父の羊の羊飼いになりましたが、ライオンや熊が来て群れから羊を奪っていくことがありました。35 私は後を追ひ、打ち倒し、くわえられていた羊を助け出しました。野獣が襲い掛かってくると、私は毛をつかんで打ち倒し、殺しました。36 私はライオンも熊も打ち倒しました。この割礼を受けていないフィリスティア人も同じようになります。生きている神の戦列に挑んだからです」。37 ダビデはさらに言った。「ライオンや熊から助け出してくださったエホバが、このフィリスティア人からも私を助け出してください」。そこでサウルはダビデに言った。「行きなさい。エホバがあなたと共にいてくださいますように」。

38 サウルは自分の装備をダビデに身に着させた。銅のかぶとをかぶらせ、よろいを着させた。39 ダビデはその装備の上に剣を帯び、歩いてみたが、うまくいかなかった。そう

第17章
[ア] サー 16:18

[イ] サー 17:42

[ウ] イザ 31:4

[エ] サー 17:10
エレ 10:10

[ヨ] 申 7:21
王二 6:16
ヘブ 11:32-34

第2欄

[ヨ] 裁 20:15, 16

[イ] サー 16:12
サー 17:33

[ウ] サー 24:14
サ二 16:9
王二 8:13

[エ] サー 17:4, 6

[ヨ] サー 17:10
王二 19:22

[ヨ] サ二 5:10
ヘブ 11:32-34

[ヨ] 申 9:1-3
ヨシ 10:8

いう装備に慣れていなかったのである。ダビデはサウルに、「これでは歩けません。慣れていないのです」と言った。それでダビデは装備を脱いだ。40 それから自分のつえを取り、川床から滑らかな石を5つ選んで羊飼いのかばんのポケットに入れ、石投げ器を持った。そしてフィリスティア人ゴリアテに近づいていった。

41 フィリスティア人ゴリアテもダビデにだんだん近づいてきた。盾を持つ兵士がゴリアテの前にいた。

42 そのフィリスティア人はダビデを見て、侮った。血色が良くてりりしい、ただの少年だったからである。

43 彼はダビデに、「おまえはつえを持って向かってくるが、俺を犬だとも思っているのか」と言った。そしてダビデに災いがあるようにと神々に願い求めた。44 彼はダビデに言った。「さあ、向かってこい。おまえの肉を鳥や野獣の餌にしてやろう」。

45 ダビデはそのフィリスティア人に言った。「あなたは剣とやりと投げやりを持って向かってくるが、私はあなたが挑んだイスラエルの戦列の神、大軍を率いるエホバの名によって向かっていく。46 今日、エホバはあなたを私の手に渡し、私はあなたを討ち、あなたの首をはねる。私は今日、フィリスティア人の陣営の死体を鳥や野獣の餌にする。地上の人々は皆、イスラ

17:35 *または、「顎」。 17:36 *または、「をあげた」。

17:40 *または、「ワジ」。 17:45 *または、「あげた」。

エルに神^{かみ}がいるのを知^しることになる。

47 ここに集^{つど}う人^{ひと}は皆^{みな}、エホバが私^{わたし}たちを救^{すく}うのに剣^{つるぎ}ややり^{やり}を必要^{ひつよう}ともしないことを知^しる。戦^{いくさ}いはエホバのものだからだ。神^{かみ}はあなた方^{がた}皆^{みな}を私^{わたし}たちに渡^{わた}してくださる。

48 フィリスティア人^{じん}ゴリアテはダビデ^だの方に近づ^{ちか}づいてきた。ダビデはゴリアテに立ち向^{むか}かうため、敵^{てき}の戦列^{せんれつ}へ勢^{いきお}いよく走^{はし}った。49 ダビデはかばんに手^てを入れて石^{いし}を1つ取り、石投^{いしな}げ器^きで投げ^なげ、彼^{かれ}の額^{ひたい}を撃^うった。石^{いし}は額^{ひたい}にめり込み、彼^{かれ}はうつぶせに倒^{たお}れた。

50 こうしてダビデは石投^{いしな}げ器^きと石^{いし}だけでそのフィリスティア人^{じん}に勝^かった。撃^うち倒^{たお}して殺^{ころ}したのである。ダビデの手^てに剣^{つるぎ}はなかつた。51 ダビデは走り寄^よって彼^{かれ}のそばに立^たった。それから彼のさやから剣^{つるぎ}を抜き、それで首^{くび}をはねて確^{かく}実に殺^{ころ}した。フィリスティア人^{じん}たちは仲^な間の強^{つよ}い戦^{いくさ}士^しが死^しんだのを見て、逃^にげていった。

52 するとイスラエル^{いす}とユダ^{うだ}の人^{ひと}たちは立^たち上^あがって叫^{さけ}び声^{こえ}を上げ、谷^やからエクロン^{えく}の門^{かど}までフィリスティア人^{じん}を追^おっていった。シャアライム^{しゃ}からの道^{みち}に、ガト^がやエクロン^{えく}までフィリスティア人^{じん}の死^し体^{たい}が転^{ころ}がった。53 その後^ご、イスラエル人^{いす}はフィリスティア人^{じん}への追^{つい}撃^{げき}をやめて引き返^ひし、陣^{じん}営^{えい}を略^{りやく}奪^{だつ}した。

54 ダビデはフィリスティア人^{じん}ゴリアテ

第17章

〔出〕9:16
申28:10
王一8:43
王二19:19
ダニ3:29

〔イ〕詩44:6,7
ゼカ4:6

〔例〕代二20:15
格21:31

〔出〕申20:4

〔例〕サ一17:37
サ二21:22

〔例〕裁3:31
裁15:15,16
サ一17:47

〔例〕サ一21:9

〔例〕申28:7
ヨシ23:10
ヘブ11:32-34

〔例〕サ一17:2,19

〔例〕ヨシ15:20,45

〔例〕ヨシ15:20,36

第2欄

〔例〕サ一21:9

〔例〕サ一14:50

〔例〕サ一16:19,21

〔例〕サ一17:54

〔例〕サ一17:12

〔例〕ルツ4:22
サ一16:1
代一2:13,15
マタ1:6
ルカ3:23,32
使徒13:22

第18章

〔例〕サ一14:1,49

〔例〕サ一19:2
サ一20:17,41
サ二1:26

〔例〕サ一8:11
サ一16:22
サ一17:15

〔例〕格17:17
格18:24

〔例〕サ一20:8,42
サ一23:18
サ二9:1
サ二21:7

〔例〕サ一18:30

テの首^{くび}を取り、エルサレム^とに持ち帰^もった。ゴリアテ^ぶの武器^きは自分^{じぶん}の天幕^{てんまく}に置^おいた。

55 サウルは、ダビデがフィリスティア人^{じん}に立ち向^{むか}かうと出^でていった時^{とき}、軍隊^{ぐんたい}の長^{ちやう}アブネル^いに言^いった。「アブネル、あの少年^{しょうねん}は誰^{だれ}の子か」。アブネルは答^{こた}えた。「王^{おう}よ、誓^{ちか}って言^いいます。私^{わたし}は知^しりません！」56 王^{おう}は言^いった。「誰^{だれ}の子か調^{しら}べなさい」。57 ダビデがフィリスティア人^{じん}ゴリアテを討^うち取^とって帰^{かえ}ると、アブネルは、ゴリアテの首^{くび}を持^もったダビデをサウルの前^{まえ}に連^つれていった。58 サウルが「少年^{しょうねん}よ、あなたは誰^{だれ}の子か」と言^いうと、ダビデは「ベツレヘム^{ひと}の人^{ひと}エッサイ^いの子です」と言^いった。

18 ダビデがサウルと話し終^{はな}えした後^{あと}、ヨナタン^{はな}とダビデ^{かた}は固^{かた}い友情^{ゆうじやう}で結^{むす}ばれ、ヨナタンはダビデを自分^{じぶん}自身^{みづか}のように愛^{あい}するようになった。

2 その日^ひからサウルはダビデを自分^{じぶん}の家^け来^{らい}とし、父^{ちち}の家^{いえ}に帰^{かえ}らせなかつた。3 ヨナタンはダビデを自分^{じぶん}自身^{みづか}のように愛^{あい}していたので、ヨナタンとダビデは契^{けい}約^{やく}を結^{むす}んだ。4 ヨナタンは着^きていた袖^{そで}なしの上着^{うわぎ}を脱^ぬいでダビデに与^{あた}えた。他の服^{ふく}や剣^{つるぎ}や弓^{ゆみ}やバルトも与^{あた}えた。5 ダビデは戦^{いくさ}いに出^でていくようになり、サウルに遣^{つか}わされて行^いった先^{さき}々^{ざき}で功績^{こうせき}を上^あげた。それでサウルはダビデに戦^{いくさ}士^したちをま^まとめさ

18:5 *または、「賢く行動した」。

せた。民の皆もサウルの家来たちもそのことを喜んだ。

6 ダビデたちがフィリスティア人を討って帰ってくると、イスラエルの全ての町で女性たちが歌ったり踊ったりしながら出てきて、タンバリンとリュートを奏で、喜びつつサウル王を迎えるのだった。7 女性たちは祝いながら、こう歌った。

「サウルは何千もの敵をうち、
ダビデは何万もの敵を討った」。

8 サウルは非常に怒った。この歌に機嫌を損ね、「ダビデについては何万」と言い、私については何千と言う。彼に与えられていないのは王権だけだ!」と言った。9 その日以降、サウルは絶えずダビデを疑うような目で見た。

10 翌日、神はサウルが陰鬱な気持ちになるままにしたので、サウルは家の中で異常な行動を取りだした。ダビデはいつものようにたて琴を奏でていた。やりに手にしていたサウルは、11 「ダビデを壁に突き刺してやる」と思い、それを投げ付けた。ダビデは2度、身をかわした。12 エホバはダビデと共にいたが、サウルからは離れていたの、サウルはダビデを恐れた。13 それでサウルはダビデを自分のもとから遠ざけ、千人長に任命した。ダビデはいつも軍隊を率

18:10 *または、「預言者のような」。

第18章

(ア) サー 14:52

(イ) 出 15:20,21
裁 5:1

(ウ) 裁 11:34

(エ) サー 21:11
サー 29:5

(オ) 創 4:5
格 14:30

(カ) サー 13:14
サー 15:27,28
サー 16:13
サー 20:31
サー 24:17,20

(キ) サー 16:14

(ク) サー 16:16,23

(コ) サー 19:9,10

(カ) サー 20:33

(ヨ) サー 18:28,29

(シ) サー 16:14

第2欄

(ア) サ二 5:2

(イ) サー 18:5

(ウ) 創 39:2
ヨシ 6:27
サー 10:7
サー 16:18

(エ) サー 14:49

(オ) サー 17:25

(カ) サー 25:28

(キ) サー 18:25

(ク) サ二 7:18

(コ) サ二 21:8

(カ) サー 14:49
サー 19:11
サー 25:44
サ二 3:13
サ二 6:16

(ヨ) サー 18:17

いて戦いに行った。14 何にしても必ず功績を上げ、エホバが共にいた。

15 サウルは、ダビデが大きな功績を上げるのを見て、恐れた。16 一方、イスラエルとユダは皆、ダビデを愛した。彼が戦いで皆を統率していたからである。

17 やがてサウルはダビデに言った。「私の一番上の娘メラブがいる。彼女をあなたに妻として与えよう。ただ、私のためにこれからも勇敢にエホバの戦いを戦ってほしい」。サウルは、「自ら手を下すのはやめよう。フィリスティア人に彼を討たせよう」と考えたのである。18 ダビデはサウルに言った。「王の婿になるなんて、私が何者だというのでしょうか。私の親族、私の父の一族がイスラエルの中で何者だというのでしょうか」。19 ところが、サウルの娘メラブがダビデに与えられる時になると、メラブはすでにメホラの人アドリエルに妻として与えられていた。

20 さて、サウルの娘ミカルはダビデを愛していた。サウルはそのことを人から聞き、好都合だと思った。21 そしてこう考えた。「彼にミカルを与えて、わなにはめてやろう。フィリスティア人の手に掛かるようにするのだ」。サウルはダビデに再び、「あなたは今日、私と結婚による同盟を結ぶ」

18:14 *または、「何をするときも賢く行動し」。

18:19 *アベル・メホラのことと考えられる。

18:21 *または、「私の婿になる」。

と話した。22 それからサウルは家来たちに命じた。『命づけられたとは言わずに、ダビデにこう告げよ。『王はあなたを気に入っていますし、家来たちもあなたを慕っています。ですから今、王と結婚による同盟を結んではどうですか』。23 サウルの家来たちがそう告げると、ダビデは言った。「皆さんは、王と結婚による同盟を結ぶのは何でもないことだと思っているのですか。わたしは貧しくて身分の低い者のなにも」。24 サウルの家来たちは王に、「ダビデはこれこれのことを話しました」と言って報告した。

25 サウルは言った。「ダビデにこう言え。『王は花嫁料を望んではいません。フィリスティア人100人の包皮をお望みです。敵たちに報復するためです』。サウルは、ダビデがフィリスティア人の手に掛かることをもくろんでいたのである。26 家来たちがダビデにサウルの言葉を伝えたと、ダビデは王と結婚による同盟を結んでもよいと思った。期限が来ないうちに、27 ダビデは部下たちと一緒に出て行ってフィリスティア人200人を討った。そして王と結婚による同盟を結ぶため、200人の包皮を王のもとに持っていった。それでサウルは娘ミカルを妻としてダビデに与えた。28 サウルは、エホバがダビデと共にいること、また娘ミカルがダビデを愛していることを知った。29 そのためダビデを

第18章

(ア) サー 18:18

(イ) 創 29:18

(ウ) サー 17:26, 36
サニ 3:14

(エ) サー 18:21

(オ) サー 17:25

(カ) サー 16:13
サー 24:17, 20

(キ) サー 18:20

第2欄

(ア) サー 18:9, 12
サー 20:33

(イ) サー 18:5

(ウ) サニ 7:9

第19章

(エ) サー 18:9
格 27:4(オ) サー 18:1
格 18:24(カ) サー 20:9, 13
格 17:17

(キ) サー 22:14

(ク) サー 17:49

(ケ) サー 20:32

いっそう恐れた。サウルはその後ずっとダビデに敵意を抱いた。

30 フィリスティア人の高官たちがたびたび攻めてきたが、その都度ダビデはサウルのどの家来よりも功績を上げた。ダビデの名声は非常に高まった。

19 やがてサウルは息子ヨナタンと家来たち皆に、ダビデを殺すことについて話した。2 サウルの子ヨナタンは、ダビデのことをとても大切に思っていたので、ダビデにこう言った。「父サウルはあなたを殺そうとしています。朝になったら、用心して人目につかない場所に行き、身を隠してください。3 私はあなたがいる野原まで行って、父のそばに立ち、あなたについて話します。何か分かれば、必ずあなたに知らせます」。

4 ヨナタンは父サウルにダビデのことを良く言った。こう話した。「王が家来ダビデに対して罪を犯すようなことはしないでください。彼はあなたに対して罪を犯していませんし、あなたのために貢献してきました。5 彼は命懸けであのフィリスティア人を討ち取り、エホバがイスラエル全体に大勝利をもたらしてくださいました。あなたはそれを見て、非常に喜びました。それなのに、理由もなくダビデを殺し、無実の人の血を流して罪を犯すような

18:30 *または、「賢く行動した」。19:5 *または、「大救出」。

ことがあってよいでしょうか」。6 サウルはヨナタンの言うことを聞き入れ、こう誓った。「生きている神エホバに懸けて私は誓う。彼が殺されることはない」。7 その後ヨナタンはダビデを呼び、このやりとりを全て伝えた。そしてダビデをサウルのもとに連れていき、ダビデは前と同じようにサウルに仕えた。

8 やがて再び戦いが起こった。ダビデは出て行ってフィリスティア人と戦い、大勢の人を討ち、敵兵は敗走した。

9 ある時、エホバはサウルが陰鬱な気持ちになるままにした。サウルは家で手にやりを持って座っていて、ダビデはたて琴を奏でていた。10 サウルはやりでダビデを壁に突き刺そうとしたが、ダビデは身をかわし、やりは壁に突き刺さった。ダビデはその夜のうちにそこから出て逃げた。11 サウルはその後、ダビデの家に使者たちを遣わして見張らせ、朝にダビデを殺させようとした。妻ミカルはダビデに言った。「もし今夜逃げなければ、あした殺されてしまいます」。12 ミカルはすぐにダビデを窓から下りさせ、逃げられるようにした。13 それからテラフィム像を取ってベッドの上に置き、頭の位置にヤギの毛でできた網を置き、全体を服で覆った。

14 サウルはダビデを捕まえよう

19:13, 16 *または、「家の神」、「偶像」。

第19章

(7) サー 16:21
サー 18:2,13

(4) サー 16:14

(7) サー 18:10,11

(4) 詩 59:表題,3

第2欄

(7) サー 18:9

(4) サー 18:29

(7) サー 7:15,17

(4) サー 20:1

として使者たちを遣わしたが、ミカルは、「あの人は病気で」と言った。

15 それでサウルは再び使者たちにダビデを見に行かせ、言った。「彼をベッドごと、ここに連れてこい。殺すのだ」。

16 使者たちが入ると、テラフィム像がベッドの上にあり、頭の位置にヤギの毛でできた網があった。17 サウルはミカルに言った。「おまえはなぜこんなことをして私をだまし、私の敵を逃げさせたのか」。ミカルはサウルに言った。「あの人の、『行かせてくれ。さもないと、殺す!』と言われたのです」。

18 ダビデは走って逃げ、ラムのサムエルの所に行った。そしてサウルからされたことを全部話した。その後ダビデとサムエルはそこから離れ、ナオトに滞在した。19 やがてサウルのもとに、「ダビデはラムのナオトにいる」という報告があった。20 すぐにサウルはダビデを捕まえようとして使者たちを遣わした。使者たちは、年長の預言者たちが預言し、サムエルが立ってその人たちをまとめているのを見た。すると神の聖なる力がサウルの使者たちに働き、使者たちも預言者のように振る舞いだした。

21 そのことがサウルに伝わると、サウルはすぐにほかの使者たちを遣わしたが、その使者たちも預言者のように振る舞いだした。それでサウルはもう一度使者たちを遣わした。3度目

だった。彼らも預言者のように振る舞
 いた。22 ついにサウルもラマ
 に行った。セクにある大きな水ためま
 で来た時、サウルは「サムエルとダビ
 デはどこにいるか」と尋ねた。人々は
 「ラマのナヨトにいます」と言った。
 23 そこからラマのナヨトに向かって
 いる途中、サウルにも神の聖なる力が
 働き、サウルは預言者のように振る舞
 いながらラマのナヨトまで歩いた。
 24 彼も服を脱ぎ、サムエルの前で預
 言者のように振る舞い、その日もその
 夜もずっと裸でそこに横になっていた。
 それで、「サウルも預言者の1人なの
 か」という言い方がある。

20 ダビデはラマのナヨトから逃
 げ去った。ヨナタンの所に
 行き、こう言った。「私がいったい何を
 したのでしょうか。私はどんな過ち
 を犯したのでしょうか。どんな罪を犯
 したというので、あなたの父上に命を
 狙われるのですか」。2 ヨナタンは
 言った。「あなたが死ぬことなどあり
 得ません！ 父は何でも、大きなことでも
 小さなことでも、私に話してから行い
 ます。この件についても隠すことはな
 いはずです。そのようなことはありませ
 ん。3 ダビデはさらに言った。「あ
 なたの父上は、あなたが私のことを良
 く思っているのをききとご存じなので、
 『ヨナタンにつらい思いをさせないた
 め、この件は知らせないでおこう』と言

19:24 *または、「半裸」。

第19章
 (㉔) サー 19:18

(㉔) サー 10:11

第20章
 (㉔) サー 24:11
 詩 18:20

(㉔) サー 19:6

(㉔) サー 18:1
 サー 19:2

第2欄
 (㉔) サー 27:1

(㉔) 民 10:10
 代二 2:4

(㉔) サー 16:4,18

(㉔) サー 20:28,29

(㉔) 格 17:17

(㉔) サー 18:3
 サー 23:18

(㉔) サー 20:1

(㉔) サー 19:2

われるはずで。生きている神エホバ
 とあなたに懸けて言います。私の一歩
 先には死が待っています！」

4 ヨナタンはダビデに言った。「あ
 なたが言うことを何でもします」。

5 ダビデはヨナタンに言った。「あし
 たは新月です。私は王と共に座って食
 事をするようになっていきます。それ
 で、私を抜け出させてください。あ
 さつての夕方まで野原に身を隠します。

6 もしあなたの父上が私の不在につ
 いて気にしたら、こう言ってください。
 『ダビデは故郷のベツレヘムに至急行
 かせてほしいと頼んできました。一族
 全体が集まって年ごとの犠牲を捧げる
 そうです』。7 もし父上が『いいだろ
 う』と言われるなら、安心です。しかし、
 もしお怒りになるなら、私に危害を加
 えるつもりだと思ってください。8 こ
 の私に、揺るぎない愛を示してください。
 (㉔) まえ わたし けいやく
 い。あなたはエホバの前で私と契約
 を結んでくださったのです。ですが、も
 (㉔) わたし つみ
 し私に罪があるなら、あなたの手で私
 (㉔) ころ
 を殺してください。父上に引き渡した
 りはしないでください。

9 ヨナタンは言った。「そんなこと
 は考えないでください！ もしも、父が
 危害を加えるつもりであることが分
 かったなら、あなたに必ず伝えます」。

10 ダビデは言った。「父上の返答が
 厳しいものだったかどうか、誰が私に
 教えてくれますか」。11 ヨナタンは
 ダビデに言った。「さあ、野原に行きま

しょう」。それで2人とも野原に出ていった。**12** ヨナタンはダビデに言った。「イスラエルの神エホバに証人となっていただし、言います。私は、あなたの今ごろかあさってまでに、父に当たってみます。もし父があなたのことを良いと見なしているなら、人を遣わしてそのことをあなたに伝えます。**13** もし父があなたに危害を加えるつもりなら、そのことを伝えてあなたを安全に逃れさせます。私がもしそうしないなら、エホバが私を厳しく罰しますように。エホバがあなたと共にいてくださいますように。かつて私の父と共にいてくださったように。**14** 私が生きている間、そして死ぬ時も、エホバのような揺るぎない愛を私に示してくれませんか。**15** 私の家の人たちに揺るぎない愛をずっと示してください。エホバがあなたの敵を地上から一掃するとしても」。**16** こうしてヨナタンはダビデ家と契約を結んだ。そして、「エホバはあなたの敵に責任を問います」と言った。**17** ヨナタンは再びダビデに、愛による誓いを立てさせた。ダビデを自分自身のように愛していたのである。

18 ヨナタンは言った。「あしたは新月です。あなたの席が空くので、父はあなたがいないことを気にするでしょう。**19** あさってには、もっと気になるでしょう。以前に身を隠したこの場所に来て、この石のそばにとどまっ

第20章

(7) サー 16:13
サー 17:37

(4) サー 10:7
サー 11:6

(7) サ二 9:1,3
サ二 9:6,7

(4) サ二 21:7

(7) サ一 18:1,3
サ二 1:26
格 18:24

(7) サ一 20:5

第2欄

(7) サ一 20:13,14

(4) サ一 20:42

(7) サ一 20:5

(4) サ一 14:50

(7) レビ 11:23,24
レビ 15:4,5
レビ 15:16,18
民 19:16

(7) サ一 17:12

(4) サ一 20:6

てください。**20** 私は、的を射るときのように、石の一方の側に3本の矢を放ちます。**21** そして従者を遣わし、『矢を見つけてきなさい』と言います。もし私が従者に『矢はあなたの近くにある。取ってきなさい』と言ったなら、あなたは戻ってきてください。生きている神エホバに懸けて誓いますが、それは平穩で危険はないという意味です。**22** しかし、もしその若者に、『矢はあなたよりもっと遠くにある』と言ったなら、去ってください。エホバがあなたを去らせたからです。**23** この私たちの約束に関し、エホバがいっまでも私とあなたの間にいてくださいますように」。

24 こうしてダビデは野原に身を隠した。新月となり、王は食事のために席に着いた。**25** 王は壁を背にしていつもの席に座っていた。ヨナタンはその向かいに、アブネルはサウルのそばに座っていたが、ダビデの席は空いていた。**26** サウルはその日は何も言わなかった。「何かがあつて彼は清くないのだ。きっと汚れているのだ」と思ったのである。**27** 新月の翌日、2日目も、ダビデの席は空いていた。それでサウルは息子ヨナタンに言った。「エッサイの子は、どうして昨日も今日も食事に来なかったのか」。**28** ヨナタンはサウルに答えた。「ダビデはバツレヘムに行かせてほしいと頼んできました」。**29** 彼はこ

う言いました。『どうか行かせてください。私たち一族が町で犠牲を捧げるので、兄から来るようにと言われたのです。もしあなたが私のことをよく思ってくださいているのでしたら、どうか私をそっと出させて兄弟たちに会わせてください』。それで、王の食卓に來なかつたのです。 **30** サウルはヨナタンに激怒し、言った。「この反逆的な女の息子め、おまえがエッサイの子の肩を持って自分の恥と母親の恥をさらしていることを、私が知らないとも思っているのか。 **31** エッサイの子が地上に生きている限り、おまえの王権が確立されることはないんだ。誰かを遣わしてあいつを連れてこさせろ。殺してやる」。

32 ヨナタンは父サウルに言った。「なぜ彼が殺されなければいけないのでしょうか。彼が何をしたというのですか」。 **33** するとサウルはヨナタンを刺そうとやりを投げ付けた。それでヨナタンは、父がダビデを殺すつもりであることを知った。 **34** すぐにヨナタンは怒りに燃えて食卓から立ち上がった。その日は何も食べなかつた。ダビデのことで気を乱されていたのである。父が彼を辱めたからである。

35 朝になり、ヨナタンはダビデと約束した通り、野原に出掛けていった。若い従者も一緒だった。 **36** ヨナタンは従者に言った。「私が射る矢を、走って見つけてきてくれないか」。

第20章

(ア) サー 18:8

(イ) サー 19:6,10

(ウ) サー 19:5

格 17:17

格 18:24

(エ) サー 18:11

サー 19:10

(オ) サー 20:6,7

(カ) サー 18:1

(キ) サー 20:19-22

第2欄

(ク) サー 20:17,23

(ケ) サー 23:18

サ二 9:7

第21章

(コ) サー 22:9,19

(ク) サー 18:13

従者は走っていき、ヨナタンは従者よりも遠く離れた所に向けて、矢を射た。

37 ヨナタンが射た矢の所まで従者が行くと、ヨナタンは従者に呼び掛けた。「矢はあなたよりもっと遠くにあるではないか」。 **38** ヨナタンはさらに従者に呼び掛けた。「急いで！ 早くしなさい！ 立ち止まってはいけない！」

ヨナタンの従者は矢を拾い上げ、主人の所に戻ってきた。 **39** 従者はこのことについて何も知らず、ヨナタンとダビデだけがその意味を知っていた。

40 その後ヨナタンは弓矢を従者に渡し、「さあ、これを町に持っていきなさい」と言った。

41 従者が去っていくと、ダビデは南の方のある場所から立ち上がった。それから地面に顔を伏せ、3度身をかがめた。2人は口づけし、泣いた。ダビデの方が激しく泣いた。 **42** ヨナタンはダビデに言った。「安心して行きなさい。私たちはお互いエホバの名によって誓い、『私とあなたの間、私の子孫とあなたの子孫の間に、エホバがいつまでもいてくださいますように』と言ったのですから」。

ダビデは立ち上がって去っていき、ヨナタンは町に戻った。

21 ダビデはノブにいる祭司アヒメレクの所に行った。アヒメレクはダビデを恐れつつ迎え、言った。「どうしてお独りなのですか。お供はいないのですか」。 **2** ダビデは

祭司アヒメレクに言った。「王からある指示を受けたのですが、『おまえに与えた任務と指示について、誰にも何も話してはいけない』と言われました。私はある場所で部下たちと落ち合う約束をしています。3 今もしパン

が5つありましたら、頂けませんか。あるいは何でもある物で構いません」。

4 祭司はダビデに言った。「普通のパンは手元にないのですが、聖なるパンがあります。部下の皆さんがしばらく女性から離れてきたならば、差し上げられます」。5 ダビデは祭司に言った。「今までの戦いの時と同じく、私は女性から離れています。通常の任務の時に部下たちの体は聖なるものなので、このたびも当然、聖なる状態です」。6 そこで祭司は聖なるパンを渡した。供えのパン以外にパンがなかったからである。それは、新しいパンと取り換える日にエホバの前から取り下げられたパンだった。

7 さて、その日、サウルの家来の1人がそこにいて、エホバの前で待たされていた。ドエグというエドム人で、サウルの羊飼いの長だった。

8 ダビデはアヒメレクに言った。「ここには、やりか剣がありますか。王からの任務が急だったため、剣も武器も持ってこなかったのです。9 祭司は言った。「あなたがエラの谷で討ち

21:4 *または、「性関係を持っていない」。21:9 *または、「谷あいの平原」。

第21章

(7) 出 25:30
レビ 24:5,9
マタ 12:3,4

(7) 出 19:15
レビ 15:16
サニ 11:11

(7) レビ 15:18

(7) レビ 24:7-9
マル 2:25,26
ルカ 6:3,4

(7) サー 22:9
詩 52:表題

(7) 創 36:1

(7) サー 17:2,50

第2欄

(7) サー 17:51,54

(7) 出 28:6

(7) サー 27:1

(7) ヨシ 11:22
サー 5:8
サー 17:4
サー 27:2
詩 56:表題

(7) サー 18:6-8
サー 29:4,5

(7) 詩 56:3,6

(7) 詩 34:表題

第22章

(7) サー 21:10

(7) ヨシ 15:20,35
サニ 23:13
詩 34:19
詩 56:13

と取ったフィリスティア人ゴリアテの剣があります。布にくるんでエフォドの後ろに置いてあります。お望みでしたら、持って行ってください。それ以外には何もありません」。ダビデは言った。「それで申し分ありません。それを下さい」。

10 その日、ダビデは立ち上がってサウルからさらに逃げ、やがてガトのアキシュ王の所に来た。11 アキシュ王に家来たちが言った。「あれは、あの国の王ダビデではないですか。ひとびとおどろかしながらこう歌った人ではないでしょうか」。

『サウルは何千もの敵を討ち、
ダビデは何万もの敵を討った』。

12 ダビデはこの言葉を気にして、ガトのアキシュ王を非常に恐れた。13 それで彼は家来たちの前で気が狂ったふりをし、拘束されても、狂人のように振る舞った。門の扉に印を付けた、顎ひげによだれを垂らしたりした。

14 ついにアキシュは家来たちに言った。「この男は気が狂っているではないか! 何で連れてきたんだ。15 ここに狂人が不足しているとでもいうのか。こいつの狂った行動を私が見たいとも思うのか。こんな者は私の家に入れるな」。

22 ダビデはそこから出て、アドラムの洞窟に逃れた。彼の兄弟たちと父の家族全体がそのことを聞き、彼の所にやって来た。

2 また、困窮して借金のある人、生活に不満のある人が皆、彼のもとに集まるようになり、彼はそうした人たちの長となった。およそ400人がダビデとともにいるようになった。

3 その後、ダビデはそこからモアブのミツペに行き、モアブの王に言った。「神が私に何をなさるかが分かるまで、どうか父と母を皆さんのもとの滞らせてください」。4 こうしてダビデは両親をモアブの王のもとに残し、2人は、ダビデが隠れがにいる間ずっとそこに滞在した。

5 やがて預言者ガドがダビデに言った。「隠れがにずっといてはいけません。ユダの土地に行きなさい」。それでダビデはそこを去ってヘレトの森に行った。

6 サウルは、ダビデとその部下たちが見つかったと聞いた。その時サウルは、ギベアの高い場所のギョリュウの木の下でやりを持って座っていた。周りには家来たち皆が立っていた。7 サウルは周りに立っていた家来たちに言った。「ベニヤミン族の人よ、聞いてもらいたい。エッサイのしも、おまえたち皆に畑やブドウ園を与えようと思うか。彼はおまえたち皆を千にんちょう ひやくにんちょう にんめい 人長や百人長に任命するだろうか。

8 おまえたちは皆、謀反を企てただ！ 息子がエッサイの子と契約を結んでも、誰も私に知らせなかった！ 今

第22章

(ア) ルツ 4:10,17
サー 14:47

(イ) サー 22:1

(ウ) サニ 24:11,12
代一 21:9,10
代一 29:29
代二 29:25

(エ) サー 23:3

(オ) サー 10:26

(カ) ルツ 4:22

(キ) サー 8:11,12

(ク) サー 18:3
サー 20:17

第2欄

(ア) サー 21:1,7
詩 52:表題

(イ) 詩 52:2,3

(ウ) サー 14:3
サー 22:20

(エ) サー 21:6,9

(オ) サー 19:4
サー 20:32
サー 24:11
サー 26:23

(カ) サー 17:25
サー 18:27

(キ) サー 18:5,13

(ク) サー 22:10

回のように、息子が私の家来にけしかけて私を狙わせても、誰も私を心配して知らせてはくれない」。

9 すると、その場においてサウルの家来をまとめていたエドム人ドエグが言った。「私はノブで、エッサイの子がアヒトプの子アヒメレクの所に来るのを見ました。10 アヒメレクは彼のためにエホバに尋ね、食べ物を与えました。フィリスティア人ゴリアテの剣も渡しました」。11 王は直ちにノブに人を遣わして、アヒトプの子である祭司アヒメレクとその父の一族の祭司全員を呼んだ。彼らは皆、王のもとに来た。

12 サウルは言った。「アヒトプの子よ、聞いてもらいたい」。アヒメレクは言った。「はい。王よ」。13 サウルは言った。「あなたとエッサイの子はどうして謀反を企てたのか。あなたが彼にパンと剣を与え、彼のために神に尋ねたというではないか。今回のように、彼は私に逆らい、私をひそかに狙っている」。14 アヒメレクは王に答えた。「あなたの家来の中にダビデほど信頼できる人がいるでしょうか。彼は王の婿、護衛官の長で、あなたの家で重んじられています。15 私が彼のために神に尋ねたのは、今回が初めてではありません。あなたが言ったようなことは、考えもしません！ 王が私と父の一族に何も負わせません

22:14 *または、「忠実な」。

ように。この件について私は何も知らなかったのです。

16 しかし王は、「アヒメレク、あなたは必ず死ぬ。あなたも、父の一族全体もだ」と言った。**17** そして周りに立っている護衛たちに言った。「エホバの祭司たちを殺せ！ 彼らはダビデの肩を持ったからだ。ダビデが逃亡者だと分かっているが、私に知らせなかった！」ところが、護衛たちはエホバの祭司たちを襲いたいとは思わなかった。**18** それで王はドエグに言った。「おまえが祭司たちを襲え！」エドム人ドエグは直ちに祭司たちを襲った。その日、亜麻布のエフォドを着ていた85人を殺した。**19** 祭司の町ノブも襲い、男性も女性も、子供も幼児も、牛もロバも羊も剣で倒した。

20 アヒトブの子アヒメレクの息子ヒトリ、アビヤタルが逃れ、ダビデのもとに走ってやって来た。**21** アビヤタルはダビデに言った。「サウルがエホバの祭司たちを殺しました」。**22** ダビデはアビヤタルに言った。「あの日、エドム人ドエグがあそこにいたので、サウルに報告するのではないかと思っていました。あなたの父の一族皆が亡くなった責任は私にあります」。**23** そばにいてください。恐れることはありません。あなたの命を狙う者は私の命を狙ったも同然だからです。私があなたを守ります。

22:17 *直訳、「走者」。

第22章

(7) サー 21:1,2

(4) サー 14:44
サー 20:31

(7) サー 2:27,32

(4) 詩 52:表題

(4) 創 25:30

(4) サー 2:27,31

(4) サー 21:1
サー 22:9

(7) サー 23:6
サー 30:7
サニ 20:25
王 2:27

(7) サー 21:1,7

(4) 王 1:26

第2欄

第23章

(7) ヨシ 15:20,44

(4) サー 30:8
サニ 5:19
詩 37:5

(7) サー 22:5

(4) サー 13:5
サー 14:52

(4) 裁 6:39

(4) サー 14:6
サー 5:19

(4) サー 23:1

(7) サー 22:20

(7) サー 23:14

23 ダビデに、「フィリスティア人がケイラを攻めており、脱殺

場を略奪している」という報告があった。**2** それでダビデはエホバに尋ねた。「私はフィリスティア人を討ちに行くべきでしょうか」。エホバはダビデに言った。「行きなさい。フィリスティア人を討ってケイラを救いなさい」。**3** ダビデの部下たちが言った。「私たちはここユダにいながら恐れています。ケイラに行ってフィリスティア人の戦列に立ち向かうとなれば、なおさらでしょう」。**4** ダビデはもう一度エホバに尋ねた。エホバは答えた。「立って、ケイラに下っていきなさい。私はあなたをフィリスティア人に勝たせるからだ」。**5** それでダビデは部下たちと共にケイラに行き、フィリスティア人と戦い、家畜を奪って大勢の人を討った。こうしてダビデはケイラの住民を救った。

6 さて、アヒメレクの子アビヤタルは、ケイラのダビデのもとに逃げた時、エフォドを持っていた。**7** サウルは、「ダビデがケイラに来た」という報告を受けた。それでサウルは言った。「神は彼を私の手に渡してください」。**8** 彼は門とかんぬきのある町に入って逃げられなくなった」。**8** サウルは、ケイラに下ってダビデとその部下たちを包囲しようと、兵士たち皆を招集した。**9** ダビデはサウルのたくらみを知り、祭司アビヤタルに、「エフォドを持って

きてください」と言った。**10** そしてダビデは言った。「イスラエルの神エホバ、サウルがケイラに来ようとしており、私のことでこの町を滅ぼそうとして」と聞きました。**11** ケイラの指導者たちは私を彼に引き渡すでしょうか。サウルは、私が聞いた通り、下ってくるでしょうか。イスラエルの神エホバ、どうか教えてください」。エホバは、「彼は下ってくる」と言った。**12** ダビデは尋ねた。「ケイラの指導者たちは私と部下をサウルに引き渡すでしょうか」。エホバは、「彼らはあなたを引き渡す」と言った。

13 ダビデは直ちにおよそ600人の部下と共に立ち上がってケイラを出て、あちこちを転々とした。サウルは、ダビデがケイラから逃げたことを知らされ、捕まえに出ていくのをやめた。**14** ダビデは、荒野の奥まった岩場、ジフの荒野の山地で野宿した。サウルは絶えずダビデを捜したが、エホバはダビデをサウルの手には渡さなかった。**15** ジフの荒野のホレシャにいた時、ダビデは自分の命を狙ってサウルが出陣したことを知った。

16 サウルの子ヨナタンはホレシャのダビデの所に駆けつけていき、エホバへの信頼を強めるよう助けた。**17** ヨナタンは言った。「恐れることはありません。私の父サウルがあなたを

23:11 *もしかすると、「地主」。**23:15** *もしかすると、「出陣したので、恐れた」。**23:16** *直訳、「エホバに関して彼の手を強くした」。

第23章

(7) 民 27:21
サー 30:7

(4) サー 22:19

(7) サー 22:1,2
サー 25:13
サー 30:9

(2) ヨシ 15:20,55
サー 23:19
サー 26:1

(7) サー 18:29
サー 20:33
サー 27:1

(7) 詩 37:5
格 17:17

第2欄

(7) サー 16:13
サー 2:4
サー 5:3

(4) サー 20:31
サー 24:17,20

(7) サー 18:3
サー 20:42

(2) サー 10:26

(7) サー 23:15

(7) サー 26:1
詩 54:表題

(7) サー 23:24

(7) サー 26:3

(7) 詩 54:3

(2) サー 23:14

(7) 申 1:7

(7) ヨシ 15:20,55
サー 25:2,3

(7) サー 26:2
詩 54:3

みつめることはありません。あなたはイスラエルの王になり、私はあなたの次の地位に就きます。父サウルもそうなることを知っているのです。**18** それから2人はエホバの前で契約を結んだ。ダビデはホレシャにとどまり、ヨナタンは家に帰った。

19 その後、ジフの人たちがギベアのサウルのもとに上ってきて言った。「ダビデは私たちの近く、ホレシャの奥まった岩場に隠れています。エシモンの南、ハキラの丘の上です。**20** 王よ、良いと思われる時に下ってきてください。彼を王に引き渡します」。**21** サウルは言った。「あなたたちがエホバに祝福されますように。あなたたちは私のことを思ってくれた。**22** 彼の居場所はどこか、誰か彼を見たのかを調べに行ってくれないか。彼は非常にずる賢いと聞いている。**23** 彼の隠れ場所を全て突き止め、その証拠も持ってきてほしい。そうしたら、私はあなたたちと一緒に行く。彼がその地方にいるなら、私はユダの全氏族の中から彼を捜し出す」。

24 それで彼らはサウルより先にジフに向かった。一方、ダビデと部下たちは、エシモンの南のアラバにある、マオンの荒野にいた。**25** やがてサウルが部下たちと共にダビデを捜しに来た。その知らせを受けたダビデ

23:19 *もしかすると、「砂漠」、「荒野」。「直訳、「右側」。**23:24** *用語集参照。

はすぐに大岩の所に下り、マオンの荒野にとどまった。サウルはそのことを聞き、ダビデの後を追ってマオンの荒野に行った。26 サウルが山の一方の側に来た時、ダビデと部下たちはその山のもう一方の側にいた。ダビデはサウルから急いで逃げたが、サウルと部下たちはダビデたちを捕まえようと迫っていった。27 ところが、サウルのもとに使者が来て、言った。「急いで戻ってきてください。フィリスティア人が襲撃してきました!」28 それでサウルはダビデの後を追うのをやめて引き返し、フィリスティア人に立ち向かうために出ていった。そのため、その場所は「分岐の大岩」と名付けられた。

29 ダビデはそこから上って行って、エン・ゲディの奥まった岩場に身を潜めた。

24 サウルがフィリスティア人を追うのをやめて帰ると、「ダビデはエン・ゲディの荒野にいる」という報告があった。

2 そこでサウルはイスラエル全体から選ばれた3000人を率いて、山ヤギの岩場にダビデたちを捜しに行った。

3 サウルは、道の脇にある羊の石囲いの所に来た。そこには洞窟があり、用を足すために中に入った。その洞窟の一番奥に、ダビデと部下たちが座っていた。4 部下たちはダビデに

24:3 *直訳、「足を覆う」。

第23章

(例) サー 23:28

(例) 詩 31:22

(例) 詩 17:9

(例) 詩 54:7

(例) ヨシ 15:20, 62
ソロ 1:14

第24章

(例) サー 23:28, 29

(例) 詩 57:表題
詩 142:表題

第2欄

(例) サー 26:8, 23

(例) サニ 24:10

(例) 出 22:28

サー 26:11

サニ 1:14

代 16:22

(例) サー 26:17

(例) サー 26:19

(例) サー 24:4

言った。「まさに今日エホバは、『あなたの敵をあなたの手に渡そう。良いと思う通りにしてよい』と言っています」。そこでダビデは立ち上がり、サウルの袖なしの上着の裾をそっと切り取った。5 しかし、その後ダビデは、サウルの袖なしの上着の裾を切り取ったことで、心が痛んだ。6 ダビデは部下たちに言った。「私の主人に、エホバが選んだ人に、私が手を出してこのようなことをするなど、エホバの観点からは考えられないことです。エホバが選んだ人なのですから」。7 ダビデはそう言って彼らをとどめ、サウルをおもてなしを許さなかった。サウルは立ち上がり、洞窟から出ていった。

8 ダビデは立ち上って洞窟から出ていき、サウルの後ろから、「ご主人さま、王よ!」と呼び掛けた。サウルが振り向くと、ダビデは身をかがめてひれ伏した。9 ダビデはサウルに言った。「なぜあなたは、『ダビデがあなたに危害を加えようとしている』と言う人の言葉に耳を傾けるのですか」。

10 まさに今日、あなたは自分の目で、エホバが洞窟の中であなたを私の手に渡したのを見ました。ある者があなたを殺そうと言いましたが、私はあなたに同情し、『私の主人に手を出すことはしない。エホバが選んだ人なの

24:5 *または、「良心」。24:6 *直訳、「油を注いだ」。用語集の「油を注ぐ」参照。24:6, 10 *直訳、「油を注いだ」。24:7 *もしかすると、「解散させ」。

だから』と言いました。11 ご覧ください、ご主人さま。私の手にある、あなたの袖なしの上着の裾を見てください。この裾を切り取った時、私はあなたを殺しませんでした。あなたに危害を加えるつもりも、菌向かうつもりもないことをこれで分かっていただけです。私はあなたに対して罪を犯していないのに、あなたは私の命を奪おうと付け狙っているのです。12 エホバが私とあなたを裁いてくださいますように。あなたへの復讐はエホバがしてくださいますように。私の手があなたに向かうことはありません。13 古い格言の通り、『悪は悪人から出る』のであって、私の手があなたに向かうことはありません。14 イスラエルの王は誰を追って出てこられたのですか。私はどんな者でしょう。私は死んだ犬にすぎません。ただの1匹のノミです。15 エホバが裁いてくださいますように。神が私とあなたを裁きます。神はご覧になり、私を弁護して判決を下し、あなたの手から助け出してくださいます。

16 ダビデがそう言い終えると、サウルは「ダビデ、あなたの声なのか」と言い、声を上げて泣きだした。17 そしてダビデに言った。「あなたの方が正しい。あなたは私に良くしてくれたが、私はあなたにひどいことをした。18 あなたは今日、私にした良いこと

第24章

(7) サー 9:16
サー 10:1
サー 26:9
詩 105:15

(1) サー 26:18
詩 35:7

(2) サー 23:14

(3) サー 26:23

(4) 申 32:35

(5) サー 26:11

(6) サー 26:20

(7) サー 25:39
詩 35:1

(8) サー 26:17

(9) サー 26:21

第2欄

(7) サー 24:4,10

(1) サー 26:25
詩 18:20

(2) サー 13:14
サー 15:28
サー 18:8
サー 20:31
サー 23:17

(3) サニ 9:1
サニ 21:7

(4) レビ 19:12
申 6:13

(5) サー 15:34

(6) サー 23:29

第25章

(7) サー 1:20
サー 2:18
サー 3:20
詩 99:6

(8) サー 7:15,17

(9) サー 23:24

(10) ヨシ 15:20,55

(11) サー 25:25

(12) サー 27:3

(13) 民 13:6
民 32:11,12

(14) サー 25:17,21

を教えてください。エホバが私をあなたの手に渡したのに、あなたは私を殺さなかった。19 敵を見つけたのに何もせずに逃がしてやる人がいるだろうか。今日私にしてくれたことのゆえに、エホバはあなたに良い報いを与えてくださる。20 あなたが必ず王として治め、あなたの手でイスラエルの王国が存続するということが今よく分かった。21 だから今、私の子孫を絶やさず、私の父の一族から私の名前を消し去らないと、エホバに懸けて私に誓ってください。22 それでダビデはサウルに誓った。その後サウルは家に帰った。ダビデと部下たちは隠れがに上っていった。

25 やがてサムエルが死んだ。イスラエル全体が集まり、彼のことで嘆き悲しみ、彼をラマの家の近くに葬った。その後ダビデは立ち上がり、パランの荒野に下っていった。

2 さて、マオンに1人の男性がいた。カルメルで仕事をしているとても裕福な人で、羊3000匹とヤギ1000匹を持っていた。その頃、彼はカルメルで羊の毛を刈っていた。3 その人はナバルといい、妻はアビゲイルといった。妻は機織が利く美しい人だったが、カレブの子孫である夫は荒っぽくて行状が悪かった。4 ダビデはナバルが羊の毛を刈っていることを荒野で聞いた。5 それでダビデは次のよう

25:2 * ユダの町。カルメル山とは異なる。

(キ) サ二 16:1
サ二 17:27-29

14 その間に、ナバルの召し使いのひとりがつまアビガイルにう伝えた。「ご主人の健康を願う言葉を伝えるため、ダビデが荒野から使者をおく送ってこられたのに、ご主人は怒鳴って侮辱しました。15 あの人たちは私たちにとても良くしてくれました。私たちは危害を加えられたことはなく、彼らと野原にいた間ずっと何の損失も被りませんでした。16 彼らと共にいて羊の群れを世話していた間ずっと、彼らは昼も夜も私たちの周りで防護壁のようになってくれました。17 それで今、どうすべきかをご判断ください。ご主人と家の人たちがみな災難が降り掛かろうとしています。ご主人はどうしようもない方で、誰も何も言えないのです」。

(キ) サ二 16:1
サ二 17:27-29

12 部下たちは戻って、全てをダビ

25:6 *または、「平和であり」。 **25:8** *直訳、「あなたの子ダビデ」。

20 アビガイルがロバに^の乗^{やま}って山陰^{かげ}を下^{くだ}っている時^{とき}、ダビデと部下^{ぶか}たちも^{くだ}ちょうどそこへ下^{くだ}っていた。アビガイルは彼^{かれ}らと出^で会^あった。**21** ところで、ダビデはこ^いう言^ごっていた。「荒野^{こうや}であの^{ひと}人^{ひと}のものを全^{すべ}て守^{まも}ったのは無^む駄^だなことだ^{こと}った。私^{わたし}のおかげで彼^{かれ}は何^{なん}の損^{そん}失^{しつ}も被^ひらなかつたのに、恩^{おん}をあだで返^{かえ}すとは。**22** もし私^{わたし}が彼^{かれ}の下^{もと}に^{おとこ}いる男^{おとこ}を1人^{ひとり}でも朝^{あさ}まで生^なかして^{かみ}おくら、神^{かみ}が私^{わたし}の敵^{てき}を敵^{せき}しく罰^{ばつ}しますよう^{よう}に」。

23 アビガイルはダビデを見^み掛^かけると、急^{いそ}いでロバから下^おり、ダビデの前^{まえ}でひれ伏^ふした。**24** そしてダビデの足^{あし}元^{もと}に伏^ふして、こ^いう言^ごった。「悪^{わる}いのはこの私^{わたし}でござ^いいます。どうか、申し上^あげさせてください。私^{わたし}の言^ご葉^はをお聞^ききください。**25** どうか、あのどうしようも^{おとこ}ない男^{おとこ}ナバルに心^{こころ}をお向^むけになりませ^なんよう^{よう}に。名^な前^{まえ}の通^{とお}り^{ひと}の人^{ひと}ですから。ナバルがその名^な前^{まえ}で、分^{ぶん}別^{べつ}がない人^{ひと}です。私^{わたし}は、あなたがお遣^{つか}わしにな^なった部^ぶ下^かたちにはお目^めに掛^かかりませ^いんでした。**26** それで今^{いま}、生^いきて^いいる神^{かみ}エホバとあなたに懸^かけて申^{もう}し上^あげます。あなたが流^{りゅう}血^{けつ}の罪^{つみ}を犯^{おか}して自^じ分^{ぶん}の手^てで復^{ふく}讐^{しゅう}することがないよう、エホバはあなたをど^めめました。あなた^めの敵^{てき}と、あなたに危^き害^{がい}を加^{くわ}えようとする人^{ひと}がナバルのようになりませ^いうよう^{よう}に。**27** あ

25:22 *直訳、「壁に向かって排尿する者」。男性を意味するヘブライ語の侮辱表現。*もしかすると、「私を」。**25:25** *意味、「無分別な」、「愚かな」。

第25章

(ア) サー 25:7

(イ) サー 25:10
詩 35:12

(ウ) サー 25:17

(エ) 創 9:6

(オ) 創 20:6

第2欄

(ア) サー 25:18

(イ) サー 22:2
サー 25:13(ウ) サー 17:45
サー 18:17(エ) サー 15:28
サ二 7:8,11
王一 9:5(オ) サー 24:11
王一 15:5(カ) サー 13:13,14
サー 23:17
サ二 6:21
サ二 7:8
詩 89:20(キ) 申 32:35
サー 24:15(ク) 申 19:10
サー 25:26

(ケ) サー 25:24

なたのために持^もってまいりましたこの贈^{おく}り物^{もの}を、あなたに從^{したが}う部^ぶ下^かたちにお与^{あた}えください。**28** どうか私^{わたし}の違^い反^{はん}をお許^{ゆる}しください。あなたはエホバの戦^{たたか}い^かを戦^{たたか}っておられるのですから、エホバは必^{かな}ずあなたの家^け系^{けい}を存^{そん}続^{ぞく}させてください。あなたはこれまでず^{なん}と何^{なん}の悪^{わる}いこと^いもしてこられませ^いんでした。**29** 誰^{だれ}かがあなたを追^{つい}跡^{せき}して命^{いのち}を狙^{ねら}う時^{とき}、あなた^いの命^{いのち}はエホバ神^{かみ}の命^{いのち}の袋^{ふくろ}の中^{なか}に安^{やす}全^{ぜん}に包^{つつ}まれます。一^{いつ}方^{ぽう}、神^{かみ}はあなた^いの敵^{てき}の命^{いのち}を石^{いし}投^なげ器^きで投^なげる石^{いし}のよう^{よう}に放^{ほう}り投^なげます。**30** エホバが約^{やく}束^{そく}通^{どお}りあなたにさ^ままざまな良^よいことをしてくださ^いり、あなたをイスラエルの指^し導^{どう}者^{しゃ}に任^{にん}命^{めい}する時^{とき}、**31** あなたは、理^り由^{ゆう}もな^なく人^{ひと}の血^ちを流^{なが}して自^じ分^{ぶん}の手^てで復^{ふく}讐^{しゅう}したとい^いう後^{こう}悔^{かい}の気^き持^{もち}を抱^{いだ}くこと^{こと}はありませ^いん。エホバがあなたに良^よくしてくださ^いる時^{とき}、どうか私^{わたし}を思^{おも}い出^だしてくださ^いい」。

32 ダビデはアビガイルに言^いった。「今日^{きょう}あなたを遣^{つか}わしてくださ^いったイスラエルの神^{かみ}エホバが賛^{さん}美^びされませ^いうよう^{よう}に!**33** 分^{ぶん}別^{べつ}があるあなたを、神^{かみ}が祝福^{しゅくふく}してくださ^いいますよう^{よう}に!**34** 今日^{きょう}、流^{りゅう}血^{けつ}の罪^{つみ}を犯^{おか}して自^じ分^{ぶん}の手^てで復^{ふく}讐^{しゅう}しないよう、私^{わたし}を思^{おも}いとどまらせ^いたあなたを、神^{かみ}が祝福^{しゅくふく}してくださ^いいますよう^{よう}に。**34** あなたに危^き害^{がい}を加^{くわ}えな^いよう私^{わたし}をとどめたイスラエルの生^いきて^いいる神^{かみ}エホバに懸^かけて言^いいます。もしあ

25:27 *直訳、「祝福」。

あなたが急いで会いに来てくれなかつたら、朝までにナバルのもとに男は一人も残らなかったでしょう」。35 ダビデは彼女が持ってきた物を受け取り、言った。「安心して家に帰りなさい。あなたの言うことはよく分かりました。のぞき通りにしましょう」。

36 アビガイルがナバルの所に帰ると、ナバルは家で王のような宴会を楽しんでいた。いい気分になり、非常に酔っていた。アビガイルは夜が明けるまで彼に何も話さなかった。37 朝になり、ナバルの酔いがさめると、妻アビガイルはあったことを伝えた。すると彼の心臓はまひし、彼は石のように動かなくなった。38 約10日後、ナバルはエホバに打たれて死んだ。

39 ダビデはナバルが死んだことを聞き、こう言った。「ナバルに非難された私を弁護し、悪を行わないよう私をとどめてくださったエホバが賛美されますように！ エホバはナバルの悪が彼の身に降り掛かるようにされた」。それからダビデは人を遣わして、アビガイルを妻として迎えたいという申し入れを伝えさせた。40 ダビデの従者たちはカルメルのアビガイルの所に来て、言った。「ダビデはあなたを妻として迎えるために私たちを遣わしました」。41 彼女はすぐに立ち上がり、ひれ伏して言った。「ご主人さまの従

第25章

(イ) サー 25:18

(イ) サー 25:22

(イ) サー 25:10,14

(ロ) サー 24:15

詩 35:1

(ロ) サー 25:34

第2欄

(イ) 創 18:3,4

ルカ 7:44

(イ) サー 25:3

(イ) ヨシ 15:20,56

(ロ) サー 27:3

サニ 3:2

代一 3:1

(ロ) サー 30:5

サニ 5:13

(イ) サー 18:20

(イ) サニ 3:14,15

第26章

(イ) ヨシ 15:20,55

(イ) 裁 19:14

サー 10:26

(ロ) サー 23:14

サー 23:19,24

詩 54:表題

(イ) サー 24:2

(イ) サー 14:50

サー 17:55

サニ 2:8

サニ 3:27

者の足を洗う者にぜひともならせてください」。42 それからアビガイルは急いで立ち上がってロバに乗り、召し使いの女性5人を連れて、ダビデの使者たちに付いていった。こうしてアビガイルはダビデの妻になった。

43 ダビデはエズレルの人アヒノアとも結婚していたので、この2人の女性が妻となった。

44 一方、サウルの娘である、ダビデの妻ミカルは、サウルによってガリムの人ライシュの子パルティに与えられていた。

26 やがてジフの人たちがギベアのサウルのもとに来て言った。「ダビデはエシモンに面するハキラの丘に隠れています」。2 そこでサウルは立ち上がり、ジフの荒野に下っていった。ジフの荒野でダビデを捜すため、イスラエルから選ばれた3000人を連れていった。3 サウルはエシモンに面するハキラの丘で、道のそばに野営した。一方、ダビデは荒野に住んでいて、自分を追ってサウルが荒野に来たことを知った。4 それで、サウルが本当に来たかどうかを確かめようと偵察を送った。5 その後、ダビデはサウルが陣営を張っていた所に行った。そして、ネルの子である軍隊の長アブネルとサウルが寝ている場所を見つけた。陣営の中でサウルは寝ており、兵士たちがサウルの周りで

25:34 *直訳、「壁に向かって放尿する者」。男性を意味するヘブライ語の侮辱表現。25:37 *または、「心」。

26:1 *もしかすると、「砂漠」、「荒野」。

野営^{やえい}していた。6 ダビデはヘト人^{じん}アヒメレクと、ツェルヤの子^こでヨアブの兄弟^{きょう}のアビシャイに言った。「サウルがいる陣営^{じんえい}に誰^{たれ}が私^{わたし}と共に^{とも}に行きますか」。アビシャイが、「私が共に^{とも}に行きます」と答えた。7 夜^よ, ダビデとアビシャイは兵士^{へいし}たちの所^{ところ}に進んでいった。そして、サウルが陣営^{じんえい}の中^{なか}で寝^ねているのを見つけた。サウルの頭^{あたま}のそばにやりがあり、地面^{じめん}に突き刺^つさっていた。アブネルと兵士^{へいし}たちもサウルの周囲^{しゅうい}で寝^ねていた。

8 アビシャイはダビデに言った。「神^{かみ}は今日^{きょう}, あなたの敵^{てき}をあなたの手^てに渡^{わた}されました。それで今^{いま}, どうか私^{わたし}に、彼^{かれ}をやりで地面^{じめん}に突き刺^つさせてください。一度で仕留^{しりゅう}めます」。9 ダビデはアビシャイに言った。「危害^{きがい}を加えてはいけません。エホバが選^{えら}んだ人に手^てを出しながら無罪^{むざい}でいられる人^{ひと}などいるでしょうか」。10 ダビデは続^{つづ}けて言った。「エホバは生きています。彼はエホバに必ず打^うたれます。あるいは、生涯^{しやうがい}の終わりが来て死ぬ^{しぬ}か、戦^{いくさ}いで命^{いのち}を落とすかします。11 エホバが選^{えら}んだ人に私^{わたし}が手^てを出すなど、エホバの観^{かん}点^{てん}からして考^{かんが}えられないことです! さあ、彼の頭^{あたま}のそばにあるやりと水差^{みずさ}しを取^とってきてください。それから立ち去^さりましょう。12 こうしてダビデはサウルの頭^{あたま}のそ

26:9 *直訳, 「油を注いだ」。用語集の「油を注ぐ」参照。 26:11, 16 *直訳, 「油を注いだ」。

第26章

(7) 創 10:15

(1) サニ 2:18
代 2:15, 16(7) サニ 16:9
サニ 18:5
サニ 23:18(2) サニ 24:4
サニ 26:23

(8) サニ 10:1

(7) サニ 24:6
サニ 1:14
代 16:22
詩 20:6(4) 申 32:35
サニ 24:12
サニ 25:38
詩 94:1, 23

(7) 詩 37:12, 13

(7) サニ 31:3, 6

(7) レビ 19:18
サニ 24:6
代 16:22
詩 105:15

第2欄

(7) サニ 24:4

(1) サニ 14:50
サニ 17:55
サニ 2:8
サニ 3:8

(7) サニ 26:8

(2) サニ 9:16, 17
サニ 10:1

(7) サニ 26:11

(7) サニ 24:8, 16

(4) 詩 35:7

ばからやりと水差^{みずさ}しを取り、2人は立ち去^さった。誰^{だれ}にも見^みつかず、気付^{きづ}かれなかった。目^めを覚^めました人もいなかった。エホバが深く眠^{ねむ}らせていたため、皆^{みな}, 眠^{ねむ}り込んでいたのである。13 それからダビデは反対側^{はんたいがわ}に渡^{わた}っていき、いくらか離れた山^{やま}の頂上^{ちやうじやう}に立った。両者^{りやうしや}の間^{あいだ}にはかなりの距離^{きょり}があった。

14 ダビデは兵士^{へいし}たちとネルの子^こアブネルに叫^きんだ。「アブネル、聞こえますか」。アブネルは答^{こた}えた。「王^{おう}に向かって叫^{さけ}ぶあなたは誰^{だれ}だ」。15 ダビデはアブネルに言った。「あなたは勇^{いさ}ましい人^{ひと}ではありませんか。イスラエルの中^{なか}にあなたのような人^{ひと}がいるのでしょうか。それなのに、なぜ自分^{じぶん}の主^{しゅ}人^{じん}である王^{おう}を見守^{みまも}っていないのですか。兵士^{へいし}の1人^{ひとり}が、あなたの主人^{しゅじん}である王^{おう}を亡^なき者^{もの}にしようとして入り込みました。16 あなたは務^{つと}めを怠^{おこた}りました。生きて神^{かみ}エホバに懸^かけて言^いいます。あなたたちは死^しに値^{あた}います。自分^{じぶん}たちの主人^{しゅじん}を、エホバが選^{えら}んだ人^{ひと}を見守^{みまも}っていないからです。王^{おう}の頭^{あたま}のそばにあったやりと水差^{みずさ}しがどこにあるか、見てみなさい」。

17 サウルはダビデの声^{こえ}に気^き付き、言^いった。「ダビデ、あなたの声^{こえ}なのか」。ダビデは言^いった。「ご主人^{しゅじん}さま、王^{おう}よ、私^{わたし}の声^{こえ}です」。18 そしてこう続^{つづ}けた。「ご主人^{しゅじん}さまはどうして私^{わたし}の後^{あと}を追^おうのですか。私^{わたし}が何^{なに}をしたというのでしょうか」。

26:17 *直訳, 「私の子ダビデ」。

か。私にどんな罪があるのですか。

19 ご主人さま、王よ、どうか私の言葉を

を聞いてください。もし、私に敵対する

ようあなたを駆り立てたのがエホバ

でしたら、私は穀物の捧げ物を捧げま

す。しかし、もし人々が駆り立てた

のでしたら、その人たちはエホバから

災いを受けますように。『行って、ほか

の神々に仕えよ』と言い、私をエホバ

の民から引き離して追い出したからで

す。20 エホバのもとから離れた場

所で私の血が地面に落ちることがな

いようにしてください。イスラエルの

王は、山でシャコを追うかのように、1

匹のノミを捜しに出てこられました。』

21 サウルは言った。「私は罪を犯

した。ダビデ、戻ってきなさい。もう

危害を加えたりはしない。あなたが

今日、私の命を尊んでくれたからだ。

私は愚かなことをした。大変な間違い

をした。22 ダビデは言った。「ここ

に王のやりがあります。あなたの部下

に取りに来させてください。23 エホ

バは、正しくて忠実なことをする人に

報いてくださいます。今日、エホバは

あなたを私の手に渡しましたが、私は

エホバが選んだ人に手を出そうとは

しませんでした。24 私が今日あなた

の命を尊んだように、エホバも私の

命を尊び、あらゆる苦難から助け出

第26章

[イ] サー 24:9,11

[イ] サー 24:9

[イ] 出 19:5

申 26:18

[イ] サー 24:14

[イ] サー 24:17

[イ] サー 24:10

サー 26:11

[イ] 詩 7:8

詩 18:20

[イ] サー 24:6

サー 26:9

第27章

[イ] 詩 34:19

[イ] サー 24:19

[イ] サー 24:22

サー 27:4

第27章

[イ] サー 19:18

サー 22:1,5

[イ] サー 18:29

サー 23:23

[イ] サー 25:13

サー 30:9

[イ] サー 21:10,14

サー 27:12

[イ] サー 25:43

[イ] サー 25:39,42

[イ] サー 23:14

サー 26:25

[イ] ヨシ 19:1,5

サー 30:1

サー 1:1

代 12:1,20

[イ] サー 29:3

してくださいように。25 サウルはダビデに言った。「ダビデ、あなたが祝福されますように。あなたは必ず偉大なことをし、必ず成功する。そしてダビデは去っていき、サウルは家に帰った。

27 ダビデは心の中でこう言った。「私はいつかサウルの手

で殺されるだろう。フィリスティア人の

地方に逃げるのが一番いい。そうす

れば、サウルはイスラエルの領土中で

私を捜すのを諦め、私は逃げ切れる。』

2 そこでダビデは立ち上がり、共にい

た600人と一緒に、ガトの王、マオクの子

アキシュの所に行った。3 ダビデと

部下たちやそれぞれの家の人たちは、

ガトのアキシュのうちに滞在した。

ダビデは2人の妻と一緒にだった。エズ

レルのアヒノアムと、以前ナバルの妻

だった、カルメルの人アビガイルであ

る。4 サウルは、ダビデがガトに逃

げ去ったという報告を聞き、捜すのを

やめた。

5 ダビデはアキシュに言った。「もし

私があなたの好意を得ていましたら、

どこかの田舎町に場所を下さし、そこ

に住まわせてください。この私がどう

して王が住む町に住んでよいでしょう

か。6 それでアキシュはその日、チ

クラグを与えた。そのような訳で、チ

クラグは今もユダの王の所有地である。

7 ダビデがフィリスティア人の土地

に住んだ期間は1年4カ月だった。

8 ダビデはしばしば部下たちと共に出ていき、ゲシュル人、ギルズ人、アマレク人を襲撃した。その人々はテラムからシュル、そしてエジプトにまで広がる地域に住んでいたのである。9 ダビデはその地域を攻めると、男性も女性も生かしておかなかった。羊、牛、ロバ、ラクダ、衣類を奪っては、アキシュのもとに帰るのだった。10 アキシュが、「あなた方は今日どこを襲撃したのか」と尋ねると、ダビデは、「ユダの南です」、「エラフメエルの子孫の土地の南です」、「ケニ人の土地の南です」などと答えていた。11 ダビデは男性や女性を生かしたままガトに連れてくることはしなかった。彼が言うには、「私たちのことを報告させないため、『ダビデはこれこれのことをした』と言わせないため」だった。(ダビデは、フィリスティア人の土地に住む間ずっと、こういう方法を取った。)

12 それでアキシュはダビデを信じ、こう思った。「彼は間違いないイスラエル人に憎まれるようになった。だから、私にずっと仕えるに違いない」。

28 その頃、フィリスティア人がイスラエルと戦うため軍隊を集めた。そこでアキシュはダビデに言った。「当然分かっていると思うが、あなたも部下たちも私と共に戦いに行くことになる」。2 ダビデはアキシュに言った。「あなたは私のすること

27:10 *または、「ネゲブ」。

第27章
(例) ヨシ 13:1,2

(例) 創 36:12
出 17:8,14
民 13:29
サ 15:2
サニ 1:1

(例) 創 25:17,18
出 15:22
サ 15:7

(例) 申 25:19
サ 15:3

(例) ヨシ 15:1,2

(例) 代 2:9

(例) 民 24:21
サ 15:6

第28章
(例) サ 14:52

(例) サ 27:12
サ 29:3

第2欄
(例) サ 29:2

(例) サ 25:1

(例) 出 22:18
レビ 19:31
レビ 20:6,27
申 18:10,11
啓 21:8

(例) ヨシ 19:17,18
王ニ 4:8

(例) サ 31:1
サニ 1:21
サニ 21:12

(例) サ 28:20

(例) サ 14:37

(例) 出 28:30
民 27:21

(例) 出 22:18
レビ 19:31
レビ 20:6
サ 15:23
サ 28:3

(例) ヨシ 17:11

(例) 申 18:10,11
代 10:13

(例) サ 28:3

(例) 出 22:18
レビ 20:27

を確かにご存じです」。アキシュはダビデに言った。「ならば、あなたをずっと私の護衛官にしよう」。

3 さて、サムエルはすでに死んでいた。イスラエル全体が彼のことで嘆き悲しみ、故郷のラマに彼を葬った。そして、サウルは領土から霊媒師や占い師を排除していた。

4 フィリスティア人は集まって進み、シュネムに陣営を張った。それでサウルはイスラエル全体を集め、ギルボアに陣営を張った。5 サウルはフィリスティア人の陣営を見ると、恐れ、ひどくおびえた。6 サウルはエホバに尋ねたが、エホバは夢によっても、ウリムによっても、預言者によっても答えなかった。7 サウルはやがて家来たちに言った。「女の霊媒師を探してこい。その女の所に行って相談しようと思う」。家来たちは言った。「エン・ドルに女の霊媒師がいます」。

8 それでサウルは変装し、服を着替え、夜に2人の部下を連れてその女性の所に行った。サウルは言った。「霊媒師として占ってくれ。私が言う人を呼び出してほしい」。9 女性は言った。「あなたはサウルがしたことを知っているはずです。彼は領土から霊媒師や占い師を排除したのです。それなのに、どうして私をわなに掛けて死なせようとするのですか」。10 するとサウルはエホバに懸けて誓って、こう言った。「生きている神エホバに懸

けて誓う。この件であなたが罪を負うことはない！」**11** 女性は、「誰を呼び出しましょうか」と言った。サウルは、「サムエルを呼び出してくれ」と答えた。**12** 女性は「サムエル」を見ると、大声で叫び、サウルに言った。「どうして私をだましたのですか。あなたはサウルではないですか！」**13** 王は言った。「恐れなくてよい。何が見えるのか」。女性はサウルに答えた。「神のような者が地面から上ってくるのが見えます」。**14** サウルはすぐ尋ねた。「どんな姿をしているか」。女性は言った。「年取った人が上ってきています。袖なしの上着を着ています」。それでサウルは、サムエルに間違いないと思い、身をかがめてひれ伏した。

15 すると「サムエル」はサウルに言った。「どうして私を呼び出して煩わすのですか」。サウルは言った。「非常に困っているのです。フィリスティア人が攻めてきているのに、神は私から離れてしまい、預言者によっても夢によっても答えてくださいません。それで、どうすればよいかを教えていただきたくて、お呼びしました」。

16 “サムエル”は言った。「エホバがあなたから離れ、敵となっているのに、どうして私に尋ねるのですか」。**17** エホバは、私を通して予告したことを行います。エホバはあなたから王国を引き裂いて取り上げ、あなたの仲

第28章
[例] サー 28:3

[イ] サー 15:27

[例] サー 28:6

[ロ] レビ 19:31

[例] サー 15:23
サー 16:14

第2欄

[例] サー 13:14
サー 15:28
サー 16:13
サー 24:20

[イ] サー 15:9
代一 10:13

[例] サー 28:1
サー 31:1

[ロ] サー 31:5

[例] サー 31:2
サ二 2:8

[例] サー 31:7

[例] レビ 20:27

[例] サー 28:8

間ダビデに与えます。**18** あなたはエホバの言うことに従わず、神を怒らせたアマレク人を滅ぼしませんでした。それでエホバは今あなたをこのように扱っているのです。**19** また、エホバはイスラエルもあなたもフィリスティア人に引き渡し、明日、あなたとあなたの子たちは私と一緒にになります。エホバはイスラエルの軍勢もフィリスティア人に引き渡します」。

20 するとサウルはぱったり倒れた。“サムエル”の言葉のために非常に恐れた。サウルは「一昼夜何も食べていなかったの、力がなくなっていた」。**21** 女性が近づいて見ると、サウルはひどく動揺していた。それでサウルにこう言った。「あなたの言うことに従い、命懸けで、言われた通りにいたしました」。**22** 今度はどうか私の言うことを聞いてください。パンを1切れお出しますので、召し上がってください。そうすれば力が出て、お帰りになれます」。**23** ところがサウルは拒み、「食べない」と言った。家来たちや女性がしきりに勧めると、ようやく彼は聞き入れ、立ち上がってベッドに座った。**24** 女性は、家にいた肥えた子牛を急いでほふり、麦粉をこねて無酵母パンを焼いた。**25** そしてサウルと家来たちに振る舞った。彼らは食べ、その後立ち上がり、夜のうちに去っていった。

28:24 *直訳、「犠牲にし」。

29 フィリスティア人は軍隊を皆
アフェクに集めた。一方、イ
スラエル人はエズレルの泉のそばに
野営していた。**2** フィリスティア人の
領主たちが百人隊、千人隊を率いて
進み、ダビデと部下たちはアキシュと
共にその後続いた。**3** フィリス
ティア人の高官たちが言った。「あの
ヘブライ人たちは何でここにいるん
だ」。アキシュはフィリスティア人の
高官たちに言った。「あれはイスラエル
のサウル王の家来ダビデで、ここ1年
以上、私のもとにいる。脱走してやつ
て来た日から今日まで、彼には何の非
もない」。**4** ところが、フィリスティア
人の高官たちは憤慨し、こう言った。
「あの男を帰らせろ。あなたが与えた
場所に戻らせるのだ。われわれと一
緒に戦いに行かせてはならない。戦
いの時に敵に回るといけないからだ。
彼が自分の主人の好意を得るために、
われわれの部下の首はまさにうって
つけではないか」。**5** 彼は、人々が踊
りながらこう歌ったあのダビデではな
いか。

『サウルは何千もの敵を討ち、
ダビデは何万もの敵を討った』。

6 そこでアキシュはダビデを呼んで
言った。「生きている神エホバに懸け
て言う。あなたは正直な人だ。私は、
あなたがわが軍と共に戦いに行くの
は良いと思っている。やって来た日々

第29章

(7) サー 28:1

(1) ヨシ 19:17, 18
サー 29:11

(7) サー 28:2

(11) サー 27:7, 12

(7) 代一 12:19

(7) サー 14:21

(7) サー 18:7
サー 21:11(7) サー 21:10
サー 27:2

(7) サー 28:2

第2欄

(7) サー 27:11, 12

(1) サー 29:3, 9

(7) サー 27:12

(11) ヨシ 19:17, 18
サー 29:1

第30章

(7) ヨシ 15:21, 31
サー 27:5, 6(7) 創 36:12
出 17:14サー 15:2
サー 27:8

(7) サー 27:3

ら今日まであなたには何の非もない
からだ。だが、領主たちはあなたを信
頼していない。**7** だから、気を付け
て帰きなさい。フィリスティア人の領主
たちの嫌がることは何もしてはいけな
い」。**8** ダビデはアキシュに言った。
「私が何ををしたというのですか。あな
たのもとに来た日から今日まで私にど
んな非があったというのですか。王
よ、あなたの敵と戦うために、どうし
てあなたと一緒に行ってはいけないの
でしょうか」。**9** アキシュはダビデに
言った。「私からすれば、あなたは神
の天使のように良い人だ。だが、フィ
リスティア人の高官たちが、『われわれ
と一緒に戦いに行かせてはならない』
と言っているのだ。**10** だから、あな
たが連れてきた部下たちと一緒に朝
早く起きなさい。明るくなったらすぐ出
ていきなさい」。

11 それでダビデと部下たちは朝早
く起きて、フィリスティア人の土地に
帰っていった。フィリスティア人はエズ
レルに向かった。

30 ダビデと部下たちは3日後に
チクラグに戻った。南部とチ
クラグはそれより前にアマレク人に襲
撃されていた。アマレク人はチクラグ
を攻め、火で焼き、**2** 女性たちとそこ
にいた全ての人を、若者も年寄りも、
捕虜として連れ去っていた。誰も殺さ
ず、連れ去っていた。**3** ダビデと部

30:1 *または、「ネゲブ」。

下^かたちが町^{まち}に戻^{もど}ると、そこは焼^やき払^{はら}われ、妻^{つま}や息子^{むすこ}や娘^{むすめ}たちが捕^ほ虜^{りょ}として連^つれ去^さられていた。4 ダビデと部下^{ぶか}たちは声^{こえ}を上げ^あて泣^なきだし、やがて泣^なく力^{ちから}もなくなった。5 ダビデの2人^{ふたり}の妻^{つま}、エズレルのアヒノアムと、かつてカルメルの人^{ひと}ナバルの妻^{つま}だったアビガイルも捕^ほ虜^{りょ}として連^つれ去^さられていた。6 部下^{ぶか}たちがダビデを石^{いし}打ち^{うち}にするとい^いだしたため、ダビデは非常^{ひじょう}に追^おい詰め^められた。息子^{むすこ}や娘^{むすめ}を失^うしたことで皆^{みな}、逆^{ぎやく}上^{じょう}したのである。それでもダビデはエホバ神^{かみ たよ}に頼^{たよ}って自分^{じぶん}を力^{ちから}づけた。

7 それからダビデはアヒメレクの子^こ、祭司^{さいし}アビヤタルに言^いった。「どうかエフォド^{えふおど}を持^もってきてください」。それでアビヤタルはダビデの所^{ところ}にエフォドを持^もってきた。8 ダビデはエホバに尋^{たず}ねた。「略^{りやく}奪^{だつ}隊^{たい}の後^{あと}を追^おうべきでしようか。追^おい付^{つき}けるでしようか。神^{かみ}は彼^{かれ}に言^いった。「追^おっていきなさい。あなたは必ず追^おい付^{つき}き、全^{ぜん}てを取り返^{かえ}すことになる」。

9 直^{ただ}ちにダビデは、共^{とも}にいた600人^{にん}の部下^{ぶか}を連^つれて出^でていき、ベソルの谷^{たに}にまで行^いった。部下^{ぶか}の一部^{いちぶ}はそこにとどまった。10 ダビデと400人^{にん}の部下^{ぶか}は追^おい続^{つづ}けたが、200人^{にん}は疲^{つか}れ切^きっていたためベソルの谷^{たに}を渡^{わた}れそうになく、そこにとどまったのである。

11 部下^{ぶか}たちは野原^{のほら}で1人^{ひとり}のエジ

第30章

(ア) サー 25:42
サー 25:43

(イ) 詩 18:6
詩 31:1,9
詩 34:19
詩 143:5

(ウ) サー 22:20
王一 2:26

(エ) サー 23:9

(オ) 民 27:21
裁 20:28
サー 23:2,11
サー 28:6

(カ) サー 30:18
詩 34:19

(キ) サー 23:13
サー 27:2

(ク) サー 30:21

第2欄

(ア) サ二 8:18
王一 1:38
代一 18:17
エゼ 25:16
ゼバ 2:5

(イ) ヨシ 14:13

(ウ) 出 17:14

(エ) サー 30:3

プト人^{じん}を見^みつけ、ダビデの所^{ところ}に連^つれていった。そして食^たべ物^{もの}と水^{みず}を与^{あた}え、12 干^ほしいちじくの菓子^{かし}1切^きれと干^ほしぶどうの菓子^{かし}2つも与^{あた}えた。すると彼^{かれ}らは食^たべて元^{げん}気を取^とり戻^{もど}した。3日^か3晩^{ばん}、何^{なに}も食^たべず、水^{みず}も飲^のんでい^いなかったのである。13 ダビデは彼^{かれ}に尋^{たず}ねた。「あなた^{しゅじん}の主人^{だれ}は誰^{だれ}ですか。どこから来^きたのですか」。彼^{かれ}は言^いった。「私^{わたし}はエジプト人^{じん}で、あるアマレク人^{じん}の奴^こ隷^{れい}ですが、3日^か前に病^{かま}気^えにな^なったため、主^{しゅ}人^{じん}に置^おき置^きにされま^した。14 私^{わたし}たちは、ケレト人^{じん}の南^{なん}部^ぶとユダ^{りやうだ}の領^{りやう}地^ちとカレブ^{かれ}の南^{なん}部^ぶを襲^{しゆう}撃^{げき}し、チクラグ^{ちくらぐ}を火^ひで焼^やきました」。15 ダビデは彼^{かれ}に言^いった。「その略^{りやく}奪^{だつ}隊^{たい}の所^{ところ}まで案^{あん}内^{ない}してくれませんか。彼^{かれ}は言^いった。「私^{わたし}を殺^{ころ}したり主^{しゅ}人^{じん}に引^ひき渡^{わた}したりしな^いと、神^{かみ}に懸^かけて私^{わたし}に誓^{ちか}ってくださるなら、私^{わたし}は主^{しゅ}人^{じん}に引^ひき渡^{わた}したりしな^いと、略^{りやく}奪^{だつ}隊^{たい}の所^{ところ}まで案^{あん}内^{ない}します」。

16 彼^{かれ}がダビデを案^{あん}内^{ない}していくと、アマレク人^{じん}は辺^{あた}り一^{いち}面^{めん}に広^{ひろ}がって飲^のみ食^くいし、祝^{しゅく}宴^{えん}を開^{ひら}いていた。フィリステア人^{じん}の土^ど地^ちとユダ^{りやうだ}の土^ど地^ちから非^ひ常^{じょう}に多^{おほ}くの物^{もの}を奪^{うば}ってきたからである。17 ダビデは朝^{あさ}の暗^{くら}いうちから夕^{ゆう}方^{がた}まで彼^{かれ}ら^らを討^うった。ラクダ^{らくだ}に乗^のって逃^にげた400人^{にん}のほかは、誰^{だれ}一^{ひとり}人^{ひと}も逃^にれた人^{ひと}はい^いな^なかった。18 ダビデはアマレク人^{じん}に奪^{うば}われた物^{もの}を全^{すべ}て取^とり返^{かえ}した。2人^{ふたり}の妻^{つま}も救^{すく}い出^だした。19 自分^{じぶん}たちの物^{もの}を何^{なに}もか^かも一^{ひとり}つ残^{のこ}ら^らず

30:14 *または、「ネゲブ」。

30:9, 10 *または、「ワジ」。

うば かせ むすこ むすめ うば
奪い返した。息子や娘たちも奪われ
た物も、全てをダビデは取り返した。
20 ダビデは全ての羊と牛を奪い、取
り返した自分たちの家畜の前を行か
せた。部下たちは、「これはダビデの
戦利品だ」と言った。

21 ダビデは、ベソルの谷のそばに
とどまっていた200人の部下の所に
戻ってきた。彼らは疲れ切っていたた
め一緒には行けなかったのである。彼
らはダビデと部下たちを迎えに出てき
た。ダビデは近づき、具合はどうかと
尋ねた。22 ところが、ダビデと一緒に
行った部下のうち、悪くてどうしよ
もない人たちが皆、こう言った。「彼ら
は一緒に来なかったのだから、われわれ
が取り返した物をやるわけにはい
かない。妻と子供たちは連れて行って
よいが」。23 ダビデは言った。「私
の兄弟たち、エホバが下さった物につ
いて、そのような扱いはしてはいけま
せん。神が私たちを守ってください、私
たちを襲った略奪隊を私たちの手に
渡してくださいさすのです。24 あなた
たちの考えに同意する人がいるでしょ
うか。戦いに行った人の分け前も、荷
物のそばに座っていた人の分け前も
同じです。皆が一緒に分け前を受け
取るのです」。25 その日以降、ダビ
デが言ったことはイスラエルの規定ま
た決まりとなり、今に至っている。

26 ダビデはチクラグに戻ると、戦

第30章

(ア) サー 30:8
詩 34:19

(イ) サー 30:10

(ウ) サー 30:8

(エ) サー 30:10

(オ) 民 31:27
ヨシ 22:8
詩 68:12

第2欄

(ア) ヨシ 19:4,8

(イ) ヨシ 15:20,48
ヨシ 21:8,14

(ウ) ヨシ 15:20,50
ヨシ 21:8,14

(エ) サー 27:10
代 2:9

(オ) 裁 1:16
サー 15:6

(イ) 民 21:3
ヨシ 19:1,4
裁 1:17

(ウ) ヨシ 14:13
サニ 2:1

第31章

(ウ) サー 14:52
サー 29:1

(イ) サー 28:4
サニ 1:21
代 10:1-5

(ウ) 代 8:33

(イ) サー 13:2

(ウ) サニ 1:4,6

(イ) サー 17:26
サニ 2:20

サムエル第一 30:20-31:4

利品の幾らかを友人であるユダの長
老たちに送って、こう言った。「贈り物
を差し上げます。エホバの敵から奪っ
た物です」。27 送った相手は、ペテ
ルの人たち、ネゲブのラモトの人たち、
ヤティルの人たち、28 アロエルの
人たち、シフモトの人たち、エシュテモ
アの人たち、29 ラカルの人たち、エ
ラフメエルの子孫の町々の人たち、ケ
二人の町々の人たち、30 ホルマの
人たち、ボルアシャンの人たち、アタク
の人たち、31 ヘブロンの人たち、ダ
ビデと部下たちがよく訪れた場所の
人たちだった。

31 フィリスティア人はイスラエ
ルと戦っていた。イスラエ
ルの人たちはフィリスティア人から逃げ、
多くがギルボア山で殺されて倒れた。

2 フィリスティア人はサウルとその子
たちに迫っていった。そしてサウルの
子ヨナタン、アビナダブ、マルキ・シュア
を討った。3 サウルへの攻撃が激
しくなり、弓を射る人たちに見つかった
サウルは撃たれ、ひどい傷を負った。
4 サウルは武器を運ぶ従者に
言った。「剣を抜き、私を刺し通してく
れ。あの割礼を受けていない者たち
に刺し通され、むごく扱われるのはご
めんだ」。しかし従者は恐れあまり、
そうしようとしなかった。それでサウ
ルは剣を取って、その上に突っ伏し

30:26 *直訳、「祝福」。30:27 *または、「南部」。

た。5 従者もサウルが死んだのを見て、剣の上に突っ伏し、サウルと共に死んだ。6 こうしてその日、サウルと3人の息子と武器を運ぶ従者、そして部下たちも皆、共に死んだ。7 谷の地域やヨルダン地方にいたイスラエルの民は、イスラエルの兵士たちが逃げ去ったこと、サウルと息子たちが死んだことを知ると、町を捨てて逃げ始めた。その後フィリスティア人がやって来て、そこを占領した。

8 翌日、フィリスティア人が戦死者から物品を剥ぎ取ろうとして来てみると、サウルと3人の息子がギルボア山

31:7 *または、「谷あいの平原」。

第31章

(7) 代一 10:4

(1) サ一 26:10
代一 10:13

(2) サ一 28:19
代一 10:6,7

(3) サ一 13:6

第2欄

(7) サ一 28:4
サ一 31:1
サ二 1:6
代一 10:8-12

(1) 裁 16:23

(2) サ二 1:20

(3) ヨシ 17:11
裁 1:27

(4) サ一 11:1,9-11

(5) サ二 12:12

(6) サ二 2:4,5

で倒れていた。9 そこで彼らはサウルの首を切り落とし、武具を剥ぎ取った。そしてフィリスティア人の領土中に人を送り、彼らの偶像の神殿や民の所に知らせを伝えた。10 それからサウルの武具をアシュレテの像の神殿に置き、遺体はベト・シャンの城壁にくぎ付けにした。11 ヤベシュ・ギレアデの住民はフィリスティア人がサウルにしたことを聞くと、12 戦士たちが皆立ち上がって夜通し移動し、サウルと息子たちの遺体をベト・シャンの城壁から取り外し、ヤベシュに持ち帰って焼いた。13 それから骨を取り、ヤベシュのギョリュウの木の下に葬り、7日間断食をした。

サムエル記 第二

概要

- 1 ダビデはサウルの死について聞く (1-16)
サウルとヨナタンのためのダビデの哀歌 (17-27)
- 2 ユダの王ダビデ (1-7)
イスラエルの王イシ・ボセテ (8-11)
ダビデ家とサウル家の戦い (12-32)
- 3 ダビデ家は勢力を増す (1)
ダビデの息子たち (2-5)
アブネルがダビデの側に付く (6-21)
ヨアブがアブネルを殺す (22-30)
ダビデはアブネルのことを嘆き悲しむ (31-39)
- 4 イシ・ボセテが暗殺される (1-8)
ダビデは暗殺者たちを処刑する (9-12)
- 5 ダビデはイスラエル全体の王になる (1-5)
エルサレムの攻略 (6-16)

- ダビデの町シオン (7)
ダビデはフィリスティア人を打ち破る (17-25)
- 6 箱がエルサレムに運ばれる (1-23)
ウザが箱をつかみ、処刑される (6-8)
ミカルがダビデを軽蔑する (16, 20-23)
- 7 ダビデが神殿を建てることはない (1-7)
王国のためのダビデとの契約 (8-17)
ダビデの感謝の祈り (18-29)
- 8 ダビデの数々の勝利 (1-14)
ダビデの統治体制 (15-18)
- 9 ダビデは揺るぎない愛をメビボセテに示す (1-13)
- 10 アンモンとシリアに対する勝利 (1-19)
- 11 ダビデのパテ・シバとの姦淫 (1-13)

- ダビデはウリヤが死ぬように画策する (14-25)
 ダビデはバテ・シバを妻にする (26, 27)
- 12 ナタンがダビデを戒める (1-15前半)
 バテ・シバの子が死ぬ (15後半-23)
 バテ・シバがソロモンを産む (24, 25)
 アンモン人の都市ラバの攻略 (26-31)
- 13 アムノンがタマルを強姦する (1-22)
 アブサロムがアムノンを殺害する (23-33)
 アブサロムはゲシュルに逃亡する (34-39)
- 14 ヨアブとテコアの女性 (1-17)
 ダビデはヨアブの関与を見抜く (18-20)
 アブサロムは帰還を許される (21-33)
- 15 アブサロムの謀反と反乱 (1-12)
 ダビデはエルサレムから逃げ出す (13-30)
 アヒトフェルがアブサロムの側に付く (31)
 アヒトフェルへの対策としてフシャイが遣わされる (32-37)
- 16 ツィバがメビボセテを中傷する (1-4)
 シムイがダビデをののしる (5-14)
 アブサロムは、やって来たフシャイを受け入れる (15-19)
 アヒトフェルの助言 (20-23)
- 17 フシャイがアヒトフェルの助言の実行を阻む (1-14)
 ダビデは報告を受けてアブサロムから逃れる (15-29)
 バルジライたちからの物資の供給 (27-29)
- 18 アブサロムの敗北と死 (1-18)
 ダビデはアブサロムが死んだことを知る (19-33)
- 19 ダビデはアブサロムのことで嘆き悲しむ (1-4)
 ヨアブがダビデをたしなめる (5-8前半)
 ダビデはエルサレムに帰還する (8後半-15)
 シムイがダビデに許しを請う (16-23)
 メビボセテの疑いが晴れる (24-30)
 バルジライが敬意を表される (31-40)
 部族間の争い (41-43)
- 20 シェバが反逆し、ヨアブがアマサを殺す (1-13)
 シェバは追い詰められ、首をはねられる (14-22)
 ダビデの統治体制 (23-26)
- 21 ギベオンの人たちによるサウル家への報復 (1-14)
 フィリスティア人との戦い (15-22)
- 22 ダビデは、救い出してくださった神を賛美する (1-51)
 「エホバは私の大岩」(2)
 エホバは、揺るぎない愛を示す人に、揺るぎない愛を示す (26)
- 23 ダビデの最後の言葉 (1-7)
 ダビデの勇士たちの活躍 (8-39)
- 24 ダビデの人口調査の罪 (1-14)
 疫病で7万人が死ぬ (15-17)
 ダビデは祭壇を作る (18-25)
 犠牲とは何かを費やして捧げるもの (24)

1 サウルの死後のこと、ダビデはア
 マレク^{じん}を打ち破^{やぶ}って帰還^{きかん}し、2
 日間^{かかん}チクラグ^ツにとどまっていた。2 3
 日目に、サウルの陣営^{じんえい}から1人^{ひとり}の人が
 やって来た。衣服^{きふく}は引き裂^ひかれ、頭^{あたま}に
 土^ちをかぶっていた。その人^{ひと}はダビデに
 近寄^{ちかよ}り、身^みをかがめてひれ伏^ふした。

3 ダビデが「どこから来たのです
 か」と尋ねると、その人^{ひと}は「イスラエル
 の陣営^{じんえい}から逃^にげてきました」と言っ

第1章

[7] サー 27:5,6

第2欄

[7] サー 31:1,6
代一 10:4,6[7] サー 28:4
代一 10:1

た。4 ダビデは尋ねた。「戦^{たたか}いはど
 うなりましたか。話^わしてください」。彼^{かれ}
 は言^いった。「兵士^{へいし}たちは戦場^{せんじょう}から逃^に
 げ、大勢^{おおぜい}が死^しにました。サウルと息子^{むすこ}
 のヨナタンも死^しにました」。5 ダビデ
 は、知らせ^しを持ってきたその若者^{わかもの}に
 言^いった。「サウルと息子^{むすこ}ヨナタンが死^し
 んだことをどうやって知^しったのです
 か」。6 若者^{わかもの}は答^{こた}えた。「私^{わたし}がたまた
 まギルボア山^{さん}にいた時^{とき}、そこにサウル

がいて、やりにもたれ掛かっています。兵車や騎手たちが彼に迫りました。7 彼が振り向いて私を呼んだので、『何でしょうか』と答えました。8 彼は『おまえは誰だ』と尋ねたので、『私はアマレク人です』と言いました。9 彼は言いました。『そばに来て、私を殺してくれ。耐え難い痛みだ。死んだ方がましだ』。10 それで私はそばに行って彼を殺しました。負傷して倒れており、もう助からないと思ったからです。そして、頭から王冠を取り、腕輪を外しました。それらをここに、あなたのものに持ってまいりました。

11 するとダビデは自分の衣服をつかんで引き裂いた。ダビデと共にいた人たちも皆そうした。12 そして彼らは、サウルと息子ヨナタンとエホバの民とイスラエル人のことで嘆き悲しんで泣き、夕方まで断食した。その人たちが剣によって倒れたからである。

13 ダビデは、知らせを持ってきた若者に尋ねた。「あなたはどの人ですか」。若者は言った。『私はアマレク人の外国人居住者の子です』。

14 ダビデは言った。「エホバが選んだ人に恐れもなく手を出して殺すとは、いったいどういうことですか」。

15 ダビデは部下の1人を呼び、「前に出て、この人を討ちなさい」と言っ

第1章

(ア) サー 31:3
代一 10:3

(イ) 出 17:16
申 25:19
サー 15:20
サー 30:1

(イ) サー 31:4

(四) サー 31:1

(四) サー 31:11,13

(四) 民 12:8
サー 24:6
サー 26:9
サー 31:4

第2欄

(ア) サー 4:10

(イ) サ二 1:6,10

(四) サー 31:6

(四) ヨシ 10:13

(四) サー 31:8

(四) サー 31:9

(四) サー 31:1
代一 10:1

(四) レビ 27:16

(四) サー 18:4
サー 20:20

た。若者は討たれ、死んだ。16 ダビデは言った。「あなたが死んだ責任はあなた自身にあります。あなたの口が、『エホバが選んだ人を私が殺した』と証言したからです」。

17 ダビデは、サウルと息子ヨナタンのために次の哀歌を歌い、18 「弓」と題するその哀歌をユダの人たちに学ばせるべきであると言った。その歌はヤシャルの書に記されている。

19 「イスラエルよ、あなたの美が高い場所で殺された。

ああ、勇士たちが倒れた。

20 ガトで知らせはいけな

アシュケロンの通りで触れ回ってはいけな

フィリスティア人の娘たちを喜ばせないため。

割礼を受けていない者の娘たちを歓喜させないため。

21 ギルボアの山々よ。

あなたの所からは露も雨もなくなれ。

聖なる寄進物を生み出す畑もなくなれ。

そこで、勇士たちの盾が汚されたからだ。

サウルの盾に油が塗られることはもうない。

22 ヨナタンの弓はぶれることなく、

1:16 *直訳、「あなたの血はあなたの頭上」。
*直訳、「油を注いだ」。 1:20 *用語集参照。

1:14 *直訳、「油を注いだ」。用語集の「油を注ぐ」参照。

サウルの剣も空を切ることなく、
敵の血を流し、戦士の肉を貰

いた。

23 サウルもヨナタンも生涯ずっと愛
され、大切にされた。

死ぬ時も2人は離れなかった。

ワシよりも速く、

ライオンよりも強かった。

24 イスラエルの娘たち、サウルのた
めに泣け。

サウルはあなたたちに緋色の服
と装飾品をまといわせ、
服に金の飾りを付けた。

25 ああ、勇士たちが戦いで倒れた。
ヨナタンが高い場所で殺された！

26 私の兄弟ヨナタン、あなたを失っ
てとても苦しい。

あなたは本当に慕わしい人
だった。

私にとってあなたの愛は女性の
愛よりも素晴らしかった。

27 ああ、勇士たちが倒れた。
戦いの武器が砕かれた！

2 その後ダビデはエホバに尋ね
た。「ユダの町に上っていくとよ
いでしょうか」。エホバは、「上ってい
きなさい」と言った。ダビデはさらに
尋ねた。「どこへ上っていくとよいです
か」。神は、「ヘブロンへ」と答えた。

2 そこでダビデは、2人の妻、エズレ
ルのアヒノアムと、かつてカルメルの人

第1章

(ア) サー 14:47

(イ) サー 18:1

(ロ) サー 31:6

代一 10:6

(ロ) ヨブ 9:26

(ロ) 格 30:30

(ロ) サー 31:8

(イ) サー 18:1,3

(ロ) サー 19:2

サー 20:17,41

サー 23:16-18

格 17:17

格 18:24

第2章

(イ) 民 27:21

サー 28:6

(ロ) 創 23:2

民 13:22

ヨシ 14:14

ヨシ 20:7

サニ 5:1

王一 2:11

(イ) サー 25:43

第2欄

(イ) サー 25:42

サー 30:5

(イ) サー 22:1,2

サー 27:2

代一 12:1

(イ) 創 49:10

サー 15:24,28

サー 16:13

サニ 5:4,5

代一 11:3

(ロ) サー 31:11-13

(イ) サニ 9:7

サニ 10:2

(イ) サー 14:50

サー 17:55

サー 26:5

サニ 4:1

王一 2:5

(イ) サニ 4:5-8

サニ 4:12

(イ) 創 32:1,2

ヨシ 13:29,30

(イ) ヨシ 13:8,11

(ロ) ヨシ 19:17,18

(イ) ヨシ 16:5-8

(イ) サニ 2:4

ナバルの妻だったアビゲイルを連れ、
そこへ上っていった。3 ダビデは、
共にいた人たちやそれぞれの家の人
たちも連れていった。彼らはヘブロン
と周辺の町に住んだ。4 そこへユダ
の人たちがやって来て、ダビデに油を
注いでユダ族の王とした。

ダビデのもとに、「ヤベシュ・ギレア
デの人たちがサウルを葬った」という
知らせがあった。5 それでダビデは
ヤベシュ・ギレアデの人たちの所に使
者たちを送り、こう伝えさせた。「皆さ
んがエホバに祝福されますように。サ
ウルを葬り、王への揺るぎない愛を
示したからです。6 エホバが皆さん
に揺るぎない愛を示し、支え続けてく
ださいますように。皆さんがしたこと
のゆえに、私も皆さんに親切にしま
す。7 それで今、力を奮い起こし、勇
気を出してください。サウル王は死に、
ユダ族は私に油を注いで王としたの
です」。

8 一方、サウルの軍隊の長、ネルの
子アブネルは、サウルの子イシ・ボセ
テを連れてマハナインに渡り、9 イ
シ・ボセテを、ギレアデ、アシュル人、エ
ズレル、エフライム、ベニヤミン、イスラ
エル全体の王にした。10 サウルの
子イシ・ボセテは40歳でイスラエルの
王になり、2年治めた。ただ、ユダ族は
ダビデを支持した。11 ダビデがヘ

2:4 *用語集の「油を注ぐ」参照。 2:7 *直訳、
「手を強くし」。

1:23 *または、「朗らかだった」。 1:24 *また
は、「赤い」。

プロンでユダ族の王だった期間は7年6カ月だった。

12 やがてネルの子アブネルと、サウルの子イシ・ボセテの家来たちはマハナインを出てギベオンに向かった。

13 ツェルヤの子ヨアブと、ダビデの家来たちも出ていき、両部隊はギベオンの池のそばで対峙した。池の一方の側と他方の側にそれぞれが座った。

14 アブネルがヨアブに言った。「若者を出して、われわれの前で戦わせるのはどうか」。ヨアブは、「そうしよう」と言った。

15 それで、ベニヤミンとサウルの子イシ・ボセテの側から12人、ダビデの家来の中から12人、同数の人たちが立ち上がって進み出した。

16 彼らは頭をつかみ合い、剣で相手の脇腹を刺し、皆が共に倒れた。それで、ギベオンのその場所はヘルカト・ハツリムと呼ばれた。

17 その日、戦いは非常に激しくなり、アブネルとイスラエルの人たちはダビデの家来たちの前で打ち破られた。

18 ところで、そこにはツェルヤの3人の息子、ヨアブ、アビシャイ、アサエルがいた。アサエルは野原のガゼルのように足が速かった。

19 アサエルはアブネルの後を追った。右にも左にもそれずに追っていた。

20 アブネルは振り向いて、「アサエル、おまえなのか」と言い、アサエル

2:14 *または、「勝負させる」。2:16 *意味、「火打ち石の小刀の野原」。

第2章

[7] 代一 3:4

[1] サニ 2:8

[7] ヨシ 10:12
ヨシ 18:21, 25
ヨシ 21:8, 17
サニ 20:8
代二 1:3

[12] 代一 2:15, 16

[7] サニ 8:16
サニ 20:23
王一 1:5, 7

[7] 代一 2:15, 16

[7] サニ 10:7
サニ 24:2
王一 11:15
代一 11:6[7] サ一 26:6
サニ 20:6
代一 11:20[7] サニ 3:27
サニ 23:24
代一 27:1, 7

第2欄

[7] サニ 3:27

は「そうだ」と答えた。21 するとアブネルは言った。「右か左に行つて若者の1人を捕まえ、何でも欲しい物を剥ぎ取れ」。しかしアサエルは追うのをやめようとしなかった。22 それでアブネルはもう一度アサエルに言った。「私を追うのはやめておけ。おまえを討つわけにはいかない。おまえの兄弟ヨアブに合わせる顔がなくなる」。

23 それでもアサエルは追うのをやめなかった。それでアブネルは、やりの石突きでアサエルの腹部を突き刺した。やはり後ろから突き出て、アサエルは倒れ、その場で死んだ。アサエルが倒れて死んだ場所に来る人は皆、そこで立ち止まるのだった。

24 ヨアブとアビシャイもアブネルの後を追った。日が沈む頃、彼らはアマの丘にきた。そこはギベオンの荒野への途上にあるギアハに面していた。

25 ベニヤミン族の人たちがアブネルの後ろに集まり、一団となつて丘のてっぺんに立っていた。

26 アブネルはヨアブに呼び掛けた。「剣をいつまでも振るい合うつもりなのか。結局は悲惨なことになるだけだと思わないのか。いつになったら兵士たちに、兄弟たちを追うのをやめるよう指示するのか」。

27 ヨアブは言った。「生きている真の神に懸けて言う。もしおまえが言いださなかったなら、兵士たちは兄弟たちを追うのを朝までやめなかっただろう」。

28 ヨアブが

角^つ笛^{ふえ}を吹^ふいたので、兵士^{へいし}たちはイスラエル^{いすらい}を追^おうのをやめ、戦^{たたか}いは終^おわった。

29 アブネルと部下^{ぶか}たちは一晩^{ひとばん}かけてアラバ^{あらば}を通^{とお}り抜^ぬけ、ヨルダン川^{がわ}を渡^{わた}り、溪谷^{けいこく} 全^{ぜん}域^{いき}を通^{とお}ってマハナイン^{まはな}に着^ついた。30 ヨアブはアブネルを追^おうのをやめて引き返^{かえ}した後^{あと}、兵士^{へいし}全^{ぜん}員^{いん}を集^{しゅうごう}合^{ごう}させたと、ダビデ^だの家来^{らい}19人^{にん}とアサエル^{あさ}がいなくなっていた。

31 一方^{いっぱう}、ベニヤミン族^{そく}の人たちとアブネル^{あぶ}の部下^{ぶか}たちは、ダビデ^だの家来^{らい}たちに打^うち破^{やぶ}られ、360人^{にん}が死^しんでいった。32 アサエル^{あさ}は運^{はこ}ばれて、ベツレヘム^{べつ}にある父^{ちち}の墓^{はか}に葬^{ほうむ}られた。ヨアブ^あと部下^{ぶか}たちは一晩^{ひと}中^{ちゅう}移動^{いどう}し、明^あけ方^{がた}へブロン^へに着^ついた。

3 サウル家^けとダビデ家^けの戦^{たたか}いは長^{なが}び引^ひいた。ダビデ^だはますます強^{つよ}くなり、サウル家^けは徐々^{じょじょ}に衰^{おとろ}えていった。

2 その間に、ヘブロン^へでダビデ^だに息子^{むすこ}たちが生^うまれた。長男^{ちやうなん}はエズレル^えのアヒノアム^あが産^うんだアムノ^ん。

3 次男^{じなん}は、かつてカルメル^かの人^{ひと}ナバル^なの妻^{つま}だったアビガイル^あが産^うんだキルアブ^き。三男^{さんなん}はゲシュル^げの王^{おう}タルマイ^たの娘^{むすめ}マアカ^まが産^うんだアブサロム^あ。

4 四男^{よんなん}はハギト^はが産^うんだアドニヤ^あ。五男^ごはアビタル^あが産^うんだシェファトヤ^し。

5 六男^{ろくなん}はダビデ^だの妻^{つま}エグラ^えが産^うんだイトレアム^い。これらの子^こがヘブロン^へでダビデ^だに生^うまれた。

2:29 *用語集参照。#もしかすると、「ピトロ^ピン」。

第2章

(ア) 申 1:7
ヨシ 12:2,3

(イ) ヨシ 21:8,38
サニ 2:8

(ウ) サニ 2:18
代 2:15,16

(エ) 創 35:19
ルツ 4:11
サー 16:1

(オ) サニ 2:1,3
代 11:1

第3章

(カ) サ 15:27,28
サー 24:17,20
サー 26:25

(キ) サニ 2:17

(ク) 代 3:1-4

(ケ) サ 25:43

(コ) サニ 13:1

(ク) サ 25:42

(コ) サニ 13:37

(ク) サニ 15:12

(セ) 王 1:5

第2欄

(ア) サニ 2:8

(イ) サニ 21:8-11

(ウ) サニ 2:10

(エ) サニ 16:21
王 2:22

(オ) サ 15:27,28
詩 78:70
詩 89:20

(カ) 裁 20:1
サニ 24:2

(キ) サニ 3:39

(ク) サニ 5:3

6 サウル家^けとダビデ家^けの戦^{たたか}いが続^{つづ}く中^{ちゅう}、アブネル^{あぶ}はサウル家^けで権力^{けんりょく}を強^{つよ}めていった。7 ところで、サウル^さには、アヤ^あの娘^{むすめ}でリツパ^りという名^な前の側室^{そくしつ}がいた。イシ・ボセテ^いはアブネル^あに言^いった。「どうして私の父^{わたくし}の側室^{そくしつ}と関係^{かん}を持ったのか」。8 アブネル^あはイシ・ボセテ^いの言葉^{ことば}に非常^{ひじょう}に怒^{おこ}り、こう言^いった。「私はユダ^{わたくし}の犬^{いぬ}だともいうのですか。私は今日^{けい}まで、あなた^{きょう}の父^{ちち}サウル^さの一家^{いっか}や兄弟^{きょうだい}や友人^{ゆうじん}たちに揺^ゆるぎない愛^{あい}を示^{しめ}してきました。あなた^うを裏切^{うらぎ}ってダビデ^だの手^てに渡^{わた}したりはしませんでした。それなのに、こうして女^{おんな}に關^{かん}する過^{あやま}ちをとがめるのですか。

9 もし、エホバ^えがダビデ^だに誓^{ちか}った通^{とお}りのことを、私^{わたくし}がダビデ^だのためにしないとするば、神^{かみ}が私^{わたくし}を厳^{きび}しく罰^{ばつ}しますように。10 神^{かみ}は、サウル家^けから王国^{おうこく}を取り上^とげて、ダビデ^だの王権^{おうけん}を確立^{かくりつ}し、ダン^だからベエル・シェバ^べにかけてイスラエル^いとユダ^あを治^{おさ}めさせると誓^{ちか}いました。11 イシ・ボセテ^いはアブネル^あを恐^{おそ}れ、一言^{ひとこと}も言^いい返^{かえ}せなかった。

12 アブネル^あはすぐ^しにダビデ^だのもとに使者^{ししや}たちを送^{おく}り、こう伝^{つた}えさせた。「この土地^{とち}は誰^{だれ}のものでしょうか。私^{わたくし}と契約^{けいやく}を結^{むす}んでください。イスラエル^い全^{ぜん}体^{たい}をあなた^{なん}の側^{がわ}に付^つけるため、できることは何でもします。13 ダビデ^だはこう答^{こた}えた。「いいでしょう。あなた^{けいやく}と結^{むす}びます。ただし、1つ条件^{じょうけん}があります。私^{わたくし}に会^あいに来^きても、サウル^さの

サムエル第二 3:14-27

むすめ^め 娘ミカルを連れてこない限り^{かぎ}、私^{わたし}に会^あうことはできません。14 ダビデはそれからサウルの子イシ・ボセテに使者^{しや}たちを送^{おく}り、こう伝えさせた。「私^{わたし}がフィリスティア人^{じん}100人の包皮^{ひん}で婚約^{こんやく}した妻ミカルを引き渡してください」。15 それでイシ・ボセテは人を遣わして、ミカルをその夫^{おつと}、ライシュの子パルティエルから取り上げた。16 しかし夫パルティエルはミカルと一緒に歩き続け、泣きながらバフリムまで付^ついてきた。やがてアブネルに「さあ、帰^{かえ}れ!」と言われ、帰^{かえ}っていった。

17 アブネルはイスラエルの長老たちと連絡を取り、こう言った。「あなたたちは以前から、ダビデに王^{おう}になってほしいと願^{ねが}ってきました。18 それで今、そうしなさい。エホバはダビデにこう言^いいました。『私^{わたし}は、私^{わたし}に仕えるダビデの手によって、フィリスティア人など全ての敵から私の民イスラエルを救^{すく}う』。19 それからアブネルはベニヤミン族^{ぞく}の人たちと話した。ヘブロンに行^いってダビデとも個人的に話^{はな}し、イスラエルとベニヤミン族全体が同意した事柄を伝えた。

20 アブネルが部下20人を連れて、ヘブロン^へのダビデのもとにや^きって来たとき、ダビデはアブネルと部下たちのために宴^{えん}を開いた。21 アブネルはダビデに言^いった。「ご主人さま、王^{しゅじん}よ、あなたのもとにイスラエル全体を集^{あつ}めて行^いかせてください。彼^{かれ}らがあなたと契^{けい}

第3章

(ア) サー 18:20
サー 19:11
代一 15:29

(イ) サニ 2:10

(ウ) サ一 18:25,27

(エ) サ一 25:44

(オ) サニ 16:5
王一 2:8

(カ) サ一 13:14
サー 15:27,28
サー 16:1,13
詩 89:3,20
詩 132:17
使徒 13:22

(キ) サ一 10:20,21
代一 12:29

第2欄

(ク) サニ 8:16

(ク) サ一 14:51

(ク) サ一 14:50
サニ 2:8,22

(ク) サニ 3:20

(ク) サニ 2:22,23

約^{やく}を結^{むす}ぶため、あなたがお望^{のぞ}みのもの全てを治める王^{おう}となるためです。それでダビデはアブネルを送^{おく}り出し、アブネルはそのまま出^でていった。

22 ちょうどその時^{とき}、ダビデの家来たちとヨアブが、戦利品^{せんりひん}をたくさん持^もって襲撃^{しゅうげき}から帰^{かえ}ってきた。アブネルは、すでにダビデに送^{おく}り出^だされてそのまま出^でていっていたので、ヘブロン^へのダビデのもとにはいなかった。23 ヨアブと兵士^{へいし}たち皆^{みな}が到着^{とうちゃく}すると、ヨアブにこう報告^{ほうこく}があった。「ネルの子アブネル^ネが王のもとに来^きましたが、王に送^{おく}り出^だされてそのまま出^でていきました」。

24 ヨアブは王の所^{ところ}に行^いき、こう言^いった。「何^{なん}ということをおなされたのですか。アブネルがあなたの所^{ところ}に来^きたのに、どうして送^{おく}り出^だして、そのまま行^いかせてしまったのですか。25 ネルの子アブネルをよくご存^{ぞん}じのはずです! 彼^{かれ}はあなたをだましてあなたの動向^{どうこう}を探^{さぐ}り、あなたがすることを全部知^{ぜんぶ}ろうとして来たのです」。

26 ヨアブはダビデのもとから離^{はな}れ、使者^{ししや}たちにアブネルを追^おわせた。使者^{ししや}たちはシラの水^{みづ}のための所^{ところ}からアブネルを連れ戻^{もど}した。しかしダビデはそのことを知らなかった。27 アブネルがヘブロンに居^ゐってから、ヨアブは、2人^{ふたり}だけで話^{はな}したいと言^いって、アブネルを門^{もん}の内側^{うちがわ}に連れ込^こんで腹部^{ふくぶ}を突き刺^つした。兄弟^{きょうだい}のアサエルが殺^{ころ}されたこと^{こと}の復讐^{ふくしゅう}だった。こうしてア

プネルは死んだ。^(ア) 28 ダビデは後でそのことを聞き、こう言った。「ネルの子アプネルに関する流血の罪について、私と私の王国はエホバの前で永遠に潔白です。^(イ) 29 この罪の罰は、ヨアブとヨアブの父の一家全体に下されまうように。ヨアブ家からは、生殖器から流出物がある男、重い皮膚病の人、糸を紡ぐ男、剣によって倒れる人、食べ物に事欠く人が絶えませんように！」^(ロ) 30 このようにして、ヨアブとアビシャイは、自分たちの兄弟アサエルがギベオンの戦いでアプネルに殺されたため、アプネルを殺した。

31 ダビデは、ヨアブと、共にいた人たちに言った。「衣服を引き裂き、粗布を身に付け、アプネルのことを嘆き悲しみなさい」。ダビデ王自ら、遺体を載せた台に付いていった。^(ハ) 32 アプネルはヘブロンに葬られた。王はアプネルの墓で声を上げて泣き、ほかの人も皆、泣きだした。^(ニ) 33 王はアプネルのためにこう歌った。

「愚か者のような死を、
どうしてアプネルが味わうのか。

34 あなたは手を縛られているわけでも、
足をかせにつながれているわけでもなかった。
あなたは犯罪者の前で倒れる人
のように倒れた」。

3:29 *体が不自由で、女性の仕事と見なされていた仕事しかできない男性のことかもしれない。
3:34 *直訳、「銅」。

第3章

(ア) 王1:2:5

(イ) 創 9:6
出 21:12
民 35:33
申 21:9(ロ) 詩 7:16
詩 55:23
格 5:22

(ロ) レビ 15:2

(ロ) レビ 13:44
民 5:2(ロ) 申 27:24
詩 109:2,10

(ロ) サニ 2:24

(ロ) サニ 2:23

(ロ) サニ 2:8

(ロ) 王1:2:31,32

第2欄

(ア) 裁 20:26

(イ) サニ 3:28
王1:2:5(ロ) サニ 14:50
サニ 2:8
サニ 3:12

(ロ) サニ 2:4

(ロ) 代1:2:15,16

(ロ) サニ 19:13
サニ 20:10(ロ) サニ 3:29
王1:2:5,34

第4章

(ロ) サニ 2:8

(ロ) サニ 3:27

(ロ) ヨシ 9:17
ヨシ 18:21,25

すると人々は皆、彼のことで再び泣いた。

35 その後、日が暮れる前に、あらゆる人がダビデにパンを食べさせようとしてやって来たが、ダビデはこう誓った。「もし日が沈む前に私がパンか何かを口にするなら、神が私を厳しく罰しますように！」^(イ) 36 人々は皆そのことを知り、良いと思った。王がしたこと全てと同じように、そのことも良いと思った。^(ロ) 37 それでその日、全ての民とイスラエル全体は、ネルの子アプネルの殺害について、王には責任がないことを知った。^(ハ) 38 王は家来たちに言った。「今日、イスラエルで1人の高官、1人の偉人が倒れたことが分かっていますか。39 私は油を注がれた王ですが、今は力がないのです。このツェルヤの息子たちはあまりに残忍です。悪いことをする人に、エホバがその悪事に応じて報いてくださいますように」。

4 サウルの子イシ・ボセテは、アプネルがヘブロンで死んだことを聞いて力を落とし、イスラエル人も皆、動揺した。^(イ) 2 サウルの子イシ・ボセテの下に、略奪隊をまとめる2人の人がいた。1人はバアナ、もう1人はレカブといった。ベニヤミン族で、ベエロトの人リモンの子たちだった。(ベエロトもかつてはベニヤミンの一部とされ

3:35 *または、「慰めのためのパン」。
3:39 *用語集の「油を注ぐ」参照。

ていた。3 ベエロトの人たちはギタ
 イムに逃げて、そこの外国人居住者と
 なり、今に至っている。)

4 サウルの子ヨナタンには、両足
 が不自由な息子がいた。その子が5
 歳の時、エズレルからサウルとヨナタ
 ンの死の知らせがあり、乳母はその子
 を抱え上げて逃げましたが、慌てい
 たために落ちてしまい、その子は足
 が不自由になった。名前はメビボセ
 テといった。

5 ベエロトの人リモンの子レカブ
 とバアナは、日中の暑い頃、イシ・ボ
 セテの家に行った。イシ・ボセテは昼
 寝をしていた。6 レカブとバアナは、
 小麦を取りに行くふりをして家の中
 に入り、イシ・ボセテの腹部を突き刺し、
 逃げた。7 家の中に入った2人は、
 寝室のベッドで寝ていたイシ・ボセテ
 を殺して首をはねたのである。それか
 ら、その首を持って夜通しアラバへの
 道を歩いた。8 2人はイシ・ボセテ
 の首をヘブロンのだビデ王のもとに
 持ってきて、言った。「あなたの命を付
 け狙った敵サウルの子イシ・ボセテの
 首をお持ちしました。今日、エホバは
 王のために、サウルとその子孫に復讐
 しました。」

9 ダビデはベエロトの人リモンの
 子レカブとバアナに言った。「私をあ
 らゆる苦難から助け出してください、
 生きている神エホバに懸けて言いま

第4章

(7) ネヘ 11:31,33

(7) サー 20:16

(7) サニ 9:3

(7) サー 29:1,11

(7) サニ 9:13

代一 8:34

(7) サニ 4:2

(7) サニ 2:10

(7) サー 18:10,11

サー 20:1,33

サー 23:15

(7) サー 18:28,29

(7) サー 24:12

サー 26:25

サニ 12:7

詩 34:7

第2欄

(7) サニ 1:2,4

(7) サニ 1:13-15

(7) 創 9:6

出 21:12

民 35:16,30

(7) 詩 55:23

(7) 申 21:22

第5章

(7) サニ 2:1,11

代一 12:23

(7) 代一 11:1-3

(7) サー 18:13

サー 25:28

(7) 創 49:10

サー 16:1

サー 25:30

サニ 6:21

サニ 7:8

代一 28:4

詩 78:71

(7) 王二 11:17

(7) サー 16:13

サニ 2:4

使徒 13:22

す。10 ある人が『サウルが死んだ』
 と報告してきた時、その人は良い知ら
 せを伝えたくつもりでしたが、私はその
 人を捕まえ、チクラグで殺しました。そ
 れが私から受けるべき報いだったの
 です。11 そうであれば、悪人が正し
 い人をその人の家のベッドで殺した場
 合は、なおさらではないですか。私は
 彼の血を流した責任をあなたたちに
 問い、あなたたちを地上から除き去る

べきではないでしょうか。12 ダビ
 デは部下たちに2人を殺すよう命じた。
 2人は手足を切り落とされ、ヘブロン
 の池のそばにつるされた。イシ・ボセ
 テの首は、ヘブロンにあるアプネルの
 墓に葬られた。

5 やがてイスラエルの全部族がヘ
 ブロンのダビデのもとに来て、
 言った。「私たちはあなたの肉親です。
 2 かつてサウルが私たちの王だった
 時、あなたはイスラエルを率いて戦い
 に行きました。それにエホバは、『あ
 なたは牧者として私の民イスラエルを
 世話し、イスラエルの指導者になる』
 とあなたに言いました。3 イスラエ
 ルの長老全員がヘブロンにいる王の
 もとに来た。ヘブロンでダビデ王はエ
 ホバの前で彼らと契約を結び、彼らは
 ダビデに油を注いでイスラエルの王と
 した。

4 ダビデは30歳で王になり、40年

5:1 *直訳、「骨と肉」。5:3 *用語集の「油を注ぐ」参照。

治めた。5 ヘブロンで7年6カ月ユダを治め、エルサレムで33年イスラエル全体とユダを治めた。6 王と部下たちはエルサレムに向かい、そこに住むエブス人を攻めようとした。エブス人は、「おまえはここに入れない！ 目や足が不自由な人に追いつめられるだろう」とダビデをあざけた。「ダビデはここには決して入れない」と思っていたのである。7 それでもダビデはシオンのとりでを攻め取った。そこが現在の「ダビデの町」である。8 その日ダビデは、「エブス人を攻撃する人は、地下水道を通して、『足や目が不自由な人』も討ちなさい！ 私たちが憎む者たちなのだ」と言った。そのため、「目や足が不自由な人は家に入れない」という言い方があ

る。9 その後ダビデはそのとりでに住むようになり、そこは「ダビデの町」と呼ばれた。そしてダビデは塚の上と都市の中に城壁などを築き始めた。10 こうしてダビデはますます強くなっていった。大軍を率いる神エホバが彼と共にいた。

11 テルスのヒラム王がダビデのもとに使者たちを遣わし、杉材、大工、城壁を築く石工を送ってきた。彼らはダビデのために家を建て始めた。

12 ダビデはイスラエルでの王権をエホバが確立してくださり、神の民イス

5:9 *もしかすると、「そこを『ダビデの町』と呼んだ」。「または、『ミロ』。『満たす』という意味のヘブライ語。5:11 *または、『宮殿』。

第5章

(例) 代一 29:26,27

(例) 創 14:18

(例) 出 23:23
ヨシ 15:63
裁 1:8,21

(例) 代一 11:4-6

(例) 王二 2:10
ネヘ 12:37(例) 王一 9:15,24
王二 11:27
代二 32:5

(例) 代一 11:7-9

(例) サ一 16:13
サ二 3:1

(例) サ一 17:45

(例) 王一 5:1,8

(例) 代二 2:3

(例) サ二 7:2
代一 14:1,2(例) サ二 7:16
詩 41:11
詩 89:21

第2欄

(例) 王一 10:9
代二 2:11

(例) 詩 89:27

(例) サ二 15:16

(例) 代一 3:5-9
代一 14:3-7

(例) ルカ 3:23,31

(例) サ二 12:24

(例) サ二 5:3

(例) 詩 2:2

(例) サ一 22:1,5
サ一 24:22
サ二 23:14
代一 14:8(例) ヨシ 15:8,12
代一 11:15
代一 14:9

(例) 民 27:21

(例) 代一 14:10-12

(例) サ二 22:41

(例) イザ 28:21

ラエルのために王国を強化してくださったことを確信した。

13 ヘブロンから来た後、ダビデはエルサレムでさらに側室や妻たちを迎え、息子や娘たちが生まれた。14 エルサレムでダビデに生まれた子の名前は次の通りである。シャムア、ショバブ、ナタン、ソロモン、15 イブハル、エリシュア、ネフェグ、ヤフィア、16 エリシャマ、エルヤダ、エリフェレト。

17 フィリスティア人は、ダビデが油を注がれてイスラエルの王になったことを聞き、ダビデを捜しに上ってきた。それを聞いたダビデは隠れがに向かった。18 フィリスティア人はやって来て、レファイムの谷に陣取った。19 ダビデはエホバに尋ねた。「フィリスティア人を攻めるといでしょうか。あなたは私を勝たせてくださいますか」。エホバはダビデに言った。「行きなさい。私は必ずあなたをフィリスティア人に勝たせる」。20 そこでダビデはバアル・ペラツィムに行き、フィリスティア人を討った。ダビデは言った。「水が壁を決壊させるように、エホバが私の前で敵を壊滅させた」。それでダビデはその場所をバアル・ペラツィムと名付けた。21 フィリスティア人が偶像をそこに残していったので、ダビデと部下たちはそれを処分した。

22 その後、フィリスティア人が再び

5:18 *または、「谷あいの平原」。5:20 *意味、「破壊の主人」。

のぼ 上^{たに}ってきて、レファイムの谷に陣取^陣った。

23 ダビデが尋ねるとエホバはこう言った。「真^まつすぐ向^むかっていってはいけ^いない。彼^{かれ}らの後^{こう}方に回^{まわ}り、バカの茂^{しげ}みの前^{まえ}で出撃^{しゅつげき}しない。24 バカの茂^{しげ}みの上^{じょう}部^ぶから行進^{こうしん}のような音^{おと}が聞^きこえたら、迷^{まよ}わず行動^{こうどう}を起^{おこ}しなさい。その時^{とき}、エホバが、フィリスティア軍^{ぐん}を討^うつため、あなたの前^{まえ}を進^{すす}んだのである。25 そこでダビデはエホバに命^{めい}じられた通り^{どおり}にし、ゲバ^ゲからゲゼル^{ゼル}にかけてフィリスティア人^{じん}を討^うった。

6 ダビデは再びイスラエルの精銳^{せいえい}3万人^{さん}に全^{すべ}て集^{あつ}めた。2 ダビデと共^{とも}にいた部下^{ぶか}たち皆^{みな}は、真^{しん}の神^{かみ}の箱^{はこ}を運^{はこ}び出すため、バアレ・ユダ^だに向^むか^むった。その箱^{はこ}の前^{まえ}で人々^{ひと}は、ケルブ^{くわぶ}たち^{たち}の上^{うへ}に王^{おう}として座^ざっている、大軍^{たいぐん}を率^{ひき}いるエホバの名^なを呼^よぶ。3 彼^{かれ}らは、真^{しん}の神^{かみ}の箱^{はこ}を丘^{おか}の上^{うへ}のアビナダブ^{あひなだぶ}の家^{いえ}から移動^{いどう}させるため、新^{あらた}しい牛車^{ぎゅうしゃ}の上^{うへ}に載^のせた。アビナダブ^{あひなだぶ}の子^こたちであるウザとアフヨ^{あはら}が新^{あらた}しい牛車^{ぎゅうしゃ}を先導^{せんどう}していった。

4 こうして真^{しん}の神^{かみ}の箱^{はこ}は、丘^{おか}の上^{うへ}のアビナダブ^{あひなだぶ}の家^{いえ}から運^{はこ}び出^だされた。アフヨ^{あはら}が箱^{はこ}の前^{まえ}を歩^{ある}いていた。5 ダビデとイスラエル国民^{こくみん}全体^{ぜんたい}は、ネズ^{ねす}の木^きでできたさまざまな樂器^{がくき}、たて琴^ご、弦^{げん}樂器^{がくき}、タンバリン^{たんぱりん}、シストラム^{しすたむ}、シンバル^{しんばる}によって、エホバの前^{まえ}で祝^{いわ}っていた。

5:22 *または、「谷^やあいの平原^{へいげん}」。

第5章

(ア) ヨシ 15:8, 12

代—11:15

代—14:13-17

(イ) ヨシ 18:21, 24

(ウ) ヨシ 16:10

(ロ) レビ 26:7

第6章

(ア) サ—7:2

王—8:1

代—13:1-5

(ウ) 出 25:22

サ—4:4

代—13:6-11

詩 80:1

(キ) 申 20:4

サ—1:3

代—17:24

(ク) 出 25:14

民 7:9

ヨシ 3:14

(ク) サ—7:1

(ロ) サ—10:5

(ウ) 出 15:20

(ロ) 詩 150:3-5

第2欄

(ア) 民 4:15

代—15:2

(イ) レビ 10:1, 2

サ—6:19

(ウ) 格 11:2

(ロ) サ—6:20

詩 119:120

(ウ) 代—13:12-14

(ウ) サニ 5:7

(キ) 代—15:25

(ウ) 創 30:27

創 39:5

(ウ) 代—15:25, 26

詩 24:7

詩 68:24

(ロ) 民 4:15

民 7:9

ヨシ 3:3

代—15:2, 15

6 しかし、ナコンの脱穀場^{だつこくば}まで来た時^{とき}、牛^{うし}が真^{しん}の神^{かみ}の箱^{はこ}をひっくり返し^{かえ}そうになったため、ウザは手^てを出^だしてそれをつか^{つか}んだ。7 するとウザに對^{たい}してエホバの怒^{いか}りが燃^もえ、真^{しん}の神^{かみ}はその場^ばでウザを打^うった。彼^{かれ}が不敬^{ふけい}な行^{こう}為^いをしたからである。彼^{かれ}は真^{しん}の神^{かみ}の箱^{はこ}のそばで死^しんだ。8 ダビデは、エホバがウザに憤^{いきどお}りを表^{あらわ}したために怒^{おこ}った。その場所^{ばしょ}はペレツ・ウザと呼ば^よれて、今^{いま}に至^{いた}っている。9 ダビデはその日^ひ、エホバを恐^{おそ}れて、「エホバの箱^{はこ}をどうして私の所^{ところ}に持^もっていけるだろうか」と言^いった。10 ダビデはエホバの箱^{はこ}を「ダビデの町^{まち}」の自分^{じぶん}のもとに持^もつていこうとはせず、ガト^かの人^{ひと}オベデ・エドム^いの家^{いえ}に移動^{いどう}させた。

11 エホバの箱^{はこ}はガト^かの人^{ひと}オベデ・エドム^いの家^{いえ}に3カ月^{げつ}間^{かん}置^おかれ、エホバはオベデ・エドム^いと家^{いえ}の人^{ひと}たち皆^{みな}を祝^{しゅく}福^{ふく}し続^{つづ}けた。12 「エホバは、真^{しん}の神^{かみ}の箱^{はこ}のゆえにオベデ・エドム^いの家^{いえ}とその全^{すべ}てのものを祝^{しゅく}福^{ふく}した」という知^しらせがダビデ王^{おう}に伝^{つた}えられた。そこでダビデは真^{しん}の神^{かみ}の箱^{はこ}をオベデ・エドム^いの家^{いえ}から「ダビデの町^{まち}」に運^{はこ}ぶため、喜^{よろこ}びながら出^で掛^かけていった。13 エホバの箱^{はこ}を担^{かつ}ぐ人^{ひと}たち^{たち}が6歩^は進^{すす}むと、ダビデは牛^{うし}と肥^かえた家畜^{かちく}を犠^ぎ牲^{せい}として捧^{ささ}げた。

14 ダビデはエホバの前^{まえ}で力^{ちから}いっ

6:8 *または、「氣分^{きぶん}を害^{がい}した」。*意味^{いみ}、「ウザへのさく裂^{さくれつ}」。

6:10 *ガト・リモン^{リモン}のことかも知^しれない。

ばい踊り、くるくると回っていた。その間ずっと、亜麻布のエフォドを着ていた。15 ダビデとイスラエル国民全体は、歓声を上げ、角笛を鳴らしながら、エホバの箱を運んでいった。

16 エホバの箱が「ダビデの町」に入った時、サウルの娘ミカルが窓から見下ろし、ダビデ王がエホバの前で跳ねて踊り、くるくると回っているのを見た。ミカルは心の中でダビデのことを

軽蔑した。17 こうしてエホバの箱は運び入れられ、ダビデが箱のために張った天幕の中の所定の位置に置かれた。その後ダビデはエホバの前で全焼の捧げ物と共食の犠牲を捧げた。18 ダビデは全焼の捧げ物と共食の犠牲を捧げ終えると、大軍を率いるエホバの名によって、民のために祝福を願う求めた。19 さらにダビデは、全ての民、イスラエルの全群衆のひとりひとりに、男性にも女性にも、輪型パン1個、ナツメヤシの菓子1個、干しぶどうの菓子1個を配った。それから民は皆、それぞれ家に帰った。

20 ダビデが、自分の家の人たちのために祝福を願い求めようとして戻ると、サウルの娘ミカルが迎えに出てきて、こう言った。「イスラエルの王は今日、何と威厳があったのでしょうか。まるで愚か者が裸をさらすように、召し使いの女奴隷たちの前で裸になったのですから」。21 ダビデはミカルに言った。「あの祝いはエホバの前でし

第6章
[7] 代一 15:27,28

[1] 代一 15:16

[2] 詩 150:3

[3] 出 37:1
詩 132:8

[4] サ一 14:49
サ一 18:20,27
サ二 3:14

[7] 代一 15:29

[4] 代一 15:1

[7] 代一 16:1-3

[7] レビ 1:3

[3] レビ 3:1

[7] サ一 18:27

[3] 出 22:28

第2欄

[7] サ一 13:13,14
サ一 15:27,28
サ一 16:1,12

[1] サ一 14:49
サ二 6:16

第7章

[7] 代一 17:1

[3] サ二 12:1
代一 29:29

[7] サ二 5:11

[7] サ二 6:17

[4] 王一 8:17
代一 17:2
代一 22:7

[7] 王一 5:3
王一 8:17-19
代一 17:4-6
代一 22:7,8

[7] ヨシ 18:1

[7] 出 40:18,34

たことだ。神は、あなたの父や家の人たちではなく私を選んで、エホバの民イスラエルの指導者に任命してくださった。だから、私はこれからもエホバの前で祝い、22 今回よりもいっそう謙遜になり、自分を低い立場の者と見る。あなたが言った女奴隷たちが、私をたたえるだろう。23 サウルの娘ミカルは、死ぬまで子供がいなかった。

7 王は、自分の家に住んで、エホバのおかげで周囲の敵から守られ、安心できるようになった時、2 預言者ナタンに言った。「私は杉の家に住んでいるのに、真の神の箱は天幕の中にあります。3 ナタンは王に言った。「何でも心にあることを行いなさい。エホバがあなたと共にいます」。

4 その夜、エホバはナタンに言った。5 「私に仕えるダビデにこう言いに行きなさい。『エホバはこう言っている。『あなたは私が住む家を作るというのか。6 イスラエルの民をエジプトから連れ出した日から今日まで、私は家に住んだことはなく、天幕や幕屋に住んで移動してきた。7 私がイスラエル人皆と共に進んだ間、私の民イスラエルを世話させるために任命したイスラエルの部族長の誰かに、『どうして私のために杉の家を建てなかったのか』』と言ったことが一度でもあっただろうか』。8 私に仕

7:1 *または、「宮殿」。

えるダビデにこう言いなさい。『大軍
を率いるエホバはこう言っている。
「羊の群れを追っていたあなたを、私
は牧草地から取って、わたしの民イスラ
エルの指導者にした。9 あなたがどこ
に行くとしても、私はあなたと共にい
る。あなたの前から敵を全て滅ぼす。
あなたの名を、地上の偉人たちの名の
ように偉大なものにしよう。10 私
は、私の民イスラエルのために場所を
定めて、そこに定住させる。彼らはそ
こに住み、煩わされることはもうなくな
る。昔のように悪人たちに虐げられる
ことはもうない。11 イスラエルの民
のために私が裁き人を任命した頃
のようなことはもうない。あなたを全て
の敵から守って、あなたが安心できる
ようにする。

エホバがあなたのために王朝をつ
くる、とエホバはあなたに言った。
12 あなたの最期の日が来て、あなた
が死ぬ時、私はあなたの子孫、あな
たの子を立て、その人の王国を確立
する。13 その人こそが私の名のた
めに家を建てる。私は彼の王国の
王座が永遠に揺るがないようにする。
14 私は彼の父となり、彼は私の子と
なる。彼が間違ったことをするとき、私
は人のつえ、人の子たちの殴打によっ
て彼を戒める。15 私は彼に揺るぎ
ない愛を示し続ける。サウルにはそう
せず、あなたの前で退けた。16 あな

7:11 *直訳、「家」。7:12 *直訳、「種」。7:
14 *もしかすると、「アダム」。

第7章

(7) サー 16:11
(イ) サニ 5:2
代一 17:7-10
代一 28:4
詩 78:70,71
(7) サニ 18:14
サニ 5:10
(イ) サニ 22:1
詩 18:37
(イ) 代一 14:2,17
(イ) 裁 2:14
詩 89:20,22
(イ) 裁 2:16
(イ) 申 25:19
(イ) 王一 2:24
詩 89:4
(イ) 王一 2:1
(イ) 創 49:10
王一 8:20
代一 17:11-14
詩 132:11
イザ 9:7
イザ 11:1
マタ 21:9
マタ 22:42
ルカ 1:32,33
ヨハ 7:42
使徒 2:30
(イ) 王一 5:5
王一 6:12
ゼカ 6:12,13
(イ) 王一 1:37
代一 22:10
代一 28:7
詩 89:4,36
(イ) 代一 28:6
マタ 3:17
ヘブ 1:5
(イ) 詩 89:30,32
エレ 52:3
(イ) サ一 15:23,26

第2欄

(7) 詩 45:6
詩 89:36
ダ 2:44
ヘブ 1:8
啓 11:15
(イ) 代一 17:15
(イ) 代一 17:16-22
(イ) サ一 16:7
詩 17:3
(イ) 詩 25:14
(イ) 申 3:24
代一 16:25
(イ) 出 15:11
詩 83:18
(イ) 申 4:35
(イ) 申 4:7
詩 147:19,20
(イ) 出 3:8
出 19:5
イザ 63:9
(イ) 申 10:21
(イ) 出 9:16

たの王朝と王国はあなたの前で永遠
に安定する。あなたの王座は永遠に
揺らぐことがない。』」。

17 ナタンは、この言葉全てとこの
幻全体をダビデに話した。

18 ダビデ王はエホバの前に座っ
て言った。「主権者である主エホバ、
私は何者なのでしょう。私の一族がど
れほどのものだということで、あなたは
私にここまでしてくださるのですか。

19 主権者である主エホバ、あなたは
それでも足りないかのように、私の家
系について遠い将来のことまで話して
くださいます。主権者である主エホバ、
あなたがおっしゃったことは人類のた
めの指示です。20 私ダビデがこれ
以上あなたに何を申し上げることが
できません。主権者である主エホバ、
あなたは私をよくご存じです。21 あ
なたはお言葉の通りに、また望まれる
通りに、さまざまな偉大なことを行い、
私に知らせてくださいました。22 そ
れで、主権者である主エホバ、あなた
は本当に偉大です。あなたのような方
はほかにおらず、あなた以外に神はい
ません。私たちが耳にしたどんなこと
からしても、それは確かです。23 地
上に、あなたの民イスラエルのような
国民がほかにいるでしょうか。神は来
て、彼らをご自分の民にするために救
い出し、彼らのために偉大で驚異的な
ことを行って名を上げられました。そ

7:19 *または、「律法」。7:23 *直訳、「買い戻
し」。

して、エジプトから救い出した民のために国々とその神々を追い払いました。24 あなたはイスラエルの民がいつまでもご自分の民となるようにしました。エホバ、あなたは彼らの神となりました。

25 エホバ神、私と私の家系について約束なされたことをずっと守ってください。どうか約束通りにしてください。26 あなたの名が永遠にたたえられ、『大軍を率いるエホバはイスラエルの神』と人々が言いますように。私ダビデの家系があなたの前で揺るがないものとなりますように。

27 イスラエルの神、大軍を率いるエホバ、あなたは、『私はあなたのために王朝を築く』と知らせてくださいました。それで私は勇気を持ってこの祈りを捧げています。28 主権者である主エホバ、あなたは真の神です。あなたの言葉は真実です。あなたは私に良いことを約束してくださいました。

29 あなたが私の家系を喜んで祝福して、あなたの前で永遠に続くようにしてくださいますように。主権者である主エホバ、あなたが約束してくださいました。あなたの祝福によって、私の家系が永遠に祝福されますように。

8 その後、ダビデはフィリスティア人を打ち破って制圧した。そしてフィリスティア人からメテグ・アマを取った。

7:23 *直訳、「買い戻し」。

第7章

〔7〕申 26:18

〔イ〕出 15:2

〔ウ〕代 17:23-27
詩 89:20,28

〔エ〕代 29:11
詩 72:19
マタ 6:9
ヨハ 12:28

〔オ〕イザ 9:7
エレ 33:22

〔カ〕サニ 7:11

〔キ〕民 23:19
詩 89:35
詩 132:11
ヨハ 17:17

〔ク〕詩 89:20,36
詩 132:12

〔ケ〕サニ 22:51
詩 72:17

第8章

〔コ〕ヨシ 13:2,3
サニ 21:15

〔ク〕代 18:1

第2欄

〔7〕民 24:17
裁 3:29
サニ 14:47
詩 60:8

〔イ〕申 23:3-6

〔ウ〕王ニ 3:4
代 18:2

〔エ〕サニ 10:6
王ニ 11:23
詩 60:表題

〔オ〕創 15:18
出 23:31
王ニ 4:21
代 18:3,4

〔カ〕申 17:16
詩 20:7
詩 33:17

〔キ〕イザ 7:8
〔ク〕代 18:5,6

〔ケ〕申 7:24
サニ 8:14

〔コ〕代 18:7,8

〔ク〕王ニ 14:28

〔ケ〕代 18:9-11

2 ダビデはモアブ人を打ち破った。そして彼らを地面に横にならせて縄で測った。縄2本分の人たちを殺し、縄1本分の人たちを生かしておくためである。こうしてモアブ人はダビデに仕え、貢ぎ物を納めることになった。

3 ダビデは、ツォバの王レホブの子ハダドエゼルを打ち破った。ハダドエゼルがユーフラテス川付近での権力を取り戻そうとして出てきた時のことだった。4 ダビデは騎手1700人と歩兵2万人を捕らえた。また、100頭を除いて全ての兵車の馬の膝のけんを切った。

5 ダマスカスのシリア人がツォバのハダドエゼル王を助けに来た時、ダビデはシリア人2万2000人を討った。

6 ダビデはシリアのダマスカスに守備隊を置いた。こうしてシリア人はダビデに仕え、貢ぎ物を納めることになった。ダビデはどこに行っても、エホバのおかげで勝利した。7 ダビデはまた、ハダドエゼルの家来たちから金の円盾を取り、エルサレムに持ってきた。8 ハダドエゼルの町、ベタハとペロタイからは、大量の銅を奪った。

9 さて、ハマトのトイ王は、ダビデがハダドエゼルの全軍勢を打ち破ったことを聞いた。10 それでトイは自分の子ヨラムをダビデ王のもとに遣わしてあいさつさせ、ハダドエゼルを打ち破ったことへの祝辞を伝えさせ

8:6 *または、「に救い出された」。

た。(ハダドエゼルとトイはよく戦っていたのである。)ヨラムは、銀、金、銅の品々を持ってきた。11 ダビデ王はそれらを神聖なものとしてエホバに捧げた。以前に制圧した国々から奪った銀や金も、同じように神聖なものとしていた。12 シリアやモアブ、アンモン人、フィリステア人、アマレク人、ツォバの王レホブの子ハダドエゼルから奪った物である。13 また、ダビデは塩の谷でエドム人1万8000人を討って帰ってきて、名を上げた。

14 ダビデはエドムに守備隊を置いた。エドム全土に守備隊を置き、エドム人は皆、ダビデに仕えることになった。ダビデはどこに行っても、エホバのおかげで勝利した。

15 ダビデはイスラエル全体を治め続けた。民全てに対して公正で正しいことを行った。16 ツェルヤの子ヨアブは軍隊の長、アヒルドの子エホシャファトは記録官だった。17 アヒトブの子ザドクとアビヤタルの子アヒメレクは祭司、セラヤは秘書官だった。

18 エホヤダの子ベナヤはクレト人とペレト人をまとめ、ダビデの子たちは奉仕者の長になった。

9 ダビデは言った。「サウル家には生き残っている人が誰かいますか。ヨナタンのために、揺るぎない愛を示したいのです」。2 サウル家にはツィバという家来があり、ダビ

8:14 *または、「に救い出された」。8:18 *直訳、「は祭司」。

第8章

(ヨ) ヨシ 6:19
王 7:51
代 22:14
代 26:27

(イ) サニ 8:2

(ヨ) サニ 8:1

(ヨ) サニ 30:18

(ヨ) サニ 8:7

(ヨ) 代 18:12,13
詩 60:表題

(ヨ) 創 25:23,26
創 27:29,37
民 24:18

(ヨ) 詩 60:12

(ヨ) サニ 5:3,5

(ヨ) 代 18:14-17

(ヨ) 王 3:6

(ヨ) サニ 20:23
代 11:6

(ヨ) サニ 20:24
王 4:3

(ヨ) サニ 15:27
代 6:8
代 24:3

(ヨ) サニ 23:20
王 1:44
王 2:35

(ヨ) サニ 15:18
サニ 20:7

第9章

(ヨ) サニ 18:1,3
サニ 20:15,42

(ヨ) サニ 16:1
サニ 19:17

第2欄

(ヨ) サニ 4:4
サニ 9:13
サニ 19:26

(イ) サニ 17:27-29

(ヨ) 格 11:17

(ヨ) サニ 19:28
格 11:25

(ヨ) サニ 24:14

(ヨ) サニ 9:1
サニ 16:4
サニ 19:29

デのもとに呼ばれた。王が「あなたがツィバですか」と尋ねると、彼は「私はあなたに仕える者です」と答えた。

3 王は続けた。「サウル家に生き残っている人が誰かいますか。神の揺るぎない愛を表したいのです」。ツィバは王に答えた。「ヨナタンの子が1人います。両足が不自由な人です」。4 王は尋ねた。「その人はどこにいますか」。ツィバは王に答えた。「ロ・デバルのアミエルの子マキルの家にいます」。

5 ダビデ王は直ちに、ロ・デバルのアミエルの子マキルの家からその人を連れてこさせた。6 サウルの子ヨナタンの子メピボセテがダビデのもとにやって来て、すぐにひれ伏した。ダビデが「メピボセテ!」と言うと、彼は「はい、王よ」と言った。7 ダビデは言った。「恐れることはありません。あなたの父親ヨナタンのために、私は必ずあなたに揺るぎない愛を示します。あなたの祖父サウルの土地を全てあなたに返します。あなたはいつも私の食卓で食事をするようになります」。

8 メピボセテはひれ伏して、「私が何者だというので、私のような死んだ犬に目を留めてくださるのですか」と言った。9 王はサウルの従者ツィバを連れてこさせ、こう言った。「サウルとその一家全体のものを全て、あなたの主人の孫に与えます。10 彼のためにあなたは土地を耕してください」。

あなたの^こ子たちも召^めし使^{つか}いたちでも
す。あなたの^{みの}実^{もの}つた物を集め、あなた
の主人^{しゅじん}の孫^{まご}の家族^{かぞく}に食物^{しょくもつ}として与え
ます。あなたの主人^{しゅじん}の孫^{まご}メピボセテ
は、いつも私の食卓^{しょくたく}で食事^{しょくじ}をすること
になります」。

ツィバには15人の息子と20人の召^めし使^{つか}いがいた。11 ツィバは王^{おう}に
言った。「王^いがお命^{めい}じになることは全
部^{ぜん}いたします」。こうしてメピボセテは
王^この子^{ひとり}の1人^{ひとり}のようにダビデの食卓^{しょくたく}で
食事^{しょくじ}をするようになった。12 メピボ
セテにはミカという幼^おい息子^{おきな}がいた。
ツィバの家に住む人は皆、メピボセテ
の召^めし使^{つか}いになった。13 メピボセ
テはエルサレムに住み、いつも王^{おう}の食
卓^{しょくじ}で食事^{しょくじ}をした。彼は両足^{りょうあし}が不自由^{ふじゆう}
だった。

10 その後、アンモン人^{じん}の王^{おう}が死
に、代わり^かに王^{おう}の子^こハヌンが
王^{おう}になった。2 ダビデは言った。「ハ
ヌンの父^{ちち}ナハシュは私^{わたし}に揺るぎない愛^{あい}
を示^{しめ}してくれた。私も揺るぎない愛^{あい}
をナハシュの子^こハヌンに示^{しめ}そう」。こうし
てダビデは、父^{ちち}を失^{うしな}ったハヌンを慰^{なぐさ}め
ようとして家来^{けらい}たちを遣^{つか}わした。ところ
が、ダビデの家来^{けらい}たちがアンモン人^{じん}の
土地^{とち}に入^{はい}ると、3 アンモン人^{じん}の高官^{こうかん}
たちが主人^{しゅじん}であるハヌンにこう言^いっ
た。「ダビデはあなた^{ちちうえ}の父^{うやま}上^{なぐさ}を敬^{ひと}
っているので、あなた^{なぐさ}を慰^{なぐさ}めるために人^{ひと}
を遣^{つか}わしてきた、とお考え^{かんが}ですか。ダビ
デが家来^{けらい}たちを送^{おく}ってきたのは、この

第9章

(ア) サニ 19:28

(イ) サニ 19:17

(ウ) 代一 8:34
代一 9:40(ロ) サニ 9:7
サニ 19:28

(ハ) サニ 4:4

第10章

(ウ) 創 19:36,38
裁 10:7
裁 11:12,33
サ一 11:1

(ケ) 代一 19:1-5

第2欄

(ア) レビ 19:27

(イ) ヨシ 18:21

(ウ) 民 13:21

(ロ) サニ 8:5

(ハ) ヨシ 13:13

(ウ) 代一 19:6,7

(ケ) サニ 23:8
代一 19:8,9

(ウ) 代一 19:10-13

(ウ) サ一 26:6
サニ 2:18
サニ 23:18
代一 2:15,16

(ロ) 民 21:24

町^{まち}を探^{さぐ}って偵察^{ていさつ}し、征服^{せいふく}しようとして
のことはないでしょうか。4 それ
でハヌンはダビデの家来^{けらい}たちを捕^{つか}ま
え、顎^{あご}ひげを半分^{はんぶん}そり落^おとし、服^{ふく}も腰
から下半分^{したはんぶん}を切り落^おとして、追^おい返し
た。5 ダビデはそのことを聞^きき、すぐ
に人^{ひと}を送^{おく}って家来^{けらい}たちを迎^{むか}えに行^いか
せた。家来^{けらい}たちがひどい辱^{はづかし}めを受け
たからである。王^{おう}はこう伝^{つた}えさせた。
「顎^{あご}ひげが伸びるまでエリコにいて、そ
れから帰^{かえ}ってきなさい」。

6 やがてアンモン人^{じん}は、ダビデの
憎^{にく}しみを買^かったことを悟^{さと}った。それで
人^{ひと}を送^{おく}って、ベト・レホブのシリア人^{じん}
とツォバのシリア人^{じん}の歩兵^{ほへい}2万人^{まんにん}、マ
アカの王^{おう}と1000人^{にん}、イシュブの1万
2000人^{にん}を雇^{やと}った。7 ダビデはそれ
を聞^きき、ヨアブと全軍^{ぜんぐん}、最も強^{もつと}い戦士^{せんし}
たちを送^{おく}った。8 アンモン人^{じん}は出^で
いき、町^{まち}の門^{もん}の入り口^{いりぐち}で戦闘隊^{せんとうたい}形^{けい}を整^{ととの}
えた。ツォバとレホブのシリア人^{じん}、また
イシュブとマアカは野原^{のほら}にいた。

9 ヨアブは前後^{ぜんご}から戦^{たたか}いの前線^{ぜんせん}が
向^むかってくるのを見^みると、イスラエルの
精鋭^{せいえい}から兵士^{へいし}たちを選び、シリア人^{じん}
対^{たい}して戦闘隊^{せんとうたい}形^{けい}を整^{ととの}えた。10 残り
の兵士^{へいし}たちを、兄弟^{きょうだい}アビシャイ^{あひし}の指揮^{しき}
か^かに配置^{はいち}し、アンモン人^{じん}に対して戦闘
隊^{たいけい}形^{けい}を整^{ととの}えた。11 ヨアブは言^いった。
「もし私がシリア人^{じん}に苦戦^{くせん}していたら、
助け^{たす}けに来てくれ。あなたがアンモン人^{じん}
に苦戦^{くせん}したときは、私^{わたし}が助け^{たす}けに行く。

10:6, 8 *または、「トブの人たち」。

12 私たちの民のため、私たちの神の町々のため、力を奮い起こし、勇気を出そう。エホバは、良いと思われることを行われる。

13 ヨアブと兵士たちはシリア人と戦うために進み出、シリア人はヨアブの前から敗走した。14 アンモン人は、シリア人が敗走したのを見て、アビシャの前から逃げ出し、町に戻った。その後ヨアブはアンモン人の所を出て、エルサレムに帰った。

15 シリア人は、イスラエルに打ち破られたので、軍隊を再編成した。

16 ハダドエゼルは人を送って、川の地方にいたシリア人をヘラムに來させた。ハダドエゼルの軍隊の長ショバクが彼らを率いた。

17 そのことについて報告を受けたダビデは、直ちにイスラエル全体を集め、ヨルダン川を渡ってヘラムに行った。シリア人はダビデに対して戦闘隊形を整え、戦った。18 だが、シリア人はイスラエルの前から敗走した。こうしてダビデはシリア人の兵車の乗り手700人と騎手4万人を殺し、軍隊の長ショバクを討った。ショバクはそこで死んだ。19 ハダドエゼルに仕えていた王たちは皆、イスラエルに打ち破られたので、速やかにイスラエルと和平を結び、イスラエルに従属するようになった。シリア人は恐れ、もうアンモン人に加勢しようとはしなかった。

10:16 * ユーフラテス川のこと。

第10章

〔7〕申 31:6

〔イ〕詩 37:5

詩 44:5

格 29:25

〔ウ〕代一 19:14,15

〔ウ〕代一 19:16

〔ウ〕サニ 8:3-5

〔ウ〕創 15:18

出 23:31

〔ウ〕代一 19:17-19

〔ウ〕申 20:1

詩 18:37,38

〔ウ〕創 15:18

申 20:10,11

第2欄

第11章

〔ウ〕サニ 12:26

〔イ〕代一 20:1

〔ウ〕創 10:15

申 20:17

〔ウ〕サニ 23:8,39

王一 15:5

〔ウ〕代一 3:5,9

〔ウ〕サニ 12:24

王一 1:11

〔ウ〕出 20:14,17

〔ウ〕レビ 18:20

レビ 20:10

格 6:32

ヘブ 13:4

〔ウ〕レビ 12:2

レビ 15:19

レビ 18:19

11 年の初め、王たちが戦いに
出掛ける頃、ダビデはアンモン人を滅ぼすため、ヨアブと家来たちとイスラエルの全軍を派遣した。彼らはラバを包囲した。一方、ダビデはエルサレムにとどまっていた。

2 ある夕暮れ時、ダビデはベッドから起き上がり、王の家の屋上を歩いていた。屋上から、1人の女性が体を洗っているのが見えた。非常に美しい女性だった。3 ダビデはその女性について調べさせたところ、「ヘト人ウリヤの妻で、エリアムの娘バテ・シバです」という報告があった。4 ダビデは使者たちにバテ・シバを連れてこさせた。こうして彼女はダビデの所に来て、ダビデは彼女と寝た。(彼女が汚れから自分を清めている期間に起きたことだった。)その後、彼女は家に帰った。

5 バテ・シバは妊娠した。それで人を遣わしてダビデに、「子供ができました」と伝えた。6 そこでダビデは人を遣わしてヨアブに、「ヘト人ウリヤを私の所に送りなさい」と伝えた。ヨアブはウリヤをダビデの所に送った。7 ウリヤがやって来ると、ダビデは、ヨアブはどうしているか、兵士たちはどうしているか、戦いはどうなっているかと尋ねた。8 それからダビデはウリヤに言った。「家に帰ってくつろ

11:1 * 春のこと。11:2 * または、「宮殿」。

11:4 * 月経の汚れのことかもしれない。

ぎなさい」。ウリヤは王の家から出ていき、王からの贈り物がその後続いた。9 ところが、ウリヤは王の家の入り口の所で、王のほかの家来たち皆と一緒に眠った。自分の家には帰らなかった。10 ダビデに、「ウリヤは家に帰らなかった」という報告があった。それでダビデはウリヤに言った。「遠征から戻ってきたのではないですか。どうして家に帰らなかったのですか」。11 ウリヤはダビデに答えた。「箱もイスラエルとユダの兵士たちも天幕にとどまり、私の主人ヨアブも主人の家来たちも野原で宿営しています。それなのに、私は家に帰って飲み食いし、妻と寝るのでしょうか。生きているあなたに懸けて誓います。私はそんなことはいたしません!」

12 ダビデはウリヤに言った。「今日もここにどまりなさい。明日あなたを送り出します」。それでウリヤはその日と翌日、エルサレムにとどまった。13 その後ダビデは彼を呼んで、共に食べたり飲んだりし、彼を酔わせた。ところが、晩にウリヤは出て行って王のほかの家来たちと一緒に眠り、家に帰らなかった。14 朝になると、ダビデはヨアブに手紙を書き、ウリヤに託した。15 ダビデは手紙にこう書いた。「ウリヤを戦いが最も激しい前線に置きなさい。そして彼を残して

11:8 *または、「王の分」。つまり、招く側が大切な客に送る分。

第11章

(イ) サニ 6:17
サニ 7:2

第2欄

(イ) レビ 15:16
サニ 21:5

第2欄

(イ) 詩 51:14
格 3:29

(イ) サニ 12:9

(イ) 裁 6:32
裁 7:1

(イ) 裁 9:50-53

退却し、彼が討たれて死ぬようにしなさい。

16 町を注意深く見ていたヨアブは、手ごわい戦士たちがいる場所を知っており、そこにウリヤを配置した。17 町の人たちが出てきてヨアブと戦い、ダビデの家来たちの一部が倒れ、ヘト人ウリヤも死んだ。18 ヨアブは人を遣わし、戦況を全てダビデに報告させることにした。19 使者にこう指示した。「戦況を全て王に話し終えた後、20 王は怒って、こう言うかもしれない。『どうしてそんなに町に接近して戦ったのか。彼らが城壁の上から矢を射てくることがわからなかったのか。21 エルベシエの子アビメレクを討ったのは誰だったか。テベツでひとり女性の城壁の上からひき臼の石を投げ付けたので、死んだのではないか。どうしてそんなに城壁に接近したのか』。そう言われたら、『あなたの家来ヘト人ウリヤも死にました』と言いなさい。

22 こうして使者は出掛け、ヨアブからの伝言を全てダビデに伝えた。23 使者はダビデに言った。「彼らの戦力は私たちを上回っていて、彼らは私たちに向かって野原に出てきました。それでも私たちは彼らを町の門の入り口まで押し戻しました。24 すると弓を射る人たちが城壁の上からあなたの家来たちを射たので、一部の者たちは死にました。あなたの家来ヘト

人ウリヤも死にました」。25 ダビデは使者に言った。「ヨアブに、『今回のことは気にしないでよいでしょう。剣は誰かしらをあやめるものです。町を激しく攻め、征服しなさい』と言って、励ましなさい」。

26 ウリヤの妻は夫が死んだのを聞いて、嘆き悲しんだ。27 喪の期間が終わると、ダビデは人を遣わして彼女の女を自分の家に連れてこさせた。彼女はダビデの妻になり、男の子を産んだ。しかし、ダビデがしたことエホバにとって非常に不快なことだった。

12 それでエホバはナタンをダビデの所に遣わした。ナタンはダビデの所に来て言った。「ある町に2人の男性がいました。1人は裕福な人、もう1人は貧しい人でした。2 裕福な人は非常に多くの羊や牛を持っていました。3 しかし貧しい人には、自分で買った小さな雌の子羊が1匹いるだけで、ほかには何もいませんでした。その人はその子羊を世話し、子羊はその人の家族と一緒に成長していきました。その人は、少ない食べ物の中から子羊に食べさせ、自分の器から飲ませ、腕の中で寝かせました。子羊は娘のようになりました。4 ある時、1人の旅人が裕福な人の所にやって来ました。ところが裕福な人は、その旅人のために自分の羊や牛を振る舞おうとはせず、貧しい人の

第11章

(例) サニ 11:17

(例) サニ 12:26

(例) サニ 5:13

サニ 12:9

(例) 創 39:7-9

王一 15:5

詩 5:6

詩 11:4

ヘブ 13:4

第12章

(例) 王一 1:8

代一 17:1

代一 29:29

(例) 詩 51:表題

(例) サニ 5:13

サニ 15:16

(例) サニ 11:3

第2欄

(例) サニ 11:4

(例) 申 6:13

(例) 出 22:1

(例) サ一 16:13

サニ 7:8

(例) サ一 18:10, 11

サ一 19:10

サ一 23:14

(例) サ一 13:13, 14

サ一 15:26, 28

(例) サニ 3:7

王一 2:22

(例) サニ 2:4

サニ 5:5

(例) サニ 7:19

(例) 出 20:13

(例) サニ 11:15, 27

(例) 出 20:14, 17

(例) 民 14:18

サニ 13:32

サニ 18:33

ガラ 6:7

(例) サニ 12:15, 19

サニ 13:10-15

サニ 15:14

(例) 出 21:24

ヨブ 31:9-11

ヨブ 34:11

(例) サニ 16:21, 22

めす 雌の子羊を取って、それを振る舞いしました。

5 するとダビデはその人に非常な怒りを感じ、ナタンに言った。「生きている神エホバに懸けて言います。そんな男は死に値します! 6 その男は4匹の子羊で償うべきです。相手の気持ちも考えずにそんなことをしたからです」。

7 そこでナタンはダビデに言った。「その人はあなたのことです! イスラエルの神エホバはこう言っています。『私はあなたを選んでイスラエルの王とし、あなたをサウルから助け出した。』

8 あなたの主人の家のものと妻たちを喜んで与え、イスラエルとユダの民を与えた。もしそれでも足りなければ、もっと与えるつもりだった。9 どうして私エホバにとって悪いことを行て、私の言葉を軽く見たのか。あなたはヘト人ウリヤを剣で討った! 彼をアンモン人の剣で殺してから、彼の妻を自分の妻にした。10 今後、あなたの家族は常に剣に悩まされる。あなたがヘト人ウリヤの妻を自分の妻にし、私を侮ったからだ。』11 エホバはこう言っています。『私はあなたへの災いをあなたの家族の中から生じさせる。あなたの目の前で妻たちを取り上げて別の人に与える。その人は白昼堂々あなたの妻たちと寝る。』

12:7 *直訳、「に油を注いで」。用語集の「油を注ぐ」参照。12:11 *または、「あなたの仲間」。*直訳、「太陽の目に向かって」。

12 あなたはひそかに行ったが、私はイスラエル全体の前で堂々とこのことを行う』。

13 ダビデはナタンに言った。「私はエホバに対して罪を犯しました。ナタンはダビデに言った。「エホバはあなたの罪をお許しになります。あなたは死ぬことはありません。14 しかし、あなたはエホバに対して非常に不敬なことをしたので、生まれたばかりのあなたの子は必ず死にます」。

15 こうしてナタンは家に帰った。

エホバはウリヤの妻が産んだダビデの子を打ち、その子は病気になる。

16 ダビデはその子のことで真の神に懇願した。厳格な断食をしながら、部屋に入っては、床の上で夜を過ごすのだった。17 彼の家の年長者たちが周りに立って、起き上がらせようとしたが、彼は応じず、一緒に食事をするとはしなかった。18 そして7日目、子供は死んだ。ダビデの家来たちは、子供が死んだことをダビデに知らせるのを恐れ、こう言った。「子供が生きていた時、王は、話し掛けても聞いてくでさなかった。それなのに、子供が死んだとどうして言えるだろう。王は何をするか分からない」。

19 ダビデは、家来たちがひそひそ話合っているのを見て、子供が死んだことを悟った。そして家来たちに、「あの子が死んだのですか」と言った。

12:12 *直訳、「太陽の前で」。

第12章

(例) サニ 11:4,15

(例) 創 39:9
詩 32:5
詩 38:3
詩 51:表題, 4
格 28:13

(例) 出 34:6
詩 32:1

(例) レビ 20:10
詩 103:10

(例) サニ 12:22
ヨナ 3:8,9

第2欄

(例) ルツ 3:3
サニ 14:2

(例) サニ 6:17

(例) サニ 12:16
ヨエ 1:14

(例) イザ 38:3,5
ヨエ 2:13,14
アモ 5:15
ヨナ 3:8,9

(例) 伝 9:6

(例) ヨブ 30:23
伝 3:20
使徒 2:29,34
使徒 13:36

(例) 伝 9:5,10

(例) サニ 11:3

(例) 代一 3:5,9
代一 22:9
代一 28:5
マタ 1:6

(例) サニ 7:12
代一 29:1

(例) サニ 7:4,5
サニ 12:1
王一 1:8

(例) 申 23:3,6

(例) 申 3:11
ヨシ 13:24,25

(例) サニ 11:25
代一 20:1

家来たちは、「お亡くなりになりました」と答えた。20 するとダビデは床から起き上がり、体を洗って油を塗り、着替え、エホバの家に行ってひれ伏した。その後、自分の家に行って食べ物を用意させ、食べた。21 家来たちはダビデに尋ねた。「どうしてそのようになさるのですか。お子さまが生きていた時は断食して泣いておられたのに、亡くなされるとすぐに起き上がって食事をなさいました」。22 ダビデは答えた。「あの子が生きていた時、私は断食し、泣いていました。それは、『エホバが私に憐れみを掛け、あの子が生きられるようにしてくださるかもしれない』と思ったからです。23 しかし死んでしまった以上、断食をする必要があるでしょうか。あの子連れ戻せるでしょうか。私はいずれあの子の所に行きます。もうあの子は私の所に戻ってきません」。

24 その後ダビデは妻のバテ・シバを慰めた。彼女の所に行き、彼女と寝た。やがて彼女は男の子を産み、その子はソロモンと名付けられた。エホバはその子を愛し、25 預言者ナタンを遣わして、エホバのために、その子をエディデヤと名付けさせた。

26 ヨアブはアンモン人の王の都市ラバを攻め続け、攻略した。27 ヨアブは使者たちをダビデに送り、こう

12:20 *または、「宮殿」。12:24 *「平和」という意味のヘブライ語に由来。12:25 *意味、「ヤハが愛する者」。12:26 *または、「王国」。

伝えさせた。「ラバを攻め、水の都市を
攻略しました。28 残りの兵士を集
めて都市に向かって陣営を張り、攻め
落としてください。さもないと、私が都
市を攻め落とすことになり、私の功績
になってしまいます。」

29 それでダビデは全軍を集め
てラバに行き、戦って攻め落とした。

30 そしてマルカムの頭から冠を取っ
た。それは34キロの金でできた冠で、
宝石が付いており、ダビデの頭に置か
れた。ダビデは都市から非常に多
くの物を奪った。31 また、都市にい
た民を連れ出して、石切り、鉄の刃物
や鉄のおのを使う仕事、れんが作りを
行わせた。アンモン人の全ての町に
対してそのようにした。やがてダビデ
と兵士たち皆はエルサレムに帰った。

13 ダビデの子アブサロムには
タマルという美しい妹がい
た。ダビデの子アムノンはタマルに恋
をした。2 アムノンは妹タマルのこ
とで思い悩み、具合が悪くなるほど
だった。彼女は処女で、アムノンは彼
女に何もできそうになかったからであ
る。3 アムノンには、ダビデの兄弟
シムアの子で、エホナダブという名前
の友人がいた。エホナダブは利口な
人だった。4 エホナダブは言った。
「王の子であるあなたが、どうして毎朝
そんなに思い悩んでいるのですか。話

第12章

(7) サニ 11:1

(1) サニ 8:11, 12
代一 20:2, 3

第13章

(7) 代一 3:9

(2) サニ 3:2

(7) サ一 16:9
代一 2:13

(7) サニ 13:35

第2欄

(7) レビ 18:9
レビ 20:17

してくれませんか」。アムノンは言っ
た。「タマルに恋をしているのです。私
の弟アブサロムの妹です」。5 エホ
ナダブは言った。「ベッドに横になり、
病気のふりをしなさい。あなたの父上
が見舞いに来たら、こう言うのです。
『妹のタマルがここに来るようにしてい
ただけませんか。私が食べる物をタ
マルに用意させてください。目の前で
彼女が病人のための食事を作って出
してくれるなら、食べます』」。

6 そこでアムノンは横になって病氣
のふりをした。王が見舞いにやって来
たので、王に言った。「妹のタマルがこ
こに来るようにしていただけませんか。
タマルが私の目の前で菓子を2つ焼く
ようにしてください。それを出しても
らったら、食べます」。7 それでダビ
デは人を遣わし、家にいるタマルにこ
う伝えさせた。「アムノン兄さんの家に行
って、食事を作ってあげてほしい」。8
タマルが兄アムノンの家に行くと、
アムノンは横になっていた。タマルは
彼の目の前で生地をこねて菓子を作
った。9 そして鍋から菓子を取り
出してアムノンの前に出した。しかし
彼は食べようとせず、「みんな、出てい
きなさい!」と言った。それで皆が出て
いった。

10 アムノンはタマルに言った。「食
事を寝室で食べられるよう持ってきて
くれないか」。タマルは作った菓子

13:5, 7, 10 *または、「慰めのパン」。

12:27 *都市の水資源のことかもしれない。
12:28 *直訳、「そこは私の名前と呼ばれて」。

を寢室^{しんしつ}にいる兄^{あに}アムノンの所^{ところ}に持っていった。11 すると、アムノンはタマルをつかまえて言った。「妹^{いもうと}よ、さあ、私^{わたし}と寝^ねてくれ」。12 彼女は言^いった。「いけません、お兄さま！ 私^{わたし}を辱^{はづかし}めないでください。イスラエルではそのようなことをしてはならないのです。そんなひどいことをしないでください。13 辱^{はづかし}めを受けたら私は耐えられせん。お兄さまもイスラエルで恥^{はづかし}をかくことになってしまいます。ですから、どうか王^{おう}に話^{はな}してください。王^{おう}はきっと私^{わたし}をお兄さまに与^{あた}えてくださるでしょう」。14 それでもアムノンは聞き入れず、力^{ちから}づくで彼女^{かのじょ}を犯^{おか}し、辱^{はづかし}めた。15 するとアムノンはタマルを憎^{にく}み始めた。非常に強^{ひじょう}い憎^{にく}しみだった。彼女^{かのじょ}に対する憎^{にく}しみが、彼女^{かのじょ}に抱^{いだ}いていた愛^{あい}よりも大きくなり、「起きて、出ていけ!」と言^いった。16 タマルは言^いった。「嫌^{いや}です、お兄さま。私^{わたし}を追^おい出^だすなんて、すでに私^{わたし}にしたことよりももっとひどいことです!」それでもアムノンは聞き入れなかった。

17 アムノンは若い従者^{わかしゅうしや}を呼^よんで言^いった。「この女^{おんな}をここから外^{そと}に出^だし、鍵^{かぎ}を掛^かけておけ」。18 (タマルは特別な長^{とく}い服^{ふく}を着^きていた。それは、処女^{しよじよ}である王^{おう}の娘^{むすめ}たちが着^きる服^{ふく}だった。) 従者^{じゅうしや}は彼女^{かのじょ}を外^{そと}に連^つれ出^だし、鍵^{かぎ}を掛^かけた。19 タマルは頭^{あたま}に灰^{はい}をかぶり、着^きていた上^{じょう}等^{とう}の長^{ちよう}い服^{ふく}を引き裂^ひいた。

13:18 *または、「飾り付きの」。

第13章

(例) レビ 18:9,29
レビ 20:17
申 27:22

(例) 創 34:2,7
裁 20:5,6

(例) ヨシ 7:6
エス 4:1
エレ 6:26

第2欄

(例) サニ 3:3
サニ 13:1

(例) レビ 18:9
申 27:22

(例) 格 19:13

(例) 創 34:7

(例) 格 18:19

(例) ヨハ 11:54

(例) 王一 1:9,19

(例) 詩 55:21
格 10:18
格 26:24-26

て、あたま^{あたま}にお^おある^{ある}な^なきながら去^さっていった。

20 兄^{あに}のアブサロムが彼女^{かのじょ}に言^いった。「一^{いっしょ}緒^{しょ}にいたのはアムノン^いさんだったのか。いいか、タマル^{だま}、黙^{だま}っていいな。彼はあなた^{かれ}の兄^{あに}だ。このことを氣^きに病^やまなくていい」。それでタマルは兄^{あに}アブサロム^{いえ}の家^すに住^{ひと}み、人^あと会^あわないようにした。21 ダビデ王^{おう}は一^{いち}部^ぶ始^し終^{しゅう}を聞^きき、非^ひ常^{じょう}に怒^{おこ}ったが、アムノンを責^せめるようなことはしなかった。長男^{ちやうなん}であるアムノンを愛^{あい}していたからである。22 アブサロムはアムノンに何^{なん}も言^いわなかった。妹^{いもうと}タマルを辱^{はづかし}めたアムノンを憎^{にく}んでいた。

23 丸^{まる}2年^{ねん}がたった頃^{ころ}、エフライム^例の近^{ちか}くのバル・ハツォルに、アブサロム^{ひつじ}の羊^けの毛^かを刈^ひる人^{ひと}たちがいた。アブサロムは王^{おう}の子^こ全^{ぜん}員^{いん}を招^{まね}いた。

24 アブサロムは王^{おう}のもとに來^きて言^いった。「今^{いま}、羊^{ひつじ}の毛^けを刈^けっております。どうか王^{おう}と家來^{けらい}たちも私^{わたし}と共^{とも}においでください。25 王^{おう}はアブサロムに言^いった。「でも、アブサロム、皆^{みな}が行^いって負担^{ふたん}を掛^かけるといけない」。アブサロムはしきりに頼^{たの}んだが、王^{おう}は行^いこうとせず、ただアブサロムのために祝^{しゅくふく}福^{ふく}を願^{ねが}い求^{もと}めた。26 アブサロムは言^いった。「おいでにならないのでしたら、どうかアムノン^い兄^{とも}さんを共^いに行^いかせてください」。王^{おう}は言^いった。「どうしてアムノン^いが行^いかなければいけな

27 しかしアブサロムが強^{つよ}く頼^{たの}んだの

で、王はアムノンと王の子全員をアブサロムと共に行かせた。

28 アブサロムは従者たちに命じた。「よく見ていなさい。アムノンがどう酒でいい気分になったら、私はあなたたちに、『アムノンを討て!』と言う。そうしたら、彼を殺しなさい。恐れてはいけない。これは私の命令だ。強くあって、勇気を出しなさい」。**29** それでアブサロムの従者たちは、命じられた通り、アムノンを殺した。王のほかの子たちは皆、立ち上がり、それぞれラバに乗って逃げた。**30** 彼らが到着する前に、ダビデは、「アブサロムが王の子全員を討ち、皆死んだ」という報告を受けた。**31** 王は立ち上がって衣服を引き裂き、床に横になった。家来たちは皆、衣服を引き裂き、そばに立っていた。

32 ダビデの兄弟シムアの子エホナダブがこう言った。「ご主人さま、王の子全員が殺されたとは思わないでください。亡くなったのはアムノンだけです。アブサロムが、妹タマルがアムノンに辱められた日から決意していたことを命令したのです。**33** それで、ご主人さま、王よ、『王の子たちが皆死んだ』という言葉に心を留めないでください。亡くなったのはアムノンだけなのです」。

34 その間にアブサロムは逃げ去った。見張りが目を上げると、後ろの山沿いの道から多くの人がやって来る

第13章

(ア) サ一 16:9
代二 12:13

(イ) サ二 13:3

(ウ) サ二 12:10

(エ) レビ 18:9,29

(オ) サ二 13:12-14

(カ) 創 27:41
詩 7:14
格 18:19

(キ) サ二 13:38

第2欄

(ア) サ二 13:3

(イ) サ二 3:3

(ウ) 申 3:14
ヨシ 12:4,5
サ二 14:23

第14章

(エ) サ二 2:18
代一 2:15,16

(オ) サ二 13:39
サ二 18:33
サ二 19:2

(カ) 代二 11:5,6
代二 20:20
アモ 1:1

(キ) 伝 9:8
ダニ 10:3

のが見えた。**35** それでエホナダブは王に言った。「ご覧ください。王の子たちが戻ってこられました。私が申し上げた通りです」。**36** 彼が話し終えると、王の子たちが来て、声を上げて泣いた。王も家来たち皆も非常に激しく泣いた。**37** 一方、アブサロムは逃げ去り、ゲシュルの王アミフドの子タルマイの所に行った。ダビデは何日も息子の死を嘆き悲しんだ。**38** 逃げてゲシュルに行ったアブサロムは、3年そこにとどまった。

39 やがてダビデ王はアブサロムの所に行きたいと思った。アムノンの死を受け入れたのである。

14 ツェルヤの子ヨアブは、アブサロムを思う王の気持ちに気付いた。**2** そこでヨアブはテコアに人を遣わし、1人の利口な女性を連れてこさせた。そして彼女に言った。「喪服を着て、嘆き悲しんでいるふりをしてくれないか。体に油を塗ってはいけない。誰かを亡くして長い間嘆き悲しんでいる女性のように振る舞うのだ。**3** 王のもとに行き、こう言いなさい」。そうしてヨアブは言うべきことを彼女に伝えた。

4 テコアの女性は王のもとに行き、身をかがめてひれ伏し、「王よ、助けてください!」と言った。**5** 王は彼女に、「どうしたのですか」と言った。すると彼女は言った。「私はやもめです。

13:39 *または、「死について慰めを得た」。

おつと な わたし ふたり
夫は亡くなりました。 6 私には2人
むすこ むすこ のはら
の息子がおり、息子たちは野原でけん
かは始めました。割って入る人は誰も
おらず、1人がもうひとりを殴打して殺し
てしまいました。7 すると一族全体
が私に向かって立ち上がり、『兄弟を
殴打したものをひき渡せ。殺された兄
弟のために、その者を殺すのだ! 跡
継ぎが途絶えることになっても構わな
い』と言うのでございます。彼らは、私
に残された最後の炭火を消して、夫の
名前も子孫も地上から消し去ろうとし
ているのです」。

8 王は女性に言った。「家に帰りな
さい。あなたのことで命令を出しましょ
う」。9 テコアの女性は王に言った。
「王よ、罪の責任はわたしと父の家の方に
あります。王とその王座は潔白です」。
10 王は言った。「あなたに何かを
言ってくる人がいれば、その人を私の
ところに連れてきなさい。その人があなた
を悩ますことは二度となくなります」。

11 女性は言った。「どうか王がエホ
バ神を覚えていてくださり、復讐者が
息子に殺害することがありませんよう
に」。王は言った。「生きている神エホ
バに懸けて言います。あなたの息子
の髪の毛1本でさえ地面に落ちること
はありません」。12 女性は、「どうか
王に一言申し上げさせてください」と

14:7 *子孫を残せる最後の望みのこと。『直訳、
「残りの者」。14:11 *または、「流血に対する復
讐者」。

第14章

(例) 民 35:19
申 19:11, 12

(例) 民 35:19, 27
申 19:6

(例) 申 6:13
伝 8:4

第2欄

(例) 出 19:5
民 6:27

(例) サ二 13:38

(例) サ二 14:2, 7

(例) サ二 14:1-3

い 言った。王は、話しなさい」と言った。
13 女性は言った。「王はどうして
神の民にとって損失となることをして
おられるのですか。王がおっしゃった
ことからすると、追放した子を連れ戻
さない王には罪があるのではありませ
んか。14 私たちは皆、必ず死にま
す。地面に注ぎ出され、取り戻すこと
のできない水のように。しかし、神は
命を取り去ったりはしません。神は、
誰かが追放されたとしても、ご自分
のもとからは追放されるべきではない
理由を考慮されます。15 私がこう
したことを王にお話しに参りました
のは、人々が怖くなったからです。私
は考えました。『王に話そう。王はきっ
と私の願いを聞いて行動してくださる。
16 王は聞いて、私を救ってくださるに
違いない。神に頂いた土地から私と
たった1人の息子を消し去ろうとする
人の手から、救ってくださる』。17 そ
してこう願いました。『王が私を安心さ
せることを言ってくださいますように』。
王は、真の神の天使のように、良いこ
とと悪いことを見分けるからです。エ
ホバ神が王と共にいてくださいますよ
うに」。
18 王は女性に答えた。「私が尋ね
ることに隠さずに答えてください」。女
性は言った。「王よ、どうぞおっしゃ
ってください」。19 王は尋ねた。「こ
れは全部、ヨアブがさせたことなの
ですか」。女性は答えた。「王よ、生きて

いるあなたに懸^かけて申^{もう}します。王^{おう}が言^いわれる通^{とお}りです。あなたの家来^{けらい}ヨアブから指示^{しじ}を受け、言うべきことを教えられました。20 王^{おう}に状況^{じょうきょう}を違^{ちが}った観点^{かんてん}で見ていただくため、あなたの家来^{けらい}ヨアブがしたことです。ですが、王^{おう}は真^まの神^{かみ}の天使^{てんし}のような知恵^{ちえ}をお持ちで、地上^{ちじょう}で起^おきていることを全て^{すべて}ご存^{ぞん}じです。

21 それで王^{おう}はヨアブに言^いった。「いいでしょう。こうしましょう。若者^{わかもの}アブサロムを連れ戻^{もど}しに行きなさい」。

22 ヨアブは身^みをかがめてひれ伏^ふし、王^{おう}を称賛^{しょうさん}した。そして言^いった。「ご主人^{しゅじん}さま、王^{おう}よ、今日^{けふ}私は王^{おう}の好意^{こうい}を得^えていることを知^しりました。王^{おう}が私の願^{ねが}いを聞^きいて行^{こう}動^{どう}してくださったからです」。

23 こうしてヨアブは立ち上^あがってゲシュル^{げしゅる}に行^いき、アブサロムをエルサレム^{えるさるむ}に連れ^つれてきた。24 王^{おう}は、「彼^{かれ}を自分の家^かに戻^{もど}せなさい。ですが、彼^{かれ}は私^{わたし}に会^あいに来^きてはなりませ^なん」と言^いった。それでアブサロムは自分^{ぶん}の家^{いえ}に戻^{もど}り、王^{おう}に会^あいには行^いかなかった。

25 イスラエルのどこにも、アブサロムほどりくして称賛^{しょうさん}される人^{ひと}はいなかった。頭^{あたま}のてっぺんから足^{あし}の裏^{うら}まで欠点^{けってん}がなかった。26 彼^{かれ}が髪^{かみ}の毛^けを切^きると、重^{おも}さは王室^{おうしつ}の石^{いし}重^{おも}りで量^{はか}って

14:19 *または、「言^いわれることから誰^{たれ}も右^{みぎ}にも左^{ひだり}にもそれることではできません」。14:26 *一般^{いぱん}の重^{おも}りとは違^{ちが}う「王室^{おうしつ}の」重^{おも}り、あるいは王宮^{おうきゅう}に保管^{ほくあん}されていた標準^{ひょうじゅん}重^{おも}りのことかもしれない。

第14章

(イ) サニ 14:13

(イ) サニ 13:38

(イ) 申 3:14

サニ 3:3
サニ 13:37

第2欄

(イ) サニ 18:18

(イ) サニ 14:24

(イ) サニ 14:23

(イ) 創 45:15

2.3キロだった。(彼^{かれ}は髪^{かみ}が非常^{ひじょう}に重^{おも}かった)ので、年^{とし}に1度^{いちど}切^きっていた。)

27 アブサロムには3人^{さんにん}の息子^{むすこ}と1人^{ひとり}の娘^{むすめ}が生まれ^うれた。娘^{むすめ}はタマルといい、とても美^{うつく}しい女^{じよせい}性^{せい}だった。

28 アブサロムは丸^{まる}2年^{ねん}エルサレムに住^すんでいたが、王^{おう}に会^あいに行^いくことはなかつた。29 アブサロムはヨアブを呼^よんで王^{おう}のもとに遣^{つか}わそうとしたが、ヨアブは来^こなかつた。再^{また}び人^{ひと}を送^{おく}って彼^{かれ}を呼^よんだが、それでも来^こようとしなかつた。30 ついにアブサロムは家来^{けらい}たち^{たち}に言^いった。「私の土地^{わたくしのち}の隣^{となり}にヨアブの土地^ちがあり、大^お麦^{むぎ}が植^うえてある。そこ^{そこ}に火^ひを付^{つけ}けに行^いけ」。

それでアブサロムの家来^{けらい}たちはその土地^ちに火^ひを付^{つけ}けた。31 ヨアブは立ち上^あがり、アブサロムの家^{いえ}に來^きて言^いった。「あなたの家来^{けらい}たちはどうして私の土地^{わたくしのち}に火^ひを付^{つけ}けたのですか」。32 アブサロムはヨアブに答^{こた}えた。「私^{わたし}は人^{ひと}を送^{おく}ってあなたにこ^こう伝え^{つた}させた。『こちらに來^きてほし^いい。あなたを王^{おう}のもとに遣^{つか}わし、こ^ころ尋^{たず}ねてもらいたいのだ。『なぜ私^{わたし}はゲシュル^{げしゅる}から來^きたのでしょうか。私^{わたし}にとつてはあそこ^{そこ}にいた方がましでした。王^{おう}に会^あわせてくだ^{くだ}さい。もし私^{わたし}に罪^{つみ}があるのだしたら、王^{おう}は私^{わたし}をこ^ころ殺^{ころ}すべきです』」。

33 それでヨアブは王^{おう}のもと^いに行^いって話^{はな}した。王^{おう}がアブサロムを呼^よび寄^よせたので、アブサロムは王^{おう}のもとに來^きて、王^{おう}の前^{まえ}で身^みをかがめてひれ伏^ふした。王^{おう}はアブサロムに口^{くち}づけた。

15 そうしたことの^{のち}後、アブサロムは自分のために兵車と馬と護衛50人を配備した。**2** また、アブサロムは朝早く起きて、都市の門に通じる道の脇に立つようにした。訴え通じ^{こと}のある人が、裁いてもらおうと王の所にやって来ると、アブサロムはその人を呼んで、「あなたはどの町の人ですか」と言い、その人は「イスラエルのこれこれの部族の者でございます」と言うのだった。**3** アブサロムは、「あなたの訴えは正しくもつともですが、王の下には、あなたの件を扱ってくれる人はいません」と言った。**4** そしてこう言うのだった。「私がこの国の裁判人に任命されていれば、訴えごとあらずごと事がある人はみんな私のもとに来て、公正な裁きを受けられるのですが」。

5 誰かが近づいてきてひれ伏そうとすると、アブサロムは手を出して引き寄せ、口づけするのだった。**6** 裁いてもらおうとして王の所に来る全てのイスラエル人に、アブサロムはこうしたことをしていた。イスラエルの人たちの心を盗んでいたのである。

7 4年がたった頃、アブサロムは王にこう言った。「どうか私をヘブロンに行かせてください。エホバにした誓約を果たしたいのです。**8** 私はシリアのゲシュルに住んでいた時、『もしエ

15:1 *直訳、「前を走る人」。**15:7** *もしかすると、「40年」。ダビデが油を注がれてから40年ということかもしれない。

第15章

(例) サー 8:11
王 1:5
格 11:2

(例) 申 25:7
ルツ 4:1

(例) サー 8:20
サニ 8:15

(例) 詩 10:9
詩 55:21
格 26:25

(例) 格 11:9

(例) サニ 3:2

(例) サニ 13:38
サニ 14:23

第2欄

(例) レビ 22:21

(例) サニ 2:1
サニ 5:1,5
代一 3:4

(例) 詩 41:9
詩 55:12,13
ヨハ 13:18

(例) ヨシ 15:20,51

(例) サニ 16:23
サニ 17:14
サニ 23:8,34

(例) 詩 3:1
格 24:21

(例) サニ 19:9
詩 3:表題

(例) サニ 12:11

ホバが私をエルサレムに連れ戻してくださるなら、エホバに捧げ物をしまし』という厳肅な誓約をいたしました」。**9** 王は言った。「気を付けて行きなさい」。そこでアブサロムは立ち上がって、ヘブロンに行った。

10 アブサロムはイスラエルの全部族にひそかに使者たちを送った。こう言っておいた。「角笛の音を聞いたらすぐ、『アブサロムがヘブロンで王になった!』と宣言しなさい」。**11** 200人の人がアブサロムと共にエルサレムを出ていった。彼らは招集されるま前に、何も疑わず、事情を知らずに付いていった。**12** さらに、アブサロムは犠牲を捧げた時、ギロに人を遣わして、ダビデの顧問官でギロの人アヒトフェルを呼び寄せた。こうして謀反は勢いを増し、アブサロムの支持者は増えていった。

13 やがてダビデのもとに人がやって来て、こう報告した。「イスラエルの人たちの心はアブサロムに向いています」。**14** ダビデは直ちに、共にエルサレムにいる家来たち皆に言った。「今すぐ逃げましょう。さもないと、アブサロムから誰も逃げられなくなります! 急ぎなさい。彼はすぐに追い付いて、私たちに危害を加え、都市を剣で討つでしょう!」**15** 家来たちは王に言った。「王がお決めになることは何でも

15:8 *または、「を崇拜し」。直訳、「に奉仕」。
15:12 *または、「助言者」。

いたします^(ア)。16 王^{おう}は、留守^{るす}にする
いえ* ばん そくしつ^(イ) にん の けい い ひと
家の番として側室10人を残し、家の人
ぜんいん っ しゅっぱつ おう っ
全員を連れて出発した。17 王は連
れてきた人たちと共に進んでいき、一
こう 行はベト・メルハクで立ち止まった。

18 王と共に出発する家来たち、ケ
レト人、ペレト人、王に付いてきたガ
トの人600人の皆が王の前を通り、王
は確認を取った。19 王はガトの人
イッタイに言った。「どうしてあなた
も私たちと一緒に行くのですか。戻っ
て、新しい王と共にとどまりなさい。あ
なたは外国人ですし、亡命者なのです。

20 昨日来たばかりのあなたを、私た
ちと一緒にさまよわせるわけにはいき
ません。私はいどこに行くか分から
ないのです。あなたの兄弟たちを連
れて戻りなさい。エホバがあなたに
揺るぎない愛を示し、さえ続けてくだ
さいますように！」21 イッタイは王に
言った。「生きている神エホバと王に
懸けて誓います。たとえ死ぬことにな
っても、どこでも王が行かれる場所
に私も参ります！」22 それでダビデ
はイッタイに言った。「では、谷を渡っ
て向こうに行きなさい。こうしてガト
の人イッタイは、部下や家族の皆と共
に谷を渡った。

23 人々が谷を渡る中、付近の住
民たちは皆、声を上げて泣いていた。
王はキデロン^(イ)の谷のそばに立ち、人々

15:16 *または、「宮殿」。15:18 *または、「王
のそばで渡る」。「または、「の皆が王の顔の前
を横切った」。

第15章

(ア) 格 18:24

(イ) サニ 12:11
サニ 16:21
サニ 20:3(ウ) サニ 8:18
サニ 20:7
王一 1:38
代一 18:17(ロ) ヨシ 13:2,3
サー 27:4
代一 18:1

(ハ) サニ 18:2

(ニ) サニ 2:5,6
詩 25:10
詩 57:3
詩 61:7
詩 89:14(ヘ) 格 17:17
格 18:24

(ホ) サニ 18:2

(ヘ) 王一 2:36,37
代二 30:14
ヨハ 18:1

第2欄

(ア) サニ 8:17
サニ 20:25
王一 1:8
王二 2:35
代一 6:8(イ) 出 37:1
レビ 16:2(ウ) 民 4:15
民 7:9
代一 15:2

(ロ) 民 8:19

(ハ) サー 22:20
サー 30:7

(ニ) サニ 6:17

(ヘ) サニ 7:2
詩 26:8
詩 27:4(ホ) サニ 9:9
サニ 17:17(ロ) サニ 15:36
サニ 17:16,21(イ) マタ 21:1
マタ 24:3
使徒 1:12

(ウ) 詩 3:表題

(ロ) 詩 41:9
詩 55:12,13
ヨハ 13:18

(ヘ) 詩 3:7

は荒野に通じる道に向かってそこを
渡っていった。24 ザドクもそこにい
て、ほかに真の神の契約の箱を運ぶレ
ビ族の人たちが共にいた。彼らは
真の神の箱を下ろした。人々が都市
から出て谷の向こう側まで行く中、ア
ビヤタルもそこにいた。25 王はザ
ドクに言った。「真の神の箱を都市に
戻しなさい。もし私がエホバの好意
を得ているなら、神は私を連れ戻して、
箱とその住まいを見させてくださいま
す。26 しかし、もし神が、『あなたの
ことを喜んではいない』と言われるな
ら、神が良いと思われることを私にな
さいますように」。27 王は祭司ザド
クに言った。「あなたは予見者ですね。
気を付けて都市に戻りなさい。あなた
たちの2人の子も連れていきなさい。
あなたの子アヒマアツとアビヤタルの
子ヨナタンです。28 あなたたちから
知らせがあるまで、私は荒野に近い渡
り場で待っています」。29 それでザ
ドクとアビヤタルは真の神の箱をエル
サレムに戻し、そこにとどまった。

30 ダビデは泣きながらオリブ山
に登った。頭を覆い、はだしで歩いた。
ダビデと共にいた人々も頭を覆い、泣
きながら登っていった。31 それから
ダビデのもとに、「アヒトフェルが、ア
ブサロムと共にいる謀反者たちに加
わった」という報告があった。ダビデ
は、「エホバ、どうかアヒトフェルの助

15:30 *または、「山のより坂を上った」。

言^{げん}が愚^{おろ}かなものと見^みなされるようにし
てくだ^いさい!」と言^いった。

32 民^{たみ}がよく神^{かみ}にひれ伏^ふしていた山^{さん}
頂^{ちょう}にダビデ^だが着^つくと、アルキン^{アルキン}のフ
シャイ^フが会^あいに来^きていた。フシャイ^フの
なが^{なが}ふく^{ふく}ひ^ひさ^さあたま^{あたま}つち^{つち}
長い服^{はき}は引き裂^{かれ}かれ、頭^{かしら}に土^どをかぶ^{かぶ}
っていた。**33** ダビデ^だは彼^{かれ}に言^いった。
「もしあな^{わたし}が私^{わたし}と一緒^{いっしょ}に来^くるなら、私^{わたし}
の負担^{ふたん}になります。**34** しかし、もし
あな^{わたし}が都^{みやこ}市^しに戻^{もど}ってアブサロム^{アブサロム}に、
『王^{おう}よ、私^{わたし}はあな^けたの家^い来^きです。以前^{いぜん}は
あな^{ちちうえ}の父^{ちち}上^{うへ}の家^け来^{らい}でしたが、今^{いま}はあ
な^けたの家^け来^{らい}です』と言^いうなら、あな^い
たは私^{わたし}のため^{ため}に、アヒトフェル^{アヒトフェル}の助^{すけ}言^{ごん}が
実行^{じっこう}されるのを阻^{はば}むこと^{こと}がで^いきます。

35 都^{とし}市^{さいし}には祭^{まつり}司^しのザドク^{ザドク}とアビヤタ
ル^{アビヤタル}もいま^{いま}す。王^{おう}の家^{いえ}から聞^きくことは全^{すべ}
て、祭^{さいし}司^しのザドク^{ザドク}とアビヤタル^{アビヤタル}に伝^{つた}
てくだ^いさい。**36** また、彼^{かれ}ら^らの息^{むすこ}子^こ
2人^{ふたり}、ザドク^{ザドク}の子^こアヒマアツ^{アヒマアツ}とアビヤタ
ル^{アビヤタル}の子^こヨナタン^{ヨナタン}も都^{とし}市^しにいま^{いま}す。聞^き
いたこと^{こと}は全^{ぜん}部^ぶ、2人^{ふたり}を通^{とお}して私^{わたし}に伝^{つた}
てくだ^いさい。**37** それでダビデ^だの友^{ゆう}人^{じん}
フシャイ^フは都^{とし}市^しに行^いった。アブサロム^{アブサロム}
もエルサレム^{エルサレム}に入^{はい}った。

16 ダビデ^だが山^{さん}頂^{ちょう}から少^{すこ}し下^{くだ}
る^くとき、メビボセテ^{メビボセテ}の従^{しゆ}者^{しや}ツィバ^{ツィバ}
が会^あいに来^きていた。くらを置^おいた1対^{たい}
のロバ^{ろば}を連^つれ、それ^{それ}にパン^{ぱん}200個^こ、干^{かん}
しぶどうの菓^{かし}子^こ100個^こ、夏^{なつ}の果^{くだもの}物^{もの}の菓^{かし}
子^こ100個^こ、ぶどう酒^{しゅ}の入^{はい}った大^{おお}きなつ

15:37 *または、「信頼できる友人」。**16:1** *主
にイチジク、もしかするとナツメヤシも。

第15章

(7) サニ 16:23
サニ 17:14

(1) ヨシ 16:1,2

(7) サニ 16:16

(2) サニ 16:18,19

(7) サニ 17:7,14

(7) サニ 17:15,16

(4) サニ 18:19

(7) サニ 17:17
王一 4:42

(7) サニ 16:16
代一 27:33

第16章

(2) サニ 15:30

(7) サニ 9:6

(2) サニ 9:2,9

第2欄

(7) サニ 25:18

(1) サニ 17:27-29

(7) サニ 9:3

(2) サニ 19:25-27

(7) サニ 9:9,10

(7) 格 26:22

(4) サニ 19:16
王二 8:44

(7) 出 22:28
伝 10:20

ばを載^のせていた。**2** 王^{おう}はツィバ^{ツィバ}に
言^いった。「これ^{もの}らの物^{もの}をどうして持^もって
きたのですか」。ツィバ^{ツィバ}は答^{こた}えた。「ロ
バ^{ろば}は王^{おう}の家^{いえ}の方^{かた}たち^{たち}に乘^のっていただ
くため、パン^{ぱん}と夏^{なつ}の果^{くだもの}物^{ぶつ}は部^ぶ下^{かた}の方^{かた}
たち^{たち}に食^たべていただくため、ぶどう酒^{しゅ}は
荒^{こう}野^やで疲^{つか}れ切^きった方^{かた}たち^{たち}に飲^のんでい
ただくため、持^もってまいりました」。
3 王^{おう}は言^いった。「ところで、あな^{しゅ}たの主^{しゅ}
人^{じん}の孫^{まご}はどこにいま^{いま}すか」。ツィバ^{ツィバ}は
王^{おう}に言^いった。「今^{いま}、エルサレム^{エルサレム}にとど
まっております。彼^{かれ}は、『今^{きょう}日^{じつ}、イスラ
エル^{イスラエル}国民^{こくみん}は祖^そ父^ふの王^{おう}権^{けん}を私^{わたし}に返^{かえ}すこと
になる』と言^いっていました」。**4** 王^{おう}は
ツィバ^{ツィバ}に言^いった。「メビボセテ^{メビボセテ}の物^{もの}は
全^{ぜん}部^ぶあな^{あな}たの物^{もの}です」。ツィバ^{ツィバ}は言^い
った。「あな^{まえ}たの前^{みえ}でひれ伏^ふします。王^{おう}
の好^{こう}意^いを得^えられますように」。

5 ダビデ^だ王^{おう}がバフリム^{バフリム}まで来^くると、
サウル^{サウル}家^けの一^{いち}族^{ぞく}の男^{なん}性^{せい}がで^でてきた。
ゲラ^{ゲラ}の子^こで、シムイ^{シムイ}とい^いう名^な前^{まえ}だっ
た。彼^{かれ}はの^ののしりながら近^{ちか}づいてき
た。**6** そしてダビデ^だ王^{おう}と家^け来^きたち皆^{みな}
に石^{いし}を投^なげ付^{つけ}けた。ほか^{ほか}の人^{ひと}々^{びと}と王^{おう}
の両^{りょう}脇^{わき}にいた戦^{せん}士^したちにもそうした。

7 シムイ^{シムイ}はこ^こうのし^でった。「出^でてい
け、出^でていけ! 流^{りゅう}血^{けつ}の罪^{つみ}のある男^{おとこ}、ど
うしようもないやつめ!**8** サウル^{サウル}家^け
の血^ちを流^{なが}して王^{おう}権^{けん}を奪^{うば}ったおま^{おま}えに、
エホバ^{エホバ}は罪^{つみ}の報^{むく}いを与^{あた}える。エホバ^{エホバ}
はおま^こえの子^こアブサロム^{アブサロム}に王^{おう}権^{けん}を渡^{わた}
す。おま^{りゅうけつ}えは流^{りゅう}血^{けつ}の罪^{つみ}のある男^{おとこ}だか

16:3 *直訳、「子」。「直訳、「父」。

ら、災いに遭っているのだ!」

9 ツエルヤの子アビシャイが王に言った。「どうして、あの死んだ犬に王をののしらせておくのですか。どうか私を行かせて彼の首をはねさせてください。」**10** 王は言った。「ツエルヤの子たち、これは私のことで、あなたたちには関係のないことです。ののしらせておきましょう。エホバが彼に、『ダビデをののしりなさい』と言ったのです。そうであれば、いったい誰が、『どうしてこんなことをしているのだ』と言ってよいでしょう。」「**11** ダビデはアビシャイと家来たち皆に言った。「私の子、私から出た子が私の命を狙っているのですから、ベニヤミン族の人であればなおさらでしょう。放っておいて、ののしらせておきなさい。彼はエホバに言われてそうしているのです。」「**12** エホバは私の苦難を見てくださるでしょう。エホバは、私が今日受けたののしりの代わりに、良いことを与えてくださいます。」「**13** こうしてダビデと部下たちは道を下っていった。その間、シムイは並行して山沿いを歩き、ののしりながら石やたくさん土を投げ付けてきた。

14 ついに王と人々は目的地に着いた。非常に消耗しており、そこで疲れを癒やした。

15 一方、アブサロムとイスラエルの人たちは皆、エルサレムに着いた。アヒトフェルも一緒だった。**16** ダビ

第16章

(ア) サ 24:6,7
サ 26:9,11
詩 3:1,2
詩 7:1
詩 71:10,11

(イ) 代 2:15,16

(ロ) サ 24:14

(ロ) 出 22:28

(ロ) サ 26:8

(ロ) サ 2:19-22
王 2:5

(イ) 詩 37:8
ペ 2:23

(ロ) サ 2:12-10

(ロ) サ 2:12-11

(ロ) サ 2:15-14

(ロ) サ 2:17-12

(ロ) サ 2:19-16

(イ) 創 29:32
出 3:7
詩 25:18

(イ) 詩 109:28

(イ) サ 2:16:5

(イ) サ 2:15:12,31

第2欄

(ア) ヨシ 16:1,2

(イ) サ 2:15:32,37
代 27:33

(ロ) 王 1:2:25

(ロ) サ 2:15:34

(イ) 詩 37:12

(ロ) サ 2:15:16

(イ) レビ 18:8
レビ 20:11
王 2:2:22

(ロ) サ 2:11:2

(ロ) サ 2:12:11,12

(ロ) 申 22:30

サ 20:3

(イ) サ 2:15:12

サ 2:17:14,23

デの友人でアルキ人のフシャイがアブサロムの所にやって来た。フシャイはアブサロムに言った。「王が榮えますように! 王が榮えますように!」**17** アブサロムはフシャイに言った。「友ダビデへのあなたの揺るぎない愛はどこに行ってしまったのか。どうして友と一緒にに行かなかったのか。」「**18** フシャイはアブサロムに言った。「そんなことはできません。私は、エホバとこの民とイスラエルの人たちが選んだ方の側に付き、そのもとにとどまります。」「**19** では、私は誰に仕えるべきでしょうか。私の友の子ではありませんか。あなたの父上に仕えたように、あなたに仕えます。」「

20 その後、アブサロムはアヒトフェルに言った。「助言はあるか。私たちはどうしたらよいか。」「**21** アヒトフェルはアブサロムに言った。「あなたの父上が留守にする家の番として残した側室たちと関係を持ちなさい。あなたが父上に憎まれることをした、とイスラエル全体が聞けば、あなたの支持者たちは勢いづくでしょう。」「**22** それでアブサロムのために屋上に天幕が張られた。アブサロムはイスラエル全体の前で、父親の側室たちと関係を持った。」「

23 当時、アヒトフェルの助言は真の神の言葉のように見なされていた。

16:16 *または、「信頼できる友人」。 **16:21** *または、「宮殿」。

かれ じょげん すべ
彼の助言は全て、ダビデからもアブサ
ロムからもそのように重んじられて
いた。

17 アヒトフェルはアブサロム
に言った。「どうか私に1万
2000人を選ばせ、今夜、ダビデの後
を追わせてください。2 疲れて弱っ
ているところを襲い、彼を混乱に陥れ
ます。共にいる皆が逃げ出すでしょう
から、私は王だけを討ちます。3 そし
て民全てをあなたのものに連れ戻しま
す。あなたが狙っている男さえ何とか
すれば、民は皆、戻ってきて、やがて穏
やかになるでしょう。4 アブサロム
とイスラエルの全ての長老にとって、こ
れは名案と思えた。

5 それでもアブサロムは、「アルキ
人のフシャイを呼んでもらいたい。彼
の言うことも聞こうではないか」と
言った。6 それでフシャイがアブサ
ロムの所に来た。アブサロムは言っ
た。「アヒトフェルはこのように助言を
した。この助言を実行してよいだろう
か。よくないなら、どうすればよいか話
しなさい。7 フシャイはアブサロム
に言った。「アヒトフェルがした今回の
助言は良くありません!」

8 フシャイは続けた。「よくご存じの
ように、あなたの父上と部下たちは強
く、野原で子を奪われた雌熊のように
気が立っています。それに、あなたの

17:2 *または、「両手に力がない」。

第17章

(7) サニ 16:14

(1) 詩 37:12
詩 41:9
詩 55:12,13

(1) サニ 15:32
サニ 16:16

(1) サニ 15:34

(1) サニ 16:18
サニ 15:18
サニ 23:8,18
代一 11:26

(1) 格 17:12

第2欄

(7) サニ 17:50
サニ 18:7
サニ 19:8
サニ 10:18

(1) サニ 22:1
サニ 23:19

(1) 創 49:9
サニ 1:23
イザ 31:4

(1) サニ 18:5

(1) 裁 20:1

(1) 王一 4:20

(1) 格 21:1

(1) サニ 15:31,34
サニ 16:23
格 19:21
格 21:30

ちちうえ せん し (7) たみ とも 夜を 過
父上は戦士ですから、民と共に夜を過
ごすことはありません。9 今はどこ
かの洞窟かほかの場所に隠れている
でしょう。あなたの父上が先に攻撃し
てきたら、『アブサロムに付いていた
民は打ち破られた!』といううわさが
広まります。10 そうなると、ライオン
のように勇敢な人でもおじけづいてし
まいます。イスラエル全体が知ってい
る通り、あなたの父上は強く、共にいる
部下たちも勇敢なのです。11 私の
助言はこうです。イスラエル全体をあ
なたのもとに集めてください。ダンか
らベエル・シェバにかけて、海辺の砂
のように多くの人を集め、あなたが率
いて戦いに行くのです。12 そうすれ
ば、彼がどこにしようとも私たちは見
つけ、露が地面に降りるかのように
彼に襲い掛かれます。彼も部下たち
も、一人も生き残りません。13 もし
彼がどこかの町に逃げ込むなら、イス
ラエル全体と共に行ってその町に綱
を掛け、町を谷まで引きずっていき、
そこに小石一つさえ残らないようにし
ます。

14 するとアブサロムとイスラエル
の人たち皆は言った。「アルキ人フ
シャイの助言は、アヒトフェルの助言よ
りも優れている!」エホバの決定によ
り、アヒトフェルの的確な助言は実行
を阻まれることになっていた。エホバ

17:9 *または、「穴」、「峡谷」。17:10 *直訳、
「心が勇敢な」。17:14 *または、「命令」。

はアブサロムに災難^{さいなん}をもたらそうとしていたのである。

15 フシャイは、祭司^{さいし}のザドクとアビヤタル^いに言った。「アヒトフェルはアブサロムとイスラエルの長老^{ちやうろう}たちにこれこれの助言^{じょげん}をし、私はこれこれの助言^{じょげん}をしました。**16** それですぐに人を遣わしてダビデにこう伝えてください。『今夜^{こんや}は、荒野^{こうや}に近い渡り場^{ちか}にいてはいけません。必ず川^{かなら}を渡^{かわ}っていきなさい。そうしないと、王^{おう}も民^{たみ}も皆^{みな}、消し去^さられてしまいます』」。

17 ヨナタンとアヒマアツはエン・ロゲル^{たいき}で待機^{とし}していた。あえて都市^{はい}に入ることをしなかったのである。そこに召し使^{めつか}いの女性^{じょせい}がやって来て報告^{ほうこく}し、2人はダビデ王^{ふたり}の所^{おう}に伝え^{こう}に向^{つた}かった。**18** ところが、ある若者^{わかもの}が2人を見掛け、アブサロムに話した。それで2人はすぐ^{ふたり}に去^さっていき、バフリムのある男性^{だんせい}の家^{いえ}に行^いった。庭^{にわ}に井戸^{いど}があったので、2人はその中^{なか}に下^おりた。**19** 男性^{だんせい}の妻^{つま}が井戸^{いど}の口^{くち}に覆^{おお}いを掛け、その上^{うえ}に砕^{くだ}いた穀物^{こくもつ}を載^のせたため、誰^{だれ}にも気付^{きづ}けなかつた。**20** アブサロムの家来^{けらい}たちが家^{いえ}に来て女性^{じょせい}に言^いった。「アヒマアツとヨナタンはどこにいるのか^{どこ}」。女性^{じょせい}は答^{こた}えた。「ここを通^{とお}り過ぎて川^{かわ}の方^{ほう}に行^いきました」。家来^{けらい}たちは捜^{さが}したが、見^みつけられず、エルサレム^{かえ}に帰^{かえ}った。

21 家来^{けらい}たちが去^さると、2人は井戸^{いど}

第17章

(ア) 申 2:30
代 25:20

(イ) サニ 8:17
サニ 15:35

(例) 詩 35:24, 25

(四) 王 一 1:42

(例) サニ 15:27, 36
サニ 18:19

(例) ヨシ 15:7, 12
ヨシ 18:16, 20
王 一 1:9

(例) サニ 16:5
サニ 19:16

(例) 出 1:19
ヨシ 2:3-5
サニ 19:12, 14
サニ 21:2

第2欄

(ア) サニ 17:1, 2

(イ) ヨシ 15:20, 51
サニ 15:12

(例) 王 二 20:1

(四) サニ 31:4
王 一 16:18
詩 5:10
詩 55:23
マタ 27:3, 5
使徒 1:18

(例) 創 32:1, 2
ヨシ 13:24, 26

(例) サニ 8:16

(例) サニ 19:13
サニ 20:4, 10

(例) 代 一 2:16, 17

(例) 民 32:1
申 3:15

(四) 申 3:11
ヨシ 13:24, 25
サニ 12:26, 29

(例) サニ 9:3-5

(例) サニ 19:31, 32
王 一 2:7

から出てきて、ダビデ王^{おう}の所^{ところ}に行^いってこう伝^{つた}えた。「さあ、すぐ^{かわ}に川^{わた}を渡^うってください。アヒトフェルはあなたを討^うつためにこれこれの助言^{じょげん}をしました」。**22** ダビデと民^{たみ}の皆^{みな}は直^{ただ}ちに出發^{しゅっぱつ}して、ヨルダン川^{がわ}を渡^{わた}った。夜明け^{よあけ}までに、全員^{ぜんいん}がヨルダン川^{がわ}を渡^{わた}り切^きった。

23 アヒトフェルは、自分^{じぶん}の助言^{じょげん}が実行^{じっこう}されなかつたのを知^しって、ロバ^{ろば}を用意^{ようい}し、故郷^{こきやう}の自分^{じぶん}の家^{いえ}に帰^{かえ}った。そして家^{いえ}の人^{ひと}たちに指示^{しじ}を与^{あた}えてから、首^{くび}をつ^くつた。彼^{かれ}は死^しに、父祖^{ふそ}たちの墓^{はか}に葬^{ほうむ}られた。

24 その間^{あいだ}にダビデはマハナイム^{はいだ}に行^いった。アブサロムもイスラエル^{いと}の人^{ひと}たち皆^{みな}を連れてヨルダン川^{がわ}を渡^{わた}った。

25 アブサロムはヨアブ^いの代わり^かにアマサ^あに軍隊^{ぐんたい}を任^{まか}せた。アマサは、イスラエル^{じん}人^{じん}イトラとナハシュ^{むすめ}の娘^{むすめ}アビガイル^あの間の子^こである。アビガイル^あは、ヨアブ^いの母^{はは}ツェルヤ^しの姉妹^{しまい}だった。

26 イスラエルとアブサロムは、ギレアド^{ちほう}地方^{じんえい}に陣営^はを張^はった。

27 ダビデがマハナイム^つに着^つくとすぐ、アンモン^{じん}人^{とし}の都市^しラバ^{ひと}の人^{ひと}ナハシュ^この子^こシヨビと、ロ・デバル^{ひと}の人^{ひと}アミエル^この子^こマキル^いと、ギレアド^{ひと}のロゲリム^しの人^しバルジライが、**28** 寝具^{しんぐ}、鉢^{はち}、土器^{どき}、小麦^{こむぎ}、大麦^{おおむぎ}、麦粉^{むぎこ}、炒^いった穀物^{こくもつ}、空豆^{そらまめ}、レンズマメ^{こくもつ}、あぶ^もった穀物^{こくもつ}を持^もってきた。**29** 蜂蜜^{はちみつ}、バター^{ひつじ}、羊^{やぎ}、チーズ^{たみ}もあ^たった。彼^{かれ}らは、ダビデ^だと民^{たみ}が食^たべ

られるようにとこれら^{すべ}全て^もを持ってき
た。「民は荒野で飢えて疲^れれ、喉が渴^い
いている」と思ったのである。

18 ダビデは共にいた部下^{ぶか}たち^{たち}
を数え、千人長^{せんじんちやう}や百人長^{ひゃくにんちやう}
ちを任命した。2 そして、部下^{ぶか}の3分^{ぶん}
の1をヨアブ、3分の1をヨアブの兄弟^{きやうだい}
でツエルヤの子アビシャイ、3分の1を
ガトの人イッタイの指揮^{しき}下に置いた。
王は部下^{ぶか}たちに言った。「私も皆さん^{みな}
と共に出陣します」。3 部下^{ぶか}たちは
言った。「あなたは出陣してはいけま
せん。あなたは私たちの1万人に値し
ます。私たちが逃げようと、私たちの
半分が死のうと、彼らは何とも思わな
いでしょう。あなたは町にいて支援し
てくださる方がよいです」。4 王は
言った。「皆さんが最善^{さいぜん}と思^{おも}うことをし
ましょう」。こうして王は町の門の近く
に立ち、部下^{ぶか}たちは皆、百人隊^{ひゃくにんたい}ごと、
千人隊^{せんじんたい}ごとに出ていった。5 王はヨ
アブ、アビシャイ、イッタイにこう命じ
た。「私のために、若いアブサロムを
優しく扱ってください」。アブサロムに
ついて王が長たち皆にそう命じた時、
部下^{ぶか}全員が聞いていた。

6 部下^{ぶか}たちはイスラエルに立ち向
かうため野原に出ていった。戦いは
エフライムの森^{もり}でおこな^{おこな}れた。7 イ
スラエルの民はそこでダビデの家来^{けらい}
たちに打ち破られた。その日の戦死^{せんし}
者は非常に多く、2万人に上った。
8 戦いは地域一帯に広がり、その日、

第17章

(イ) 格 11:25

(イ) サ一 25:18
サ二 16:2

第18章

(イ) 格 20:18

(イ) サ二 8:16
サ二 10:7

(イ) 代一 2:15,16

(イ) サ二 23:18,19

(イ) サ二 15:19,21

(イ) サ二 21:17

(イ) サ二 17:1-3
哀 4:20

(イ) サ二 18:12

(イ) サ二 17:26

(イ) サ二 16:15

(イ) 詩 3:7
格 24:21,22

第2欄

(イ) サ二 8:16
サ二 18:2

(イ) サ二 18:5

つるぎ^{つるぎ}し^しひと^{ひと}よりも多く^{おほ}の^{おほ}人が森に潜^{ひそ}
む危険^{きけん}の犠牲^{ぎせい}になった。

9 やがてアブサロムはダビデの家
来たちに出くわした。アブサロムはラ
バに乗っており、ラバは大木の入り組
んだ枝の下にきた。するとアブサロム
は、髪が大木に引っ掛かって宙づりにな
り、乗っていたラバはそのまま走っ
ていった。10 それを見た人がヨア
ブにこう伝えた。「アブサロムが大木
に宙づりになっているのを見ました」。
11 ヨアブはその人に言った。「それ
を見ておきながら、どうしてその場で
仕留めなかったのか。そうしていたら、
銀10枚とベルトを与えてやったのに」。
12 その人はヨアブに言った。「私は
たとえ銀1000枚を渡されても、王の
ご子息に手は出しません。私たちが
聞いている所で、王はあなたとアビ
シャイとイッタイに、『みんな、若いア
ブサロムを大事に扱いなさい』と命じ
たからです。13 私が背いて彼の命
を奪っていたなら、王に必ず知られた
でしょうし、あなたは私を守ってはくだ
さなかったでしょう」。14 ヨアブは
言った。「これ以上おまえとは話しても時
間の無駄だ!」そうしてヨアブは3本
の投げ矢を取り、大木に宙づりになっ
てまだ生きていたアブサロムの心臓
に突き刺した。15 ヨアブの武器を

18:9 * 直訳、「天と地の間にぶら下が」り。18:
13 * または、「私が彼の命に対して不誠実なことを
をした」。18:14 * もしかすると、「やり。直訳、
「棒」。

運ぶ^{はこ}10人の従者^{にん じゅうしゃ}も来て、アブサロム^きを討^うって息^{いき}の根^ねを止^とめた。16 ヨアブ^ヲは角笛^{つのぶえ}を吹^ふき鳴^ならし、部下^{ぶか}たちはイスラエル^{いすらい}を追^おうのをやめ^{やめ}て戻^{もど}った。ヨアブ^ヲが停止^{ていし}を呼^よび掛^かけたのである。17 彼^{かれ}らはアブサロム^{はこ}を運^もんで森^{もり}の大きな穴^{あな}に投^なげ込^こみ、その上^{うへ}に石^{いし}を積^つんで非常^{ひじょう}に大きな山^{やま}にした。一方^{いっほう}、イスラエル^{いすらい}は皆^{みな}、それぞれ自^じ分の家^{いえ}に逃^にげた。

18 ところでアブサロム^{そんめいしやう}は存命^{ぞんめい}中^{ちゆう}、王^{おう}の谷^{たに}に1つ^いの石^{いし}を自^じ分のた^ために立^たてていた。彼^{かれ}が言^いうには、「私^{わたし}には、私^{わたし}の名前^{なまえ}を思^{おも}い起^{おこ}こさせる息子^{むすこ}が一人^{ひとり}もいない^い」からだった。彼^{かれ}はその石^{いし}に自^じ分の名前^{なまえ}を付^つけ、それは今^{いま}も「アブサロム^{きねんひよ}の記念^{きねん}碑^ひ」と呼ば^よばれている。

19 ザドク^この子^こアヒマアツ^いは言^いった。「どう^{わたし}か私^{はし}に走^しらせ、この知^しらせを自^おう王^{つた}に伝^でえさせてください。エホバ^{おう}は王^{おう}を敵^{てき}から解^{かい}放^{ほう}して、王^{おう}が正^{ただ}しいとい^いうことを示^{しめ}されたからです」。20 ヨアブ^{かれ}は彼^いに言^いった。「今^{こん}回^{かい}、知^しらせを自^もち持^もっていくのはあな^おたではない。王^{おう}の子^こが死^しんだのだから、今^{こん}回^{かい}はあな^おたが伝^{つた}えてはいけ^いない。あな^おたが伝^{つた}えるのは別^{べつ}の時^{とき}だ」。21 ヨアブ^{じん}はあるクシュ人^{くしうじん}に言^いった。「あな^おたが見^みたことを王^{おう}に伝^{つた}えに行^いきなさい」。そこでクシュ人^{くしうじん}はヨアブ^{あたま}に頭^さを下^さげ、走^{はし}っていった。22 ザドク^この子^こアヒマアツ^いはもう一^{いち}度^どヨアブ^いに言^いった。「どんなこ

第18章

〔サニ 12:10
格 2:22
格 20:20
格 30:17

〔イヨシ 7:24, 26
ヨシ 8:29
ヨシ 10:23, 27

〔イ創 14:17

〔サニ 14:27

〔イサニ 15:35, 36
サニ 17:17

〔イ詩 9:4

〔イサニ 18:5

〔イ創 10:6

第2欄

〔イサニ 18:4

〔イ王二 9:17

〔イサニ 18:19

〔イサニ 22:47
詩 144:1

とになろうとも、どうかクシュ人^{くしうじん}の後^{あと}を走^{はし}らせてください」。ヨアブ^いは言^いった。「アヒマアツ^{はし}、どうしてあな^おたが走^{はし}らなければいけ^いないのか。あな^おたが伝^{つた}えることは何^{なに}もない」。23 それでもアヒマアツ^{はし}は、「どんなことになろうとも、走^{はし}らせてください」と言^いった。ヨアブ^いは、「走^{はし}れ!」と言^いった。そこでアヒマアツ^{はし}は走^{はし}ってヨルダン^{ちい}地域^きを通^{とお}り、やがてクシュ人^{くしうじん}を追^おい越^こした。

24 さて、ダビデ^{まち}は町^{まち}の2つ^{ちん}の門^{かど}の間に座^まわっていた。見^み張^{はり}りが城^{じやう}壁^{へき}の門^{もん}の屋上^{おくじやう}に行^いって見^みると、1人^{ひとり}で走^{はし}ってくる人^{ひと}がいた。25 それで見^み張^{はり}りが叫^{さけ}んで王^{おう}に知^しらせを、王^{おう}は「1人^{ひとり}なら、その人^{ひと}は知^しらせを持^もっています」と言^いった。その人^{ひと}が近^{ひと}づいてくる中^{なか}、26 見^み張^{はり}りは別^{べつ}の人^{ひと}が走^{はし}ってくるのを見^みた。そして門^{もん}番^{ばん}に叫^{さけ}んだ。「見^みてください! 別^{べつ}の人^{ひと}が1人^{ひとり}で走^{はし}ってきます!」王^{おう}は、「その人^{ひと}も知^しらせを持^もっています」と言^いった。27 見^み張^{はり}りは言^いった。「走^{はし}り方^{かた}からして、最^{さい}初^しの人^{ひと}はザドク^この子^こアヒマアツ^いのよう^{よう}です。王^{おう}は、彼^{かれ}は良^よい人^{ひと}です。良^よい知^しらせを持^もってくるでし^しょう」と言^いった。28 アヒマアツ^いは叫^{さけ}んで、「全^{すべ}て順^{じゆん}調^{ちやう}です!」と王^{おう}に言^いった。そして王^{おう}にひれ伏^ふし、こ^こう言^いった。「あな^おたの神^{かみ}エホバ^おが賛^{さん}美^びされま^さすよ^うに! 神^{かみ}は王^{おう}に反^{はん}逆^{ぎやく}した人^{ひと}たちを王^{おう}の手^てに渡^{わた}してくださいまし^かた」。

29 王^{おう}は、「若^{わか}いアブサロム^ぶは無^じ事^じ

18:18 *または、「谷^やあいの平^{へい}原^{げん}」。

18:28 *直^ち訳^{やく}、「手^てを上げ^あげた」。

ですか」^{たず}と尋ねた。アヒマアツは^い言^つつた。「私^{わたし}と王^{おう}の家来^{けらい}がヨアブから^{つか}遣^はわされた時^{とき}、大きな騒^{さわ}ぎが起^おきているのを見^みましたが、何^{なに}かは分^わかりませんで^いした」。30 王^{おう}は、「脇^{わき}に寄^よって、立^たっていなさい」と言^いった。それでアヒマアツは脇^{わき}に寄^より、そこ^{そこ}に立^たった。

31 そこへクシュ人が^{じん}到着^{とうちゃく}し、こ^こう言^いった。「ご主人^{しゅじん}さま、王^{おう}よ、この知^しら^らせをお聞^ききください。エホバは今日^{けふ}、あなたを反逆^{はんぎやく}者^{しゃ}たちから解放^{かいほう}して、あなたが正^{ただ}しいとい^いうことを示^{しめ}されました」。32 王^{おう}はクシュ人^{じん}に言^いった。「若^{わか}いアブサロムは無^む事^じですか」。クシュ人^{じん}は言^いった。「王^{おう}の敵^{てき}と、あなたに危^き害^{がい}を加^{くわ}えようとした反逆^{はんぎやく}者^{しゃ}が皆^{みな}、あの若^{わか}者^{もの}のようにな^なりますように！」

33 すると王^{おう}はひどく動揺^{どうよう}して、門^{もん}の上^{うへ}の屋^や上^{じやう}の部^ふ屋^いに行^いって泣^ないた。歩^{ある}きながら、こ^こう言^いった。「わが子^こアブサロム、わが子^こ、わが子^こアブサロム！ 私^{わたし}が代^かわり^りに死^しねばよかつたのに。わが子^こ、わが子^こアブサロム！」

19 ヨアブの所^{ところ}に、「王^{おう}がアブサロムのこ^ことで泣^なき、嘆^{なげ}き悲^{かな}しんでい^いる」とい^いう報^{ほう}告^{こく}があ^あった。

2 そのため、兵士^{へいし}たち皆^{みな}にとつて、その日^ひの勝^{しょう}利^りの喜^{よろこ}びは嘆^{なげ}き^きに変わ^かった。息子^{むすこ}のこ^ことで王^{おう}が悲^{かな}しんでい^いると聞^きいたからである。3 兵士^{へいし}たちはその日^ひ、屈辱^{くつじよく}のう^うち^ちに敗走^{はいそう}する人^{ひと}たちのよう^{よう}に、ひっそりと町^{まち}に帰^{かえ}った。4 王^{おう}は顔^{かお}を

19:2 *または、「救出」。

第18章
(7) サニ 18:22

(1) サニ 18:21

(7) サニ 22:49
詩 55:18
詩 94:1
詩 124:2,3

(3) 詩 27:2

(7) サニ 12:10
サニ 17:14
サニ 19:1
格 19:13

第19章
(7) サニ 18:5
サニ 18:14

(7) サニ 17:24

第2欄
(7) サニ 18:33

(1) サニ 3:2-5
サニ 5:14-16

(7) サニ 13:1

(3) サニ 5:13
サニ 15:16

(7) サニ 18:17

(7) サニ 17:50
サニ 18:7
サニ 19:5
サニ 5:25
サニ 8:5

お覆^{おお}い、「わが子^こアブサロム！ わが子^こ、わが子^こアブサロム！」と大^{おお}声^{こゑ}で泣^なき叫^{さけ}んでいた。

5 ヨアブは王^{おう}が^いいる家^{いえ}に入^{はい}り、こ^こう言^いった。「あなた^{きやう}は今日^{けふ}、家来^{けらい}たち皆^{みな}に恥^{はじ}をかかせました。彼^{かれ}らはあなた^{あなた}の命^{いのち}を救^{すく}い、息子^{むすこ}や娘^{むすめ}、妻^{つま}や側室^{そくしつ}の命^{いのち}も救^{すく}ったのではないですか。6 あなたは、あなた^{あなた}を憎^{にく}む人^{ひと}たちを愛^{あい}し、あなた^{あなた}を愛^{あい}する人^{ひと}たちを憎^{にく}んでいます。あなたが今日^{けふ}していること^{こと}からすれば、あなた^{あなた}にとって長^{ちやう}や家来^{けらい}たちは大^{たい}して重^{じやう}要^{よう}ではありません。今日^{けふ}アブサロム^{アブサロム}が生^いきていて私^{わたし}たちが死^しんでい^いる方^{ほう}が、あなた^{あなた}にとつてはよかつたのだと思^{おも}います。7 さあ、立^たち上^あが^でって出^でてい^いき、家来^{けらい}たちを安^{あん}心^{しん}させてください。私^{わたし}はエホバに懸^かけて誓^{ちか}います。もしあなたが出^でてい^いかないなら、今^{こん}夜^やは誰^{だれ}もあなた^{あなた}のこ^ことにとどまりません。そうなれば、若^{わか}い時^{とき}からこれま^まであなた^{あなた}に降^ふり掛^かかったど^どんな災^{さい}難^{なん}よりもひどいこと^{こと}が起^おきるでし^しょう」。8 そこで王^{おう}は立^たち上^あがり、町^{まち}の門^{もん}の所^{ところ}に座^{すわ}った。そして民^{たみ}は皆^{みな}、「王^{おう}は門^{もん}の所^{ところ}に座^{すわ}っている」と知^しらされ、王^{おう}の前^{まえ}にや^やつて来^きた。

一方^{いつぱう}、イスラエル^{いすらえ}ルは、それぞ^{それ}れ自^じ分^{ぶん}の家^{いえ}に逃^{にかえ}げ帰^{かえ}っていた。9 イスラエル^{いすらえ}ルの全^{ぜん}部^ぶ族^{ぞく}の中^{なか}で、人^{ひと}々^{びと}は皆^{みな}こ^こう言^いい争^{あらそ}っていた。「王^{おう}は私^{わたし}たちを敵^{てき}から救^{すく}い、フィリステ^{ふりすて}ィア人^{じん}から救^{すく}い出^でしてく^くれたが、今^{いま}はアブサロム^{アブサロム}のこ^ことで逃^{とう}げ

している。10 私たちが選んだアブ
サロムが戦いで死んでしまった今、ど
うして王を連れ戻そうとしないのか。

11 ダビデ王は人を遣わして、祭司
のザドクとアビヤタルにこう伝えさ
せた。「ユダの長老たちにこう話しな
さい。『どうしてあなたたちは王を家
に連れ戻そうとせず、ほかの部族に後
れを取っているのですか。イスラエ
ルの皆の聲が私の家に届いています。

12 あなたたちは、私の兄弟、私の肉
親です。それなのにどうして王を連れ
戻そうとせず、ほかの部族に後れを取
るのですか。』 13 また、アマサにこう
言いなさい。『あなたは私の肉親では
ないですか。もしあなたが今後ヨアブ
の代わりに軍隊長にならないなら、神
が私を厳しく罰しますように。』

14 こうしてユダの全ての人の心が
すっかり傾いた。彼らは人を遣わして
王に、「あなたも、あなたの家来たちも
皆、お戻りください」と伝えさせた。

15 王は帰還し始め、ヨルダン川ま
で来た。ユダの民は、王を迎えてヨル
ダン川を渡るのを助けようとして、ギル
ガルにやって来た。16 ベニヤミン
族でゲラの子である、パフリムの人シ
ムイも、ダビデ王を迎えるためにユダ
の人たちと一緒に急いでやって来た。
17 ベニヤミンの人たち1000人がシ
ムイと共にいた。また、サウル家の従

第19章

[7] サニ 15:14

[1] サニ 15:10, 12

[2] サニ 18:14

[2] サニ 8:17

サニ 15:25

王一:8

[2] サニ 22:20

サニ 30:7

サニ 15:24

代一:15:11, 12

[2] サニ 2:4

[2] サニ 17:25

代一:2:16, 17

[2] サニ 8:16

サニ 18:5, 14

[2] ヨシ 5:9

サニ 11:14

[2] サニ 16:5

王一:2:8, 9

第2欄

[2] サニ 9:2, 10

サニ 16:1

[1] サニ 16:5

[2] サニ 2:18

[2] サニ 23:18

[2] 出 22:28

サニ 16:7

王一:21:13

[2] サニ 3:39

サニ 16:10

[2] 王一:2:8, 9

[2] サニ 9:3, 6

サニ 16:3, 4

者ツィバも15人の息子や20人の召し
使いを連れて、王が来るよりも前に
ヨルダン川に駆け付けた。18 彼は、
王の家の人を渡らせたり王の要望に
応えたりするため、渡り場を渡った。
一方、ゲラの子シムイは、王がヨルダ
ン川を渡ろうとした時、その前でひれ
伏した。19 そして王に言った。「王
が私を有罪とお考えになりませんよう
に。王がエルサレムから出ていかれ
た日に、私が犯しました過ちを思い出
さないでください。王よ、心に留めな
いでください。20 私は、自分が罪を
犯したことをよく分かっております。そ
れで今日、王をお迎えするためにヨセ
フの一族の中で一番先に参りました」。

21 ツェルヤの子アビシャイが言っ
た。「シムイは殺されるべきではない
でしょうか。エホバが選んだ方をの
のしったのですから。22 ダビデは
言った。「ツェルヤの子たち、これは私
のことで、あなたたちには関係のない
ことです。どうして私に反発するのです
か。今日イスラエルで誰かが殺されて
よいでしょうか。私が今イスラエルの
王であることを、私は分かっています」。
23 王はシムイに、「あなたは死ぬこと
はありません」と言い、誓った。

24 サウルの子メビボセテも王を迎
えに出た。メビボセテは、王が出て
いった日から無事に帰還した日まで、

19:10 *直訳、「油を注いだ」。用語集の「油を
注ぐ」参照。 19:12 *直訳、「骨と肉」。

19:18 *もしかすると、「彼ら」。 19:21 *直訳、
「油を注いだ」。

あし 足も洗わず、口ひげの手入れもせず、
 ふく 服も洗わなかった。 25 彼が王を迎
 えるためにエルサレムに来た時、王は
 かれ 彼にこう言った。「メピボセテ、あなたは
 どうして私と一緒に来なかったの
 ですか。 26 メピボセテは言った。
 「ご主人さま、王よ、私は召し使いた
 くらみにはまったのです。私は足が不
 じ 自由です、『ロバに乗って王と一
 緒に行けるよう、くらを置いておいてく
 ださい』と言ってありました。 27 そ
 れなのに、彼は王の前で私のことを中
 しょう 傷しました。ですが、王は真の神の天
 使のような方ですから、王が良いと思
 うことをなさってください。 28 私の
 ちち 父の家の者は皆、王に滅ばされてもお
 かしくつ かしいのに、あなたは私と同じ食
 卓に着かせてくださいました。私に
 は、これ以上何かを王に求める権利な
 どございません」。

29 王はメピボセテに言った。「そ
 れ以上話さなくて結構です。こうしま
 す。あなたとツィバで畑を分け合
 いなさい」。 30 メピボセテは王に言
 った。「王が無事に家に戻られたので
 せん、全部彼のものになっても構いま
 せん」。

31 ギレアデの人バルジライもロゲ
 リムからやって来て、ヨルダン川まで
 王につき添った。 32 バルジライは
 ひじょう 非常に年を取っており、80歳だった。
 とて とても裕福で、王がマハナイムにいた

19:25 *もしかすると、「から」。

第19章

(例) サニ 9:9

(例) サニ 4:4

(例) レビ 19:16
 サニ 16:3

(例) サニ 9:7-10

(例) サニ 16:4

(例) サニ 17:27-29
 王一 2:7

第2欄

(例) 格 3:27

(例) 格 11:25

(例) 詩 90:10

(例) 伝 2:8

(例) 創 50:13

(例) 王一 2:7

(例) 創 31:55
 サ一 20:41
 使徒 20:37

(例) サ一 11:14

(例) サニ 2:4

とき 時には食物を供給した。 33 王は
 バルジライに言った。「一緒に渡り
 ましょう。エルサレムであなたに食物
 を与えます」。 34 バルジライは王に
 言った。「王と共にエルサレムに行
 ったとしても、私はあと何年生きられるで
 しょうか。 35 私は今80歳です。私
 は、物の良しあしを見分けられるで
 しょうか。食べるものや飲むものを味
 わえるでしょうか。男女の歌い手たち
 の声を聞けるでしょうか。王に余計な
 重荷を負わせるわけにはいきません。
 36 ヨルダン川までお連れできただけ
 で十分です。そこまでしていただくに
 は及びません。 37 どうか帰らせてく
 ださい。父と母の墓に近い私の町で
 死なせてください。ここにキムハムが
 おります。彼を王と共に渡らせてくだ
 さい。良いと思うことを彼になさってく
 ださい」。

38 王は言った。「キムハムと一緒に
 に渡ります。あなたが良いと思うこと
 を彼にしましょう。あなたの願いは何
 でもかなえます」。 39 民は皆ヨルダ
 ン川を渡り始めた。王は渡る時、口づ
 けてバルジライのために祝福を願
 った。そうしてバルジライは町に帰
 った。 40 王は川を渡ってギルガ
 ルに向かい、キムハムと一緒に行
 った。ユダの民の皆とイスラエルの民の
 半分が王を渡っていかせた。

41 ほかのイスラエルの人たちが皆が
 王のもとに来て、こう言った。「私たち

の兄弟であるユダの人たちは、どうしてあなたを横取りして、王と家の人たちや部下たちにヨルダン川を渡らせたのですか。42 ユダの人たち皆がイスラエルの人たちに答えた。「王は私たちの身内だからだ。このことでどうして怒っているのか。私たちは王の費用で何かを食べたり、贈り物を受けと取ったりしたか。

43 イスラエルの人たちはユダの人たちに言った。「私たちの部族の数は10に上り、ダビデについてあなたたちよりも大きな権利がある。それなのに、どうして私たちを見下すようなことをしたのか。私たちが先に王を連れ戻すべきではなかったか。しかし、ユダの人たちの発言はイスラエルの人たちを圧倒した。

20 さて、ベニヤミン族で、ビクリの子であるシェバというどうしようもない人がいた。シェバは角笛を吹き鳴らしてこう言った。「われわれはダビデと分け合うものは何もない。エッサイの子から受けるものは何もない。イスラエルよ、おのおの自分の神々のもとに帰れ！」2 そこでイスラエルの人たちはダビデに従うのをやめ、ビクリの子シェバに従った。しかしユダの人たちは、ヨルダン川からエルサレムまでずっと自分たちの王から離れなかった。

19:43 *または、「よりも厳しかった」。20:1 *もしかすると、「天幕」。

第19章

(例) 裁 8:1
裁 12:1
サニ 19:15

(例) 詩 78:68, 70

第20章

(例) サニ 20:21
(例) 裁 3:26, 27
サニ 15:10

(例) サニ 19:43

(例) 王一 12:16

(例) 格 24:21

(例) サニ 19:15
サニ 19:41, 42

第2欄

(例) サニ 5:11

(例) サニ 15:16

(例) サニ 16:21, 22

(例) サニ 17:25
サニ 19:13
代一 2:17

(例) サ一 26:6
サニ 10:10
サニ 23:18
代一 18:12

(例) サニ 20:1

(例) サニ 15:12

(例) サニ 8:16

(例) サニ 8:18
サニ 15:18
王一 1:38

(例) ヨシ 18:21, 25
ヨシ 21:8, 17

(例) サニ 17:25
サニ 19:13

3 ダビデはエルサレムの家に帰ると、留守の家の番として残しておいた側室10人を集め、監視付きの家に入れた。食物を供給したが、彼女たちと関係を持つことはなかった。彼女たちは、夫が生きているにもかかわらず、やもめのような生活を送り、死ぬまでずっとそこに入れられていた。

4 王はアマサに言った。「ユダの人たちを3日以内に招集し、あなたもここに来なさい」。5 それでアマサはユダを招集しに行ったが、決められた期限内には戻ってこなかった。6 ダビデはアビシャイに言った。「ビクリの子シェバはアブサロム以上に私たちに痛手を加えるかもしれません。私の家来たちを連れて、シェバの後を追いなさい。彼が防備された町を見つけ、私たちから逃げ切ることがないようにするのです」。7 こうしてヨアブの部下、ケレト人とベレト人、戦士たちの皆が、彼の後に付いていった。エルサレムを出て、ビクリの子シェバの後を追って行ったのである。8 彼らがギベオンにある大きな石の近くにいると、アマサが会いにやって来た。その時ヨアブは武装し、さやに入れた剣を腰に帯びていた。ヨアブが前に出ると、剣は抜け落ちた。

9 ヨアブはアマサに、「私の兄弟、無事か」と言った。そして口づけするように見せ掛け、右手でアマサのひげ

20:3 *または、「宮殿」。

をつかんだ。10 アマサは、ヨアブが手にしていた剣に注意していなかった。ヨアブはその剣でアマサの腹部を突き刺し、腸が地面に流れ出た。それが致命傷になり、2度突くまでもなかった。それからヨアブと兄弟のアビシャイは、ピクリの子シェバの追跡を続けた。

11 ヨアブの部下の1人がアマサのそばに立ち、「ヨアブに付く者、ダビデの側にいる者は皆、ヨアブに続け!」と言った。12 その間、アマサは道の真ん中で血まみれになって転がっていた。部下は、そこに来る人たちが皆立ち止まるのを見て、アマサを道から野原に運び、その上に服を掛けた。13 アマサが道から除かれた後、部下たちは皆ヨアブに続いてピクリの子シェバを追跡した。

14 シェバはイスラエルの全部族の中心を通過してベト・マアカのアベルに行った。ピクリ一族の人たちも集合し、シェバの後に付いてそこに行った。

15 ヨアブと部下たちは、シェバがいるベト・マアカのアベルを包囲した。町は土塁に囲まれていたので、攻め落とすためにまず土塁を築いた。また、ヨアブと共にいた部下たちは皆、城壁の下を掘って崩そうとした。16 1人の賢い女性が町から叫んだ。「聞いてください、皆さん。聞いてください! どうかヨアブに、『お話ししたいので、こちらに来てください』と言っ

第20章

(例) サニ 3:27
王一 2:5

(例) サニ 20:1

(例) 王一 15:20
王二 15:29

第2欄

(例) 出 19:5
申 32:9

(例) ヨシ 17:14, 15
裁 2:8, 9

(例) サニ 20:1

(例) 伝 9:14, 15
伝 9:18

(例) サニ 8:16
サニ 19:13

(例) 代一 12:27

(例) サニ 23:20
代一 27:5

てください」。17 ヨアブが女性の所に近づくと、女性は「あなたがヨアブですか」と言った。ヨアブが「そうだ」と答えると、女性は「私の言葉をお聞きください」と言った。ヨアブは「私は聞いている」と言った。18 それで女性性は続けた。「昔はよく、『アベルで尋ねよう』と言ったものです。それで片が付きしました。19 私は、平和を好む忠実なイスラエルの人の1人です。あなたはイスラエルにある母のような町を壊滅させようとしています。どうしてエホバのものを滅ぼそうとするのですか」。20 ヨアブは答えた。「町を滅ぼして壊滅させることなど、考えていない。21 そういうことではない。ピクリの子で、エフライムの山地のシェバという男がダビデ王に反逆したのだ。その男さえ引き渡してくれば、ここから引き揚げよう。すると女性はヨアブに言った。「では、その男の首を城壁の上からあなたの所に投げ渡します!」

22 その賢い女性はずぐに民の所に戻り、ピクリの子シェバの首は切り落とされてヨアブの所に投げられた。ヨアブは角笛を吹き鳴らし、部下たちは町から散って、それぞれ自分の家に帰った。ヨアブもエルサレムの王のものに戻った。

23 ヨアブはイスラエルの全軍を指揮し、エホヤダの子ベナヤはケレト人

20:21 * 直訳、「手を上げた」。

とベレト人をまとめていた。24 アド
ラムは強制労働に徴用された人た
ちをまとめ、アヒルドの子エホシャフト
は記録官だった。25 シェワは秘書
官で、ザドクとアビヤタルは祭司だっ
た。26 ヤイル人イラムもダビデのた
めの奉仕者の長になった。

21 ダビデの時代に3年連続で
飢饉が起き、ダビデはエホ
バに相談した。するとエホバは言っ
た。「サウルとその一家には流血の罪
がある。サウルがギベオンの人た
ちを殺したからである」。2 それで王は
ギベオンの人たちを呼び寄せて話し
た。(ギベオンの人たちはイスラエル
人ではなく、アモリ人の生き残りだっ
た。イスラエル人はかつて彼らに危害
を加えないと誓っていたが、サウルは
イスラエルとユダの民への極端な愛
ゆえに、彼らを討とうとした。) 3 ダ
ビデはギベオンの人たちに言った。
「私は皆さんのために何ができますか。
どんな償いをすれば、皆さんはエホバ
の民のために祝福を願ってくれます
か」。4 ギベオンの人たちは言った。
「サウルとその家の人たちのことは銀
や金の問題ではありません。また、私
たちがイスラエルで誰かを殺すことも
できません」。ダビデは言った。「皆さ
んの言うことは何でも皆さんのために
行います」。5 彼らは王に言った。
「私たちを絶滅させようとした人、イス

20:26 *直訳、「祭司」。

第20章

(ア) サニ 8:18
サニ 15:18
王一 1:38, 44

(イ) 王一 4:6
王一 12:18

(ウ) 王一 4:3

(エ) サニ 15:27

(オ) サニ 17:15
サニ 19:11
王一 4:4

第21章

(カ) レビ 26:18, 20

(キ) 創 9:6
出 20:13
民 35:30, 33

(ク) ヨシ 9:3, 27

(ケ) 創 10:15, 16

(コ) ヨシ 9:15

(ク) 民 35:31

第2欄

(ア) サニ 21:1

(イ) サ一 9:17

(ウ) サ一 10:26

(エ) 民 25:4
申 21:22

(オ) サニ 4:4
サニ 9:10
サニ 19:24

(カ) サ一 18:3
サ一 20:42

(キ) サニ 3:7

(ク) サ一 18:19

(ケ) サ一 18:20
サ一 25:44
サニ 3:14
サニ 6:23

(コ) 民 35:31
申 19:21

(ク) サニ 3:7

(コ) サニ 2:5

ラエルの領土では生きていけないよう
私たちを滅ぼし尽くそうとした人、
6 その人の子孫の中から7人を私た
ちに引き渡してください。エホバが選
んだ人であるサウルの町ギベアで、エ
ホバの前に彼らの遺体をつるします」。
それで王は、「引き渡ししましょう」と
言った。

7 しかし王は、サウルの子ヨナタン
の子メピボセテに同情を覚えた。ダ
ビデとサウルの子ヨナタンは、エホバ
の前で誓いを交わしていたからであ
る。8 それで王は、サウルとアヤの
娘リツパとの間に生まれた2人の息子
アルモニとメピボセテと、メホラの人
バルジライの子アドリエルとサウルの
娘ミカルとの間に生まれた5人の息子
を集め、9 ギベオンの人たちに引き
渡した。ギベオンの人たちは彼らの遺
体を山でエホバの前につるした。収
穫の初めの頃、大麦の収穫の初めの
頃に7人は処刑され、一緒に死んだ。
10 アヤの娘リツパは粗布を取り、収
穫の初めから雨が遺体に降り注ぐ時
まで、それを岩の上に広げた。昼は鳥
が降りてこないよう、夜は野生動物が
近寄らないようにしたのである。

11 サウルの側室、アヤの娘リツパ
がしたことがダビデに伝えられた。
12 ダビデは、サウルとその子ヨナタ
ンの骨を取りに、ヤベシュ・ギレアデの

21:6 *直訳、「彼らをさらし」。21:8 *アベル・
メホラのことと考えられる。*もしかすると、「メ
ラブ」。

指導者たちの所に行った。その人たちは以前、フィリスティア人がギルボアでサウルを討った時に遺体をつるしたベト・シャンの広場から、それをひそかに奪ってきたのである。13 ダビデはサウルとその子ヨナタンの骨をそこから運んだ。処刑された人たちの骨も集められた。14 サウルとその子ヨナタンの骨は、ベニヤミンの土地ツェラにあるサウルの父キシの墓に葬られた。王が命じたことは全て実行され、その後、神は国に関する願いを聞き入れた。

15 フィリスティア人とイスラエルの戦いが再び起きた。ダビデと家来たちは下っていき、フィリスティア人と戦ったが、ダビデは非常に疲れた。

16 レファイム人の子孫イシュビ・ペノブがダビデを討とうと狙った。彼は重さ約3キロの銅のやりと新しい剣で武装していた。17 すぐにツェルヤの子アビシャイが助けに来て、そのフィリスティア人を殺した。するとダビデの部下たちは、ダビデにこう言って譲らなかった。「もう私たちと一緒に戦いには来ないでください。イスラエルの明かりを消してはいけません!」

18 その後、ゴブでまたフィリスティア人との戦いが起き、フシャシベカイがレファイム人の子孫サフを討った。

19 ゴブでまたフィリスティア人と

第21章

(ア) サー 28:4
サー 31:1
サー 31:11, 12
サー 1:6
代 10:8
(イ) サニ 21:9
(ウ) ヨシ 18:28
(ロ) サニ 9:1
サー 10:11
(カ) ヨシ 7:24-26
サー 24:25
(ク) サニ 5:17, 22
(ケ) 申 2:11
(コ) サニ 17:4, 7
代 11:23
(ク) サニ 23:18, 19
(コ) サニ 22:19
(ケ) サニ 18:3
(シ) 王 11:36
王 15:4
王 2:8-19
(ス) 代 20:4
(セ) 代 11:26, 29
代 27:1, 11
(ハ) 創 14:5

第2欄

(ア) 代 20:5
(イ) サニ 17:4, 7
(ウ) 代 20:6-8
(ロ) サニ 17:10, 45
王 2:19-22
(カ) サニ 16:9
サー 17:13
代 2:13
(ク) 詩 60:12

第22章

(キ) サニ 23:14
詩 18:表題
詩 34:19
(ク) 出 15:1
裁 5:1
(ケ) 詩 31:3
(コ) 詩 18:2, 3
(セ) 申 32:4
サー 2:1, 2
(シ) 創 15:1
申 33:29
詩 3:3
(ス) 詩 9:9
格 18:10
(セ) 詩 59:16
(ハ) イザ 12:2
ルカ 1:46, 47
テト 3:4

の戦いが起き、ベツレヘムの人ヤアレ・オレギムの子エルハナンがガトの人ゴリアテを討った。ゴリアテのやり柄は、機織りが使う巻き棒のように太かった。

20 ガトでまたしても戦いが起きた。そこには、手と足にそれぞれ指が6本あり、合わせて24本の指がある巨人がいた。その人もレファイム人の子孫だった。21 彼はイスラエルをあざけていたので、ダビデの兄弟シムイの子ヨナタンが彼を討った。

22 以上の4人はガトのレファイム人の子孫で、ダビデと家来たちの手によって倒された。

22 ダビデは、サウルと全ての敵の手からエホバに助け出された日に、この歌をエホバに向かって歌った。

2 「エホバは私の大岩、私のとりで、私を助け出さす方。

3 私の神は私の岩。私が身を寄せ

る方。

わたし たて いたすく つの* あんぜん ひ
私の盾、救いの角、安全な避
難所。

わたし に こん ばしょ わたし すく
私が逃げ込む場所、私の救
い主。

あなたは私を乱暴な敵から救つてくださる。

4 私は賛美されるべき方エホバに呼び掛け、

22:3 *または、「強力な救い主」。用語集参照。
*または、「高台」。

21:12 *もしかすると、「地主」。21:13 *直訳、「さらされた」。21:17 *直訳、「誓った」。

てき すく
敵から救われる。

- 5 死の波がしぶきを上げて私に押し寄せ、

どうしようもない人たちの激流に
わたしはおびえた。

- 6 墓の綱が私に絡み付き、
死のわなに私は直面した。

- 7 苦難の時に私はエホバに呼び掛けた。

私の神に呼び掛け続けた。
すると、神殿にいる神が私の声を
聞いてくださった。

助けを求める叫びが神の耳に届いた。

- 8 地面は大きく揺れ、震動し始め、
天の土台がぐらついた。
神の怒りで揺れ動いた。

- 9 神の鼻から煙が立ち上り、
口から焼き尽くす火が出た。
神のもとから炭火が燃え上
がった。

- 10 神は天を押し曲げて降りてきた。
足元には濃い闇があった。

- 11 神はケルブに乗って飛んできた。
天使の翼に乗って現れた。

- 12 そして闇の中に身を置いた。
暗い雨雲の中に。

- 13 神の前が光り、そこから炭火が
燃え上がった。

- 14 エホバは天から雷鳴をとどろかせ始めた。

第22章

(例) 詩 69:14

(例) 詩 18:4

(例) 詩 116:3,4

(例) 詩 18:5

(例) 詩 142:1

ヨナ 2:2

(例) 出 3:7

詩 18:6

詩 34:15

(例) 裁 5:4

(例) ヨブ 26:11

(例) 詩 18:7-12

詩 77:18

(例) 詩 30:27

(例) 詩 144:5

イザ 64:1

(例) 申 4:11

王一 8:12

詩 18:9

詩 97:2

(例) サ一 4:4

詩 80:1

詩 99:1

(例) ヘブ 1:7

(例) ヨブ 36:29

(例) 出 19:16

サー 2:10

第2欄

(例) 詩 18:13-16

イザ 30:30

(例) 詩 7:13

詩 77:17

(例) 詩 144:6

(例) 出 15:8

(例) 出 14:21

詩 106:9

詩 114:3

(例) 詩 18:16-19

詩 124:2-4

詩 144:7

(例) 詩 3:7

詩 56:9

(例) サ一 19:11

サー 23:26

サー 15:10

(例) 詩 31:8

(例) 詩 149:4

(例) サ一 26:23

王一 8:32

(例) 詩 18:20-24

詩 24:3,4

(例) 申 6:1

詩 19:9

(例) 申 8:11

し こうしや こえ ひび
至高者が声を響かせた。

- 15 矢を放って敵を散らし、
稲妻によって混乱に陥れた。

- 16 エホバの叱責により、神の鼻から
出た突風により、
海の底が見え、大地の土台があらわになった。

- 17 神は高い所から手を伸ばし、
私をつかんで深い水の中から引き上げてくださった。

- 18 神は強い敵から助け出してくださいました。

私を憎む、私よりも強い人たちから。

- 19 私の災難の日に、彼らは私に立ち向かってきた。
しかしエホバが支えてくだ

さった。

- 20 神は私を安全な場所に連れて
いってくださいました。

私のことを喜び、助け出してくださいました。

- 21 エホバは私の正しさに応じて
報い、

私の潔白さに応じて報いてくださる。

- 22 私はエホバの道を守った。
神を捨てるといふ悪に陥らな

かった。

- 23 神の法規 全てが私の前にあり、
私は神の法令に背かない。

22:6 *ヘブライ語、シエオル。用語集参照。
22:11 *または、「風」。

22:20 *または、「広い」。 22:21 *直訳、「手の清さ」。

24 非難^{ひなん}されるところがない^い生き方^{かた}を
して神^{かみ}の前に^{まえ}立ち、
過^{あやま}ちから身^みを守る。

25 エホバが私^{わたし}に報^{むく}いてくださいま
すように。

私^{わたし}の正^{ただ}しさに^{おう}応^いじて、
神^{かみ}のま^{まえ}での潔^{けつぱく}白^{はく}さに^{おう}応^いじて。

26 あなたは、揺^ゆるぎない愛^{あい}を示^{しめ}す
人^{ひと}に、揺^ゆるぎない愛^{あい}を示^{しめ}す。

誠^{せいじつ}実^{じつ}な人^{ひと}に誠^{せいじつ}実^{じつ}である。

27 純^{じゅん}粋^{すい}な人^{ひと}に純^{じゅん}粋^{すい}であり、
不^ふ正^{しょう}直^{ちく}な人^{ひと}には鋭^{しめ}い^{めい}賢^{けん}さを示^{しめ}す。

28 謙^{けん}遜^{そん}な人^{ひと}を救^{すく}い、
傲^{ごう}慢^{まん}な人^{ひと}を厳^{きび}しい目^めで^み見^み、卑^ひし
める。

29 エホバ、あなた^{わたし}は私^{わたし}のラン^{ランプ}プ。
私^{わたし}の闇^{やみ}を照^てらしてくださるのはエ
ホバ。

30 あなたの助^{たす}けで、私^{わたし}は略^{りやく}奪^{だつ}隊^{たい}に
突^{とつ}撃^{げき}できる。

神^{かみ}の力^{ちから}によつて、城^{じょう}壁^{へき}をよ^よじ登^{のぼ}
れる。

31 真^{しん}の神^{かみ}の道^{みち}は完^{かん}全^{ぜん}、
エホバの言^{こと}ばは精^{せい}錬^{れん}されたもの。
神^{かみ}の^のかたに逃^{かみ}れるなら、神^{かみ}は盾^{たて}と
な^なってくださる。

32 エホバのほかに誰^{だれ}が神^{かみ}なのか。
私^{わたし}たち^{かみ}の神^{かみ}以外^いに誰^{だれ}が岩^{いわ}
のか。

22:26 *または、「非難されるところがない人
には、非難されるところがない行いをする」。22:
27 *または、「清い人には清く」。*もしかする
と、「愚かなふりをする」。

第22章

(ア) 詩 84:11

(イ) 詩 18:23

格 14:16

(ウ) ヨブ 34:11

イザ 3:10

ヘブ 11:6

(エ) 詩 18:24

格 5:21

(オ) 詩 37:28

詩 97:10

(カ) 詩 18:25-30

(キ) マタ 5:8

ペー 1:16

(ク) 詩 125:5

(コ) ヨブ 34:28

(コ) ダニ 4:37

ペー 5:5

(ケ) 詩 27:1

(セ) 詩 97:11

(ソ) 詩 18:29

フイリ 4:13

ヘブ 11:33, 34

(タ) 申 32:4

(チ) 詩 12:6

格 30:5

(テ) 詩 35:2

詩 91:4

(ト) イザ 44:6

(ニ) 申 32:31

詩 18:31-42

第2欄

(ア) 詩 27:1

イザ 12:2

(イ) イザ 26:7

(ウ) イザ 33:15, 16

ハバ 3:19

(エ) 詩 18:35

詩 113:6-8

(オ) 詩 17:5

(カ) 出 14:13

(キ) サー 23:5

(ク) サー 17:49

詩 44:3, 5

(コ) 創 49:8

(コ) 詩 18:40

(ケ) サー 28:6

格 1:28

イザ 1:15

ミカ 3:4

33 真^{しん}の神^{かみ}は私^{わたし}の強^{きやう}固^こな要^{よう}塞^{さい}。

神^{かみ}は私^{わたし}の道^{みち}を完^{かん}全^{ぜん}にしてくだ
さる。

34 神^{かみ}は私^{わたし}の足^{あし}を鹿^{しか}のよう^いにし、
高^{たか}い場^ば所^{しょ}に私^{わたし}を立^たたせる。

35 神^{かみ}は私^{わたし}の手^てを戦^{たたか}いのた^ために
鍛^{きた}え、

私^{わたし}の腕^{うで}は銅^{どう}の弓^{ゆみ}を曲^まげる。

36 あなたは救^{すく}いの盾^{たて}を私^{わたし}に下^{くだ}さる。

私^{わたし}が優^{すぐ}れた者^{もの}になれるのはあな
たが謙^{けん}遜^{そん}だから。

37 あなたは私^{わたし}が進^{すす}む道^{みち}を広^{ひろ}くしてく
ださる。

私^{わたし}の足^{あし}が滑^{すべ}ること^いはない。

38 私^{わたし}は敵^{てき}を追^{つい}跡^{せき}して滅^{ほろ}ぼす。

一^{いっ}掃^{そう}するま^{かえ}で帰^{かえ}らない。

39 敵^{てき}を一^{いっ}掃^{そう}して打^{うち}ち倒^{たお}し、立^たち上^あが
れないようにする。

敵^{てき}は私^{わたし}の足^{あし}元^{もと}に倒^{たお}れる。

40 あなたは戦^{たたか}う力^{ちから}を私^{わたし}に授^{さづ}け、
敵^{てき}を私^{わたし}の前^{まえ}に倒^{たお}れさせさる。

41 あなたが私^{わたし}の敵^{てき}を退^{たい}却^{きやく}させ、
私^{わたし}は、私^{わたし}を憎^{にく}む人^{ひと}たちを消^け
去^さる。

42 彼^{かれ}らは助^{たす}けを求^{もと}めて叫^{さけ}ぶが、救^{すく}
う者^{もの}はいない。

エホバに向^む向^むかっ^{さけ}て叫^{さけ}んでも、答^{こた}
えはない。

43 私^{わたし}は彼^{かれ}らを土^{つち}ぼこりのよう^{こなごな}に粉^{こな}々^{ごな}
にし、

路^ろ上^{じやう}の泥^{どろ}のよう^ふに踏^ふみつづす。

22:41 *または、「敵の背中を私に与え」。

- 44 民が私に言い掛かりをつけても、
あなたが助け出してください。
あなたは私を守り、国々の長に
してください。

私の知らなかった民が私に仕
える。

- 45 外国人たちはやって来て、私を恐
れて頭を下げる。

私のことを耳にして、私に従う。

- 46 外国人たちは意気をくじかれ、
震えながらとりでから出てくる。

- 47 エホバは生きている。

私の岩が賛美されますように。

私の神、私を救う岩がたたえら
れますように。

- 48 真の神が私のために復讐し、
人々は私に屈服する。

- 49 神は敵から私を助け出す。
あなたは、攻めてくる人たちの上
に私を引き上げ、
暴力を振るう人から救ってくだ
さる。

- 50 それで、エホバ、私は国々であ
なたに感謝し、

あなたの名を賛美して歌う。

- 51 神はご自分の王を見事に救う。
選んだ者に揺るぎない愛を示す。
ダビデとその子孫に、永遠に」。

22:46 *または、「衰えていき」。 22:50 *また
は、「名のために音楽を奏でる」。 22:51 *また
は、「に大勝利を収めさせる」。 22:51; 23:
1 #直訳、「油を注いだ」。用語集の「油を注ぐ」
参照。

第22章

(ア) サー 30:6
サニ 15:12
(イ) サニ 8:3
詩 2:8
詩 60:8
(ウ) 詩 18:43-45
(エ) 申 33:29
(オ) 申 32:4
(カ) 詩 18:46
詩 89:26
(キ) サー 25:29
サニ 18:19
(ク) 詩 18:47
詩 110:1
詩 144:1,2
(ケ) サニ 5:12
サニ 7:9
(コ) 詩 18:48
(コ) 申 32:43
詩 117:1
(セ) 代一 16:9
詩 145:2
ロマ 15:9
(ソ) 詩 2:6
詩 21:1
(タ) 詩 89:20,29
ルカ 1:32,33

第2欄

第23章

(ア) 創 49:1
申 33:1
(イ) サー 17:58
マタ 1:6
(ウ) サニ 7:8
(エ) サー 16:13
(オ) 代一 16:9
(カ) マル 12:36
テモ二 3:16
(キ) 使徒 1:16
ペ二 1:21
(ク) 申 32:4
詩 144:1
(ケ) 格 29:2
イザ 9:7
イザ 32:1
(コ) 出 18:21
イザ 11:3
(セ) マラ 4:2
マタ 17:2
啓 1:16
(ソ) 詩 72:1,6
(タ) サニ 7:16,19
代一 17:11
詩 89:3
詩 89:28,29
詩 132:11
(チ) イザ 9:7
イザ 11:1
アモ 9:11
(リ) 詩 37:10

23 以下はダビデの最後の言葉
である。

「エッサイの子ダビデの言葉、
栄光を与えられた者の言葉。

ヤコブの神が選んだ者、
イスラエルの歌の朗らかな歌
い手。

2 私はエホバの聖なる力によって
語った。

神の言葉が私の舌の上に
あった。

3 イスラエルの神は語った。
イスラエルの岩が私に言った。
『人を治める者が正しい人で、
神を畏れつつ治めるとき、

4 それは、雲一つない朝の、
照り輝く太陽の光のようだ。
地面に草を芽生えさせる、
雨上がりの日差しのようにだ』。

5 神の前で私の家系はそうであ
るのではないだろうか。

神は永遠の契約を私と結んだ。
事細かに整えられた、確かな契
約を。

それは私にとって完全な救い、
喜び。

神が繁栄させてくださらないこと
があるだろうか。

6 しかし、どうしようもない人は皆、
いばらのように捨てられる。

23:1 *または、「朗らかなもの」。 23:2 *用語
集参照。

手でつかむことはできない。

7 触るときには鉄ややりを手にし、
その場で焼き払うべきだ。

8 以下は、ダビデの勇士たちの名前である。3勇士の長、ハクモニの子孫ヨシェブ・バシエト。彼はやりを振るって800人を一度に打ち殺した。

9 次に、アホビの子ドの子エレアザル。彼は、戦いのために集結していたフィリスティア人にダビデと共に挑んだ3勇士の1人である。イスラエルの兵士たちが退却しても、10 彼は踏みとどまり、腕が疲れて、剣を握った手が固まって離れなくなるまで、フィリスティア人を討ち続けた。こうしてその日、エホバは大勝利をもたらした。兵士たちはエレアザルの所に戻ってきて、倒れた人たちから物品を剥ぎ取った。

11 次は、ハラル人アゲの子シャマ。フィリスティア人が、レンズマメの密生した畑があるレビに集結した時、兵士たちはフィリスティア人の前から逃げた。12 しかし、彼は畑の中に踏みとどまって畑を守り、フィリスティア人を討ち続けた。こうしてエホバは大勝利をもたらした。

13 収穫の頃、30人の長のうちの3人が、アドラムの洞窟にいるダビデの所に来た。フィリスティア人の一団がレファイムの谷で宿営していた。

23:8 *または、「タフケモニ人」。23:10, 12 *または、「大救出」。23:13 *または、「天幕村」。「または、「谷あいの平原」。

第23章

(ア) サニ 10:7
サニ 20:7
代一 11:10

(イ) 代一 11:11

(ウ) 代一 27:1,4

(エ) 代一 11:12-14

(オ) 裁 8:4

(カ) 裁 15:14,16

サ一 14:6

サ一 19:5

(キ) 詩 3:8

詩 44:3

(ク) ヨシ 15:20,35

サ一 22:1

(コ) ヨシ 15:1,8

サニ 5:22

代一 11:15-19

第2欄

(ア) サ一 22:1,4

代一 12:16

(イ) レビ 9:9

レビ 17:13

(ウ) 創 9:4

レビ 17:10

(エ) サニ 2:18

代一 2:15,16

(オ) サ一 26:6

サニ 21:17

(カ) 代一 11:20,21

(キ) サニ 8:18

サニ 20:23

王一 1:8

王二 2:29

代一 27:5,6

(ク) ヨシ 15:21

(コ) 代一 11:22-25

格 30:30

14 ダビデは隠れがにいて、フィリスティア人の前哨部隊がベツレヘムにいた。15 ダビデは、「ベツレヘムの門のそばにある水ための水を飲めたらよいのに」と願望を口にした。16 そこで、3勇士はフィリスティア人の宿営に無理に突入して、ベツレヘムの門のそばにある水ためから水をくみ、ダビデの所に持ってきた。しかしダビデは飲もうとはせず、エホバの前で注ぎ出した。17 彼は言った。「エホバ、命を懸けて行った人たちの血を飲むなど、私には考えられないことです!」こうして彼は水を飲もうとはしなかった。以上は3勇士が行ったことである。

18 ツェルヤの子ヨアブの兄弟アビシャイは、別の3人の長だった。彼はやりを振るって300人を打ち殺し、3勇士のような名声を得た。19 彼は、3人の中でも特に優れていて長だったが、3勇士には及ばなかった。

20 エホヤダの子ベナヤは勇敢な人で、カブツェエルで多くの手柄を立てた。モアブのアリエルの2人の子を討ち、雪の降るある日、貯水穴に下りてライオンを殺した。21 また、エジプト人の巨人も討った。そのエジプト人はやりを手にしてしたが、ベナヤは棒を持って立ち向かい、相手の手からやりを奪い取ってそれで殺した。

22 エホヤダの子ベナヤはこれらのことを行い、3勇士のような名声を得た。

23 彼は30人の人よりも優れてはい

たが、3勇士^{ゆうし}には及ば^{およ}なかった。だが、
ダビデは彼に自分の護衛^{かへ}をまとめさ
せた。

24 ヨアブの兄弟^{きょうだい}アサエルは例^{れい}の
30人の1人^{ひとり}だった。ほかに以下^{い か}の人
がいた。ベツレヘムのドドの子^こエル
ハナン、25 ハロドの人^{ひと}シャマ、ハロ
ドの人^{ひと}エリカ、26 パルティ人^{じん}ヘレツ、
テコアの人^{ひと}イケシュの子^こイラ、27 ア
ナトテの人^{ひと}アビ・エゼル、フシャ人^{じん}メ
ブナイ、28 アホアハの子^し孫ツアル
モン、ネトファの人^{ひと}マハラ、29 ネ
トファの人^{ひと}バアナの子^こヘレブ、ベニヤミ
ン族^{ぞく}の町^{まち}ギベアのリバイの子^こイッ
タイ、30 ピラトンの人^{ひと}ベナヤ、ガ
シュの谷^{やみ}のヒダイ、31 ベト・アラバ
の人^{ひと}アビ・アルボン、パフリムの人^{ひと}ア
マベト、32 シャルビムの人^{ひと}エルヤ
フバ、ヤシェンの子^こたち、ヨナタン、
33 ハラル人^{じん}シャマ、ハラル人^{じん}シャ
ルの子^こアヒアム、34 マアカト人^{じん}の
子^こアハスパイの子^こエリフェト、ギロ
の人^{ひと}アヒトフェルの子^こエリアム、35 カ
ルメルの人^{ひと}ヘツロ、アラブの人^{ひと}パアラ
イ、36 ツオバのナタンの子^こイグアル、
ガド族^{ぞく}のパニ、37 アンモン人^{じん}ツェレ
ク、ツェルヤの子^こヨアブの武器^{ぶき}を運^{はこ}
ぶ従者^{じゅうしや}であるベエロトの人^{ひと}ナハラ、
38 イトル氏族^{しぞく}のイラ、イトル氏族^{しぞく}のガ
レブ、39 ヘト人^{じん}ウリヤ。全部^{おと}で37人
である。

23:30; 24:5 *または、「ワジ」。23:31 *ま
たは、「アルバト人」。*または、「バルフム人」。
23:32 *または、「シャルボン人」。

第23章

〔サ〕2:18,23
代-2:15,16
代-27:1,7

〔イ〕代-11:26-41

〔ウ〕代-27:1,10

〔エ〕代-27:1,9

〔ヨ〕ヨシ21:8,18

エレ1:1

〔カ〕代-27:1,12

〔キ〕代-27:1,13

〔ク〕代-27:1,14

〔コ〕裁2:8,9

〔カ〕サニ15:31

サニ16:23

サニ17:23

代-27:33

〔ヨ〕代-2:53

〔サ〕サニ11:3

王-15:5

第2欄

第24章

〔イ〕サニ21:1

〔イ〕代-21:1-3

代-27:23,24

〔ウ〕サニ8:16

サニ20:23

〔エ〕裁20:1

〔ヨ〕民1:2

代-21:4

〔ヨ〕申2:36

ヨシ13:8,9

〔キ〕民32:34,35

〔ク〕民32:40

〔ク〕創10:15

創49:13

ヨシ11:8

〔カ〕ヨシ19:24,29

〔ヨ〕ヨシ11:19

〔サ〕ヨシ15:1

〔エ〕創21:31

ヨシ15:21,28

〔イ〕民2:32

民26:51

代-21:5,6

代-27:23

24 エホバの怒^{いか}りがイスラエル
に向^むかって再び燃^もえた。あ
る者がダビデを駆^かり立てて、「さあ、イ
スラエルとユダを数^{かず}えなさい」と言^いっ
た時^{とき}のことである。2 王は、共にい
た軍隊^{ぐんたい}の長^{ちやう}ヨアブに言^いった。「ダンか
らベエル・シェバまで、イスラエルの全
部族^{ぜんぶ}を回^{かえ}って、民^{たみ}を登録^{とうろく}しなさい。民
の数^{かず}を知るためです」。3 ヨアブは
王に言^いった。「あなたの神エホバが民^{たみ}
を百倍^{ひゃくばい}に増^ふやしてくださいように。
そして王がそれをご覧^{らん}になりますよう
に。ですが、王はどうしてそのようなこ
とをなさるのですか」。

4 しかし王はヨアブと軍隊^{ぐんたい}の長^{ちやう}た
ちを説^とき伏^ふせた。ヨアブと軍隊^{ぐんたい}の長^{ちやう}た
ちは、イスラエルの民^{たみ}を登録^{とうろく}しに王の
前から出^でていっ^いた。5 ヨルダン川^{がわ}を
わた^わり、谷^{やみ}の真^まん中^{なか}にある町^{まち}の右側^{みぎがわ}のア
ロエルで野営^{やえい}し、ガド族^{ぞく}の土地^ちに行^いき、
ヤゼルに進^{すす}んだ。6 その後、ギレア
デとタフティム・ホドシ地方^{ちほう}に行^いき、ダ
ン・ヤアンに進^{すす}み、シドンに回^{かえ}った。
7 それから、ティルス要塞^{ようさい}とヒビ人^{じん}
やカナン人の全^{すべ}ての町^{まち}に行^いき、最^{さい}後に
ユダのネゲブ^{なぐ}にあるベエル・シェバに
到達^{とうたつ}した。8 こうして9カ月^{げつ}と20日^{にち}
をかけて全^{ぜん}土^どを回^{まわ}り、エルサレムに
もど^もってきた。9 ヨアブは登録^{とうろく}した民^{たみ}
の数^{かず}を王に伝^おえた。イスラエルの剣^{つるぎ}を
帯^おびた戦士^{せんし}は80万人^{まんにん}、ユダの人^{ひと}たち
は50万人^{まんにん}だった。

24:1 *または、「ダビデが駆^かり立てられて」。
24:5 *または、「南」。

10 こうしてダビデは民を数えたが、その後、後悔し、心が痛んだ。それでエホバに言った。「こんなことをして、私は大きな罪を犯しました。エホバ、どうか私の過ちをお許しください。私は本当に愚かなことをしました」。11 ダビデが朝起きると、エホバは預言者ガドに次のように言った。ガドは、ダビデに神からの幻を伝える人だった。12 「ダビデにこう言いに行きなさい。『エホバはこう言っている。『あなたに3つの中から1つを選ばせよう。それをあなたに対して行う』』」。13 それでガドはダビデの所に行って、こう話した。「あなたの国が7年間飢饉に見舞われるのがよいですか。あなたが、追ってくる敵対者から3カ月間逃げるのがよいですか。それとも、あなたの国が3日間疫病に襲われるのがよいですか。私を遣わした方に私がどう答えるとよいか、よく考えてください」。14 ダビデはガドに言った。「それは私にとって非常にいいことです。私たちがエホバの手に掛かっても構いません。神の憐れみはお大きいからです。ですが、人の手に掛かるようにはしないでください」。

15 するとエホバは、その朝から、決められた時まで、イスラエルに疫病を広め、ダダンからベエル・シェバにかけて7万人の民が死んだ。

16 天使がエルサレムに手を伸ばし

24:10 *または、「良心」。

第24章

【サ】サ 24:5

【ロ】ロ 24:15

【イ】イ 24:12-13

【詩】詩 130:3

【ホセ】ホセ 14:2

【ヨ】ヨ 1:9

【代】代 21:8-13

【サ】サ 22:5

【代】代 29:29

【格】格 3:12

【レビ】レビ 26:18, 20

【サニ】サニ 21:1

【レビ】レビ 26:14, 17

【レビ】レビ 26:16

【ヘブ】ヘブ 12:6

【詩】詩 103:8

【詩】詩 119:156

【代】代 28:1, 5

【民】民 16:46

【代】代 27:24

【サニ】サニ 24:2

【代】代 21:14, 15

第2欄

【詩】詩 78:38

【エレ】エレ 26:19

【ヨエ】ヨエ 2:13

【イ創】イ創 10:15, 16

【ヨシ】ヨシ 15:8

【代】代 2:3:1

【詩】詩 95:7

【代】代 21:16, 17

【代】代 21:18-23

【代】代 2:3:1

【民】民 16:46, 47

【民】民 25:8

【サニ】サニ 24:15

て滅ぼそうとしたが、エホバは災いのことを嘆き、民の中で滅びをもたらす天使にこう言った。「もう十分だ！ さあ、手を下ろしなさい」。エホバの天使は、エブス人アラウナの脱穀場のそばにいた。

17 ダビデは民に滅びをもたらしている天使を見て、エホバに言った。「罪を犯したのは私です。私が悪いことをしたのです。この民が何をしたのでしょうか。どうか私と父の家族をあなたの手に掛けてください」。

18 その日、ガドがダビデの所に来て言った。「エブス人アラウナの脱穀場に行って、エホバのために祭壇を作りなさい」。19 ダビデは、ガドがエホバに命じられて語った言葉を聞いて、出ていった。20 アラウナが見ると、王と家来たちが向かってきていた。アラウナはすぐに出ていき、王にひれ伏した。21 アラウナは尋ねた。

「この私の所にどうして王がおいでになったのですか。ダビデは答えた。「あなたから脱穀場を買って、エホバのために祭壇を作るためです。そうすれば、民への神罰が収まるはずです」。

22 アラウナはダビデに言った。「王に差し上げます。そこで良いと思われ

24:16 *または、「悔やみ」。24:17 *直訳、「羊」。24:22 *用語集参照。

ださい。23 王よ、私アラウナはそれら全部を王に差し上げます」。アラウナはさらに王に言った。「あなたの神エホバがあなたを祝福されますように」。

24 しかし王はアラウナにこう言った。「いいえ、私は絶対に代金を払ってあなたから買います。何も費やさず

第2欄

第24章

[7] 代一 21:24-28

[7] 出 20:25

代一 22:1

[7] サ二 21:14

代二 33:13

に私の神エホバに全焼の犠牲を捧げたりはしません」。こうしてダビデは脱穀場と牛を570グラムの銀で買った。

25 それからそこにエホバのために祭壇を作り、全焼の犠牲と共食の犠牲を捧げた。エホバは国に関する願いに応え、イスラエルへの神罰は収まった。

列王記 第一

概要

- 1 ダビデとアビシャグ (1-4)
アドニヤが王座を狙う (5-10)
ナタンとバテ・シバが行動を起こす (11-27)
ダビデはソロモンに油を注ぐよう指示する (28-40)
アドニヤは祭壇の所に逃げる (41-53)
- 2 ダビデのソロモンへの指示 (1-9)
ダビデは死に、ソロモンが王座につく (10-12)
アドニヤは策略が失敗して処刑される (13-25)
アビヤタルの追放、ヨアブの処刑 (26-35)
シムイが殺される (36-46)
- 3 ソロモンはファラオの娘を妻にする (1-3)
エホバが夢の中でソロモンに現れる (4-15)
ソロモンは知恵を願う (7-9)
ソロモンは2人の母親を裁く (16-28)
- 4 ソロモンの統治体制 (1-19)
ソロモンの統治下での繁栄 (20-28)
ブドウやイチジクの木の下での安らかな暮らし (25)
ソロモンの知恵と格言 (29-34)
- 5 ヒラム王からの建築資材の供給 (1-12)
ソロモンが徴用した労働者たち (13-18)
- 6 ソロモンは神殿を建てる (1-38)
奥の部屋 (19-22)
ケルブ (23-28)
彫り物、扉、内側の庭 (29-36)
- 7 ソロモンの宮殿の建物群 (1-12)
技術者ヒラムがソロモンに手を貸す (13-47)
2本の銅の柱 (15-22)
鋳物の「海」 (23-26)
銅の台車10台と銅の水盤 (27-39)
金の備品の完成 (48-51)
- 8 箱が神殿に運び入れられる (1-13)
ソロモンは民の前で話す (14-21)
神殿を献じるソロモンの祈り (22-53)
ソロモンは民のために祝福を願い求める (54-61)
多くの犠牲と奉献の祭り (62-66)
- 9 エホバが再びソロモンに現れる (1-9)
ソロモンからヒラム王への贈り物 (10-14)
ソロモンのさまざまな事業 (15-28)
- 10 シェバの女王がソロモンを訪ねる (1-13)
ソロモンの莫大な富 (14-29)
- 11 妻たちがソロモンの心を神から離れさせる (1-13)
ソロモンに反抗した人々 (14-25)
ヤラベアムに10部族が与えられるという約束 (26-40)
ソロモンが死に、レハベアムが王になる (41-43)
- 12 レハベアムの厳しい返答 (1-15)

やは非常にりりしく、アブサロムの後
に生まれた子だった。7 アドニヤは
ツェルヤの子ヨアブと祭司アビヤタル
に話を持ち掛け、2人はアドニヤを助
け、支持するようになった。8 しかし、
祭司ザドク、エホヤダの子ペナヤ、預
言者ナタン、シムイ、レイ、ダビデの勇
士たちは、アドニヤを支持しなかった。

9 やがてアドニヤは、エン・ロゲル
に近いヰヘレトの石のそばで、羊や牛
や肥えた家畜を犠牲として捧げた。
王の子である自分の兄弟たちと、王の
家来であるユダの人たちを皆招いた。

10 しかし、預言者ナタン、ペナヤ、勇
士たち、弟のソロモンは招かなかっ
た。11 ナタンはソロモンの母バテ・
シバに言った。「ハギトの子アドニヤ
が王になったことを聞きませんでした
か。私たちの王ダビデはそのことを知
りません。12 それで、どうか助言さ
せてください。あなたの命とあなたの
子ソロモンの命を守るのです。13 ダ
ビデ王の所に行つて、こう言ってくだ
さい。『ご主人さま、王よ、あなたは私に、
「あなたの子ソロモンが私の跡を継い
で王になり、私の王座につく」と誓わ
れませんでしたか。それなのに、どうし
てアドニヤが王になったのですか』。

14 あなたが王と話している間に、私も
後から入っていき、あなたと同じこと
を王に話します。

15 それでバテ・シバは王の私室に
入った。王は非常に年を取り、シュネ

第1章

列王第一 1:7-25

列王第一 1:7-25

列王第一 1:7-25

列王第一 1:7-25

列王第一 1:7-25

列王第一 1:7-25

列王第一 1:7-25

列王第一 1:7-25

列王第一 1:7-25

列王第一 1:7-25

列王第一 1:7-25

列王第一 1:7-25

列王第一 1:7-25

列王第一 1:7-25

第2章

列王第一 1:7-25

列王第一 1:7-25

列王第一 1:7-25

列王第一 1:7-25

列王第一 1:7-25

列王第一 1:7-25

列王第一 1:7-25

列王第一 1:7-25

ムの人アビシャグが王に仕えていた。
16 バテ・シバが身をかがめてひれ伏
すと、王は「どうしたのか」と言った。
17 彼女は答えた。「ご主人さま、あな
たは私に、『あなたの子ソロモンが私
の跡を継いで王になり、私の王座に
つく』と、あなたの神エホバに懸けて
誓われました。18 ところが、アドニ
ヤが王になりました。それなのに、ご
主人さまはそのことをご存じありませ
ん。19 アドニヤは多くの雄牛や肥
えた家畜や羊を犠牲として捧げ、王の
子たちと祭司アビヤタルと軍隊の長ヨ
アブを招きましたが、あなたの子ソロ
モンは招きませんでした。20 ご主
人さま、王よ、今イスラエル全体は、
誰が王の跡を継いで王座につくのか
をあなたが宣言するのを待っておりま
す。21 このままでは、王が亡くなら
れた後、私も息子ソロモンも反逆者と
見なされてしまいます」。

22 バテ・シバが王に話している
間に、預言者ナタンが入ってきた。
23 「預言者ナタンが来ました」と王
に告げられ、ナタンは王の前に行つて
ひれ伏した。24 ナタンは言った。
「ご主人さま、王よ、あなたは、『アドニ
ヤが私の跡を継いで王になり、私の王
座につく』と言われたのでしょうか。
25 と申しますのは、アドニヤは今日、
多くの雄牛や肥えた家畜や羊を犠牲
として捧げに行き、王の子たちと軍隊
の長たちと祭司アビヤタルを招きまし

た。彼らはそこでアドニヤと共に食べたり飲んだりして、『アドニヤ王が栄えますように!』と言っています。26 アドニヤは、私や祭司ザドクやエホヤダの子ベナヤ、そしてあなたの子ソロモンは招きませんでした。27 これは王が許可なされたことなのでしょう。王は、誰が跡を継いで王座につくかを私にお知らせになってはいません。

28 ダビデ王は、「バテ・シバを呼びなさい」と言った。それで彼女は入ってきて、王の前に立った。29 王はこう誓った。「あらゆる苦難から私を助け出してくださった、生きている神エホバに懸けて誓う。30 私は以前あなたに、『あなたの子ソロモンが私の跡を継いで王になり、私の代わりに王座につく』と、イスラエルの神エホバに懸けて誓った。今日、私はその通りにしよう。31 バテ・シバは身をかがめてひれ伏し、言った。「ダビデ王がいつまでも生き続けますように!」

32 ダビデ王はすぐに、「祭司ザドクと預言者ナタンとエホヤダの子ベナヤを呼びなさい」と言った。それで彼らが王の前に来た。33 王は彼らに言った。「私の家来たちを伴い、私の子ソロモンを私のラバに乗せてギホンまで下りなさい。34 祭司ザドクと預言者ナタンは、そこで彼に油を注いでイスラエルの王としなさい。

1:29 *直訳、「買戻して」。1:33 *または、「雌ラバ」。1:34 *用語集の「油を注ぐ」参照。

第1章

(列王) 1:5,7

(列王) 代-27:5

(列王) 詩 71:23

詩 103:4

(列王) 王-1:8

(列王) サニ 20:23

サニ 23:20

代-27:5

(列王) 王-1:38

ルカ 19:33-35

(列王) 代二 32:30

(列王) サ-16:13

第2欄

(列王) サ-10:1,24

サニ 15:10

王二 11:12

(列王) 代-28:20

(列王) 王-3:12

王-10:23

詩 72:8

(列王) 代-27:5

(列王) サニ 15:18

代-18:17

(列王) 王-1:33

マタ 21:7

(列王) 代二 32:30

(列王) サニ 6:17

(列王) 出 30:23-25

サ-16:13

(列王) 代-29:22

(列王) サ-4:5

(列王) 王-1:9,25

(列王) サニ 15:36

サニ 17:17

それから角笛を吹き鳴らし、『ソロモン王が栄えますように!』と言うのです。35 その後、彼に付いて戻ってきなさい。彼は入ってきて私の王座に座り、私の代わりに王となります。私は彼をイスラエルとユダの指導者に任命します。36 エホヤダの子ベナヤはすぐに王に言った。「アーメン! 王の神エホバがそれをお認めになりますように。37 エホバが王と共におられたように、ソロモンと共におられますように。ソロモンの王座をダビデの王座よりいっそう偉大なものにしてくださいますように」。

38 祭司ザドク、預言者ナタン、エホヤダの子ベナヤ、ケト人とペレト人は、ソロモンをダビデ王のラバに乗せ、ギホンに連れて下った。39 祭司ザドクは天幕の中から油が入った角を取り、ソロモンに油を注いだ。それから角笛が吹き鳴らされ、民は皆、「ソロモン王が栄えますように!」と叫びだした。40 その後、民は皆ソロモンに付いて上っていった。笛を吹き、非常に喜びながらそうしたので、その音で地面が揺れた。

41 アドニヤと招かれた人たちが皆は、食事を終えた時にその音を聞いた。角笛の音を聞いたヨアブはこう言った。「都市のこの騒ぎは何だ」。

42 ヨアブがまだ話しているうちに、祭司アビヤタルの子ヨナタンがやって来

1:39 *用語集参照。1:40 *直訳、「裂けた」。

た。そこでアドニヤは言った。「入りなさい。あなたは良い人だ。良い知らせを持ってきたのだろう」。

43 ヨナタンはアドニヤに答えた。「違います! ダビデ王がソロモンを王にしました。

44 王は、ソロモンと共に祭司ザドク、預言者ナタン、エホヤダの子ベナヤ、ケレト人とベレト人を送り出しました。彼らはソロモンを王のラバに乗せました。**45** それから祭司ザドクと預言者ナタンがギホンでソロモンに油を注いで王としました。その後、皆がそこから喜びながら上っていったので、都市は大騒ぎしているのです。皆さんが聞いたのはその音です。**46** しかも、ソロモンはもう王座につきました。

47 その上、王の家来たちが入ってきてダビデ王に、『あなたの神がソロモンの名をあなたの名よりいっそう輝かしいものにされますように。ソロモンの王座をあなたの王座よりいっそう偉大なものにされますように!』と祝いの言葉を述べました。すると王はベッドの上で頭を下げ、**48** 『イスラエルの神エホバが賛美されますように! 神は今日、私の王座につく人を与えてくださり、私にそれを見させてくださいました』と言いました。

49 それでアドニヤに招かれた人たちは皆おびえ、それぞれ立ち上がって帰っていった。**50** アドニヤもソロモンのことで恐れ、立ち上がって祭

1:42 *または、「立派な」。

第1章

(列) 王一 1:33, 34

第2欄

(列) 出 21:14
出 38:1, 2
王一 2:28

(列) 王一 2:23

第2章

(列) 申 31:6
ヨシ 1:6
代一 28:20

(列) 王一 3:7

(列) 申 17:18-20
伝 12:13

(列) 申 6:5
王二 20:3
王二 23:3
代二 17:3
マタ 22:37

(列) サ二 7:12, 16
王一 8:25
代一 17:11
詩 132:11, 12

壇の所に行き、祭壇の角をつかんだ。

51 ソロモンのもとに次の報告があった。「アドニヤはソロモン王を恐れています。祭壇の角をつかんで、『私を剣で殺さない、とソロモン王がまず私に誓ってくれますように』と言っています」。**52** それに対してソロモンは言った。「もし彼が良い振る舞いをするなら、彼の髪の毛1本でさえ地面に落ちることはありません。しかし、もし悪いことをするなら、彼は死ななければなりません」。**53** ソロモン王は人を遣わして、アドニヤを祭壇から下ろさせた。アドニヤは入ってきて、ソロモン王の前でひれ伏した。ソロモンは彼に、「家に帰りなさい」と言った。

2 ダビデは、死期が近づくと、息子ソロモンにこう指示した。**2** 「私はいもう長くない。だから、勇気を持ち、男らしくありなさい」。**3** あなたは、あなたの神エホバに対する務めを守らなければならない。神の道を歩み、モーセの律法に書かれている神の法令とおきてと法規と教えに従いなさい。そうすれば、何をするにしてもどこに行くにしても、あなたは成功する。**4** エホバは私に関する次の約束を果たされる。『あなたの子たちが心を尽くし、自分の全てを尽くして、忠実に私の道を歩み続けるなら、イスラエルの王座には必ずあなたの家系の人がつく』。

2:3 *または、「思い出させるもの」。
#または、「賢く行動できる」。

5 あなたは、ツエルヤの子ヨアブが私にしたこともよく知っている。イスラエルの2人の軍隊の長、ネルの子アブネルとエテルの子アマサに対してしたことだ。ヨアブは、戦いの時でないのに2人を殺して血を流した。自分の腰のベルトと足のサンダルに戦いの血をつけたのだ。6 あなたは賢く行動しなさい。彼を安らかに墓に入らせてはいけぬ。

7 だが、ギレアデの人バルジライの子孫には揺るぎない愛を示し、彼らがあなたと同じ食卓に着いて食べられるようにしなさい。私があなたの兄アブサロムから逃げた時、彼らは支えてくれたからだ。

8 また、ベニヤミン族でゲラの子である、パフリムの人シムイがあなたのもとにいる。彼は私がマハナイムに行こうとしていた日、私をひどい言葉でののしったが、私を迎えにヨルダン川に来た時、私は彼に、『あなたを剣で殺すことはしない』とエホバに懸けて誓った。9 あなたは賢く、彼に何をすべきまかかっている。彼を処罰されないままにしておてはいけぬ。彼を血に染めて墓に入らせなければならぬ。

10 その後、ダビデは死んで、「ダビデの町」に葬られた。11 ダビデがイスラエルを治めた期間は40年だっ

2:6、9 *直訳、「彼の白髪」。2:6、9 #ヘブライ語、シェオル。用語集参照。2:10 *直訳、「父祖たちと共に横たわり」。

第2章

(列) サニ 3:27,30

(列) サニ 17:25
サニ 20:10
代一 2:17(列) 民 35:33
サニ 3:28(列) サニ 3:29
王一 2:31-34

(列) サニ 19:31

(列) サニ 15:14

(列) サニ 17:27-29

(列) サニ 17:24

(列) サニ 16:5-7

(列) サニ 19:23

(列) 出 22:28

(列) 王一 2:44,46

(列) サニ 5:7
代一 11:7
代一 29:26,27
使徒 2:29

第2欄

(列) 代一 12:23

(列) サニ 5:4,5

(列) サニ 7:8,12
代一 29:23
代二 1:1
詩 89:36,37
詩 132:12

(列) 王一 1:5,25

(列) 代一 22:9

(列) 王一 1:1,3

た。ヘブロンで7年治め、エルサレムで33年治めた。

12 ソロモンは父ダビデの王座につき、次第に王権は確立された。

13 やがてハギトの子アドニヤがソロモンの母バテ・シバの所に来た。バテ・シバは、「穏やかなことで来たのですか」と尋ねた。するとアドニヤは、「穏やかなことです」と答えた。14 そして言った。「お話ししたいことがあるのです」。バテ・シバは、「話してごらんなさい」と言った。15 アドニヤは言った。「よくご存じの通り、王権は私のものになろうとしていました。私が王になるようイスラエル全体が期待していました。ところが王権は私ではなく私の弟のものとなりました。エホバが彼に与えたのです。16 今、あなたにお願いしたいことが1つだけあります。断らないでください」。バテ・シバは、「話してごらんなさい」と言った。17 アドニヤは言った。「どうかソロモン王に、シュネムの人アビシャグを妻として私に与えるよう頼んでください。王はあなたの願いを断ることはないでしょうから」。18 バテ・シバは言った。「いいでしょう。あなたのために、私から王に話します」。

19 バテ・シバはアドニヤのために話そうとソロモン王の所に行った。王はすぐに立って彼女を迎え、ひれ伏した。それから王座に座り、母親のため

2:15 *直訳、「顔を私に向けて」。

に席を設けさせた。彼女が自分の右に座れるようにしたのである。20

バテ・シバは言った。「小さなお願いが1つあります。断らないでください。王は言った。「母上、言ってください。断りませんから」。21 彼女は言った。「あなたの兄アドニヤに、シュネムの人アビシャグを妻として与えてください」。

22 ソロモン王は母親に答えた。「アドニヤのためにどうしてシュネムの人アビシャグを願い求めるのですか。彼は私の兄なのですから、いっそ彼のために王権を願い求めたらよいではありませんか。祭司アビヤタルとツェルヤの子ヨアブは彼を支持しています」。

23 ソロモン王はエホバに懸けてこう誓った。「もし、アドニヤがこうした要求をしたのに命を失わないでいるなら、神が私を厳しく罰しますように。24 神は約束通り私を父ダビデの王座につかせて私の王権を確立し、私のために王朝をつくってくださいました。生きている神エホバに懸けて言います。今日、アドニヤは殺されます」。

25 ソロモン王は直ちにエホヤダの子ベナヤを遣わした。ベナヤは出て行ってアドニヤを討ち、アドニヤは死んだ。

26 王は祭司アビヤタルに言った。「アナトテにある自分の土地に行きなさい! あなたは死に値しますが、今日

2:24 *直訳、「家」。2:25 *または、「に襲い掛かり」。

第2章

(7) 代一 3:1, 2, 5

(1) サニ 16:21

(7) 王一 1:7

(11) サニ 8:16

(7) 代一 22:9, 10

(7) サニ 7:11

代一 17:10

(11) 王一 1:51, 52

(7) サニ 8:18

王一 1:8

代一 27:5

(7) サ一 22:20

王一 1:7

(11) ヨシ 21:8, 18

エレ 1:1

第2欄

(7) サ一 23:6

サニ 15:24

代一 15:11, 12

(1) サ一 22:22, 23

(7) ヨシ 18:1

(11) サ一 2:31

サ一 3:12

(7) サニ 18:14

(7) 王一 1:7

(11) 代一 21:29

(7) 創 9:6

出 21:14

民 35:33

申 19:13

王一 2:5

あなたを殺すことはしません。あなたは私の父ダビデの前で主権者である主エホバの箱を担ぎましたし、さまざまな苦難を私の父と共にしたからです。27 こうしてソロモンはアビヤタルをエホバの祭司職から外し、エホバがシロでエリの家系に対して語ったことがら**じつげん**が実現した。

28 こうしたことがヨアブの耳に入った。(ヨアブはアブサロムを支持しなかったものの、アドニヤのことは支持していた。) ヨアブはエホバの天幕に逃げ、祭壇の角をつかんだ。29 するとソロモン王にこう報告があった。「ヨアブはエホバの天幕に逃げました。祭壇のそばにいます。それでソロモンはエホヤダの子ベナヤを遣わして、「彼を討ちに行きなさい!」と言った。30 ベナヤはエホバの天幕に行き、ヨアブに言った。「王は、『出てきなさい!』と言っています」。ヨアブは、「いや、私はここで死ぬ」と言った。そこでベナヤは戻って王に、「ヨアブはこう言い、こう答えました」と報告した。31 王はベナヤに言った。「彼が言った通りになるよう、彼を討ち、葬りなさい。ヨアブが正当な理由もなく流した血の責任を私と父の一族が被ることがないようにするのです。

32 エホバは彼が流した血に応じて彼に報います。彼は、私の父ダビデが知らないうちに、自分よりも正しくて良

2:32 *直訳、「彼の血を彼の頭上に返し」。

い2人の人を剣で打ち殺しました。イスラエルの軍隊の長、ネルの子アベルと、ユダの軍隊の長、エテルの子アマサを殺したのです。33 ヨアブとその子孫は彼らの死の責任をいつまでも負わなければなりません。ダビデとその子孫と一族と王座には、エホバからの平和が永遠にありますように」。

34 それでエホヤダの子ベナヤはヨアブを討ちに行き、殺した。ヨアブは荒野にある自分の家の近くに葬られた。

35 王はヨアブの代わりにエホヤダの子ベナヤを軍隊の長に任命し、祭司ザドクをアビヤタルの代わりに任命した。

36 王はシムイを呼び寄せて、こう言った。「エルサレムに家を建てて、そこに住みなさい。都市からどこにも出ていってはいけません。37 出ていってキデロンの谷を渡るならあなたは必ず死ぬ、ということ覚えておきなさい。その死の責任はあなた自身にあります」。38 シムイは王に言った。「承知しました。王が話された通りにいたします」。それでシムイはしばらくエルサレムにいた。

39 3年がたつ頃、シムイの奴隷2人がガトの王マアカの子アキシュの所に逃亡した。シムイは、「あなたの奴隷がガトにいます」と知らされて、40 直ちにロバを用意し、奴隷た

2:33 *直訳、「子孫の頭上に彼らの血が永遠に返ります」。2:37 *直訳、「あなたの血はあなたの頭上」。

第2章

(列) サニ 2:8

(列) サニ 3:26,27

(列) サニ 17:25

(列) サニ 20:10

(列) サニ 3:29

(列) 代一 11:24

代一 27:5

(列) サ一 2:35

代一 6:50,53

代一 12:28

代一 16:37,39

代一 24:3

(列) 王一 2:8

(列) サニ 15:23

王二 23:6

ヨハ 18:1

(列) サ一 21:10

サ一 27:2

第2欄

(列) 王一 2:38

(列) サニ 16:5,13

(列) 詩 7:16

格 5:22

(列) 詩 21:6

詩 72:17

(列) 王一 2:8,9

(列) 代二 1:1

格 16:12

第3章

(列) 申 7:3,4

王一 7:8

王一 9:24

王一 11:1

(列) 王一 13:25-27

(列) サニ 5:7

代一 11:7

(列) 王一 8:17-19

(列) 王一 9:15

(列) 王一 7:1

ちを捜しにガトのアキシュの所に行った。シムイが奴隷たちをガトから連れて戻ると、41 ソロモンにこう報告があった。「シムイがエルサレムから出てガトに行き、戻ってきました」。42 それで王はシムイを呼び寄せ、こう言った。「私はあなたに、『都市から出てどこに行くならあなたは必ず死ぬ、ということ覚えておきなさい』と言い、エホバに懸けて誓わせ、警告しませんでしたか。そしてあなたは、『承知しました。従います』と言いませんでしたか。43 それなのに、どうしてエホバへの誓いと私があなたに課したおきてを守らなかったのですか。44 そして王はシムイに言った。「あなたは、私の父ダビデに加えた危害全てを心の中で分かっているはずだ。エホバは、その危害があなたの身に降り掛かるようにします。45 しかし私、ソロモン王は祝福され、ダビデの王座はエホバの前で永遠に揺らぎません」。46 そして王はエホヤダの子ベナヤを遣わした。ベナヤはシムイを討ちに行き、シムイは死んだ。

こうしてソロモンの王国の統治は確かなものとなった。

3 ソロモンは結婚による同盟をエジプトの王ファラオと結んだ。ファラオの娘を妻にし、「ダビデの町」に連れてきて、自分の家とエホバの家とエルサレムの周囲の城壁を建て終わるまで、そこにいさせた。2 エホ

パの名のための家が建てられて
いなかっので、当時、民は高い場所
で犠牲を捧げていた。3 ソロモンは
父ダビデの法令に従って歩み、エホバ
を愛し続けたが、高い場所で犠牲を捧
げ、捧げ物を焼いて煙にしていた。

4 王は犠牲を捧げるためにギベオン
に行った。そこは最もよく知られた
高い場所だからである。ソロモン
はそこにあった祭壇で1000匹の動物
を全焼の犠牲として捧げた。5 ギベ
オンでエホバは夜、夢の中でソロモン
に現れ、こう言った。「何を与えてほ
しいか、言いなさい。6 ソロモンは
言った。「忠実に正しく、また正直な
心であなたに仕えた私の父ダビデに、
あなたは大きくて揺るぎない愛を示し

てくださいました。そして、その王座
につく子を与えることにより、今日ま
でその揺るぎない大きな愛を父に示
し続けてくださいました。7 私の神
エホバ、あなたは父ダビデの代わ
りに私を王にしましたが、私はただの
若者で、経験がありません。8 私は
あなたが選んだ民の中におり、その
民は数え切れないほどたくさんいま
す。9 それで、あなたの民を裁くた
め、善悪を識別できるよう、従順な心
をお与えください。そうでないと、この
膨大な数のあなたの民を裁くことなど
できません。

3:6 *直訳、「の前で歩んだ」。3:7 *または、「少年」。3:9 *もしかすると、「この難しい」。

第3章

列申 12:5,6
王 5:3
代 28:6

列代 2 33:17

列サ 7:9
サ 10:8
代 21:26

列代 16:39,40
代 21:29

列代 2 1:3-6

列代 2 1:7-10

列王 2:1,4

列代 29:1
エ 1:6

列出 19:5,6

列ヘ 5:14

列詩 72:1
詩 119:34

第2欄

列格 15:8

列代 22:12
代 29:19
代 2 1:11,12
格 16:16

列伝 1:16
ヨ 5:14

列王 4:29
格 2:3-5
ヤコ 1:5

列マタ 12:42

列詩 84:11
マタ 6:33
エフ 3:20

列王 4:21
伝 7:11

列王 10:23

列王 15:5

列詩 21:4
詩 91:14,16
格 3:13,16

列レビ 7:11

10 ソロモンがそう願ひ求めたこと
を、エホバは喜んだ。11 そして神
はソロモンに言った。「あなたは自分
のために長寿や富や敵の死を願ひ求
めるのではなく、さまざまな件を審理す
る理解力を願ひ求めたので、12 あ
なたの言う通りにしよう。私があなた
に知恵と理解力のある心を与えるの
で、あなたのような人は、これまでい
なかったように今後もあることはない。
13 また、あなたが願ひ求めなかった
もの、つまり富と栄光も与えよう。あな
たの生涯中にあなたのような王が出
てくることはない。14 そして、あな
たが父ダビデと同じように私の規定と
おきてを守って私の道歩むなら、あ
なたを長生きさせよう。

15 ソロモンは目を覚まし、夢を見
ていたことに気付いた。彼はエルサレ
ムに行ってエホバの契約の箱の前
に立ち、全焼の犠牲と共食の捧げ物
を捧げ、家来たち皆のために宴を開
いた。

16 その後、2人の娼婦が王のもと
に来て、その前に立った。17 女性
の1人が言った。「王よ、私とこの人は
同じ家に住んでおります。私は家で、彼
女がいる時に出産しました。18 私
の出産から3日目、彼女も出産しまし
た。私たちは一緒におり、2人だけで、
家にはほかにも誰もいませんでした。
19 その夜、彼女は寝ている間に自分
の子の上に覆いかぶさったため、その

子は死にました。20 それで彼女は夜中に起き、私が眠っている間に、私

のそばから私の子を取って自分の横に寝かせ、死んだ自分の子を私の横

に寝かせました。21 朝起きて乳を飲ませようとする、子供は死んでいま

した。よく見ると、その子は私が産んだ子ではありませんでした。22 す

るともう1人の女性が、「違います。生きているのが私の子で、死んだのがあ

なたの子です!」と言った。しかし最初の女性は、「いいえ、死んだのがあ

なたの子で、生きているのが私の子です」と言った。2人は王の前でそのよう

に言い合った。

23 王は言った。「1人は、『生きているこの子が私の子で、死んだのが

あなたの子です!』と言い、もう1人は、『いいえ、死んだのがあなたの子で、生

きているのが私の子です!』と言って

います。24 王は、「剣を持ってきなさい」と言い、剣が王のもとに持ってこ

られた。25 それから王は言った。「生きている子を2つに切り、半分を一

方の女性に、半分をもう一方の女性に与えなさい。26 生きている子の親

である女性は、わが子と思うあまり居ても立ってもいられず、とっさに王に懇

願した。「王よ、お願いです! その生きている子を彼女にあげてください。

殺さないでください!」一方、もう1人の女性はこう言った。「その子は私の

第2欄

第3章

(7) 代一 29:23-25
詩 72:5

(1) 王一 3:9,10

第4章

(7) 代二 9:30
伝 1:12

(24) 代一 6:8
代一 27:16,17

(24) サ二 8:17
代一 27:32

(24) サ二 8:16
サ二 20:24

(24) 王一 1:8
王一 2:35
代一 27:5

(24) 王一 2:26

(24) 王一 1:9,10

(24) サ二 15:37
代一 27:33

(24) サ二 20:24
王一 5:14
王一 12:18

(24) 王一 9:15

(24) 代一 27:1

(24) ヨシ 19:42,48

ものにもあなたのものにもなりませ
ん! 2つに切ってください!」27 王
は言った。「生きている子を最初の女
性に与えなさい。殺してはなりません。
彼女が母親です」。

28 イスラエル全体は、王が言い渡
した判決について聞き、王に敬服し
た。公正に裁くための知恵を神が王
に与えているのが分かったからである。

4 ソロモン王はイスラエル全体を
治めた。2 以下は王に仕える

高官たちである。ザドクの子アザリヤ
は祭司。3 シシャの子たちであるエ

リホレフとアヒヤは秘書官。アヒルド
の子エホシャフトは記録官。4 エ

ホヤダの子ベナヤは軍隊の長。ザド
クとアビヤタルは祭司。5 ナタンの

子アザリヤは代官たちをまとめ、ナタ
ンの子ザブドは祭司であり王の友

人だった。6 アビシャルは家の人た
ちをまとめ、アブダの子アドニラムは

強制労働に徴用された人たちをまと
めた。

7 ソロモンはイスラエル全体に12
人の代官を置き、王とその家の人たち

に食料を供給させた。各代官には、
年に1カ月分の食料を供給する責務

があった。8 代官は以下の通りであ
る。エフライムの山地にフルの子。

9 マカツ、シャアルビム、ベト・シェメ
シュ、エロン・ベト・ハナンにデケルの

子。10 アルボトにヘセドの子。(彼

4:5 *または、「信頼できる友人」。

3:20 *または、「腕の中」。

にはソコとヘフェルの全域が任された。) 11 ドルの高地全域にアビナダブの子。(ソロモンの娘タファトが彼の妻となった。) 12 タアナク、メギド、エズレルの下のツアレタンのそばにあるベト・シェアンの全域、ベト・シェアンからアベル・メホラそしてヨクメアム地方までの一帯に、アヒルドの子バアナ。 13 ラモト・ギレアデにゲベルの子。(彼にはギレアデにある、マナセの子ヤイルの天幕村が任された。また、バシヤンにあるアルゴブ地方の、城壁と銅のかんぬきを備えた60の大きな町も任せられた。) 14 マハナイムにイドの子アヒナダブ。 15 ナフタリにアヒマアツ。(彼はソロモンの別の娘バセマトを妻とした。) 16 アシェルとベアロトにフシャイの子バアナ。 17 イッサカルにパルアハの子エホシャファト。 18 ベニヤミンにエラの子シムイ。 19 ギレアデ地方、つまりアモリ人の王シホンとバシヤンの王オグの土地に、ウリの子ゲベル。また、全土のこれらの代官全てをまとめる代官が1人いた。

20 ユダとイスラエルの人たちは海辺の砂のように多く、食べて飲み、幸せな日々を送っていた。

21 ソロモンは、川からフィリスティア人の土地そしてエジプトの国境までの王国全てを治めた。ソロモンの生涯中ずっと、それらの王国は貢ぎ物

4:21 *ユーフラテス川のこと。

第4章

(列) 王ニ 23:29

(列) ヨシ 17:11
サ一 31:8,10

(列) ヨシ 21:34

(列) 申 4:41-43
王一 22:3

(列) 民 32:1

(列) 民 32:41
申 3:14

(列) ヨシ 13:8,11

(列) 申 3:4

(列) 創 32:1,2
サニ 2:8,9

(列) ヨシ 18:11

(列) 王一 1:8

(列) ヨシ 17:1

(列) 民 21:21

(列) 申 3:4

(列) 創 22:15,17

(列) 伝 2:24

(列) 創 15:18
出 23:31
サニ 2:8:3
詩 72:8-10

第2欄

(列) 詩 72:10

(列) ヨシ 1:4

(列) 創 10:19

(列) 王一 5:4
代一 22:9
詩 72:7

(列) 申 17:15,16
王一 10:24-26
代二 1:14,17

(列) 王一 4:7

(列) 王一 10:23
代二 1:10
格 2:6

を納め、ソロモンに仕えた。

22 ソロモンの宮殿の1日分の食料は、上等の麦粉6600リットル、麦粉1万3200リットル、 23 肥えた牛10頭、放牧した牛20頭、羊100匹で、そのほかに雄鹿、ガゼル、雄ノロジカと、肥えたカッコウがあった。 24 ソロモンは、川のこちら側の、ティフサハからガザまでの全てのものを統治下に置いた。川のこちら側の王たち皆も統治下にあり、全域が平和だった。 25 ソロモンの時代中ずっと、ユダとイスラエルの人たちは誰もが、ダンからベエル・シェバまで、自分のブドウの木やイチジクの木の下で安らかに暮らした。

26 ソロモンは、兵車用の馬の小屋4000棟と1万2000頭の馬を持っていた。

27 代官たちは、ソロモン王と王の食卓で食べる人たちのために食料を供給した。各代官は自分の当番の月に責務を果たし、何も不足がないようにした。 28 また、各自自分の担当に従って、馬や軍馬のための大麦とわらをどこであれば必要な場所に持っていた。

29 神はソロモンに非常に豊かな知恵と識別力と、海辺の砂浜のような広い心を与えた。 30 ソロモンの知恵は、東方の人たち全ての知恵よりも、

4:24 *ユーフラテス川の西のこと。 4:26 *一部の写本と代二 9:25による。他の写本は4万としている。*または、「1万2000人の騎手」。 4:29 *または、「理解力のある心」。

またエジプトの全ての知恵よりも優れて
いた。 **31** 彼はほかのどんな人よりも賢かった。エズラハ人エタン、マ

ホルの子たちであるヘマンやカルコ
ルやダルダよりも賢かった。ソロモン
の名声は周囲の全ての国に広まった。

32 ソロモンは3000の格言を作り、
歌は1005に上った。 **33** レバノンの
杉から、城壁に生えるヒソプに至るま
で、植物について語るのだった。動物、
鳥、地面を動くもの、魚についても語
るのだった。 **34** ソロモンの知恵を
聞きに、あらゆる国の人たちがやって
来た。彼の知恵について聞いた王た
ちが世界中から来た。

5 ティルス王ヒラムは、ソロモン
が油を注がれて父の代わりに王
になったことを聞き、家来たちをソロ
モンのもとに遣わした。ヒラムはず
とダビデの友人だったからである。

2 ソロモンの方はヒラムに次の知ら
せを送った。 **3** 「よくご存じのように、
私の父ダビデは、やがてはエホバか
ら勝利を与えられたものの、周囲の敵
との戦いのゆえに、エホバ神の名のた
めの家を建てることはできませんでした。
4 しかし今、エホバ神は周囲の
敵から私を守って安心させてくださ
いました。誰も敵対してきませんし、不
穏なことは何も生じていません。 **5** そ

4:32 *または、「語り」。 **4:33** *または、「飛ぶ
生き物」。*爬虫類や虫を含むかもしれない。
5:1 *用語集の「油を注ぐ」参照。*または、「を
愛していた」。

第4章

[7] 使徒 7:22

[1] 詩 89:表題

[2] 詩 88:表題

[3] 代一 2:4,6

[4] 王一 10:1,7
ルカ 11:31[5] 格 1:1
伝 12:9

[6] ソロ 1:1

[7] 出 12:22

[8] 格 30:30

[9] 格 30:19

[10] 格 6:6
格 30:25

[11] 代二 9:1,23

第5章

[12] エゼ 27:3

[13] サ二 5:11

[14] 代二 2:3

[15] サ二 7:5
代一 22:7,8

[16] 王一 4:24,25

[17] 格 16:7

第2欄

[18] サ二 7:12,13
代一 22:9,10
代二 2:4

[19] 王一 6:9,20

[20] 代二 2:8

[21] 代二 2:11,12

[22] サ二 6:5
王一 6:15
代二 3:5[23] 代二 2:15,16
エズ 3:7

れで私はエホバ神の名のために家を
建てるつもりです。エホバが父ダビデ
に、『私があなたの代わりに王座につ
かせるあなたの子、その子こそが私の
名のために家を建てる』と約束した通
りです。 **6** そこで、私のためにレバノ
ンから杉を切り出すよう、あなたの下
にいる人たちに命じてください。私の
家来たちもあなたの家来たちと共に
働きます。あなたが決めた額の賃金を
あなたの家来たちに支払います。お気
付きのように、私たちの中には、シドン
人のように木の切り方を知っている人
がいないのです」。

7 ヒラムはソロモンの言葉を聞いて
非常に喜び、こう言った。「今日エホ
バが賛美されますように！ この偉大
な民を治める賢い子をお授けに
なったのですから」。 **8** ヒラムは
ソロモンに次の知らせを送った。「あ
なたからの伝言を聞きました。ご要
望通り、杉とネズの木材を供給します。
9 私の家来たちが木材をレバノンか
ら海に運びます。それらを組んでいか
だにし、海路でご指定の場所まで届け
ます。そこでいかだを解きますので、そ
こから運んでいってください。あなた
は、その代わりに、私の家の人たちの
ために食料を提供してください」。

10 こうしてヒラムはソロモンが要
望した杉とネズの木材全てを供給し
た。 **11** ソロモンは、ヒラムの家の人

5:7 *または、「非常に多くの」。

たちの食料として小麦440万リットルと、上質のオリーブ油4400リットルをヒラムに提供した。ソロモンはそれらを毎年ヒラムに提供した。12 エホバは約束通りソロモンに知恵を与えた。ヒラムとソロモンの間には平和があり、2人は条約を結んだ。

13 ソロモン王はイスラエル全体から人々を強制労働に徴用した。3万人が徴用された。14 ソロモンはそれらの人たちを1万人ずつ1カ月交代でレバノンに送った。人々は1カ月はレバノンに、2カ月は家になることになった。アドニラムがそれら強制労働に徴用された人たちをまとめた。

15 ソロモンの下には一般の労働者が7万人、山で石を切り出す人が8万人いて、16 そのほかに、作業者

たちの現場監督として働くソロモンの代官たちが3300人いた。17 王の命令により、大きくて高価な石が切り出され、家の土台として据えるために形が整えられた。18 ソロモンの建築作業者とヒラムの建築作業者とザバルの人たちが石を切った。こうして家を建てるための木材と石材が準備された。

6 イスラエル人がエジプトを出てから480年目、ソロモンがイスラエルの王になってから4年目のジウの月すなわち第2の月に、ソロモンはエ

5:12 *または、「契約」。5:15 *または、「荷物運搬人」。6:1 *付録B15参照。

第5章

(列)代ニ2:10

(列)王一3:12
王一4:29
ヤコ1:5

(列)王一9:15

(列)サニ20:24
王一4:6
王一12:18

(列)ヨシ16:10
王一9:20-22
代ニ2:2

代ニ2:17,18
代ニ8:7-9

(列)代一22:15

(列)王一9:23

(列)王一7:9
代一22:2

(列)啓21:14

(列)王一6:7

(列)ヨシ13:1,5

第6章

(列)出12:14,51

(列)王一6:37

第2欄

(列)代一28:11,12
代ニ3:1,2

(列)代ニ3:3
エズ6:3

(列)代ニ3:4

(列)エゼ41:26

(列)レビ16:2
代ニ5:7
ヘブ9:3

(列)王一6:10
エゼ41:5,26

(列)エゼ41:6,7

(列)王一5:17

(列)エゼ41:11

(列)王一6:38

(列)王一5:6
王一6:20

(列)王一6:5

ホバの家を建て始めた。2 ソロモン王がエホバのために建てた家は長さ27メートル、幅9メートル、高さ13メートルだった。3 神殿の前面にある玄関の幅は、家の幅と同じく9メートルだった。玄関の奥行きは、家の前面から測って4.5メートルだった。

4 家のために、窓枠が奥に向かって狭まっている窓を作った。5 さらに、家の壁の周りを、つまり神殿と奥の部屋、壁の周りを別の壁で囲った。そのようにして壁と壁の間に空間を造ったのである。6 その空間を3つの階に分け、各階に小部屋を幾つも造った。1階の幅は2.2メートル、2階の幅は2.7メートル、3階の幅は3.1メートルだった。壁面に段差を造り、梁を家の壁に差し込まずに済むようにした。

7 家は、すでに準備されて形を整えられた石で建てられた。そのため、建設中、家の中で金づちやおのなど、鉄の道具の音が聞かれることはなかった。8 1階の小部屋の入り口が家の南側にあり、らせん階段で2階へ、さらに2階から3階へと上れた。9 作業を続けて家を完成させるに当たり、家の上部に杉材の梁を渡して杉板を並べ、屋根を造った。10 家の周りに小部屋を造った。高さはそれぞれ2.2メートルだった。小部屋と家は杉材でつなげられた。

11 その頃、エホバはソロモンに

6:1 *付録B8参照。6:5 *聖所を指している。

い 言った。12「あなたが私の法令に
したが あゆ わたし ほう き まち わたし すべ
従って歩み、私の法規を守り、私の全
てのおきての通りに歩むなら、あなた
が建てている家に関し、私はあなたの
父ダビデにした約束をあなたに果た
す。13 私はイスラエル人の中に住
み、私の民イスラエルを見捨てない」。

14 ソロモンは家を完成させるため
建設を続けた。15 家の内壁を杉板
で造った。内壁に材木を張り、床にも
天井にもそうした。さらに床にはネ
ズの板を敷いた。16 そして、家の
後部に9メートルの部屋を杉板で造
り、床と天井も造った。そのようにして
いえ なか おく の部屋 つまり至聖所を設
けた。17 家の前部は18メートルの
神殿だった。18 家の内側の杉材に
は、ウリと咲いた花が彫られていた。
すべてが杉材で、石は見られなかった。

19 エホバの契約の箱を置かれた、
いえ なか おく の部屋 とおの
家の中に奥の部屋を整えた。20 奥
の部屋は長さ9メートル、幅9メートル、
高さ9メートルで、純金で覆った。また、
祭壇を杉材で覆った。21 ソロモン
は家の内側を純金で覆い、金で覆わ
れた奥の部屋の前に金の鎖を張った。
22 家全体を完全に金で覆った。ま
た、奥の部屋の近くの祭壇全体に金
をかぶせた。

23 奥の部屋の中に、松の木でケル
ブを2体造った。それぞれの高さは

6:17 *至聖所の前にある聖所のこと。6:23
*直訳、「油の木」。アレツマツツかもしれない。

第6章

例 申 17:18, 19
王 8:25
代 28:9

例 サニ 7:13
代 22:9

例 出 25:8
レビ 26:12
詩 132:13

例 代 28:20

例 王 5:8
代 3:5

例 王 6:5

例 代 3:8, 9
ヘブ 9:3

例 ヘブ 9:2

例 王 7:24

例 出 25:33

例 出 40:21
王 8:6

例 ヘブ 9:3

例 王 6:16

例 出 30:1
王 7:48

例 出 26:29
代 2:7

例 出 26:33

例 出 30:1, 3
出 40:5

例 創 3:24
王 19:15
詩 99:1

第2欄

例 代 2:3:10-13
代 2:5:8

例 詩 80:1
イザ 37:16
ヘブ 9:4, 5

例 代 2:3:14

例 エゼ 41:17, 18

例 出 25:33
王 6:18

4.5メートルだった。24 ケルブの
いっぽう つばさ
一方の翼は2.25メートル、もう一方
の翼も2.25メートルだった。一方の
つばさ せんたん いっぽう つばさ せんたん
翼の先端からもう一方の翼の先端ま
では4.5メートルだった。25 2体目
のケルブも4.5メートルだった。2体
のケルブは大きさも形も同じだった。
26 一方のケルブの高さは4.5メー
トルで、もう一方のケルブもそうだっ
た。27 奥の部屋の中にケルブを置
いた。それらのケルブは翼が広がっ
ていた。1体のケルブの一方の翼が壁
に達し、もう1体のケルブの一方の翼
が反対側の壁に達し、他方の翼同士
が家の中央で触れ合うように広がって
いた。28 それらのケルブに金をか
ぶせた。

29 家の2つの部屋の壁の全面に、
ケルブとヤシの木と咲いた花の模様
を彫った。30 家の2つの部屋の床
を金で覆った。31 奥の部屋の入り
口のため、5番目に、松の木の扉、脇
の柱、柱を造った。32 2つの扉は
松の木でできていた。その上にケルブ
とヤシの木と咲いた花の模様を彫り、
金をかぶせた。金を打ち延ばして、ケ
ルブとヤシの木の模様の上にかぶせ
たのである。33 神殿の入り口のた
めに、同じようにして4番目に松の木

6:31 *もしかすると、「5分の1の」。扉の枠の製
作のことか、扉の大きさのことかもしれない。6:
33 *聖所を指している。*もしかすると、「4分
の1の」。扉の枠の製作のことか、扉の大きさのこ
とかもしれない。

の柱^{はしら}を造^{つく}った。34 そして2つの扉^{とびら}を
ネズ^きの木^{つく}で造^{つく}った。一方^{いっぽう}の扉^{とびら}は軸^{じく}が
付^{まい}いた2枚^{ふたまい}折り戸^どで、もう一方^{いっぽう}の扉^{とびら}も
軸^{じく}が付^{まい}いた2枚^{ふたまい}折り戸^どだった。35 ケ
ルブ^きとヤシ^{はな}の木^ほと咲^{はな}いた花^{はな}を彫^ほり、そ
の彫^ほ刻^くの上に金箔^{きんぱく}をかぶせた。

36 切り石^き3段^{いし}と杉^{だん}の材木^{すぎ}1段^{ざいもく}を重^{だん}
ねて囲^{かこ}いにし、内側^{うちがわ}の庭^{にわ}を造^{つく}った。

37 エホバの家^{いえ}は、ソロモン^{ちせい}の治世^{ちせい}
の第4年^{だいねん}のジウ^きの月^{つき}に土台^{どだい}が据^すえら
れ、38 第11年^{だいじゅういちねん}のブル^きの月^{つき}すなわち
第8月^{だいはつつき}に細部^{さいぶ}に至^{いた}るまで設計^{せつけい}通^どり
に完成^{かんせい}した。こうしてソロモン^{しん}はこの建
設^{せつ}に7年^{ねん}を費^{つい}やした。

7 ソロモン^{しん}は自^じ分の家^{ぶんのか}を建てた。
全^{すべ}て完成^{かんせい}するまでに13年^{ねん}か
かった。

2 彼は「レバノンの森^{もり}の家^{いえ}」を建て
た。長さ^{なが}45メートル、幅^{はば}22メートル、たか
さ13メートルで、杉材^{すぎざい}の4列^{れつ}の柱^{はしら}の上^{うへ}
にあった。柱^{はしら}の上に杉材^{すぎざい}の梁^{はり}が架^か
かっていた。3 家は杉材^{すぎざい}で張^はられ、
柱^{はしら}の上^{うへ}にある大梁^{おおはり}の上に載^のっていた。
それは45本^{ほん}あり、1列^{れつ}に15本^{ほん}だった。
4 枠^{わく}のある窓^{まど}が3列^{れつ}付^ついていた。各
窓^{まど}が反対側^{はんたいがわ}の別^{べつ}の窓^{まど}と向^むかい合^あって
いて、3段^{さんだん}一組^{ひとくみ}で並^{なら}んでいた。5 全^{すべ}て
の入り口^{いりぐち}と戸口^{とぐち}の柱^{はしら}に四角^{しかく}い枠^{わく}が付^つ
いていた、3段^{さんだん}一組^{ひとくみ}で向^むかい合^あってい
る窓^{まど}の前面^{ぜんめん}にも付^ついていた。

6 また、「柱^{はしら}の広間^{ひろま}」を建てた。長

6:37, 38 *付録B15参照。7:1, 8 *または、
「宮殿」。7:3 *大梁のことかもしれない。7:6,
7 *または、「玄関」。

第6章

(列王上) 41:24, 25

(列王上) 7:12

(列王上) 出 27:9

代 2:4-9

代 2:7-7

(列王上) 王 6:1

(列王上) 代 28:11, 12

第7章

(列王上) 伝 2:4, 5

(列王上) 王 9:10

(列王上) 列王上 10:16, 17

イザ 22:8

(列王上) 王 5:8

第2欄

(列王上) 王 10:18

詩 122:2, 5

(列王上) 王 3:9, 28

格 20:8

(列王上) 王 20:4

(列王上) 王 3:1

王 9:24

代 2:8-11

(列王上) 代 2:4-9

(列王上) 王 5:17

(列王上) 王 6:36

代 2:4-9

代 2:7-7

(列王上) 王 6:3

(列王上) 王 7:40

代 2:13, 14

(列王上) 代 2:4-16

(列王上) 出 36:1

さ22メートル、幅^{はば}13メートルで、その前^{まえ}
には柱^{はしら}と屋根^{やね}のある玄関^{げんかん}があった。

7 さらに、裁^{さば}きを行^{おこな}う「王座^{おうざ}の広間^{ひろま}」
(「裁^{さば}きの広間^{ひろま}」)を建てた。床^{ゆか}から天^{てん}
井^{てい}まで杉材^{すぎざい}が張^はられた。

8 ソロモン^すが住^すむ家は、別^{べつ}の庭^{にわ}に
あり、「王座^{おうざ}の広間^{ひろま}」から離^{はな}れていて、
同^{おな}じような造^{つく}りだった。また、ソロモ
ンが妻^{つま}にしたファラオ^{むすめ}の娘^{むすめ}のため
に「王座^{おうざ}の広間^{ひろま}」と同^{おな}じような家^{いえ}を建
てた。

9 これらは全^{すべ}て、土台^{どだい}からかき石^{いし}ま
で、外^{そと}は大きな庭^{おほ}まで、高価^{こうか}な石^{いし}ででき
ていた。石^{いし}は寸法^{すんぽう}通^どりに切^きられ、内側^{うちがわ}
も外側^{そとがわ}も石^{いし}のこぎりで切^きりそろえられ
ていた。10 土台^{どだい}として置^おかれたの
は非常^{ひじょう}に大きい高価^{こうか}な石^{いし}だった。4.5
メートルのものや3.6メートルのものも
あった。11 その上^{うへ}には、寸法^{すんぽう}通^どりに
切^きられた高価^{こうか}な石^{いし}や杉材^{すぎざい}が使^{つか}われ
た。12 大きな庭^{にわ}は、周^{おほ}りに切り石^{いし}3
段^{だん}と杉^{すぎ}の材木^{ざいもく}1段^{だん}が巡^{めぐ}らされた。エホ
バの家^{いえ}の内側^{うちがわ}の庭^{にわ}とその家^{いえ}の玄関^{げんかん}と
同様^{どうよう}だった。

13 ソロモン王^{おう}は人^{ひと}を遣^{つか}わして、ティ
ルスからヒラム^{ひら}を連れてこさせた。

14 ヒラム^{ずく}はナフタリ族^このやもめの子^こ
であり、父^{ちち}はティルス人^{じん}で銅細工^{どうさいく}工人^{さいく}
だった。ヒラム^{かん}は銅^{すく}のあらゆる細工^{さいく}
に関する優^{かん}れた技術^{ぎじゆつ}と知識^{ちしき}と経験^{けいけん}が
あった。彼はソロモン王^{おう}のもとにやっ
て来て、任^きされた仕事^{しごと}を全^{すべ}て行^{おこな}った。

7:14 *または、「青銅」。この章で、以下同様。

15 彼は2本の銅の柱を鑄造した。それぞれの柱は、高さ8メートルで、周りを測り綱で測ると5.3メートルだった。16 柱のてっぺんに付ける柱頭2つも銅で鑄造した。一方の柱頭の高さは2.2メートル、もう一方の柱頭の高さも2.2メートルだった。17 柱のてっぺんにある柱頭には、鎖を編んだ網細工が付いた。一方の柱頭に7つ、もう一方の柱頭に7つだった。18 また、柱のてっぺんにある柱頭を飾るため、1つの網細工の周りにザクロを2列作った。どちらの柱頭にも同じようにした。19 玄関のそばの柱のてっぺんにある柱頭には、高さ1.8メートルのユリの花の模様もあった。20 柱頭のその部分は、2本の柱の上、網細工に包まれた膨らみのすぐ上にあった。それぞれの柱頭の周りには200個のザクロが列を成していた。

21 神殿の玄関の柱を立てた。右側の柱を立ててヤキンと名付け、それから左側の柱を立ててボアズと名付けた。22 柱のてっぺんにはユリの花の模様がかった。こうして柱の製作は完了した。

23 鋳物の「海」を作った。円形で、縁から縁までが4.5メートルで、高さは2.2メートルだった。周囲は測り綱で測ると13.5メートルだった。24 縁

7:21 *聖所を指している。*または、「南側」。△意味、「[エホバが]しっかり据えてくださいますように」。*または、「北側」。□意味はもしかすると、「強さによって」。7:23 *または、「水ため」。

第7章

(列) 王一 7:21

(列) 王二 25:13, 17
代二 3:15
エレ 52:21(列) 王二 25:17
代二 4:12, 13(列) 王二 25:17
代二 3:16
エレ 52:22, 23(列) 王一 6:3
エゼ 40:48

(列) 代二 3:17

(列) 出 30:18
王二 25:13

(列) 代二 4:2-5

第2欄

(列) 王一 6:18

(列) エレ 52:20

(列) 王二 25:16
エレ 52:17

(列) エゼ 41:19

(列) 創 3:24
出 25:18
王一 6:27
代二 3:7
エゼ 41:17, 18

の下の方にはウリ形の飾りが周囲全体にあった。「海」の周囲に45センチにつき10ずつあった。ウリ形の飾りは2列で、「海」と一緒に鑄造されたので接ぎ目がなかった。25 「海」は12とうの雄牛の上にあり、3頭は北を、3頭は西を、3頭は南を、3頭は東を向いていた。「海」はこれらの雄牛の上に置かれ、雄牛の後部は全て中心に向いていた。26 「海」の厚さは7センチだった。縁は、杯の縁やユリの花のような造りだった。「海」には4万4000リットルの水が入った。

27 銅の台車を10台作った。それぞれの台車は長さ1.8メートル、幅1.8メートル、高さ1.3メートルだった。28 台車の作りは次の通りだった。側板があり、それらは格子の間にはめられていた。29 格子の間の側板にはライオンと雄牛とケルブがあり、格子にも同じ模様がかった。ライオンと雄牛の上と下には、浮き出るように帯状の装飾が施されていた。30 それぞれの台車には、銅の4つの車輪と銅の車軸が付いていた。四隅には、それらの車輪を付ける支柱があった。水盤の下には脚があり、それらは側面に帯状の装飾があるように鑄造されていた。31 水盤の口は冠の中にはめられ、水盤の底から冠の下端までは45センチだった。冠の口は丸

7:27 *または、「水を運ぶ銅の車」。7:31 *または、「輪」。

く、脚^{あし}と合わせて^あ台座^{だいざ}となり、その高^{たか}さは67センチになった。冠^{かんむり}には彫^ほり物^{もの}があり、その側板^{がわいた}は四角^{しかく}で、丸^{まる}くなかった。32 4つの車輪^{しゃりん}は側板^{がわいた}より下にあり、車輪^{しゃりん}の固定^{こてい}具^ぐが台車^{だいしゃ}に付けられた。各車輪^{しゃりん}の高さは67センチだった。33 車輪^{しゃりん}の作りは兵車^{へいしゃ}の車輪^{しゃりん}のようだった。車輪^{しゃりん}の固定^{こてい}具^ぐもリムもスポークもハブも全て^{すべ}に鋳^い物^{もの}だった。34 それぞれの台車^{だいしゃ}には四隅^{よすみ}に4本の支柱^{しちゅう}があった。支柱^{しちゅう}は台車^{だいしゃ}の一部として鋳造^{ちゅうぞう}された。35 台車^{だいしゃ}の一番上^{うへ}にある丸^{まる}い輪^わは、高^{たか}さ22センチだった。その杵^きと側板^{がわいた}は台車^{だいしゃ}の一部として鋳造^{ちゅうぞう}され、台車^{だいしゃ}の一番上^{うへ}に位置^{いちば}した。36 杵^きの表面^{まわ}と側板^{がわいた}には、大きさに応^おじて、ケルブとライオンとヤシの木^きを彫^ほり、周^{まわ}りに帯状^{おびじょう}の装飾^{そうしよく}を施^{ほどこ}した。37 こうして台車^{だいしゃ}を10台^{じゅうとう}作った。どれも同じように鋳造^{ちゅうぞう}し、寸法^{すんぽう}も形^{かたち}も同じだった。

38 銅^{どう}の水盤^{すいばん}を10個^{じゅうじゅう}作った。それぞれの水盤^{すいばん}の容量^{ようりょう}は880リットルだった。各水盤^{かくすいばん}は1.8メートルだった。10台^{だい}の台車^{だいしゃ}それぞれに水盤^{すいばん}が1個^こあった。39 台車^{だいしゃ}5台^{ごだい}を家^{いえ}の右側^{みぎがわ}に、5台^{ごだい}を家^{いえ}の左側^{ひだりがわ}に置^おいた。「海^{うみ}」は家^{いえ}の右側^{みぎがわ}、南東^{なんとう}に置^おいた。

40 ヒラムは水盤^{すいばん}とシャベルと鉢^{はち}もつく作った。

7:34 *または、「支柱と台車の間に接ぎ目はなかった」。7:35 *または、「側板と台車の間に接ぎ目はなく」。7:38 *または、「直径1.8メートル」。

第7章

(例) 王一 6:29

王一 6:32

(例) 王一 7:27

(例) 王一 7:15, 46

代二 4:3

(例) 出 30:18

(例) 代二 4:6, 10

(例) 王一 7:13

代二 2:13

(例) 出 27:3

王二 25:14

(例) 出 24:6

第2欄

(例) 代二 4:11-17

(例) 王一 7:15

(例) 王一 7:17

(例) 王一 7:20

(例) 王一 7:27

(例) 王一 7:38

(例) 王一 7:23

(例) 代一 22:14, 16

代二 4:18-22

(例) 出 37:25

(例) 出 37:10

(例) 出 37:17

啓 1:20

(例) 王一 6:18

(例) 出 37:23

(例) エレ 52:18

(例) 出 25:29

(例) レビ 16:12

(例) 王一 6:31

こうしてヒラムはエホバの家^{いえ}に關^{かん}してソロモン王^{おう}から頼^{たの}まれた仕事^{しごと}を全て完了^{すべ}した。彼^{かれ}が作った物^{もの}は以下の通り^{いか}である。41 2本の柱^{ほん}と、2本の柱^{ほん}のてっぺんにある鉢形^{はちがた}の柱頭^{ちゅうとう}。柱^{はしら}のてっぺんにある2つの鉢形^{はちがた}の柱頭^{ちゅうとう}を飾^{かざ}る2つの網細工^{あみざい}。42 2つの網細工^{あみざい}のための400個^このザクロ^{ざくろ}、すなわち2本の柱^{ほん}の上^{うへ}にある2つの鉢形^{はちがた}の柱頭^{ちゅうとう}を飾^{かざ}る、それぞれの網細工^{あみざい}のための2列^{れつ}のザクロ。43 10台^{だい}の台車^{だいしゃ}と、台車^{だいしゃ}に載^のせる10個^この水盤^{すいばん}。44 「海^{うみ}」と、「海^{うみ}」の下^{した}の12頭^{とう}の雄牛^{おうし}。45 缶^{かん}とシャベルと鉢^{はち}、全ての器具^{きぐ}。ヒラムがソロモン王^{おう}のため、エホバの家^{いえ}のために作ったこれらの物^{もの}は銅^{どう}でできていて、磨^{みが}き上げられていた。46 王^{おう}は、ヨルダン^{ちいき}地域^{ちいき}、スコトとツアレタン^{あいだ}の間^{なんど}で、粘土^{いがた}の鋳型^{ちゅうぞう}でこれらを鋳造^{ちゅうぞう}させた。

47 ソロモンは、器具^{きぐ}があまりにも大量^{たいりょう}だったため、全て重^{すべ}さを量^{はか}らなかった。銅^{どう}の重^{おも}さは確^{たし}かめられなかった。48 ソロモンはエホバの家^{いえ}のための全ての器具^{きぐ}を作^{つく}った。金^{きん}の祭壇^{さいだん}、供^けえのパンを載^のせる金^{きん}の食卓^{しょくたく}。49 奥^{おく}の部屋^{へや}の前^{まえ}の左右^{さゆう}に5つづつ置^おく純金^{じゆんきん}のランプ台^{だいい}を作り、花^{はな}、ランプ、心^{しん}つまみを金^{きん}で作^{つく}った。50 水盤^{すいばん}、明^あかり消^けし、鉢^{はち}、杯^{さかずき}、炭^{すみ}入れを純金^{じゆんきん}で、奥^{おく}の部屋^{へや}つまり至聖所^{しせいじよ}の扉^{とびら}の軸^{じく}

7:49 *または、「火箸」。

う 受けと、^{しんでん}神殿の家の^{いえ}扉の^{とびら}軸^{じく}受けを^{きん}金で
つく 作った。

51 こうしてソロモン王は、エホバ^{おう}の家のために^{いえ}必要な^{ひつよう}仕事^{しごと}全て^{かんりよう}を完了した。ソロモンは、父^{ちち}ダビデが^{せい}聖なるものとした物を運び入れた。銀、金、器物類^{きぶつるい}をエホバの家の宝物庫^{たからぐら}に納めた。

8 ソロモンはイスラエルの長老^{ちやうろう}たち、全ての部族長^{ぶそくちやう}、イスラエルの氏族長^{しそくちやう}たちを招集した。彼らはエホバの契約^{けいやく}の箱を「ダビデの町」つまりシオンから運ぶため、エルサレムのソロモン王のもとにやって来た。**2** イスラエルの全ての人たちは、エタニム^{えいたにむ}の月つまり第7の月の祭りの時^{つき}、ソロモン王の前に集合した。**3** イスラエルの全ての長老^{ちやうろう}が到着すると、祭司^{さいし}たちは箱^{はこ}を担いだ。**4** 彼らは、エホバの箱^{はこ}、会見の天幕^{かいけん}、天幕の中にあった全ての聖なる器具^{せい}を運んだ。祭司とレビ族^{そく}は運んだ。**5** ソロモン王と、王のもとに招集されたイスラエルの民全体が、箱の前にいた。数え切れないほど多くの羊や牛が犠牲^{けいせい}として捧げられた。

6 祭司たちはエホバの契約^{けいやく}の箱を所定の場所に置いた。家の奥の部屋つまり至聖所のケルブの翼の下である。

7 箱がある場所の上にケルブの翼

第7章

(列) 王一 6:33
(列) サ二 8:10-12
(列) 代二 5:1

第8章

(列) 代二 5:2,3
伝 1:1
(列) サ二 6:17
(列) サ二 5:7
代一 11:5
(列) レビ 23:34
申 16:13
(列) 代一 15:2,15
代二 5:4-6
(列) 出 40:2
代二 1:13
(列) 代一 16:1
(列) 出 26:33
出 40:21
サ二 6:17
啓 11:19
(列) 王一 6:27
代二 5:7
詩 80:1
エゼ 10:5

第2欄

(列) 出 25:20
代二 5:8-10
(列) 出 25:14
出 37:4
(列) 申 4:13
ヘブ 9:4
(列) 出 19:1
民 10:11,12
(列) 出 24:8
(列) 出 40:20
申 10:5
(列) 出 40:34
レビ 16:2
代二 5:11-14
(列) 出 40:35
エゼ 10:4
エゼ 43:4
エゼ 44:4
使徒 7:55
啓 21:23
(列) 出 20:21
申 5:22
代二 6:1,2
詩 18:11
詩 97:2
(列) 詩 78:69
詩 132:13,14
(列) 代二 6:3-11
(列) 申 12:11

が広がっていたので、箱とその棒はケルブに覆われていた。**8** 棒は長かったため、先端が奥の部屋の前の聖所から見えた。しかし外からは見えなかった。それらは今もそこにある。**9** 箱の中には2枚の石板 以外は何もなかった。その石板は、エジプトから出てきたイスラエルの民とエホバが契約を結んだ時に、ホレブでモーセがそこに納めたものである。

10 祭司たちが聖なる場所から出てくると、エホバの家に雲が満ちた。

11 祭司たちは雲に遮られ、奉仕することができなくなった。エホバの栄光がエホバの家に満ちたのである。

12 その時、ソロモンは言った。「エホバは、濃い暗闇の中に住む、とおっしゃいました。**13** 私はあなたのために、荘厳な家を、あなたがいつまでも住める場所を建てました」。

14 王は向き直って、イスラエルの会衆 全体のために祝福を願う求め始めた。その間、イスラエルの会衆全体は立てていた。**15** 王は言った。「ご自分の口で私の父ダビデに約束し、ご自分の手でそれを果たされたイスラエルの神エホバが賛美されますように。神はこう言いました。**16** 『私の民イスラエルをエジプトから連れ出した日から今まで、私は、私の名が尊ばれる家を作るためにイスラエルのいづれかの部族の領地から町を選ぶことはしなかった。しかし私は今、私の

8:2 * 付録 B15 参照。 # 仮小屋の祭りのこと。

8:4, 14 * 用語集参照。

民イスラエルを治めさせるためにダビデを選んだ。17 私の父ダビデは、イスラエルの神エホバの名のために家を建てることを心から願っていました。18 しかしエホバは父ダビデにこう言いました。『あなたは私の名のために家を建てたいと心から願った。心からそう願ったのはとても良いことだ。19 とはいえ、あなたがその家を建てることはない。あなたに生まれる子が私の名のために家を建てる。』20 エホバは約束を果たされました。エホバの約束通り、私は父ダビデの跡を継いでイスラエルの王座につきました。そしてイスラエルの神エホバの名のために家を建てました。21 また、契約を記した石板を納めた箱のために、そこに場所を設けました。その契約は、エホバが私たちの父祖をエジプトから連れ出した時に、父祖たちと結ばれたものです。

22 ソロモンはイスラエルの会衆全体の前でエホバの祭壇の前に立ち、天に向かって両手を広げて、23 こう言った。「イスラエルの神エホバ、天にも地にも、あなたのような神はいません。あなたは、心を尽くしてあなたに仕える人たちに対して契約を守り、揺るぎない愛をお示しになる方です。

24 あなたは、あなたに仕えた父ダビデへの約束を守られました。ご自分の口で約束し、今日ご自分の手でそれ

第8章

(例) サニ 7:1-3
代一 17:1,2

(例) サニ 7:12,13

(例) 代一 28:5,6

(例) 出 34:28
申 9:9
申 31:26

(例) 代二 6:12

(例) 出 15:11
サニ 2:2
サニ 7:22

(例) 代二 6:14-17

(例) 申 7:9

第2欄

(例) サニ 7:12,13

(例) 王一 2:4
詩 132:12

(例) イザ 66:1

(例) 詩 148:13
エレ 23:24

(例) 代二 2:6
代二 6:18-21
ネヘ 9:6
使徒 17:24

(例) 出 20:24
サニ 7:13

(例) ダニ 6:10
ペー 3:12

(例) 詩 13:13

(例) 代二 7:13,14
ダニ 9:19

を果たされました。25 それで今、イスラエルの神エホバ、あなたが父ダビデに、『あなたの子たちがあなたと同じように私の道を歩み続けるなら、私の前でイスラエルの王座には必ずあなたの家系の人がつく』と言って交わした約束をお守りください。26 イスラエルの神、どうか、あなたがなされた父ダビデへの約束がその通りになりますように。

27 神は果たして地上にお住みになるのでしょうか。天も、天の天も、あなたには狭く、十分ではありません。私が建てたこの家など、なおさらです!

28 私の神エホバ、私の祈りと、恵みを求める願いに耳を傾けてください。助けを求める私の叫びと、私が今日あなたの前で捧げている祈りをお聞きください。29 『私の名はそこにある』とあなたが言われたこの家を、あなたが昼も夜も見守り、この場所に向かって捧げる私の祈りを聞いてくださいますように。30 恵みを求める私の願いと、あなたの民イスラエルがこの場所に向かって祈る願いをお聞きください。あなたが天の住まいから聞いてくださいますように。どうか、聞いてお許しくださいますように。

31 仲間に対して罪を犯したとされる人が、誓いを立てさせられて、その誓いに縛られた状態でこの家の祭壇の

8:31 *または、「その仲間から罰を科されて」。偽証や違反があった場合に罰が科されることを承知の上で、誓いを立てさせられたということ。

8:19 *直訳、「あなたの腰から出る」。8:23 *直訳、「の前で歩む」。

46 彼らがあなたに対して罪を犯した場合(罪を犯さない人は一人もいません), あなたが憤って彼らを敵に渡し, 彼らが捕らえられて, 遠くであれ近くであれ, 敵の土地に連れ去られ,

47 行ったその土地で本心に立ち返ってあなたのもとに戻り, 『私たちは罪を犯し, 間違ったことをしました。悪いことをしました』と言って恵みを求めるなら, 48 また, 行ったその敵の土地で, 彼らが心を尽くし自分の全てを尽くしてあなたのもとに戻り, 父祖たちにあなたが与えになった土地とあなたが選んだ都市の方を向き, あなたの名のために私が建てた家に向かってあなたに祈るなら, 49 あなたが, 住まいである天から, 彼らの祈りと恵みを求める願いをお聞きになり, 彼らのために行動し, 50 あなたに対して罪を犯した彼らと, 彼らがあなたに対して犯した全ての違反を許してくださいように。彼らが敵たちの前で情けを受けられるようにあなたが働き掛け, 敵たちが彼らに情けを掛けますように。51 彼らは, あなたがエジプトから, 溶鉱炉の中から連れ出したあなたの民, あなたの財産だからです。

52 恵みを求める私の願いにあなたが目を向けてくださいますように。イスラエルの民があなたに祈る時はいつも, 恵みを求めるその願いに耳を傾

8:49 *または, 「裁き」。8:52 *または, 「何を願い求めても」。

第8章

(7) 詩 51:5
詩 130:3
伝 7:20
ロマ 3:23
ヨ一 1:8
(1) 申 28:15, 36
王二 17:6
王二 25:21
代二 6:36-39

(7) レビ 26:40

(2) 申 30:1, 2

(7) ネヘ 1:6
詩 106:6
格 28:13
ダニ 9:5

(7) 申 4:27, 29
代二 33:12, 13

(7) サ一 7:3

(7) ダニ 6:10

(7) イザ 63:15

(2) 代二 30:9
エズ 7:28
ネヘ 2:7, 8

(7) 出 14:30

(7) 申 4:20

(7) 出 19:5
申 9:26

(7) 代二 6:40

第2欄

(7) 詩 86:5
詩 145:18

(1) 出 19:6
申 4:34
申 32:9

(7) 代二 6:12, 13

(2) 王一 4:24, 25

(7) 申 10:11
ヨシ 21:45

(7) 申 31:6
ヨシ 1:5
代二 32:7
詩 46:7

(7) イザ 41:10
ヘブ 13:5

(7) 詩 86:11
詩 119:36
テサニ 3:5

けてくださいますように。53 主権者である主エホバ, あなたは父祖たちをエジプトから連れ出した時に奉仕者モーセを通して宣言した通り, 彼らを地上の全ての民の中から取り分け, ご自分の財産とされたからです」。

54 こうしてソロモンは, エホバの祭壇の前でひざまずいて両手を天に向かつて広げながら, この祈り全てと恵みを求める願いの言葉をエホバに捧げ, その後立ち上がった。55 それから王は立って大声でイスラエルの会衆全体のために祝福を願い, こう言った。56 「約束通りご自分の民イスラエルに休み場をお与えになったエホバが賛美されますように。神が奉仕者モーセを通してなされた良い約束は, 一言といえ果たされなかったものはありません。57 私たちの神エホバが, かつて父祖たちと共にいてくださったように, 私たちとも共にいてくださいますように。私たちを見放したり見捨てたりなさいませんように。58 神が私たちの心を引き寄せてください, 私たちがどんなときでも神の道を歩んで, 父祖たちに神が与えたおきてと規定と法規を守れますように。59 私がエホバに恵みを求めて述べたこれらの言葉を, 私たちの神エホバが昼も夜も覚えていてくださいますように。その日必要とするところに応じて, 私とイスラエルの民のために

行動^{こうどう}していただくためです。60 そのようにして、地上^{ちじょう}の全ての民^{たみ}がエホバこそ真^{しん}の神^{かみ}であることを知^しりますように。ほかに神^{かみ}はいないのです! 61 それで皆さん、心の全て^{みな こころ すべ}をエホバ神^{かみ}に向^むけてください。今日^{けふ}のように、神^{かみ}の規定^{きぎん}に従^{したが}って歩^{あゆ}み、神^{かみ}のおきてを守^{まも}るのです。

62 王^{おう}と、共にいたイスラエル^{いすらいる}は皆^{みな}、エホバの前^{まえ}で多くの犠^{けい}牲^{せい}を捧^{たも}げた。

63 ソロモン^{きやうしよく}は共食^{ぎせい}の犠^{けい}牲^{せい}をエホバに捧^{たも}げた。牛^{うし}2万^{まん}2000頭^{とう}と羊^{ひつじ}12万^{まん}匹^{びつ}を捧^{たも}げた。こうして王^{おう}とイスラエル人^{いすらいるじん}皆^{みな}はエホバの家^{いえ}を奉^{ほう}献^{けん}した。64 その日^ひ、王^{おう}はエホバの家^{いえ}の前^{まえ}にある庭^{にわ}の中央^{ちゆうおう}を神聖^{しんせい}なものとした。全焼^{ぜんしょう}の犠^{けい}牲^{せい}、穀物^{こくもつ}の捧^{たも}げ物^{ぶつ}、共食^{ぎせい}の犠^{けい}牲^{せい}の脂肪^{しぼう}の部分^{ぶぶん}を、その場所^{ばしょ}で捧^{たも}げなければならなかったからである。エホバの前^{まえ}にある銅^{どう}の祭壇^{さいだん}は、全焼^{ぜんしょう}の犠^{けい}牲^{せい}の前^{まえ}にも銅^{どう}の祭壇^{さいだん}は、全焼^{ぜんしょう}の犠^{けい}牲^{せい}の穀物^{こくもつ}、共食^{ぎせい}の犠^{けい}牲^{せい}の脂肪^{しぼう}の部分^{ぶぶん}を載^のせるには小さ過ぎたのである。

65 同じ時^{おな とき}、ソロモン^{きやうしよく}はエホバ神^{かみ}の前^{まえ}で、イスラエル全体^{ぜんたい}と共に7日^かとさらに7日^か、つまり14日間^{かかん まつ}、祭^{まつ}りを行^{おこな}った。遠くはレボ^{れぼ}・ハマト^{はまと}やエジプト^{えじぷと}の谷^{たに}からもたくさん^{たくさん}の群衆^{ぐんしゅう}が集^{あつ}まった。66 翌日^{よくじつ}、王^{おう}は民^{たみ}を去^さらせた。民^{たみ}は王^{おう}のために祝福^{しゅふく}を願^{ねが}い求^{もと}め、神^{かみ}に仕^{つか}えたダビデ^{だびで}とイスラエル^{いすらいる}の民^{たみ}にエ

8:59 *または、「裁いて」。8:65 *または、「ハマトの入り口」。^aまたは、「ワジ」。^aまたは、「大きな会衆」。8:66 *直訳、「8日目」。後半の7日が終わった次の日のこと。

第8章

ヨシ 4:24
サー 17:46
エゼ 36:23
エゼ 39:7
イ申 4:35, 39
イザ 44:6
イ申 18:13
王二 20:3
代一 28:9
マタ 22:37

代二 7:4, 5
レビ 3:1
エズ 6:16
ネヘ 12:27
代二 4:1
レビ 3:16
レビ 23:34
創 15:18
民 34:5, 8

第2欄

詩 31:19
イザ 63:7
エレ 31:12

第9章

代二 8:1
伝 2:4
代二 7:11
王一 3:5
申 12:5, 6
王一 8:28, 29
代二 6:40
代二 16:9
詩 132:13
伝 12:13
詩 78:70, 72
代一 29:17
王一 3:6
代二 7:17, 18
サニ 7:16, 17
王一 2:4
詩 89:20, 29
王一 11:4
代二 7:19-22
レビ 18:28
申 4:26
サニ 7:14
王二 17:22, 23
詩 89:30-32
王二 25:9, 10
代二 15:2
申 28:37
詩 44:14
代二 36:19
イザ 64:11

ホバ^{すべ}がした全ての良^よいこと^{よろこ}を喜^{よろこ}び、うれしい気持ち^{きもち}で家^{いえ}に帰^{かえ}っていった。

9 ソロモン^{いすらい}が、エホバの家^{いえ}と王^{おう}の家^{いえ}、そのほか^{ほか}の造^{つく}ろうと思^{おも}っていた物^{もの}全て^{すべて}を完成^{かんせい}させると、2 エホバは、かつてギベオン^{あらわ}で現^{あらわ}れたように、ソロモン^{あらわ}に再び現^{あらわ}れた。3 エホバは彼^{かれ}に言^いった。「私^{わたし}はあなたが私^{わたし}の前^{まえ}で捧^{たも}げた祈^{いの}りと恵^{めぐ}みを求^{もと}める願^{ねが}いの言葉^{ことば}を聞^きいた。私^{わたし}はあなたが建^たてた家^{いえ}を神聖^{しんせい}なものとし、私^{わたし}の名^なをいつまでもそこに付^つす。私^{わたし}の目^めと心^{こころ}はいつもそこにある。4 あなたが父^{ちち}ダビデ^{だびで}と同じように、私^{わたし}が命^{めい}じたこと^{こと}全て^{すべて}をおこな^{おこな}い、清^{きよ}い心^{こころ}で正直^{しやうじき}に私^{わたし}に仕^{つか}え、私^{わたし}の規定^{きぎん}と法規^{ほうき}を守^{まも}るなら、5 私^{わたし}は、あなたの父^{ちち}ダビデ^{だびで}に『イスラエル^{いすらいる}の王^{おう}座^ざには必ず^{かならず}あなたの家系^{かけい}の人がつく』と言って交^かわした約束^{やくそく}の通り、イスラエル^{いすらいる}を治^{おさ}めるあなた^{あなた}の王国^{おうこく}の王座^{おうざ}が永遠^{えいえん}に揺^ゆるがないようにする。6 もしあなた^{あなた}たちやあなた^{あなた}たちの子^こが私^{わたし}に従^{したが}うのをやめ、私^{わたし}が与^{あた}えたおきてと法^{ほう}令^{れい}を守^{まも}らず、ほか^{ほか}の神^{かみ}々に仕^{つか}え始め^{はじ}てひれ伏^ふすなら、7 私^{わたし}は、私^{わたし}が与^{あた}えた土地^ちからイスラエル^{いすらいる}を排除^{はいじょ}し、私^{わたし}が自分^{じぶん}の名^なのために神聖^{しんせい}なものとした家^{いえ}を投^なげ捨^すてる。イスラエル^{いすらいる}は全ての民^{たみ}の中^{なか}で軽^{けい}蔑^{めつ}やあざけりの的^{まと}となる。8 この家^{いえ}は廢^{はい}虚^{きょ}となる。そばを通^{とお}る人^{ひと}は皆^{みな}、驚^{おどろ}いて見^みつめ、口笛^{くちふえ}を吹^ふいて、

9:1 *または、「宮殿」。9:4 *または、「忠誠心を尽くして」。^a直訳、「の前で歩み」。

は自分の家来で経験^{けいけん}を積んだ船乗り^{ふなの}たちをその船団^{せんだん}に派遣^{はけん}し、ソロモンの家来たちと共に働かせた。28 船団はオフィルへ行き、そこで14トンの金を手に入れ、ソロモン王の所に運んだ。

10 さて、シェバの女王^{じょおう}は、エホバの名をたたえるソロモンの名声^{めいせい}について聞いた。それで彼女はソロモンを難問^{なんもん}で試そうとしてやって来た。2 彼女は大勢^{おおぜい}の従者^{じゅうしや}を伴い、ラクダにバルサム油^{ひじよう}や非常に多くの金と宝石^{きんほうせき}を載せて、エルサレムに着した。そしてソロモンの所に来て、知りたいと思^{おも}っていたことを全部尋ねた。3 ソロモンは全ての質問^{しつもん}に答えた。王にとって難しくて分からないことは一つもなく、全てを説明した。

4 シェバの女王^{じょおう}は、ソロモンのあらゆる知恵や建てた家を目にして、5 また、食卓^{しょくたく}の食べ物^{たものけ}、家来たちが座^{すわ}っている様子^{ようす}、給仕人たちの食卓^{しょくたく}での応対^{おうたい}や服装^{ふくそう}、王に仕える献酌人^{けんしやくにん}たち、王がエホバの家でいつも捧げる全焼^{ぜんしょう}の犠牲^{ぎせい}を見て、息をのんだ。6 彼女は王に言った。「私が自分の国であるあなたの功績^{こうせき}と知恵^{ちえ}について聞いたことは、本当でした。7 私は来て、この目で見るまでは、信じていませんでした。私は半分も知らされていませんでした。あなたの知恵と繁栄^{はんえい}は、私が聞

10:1 *または、「謎掛け」。 10:6 *または、「言葉」。

第9章
(列) 王 5:12

(列) 創 10:29
代 29:3,4
詩 45:9

第10章
(列) 王 4:29

(列) 代 29:1,2
マタ 12:42

(列) 詩 72:10

(列) 出 25:3,6
王 20:13

(列) 王 3:28
伝 12:9

(列) 代 29:3-8

(列) 王 4:22

第2欄
(列) 格 8:34

(列) 王 5:7

(列) 創 43:11

(列) 詩 72:10

(列) 王 9:27,28
詩 45:9

(列) 代 2:8

(列) 代 29:10,11

(列) 代 29:5:12
詩 150:3

(列) 代 29:12

(列) 代 29:13,14

いていたことをはるかに超えています。8 あなたの民は幸せです。いつもあなたの前に立って、あなたの知恵を聞いている家来たちも幸せです。9 あなたの神エホバが賛美されますように。神はあなたのことを喜ばれ、イスラエルの王座につかせました。エホバはイスラエルへの永遠^{えいえん}の愛ゆえに、あなたに公正で正しいことを行わせようと、あなたを王に任命したのです。

10 それから彼女は、4トンの金と多量のバルサム油と宝石を王に贈った。シェバの女王がソロモン王に贈ったほどの量のバルサム油が届けられることは、二度となかった。

11 オフィルの金を載せたヒラムの船団が、オフィルから大量のアルグムの木材と宝石も運んできた。12 王はそのアルグムの木材でエホバの家と王の家に取付ける物を作り、また歌い手たちのためにたて琴と弦楽器を作った。それほどのアルグムの木材は、いまだかつて届けられたことがなく、誰も見たこともない。

13 ソロモン王は、シェバの女王に喜^きまへ^{まへ}お^おく^くの^の物^{もの}を^をした^{した}ほか、女王の求めに応じて望み通りに何でも贈った。その後、彼女は出発し、家来たちと共に自分の国に帰っていった。

14 1年間にソロモンの所に入ってきた金の重さは、23トン近くになった。

15 ほかに、商人や貿易商、アラブの

10:12 *または、「宮殿」。

すべ おう こくない そうとく しゅうえき
全ての王、国内の総督たちからの収益
があった。

16 ソロモン王は、金の合金で大盾
を200個作り(各大盾を約7キロの
金で覆った)、17 金の合金で小盾を
300個作った(各小盾を1.7キロの金
で覆った)。そして、それらを「レバノン
の森の家」に置いた。

18 さらに、王は大きな象牙の王座
を作り、それに精錬された金をかぶせ
た。19 その王座までには6つの段
があり、王座の後ろに丸い覆いがあっ
た。座面の両側には肘掛けがあり、肘
掛けのそばに2頭のライオンが立っ
ていた。20 6つの段には、各段の両
端に1頭ずつ、合計12頭のライオンが
立っていた。このようなものが作られ
た王国はほかになかった。

21 ソロモン王が飲むのに使う器は
全て金であり、「レバノンの森の家」の
器具も全て純金だった。銀のものは何
もなかった。ソロモンの時代、銀は価
値がないと見なされていた。22 王
は、海上のヒラムの船団のそばに、タ
ルシシュの船団を持っていて、そのタ
ルシシュの船団が3年に1度、金、銀、
象牙、猿、クジャクを載せてきた。

23 ソロモン王は、地上のどの王よ
りも豊かな富と知恵を持っていた。

24 世界中の人たちがソロモンに会
う機会を求めた。神がソロモンの心に授
けた知恵を聞くためだった。25 人々
が毎年、銀の品、金の品、衣服、武器、

第10章

列王 14:25,26

列王 9:15,16

列王 7:2

列王 122:2,5

列王 9:17-19

列王 49:9

民 23:24

民 24:9

列王 7:2

列王 9:20,21

列王 10:4

詩 72:10

エゼ 27:12

ヨナ 1:3

列王 10:18

列王 5:19

列王 3:12,13

王 4:29

代 9:22-24

列王 2:6

第2欄

列王 17:15,16

王 4:26

列王 12:14

代 9:25

列王 12:15

代 9:27

列王 12:16,17

代 9:28

列王 1:4

第11章

列王 1:31

列王 17:15,17

ネヘ 13:26

列王 19:36,37

列王 1:421

列王 16:30,31

列王 26:34,35

バルサム油、馬、ラバなどの贈り物を
も
持ってきた。

26 ソロモンは兵車と馬を増やして
いった。1400両の兵車と1万2000頭
の馬を持ち、兵車の町とエルサレムの
王のそばに配置した。

27 ソロモン王のおかげで、エルサ
レムで銀は石のように多くなり、杉材
はシフェラにあるエジプトイチジク
の木のように多くなった。

28 ソロモンの馬はエジプトから輸
入されたもので、王の商人団が代価を
払い、群れ単位で入手した。29 エ
ジプトから輸入した兵車は1両が銀
600枚で、馬は1頭が150枚だった。
それらは彼らによってヘト人の全て
の王やシリアの王たちにも輸出されて
いた。

11 ソロモン王は、ファラオの娘
のほかにも多くの外国人の
女性を愛した。モアブ人、アンモン人、
エドム人、シドン人、ヘト人の女性であ
る。2 彼女たちは、エホバがかつて
イスラエル人に次のように言った国々
の人だった。「あなたたちは彼らの中
に入ってはならず、彼らがあなたたち
の中に入ることもあってはならない。
さもないと、彼らはあなたたちの心を

10:26 *または、「騎手」。
*または、「1万2000
人の騎手」。
10:28 *もしかすると、「ソロモン
の馬はエジプトとクエから輸入されたものだ
った。王の商人たちが代価を払ってクエから買
った。クエとはキリキアのこともかもしれない。
11:
2 *または、「と姻戚関係になつて」。

かれ かみがみ む (7) 彼らの神々に向けさせる)。それなのにソロモンは彼女たちを愛して離れなかった。3 彼には、700人の妻つまり王妃と、300人の側室がいた。妻たちは彼の心を徐々に神から離れさせた。4 ソロモンが年老いた時に、妻たちはソロモンの心をほかの神々に向けさせた。ソロモンの心は、父ダビデの心とは違い、全てがエホバ神に向いているわけではなかった。5 ソロモンは、シドン人の女神アシュレテとアンモン人の極めて不快な神ミルコムに従った。6 また、エホバから見て悪いことを行った。父ダビデとは違い、エホバに全く従ったわけではなかった。

7 ソロモンが、モアブの極めて不快な神ケモシュのため、またアンモン人の極めて不快な神メレクのために、エルサレムの前の山に高い場所を築いたのは、その頃だった。8 自分たちの神々に犠牲の煙を立ち上げたり犠牲を捧げたりしていた外国人の妻たち全てのために、同じように高い場所を築いた。

9 エホバはソロモンに対して憤った。彼の心がイスラエルの神エホバから離れたからだだった。神が2度も彼に現れた上、10ほかの神々に従ってはならないと、まさにそのことを警告していたにもかかわらず、彼はエホバに命じられたことを守らなかった。

11:3 * または、「彼に大きな影響を与えた」。

第11章

(7) 出 34:16
申 7:3
ヨシ 23:12, 13
コニ 6:14

(7) 王 11:42

(7) 申 7:3, 4
ネヘ 13:26

(7) 裁 2:11, 13
裁 10:6
サー 7:3

(7) ゼバ 1:5

(7) 王 15:5

(7) 王 23:13

(7) レビ 18:21
使徒 7:43

(7) レビ 26:30
民 33:52
王 21:1, 3

(7) 申 7:3, 4
格 4:23

(7) 王 3:5
王 9:2

(7) 代 2:7, 19, 20

第2欄

(7) 王 2:17, 21

(7) 代 2:10, 18, 19

(7) サニ 7:12, 15

(7) 申 12:11

(7) 王 12:20
代 2:11, 1

(7) サニ 7:12, 14

(7) 創 27:40

(7) サニ 8:13

(7) 民 10:12

11 エホバはソロモンに言った。「あなたがこのようなことを行い、私が課した契約と法令を守らなかったで、私は必ずあなたから王国を引き裂いて取り上げ、あなたの家来の1人に与える。12 とはいえ、あなたの父ダビデのために、あなたが生きている間にはそうしない。あなたの子から王国を引き裂いて取り上げる。13 ただ、王国全部を取り上げることはしない。私に仕えたダビデのため、また私が選んだエルサレムのために、1つの部族をあなたの子に与える」。

14 エホバは、エドム人ハダドがソロモンに反抗するようにした。ハダドはエドムの王家の人だった。15 かつてダビデがエドムを打ち破った時のこと、軍隊の長ヨアブは戦死者を葬りに行き、エドムの男性皆を討とうとした。16 (ヨアブとイスラエルの全軍は、エドムの男性皆を滅ぼすまで6か月間そこにとどまった。) 17 しかしハダドは、父の家来だったエドム人たちと共に逃げ、エジプトに向かった。ハダドはその頃少年だった。18 彼らはミディアンを出てバランに行き、そこで同行者をいくらか加えてからエジプトに向かい、エジプトの王ファラオのもとに行った。ファラオはハダドに家と食料と土地をあてがった。19 ファラオはハダドを大変気に入り、自分の妻つまりタフペネス王妃の妹を妻として与えた。20 やがて、ハダ

ドとタフベネスの妹の間に男の子^{いもうと あいだ おとこ こ}ゲヌバトが生まれ、タフベネスはその子^こをファラオの家で育てた。ゲヌバトはファラオの子たちと共にファラオの家^{いえ}に住んだ。

21 ハダドは、ダビデと軍隊の長^{ぐんたい ちよう}ヨブが死んだことをエジプトで聞き、ファラオに、「故国に帰らせてください」と言った。22 ファラオは言った。「故国に行きたいとは、私に何か不満^{ふまん}でもあるのか」。ハダドは言った。「何もありません。ですが、どうか帰らせてください」。

23 神はまた、エルヤダの子レズンがソロモンに反抗^{はんかう}するようにした。レズンは、ツォバの王^{おう}ハダドエゼルに仕えていたがそのもとから逃亡^{とうぼう}した人だった。24 レズンは、ツォバの人たちがダビデに打ち破^{やぶ}られた時、自分のもとに人を集めて略奪隊^{りやくだつたい}の長になった。そして、レズンたちはダマスカス^{だましか}に行ってそこに住み、治め始めた。25 こうしてレズンはハダドと同じように害^{がい}を及ぼし、ソロモンの時代中^{じだいちゆう}ずつとイスラエルに反抗^{はんかう}した。レズンはシリアを治めている間、イスラエルを激しく憎^{にく}んだ。

26 さらに、ソロモンの家来^{けらい}に、エフライム族^{そく}でネバトの子である、ツエレダ^この^{ひと}人^{ひと}ヤラベアム^{ははおや}がいた。母親はツエルアといい、やもめだった。ヤラベアムも王に逆^{さか}らうようになった。27 ヤラベ

第11章

〔ワ〕王 2:10
王 2:34

〔イ〕王 11:14

〔ウ〕サニ 8:3

〔ロ〕サニ 10:18

〔カ〕サニ 8:5
王 19:15
イザ 7:8

〔ク〕王 9:22

〔ケ〕王 11:31
王 12:32
王 14:10
代 11:14
代 13:3,20

〔コ〕代 13:6

第2欄

〔ワ〕王 9:15,24

〔イ〕サニ 5:7

〔ウ〕王 5:16

〔ロ〕王 12:15
王 14:2
代 9:29

〔カ〕王 12:16

〔ク〕創 49:10

〔ケ〕申 12:5,6
王 11:13
詩 132:13

〔コ〕王 12:20
代 11:1

〔ク〕申 28:15
代 15:2

アムが王に逆^{さか}らった経緯^{けいゐ}は以下の通りである。ソロモンは塚^{つか}を築^{きず}き、父ダビデの町の城壁^{きやうへき}の切れ目を埋めた。

28 ヤラベアムは有能^{ゆうのう}な人だった。ソロモンは若者^{わかももの}ヤラベアムがよく働^{はたら}くを見て、ヨセフの一族^{いちぞく}の労役^{ろうえき}の全体を監督^{かんぐく}させた。29 その頃^{ころ}、ヤラベアムがエルサレムから出ていった時に、預言者^{よげんしゃ}であるシロの人^{ひと}アヒヤが道^{みち}でヤラベアムと会った。アヒヤは新しい服^{ふく}を着^きていた。野原^{のほら}には2人のほかに誰もいなかった。30 アヒヤは着^きていた新しい服^{ふく}を手に取り、12切れに引き裂^ひいた。31 アヒヤはヤラベアムに言った。

「10切れを取りなさい。イスラエルの神エホバはこう言^いっています。『私はソロモンから王^{おう}国^{こく}を引き裂^ひいて取り上げ、10部族^{ぶぞく}をあなたに与^{あた}える。』」

32 だが、私に仕えたダビデのため、また私がイスラエルの全部族^{ぜんぶぞく}の領地^{りやうち}から選^{えら}んだ都市^{とし}エルサレムのために、1つの部族^{ぶぞく}は引き続き彼のものとなる。

33 私がそのようにするのは、彼らが私^{わたし}を捨てて、シドン人の女^{にん}神^{じん}アシュレテ、モアブの神^{かみ}ケモシュ、アンモン人の神^{じん}ミルコムにひれ伏^ふしており、父ダビデとは違い、私の道^{みち}を歩^{あゆ}まず、私から見て正しいこと^{ただ おこな}を行^なわず、私の法令^{ほうれい}と法規^{ほうき}を守^{まも}らなかったからである。

34 とはいえ、彼から王^{おう}国^{こく}全部^{ぜんぶ}を取り

11:27 *または、「ミロ」。「満たす」という意味のヘブライ語。

11:20 *もしかすると、「乳離れさせた」。

上げることはせず、彼を一生の間、長
にしておく。私が選んだダビデのた
めにそうする。ダビデは私のおきてと
法令を守ったからである。35 それ
でも、ソロモンの子から王権を取り上
げてあなたに与える。10部族を与え
る。36 ソロモンの子には1つの部族
を与える。そのようにして、私の名を
付すために私が選んだ都市エルサレ
ムで、ダビデの明かりが常に私の前に
あるようにする。37 私はあなたを選
ぶ。あなたは望むものを全て治め、イ
スラエルの王になる。38 あなたが
ダビデと同じように、私が命じること全
てに従い、私の道を歩み、私の法令と
おきてを守って私から見て正しいこと
を行うなら、私はあなたと共にいる。
ダビデのためにしたように、あなたの
王朝がずっと続くようにし、イスラエル
をあなたに与える。39 そして私は、
こうして起きていることのゆえに、ダビ
デの子孫を辱める。ただし、ずっとで
はない』。

40 ソロモンはヤラベアムを殺そう
とした。しかし、ヤラベアムはエジプト
に逃げてエジプトの王シシャクのもと
に行き、ソロモンが死ぬまでエジプト
にいた。

41 ソロモンについてのほかの記
録、行ったさまざまなことや知恵は、
ソロモンの歴史書に記されている。

42 ソロモンがエルサレムでイスラエ

11:36 *子孫のこと。

第11章

(7) 王-9:4,5
詩 89:49
詩 132:17
イザ 9:7

(7) 王-12:20
代二 10:16

(7) サニ 7:29
王-15:4
王二 8:19

(7) 王-15:5

(7) サニ 7:11

(7) 王-12:16

(7) 創 49:10
イザ 11:1
ルカ 1:32,33

(7) 代二 10:2

(7) 王-14:25

(7) 代二 9:29-31

第2欄

(7) 代一 3:10
代二 13:7
マタ 1:7

第12章

(7) 代二 10:1-4

(7) 創 12:6
ヨシ 20:7,9
裁 9:1,2
使徒 7:15,16

(7) 王-11:26,40

(7) サ-8:11-18
王-4:7

(7) 代二 10:5-7

ル全体を治めた期間は40年だった。
43 ソロモンはやがて死に、父ダビデ
の町に葬られた。代わりにソロモンの
子レハベアムが王になった。

12 レハベアムはシェケムに行っ
た。イスラエル全体が彼を
王にするためにシェケムに来ていたか
らである。2 ネバトの子ヤラベアム
がそのことを聞いた。(ヤラベアムは
ソロモン王から逃げてエジプトにまだ
住んでいた。) 3 人々はヤラベアム
を呼び寄せた。その後、ヤラベアムと
イスラエルの会衆全体はレハベアム
のもとに行き、こう言った。4 「あな
たの父上は私たちに過酷な荷を負わ
せました。あなたがその過酷な労働
を楽にし、あなたの父上に負わされた
重い荷を軽くしてくださいなら、私たち
はあなたに仕えます。

5 レハベアムは言った。「いったん
帰り、あさって戻ってきなさい」。それで
民は去っていった。6 レハベアム王
は、父ソロモンが生きていた頃に父に
仕えていた年長者たちに相談し、こう
言った。「この民にどう答えたらよい
か、何か助言がありますか」。7 彼ら
は言った。「今日、あなたがこの民に
仕え、民の願いを受け入れて良い返
答をするなら、民はずっとあなたに仕
えるでしょう。

12:4 *直訳、「てんびん棒」。*または、「つら
い」。12:5 *または、「3日」で。12:6 *また
は、「長老」。

8 ところが、レハベアムは年長者^{ねんちやうしや*}たちの助言^{じょげん}を無視^{むし}し、共に成長^{せいちやう}して今は自分の従者^{じゅんしや}となっている若者^{わかも}たちに相談^{そうだん}した。9 こう尋ねた。「民にどう答えたらいいか、何か助言^{じょげん}があるか。民は、『あなたの父上^{ふにかる}が私たちに負わせ^おた荷^にを軽くしてください』と言っている」。10 レハベアムと共に成長^{せいちやう}した若者^{わかも}たちはこう言った。「民が、『あなたの父上^{ふにかる}は私たちに重い荷^{おも}を負わせました。私たちのためにその荷^にを軽くしてください』と言っているなら、こう言う^いとよいと思います。『私は父よりも厳^{きび}しくする。11 父はあなたたちに重い荷^にを負わせたが、私はその荷^にをいっそう重くする。父はあなたたちをむちで懲らしめたが、私はとげむちで懲らしめる』」。

12 ヤラベアムと民は、「あさって戻^{もど}ってきなさい」とレハベアム王^{おう}に言われた通り^{とお}、2日後^{かご}に王の所^{ところ}に來た。13 王は年長者^{ねんちやうしや*}たちからの助言^{じょげん}を無視^{むし}し、民に厳^{きび}しく話した。14 若者^{わかも}たちの助言^{じょげん}に従^{したが}い、こう言った。「父はあなたたちに重い荷^{おも}を負わせたが、私はその荷^にをいっそう重くする。父はあなたたちをむちで懲らしめたが、私はとげむちで懲らしめる」。15 こうして王は民の言^{こと}ったことを聞き入れなかった。エホバがそのように事^{こと}を運んだのである。エホバが、シロの人アヒヤ^{あひや}

12:8, 13 *または、「長老」。12:10 *直訳、「私の小指は私の父の腰よりも太くなる」。12:12 *直訳、「3日目に」。

第12章
(例)代二 10:8-11

(例)代二 10:12-15

(例)申 2:30
代二 22:7
ロマ 9:18

(例)王一 11:31

第2欄

(例)代二 10:16,17

(例)王一 11:12,13
代二 11:13,16

(例)サニ 20:24
王一 4:6
王一 5:13,14

(例)代二 10:18,19

(例)王二 17:21

(例)王一 11:30,31

(例)王一 11:12,13
ホセ 11:12

を通してネバトの子ヤラベアム^{つた}に伝えた言葉^{ことば}の通りになるようにしたのだった。

16 イスラエルの皆^{みな}は、言ったことが王^{おう}に聞き入れられなかったのを知^しって、こう反応^{はんのう}した。「われわれにダビデと分け合うものが何かあるだろうか。エッサイの子^こから受けるものは何もない。イスラエルよ、自分の神々^{かみ}のもとに帰れ。ダビデ家の者^{もの}たちよ、自分のことは自分であるがよい！」こうしてイスラエルは家^{いえ*}に帰った。17 ユダの町々^{まちまち}に住^すんでいるイスラエル人^{じん}については、引き続きレハベアム^おが治めた。

18 レハベアム王^{おう}が、強制労働^{きやうせいろうどう}に徴用^{よう}された人^{ひと}たちをまとめていたアドラム^あを遣^{つか}わすと、イスラエルの皆^{みな}はアドラム^あを石打ち^{いしうち}にして殺した。レハベアム王^{おう}はどうかして兵車^{へいしゃ}に乗り、エルサレム^にに逃げた。19 こうしてイスラエル人^{じん}はダビデ家^けに反抗^{はんかう}し、今^{いま}に至^{いた}っている。

20 イスラエルの皆^{みな}は、ヤラベアム^{もど}が戻^{もど}ってきたことを聞いて集合^{しやうごう}し、ヤラベアム^よを呼び寄^よせてイスラエル全体^{ぜんたい}の王^{おう}にした。ユダ族^{ぞく}以外^{いがい}は、誰もダビデ家^けに従^{したが}わなかった。

21 ソロモンの子レハベアム^こはエルサレム^つに着くと、直ちにユダ族全体^{ぞくぜんたい}とベニヤミン族^{ぞく}の中から訓練^{くんれん}された戦士^{せんし}18万人を集めた。王権^{おうけん}を取り戻すため、イスラエルの民^{たみ}と戦おうとし

12:16 *直訳、「天幕」。

たのである。22 すると、^{しん かみ}真の神に
^{つか}仕える人^{ひと}シメヤ^いに^{しん かみ}真の神^{おう}が言った。

23 「ソロモンの子であるユダの王^こレハ
 ベアム、ユダ族^{そくぜんたい}全体、ベニヤミン、その
 ほかの民^{たみ}にこう言^いいなさい。24 『エ
 ホバはこう言^いっている。「行^いってはなら
 ない。あなたたちの兄弟^{きょうだい}であるイスラ
 エル人^{じん たたか}と戦^{たたか}ってはならない。おのおの
 自分^{じぶん いえ}の家に帰^{かえ}りなさい。このようなこ
 とが起^おこるようにした^{わたし}のは私^{わたし}だからで
 ある。』」彼らはエホバの言^{こと}葉^はに従^{したが}い、
 エホバから言^いわれた通^{とお}り、家^{いえ}に帰^{かえ}った。

25 ヤラベアムはエフライムの山^{さん}地^ち
 のシェケムを築^{きず}き、そこに住^すんだ。その
 後^ご、そこから出^でて、パヌエルを築^{きず}いた。

26 ヤラベアムは心^{こころ}の中^{なか}でこう言^いった。
 「このままでは、王^{おう}国^{こく}はいずれだ^けビデ家^け
 に戻^{もど}ってしま^いう。27 民^{たみ}が引き続^つきエ
 ルサレムのエホバの家^{いえ}に犠^ぎ牲^{せい}を捧^{ささ}げ
 に行^いくとしたら、民^{たみ}の心^{こころ}も再^{また}びユダの
 レハベアム王^{おう}に向^むくだろう。民^{たみ}は私^{わたし}を
 殺^{ころ}して、ユダのレハベアム王^{おう}のもとに
 もど^{もど}ってしま^いうに違^{ちが}いない」。28 王^{おう}は
 協議^{ぎょうぎ}の上^{うへ}で、金^{きん}の子牛^{こしう}を2つ作^{つく}り、民^{たみ}
 に言^いった。「エルサレムまで上^{のぼ}っていく
 のは大変^{たいへん}です。イスラエルよ、皆^{みな}さんを
 エジプトから連^つれ出^だした神^{かみ}がここにい
 ます。29 そしてヤラベアムは1つを
 ベテルに、もう1つをダンに置^おいた。

30 これがもて民^{たみ}は罪^{つみ}を犯^{おか}すように
 なり、子牛^{こしう}を崇^{すうはい}拝^{はい}するためダンにまで
 行^いった。

12:25 *または、「の防備を固め」。

第12章

(イ) 代二 11:1-4
 代二 25:5

(イ) 代二 12:5

(イ) 王一 11:30, 31

(イ) 王一 12:1

(イ) 創 32:30
 裁 8:13, 17

(イ) 王一 11:38

(イ) 申 12:5, 6

(イ) 出 20:4
 王二 10:29

(イ) 出 32:4, 8
 代二 11:15, 16

(イ) 創 12:8, 9
 創 28:19

(イ) 創 14:14
 申 34:1
 裁 18:29
 裁 20:1

(イ) 王二 10:31
 王二 17:21-23

第2欄

(イ) 民 3:10
 王一 13:33
 代二 11:14
 代二 13:9

(イ) レビ 23:34

(イ) アモ 7:13

第13章

(イ) 王一 12:32
 アモ 3:14

(イ) 王二 23:16, 17

(イ) 王二 21:24
 王二 22:1

(イ) 王二 23:15, 16
 代二 34:33

31 また、ヤラベアムは高い場所^{たか ばしょ}に
 崇^{すうはい}拝^{はい}の家^{いえ}を造^{つく}り、レビ族^{レビ}ではない民^{たみ}の
 中^{なか}から祭司^{さいし}たちを任^{にん}命^{めい}した。32 さ
 らに、ユダの祭^{まつ}りににせ^にて、第8^{だい}の月^{つき}の
 15日に祭^{まつ}りを取り決^きめた。ベテルに
 作^{つく}った祭壇^{さいだん}で、自分^{じぶん}が作^{つく}った子牛^{こしう}に犠^ぎ
 牲^{せい}を捧^{ささ}げ、ベテルに設^{たか}けた高い場所^{ばしょ}に
 祭司^{さいし}たちを配^{はい}置^ちした。33 そして、自
 分^{ぶん}が決^きめた第8^{だい}の月^{つき}の15日に、ベテ
 ルに作^{つく}った祭壇^{さいだん}で捧^{ささ}げ物^{もの}を捧^{ささ}げ始め
 た。イスラエルの民^{たみ}のために祭^{まつ}りを取^と
 り決^きめ、捧^{ささ}げ物^{もの}を捧^{ささ}げて犠^ぎ牲^{せい}の煙^{けむり}を
 立^たち上^{のぼ}らせるため、祭壇^{さいだん}に上^{のぼ}った。

13 ヤラベアムが犠^ぎ牲^{せい}の煙^{けむり}を立^た
 ち上^{のぼ}らせるため祭壇^{さいだん}のそば
 に立^たっていた時^{とき}、神^{かみ}に仕^{つか}える人^{ひと}がエホ
 バの命^{めい}令^{れい}によってユダからベテルに
 やつて来^きた。2 その人^{ひと}はエホバの
 命^{めい}令^{れい}により、祭壇^{さいだん}に向^むかって大^{おお}声^{こえ}で
 言^いった。「祭壇^{さいだん}よ、祭壇^{さいだん}よ！ エホバは
 こう言^いっている。『ヨシヤ^{よしや}という男^{おとこ}の子
 がだビデ家^けに生^うまれる。その人^{ひと}は、高^{たか}
 い場所^{ばしょ}の祭司^{さいし}たちをあなたの上^{うへ}で犠^ぎ
 牲^{せい}として捧^{ささ}げる。あなたの上^{うへ}で犠^ぎ牲^{せい}の
 煙^{けむり}を立^たち上^{のぼ}らせている祭司^{さいし}たちをであ
 る。その人^{ひと}は、人^{ひと}の骨^{ほね}をあなたの上^{うへ}で
 焼^やくのだ。』3 その日^ひ、神^{かみ}に仕^{つか}える
 人^{ひと}は次^{つぎ}のように言^いい、1つ^{ひとつ}のしるしを示^{しめ}
 した。「エホバが言^いわれたしるし^{しるし}があ
 ります。見^みなさい。祭壇^{さいだん}が割^われ、その
 上^{うへ}にある灰^{はい}が飛^とび散^ちります」。

13:3 *または、「奇跡」、「予告」。“犠牲にした
 動物の脂が染み込んだ灰のこと。”

4 ヤラバム王は、^{おう しん かみ つか}真の神に仕える人^{ひと}がベテルの祭壇^{さいだん}に向かって大声^{おおこゑ}で言った言葉を聞くと、すぐに手を祭壇から離してその人に向け、「この人を捕まえなさい」と言った。すると、伸ばした手はたちまち干からび、引込められなくなった。5 そして祭壇が割れ、そこから灰^{はい}が飛び散った。真の神に仕える人がエホバに命じられて言った通りのしるしが生じたのである。

6 王は、真の神に仕える人に言った。「どうか、あなたの神エホバに恵みを求め、私のために手が元通りになるよう祈ってください。真の神に仕える人がエホバに恵みを求めると、王の手は元に戻った。7 王は、真の神に仕える人に言った。「私と一緒に家に来て、何か食べていってください。あなたに贈り物を差し上げたいのです。8 その人は王に言った。「たとえあなたの家の半分を下さっても、あなたと一緒にには行きません。ここでは、パンも食べませんし、水も飲みません。9 エホバから、『パンを食べてはならず、水を飲んでもならない。来た道を戻ってはならない』と命じられたからです。10 こうしてその人はほかの道を行き、ベテルにきた時と同じ道を通って帰ることはしなかった。

11 ベテルにはある老預言者が住んでいた。その息子たちは家に帰って

第13章

例代二 16:10
エレ 20:2

例王二 6:18

例出 10:16,17
民 21:7
エレ 37:3
使徒 8:24

第2欄

例王一 13:1

くると、真の神に仕える人がその日ベテルでしたことや王に語った言葉を全て父に話した。息子たちが話し終えると、12 父は「その人はどの道を行ったか」と尋ねた。息子たちは、ユダから来た真の神に仕える人が行った道を父に教えた。13 父は息子たちに言った。「私のためにロバを用意してくれ」。息子たちはロバにくらを置き、父はそれに乗った。

14 老預言者は、真の神に仕える人の後を追ひ、その人が大木の下に座っているのを見つけた。老預言者はその人に言った。「あなたがユダから来られた真の神に仕える人ですか」。その人は、「はい」と答えた。15 老預言者はその人に言った。「私と一緒に家に来て、パンを食べていってください。16 その人は言った。「私はあなたと一緒に引き返すことも、お誘いに応じることもできません。ここでは、あなたと一緒にパンを食べることも水を飲むこともできません。17 エホバから、『そこではパンを食べてはならず、水を飲んでもならない。来た道を戻ってはならない』と言われたからです。18 老預言者はその人に言った。「私もあなたと同じく預言者です。私は、『その人を家に連れて戻り、パンを食べさせ、水を飲ませなさい』というエホバの言葉を天使から聞きました」。 (老預言者はその人にうそをついていた。) 19 それで、その

13:4 *または、「まひし」。 13:5 *または、「奇跡」、「予告」。

13:33 *直訳、「の手を満たし」。

14 その頃、ヤラバームの子アビヤが病氣になった。**2** それでヤラバームは妻に言った。「私の妻だとは分からないように変装して、シロに行ってくれないか。そこには預言者アヒヤがいる。私がこの民の王になると話してくれた人だ。**3** パン10個と菓子と蜜1瓶を持って、彼の所に行ってほしい。この子がどうなるかを教えてくれるはずだ。」

4 ヤラバームの妻は言われた通りにした。シロに行き、アヒヤの家に着いた。アヒヤは年老いていたため、目が動かず、見るができなかった。

5 エホバはアヒヤにこう言っている。「ヤラバームの妻が息子についてあなたに尋ねに来る。その子が病氣だからだ。彼女に話すべきことをあなたに教えよう。彼女は正体を隠して来る。」

6 アヒヤは、入り口にやって来た彼女の足音を聞き、こう言った。「ヤラバームの妻、入りなさい。どうして正体を隠しているのですか。私は厳しい言葉をあなたに伝える務めを与えられています。**7** 帰って、ヤラバームにこう言いなさい。『イスラエルの神エホバはこう言っています。「私は民の中からあなたを選んで、私の民イスラエルの指導者にした。』**8** そしてダビデ家から王国を引き裂いて取り上げ、あなたに与えたが、あなたは私に仕えたダビデ

14:5 *または、「これこれのことを話さない。」

第14章

(列) 王一 11:30, 31

(イ) ヨシ 18:1
サー 4:3

(列) 王一 11:30, 31
王一 12:20

(出) 王一 12:16

第2欄

(列) 王一 15:5
使徒 13:22

(イ) 申 27:15
代二 11:15

(列) ネヘ 9:26
詩 50:17

(出) 王一 15:25-29

(列) 王一 15:25-29

のようにならなかった。彼は私のおきてを守り、私から見て正しいことだけを行って、心を尽くして私に従った。

9 しかし、あなたはこれまでの誰よりも悪いことをし、自分のためにほかの神と金属像を作って私を怒らせ、私に背を向けた。**10** それで、私はヤラバーム家に災いをもたらす。ヤラバーム家の全ての男を、イスラエルにいる惨めな人を含め、滅ぼす。人がふんを残らず片付けられるように、私はヤラバーム家を一掃する。**11** ヤラバーム家の人は、町で死ねば犬に食べられ、野原で死ねば鳥に食べられる。私エホバがそう言ったのである。』

12 さあ、家に帰りなさい。あなたが町に足を踏み入れる時、あなたの子は死にます。**13** イスラエル全体が嘆き悲しみ、その子を葬ります。ヤラバームの家族の中でその子だけが墓に納められます。イスラエルの神エホバは、ヤラバーム家の中で唯一その子の内に良いことを見つけ出したからです。**14** エホバはその日が来ると、ご自分のために、ヤラバーム家を滅ぼすイスラエルの王を立てます。今にもそうなります。**15** エホバはイスラエルを打ち倒し、イスラエルは水の中で揺れるアシのようになります。神は父祖たちに与えたこの良い土地からイス

14:9 *または、「鑄造された像」。**14:10** *直訳、「壁に向かって放尿する者」。男性を意味するヘブライ語の侮蔑表現。

ラエルを引き抜いて、川の向こうに散らしませう。彼らが聖木を作って、エホバを怒らせたからです。16 ヤラバアムが犯した罪と、ヤラバアムがイスラエルに犯させた罪のゆえに、神はイスラエルを見放します。

17 ヤラバアムの妻は立ち去り、テルツアに着いた。家の敷居の所に来た時、子供が死んだ。18 その子は葬られ、イスラエル全体が嘆き悲しんだ。エホバが、神に仕える預言者アヒヤを通して語った言葉の通りになった。

19 ヤラバアムについてのほかの記録、どのように戦ってどう治めたかは、イスラエルの王の時代の歴史書に記されている。20 ヤラバアムは22年治め、その後死んだ。代わりにヤラバアムの子ナダブが王になった。

21 ユダでは、ソロモンの子レハバアムが王になっていた。レハバアムは41歳で王になり、エホバがご自分の名を付すためにイスラエルの全部族の領地から選んだ都市エルサレムで17年治めた。レハバアムの母はナアマといい、アンモン人だった。22 ユダは、エホバから見て悪いことを行った。罪を犯し、父祖たちが以上に神を怒らせた。23 どの高い丘の上や生い茂った木の下にも、高い場所や聖柱や聖木を築いていった。24 ユダには神殿男娼さえた。民は、エホバがい

第14章

(ア) 申 8:7-9
申 29:28
ヨシ 23:15
王二 17:6
(イ) 申 28:64
王二 15:29
王二 18:11
(ロ) 申 12:3
(ウ) 王二 12:28-30
王二 13:33,34
(エ) 代二 12:15
代二 13:3
(カ) 代二 13:20
(キ) 王二 15:25
出 20:24
申 12:5,6
王二 8:16,17
(ク) 詩 78:68
詩 132:13
(コ) 王二 11:1
代二 12:13
(ケ) 王二 11:7
代二 12:1
(コ) イザ 65:2
(ク) イザ 65:7
(コ) 申 12:2,3
イザ 57:5
エレ 2:20
ホセ 4:13
(ロ) レビ 26:1
(イ) 申 23:17,18
王二 15:11,12
王二 22:46
王二 23:7
ホセ 4:14

第2欄

(ア) 王二 11:40
(イ) 代二 12:2-4
(ロ) 王二 7:51
王二 15:18
王二 18:14,15
王二 24:12,13
(ウ) 王二 10:16,17
代二 12:9-11
(エ) 代二 27:24
代二 12:15
(カ) 王二 15:6
(キ) 王二 11:43
(ク) 王二 11:1
代二 12:13
(コ) 代一 3:10
マタ 1:7

第15章

(コ) 代二 13:1,2
(イ) 王二 12:20
(ロ) 代二 11:20-22

スラエル人の前から追ひ払った国々の忌まわしい事柄をことごとく行ったのである。

25 レハバアム王の治世の第5年には、エジプトのシシャク王がエルサレムに攻め上ってきた。26 シシャクはエホバの家の財宝と王の家の財宝を奪った。ソロモンが作った金の盾全てを含め、あらゆるものを奪った。27 レハバアム王は代わりに銅の盾を作り、王の家の入り口の守衛の長たちに託した。28 王がエホバの家に行く時にはいつでも、守衛たちは盾を持ち、その後、守衛室に戻すのだった。

29 レハバアムについてのほかの記録、行ったさまざまなことは、ユダの王の時代の歴史書に記されている。

30 レハバアムとヤラバアムの間には戦いが絶えなかった。31 レハバアムはやがて死に、「ダビデの町」に父祖たちと共に葬られた。レハバアムの母はナアマといい、アンモン人だった。レハバアムの子アビヤムが代わりに王になった。

15 アビヤムがユダの王になったのは、ネバトの子ヤラバアム王の治世の第18年のことだった。

2 アビヤムはエルサレムで3年治めた。彼の母はマアカといい、アビシャロムの孫娘だった。3 アビヤムは以

14:26 *または、「宮殿」。14:27 *直訳、「走者」。14:31 *アビヤとも呼ばれる。15:2 *アブサロムのことと考えられる。

ぜん ちち おか おな つみ おか 彼
前に父が犯したのと同じ罪を犯し、かれ
こころ ふそ こころ ちが すべ
の心は父祖ダビデの心とは違い、全て
がエホバ神に向いているわけではな
かった。4 それでもエホバ神は、ダ
ビデのために、エルサレムにとる明
かりをアビヤムに与えた。アビヤムの
子をお主に任命し、エルサレムを存続さ
せたのである。5 ダビデがエホバか
ら見て正しいことを行い、ヘトウリヤ
の件を除いて一生涯、神に命じられ
たことから一切それなかったからであ
る。6 レハバームとヤラバームの間
には、生涯中ずっと戦いがあつた。

7 アビヤムについてのほかの記録、
おこな 行ったさまざまなことは、ユダの王の
じだい じだい れき しよ する 時代の歴史書に記されている。アビヤ
ムとヤラバームの間にも戦いがあつ
た。8 アビヤムはやがて死に、「ダ
ビデの町」に葬られた。代わりにアビ
ヤムの子アサが王になった。

9 アサがユダを治め始めたのは、イ
スラエルのヤラバーム王の治世の第
20年のことだった。10 アサはエル
サレムで41年治めた。彼の祖母はマ
アカといい、アビシャロムの孫娘だっ
た。11 アサは父祖ダビデのように、
エホバから見て正しいことを行った。
12 彼は国から神殿男娼を排除し、父
祖たちが作った汚らしい偶像を全
て取り除いた。13 祖母マアカを太

15:4 *子孫のこと。15:12 *ヘブライ語で「ふ
ん」を意味する言葉と関連があると考えられる、
嫌悪を表す表現。

第15章

〔ア〕サニ 7:8,12
詩 89:33-37
イザ 37:35
エレ 33:20,21

〔イ〕王一 11:36
代二 21:7
詩 132:13,17

〔ウ〕サニ 11:4,15
詩 51:表題

〔ロ〕王一 14:30
代二 12:15

〔ハ〕代二 13:22

〔ニ〕代二 13:3

〔ヘ〕代一 3:10
マタ 1:7

〔セ〕代二 14:1

〔ケ〕代二 11:21,22

〔コ〕代二 14:2-5
代二 14:11
代二 15:17

〔サ〕申 23:17,18
王一 14:24
王一 22:45,46

〔シ〕王一 11:7
王一 14:22,23

〔ス〕代二 11:18,20

第2欄

〔ア〕申 7:5
王二 18:1,4
代二 34:1,4

〔イ〕サニ 15:23
代二 15:16-18
ヨハ 18:1

〔ウ〕民 33:52
申 12:2
王一 22:41,43

〔ロ〕代一 26:26,27

〔ハ〕王一 16:3,12

〔ニ〕ヨシ 18:21,25

〔ヘ〕代二 16:1-6

〔セ〕代二 16:7

こう* ちい お かのじょ
後の地位から降ろすこともした。彼女
せいばく すうはい ぐう
が聖木の崇拜のためにおぞましい偶
ぞう つく かのじょ
像を作ったからである。アサは彼女が
つく ぐうぞう したお
作ったおぞましい偶像を切り倒し、キ
デロンの谷で焼いた。14 しかし高
ばしよ と のぞ けい
い場所は取り除かれなかった。それ
しょうがいちゅう こころ すべ
でも、生涯中ずっと、アサの心は全てが
エホバに向いていた。15 アサは、
じぶん ちち せい ぎん きん
自分と父が聖なるものにした銀、金、
き ぐらいい いう はこ い 〔ロ〕
器具類をエホバの家に運び入れた。

16 アサとイスラエルの王バア
シャの間には戦いが絶えなかった。

17 イスラエルのバアシャ王はユダを
せ 〔ロ〕 きず *はじ
攻め、ラマを築き始めた。ユダのアサ
おう りょうど だれで い
王の領土に誰も出入りできないように
するためだった。18 それでアサは、
いえ ほうもつ こ しょう いえ* ほうもつ
エホバの家の宝物庫と王の家の宝物
このこ ぎん きん すべ と だ
庫に残っている銀と金を全て取り出し
すい けい わたし
て、家来たちに渡し、ダマスカスに住
むシリアの王ベン・ハダドのもとに
おく 〔イ〕
送った。ベン・ハダドはヘズオンの子

タプリモンの子である。アサ王は家来
たちこう言わせた。19 「私とあな
あいだ わたし ちち ちちうえ あいだ
たの間、私の父とあなたの父上の間
じょうやく* ぎん きん おく もの
には条約があります。銀と金の贈り物
をお送りします。どうか、イスラエルの
バアシャ王との条約を破棄し、バア
わたし けい
シャが私のもとから撤退するようにし
てください。20 ベン・ハダドはアサ
おう いう きい ぐんたい ちよう
王の言うことを聞き入れ、軍隊の長た
ちをイスラエルの町々に差し向けた。

15:13 *または、「貴婦人」。15:17 *または、
「の防備を固め」、「再建し」。15:18 *または、
「宮殿」。15:19 *または、「契約」。

彼らは、イヨン、ダン、アベル・ベト・マ
アカ、キネレト全体、ナフタリの子孫を
占領した。21 バアシャはそのことを
聞いて直ちにラマを築くのをやめ、
ティルツアにとどまった。22 アサ王
はユダの全ての人を一人残らず招集
し、バアシャが建設に使っていたラマ
の石材と木材を運ばせた。そして、そ
れを使ってベニヤミンのゲバとミツパ
を築いた。

23 アサについてのほかの記録、
数々の功績や、行ったさまざまなこと、
築いた町々のことは、ユダの王の時代
の歴史書に記されている。彼は年老
いた時、足を病んだ。24 アサはや
がて死に、父祖ダビデの町に父祖た
ちと共に葬られた。代わりにアサの子
エホシャファトが王になった。

25 ユダのアサ王の治世の第2年、
イスラエルではヤラベアムの子ナダブ
が王になった。彼はイスラエルを2年
治めた。26 ナダブはエホバから見
て悪いことを行い続け、父と同じ道を
歩み、父がイスラエルに犯させたと
同じ罪を犯した。27 イッサカル族
のアヒヤの子バアシャがナダブに対
して謀反を起こし、フィリスティア人
の町ギベトンでナダブを討った。それ
は、ナダブがイスラエル全体と共にギ
ベトンを攻め囲んでいた時のことだっ

15:21 *または、「の防備を固める」、「再建す
る」。15:22 *または、「の防備を固めた」、「再
建した」。15:23 *または、「防備を固めた」、
「再建した」。

第15章

(列) 王二 15:29

(列) 裁 18:29
王二 12:28,29(列) 王一 14:17
ソロ 6:4

(列) ヨシ 21:8,17

(列) ヨシ 18:21,26

裁 20:1
サー 7:5
エレ 40:6

(列) 代二 16:11-14

(列) 王一 22:42
代二 17:3,4代二 18:1
代二 19:4
マタ 1:8

(列) 王一 14:20

(列) 王一 14:7,9

(列) 王一 12:28-30
王一 13:33(列) ヨシ 19:44,48
ヨシ 21:20,23

王一 16:15

第2欄

(列) 王一 14:9,10

(列) 代二 12:15

(列) 王一 16:8

(列) 王一 16:7

(列) 王一 12:28-30
王一 13:33

第16章

(列) 代二 16:7

(列) 代二 19:2

代二 20:34

(列) サー 2:8

(列) 王一 13:33

た。28 バアシャはナダブを殺し、代
わりに王になった。ユダのアサ王の
治世の第3年のことである。29 バア
シャは王になるとすぐ、ヤラベアム家の
全員を討った。ヤラベアム家の人を誰
一人として生かしておかず、滅ぼし尽く
した。エホバが、神に仕えるシロの人
アヒヤを通して語った言葉の通りに
なった。30 それは、ヤラベアムが罪
を犯し、イスラエルにも罪を犯させ、イ
スラエルの神エホバを非常に怒らせ
たからだ。31 ナダブについて
のほかの記録、行ったさまざまなこと
は、イスラエルの王の時代の歴史書に
記されている。32 アサとイスラエル
のバアシャ王の間には戦いが絶えな
かった。

33 アヒヤの子バアシャは、ユダの
アサ王の治世の第3年に、ティルツア
でイスラエル全体の王になった。彼は
24年治めた。34 バアシャはエホバ
から見て悪いことを行い続け、ヤラベ
アムと同じ道を歩み、ヤラベアムがイ
スラエルに犯させたと同じ罪を犯
した。

16 エホバはバアシャに對する
次の宣告をハナニの子エヒ
ウに伝えた。2「私はあなたを土の
中から起き上がらせ、私の民イスラエ
ルの指導者にした。しかし、あなたは
ヤラベアムの道を歩み続け、イスラエ
ルの民に罪を犯させ、民の罪によって
私を怒らせた。3 私はバアシャとそ

の一家を一掃する。バアシャ家をネバトの子ヤラバエムの一家のようにする。

4 バアシャ家の人は、町で死ねば犬に食べられ、野原で死ねば鳥に食べられる」。

5 バアシャについてのほかの記録、行ったことや功績は、イスラエルの王の時代の歴史書に記されている。

6 バアシャはやがて死に、ティルツァに葬られた。代わりにバアシャの子エラが王になった。7 バアシャとその一家には、エホバからの宣告が預言者ハナニの子エヒウを通して伝えられた。それは、バアシャがヤラバエム家のようにエホバの前であらゆる悪事を犯し、行いによって神を怒らせたから、またナダブを討ったからだった。

8 バアシャの子エラは、ユダのアサ王の治世の第26年に、ティルツァでイスラエルの王になった。彼は2年治めた。9 エラの家来で兵車隊半分の長ジムリがエラに対して謀反を起こした。それは、エラがティルツァにいて、ティルツァの家の人たちのまとめ役アルツァの家で飲んで酔っていた時のことだった。10 ジムリはやって来てエラを殺し、代わりに王になった。ユダのアサ王の治世の第27年のことである。11 王になったジムリは、王座について間もなくバアシャ家の全員を討った。バアシャの親族であれ友人であれ、男性は誰一人生き残しておか

第16章

(例) 王— 14:10,11
王— 15:29

(例) 王— 15:21,33

(例) 王— 15:25-29

(例) 王二 9:31

第2欄

(例) 王— 16:1-3

(例) 申 32:21
サ— 12:21
王二 17:15
イザ 41:29

(例) ヨシ 19:44,48
ヨシ 21:20,23
王— 15:27

(例) 王二 8:26
ミカ 6:16

(例) 裁 9:53,54
サ— 31:4
サ二 17:23

(例) 王— 12:28-30

王— 14:7,9

かった。12 こうしてジムリはバアシャ家全体を滅ぼし尽くした。エホバが預言者エヒウを通してバアシャに語った言葉の通りになった。13 それは、バアシャとその子エラがあらゆる罪を犯し、イスラエルにも罪を犯させ、無価値な偶像でイスラエルの神エホバを怒らせたからだった。14 エラについてのほかの記録、行ったさまざまなことは、イスラエルの王の時代の歴史書に記されている。

15 ジムリは、ユダのアサ王の治世の第27年に、ティルツァで7日間王になった。その時、フィリスティア人の町ギベトンに対し、兵士たちが陣営を張っていた。16 陣営を張っていた兵士たちはやがて、「ジムリが謀反を起こし、王を討った」という知らせを聞いた。それでイスラエルの兵士たち皆はその日陣営で、軍隊の長オムリをイスラエルの王にした。17 オムリと、共にいたイスラエルの兵士たちは、ギベトンから上っていった、ティルツァを包囲した。18 ジムリはティルツァが攻め取られたのを見て、王の家の防備された塔に入り、自ら王の家に火を放ち、焼け死んだ。19 そうなったのは、ジムリがヤラバエムの道を歩み、エホバから見て悪いことを行って罪を犯し、イスラエルにも罪を犯させたからだった。20 ジムリについてのほかの記録、起こした謀反のことは、イスラ

16:11 *または、「復讐者」。

16:18 *または、「宮殿」。

エルの王の時代の歴史書に記されている。

21 その後、イスラエルの民は2つの派に分かれた。一方はギナトの子ティブニに付いてティブニを王にしようとし、もう一方はオムリに付いた。

22 やがて、オムリに付いた民がギナトの子ティブニに付いた民よりも優勢になり、ティブニは死に、オムリが王になった。

23 オムリは、ユダのアサ王の治世の第31年に、イスラエルの王になり、12年治めた。ティルツアでは6年治めた。

24 彼はシェメルから68キロの銀でサマリアの山を買い、その山に町を築いた。そしてその築いた町を、山の所有者だったシェメルにちなんでサマリアと名付けた。

25 オムリはエホバから見て悪いことを行い続けた。彼はそれまでの誰よりも悪かった。

26 彼はネバトの子ヤラベアムと全く同じ道歩み、ヤラベアムがイスラエルに犯させたのと同じ罪を犯し、無価値な偶像でイスラエルの神エホバを怒らせた。

27 オムリについてのほかの記録、行ったことや上げた功績は、イスラエルの王の時代の歴史書に記されている。

28 オムリはやがて死に、サマリアに葬られた。代わりにオムリの子アハブが王になった。

29 オムリの子アハブがイスラエル

第16章

〔ワ〕王 20:1
王 21:24
アモ 6:1
使徒 8:5

〔イ〕ミカ 6:16

〔ワ〕王 12:28-30
王 13:33

〔イ〕王 16:33
王 21:4
王 21:20-22
王 21:10:1

第2欄

〔ワ〕王 16:23,24
イザ 7:9

〔イ〕王 16:25
王 21:25
王 23:1,2

〔ワ〕王 12:28-30

〔イ〕創 10:15

〔イ〕王 18:4,19
王 21:7
王 29:30
啓 2:20

〔イ〕裁 2:11
裁 10:6
王 21:10,19
王 21:17:16

〔イ〕王 21:10,21,27

〔イ〕出 34:13
王 21:10,26,28
王 21:13:6

〔イ〕ヨシ 6:26

第17章

〔イ〕ヨシ 22:9

〔イ〕王 17:15,16
王 17:22,24
王 18:36,38
王 18:46
王 2:8,11
ルカ 1:17
ヨハ 1:19,21

〔イ〕申 28:15,23
エレ 14:22
ルカ 4:25
ヤコ 5:17

の王になったのは、ユダのアサ王の治世の第38年のことだった。オムリの子アハブはサマリアで22年イスラエルを治めた。

30 オムリの子アハブはエホバから見てそれまでの誰よりも悪かった。

31 まるでネバトの子ヤラベアムと同じ罪を犯すだけでは物足りないかのように、シドン人の王エトバルの娘イゼベルを妻にすることまでし、バルに仕え、ひれ伏し始めた。

32 サマリアにバルの家を建て、そこにバルのための祭壇を設けた。

33 聖木も作った。アハブはそれまでのイスラエルのどの王よりも、イスラエルの神エホバを怒らせることを行った。

34 アハブの時代に、ベテルの人ヒエルがエリコを再建した。ヒエルは土台を据えた時に長男アビラムを失い、扉を付けた時に一番下の子セグブを失った。エホバがヌンの子ヨシュアを通して語った言葉の通りになった。

17 ギレアデ地方のティシュベの人エリヤがアハブにこう言った。「私が仕えている、イスラエルの生きてる神エホバに懸けて言います。私が何も言わない限り、ここ何年かは露が降りず、雨も降りません！」

2 エホバはエリヤに言った。**3** 「ここをたつて東に向かい、ヨルダン川の東にあるケリトの谷に身を隠しなさい。」

16:32 *または、「神殿」。**17:1** *意味、「私の神はエホバ」。**17:3** *または、「ワジ」。

16:24 *直訳、「主」。[#]意味、「シェメル氏族のもの」。

4 その川の水を飲むとよい。私はワタリガラスに命じて、あなたの所に食べ物^{もの}を運ばせる」。5 エリヤはすぐ出発し、エホバに言われた通りにした。出掛けていき、ヨルダン川の東にあるケリトの谷で寝泊まりするようになった。6 そこにワタリガラスが朝と夕方にパンと肉を運んできた。水は川から飲んだ。7 しかし何日かたつと、その川は枯れた。全土で雨が降らなかったからである。

8 それでエホバはエリヤに言った。9 「さあ、シドンの町ザレパテに行き、そこに滞在しなさい。私はそこで1人のやもめに命じて、あなたに食べ物^{もの}を与えさせる」。10 そこでエリヤは出発し、ザレパテに行った。町の入り口に来ると、1人のやもめが薪を拾っていた。エリヤは女性に声を掛け、言った。「どうか水を少し持ってきて、飲ませてください」。11 彼女が水を取りに行こうとした時、エリヤは彼女に呼び掛けた。「どうかパンも少し持ってきてください」。12 彼女は言った。「あなたの生きている神エホバに懸けて言います。私の所にパンはありません。大きなつばに麦粉一握りと、小さなつばに油が少しあるだけです。私は薪を幾つか拾い、この後、戻って自分と息子のために何かを作ります。私たちはそれを食べたなら、あとは死ぬだけです」。

17:5 *または、「ワジ」。

第17章

(詩) 詩 37:25
マタ 6:11

(民) 民 11:23
裁 15:19

(王) 王 一 18:5

(ル) ルカ 4:25,26

(ヘ) ヘブ 11:32,37

(王) 王 二 4:2

第2欄

(詩) 詩 34:10
詩 37:17,19
フィリ 4:19

(マ) マタ 10:41,42
ルカ 4:25,26

(王) 王 二 4:19,20

(ヨ) ヨブ 13:26

(王) 王 二 4:21,32

(列) 列 99:6

13 エリヤは彼女に言った。「恐れはいいけません。帰ってあなたが言った通りにしてください。ただし、まず今あるもので私のために小さな丸いパンを作り、持ってきてください。それから、あなたは自分と息子のために何かを作れます。14 イスラエルの神エホバがこう言っているからです。『エホバが大地に雨を降らせる日まで、麦粉の大きなつばも油の小さなつばも空にはならない』。15 彼女は帰ってエリヤに言われた通りにした。彼女もエリヤも彼女の家の人も皆、何日も食べた。16 麦粉の大きなつばも油の小さなつばも空にはならなかった。エホバがエリヤを通して語った言葉の通りになった。

17 こうしたことの後、そのやもめの息子^{むすこ}が病気になった。病気は非常に悪くなり、その子は息を引き取った。18 彼女はエリヤに言った。「真の神に仕える人、あなたは私に何か反感でもあるのですか。あなたは私の罪を私に思い起こさせ、息子を死なせるために来たのですか」。19 エリヤは彼女に、「あなたの息子を私に渡してください」と言った。そして彼女から息子を受け取り、泊まっていた屋上の部屋にその子を抱えて上がり、自分のベッドの上に寝かせた。20 エリヤはエホバにこう呼び掛けた。「私の神エホバ、あなたは、私が身を寄せているこのやもめも災難に遭わせ、息子を死な

せるのですか」。21 それから彼はその子にかぶさるように3度身をかがめ、エホバに呼び掛けた。「私の神エホバ、どうかこの子に命を戻してください」。22 エホバはエリヤの願いを聞き入れ、その子に命が戻り、その子は生き返った。23 エリヤはその子をつれて屋上の部屋から家の中に下り、その子を母親に渡して、こう言った。「見てください。あなたの息子は生きています」。24 彼女はエリヤに言った。「私は今、本当に分かりました。あなたは確かに神に仕える人で、あなたは語るエホバの言葉は真実です」。

18 しばらく後、3年目にエホバはエリヤに言った。「アハブの所に行きなさい。私は大地に雨を降らせる」。2 それでエリヤはアハブの所に向かった。その頃、サマリアはひどい飢饉に見舞われていた。

3 一方、アハブは、家の人たちをまとめていたオバデヤを呼び寄せた。(オバデヤはエホバを非常に畏れる人だった。4 イゼベルがエホバの預言者たちを殺害した時には、100人の預言者を集めて50人ずつ洞窟に隠し、パンと水を供給した。) 5 アハブはオバデヤに言った。「国中の泉や谷を回りなさい。草を見つけられれば、馬やラバを生かしておけるかもしれない。家畜を全滅させずに済むだろう」。

6 2人は回る地域を分担した。アハブ

18:5 *または、「ワジ」。

第17章

(例) ヤコ 5:16

(例) 申 32:39
サエ 2:6
王二 4:32, 34
王二 13:21
ルカ 7:15
ルカ 8:54, 55
ヨハ 5:28, 29
ヨハ 11:44
使徒 9:40, 41
使徒 20:9, 10
ロマ 14:9
ヘブ 11:17, 19

(例) ヘブ 11:35

(例) ヨハ 3:2

第18章

(例) ルカ 4:25
ヤコ 5:17

(例) 詩 65:9, 10
エレ 14:22

(例) レビ 26:26
申 28:24

(例) 王一 16:31

第2欄

(例) 王二 1:8

(例) 王一 17:2, 3

(例) 王二 2:15, 16
マタ 4:1
使徒 8:39

は1人で一方の道を行き、オバデヤも1人でもう一方の道を行った。

7 オバデヤが道を進んでいると、エリヤが会いにやって来た。オバデヤはすぐにエリヤだと気づき、ひれ伏して、「エリヤ、あなたでしようか」と言った。8 エリヤは答えた。「そうです。あなたの主人に、『エリヤがここにいます』と伝えに行きなさい」。9 オバデヤは言った。「私がどんな罪を犯したというので、私をアハブに引き渡して死なせようとするのですか。10 生きている神エホバに懸けて言います。私の主人があなたを捜すために人を送らなかった国民や王国は一つもありません。『エリヤはここにはいない』と彼らが言うとき、主人はその王国や国民に、あなたが見つからなかったと誓わせました。11 今あなたは、『エリヤがここにいる』と主人に伝えに行きなさい』と言います。12 私があなたのもとから去ると、あなたはエホバの聖なる力によって、私の知らない所へ連れていかれるでしょう。私がアハブに伝えても、アハブはあなたを見つけられず、私を殺すに違いありません。私は若い頃からエホバを畏れております。13 あなたは、イゼベルがエホバの預言者たちを殺した時に私がしたことをお聞きになっていないのですか。私はエホバの預言者100人を50人ずつ洞窟に隠し、パンと水を供給し

18:12 *用語集参照。

つづ 続けたのです。14 それなのに今あ
なたは、『エリヤがここにいる』と主
人に伝えに行きなさい』と言います。
しゅじん わたし ころ ちが ありません。

15 エリヤは言った。「私が仕えてい
るエホバは、大軍を率いる生きている
神です。その神に懸けて誓います。私
は今日、アハブの所に行きます」。

16 それでオバデヤは去って行って
アハブに会い、報告した。アハブはエ
リヤに会いに行った。

17 アハブはエリヤを見るとすぐに
言った。「イスラエルに災難をもたらす
者よ、おまえなんだな」。

18 エリヤは言った。「私はイスラエ
ルに災難をもたらしてなどいません。
あなたとあなたの父の家族が、エホ
バのおきてを捨ててバアルに従い、災
難をもたらしたので。19 今、カル
メル山の私の所に、イスラエル全体
と、イゼベルの食卓で食べている450
人のバアルの預言者と400人の聖木
の預言者を招集しなさい。20 そ
れでアハブはイスラエルの民全てに
通知し、預言者たちをカルメル山に集
めた。

21 それから、エリヤは全ての民
に近づいて言った。「あなたたちはい
つまでどっち付かずの態度を取って
いるのですか。もしエホバが真の神
なら、その方に従いなさい。しかし、も
しバアルがそうなら、バアルに従い
なさい」。民は一言も答えなかった。

第18章

(列王第一 18:4)

(列王第一 20:4)

王第一 9:9

(列王第一 16:30-33)

(列王第一 19:26, 31)

(列王第一 16:33)

(列王第一 2:11)

ホセ 10:2

マタ 12:30

コリ 10:21

コリ 6:14, 15

(列王第一 20:5)

ヨシ 24:15

サメ 7:3

詩 100:3

第2欄

(列王第一 19:9, 10)

(列王第一 6:31)

(列王第一 9:23, 24)

申 4:24

裁 6:21

代一 21:26

代二 7:1

(列王第一 45:20)

エレ 10:5

ダニ 5:23

ハバ 2:18, 19

コ一 8:4

(列王第一 41:23)

22 それからエリヤは民に言った。
「エホバの預言者で残っているのは
私だけです。一方、バアルの預言者は
450人です。23 私たちのために若
い雄牛を2頭用意してください。彼ら
にどちらか1頭を選ばせます。彼らは
それを切り分けてまきの上に載せ、火
は付けないでおきます。私ももう一方
の若い雄牛をさばいてまきの上に置
き、火は付けないでおきます。24 あ
なたたちは自分の神の名前を呼びな
さい。私はエホバの名前を呼びます。
火によって答える神が真の神です」。
民は皆、「それはよい」と言った。

25 エリヤはバアルの預言者たち
に言った。「あなたの方が多数なの
で、若い雄牛を先に選んで準備しな
さい。それから、あなたの方の神の名前を
呼びなさい。ただし、それに火を付け
てはなりません」。26 それで彼らは
選んだ若い雄牛を取って準備し、朝
から真昼までバアルの名前を呼び続
け、「バアル、答えてください!」と言
った。しかし、何の声もせず、誰も答え
なかった。彼らは作った祭壇の周りで
跳び回り続けた。27 真昼ごろ、エ
リヤは彼らをあざけりだした。「声を
限りに呼びなさい。何しろ、バアルは
神なのです。バアルはきくと考え
事をしているか、用を足しに行ってい
るのでしょうか。それか、眠っているの
で誰かに起こしてもらわなければならない

18:27 * もしかすると、「旅に出ている」。

いでしょう。28 彼らは声を限り
に呼び、習慣に従って短剣や小やりで
体を傷つけ、やがて血まみれになっ
た。29 真昼が過ぎ、夕方穀物の
捧げ物を捧げる時間まで狂乱し続け
たが、何の声もなく、誰も答えなかつ
た。何も起きなかったのである。

30 エリヤは民全体に、「私の近
くに来なさい」と言った。それで民
は皆、彼の近くにきた。それから彼は
壊れていたエホバの祭壇を直した。

31 そして石を12個取った。それは、
エホバから「イスラエルがあなたの名
前になる」と言われたヤコブの子たち
の部族の数だった。32 エリヤはエ
ホバの名のためにその石で祭壇を作
り、その周囲に溝を掘って、15リットル
の種をまけるほどの場所ができるよう
にした。33 その後、まきを並べ、若い
雄牛を切り分けてまきの上に置い
た。そして言った。「4つの大きなかめ
に水を満たし、それを全焼の捧げ物と
まきの上に注ぎなさい」。34 それか
らエリヤは、「もう一度そうしなさい」
と言った。それで、もう一度同じことが
行われた。エリヤは再び、「さらにもう
一度そうしなさい」と言った。こうして、
同じことが3度行われた。35 水は
祭壇の周りに流れ出た。エリヤは溝
も水で満たした。

36 夕方穀物の捧げ物を捧げる
時間の頃、預言者エリヤは前に進み

第18章

(イ) イザ 44:19,20

(イ) 王一 19:14

(イ) 創 32:28,30

(イ) 創 35:10

イザ 48:1

(イ) 出 20:25

申 27:6

(イ) 創 22:9

レビ 1:7,8

(イ) 出 29:41

第2欄

(イ) 創 26:24

(イ) 創 28:13

(イ) 民 16:28

ヨハ 11:42

(イ) エレ 31:18

エゼ 33:11

(イ) レビ 9:23,24

裁 6:21

代二 7:1

(イ) 王一 18:23,24

(イ) 裁 5:20,21

詩 83:9

(イ) 申 13:1-5

申 18:20

(イ) 王一 17:1

(イ) ヤコ 5:17,18

で出てこう言った。「アブラハムとイサク
とイスラエルの神エホバ、あなたがイ
スラエルで神であり、私があなたに仕
える者であり、あなたの言葉によって
これらのこと全てを行ったということが
が、今日知られますように。37 エホ
バ、私に答えてください！ 私に答え、
この民が、あなたエホバが真の神であ
り、ご自分のもとに民の心を戻そうと
しておられることを知るようになってく
ださい」。

38 すると、エホバの火が降ってき
て、全焼の捧げ物とまきと石と土を焼
き尽くし、溝の中の水もなめ尽くした。

39 民は皆それを見るとすぐにひれ伏
し、「エホバこそ真の神です！ エホバ
こそ真の神です！」と言った。40 エ
リヤは民に言った。「バアルの預言者
たちを捕まえなさい！ 一人も逃して
はなりません！」民はすぐに彼らをつか
まえ、エリヤは彼らをキシンの川に
連れて行って殺した。

41 エリヤはアハブに言った。「登っ
て行って飲み食いしなさい。激しい
大雨の音がするからです。42 それ
でアハブは飲み食いするために登っ
ていった。エリヤはカルメル山の頂
上に登り、地面にかがみ込み、顔を
ずっと膝の間にうずめていた。43 そ
れからエリヤは従者に言った。「登っ
て海の方を見てきなさい」。従者は
登って行って見てから、「何もありません

18:29 *または、「預言者のように振る舞い」。

18:40 *または、「ワジ」。

ん」と言った。エリヤは、「また見に行きなさい」と7回言った。44 7回目に従者はこう言った。「ご覧ください! 人の手くらの小さな雲が海から上ってきています」。それでエリヤは言った。「アハブに、『兵車を準備しなさい。大雨で足止めされないよう、下っていきなさい』といいに行きなさい」。45 そうしているうちに、空が雲で暗くなり、風が吹き、激しい大雨が降りだした。アハブは兵車に乗って、エズレルに向かった。46 一方、エリヤはエホバから力を与えられ、服をまくって腰に留め、エズレルまでずっとアハブの先を走った。

19 アハブは、エリヤがした全てのこと、預言者たち皆を剣で殺したことについてイゼベルに話した。2 イゼベルはエリヤの所に使者を遣わし、こう伝えさせた。「もし私があしたの今ごろまでにあなたをあゝの預言者たちのようにしないなら、神々が私を厳しく罰しますように!」3 エリヤは怖くなり、身を守るために立ち上がって逃げた。ユダの町ベエル・シェバに来て、従者をそこに残した。4 そして荒野に入って1日の道のりを行き、エニシダの木の下に来てそこに座り、死ぬことを願って言った。「もう十分です! エホバ、どうぞ私の命を取り去ってください。私は父祖たちに勝っていません」。

5 エリヤは横になり、エニシダの木

第18章

(ア) サー 12:18
ヨブ 38:37

(イ) ヨシ 19:17, 18
王 21:1

第19章

(イ) 王 16:29
王 21:25

(ロ) 王 18:40

(イ) 王 16:31

(イ) 出 2:15
サー 27:1

(イ) ヨシ 15:21, 28

(イ) 創 21:31

(イ) 民 11:15
ヨブ 3:21
ヨナ 4:3

第2欄

(イ) ダニ 10:8-10
使徒 12:7

(イ) 詩 34:7
ヘブ 1:7, 14

(イ) 出 3:1
出 19:18
マラ 4:4

(ロ) ヘブ 11:32, 38

(イ) 出 20:4, 5
民 25:11
詩 69:9

(イ) 申 29:24, 25
裁 2:20
王 1:8-9
王 2:17-15

(イ) 王 18:4

(イ) 王 19:2
ロマ 11:2, 3

(イ) 出 33:22

(ロ) 詩 50:3
イザ 29:6

(イ) サー 14:15
ヨブ 9:6
詩 68:8
ナホ 1:5

(イ) 申 4:11

の下で眠った。すると突然、天使が彼に触れ、「起きて、食べなさい」と言った。6 エリヤが見ると、頭のそばに、熱した石に載せた丸いパンと水差しがあった。彼は食べて飲み、再び横になった。7 その後、エホバの天使が再び戻ってきて、彼に触れて言った。「起きて、食べなさい。大変な旅になるからです。8 それで彼は起きてから食べて飲み、栄養を付けて、40日間ずっと進み、やがて真の神の山ホレブに着いた。

9 エリヤはそこにあった洞窟に入り、そこで夜を過ごした。すると、エホバが彼に語り掛けた。「エリヤ、ここを何をしているのか」。10 エリヤは言った。「私は、大軍を率いる神エホバにひたすら熱心に仕えてきました。イスラエルの民があなたの契約を捨て、あなたの祭壇を壊し、あなたの預言者たちを剣で殺したため、私だけが残りました。今、彼らは私の命を狙っています」。11 神は言った。「外に出て、山の上でエホバの前に立ちなさい」。すると、エホバがそばを通り、暴風がエホバの前で山々を裂き、大岩を砕いていった。しかしエホバは風の中にはいなかった。風の後、地震があった。しかしエホバは地震の中にもいなかった。12 地震の後、火が生じた。しかしエホバは火の中にもいなかった。火の後、穏やかで静かな声

19:8 *直訳、「40日40夜」。

がした。13 エリヤはそれを聞くとして、
 ぐに職服で顔を覆い、外に出て洞窟の
 入り口に立った。すると、次のように
 尋ねる声がした。「エリヤ、ここで何を
 しているのか」。14 エリヤは言った。
 「私は、大軍を率いる神エホバに
 ひたすら熱心に仕えてきました。イス
 ラエルの民があなたの契約を捨て、あ
 なたの祭壇を壊し、あなたの預言者
 たちを剣で殺したため、私だけが残り
 ました。今、彼らは私の命を狙ってい
 ます」。

15 エホバはエリヤに言った。「戻っ
 て、ダマスカスの荒野に行きなさい。そ
 こに着いたら、ハザエルを選んでシリ
 アの王としなさい。16 また、ニムシ
 の孫エヒウを選んでイスラエルの王と
 し、アベル・メホラの人である、シャファ
 トの子エリシャを選んで、あなたに代
 わる預言者としなさい。17 ハザエ
 ルの剣を逃れる人をエヒウが殺し、エ
 ヒウの剣を逃れる人をエリシャが殺す
 のである。18 イスラエルには、バア
 ルにひざまずかず、口づけしなかった
 人たちがまだ7000人いる」。

19 それでエリヤはそこから出発し、
 シャファトの子エリシャを見つけた。エ
 リシャは12対の牛を先に行かせて耕
 しており、12対目の牛に付いていた。
 エリヤは彼の所に行き、自分の職服を

19:15 *直訳、「に油を注いで」。用語集の「油
 を注ぐ」参照。19:16 *直訳、「に油を注いで」。
 #意味、「神は救い」。

第19章

[列] 出 34:5,6

[列] 出 3:6

[列] 申 31:20

詩 78:37

イザ 1:4

エレ 22:9

[ロ] ロマ 11:2,3

[列] 王二 8:7,8

アモ 1:4

[列] 王二 9:1-3

王二 9:30-33

[列] 王二 2:9,15

[列] 王二 8:12

王二 10:32

王二 13:3

[列] 王二 9:14,24

王二 10:6,7

王二 10:23,25

[ロ] 王二 2:23,24

[列] 出 20:5

[列] ホセ 13:2

[列] ロマ 11:4

[列] 王二 2:8

第20章

[列] 出 24:13

王二 2:3

王二 3:11

第20章

[列] サ二 8:6

王二 5:2

イザ 9:12

[列] 王二 8:7

[列] 王二 6:24

王二 17:5

[列] 申 28:52

[列] 王一 16:29

[列] 申 28:15,48

かれ彼にまとわせた。20 エリシャは雄
 牛を残してエリヤの後を追いつけ、こ
 う言った。「どうか父と母に別れの口
 づけをさせてください。それからあな
 たに付いていきます」。エリヤは言っ
 た。「行ってきなさい。止めるつもりは
 ありません」。21 エリシャは戻って1
 対の雄牛を取ってほふり、牛の農耕具
 を燃やしてその肉を煮、人々に与え
 た。人々はそれを食べた。その後、エ
 リシャは立ってエリヤに付いていき、仕
 え始めた。

20 シリアのベン・ハダド王は全
 軍を集めた。32人の他の王
 たちと馬と兵車も集めた。ベン・ハダ
 ドは出て行ってサムリアを包囲し、攻
 撃した。2 それから彼はサムリア
 にいるイスラエルのアハブ王のもと
 に使者たちを遣わし、こう伝えさせ
 た。「ベン・ハダドはこう言っています。
 3『あなたの銀と金、あなたの美しい
 妻たちや息子たちは、私のものだ』。
 4これに対し、イスラエルの王はこう
 答えた。「王よ、お言葉の通り、私も私
 が持っているものも全てあなたのもの
 です」。

5 その後、使者たちが再び来て言っ
 た。「ベン・ハダドはこう言っています。
 『私は、「あなたは、銀と金、妻たちと
 息子たちを私に与えることになる」と
 あなたに伝えた。6だが、明日の今
 ごろ、私はあなたの所に家来たちを遣

19:21 *または、「殺し」。直訳、「犠牲にし」。

わす。彼らはあなたの家とあなたの家
来たちの家を詳しく調べ、あなたの貴
重なものを全部、奪い取る』。

7 それでイスラエルの王は、国の長老たちを呼んで言った。「聞いてほしい。あの男が災いをもたらそうとしている。彼は私の妻たちや息子たち、銀や金を要求してきた。私は断らなかった。8 長老たちや民は皆、言った。『従わないでください。承諾しないでください』。9 それで王はベン・ハダドの使者たちに言った。『『あなた』が最初にお求めになったことはいたしますが、今回のことは承知できません』と王に言うてください。使者たちは帰って、王にこの返事を伝えた。

10 ベン・ハダドはこう伝えてきた。「サマリアには、私に従う民が手をつかめるほどのわずかな土さえ残らないだろう。もし残ることがあれば、神々が私を厳しく罰しますように!」

11 イスラエルの王は答えた。「彼にこう伝えなさい。『武器を着ける者は、武器を外す勝利者のように誇ってはならない』。12 ベン・ハダドは王たちと共に天幕で飲んでいましたが、この返事を聞いて直ちに、「攻撃の準備をせよ!」と家来たちに言った。それで、彼らは都市を攻める準備をした。

13 ある預言者がイスラエルのアハブ王の所に行き、こう言った。「エホバはこう言っています。『この大勢の群

第20章

[7] 格 16:18

格 27:1

伝 7:8

[4] 王一 16:29

第2欄

[7] 出 14:18

詩 37:20

[4] レビ 26:8

申 28:7

衆を見たか。私は今日この群衆をあなたの手に渡し、あなたは私がエホバであることを知る』。14 アハブが「誰によってそうなるのでしょうか」と尋ねると、預言者は言った。「エホバはこう言っています。『州の高官の従者たちによってである』。アハブが「誰が戦闘を開始するのでしょうか」と尋ねると、預言者は「あなたです!」と言った。

15 アハブは州の高官の従者たちの数を調べた。それは232人だった。その後、イスラエルの人たち全部の数を調べると、7000人だった。16 軍勢は真昼ごろ出ていった。ベン・ハダドはその頃、加勢に来ていた32人の王たちと天幕で飲んで酔っていた。17 州の高官の従者たちがまず出ていくと、ベン・ハダドはすぐに偵察者たちを送った。偵察者たちはベン・ハダドにこう報告した。「サマリアから人々が出てきています」。18 ベン・ハダドは言った。「和平のために出てきたなら、生け捕りにせよ。戦いのために出てきた場合も、生け捕りにせよ」。19 しかし、州の高官の従者たちと、続く軍勢が都市から出ていき、20 敵たちを討った。それでシリア人は逃げ、イスラエルは追っていった。シリアのベン・ハダド王は馬上に乗って騎手たちと共に逃げた。21 一方、イスラエルの王は出ていって馬と兵車

を次々と討ち、シリア人を大敗させた。

22 その後、例の預言者がイスラエルの王の所に来て言った。「さあ、防備を強化し、何をすべきか考えなさい。来年の初め、シリアの王があなたを攻めに来るからです。」

23 シリアの王に家来たちが言った。「彼らの神は山の神です。だから彼らに圧倒されたのです。もし平地で戦えば、われわれは彼らを圧倒できます。24 また、こうしてください。王たち全員をその地位から降ろし、代わりに総督たちを置くのです。25 そして、失った兵士と馬と兵車に等しい数の兵士と馬と兵車を集めてください。彼らと平地で戦いましょ。そうすれば彼らを必ず圧倒できます。それで王はこの助言に従い、その通りにした。

26 年の初め、ベン・ハダドはシリア人を招集し、イスラエルと戦うためにアフエクにやって来た。27 イスラエルの側も民が招集され、物資の供給を受けて、シリア人に立ち向かおうと出ていった。イスラエルの民はシリア人の前で陣営を張ったが、それはヤギの2つの小さな群れのようで、一方のシリア人は辺り一面に広がっていた。

28 真の神に仕える人がイスラエルの王の所に来て、こう言った。「エホバはこう言っています。『シリア人が、「エホバは山の神で、平原の神ではない」と言っているの、私はこの大勢の群衆

第20章

(列王一 20:13)

(列王二 20:18)

(列王二 11:1)

(列王一 20:1, 16)

(列王二 13:17)

(列王二 6:5, 6
サム 13:5
代二 32:7)

第2欄

(列王二 32:26, 27
エゼ 20:9
エゼ 36:22)(列王二 6:7
出 7:5
詩 83:18
エゼ 6:14
エゼ 39:7)

(列王一 20:26)

(列王二 3:8, 9)

を皆あなたの手に渡す。あなたたちはかならず私がエホバであることを知る。』。

29 両軍は陣営を張ったまま7日間向かい合った。そして7日目に戦闘が始まった。イスラエルの民は1日のうちにシリア人の歩兵10万人を討った。

30 ほかの兵士たちはアフエクの町の中に逃げた。しかし、生き残っていた兵士の2万7000人の上に町の城壁が崩れ落ちた。ベン・ハダドも町に逃げ、奥の部屋に隠れた。

31 ベン・ハダドに家来たちが言った。「イスラエルの王たちは憐れみ深い王だと聞いています。どうか、腰に粗布を巻き、首に縄を掛けて、イスラエルの王のもとに行かせてください。王はきっとあなたの命を助けてくれるでしょう。32 そこで家来たちは粗布を腰に巻き、縄を首に掛けて、イスラエルの王のもとに来て言った。「ベン・ハダドは、『どうか命を助けてほしい』と申しております。アハブは言った。「彼はまだ生きているのか。彼は私の兄弟だ。33 それで家来たちは、これは良い返事だと思い、すぐにその言葉通りに受け止めて、「ベン・ハダドはあなたの兄弟です」と言った。するとアハブは、「彼を連れてきなさい」と言った。それでベン・ハダドはアハブのもとにやって来た。アハブは彼を兵車に乗せた。

34 ベン・ハダドはアハブに言った。

20:31 *または、「揺るぎない愛を示す」。

「私の父^{わたし}があなた^{ちち}の父上^{ちちうえ}から奪^{うば}った町々^{まちまち}をお返し^{かえ}します。私の父^{わたし}がサマリヤ^{さまりや}でしたように、ダマスカス^{だましかす}に市場^{いちば}を設^{もう}けていた^{*}だいて構^{かま}いません」。

アハブは答^{こた}えた。「この協定^{きやうてい}に基づ^{もとづ}き、あなた^きを去^さらせませう」。

こうしてアハブは協定^{きやうてい}を結^{むす}んでからベン・ハダド^{べん だど}を去^させさせた。

35 エホバの命令^{めいれい}により、預言者^{よげんしゃ}の子^こたち^なのある人^{ひと}が仲間^なに、「私^{わたし}を殴^{なぐ}ってください^{なぐ}」と言^いった。しかしその人^{ひと}は殴^{なぐ}るのを拒^{こば}んだ。**36** それでその人^{ひと}に彼^{かれ}は言^いった。「あなたはエホバの言^いうことを聞^きき入れなかつたので、私^{わたし}のもとから去^さるとすぐにライオン^{らいおん}に殺^{ころ}されます」。その人^{ひと}は彼^{かれ}のもとを去^さった後^{あと}、ライオン^{らいおん}に出^で合い、殺^{ころ}された。

37 その預言者^{よげんしゃ}は別^{べつ}の人^{ひと}を見^みつけと言^いった。「私^{わたし}を殴^{なぐ}ってください」。その人^{ひと}は預言者^{よげんしゃ}を殴^{なぐ}て傷^{きず}つけた。

38 それから預言者^{よげんしゃ}は出^で掛け、目^めに包帯^{ほうたい}をして変装^{へんそう}して道端^{みちばた}で王^{おう}を待^{まち}った。**39** 王^{おう}が通^{とお}り掛^かかつた時^{とき}、預言者^{よげんしゃ}は王^{おう}に大^お声^{こゑ}で言^いった。「私^{わたし}が戦^{たたか}いのた^{なか}中^なに出^でていくと、ある人^{ひと}が1人^{ひとり}のおとこ^{おとこ}を私の所^{ところ}に連^つれてきて、こう言^いいました。「この男^{おとこ}を見張^{みは}っていなさい。もしこの男^{おとこ}を逃^にがしたら、この男^{おとこ}の命^{いのち}の代^かわりにあなた^いの命^{いのち}が取^とられる。ある

第20章
列王二 2:3

列王二 10:24
使徒 12:19
使徒 16:27

第2欄
列王一 20:35

列王レビ 27:29
サムエル 15:9
エゼキエル 48:10

列王一 22:31,35
代下 18:33

列王二 6:24
王二 8:12
代下 18:16

列王一 16:29

第21章
列王ヨシ 19:17,18

列王レビ 25:23
民 36:7

いは、あなたは34キロの銀^{ぎん}を払^{はら}うことになる』。**40** その後^ご、私^{わたし}があちこちで忙^{いそ}がしくてい^うるうちに、急^{いそ}にその男^{おとこ}がいなくな^いってしま^いいました」。イスラエルの王^{おう}は彼^{かれ}に言^いった。「その罰^{ばつ}を受け^うけて当然^{とうぜん}だ。あなたも分^わかっているはずだ」。**41** そこで彼^{かれ}はすぐさま目^めから包帯^{ほうたい}を取^とった。イスラエルの王^{おう}は彼^{かれ}が預言者^{よげんしゃ}の1人^{ひとり}であること^きに気^き付^ついた。

42 預言者^{よげんしゃ}は王^{おう}に言^いった。「エホバはこう言^いっています。『あなたは私^{わたし}が生^いかしておいてはならないと言^いった人^{ひと}を逃^にがしたので、彼の命^{いのち}の代^かわりにあなた^いの命^{いのち}が取^とられ、彼の民^{たみ}の代^かわりにあなた^いの命^{いのち}が取^とられる』」。**43** イスラエルの王^{おう}は不機嫌^{ふきげん}になつてふさぎ込^こみ、サマリアに帰^{かえ}っていった。

21 こうしたことの後^{のち}、エズレルの人^{ひと}ナボテが持^もっていたブドウ園^{ぶどうえん}を巡^{めぐ}ってある出来事^{できごと}が起^おきた。ブドウ園^{ぶどうえん}はエズレル^{えん}にあり、サマリアの王^{おう}アハブの宮殿^{きやうてん}の近^{ちか}くにあつた。**2** アハブはナボテに言^いった。「あなた^{えん}のブドウ園^{ゆず}を譲^{わた}ってほしい。私の家^{いえ}の近^{ちか}くにあるので、菜園^{さいえん}にしたいのだ。代^かわりにもつと良^よいブドウ園^{えん}をあげよう。お金^{かね}の方がよければ、見^み合^あつた額^{がく}を払^{はら}つてもよい」。

3 ナボテはアハブに言^いった。「父祖^{ふそ}たちから相^{そう}続^{ぞく}した土地^ちをあなた^ちに譲^{ゆず}るなど、エホバ^{かんてん}の観^{かん}点^{てん}からは考^{かんが}えられな^いこと^{こと}です」。**4** アハブは家^{いえ}に帰^{かえ}つた。エズレルの人^{ひと}ナボテから、「父祖^{ふそ}たちから相^{そう}続^{ぞく}した土

20:34 *または、「にある街路を指定して」。「または、「契約」。**20:35** *「預言者の子たち」とは、預言者の教育団体か預言者の会のことと思われる。

地を譲ることはしません」と言われたことで、不機嫌になってふさぎ込んだ。ベッドに横になり、顔を背けたまま、食事しようとしなかった。

5 妻のイゼベルがアハブの所に入ってきて、こう尋ねた。「どうしてそんなに落ち込んで、食事もしないのですか」。6 アハブは答えた。「エズレルの人ナボテに、『ブドウ園をお金で譲ってもらいたい。別のブドウ園と交換する方がよければ、そうしてもよい』と言ったのだが、『ブドウ園を譲ることはしない』と言われたのだ」。7 妻イゼベルは言った。「あなたはイスラエルを治める王ではないですか。起きて食事をし、元氣を出してください。私がエズレルの人ナボテのブドウ園を手に入れてあげましょう」。8 イゼベルはアハブの名前で手紙を書いて王の印章を押し、ナボテの町に住む長老や高貴な人たちに送った。9 手紙にはこう書いてあった。「断食を呼び掛け、ナボテを民の前に座らせなさい。10 そして、どうしようもない人2人を彼の前に座らせ、『おまえは神を冒瀆し、王をののしった!』と証言させなさい。それから彼を町の外に出し、石打ちにして殺しなさい」。

11 ナボテの町の人たち、町に住む長老や高貴な人たちは、イゼベルから送られた手紙に書かれている通りにした。12 断食を呼び掛け、ナボテを民の前に座らせた。13 そこに、ど

第21章

(例) 王一 16:31
王一 18:4
王一 19:2
王一 21:25

(イ) ミカ 2:1
ミカ 7:3

(例) ネヘ 9:38
エス 8:8

(例) 申 16:18

(例) 出 20:16
申 17:6

(例) 出 22:28

(例) レビ 24:16
ヨハ 10:33

第2欄

(例) アモ 5:12
ハバ 1:4

(イ) 王二 9:25, 26
伝 4:1

(例) 伝 5:8
伝 8:14
ハバ 1:13

(例) 王一 21:7

(例) 王一 17:1

(例) 王一 16:29

(例) 創 4:8, 10

(例) 申 5:21
ハバ 2:9

(例) 王一 22:37, 38
王二 9:25, 26

(例) 王一 18:17
アモ 5:10

うしようもない人2人がやって来て、ナボテの前に座り、「ナボテは神を冒瀆し、王をののしった!」と彼について民の前で証言し始めた。その後、ナボテは町の外に連れ出され、石打ちにされて死んだ。14 イゼベルのもとに、「ナボテは石打ちにされて死にました」という報告があった。

15 イゼベルはナボテが石打ちにされて死んだことを聞くと、すぐにアハブにこう言った。「さあ、エズレルの人ナボテがお金で譲ることを拒んだブドウ園を手に入れてください。ナボテはもう生きていません。死にました」。

16 ナボテが死んだことを聞いたアハブは、すぐに立ち上がり、エズレルの人ナボテのブドウ園を手に入れるために出ていった。

17 エホバはティシュベの人エリヤにこう言った。18 「さあ、サマリアにいるイスラエルの王アハブに会に行きなさい。彼はナボテのブドウ園にいる。それを手に入れようとしている。

19 アハブにこう言いなさい。『エホバはこう言っている。「あなたは人を殺し、その人の土地も手に入れたのか!』。さらにこう言いなさい。『エホバはこう言っている。「犬がナボテの血をなめ尽くした場所で、あなたの血も犬がなめ尽くす!』』。

20 アハブはエリヤに言った。「敵よ、ついに私を見つけたか」。エリヤは答えた。「はい。神はこう言いました。

『あなたが私エホバから見て悪いこと
にふけているので、**21** 私はあなた
に災いをもたらす。あなたの子孫を一
掃し、アハブ家の全ての男を、イスラ
エルにいる惨めな人を含め、滅ぼす。
22 あなたの一家をネバトの子ヤラベ
アムの一家のように、またアヒヤの子
バアシャの一家のようにする。あなた
が私を怒らせ、イスラエルに罪を犯さ
せたからである』。**23** イゼベルにつ
いても、エホバはこう言いました。『イ
ゼベルはエズレルの土地で犬に食い
尽くされる。**24** アハブ家の人は、町
で死ねば犬に食べられ、野原で死ね
ば鳥に食べられる。**25** 妻イゼベル
にけしかけられたアハブは、エホバか
ら見て悪いことを行った。彼ほど悪い
ことにふけた人はいない。**26** ア
ハブは、私エホバがイスラエル人の
前から追い払ったアモリ人のように、
けががくそうき、たよ、ひじょう、い
汚らわしい偶像に頼り、非常につまわ
しいことを行った』。

27 アハブはこの言葉を聞くとすぐ、
自分の衣服を引き裂き、粗布をまとい
た。断食を始め、粗布を身に着けて横
になり、ぼうぜんと歩いた。**28** エホ
バはティシュベの人エリヤにこう言っ
た。**29** 「アハブが私の前で謙遜に
なったのを見たか。彼が私の前で謙
遜になったので、彼が生きている間に

21:21 *直訳、「壁に向かって放尿する者」。男性
を意味するヘブライ語の侮辱表現。**21:26** *ヘ
ブライ語で「ふん」を意味する言葉と関連がある
と考えられる、嫌悪を表す表現。

第21章

(列) 王一 16:30

(列) 王二 10:7,17

(列) 王二 9:7-9

(列) 王一 15:25-29

(列) 王一 16:3,11

(列) 王二 9:10,35

(列) 王一 14:11
王一 16:4(列) 王一 16:31
代二 22:2,3
啓 2:20

(列) 王一 16:30

(列) 出 23:28
申 9:5

(列) 詩 78:34

第22章

(列) 王二 9:25,26
王二 10:7,11

第22章

(列) 王一 15:24

(列) 代二 18:2,3

(列) ヨシ 20:8,9
王一 4:7,13(列) 王二 3:7
代二 19:2

(列) 代二 18:4,5

(列) 民 27:21

(列) 王二 3:11
代二 18:6,7

(列) 王一 18:4

(列) 王一 21:20
代二 36:16

は災いをもたらさない。彼の子の時代
に、彼の一家に災いをもたらす。

22 シリアとイスラエルの間には
3年の間戦争がなかった。

2 3年目に、ユダのエホシャファト王
はイスラエルの王の所に来た。**3** イ
スラエルの王は家来たちに言った。

「ラモト・ギレアデは私たちのものでは
ないか。だが、シリアの王からそれを
取り返すことができていない」。**4** そ
れからエホシャファトに言った。「ラ
モト・ギレアデで戦うために私と一緒に

に行ってくださいませんか。エホシャファ
トはイスラエルの王に言った。「私と
あなたは一つです。私の民とあなたの
民、私の馬とあなたの馬も一つです」。

5 エホシャファトはさらにイスラエ
ルの王に言った。「まずは、エホバが
何と言われるか尋ねてください」。

6 イスラエルの王は約400人の預言
者を集めてこう言った。「ラモト・ギレ
アデを攻めに行くべきですか。それと
も、やめるべきですか。彼らは言っ
た。「行くべきです。エホバはそこを王
の手に渡してくださいます」。

7 エホシャファトは言った。「ほか
にエホバの預言者はいないのですか。
その人を通して尋ねてみましょう」。

8 イスラエルの王はエホシャファトに
言った。「エホバに尋ねることができ
る人がもう1人いますが、私はその人
が嫌いです。私について良いことを預

げん 言したことがなく、わるいことばかり預
げん 言するからです。イムラの子ミカヤで
す」。エホシャファトは言った。「王は
そのようなことを言ってはいけません」。

9 イスラエルの王は廷臣を呼んでこ
う言った。「今すぐ、イムラの子ミカヤ
を連れてきなさい」。10 イスラエル
の王とユダの王エホシャファトは、サマ
リアの門の入り口にある脱穀場で、王
の服を着て王座に座っていた。預言
者たちが2人の前で預言していた。

11 ケナアナの子ゼデキヤは鉄の角
を作って言った。「エホバはこう言って
います。『これらの角で、あなたはシリ
ア人を突いて、全滅させる』」。12 ほ
かの預言者たちも皆、同じように預言
した。「ラモト・ギレアデに行くべきで
す。取り返せます。エホバはそこを王
の手に渡してくださいませ」。

13 ミカヤを呼びに行った使者はミ
カヤに言った。「いいですか。預言者
たちは口をそろえて王にとって良い
ことを言っています。あなたも彼らと
同じように良いことを話してください
」。14 ミカヤは言った。「生きて
いる神エホバに懸けて誓います。エ
ホバが私に言われる通りに話しま
す」。15 ミカヤが王のもとに来ると、
王は尋ねた。「ミカヤ、ラモト・ギレ
アデを攻めに行くべきか。それとも、や
めるべきか」。ミカヤはすぐに王に答
えた。「行くべきです。取り返せます。
エホバはそこを王の手に渡してくださ

第22章

㉔ イザ 30:9,10
エレ 38:4

㉔ 代二 18:8-11

㉔ エゼ 13:2,3

㉔ 代二 18:12-16

第2欄

㉔ 申 28:15,25

㉔ 代二 18:17

㉔ イザ 6:1
エゼ 1:26

㉔ 代二 18:18-22
ヨブ 1:6
ダニ 7:9,10
マタ 18:10
啓 5:11

㉔ 詩 104:4
ヘブ 1:7,14

㉔ 王一 22:6

います」。16 王は言った。「何度誓
わせたら、あなたはエホバの名によっ
て真実だけを話すようになるのか」。
17 それでミカヤは言った。「私には
イスラエル人皆が、羊飼いのいない羊
のように山々に散り散りになっている
のが見えました。エホバはこう言いま
した。『これらの人には主人がいない。
彼らをそれぞれ家に無事に帰らせな
さい』」。

18 イスラエルの王はエホシャファ
トに言った。「あなたに言いませんで
したか。彼は私について良いことを
預言せず、悪いことばかり預言するの
です」。

19 ミカヤは言った。「エホバの言
葉を聞いてください。私は、エホバが
王座に座り、その左右に天の全軍が
立っているのを見ました。20 エホ
バはこう言いました。『誰がアハブを
だましてラモト・ギレアデに行かせ、ア
ハブを倒れさせるか』。1人の者があ
ることを言い、ほかの者は別のことを
言いました。21 すると、1人の天使
が進み出てエホバの前に立ち、『私が
だまします』と言いました。エホバ
は、『どのようにするのか』と尋ねまし
た。22 天使はこう答えました。『私
が行って、彼の預言者全てに偽りを語
らせませう』。神は、『あなたはうまく彼
をだませる。行ってそうしなさい』と
言いました。23 こうして、エホバは、
天使があなたの預言者全てに偽りを

語らせるようにしました。エホバはあなたに災いをもたらすことを宣言したのです」。

24 ケナアの子ゼデキヤがミカヤに近づいて、頬を打って言った。「私にはエホバの聖なる力によって話すことがもうできず、おまえにはできるというのか」。**25** ミカヤは答えた。「あなたが奥の部屋に入って隠れる日に、そのことがはっきり分かるでしょう」。

26 イスラエルの王は言った。「ミカヤを捕まえて、都市の長アモンと王の子ヨアシュに引き渡せ」。**27** そしてこう言え。『王はこう言っている。「この男を牢屋に入れなさい。私が無事に戻るまで、わずかなパンと水しか与えてはならない」』」。**28** ミカヤは言った。「もしあなたが無事に戻るなら、エホバは私に話さなかったことになりま

す」。さらにこう言った。「皆さん、よく覚えておいてください」。

29 イスラエルの王とユダの王エホシャファトはラモト・ギレアデに行った。**30** イスラエルの王はエホシャファトに、「私は変装して戦いに行きますが、あなたは王の服を着てください」と言った。それでイスラエルの王は変装して、戦いに行った。**31** シリアの王は兵車隊長32人に、「イスラエルの王だけを狙って戦え。ほかの者とは誰とも戦うな」と命じていた。**32** 兵車隊長たちはエホシャファトを見るとすぐ、「イスラエルの王に違いない」と思

第22章

(イ) エゼ 14:9

(イ) 王一 20:42

(イ) 代二 18:23-27

(イ) ヘブ 11:32,36

(イ) 民 16:28,29

(イ) 代二 18:28-32

(イ) 代二 35:22

(イ) 王一 20:1

第2欄

(イ) 代二 18:33,34

(イ) 王一 20:42

(イ) 王一 22:17

(イ) 王一 21:18,19

(イ) 王一 10:22
エゼ 27:15

(イ) 王一 16:28

(イ) 王二 1:2
代二 20:35(イ) 代一 3:10
代二 17:1
代二 20:31
マタ 1:8

い、攻め掛かろうとした。エホシャファトは助けを求めて叫んだ。**33** 兵車隊長たちは、彼がイスラエルの王ではないことが分かると、すぐに追うのをやめた。

34 1人の人が特に狙いを定めずに弓を射ると、イスラエルの王のよろいの継ぎ目に命中した。王は兵車の乗り手に言った。「向きを変え、私を戦場の外に出してくれ。ひどい傷を負ってしまった」。**35** 激戦が一日中続き、王はシリア人の方に向いて、兵車の中で支えられて立っていた。傷口の血が戦車の中に流れ、王は夕方に死んだ。**36** 日が沈む頃、「自分の町へ、自分の土地へ戻れ!」という号令が陣営中に出された。**37** 王は死に、サマリアに運ばれ、そこに葬られた。**38** サマリアの池のそばで戦車が洗われ、犬がアハブの血をなめ尽くし、娼婦たちはそこを洗った。エホバが語った言葉の通りになった。

39 アハブについてのほかの記録、行ったさまざまなこと、建てた象牙の家、築いた町々ことは、イスラエルの王の時代の歴史書に記されている。

40 アハブは死に、代わりにアハブの子アハジヤが王になった。

41 アサの子エホシャファトがユダの王になったのは、イスラエルのアハブ王

22:34 *または、「何気なく」。**22:38** *もしかすると、「娼婦たちが体を洗うその場所で、犬がアハブの血をなめ尽くした」。**22:39** *または、「宮殿」。

の治世の第4年のことだった。42 エホシャファトは35歳で王になり、エルサレムで25年治めた。彼の母はアズバといい、シルビの娘だった。43 彼は父アサと全く同じ道を歩み続けた。その道からそれず、エホバから見て正しいことを行った。しかし高い場所を取り除かれなかった。民は依然として高い場所で犠牲を捧げたり、犠牲の煙を立ち上らせたりしていた。44 エホ

シャファトはイスラエルの王と平和な関係を保った。45 エホシャファトについてのほかの記録、上げた功績やどのように戦ったかは、ユダの王の時代の歴史書に記されている。46 エホシャファトは、父アサの時代にまだ残っていた神殿男娼の残りを国から排除した。

47 エドムには王がおらず、代官が王の代わりをしていた。

48 エホシャファトは、金を入手しにオフィルに行かせるためタルシユ

第22章

(ア) 王-15:11
代-14:11
代-15:8
(イ) 代-17:3
(ウ) 申-12:14
王-14:23
王-15:14
(ロ) 代-18:1
代-19:2
(ハ) 王-15:11,12
(ニ) 申-23:17,18
王-14:24
(ヘ) 創-36:1,9
(コ) サ-8:14
王-8:20-22
詩-108:9

第2欄

(ア) 王-10:22
(イ) 王-9:26
代-20:35-37
(ウ) 王-2:10
(ロ) 王-8:16
代-21:1,5
(ハ) 王-1:2
(ニ) 王-16:30
(ヘ) 王-21:25
(コ) 王-12:28-30
王-13:33
(カ) 王-16:31,32
王-1:2
(ク) 出-20:3
出-34:14

列王第一 22:42-列王第二 概要

船も造ったが、船はエツヨン・ゲベルで破損し、行くことができなかった。49 その時、アハブの子アハジヤはエホシャファトに、「私の家来たちをあなたの家来たちと一緒に船に乗り込ませましょう」と言ったが、エホシャファトは同意しなかった。

50 エホシャファトはやがて死に、父祖ダビデの町に父祖たちと共に葬られた。代わりにエホシャファトの子エホラムが王になった。

51 ユダのエホシャファト王の治世の第17年、イスラエルではアハブの子アハジヤがサマリヤで王になった。彼はイスラエルを2年治めた。52 アハジヤはエホバから見て悪いことを行い続け、父と母の道、またイスラエルに罪を犯させたネバトの子ヤラベアムの道を歩んだ。53 アハジヤはバアルに仕え続けてひれ伏し、父と同じようにイスラエルの神エホバを怒らせた。

22:48 * 用語集参照。

列王記 第二

概要

- エリヤがアハジヤの死を予告する (1-18)
- 暴風によってエリヤが運ばれる (1-18)
エリヤはエリヤの職服を手取る (13, 14)
エリヤはエリコの水を清める (19-22)
熊がベテルの少年たちを殺す (23-25)
- イスラエルの王エホラム (1-3)
モアブがイスラエルに反逆する (4-25)

- モアブは打ち破られる (26, 27)
- エリヤはやもめの油を増やす (1-7)
シュネムの女性のもてなし (8-16)
女性は息子を授かるが、息子は死ぬ (17-31)
エリヤは死んだ子を復活させる (32-37)
エリヤは煮込み料理の毒をなくす (38-41)
エリヤはパンを増やす (42-44)

- 5 ナアマンの重い皮膚病をエリシャが癒やす (1-19)
食欲なゲハジが重い皮膚病で打たれる (20-27)
- 6 エリシャはおの頭を浮かび上がらせる (1-7)
エリシャとシリア人の攻防 (8-23)
エリシャの従者の目が開かれる (16, 17)
シリア人は精神盲ようになる (18, 19)
サマリアが包囲され飢餓に見舞われる (24-33)
- 7 エリシャは飢餓の終わりを予告する (1, 2)
シリア人の陣営で、置き去りにされた食料が見つかる (3-15)
エリシャの預言がその通りになる (16-20)
- 8 シュネムの女性の土地が返される (1-6)
エリシャ、ベン・ハダド、ハザエル (7-15)
ユダの王エホラム (16-24)
ユダの王アハジヤ (25-29)
- 9 エヒウが油を注がれてイスラエルの王になる (1-13)
エヒウはエホラムとアハジヤを殺す (14-29)
イゼベルが殺され、犬に食われる (30-37)
- 10 エヒウはアハブ家を滅ぼす (1-17)
エホナダブがエヒウに加勢する (15-17)
エヒウはバアルの崇拜者たちを殺す (18-27)
エヒウの統治の概略 (28-36)
- 11 アタリヤが王座を奪う (1-3)
エホアシュがひそかに王にされる (4-12)
アタリヤが殺される (13-16)
エホヤダの改革 (17-21)
- 12 ユダの王エホアシュ (1-3)
エホアシュは神殿を修理する (4-16)
シリアによる侵略 (17, 18)
エホアシュが殺害される (19-21)
- 13 イスラエルの王エホアハズ (1-9)
イスラエルの王エホアシュ (10-13)
エリシャがエホアシュの熱意を試す (14-19)
エリシャは死に、骨に触れた人が生き返る (20, 21)
エリシャの最後の預言がその通りになる (22-25)
- 14 ユダの王アマジヤ (1-6)
エドムとの戦い、イスラエルとの戦い (7-14)
- イスラエルのエホアシュの死 (15, 16)
アマジヤの死 (17-22)
イスラエルの王ヤラベアム2世 (23-29)
- 15 ユダの王アザリヤ (1-7)
イスラエル末期の王たち: ゼカリヤ (8-12), シャルム (13-16), メナヘム (17-22), ペカフヤ (23-26), ペカハ (27-31)
ユダの王ヨタム (32-38)
- 16 ユダの王アハズ (1-6)
アハズはアッシリア人に賄賂を贈る (7-9)
アハズは異教の祭壇をまねる (10-18)
アハズの死 (19, 20)
- 17 イスラエルの王ホシエア (1-4)
イスラエルの滅亡 (5, 6)
背教のためイスラエルは捕らえられ、連れていかれる (7-23)
サマリアの町々に外国人が連れてこられる (24-26)
サマリアの人たちは宗教を混ぜ合わせる (27-41)
- 18 ユダの王ヒゼキヤ (1-8)
イスラエルの滅亡の概略 (9-12)
セナケリブがユダを侵略する (13-18)
ラブシャケがエホバをあざける (19-37)
- 19 ヒゼキヤはイザヤを通して神の助けを求める (1-7)
セナケリブがエルサレムに脅しをかける (8-13)
ヒゼキヤの祈り (14-19)
イザヤは神からの答えを伝える (20-34)
天使がアッシリア人18万5000人を討つ (35-37)
- 20 ヒゼキヤの病氣と回復 (1-11)
バビロンからの使者たち (12-19)
ヒゼキヤの死 (20, 21)
- 21 ユダの王マナセと流血の罪 (1-18)
エルサレムは滅びるという予告 (12-15)
ユダの王アモン (19-26)
- 22 ユダの王ヨシヤ (1, 2)
神殿の修理についての指示 (3-7)
律法の書が見つかる (8-13)
災いに関するフルダの預言 (14-20)
- 23 ヨシヤの改革 (1-20)
過ぎ越しを執り行う (21-23)

- ヨシヤは改革を進める (24-27)
 ヨシヤの死 (28-30)
 ユダの王エホアハズ (31-33)
 ユダの王エホヤキム (34-37)
- 24 エホヤキムの反逆と死 (1-7)
 ユダの王エホヤキン (8, 9)
 バビロンへの最初の強制移住 (10-17)
 ユダの王ゼデキヤと、バビロンの王への反逆 (18-20)

- 25 ネブカドネザルがエルサレムを包囲する (1-7)
 エルサレムと神殿の陥落, 2回目の強制移住 (8-21)
 ゲダリヤが総督になる (22-24)
 ゲダリヤが殺され、民はエジプトに逃げる (25, 26)
 バビロンでエホヤキンが釈放される (27-30)

1 アハブの死後、モアブがイスラエルに反抗した。

2 ある時、アハジヤはサマリアの家に屋上の部屋の格子を突き破って落ちてしまい、けがをした。そこで彼は、「このけがが治るかどうか、エクロンの神バアル・ゼブブに尋ねに行きなさい」と言って、使者たちを遣わした。**3** すると、エホバの天使がティシュベの人エリヤに言った。「立って、サマリアの王の使者たちに会いに行き、こう言いなさい。『あなたがエクロンの神バアル・ゼブブに尋ねに行くのは、イスラエルに神がいなかったからですか。』**4** エホバは主にこう言っています。「あなたが起き上がってベッドから出ることはない。あなたは必ず死ぬ。』」。それでエリヤは出ていった。

5 アハジヤは、使者たちが戻ってきたので、すぐに言った。「どうして戻ってきたのか」。使者たちは答えた。「1人の人が私たちに会いに来て、こう

1:2 *屋上の開口部に付いた木製のふたのことかもしれない。**1:3** *意味、「私の神はエホバ」。

第1章

創 19:36,37
 サニ 8:2
 詩 60:8

イヨシ 13:2,3
 サ一 5:10

イヨ二 1:16

イヨ一 17:1
 王一 18:36

イヨザ 8:19
 エレ 2:11

第2欄

イヨ代一 10:13,14

イヨ王一 19:19
 ゼカ 13:4
 ヘブ 11:32,37

イヨマタ 3:4

イヨ申 33:1

イヨ民 11:1
 民 16:35
 ルカ 9:54
 ユダ 7

い言いました。『さあ、あなたたちを遣わした王のもとに帰り、こう伝えなさい。『エホバはこう言っています。『あなたがエクロンの神バアル・ゼブブに尋ねようとして人を遣わすのは、イスラエルに神がいなかったからか。あなたが起き上がってベッドから出ることはない。あなたは必ず死ぬ。』』』。**7** アハジヤは尋ねた。「おまえたちに会いに来てそう語った人は、どんな姿だったか。』**8** 彼らは言った。「毛でできた服を着て、腰に革帯を締めていました。アハジヤはすぐに、「ティシュベの人エリヤだ」と言った。

9 王は1人の長を50人の部下と共にエリヤの所に遣わした。長が登っていくと、エリヤは山頂に座っていた。それで長はこう話し掛けた。「真の神に遣わされた人よ、王が『下りてきなさい』と言っています。』**10** エリヤはその長に答えた。「確かに私は神に遣わされた者です。天から火が下ってきて、あなたと50人の部下を焼き尽く

しますように」。すると、天から火が下^{くだ}ってきて、長^{ちやう}と50人の部下^{にんぶか}を焼き尽くした。

11 王^{おう}は別の長^{べつちやう}を50人の部下^{にんぶか}と共に遣^{つか}わした。その長^{ちやう}はエリヤに言^いった。「真^{しん}の神^{かみ}に遣^{つか}わされた人^{ひと}よ、王^{おう}が『早^{はや}く下^{くだ}りてきなさい』と言^いっています」。 **12** エリヤは答^{こた}えた。たしに確^{たし}かに私^{わたし}は真^{しん}の神^{かみ}に遣^{つか}わされた者^{もの}です。天^{てん}から火^ひが下^{くだ}ってきて、あなたと50人の部下^{にんぶか}を焼き尽くしますように」。すると、天^{てん}から神^{かみ}の火^ひが下^{くだ}ってきて、長^{ちやう}と50人の部下^{にんぶか}を焼き尽くした。

13 王^{おう}は3人目^{にんめ}の長^{ちやう}と50人の部下^{にんぶか}を遣^{つか}わした。3人目^{にんめ}の長^{ちやう}は登^{のぼ}っていつてエリヤの前^{まえ}でひざまずき、懇^{こん}願^{がん}してこ^こう言^いった。「真^{しん}の神^{かみ}に遣^{つか}わされた人^{ひと}よ、どうか、あなたが私^{わたし}の命^{いのち}とこの50人の命^{いのち}を貴^{たうと}いものと見てくださいますように」。 **14** 天^{てん}から火^ひが下^{くだ}ってきて、これまで2人^{ふたり}の長^{ちやう}とそれぞれの部隊^{ぶたい}50人^{にん}を焼^やきつくしましたが、今^{こん}回^{かい}は私^{わたし}の命^{いのち}を貴^{たうと}いものと見てくださいますように」。

15 エホバの天使^{てんし}がエリヤに告^つげた。「そ^{ひと}の人^{ひと}と共に下^{くだ}りていきなさい。彼^{かれ}を恐^{おそ}れてはならない」。それでエリヤは立^たって、その人^{ひと}と共に王^{おう}のもとへと下^{くだ}っていった。 **16** エリヤは王^{おう}にこ^こう言^いった。「エホバはこ^こう言^いっています。『あなたはエクロンの神^{かみ}バアル・ゼブブ^{たず}に尋^{たず}ねようとして使^{つか}者^{もの}たちを遣^{つか}わした。それはイスラエルに神^{かみ}がいないからか。どうして神^{かみ}の考^{かんが}えを尋^{たず}

第1章

(列王上) 13:2,3

(列王上) 1:3

第2欄

(列王上) 3:1
王上 9:22

(列王上) 8:16

(列王上) 22:51

第2章

(列王上) 17:1

(列王上) 2:11

(列王上) 19:16

(列王上) 4:38

(列王上) 28:18,19
王上 12:28,29
王上 2:23

(列王上) 19:16

(列王上) 6:26
王上 16:34

ねなかったのか。あなたが起き上^{おきあ}がってベッドから出^でることはない。あなたは必ず死^{かならずし}めぬ』」。 **17** エリヤが語^{かた}ったエホバの言^{ことば}葉^はの通^{とお}り、アハジヤは死^しんだ。代^かわりにエホラムが王^{おう}になった。アハジヤには息^{むすこ}子^こがいなかったからである。これは、ユダの王^{おう}エホシャファトの子^こエホラムの治^ち世^{せい}の第^{だい}2年^{ねん}のことだった。

18 アハジヤについてのほかの記^き録^{ろく}、行^{おこな}ったことは、イスラエルの王^{おう}の時代^{じだい}の歴史^{れきし}書^{しよ}に記^{しる}されている。

2 エホバが暴^{ぼう}風^{ふう}によってエリヤを天^{てん}に上^あげようとしていた頃^{ころ}、エリヤとエリシャはギルガル^{ぎるかる}から出^でていった。 **2** エリヤはエリシャに言^いった。「エホバが私^{わたし}をベテルへ遣^{つか}わしたので、あなたはここにとどまってくさい」。しかしエリシャは、「生^いきている神^{かみ}エホバとあなたに懸^かけて誓^{ちか}います。私^{わたし}はあなたから離^{はな}れません」と言^いった。それで2人^{ふたり}はベテルに下^{くだ}っていった。 **3** すると、ベテルにいる預^よ言^{げん}者^{しや}の子^こたちがエリシャのもとに出^でてきて言^いった。「今日^{きょう}、エホバがあなたの主^{しゆ}人^{じん}をあなたから引^ひき離^{はな}そうとしていることを知^しっていますか」。エリシャは、「知^しっています。黙^{だま}っててください」と言^いった。

4 エリヤはエリシャに言^いった。「エリシャ、エホバが私^{わたし}をエリコへ遣^{つか}わした

1:17 *アハジヤの弟。 **2:1** *または、「空」。 **2:3** *「預言者の子たち」とは、預言者の教育団体か預言者の会のことと思われる。

ので、あなたはここにどまってください。しかしエリシャは、「生きている神エホバとあなたに懸けて誓います。私はあなたから離れません」と言った。それで2人はエリコに行った。5すると、エリコにいる預言者の子たちがエリシャの所に来て言った。「今日、エホバがあなたの主人をあなたから引き離そうとしていることを知っていますか」。エリシャは、「知っています。黙っててください」と言った。

6 エリヤはエリシャに言った。「エホバが私をヨルダン川へ遣わしたので、あなたはここにどまってください」。しかしエリシャは、「生きている神エホバとあなたに懸けて誓います。私はあなたから離れません」と言った。それで2人は進んでいった。7 預言者の子たち50人も付いていき、ヨルダン川のほとりに立った2人を、離れた所に立て見守った。8 エリヤは職服を脱ぎ、それを丸めて水を打った。すると水が左右に分かれ、2人は乾いた地面の上を渡った。

9 渡り終えたところで、エリヤがエリシャに言った。「私があなたから引き離される前に私に何をしてほしいか、言ってください」。エリシャは言った。「あなたが持つ聖なる力を2倍分頂けないでしょうか」。10 エリヤは答えた。「あなたは難しいことを願

第2章

[ワ] 王一 19:19

[イ] 出 14:21, 22
ヨシ 3:17
王二 2:13, 14[ワ] 申 34:9
王一 19:16
ルカ 1:17

[四] 申 21:17

第2欄

[ワ] 王二 6:17
詩 68:17[イ] 代二 21:5, 12
ヨハ 3:13

[ワ] 王二 13:14

[四] サ二 1:11, 12
ヨブ 1:19, 20[ワ] 王一 19:19
王二 1:8
ゼカ 13:4
マタ 3:4[ワ] ヨシ 3:13
王二 2:8[ワ] 民 11:24, 25
民 27:18, 20
王二 2:9

[ワ] 王一 18:11, 12

ました。私があなたから引き離される時、あなたが私を見るなら、願った通りになります。しかし、見ないなら、その通りにはなりません」。

11 2人が話しながら歩いていると、突如、火の兵車と火の馬が現れ、2人の間を分けた。そしてエリヤは暴風によって天に上っていった。12 エリシャはそれを見ながら、「父よ、父よ！イスラエルの兵車と騎手たち！」と叫んだ。そして、エリヤが見えなくなると、自分の衣服をつかんで2つに引き裂いた。13 その後、エリシャはエリヤから落ちた職服を拾い上げてヨルダン川の岸边に戻り、そこに立った。14 それからエリヤの職服で水を打ち、こう言った。「エリヤの神エホバはどこにおられますか。すると、水が左右に分かれたので、エリシャは渡った。

15 エリコの預言者の子たちは離れた所からエリシャを見て、「エリシャは、エリヤが持っていた聖なる力を受けた」と言った。そしてエリシャを迎えに出てひれ伏した。16 彼らはエリシャに言った。「私たちの所には50人の有能な人がいます。彼らにあなたのご主人を捜しに行かせてください。ご主人はエホバの聖なる力に引き上げられ、どこかの山か谷に投げ落とされたのかもしれない」。エリシャは、「遣わしてはいけません」と言っ

2:11 *または、「空」。2:15 *または、「持っていた精神」。2:16 *または、「エホバの風」。

2:9 *または、「持つ精神」。用語集参照。*または、「2つ分」。

た。17 しかし、彼らはエリシャを困惑させるほどしつこく勧めたので、エリシャは「遣わしなさい」と言った。そこで彼らは50人を遣わし、50人は3日間捜したがエリヤを見つけれなかった。18 50人が帰ってきた時、エリシャはまだエリコにいて、こう言った。「行っ

てはいけな

いと言った。『この水を清めた。死や不作を引き起こすことはもうない』。22 エリシャが語った言葉の通り、水は清められ、今に至っている。

23 エリシャはそこからベテルに上っていった。道を進んでいると、その町から出てきた少年たちがエリシャをばかにして言った。「はげ頭、上っていけ! はげ頭、上っていけ!」

24 ついにエリシャは振り向いて、少年たちに災いがあるようエホバの名によって願い求めた。すると、森の中から雌熊が2頭出てきて、子供た

2:19 *もしかすると、「流産を引き起こしています」。2:21 *もしかすると、「流産」。

第2章
(例) ヨシ 6:26
王一 16:34

(例) 申 34:1-3

(例) 出 15:23-25
王二 4:38-41

(例) 代二 36:15,16
ルカ 10:16

(例) 格 17:12

第2欄
(例) 王二 1:10

(例) 王二 4:25

第3章
(例) 王二 1:17

(例) 王一 16:30-33

(例) 王一 12:28-30

(例) 王一 22:37

(例) サ二 8:2

(例) 代二 19:2

(例) 王一 22:3,4

ちのうち42人を引き裂いた。25 エリシャはそこからカルメル山に行き、そしてサマリアに帰った。

3 アハブの子エホラムは、ユダのエホシャファト王の治世の第18年に、サマリアでイスラエルの王になった。彼は12年治めた。2 エホラムはエホバから見て悪いことを行いつづ続けた。ただ、彼の父や母ほどではなく、父が作ったバアルの聖柱を取り除いた。3 しかしエホラムは、ネバトの子ヤラベアムがイスラエルに犯させたのと同じ罪を犯し、やめなかった。

4 モアブの王メシャは羊を飼育して、貢ぎ物として、子羊10万匹と毛を刈っていない雄羊10万匹をイスラエルの王に納めていた。5 しかし、アハブが死んで間もなく、モアブの王はイスラエルの王に反抗した。6 それでその時、エホラム王はサマリアを出て、イスラエル全体を招集した。

7 また、ユダのエホシャファト王のもとに人を遣わして、「モアブの王が私に反抗しました。私と一緒にモアブに戦いに行ってくださいませんか」と伝えた。エホシャファトは、「行きましょう。私とあなたは一つです。私の民とあなたの民、私の馬とあなたの馬も一つです」

と言った。8 それから、「どの道を行きましょうか」と尋ねた。エホラムは、「エドムの荒野の道を行きましょう」と答えた。

3:2 *用語集参照。

9 こうしてイスラエルの王は、ユダの王とエドムの王と共に出発した。7日間回り道をした後、軍隊や連れてきた家畜のための水がなくなった。

10 イスラエルの王は言った。「何て悲惨なことだ。エホバはこの3人の王をただモアブの手に渡すために集めたのだ」。11 エホシャファトは言った。「エホバの預言者はいませんか。その人を通してエホバに尋ねることはできませんか」。するとイスラエルの王の家来の1人が答えた。「シャファトの子エリシャがいます。エリヤに仕えていた人です」。12 エホシャファトは、「エホバは彼を通して話します」と言った。それで、イスラエルの王とエホシャファトとエドムの王は、彼の所に行った。

13 エリシャはイスラエルの王に言った。「どうして私の所に来たのですか。あなたの父上の預言者たちと母上の預言者たちの所に行ってください」。イスラエルの王は言った。「そう言わないでください。エホバはこの3人の王をモアブの手に渡すために集めたのです」。14 エリシャは言った。「私が仕えているエホバは、大軍を率いる生きている神です。その神に懸けて誓います。私がユダのエホシャファト王に敬意を抱いていなければ、私はあなたを見ることも気に留めることも

3:11 *または、「の手に水を注いで」。3:13 *直訳、「私とあなたとは何が[あるのですか]」。

第3章

[7] サニ 8:14

[1] 王一 22:7

[7] 王一 19:16
王二 2:15

[12] 王一 19:19,21

[10] サ一 2:30
エゼ 14:3[10] 裁 10:14
王一 18:19
王二 22:6[10] 代二 17:3,4
代二 19:3,4

第2欄

[7] 格 15:29

[1] サ一 10:5
代一 25:1[7] 王一 18:46
エゼ 1:3
使徒 11:21

[10] 詩 107:35

[10] エレ 32:17
マル 10:27

[10] 申 28:7

[10] 申 3:5

[7] 王二 3:25

[7] 出 29:39,40

[10] 出 15:9,10

なかったでしょう。15 たて琴の奏者を連れてきてください。奏者がたて琴を弾くと、エホバの力がエリシャに働いた。16 エリシャは言った。「エホバはこう言っています。『この谷に、溝を幾つも掘りなさい。17 エホバはこう言う。『風も雨もないのに、この谷は水で満ち、あなたたちはそれを飲む。あなたたちの家畜も他の動物も飲む』。18 これはエホバにとっては大したことはありません。神はモアブもあなたたちの手に渡すからです。19 あなたたちは、防備された町や重要な町を全て壊滅させなければなりません。また、良い木を全て切り倒し、泉を全てふさぎ、石を投げ入れて良い土地を全て荒らさなければなりません」。

20 朝になり、朝の穀物の捧げ物を捧げる時間が来ると、水が突然エドムの方から流れてきて、谷は水で満ちた。

21 モアブ人は皆、王たちが攻めにやって来たことを聞いた。それで、武器を身に着けられる人を全て集めて、国境で位置に就いた。22 朝早く起きると、太陽が水面を照らして、反対側にいるモアブ人には水が血のようになく見えた。23 彼らは言った。「血だ！王たちは剣で討ち合ったのだ。さあ、モアブよ、分捕りに行け！」

24 モアブ人がイスラエルの陣営に

3:15 *または、「音楽家」。「直訳、「手」」。3:16, 17, 20 *または、「ワジ」。3:21 *または、「ベルトを締めている」。

はいると、イスラエル人は立ち上がってモアブ人を討ち始め、モアブ人は逃げていった。イスラエル人はモアブに進入し、モアブ人を討ちながら進んでいった。25 町々を破壊し、良い土地全てにおのおのが石を投げ入れて石だらけにした。泉を全てふさぎ、良い木を全て切り倒した。最後にキル・ハレセトの城壁だけが残っていたが、兵士たちが町を囲み、投石して壊滅させた。

26 モアブの王は戦いに敗れたのを見て、剣を帯びた700人を連れ、エドムの王の所を目掛けて突破しようとしたが、失敗に終わった。27 それでモアブの王は、自分に代わって治めることになっていた長男を城壁の上で全焼の犠牲として捧げた。イスラエルに対する激しい憤りが生じたので、イスラエルの人たちは撤退して自分の国に帰った。

4 預言者の子たちの妻の1人がエリシャに訴えるように言った。「私の夫が死にました。よくご存じのように、夫はエホバをずっと畏れていました。でも、債権者が来て、私たちの2人の子供を連れ去って奴隷にしようとしています」。2 エリシャは彼女に言った。「そうでしたか。何かしましょう。あなたの家には何があるか、教えてください」。彼女は答えた。「私の家には、油のつぼ以外、何もありません」。

4:2 * または、「注ぎ口の付いたつぼ」。

第3章

(列) レビ 26:7

(イ) 創 26:15
代 32:4

(列) 王二 3:19

(列) イザ 16:7

(列) 王二 3:9

(列) 申 12:31
代 28:1,3
詩 106:37,38

第4章

(列) 王二 2:3,5

(列) 王一 19:18

(列) 王一 17:9,12

第2欄

(列) マル 6:41
マル 8:6-8
ヨハ 2:7-9

(列) マタ 14:19

(列) ヨシ 5:12
王一 17:14

(列) ヨシ 19:17,18

(列) 創 19:1-3
裁 13:15

(列) 裁 3:20
王一 17:19

(列) マタ 10:41
ロマ 12:13
ヘブ 13:2

3 エリシャは言った。「外に行って、近所の人たちみんなからつぼを借りてきてください。空のつぼを、できるだけ多くです。4 それから家に入り、戸を閉じてあなたと息子たちだけになり、全てのつぼに油を注いでください。いっぱいになったものは脇に置いてください」。5 それで彼女は去っていった。

彼女が戸を閉じて自分と息子たちだけになると、息子たちはつぼを手渡し、彼女は油を注いでいった。6 つぼがどれもいっぱいになると、彼女は息子の1人に、「つぼを持ってきて」と言った。しかし息子は、「つぼはもうないよ」と言った。すると油は止まった。7 彼女が真の神に遣わされた人の所に行つて報告すると、こう告げられた。「その油を売りに行き、負債を返済しなさい。その残りであなたと息子たちは生活していきます」。

8 ある日、エリシャがシュネムに行くとき、そこに1人の著名な女性がいいて、食事をしていくようしきりにエリシャに勧めた。それでエリシャはそこを通るたびに立ち寄って食事をするようになった。9 彼女は夫に言った。「いつも私たちの家に来る方は、きっと神に仕える聖なる人です。10 屋上に小さな部屋を造り、あの方のためにそこにベッドと机と椅子とランプ台を置くのはどうでしょう。そうすれば、あの方が来る時、そこで休んでいただけます」。

11 ある日、エリシャはそこに来て、

横になろうとして屋上の部屋に行った。^{よこ おくじょうへや い}
 12 彼は従者のゲハジに言った。^{かれ じゅうしや げ いう}
 「あの女性を呼びなさい」。そこで
 ゲハジは彼女に、来るようにと言った。^{かのじょ くる ように いう}
 13 エリシャはゲハジに言った。「彼女にこう言ってください。『あなたはいろいろと私たちの面倒を見てくれました。あなたのためにできることが何かありますか。王や軍隊の長に掛け合ってほしいことがありますか。』」。
 彼女の答えは、「わたしは私の民の中で暮らしていますので、大丈夫です」というものだった。^{かのじょ こと わたし わたし たみ なか あ かいじようぶ いう}
 14 エリシャは言った。「彼女のためにできることが何かありますか」。ゲハジは言った。「彼女には息子がいなくて、しかも夫は年を取っています」。^{かのじょ けい おとこ とし いう}
 15 すぐにエリシャは言った。「彼女を呼びなさい」。ゲハジが呼ぶと彼女は戸口に立った。^{げ かのじょ いう けい おとこ た}
 16 エリシャは言った。「来年の今ごろ、あなたは男の子を抱いているでしょう」。^{けい かのじょ いう けい おとこ だ}
 彼女は言った。「あなたは真の神に遣わされた人です。こんな私にそのようなそはおっしゃらないでください」。^{かのじょ ほんしん い おとこ こ けい かのじょ いう かのじょ ほんしん いう かのじょ ほんしん いう}

17 しかし彼女は妊娠し、エリシャが言った通り、翌年の同じ頃に男の子を産んだ。^{い おとこ よくおん おな ころ おとこ こ}
 18 その子は成長し、ある日、外にいる父親の所に行った。父親は刈り取りをする人たちと一緒にいた。^{い そと ちちおや こころ いう ちちおや}
 19 その子は父親に、「頭が、頭が痛い！」と何度も言った。父親は従者に、「この子を抱いて母親の所に

第4章
 (7) 王二 5:25-27
 王二 8:4

(1) ロマ 16:6

(7) 王二 4:1,2
 ヘブ 6:10

(14) 王二 8:3

(7) 創 15:2
 創 30:1

(7) 創 18:10

第2欄
 (7) 王一 17:17

(1) 王二 4:9,10

(7) 民 10:10
 民 28:11

(14) マタ 28:9

行ってくれないか」と言った。^{い いう}
 20 それで従者はその子を抱いて母親の所に行った。その子は真昼まで母親の膝に座っていたが、死んでしまった。^{い じゅうしや こ だ ははおや ところ いう ほんしん ははおや いう ほんしん いう}
 21 母親は上に行き、真の神に遣わされた人のベッドにその子を寝かせ、戸を閉じて出てきた。^{い ははおや うえ い しん かみ つか いう ほんしん いう かのじょ おとこ}
 22 彼女は夫を呼んで言った。「従者の1人とロバ1頭を使わせてください。真の神に遣わされた人の所に急いで行かせてください。その後戻ってきます」。^{い ははおや いう ほんしん かみ つか いう ほんしん いう ほんしん いう ほんしん いう}
 23 夫は言った。「今日は新月でも安息日でもないのに、どうしてあの方の所に行くのか」。彼女は、「大丈夫ですから」と言った。^{い けいよう しんげつ はんそく び いう かのじょ だいじようぶ いう}
 24 彼女はロバにくら置き、従者に言った。「急ぎましょう。私のことは気にせず、私が何も言わない限り、速度を落とさずに進みなさい」。^{い かのじょ だいじようぶ いう かのじょ いう かのじょ いう かのじょ いう かのじょ いう}

25 こうして彼女は、真の神に遣わされた人がいるカルメル山に向かった。真の神に遣わされた人は遠くから彼女を見て、従者ゲハジに言った。「ご覧なさい。あのシュネムの女性が向こうにいます」。^{い かのじょ しん かみ つか いう ほんしん いう ほんしん いう ほんしん いう ほんしん いう}
 26 走って行って彼女を迎え、『お変わりありませんか。ご主人とお子さんはどうしていますか』と聞いてくれませんか。彼女は、「みんな変わりありません」と答えた。^{い かのじょ いう かのじょ いう かのじょ いう かのじょ いう かのじょ いう}
 27 しかし、彼女は山にいた真の神に遣わされた人のもとに来ると、すぐに足にすがり付いた。それでゲハジが彼女に近づいて押しのけようとしたが、真の神に遣わされた人は言った。「何もし

ないでおきなさい。彼女^{かのじょ}はとても苦し^{くる}んでいます。理由^{りゆう}は分かりません。エホバは私^{わたし}に何も告^つげていないからです。28 彼女^{かのじょ}は言^いった。「私^{わたし}はあなたに息子^{むすこ}を願^{ねが}い求めたりしたでしょう。『そんなあり得ないことを言^いわな^ないでください』と申し上げませんでしたか」。

29 エリシャはすぐ^いにゲハジに言^いった。「服^{ふく}をまくって腰^{こし}に留^とめ、私^{わたし}のつえを持^もち、行^いきなさい。誰^{だれ}かに会^あってもあいさつしてはいけません。あいさつされても答^{こた}えてはいけません。行^いって、その子^この顔^{かお}の上に私^{わたし}のつえを置^おきなさい」。30 男^{おとこ}の子^この母^{はは}親^{おや}は言^いった。「生^いきている神^{かみ}エホバとあなたに懸^かけて誓^{ちか}います。私^{わたし}はあなたを離^{はな}れませ^なん。そこでエリシャは立^たって、彼女^{かのじょ}といっ緒^{しょ}に出^でかけた。31 ゲハジは彼^{かれ}らより先^{さき}に行^いって、つえを子^こ供^{ども}の顔^{かお}の上に置^おいたが、何^{なん}も起^{おこ}きなかつた。それで道^{みち}を戻^{もど}ってエリシャの所^{ところ}に來^きて、「子^こ供^{ども}は目^めを覚^さましませんでした」と言^いった。

32 エリシャが家^{いえ}に着^つくと、死^しんだ子^こ供^{ども}はエリシャのベッ^{よこ}に横^{よこ}たわっていた。33 エリシャは中^{なか}に入^{はい}り、戸^とを開^{ひら}けてその子^こと2人^{ふたり}だけになり、エホバに祈^{いの}り始^{はじ}めた。34 エリシャはベッ^{よこ}に上^あがって子^こ供^{ども}の口^{くち}に伏^ふし、自^じ分^{ぶん}の口^{くち}をその子^この口^{くち}に、目^めをその子^この目^めに、手^てのひらをその子^この手^てのひらに当^あてて、覆^{おお}いかぶさるようにしていると、その子^この体^{からだ}は温^{あた}かくな^なった。35 それ

第4章

[7] 王二 4:16

[1] 王一 18:46

[7] マタ 15:22,28

[2] マタ 17:15,16
マル 9:17,18

[8] 王二 4:21

[8] 王一 17:19,20
ヨハ 11:41
使徒 9:40[4] 王一 17:21,22
使徒 20:9,10

第2欄

[7] 王二 8:1,5

[1] ヘブ 11:35

[7] 申 28:23,24
王二 8:1
エゼ 14:13

[2] 王二 2:3,5

[8] 王二 4:12

[7] 出 15:23-25
王二 2:19-21

からエリシャは家^{いえ}の中^{なか}を歩^{ある}いて行^いった。来^きたりし、再^{また}びベッ^あドに上^あがって子^こ供^{ども}に覆^{おお}いかぶさった。すると、その子^こはくしやみを7回^{かい}し、その後^{あと}目^めを開^あけた。36 エリシャはゲハジを呼^よび、「母^{はは}親^{おや}を呼^よびなさい」と言^いった。ゲハジが呼^よぶと母^{はは}親^{おや}はやっ^きて來^きた。そこでエリシャは、「あなたの子^こをだ^だき上^あげなさい」と言^いった。37 彼女^{かのじょ}は入^{はい}ってき^てエリシャの足^{あし}元^{もと}に身^みをかがめ、ひれ伏^ふし、それから息子^{むすこ}をだ^だき上^あげて出^でてい^いった。

38 エリシャがギルガルに戻^{もど}ると、そこは飢^き餓^がに見^み舞^まわれていた。エリシャは、預^よ言^{げん}者^{しや}の子^こたち^こが前^{まえ}に座^{すわ}っていたので、従^{じゅう}者^{しや}に言^いった。「大^{おお}きな鍋^{なべ}を火^ひに掛^かけ、預^よ言^{げん}者^{しや}の子^こたち^このた^ために煮^に込^こみ料理^{りょうり}を作^{つく}ってください」。39 それで、ある人^{ひと}がアオイを採^とりに野^の原^{はら}に行^いくと、野^や生^{せい}のつる草^{くさ}を見^みつけ、そこから野^や生^{せい}のウリを採^とって服^{ふく}の中^{なか}いっばいに入^いれた。それから戻^{もど}り、そのウリのこと^{こと}をよく知^しらずに、薄^{うす}く切^きって鍋^{なべ}に入^いれた。40 その後^{あと}、煮^に込^こみ料理^{りょうり}をよそって出^だすと、預^よ言^{げん}者^{しや}の子^こたち^こは口^{くち}にしてす^すぐに、「真^{しん}の神^{かみ}に逢^{つか}わされた人^{ひと}よ、鍋^{なべ}に毒^{どく}が入^{はい}っています」と叫^{さけ}んだ。それで食^たべることができなかつた。41 エリシャは、麦^{むぎ}粉^こを持^もってきなさい」と言^いった。そしてそれ^{なべ}を鍋^{なべ}に入^いれてから、「みんなによそってあげなさい」と言^いった。すると鍋^{なべ}の中^{なか}の毒^{どく}はなくな^なって^いいた。

42 バアル・シャリシャ^(イ)からある人^{ひと}がやって来た。その人^{ひと}は、大妻^{おおむづ}の初物^{はつもの}でできたパン^こ20個^{ふくろ}と袋^いに入れた新^{あらた}しい穀物^{こくもつ}を真^{しん}の神^{かみ}に遣^{つか}わされた人^{ひと}のもとに持^もって来た。エリシャは、「みんなに分^わけ与^{あた}て食^たべさせなさい」と言^いった。

43 従者^{じゅうしや}は、「これをどうやって100人^{にん}もの人^{ひと}に分^わけ与^{あた}えるのですか^(イ)」と言^いった。エリシャは言^いった。「みんなに分^わけ与^{あた}て食^たべさせなさい。エホバは、『みんなが食^たべてもまだ余^{あま}る』と言^いっています^(イ)」。44 そこで従者^{じゅうしや}が分^わけ与^{あた}えると、エホバの言葉^{ことば}の通り^{とお}、皆^{みな}が食^たべてもまだ余^{あま}った。

5 シリア^{おう}の王^{ぐんたいちよう}の軍隊長^{しぐ}ナアマンは優^{ひと}れた人^{ひと}で、主人^{しゅじん}から重^{おも}んじられていた。エホバがナアマンを通してシリア^{しやうりき}に勝利^{あた}を与^{おと}えたからだ^(イ)だった。ナアマンは強^{つよ}い戦士^{せんし}だったが、重^{おも}い皮膚病^{ふびよう}を患^{わづら}っていた。2 ナアマンの妻^{つま}の召^めし使^{つか}いに1人^{ひとり}の少女^{しょうじょ}がいた。か^いつてシリア人^{じん}がイスラエル^{しやうげき}を襲撃^{しやうげき}した時^{とき}に捕虜^{ほりよ}として連^つれてきた少女^{しょうじょ}だった。3 少女^{しょうじょ}は女主人^{おんなしゅじん}に言^いった。「ご主人^{しゅじん}さまがサマリア^{さまりあ}の預言者^{よげんしや}の所^{ところ}に行^いかれたら、その方^{かた}が重^{おも}い皮膚病^{ふびよう}を治^{なお}してくださるはず^(イ)です^(イ)」。4 そ^いこである人^{ひと}が主人^{しゅじん}のもとに行^いき、イスラエル^{しやうじょ}から来^きた少女^{しょうじょ}が言^いったこと^{こと}を話^{はな}した。

5 シリア^{おう}の王^いは言^いった。「すぐ行^いき

5:1 *または、「救出」。5:4 *ナアマンのことかもしれない。

第4章

(イ) サー 9:3,4

(イ) ヨハ 6:9

(イ) サー 9:6,7

(イ) マタ 14:17
マル 8:4(イ) マタ 14:20
マル 8:8(イ) ルカ 9:17
ヨハ 6:13

第5章

(イ) 王一 19:16

(イ) マタ 8:2
マタ 11:5
ルカ 4:27

第2欄

(イ) 申 32:39

(イ) 王一 17:24
王一 19:16
王二 3:11,12
王二 8:4(イ) レビ 14:7
民 19:4

(イ) ヨハ 9:6,7

(イ) イザ 7:8

なさい! イスラエル^{おう}の王^{てがみ}に手紙^{おく}を送^{おく}ろ^(イ)う。それでナアマンは、銀^{ぎん}340キロと金^{きん}6000枚^{まい}と衣服^{いふく}10着^{ちやく}を持^もって出掛^{でか}けた。6 そして手紙^{てがみ}をイスラエル^{おう}の王^もに持^もっていった。こ^かう書^かかれていた。「この手紙^{てがみ}と共に私^{わたし}の家^け来^きなナアマン^ひをあなたのもとに送^{おく}ります。彼^{かれ}の重^{おも}い皮膚病^{ふびよう}を治^{なお}してください^(イ)ように」。7 イスラエル^{おう}の王^{てがみ}は手紙^{てがみ}を読^よむと、衣服^{いふく}を引き裂^ひいてこ^こう言^いった。「私が、殺^{ころ}しも生^なかしもする神^{かみ}だとも^(イ)いうのか。彼^{かれ}はこの男^{おとこ}を送^{おく}ってきて、重^{おも}い皮膚病^{ふびよう}を治^{なお}せと^い言^いっている。これはどう見^みても、けんかを売^うっている」。

8 真^{しん}の神^{かみ}に遣^{つか}わされた人^{ひと}エリシャは、イスラエル^{おう}の王^{てがみ}が衣服^{いふく}を引き裂^ひいたことを聞^きき、すぐ^きに人^{ひと}を遣^{つか}わして王^{おう}にこ^こう伝^{つた}えた。「どうして衣服^{いふく}を引き裂^ひいたのですか。その人^{ひと}を私^{わたし}の所^{ところ}に來^きさせてください。イスラエル^しに預言者^{よげんしや}が^(イ)いることを知^しるでし^いょう」。9 それでナアマンは馬^{うま}と戦車^{せんしや}と共に來^きて、エリシャ^{いえ}の家^いの入り口^{ぐち}に立^たった。10 とこ^ころがエリシャは、使^し者^{しや}を通してナアマン^{がわ}にこ^こう伝^{つた}えた。「ヨルダン川^{がわ}に行^いき、そ^いこで7回^{かい} 体^{からだ}を洗^{もど}いなさい。そうすれ^{きよ}ば、あなた^{きよ}の体^{からだ}は元^{もと}に戻^{もど}り、清^{きよ}くない^{ふんがい}です」。11 するとナアマンは憤慨^{ふんがい}し、立^たち去^さろうとして言^いった。「私^{わたし}は、『彼^{かれ}が私^{わたし}の所^{ところ}に出^でてきてこ^こに立^たち、彼^{かれ}の神^{かみ}エホバ^なの名^なを呼^よんで、手^てを患^{かん}部の^ぶ上^うで前後^{ぜんご}に動^{うご}かして治^{なお}すのだらう』と^(イ)思^{おも}っていた。12 ダマスカス^{だま}のアバ

ナ川^{がわ}やファルパル川^{がわ ほう}の方が、イスラエルのどの川^{かわ}よりもいいではないか。それらの川^{かわ}で体を洗^{からだ}うのでは清^{きよ}くなれないか。こうして彼^{かれ}は向^むきを変^かえ、怒^{おこ}りながら去^さっていった。

13 すると家来^{けらい}たちがナアマン^{なか}に近寄^{いか}ってこう言^いった。「ご主人^{しゅじん}さま、あの預言者^{よげんしゃ}から何か大^{たい}変^{へん}なことをするよう言^いわれたとしても、その通^{とお}りになさるのではありませんか。彼はただ、『体^{からだ}を洗^{あら}って、清^{きよ}くなりなさい』と言^いったのですから、そうしてもよいのではありませんか」。14 それでナアマンは行^いって、真^{しん}の神^{かみ}に遣^{つか}わされた人^{ひと}に言^いわれた通^{とお}り、ヨルダン川^{がわ}に7回^{かい}体^{からだ}を浸^{ひた}した。すると、彼の肌^{かわ}は元^{もと}に戻^{もど}って少年^{しょうねん}の肌^{かわ}のようになり、清^{きよ}くなった。

15 ナアマンは部下^{ぶか}たちと共^{とも}に戻^{もど}って、真^{しん}の神^{かみ}に遣^{つか}わされた人^{ひと}の前^{まえ}に立^たち、こう言^いった。「イスラエル^{いらい}以外^{いがい}にはどこにも神^{かみ}はいないことが分かりました。私^{わたし}からの贈^{おく}り物^{もの}をどうぞ受^うけ取^とってください」。16 エリシャ^いは言^いった。「私^{わたし}が仕^{つか}えらる生^いきてる神^{かみ}エホバ^かに懸^かけて誓^{ちか}います。私^{わたし}は受^うけ取^とりませ

第5章
㊦王二 5:10

㊦ヨブ 33:25

㊦ルカ 4:27
ルカ 5:13

㊦ルカ 17:15, 16

㊦詩 96:4, 5
イザ 43:10

㊦マタ 10:8

第2欄
㊦王一 17:24

㊦王二 4:12
王二 8:4

㊦王二 5:1
ルカ 4:27

㊦王二 5:5

㊦王二 5:16

げ物^{もの}や犠^ぎ牲^{せい}を捧^{ささ}げることはしません。18 ただ次^{つぎ}のことだけ、エホバ^{ゆる}が許^{ゆる}してくださいますように。主人^{しゅじん}は、リモン^{いえ*}の家^{はい}に入^いってそこで身^みをかがめる時^{とき}に、私^{わたし}の腕^{うで}に寄^より掛^かかるので、私^{わたし}もリモン^いの家^えで身^みをかがめなければならま

5:18 *または、「神殿」。

した。従者たちはそれを運び、ゲハジの先を進んだ。

24 ゲハジはオフエルに着くと、従者たちが運んだ物を受け取って家の中に置いた。そして彼らを帰らせた後、**25** 主人の所に入ってそばに立った。エリシャは言った。「ゲハジ、どこに行っていたのですか」。ゲハジは言った。「どこにも行っていません」。**26** エリシャは言った。「あの人が兵車から降りて、追い掛けてきたあなたを迎えたことを、私が知らないとも思っているのですか。今は、銀を受け取ったり、衣服やオリーブ畑やブドウ園、羊や牛、男女の召し使いを受け取ったりする時でしょうか。」「**27** あなたとあなたの子孫には、ナアマンの重い皮膚病がいつまでもまとわり付きます」。ゲハジは重い皮膚病に侵されて雪のように白くなり、すぐにエリシャの前から出ていった。

6 預言者の子たちがエリシャに言った。「ご覧ください。私たちはあなたと共に住んでいるこの場所は狭過ぎます。**2** ヨルダン川に行きましょう。各自がそこで丸太を取って、そこに住む所を造りましょう」。エリシャは、「行きなさい」と言った。**3** ある人が言った。「あなたも一緒に来てください」。エリシャは、「私も行きましょう」と言った。**4** こうして

5:24 *サマリアにあった場所。丘が防備された所かもしれない。

第5章

(7) 使徒 5:8,9

(1) マタ 10:8
ルカ 12:15
使徒 20:33
テモ一 6:10

(7) 王二 5:1

(4) 出 4:6
民 12:10

第6章

(7) 王二 2:3,5
王二 9:1

第2欄

(7) 王一 20:1,34
王一 22:31

(1) 王一 17:24

(7) マタ 2:12

エリシャは彼らと一緒に行き、彼らはヨルダン川に来て、木を切り倒し始めた。**5** そのうちの1人が木を切っていると、おのの頭が外れて水中に落ちた。そして、「ああ、エリシャ、これは借りたものなんです」と叫んだ。**6** 真の神に遣わされた人は言った。「どこに落ちたのですか」。その人は場所を示した。するとエリシャは1片の木を切り取ってそこに投げ入れ、おのの頭を浮かび上がらせた。**7** エリシャは「拾い上げなさい」と言い、その人は手を伸ばして取った。

8 さて、シリアの王がイスラエルに戦いを仕掛けた。王は家来たちに相談して言った。「私はおまえたちと共にこれこの場所に陣営を張る」。**9** すると、真の神に遣わされた人はイスラエルの王のもとに王を送ってこう伝えた。「この場所を通らないよう気を付けなさい。そこにシリア人がやって来ます」。**10** それで、イスラエルの王は真の神に遣わされた人に言われた場所に警告を出した。エリシャがその後も警告したので、そのたびに王はそこから遠ざかった。そうしたことが何度かあった。

11 そのため、シリアの王は激怒し、家来たちを集めて言った。「言え！ われわれの中の誰がイスラエルの王と通じているのか」。**12** 家来の1人が言った。「王よ、そんな人は誰もいませ

6:10 *または、「一度や二度ならず」。

ん! あなたが寝室で話されることをイスラエルの王に告げているのは、イスラエルにいる預言者エリシャです。

13 そこで王は言った。「彼がどこにいるか捜しに行け。見つかったら、兵士たちを送って彼を捕まえる」。やがて、「彼はドタンにいます」という報告があった。14 王は直ちに、馬と戦車と大軍とをそこに送った。軍隊は夜のうちにやって町を取り囲んだ。

15 真の神に遣わされた人の従者が朝早く起きて外に出ると、馬と戦車を持つ軍勢が町を取り囲んでいるのが見えた。すぐに従者は言った。「ああ、エリシャ! どうしましょう」。16 エリシャは言った。「恐れてはいけません! 彼らと共にいる者よりも、私たちと共にいる者の方が多いのです」。17 そして折ってこう言った。「エホバ、どうか彼の目を開いて、見えるようにしてください」。エホバはすぐに従者の目を開いた。従者が見ると、何と山地にはエリシャを取り巻くように火の馬と戦車がいっぱい並んでいた。

18 シリア人が向かってくると、エリシャはエホバに祈って言った。「どうかこの人たちを打って目を見えなくしてください」。すると神は、エリシャの願い通り、彼らを打って目を見えなくした。19 エリシャは彼らに言った。「そっちではありません。その町ではありません。付いてきなさい。あなた方

6:15 *または、「奉仕者」。

第6章

(ア) ダニ 2:22,28

(イ) 創 37:16,17

(ウ) 出 14:13
詩 3:6

(エ) サニ 22:31
代 32:7
詩 18:2
詩 27:3
詩 46:7
詩 55:18
詩 118:11
ロマ 8:31

(イ) 使徒 7:56

(ウ) 詩 34:7
マタ 26:53

(イ) 王二 2:11
詩 68:17
ゼカ 6:1

(イ) 創 19:10,11

第2欄

(イ) 王一 16:29

(イ) 格 25:21
ロマ 12:20

(イ) 王二 5:2

(イ) 申 28:52
王一 20:1

(イ) レビ 26:26
申 28:15,17

(イ) 申 14:3
エゼ 4:14

さが 搜している人の所に案内してあげましょう。エリシャはそう言いつつも、彼らをサマリアに案内した。

20 サマリアに到着すると、エリシャはこう言った。「エホバ、この人たちの目を開いて、見えるようにしてください」。エホバは彼らの目を開いた。彼らが見ると、彼らはサマリアの真ん中にいた。21 イスラエルの王は彼女を見て、エリシャに言った。「エリシャ、彼らを討つべきでしょうか。討つべきでしょうか」。22 エリシャは言った。「討つてはいけません。戦いで捕虜にした人を討つというのですか。パンと水を与えて飲み食いさせ、主人のもとに帰らせなさい」。23 それで王は彼らのために盛大な宴を開き、彼らは飲み食いした。その後、王は彼らを送り出し、主人のもとに帰らせた。シリア人の略奪隊がイスラエルに来ることは二度となかった。

24 その後、シリアの王ベン・ハダドは全軍を集め、出ていってサマリアを包囲した。25 そのためサマリアは深刻な飢餓に見舞われ、包囲が続く中、ついにはロバの頭1つが銀80枚、ハトのふん0.3リットルが銀5枚の価値になった。26 イスラエルの王が城壁の上を通っていた時、ある女性が、「ああ、王よ、お助けください!」と叫んだ。27 王は、「エホバがあなたを助けないのであれば、私はいったいど

6:22 *または、「剣や弓」。

こから助けを持ってこられるのか。脱穀場からか。それとも、ブドウや油の搾り場からか」と言った。28 そして、「どうしたというのか」と尋ねた。彼女は答えた。「この女性から、『あなたの子をよこさない。今日その子を食べてみましょう。あしたは私の子を食べてみましょう』と言われました。29 それで私たちは私の子を煮て食べました。次の日、私は彼女に、『あなたの子をよこさない。その子を食べてみましょう』と言いました。ところが、彼女はその子を隠したのです」。

30 王はその女性の言葉を聞くと、すぐに衣服を引き裂いた。王が城壁の上を通ると、民には、王が服の下に粗布を身に着けているのが見えた。

31 王は言った。「もし今日シャファトの子エリシャの首がはねられずにいるなら、神が私を厳しく罰しますように！」

32 エリシャは自分の家で座り、長老たちも一緒に座っていた。王は使者を遣わし、自分より先に行かせた。エリシャはその使者が到着する前に、長老たちに言った。「皆さんには、あの人殺しの子が私の首をはねて人を遣わしたのが見えますか。気を付けてください。使者が来たらすぐ戸を閉め、入ってこないよう押さえていてください。後から来る王の足音が聞こえますか」。33 エリシャが彼らとまだ話しているうちに、使者がやって来た。

6:30 *または、「肌着として」。

第6章

(例) レビ 26:29
申 28:53-57
エゼ 5:10

(例) 哀 4:10

(例) 創 37:29
王一 21:27

(例) エレ 38:4

(例) 王一 18:13
王一 21:9,10

第2欄

第7章

(例) 申 32:36
王二 7:18

(例) 民 14:11

(例) 民 11:23

(例) 王二 7:17

(例) レビ 13:45,46

(例) 王二 6:25

(例) 申 28:7
サニ 5:24

王も来て、こう言った。「この災いはエホバからのものだ。これ以上どうしてエホバを待っているだろうか」。

7 エリシャは言った。「エホバの言葉は聞きなさい。エホバはこう言っています。『明日の今ごろ、サマリアの門で、上等の麦粉7リットルが銀1枚、大麦14リットルが銀1枚の価値になる』。2 王が信頼する副官が、真の神に遣わされた人に言った。「たとえエホバが天の水門を開いたとしても、そのようなことがあり得るだろうか」。エリシャは言った。「あなたはそうなるのを自分の目で見ますが、食べることはありません」。

3 都市の門の入り口に重い皮膚病を患う人が4人いた。彼らはこう話し合った。「われわれは死ぬまでここに座っているのか。4 『都市に入ろう』と言ったところで、市内では飢餓が生じているので、入っても死ぬことになる。ここに座っていても、どうせ死ぬ。それなら、シリア人の陣営に行こう。彼らがもし生かしておいてくれるなら、生き続けられるし、われわれを殺すなら、死ぬまでのことだ。5 彼らは夕闇の頃に立ち上がり、シリア人の陣営に行った。シリア人の陣営の外れに来ると、そこには誰もいなかった。

6 エホバがシリア人の陣営に戦車と馬の音と大軍の音をとどろかせたため、シリア人は「イスラエルの王が

7:1 *または、「市場」。 #11.4グラム。

われわれを攻めるため、ヘト人の王たちとエジプトの王たちを雇ったのだ！」と口々に言い、7 すぐに立ち上がって夕闇の中、逃げ去ったのである。天幕も馬もロバもお置き去りにし、生き延びようと陣営をそのままにして逃げ去っていた。

8 重い皮膚病の4人は陣営の外れに来て天幕の1つに入り、食べたり飲んだりし、そこから銀や金や衣服を持ち出して隠した。その後、戻ってきて別の天幕に入り、物を持ち出して隠した。

9 やがて4人はこう言った。「これではよくない。今日はいい日なのだから、この知らせを伝えなくては。明け方まで何も言わず黙っていたら、きっと罰が下る。行って、王の家に報告しよう」。10 彼らは行って都市の門番たちに呼び掛け、こう報告した。「シリア人の陣営に行ったのですが、そこには誰もおらず、何の声もしませんでした。馬やロバはつながれたまま、天幕もそのままでした」。11 門番たちはすぐに大声で叫び、そのことが王の家に報告された。

12 王は夜中にすぐ起きて、家来たちに言った。「シリア人がたくらんでいることを教えよう。彼らは私たちが飢えているのを知っている。それで、陣営を出て野原に隠れ、『やつらが都市から出てきたら生け捕りにし、都市に進入しよう』と考えているのだ」。13 家来の1人が言った。「都市に残ってい

第7章

列王二 6:25
王二 6:28, 29

列王二 8:4, 12
裁 20:29, 37

第2欄

列王二 23:19
王二 7:1
イザ 55:10, 11

列王二 7:1, 2

る馬5頭を使って偵察者を送り出すのはどうでしょうか。いずれにしても、結局はここに残っているイスラエルの全群衆と同じ目に遭います。すでに滅んだイスラエルの群衆と同じことになってしまうのです。様子を見に、誰か人を送り出しましょう」。14 そこで馬と2両の兵車が用意され、王は「見てきなさい」と言って、偵察者たちをシリア人の陣営に送り出した。15 彼らはヨルダン川まで跡を追っていった。道の至る所に、シリア人が慌てに逃げなかす。途中で捨てていった衣服や器具が散らばっていた。偵察者たちは戻ってきて、そのことを王に報告した。

16 そこで人々は出ていってシリア人の陣営の物を奪い取ったので、上等の麦粉7リットルが銀1枚、大麦14リットルが銀1枚の価値になった。エホバの言葉の通りだった。17 王が信頼の所である真の神に任せ、副官は、門の所で人々に踏み倒されて死んだ。真の神に遣わされた人が、やって来た王に話した言葉の通りになったのである。18 こうして、真の神に遣わされた人が王に、「明日の今ごろ、サマリアの門で、大麦14リットルが銀1枚、上等の麦粉7リットルが銀1枚の価値になる」と言った通りになった。19 副官は真の神に遣わされた人として、そんなことがあり得るだろうか」と言ったが、エリシャは「あなたは

そうなるのを自分の目で見ますが、食べることはありません」と言っていた。

20 まさにその通りのことが彼に起きた。門の所で人々に踏み倒されて死んだのである。

8 エリシャは、以前に息子を生き返らせてあげた女性に言った。「立って、家の人たちと一緒に、どこか外国人として住める所に移住しなさい。エホバは飢饉を宣言したからです。この国は7年間飢饉に見舞われます」。2 それで彼女は立って、真の神に遣わされた人に言われた通りにした。家の人たちと一緒に出発し、7年間フィリスティア人の領土に住んだ。

3 7年がたつと、彼女はフィリスティア人の領土から帰ってきて、自分の家と畑のことで王に訴えに行った。

4 王はその時、真の神に遣わされた人の従者ゲハジと話していて、「エリシャがした偉大なことをどうか全部話してほしい」と言っていた。5 ゲハジが王に、エリシャが死んだ人生を生き返らせたことをちょうど話していた時、エリシャに息子を生き返らせてもらったその女性が、自分の家と畑のことで王に訴えにやって来た。ゲハジはすぐに言った。「王よ、この人がその女性です。この子が、エリシャが生き返らせた息子です」。6 それで王は彼女に尋ね、彼女は王に出来事を一通り話した。それから王は、彼女のために1人の廷臣を呼んで言った。「この女性の

第8章

(列) 王二 4:32-35

(列) レビ 26:19
申 28:15,23
王一 17:1

(列) ヨシ 13:2,3

(列) 王二 2:14
王二 2:20,21
王二 3:17
王二 4:4,7
王二 6:5-7
王二 7:1

(列) 王二 4:32-35

(列) 民 36:9

第2欄

(列) イザ 7:8

(列) 王一 20:1
王二 6:24

(列) 王一 17:24

(列) 王一 19:15

(列) サ一 9:8
王一 14:2,3

(列) 王二 8:15

(列) 王二 10:32
王二 12:17
王二 13:3
アモ 1:3

ものを全て返し、彼女が国を出た日から今までの畑の収穫物に相当するものを全て返しなさい。

7 エリシャがダマスカスに行った時のこと、シリアの王ベン・ハダドは病氣だった。それで王のもとに、「真の神に遣わされた人が来た」という報告があった。8 王はハザエルに言った。「贈り物を持って、真の神に遣わされた人を迎えに行きなさい。その人を通してエホバに尋ねてほしい。『私のこの病氣は治るでしょうか』と」。9 ハザエルはダマスカスのありとあらゆる良いものを贈り物としてラクダ40頭に載せ、エリシャを迎えに行った。そしてエリシャの前に立て言った。「シリアの王ベン・ハダドに遣わされました。王は、『私のこの病氣は治るでしょうか』と尋ねています」。10 エリシャは答えた。「戻って王に、『あなたは必ず回復する』と言いなさい。しかし、エホバは私に、彼が必ず死ぬことを示しました」。11 そして気まずくさせるほど、ハザエルをじっと見つめた。それから真の神に遣わされた人は泣きだした。12 ハザエルは、「どうして泣いておられるのですか」と尋ねた。エリシャは答えた。「イスラエルの民にあなたがどんな危害を加えるかを知っているからです。あなたは、防備された場所に火を放ち、

8:9 *直訳、「あなたの子、シリアの王ベン・ハダド」。

精鋭を剣で殺し、子供たちを打ち殺し、
妊婦たちを切り裂くでしょう。13 ハ
ザエルは言った。「ただの犬にすぎな
い私にどうしてそんなことができましょ
う。しかしエリシャは、「エホバは私
に、あなたがシリアの王になることを
示しました」と言った。

14 ハザエルはエリシャのもとを去
り、王の所に戻るとこう聞かれた。「エ
リシャはおまえに何と言ったか」。ハザ
エルは答えた。「あなたは必ず回復す
る、と言っていました」。15 しかし次
の日、ハザエルは掛け布を取って水に
浸し、それで王の顔を覆って王を死な
せた。そして代わりにハザエルが王に
なった。

16 イスラエルの王アハブの子エホ
ラムの治世の第5年、エホシャファトが
まだユダの王だった時、エホシャファト
王の子エホラムがユダの王になった。

17 エホラムは32歳で王になり、エル
サレムで8年治めた。18 彼は、アハ
ブ家の人たちのように、イスラエルの
王たちと同じ道を歩んだ。アハブの娘
を妻にしたからだ。エホラムはエ
ホバから見て悪いことを行い続けた。

19 それでもエホバは、神に仕えたダ
ビデのために、ユダを滅亡させること
は望まなかった。ダビデとその子たち
にいつまでも明かりを与えると約束し
ていたからである。

20 エホラムの時代に、エドムがユ

第8章

(例)申 28:63
アモ 1:13
(例)王 19:15
(例)王 8:10
(例)王 16:8, 10
王 11:1
王 15:8, 10
(例)王 19:15
(例)王 1:17
(例)王 22:50
代 21:3, 5
(例)王 16:32, 33
王 21:25
(例)王 12:28-30
(例)王 8:26, 27
代 18:1
(例)代 21:6, 7
(例)代 49:10
サニ 7:16, 17
(例)王 11:36
詩 132:17

第2欄

(例)代 27:40
サニ 8:14
(例)王 22:47
代 21:8-10
(例)ヨシ 21:13
王 19:8
(例)王 2:10
代 21:18-20
(例)代 3:10, 11
代 21:16, 17
代 22:1, 2
(例)王 9:29
(例)王 11:1
王 11:13, 16
(例)王 16:16, 23
(例)王 16:33
(例)王 8:16, 18
代 22:3, 4
(例)ヨシ 21:38
王 22:2, 3
(例)王 19:17
代 22:5
(例)ヨシ 19:17, 18
王 21:1
代 22:6

ダに反抗し、自分たちで王を立てた。

21 それでエホラムは全兵車を率いて
ツァイルに渡った。そして夜襲を掛け、
周囲のエドム人と兵車隊長たちを打
ち破った。兵士たちは自分たちの天
幕に逃げていった。22 しかし、エド
ムは今に至るまでユダに反抗し続け
ている。同じ頃、リブナも反抗した。

23 エホラムについてのほかの記
録、行ったさまざまなことは、ユダの
王の時代の歴史書に記されている。

24 エホラムはやがて死に、「ダビデ
の町」に父祖たちと共に葬られた。代
わりにエホラムの子アハジヤが王に
なった。

25 ユダのエホラム王の子アハジヤ
が王になったのは、イスラエルの王ア
ハブの子エホラムの治世の第12年の
ことだった。26 アハジヤは22歳で
王になり、エルサレムで1年治めた。
彼の母はアタリヤといい、イスラエル
のオムリ王の孫娘だった。27 アハ
ジヤはアハブ家と同じ道を歩み、アハ
ブ家のように、エホバから見て悪いこ
とを行い続けた。アハブ家と姻戚関
係にあったからだった。28 アハジ
ヤはアハブの子エホラムと共にラモ
・ギレアデに行き、シリアのハザエ
ル王と戦った。その際、シリア人はエ
ホラムを負傷させた。29 エホラム
王は傷を治すためエズレルに戻った。
ラマでのシリアのハザエル王との戦い

8:29 *ラモ・ギレアデの短縮形。

8:19 *子孫のこと。

でシリア人に傷を負わされたからだった。アハブの子エホラムが負傷していたため、ユダのエホラムの子アハジヤ王はエズレルに見舞いに行った。

9 預言者エリシャは、預言者の子たちの1人を呼んで言った。「服をまくって腰に留め、急いでこの油の瓶を持ってラモト・ギレアデに行きなさい。**2** そこに着いたら、ニムシの子エホシャファトの子エヒウを探しなさい。彼は仲間たちと一緒にいるので、彼を奥の部屋に連れていきなさい。**3** そして油の瓶を取って彼の頭に油を注ぎ、こう言いなさい。『エホバはこう言っています。「私はあなたを選んでイスラエルの王にする」』。それから、戸を開けてすぐに逃げなさい。

4 それでその預言者の従者はラモト・ギレアデへ出掛けていった。**5** 到着すると、軍隊長たちが座っていた。従者は言った。「隊長、あなたにお伝えすることがあります」。エヒウは言った。「どの隊長にですか」。従者は、「隊長、あなたです」と言った。**6** それでエヒウは立って家に入った。従者はエヒウの頭に油を注いで言った。「イスラエルの神エホバはこう言っています。『私はあなたを選んで、エホバの民イスラエルの王にする。**7** あなたは、あなたが仕えていたアハブの一

8:29 *または、「病気がだった」。**9:3** *直訳、「に油を注いで」。用語集の「油を注ぐ」参照。**9:6, 12** *直訳、「に油を注いで」。

第8章
(列) 王二 9:15

第9章
(列) 王二 8:25, 28

(列) 王一 19:16, 17

(列) 代二 22:7

(列) 王一 19:16

第2欄
(列) 王一 18:4
王一 19:2
王一 21:15, 25
ルカ 18:7

(列) 王一 21:20, 21

(列) 王一 15:28, 29

(列) 王一 16:11, 12

(列) 王一 21:23

(列) 王二 9:3

(列) 王二 9:6

(列) マタ 21:7

(列) サ二 15:10
王一 1:34, 39

家を討たなければならず、私は、私に仕えた預言者たちの血と、イゼベルの手に掛かって死んだエホバに仕えた人たちの血の復讐をする。**8** アハブ家全体は滅びる。私はアハブ家の全ての男を、イスラエルにいる惨めな人を含め、滅ぼす。**9** そしてアハブ家を、ネバトの子ヤラバアムの一かやアヒヤの子バアシャの一家のようにする。**10** イゼベルはエズレルの土地で犬に食い尽くされ、誰にも葬られない』。そう言って、従者は戸を開けて逃げていった。

11 エヒウが王の軍隊の長たちの所に戻ると、長たちは尋ねた。「大丈夫ですか。あの気が狂った男はどうしてあなたの所に来たのですか」。エヒウは答えた。「あの人がどんな人か、どんなことを言うか、あなたたちもよく知っているはずです」。**12** 彼らは言った。「ごまかさなくてください。本当のことを教えてください」。エヒウは言った。「彼はこれこれのことを話しました。それから、『エホバはこう言っています。『私はあなたを選んでイスラエルの王にする』』と言いました。**13** すると彼らは皆、急いで上着を脱いで、それを階段の上にいるエヒウの足の下に敷き、角笛を吹き鳴らして、「エヒウが王となった!」と言った。**14** こうしてニムシの子エホシャ

9:8 *直訳、「壁に向かって放尿する者」。男性を意味するヘブライ語の侮辱表現。

ファトの子エヒウは、エホラムへの謀反を起こした。

エホラムは、イスラエル全体と共に、シリアのハザエル王からの攻撃にたいし、ラモト・ギレアデで防衛に当たっていた。15 エホラム王はその後、シリアのハザエル王との戦いでシリア人に負わされた傷を治すため、エズレルに戻った。

それでエヒウは言った。「あなたたちも賛同しているのなら、誰もこの町から抜け出してエズレルにこのことを報告しに行つてはいけません」。16 それからエヒウは兵車に乗って、エズレルに向かった。負傷したエホラムがそこで寝込んでいたからである。また、ユダのアハジヤ王がエホラムを見舞いにそこに来ていた。17 エズレルの塔の上に立っていた見張りが、エヒウの団を見てすぐに、「一団が見えます」と言った。エホラムは言った。「騎兵を1人選んで、迎えに行かせ、『平穏ですか』と言わせなさい」。18 そこで騎手が迎えに出て、「王が『平穏ですか』と言っています」と言った。しかしエヒウは、「平穏かどうかはあなたには関係のないことだ。私の後ろに付きなさい!」と言った。

見張りは、「使者が彼らの所まで行きましたが、帰ってきません」と報告した。19 それで2人目の騎手が送り出され、騎手は行って、「王が『平穏で

第9章
㉑王一 19:16

㉒王一 19:15
王二 8:15
王二 10:32

㉓王二 8:28

㉔代二 22:6

㉕ヨシ 19:17, 18
王一 21:1

第2欄
㉖王二 8:25
王二 8:29
代二 22:7

㉗王一 21:1, 15

㉘王一 16:31
王一 18:4
王一 19:2
王一 21:7

㉙レビ 20:6
申 18:10
王一 18:19

すか』と言っています」と言った。しかしエヒウは、「平穏かどうかはあなたには関係のないことだ。私の後ろに付きなさい!」と言った。

20 見張りは王に報告した。「使者が彼らの所まで行きましたが、帰ってきません。あの兵車の走らせ方は、二ムシの孫エヒウの兵車の走らせ方のように。気が狂ったように兵車を走らせています」。21 エホラムは言った。「馬をつなげ!」それで彼の戦車に馬がつながれ、イスラエルのエホラム王とユダのアハジヤ王は、それぞれ自分の戦車に乗ってエヒウを迎えに出た。そして、エズレルの人ナボテの土地でエヒウに出会った。

22 エホラムはエヒウを見て、すぐに言った。「エヒウ、平穏ですか」。しかしエヒウは、「あなたの母イゼベルが売春をし、呪術にふけているのに、平穏なわけがあるか!」と言った。

23 すぐにエホラムは兵車の向きを変えて逃げようとし、アハジヤに言った。「アハジヤ、これは謀反だ!」24 エヒウは弓を手にとって、エホラムの背に射た。矢は心臓を貫き、彼は戦車の中で倒れた。25 エヒウは副官ビドカルに言った。「彼を引き上げて、エズレルの人ナボテの畑に投げ捨てなさい。私とあなたが彼の父アハブの後ろで兵車に乗って並走していた時、エホバが彼に次の宣告を下したのを思

い出しなさい。26 『昨日、私は確かにナボテの血とその子たちの血を見た』とエホバは宣言する。『私はまさにこの土地であなたに報復する』とエホバは宣言する。それで今、彼を引き上げて、エホバの言葉の通り、その土地に投げ捨てなさい。

27 ユダのアハジヤ王は起きたことを見て、庭園の家の道を通して逃げた。(その後、エヒウは彼を追跡し、「彼も討て!」と言った。そのためアハジヤは、イブレアムのそばにあるグルへの上り道で、兵車の中で傷を負った。それでもメギドまで逃げ続けたが、そこで死んだ。28 家来たちが彼を兵車に乗せてエルサレムに運び、「ダビデの町」の墓に父祖たちと共に葬った。29 アハジヤがユダの王になったのは、アハブの子エホラムの治世の第11年のことだった。)

30 エヒウがエズレルに来ると、イゼベルはそれを聞き、目に黒い化粧を塗り、髪を結って、窓から見下ろした。31 エヒウが門を通して入ってきた時、彼女は言った。「主人殺しのジムリ様、ご無事ですか」。32 エヒウは窓を見上げて言った。「誰か、私に味方する者はいるか」。すると2、3人の廷臣がエヒウを見下ろした。33 そこでエヒウは「彼女を落とせ!」と言い、廷臣たちは彼女を落とした。彼女の血が壁や馬に飛び散り、エヒウは馬で彼女を

第9章

(列王) 21:29

(列王) 創 4:8,10

詩 9:12

詩 72:14

(列王) 創 9:5

レビ 24:17

(列王) 王 21:24

(列王) 王 21:8:29

代 22:7

(列王) ヨシ 17:11

(列王) サニ 5:7

(列王) 王 21:8:24

代 22:2

(列王) 王 21:1

(列王) 王 16:31

王 21:25

(列王) 王 16:15-19

(列王) 出 32:26

詩 94:16

第2欄

(列王) 王 16:31

(列王) 王 21:9:10

(列王) イザ 55:10,11

(列王) 王 21:23

第10章

(列王) 王 16:29

(列王) 王 21:8

(列王) 王 21:9:24,27

踏みつけた。34 その後、エヒウは中に入って食べたり飲んだりした。それから言った。「あの処罰された女性を片付けて、葬りなさい。彼女は王の娘だからです。35 命じられた人たちが彼女を葬りに行ってみると、頭蓋骨と両足と両手以外、何も見つからなかった。36 彼らが戻ってきて報告すると、エヒウは言った。「エホバが、奉仕者であるティシュベの人エリヤを通して語った言葉の通りになりました。『エズレルの土地で、イゼベルの肉は犬に食われる。37 イゼベルの死体はエズレルの土地の畑にまかれた肥やしのようになり、誰も「これがイゼベルだ」とは言えなくなる』。

10 アハブにはサマリアに70人の子たちがいた。エヒウは次のような手紙を書いて、サマリアにいるエズレルの高官たち、長老たち、アハブの子の世話係たちに送った。2 「あなた方には、自分たちの主人の子たちがおり、戦車、馬、防備された都市、武器がある。この手紙が届いたら、3 主人の子たちの中から最も優れた適任の人を選んで、父親の王座につかせなさい。そして、あなた方の主人の一家のために戦うがよい」。

4 しかし彼らは恐怖に襲われ、「2人の王が彼に立ち向かえなかったのに、どうしてこのわれわれが立ち向かえるだろうか」と言った。5 それで、宮殿の長と都市の長と長老たちと

世^せわがかり
 話^わ係^{けい}たちは、エヒウにこう伝^{つた}えた。
 「私^{わたし}どもの主^{しゅ}人はあな^{なん}たです。あな^{なん}た
 がおっしやることは何^{なん}でもいたします。
 誰^{だれ}も主^{しゅ}人にはいたしません。良^よいと思^{おも}う
 通^{とお}りになさってください」。

6 そこでエヒウは次^{つぎ}のような2通^{つう}目^め
 の手紙^{てがみ}を書^かいた。「もしあな^{なん}た方^{がた}
 の私^{わたし}の側^{がわ}に付^つき、私^{わたし}に従^{したが}うつもりなら、
 明^{あす}日^いの今^{いま}ごろ、あな^{なん}た方^{がた}の主^{しゅ}人^{にん}の子^こた
 ちの首^{くび}をエズレ^{わたり}ルの私^{わたし}のもとに持^もって
 きなさい」。

王^{おう}の子^こたち70人^{にん}はとい^{よう}くがかり
 王^{おう}の子^こたち70人^{にん}はとい^{よう}くがかり
 をして^しいた都^と市^{しゅう}の有力^{りよく}者^{しゃ}たちと一^{いっ}緒^{しょ}
 にいた。7 その時^{とき}、手紙^{てがみ}が届^{とど}き、彼^{かれ}
 らはす^おぐに王^{おう}の子^こたち70人^{にん}をつかま^{つか}え
 て殺^{ころ}し、その首^{くび}を籠^{かご}に入^いれてエズレ^{わたり}ル
 のエヒウのもとに送^{おく}った。8 使^し者^{しや}が
 エヒウのもとに來^きて言^{いわ}った。「彼^{かれ}ら^が
 王^{おう}の子^こたち^の首^{くび}を^も持^もってき^きました」。
 エヒウは言^いった。「それ^とを都^と市^{しゅう}の門^{もん}の
 入^いり口^{ぐち}に2つ^{やま}の山^{あさ}にし、朝^{あさ}まで置^おいて

おきなさい。9 朝^{あさ}になるとエヒウは
 出^でてい^たみ、民^みの皆^{みな}の前^{まえ}に立^たって言^いった。
 「皆^{みな}さんは無^む実^{じつ}です。私^{わたし}は主^{しゅ}人^{にん}に謀^も反^{はん}
 を起^{おこ}し、主^{しゅ}人^{にん}を殺^{ころ}しまし^た。で^すが、
 これ^{ひと}らの人^{ひと}たち皆^{みな}を殺^{ころ}したの^{だれ}は誰^{だれ}
 しょうか。10 覚^{おぼ}えておきなさい。エ
 ホバがアハブ家^けに告^つげたエホバの言^{こと}
 葉^はは、そ^{ひと}の言^{こと}さ^{こと}えも実^{じつ}現^{げん}せ^ずに終^おわ
 ること^はありま^{せん}。エホバは奉^{ほう}仕^し者^{しや}
 エリヤを^{とお}通^{かた}して語^{おこな}ったこと^はを行^いったの
 です。11 エヒウはさら^にに、エズレ^{わたり}ル

10:9 *または、「正しい」。

第10章

(例) 王 21:21

(例) 王 9:14,24

(例) サ 15:29

イザ 14:27

(例) 王 21:19-24

王 9:7,36

第2欄

(例) 王 18:19

王 23:19,20

(例) 王 21:21

(例) 王 8:29

王 9:21,27

代 22:1

(例) 代 22:8

(例) 代 25:55

(例) エレ 35:6,19

(例) 民 25:11

王 19:10

に^けいるアハブ家^{のこ}の残^{ひと}っている人^{ひと}たち、
 有^{りよく}力^{りよく}者^{しゃ}たち、知^ち人^{じん}や祭^{さい}司^したち^{ぜんいん}を討^う
 ち、誰^{だれ}一^{ひとり}人^{ひと}残^{のこ}さなかつ^たた。

12 それからエヒウは立^たってサマ^りリ
 アに出^で掛^かけてい^いった。途^{とちゅう}中^{ちゅう}に、羊^{ひつじ}を縛^{しば}
 る家^{いえ}があ^いった。13 エヒウはそ^こで、
 ユダのアハジヤ王^{おう}の兄^あ弟^{でい}たちに出^で
 会^あった。エヒウが「あな^{なん}た方^{がた}は誰^{だれ}です
 か」と言^いうと、彼^{かれ}ら^は「アハジヤの兄^あ弟^{でい}
 です。王^{おう}の子^こたちと太^{たい}后^{こう}の子^こたち^ぶが無^な
 事^じかど^たうか^いを尋^{たず}ね^いに行^いくところ^でです」と
 言^いった。14 直^{ただ}ちにエヒウは言^いった。
 「この人^{ひと}たちを生^いけ捕^とりにしなさい!」
 彼^{かれ}ら^はは生^いけ捕^とりにさ^れ、羊^{ひつじ}を縛^{しば}る家^{いえ}の
 水^{みづ}た^めのそ^こばで42人^{にん}が殺^{ころ}され^たた。エ
 ヒウは誰^{だれ}一^{ひとり}人^{ひと}残^{のこ}さなかつ^たた。

15 エヒウがそ^こから進^{すす}んでい^いくと、
 迎^{むか}えに來^きたレカ^いブの子^こエホナ^いダ^いブに
 出^で会^あった。エヒウはあ^いさ^いつし、こ^う
 う言^いった。「私^{わたし}があなたに心^{こころ}から誠^{せい}実^{じつ}
 あるよ^うに、あな^{なん}たも私^{わたし}に心^{こころ}から誠^{せい}実^{じつ}
 ですか」。

エホナダブは、「はい」と答^{こた}えた。
 エヒウは言^いった。「では、手^てを差^さし出^だ
 してくだ^さい」。

そ^こで彼^{かれ}が手^てを差^さし出^だすと、エヒウ
 は彼^{かれ}を自^じ分^{ぶん}の兵^{へい}車^{しや}に^の乗^こり込^こませ^たた。

16 エヒウは言^いった。「私^{わたし}と一^{いっ}緒^{しょ}に來^き
 て、私^{わたし}がエホバに対^{たい}抗^{かう}するもの^{いっさい}を一切^{いっさい}
 認^みめ^ない^のを見^みなさい」。こ^うしてエ

10:12 *毛^けを刈^{かり}るために羊^{ひつじ}を縛^{しば}る場所^{ばしょ}と思^{おも}われ
 る。10:13 *または、「貴^き婦^ふ人^{にん}」。10:15 *ま
 たは、「祝^{しゅく}福^{ふく}を願^{ねが}い求^{もと}め」。10:16 *または、「エ
 ホバのために熱^{ねつ}心^{しん}である」。

ホナダブはエヒウの戦車に乗った。

17 その後サマリアに着くと、エヒウは、サマリアにいるアハブ家の残っている人全員を討ち、エホバがエリヤに語った言葉の通り、滅ぼし尽くした。

18 そしてエヒウは民の皆を集めて言った。「アハブはそれなりにバアルを崇拜しましたが、私エヒウはもっと大々的にバアルを崇拜します。

19 それで、バアルの預言者と崇拜者と祭司の全員を私の所に呼び集めてください。バアルのために盛大な犠牲を用意しているので、誰一人欠けないようにしてください。来ない人は生きてはもらえません」。エヒウは、バアル崇拜者たちを滅ぼすために策を巡らしていたのである。

20 エヒウはさらに、「バアルのための特別な集まりを広く知らせなさい」と言った。それで人々は広く伝えた。21 エヒウがイスラエル中に知らせを広めた後、バアル崇拜者たちが皆やって来た。来なかった人は一人もいなかった。彼らはバアルの家に入り、中は隅から隅まで人でいっぱいになった。22 エヒウは衣装部屋係に、「バアル崇拜者たち皆のために衣装を出してください」と言った。それで係は衣装を出してきた。23 エヒウはレカブの子エホナダブと共にバアルの家に入り、バアル崇拜者たち

10:21 *または、「神殿」。

第10章

(イ) 王二 21:20,21
王二 9:26

(イ) 王二 9:8
代二 22:7

(イ) 王二 16:32,33
王二 18:22

(四) 王二 3:13

(イ) 王二 10:11

(イ) 王二 16:30,32

(イ) 王二 10:15
エレ 35:6,19

第2欄

(イ) 出 32:26,27
申 13:6-9
エゼ 9:5

(イ) レビ 26:1

(イ) 申 7:25

(イ) レビ 26:30
申 7:5

(イ) 王二 16:30,32

(イ) 王二 12:28-30
王二 13:33
ホセ 8:6

(イ) 王二 21:21

(イ) 王二 13:1,10
王二 14:23
王二 15:8,12

に言った。「よく確認して、ここにエホバの崇拜者がいないようにしてください。バアルの崇拜者だけにしてください」。24 彼らは犠牲と全焼の捧げ物を捧げるために進み出た。エヒウは部下80人を外に配置し、「誰かを逃がした人はその代わりに死ぬことになる」と言っておいた。

25 全焼の捧げ物が捧げられた後、エヒウは直ちに護衛と副官たちに言った。「入って、彼らを討て! 一人も逃がすな!」護衛と副官たちは剣で彼らを討て外に投げ出し、バアルの家の奥の聖所まで進んでいった。26 それから彼らはバアルの家の聖柱を壊し、バアルの家を取り壊して便所にした。今もそのままになっている。

28 こうして、エヒウはイスラエルからバアルを根絶した。29 しかしエヒウは、ネバトの子ヤラベアムがイスラエルに犯させた罪から離れなかった。ベテルとダンにあった金の子牛をそのままにした。30 エホバはエヒウに言った。「あなたはよくやってきた。アハブ家に対して行おうと私が思っていたことを全て実行し、私から見て正しいことを行ってきた。それで、あなたの子孫は4代にわたりイスラエルの王座につく」。31 ところがエヒウは、心を

10:25 *直訳、「走者」。#直訳、「町」。要塞のようになっていたのかも知れない。

つくしてイスラエルの神エホバの律法の通りに歩もうとする努力をしなかった。ヤラベアムがイスラエルに犯させた罪から離れなかった。

32 その頃、エホバはイスラエルの領土を少しずつ減らし始めた。ハザエルがイスラエルの領土の至る所を攻め続けた。**33** ヨルダン川から東に広がるギレアデの全域(ガド族とルベン族とマナセ族の領地)、アルノンの谷のそばのアロエルからギレアデとバシャンまでを攻めたのである。

34 エヒウについてのほかの記録、行ったさまざまなことや数々の功績は、イスラエルの王の時代の歴史書に記されている。**35** エヒウはやがて死に、サマリアに葬られた。代わりにエヒウの子エホアハズが王になった。

36 エヒウがサマリアでイスラエルを治めた期間は28年だった。

11 アハジヤの母アタリヤは自分の子が死んだのを知り、王家の子孫を皆滅ぼそうと立ち上がった。

2 しかし、アハジヤの姉妹である、エホラム王の娘エホシェバは、殺されようとしていた王の子たちの中から、アハジヤの子エホアシュを抱いてひそかに連れ出し、その子と乳母を奥の寝室に入れた。エホアシュはアタリヤに殺されないようかくまわれた。**3** エホアシュは乳母と共にエホバの家に6年

10:33 *または、「ワジ」。**11:3** *もしかすると、「エホシェバ」。

第10章

(列王) 10:12
ホセ 1:4

(列王) 12:28-30
王 13:34
王 14:16

(列王) 19:17
王 8:12
王 13:22

(列王) 32:33
ヨシ 22:9

(列王) 3:13-16
申 28:63
ヨシ 13:8-12

(列王) 王 13:1

第11章

(列王) 王 8:26
王 11:20
代 21:5,6
代 24:7

(列王) 王 9:27

(列王) 代 21:4
代 22:10-12

(列王) 王 12:1

第2欄

(列王) 王 14:27

(列王) 代 23:1-3

(列王) 王 7:1
代 23:4-7

(列王) 王 11:4

(列王) 代 23:8-11

(列王) 王 14:27

(列王) 王 8:22
代 4:1

かく隠れていた。その間、アタリヤが国を治めていた。

4 7年目に、エホヤダは人を遣わして、王室護衛官と宮殿護衛との百人長たちを呼び、エホバの家の自分のもとに連れてこさせた。エホヤダは彼らと合意を結び、エホバの家で誓わせてから、王の子を見せた。**5** そしてこう命じた。「皆さんにしろうことを言います。次の安息日の当番になっている人たちのうち3分の1は王の家を厳重に見張り、6 3分の1は『土台の門』に、3分の1は宮殿護衛の後ろの門にるようにしてください。交代で家を厳重に見張ってください。**7** その安息日に本来は非番の2つの組は、王を守るためにエホバの家を厳重に見張ってください。**8** それぞれ武器を持って、王の周りを固めてください。その隊列の内側に入る人がいたら、殺さなければなりません。王がどこに行く時でも、そばにいてください」。

9 百人長たちは祭司エホヤダに命じられた通りにした。各長が、その安息日の当番になっている部下たちに加え、非番の部下たちも連れて、祭司エホヤダの所に来た。**10** 祭司は、エホバの家にあったダビデ王のやりとまるで、ひやくにんちょうをわたした。ひやくにんちょうを百人長たちに渡した。**11** 宮殿護衛はそれぞれ武器を持ち、家の右側から左側まで、祭壇や家のそば

11:4 *直訳、「カリ人」。^a直訳、「走者」。^aまたは、「契約」。**11:5** *または、「宮殿」。

で、王を囲むように位置に就いた。

12 そこでエホヤダは王の子を連れ出し、王冠をかぶせ、律法の書を渡した。人々はその子を王とし、油を注いだ。そして手をたたいて、「王が栄えますように!」と言いだした。

13 アタリヤは民が走っている音を聞くと、すぐにエホバの家にいる民のところに行った。**14** 彼女は、王が慣例通り柱のそばに立っているのを見た。王の近くには長たちやラッパ奏者たちがいて、民は皆喜び、ラッパを吹き鳴らしていた。アタリヤは衣服を引き裂き、「謀反! 謀反だわ!」と叫んだ。

15 祭司エホヤダは、軍勢をまとめる百人長たちにこう命じた。「彼女を隊列の中から連れ出しなさい。彼女に付いてくる人がいれば、剣で処刑しなさい!」祭司は前もって、「彼女をエホバの家で殺してはなりません」と言っていた。**16** それで彼らはアタリヤを取り押さえた。彼女は王の家の馬の入り口まで連れてこられ、そこで殺された。

17 エホヤダはエホバと王と民の間の契約を成立させた。彼らが引き続きエホバの民になるという契約である。また、エホヤダは王と民の間の契約も成立させた。**18** その後、民は皆バアルの家に行って祭壇を破壊

11:12 *直訳、「証し」。「律法を守ることを忘れないよう、律法の書が王の頭の上に置かれたのかもしれない」。「用語集の「油を注ぐ」参照。**11:16, 19** *または、「神殿」。**11:18** *または、「神殿」。

第11章

列王二 11:2

列王二 25:21
出 31:18

列王二 1:39, 40

列王二 23:12-15

列王二 23:3

列王二 5:12

列王二 11:4
代二 23:9

列王二 7:1

列王二 10:25
サニ 5:3

列王二 23:16, 17

第2欄

列王二 12:3

列王二 7:25

列王二 13:5

列王二 23:18-21

列王二 11:4, 15

列王二 14:27

列王二 7:8, 16

列王二 11:2

列王二 24:1

第12章

列王二 19:16
王二 10:30列王二 11:2
代一 3:10, 11

列王二 24:1, 2

列王二 33:52

列王二 31:12

列王二 30:13
代二 24:9列王二 25:2
出 35:21

し、像を完全に打ち砕き、バアルの祭司マタンを祭壇の前で殺した。

それから祭司エホヤダはエホバの家に監督たちを任命した。**19** さらに、百人長と王室護衛官と宮殿護衛と民の皆を率いて、エホバの家から出ていく王に付き添った。彼らは宮殿護衛の門の道を通して王の家に着き、王は王座に座った。**20** 民は皆喜び、都市は平穏だった。アタリヤが王の家で剣で殺されたからである。

21 エホアシュが王になったのは7歳の時だった。

12 エヒウの治世の第7年に、エホアシュは王になり、エルサレムで40年治めた。彼の母はツィブヤといい、ベエル・シェバの人だった。

2 エホアシュは祭司エホヤダに教えられていた間ずっと、エホバから見えていた正しいことを行い続けた。**3** しかし高い場所は取り除かれなかった。民は依然として高い場所で犠牲を捧げたり、犠牲の煙を立ち上げたりしていた。

4 エホアシュは祭司たちに言った。「聖なる捧げ物のためにエホバの家に持ってこられる全てのお金、各人に課せられたお金、人の評価額として納められるお金、エホバの家に持つていくと各人が心に決めた全てのお金を受け取りなさい。**5** 持つてくる人から祭司たちが直接受け取って、家に

12:5 *または、「知人」。「神殿のこと」。

み 見つけた破損箇所はそんかしょの修理しゅうりに使いな
さい。

6 ところが、エホアシュ王おう ちせいの治世ちせいの
第23年だい ねんになっても、祭司さいしたちはその家
の破損箇所はそんかしょをまだ修理しゅうりしていなかっ
た。7 それでエホアシュ王おう ちせいは祭司エ
ホヤダえいと他の祭司たちを呼んで言っ
た。「なぜ家の破損を修理しないので
いるのですか。家の修理に使わないので
あれば、もうお金を受け取ってはなり
ません」。8 祭司たちはもう民から
お金を受け取らないことと家の修理の
責任を担わないことに同意した。

9 祭司エホヤダは1つの箱を取って
ふたに穴を開け、エホバの家に入って
右側、祭壇の近くにそれを置いた。戸
口番として仕える祭司たちは、エホバ
の家に持ってこられるお金をすべて
に入れた。10 箱の中にお金がたくさん
入っているのが分かったと、そのた
びに王の秘書官と大祭司がやって来
て、エホバの家に持ってこられたお金
を集めて数えた。11 彼らは数えた
お金を、エホバの家での工事をまとめ
る人たちに渡した。受け取った人た
ちは、エホバの家で働く大工や建築作
業者ぎやうしゃにそれを払い、12 石工や石切
り工にも払った。また、エホバの家の
破損の修理のために木材や切り石を
買い、家の修理で生じた他の費用全て
のためにお金を使った。

12:5 *または、「亀裂」。12:10 *または、「袋
に入れて」。直訳、「束ねて」。

第12章

列王二 24:7

列王二 24:5

列王二 11:4

代二 23:1

代二 24:15

列王二 24:6

列王二 24:8

マル 12:41

ルカ 21:1

列王二 24:10

列王二 24:11

列王二 22:4-6

代二 24:12

第2欄

列王二 10:2

代二 5:12

列王二 24:14

列王二 22:7

列王二 5:15

列王二 7:7

民 18:8

列王二 19:15

王二 8:13

王二 10:32

列王二 18:1

列王二 24:23

列王二 15:18

王二 16:8

王二 18:15

列王二 24:25,26

代二 25:27

列王二 5:9

王二 9:15,24

代二 32:5

13 しかし、エホバの家に持ってこ
られたお金は、エホバの家の銀の
水盤すいばん、明かり消しあ け、鉢はち、ラッパ、金や
銀の器物ぎん ぶつの製作せいさくには使われなかつ
た。14 お金は工事をする人たちに
けに渡され、その人たちはそのお金で
エホバの家を修理した。15 労働者
に支払うようお金を渡された人たちは
信頼しんらいされていたので、会計報告を求め
られることはなかった。16 有罪の
捧げ物としてのお金と罪の捧げ物とし
てのお金は、エホバの家の修理には
充てられなかった。それは祭司たちの
ものだった。

17 その頃ころ、シリアの王ハザエルが
やって来てガトを攻め、攻略した。そ
の後ハザエルはエルサレムを攻撃す
ることにした。18 そこで、ユダのエ
ホアシュ王は、父祖であるユダの王エ
ホシャファトとエホラムとアハジヤが
神聖なものとした聖なる捧げ物全て、
また自分の聖なる捧げ物、エホバの
家と王の家の宝物庫にあった全ての
金を取り出し、シリアの王ハザエルに
送った。それでハザエルはエルサレム
から退いた。

19 エホアシュについてのほかの記
録、行ったさまざまなことは、ユダの
王の時代の歴史書に記されている。

20 エホアシュの家来たちは共謀して
謀反を起こし、シラに行く道にある塚

12:17 *直訳、「に攻め上るため顔を向けた」。
12:18 *または、「宮殿」。

の家でエホアシュを殺した。21 彼を殺害した家来は、シムアトの子ヨザカルとショメルの子エホザバだった。エホアシュは「ダビデの町」に父祖たちと共に葬られた。代わりにエホアシュの子アマジヤが王になった。

13 ユダの王アハジヤの子エホアシュの治世の第23年、イスラエルではエヒウの子エホアハズがサマリアで王になった。彼は17年治めた。2 エホアハズはエホバから見て悪いことを行い続け、ネバトの子ヤラベアムがイスラエルに犯させたのと同じ罪を犯すのをやめず、その罪から離れなかった。3 それで、エホバはイスラエルに対して激しく怒り、イスラエルがシリアのハザエル王とハザエルの子ベン・ハダドにずっと抑圧されるようにした。

4 やがてエホアハズはエホバに恵みを求めた。エホバは、シリアの王がイスラエルに加えてきた圧迫を見ていたので、その願いを聞き入れた。

5 エホバは、シリアの圧制から解放する救い主をイスラエルに与え、イスラエル人は以前のように平和に生活できるようになった。6 (しかし彼らは、イスラエルに罪を犯させたヤラベアム家の罪から離れず、その罪を犯し続けた。聖木がサマリアにずっと立っていた。) 7 エホアハズの下には騎手50

12:20 *または、「ベト・ミロ」。13:6 *用語集参照。

第12章

(列王二 14:1,5)

(列王二 24:27)

第13章

(列王二 8:26
王二 9:27)

(列王二 11:2,21)

(列王二 10:30,35)

(列王二 12:28-

30

王二 13:33

王二 14:16

(列王二 26:14,17
王二 12:29)

(列王二 19:17

王二 8:12)

(列王二 13:24)

(列王二 出 3:7

王二 10:16

王二 14:26,27)

(列王二 王二 9:27)

(列王二 王二 10:29

王二 17:21)

(列王二 申 7:5

王二 14:15

王二 16:33)

第2欄

(列王二 王二 8:12

王二 10:32)

(列王二 アモ 1:3)

(列王二 王二 10:35

(列王二 王二 14:1

(列王二 王二 10:29

(列王二 王二 14:8,13

(列王二 王二 14:28

(列王二 王二 10:35

王二 13:9)

(列王二 王二 19:16

(列王二 王二 2:11,12)

人、兵車10両、歩兵1万人しか残っていなかった。そのほかはシリアの王に滅ぼされ、脱殻の時のもみ殻のようにされたからである。

8 エホアハズについてのほかの記録、行ったさまざまなことや功績は、イスラエルの王の時代の歴史書に記されている。9 エホアハズはやがて死に、サマリアに葬られた。代わりにエホアハズの子エホアシュが王になった。

10 エホアハズの子エホアシュがサマリアでイスラエルの王になったのは、ユダのエホアシュ王の治世の第37年のことだった。エホアシュは16年治めた。11 彼はエホバから見て悪いことを行い続けた。ネバトの子ヤラベアムがイスラエルに犯させた罪から全く離れず、その罪を犯し続けた。

12 エホアシュについてのほかの記録、行ったさまざまなことや功績、ユダのアマジヤ王との戦いのことは、イスラエルの王の時代の歴史書に記されている。13 エホアシュはやがて死に、ヤラベアムが王座についた。エホアシュはイスラエルの王たちと共にサマリアに葬られた。

14 さて、エリシャは病気を患い、死が近づいていた。イスラエルの王エホアシュがエリシャの所に来て、泣いてすがり付き、「父よ、父よ! イスラエルの兵車と騎手たち!」と言った。

13:13 *ヤラベアム2世のこと。

15 するとエリシャは王に、「弓と矢を持ってきた。」¹⁶ エリシャはイスラエルの王に、「弓を手になさい」と言った。それで王が弓を手にすると、エリシャは自分の手を王の手の上に載せた。¹⁷ それからエリシャは「東側の窓を開けなさい」と言い、王は窓を開けた。エリシャは言った。「矢を射なさい!」それで王は矢を射た。エリシャは言った。「エホバの勝利の矢、シリアに対する勝利の矢! あなたはアフエクでシリアを全滅させるまで討つ」。

18 エリシャは「矢を取りなさい」と言い、王は矢を取った。エリシャはイスラエルの王に、「地面を打ちなさい」と言った。それで王は地面を3回打ち、やめた。¹⁹ すると真の神に遣わされた人は憤慨して王に言った。「5, 6回打つべきでした! そうしていたら、あなたはシリアを全滅させるまで討ったでしょう。ですが今となっては、あなたは3回しかシリアを討ちません」。

20 その後、エリシャは死に、葬られた。それから毎年、年の初めに、モアブ人の略奪隊が国に入ってくるようになった。²¹ ある日、人々が人を葬ろうとしていると略奪隊が見えた。それで彼らはすぐにその人をエリシャの墓に投げ入れて、走り去った。その人の

13:17 *または、「救出」。^{*}または、「打ち破る」。
13:20 *春のことと思われる。

第13章

(ア) サー 29:1
王一 20:26

(イ) 王二 13:25

(ウ) 王二 1:1
王二 24:2

第2欄

(ア) ヨハ 11:44
ヘブ 11:35

(イ) 王一 19:15

(ウ) 王二 8:12
王二 10:32

(ウ) 創 13:14-16

(ウ) 創 26:3

(ウ) 創 28:13
詩 105:8
ミカ 7:20

(ウ) 王二 14:26,27

(ウ) 王二 13:19

第14章

(ウ) 王二 13:10

(ウ) 代二 25:1-4

(ウ) 王一 15:5

(ウ) 代二 24:2

(ウ) 王一 15:14

(ウ) 王二 12:1,3

からだ¹がエリシャの骨に触れると、その人は生き返り、自分の足で立ち上がった。

22 シリアのハザエル王は、エホアハズの時代中ずっとイスラエルを圧迫した。²³ けれども、エホバはアブラハム、イサク、ヤコブとの契約のゆえに、彼らに情けを掛け、憐れんで、氣遣いを示した。彼らを滅びに至らせることを望まず、今まで捨て去ることはなかった。²⁴ シリアのハザエル王が死ぬと、代わりにハザエルの子ベン・ハダドが王になった。²⁵ エホアハズの子エホアシュは、父親が戦いでハザエルに奪われた町々を、ハザエルの子ベン・ハダドから取り返した。エホアシュは3回ベン・ハダドを打ち破り、イスラエルの町々を取り戻した。

14 イスラエルの王エホアハズの子エホアシュの治世の第2年、ユダではエホアシュ王の子アマジヤが王になった。² アマジヤは25歳で王になり、エルサレムで29年治めた。彼の母はエホアディンといい、エルサレムの人だった。³ アマジヤは、父祖ダビデのようではなかったものの、エホバから見て正しいことを行い続けた。父エホアシュが行ったことを全て行なった。⁴ しかし高い場所とは取り除かれなかった。民は依然として高い場所で犠牲を捧げたり、犠牲の煙を立ち上らせたりしていた。⁵ アマジヤは王国を権力下に置くことずぐに、王だった父親を殺害した家来たち

を処刑した。6 とはいえ、その殺害者たちの子は殺さなかった。モーセの律法の書に記されている次のエホバのおきての通りにしたのである。父親は子供のゆえに死刑にされるべきではなく、子供も父親のゆえに死刑にされるべきではない。人はそれぞれ自分の罪のゆえに死刑にされるべきである。7 アマジヤは塩の谷でエドム人1万人を討ち、戦いでセラを攻め取った。その場所の名前はヨクテエルになり、今に至っている。

8 その後、アマジヤはイスラエルの王エヒウの子エホアハズの子エホアシュに使者たちを送って、「来い。戦いを交えようではないか」と伝えた。

9 イスラエルのエホアシュ王は人を遣わして、ユダのアマジヤ王にこう伝えた。「レバノンのとげ草がレバノンの杉に、娘さんを息子の妻として下さい」と伝えた。しかしレバノンの野獣が通り掛かってとげ草を踏みつけた。10 あなたはエドムを討ったので、思い上がったのだ。栄光に浸るがいい。だが、自分の家にいなさい。どうして災難を招いて、ユダと共に倒れるようなことをするのか。11 しかしアマジヤは聞き入れなかった。

それでイスラエルのエホアシュ王はやって来た。エホアシュ王とユダのアマジヤ王は、ユダのベト・シェメシュで

14:8 *または、「顔を合わせ」。14:10, 14 *または、「宮殿」。

第14章

(列) 王二 12:20
代二 24:25

(イ) 申 24:16

(列) サ二 8:13
代一 18:12

(王) 王二 8:20

(列) 代二 25:11, 12

(列) 代二 25:17-19

(列) 王二 14:7

(列) 代二 25:15, 16

(列) 代二 25:20-24

(列) ヨシ 15:10, 12
ヨシ 21:8, 16

第2欄

(列) ネへ 8:16
ネへ 12:38, 39

(イ) エレ 31:38
ゼカ 14:10

(列) 王二 10:35
王二 13:9

(列) ホセ 1:1
アモ 1:1
アモ 7:10

(列) 王二 14:1

(列) 王二 13:10

(列) 代二 25:25-28

(列) 王二 12:20

戦いを交えた。12 ユダはイスラエルに打ち破られ、それぞれ自分の家に逃げ帰った。13 イスラエルのエホアシュ王は、アハジヤの子エホアシュの子であるユダのアマジヤ王をベト・シェメシュで捕まえてエルサレムに行った。エホアシュは、エルサレムの城壁を「エフライムの門」から「隅の門」まで180メートルにわたって破壊した。14 そしてエホバの家と王の家の宝物庫にあった金銀や器物類全てを奪い、人質を取り、サマリアに帰った。

15 エホアシュについてのほかの記録、行ったことや功績、ユダのアマジヤ王との戦いのことは、イスラエルの王の時代の歴史書に記されている。

16 エホアシュはやがて死に、イスラエルの王たちと共にサマリアに葬られた。代わりにエホアシュの子ヤラバアムが王になった。

17 ユダの王エホアシュの子アマジヤは、イスラエルの王エホアハズの子エホアシュの死後、15年生きた。

18 アマジヤについてのほかの記録は、ユダの王の時代の歴史書に記されている。19 やがてエルサレムでアマジヤへの謀反が企てられた。アマジヤはラキシに逃げたが、ラキシに送られた追っ手たちにより殺された。20 遺体は馬で運んでこられ、エルサレムで父祖たちと共に「ダビデ

14:16 *ヤラバアム2世のこと。

の町」に葬られた。21 ユダの民は皆、16歳だったアザリヤを選び、父アマジャの代わりに王にした。22 アマジャ王が死んだ後、アザリヤはエルトを再建してユダに取り戻した。

23 ユダの王エホアシュの子アマジャの治世の第15年、イスラエルではエホアシュ王の子ヤラバムがサマリアで王になった。彼は41年治めた。

24 ヤラバムはエホバから見て悪いことを行い続け、ネバトの子ヤラバムがイスラエルに犯させた罪から全く離れなかった。25 イスラエルの神エホバが、ガト・ヘフェルの人で神に仕える預言者、アミタイの子ヨナを通して語った言葉の通り、ヤラバムはイスラエルの領土を回復し、国境をレボ・ハマトからアラバの海までにした。

26 エホバは、イスラエルの非常にひどい苦悩を見ていたのである。イスラエルを助ける人は一人もおらず、惨めな人さえも残っていないほどだった。

27 こうしてエホバは、イスラエルの名を天の下から消し去らないと約束していたので、エホアシュの子ヤラバムの手によって民を救った。

28 ヤラバムについてのほかの記録、行ったさまざまなことや功績、どのように戦い、どのようにしてダマスкасとハマトをイスラエルのユダに取り戻

14:21; 15:1 *意味、「エホバは助けた」。王二15:13; 代二26:1-23, イザ6:1, ゼカ14:5ではウジヤと呼ばれている。14:25 *または、「ハマトの入り口」。「塩の海つまり死海のこと。

第14章

(イ) 王二 2:10
(イ) 王二 15:1, 2
(イ) マタ 1:8
(イ) 代二 26:1
(イ) 申 2:8
王二 9:26
王二 16:6
(イ) 代二 26:2
(イ) ホセ 1:1
アモ 1:1
(イ) 王二 12:28-30
王二 13:34
詩 106:20
(イ) ヨシ 19:10, 13
(イ) ヨナ 1:1
マタ 12:39
(イ) 民 13:21
民 34:2, 7, 8
(イ) 申 3:16, 17
(イ) 出 3:7
裁 10:16
詩 106:43, 44
(イ) エレ 31:20
(イ) 王二 13:4, 5
(イ) サニ 8:6
(イ) 代二 8:3

第2欄

(イ) 王二 15:8

第15章

(イ) 王二 14:1
(イ) 王二 14:21
(イ) 代二 26:1, 3
(イ) 代二 26:4, 5
(イ) 民 33:52
(イ) 申 12:13, 14
王二 22:41, 43
王二 14:1, 4
(イ) 民 12:10
王二 5:27
(イ) レビ 13:45, 46
(イ) 王二 15:32
(イ) 代二 26:16-21
(イ) 代二 26:22, 23
(イ) イザ 6:1
(イ) 王二 14:21
(イ) 王二 14:29

したかは、イスラエルの王の時代の歴史書に記されている。29 ヤラバムはやがて死に、イスラエルの王たちと共に葬られた。代わりにヤラバムの子ゼカリヤが王になった。

15 イスラエルのヤラバム王の治世の第27年、ユダではアマジャ王の子アザリヤが王になった。

2 アザリヤは16歳で王になり、エルサレムで52年治めた。彼の母はエコルヤといい、エルサレムの人だった。

3 アザリヤは父アマジャと同じように、エホバから見て正しいことを行い続けた。4 しかし高い場所を取り除かれなかった。民は依然として高い場所

で犠牲を捧げたり、犠牲の煙を立ち上らせたりしていた。5 エホバが王を重い皮膚病で打ったので、王は死ぬ日まで患い続け、隔離された家に住んだ。その間、王の子ヨタムが家を治め、民を裁いた。

6 アザリヤについてのほかの記録、行ったさまざまなことは、ユダの王の時代の歴史書に記されている。7 アザリヤはやがて死に、「ダビデの町」に父祖たちと共に葬られた。代わりにアザリヤの子ヨタムが王になった。

8 ユダのアザリヤ王の治世の第38年、イスラエルではヤラバムの子ゼカリヤがサマリアで王になった。彼は6か月治めた。9 ゼカリヤは父祖た

15:1 *ヤラバム2世のこと。15:5 *または、「宮殿」。

ちと同じように、エホバから見て悪いことを行った。ネバトの子ヤラバエムがイスラエルに犯させた罪から離れなかった。**10** やがてヤベシュの子シャルムが謀反を起こした。シャルムはイブレアムでゼカリヤを殺し、その後、代わりに王になった。**11** ゼカリヤについてのほかの記録は、イスラエルの王の時代の歴史書に記されている。**12** こうして、「あなたの子孫は4代にわたりイスラエルの王座につく」という、エホバがエヒウに語った言葉が実現した。その通りのことが起きたのである。

13 ヤベシュの子シャルムは、ユダのウジヤ王の治世の第39年に王になり、サマリアで丸1カ月治めた。**14** ガディの子メナヘムがティルツァからサマリアにやって来た。メナヘムはサマリアでヤベシュの子シャルムを殺し、その後、代わりに王になった。**15** シャルムについてのほかの記録、企てた謀反のことは、イスラエルの王の時代の歴史書に記されている。**16** メナヘムがティルツァから出ていって、ティフサハとその町にいた人たちが皆とその領地を襲ったのは、その頃だった。町が門を開けなかったからである。彼は町を襲い、妊婦たちを切り裂いた。

17 ガディの子メナヘムは、ユダのアザリヤ王の治世の第39年に、イスラエルの王になった。彼はサマリアで10年治めた。**18** メナヘムはエ

第15章

(列) 王一 12:28-30
王一 13:33
王一 14:16

(列) ヨシ 17:11

(列) ホセ 1:4
アモ 7:9

(列) 王二 13:1,10
王二 14:23,29

(列) 王二 10:30

(列) 代二 26:1

(列) 王一 14:17
王一 15:21
王一 16:8,17

(列) 王二 15:10

第2欄

(列) 王一 12:28-30
王一 13:33
王一 14:16

(列) 代一 5:26

(列) 王二 12:18
王二 16:8

(列) 王二 23:35

(列) 王二 15:14

(列) 王一 12:28-30
王一 13:33
王一 14:16

(列) 代二 28:6

ホバから見て悪いことを行い続けた。ネバトの子ヤラバエムがイスラエルに犯させた罪から一生涯全く離れなかった。**19** アッシリアのプル王がイスラエルに侵入してきたので、メナヘムは34トンの銀をプルに与えた。王国の支配の強化を支援してもらおうとしてのことだった。**20** メナヘムは、銀を集めてアッシリアの王に与えるため、イスラエルの著名で裕福な人たちから1人につき570グラムの銀を取り立てた。こうしてアッシリアの王は国内にはとどまらず、引き揚げていった。**21** メナヘムについてのほかの記録、行ったさまざまなことは、イスラエルの王の時代の歴史書に記されている。**22** メナヘムはやがて死に、代わりにメナヘムの子ペカフヤが王になった。

23 メナヘムの子ペカフヤは、ユダのアザリヤ王の治世の第50年に、サマリアでイスラエルの王になった。彼は2年治めた。**24** ペカフヤはエホバから見て悪いことを行い続けた。ネバトの子ヤラバエムがイスラエルに犯させた罪から離れなかった。**25** やがて、ペカフヤの副官である、レマルヤの子ペカハが謀反を起こし、サマリアの王の家の防備された塔でペカフヤをアルゴブとアルエと共に殺した。ペカハの下にはギレアデの人たち50人がいた。ペカハはペカフヤを殺した

15:25 *または、「宮殿」。

のち か 後、代わりに王になった。26 ペカフヤについてのほかの記録、行ったさまざまなことは、イスラエルの王の時代の歴史書に記されている。

27 レマルヤの子ペカハは、ユダのアザリヤ王の治世の第52年に、サムリアでイスラエルの王になった。彼は20年治めた。28 ペカハはエホバから見て悪いことを行い続けた。ネバトの子ヤラバムがイスラエルに犯させた罪から離れなかった。29 イスラエルのペカハ王の時代に、アッシリアのティグラト・ピレセル王が侵略してきて、イオン、アベル・ベト・マアカ、ヤノアハ、ケデシュ、ハツォル、ギレアデ、ガリラヤ、ナフタリの全土を攻め取り、住民を捕らえてアッシリアに連れていった。30 やがてエラの子ホシェアが謀反を企てた。ホシェアはレマルヤの子ペカハを殺し、代わりに王になった。ウジヤの子ヨタムは王になった。31 ペカハについてのほかの記録、行ったさまざまなことは、イスラエルの王の時代の歴史書に記されている。

32 イスラエルの王、レマルヤの子ペカハの治世の第2年、ユダではウジヤ王の子ヨタムが王になった。33 ヨタムは25歳で王になり、エルサレムで16年治めた。彼の母はエルシャといい、ザドクの娘だった。34 ヨタムは父ウジヤと同じように、エホバから見て正しいことを行い続けた。35 し

第15章

- (ア) 代ニ 28:6
イザ 7:1,4
(イ) 王ニ 12:28-30
王ニ 13:33
王ニ 14:16
(ウ) 王ニ 16:7
代ニ 5:6
代ニ 5:26
代ニ 28:19,20
(エ) 王ニ 15:20
(オ) ヨシ 20:7,9
(カ) 民 32:40
(キ) イザ 9:1
(ク) レビ 26:38
申 28:64
王ニ 17:22,23
イザ 8:4
(コ) 王ニ 17:1
(ク) 代ニ 27:1
(ケ) 王ニ 14:21
(コ) 代ニ 27:7
マタ 1:9
(セ) 代ニ 27:1
(テ) 代ニ 27:2

第2欄

- (ア) 民 33:52
申 12:14
(イ) 代ニ 27:3
(ウ) 王ニ 15:27
代ニ 28:6
(エ) 王ニ 16:5
イザ 7:1,2

第16章

- (ア) イザ 1:1
イザ 7:1
ホセ 1:1
ミカ 1:1
マタ 1:9
(イ) 代ニ 28:1-4
(ウ) 王ニ 12:28-30
王ニ 16:33
(ウ) 申 12:29-31
(ウ) レビ 20:2,3
代ニ 33:1,6
エレ 7:31
(ウ) 民 33:52
(ウ) 申 12:2
(イ) 王ニ 15:37
代ニ 28:5,6

かし高い場所を取り除かれなかった。民は依然として高い場所で犠牲を捧げたり、犠牲の煙を立ち上らせたりしていた。ヨタムはエホバの家の「上の門」を建てた。36 ヨタムについてのほかの記録、行ったことは、ユダの王の時代の歴史書に記されている。37 その頃、エホバはシリアの王レツィンとレマルヤの子ペカハを差し向けて、ユダを攻めさせた。38 ヨタムはやがて死に、父祖ダビデの町に父祖たちと共に葬られた。代わりにヨタムの子アハズが王になった。

16 ユダのヨタム王の子アハズは、レマルヤの子ペカハの治世の第17年に王になった。2 アハズは20歳で王になり、エルサレムで16年治めた。彼はエホバ神から見て正しいことを行わず、父祖ダビデのようではなかった。3 イスラエルの王たちと同じ道を歩み、イスラエル人の前からエホバが追い払った国々の忌まわしい行いをまねて、自分の子を火で焼くことさえした。4 また、高い場所や丘の上、全ての生い茂った木の下で犠牲を捧げたり、犠牲の煙を立ち上せたりし続けた。

5 その頃、シリアのレツィン王とイスラエルの王でレマルヤの子ペカハがエルサレムに戦いを仕掛けにやって来た。彼らはアハズを包囲したが、都市を攻め落とすことはできなかった。

16:3 *直訳、「に火の中を通らせる」。

6 その時、シリアのレツィン王はエラトを奪ってエドムに取り戻させ、エラトからユダヤ人を追い出した。こうして、エドム人がエラトに入り、今に至るまでそこを占拠している。7 それでアハズは使者たちをアッシリアのティグラト・ピレセル王のもとに遣わして、こう伝えた。「私はあなたの家来、あなたの子です。私を攻めているシリアの王とイスラエルの王から私を救いに来てください」。8 それからアハズはエホバの家と王の家の宝物庫にあった銀と金を取り出し、アッシリアの王に賄賂を贈った。9 アッシリアの王は求めに応じて、ダマスカスに行ってそこを攻め取り、住民を捕らえてキルに連れていった。また、レツィンを殺した。

10 アハズ王はアッシリアのティグラト・ピレセル王に会うためにダマスカスに行った。ダマスカスにあった祭壇を見たアハズ王は、その祭壇の形状と作り方を示す設計図を祭司ウリヤに送った。11 祭司ウリヤは、アハズ王がダマスカスから送ってきた指示通りに祭壇を作り、ダマスカスからアハズ王が戻ってくるまでに仕上げた。12 ダマスカスから戻ってきた王はその祭壇を見ると、近づいて、捧げ物をした。13 その祭壇で全焼の捧げ物と穀物の捧げ物を焼いて煙にし、飲み物の捧げ物を注ぎ、共食の犠

第16章

(列王二 14:21-22)

(列王二 15:29)

(列王二 15:18,19)

(列王二 14:5)

(列王二 9:11)

(列王二 12:30)

(列王二 8:2)

(列王二 23:11)

(列王二 22:26)

(列王二 28:22,23)

(列王二 28:25)

第2欄

(列王二 4:1)

(列王二 8:2)

(列王二 29:39-41)

(列王二 28:23)

(列王二 16:11)

(列王二 7:27,28)

(列王二 7:38)

(列王二 4:6)

(列王二 7:23,25)

(列王二 28:24)

(列王二 29:19)

(列王二 28:26,27)

(列王二 18:1)

(列王二 29:1)

(列王二 1:1)

(列王二 1:1)

(列王二 1:9)

牲の血を祭壇に振り掛けた。14 そして、エホバの前にあった銅の祭壇を移動させた。家の前の元々の位置、つまり新しい祭壇とエホバの家の間の位置から動かして、新しい祭壇の北側に置いたのである。15 アハズ王は祭司ウリヤにこう命じた。「この大祭壇で、朝の全焼の捧げ物と夕方の方の穀物の捧げ物、王の全焼の捧げ物と穀物の捧げ物、民の全焼の捧げ物と穀物の捧げ物を焼いて煙にたみ、民の飲み物の捧げ物を捧げなさい。全焼の捧げ物の血と他の犠牲の血を全て、祭壇に振り掛けなさい。あの銅の祭壇で何をするかは私が決める」。16 祭司ウリヤはアハズ王に命じられたことを全て行った。

17 その上、アハズ王は台車の側板を切ってばらばらにし、水盤を台車から取り外し、「海」を土台となっていた銅の雄牛から下ろして石畳の上に置いた。18 また、家に建てられていた安息日用の覆いと、外側にあった王の入り口をエホバの家から取り除いた。そのようにしたのはアッシリアの王のためだった。

19 アハズについてのほかの記録、行なったことは、ユダの王の時代の歴史書に記されている。20 アハズはやがて死に、「ダビデの町」に父祖たちと共に葬られた。代わりにアハズの子ヒゼキヤが王になった。

16:20 *意味、「エホバは強くする」。

16:6 *または、「ユダの人たち」。16:8 *または、「宮殿」。

17 ユダのアハズ王の治世の第
12年、イスラエルではエラの

子ホシェアがサマリアで王になった。

彼は9年治めた。2 ホシェアは、以

前のイスラエルの王たちほどではない

ものの、エホバから見て悪いことを行

い続けた。3 アッシリアのシャルマ

ネセル王が攻めてきたので、ホシェア

は服従してシャルマネセルに貢ぎ物を

納め始めた。4 しかし、アッシリアの

王はホシェアが陰謀を巡らしているこ

とに気付いた。ホシェアがエジプトの

ソ王に使者たちを遣わしていた上、以

前の年とは違ってアッシリアの王に貢

ぎ物を納めなかったからだった。それ

で、アッシリアの王はホシェアを拘束

し、牢屋に入れてつないだ。

5 アッシリアの王は全土を侵略し、

サマリアに来て、3年の間そこを包囲し

た。6 ホシェアの治世の第9年、アッ

シリアの王はサマリアを攻め落とし

た。イスラエルの民を捕らえてアッシ

リアに連れていき、ハラハ、ゴザン川

のそばのハボル、メディア人の町々に

住ませた。

7 こうなったのは、イスラエルの民

が、エジプトの王ファラオの配下に

あったエジプトから連れ出してくだ

さったエホバ神に対して罪を犯したか

らだった。民はほかの神々を崇拜し、

8 イスラエル人の前からエホバが追

い払った国々の習慣や、イスラエルの

王たちが作り上げた習慣に従った。

第17章

列王二 15:30

列王二 18:9

イザ 10:5,6

ホセ 10:14,15

列王二 18:14

列王二 31:1

列王二 31:13

列王二 36:22,33

申 4:27

申 28:64

王一 14:15

列王二 5:26

列王二 18:9-11

列王二 20:2

列王二 20:5

第2欄

列王二 32:11

列王二 12:2

イザ 57:5

列王二 34:13

申 16:21,22

列王二 20:23

列王二 12:28-

30

王一 21:25,26

列王二 20:3-5

列王二 26:1

申 4:23

列王二 24:18,19

列王二 36:15,16

エゼ 25:4

列王二 55:7

列王二 1:32

列王二 31:27

列王二 5:2

申 29:12

列王二 4:6

列王二 32:21

サ一 12:21

列王二 115:4-8

イザ 44:9

9 イスラエル人は、エホバ神から
見て正しくないことを行い続けた。見

張り台から防備された町に至るまで、

全ての町々に、高い場所を築いていっ

た。10 どの高い丘の上や生い茂っ

た木の下にも、聖柱や聖木を立てて

いった。11 また、自分たちの前か

らエホバが追い払った国々と同じよう

に、全ての高い場所で犠牲の煙を立ち

上げさせた。悪いことを行い続けてエホ

バを怒らせたのである。

12 彼らは汚らしい偶像を崇拜し

続けた。エホバから、「そうしてはなら

ない!」と言われていたのにそうした

のである。13 エホバは預言者や

幻を伝える人たち皆を通して、イスラ

エルとユダにこう警告し続けた。「悪

い行いをやめなさい! 私があなたた

ちの父祖に命じ、私に仕える預言者を

とおしてあなたたちに伝えた律法全て

に従って、私のおきてと法令を守りな

さい」。14 それなのに彼らは聞か

ず、エホバ神に信仰を示さなかった父

祖たちと同じようにずっと頑固だっ

た。15 神の規定と神が父祖たちと

結んだ契約や警告として与えた教訓

を退け続け、無価値な偶像に頼って自

分たちも無価値な者になり、まねては

17:9 *または、「物見の塔」。

*人口がまばらな

所であれ密集した所であれ、あらゆる場所にとい

うこと。17:12 *ヘブライ語で「ふん」を意味す

る言葉と関連があると考えられる、嫌悪を表す表

現。17:14 *直訳、「うなじを固くした」。17:

15 *または、「悪い出させるもの」。

ならないとエホバから命じられていた
周囲の国の人々をまねた。

16 彼らは自分たちの神エホバの
おきてを全て捨てて、2頭の牛の
金属像を作り、聖木を作り、天の全
ての星にひれ伏してバアルに仕えた。

17 息子や娘たちを火で焼き、占いを
し、吉凶を判断し、エホバから見て悪
いことにふけて神を怒らせた。

18 それで、エホバはイスラエルの
ことで非常に怒り、彼らをご自分の前
から取りのけ、ユダの部族のほかは誰
も残さなかった。

19 ユダさえも自分たちの神エホバ
のおきてを守らず、イスラエルが行って
いた習慣に従った。20 エホバは
イスラエルの子孫全てを退け、辱め、
略奪者たちの手に渡して、ついにはご
自分の前から除き去った。21 神
はダビデ家からイスラエルを引き裂
いて取り上げ、民はネバトの子ヤラ
ベアムを王にした。ヤラベアムは、イ
スラエルをエホバに従わないようにさ
せ、イスラエルに大きな罪を犯させた。

22 そしてイスラエルの民は、ヤラベ
アムが犯した罪の通りに歩み続けた。
彼らはそこから離れず、23 ついに
エホバはイスラエルをご自分の前か
ら取りのけた。神に仕える全ての預言
者を通して宣言していた通りにしたの
である。こうしてイスラエルは捕囚に

17:16 *または、「铸造された像」。「直訳、「天
の全軍」。17:17 *または、「身を売って」。

第17章
(列)申12:30

(イ)王12:28-30

(列)王14:15
王16:33

(列)申4:19
エシ8:2

(列)王16:30,31
王22:51,53
王210:21
王23:4,5

(列)王216:1,3

(列)申18:10
ミカ5:12

(列)ヨシ23:12,13
イザ42:24

(列)王14:22
エシ3:8

(列)エゼ23:4,11

(列)王12:20

(列)王12:28-30

(列)申28:45,63
王14:16
ホセ1:4
アモ5:27
ミカ1:6

第2欄

(列)王218:11

(イ)王219:11,13

(列)出23:29

(列)創28:18,19
ヨシ16:1
王12:28,29

(列)ヨハ4:20-22

され、自国からアッシリアに連れてい
かれて、今もそこにいる。

24 アッシリアの王は、バビロン、ク
タ、アワ、ハマト、セファルワイムから
人々を連れてきて、イスラエル人の代
わりにサマリアの町々に住ませた。彼
らはサマリアを占有し、その町々に
住んだ。25 住み始めた頃、彼らは
エホバを畏れなかった。それでエホ
バはライオンを送り込み、ライオンは
人々を殺した。26 アッシリアの王
にこう報告があった。「王が国々から
連れてきてサマリアの町々に住ませ
た人々はその土地の神の宗教を知ら
ないので、その神がライオンを送り込
み続け、人々が殺されています。その
土地の神の宗教を誰も知らないから
です」。

27 アッシリアの王は命じた。「あ
なたたちがそこから連れてきた祭司
の1人を戻してそこに住ませよ。その
土地の神の宗教を教えさせるのだ」。

28 それで、サマリアから連れてこれ
た祭司の1人が戻ってベテルに住み、
どのようにエホバを畏れるべきかを教
え始めた。

29 ところが、それぞれの国民が自
分たちの神を作って、サマリアの人た
ちが造った高い場所にある崇拜の家
に置いた。それぞれの国民が、住んで
いる町々でそのようにした。30 バ

17:25 *または、「崇拜し」。17:26 *または、
「宗教の習慣」。17:28 *または、「崇拜する」。
17:29 *または、「神々」。

ピロンの人たちはスコト・ベノの像^{そう}を作り、クトの人たちはネルガルの像^{そう}を作り、ハマトの人たちはアシマの像^{そう}を作り、**31** アワの人たちはニプハズとタルタクの像^{そう}を作った。セファルワイムの人たちは、セファルワイムの神々アドラメレクとアナメレクのために自分の子たちを火で焼く^ひのだった。

32 彼らはエホバを畏れたが、自分たちの民の中から高い場所の祭司たちを任命した。それらの祭司たちは彼らのために高い場所にある崇拜の家で職務を行った。**33** このように、彼らはエホバを畏れたものの、移住させられる前にいた国々の宗教に従って自分たちの神々を崇拜した。

34 今も彼らは自分たちの以前の宗教を奉じている。エホバを崇拜する人は誰もおらず、神の法令や法規、エホバがイスラエルという名前^なに改名させたヤコブの子たちに与えた律法やおきてに従う人は誰もいない。**35** エホバはイスラエルと契約を結んだ時、こう命じていた。「ほかの神々を畏れてはならない。ほかの神々にひれ伏したり、仕えたり、犠牲を捧げたりしてはならない。**36** 大きな力と伸ばした腕によってあなたたちをエジプトから連れ出したエホバを畏れるべきであり、この神にひれ伏し、犠牲を捧げるべきである。**37** あなたたちのた

17:33 *または、「宗教の習慣」。 17:34 *または、「宗教の習慣に従って」。

第17章

(列) 王二 17:24

(列) 王二 18:34

(列) 王一 12:31, 32
王一 13:33

(列) 王二 17:24, 41

(列) 創 32:28

(列) 出 19:5
出 24:7
申 29:1(列) 出 20:3-5
出 23:24
出 34:14
申 5:9

(列) 出 6:6

(列) 申 6:12, 13

第2欄

(列) 申 31:9

(列) 申 4:23

(列) 王二 17:34

(列) エズ 4:1, 2

第18章

(列) 王二 15:30
王二 17:1

(列) 王二 16:2, 20

(列) 代二 28:27
マタ 1:9

(列) 代二 29:1, 2

(列) 王一 15:5

(列) 王二 20:3
代二 31:20, 21
詩 119:128(列) 民 33:52
王一 3:2
王二 14:1, 4(列) 申 7:5
申 12:3
代二 31:1

(列) 民 21:8, 9

めにこの神が記した規定と法規と律法とおきてにいつも注意深く従いなさい。ほかの神々を畏れてはならない。

38 私があなたたちと結んだ契約をわすれてはならない。ほかの神々を畏れてはならない。**39** あなたたちの神エホバを畏れなさい。この神が全ての敵からあなたたちを救い出す。

40 しかしこれらの国民は従わず、自分たちの以前の宗教を奉じた。

41 こうして、彼らはエホバを畏れるようになったものの、自分たちの彫像をも崇拜した。彼らの子たちも孫たちも、父祖たちと同じようにし、今に至っている。

18 イスラエルの王、エラの子ホシェアの治世の第3年、ユダではアハズ王の子ヒゼキヤが王になった。**2** ヒゼキヤは25歳で王になり、エルサレムで29年治めた。彼の母はアビといい、ゼカリヤの娘だった。**3** ヒゼキヤは父祖ダビデと同じように、エホバから見て正しいことをおこなった。**4** 高い場所を取り除き、聖柱を打ち砕き、聖木を切り倒した。また、モーセが作った銅の蛇も砕いた。その当時までイスラエルの民はその前で犠牲の煙を立ち上らせていて、それは蛇の銅像と呼ばれていた。**5** ヒゼキヤはイスラエルの神工

17:40 *または、「宗教の習慣に従った」。 18:2 *アビヤの省略形。 18:4 *または、「ネフシュタン」。

ホバを信頼した。ユダの全ての王たち
の中で、彼のような人は後にも先にも
いなかった。6 彼はエホバにしっかり
と付いていた。その方に従うのをや
めず、エホバがモーセに与えたおきて
を守り続けた。7 そしてエホバは彼
と共にいた。彼はどこに行っても、賢く
こうどう 行動した。アッシリアの王に背を向け、
つか 仕えなかった。8 また、フィリスティ
ア人を、ガザとその領地を含め、見張
り台から防備された町々に至るまで
打ち破った。

9 ヒゼキヤ王の治世の第4年、つま
りイスラエルの王でエラの子ホシェア
の治世の第7年に、アッシリアのシャル
マネセル王がサマリアを攻めに来て、
ほうい 包圍し始めた。10 彼らは、3年がた
つ頃にそこを攻め取った。ヒゼキヤの
治世の第6年、つまりイスラエルのホ
シェア王の治世の第9年にサマリアは
攻め取られたのだった。11 その後、
アッシリアの王はイスラエルを捕らえ
てアッシリアに連れていき、ハラハ、ゴ
ザン川のそばのハボル、メディア人の
町々に住ませた。12 そうなのは、
イスラエルがエホバ神の言うこと
を聞かず、契約つまりエホバに仕える
モーセが命じたこと全てに背き続けた
からだだった。彼らは聞きも従いもしな
かった。

13 ヒゼキヤ王の治世の第14年に

18:8 *または、「物見の塔」。「人口がまばらな
所であれ密集した所であれ、あらゆる場所であ
うこと。

第18章

(列) 王二 19:15
代二 32:7,8

(列) 申 10:20
ヨシ 23:8

(列) 王二 16:7

(列) 代二 28:18,19
イザ 14:28,29

(列) 王二 17:1

(列) 王二 17:3-6

(列) ホセ 13:16
アモ 3:11
ミカ 1:6

(列) イザ 8:4
アモ 6:1,7

(列) 王二 17:6
代一 5:26

(列) 申 8:20
王一 14:15

第2欄

(列) イザ 10:5

(列) 代二 32:1
イザ 36:1

(列) 王二 12:18
王二 16:8
代二 16:2,3

(列) 王一 6:33-35

(列) 代二 29:1,3

(列) ヨシ 15:20,39
代二 11:5,9

(列) 代二 32:9

(列) イザ 36:2,3

(列) 王二 19:2
イザ 22:20-24

(列) イザ 22:15-19

は、アッシリアの王セナケリブがユダ
の防備された町々全てを攻めに来て、
占領した。14 それでユダのヒゼキ
ヤ王はラキシュにいたアッシリアの王
の所に人を遣わして、こう伝えた。「私
が間違っていました。私の所から引き
あげてください。あなたが私に課すも
のを何でも払います」。アッシリアの王
は、銀10トンと金1トンをユダのヒゼキ
ヤ王に課した。15 ヒゼキヤはエホ
バの家と王の家の宝物庫にあった銀
を全部渡した。16 この時、ユダのヒ
ゼキヤ王は、自分が金をかぶせたエ
ホバの神殿の扉と柱を取り外して、そ
れもアッシリアの王に渡した。

17 アッシリアの王はラキシュから、
タルタン、ラブサリス、ラブシャケを大
軍と共にエルサレムのヒゼキヤ王
の所に送った。彼らはエルサレムへと
の上へ上っていき、洗濯人の野原に至る街道
沿いにある、上の池の水道のそばに
陣取った。18 彼らが、出てくるよう
にと王を呼んだので、家の人たちのま
とめ役でヒルキヤの子であるエリヤキ
ム、秘書官シェブナ、アサフの子であ
る記録官ヨアハが彼らの所に出て
いった。

19 するとラブシャケがこう言った。
「ヒゼキヤに言ってもらいたい。『アッ
シリアの王、大王はこう言っている。
「おまえはどうしてそこまで強気なの

18:15, 18 *または、「宮殿」。18:17 *または、
「司令官」。「または、「廷臣の長」。△または、
「敵対人の長」。

か。20 おまえは『私には戦略と戦力がある』と言うが、それは口先だけだ。いったい誰に頼って、私に背くのか。21 いいか。おまえは、エジプトというあの折れかけたアシの支えに頼っているが、寄り掛かっても、それに手のひらを刺し通されるだけだ。エジプトの王ファラオに頼るなら、皆そのようになるのだ。22 おまえたちは私に、『私たちが頼っているのは、私たちの神エホバだ』と言うだろう。だが、ヒゼキヤはその神の高い場所と祭壇を次々と取り除いてしまったではないか。そしてユダとエルサレムに、『エルサレムのこの祭壇の前でひれ伏すべきだ』と言っている。23 わが主人であるアッシリアの王と賭けをしたらいい。おまえが十分な乗り手を用意できたら、2000頭の馬を与えてやろう。24 兵車と騎手のためにエジプトに頼るおまえには、わが主人の家来の中で最も目立たない総督の1人さえも追い返せないだろう。25 私がエホバからの許可なしにここを滅ぼそうとして上ってきたと思うか。エホバが私に、『この土地に攻め上って滅ぼせ』と言ったのだ。

26 ヒルキヤの子エリヤキムとシェブナとヨアハは、ラブシャケに言った。「アラム語で話してください。私たちは理解できますから。城壁の上の人たちに聞こえる所では、ユダヤ人の言語で

18:26 *または、「シリア語」。

第18章

(列)代二 32:10
イザ 36:4-10

(列)王二 18:7

(列)イザ 30:1,2

(列)代二 32:8

(列)代二 31:1

(列)申 12:11,13
代二 32:12

(列)イザ 10:12,13

(列)王二 18:18

(列)王二 18:17

(列)エズ 4:7
ダ二 2:4

第2欄

(列)イザ 36:11,12

(列)イザ 36:13-20

(列)代二 32:15

(列)王二 19:32-34

(列)王二 17:6

話さないでください。27 ラブシャケは言った。「わが主人は、これらのことをおまえの主人やおまえだけに話すよう私を遣わしたというのか。城壁の上に座っている者たちにも話すためではないか。彼らもおまえたちと共に自分の便を食べ、尿を飲むようになるのだ」。

28 ラブシャケは立って、ユダヤ人の言語で大声でこう叫んだ。「アッシリアの王、大王の言葉を聞け。29 王はこう言っている。『ヒゼキヤにだまされるな。彼には私の手からおまえたちを救い出すことなどできない。30 ヒゼキヤが「エホバは必ず救い出してくださる。この都市がアッシリアの王の手に渡されることはない」とおまえたちに言ってエホバを信頼させようとしても、その手に乗るな。31 ヒゼキヤの言うことに耳を貸してはならない。アッシリアの王はこう言う。「和平に応じ、降伏せよ。そうすれば、それぞれが自分のブドウの木やイチジクの実を食べ、自分の水のための水を飲むようになる。32 やがて私が、おまえたちの土地のような土地へと連れていってやる。そこには、穀物と新しいぶどう酒、パンとブドウ園、オリーブの木と蜜がふんだんにある。そして、おまえたちは死なず、生きていける。だから、ヒゼキヤの言うことに耳を貸してはならない。彼は、『エホバが救い出してくださる』と言って、おまえたちを

い いくるめるからだ。 **33** 国々の神 ^{くにぐに かみ} の中に、アッシリアの王の手から自分 ^{なか おう て じぶん} の国を救った神がいるか。 **34** ハマト ^{ハ カみがみ} やアルパドの神々はどこにいるのか。セファルワイム、ヘナ、イワの神々はどこにいるのか。その神々はサマリア ^{サマリア カみがみ} を私の手から救ったか。 **35** こうし ^{わたくし て すく} くに ^{かみがみ} の神々の誰も私の手から自分の ^{わたくし じぶん} 国を救えなかったのに、エホバは私の手からエルサレムを救えるという ^の か』』。

36 それでも、人々は沈黙を守り、一言も答えなかった。王から、「皆さんは答えてはなりません」と命じられていたからである。 **37** 家の人たちの ^や まとめ役でヒルキヤの子であるエリヤキム、秘書官シェブナ、アサフの子である記録官ヨアハは衣服を引き裂き、ヒゼキヤの所に来て、ラブシャケの言葉 ^{ことば} を伝えた。

19 それを聞いたヒゼキヤ王は衣服を引き裂き、粗布を身に ^つ 着け、エホバの家に入った。 **2** それから、家の人たちのまとめ役エリヤキム、秘書官シェブナ、祭司の長老たちに粗布を身に着けさせ、アモツの子である預言者イザヤの所に遣わした。 **3** 彼らはイザヤに言った。「ヒゼキヤはこう言っています。『今日は苦難と叱責と屈辱の日です。子供が生まれそう ^う なのに産む力がないのです。 **4** エホ

18:37; 19:2 *または、「宮殿」。 19:3 *または、「侮辱」。

第18章

(列) 民 13:21

(列) 王二 17:24

(列) 王二 17:6

(列) 王二 19:17-19
代二 32:15
イザ 37:23

(列) イザ 36:21, 22

第19章

(列) イザ 37:1-4

(列) イザ 1:1

(列) イザ 26:17, 18

第2欄

(列) 王二 17:45
王二 18:35(列) サ二 22:7
代二 20:9
代二 32:20
詩 50:15

(列) イザ 37:5-7

(列) 王二 18:17

(列) 申 20:3
イザ 41:10
イザ 51:7(列) 代二 32:21
イザ 37:37, 38

(列) 王二 18:14

(列) イザ 37:8-13

(列) 王二 18:17

(列) 代二 32:15

(列) 王二 17:5
代二 32:10, 13
イザ 10:8-11

バ神がラブシャケの言葉全て ^{ことば すべ} を聞き流 ^{きなが} すことはないでしょう。彼は、生きてい ^い る神をあざけるよう、主人であるアッシリアの王から遣 ^つ わされました。エホバ ^{エホバ} 神は、聞いた事柄 ^{ことば} について彼に責任 ^{せきにん} を問われます。それで、生き残っている ^と 人たちのために祈ってください』。

5 イザヤの所にやって来たヒゼキヤ王の家来たちに、 **6** イザヤは言った。「皆さんの主人にこう言いなさい。『エホバはこう言っています。『あなたが聞いた言葉、アッシリアの王の従者 ^{おう じゅうしや} たちが語った私への冒瀆の言葉の ^{ことば} ことで恐れてはならない。 **7** 私は彼に ^い 1つの考え ^{かんが} を植え付ける。彼はある報告 ^{ほうこく} を聞いて自分の土地に帰る。私は彼が自分の土地で剣によって倒れる ^{たお} ようにする』』。

8 ラブシャケは、アッシリアの王 ^{おう} がラキシュから離れたことを聞き、王のもとに戻った。王はリブナを攻撃 ^{こうげき} していた。 **9** 王は、エチオピアのティルハカ王が戦いを仕掛けに向かっているという知らせを聞いた。王はヒゼキヤの所に再び使者たちを遣 ^つ わして、こう言った。 **10** 「ユダのヒゼキヤ王にこう伝えよ。『おまえが信頼 ^{しんらい} している神が「エルサレムがアッシリアの王の手 ^て に渡されることはない」と言うとしても、だまされるな。 **11** いいか。アッシリアの王たちがあらゆる国を滅 ^き ぼし尽くしたことをおまえも聞いたはずだ。それでも、自分だけは救い出さ

れるというのか。12 私の父祖たちが滅ぼした国々の神々は民を救い出したか。ゴザン、ハラン、レツェフはどうなったか。テル・アサルにいたエデンの民はどこにいるか。13 ハマトの王、アルパドの王、セファルワイム、ヘナ、イワの町々の王はどこにいるか。』

14 ヒゼキヤはこの手紙を使者たちから受け取って読んだ。それからエホバの家に上っていき、手紙をエホバの前に広げた。15 そしてエホバの前でこう祈り始めた。「ケルブたちの上に王として座っている、イスラエルの神エホバ、あなただけが、地上の全ての王国の真の神です。天と地を造られたのはあなたです。16 エホバ、耳を傾けて聞いてください！ エホバ、目を開いてご覧ください！ セナケリブが送ってきた、生きている神へのあざけりの言葉を聞いてください。17 エホバ、アッシリアの王たちは確かにさまざまな国とその領土を荒廃させました。18 彼らはそうした国の神々を火の中に投げ入れました。それらは神ではなく、人が木や石で作ったものだったからです。それで滅ぼせたのです。19 私たちの神エホバ、どうか彼の手から私たちを救ってください。エホバ、あなただけが神であることを地上の全ての王国が知るためです。」

20 アモツの子イザヤはヒゼキヤの

第19章
[イ] 創 11:31
[イ] 王 17:24
王 18:33,34
[イ] 王 1:8-30
イザ 37:14-20
[イ] 代 2:32-20
[イ] 出 25:22
[イ] 代 1:29-10,11
[イ] 王 1:8-29
詩 65:2
[イ] 代 2:16-9
ダ 9:18
[イ] 王 2:16,8,9
王 17:6,24
[イ] イザ 41:29
[イ] エレ 10:3
[イ] 詩 83:17,18
イザ 45:5,6

第2欄

[イ] イザ 37:21,22

[イ] 王 19:15

[イ] 王 19:10

[イ] 王 18:30
イザ 10:12,13

[イ] イザ 37:23-25

[イ] 王 18:17

[イ] 代 2:32-17
イザ 10:10,11

[イ] イザ 14:24

ところひとつか 所^{ところ}に人^{ひと}を遣^{つか}わして、こ^{つた}う伝^{つた}えた。「イスラエルの神エホバはこ^{かみ}う言^いっていま^{おう}す。『私は、アッシリアのセナケリブ王についてのあなたの祈^きりを聞^いいた。』

21 エホバはセナケリブ王^{おう}に対してつぎ^{つぎ}こ^{こと}ば^ばか^かた^た次の言葉^{ことば}を語^{かた}った。

「処女^{しよじよ}であるシオン^{*}はあなたを見下^みげ、あざ笑^{あざわら}う。

エルサレム[#]はあなたに向^むかって頭^{あたま}を振^ふる。

22 あなたは誰^{たれ}をあざけり、冒瀆^{ぼうとく}したのか。

誰^{だれ}に対して声^{こえ}を荒^{あら}らげ、高慢^{こうまん}な目^めを向^むけたのか。

イスラエルの聖^{せい}なる者^{もの}に対してで^{たい}ある！

23 あなたは使者^{ししや}たちを通^{とお}してエホバをあざけり、こ^こう言^いった。

『私は無^む数の戦^{せん}車^{しや}を率^{ひき}い、やまやま^{やま}いた^{いだ}き山^{さん}々の頂^{たけ}、レバノンの山奥^{やまおく}にまで登^{のぼ}る。

そこにそびえる杉^{すぎ}、立派^{りっぱ}なネズの木^きを切り倒^{たお}し、

最奥^{さいおう}の宿営^{しゆくえい}地^ち、深^{ふか}い森^{もり}に入^{はい}る。

24 私は井戸^{わたい}を掘^いって外国^{がいこく}の水^{みず}を飲^のみ、

足^{あし}の裏^{うら}でエジプト^{かわ*}の川^{すべ}を全^ひて干^ひ上がらせる。』

25 あなたは聞^きかなかったか。遠^{とお}い昔^{むかし}から、決^きまっていた。

19:21 * 直訳、「シオンの娘」。[#] 直訳、「エルサレムの娘」。19:24 * または、「ナイルの運河」。

19:15 * もしかすると、「間」。

ずっと前から、私は用意していた。
今、それを実現させる。

あなたは防備された町々を廃虚
の山にする。

26 住民たちは無力になり、

おびえ、屈辱を味わう。

野原の草木や青草のようになり、
東風で干からびた、屋根の草の

ようになる。

27 しかし、私はよく知っている。

あなたが座るのも、出ていくのも
入ってくるのも、

あなたが私に激怒するもの。

28 あなたの激怒と怒鳴り声が、私
の耳に届いたからだ。

私はあなたの鼻にかぎを引っ掛

け、口にくつわをはめ、

あなたを引いて、来た道を帰ら
せる。

29 あなたのために次のようなしる
しを示そう。あなたたちは、今年は自
然に生えたものを食べ、来年はそれか
ら芽を出した穀物を食べるが、3年目
には、種をまいて刈り取り、ブドウ園
を造って実を食べる。30 ユダ国民
の逃れて残っている人たちは下に根を
張り、上に実を付ける。31 残りの者
がエルサレムから、生き残っている人
たちがシオンの山から出ていく。大軍
を率いる熱心な神エホバがそうなら
せる。

19:25 *または、「形作って」。19:29 *ヒゼキ
ヤのこと。*または、「こぼれ種から」。

第19章

(例) 詩 33:11

(例) イザ 46:10

(例) イザ 10:5
イザ 37:26,27

(例) イザ 40:7

(例) 格 5:21
ヘブ 4:13

(例) イザ 37:28,29

(例) 詩 46:6
イザ 10:5,15

(例) 王二 18:35
イザ 10:12,13

(例) 詩 32:9

(例) 王二 19:33

(例) レビ 25:4-6

(例) イザ 37:30-32

(例) 代二 32:22
イザ 10:20

(例) イザ 59:17
ゼカ 1:14,15

第2欄

(例) イザ 10:24

(例) 代二 32:22

(例) イザ 37:33-35

(例) イザ 31:5

(例) サー 12:22
イザ 43:25
エゼ 36:22

(例) 王二 20:6
エレ 23:5

(例) 代二 32:21
イザ 31:8

(例) 出 12:30
イザ 37:36-38

(例) ヨナ 1:2

(例) 王二 19:7,28

(例) 代二 32:21

(例) 創 8:4

(例) エズ 4:2

第20章

(例) 代二 32:24

(例) イザ 38:1-3

32 エホバはアッシリアの王につい
てこう言う。

「彼がこの都市に入ることはない。

そこに矢を射ることも、

盾を持って立ち向かうことも、

攻めるための土塁を築くことも
ない。

33 彼は来た道を帰り、

この都市に入ることはない。

エホバはこうも宣言する。

34 「私はこの都市を守って救う。

自分のため、私に仕えたダビデ
のためである』」。

35 まさにその夜、エホバの天使が
出ていき、アッシリア人の陣営で18万

5000人を討った。人々が朝早く起き
て見ると、皆、死んでいた。36 そ

れで、アッシリアのセナケリブ王はそ
こを去り、帰ってニネベにとどまった。

37 そして、ニスロク神の家でひれ伏
していた時、自分の子アドラメレクと

シャルエツェルに剣で殺された。その
2人はアララト地方に逃げた。セナケ

リブの子エサル・ハドンが代わりに王
になった。

20 その頃、ヒゼキヤは病気に
なり、死にそうになっていた。

アモツの子である預言者イザヤが来
て言った。「エホバはこう言っていま

す。『家の人たちに指示を出しなさい。
あなたは回復せず、死ぬからだ』」。

19:37 *または、「神殿」。

2 それでヒゼキヤは顔を壁に向け、エホバに祈り始めた。3 「エホバ、お願いです。どうか、思い出してください。私が心を尽くして忠実にあなたに仕え、あなたから見て良いことを行ったのを」。そしてヒゼキヤは激しく泣きました。

4 イザヤがまだ庭に出ていけないうちに、エホバがイザヤに言った。5 「戻って、私の民の指導者ヒゼキヤにこう言いなさい。『あなたの父祖ダビデの神エホバはこう言っている。『わたしはあなたの祈りを聞いた。あなたの涙を見た。あなたを癒やそう。あさってにはあなたはエホバの家に上る。』』」。

7 イザヤは、「干しいちじくの菓子を持ってきなさい」と言った。人々が持ってきて、それを腫れ物に当てた。その後、ヒゼキヤは徐々に回復した。

8 ヒゼキヤはイザヤにこう尋ねていた。「私がエホバに癒やされ、あさってにはエホバの家に上っていけるといふしるしがありますか」。9 イザヤは答えた。「エホバは語ったことを実行されます。エホバからのしるしは、こうで

20:3 *直訳、「の前で歩み」。20:5, 8 *直訳、「3日目」。

第20章

(例) 代二 31:20, 21
詩 25:7
詩 119:49

(例) イザ 38:4-6

(例) 詩 39:12

(例) 申 32:39
詩 41:3
詩 103:3
詩 147:3

(例) 詩 66:13
詩 116:12-14

(例) 代二 32:22
イザ 10:24

(例) 王二 19:34
イザ 37:35

(例) イザ 38:21, 22

(例) 裁 6:17
イザ 7:11

第2欄

(例) イザ 38:7, 8

(例) ヨシ 10:12
代二 32:31

(例) イザ 39:1, 2

(例) 代二 32:27

(例) イザ 39:3, 4

(例) イザ 39:5-7

す。影が階段を10段進むのと10段戻るのと、どちらを望みますか」。10 ヒゼキヤは言った。「影を10段進めるよりも、10段戻す方が難しいことです」。

11 そこで預言者イザヤがエホバに呼び掛けると、神は、アハズの階段を下った影を10段上に戻した。

12 その頃、バビロンの王、バラダンの子ベロダク・バラダンがヒゼキヤに手紙と贈り物を贈った。ヒゼキヤが病気で聞いていたからだった。13 ヒゼキヤは使者たちを歓迎し、宝物庫の中を全部見せた。銀や金も、バルサム油や他の高価な油も、武器も、宝物庫にあった物を残らず見せた。自分の家のなか、全領土の中で、ヒゼキヤが彼らに見せなかった物は一つもなかった。

14 その後、預言者イザヤがヒゼキヤ王の所に入ってきて尋ねた。「あの人たちは何と言いましたか。どこから来たのですか」。ヒゼキヤは、「遠い国、バビロンからやって来ました」と言った。15 イザヤは尋ねた。「あなたの家で彼らに何を見せたのですか」。ヒゼキヤは答えた。「私の家にある物全てを見せました。私の宝物庫の中で見せなかった物は一つもありません」。

16 イザヤはヒゼキヤに言った。「エホバの言葉を聞きなさい。17 エホ

20:9 *日時計のように、時間を計測するのに使われていた階段のことかもしれない。20:13 *または、「の言葉に耳を傾け」。20:13, 15 *または、「宮殿」。

バはこう言っています。『あなたの家にある物全て、あなたの父祖たちがこれまで蓄えてきた物全てが、残らずバビロンに持っていかれる日が来る。18 生まれてくるあなたの子孫の中には、連れていかれてバビロンの王の宮殿で廷臣にされる者もいる』。

19 ヒゼキヤはイザヤに言った。「あなたが語ったエホバの言葉はもっともです」。そして言った。「私の生涯中、平和と安定を与えていただけるのですから、感謝します」。

20 ヒゼキヤについてのほかの記録、数々の功績や、池と水道を造って都市に水を引いたことは、ユダの王の時代の歴史書に記されている。

21 ヒゼキヤはやがて死に、代わりにヒゼキヤの子マナセが王になった。

21 マナセは12歳で王になり、エルサレムで55年治めた。彼の母はヘフジバといった。2 マナセはエホバから見えて悪いことを行い、イスラエルの民の前からエホバが追い払った国々の忌まわしい行いをまねた。3 父ヒゼキヤが破壊した高い場所を再び築き、イスラエルの王アハブがしたように、バアルのために祭壇を設け、聖木を作った。また、天のすべての星を崇拜してひれ伏した。4 エホバがかつて「エルサレムに私の名を付す」と言ったそのエホバの家の中

第20章

(例) 王二 24:12,13
王二 25:13
代二 36:7,18
エレ 27:21,22
ダ二 1:2
(例) 王二 24:12
(例) 王二 1:19
王二 2:49
(例) 詩 141:5
(例) イザ 39:8
(例) ヨハ 9:11
(例) 代二 32:30
(例) 王二 2:10
(例) 王二 21:16
王二 23:26
代二 33:11-13
(例) 代二 32:33

第21章

(例) 代一 3:13
マタ 1:10
(例) 代二 33:1
(例) 代二 33:2-6
(例) 申 12:30,31
代二 36:14
エゼ 16:51
(例) 王二 18:1,4
(例) 王二 16:30,32
(例) 王二 23:4
(例) 申 4:19
(例) 申 12:5
サニ 7:12,13
王二 8:29
王二 9:3

第2欄

(例) エレ 32:34
(例) 王二 6:36
王二 7:12
(例) エゼ 8:16
(例) レビ 19:26
(例) レビ 20:27
申 18:10,11
(例) 王二 23:6
(例) 代二 33:7-9
(例) 申 28:1
(例) 代一 17:9
(例) 申 7:1
(例) 代二 33:10
代二 36:15,16
エレ 7:25
マタ 23:37
(例) 創 15:16
(例) レビ 18:24,25
王二 23:26
王二 24:3
エレ 15:4
(例) 王二 22:16,17
ミカ 3:12

にも祭壇を作った。5 エホバの家の2つの庭に、天の全ての星のために祭壇を作った。6 自分の子を火で焼き、魔術を行い、吉凶を判断し、霊媒師や占い師を任命した。エホバから見えて悪いことを大規模に行って、神を怒らせた。

7 マナセは聖木の彫刻像を作り、神の家の中に置いた。かつてエホバはその家について、ダビデとその子ソロモンにこう言っていた。「私は、イスラエルの全部族の領地から選んだエルサレムとこの家に、私の名をいつまでも付す。8 イスラエルが、私が命じた全てのこと、私に仕えたモーセが命じた律法全てを注意深く守るなら、私は、父祖たちに与えた土地からイスラエルをさまよい出させたりはしない」。

9 そう言われていたのに民は従わず、マナセは民を惑わし続け、イスラエル人の前からエホバが滅ぼし尽くした国々よりも悪いことを行なせた。

10 エホバは、神に仕える預言者たちを通して何度も語り掛け、こう言った。11 「ユダの王マナセはこれらのゆるめ忌まわしいことを行い、以前のどのアモリ人よりも邪悪なことをし、汚らわしい偶像でユダに罪を犯させた。12 それでイスラエルの神エホバはこう言う。『私はエルサレムとユダに災難をもたらす。それに

21:11 *ヘブライ語で「ふん」を意味する言葉と関連があると考えられる、嫌惡を表す表現。

20:17 *または、「宮殿」。20:19 *直訳、「真実」。21:3, 5 *直訳、「天の全軍」。

ついて聞く人は皆、衝撃を受けるだろ
う。**13** 私は、サマリアに使った測り
綱をエルサレムの上に伸ばし、アハブ
家に使った水準器を使う。そして、鉢
をきれいに拭いて伏せるかのように、
エルサレムを拭い去る。**14** 私の財
産である残りの者を見捨て、敵の手に
渡す。彼らはあらゆる敵に連れ去ら
れ、略奪される。**15** 彼らは、父祖た
ちがエジプトを出た日から今日まで、
私から見て悪いことを行て私を怒ら
せ続けたからだ』。

16 マナセの罪は、ユダに罪を犯さ
せてエホバから見て悪いことを行わ
せるだけにとどまらなかった。無実の
人の血を大量に流して、その血でエル
サレムの端から端までを満たした。
17 マナセについてのほかの記録、
行ったさまざまなことや犯した罪のこ
とは、ユダの王の時代の歴史書に記さ
れている。**18** マナセはやがて死に、
自分の家の庭園、ウザの庭園に葬ら
れた。代わりにマナセの子アモンが
王になった。

19 アモンは22歳で王になり、エル
サレムで2年治めた。彼の母はメシュ
レメトといい、ヨトバの人ハルツの娘
だった。**20** アモンは、エホバから
見て悪いことを行い続けた。父マナ
セと同じようなことをした。**21** 父と
全く同じ道を歩み続け、父が崇拜し

21:12 *直訳、「耳が鳴る」。**21:13** *または、「下げ振り」。

第21章

[ア] エレ 19:3

[イ] 王二 17:6
エゼ 23:33[ウ] イザ 28:17
哀 2:8[エ] 王一 21:21
王二 10:11

[オ] エレ 25:9

[カ] 申 32:9
王二 17:18[キ] レビ 26:25
申 28:63[ク] 申 9:21
申 31:29
裁 2:11,13[ケ] 王二 24:3,4
エレ 2:34
マタ 23:30
ヘブ 11:37

[コ] 王二 21:23,26

[ク] マタ 1:10

[コ] 代二 33:21

[ク] 代二 33:22,23

第2欄

[ア] 王二 21:1,3

[イ] 王二 22:16,17
エレ 2:13

[ウ] 代二 33:25

[エ] 王二 21:18

[オ] マタ 1:10

第22章

[ア] 王一 13:2

[イ] エレ 1:2
ゼバ 1:1

[ウ] 代二 34:1,2

[エ] ヨシ 15:20,39

[オ] 王一 15:5

[カ] 代二 34:8

[キ] 代一 6:13

[ク] 王二 12:9
代二 34:9[ケ] 王二 12:4,5
代二 24:8

た汚らしい偶像を崇拜してひれ伏
した。**22** 父祖たちの神エホバを捨て
て去り、エホバの道を歩まなかった。
23 やがてアモンの家来たちが謀反
を起こし、王の家でアモンを殺害し
た。**24** しかし国の民は、アモン王
への謀反を起こした人を全て殺し、
アモンの子ヨシヤを代わりに王にし
た。**25** アモンについてのほかの記
録、行ったことは、ユダの王の時代の
歴史書に記されている。**26** アモン
はウザの庭園の自分の墓に葬られた。
代わりにアモンの子ヨシヤが王に
なった。

22 ヨシヤは8歳で王になり、エ
ルサレムで31年治めた。彼の
母はエディダといい、ボツカトの人
アダヤの娘だった。**2** ヨシヤはエホ
バから見て正しいことを行って、父祖
ダビデと全く同じ道を歩み、右にも左
にもそれなかった。

3 ヨシヤ王の治世の第18年、王は
メシュラムの子アツアルヤの子である
秘書官シャファンに次のように言って、
エホバの家に遣わした。**4** 「大祭司
ヒルキヤの所にいきなさい。そして、
エホバの家に持てこられ、戸口番た
ちが民から集めたお金全てを集計さ
せなさい。**5** そのお金をエホバの家
での工事をまとめる人たちに渡させな
さい。その人たちは、それをエホバの
家の破損を修理する労働者に渡し

22:5 *または、「亀裂」。

す。6 職人や建築業者や石工たちです。彼らはそのお金を、家の修理に必要な木材や切り石の購入に使います。7 お金を渡される人たちは信頼できるので、会計報告は必要ありません。

8 その後、大祭司ヒルキヤは秘書官シャファンに、「エホバの家で律法の書を見つけました」と言った。ヒルキヤがその書物をシャファンに渡すと、シャファンはそれを読みだした。9 秘書官シャファンは王のもとに行つて、こう言った。「あなたの家来たちは家に集まったお金を箱から取り出して、エホバの家の工事をまとめる人たちに渡しました」。10 秘書官シャファンは王にさらに言った。「祭司ヒルキヤから1つの書物を渡されました」。そしてシャファンは王の前でそれを読み始めた。

11 王は律法の書の言葉を聞くと、すぐに衣服を引き裂いた。12 それから、祭司ヒルキヤ、シャファンの子アヒカム、ミカヤの子アクボル、秘書官シャファン、家来のアサヤにこう命じた。13 「私のため、民のため、ユダ全体のために、この見つかった書物の言葉についてエホバに尋ねに行きなさい。父祖たちが、私たちに関して書かれていることをしっかり守らず、この書物の言葉に従わなかったで、エホバは私たちに対して怒りを激しく燃やしているのだ」。

第22章

(例) 王二 12:11, 12
代二 34:10

(例) 代二 34:11

(例) 王二 12:15
代二 34:12

(例) 王二 22:3

(例) 申 31:24-26

(例) 代二 34:14, 15

(例) 代二 34:16-18

(例) 申 31:9

(例) 代二 34:19-21
ヨエ 2:13

(例) 王二 25:22
エレ 26:24

(例) 申 4:24
申 29:27
申 31:17

第2欄

(例) 出 15:20
裁 4:4
ネへ 6:14
ルカ 2:36
使徒 21:8, 9

(例) 代二 34:22-28

(例) 王二 22:8

(例) 出 20:3
申 32:17
裁 2:12
エレ 2:11

(例) イザ 2:8

(例) 申 32:22
イザ 33:14
エレ 7:20
エゼ 20:48

(例) 王一 21:29
ヤコ 4:6

(例) 王二 22:11

14 それで、祭司ヒルキヤ、アヒカム、アクボル、シャファン、アサヤは、女預言者フルダの所に行った。フルダは、ハルハスの子ティクワの子である衣裳係シャルムの妻で、エルサレムの第2地区に住んでいた。彼らはそこで彼女に話した。15 彼女は言った。「イスラエルの神エホバはこう言っています。『あなたたちを私のもとに遣わした人に言いなさい。16 「エホバはこう言っている。『私はこの場所と住民に災難をもたらす。ユダの王が読んだ書物の言葉の通りになる。17 彼らが私を捨て、ほかの神々のために犠牲を焼いて煙にし、行いによって私を怒らせたので、私はこの場所に対して怒りを燃やす。その怒りが消えることはない』』。18 だが、エホバに尋ねるようにとあなたたちを遣わしたユダの王にこう言いなさい。『あなたが聞いた言葉について、イスラエルの神エホバはこう言っている。19 『あなたは、この場所と住民に災いが降り掛かってそこは恐怖の光景となると私が語ったのを聞いた時、心が柔らかで、エホバの前で謙遜になって衣服を引き裂き、泣いたので、私エホバはあなたの祈りを聞いたと宣言する。20 それで、私はあなたを先祖たちと共に横たわらせ、あなたは安らかに自分の墓に入る。あなたは私がこの場所にもたらす災いを全く見ない』』。彼らはこの返事を王の所に持ち帰った。

23 それでヨシヤ王は知らせを
送り、ユダとエルサレムの長老全員が呼び集められた。**2** その後、王はエホバの家に上った。ユダの人たちすべて、エルサレムの全住民、祭司と預言者、若い人から年取った人まで民の皆が一緒だった。王は、エホバの家で見つかった契約の書の言葉すべてを皆に聞こえる所で読んだ。**3** 王は柱のそばに立ち、エホバと契約を結んだ。エホバに従い、その書物に記されている契約の言葉を実行し、心を尽くし自分の全てを尽くして、神のおきてと教えと法令を守るという契約である。民は皆、契約に同意した。

4 それから王は、大祭司ヒルキヤと他の祭司と戸口番たちに、エホバの神殿からバアルや聖木や天のすべての星のために作られた器具を全て運び出すよう命じた。そして、それらをエルサレムの外のキデロンの段丘で焼き、灰をベテルに持っていった。**5** また、ユダの町々やエルサレムの周辺の高い場所で犠牲の煙を立ち上らせるようユダの王たちから任命された外国の神の祭司たちや、バアルや太陽や月や黄道帯の星座や天の全ての星のために犠牲の煙を立ち上らせる人たちを一掃した。**6** 王は、エホバの家から聖木をエルサレムの外れのキデロンの谷に運び出し、そこで焼き、粉々

23:3 *または、「再び結んだ」。「または、「思い出させるもの」。**23:4**, **5** *直訳、「天の全軍」。

第23章

(例)代二 34:29, 30

(例)王二 22:8

(例)出 24:8

(例)申 31:26

(例)王二 11:17
代二 15:10, 12

(例)ヨシ 24:24, 25
代二 34:31, 32

(例)王二 22:4

(例)王二 21:1, 7
代二 34:4

(例)王二 12:28, 29

(例)王二 21:1, 3
エレ 8:1, 2

(例)王二 21:1, 7

(例)申 7:25

第2欄

(例)代二 34:4

(例)レビ 18:22
申 23:17, 18
王二 15:11, 12
王二 22:46

(例)ヨシ 21:17, 19
王二 15:22

(例)創 21:31

(例)エゼ 44:10
マラ 2:7, 8

(例)ヨシ 15:8

(例)エゼ 7:31

(例)王二 16:2, 3
エレ 32:35

(例)申 4:19
エゼ 8:16

(例)エゼ 19:13
ゼバ 1:4, 5

(例)王二 21:1, 5

にしてそれを一般の人々の墓にまい
た。**7** さらに、エホバの家にあった
神殿男娼の家を取り壊した。そこは、
女性たちが聖木のための天幕を織っ
ていた場所だった。

8 王は、ユダの町々から祭司全員
を呼び寄せ、祭司たちが犠牲の煙を
立ち上らせていたザバからベエル・
シェバまでの高い場所を汚して使えな
くした。また、都市の長ヨシユアの
門の入り口にあった門の高い場所を
取り壊した。それは、都市の門に入っ
て左側にあった。**9** 高い場所の祭
司たちはエルサレムのエホバの祭
壇で奉仕することはなかったが、兄
弟たちと一緒に無酵母パンを食べた。

10 王はさらに、ヒンノムの子たちの
谷にあったトフェトを汚して使えなくし、
誰も息子や娘を火で焼いてモレクに
捧げることがないようにした。**11** ま
た、ユダの王たちによって太陽に献じ
られた馬が、柱廊にあった廷臣ナタ
ン・メレクの部屋を通してエホバの家
に入るのを禁じ、太陽の兵車を火で焼
いた。**12** アハズの上の部屋の屋根
にユダの王たちが設けた祭壇と、エホ
バの家の2つの庭にマナセが設けた
祭壇を壊し、粉砕して、それをキデロ
ンの谷にまいた。**13** また、エルサ
レムの前、「破壊の山」の南にあった

23:10 *用語集の「ゲヘナ」参照。**23:11** *ま
たは、「食堂」。**23:13** *オリブ山、特にその
南端の、「過ちの山」としても知られる場所のこ
と。「直訳、「右」東に向かって右ということ。

高い場所を汚して使えなくした。それは、イスラエルの王ソロモンが、シドン人の極めて不快な女神アシュレテ、モアブの極めて不快な神ケモシュ、アモン人の忌まわしい神ミルコムのために築いた場所だった。14 王は、聖柱を粉々に砕き、聖木を切り倒し、それらがあつた場所を人骨で満した。15 ベテルにあつた祭壇と、ネバトの子ヤラバアムが造つてイスラエルに罪を犯させた高い場所も取り壊した。祭壇と高い場所を取り壊した後、高い場所を焼き、粉々にし、聖木を焼いた。

16 ヨシヤは振り向いて山にあつた墓を見ると、その墓から骨を取り出させ、それを祭壇で焼いた。祭壇を汚して使えなくしたのである。眞の神に仕える人が予告して広く知らせたエホバの言葉の通りになった。17 その時、ヨシヤは言った。「あそこに見える墓石は誰のですか」。町の人たちが言った。「あれは、ユダから来た眞の神に仕える人の墓です。ベテルの祭壇にあなたがなさつたことを予告した人です」。18 ヨシヤは言った。「誰もその人の骨に触れてはなりません。そのままにしておきなさい」。それで、その人の骨とサマリアから来た預言者の骨は誰にも触れられなかった。

19 ヨシヤは、イスラエルの王たちがサマリアの町々に築いて神を怒ら

第23章

(ワ) 王一 11:5,7
(イ) ゼバ 1:4,5
(ウ) 出 23:24
申 7:5
代二 34:1,3

(ロ) 王一 12:28,33

(ハ) 代二 34:6,7

(ニ) 王一 13:2

(ホ) 王一 13:1

(ヘ) 王一 13:30,31

第2欄

(ワ) 王一 12:25,31
王一 13:32
王二 17:9

(イ) 代二 34:6,7

(ウ) 王一 13:2

(ロ) 出 12:3-14

(ハ) 代二 35:1

(ニ) 代二 35:18,19

(ホ) レビ 19:31
申 18:10,11
王二 21:1,6
イザ 8:19

(ヘ) 創 31:19

(ト) 王二 22:8

(ロ) 民 33:52
申 12:2

(ハ) 申 4:29

(ニ) 王二 21:11,12
王二 23:4,4
エレ 15:4

せた、高い場所の崇拜の家も全て取り除き、ベテルでしたのと同じようにした。20 そこにいた高い場所の祭司たち全員を祭壇で殺し、祭壇で人骨を焼いた。その後、ヨシヤはエルサレムに帰つた。

21 王は民全体に命じた。「この契約の書に記されている通りに、エホバ神の過ぎ越しを執り行いなさい」。22 裁きび人がイスラエルを裁いていた時代以来なかつたほどの、またイスラエルの王とユダの王のどの時代にもなかつたほどの過ぎ越しが執り行われた。23 ヨシヤ王の治世の第18年に、そのエホバの過ぎ越しがエルサレムで執り行われた。

24 ヨシヤはまた、霊媒師や占い師、テラフィム像や汚らしい偶像、ユダとエルサレムにあつた極めて不快なもの全てを排除した。祭司ヒルキヤがエホバの家で見つけた書物に記されている律法の言葉の通りにするためだった。25 ヨシヤのように、モーセの律法全てに従つて、心を尽くし、力を尽くし、自分の全てを尽くして、エホバのもとに戻ろうとした王は後にも先にもいなかった。

26 しかし、エホバがマナセの不快な行為のことでユダに対して燃やした怒りは、収まらなかった。27 エホバ

23:24 *または、「家の神」、「偶像」。#ヘブライ語で「ふん」を意味する言葉と関連があると考えられる、嫌悪を表す表現。

は言った。「私はイスラエルと同じよう
にユダも私の前から取りのける。私が
選んだこの都市エルサレムも、『私の
名はずっとそこにある』と言った家も
退ける」。

28 ヨシヤについてのほかの記録、
行ったさまざまなことは、ユダの王の時
代の歴史書に記されている。29 ヨ
シヤの時代に、エジプトの王ファラオ・
ネコがアッシリアの王を助けにユーフ
ラテス川のそばに来た。ヨシヤ王はネ
コに立ち向かおうと出ていった。ヨシ
ヤを見たネコは、メギドでヨシヤを殺
した。30 それでヨシヤの家来たち
が遺体を兵車に載せてメギドからエ
ルサレムに運び、ヨシヤの墓に葬った。
その後、国の民はヨシヤの子エホア
ズを選んで油を注ぎ、父の代わりに王
にした。

31 エホアハズは23歳で王になり、
エルサレムで3カ月治めた。彼の母は
ハムタルといい、リブナの人エリミヤ
の娘だった。32 エホアハズは父祖
たちと全く同じように、エホバから見
て悪いことを行い始めた。33 ファラ
オ・ネコはエホアハズをハマト地方
のリブラで拘禁して、エルサレムで治
められないようにし、国に3.4トンの銀
と34キロの金を課した。34 その上、
ファラオ・ネコはヨシヤの子エリヤキム
を父ヨシヤの代わりに王にし、名前を
エホヤキムに改名させた。また、エホ

第23章

(例) 王二 18:11
王二 21:13

(イ) 申 29:28
王二 25:11
エゼ 23:33

(例) 申 12:5
王一 8:29
王一 9:3

(例) 王一 9:15
代二 35:20-
25
ゼカ 12:11

(例) 代二 36:1,2

(例) エレ 22:11

(例) 王二 24:18

(例) 王二 21:1,2
王二 21:19-21

(例) 王二 23:29

(例) エレ 39:5
エレ 52:10

(例) 代二 36:3

第2欄

(例) 代二 36:4,5

(イ) エレ 22:11,12

(例) エレ 1:3
エレ 22:18,19

(例) 代二 36:5

(例) 代二 28:24,25
代二 33:1,4

(例) エレ 26:21
エレ 36:22-24

第24章

(例) エレ 25:1

(例) エレ 46:2

ダニ 1:1

ダニ 3:1

ダニ 4:33

(例) ハバ 1:6

(例) レビ 26:27,28
申 28:15
王二 23:27

(例) レビ 26:33
申 4:26

(例) 王二 21:11
王二 23:26

(例) 王二 21:16
エレ 2:34
エレ 19:4

(例) エレ 15:1
哀 3:42

アハズをエジプトに連れていき、エホ
アハズはそこで死んだ。35 エホヤ
キムは銀と金をファラオに納めた。
ファラオの要求に応じて銀を納めるた
め、国に税を課さなければならなかつ
た。ファラオ・ネコに納めるために、国
民一人一人から、査定した量の銀と金
を取り立てた。

36 エホヤキムは25歳で王になり、
エルサレムで11年治めた。彼の母は
ゼビダといい、ルマの人ペダヤの娘
だった。37 エホヤキムは父祖たち
と全く同じように、エホバから見て悪
いことを行い続けた。

24 エホヤキムの時代に、バビ
ロンのネブカドネザル王が
攻めに来て、エホヤキムは3年の間
服従した。その後、エホヤキムはネ
ブカドネザルに背を向け、反逆した。

2 エホバはエホヤキムに対して、カ
ルデア人、シリア人、モアブ人、アン
モン人の略奪隊を送り込んだ。ユダ
を滅ぼすためにそうし続けた。神に仕
える預言者たちを通してエホバが
語った言葉の通りだった。3 エホバ
は、ユダをご自分の前から取りのける
ため、こうしたことがユダに起きよう
命じたのだ。マナセが犯したさま
ざまな罪のゆえ、4 マナセが流した
無実の人の血のゆえである。マナセ
は無実の人の血でエルサレムを満た
した。エホバは許そうとはしなかった。

5 エホヤキムについてのほかの記

ろく おこな
録、行ったさまざまなことは、ユダの
おう じだい れき しよ する
王の時代の歴史書に記されている。

6 エホヤキムはやがて死に、代わり
にエホヤキムの子エホヤキンが王に
なった。

7 エジプトの王が国外に進軍する
ことはもうなかった。バビロンの王が、
エジプトの谷からユーフラテス川まで、
エジプトの王のものを全てを占領してい
たからである。

8 エホヤキンは18歳で王になり、
エルサレムで3カ月治めた。彼の母は
ネフシュタといい、エルサレムの人エ
ルナタンの娘だった。9 エホヤキンは
父と全く同じように、エホバから見
て悪いことを行い続けた。10 その
頃、バビロンのネブカドネザル王の家
来たちがエルサレムを攻めに来て、都
市は包囲された。11 家来たちが包
囲している間に、バビロンのネブカド
ネザル王も都市に来た。

12 ユダのエホヤキン王は、母親や
家来や高官や廷臣たちと共にバビロ
ンの王に降伏した。バビロンの王は
治世の第8年にエホヤキンを捕らえ
た。13 バビロンの王はエホバの家
の財宝と王の家の財宝を全て運び出
し、イスラエルの王ソロモンが作った、
エホバの神殿の金の器具を全部打ち
砕いた。エホバが予告した通りだっ
た。14 そして、エルサレムの全ての

24:7 *または、「ワジ」。24:13 *または、「宮
殿」。

第24章

(ア) 代ニ 36:8
(イ) エレ 22:18,19
エレ 36:30
(ロ) 民 34:2,5
(カ) 創 15:18
王一 4:21
(コ) エレ 46:2
(ク) エレ 24:1
エレ 37:1
(ケ) 代ニ 36:8
(コ) ダニ 1:1
(ク) エレ 29:1,2
(コ) 代ニ 36:9,10
エレ 24:1
エゼ 17:12
(ケ) エレ 52:28
(コ) 王ニ 20:13,17
(ク) 王一 7:48-50
エズ 1:7
ダニ 5:2

第2欄

(ア) ダニ 1:3,6
(イ) エレ 24:1
(ロ) 王ニ 25:12
(カ) 王ニ 25:27
代一 3:17
(コ) エレ 22:24,25
代一 3:15
(ケ) 代ニ 36:10-12
エレ 37:1
エレ 52:1
(ク) 王ニ 23:31
(コ) 王ニ 23:36,37
エレ 24:8
エレ 37:1,2
エレ 38:5,6
エゼ 21:25
(ク) 王ニ 23:27
(ケ) 代ニ 36:11,13
エレ 27:12
エレ 38:17
エゼ 17:12-15

第25章

(コ) エレ 27:8
エレ 43:10
ダニ 4:1
(ク) 代ニ 36:17
エレ 34:2
エゼ 24:1,2
(ケ) イザ 29:3
エレ 32:2,28
エレ 39:1
エレ 52:4,5
エゼ 4:1,2
エゼ 21:21,22

ひと こうかん つよ せん し ぜんいん しょくにん か
人、高官や強い戦士の全員、職人や鍛
治屋の皆を捕らえて、1万人を連れて
いった。国の最も貧しい人たち以外は
誰も残されなかった。15 こうして、
バビロンの王はエホヤキンを捕らえて
バビロンに連れていった。王の母親、
王の妻たち、廷臣たち、国の主立った
人々も捕らえてエルサレムからバビ
ロンに連れていった。16 戦士7000
人全てと、職人や鍛治屋の1000人も
連れていった。皆、戦いの訓練を受け
た勇敢な人々だった。17 バビロ
ンの王はエホヤキンの代わりにエホ
ヤキンの叔父マタヌヤを王にし、名前
をゼデキヤに改名させた。

18 ゼデキヤは21歳で王になり、エ
ルサレムで11年治めた。彼の母はハ
ムタルといい、リブナの人エレミヤの
娘だった。19 ゼデキヤはエホヤキ
ムと全く同じように、エホバから見
て悪いことを行い続けた。20 エルサ
レムとユダで起きたことはエホバを怒
らせ、ついに神は彼らを投げ捨てた。
そして、ゼデキヤはバビロンの王に反
逆した。

25 ゼデキヤの治世の第9年、第
10の月の10日に、バビロ
ンのネブカドネザル王が全軍を率
いてエルサレムに攻めてきて、陣営
を張り、都市の周囲に包囲壁を建て
た。2 都市はゼデキヤ王の治世の
第11年になっても包囲されていた。

24:14, 16 *もしかすると、「とりでを築く人」。

3 第4の月の9日、都市の中では飢餓がひどく、民のための食糧はなくなっていた。4 都市の城壁が破られ、兵士たちは皆、カルデア人が都市を囲む中、王の庭園のそばの2重の城壁の間の門を通して夜のうちに逃げた。王はアラバの道を行った。5 しかし、カルデア人の軍隊は王の後を追ひ、エリコの砂漠平原で追い付いた。王の兵士たちは皆、散り散りになった。6 王は捕らえられ、リブラにいるバビロンの王のもとに連れていかれて、刑を宣告された。7 ゼデキヤの子たちはゼデキヤの目の前で殺された。ネブカドネザルはゼデキヤを失明させ、銅の足かせをはめてバビロンに連れていった。

8 第5の月の7日、バビロンのネブカドネザル王の治世の第19年のこと、バビロンの王の家来で護衛官の長であるネブザラダンが、エルサレムに来了。9 彼はエホバの家と王の家とエルサレムの全ての家を焼き払った。著名な人の家も全部焼き払った。10 エルサレムの周囲の城壁は、護衛官の長と共にいたカルデア人の全軍によって取り壊された。11 護衛官の長ネブザラダンは、都市に残されていた人たちと、バビロンの王に投降した人たちと、残りの住民を連れ去った。12 ただし、最も貧しい人たちをいづらか残しておき、ブドウの

第25章

(ア) レビ 26:26
申 28:53
エレ 37:21
エレ 38:2
哀 4:4
エゼ 4:16
エゼ 5:10, 12
(イ) エレ 52:6-11
(ロ) エレ 21:4
エレ 39:2, 4-7
エゼ 33:21
(ウ) エゼ 12:12
(エ) エレ 21:7
(カ) エレ 32:4, 5
エゼ 12:12, 13
エゼ 17:16
(ケ) エレ 40:1
(コ) エレ 52:12-14
哀 4:12
(ク) ワ一 9:8
詩 74:3
詩 79:1
イザ 64:11
エレ 7:14
哀 1:10
哀 2:7
ミカ 3:12
(ク) ワ一 7:1
(ロ) エレ 34:22
(シ) 代二 36:19
(ス) ネヘ 1:3
エレ 39:8
(セ) エレ 15:2
エレ 39:9
エレ 52:15, 30
エゼ 5:2

第2欄

(ア) エレ 39:10
エレ 52:16
(イ) ワ一 7:15
(ロ) ワ一 7:27
(ウ) ワ一 7:23
(エ) ワ一 20:17
エレ 52:17-20
ワ一 7:48, 50
(ケ) 代二 24:14
代二 36:18
エズ 1:7, 10, 11
ダニ 5:2
(ク) ワ一 7:47
(コ) ワ一 7:15
(ク) ワ一 7:16, 20
エレ 52:21-23
(ケ) エズ 7:1
(コ) エレ 21:1, 2
エレ 29:25, 29
(ス) エレ 52:24-27
(セ) ワ二 25:8
エレ 39:9
エレ 40:1
(ケ) エレ 39:5
(コ) 民 34:2, 8
王一 8:65
(ケ) 申 28:36, 64
王二 23:27
エレ 25:11

さいばいにん きょうせいろうどうしや はたら せ
栽培人と強制労働者として働かせた。13 カルデア人は、エホバの家の銅の柱と、エホバの家にあった台車と銅の「海」を粉々に砕いて、銅をバビロンへ持ち去った。14 また、神、シャベル、明かり消し、杯など、神殿での奉仕に使う銅の器具を全て奪った。15 護衛官の長は、純金や純銀でできた炭入れや鉢を奪った。16 ソロモンがエホバの家のために造った2本の柱と「海」と台車、これら全てに使われた銅は量り切れなかった。17 それぞれの柱は高さ8メートルだった。柱の上の柱頭も銅でできていて高さ1.3メートルだった。柱頭の周囲の網細工とザクロも全て銅でできていた。2本目の柱と網細工も同じ造りだった。18 護衛官の長は、祭司長セラヤと次位の祭司ゼパニヤと3人の戸口番も連れ去った。19 また、兵士たちを監督していた廷臣1人、市内にいた王の側近5人、軍隊の長の秘書官で徴兵を行っていた人、まだ市内にいた一般の人60人を、都市から連れ去った。20 護衛官の長ネブザラダンはこれらの人を捕らえ、リブラにいるバビロンの王のもとに連れていったのである。21 バビロンの王はハマト地方のリブラで彼らを殺した。こうしてユダは捕囚にされ、国を追われた。22 バビロンのネブカドネザル王は、

ユダの土地に残された民のために、
 シャファンの子アヒカムの王がゲダ
 リヤを総督に任命した。23 軍隊長たち
 と部下たちは皆、バビロンの王がゲダ
 リヤを総督に任命したことを聞き、直
 ちにミツパにいるゲダリヤの所に行っ
 た。ネタヌヤの子イシュマエル、カレ
 アハの子ヨハナン、ネトファの人タヌ
 フメトの子セラヤ、マアカトの子ヤ
 アザヌヤが、部下たちと共にいった。
 24 ゲダリヤは彼らと部下たちに誓い、
 こう言った。「カルデア人に仕えること
 を恐れてはなりません。この土地に住
 んでバビロンの王に仕えれば、物事は
 うまいいきます」。

25 第7の月に、王家の子孫でエリ
 シャマの子ネタヌヤの子イシュマエル
 が、10人の部下を連れてミツパに来て

第25章

(ア) エレ 40:5,6

(イ) 王二 22:8

(ウ) エレ 26:24

(エ) エレ 39:13,14

(オ) エレ 40:7-9

(カ) エレ 27:12

(キ) エレ 40:15

第2欄

(ア) エレ 41:1,2

(イ) エレ 42:14
エレ 43:4,7

(ウ) エレ 41:17,18

(エ) 王二 24:8,12
エレ 24:1
マタ 1:11

(オ) エレ 52:31-34

ゲダリヤを殺し、ゲダリヤと共にいた
 ユダヤ人とカルデア人たちも殺した。
 26 その後、民は皆、若い人も年取っ
 た人も、軍隊長たちも、エジプトに向
 けて出発した。カルデア人を恐れた
 のである。

27 ユダのエホヤキン王が捕囚に
 されて37年目の、第12の月の27日、
 その年に即位したバビロンのエビル・
 メロダク王は、ユダのエホヤキン王を
 牢屋から釈放した。28 そして親切
 に語り掛け、彼と共にバビロンにいた
 他の王たちよりも上の立場を与え
 た。29 それでエホヤキンは囚人服
 を脱ぎ、生涯中いつもバビロンの王の
 前で食事をした。30 彼は生きてい
 る間、毎日定期的に王から食物を与
 えられた。

歴代誌 第一

概要

- 1 アダムからアブラハムまで (1-27)
アブラハムの子孫 (28-37)
エドム人、王や首長たち (38-54)
- 2 イスラエルの12人の子 (1, 2)
ユダの子孫 (3-55)
- 3 ダビデの子孫 (1-9)
ダビデ王家の系譜 (10-24)
- 4 ユダの他の子孫 (1-23)
祈りを捧げたヤベツ (9, 10)
シメオンの子孫 (24-43)
- 5 ルベンの子孫 (1-10)
ガドの子孫 (11-17)

- ハグル人が制圧される (18-22)
マナセ族の半分 (23-26)
- 6 レビの子孫 (1-30)
神殿の歌い手 (31-47)
アロンの子孫 (48-53)
レビ族の居住地 (54-81)
- 7 イッサカルの子孫 (1-5)、ベニヤミンの子孫
(6-12)、ナフタリの子孫 (13)、マナセの子孫
(14-19)、エフライムの子孫 (20-29)、アシエル
の子孫 (30-40)
- 8 ベニヤミンの子孫 (1-40)
サウルの家系 (33-40)
- 9 捕囚の地から帰還後の系譜 (1-34)

- サウルの家系の再列挙 (35-44)
- 10 サウルと息子たちの死 (1-14)
 - 11 ダビデは油を注がれてイスラエル全体の王になる (1-3)
ダビデはシオンを攻め取る (4-9)
ダビデの勇士たち (10-47)
 - 12 ダビデの王権を支持した人たち (1-40)
 - 13 キルヤト・エアリムから箱が運び出される (1-14)
ウザが打たれ、死ぬ (9, 10)
 - 14 ダビデの王権が確立される (1, 2)
ダビデの家族 (3-7)
フィリスティア人が打ち破られる (8-17)
 - 15 レビ族が箱をエルサレムに運ぶ (1-29)
ミカルがダビデを軽蔑する (29)
 - 16 箱が天幕の中に置かれる (1-6)
ダビデの感謝の歌 (7-36)
「エホバは王になった!」(31)
箱の前での奉仕 (37-43)
 - 17 ダビデが神殿を建てることはない (1-6)
王国のためのダビデとの契約 (7-15)
ダビデの感謝の祈り (16-27)
 - 18 ダビデの数々の勝利 (1-13)
ダビデの統治体制 (14-17)
 - 19 アンモン人がダビデの使者たちを侮辱する (1-5)
- アンモンとシリアに対する勝利 (6-19)
- 20 ラバの攻略 (1-3)
フィリスティア人の巨人たちを討つ (4-8)
 - 21 ダビデは不適切にも人口調査を行う (1-6)
エホバからの罰 (7-17)
ダビデは祭壇を作る (18-30)
 - 22 神殿建設のためにダビデがした準備 (1-5)
ダビデからのソロモンへの指示 (6-16)
高官たちにソロモンへの協力が命じられる (17-19)
 - 23 ダビデはレビ族を組織する (1-32)
アロンとその子たちが取り分けられる (13)
 - 24 ダビデは祭司を24の組に分けて組織する (1-19)
他のレビ族の配属 (20-31)
 - 25 神の家の音楽家と歌い手 (1-31)
 - 26 門番の組 (1-19)
宝物庫の担当者と他の役人 (20-32)
 - 27 王に仕えた役人 (1-34)
 - 28 神殿建設についてのダビデの講話 (1-8)
ソロモンに指示を与え、設計図を渡す (9-21)
 - 29 神殿のための寄進物 (1-9)
ダビデの祈り (10-19)
民の喜びとソロモン王の即位 (20-25)
ダビデの死 (26-30)

- 1** アダム,
セツ,
エノシュ,
2 ケナン,
マハラレル,
ヤレド,
3 エノク,
メトセラ,
レメク,
4 ノア,

第1章

(7) 創 4:25
(4) 創 5:12, 15
(7) 創 5:18
(12) ヘブ 11:5
(8) 創 5:25, 28
(7) 創 5:29

第2章

(7) 創 11:10
(4) 創 6:10
(7) イザ 66:19
(12) エゼ 27:13
(8) 創 10:2
(7) 創 10:3
エゼ 27:14
(8) イザ 11:11
(7) 創 10:6

セム, ハム, ヤベテ.

5 ヤベテの子は、ゴメル、マゴグ、マ
ダイ、ヤワン、トバル、メシエク、ティラス。

6 ゴメルの子は、アシュケナズ、リ
ファト、トガルマ。

7 ヤワンの子は、エリシャ、タル
シシュ、キッテム、ロダニム。

8 ハムの子は、クシュ、ミツライム、
プト、カナン。

1:5 *用語集参照。

9 クシュの子は、セバ、ハビラ、サ
ブタ、ラアマ、サブテカ。

ラアマの子は、シェバ、デダン。

10 クシュにはニムロデも生まれ
た。ニムロデは、地上で力を振るっ
た最初の人だった。

11 ミツライムの子は、ルディム、
アナミム、レハビム、ナフトヒム、

12 パトルシム、カスルヒム(この家
系からフィリスティア人が出た)、カ
フトリム。

13 カナンの子は、長男シドン、ヘ
ト、14 エブス人、アモリ人、ギルガ
シ人、15 ヒビ人、アルキン人、シニ
人、16 アルワド人、ツェマル人、ハ
マト人。

17 セムの子は、エラム、アシュル、
アルパクシャド、ルド、アラム、
ウツ、フル、ゲテル、マシユ。

18 アルパクシャドの子はシェラ
ハ、シェラハの子はエベル。

19 エベルには2人の子が生まれ
た。一方はペレグといった。彼の生
涯中に地上の人々が分けられたか
らだった。ペレグの兄弟はヨクタン
といった。

20 ヨクタンの子は、アルモダド、
シェレフ、ハツアルマベト、エラ
ハ、21 ハドラム、ウザル、ディク
ラ、22 オバル、アビマエル、シェ
バ、23 オフィル、ハビラ、ヨバブ。

1:17 *ここから後はアラムの子。創 10:23参照。

1:19 *意味、「分離」。^a直訳、「地」。

第1章

(ア) 詩 72:10
(イ) エゼ 27:22
(ウ) 創 10:7
(エ) 創 10:8,9
(オ) エレ 46:9
(カ) 創 10:13,14
(キ) エゼ 29:14
(ク) ヨシ 13:2,3
(コ) 申 2:23
アモ 9:7
(コ) イザ 23:2
(ケ) 創 10:15-18
(コ) 裁 1:21
(ク) 創 15:16
民 13:29
申 3:8
(セ) 申 7:1

(ソ) ヨシ 9:3,7
(ソ) エゼ 27:11
(ソ) エズ 4:9
(ソ) エゼ 27:23
(ソ) 創 10:22,23
(ト) 創 11:14
(ト) 創 11:19
(ニ) 創 10:26-29
(ウ) 王一 9:28
(エ) 創 2:11
創 25:18

第2欄

(ア) 創 11:19
(イ) 創 11:21
(ウ) 創 11:23
(エ) 創 11:25
(オ) 創 11:26
(カ) 創 17:5
(キ) 創 21:3
(ク) 創 16:11,12
(コ) 創 28:9
(コ) エゼ 27:21
(ケ) 創 25:13-15
(コ) 創 25:1-4
(ク) 創 37:28
(セ) ヨブ 2:11
(ソ) イザ 21:13
(ソ) イザ 60:6
(ソ) 使徒 7:8
(ソ) 創 25:25
(ソ) 創 32:28

これらの人は皆、ヨクタンの子で
ある。

24 セム、
アルパクシャド、
シェラハ、

25 エベル、
ペレグ、
レウ、

26 セルグ、
ナホル、
テラ、

27 アブラム、すなわちアブラハム。

28 アブラハムの子は、イサク、イ
シュマエル。

29 彼らの子は次の通りである。イ
シュマエルの長男ネバヨト、ケダル、ア
ドベエル、ミブサム、30 ミシュマ、ド
マ、マサ、ハダド、テマ、31 エトル、ナ
フィシュ、ケドマ。これらの人がイシュマ
エルの子である。

32 アブラハムのそばめケトラが産
んだ子は、ジムラン、ヨクシャン、メダン、
ミディアン、イシュバク、シュアハ。

ヨクシャンの子は、シェバ、デダン。

33 ミディアンの子は、エファ、エ
フェル、ハノク、アビダ、エルダア。

これらの人は皆、ケトラの子で
ある。

34 アブラハムの子はイサク。イサ
クの子は、エサウ、イスラエル。

35 エサウの子は、エリバズ、レウ

1:32 *用語集参照。

エル, エウシュ, ヤラム, コラ。

36 エリパズの子は, テマン, オマル, ツェフォ, ガタム, ケナズ, ティムナ, アマレク。

37 レウエルの子は, ナハト, ゼラハ, シャマ, ミザ。

38 セイルの子は, ロタン, ショバル, ツィベオン, アナ, ディション, エツェル, ディシャン。

39 ロタンの子は, ホリ, ホナム。ロタンの姉妹は, ティムナ。

40 ショバルの子は, アルワン, マナハト, エバル, シェフォ, オナム。

ツィベオンの子, アヤ, アナ。

41 アナの子はディション。

ディションの子は, ヘムダン, エシュバン, イトラン, ケラン。

42 エツェルの子は, ビルハン, ザアワン, アカン。

ディシャンの子は, ウツ, アラン。

43 以下は, イスラエル人を治める王がまだいない時に, エドム地方で治めた王たちである。ベオルの子ペラ。町の名前はディヌハバといった。

44 ペラが死ぬと, ボツラの人ゼラハの子ヨバブが代わって治めた。

45 ヨバブが死ぬと, テマン人の土地から出たフシャムが代わって治めた。

46 フシャムが死ぬと, モアブの領土でメディアンを打ち破った, ベダドの子ハダドが代わって治めた。町の

第1章

(7) 創 36:4,5

(1) オバ9

(7) 創 36:11,12

(12) 創 36:13

(12) 創 36:18

(7) 創 36:20,21

(12) 創 36:22

(7) 創 36:23,24

(7) 創 36:25,26

(12) 代一 1:38

(12) 創 36:27,28

(12) 創 36:31-39

(12) 創 32:3

(12) エレ 49:13

第2欄

(7) 創 36:40-43

第2章

(1) 創 32:28

(7) 創 29:32

創 49:3,4

(12) 創 29:33

(12) 創 29:34

創 49:5-7

創 49:8-12

ヘブ7:14

(12) 創 30:18

創 49:14,15

(7) 創 30:20

創 49:13

(7) 創 30:4-6

創 49:16-18

(12) 創 30:22,24

創 49:22-26

(12) 創 35:16,18

創 49:27

(12) 創 30:7,8

創 49:21

(12) 創 30:9-11

創 49:19

(12) 創 30:12,13

創 49:20

(12) 創 38:2-5

(12) 創 38:7

(12) 創 38:11

(7) 創 3:23,33

(12) 民 26:21

名前はアビトといった。**47** ハダドが死ぬと, マスレカの人サムラが代わって治めた。**48** サムラが死ぬと, 川のそばのレホボトの人シャウルが代わって治めた。**49** シャウルが死ぬと, アクボルの子バアル・ハナンが代わって治めた。**50** バアル・ハナンが死ぬと, ハダドが代わって治めた。町の名前はパウといった。妻はメヘタブエルといい, マトレドの娘でメザハブの孫娘である。**51** やがてハダドも死んだ。

エドムの首長は, ティムナ首長, アルワ首長, エテト首長, **52** オホリバマ首長, エラ首長, ピノン首長, **53** ケナズ首長, テマン首長, ミブツアル首長, **54** マグディエル首長, イラム首長。これらの人がエドムの首長である。

2 イスラエルの子は次の通りである。ルベン, シメオン, レビ, ユダ, イッサカル, ゼブルン, **2** ダン, ヨセフ, ベニヤミン, ナフタリ, ガド, アシエル。

3 ユダの子は, エル, オナン, シェラ。この3人の母はカナン人で, シュアの娘である。ユダの長男エルはエホバにとって不快なことをしていたため, 神はエルを死に至らせた。**4** ユダの息子の妻タマルとユダの間に, ペレツとゼラハが生まれた。ユダの子は全部で5人である。

5 ペレツの子は, ヘツロン, ハムル。

6 ゼラハの子は, ジムリ, エタン, ヘ

マン、カルコル、ダラ。全部で5人である。

7 カルミの子はアカルで、イスラエルに災難をもたらし、滅ぼし尽くされるべきものに関して不忠実だった。

8 エタンの子はアザリヤ。

9 ヘツロンの子は、エラフメエル、ラム、ケルバイ。

10 ラムの子はアミナダブ。アミナダブの子は、ユダの子孫の長ナフシオン。11 ナフシオンの子はサルマ。サルマの子はボアズ。12 ボアズの子はオベデ。オベデの子はエッサイ。13 エッサイの子は、長男エリアブ、次男アビナダブ、三男シムア、14 四男ネタヌエル、五男ラダイ、15 六男オツェム、七男ダビデ。16 そして娘のツェルヤとアビガイル。ツェルヤの子は、アビシャイ、ヨアブ、アサエルの3人。17 アビガイルはアマサを産んだ。アマサの父はイシュマエル人エテルである。

18 ヘツロンの子カレブと妻アズバとの間、またエリオトとの間に、エシェル、シヨバブ、アルドンが生まれた。19 アズバが死ぬと、カレブはエフラトと結婚した。彼女との間にフルが生まれた。20 フルの子

2:7 *意味、「災難をもたらし者」、「追放をもたらし者」。ヨシ 7:1でアカンとも呼ばれている。*または、「悩み」、「追放」。2:9 *18, 19, 42節でカレブとも呼ばれている。2:18 *9節でケルバイとも呼ばれている。

第2章

(7) ヨシ 7:15,18

(1) 申 7:26

ヨシ 6:18

ヨシ 22:20

(7) サー 27:10

(12) ルツ 4:19-21

マタ 1:3

(7) マタ 1:4,5

(7) 民 2:3

(1) ルカ 3:23,32

(7) ルツ 2:1

(7) ルツ 4:17,22

サー 16:1

(12) サー 17:13

(7) サー 16:6-10

(12) サー 16:13

サー 17:12

マタ 1:6

(12) サニ 17:25

(12) サニ 21:17

サニ 23:18,19

(7) サニ 8:16

代一 11:6

(7) サニ 2:18

サニ 3:30

サニ 23:24

(7) サニ 19:13

王一 2:5

(7) 代一 4:4

(7) 出 17:12

出 24:14

第2欄

(7) 出 31:2-5

出 36:1

出 37:1

(1) 民 26:29

ヨシ 17:1

(7) 創 50:23

代一 7:14

(12) 申 3:14

ヨシ 13:29,30

(7) 民 32:40,41

(7) サニ 3:3

サニ 13:38

(7) サニ 8:6

(7) 民 32:42

(7) 王一 4:13

(12) 創 46:12

(7) 代一 4:5

(12) ネ 3:5

はウリ。ウリの子はベザレル。

21 その後、ヘツロンはギレアデの父マキルの娘と関係を持った。ヘツロンが彼女と結婚したのは60歳の時で、彼女との間にセグブが生まれた。

22 セグブの子はヤイルで、ヤイルはギレアデ地方に23の町を所有した。

23 (やがて、ゲシュルとシリアが、ケナトと周辺の町と共にハボト・ヤイルなど60の町を取った。)これらの人は皆、ギレアデの父マキルの子孫である。

24 ヘツロンがカレブ・エフラタで死んだ後、ヘツロンの妻アビヤは彼の子アシュフルを産んだ。アシュフルはテコアの父である。

25 ヘツロンの長男エラフメエルの子は、長男ラム、ブナ、オレン、オツェム、アヒヤ。26 エラフメエルには、アタラというもう1人の妻がいた。彼女の子はオナムである。

27 エラフメエルの長男ラムの子は、マアツ、ヤミン、エケル。28 オナムの子は、シャマイ、ヤダ。シャマイの子は、ナダブ、アビシュル。29 アビシュルの妻はアビハイルといい、アフバンとモリドを産んだ。30 ナダブの子は、セレド、アパイム。セレドは子がないまま死んだ。31 アパイムの子はイシュイ。イシュイの子はシェジャン。シェジャンの子は

2:23 *または、「それに依存する」。2:24 *歴代誌第一で列挙されている名前は、人名ではなく地名のこともある。地名の場合、「父」は「創建者」という意味かもしれない。

アフライ。32 シャマイの兄弟ヤダの子は、エテル、ヨナタン。エテルは子がないまま死んだ。33 ヨナタンの子は、ペレト、ザザ。これらの人がエラフメエルの子孫である。

34 シェシャンには息子がおらず、娘たちがいた。彼にはヤルハというエジプト人の召し使いがいた。

35 シェシャンは召し使いヤルハに娘を妻として与えた。彼女はアタイを産んだ。36 アタイの子はナタン。ナタンの子はザバド。37 ザバドの子はエフラル。エフラルの子はオベデ。38 オベデの子はエヒウ。エヒウの子はアザリヤ。39 アザリヤの子はヘレツ。ヘレツの子はエルアサ。40 エルアサの子はシスマイ。シスマイの子はシャルム。41 シャルムの子はエカムヤ。エカムヤの子はエリシャマ。

42 エラフメエルの兄弟カレブの子は、ジフの父となった長男メシャ、ヘブロンちちの父マレシャの子たち。43 ヘブロンの子は、コラ、タブアハ、レケム、シエマ。44 シエマの子はラハム。ラハムの子はヨルケアム。レケムの子はシャマイ。45 シャマイの子はマオン。マオンの子はベト・ツル。46 カレブのそばめエファは、ハラン、モツァ、ガゼズを産んだ。ハランの子はガゼズ。47 ヤフダイの子は、レゲム、ヨタム、

第2章

例代 2:9

例ヨシ 15:20, 58
ネヘ 3:16

第2欄

例ヨシ 15:21, 31

例ヨシ 15:20, 57

例代 2:18

例ヨシ 15:16, 17

例代 2:19

例出 17:12
出 24:14

例ヨシ 15:9, 12
代 13:5

例創 35:19
ヨハ 7:42

例代 11:10, 40

例代 4:2

例ヨシ 15:20, 33

例創 35:19
マタ 2:1

例王二 10:15
エレ 35:6, 19

例裁 1:16
裁 4:11
サー 15:6

第3章

例サニ 3:2-5

例サー 25:43

例サニ 13:32

例サー 25:2, 39

例サニ 13:28, 37
サニ 15:10
サニ 18:14

ゲジャン、ペレト、エファ、シャアフ。

48 カレブのそばめマアカは、シェベル、ティルハナを産んだ。49 やがてマアカは、シャアフ、シェワを産んだ。シャアフはマドマナの父、シェワはマクベナとギブアの父である。カレブの娘はアクサ。50 これらの人がカレブの子孫である。

エフラタの長男フルの子は、キルヤト・エアリの父シヨバル、51 ベツレヘムの父サルマ、ベト・ガデルの父ハレフ。52 キルヤト・エアリの父シヨバルの子は、ハロエ、メヌホトの人々の半分。53 キルヤト・エアリの氏族は、イトル氏族、プテ氏族、シュマ氏族、ミシュラ氏族。これらの氏族から、ツォルア人とエシュタオルの人々が出た。

54 サルマの子は、ベツレヘムのひとびと、ネトファの人々、アトロト・ベト・ヨアブの人々、マナハト人の半分、ツォルイ人。55 ヤベツに住んでいた書記の氏族は、ティルア氏族、シムアト氏族、スカト氏族。これらの人たちは、レカブの氏族の父ハムマトから出たケニ人である。

3 ヘブロンで生まれたダビデの子は次の通りである。エズレルのアヒノアムが産んだ長男アムノン、カルメルの人アビガイルが産んだ次男ダニエル、2 ゲシュルの王タルマイの娘マアカが産んだ三男アブサロム、

ハギトが産んだ^う四男^{よなん}アドニヤ、**3** ア
ビタルが産んだ^う五男^{ごなん}シェファトヤ、ダ
ビデの妻^{つま}エグラが産んだ^う六男^{ろくなん}イトレア
ム。**4** この6人が^{にん}ヘブロンでダビデ
に^う生まれた。ダビデはそこで^{ねん}7年6カ
月^{げつおき}治め、エルサレムで^{ねんおき}33年治めた。

5 エルサレムでダビデに^う生まれた
子は次の通りである。シムア、ショ
バブ、ナタン、ソロモン。この4人の
母^{はは}は、アミエルの娘^{むすめ}パテ・シパである。

6 ほかの9人の子は、イブハル、エリ
シャマ、エリフェルト、**7** ノガハ、ネフェ
グ、ヤフィア、**8** エリシャマ、エルヤダ、
エリフェルト。**9** これらの人^{ひと}は皆^{みな}ダビ
デの子である。ほかに側室^{そくしつ}の子もい
た。さらに、娘^{むすめ}タマルがいた。

10 ソロモンの子孫^{しそん}を^あ挙げていく
と、レハベアム、アビヤ、アサ、エホシャ
ファト、**11** エホラム、アハジヤ、エ
ホアシュ、**12** アマジヤ、アザリヤ、ヨ
タム、**13** アハズ、ヒゼキヤ、マナ
セ、**14** アモン、ヨシヤ。**15** ヨシ
ヤの子^こは、長男^{ちやうなん}ヨハナン、次男^{じなん}エホ
ヤキム、三男^{さんなん}ゼデキヤ、四男^{よなん}シャル
ム。**16** エホヤキムの子^こはエコニヤ。
エコニヤの子^こはゼデキヤ。**17** 捕囚^{ほしゅう}
にされたエコニヤの子^こは、シャルテ
ル、**18** マルキラム、ペダヤ、シェマア
ツアル、エカムヤ、ホシャマ、ネダブヤ。
19 ペダヤの子^こは、ゼルバベル、シム
イ。ゼルバベルの子^こは、メシュラム、ハ
ナニヤ。(そして娘^{むすめ}シェロミトがいた。)

第3章

〔ワ〕王一1:5,11
王二2:24
〔イ〕サニ5:5
〔ウ〕サニ5:13-16
代一14:3-7
〔ロ〕ルカ3:23,31
〔メ〕マタ1:7
〔カ〕サニ11:3,27
〔キ〕サニ13:1
〔ク〕王一11:43
〔コ〕代二13:1
〔ク〕代二14:1
〔ケ〕代二20:31
〔コ〕代二21:5
〔ク〕代二22:2
〔セ〕代二24:1
〔イ〕代二25:1
〔ウ〕王二14:21
〔メ〕代二27:1
〔イ〕代二28:1
〔メ〕代二29:1
〔ト〕王二21:1
〔ワ〕王二21:19
〔ニ〕王二22:1
〔ウ〕王二23:34
代二36:5
〔ウ〕王二24:17
代二36:11
〔イ〕王二24:6,8
王二25:27
エス2:6
〔イ〕エス5:2
マタ1:12
ルカ3:23,27

第2欄

第4章

〔ワ〕創38:29
民26:20
ルツ4:18
マタ1:3
〔イ〕創46:12
代一2:5
〔ウ〕出17:12
出24:14
代一2:19
〔ロ〕代一2:50
〔メ〕代一2:53
〔カ〕代二11:5,6
〔キ〕ミカ5:2
〔ク〕代一2:19
〔ク〕代二11:5,6
〔コ〕代一2:24

20 ほかの5人の子は、ハシュバ、オヘ
ル、ベレクヤ、ハサドヤ、ユシャブ・ヘ
セド。**21** ハナニヤの子は、ペラトヤ、
エシャヤ。エシャヤの子はレファヤ。レ
ファヤの子はアルナン。アルナンの子
はオバデヤ。オバデヤの子はシェカ
ヌヤ。**22** シェカヌヤの子は、シエマ
ヤ、シエマヤの子たち(ハトシュ、イグア
ル、バリアハ、ネアルヤ、シャファト)。全
部^ぶで6人。**23** ネアルヤの子は、エル
ヨエナイ、ヒズキヤ、アズリカムの3人。
24 エルヨエナイの子は、ホダウヤ、エ
ルヤシブ、ペラヤ、アクブ、ヨハナン、デ
ラヤ、アナニの7人。

4 ユダの子は、ベレツ、ヘツロン、カ
ルミ、フル、シヨバル。**2** シヨバ
ルの子^こレアヤの子はヤハト。ヤハトの
子^こは、アフマイ、ラハド。これらの人^{ひと}か
らツォルア人の氏族^{しぞく}が出た。**3** エタ
ムの父^{ちち}の子は次の通りである。エズレ
ル、イシュマ、イドバシュ。(そしてハ
ツェレルポコという娘^{むすめ}。)**4** ペヌエ
ルはゲドルの父^{ちち}、エゼルはフシャの
父である。これらの人^{ひと}は、ベツレヘ
ムの父^{ちち}でエフラタの長男フルの子
である。**5** テコアの父^{ちち}アシュフル
には2人の妻^{ふたり}ヘルアとナアラがいた。
6 ナアラとアシュフルの間に、アフザ
ム、ヘフェル、テメニ、ハアハシュタリが
生まれた。これらの人^{ひと}がナアラの子^こで
ある。**7** ヘルアの子は、ツェレト、イ
ツハル、エトナン。**8** コツの子は、ア

ヌブ、ツォベバ、そしてハルムの子^こアハルヘル^{しきく}の氏族。

9 ヤベツはほかの兄弟たちよりも^{きょうだい}尊敬^{そんけい}されていた。母は「苦^はしみながらこの子^こを産^うんだ」と言い、彼^{かれ}をヤベツと名^な付^づけた。10 ヤベツはイスラエルの神^{かみ}に呼^よび掛^かけ、「あなたが私^{わたし}を祝^{いわ}福^{ふく}して私^{わたし}の領^{りやう}地^ちを広^{ひろ}げ、私^{わたし}と共^{とも}にいて、災^{さい}難^{なん}から保^ほ護^ごして何^{なん}の害^{がい}も及^{およ}ばないようにしてくださいますように」と言^いった。それ^{かみ}で神^{かみ}は彼^{かれ}が願^{ねが}ったこと^{こと}をかなえた。

11 シュハの兄弟^{きょうだい}ケルブの子^こはメヒル。メヒルはエシュトンの父^{ちち}である。12 エシュトンの子^こは、ペト・ラファ、パセアハ、イル・ナハシュの父^{ちち}テヒナ。これらの人^{ひと}はレカの人^{ひと}々^{びと}である。13 ケナズの子^こは、オテニエル、セラヤ。オテニエルの子^こはハタト。14 メオノタイの子^こはオフラ。セラヤの子^こはヨアブ。ヨアブはゲ・ハラシムの住民^{ちち}の父^{ちち}である。住民^{ちち}が職^{しやくにん}人^{じん}だったため、そこはそう呼^よばれていた。

15 エフネの子^こカレブの子^こは、イル、エラ、ナアム。エラの子^こはケナズ。16 エハレルエルの子^こは、ジフ、ジファ、ティレヤ、アサルエル。17 エズラの子^こは、エテル、メレド、エフェル、ヤロン。彼女^{かのじょ}はミリアム、シャマイ、エシュテモア^{ちち}の父^{ちち}イシュバハ^みを身^みごもって産^う

4:9 *ヤベツという名前は「苦痛」を意味するヘブライ語と関連があると考えられる。4:14 *意味、「職人の谷」。4:17 *18節のビトヤのことかもしれない。

第4章
(例) ヨシ 15:16, 17
歳 3:9, 11

(例) 民 32:11, 12
ヨシ 15:13

第2欄
(例) 創 38:2, 5
民 26:20

(例) 創 46:10

(例) 民 26:12, 13

(例) 民 26:22

んだ。18 (彼のユダヤ人^{かれ*じん}の妻^{つま}は、ゲドルの父^{ちち}エレド、ソコの父^{ちち}ヘベル、ザノアハの父^{ちち}エクティエル^うを産^うんだ。) これらの人^{ひと}は、メレドと結^{けつ}婚^{こん}したファラオの娘^{むすめ}ビトヤ^この子^こである。

19 ナハムの姉妹^{しまい}である、ホディヤの妻^{つま}の子^こは、ガルム人のケイラの父^{ちち}とマアカト人のエシュテモアの父^{ちち}。20 シモンの子^こは、アムノン、リナ、ベン・ハナン、ティロン。イシュイの子^こは、ゾヘト、ベン・ゾヘト。

21 ユダの子^こシエラの子^こは、レカの父^{ちち}エル、マレシャの父^{ちち}ラダ、上^{じやうとう}等^{おり}の織^{もの}物^{つく}を作るアシュベアの家^か系^{けい}の氏族^{しきく}。

22 そして、ヨキム、コゼバの人^{ひと}々^{びと}、ヨアシュ、サラフ。彼らはモアブ人^{かみ}女性^{じんじやうせい}の夫^{おつと}になった。さらにヤシュビ・レハム。これらは古^{ふる}い記^き録^{ろく}によるものである。23 彼らは陶^{たう}器^ぎ芸^{えい}家で、ネタイムとゲデラに住^すんだ。そこに住^すみ、王^{おう}のため^{ため}の仕^し事^{ごと}をした。

24 シメオンの子^こは、ネムエル、ヤミン、ヤリブ、ゼラハ、シャウル。25 シャウルの子^こ孫^{そん}を挙^あげていくと、シャルム、ミブサム、ミシュマ。26 ミシュマの子^こ孫^{そん}を挙^あげていくと、ハムエル、ザクル、シムイ。27 シムイには16人^{にん}の息^{むすこ}子^こと6人^{にん}の娘^{むすめ}がいたが、シムイの兄弟^{きょうだい}たちは子^こが多^{おほ}くなかつた。彼ら^{かれ}のど^どの氏^し族^{ぞく}も、ユダの人^{ひと}たち^{たち}ほどは子^こが多^{おほ}くなかつた。28 彼ら^{かれ}が住^すんだのは、

4:18 *メレドのことかもしれない。4:22 *または、「この言葉は古い伝承」。

ベエル・シェバ⁽⁷⁾、モラダ⁽⁷⁾、ハツアル・シュアル⁽⁷⁾、**29** ビルハ⁽⁷⁾、エツェム⁽⁷⁾、トラド⁽⁷⁾、**30** ベトエル⁽⁷⁾、ホルマ⁽⁷⁾、チクラグ⁽⁷⁾、**31** ベト・マルカボト⁽⁷⁾、ハツアル・スシム⁽⁷⁾、ベト・ビルイ⁽⁷⁾、シャアライム⁽⁷⁾。これらがダビデの統治まで彼らの町だった。

32 また、エタム⁽⁷⁾、アイン⁽⁷⁾、リモン⁽⁷⁾、トケン⁽⁷⁾、アシャン⁽⁷⁾の5つの町も彼らの居住⁽⁷⁾地⁽⁷⁾で、**33** バアルに至るまでの、これらの町の周囲も居住⁽⁷⁾地⁽⁷⁾だった。これらが彼らの家系の記録⁽⁷⁾で、彼らが住んだ場所である。**34** 氏族の長は次の通りである。メシヨバブ⁽⁷⁾、ヤムレク⁽⁷⁾、アマジャの子ヨシャ⁽⁷⁾、**35** ヨエル⁽⁷⁾、アシエルの子セラヤ⁽⁷⁾の子ヨシブヤの子エヒウ⁽⁷⁾、**36** エルヨエナイ⁽⁷⁾、ヤアコバ⁽⁷⁾、エシヨハヤ⁽⁷⁾、アサヤ⁽⁷⁾、アディエル⁽⁷⁾、エシミエル⁽⁷⁾、ベナヤ⁽⁷⁾、**37** シェマヤの子シムリの子エダヤの子アッロンの子シフィの子ジザ⁽⁷⁾。**38** これら名前を挙げた人たちは氏族の長である。彼らの父祖たちの家の人は多くなった。**39** 彼らは羊の群れのための牧草地を求めて、ゲドルの入り口⁽⁷⁾、谷の東側⁽⁷⁾にまで行った。**40** そして豊かな良い牧草地を見つけた。広くて静かで平穏な土地だった。そこに先住していたのはハムの子孫だった。**41** 名前を挙げた人たちは、ユダのヒゼキヤ王の時代に⁽⁷⁾出ていって、ハムの子孫たちの天幕とそこにいたメウニムを討ち、滅ぼし尽くして今に至っている。こうして彼らはそこに住むようになった。羊の群れの

第4章

(7) ヨシ 19:1,2

(7) ヨシ 15:21,26

(7) ヨシ 15:21,28

(7) ヨシ 19:1,3

(7) ネヘ 11:25-27

(7) ヨシ 15:21,29

(7) ヨシ 19:1,4

(7) 裁 1:17

(7) ヨシ 15:20,31

(7) ヨシ 19:1,5

(7) サー 27:5,6

(7) ヨシ 19:1,5

(7) ヨシ 19:1,7

(7) 創 10:6,20

(7) 代 二 29:1

第2欄

(7) 創 36:8

(7) 出 17:14,16

(7) サー 15:7

第5章

(7) 創 29:32

(7) 創 49:3,4

(7) 創 35:22

(7) 創 49:22,26

(7) ヨシ 14:4

(7) 創 49:8,10

(7) 民 2:3

(7) 民 10:14

(7) 裁 1:1,2

(7) 詩 60:7

(7) マタ 2:6

(7) ヘブ 7:14

(7) 創 46:9

(7) 出 6:14

(7) 王 二 16:7

(7) 申 2:36

(7) 民 32:34,38

(7) ヨシ 13:15,17

(7) エゼ 25:9,10

(7) 創 15:18

(7) 申 1:7

(7) ヨシ 1:4

(7) サニ 8:3

(7) ヨシ 22:9

ための牧草地⁽⁷⁾があったからである。

42 シメオン族のうち500人が、イシュイの子であるペラトヤとネアルヤとレファヤとウジエルに率⁽⁷⁾いられて、セイル山⁽⁷⁾に行った。**43** そして、逃げて生き残っていたアマレク人⁽⁷⁾たちを討ち、今に至るまでそこに住んでいる。

5 以下はイスラエルの長男ルベンの子⁽⁷⁾についてである。長男ルベンは父のそばめと寝たため、長男の権利がイスラエルの子ヨセフの子たちに与えられた。それで、系譜⁽⁷⁾には長男の権利を持つ者としては記録されていない。**2** ユダはほかの兄弟たちよりも勝⁽⁷⁾っていて、指導者になる者がユダから出たが、長男の権利はヨセフのものだった。**3** イスラエルの長男ルベンの子は、ハノク、パル、ヘツロン、カルミ。**4** ヨエルの子孫を挙げていくと、シェマヤ、ゴグ、シムイ、**5** ミカ、レアヤ、バアル、**6** ペエラ。ペエラは、アッシリアのティルガト・ピルネセル王⁽⁷⁾に捕囚⁽⁷⁾にされて連れていかれた人で、ルベン族の長だった。**7** ペエラの兄弟たちは、氏族の家系の記録によると、**8** 長の子エイエル、ゼカリヤ、**9** ヨエルの子シェマの子アザズの子ベラ。ベラは、アロエルからネボやバアル・メオンまでの地域⁽⁷⁾に住んだ。**9** また、東はユーフラテス川⁽⁷⁾に至る荒野⁽⁷⁾の入り口までの地域⁽⁷⁾に住んだ。ギレアデ地方で家畜が増えたからだだった。**10** サウ

5:1 * 直訳、「のベッドを汚した」。

ルの時代、彼らはハグル人と戦って打ち破り、ギレアデの東の地域一帯の天幕に住んだ。

11 ガドの子孫は、ルベンの子孫の隣のバシャン地方に住んでサレカにまで広がった。**12** バシャンでは、ヨエルが長、次がシャファムで、ヤナイとシャファトもいた。**13** 彼らの氏族の兄弟たちは、ミカエル、メシュラム、シェバ、ヨライ、ヤカン、ジア、エベルの全部で7人。**14** これらの人の父はアビハイルで、順にさかのぼると、フリ、ヤロアハ、ギレアデ、ミカエル、エシシャイ、ヤフド、ブズである。**15** グニの子アブディエルの子アヒが彼らの氏族長だった。**16** 彼らはギレアデとバシャンと周辺の町に住み、シャロンの牧草地全体にまで広がった。**17** 彼らは皆、ユダのヨタム王の時代とイスラエルのヤラベアム王の時代に系譜に記録された。

18 ルベン族、ガド族、マナセ族の半分は、4万4760人の強い戦士を軍隊に持っていた。盾と剣を持ち、弓で武装し、戦いの訓練を受けた者たちである。**19** 彼らは、ハグル人、エトル、ナフィシュ、ノダブと戦った。**20** その戦いの際、神は彼らを助け、ハグル人と、共にいた者たち皆を彼らの手に渡した。彼らが戦いで神に助けを求め、神を信頼したので、神は願いを聞き入れたのである。**21** 彼らはラクダ5万頭、

第5章

(ア) 申 3:8,10
ヨシ 12:4,5

(イ) 民 32:1
(ロ) 申 3:3,13
申 32:14
(カ) 王二 15:32
代二 27:1
イザ 1:1
ホセ 1:1
ミカ 1:1

(ケ) 王二 14:16,28
(コ) 代一 5:10
(セ) 創 25:13,15
代一 1:31
(ソ) 詩 20:7
詩 22:4

第2欄

(ア) ヨシ 10:42
サ一 17:45,47
代二 20:15
(イ) 王二 15:29
王二 17:6
(ロ) ヨシ 13:29,30
(カ) 申 4:47,48
(コ) 申 5:7-9
裁 2:17
裁 8:33
王二 17:10,11
(ケ) 王二 15:19,29
(セ) エズ 1:1
格 21:1
(ソ) 王二 17:6
王二 18:11

第6章

(ア) 創 29:34
出 6:16
(ロ) 出 6:18
民 3:27
(イ) 民 3:17
民 26:57
(ロ) 出 6:21
(カ) 出 6:22
レビ 10:4
(ケ) 出 6:20
(コ) 代一 23:13
(セ) 出 6:26
使徒 7:37,38
(ソ) 出 15:20
(タ) 出 24:1
レビ 10:1
(イ) 民 3:32
申 10:6
(ロ) 出 6:23
出 28:1
民 4:28
代一 24:2,4
(ケ) 出 6:25
民 25:11

羊25万匹、ロバ2000頭の家畜と、10万人の人々を捕らえた。**22** この戦いは真の神によるものだったため、多くの人が殺されて倒れた。こうして、彼らは捕囚の時までそこに住んだ。

23 マナセ族の半分の子孫は、バシャンからバアル・ヘルモン、セニル、ヘルモン山までの地域に住み、数が多かった。**24** 彼らの氏族長たちは次の通りである。エフェル、イシュイ、エリエル、アズリエル、エレミヤ、ホダウヤ、ヤフディエル。これらの人は名高い勇士であり、氏族長だった。**25** ところが、彼らは父祖たちの神に対して不忠実なことをし、自分たちの前で神が滅ぼしたその土地の民の神々を崇拜した。**26** それで、イスラエルの神はアッシリアのプル王(アッシリアのティルガト・ピルネセル王)の心を奮い立たせ、王はルベン族とガド族とマナセ族の半分の人々を捕らえて、ハラハ、ハボル、ハラ、ゴザン川に連れていった。彼らは今もそこにいる。

6 レビの子は、ゲルシオン、コハト、メラリ。**2** コハトの子は、アムラム、イツハル、ヘブロン、ウジエル。**3** アムラムの子は、アロン、モーセ、ミリアム。アロンの子、ナダブ、アビフ、エレアザル、イタマル。**4** エレアザルの子はピネハス。ピネハスの子はアビシュア。**5** アビシュアの子はブキ。ブキの子はウジ。**6** ウジの子はゼラフ

5:25 *または、「神々と売春をした」。

5:17 *ヤラベアム2世のこと。

ヤ。ゼラフヤの子はメラヨト。7 メラヨトの子はアマルヤ。アマルヤの子はアヒトブ。8 アヒトブの子はザドク。ザドクの子はアヒマアツ。9 アヒマアツの子はアザリヤ。アザリヤの子はヨハナン。10 ヨハナンの子はアザリヤ。アザリヤはソロモンがエルサレムに建てた家で祭司として仕えた。

11 アザリヤの子はアマルヤ。アマルヤの子はアヒトブ。12 アヒトブの子はザドク。ザドクの子はシャルム。13 シャルムの子はヒルキヤ。ヒルキヤの子はアザリヤ。14 アザリヤの子はセラヤ。セラヤの子はエホツァダク。15 エホツァダクは、エホバがネブカドネザルの手によってユダとエルサレムを捕らえて連れ去った時に捕囚にされた。

16 レビの子は、ゲルシヨム、コハト、メラリ。17 ゲルシヨムの子の名前は次の通りである。リブニ、シムイ。18 コハトの子は、アムラム、イツハル、ヘブロン、ウジエル。19 メラリの子は、マフリ、ムシ。

レビ族の氏族の長は次の通りである。20 ゲルシヨムの子孫を挙げていくと、リブニ、ヤハト、ジマ、21 ヨアハ、イド、ゼラハ、エアトライ。22 コハトの子孫を挙げていくと、アミナダブ、コラ、アシル、23 エルカナ、エビアサフ、アシル、24 タハト、ウリエル、ウジャ、シャウル。25 エルカナの子

第6章

(7) サニ 8:17

(1) 王一 1:8
王二 2:35

(7) サニ 15:27,36

(2) ネヘ 11:11

(7) 代二 34:14

(7) 王二 25:18

(4) ハガ 1:1

(7) 民 3:18

(7) 民 3:19,20

(2) 民 26:57

(7) 民 3:18

(2) 民 16:1,32
民 26:10,11
ユダ 11

(2) 出 6:24

第2欄

(7) サ一 1:1

(1) サ一 1:20

(7) サ一 8:1,2

(2) 出 6:19
代一 23:21(7) サニ 6:17
代一 15:16

(7) 王一 6:14

(4) 代二 35:15

(7) 代一 15:16,17

(7) サ一 8:1,2

(2) サ一 1:1

(7) 代一 25:1
代二 5:12

詩 50:表題

は、アマサイ、アヒモト。26 別のエルカナの子孫を挙げていくと、ツォファイ、ナハト、27 エリアブ、エロハム、エルカナ。28 サムエルの子は、長男ヨエルと次男アビヤ。29 メラリの子孫を挙げていくと、マフリ、リブニ、シムイ、ウザ、30 シムア、ハギヤ、アサヤ。

31 以下は、箱が置かれた後、エホバの家で歌の指導をさせるためにダビデが任命した人たちである。32 彼らは、ソロモンがエルサレムにエホバの家を建てるまでの間、会見の天幕である幕屋での歌を担当し、規定された奉仕をした。33 この奉仕者たちと共にした人は次の通りである。コハト氏族の歌い手ヘマン。ヘマンの父はヨエルで、順にさかのぼると、サムエル、34 エルカナ、エロハム、エリエル、トアハ、35 ツフ、エルカナ、マハト、アマサイ、36 エルカナ、ヨエル、アザリヤ、ゼパニヤ、37 タハト、アシル、エビアサフ、コラ、38 イツハル、コハト、レビ、イスラエルである。

39 ヘマンの右に立ったヘマンの兄弟アサフ。アサフの父はベレクヤで、順にさかのぼると、シムア、40 ミカエル、バアセヤ、マルキヤ、41 エトニ、ゼラハ、アダヤ、42 エタン、ジマ、シムイ、43 ヤハト、ゲルシヨム、レビである。

6:32 *用語集参照。6:39 *同じ部族ということ。

6:16 *1節でゲルシヨムとも呼ばれている。

44 彼らの兄弟でヘマンの左に立つたメラリの子孫エタン。エタンの父はキシで、順にさかのぼると、アブディ、マルク、45 ハシャブヤ、アマジャ、ヒルキヤ、46 アムツィ、バニ、シメル、47 マフリ、ムシ、メラリ、レビである。

48 彼らの兄弟であるほかのレビ族の人たちが、真の神の家である幕屋のさまざまな奉仕のために任命された。

49 アロンとその子たちは、極めて聖なるものに関連した務めを果たし、真の神に仕えたモーセが命じた通りにイスラエルのために贖罪を行うため、全焼の捧げ物の祭壇で犠牲を焼いて煙にし、香の祭壇で香をたいた。50 アロンの子孫を挙げていくと、エレアザル、ピネハス、アビシュア、51 ブキ、ウジ、ゼラフヤ、52 メラヨト、アマルヤ、アヒトブ、53 ザドク、アヒマアツ。

54 以下は、レビ族が宿営を張った領地内の居住地である。コハト氏族のアロンの子孫たちに最初のくじが当たり、55 ユダの土地のヘブロンと周囲の牧草地が与えられた。56 ただし、その町の野原と周りの集落はエフネの子カレブに与えられた。57 アロンの子孫に与えられたのは、避難の町、ヘブロン、リブナとその牧草地、ヤティル、エシュテモアとその牧草地、58 ヒレンとその牧草地、デビルとその牧草地、59 アシャンとその牧草

6:44, 48 *同じ部族ということ。6:54 *または、「壁で囲われた宿営」。

第6章

(例)代一 23:6
(例)代一 15:16,17
(例)民 3:5-7
(例)出 28:1
民 3:10
(例)出 30:10
レビ 4:20
レビ 17:11
代二 29:24

(例)出 29:38

(例)出 30:7

(例)出 6:23

(例)出 28:1

民 3:32

(例)サニ 8:17

(例)王一 2:35

(例)民 13:22

ヨシ 21:8,11

(例)ヨシ 14:13

裁 1:20

(例)民 35:12,13

(例)ヨシ 20:7,9

(例)ヨシ 15:20,42

(例)ヨシ 15:20,48

(例)ヨシ 21:13-16

(例)裁 1:11

(例)代一 4:24,32

第2欄

(例)ヨシ 15:10,12

(例)ヨシ 18:21,24

(例)ヨシ 21:8,18

エレ 1:1

(例)ヨシ 21:4

(例)ヨシ 21:5

(例)ヨシ 21:27-33

(例)ヨシ 21:34-40

(例)民 35:2-4

(例)ヨシ 21:20-26

(例)ヨシ 20:7,9

(例)ヨシ 16:10

(例)ヨシ 10:11

(例)ヨシ 10:12

裁 1:35

(例)ヨシ 19:45,48

地、ベト・シェメシュとその牧草地だった。60 ベニヤミン族からはゲバとその牧草地、アレメトとその牧草地、アナトテとその牧草地が与えられた。彼らの氏族のための町は全部で13だった。

61 残りのコハト氏族に、ほかの部族の氏族からと、マナセ族の半分から、10の町が割り当てられた。

62 ゲルシヨム氏族に、イッサカル族、アシェル族、ナフタリ族、バシヤンにいるマナセ族から、13の町が割り当てられた。

63 メラリ氏族に、ルベン族、ガド族、ゼブルン族から、12の町がくじによって割り当てられた。

64 イスラエル人はこれらの町とその牧草地をレビ族に与えた。65 また、彼らはユダ族、シメオン族、ベニヤミン族から、ここに名前が挙げられている町をくじによって割り当てた。

66 コハト氏族の中には、領地としてエフライム族からの町を持つ氏族もいた。67 彼らに与えられたのは、避難の町、エフライムの山地にあるシェケムとその牧草地、ゲゼルとその牧草地、68 ヨクメアムとその牧草地、ベト・ホロンとその牧草地、69 アヤロンとその牧草地、ガト・リモンとその牧草地だった。70 また、マナセ族の半分から、アネルとその牧草地、

6:61 *または、「くじによって与え」。

ビルアムとその牧草地が、残りのコハト氏族に与えられた。

71 ゲルシヨム氏族に、マナセ族の半分の氏族から、バシヤンのゴランとその牧草地、アシュタロテとその牧草地が割り当てられ、**72** イッサカル族から、ケデシュとその牧草地、ダベラトとその牧草地、**73** ラモトとその牧草地、アネムとその牧草地が割り当てられ、**74** アシェル族から、マシャルとその牧草地、アブドンとその牧草地、**75** フコクとその牧草地、レホブとその牧草地が割り当てられ、**76** ナフタリ族から、ガリラヤのケデシュとその牧草地、ハモンとその牧草地、キルヤタイムとその牧草地が割り当てられた。

77 残りのメラリ氏族に、ゼブルン族から、リモノとその牧草地、タボルとその牧草地が割り当てられた。**78** また、エリコに近いヨルダン地方の、ヨルダン川の東では、ルベン族から、荒野にあるベツェルとその牧草地、ヤハツとその牧草地、**79** ケデモトとその牧草地、メファアトとその牧草地が割り当てられた。**80** さらにガド族から、ギレアデのラモトとその牧草地、マハナイムとその牧草地、**81** ヘシュボンとその牧草地、ヤゼルとその牧草地が割り当てられた。

7 イッサカルの子は、トラ、プア、ヤシュブ、シムロンの4人。**2** トラの子は、ウジ、レファヤ、エリエル、ヤフマイ、イブサム、シムエル。彼らは氏

第6章

[7] 申 4:41-43

[イ] ヨシ 21:27

[ヨ] ヨシ 19:12,16

[ロ] ヨシ 21:8,28

[ヨ] ヨシ 21:8,30

[カ] ヨシ 19:28,31
裁 1:31

[キ] マタ 3:13

[ク] ヨシ 20:7,9
ヨシ 21:32,33

[ケ] ヨシ 21:34-39

[コ] 民 21:23

[ク] 申 2:26

[コ] 創 32:1,2
サニ 2:8

[コ] 民 21:26

[ケ] 民 32:1

第7章

[イ] 創 46:13
民 26:23,24

第2欄

[7] 民 26:25

[イ] 創 35:16,18
民 26:38,39

[ヨ] 代一 8:1

[ロ] 創 46:21

[ヨ] 代一 7:10

[ヨ] 民 26:41

[キ] 代一 7:6

[ヨ] 代一 7:7

[ヨ] 民 26:48,49

ぞくちよう族長だった。トラの子孫には強い戦士がいて、ダビデの時代、その人数は2万2600人だった。**3** ウジの子孫は、イズラフヤとイズラフヤの子たちであるミカエル、オバデヤ、ヨエル、イシヤ。5人とも長だった。**4** 氏族長の子孫の記録によると、彼らには戦いに備えた兵士3万7000人がいた。彼らの子孫には多くの妻や子がいたのである。**5** イッサカルの全氏族のうちかれきょうだいつよせんしかれ彼らの兄弟たちは強い戦士で、家系の記録には8万7000人が載っている。

6 ベニヤミンの子は、ペラ、ベケル、エディアエルの3人。**7** ペラの子は、エツボン、ウジ、ウジエル、エリモト、イリの子で、氏族長であり勇士だった。2万2034人が家系の記録にあった。

8 ベケルの子は、ゼミラ、ヨアシュ、エリエゼル、エルヨエナイ、オムリ、エリモト、アビヤ、アナトテ、アレメト。これらの人は皆ベケルの子である。**9** 氏族長の家系の記録によると、彼らの子孫に、強い戦士2万200人がいた。

10 エディアエルの子はビルハン。ビルハンの子は、エウシュ、ベニヤミン、エフド、ケナアナ、ゼタン、タルシシュ、アビシャハル。**11** これらの人は皆エディアエルの子で、氏族長だった。彼らの子孫に、戦いにすぐ行ける強い戦士1万7200人がいた。

12 シュピムとフピムはイルの子。フシムはアヘルの子。

13 ナフタリの子は、ヤハツィエル、

グニ、イエツェル、シャルム。これらの人はビルハの子である。

14 マナセの子は、シリア人のそばめが産んだアスリエル。(彼女はギレアデの父マキルを産んだ。**15** マキルはフピムとシュピムのために妻を迎えた。彼の姉妹はマアカといった。) 2 番目の子はツェロフハドといい、ツェロフハドには娘たちがいた。**16** マキルの妻マアカは男の子を産み、ペレシュと名付けた。彼の兄弟はシェレシュといった。彼の子はウラムとレケム。**17** ウラムの子はベダン。これらの人はマナセの子マキルの子ギレアデの子である。**18** ギレアデの姉妹はハモレクト。彼女はイシュホド、アビ・エゼル、マフラを産んだ。**19** シェミダの子は、アヒヤン、シェケム、リクヒ、アニアム。

20 エフライムの子孫を挙げていくと、次の通りである。シュテラハ、ベレド、タハト、エルアダ、タハト、**21** ザバド、シュテラハ。そしてエゼル、エルアド。ガトの人たちが彼らを殺した。家畜を奪おうとしてやって来たからである。**22** 彼らの父エフライムは何日もの間、嘆き悲しんでいた。兄弟たちが慰めに来るのだった。**23** その後、彼は妻と関係を持ち、妻は妊娠して男の子を産んだ。彼はその子をベリアと名付けた。彼女が出産した時、彼の家族が災いに見舞われてい

7:23 *意味、「災いと共に」。

第7章
(イ) 創 30:3,8
創 46:24,25

(イ) 創 41:50,51

(イ) 創 50:23
民 26:29
申 3:15

(イ) 民 26:33

(イ) 民 27:1,7

(イ) 民 1:33

(イ) 民 26:35

(イ) サー 7:14
サー 17:4

第2欄
(イ) ヨシ 16:1,3

(イ) ヨシ 16:5
ヨシ 21:20,22
代 2:8:3,5

(イ) 出 33:11
民 11:28
民 32:11,12
申 34:9
ヨシ 1:1

(イ) 創 28:16,19
ヨシ 16:1,2

(イ) ヨシ 17:11
サー 31:8,10

(イ) 裁 5:1,19

(イ) 裁 1:27
王 9:15

(イ) 王 4:7,11

(イ) 民 26:44,45

(イ) 創 46:17

たからである。**24** 彼の娘はシェエラで、シェエラは、下ベト・ホロン、上ベト・ホロン、ウゼン・シェエラを築いた。**25** 彼の子孫を挙げていくと、レファハ、レシェフ、テラハ、タハン、**26** ラダン、アミフド、エリシャマ、**27** ヌン、ヨシュア。

28 エフライムの子孫の所有地と居住地は、ベテルと周辺の町、東はナアラン、西はゲゼルと周辺の町、シェケムと周辺の町で、さらにはアヤと周辺の町である。**29** また、マナセの子孫の方は、ベト・シェアンと周辺の町、タアナクと周辺の町、メギドと周辺の町、ドルと周辺の町である。これらの所に、イスラエルの子ヨセフの子孫は住んだ。

30 アシェルの子は、イムナ、イシュワ、イシュビ、ベリア。そして娘のセラハ。**31** ベリアの子は、ヘベル、マルキエル。マルキエルはビルザイトの父である。**32** ヘベルの子は、ヤフレト、ショメル、ホタム。そして娘のシュア。**33** ヤフレトの子は、パサク、ビムハル、アシュワト。これらの人はヤフレトの子である。**34** シェメルの子は、アヒ、ロフガ、エフバ、アラム。**35** 彼の兄弟ヘレムの子は、ゾパ、イムナ、シェレシュ、アマル。**36** ゾパの子は、ス

7:27 *または、「エホシュア」。「エホバは救い」という意味。**7:28** *もしかすると、「ガザ」。フィリスティアのガザではない。**7:34** *32節でショメルとも呼ばれている。**7:35** *32節の「ホタム」と同一人物と思われる。

アハ、ハルネフェル、シュアル、ベリ、イムラ、**37** ベツェル、ホド、シャマ、シルシャ、イトラン、ベエラ。**38** エテルの子は、エフネ、ピスパ、アラ。**39** ウラの子は、アラハ、ハニエル、リツヤ。**40** これらの人は皆、アシェルの子、氏族長、えり抜き^{ひと}の勇士^{みな}、長たち^この長である。家系^{かけい}の記録^{きらく}に載^のっている数^{かず}によると、軍務^{ぐんむ}に就ける人^つが2万6000人^{ひと}いた。

8 ベニヤミンの子は、長男^{ちやうなん}ベラ、次男^じアシュベル、三男^{さんなん}アフラハ、**2** 四男^{よんなん}ノハ、五男^{ごなん}ラファ。**3** ベラの子は、アッダル、ゲラ、アビフド、**4** アビシュア、ナアマン、アホアハ、**5** ゲラ、シェフファン、フラム。**6** エフドの子で、マナハトに連れていかれたゲバ^かの住民^{じゆうみん}の氏族長^{しそくちやう}は、次^{つぎ}の通り^{とお}である。**7** ナアマン、アヒヤ、ゲラ。ゲラが住民^{じゆうみん}を連れていった。彼の子は、ウザとアヒフドである。**8** シャハラタイムには、モアブ^{じん}の領土^{りやうど}で子供^{こども}たちが生^うまれた。彼^{かれ}が人々^{ひと}を追^おい出^だした後^{あと}のことで、フシムとバアラが彼の妻^{つま}だった。**9** 彼^{かれ}と妻^{つま}ホデシュ^{あいだ}の間^この子は、ヨバブ、ツイブヤ、メシャ、マルカム、**10** エウツ、サクヤ、ミルマ。これらの人^{ひと}は彼^{かれ}の子で、氏族長^{しそくちやう}だった。

11 彼^{かれ}とフシム^{あいだ}の間^この子は、アビトブ、エルパアル。**12** エルパアルの子は、エベル、ミシュアム、シェメド(オ
8:8 *直訳、「野原」。「もしかすると、「彼が妻のフシムとバアラを去らせた後のことだった」。

第7章

(7) 出 30:14

(4) 民 1:41
民 26:47

第8章

(7) 創 35:16,18

(4) 代一 7:6

(7) 創 46:21

(7) 創 46:21

(4) ヨシ 21:8,17
サ一 13:16

第2欄

(7) ネへ 6:2

(4) エズ 2:1,33

(7) ヨシ 19:42,48
ヨシ 21:8,24(4) ヨシ 9:15,17
ヨシ 21:8,17
代一 21:29

(7) 代一 9:35-38

(7) サ一 14:50

(4) サ一 9:1,2
サ一 11:15

(7) サ一 14:45

(7) サ一 14:49

(4) サ一 31:2

(7) ノおよびロドと周辺⁽⁴⁾の町⁽⁴⁾を築⁽⁴⁾いた人⁽⁴⁾),
13 ベリア、シェマ。これらの人⁽⁴⁾はアヤ⁽⁷⁾ロン⁽⁴⁾の住民⁽⁴⁾の氏族長⁽⁴⁾で、ガト⁽⁴⁾の住民⁽⁴⁾を追⁽⁴⁾い払⁽⁴⁾った。**14** アフヨ、シャシャク、エレモト、**15** ゼバドヤ、アラド、エデル、**16** ミカエル、イシュバ、ヨハは、ベリアの子。**17** ゼバドヤ、メシュラム、ヒズキ、ヘベル、**18** イシュメライ、イズリア、ヨバブは、エルパアルの子。**19** ヤキム、ジクリ、ザブデ、**20** エリエナイ、チルタイ、エリエル、**21** アダヤ、ベラヤ、シムラトは、シムイの子。**22** イシュバン、エベル、エリエル、**23** アブドン、ジクリ、ハナン、**24** ハナニヤ、エラム、アストティヤ、**25** イフデヤ、ペヌエルは、シャシャクの子。**26** シヤムシェライ、シェハルヤ、アタリヤ、**27** ヤアレシュヤ、エリヤ、ジクリは、エロハムの子。**28** 系譜⁽⁴⁾によると、これらの人⁽⁴⁾は氏族長⁽⁴⁾だった。これらの長⁽⁴⁾はエルサレム⁽⁴⁾に住⁽⁴⁾んだ。
29 ギベオンにはギベオンの父⁽⁴⁾エイエル⁽⁴⁾が住⁽⁴⁾んだ。彼の妻⁽⁴⁾はマアカ⁽⁴⁾だった。**30** 彼⁽⁴⁾の子は、長男⁽⁴⁾アブドン、ツル、キシュ、バアル、ナダブ、**31** ゲドル、アフヨ、ゼケル。**32** ミクロトの子はシムア。彼らは皆、兄弟⁽⁴⁾たちの近⁽⁴⁾くで、他の兄弟⁽⁴⁾たちと一緒に⁽⁴⁾エルサレム⁽⁴⁾に住⁽⁴⁾んだ。

33 ネルの子はキシュ。キシュの子はサウル。サウルの子は、ヨナタン、マルキ・シュア、アビナダブ、エシュバ

アル。^(*)34 ヨナタンの子はメリブ・^(*)バアル。メリブ・バアルの子はミカ。^(*)35 ミカの子は、ピトン、メレク、タレア、アハズ。36 アハズの子はエホアダ。エホアダの子は、アレメト、アズマベト、ジムリ。ジムリの子はモツア。37 モツアの子孫を挙げていくと、ビヌア、ラファ、エルアサ、アツエル。38 アツエルには6人の子がいて、名前はアズリカム、ボケル、イシュマエル、シェアルヤ、オバデヤ、ハナンだった。これらの人は皆、アツエルの子である。39 彼の兄弟エシェクの子は、長男ウラム、次男エウシュ、三男エリフエト。40 ウラムの子は弓を扱える強い戦士たちで、子や孫が多く、150人いた。これらの人は皆、ベニヤミンの子孫である。

9 イスラエル人は皆、系譜に記録され、イスラエルの王の書に記されている。ユダは、不忠実にあったため、捕囚にされてバビロンに連れていかれた。2 彼らの町々の所有地に最初に戻った住民は、イスラエル人、祭司、レビ族、神殿の使用人だった。3 エルサレムには、ユダとベニヤミンとエフラ임とマナセの子孫の一部が住んだ。以下に挙げる。4 ユダの子ペレツの子孫からはウタイ。ウタイの父はアミフドで、順にさかのぼると、オムリ、イムリ、パニである。5 シェラ

8:33 *イシ・ボセテとも呼ばれる。8:34 *メビボセテとも呼ばれる。9:2 *または、「ネティニム」。直訳、「与えられた人たち」。

第8章

(*) サニ 2:8
代一 9:39-44

(*) サニ 4:4

(*) サニ 9:12

第9章

(*) エレ 39:9

(*) ヨシ 9:3,27
エズ 2:43-54
エズ 2:70
エズ 8:20
ネヘ 7:73
ネヘ 11:3

(*) ネヘ 11:4,5

(*) ネヘ 11:7-9

(*) 創 46:12
代一 2:4

第2欄

(*) 代一 2:4,6

(*) ネヘ 11:10-14

(*) ネヘ 11:15

(*) 代一 2:54
ネヘ 12:28

の子孫からは、長男アサヤとその子たち。6 ゼラハの子からは、エウエルと690人の兄弟たち。

7 ベニヤミンの子孫からは、ハセヌアの子ホダウヤの子メシュラムの子サル、8 エロハムの子イブネヤ、ミクリの子ウジの子エラ、イブニアの子レウエルの子シェファトヤの子メシュラム。9 系譜によると、彼らの兄弟たちは956人である。これらの人は皆、氏族長だった。

10 祭司からは、エダヤ、エホヤリブ、ヤキン、11 アザリヤ(アザリヤの父はヒルキヤで、順にさかのぼると、メシュラム、ザドク、メラヨト、真の神の家^{いえ*}の責任者アヒトブである)、12 アダヤ(アダヤは、マルキヤの子パシュフルの子エロハムの子)、マアサイ(マアサイの父はアディエルで、順にさかのぼると、ヤフゼラ、メシュラム、メシレミト、イメルである)、13 彼らの兄弟たちである氏族長たち、真の神の家で奉仕できる有能で力のある1760人。

14 レビ族からは以下の通り。メラリの子孫でハシャブヤの子アズリカムの子ハシュブの子シェマヤ。15 バクバカル、ヘレシュ、ガラル。アサフの子ジクリの子ミカの子マタヌヤ。16 エドトンの子ガラルの子シェマヤの子オバデヤ。ネトファの人々の集落に住んでいたエルカナの子アサの子ベレクヤ。

9:11 *または、「神殿」。

17 門番からは、シャルム、アクブ、タルモン、アヒマン。彼らの兄弟シャルムは長で、18 当時、東にある王の門にいた。これらの人はレビ族の宿営の門番だった。19 コラの子エピアサフの子コレの子シャルムと、シャルムの氏族の兄弟であるコラ氏族の人たちは、天幕の戸口番の奉仕の務めを担当した。彼らの父たちは、入り口の守衛としてエホバの宿営を担当していた。20 かつて彼らの指導者だったのはエレアザルの子ピネハスだった。エホバは彼と共にいた。21 メシェレムヤの子ゼカリヤは会見の天幕の入り口の門番だった。

22 入り口の門番として選ばれたのは212人だった。彼らは家系の記録に従ってそれぞれの居住地に住んだ。ダビデと予見者サムエルが彼らの父祖たちを責任ある職務に就かせたのだった。23 彼らとその子たちは、エホバの家すなわち天幕の家の門での警備を担当した。24 門番は、東、西、南、北の四方にいた。25 彼らの居住地にいる兄弟たちは時々来て、7日間、彼らと一緒に奉仕することになっていた。26 責任ある職務に就く門番の長が4人いた。彼らはレビ族で、真の神の家の部屋と宝物庫を任された。27 そして、真の神の家の周りで夜の間に、配置に就いた。警備をし、鍵を任され、毎朝、家の解錠をしたのである。

9:26, 33 *または、「食堂」。

第9章

(例) エズ2:1,42
ネヘ11:19
(例) ネヘ3:29
(例) 出6:25
民3:32
(例) 民25:11,13
ヨシ22:30
裁20:28
(例) 代一26:14,19
(例) 代一9:1
(例) サ一9:9
(例) 代二23:16,19
ネヘ12:45
(例) 代一26:14-16
(例) 代一26:20
代一28:11,12
代二31:12

第2欄

(例) 民1:50
(例) 王一8:4
(例) レビ2:1
代一23:29
(例) レビ23:12,13
(例) 出27:20
(例) 出27:1,2
(例) 出25:3,6
(例) レビ2:5,7
(例) 代二2:4
代二13:11
(例) レビ24:6,8
(例) ヨシ21:8,17
(例) サ一14:50
(例) サ一9:1,2
サ一11:15
(例) サ一14:45
サ一18:1
サ二1:23
(例) サ一14:49
(例) サ一31:2

28 彼らの中には、奉仕の器具を任された人たちがいた。運び入れる時と運び出す時に数を数えるのだった。29 また、彼らの中には、器具、すべての聖なる器具、上等の麦粉、ぶどう酒、油、乳香、バルサム油を担当するよう任命された人たちがいた。30 祭司の子の中には、バルサム油の香油を調合する人たちがいた。31 レビ族でコラ氏族のシャルムの長男マタヤは、鍋で焼いた物を担当する責任ある職務に就いていた。32 コハト氏族の兄弟たちの中には、重ねのパンを任された、安息日のたびにそれを用意する人たちがいた。

33 レビ族の氏族長で、部屋にいる歌い手たちは、昼も夜も務めを果たす責任があったので、他の責務を免除されていた。34 系譜によると、これらの人はレビ族の氏族長、長だった。これらの人がエルサレムに住んだ。

35 ギベオンにはギベオンの父エイエルが住んだ。彼の妻はマアカといった。36 彼の子は、長男アブドン、ツル、キシユ、バアル、ネル、ナダブ、37 ゲドル、アフヨ、ゼカリヤ、ミクロト。38 ミクロトの子はシムアム。彼らは皆、兄弟たちの近くで、他の兄弟たちと一緒にエルサレムに住んだ。39 ネルの子はキシユ。キシユの子はサウル。サウルの子は、ヨナタン、マルキ・シュア、アビナダブ、エシュバル。

9:32 *供えのパンのこと。

40 ヨナタンの子はメリブ・バアル。メリブ・バアルの子はミガ。41 ミカの子は、ピトン、メレク、タフレア、アハズ。42 アハズの子はヤラ。ヤラの子は、アレメト、アズマベト、ジムリ。ジムリの子はモツア。43 モツアの子孫を挙げていくと、ビヌア、レファヤ、エルアサ、アツエル。44 アツエルには6人の子がいて、名前はアズリカム、ボケル、イシュマエル、シェアルヤ、オパデヤ、ハナンだった。これらの人はアツエルの子である。

10 フィリスティア人はイスラエル人と戦っていた。イスラエルの人たちはフィリスティア人から逃げ、多くがギルボア山で殺されて倒れた。2 フィリスティア人はサウルとその子たちに迫っていった。そしてサウルの子ヨナタン、アビナダブ、マルキ・シュアを討った。3 サウルへの攻撃が激しくなり、弓を射る人たちに見つかったサウルは撃たれ、傷を負った。4 サウルは武器を運ぶ従者に言った。「剣を抜き、私を刺し通してくれ。あの割礼を受けていない者たちにむごく扱われるのはごめんだ」。しかし従者は恐れあまり、そうしようとしなかった。それでサウルは剣を取って、その上に突っ伏した。5 従者もサウルが死んだのを見て、剣の上に乗って突っ伏し、死んだ。6 こうして、サウルと3人の息子は死に、サウル家の人たちは皆、共に

10:4 *用語集参照。

第9章
[7] サニ 4:4
[4] サニ 9:12
第10章
[7] サニ 31:1-5
サニ 1:21, 25
[4] 代一 8:33
[7] サニ 26:9, 10
[7] 裁 16:21, 23
[7] 代一 10:13
第2欄
[7] サニ 31:6, 7
[4] サニ 28:4
サニ 31:8-10
[7] 裁 16:23, 24
[4] サニ 5:2
[7] サニ 11:1
[7] サニ 31:11-13
[7] サニ 2:5
サニ 21:12
[7] サニ 13:13
サニ 15:22, 23
[7] レビ 20:6
サニ 28:7
[7] ルツ 4:17
サニ 13:14
サニ 15:27, 28
サニ 5:3
第11章
[7] 民 13:22
サニ 2:1
サニ 5:5
代一 12:23

死んだ。7 谷にいたイスラエルの民は皆、誰も逃げ去ったこと、サウルと息子たちが死んだことを知ると、自分の町を捨てて逃げ始めた。その後フィリスティア人がやって来て、そこを占領した。

8 翌日、フィリスティア人が戦死者から物品を剥ぎ取ろうとして来ると、サウルと息子たちがギルボア山で倒れていた。9 そこで彼らはサウルから物品を剥ぎ取り、首と武器を取った。そしてフィリスティア人の領土中に人を送り、彼らの偶像や民に知らせを伝えさせた。10 それからサウルの武器を彼らの神の家に置き、首はダゴンの家に掛けた。

11 ギレアデのヤベシュの人々はフィリスティア人がサウルにすることを全て聞くと、12 戦士たちが皆立ち上がって、サウルの遺体と息子たちの遺体運び出し、ヤベシュに持ってきて、骨をヤベシュにある大木の下に葬り、7日間断食をした。

13 こうしてサウルは死んだ。エホバの言葉に従わず、エホバに不忠実だったからである。また、霊媒師に相談し、14 エホバに尋ねなかったからである。それで神は彼を死に至らせ、王権をエッサイの子ダビデに渡した。

11 やがてイスラエル人の皆がヘブロンのだビデのもとに

10:7 *または、「谷あいの平原」。10:10 *または、「神殿」。

あつ 集まって、言った。^{い わたし}「私たちはあなたの^い肉親です。2 かつてサウルが王だ^{おう}った時、あなたはイスラエルを率いて戦^{いくさ}いにいきました。それにエホバ神は、^{かみ}『あなたは牧者として私の民イスラエル^{ぼくしや わたし たみ}を世話し、私の民イスラエルの指導^{しどう}者になる』とあなたに言いました。」

3 イスラエルの長老全員がヘブロン^{ちやうろうぜんいん}にいる王のもとに来了。ヘブロンでダビデはエホバの前で彼らと契約を結んだ。エホバがサムエルを通して語った通り、彼らはダビデに油を注いでイスラエルの王とした。^{おと}

4 ダビデとイスラエル全体は、エルサレム、すなわちエブス人が住むエブスに向かった。5 エブスの住民は、「おまえはここに入れやしない!」とダビデをあざけた。それでもダビデはシオンのとりでを攻め取った。そこが現在の「ダビデの町」である。6 ダビデは、「エブス人を最初に討つ人を長^{じやう}また高官にしましょう」と言った。すると、ツェルヤの子ヨアブが最初に上^{のぼ}っていったので、ヨアブが長になった。7 その後ダビデはそのとりでに住むようになった。それで、そこは「ダビデの町」と呼ばれた。8 ダビデは、塚から周りの部分まで、都市に城壁などを築き始めた。都市の残りの箇所をヨアブが修復した。9 こうしてダビデはますます強くなっていた。^い

11:1 *直訳、「骨と肉」。11:3 *用語集の「油を注ぐ」参照。11:8 *または、「ミロ」。「満たす」という意味のヘブライ語。

第11章

(ア) サニ 5:1,2

(イ) サ一 18:6,13

(ウ) サニ 6:21

サニ 7:8,9

詩 78:70,71

(エ) サ一 15:27,28

(オ) サ一 16:13

サニ 2:4

サニ 5:3

(カ) 創 10:15,16

創 15:18,21

出 3:17

(キ) ヨシ 15:63

裁 1:21

裁 19:10

(ク) サニ 5:6-10

(コ) 王一 8:1

詩 2:6

詩 48:2

(コ) 王二 2:10

(ウ) サニ 2:18

(シ) サニ 3:1

第2欄

(ア) サ一 16:12,13

(イ) サニ 23:8

代一 27:1,2

(ウ) ヨシ 23:10

(エ) 代一 8:1,4

(オ) サニ 23:9,10

サニ 23:15-17

(カ) サ一 17:1

(キ) 詩 18:50

(ク) サ一 22:1

(コ) ヨシ 15:8,12

サニ 23:13-17

(コ) サ一 20:6

たいぐん ひき 大軍を率いるエホバが彼と共にいた。^{かれ とも}

10 以下は、ダビデの勇士の長たちである。彼らは、イスラエルに関するエホバの言葉の通りにダビデを王にするため、イスラエル全体と共にダビデの王権を強力に支持した。11 ダビデの勇士たちを以下に挙げる。3勇士の長、ハクモニの子孫ヤショブアム。彼はやりを振るって300人を一度に打ち殺した。12 次に、アホアハの子孫ドドの子エレアザル。3勇士の1人である。13 パス・ダミムで、フィリスティア人が戦いのために集結していた時、彼はダビデと共にそこにいた。そこには大麦の密生した畑があり、兵士たちはフィリスティア人の前から逃げてしまった。14 しかし、彼は畑の中に踏みどまって畑を守り、フィリスティア人を打ち続けた。こうしてエホバは大勝利をもたらした。^{り*}

15 30人の長のうちの3人が岩山に行き、アドラムの洞窟にいるダビデの所に来了。その時、フィリスティア人の軍隊がレファイムの谷で宿営していた。16 ダビデは隠れがにいて、フィリスティア人の守備隊がバツレヘムにいた。17 ダビデは、「バツレヘムの門のそばにある水ための水を飲めたらよいのに」と願望を口にした。18 そこで、3勇士はフィリスティア人の宿営に無理に突入して、バツレ

11:11 *または、「タフケモニ人」。11:14 *または、「大救出」。11:15 *または、「谷あいの平原」。

ヘムの門のそばにある水ためから水をくみ、ダビデの所に持ってきた。しかしダビデは飲もうとはせず、エホバの前で注ぎ出した。19 彼は言った。「命を懸けた人たちの血を飲むなど、神の観点からして、私には考えられないことです！ 彼らは命を懸けて持ってきたのです」。こうして彼は水を飲もうとはしなかった。以上は3勇士が行ったことである。

20 ヨアブの兄弟アビシャイは、別の3人の長になった。彼はやりを振るって300人打ち殺し、3勇士のような名声を得た。21 彼は、3人の中でほかの2人よりも優れていて長だったが、3勇士には及ばなかった。

22 エホヤダの子ベナヤは勇敢な人で、カブツエルで多くの手柄を立てた。モアブのアリエルの2人の子を討ち、雪の降るある日、貯水穴に下りてライオンを殺した。23 また、背丈が2メートルを優に超えるエジプト人の巨人も討った。そのエジプト人は機織りが使う巻き棒のように太いやりを手にしていたが、ベナヤは棒を持って立ち向かい、相手の手からやりを奪いと取ってそれで殺した。24 エホヤダの子ベナヤはこれらのことを行い、3勇士のような名声を得た。25 彼は30人の人よりも優れてはいたが、3勇士には及ばなかった。だが、ダビデは彼に自分の護衛をまとめさせた。

26 軍隊の勇士たちは次の通りであ

第11章

(イ) 創 9:4
レビ 17:10

(イ) サニ 3:30

(イ) サニ 26:6
サニ 2:18
サニ 18:2

(イ) サニ 23:18,19

(イ) 王一 4:4
代一 27:1,5

(イ) ヨシ 15:21

(イ) 裁 14:5,6
サ一 17:36,37
サニ 23:20-23

(イ) サ一 17:4

(イ) サ一 17:7

(イ) サ一 17:51

(イ) 代一 11:19

第2欄

(イ) サニ 2:18,23
代一 27:1,7

(イ) サニ 23:24-39

(イ) 代一 27:1,9

(イ) 代一 27:1,12

(イ) サニ 21:18
代一 27:1,11

(イ) 代一 27:1,13

(イ) 代一 27:1,15

(イ) 裁 20:15
代一 12:1,2

(イ) ヨシ 24:30

(イ) サニ 11:3,17
サニ 12:9
王一 15:5

る。ヨアブの兄弟アサエル、ベツレヘムのドドの子エルハナン、27 ハロルの人シャモト、ペロン人ヘレツ、28 テコアの人イケシュの子イラ、アナトテの人アビ・エゼル、29 フシャ人シベカイ、アホアハの子孫イライ、30 ネットファの人マハライ、ネットファの人バアナの子ヘレド、31 ベニヤミン族の町ギベアのリバイの子イタイ、ピルアトンの人ベナヤ、32 ガアシュの谷のフライ、バト・アラバの人アビエル、33 バフリムの人アズマベト、シャルビムの人エリヤフバ、34 ギズン人ハシエムの子たち、ハラル人シャグの子ヨナタン、35 ハラル人サカルの子アヒアム、ウルの子エリファル、36 メケラ人ヘフェル、ペロン人アヒヤ、37 カルメルの人ヘツロ、エズバイの子ナアライ、38 ナタンの兄弟ヨエル、ハグリの子ミツハル、39 アンモン人ツエレク、ツェルヤの子ヨアブの武器を運ぶ従者であるベエロトの人ナハライ、40 イトル氏族のイラ、イトル氏族のガレブ、41 ヘト人ウリヤ、アフライの子ザバド、42 ルベン族の長で30人を伴っていた、ルベン族のシザの子アディナ、43 マアカの子ハナン、ミトニ人ヨシャファト、44 アシュタロテの人ウジヤ、アロエルの人ホタムの子たちシャマとエイエル、45 シムリの子エディアエル、彼の兄弟であるティツ人

11:32 *または、「ワジ」。
*または、「アルバト人」。
11:33 *または、「バハルム人」。
*または、「シャルボン人」。

ヨハ、**46** マハビ人^{じん}エリエル、エルナムの子^こたちエリバイとヨシャウヤ、モアブ人^{じん}イトマ、**47** エリエル、オベデ、メツوباヤ人^{じん}アヤシエル。

12 以下は、ダビデ^{い か}がキシシュ^この子^こサウル^{さうる}のせい^{せい}で、思うように身動き^{みうごき}が取れなかった頃^{ころ}、チクラグ^{ちくらぐ}にいるダビデ^{だひで}の所^{ところ}に来^きた人^{ひと}たちである。彼^{かれ}らは勇士^{ゆうし}たちに加^{くわ}わって戦^{たたか}いでダビデ^{だひで}に加勢^{かぜい}した。**2** 彼^{かれ}らは弓^{ゆみ}で武装^{ぶさう}し、右手^{みぎて}でも左手^{ひだりて}でも石^{いし}を投げ^なたり矢^やを放^{はな}ったりできた。サウル^{さうる}の兄弟^{きょうだい}で、ベニヤミン^{べにやみん}族^{ぞく}だった。**3** 長^{ちやう}はアヒエゼル、それにヨアシュ^{よあす}で、どちらもギベア^{ぎべあ}の人^{ひと}シエマア^{しえまあ}の子^こである。アズマバト^{あずまばと}の子^こたちエリエル^{えりえる}とペレト^{ぺれと}。ベラカ^{べらか}、アナトテ^{あなとて}の人^{ひと}エヒウ^{えひう}、**4** 30人^{さんじゅうにん}の中の勇士^{ゆうし}で30人^{さんじゅうにん}を率^{ひき}いたギベオン^{ぎべおん}の人^{ひと}イシュマヤ^{いしゅまや}、エレミヤ^{えれみや}、ヤハジエル^{やはじえる}、ヨハナン^{よはなん}、ゲデラト^{げでらと}人^{じん}ヨザバド^{よざばど}、**5** エルウザイ^{えるうざい}、エリモト^{えりもと}、ベアルヤ^{べあるや}、シェマルヤ^{しえまると}、ハリフ人^{じん}シェファトヤ^{しえふたや}。**6** エルカナ^{えるか}、イシャ^{いしや}、アザルエル^{あざるえる}、ヨエゼル^{よえぜる}、ヤシヨブ^{やしよぶ}アム^{あむ}。これら^{これら}の人^{ひと}はコラ^{しぞく}氏族^{しぞく}である。**7** ゲドル^{げどる}のエロハム^{えろはむ}の子^こたちヨエラとゼバドヤ^{ぜばどや}。

8 ガド族^{さく なか}の中に、荒野^{こうや}の隠れが^{かく}に、^いいるダビデ^{だひで}の側^{がわ}に付^ついた人^{ひと}たちがいた。戦^{いくさ}いの訓練^{くんれん}を受けた兵士^{へいし}、強い戦士^{せんし}で、大盾^{おおだて}と小やり^{こ やり}を使^{つか}いこなせた。ライオン^{らいおん}のような顔^{かお}で、山^{やま}にいるガゼルのよう^{よう}に速^{はや}く走^{はし}れた。**9** 第1^{だい}はエ

第12章

(例) サー 27:1

(例) サー 27:5,6
サニ 1:1

(例) 代一 11:10

(例) 裁 3:15
裁 20:15,16

(例) サ一 17:49

(例) 創 49:27

(例) サ一 11:4

(例) 代一 11:26,33

(例) 代一 11:15

(例) ヨシ 9:3

(例) 民 26:10,11

(例) サ一 23:14,29
サ一 24:22
代一 11:16

第2欄

(例) 創 49:19
申 33:20

(例) レビ 26:8

(例) サ一 22:1
サ一 23:14
サ一 24:22(例) サ一 24:12,15
サ一 26:23
詩 7:6(例) 裁 6:34
裁 13:24,25

(例) サニ 15:21

(例) 詩 54:4

ゼル^{ざい}、第2^{だい}はオバデヤ^{おばでや}、第3^{だい}はエリアブ^{えりあぶ}、**10** 第4^{だい}はミシュマナ^{みしゅまな}、第5^{だい}はエレミヤ^{えれみや}、**11** 第6^{だい}はアタイ^{あた}、第7^{だい}はエリエル^{えりえる}、**12** 第8^{だい}はヨハナン^{よはなん}、第9^{だい}はエルザバド^{えるざばど}、**13** 第10^{だい}はエレミヤ^{えれみや}、第11^{だい}はマクバナイ^{まくばな}。**14** これら^{これら}の人^{ひと}はガド族^{さく}で、軍隊^{ぐんたい}の長^{ちやう}たちだった。最^もも弱^{よわ}い人^{ひと}も100人^{ひゃくにん}に匹敵^{ひつてき}し、最^もも強^{つよ}い人^{ひと}は1000人^{ひゃくにん}に匹敵^{ひつてき}した。**15** これら^{これら}の人^{ひと}は第1^{だい}の月^{つき}、ヨルダン^{よるだん}川^{がわ}の水^{みづ}が岸^{かし}からあふれて^{あふ}いた時期^{しき}に川^{がわ}を渡^{わた}り、低地^{てい}に住^すむ人^{ひと}たちを皆^{みな}、東^{ひがし}に西^{にし}に追^おひ払^{はら}った。

16 ベニヤミン^{べにやみん}の人^{ひと}たちとユダ^{よだ}の人^{ひと}たちの中^{なか}にも、隠^{かく}れが^{かく}にいるダビデ^{だひで}の所^{ところ}に来^きた人^{ひと}たちがいた。**17** ダビデ^{だひで}は彼^{かれ}らの前^{まえ}に出^でていき、こ^こう言^いった。「皆^{みな}さんが私^{わたし}を助^{たす}けようとして平和^{へい}のため^{ため}にこ^こに来^きたなら、皆^{みな}さんと心^{こころ}を一つ^{ひとつ}にします。しかし、何^{なん}も悪^{わる}いことをしてないこ^この私^{わたし}を裏^{うら}切^きって敵^{てき}に引き渡^{ひき}すために来^きたなら、父祖^{ふそ}たち^{たち}の神^{かみ}がご覧^{らん}になっ^{ただ}て正^{ただ}してくださいように」。**18** すると、30人^{さんじゅうにん}の長^{ちやう}アマサイ^{あまさい}が聖^{せい}なる力^{ちから}を受け^{うけ}、こ^こう言^いった。

「ダビデ^{だひで}、私^{わたし}たちはあな^{あな}たのものです。エッサイ^{えさ}の子^こ、私^{わたし}たちはあな^{あな}たと共^{とも}にいます」。

あな^{あな}たに平和^{へい}、平和^{へい}がありますよ^{よう}うに。あな^{あな}たを助^{たす}ける人^{ひと}に平和^{へい}とあ^あがりますように。

あな^{あな}たの神^{かみ}があな^{あな}たを助^{たす}けてお^おられます」。

12:2 *同じ部族ということ。

12:18 *用語集参照。

それでダビデは彼らを受け入れ、部隊の長たちに加えた。

19 マナセ族の中にも、ダビデの味方に回った人たちがいた。ダビデがフィリスティア人と共にサウルと戦いに出掛けた時のことだった。しかしダビデがフィリスティア人に加勢することはなかった。フィリスティア人の領主たちが協議し、「あの男はきっと、われわれの首を取って、主人サウルのもとに戻る」と言って、帰らせたからである。20 ダビデがチクラグに来た時に、ダビデの味方に回ったマナセ族は次の通りである。アドナハ、ヨザバド、エディアエル、ミカエル、ヨザバド、エリフ、チルタイ。これらの人はマナセ族の千人長だった。21 彼らはダビデが略奪隊に向かっていくのを助けた。皆、強く勇敢だったのである。彼らは軍隊の長になった。22 日を追うごとに、ダビデを助けようと人々が集まってきて、陣営はやがて神の陣営のように大きくなった。

23 以下は、エホバの命令通りにサウルの王権をダビデに渡そうとして、ヘブロンにいるダビデの所に来た、戦いのために武装した人たちの数の数である。24 ユダの人たちで大盾と小やりを持って武装した人が6800人。25 シメオン族の強くて勇敢な兵士が7100人。

26 レビ族が4600人。27 アロンの子孫の指導者エホヤダと、共にい

第12章
(7) 裁 3:1,3

(1) サ一 29:2-4

(7) サ一 30:1

(10) 申 33:17

(10) 代一 5:23,24
代一 11:10

(7) サ二 2:3

(10) サ二 3:1

(7) サ一 16:1,13
代一 11:10

(7) サ二 2:1
サ二 5:1

(10) 代一 6:49

(7) 代一 27:1,5

第2欄

(7) サ二 8:17
王一 1:8
王二 2:35
代一 6:1,8
代一 27:16,17

(1) 代一 8:1,33
代一 12:1,2

(7) 民 32:33
ヨシ 13:8

た3700人。28 また、強くて勇敢な若者ザドクとその氏族の22人の長。

29 サウルの兄弟であるベニヤミン族が3000人。そのうちの多くはかつてサウル家を守るために働いていた。30 エフライム族が2万800人。氏族の中で、強くて勇敢な名高い人たちである。

31 マナセ族の半分で、ダビデを王にするために指名されてやって来た人が1万8000人。32 イッサカル族で、情勢を踏まえてイスラエルが何をすべきかを知っている長が200人。彼らの兄弟たちは皆、彼らの指揮下にあった。33 ゼブルン族で、あらゆる武器を持って戦闘隊形を組み、兵役に就ける人が5万人。皆、ダビデを揺るぎなく支持し、加勢した。34 ナフタリ族の長たち1000人と、大盾とやりを持つ3万7000人。35 ダン族で戦闘隊形を組む人が2万8600人。36 アシエル族で、戦闘隊形を組むために兵役に就ける人が4万人。

37 ヨルダン川の向こう側の、ルベン族、ガド族、マナセ族の半分で、各種の武器を持つ兵士が12万人。38 これらの人たちは皆、戦列に加わる戦士で、ダビデをイスラエル全体の王にしようという一心で、ヘブロンにやって来た。イスラエルのほかの人たちも皆、ダビデを王にしたい気持ちで一つに

12:29 *同じ部族ということ。12:33 *または、「から離れず」。

なっていた。**39** やって来た人たちは、ダビデと一緒にそこに3日とどまって飲み食いた。ユダの人たちが用意していたのである。**40** ほかに、近くの人たちや、遠くはイッサカル、ゼブルン、ナフタリの人たちまでもが、ロバ、ラクダ、ラバ、牛に食料を載せて持ってきた。麦粉、干しいちじくの菓子、干しぶどうの菓子、ぶどう酒、油、牛、羊をたくさん運んできた。イスラエルは喜びに包まれていたのである。

13 ダビデは、千人長や百人長たち、またほかの全ての指導者と協議し、**2** イスラエルの会衆全体に言った。「もし皆さんが良いと思ひ、私たちの神エホバに受け入れていただけることであれば、イスラエルの全域に残っている私たちの兄弟たちや、それらの町とその牧草地にいる祭司とレビ族の所に知らせを送って、私たちの所に来て加わってもらいましょう。**3** そして、神の箱を私たちのもとに戻しましょう」。サウルの時代、箱は放置されていたのである。**4** 会衆全体は、そうするのは正しいと思い、賛成した。**5** それでダビデは、真の神の箱をキルヤト・エアリムから持ってくるため、エジプトの川からレボ・ハマトまでのイスラエル全体を招集した。

6 ダビデとイスラエル全体は、真の神の箱を運び出すため、バアラ、すな

第12章

(例) 創 49:8,10
代 11:10

第13章

(例) 代 15:25

(例) 民 35:2

(例) サ 7:2

(例) サ 14:18

(例) 民 34:2,8

(例) サ 6:21-7:1

サ 6:1,2
代 15:3

(例) ヨシ 15:9,12

第2欄

(例) 出 25:22
民 7:89
サ 4:4
サ 6:2

(例) 出 37:5

(例) サ 6:3-8

(例) 出 15:20

(例) 代 15:25

(例) 代 25:13

(例) 民 4:15

(例) レビ 10:1,2

(例) サ 2 6:9-11

(例) 創 30:27
創 39:5

わちユダのキルヤト・エアリムに向かった。その箱の所で人々は、ケルブたちの上に王として座っているエホバの名を呼ぶ。**7** 彼らは、真の神の箱を新しい牛車の上に載せ、アビナダブの家から運び出した。ウザとアフヨが牛車を先導していった。**8** ダビデとイスラエル全体は、歌と、たて琴、弦楽器、タンバリン、シンバル、ラッパで、真の神の前で盛んに祝っていた。**9** しかし、キドンの脱穀場まで来た時、牛が箱をひっくり返しそうになったため、ウザは手を出してそれをつかんだ。**10** するとウザに対してエホバの怒りが燃え、神はウザを打った。彼が箱に手を出したからである。神の前で、彼はその場で死んだ。**11** ダビデは、エホバがウザに憤りを表したために怒った。その場所はペレツ・ウザと呼ばれて、今に至っている。

12 ダビデはその日、真の神を恐れて、「真の神の箱をどうして私の所に持っていけるだろうか」と言った。

13 ダビデは箱を「ダビデの町」の自分のものを持つていくことはせず、ガトの人オベデ・エドムの家に移動させた。**14** 真の神の箱はオベデ・エドムの家の人たちの所に3カ月間置かれ、エホバはオベデ・エドムの家の人たちと持っているものを祝福し続けた。

13:6 *もしかすると、「間」。**13:11** *または、「気分を害した」。*****意味、「ウザへのさく裂」。**13:13** *ガト・リモンのことかもしれない。

13:2 *用語集参照。**13:5** *または、「シホル」。
*または、「ハマトの入り口」。

14 ティルスのヒラム王がダビデのもとに使者たちを遣わし、ダビデの家の建設のために杉材、石工、大工を送ってきた。2 ダビデはイスラエルでの王権をエホバが確立してくださったことを確信した。神の民イスラエルのためにダビデの王権が大きく強化されていたのである。

3 ダビデはエルサレムでさらに妻たちを迎え、息子や娘たちが生まれた。

4 エルサレムでダビデに生まれた子供の名前は次の通りである。シャムア、ショバブ、ナタン、ソロモン、5 イブハル、エリシュア、エルベレト、6 ノガハ、ネフェグ、ヤフィア、7 エリシャマ、ベエルヤダ、エリフェルト。

8 フィリスティア人は、ダビデが油を注がれてイスラエル全体の王になったことを聞き、ダビデを捜しに上ってきた。それを聞いたダビデは彼らに向かって出ていった。9 フィリスティア人はやって来て、レファイムの谷に侵入してきた。10 ダビデは神に尋ねた。「フィリスティア人を攻めるとよいでしょうか。あなたは私を勝たせてくださいますか」。エホバは言った。「行きなさい。私は必ずあなたを勝たせる」。11 そこでダビデはバアル・ペラツィムに行き、フィリスティア人を討った。ダビデは言った。「水が壁を

第14章

(ア) 王 5:6,8

(イ) サニ 5:11,12

(ウ) 詩 89:20,21

(エ) サニ 7:8

(オ) 申 17:17

(カ) サニ 5:13-16

(キ) 代 3:5-9

(ク) ルカ 3:23,31

(コ) 王 1:47
マタ 1:6

(コ) 代 11:3

(セ) サニ 5:17
詩 2:2(シ) サニ 5:18,22
サニ 23:13

(ス) サニ 5:19-21

(セ) イザ 28:21

第2欄

(ア) 申 7:25

(イ) サニ 5:22-25

(ウ) ヨシ 8:2
詩 18:34(エ) 申 23:14
裁 4:14(オ) 創 6:22
出 39:32

(カ) ヨシ 16:10

(キ) 申 2:25
申 11:25
ヨシ 2:9

第15章

(ウ) サニ 7:1,2

(代) 16:1
詩 132:1-5(ウ) 民 4:15
申 10:8(ウ) サニ 6:12
代 13:5

決壊させるように、真の神が私の手で敵を壊滅させた。それでその場所はバアル・ペラツィムと名付けられた。12 フィリスティア人が神々をそこに残していったので、ダビデが命令を出し、それらは火で焼かれた。

13 その後、フィリスティア人が再び谷に侵入した。14 ダビデが再び尋ねると、真の神はこう言った。「真つすぐ向かっていってはいけない。彼らの後方に回り、バカの茂みの前で出撃しなさい。15 バカの茂みの上部から行進のような音が聞こえたら、攻撃を開始しなさい。その時、真の神が、フィリスティア軍を討つため、あなたの前を進んだのである」。16 そこでダビデは真の神に命じられた通りにし、皆でゲベオンからゲゼルにかけてフィリスティア軍を討った。17 こうしてダビデの名声はあらゆる国に広がり、エホバは全ての国がダビデを恐れるようにした。

15 ダビデは、「ダビデの町」で自分の家の建設を続けた。また、真の神の箱のために、場所を用意して天幕を張った。2 その時、ダビデはこう言った。「レビ族以外の人は、真の神の箱を運んではなりません。エホバは、エホバの箱を運ばせ、ご自分に常に奉仕するようレビ族を選んだからです。3 ダビデは、用意した場所にエホバの箱を運ぶため、イスラエル全体をエルサレムに招集した。

14:1 *または、「宮殿」。*または、「城壁の建築者」。14:8 *用語集の「油を注ぐ」参照。14:9, 13 *または、「谷あいの平原」。14:11 *意味、「破壊の主人」。

4 ダビデは、以下のアロンの子孫とレビ族を集めた。5 コハト氏族から、長であるウリエルと兄弟たち120人。6 メラリ氏族から、長であるアサヤと兄弟たち220人。7 ゲルショム氏族から、長であるヨエルと兄弟たち130人。8 エリザパンの子孫から、長であるシェマヤと兄弟たち200人。9 ヘブロンの子孫から、長であるエリエルと兄弟たち80人。10 ウリエルの子孫から、長であるアミナダブと兄弟たち112人。11 さらにダビデは、祭司のザドクとアビヤタル、レビ族のウリエル、アサヤ、ヨエル、シェマヤ、エリエル、アミナダブを呼び、12 こう言った。「皆さんはレビ族の氏族長です。皆さんも、皆さんの兄弟たちも、自分を神聖なものとし、イスラエルの神エホバの箱を私が用意した場所に運びなさい。13 最初の時、皆さんが運ばなかったで、エホバ神は私たちに怒りを表しました。私たちが正しい手順を踏まなかったからです。14 それで、祭司とレビ族の人たちは、イスラエルの神エホバの箱を運ぶために自分を神聖なものとした。

15 それから、レビ族の人たちは、モーセがエホバの言葉に従って命じた通り、真の神の箱を棒で肩に担いで運んだ。16 ダビデはレビ族の長たちに、同族の歌い手たちを指名するよう命じた。弦楽器やたて琴やシンバル

第15章

(例)民3:2,3
(例)代一6:1
(例)代一6:29,30
(例)代一23:6-8
(例)出6:18,22
(例)出6:16,18
(例)サニ8:17
(例)サ一22:20
王一2:27,35
(例)サニ6:3
(例)サニ6:8
(例)民4:15
申31:9
(例)出25:14
民4:6
代二5:9
(例)詩33:2
(例)代一16:5
代二5:12,13

第2欄

(例)代一6:31,33
代一25:5
(例)代一6:31,39
代一25:1,2
詩83:表題
(例)代一6:31,44
(例)代一25:9
(例)代一6:31-33
(例)代一25:1
(例)代一13:8
(例)詩46:表題
(例)代一16:4,5
(例)詩6:表題
(例)代一15:27
(例)代一16:4,6
(例)代一13:14

といった楽器に合わせて、喜びながら大きな声で歌う歌い手たちである。

17 レビ族の人たちは同族の中から、ヨエルの子ヘマン、ベレクヤの子アサフ、メラリ氏族のクシャヤの子エタンを指名した。18 また、同族の第2の組が彼らと共にいた。ゼカリヤ、ベン、ヤアジエル、シェミラモト、エヒエル、ウニ、エリアブ、ベナヤ、マアセヤ、マタテヤ、エリフェレフ、ミクネヤ、門番のオベデ・エドムとエイエルである。19 歌い手のヘマンとアサフとエタンは銅のシンバルを鳴らし、20 ゼカリヤ、アジエル、シェミラモト、エヒエル、ウニ、エリアブ、マアセヤ、ベナヤは、アラモト調に合わせた弦楽器を弾いた。21 マタテヤ、エリフェレフ、ミクネヤ、オベデ・エドム、エイエル、アザズヤは、シェミニト調に合わせたたて琴を弾いて、演奏をリードした。22 レビ族の長ケナヌヤは運搬を監督した。彼はそれに精通していたからである。23 ベレクヤとエルカナは箱を守る門番だった。24 祭司であるシェバヌヤ、ヨシャファト、ネタヌエル、アマサイ、ゼカリヤ、ベナヤ、エリエゼルは、真の神の箱の前でラッパを大きく吹き鳴らした。オベデ・エドムとエヒヤも箱を守る門番として仕えた。

25 ダビデとイスラエルの長老や千人長たちは、エホバの契約の箱をオベデ・エドムの家から運ぶために喜び

15:20, 21 *用語集参照。

ながら歩いていった。26 エホバの契約の箱を運ぶレビ族の人たちを真

の神が助けてくださったので、彼らは7頭の若い雄牛と7匹の雄羊を犠牲として

捧げた。27 ダビデは上等の織物の袖なしの上着を着ていて、箱を運ぶ

全てのレビ族、歌い手たち、運搬係と歌い手の長ケナヌヤも同様だった。ダ

ビデは亜麻布のエフォドも着ていた。

28 イスラエル人は皆、歓声を上げ、角笛やラッパやシンバルを鳴らし、弦

楽器やたて琴を大きく響かせながら、エホバの契約の箱を運んでいった。

29 エホバの契約の箱が「ダビデの町」に入った時、サウルの娘ミカルが

窓から見下ろし、ダビデ王が跳ね回って祝っているのを見た。ミカルは心の中でダビデのことを軽蔑した。

16 こうして真の神の箱は運び入れられ、ダビデが箱のために

張った天幕の中に置かれた。そして、真の神の前で全焼の捧げ物と共食の

犠牲が捧げられた。2 ダビデは全焼の捧げ物と共食の犠牲を捧げ終え

ると、エホバの名によって、民のために祝福を願い求めた。3 さらに、ダ

ビデは全てのイスラエル人一人一人に、男性にも女性にも、丸いパン1個、

ナツメヤシの菓子1個、干しぶどうの菓子1個を配った。4 それから、レビ

族の中から、エホバの箱の前で奉仕し、イスラエルの神エホバを敬い、感謝し、賛美する人たちを任命した。

第15章

(例) サニ 6:4,5

サニ 6:12

(例) サニ 6:13

(例) サニ 6:14,15

(例) 代一 13:8

(例) 代一 16:4,6

(例) サニ 6:5

(例) 代一 17:1

(例) サニ 18:27

サニ 3:13,14

(例) サニ 6:16

第16章

(例) 王一 8:1

代一 15:1

(例) サニ 6:17-19

王一 8:5

(例) レビ 1:3

(例) レビ 3:1

(例) 民 18:2

第2欄

(例) 代一 6:31,39

(例) 代一 15:18

(例) 代一 15:21

(例) 代一 15:17,19

(例) 代一 6:31,39

(例) 詩 106:1

(例) 詩 67:2

詩 105:1-6

イザ 12:4

(例) サニ 23:1

エフ 5:19

(例) 詩 107:43

(例) レビ 22:32

イザ 45:25

エレ 9:24

(例) 代一 28:9

フィリ 4:4

(例) アモ 5:4

ゼバ 2:3

(例) 詩 24:5,6

(例) 詩 111:2-4

(例) イザ 41:8

(例) 詩 135:4

(例) 詩 95:7

(例) 詩 105:7-11

5 アサフが長、次がゼカリヤで、エイエル、シェミラモト、エヒエル、マタデ

ヤ、エリアブ、ベナヤ、オベデ・エドム、エイエルは弦楽器やたて琴を弾いた。

アサフはシンバルを鳴らし、6 祭司

のベナヤとヤハジエルはいつも真の神の契約の箱の前でラッパを吹いた。

7 その日ダビデは初めて、自分が作ったエホバへの感謝の歌をアサフとその兄弟たちに歌わせた。

8 「エホバに感謝し、神の名を呼べ。

神の行いの人々に知らせよ。

9 神に向かって歌い、賛美して歌え。

神の素晴らしい偉業全てをじっくり考えよ。

10 神の聖なる名を誇れ。エホバに導きを求める人は心から喜べ。

11 エホバに力を求めよ。絶えず神の好意を求めよ。

12 神が行った素晴らしい偉業を思い起こせ。

神の奇跡や、言い渡した裁きを。

13 神に仕えたイスラエルの子孫、神から選ばれた、ヤコブの子孫よ。

14 私たちの神はエホバ。その方は地上全体を裁く。

16:9 *または、「音楽を奏でよ。」 *もしかすると、「を語れ。」 16:11 *直訳、「顔」。

15 覚えていよ。神の契約をいつま

でも、

神の約束を千代に至るまでも。

16 アブラハムと結んだ契約を、
イサクに誓った言葉を。

17 神は、その誓いを宣言によってヤ
コブに保証し、

イスラエルとのずっと続く契約

とし、

18 言った。『カナン地方をあなたに
与える。

そこがあなたたちの所有地と
なる』。

19 その頃、あなたたちは数が少な
かった。

とても少なく、その土地で外国人
だった。

20 彼らは国から国へ歩いた。
1つの王国からほかの民の所
へと。

21 神は、誰も彼らを虐げることがな
いようにし、

彼らのことで王たちを戒め、

22 言った。『私が選んだ者たちに触
れてはならない。

私の預言者たちに何も悪いこと
をしてはならない』。

23 地上の全ての人たち、エホバに
向かって歌え。

神による救いを毎日伝えよ。

16:22 *直訳、「油を注いだ」。用語集の「油を
注ぐ」参照。

第16章

(ア) 申 7:9

(イ) 創 15:18
創 17:1,2

(ウ) 創 26:3-5

(エ) 創 28:14

(オ) 創 12:7
創 17:8
創 35:12

(カ) 申 32:8

(キ) 創 34:30
申 26:5
詩 105:12-15

(ク) 創 20:1
創 46:6

(コ) 創 31:7,42

(コ) 創 12:17
創 20:3

(ケ) 創 20:7

(セ) 詩 40:10
詩 96:1-6

第2欄

(ア) 出 15:11

(イ) イザ 45:20
コ—8:4

(ウ) イザ 44:24

(エ) 申 33:26
詩 8:1

(オ) テモ—1:11

(カ) 詩 68:34
詩 96:7-13

(キ) 申 28:58
ネへ 9:5
詩 148:13

(ク) 代—29:3-5
マタ 5:23

(コ) 申 26:10

(コ) 詩 104:5
伝 1:4

(ウ) 詩 97:1

(エ) 啓 19:6

24 国々に神の栄光を知らせよ。

全ての民に神の素晴らしい偉業
を知らせよ。

25 エホバは偉大で、大いに賛美さ
れるべき方。

ほかのどんな神よりも威厳に満
ちる方。

26 国々の神は皆、無価値な神。
一方、エホバは天造った方。

27 威光と輝きに包まれている。
神の住まいには力と喜びが
ある。

28 国々の氏族はエホバを認めよ。
エホバの栄光と力を認めよ。

29 エホバをたたえよ。輝かしい名
を持つ方を。

供え物を持って神の前に出よ。

聖なる装いをしてエホバにひれ
伏せ。

30 地上の全ての人は神の前で震
えよ。

大地はしっかりと据えられた。動
かされることはない。

31 天は喜び、地は歓喜せよ。

国々に知らせよ。『エホバは王に
なった!』

32 海とそこにある全てのものは音を
響かせよ。

16:27 *または、「威厳」。16:29 *もしかすると、「輝かしい神聖さのゆえに」。「または」、「を崇拝せよ」。16:30 *または、「揺るがされる」、「ぐらつかされる」。

野原^{の はら}とそこにある^{すべ}全てのものは
喜^{よろこ}べ。

33 森林^{しんりん}の木々も、エホバの前^{まえ}で飲^{かん}
声^{せい}を上げよ。

神^{かみ}が地上^{ちじょう}の人々^{ひとびと}を裁^{さば}くために来^く
るからだ。

34 エホバに感謝^{かんしや}せよ。神^{かみ}は善^よい方^{かた}。
神^{かみ}の揺^ゆるぎない愛^{あい}は永遠^{えいえん}に続^{つづ}く。

35 そして言^いえ、『救^{すく}ってください。私^{かみ}の神^{かみ}。
国^{くに}々から私^{わたし}たちを集^{あつ}め、救^{すく}い出^だ
してください。

あなた^なの聖^{せい}なる名^なをたたえ、喜^{よろこ}
んであなた^{さん}を賛美^{さんび}する^{めい}ために。

36 イスラエルの神^{かみ}エホバが永遠^{えいえん}に
わた^{わたし}って賛美^{さんび}されますよう
に』。

すると、全ての民^{たみ}は「アーメン！」と
言^いって、エホバを賛美^{さんび}した。

37 ダビデはエホバの契約^{けいやく}の箱^{はこ}の
前^{まえ}にアサフとその兄弟^{けいやく}たちを残^{のこ}し、引^ひ
き続^{つづ}き箱^{はこ}の前^{まえ}で日課^{にっか}通りの奉仕^{ほうし}をさ
せた。38 オベデ・エドムとその兄弟^{きょうだい}
たちは68人で、エドトンの子^こオベデ・
エドムとホサは門番^{もんばん}だった。39 祭^{さい}
司^しザドクと仲間^{なか}の祭司^{さいし}たちは、ギベ
オン^{ぎべおん}にある高^{たか}い場所^{ばしょ}でエホバの幕屋^{まくや}
の前^{まえ}にいた。40 全焼^{ぜんしょう}の捧げ物^{ささ}の祭^{さい}
壇^{だん}で全焼^{ぜんしょう}の捧げ物^{ささ}を朝^{あさ}と夕方^{ゆうがた}、エホ
バに定期的^{ていきてき}に捧^{ささ}げるため、またエホ

16:33 *または、「来た」。16:36 *または、「永
遠から永遠まで」。*または、「そうなりますよう
に」。

第16章

(㉔) 代二 5:13
ルカ 18:19

(ㄱ) 詩 103:17
エレ 31:3
哀 3:22

(㉔) 詩 68:20

(㉔) 詩 122:4

(㉔) イザ 43:21

(㉔) 代一 15:16,17

(㉔) 出 29:38
代二 13:11
エズ 3:4

(㉔) 代一 16:4-6

(㉔) 代一 12:28

(㉔) 王一 3:4

第2欄

(㉔) 出 29:39
代二 2:4

(ㄱ) 代一 25:1

(㉔) 代一 16:4

(㉔) 代二 5:13
エズ 3:11

(㉔) 代一 6:31,33
代一 15:16,17

(㉔) 代一 25:1,3

第17章

(㉔) 王一 1:8
代一 29:29

(㉔) 代一 14:1

(㉔) サニ 7:1-3
代一 15:1
代二 1:4

(㉔) サニ 7:4-7
王一 8:17-19
代一 22:7,8

(㉔) 出 40:2
民 4:24,25
サニ 6:17
詩 78:60

バがイスラエルに命^{めい}じた律法^{りっぽう}に記^{しる}さ
れていること全^{すべ}てを行^{おこな}うためだった。

41 また、彼らと共に、ヘマン、エドト
ン、指名^{しめい}されて選ばれたほかの人たち^{ひと}
がいて、エホバに感謝^{かんしや}した。「神^{かみ}の揺^ゆ
るぎない愛^{あい}は永遠^{えいえん}に続^{つづ}く」からである。

42 彼らと共にいたヘマンとエドト
ンは、ラッパとシンバルと真^{まこと}の神^{かみ}を賛美^{さんび}
するための楽^{がき}器^きを鳴^ならした。エドト
ンの子^こたちは門^{もん}の所^{ところ}にいた。43 それ
から、民^{たみ}は皆^{みな}、それぞれ家^{いえ}に帰^{かえ}った。
ダビデも、自^じ分の家^{ぶん}の人たち^いのために
しゆくふく^{しゆくふく}をねが^{ねが}ふと、帰^{かえ}っていった。

17 ダビデは自^じ分の家^{ぶん}に住^すむと
すぐ、預言^{よげん}者^{しや}ナタン^なに言^いった。

「私は杉^{わたし}の家^{すぎ}に住^すんでいるのに、エ
ホバの契約^{けいやく}の箱^{はこ}は天幕^{てんまく}の下^{した}にあり
ます」。2 ナタンはダビデに言^いった。
「何でも心^{なん}にあること^{こころ}を行^{おこな}いなさい。真^{まこと}
の神^{かみ}があなたと共にいます」。

3 その夜^{よる}、神^{かみ}はナタンに言^いった。

4 「私^{わたし}に仕^{つか}えるダビデにこ^いう言^いいに
きなさい。『エホバはこ^いう言^いっている。

「私^{わたし}が住^すむ家^{いえ}を建^たてるのはあなたで
は

ない。5 イスラエルを連^つれ出^だした日^ひ
から今日^{けふ}まで、私^{わたし}は家^{いえ}に住^すんだことは
なく、天幕^{てんまく}から天幕^{てんまく}へ、幕屋^{まくや}から幕屋^{まくや}
へとずつと移^{うつ}ってきた。6 私^{わたし}がイス
ラエル全^{ぜん}体^{たい}と共に進^{すす}んだ間^{あいだ}、私^{わたし}の民^{たみ}
を世^せ話^わさせるために任^{にん}命^{めい}したイスラ

16:42 *または、「神の歌の」。17:1 *または、
「宮殿」。17:5 *意味はもしかすると、「天幕を
張ったある場所から別の場所へ、住んだある場所
から別の場所へ」。

エル^{さば}の裁き^{びと}人の誰かに、『どうして私^{わたし}のために杉の家を建てなかったのか』と言ったことが一度でもあっただらうか』。

7 私に仕えるダビデにこう言いなさい。『大軍^{たいぐん}を率^{ひき}いるエホバはこう言っている。「羊の群れを追っていたあなたを、私は牧草地から取って、私の民イスラエルの指導者^{しどうしや}にした。8 あなたがどこに行くとしても、私はあなたと共にいる。あなたの前から敵を全て滅ぼす。あなたの名を、地上の偉人たちの名のようにしよう。9 私は、私の民イスラエルのために場所を定めて、そこに定住させる。彼らはそこに住み、煩わされることはもうなくなる。昔のように悪人たちに虐げられることはもうない。10 イスラエルの民のために私が裁き^{さば}人を任命^{にんめい}した頃のようなことはもうない。私はあなたの全ての敵を制圧^{せいあつ}する。そして、『エホバはあなたのために王朝を築く』と、あなたに言う。

11 あなたの最期^{さいご}の日が来て、あなたが死ぬ時、私はあなたの子孫^{しそん}、あなたの1人を立て、その人の王権を確立^{かくりつ}する。12 その人こそが私のために家を建てる。私は彼の王座が永遠に揺るがないようにする。13 私は彼の父となり、彼は私の子となる。あなたより前の人への私の愛はなくなくなったが、彼への私の愛は揺るがず、

17:10, 14 *直訳、「家」。17:11 *直訳、「種」。

第17章

(ア) サ一 16:11, 12
サ一 17:15
サ一 25:30
サ二 7:8-11
詩 78:70, 71

(イ) サ一 18:14
サ二 8:6

(ウ) サ一 25:29
サ一 26:10
詩 89:20, 22

(エ) サ一 18:30
(カ) 出 2:23
(ク) 裁 2:16

(コ) 詩 18:40
(ク) 王一 8:20
詩 132:11

(ク) サ二 7:12-17
王一 9:5
代一 28:5
エレ 23:5

(コ) 王一 5:5
代一 22:10

(ウ) 詩 89:3, 4
イザ 9:7
ダ二 2:44

(シ) サ二 7:14
ルカ 9:35
ヘブ 1:5

(ウ) サ一 15:24, 28
代一 10:13, 14

第2欄

(ア) イザ 55:3
(イ) ダ二 2:44
ヨハ 1:49
ペ二 1:11

(ウ) 詩 89:36
エレ 33:20, 21
ルカ 1:32, 33
ヘブ 1:8
啓 3:21

(エ) サ二 7:8
サ二 7:18-20

(カ) マタ 22:42
使徒 13:34
啓 22:16

(コ) 詩 139:1
(キ) サ二 7:21-24

(ク) 出 15:11
(ク) イザ 43:10

(コ) 申 4:7
詩 147:20

(ウ) 出 19:5
詩 77:15

(シ) 申 4:34
ネヘ 9:10
イザ 63:12
エゼ 20:9

なくならない。14 私は、私の王朝と王国の中に彼を永遠に立たせる。彼の王座は永続する』。

15 ナタンは、この言葉全てとこの幻全体をダビデに話した。

16 ダビデ王はエホバの前に座って言った。「エホバ神、私は何者なのでしょう。私の一族がどれほどのものだというので、あなたは私にここまでくださるのですか。17 神よ、あなたはそれでも足りないかのように、私の家系について遠い将来のことまで話してください。エホバ神、あなたは私のことをいっそう重んじるべき人のように見なしてくださいました。18 私に与えられる栄誉について、私ダビデがこれ以上あなたに何を申し上げることができましょう。あなたは

はこの私をよくご存じです。19 エホバ、あなたは私のために、またご自分の望まれる通りに、さまざまな偉大なことを行い、あなたの偉大さを知らせてくださいました。20 エホバ、あなたのような方はほかにおらず、あなた以外に神はいません。私たちが耳にしたどんなことからしても、それは確かです。21 地上に、あなたの民イスラエルのような国民がほかにいるでしょう。真の神は来て、彼らをご自分の民にするために救い出してくださいました。偉大で驚異的なことを行い、エ

17:17 *または、「身分の高い」。17:21 *直訳、「買い戻し」。

ジブトから救い出したご自分の民の
前から国々を追ひ払い、名を上げられ

ました。22 あなたはイスラエルの
民がいつまでもご自分の民となるよう

にしました。エホバ、あなたは彼らの
神となりました。23 エホバ、私と

私の家系について約束なさったこと
をずっと守ってくださいますように。ど

うか約束通りにしてくださいますよう
に。24 あなたの名が永遠に確かな

ものとされて、たたえられ、『大軍を率
いるエホバ、イスラエルの神は、イス

ラエルのための神』と人々が言いま
すように。私ダビデの家系があなたの

前で揺るがないものとなりますように。
25 私の神、あなたは、私のために王

朝を築くということを知らせてくださ
いました。それで私は確信を持ってこ

の祈りを捧げています。26 エホバ、
あなたは真の神です。あなたは私に

ついて良いことを約束してくださいま
した。27 あなたが私の家系を喜ん

で祝福して、あなたの前で永遠に続く
ようにしてくださいますように。エホ

バ、あなたが祝福してくださいだったので、
私の家系は永遠に祝福されます。

18 その後、ダビデはフィリスティ
ア人を打ち破って制圧した。

そしてフィリスティア人からガトと周辺
の町を奪った。2 それからダビデは

モアブを打ち破り、モアブ人はダビデ
に仕え、貢ぎ物を納めることになった。

3 ハマトの王は、ダビデがツオ
バのハダドエゼルの全軍勢を打ち

破ったことを聞くと、10 すぐに自分
の子ハドラムをダビデ王のもとに遣わ

してあいさつさせ、ハダドエゼルの打
ち破ったことへの祝辞を伝えさせた。

(ハダドエゼルとトウはよく戦っていた
のである。)ハドラムは、金、銀、銅のあ

らゆる品々を持ってきた。11 ダビ
デ王はそれらを神聖なものとしてエホ

第17章

(例)申7:1

ヨシ10:42

ヨシ21:44

(例)サ一12:22

(例)創17:7

申7:6,9

(例)サ二7:25-29

(例)代二6:33

詩72:19

マタ6:9

ヨハ12:28

(例)詩89:35,36

第18章

(例)サ一5:8

サ二1:20

(例)サ二8:1

(例)民24:17

詩60:8

(例)サ二8:2

王二3:4

第2欄

(例)サ一14:47

サ二10:6

詩60:表題

(例)王一11:23

(例)代二8:3

(例)創15:18

出23:31

サ二8:3,4

(例)詩20:7

(例)申17:16

詩33:17

(例)サ二8:5-8

(例)代一17:8

(例)王一7:23

(例)王一7:15,45

(例)サ二8:3

(例)サ二8:9-11

3 ダビデは、ツオバのハダドエゼル
王をハマトの近くで打ち破った。ハダ

ドエゼルのユーフラテス川付近での
権力を確立しようとして出てきた時の

ことだった。4 ダビデは兵車1000
両と騎手7000人と歩兵2万人を捕ら

えた。また、100頭を除いて全ての兵
車の馬の膝のけんを切った。5 ダマ

スカスのシリア人がツオバのハダドエ
ゼル王を助けに来た時、ダビデはシ

リア人2万2000人を討った。6 ダ
ビデはシリアのダマスカスに守備隊

を置いた。こうしてシリア人はダビデ
に仕え、貢ぎ物を納めることになっ

た。ダビデはどこに行っても、エホバ
のおかげで勝利した。7 ダビデはま

た、ハダドエゼルの家来たちから金の
円盾を取り、エルサレムに持ってきた。

8 ハダドエゼルの町、ティプハトとク
ンからは、大量の銅を奪った。それを

使って、ソロモンは銅の「海」や柱や
器具を作った。

9 ハマトのトウ王は、ダビデがツオ
バのハダドエゼルの全軍勢を打ち

破ったことを聞くと、10 すぐに自分
の子ハドラムをダビデ王のもとに遣わ

してあいさつさせ、ハダドエゼルの打
ち破ったことへの祝辞を伝えさせた。

(ハダドエゼルとトウはよく戦っていた
のである。)ハドラムは、金、銀、銅のあ

らゆる品々を持ってきた。11 ダビ
デ王はそれらを神聖なものとしてエホ

18:6 *または、「に救い出された」。

バに^{ささ}捧^つげた。以前^{いぜん}にあらゆる^く国^{くに}から
と^と取^とった銀^{ぎん}や金^{きん}も同じ^{おな}ようにした。エド
ムやモアブ、アンモン人^{じん}、フィリスティ
ア人^{じん}、アマレク人^{じん}から取^とった物^{もの}である。

12 ツェルヤの子アビシャイ^いは、塩^{しお}
の谷^{たに}でエドム人^{じん}1万8000人^{まん}を討^うつ
た。13 ダビデはエドムに守備隊^{しゅびたい}を
置^おいた。エドム人は皆^{みな}、ダビデに仕え
ることになった。ダビデはどこに行^いつ
ても、エホバのおかげで勝利^{しょうり}した。

14 ダビデはイスラエル全体^{ぜんたい}を治め
続^{つづ}けた。民衆^{たみすべ}に対して公正^{こうせい}で正しい
ことを行^{おこな}った。15 ツェルヤの子ヨア
ブ^{ぐんた}は軍隊^{ちようぐん}の長^ち、アヒルドの子エホシャ
ファト^いは記録官^{きろくかん}だった。16 アヒトブ
の子ザドク^{さいし}とアビヤタルの子アヒメ
レク^{ひしよかん}は祭司^{さいし}、シャウシャは秘書官^{ひしょかん}だった。

17 エホヤダの子ベナヤ^{じん}はケレト人と
ペレト人をまとめ、ダビデの子^{じん}たちは
王^{おう}のそばで第1^{だい}の地位^{ちい}にいた。

19 その後^ご、アンモン人^{じん}の王^{おう}ナハ
シュ^しが死^かに、代^かわりにナハ
シュの子^こが王^{おう}になった。2 ダビデは
言^いった。「ハヌンの父^{ちち}ナハシュは私^{わたし}に
揺^ゆるぎない愛^{あい}を示^{しめ}してくれた。だから
私^{わたし}も揺^ゆるぎない愛^{あい}をナハシュの子^こハヌ
ン^{しめ}に示^{しめ}そう」。こうしてダビデは、父^{ちち}
を失^{うしな}ったハヌンを慰^{なぐさ}めようとして使者^{しや}
たちを遣^{つか}わした。ところが、ダビデの家
来^けたちがハヌンを慰^{なぐさ}めるためにアン
モン人^{じん}の土地^{とち}に入^{はい}ると、3 アンモン
人^{じん}の高官^{こうかん}たちがハヌンにこう言^いった。

18:13 *または、「に救い出された」。

第18章

(例) ヨシ6:19
代二5:1

(イ) 代一20:1

(例) サ二5:25

(例) サ一27:8,9
サ一30:18,20

(例) 代一2:15,16

(例) サ一26:6
サ二3:30

サ二10:10

サ二20:6

サ二21:17

(例) サ二8:13,14

(例) 創25:23
創27:40

(例) 詩18:48
詩144:10

(例) 王一2:11

(例) サ二8:15-18
サ二23:3,4

詩78:70-72

(例) 代一11:6

(例) 王一4:3

(例) サ一30:14
ゼバ2:5

(例) 王一1:38

第19章

(例) サ二10:1-5

(例) サ二9:7

(例) 創19:36,38

第2欄

(例) レビ19:27

(イ) 王一16:34

(例) サ一14:47
サ二8:3

サ二10:6

(例) ヨシ13:8,9

(例) サ二8:16

(例) サ二10:7,8
サ二23:8

「ダビデはあなたの父^{ちち}上^{うやま}を敬^{うやま}っている
ので、あなたを慰^{なぐさ}めるために人^{ひと}を遣^{つか}わ
してきた、とお考えですか。ダビデの家
来^けたちが来^きたのは、この土地^{とち}を探^{さぐ}り、
征服^{せいふく}しようとして偵察^{ていさつ}するためではな
いでしょうか」。4 それでハヌンはダ
ビデの家来^けたちを捕^{つか}まえ、ひげをそり
落^おとし、服^{ふく}も腰^{こし}から下半分^{したはんぶん}を切り落^きと
して、追^おい返^{かえ}した。5 ダビデは家来^け
たちのことを聞^きき、すぐにはかの人^{ひと}たち
を送^{おく}って迎^{むか}えに行^いかせた。家来^けたち
がひどい辱^{はづかし}めを受け^うけたからである。王^{おう}
はこう伝^{つた}えさせた。「頼^{たの}ひげが伸^のびる
までエリコにいて、それから帰^{かえ}ってきな
さい」。

6 やがてアンモン人^{じん}は、ダビデの
憎^{にく}しみを買^かったことを悟^{さと}った。それで
ハヌンとアンモン人^{じん}は、銀^{ぎん}を34トン
送^{おく}ってメソポタミアとアラム・マアカと
ツォバから兵車^{へいしや}と騎手^{きしゅ}を雇^{やど}おうとした。

7 こうして、彼^{かれ}らは兵車^{へいしや}3万2000両^{まん}と
マアカの王^{おう}とその民^{たみ}を雇^{やど}った。そこで
彼^{かれ}らはや^{あつ}って来^{まちまち}て、メデバの前^{まへ}に陣營^{じんえい}
を張^はった。アンモン人^{じん}は戦^{たたか}いのため
に集^{あつ}まり、町^{まち}々^{まち}から出^でてきた。

8 ダビデはそれ^{それ}を聞^きき、ヨアブと
全軍^{ぜんぐん}、最^{もつと}も強^{つよ}い戦士^{せんし}たちを送^{おく}った。
9 アンモン人^{じん}は出^でていき、町^{まち}の入り口^{いりぐち}
で戦闘隊形^{せんとうたいけい}を整^{ととの}えた。来^きていた王^{おう}た
ちは野原^{のほら}にいた。

10 ヨアブは前後^{ぜんご}から戦^{たたか}いの前線^{ぜんせん}
が向^むかってくるのを見^みると、イスラエル

19:6 *直訳、「アラム・ナハライム」。

の精銳から兵士たちを選び、シリア人の
 に対して戦闘隊形を整えた。11 残
 りの兵士たちを、兄弟アビシャイの指
 揮下に配置し、アンモン人に対して戦
 闘隊形を整えた。12 ヨアブは言っ
 た。「もし私がシリア人に苦戦してい
 たら、助けに来てくれ。あなたがアン
 モン人に苦戦したときは、私が助け
 る。13 私たちの民のため、私たち
 の神の町々のため、力を奮い起こし、
 勇気を出そう。エホバは、良いと思わ
 れることを行われる」。

14 ヨアブと兵士たちはシリア人と
 戦うために進み出、シリア人はヨアブ
 の前から敗走した。15 アンモン人
 も、シリア人が敗走したのを見て、ヨア
 ブの兄弟アビシャイの前から逃げ出
 し、町に戻った。その後ヨアブはエル
 サレムに帰った。

16 シリア人は、イスラエルに打ち
 破られたので、使者たちを送って、川の
 地方にいたシリア人を招集した。ハ
 ダドエゼルの軍隊の長ショファクが彼
 らを率いた。

17 そのことについて報告を受けた
 ダビデは、直ちにイスラエル全体を集
 め、ヨルダン川を渡って、シリア人の所
 に行き、立ち向かうために戦闘隊形を
 整えた。ダビデはシリア人に対して
 戦闘隊形を整え、シリア人はダビデと
 戦った。18 だが、シリア人はイスラ
 エルの前から敗走した。こうしてダビ

19:16 * ユーフラテス川のこと。

第19章

(7) サニ 10:9-12

(1) 代一 11:20,21

(7) サニ 8:5

(2) 申 31:6

ヨシ 1:9

(8) レビ 26:7,8

申 28:7

サニ 10:13,14

(7) サニ 8:3

(4) サニ 10:15,16

(7) サニ 10:17-19

第2欄

(7) 詩 18:39

(1) 代一 14:17

詩 18:44

第20章

(7) 代一 11:6

(2) 申 3:11

(7) サニ 11:1

(7) サニ 12:26

(4) サニ 8:11,12

サニ 12:30,31

(7) 王一 9:20,21

(7) サニ 21:18

代一 11:26,29

(2) 申 3:13

(7) サ一 17:4,7

サ一 21:9

デはシリア人の兵車の乗り手7000人
 と歩兵4万人を殺し、軍隊の長ショ
 ファクを殺した。19 ハダドエゼルの
 家来たちは、イスラエルに打ち破られ
 たので、速やかにダビデと和平を結び、
 ダビデに従属するようになった。シリ
 アはもうアンモン人に加勢しようとは
 しなかった。

20 年の初め、王たちが戦いに
 出掛ける頃、ヨアブが軍隊を
 率いて、アンモン人の土地を荒廃させ
 た。ヨアブはラバに行って、そこを包
 囲した。一方、ダビデはエルサレム
 にとどまっていた。ヨアブはラバを攻
 撃して、破壊した。2 ダビデはマル
 カムの頭から冠を取った。それは34
 キロの金でできた冠で、宝石で飾られ
 ており、ダビデの頭に置かれた。ダビ
 デは都市から非常に多くの物を奪っ
 た。3 また、都市にいた民を連れ出
 して、石切りや、鉄の刃物やおのを使
 う仕事を行わせた。アンモン人の全て
 の町に対してそのようにした。やがて
 ダビデと兵士たち皆はエルサレムに
 帰った。

4 その後、ゲゼルでフィリスティア人
 との戦いが起き、フシャ人シベカイが
 レファイム人の子孫シパイを討った。
 こうしてフィリスティア人は制圧された。

5 またもフィリスティア人との戦い
 があり、ヤイルの子エルハナンがガト
 の人ゴリアデの兄弟ラフミを討った。

20:1 * 春のこと。

ラフミのやりの柄は、機織りが使う巻
き棒のように太かった。

6 ガトでまたしても戦いが起きた。
そこには、手と足にそれぞれ指が6本
あり、合わせて24本の指がある巨人
がいた。その人もレファイム人の子
孫だった。7 彼はイスラエルをあざ
けていたので、ダビデの兄弟シムア
の子ヨナタンが彼を討った。

8 以上はガトのレファイム人の子孫
で、ダビデと家来たちの手によって倒
された。

21 さて、サタンがイスラエルに
対して立ち上がり、イスラエ
ルを数えるようダビデを駆り立てた。

2 ダビデはヨアブと民の長たちに
言った。「ベエル・シェバからダンまで
イスラエル人を数えに行きなさい。そ
して私に報告して人数を知らせな
さい。」3 ヨアブは言った。「エホバが
民を百倍に増やしてくださいますよ
うに！ ご主人さま、王よ、彼らは皆す
でにあなたの家来ではありませんか。ど
うしてそのようなことをなさるのです
か。イスラエルに罪を負わせるような
ことをどうしてなさるのでしょうか。」

4 しかし王はヨアブを説き伏せた。
それでヨアブは出ていってイスラエル
中を回り、その後、エルサレムに帰っ
てきた。5 ヨアブは登録した民の数を
ダビデに伝えた。イスラエルは剣を
帯びた人が110万人、ユダは剣を帯び

21:1 *もしかすると、「反抗する人」。

第20章

〔サニ 21:19
代一 11:23,24〕

〔イヨシ 11:22
サ一 7:14〕

〔民 13:33
申 2:10
申 3:11〕

〔サニ 21:16
サニ 21:20-22〕

〔サ一 17:10
王二 19:22〕

〔代一 2:13〕

〔サ一 17:4〕

〔イヨ申 2:11〕

第21章

〔サニ 24:1-3〕

〔サニ 8:16〕

〔裁 18:29
サニ 17:11〕

〔イヨサニ 24:4,8〕

第2欄

〔サニ 24:9〕

〔イ民 1:47〕

〔イヨ代一 27:23,24〕

〔サニ 12:13〕

〔詩 25:11
詩 51:1〕

〔サニ 24:10-14〕

〔サニ 代一 29:29〕

〔イヨレビ 26:26〕

〔イヨレビ 26:14,17〕

〔イヨレビ 26:25〕

〔イヨ王二 19:35〕

た人が47万人だった。6 しかし、ヨ
アブはレビ族とベニヤミン族を登録し
なかった。王が言ったことがヨアブ
にとって忌まわしいものだったからで
ある。

7 さて、行われたことは、真の神に
とって非常に不快だった。それで神は
イスラエルを打った。8 ダビデは真
の神に言った。「こんなことをして、私
は大きな罪を犯しました。どうか私の
過ちをお許しください。私は本当に愚
かなことをしました。」9 エホバは
ガトに次のように言った。ガドは、ダビ
デに神からの幻を伝える人だった。

10 「ダビデにこう言いに行きなさい。
『エホバはこう言っている。「あなたに
3つの中から1つを選ばせよう。それ
をあなたに対して行う』。』」11 それ
でガドはダビデの所に行って、こう
言った。「エホバはこう言っています。
『どれがいいか選べなさい。12 3年
間、飢饉があることか。3カ月間、敵対
者たちに打ち破られ、敵の剣があなた
に及ぶことか。3日間、国がエホバの
剣すなわち疫病に襲われ、エホバの
天使がイスラエルの全領土に滅びを
もたらすことか』。私を遣わした方に
私がどう答えるとよいのか、考えてくだ
さい。13 ダビデはガドに言った。
「それは私にとって非常につらいこと
です。私がエホバの手に掛かっても構い
ません。神の憐れみはとても大きい

らです。ですが、人の手に掛かるように
はしないでください。

14 するとエホバはイスラエルに疫
病をひろめたので、イスラエルのうち7
万人が倒れた。**15** さらに、真の神
はエルサレムを滅ぼすために天使を
遣わした。しかし、天使が滅ぼそうと
すると、エホバはそれを見て災いのこ
とを嘆き、滅びをもたらす天使にこう
言った。「もう十分だ！ さあ、手を下ろ
しなさい」。エホバの天使は、エブ
ス人オルナンの脱穀場のそばに立って
いた。

16 ダビデが目を見ると、エホバ
の天使が天と地の間に立ち、剣を抜い
てエルサレムの方に突き出した。ダ
ビデと長老たちは、粗布を身に着け、
すぐさみひれ伏した。**17** ダビデは
真の神に言った。「民を数えるように
と言ったのは私ではありませんか。罪
を犯したのは私です。私が悪いことを
したのです。この民が何をしたので
しょうか。私の神エホバ、どうか私と
父の家族をあなたの手に掛けてくだ
さい。あなたの民には神罰を下さない
でください」。

18 すると、エホバの天使は、エブ
ス人オルナンの脱穀場に行きエホ
バのために祭壇を作るようにと、ガ
ドを通してダビデに伝えた。**19** ダ
ビデは、ガドがエホバの名によって語

21:15 *または、「悔やみ」。 **21:17** *直訳、
「羊」。

第21章

出 34:6
詩 51:1
イザ 55:7
哀 3:22

代二 28:9

民 16:46

サニ 24:15, 16

出 32:14
申 32:36

詩 90:13

サニ 5:6

代二 3:1

民 22:31
ヨシ 5:13

王二 19:1

サニ 24:17

詩 51:4

出 32:12
民 16:22

サニ 24:18-23
代二 3:1

サニ 24:11

第2欄

民 25:8

イザ 28:27

サニ 24:24, 25

出 20:25

レビ 9:23, 24
王一 18:38
代二 7:1

サニ 24:16
詩 103:20

ことばを聞いて、出ていった。**20** そ
の頃、オルナンは小麦を脱穀してい
た。オルナンが振り向くと天使が見
え、一緒にいた4人の子たちは隠れ
た。**21** ダビデがやってくると、オル
ナンは見てダビデだと気づき、すぐに
脱穀場から出て行って、ひれ伏した。

22 ダビデはオルナンに言った。「こ
の脱穀場の土地を売ってください。こ
こにエホバのために祭壇を作りたい
のです。十分な代金を払うので売って
ください。そうすれば、民への神罰が
収まるはずだ」。 **23** オルナンはダ
ビデに言った。「差し上げますので、王
がよいと思われることをなさしてくだ
さい。全焼の捧げ物のための牛、まき
として使える脱穀すり、穀物の捧げ物
のための小麦もお渡します。全部差
し上げます」。

24 しかしダビデ王はオルナンにこ
う言った。「いいえ、私は絶対に十分
な代金を払って買います。あなたのもの
をエホバに捧げたり、何も費やさず
に全焼の犠牲を捧げたりはしませ
ん」。 **25** こうしてダビデはその土地
のために6.8キロの金をオルナンに
渡した。**26** それからそこにエホバ
のために祭壇を作り、全焼の犠牲と
共食の犠牲を捧げた。そしてエホバ
に呼びかけると、神は全焼の捧げ物
の祭壇の上に天から火を送って、答
えた。**27** さらにエホバは天使に、剣
をさやに戻すよう命じた。**28** ダビ

デはエホバがエブス人^{じん}オルナンの^{だっ}脱^くく^ばを^{こた}答えてくださったのを見て、^みこ^さこ^さで犠牲を捧げ続けた。29 その頃、^{ころ}モーセが^{こう}荒野で造ったエホバの幕屋^{まく}と、全焼^{ぜんしょう}の捧げ物の祭壇^{さいだん}は、ギベオン^ぎの^{たか}高い場所^{ばしょ}にあった。30 けれども、^{てん}ダビデはエホバの天使の剣^{つるぎ}におびえ、^{かみ}神に相談^{そうだん}するためにその前^{まえ}に行くことができなかった。

22 ダビデは言った。「ここに真^{しん}の神エホバの家^いがあるべきだ。ここにこそイスラエルが全焼^{ぜんしょう}の捧げ物を捧げる祭壇^いがあるべきだ」。

2 ダビデは命令を出してイスラエルから外国人^{がいこくじん}居住者を集め、その人たちを石切り工にし、真^{しん}の神の家^{かみ}の建設^{けんせつ}に使う石を切って整えさせた。3 また、^{もん}門の扉用^{ひらき}のくぎや金具^{かなぐ}のための大量^{たいりょう}の鉄^{てつ}と、量^{はか}り切れないほどたくさんの銅^{どう}を用意した。4 杉材^{しょうざい}も数え切れないほど用意した。シドン人^{しんじん}とティルス人^{たいりゅうじん}がダビデのもとに大量^{たいりょう}の杉材^{しょうざい}を持ってきたのである。5 ダビデは言った。「わが子^こソロモンは若^{わか}くて、経験^{けいけん}が浅い。それに、エホバのために建てられる家^{いえ}は、あらゆる国^{くに}に評判^{へいばん}と美^{うつく}しさが知られるよう、極めて壮麗^{さうらい}であるべきだ。だから、ソロモンのために用意^{ようい}をしておこう。こうしてダビデは死ぬ^{しぬ}前に大量^{たいりょう}の資材^{しざい}を用意した。

6 ダビデは息子^{むすこ}ソロモンを呼んで、イスラエルの神エホバのために家

第21章

㊦王1:3-4
代16:39
代2:1-3

第22章

㊦申12:5,6
サニ24:18
代2:3-1

㊦王9:20,21
代2:17,18

㊦王5:15,17
王6:7
王7:9

㊦王7:47

㊦サニ5:11

㊦王5:6,8

㊦代2:3

㊦王3:7

㊦ハガ2:3

㊦詩68:29

㊦代2:5

第2編

㊦申12:5,6
サニ7:2
詩132:3-5

㊦代17:14

㊦代18:5

㊦サニ7:12,13
王4:25
王5:4

㊦サニ12:24

㊦詩72:7

㊦王5:5

㊦サニ7:14
ヘブ1:5

㊦代17:12-14
詩89:35,36

㊦代18:20

㊦申4:6

㊦代2:1:10
詩72:1

を^た建てるよう指示^{しじ}した。7 ダビデは息子^{むすこ}ソロモンに言った。『私は、エホバ神^{かみ}の名^なのために家^{いえ}を建てることを心^{こころ}から願^{ねが}っていた。8 しかし、エホバは私^{わたし}にこう言った。『あなたはたくさん^{ひと}の人の血^ちを流^{なが}し、大きな戦^{たたか}いをしてきた。あなたが私^{わたし}の名^なのために家^{いえ}を建てることはない。あなたは私の前^{まえ}で地上^{じきょう}にたくさん^{ひと}の人の血^ちを流^{なが}したからである。9 あなたに男^{おとこ}の子^こが生まれ、その子^こは平和^{へい}な人^{ひと}となる。わたしは、彼^{かれ}を周囲^{しゅうい}の全^{すべ}ての敵^{てき}から守^{まも}って、彼^{かれ}が安心^{あんしん}できるようにする。彼はソロモンと呼ばれ、彼の時代^{きだい}に私はイスラエルに平和^{へい}と平穩^{へいおん}を与えるのである。10 彼こそが私^{わたし}の名^なのために家^{いえ}を建てる。彼は私^{わたし}の子^ことなり、私は彼の父^{ちち}となる。私は、彼のイスラエルでの王座^{おうざ}が永遠^{えいえん}に揺るがないようにする』。

11 わが子よ、エホバがあなたと共にいてくださいますように。あなたについて神^{かみ}が語^{かた}られた通り^{とお}に、あなたがエホバ神^{かみ}の家の建設^{けんせつ}を成功^{せいこう}させるよう、願^{ねが}っている。12 エホバがあなたにイスラエルでの権力^{けんりよく}をお与^{あた}えになる時^{とき}、エホバ神^{かみ}の律法^{りっぽう}を守るための思^し慮^{りよぶ}深^{ふか}さと理解^{りかい}力をあなたにお与^{あた}えになりますように。13 あなたは、エホバがイスラエルに与^{あた}えるようモーセに命^{めい}じた規定^{きてい}と法規^{ほうき}を注意^{ちゅうい}深く守^{まも}るな

22:5 *または、「か弱い」。

22:9 *「平和」という意味のヘブライ語に由来。

ら、成功する。勇気を出し、強くありな
さい。恐れたりおびえたりしてはいけ
ない。14 私はエホバの家のために
苦労して3400トンの金、3万4000ト
ンの銀、量り切れないほど大量の銅と
鉄を用意した。木材と石材も用意した
が、あなたがそれにもっと加えるとよ
い。15 あなたのの下には、石切り工、
石工、大工、各種の熟練工など、作業
者が大勢いる。16 金、銀、銅、鉄は
量り切れないほどある。さあ、取り掛
かりなさい。エホバがあなたと共にい
てくださいますように」。

17 それからダビデはイスラエルの
高官全員に、息子ソロモンに協力する
ようにと命じた。18「エホバ神は皆
さんと共にいてくださり、周囲の敵から
守って安心させてくださったのではな
いでしょうか。神はこの土地の住民を
わたしの手に渡し、この土地はエホバと神
の民の前で制圧されました。19 心
を尽くし、自分の全てを尽くしてエホ
バ神に仕え、真の神エホバの聖なる
所を建て始めなさい。そして、エホバ
の名のために建てられた家に、エホ
バの契約の箱と真の神の聖なる器具
を運び入れるのです」。

23 ダビデは年老いて、死期が
近づくと、息子ソロモンをイ
スラエルの王にした。2 それからダ
ビデはイスラエルの全ての高官、祭
司、レビ族を集めた。3 レビ族の30
歳以上の男性を一人一人数えと、3

第22章

【レ】19:37
申 12:1
申 17:18, 19
ヨシ 1:8
王 2:3
代 28:7
詩 19:8, 11
【イ】ヨシ 1:6, 9
代 28:20
【ウ】代 29:6, 7
【エ】代 29:2-4
王 5:17
王 6:7
王 7:9
【カ】王 7:13, 14
【キ】代 22:3
【ク】代 2:1
【コ】申 4:29
代 20:3
ダ 9:3
【ケ】王 6:1
【セ】申 12:21
王 8:29
王 9:3
【ソ】王 8:6, 21

第23章

【ウ】王 1:33, 39
代 28:5
【エ】出 29:8, 9
【イ】民 3:6
【ウ】民 4:2, 3

第2編

【ア】申 16:18
代 26:29
代 29:18
【イ】代 26:12
【ウ】代 6:31, 32
【エ】出 6:16
【イ】代 2:8, 14
代 31:2
【ウ】代 26:21, 22
【キ】出 6:21
【コ】出 6:18
【カ】出 4:14
【ク】出 6:20, 26
【ケ】出 28:1
【セ】レビ 9:22
民 6:23-27
申 21:5
【ソ】出 2:21, 22
【タ】出 18:3, 4
【チ】代 26:24
【リ】代 26:25

万8000人だった。4 そのうち、2万
4000人はエホバの家の仕事の監督
として仕え、6000人は役人と裁判人、
5 4000人は門番で、4000人はダビ
デが「賛美するために私が作った」と
言った楽器でエホバを賛美した。

6 ダビデは彼らを、レビの子たちで
あるゲルシオンとコハトとメラリの家系
に従って組分けして組織した。7 ゲ
ルシオン氏族は、ラダン、シムイ。8 ラ
ダンの子は、長であるエヒエル、ゼタ
ム、ヨエルの3人。9 シムイの子は、
シェロモト、ハジエル、ハランの3人。
これらの人はラダンの家系の氏族長
だった。10 シムイの子は、ヤハト、ジ
ナ、エウシュ、ベリア。これらの4人はシ
ムイの子である。11 ヤハトが長で、
次はジザだった。エウシュとベリアは
子が多くなかったので、1つの氏族とし
て扱われ、1つの職務に就いた。

12 コハトの子は、アムラム、イツハ
ル、ヘブロン、ウジエルの4人。13 ア
ムラムの子は、アロン、モーセ。アロン
は、子たちと共に、至聖所を聖聖なも
のとするために常時取り分けられ、エ
ホバの前に犠牲を捧げ、神に奉仕し、
いつも神の名によって祝福について
述べた。14 真の神に仕える人モー
セの子たちは、レビ族として扱われ
た。15 モーセの子は、ゲルシオン、
エリエゼル。16 ゲルシオンの子たち
は、シェエルが長だった。17 エリ
エゼルの子孫は、レハブヤが長だった

た。エリエゼルにはほかに男の子がいなかったが、レハブヤの子は非常に多かった。18 イツハルの子たちは、シェロミが長だった。19 ヘブロンの子たちは、エリヤが長で、次はアマルヤ、3番目はヤハジエル、4番目はエカムアムだった。20 ウジエルの子たちは、ミカが長で、次はイシヤだった。

21 メラリの子は、マフリ、ムシ。マフリの子は、エレアザル、キシュ。22 エレアザルは息子がいないまま死んだ。娘たちしかいなかった。それで、親族であるキシュの子たちが、彼女たちを妻にした。23 ムシの子は、マフリ、エデル、エレモトの3人。

24 これらの人は、氏族と氏族長ごとに登録されたレビの子である。20 歳以上で、エホバの家での奉仕の仕事のために数えられ、名前が記載された。25 ダビデがこう言ったからである。「イスラエルの神エホバは、民が安心できるようにしてくださいまし。神はエルサレムにいつまでも住まわれます。26 レビ族は、幕屋やそこでの奉仕のための備品を運ぶ必要はなくなります」。27 ダビデの最後の指示によって、20歳以上のレビ族が数えられた。28 彼らの役目は、エホバの家での奉仕のためにアロンの子たちを補佐することだった。庭と食堂を受け持ち、全ての聖なるものを清めることや、真の神の家の奉仕に必要な

第23章

(イ) 民 3:27

(イ) 代一 24:20,22

(イ) 代一 24:20,23

(イ) 出 6:22

(イ) 出 6:19

(イ) サニ 7:1

(イ) 王一 8:12,13
詩 135:21

(イ) 民 4:15

(イ) 民 3:9

(イ) 王一 6:36

第2欄

(イ) レビ 24:5,6
代一 9:32(イ) 出 29:1,2
レビ 2:4

(イ) レビ 7:12

(イ) 出 29:39

(イ) 代一 16:4,37

(イ) 出 20:10

(イ) 民 10:10
詩 81:3

(イ) 申 16:16

第24章

(イ) レビ 10:1

(イ) 出 6:23
出 28:1

(イ) 民 26:61

(イ) 民 16:39,40

(イ) サニ 8:17

(イ) 格 16:33

さまざまな仕事を担当した。29 重ねのパン、穀物の捧げ物のための上等の麦粉、無酵母の薄焼きパン、焼き皿で作った菓子、油を混ぜ込んだパン生地、全ての分量や大ききの計量に関して、補佐した。30 毎朝、立って、エホバに感謝と賛美を捧げ、夕方にもそうした。31 また、安息日、新月、祭りの時期には、関係する規則で求められている数の通りに全焼の犠牲をエホバに捧げる際、いつも補佐した。エホバの前で定期的にそうした。32 そして、エホバの家での奉仕のため、会見の天幕、聖なる場所、同族のアロンの子たちのための責務も果たした。

24 アロンの子孫の組は次の通りである。アロンの子孫は、ナダブ、アピフ、エレアザル、イタマル。2 ナダブとアピフは子がいまま、父よりも先に死んだ。エレアザルとイタマルは引き続き祭司として仕えた。3 ダビデは、エレアザルの家系のザドクとイタマルの家系のアヒメレクと共に、アロンの子孫たちを奉仕の職務のために組に分けた。4 エレアザルの子孫の方がイタマルの子孫よりも長たちが多かったので、それに応じて分けた。エレアザルの子孫には氏族長が16人、イタマルの子孫には氏族長が8人だった。

5 どちらの人たちもくじによって割り振られた。エレアザルの子孫とイタ

23:29 * 供えのパンのこと。

マルの子孫の両方に、聖なる場所の長たちと眞の神に仕える長たちがいたからである。6 レビ族の秘書官である、ネタヌエルの子シェマヤは、王と高官たち、祭司ザドクとアビヤタルの子アヒメレク、祭司とレビ族の氏族長たちの前で、彼らの名前を記録した。エレアザルから氏族が1つ選ばれると、イタマルからも1つが選ばれた。

7 第1のくじはエホヤリブに当たった。第2はエダヤに、8 第3はハリムに、第4はセオリムに、9 第5はマルキヤに、第6はミヤミンに、10 第7はハコツに、第8はアビヤに、11 第9はエシュアに、第10はシェカヌヤに、12 第11はエルヤシブに、第12はヤキムに、13 第13はフパに、第14はエシェブアブに、14 第15はビルガに、第16はイメルに、15 第17はヘジルに、第18はハピツェツに、16 第19はペタフヤに、第20はエヘズケルに、17 第21はヤキンに、第22はガムルに、18 第23はデラヤに、第24はマアズヤに当たった。

19 以上が、奉仕の職務のための取り決めだった。イスラエルの神エホバに命じられた通りに父祖アロンが定めた手順に従って、エホバの家に入る時の奉仕の職務である。

20 残りのレビ族は次の通りである。アムラムの子ではシュバエル。シュバエルの子ではエフデヤ。21 レハブヤの子では、長であるイシヤ。22 イ

第24章

(例) 王一 2:35

(例) サニ 19:11
王一 1:5,7

(例) サニ 8:17

(例) ルカ 1:5

(例) 王二 11:9
ルカ 1:8,23

(例) 出 6:18

(例) 代一 23:16
代一 26:24

(例) 代一 23:17

第2欄

(例) 代一 23:18

(例) 代一 26:31

(例) 創 46:11

(例) 代一 23:22

(例) 格 16:33

第25章

(例) 代一 16:41,42
代二 5:11,12
代二 35:15

(例) サ一 10:5

(例) 代一 15:16

(例) 代一 16:41,42

ツハル氏族ではシェロモト。シェロモトの子ではヤハト。23 ヘブロンの子では、長であるエリヤ、次のアマルヤ、3番目のヤハジエル、4番目のエカムム。24 ウジエルの子ではミカ。ミカの子ではシャミル。25 ミカの兄弟はイシヤ。イシヤの子ではゼカリヤ。

26 メラリの子は、マフリ、ムシ。ヤアジヤの子ではベノ。27 メラリの子孫は以下の通りである。ヤアジヤからは、ベノ、ショハム、ザクル、イブリ。28 マフリからはエレアザルで、エレアザルには息子がいなかった。29 キシュの子ではエラフメエル。30 ムシの子は、マフリ、エデル、エリモト。

これらの人は、氏族ごとのレビの子孫である。31 彼らも、兄弟であるアロンの子孫たちがしたのと同じように、ダビデ王とザドクとアヒメレク、祭司とレビ族の氏族長たちの前でくじを引いた。年長の氏族長も若い氏族長も同じように扱われた。

25 ダビデと奉仕のグループの長たちは、アサフとヘマンとエドトンの子の中から、たて琴や弦楽器やシンバルを奏でながら預言する人たちを取り分けた。その奉仕の担当者以下に挙げる。2 アサフの子では、ザクル、ヨセフ、ネタヌヤ、アシャルエラ。アサフの子は、王の指揮下で預言するアサフの指揮下にあった。

3 エドトンの子では、ゲダリヤ、ツェリ、

エシャヤ、シムイ、ハシャブヤ、マタテヤ^(ア)の6人で、たて琴を奏でながら預言してエホバに感謝と賛美を捧げる父エドトンの指揮下にあった。4 ヘマンの子では、ブキヤ、マタヌヤ、ウジエル、シェブエル、エリモト、ハナニヤ、ハナニ、エリアタ、ギダルティ、ロمامティ・エゼル、ヨシュベカシャ、マロティ、ホティル、マハジオト。5 これらの人は皆、真の神に関する幻を王に伝えて神をたたえるヘマンの子である。真の神はヘマンに息子14人と娘3人を与えた。6 これらの人は皆、父の指揮下でシンバルや弦楽器やたて琴を奏でながらエホバの家で歌い、真の神の家で奉仕した。

アサフ、エドトン、ヘマンは、王の指揮下にあった。

7 これらエホバへの歌の訓練を受けた人たちとその兄弟たちは288人で、皆、熟練していた。8 若い人も年長の人、初心者も熟練者も、くじを引いて務めを決めた。

9 第1のくじはアサフの子ヨセフに当たった。第2はゲダリヤとその兄弟や子たち12人に、10 第3はザウルとその子や兄弟たち12人に、11 第4はイツリとその子や兄弟たち12人に、12 第5はネタヌヤとその子や兄弟たち12人に、13 第6はブキヤとその子や兄弟たち12人に、14 第7はエシャルエラとその子や兄弟たち12人に、15 第8はエシャヤとその子

第25章

(ア) 代一 15:16,18

(イ) エフ 5:19

(イ) 代一 15:16,19

(ロ) 代一 13:8

代一 15:16

代一 16:5

(ロ) 格 16:33

(ロ) 代一 25:1,2

(ロ) 代一 25:1,3

(ロ) 代一 25:1,2

(ロ) 代一 25:1,2

第2欄

(ロ) 代一 25:1,4

(イ) 代一 25:1,4

(ロ) 代一 25:1,4

(ロ) 代一 25:1,4

第26章

(ロ) 代一 9:2,22

代二 23:16,19

(ロ) 代一 26:14,19

や兄弟たち12人に、16 第9はマタヌヤとその子や兄弟たち12人に、17 第10はシムイとその子や兄弟たち12人に、18 第11はアザルエルとその子や兄弟たち12人に、19 第12はハシャブヤとその子や兄弟たち12人に、20 第13はシュバエルとその子や兄弟たち12人に、21 第14はマタテヤとその子や兄弟たち12人に、22 第15はエリモトとその子や兄弟たち12人に、23 第16はハナニヤとその子や兄弟たち12人に、24 第17はヨシュベカシャとその子や兄弟たち12人に、25 第18はハナニとその子や兄弟たち12人に、26 第19はマロティとその子や兄弟たち12人に、27 第20はエリアタとその子や兄弟たち12人に、28 第21はホティルとその子や兄弟たち12人に、29 第22はギダルティとその子や兄弟たち12人に、30 第23はマハジオトとその子や兄弟たち12人に、31 第24はロمامティ・エゼルとその子や兄弟たち12人に当たった。

26 門番の組については以下の通りである。コラ氏族では、アサフの子の1人コレの子メシェムヤ。2 メシェレムヤには子がいた。長男ゼカリヤ、次男エディアエル、3 男ゼバドヤ、四男ヤトニエル、3 五男エラム、六男エホハナン、七男エルエホ・エナイである。4 オベデ・エドムにも子がいた。長男シェマヤ、次男

エホザバド、三男^{さんなん}ヨアハ、四男^{よなん}サカル、
五男^{ごなん}ネタヌエル、**5** 六男^{ろくなん}アミエル、
七男^{しちなん}イッサカル、八男^{はちなん}ベウレタイであ
る。神^{かみ}がオベデ・エドムを祝福^{しゅくふく}したの
である。

6 彼^この子^こシェマヤにも子^うたちが生
まれ、氏族^{しそく}を治め^{おさ}る人^{ひと}になった。その
子^こたちは勇敢^{ゆうかん}で有能^{ゆうのう}だったからであ
る。

7 シェマヤの子^こは、オトニ、レファ
エル、オベデ、エルザバド。エルザバド
の親族^{しんぞく}エリフとセマクヤも有能^{ゆうのう}だっ
た。**8** これらの人^{ひと}は皆^{みな}、オベデ・エド
ムの子孫^{しそん}で、子^こたちも兄弟^{きょうだい}たちも有能^{ゆうのう}
で奉仕^{ほうし}する資格^{しかく}を備^{そな}えていた。オベ
デ・エドムの家系^{かけい}の人^{ひと}は62人^{にん}だった。

9 メシェムヤにも子^こや兄弟^{きょうだい}たちがい
た。有能^{ゆうのう}な18人^{にん}である。**10** メラリ
の子^この1人^{ひとり}ホサにも子^こたちがいた。シ
ムリが長^{ちやうだ}った。彼は長男^{ちやうなん}ではなかつ
たが、父^{ちち}が彼^{かれ}を長^{ちやう}にしたのである。
11 次^{つぎ}はヒルクヤ、3番目^{ばんめ}はテバルヤ、
4番目^{ばんめ}はゼカリヤ。ホサの子^こや兄弟^{きょうだい}た
ちは全部^{ぜんぶ}で13人^{にん}だった。

12 これらの門番^{もんばん}の組^{ぐみ}で、長^{ちやう}たちは
兄弟^{きょうだい}たちと同じく務め^{むめ}を持ち、エホバ
の家^{いえ}で奉仕^{ほうし}した。**13** それぞれの門^{もん}
について、小^{ちい}さい氏族^{しそく}も大^{おお}きい氏族^{しそく}も
くじを引^ひいた。**14** すると、東側^{ひがし}のく
じはシェムヤに当^あたった。シェムヤ
の子^こである思慮^{しりよく}深い顧問^{こもん}官^{くわん}ゼカリヤ
のため^{ため}にくじが引^ひかれ、北側^{きたがわ}が当^あたっ
た。**15** オベデ・エドムには南側^{みなみ}、そ
の子^こたちには倉庫^{くら}が割^わり当^あてられた。

第26章

(例) 代一 26:14,19

(例) 格 16:33

(例) 代一 26:4,5

第2欄

(例) 代一 26:10,11

(例) 代一 26:15

(例) 代一 26:16

(例) 王一 7:51
王一 14:25,26
代一 9:26
代一 18:10,11

(例) 代一 29:8

(例) 王一 15:18

(例) 民 3:27

(例) 出 18:3,4

(例) 代一 23:17

(例) 代一 29:3,4

(例) 代一 29:6,7

(例) 民 31:50
代一 18:10,11

(例) 民 31:28
ヨシ 6:19

16 シュビムとホサには、上^{かみ}りの街道^{かいどう}
のそばの「シャレケト門^{もん}」の近辺^{きんぺん}、西側^{にしがわ}
が当^あたった。守衛^{しゅえい}グループと守衛^{しゅえい}グ
ループとが並^{なら}んだ。**17** 東側^{ひがし}にはレ
ビ族^{れびぞく}6人^{にん}がいて、北側^{きたがわ}には毎日^{まいにち}4人^{にん}、
南側^{みなみ}には毎日^{まいにち}4人^{にん}、倉庫^{くら}には2人^{ふたり}ずつ
がいた。**18** 西側^{にしがわ}の柱廊^{ちゅうろう}には、街道^{かいどう}
に4人^{にん}、柱廊^{ちゅうろう}に2人^{ふたり}がいた。**19** 以
上^{じやう}がコラ氏族^{しそく}とメラリ氏族^{しそく}の子^こたちの
門番^{もんばん}の組^{ぐみ}だった。

20 レビ族^{れびぞく}のうち、アヒヤは真^{しん}の神^{かみ}
の家^{いえ}の宝物庫^{ほうぶく}と聖^{せい}なるものとされた物^{もの}
の宝物庫^{ほうぶく}を当^あ当^あした。**21** ラダンの
子^こ、すなわちゲルシオン氏族^{しそく}のラダン
の家系^{かけい}の子^こでは、ゲルシオン氏族^{しそく}のラ
ダンの家系^{かけい}の氏族^{しそく}長^{ちやう}であるエヒエリ、
22 エヒエリの子^こたちであるゼタムと
その兄弟^{きょうだい}ヨエルがいた。彼^{かれ}らはエホ
バの家^{いえ}の宝物庫^{ほうぶく}を当^あ当^あした。**23** ア
ムラム氏族^{しそく}、イツハル氏族^{しそく}、ヘブロン
氏族^{しそく}、ウジエル氏族^{しそく}からは以下^{いかに}の通
りである。**24** モーセの子^こゲルシヨム
の子^こシェブエルが倉庫^{くら}を当^あ当^あする責^{せき}
任^{にん}者^{しや}だった。**25** シェブエルの親族^{しんぞく}
に、エリエゼルの子孫^{しそん}である、レハブ
ヤ、エシャヤ、ヨラム、ジクリ、シェロモ
トがいた。**26** このシェロモトとその
兄弟^{きょうだい}たちは、ダビデ王^{だう}、氏族^{しそく}長^{ちやう}、千^{せん}人^{にん}
長^{ちやう}や百^{ひやく}人^{にん}長^{ちやう}、軍隊^{ぐんたい}の長^{ちやう}たちが聖^{せい}な
るものとした物^{もの}の宝物庫^{ほうぶく}全^{ぜん}てを当^あ当^あし
た。**27** 戦利品^{せんりひん}の一部^{いちぶ}が、エホバの
家^{いえ}の維持^{いじ}のために聖^{せい}なるものとされて

26:20 * または、「献じられた」。

いたのである。28 また、予見者サムエル、キシの子サウル、ネルの子アブネル、ツエルヤの子ヨアブが聖なるものとした物もあった。聖なるものとされた物はどれも、シロミトとその兄弟たちの管理下に置かれた。

29 イツハル氏族では、ケナヌヤとその子たちがイスラエルの役人や裁判人として外部での管理業務に割り当てられた。

30 ヘブロン氏族では、ハシャブヤとその兄弟たち、有能な1700人が、エホバのための仕事全てと王への奉仕のため、ヨルダン川の西の地方でのイスラエルの管理に当たった。31 ヘブロン氏族では、エリヤがヘブロン氏族の子孫の長だった。ダビデ王の治世の第40年に、ヘブロン氏族の調査が行われ、ギレアデのヤゼルで勇敢で有能な人たちが見つかった。32 エリヤの兄弟たち、有能な人たちは2700人で、氏族長だった。ダビデ王は、真の神の事柄全てと王の事柄のために、彼らを任命してルベン族、ガド族、マナセ族の半分を担当させた。

27 イスラエルの数は、各組が2万4000人だった。各組には、氏族長、千人長や百人長、役人がいた。役人は、1年を通して月ごとに交代する組のことで王に奉仕した。

2 第1の月担当の第1の組をまとめたのは、ザブディエルの子ヤシヨバア

27:1 *直訳、「入ったり出たりする」。

第26章

(ア) サー 9:9
(イ) サー 14:50
(ロ) サニ 2:18
(ロ) サニ 20:23
(ロ) 代一 23:12
(ロ) 申 17:9
代二 19:8
(ロ) 代一 23:12
(ロ) 代一 23:19
(ロ) 代一 29:26,27
(ロ) ヨシ 13:24,25
ヨシ 21:8,39

第27章

(ロ) 出 18:25
申 1:15
サー 8:11,12
(ロ) 代一 28:1

第2欄

(ロ) 代一 11:11
(イ) 民 26:20,21
(ロ) 代一 8:1,4
(ロ) サニ 23:9
(ロ) 代一 12:27
(ロ) サニ 23:20-23
王一 4:4
(ロ) 代一 2:15,16
(ロ) サニ 2:18
サニ 23:8,24
(ロ) 代二 11:5,6
アモ 1:1
(ロ) サニ 23:8,26
(ロ) 代一 11:10,27
(イ) 民 26:20
(ロ) サニ 21:18
(ロ) 代一 6:60,64
(ロ) サニ 23:8,27
(イ) 民 26:20
(ロ) サニ 23:8,28

ム。2万4000人がその組にいた。3 彼はペレツの子の1人で、第1の月に任務に就いたグループの全ての長の長だった。4 第2の月の組をまとめたのは、アホアハの子孫ドダイ。ミクロトが指揮官だった。2万4000人がその組にいた。5 第3の月に任務に就いた第3のグループの長は、祭司長エホヤダの子ベナヤ。2万4000人がその組にいた。6 このベナヤは30人の勇士の1人で、30人を率いていた。組をまとめたのはベナヤの子アマザパドだった。7 第4の月担当の第4の長は、ヨアブの兄弟アサエルで、その子ゼバドヤが後を継いだ。2万4000人がその組にいた。8 第5の月担当の第5の長は、イスラハ人シャムフト。2万4000人がその組にいた。9 第6の月担当の第6の長は、テコアの人イケシュの子イラ。2万4000人がその組にいた。10 第7の月担当の第7の長は、エフライム族のペロン人ヘレツ。2万4000人がその組にいた。11 第8の月担当の第8の長は、フシャ人でゼラハ氏族のシベカイ。2万4000人がその組にいた。12 第9の月担当の第9の長は、アナトテの人でベニヤミン族のアビ・エゼル。2万4000人がその組にいた。13 第10の月担当の第10の長は、ネトファの人でゼラハ氏族のマハライ。2万4000人がその組にいた。14 第11の月担当の第11の長は、ピ

ルアトンの人でエフライムの子孫の
ペナヤ。2万4000人がその組にいた。

15 第12の月担当の第12の長は、ネ
トファの人でオテニエルの子孫のヘル
ダイ。2万4000人がその組にいた。

16 イスラエルの各部族の指揮官
は次の通りである。ルベン族は、ジク
リの子エリエゼルが指揮官だった。シ
メオン族はマアカの子シェファトヤ。

17 レビ族はケムエルの子ハシャブ
ヤ。アロンの子孫はザドク。18 ユダ
族はダビデの兄弟エリフ。イスサカル
族はミカエルの子オムリ。19 ゼブ
ルン族はオバデヤの子イシュマヤ。ナ
フタリ族はアズリエルの子エリモト。

20 エフライム族はアザズヤの子ホ
シェア。マナセ族の半分はベダヤの子
ヨエル。21 ギレアデにいて、マナセ
族の半分は、ゼカリヤの子イド。ペニ
ヤミン族はアブネルの子ヤアシエル。
22 ダン族はエロハムの子アザルエ
ル。これらの人がイスラエルの各部族
の高官だった。

23 ダビデは20歳以下の人は数え
なかった。エホバがイスラエルを天の
星のように多くすると約束していたか
らである。24 ツェルヤの子ヨアブは
数え始めたが、数え終えなかった。神
の怒りがイスラエルに向けられたの
で、その数はダビデ王の時代の歴史
記録には載らなかった。

25 王の宝物庫を担当したのは、ア

第27章
(㉑) サニ 23:8,30

(㉒) サニ 16:1,6
サニ 17:28

(㉓) サニ 14:50
サニ 3:27

(㉔) 創 15:5

(㉕) サニ 24:2,15
代一 21:6,7

(㉖) 王二 18:15

第2欄

(㉗) 代二 26:9,10

(㉘) 代二 9:27

(㉙) イザ 35:2

(㉚) サニ 13:3
サニ 21:21

(㉛) 代一 3:1-9

(㉜) サニ 15:12
サニ 16:23
サニ 17:23

(㉝) サニ 15:37
サニ 16:16,17

(㉞) サニ 23:20-23
王一 2:35

(㉟) 王一 1:7

(㊱) 代一 11:6

ディエルの子アズマベト。野原や町や
村や塔にある倉庫を担当したのは、ウ
ジヤの子ヨナタン。26 畑で土を耕す
人たちを担当したのは、ケルブの子エ
ズリ。27 ブドウ園を担当したのは、
ラマの人シムイ。採れたブドウで造っ
たぶどう酒の貯蔵所を担当したのは、
シフム人ザブディ。28 シェフェラに
あるオリーブ畑とエジプトイチジクの
木を担当したのは、ゲデル人バアル・
ハナン。油の貯蔵所を担当したのは、
ヨアシュ。29 シャロンで草をはむ牛
の群れを担当したのは、シャロンの人
シトライ。谷あいので平原の牛の群れを
担当したのは、アドライの子シャファト。

30 ラクダを担当したのは、イシュマエ
ル人オビル。ロバを担当したのは、メ
ロノトの人エフデヤ。31 羊の群れ
を担当したのは、ハグル人ヤジズ。こ
れらの人は皆、ダビデ王の財産を担
当する長だった。

32 ダビデのおいヨナタンは顧問官
で、理解力のある人で、秘書官だった。
ハクモニの子エヒエルは王の子たち
を世話した。33 アヒトフェルは王の
顧問官、アルキ人フシャイは王の友
人だった。34 アヒトフェルを継いだ
のはペナヤの子エホヤダとアビヤタ
ルだった。ヨアブは王の軍隊の長
だった。

27:25 *または、「宝物庫」。27:33 *または、
「信頼できる友人」。

28 ダビデはイスラエルの全高^{ぜんこう}
官^{かん}をエルサレムに招集^{しょうしゅう}し

た。各部族^{かくぶぞく}の高官^{こうかん}、王^{おう}に奉仕^{ほうし}する各組^{かくぐみ}
の長^{ちやう}、千人長^{せんぢやう}と百人長^{ひゃくにんぢやう}、王^{おう}とその子^こ
たちの全財産^{ぜんざいさん}と家畜^{かちく}の長^{ちやう}、廷臣^{ていしん}、全^{すべ}
ての勇敢^{ゆうかん}で有能^{ゆうのう}な人^{ひと}たちを集め^{あつ}たの
である。2 ダビデ王^{だい}は立ち上^{たの}がって、
こう言^いった。

「私の兄弟^{わたくし きょうだい}たち、私の民^{わたくし たみ}、聞いてくだ
さい。私は、エホバの契約^{けいやく}の箱^{はこ}を据え
る場所^{ばしょ}、わたしたちの神^{かみ}の足台^{あしだい}となる家^{いえ}
を建て^たることを心^{こころ}から願^{ねが}っていました。
そして建設^{けんせつ}の準備^{じゅんび}をしました。3 し
かし、真^{しん}の神^{かみ}は私^{わたくし}に、『あなたが私^{わたし}
の名^なのために家^{いえ}を建て^たることはいない。あ
なたは戦士^{せんし}で、人^{ひと}の血^ちを流^{なが}してきたか

らである』と言^いいました。4 イスラ
エルの神^{かみ}エホバは父^{ちち}の一族^{いちぞく}全体^{ぜんたい}から私^{わたし}
を選^{えら}んで王^{おう}にし、私^{わたくし}がイスラエルを
いつまでも治め^{おさ}るようにしてくださ
いました。神^{かみ}は指導^{しどう}者^{しゃ}としてユダを選^{えら}
び、ユダ族^{ぞく}の中から私^{わたくし}の父^{ちち}の一族^{いちぞく}
を選び^{えら}び、私^{わたくし}の父^{ちち}の子^こたちの中から私^{わたくし}のこ
とを認^{みと}めてイスラエル全体^{ぜんたい}の王^{おう}にしま
した。5 そして、イスラエルを治め^{おさ}
るエホバの王権^{おうけん}の王座^{おうざ}につかせるため^{ため}、
エホバが私^{わたくし}に授^{さづ}けてくださった多く^{おほ}
の子^この中からソロモンを選^{えら}ばれました。

6 神^{かみ}は私^{わたくし}に言^いいました。『あなたの
子^こソロモンこそが私^{わたくし}の家^{いえ}と庭^{にわ}をつ
くる。私^{わたくし}は彼^{かれ}を私^{わたくし}の子^ことして選^{えら}んだ。私^{わたくし}
は彼の父^{ちち}となる。7 彼^{かれ}が今^{いま}と同じよ
うに、私^{わたくし}のおきてと法規^{ほうき}を固^{かた}く守^{もも}るな

第28章

〔代〕 27:1
出 18:25
〔代〕 3:1-9
〔代〕 27:25, 29
〔代〕 11:10
〔詩〕 132:3-5
〔代〕 22:2-4
〔代〕 17:4
〔代〕 22:7, 8
〔サ〕 16:1, 13
サニ 7:8
詩 89:20
〔創〕 49:10
代 5:2
詩 60:7
〔ルツ〕 4:22
〔サ〕 13:14
サ一 16:11, 12
〔代〕 17:14
代二 1:8
〔代〕 3:1-9
〔代〕 22:9
〔サニ〕 7:13, 14

第2欄

〔代〕 12:1
王一 6:12
〔代〕 17:13, 14
詩 72:8
〔代〕 6:3
〔代〕 10:12
〔代〕 サ一 16:7
代一 29:17
格 17:3
啓 2:23
〔代〕 申 31:21
詩 139:2
〔代〕 マタ 7:7
ヘブ 11:6
ヤコ 4:8
〔代〕 申 31:17
代二 15:2
ヘブ 10:38
〔代〕 二 3:4
〔代〕 レビ 16:2
王一 6:19
〔代〕 ヘブ 8:5
〔代〕 王一 6:36
王一 7:12
〔代〕 一 9:26
代一 26:20
〔代〕 代一 24:1

〔代〕 わたくし かれ おうけん えいえん ゆ
ら、私は彼の王権^{おうけん}が永遠^{えいえん}に揺るがな
いようにする。8 それで、エホバの
会衆^{かいしゅう}、イスラエル全体^{ぜんたい}の前^{まえ}、私^{わたくし}たちの
神^{かみ}が聞^{きこ}えている所^{ところ}で、皆^{みな}さんに言^いいま
す。エホバ神^{かみ}のおきてを調^{しら}べてしっか
り守^{もも}りなさい。そうすれば、この良^よい土^と
地^ちを所有^{しやうゆう}し、相続^{そうぞく}地^ちとして子孫^{しそん}にずつ
と譲^わり渡^{わた}していけるでしょう。

9 そして、わが子^こソロモン、あなた
は父^{ちち}の神^{かみ}を知^しり、心^{こころ}を尽^{つく}して喜^{よろこ}びの
心^{こころ}で神^{かみ}に仕^{つか}えなさい。エホバは全^{すべ}
ての心^{こころ}を探^{さが}り、考^{かんが}えの傾^{けい}向^{こう}を全^{すべ}て見極^{みき}め
る方^{かた}だ。あなたが神^{かみ}を探^{さが}し求め^{もと}めるな
ら、神^{かみ}を見つ^みけられるが、神^{かみ}を捨て^す
るなら、神^{かみ}からいつまでも退^{しりぞ}けられる。

10 聖^{せい}なる所^{ところ}となる家^{いえ}を建て^たるためエ
ホバがあなたを選^{えら}んだのだから、さ
あ、勇気^{ゆうき}を出^だして、取^とり掛^かりなさい。

11 ダビデは息子^{むすこ}ソロモンに、玄^{げん}
関^{かん}、部屋^{へや}、貯蔵^{ちようざう}室^{しつ}、屋上^{おくじやう}の部屋^{へや}、奥^{おく}
の部屋^{へや}、つぐな * おお へや # 〔代〕 せつ
部屋^{へや}、償^いいのための覆^{おお}いの部屋^{へや}の設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。12 ダビデは、神^{かみ}
の計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。12 ダビデは、神^{かみ}
の計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^{すべ}ての食^{しょく}堂^{どう}、真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}の宝^{ほう}物^{もつ}庫^こ、
聖^{せい}なるものとして啓^き示^しされた全^{すべ}ての設
計^{けい}図^ずを渡^{わた}した。エホバの家^{いえ}の庭^{にわ}、周囲^{しゅうい}
の全^す

仕用の全ての器具に使う金の重さ、さまざまな奉仕用の全ての銀の器具の重さを指定した。15 また、さまざまな金のランプ台とランプの重さと、用途ごとのさまざまな銀のランプ台とランプの重さを指定し、16 各食卓に関しては、重ねのパンの食卓に使う金の重さと銀の食卓に使う銀の重さを指定した。17 そして、純金の肉刺しと鉢と水差し（注）の重さ、金の小鉢それぞれの重さと銀の小鉢それぞれの重さを指定した。18 香の祭壇と、兵車（注）の象徴、すなわちエホバの契約の箱に覆いかぶさるように翼を広げる金のケルブに使う精錬された金の重さも知らせた。19 ダビデは言った。「エホバが私を導いて、設計図の詳細全てを書面にするための洞察を与えてくださった」。

20 ダビデは息子ソロモンに言った。「勇気を出し、強くあつて、取り掛かりなさい。恐れたりおびえたりしてはいけない。私の神、エホバ神があなたと共にいてくださる。神はあなたを見放したり見捨てたりはせず、エホバの家のための仕事が全て完了するまでずっとあなたと共にいてくださる。21 そして、ここに真の神の家の全ての奉仕のために組分けされた祭司とレビ族がいる。あなたの下には、各種の奉仕を進んで行う熟練工や、指示を全て実行する高官や民がいる」。

28:16 * 供えのパンのこと。

第28章

〔代〕二 4:7
〔代〕二 4:8,19
〔王〕一 7:48,50
〔王〕一 7:48
〔詩〕18:10
〔出〕25:20
サ一 4:4
王一 6:23
〔代〕一 28:11
〔出〕25:9,40
〔申〕31:6
ヨシ 1:6,9
ロマ 8:31
〔ヨシ〕1:5
〔代〕一 24:1
〔代〕一 24:20
〔出〕36:1,2
〔代〕一 22:17
代一 28:1

第2欄

第29章

〔代〕一 28:5
〔代〕王一 3:7
〔代〕二 2:4
〔代〕一 22:3,16
〔代〕一 22:4,14
〔詩〕26:8
詩 27:4
詩 122:1
〔代〕一 21:24
〔ヨブ〕28:16
〔出〕35:5
〔出〕18:25
〔代〕一 27:25,29
代一 27:31

〔代〕一 6:1

〔代〕一 26:22

29 ダビデ王は衆衆全体に言った。「わが子ソロモンは、神に選ばれた人ですが、経験が浅い若者です。それに、人のためではなくエホバ神のために神殿を建てるのですから、これは大事業です。2 私は、神の家のために手を尽くして準備してきました。金、銀、銅、鉄、木材、しめめのう、モルタルではめ込む石、飾り用の色とりどりの小石、各種の宝石、大量の雪花石こうを用意しました。3 また、私は神の家のことを喜んでいののほかに、私個人の財産である金銀も、神の家のために献じます。4 オフィルの金100トンと、精錬された銀240トンです。家々の壁を覆うため、5 金や銀の物を作るため、職人がする全ての仕事のためのものです。今日、エホバのために供え物をしたい人はいますか」。

6 それで、各氏族の高官、イスラエルの各部族の高官、千人長や百人長、王の仕事の長たちは、進んで前に出た。7 そして、真の神の家のために、170トンの金、1万ダリク、340トンの銀、620トンの銅、3400トンの鉄を献じた。8 宝石を持つ人は、ゲルシオン氏族のエヒエルの管理下にあるエホバの家の宝物庫に献じた。9 民は自発的な捧げ物をしたことを喜んで

29:1 * または、「か弱い」。 * または、「城」、「宮殿」。29:7 * ダリクはベルシャの金貨だった。付録B14参照。

だ。心を込めてエホバに自発的な捧げ物をしたからだった。ダビデ王もとても喜んだ。

10 ダビデは会衆全体の前でエホバを賛美して、こう言った。「私たちの父祖イスラエルの神エホバ、あなたが永遠にわたって賛美されますように。**11** エホバ、あなたは偉大で力強く、美しく輝かしく、威厳に満ちた方です。天と地にあるものは全てあなたのものです。エホバ、王国もあなたのものです。あなたは全てのものの頭として上におられる方です。**12** 富と栄光はあなたから来ます。あなたは全てを統治しています。あなたの手には力と強さがあり、あなたの手はあらゆるものを偉大にして強くすることができます。**13** 私たちの神よ、私たちはあなたに感謝し、あなたの美しい名を賛美します。

14 それにしても、このように自発的な捧げ物をする立場に立たせていただけでは、私も私の民も何者だというのでしょうか。全てのものはあなたから来ていますので、私たちはあなたから頂いたものを捧げたにすぎません。**15** 私たちは父祖たちの皆と同じく、あなたの前では外国人居住者で、移住者です。地上での私たちの日々は影のようなもので、希望はありません。**16** 私たちの神エホバ、あなたの聖なる名のために家を建てようと私たちが

29:10 *または、「永遠から永遠まで」。

第29章

(例) コ二 9:7

(例) 詩 145:3
デモ一 1:17

(例) 啓 5:13

(例) 代一 16:27
詩 8:1

(例) 詩 24:1
イザ 42:5

(例) 詩 103:19
マタ 6:10

(例) 申 8:18
格 10:22
フィリ 4:19

(例) 代二 20:6

(例) イザ 40:26

(例) 申 3:24
エフ 1:19
啓 15:3

(例) 代二 1:11, 12

(例) 代二 16:9
詩 18:32
イザ 40:29

(例) レビ 25:23
ヘブ 11:13

(例) ヨブ 14:1, 2
ヤコ 4:13, 14

第2欄

(例) 代一 28:9

(例) 格 11:20
格 15:8
ヘブ 1:9

(例) 詩 10:17
詩 86:11

(例) マル 12:30

(例) 王一 6:12

(例) 代一 22:14

(例) レビ 1:3

(例) レビ 23:12, 13
民 15:5

(例) 王一 8:63, 64

用意したこのたくさん(の)物は全て、あなた(の)ものでも、あなた(の)ものです。**17** 私の神、私は、あなたが心を調べ、清い心を喜ばれるのをよく知っています。私は、これらの物全てを誠実な心で進んで捧げました。そして、ここにあなたの民があなたに自発的な捧げ物をするのを見て、とても喜びました。**18** 私たちの父祖アブラハムとイサクとイスラエルの神エホバ、民がこうした思いや願いをいつまでも持ち続けられるよう助けてください。民の心があなたに向くようにしてください。**19** そして、わが子ソロモンが心を全てあなたに向け、あなたのおきてと教えと規定を守り、これら全部を行って、私が用意した物で神殿を建てられるよう助けてください」。

20 それからダビデは会衆全体に、「さあ、エホバ神を賛美しなさい」と言った。会衆全体は父祖たちの神エホバを賛美し、エホバと王に身をかがめてひれ伏した。**21** 彼らは翌日もエホバに犠牲を捧げ、エホバに全焼の捧げ物を捧げ続けた。若い雄牛1000頭、雄羊1000匹、雄の子羊1000匹、飲み物の捧げ物である。イスラエル全体のために多くの犠牲を捧げた。**22** 彼らはその日、とても喜びながらエホバの前で食べたり飲ん

29:17 *または、「忠誠心」、「正直な心」。
*または、「正直な」。
29:19 *または、「思い出させるもの」。
*または、「城」、「宮殿」。

だりした。(7)そして、あらためてダビデの
子ソロモンを王とし、エホバの前でソ
ロモンに油を注いで指導者とした。ま
た、ザドクを祭司とした。(8) 23 ソロモ
ンは父ダビデの代わりに王としてエホ
バの王座についた。ソロモンは成功
を収め、イスラエル人は皆、ソロモン
に従った。(9) 24 全高官、強い戦士た
ち、ダビデ王の子たち全て、ソロモン
王に従った。(10) 25 エホバはイスラエ
ル全体の前でソロモンを極めて偉大
な者とし、イスラエルの以前のどの王
にもなかったほどの、王としての威厳
を持たせた。(11)

29:22 *用語集の「油を注ぐ」参照。

第29章

(7) 申 12:7
代二 7:10
ネヘ 8:12
(1) 王一 1:38-40
代一 23:1
(2) 王一 2:35
(3) 代一 28:5
(4) 代一 22:17
(5) 代一 28:1
(6) 代一 3:1-9
(7) 王一 3:12
代二 1:1, 12
伝 2:9

第2欄

(7) サニ 2:11
(1) サニ 5:4, 5
(2) 王一 1:1
(3) 王一 2:10-12
(4) サニ 7:2
サニ 12:1
(5) 代一 21:9, 10

26 エッサイの子ダビデはイスラエ
ル全体を治めた。(1) 27 彼がイスラエ
ルを治めた期間は40年だった。ヘブ
ロンで7年治め、エルサレムで33年治
めた。(2) 28 彼は長生きした後、やが
て死んだ。長寿と富と栄誉に恵まれた
人生だった。代わりにダビデの子ソロ
モンが王になった。(3) 29 ダビデ王に
ついての記録は、最初から最後まで、
予見者サムエル、預言者ナタン、神か
らの幻を伝える人ガドが書いた物に
記されている。(4) 30 そこには、彼の統
治や功績、彼やイスラエルや周囲のさ
まざまな王国が関わった当時の出来
事などが記されている。(5)

歴代誌 第二

概要

- ソロモンは知恵を願う (1-12)
ソロモンの富 (13-17)
- 神殿建設の準備 (1-18)
- ソロモンは神殿建設を開始する (1-7)
至聖所 (8-14)
2本の銅の柱 (15-17)
- 祭壇、「海」、水盤 (1-6)
ランプ台、食卓、庭 (7-11前半)
神殿の備品の完成 (11後半-22)
- 神殿の奉献式の準備 (1-14)
箱が神殿に運び入れられる (2-10)
- 民の前でのソロモンの話 (1-11)
奉献式でのソロモンの祈り (12-42)
- 神殿にエホバの栄光が満ちる (1-3)
奉献の式典 (4-10)

- エホバはソロモンに現れる (11-22)
- ソロモンの他の建設事業 (1-11)
神殿での崇拜が組織される (12-16)
ソロモンの船団 (17, 18)
- シェバの女王がソロモンを訪ねる (1-12)
ソロモンの富 (13-28)
ソロモンの死 (29-31)
- イスラエルがレハベアムに反抗する (1-19)
- レハベアムの統治 (1-12)
レビ族が揺るぎない愛を示し、ユダに移る
(13-17)
レハベアムの家族 (18-23)
- シシャクがエルサレムを攻める (1-12)
レハベアムの統治の終わり (13-16)
- ユダの王アビヤ (1-22)

- アビヤはヤラバラムを打ち破る (3-20)
- 14 アビヤの死 (1)
ユダの王アサ (2-8)
アサは100万人のエチオピア人を打ち破る (9-15)
- 15 アサの改革 (1-19)
- 16 アサとシリアとの条約 (1-6)
ハナニがアサを叱責する (7-10)
アサの死 (11-14)
- 17 ユダの王エホシャファト (1-6)
教育運動 (7-9)
エホシャファトの兵力 (10-19)
- 18 エホシャファトとアハブの同盟 (1-11)
敗北に関するミカヤの預言 (12-27)
アハブがラモト・ギレアデで死ぬ (28-34)
- 19 エヒウがエホシャファトを叱責する (1-3)
エホシャファトの改革 (4-11)
- 20 近隣の国々がユダを脅かす (1-4)
エホシャファトは助けを祈り求める (5-13)
エホバからの答え (14-19)
ユダは奇跡によって救われる (20-30)
エホシャファトの統治の終わり (31-37)
- 21 ユダの王エホラム (1-11)
エリヤから書面が届く (12-15)
エホラムの悲惨な最期 (16-20)
- 22 ユダの王アハジヤ (1-9)
アタリヤが王座を奪う (10-12)
- 23 エホアシュを王にするため、エホヤダが立ち上がる (1-11)
アタリヤは殺される (12-15)
エホヤダの改革 (16-21)
- 24 エホアシュの統治 (1-3)
エホアシュは神殿を修復する (4-14)
エホアシュの背教 (15-22)
エホアシュは暗殺される (23-27)
- 25 ユダの王アマジヤ (1-4)
エドムとの戦い (5-13)
アマジヤの偶像崇拜 (14-16)
イスラエルのエホアシュ王との戦い (17-24)
アマジヤの死 (25-28)
- 26 ユダの王ウジヤ (1-5)
- ウジヤの戦いの功績 (6-15)
ウジヤは傲慢になり、重い皮膚病になる (16-21)
ウジヤの死 (22, 23)
- 27 ユダの王ヨタム (1-9)
- 28 ユダの王アハズ (1-4)
シリアとイスラエルに打ち破られる (5-8)
オデドがイスラエルに警告する (9-15)
ユダは卑しめられる (16-19)
アハズの偶像崇拜と死 (20-27)
- 29 ユダの王ヒゼキヤ (1, 2)
ヒゼキヤの改革 (3-11)
神殿を清める (12-19)
神殿での奉仕が再確立される (20-36)
- 30 ヒゼキヤは過ぎ越しを執り行う (1-27)
- 31 ヒゼキヤは背教をなくす (1)
祭司とレビ族への分配がきちんとされる (2-21)
- 32 セナケリブがエルサレムに迫る (1-8)
セナケリブはエホバを侮る (9-19)
天使がアッシリアの軍隊を討つ (20-23)
ヒゼキヤの病氣、傲慢な態度 (24-26)
ヒゼキヤの功績と死 (27-33)
- 33 ユダの王マナセ (1-9)
マナセは悪い行いを悔い改める (10-17)
マナセの死 (18-20)
ユダの王アモン (21-25)
- 34 ユダの王ヨシヤ (1, 2)
ヨシヤの改革 (3-13)
律法の書が見つかる (14-21)
災難に関するフルダの預言 (22-28)
ヨシヤは律法の書を民に読み聞かせる (29-33)
- 35 ヨシヤは盛大な過ぎ越しを計画する (1-19)
ヨシヤはファラオ・ネコに殺される (20-27)
- 36 ユダの王エホアハズ (1-3)
ユダの王エホヤキム (4-8)
ユダの王エホヤキン (9, 10)
ユダの王ゼデキヤ (11-14)
エルサレムの陥落 (15-21)
神殿を建て直すようにとのキュロスの布告 (22, 23)

1 ダビデの子ソロモンの王権はますます強くなっていた。エホバ神が彼と共にいて、彼を極めて偉大な者とした。

2 ソロモンはイスラエル全体、すなわち千人長や百人長、裁判人、イスラエル全体の全ての長、氏族長たちと呼び掛けた。**3** そして、ソロモンと会衆全体はギベオンにある高い場所に行った。そこには、エホバに仕えたモーセが荒野で造った、真の神の会見の天幕があったからである。**4** ただ、真の神の箱は、ダビデがエルサレムに天幕を張って用意した場所にあった。ダビデがキルヤト・エアルムからそこに運んだのだ。 **5** フルの子ウリの子ベザレルが作った銅の祭壇は、エホバの幕屋の前に置かれていて、ソロモンと会衆はその前で祈っていた。**6** ソロモンはそこ、エホバの前で捧げ物をした。会見の天幕の銅の祭壇で1000匹の全焼の捧げ物を捧げたのである。

7 その夜、神はソロモンに現れ、こう言った。「何を与えてほしいか、言いなさい」。**8** ソロモンは神に言った。「あなたは私の父ダビデに大きくて揺るぎない愛を示し、父の代わりに私を王にしてくださいました。**9** エホバ神、父ダビデとのあなたの約束がその通りになりますように。あなたは私を、

1:3 *用語集参照。 **1:5** *または、「そこで神に尋ねて」。

第1章

(例) 代-29:25
伝 2:9
マタ 6:28,29
マタ 12:42

(イ) 王-3:4
代-21:29

(例) 代-16:1

(例) 代-13:5

(例) 出 31:2-5

(例) 出 38:1,2

(例) 王-3:4

(例) 王-3:5-9

(例) サニ 7:8

(例) 代-28:5
詩 89:28,29

(例) サニ 7:12
代-28:6
詩 132:11

第2欄

(例) 創 13:14,16

(イ) 格 2:6
ヤコ 1:5

(例) 詩 72:1,2

(例) 王-3:10-13
王-3:28

(例) 代-29:25
代二 9:22
伝 2:9

(例) 王-3:4

(例) 申 17:16
王-4:26

(例) 代二 8:5,6

(例) 代二 9:25

(例) 王-10:21

(例) 王-10:27
代二 9:27

(例) 代二 9:28

(例) 王-10:28,29

大地の砂のように多い民の王にしたからです。**10** この民を導けるよう、今、私に知恵と知識をお与えください。

そうでないと、あなたのこの大勢の民を裁くことなどできません。

11 神はソロモンに言った。「あなたは心からそう願う、富も財産も栄誉も、あなたを憎む者たちの死も、長寿も求めなかった。あなたは、私があなたに治めさせる民を裁くための知恵と知識を求めたので、**12** 知恵と知識があなたに与えられる。そして、あなたより前の王にも後の王にもないほどの富と財産と栄誉も、あなたに与えよう」。

13 ソロモンは、会見の天幕があったギベオンの高い場所を出て、エルサレムに帰り、イスラエルを治めた。

14 ソロモンは兵車と馬を増やしていった。1400両の兵車と1万2000頭の馬を持ち、兵車の町とエルサレムの王のそばに配置した。**15** ソロモン王のおかげで、エルサレムで銀と金は石のように多くなり、杉材はシェフェラにあるエジプトイチジクの木のように多くなった。**16** ソロモンの馬はエジプトから輸入されたもので、王の商人団が代価を払い、群れ単位で入手した。**17** エジプトから輸入した兵

1:14 *または、「騎手」。*または、「1万2000人の騎手」。**1:16** *もしかすると、「ソロモンの馬はエジプトとクエから輸入されたものだった。王の商人たちが代価を払ってクエから買った」。クエとはギリキアのことかもしれない。

車は1両が銀600枚で、馬は1頭が150枚だった。それらは彼らによってヘト人の全ての王やシリアの王たちにも輸出されていた。

2 ソロモンは、エホバの名のために家と自分の王国のための家を建てるようにという命令を出した。

2 ソロモンは一般の労働者7万人、山で石を切り出す人8万人、監督3600人をそろえた。**3** また、ティルス

の王ヒラムに次の知らせを送った。「あなたは私の父ダビデに、住む家

を建てるための杉材を送ってくださいました。父にしたのと同じように、私にもして

いただけないでしょうか。**4** 今、私は私の神エホバの名のために家を建て

て、それを神聖なものとして神に捧げようとしています。神の前で香りが

高い香をたき、重ねのパンをいつも置き、全焼の捧げ物を朝と夕方に、また安息

日や新月やエホバの祭りの時期に捧げるためです。これはイスラエル

がずっと行うべきことです。**5** 私が建てようとしている家は壮大なもので

す。私たちの神はほかのどんな神よりも偉大だからです。**6** いったい誰がこの方のために家を建てられるでしょう

か。天も、天の天も、神には狭く、十分ではありません。神のために家を建てるなど、私はいったい何者なのでしょう。私にできるのは、ただ神の前で

第2章

(例) 申 12:11
代 22:10

(例) 王 7:1

(例) 王 5:15

(例) 王 5:16
王 9:22
代 2:17,18

(例) 王 5:1

(例) サニ 5:11

(例) 出 30:7

(例) 出 25:30

(例) 民 28:4

(例) 民 28:9

(例) 民 28:11

(例) 申 16:16

(例) 王 8:27
イザ 66:1
使徒 17:24

第2欄

(例) 王 7:13,14

(例) 代 22:15

(例) 王 5:6,8
代 2:3,5

(例) 王 10:11

(例) 王 5:9

(例) 王 5:14

(例) 王 5:11

(例) 代 2:1,11,12

(例) 王 5:7

(例) 王 7:13,14
代 2:4,11-16

犠牲を焼いて煙にする場所を建てることとで。 **7** それで、私のものに職人を派遣してください。金、銀、銅、鉄、紫の羊毛、紅の糸、青糸を使う仕事に熟練し、彫刻の技術を持つ人です。

ユダとエルサレムで、父ダビデが用意したこちらの熟練した職人たちが、一

緒に働くようにします。**8** また、レバノンから、杉、ネズ、アルグムの木材を

送ってください。あなたの家来たちがレバノンの木を切り倒すのに熟達して

いることを私はよく知っています。私の家来たちもあなたの家来たちと共に働

きます。**9** そのようにして、大量の木材を準備したいと思います。私が建てようとしている家は、非常に大

きからです。**10** あなたの家来たち、木を切る人たちに、食料として、小麦440万リットル、大麦440万リットル、

ぶどう酒44万リットル、油44万リットルを提供します」。

11 ティルスの王ヒラムは次の書面をソロモンに送った。「エホバはご自分の民を愛したので、あなたを民の王

としました」。**12** ヒラムは続けてこう書いた。「天と地をつくった、イスラエルの神エホバが賛美されますように。

思慮深さと理解力を備えた賢い子をお授けになり、その子がエホバのための家と自分の王国のために家を建てるからです。**13** 今、理解力を備えた熟練した職人ヒラム・アビ

は^{けん}を派遣します。14 ダン^族の女性^のの
子^こで、父親^{ちちおや}はティルス^{ひと}の人^{きん}です。金^{ぎん}、
銀^{ぎん}、銅^{どう}、鉄^{てつ}、石^{いし}、材木^{ざいもく}、紫^{むらさき}の羊毛^{ようもう}、青糸^{あおい}、
じょうとう^{じょうとう} おりもの^{おりもの} くれない^{くれない} いと^{いと} つか^{つか} しごと^{しごと} じゅく^{じゅく}
上等^{じょうとう}の織物^{おりもの}、紅^{こう}の糸^{いと}を使う^{つかう}仕事^{しごと}に熟^{じゅく}
達^{たつ}しています。あらゆる^{あらゆる}種類^{しゅるい}の彫刻^{ちやうこく}が
でき、どんなものも設計^{せつけい}できます。あな
たの熟練^{じゅくれん}した職人^{しやくにん}たちや、あなた^{あなた}の父^{ちち}
上^{うへ}ダビデ^{だびで}の熟練^{じゅくれん}した職人^{しやくにん}たちと共^{とも}に
はたら^{はたら}働^{はたら}けます。15 あなたが約束^{やくそく}してくだ
さった小麦^{こむぎ}、大麦^{おおむぎ}、油^{あぶら}、ぶどう^{ぶどう}酒^{しゅ}を送^{おく}
ていただけ^{いただけ}ますように。16 私^{わたし}たち
はレバノン^のでお望^{のぞ}みの量^{りやう}の木^きを切り^き、
それらを組^くんでいかに^{いかに}にし、ヨッパ^のま
で海路^{かいろ}であな^{あなた}のもとに届^{とど}けます。そ
こからエルサレム^{はこ}に運^{はこ}んでいってくだ
さい」。

17 ソロモン^{ちち}は、父^{じんこう}ダビデ^{よう}が人口^{こう}調
査^さを行^{おこな}ったように、イスラエル^のにいる
外国^{がいこく}人居住者^{じんきやうしや}たち全^{ぜん}員^{いん}を数^{かず}えた。15
万^{まん}3600人^{にん}だった。18 ソロモン^{まん}はそ
のう^うち7万人^{まんにん}を一般^{いっぱん}の労働者^{ろうどうしや}に、8万^{まん}
人^{にん}を山^{やま}で石^{いし}を切り出^きす人^{ひと}に、3600人^{にん}
を人^{ひと}と木^きを動か^{はたら}かせるための監督^{かんとく}にした。

3 ソロモン^{さん}は、エルサレム^{いえ}のモリヤ^た
山^はにエホバ^{いぜん}の家^{ちち}を建て^{はじ}始めた。
そこは、以前^{いぜん}エホバ^{ちち}が父^{ちち}ダビデ^{だびで}に現^{あらわ}
れた場所^{ばしょ}だった。ダビデ^{だびで}が用意^{ようい}した
場所^{ばしょ}で、かつてはエブス人^{いぶじん}オルナン^{おるなん}
の脱穀場^{だつこくば}だった所^{ところ}である。2 ソロモ
ン^{おる}は、王^わになってから4年^{ねん}目の第2^{だい}
月^{つき}の2日^{にち}に建て^{はじ}始めた。3 ソロモン

2:18 *または、「荷物運搬人」。

第2章
(例)代2:14
(イ)出31:2-5
(例)代2:10
(例)王1:5-6,8
(例)ヨシ19:46,48
エズ3:7

(例)王1:5-9
(例)代1:22-2
(例)代2:8-7,8
(例)王1:5-17,18
代1:22-15
(例)王1:5-15,16

第3章
(例)創22:2,14
(例)王1:6-1
王1:6-37
(例)サニ24:25
代1:21-18
(例)サニ24:18
代1:21-22

第2欄
(例)王1:6-2
(イ)王1:6-3
(例)王1:6-15,22
(例)王1:6-29
(例)王1:6-21
(例)代1:29-2,8
(例)代1:29-3,4
(例)出26:29
(例)出26:1
王1:6-29
(例)出26:33
王1:8-6
ヘブ9:24

(例)王1:6-20
(例)王1:6-23-28
(例)王1:8-6
代1:28-18

が真^{しん}の神^{かみ}の家^{いえ}を建て^たるために据^すえた
土台^{どだい}は、以前^{いぜん}の尺^{しゃく}度^どで長さ^{なが}27メー
トル、幅^{はば}9メートルだった。4 前面^{ぜんめん}にあ
る玄関^{げんかん}の幅^{はば}は家^{いえ}の幅^{はば}と同じく9メー
トルで、高さ^{たか}は9メートルだった。内側^{うちがわ}を
じゅんきん^{じゅんきん} おお^{おお} べ^べ ぜい^{ぜい}
純金^{じゅんきん}で覆^{おお}った。5 大部屋^{たふいつ}にネズ材^{ねす}
を張^はって、良質^{りやうしつ}の金^{きん}で覆^{おお}い、それから
ヤシ^{やし}の模^も様^{よう}と鎖^さの装飾^{さうしやく}を施^{ほどこ}した。

6 さらに、家^{いえ}に美しい宝^{うつく}石^{ほうせき}をちりばめ
た。使用^{しやう}した金^{きん}はパルワイム^{ぱるわいむ}の金^{きん}だっ
た。7 家^{いえ}、天井^{てんじやう}、敷居^{しき}、壁^{かべ}、扉^かを金^{きん}
で覆^{おお}った。壁^{かべ}にはケルブ^えの絵^えを彫^ほった。
8 至聖所^{しせいじよ}を造^{つく}った。長さ^{なが}は家^{いえ}の幅^{はば}
と同じ9メートルで、幅^{はば}も9メートル
だった。20トン^{りやうしつ}の良質^{きん}の金^{きん}で覆^{おお}った。
9 くぎ^{つか}に使^{きん}った金^{きん}の重^{おも}さは570グラム
だった。屋上^{おくじやう}の部屋^へも金^{きん}で覆^{おお}った。

10 至聖所^{しせいじよ}の中にケルブ^えの像^{さう}を2体^{たい}
造^{つく}って、金^{きん}をかぶ^かせた。11 2体^{たい}のケ
ルブ^{つばさ}の翼^{よく} 全^{ぜん}体^{たい}の長さ^{なが}は9メートルだっ
た。1体^{たい}目のケルブ^{たいめ}は、一方^{いっほう}の翼^{つばさ}が長^{なが}
さ2.25メートルで、家^{いえ}の壁^{かべ}に触^ふれてい
た。もう一方^{いっほう}の翼^{つばさ}も長さ^{なが}2.25メートル
で、2体^{たい}目のケルブ^{たいめ}の一方^{いっほう}の翼^{つばさ}に触^ふれ
ていた。12 2体^{たい}目のケルブ^{たいめ}は、一方^{いっほう}
の翼^{つばさ}が長さ^{なが}2.25メートルで、家^{いえ}の反^{はん}対^{たい}
側^{がわ}の壁^{かべ}に触^ふれていた。もう一方^{いっほう}の翼^{つばさ}も
長さ^{なが}2.25メートルで、1体^{たい}目のケルブ^{たいめ}の
一方^{いっほう}の翼^{つばさ}に触^ふれていた。13 2体^{たい}の

3:3 *イスラエルで使われていたキュビトという
単位^{たん}の長さ^{なが}は、時代^{じだい}によって異^いなっていたと思^{おも}わ
れる。付録B14参照。3:4 *直訳^{ちやく}、「20キュビ
ト」。一部の古代^{こく}代^{だい}写本^{しやほん}は「120」としているが、他^た
の写本^{しやほん}や一部の翻^{へん}訳^{やく}は「20キュビト」としてい
る。3:5 *直訳^{ちやく}、「大きな家」。恐^{おそ}らく聖所^{せいじよ}のこと。

ケルブの翼は広げられ、9メートルあった。2体とも真つすぐに立ち、顔は内側を向いていた。

14 青糸、紫の羊毛、紅の糸、上等の織物で幕を作り、そこにケルブの絵を刺しゅうした。

15 家の前に柱を2本造った。長さ15.6メートルで、柱のてっぺんにある柱頭は2.2メートルだった。**16** そして、首飾りのような鎖を作って柱のてっぺんに付け、ザクロを100個作って鎖に付けた。**17** 柱を神殿の前に立てた。1本を右に、1本を左に立てた。右側をヤキン、左側をボアズと名づけた。

4 銅の祭壇を造った。長さ9メートル、幅9メートル、高さ4.5メートルだった。

2 鋳物の「海」を造った。円形で、縁から縁までが4.5メートルで、高さは2.2メートルだった。周囲は測り綱で測ると13.5メートルだった。**3** 下の方にはウリ形の飾りが周囲全体にあった。「海」の周囲に45センチにつき10ずつあった。ウリ形の飾りは2列あり、「海」と一緒に鋳造されたので接ぎ目がなかった。**4** 「海」は12頭の雄牛の上にあり、3頭は北を、3頭は西を、3頭は南を、3頭は東を向いてい

3:13 *聖所の方を、ということ。**3:17** *または、「南」。^aまたは、「北」。^a意味、「[エホバが]しっかり据えてくださいますように」。^a意味はもしかすると、「強さによって」。**4:2** *または、「水ため」。

第3章

(例) マタ 27:51
ヘブ 10:19,20

(例) 出 26:31,33

(例) 王二 25:13

(例) 王一 7:15-22

王二 25:17

代二 4:11-13

エレ 52:22,23

第4章

(例) 出 38:1,2

王一 8:22

(例) 出 30:20

出 38:8

(例) 王一 7:23-26

(例) 王一 6:18

(例) エレ 52:20

第2欄

(例) 王一 7:38,39

(例) レビ 1:9

レビ 9:14

(例) 出 29:4

(例) 出 37:17

(例) 代一 28:12,15

(例) 出 40:24

(例) 代二 4:19

(例) 出 27:9

レビ 6:16

王一 6:36

(例) 王一 7:12

(例) 王一 7:39

(例) 出 27:3

(例) 王一 7:40-46

(例) 代二 3:17

(例) 王一 7:17

(例) 王一 7:20

た。「海」はこれらの雄牛の上に置かれ、雄牛の後部は全て中心に向いていた。**5** 「海」の厚さは7センチだった。縁は、杯の縁やユリの花のような造りだった。水のためには6万6000リットルの水を入れることができた。

6 洗うための水盤を10個作って、5個を家の右に、5個を家の左に置いた。全焼の捧げ物に使う物をすぐのに使われた。一方、「海」は祭司たちが手足を洗うためのものだった。

7 金のランプ台を10個、設計に従って作り、神殿の中に置いた。5個を右に、5個を左に置いた。

8 食卓を10個作り、神殿の中に置いた。5個を右に、5個を左に置いた。また、金の鉢を100個作った。

9 祭司の庭と大きな庭と庭の扉を造り、扉に銅をかぶせた。**10** そして、「海」を家の右側、南東に置いた。

11 ヒラムは岳とシャベルと鉢も作った。

こうしてヒラムは真の神の家に關してソロモン王から頼まれた仕事を完了した。彼が作った物は以下の通りである。**12** 2本の柱と、2本の柱のてっぺんにある鉢形の柱頭。柱のはちがた ちゅうとう かざ てっぺんにある2つの鉢形の柱頭を飾る2つの網細工。**13** 2つの網細工のための400個のザクロ、すなわち柱の上にある2つの鉢形の柱頭を飾る、

4:5 *または、「容量は6万6000リットルだった」。

4:9 *または、「圓い」。

それぞれの網細工のための2列のザクロ。14 10台の台車と、台車に載せる10個の水盤。15 「海」と、その下の12頭の雄牛。16 缶とシャベルと肉刺し、全ての器具。ヒラム・アビブがソロモン王のため、エホバの家のために作ったこれらの物は銅でできていて、磨き上げられていた。17 王は、ヨルダン地域、スコトとツレダの間の粘土層の土地でこれらを鋳造させた。18 ソロモンはこれら全ての器具を大量に作った。その銅の重さは確かめられなかった。

19 ソロモンは真の神の家のための全ての器具を作った。金の祭壇、供えのパンを置く食卓、20 規定に従って奥の部屋の前でとす純金のランプとランプ台を作り、21 花、ランプ、心つまみを金で、最も純度の高い金で作った。22 明かり消し、鉢、杯、炭入れを純金で、家の入り口、奥の至聖所の扉と神殿の家の扉を金で作った。

5 こうしてソロモンは、エホバの家のために必要な仕事全てを完了した。ソロモンは、父ダビデが聖なるものとした物運び入れた。銀、金、器物類全部を真の神の家の宝物庫に納めた。2 ソロモンはイスラエルの長老たち、全ての部族長、イスラエルの氏族長たちを招集した。彼らはエホバの契約の箱を「ダビデの町」つま

4:14 *または、「水を運ぶ車」。4:21 *または、「火箸」。

第4章

(ア) エレ 52:22
(イ) 王一 7:27,38
(ロ) 王一 7:23,25
(出) 出 38:3
(列) 代二 2:13,14
(列) ヨシ 13:27,28
(列) 王一 7:47
代一 22:3,14
エレ 52:20
(列) 王二 24:13
(列) 出 37:25,26
啓 8:3
(列) 王一 7:48-50
(列) 出 25:23,24
代二 4:8
(列) 出 25:31,37
(列) 王一 6:31,32
(列) 王一 6:33-35

第5章

(イ) 王一 6:38
(列) 代一 22:14
(列) 王一 7:51
代一 26:26

第2欄

(イ) 王一 8:1,2
詩 2:6
(イ) サ二 6:12
代二 1:4
(列) レビ 23:34
代二 7:8
(出) 出 25:14
民 4:15
王一 8:3-5
代一 15:2,15
(列) 出 40:35
民 4:29,31
(列) サ二 6:13
(列) 王一 6:20,23
王一 8:6-9
(列) 出 25:14
(列) 出 34:1
出 40:20
(列) 出 19:1
(列) 出 19:5
出 24:7
(列) 代一 24:1
(列) 出 19:10
民 8:21
(列) 代一 6:31,39
(列) 代一 6:31,33

りシオンから運ぶため、エルサレムにやって来た。3 イスラエルの全ての人は、第7の月に行われる祭りの時、王の前に集会した。

4 イスラエルの全ての長老が到着すると、レビ族の人たちは箱を担いだ。

5 彼らは、箱、会見の天幕、天幕の中にあつた全ての聖なる器具を運んだ。

祭司とレビ族が運んだ。6 ソロモン王と、王のもとに招集されたイスラエルの民全体が、箱の前にいた。数え

切れないほど多くの羊や牛が犠牲として捧げられた。7 祭司たちはエホバの契約の箱を所定の場所に置いた。

8 箱がある場所の上にケルブの翼が広がっていたので、箱とその棒はケルブに覆われていた。

9 棒は長かったため、先端が奥の部屋の前の聖所から見えた。しかし外からは見えなかった。それらは今もそこにある。

10 箱の中には2枚の石板、以外は何もなかった。その石板は、エジプトから出てきたイスラエルの民とエホバが契約を結んだ時に、ホレブでモーセがそこに納めたものである。

11 祭司たちが聖なる場所から出てくると(そこにいた祭司たちは皆、どの組かに関わりなく、自分を神聖なものとしていた)、12 アサフ、ヘマン、エ

13 祭司たちが聖なる場所から出てくると(そこにいた祭司たちは皆、どの組かに関わりなく、自分を神聖なものとしていた)、12 アサフ、ヘマン、エ

14 祭司たちが聖なる場所から出てくると(そこにいた祭司たちは皆、どの組かに関わりなく、自分を神聖なものとしていた)、12 アサフ、ヘマン、エ

15 祭司たちが聖なる場所から出てくると(そこにいた祭司たちは皆、どの組かに関わりなく、自分を神聖なものとしていた)、12 アサフ、ヘマン、エ

16 祭司たちが聖なる場所から出てくると(そこにいた祭司たちは皆、どの組かに関わりなく、自分を神聖なものとしていた)、12 アサフ、ヘマン、エ

17 祭司たちが聖なる場所から出てくると(そこにいた祭司たちは皆、どの組かに関わりなく、自分を神聖なものとしていた)、12 アサフ、ヘマン、エ

18 祭司たちが聖なる場所から出てくると(そこにいた祭司たちは皆、どの組かに関わりなく、自分を神聖なものとしていた)、12 アサフ、ヘマン、エ

5:3 *仮小屋の祭りのこと。5:5 *または、「レビ族の祭司」。

ド^例ン、またその3人の子や兄弟^{にん こ きょうだい}たちが
率^{ひき}いるレビ族^{そく うた て}の歌^{うた}い手^{かみ}たちが皆^{みな}が、上^{じょうとう}等^{とう}
の織物^{おりもの}を着^きて、シンバルや弦^{げん}楽器^{がき}やた
て琴^{こと}を持ち、祭壇^{さいだん}の東^{ひがし}に立^たっていた。
また、彼らと共^{とも}に、120人^{にん}の祭司^{さいし}がラッ
パ^ふを吹^例いていた。13 ラッパ奏者^{そうしや}と
歌^{うた}い手^てたちが一^{ひと}つになっ^ててエホバに
賛美^{さんび}と感謝^{かんしゃ}を捧^{ささ}げ、ラッパやシンバル
などの楽器^{がき}の音色^{おんいろ}が響^{ひび}く中^{なか}、「神^{かみ}は善^よ
い方^{かた}、神^{かみ}の揺^ゆるぎない愛^{あい}は永^{えい}遠^{えん}に続^{つづ}
く」とエホバを賛美^{さんび}すると、雲^{くも}が家^{いえ}に、
エホバの家^{いえ}に満^みちた。14 祭司^{さいし}たち
は雲^{くも}に遮^{さへぎ}られ、奉仕^{ほうし}するこ^ころがで^{はうし}きな
くな^なった。エホバの栄光^{えいこう}が真^まの神^{かみ}の
家^{いえ}に満^みちたのである。

6 その時^{とき}、ソロモン^いは言^いった。「エ
ホバは、濃^こい暗闇^{くらやみ}の中^{なか}に住^すむ、
とおっしゃいました。2 私は今^{いま}、あな
たのため^{そうごん いえ}に、莊嚴^{さうごん}な家^{いえ}を、あなたが
いつまでも住^すめる場所^{ばしょ}を建^たてまし^例た」。

3 王^{おう}は向^むき直^{なお}って、イスラエルの会
衆^{しゅうぜんたい}全体^{しゅうぜんたい}のために祝^{しゅく}福^{ふく}を願^{ねが}い求^{もと}め始め
た。その間^{あいだ}、イスラエルの会衆^{かいしゅうぜんたい}全体^{たい}は
立^たっていた。4 王^{おう}は言^いった。「ご自
分^{ぶん}の口^{くち}で私^{わたし}の父^{ちち}ダビデ^{やくそく}に約^{やく}束^{そく}し、ご自
分^{ぶん}の手^てでそれ^はを果^はたされ^たたイスラエ
ルの神^{かみ}エホバ^{さんび}が賛美^{さんび}されま^すすように。
神^{かみ}はこ^う言^いいました。5 『私^{わたし}の民^{たみ}を
エジプト^{えじふと}から連^つれ出^だした日^ひから今^{いま}ま
で、私^{わたし}は、私^{わたし}の名^なが尊^{とうと}ばれる家^{いえ}を建^た
てるためにイスラエルのいづれかの部
族^{そく}の領地^{りょうち}から町^{まち}を選^{えら}ぶことはしなかつ
た。私^{わたし}の民^{たみ}イスラエルの指^し導^{どう}者^{しや}にな

第5章

例代 16:41
代 25:1,6
代 25:3

例代 15:16

例代 15:24

例代 16:34

例出 40:34,35
王 8:10,11

例代 2:7,1,2
エゼ 10:4
啓 21:23

第6章

例出 20:21
王 8:12,13
詩 97:2

例詩 132:13,14

例王 8:14-21

例申 12:5,6

第2欄

例詩 48:1

例サニ 7:8
代 28:4

例サニ 7:2
王 5:3

例代 17:14

例代 17:11

例代 28:5
代 29:23

例出 40:20
王 8:9

例王 8:22

例王 6:36

例王 8:54

人^{ひと}を選^{えら}ぶこともしなかつた。6 し
かし私^{わたし}は今^{いま}、私^{わたし}の名^なが尊^{とうと}ばれる場所^{ばしょ}
としてエルサレム^{えら}を選^{えら}び、私^{わたし}の民^{たみ}イス
ラエル^{おさ}を治^{おさ}めさせるためにダビデ^だを
選^{えら}んだ。7 私^{わたし}の父^{ちち}ダビデ^だは、イスラ
エル^{えら}の神^{かみ}エホバ^なの名^なのため^{いえ}に家^たを建
てるこ^ころを心^{こころ}から願^{ねが}っていました。
8 しかしエホバは父^{ちち}ダビデ^だにこ^こう言^い
いました。『あなた^{わたし}は私^{わたし}の名^なのため^たに
家^{いえ}を建^たてたいと心^{こころ}から願^{ねが}った。心^{こころ}か
らそう願^{ねが}ったのはとても良^よいことだ。

9 とはいえ、あなたがそ^{いえ}の家^たを建^たてる
こ^ころはな^うい。あなた^{わたし}に生^うまれ^る子^こが私^{わたし}
の名^なのため^たに家^{いえ}を建^たてる』。10 エ
ホバは約^{やく}束^{そく}通^{とお}り、私^{わたし}は父^{ちち}ダビデ^だの跡^{あと}を継^つ
いでイスラエル^{えら}の王座^{おうざ}につ^たきまし^例た。
そしてイスラエル^{えら}の神^{かみ}エホバ^なの名^なの
ため^たに家^{いえ}を建^たてまし^た。11 また、エ
ホバがイスラエル^{たみ}の民^{むす}と結^{けい}んだ契^{やく}約^{やく}
を記^{しる}した石^{せき}板^{ばん}が納^{おさ}めら^れてい^る箱^{はこ}を
そ^おこに置^おきまし^た」。

12 ソロモン^{かいしゅうぜん}はイスラエルの会衆^{かいしゅうぜん}全
体^{たい}の前^{まえ}でエホバの祭壇^{さいだん}の前^{まえ}に立^たち、
りょうて^{りょうて}をひろ^{ひろ}げ^た。13 (ソロモン^おは銅^{どう}
の壇^{だん}を作^{つく}って、庭^{にわ}の真^まん中^{なか}に置^おいて
いた。それは長^{なが}さ2.2メー^{はば}トル、幅^{はば}2.2
メー^{たか}トル、高^{たか}さ1.3メー^{かれ}トルで、彼^{かれ}はそ^{うえ}の
上^{うえ}に立^たった。) ソロモン^{かいしゅうぜん}はイスラエル
の会衆^{かいしゅうぜん}全体^{たい}の前^{まえ}でひざまず^{てん}き、天^{てん}に
向^むか^{りょうて}って両手^{りょうて}をひろ^{ひろ}げて、14 こ^こう言^い
った。「イスラエル^{かみ}の神^{かみ}エホバ^な、天^{てん}にも

6:13 *または、「囲い」。

地にも、あなたのような神はいません。
あなたは、心を尽くしてあなたに仕える人たちに対して契約を守り、揺るぎない愛をお示しになる方です。15 あなたは、あなたに仕えた父ダビデへの約束を守られました。ご自分の口で約束し、今日ご自分の手でそれを果たされました。16 それで今、イスラエルの神エホバ、あなたが父ダビデに、『あなたの子たちがあなたと同じように私の律法に従って歩み続けるなら、わたしの律法に従って歩み続けるなら、私の前でイスラエルの王座には必ずあなたの家系の人がつく』と言って交わした約束をお守りください。17 イスラエルの神エホバ、あなたがなされたダビデへの約束がその通りになりますように。

18 神は果たして人と共に地上にお住みになるのでしょうか。天も、天の天も、あなたには狭く、十分ではありません。私が建てたこの家など、なおさらです！19 私の神エホバ、私の祈りと、恵みを求める願いに耳を傾けてください。助けを求める私の叫びと、私があなたの前で捧げている祈りをお聞きください。20 あなたがご自分の名を付すと言われたこの家を、あなたが昼も夜も見守り、この場所に向かって捧げる私の祈りを聞いてくださいますように。21 助けを求める私の願いと、あなたの民イスラエルがこの場所に向かって祈る願いをお聞きく

第6章

(例)申7:9
王一8:23-26

(例)王一3:6

(例)サニ7:12,13
代一22:10

(例)王一2:4
詩132:12

(例)使徒7:48

(例)代二2:6
イザ40:12
使徒17:24

(例)王一8:27-30
イザ66:1

(例)申26:2

第2欄

(例)ダニ6:10

(例)王二19:20
代二30:27

(例)代二7:12-14
ミカ7:18

(例)王一8:31,32

(例)ヨブ34:11

(例)イザ3:10,11
エゼ18:20

(例)レビ26:14,17
ヨシ7:8,11
裁2:14

(例)ダニ9:3,19

(例)エズ9:5

(例)王一8:33,34

(例)イザ57:15

(例)詩106:47

(例)エゼ14:13

(例)レビ26:19
申28:23

(例)王一8:35,36

(例)イザ30:20,21
イザ54:13

ださい。あなたが、住まいである天から聞いてくださいますように。どうか、聞いてお許しくださいますように。

22 仲間に對して罪を犯したとされる人が、誓いを立てさせられて、その誓いに縛られた状態でこの家の祭壇の前に来る時、23 あなたが天からお聞きになって裁きを行い、悪い人には返報して相應の罰を与え、正しい人には無罪と宣告して、その正しさに応じた報いをお与えになりますように。

24 あなたの民イスラエルが、あなたに對して罪を犯し続けたために、敵に打ち破られた場合、民が戻ってあなたの名をたたえ、この家であなたの前で祈って恵みを求めるなら、25 あなたが天からお聞きになってイスラエルの民の罪を許し、民と父祖たちにお与えになった土地に民を連れ戻してくださいますように。

26 民があなたに對して罪を犯し続けたために、天が閉ざされて雨が降らなくなり、あなたに卑しめられたゆえに民がこの場所に向かって祈り、あなたの名をたたえ、罪から離れるなら、27 あなたが天からお聞きになり、あなたに仕える人たちの罪を、イスラエルの民の罪を許してくださいますように。歩むべき良い道を民に教え、民にお与えになったあなたの土地に雨を

6:22 *または、「その仲間から罰を科されて」。偽証や違反があった場合に罰が科されることを承知の上で、誓いを立てさせられたということ。
6:26 *または、「苦しみ」。

降らせてくださいますように。

28 この国に飢饉や疫病、立ち枯れや病害、バッタの大群が発生したり、この国のいずれかの町が敵に包囲されたり、ほかの何らかの災厄や病気が生じたりした場合、**29** 誰かがあるいはイスラエルの民の皆が苦しみや痛みを覚え、この家に向かって両手を広げて祈るなら、どの祈りも恵みを求めるどの願いも、**30** あなたが、住まいである天からお聞きになり、許し、それぞれの歩みに応じた報いをお与えになりますように。あなたは一人一人の心をご存じだからです。あなただけがひとの心を知っておられます。**31** 民が、父祖たちにあなたがとお与えになった土地で生きる間ずっと、あなたを畏れてあなたの道を歩みますように。

32 また、あなたの偉大な名と力強い手と伸ばした腕について聞いて遠い国からやってくる、イスラエルの民ではない外国人がこの家に向かって祈るなら、**33** あなたが、住まいである天からお聞きになり、その外国人が願うことを全て行ってくださいますように。そのようにして、地上の全ての民があなたの名を知って、イスラエルの民と同じようにあなたを畏れ、私が建てたこの家があなたの名で呼ばれていることを知りますように。

34 あなたの民があなたに遣わされて、敵と戦うためにどこかに行く場

第6章

(例) 王一 18:1
(例) ルツ 1:1
王二 6:25
(例) レビ 26:14, 16
申 28:21, 22
(例) アモ 4:9
ハガ 2:17
(例) 申 28:38
ヨエ 1:4
(例) 代二 12:2
代二 32:1
(例) 王一 8:37-40
(例) 格 14:10
(例) ダニ 6:10
(例) 代二 20:5, 6
(例) 代二 33:13
(例) イザ 63:15
(例) 詩 130:4
(例) サ一 16:7
代一 28:9
エレ 11:20
エレ 17:10
(例) 出 12:48
ルツ 1:16
王二 5:15
イザ 56:6, 7
使徒 8:27
(例) 王一 8:41-43
(例) 詩 22:27
詩 46:10

第2欄

(例) 民 31:2
ヨシ 8:1
裁 1:1, 2
サ一 15:3
(例) 王一 8:44, 45
(例) 代二 14:11
代二 20:5, 6
(例) イザ 37:36
(例) 詩 130:3
伝 7:20
ロマ 3:23
(例) レビ 26:34
王一 8:46-50
ダニ 9:7
(例) レビ 26:40
エズ 9:6
ネヘ 1:6
詩 106:6
ダニ 9:5
(例) 申 30:1-3
サ一 7:3
ダニ 9:2, 3
(例) ダニ 6:10
(例) エレ 51:36, 37
(例) 代二 7:15
代二 16:9
詩 65:2
イザ 37:17

合、その民があなたが選んだこの都市の方を向き、あなたの名のために私が建てた家に向かってあなたに祈るなら、**35** その祈りも恵みを求める願いを天からお聞きになり、民のために行動してください。

36 彼らがあなたに対して罪を犯した場合(罪を犯さない人は一人もいません)、あなたが憤って彼らを敵に渡し、彼らが捕らえられて、遠くであれ近くであれ、どこかの土地に連れ去られ、**37** 行ったその土地で本心に立ち返ってあなたのもとに戻り、『私たちは罪を犯し、間違ったことをしました。悪いことをしました』と言って恵みを求めるなら、**38** また、連れていかれたその土地で、彼らが心を尽くし自分の全てを尽くしてあなたのもとに戻り、父祖たちにあなたがとお与えになった土地とあなたが選んだ都市の方を向き、あなたの名のために私が建てた家に向かってあなたに祈るなら、**39** あなたが、住まいである天から、彼らの祈りと恵みを求める願いをお聞きになり、彼らのために行動し、あなたに対して罪を犯した彼らを許してくださいますように。

40 私の神、この場所で捧げられる祈りにどうか目を向け、耳を傾けてくださいますように。**41** どうぞ、エホバ神、あなたの力を象徴する箱と共に

6:35 *または、「裁いて」。 **6:39** *または、「裁き」。 **6:40** *または、「に関する」。

に、あなたの^{やす}休み場^{ばい}にお入り^{はい}になって
ください。エホバ神^イ、祭司^{かみ}たちに救^{すく}
いをまわ[＊]せてください。あなたに尽^つ
す人[＃]たちに善^よいことを楽^{たの}ませてくだ
さい。^イ42 エホバ神^{かみ}、あなた^{えら}が選^{えら}
ん[＊]だ者を退^{しりぞ}けないでください。あなたに
仕^{つか}えたダビデへの揺^ゆるぎない愛^{あい}を覚
えていてくださいますように。^ロ

7 ソロモン^{いの お}が祈^{いの}り終^すえると、すぐに
天^{てん}から火^ひが下^{くだ}ってきて、全焼^{ぜんしょう}の捧^{ささ}
げ物^{もの}と犠^ぎ牲^{せい}を焼^やきつ^くくし、エホバの栄^{えい}
光^{こう}が家^{いえ}に満^みちた。^ロ 2 祭司^{かみ}たちはエ
ホバの家^{いえ}に入^{はい}れなかつた。エホバの
栄^{えい}光^{こう}がエホバの家^{いえ}に満^みちたためだつ
た。^ロ 3 火^ひが下^{くだ}ってきて、エホバの栄^{えい}
光^{こう}が家^{いえ}の上^{うへ}に現^{あらわ}れた時^{とき}、イスラエルの
民^{たみ}の皆^{みな}が見^みていた。彼^{かれ}らは石^{いし}畳^{たたみ}の上^{うへ}
で身^みをかがめてひれ伏^ふし、エホバに感^{かん}
謝^{しゃ}して、「神^{かみ}は善^よい方^{かた}、神^{かみ}の揺^ゆ
るぎない愛^{あい}は永^{えい}遠^{えん}に続^{つづ}く」と言^いった。

4 王^{おう}と民^{たみ}は皆^{みな}、エホバの前^{まえ}で犠^ぎ牲^{せい}
を捧^{ささ}げた。^イ 5 ソロモン王^{おう}は牛^{うし}2万
2000頭^{とう}と羊^{ひつじ}12万匹^{まんびき}の犠^ぎ牲^{せい}を捧^{ささ}げた。
こうして王^{おう}と民^{たみ}は皆^{みな}、真^{まこと}の神^{かみ}の家^{いえ}を奉^{ほう}
献^{けん}した。^ロ 6 祭司^{かみ}たちは持^もち場^ばに就^つ
て立^たっていた。レビ族^{れびぞく}の人^{ひと}たちも、エ
ホバへの歌^{うた}の伴^{ばん}奏^{そう}のために楽^{がく}器^き
を持^もって立^たっていた。^イ (それはダビデ王^{おう}
が作^{つく}った楽^{がく}器^きで、その演^{えん}奏^{そう}と共にダビ
デが賛^{さん}美^びを捧^{ささ}げる時^{とき}、「神^{かみ}の揺^ゆ
るぎない

第6章

(イ) 代一 28:2

(イ) 詩 65:4
詩 132:8-10(イ) 王一 1:34
詩 18:50

(ロ) 使徒 13:34

第7章

(イ) 王一 8:54

(イ) レビ 9:24

代一 21:26

(イ) 出 40:34,35

(イ) 王一 8:11

(イ) 王一 8:62,63

(ロ) エズ 6:16

(イ) 代一 25:7
代二 5:11,12

第2欄

(イ) 代二 5:13

(イ) レビ 1:3

(イ) 代二 4:1

(ロ) レビ 2:1

(イ) レビ 4:8-10
王一 8:64-66(イ) レビ 23:34
申 16:13

(イ) 民 34:2,5,8

(イ) レビ 23:36

(イ) 代二 6:41

(ロ) 申 16:15

(イ) 伝 2:4

(イ) 王一 9:1-3

(イ) 代二 1:7

(イ) 申 12:5,6
詩 78:68

い愛^{あい}は永^{えい}遠^{えん}に続^{つづ}く」と言^いってエホバに
感^{かん}謝^{しゃ}するた[＊]めのもの^{さいし}だつた。) 祭司^{かみ}た
ちはその前^{まえ}でラッパを大^{おお}きく吹^ふき鳴^なら
し、イスラエル人^{いすらいへるじん}は皆^{みな}立^たっていた。

7 それからソロモンはエホバの家^{いえ}
の前^{まえ}にある庭^{にわ}の中央^{ちゅうおう}を神^{しん}聖^{せい}なものと
した。全焼^{ぜんしょう}の捧^{ささ}げ物^{ぶつ}と共食^{きしょく}の犠^ぎ牲^{せい}の
脂肪^{しぼう}の部分^{ぶぶん}を、その場所^{ばしょ}で捧^{ささ}げなけ
ればならなかつたからである。ソロモ
ンが造^{つく}った銅^{どう}の祭壇^{さいだん}には、全焼^{ぜんしょう}の犠^ぎ
牲^{せい}と穀物^{こくもつ}の捧^{ささ}げ物^{ぶつ}と脂肪^{しぼう}の部分^{ぶぶん}が載^の
り切^きらなかつたのである。8 同^{おな}じ時^{とき}、
ソロモンはイスラエル全体^{ぜんたい}と共に7日^{ども}
間^{かん}祭^{まつり}を行^{おこな}った。遠^{とほ}くはレボ・ハマトや

エジプトの谷^{たに}からも非^ひ常^{じょう}にた[＊]くさん[＊]の
群^{ぐん}衆^{しゅう}が集^{あつ}まつた。9 祭壇^{さいだん}の奉^{ほう}献^{けん}式^{しき}
を7日間^{かんと}、祭^{まつり}を7日間^{ひじょう}行^{おこな}い、8日^{かめ}目[＊]
には特別^{とくべつ}な集^{あつ}まりを開^{ひら}いた。10 第7
月^{つき}の23日^{にち}、王^{おう}は民^{たみ}を去^さらせた。民^{たみ}
は、エホバがダビデとソロモンとイス
ラエルの民^{たみ}にした良^よいこと^{よろこ}を喜^こび、う
れしい気持^{きもち}で家^{いえ}に帰^{かえ}ってい[＊]った。

11 こうしてソロモンはエホバの家^{いえ}
と王^{おう}の家^{いえ}を完^{かん}成^{せい}させ[＊]た。エホバの家^{いえ}
と自^じ分^{ぶん}の家^{いえ}に關^{かん}して行^{おこな}おうと考^{かんが}えて
いたこと[＊]を全^{すべ}て滞^{とど}りなくや[＊]り遂^とげた。
12 エホバは夜^{よる}、ソロモンに現^{あらわ}れて、
こう言^いった。「私^{わたし}はあなた^{いの}の祈^{いの}りを聞^き
き、この場所^{ばしょ}を犠^ぎ牲^{せい}のた[＊]めの家^{いえ}として
選^{えら}んだ。13 私^{わたし}が天^{てん}を開^{ひら}き、雨^{あめ}が

7:8 *または、「ハマトの入り口」。 *または、「ワ
ジ」。 ^または、「大きな会衆」。 7:9 *祭りが終
わった次の日、つまり15日目。 7:11 *または、
「宮殿」。

6:41 *エホバの救いを民に知らせる祭司の責任
に言及していると考えられる。 *または、「揺
るぎなく支持する」、「から離れない」。 6:42 *直
訳、「油を注いだ」。用語集の「油を注ぐ」参照。

降らなくなった場合や、バツかに命じて土地を食い尽くさせた場合、私の民の中に疫病を広めた場合、**14** 私の名で呼ばれる民が謙遜になり、祈って私の好意を求め、悪い行いをやめるなら、私は天から聞いて罪を許し、土地を回復させる。**15** 私はこの場所ですさいで祈るに目を向け、耳を傾ける。**16** 私はこの家を選んで神聖なものとしたので、私の名はずっとここにとどまる。私の目と心はいつもここにある。

17 あなたが父ダビデと同じように私に仕え、私が命じたこと全てを行って、私の規定と法規を守るなら、**18** 私は、あなたの父ダビデに『あなたの家系の人が必ずイスラエルを治める』と言って結んだ契約の通り、あなたの王権の王座が揺るがないようにする。**19** もしあなたが背を向けて、私が与えた法令とおきてを破り、ほかの神々に仕え始めてひれ伏すなら、**20** 私は、私が与えた土地からイスラエルを立ち退かせ、私が自分の名のために神聖なものとしたこの家を投げ捨てる。それは全ての民の中で軽蔑やあざけりの的となる。**21** この家は廃虚となる。そばを通る人は皆、驚いて見つめ、『エホバはどうしてこの土地とこの家にこのようなことをしたのだ』と言い、**22** 人々はこう答える。『彼らが、エジプトから父祖たちを

7:17 *直訳、「の前で歩み」。

第7章

(ア) イザ 43:10
(イ) レビ 26:41
代二 33:12,13
(ウ) イザ 55:7
(エ) 代二 6:39
(オ) 代二 6:40
(カ) 申 12:21
(キ) 代二 6:20
(ク) 王一 9:4,5
(ケ) 王一 2:4
(コ) 詩 89:28,29
(コ) サニ 7:12,13
(セ) 出 20:5
王一 9:6-9
(ソ) 申 4:25,26
王二 17:20
(タ) 申 28:37
エレ 24:9
(チ) 代二 29:8
ダニ 9:12
(テ) 申 29:24,25
王二 25:8,9
エレ 22:8,9

第2欄

(ア) 出 12:51
(イ) 代二 15:2
(ウ) イザ 2:8
エレ 2:11
(エ) 代二 36:17

第8章

(ア) 王一 6:37,38
王一 7:1
王一 9:10
(イ) 王一 5:1
(ウ) 王二 14:28
(エ) 王一 9:17-19
(オ) ヨシ 16:5
(カ) ヨシ 16:1,3
代一 7:24
(キ) ヨシ 19:44,48
(ク) 王一 4:26
(ケ) 王一 9:20-23
(コ) 創 15:18-21
民 13:29
(コ) ヨシ 15:63
ヨシ 17:12
(セ) ヨシ 16:10
代二 2:17,18
(ソ) レビ 25:39
(タ) サ一 8:11,12
(チ) 王一 5:16
王一 9:23
代二 2:18
(テ) 王一 3:1

連れ出したエホバ神を捨てて、ほかの神々に頼ってひれ伏し、仕えたからだ。だから、神はこの全ての災いを彼らにもたらしたのだ』。

8 ソロモンは、エホバの家と自分の家を20年かけて建てた。**2** ソロモンはヒラムから受け取った町々を再建して、そこにイスラエル人を住ませた。**3** さらに、ハマト・ツォパに行つて、そこを攻め取った。**4** 荒野のタドルモルと、ハマトに築いてあった倉庫の町全て、ぼろぼろの防備を固めた。**5** 城壁や門やかんぬきのある防備された町である上ベト・ホルンと下ベト・ホルンも築いた。**6** そして、バアラト、ソロモンの倉庫の町、兵車の町、騎手のための町を築き、エルサレム、レバノン、そのほかの全領土に建てたいと望んでいたものを建てた。

7 イスラエルではない、ヘト人、アモリ人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人の民で、**8** 国内に生き残っている子孫たち(イスラエル人が全滅させなかった人々)を、ソロモンは強制労働に徴用し、今に至っている。**9** ソロモンはイスラエル人の誰も工事のための奴隷にならなかった。彼らは戦士、副官の長、兵車の乗り手や騎手の長だった。**10** ソロモン王の代官の長、民の現場監督が250人いた。

11 ソロモンはまた、ファラオの娘

8:1 *または、「宮殿」。8:4 *または、「全てを再建した」。8:5 *または、「再建した」。

を「ダビデの町」から、彼女のために建てた家に移した。彼は言った。「私の妻ではあるが、彼女はイスラエルのダビデ王の家に住むべきではない。エホバの箱があった場所は聖なる所だからだ」。

12 ソロモンは、玄関の前に建てたエホバの祭壇で、エホバに全焼の犠牲を捧げた。**13** モーゼのおきてに従って、日課通りに犠牲を捧げ、安息日、新月、年に3度の決められた祭り(無酵母パンの祭り、七週の祭り、仮小屋の祭り)の時に捧げ物をした。

14 さらに、父ダビデの規則に従って祭司の組を決め、奉仕させた。レビ族には、日課通りに祭司たちの前で賛美し、奉仕する務めを与え、門番には、組ごとに別々の門を担当させた。真の神に仕えた人ダビデがそう命じていたからである。**15** 彼らは、倉庫に関してであれ、ほかのどんなことに関してであれ、祭司とレビ族への王の命令に背かなかった。**16** ソロモンの工事は全て、エホバの家の土台を据えた日から完成の時まで、よく組織されていた。こうしてエホバの家は出来上がった。

17 それからソロモンは、エドム地方の海辺のエツヨン・ゲベルとエロトに行った。**18** ヒラムは家来たちを通して、船と経験を積んだ船乗りたち

8:16 *または、「手はずがよく整えられていた」、「完遂した」。

第8章

(例) 王 7:8
王 9:24
(例) 出 29:43
(例) 王 6:3
(例) 代 2:41
(例) レビ 1:3
(例) 民 28:9
(例) 民 28:11-15
(例) 申 16:16
(例) レビ 23:6
(例) レビ 23:15, 16
(例) レビ 23:34
(例) 代 24:1
(例) 代 6:31, 32
代 15:16
代 16:37, 42
代 25:1
(例) 代 26:1
(例) 王 6:1
(例) 王 7:51
(例) 王 9:26-28
(例) 民 33:1, 35
王 22:48
(例) 申 2:8
王 14:21, 22
王 16:6
(例) サニ 5:11

第2欄

(例) 王 22:48
詩 45:9
(例) 王 10:22
(例) 伝 2:8

第9章

(例) マタ 12:42
ルカ 11:31
(例) 詩 72:15
(例) 王 10:1-3
(例) 王 3:28
伝 12:9
(例) 王 10:4-9
(例) 王 4:22, 23
(例) 代 2:8, 12, 13
(例) ルカ 11:31
(例) 伝 1:16
(例) 王 4:31, 34
代 11:11, 12

をソロモンのもとに送ってきた。彼らはソロモンの家来たちと共にオフィルへ行き、そこで15トンの金を手に入れ、ソロモン王の所に運んだ。

9 さて、シェバの女王はソロモンの名声について聞いた。それで彼女はソロモンを難問で試そうとしてエルサレムにやって来た。彼女は大勢の従者を率い、ラクダにバルサム油や非常に多くの金と宝石を載せてきた。そしてソロモンの所に来て、知りたと思っていたことを全部尋ねた。**2** ソロモンは全ての質問に答えた。ソロモンにとって難しく分らないことは一つもなく、全てを説明した。

3 シェバの女王は、ソロモンの知恵や建てた家を目にして、**4** また、食卓の食べ物、家来たちが座っている様子、給仕人たちの食卓での応対や服装、王に仕える献酌人たちやその服装、王がエホバの家でいつも捧げる全焼の犠牲を見て、息をのんだ。**5** 彼女は王に言った。「私が自分の国であなたの功績と知恵について聞いたことは、本当でした。**6** 私は来て、この目で見るまでは、信じていませんでした。私はあなたの豊かな知恵の半分も知らされていませんでした。あなたは私が聞いていたことをはるかに超えた方です。**7** あなたの民は幸せです。いつもあなたの前に立って、あなたの知

9:1 *または、「謎掛け」。**9:5** *または、「言葉」。

恵を聞いている家来たちも幸せです。

8 あなたの神エホバが賛美されますように。神はあなたのことを喜ばれ、ご自分の王座につかせて、あなたをエホバ神の代理の王にしました。神はイスラエルを愛しているので、イスラエルを永続させるため、あなたに公正で正しいことを行わせようと、あなたをイスラエルの王に任命したのです。

9 それから彼女は、4トンの金と多量のバルサム油と宝石を王に贈った。シェバの女王がソロモン王に贈ったほどのバルサム油が届けられることは、二度となかった。

10 さらに、オフィルから金を選んでくるヒラムの家来たちとソロモンの家来たちが、アルグムの木材と宝石も運んできた。**11** 王はそのアルグムの木材でエホバの家と王の家の階段を作り、また歌い手たちのためにたて琴と弦楽器を作った。そのようなものは、それまでユダで見られたことがなかった。

12 ソロモン王は、シェバの女王が持ってきた物以上の物を、女王の求めに応じて望み通りに何でも贈った。それから、彼女は出発し、家来たちと共に自分の国に帰っていった。

13 1年間にソロモンの所に入ってきた金の重さは、23トン近くになった。

14 ほかに、商人や貿易商、アラブの

9:11 *または、「宮殿」。**9:12** *もしかすると、「持ってきた物の価値に見合った贈り物に加え」。

第9章

(例) 代二 2:11

(例) 詩 72:10

(例) 王一 10:10

(例) 王一 9:27, 28
王一 10:22
代二 8:18

(例) 王一 10:11, 12

(例) 王一 7:1

(例) 王一 6:8

(例) 代一 25:1
詩 92:3

(例) 王一 10:13

(例) 王一 10:14, 15
代二 1:15
詩 68:29
詩 72:15

第2欄

(例) 詩 72:10

(例) 代二 12:9

(例) 王一 10:16, 17

(例) 王一 7:2

(例) 王一 10:18-20

(例) 創 49:9

(例) 民 23:24

(例) 王一 10:21, 22
王一 10:27

(例) 王一 9:27

(例) 詩 72:10
ヨナ 1:3

(例) 王一 10:18

(例) 王一 3:12, 13
王一 4:29
王一 10:23-25

(例) 王一 3:28
王一 4:34
代二 1:12
格 2:6

すべての王、国内の総督たちも、ソロモンの所に金銀を持ってきた。

15 ソロモン王は、金の合金で大盾を200個作り(各大盾をやく7キロの金の合金で覆った)、**16** 金の合金で小盾を300個作った(各小盾を1.7キロの金で覆った)。そして、それらを「レバノンの森の家」に置いた。

17 さらに、王は大きな象牙の王座を作り、それに純金をかぶせた。

18 その王座までには6つの段があり、王座には金の足台が付いていた。座面の両側には肘掛けがあり、肘掛けのそばに2頭のライオンが立っていた。

19 6つの段には、各段の両端に1頭ずつ、合計12頭のライオンが立っていた。このようなものが作られた王国は

ほかになかった。**20** ソロモン王が飲むのに使う器は全て金であり、「レバノンの森の家」の器具も全て純金だった。銀のものは何もなかった。ソロモンの時代、銀は価値がないと見なされていた。**21** 王はヒラムの家来たちが乗り組むタルシシュ行きの船を持っていて、そのタルシシュの船が3年に1度、金、銀、象牙、猿、クジャクを載せてきた。

22 ソロモン王は、地上のどの王よりも豊かな富と知恵を持っていた。

23 世界中の王たちがソロモンに会う機会を求めた。真の神がソロモンの心に授けた知恵を聞くためだった。

24 人々が毎年、銀の品、金の品、衣服、武具、バルサム油、馬、ラバなどの贈り物を持ってきた。25 ソロモンは4000棟の馬小屋と兵車と1万2000頭の馬を持ち、兵車の町とエルサレムの王のそばに配置した。26 彼は、川からフィリスティア人の土地そしてエジプトの国境までの王を皆治めた。27 ソロモン王のおかげで、エルサレムで銀は石のように多くなり、杉材はシェフェラにあるエジプトイチジクの木のように多くなった。28 ソロモンのもとに、馬がエジプトやほかのあらゆる国から送られてきた。

29 ソロモンについてのほかの記録は、最初から最後まで、預言者ナタンの言葉、シロの人アビヤの預言、ネバトの子ヤラバアムに関する神からの幻を伝える人イドの幻の記録に記されている。30 ソロモンはエルサレムでイスラエル全体を40年治めた。

31 ソロモンはやがて死んだ。そして父ダビデの町に葬られた。代わりにソロモンの子レハベアムが王になった。

10 レハベアムはシェケムに行った。イスラエル全体が彼を王にするためにシェケムに来ていたからである。2 ネバトの子ヤラバアムはそのことを聞くと(ヤラバアムはソロモン王から逃げたエジプトにまだいた)、エジプトから戻ってきた。3 人々が

9:25 *または、「1万2000人の騎手」。9:26 *ユーフラテス川のこと。

第9章

(ア) マタ 6:29

(イ) 申 17:16
王 4:26

(ウ) 王 10:26

(エ) 王 4:21

(オ) 王 10:27
代 27:28

(カ) 王 10:28
代 21:16

(キ) 王 11:41-43

(ク) サニ 7:2
サニ 12:1
王 1:8
代 29:29

(ケ) 王 11:30,31
王 14:2
王 14:6,10

(コ) 王 11:26

(カ) 代 12:15
代 13:22

(シ) サニ 5:9
王 2:10

(ス) 王 14:21

第10章

(セ) ヨシ 20:7
ヨシ 24:1
裁 9:1

(フ) 王 12:1-4

(ヘ) 王 11:28

(ヘ) 王 11:40

第2欄

(ア) サ 8:11-18
王 4:7

(イ) 王 12:5-7

(ウ) 王 12:8-11

ヤラバアムを呼び寄せたので、ヤラバアムとイスラエル全体はレハベアムのもとに行き、こう言った。4 「あなたの父上は私たちに過酷な荷を負わせました。あなたがその過酷な労働を楽にし、あなたの父上に負わされた重い荷を軽くしてくださるなら、私たちはあなたに仕えます」。

5 レハベアムは言った。「あさって戻ってきなさい」。それで民は去っていった。6 レハベアム王は、父ソロモンが生きていた頃に父に仕えていた年長者たちに相談し、こう言った。「この民にどう答えたらよいか、何か助言がありますか」。7 彼らは言った。「あなたがこの民に良くして喜ばせ、良い返答をするなら、民はずっとあなたに仕えるでしょう」。

8 ところが、レハベアムは年長者たちの助言を無視し、共に成長して今は自分の従者となっている若者たちに相談した。9 こう尋ねた。「民にどう答えたらよいか、何か助言があるか。民は、『あなたの父上が私たちに負わせた荷を軽くしてください』と言っている」。10 レハベアムと共に成長した若者たちはこう言った。「民が、『あなたの父上は私たちに重い荷を負わせました。私たちのためにその荷を軽くしてください』と言っているなら、こう言うとういとおもいます。『私は父より

10:4 *直訳、「てんびん棒」。*または、「つらい」。10:5 *または、「3日で」。10:6, 8 *または、「長老」。

も厳しくする。^{*} 11 父はあなたたちに重い荷を負わせたが、私はその荷をいっそう重くする。父はあなたたちをむちで懲らしめたが、私はとげむちを使う』。

12 ヤラベアムと民は、「あさって戻ってきなさい」とレハベアム王に言われた通り、2日後に王の所に来た。

13 王は彼らに厳しく話した。レハベアム王は年長者たちの助言を無視したのである。14 若者たちの助言に従い、こう言った。「私はあなたたちにより重い荷を負わせる。あなたたちの荷をいっそう重くする。父はあなたたちをむちで懲らしめたが、私はとげむちを使う」。15 こうして王は民の言ったことを聞き入れなかった。真の神がそのように事を運んだのである。エホバが、シロの人アヒヤを通してネバトの子ヤラベアムに伝えた言葉の通りになるようにしたのである。

16 イスラエルの皆は、言ったことが王に聞き入れられなかったので、こう反応した。「われわれにダビデと分け合うものが何かあるだろうか。エッサイの子から受けるものは何もない。イスラエルよ、それぞれ自分の神々のもとに帰れ。ダビデ家の者たちよ、自分のことは自分でするがいい!」こうしてイスラエルの皆は家に帰った。

17 ユダの町々に住んでいるイスラ

10:10 *直訳、「私の小指は私の父の腰よりも太くなる」。10:12 *直訳、「3日目に」。10:13 *または、「長老」。

第10章

(例) 王一 12:12-15

(例) 申 2:30
サニ 17:14

(例) 王一 11:29-31

(例) 王一 11:32

(例) 王一 12:16,17

第2欄

(例) 王一 11:35,36

(例) サニ 20:24
王一 4:6

(例) 王一 12:18,19

第11章

(例) 創 49:27
代二 14:8

(例) 王一 12:21-24

(例) 代二 12:15

(例) 王一 11:31
代二 10:15

(例) 創 35:19
マタ 2:1

(例) アモ 1:1

(例) 代二 28:18

(例) サ一 22:1

(例) 代一 18:1

(例) サ一 23:14

エル人については、引き続きレハベアムが治めた。

18 レハベアム王が、強制労働に徴用された人たちをまとめていたハドラムを遣わすと、イスラエル人はハドラムを石打ちにして殺した。レハベアム王はどうにかして兵車に乗り、エルサレムに逃げた。19 こうしてイスラエル人はダビデ家に反抗し、今に至っている。

11 レハベアムはエルサレムに着くと、直ちにユダ族とベニヤミンの中から訓練された戦士18万人を集めた。王国を取り戻すため、イスラエルと戦おうとしたのである。2 すると、真の神に仕える人シェマヤにエホバが言った。3 「ソロモンの子であるユダの王レハベアムと、ユダとベニヤミンにいるイスラエル全員に、こう言いなさい。4 『エホバはこう言っている。「行ってはならない。あなたたちの兄弟と戦ってはならない。おのおの自分の家に帰りなさい。このようなことが起こるようにしたのは私だからである。』」。彼らはエホバの言葉に従って帰り、ヤラベアムを攻めには行かなかった。

5 レハベアムはエルサレムに住み、防備された町をユダに築いた。6 次の町を築いたのである。ベツレヘム、エタム、テコア、7 ベト・ツル、ソコ、アドラム、8 ガト、マレシャ、ジフ、9 ア

11:6 *または、「の防備を固めた」。

歴代第二 11:10-12:3

ドライム、ラキシ^(イ)、アゼカ^(イ)、**10** ツォルア、アヤロン、ヘブロン。これらはユダとベニヤミンにある防備された町だった。**11** レハベアムは防備された場所を補強^(イ)して、そこに指揮官^(イ)を配置し、食料と油とぶどう酒を供給した。**12** また、各町に大盾と小やりを供給し、町々を大いに強化した。こうして、ユダとベニヤミンはレハベアムのものであり続けた。

13 イスラエル^(イ)全域にいた祭司とレビ族が、自分の土地から出てきてレハベアムの側に付いた。**14** レビ族が自分の牧草地と所有地を捨てて、ユダとエルサレムにきたのである。それは、祭司としてエホバに仕えていたのを、ヤラベアムとその子たちによって辞めさせられたからだった。**15** ヤラベアムは独自に祭司たちを任命し、高い場所^(イ)で、ヤギのような邪悪な天使たちや自分が作った子牛に奉仕させたのだった。**16** エルサレムには、祭司とレビ族に続き、イスラエルの全部族の中から、一心にイスラエルの神エホバに仕えようとする人たちが、父祖たちの神エホバに犠牲を捧げるためにやって来た。**17** 彼らはその後3年にわたり、ユダの王権を強化し、ソロモンの子レハベアムを支持した。ダビデとソロモンの道を3年間歩んだのである。

18 レハベアムはマハラトを妻にし

11:15 *直訳、「ヤギ」。

第11章

(イ) 代二 32:9

(イ) ヨシ 10:10
エレ 34:7

(イ) ヨシ 19:42, 48

(イ) ヨシ 14:14, 15
サニ 2:1

(イ) 民 35:2, 3

(イ) 王一 12:31, 32

(イ) 王一 13:33

(イ) レビ 17:7

(イ) 王一 12:26, 28

(イ) 申 12:11
代一 22:1
代二 15:8, 9
代二 30:10, 11

第2欄

(イ) サ一 16:6
サ一 17:13

(イ) サニ 13:1
サニ 18:33

(イ) 王一 15:1
代二 12:16
マタ 1:7

(イ) 申 17:17

(イ) 代二 11:5, 11

第12章

(イ) 代二 11:17

(イ) 申 32:15
代二 26:11, 16

(イ) 王一 11:40
王一 14:25

(イ) ナホ 3:9

た。彼女は、ダビデの子エリモトと、エッサイの子エリアブの娘アビハイルとの間の娘である。**19** やがて彼女は子を生んだ。エウシュ、シュマルヤ、ザハムである。**20** マハラトの後に、レハベアムはアブサロムの孫娘マアカを妻にした。やがてマアカは、アビヤ、アタイ、ジザ、シェロミトを生んだ。**21** レハベアムは、全ての妻と側室の中で、アブサロムの孫娘マアカを一番愛していた。彼には18人の妻と60人の側室がいて、28人の息子と60人の娘が生まれた。**22** レハベアムは、兄弟たちの中でマアカの子アビヤを長ま^(イ)指揮官に任命した。彼を王にしたかったからである。**23** レハベアムは知恵を働かせ、自分の子の何人かをユダとベニヤミンの全域の防備された町々に送り、食料をたくさん与え、多くの妻を見つけてやった。

12 王権が揺るがないものとなり、力が強まると、レハベアムはエホバの律法を捨てた。イスラエル全体も彼と同じようにした。**2** 彼らがエホバに不忠実な振る舞いをしたため、レハベアム王の治世の第5年に、エジプトのシシャク王がエルサレムに攻め上ってきた。**3** シシャクは、1200両の兵車、6万人の騎手、無数の兵士(リビア人、スキム人、エチオピア人)をエジプトから率いてきた。

11:23 *または、「物事をよく理解した上で」。
*または、「散らし」。

4 彼はユダの防備された町々を攻め取り、やがてエルサレムにまで来た。

5 預言者シェマヤがエルサレムのレハベアムの所に来た。ユダの高官たちもシシャクのことでそこに集まっていた。シェマヤは言った。「エホバはこう言っています。『あなたたちが私を捨てたので、私もあなたたちを捨ててシシャクの手に渡した』。6 イスラエルの高官たちと王は謙遜になり、「エホバは正しい」と言った。7 エホバは彼らが謙遜になったのを見た。それでエホバはシェマヤに言った。「彼らは謙遜になった。私は彼らを滅ぼすことはせず、間もなく救い出す。シシャクを通してエルサレムに憤りを向けることはしない。8 しかし、彼らはシシャクに仕えることになる。そして、私に仕えることと他国の王に仕えることとの違いを知るようになる。」

9 こうしてエジプトのシシャク王がエルサレムに攻め上ってきた。シシャクはエホバの家の財宝と王の家の財宝を奪った。ソロモンが作った金の盾を含め、あらゆるものを奪った。

10 レハベアム王は代わりに銅の盾を作り、王の家の入り口の守衛の長たちに託した。11 王がエホバの家に行く時にはいつでも、守衛たちは来て盾を持ち、その後、守衛室に盾を戻すのだった。12 王が謙遜になったので、

12:9 *または、「宮殿」。12:10 *直訳、「走者」。

第12章

(㉑) 王ー 12:22-24

(㉒) 申 28:15
代 15:2

(㉓) 代 2 33:10,12

(㉔) 王ー 21:29
代 34:26,27

(㉕) 王ー 7:51

(㉖) 王ー 10:16,17
王ー 14:25-28

第2欄

(㉗) 代 2 33:10,12

(㉘) 哀 3:22

(㉙) 創 18:23-25
王ー 14:1,13
代 2 19:2,3

(㉚) 申 23:3
王ー 11:1
王ー 14:21

(㉛) サー 7:3
王ー 18:21
マル 12:30

(㉜) 王ー 12:22-24

(㉝) 代 2 9:29
代 2 13:22

(㉞) 王ー 14:30,31

(㉟) サニ 5:9

(㊱) マタ 1:7

第13章

(㊲) 王ー 15:1,2

(㊳) 代 2 11:20,21

(㊴) ヨシ 18:28
サー 10:26

(㊵) 王ー 15:6

(㊶) 代 2 11:1

エホバは王への怒りを静め、都市を完全に滅ぼすことはなかった。ユダには良い点がいくらかあった。

13 レハベアム王はエルサレムで権力を強め、引き続き治めた。レハベアムは41歳で王になり、エホバがご自分の名を付すためにイスラエルの全部族の領地から選んだ都市エルサレムで17年治めた。王の母はナアマといい、アンモン人だった。14 レハベアムは悪いことを行った。エホバの導きを求めることを心に決めていなかったからである。

15 レハベアムについての記録は、最初から最後まで、預言者シェマヤと神からの幻を伝える人イドが家系の記録に沿って書いた物の中に記されている。レハベアムとヤラベアムの間には戦いが絶えなかった。16 レハベアムはやがて死に、「ダビデの町」に葬られた。代わりにレハベアムの子アビヤが王になった。

13 アビヤがユダの王になったのは、ヤラベアム王の治世の第18年のことだった。2 アビヤはエルサレムで3年治めた。彼の母はミカヤといい、ギベアのウリエルの娘だった。アビヤとヤラベアムの間に戦いがあった。

3 アビヤは、40万人の訓練された強い戦士を率いて戦いに行った。ヤラベアムも、80万人の訓練された強い戦士を率いて戦闘隊形を組んだ。

4 アビヤは、エフライムの山地にあるツェマライム山に立って言った。「ヤラベアムとイスラエルの人たち、聞きなさい。5 あなたたちは知らないのですか。イスラエルの神エホバは塩の契約により、ダビデとその子たちがイスラエルの王国を永遠に治めるようにしました。6 それなのに、ダビデの子ソロモンの家来、ネバトの子ヤラベアムが立ち上がって主人に背きました。7 そして、怠情などしようもない者たちがそのもとに集まっていきました。彼らはソロモンの子レハベアムより優勢になり、レハベアムは若くて気弱だったので、持ちこたえられませんでした。

8 あなたたちは今、ダビデの子たちの手にあるエホバの王国に張り合えると考えています。あなたたちは大軍となり、ヤラベアムがあなたたちのために神として作った金の子牛もあるからでしょう。9 あなたたちはアロンの子孫であるエホバの祭司とレビ族を追い出し、他の国の人々と同じように独自の祭司を任命しました。そうではないですか。若い雄牛1頭と雄羊7匹を持ってきた人は誰でも祭司になっています。神ではないものに仕える祭司にです。10 私たちの場合、エホバが私たちの神で、私たちはこの方を捨てていません。アロンの子孫である祭

13:5 *つまり、永続する不変の契約。13:9 *直訳、「手を満たすため、若い雄牛1頭と雄羊7匹」。

第13章
(7) 詩 89:28, 29

(4) サニ 7:12, 13
代一 17:11, 14
ルカ 1:32

(7) 創 49:10
サニ 7:8
詩 78:70, 71

(4) 代二 10:2

(4) 王一 11:26, 27
王一 12:20

(4) 王一 12:26, 28
代二 11:15

(4) 代二 11:14

(7) 王一 12:31, 33
王一 13:33

(7) 代二 11:16

第2欄
(7) 出 29:39

(4) 出 30:1

(7) 出 25:30

(4) 出 25:31

(7) 出 27:20

(4) 民 10:9

(4) 代二 14:11
代二 18:31

司がエホバに奉仕し、レビ族が仕事を補佐しています。11 彼らは朝と夕方方にも、香り高い香と共にエホバへの全焼の捧げ物を焼いて煙にしています。重ねのパンを純金の食卓に置き、金のランプ台のランプを夕方方にもともしています。私たちはエホバ神への責務を重んじているのです。でも、あなたたちはこの方を捨てました。12 真の神は私たちと共にいて導き、祭司たちがあなたたちに向かって戦いの合図のラッパを吹き鳴らそうとしています。イスラエルの人たち、あなたたちの父祖の神エホバと戦ってはなりません。決して成功しないからです」。

13 それで、ヤラベアムは伏兵を回して背後から近づかせようとした。ユダの前に軍勢がいて、後ろに伏兵がいるようにしたのである。14 ユダの人たちが振り向くと、攻撃が前から後ろからも迫っていた。それで彼らはエホバに向かって叫びだし、その間、祭司たちはラッパを大きく吹き鳴らしていた。15 ユダの人たちはときを声を上げた。その時、真の神はアビヤとユダの前でヤラベアムとイスラエル全体を打ち破った。16 イスラエル人はユダの前から逃げ去り、神はイスラエル人をユダの手に渡した。17 アビヤと民は大勢を殺した。イスラエルの訓練された人50万人が次々

13:11 *供えのパンのこと。

と殺されて倒れていったのである。

18 こうしてイスラエルの人たちは卑しめられ、ユダの人たちは父祖たちの神エホバに頼ったので勝利を収めた。

19 アビヤはヤラベアムの後を追ひ、ベテルと周辺の町、エシャナと周辺の町、エフラインと周辺の町など、幾つかの町を奪い取った。**20** ヤラベアムがアビヤの時代に勢力を取り戻すことはなかった。エホバが彼を打ったので、彼は死んだ。

21 一方、アビヤは力を強めていった。14人の妻を持ち、22人の息子と16人の娘が生まれた。**22** アビヤに子孫のほかに記録、行ったことや語ったことは、預言者イドの書物に記されている。

14 アビヤはやがて死に、「ダビデの町」に葬られた。代わりにはアビヤの子アサが王になった。アサの時代、国は10年間平穏だった。

2 アサは、エホバ神から見て正しくて良いことを行った。**3** 外国の神の祭壇と高い場所を取り除き、聖柱を打ち砕き、聖木を切り倒した。**4** そしてユダに、父祖たちの神エホバに仕えて律法とおきてを守るようにと言った。

5 ユダの全ての町から高い場所と香台を取り除いた。アサの統治の下、王国は平穏であり続けた。**6** アサは防

13:19 *または、「それに依存する」。**13:22** *または、「注釈書」、「注解書」。**14:3** *用語集参照。

第13章

(㉔) 王二 18:1,5
代一 5:20
代二 16:8
詩 22:5
詩 37:5
ナホ 1:7

(㉔) 王一 12:28,29

(㉔) ヨハ 11:54

(㉔) サ一 25:38
王一 14:20
使徒 12:21-23

(㉔) 申 17:17

(㉔) 代二 9:29
代二 12:15

第14章

(㉔) サ二 5:9

(㉔) 申 7:5

(㉔) 出 23:24

(㉔) 王一 14:22,23
王二 18:1,4

(㉔) 代二 34:1,4

第2欄

(㉔) 代二 11:5

(㉔) 代二 15:15
格 16:7

(㉔) 代二 32:2,5

(㉔) 詩 127:1

(㉔) 代二 11:1,12
代二 13:3

(㉔) 代二 16:8

(㉔) ヨシ 15:20,44
代二 11:5,8

(㉔) 出 14:10
代一 5:20
代二 32:20

(㉔) 裁 7:7
サー 14:6

(㉔) 代二 13:12
代二 32:7,8

(㉔) サー 17:45
詩 20:5
格 18:10

(㉔) ヨシ 7:9

詩 9:19

(㉔) 申 28:7

び備された町々をユダに築いた。国には騒乱がなく、この時期、アサに対する戦争はなかった。エホバが彼を休ませたからである。**7** アサはユダに言った。「これらの町を築き、周りに城壁や塔、門やかんぬぎを造りましょう。わたしがエホバ神に仕えたので、この土地は今も私たちのものです。私たちが仕えたので、神は周囲の敵から守って安心させてくださいました」。こうして建設はうまくいった。

8 アサには、大盾と小やりを装備したユダの兵士が30万人いた。また、小盾を持ち、弓で武装したベニヤミンの強い戦士が28万人いた。

9 やがて、エチオピア人ゼラハが100万人の軍勢と300両の兵車を率いて、攻めてきた。ゼラハがマレシヤに来ると、**10** アサは向かって出ていき、マレシヤのツェファタの谷で戦闘隊形を組んだ。**11** アサはエホバ神に呼び掛け、こう言った。「エホバ、あなたは、どんなに多くの人でもどんなに無力な人でも助けることができる方です。私たちの神エホバ、助けてください。私たちはあなたに頼り、あなたの名によってこの軍勢に向かって出てきました。エホバ、あなたは私たちの神です。死にゆく人間があなたに勝つことがありませんように」。

12 すると、エホバはアサとユダの前でエチオピア人を打ち破り、エチオピア人は逃げ去った。**13** アサとユ

ダの人たちは彼らをゲラルまで追跡したのち、エチオピア人は次々に倒れ、一人も生き残らなかった。彼らはエホバとその方の軍勢に完全に打ち破られたのである。それからユダの人たちは非常に多くの戦利品を得た。

14 さらに、ゲラルの周りの町を全て襲撃した。町々はエホバからの恐怖に包まれた。そこには多くの物品があったので、彼らは全ての町で略奪した。15 家畜を持つ人たちの天幕も襲い、羊とラクダをたくさん捕まえて、エルサレムに帰ってきた。

15 さて、オデドの子アザリヤは神の聖なる力を受けた。

2 それで、アザリヤはアサに会いに行き、こう言った。「アサと、ユダとベニヤミンの全ての人たち、聞いてください！皆さんがエホバのもとにとどまる限り、神は皆さんと共にいてくださいます。皆さんが神を探し求めるなら、神を見つけれられますが、神を捨ててなら、神から捨てられます。3 長い間、イスラエルには真の神も教える祭司もおらず、律法ありませんでした。4 しかし、彼らは苦難にあってイスラエルの神エホバのもとに戻ろうとし、神を探し求めたので、神を見つかることができました。5 その頃は安全に旅をすることができませんでした。各地の住民の間で大きな騒乱があったからです。6 国民が国民に打ち破られ、町

第14章

(イ) 創 20:1

第15章

(イ) ヤコ 4:8

(イ) イザ 55:6

(イ) 代一 28:9

へブ 10:38

(イ) 申 33:8, 10

代二 17:8, 9

マラ 2:7

(イ) 詩 106:43, 44

イザ 55:7

第2欄

(イ) 申 28:15, 48

(イ) ヨシ 1:9

代一 28:20

(イ) 王二 23:24

(イ) 代二 8:12

(イ) 代二 11:16

代二 30:25

(イ) 申 4:29

王二 23:3

ネへ 10:28, 29

(イ) 出 22:20

が町に打ち破られていました。神があらゆる苦難によって混乱させていたからです。7 皆さん、勇気を出してください。氣力を失ってはなりません。皆さんの行動は必ず報われます。

8 アサはこの言葉と預言者オデドの預言を聞いて、勇気を奮い起こし、ユダとベニヤミンの全域や、エフライムの山地から奪い取った町々から汚らわしい偶像を取り除き、エホバの家の玄関の前にあったエホバの祭壇を復旧させた。9 また、ユダとベニヤミンの全ての人を集めた。さらに、エフライムやマナセやシメオンから来てその人たちに加わった外国人も居住者も集めた。エホバ神がアサと共にいるのを見て、アサを頼ってイスラエルからやって来た大勢の人たちである。10 こうして、アサの治世の第15年、第3の月にエルサレムに人々が集まった。11 彼らはその日、持ってきた戦利品の中から、牛700頭と羊7000匹を犠牲としてエホバに捧げた。12 そして、心を尽くし自分の全てを尽くして父祖たちの神エホバに仕えるという契約を結んだ。13 イスラエルの神エホバに仕えない人は、若くても年を取っていても、男性でも女性でも死刑にされることになった。14 彼らは歓声を上げ、ラッパと角笛を鳴らして、大声でエホバに誓った。15 ユダ全体は誓いのことを喜んだ。

15:7 *直訳、「手を垂れさせて」。

15:1 *用語集参照。15:5 *直訳、「平和」。

こころ つ ちか ねっしん さが もと
心を尽くして誓い、熱心に探し求めた
ので神を見つけたのだった。エホ
バは引き続き周囲の敵から彼らを
まも あんしん せだ
守って安心させた。

16 アサ王は祖母マアカを太后の
ち い お か の じょ せい
地位から降ろすこともした。彼女が聖
木 ぼく すうはい しょうがい ぐうぞう
木の崇拜のためにおぞましい偶像を
つく かのじょ つく
作ったからである。アサは彼女が作っ
たおぞましい偶像を切り倒して粉碎
し、ケデロン谷の谷で焼いた。17 しか
し高い場所はイスラエルから取り除か
れなかった。それでも、生涯中ずっと、
アサの心は全てが神に向いていた。

18 アサは、自分と父が聖なるものに
びん きん きく ぐるい しん かみ いえ はこ
した銀、金、器具類を真の神の家に運
び入れた。19 アサの治世の第35
ねん せんそう
年まで戦争がなかった。

16 アサの治世の第36年、イス
ラエルのバアシャ王はユダ
を攻め、ラマを築き始めた。ユダのア
サ王の領土に誰も出入りできないよう
にするためだった。2 そこでアサは
エホバの家と王の家の宝物庫から銀
と金を取り出して、ダマスカスに住む
シリアのベン・ハダド王に送り、こう
言った。3 「私とあなたの間、私の
父とあなたの父上との間には条約があ
ります。銀と金をお送りします。どうか、
イスラエルのバアシャ王との条約を破
棄し、バアシャが私のもとから撤退す
るようしてください。

15:16 *または、「貴婦人」。16:1 *または、「
の防備を固め」、「再建し」。16:2 *または、「宮
殿」。16:3 *または、「契約」。

第15章

(7) 代二 15:2

(1) 格 16:7

(2) 王一 15:9,10

(2) 申 13:6-9

(2) 王一 15:13,14

(2) 王一 14:22,23

王二 14:3,4

王二 23:19,20

(2) 王一 22:43

(2) 王一 8:61

(2) 王一 7:51

王一 15:15

代一 26:26

(2) 代二 14:1

第16章

(2) 王一 15:25,27

(2) ヨシ 18:21,25

(2) 王一 15:17-19

(2) 王一 7:51

(2) 王一 20:1

王二 12:18

王二 16:8

第2欄

(2) 王二 15:29

(1) 裁 18:29

(2) 王一 15:20-22

(2) 王一 15:17

(2) ヨシ 18:21,25

(2) ヨシ 18:21,24

代一 6:60,64

(2) ヨシ 18:21,26

裁 20:1

(2) 王一 16:1

代二 19:2

代二 20:34

(2) エレ 17:5

(2) 代二 14:9,11

詩 37:39,40

(2) ペー 3:12

(2) ゼカ 4:10

(2) 王一 15:32

4 ベン・ハダドはアサ王の言うこと
を聞き入れ、軍隊の長たちをイスラエ
ルの町々に差し向けた。彼らは、イヨ
ン、ダン、アベル・マイム、ナフタリの
町々の全貯蔵所を占領した。5 バ
アシャはそのことを聞いて直ちにラマ
を築くのをやめ、工事を中止した。

6 アサ王はユダの全ての人を集め、
バアシャが建設に使っていたラマの石
材と木材を運ばせた。そして、それを
使ってゲバとミツパを築いた。

7 その時、予見者ハナニがユダのア
サ王のもとに来て、こう言った。「あな
たがシリアの王に頼り、エホバ神に頼
らなかったの、シリアの王の軍勢は
あなたの手から逃れてしまいました。

8 あのエチオピア人とリビア人は、多
くの兵車や騎手を持つ、非常に大きな
軍隊ではなかったでしょう。それで
も、あなたがエホバに頼ったので、神
はあなたが勝たせました。9 エホバ
は、心の全てがご自分に向いている人
の力になろうとして、世界中に目を行
き届かせています。今回の件であなた
は愚かなことをしました。これからあ
なたに対する戦争があります。

10 すると、アサは怒って予見者を
牢屋に入れた。予見者に言われたこ
とに激怒したのである。同じ頃、アサ
は民のほかに人たちにひどい仕打ち

16:5 *または、「の防備を固める」、「再建する」。

16:6 *または、「の防備を固めた」、「再建した」。

16:9 *または、「支え」。16:10 *直訳、「足か
せ台の家」。

をし始めた。11 アサについての記録は、最初から最後まで、ユダとイスラエルの王の書に記されている。

12 アサは治世の第39年に足を病み、ひどく苦しんだ。ところが、彼は病気になるってもエホバに助けを求めず、治療師に頼った。13 アサはやがて死んだ。治世の第41年のことだった。14 彼は、「ダビデの町」に自分のために掘ってあった大きな墓に葬られた。横たえられた台には、バルサム油やさまざまな材料を混ぜた特製の香油がいっぱい入っていた。彼の死を悼んで盛大に火がたかれた。

17 代わりにアサの子エホシャファトが王になり、イスラエルで権力を強めた。2 彼はユダの防備された町全てに軍隊を配置し、ユダの土地と父アサが攻め取ったエフライムの町々に守備隊を置いた。3 エホバはずっとエホシャファトと共にいた。エホシャファトが、父祖ダビデがかつて歩んだ道を歩み、バアルには頼らなかったからである。4 彼は父の神に頼って神のおきてに従い、イスラエルの慣行には従わなかった。5 エホバのおかげでエホシャファトの王国の統治は揺らぐことがなかった。ユダの人は皆、エホシャファトによく贈り物をした。彼の富と栄光は豊かになった。6 彼は意欲的にエホバの道を

16:14 *アサを火葬したわけではなく、香料がたかれたと考えられる。

第16章

(㊦) 王ー 15:23

(㊦) 王ー 15:24

(㊦) サニ 5:7

(㊦) マル 16:1
ルカ 23:55, 56
ヨハ 19:40

第17章

(㊦) 王ー 15:24
王ー 22:41

(㊦) 代二 15:8

(㊦) サニ 8:15

(㊦) 申 4:29
代二 26:1, 5

(㊦) 王ー 12:28-30
王ー 13:33

(㊦) 王ー 9:4, 5
詩 132:12

(㊦) 代二 18:1

第2欄

(㊦) 王ー 22:42, 43

(㊦) 申 7:5

(㊦) 申 33:8, 10
マラ 2:7

(㊦) 申 31:11
ヨシ 1:7, 8
ネヘ 8:7

(㊦) 代二 18:1

(㊦) 代二 14:2, 6

(㊦) 王ー 9:19
代二 8:3, 4

(㊦) 代二 13:3
代二 26:11-13

歩み、高い場所と聖木をユダから取り除いた。

7 治世の第3年、エホシャファトは、ベン・ハイル、オバデヤ、ゼカリヤ、ネタヌエル、ミカヤという高官たちを呼び、ユダの町々で教えさせた。8 シェマヤ、ネタヌヤ、ゼバドヤ、アサエル、シエミラモト、エホナタン、アドニヤ、トビヤ、トブ・アドニヤというレビ族の人たちも同行し、祭司のエリシャマとエホラムも一緒だった。9 彼らはエホバの律法の書を持参し、ユダで教え始めた。ユダの全ての町を回って、民を教えた。

10 ユダの周りのどの王国もエホバからの恐怖に包まれ、エホシャファトと戦おうとはしなかった。11 フィリスティア人はエホシャファトに贈り物をし、貢ぎ物としてお金を持ってきた。アラブ人も雄羊7700匹と雄ヤギ7700匹を持ってきた。

12 エホシャファトはますます勢力を強め、防備された場所や倉庫の町を次々とユダに築いた。13 ユダの町々で大きな事業を展開し、エルサレムには兵士たち、強い戦士たちを有していた。14 彼らは氏族ごとに組分けされていた。ユダからは千人長たちがいて、長であるアドナと強い戦士30万人がいた。15 また、アドナの指揮下に、長であるエホハナンと28万人がいた。16 アドナの指揮下にはさらに、エホバへの奉仕を志願したジ

クリの子アマスヤと強い戦士20万人がいた。17 ベニヤミンからは、強い戦士エルヤダと弓と盾を装備した20万人がいた。18 また、エルヤダの指揮下に、エホザバドと戦いのために武装した18万人がいた。19 王がユダ中の防備された町に配置した人たちに加え、以上の人が王に奉仕した。

18 エホシャファトはこうして豊かな富と栄光を手にしたにもかかわらず、結婚による同盟をアハブと結んだ。2 何年かした後、エホシャファトはサマリアのアハブの所に行った。アハブはエホシャファトの一行のために羊や牛をたくさん犠牲として捧げた。そして、ラモト・ギレアデを攻めに行くようエホシャファトにしきりに勧めた。3 イスラエルのアハブ王はユダのエホシャファト王に言った。「ラモト・ギレアデに私と一緒に行ってくれませんか」。エホシャファトは答えた。「私とあなたは一つです。私の民とあなたの民も一つです。私たちも一緒に戦います」。

4 エホシャファトはさらにイスラエルの王に言った。「まずは、エホバが何と言われるか尋ねてください」。5 イスラエルの王は400人の預言者を集めてこう言った。「ラモト・ギレアデを攻めに行くべきですか。それとも、やめるべきですか」。彼らは言った。

18:2 *または、「を説得した」。

第17章

(例) 創 49:27

(例) 代二 14:8

(例) 代二 11:5,23

第18章

(例) 代二 17:5

(例) 王一 16:28,33
王一 21:25

(例) 王一 22:2-4
代二 19:2

(例) 申 4:41-43
代一 6:77,80

(例) サ二 2:1
王一 22:5,6

第2欄

(例) 王二 3:11

(例) 王一 22:7,8

(例) 王一 18:4
王一 19:9,10

(例) エレ 38:4

(例) 王一 22:9-12

(例) ミカ 3:5

「行くべきです。真の神はそこを王の手に渡してください」。

6 エホシャファトは言った。「ほかにもエホバの預言者はいないのですか。その人を通して尋ねてみましょう」。7 イスラエルの王はエホシャファトに言った。「エホバに尋ねることが出来る人がもう1人いますが、私はその人が嫌いです。私について良いことを預言したことがなく、いつも悪いことを預言するからです。イムラの子ミカヤです」。エホシャファトは言った。「王はそのようなことを言うてはいけません」。

8 イスラエルの王は廷臣を呼んでこう言った。「今すぐ、イムラの子ミカヤを連れてきなさい」。9 イスラエルの王とユダの王エホシャファトは、王の服を着て王座に座っていた。サマリアの門の入り口にある脱穀場で座っていた。預言者たち皆が2人の前で預言していた。10 ケナアナの子ゼデキヤは鉄の角を作って言った。「エホバはこう言っています。『これらの角で、あなたはシリア人を突いて、全滅させる』」。11 ほかの預言者たちも皆、同じように預言した。「ラモト・ギレアデに行くべきです。取り返せます。エホバはそこを王の手に渡してください」。

12 ミカヤを呼びに行った使者はミカヤに言った。「いいですか。預言者たちは口をそろえて王にとって良いこ

とを言っています。あなたも彼らと同じように良いことを話してください。」

13 ミカヤは言った。「生きている神エホバに懸けて誓います。私は神が言われる通りに話します」。**14** ミカヤが王のもとに来ると、王は尋ねた。「ミカヤ、ラモト・ギレアデを攻めに行くべきか。それとも、やめるべきか」。ミカヤはすぐに王に答えた。「行くべきです。取り返せます。彼らは王の手に渡されます」。**15** 王は言った。「何度誓わせたら、あなたはエホバの名によって真実だけを話すようになるのか」。**16** それでミカヤは言った。「私にはイスラエル人皆が、羊飼いのいない羊のように山々に散り散りになっているのが見えました。エホバはこう言いました。『これらの人には主人がない。彼らをそれぞれ家に無事に帰らせなさい』」。

17 イスラエルの王はエホシャファトに言った。「あなたに言いませんでしたか。彼は私について良いことを預言せず、悪いことばかり預言するのです」。

18 ミカヤは言った。「エホバの言葉は聞いてください。私は、エホバが王座に座り、その左右に天の全軍が立っているのを見ました」。**19** エホバはこう言いました。『誰がイスラエルのアハブ王をだましてラモト・ギレアデに行かせ、アハブを倒れさせるか』。ひとりの者があることを言い、ほかの者

第18章

(イ) イザ 30:9,10

(イ) 王一 22:13-17

(イ) エレ 23:28

使徒 20:27

(イ) レビ 26:14,17

民 27:16,17

(イ) 王一 22:18

(イ) イザ 6:1

エゼ 1:26

啓 20:11

(イ) ヨブ 1:6

ダニ 7:9,10

(イ) 王一 22:19-23

第2欄

(イ) 詩 104:4

(イ) イザ 19:14

エゼ 14:9

(イ) 代二 18:10

(イ) 代二 18:7

(イ) エレ 20:2

マル 14:65

(イ) 王一 22:24-

28

(イ) 代二 16:10

使徒 5:18

(イ) 民 16:29

(イ) ヨシ 20:8

王一 22:29-

33

代二 18:2

は別のことを言いました。**20** すると、1人の天使が進み出てエホバの前に立ち、『私がだまします』と言いました。エホバは、『どのようにするのか』と尋ねました。**21** 天使はこう答えました。『私が行って、彼の預言者全てに偽りを語らせませう』。神は、『あなたはいま彼をだませる。行ってそうしなさい』と言いました。**22** こうして、エホバは、天使があなたの預言者たちに偽りを語らせるようにしました。エホバはあなたに災いをもたらすことを宣言したのです」。

23 ケナアナの子ゼデキヤがミカヤに近づいて、頬を打って言った。『私にはエホバの聖なる力によって話すことがもうできず、おまえにはできるというのか』。**24** ミカヤは答えた。「あなたが奥の部屋に入って隠れる日に、そのことがはっきり分かるでしょう」。

25 イスラエルの王は言った。「ミカヤを捕まえて、都市の長アモンと王の子ヨアシュに引き渡せ」。**26** そしてこう言え。『王はこう言っている。「この男を牢屋に入れなさい。私が無事に戻るまで、わずかなパンと水しか与えてはならない』」。**27** ミカヤは言った。『もしあなたが無事に戻るなら、エホバは私に話さなかったことになりませう』。さらにこう言った。『皆さん、よく覚えておいてください』。

28 イスラエルの王とユダの王エホシャファトはラモト・ギレアデに行った。

29 イスラエルの王はエホシャファトに、「私は変装して戦いに行きますが、あなたは王の服を着てください」と言った。それでイスラエルの王は変装した。彼らは戦いに行った。30 シリアの王は兵車隊長たちに、「イスラエルの王だけを狙って戦え。ほかの者とは誰とも戦うな」と命じていた。31 兵車隊長たちはエホシャファトを見るとすぐ、「イスラエルの王だ」と思い、攻め掛かろうとした。エホシャファトは助けを求めて叫んだ。するとエホバ神が彼を助け、直ちに彼らを離れさせた。32 兵車隊長たちは、彼がイスラエルの王ではないことが分かったと、すぐに追うのをやめた。

33 1人の人が特に狙いを定めずに弓を射ると、イスラエルの王のよりの継ぎ目に命中した。王は兵車の乗り手に言った。「向きを変え、私を戦場の外に出してくれ。ひどい傷を負ってしまった」。34 激戦が一日中続き、イスラエルの王はシリア人の方に向いて、夕方まで兵車の中で支えられて立っていた。王は日没の頃に死んだ。

19 ユダのエホシャファト王は無事にエルサレムの家に帰った。2 神からの幻を伝える人ハナニの子エヒウが会いにやって来て、エホシャファト王に言った。「あなたが助け

18:33 *または、「何気なく」。19:1 *または、「宮殿」。

第18章

(7) 出 14:10
代 13:14

(1) 王 22:34,35

(7) 代 2:18,22

第19章

(1) 代 2:18,31,32

(7) 代 2:16,7

(7) 王 16:1

第2欄

(7) 王 21:25

(1) 詩 139:21

(7) 王 14:1,13

(1) 代 2:17,3-6

(7) ヨシ 17:14,15

(7) 代 2:15,8

(7) 申 16:18

(7) 申 1:16,17
詩 82:1

(7) 出 18:21

(7) 創 18:25
申 32:4

(7) 使徒 10:34
ロマ 2:11
ペー 1:17

(7) 申 10:17
申 16:19

(7) 申 17:9
申 21:5
申 25:1

るべきなのは、悪い人でしょうか。愛するべきなのは、エホバを憎む人でしょうか。今回のことで、エホバはあなたに憤っています。3 それでも、あなたに良い点があります。この国から聖木を取り除き、真の神に仕えようと心を整えたからです」。

4 エホシャファトは引き続きエルサレムに住んだ。そして、バエル・シェバからエフライムの山地まで、再び民の中を巡った。民を父祖たちの神エホバのもとに連れ戻すためだった。5 エホシャファトはまた、国中に裁判人を任命した。ユダの防備された町全てに、各町に任命した。6 それから裁判人たちに言った。「自分がすることをよく考えなさい。皆さんは人のためではなくエホバのために裁くからです。判決を下す時、神は皆さんと共にいてくださいます。7 皆さんがエホバを畏れますように。慎重に事を行いなさい。私たちの神エホバには不正や不公平がなく、賄賂を受け取ることもないからです」。

8 エホシャファトは、エルサレムにもレビ族や祭司やイスラエルの氏族長の何人かを任命し、エホバのために裁判人として奉仕させ、エルサレムの住民の訴訟を扱わせた。9 こう命じた。「エホバを畏れつつ、忠実に、心を尽くして、次のことを行いなさい。10 各町に住む皆さんの兄弟が、流血

19:3 *または、「決めた」。

が関わっている案件や、律法やおきてや規定や法規に関する質問を持ってくる時、皆さんは、その人がエホバの前で罪を犯すことがないよう、警告を与えなければなりません。さもないと、神は皆さんとその人に憤るでしょう。罪を負わないよう、警告を与えるべきです。11 エホバに関する件では、祭司長アマルヤが皆さんの監督です。王に関する件では、イシュマエルの子ゼバドヤがユダ族の指導者です。レビ族の人たちが皆さんのために役人として奉仕します。勇気を出し、しっかり取り組んでください。エホバが、正しいことをする人と共にいてくださいますように。

20 その後、モアブ人とアンモン人が、アモニムの一部と共に、エホシャファトと戦おうとしてやって来た。2 エホシャファトにこう報告があった。「海の地方から、エドムから、大軍があなたを攻めに来ています。彼らはハザゾン・タマル、つまりエン・ゲディにいます」。3 エホシャファトは恐れ、エホバに導きを求めると固く決めた。それで彼はユダ全体に断食を呼び掛けた。4 ユダの人々はエホバに尋ねようとして集まった。エホバに相談するため、ユダの全ての町からやって来た。

19:11 *または、「正しいこと」。20:1 *もしかすると、「メウ二人」。20:2 *死海のことと考えられる。20:3 *直訳、「ようと顔を向けた」。

第19章

[7] 申 17:8

[1] マラ 2:7

[7] 代二 15:2

第20章

[2] 裁 3:14

サニ 8:2

詩 83:2,6

[7] 創 19:36-38

[7] ヨシ 15:1

[7] ヨシ 15:20,62

[7] 代二 19:1,3

[7] 申 4:29-31

第2欄

[7] 王一 8:23

マタ 6:9

[1] 代一 29:11

ダニ 4:17

[7] 代一 29:12

イザ 40:15,17

ダニ 4:35

[2] 創 12:7

ネヘ 9:7,8

イザ 41:8

ヤコ 2:23

[7] 代二 2:4

[7] 代二 6:20

[7] 王一 8:33,34

代二 6:28-30

[7] 創 36:8

[7] 民 20:17,18

申 2:5,9,19

[2] 裁 11:23,24

詩 83:2,4

5 エホシャファトはエホバの家の新しい庭の前で、ユダとエルサレムの会衆の中に立ち、6 こう言った。

「私たちの父祖の神エホバ、あなたは天におられる神で、全ての国を治めておられるのではないのでしょうか。あなたの手には力と強さがあり、誰もあなたに立ち向かえません。7 私たちの神よ、あなたはこの地方の住民をご自分の民イスラエルの前から追い払い、ここをあなたの友アブラハムの子孫に与え、ずっとその子孫のものとなるようにしてくださったのではないのでしょうか。8 彼らはここに住み、あなたのため、あなたの名のために聖なる所を建てて、こう言いました。9 『あなたの名がこの家にあるので、私たちは、剣、処罰、疫病、飢饉といった災難を被った時、この家の前、あなたの前に立ち、苦難から助け出してください。10 今、アンモン、モアブ、セイルの山地の人たちがいます。彼らの土地を侵略することを、あなたは、エジプトから出てきたイスラエルにお許しにはなりませんでした。イスラエルは彼らの所から去り、滅ぼすことはしませんでした。11 それにもかかわらず、彼らは私たちを追い出そうとして、あなたから私たちが授かったあなたの土地に入り、恩をあだで返そうとしています。」

12 私たちの神、あなたは彼らを処罰してくださらないのですか。向かってくるこの大軍を前にして、私たちは無力です。どうしたらよいかわかりません。私たちはただあなたを見つめます」。

13 その間、ユダの人は皆、妻も子供も小さな子も、エホバの前で立っていた。

14 会衆の中で、ヤハゼルがエホバの聖なる力を受けた。彼は、アサフの子孫であるレビ族マタヌヤの子エイエルの子ベナヤの子ゼカリヤの子である。15 彼は言った。「ユダの全ての人、エルサレムの住民、エホシャファト王よ、よく聞いてください。エホバは皆さんにこう言っています。『この大軍のことで恐れたりおびえたりしてはならない。これはあなたたちの戦いではなく神の戦いである。16 明日、彼らに向かつていきなさい。彼らはツイツさんどうとおく山道を通してやって来る。あなたたちはエルエルの荒野の前の谷の端で彼らを見つめる。17 あなたたちが戦う必要はない。しっかり立ち、じつとどまつて、あなたたちのためのエホバの救いを見なさい。ユダとエルサレムよ、恐れたりおびえたりしてはならない。明日、彼らに向かつていきなさい。私エホバがあなたたちと共にいる』」。

18 エホシャファトはすぐにひれ伏

20:16 *または、「ワジ」。20:17 *または、「エホバがあなたたちをどのように救うか」。

第20章

(ク) 裁 11:27, 28
詩 7:6

(イ) 王二 6:15, 16

(ク) 代二 14:11
詩 25:15
詩 62:1

(ウ) 申 1:29, 30
ヨシ 11:4, 6
代二 32:7, 8

(イ) イザ 30:15

(ウ) 出 14:13, 14
出 15:2
サー 2:1
代一 16:23
哀 3:26

(ウ) 申 31:8
ヨシ 10:25

(ク) 民 14:9
代二 15:2

第2欄

(ク) 代一 23:12

(イ) 代一 15:16

(ク) 代二 11:5, 6

(ウ) 出 14:31
出 19:9

(ウ) 代一 15:16

(ウ) 出 34:6

(ウ) 裁 7:22
サー 14:20

(ク) 申 2:5

(ク) 出 14:25
エゼ 38:21

(ウ) 代二 20:16

した。ユダ全体とエルサレムの住民も、エホバの前でひれ伏してエホバを崇拜した。19 そして、レビ族であるコハト氏族とコラ氏族の子孫たちが立ち上がり、とても大きな声でイスラエルの神エホバを賛美した。

20 翌朝、彼らは早く起きて、テコアの荒野に出ていった。彼らが出ていく時、エホシャファトは立ち上がって言った。「ユダとエルサレムの住民たち、聞きなさい。エホバ神を信じなさい。そうすれば動じないでいられます。神の預言者たちを信じなさい。そうすれば全てうまくいきます」。

21 エホシャファトは民と相談した後、エホバに向かつて歌う人たちを任命した。聖なる装いをして賛美を捧げる人たちである。彼らは武装した人たちの前を行き、「エホバに感謝せよ。神の揺るぎない愛は永遠に続く」と言った。

22 その人たちが喜びながら歌って賛美し始めると、エホバはユダに侵入してきたアンモン、モアブ、セイルの山地の人たちの不意を打った。それで彼らは討ち合った。23 アンモン人とモアブ人はセイルの山地の住民の方を向いて攻め、滅ぼし尽くした。セイルの住民を全滅させると、今度は互いに討ち合った。

24 ユダが荒野の見張り台の所に

20:20 *または、「耐えられ」、「生き延びられ」。
20:24 *または、「物見の塔」。

来て、軍勢の方を見ると、辺り一面に死体があり、誰一人生き残っていない。25 エホシャファトと民は戦利品を集めにそこに行き、物品や衣服やめばしい品をたくさん見つけ、運べる限りの物を奪った。戦利品は非常に多く、持ち出すのに3日かかった。26 4日目にはベラカの谷に集合した。そこでエホバを賛美するたてだった。それで、その場所はベラカの谷と名づけられ、今に至っている。

27 ユダとエルサレムの人たちは皆、エホシャファトを先頭にして、喜びながらエルサレムに帰った。エホバのおかげで敵に勝利したことを喜んだのである。28 彼らは弦楽器とて琴とラッパを持ってエルサレムに来て、エホバの家にいった。29 周辺のどの王国も、エホバがイスラエルの敵と戦ったことを聞き、神からの恐怖に包まれた。30 そのため、エホシャファトの王国には騒乱がなく、神は引き続き周囲の敵からエホシャファトを守って安心させた。

31 エホシャファトはユダを治め続けた。彼は35歳で王になり、エルサレムで25年治めた。彼の母はアズバといい、シルヒの娘だった。32 彼は父アサと同じ道を歩み続けた。その道からそれず、エホバから見て正しいことを行った。33 しかし高い場所

20:26 *または、「谷あいの平原」。「意味、「祝福」、「賛美」。

第20章

(7) 出 14:30
詩 110:5,6
イザ 37:36

(7) 出 12:35
王二 7:15,16

(7) 出 17:14,15
サ 7:12

(2) サ 2:1
詩 20:5
詩 30:1

(2) サ 2:6,5
代 16:5

(2) 民 10:8
代 13:8
代 29:26

(2) 詩 116:19

(7) 出 15:13,14
ヨシ 9:3,9
代 2:17:10

(7) ヨシ 23:1
サ 2:7:1
代 2:15:15

(2) 王 22:41,42

(2) 王 15:11

(2) 代 2:17:3,4
代 2:19:2,3

第2欄

(7) 王 15:14
王 22:43
代 2:17:1,6

(7) 王 18:21

(7) 代 2:16:7

(2) 王 16:1
代 2:19:2

(2) 王 2:1:2,16

(2) 王 10:22,23

(2) 民 33:1,35
申 2:8
王 9:26

(7) 代 2:19:2
詩 127:1

(7) 王 22:48

第21章

(2) 王 22:50

(2) 代 2:11:5,23

(2) 王 2:8:16

は取り除かれなかった。民は依然として、父祖たちの神に仕えようと心を整えてはいなかった。

34 エホシャファトについてのほかの記録は、最初から最後まで、イスラエルの王の書に載せられているハナニの子エヒウの言葉の中に記されている。35 やがてユダのエホシャファト王は、邪悪なことをしたイスラエルのアハジヤ王と同盟を結んだ。36 アハジヤと提携して、タルシシュ行きの船を造った。エツヨン・ゲベルで造った。

37 ところが、マレシャのドダワフの子エリエゼルがエホシャファトに向かって預言し、「エホバはあなたの事業をしっばい失敗させます。あなたがアハジヤと同盟を結んだからです」と言った。こうして船は難破し、タルシシュには行けなかった。

21 エホシャファトはやがて死に、「ダビデの町」に父祖たちと共に葬られた。代わりにエホシャファトの子エホラムが王になった。2 エホラムの兄弟たち、つまりエホシャファトの子たちは、アザリヤ、エヒエル、ゼカリヤ、アザリヤ、ミカエル、シェファトヤ。これらの人は皆イスラエルのエホシャファト王の子である。3 エホシャファトは息子たちに銀、金、貴重な品々などの多くの贈り物や、ユダの防備さに与えた。彼が長男だったからである。

4 エホラムは父の王国を治め始めると、弟たち全員とイスラエルの高官の何人かを剣で殺し、権力を強めた。

5 エホラムは32歳で王になり、エルサレムで8年治めた。6 彼は、アハブ家の人たちのように、イスラエルの王たちと同じ道を歩んだ。アハブの娘を妻にしたからだ。エホラムはエホバから見て悪いことを行い続けた。

7 それでもエホバは、ダビデと結んだ契約のために、ダビデの家系を滅亡させることは望まなかった。ダビデとその子たちにいつまでも明かりを与えることと約束していたからである。

8 エホラムの時代に、エドムがユダに反抗し、自分たちで王を立てた。

9 それでエホラムと隊長たちは全兵車を率いて向かった。そして夜襲を掛け、周囲のエドム人と兵車隊長たちを打ち破った。10 しかし、エドムは今に至るまでユダに反抗し続けている。同じ頃、リブナも反抗した。エホラムが父祖たちの神エホバを捨て去ったからである。11 またエホラムは、ユダの山地に高い場所を造ってエルサレムの住民を神に不忠実にならせ、ユダを惑わした。

12 やがて、彼のもとに預言者エリヤから次の書面が届いた。「あなたの父祖ダビデの神エホバはこう言っています。『あなたは父エホシャファットの

21:7 *子孫のこと。21:11 *または、「住民に他の神と売春をさせ」。

第21章

〔訳〕裁 9:5,6

〔イ〕王二 8:17-19

〔イ〕王一 14:7,9

ホセ 4:1

〔ロ〕代二 22:2

ネヘ 13:26

〔和〕サニ 23:5

詩 89:20,28

エレ 33:20,21

〔和〕サニ 7:12,16

王一 11:36

詩 132:11

〔和〕創 27:40

〔イ〕王一 22:47

王二 8:20-22

〔イ〕ヨシ 21:13

王二 19:8

〔ロ〕代二 15:2

エレ 2:13

〔和〕申 12:2

〔イ〕王二 2:1,11

〔和〕代二 17:3

第2欄

〔イ〕王一 15:11

代二 14:2,5

〔イ〕王一 16:25,33

〔イ〕王二 9:22

〔和〕出 34:15

エレ 3:8

〔和〕代二 21:4

〔和〕ヨシ 13:1,2

サニ 8:1

〔和〕代二 17:11

〔イ〕王一 11:14

代二 33:11

イザ 10:5

〔イ〕王一 14:25,26

〔ロ〕代二 22:1

〔和〕使徒 12:21-23

〔イ〕代二 16:13,14

エレ 34:4,5

道も、ユダのアサ王の道も歩まなかった。13 イスラエルの王たちの道を歩み、アハブ家の不忠実な行いと同じ行いをユダとエルサレムの住民にさせた。またあなたの父の子であなたより優れた弟たちをさへ殺した。14 それで、私エホバはあなたの民、息子、妻、全ての所有物に大打撃を加えようとしている。15 また、あなたは腸の病氣など多くの病氣に苦しむ。それが日に日に悪化し、腸が出てくるまでになる』。

16 エホバは、エチオピア人の近くにいたフィリステア人とアラブ人がエホラムに対して敵意を抱くようにした。17 それで彼らは無理やりユダを侵略し、王の家の中で見つけた全ての財産を奪い、エホラムの息子や妻たちを連れ去った。エホラムのもとに一番下の息子エホアハズだけが残った。18 こうしたことの後、エホバはエホラムが治らない腸の病氣で苦しむようにした。19 その後丸2年がたった頃、エホラムの腸は病氣のせいで出てきた。彼は病氣にひどく苦しみながら死んだ。父祖たちの時には火がたかれたが、民は彼のために火をたくことをしなかった。20 エホラムは32歳で王になり、エルサレムで8年治めた。彼の死を悼む人は誰も

21:13 *または、「がした他の神との売春」。

21:17 *または、「宮殿」。

*アハジヤとも呼ばれる。

21:19 *火葬したわけではなく、香料がたかれたと考えられる。

いなかった。彼は「ダビデの町」に葬られたが、王たちの墓地には葬られなかった。

22 エルサレムの住民はエホラムの一番下の息子アハジヤを代わりに王にした。アラブ人と共に陣営に来た略奪隊が上の息子たちを全員殺したからだった。エホラムの子アハジヤがユダの王として治め始めた。**2** アハジヤは22歳で王になり、エルサレムで1年治めた。彼の母はアタリヤといい、オムリの孫娘だった。

3 アハジヤもアハブ家と同じ道を歩んだ。邪悪なことを行うよう彼の母が助言したからだった。**4** 彼はアハブ家のように、エホバから見ても悪いことを行い続けた。父の死後、アハブ家のひとたちが助言者となってアハジヤを破滅に至らせたのである。**5** アハジヤは彼らの助言に従い、イスラエルのアハブ王の子エホラムと共にラモト・ギレアデに行って、シリアのハザエル王と戦った。エホラムはそこで弓を射る人たちに撃たれて傷を負った。**6** エホラムは傷を治すためエズレルに帰った。ラマでのシリアのハザエル王との戦いで傷を負わされたからだった。

アハブの子エホラムが負傷していたため、ユダのエホラムの子アハジヤ王

22:1 *21:17の「エホアハズ」と同一人物。
22:6 *ラモト・ギレアデの短縮形。*または、「病気だった」。△一部のヘブライ語写本では、「アザリヤ」。

第21章

㉞王二 2:10

㉞代二 24:24,25
 代二 28:27

第22章

㉞代二 21:16,17

㉞王二 8:24-26

㉞王二 11:1
 王二 11:13,16
 代二 24:7

㉞王二 16:28

㉞王二 16:33
 王二 8:27,28
 ミカ 6:16

㉞王二 22:3
 代二 18:14

㉞王二 8:15
 王二 10:32

㉞ヨシ 19:18,23

㉞王二 9:15

㉞王二 3:1

㉞王二 8:16

第2欄

㉞王二 9:16

㉞王二 19:16
 王二 9:20,21

㉞王二 9:6,7

㉞王二 10:10-14

㉞王二 9:27,28

㉞代二 17:3,4

㉞代二 22:2

㉞王二 11:1-3

㉞王二 11:21

㉞王二 8:16

㉞サニ 7:12,13
 王二 15:4
 代二 21:7

㉞代二 23:1

はエズレルに見舞いに行った。**7** しかし神は、アハジヤがエホラムを訪ねることによって破滅に至るようにした。アハジヤは到着すると、エホラムと共にニムシの孫エヒウに会いに行った。エヒウは、エホバがアハブ家を滅ぼすために選んだ人だった。**8** エヒウはアハブ家の処罰を始めると、ユダの高官たち、アハジヤの兄の息子たち、アハジヤの奉仕者たちを見つけて殺した。**9** それからエヒウはアハジヤを捜した。エヒウの部下たちはサマリアに隠れていたアハジヤを捕らえ、エヒウのもとに連れてきた。そうして彼らはアハジヤを殺した。「彼は心を尽くしてエホバに仕えたエホシャファトの孫です」と言い、葬った。アハジヤの家族には王国を治める力を持つ人は一人もいなかった。

10 アハジヤの母アタリヤは自分の子が死んだのを知り、ユダの王家の子孫を皆滅ぼそうと立ち上がった。

11 しかし、王の娘エホシャブアトは、殺されようとしていた王の子たちの中から、アハジヤの子エホアシュを抱いてひそかに連れ出し、その子と乳母を奥の寝室に入れた。そうしてエホラム王の娘エホシャブアトは、エホアシュをアタリヤに殺されないようかくまった。エホシャブアトは祭司エホヤダの妻で、アハジヤの姉妹である。**12** エ

22:7 *直訳、「油を注いだ」。用語集の「油を注ぐ」参照。

ホアシュは彼らと共に真の神の家に6
年隠れていた。その間、アタリヤが国
を治めていた。

23 7年目に、エホヤダは勇敢に
行動し、百人長たち、すなわ
ちエロハムの子アザリヤ、エホハナン
の子イシュマエル、オベデの子アザリ
ヤ、アダヤの子マアセヤ、ジクリの子エ
リシャファトと合意を結んだ。 **2** 彼ら
はユダ全域を回り、ユダの全ての町か
らレビ族とイスラエルの氏族長たちを
集めてエルサレムに来了。 **3** 会衆
全体は真の神の家で王と契約を結ん
だ。その後、エホヤダはこう言った。

「皆さん、エホバがダビデの子たち
について約束した通り、王の子が治め
ます。 **4** 皆さんにしてもらうことを言
います。次の安息日の当番になってい
る祭司とレビ族のうち3分の1は戸口
番となり、 **5** 3分の1は王の家に、3
分の1は『土台の門』にいるようにし
てください。民は皆、エホバの家の庭
にいるようにしてください。 **6** 祭司
と、奉仕するレビ族以外は、誰もエホ
バの家に入ってははいけません。祭司と
レビ族は聖なる奉仕のために清めら
れているので、入れます。民は皆、エ
ホバからの命令を守らなければなり
ません。 **7** レビ族はそれぞれ武器を
持って、王の周りを固めてください。家
に入る人がいたら、殺さなければなり

23:1 *または、「契約」。 **23:5** *または、「宮
殿」。

第23章

(例) 王二 11:4

(例) 代二 8:14

(例) サ二 5:3

(例) サ二 7:8,12

王一 2:4

王一 9:5

詩 89:20,29

(例) 代一 24:3

(例) 王二 11:5-8

代一 9:22-25

代一 26:1

(例) 王一 7:1

(例) 王一 7:12

(例) 代一 23:28,32

第2欄

(例) 王二 11:9-12

(例) 代一 24:1

代一 26:1

(例) 代一 26:26,27

代二 5:1

(例) サ二 8:7

(例) 王二 11:4

(例) 王二 11:2

(例) 申 17:18

(例) サ一 10:1,24

(例) 王二 11:13-16

(例) 代二 23:1

(例) 王一 1:39,40

ません。王がどこに行く時でも、そば
にいてください」。

8 レビ族とユダ全体は祭司エホヤ
ダに命じられた通りにした。各長が、
その安息日の当番になっている部下
たちに加え、非番の部下たちも連れて
きた。祭司エホヤダが非番の組も務
めに当たらせてからである。 **9** 祭司
エホヤダは、真の神の家にあったダビ
デ王のやりと小盾と円盾を百人長た
ちに渡した。 **10** そして、皆にそれぞ
れ武器を持たせ、家の右側から左側
まで、祭壇や家のそばで、王を囲むよ
うに位置に就かせた。 **11** それから、
王の子は連れ出されて王冠をかぶせ
られ、律法の書を渡され、王となった。
エホヤダとその子たちは彼に油を注
ぎ、「王が栄えますように!」と言った。

12 アタリヤは、民が走る音や王を
賛美する声を聞くと、すぐにエホバの
家にいる民の所に行った。 **13** 彼女
は、王が入り口の柱のそばに立ってい
るのを見た。王の近くには高官たちや
ラッパ奏者たちがいて、民は皆喜び、
ラッパを吹き鳴らし、楽器を持った歌
い手たちが中心になって賛美してい
た。アタリヤは衣服を引き裂き、「謀
反! 謀反だわ!」と叫んだ。 **14** 祭
司エホヤダは、軍勢をまとめる百人

23:10 *または、「投げる武器」。 **23:11** *直訳、
「証し」。*「律法を守ることをお忘れないう、律法
の書が王の頭の上に置かれたのかもしれない。
△用語集の「油を注ぐ」参照。 **23:13** *または、
「賛美の合図を出して」。

長たちを連れてきて、こう言った。「彼女を隊列の中から連れ出さないで。彼女に付いてくる人がいれば、剣で処刑しなさい！」祭司は前もって、「彼女をエホバの家で殺してはなりません」と言っていた。15 それで彼らはアタリヤを取り押さえた。彼女は王の家の「馬の門」の入り口まで連れてこられ、そこですぐに殺された。

16 エホヤダは自分と民全てと王の間の契約を成立させた。彼らが引き続きエホバの民になるという契約である。17 その後、民は皆バアルの家に行ってそこを破壊し、祭壇と像を打ち砕き、バアルの祭司マタンを祭壇の前で殺した。18 それからエホヤダはエホバの家の監督を祭司とレビ族の手に委ねた。それは、ダビデがエホバの家のために組分けした人たちであり、ダビデの指示に沿って歌い、喜びながら、モーセの律法に書かれている通りにエホバの全焼の犠牲を捧げることになっていた。19 エホヤダはまた、エホバの家の門のそばに門番たちを配置し、何かしら汚れた人は誰も入れないようにした。20 そして、百人長や高貴な人々、民を治める人々や民の皆を率いて、エホバの家から出ていく王に付き添った。彼らは上の門を通して王の家に着き、王を王国の王座に座らせた。21 民は皆

23:15,20 *または、「宮殿」。23:17 *または、「神殿」。

第23章

例王二 11:17,18
代二 34:1,31

例王二 10:27,28

例申 12:3

代二 34:1,4

例申 13:5

王一 18:40

例出 29:38

民 28:2

例代一 23:6

代一 23:30,31

例代一 9:26

代一 26:1,13

例王二 11:9

例王一 7:7

例王二 11:19,20

第2欄

第24章

例王二 11:21

例創 21:14

例王二 3:10

王二 12:1

例王二 12:2

例王二 22:3-5

例王二 12:4,5

代二 29:1,3

代二 34:9,10

例王二 12:6

例王二 12:7

例出 30:12-16

例民 1:50

例代二 22:2,3

例代二 28:24

例マル 12:41

例王二 12:9

喜び、都市は平穏だった。アタリヤが剣で殺されたからである。

24 エホアシュは7歳で王になり、エルサレムで40年治めた。

彼の母はツィバヤといい、ベエル・シェバの人だった。2 エホアシュは祭司エホヤダの時代中ずっと、エホバから見て正しいことを行い続けた。3 エホヤダは彼のために2人の妻を選び、彼に息子や娘たちが生まれた。

4 その後、エホアシュはエホバの家を修復することを心から願った。

5 それで祭司とレビ族を集めて言った。「ユダの町々に出掛けていき、毎年神の家を修理するためのお金をイスラエル全体から集めなさい。すぐに行いなさい」。ところが、レビ族はすぐに行わなかった。6 そのため、王は祭司長エホヤダを呼んで言った。「あなたは、エホバに仕えたモーセが命

じた聖なる税金、すなわちイスラエルの会衆の聖なる税金を証しの天幕のためにユダとエルサレムから持ってくるよう、どうしてレビ族に求めているのですか。7 真の神の家はあの邪悪な女アタリヤの子たちに押し入れ、エホバの家の聖なるもの全てがバアルのために使われてしまったのです。8 それから、王の命令により、1つの箱が作られてエホバの家の門の外に置かれた。9 その後、ユダとエルサレム中に布告が出された。真の神に仕えたモーセが荒野でイスラエ

ルに課した聖なる税金をエホバのもとに持ってくるようにとの布告だった。

10 高官たちも民も皆が喜んだ。彼らは寄付を持ってきて箱に入れ、やがて箱はいっぱいになった。

11 引き渡しのため、レビ族が王のもとに箱を持ってきて、お金がたくさん入っているのが分かったと、そのたびに王の秘書官と祭司長の事務官が来て箱を空にし、元の場所に戻した。毎日そのようにされ、多くのお金が集まった。

12 王とエホヤダはそれをエホバの家の奉仕の仕事を監督する人たちに渡すのだった。その人たちはエホバの家を修復するために石切り工と職人を雇った。エホバの家を修理するため、鉄と銅の職人も雇った。

13 こうして監督たちは工事を開始させ、その監督のもと、修理の工事は進んでいった。やがて真の神の家は元通りに修復され、補強された。

14 完了するとすぐ、彼らは残りのお金を王とエホヤダの所に持ってきた。そのお金は、エホバの家のための器具を作るのに使われた。奉仕のための器具、捧げ物を捧げるための器具、杯、金銀の器具である。エホヤダの時代中ずっと、エホバの家で全焼の犠牲がいっつも捧げられた。

15 エホヤダは長生きし、年老いて死んだ。死んだ時、130歳だった。

16 彼は「ダビデの町」に王たちと共に

24:10 *もしかすると、「皆がそうした」。

第24章

出 30:12-16
ネヘ 10:32
マタ 17:24

代一 29:9

王二 12:10

王二 12:11, 12
代二 34:10, 11

出 37:16
民 7:84

民 28:3

第2欄

王一 2:10

代二 23:1

王二 17:13, 14
代二 36:15, 16
エレ 7:25, 26

代二 23:11

申 29:24, 25
代一 28:9
代二 15:2

エレ 11:19

マタ 23:35
ルカ 11:51

創 9:5
詩 94:1
エレ 11:20
ヘブ 10:30

王二 12:17

代二 24:17, 18

に葬られた。真の神と神の家に關してイスラエルで良いことを行ったからである。

17 エホヤダの死後、ユダの高官たちが来て、王にひれ伏した。王は高官たちの言葉に耳を傾けた。

18 民は父祖たちの神エホバの家を捨てて、聖木や偶像を崇拜するようになり、その罪のゆえに神の怒りがユダとエルサレムに向けられた。

19 エホバは彼らをご自分のもとに連れ戻そうとして預言者たちをつかわし続けた。預言者たちは警告し続けたが、彼らは耳を傾けなかった。

20 祭司エホヤダの子ゼカリヤは神の聖なる力を受け、高い位置に立って民にこう言った。「真の神はこう言っています。『あなたたちはどうしてエホバのおきてを破るのか。あなたたちは成功しない。あなたたちがエホバを捨てたので、神もあなたたちを捨てる』」。

21 しかし彼に対して陰謀が企てられ、王の命令により、彼はエホバの家の庭で石打ちにされた。

22 こうして、エホアシュ王はゼカリヤの父エホヤダが示してくれた揺るぎない愛を忘れ、エホヤダの子を殺した。ゼカリヤは死に際にこう言った。「エホバがご覧になって、あなたに責任を問いますように」。

23 年の初め、シリアの軍隊がエホアシュを攻めに来て、ユダとエルサレムに侵入した。彼らは民の高官たち

すべてを殺し、戦利品を全部ダマスカスの王のもとに送った。24 侵入してきたシリアの軍隊は少数で、ユダの軍勢は非常に多かったが、エホバがシリアの軍隊を勝たせた。民が父祖たちの神エホバを捨てたからである。こうしてシリア人がエホアシュを処罰した。

25 シリア人がエホアシュに重傷を負わせて引き揚げると、エホアシュの家来たちは、エホアシュが流した祭司エホヤダの子たちの血のことで、謀反を企て、エホアシュをベッドの上で殺した。こうして彼は死に、「ダビデの町」に葬られたが、わたちの墓地には葬られなかった。

26 謀反を起こしたのは、アンモン人女性シムアトの子ザバドと、モアブ人女性シムリトの子エホザバドだった。27 エホアシュの子たち、エホアシュへの多くの宣告、真の神の家の修復工事、こうしたさまざまなことは、王の書の注釈書に記されている。エホアシュの子アマジャが代わりに王になった。

25 アマジャは25歳で王になり、エルサレムで29年治めた。彼の母はエホアダンといい、エルサレムの人だった。2 アマジャは、心を尽くしてはいなかったものの、エホバから見て正しいことを行い続けた。

24:25 *または、「多くの病」。「または」、「子」。ここで用いられている複数形は、ゼカリヤが優れていることを表しているのかもしれない。

第24章

(例) レビ 26:17, 37
申 32:30

(例) 代二 24:20, 21

(例) 王二 12:20

(例) サ二 5:9
王一 2:10

(例) 代二 21:16, 20
代二 28:27

(例) 王二 12:21

(例) 代二 24:20

(例) 代二 24:13

第25章

(例) 王二 14:1-6

第2欄

(例) 代二 24:26

(例) 申 24:16

(例) サ一 8:11, 12

(例) 民 1:2, 3

(例) 代二 19:2

(例) 代二 14:11
代二 20:6

3 アマジャは王国を権力下に置くことに、王だった父親を殺した家来たちを殺した。4 とはいえ、その家来たちの子は殺さなかった。律法すなわちモーセの書に記されている通りにしたのである。その中でエホバはこう命じている。「父親は子供のゆえに死ぬべきではなく、子供も父親のゆえに死ぬべきではない。人はそれぞれ自分の罪のゆえに死ぬべきである」。

5 アマジャはユダを集め、氏族ごとに、千人長や百人長たちのもとに立たせた。ユダとベニヤミン全体についてそうした。20歳以上の人たちを登録すると、小やりや大盾を扱って兵役に就ける訓練された戦士が30万人いた。6 アマジャはまた、イスラエルから10万人の強い戦士を3.4トンの銀で雇った。7 しかし、真の神に仕える人がやって来て、こう言った。「王よ、イスラエルの軍隊を連れていってはいけません。エホバはイスラエルとは共におられません。エフライム族の誰とも共におられません。8 自分だけで行って、勇敢に戦いなさい。さもないと、真の神はあなたを敵の前で敗北させるでしょう。神には、助ける力も敗北させる力もあるのです」。9 アマジャは真の神に仕える人に言った。「ですが、私がイスラエルの部隊に渡した3.4トンの銀はどうしましょうか。真の神に仕える人は答えた。「エホバはそれ以上のものをあなたに与えること

ができます^(ア)。10 それでアマジヤは、エフライムから来ていた部隊を解散させ、帰らせた。彼らはユダに対して非常な怒りを抱き、怒りに燃えながら自分たちの所に戻った。

11 アマジヤは勇気を奮い起こし、自分の部隊を率いて塩の谷に行き、セイルの人たち1万人を討った。12 また、ユダの人たちは1万人を生け捕りにし、崖のてっぺんに連れていって、そこから突き落とした。彼らは皆、体がばらばらになった。13 アマジヤが戦いに連れていかずに送り返した部隊の隊員たちは、サマリアからベト・ホロンまでの、ユダの町々を襲撃し、3000人を討って多くの物を奪った。

14 アマジヤはエドム人を討って帰ってきた後、持ち帰ったセイルの人たちの神々を自分の神々として立て、その前でひれ伏し、犠牲の煙を立ち上らせるようになった。15 それでエホバはアマジヤに対して非常に怒り、預言者を遣わした。預言者はアマジヤに言った。「自分の民をあなたの手から救えなかった神々に、あなたはなぜ従うのですか」。16 預言者が王に話していると、王は言った。「私たちはあなたを王の顧問官にでもしたのか。もうやめなさい! これ以上話すなら、処刑する」。そこで預言者はやめたが、最後にこう言った。「神はあなたに破滅をもたらすことをお決めになったことが私にはわかります。あなたがこの

第25章

(ア) サー 2:7
格 10:22
ハガ 2:8

(イ) サニ 8:13
詩 60:表題

(ウ) 王ニ 14:7
代ニ 20:10,11

(エ) 代ニ 25:9

(オ) 王一 16:29

(カ) 代ニ 8:3,5

(キ) 出 20:3,5
申 7:25
代ニ 28:22,23

(ク) 代ニ 24:20
詩 115:8
エレ 2:5
エレ 10:5

(ケ) 代ニ 16:10
代ニ 18:25,26

(コ) イザ 30:10

第2欄

(ア) サー 2:25
格 29:1

(イ) 王ニ 14:8-10

(ウ) 代ニ 25:11

(エ) 王ニ 14:11-14

(オ) 代ニ 22:7

(カ) 代ニ 25:14

(キ) ヨシ 21:8,16
サー 6:19

ようなことをし、私の助言を聞かなかったからです。

17 アマジヤは顧問官たちに相談した後、イスラエルの王エヒウの子エホアハズの子エホアシュに人を遣わして、「来い。戦いを交えようではないか」と伝えた。18 イスラエルのエホアシュ王は人を遣わして、ユダのアマジヤ王にこう伝えた。「レバノンのとげ草がレバノンの杉に、『娘さんをむすこつまとして下さい』と伝えた。しかしレバノンの野獣が通り掛かってとげ草を踏みつけた。19 あなたは『エドムを討った』と言って思い上がり、たたえられることを願っている。だが、自分の家にいなさい。どうして災難を招いて、ユダと共に倒れるようなことをするのか。

20 しかしアマジヤは聞き入れなかった。これは真の神から出たことだった。神はアマジヤと民を敵の手に渡そうとしていたのである。アマジヤと民がエドムの神々に従ったからである。21 それでイスラエルのエホアシュ王はやって来た。エホアシュ王とユダのアマジヤ王は、ユダのベト・シメシュで戦いを交えた。22 ユダはイスラエルに打ち破られ、それぞれ自分の家に逃げ帰った。23 イスラエルのエホアシュ王は、エホアハズの子エホアシュの子であるユダのアマジヤ王

25:17 *または、「顔を合わせ」。25:19 *または、「宮殿」。25:23 *アハジヤとも呼ばれる。

をバト・シェメシュで捕まえてエルサレムに連れていった。エホアシュは、エルサレムの城壁を「エフライムの門」から「隅の門」まで180メートルにわたって破壊した。24 そして、真の神の家でオベデ・エドムの管理下にあった金銀や器物類全てと王の家の宝物庫にあった物を奪い、人質を取り、サマリアに帰った。

25 ユダの王エホアシュの子アマジャは、イスラエルの王エホアハズの子エホアシュの死後、15年生きた。

26 アマジャについてのほかの記録は、最初から最後まで、ユダとイスラエルの王の書に記されている。27 アマジャがエホバに従うのをやめた時から、エルサレムでアマジャへの謀反が企てられた。アマジャはラキシュに逃げたが、ラキシュに送られた追っ手たちにより殺された。28 遺体は馬で運んでこられ、父祖たちと共にユダの都市に葬られた。

26 ユダの民は皆、16歳だったウジャを選び、父アマジャの代わりに王にした。2 アマジャ王が死んだ後、ウジャはエロトを再建してユダに取り戻した。3 ウジャは16歳で王にはなり、エルサレムで52年治めた。彼の母はエコルヤといい、エルサレムの人だった。4 ウジャは父アマジャと同じように、エホバから見て正しいことを行い続けた。5 ゼカリヤの時

25:24 *または、「宮殿」。

第25章

〔イ〕ネへ8:16
ネへ12:38,39

〔イ〕代二26:9
エレ31:38
ゼカ14:10

〔イ〕王一7:51
王一15:18
王二24:12,13
王二25:13-15
代二12:9

〔ロ〕王二14:1

〔ロ〕王二13:10

〔ロ〕王二14:17-20

〔イ〕王二12:20
王二15:8,10
王二21:23

第26章

〔イ〕マタ1:8

〔イ〕王二14:21

〔ロ〕王一9:26
王二16:6

〔イ〕王二14:22

〔イ〕イザ1:1
イザ6:1

〔ロ〕王二15:2

〔ロ〕王二14:1,3

第2欄

〔イ〕代二14:7
詩1:2,3

〔イ〕サニ8:1
代二21:16
イザ14:29

〔イ〕代一18:1

〔ロ〕ヨシ15:11,12

〔イ〕ヨシ15:20,46
サ一5:1

〔イ〕代二17:11

〔イ〕創19:36,38
裁11:15

〔イ〕王二14:13
エレ31:38
ゼカ14:10

〔イ〕ネへ3:13

〔ロ〕代二14:2,7

〔イ〕王二9:17

〔イ〕代二24:11

〔イ〕民1:2,3
サニ24:9

代には、真の神を畏れるようゼカリヤに教えられ、ずっと神に仕えた。彼がエホバに仕えた間、真の神は彼を成功させた。

6 ウジャは出ていってフィリスティア人と戦い、ガトの城壁、ヤブネの城壁、アシュドの城壁を破壊した。それから、アシュドの領地とフィリスティア人の領土に町を築いた。7 真の神は引き続き彼を助け、フィリスティア人、

グバルに住むアラビア人、メウニムに立ち向かわせた。8 アンモン人はウジャに貢ぎ物を納めるようになった。彼の名声はやがてエジプトにまで広まった。彼が非常に強くなったからである。9 さらに、ウジャはエルサレムで「隅の門」と「谷の門」と「控えかべ」のそばに塔を建てて、それらに防備を施した。10 また、彼は荒野に塔を建て、多くの水ためを掘った。たくさん

さんの家畜を持っていたからである。シェフェラや平原にも同じようにした。彼は農耕を好んだため、山々やカルメルに農業をする人やブドウの栽培人

たちを抱えていた。

11 ウジャは、戦いに備えた軍隊を持つようになった。軍隊は分隊に組織されて戦いに出掛けた。彼らは、秘書官イエルと役人マアセヤによって数えられて登録され、王に仕える高官の1人ハナニヤの指揮下に置か

26:10 *または、「切り出した」。岩から切り出したと思われる。 *または、「台地」。

れた。12 それら強い戦士たちをまとめた氏族長の総数は、2600人だった。13 彼らの指揮下には、戦いにすぐに行ける兵士が30万7500人いた。敵に立ち向かう王を支援する強力な軍隊である。14 ウジヤは全軍のために、盾、小やり、かぶと、よろい、弓、石投げ器の石を用意した。15 さらに、技術者が考案した兵器をエルサレムで造った。矢や大きな石を飛ばせる兵器で、塔の上や城壁の隅の上に据えられた。こうして彼の名声は遠くにまで広まった。大きな助けを得て、強くなったからである。

16 ところが、ウジヤは強くなるとすぐに心が傲慢になって身を滅ぼした。エホバの神殿に入って香の祭壇で香をたこうとし、エホバ神に対して不忠実なことをしたのである。17 祭司アザリヤとエホバの勇敢な祭司80人が、すぐさまウジヤの後から入っていった。18 彼らはウジヤ王の前に立ちはだかって、言った。「ウジヤ、エホバに香をたくのはあなたがしてよいことではありません！ 香をたいてよいのは祭司だけです。祭司たちはアロンの子孫で、神聖なものとされているからです。この聖なる所から出ていってください。あなたは不忠実なことをしました。そのため、あなたがエホバ神から栄光を与えられることはありません。」

19 しかしウジヤは、香をたくため

第26章

(例) 代二 11:1
代二 13:3
代二 14:8
代二 17:14
代二 25:5

(例) 代二 11:5, 12

(例) サ一 17:4, 5

(例) 裁 20:16
サ一 17:49
代一 12:1, 2

(例) 代二 14:2, 7

(例) 民 1:51

(例) 民 16:39, 40
民 18:7

(例) 出 30:7
代一 23:13

第2欄

(例) 代二 16:10
代二 25:15, 16

(例) 民 12:10
王二 5:27

(例) レビ 13:45, 46
民 5:2
民 12:14, 15

(例) 王二 15:5-7

(例) イザ 1:1
イザ 6:1

(例) 王二 15:32

第27章

(例) イザ 1:1
ホセ 1:1
ミカ 1:1
マタ 1:9

(例) 王二 15:33

(例) 王二 15:34, 35
代二 26:3, 4

(例) 代二 26:16-18

の香炉を手にしたまま、激怒した。祭司たちに怒りをぶつけていると、彼の額に重い皮膚病が現れた。エホバの家の中にいた祭司たちの前、香の祭壇のそばでのことだった。20 祭司長アザリヤと祭司たち皆が見ると、彼の額は重い皮膚病に侵されていた。彼らは急いでウジヤをそこから出そうとし、ウジヤ自身も慌てて出ていった。エホバが彼を打ったのである。

21 ウジヤ王は死ぬ日まで重い皮膚病を患った。重い皮膚病のため、隔離された家に住み続けた。エホバの家から閉め出されたのである。ウジヤの子ヨタムが王の家を治め、民を裁いた。

22 ウジヤについてのほかの記録は、最初から最後まで、アモツの子である預言者イザヤが記した。23 ウジヤはやがて死に、父祖たちと共に葬られた。とはいえ、「重い皮膚病だ」と言われたので、王たちのものだった野原の墓地に葬られた。代わりにウジヤの子ヨタムが王になった。

27 ヨタムは25歳で王になり、エルサレムで16年治めた。彼の母はエルシャといい、ザドクの娘だった。2 ヨタムは父ウジヤと同じように、エホバから見て正しいことを行い続けた。また、エホバの神殿に侵入したりはしなかった。しかし、民は依

26:21 * または、「宮殿」。

歴代第二 27:3-28:10

然として、身を滅ぼすような行動を取って、**3** ヨタムは、エホバの家の「上の門」を建て、オフェルの城壁に多くの建築工事を施した。**4** また、ユダの山地に町々を築き、防備された場所と塔を森林地帯に建てた。**5** 彼はアンモン人の王と戦い、やがて勝利した。その年、アンモン人は銀3.4トン、小麦220万リットル、大麦220万リットルを彼に納めた。アンモン人は2年目にも3年目にもそうした。**6** こうしてヨタムは強くなっていった。エホバ神の道をしっかり歩んだからである。

7 ヨタムについてのほかの記録、さまざまな戦いや行いは、イスラエルとユダの王の書に記されている。**8** 彼は25歳で王になり、エルサレムで16年治めた。**9** ヨタムはやがて死に、「ダビデの町」に葬られた。代わりにヨタムの子アハズが王になった。

28 アハズは20歳で王になり、エルサレムで16年治めた。彼はエホバから見て正しいことを行わず、父祖ダビデのようではなかった。**2** イスラエルの王たちと同じ道を歩み、バアルの金属像を作ることさえした。**3** その上、イスラエル人の前からエホバが追い払った国々の忌まわしい行いをまねて、ヒンノムの谷で犠牲の煙を立ち上らせ、自分の子を火で焼いた。**4** また、高い場所や丘

28:2 *または、「铸造された像」。28:3 *用語集の「ゲヘナ」参照。

第27章

(例) エレ 26:10
(例) 代二 33:1,14
ネヘ 3:26
(例) ヨシ 14:12,13
(例) 代二 11:5
代二 14:2,7
(例) 代二 17:12
(例) 王二 9:17
代二 26:9,10
(例) 裁 11:4
サニ 10:6
代二 20:1
エレ 49:1
(例) 代二 26:8
(例) 王二 15:36
(例) 王二 15:33
(例) サニ 5:9
(例) 王二 15:38

第28章

(例) ホセ 1:1
ミカ 1:1
マタ 1:9
(例) 王二 16:2
(例) 王二 12:26,28
王二 16:33
(例) 出 34:17
(例) 申 12:31
(例) 代二 33:1,6
エレ 7:31

第2欄

(例) イザ 57:4,5
(例) レビ 26:30
(例) 王二 16:5,6
代二 24:24
(例) サニ 8:6
代一 18:5
(例) 王二 15:37
イザ 7:1
(例) 代二 15:2
詩 73:27
(例) 王二 16:23,24
王二 22:51
(例) 裁 2:14
裁 3:8
(例) レビ 25:39,46
代二 8:9

の上、全ての生い茂った木の下で犠牲を捧げたり、犠牲の煙を立ち上らせた
りし続けた。

5 それで、エホバ神はアハズをシリアの王の手に渡した。そのためアハズは打ち破られ、多くの捕虜がダマスカスに連れていかれた。アハズはイスラエルの王の手に渡され、大勢の人が討たれた。**6** 勇敢な者12万人がユダで1日のうちにレマルヤの子ベカハに殺されたのである。ユダが父祖たちの神エホバを捨てたからだだった。**7** さらに、王の子アセヤ、宮殿を任されていたアズリカム、王に次ぐ地位にいたエルカナが、エフライム族の戦士ジクリに殺された。**8** イスラエル人は同胞の中から女性や息子や娘たち20万人を捕らえて連れていき、たくさん物を奪ってサマリアに持っていった。

9 サマリアにはオデドというエホバの預言者がいた。オデドは戻ってきた軍隊の前に出ていき、こう言った。「あなたたちの父祖の神エホバがユダをあなたたちの手に渡したのは、神がユダに対して怒ったからです。それなのに、あなたたちは激しい怒りを抱いて彼らを殺しました。その怒りは天に届きました。**10** 今あなたたちは、ユダとエルサレムの男女を召し使いにしようと考えています。それでも、あなたたちにはエホバ神の前で罪がないの

ですか。11 私の言うことを聞き、同胞の中から連れてきた捕虜を帰しなさい。エホバはあなたたちに対して怒りを燃やしています。

12 そこで、エフライム族の何人かの長、エホハナンの子アザリヤ、メシレモトの子ベレクヤ、シャルムの子エヒズキヤ、ハドライの子アマサが、戦いから帰ってきた人たちに向かって立ち、13 言った。「捕虜を連れてきてはなりません。連れてくるなら、私たちはエホバの前で罪を負うことになります。あなたたちがしようとしているのは、私たちの罪と過ちを増やすことです。私たちの過ちはすでに多く、神はイスラエルに対して怒りを燃やしているのです。」14 それで、武装した兵士たちは捕虜と略奪品を高官たちと会衆全体に渡した。15 そして、指名された人たちが立ち上がって、捕虜を引き取り、裸の人には戦利品から衣服を取って与えた。衣服を着せ、サンダル、食べ物や飲み物、肌に塗る油も渡した。さらに、弱っていた人たちを口ばに乗せてやり、捕虜全員をヤシの木の町エリコきようだいの兄弟たちの所に連れていった。そうした後、サマリアに帰った。

16 その頃、アハズ王はアッシリアの王たちに助けを求めた。17 また、エドム人が再び侵入してきてユダを攻撃し、捕虜を連れ去った。18 さらに、フィリスティア人がユダのシェフェラじんとネゲブの町々を襲撃し、ベト・シェ

第28章

(7) 代二 28:8

(7) 王二 16:7,8
イザ 7:10-12

(7) 代二 26:1,6

(7) 代二 26:10

第2欄

(7) ヨシ 15:10,12

(7) 代二 11:10

(7) 裁 14:1

(7) 王二 15:29
王二 16:7,8
代一 5:26(7) 王二 17:5
イザ 7:20(7) 王二 18:15,16
代二 12:9

(7) エレ 44:18

(7) 王二 16:10-13
代二 25:14

(7) 王二 16:17

(7) 王一 6:33,34
代二 29:7(7) 王一 14:22,23
王二 15:32,35
代二 21:5,11
代二 33:1,3

メシュ、アヤロン、ゲデロト、ソコと周辺の町、ティムナと周辺の町、ギムズと周辺の町を攻め取って、そこに住んだ。

19 イスラエルのアハズ王のことで、エホバがユダを卑しめたのだった。アハズがユダを野放しにし、エホバに対して極めて不忠実にならせたからである。

20 やがてアッシリアのティルガト・ビルネセル王がやって来たが、アハズを助けるのではなく、かえって苦しめた。21 アハズはエホバの家と王の家と高官たちの家から物を取って、アッシリアの王に贈り物をしたが、それは何の助けにもならなかった。22 アハズ王は苦しいさなか、ますますエホバに不忠実なことを行った。23 彼は、「シリアの王たちの神々は王たちを助けているから、私もその神々に犠牲を捧げよう。きっと助けてくれるだろう」と言って、自分を打ち破ったダマスカスの神々に犠牲を捧げるようになった。しかし、彼にとってもイスラエル全体にとっても、その神々は没落の原因となった。24 アハズはその上、真の神の家の器具を集めた。そしてそれらの器具を打ち砕き、エホバの家の扉を閉じ、自分のためにエルサレムの全ての街角に祭壇を作った。25 ユダの全ての町に、ほかの神々のために犠牲の煙を立ち上らせる高い場所を造り、父祖たちの神エホバを怒らせた。

28:21 *または、「宮殿」。

26 アハズについてのほかの記録、さまざまな行いは、最初から最後まで、ユダとイスラエルの王の書に記されている。27 アハズはやがて死に、エルサレムの町に葬られた。イスラエルの王たちの墓地には葬られなかった。代わりにアハズの子ヒゼキヤが王になった。

29 ヒゼキヤは25歳で王になり、エルサレムで29年治めた。

彼の母はアビヤといい、ゼカリヤの娘だった。2 ヒゼキヤは父祖ダビデと同じように、エホバから見て正しいことを行いつづけた。3 彼は治世の第1年の第1の月に、エホバの家の扉を開いて修理した。4 それから、祭司とレビ族を呼び寄せ、東の広場に集めた。5 そして言った。「レビ族の皆さん、聞いてください。今、自分を神聖なものとし、皆さんの父祖の神エホバの家を神聖なものとし、聖なる場所から汚れたものを取り除きなさい。6 私たちの父たちは不忠実で、エホバ神から見て悪いことを行いました。神を捨てて、エホバの幕屋から顔を背け、神に背を向けました。7 彼らは神殿の玄関の扉を閉じ、ランプを消しました。香をたくのをやめ、聖なる場所ですイスラエルの神に全焼の犠牲を捧げるのもやめました。8 それで、エホバはユダとエルサレムに憤って災難をもたらし、彼らについて見聞きした人が恐怖を抱き、驚き、口笛を

第28章

(例) 王二 16:19
(イ) 代二 21:16, 20
代二 33:20

第29章

(例) イザ 1:1
ホセ 1:1
マタ 1:10

(イ) 王二 18:1, 2

(例) 王一 15:5
王二 18:3

(例) 代二 31:20

(例) 王一 6:33, 34
代二 28:24

(例) 代一 15:11, 12

(例) 王二 18:4

(例) 代二 28:22, 23
エレ 44:21

(例) エレ 2:27
エゼ 8:16

(イ) 王一 6:33, 34

(例) レビ 24:2

(例) 出 30:8

(例) 出 29:38

(例) 代二 24:18

第2欄

(例) レビ 26:32
申 28:15, 25

(例) レビ 26:14, 17

(例) 代二 28:5-8

(例) 代二 15:10-13

(例) 民 3:6
申 10:8

(例) 代一 23:13

(例) 民 4:2, 3
代一 23:12

(例) 代一 23:21

(例) 代一 23:7

(例) 代一 15:16, 17
代一 25:1, 2

(例) 代一 25:5

(例) 代一 25:1

(例) 代二 29:5

(例) 王一 6:36

吹くようにしました。皆さんが自分の目で見ています。9 そのため、父祖たちは剣によって倒れ、私たちの息子や娘や妻は捕らえられました。10 私は今、神に燃える怒りを静めていただくため、イスラエルの神エホバと契約を結ぶことを心から願っています。11 私の兄弟たち、今は務めを怠る時ではありません。エホバは皆さんを、ご自分の前に立たせ、奉仕者として仕えさせ、犠牲を焼いて煙にさせるために選んだのです。

12 そこで、レビ族は立ち上がった。コハト氏族ではアマサイの子マハトとアザリヤの子ヨエル、メラリ氏族からはアブディの子キシユとエハレルエルの子アザリヤ、ゲルシオン氏族からはジマの子ヨアハとヨアハの子エデン、13 エリザパンの子孫からはシムリとエウエル、アサフの子孫からはゼカリヤとマタヌヤ、14 ヘマンの子孫からはエヒエルとシムイ、エドトンの子孫からはシェマヤとウジェルである。15 彼らは自分の兄弟たちを集め、自分たちを神聖なものにし、エホバの言葉に沿った王の命令の通り、エホバの家を清めに行った。16 祭司たちはエホバの家に入ってそこを清め、エホバの神殿にあった汚れたものを全部出し、エホバの家の庭に持っていく。レビ族はそれを受け取り、外のキ

29:8 *または、「あざける」。29:11 *または、「今は休む」。

デロンの谷に運んだ。17 このよう
にして、彼らは神聖なものとすることを
第1の月の1日に始め、その月の8日
にエホバの玄闕に達した。エホバの
家は8日間にわたって神聖なものとし、
第1の月の16日に完了した。

18 その後、彼らはヒゼキヤ王の所
に入ってきて言った。「エホバの家全
たい、全焼の捧げ物の祭壇とその器具
すべて、重ねのパンの食卓とその器具全
てを清めました。19 また、アハズ王
が治世中に不忠実にも投げ捨てた器
具を全て整えて、神聖なものとしまし
た。それらはエホバの祭壇の前にあ
ります」。

20 ヒゼキヤ王は早く起きて、都市
の高官たちを集めた。彼らはエホバ
の家の上っていった。21 彼らは王
国と聖なる所とユダのために罪の捧
げ物として雄牛7頭、雄羊7匹、雄の子
羊7匹、雄ヤギ7匹を連れてきた。王
はそれらをエホバの祭壇で捧げよう
祭司であるアロンの子孫に命じた。

22 それで牛がほふられ、祭司たちは
その血を取って祭壇に振り掛けた。そ
の後、雄羊をほふり、その血を祭壇に
振り掛けた。また、雄の子羊をほふり、
その血を祭壇に振り掛けた。23 そ
れから、王と会衆の前に罪の捧げ物
の雄ヤギを連れてきて、その上に手を
置いた。24 祭司たちはそれらをほ

29:18 *供えのパンのこと。 29:22 *または、
「殺され」。

第29章

〔ワ〕王二 23:4,6
代二 15:16
ヨハ 18:1

〔イ〕王一 6:3
代一 28:11

〔ワ〕代二 4:1

〔タ〕王一 7:40

〔ワ〕王一 7:48

〔ワ〕代二 28:1,2
代二 28:24

〔タ〕代二 29:5

〔ワ〕レビ 4:3
レビ 4:13,14
民 15:22-24

〔ワ〕レビ 4:4

〔タ〕レビ 4:7,18

第2欄

〔ワ〕代一 28:12,13
代二 8:12,14

〔イ〕サニ 24:11,12
代一 29:29

〔ワ〕サニ 7:2
サニ 12:1

〔タ〕代一 25:1,6
代二 9:11

〔ワ〕民 10:8
代一 15:24

〔ワ〕レビ 1:3,4

〔タ〕サニ 23:1

〔ワ〕代一 16:7

ふって罪の捧げ物とし、その血を祭壇
に付けて、イスラエル全体のために贖
罪を行った。全焼の捧げ物と罪の捧
げ物をイスラエル全体のためのもの
にするようにと王が言ったからである。

25 その間にヒゼキヤは、ダビデ、
王に神からの幻を伝える人ガド、預言
者ナタンの命令に従って、レビ族にシ
ンバルと弦楽器とたて琴を持たせ、エ
ホバの家に立たせた。その命令はエ
ホバが預言者たちを通して与えたも
のだった。26 こうして、レビ族はダ
ビデの楽器を持って、祭司たちはラッ
パを持って立った。

27 ヒゼキヤは全焼の犠牲を祭壇
で捧げようと命じた。全焼の捧げ
物が捧げ始められると、エホバへの
歌が始まり、イスラエルのダビデ王の
楽器に合わせてラッパも鳴り始めた。

28 歌が歌われ、ラッパが鳴り響く
中、会衆全体はひれ伏していた。全ては、
全焼の捧げ物が捧げ終わるまで続い
た。29 捧げ物が捧げ終わると、王
と、共にいた人たちは皆、身をかがめ
てひれ伏した。30 ヒゼキヤ王と高
官たちは、ダビデの詩や神からの幻を
伝える人アサフの詩でエホバを賛美
するようにとレビ族に告げた。それで

彼らは非常に喜びながら賛美を捧げ、
身をかがめてひれ伏した。

31 ヒゼキヤは言った。「皆さんは
エホバのために取り分けられました。
エホバの家に犠牲と感謝の捧げ物を

も 持つてきなさい」。それで会衆は犠牲
 感謝の捧げ物を持ってきた。心か
 ら進んで行う人は皆、全焼の捧げ物
 を持つてきた。32 会衆が持つてきた
 全焼の捧げ物の数は、牛70頭、雄羊
 100匹、雄の子羊200匹だった。これ
 らは全てエホバへの全焼の捧げ物で
 ある。33 また、聖なる捧げ物は、牛
 600頭、羊3000匹だった。34 しか
 し全ての全焼の捧げ物の皮を剥ぐに
 は祭司が足りなかったの、ほかの祭
 司たちが自分を神聖なものとするま
 で、兄弟であるレビ族が手伝い、仕事
 を終わらせた。レビ族は、自分を神聖
 なものとするに祭司よりも高い意
 識を持つていたのである。35 多くの
 全焼の捧げ物に加え、其食の犠牲の
 脂肪の部分、全焼の捧げ物のための
 飲み物の捧げ物があった。こうしてエ
 ホバの家での奉仕は再確立された。
 36 ヒゼキヤと全ての民は、真の神が
 民のために確立してくださった事柄を
 喜んだ。全てがあつという間に行われ
 たからである。

30 ヒゼキヤはイスラエル全体と
 ユダに知らせを送り、エフラ
 イムとマナセにも手紙を書き、エルサ
 レムにあるエホバの家に来てイスラエ
 ルの神エホバのために過ぎ越しを執
 行するように勧めた。2 とはいえ、王
 と高官たちとエルサレムの会衆全体
 は、過ぎ越しを第2の月に執り行うこと

29:35 *または、「整えられた」。

第29章

(例) レビ 1:3
 (例) 王 3:4
 王 8:63
 代 29:21,22
 (例) 代 2 30:2,3
 (例) 民 8:19
 代 2 30:17
 代 2 35:10,11
 (例) 代 2 29:32
 (例) レビ 3:1
 レビ 3:14-16
 (例) 民 15:5
 (例) 代 2 30:12

第30章

(例) 代 2 11:14,16
 (例) 代 2 34:1,6,7
 (例) 出 12:43
 レビ 23:5
 申 16:2
 代 2 35:1

第2欄

(例) 民 9:10,11
 (例) 代 2 29:34
 (例) 出 12:18
 (例) 裁 18:29
 (例) 代 2 35:18
 (例) 王 2 15:29
 代 1 5:26
 代 2 28:20,21
 (例) 代 2 29:8,9

(例) 出 32:9

にした。3 自分を神聖なものとした
 祭司の数が十分ではなく、民もエルサ
 レムに集まっていなかったため、通常
 の時に執り行うことができなかったの
 である。4 この決定は、王にとっても
 会衆全体にとっても、正しいと思えるも
 のだった。5 それで彼らは、ベエル・
 シェバからダンまで、イスラエル中に
 知らせを出すことにした。エルサレム
 に来てイスラエルの神エホバのため
 に過ぎ越しを執り行うようにとの知ら
 せだった。律法通りに集団として執り
 行うことがなされていなかったからで
 ある。

6 急使たちが王と高官たちからの
 手紙を持って、イスラエル全体とユダ
 の至る所に行き、王に命じられた通
 り、こう言った。「イスラエルの人た
 ち、アブラハムとイサクとイスラエ
 ルの神エホバのもとに戻ってください
 ね。そうすれば、アッシリアの王たちか
 ら逃れて残った皆さんのもとに神は
 戻ってきてくださるでしょう。7 皆さ
 んの父祖や兄弟たちのようになつては
 いけません。彼らは父祖たちの神エ
 ホバに不忠実なことをしました。その
 ため、神は災難をもたらし、彼らにつ
 いて見聞きした人たちが恐怖を抱くよ
 うにしました。皆さんも見ている通り
 です。8 父祖たちのように強情に
 なつてはいけません。エホバに従い、
 神が永遠に神聖なものとした聖な

30:6 *直訳、「走者」。

る所に来て、エホバ神に仕えてくださ
い。そうすれば、神は燃える怒りを静
めてくださるでしょう。9 皆さんがエ
ホバのもとに戻るなら、捕らわれてい
る兄弟や子たちは、敵たちから憐れみ
を示され、この国に帰るのを許されま
す。エホバ神は思いやりがあって憐れ
み深い方です。皆さんが神のもとに戻
るなら、神は皆さんから顔を背けたり
はされません」。

10 急使たちはエフライムとマナセ
の土地を町から町へと巡り、ゼブルン
にまで行ったが、人々から笑いものに
され、あざけられた。11 しかし、ア
シェルとマナセとゼブルンのある人た
ちは謙遜になり、エルサレムに came。
12 真の神の手はユダにも及んで人々
を一つにし、エホバの言葉に治った
王と高官たちの命令を実行するよう助
けた。

13 第2の月、無酵母パンの祭りを
行おうとして、大勢の民がエルサレム
に集まった。非常に大きな会衆になっ
た。14 彼らは立ち上がって、エルサ
レムにあった祭壇を取り除いた。香の
祭壇も全て取り除き、キデロンの谷に
投げ捨てた。15 それから、第2の月
の14日に過ぎ越しの犠牲をほふった。
祭司とレビ族は恥ずかしく思い、自分
を神聖なものとして、全焼の捧げ物を
エホバの家に持ってきた。16 そし

30:9 *または、「慈しみ」。 30:10 *直訳、「走
者」。

第30章

(ア) 申12:5,6
詩132:13
(イ) 代二29:10
(ウ) 王一8:49,50
(エ) 申30:1-3
(オ) 出34:6
詩86:5
ミカ7:18
(カ) 代二15:2
イザ55:7
ヤコ4:8

(ケ) 代二30:1
(コ) 代二36:15,16
(ク) 代二11:14,16
(コ) 民9:10,11
(ケ) レビ23:6
(セ) 王二18:22
(ス) 代二28:24

第2欄

(ア) レビ1:5
(イ) 代二29:34
(ウ) 代二30:1
(エ) 詩86:5
(オ) 民9:6,10
(カ) 代二19:2,3
エズ7:10
(ケ) 申12:5,7
ネへ8:10
(コ) レビ23:6
(ク) 代二29:25
(コ) レビ3:1
(ウ) レビ23:6

て、真の神に仕えたモーセの律法に
従って通例の位置に就いた。祭司た
ちはレビ族の手から受け取った血を
振り掛けた。17 会衆の中には、自
分を神聖なものとしていなかった人
が多くいた。レビ族は清くない人全
てのために過ぎ越しの犠牲をほふる
役目をし、その人たちをエホバのため
に神聖なものとした。18 民の多く
は、特にエフライムとマナセとイッ
サカルとゼブルンから来た人たちは
自分を清めていなかった。それでも彼
らは、記されていることに反して、過
ぎ越しの物を食べた。だが、ヒゼキヤ
は彼らのためにこう祈った。「善い方
であるエホバ、お許しくださいませよ
うに。19 彼らは神聖さにかなうよう
に自分を清めてはいませんが、皆、真
の神、父祖たちの神エホバに仕えよう
と心を整えています。20 エホバは
ヒゼキヤの願いを聞き入れ、民を許
した。

21 こうして、エルサレムにいたイス
ラエル人は非常に喜びながら無酵母
パンの祭りを7日間行った。レビ族
と祭司たちはエホバに向かって楽器
を大きく響かせ、毎日エホバを賛美し
た。22 ヒゼキヤは、エホバに思慮
深く仕えていたレビ族の皆に語り掛
け、励ました。民は共食の犠牲を捧げ、
父祖たちの神エホバに感謝しながら、
祭りの7日間にわたって食べた。

23 会衆全体は祭りをもう7日間行

うことに決めた。それで喜びながらも
 う7日間行った。24 ユダのヒゼキヤ
 王は会衆のために雄牛1000頭と羊
 7000匹を寄進し、高官たちも会衆の
 ために雄牛1000頭と羊1万匹を寄進
 した。多くの祭司が自分を神聖なもの
 とした。25 ユダの会衆全体、
 レビ族、イスラエルから来た会衆全体、
 イスラエルの土地から来た外国人居
 住者、ユダに住んでいる外国人居住
 者は喜び続けた。26 エルサレムは
 大きな喜びに包まれた。イスラエル
 の王ダビデの子ソロモンの時代以降、
 エルサレムでこのようなことは行われ
 ていなかったからである。27 レビ族
 の祭司たちは立ち上がって、民のため
 に祝福を願ひ求めた。神はその声を
 聞き、その祈りは神の聖なる住まいで
 ある天に届いた。

31 こうしたことが終わると、そこ
 にはイスラエル人は皆ユ
 ダの町々に出ていった。ユダとベニヤ
 ミンの全土、またエフライムとマナセ
 の、聖柱を打ち砕き、聖木を切り倒し、
 高い場所と祭壇を取り壊した。それら
 を完全に破壊し、その後、イスラエル
 人は皆、自分の町、自分の所有地に
 帰った。

2 ヒゼキヤは祭司とレビ族をそれ
 ぞれ組分けし、奉仕に当たらせた。彼
 らは全焼の捧げ物と共食の犠牲を捧
 げ、エホバの庭の門で奉仕し、感謝と

第30章

[例] 王一 8:65

[例] 代二 35:7,8

[例] 代二 29:34

[例] 代二 30:11,18

[例] 出 12:49

[例] 王一 8:65,66

[例] 民 6:23-26

申 10:8

第31章

[例] 代二 30:1,18

[例] 出 23:24

[例] 申 7:5

王二 18:1,4

代二 14:2,3

代二 34:1,3

[例] 申 12:2

[例] 代二 23:16,17

[例] 代一 24:1

[例] 代一 23:6

[例] 代二 8:14

第2欄

[例] 代一 23:13

代一 23:27-

30

[例] 代二 30:24

[例] 出 29:39

[例] 民 28:9

[例] 民 10:10

[例] 申 16:16

[例] 民 18:21

ネへ 10:38,39

[例] 民 18:12

[例] 出 22:29

出 23:19

ネへ 10:37

[例] 格 3:9

[例] レビ 27:30

申 14:28

[例] レビ 23:16

[例] レビ 23:24

[例] 民 18:8

さん び ささ [例] おう ざいさん いち ぶ
 賛美を捧げた。3 王の財産の一部
 が全焼の捧げ物のために出された。
 エホバの律法に書かれていて朝と夕
 方の捧げ物や安息日と新月と祭りの
 時期の全焼の捧げ物のためにである。

4 さらにヒゼキヤはエルサレムに
 住民に、祭司とレビ族の分を納める
 よう命じた。エホバの律法を固く守れ
 るようにするためだった。5 命令が
 出されるとすぐに、イスラエル人は穀
 物や新しいぶどう酒や油や蜜の初物、
 土地のあらゆる産物の初物を大量に
 納めた。全ての物の10分の1をふん
 だんに持ってきたのである。6 ユダ
 の町々に住むイスラエルの民とユダ
 の民も、牛や羊の10分の1、エホバ
 神のために神聖なものとされた聖な
 るものの10分の1を持ってきた。そ
 れらを持ってきて、積み上げて幾つ
 もの山にした。7 寄進物を第3の月
 に積み上げ始め、第7の月に完了し
 た。8 ヒゼキヤと高官たちはやって
 来て、積まれた山を見ると、エホバを
 賛美し、神の民イスラエルのために祝
 福を願ひ求めた。

9 ヒゼキヤは積まれた山について
 祭司とレビ族に尋ねた。10 すると、
 ザドクの家系の祭司長アザリヤが
 言った。「寄進物がエホバの家に持っ
 てこられるようになってから、民は満足
 するまで食べており、しかもたくさん
 の物が余っています。エホバが民を祝

31:4 * または、「に専念できる」。

ふく 福してくださったのです。残^{のこ}っている物^{もの}はこんなに多くあります」。

11 ヒゼキヤはエホバの家の貯蔵^{いへ ちようぞう}室^{しつ}を整^{ととの}えるようにと言^いった。それでそこは整えられた。**12** 寄進物^{きしんぶつ}と10分の1と聖なるものが忠実^{しゅうじ}に運び込まれていった。監督^{かんとく}としてレビ族^{しよく}のコナヌヤがこうした事柄^{ことがぜんたい}全体^うを受け持ち、兄弟^{けい}のシムイが補佐^{ほさ}だった。**13** ヒゼキヤ王^{おう}の命令^{めいれい}により、エヒエル、アザズヤ、ナハト、アサエル、エリモト、ヨザバド、エリエル、イスマクヤ、マハト、ベナヤが事務官^{じむかん}として、コナヌヤと兄弟^{きょうだい}のシムイの下で働いた。アザリヤは真^{しん}の神^{かみ}の家の監督^{いへ かんとく}だった。**14** レビ族^{しよく}のイムナの子コレは東側^{ひがしがわ}の門番^{もんばん}で、真^{しん}の神^{かみ}への自発^{じはつてき}的な捧げ物^{ささ}を受け持ち、エホバへの寄進物^{きしんぶつ}と極めて聖なるもの^{せい}を分配^{ぶんぱい}した。**15** コレの指揮^{しき}下^かには、エデン、ミヌヤミン、エシュア、シェマヤ、アマルヤ、シェカヌヤがいて、祭司^{さいし}の町々^{まちまち}で責任^{せきにん}ある職務^{しよくむ}に就き、各組^{かくぐみ}の兄弟^{けい}たちに年齢^{ねんれい}に関わりなくひとしく分配^{ぶんぱい}した。**16** これは、毎日^{まいにち}エホバの家に来て仕え、自分の組^{ぐみ}での務^{つと}めを果たす人^{ひと}たち、家系^{かけい}の記録^{きらく}に載せられている3歳^{さいじよう}以上の男性^{だんせい}への分配^{ぶんぱい}とは別^{べつ}になされるものだった。

17 祭司^{さいし}は氏族^{しよく}ごとに家系^{かけい}の記録^{きらく}に載^のせられた。**20** 歳^{さい}以上のレビ族^{しよく}は各組^{かくぐみ}の務^{つと}めごとに家系^{かけい}の記録^{きらく}に載せられた。**18** 家系^{かけい}の記録^{きらく}には、彼ら

第31章

〔マラ 3:10〕

〔イ〕ネヘ 10:38,39
ネヘ 12:44

〔ウ〕レビ 27:30
申 14:28

〔ロ〕代一 26:17,19

〔カ〕申 12:5,6
申 16:10

〔コ〕民 18:8

〔ケ〕レビ 2:10
レビ 7:1

〔ク〕ヨシ 21:19

〔コ〕代一 24:1

〔コ〕代一 24:4

〔ウ〕民 4:2,3
民 8:24
代一 23:24

〔ロ〕代一 23:6

第2欄

〔ウ〕レビ 25:33,34
民 35:2
ヨシ 21:13

〔イ〕代二 29:35

第32章

〔コ〕代二 31:20

〔ウ〕王二 18:7,13
イザ 36:1

〔ウ〕王二 20:20

つま 妻、むすこ 息子や娘、むすめ おさな 幼い子供、おかしゅうぜん 会衆
たい 夫、ふく 妻、かれ 彼ら、せきにん 責任ある職務
に就いていて、聖なることのために自分^{じぶん}をいつも神聖^{しんせい}なものとしていたからである。**19** 家系^{かけい}の記録^{きらく}には、祭司^{さいし}の町々^{まちまち}の周りに住む祭司^{さいし}、アロンの子孫^{そん}も含まれた。どの町^{まち}でも、指名^{しめい}された人^{ひと}たちが、祭司^{さいし}の家族^{かぞく}の男性^{だんせい}全員^{ぜんいん}と、レビ族^{しよく}の家系^{かぞく}の記録^{きらく}に載せられたひと全員^{ひとぜんいん}に分配^{ぶんぱい}をした。

20 ヒゼキヤはこうしたことをユダ全土^{ぜんど}で実施^{じっし}し、エホバ神^{かみ}の前^{まえ}で、よく正しく、忠実^{しゅうじ}なことを行い続けた。

21 真^{しん}の神^{かみ}の家^{いへ}での奉仕^{ほうし}に関してであれ、律法^{りっぽう}やおきてに関してであれ、神^{かみ}への崇拜^{すうはい}のために取り掛かった全^{すべ}ての仕事^{しごと}を心^{こころ}を尽くして行い、成功^{せいこう}をおさ収めた。

32 ヒゼキヤが忠実^{しゅうじ}にこうしたことを行^{おこな}った後^{のち}、アッシリアのセナケリブ王^{おう}がやって来て、ユダに侵入^{しんにゆう}した。セナケリブは防備^{ぼうび}された町々^{まちまち}を突撃^{とつげき}して攻め取ろうとして、包圍^{せと}した。

2 ヒゼキヤは、セナケリブが来てエルサレムに戦^{たたか}いを仕掛けようともくろんでいるのを知り、**3** 高官^{こうかん}や戦士^{せんし}たち^いに相談^{そうだん}して、都市^{とし}の外^{そと}にある泉^{いずみ}の水^{みづ}を止めることに決めた。皆^{みな}、王^{おう}に協力^{きやうりき}した。**4** 多くの民^{おほく}が集^{あつ}まり、「アッシリアの王^{おう}たちが来て、豊富^{ほうふ}な水^{みづ}を見

つけることがあってはいけない」と
い^いすべ^{すべ}いずみ^{いずみ}と^とち^ちなが^{なが}
言^いて、全ての泉をふさぎ、土地を流れ
る水^{みづ}を止めた。

5 さらにヒゼキヤは強^{つよ}いし^い志^しを
持^もって、崩^{くず}れた城^{じょう}壁^{へき}を全部^{ぜんぶ}建^たて直^{なお}し、
そ^その^{うえ}上^{とう}に^と塔^たを^そ建^たてた。そ^そして^そ外^{そと}側^{がわ}にも
う^う1^{いち}つ^つ城^{じょう}壁^{へき}を^{つく}造^{つく}った。「ダビデの町」の
塚^{つか}も^{つか}修^{しゅう}復^{ふく}し、武^ぶ器^きと盾^{たて}を^{つく}た^{つく}くさん^{さん}作^{つく}
た。6 それから、民^{たみ}を^{あつ}ま^{あつ}と^{あつ}め^{あつ}る^{あつ}軍^{ぐん}隊^{たい}
長^{ちやう}たち^{ちやう}を^{にんめい}任^{にん}命^{めい}し、都^と市^しの^{もん}門^{もん}の^{ひろば}広^{ひろ}場^ばに^{あつ}集^{あつ}
め、こ^いう^い言^いっ^{はげ}て^{はげ}励^{ゆう}ま^きした。7 「勇^{ゆう}気^き
を^だ出^でし、強^{つよ}く^{つよ}あ^あり^あな^ない^いさい。アッシリアの
王^{おう}や^{おう}王^{おう}と^{たいぐん}共^きに^{おそ}い^{おそ}る^{おそ}大^{だい}軍^{ぐん}の^{こと}こ^とで^{おそ}恐^{おそ}
れ^れたり^いお^いび^いえ^えたり^えし^して^はな^なり^りま^ませ^せん。彼^{かれ}
と^{とも}共^きに^{もの}い^いる^い者^わより^わも、私^わたち^わと^{とも}共^きに^い
る^い者^{もの}の^{ほう}方^{ほう}が^{おほ}多^{おほ}い^いか^から^れで^るす。8 彼^{かれ}の^{もの}も^も
と^とに^{にんげん}あ^ある^あの^ちは^ち人^{にん}間^{げん}の^ち力^{ちから}で^わた^わし^しが^わた^たち^ち
に^は、私^わたち^わを^{たす}助^{たす}け、私^わたち^わの^わた^たし^しの^ため^めに^に
戦^{たたか}っ^かて^かく^かさ^さる^るエ^えホ^ほバ^ば神^{かみ}が^いま^ます」。民^{たみ}
は^はユ^よダ^だの^おヒ^ひゼ^ぜキ^きヤ^や王^{わう}の^{こと}言^ご葉^えに^ちか^かづ^づ
け^けら^られた。

9 この^{のち}後^ごの^{こと}こ^と、アッシリアのセナ
ケリ^{おう}ブ^{ぜんていくぐん}王^きは^{とも}全^{ぜん}帝^{てい}国^{こく}軍^{ぐん}と^共に^らキ^きシュ^{しゅ}に
い^いた。セナケリ^{けらい}ブ^ぶは^{けらい}家^け来^{らい}たち^ちを^{エル}
サレ^{つか}ム^さに^さ遣^おわ^おし、ユ^よダ^だの^おヒ^ひゼ^ぜキ^きヤ^や王^{わう}と
エルサレ^{ひとすべ}ム^へに^いた^いユ^よダ^だの^{しん}人^{にん}全^{ぜん}て^てに^こう
つ^つえ^えさせ^せた。

10 「アッシリアのセナケリ^{おう}ブ^き王^{わう}は^こ
う^い言^いっ^{はう}て^てい^いる。『エルサレ^{ほう}ム^むは^は包^{ほう}囲^いさ^さ
れ^れて^てい^いう^いの^のに、い^いっ^いた^たい^い何^{なん}を^を信^{しん}

32:5 *または、「ミロ」。「満たす」という意味の
ヘブライ語。*または、「投げる武器」。32:9
*または、「軍隊と貴人たち全て」。

第32章

(ア) サニ 5:9
王 9:24
王 11:27
王 12:20

(イ) 王 19:6

(ロ) 申 31:6,8
ヨシ 1:6,9
王 2:6,16,17
代 20:15

(ロ) 民 14:9
申 20:1,4
ヨシ 10:42
エレ 17:5

(ヨ) 代 20:20

(ヨ) イザ 37:8

(ヨ) 王 18:17
イザ 36:2

第2欄

(ア) 王 18:19
イザ 36:4

(イ) 王 18:29,30
王 19:10

(ヨ) 王 18:1,4

(ヨ) 代 21:1

(ヨ) 王 18:22
イザ 36:7

(ヨ) 王 15:29
王 17:5
イザ 37:12

(ヨ) 王 18:33,34
王 19:17,18

(ヨ) 出 14:3
出 15:9

(ヨ) 王 18:29

(ヨ) 出 5:2
申 32:27
ダニ 3:14,15

(ヨ) 王 19:14

(ヨ) 王 17:6
王 19:12

(ヨ) イザ 37:29

頼^{たの}して^{して}その^{その}ま^まと^とど^どま^まっ^って^てい^いる^るの^のか^か。

11 ヒゼキヤは、「エホバ神^{かみ わたし}が^が私^{わたし}たち^{たち}
を^をアッシリア^{あしりあ}の^の王^{わう}の^の手^てか^から^ら救^{すく}い^い出^だし^して
く^くだ^ださ^さる^る」と^い言^いっ^いて^てい^いる^るが、お^おま^まえ^えた^たち^ち
を^をい^いく^くめ^め、飢^うえ^えと^と渴^{かわ}き^きで^し死^しな^なせ^せよ^よう
と^とし^して^てい^いる^るの^のだ。12 や^やつ^つは^はお^おま^まえ^え
た^たち^ちの^の神^{かみ}の^の高^{たか}い^い場^ば所^{しょ}と^と祭^{さい}壇^{だん}を^と取^とり^と除^ぞ
い^いて^てし^しま^まい^い、「た^ただ^だ1^{いち}つ^つの^の祭^{さい}壇^{だん}の^の前^{まえ}で
ひ^ひれ^れ伏^ふし、そ^そこ^こで^で犠^ぎ牲^{せい}を^や焼^やい^いて^て煙^{けむり}に^に
す^すべ^べき^きだ」とユ^よダ^だと^とエル^えサ^さレ^れム^むに^に言^いっ^いた^た
で^では^はな^ない^いか。13 お^おま^まえ^えた^たち^ちは、私^{わたし}と
父^ふ祖^そた^たち^ちが^くほ^ほか^かの^の国^{くに}々^々に^にし^した^たこ^こを^を
し^しら^らな^ない^いの^のか。それ^{それ}ら^{それ}の^の国^{くに}の^の神^{かみ}々^々は、
自^じ分^{ぶん}の^の国^{くに}を^を私^{わたし}の^の手^てか^から^ら救^{すく}う^うこ^こが^がで^でき^き
た^たか。14 私^{わたし}の^の父^ふ祖^そた^たち^ちが^ほろ^ろぼ^ぼし^して^て
く^くした^{した}国^{くに}の^の神^{かみ}々^々の^の中^{なか}に、民^{たみ}を^わた^たし^しの^の手^てか^か
ら^ら救^{すく}え^えた^た神^{かみ}は^はい^いな^ない^いで^では^はな^ない^いか。そ
れ^{それ}な^なの^のに、お^おま^まえ^えた^たち^ちの^の神^{かみ}は^は私^{わたし}の^の手^て
か^から^らお^おま^まえ^えた^たち^ちを^を救^{すく}え^える^ると^とい^いう^うの^のか^か。

15 ヒゼキヤに^にだ^だま^まさ^される^るな。言^いい^いく^く
る^るめ^めら^られる^るな。彼^{かれ}を^を信^{しん}用^{よう}し^して^ては^はな^なら^らな^な
い。ど^どの^の国民^{こくみん}や^や王^{わう}国^{こく}の^の神^{かみ}も^も私^{わたし}と^と父^ふ祖^そ
た^たち^ちの^の手^てか^から^ら民^{たみ}を^を救^{すく}え^えな^なか^かつ^つた^たの^のだ
か^から、お^おま^まえ^えた^たち^ちの^の神^{かみ}が^が私^{わたし}の^の手^てか^から^らお
ま^まえ^えた^たち^ちを^を救^{すく}え^える^るわ^わけ^けが^がない^い!』

16 セナケリ^{けらい}ブ^ぶの家^け来^{らい}たち^ちは、真^{しん}の^の
神^{かみ}エ^えホ^ほバ^ばと^と神^{かみ}に^に仕^{つか}え^える^るヒゼ^ぜキ^きヤ^やを^をあ^あざ^ざ
け^けり^り続^{つづ}け^けた。17 セナケリ^{つづ}ブ^ぶは^は手^て紙^{がみ}
も^も書^かいた。『私^{わたし}の^の手^てか^から^ら民^{たみ}を^を救^{すく}え^えな
か^かつ^つた^た国^{くに}の^の神^{かみ}々^々と^と同^{おな}じ^じよ^よう^うに、ヒゼ^ぜキ^き
ヤ^やの^の神^{かみ}も^も私^{わたし}の^の手^てか^から^ら民^{たみ}を^を救^{すく}え^えない^い』と
記^しし、イス^いラ^らエル^えの^の神^{かみ}エ^えホ^ほバ^ばを^を侮^{おご}辱^{よく}
し、悪^{わる}く^く言^いっ^いた。18 セナケリ^けブ^ぶの^の家^け

来^らた^ちは^と都^し市^せを^と攻^め取^るた^め、城^{じょう}壁^{へき}の
上^うに^たま^むに^むエ^えル^るサ^さレ^れム^むの^の民^{たみ}に^む向^むか^かつ^つて
ユ^いダ^んヤ^ご人^おの^お言^ご語^えで^え大^だ声^{こえ}で^で叫^{さけ}び^つけ^つ、民^{たみ}
を^を恐^{おそ}れ^れさ^せ、お^おび^びえ^えさ^せた^た。19 彼^{かれ}
ら^らは、エ^えル^るサ^さレ^れム^むの^の神^{かみ}を、人^{にん}間^{げん}が^つ作^{つく}つた^た
地^ち上^{じょう}の^の民^{たみ}の^の神^{かみ}々^{がみ}と^と同^{どう}等^{とう}に^に見^みな^なし、悪^{あく}
く^く言^いつ^つた^た。20 一^{いっ}方^{ぽう}、ヒ^ひゼ^ぜキ^きヤ^や王^{わう}と^とア^あモ^も
ツ^つの^の子^こで^であ^ある^る預^よ言^{げん}者^{しゃ}イ^いザ^ざは^はこ^この^のこ^こで
で^で祈^{いの}り^つけ^つ、助^{たす}け^もを^も求^{もと}め^てて^て天^{てん}に^む向^むか^かつ^つて
叫^{さけ}んだ^だ。

21 する^{てん}と^しエ^えホ^ほバ^ばは^は天^{てん}使^しを^{つか}遣^{はな}わ^し、
ア^あッシ^{しん}リ^りア^あの^の王^{わう}の^の陣^{じん}営^{えい}に^にた^たま^まに^に強^{つよ}い
戦^{せん}士^しや^や指^し揮^き官^{かん}や^や長^{ちやう}た^たち^ちを^を皆^{みな}、滅^{ほろ}ぼ^ぼ
した^た。セ^せナ^なケ^けリ^りブ^ぶは^は屈^{くつ}辱^{じよく}の^のう^うち^ちに^に自^じ国^{こく}
に^に帰^{かえ}つた^た。そ^その^の後^ご、彼^{かれ}は^は自^じ分^{ぶん}の^の神^{かみ}の^の家^{いえ}
に^に入^{はい}つた^た時^{とき}、自^じ分^{ぶん}の^の子^こた^たち^ちに^に剣^{つるぎ}で^で殺^{ころ}さ^さ
れた^た。22 こ^こう^うし^して^てエ^えホ^ほバ^ばは^は、ア^あッシ^{しん}
リ^りア^あの^のセ^せナ^なケ^けリ^りブ^ぶ王^{わう}と^とほ^ほか^かの^の全^{すべ}て^の者^{もの}
の^の手^てか^から^らヒ^ひゼ^ぜキ^きヤ^やと^とエ^えル^るサ^さレ^れム^むの^の住^{じゅう}
民^{みん}を^を救^{すく}い、周^{しゅう}圍^いの^の敵^{てき}か^から^ら守^{まも}つて^て安^{あん}心^{しん}さ^さ
せ^せた^た。23 多^{おほ}く^くの^の人^{ひと}が^が、エ^えル^るサ^さレ^れム^むの^の
エ^えホ^ほバ^ばに^に供^{そな}え^えの^の物^{もの}を^を、ユ^うダ^だの^のヒ^ひゼ^ぜキ^きヤ^や王^{わう}
に^にえ^えり^り抜^ぬき^きの^の物^{もの}を^を持^もつて^てき^きた^た。こ^これ^れ以^い
降^{こう}、ヒ^ひゼ^ぜキ^きヤ^やは^はあ^あら^らゆ^ゆる^る国^{こく}か^から^ら非^ひ常^{じょう}
に^に尊^{そん}敬^{けい}さ^される^るよ^よう^うに^にな^なつた^た。

24 そ^その^の頃^{ころ}、ヒ^ひゼ^ぜキ^きヤ^やは^は病^{びょう}氣^きにな^なつ^つ
て^て死^しに^にそ^そう^うに^にな^なり、エ^えホ^ほバ^ばに^に祈^{いの}つた^た。
神^{かみ}は^は答^{こた}え^えて、1^{いち}つ^つの^のし^しる^るし^しを^を示^{しめ}した^た。

25 し^しか^かし^しヒ^ひゼ^ぜキ^きヤ^やは^は心^{こころ}が^が傲^{ごう}慢^{まん}にな^なり、
受^うけ^けた^た恩^{おん}恵^{けい}に^に感^{かん}謝^{しゃ}し^しな^なかつた^た。そ^そ
の^のた^ため^め、神^{かみ}は^は彼^{かれ}と^とユ^うダ^だと^とエ^えル^るサ^さレ^れム^むに^に

32:21 *または、「神殿」。32:24, 31 *また
は、「奇跡」、「予告」。

第32章

(7) 王二 18:26,28
イザ 36:11,13

(4) 王二 19:2,20
イザ 37:2

(7) 王二 19:14,15
代二 14:11

(2) 詩 76:5

(7) 王二 19:35-37
イザ 37:37,38

(7) 王一 4:21
代二 17:1,5

(4) 王二 20:1,2
イザ 38:1,2

(7) 王二 20:5,9
代二 32:31
イザ 38:8

第2欄

(7) エレ 26:18,19

(4) 王二 20:19

(7) 代二 1:11,12
代二 17:1,5

(7) 王一 9:17-19
王二 1:33,45

(7) 代二 32:4

(4) サ二 5:9

(7) 王二 20:8-11
イザ 38:8

(7) 王二 20:12
イザ 39:1

(2) 創 22:1

(4) 申 8:2
詩 7:9
詩 139:23

(4) 代二 31:20,21

(4) イザ 1:1

(4) 王二 20:20

(7) 王一 11:43

対^{たい}し^して^て憤^{いきどお}つた^た。26 と^とは^はい^いえ^え、ヒ^ひゼ^ぜキ^き
ヤ^やは^は心^{こころ}の^の傲^{ごう}慢^{まん}を^を改^{あらた}め^めて^て謙^{けん}遜^{そん}にな^なり、
エ^えル^るサ^さレ^れム^むの^の住^{じゅう}民^{みん}も^もそ^そう^うした^たので、ヒ^ひ
ゼ^ぜキ^きヤ^やの^の時^じ代^{だい}中^{ちゅう}、エ^えホ^ほバ^ばの^の憤^{いきどお}り^りは^は生^{しょう}じ
な^なかつた^た。

27 ヒ^ひゼ^ぜキ^きヤ^やは^は莫^{ばく}大^{だい}な^な富^{とみ}と^と栄^{えい}光^{こう}を^を手^て
に^にし、銀^{ぎん}、金^{きん}、宝^{ほう}石^{せき}、バ^ばル^るサ^さム^む油^ゆ、盾^{たて}、あ^あ
ら^らゆ^ゆる^る貴^き重^{じゅう}な^な物^{ぶつ}品^{ぽん}を^を入^いれ^るる^る倉^{そう}庫^こを^を造^{つく}つ
た^た。28 穀^{こく}物^{もつ}や^や新^{あらた}しい^{しい}ぶ^ぶどう^{どう}酒^{しゅ}や^や油^{あぶら}
を^を入^いれ^るる^る貯^{ちよう}蔵^{ざう}所^{しよ}、各^{かく}種^{しゅ}の^の家^か畜^{ちく}の^の小^こ屋^や、
羊^{ひつじ}の^の囲^{かこ}い^いも^も造^{つく}つた^た。29 自^じ分^{ぶん}の^のた^ため^め
に^に町^{まち}々^{まち}を^を築^{きず}き、家^か畜^{ちく}や^や羊^{ひつじ}や^や牛^{うし}を^をた^たく^くさ^さ
に^に入^いれ^るる^るた^た。神^{かみ}が^が非^ひ常^{じょう}に^に多^たく^くの^の財^{ざい}
産^{さん}を^を与^{あた}え^えた^たので^であ^ある^る。30 ヒ^ひゼ^ぜキ^きヤ^や
は^はま^また^た、ギ^ぎホ^ほン^んの^の水^{みづ}の^の上^{じょう}方^{ほう}の^の出^で口^{ぐち}を^をふ
さ^さき、「ダ^だビ^びデ^での^の町^{まち}」の^の西^し側^{がわ}に^に流^{なが}れる^るよ^よ
う^うに^に水^{みづ}を^を引^ひいた^た。ヒ^ひゼ^ぜキ^きヤ^やは^は何^{なに}を^をし^して^て
も^も成^{せい}功^{こう}した^た。31 し^しか^かし^し、パ^ぱビ^びロ^ろン^んの^の
高^{こう}官^{くわん}の^の代^{だい}弁^{べん}者^{しゃ}た^たち^ちが^が、こ^この^の国^{こく}で^で生^{しょう}じ^じた^た
し^しる^るし^しの^のこ^こと^とを^をヒ^ひゼ^ぜキ^きヤ^やに^に尋^{たず}ね^ねに^にや^やつ^つ
て^て来^きた^た時^{とき}、真^まの^の神^{かみ}は^はヒ^ひゼ^ぜキ^きヤ^やを^を試^{ため}す^すた^た
め^めに^にた^ただ^だ静^{しず}か^かに^に見^み守^もつた^た。神^{かみ}は^は彼^{かれ}の^の
心^{こころ}の^の中^{なか}に^にあ^ある^るこ^こと^とを^を全^{すべ}て^し知^しろ^ろう^うと^とし^した^た
ので^であ^ある^る。

32 ヒ^ひゼ^ぜキ^きヤ^やに^につ^きいて^ての^のほ^ほか^かの^の記^き
録^{ろく}、揺^ゆる^るぎ^ぎな^ない^い愛^{あい}の^の行^{こう}動^{どう}は^は、ア^あモ^もツ^つの^の
子^こで^であ^ある^る預^よ言^{げん}者^{しゃ}イ^いザ^ざの^の幻^{まぼろし}の^の記^き録^{ろく}、ユ^う
ダ^だと^とイ^いス^すラ^らエ^えル^るの^の王^{わう}の^の書^{しよ}に^に記^きさ^されて^てい^い
る^る。33 ヒ^ひゼ^ぜキ^きヤ^やは^はや^やが^がて^て死^しに^に、ダ^だビ^び
デ^での^の子^し孫^{そん}の^の墓^ぼ地^ちの^の坂^{さか}に^に葬^{ほうむ}ら^られた^た。彼^{かれ}
の^の死^しに^に際^{さい}し、ユ^うダ^だの^の全^{すべ}て^しの^の人^{ひと}と^とエ^えル^るサ^さ
レ^れム^むの^の住^{じゅう}民^{みん}が^が彼^{かれ}に^に敬^{けい}意^いを^を表^{ひょう}した^た。ヒ

ゼキヤの子マナセが代わりに王になつた。

33 マナセは12歳で王になり、エルサレムで55年治めた。

2 マナセはエホバから見て悪いことを行い、イスラエルの民の前からエホバが追い払った国々の忌まわしい行いをまねた。3 父ヒゼキヤが取り

壊した高い場所を再び築き、バアルのために祭壇を設け、聖木を作った。また、天の全ての星を崇拜してひれ伏した。4 エホバがかつて「私の名は永遠にエルサレムにある」と言ったそのエホバの家のにも祭壇を作った。

5 エホバの家の2つの庭に、天の全ての星のために祭壇を作った。6 ヒンノムの子の谷で自分の子たちを火で

焼き、魔術を行ひ、占いをし、呪術を行ひ、霊媒師や占い師を任命した。エホバから見て悪いことを大規模に行つて、神を怒らせた。

7 マナセは彫刻像を作り、真の神の家の中に置いた。かつて神はその家について、ダビデとその子ソロモンにこう言っていた。「私は、イスラエルの全部族の領地から選んだエルサレムとこの家に、私の名をいつまでも付す。8 イスラエルが、私が命じた全てのこと、モーセを通して与えた律法

すべて、規定や法規を注意深く守るなら、私は、父祖たちに与えた土地からイス

第33章

[マ] マタ 1:10

[イ] 王ニ 21:1

[ウ] 王ニ 21:2-6

[ク] 王ニ 18:1,4

[ケ] 申 4:19
王ニ 23:5[コ] 申 12:11
代ニ 6:6

[カ] 王ニ 16:10,11

[ク] 王ニ 6:36
王ニ 7:12[ケ] ヨシ 15:8,12
王ニ 23:10

[コ] 王ニ 16:1,3

[ウ] レビ 19:26

[イ] レビ 20:6
申 18:10,11

[ウ] 王ニ 23:6

[ケ] 王ニ 21:7-9
王ニ 23:27
代ニ 7:16

第2欄

[ウ] レビ 18:24
ヨシ 24:8
王ニ 21:11,16

[イ] 代ニ 36:15,16

[ウ] イザ 1:18

[ク] ダニ 4:25

[ウ] サニ 5:9
代ニ 32:2,5

[ウ] 代ニ 32:30

[ウ] ネヘ 3:3

[ウ] 代ニ 27:1,3

[ウ] 王ニ 21:1,7

[ウ] 王ニ 21:1,4,5

[ウ] 代ニ 29:18

[イ] レビ 3:1

ラエルを立ち退かせたりはしない」。

9 マナセはユダとエルサレムの住民を惑わし続け、イスラエル人の前からエホバが滅ばし尽くした国々よりも悪いことを行わせた。

10 エホバはマナセと民に語り続けた。しかし彼らは注意を払わなかった。11 それでエホバはアッシリアの王の軍隊長たちを彼らに差し向けた。軍隊長たちはマナセをかぎで引っ掛けて捕らえ、銅の足かせ2つをはめてバビロンへ連れていった。12 マナセは苦難の中、エホバ神に恵みを求め、父祖たちの神の前でとても謙遜になった。13 彼が神に祈り続けたので、神はその懇願に心を動かされ、恵みを求める願いを聞き、彼をエルサレムでの王位に復帰させた。こうしてマナセはエホバこそ真の神であると

悟った。

14 その後、マナセは「ダビデの町」のため、谷にあるギホンの西に、外側の城壁を「魚の門」まで築いた。それをオフェルまで巡らし、非常に高くした。マナセはまた、ユダの防備された町全てに軍隊長を任命した。15 エホバの家から外国の神々と偶像を取り除き、エホバの家の山とエルサレムに作った祭壇を全て取り除いて、都市の外に捨てた。16 エホバの祭壇を復旧させ、そこで共食の犠牲と感謝の

33:3, 5 *直訳, 「天の全軍」。33:6 *直訳, 「に火の中を通らせ」。

33:11 *もしかすると, 「岩の裂け目で」。33:14 *または, 「ワジ」。

犠牲を捧げ始めた。そしてイスラエルの神エホバに仕えるようユダに命じた。17 民は、エホバ神だけに犠牲を捧げたが、依然として高い場所ですうした。

18 マナセについてのほかの記録、神に捧げた祈り、神からの幻を伝える人たちがイスラエルの神エホバの名によってマナセに語った言葉は、イスラエルの王の歴史に記されている。

19 彼の祈り、懇願が聞き入れられたこと、全ての罪、不忠実だったこと、彼が謙遜になる前に高い場所を築いて聖木や彫像を立てた場所は、彼に神からの幻を伝えた人たちが書いたものに記されている。20 マナセはやがて死に、自分の家に葬られた。代わりにマナセの子アモンが王になった。

21 アモンは22歳で王になり、エルサレムで2年治めた。22 アモンは、エホバから見て悪いことを行い続けた。父マナセと同じようなことをした。父マナセが作った全ての彫像に犠牲を捧げ、崇拜し続けた。23 アモンは父マナセが謙遜になったのとは違い、エホバの前で謙遜になることはなかった。それどころか、ますます罪を増やしていった。24 やがてアモンの家来たちが謀反を起こし、王の家でアモンを殺害した。25 しかし国の民は、アモン王への謀反を起こした人を全て殺し、アモンの子ヨシヤを代わりに王にした。

第33章

(例) レビ 7:12
(例) 代二 33:12,13
(例) 王二 21:2,9
(例) 王二 21:3,7
(例) 王二 21:18,19
(例) マタ 1:10
(例) 王二 21:19-24
(例) 代二 33:1,2
(例) 王二 21:1,7
(例) 代二 33:12,13
(例) エレ 8:12
(例) 王二 12:20
代二 25:27
(例) 代二 25:1,3
(例) 王二 21:25,26

第2欄

第34章

(例) 王一 13:2
ゼバ 1:1
マタ 1:10
(例) 王二 22:1,2
(例) 代二 15:2
(例) 代二 33:17
(例) 代二 33:21,22
(例) 王二 23:4,14
(例) 王二 23:6
(例) 王一 13:2
王二 23:16
(例) 王二 23:19
代二 30:1
(例) 王二 17:41
(例) 代二 31:1
(例) 王二 22:12
(例) 王二 22:3-6

34 ヨシヤは8歳で王になり、エルサレムで31年治めた。

2 彼はエホバから見て正しいことを行つて、父祖ダビデと同じ道を歩み、右にも左にもそれなかった。

3 ヨシヤは治世の第8年、まだ少年だった頃、父祖ダビデの神に仕え始めた。第12年には、高い場所、聖木、彫像、金属像を取り除いて、ユダとエルサレムを清め始めた。4 ヨシヤの前でバルの祭壇が取り壊され、ヨシヤはその上にあった香台を切り倒した。彼は、聖木、彫像、金属像を打ち砕いて粉々にし、そうした像に犠牲を捧げていた人たちの墓にまき散らした。5 また、祭司が使っていた祭壇で祭司たちの骨を焼いた。こうしてヨシヤはユダとエルサレムを清めた。

6 マナセ、エフライム、シメオン、さらにはナフタリの町々と、その周りの荒れ果てた場所でも、7 ヨシヤは祭壇を取り壊し、聖木や彫像を打ち砕いて粉々にした。イスラエル全土で香台を全て切り倒し、その後、エルサレムにかえり帰った。

8 治世の第18年、国と神殿を清めたヨシヤは、エホバ神の家を修理するため、アツアルヤの子シャファン、都市の長マアセヤ、ヨアハズの子である記録官ヨアハを遣わした。9 彼らは大祭司ヒルキヤの所に行き、神の家に持ってこられたお金を渡した。戸口番として仕えるレビ族が、マナセ、エフラ

イム、イスラエルのほかの全ての人、
ユダ、ベニヤミン、エルサレムの住民
から集めたお金である。10 彼らは
そのお金をエホバの家での工事をま
とめる人たちに渡した。そしてエホバ
の家の労働者たちはそれを家の修理
に使った。11 彼らはそのお金を職
人や建築作業者に渡し、切り石やつ
なぎ材を買わせ、ユダの王たちのせい
で荒廃した建物を新しい梁で建て直さ
せた。

ひとひと こうじ ちゅうじつ おこな (例)
12 人々は工事を忠実にに行った。
 かれ 彼ら^ををまとめるため、レビ族のメラリ^を
 氏族のヤハトとオバデヤ、コハト氏族^を
 のゼカリヤとメシュラムが監督^ををつ
 めた。また、レビ族の人たち、熟練^{した}
 た音楽家たちは、**13** 一般の労働者^を
 をまとめ、各種の仕事の作業者^を全ての^を
 監督^{した}だった。レビ族の中には、秘書官^を
 やく人、門番^ももいた。

14 エホバの家^{いえ}に持^もってこられたお金^{かね}が運^{はこ}び出^だされてい^いた時^{とき}、祭司^{としやうし}ヒルキヤは、モーセを通して与^{あた}えられたエホバの律法^{りっぽう}の書^{しよ}を見^みつけた。15 ヒルキヤは秘書官^{ひしよくわん}シャファンに、「エホバの家^{いえ}で律法^{りっぽう}の書^{しよ}を見^みつけました」と言^いい、その書物^{しよぶつ}をシャファンに渡^わした。16 シャファンは書物^{しよぶつ}を王^{おう}のもとに持^もっていき、こ^こう言^いった。「あなたの家^{いえ}来^きたは、割^わり当^あてられた仕^し事^じを全^{ぜん}て行^いっています。17 家来^{けらい}たちはエホバの家^{いえ}に集^あつたお金^{かね}を箱^{はこ}か^と取り

34:13 *または、「荷物運搬人」。

第34章

(ア) 代二 30:11, 18

(4) 王二 12:11,12

(ウ) 壬二 12:15

(工) 代—23:6

(才) 代二 20:19

(カ) 代—25:1

(主)代二 8:14

(ク) 王二 22:4

(ケ) レビ 26:46

(コ) 申 17:18
申 31:24-26
ヨシ 1:8
王二 22:8

第2欄

(ア) 王二 22:8

(イ) 申 17:18, 19

(7) 王二 22:11-13

(x) 王二 25:22

(才) 申 30:17,18

申 31:16

申 31:24-26

ヨシ1:8

(カ) 出 15:20

裁 4:4

ルカ 2:36

(a) T = 22.44. 22

(4) 25-47

0-11-1805-10

(ケ)レビ 26:16
申 29:15

申 28:15
申 30:17-19

ダ- 9:11

(2) 由 28:20

だ　やく　ひと　こう　じ
出して、まとも役の人たちと工事をす
ひと　わた　ひ　しょうかん
る人たちに渡しました。 18 秘書官
シャファンは王にさらに言った。「祭司
おう　さいし
ヒルキヤから1つの書物を渡せまし
け　しょう　わた
た」。そしてシャファンは王の前でそれ
よ　はじめ　け
を読み始めた。

19 王は律法の言葉（9）を聞くと、すぐ
に衣服を引き裂いた。20 それから、
ヒルキヤ、シャファンの子アヒカム、ミ
カの子アブドン、秘書官シャファン、家
来のアサヤにこう命じた。21 「私の
ため、イスラエルとユダに残っている
人たちのために、この見つかった書物
の言葉についてエホバに尋ねに行き
なさい。父祖たちが、この書物に書か
れていることをしっかり守らず、エホバ
の言葉の通りにしなかったので、私た
ちはエホバの激しい怒りを浴びること
になるからです。」

22 それで、ヒルキヤと、王に遭わされた人たちは、女預言者フルダの所に行った。フルダは、ハルハスの子ティクワの子である衣装係シャルムの妻で、エルサレムの第2地区に住んでいた。彼らはそこで彼女に話した。23 彼女は言った。「イスラエルの神エホバはこう言っています。『あなたたちを私のもとの遭わした人に言いなさい。24 「エホバはこう言っている。『私はこの場所と住民に災難をもたらす。ユダの王の前で読まれた書物に書かれている災いをもたらす。』

25 彼らが私を捨て、ほかの神々のた

めに犠牲を焼いて煙にし、行いによって私を怒らせたので、私はこの場所に怒りを浴びせる。その怒りが消えることはない』。26 だが、エホバに導ねるようにとあなたたちを遣わしたユダの王にこう言いなさい。「あなたが聞いた言葉について、イスラエルの神エホバはこう言っている。27 『あなたは、この場所と住民に関する神の言葉を聞いた時、心が柔らかで、神の前で謙遜になった。私の前で謙遜になって衣服を引き裂き、泣いたので、私エホバはあなたの祈りを聞いたと宣言する。28 それで、私はあなたを先祖たちと共に横たわらせ、あなたは安らかに自分の墓に入る。あなたは私がこの場所と住民にもたらす災いを全く見ない』』」。

彼らはこの返事を王の所に持ち帰った。29 それでヨシヤ王は知らせを送り、ユダとエルサレムの長老全員を呼び集めた。30 その後、王はエホバの家に上った。ユダの人たち全て、エルサレムの住民、祭司とレビ族、年取った人から若い人まで民の皆が一緒だった。王は、エホバの家で見つけた契約の書の言葉全てを皆に聞こえる所で読んだ。31 王は自分の場所に立ち、エホバと契約を結んだ。エホバに従い、その書物に記されている契約の言葉を実行し、心を尽くし自分の全てを尽くして、神のおきて

第34章

〔ワ〕王二 21:1,3,6
代二 28:1,3

〔イ〕申 29:22,23
エレ 7:20

〔ウ〕代二 34:19

〔エ〕代二 32:26
代二 33:11,13

〔オ〕王一 21:29
イザ 39:8

〔カ〕王二 23:1

〔キ〕王二 23:2
代二 17:3,9
ネヘ 8:3

〔ク〕エズ 10:3

〔コ〕申 6:5

第2欄

〔ワ〕申 31:24-26
王二 22:8

〔イ〕代二 30:1,12
代二 33:1,16

〔ウ〕王二 23:5

第35章

〔エ〕出 12:3-11
王二 23:21

〔オ〕レビ 23:5
申 16:1

〔カ〕出 12:21

〔キ〕代二 23:18
代二 31:2

〔ク〕申 33:10
代二 17:8,9
ネヘ 8:7,8

〔コ〕王一 6:38
代二 5:7

〔カ〕民 4:15
代一 23:25,26

〔キ〕代一 23:6

〔ク〕代二 8:14

〔エ〕出 12:21
代二 30:1,15

と教えと規定を守るという契約である。

32 王はエルサレムとベニヤミンにいる人たちに、契約に同意するよう求めた。エルサレムの住民は、父祖たちの神の契約に従って行動した。

33 ヨシヤはイスラエル人の全ての土地から忌まわしいものを全部取り除き、イスラエルにいる全ての人をエホバ神に仕えさせた。ヨシヤの生涯中、彼らは父祖たちの神エホバに従い、背かなかった。

35 ヨシヤはエルサレムでエホバの過ぎ越しを執り行い、第1の月の14日に過ぎ越しの犠牲がとふられた。2 ヨシヤは祭司たちに務めを割り当て、エホバの家での奉仕を行うよう励ました。3 そして、イスラエル全体の教師で、エホバにとって聖なる人たちであるレビ族にこう言った。

「イスラエルの王ダビデの子ソロモンが建てた家に、聖なる箱を置きなさい。皆さんがそれを肩で運ぶことはもうありません。さあ、エホバ神とイスラエルの民に仕えなさい。4 イスラエルのダビデ王とその子ソロモンが書いた物に従って、各組、氏族ごとに用意をなさい。5 組に分かれて、皆さんの兄弟であるほかの民の氏族ごとに聖なる場所に立ち、各氏族にレビ族の氏族の組が付くようにしなさい。6 過ぎ越しの犠牲をほぶり、自分を神聖なものとし、皆さんの兄弟たちのために

34:31 *または、「再び結んだ」。

34:31 *または、「思い出させるもの」。 34:33 *または、「偶像」。

用意をして、モーセを通して語られた
エホバの言葉の通りにしない。

7 ヨシヤは民に羊やヤギを提供した。そこにいた全ての人のために過ぎ越しの犠牲として、雄の子羊と雄の子ヤギを合計3万匹提供したのである。牛3000頭も提供した。これらは王の財産から出された。8 王に仕える高官たちも、民、祭司、レビ族のために自発的な捧げ物を提供した。真の神の家の責任者たちであるヒルキヤとゼカリヤとエヒエルも、過ぎ越しの犠牲2600匹と牛300頭を祭司に与えた。9 レビ族の長たちである、コナヌヤ、その兄弟のシェマヤとネタヌエル、ハシャブヤ、エイエル、ヨザバドも、過ぎ越しの犠牲5000匹と牛500頭をレビ族に提供した。

10 準備が整い、王の命令通り、祭司たちは自分の場所に立ち、レビ族は組ごとに立った。11 過ぎ越しの犠牲がほふられ、祭司たちは受け取った血を振り掛けた。レビ族は動物の皮を剥いだ。12 それから、氏族ごとに分かれたほかの民に配るため、全焼の捧げ物を整えた。モーセの書に記されている通りにエホバに捧げるためである。牛についても同じようにした。13 慣例通り、過ぎ越しの捧げ物の火に掛けて煮た。聖なる捧げ物を鍋や大釜や平鍋で煮て、すぐにそれをほかの全ての民の所に持っていっ

35:13 *もしかすると、「焼いた」。

第35章

(㉔)代二 30:24

(㉔)王二 23:4
代二 34:14

(㉔)代一 23:6

(㉔)出 12:3,6

(㉔)代二 30:16

(㉔)代二 29:34

(㉔)出 12:8
申 16:6,7

第2欄

(㉔)代一 16:37

(㉔)代一 23:5

(㉔)代一 25:1,2

(㉔)代一 16:41,42
代一 25:3

(㉔)代一 26:12,13

(㉔)レビ 23:5

(㉔)王二 23:21

(㉔)出 12:15
レビ 23:6
申 16:3
代二 30:1,21

(㉔)王二 23:22,23
代二 30:5,26

(㉔)エレ 46:2

た。14 それから、自分たちと祭司たちのために用意をした。アロンの子孫である祭司たちは夜になるまで全焼の犠牲と脂肪の部分捧げていたからである。それで、レビ族は自分たちとアロンの子孫である祭司たちのために用意をした。

15 アサフの子孫である歌い手たちは、ダビデ、アサフ、ヘマン、神からの幻を王に伝える人エドトンの命令に従って位置に就き、門番たちも別々の門に立った。兄弟であるレビ族の人たちが彼らのために用意をしたので、彼らは持ち場を離れる必要がなかった。16 こうしてその日、ヨシヤ王の命令通り、過ぎ越しを執り行ってエホバの祭壇で全焼の犠牲を捧げるため、エホバへの奉仕の準備が全て整った。

17 その時そこにいたイスラエル人は過ぎ越しを執り行い、7日間、無酵米パンの祭りを行った。18 ヨシヤ、祭司とレビ族、そこにいたユダとイスラエルの全体、エルサレムの住民が行ったその過ぎ越しは、預言者サムエルの時代以来イスラエルで行われたことがないほどのもの、イスラエルのほかの王たちの誰も行ったことがないほどのものだった。19 この過ぎ越しが執り行われたのは、ヨシヤの治世の第18年のことだった。

20 このようにしてヨシヤが神殿を整えた後、エジプトのネコ王がユーフラテス川のそばのカルケミシュで戦う

ために上^{のほ}ってきた。ヨシヤはネコに立ち向^{たむ}かおうと出^でていった。21 するとネコは使者たちを遣^しわして、ヨシヤにこう伝^{つた}えてきた。「ユダの王よ、これはあなたに^{かんけい}は関係のないことです。私は今日あなたを攻^せめに来^きたわけではありません。別の国と戦^{いくさ}うためであつて、神から急^{いそ}ぐようにと言^いわれていま^いす。痛^{いた}い目に遭^あわないために、私と共^{とも}にいる神に逆^{さか}らうのはやめなさい。さもないと、神はあなたを破滅^{はくめつ}に陥^{おとし}れます」。22 ところが、ヨシヤは引き返^{かえ}さず、ネコと戦^{いくさ}うために変装^{へんそう}し、神の口から出^でたネコの言葉^{ことば}を聞き入^きれなかつた。こうしてヨシヤは戦^{いくさ}うためにメギドの平原^{へいげん}に向^むかった。

23 ヨシヤ王は弓^{やみ}を射^いる人たちに撃^うたれ、家来^{けらい}たちに言^いった。「ここから連^つれ出^だしてくれ。ひどい傷^{きず}を負^おってしまつた」。24 そこで家来^{けらい}たちは彼^{かれ}を兵車^{へいしゃ}から出^だし、第2の戦車^{せんしゃ}に乗^のせてエルサレムに連^つれ帰^{かえ}つた。ヨシヤは死^しに、父祖^{ふそ}たちの墓^{はか}に葬^{ほうむ}られた。ユダ全体^{ぜんたい}とエルサレムはヨシヤの死^しを悼^{いた}んだ。25 エレミヤはヨシヤのためにうた^{うた}いま^いま^いだ^だんじよ^{うた}て^てみな^{みな}歌^{うた}つた。今も男女^{あい}の歌^{うた}い^{うた}た^{うた}ちは皆^{みな}、ヨシヤについての哀歌^{あい}を歌^{うた}う。その歌^{うた}は、イスラエルで歌^{うた}うことが定められ、哀歌集^{あい}の中に載^のせられている。

26 ヨシヤについてのほかの記録^{きろく}、エホバの律法^{りつぽう}の記述^{きじゆつ}に沿^そつた揺^ゆるぎない愛^{あい}の行^{こう}動^{どう}、27 行^いつたことは、最初^{さい}から最後^ごまで、イスラエルとユダの王^{おう}の書^{しよ}に記^{しる}されている。

第35章

(7) 王ニ 23:29

(7) 王ニ 22:30

(7) 裁 1:27

裁 5:19

ゼカ 12:11

啓 16:16

(24) 王ニ 23:30

代ニ 34:28

(7) エレ 1:1

(7) エレ 9:17,20

(24) 王ニ 23:28

第2欄

第36章

(7) 代ニ 3:15

エレ 22:11

(7) 王ニ 23:30,

31

(7) 王ニ 18:14

王ニ 23:33

(24) 王ニ 23:29

エレ 46:2

(7) 王ニ 23:34

エレ 22:11,12

(7) エレ 26:20,21

エレ 36:32

(24) 王ニ 23:36,37

(7) 王ニ 24:1

王ニ 25:1

エレ 25:1

(7) 王ニ 24:16

ダニ 1:1

(24) エズ 1:7

エレ 27:16

ダニ 2:2

ダニ 5:2

(24) 王ニ 24:5,6

(24) エレ 22:24

マタ 1:12

(24) 王ニ 24:8,9

36 国の民はヨシヤの子エホア

ハズを選^{えら}んで、エルサレムで父^{ちち}の代^かわりに王^{おう}にした。2 エホアハズは23歳^{さい}で王^{おう}になり、エルサレムで3カ月^{げつ}治^{おさ}めた。3 エジプトの王^{おう}はエルサレムでエホアハズを王^{おう}の地位^{ちい}から降^{くだ}ろし、国^{くに}に3.4トン^{きん}の銀^かと34キ^{うえ}ロの金^{きん}を課^かした。4 その上^{うへ}、エジプトの王^{おう}はエホアハズの兄^{あに}エリヤキムをユダとエルサレムの王^{おう}にし、名^な前^{まえ}をエホヤキムに改^か名^{めい}させた。弟^{おとうと}のエホアハズはネコに捕^{とら}えられ、エジプトに連^つれていかれた。

5 エホヤキムは25歳^{さい}で王^{おう}になり、エルサレムで11年^{ねん}治^{おさ}めた。彼^{かれ}はエホバ神^{かみ}から見^みて悪^{わる}いことを行^{おこな}い続^{つづ}けた。

6 エホヤキムを攻^せめに、バビロンのネブカドネザル王^{ねぶ}がや^やつて来^きた。エホヤキムに銅^{どう}の足^{あし}かせ2つをはめ、バビロンへ連^つれていくためだつた。7 ネブカドネザルはエホバの家の器^き具^ぐの一^{いち}部^ぶをバビロンに持^もち帰^{かえ}つて、バビロンの宮^{きゆう}殿^{でん}に置^おいた。8 エホヤキムにつ^きいてのほかの記録^{きろく}、行^いつた忌^いまわし^い事^{こと}柄^{がら}や発^は覚^{かく}した事^{こと}柄^{がら}は、イスラエルとユダの王^{おう}の書^{しよ}に記^{しる}されている。代^かわ^わりにエホヤキムの子^こエホヤキンが王^{おう}になつた。

9 エホヤキンは18歳^{さい}で王^{おう}になり、エルサレムで3カ月^{げつ}と10日^か治^{おさ}めた。彼^{かれ}はエホバから見^みて悪^{わる}いことを行^{おこな}い続^{つづ}けた。10 年^{とし}の初^{はじ}め、ネブカドネザル

36:10 * 春のことかもしれない。

王は人を遣わして、エホヤキン^{おう ひと つか}をエホバ^{いえ きちよう ぶつびん}の家の貴重な物品と共にバビロン^いに連れていった。そして、エホヤキン^{お じ}の叔父ゼデキヤ^{お じ}をユダとエルサレム^いの王にした。

11 ゼデキヤは21歳で王になり、エルサレムで11年治めた。12 彼はエホバ神^{かみ み わる おこな つづ}から見て悪いことを行い続けた。エホバの命令で話す預言者エレミヤ^{めいれい はな よげんしや}の前で謙遜になることはなかった。13 また、ネブカドネザル王^{おん はん}に反逆した。ネブカドネザル王^{おん はん}が彼に、忠義を神の前で誓わせていたにもかかわらず、反逆した。ゼデキヤは頑固で、心^{こころ}が固く、イスラエルの神エホバのもとに帰ろうとしなかった。14 祭司^{さいし}の長たち皆民も極めて不忠実で、国々のあらゆる忌まわしいことを行い、エホバがエルサレムで神聖なものとした家^{いえ}を汚した。

15 彼らの父祖たちの神エホバは、使者たちを通して警告し続けた。ご自分の民と住まいのことを思いやって何度も警告した。16 それにもかかわらず、彼らは真の神の使者たちをばかにし続け、神の言葉を侮り、預言者たちをあざけたので、ついには矯正しようがないほどになった。エホバはご自分の民に激怒した。

17 神は彼らにカルデア人の王を差し向けた。王は聖なる所の家で若者たちを剣で殺し、若い男女にも老人にも病弱な人にも同情しなかった。神

第36章

〔ワ〕王ニ 24:13
エレ 27:17,18
〔イ〕王ニ 24:10
エレ 29:1,2
エゼ 1:2
〔ウ〕王ニ 24:17
エレ 37:1
〔ロ〕王ニ 24:18-20
エレ 52:1-3
〔カ〕エレ 21:1,2
エレ 34:2
エレ 38:14,24
〔キ〕王ニ 24:20
エゼ 17:12-15
〔ク〕王ニ 16:11
エゼ 8:10,11
〔コ〕代ニ 30:1,10
〔ク〕エレ 5:12
〔ケ〕エレ 20:7
〔コ〕詩 74:1
〔ク〕王ニ 24:2
〔セ〕エゼ 9:7
〔レ〕レビ 26:31
申 28:25
詩 79:2
〔ロ〕哀 2:21

第2欄

〔ワ〕申 28:49-51
〔イ〕王ニ 20:16,17
イザ 39:6
エレ 27:19-22
エレ 52:17
〔ウ〕詩 74:4-7
〔ロ〕エレ 52:14
〔カ〕王ニ 9:7
王ニ 25:9,10
詩 79:1
〔ク〕王ニ 25:21
詩 137:1
〔キ〕エズ 1:1-3
〔ク〕エレ 27:6,7
〔コ〕エレ 25:9
〔ク〕レビ 26:34
〔ウ〕エレ 25:12
ゼカ 1:12
〔イ〕イザ 44:28
イザ 45:1
〔ウ〕エレ 29:14
エレ 32:42
エレ 33:10,11
〔セ〕エズ 1:1-4
〔ダ〕ダニ 5:18
〔イ〕イザ 44:28
〔イ〕エズ 7:12,13

は全てを王の手に渡したのである。18 カルデア人の王は、真の神の家の大小の器具全部、エホバの家の財宝、王と高官たちの財宝など、全てをバビロンに持っていった。19 真の神の家を焼き払い、エルサレムの城壁を破壊し、防備された塔を全て焼き、貴重な物を全部壊した。20 剣から逃れた人たちは捕虜としてバビロンに連れ去られ、ベルシャの王国が治め始めるまで、カルデア人の王とその子たちの召し使いとなった。21 こうしてエレミヤが語ったエホバの言葉が実現し、守られてこなかったこの土地の安息年の埋め合わせがなされた。荒廃していた期間、ずっと土地は休み、70年を満了した。

22 ペルシャのキュロス王の治世のこと、かつてエレミヤが語ったエホバの言葉が実現するよう、エホバはキュロス王の心を奮立たせ、王国全域に布告を出させた。王はその布告を文書に記した。23 「ペルシャのキュロス王の言葉。『天の神エホバは、地上の全ての王国を私に下さった。そして、ユダのエルサレムにご自分の家を建てるよう私にお命じになった。それで、その神の民である人は誰でも、上っていくがよい。エホバ神がその人と共におられるよう願っている』」。

36:20 *または、「王族」。 36:21 *または、「に安息があり」。

エズラ記

概要

- 1 神殿を建て直すようにとのキュロス王の布告 (1-4)
捕囚の民がバビロンを出る準備をする (5-11)
- 2 バビロンから帰還した人たち (1-67)
神殿の使用人 (43-54)
ソロモンに仕えた人の子孫 (55-57)
神殿のための自発的な捧げ物 (68-70)
- 3 祭壇が作られ、犠牲が捧げられる (1-6)
神殿の再建が始まる (7-9)
神殿の土台が据えられる (10-13)
- 4 神殿の再建が妨害される (1-6)
敵たちがアルタセルセス王に苦情を申し立てる (7-16)
アルタセルセスからの返信 (17-22)
神殿の建設が中断される (23, 24)
- 5 ユダヤ人は神殿の建設を再開する (1-5)
タテナイからダリウス王への手紙 (6-17)
- 6 ダリウスによる調査と布告 (1-12)
神殿の完成と奉献式 (13-18)
過ぎ越しが執り行われる (19-22)
- 7 エズラがエルサレムに来る (1-10)
アルタセルセスからのエズラへの手紙 (11-26)
エズラはエホバを賛美する (27, 28)
- 8 エズラと一緒に帰還した人たち (1-14)
旅の準備 (15-30)
バビロンを出発し、エルサレムに到着する (31-36)
- 9 イスラエル人と外国人との結婚 (1-4)
エズラの告白の祈り (5-15)
- 10 外国人の妻を去らせる契約 (1-14)
外国人の妻を去らせる (15-44)

1 ペルシャのキュロス王の治世の第1年のことである。かつてエレミヤが語ったエホバの言葉が実現するよう、エホバはキュロス王の心を奮い立たせ、王国全域に布告を出させた。王はその布告を文書に記した。

2 「ペルシャのキュロス王の言葉。『天の神エホバは、地上の全ての王国を私に下された。そして、ユダのエルサレムにご自分の家を建てるよう私にお命じになった。』**3** それで、その神の民である人は誰でも、ユダのエルサレムに上っていき、イスラエルの神である真の神エホバの家を建て直すがい。その家はかつてエルサレムに

第1章
〔イザ 45:1
ダニ 10:1
〔イ 25:12
エレ 29:14
エレ 33:10,11
〔代二 36:22,23
〔ダニ 4:34,35
〔イザ 44:28
第2欄
〔王二 17:6
エレ 9:16
〔出 35:21
代一 29:9
エズ 7:14-16

あったのである。神がその人と共におられるよう願っている。**4** 外国人としてどこに住んでいるとしても、その人は近隣の人から助けを得よ。近隣の人がその人に、銀や金、物品、家畜を与え、エルサレムにあった真の神の家のための自発的な捧げ物を持たせるのである』」。

5 そこで、ユダ族とベニヤミン族の氏族長たち、祭司とレビ族、つまり真の神に心を奮い立たせられた全ての人は、エルサレムにあったエホバの家を建て直すために上っていく準備をし

1:3 *もしかすると、「その方はエルサレムにいる」。

た。6 周囲の人々は皆、銀と金の器
具、物品、家畜、高価な品々、そのほか
あらゆる自発的な捧げ物を与えて支
援した。

7 キュロス王は、エホバの家の器具
を運び出させた。それは以前ネブカド
ネザルがエルサレムから奪って、自分
が崇拝する神の家に置いていた物だった。

8 ペルシャのキュロス王は財務官ミ
トレダトに、運び出す指揮を執らせた。
ミトレダトは目録を作ってユダの長セ
シバザルに渡した。

9 目録は次の通りである。籠形の
金の器30個、籠形の銀の器1000
個、交換用の器29個、10 金の小鉢
30個、銀の小鉢410個、その他の器具
1000個。11 金と銀の器具は全部
で5400個だった。捕囚にされていた
民がバビロンから出てエルサレムに
行く時、セシバザルは全ての物を携え
て上った。

2 以下は州の人々で、捕囚にされ
ていた民のうち帰還した人たち
である。かつてバビロンのネブカドネ
ザル王に捕らわれてバビロンへ連れ
ていかれたものの、エルサレムとユ
ダに帰ってきて、それぞれ自分の町
に戻ったのである。2 この人たちは、
ゼルバベル、エシュア、ネヘミヤ、セラ
ヤ、レエラヤ、モルデカイ、ビルシャン、

1:6 *直訳、「によって彼らの手を強くした」。1:
8 *エズ 2:2; 3:8のゼルバベルがもしれない。
2:1 *または、「管轄地域」。

第1章

(例) 王ニ 24:11,13
代ニ 36:7,18
エズ 6:5
ダニ 1:1,2
ダニ 5:2

(例) エズ 5:14,16
ハガ 1:1,14
ハガ 2:23

(例) 王ニ 24:14,15
代ニ 36:20

第2章

(例) エズ 8:1

(例) 王ニ 24:15,16
王ニ 25:11
代ニ 36:20

(例) ネヘ 7:6,7

(例) エズ 1:8,11
ハガ 1:14
マタ 1:12

(例) エズ 3:8
エズ 5:2
ゼカ 3:1

第2欄

(例) ネヘ 7:8-38

(例) ネヘ 6:17,18

(例) エズ 10:30,44
ネヘ 3:11

(例) エズ 10:26,44

(例) エズ 10:27,44

(例) エズ 10:33,44

(例) ヨシ 21:8,18
エレ 1:1

(例) ヨシ 18:21,25

(例) ヨシ 18:21,24

(例) ヨシ 7:2

(例) エズ 10:43,44

ミスパル、ビグワイ、レフム、バアナと
共にやって来た。

イスラエル人の男性の数は次の
通りである。3 パルオシュの子
孫, 2172人。4 シェファトヤの子孫,
372人。5 アラハの子孫, 775人。

6 パハト・モアブの子孫で、エシュア
とヨアブの子孫, 2812人。7 エラム
の子孫, 1254人。8 ザトの子孫,
945人。9 ザカイの子孫, 760人。

10 バニの子孫, 642人。11 ベバ
イの子孫, 623人。12 アズガドの子
孫, 1222人。13 アドニカムの子孫,
666人。14 ビグワイの子孫, 2056
人。15 アディンの子孫, 454人。

16 アテルの子孫で、ヒゼキヤの子孫,
98人。17 ベツァイの子孫, 323人。

18 ヨラの子孫, 112人。19 ハシュ
ムの子孫, 223人。20 ギバルの子
孫, 95人。21 ベツレヘムの人々,
123人。22 ネットファの人々, 56人。

23 アナトデの人々, 128人。24 ア
ズマベトの人々, 42人。25 キルヤ
ト・エアリムとケフィラとベエロトの
人々, 743人。26 ラマとゲバの人々,
621人。27 ミクマスの人々, 122
人。28 ベテルとアイの人々, 223
人。29 ネボの人々, 52人。30 マ
グビシュの人々, 156人。31 別のエ
ラムの子孫, 1254人。32 ハリムの
子孫, 320人。33 ロドとハディドと

2:20 *もしかすると、「人々」。

オノの人々^{ひとびと}, 725人。^{にん} **34** エリコの人々^{ひとびと}, 345人。 **35** セナアの人々^{ひとびと}, 3630人。

36 祭司^{さいし}は次の通りである。エシュア^{えしや}の家系^{けい}のエダヤの子孫^{しそん}, 973人。 **37** イメルの子孫^{しそん}, 1052人。 **38** パシュフルの子孫^{しそん}, 1247人。 **39** ハリムの子孫^{しそん}, 1017人。

40 レビ族^{れびぞく}は、ホダウヤの子孫^{しそん}で、カドミエルとエシュアの子孫^{しそん}, 74人。 **41** 歌い手^{うたて}は、アサフの子孫^{しそん}, 128人。 **42** 門番^{もんばん}は、シャルムの子孫^{しそん}, アテルの子孫^{しそん}, タルモンの子孫^{しそん}, アクブの子孫^{しそん}, ハティタの子孫^{しそん}, ショバイの子孫^{しそん}, 合わせて139人。

43 神殿^{しんでん}の使用人^{しやうにん}は次の通りである。ツィハの子孫^{しそん}, ハスファの子孫^{しそん}, タバオトの子孫^{しそん}, **44** ケロスの子孫^{しそん}, シアハの子孫^{しそん}, パドンの子孫^{しそん}, **45** レバナの子孫^{しそん}, ハガバの子孫^{しそん}, アクブの子孫^{しそん}, **46** ハガブの子孫^{しそん}, サルマイの子孫^{しそん}, ハナンの子孫^{しそん}, **47** ギデルの子孫^{しそん}, ガハルの子孫^{しそん}, レアヤの子孫^{しそん}, **48** レツィンの子孫^{しそん}, ネコダの子孫^{しそん}, ガザムの子孫^{しそん}, **49** ウザの子孫^{しそん}, パセアハの子孫^{しそん}, ベサイの子孫^{しそん}, **50** アスナの子孫^{しそん}, メウニムの子孫^{しそん}, ネフシムの子孫^{しそん}, **51** バクブクの子孫^{しそん}, ハクファの子孫^{しそん}, ハルフルの子孫^{しそん}, **52** バツルトの子孫^{しそん}, メヒダの子孫^{しそん}, ハルシャの子孫^{しそん}, **53** バルコスの子孫^{しそん}, シセラの子孫^{しそん}

2:42 *直訳, 「門番の子たち」。 2:43, 58 *または, 「ネティニム」。直訳, 「与えられた人たち」。

第2章

(7) ネヘ 7:39-42

(1) 代-24:3,11

(2) 代-9:2,10

ネヘ 11:3,10

(3) 代-24:3,14

エズ 10:20,44

(8) エズ 10:22,44

(9) 代-24:3,8

エズ 10:21,44

(4) ネヘ 7:43

(5) エズ 3:9

ネヘ 12:8,24

(7) ネヘ 7:44

(10) 代-15:16,17

ネヘ 11:3,17

(9) ネヘ 7:45

(11) 代-9:2,17

ネヘ 11:3,19

(12) ネヘ 12:25,26

(13) ヨシ 9:3,27

代-9:2

ネヘ 3:26

ネヘ 7:46-56

第2欄

(7) ネヘ 7:57-60

(1) ネヘ 7:61-65

(2) 代-24:3,10

ネヘ 3:21

(3) サニ 17:27-29

王-2:7

(8) 民 3:10

(9) 出 28:30

民 27:21

サ-28:6

(4) レビ 2:3

レビ 6:26

民 18:11

子孫^{しそん}, テマハの子孫^{しそん}, **54** ネジアの子孫^{しそん}, ハティファの子孫^{しそん}。

55 ソロモンに仕えた人の子孫^{つぎ}は次の通りである。ソタイの子孫^{つぎ}, ソフェレトの子孫^{しそん}, ペルダの子孫^{しそん}, **56** ヤアラの子孫^{しそん}, ダルコンの子孫^{しそん}, ギデルの子孫^{しそん}, **57** シェファトヤの子孫^{しそん}, ハティルの子孫^{しそん}, ポケレト・ハツェバイムの子孫^{しそん}, アミの子孫^{しそん}。

58 神殿^{しんでん}の使用人^{しやうにん}と、ソロモンに仕えた人の子孫^{つぎ}は、合わせて392人だった。

59 また、次の人たちは、テル・メラハ、テル・ハルシャ、ケルブ、アドン、イメルからやって来たが、家系^きや祖先^{かへい}を特定^きできず、自分たちがイスラエル人であることを証明^{しょうめい}できなかった。**60** すなわち、デラヤの子孫^{しそん}, トビヤの子孫^{しそん}, ネコダの子孫^{しそん}, 652人。 **61** 祭司^{さいし}の子孫^{しそん}の中では、ハバヤの子孫^{しそん}, ハコツの子孫^{しそん}, バルジライの子孫^{しそん}。バルジライ^{ひと}は、ギレアデの人^{ひと}バルジライ^{むすめ}の娘^{むすめ}のひとり^{ひと}を妻^{つま}としたので、その名前で呼ばれた。**62** この人たちは、家系^きを証明^{しょうめい}しようとして記録^{きろく}を探^{さが}したが、見つからなかった^{めい}ので、祭司^{さいし}の資格^{しやく}を得られなかった。**63** 彼ら^{かれ}に対して^{たい}総督^{そうとく}は、ウリムとトンミムを使^きえる祭司^{さいし}が立てられるまでは極^{きわ}めて聖^{せい}なるものを食^たべてはならない、^いと言^いった。

2:62 *または, 「汚れているとして祭司職から除外された」。 2:63 *または, 「ティルシャタ」。ペルシャの称号で, 州の総督を指す。

64 会衆 全体の人数は4万2360人であり、65 このほかに、奴隷の男女が7337人、歌い手の男女が200人いた。66 馬は736頭、ラバは245頭、67 ラクダは435頭、ロバは6720頭だった。

68 エルサレムのエホバの家の跡地に着くと、氏族長のうちのある人たちは、真の神の家を元の場所に建て直すために自発的な捧げ物をした。

69 自分の資力に応じて、建設資金としてドラクマ金貨6万1000枚と銀2.9トン、また祭司の長い服100着を差し出した。70 祭司、レビ族、民の一部、歌い手、門番、神殿の使用人は自分の町に住み、残りのイスラエル人も自分の町に住んだ。

3 第7の月になり、それぞれの町にいたイスラエル人は、同じ思いでエルサレムに集まった。2 エホツァダクの子エシュアと仲間、祭司たち、シャルテルの子ゼルバベルとその兄弟たちは、立ち上ってイスラエルの神の祭壇を作った。真の神に仕え、人モーセの律法に記されている通りに、全焼の犠牲を祭壇の上で捧げるためだった。

3 彼らは周囲の国の人々を恐れながらも、祭壇を元の場所に設け、朝と

2:64 *用語集参照。2:69 *一般に、ペルシャのダリク金貨(8.4グラム)と同一視されている。ギリシャ語聖書のドラクマとは異なる。付録B14参照。2:70 *または、「ネティニム」。直訳、「与えられた人たち」。「直訳、「イスラエル全体が」。

第2章

(ア) ネヘ 7:66-69
イザ 10:21
エレ 23:3

(イ) 代二 3:1

(例) 出 35:5
代一 29:5
ネヘ 7:70-72

(エ) エズ 8:25

(例) ネヘ 7:73

第3章

(例) 王一 8:2

(例) ハガ 1:1

(例) 代一 3:17
マタ 1:12

(例) エズ 1:7,8
ルカ 3:23,27

(例) 出 20:24
出 40:29

(例) エズ 4:4

第2欄

(例) 民 28:3,4

(例) 出 23:16
レビ 23:34

(例) 出 29:38
民 29:12,13

(例) 出 29:39,42

(例) 民 10:10
詩 81:3

(例) 申 16:16

(例) 申 12:5,6

(例) 民 29:1

(例) 王一 5:17

(例) エズ 5:8

(例) エズ 1:2,3
エズ 6:3,4

(例) ヨシ 19:46,48
代一 22:3,4
代二 2:10,16

(例) ネヘ 7:6,7

(例) ネヘ 3:18

夕方、全焼の犠牲をエホバに捧げ始めた。4 そして、律法に記されている通りに、毎日、定められている数の全焼の犠牲を捧げた。5 その後、日々の全焼の捧げ物、新月の捧げ物、エホバの全ての神聖な祭りの時期のための捧げ物、また民から差し出されたエホバへの自発的な捧げ物を捧げた。6 第7の月の1日から全焼の犠牲をエホバに捧げ始めたが、エホバの神殿の土台はまだ据えられていなかった。

7 彼らは石切り工と職人にお金を渡した。また、シドン人とティルス人には食べ物や飲み物や油を与えた。ペルシャのキュロス王の許可の下、レバノンから海路でヨッパへ杉材を運ばせるためである。

8 エルサレムの真の神の家に来た年の翌年、第2の月に、シャルテルの子ゼルバベル、エホツァダクの子エシュア、彼らの兄弟たち、祭司とレビ族、捕囚の地からエルサレムに帰ってきた全ての人は、工事に着手した。20 歳以上のレビ族の人たちが、エホバの家の工事の監督として任命された。

9 そこで、ユダの子孫である、エシュアとその子たちや兄弟たち、カドミエルとその子たちが協力し、真の神の家の工事を人々を監督した。レビ族である、ヘナダドの子たちと、彼らの子たちや兄弟たちも、同じようにした。

10 建築者たちがエホバの神殿の

土台を据えと、正装をした祭司たちはラッパを持ち、アサフの子孫であるレビ族の人たちはシンバルを持って、イスラエルのダビデ王の指示通りにエホバを賛美するために立ち上がった。11 そして、エホバに賛美と感謝を捧げ、「神は善い方で、イスラエルへの揺るぎない愛は永遠に続く」と交互に歌った。民も皆、エホバの家の土台が据えられたことで、エホバを大声で賛美した。12 祭司、レビ族、氏族長のうちの多くの人、つまり以前の神の家を見たことがある年老いた人たちは、この家の土台が据えられるのを見て大声で泣いた。一方、ほかの大勢は、大きな歓声を上げた。13 そのため、民は歓喜の声と泣き声とを区別できなかった。遠くまで聞こえるほどの大きな声だったのである。

4 ユダ族とベニヤミン族の敵たちは、帰還した民がイスラエルの神エホバの神殿を建てていることを聞くと、2 すぐにゼルバベルと氏族長たちの所に行き、言った。「一緒に建てさせてください。私たちも皆さんの神を崇拝していますし、私たちをここに連れてきたアッシリアのエサル・ハドン王の時代以来、皆さんの神に犠牲を捧げています」。3 しかし、ゼルバベルとエシュアと他のイスラエルの氏族長たちは言った。「私たちの神の家を皆さんと一緒に建てることはしませんが、ペルシャのキュロス王から命じら

第3章

(7) ゼカ 4:9

(7) 民 10:8

(7) 代一 6:31, 32

代一 23:5

代一 25:1

(2) 代一 16:34

代二 7:3

(7) 出 15:21

ネヘ 12:24

(7) 王一 6:22

ハガ 2:3

(7) 詩 126:1, 6

イザ 35:10

ゼカ 4:9

第4章

(7) エズ 4:6-8

ネヘ 4:7, 8

(7) エズ 2:1, 64

(2) 王二 17:33, 34

(7) 王二 17:24

(7) 王二 19:36, 37

(2) ネヘ 2:19, 20

ヨハ 4:9, 22

第2欄

(7) 代二 36:23

エズ 1:1-3

エズ 6:3, 4

(7) ネヘ 6:9

(7) エズ 4:24

エズ 5:5

エズ 6:1

(2) ネヘ 6:10-12

(7) 王二 18:26

(7) 創 10:9, 10

(7) ネヘ 1:1

エズ 1:2

ダニ 8:2

(7) 創 10:22

イザ 11:11

エレ 49:35, 36

(7) 王二 17:24

れた通り、私たちだけでイスラエルの神エホバの家を建てます。

4 それで、その土地の人々は絶えずユダの民の士気をくじき、建てる意欲を失わせようとした。5 ペルシャのキュロス王の時代からペルシャのダリウス王の治世まで、助言者を雇っては計画を妨害し続けた。6 そして、アハシュエロスの治世の初めには、ユダとエルサレムの住民を訴える書状を記した。7 また、ペルシャのアルタクセルクセス王の時代には、ビシュラム、ミトレダト、タブエルとその同僚たちが、アルタクセルクセス王に手紙を書き送った。その手紙はアラム語に訳され、アラム語の文字で書かれた。

8 行政長官レフムと書記シムシャイは、エルサレムに関する抗議の手紙をアルタクセルクセス王に書き送った。9 (その手紙は、次の人たちからのものだった。行政長官レフムと書記シムシャイ、彼らの同僚たち、裁判官や準総督たち、秘書官たち、エルクのひとびと、じん、(7) じゅうみんの人々、バビロニア人、スサの住民つまりエラム人。10 また、その他の国民で、偉大で高貴なアセナパルに捕らえられ、サマリアの町々に移住させられた人々。さらに、川向こうの地域の他の人々。11 これが王に送られた手紙のうつしである。)

4:4 *直訳、「手を弱め」。4:7 *もしかすると、「アラム語で書かれ、それから訳された」。4:8 *エズ 4:8から6:18はアラム語で書かれた。4:10 *または、「ユーフラテス川の向こう側」。

「アルタクセルクス王^{おう}へ。川向^{かわむ}こう^この地域^{ちいき}にいるあなたの家来^{けらい}たちから。

12 王^{おう}にご報告^{ほうこう}いたします。王^{おう}のもとからこちらに上^{のぼ}ってきたユダヤ人^{じん}が、エルサレム^{えらさるむ}に到着^{とちやく}し、反逆^{はんぎやく}の悪い都^{わると}市^しを建て直^{なお}しています。城壁^{じやうへき}を完成^{かんせい}させつつあり、土台^{どだい}を修理^{しゅうり}しています。

13 ぜひ王^{おう}に知^しっていただきたいのですが、もしこの都市^{とし}が建て直^{なお}されて、城壁^{じやうへき}が完成^{かんせい}するなら、ユダヤ人^{じん}は人頭税^{じんとうぜい}や物品税^{ぶつぽんぜい}や通行料^{つうこうりやう}を納めず、王^{おう}の財政^{ざい}に損失^{そんしつ}が及ぶでしょう。14 私^{わたし}たちは王宮^{おうきゆう}から給料^{きゆうりやう}を頂^{いただ}いており、王^{おう}が損害^{そんがい}を被^{こうむ}るのを見過^{みす}ぐすわけには

ありませんので、この手紙^{てがみ}を王^{おう}にお送りいたします。15 王^{おう}の先祖^{せんぞ}の記録^{きらく}の調査^{ちやうさ}がなされれば、お分かりいただけます。この都市^{とし}は反逆^{はんぎやく}の都^{わると}市^しで、王^{おう}たちと州^{しゅう}にとって有害^{ゆうがい}であり、反乱^{はんらん}を起こす者^{もの}たちが昔^{むかし}からいました。

そのために、この都市^{とし}は滅ぼされたのです。16 この都市^{とし}が建て直^{なお}されて、城壁^{じやうへき}が完成^{かんせい}するなら、川向^{かわむ}こうの地域^{ちいき}において王^{おう}には何^{なん}の権力^{けんりく}もなくなる、ということをお知らせいたします。

17 王^{おう}は、行政長官^{ぎやうせいちやうかん}レフムと書記^{しよき}シムシャイ、またサマリアに住^すんでいる彼^{かれ}らの同僚^{どうりやう}たちと川向^{かわむ}こうの地域^{ちいき}の他^たの人々^{ひとびと}に返信^{へんしん}した。

「あいさつを送^{おく}る。18 あなたたちから送^{おく}られた公文書^{こうぶんしょ}は私^{わたし}の前^{まえ}ではつきりと読^よまれた。19 私の命令^{めいれい}によ

4:14 *直訳、「王宮の塩を食べて」。4:18 *もしかすると、「て翻訳されて読まれた」。

第4章

(例) ネヘ 1:3

(例) 王ニ 23:35
ネヘ 5:4(例) エズ 2:23
エズ 6:1

(例) エレ 52:3

(例) 申 11:24

第2欄

(例) 王ニ 18:1,7
王ニ 24:20
エズ 4:15

(例) エズ 4:13

(例) エズ 5:5
エズ 6:1
ハガ 1:14,15

第5章

(例) ハガ 1:1

(例) ネヘ 12:1,4

(例) ゼカ 1:1

(例) マタ 1:12

(例) ゼカ 6:11

(例) エズ 3:2,8

(例) エズ 6:14
ハガ 2:4,21
ゼカ 4:7

り調査^{ちやうさ}がなされ、その都市^{とし}が昔^{むかし}から王^{おう}たちに逆^{さか}らい、謀反^{もくはん}や反乱^{はんらん}を起こしてきたことが分かった。20 また、かつてエルサレム^{えらさるむ}を治^{つよ}める強い王^{おう}たちが川向^{かわむ}こうの地域^{ちいき}全体^{ぜんたい}を支配^{しはい}していたことがあり、人頭税^{じんとうぜい}や物品税^{ぶつぽんぜい}や通行料^{つうこうりやう}がその王^{おう}たちに納められていた。

21 それで、工事^{こうじ}を中止^{ちゅうし}するよう人々^{ひとびと}に命^{めい}じよ。私^{わたし}が命令^{めいれい}を出すまで都市^{とし}が建て直^{なお}されないようにするのである。

22 この指示^{しじ}を決^{けつ}て軽^{かる}く見てはならない。王^{おう}への損害^{そんがい}が大き^{おほ}くならないようにするためである」。

23 アルタクセルクス王^{おう}の公文書^{こうぶんしょ}の写^{うつ}しが読^よみ上げられると、レフムと書記^{しよき}シムシャイと同僚^{どうりやう}たちはすぐにエルサレム^{えらさるむ}のユダヤ人^{じん}の所^{ところ}に行き、力^{ちから}ずくで工事^{こうじ}をやめさせた。24 こうして、エルサレム^{えらさるむ}の神^{かみ}の家^{いえ}の工事^{こうじ}は中断^{ちゅうだん}され、ペルシャのダリウス王^{だうりう}の治世^{ちせい}の第2年^{だいねん}までそのままだった。

5 さて、預言者^{よげんしや}ハガイと、イドの孫^{まご}の預言者^{よげんしや}ゼカリヤは、ユダとエルサレム^{えらさるむ}にいるユダヤ人^{じん}に、イスラエルの神^{かみ}の名^なによって預言^{よげん}した。2 そして、シャルテルの子^こゼルバベルとエホツァダクの子^こエシュアは、エルサレム^{えらさるむ}の神^{かみ}の家^{いえ}を建て直^{なお}し始^{はじ}めた。神^{かみ}の預言者^{よげんしや}たちも一^{いつ}緒^{しよ}にいて支援^{しえん}した。

3 すると、川向^{かわむ}こうの地域^{ちいき}の総督^{そうとく}タテナイ、シェタル・ボゼナイ、彼^{かれ}らの同僚^{どうりやう}

5:1 *直訳、「上にいるイスラエルの神」。5:3 *または、「ユーフラテス川の向こう側」。

たちがやって来て、尋ねた。「この家を建て、この建物を完成させるよう、誰が命じたのか」。4 さらに、「この建物を建てている者たちの名前は何か」と尋ねた。5 とはいえ彼らは、ダリウスに報告がなされて、この件に関する公文書が送られてくるまで、ユダヤ人を止めなかった。神がユダヤ人の長老たちを見守っていたのである。

6 以下は、川向こうの地域の総督タテナイ、シュタル・ボゼナイとその僚である川向こうの地域の準総督たちが、ダリウス王に送った手紙の写しである。7 王への報告には、次のように記されていた。

「ダリウス王へ。
全てが平和でありますように。8 王にお知らせいたします。私たちはユダ州の、偉大な神の家に行了きました。人々は大きな石でその家を建てており、壁には材木も使っています。工事は熱心に行われ、順調に進められています。9 私たちは長老たちに、『この家を建て、この建物を完成させるよう、誰が命じたのか』と尋ねました。10 また、彼らの名前を尋ねました。指揮を執っている者たちの名前を書いて、王にお知らせするためです。

11 返ってきたのは次のような答えでした。『私たちは天と地の神に仕えており、ずっと前に建てられた家を建て

5:3, 9 *または、「これらの梁」。

第5章
(例) エズ 7:6, 28
エズ 8:22

(例) エズ 5:3, 4

第2欄
(例) 王一 7:51

(例) 申 31:17
代二 34:24, 25

(例) 王二 24:1
王二 25:1

(例) 王二 25:8, 9

(例) 王二 25:11

(例) エズ 1:1-3

(例) 王二 25:14, 15
代二 36:7, 18

(例) ハガ 1:1, 14

(例) エズ 1:8, 11

(例) エズ 1:2, 7

(例) エズ 3:10
ハガ 2:18
ゼカ 4:9

(例) エズ 4:23, 24

(例) 代二 36:22, 23
エズ 6:3, 4

直しています。イスラエルの偉大な王が建てて完成させた家です。12 父祖たちが天の神を怒らせたため、神は父祖たちをカルデア人であるバビロンのネブカドネザル王の手に渡しました。ネブカドネザルはこの家を破壊し、民を捕らえてバビロンに連れていきました。13 しかし、バビロンのキュロス王の治世の第1年に、キュロス王はこの神の家を建て直すよう命じました。

14 さらに、神の家の金と銀の器をバビロンの神殿から取り出しました。かつてネブカドネザルがエルサレムの神殿から奪ってバビロンの神殿に運んだ器です。キュロス王はそれらの器を、総督に任命したセシバザルという人に渡しました。15 そして、こう言いました。「これらの器を持ってエルサレムに行き、神殿に納めよ。神の家を元の場所に建て直すのだ」。16 そこでセシバザルはやって来て、エルサレムの神の家の土台を据えました。その時から現在までこの家は建設中で、まだ完成していません。』

17 それで、もし王が良いと思われるようでしたら、バビロンにある王の宝物庫を調べさせ、あのエルサレムの神の家を建て直すようキュロス王が命じたかどうかをお確かめください。そして、この件についてのご判断を私たちにお伝えくださいますように」。

5:14 *エズ 2:2; 3:8のゼルバベルかもしれない。

6 そこでダarius王は命令を出し、
宝物が納められているバビロン
の保管所の調査を行わせた。2 そ
して、メディア州にあるエクパタナの
要塞で巻物が見つかった。そこには
次の覚書が記されていた。

3 「キュロスの王の治世の第1年に、
キュロス王はエルサレムの神の家に
関して命令を出した。『犠牲を捧げる
場所として、その家が建て直されるよ
うにせよ。土台を据え、家の高さは27
メートル、幅は27メートルとし、4 大
きな石の層は3段、材木の層は1段と
する。費用は王の財産から支払われ
る。5 また、かつてネブカドネザルが
エルサレムの神殿から奪ってバビロン
に運んだ、神の家の金と銀の器は、元
に戻される。エルサレムの神殿の所
定の場所に置かれ、神の家に納めら
れるのである』。

6 「それで、川向こうの地域の総督
タテナイ、セタル・ボゼナイとその同
僚である川向こうの地域の準総督たち
よ、そこに近づいてはならない。7 そ
の神の家の工事を妨げてはならない。
ユダヤ人の総督と長老たちは、神の
家を元の場所に建て直す。8 さらに、
神の家を建て直すユダヤ人の長老た
ちのためにあなたがたが行うべきこと
を、私は命じる。王の財産のうち川向
こうの地域で徴収された税から、速や

第6章

例代ニ 36:22,23
エズ1:1-3

例王ー 6:2

例エズ 3:7
エズ5:8

例エズ7:20
イザ49:23

例王ニ 25:13-15
代ニ 36:7,18
ダニ1:1,2
ダニ5:2

例エズ1:8,11

例エズ5:3,6

例エズ7:20
ハガ2:7,8

第2欄

例エズ5:5

例レビ1:10

例民28:3

例レビ1:3,5

例レビ2:1

例レビ2:13

例民15:5

例出27:20
レビ2:4

例エズ7:23

例申12:5,6
代ニ7:16

例エズ5:6

例ハガ1:12

例エズ5:1,2
ゼカ1:1,7
ゼカ6:15

例エズ3:8
エズ4:3

例ハガ1:8

例代ニ 36:23
エズ1:2,3
イザ44:28

例エズ6:12

例エズ7:12,13

かに費用が支払われるようにせよ。工
事が滞らないようにするためである。
9 加えて、天の神への全焼の捧げ物
のための雄羊や子羊や若い雄牛、ま
た小麦、塩、ぶどう酒、油など、必要
なものは何でも、エルサレムにいる祭
司たちが言う通りに、毎日必ず与えよ。
10 天の神に喜ばれる捧げ物と、王と
王族の幸福を願う祈りが、絶えず捧げ
られるようにするためである。11 次
のことも命じる。この布告に従わない
者は自分の家から引き抜かれた材
木にはりつけにされ、その家は公衆便
所とされる。12 王や民が従わない
でエルサレムの神の家を破壊しようと
するなら、その場所をご自分の名のた
めに選んだ神によって滅ぼされてしま
うことを私は願う。私ダariusが、この
ように命令する。速やかに実行せよ。13
そこで、川向こうの地域の総督
タテナイ、セタル・ボゼナイ、彼らの
同僚たちは、ダarius王が命じたこと
を全て速やかに行った。14 ユダヤ
人の長老たちは、預言者ハガイとイド
の孫ゼカリヤの預言に力づけられて、
建設を順調に進めた。そして、イスラ
エル神の命令により、またキュロス
とダariusとペルシャのアルタクセル
クセス王の命令により、建設を完了し
た。15 ダarius王の治世の第6年、
アダル月の3日には、神の家は完成
していた。

6:11 *または、「串刺し」。*もしかすると、「ご
み捨て場」,「ふんの山」。6:15 *付録B15参照。

6:1 *直訳,「記録の家」。6:6 *または,「ユー
フラテス川の向こう側」。

16 イスラエル人、祭司やレビ族
 やかつて捕囚にされた他の人たちは、
 喜んで神の家の奉獻式を行った。

17 雄牛 100 頭、雄羊 200 匹、子羊
 400 匹を、神の家の奉獻式のために
 差し出し、イスラエルの部族の数に合
 わせて 12 匹の雄羊を、イスラエル全
 体のための罪の捧げ物として差し出
 した。18 また、モーセの書の記述
 に従って、エルサレムでの神への奉仕
 のために、祭司たちをグループごとに、
 レビ族たちを組ごとに任命した。

19 第1の月の14日、かつて捕囚に
 された人々は過ぎ越しを執り行った。

20 祭司とレビ族は、一人残らず身を
 清めたので皆清かった。彼らは、か
 つて捕囚にされた全ての人のため、仲間
 の祭司と自分たちのために、過ぎ越し
 の犠牲をほふった。21 そして、捕囚
 の地から帰還したイスラエル人はそ
 れを食べた。イスラエル人に加わった
 人々も皆食べた。イスラエルの神エ
 ホバを崇拜しようと、その土地の国民
 の汚れた行いから離れた人々である。

22 また、7日間、皆で喜んで無酵母パ
 ンの祭りを行った。彼らが喜んだのも、
 以前にアッシリアの王の心が友好的
 になったのも、エホバのおかげだった。
 だからこそ王は、イスラエルの神であ
 る真の神の家の工事に關して、彼らを
 支援したのである。

6:16 *または、「献堂式」。6:20 *または、「殺
 した」。6:22 *直訳、「彼らの手を強くした」。

第6章

(例)代 9:2
 ネヘ 7:73

(例)代 2:7:5

(例)民 3:6

(例)代 23:6

(例)出 12:2,14

レビ 23:5

申 16:1

エズ 3:7

(例)出 30:19,20

レビ 21:8

レビ 22:2,3

(例)出 12:48

民 9:14

(例)出 12:17

レビ 23:6

(例)エズ 7:27

格 21:1

第2欄

第7章

(例)ネヘ 2:1

(例)ネヘ 8:2

ネヘ 12:26

(例)代 6:14

(例)王二 22:8

(例)代 2:31:10

(例)民 25:11

箴 20:28

(例)出 6:23,25

民 3:32

申 10:6

(例)出 7:1

出 28:1

(例)ネヘ 8:1,4

(例)エズ 8:18,19

(例)代 6:31,32

(例)代 9:22-27

(例)代 9:2

エズ 8:20

(例)エズ 8:22

(例)申 5:1

申 17:10

(例)申 33:8,10

マラ 2:7

7 こうしたことの後、ペルシャのア
 ルタクセルクセス王の治世中
 に、エズラが帰還した。エズラの先祖
 は、順にさかのぼると、セラヤ、アザリ
 ヤ、ヒルキヤ、2 シャルム、ザドク、ア
 ヒトブ、3 アマルヤ、アザリヤ、メラヨ
 ト、4 ゼラフヤ、ウジ、ブキ、5 アビ
 シュア、ピネハス、エレアザル、祭司長
 アロンである。6 このエズラがバビ
 ロンから上ってきた。彼は写生字で、
 イスラエルの神エホバが与えたモー
 セの律法に精通していた。エホバ神
 がエズラを助けていたので、王は彼の
 願いを全てかなえた。

7 アルタクセルクセス王の治世の
 第7年、イスラエル人、祭司、レビ族、歌
 い手、門番、神殿の使用人の一団がエ
 ルサレムに上った。8 エズラは王の
 治世の第7年の第5の月にエルサレ
 ムにきた。9 第1の月の1日にバビ
 ロンを出発し、第5の月の1日にエル
 サレムに着いた。神が彼を助けたの
 である。10 エズラは、エホバの律
 法を調べて実践するため、またその規
 定と公正さをイスラエルで教えるため、
 心を整えていた。

11 以下は、祭司また写生字であり、
 エホバのおきてとイスラエルに対する

7:1 *意味、「助け」。7:6, 11 *または、「書
 記」。7:6 *または、「彼はイスラエルの神エホ
 バが与えたモーセの律法の熟練した写生字だっ
 た」。7:7 *または、「ネティム」。直訳、「与え
 られた人たち」。7:10 *または、「調べて実践す
 ること、またその規定と公正さをイスラエルで教
 えることを、心に決めていた」。

きてい けんきゅうしゃ*

規定の研究者であるエズラに、アルタクセルクセス王が送った手紙の写しである。

12 「王の中の王アルタクセルクセスから、天の神の律法の写字生である祭司エズラへ。あなたに豊かな平和がありますように。 **13** 私は次の命令を出した。私の領土にいるイスラエルの民、祭司、レビ族のうち、あなたと共にエルサレムに行きたい者は皆行ってよい。 **14** あなたは、王と7人の顧問官により遣わされ、あなたの手にある神の律法がユダとエルサレムで守られているかどうかを調査する。

15 また、次の物を持っていく。エルサレムを住まいとするイスラエルの神に王と顧問官たちが献上した銀と金、 **16** あなたがバビロン州全体で受け取る全ての銀と金、それに民や祭司がエルサレムの神の家に献上する供え物である。 **17** さらに、そのお金で、雄牛、雄羊、子羊、穀物の捧げ物、飲み物の捧げ物を速やかに買い、エルサレムの神の家の祭壇の上にそれを捧げ上げる。

18 あなたと兄弟たちが良いと思うことは何でも、あなたの神の意志に沿って、残りの銀と金で行ってよい。 **19** 神の家での奉仕のためにあなたに与えられた器を、エルサレムの神の前へすべて届け。 **20** その他、神の

第7章

〔エズ6:14
ネヘ2:1

〔イエズ1:2,3

〔イエズ1:5,6
エズ8:25

〔ヨレビ1:3

〔ヨレビ1:10

〔民28:3

〔民15:4

〔民15:5

〔イエズ8:30

第2欄

〔イエズ6:3,4
エズ6:8

〔イエズ7:6
ネヘ8:2

〔ヨレ民15:5

〔出27:20
レビ2:1

〔ヨレビ2:13

〔イエズ1:2

〔イエズ6:9,10

〔ヨレ代ー15:16

〔ヨレ代ー9:2

〔ヨレネヘ5:4

〔ヨレネヘ8:2,3

家に必要な物で、あなたが用意しなければならぬ物は、王の財産から賄うようにせよ。

21 私アルタクセルクセス王は、川向こうの地域にいる財務官全員に次の命令を出した。天の神の律法の写字生である祭司エズラがあなたたちに求める物はすべて、速やかに与えよ。 **22** 銀は3.4トンまで、小麦は2万2000リットルまで、ぶどう酒は2200リットルまで、油は2200リットルまで、塩は制限なし。 **23** 天の神が命じる全てのことが、天の神の家のために熱心に行われるようにし、王の領土と王族に怒りが下らないようにせよ。

24 さらに、祭司とレビ族、音楽家、戸口番、神殿の使用人、神の家で働く者の誰に対しても、人頭税、物品税、通行料を課すことは許されない。

25 エズラよ、神があなたに授けた知恵により、行政官や裁判官を任命し、川向こうの地域にいる全ての民、あなたの神の律法を知っている全ての者を治めさせよ。また、律法を知らない者たちを教えよ。 **26** そして、あなたの神の律法および王の律法に従わない者は皆直ちに、死刑、追放、罰金、投獄のいずれかの処罰を受けることとなる。

27 私たちの父祖の神エホバが賛美されますように！ 王の心を動かす、

7:21 *または、「ユーフラテス川の向こう側」。

7:24 *または、「ネティニム」。直訳、「与えられた人たち」。

7:11 *または、「規定の言葉の写字生」。

*エズ7:12から7:26はアラム語で書かれた。**7:12, 21** *または、「書記」。

エルサレムのエホバの家を美しくする
ようにしてくださったからだ。 **28** 神
は、王、顧問官たち、有力な高官たち
全員の前で、私に揺るぎない愛を示し
てくださった。私の神エホバが助けて
くださったので、私は勇気を出し、一緒
に上る指導者たちをイスラエルの民
の中から集めた。

8 以下は、アルタクセルクセス王
の治世中にバビロンから私と一
緒に上った氏族長たちと、その家系の
人たちの記録である。 **2** ピネハスの
子孫からはゲルショム。イタルの
子孫からはダニエル。ダビデの子孫
からはハトシュ。 **3** パルオシュの子
孫、シェカヌヤの子孫からはゼカリ
ヤと、彼と共に記録された男性150
人。 **4** パハト・モアブの子孫からは
ゼラフヤの子エルエホ・エナイと、男
性200人。 **5** ザトの子孫からはヤハ
ジエルの子シェカヌヤと、男性300人。
6 アディンの子孫からはヨナタンの
エベドと、男性50人。 **7** エラムの子
孫からはアタリヤの子エシャヤと、男
性70人。 **8** シェファトヤの子孫から
はミカエルの子ゼバドヤと、男性80
人。 **9** ヨアブの子孫からはエヒエル
の子オバデヤと、男性218人。 **10** バ
ニの子孫からはヨシフヤの子シェロミ
トと、男性160人。 **11** ペバイの子
孫からはペバイの子ゼカリヤと、男
性28人。 **12** アズガドの子孫からは

7:28 *または、「自分を力づけ」。

第7章

(例) エズ 6:22
格 21:1
イザ 60:13

(例) エズ 9:9
ネヘ 1:11

(例) エズ 7:14

第8章

(例) エズ 7:7

(例) 代一 6:3,4

(例) 出 6:23

(例) エズ 2:1,6

(例) エズ 2:1,8
エズ 10:27,44

(例) エズ 2:1,15

(例) エズ 2:1,7

(例) エズ 2:1,4

(例) エズ 2:1,11
エズ 10:28,44

(例) エズ 2:1,12

第2欄

(例) ネヘ 7:6,18

(例) エズ 2:1,14

(例) エズ 8:31

(例) 民 3:20

(例) エズ 8:24,25

(例) 代一 6:16

ハカタンの子ヨハナンと、男性110人。
13 アドニカムの子孫からは、最後の
人たちであるエリフェレト、エイエル、
シェマヤと、男性60人。 **14** ビグワイ
の子孫からはウタイとザップドと、男性
70人。

15 私はアハワに流れる川のほとり
にこの人たちを集め、皆でそこに3日
間野営した。ところが、民と祭司たち
を調べると、レビ族の人が一人もいな
かった。 **16** そこで私は、指導者であ
るエリエゼル、アリエル、シェマヤ、エ
ルナタン、ヤリブ、エルナタン、ナタン、
ゼカリヤ、メシュラムと、教師であるヨ
ヤリブとエルナタンを呼んでこさせた。

17 そしてその人たちに、カシフヤとい
う所にいる指導者イドについて命令を
出した。カシフヤにいる、神殿の使用
人であるイドと兄弟たちへの伝言を頼
んだ。私たちの神の家のために奉仕
者を連れてくるようにという伝言であ
る。 **18** 神が私たちを助けてくださ
ったため、彼らはイスラエルの子レビの
孫マフリの子孫の中から、思慮深い人
シュレブヤとその子たちや兄弟たち18
人を連れてきた。 **19** また、ハシャブ
ヤと、メラリ氏族の中からエシャヤ
と、兄弟たちやその子たち、20人を連れ
てきた。 **20** さらに、神殿の使用人が
220人いて、皆それぞれ名前が記録さ
れていた。神殿の使用人は、レビ族に
8:17,20 *または、「ネティニム」。直訳、「与えら
れた人たち」。

つか 仕えさせるためにダビデと高官たちが
えら 選んだ人たちだった。

21 私は、そのアハワ川のほとりで
断食を呼び掛けた。神の前で謙遜に
なり、私たちと子供たちと全ての持ち
物のために、神に旅の導きを求めるこ
とにしたのである。**22** 私は道中の
敵から守ってもらうために歩兵や騎兵
を王に願ひ求めることを恥じた。私た
ちはかつて王に、「神に頼る人には神
の助けがありますが、神を捨てた人
には神の力と怒りが向けられます」と
言ったからである。**23** それで私た
ちは断食し、このことに関して神にお
願ひをしたところ、神は私たちの願ひ
を聞き入れてくださった。

24 次に私は、祭司の長たちから
12人を選び出した。シェブヤとハ
シャブヤと彼らの兄弟10人である。
25 そして、銀と金と器具を量って彼ら
に渡した。それは、王と顧問官や高官
たち、また居合わせた全てのイスラエ
ル人が、神の家のために寄進した物
だった。**26** 私が量って渡したのは、
銀22トン、合わせて68キロ相当の銀
の器具100個、金3.4トン、**27** 1000
ダリク相当の金の小鉢20個と、金
のように見事な、赤く輝く良質の銅の器
具2個だった。

28 それから私は彼らに言った。「皆
さんはエホバにとって聖なる人たちで、

8:27 *ダリクはペルシャの金貨だった。付録B14
参照。

第8章

(例)代ニ 16:9
エズ 7:6
エズ 7:28
ゼカ 4:6

(例)代ニ 15:2

(例)代ニ 7:14
エレ 29:10,12
エレ 50:4,5

(例)エズ 8:18,19

(例)エズ 7:14-16
エズ 7:19

(例)レビ 21:6-8
イザ 52:11

第2欄

(例)エズ 7:19
エズ 8:33

(例)エズ 3:7

(例)エズ 8:15,21

(例)エズ 7:8

(例)エズ 7:19
エズ 8:29

(例)ネヘ 3:4,21

(例)ネヘ 8:7

(例)ネヘ 12:1,8

(例)レビ 1:3

(例)レビ 1:10

(例)レビ 22:18,19

(例)エズ 7:17

(例)エズ 7:21

この器具も聖なるものです。この銀と金
は皆さんの父祖たちの神エホバへの
自発的な捧げ物です。**29** エルサレ
ムのエホバの家の部屋で、祭司とレビ
族の長たち、イスラエルの氏族の高官
たちの前で、それを量って渡すまで、注
意深く守っててください。」「**30** 祭
司とレビ族は、エルサレムの神の家に
持つていくため、量られた銀と金と器
具を受け取った。

31 第1の月の12日、ついに私たち
はアハワ川を出発し、エルサレムに向
かった。その道中、神が助けてくださ
り、敵の攻撃や奇襲から救ってくだ
さった。**32** こうして私たちは、エル
サレムに来て、そこに3日とどまった。
33 そして4日目に、神の家で銀と金と
器具を量り、ウリヤの子である祭司メ
レモトに渡した。彼と一緒にピネハス
の子エシアザルがいて、エシュアの子
ヨザバドとビヌイの子ノアダヤというレ
ビ族の人たちもいた。**34** 全ての物
は数えられて量られ、重さは全部記録
された。**35** 捕囚の地から帰ってき
た人々は、イスラエルの神に全焼の犠
牲を捧げた。イスラエル全体のため
の雄牛12頭、また雄羊96匹、雄の子
羊77匹、罪の捧げ物として雄ヤギ12
匹である。この全てがエホバへの全
焼の捧げ物だった。

36 その後、私たちが王の布告書を

8:29 *または、「食堂」。

たいしゅ* かわ む ち いち#のそうとく
太守たちと川向こうの地域の総督たち
わた かわ しん いえ たみ
に渡すと、彼らは真の神の家と民を
し えん (り)
支援した。

9 こうしたことが終わると、高官たち
わかし ところ き い
が私の所に来て言った。「イス
たみ さいし ぞく しゅうい
ラエルの民や祭司やレビ族は、周囲
くに ひとびと はな
の国の人々から離れていません。カ
じん じん じん じん
ナン人、ヘト人、ペリジ人、エブス人、
アンモン人、モアブ人、エジプト人、ア
じん (ん) い おこな (め) はな
モリ人の忌まわしい行いから離れて
いないのです。2 自分や息子のため
くに ひとびと むすめ つま むか
に、それらの人々の娘を妻として迎
え (め) せ い し そん (め) しゅうい
ています。それで、聖なる子孫が周囲
くに ひとびと ま (め) (り)
の国の人々と混ざってしまっています。
ふちゅうじつ せんとう
しかも、この不忠実なことを先頭に
た おこな こうかん だいかん
立って行っているのは、高官や代官
たちです」。

3 私はこのことを聞くと、內衣と袖
わかし き ない い そで
なしの上着を引き裂き、髪を毛と頸ひ
うわぎ ひ さ かみ け あご
げを引き抜いて、動揺のあまり座り込
ひ め どうよう すわ こ
んだ。4 すると、イスラエルの神の
こと ば けい いだ ひ みな ほしゅう ち
言葉に敬意を抱く人が皆、捕囚の地
き かん ひとびと ふちゅうじつ おこな
から帰還した人々の不忠実な行いの
ことわかし まわ あつ
で私の周りに集まってきた。しか
わかし ゆうがた こくもつ ささ もの とき例
し、私は夕方の穀物の捧げ物の時
どうよう すわ
で動揺したまま座っていた。

5 夕方の穀物の捧げ物の時、私は
ゆうがた こくもつ ささ もの ときわかし
なげのをやめ、引き裂いた內衣と袖な
うわぎ ひ さ ない い そで
しの上着を着たまま立ち上がった。
わかし かみ む
そしてひざまずき、私の神エホバに向
りようて ひろ わかし
かって両手を広げた。6 私は言っ

8:36 *「領土を守る者」という意味の称号で、こ
こではペルシャ帝国の州の総督を指す。*また
は、「ユーフラテス川の向こう側」。

第8章
(り) 創 15:18

(り) エズ 6:13

第9章
(り) レビ 18:3

(り) 創 15:16

(り) レビ 20:23
申 12:29,30

(り) 出 34:15,16
エズ 10:44

(り) 出 19:5,6

(り) ネヘ 13:1,3

(り) 出 29:41

(り) 民 28:4,5

第2欄
(り) ダニ 9:7

(り) 民 32:14
代二 29:6

(り) 王二 10:32
代二 36:17

(り) 王二 17:22,23
王二 25:6,7

(り) 王二 17:20

(り) ネヘ 9:32

(り) ネヘ 9:31
詩 138:7

(り) ネヘ 9:36,37

(り) エズ 1:1-3

(り) エズ 6:14
ゼカ 4:9

た。「私の神よ、私は情けなさ^はと恥^はずか
わかし かみ わかし なさ
し^はさであな^はたに顔^はを向^はけることができ
わかし かみ わかし あやま あたま
ません。私の神よ、私たちの過^はちは頭
たか つ かさ
より高^はく積^はみ重^はなり、罪^はは天^はに達^はする
ほふ づえたからです。7 父^は祖^はたちの
じだい いま わかし おお つみ
時代^はから今まで、私たちは多^はくの罪^はを
おか (り) あやま わかし
犯^はしてきました。過^はちのせい^はで、私たち
おう さいし しゅうい のくに おう て
や王^はや祭司^はは周囲^はの国^はの王^はたちの手^は
わた つるぎ ころ (り) と (り) ごう
に渡^はされ、剣^はで殺^はされ、捕^はらえられ、強^は
だつ あ けいぶく きょう いた
奪^はに遭^はい、侮^は辱^はされ、今日^はに至^はってい
(り) (り) いま すこ あいだ わかし
ます。8 ところ^はが今^は、少^はしの間^は、私^はた
ちの神^はエホバが情^はけを掛^はけてくださ
たみ いちぶ のが かみ せい
り、民^はの一部^はを逃^はれさせて、神^はの聖^はな
ところ なか あんぜん ばしょ あた
る所^はの中に安全^はな場所^はを与^はえてくださ
(り) かみ わかし め
いました。神^はよ、あなた^はは、私たち^はの目^は
かがや どれい み わかし すこ
を輝^はかせ、奴^は隷^はの身^はである私^はたちを少^は
かいふく
しも回復^はさせようとしてくださったの
です。9 私^はたちは奴^は隷^はですが、神^はは
どれい の身^はである私^はたちを見^は捨てたりせ
わかし
ず、ペルシヤの王^はたちの前^はで揺^はるぎな
おう (り) まえ ゆ
い愛^はを示^はしてくださいました。私^はたち
あい しめ わかし
を回復^はさせて、神^はの家^はを建て^はて廢^は虚^はを
かきふく かみ いえ た (り) いしきよ
もどお
元^は通^はりにし、ユダ^はとエルサレム^はで石^は壁^は
つく せ
を造^はるためです。

10 しかし、こうな^はってしま^はった今^は、
わかし かみ なん もう あ
私たちの神^はよ、何^はと申^はし上げたらよ
わかし
いでしょう。私^はたちはあなた^はのおきて
す
を捨て^はました。11 あなた^はに仕^はえた
よげんしや とお あた つぎ
預^は言^は者^はたちを通^はして与^はえられた次^はの
おきてです。『あなた^はたちがはい^はって
て い わかし とち けが
て手^はに入れようとしてい^はる土地^はは、汚^は
とち くにくに ひと
れた土地^はである。そこ^はの国^は々^はの人^はたち

9:9 *または、「私^はたちを守る」。

が汚れており、忌まわしい行いによってその土地を隅々まで汚したからである。12 それで、あなたたちの娘をその人々の息子に与えてはならず、その人々の娘をあなたたちの息子のために迎えてもならない。また、決してその人々の平和と繁栄を望んではならぬ。この通りにすれば、あなたたちは強くなり、その土地の良い物を食べ、あなたたちの子孫のためにその土地を永遠に所有するだろう。13 悪い行いと大きな罪のせいで、さまざまなことが私たちに降り掛かりましたが、神よ、あなたは私たちを過ちに应じて処罰することはせず、ここにいる私たちを逃れさせてくださいました。それなのに、14 再びあなたのおきてを破り、忌まわしい行いをする人々と結婚による同盟を結ぶことなどあってよいでしょうか。あなたは激しく怒り、私たちを滅ぼし尽くして、誰一人生き残ることも逃れることもないようになさるのではないのでしょうか。15 イスラエルの神エホバ、あなたは正しい神です。そのおかげで私たちは、逃れて今日まで生き残っています。そして、罪を抱えてあなたの前におります。罪のせいで、あなたの前に潔白の身で立つことができないのです。

10 エズラが真の神の家の前でひれ伏し、泣きながら祈って告白していると、周りにイスラエルの

9:14 *または、「姻戚関係になる」。

第9章

(例) レビ 18:24
申 12:30, 31
申 18:9-11

(例) 出 23:32
出 34:15, 16
申 7:3, 4
ヨシ 23:12, 13

(例) 申 23:3, 6

(例) 詩 103:8, 10
哀 3:22

(例) 詩 106:46

(例) エズ 9:1
ネヘ 13:23

(例) ネヘ 9:33
ダニ 9:7

(例) 詩 130:3
詩 143:2

第10章

(例) エズ 9:5, 6

第2欄

(例) エズ 2:1, 7

(例) エズ 10:26, 44

(例) エズ 9:2

(例) 王二 11:17
代二 29:10
代二 34:31

(例) エズ 9:4

(例) ネヘ 10:28-30

(例) エズ 9:3, 4
ダニ 9:3-5

男性や女性や子供たちが大勢集まってきた。人々は激しく泣いていた。

2 すると、エラムの子孫エヒエルの子シェカヌヤがエズラに言った。「私たちは周囲の国の女性と結婚して、神に対して不忠実なことをしました。それでも、イスラエルにはまだ望みがあります。3 神と契約を結び、外国人の妻とその妻から生まれた子たちを皆去らせましょう。エホバの指示、神のおきてに敬意を抱く人たちの指示に従うのです。律法に沿って行動しましょう。4 立ち上がってください。これはあなたがしなければならないことです。私たちも共にいます。勇気を出して行動してください」。

5 そこでエズラは立ち上がり、祭司とレビ族とイスラエル全体の長老たちに、話されたことを行うよう誓わせた。それで彼らは誓った。6 エズラは真の神の家の前から立ち去り、エルヤシブの子エホハナンの部屋に行った。しかし、何も食べず、水も飲まなかった。捕囚の地から帰還した人々の不忠実さを嘆いていたからである。

7 それから、かつて捕囚にされた人々は皆エルサレムに集合するようにとの知らせが、ユダとエルサレムの全域に出された。8 高官や長老たちの決定により、3日以内に來ない人は誰でも持ち物を全て没収され、捕囚の

10:2 *または、「女性を家に住まわせて」。
6 *または、「食堂」。

地から帰還した人々の会衆から追放
 されることになった。9 それで、ユダ
 族とベニヤミン族の人たちは皆3日以
 内にエルサレムに集合した。第9の月
 の20日のことである。全員、真の神の
 家の庭に座り、事の重大さと大雨のた
 めに震えていた。

10 祭司エズラは立ち上がり、言っ
 た。「皆さんは、外国人の女性と結婚
 するという不忠実なことをしました。
 そのため、イスラエルの罪が増えまし
 た。11 それで今、父祖たちの神エ
 ホバに告白を、神の望まれることを
 行いなさい。周囲の国の人々から離
 れ、外国人の妻からも離れるのです」。

12 これに対して、会衆全体は大声で
 言った。「あなたの言う通りにします。」

13 とはいえ、大勢の人がいますし、今
 は雨期です。外に立っていることはで
 きませんし、この問題は1日や2日では
 扱えません。非常に大勢が背いたか
 らです。14 それで、どうか、高官たち
 が会衆全体を代表するようにしてくだ
 さい。そして、町々にいる、外国人の女
 性と結婚した人を皆、指定された時に
 各町の長老や裁判人たちと一緒に来
 させてください。そうすれば、この件に
 関して、神の燃える怒りをやがて静め
 ることができるでしょう。

15 ところが、アサエルの子ヨナタ
 ンとティクワの子ヤフゼヤは反対し、レ
 ビ族のメシュラムとシャベタイも2人を

第10章
 (例) エズ 7:26

(例) ネヘ 13:23

(例) 申 7:3,4
 ネヘ 13:3
 コニ 6:17

(例) エズ 9:1

(例) ネヘ 8:7
 ネヘ 11:16

第2欄
 (例) エズ 9:1,2
 ネヘ 13:28
 エゼ 44:22
 マラ 2:7,8

(例) エズ 2:1,2
 エズ 3:2
 ゼカ 6:11

(例) レビ 5:17,18

(例) 代一 24:3,14
 エズ 2:1,37

(例) 代一 24:3,8
 エズ 2:1,39

(例) エズ 2:1,38

(例) エズ 2:1,3
 ネヘ 3:25

(例) エズ 2:1,7
 エズ 8:1,7

(例) エズ 10:2

支持した。16 しかし、かつて捕囚に
 された人々は、合意した通りにした。
 祭司エズラと、それぞれ名前が記録さ
 れていた氏族長たちは、第10の月の
 1日に会合を持ち、この件について調
 べた。17 第1の月の1日までには、
 外国人の女性と結婚した人たち全員
 の調査を終えた。18 そして、祭司の
 子孫の中に外国人の女性と結婚して
 いた人たちがいることが分かった。エ
 ホツァダクの子エシュアの子たちと兄
 弟たちの中では、マアセヤ、エリエゼ
 ル、ヤリブ、ゲダリヤだった。19 彼ら
 は妻を去らせると約束し、犯した罪の
 ために群れの中から雄羊を各自1匹
 捧げることにした。

20 イメルの子孫の中では、ハナニ
 とゼバドヤがいた。21 ハリムの子
 孫の中では、マアセヤ、エリヤ、シマ
 ヤ、エヒエル、ウジヤ。22 パシュフ
 ルの子孫の中では、エルヨエナイ、マ
 アセヤ、イシュマエル、ネタヌエル、ヨ
 ザバド、エルアサ。23 レビ族の中
 では、ヨザバド、シムイ、ケラヤ(すなわち
 ケリタ)、ペタフヤ、ユダ、エリエゼル。
 24 歌い手の中では、エルヤシブ。門
 番の中では、シャルム、テレム、ウリ。

25 イスラエルのうち、パルオシュ
 の子孫の中では、ラムヤ、イジヤ、マル
 キヤ、ミヤミン、エレアザル、マルキヤ、
 ベナヤがいた。26 エラムの子孫の
 中では、マタヌヤ、ゼカリヤ、エヒエル、

10:19 *直訳、「手を与え」。

アブディ、エレモト、エリヤ。 **27** ザトの子孫の中では、エルヨエナイ、エルヤシブ、マタヌヤ、エレモト、ザバド、アジザ。 **28** ベバイの子孫の中では、エホハナン、ハナニヤ、ザバイ、アトライ。 **29** バニの子孫の中では、メシュラム、マルク、アダヤ、ヤシュブ、シェアル、エレモト。 **30** パハト・モアブの子孫の中では、アドナ、ケラル、ペナヤ、マアセヤ、マタヌヤ、ベザレル、ビヌイ、マナセ。 **31** ハリムの子孫の中では、エリエゼル、イシヤ、マルキヤ、シェマヤ、シムオン、 **32** ベニヤミン、マルク、シェマルヤ。 **33** ハシュムの子孫の中では、マテナイ、マタタ、ザバ

第10章
[例] エズ 2:1,8

[例] エズ 2:1,11
エズ 8:1,11

[例] エズ 2:1,6

[例] エズ 2:1,32

[例] ネヘ 3:11

[例] エズ 2:1,19
ネヘ 8:4

第2欄
[例] 申 7:3,4
エズ 10:16,17

ド、エリフェルト、エレマイ、マナセ、シムイ。 **34** バニの子孫の中では、マアダイ、アムラム、ウエル、 **35** ペナヤ、ベデヤ、ケルヒ、 **36** ワヌヤ、メルモト、エルヤシブ、 **37** マタヌヤ、マテナイ、ヤアス。 **38** ビヌイの子孫の中では、シムイ、 **39** シエラムヤ、ナタン、アダヤ、 **40** マクナデバイ、シャシャイ、シャライ、 **41** アザルエル、シェラムヤ、シェマルヤ、 **42** シャルム、アマルヤ、ヨセフ。 **43** ネボの人々の中では、エイエル、マタテヤ、ザバド、ゼビナ、ヤダイ、ヨエル、ペナヤ。 **44** この人たちは皆、外国人の女性を妻としていたが、妻を子たちと一緒に去らせた。

ネヘミヤ記

概要

- | | |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 エルサレムからの知らせ (1-3)
ネヘミヤの祈り (4-11) 2 ネヘミヤはエルサレムに行く (1-10)
ネヘミヤは都市の城壁を調べる (11-20) 3 城壁の再建 (1-32) 4 反対に遭っても工事が進む (1-14)
武器を持ちながら建設を続ける (15-23) 5 ネヘミヤは搾取をやめさせる (1-13)
ネヘミヤの利他的な行動 (14-19) 6 再建への反対が続く (1-14)
城壁が52日で完成する (15-19) 7 都市の門と門番たち (1-4)
バビロンから帰還した人たち (5-69)
神殿の使用人 (46-56)
ソロモンに仕えた人の子孫 (57-60)
工事のための寄進 (70-73) | <ol style="list-style-type: none"> 8 律法が読まれ、民に説明される (1-12)
飯小屋の祭りが行われる (13-18) 9 民が罪を告白する (1-38)
エホバは快く許す神 (17) 10 民は律法に従うことに同意する (1-39)
「私たちは神の家をないがしろにしない」 (39) 11 エルサレムに再び人が住む (1-36) 12 祭司とレビ族 (1-26)
城壁の奉献式 (27-43)
神殿での奉仕のための支援 (44-47) 13 ネヘミヤは再び改革をする (1-31)
10分の1を与えるべき (10-13)
安息日を汚してはならない (15-22)
外国人との結婚をとがめる (23-28) |
|--|--|

1 ハカルヤの子ネヘミヤの言葉。
第20年のキスレウの月、私は
シュジャン城にいた。2 私の兄弟の
1人ハナニが何人かと共にユダから
やって来た。それで私は、捕囚の身か
ら解放されたユダヤ人の残っている人
たちのことや、エルサレムのことにつ
いて尋ねた。3 彼らは言った。「捕
囚の生き残りて州に残っている人た
ちはひどい状況にあり、惨めです。エル
サレムの城壁は破壊されたままで、門
も火で焼かれたままです」。

4 その聞いた私は、座って泣き、何
にも嘆き悲しみ、断食をして天の神に
祈り続けた。5 私は言った。「天の
神エホバ、あなたは偉大で威厳に満
ちる神です。あなたを愛してあなた
のおきてを守る人たちの契約を守
り、揺るぎない愛を示す方です。6 ど
うか私の祈りに耳を傾け、目を向けて
くださいますように。私は今日、イス
ラエル人のことで昼も夜も祈りを捧げ、
イスラエルの民があなたに対して犯し
た罪をずっと告白しております。私も
わたくしの民も、罪を犯しました。7 私た
ちは確かに墮落し、あなたを怒らせま
した。あなたが奉仕者モーセに与え
たおきても規定も法規も守りませんで
した。

1:1 *意味、「ヤハは慰める」。^a ペルシャのアル
タクセルクス王の治世の第20年のこと。1:
1:2:1 ^a付録B15参照。1:1 ^aまたは、「スサ」。
^bまたは、「宮殿」、「要塞」。1:3 *または、「管
轄地域」。1:6 *直訳、「父の家」。

第1章

(例) ネヘ 1:11
ネヘ 5:14
ネヘ 10:1
(例) エス 1:2
エス 3:15
ダニ 8:2
(例) ネヘ 7:2
(例) エレ 52:30
(例) 王一 9:7
ネヘ 9:36, 37
詩 79:4
(例) 王二 25:10
(例) ネヘ 2:17
哀 1:4
(例) 代二 20:3
エズ 8:21
(例) 申 7:9
ダニ 9:4
(例) 詩 88:1
ルカ 18:7
(例) 代二 29:6
エズ 9:6
(例) 詩 106:6
(例) レビ 27:34
民 36:13
申 12:1
ネヘ 9:34

第2欄

(例) レビ 26:33
申 4:27
申 28:64
(例) 申 30:1-4
(例) 申 12:5
詩 132:13
(例) レビ 25:42
申 5:15
申 9:26, 29
(例) 王一 8:49, 50
エズ 7:6
詩 106:46
格 21:1
(例) ネヘ 2:1

第2章

(例) エズ 7:1
ネヘ 13:6
(例) ネヘ 1:1
(例) ネヘ 1:11

8 どうか、あなたの奉仕者モーセに
お話しになった次の言葉を思い起こし
てください。『あなたたちが不忠実な
ことをしたなら、私はあなたたちを
国々の中に散らす。9 しかし、あな
たたちが私のもとに戻り、私のおきて
を守って従うなら、あなたたちがたと
え天の果てに散らされていても、私は
そこから集め、私の名のために選んだ
場所に連れてくる』。10 彼らは、あ
なたに仕える、あなたの民です。あな
たが偉大な力と力強い手によって救
い出した民です。11 エホバ、私の
祈りと、喜んであなたの名を畏れる人
たちの祈りに、どうか耳を傾けてくださ
い。どうか今日うまくいきますように。
王が分かってくれますように。

その頃、私は王の献酌人だった。

2 アルタクセルクス王の治世の
第20年、ニサンの月のこと、王の
前にぶどう酒が置かれてあり、私はい
つものようにぶどう酒を取って王に差
上げた。それまで私は王の前で沈
んだ顔をしたことは一度もなかった。

2 それで王は私に、「どうして沈んだ
顔をしているのか。病気ではないだろ
う。気持ちが沈んでいるのではない
か」と言った。私はとても恐れた。

3 私は王に言った。「王が榮えます
ように！ 私の父祖たちが葬られてい
る都市が荒れ果て、門も焼け落ちてし

1:8 *または、「お与えになった次の警告」。1:
10 *直訳、「買い戻した」。

まっているので、どうしても沈んだ顔になつてしまふのです」。4 すると王は言った。「どうしたいと思っているのか」。私はすぐさま天の神に祈つた。5 それから王に言った。「もし私が王の好意を得ており、王が良いと思われのでしたら、私をユダに、父祖たちが葬られている都市に行かせ、そこを再建させてください」。6 王は言った。(そばには王妃が座っていた。)
「どれくらいの旅になるのか。いつ戻ってくるのか」。王が許可してくれたので、私は予定を伝えた。

7 私は王に言った。「もし王が良いと思われるのでしたら、ユダまでの道を安全に通行させてもらうため、川向こうの地域の総督たちに宛てた手紙を頂けないでしょうか。8 また、『家の要塞』の門、都市の城壁、私が行く家に使う材木を入手できるよう、『王の公園』の管理人アサフへの手紙もお願いいたします」。すると王は手紙をくれた。神が私を助けてくださったのである。

9 王は私に軍隊長たちや騎手たちも付けてくれた。私は川向こうの地域の総督たちの所に着き、王の手紙を渡した。10 ベト・ホロンの人サンバラテとアンモン人の役人トビヤはそのことを聞いた。彼らは、イスラエルの民

2:7 *または、「ユーフラテス川の向こう側」。2:8 *または、「神殿」。*または、「王の森林の」。2:10 *または、「ホロン人」。

第2章

(例) ネヘ 1:2,3

(例) サー 1:13

(例) ダニ 9:25

(例) ネヘ 1:11

(例) ネヘ 5:14

ネヘ 13:6

(例) ヨシ 1:4

エズ 5:3

(例) ネヘ 7:2

(例) ネヘ 1:3

(例) エズ 7:21

(例) エズ 7:6

(例) ネヘ 4:1

ネヘ 6:2

(例) ネヘ 13:1

(例) ネヘ 2:19

ネヘ 4:3

ネヘ 6:14

ネヘ 13:7

第2欄

(例) 代二 26:9

(例) ネヘ 3:13

(例) ネヘ 1:3

哀 1:4

哀 2:9

(例) ネヘ 3:15

ネヘ 12:37

(例) サニ 15:23

ヨハ 18:1

(例) ネヘ 4:14

のために力を尽くそうとする人が来たことを非常に不快に思った。

11 ついに私はエルサレムに着き、3日を経過した。12 私は、一緒にいた数名と共に夜中に起きた。私は、エルサレムのために行くよう神が私の心に入れてくださった事を誰にも話さなかった。私のもとは、乗っていた家畜以外、ほかに家畜はいなかった。13 私は夜中に「谷の門」を通って出ていき、「大蛇の泉」の前を抜けて、「灰の山の門」の所に行った。破壊されたエルサレムの城壁と焼け落ちた門を調べた。14 そして「泉の門」、また「王の池」へと進んでいったが、私が乗っていた家畜はそこを通り抜けられなかった。15 それでも、私はその夜、谷を上って城壁を調べ続けた。それから戻って、「谷の門」を通って入り、帰ってきた。

16 代官たちは、私がどこに行つて何をしていたか知らなかった。私は、ユダヤ人にも祭司にも高貴な人にも代官にも、そのほかの関係者にも、何も言っていなかったのである。17 ついに私は彼らに言った。「皆さんは、私たちがどれほどひどい状況にあるか、エルサレムが荒れ果てて門が火で焼かれたままになっている様子をご存じだとも思います。さあ、エルサレムの城壁を建て直しましょう。これまでの屈辱を晴らすのです」。18 それから私

2:15 *または、「ワジ」。

は、神がどのように助けてくださったか、また王から何と言われたかを話した。すると彼らは、「ぜひ建てましょう」と言った。そうして彼らは再建に向けて士気を高め合った。

19 ベト・ホロンの人サンバラテ、アモン人の役人トビヤ、アラビア人ゲシムはこのことを聞くと、私たちをあざけり、見下して、「おまえたちは何をやっているんだ。王に逆らおうとしているのか」と言いだした。**20** 私はこう答えた。「天の神が成功させてくださいます。その神に仕える私たちは建設に取り掛かります。あなた方には、エルサレムに何の関係も、権利も、功績ありません」。

3 大祭司エルヤシブとその兄弟の祭司たちが「羊の門」を建て始めた。その門を神聖なものとし、扉を取り付けた。その門から「メアの塔」まで、また「ハナヌエルの塔」までを神聖なものとした。**2** その続きをエリコの人たちが建て、さらにその続きをイムリの子ザクルが建てた。

3 ハセナアの子たちが「魚の門」を建てた。材木を使って建て、扉と錠とかんぬきを取り付けた。**4** その続きをハコツの子ウリヤの子メレモトが修復し、その続きをメシザブエルの子ベレクヤの子メシュラムが修復し、そ

第2章

【ア】エズ7:6,28
ネヘ2:7,8

【イ】ダニ9:25

【ウ】ハガ1:14

【エ】ネヘ13:1,2

【オ】ネヘ6:14

【カ】ネヘ4:7

ネヘ6:1,2

【キ】詩79:4

【ク】ネヘ6:6

【コ】詩127:1

【コ】エズ4:1-3

第3章

【イ】ネヘ12:10
ネヘ13:4,28

【イ】ヨハ5:2

【エ】ネヘ12:30

【エ】ネヘ12:38,39

【イ】エレ31:38
ゼカ14:10

【イ】エズ2:1,34

【イ】代ニ33:1,14
ゼバ1:10

【イ】ネヘ2:7,8

【イ】エズ8:33
ネヘ3:21

【イ】ネヘ3:30
ネヘ6:17,18

第2欄

【イ】ネヘ3:27
アモ1:1

【イ】ネヘ12:38,39

【イ】サニ2:12

【イ】創15:18

【イ】ヨシ18:21,26
代ニ16:6
エレ40:6

【イ】ネヘ12:38

【イ】エズ2:1,32

【イ】エズ2:1,6

【イ】ネヘ12:38

【イ】ヨシ15:20,34
ネヘ11:25,30

の続きをバアナの子ザドクが修復した。**5** さらにその続きをテコアの人たちが修復した。しかし、テコアの著名な人たちは、監督に服することを嫌がり、協力しなかった。

6 パセアハの子ヨヤダとベソデヤの子メシュラムが「旧市街の門」を修復した。材木を使って修復し、扉と錠とかんぬきを取り付けた。**7** その続きをギベオンの人メラトヤとメロノトの人ヤドンが修復した。彼らは、川向こうの地域の総督の管轄下にいるギベオンとミツパの人である。**8** その続きをハルハヤの子である金細工人ウジエルが修復し、その続きを香油調合師ハナニヤが修復した。彼らはエルサレム市内に、「広い城壁」まで石畳を敷いた。**9** その続きをエルサレムの地区の半分の高官、フルの子レファヤが修復した。**10** 続いて、ハルマフの子エダヤが自分の家の前の箇所を修復した。その続きをハシャブネヤの子ハトシュが修復した。

11 ハリムの子マルキヤとパハト・モアプの子ハシュブがほかの箇所と「かまどの塔」を修復した。**12** その続きをエルサレムの地区の半分の高官、ハロヘシュの子シャルムが娘たちと共に修復した。

13 ハヌンとザノアハの住民が「谷

2:18 *直訳、「手を強くした」。**2:19** *または、「ホロン人」。**2:20** *または、「記念」、「資格」。**3:1** *または、「奉献」。

3:7 *または、「ユーフラテス川の向こう側」。**3:8** *または、「香料」。**3:11** *または、「測量された箇所」。

の門^{もん}を修復^{しゅうふく}した。建ててから、扉^とと錠^{はい}とかんぬきを取り付けた。「灰^{はい}の山^{やま}の門^{もん}」まで450メートルにわたって城^{じょう}壁^{へき}を修復^{しゅうふく}した。14 ベト・ハケレムの地区^{くわい}の高官^{こうかん}、レカブの子マルキヤが、灰^{はい}の山^{やま}の門^{もん}を修復^{しゅうふく}した。建ててから、扉^とと錠^{はい}とかんぬきを取り付けた。

15 ミツパの地区^{くわい}の高官^{こうかん}、コルホゼの子シャルンが「泉^{いずみ}の門^{もん}」を修復^{しゅうふく}した。建ててから屋根^{やね}を付け、扉^とと錠^{はい}とかんぬきを取り付けた。また、「王^{おう}の庭園^{ていえん}」の隣^{となり}の「用水路^{ようすいろ}の池^{いけ}」の城壁^{じょうへき}を、「ダビデの町^{まち}」から下^{くだ}ってくる階段^{かいだん}の所^{ところ}まで修復^{しゅうふく}した。

16 次に、ベト・ツルの地区^{くわい}の半分^{はんぶん}の高官^{こうかん}、アズブクの子ネヘミヤが「ダビデの墓地^{ぼち}」の前^{まえ}から、人工池^{じんこういけ}、そして「力^{ちから}の強い者^{つよ}たちの家^{いえ}」の所^{ところ}まで修復^{しゅうふく}した。

17 次に、パニの子レフムなどのレビ^{れび}族^{ぞく}が修復^{しゅうふく}工^{こう}事^じをした。続いて、ケイラの地区^{くわい}の半分^{はんぶん}の高官^{こうかん}ハシャブヤが自分の地区^{くわい}の部分^{ぶぶん}を修復^{しゅうふく}した。18 その続きを、ケイラの地区^{くわい}の半分^{はんぶん}の高官^{こうかん}、ヘナダドの子バワイの下^{もと}で、ほかのレビ^{れび}族^{ぞく}が修復^{しゅうふく}した。

19 続いて、ミツパの高官^{くわい}、エシュアの子エゼルが「控^{ひか}え壁^{かべ}」の所^{ところ}にある武器庫^{ぶきこ}への上^{のぼ}り坂^{ざか}の前^{まえ}の箇所^{かしょ}を修復^{しゅうふく}した。

20 次に、ザバイの子バルクが熱心^{ねっしん}に働^{はたら}き、「控^{ひか}え壁^{かべ}」から大祭司^{だいさいし}エルヤ

第3章

〔例〕代ニ 26:9

〔例〕ネヘ 2:13

〔例〕エレ 6:1

〔例〕ヨシ 18:21, 26

〔例〕ネヘ 2:14

ネヘ 12:37

〔例〕エレ 39:4

〔例〕イザ 22:9

〔例〕サニ 5:7

〔例〕ネヘ 12:37

〔例〕ヨシ 15:20, 58

代ニ 11:5-7

〔例〕王一 2:10

代ニ 16:13, 14

〔例〕ネヘ 2:14

〔例〕ヨシ 15:20, 44

〔例〕エズ 2:1, 40

〔例〕代ニ 26:9

ネヘ 3:24

〔例〕エズ 10:28, 44

第2欄

〔例〕ネヘ 3:1

ネヘ 13:4

〔例〕エズ 8:33

〔例〕創 13:10

〔例〕ネヘ 3:19

〔例〕エレ 37:21

〔例〕サニ 5:11

ネヘ 12:37

〔例〕エズ 2:1, 3

〔例〕代ニ 27:1, 3

代ニ 33:1, 14

ネヘ 11:21

〔例〕ヨシ 9:3, 27

代一 9:2

エズ 2:43-54

エズ 8:17, 20

〔例〕ネヘ 8:1

ネヘ 12:37

〔例〕ネヘ 3:5

〔例〕エレ 31:40

〔例〕ネヘ 13:13

シブの家^{いえ}の入り口^{いぐち}の所^{ところ}までの箇所^{かしょ}を修復^{しゅうふく}した。

21 次に、ハコツの子ウリヤの子メレモトが、エルヤシブの家^{いえ}の入り口^{いぐち}から家の端^{はし}までの箇所^{かしょ}を修復^{しゅうふく}した。

22 その続きを、ヨルダン地域^{ちき}の祭司^{さいし}たちが修復^{しゅうふく}した。23 次に、ベニヤミンとハシュブが自分の家^{いえ}の前^{まえ}の箇所^{かしょ}を修復^{しゅうふく}した。次に、アナヌヤの子マアセヤの子アザリヤが自分の家^{いえ}の近く^{ちかく}の箇所^{かしょ}を修復^{しゅうふく}した。24 次に、ヘナダドの子ビヌイがアザリヤの家^{いえ}から「控^{ひか}え壁^{かべ}」、そして隅^{すみ}の所^{ところ}までの箇所^{かしょ}を修復^{しゅうふく}した。

25 次に、ウザイの子パラルが、「控^{ひか}え壁^{かべ}」の前^{まえ}と、「監視^{かんし}の庭^{てい}」の上^{うへ}の方^{ほう}にある「王^{おう}の家^{いえ}」から突き出^でた塔^{たう}の箇所^{かしょ}を修復^{しゅうふく}した。その続きをパルオシュの子ベダヤが修復^{しゅうふく}した。

26 そして、オフェルに住む神殿^{しんでん}の使用人^{しやうじん}が、東^{ひがし}の「水^{みづ}の門^{もん}」と壁^{かべ}から突き出^でた塔^{たう}の前^{まえ}の所^{ところ}までを修復^{しゅうふく}した。

27 次に、テコアの人^{ひと}たちが、壁^{かべ}から突き出^でた大きな塔^{たう}の前^{まえ}の所^{ところ}からオフェルの城壁^{じょうへき}までの箇所^{かしょ}を修復^{しゅうふく}した。

28 「馬^{うま}の門^{もん}」の先^{さき}の方は、祭司^{さいし}たちがそれぞれ自分の家^{いえ}の前^{まえ}の箇所^{かしょ}を修復^{しゅうふく}した。

29 次に、イメルの子ザドクが自分の家^{いえ}の前^{まえ}の箇所^{かしょ}を修復^{しゅうふく}した。

3:22 *もしかすると、「近隣^{きんりん}の」。

3:25 *または、「宮殿^{きうてん}」。

3:26 *または、「ネティニム」。直訳、「与えられた人たち」。

その^{つづ}きを、「東^{ひがし}の門^{もん}」の守衛^{しゅゑい}、シェカヌヤの子^こシエマヤが修復^{しゅうふく}した。

30 次に、シェレムヤの子^こハナニヤとツアラフの六男^{ろくなん}ハヌンが別の箇所^{べつ かんしょ}を修復^{しゅうふく}した。

次に、バレクヤの子^こメシュラムが自分の広間^{ひろま}の前の箇所^{かんしょ}を修復^{しゅうふく}した。

31 次に、金細工^{きんざい}工人^{くわんじん}の組合^{くみあい}の一員^{いちいん}マルキヤが、神殿^{しんでん}の使用人^{ししやうじん}と貿易商^{ぼうえきしやう}の家^{いえ}の所^{ところ}まで、また「検分^{けんぶん}の門^{もん}」の前^{まえ}と、隅^{すみ}の屋上^{おくじやう}の部屋^への所^{ところ}までを修復^{しゅうふく}した。

32 隅^{すみ}の屋上^{おくじやう}の部屋^へと「羊^{ひつじ}の門^{もん}」の間^{あいだ}は、金細工^{きんざい}工人^{くわんじん}と貿易商^{ぼうえきしやう}たちが修復^{しゅうふく}した。

4 サンバラテは、私^{わたし}たちが城壁^{じやうへき}を建て直^たしていることを聞^きくと、怒^{おこ}って非常^{ひじやう}にいら立ち、ユダヤ人^だたちをしきりにあざけった。**2** そして、仲間^{なかま}たちとサマリアの軍隊^{ぐんたい}の前^{まえ}でこう言った。「あの弱々^{じやくじやく}しいユダヤ人^{じん}たちは何^{なに}をしているんだ。やつらは自分^{じぶん}たちで何^{なん}とかできるとでも思^{おも}っているのか。犠牲^{ぎせい}を捧^{たか}げるつもりなのか。1日^{いちにち}で完成^{かんせい}させるというのか。がれきの山^{やま}から焼^やけ焦^こげた石^{いし}を取り出^として使^{つか}おうというのか」。

3 サンバラテのそば^{そば}に立^たっていたアンモン人^{じん}トビヤは言^いった。「あいつらが建^たてる石^{いし}の壁^{かべ}なんて、キツネ^{のぼ}が上^{のぼ}った

3:31 *または、「ネティニム」。直訳、「与えられた人^{ひと}たち」。**4:1** *または、「不快^{ふくがい}に思^{おも}い」。

第3章

(例) 代-9:17,18

(例) ネヘ 6:17,18

(例) ネヘ 3:26

(例) ネヘ 3:1

ヨハ 5:2

第4章

(例) ネヘ 2:10

ネヘ 6:1,2

ネヘ 13:28

(例) ネヘ 4:10

(例) ネヘ 13:1,2

(例) ネヘ 2:19

第2欄

(例) 詩 123:3

(例) 詩 79:12

(例) エレ 18:23

(例) ネヘ 4:3

(例) ネヘ 2:19

(例) ヨシ 13:2,3

ネヘ 13:23

ただでで崩^{くず}れるに違^{ちが}いない」。

4 私^{わたし}は祈^{いの}った。「私^{わたし}たちの神^{かみ}、お聞きください。私^{わたし}たちは侮辱^{ぶじよく}を受けています。彼^{かれ}らからのあざけりを彼^{かれ}ら自身^{じしん}*に向け、彼^{かれ}らが捕囚^{ほしゅう}にされて略奪品^{りやくだつひん}のように扱^{あつか}われるようにしてください。**5** 彼^{かれ}らの過^{あやま}ちを見^み過^みごしたり、罪^{つみ}を消^けし去^さったりしないでください。彼^{かれ}らは、城壁^{じやうへき}を建^たてている人^{ひと}たちをの^ののし^のったのです」。

6 私^{わたし}たちは城壁^{じやうへき}を築^{きず}き続^{つづ}け、城壁^{じやうへき}全体^{ぜんたい}は1つにつながり、半^{はん}分の高^{たか}さまで再^{さい}建^{けん}された。民^{たみ}は引^ひき続^{つづ}き一^{いっ}心^{しん}に働^{はたら}いた。

7 サンバラテ、トビヤ、アラビア人^{じん}、アンモン人^{じん}、アシュドの人^{ひと}たちは、エルサレム^{エルサレム}の城壁^{じやうへき}の修復^{しゅうふく}が進^{すす}み、切^きれ目^めが埋^うまりつ^つあるのを聞^きいて、非常^{ひじやう}に怒^{おこ}った。**8** 彼^{かれ}らは共^き謀^{ぼう}し、エルサレム^{エルサレム}を攻^{こう}撃^{げき}しに行^いって混^{こん}乱^{らん}を引き起^{おこ}そうとした。**9** 私^{わたし}たちは神^{かみ}に祈^{いの}り、彼^{かれ}らの攻^{こう}撃^{げき}に備^{そな}えて昼^{ひる}も夜^{よる}も見^み張^はりをお置^おいた。

10 ユダの人^{ひと}たちは言^いった。「労働^{ろうどう}者^{しや}*たちが弱^{よわ}っている上^{うえ}に、がれき^{がれき}が多^{おほ}過ぎて、城壁^{じやうへき}を建^たてられませ

11 その上^{うえ}、敵^{てき}たちがこう言^いっていた。「気^き付^づかれないようにやつらの中^{なか}に入^{はい}って殺^{ころ}し、作^さ業^{ぎやう}をやめさせよう」。

12 近^{ちか}くに住^すんでいたユダヤ人^{じん}が

4:4 *直訳、「の頭^{あたま}上^{うへ}」。**4:10** *または、「荷物^{もつ}運搬^{うんぱん}人^{ひと}」。

や^きって来^{てき}ては、「敵^{てき}たちはあちこちか
ら^{せま}迫^{わたし}ってきます」と私^{わたし}たちに何^{なん}度も
言^いった。

わたし　　じょうへき　　うし　　こうげき
13　それで私は、城壁の後ろの攻撃
　　ひく　　いち　　じんいん　　はいる
　されやすい低い位置に人員を配置し
　　つるぎ　　こ　　ゆめ　　も　　か　　そ
　た。剣や小やりや弓を持たせて、家族
　　はい　　ち　　かれ　　おそ
　ごとに配置した。**14** 彼らが恐れて
　　ようす　　わたし　　た
　いる様子だったので、私はすぐに立ち
　あ　　こうき　　ひどい　　だいかん
　上がって高貴な人や代官たち、そのほ
　　たみ　　い　　た
　かの民に言った。「彼らのことを恐れ
　　けい　　いだい　　いげん　　み
　てはなりません。偉大に威厳に満ちる
　　い　　わす　　きょう
　エホバがおられることを忘れずに、兄
　　だい　　むすこ　　むすめ　　つま　　い
　弟たちのため、息子や娘や妻そして家
　　たか
　のために戦いなさい」。

てき じぶん こうどう わたし
15 敵たちは、自分たちの行動が私
 たちには知られ、作戦が真の神によつて
 覆されたのを聞いた。私たちは皆、
 じょうき こうじ もど みや
 城壁の工事に戻った。 **16** その日以
 降、私の下で働く人の半分は工事を
 田 ほんぶん こ たて ゑみ
 し、半分は小やりや盾や弓やよろい
 そうび こうばん 甲 こうほう た
 を装備した。高官たちが後方に立つ
 し えん じん じょうへき
 て支援し、ユダヤ人たちは **17** 城壁
 きず もの はこ ひと
 を築いていった。物を運ぶ人たちは
 いっほう て さびょう いっほう て
 一方の手で作業をし、もう一方の手で
 ぶ きき も けんちくさぎょうしゃ かく
 武器を持った。 **18** 建築作業者は各
 じ つづる こう お はたら わたし
 自、剣を腰に帯びて働いた。私のそば
 つのぶえ な りと ひと
 には、角笛を吹き鳴らす人がいた。

19 私たちは高貴な人や代官たち、そのほかの民に言った。「工事は大きく広がっていて、私たちは城壁の上に散らばって、互いに遠く離れています。」

4:17 *または、「投げる武器」。

第4章

(ア) ネへ 13:17

20 角笛の音を聞いたら、私の所に
集合しなさい。神が私たちのために
戦ってくださいます」。

よ あ ほし で こゝろ わたし
21 夜明けから星が出る頃まで、私
はんぶん はたら ははんぶん こ
たちの半分は働き、半分は小やりを
わかし
持っていた。22 また、私はその時、
たみ い かくじ じぶん じゅうしゃ ども
民に言った。「各自、自分の従者と共
なか よる す
にエルサレムの中で夜を過ぎしな
にっくしゅうはたら ころ み
さい。そうすれば、日中働いて、夜は見
は わたし きょうだい
張りができます」。23 私も兄弟たち
じゅうしゃ い わたし したが み
も従者たちも、民に会う見張りたちも、
い ふく ぬ みぎて
ずっと衣服を脱がず、それぞれが右手
ぶき も
に武器を持っていた。

5 民と妻たちの中から仲間(なな)のユダヤ人に対する苦情(くるせい)の声(こゑ)が上がった。
 (例) わたし むすこ
 2 1 私(わたし)たちにはたくさん(いくぶん)の息子(むすめ)や娘(むすめ)がいます。食(た)べて生(い)きていくために穀物(こくぶつ)を手(て)に入れなければなりません。3 1 食(た)べ物がなければ、時(とき)に穀物(こくぶつ)を得(え)るために畑(はたけ)やブドウ園(えん)や家(いえ)を担保(たんぽ)に入(い)れています。4 1 また、こ(こ)う言(い)う人(ひと)もいた。
 (例) せいぎ おき はたけ えん
 王(おう)に税(ぜい)を納(おさ)めるため、畑(はたけ)とブドウ園(えん)を担保(たんぽ)にしてお金(かね)を借(か)りました。5 私(わたし)たちと彼(かれ)らは同(おな)じ民(みん)族(ぞく)同(どう)士(し)で、私(わたし)たちの子(こ)ども彼(かれ)らの子(こ)どもと変(か)わりないうちに、私(わたし)たちは息(むすこ)子(むすめ)や娘(むすめ)を奴(むすめ)隷(れい)として引(ひ)き渡(わ)すしかなく、すでに奴(れい)隷(れい)になっ(な)つた娘(むすめ)たちもいます。私(わたし)たちにはどうすることもできません。畑(はたけ)もブドウ園(えん)も人(ひと)の手(て)に渡(わ)っているからです。

5:4 *または、「貢ぎ物」。

第2欄

(ア) 申 1:30

ヨシ 23:10

第5章

(7) 申 15:9

(工) 申 28:15, 33
ネへ 9:36, 37

(才) 出 21:7

申 15:12

6 こうした苦情^{くじょう}と言^いい分^{ぶん}を聞^きいて、
わたくし^{わたくし}は非^ひ常^{じょう}に怒^{おこ}った。 7 私^{わたくし}はよく考^{かんが}え
てから、高^{こう}貴^きな人^{ひと}や代^{だい}官^{くわん}たち^{たち}に指^さ摘^{とく}
し、「皆^{みな}さん^{さん}はそれぞれ、自^じ分^{ぶん}の兄^{あに}弟^{てい}
から利^り息^{そく}を要^{よう}求^{きゅう}していま^{いま}す」と言^いった。

さ^{さら}に、彼^{かれ}ら^らのこ^{こと}で大^{おお}きな集^{しゅう}会^{かい}を
開^{ひら}いた。 8 私^{わたくし}は彼^{かれ}ら^らに言^いった。「私^{わたくし}

たち^{たち}は、他^たの国^{くに}々^{々に}に売^うられ^{れた}たユダ^{じん}ヤ人^{じん}
の兄^{きょうだい}弟^{だい}たち^{たち}を可^か能^{のう}な限^{かぎ}り買^かい戻^{もど}しまし
た。それな^なのに今^{いま}、皆^{みな}さん^{さん}は自^じ分^{ぶん}の兄^{あに}弟^{てい}

たち^{たち}を売^うるの^ので^ですか。私^{わたくし}たち^{たち}がまた
彼^{かれ}ら^らを^を買^かい戻^{もど}すの^ので^ですか。彼^{かれ}ら^らは黙^{だま}
り込^こみ、何^{なに}も言^いえな^なかつた。 9 私^{わたくし}は

さ^{さら}に言^いった。「皆^{みな}さん^{さん}のし^してい^{てい}るこ^{こと}
は良^よくあ^ありま^ません。敵^{てき}の国^{くに}々^{々に}から非^ひ難^{なん}

され^なないよ^う、何^{なに}事^{ごと}も神^{かみ}を畏^{おそ}れつ^つつ行^い
うべ^べきで^でないで^ですか。 10 私^{わたくし}も、私^{わたくし}

の兄^{きょうだい}弟^{だい}や従^{じゅうしや}者^{しや}たち^{たち}も、彼^{かれ}ら^らに^にお金^{かね}や
穀^{こく}物^{もつ}を貸^かし与^{あた}えていま^{いま}す。利^り息^{そく}を取^と
て貸^かすは^はやめ^めま^ませんか。 11 今日^{けふ}、

彼^{かれ}ら^らの畑^{はたけ}、ブドウ園^{えん}、オリーブ畑^{はたけ}、家^{いえ}
を返^{かえ}し、皆^{みな}さん^{さん}が貸^かしたお金^{かね}や穀^{こく}物^{もつ}や新^{にい}
しいぶどう酒^{しゅ}や油^{あぶら}の利^り息^{そく}を返^{かえ}してあ^あげ

てくだ^{くだ}さい」。

12 彼^{かれ}ら^らは言^いった。「それ^{それ}ら^らの物^{もの}を
返^{かえ}しま^ます。何^{なに}も請^{せい}求^{きゅう}しま^ません。あな^{あな}た

の言^いう通^{とお}りに^にま^ます。そ^それで^で私^{わたくし}は祭^{さい}
し^し、司^し祭^{さい}たち^{たち}を呼^よび、約^{やく}束^{そく}を守^{まも}るこ^{こと}を祭^{さい}司^し

たち^{たち}の前^{まえ}で彼^{かれ}ら^らに誓^{ちか}わ^わせ^せた。 13 さ
ら^{さら}に、私^{わたくし}は服^{ふく}のひ^ひだ^だを^を広^{ひろ}げ^げて振^ふり、こ^こう

言^いった。「この約^{やく}束^{そく}を守^{まも}ら^らない人^{ひと}は皆^{みな}、

5:7 *または、「高利」。 5:11 *直訳、「100分
の1」。月1%の利息のこと。 5:13 *直訳、「懐」。

第5章

〔出〕 22:25
申 23:19
詩 15:5
エゼ 22:12

〔レ〕 レビ 25:35
申 15:7,8
エレ 34:8,9

〔レ〕 レビ 25:36
ネヘ 5:15

〔エ〕 エゼ 18:5,8

〔ネ〕 ネヘ 5:3

第2欄

〔ネ〕 ネヘ 10:1

〔エ〕 エズ 8:1

〔ネ〕 ネヘ 2:1

〔ネ〕 ネヘ 6:6

〔コ〕 コー 9:14,15
テサ二 3:8

〔ネ〕 ネヘ 5:9

〔コ〕 コ二 11:9
コ二 12:14

〔使〕 使徒 20:33
コ二 12:17

しん^{しん}の神^{かみ}にこ^このよ^ように振^ふり落^おとされ^れ、自^じ
分^{ぶん}の家^{いえ}と所^{しやう}有^{ぶつ}物^なの中^{なか}から放^{ほう}り出^だされ
てしま^{しま}いますよ^{よう}に。こ^このよ^ように振^ふり落^お
とされ^れて、裸^{はだかどうぜん}同^{どう}然^{ぜん}にな^なりますよ^{よう}に」。
す^すると会^{かい}衆^{しゅう} 全^{ぜん}体^{たい}は「ア^アー^アメ^メン！」と^い言^い
い、エホバ^{エホバ}を賛^{さん}美^びした。民^{たみ}は約^{やく}束^{そく}した
と^とお通^{とお}りにした。

14 私^{わたくし}は、ユダ^{ユダ}の総^{そう}督^{とく}に任^{にん}命^{めい}され^{れた}た
日^ひから12年^{ねん}間^{かん}、つ^つま^まりアルタ^{アルタ}クセル^{クセル}ク
セス王^{おう}の治^{せい}世^{せい}の第^{だい}20年^{ねん}から第^{だい}32年^{ねん}
ま^まで、総^{そう}督^{とく}に支^し給^{きゅう}さ^される食^{しょく}料^{りょう}を食^くべ
るこ^{こと}はしな^なかつた。私^{わたくし}の兄^{あに}弟^{てい}たち^{たち}も
食^くべな^なかつた。 15 私^{わたくし}よりも前^{まえ}の総^{そう}
督^{とく}たち^{たち}は、民^{たみ}に負^ふ担^{たん}を掛^かけ、毎^{まい}日^{にち}パン
とぶ^ぶどう酒^{しゅ}のた^ために460グラ^{ぎん}ムの銀^{ぎん}を
た^たみと^と民^{たみ}から取^とつて^ていた。彼^{かれ}ら^らの従^{じゅうしや}者^{しや}たち^{たち}も
民^{たみ}を^を圧^{あつ}迫^{ぱく}して^ていた。し^しかし私^{わたくし}は、神^{かみ}を
畏^{おそ}れるゆ^ゆえに^にそ^そうは^はしな^なかつた。

16 私^{わたくし}はこ^この城^{じやう}壁^{へき}の工^{こう}事^じに自^じら参^{さん}
加^かし、私^{わたくし}の従^{じゅうしや}者^{しや}も皆^{みな}そ^そこで働^{はたら}いた。私^{わたくし}
たち^{たち}は畑^{はたけ}を^を手^てに^に入^いれた^たりはしな^なかつた。
17 150人^{にん}のユダ^{じん}ヤ人^{じん}と代^{だい}官^{くわん}た^た
ち^ちが私^{わたくし}の食^{しょく}卓^{たく}に着^つき、他^たの国^{くに}々^{々に}から
や^やつて来^くる人^{ひと}たち^{たち}もそ^そうした。 18 私^{わたくし}
の負^ふ担^{たん}で雄^お牛^う1頭^{とう}と最^{さい}上^{じやう}の羊^{ひつじ}6匹^{びき}と鳥^{とり}
が毎^{まい}日^{にち}用^{よう}意^いされ、10日^{にち}に1度^どは各^{かく}種^{しゅ}の
ぶ^ぶどう酒^{しゅ}がた^たくさ^さん用^{よう}意^いされ^た。そ^それ
で^でも、私^{わたくし}は総^{そう}督^{とく}に支^し給^{きゅう}さ^される食^{しょく}料^{りょう}を要^{よう}
求^{きゅう}しな^なかつた。民^{たみ}にはす^すでにさ^さま^まざ^ざま
な義^ぎ務^むが課^かせ^せられ^れて^ていたか^から^らである。
19 私^{わたくし}の神^{かみ}よ、私^{わたくし}が民^{たみ}のた^ために^にした良^よ

5:13 *用語集参照。 *または、「そうなりますよ
うに」。 5:18 *直訳、「ために」。

いことを覚えていてください。私のことをどうか覚えていて、恵みを与えてくださいますように。

6 まだ扉を門に取り付けていなかったものの、私が城壁を建て直して切れ目がなくなったということが、サンバラテ、トビヤ、アラビア人ゲシュム、その他の敵対者たちに伝わり、**2** サンバラテとゲシュムはすぐに、「オノの谷あいの平原の村で会おう」という知らせを送ってきた。彼らは私に危害を加えようとたくらんでいた。私は使者たちを送ってこう伝えさせた。「大きな仕事をしているので、行けません。あなた方の所に行くと、仕事が止まってしまうです」。**4** 彼らは4回も同じことを言ってきたので、私はその都度同じ返事をした。

5 サンバラテは従者を遣わして5回目にも同じことを伝えてきた。従者は封をしていない手紙を持っていた。

6 こう書かれていた。「国々の間であなことがうわさになり、ゲシュムも言っている。それによれば、あなたとユダヤ人たちは反逆をもくろんでいるとのこと。だからあなたは城壁を建て直して、彼らの王になろうとしているという話だ。**7** あなたが預言者たちを任命して『ユダに王がいる!』と言わせ、エルサレム中に自分のことを言い広めているというのだ。このことはいずれ王の耳に入る。だから会って話し合おう」。

第5章
(ア) ネヘ 13:14
詩 18:24
イザ 38:3
マラ 3:16

第6章
(イ) ダニ 9:25

(ウ) ネヘ 3:1,3

(エ) ネヘ 2:10
ネヘ 4:3

(オ) ネヘ 2:19
ネヘ 4:7

(カ) 代一 8:12
ネヘ 11:31,35

(キ) ネヘ 2:19

(ク) エズ 4:14,15

第2欄
(ア) エズ 4:4

(イ) 詩 68:35
詩 138:3
イザ 41:10

(ウ) 民 1:51
民 18:7
代二 26:18,19

(エ) ネヘ 2:10

(オ) ネヘ 4:3,4

8 私はこう返事を送った。「あなたが言っているのは本当のことではありません。あなたが勝手に考えたことです」。**9** 彼らは私たちをおじけづかせようとした。「やつらは氣力を失い、工事を完了できないだろう」とおもっていたのである。神よ、私を強くしてください。

10 それから私は、メヘタブエルの子デラヤの子シェマヤの家に行った。シェマヤは閉じこもっていて、こう言った。「真の神の家で、神殿の中で会い、神殿の扉を閉じておきましょう。彼らがあなたを殺しに来るからです。夜にあなたを殺しに来ます」。**11** しかし私は、「私のような立場にいる人が逃げたてよいでしょうか。私のような人が神殿に入って生きていられるでしょうか。私は入りません!」と言った。

12 シェマヤを遣わしたのは神ではなく、トビヤとサンバラテがシェマヤを雇ってその預言を語らせたことに私は氣づいた。**13** 私をおびえさせて罪を犯させるために、シェマヤは雇われたのだった。私を批判して評判を落とすための根拠を作ろうとしたのである。

14 私の神よ、トビヤとサンバラテがしたこと、私をしきりにおびえさせようとする女預言者ノアドヤなどの預言者のことをどうか覚えていてください。

6:9 *直訳、「の手は垂れ」。^{*}直訳、「私の手」。

15 城壁はエルルの25日に完成した。52日で建てられた。

16 敵たちは皆そのことを聞き、周囲の国々はそれを見た。そして屈辱を味わい、工事が完了したのは神の助けがあったからだと認めた。 17 その頃、ユダの高貴な人たちはトビヤに頻繁に手紙を送っていて、トビヤも返信していた。 18 ユダの多くの人がトビヤへの支持を誓っていた。トビヤはアラハの子シェカヌヤの婿だった。トビヤの子エホナハンにはベレクヤの子メシュラムの娘と結婚していた。 19 ユダの多くの人々は私の前でトビヤのことをしるに褒め、私が言ったことをトビヤに伝えるのだった。トビヤは私に誓いの手紙をたびたび送ってきた。

7 私は城壁が建て直されるとすぐに扉を取り付けた。それから門番と歌い手とレビ族を任命した。 2 また、私の兄弟ハナニと要塞の長ハナニヤにエルサレムを治めるよう命じた。ハナニヤはとても信頼できる人で、ほかの人たちよりも真の神を畏れていた。 3 私は彼らに言った。「日中の暑くなる頃までは、エルサレムの門を開けてはなりません。門番は見張りを終える前に、扉を閉め、錠をしなければなりません。そして見張りとして、エルサレムの住民をそれぞれ自分の担当場所や自分の家の前に配置しな

第6章

[例] ネヘ 4:7

詩 129:5

[例] ネヘ 5:7

[例] エズ 2:1,5

[例] ネヘ 3:4

[例] ネヘ 6:9

ネヘ 6:10,13

第7章

[例] ネヘ 2:17

ネヘ 6:15

ダニ 9:25

[例] ネヘ 3:1,6,13

[例] 代一 26:1

エズ 2:1,42

[例] 代一 9:33

エズ 2:1,41

[例] エズ 3:8

[例] ネヘ 1:2

[例] ネヘ 2:8

[例] ネヘ 5:15

第2欄

[例] ネヘ 11:1

[例] 代一 9:1

エズ 2:59,62

[例] 王二 25:1

ダニ 3:1

[例] 王二 24:12,14

代二 36:17,20

エレ 39:9

エレ 52:15,28

[例] エズ 2:1

[例] エズ 1:8,11

ゼカ 4:9

マタ 1:12

[例] エズ 3:8

エズ 5:2

ハガ 1:14

ゼカ 3:1

[例] エズ 2:2-35

[例] ネヘ 6:17,18

[例] エズ 10:30,44

[例] エズ 8:1,9

[例] エズ 10:26,44

さい」。 4 都市は広々として大きかったが、市内には人がわずかしかなかった。 まだ家は建て直されていなかった。

5 高貴な人や代官や民を集めて系譜に記録するよう、神は私の心を動かした。私は最初に帰還した人たちの家系の記録書を見つけた。そこには次のように書かれていた。

6 以下は州の人々で、捕囚にされていた民のうち帰還した人たちである。かつてバビロンのネブカドネザル王に捕らわれて連れていかれたものの、エルサレムとユダに帰ってきて、それぞれ自分の町に戻ったのである。 7 この人たちは、ゼルバベル、エシュア、ネヘミヤ、アザリヤ、ラアムヤ、ナハマニ、モルデカイ、ビルシャン、ミスペレト、ピグワイ、ネフム、バアナと共にやって来た。

イスラエル人の男性の数は次の通りである。 8 パルオシュの子孫、2172人。 9 シェファトヤの子孫、372人。 10 アラハの子孫、652人。 11 パハト・モアブの子孫で、エシュアとヨアブの子孫、2818人。 12 エラムの子孫、1254人。 13 ザトの子孫、845人。 14 ザカイの子孫、760人。 15 ビヌイの子孫、648人。 16 ベバイの子孫、628人。 17 アズガドの子孫、2322人。 18 アドニカムの子孫、667人。 19 ビグワイの子孫、2067人。 20 アディンの子孫、655人。

21 アテルの子孫^{しそん}で、ヒゼキヤの子孫^{しそん}、
98人。22 ハシュムの子孫^{しそん}、328人。

23 ベツアイの子孫^{しそん}、324人。24 ハ
リフの子孫^{しそん}、112人。25 ギベオン^イ
の子孫^{しそん}、95人。26 ベツレヘムとネト^イ
ファの人々^{ひとびと}、188人。27 アナトデの^イ
人々^{ひとびと}、128人。28 ベト・アズマベト^イ
の人々^{ひとびと}、42人。29 キルヤト・エアリ^イ
ムとケフィラとベエロトの人々^{ひとびと}、743
人。30 ラマとグバの人々^{ひとびと}、621人。

31 ミクマスの人々^{ひとびと}、122人。32 ベ
テルとアイの人々^{ひとびと}、123人。33 別の^イ
ネボの人々^{ひとびと}、52人。34 別のエラム^イ
の子孫^{しそん}、1254人。35 ハリムの子孫^{しそん}、
320人。36 エリコの人々^{ひとびと}、345人。

37 ロドとハディドとオノの人々^{ひとびと}、721
人。38 セナアの人々^{ひとびと}、3930人。

39 祭司^{さいし}は次の通りである。エシュ
アの家系^{かけい}の子孫^{しそん}、973人。

40 イメルの子孫^{しそん}、1052人。41 パ
シュフルの子孫^{しそん}、1247人。42 ハリム^イ
の子孫^{しそん}、1017人。

43 レビ族^{しそん}は、ホデワの子孫^{しそん}で、カド
ミエル氏族^{しそん}のエシュアの子孫^{しそん}、74人。

44 歌い手^{うたて}は、アサフの子孫^{しそん}、148人。
45 門番^{もんばん}は、シャルムの子孫^{しそん}、アテル^イ
の子孫^{しそん}、タルモンの子孫^{しそん}、アクブの子^イ
孫^{しそん}、ハティタの子孫^{しそん}、シヨバイの子孫^{しそん}、
138人。

46 神殿^{しんでん}の使用人^{しようじん}は次の通りであ
る。ツィハの子孫^{しそん}、ハスファの子孫^{しそん}、タ
7:25 *もしかすると、「人々」。7:46, 60 *ま
たは、「ネティニム」。直訳、「与えられた人々」。

第7章

イヨシ 11:19
サニ 21:2
ネヘ 3:7

イヨシ 21:18,18
エレ 1:1

イサ 7:2

イヨシ 18:25,28

イヨシ 18:21,24

イサ 13:5

イサ 12:32

イヨシ 7:2

イネヘ 6:2
ネヘ 11:31,35

イエズ 2:36-39

イエズ 10:22,44

イサ 24:3,8

イエズ 2:40

イエズ 3:9

イサ 25:7
エズ 2:41

イサ 6:31,39

イエズ 2:42
ネヘ 7:1

イサ 9:2,17
ネヘ 11:19
ネヘ 12:25

イヨシ 9:3,27
代 9:2
エズ 2:43-54
エズ 2:58

第2欄

イエズ 2:55-58
ネヘ 11:3

イヨシ 9:3,27
ネヘ 3:26

イエズ 2:59-63

イサ 24:3,10
ネヘ 3:21

バオトの子孫^{しそん}、47 ケロスの子孫^{しそん}、シ
アの子孫^{しそん}、パドンの子孫^{しそん}、48 レバナ^イ
の子孫^{しそん}、ハガバの子孫^{しそん}、サルマイの子^イ
孫^{しそん}、49 ハナンの子孫^{しそん}、ギデルの子^イ
孫^{しそん}、ガハルの子孫^{しそん}、50 レアヤの子^イ
孫^{しそん}、レツインの子孫^{しそん}、ネコダの子孫^{しそん}、

51 ガザムの子孫^{しそん}、ウザの子孫^{しそん}、パセ
アハの子孫^{しそん}、52 ベサイの子孫^{しそん}、メウ
ニムの子孫^{しそん}、ネフシェシムの子孫^{しそん}、

53 バクブクの子孫^{しそん}、ハクファの子^イ
孫^{しそん}、ハルフルの子孫^{しそん}、54 バツリトの^イ
子孫^{しそん}、メヒダの子孫^{しそん}、ハルシャの子孫^{しそん}、

55 バルコスの子孫^{しそん}、シセラの子孫^{しそん}、
テマハの子孫^{しそん}、56 ネジアの子孫^{しそん}、ハ
ティファの子孫^{しそん}。

57 ソロモンに仕えた人の子孫^{しそん}は
次の通りである。ソタイの子孫^{しそん}、ソフェ
レトの子孫^{しそん}、ペリダの子孫^{しそん}、58 ヤア
ラの子孫^{しそん}、ダルコンの子孫^{しそん}、ギデルの^イ
子孫^{しそん}、59 シェファトヤの子孫^{しそん}、ハティ^イ
ルの子孫^{しそん}、ポケレト・ハツェバイムの子^イ
孫^{しそん}、アモンの子孫^{しそん}。60 神殿^{しんでん}の使用^{しよう}
人^{じん}と、ソロモンに仕えた人の子孫^{しそん}は、
あ合わせて392人だった。

61 また、次の人たちは、テル・メラ
ハ、テル・ハルシャ、ケルブ、アドン、イメ
ルからやって来たが、家系^{かけい}や祖先^{そせん}を特
定できず、自分たちがイスラエル人^{じん}で
あることを証明^{しょうめい}できなかった。62 す
なわち、デラヤの子孫^{しそん}、トビヤの子^イ
孫^{しそん}、ネコダの子孫^{しそん}、642人。63 祭司^{さいし}
なか
の中では、ハバヤの子孫^{しそん}、ハコツの^イ

子孫^{しそん}、バルジライの子孫^{しそん}。バルジライは、ギレアデの人^{ひと}バルジライの娘^{むすめ}のひとり^{ひと}を妻^{つま}としたので、その名前^{なまえ}で呼ばれた。64 この人^{ひと}たちは、家系^{かけい}を証明^{しょうめい}しようとして記録^{きろく}を探^{さが}したが、見つからなかった^{みつからなかった}ので、祭司^しの資格^{しかく}を得^えられなかった。65 彼ら^{かれ}に対して総督^{そうとく}は、ウリムとトンミム^{つか}を使^{さい}える祭司^しが立て^たられるまでは極^{きわ}めて聖^{せい}なるもの^{もの}を食^たべてはならない、と言^いった。

66 会衆^{かいしゅう}全体^{ぜんたい}の人数^{にんずう}は4万^{まん}2360人^{にん}であり、67 このほかに、奴隷^{どれい}の男女^{だんなじやう}が7337人^{にん}、歌い手^{うた}の男女^{だんなじやう}が245人^{にん}いた。68 馬^{うま}は736頭^{とう}、ラバ^{らば}は245頭^{とう}、69 ラクダ^{らくだ}は435頭^{とう}、ロバ^{ろば}は6720頭^{とう}だった。

70 氏族^{しぞく}長^{ちやう}の中には工事^{こうじ}のために寄進^{きしん}した人^{ひと}たちがいた。総督^{そうとく}は、資金^{しきん}としてドラクマ金貨^{きんか}1000枚^{まい}、鉢^{はち}50個^こ、祭司^しの長い服^{ふく}530着^{さだ}を差^さし出した。71 氏族^{しぞく}長^{ちやう}の中には、合^あわせてドラクマ金貨^{きんか}2万枚^{まんまい}と銀^{ぎん}1.3トン^{けんせつ}を建設^{けんせつ}資金^{しきん}として差^さし出した人^{ひと}たちがいた。

72 そのほかの民^{たみ}は、ドラクマ金貨^{きんか}2万枚^{まんまい}と銀^{ぎん}1.1トン^{しやうにん}と祭司^しの長い服^{ふく}67着^{さだ}を差^さし出した。

73 祭司^し、レビ族^{れびぞく}、門番^{もんばん}、歌い手^{うた}、民^{たみ}の一部^{いちぶ}、神殿^{しんでん}の使用人^{しやうにん}、残り^{のこ}のイスラ

7:64 *または、「汚れているとして祭司職から除外された」。7:65, 70 *または、「ティルシャタ」。ペルシャの称号で、州の総督を指す。7:70 *一般に、ペルシャのダリク金貨(8.4グラム)と同一視されている。ギリシャ語聖書のドラクマとは異なる。付録B14参照。7:73 *または、「ネティニム」。直訳、「与えられた人たち」。

第7章

(7) サニ 17:27-29
サニ 19:31
五一 2:7

(1) 民 18:7

(7) ネヘ 8:9
ネヘ 10:1

(1) 出 28:30
サー 28:6

(7) レビ 2:3
民 18:8,9

(7) エズ 2:64-67

(7) レビ 25:44

(7) 出 15:21
サー 18:6

(7) エズ 2:68,69

(1) レビ 6:10

(7) ネヘ 7:1

第2欄

(7) ネヘ 11:20

(1) レビ 23:24,27

五一 8:2
エズ 3:1

(7) エズ 2:70

第8章

(1) ネヘ 3:26
ネヘ 12:37

(7) エズ 7:6

(7) レビ 27:34

(7) 申 31:9
ヨシ 1:8

(7) 申 31:12
代二 17:8,9
マラ 2:7

(7) レビ 23:24
五一 8:2

(1) 使徒 13:15
使徒 15:21

(7) 使徒 16:14
使徒 17:11

(1) ネヘ 12:40,42

(1) 申 27:26

エル人^{じん}は自分^{じぶん}の町^{まち}に住^すんだ。第7の月^{つき}になった時^{とき}、イスラエル人^{じん}は自分^{じぶん}の町^{まち}に住^すんでいた。

8 民^{たみ}は皆^{みな}、「水^{みづ}の門^{かど}」の前^{まえ}の広場^{ひろば}に同じ^{おな}い思^{おも}いで集^{あつ}まった。そして写^{しゃ}字生^{じせい}エズラ^えに、エホバがイスラエルに命^{めい}じたモーセ^{りつぽう}の律法^{りつぽう}の書^{しょ}を持^もってくるよう頼^{たの}んだ。2 それで祭司^{さいし}エズラ^えは、男性^{なんせい}や女性^{なんれい}、聞^きいて理^り解^{かい}できる年^{ねん}齢^{れい}のひとたちから成^なる会衆^{かいしゅう}の前^{まえ}に律法^{りつぽう}を持^もってきた。第7の月^{つき}の1日^{いつにち}のこ^こであ

る。3 エズラは「水^{みづ}の門^{かど}」の前^{まえ}の広場^{ひろば}の前^{まえ}で、夜明^{よあけ}けから真昼^{まひる}まで、男性^{なんせい}や女性^{なんれい}、理^り解^{かい}できる年^{ねん}齢^{れい}の人^{ひと}たち^{たち}にそれ^{それ}を讀^よみ聞^きかせた。民^{たみ}は律法^{りつぽう}の書^{しょ}の朗^{ろう}読^{どく}に注^{ちゅう}意^い深^{しん}く耳^{みみ}を傾^{かたむ}けた。4 写^{しゃ}字生^{じせい}エズラ^えは、この時^{とき}のため^{ため}に作^{つく}られた木^{もく}製^{せい}の演^{えん}壇^{だん}に立^たっていた。そばにみ^みぎがわは、右側^{みぎがわ}にマタテヤ^{マタテヤ}、シェマ^{シェマ}、アナヤ^{アナヤ}、ウリヤ^{ウリヤ}、ヒルキヤ^{ヒルキヤ}、マアセヤ^{マアセヤ}が、左側^{ひだりがわ}にペダヤ^{ペダヤ}、ミシャエル^{ミシャエル}、マルキヤ^{マルキヤ}、ハシュム^{ハシュム}、ハシュ・バダナ^{ハシュ・バダナ}、ゼカリヤ^{ゼカリヤ}、メシュラム^{メシュラム}が立^たっていた。

5 エズラは、民^{たみ}よりも高^{たか}い位^{いち}置^ちにい^いたので、律法^{りつぽう}の書^{しょ}を開^{ひら}くと、皆^{みな}から見^みえた。彼^{かれ}がそれを開^{ひら}いた時^{とき}、民^{たみ}は皆^{みな}立^たち上^あがった。6 それからエズラ^えが、偉^{だい}大^{いた}な方^{かた}、真^まの神^{しん}エホバ^えを賛^{さん}美^びすると、民^{たみ}は皆^{みな}「アーメン^{*} アーメン⁽¹⁾!」と言^いって手^てを挙^あげた。彼^{かれ}らは身^みをかめ^めてエホバにひれ伏^ふした。7 エシュア^え、

8:1, 4 *または、「書記」。8:6 *または、「そうなりますように」。

パニ、シェレブヤ、ヤミン、アクブ、シャ
ベタイ、ホディア、マアセヤ、ケリタ、ア
ザリヤ、ヨザバド、ハナン、ペラヤという
レビ族の人たちが民に律法を説明し、
民は立ったままでいた。8 彼らは真
の神の律法の書を朗読し続け、分かり
やすく説明して意味を教えた。読まれ
た箇所を理解できるよう、民を助けた
のである。

9 総督ネヘミヤ、写生字である祭司エズラ、民を教えていたレビ族たちは民に言った。「今日はエホバ神にとって聖なる日です。嘆き悲しんだり、泣いたりしてはいけません」。民は皆、律法の言葉を聞いて、泣いていたのである。10 ネヘミヤは民に言った。「行って、最上級のものを食べ、甘いぶどう酒を飲み、何も用意していない人には食べ物を分けてあげなさい。今日は私たちの主にとって聖なる日だからです。悲しんではいけません。エホバからの喜びは皆さんの力となるのです」。11 レビ族たちも、「泣くのをやめなさい。今日は聖なる日です。悲しんではいけません」と言って、民を落ち着かせた。12 こうして民は去って行って食べたり飲んだりし、食べ物を分け、大いに喜び楽しんだ。自分たちに語られた言葉を理解したからだった。

8:9 *または、「ティルシャタ」。ペルシャの称号で、州の総督を指す。8:9, 13 *または、「書記」。
8:10 *直訳、「肥えた」。「直訳、「とりで」。

第8章

- (例) ネヘ 9:4
(例) エズ 8:33
ネヘ 11:16
(例) 申 33:8,10
(例) ルカ 24:27
使徒 8:30,31
(例) エズ 7:11
(例) レビ 23:24
(例) エズ 9:19
(例) 詩 126:1-3
(例) ネヘ 8:8

第2欄

- (例) レビ 23:34,42
申 16:13,16
ヨハ 7:2
(例) レビ 23:4
(例) 王一 6:36
王一 7:12
代二 4:9
代二 20:5
(例) ネヘ 3:26
ネヘ 8:1,3
(例) 王二 14:13
ネヘ 12:38,39
(例) ヨシ 1:1
(例) 申 16:14,15
(例) 申 31:10-12
(例) レビ 23:34,36

第9章

- (例) ヨシ 7:6
ヨナ 3:5,6
(例) エズ 9:1,2
ネヘ 13:3

13 翌日、民の氏族長たちと祭司や
レビ族たちは、写生字エズラの所に集
まった。律法の言葉を深く洞察でき
るようになるためだった。14 彼らは
律法の中に、エホバがモーセを通して
命じた次のことが書いてあるのを見つ
けた。イスラエル人は第7の月の祭りの
間、仮小屋に住むことになっており、
15 布告を出して全ての町々やエル
サレム中にこう知らせなければならな
かった。「山地に行き、オリーブ、松、
ギンバイカ、ヤシなどの木から葉がた
くさん付いた枝を取ってきて、書かれ
ている通りに仮小屋を作りなさい」。

16 それで民は出ていき、枝を取
てきて、それぞれ自分の屋上や庭、真
の神の家の庭、「水の門」の広場、
「エフライムの門」の広場に仮小屋を
作った。17 こうして、捕囚の地から
戻ってきた人の会衆全体は仮小屋を
作って、そこに住んだ。イスラエル人
は、ヌンの子ヨシュアの時代からこの
日までこのようにして祭りを祝ったこと
はなかった。それで非常に大きな喜び
があった。18 最初の日から最後の
日まで毎日、真の神の律法の書を朗
読された。7日間祭りが行われ、決め
られている通り、8日目には特別な集
まりが開かれた。

9 その月の24日にイスラエル人は
集まり、粗布を身に着け、土をか
ぶって断食をした。2 イスラエルの
子孫は全ての外国人から離れ、立つ

て、自分たちの罪と父たちの過ちを告白した。³ 彼らはその場所で立ち、その日の4分の1はエホバ神の律法の書を朗読し、4分の1は告白をしてエホバ神にひれ伏した。

4 エシュア、パニ、カドミエル、シェバヌヤ、プニ、シェレブヤ、パニ、ケナニはレビ族の演壇に上がり、エホバ神に向かつて大声で叫んだ。**5** エシュア、カドミエル、パニ、ハシャブネヤ、シェレブヤ、ホデヤ、シェバヌヤ、ペタフヤというレビ族の人たちは言った。「立ち上がって、エホバ神を永遠にわたって賛美しなさい」。そしてこう言った。「神よ、あなたの名が賛美されますように。あなたの名は、どんな賛美や称賛の言葉でも言い尽くせないほど輝かしいものです。

6 あなただけがエホバです。天と、天の天、天の全てのもの、地と地上の全てのもの、海と海の全てのものをあなたは造られました。その全てはあなたのおかげで生きています。天のものはあなたにひれ伏しています。**7** あなたは真の神エホバで、アブラムを選んでカルデア人の町ウルから連れ出し、アブラハムという名前をお与えになりました。**8** あなたは彼の心が忠実なのをご覧になり、カナン人、ヘト人、アモリ人、ペリジ人、エブス人、ギルガシ人の土地を彼と彼の子孫に与

9:3 *または、「3時間」。9:5 *または、「永遠から永遠まで」。9:6 *直訳、「軍」。

第9章

(例) レビ 26:40
エズ 9:6
詩 106:6
ダニ 9:8

(例) ネヘ 8:3,8

(例) ネヘ 8:7

(例) ネヘ 8:4

(例) エレ 33:10,11

(例) 申 6:4

(例) 創 12:1,2

(例) 創 11:31

(例) 創 17:5

(例) 創 22:10-12

第2欄

(例) 創 15:18

(例) 出 2:23-25
出 3:7

(例) 出 7:3
申 6:22

(例) 出 5:2

(例) 出 9:16

(例) 出 14:21,22

(例) 出 15:1,5,10

(例) 出 13:21
出 14:19,20

(例) 出 19:11

(例) 申 4:10,36

(例) 申 4:8

(例) 出 16:29
出 20:8-11
申 5:12-14

(例) 出 16:4

(例) 出 17:6

えるという契約を結ばれました。そしてその約束を守られました。あなたは正しい方からです。

9 あなたはエジプトで父祖たちの苦悩をご覧になり、紅海で父祖たちの叫び声を聞かれました。**10** そして、ファラオと家来たちと国の民全てに対してしるしとなることや奇跡を行われました。彼らが父祖たちに対して思い上がった振る舞いをしたことをあなたがご覧になったからです。あなたは名を上げ、あなたの名は今も知られています。**11** あなたが父祖たちの目の前で海を分けたので、父祖たちは海の中の乾いた地面を通っていきました。

あなたは、石を激流に投げ込むかのように、追っ手たちを深い所に投げ落とししました。**12** そして、昼は雲の柱、夜は火の柱で父祖たちを導き、進むべき道を照らしました。**13** あなたはシナイ山に下りて、天から彼らと語り、正しい法規、真実の律法、良い規定とおきてを授けました。**14** 聖なる安息日について知らせ、あなたに仕えたモーセを通しておきてと規定と律法をお与えになりました。**15** 彼らが飢えたと、天からパンを与え、喉が渇くと、大岩から水を出しました。そして、あなたが与えると誓った土地に入っそこを取得するようにと告げました。

16 それなのに父祖たちは思い上

9:13 *または、「信頼できる」。

が^ふった振る舞^まいをし⁽⁷⁾、頑固^{がんこ}になり、あな⁽⁸⁾たの⁽⁹⁾おきてに耳^{みみ}を傾^{かたむ}けませんでした。

17 聞^きこうとせず、彼⁽¹⁰⁾らのた^{なか}だ中^{なか}であな^{おこな}たが行^いわれた異例^{いれい}なことを忘れ^{わす}れ、頑固^{がんこ}

になり、指導^{しどうしや}者を立ててエジプト^たでの⁽¹¹⁾奴隷^{どれい}状態^{じょうたい}に戻^{もど}ろうとしました。それで

も、あなた⁽¹²⁾は快^{こころよ}く許^{ゆる}す神^{かみ}で、思^{おも}いやり⁽¹³⁾と憐^{あわ}れみ⁽¹⁴⁾があり、すぐ⁽¹⁵⁾に怒^{いか}らず、揺^ゆるぎ

ない愛^{あい}に満^みちておられ、彼⁽¹⁶⁾らを見捨^{みす}て

ませんでした。18 彼⁽¹⁷⁾らが自分^{かれ}たち^{じぶん}のために子牛^{こうし}の金^{きん}属^{ぞく}像^{ざう}を作^{つく}って、『こ

れがあなた⁽¹⁸⁾をエジプト^つから連^つれ出^だし

たあなた⁽¹⁹⁾の神^{かみ}だ』と言^いひ、非⁽²⁰⁾常に不^ふ敬^{けい}

な行^{おこな}いをした時^{とき}でも、19 あなたは

深^{ふか}い憐^{あわ}れみを示^{しめ}し、彼⁽²¹⁾らを荒^{こう}野^やで見捨^{みす}て

ませんでした。昼⁽²²⁾は雲^うの柱^{はしら}が彼⁽²³⁾らの

上^{うへ}から離^{はな}れること⁽²⁴⁾なく道^{みち}を導^{みち}き、夜⁽²⁵⁾は

火^ひの柱^{はしら}が離^{はな}れること⁽²⁶⁾なく進^{すす}むべき道^{みち}を

て照^てらしました。20 あなたは彼⁽²⁷⁾らに

聖^{せい}なる力^{ちから}を授^{さづ}けて洞^{どう}察^{さつ}力^{りき}を得^えさせ、マ

ナ⁽²⁸⁾を与^{あた}えるのをやめず、彼⁽²⁹⁾らの喉^{のど}が渴^{かわ}

く⁽³⁰⁾と水^{みづ}をお与^{あた}えになりました。21 40

年^{ねん}間^{かん}、あなた⁽³¹⁾は荒^{こう}野^やで食^{しょく}物^{もつ}を供^{きやう}給^{きやう}さ

れました。彼⁽³²⁾らは何^{なん}も不^ふ足^{そく}しませんでした。服⁽³³⁾は擦^{ふく}り切^きれず、足⁽³⁴⁾も腫^{あし}れま

第9章

(7) 民 14:44

(8) 申 9:6

(9) 民 14:11,41

(10) 民 14:1,4

(11) 出 34:6

民 14:18

(12) 申 4:31

(13) 出 32:1,4

(14) 民 14:19,20

(15) 出 40:38

民 9:15

(16) 民 11:17,25

(17) 出 16:14,15

(18) 民 20:8

(19) 出 16:35

民 14:33

申 2:7

(20) 申 29:5

(21) ヨシ 11:23

(22) 民 21:23,24

申 2:31

(23) 民 21:26

第2欄

(7) 民 21:33,35

(8) 創 15:1,5

(9) 創 12:7

創 26:3

(10) 民 14:29-31

ヨシ 21:43

(11) ヨシ 18:1

(12) 申 8:7-9

(13) 申 3:4,5

(14) ヨシ 24:13

(15) 申 31:20

申 32:15

裁 2:12

(16) 王 二 21:11

詩 106:38

(17) 裁 2:14

(18) 申 31:17

(19) 裁 2:18

裁 3:9,15

サ一 12:11

王 二 13:4,5

ン⁽¹⁾の王^{おう}オグ⁽²⁾の土^{とち}地^てを手^いに入^いれました。

23 あなたは彼⁽³⁾らの子^こたち⁽⁴⁾を天^{てん}の星^{ほし}

のよう⁽⁵⁾に多^{おほ}くしまし⁽⁶⁾た。そし⁽⁷⁾て、入^{はい}っ

て手^てに入^いれること⁽⁸⁾になると父^ふ祖^そた

ちに約^{やく}束^{そく}した土^{とち}地^てに、彼⁽⁹⁾らを連^つれて

い⁽¹⁰⁾かれまし⁽¹¹⁾た。24 そ⁽¹²⁾れで、彼⁽¹³⁾らは行^いっ

てそ⁽¹⁴⁾の土^{とち}地^てを手^いに入^いれました。あ⁽¹⁵⁾なた

は彼⁽¹⁶⁾らの前^{まえ}で、そ⁽¹⁷⁾こに住^すむカ^{じん}ナ^{じん}人^{じん}

を屈^{くつ}服^{ぷく}させ、そ⁽¹⁸⁾この王^{おう}たち⁽¹⁹⁾や民^{たみ}を彼⁽²⁰⁾らの

手^てに渡^{わた}し、思^{おも}い通^{どお}りに扱^{あつか}えるよう⁽²¹⁾にさ

れまし⁽²²⁾た。25 彼⁽²³⁾らは防^{ぼう}備^びされ⁽²⁴⁾た

町^{まち}々^{まち}と肥^ひ沃^{よく}な土^{とち}地^てを攻^せめ取^とり、あ⁽²⁵⁾らゆ

る良^よい物^{もの}でい⁽²⁶⁾っぱい⁽²⁷⁾の家^{いえ}、す⁽²⁸⁾でに掘^ほら

れてい⁽²⁹⁾る水^{みづ}た⁽³⁰⁾め、ブ^{えん}ドウ^{えん}園^{えん}やオ⁽³¹⁾リ⁽³²⁾ー⁽³³⁾ブ

ば⁽³⁴⁾たけ⁽³⁵⁾の⁽³⁶⁾か⁽³⁷⁾じゅ⁽³⁸⁾煙^{えん}や果^{くわ}樹^{じゅ}をた⁽³⁹⁾くさん⁽⁴⁰⁾手⁽⁴¹⁾に入⁽⁴²⁾れまし⁽⁴³⁾た。

彼⁽⁴⁴⁾らは食^くべ、満^みち足^ちりてふ⁽⁴⁵⁾くよ⁽⁴⁶⁾かにな

り、あ⁽⁴⁷⁾なたか⁽⁴⁸⁾らのた⁽⁴⁹⁾くさん⁽⁵⁰⁾の良^よい物^{もの}

を味^{あじ}わいまし⁽⁵¹⁾た。

26 とこ⁽⁵²⁾ろが、彼⁽⁵³⁾らは不^ふ従^{じゆう}順^{じゆん}になり、

あ⁽⁵⁴⁾なたに逆^{さか}らい、あ⁽⁵⁵⁾なたの律^{りつ}法^{ぽう}に背^せ

を向^むけまし⁽⁵⁶⁾た。あ⁽⁵⁷⁾なたのも⁽⁵⁸⁾とに⁽⁵⁹⁾戻⁽⁶⁰⁾るよ

ようになったので、あなたは彼らを
見放して敵に渡し、彼らは敵から抑
圧されました。その後、彼らがあな
たのもとに戻って助けを求めると、あ
なたは天から聞き、深い憐れみのゆ
えに、何度も彼らを救い出されました。

29 あなたは彼らを律法の下に連れ
戻そうとして警告なさいましたが、彼ら
は思い上がった振る舞いをして、あな
たのおきてに耳を傾けませんでした。
あなたの規定を破って罪を犯しまし
た。それを守るなら生き続けられるの
に、頑固に背を向け、反抗し、耳を傾
けようとしませんでした。

30 あなた
は何年も彼らのことを辛抱し、預言者
を通して聖なる力によって繰り返し警
告なさいましたが、彼らは聞こうと
しませんでした。ついに、あなたは彼
らを周囲の国の人々の手に渡しまし
た。**31** それでも、深い憐れみを示
し、彼らを絶滅させたり見捨てたりは
されませんでした。あなたは思いやり
があって憐れみ深い神です。

32 それで今、私たちの神、契約を
守って揺るぎない愛を示す、偉大で力
強い、威厳に満ちる神よ、アッシリアの
王の時代から今まで、私たち、王や高
官、祭司や預言者、父祖たちやあなた
の民全てに生じた困難を見過ごさな
いください。**33** あらゆることが私
たちに降り掛かりましたが、あなたは

9:28 *または、「痛めつけられ」。**9:31** *また
は、「慈しみ」。

第9章

(例) 裁 2:19

(例) 裁 4:1,2
裁 6:1

(例) 裁 6:6

(例) 詩 106:43-45

(例) 王二 17:13,14
代二 24:19

(例) レビ 18:5

(例) ロマ 10:21

(例) 代二 36:15,16
イザ 42:24
エレ 40:2,3

(例) エゼ 14:22

(例) 出 34:6
申 4:31(例) 申 7:9
ダニ 9:4

(例) 王二 17:6

(例) 王二 24:12,14

(例) エレ 34:18-20

(例) 哀 4:13,14

第2欄

(例) ダニ 9:5

(例) 申 28:47
申 32:15(例) 申 28:48
エズ 9:9(例) 申 28:15,33
ネヘ 5:4(例) 王二 23:3
代二 15:12
エズ 10:3

(例) ネヘ 10:28,29

第10章

(例) ネヘ 9:38

誠実に行動してられました。あなた
はずっと正しかったのです。悪いこと
をしたのは私たちの方です。**34** 私
たちの王や高官たち、祭司や父祖た
ちは、あなたの律法を守らず、あなた
のおきてやあなたが警告として与え
た教訓に注意を払いませんでした。

35 自分たちの王国の中で、あなたか
ら頂いた皆さんの良いものを楽しみ、
あなたから授かった広くて肥沃な土
地にながらも、あなたに仕えず、悪
い行いをやめませんでした。**36** 私
たちは今、奴隷です。実った作物と良
い物を食べるようにとあなたが父祖
たちにお与えになった土地で、私たち
は奴隷になっています。**37** 私たち
の罪のため、ここでの豊かな収穫物は
あなたが私たちの上に立てた王たち
のものです。彼らは思い通りに私たち
の体や家畜を支配しており、私たちは
非常に苦しんでいます。

38 それで、こうしたこと全てのゆえ
に、私たちは書面で厳肅な誓約をしま
す。そして、そこに高官やレビ族や祭
司たちの印を押します」。

10 印を押した人たちは次の通
りである。

ハカルヤの子である総督ネヘミヤ、
ゼデキヤ、**2** セラヤ、アザリヤ、エ
レミヤ、**3** パシュフル、アマルヤ、マル

9:34 *または、「思い出させるもの」。**10:1** *ま
たは、「ティルシャタ」。ペルシャの称号で、州の総
督を指す。

キヤ、**4** ハトシュ、シェバヌヤ、マルク、
5 ハリム、メレモト、オバデヤ、**6** ダ
ニエル、ギネトン、バルク、**7** メシュ
ラム、アビヤ、ミヤミン、**8** マアズヤ、ピ
ルガイ、シエマヤ。これらの人は祭司で
ある。

9 レビ族は、アザヌヤの子エシュア、
ヘナダドの子の**1**人ピヌイ、カドミエ
ル、**10** その兄弟たちである、シェバ
ヌヤ、ホディヤ、ケリタ、ベラヤ、ハナン、
11 ミカ、レホブ、ハシャブヤ、**12** ザ
クル、シェレブヤ、シェバヌヤ、**13** ホ
ディヤ、パニ、ペニヌ。

14 民の長は、パルオシュ、パハト・
モアブ、エラム、ザト、パニ、**15** ブニ、
アズガド、ペバイ、**16** アドニヤ、ピグ
ワイ、アディン、**17** アテル、ヒゼキヤ、
アズル、**18** ホディヤ、ハシュム、ベ
ツアイ、**19** ハリフ、アナトテ、ネバイ、
20 マグピアシュ、メシュラム、ヘジル、
21 メシェザブエル、ザドク、ヤドア、
22 ペラトヤ、ハナン、アナヤ、**23** ホ
シェア、ハナニヤ、ハシュブ、**24** ハロ
ヘシュ、ビルハ、ショベク、**25** レフム、
ハシャブナ、マアセヤ、**26** アビヤ、ハ
ナン、アナン、**27** マルク、ハリム、バ
アナ。

28 そのほかの民(祭司、レビ族、門
番、歌い手、神殿の使用人、真の神の
律法に従うために周囲の国の人々か
ら離れた人全てと妻や息子や娘た

10:28 *または、「ネティニム」。直訳、「与えられ
た人たち」。

第10章

(例) エズ 2:1,39

(例) エズ 8:1,2

(例) エズ 3:9
ネヘ 12:8

(例) ネヘ 12:24

(例) ネヘ 7:6,11

(例) ネヘ 8:1
ネヘ 9:2

第2欄

(例) 出 34:15,16
申 7:3,4

(例) 出 20:10

(例) 出 12:16
民 29:1,12

(例) 出 23:10,11
レビ 25:4,5

(例) 申 15:1-3

(例) 出 30:13

(例) 民 28:9

(例) 民 28:11-13
代一 23:31

(例) レビ 24:5-7

(例) 出 29:40,41

(例) 申 16:16

(例) レビ 16:15

ち、知識と理解力がある人 全て)は、
29 自分の兄弟たち、主立った人たち
に同意し、真の神に仕えたモーセを
通して与えられた真の神の律法の通
りに歩み、私たちの主エホバの全ての
おきてと法規と規定を注意深く守るこ
とを誓い、もしそうしないなら罰として
災いを受けることを承知した。**30** こ
う誓ったのである。「私たちは周囲の
国の人々に私たちの娘を与えることは
せず、その人々の娘を私たちの息子の
ために迎えることもしない。

31 周囲の国の人々が安息日に商
品や各種の穀類を持って売りに来た
としても、私たちは安息日や聖なる日
には何も買わない。また、7年目には
耕作をせず、全ての債務を免除する。

32 私たちは、神の家での奉仕のた
めに、毎年各自3.8グラムの銀を納め
る義務を負う。**33** これは、安息日や
新月の時の重ねのパンと日々の穀物
の捧げ物と日々の全焼の捧げ物、決
められた祝祭、聖なるもの、イスラエ
ルの罪を贖う罪の捧げ物、神の家の
全ての仕事のためである。

34 私たちはくじを引いて、毎年決
められた時に祭司やレビ族や民が氏
族ごとにどの順番で神の家にまきを
を持っていくかを決める。律法に書かれ
ている通りにエホバ神の祭壇で燃や

10:28 *もしかすると、「理解できる年齢の人」。

10:32 *または、「神殿」。**10:33** *供えのパン
のこと。

すまきである。35 私たちは毎年、自分の土地の初物と各種の果樹の初物をエホバの家に持っていく。36 律法に書かれている通り、長男、家畜の初子、牛や羊の群れの初子も連れていく。それらを神の家に、神の家で奉仕する祭司たちの所に連れていくのである。37 また、粗びき粉の初物、寄進物、各種の木の実、新しいぶどう酒、油を、祭司たちの所、神の家の貯蔵室に持っていき、土地からの10分の1をレビ族に与えるべきである。レビ族は、耕作が行われている全ての町で10分の1を受け取るからである。

38 レビ族が10分の1を受け取る時は、アロンの子である祭司がそのレビ族と一緒にいなければならない。レビ族も、その10分の1の10分の1を神の家に、倉庫の部屋に納めるべきである。39 イスラエル人とレビ族の子たちは、穀物や新しいぶどう酒や油の寄進物を貯蔵室に持っていくべきである。そこには聖なる所の器具があり、奉仕している祭司、門番、歌い手たちがいる。私たちは神の家をないがしろにしない。

11 民の高官たちはエルサレムに住んでいた。ほかの民はくじを引き、10人のうち1人が聖なる都市エルサレムに住み、あとの9人がほかの町々にとどまった。2 さらに、エ

第10章

(イ) レビ 1:7
レビ 6:12,13

(イ) 出 23:19
民 18:8,13
申 26:2

(イ) 出 13:2
民 18:15

(イ) 民 18:8,11
コエ 9:13

(イ) 民 15:20

(イ) レビ 27:30

(イ) 民 18:8,12
申 18:1,4

(イ) 代 2:31,11

(イ) 民 18:21

(イ) 民 18:26

(イ) 申 14:23

(イ) 申 12:5,6

(イ) ネヘ 13:10,11

第11章

(イ) ネヘ 7:4

(イ) 格 16:33

第2欄

(イ) ヨシ 9:3,27
エズ 8:17

(イ) エズ 2:58

(イ) エズ 2:70

(イ) 民 26:20

(イ) 代 9:3,7

(イ) 代 9:10-13

ルサレムに住むことを進んで申し出た人全てのために民は祝福を願い求めた。

3 以下は、エルサレムに住んだ者の長たちである。(残りのイスラエル人、祭司、レビ族、神殿の使用人、ソロモンに仕えた人の子孫は、ユダのほかの町々に、それぞれ自分の町の所有地に住んだ。

4 エルサレムには、ユダ族とベニヤミン族の一部が住んだ。) ユダ族ではアタヤ。アタヤの父はウジヤで、順にさかのぼると、ゼカリヤ、アマルヤ、シェファトヤ、マハラレル、ペレツである。5 また、マアセヤ。マアセヤの父はバルクで、順にさかのぼると、コルホゼ、ハザヤ、アダヤ、ヨヤリブ、ゼカリヤである。ゼカリヤはシェラ氏族の子孫である。6 エルサレムに住んでいたペレツの子たちは、有能な人たちで、全部で468人だった。

7 ベニヤミン族ではサル。サルの父はメシュラムで、順にさかのぼると、ヨエド、ペダヤ、コラヤ、マアセヤ、イティエル、エシャヤである。8 ほかに、ガバイ、サライ、928人。9 また、ジクリの子ヨエルが都市で彼らの監督であり、ハセヌアの子ユダが第2の地位にいた。

10 祭司では、ヨヤリブの子エダヤ、ヤキン、11 セラヤ(セラヤの父はヒ

11:3 *または、「ネティニム」。直訳、「与えられた人たち」。11:4 *用語集の「子」参照。

ルキヤで、順にさかのぼると、メシュラム、ザドク、メラヨト、真の神の家の責任者アヒトブである)、12 彼らの兄弟である家の仕事をする者たち、822人。アダヤ(アダヤの父はエロハムで、順にさかのぼると、ベラルヤ、アムツイ、ゼカリヤ、パシュフル、マルキヤである)、13 アダヤの兄弟である氏族長たち、242人。アマシュサイ(アマシュサイの父はアザルエルで、順にさかのぼると、アフザイ、メシレモト、イメルである)、14 彼らの兄弟である強くて勇敢な者たち、128人。彼らの監督で、著名な氏族の人ザブディエル。

15 レビ族ではシェマヤ。シェマヤの父はハシュブで、順にさかのぼると、アズリカム、ハシャブヤ、ブニである。

16 レビ族の長で、真の神の家の外部の仕事を担当したシャベタイとヨザバド。17 アサフの子ザブディの子ミカの子マタヌヤ。マタヌヤは歌の指揮者で、祈りの時に率先して賛美を捧げた。彼の補佐バクブクヤ。エドトンの子ガラルの子シャムアの子アブダ。

18 聖なる都市にいるレビ族は全部で284人だった。

19 門番はアクブとタルモンと兄弟たち、172人。

20 残りのイスラエル人、祭司、レビ族は、ユダのほかの町々に、それぞれ自分の相続地にいた。21 神殿の使

第11章

(例)代 6:12
(例)エレ 21:1,2
エレ 38:1
(例)代 9:2,14
(例)エズ 10:14,15
(例)エズ 8:33
ネヘ 8:7
(例)ネヘ 7:6,44
(例)ネヘ 11:22
ネヘ 12:25
(例)代 16:4
代 2:5-13
(例)代 16:41,42
代 35:15
(例)代 9:2,17
エズ 2:1,42
ネヘ 12:25

第2欄

(例)エズ 2:1,58
(例)代 27:1,3
ネヘ 3:26
(例)代 9:2,15
(例)エズ 6:3,9
エズ 7:21-24
(例)創 23:2
ヨシ 14:15
(例)ヨシ 15:21
サニ 23:20
(例)ヨシ 15:21,26
ヨシ 19:1,2
(例)ヨシ 15:21,27
(例)ヨシ 19:1,3
(例)ヨシ 15:21,31
ヨシ 19:1,5
サニ 27:5,6
(例)ヨシ 15:21,32
(例)ヨシ 15:20,33
ヨシ 19:40,41
(例)ヨシ 15:20,34
ネヘ 3:13
(例)ヨシ 15:20,39
イザ 37:8
(例)ヨシ 15:20,35
(例)ヨシ 15:8,12
王ニ 23:10
(例)ヨシ 18:21,24
(例)創 28:19
ヨシ 18:11,13

ようにな*^(例)す
用人はオフェルに住んでいた。ツイハとギシュバが神殿の使用人をまとめていた。

22 エルサレムにいるレビ族の監督はウジだった。ウジの父はバニで、順にさかのぼると、ハシャブヤ、マタヌヤ、ミカである。ウジは歌い手であるアサフの子孫の1人で、真の神の家の仕事を担当した。23 王の命令があり、歌い手たちのために毎日の必要な物を支給する取り決めがあった。24 ユダの子ゼラハの氏族のメシェザブエルの子ペタフヤは、民のあらゆる事柄に関する王の顧問官だった。

25 畑地がある居住地には、ユダ族の一部が以下の場所に住んだ。キルヤト・アルバと周辺の町、ディボンと周辺の町、エカブツエルと周りの集落、26 エシュア、モラダ、バト・ペレト、

27 ハツアル・シュアル、ベエル・シエバと周辺の町、28 チクラグ、メコナと周辺の町、29 エン・リモン、ツォルア、ヤルムト、30 ザノハ、アドラムと周りの集落、ラキシと周りの畑地、アゼカと周辺の町。彼らはベエル・シエバからヒンノムの谷までの地域に住んだ。

31 ペニヤミン族が以下の場所にいた。ゲバ、ミクマシュ、アヤ、ベテル

11:21 *または、「ネティニム」。直訳、「与えられた人たち」。11:25 *または、「それに依存する」。11:30 *または、「宿営した」。

11:11 *または、「神殿」。

と周辺の町、**32** アナトテ、ノブ、アナヌヤ、**33** ハツォル、ラマ、ギタイム、**34** ハデイド、ツェボイム、ネバラト、**35** ロド、オノ、職人の谷。**36** また、ユダにいたレビ族の一部の組がベニヤミンに住んだ。

12 以下は、シャルテルの子ゼルババルやエシュアと一緒に帰還した祭司とレビ族である。セラヤ、エレミヤ、エズラ、**2** アマルヤ、マルク、ハトシュ、**3** シェカヌヤ、レフム、メレモト、**4** イド、ギネトイ、アビヤ、**5** ミヤミン、マアドヤ、ビルガ、**6** シェマヤ、ヨヤリブ、エダヤ、**7** サル、アモク、ヒルキヤ、エダヤ。エシュアの時代、これらの人が祭司とその兄弟たちの長だった。

8 レビ族は、エシュア、ピヌイ、カドミエル、シェレブヤ、ユダ、マタヌヤ。マタヌヤと兄弟たちは感謝の歌を担当した。**9** 彼らの兄弟であるバクブクヤとウニは、見張りの務めのため彼らの向かい側に立った。**10** エシュアの子はヨヤキム。ヨヤキムの子はエルヤシブ。エルヤシブの子はヨヤダ。**11** ヨヤダの子はヨナタン。ヨナタンの子はヤドア。

12 ヨヤキムの時代、以下の人たちが祭司であり氏族長だった。セラヤ氏族ではメラヤ、エレミヤ氏族ではハナニヤ、**13** エズラ氏族ではメシュラ

第11章

(例) ヨシ 21:8,18

(例) サー 21:1

(例) ヨシ 18:21,25

(例) 代一 8:12
エズ 2:1,33

第12章

(例) マタ 1:12

(例) エズ 1:8,11

(例) ゼカ 3:1

(例) エズ 2:1,40
エズ 3:9(例) 代一 9:2,15
ネヘ 11:17
ネヘ 12:25

(例) ネヘ 3:1

(例) ネヘ 13:28

(例) ネヘ 11:3,11

(例) ネヘ 12:1

第2欄

(例) エズ 2:1,39

(例) ネヘ 12:1,4

(例) ネヘ 12:1,5

(例) ネヘ 12:1,6

(例) ネヘ 12:10,11

(例) エズ 2:1,40

(例) ネヘ 8:7

(例) 代一 16:4
代一 23:28,30

(例) 代一 9:2,15

(例) 代一 9:17
エズ 2:1,42
ネヘ 11:1,19

(例) 代一 9:22-27

ム、アマルヤ氏族ではエホハナン、**14** マルキ氏族ではヨナタン、シェバヌヤ氏族ではヨセフ、**15** ハリム氏族ではアドナ、メラヨト氏族ではヘルカイ、**16** イド氏族ではゼカリヤ、ギネトン氏族ではメシュラム、**17** アビヤ氏族ではジクリ、ミヌヤミン氏族では……、モアドヤ氏族ではビルタイ、**18** ビルガ氏族ではシャムア、シェマヤ氏族ではエホナタン、**19** ヨヤリブ氏族ではマテナイ、エダヤ氏族ではウジ、**20** サライ氏族ではカライ、アモク氏族ではエベル、**21** ヒルキヤ氏族ではハシャブヤ、エダヤ氏族ではネタヌエル。

22 エルヤシブ、ヨヤダ、ヨハナン、ヤドアの時代、レビ族の氏族長たちと祭司たちは、ペルシャ人ダリウス王の統治まで記録された。

23 レビ族の氏族長たちは、エルヤシブの子ヨハナンの時代まで、その時代の歴史書に記録された。**24** レビ族の長はハシャブヤ、シェレブヤ、カドミエルの子エシュアだった。彼らの兄弟たちはその向かい側に立ち、真の神に仕えた人ダビデの指示通りに賛美と感謝を捧げた。守衛グループと守衛グループとが並んだ。**25** マタヌヤ、バクブクヤ、オバデヤ、メシュラム、タルモン、アクブは門番として立って見張った。門のそばの貯蔵室を見張った。**26** これらの人は、ヨツァダ

12:17 *ヘブライ語本文から名前が抜けていると考えられる。

12:9 *もしかすると、「奉仕の間」。

クの子エシュアの子ヨヤキムの時代
と、総督ネヘミヤと写字生である祭司
エズラの時代に奉仕した。

27 エルサレムの城壁の奉獻式に
際して、さまざまな場所に住むレビ族
が探し出され、エルサレムに連れてこ
られた。感謝の歌、シンバル、弦楽
器、たて琴によって、喜びながら奉獻
式を祝うためだった。**28** 歌い手の
子たちが地域とエルサレムの周辺と
ネトファの人々の集落から集まった。

29 ベト・ギルガルや、ゲバとアズマベ
トの畑地からも集まった。歌い手たち
はエルサレムの周辺に集落をつくって
いたのである。**30** 祭司とレビ族は
自分を清め、民と門と城壁を清めた。

31 私はユダの高官たちを城壁の
上に上らせた。また、感謝を捧げる大
きな合唱隊を2つ編成し、それぞれの
後ろを行進する人たちを任命した。1
つの隊は城壁の上を右へ、「灰の山
の門」に向かって進んだ。**32** その
後ろを進んだのは、ホシャヤ、ユダ
の高官の半分、**33** アザリヤ、エズ
ラ、メシュラム、**34** ユダ、ベニヤミン、
シェマヤ、エレミヤだった。**35** また、
祭司たちの一部もラッパを持って進ん
だ。ゼカリヤ(ゼカリヤの父はヨナタ
ンで、順にさかのぼると、シェマヤ、マ
タヌヤ、ミカヤ、ザクル、アサフである)、

12:26, 36 *または、「書記」。**12:28** *または、「訓練された歌い手」。*****ヨルダン川周辺の
地域のこと。**12:35** *直訳、「祭司の子たち」。

第12章

〔イ〕エズ 3:2,8

〔イ〕エズ 7:1,6

〔イ〕代 5:13

代 7:6

〔イ〕代 2:54

代 9:2,16

ネヘ 7:6,26

〔イ〕ヨシ 15:7,12

〔イ〕ヨシ 21:8,17

ネヘ 11:31

〔イ〕エズ 2:1,24

〔イ〕出 19:10

〔イ〕ネヘ 7:1

〔イ〕ネヘ 6:15

〔イ〕ネヘ 2:13

ネヘ 3:13

〔イ〕民 10:2

代 5:12

〔イ〕代 25:1,2

第2欄

〔イ〕代 23:5

〔イ〕ネヘ 8:4

〔イ〕ネヘ 2:14

〔イ〕サニ 5:7,9

〔イ〕ネヘ 3:15

〔イ〕ネヘ 3:26

ネヘ 8:1

〔イ〕ネヘ 3:11

〔イ〕ネヘ 3:8

〔イ〕王 2 14:13

ネヘ 8:16

〔イ〕ネヘ 3:6

〔イ〕代 2 33:14

ネヘ 3:3

〔イ〕エ 1 31:38

ゼカ 14:10

〔イ〕ネヘ 3:1

ヨハ 5:2

〔イ〕エズ 6:16,17

36 ゼカリヤの兄弟たちであるシェマ
ヤ、アザルエル、ミラライ、ギラライ、
マアイ、ネタヌエル、ユダ、ハナニであ
り、真の神に仕えた人ダビデの楽器を
持って進んだ。写字生エズラが彼らの
先を行った。**37** 彼らは、「泉の門」
の所を真つすぐ前に進み、城壁の坂道
を通して「ダビデの町」の階段の上を
行き、「ダビデの家」の上を過ぎ、東の
「水の門」にまで進んだ。

38 感謝を捧げるもう1つの合唱隊
は反対方向に進み、私は民の半分と
一緒にその後に続いた。城壁の上を
進み、「かまどの塔」の上を通り、「広
い城壁」に行き、**39** 「エフライムの
門」の上を通り、「旧市街の門」に行
き、「魚の門」、「ハナヌエルの塔」、「メ
アの塔」を過ぎ、「羊の門」に至った。
そして「監視の門」で止まった。

40 こうして、感謝を捧げる2つの合
唱隊は真の神の家の前に立ち、私も、
共にいた代官たちの半分もそうした。

41 祭司たちである、エリヤキム、マア
セヤ、ミヌヤミン、ミカヤ、エルヨエナ
イ、ゼカリヤ、ハナニヤもラッパを持ち、
42 マアセヤ、シェマヤ、エレアザル、ウ
ジ、エホハナン、マルキヤ、エラム、エ
ゼルも立った。歌い手たちはイズラフ
ヤの監督の下、大きな声で歌った。

43 その日、彼らは盛大な犠牲を捧
げて喜んだ。真の神が大きな喜びを

12:38 *または、「前方」。

あ^とて^くだ^さつたのである。女^{じょ}性^{せい}や子^こども^{ども}よろこ^ぶひ、エルサレ^{よるこ}ムの喜^こびの声^{こえ}供^とたちも喜^{ひび}び、エルサレ^ひムの喜^{ひび}びの声^{こえ}ははるか遠^{とほ}くにまで響^{ひび}いた。

44 その日^ひ、寄^き進^{しん}物^{ぶつ}や初^{はつ}物^{もの}や10分^{ぶん}の1^①を収^{おさ}める倉^{そう}庫^こを担^{たん}当^{とう}する人^{ひと}たちが任^{にん}命^{めい}された。祭^{さい}司^しとレビ^{さいく}族^{ぞく}のため^{ため}にりつばう^{りつばう}も^もちと^とぶんの^{ぶん}ま^まち^ちま^まち^ちは^はたけ^{たけ}律^{りつ}法^{ぽう}で求^{もと}めら^られて^てい^いる^る分^{ぶん}を町^{まち}々^々の畑^{はたけ}から集^{あつ}めてそ^こに^いれ^れる^るた^ため^めだ^だつ^つた。ユダ^{よど}の人^{ひと}たち^ちは、祭^{さい}司^しとレビ^{さいく}族^{ぞく}が奉^{ほう}仕^しして^てい^いる^るこ^ことを喜^{よろこ}んで^でい^いた。**45** 祭^{さい}司^しとレビ^{さいく}族^{ぞく}は、ダビ^だデ^でとそ^その^の子^こソロ^しモ^もンの指^し示^じ通^{つう}り^りに、神^{かみ}へ^への務^{つと}め^めと清^{きよ}め^めの務^{つと}め^めに^に当^{あた}る^るよ^ように^にな^なつ^つた。歌^{うた}い^い手^てや門^{もん}番^{ばん}も同^{どう}じ^じの^のよ^ように^に務^{つと}め^めに^に当^{あた}つ^つた。**46** 昔^{むかし}、ダビ^だデ^でとアサ^あフ^ふの時^{とき}代^{だい}に^には、神^{かみ}へ^への賛^{さん}美^びと感^{かん}謝^{しゃ}の歌^{うた}と歌^{うた}い^い手^てをリ^りド^どする人^{ひと}たち^ちが^がい^いた。**47** ゼ^じル^るバ^ばベル^{べる}の時^{とき}代^{だい}とネヘ^ねミ^みヤ^やの時^{とき}代^{だい}、イス^いラ^らエル^る全^{ぜん}体^{たい}は歌^{うた}い^い手^てと門^{もん}番^{ばん}に毎^{まい}日^{にち}のひつ^{ひつ}よう^{よう}ぶ^ぶん^{ぶん}あ^あた^たの^の分^{ぶん}を^を与^よつ^つた。ま^また、レ^れビ^び族^{ぞく}の分^{ぶん}も取^とり^り分^{ぶん}け^け、レ^れビ^び族^{ぞく}はア^あロ^ろン^んの^の子^こ孫^{そん}の^の分^{ぶん}を^を取^とり^り分^{ぶん}け^けた。

13 その日^ひ、民^{たみ}に聞^きこ^こえ^える^る所^{ところ}で、モー^もー^もセ^せの書^{しよ}が朗^{ろう}読^{どく}され^れ、そ^その^の中^なに、ア^あン^んモ^もン^ん人^{じん}やモ^もア^あブ^ぶ人^{じん}は真^{しん}の^の神^{かみ}の会^{かい}衆^{しゅう}に決^{けつ}して入^{はい}つてはな^なら^らな^ない^いと書^かいてあ^ある^るの^のが^が見^みつ^つか^かつ^つた。**2** か^かつ^つて^て彼^{かれ}ら^らはイ^いス^すラ^らエ^えル^る人^{じん}を^をパ^ぱン^んと^と水^{みづ}で^で迎^{むか}え^える^るこ^ことを^をせ^せず、そ^それ^れど^どこ^ころ^ろか、パ^ぱラ^らム^むを^を雇^{やと}つて災^{わざ}い^いがイ^いス^すラ^らエ^えル^る人^{じん}に^に降^ふり^り掛^かか^かる^るこ^ことを^を願^{ねが}わ^わせ^せよう^{よう}と^とし^した^たか^から^らで^であ^ある^る。そ^それ^れで^でも、私^{わたくし}たち^ちの^の神^{かみ}は災^{わざ}い^いを^を祝^{しゅく}福^{ふく}に^に変^へえ^えた。**3** 民^{たみ}はこ^この^の律^{りつ}法^{ぽう}を^を聞^きく

第12章

① エレ 31:13
② エズ 3:10,13
③ ネヘ 10:39
④ ネヘ 10:35-37
⑤ ネヘ 10:38
⑥ ネヘ 13:12,13
⑦ 代 2:31:11
⑧ 民 18:21
⑨ 出 34:26
⑩ 民 15:18,19
⑪ 申 26:2
⑫ 代 1:25:1,6
⑬ エズ 3:2
⑭ ハガ 1:12
⑮ ルカ 3:23,27
⑯ ネヘ 11:23
⑰ ネヘ 10:39
⑱ 民 18:21

第13章

① 申 31:11
② ネヘ 8:2,3
③ 使徒 15:21
④ 創 19:36-38
⑤ 申 23:3,6
⑥ 民 22:4-6
⑦ 民 23:8
⑧ 民 24:10

第2欄

① エズ 10:10,11
② ネヘ 9:1,2
③ 民 10:37,38
④ ネヘ 3:1
⑤ ネヘ 2:10
⑥ 民 18:24
⑦ 申 18:3,4
⑧ ネヘ 12:44
⑨ エズ 7:1
⑩ ネヘ 2:1
⑪ ネヘ 5:14
⑫ ネヘ 12:10
⑬ ネヘ 4:7
⑭ ネヘ 10:39
⑮ レビ 2:14,15
⑯ ネヘ 10:37
⑰ ネヘ 12:47
⑱ マラ 3:8
⑲ 民 35:2

と、外^{がい}国^{こく}人^{じん}の子^し孫^{そん}全^{ぜん}てをイ^いス^すラ^らエ^えル^るか^から^ら離^{はな}れ^れさ^させ^せ始^{はじ}め^めた。

4 それより前^{まえ}、神^{かみ}の家^{いえ}の貯^{ちよ}蔵^{ぞう}室^{しつ}を^を任^{にん}ざ^ざせ^せて^てい^いた^た祭^{さい}司^しはエ^えル^るヤ^やシ^しブ^ぶで、ト^とビ^びヤ^やの親^{しん}族^{ぞく}だ^だつ^つた。**5** エ^えル^るヤ^やシ^しブ^ぶは^は大^{おほ}き^きな^な貯^{ちよ}蔵^{ぞう}室^{しつ}を^をト^とビ^びヤ^やに^に使^{つか}わ^わせ^せて^てい^いた。そ^そこ^こに^には^はも^もと^とも^もと、穀^{こく}物^{もつ}の^の捧^{ささ}げ^げ物^{もの}、乳^{にゅう}香^{こう}や器^き具^ぐ、レ^れビ^び族^{ぞく}と歌^{うた}い^い手^てと門^{もん}番^{ばん}の^のた^ため^めの^の穀^{こく}物^{もつ}や新^{あらた}しい^{しい}ぶ^ぶど^どう^う酒^{しゅ}や油^{あぶら}の^のた^ため^めの^の穀^{こく}物^{もつ}や新^{あらた}しい^{しい}ぶ^ぶど^どう^う酒^{しゅ}や油^{あぶら}の^の10分^{しふぶつ}の^の1^お、祭^{さい}司^しの^のた^ため^めの^の寄^{きよ}進^{しん}物^{ぶつ}が^が置^おか^かれ^れて^てい^いた。

6 そ^その^の間^{かん}ず^ずつ^つと^と私^{わたし}はエ^えル^るサ^さレ^れム^むに^にい^いな^なか^かつ^つた。パ^ぱビ^びロ^ろン^んの^のアル^あタ^たク^くセル^{せる}ク^くセ^せス^す王^{わう}の^の治^ち世^{せい}の^の第^{だい}32^{さんじ}年^{ねん}に^に、私^{わたし}は王^{おう}の^の所^{ところ}に^に行^いつ^つて^てい^いた^たか^から^らで^であ^ある^る。そ^その^の後^ごし^しば^ばら^らく^くし^して^てか^から^ら、戻^{もど}る^る許^{きよ}可^かを^を王^{おう}に^に求^{もと}め^めた。**7** エ^えル^るサ^さレ^れム^むに^に来^きた^た私^{わたし}は、エ^えル^るヤ^やシ^しブ^ぶが^がト^とビ^びヤ^やの^のた^ため^めに^にし^して^てい^いた^た悪^{あく}事^じに^に気^きづ^づい^いた。ト^とビ^びヤ^やに^に真^{しん}の^の神^{かみ}の^の家^{いえ}の^の庭^{てい}の^の貯^{ちよ}蔵^{ぞう}室^{しつ}を^を使^{つか}わ^わせ^せて^てい^いた^たので^であ^ある^る。**8** 私^{わたし}は非^ひ常^{じょう}に^に不^ふ快^{かい}に^に思^{おも}い、ト^とビ^びヤ^やの^の家^{いえ}の^の家^か具^ぐを^を全^{ぜん}部^ぶ、貯^{ちよ}蔵^{ぞう}室^{しつ}の^の外^{がい}に^に投^なげ^げ出^だし^した。**9** そ^その^の後^ご、命^{めい}令^{れい}を^を出^だし^し、貯^{ちよ}蔵^{ぞう}室^{しつ}を^を清^{きよ}め^めさ^させ^せた。そ^そし^して、真^{しん}の^の神^{かみ}の^の家^{いえ}の^の器^き具^ぐと、穀^{こく}物^{もつ}の^の捧^{ささ}げ^げ物^{もの}や^や乳^{にゅう}香^{こう}を^をそ^そこ^こに^に戻^{もど}し^した。

10 ま^また、私^{わたし}は、レ^れビ^び族^{ぞく}の^の分^{ぶん}が^が与^よえ^えら^られ^れて^てい^いな^ない^いこ^ことを^を知^しつ^つた。そ^その^のせ^せい^いで、奉^{ほう}仕^しを^をす^する^るレ^れビ^び族^{ぞく}や^や歌^{うた}い^い手^てたち^ちは^はそ^それ^れぞ^ぞれ^れ自^じ分^{ぶん}の^の畑^{はたけ}に^に行^いつ^つて^てし^しま^まつ^つて^てい^いた。**11** そ^それ^れで^で私^{わたし}は代^{だい}官^{くわん}たち^ちを^をと^とが^が

13:4 * または、「神殿」。**13:4**、**5**、**8**、**9** * または、「食堂」。

め、「真の神の家がないがしろにされているのはどうしてですか」と言った。そして、畑に行ってしまうていた人たちを集め、持ち場に戻らせた。12 ユダの人たちは皆、穀物と新しいぶどう酒と油の10分の1を貯蔵室に持ってきた。13 私は、祭司シェムヤ、写字生ザドク、レビ族のベダヤに貯蔵室を任せ、マタヌヤの子ザクルの子ハナンに補佐をさせた。彼らは信頼できる人とされていたからである。一族に分配するのが彼らの責務だった。

14 私の神、この件で私のことをどうか覚えていてください。神の家とそこで奉仕のために私がした揺るぎない愛の行いを忘れないでください。

15 その頃、私はユダの人たちが安息日に、ブドウを搾り場で踏んだり、穀物の山を持ってきてロバに載せたり、ぶどう酒やブドウやイチジクなどさまざまな品物をエルサレムに運び入れたりにしているのを見た。それで私は、その日に食物を売ってはならないと警告した。16 また、都市に住んでいるティルス人も、魚など各種の商品を運んできて、安息日にエルサレムでユダの人たちに売っていた。17 それで私はユダの高貴な人たちをとがめ、こう言った。「安息日を汚すとは、何という悪いことをしているのですか。18 皆さんの父祖たちも同じことをしたので、神はこの災難全てを私たちと

13:13 *または、「書記」。13:15 *もしかすると、「食物を売ってはならないとその日に」。

第13章

(7) エズ 9:2

(1) ネヘ 10:39

(7) レビ 27:30
民 18:21

(14) ネヘ 10:38,39
マラ 3:10

(7) ネヘ 5:19

(7) ヘブ 6:10

(14) 出 20:10
出 34:21
出 35:2

(7) エレ 17:21,27

(7) ネヘ 10:31

第2欄

(7) 出 20:8-10

(1) 申 5:12

(7) ネヘ 5:19
ネヘ 13:14
ネヘ 13:30,31

(14) ヨシ 13:2,3

(7) 申 23:3,4

(7) エズ 9:1,2
エズ 10:10
コニ 6:14

都市にもたらされたものではありませんか。それなのに皆さんは安息日を汚して、イスラエルに対する神の怒りをさらにあおっています」。

19 安息日が始まる前、エルサレムの門に夕闇が降りてくる頃、私は扉を閉じるよう命じた。また、安息日が終わるまでは開けてはならないと言い、わたしの従者の何人かを門に配置し、安息日に荷物が入ってこないようにした。20 そのため、貿易商や各種の商品を売る人たちは1、2度、エルサレムの外で夜を過ごした。21 それで私は警告し、こう言った。「あなたたちはなぜ城壁の前で夜を過ごすのですか。もしもう一度そうしたら、強制的に立ち退かします」。それ以来、彼らは安息日には来なくなった。

22 私はレビ族に、いつも自分を清め、安息日を神聖なものに保つために門の見張りをするようにと言った。わたしの神よ、これもまた私がしたこととして、どうか覚えていて、あなたの豊かな揺るぎない愛によって私に思いやりを示してください。

23 その頃、私はまた、ユダヤ人がアシュドドの女性やアンモン人やモアブ人の女性と結婚しているのを知った。24 彼らの子たちの半分はアシュドドの言語を話し、半分は別の民の言語を話していた。ユダヤ人の言語を話せる人は一人もいなかった。

13:23 *または、「を家に入れて」。

25 それで私は彼らをとがめ、神の処
罰について警告し、何人かを打ちたた
き、毛を引き抜き、神に懸けて誓わせ
た。私はこう言った。「皆さんの娘を
彼らの息子に与えてはならず、彼らの
娘を皆さんの息子や自分のために迎
えてもなりません。 26 そのことのせ

いでイスラエルのソロモン王は罪を犯
したのではありませんか。多くの国の
中にソロモンのような王はいませんで
した。神は彼を愛してイスラエル
全体の王にしました。その彼に、外国
人の妻たちが罪を犯させたのです。

27 皆さんが外国人の女性と結婚する
という神に不忠実なことをして大きな
悪事を働くなど、あってはならないこと
です」。

第13章

(ア) 申 25:2
エズ 7:26
(イ) 申 7:3,4
ネヘ 10:30
(ロ) 王一 3:12,13
代二 9:22
(ウ) サ二 12:24
(エ) 王一 11:1-5
(オ) エズ 10:2

第2欄

(ア) ネヘ 3:1
ネヘ 13:4
(イ) ネヘ 12:10
(ロ) ネヘ 2:10
ネヘ 6:14
(ウ) 出 40:15
民 25:11-13
(エ) マラ 2:4
(オ) 代一 23:6
代一 25:1
(カ) ネヘ 10:34
(ク) ネヘ 5:19

28 大祭司エルヤシブの子ヨヤダ
の子の1人がベト・ホロンの人サンバ
ラテの婿になっていた。それで私は彼
を追放した。

29 私の神、彼らのことをどうか覚え
ていてください。彼らは祭司職を汚し、
祭司職とレビ族との契約も汚したので
すから。

30 私は外国のあらゆる汚れから
人々を清め、祭司とレビ族に務めを与
えて、それぞれを自分の奉仕に当たら
せ、 31 決められた時のまきの供給
と初物のために取り決めを作った。

私の神、私のことをどうか覚えてい
て、恵みを与えてくださいますように。

13:28 *または、「ホロン人」。

エステル記

概 要

- 1 アハシュエロス王がシュシャンで宴会を催す (1-9)
ワシテ王妃が王の命令を拒む (10-12)
王は賢人たちに相談する (13-20)
王の命令が各地に送られる (21, 22)
- 2 新しい王妃を探す (1-14)
エステルが王妃になる (15-20)
モルデカイがたくらみを暴く (21-23)
- 3 王はハマンを昇進させる (1-4)
ハマンはユダヤ人を滅ぼすことをたくらむ (5-15)
- 4 モルデカイは嘆き悲しむ (1-5)
モルデカイは、仲介役をするようエステルに頼む (6-17)
- 5 エステルは王の前に出る (1-8)
ハマンの怒りと高慢さ (9-14)
- 6 モルデカイが王から栄誉を受ける (1-14)
- 7 エステルはハマンのたくらみを暴く (1-6前半)
ハマンは自分が用意した杭に掛けられる (6後半-10)
- 8 モルデカイが昇進する (1, 2)
エステルは王に嘆願する (3-6)
形勢を逆転させる王の命令 (7-14)
ユダヤ人の希望の光と喜び (15-17)
- 9 ユダヤ人の勝利 (1-19)
ブリムの祭りの制定 (20-32)
- 10 モルデカイの偉大さ (1-3)

1 アハシュエロスがインドからエチ
オピアまで127州を支配してい

た時代のことである。**2** アハシュエ
ロス王はシュシャン城で王座につい
ており、**3** 治世の第3年に全ての高
官と家来のために宴会を催した。ペ
ルシャとメディアの軍人、貴族、州の
高官が出席していた。**4** 王は180
日もの間、輝かしい王国の富や、自
分の栄光と威厳を示した。**5** その
日々が終わると、王は、身分の上下を
問わずシュシャン城にいた民全員のた
めに、王の宮殿の庭で7日間の宴会を
催した。**6** そこには、亜麻布と上等
の綿布と青布が、大理石の柱、銀の
輪に、上等の織物、紫の羊毛の綱で
しっかりと取り付けられていた。また、金
や銀でできた寝椅子が、斑岩や大理
石、真珠、黒大理石を敷いた床の上に
置かれていた。

7 ぶどう酒が金の杯で出され、杯は
一つ一つ異なっていた。王が提供し

ただけあって、ぶどう酒は大量だった。

8 飲むことについて、誰も強制されな
いことになっていた。それぞれが好き
にすればよいと、王が宮殿の役人たち
と取り決めておいたからである。

9 ワシテ王妃も、アハシュエロス王

1:1 *ダリウス大王(ダリウス・ヒュスタスピス)の
息子、クセルクセス1世と考えられている。*また
は、「クシュ」。^または、「管轄地域」。**1:2** *ま
たは、「スサ」.*または、「宮殿」,*「要塞」。**1:7**
または、「器」,「脚付きの酒杯」。**1:8** *つまり、
飲む量は自由だった。

第1章

(例) エズ 8:9
ダニ 6:1

(例) エズ 4:9
ネヘ 1:1
ダニ 8:2

(例) エズ 1:2

(例) イザ 21:2
エレ 51:11
ダニ 5:28

(例) エズ 1:12
エズ 2:1,17

第2欄

(例) エズ 7:9

(例) エズ 7:14

の家で女性たちのために宴会を催
した。

10 7日目に、アハシュエロス王は、
ぶどう酒で上機嫌になっていた時、そ
ばで仕える7人の廷臣メフマン、ビズ
タ、ハルボナ、ビグタ、アバグタ、ゼタル、
カルカスに命じて、**11** ワシテ王妃
に王妃の頭飾りをかぶらせて王の前
に連れてこさせようとした。その美しさ
を民と高官に見せるためだった。王妃
はとても美しくしたのである。**12** し
かし、ワシテ王妃は廷臣が伝えた王の
命令を拒み続け、来ようとしなかった。
それで王は大変腹を立て、激しい怒り
に燃えた。

13 そこで王は、先例を熟知してい
る賢人たちと話した。(王は、法律と訴
訟に通じた全ての人に相談するのが
常だった。**14** 王の側近は、カルシェ
ナ、シェタル、アドマタ、タルシシュ、メ
レス、マルセナ、メムカンという、ペル
シャとメディアの7人の高官で、王に会
うことができ、王国で最も位の高い人
たちだった。)**15** 王は尋ねた。「法
律によれば、ワシテ王妃をどうすべき
か。廷臣が伝えた私アハシュエロス王
の命令に従わないのだ」。

16 メムカンは王と高官たちの前で
言った。「ワシテ王妃は、王に対してだ
けでなく、アハシュエロス王の全ての
州の全ての高官と民に対しても、不当

1:9 *または、「宮殿」。**1:11** *または、「ターバ
ン」。**1:13** *または、「手続き」。

なことをしました。17 王妃のしたことが知れ渡り、妻たちは皆、夫を軽く見て、『アハシュエロス王が、ワシテ王妃を連れてくるようにと言っても、王妃は行こうとしなかった』と言うでしょう。

18 今日にも、ペルシャとメディアの高官の夫人たちは王妃のしたことを知って、夫にそのことを話すでしょう。そうすると、大変な軽蔑と憤りが生じます。

19 もし王が良いと思われるのでしたら、ワシテはアハシュエロス王の前に二度と来てはならないという命令を出し、それをペルシャとメディアの法律の中に記して、取り消せないものとなさいように。そして、王妃の位をワシテより優れた女性に授けられますように。20 王のこの命令が広大な領土全体に伝わるなら、身分の上下を問わず、妻は皆、夫に敬意を払うでしょう。

21 王と高官たちはこの提案を気に入る、王はメモカンが話した通りにした。22 王は、全ての州に、それぞれの州の文字を使ってそれぞれの民族の言語で手紙を送った。夫が皆、引き続き家を治め、自分の民族の言語で話すためだった。

2 こうしたことの後、アハシュエロス王は激しい怒りが収まり、ワシテがしたこととその処分を思い起こした。2 その時、王のそばで仕える

1:22 *または、「文体」。「または、「家で長となり」。

第1章

(例) エス 1:12

(例) エス 8:8
ダニ 6:8

(例) エス 3:12,14

第2章

(例) エス 1:1

(例) エス 1:12

(例) エス 1:19

第2欄

(例) エス 8:9

(例) エス 2:15

(例) エス 1:19

(例) エズ 4:9
ネヘ 1:1
エス 1:2
ダニ 8:2

(例) エス 3:2
エス 10:3

(例) 創 49:27
サ 9:21

(例) 王ニ 24:14,15
代一 3:16
代二 36:9,10
エレ 22:28
エレ 24:1
エレ 37:1
エレ 52:31
マタ 1:11

(例) エス 2:15

(例) エス 2:3

人たちは言った。「王のために、美しい乙女たちを探すのがよいかと思えます。3 王は領土の全ての州に事務官を任命なさってください。美しい乙女たちを全員シュシャン城にある女の家に集め、女性たちの世話係で王の宦官であるヘガイの下で、美容のためにマッサージを施させましょう。4 そして、王が一番お気に召す娘をワシテの代わりに王妃とするのです。王はこの提案を気に入る、その通りにした。

5 シュシャン城に、モルデカイという名前のユダヤ人がいた。その父はヤイル、祖父はシムイ、曾祖父はキシュだった。この人はベニヤミン族の人で、6 バビロンのネブカドネザル王が捕らえたユダのエコニヤ王と共に、エルサレムから強制移住させられた民の1人だった。7 モルデカイは、おじの娘であるハダサつまりエステルの保護者だった。エステルには父も母もいなかったからである。この若い女性はやさしく、父と母が死んだ時にモルデカイに養女として引き取られた。8 王の言葉と法令が布告され、多くの娘がシュシャン城のヘガイの下に集められた時、エステルも王の家に連れていかれ、女性たちの世話係ヘガイに託された。

2:3 *王の妻や側室などの女性たちが暮らした場所。「用語集参照。2:6 *王ニ 24:8ではエホヤキン。2:7 *エステルのヘブライ語名で、「ギンバイカ」という意味。「または、「養育者」。2:8 *または、「宮殿」。

9 ヘガイはこの娘が気に入^{むすめ き い こうかん}り、好感を持^{も *}ったので、すぐに美容のためのマッサージュと食事の手配をし、王の家から選ばれた7人の娘を付けた。また、エステルとその付き人たちを女の家^{つ びと おんな いえ#}の最も良い所に移した。10 エステルは自分の民族や親族^{よ ところ うつ ぶん じんぞく(イ) しんぞく なに かた}のことを何も語らなかった。モルデカイからそう命じられていたからである。11 モルデカイは、エステルが元氣か、どうしているかを知ろうと、女の家^{し おんな いえ#}の庭の前を毎日歩いていた。

12 娘たちは、アハシュエロス王の所^{むすめ おう ところ じゅんばん い まえ じょせい}に順番に行く前に、女性のために定められた12カ月の期間を過^{さだ げつ き かん す}ぎした。というのも、美容のために、6カ月は没^{もつ やく(イ) あぶら}量の油で、さらに6カ月はバ^{び よう げつ}ルサム油とさまざまなクリームでマッサージ^{ゆ(イ) ほどこ}されることになっていたからである。13 こうして娘は、王のもとに行くことができた。女の家から王の家^{い とき もと もの なん あた}に行く時、求める物は何でも与えられた。14 夕方に行き、朝には第2の女^{い え# もと そくしつ}の家に戻り、側室たちの世話係^{せ わ が り}で王の宦官であるシャアシュガズに託された。王に特に気に入られて名前^{お う とき き い な まえ よ}で呼び出されるのでなければ、もう王のもとに行くことはなかった。

15 エステルが王のもとに行く順番が来た。モルデカイの養女^{き ようじょ(イ)}で、モルデ

2:9 *または、「揺るぎない愛を抱いた」。2:9, 11, 13, 14 # 王の妻や側室などの女性たちが暮らした場所。

第2章
(イ) エス 2:12

(イ) エス 3:8

(イ) エス 2:7

(ロ) エス 4:12-14

(イ) 格 7:17
ソ口 3:6

(イ) 創 43:11
王一 10:2
王二 20:13

(イ) エス 2:3

(イ) エス 4:11

(イ) エス 2:7

第2欄
(イ) エス 1:3

(イ) エス 1:19

(イ) エス 4:14

(ロ) エス 2:3, 4

(イ) エス 2:5, 6
エス 3:8

(イ) エス 2:7, 10

カイのおじアビハイルの娘である。エステルは、女性たちの世話係^{せ わ が り}で王の宦官であるヘガイが勧めた物以外は何も求めなかった。(その間ずっと、エステルを見る人は皆、好感を持^{も *}った。)

16 エステルは、王の治世^{ち せい}の第7年、第10の月すなわちテベトの月に、王の家^{い え}のアハシュエロス王の所に連れていかれた。17 王は、ほかのどの女性よりもエステルを愛するようになり、エステルは、ほかのどの乙女よりも王の好意と称賛^{ちやうさん*}を得た。そこで王は、王妃の頭飾^{あたまざき*}りをエステルの頭に置き、ワシテの代わりに王妃とした。18 王は、全ての高官と家来のための大宴会を催^{もよお}し、エステルの宴会とした。そして、しゅう州のために恩赦^{しゅう ちやう}を行い、王として気前よく贈り物を与えていった。

19 さて、乙女たちが2度目に集められた時、モルデカイは王の門の所に座っていた。20 エステルは、モルデカイに命じられた通り、自分の親族や民族のことを何も語らなかった。モルデカイの世話を受けていた時と同じく、言われたように行動していた。

21 その頃、モルデカイが王の門の所に座っていた時、王の2人の廷臣で戸口番のビッグタンとテレシュが腹を立て、アハシュエロス王の殺害をたくらんだ。22 けれども、モルデカイがそのことを知って直ちにエステル王妃に告

2:16 *付録B15参照。2:17 *または、「揺るぎない愛」。「または、「ターバン」。

げたので、エステルはモルデカイの名
前^{まえ}で王^{*おう}に話^{はな}した。23 調査^{ちようさ}がなされ
て事実^{じじつ}が明らか^{あき}になり、2人は杭^かに掛
けられた。この件^{けん}は王^{おう}の前^{まえ}でその時^じ
代^{だい}の歴史書^{れきし}に記^{しる}された。

3 その後、アハシュエロス王^{おう}はアガ
グ人^{じん}ハメダタの子^こハマンを昇進^{しょうしん}
させ、どの高官^{こうかん}よりも上^{うへ}の位^ゐに就^つ
けた。2 王^{おう}の門^{もん}にいた王^{おう}の家来^{けらい}たち
は皆^{みな}、ハマンに身^みをかがめてひれ伏^ふす
のだった。王^{おう}がそう命^{めい}じていたからで
ある。しかしモルデカイは、身^みをかが
めようともひれ伏^ふそうともしなかった。
3 それで、王^{おう}の門^{もん}にいた王^{おう}の家来^{けらい}たち
はモルデカイに、「どうして王^{おう}の命^{めい}
令^{れい}に従^{したが}わないのか」と言った。4 毎
日^{にち}そう言ったが、聞き入れ^きないので、
モルデカイの振^ふる舞^まいが許^{ゆる}されるの
かを見^みようとして、ハマンに告^つげた。モ
ルデカイは、自分^{じぶん}がユダヤ人^{じん}であると
語^{かた}っていたのである。

5 ハマンは、モルデカイが身^みをか
がめようともひれ伏^ふそうともしないの
を見て、激^みしい怒^いりを抱^{いだ}いた。6 し
かし、モルデカイだけ^{さつがい}を殺^{ころ}害^{がい}するので
は十分^{じゅうぶん}でないと感じた。モルデカイの
民族^{みんぞく}のことを聞^きいていたからである。
それで、アハシュエロスの全領土^{ぜんりょうど}にい
るユダヤ人^{じん}すなわちモルデカイの民
族^{ぞく}を全滅^{ぜんめつ}させようとした。

7 アハシュエロス王の治世の第12

2:22 *または、「の代わりに」。

第2章

(ア) エス 6:1,2

第3章

(イ) 出 17:16
民 24:7
申 25:19
サ 15:8,32

(イ) エス 3:10
エス 8:7
エス 9:24

(ロ) エス 1:14

(イ) ダニ 6:13

(イ) エス 2:5

(イ) エス 5:9

第2欄

(イ) エス 1:3
エス 12:16

(イ) エス 9:24

(イ) エス 9:1

(ロ) エス 1:1

(イ) 申 4:27
ネヘ 1:8
エレ 50:17

(イ) 創 41:42

(イ) 民 24:7
サ 15:8,32

(イ) エス 3:1
エス 8:2

(イ) エス 8:9

(ロ) ダニ 6:8

(イ) エス 8:8
ダニ 6:17

ねん^{ねん}の^{だい}1^{つき}の月^{つき}すなわちニサンの月^{つき}に、
日付^{ひつけ}を決めるためにハマンの前^{まえ}でプ
ル(つまり、くじ)が引^ひかれた。結果^{けつ}は、
第12^{だい}の月^{つき}すなわちアダルの月^{つき}と出^でた。

8 それからハマンはアハシュエロス王^{おう}
に言^いった。「王^{おう}の領土^{りょうど}の全州^{ぜんしゅう}にいる諸^{しよ}
民族^{みんぞく}の間に離散^{あいだ}している1つの民族^{みんぞく}が
います。どの民族^{みんぞく}とも違^{ちが}う法律^{ほうりつ}を持^も
ていて、王^{おう}の法律^{ほうりつ}に従^{したが}っていません。
この民族^{みんぞく}を放^{ほう}っておくのは王^{おう}のため
になりません。9 もし王^{おう}が良いと思^{おも}わ
れるのでしたら、この民族^{みんぞく}を滅^めぼす命^{めい}
令^{れい}が出^だされますように。私は役人^{わかしやくにん}たち
に銀^{ぎん}を340トン支^し払い、王^{おう}の金庫^{きんこ}に納^{おさ}
めることにします*。

10 そこで、王^{おう}は自分^{じぶん}の手^てから認印^{にんいん}
指輪^{ゆびわ}を外^{はず}し、アガグ人^{じん}ハメダタの子^こで
ユダヤ人^{じん}の敵^{てき}であるハマンに渡^{わた}した。
11 王^{おう}はハマンに言^いった。「銀^{ぎん}と民族^{みんぞく}
はあなたに与^{あた}えられる。良いと思^{おも}うよ
うに扱^{あつか}いなさい」。12 第1^{だい}の月^{つき}の13
日に王^{おう}の秘書官^{ひしょくわん}が招集^{しょうしゅう}された。秘書
官^{かん}たちは、王^{おう}の太守^{たいしゅう}や、州^{しゅう}を治^{おさ}める総
督^{とく}や、各民族^{かくみんぞく}の高官^{こうかん}に対するハマンの
命^{めい}令^{れい}全てを、それぞれの州^{しゅう}の文字^{もじ}
をつか^{つか}ってそれぞれの民族^{みんぞく}の言語^{げんご}で書^{しょ}面^{めん}
にした。それはアハシュエロス王^{おう}の名^な
前^{まえ}で書^かかれ、王^{おう}の認印^{にんいん}指輪^{ゆびわ}で印^{いん}が押^お
された。

13 手紙^{てがみ}は急使^{きゅうし}によって王^{おう}の全州^{ぜんしゅう}に

3:7 *付録B15参照。3:9 *もしかすると、「私
は、この仕事をする人たちのために340トンの銀
を王^{おう}の金庫^{きんこ}に納^なめます」。3:12 *または、「文
体」。

送^{おく}られた。その内容^{ないよう}は、第^{だい}12^{つき}の月^{つき}すなわちアダルの月^{つき}の13^{にち}日^{にち}、その1^{いち}日^{にち}のうちに、ユダヤ人^{じん}を若者^{わかもの}も老人^{ろうじん}も子供^{こども}も女性^{じょせい}も殺^{ころ}し、滅^{ほろ}ぼし、全滅^{ぜんめつ}させ、財産^{ざいさん}を奪^{うば}い取^とれというものだった。14 この書^{しょ}面の写^{うつ}しは、その日^ひの備^{そな}えがでできるように、ど^{しゅう}の州^{ほうり}でも法令^だ令^{れい}として出^でされて全民族^{ぜんみんぞく}に公^{こう}布^ふされることになってい^いた。15 急使^{きゅうし}は王^{おう}の命^{めい}令^{れい}ですぐに出^い発^{はつ}し、シュシャン城^{じょう}でもその法^{ほう}令^{れい}が出^でされた。王^{おう}とハマンは座^{すわ}って酒^{さけ}を飲^のんでいたが、シュシャンの都^{みやこ}は混^{こん}乱^{らん}して^いいた。

4 モルデカイは、起^おきたこと全^{すべ}てをし^し知^ちると、衣^い服^{ふく}を引^ひき裂^さき、粗^{あら}布^{ぬい}をまとい、灰^{はい}をかぶ^かつた。そして都^{みやこ}の中^{なか}に出^でていき、大^{おお}声^{こゑ}で激^{はげ}しく叫^{さけ}んだ。2 王^{おう}の門^{もん}まで来^きて、立^たち止^どまった。粗^{あら}布^{ぬい}を身^みにつけて王^{おう}の門^{もん}を入^{はい}ってはならなかつたからである。3 王^{おう}の言^{こと}葉^はと命^{めい}令^{れい}が届^{いた}いたど^どの州^{しゅう}でも、ユダヤ人^{じん}はひどく嘆^{なげ}き悲^{かな}しみ、断^{だん}食^{じき}し、すすり泣^なき、泣^なき叫^{さけ}んだ。多^{おほ}くの人^{ひと}が粗^{あら}布^{ぬい}と灰^{うゑ}の上^{うへ}に横^{よこ}たわ^わった。4 エステル王妃^{おうひ}は、付^つき人^{びと}の女^{じょ}性^{せい}たちと宦^{かん}官^{がん}たちが入^{はい}ってき^きて報^{ほう}告^{こく}すると、非^ひ常^{じょう}に苦^{くる}しんだ。モルデカイに衣^い服^{ふく}を届^{いた}けて粗^{あら}布^{ぬい}の代^かわ^りに着^きさせようとしたが、モルデカイは受^うけ取^とらなかつた。5 そこでエステルは、王^{おう}に任^{にん}命^{めい}されて自^じ分^{ぶん}に仕^{つか}えてい^いる宦^{かん}官^{がん}のハタクを呼^よび寄^よせ、これ^こはど^どうい^いうことか、何^{なに}が起^おきているのかを

第3章

(例) エス 9:1

(例) エス 8:11,12

(例) エス 8:14

(例) エス 4:9

ネヘ 1:1

ダニ 8:2

第4章

(例) エス 2:5

(例) エス 3:8-11

(例) エス 1:1

(例) 代ニ 20:3

エズ 8:21

(例) ダニ 9:3

第2欄

(例) エス 3:8,13

(例) エス 3:9

(例) エス 3:14,15

(例) エス 2:20

(例) エス 2:5,7

(例) エス 5:1

(例) エス 5:2

エス 8:4

(例) サ一 12:22

イザ 54:17

モルデカイに聞^きいてくるよう命^{めい}じた。

6 それでハタクは、王^{おう}の門^{もん}の前^{まえ}にある都^{みやこ}の広^{ひろ}場^ばに行^いき、モルデカイに会^あった。7 モルデカイは、自^じ分^{ぶん}に起^おきたこと^{こと}を全^{ぜん}部^ぶ話^はし、ハマンがユダヤ人^{じん}を滅^{ほろ}ぼすために王^{おう}の金^{きん}庫^こに支^し払^はうと約^{やく}束^{そく}した金^{きん}額^{がく}を告^つげた。8 また、シュシャンで出^でされたユダヤ人^{じん}全^{ぜん}滅^{めつ}の命^{めい}令^{れい}の写^{うつ}しを渡^{わた}した。それをエステルに見^みせて説^{せつ}明^{めい}した上^{うえ}で、エステルが王^{おう}のもとに行^いって憐^れれみ^みを乞^こうように、自^じ分^{ぶん}の民^{みん}族^{ぞく}のため^{ため}に王^{おう}に直^{ちよく}接^{せつ}お願^{ねが}いするよう^{よう}に、と伝^{つた}えてもら^{もら}うため^{ため}だった。

9 ハタクは戻^{もど}ってモルデカイの言^{こと}葉^はをエステルに伝^{つた}えた。10 エステルはハタクに、モルデカイへ^への伝^{でん}言^{ごん}を託^{たく}した。11 「王^{おう}の家^け来^{らい}も州^{しゅう}の民^{たみ}も皆^{みな}知^しる通^{とお}り、男^{だん}性^{せい}でも女^{じょ}性^{せい}でも、呼^よばれてい^いないのに王^{おう}の内^{うち}側^{がわ}の庭^{にわ}に入^{はい}ってい^いく人^{ひと}には、1つ^{ひとつ}の法^{ほう}律^{りつ}が適^{てき}用^{よう}されま^ます。その人^{ひと}は処^{しよ}刑^{けい}されるのです。ただし、王^{おう}が金^{きん}の王^{おう}笏^{しやく}を差^さし出^だすなら、許^{ゆる}されま^ます。私^{わたし}はこ^この30日^{にちかん}間^{かん}、王^{おう}に呼^よばれてい^いませ^せん」。

12 モルデカイはエステルの言^{こと}葉^はを聞^きくと、13 こう返^{へん}答^{とう}した。「王^{おう}の家^{いえ}に在^いる自^じ分^{ぶん}はほかのユダヤ人^{じん}とは違^{ちが}って安^{あん}全^{ぜん}だろ^ろう、と考^{かんが}えてはなりませ^せん。14 もしこ^このよ^ような時^{とき}に黙^{だま}ってい^いるなら、ユダヤ人^{じん}は別^{べつ}の仕^{しかた}方^{ほう}で助^{たす}けられま^ますが、あな^{あな}たもあな^{あな}たの父^{ちち}の家^か族^{ぞく}も命^{いのち}を失^{うしな}うことになりま^ます。それに、

王^{おう}妃^ひとなったのは、このよ^{とき}うな時のた^ためなのかもしれませ^ん。

15 エステルはモルデカイに返^{へん}答^{とう}した。16 「行^いって、シュシャンに^にいるユ^{じん}ダヤ^{ぜんいん}人を全^{あつ}員^{わたし}集^めめ、私^{わたし}のた^だめに断^{だん}食^{じき}してくだ^{さい}さい。3日^{にち}間^{かん}、昼^{ひる}も夜^{よる}も、食^くべ^ることも飲^のむこともし^しないでくだ^{さい}さい。私^{わたし}も、付^つき人^{びと}の女^{じょ}性^{せい}たちと共^{とも}に断^{だん}食^{じき}をいた^すします。そし^て、法^{ほう}律^{りつ}に反^{はん}し^ますが、王^{おう}のも^もとへ参^{まい}りま^しょう。命^{いのち}を失^ううとしても、そ^の覚^{かく}悟^ごはで^きてお^りま^す。

17 モルデカイは去^さり、全^{すべ}てエステル^しの指^し示^じ通^{とお}りにした。

5 3日^{にち}目^めに、エステルは王^{おう}妃^ひの装^{よう}い^えをし、王^{おう}の家^{いえ}の内^{うち}側^{がわ}の庭^{にわ}で、王^{おう}の家^{いえ}に向^{むか}って立^たった。王^{おう}は、王^{おう}の家^{いえ}の王^{おう}座^ざに、入^いり口^{ぐち}に向^{むか}って座^{すわ}って^いた。2 王^{おう}は、庭^{にわ}に立^たっ^ているエステル王^{おう}妃^ひを^み見^よると喜^{よろこ}び、持^もっ^ていた金^{きん}の王^{おう}笏^{しやく}を^さしだ^し出^でした。エステルは近^{ちか}づき、そ^の王^{おう}笏^{しやく}の先^{さき}に触^{さわ}った。

3 王^{おう}は言^いった。「エステル王^{おう}妃^ひ、ど^ううしたのか。何^{なに}か願^{ねが}い事^{ごと}でもあ^るのか。王^{おう}国^{こく}の半^{はん}分^{ぶん}であ^っても与^{あた}えよう!」

4 エステルは答^{こた}えた。「もしよろしければ、王^{おう}のた^ために用^{よう}意^いしま^した宴^{えん}会^{かい}に今日^{けふ}、ハマンと一^{いっ}緒^{しょ}においでくだ^{さい}さいま^すよう^に。5 王^{おう}は家^か来^{らい}に言^いった。「エステル^の願^{ねが}い通^{とお}り、す^ぐに^に来^くるようハマン^にに伝^{つた}えよ。そして、王^{おう}とハマン^ははエステル^がが用^{よう}意^いしま^した宴^{えん}会^{かい}に出^で掛^かけた。

5:1 *または、「宮殿」。

第4章
(例) エス 2:17

(例) 代二 20:3
エス 8:21

(例) エス 5:1

第5章
(例) エス 4:16

(例) エス 4:11
エス 8:4

(例) エス 3:1,10

第2欄
(例) エス 7:2

(例) エス 3:2-5

(例) エス 5:14
エス 6:13

(例) エス 9:7-10

(例) エス 3:1

(例) エス 5:5

(例) エス 5:8

6 酒^{しゅ}宴^{えん}の^{あい}間^だに、王^{おう}はエステルに言^いった。「あな^なたの^{ねが}い願^{ねが}いは何^{なん}か。それ^をを^かなえよう! あな^なたの^{ねが}い願^{ねが}いは何^{なん}か。王^{おう}国^{こく}の半^{はん}分^{ぶん}であ^っても与^{あた}えよう!」 7 エステルは答^{こた}えた。「私^{わたし}の^{ねが}い願^{ねが}い、ま^た願^{ねが}い^{です}が、8 もし私^{わたし}が王^{おう}の好^{こう}意^いを得^えてお^り、王^{おう}にと^とつて、私^{わたし}の^{ねが}い願^{ねが}い^をを^かなえ、願^{ねが}い^をを^きき入^いれるこ^とが良^よいと思^{おも}わ^{れる}のでし^{たら}、明^あ日^すお二^{ふた}人^りのた^ために^も催^{もよお}しま^す宴^{えん}会^{かい}に、ハマンと一^{いっ}緒^{しょ}にお^いでくだ^{さい}ま^すよう^に。明^あ日^す、私^{わたし}の^{ねが}い願^{ねが}い^をを^あし^うげま^す。

9 そ^の日^{にち}、ハマンは喜^{よろこ}び^{ながら}上^{じょう}機^き嫌^{けん}で出^でてい^った。し^かし、王^{おう}の門^{もん}で、モ^もル^るデ^でカ^かイが自^じ分^{ぶん}を^みて^も立^たち上^あが^らず、怖^{こわ}が^らない^{ので}、モ^もル^るデ^でカ^かイに^{たい}対^{たい}する^い激^{げき}しい^い怒^{いか}りに^み満^みた^され^た。10 け^れども、ハマンは自^じ分^{ぶん}を^{せい}制^{せい}して^い家^{いえ}に^{かえ}帰^{かえ}った。そ^して、友^{ゆう}人^{じん}たちと妻^{つま}ゼレ^{しゅ}を^つ連^づれ^てこ^させ^た。11 ハマンは、莫^{ばく}大^{だい}な^と富^ふや多^{おほ}く^きの^{むすこ}息^こ子^しの^{こと}、ま^た王^{おう}が自^じ分^{ぶん}を^{しょう}昇^{しょう}進^{しん}さ^せて^い高^{こう}官^{かん}や王^{おう}の^{けらい}家^か来^{らい}たち^{より}高^{たか}い^ち地^い位^つに^じ就^じけ^たこ^とを^を自^じ慢^{まん}した。

12 さ^らにハマンは言^いった。「し^かも、エ^えス^すテ^てル^る王^{おう}妃^ひが^{よう}用^{よう}意^いした^{えん}宴^{えん}会^{かい}に^お王^{おう}と一^{いっ}緒^{しょ}に^わ来^{きた}る^{よう}招^{まね}か^{れた}のは、私^{わたし}だ^けだ^{った}。あ^{した}も、王^{おう}と一^{いっ}緒^{しょ}に^わ王^{おう}妃^ひに^{まね}招^{まね}か^{れて}い^る。13 そ^れで^も、王^{おう}の^{もん}門^{もん}の^{ところ}所^{すわ}に^{じん}座^ざっ^てい^るユ^{じん}ダ^だヤ^や人^{にん}モ^もル^るデ^でカ^かイ^をを^みる^{かぎ}限^りは、ど^うし^ても喜^{よろこ}べ^ない。14 す^ると、妻^{つま}ゼレ^{しゅ}と友^{ゆう}人^{じん}た^ちは^{みな}皆^い、言^いった。「高^{たか}さ^き20^めメ^ートル^の杭^{くい}

を立てさせ、朝になったら、モルデカイ
をそれに掛けるよう王に申し上げるの
です。それから、王と一緒に出掛けて
宴会を楽しんでください。ハマンはこ
の案を気に入る、杭を立てさせた。

6 その夜、王は眠れなかった。そ
れで、その時代の歴史を記した
書物を持ってくるように言った。その
書物が王の前で朗読された。**2** する
と、次の記述が見つかった。王の2人
の廷臣で戸口番のビッグタナとテレシュ
がアハシュエロス王の殺害をたくらん
だことについて、モルデカイが報告し
た、という記述である。**3** 王が、「こ
の件で、モルデカイにどんな栄誉と褒
美が与えられたか」と尋ねると、王の
そばで仕える人たちは、「何も与えら
れておりません」と答えた。

4 その後、王は言った。「庭にいる
のは誰か」。ハマンが王の家の外側の
庭に入ってきていた。用意した杭にモ
ルデカイを掛けることについて王に話
すためだった。**5** 王に仕える人たち
は言った。「ハマンが庭に立っておりま
す」。それで王は、「通せ」と言った。

6 ハマンが入ってくると、王は言っ
た。「王が栄誉を与えたいと思う人
には、何をすればよいか」。ハマンは心
の中で言った。「王は私以外の誰に栄
誉を与えたいと思うだろうか」。**7** そ
して王に言った。「王が栄誉を与え
たいと思われる人のために、**8** 王が

第5章

(例) エス 6:4
エス 7:9

第6章

(例) エス 10:2

(例) エス 2:21,23

(例) エス 4:11

(例) エス 5:14

(例) エス 3:1

(例) エス 3:2
エス 5:11

第2欄

(例) エス 8:15

(例) 創 41:42,43

(例) エス 2:5,6

(例) エス 5:10,14

(例) エス 5:8

お召しになる王の服を持ってこさせ、
王がお乗りになる馬に特別な頭飾
りを付けて、引いてこさせてください。

9 その衣服と馬を、王に仕える著名な
高官の1人に託すのです。王が栄誉を
与えたいと思われる人は、それを着て
みやこへ出る。王の都の広場でその馬に乗ります。その前
で、『王が栄誉を与えたいと思う人は
このようにされる』という宣言がなさ
れますように。**10** 直ちに王はハマ
ンに言った。「急げ! その衣服と馬を
取って、あなたが言った通りに、王の
門の所に座っているユダヤ人モルデ
カイに行くのだ。あなたが述べたこと
を全て行いなさい。

11 それでハマンは衣服と馬を取り、
モルデカイに着せ、都の広場で馬に乗
せ、その前で、「王が栄誉を与えたい
と思う人はこのようにされる」と宣言
した。**12** その後、モルデカイは王の
もとの門に戻った。ハマンは、嘆いて頭を覆
い、家へと急いだ。**13** ハマンが妻
ゼレシュと友人たち全員に、自分に生
じたことを何もかも語ると、賢人たち
と妻ゼレシュは言った。「あなたはす
でにモルデカイに負けそうになっていま
すが、モルデカイがユダヤ人でしたら、
あなたはかないけません。必ず負けるで
しょう。

14 話し合いが続いているうちに、
王の廷臣たちが到着し、エステルの
設けた宴会に、急いでハマンを連れて
いった。

7 王とハマンは、エステル王妃の宴
会にやって来た。2 王は、2日

目の酒宴の間にもエステルに言った。
「エステル王妃、あなたの請願は何か。
それをかなえよう。あなたの願いは何
か。王国の半分であっても与えよう!」

3 エステル王妃は答えた。「王よ、も
し私が王の好意を得ており、王にとっ
て良いと思われるのであれば、私の命
を助け、私の民族を救ってくださいな
う、請願し、お願いいたします。4 私
も私の民族も売られており、殺され、滅
ぼされ、全滅させられようとしている
のです。もし奴隷として売られただけ
でしたら、私は黙っておりました。けれ
ども、この苦難は王にとって損失とな
りますので、好ましいことではございま
せん」。

5 アハシュエロス王はエステル王
妃に言った。「誰だ、そんなことをしよ
うとしたのは。その者はどこにいる」。

6 エステルは言った。「その敵対者、
敵は、この悪人ハマンです」。

ハマンは王と王妃におびえた。7 王
は激怒して酒宴の席を立ち、宮殿の庭
へ行った。ハマンは、身を起こしてエ
ステル王妃に命乞いをしようとした。
王が自分を処罰するつもりだと分かっ
たからである。8 王が宮殿の庭から
酒宴の家に戻ると、エステルがいる寝
椅子の上にハマンがひれ伏していた。
王は、「この私の家で、王妃を犯そう
とまでするのか」と怒鳴った。この言

第7章
(ア) エス 3:1

(イ) エス 5:3,6

(ウ) エス 2:5,7

(エ) エス 3:8,9

(オ) エス 3:13
エス 4:7,8

第2欄
(ア) エス 1:10

(イ) エス 6:2

(ウ) エス 5:14

第8章
(エ) エス 3:8
エス 9:24

(オ) エス 5:11

(ウ) エス 2:5,7

(オ) 創 41:41,42
エス 3:10
ダニ 6:17

(ウ) ダニ 2:48

(ウ) エス 3:9
エス 7:4
エス 9:24,25

(エ) エス 4:11

(例) 出 17:16
民 24:7
申 25:19
サー 15:8,33

(例) エス 3:12,14

葉が王の口から出ると、ハマンの顔は
覆われた。9 王の廷臣のハルボナ
が言った。「しかもハマンは、王を救う
報告をしたモルデカイを掛けるため
に、杭を用意していました。ハマンの
家に、高さ20メートルの杭が立ってい
ます」。すると王は言った。「ハマンを
それに掛けよ」。10 こうして、ハマン
はモルデカイのために用意しておい
た杭に掛けられ、王の激しい怒りは収
まった。

8 その日、アハシュエロス王はユダ
ヤ人の敵ハマンの家をエステル
王妃に与えた。そして、モルデカイは
王の前に来た。エステルが、モルデカ
イとのつながりを明らかにしたから
である。2 王は、ハマンから取り返
した認印指輪を外し、モルデカイに渡
した。エステルはハマンの家をモルデ
カイに託した。

3 エステルは再び王に話した。王
の足元にひれ伏して、アガガンハマン
の悪事とユダヤ人に対する企てを終
わらせてくれるよう、涙ながらに王に
嘆願した。4 王が金の王笏を差し
出したので、エステルは身を起こして
王の前に立ち、5 こう言った。「もし
王にとって良いと思われ、私が王の好
意を得ており、王がこのことを適切と
思われ、私が王の目になうのでした
ら、あの陰険なアガガンハメダタの子
ハマンの書状を取り消す命令が書き
記されますように。ハマンが王の全て

のユダヤ人を滅ぼすために書いた書面でございます。6 自分の民族に降り掛かる災難をどうして見ていられるでしょうか。親族の滅びをどうして見ていられるでしょうか」。

7 アハシュエロス王はエステル王妃とユダヤ人モルデカイに言った。「私はハマンの家をエステルに与え、ハマンを杭に掛けた。ユダヤ人殺害を企てたからだ。8 さあ、ユダヤ人のために良いと思うことを王の名前で書き、王の認印指輪で印を押さない。王の名前で書かれて王の認印指輪で印を押された命令は撤回できないからだ」。

9 その時、第3の月すなわちシワンの月の23日に、王の秘書官が招集された。そして、ユダヤ人と、インドからエチオピアに及ぶ127の州の太守や総督や高官に宛てて、モルデカイが命じたこと全てを書いた。それぞれの州の文字を使ってそれぞれの民族の言語で、またユダヤ人にはその文字と言語で書いた。

10 書面は、アハシュエロス王の名前で書かれ、王の認印指輪で印を押され、急使によって送られた。急使たちは、王室用に育てられた早馬に乗っていった。11 王はその書面で、全ての町のユダヤ人に、集合して自分たちの命を守ることを許し、女性や子供も含

8:9, 12; 9:1 *付録B15参照。8:9 #または、「文体」。

第8章

(例) エス 8:1

(例) エス 7:10

(例) ダニ 6:8, 15

(例) ダニ 6:1

(例) エス 9:3

(例) エス 8:2

第2欄

(例) エス 9:5-10

(例) エス 3:13
エス 9:1, 2
エス 9:16, 17

(例) 詩 149:6, 7

(例) エズ 4:9
ネヘ 1:1
エス 1:2
ダニ 8:2

第9章

(例) エス 3:7
エス 8:11, 12

(例) エス 3:13

め、ユダヤ人を襲おうとするどの民族や州の者たちをも殺し、滅ぼし、全滅させて、財産を奪い取ることを許した。12 それは、アハシュエロス王の全ての州で、第12の月すなわちアダル月の13日に、1日のうちに行われるのである。13 その書面は、全ての州の至る所で法令として出され、全ての民族に公布されることになった。ユダヤ人が、敵に復讐するその日に備えるためだった。14 王室用の早馬に乗る急使たちは、王の命令で急いですぐに出ていった。その法令はシュシャン城でも出された。

15 モルデカイは、青布と白布の王の服、見事な金の冠、紫に染めた上等の毛織物のマントを身に着けて、王の前から出ていった。すると、シュシャンの都に歓声が上がった。16 ユダヤ人には希望の光と喜びと歓喜と榮譽があった。17 そして、どの州、どの町でも、王の命令と法令が届いた所では、ユダヤ人は喜び、歓喜し、宴会を開き、祝った。この土地の諸民族の多くの人が、自分はユダヤ人だと宣言していた。ユダヤ人に対する恐れを抱いたからである。

9 第12の月すなわちアダル月の13日に王の言葉と法令が実施されることになっていた。しかし、敵がユダヤ人を征服しようと望んでいたその日に、反対にユダヤ人が自分たちを

8:13 *または、「書面の写し」。

憎む者たちを打ち負かした。 **2** ユダヤ人は、危害を加えようとする者たちを手に掛けようと、アハシュエロス王の全州の自分たちの町で集合した。ユダヤ人に立ち向かえる者は一人もいなかった。全ての民族はユダヤ人に対する恐怖に襲われていたのである。 **3** 州の高官、太守、総督、王の仕事を扱う人たちも皆、ユダヤ人を支援していた。モルデカイを恐れたのである。 **4** モルデカイは王の家で力を持っており、その名声は全州の至る所に伝わっていった。ますます力を強めていたからである。

5 ユダヤ人は敵を皆、剣で殺し、滅ぼした。自分たちを憎む者に対して思いのままに行った。 **6** シュシャン城で500人を殺し、滅ぼした。 **7** そして以下の者を殺した。パルシャヌダタ、ダルフォン、アスパタ、 **8** ボラタ、アダルヤ、アリダタ、 **9** パルマシュタ、アリサイ、アリダイ、ワエザタ、 **10** すなわち、ユダヤ人の敵であるハメダタの子ハマンの10人の息子である。しかし、殺した後、略奪はしなかった。

11 その日、シュシャン城で殺された人の数が王に報告された。

12 王はエステル王妃に言った。「ユダヤ人はシュシャン城で、500人とハマンの10人の息子を殺し、滅ぼした。王のその他の州ではどうだったか。さて、あなたの請願は何か。それ

9:4 * または、「宮殿」。

第9章

(例) 申 32:36
サニ 22:41

(例) エス 1:1

(例) エス 8:17

(例) ダニ 6:1

(例) エス 8:15

(例) エス 8:11

(例) エズ 4:9

ネヘ 1:1

エス 1:2

ダニ 2:2

(例) エス 3:8,10
エス 7:4-6

(例) エス 8:11
エス 9:16

(例) エス 9:16

第2欄

(例) エス 5:8

エス 7:3

エス 8:5

(例) エス 8:11

(例) エス 7:10

(例) エス 9:21,22

(例) エス 7:3

(例) エス 8:13
詩 149:6,7

(例) エス 9:1,2

(例) エス 9:13,15

(例) 詩 124:2,6

(例) ネヘ 8:10

(例) エス 2:5,6

をかなえよう。あなたのほかの願いは何か。それも聞き入れよう。」 **13** エステルは答えた。「もし王にとって良いと思われるのであれば、シュシャンにいるユダヤ人が明日も、今日の法令通りにすることが許され、ハマンの10人の息子が杭に掛けられますように。」 **14** 王は、その通り行われるようにと命じた。シュシャンで法令が出され、ハマンの10人の息子は杭に掛けられた。

15 シュシャンのユダヤ人はアダル月の14日に集合し、シュシャンで300人を殺した。しかし略奪はしなかった。

16 王の州にいたほかのユダヤ人も集合し、自分たちの命を守った。敵に打ち勝ち、自分たちを憎む者7万5000人を殺したが、略奪はしなかった。 **17** これはアダル月の13日のことで、14日は休んで、祝宴と喜びの日とした。

18 シュシャンのユダヤ人は、13日と14日に集合し、15日は休んで、祝宴と喜びの日とした。 **19** こうして、周へん地域の町に住む、地方のユダヤ人は、アダル月の14日を喜びと祝宴の日とし、互いに食物を送り合う時とした。

20 モルデカイはこれらのことを記録し、アハシュエロス王の全州にいる全てのユダヤ人に、近くにも遠くにも、正式な手紙を送った。 **21** そして、毎

とし 年^{とし}ア^{つき}ダル^かの月^{にち}の14^{いわ}日^にと15^{いわ}日^にを祝^{いわ}うよう指示^しした。22 その日^ひにユダヤ人^{じん}は敵^{てき}に悩^{なや}まされずに休^{やす}み、その月^{つき}に悲^{かな}しみ^{よろこ}が喜^{なげ}びに、嘆^{なげ}きが祝^{いわ}いの日^ひに変^かえられたからである。ユダヤ人^{じん}は、その2日^かを祝^{しゅく}宴^{えん}と喜^{よろこ}びの日^ひとして祝^{いわ}い、互^{たが}いに食^{しょく}物^{もつ}を、また貧^{まず}しい人^{ひと}々^{びと}に贈^{おく}り物^{もの}を送^{おく}るときとするのである。

23 ユダヤ人^{じん}は、始^{はじ}めた祝^{いわ}いを今^{こん}後^ごも続^{つづ}けること、またモルデカイ^{じん}が書^かき送^{おく}った事^{こと}柄^{がら}を行^{おこな}うことに同^{どう}意^いした。

24 ユダヤ人^{じん}全^{ぜん}ての敵^{てき}であるアガ^{じん}グ人^{じん}ハメ^{じん}ダタ^{じん}の子^こハマン^{じん}は、ユダヤ人^{じん}を滅^{ほろ}ぼすこと^{こと}を企^くてて、ユダヤ人^{じん}を動^{どう}揺^{よう}さ^せせ、また滅^{ほろ}ぼそうと、プル^{くわだ}(つまり、くじ)を引^ひいた。25 しかし、エステル^{じん}が王^{おう}の前^{まえ}に入^{はい}ると、王^{おう}は次^{つぎ}の命^{めい}令^{れい}を書^{しよ}面^{めん}で出^でした。「ユダヤ人^{じん}に対する彼^{かれ}の悪^{わる}い企^くてが彼^{かれ}の身^みに降^かり掛^かかるようにせよ」。そしてハマン^{むすこ}と息子^{こい}たち^{たち}は杭^かに掛^かけられた。26 それで、これら^{これら}の日^ひはプル^{プル}にち^ちな^なんでプリム^{プリム}と呼ば^よれてい^いる。こうして、この手^て紙^{がみ}に書^かかれた全^{ぜん}てのこ^こと、この件^{けん}で目^めにしたこ^こと、また直^{ちよく}面^{めん}したこ^このため^{ため}に、27 ユダヤ人^{じん}は、この2日^かを必^{まい}ず祝^{とし}って、それ^{それ}につ^ついて書^かかれているこ^ことを毎^{まい}年^{とし}の定^{さだ}めら^めれた時^{とき}に行^{おこな}うこ^ことを、自^じ分^{ぶん}たち^{たち}と子^し孫^{そん}、および仲^な間^まに加^かわ^{くわ}る人^{ひと}全^{ぜん}てに義^ぎ務^む付^づけた。28 これら^{これら}の日^ひは、ど^どの世^{せい}代^{だい}で^でも、各^{かく}氏^し族^{ぞく}、各^{かく}州^{しゅう}、各^{かく}町^{まち}で、記^き憶^{おく}され、

9:26 *意味、「くじ」。複数形の「プリム」はユダヤの宗教暦の第12の月に祝われる祭りを指すようになった。付録B15参照。

第9章

(例) エス 4:1-3
(イ) 出 17:16
民 24:7
申 25:19
サ 15:8,33

(例) エス 3:1

(例) エス 3:8,9

(例) エス 3:7

(例) エス 8:10

(例) エス 8:3

(例) エス 5:14
エス 7:10
エス 9:14

(例) エス 3:7

(例) レビ 24:22
エス 8:17

第2欄

(例) エス 1:1

(例) エス 8:9

(例) エス 9:27

(例) 代 20:3

(例) エス 4:1

(例) エス 9:20,21

(例) エス 9:26

第10章

(例) エス 8:15
ダニ 2:48

(例) エス 2:5,6

(例) エス 1:3
ダニ 6:15

(例) エス 4:15
エス 6:1

祝^{いわ}われるこ^ことにな^なった。ユダヤ人^{じん}がこ^これらプリム^{プリム}の日^ひをなくしてはなら^なず、子^し孫^{そん}がその記^き念^{ねん}を途^と絶^だえさ^させてはなら^なかった。

29 プリム^{かん}に関する第^{だい}2の手^て紙^{がみ}が書^かかれ、アビ^あハイ^ひルの娘^{むすめ}であるエス^えテル^て王妃^{かみ}とユダヤ人^{じん}モル^もデ^ろカイ^{かい}は、全^{ぜん}権^{けん}をも^もってそれ^{それ}を確^{たし}かなものとし^した。

30 アハ^{りやうど}シュエ^{しゅう}ロス^{しゅう}の領^{りやうど}土^ど127^{せいじつ}の州^{しゅう}に在^ある全^{ぜん}てのユダヤ人^{じん}に、温^{ぬく}か^かで誠^{せい}実^{じつ}な言^{こと}葉^はを記^きした正^{せい}式^{しき}の手^て紙^{がみ}が送^{おく}ら

れ、31 ユダヤ人^{じん}モル^もデ^ろカイ^{かい}とエス^えテル^て王妃^{かみ}が指^し示^じした通^とり、またユダ^{じん}ヤ人^{じん}が自^じ分^{ぶん}たち^{たち}と子^し孫^{そん}に義^ぎ務^む付^づけた通^とり、断^{だん}食^{じき}と祈^き願^{がん}を含^{ふく}め、プリム^ひの日^ひを定^{さだ}められた時^{とき}に祝^{いわ}うこ^ことが確^{かく}認^{にん}され

た。32 エステル^{めいれい}の命^{めい}令^{れい}は、プリム^{かん}に關^{かん}するこ^こうした事^{こと}柄^{がら}を確^{たし}かなものとし、それ^{それ}は書^{しょ}物^{ぶつ}に記^き録^{ろく}され^た。

10 アハ^{おう}シュエ^{ほんど}ロス^{うみ}王^{わう}は本^{ほん}土^どと海^{うみ}の島^{しま}々^{じま}に強^{きやう}制^{せい}勞^{らう}働^{どう}を課^かした。

2 大^{だい}々^{だいて}的^{てき}に力^{ちから}強^{づよ}く成^なし遂^{すい}げ^げられた事^{こと}柄^{がら}全^{ぜん}てと、王^{おう}が高^{たか}い地^ち位^いに就^つけたモ^もル^ろデ^{かい}カイ^{かい}の偉^い大^{だい}さ^{さい}に關^{かん}する詳^{しょう}細^{さい}は、メ^めディア^{だい}とペ^ぺル^るシャ^{しゃ}の王^{わう}の時^{とき}代^{だい}の歴^{れき}史^し書^{しょ}に記^きされ^てい^る。

3 ユダヤ人^{じん}モル^もデ^ろカイ^{かい}は、アハ^{おう}シュエ^{つち}ロス^ち王^{わう}に次^{つぎ}ぐ地^ち位^いにあ^あったのである。また、ユダヤ人^{じん}のあい^{あい}だ^{だい}に大^{だい}人^{ひと}と * おお^{おお}ぜ^ぜい^いき^きやう^{やう}だい^{だい}の間^{かん}で偉^い大^{だい}な人^{ひと}で、大^{だい}勢^{せい}の兄^{えい}弟^{てい}たち^{たち}から尊^{そん}敬^{けい}され、自^じ分^{ぶん}の民^{みん}族^{ぞく}の幸^{しあ}せ^わのため^{ため}に働^{はたら}き、子^し孫^{そん}全^{ぜん}ての福^{ふく}祉^しを推^{すい}進^{しん}した。

10:3 *または、「重^{おも}んじ^じられ」。

ヨブ記

概要

- 1 忠誠を尽くす裕福な人ヨブ (1-5)
 サタンはヨブの動機を疑う (6-12)
 ヨブは持ち物や子供たちを失う (13-19)
 ヨブは神を非難しない (20-22)
- 2 サタンは再びヨブの動機を疑う (1-5)
 サタンはヨブの体に傷を負わせることを許される (6-8)
 ヨブの妻は「神を侮辱して死んでしまいなさい!」と言う (9, 10)
 ヨブの3人の友人が来る (11-13)
- 3 ヨブは自分の誕生を嘆く (1-26)
 ヨブは苦しみに遭う理由を尋ねる (20, 21)
- 4 エリバズの最初の発言 (1-21)
 ヨブの忠誠をあざける (7, 8)
 何から告げられた言葉を述べる (12-17)
 「神はご自分に仕える人のことを信じていない」(18)
- 5 エリバズの最初の発言の続き (1-27)
 「神は、賢い人がその人自身のずる賢さに捕らわれるようにする」(13)
 ヨブは神の矯正を退けてはならない (17)
- 6 ヨブの発言 (1-30)
 声を上げて自分の正しさを訴える (2-6)
 ヨブを慰める人たちは信用できない (15-18)
 「誠実な言葉は痛みを伴わない!」(25)
- 7 ヨブの発言の続き (1-21)
 一生は強制労働のよう (1, 2)
 「どうして私を標的にするのですか」(20)
- 8 ビルダの最初の発言 (1-22)
 ヨブの息子たちが罪を犯したとほめめかす (4)
 もしあなたが清いなら、神は守ってください
 はずだ (6)
 ヨブが神を認めていないとほめめかす (13)
- 9 ヨブの発言 (1-35)
 死にゆく人間は神と張り合えない (2-4)
 神は計り知れないことを行う (10)
 神と言い争うことはできない (32)
- 10 ヨブの発言の続き (1-22)
 なぜ神は私と争っているのか (2)
 神と、死にゆくヨブとの対比 (4-12)
- 「少しは安らぐことができますように」(20)
- 11 ツォファルの最初の発言 (1-20)
 ヨブの話が無意味だと非難する (2, 3)
 悪いことをやめるようヨブに言う (14)
- 12 ヨブの発言 (1-25)
 「あなた方に劣ってはいない」(3)
 「笑いものにされている」(4)
 神には知恵がある (13)
 裁判人や王は神にかなわない (17, 18)
- 13 ヨブの発言の続き (1-28)
 神と話がしたい (3)
 「3人とも無能な医者だ」(4)
 「自分が正しいことを知っている」(18)
 ヨブは神から敵と見なされるのはなぜか尋ねる (24)
- 14 ヨブの発言の続き (1-22)
 人は寿命が短く、悩みが多い (1)
 「木でさえも望みがあります」(7)
 「私を墓に隠してください!」(13)
 「人は死ぬと、もう一度生きられるでしょうか」(14)
 神はご自分の手で造った人に再び会いたいと願う (15)
- 15 エリバズの2回目の発言 (1-35)
 ヨブが神を畏れていないと主張する (4)
 ヨブに自分の立場をわきまえるように言う (7-9)
 「神は天使たちを信じていない」(15)
 苦しむのは悪人 (20-24)
- 16 ヨブの発言 (1-22)
 「慰めるどころか困らせに來たのか!」(2)
 神に標的にされたと主張する (12)
- 17 ヨブの発言の続き (1-16)
 「あざ笑う人たちが私を取り囲む」(2)
 「神は私を人々の軽蔑の的にした」(6)
 私は墓に帰る (13)
- 18 ビルダの2回目の発言 (1-21)
 罪人がたどる道を描写する (5-20)
 ヨブが神を知らないとはめめかす (21)
- 19 ヨブの発言 (1-29)

- “友人”の叱責を退ける (1-6)
見捨てられたと述べる (13-19)
「私を救う方が生きている」(25)
- 20 ツォファルの2回目の発言 (1-29)
ヨブに侮辱されたと感じる (2, 3)
ヨブが悪人だとほめかす (5)
ヨブは罪を犯すことを楽しんでいると主張する (12, 13)
- 21 ヨブの発言 (1-34)
どうして悪人が幸福に暮らすのか (7-13)
慰めに来た人たちの間違いを指摘する (27-34)
- 22 エリバスの3回目の発言 (1-30)
「人は神の役に立てるだろうか」(2, 3)
ヨブの貪欲さと不公正さを非難する (6-9)
神のもとに帰れば回復する (23)
- 23 ヨブの発言 (1-17)
自分の言い分を神の前に持ち出したい (1-7)
神を見つけられないと言う (8, 9)
「それることなく神の道を歩いた」(11)
- 24 ヨブの発言の続き (1-25)
神はなぜ時を定めないのか (1)
神が悪を容認していると言う (12)
罪人は暗闇を好む (13-17)
- 25 ビルダの3回目の発言 (1-6)
人がどうして神の前で無実とされるだろうか (4)
人は清い生き方をしても無駄だと主張する (5, 6)
- 26 ヨブの発言 (1-14)
「無力な人を見事に助けてくれたものだ！」(1-4)
神は地球を空間に浮かせている (7)
「神の行いのほんの一部」(14)
- 27 ヨブは忠誠を貫く決意をしている (1-23)
「忠誠を貫く」(5)
神を認めない人には希望がない (8)
どうして無意味なことを話すのか (12)
悪人は何も持たずに終わりに至る (13-23)
- 28 ヨブは地上の宝と知恵を比較する (1-28)
採掘する人の努力 (1-11)
知恵は真珠よりも価値がある (18)
エホバを畏れることが真の知恵 (28)
- 29 ヨブは試練に遭う前の幸福な日々を思い返す (1-25)
町の門の所で尊敬されていた (7-10)
公正に物事を扱っていた (11-17)
皆がヨブの助言を聞いた (21-23)
- 30 ヨブは境遇の変化を言い表す (1-31)
どうしようもない人たちにあざ笑われた (1-15)
神に助けてもらえないと感じた (20, 21)
皮膚は黒くなった (30)
- 31 ヨブは自分が忠誠を尽くしていると主張する (1-40)
「自分の目と契約を結んだ」(1)
神に評価してほしいと願う (6)
姦淫をしていない (9-12)
金銭を愛していない (24, 25)
偶像を崇拜していない (26-28)
- 32 若いエリフが話に加わる (1-22)
ヨブと3人の友人に対して怒る (2, 3)
敬意を込めて待ってから話し始める (6, 7)
ただ年を取れば賢くなるのではない (9)
エリフは話さずにはいられない (18-20)
- 33 エリフは、自分は正しいと言い張るヨブを戒める (1-33)
贖いが見いだされた (24)
活力にあふれた若い日々に戻る (25)
- 34 エリフは神の公正さと神の行いの正しさを説明する (1-37)
ヨブは神が自分を公正に扱ってくださらなかったと言った (5)
真の神が悪を行うことは決してない (10)
ヨブには知識がない (35)
- 35 エリフはヨブの間違った考え方を指摘する (1-16)
ヨブは自分が神よりも正しいと言った (2)
神は高い所にいて、罪の影響を受けない (5, 6)
ヨブは神を待たなければならない (14)
- 36 エリフは神の計り知れない偉大さをたたえる (1-33)
神に従う人は幸せになり、神を認めない人は退けられる (11-13)
「神のような教師がいるでしょうか」(22)
ヨブは神をたたえるべきである (24)
「神の偉大さは私たちの理解をはるかに超えています」(26)

神は雨と稲妻を統御する (27-33)

- 37 自然界は神の偉大さを明らかにする (1-24)
 神は人の活動を停止させる (7)
 「神の素晴らしい偉業について」考える (14)
 神を理解することなど人間には到底できない (23)
 人は誰も自分が賢いと思ってはならない (24)
- 38 エホバは人の弱小さを教える (1-41)
 大地が造られた時、あなたはどこにいたのか (4-6)
 神の子たちは称赞の叫び声を上げた (7)
 自然現象についての問い掛け (8-32)
 「天体を統御する法則」(33)
- 39 神が造った動物は人の無知を明らかにする (1-30)

山ヤギと鹿 (1-4)

- 野口バ (5-8)
 野牛 (9-12)
 ダチオウ (13-18)
 馬 (19-25)
 ハヤブサとワシ (26-30)
- 40 エホバは質問を続ける (1-24)
 ヨブは何も言うことがないと認める (3-5)
 「私の公正さに疑問を投げ掛けるのか」(8)
 神はベヘモトの強さを語る (15-24)
- 41 神はレビヤタンのすさまじさを語る (1-34)
- 42 ヨブはエホバに話す (1-6)
 3人の友人が断罪される (7-9)
 エホバはヨブを回復させる (10-17)
 ヨブの息子や娘 (13-15)

1 ウツの^{ち ほう}地方にヨブ^{*}という^{だんせい}男性がいた。神に^{けい}忠誠^{ちゅうせい}を^つ尽くす^{せいしやうじき}正^{はな}直^ちな人で、神を^{ひと}畏^いれ、悪^{おそ}から離^{はな}れていた。**2** ヨブには^{にん}7人の息子と^{にん}3人の娘^{むすめ}がいた。**3** 所有^{しやう}していた家畜^{かちく}は、羊^{ひつじ}7000匹、ラクダ^{びき}3000頭、牛^{とう}1000頭、ロバ^{とう*}500頭で、召^めし使^{つか}いも非常^{ひじやう}に大勢^{おおせい}いた。ヨブは東方^{とうほう}で最^もも裕福^{ゆうふく}な人^{ひと}だった。

4 ヨブの息子^{むすこ}たちは、日^ひを決^きめて順^{じゆん}番^{ばん}に自^じ分の家^{いえ}で宴^{えん}会^{かい}を開^{ひら}き、3人の姉妹^{まい}も招^{まね}いて一^{いっ}しょに食^たべたり飲^のんだりした。**5** 一連^{いちれん}の宴^{えん}会^{かい}が終^おわるた^にびに、ヨブは子^こ供^{ども}たちを呼^よび寄^{しんせい}せ、神聖^{*}な物^{あは}とした。朝^{あさ}早^はく起^おきて、一^{ひと}人^{ひとり}のた^めに全^{ぜん}焼^{しやう}の犠^ぎ牲^{せい}を捧^{ささ}げた。「子^こ供^{ども}

1:1 *意味はもしかすると、「敵意的」。**1:1, 8** *または、「非難されるところがない」。**1:3** *直訳、「500対」。[#]直訳、「雌口バ」。**1:5** *または、「神から見て清い者」。

第1章

(イ) エゼ 14:14
 ヤコ 5:10,11

(イ) 創 6:9

(イ) ヨブ 2:3

(イ) 創 8:20
 創 12:7,8

第2欄

(イ) 創 18:17,19

(イ) 創 6:2
 申 33:2
 ヨブ 38:7

(イ) 王 22:19
 詩 103:20
 ダニ 7:13

(イ) ゼカ 3:1
 マタ 4:1,3
 ルカ 22:31
 ヨハ 13:2
 啓 12:9

(イ) ヨブ 2:1-3

(イ) ペー 5:8

(イ) 創 6:9

(イ) 啓 12:10

たちが罪^{つみ}を犯^{おか}し、心^{こころ}の中で神^{なか}を侮^{かみ}辱^{ぶじよく}したかもしれない」と考^{かんが}えてのことだ^だった。ヨブはいつもそのようにして^いいた。

6 さて、真^{しん}の神^{かみ}の子^こたちが来^きてエホバの前^{まえ}に立^たつ日^ひとな^りた。サタンもそ^そこに^(イ)来^(イ)た。

7 エホバはサタンに、「どこから来^きたのか」と尋^{たず}ねた。サタンはエホバに答^{こた}えた。「地上^{ちじやう}を巡^{めぐ}り、歩^{ある}き回^{まわ}ってきま

した」。**8** エホバはサタンに言^いった。「私^{わたくし}に仕^{つか}えるヨブに注^{ちゅう}目^{めく}したか。地上^{ちじやう}に彼^{かれ}のよう^{ひと}な人^{かみ}はほかに^{おそ}いない。神^{かみ}に忠^{ちゅう}誠^{せい}を尽^つくす正^{せい}直^ちな人^{ひと}で、神^{かみ}を畏^{おそ}れ、悪^{おそ}から離^{はな}れて^いる」。**9** サタンはエホバに答^{こた}えた。「ヨブは本^{ほん}当^{とう}に純^{じゆん}粋^{すい}な気^き持^もちで神^{かみ}を畏^{おそ}れているのでし

よ^いうか。**10** 彼^{かれ}も家^か族^{ぞく}も全^{すべ}ての持^もち物^{もの}も、あな^きたが柵^{さく}で囲^{かこ}んで守^{まも}ったので

1:6 *ヘブライ語の慣用語。神の天使たちを指す。

ヨブ 1:11-2:3

ありませんか。あなたの祝福によって彼の仕事はうまく運び、家畜は非常に多くなりました。11 試しに、あなたの手を出して、彼の持つものを全てを破壊してください。彼はきつと面と向かってあなたを侮辱します」。12 エホバはサタンに言った。「いいだろう、彼の持つものをあなたの手に委ねよう。ただし、彼自身に手を出してはならない！」そこで、サタンはエホバの前から出ていった。

13 さて、ヨブの息子や娘が長男の家で食事をし、ぶどう酒を飲んでいた日のこと、14 ある人がヨブの所にきて報告した。「牛が耕し、ロバが近くで草を食べていると、15 シバ人が襲ってきました。家畜は奪われ、召し使いたちは剣で殺されました。私だけが逃げ延びたので、知らせに参りました」。

16 この人が話しているうちに、別の人が来て言った。「神の火が天から下り、羊と召し使いたちを焼き尽くしました。私だけが逃げ延びたので、知らせに参りました」。

17 この人が話しているうちに、別の人が来て言った。「カルデア人の3つの集団が襲ってきて、ラクダが奪われ、召し使いたちは剣で殺されました。私だけが逃げ延びたので、知らせに参りました」。

18 この人が話しているうちに、さら

1:16 *もしかすると、「稲妻」。

第1章

(例) 創 15:1
創 31:7

(例) 創 26:12

(例) ヨブ 2:7

(例) ヨブ 1:4

(例) 創 11:28

第2欄

(例) 創 3:19
詩 49:17
伝 5:15
伝 12:7
テモ一 6:7

第2章

(例) 創 6:2
申 33:2
ヨブ 38:7

(例) 詩 103:20
ダニ 7:13

(例) ヨブ 1:6-8

(例) ペー 5:8

別に別の人が来て言った。「息子さんと娘さんは、ご長男の家で食事やぶどう酒を召し上がっていました。19 すると突然、荒野の方から激しい風が家の四隅に吹き付け、家が倒れ、お子さんたちは下敷きになって亡くなりました。私だけが逃げ延びたので、知らせに参りました」。

20 ヨブは立ち上がって衣服を引き裂き、髪を切り落とし、ひれ伏して、

21 言った。

「母から生まれた時は裸だった。

だから裸で戻ろう。

エホバが与え、エホバが取り

去った。

エホバの名が引き続き賛美され
ますように」。

22 こうしたことがあっても、ヨブは罪を犯さず、神を非難しなかった。

2 その後、真の神の子たちが来てエホバの前に立つ日となった。サタンも来て、エホバの前に立った。

2 エホバはサタンに、「どこから来たのか」と尋ねた。サタンはエホバに答えた。「地上を巡り、歩き回ってきました」。3 エホバはサタンに言った。「私に仕えるヨブに注目したか。地上に彼のような人はほかにいない。神に忠誠を尽くす正直な人で、神を畏れ、悪から離れている。今でも私に忠

1:22 *または、「神のせいには」。2:1 *ヘブライ語の慣用語。神の天使たちを指す。2:3 *または、「非難されることがない」。

(例) 創 6:9

誠を尽くしている。あなたが私をけし
かけ、不当にも彼を破滅させようとし
ているのに」。4 サタンはエホバに
答えた。「誰でも自分の身が一番です。
人は自分の命を守るために、自分が
持つもの全てを差し出します。5 試
しに、あなたの手を出して、彼の体に
傷を負わせてください。彼はきっと面
と向かってあなたを侮辱します」。

6 エホバはサタンに言った。「いい
だろう、あなたの手に委ねよう。ただ
し、命を奪ってはならない!」7 そ
こで、サタンはエホバの前から出ていき、
ヨブの体に、頭のてっぺんから足の裏
まで、痛みの伴う腫れ物を生じさせた。
8 ヨブは土器のかげらを手に取って
体をかき、灰の中に座っていた。

9 ヨブの妻はヨブに言った。「こう
なってもまだ神に忠誠を尽くそうとす
るの? 神を侮辱して死んでしまいな
さい!」10 しかし、ヨブは妻に言っ
た。「まるで愚かな女性が話している
みたいだ。私たちは真の神から良い
ことだけを受けて、悪いことは受けな
いのだろうか」。この一連の出来事
の中で、ヨブは言葉で罪を犯すことがな
かった。

11 ヨブの3人の友人は、ヨブに生
じた数々の災難について聞いた。テ
マン人エリパズ、シュアハ人ビルダド、

2:3 *直訳、「のみ込ませ」。2:4 *直訳、「皮膚
のためには皮膚」。2:5 *直訳、「骨と肉にまで
触れて」。2:7 *または、「ひどい潰瘍」。2:10
*直訳、「唇」。2:11 *または、「知人」。

第2章
(例) ヨブ 27:5

(例) ヨブ 1:11

(例) レビ 24:15,16
ヨブ 1:11,12
啓 12:10

(例) ヨブ 30:30

(例) エレ 6:26

(例) ヨブ 1:21

(例) ヤコ 5:10,11

(例) ヨブ 4:1
ヨブ 15:1
ヨブ 22:1
ヨブ 42:7,9

(例) 創 25:1,2

(例) ヨブ 8:1
ヨブ 18:1
ヨブ 25:1

第2欄
(例) ヨブ 11:1
ヨブ 20:1

(例) エゼ 27:30,31

(例) ヨブ 16:6

第3章
(例) エレ 20:14,15

(例) ヨブ 10:18,19
エレ 15:10

(例) ヨブ 10:18,19

ナアマ人ツォファルである。3人はヨブ
に同情して慰めようと、一緒に行く約
束をし、それぞれ自分の所からやつ
て来た。12 そして遠くからヨブを見
たが、本人だと分からなかった。3人
は大声で泣いて衣服を引き裂き、土を
頭上に放り上げた。13 7日間ずつ
と、ヨブと一緒に地面に座っていた。
ヨブの痛みが大変ひどいのを見て、誰
も話し掛けなかった。

3 その後、ヨブは話し始め、自分が
誕生した日のことを悪く言った。

2 ヨブは言った。

3 「私が生まれた日は滅んでし
まへ。
『男の子が生まれた!』と誰かが
言った夜も。

4 その日は闇となれ。
天の神に関心を払われることも、
光に照らされることもなくなって
しまへ。

5 深い闇がその日を再び支配せよ。
雨雲が垂れ込めよ。
昼を暗くするものがその日をおび
えさせよ。

6 その夜は暗闇に捕らえられてし
まへ。
1年のほかの日々と一緒に喜ぶ
ことがあってはならない。

2:13 *直訳、「7日7夜」。3:1 *直訳、「自分の
日」。3:5 *または、「闇と死の陰がその日を取り
戻せ」。

1年のどの月にも入ってはなら
ない。

- 7 そうだ、その夜には何も生まれ
なくてよい。

喜びの声も聞かれなくてよい。

- 8 その夜に対して災いを宣告せよ。

日に災いを宣告する者よ、

レビヤタンを目覚めさせることが
できる者よ。

- 9 その夜、出てくる星は暗くなれ。

その夜は昼の光を待って無駄に
終われ。

夜明けの光を見てはならない。

- 10 私の母の腹の扉を閉じなかった
からだ。

そのせいで私は災難を見ること
になった。

- 11 なぜ私は生まれた時に死なな
かったのだろう。

なぜ母の腹から出てきた時に息
絶えなかったのだろう。

- 12 どうして私を乗せる膝があった
のか。

どうして私を育てる乳房があった
のか。

- 13 今ごろ、私は安らかに横たわって
いただろう。

休んで眠っていただろう、

- 14 地上の王たちや助言者たち、
今は廃墟になっている場所を自

第3章

(㉔) ヨブ 41:1,10
詩 104:25,26

(㉔) ヨブ 10:18

(㉔) エレ 20:17,18

(㉔) 伝 9:5,10

(㉔) ヨハ 11:11

第2欄

(㉔) 詩 146:4
伝 9:10
イザ 57:1,2

(㉔) ヨブ 30:23
詩 49:10,12
伝 8:8
伝 9:2

(㉔) サー 1:10
王二 4:27

(㉔) 民 11:11,15
王一 19:3,4
ヨブ 7:15,16
ヨナ 4:2,3

(㉔) ヨブ 12:14
ヨブ 19:8

分のために建てた人たちと一
緒に。

- 15 金を蓄えた高官たち、

家を銀で満たした人たちと一
緒に。

- 16 なぜ私は、流産された子のよう
に消えなかったのだろう。

なぜ、光を見ずに死ぬ子供のよ
うにならなかったのだろう。

- 17 あそこでは悪人でさえも騒ぎ立て
るのをやめ、

疲れた人たちも休んでいる。

- 18 囚人もくつろぎ、
自分たちを仕事に追いやる声を
聞かない。

- 19 身分が低い人も高い人もあの場
所では同じで、

奴隷は主人から自由になされて

いる。

- 20 神はなぜ苦しむ人に光を見させ、
ひどく苦悩する人に命を与える
のか。

- 21 なぜ死にたい人に死が訪れない
のか。

その人は秘宝を握り当てようとす
る以上に、死を求める。

- 22 墓を見つけて大喜びし、ほっと
する。

- 23 神はなぜ道に迷った人に、
ご自分が閉じ込めた人に、光を
見させるのか。

3:8 *ワニか他の大型の、力が強い水生動物のことと考えられている。 3:14 *もしかすると、「荒れ果てた」。

24 私には食物の代わりにため息が
ある。

うめき声が水のように流れ出る。

25 恐れていたことが私に生じた。

怖がっていたことが私に降り掛
かった。

26 平和も静寂も休息もなく、災難
が続く。

4 テマン人エリパズがそれを聞いて
言った。

2 「もし誰かがあなたに話そうとし
たら、あなたはいらいらするだ
ろうか。

誰が話さずにいられるだろう。

3 確かに、あなたは多くの人を正
した。

弱い人を力づけてきた。

4 よろけた人を言葉で支え、

膝が弱った人を力づけてきた。

5 ところが今、自分に災難が起き、
圧倒されている。

災難が自分の身に及び、うろた
えている。

6 神に敬意を抱いていながら確信
が持てないのか。

忠誠を尽くす生き方をしているが
ら希望が抱けないのか。

7 思い出してほしい。

無実なのに滅びた人がいるだろ
うか。

正直な人がいつ滅ばされただろ
うか。

第3章

(7) 詩 102:9,10

(7) 詩 22:1

詩 38:8

第4章

(7) ヨブ 2:11

ヨブ 15:1

ヨブ 22:1

ヨブ 42:7,9

8 私を知る限り、有害なことを植え
る人や、

面倒なことをまく人は、植えてま

いたものを刈り取る。

9 彼らは神の息によって滅び、

神の怒りの突風によって終わりを
迎える。

10 ライオンがほえる。若いライオン
がうなる。

しかし、強いライオンの歯さえも
折られる。

11 ライオンは獲物がいないので死ん
でいき、

ライオンの子たちは散らされる。

12 さて、1つの言葉がひそかに私に
伝えられ、

ささやき声が私の耳に届いた。

13 夜、人々が深く眠っている時、
私は夢を見て不安に駆られ、

14 ひどい恐怖に襲われた。

体中の骨が恐れで満たされた。

15 何かが顔の上を通り過ぎた。

私は身の毛がよだった。

16 それは立ち止まったが、

その姿は分からなかった。

何かがぼんやりと見え、

静けさの後に、声が聞こえた。

17 『死にゆく人間は神よりも正しい
のか。

人は人を造った方よりも清い

のか。』

4:8 *または、「たくらむ」。 4:15 *または、「見
えない力」。

18 何と、神はご自分に仕える人のことを信じていない。

ご自分の天使をとがめる。

19 そうであれば、人は粘土の家に住んでいるのだから、なおさらだろう。

土で成り立っていて、
蛾のようにたやすくつぶされる。

20 朝から夕方までに完全に砕かれる。

永久に滅び、誰も気に留めない。

21 綱が引き抜かれた天幕のようではないか。

知恵がなく死ぬことになる。

5 呼んでみてほしい。
あなたに答える者がいるだろうか。

聖なる者たちの誰に向かって呼ぶのか。

2 憤りは愚かな人を死に追いやり、
ねたみはだまされやすい人を死に至らせる。

3 愚かな人は勢いづいたが、
突然その人の住まいは災いに遭った。

4 その人の子たちに安全はなく、
町の門の所で虐げられる。救う者は誰もいない。

5 その人の収穫物は飢えた人に食べられ、
いばらの中からさえも奪われる。

第4章
[イ] 創 3:19

第5章
[イ] 格 22:22
アモ 5:12

第2欄
[イ] コー 3:19

所有物はだまし取られる。

6 有害なことは土からは芽生えない。

災難は地面からは生じない。

7 人生には災難が付きまとう。
火花が上に向かって飛ぶのと同じほど確実に。

8 私なら神に訴え、
神に自分の言い分を述べるだろう。

9 神は、偉大で計り知れないことを行う。

素晴らしい行いは数知れない。

10 地面に雨を降らせ、
野原に水を送る。

11 立場が低い人を高い地位に就け、

元気がない人を救う。

12 ずる賢い人の策略をくじく。
その人の行うことが成功しないようにと。

13 神は、賢い人がその人自身のずる賢さに捕らわれるようにする。

抜け目がない人の計画が行き詰まるようにする。

14 その人たちは昼間に闇に出くわし、

真昼にまるで夜のように手探りで進む。

15 神は貧しい人を強い人の手から救う。

切り付けるような言葉から救う。

16 それで、立場が低い人は希望を持てる。

一方、正しくない人の口は閉ざされる。

17 神に戒められる人は幸せだ！

全能者の矯正を退けてはならない！

18 神は痛みを生じさせるが、傷を包む。

痛手を負わせるが、自分の手で癒やしを行う。

19 神はあなたを6つの災難から

救う。

7つ目の災難さえも危害を及ぼさない。

20 神は飢饉の間もあなたを死から

救う。

戦いの間も剣の力から救う。

21 あなたは痛烈な言葉から守られ、

荒廃が生じてとも恐れない。

22 あなたは滅亡と飢えを笑う。

地上の野獣を恐れない。

23 野の石はあなたに危害を加えず、

野獣はあなたと平和に暮らす。

24 あなたは自分の天幕が安全なこ

とを知る。

自分の牧草地を確かめに行くと、何も失われていない。

5:15 *直訳、「その人たちの口の剣」。 5:20

*直訳、「買い戻す」。 5:21 *直訳、「舌のむち」。

5:23 *または、「と契約を結び」。 5:24 *直訳、「平和な」。

第5章

(ヨブ) 12:18

第2欄

第6章

(ヨブ) 詩 31:9

(ヨブ) 伝 7:7

ヤコ 3:2

(ヨブ) 格 18:14

(ヨブ) 30:24:5

25 あなたは多くの子供に恵まれる。

あなたの子孫は地上の草木のよ
うに多くなる。

26 あなたは墓に入る時に強さを

保っている。

収穫の時期に集められた穀物の
束がびんとしているように。

27 さあ、私たちはこうしたことを調

べ、事実だと知った。

聞いて、受け入れなさい」。

6 ヨブはそれを聞いて言った。

2「私の苦悩が十分に量られ、

私の災難もはかりに掛けられ

ばよいのに！

3 今それは海の砂よりも重い。

だから私は言葉が過ぎたのだ。

4 全能者の矢が突き刺さった。

その矢の毒を私は飲んでい

神からの恐怖が列を成して私を

攻める。

5 野口バは草があるのに鳴くだろ

うか。

雄牛は飼葉があるのに声を上

げるだろうか。

6 味の無い食べ物には塩なしで食べ

られるだろうか。

アオイの汁に味があるだろうか。

7 私はそうした食物には触ろうとし

なかった。

それらはまるで腐った食物のよ

うだ。

6:3 *または、「軽率に話してしまった」。

- 8 私の願いが実現してほしい！
私の望みを神にかなえていただき
きたい！
- 9 神が私を砕いてくださればよい
のに！
手を伸ばして私を消し去ってくだ
さればよいのに！
- 10 そうしていただければ、私は慰
められるだろう。
痛みが続いても小躍りして喜ぶ
だろう。
私は聖なる神の言葉を否定した
ことがない。
- 11 私には待ち続ける力があるだろ
うか。
どんな結末を期待して生き続け
るのか。
- 12 私の力は岩のように強力なのか。
私の肉体は銅でできているのか。
- 13 支えが全て奪われた今、何がで
きるというのだろう。
- 14 揺るぎない愛を仲間に示さない
人は皆、
全能者を畏れ続けることもし
ない。
- 15 私の兄弟たちは冬に流れる川の
ように信用できない。
冬を過ぎると干上がる川の水の
ように。
- 16 川は水で濁り、
水中には解けた雪が隠れる。
- 17 季節が来ると、水が枯れてなく
なる。

第6章

(例)民 11:11,15
王-19:3,4
ヨナ 4:3

(例)レビ 2:2
ホセ 11:9

(例)ヨブ 7:6,7
詩 103:15,16

(例)格 3:3
格 19:22
ホセ 6:6
ゼカ 7:9

(例)ヨ-3:17

(例)ヨブ 19:19
詩 38:11

第2欄

(例)イザ 21:13,14

(例)ヨブ 1:14,15

(例)ヨブ 13:4

(例)詩 38:11

(例)ヨブ 32:11,12

(例)格 12:18
格 25:11

(例)ヨブ 16:2,3
ヨブ 21:34

(例)ヨブ 10:1

暑くなると、干上がる。

18 進路はそらされ、
砂漠に流れて消え去る。

19 その水をテマの商人の団は
探し、

シエバからの旅人たちは待つ。

20 彼らは、ないものを当てにしたの
で恥をかく。

そこに来てただ失望する。

21 同じように、あなた方も信用でき
ない。

私の災難の恐ろしさを見て、恐怖
を抱いている。

22 私は『何かをくれ』と言っただろ
うか。

蓄えの中から私に贈り物をして

ほしいとお願ひしたのだろうか。

23 敵の手から助け出してほしい
とか、

虐げる人から救ってほしいなどと
頼んだらどうか。

24 教えてくれ。そうすれば黙らう。
私の間違いを理解させてほしい。

25 誠実な言葉は痛みを伴わない！
しかし、あなたの方から戒められて

も何も良いことがない。

26 絶望した人の言葉は、風に吹き
飛ばされるようなもの。

それなのに私の言葉を戒めよう
とたくらむのか。

6:19 *または、「シバ人の旅人の団」。6:23
*直訳、「買い戻して」。

- 27 あなた方は孤児を巡ってくじを
引き、
友人を売ってしまう！
- 28 今こちらを向いて私を見てくれ。
私は面と向かってうそをついたり
しない。
- 29 考え直してもらいたい。誤解しな
いでほしいのだ。
ぜひ考え直してほしい。私の正
しさはいまだに損なわれてい
ない。
- 30 私は間違ったことを言っているの
だろうか。
間違いに気付けないのだろうか。
- 7 地上の死にゆく人間の一生は、
強制労働のようではないか。
- 人の日々は、雇われて働く人の
日々のようにではないか。
- 2 人は、奴隷のように日陰を求め、
雇われて働く人のように賃金を
待つ。
- 3 私はむなしい月々をあてがわれ、
寝めな夜を割り振られた。
- 4 私は横になって思う。『いつ起き
られるだろう』。
- しかし夜は長く、夜明けまで寝返
りを繰り返す。
- 5 私の肉体はうじと土くれに覆わ
れた。
- 皮膚はかさぶたとうみだらだけだ。
- 6 私の日々は早く過ぎる。織物作

第6章
[7] ヨブ 31:21, 22
マラ 3:5

[1] 創 37:28

第7章
[7] ヨブ 14:5, 6
詩 39:4

[1] レビ 19:13
申 24:15

[1] 詩 6:6

[1] ヨブ 2:8
ヨブ 30:17

[1] ヨブ 30:19

[7] ヨブ 30:30

第2欄
[7] 詩 102:11
詩 103:15
詩 144:4

[1] ヨブ 17:15

[7] 詩 89:47
伝 2:11

[1] ヨブ 7:21
ヤコ 4:14

[1] ヨブ 10:21
ヨブ 14:12
詩 78:39
伝 9:10

[1] 詩 103:15, 16
詩 146:4
伝 9:5

[1] サー 1:10
ヨブ 10:1
格 14:10

[7] ヨブ 3:20, 21

- りをする人の道具よりも。
- そして望みもなく尽きる。
- 7 神よ、思い出してください。私の
命は風にすぎないことを、
私が二度と幸せを目にしないこ
とを。
- 8 今は私を見る人が、もう私を見る
ことはない。
- 私は探す、私はいない。
- 9 墓に下っていく人は、消え入る雲
のようだ。
- 上ってこることがない。
- 10 家に帰ることはなく、住んでいた
場所でも忘れ去られる。
- 11 私は自分の口をふさがない。
苦悩しつつ話し、ひどい苦しみを
訴える！
- 12 あなたが私のために見張りを置
くとは、
私は海なのでしょう、それとも
海の大きな生き物なでしょ
うか。
- 13 『寝椅子の上だと安心でき、
寝床は私の惨めさを和らげてく
れる』と私が言う、
- 14 あなたは夢で私をおびえさせ、
幻で私を怖がらせます。
- 15 それで私は窒息を選びます。
この体で生きるのではなく、死ぬ
ことを。

7:6 * 機織りをする人は、縦糸に横糸を渡すための
道具を素早く動かした。 7:9 * ヘブライ語、
シェオル。用語集参照。

- 16 私は自分の命に嫌気が差します。
生きていたくありません。
放っておいてください。私の日々
はまるで一呼吸のようだから
です。
- 17 死にゆく人間が何者なので、
あなたは気に掛けるのですか。
注意を払うのですか。
- 18 なぜ毎朝詳しく調べ、いつも試
すのですか。
- 19 私から視線をそらさないの
で
すか。
私を放っておかないのですか。唾
をのみ込む時間さえ与えない
のですか。
- 20 人間を見ている方よ、私が罪を
犯したとしても、あなたに何の
害が及ぶでしょうか。
どうして私を標的にするので
すか。
私はあなたにとって重荷となりま
したか。
- 21 どうして私の違反を許さず、
私の過ちを見過ごしてくださ
ないのですか。
私はもうすぐ横たわり、土に戻
ります。
あなたが捜す時、私はいま
せん。
- 8 シュアハ人ビルダドはそれを聞
いて言った。
- 2 「いつまでそんなふうにし続け
るのか。

第7章

(イ) 創 27:46
王 19:4
ヨブ 10:1
ヨナ 4:3

(イ) 詩 62:9
詩 144:4
伝 6:12

(イ) 詩 8:4
詩 103:15
詩 144:3

(イ) ヨブ 23:10

(イ) ヨブ 14:6

(イ) ヨブ 34:21
格 5:21
エレ 16:17
ヘブ 4:13
ペー 3:12

(イ) 創 3:19
詩 104:29
伝 12:7

第8章

(イ) 創 25:1,2
ヨブ 42:9

(イ) ヨブ 18:1
ヨブ 25:1

(イ) ヨブ 11:3

第2欄

(イ) ヨブ 5:8,9
ヨブ 11:13
ヨブ 22:23

(イ) ヨブ 1:8

(イ) ヨブ 11:14,17

(イ) ヨブ 15:17,18

あなたの口から出る言葉は強い
風にすぎない!

3 神が公正をゆがめるだろうか。
全能者が正義をゆがめるだ
うか。

4 あなたの息子たちが神に対して
罪を犯したので、
その反抗のことで神は息子たち
を処罰したのだから。

5 しかしもしあなたが、ただ神に目
を向け、
全能者に恵みを願うなら、

6 そしてもしあなたが本当に清く、
正直なら、
神はあなたに注意を払うはずだ。
元の良い状態に戻してくださ
る

はずだ。

7 あなたの始まりはささやかなもの
だが、

素晴らしい未来が訪れるだろう。

8 前の世代の人たちに尋ねてみて
はどうか。

父祖たちが見いだした事柄に注
意を向けてほしい。

9 私たちは昨日生まれたばかりで
何も知らず、

地上での日々は影のようだから。

10 前の世代の人たちはあなたを
教え、

知っている事を伝えてくれないだ
ろうか。

8:6 * または、「あなたのために起き上がる」。

8:10 * 直訳、「心から言葉を出して」。

- 11 湿地がないのにパピルスは育つか。
水がないのにアシは育つか。
- 12 まだつばみのうちに、しかも刈られていないのに、
ほかのどんな植物よりも先に干からびる。
- 13 神を忘れる人は皆、こうなる。
神を認めない人が抱く希望は実現しない。
- 14 その人が頼りにしているものは
むなしく、
信頼しているものはクモの巣の
ようにもろい。
- 15 その人はその巣に寄り掛かるが、
巣は耐えられない。
つかまっていようとするが、それは
持ちこたえない。
- 16 その人は、日差しを浴びるみずみずしい草木のようで、
庭園の中で若枝を伸ばしていく。
- 17 石の山の中で根を絡み合わせ、
石の間に住もうとする。
- 18 しかしいずれ引き抜かれる。
その時、根付いた場所は知らぬ
ふりをして、『あなたを見たこと
はない』と言う。
- 19 こうしてその人は消え去る。
地面からほかの人たちが生え
出る。

8:13 *または、「背教者」。8:14, 15 *直訳、「家」。8:17 *または、「石の家を見る」。8:18 *または、「のみ込まれる」。

第8章

(7) ヨブ 5:3

(1) ヨブ 20:9

(7) ヨブ 20:5

第9章

(7) 申 32:4

詩 143:1,2

ロマ 3:23

(1) ヨブ 40:2

ロマ 9:20

(7) ヨブ 36:5

詩 104:24

イザ 40:26

ダニ 2:20

(1) 格 14:16

格 28:14

イザ 30:1

ダニ 5:18,20

ゼカ 7:12

ロマ 2:5

(7) 詩 75:3

(7) 創 1:16

- 20 神が、忠誠を尽くす人たちを退けることは決してない。
悪を行う人を支持することも

- 21 神はあなたが笑い声を立て、歓声を上げるようにする。

- 22 あなたを憎む人たちは恥をまとい、
悪人の天幕はなくなる。

9 ヨブはそれを聞いて言った。

- 2 「その通りだと私も知っている。

- しかし、死にゆく人間がどうして神の前で正しさを証明できるだろうか。

- 3 たとえ誰かが神と言い争おうとしても、

- 1000の質問のうち一つも答えられない。

- 4 神は心が賢く、力が強い。

- 神に抵抗して無傷で済む人などいるだろうか。

- 5 神は誰も知らない間に山々を動かす。

- 怒りを抱いて山々を覆す。

- 6 神は大地を揺り動かす。
大地の柱も震える。

- 7 神は太陽に、光を放たないよう命じ、

- 星の光を封じている。

8:20 *または、「非難されるところがない」。

3 *または、「神を法廷に連れ出そう」。

9:5 *または、「取り除く」。

- 8 自ら^{みづか}天^{てん}を張り^は伸^のばし、
海^{うみ}の高波^{たかなみ}を踏^ふんでいる。
9 アシ^{せいざ*}星座^{せいざ}, ケシル^{せいざ}星座^{せいざ}, キマ^{せいざ}星座^{せいざ},
南^{みなみ}の空^{そら}の星^{せいざ}座^{つく}を造^{つく}った。
10 神^{かみ}は、偉大^{いだい}で計^{はか}り知^しれないこと^{こと}を行^{おこな}う。
11 素晴^{すば}らしい行^{おこな}いは数^{かず}え切^きれない。
12 神^{かみ}は私^{わたし}のそば^{そば}を通^{とお}って行く^こが、神^{かみ}を見^みることはでき^{でき}ない。
13 私^{わたし}のところ^{ところ}を通^{とお}り越^こして行く^{だれ}が、誰^{だれ}だか分^わからない。
14 神^{かみ}が何^{なに}かを奪^{うば}い取^とる時^{とき}、誰^{だれ}が抵^{てい}抗^{かう}できるだろ^うう。
15 誰^{だれ}が神^{かみ}に向^むかっ^{なに}て、『何^{なに}をしてい^いるのか^か』と言^いえるだろ^うう。
16 神^{かみ}は怒^{いか}りを抑^{おさ}えな^いい。
ラハブ^{※イ}の仲間^{なか}たちでさえも神^{かみ}にひ^ひれ伏^ふす。
17 私^{わたし}ならな^なおさ^おらだ!
神^{かみ}に答^{こた}える時^{とき}、言^{こと}葉^はを慎^{しん}重^{ちゆう}に選^{えら}ばなければなら^{なら}ない。
18 たとえ私^{わたし}が正^{ただ}しいとし^しても、私^{わたし}は答^{こた}えな^いいだろ^うう。
19 私^{わたし}を裁^{さば}く方^{かた}に憐^{※あ}れみ^あを乞^こうこと^{こと}し^しか^かできない。
20 もし私^{わたし}が呼^よべば、神^{かみ}は答^{こた}えてくだ^{くだ}さるだろ^ううか。

9:9 * おおくま座のことかもしれない。 * オリオン座のことかもしれない。 * おうし座のプレアデス星団のことかもしれない。 * 直訳、「南の奥まった部屋」。 9:13 * 海の大きな生き物のことかもしれない。 9:15 * もしかすると、「訴訟の相手」。

第9章

創 1:1
詩 33:6
イザ 44:24

(イ) ヨブ 38:8-11

ヨブ 38:31
アモ 5:8

イザ 40:28
ロマ 11:33

(ヨ) 詩 40:5

ダニ 4:35
ロマ 9:20

(キ) 申 32:22

(ヨ) ヨブ 26:12

(ヨ) ヨブ 10:15

第2欄

ヨブ 2:3
ヨブ 34:5,6

(イ) イザ 40:28

(ヨ) ヨー 5:19

- かみ わたし こえ おも
神^{かみ}が私^{わたし}の声^{こえ}を聞^きくとは思^{おも}えない。
17 神^{かみ}は風^{あらし}によって私^{わたし}を痛^{いた}めつけ、
理^り由^{ゆう}もなく私^{わたし}の傷^{きず}を増^ふやす。
18 私^{わたし}が一息^{ひといき}つくのを許^{ゆる}さない。
誰^にが経^{けい}験^{けん}ばかりさせ^せる。
19 誰^{だれ}が強^{つよ}いのかとい^いう話^{はなし}なら、強^{つよ}いのは神^{かみ}だ。
誰^{だれ}が公^{こう}正^{せい}かとい^いう話^{はなし}なら、神^{かみ}は言^いう。『誰^{だれ}が、神^{かみ}が間^ま違^{ちが}ってい^いると言^いえるのか^か』。
20 たとえ私^{わたし}が正^{ただ}しいとし^しても、この口^{くち}が私^{わたし}を有^{ゆう}罪^{ざい}とするだろ^うう。
たとえ私^{わたし}が忠^{ちゅう}誠^{せい}を尽^つくしてい^いるとも、神^{かみ}は私^{わたし}を有^{ゆう}罪^{ざい}と宣^{せん}告^{こく}する。
21 たとえ忠^{ちゅう}誠^{せい}を尽^つくしてい^いるとし^しても、私^{わたし}は自^じ信^{しん}が持^もてな^いい。
生^いきていくのはもううんざ^{うんざ}りだ。
22 どうせ同^{おな}じだ。だか^から私^{わたし}は言^いう。
『神^{かみ}は無^む実^{じつ}の人も悪^{あく}人^{にん}も滅^{ほろ}ぼす』。
23 激^{げき}流^{りゅう}が突^{とつ}ぜん^{ぜん}の死^しを引^ひき起^{おこ}すとし^しても、
神^{かみ}は無^む実^{じつ}の人の絶^{ぜつ}望^{ぼう}をあざ笑^{わら}うだろ^うう。
24 大^{だい}地^ちは悪^{あく}人^{にん}の手^てに渡^{わた}された。
神^{かみ}は地^ち上^{じやう}の裁^{さい}判^{ばん}人^{にん}の目^めを覆^{おお}う。
もし神^{かみ}がそうするの^のでな^なければ、
誰^{だれ}がそうするの^のか。

9:19 * 直訳、「私を呼び出せる」。 9:20, 21 * または、「無実だ」。 9:20 * 直訳、「曲がっている」。 9:21 * または、「自分の命を拒む」。 9:22 * または、「忠誠を尽くしている」。

25 私の日々は伝令よりも速く、
幸せを見ることなく走り去る。

26 アシでできた舟のように素早く
進む。

獲物に襲い掛かるワシのように
速い。

27 『不満を忘れ、笑顔を浮かべて元
気を出そう』と言っても、

28 あらゆる苦しみのせいで恐怖が
消えない。

神が私を無実と見てくださらない
ことを知っている。

29 私は有罪とされるだろう。

ではなぜ無駄に奮闘するのだ
ろう。

30 私が雪解け水で体を洗って

も、せっけんで手をきれいにし
ても、

31 神は私を泥の中に投げ落とすだ
ろう。

私の衣服でさえも私を嫌がるよう
になる。

32 神は私のような人間ではない。

私が答えることも、

私たちが同じ法廷に立つことも
ない。

33 私と神との間には、判決を下す
者がいない。

裁判人となる者がいない。

34 神が私を打つのをやめ、

9:29 *直訳、「悪人」。9:30 *または、「あく」。

9:33 *または、「仲裁する」。

第9章

(㉔) ヨブ 7:6
詩 90:10
ヤコ 4:14

(㉔) ヨブ 21:6

(㉔) 詩 73:13

(㉔) エレ 2:22
マラ 3:2

第2欄

(㉔) ヨブ 13:21

第10章

(㉔) 民 11:15,15
王一 19:3,4
ヨブ 7:16
ヨナ 4:3

(㉔) ヨブ 14:15
詩 138:8
イザ 64:8

(㉔) 詩 90:2

(㉔) ヨブ 10:14

おそ わたし
恐ろしいことで私をおびえさせな
いなら、

35 神を恐れずに語ろう。
私には本来、恐れる必要などな
いのだから。

10 わたし じぶん いのち いや け
私は自分の命に嫌気が
差す。

不満を述べ、ひどい苦しみのま
まに語る。

2 神に申し上げよう。

『私に有罪を宣告しないでくだ
さい。

わたし あらそ おし
なぜ私と争っているのか教えてく
ださい。

3 ご自分の手で造った人を退け、
しいた
虐げるのは、

なに
何かあなたのためになるのでしょ
うか。

あくにん じよげん こう い しめ
悪人の助言に好意を示しておき
ながら。

4 あなたは人間の目を持っている
のですか。

し にんげん み
死にゆく人間が見るかのように、
見るのですか。

5 あなたの日々は死にゆく人間の
ひび
日々のですか。

ねんげつ ひと ねんげつ
あなたの年月は人の年月のよう
ですか。

6 それで私の過ちを見つけよう
とし、

わたし つみ さが
私の罪を探しているのですか。

- 7 あなたは、私が無実だと知っています。
あなたの手から誰も私を救えないことも。
- 8 あなたがご自分の手で私を造り、形作りました。
それなのに今、私を完全に消し去ろうとしています。
- 9 思い出してください、あなたが粘土で私を造りました。
それなのに今、私を土に戻らせようとしています。
- 10 あなたは私をミルクのように注ぎ出し、
チーズのように固まらせませんでしたか。
- 11 あなたは皮膚と肉を私に着せ、骨と筋で私を織り上げました。
- 12 命を与え、揺るぎない愛を示してくださいました。
私のことを思い、命を守ってくださいました。
- 13 それなのに、あなたはひそかにたくらんでいました。
私が経験していることはあなたから来ているのです。
- 14 私が罪を犯せば、あなたは私をじっと見て、
私の過ちを見過ごしません。
- 15 もし私が有罪なら、私は本当に惨めです！
たとえ無実でも、頭を上げられせん。

第10章

- (7) ヨブ 1:8
詩 139:1
- (1) 申 32:39
- (2) 詩 119:73
詩 139:13-16
- (3) 創 2:7
イザ 45:9
イザ 64:8
ロマ 9:21
- (4) 創 3:19
詩 104:29
伝 12:7
- (5) 詩 139:15
- (6) 詩 8:4
- (7) 詩 139:1
- (8) ヨブ 9:15
- 第2欄
- (9) 詩 119:153
- (10) イザ 38:13
- (11) ヨブ 3:11
エレ 20:18
- (12) ヨブ 7:6
ヨブ 14:1,2
詩 39:5,6
詩 103:15,16
- (13) ヨブ 9:27
- (14) ヨブ 7:9
詩 115:17
イザ 38:11
- (15) ヨブ 38:17
詩 88:12
伝 9:10

不名誉と苦悩でいっぱいだからです。

- 16 もし私が頭を上げれば、
あなたはライオンのように私を追いついて、
またしても私に対して力を振るいます。
- 17 あなたは新しい証人たちを連れてきて、
私のことでますます怒ります。
苦難が次々と私に降り掛かります。
- 18 なぜ私を母の腹から出したのですか。
誰の目にも触れることなく、死んでいればよかったのに。
- 19 母の腹から直接墓に行ければよかったのに。
あたかも一度も存在しなかったかのように。]
- 20 私の日々はあと少しではないか。
神が私を放っておき、私から視線をそらしてくださいませように。
私が少しは安らぐことができますように。
- 21 その後、私は去っていき、戻らない。
深い闇に覆われた場所へ行く。
暗闇に包まれた場所、
深い陰と混乱の場所へ。
- 10:20 *または、「いくらか元気になれ」。10:
21 *または、「闇と死の陰」。

そこでは光^{ひかり}でさえも暗闇^{くらやみ}のよ
うだ。

11 ナアマン^{じん}ツォファル^アはそれを
聞いて言った。

2 「こうした言葉^{ことば}が反論^{はんろん}されずに済^す
むのか。

多く^{おほ}話^{はな}せば正しい^{ただ}のか。

3 あなたの無意味^{むいみ}な話^{はなし}を聞いて、
人は黙^{ひと}るか。

あなたがあざ笑^{わら}っても、誰も吐責^{だせき}
しないのか。

4 あなたは言う。

『私が教^{わたし}えていることは清^{きよ}く、私^{わたし}
はあなたから見て清^みい。

5 しかし神^{かみ}が話^{はな}し、
あなたに向か^むって口^{くち}を開^{ひら}いてく
ださればよいのに！

6 そうなれば、神^{かみ}は知恵^{ちえ}の秘密^{ひみつ}を
あなたに明^{あき}らかにしてくださる
だろう。

役立^{やくだ}つ知恵^{ちえ}にはさまざまな面^{めん}が
あるのだ。

あなたは、神^{かみ}があなたの過^{あやま}ちを
あえて忘^{わす}れていることに気付^{きづ}く
だろう。

7 神^{かみ}の奥^{おく}深い事柄^{ことば}を突き止^つめるこ
とができるか。

全能^{ぜんのうしや}者^{しや}について知^しり尽^つくことが
できるか。

8 知恵^{ちえ}は天^{てん}よりも高^{たか}い。あなたに
何^{なに}ができるのか。

第11章

ヨブ 20:1
ヨブ 42:9

ヨブ 12:4

ヨブ 6:10

ヨブ 6:29
ヨブ 10:7

知恵^{ちえ}は墓^{はか}よりも深^{ふか}い。あなたは
何^{なに}を知^しることができ^るのか。

9 知恵^{ちえ}は大地^{だいち}よりも大^{おほ}きく、海^{うみ}より
も広^{ひろ}い。

10 もし神^{かみ}が通^{とお}り掛^かかり、誰^{だれ}かを拘束^{こうそく}
し、法廷^{ほうてい}を開^{ひら}くなら、

誰^{だれ}が神^{かみ}に抵抗^{ていこう}できるだろう。

11 神^{かみ}は、誰^{だれ}が欺^{あざむ}いているかを知^し
ている。

神^{かみ}が悪^{あく}を見て気付^{きづ}かないことが
あるだろうか。

12 愚^{おろ}かな人^{ひと}は、野^の口^{くち}バガ人間^{にんげん}を産^う
まない限り^{きぎり}、理^り解^{かい}力^{りきりよく}が得^えられ
ない。

13 あなたが心^{こころ}を正^{ただ}し、神^{かみ}に向か^むつ
て両手^{りょうて}を伸^のばせばよいのに。

14 もし悪^{わる}いことをしているのなら、
やめなさい。
あなたの天幕^{てんまく}に不正^{ふせい}を住^すまわせ
てはならない。

15 やましいところなく顔^{かお}を上^あげ、恐^{おそ}
れずにしっか^たり立^たてるから。

16 あなたは、受^うけた災難^{さいなん}をいづれ
忘^{わす}れる。

災難^{さいなん}はあなたの記憶^{きおく}の中で、流^{なが}
れ去^さった水^{みづ}のようになる。

17 あなたの一生^{いっしょう}は真昼^{まひる}よりも明^{あか}るく
なる。

暗闇^{くらやみ}さえも朝^{あさ}のようになる。

18 希望^{きぼう}があるので確信^{かくしん}が持^もてる。

11:2 *または、「誇る人は」。11:7 *または、「
の限界を知る」。

ヨブ 38:1

11:8 *ヘブライ語、シェオル。用語集参照。11:
12 *または、「が人間として生まれない」。

あた みまわ あんしん よこ
辺りを見回し、安心して横にな
れる。

19 横になるあなたをおびえさせる
人はいない。

おお ひと こうい え
多くの人があなたの好意を得よ
うとする。

20 しかし悪人は目が衰え、
逃げ場を見つけれない。
ただ死を望むだけ。

12 ヨブはそれを聞いて言った。

2 「確かにあなた方はよく
知っている。

あなた方が死んでしまったら知
恵も消え去る!

3 しかし私も理解している。あなた
方に劣ってはいない。

あなた方は、誰もが知っている
ことを言っているだけではな
いか。

4 私は友人に笑いものにされて
いる。

神に呼び掛けて答えを待ってい
たら。

正しく、非難されるところがない
人が、笑いものにされている。

5 悩みのない人は災難を軽蔑する。

足元がおぼつかない人だけが経
験すると思ひ込む。

6 強盗の天幕は平穩であり、神を
怒らせる人も安全だ。

自分の手に自分の神を持つ人も。

第11章

(例) ヨブ 8:13,14
ヨブ 18:5,14

第12章

(例) ヨブ 16:10
ヨブ 17:2
ヨブ 30:1
詩 22:7
ヘブ 11:36

(例) 詩 91:15
ミカ 7:7

(例) 詩 37:35
詩 73:12
エレ 12:1

(例) ヨブ 21:7,9

第2欄

(例) 民 16:22
詩 104:30
伝 12:7
エゼ 18:4

(例) ヨブ 34:3

(例) ヨブ 32:6,7

(例) ヨブ 9:4
ダニ 2:20

(例) ヨブ 36:5
詩 147:5
イザ 40:14
エレ 10:12
ロマ 11:34

(例) ユダ 7

(例) 創 8:1
出 14:21
ナホ 1:4

(例) 創 6:17

7 動物に聞いてみたらどうか。
動物は教えてくれるから。

空の鳥にも。
鳥は知らせてくれるから。

8 大地を観察してほしい。
大地は教えてくれるから。
海の魚も知らせてくれる。

9 これらも全て、知っているではな
いか。

エホバの手によって造られたこ
とを。

10 生きているものの命も人の息も
全て、神の手にある。

11 耳は、言葉を確かめないだろ
うか。

舌が食物を味わうのと同じよ
うに。

12 老人には知恵があると思わな
いか。

長く生きている人には理解力が
あると思わないか。

13 神は知恵があり、力が強い。
理解力があり、決めたことを果
たす。

14 神が壊すと、誰も建て直せない。
神が閉ざすと、誰も開けられ
ない。

15 神が水を引き止めると、全ては
干上がる。
神が水を放つと、地上は水に覆
われる。

12:8 *もしかすると、「に語り掛けて」。 12:10
*または、「全ての人」。 12:11 *直訳、「上顎」。

12:5 *または、「足を滑らせる」。

- 16 神には力と役立つ知恵がある。
さまよう人も惑わす人も神の

もの。

- 17 神は助言者たちをはだして行かせ、
裁判人たちを笑いのものにす。
18 神は王たちによる拘束を解き、
王たちの腰を帯で縛る。
19 祭司たちをはだして歩かせ、
権力の安定した人々を失脚させる。

- 20 評判の良い助言者たちの話す能力を奪い、
年老いた人たちの分別を取り去る。

- 21 高貴な人たちに侮辱を浴びせ、
強い人々を弱くする。

- 22 闇の中にある深遠な事柄を明らかにし、

深い暗闇を光へと引き出す。

- 23 国々を強大にし、滅ぼす。
人々を増やし、捕虜にして連れ去る。

- 24 民の指導者たちから理解力を奪い、

道なき原野をさまよわせる。

- 25 光のない闇の中を手探りさせ、
酔った人々のようにさまよわせる。

13

私はこの全てを見た。聞いて理解した。

12:17 *または、「から全てを剥ぎ」。12:20 *または、「長老」。

第12章

(7) ロマ 1:20

(1) イザ 29:14
イザ 44:25

(7) ダニ 2:21

(2) エレ 14:18

(7) ルカ 1:52

(7) 詩 107:40

(7) ダニ 2:22

(7) 詩 107:40

(7) 申 28:29

(7) 詩 107:27

第2欄

第13章

(7) ヨブ 23:3,4
ヨブ 31:35

(1) ヨブ 16:2

(7) 格 17:28
ヤコ 1:19

(7) 詩 139:23
エレ 17:10

(7) 詩 50:20,21
ヤコ 2:9

- 2 あなた方が知っている事は私も知っている。

劣ってはいない。

- 3 私は全能者ご自身と話がしたい。
神と話し合って自分の正しさを証明したい。

- 4 あなた方はうそで私の評判を損なう。

3人も無能な医者だ。

- 5 あなた方は何も言わなければ、賢いことが明らかになったらう。

- 6 どうか私の反論を聞き、私の訴えに注意を払ってもらいたい。

- 7 あなた方は、神のためであるかのように筋違いなことを言い、真実をゆがめて話すのか。

- 8 あなた方は神の側に立つのか。眞の神の正しさを自分たちで証明しようとするのか。

- 9 神があなた方を調べても平然としていられるのか。

死にゆく人間をだますのと同じく、神をだますのか。

- 10 ひそかに取り入ろうとしても、神はあなた方を必ず叱責する。

- 11 あなた方は神の威厳を知っておびえないのか。

神を恐れるようにならないのか。

13:8 *または、「神に取り入る」。

影^{かげ}のようにどこかへ行き^い、いなく
なります。

3 あなたは人のことをじっと見つめ
ます。

人^{ひと}を法廷^{ほうてい}へと連れていきま^つす。

4 汚れた人^{けが}から清い人^{ひと}が生まれる^{きよ}
でしょうか。

生まれま^うせん!

5 もし人^{ひと}の日数^{ひかず}が決ま^きっているの
なら、

人^{ひと}の月日^{つきひ}の数はあなた次^{かず}第^{しだい}です。

あなたは期限^{きげん}を定め^{さだ}、人^{ひと}はそれ
を越えられま^こせん。

6 人^{ひと}が休めるよう視線^{やす}をそらし^{しせん}てく
ださい。

そうしてくだされば、雇^{やと}われて働^{はたら}
く人^{ひと}のように1日^{いちにち}を終えられ
ます。

7 木^きでさえも望^{のぞ}みがあります。

木^きは切り倒^きされても、再び芽^{ふたた}を
出^だし、
小枝^{こえだ}が伸びていくのです。

8 たとえ根^ねが地中^{ちちゅう}で弱^{よわ}り、

切り株^{きかぶ}が土^{つち}の中で枯^{なか}れても、

9 わずかな水気^{みずけ}で芽^めを出^だし、

新しい苗木^{あたらしいなえぎ}のように枝^{えだ}を増^ふやし
ます。

10 しかし人^{ひと}は死ぬ^しと、力^{ちから}なく横たわ
ります。

人^{ひと}は息絶^{いきた}えるとどこにいろので
しょうか。

14:3 *直訳、「私」。

第14章

(7) 代一 29:15
詩 102:11
詩 144:4

(4) 詩 143:2

(7) 創 5:3
詩 51:5
ロマ 5:12

(12) 詩 39:4

(7) 詩 39:13

(7) 伝 3:19, 20
伝 9:10

第2欄

(7) 伝 9:5
伝 12:5

(4) 詩 13:3
ヨハ 11:11
使徒 7:59, 60

(7) サ一 2:6
イザ 57:1, 2

(12) ルカ 23:42
ヨハ 5:28, 29
ヘブ 11:35

(7) ヨハ 11:25
使徒 26:8
コ一 15:12
啓 20:13

(7) ヨブ 19:25

11 水^{みづ}は海^{うみ}からなくなり、
川^{かわ}も干^ひ上がって枯^かれます。

12 人^{ひと}も、横たわり、起き上^{よこ}がりま
せん。

天^{てん}がなくなるまで、目覚^めめること
はなく、

眠^{ねむ}りから起^おこされることはありま
せん。

13 私^{わたし}を墓^{はか}に隠^{かく}してください!

あなた^{いかに}の怒^すりが過ぎ去^さるまで私^{わたし}
を隠^{かく}し、

私^{わたし}のために期限^{きげん}を定め^{さだ}、時^{とき}が来^き
たら私^{わたし}を思い出^{おも}してください。

14 人^{ひと}は死ぬ^しと、もう一度^{いちど}生きられる
でしょうか。

私^{わたし}はと
私は捕^あらわれている間^{あいだ}、解放^{かいほう}の
時^{とき}が来るまでず^まっと待ちま^ます。

15 あなたは呼^よんでくださり、私^{わたし}はあ
なたに答^{こた}えます。

あなたはご自分^{じぶん}の手^てで造^{つく}った人^{ひと}
に再び会^{ふた}いたいと願^{ねが}います。

16 しかし今^{いま}は、私^{わたし}の行^{こう}動^{どう}一つ一つ
に注^{ちゅう}目^{もく}し、

私^{わたし}の罪^{つみ}だけを見ていま^みす。

17 私^{わたし}の違^い反^{はん}は袋^{ふくろ}に封^{ふう}じ込^こめられて
いま^ます。

あなた^づはのり付^ふけて封^{ふう}をし、私^{わたし}
の過^{あやま}ちをしまい込みま^こす。

18 山^{やま}が崩^{くず}れ去^さり、

14:13 *ヘブライ語、シェオル。用語集参照。

14:14 *死んでいる間のこと。 14:15 *または、「
人^{ひと}のことを慕^もい」。 14:16 *または、「歩^あみを全^{ぜん}
て数^{かず}え」。

- 岩が崩れ落ちるのと同じように、
 19 水が石をすり減らし、
 洪水が地面の土を運び去るのと
 同じように、
 あなたは死にゆく人間の望みを
 消し去りました。
- 20 あなたは人を負かし続け、人は
 なくなります。
- あなたは人の外見を衰えさせ、
 人を追いやります。
- 21 その人は自分の子たちが尊ばれ
 ても、知ることはありません。
 子たちが落ちぶれても、気付くこ
 とはありません。
- 22 生きている間は痛みを感じ、深く
 悲しみます。
- 15** テマン人エリパズはそれを
 聞いて言った。
- 2 「賢い人は無意味な言葉で答え
 るだろうか。
 東風で腹を満たすだろうか。
- 3 言葉で戒めるのは無意味であり、
 話すだけでは良いものは何も生
 まれない。
- 4 あなたは、神を畏れる気持ちを
 弱ませ、
 神への関心を薄れさせる。
- 5 あなたは自分の過ちに踊らされ
 て語り、
 ずる賢い話をする。

15:2 *または、「風のような知識」。 15:5 *ま
 たは、「あなたの過ちがあなたの口に何を言うか
 を教え」。

第14章

㊦ 伝 8:8
 イザ 57:16

㊦ 伝 9:5,6

第15章

㊦ ヨブ 2:11
 ヨブ 4:1

第2欄

㊦ ヨブ 42:8

㊦ ヨブ 13:2
 ヨブ 16:2

㊦ ヨブ 32:6

㊦ ヨブ 25:4

- 6 あなたを有罪に定めるのは私で
 はなく、あなたのその口だ。
 あなたが間違っていることを、あ
 なたの唇が証言する。
- 7 あなたは誰よりも先に生まれた
 のか。
 丘よりも前に生まれたのか。
- 8 神の内密の話を聞くのか。
 知恵はあなたにしかないのか。
- 9 私たちが知らないどんなことを、
 あなたは知っているのか。
 私たちが理解していないどんな
 ことを、あなたは理解している
 のか。
- 10 私たちの中には白髪の人と老人
 もいる。
 あなたの父親よりずっと年上の
 人も。
- 11 あなたは神に十分慰めてもらっ
 たではないか。
 優しい言葉がまだ足りないとい
 うのか。
- 12 どうして理性を失うのか。
 どうして怒りに燃えた目をしてい
 るのか。
- 13 あなたは神に食って掛かり、ひど
 い言葉を口に出す。
- 14 死にゆく人間が清くなれるだろ
 うか。
 女性から生まれた人が正しくな
 れるだろうか。

- 15 何^{なん}と、神^{かみ}は天使^{てんし}たちを信^{しん}じてい
ない。
神^{かみ}から見^みれば、天^{てん}でさえも清^{きよ}
ない。^(イ)
- 16 忌^いまわしくて腐^ふ敗^{はい}している人間^{にんげん}は
なおさらだ！
水^{みず}を求^{もと}めるかのように、不正^{ふせい}なこ
とをし^しようとする人間^{にんげん}はなおさ
らだ！
- 17 教^{おし}えてあげ^あげるから聞^ききなさい！
見^みたこと^{つた}を伝^{つた}えよう。
- 18 それ^{かしこ}は賢^{ひと}い人^ふたちが父^ふ祖^そたちか
ら教^{おそ}わり、隠^{かく}さなかつたこと。^(イ)
- 19 彼^{かれ}らには自^じ分^{ぶん}たちだけの土^と地^ちが
与^{あた}えられ、
よそ者^{もの}は誰^{だれ}も通^{とお}り抜^ぬけなかつた。
- 20 悪^{あく}人^{にん}は一^{いっ}生^{しょう}、苦^{くる}しみに見^み舞^ま
われ、
壓^{あつせいしや}制^{しょうがい}者は生^く涯^あ、苦^あしみ^あに遭^あう。
平^{へい}和^わな時^{とき}に略^{りやく}奪^{だつ}者^{しや}に襲^{おそ}われる。
- 21 そ^{ひと}の人^{おそ}たちは恐^{おと}ろしい音^{おと}を耳^{みみ}に
す^きる。^(ロ)
平^{へい}和^わな時^{とき}に略^{りやく}奪^{だつ}者^{しや}に襲^{おそ}われる。
- 22 闇^{やみ}から逃^にげられ^にると考^{かんが}えてはお
ら^めず、
剣^{つるぎ}で殺^{ころ}されることになる。
- 23 食^たべ物^{もの}を採^もて^もてきまよう。『食^たべ
物^{もの}はど^もこだらう』と。
闇^{やみ}の目^ひが近^{ちか}いこと^しをよく知^しって
い^るる。
- 24 苦^{くる}しみと苦^く悩^{のう}が悪^{あく}人^{にん}を襲^{おそ}い続^{つづ}け、

15:15 *直訳、「ご自分の聖なる者」。 15:23
*直訳、「バン」。

第15章

(イ) ヨブ 25:5,6
ヨブ 42:7

(イ) ヨブ 4:18,19

(イ) ヨブ 8:8

(ロ) ヨブ 18:11
ヨブ 20:25

(ロ) ヨブ 18:12

第2欄

(イ) ヨブ 4:9

- 襲^{しゅうげき}撃^{げき}の用^{よう}意^いができた王^{おう}のように
悪^{あく}人^{にん}を圧^{あつ}倒^{たう}する。
25 悪^{あく}人^{にん}は神^{かみ}に向^{むか}って手^てを振^ふり上^あ
げ、全^{ぜん}能^{のう}者^{しや}に反^{はん}抗^{かう}しようとする。^{*}
- 26 頑^{がん}丈^{じょう}で分^{ぶん}厚^{あつ}い盾^{たて}を持^もって、無^む謀^{ぼう}
にも神^{かみ}に突^{とつ}進^{しん}する。
27 顔^{かお}は脂^し肪^{ぼう}で覆^{おお}われており、腰^{こし}にも
脂^し肪^{ぼう}が付^ついている。
28 悪^{あく}人^{にん}が住^すんでいる町^{まち}はいずれ滅^{ほろ}
びる。
家^{いえ}には誰^{だれ}も住^すまなくなる。
それ^{いし}らは石^{いし}の山^{やま}となる。
29 悪^{あく}人^{にん}は裕^{ゆう}福^{ふく}にならず、蓄^{たくわ}えが增^ふ
えることはない。
所^{しょ}有^{ゆう}物^{ぶつ}が地^ち上^{じょう}で広^{ひろ}がっていくこ
ともない。
30 闇^{やみ}から逃^にげることができない。
炎^{ほのお}が悪^{あく}人^{にん}の小^こ枝^{えだ}を枯^からす。
神^{かみ}の口^{くち}から出^でる突^{とつ}風^{ふう}によつて悪^{あく}
人^{にん}は消^きえ去^さる。^(イ)
- 31 道^{みち}からそれ^むれてい^かって無^む価^か値^ちなも
の^たに頼^{たよ}ってはならない。
代^かわり^えに得^むるもの^かは無^む価^か値^ちだか
らだ。
32 それ^{はや}はあま^{しやう}りに早^{はや}く生^{しやう}じる。
悪^{あく}人^{にん}の枝^{えだ}は決^{けつ}して生^おい茂^{しげ}らない。^(イ)
- 33 悪^{あく}人^{にん}は、熟^{じゆく}していない実^みを落^おとす
ブドウ^きの木^きのよう^きだ。
花^{はな}を落^おとすオリーブ^きの木^きのよ
うだ。

15:25 *または、「勝とう」。 15:26 *直訳、「分
厚い盾の突起で」。 15:30 *回復の見込みがな
くなるということ。

(イ) ヨブ 22:15,16

34 神を認めない人の集団には実りがなく、

賄賂のやりとりをする人の天幕は焼き尽くされる。

35 その人たちは厄介なことを身ごもり、悪いことを産む。
欺きが腹から生み出される。

16 ヨブはそれを聞いて言った。

2 「そういうことはこれまでにたくさん聞いてきた。

3 人とも、慰めるどころか困らせにきたのか!

3 無意味な言葉はいつ終わるのか。

どうしてそんな話し方ができるのか。

4 私も本来はあなたの方のように話せる。

あなたが私の状況にいたなら、と思う。

そうなれば私はあなた方を言い負かし、あげけて頭を振ることもできる。

5 しかし私はそうしない。言葉を掛けて元気づけ、

慰めの言葉を語って安心させる。

6 たとえ私が語るとしても、この痛みは治まらないだろう。

話すのをやめたとしても、どれほど痛みが引くだろう。

第15章

(例) ヨブ 8:11-13

第16章

(例) ヨブ 13:4,5
ヨブ 19:2,3

(例) 詩 109:25
マタ 27:39

(例) 格 27:9
マタ 7:12
ロマ 12:15
ペー 3:8

(例) ヨブ 2:13

第2欄

(例) ヨブ 7:3

(例) ヨブ 10:16

(例) ヨブ 33:8-10

(例) 詩 35:15

(例) 詩 22:13

(例) 詩 27:12

(例) ヨブ 1:12,17

(例) ヨブ 7:20

(例) 詩 73:21

(例) 王一 21:27
王二 6:30

7 今、神は私を疲れ果てさせた。
私の家の人たち皆に、大変な被害をもたらした。

8 あなたが私をつかんだことは、この体が物語っている。

私の痩せ細った体は立ち上がり、私に不利な証言をする。

9 神は怒って私を引き裂き、私に對して敵意を抱く。

私に向かって歯ぎしりする。

私の敵対者は鋭い目つきで私を見る。

10 大勢が私に敵対して集まった。

口を大きく開けて私に向かってきて、輕蔑して私の頬を打った。

11 神は私を少年たちに引き渡す。

私は悪人の手に渡す。

12 神は、静かに暮らしていた私をかき乱した。

私の首筋をつかんで私を砕いた。

私を標的にした。

13 弓を射る人たちに、私を取り囲ませる。

神は私の腎臓を刺し通すが、少しも同情しない。

私の胆汁を地面に注ぎ出す。

14 私を何度も打って破壊する。

戦士のように私に突進する。

15 私は粗布を縫い合わせて皮膚を覆い、

16:7 *または、「私と集まる」。 16:8 *神のことを指していると思われる。

15:34 *または、「背教者」。 16:3 *または、「風のような」。

自分の尊厳を地面に埋めた。

16 私の顔は、泣いて赤くなった。

まぶたの上には深い陰がある。

17 私の手が暴力を振るったことは

ないのに。

私の祈りは純粋なのに。

18 大地よ、私の血を覆わないで

くれ!

私の叫び声がいっまでも響け!

19 今も天には私の証人がいる。

私のために証言する方が高い所

にいる。

20 友人が私をあざける。

私は涙を流して神を見る。

21 誰かに、人と神との仲裁をさせ

よう。

人と人の間に入るのと同じよ

うに。

22 あとわずかな年月で、私は、戻れ

ない道を行くのだ。

17 私は力尽き、私の人生は終

わりを迎えた。

墓地が私を待っている。

2 あざ笑う人たちが私を取り囲む。

私はそうした反逆の行為をじっと

見る。

3 神よ、私を守ると保証してくだ

さい。

ほかの誰が、私のために誓って

16:15 *または、「強さ」。直訳、「角」。16:16

*または、「死の陰」。16:20 *もしかすると、「眠らずに」。

第16章

(ヨ) ヨブ 30:19
詩 7:5

(イ) 詩 6:6

詩 31:9
哀 1:16

(ヨ) 創 4:8,10
詩 72:14

(ヨ) ヨブ 12:4

(ヨ) 詩 40:1
詩 142:2

(ヨ) ヨブ 31:35

(ヨ) ヨブ 7:9
ヨブ 14:10
伝 12:5

第17章

(ヨ) 詩 88:3,4
イザ 38:10

(ヨ) 詩 35:16
ヘブ 11:36

第2欄

(ヨ) 格 17:18

(イ) サニ 17:14
イザ 6:10
マタ 11:25

(ヨ) 詩 69:11,12

(ヨ) ヨブ 30:9,10

(ヨ) ヨブ 16:16
詩 6:7
詩 31:9

(ヨ) 詩 119:165

(ヨ) 詩 24:3,4
詩 84:5,7

(ヨ) ヨブ 6:29

(ヨ) ヨブ 7:6
ヨブ 9:25
イザ 38:10

(ヨ) ヤコ 4:13,14

握手を交わしてくれるでしょ

うか。

4 あなたは私を取り囲む人たちの

識別力を奪いました。

あなたは彼らが思い上がらない

ようにします。

5 友人と分け合おうとする人たちが

いる。

空腹のあまり自分の子供たちの

目が悪くなっているのに。

6 神は私を人々の軽蔑的にした。

それで私は顔に唾を掛けられた。

7 私は悩みのせいで目がかすみ、

手足は影のようになった。

8 正直な人は驚きながら、こうなっ

た私を見つめ、

罪のない人は、神を認めない人

のことでいら立つ。

9 正しい人は自分の道をしっかり

守り、

手が清い人は強くなっていく。

10 また皆で来て私に話すがよい。

私はあなたの方の中に賢い人を見

つけられない。

11 私の人生は終わった。

私の計画も心の願いもついでに

しまった。

12 あなた方は夜が昼であるかのよ

うにして言う。

『暗いからもう少しで明るくなる。』

17:8 *または、「背教者」。

13 私は待^{わたし ま}っているも、墓^{はか*}に帰^{かえ}って、
闇^{やみ なか}の中に寝^ね床^{どこ ひろ}を広^{ひろ}げることに
なる。

14 墓^{はか}穴^{あな}に向^むかって『父^{ちち}よ!』と叫^{さけ}ぶ。
うじに向^むかって『母^{はは}よ、姉妹^{しまい}よ!』
と叫^{さけ}ぶ。

15 では、私^{わたし}にはどこに望^{のぞ}みがある
だろう。

まだ望^{のぞ}みがあると誰^{だれ}が言^いえる
のか。

16 それは墓^{# はか*}の門^{もん}の所^{ところ}へ下^{くだ}っていく。
私^{わたし}たちが皆^{みな}で土^{つち}の中^{なか}に下^{くだ}る
時^{とき}に」。

18 シュアハ人^{じん}ビルダド^例はそれ^{それ}を
聞^きいて言^いった。

2 「いつになつたら、そのひどい話^{はなし}
をやめ^{やめ}るのか。

物^{もの}分^わかりが良^よければ、私^{わたし}たちが
話^{はな}してあげよう。

3 どうして私^{わたし}たちは動物^{どうぶつ}のよう^みに見^み
なされ、愚^{おろ}か者と見^みられる
のか。

4 あな^{いか}たが怒^{いかり}のま^まに自^じ分^{ぶん}を引^ひ
き裂^さげば、
あな^{ちじょう}たのため^{ひと}に地^ち上^{じょう}には人^{ひと}がい
なくなるとでもいうのか。

または、岩^{いわ}が崩^{くず}れ落^おちるとでもい
うのか。

5 悪^{あく}人^{にん}の光^{ひかり}は消^きえ去^さり、悪^{あく}人^{にん}の炎^{ほのお}
が輝^{かがや}くこと^例はない。

第17章

(例) 伝 12:5,7

(例) ヨブ 10:21,22

(例) 詩 49:7,9
詩 143:7

(例) ヨブ 7:6
ヨブ 14:19
ヨブ 19:10

(例) 創 3:19
ヨブ 3:19

第18章

(例) ヨブ 2:11
ヨブ 8:1

(例) 詩 73:22

(例) ヨブ 8:13,14
ヨブ 11:20

第2欄

(例) ヨブ 5:13

(例) ヨブ 5:5
ヨブ 22:5,10

(例) ヨブ 15:21
ヨブ 20:25

(例) ヨブ 15:23

(例) ヨブ 11:20

(例) 申 29:22,23

6 天幕^{てんまく}の中^{なか}の光^{ひかり}は必^{かなら}ず暗^{くら}くなり、
彼^{かれ}を照^てらすラ^らンプ^ひの灯^きは消^きえ
去^さる。

7 彼^{かれ}の力^{ちから}強^{つよ}い歩^ほ幅^{はば}は狭^{せま}くなる。
彼^{かれ}は自^じ分^{ぶん}で立^たてた策^{さく}略^{りやく}に足^{あし}を取^と

られる。

8 自^じ分^{ぶん}の足^{あし}が赴^{おもむ}くま^まに網^{あみ}に掛^か
かる。

さまよいながら足^{あし}を網^{あみ}に載^のせる。

9 仕掛^しけが彼^{かれ}のかか^かとを捕^とらえる。
彼^{かれ}はわなに掛^かかる。

10 彼^{かれ}を捕^とらえる網^{つな}が地^じ面^{めん}に、
仕掛^しけが通^{とお}り道^{みち}に隠^{かく}されている。

11 恐^{おそ}ろしいこと^しが四^し方^{ほう}から彼^{かれ}を襲^{おそ}
い、彼^{かれ}の足^{あし}を追^おい掛^かける。

12 彼^{かれ}は力^{ちから}が衰^{おとろ}え、災^{さい}難^{なん}によつてよ^よろ
ける。

13 彼^{かれ}の皮^ひ膚^ふはむしばまれ、
い^{いのち}のち^うば^{びょうき*}を病^て気^{あし}が手^く足^つを食^くい尽^つ

くす。

14 彼^{かれ}は、安^{あん}全^{ぜん}な自^じ分^{ぶん}の天^{てん}幕^{まく}から引^ひ
き離^{はな}され、

恐^{きよう}怖^ふの王^{おう*}の^きも^{こうしん}とへ行^{こう}進^{しん}する。

15 彼^{かれ}の天^{てん}幕^{まく}にはよそ者^{もの}たち^すが住^すみ、
硫^い黄^{おう}が住^すまいの上^{うえ}にばらまか
れる。

16 彼^{かれ}の根^ねは干^ひからび、枝^{えだ}は枯^かれる。

17 彼^{かれ}のこと^{こと}を覚^{おぼ}えている人^{ひと}は地^ち上^{じょう}
に^例になくなり、

18:12 *または、「足を引きずる」。 18:13 *直
訳、「死の初子」。 18:14 *または、「恐ろしい
死」。

17:13, 16 *ヘブライ語、シェオル。用語集参照。
17:16 *ヨブの望みのこと。 18:3 *もしかすると、
「汚れた者」。

かれ な し ひと とお
彼の名を知っている人も通りに
いなくなる。

18 彼は光から闇へと運び去られ、
だい ち お だ
大地から追い出される。

19 自分の民の中に子孫が一人もい
なくなる。

かれ すす ばしょ だれ
彼が住んでいた場所には誰もい
なくなる。

20 彼が滅びる日が来ると、西の
ひとびと
人々はあぜんとし、

ひがし ひとびと おそ とまど
東の人々は恐れて戸惑う。

21 これが、悪を行う人の天幕に起
きることだ。

かみ し ひと ばしょ お
神を知らない人がいる場所に起
きることだ。

19 ヨブはそれを聞いて言った。

2 「いつまで私をいら立た
せ、言葉で打ちのめす
のか。

3 こうして10回も私を叱責し、
わたし あつか は
私をひどく扱いながら恥じてい
ない。

4 たとえ私が本当に間違いをした
としても、
わたし ほんとう まちが
それは私個人の問題だ。

5 私を見下し続け、
わたし う ちじやく せいとう
私が受けている恥辱が正当だと
言い張るのなら、

6 知ってほしい。神が私を惑わし、
じぶん しゆりようよう あみ わたし と
ご自分の狩猟用の網で私を捕ら
えたことを。

18:19 *または、「彼が一時的に」。 19:3 *ま
たは、「侮辱し」。

第19章

(㉞) 詩 42:10

(㉞) 詩 55:21
格 12:18

(㉞) 格 18:24

第2欄

(㉞) 詩 22:2
ハバ 1:2

(㉞) ルカ 18:7

(㉞) ヨブ 3:23
詩 88:8

(㉞) ヨブ 13:24

(㉞) 詩 31:11
詩 69:8

(㉞) 詩 38:11

(㉞) ヨブ 31:32

7 『暴力だ!』と叫び続けても、聞
いてもらえない。

わたし たす もと さけ こうせい
私は助けを求めて叫ぶが、公正
にあつては扱ってもらえない。

8 私が行く道を神が石の壁でふさ
いだので、私は通ることができ
ない。

かみ わたし みち やみ おお ㉞
神は私の道を闇で覆った。

9 私の栄誉を剃き取り、私の頭の
かんむり と さ
冠を取り去った。

10 神は私を攻め囲んで壊し、私は
消え去る。

かみ わたし のぞ き ひ
神は私の望みを木のように引き
抜く。

11 私のことで怒りに燃え、
私をご自分の敵と見なす。

12 神の部隊は一齐に私を包囲し、
かみ ぶたい いっせい わたし ほう い
私の天幕の周りに陣営を敷く。

13 神は私の兄弟たちを私から遠ざ
けた。

わたし し ひと わたし
私を知っている人たちは私から
はな ざ (㉞)
離れ去った。

14 親しい友人はいなくなり、
わたし し ひと わたし
私がよく知っている人たちは私を
わす (㉞)
忘れた。

15 私の家に身を寄せる人たちも、
わたし いえ み よ ひと (㉞)
私の女奴隷たちも、私をよそ
もの み
者と見なす。

わたし がいこくじん み
私は外国人として見る。

16 私は召し使いを呼ぶが、返事が
ない。

19:14 *または、「私の親族」。

わたしはこの口で同情を乞う。
 17 私の息は妻に嫌がられ、
 私は兄弟たちにとって悪臭でし

かない。
 18 幼子供たちも私を見下し、
 私が起き上がると、からかい始
 める。

19 親友たちも皆、私をひどく嫌う。
 私が愛した人たちは私に敵対
 した。

20 私の体は骨と皮だけになってし
 まい、
 私は辛うじて死を免れる。

21 友人たち、私に憐れみを示してく
 れ。憐れみを示してくれ。

22 なぜ神のように私を迫害し、絶え
 間なく攻撃するのか。

23 私の言葉が書かれたらよい
 のに！

24 鉄の筆記具と鉛で、永久に岩に
 彫り込まれたらよいのに！

25 私はよく知っている。
 私を救う方が生きていることを。
 その方は私の後に来て地上で立
 ち上がる。

26 皮膚がこうして損なわれ、

19:17 *直訳、「私の胎の子たち」。「胎」とは、
 ヨブを産んだ腹(母の腹)のこと。 19:20 *直
 訳、「歯の皮で逃れる」。 19:22 *直訳、「私の
 肉体で満足しない」。 19:24 *または、「尖筆」。
 19:25 *直訳、「買い戻す」。 *直訳、「土の上」。

第19章

(例) ヨブ 2:9

(例) ヨブ 17:6
詩 88:8

(例) 詩 109:5

(例) ヨブ 30:30
詩 102:5(例) ヨブ 1:10-12
詩 38:2

(例) ヨブ 2:9,10

(例) 詩 69:26

(例) ヨブ 14:14
詩 19:14
詩 69:18
詩 103:2,4
マタ 20:28
マル 10:45

第2欄

(例) 詩 17:15

(例) 詩 69:26

(例) 申 32:41

(例) 詩 58:11
マタ 7:1
ロマ 14:4
ヤコ 4:12

第20章

(例) ヨブ 2:11
ヨブ 11:1

(例) ヨブ 8:8

(例) ヨブ 8:13,19
ヨブ 21:28

こんな体になっても、私は神を
 見る。

27 私は自分で神を見る。
 この目で確かに見る。誰かほか
 の人の目ではない。
 それでも私は自分の奥深くで打
 ちのめされる！

28 あなた方は言う。『どのように迫
 害しているというのか』。
 問題の原因が私にあると考えて
 いるのだらう。

29 剣を恐れなさい。
 過ちを犯せば、剣が処罰するか
 らだ。

裁く方がいることを知りなさい。

20 ナアマンツォファルはそれを
 聞いて言った。

2 「私は気持ちがかき乱され、話さ
 ずにはいられない。

どうよう
 動揺しているのだ。
 3 私を侮辱して戒める声を聞いた。
 私の理解力が私を駆り立てて答

えさせる。

4 あなたはまさか知らないのか。
 人が地上に置かれて以来、

5 悪人が喜ぶ声は長く続かない
 もの。

神を認めない人が喜ぶのはつか
 の間だ。

19:27 *または、「私の腎臓は私の中で衰えた」。
 20:4 *または、「人間」、「アダム」。 20:5 *ま
 たは、「背教者」。

第20章

(ヨ) ヨブ 8:13,18

- 6 たとえ彼の偉大さが天に達し、
彼の頭が雲に届いても、
- 7 彼は自分の排せつ物のように永久に滅びる。
- 彼を知る人たちは、『どこに行つたのだろう』と言う。
- 8 夢だったかのように彼は飛び去り、見つからない。
- 夜の夢のように忘れ去られる。
- 9 彼を見たことのある人が、再び彼を見ることはない。
- 彼は、住んでいた場所で見掛けられなくなる。
- 10 彼の子供たちは、貧しい人に恵みを乞い、
- 彼の手は、自分の資産を返すことになる。
- 11 彼の骨は、若い力で満ちていた。しかしそれは彼と共にただの土ぼりの中にも埋もれることになる。
- 12 たとえ悪いことが彼の口にとって甘く、
- 彼がそれを舌の裏に隠しても、
- 13 たとえそれを吐き出さずに味わい、
- 口に入れたままにしておいても、
- 14 その食べ物は彼の中で酸っぱいものになり、
- 体内でコブラの毒のようになる。

20:11 *彼の力のこと。 20:14 *または、「胆汁」。

(ヨ) ヨブ 20:18

第2欄

(ヨ) ヨブ 20:10

- 15 彼は富をのみ込んだが、吐き出すことになる。
- 神が彼の腹を空にする。
- 16 彼はコブラの毒を吸い、毒蛇の牙に殺される。
- 17 蜜とバターが豊かな水のように流れるのも決して見ない。
- 18 得た財産を使い切ることなく返すことになる。
- 商売でもうけた富で楽しむことはない。
- 19 彼は、貧しい人を打ちのめして見捨てた。
- 自分が建てたのではない家を自分のものにした。
- 20 彼は平和な気持ちを抱けなくなる。
- 生き残るために彼の豊かさは役に立たない。
- 21 彼が奪う物は何も残っていない。
- それで彼の幸福は続かない。
- 22 彼は最も豊かな時に、不安な気持ちに襲われる。
- 不幸が全力を挙げて彼を襲う。
- 23 彼が腹を満たしていると、神は燃える怒りを雨のように彼に降らせる。
- 24 彼が鉄の武器から逃げ去る時、銅の弓矢が彼を刺し通す。
- 25 彼は矢を背中から、

20:16 *直訳、「舌」。 20:18 *直訳、「のみ込む」。

きらめく武器を胆のうから引き
抜く。

彼は恐怖に包まれる。

26 完全な闇が彼の宝を待ち受ける。

誰があり立てたのでもない火
が彼を焼き尽くす。

彼の天幕で生き残る人は皆、災
難に遭う。

27 天は彼の過ちを明らかにし、

地は彼に敵対する。

28 洪水が彼の家を流し去る。

神の怒りの日には激流が生じる。

29 これが、悪人が神から受ける分
け前、

神が彼のために定めた財産だ。

21 ヨブはそれを聞いて言った。

2 「私が言うことをよく聞いて
ほしい。

そうすれば私は慰められるだ
ろう。

ろう。

3 私が話す間、我慢してほしい。

私が話した後にあざ笑えばよい。

4 私は人に訴えているのだろうか。

もしそうなら、私はもう辛抱でき
なくなっているだろう。

なくなっているだろう。

5 私を見つめて驚き、手で口を押さ
えるがよい。

私は考えては不安になり、全身
が震える。

6 私は考えては不安になり、全身
が震える。

が震える。

7 どうして悪人が生き続け、年を重
ね、祝福になるのか。

ね、祝福になるのか。

21:7 *または、「力強く」。

第20章

(イ) ヨブ 15:21
ヨブ 18:5,11

第21章

(イ) ヨブ 16:10,20
ヨブ 17:2
ヘブ 11:36

(イ) ハバ 1:3,13

(ロ) ヨブ 12:6
詩 37:7
詩 73:3
詩 73:12
エレ 12:1

第2欄

(イ) 詩 73:3,5

(イ) イザ 5:12
イザ 22:13
アモ 6:4,5

(イ) 詩 10:4,11
詩 73:3,11

(ロ) 出 5:2
詩 10:4
ホセ 13:6

(イ) マラ 3:14

(イ) ルカ 12:19,20

(イ) 詩 1:1

(イ) 格 13:9
格 20:20
格 24:20

8 彼らの子供たちは彼らといつも
一緒にいる。

彼らは子孫を目にする。

9 彼らの家は安全で、不安がない。

神が棒を用いて彼らを処罰する

ことはない。

10 彼らの雄牛はよく繁殖し、

雌牛は流産を起こすことなく出産

する。

11 彼らの少年たちは羊の群れのよ

うに外で走り、

子供たちは跳ね回る。

12 彼らはタンバリンとたて琴に合わ

せて歌い、

笛の音を聞いて喜ぶ。

13 彼らは充実した日々を送り、安ら

かに墓に下る。

14 彼らは真の神に向かって言う。

『放っておいてくれ！

あなたの道など知りたくない。

15 全能者が何者だというので、仕

えなければならぬのか。

神と親しくして何の得がある

のか』。

16 しかし彼らは、自分たちの力で

幸福でいられるわけではない。

悪人の発想は私とは懸け離れて

いる。

17 悪人はランプの灯を何度消され

るだろう。

21:13 *または、「瞬間に」。痛みがなくなると息を引き取るということ。*ヘブライ語、シエオル。用語集参照。 21:16 *または、「たくらみ」。

さいなん なんど ふ か
災難が何度降り掛かるだろう。
かみ いか なん ど ほろ
神は怒って何度滅びをもたらす

だろう。

18 彼らは風の前のわらのようにな
るのか。

ぼうふう はに さ がら
暴風が運び去るもみ殻のように
なるのか。

19 神は人の過ちを覚え、その人の
こ 子たちを処罰する。

かみ ひと おも し
神がその人に思い知らせてくだ
さればよいのに。

20 悪人が自分の滅びを自分の目で
み 見ますように。

ぜんのうしや げき ど の
全能者の激怒を飲みますように。

21 自分の月日が短くされるのに、
のこ 残される家族の何を心配する

のか。

22 誰が神に何かを教えることがで
きるだろう。

かみ たか くらい のもの さば
神は高い位の者たちのことも裁
く方なのに。

23 ある人は活力にあふれたまま
死ぬ。

なや 悩みもなく あんしん き
悩みもなく安心して切っ

24 太ももには脂肪が付き、骨がま
だ丈夫なうちに。

25 しかし、別のある人はひどい苦し
みを抱えながら死ぬ。

よい 物を食べることもなく。

26 とはいえ、その人たちは共に土
の中に横たわり、

第21章

(ア) 詩 11:6
イザ 26:11

(イ) 詩 75:8
イザ 51:17
エレ 25:15
啓 14:10

(イ) 詩 55:23

(ロ) イザ 40:13,14
ロマ 11:34
コリ 2:16

(イ) イザ 40:23

(イ) 詩 49:17
ルカ 12:19,20

(イ) 詩 73:12,19
マタ 24:38,39

(イ) ヨブ 3:19
伝 9:2

第2欄

(イ) ヨブ 24:20

(イ) 詩 59:3

(イ) ヨブ 20:5,7

(ロ) ヨブ 3:17

(イ) ロマ 5:12

うじに覆われることになる。

27 私はあなた方が何を考えている
かをよく知っている。
あなたが私に、悪いことをしよ
うとたくらんでいる。

28 あなた方は、『大物の家はど
こだ。

悪人に 悪人が住む天幕はどここだ』と
言う。

29 あなた方は旅人に聞かなかった
のか。

旅人が観察したことをしっかり学
ばないのか。

30 悪を行う人は災難の日に見逃
され、

苦難の日に助け出されるのでは
ないか。

31 悪人のやり方を誰が批判できる
だろう。

行ったことの報いを誰が与える
だろう。

32 彼が墓地へ運ばれると、彼の墓
は徹夜で見張りがなされる。

33 谷の地面の土くれは彼にとって
心地よい。

全ての人が彼の後に付いていく。
数え切れない人たちが彼の前を
行ったように。

34 あなた方はどうして無意味な言
葉で私を慰めるのか。

うそばかりではないか!」

21:21 *または、「2つに分けられる」。 21:22
*または、「知識」。 21:24 *直訳、「骨髄が潤っ
ている」。

21:27 *もしかすると、「暴力を振るおう」。 21:
33 *または、「ワジ」。 *直訳、「彼は全ての人を
引いて」。

(イ) ヨブ 16:2,3

22 テマン^{じん}人エリパズ^りはそれを聞いて言った。

2 「人は神^{かみ}の役^{やく}に立てるだろうか。
洞察力^{どうさつりよく}がある人は神^{かみ}の力^{ちから}になれる

だろうか。

3 全能者^{ぜんのうしや}はあなたが正しい^{ただ}人^{ひと}であることを気に掛^かけるだろうか。

あなたが忠誠^{ちゅうせい}を尽くしたとして、
神^{かみ}に何^{なん}の得^{とく}があるだろう^い。

4 あなたが神^{かみ}に敬意^{けい}を抱^{いだ}いているなら、

神^{かみ}はあなたを処罰^{しよばつ}したり法廷^{ほうてい}に連れ出^だしたりするだろうか。

5 あなたの悪^{あく}があまりにひどく、
あなたの過^{あやま}ちに際限^{さいげん}がないからではないのか。

6 あなたは不当^{ふとう}にも自分の兄弟^{じぶん}たちから担保^{きようだい}の品^{しな}を取り上げる。

人^{ひと}の衣服^{いふく}を剥^はぎ取^とって裸^{はだか}にする。

7 疲^{つか}れた人^{ひと}に水^{みづ}を飲^のませることも、
飢^うえた人^{ひと}に食物^{しょくもつ}を与^{あた}えることもしない。

8 土地^{どち}は有力者^{ゆうりよくしや}のもので、優遇^{ゆうぐう}されている人^{ひと}がそこに住^すむ。

9 あなたはやもめを何も持^もたせず去^さらせ、

父親^{ちちおや}のいない子供^{こども}を絶望^{ぜつぼう}させた。

10 だからあなたはわな^{かこ}に囲^いまれ、
突然^{とつぜん}、恐怖^{きょうふ}に襲^{おそ}われる。

第22章

(イ) ヨブ 2:11
ヨブ 4:1

(イ) ヨブ 15:14, 15

(イ) ヨブ 2:3
ヨブ 32:3

(イ) ヨブ 1:8
ヨブ 4:7

(イ) ヨブ 31:19, 22

(イ) ヨブ 31:17, 22

(イ) ヨブ 31:25, 28

(イ) ヨブ 18:5, 9

11 だからあなたは何^{なん}も見^みえないほど
の暗闇^{くらやみ}に包^{つつ}まれ、

洪水^{こうずい}にのまれる。

12 神^{かみ}は高い天^{てん}にいますのではないのか。
すべ^{すべ}の星^{ほし}はあれほど高い所^{たかところ}に

ある。

13 それなのにあなたは言^いった。
『神^{かみ}が何^{なん}を知^しっているというのか。
濃^こい闇^{やみ}を見^み通^{とお}して裁^{さば}くことができ

るだろうか。

14 雲^{くも}が仕切^{しき}りとなっているので、神^{かみ}
は見^みない。

神^{かみ}は天^{てん}の円天井^{まるてんじやう}を歩^{ある}き回^{まわ}る』。

15 あなたは昔^{むかし}の道^{みち}を、悪人^{あくにん}が歩^{ある}いた道^{みち}をたどるのか。

16 悪人^{あくにん}は時^{とき}が来^くる前^{まえ}に取り去^とら
れた。

悪人^{あくにん}の土台^{どだい}は洪水^{こうずい}によって流^{なが}された。

17 彼^{かれ}らは真^{しん}の神^{かみ}に、『放^{ほう}っておいてくれ』、

『全能者^{ぜんのうしや}はわたし^{わたし}に何^{なん}を行^{おこな}えというのか』と言^いった。

18 彼^{かれ}らの家^{いえ}を良^よいもので満^みたした
のは神^{かみ}だったのに。

悪人^{あくにん}の発想^{はつそう}は私^{わたし}とは懸^かげ離^{はな}れて

19 正^{ただ}しい人^{ひと}は彼^{かれ}らの滅^{ほろ}びを見^みて
喜^{よろこ}び、

罪^{つみ}のない人^{ひと}は彼^{かれ}らをあざ笑^{わら}って
言^いう。

第2欄

(イ) ヨブ 4:18, 19

22:3 *または、「喜ぶ」。 22:6 *直訳、「裸の人の衣服を剥ぎ取る」。 22:9 *または、「孤児」。 22:10 *直訳、「鳥のわな」。

22:16 *または、「の人生は短くされた」。“直訳、「川」。

- 20 『私たちに反対する人たちは滅ぼされた。
火がその人たちを跡形もなく焼き尽くす』。
- 21 神を知るようにになりなさい。そうすれば平和が得られる。
良いことがあなたに生じる。
- 22 神の口から出る律法を受け入れなさい。
神の言葉を心にとどめなさい。
- 23 全能者のもとに帰れば回復する。
もし自分の天幕から不正を除き去るなら、
- 24 もし金を土の中に、
オフィルの金を溪谷の岩の中に投げると、
- 25 全能者があなたの金となってくださる、
あなたの最上の銀となってくださる。
- 26 あなたは全能者のことで喜び、
神に向かって顔を上げる。
- 27 あなたは神にお願いし、神は耳を傾けてくださる。
あなたは自分の誓約を果たす。
- 28 あなたがすると決めたことは成功し、
光があなたの道を照らす。
- 29 あなたが高慢に話す時、あなたは辱められる。

22:24、25 *または、「金塊」。22:24 #または、「ワジ」。

第22章

(7) ヨブ 11:13

(1) ヨブ 8:5,6

(7) 王一 9:28

ヨブ 28:16

詩 45:9

イザ 13:12

第2欄

第23章

(7) ヨブ 10:1

(1) ヨブ 13:3

ヨブ 16:21

(7) ヨブ 31:37

(14) 詩 22:24

イザ 57:16

神は謙遜な人を救う。

30 罪のない人を助け出す。

あなたの手が清ければ、あなたは必ず助け出される。

23 ヨブはそれを聞いて言った。

2 「しつこいようだが今日も訴えよう。

私はため息のせいで疲れ果

てた。

3 神が見つかる場所を知っていたら、神の住まいに行くのに。

4 自分の言い分を神の前に持ち出し、この口を反論で満たすのに。

5 私は神がどう答えるかを知り、神が語り掛けることに注意を払うのに。

6 神は偉大な力にものをいわせて私と争うのだろうか。

いや、神はきっと私の言葉を聞いてくださるはずだ。

7 正直な人は神の前に行けば、言い分を認めてもらえるだろう。

私は、私を裁く方によって無実が確定されるだろう。

8 しかし、東へ行っても、神はいない。
戻ってきても、神を見つけれない。

22:29 *または、「目を伏せている」。23:2 *または、「私の苦情は今日も手に負えない」。

- 9 左で神が働いていても、神を見る
ことができない。
神が右に動いても、やはり神を
見ることはない。
- 10 一方、神は私が歩む道をご存
じだ。
私は神に試された後、純金のよ
うになる。
- 11 私は神の足跡をしつかりた
どった。
それることなく神の道を歩いた。
- 12 神の口から出たおきてから離れ
なかった。
求められている以上に神の言葉
を宝のように蓄えた。
- 13 神が決めたなら、誰が抵抗でき
るだろう。
神は自分の願い通りに物事を
行う。
- 14 神は私のために決めたことを全
て行う。
まだ行っていないことがほかにも
ある。
- 15 それで私は神が怖くて不安に
なる。
神のことを考えると恐怖が募る。
- 16 神が私を臆病にならせた。
全能者のうしやが私をおびえさせた。
- 17 しかし私はまだ沈黙させられて
いない。

23:12 *または、「私のために規定されて」。
23:14 *または、「規定されている」。

第23章

㊦ ヨブ 1:8
詩 1:6
詩 139:1

㊦ ヨブ 31:6
詩 17:3

㊦ 詩 18:21
詩 44:18

㊦ 詩 119:11, 127
エレ 15:16

㊦ ロマ 9:19

㊦ 民 23:19
詩 135:6
イザ 14:24
イザ 46:10

第2欄

第24章

㊦ ハバ 1:2

㊦ 申 19:14
申 27:17
格 23:10
ホセ 5:10

㊦ 申 24:17

㊦ 詩 109:16
格 22:16
イザ 10:1, 2
ヤコ 5:4

㊦ イザ 32:14
エレ 14:6

㊦ 出 22:26, 27
申 24:13

やみ 闇によっても、わかし 私のおおくらやみ
顔の顔を覆う暗闇

によっても。

24 全能者はなぜ時を定めな いのか。

神を知っている人たちがなぜ神
の日を見ることができない
のか。

2 ある人たちは境界標識をずらす。

自分の牧草地に羊の群れをさ
らっていく。

3 父親のいない子供から口バを

奪い、

やもめから牛を担保として取り上
げる。

4 貧しい人を通りから閉め出す。

地上の無力な人は見つからない
ように隠れる。

5 貧しい人は荒野の野口バのよう

に食物をあさる。

自分の子供たちのために砂漠で
食物を探す。

6 他人の畑で収穫し、

悪く人にブドウ園の残り物を拾う。

7 衣服がなく裸で夜を過ごす。

寒さをしのぐための覆う物が

ない。

8 山の雨でずぶぬれになる。

避難する場所がないので岩にし
がみつく。

24:1 *神による処罰の日のこと。 24:6 *もし
かすると、「飼いやを」。

- 9 父親^{ちちおや}のいない^{こども}子供は乳房^{ちぶさ}から引^ひき離^{はな}され、
貧しい^{まず}人は衣服^{ひと}を担保^{いふく}として取^とり上げられる。
- 10 衣服^{いふく}がなく裸^{はだか}で歩き回^{あるまわ}るしかなく、
空腹^{くうふく}のまま、穀物^{こくもつ}の束^{たば}を運ぶ。
- 11 段丘^{だんきゅう}に造^{つく}られた石壁^{いしかべ}の間^{あいだ}で、日^{にっ}中の暑^{ちゅう}い中^{あつ}に働^なく。
- 搾^{しぼ}り場^ばでブドウ^ぶを踏^ふみながらも、喉^{のど}が渇^{かわ}く。
- 12 死^しにかけている人^{ひと}が町^{まち}でうめきつづける。
致命傷^{ちめいしょう}を負^おった人^{ひと}が助^{たす}けを求め^{もと}て叫^{さけ}ぶ。
- しかし神^{かみ}は問題^{もんだい}視^ししない。
- 13 光^{ひかり}に背^{そむ}く人^{ひと}たちがいる。
- 光^{ひかり}の道^{みち}を認め^{みと}めず、その道^{みち}を歩^{ある}かない。
- 14 人殺^{ひとごろ}しは夜明^{よあ}けに起き上^{おあ}がり、
無力^{むりよく}な人^{ひと}や貧しい^{まず}人^{ひと}を殺^{ころ}し、
夜^{よる}には盗^{ぬす}みはたら^{はたら}く。
- 15 姦淫^{かんいん}をする人^{ひと}は夕暮^{ゆゆうぐ}れを待ち、
『誰^{だれ}も私^{わたし}を見^みることはない!』と
言^いい、
自分^{じぶん}の顔^{かお}を覆^{おお}う。
- 16 悪人^{あくにん}は暗闇^{くらやみ}の中^{なか}、家々^{いえいえ}に侵入^{しんにゅう}する。
昼^{ひる}は閉^とじこもり、光^{ひかり}を知ら^しない。

24:11 *もしかすると、「で、油を搾る」。24:12

*もしかすると、「誰のこともとがめない」。24:

16 *直訳、「に穴を開けて入る」。

第24章

(イ) 王二 4:1

(イ) 出 22:26, 27
申 24:13

(イ) エレ 22:13
ヤコ 5:4

(エ) 伝 4:1

(イ) ヨハ 3:19

(イ) 詩 10:4, 8

(イ) 格 7:8-10

(イ) サ二 12:9, 12
詩 94:3, 7
格 30:20

(イ) ヨハ 3:20

第2欄

(イ) 申 28:15, 16
格 3:33

(イ) 詩 49:13, 14
詩 55:15
ルカ 12:20

(イ) 格 10:7
伝 8:10
伝 9:5

(エ) 伝 8:11
イザ 56:12
ルカ 12:19

(イ) 詩 11:4
格 5:21
格 15:3

- 17 朝^{あさ}を恐^{おそ}れる。他^たの人^{ひと}が深^{ふか}い暗闇^{くらやみ}
を恐^{おそ}れるのと同じように。
しかし、深^{ふか}い暗闇^{くらやみ}の恐怖^{きょうふ}には慣^なれている。
- 18 悪人^{あくにん}は、あつという間^まに水^{みず}に流^{なが}し
去^さられる。
悪人^{あくにん}が与^{あた}えられている土地^{とち}は災^{わざわ}
いを受ける。
悪人^{あくにん}がぶドウ園^{えん}に戻^{もど}ることは
ない。
- 19 干^{かん}ばつと熱^{ねつ}が雪解^{ゆきど}け水^{みず}を奪^{うば}い去^さ
るように、
墓^{はか}も、罪^{つみ}を犯^{おか}した人^{ひと}たちを奪^{うば}い
去^さる!
悪人^{あくにん}は自分^{じぶん}の母^{はは}に忘れ^{わす}れ
る、うじに食^くわれる。
もう思^{おも}い出^だされることもない。
正^{ただ}しくない人^{ひと}は木^きのように折^おら
れる。
- 21 その人^{ひと}たちは、子供^{こども}ができない
女性^{じょせい}を餌食^{えじき}にし、
やもめを虐待^{ぎゃくたい}する。
神^{かみ}は力^{ちから}を用^{もち}いて、強^{つよ}い人^{ひと}たちを
滅^{ほろ}ぼす。
その人^{ひと}たちは立^たち上^あがるが、命^{いのち}
の保証^{ほしょう}はない。
- 23 神^{かみ}は、その人^{ひと}たちが心配^{しんぱい}なく安^{あん}
全^{ぜん}に暮^くらすまにする。
しかし神^{かみ}はその人^{ひと}たちの行^{おこな}い全^{すべ}
てを見^みている。

24:18 *直訳、「彼は水の表面を速く進む」。

24:19 *ヘブライ語、シェオル。用語集参照。

24 その人たちはしばらく名声を得るが、いなくなる。

低くされ、ほかの皆と同じように集められ、

穀物の穂のように刈られる。

25 それで今、誰が私をうそつきと証明できるのか。

誰が私の言葉に反論できる

のか。

25 シュアハ人ビルダドはそれを聞いて言った。

2 「統治権と驚異的な力は神のもの。

神は天で平和を確立している。

3 神の部隊を数え切ることではできんだろうか。

神の光に照らされない人が、誰

かいるだろうか。

4 死にゆく人間がどうして神の前で正しいとされるだろうか。

女性から生まれた人がどうして無実とされるだろうか。

5 神にとっては、月も明るくはなく、星も清くはない。

6 死にゆく人間はなおさらだ！

うじなのだから。

人の子は虫けらなのだから。

26 ヨブはそれを聞いて言った。

2 「無力な人を見事に助けてくれたものだ！

25:4 *または、「清い」。

第24章

(7) 詩 37:10
詩 92:7
ヤコ 1:11

(1) 伝 8:12,13

第25章

(1) ヨブ 2:11
ヨブ 8:1

(2) ヨブ 4:17,18
ヨブ 22:3

第2編

第26章

(1) ヨブ 16:2,3

(1) ヨブ 12:2
ヨブ 17:10

(1) 詩 139:8
ヘブ 4:13

(2) ヨブ 9:8
詩 104:2
イザ 42:5

(1) 格 30:4
伝 11:3

(1) 詩 97:2

(4) 格 8:27
エレ 5:22

(1) 詩 74:13
イザ 51:15

強くない人をよくぞ救ってくれた！

3 知恵のない人に何と素晴らしい助言をしてくれたことか！

役立つ知恵を惜しまずにこれほど明らかにしてくれるとは！

4 あなたは誰に向かって話そうとしているのか。

誰に吹き込まれてそのようなことを言うのか。

5 死んだ無力な人たちは震える。水や水中にすむ物よりも下に

いる。

6 墓は神の前では裸で、滅びの場所も覆われていない。

7 神は北の空を何もなにもに広げ、

地球を空間に浮かせている。

8 神は水を雲の中に包んでいる。雲が水の重みで破裂することは

ない。

9 神はご自分の王座が見えないようにしている。

雲を広げて王座を覆っている。

10 神は水の上に水平線を引き、光と闇の境界を定める。

11 天の柱は震える。

神の叱責によってひどく驚く。

12 神は力によって海をかき回し、

26:3 *または、「常識」。 26:4 *ビルダドのことと思われる。 # 直訳、「誰の息があなたから出てきた」。 26:6 *ヘブライ語、シェオル。用語集参照。 # または、「アバドン」。 26:7 *直訳、「北」。 # 直訳、「空虚」。 26:10 *または、「円を描き」。

りかいりよく もち うみ おお い
理解力を用いて海の大きな生き
もの* ひ さ け
物を引き裂く。

13 神は息を吹き掛けて大空をきれ
いにする。

かみ て つか #へび さ
神の手は、捕まえにくい蛇を刺し
つらぬ
貫く。

14 しかし、こうしたことも神の行い
のほんの一部。

かみ ごえ
神についてかすかなささやき声を
聞いたにすぎない！

では、誰が神の強力な雷を理
かい
解できるといえるだろう。

27 ヨブは話を続けて言った。

2 「私を公正に扱わなかつ
かみ い かぎ (ロ)
た神が生きている限り、

わたし にが けいけん ぜんのうしや
私に苦い経験をさせた全能者が
生きています、

3 私に息があり、私の鼻に神の息
かぎ (ロ)
がある限り、

4 私は、正しくないことをこの唇で
わたし ただ くちびる
語らない！

あざむ こと ば した の
欺く言葉をこの舌で述べない！

5 あなた方を正しいと認めるなど
わたし かんが
私には考えられない！

わたし し ちゅうせい つらぬ(※)
私は死ぬまで忠誠を 貫く！

6 私は正しさを保って決して手放さ
わたし ただ たも けつ て ばな
ない。

生きています、心にやましさを
かん #
感じない。

26:12 *直訳、「ラハブ」。26:13 *または、「風によって」。*または、「滑るように動く」。27:5 *または、「忠誠心を捨てない」。27:6 *または、「私のどの日についても」。*または、「私の心が私を有罪とする(あざける)ことはない」。

第26章

(ロ) ヨブ 9:13

(イ) 詩 92:5

伝 3:11

イザ 55:9

(ロ) ヨブ 37:5

第27章

(ロ) ヨブ 34:5

(ロ) ルツ 1:20

王二 4:27

(ロ) 創 2:7

イザ 42:5

使徒 17:25

(イ) ヨブ 22:1,5

格 27:11

(ロ) ヨブ 2:3

第2欄

(ロ) ヨブ 13:15, 16

ヨブ 36:13

(イ) ヨブ 35:12

詩 18:37, 41

格 28:9

エレ 11:11

ヤコ 4:3

(ロ) 詩 11:6

伝 8:13

マラ 3:5

(ロ) エス 9:7-10

ホセ 9:13

わたし てき あくにん
7 私の敵が悪人のようになり、
わたし おそ ひと ただ ひと
私を襲う人たちが、正しくない人

のようになりますように。

8 神を認めない人は、破滅する時、
かみ みと ひと* は めつ と き
かみ いのち と さ と き
神に命を取り去られる時にどん

な希望があるのだろう。

9 苦難がその人に生じる時、
くなん ひと しょう と き
かみ ひと さけ ごえ
神はその人の叫び声を聞くだろ

うか。

10 その人は全能者のことで喜ぶだ
ひと ぜんのうしや よろこ
ろうか。

いつも神に呼び掛けるだろうか。

11 私は神の力をあなた方に教え
わたし かみ ちから* がた おし
よう。

全能者について何も隠さない。

12 あなた方は皆、幻を見たのであ
がた みな まぼろし み
れば、

どうして全く無意味なことを話す
ののか。

13 悪人が神から受ける分け前、
あくにん かみ う わ まえ(ロ)
あつせいしや ぜんのうしや う ざいさん
圧制者が全能者から受ける財産
は、次の通りだ。

14 彼の子は多くなっても、剣によつ
かれ こ おお つるぎ
て倒れる。

彼の子孫には十分の食物が

ない。

15 生き残った人たちは災厄によって
いのこ ひと さいやく
ほうむ
葬られ、

そのためにやもめが泣くことも
ない。

27:8 *または、「背教者」。27:11 *もしかすると、「神の手によって」。

16 たとえ彼が銀をちりのように積み
上げ、
立派な衣服を粘土のように蓄え

るとしても、

17 彼が集めた衣服を、正しい人が
着る。

罪のない人が彼の銀を分ける。

18 彼が建てる家はもろい。

蛾の繭のように、

見張りが作った小屋のように。

19 彼はたくさんの物を所有して横

になるが、何も集められない。

彼が目を開ける時、そこには何

もない。

20 恐怖が洪水のように彼を圧倒し、
夜に嵐が彼を運び去る。

21 東風が彼をさらっていき、彼はい
なくなる。

元の場所から吹き払われる。

22 風は情け容赦なく彼に襲い掛
かる。

彼はその力から必死に逃れよう
とする。

23 風は彼に向かって手をたたき、
その場所から彼に向かって口笛
を吹く。

28 銀には採掘する場所が
あり、

金にも精錬する場所がある。

2 鉄は地面から得られ、

銅は岩を溶かして取り出される。

第27章

〔ヨ〕格 13:22

格 28:8

伝 2:26

〔イ〕イザ 1:8

哀 2:6

〔ヨ〕詩 73:3,19

〔タ〕マタ 7:26,27

〔ヨ〕詩 83:15

〔ヨ〕イザ 10:3

アモ 2:14

〔タ〕哀 2:15

第28章

〔ヨ〕格 17:3

マラ 3:3

〔ヨ〕申 8:7,9

第2欄

〔ヨ〕王二 20:20

代二 32:30

〔イ〕格 2:6

ヤコ 1:5

〔ヨ〕ヨブ 28:28

〔タ〕格 3:15

3 人は暗闇を切り開く。

深い暗闇の中、鉱石を求めて限
界まで掘っていく。

4 人里離れた所で縦穴を掘る。

忘れられた場所、人が足を踏み
入れない場所。

ある人たちはそこに下り、ぶら下
がる。

5 地上には食物が生じる。

しかし地下は、火によるかのよう
に焼き回されている。

6 サファイアの石もあれば、

金を含む土もある。

7 肉食の鳥もそこへの道を知らず、
トビの目もそれを見たことが
ない。

8 勇ましい野獣もそこを踏んだこと
がなく、

若いライオンもそこをうろついた
ことがない。

9 人は硬い岩を手で崩し、
山々を土台から覆す。

10 岩の中に水路を切り開き、
あらゆる貴重な物を見つける。

11 川の源をせき止め、
隠されていた物を光の下へ持ち
出す。

12 しかし、知恵はどこで見つかる
のか。

理解はどこから来るのか。

13 人は誰も知恵の価値を知らない。

28:3 *直訳、「石」。28:5 *採掘作業のことと
思われる。28:9 *または、「火打ち石のような」。

27:23 *もしかすると、「人々」。

この地上に知恵は見つからない。

14 深い水が『私の中にはない!』と
言う。

海が『私の所にはない!』と
言う。

15 知恵は純金で買うことができ
ない。

銀を量ってもその代価には足り
ない。

16 オフィルの金でも、
希少なしまめのうやサファイアで
も買えない。

17 金やガラスも比べものにな
らない。

純金の器もその価値には及ば
ない。

18 サンゴも水晶も言うまでもない。
知恵は真珠よりも価値がある。

19 クシュのトパーズも比べものにな
らない。

純金でも買うことができない。

20 では知恵はどこから来るのか。
理解はどこから来るのか。

21 生きているもの全ては知恵を見
ることができず、

空の鳥もそれを見つけれない。

22 滅びも死も、『うわさには聞いた』
と言う。

23 神は知恵への道を知っている。
神だけが知恵の在りかを知っ
ている。

28:17 *または、「精錬された金」。

第28章

(例) ロマ 11:34

(例) 格 3:13,14

(例) イザ 13:12

(例) 格 16:16

(例) 格 8:11

格 20:15

(例) 出 28:15,17

(例) ヨブ 28:12

(例) 伝 8:17

コ一 2:8,11

(例) ヤコ 1:5

第2欄

(例) 格 15:3

ゼカ 4:10

ペ一 3:12

(例) 詩 148:8

伝 1:6

(例) ヨブ 5:10

ヨブ 26:8

ヨブ 37:10

詩 135:7

格 30:4

イザ 40:12

(例) ゼカ 10:1

(例) ヨブ 38:25

(例) 申 4:6

詩 111:10

格 9:10

伝 12:13

口マ 1:20

(例) 格 3:7

第29章

(例) 詩 18:28

詩 119:105

(例) 詩 25:14

格 3:32

24 神は地の果てまで見渡し、
天の下にある全てのものを見る。

25 神は風の力を定め、水を量り、

26 雨の規定や雷雲の通り道をつ
くった。

27 その時、神は知恵を見てそれに
ついて説明した。

神は知恵を確立し、知恵の価値
を証明した。

28 そして人に言った。

『エホバを畏れること、これが
知恵。』

悪から離れること、これが理
解力』。

29 ヨブは話を続けて言った。
2 「過ぎ去った月日に戻れ
たならいいのに。

神が見守ってくださったあの
日々。

3 神はご自分のランプで私の頭上
を照らしてくださった。

私は神の光によって暗闇の中を
歩いた。

4 当時、私はまだ元気で、
自分の天幕で神が私と親しくして
くださっているのを感じていた。

5 全能者はまだ私と共にいてくだ
さり、

私の子供たちも私の周りにいた。

28:25 *直訳、「重さ」。29:5 *または、「従
者」。

- 6 当時、私の足跡はバターで洗われ、
岩からは私のための油がたくさん湧き出た。
7 私はよく町の門の所に行って広場に座った。
8 若者たちは私を見て道を譲った。
老人たちさえ立ち上がり、そのまゝ立っていた。
9 地位が高い人たちも言葉を控えて口を押さえた。
10 著名な人たちも声を発することがなく、
その人たちの舌は上顎にくっついた。
11 私の言葉を聞いた人は私のことを良く言い、
私を見た人は私の良い評判を広めた。
12 私は、助けを求めて叫ぶ貧しい人を助け出した。
父親のいない子供や、誰にも助けってもらえない人も。
13 苦しんでいた人は私のことを良く言い、
やもめは私の力添えで心から喜んだ。
14 私は正しさを衣服として身にまとった。
公正であることは私にとって、長い服やターバンのようだった。

29:8 *直訳、「身を隠した」。 29:14 *または、「袖なしの上着」。

第29章

(例) 申 32:13
申 33:24

(例) ルツ 4:1
格 31:23

(例) ネヘ 8:1

(例) レビ 19:32

(例) 格 21:13
格 24:11

(例) ヤコ 1:27

(例) 申 24:12,13

(例) 申 10:17,18

第2欄

(例) ルカ 14:13
ヤコ 1:27

(例) 格 29:7

(例) 詩 58:6
格 30:14

(例) 創 25:8
王二 22:20

(例) ヨブ 29:9

(例) 詩 72:6
格 16:15

- 15 私は目が見えない人の目となり、
足が不自由な人の足となった。
16 私は貧しい人の父親代わりになった。
知らない人の訴訟のために力を貸した。
17 悪を行う人の顎を砕き、
その人の歯から獲物を引き離した。
18 私はよくこう言っていた。
『私は自分の家で最期を迎えよう。
私の日々は砂粒のように多くなる。
19 私の根は水辺に伸びていき、
私の枝には露が一晩中とどまる。
20 私の栄誉はいつも新しくされ、
私の手は矢を射続ける。』
21 人々は期待を抱いて私の言葉を聞いた。
黙って私の助言を待った。
22 私が話し終えると、何も言えなかった。
私の言葉は、聞く人の耳に優しく落した。
23 人々は雨を待つように私を待った。
春の雨を求めて口を大きく開けた。
24 私がほほえみ掛けると、人々はそれをありがたく感じた。

29:22 *直訳、「滴った」。

わたし あか ひょうじょう ひとびと あんしん
私の明るい表情は人々を安心さ
せた。

25 私は指導者として人々を導いた。

わたし ぶたい なか おう
私はまるで部隊の中の王、
なげ ひと なぐさ ひと
嘆く人々たちを慰める人のよう
だった。

30 ところが今、私より若い人
たちが私のことを笑う。

かれ ちちおや わたし ひつじ
彼らの父親たちには、私の羊の
ばんけん ちか ゆる
番犬に近づくことさえ許さな
かったのに。

2 彼らの手にある力は、私にとって
何の役に立っただろうか。

かれ かつりよく き
彼らの活力は消えうせた。

3 彼らは貧困と飢えで瘦せ細り、
すでに荒廃して乾き切った土地
をかじる。

4 彼らは茂みから塩気のある葉を
集める。

エニシダの木の根を食べる。

5 彼らは世間から追い出される。
ひとびと どころぼう たい さけ
人々は泥棒に対して叫ぶかのよ
うに彼らに向かって叫ぶ。

6 彼らは溪谷の斜面に、穴蔵や洞
窟に住む。

7 茂みで叫び、イラクサの間で身を
寄せ合う。

8 彼らは愚か者の子として、
名もない人の子として、
この土地から追い出された。

29:24 *もしかすると、「私は人々のせいで顔を
曇らせることはなかった」。 30:6 *または、「ワ
ジ」。

第29章

(例) ヨブ 1:3

第30章

(例) ヨブ 12:4

(例) 創 4:12

詩 109:10
ダニ 2:25

第2欄

(例) 詩 69:12
哀 3:14

(例) ヨブ 17:6

(例) ヨブ 19:13

(例) 民 12:14
申 25:9
イザ 50:6
マタ 27:30

(例) ヨブ 16:2
詩 69:26

(例) 詩 22:14

(例) ヨブ 15:15

9 ところが今、彼らは私のことを歌
にしてあざ笑う。

わたし かれ けいべつ まと (例)
私は彼らの軽蔑的になった。

10 彼らは私をひどく嫌い、私から遠
ざかる。

わたし かお つば か
ためらうことなく私の顔に唾を掛
ける。

11 神が私を無力にし、卑しめた
ので、

かれ わたし まえ あ *
彼らは私の前でつけ上がる。

12 彼らは私の右から暴徒のように
襲ってくる。

わたし はいそう わたし い みち いのち
私を敗走させ、私が行く道に命
取りの障壁を作る。

13 彼らは私の通り道を寸断し、
私をますますひどい目に遭わ
せる。

かれ と *もの
彼らを止める者はいない。

14 彼らは城壁を押し破るかのよう
に来る。

わたし つか は とき お よ
私が疲れ果てている時に押し寄
せる。

15 恐ろしいことが私に降り掛かる。
わたし せんげん かぜ ふ はら
私の尊厳は風のように吹き払

われ、
すく のぞ くち き
救われる望みは雲のように消え
去る。

16 今、私の命は尽きようとして
いる。

くつう ひ (例) わたし と
苦痛の日々が私を捕らえる。

30:11 *または、「手綱を手放す」。 30:13 *も
しかすると、「助ける」。

ヨブ 30:17-31:2

- 17 夜、私の骨に激痛が走る。
強烈な痛みがやまない。
- 18 私を覆う物は強い力を受けて様
相を変え、
私の衣服の襟のように私を締め
付ける。
- 19 神は私を泥の中に投げ入れた。
私は土や灰同然になってし
まった。
- 20 神よ、あなたに助けを求めて叫
びますが、あなたは答えてくだ
さいません。
- 私は立ちますが、あなたはただ
私をご覧になるだけです。
- 21 あなたは無情にも私に敵対しま
した。
ご自分の力強い手で私を襲い
ます。
- 22 あなたは私をつかみ上げて風に
運ばせ、
嵐の中に放り込みます。
- 23 あなたは私を死へと連れていく
のでしょうか。
- 生きている人全てがいずれ集ま
る家へと。
- 24 痛手を受けた人が災難に遭い、
助けを求めて叫んでいる時に、
その人にとどめを刺すようなこと
は誰もしない。

30:17 *直訳、「はえぐり抜かれる」。 30:18
*もしかすると、「私はひどい苦痛のせいで醜く
なり」。 30:22 *もしかすると、「私を一撃で粉
砕し」。

第30章

(例) 詩 6:2

(例) ヨブ 2:8,13
ヨブ 7:4(例) ヨブ 19:7
詩 22:2(例) ヨブ 7:20
ヨブ 19:6

(例) ヨブ 13:25

第2欄

(例) 格 14:21
格 14:31
格 19:17(例) 詩 38:6
詩 42:9
詩 43:2

(例) ミカ 1:8

(例) ヨブ 7:5
哀 4:8

第31章

(例) 格 6:25,26
マタ 5:28

(例) ヨブ 31:9,10

- 25 私は、苦しい時を経験した人た
ちのために泣かなかっただろ
うか。
- まず ひと かな
貧しい人たちのために悲しまな
かったらうか。
- 26 私は良いことを期待したのに、悪
いことが来た。
- ひかり ま くらやみ
光を待っていたのに、暗闇が
来た。
- 27 心の動揺が静まらなかった。
- くつろ ひび わたし まえ た
苦痛の日々が私の前に立ちかは
った。
- 28 日の光がない中、私は暗い気持
ちで歩き回る。
- みな あいだ た あ たず もと
皆の間で立ち上がり、助けを求
めて叫ぶ。
- 29 私はまるでジャッカル兄弟と
なり、
ダチョウの仲間となった。
- 30 私の皮膚は黒くなって剥がれ
落ち、
骨は暑さで燃えた。
- 31 私のたて琴はただ悲しみを奏で、
笛は泣く声を響かせる。
- 31 私は自分の目と契約を結
んだ。
- だから若い女性に対して不適切
な関心を向けることなどでき
ない。

2 そんなことをすれば、天の神か

30:30 *もしかすると、「発熱のせい」。

ら頂く^{いただ}分け前^{わまえ}はどうなるのだ

ろう。

高い^{たか}所^{ところ}にいる全能者^{ぜんのうしや}から頂く^{いただ}財^{ざい}

産^{さん}はどうなるのだろう。

3 悪^{あく}を行う人^{おこな}には災難^{さいなん}が、

有害^{ゆうがい}なことを行う人^{おこな}には不幸^{ふこう}が
待ち受^{まう}けているのではないか。

4 神^{かみ}は私^{わたし}が歩く道^{あるみち}を見^み、私^{わたし}の歩^{あゆ}み

を全^{すべ}て数^{かぞ}えているのではな
いか。

5 私^{わたし}は不正直^{ふしようじき}に歩^{あゆ}んだだろうか。

欺^{あざむ}こうと足^{あし}を急^{いそ}がせただろうか。

6 神^{かみ}に、正確^{せいかく}なほかりで私^{わたし}を評価^{ひやうか}

していただきたい。

神^{かみ}は私^{わたし}の忠誠心^{ちゅうせいしん}を知^しってくだ

さる。

7 もし私^{わたし}の歩^{あゆ}みが正^{ただ}しい道^{みち}からそ

れたり、

心^{こころ}が目^めに支配^{しはい}されたり、

手^てが汚^{けが}れたりしたなら、

8 私^{わたし}が種^{たね}をまいてもほかの誰^{だれ}かが

食^たべ、

私^{わたし}が植^うえた物^{もの}は引き抜^ひかれるが

よい。

9 もし私^{わたし}が女性^{じょせい}に心^{こころ}を引^ひかれ、

仲間^{なか}の戸口^{とぐち}の所^{ところ}で待ち伏^ませして

いたなら、

10 私^{わたし}の妻^{つま}が別^{べつ}の男^{おとこ}のために粉^{こな}を

ひき、

ほかの男^{おとこ}たちが私^{わたし}の妻^{つま}と関係^{かんけい}を

持^もつがよい。

31:5 *もしかすると、「不正直な人」と。 31:8

*または、「私の子孫は根絶される」。

第31章

(ヨ) ヨブ 20:26-29

詩 73:3,18

格 10:29

(イ) 創 16:13

代 16:9

詩 139:3

格 5:21

エレ 32:19

(ヨ) 詩 26:5

格 6:16,18

(エ) サー 2:3

(ヨ) ヨブ 2:3

ヨブ 27:5

詩 7:8

(ヨ) 申 11:16

エレ 10:23

(イ) 民 15:39

伝 11:9

エゼ 6:9

マタ 5:29

ヨ一 2:16

(ヨ) レビ 26:16

(ヨ) ヨブ 31:1

マタ 5:28

(ヨ) ヨブ 24:15

(ヨ) サ二 12:9,11

エレ 8:10

第2欄

(ヨ) 創 38:24

レビ 20:10

申 22:22

(イ) 格 6:25-27

格 7:27

(ヨ) 格 22:22,23

イザ 10:1-3

(ヨ) ヨブ 34:19

格 14:31

格 22:2

マラ 2:10

(ヨ) 詩 139:16

(ヨ) 申 15:7,8

(イ) 申 10:18

格 28:27

(ヨ) エゼ 18:5,7

ヤコ 1:27

ヨ一 3:17

11 私^{わたし}は、恥^はずべき行^{おこな}いを、

裁^{さば}かれて処罰^{しょばつ}される過^{あやま}ちをした

ことになるからだ。

12 その行^{おこな}いは、滅^{ほろ}ぼし尽^つくす火^ひのよ

うであり、

私^{わたし}のあらゆる作物^{さくもつ}の根^ねまでも焼^や

き尽^つくす。

13 召^めし使^{つか}いの男^{おとこ}や女^{おんな}が私^{わたし}に訴^うえて

きたのに、

もし私^{わたし}がそ^{ひと}の人^{こころ}たちを公^{あつか}正^{せい}に扱^{あつか}

わなかったなら、

14 神^{かみ}が私^{わたし}に立ち向^{たむ}かう時^{とき}、私^{わたし}は何^{なに}

ができるだろう。

神^{かみ}に責^{せき}任^{にん}を問^とわれる時^{とき}、何^{なん}と答^{こた}

えればよいだろう。

15 私^{わたし}を母^{はは}の腹^{はら}の中^{なか}に造^{つく}った方が、

彼^{かれ}らを造^{つく}ったのではないか。

私^{わたし}たちは同^{おな}じ方^{かた}に形^{かたち}作^{づく}られて誕^{たん}

生^{じょう}したのではないか。

16 もし、貧^{まず}しい人^{ひと}が望^{のぞ}んでいる物^{もの}を

私^{わたし}が与^{あた}えなかったなら、

また、私^{わたし}がやもめ^{かな}に悲^{かな}しい目^めを

させたら、

17 また、私^{わたし}が自^じ分^{ぶん}の分^{ぶん}を独^{ひと}りで

食^たべ、

孤^こ児^じにそれ^わを分^{あた}け与^{あた}えなかった

なら、

18 (私^{わたし}は若^{わか}い時^{とき}から、父^{ちち}親^{おや}のように

その孤^こ児^じの成^{せい}長^{ちやう}を見^み守^{まも}り、

子^こ供^{ども}の頃^{ころ}から、そ^てのやもめ^めの手^て

を引^ひいてきた。)

31:12 *または、「作物を引き抜く」。

19 もし私が、着る物がなくて死にそ
うな人や、

身を覆う物がない貧しい人を見
たら、

20 そして、その人が私の羊の毛で
身を温めず、

私に感謝することもなかった
なら、

21 また、孤児が町の門の所で私の
助けを求めた時に、

もし私が孤児に向かってこぼしを
振り上げたなら、

22 私の腕は肩から落ちてしまうが
よい。

私の腕は肘の所で折れてしまう
がよい。

23 私は神による災難を恐れていた。
神の威厳の前で立つことはでき
なかった。

24 もし私が金に頼ったり、
純金に向かって『私が頼る物

よ!』と言ったりしたなら、

25 もし私が多くの物を手にしたこ
とで、

増えた資産に喜んだなら、

26 もし、輝く太陽や、進んでいく明
るい月を見て、

27 私の心がひそかに誘われ、
そうしたものを崇拜しようと自分
の手に口づけしたなら、

31:21 *もしかすると、「私が町の門の所で支持
を得ていた」。 31:22 *または、「肩甲骨」。
または、「関節」、「上腕骨」。 31:26 *直訳、「光」。

第31章

(イ) イザ 58:7
ルカ 3:11
ヤコ 2:15,16

(イ) 申 24:13

(イ) 格 31:23

(ロ) 格 14:21

(ロ) 詩 49:6,7
テモ 6:17

(ロ) 申 8:17,18

(イ) エス 5:11
詩 62:10
格 11:28

(イ) 申 4:19

(イ) 申 11:16

第2欄

(イ) 格 17:5
格 24:17,18

(イ) マタ 5:44
ロマ 12:14

(イ) 創 18:5
ロマ 12:13

(ロ) 創 19:1,3
ヘブ 13:2
ペー 4:9

(イ) 創 3:8
格 28:13
使徒 5:8

(イ) ヨブ 19:7

28 それは裁かれて処罰される過
ちだ。

天にいる真の神に背くことになる
からだ。

29 私は敵が滅びるのを喜んだら
うか。

彼らに悪が降り掛かるのを見て
ひそかに笑ったのだろうか。

30 私は、敵が災いに遭って死ぬよ
うにと願うことはしなかった。

そう願って言葉で罪を犯すことは
しなかった。

31 私の天幕にいる人は、
『ご主人の食物で満腹にならない
人がどこにいるか』と言わな
かっただろうか。

32 私はよそから来た人に外で夜を
過ごさせはしなかった。

旅人のために戸を開けた。

33 私はほかの人のように自分の違
反を隠そうとしただろうか。

自分の過ちを衣服の中に隠した
だろうか。

34 私は群衆の反応を恐れただろ
うか。

また、他の氏族に侮辱されるの
を恐れ沈黙し、

外に出るのが怖くなっただろ
うか。

35 誰かが聞いてくれればよいのに!
私は自分が言ったことに署名し
よう。

31:32 *または、「外国人居住者」。 31:35 *ま
たは、「これが私の署名だ」。

ぜん^のうし^ゃ こた^た
全能者が答えてくださればよい
のに!

わたし^わ うった^か かた^か そじょう^そ か^か
私を訴える方が訴状を書いてい
ればよいのに!

36 わたし^わ それ^そ を肩^{かた} に載^のて運び^{はこ}、
それを冠^{かんむり}のように頭^{あたま}に置^おこう。

37 わたし^わ は自分^{じぶん}の行^{おこな}い全^{すべ}てについてそ
の^{かた}方に釈^{しゃく}明^{めい}し、

ち^ち い^い たか^{たか} ひと^{ひと} どう^{どう}どう^{どう}
地位^ちが高^いい人^{ひと}のよう^{よう}に堂^{どう}々^{どう}とそ
の^{かた}方に近^{ちか}づこう。

38 わたし^わ もし私^{わたし}の土地^{とち}が私^{わたし}について不^ふ満^{まん}
を叫^{さけ}び、

うね^う いっしょ^いにな^なって泣^ないたなら、

39 わたし^わ もし私^{わたし}が土地^{とち}の産^{さん}物^{ぶつ}をた^ただで食^た
べたり、

と^とち^ち しゅう^{しゅう}し^しや^や ぜつ^{ぜつ}ぼう^{ぼう}
土地^{とち}の所有^{しゅう}者^{しゃ}を絶^{ぜつ}望^{ぼう}させたりし
たら、

40 わたし^わ 私^{わたし}のため^{ため}に小^こ麦^{むぎ}の代^かわり^りにい^いば
らが生^はえ、

おおむぎ^お か^か あく^{あく}しゅう^{しゅう} ざっ^{ざっ}そう^{そう}
大^お麦^{むぎ}の代^かわり^りに悪^{あく}臭^{しゅう}のする雑^ざ草^{そう}
が生^はえるがよい。

ヨブ^よの言^ご葉^はは終^おわった。

32 にん^{にん} はな^{はな}
3人はヨブに話^{はな}すのをやめ
た。ヨブが自分^{じぶん}は正^{ただ}しいと

確^{かく}信^{しん}していたからである。2 さて、ラ

ム^しの氏^し族^{ぞく}のヅ^しの子^{そん}孫^{そん}、バラクエルの

子^こエリフは怒^{いか}りに燃^もえた。なぜなら、

ヨブ^よが神^{かみ}の正^{ただ}しさより自分^{じぶん}の正^{ただ}しさ

を証^{しょう}明^{めい}しようとしたからだ。3 ま

たエリフは、ヨブ^{にん}の3人^{ゆうじん}の友^{とも}人^{じん}が答^{こた}え

を見^みつけるところか神^{かみ}を悪^{わる}者^{もの}扱^{あつか}いたした
ので、非^ひ常^{じょう}に怒^{おこ}った。4 エリフはそ

31:35 *または、「私を訴える人」。

第31章
(例) ヨブ 13:22

(例) ヤコ 5:4

(例) 王ー 21:15

第32章

(例) ヨブ 6:29

ヨブ 27:6

(例) 創 22:20,21

(例) ヨブ 10:2,3

(例) 出 20:7

ヨブ 4:18-20

ヨブ 22:2,3

ヨブ 25:5,6

ヨブ 42:8

第2欄

(例) レビ 19:32

(例) ヨブ 15:10

(例) テモー 5:1

ペー 5:5

(例) 王ー 3:12

王ー 4:29

ヨブ 35:11

格 2:6

伝 2:26

ダニ 1:17

マタ 11:25

ヤコ 1:5

(例) 詩 119:100

伝 4:13

(例) 格 15:28

(例) ヤコ 1:19

ひと^{ひと} とし^{とし}うえ^{うえ}
の人^{ひと}たちが年^{とし}上^うだったので、ヨブに話^{はな}
か^か し掛^かけるのを控^{ひか}えていた。5 とこ
ろ
が3人^{にん}が何^{なん}も言^いえなくな^なったのを見て、
い^いか^か も 怒^{いか}りに燃^もえた。6 そこでヅ^しの子^{そん}孫^{そん}、
バラクエルの子^こエリフは話^{はな}し始^{はじ}めた。

わたし^わ わか^{わか} みな^{みな} とし^{とし} め^め
「私は若^{わか}く、皆^{みな}さんはお年^{とし}を召^め
ていま^いす。

それで私^{わたし}は敬^{けい}意^いを込^こめて身^みを
引^ひき、

じぶん^じ し^し の^の
自分^{じぶん}が知^しっている事^{こと}を述^のべませ
んでした。

7 とし^{とし} お^お もの*^{もの} かた^{かた}
『年^{とし}老^{かさ}いた者^{もの}が語^{かた}り、
と^{とし}しを重^{かさ}ねた者^{もの}が知^ち恵^えを知らせれ
ばよい』と考^{かん}えまし^えた。

8 とはいえ人^{ひと}は、神^{かみ}が人^{ひと}の内^{うち}に与^{あた}
え^える聖^{せい}なる力^{ちから}、

ぜん^{ぜん}のうし^{のうし}や^や いき^{いき} りかい^{りかい}りよく^{りよく}
全能^{ぜん}者^{のうし}の息^{いき}によつて、理^り解^{かい}力^{りよく}を
得^えます。

9 とし^{とし} と^と かし^{かし}こ^こ *
ただ年^{とし}を取^とれば賢^{かしこ}くなるのでも、
た^{とし}だ年^{とし}を重^{かさ}ねれば正^{ただ}しい事^{こと}を理^り
解^{かい}するのでもありません。

10 わたし^わ こと^{こと} ば^ば き^き
それで私^{わたし}の言^ご葉^はを聞^きいてくだ
さい。

わたし^わ じぶん^{じぶん} し^し こと^{こと} つた^{つた}
私も自分^{じぶん}が知^しっている事^{こと}を伝^{つた}え
ましよう。

11 わたし^わ みな^{みな} こと^{こと} ば^ば ま^ま
私は皆^{みな}さん^{みな}の言^ご葉^はを待^{まち}ちました。
皆^{みな}さん^{みな}が何^{なん}を言^いおうか^{かん}と考^{かん}えな
がら話^{はな}す間^{あいだ}、
みな^{みな} い^い じぶん^{じぶん} き^き
皆^{みな}さん^{みな}の言^いい分^{ぶん}をず^ずっと聞^きいてい
ました。

32:7 *直訳、「日々」。

32:8 *用語集参照。

32:9 *または、「多くの日々だけが人を賢くす
る」。

12 皆さんに注意を向けていまし

たが、

皆さんは誰もヨブの間違いを明

らかにせず、

ヨブの主張に答えられません。

13 それでこう言っではなりません。

『私たちには知恵がある。

彼を言い負かすのは神であって、

人ではない』。

14 ヨブは私に向かって話したわけ

ではありません。

私は皆さんの論議でヨブに答え

はしません。

15 この方々はうろたえ、もう何も答

えません。

何も話すことがありません。

16 私は待ったのに、この方々は話

し続けませんでした。

ただ立っているだけで何も答えま

せん。

17 それで今度は私が答えましょう。

私の知っていることを伝えま

しょう。

18 話したいことがたくさんあり、

私の中にある聖なる力が私を突

き動かします。

19 私の胸の内はまるで、

ぶどう酒が満ちて張り裂けそうな

新しい革袋のようになってい

ます。

32:12 *または、「ヨブを戒めず」。

第32章

(ヨ) マタ 9:17

第2欄

(ヨ) レビ 19:15

格 24:23

ヤコ 3:17

第33章

(イ) マタ 12:34

ルカ 6:45

(ヨ) 詩 119:73

(イ) 創 2:7

伝 12:7

使徒 17:25

20 私に語らせてください。気持ちを

落ち着かせたいのです。

私は唇を開いて答えましょう。

21 誰にも取り入らず、お世辞は言い

ません。

22 お世辞の言い方を知りません。

もしお世辞を言えば、私を造った

方がすぐに私を消し去ってしま

います。

33 ヨブ、私の言葉を聞いてく
ださい。

私が語る全てを聞いてください。

2 さあ、注意を払ってください！

私は口を開き、話します。

3 自分の心の正直さを言葉で明ら

かにし、

自分が知っている事を唇で誠実

に伝えます。

4 私は神の聖なる力によって造

られ、

全能者の息によって命を与えら

れました。

5 私に答えられるならそうしてくだ

さい。

言い分を私に提示し、意見を述

べてください。

6 見てください、真の神の前で私は

あなたと同じです。

私も粘土で形作られました。

7 ですから、あなたが私を恐れてお

びえることはありません。

32:21 *または、「名誉称号で呼び」。

33:2 *直訳、「私の舌と上顎が」。

(イ) 創 2:7

私のせいで圧倒されることもあり
ません。

8 あなたの言葉が私の耳に入りま
した。

私は次の言葉を確かに聞きま
した。

9 『私は清く、違反がない。』

私は清く、過ちがない。

10 それなのに神は、私に敵対する
理由を見つけ、

私を敵と見なす。

11 神は私に足かせをはめ、

私がどこに行っても監視する』。

12 あなたがそう言ったのは正しくあ
りません。

それで私はあなたに話します。
神は死にゆく人間よりもはるか
に偉大です。

13 どうして神に不満を述べるので
すか。

神があなたの言葉全てに答えて
くださらなかったからです。

14 神は一度話し、もう一度話しま
すが、

誰も注意を払いません。

15 神は夜に幻を見せます。

人が深く眠っている時、ベッドで
寝ている時、

夢の中で話します。

16 そして人の耳を開き、

ご自分の教えを人に深く印象付
けます。

第33章

(7) ヨブ 10:7
ヨブ 16:16, 17
ヨブ 23:11

(1) ヨブ 29:14

(7) ヨブ 13:24
ヨブ 16:9
ヨブ 19:11

(10) ヨブ 13:27
ヨブ 14:16
ヨブ 19:14

(10) ヨブ 12:13
詩 8:4
イザ 40:25
イザ 55:9

(10) イザ 45:9
ロマ 9:20

(10) ヨブ 13:24

(7) 民 12:6
ダニ 4:5

(7) ヨブ 36:10

第2欄

(7) 創 20:6, 7
マタ 27:19

(1) ダニ 4:24, 25

(7) 創 31:24

(10) 詩 107:17, 18

(10) ヨブ 14:13

17 人を悪い行いから離れさせ、
誇ることがないようにするため
です。

18 神は人が墓穴に下らないよう
にし、

人の命が剣によって消え去らな
いようにします。

19 人はまた、ベッドの上での痛みに
よって、
骨の絶え間ない苦痛によって、戒
められます。

20 パンに嫌気が差し、
良い食物さえ拒むようになり
ます。

21 すっかり痩せ細り、
隠れていた骨がむき出しになり
ます。

22 その人の命は墓穴へと、
死をもたらす者たちへと近づき
ます。

23 もしその人のために1人の使者、
1000人のうちの1人の擁護者が
いて、

その人に、どうすれば正直な人
になれるかを述べるならば、

24 神はその人に親切を示して言い
ます。
『彼が墓穴に下らないようにしな
さい!』

わたしは臍いを見いだした!

33:18 *または、「遠くから飛ばして使う武器」。

33:23 *または、「天使」。33:24 *用語集
参照。

25 彼の肉体を若い頃よりも元気
にし、
彼を活力にあふれた若い日々
戻そう。』

26 その人は神にお願いをし、神は
その人を受け入れてください
ます。
その人は喜びの声を上げて神の
顔を見ます。

神は死にゆく人間が正しい立場
を再び得られるようにしてくだ
さいます。

27 その人は人々に知らせます。
『私は罪を犯した。正しいことを
曲げた。

しかし報いを受けなかった。

28 神は私が墓穴に下ることがない
よう救ってくださった。
私はこれからも光を見る。』

29 神は人のためにこれら全てを、2
度、3度と行い、

30 その人を墓穴から引き戻し、命
の光で照らします。

31 ヨブ、注意を払ってください！ 聞
いてください！

黙っているなら、私が話し続けま
しょう。

32 言いたいことがあるなら、私に
言ってください。
話してください。あなたの正しさ
を証明したいのです。

33:26 *または、「神の好意を得ます」。 33:27
*もしかすると、「それは私のためにならなかつ
た」。 33:28 *直訳、「賢い戻して」。

第33章

(ヨ) 王二 5:14

(イ) 申 34:7
ヨブ 42:16
詩 103:3-5

(ヨ) 詩 30:8

(ヨ) サ二 12:13
詩 32:5
格 28:13
ルカ 15:21
ヨ一 1:9(ヨ) 詩 19:14
イザ 38:17

(ヨ) 詩 56:13

第2欄

第34章

(ヨ) ヨブ 29:14
ヨブ 33:9

(イ) ヨブ 27:2

(ヨ) ヨブ 9:17,18

(ヨ) 格 1:10,15
格 4:14

33 言うことがなければ、私の言葉
を聞いてください。

黙っているなら、あなたに知恵を
教えましょう。』

34 エリフは続けて言った。
2 「賢い皆さん、私の言葉
を聞いてください。

物事をよく知っている皆さん、聞
いてください。

3 耳は言葉を確かめます。
舌が食物を味わうのと同じよう
にです。

4 正しいこととは何かを一緒に判
断しましょう。

良いこととは何かを一緒に決め
ましょう。

5 ヨブは言いました。
『私は正しい。しかし神は私を公
正に扱わなかった。

6 自分がどんな判決を受けるかに
ついてうそをつけるだろうか。

私の傷は治らない。違反を犯し
ていないのに。』

7 ヨブのような人がどこにいて
しょう。

ヨブは、水を飲むかのようにあざ
けりを受け入れています。

8 悪を行う人と親しくし、
悪人と付き合い合っています。

9 『神に喜んでいただこうとしても、

34:3 *直訳、「上顎」。

何^{なん}の得^{とく}があるだろう』と言^いいま
した。⁽⁷⁾

10 それで、理解^{りかいりよく}力^{りき}のある皆^{みな}さん、聞^き
いてください。

真^{しん}の神^{かみ}が惡^{あく}を行^{おこな}ったり、
ぜん^{ぜん}のうし^{うしや}ふ^ふせい^{せい}お^おこな
全能^{ぜんりき}者が不正^{ふせい}を行^{おこな}ったりすること
などあり得^えません！⁽⁹⁾

11 神^{かみ}は、人^{ひと}が何^{なに}を行^{おこな}うかに応^{おう}じて
報^{むく}い、⁽¹⁰⁾

おこ^{おこな}な けつ^{けつ}か ひと み しょう
行^{おこな}いの結^{けつ}果^かをそ^{ひと}の身^みに生^{しょう}じ
させるのです。

12 神^{かみ}は絶^{ぜつ}対^{たい}に惡^{あく}を行^{おこな}わず、
ぜん^{ぜん}のうし^{うしや}ふ^ふせい^{せい}お^おこな
全能^{ぜんりき}者は絶^{ぜつ}対^{たい}に公^{こう}正^{せい}を曲^まげま
せん。⁽¹¹⁾

13 誰^{だれ}が神^{かみ}に大^{だい}地^ちを治^{おさ}めさせ、
ぜん^{ぜん}せ かい どう ち
全^{ぜん}世界^{せかい}を統^{とう}治^ちさせることにしたの
ですか。

14 もし神^{かみ}が人^{ひと}に注^{ちゅう}意^いを向^むけ、
せいめい^{せいめい}りよく いき と あ ⁽¹²⁾
生^{せい}命^{めい}力^{りき}と息^{いき}を取^とり上^あげるなら、

15 人間^{にんげん}は皆^{みな}滅^{めつ}び、
ひと つち もと ⁽¹³⁾
人^{ひと}は土^{つち}に戻^{もど}ります。

16 あな^{りかいりよく}たに理^り解^{かい}力^{りき}があるなら、私^{わたし}
の言^{こと}葉^はに注^{ちゅう}意^いを払^{はら}い、
よく聞^きいてください。

17 公^{こう}正^{せい}を憎^{にく}む者が全^{ぜん}てを統^{とう}御^ぎでき
るでしょう^{もの}か。

た^{ただ} つ^つよ か^かた ゆ^{ゆう}ざい よ
正^{ただ}しくて強^{つよ}い方^{かた}を有^{ゆう}罪^{ざい}呼^よばわり
するのですか。

18 王^{おう}に向^むかっ^{やく}て『役^{やく}立^たたず』とか、
こう ぎ ひと わるもの い
高^{こう}貴^きな人^{ひと}に『この惡^{わる}者^{もの}』とか言^いう
でしょう^{もの}か。

第34章

(7) ヨブ 9:22-24
ヨブ 35:3

(1) 創 18:25
代 二 19:7
詩 92:15

(2) 申 32:4
ロマ 9:14
へブ 6:10

(3) 代 一 28:9
詩 62:12
格 24:12

エレ 32:19
エゼ 33:20
ロマ 2:6

コ二 5:10
ガラ 6:7
ペー 1:17

啓 22:12
(4) ヤコ 1:13
(5) 詩 89:14

詩 97:2
詩 99:4
ロマ 2:11

(6) 詩 104:29
伝 12:7
イザ 42:5

使徒 17:25
(7) 創 3:19
詩 146:4

伝 3:20
(8) 出 22:28
伝 8:2-4

伝 10:20

第2欄

(7) 申 10:17
代 二 19:7
使徒 10:34

ロマ 2:11
エフ 6:9
(1) ヨブ 31:13-15

格 22:2
(2) 出 12:29
ダニ 5:30

(3) 詩 73:3,19
使徒 12:21-23
(4) サー 25:38

(5) 創 6:5
代 二 16:9
ヨブ 31:4

格 5:21
格 15:3
エレ 16:17

エレ 32:19
ペー 3:12
(6) 詩 139:11,12

イザ 29:15
エレ 23:24
アモ 9:3

へブ 4:13
(7) エゼ 21:26,27
ダニ 2:21

ダニ 4:25
(8) ホセ 7:2
(9) サー 4:17

ダニ 5:30
(10) 民 12:10

19 神^{かみ}は、地^ち位^いが高^{たか}い人^{ひと}をひいき
せず、⁽¹⁴⁾

ま^{まず}ず ひと ゆうふく ひと* ゆうぐう
貧^{ひん}しい人^{ひと}よりも裕^{ゆう}福^{ふく}な人^{ひと}を優^{ゆう}遇^{ぐう}

するこ^{こと}はありま^ません。⁽¹⁵⁾

みな じ ぶん て つく
皆^{みな}をご自^じ分^{ぶん}の手^てで造^{つく}ったから
です。⁽¹⁶⁾

20 人^{ひと}は真^ま夜^や中^{なか}に突^つ然^{ぜん}の死^しを迎^{むか}え
ます。⁽¹⁷⁾

はげ どうよう
激^{はげ}しく動^{どう}揺^{よう}し、い^いな^なく^くな^なります。

つよ ひと け さ
強^{つよ}い人^{ひと}でも消^けし去^さられます。しか

し人^{ひと}の手^てによるのではありま

せん。⁽¹⁸⁾

21 神^{かみ}は人^{ひと}の行^{おこな}いを見^みており、
こう どうすべ らん
行^{こう}動^{どう}全^{ぜん}てをご覧^{らん}になっ^なていま^ます。

22 闇^{やみ}や深^{ふか}い陰^{かげ}はどこにもありま
せん。⁽¹⁹⁾

あく おこな ひと み かく
惡^{あく}を行^{おこな}う人^{ひと}は身^みを隠^{かく}すことができ
ません。⁽²⁰⁾

23 神^{かみ}は誰^{だれ}にも、裁^{さば}きのため^{ため}に神^{かみ}の
ま^{まえ}で と き さだ
前^{まえ}に出^でる時^{とき}を定^{さだ}めません。⁽²¹⁾

24 神^{かみ}は、調^{ちよう}査^さする必要^{ひつよう}がありま
せん。⁽²²⁾

ゆうりよくしや くだ か
有^{ゆう}力^{りき}者^{しや}を砕^{くだ}き、代^かわ^わりにほか^かの
人^{ひと}をそ^その地^ち位^いに就^つけま^ます。⁽²³⁾

25 神^{かみ}は彼^{かれ}らの行^{おこな}いを知^しっているか
らです。⁽²⁴⁾

よる 夜^{よる}のう^うち^ちに彼^{かれ}ら^らを打^うち倒^{たお}し、砕^{くだ}き
ます。⁽²⁵⁾

26 神^{かみ}は皆^{みな}に見^みえる場^ば所^{しょ}で、
あくにん 悪^{あく}人^{にん}である彼^{かれ}ら^らを処^{しょ}罰^{ばつ}しま^ます。⁽²⁶⁾

34:19 *または、「立場^{たてばた}の低^ひい人^{ひと}よりも高^{たか}貴^きな
人^{ひと}。

ヨブ 34:27-35:3

27 彼らが神に従うのをやめ、
神の行いを全く気に留めないか
らです。

28 貧しい人は彼らのせいで神に向
かって叫びます。
それで神は無力な人の叫び声を
聞きます。

29 神が黙っているからといって、誰
が神を非難できるでしょうか。
神がご自分の顔を隠す時、誰が
神を見ることができるとい
うか。

1つの国民であっても1人の人で
あっても、結果は同じです。

30 神を認めない人が支配して、
民をわなに掛けることはできない
のです。

31 神に向かってこう言う人がいるで
しょうか。
『過ちを犯していないのに罰を受
けました。』

32 私に見えていない事を教えてくだ
さい。
もし何か間違いをしていたとして
も、繰り返しませんから』。

33 あなたが神の裁きを拒む時、神
はあなたの思い通りにあなた
に報いてくださるでしょうか。
裁きを受け入れるかどうかはあ
なた次第で、私には決められ
ません。

34:29 *または、「神の好意を得る」。 34:30
*または、「背教者」。

第34章

(7) サー 15:11

(4) 詩 28:5

(4) 出 22:22,23
ヤコ 5:4(4) ヨブ 13:16
ヨブ 27:8(4) ダニ 9:7
ロマ 3:23

第2欄

(7) ヨブ 35:16
ヨブ 38:2
ヨブ 42:3(4) ヨブ 10:1
ヨブ 19:6

(4) ヨブ 35:2

第35章

(4) ヨブ 10:7
ヨブ 16:16,17
ヨブ 34:5(4) ヨブ 9:22-24
ヨブ 34:9
詩 73:13

くわ じじょう わたし はな
詳しい事情を私に話してくだ

さい。

34 理解力のある人たちは私にこう
言うはずです。

わたし こと ば き かしこ ひと
私の言葉を聞く賢い人たちなら
言うでしょう。

35 『ヨブは知りもせずに語り、
洞察力のなさが言葉に表れて

いる』。

36 ヨブは極限まで試されたらよいと
思います。

はつげん あくにな こと ば
ヨブの発言は悪人の言葉のよう
だからです。

37 ヨブは反逆して自分の罪を増
やし、

けいべつ わたし まえ
軽蔑するかのように私たちの前
で手をたたき、
しん かみ そむ こと ば い つづ
真の神に背く言葉を言い続けま
す!』

35

エリフは続けた。

2 「あなたは『私は神より
も正しい』と言いました。

それほどまでに自分が正しいと
確信しているのですか。

3 『あなたに何の関係があるので
すか。

つみ おか ひと
罪を犯す人でも、これほどの目に
あ 遭うことはあるでしょうか』と
も言っています。

34:36 *もしかすると、「神よ、ヨブが極限まで試
されますように」。 35:3 *神のことを指している
と思われる。

- 4 私^{わたし}があなたに^{こた}答えましょう。
あなたの友人^{ゆうじん}たちにもです。
- 5 天^{てん}を見上げて^{み あ}ください。
あなたよりはるか^{うえ}にある雲^{くも}を
眺^{なが}めてください。
- 6 あなたが罪^{つみ}を犯^{おか}したとして、神^{かみ}
に傷^{きず}を負^おわせることはできま
すか。
- あなたが違^い反^{はん}を増^ふやしたとして、
神^{かみ}に被害^{ひがい}がありますか。
- 7 あなたが正^{ただ}しい人^{ひと}だったとして、
神^{かみ}に何^{なに}を与えることができま
すか。
- 神^{かみ}はあなたから何^{なに}を受け取りま
すか。
- 8 あなたの悪^{あく}は、あなたのような
人間^{にんげん}にだけ影^{えい}響^{きやう}し、
あなた^{ただ}の正^{ただ}しさは、人^{ひと}の子^こにだ
け影^{えい}響^{きやう}します。
- 9 人^{ひと}はひどく虐^{しいた}げられると叫^{さけ}び声^{こえ}を
上^あげ、
つよものしはいき^{つよ}強い者の支配^{しはい}からの解放^{かいほう}を求め
て叫^{さけ}びます。
- 10 しかし誰^{だれ}もこう言^いいません。
『神^{かみ}はどこだろう。私^{わたし}を造^{つく}った偉^い
大な^{だい}方は。』
- 人^{ひと}は夜^{よる}、その方^{かた}のことを賛^{さん}美^びして
歌^{うた}わずにはいられない。』
- 11 神^{かみ}は、地上^{ちじょう}の野獣^{やじゅう}に教^{おし}える以上^{いじょう}
のこ^{こと}を私^{わたし}たちに教^{おし}えてくだ
さり、

第35章

(7) ヨブ 2:11

(4) 詩 68:34

(7) 格 8:36

格 9:12

(4) 格 19:3

(7) ロマ 11:35

(7) 格 29:2

(4) イザ 51:12,13

ペー 4:19

(7) 詩 42:8

詩 149:5

使徒 16:25

(7) 創 1:26

(4) 詩 94:12

イザ 48:17

第2欄

(7) 詩 18:41

(4) 格 1:28,29

ペー 5:5

(7) 格 15:29

イザ 1:15

エレ 11:11

(4) ヨブ 9:11

(7) 詩 37:5

(7) 詩 103:10-12

(4) ヨブ 34:35

ヨブ 38:2

第36章

(7) 申 32:4

詩 11:7

詩 139:14

ダニ 9:14

啓 15:3

わたし そら とり かしこ
私^{わたし}たちを空^{そら}の鳥^{とり}よりも賢^{かしこ}くしてく

ださいます。

- 12 人^{ひと}々が叫^{さけ}んでも、神^{かみ}は答^{こた}えま
せん。

あくにん ほこ
悪^{あく}人が誇^{ほこ}っているからです。

- 13 むやみに叫^{さけ}んでも、
かみ けつ き (7) ぜんのうしや けつ
神^{かみ}は決^{けつ}して聞^きかず、全^{ぜん}能^{のうしや}者は決^{けつ}
して注^{ちゅう}意^いを払^{はら}いません。

- 14 あなたが神^{かみ}は何^{なに}もしてくれないと
ふへい い
不^ふ平^{へい}を言^いうなら、なおよさらでは
ありま^なせんか。

けん かみ まえ
あなたの件^{けん}は神^{かみ}の前^{まえ}にあるので
すから、あなた^{かみ}は神^{かみ}をひたすら
待^{まち}たなければなりません。

- 15 神^{かみ}は、怒^{いか}りを抱^{いだ}いて責^{せき}任^{にん}を問^とうこ
とはせ^とず、
め あま けいそつ き
目^めに余^{あま}るあなた^{けいそつ}の軽^き率^{そつ}さを気^きに
留^{とど}めることもしていません。

- 16 このような訳^{わけ}で、ヨブは無^む駄^だに口^{くち}
を大^{おお}きく開^{ひら}いて、
し おお ひら
知^しりもしないのに言^{こと}葉^ばを発^{はつ}し続^{つづ}
け^けます。

36 エリフは続^{つづ}けた。

- 2 「もうしばらく私^{わたし}の説明^{せつめい}を
しんぼう き
辛^{きん}抱^{ぼう}して聞^きいてください。

かみ はな こと ば
神^{かみ}のために話^{はな}したい言^{こと}葉^ばがまだ
あり^{あり}ます。

- 3 知^しっているこ^{こと}をい^とろい^あろ取^とり上^あ
げ^げて話^{はな}し、
わたし つく かた ただ せつめい
私^{わたし}を造^{つく}った方^{かた}の正^{ただ}しさ^{せつめい}を説^{せつめい}明^{めい}
ま^まし^まう。

4 事実、私の言葉は偽りではありません。

全てを知っている方に教わったことだからです。

5 言うまでもなく、神は力が強く、誰のことも見下しません。

神は優れた理解力を持っています。

6 神は悪人を生かしておくことはせず、

苦しむ人を公正に扱います。

7 神は正しい人たちから目を離さず、

王たちと共に王座に座らせ、それらの人たちが永遠に称賛されるようにします。

8 もし人が鎖につながれ、苦悩の網に捕らわれるなら、

9 神はその人がしたことを本人に明らかにし、

誇りのせいで犯した違反について告げます。

10 その人の耳を開いてその人を正し、

悪い行いをやめるようにと告げます。

11 人は、神に従い、仕えるなら、幸せな日々を過ごし、快い年月を送れます。

36:7 *もしかすると、「王たちを」。

第36章

(例) サー 2:3
ヨブ 37:16

(例) 詩 24:8
詩 99:4
エレ 32:18

(例) 詩 9:17
詩 68:2
ペニ 2:9

(例) 詩 10:14
詩 140:12
格 22:22, 23

(例) 詩 33:18
詩 34:15

(例) 詩 78:70, 71
詩 113:7, 8
イザ 9:7

(例) エゼ 18:30

(例) エレ 26:13

第2欄

(例) ヨブ 33:16-18
イザ 1:19, 20
ロマ 2:8

(例) 王 14:24

(例) 詩 55:23

(例) イザ 30:21

(例) 詩 18:19

(例) イザ 55:2

(例) 格 2:22
エレ 25:31

(例) 格 19:19
格 29:22

12 しかし従わないなら、剣によって滅び、何も知らないまま死ぬことになり

13 神を認めない人たちは憤りを募らせ、神に自由を奪われても、助けを求めて叫びません。

14 その人たちは神殿男婦たちの中で人生を送り、

若くして死にます。

15 神は、苦しむ人々をその苦悩から助け出します。

その人たちが虐げられている時に、その人たちの耳を開き

16 神は、あなたが苦難に遭う寸前で、

あなたを束縛のない広い所へ引き戻し、あなたを食卓の豊かな食物で元気づけてくださいます。

17 処罰が下されて公正が守られる時に、

あなたは悪人が処罰されるのを見て、気持ちりが治まります。

18 それで、憤りのままに恨みを抱くことがないよう気を付けてください。

36:12 *または、「遠くから飛ばして使う武器」。

36:13 *または、「背教者」。 36:14 *もしかすると、「終え」。

多額の賄賂によって道を踏み外

さないでください。

19 助けを求めて叫び、粘り強く努力

すれば、

苦難に遭わないで済むのでしょ
うか。

20 夜を待ち望んではなりません。

夜、人はそれぞれの所にいなく

なります。

21 悪に向かわないように用心してく
ださい。

苦悩したくないからといって、悪
を行おうとしてはなりません。

22 神には、強い力があります。

神のような教師がいるのでしょうか。

23 神に道を指し示した人はいま
すか。

『あなたがしたことは間違ってい
る』と神に言った人がいま

すか。

24 神の行いをたたえることを忘れ
ないでください。

神の行いについて人々は歌いま
した。

25 全ての人が神の行いを見ました。
死にゆく人間が遠くから見ます。

26 神の偉大さは私たちの理解をは
るかに超えています。

神の年の数はとうてい理解でき
ません。

第36章

(ヨ) ヨブ 34:20
詩 33:16
格 11:4

(イ) ヘブ 11:24, 25

(ヨ) イザ 40:14

(ヨ) ヨブ 34:10
口マ 9:14

(ヨ) 詩 92:5
詩 104:24

(ヨ) 出 15:1

(ヨ) 詩 145:3
詩 148:13
啓 15:3

(ヨ) 詩 90:2
詩 102:25-27
デモ一 1:17
ヘブ 1:10-12

第2欄

(ヨ) 創 2:6
アモ 5:8

(イ) 格 3:20
イザ 55:10
エレ 14:22

(ヨ) サ二 22:12

(ヨ) ヨブ 37:3

(ヨ) 使徒 14:17

(ヨ) サ二 22:15
詩 18:14
詩 144:6

第37章

(ヨ) ヨブ 37:11
詩 97:4

(ヨ) ヨブ 40:9
詩 29:3
詩 68:33

27 神は水の滴を持ち上げます。

水蒸気が集まって雨になります。

28 雲が降らせる雨は、
人の上に降り注ぎます。

29 雲がどのように広がるかを理解
できる人がいるのでしょうか。
神の天幕からとどろく雷鳴を理
解できる人がいますか。

30 神はご自分の天幕の上に稲妻を
走らせ、
深い海を水で覆います。

31 このようにして、神は人々を
養い、
食物を豊かに与えます。

32 神は稲妻を両手で包み込み、
標的に向かって放ちます。

33 雷は神について告げ、
家畜は誰が来るのかを告げます。

37 今、私の心臓は激しく鼓
動し、

私の中で大きく波打ちます。

2 とどろく神の声をよく聞いてくだ
さい。

神の口から発せられる雷鳴を。

3 神は天の下に雷鳴をとどろかせ、
地の果てにまで稲妻を送り出し
ます。

4 その後、ごう音が生じます。
神は威厳ある声をとどろかせ
ます。

36:23 *もしかすると、「神の道を批判した」、「神に弁明を求めた」。

36:26 *または、「計り知りません」。

36:29 *直訳、「仮小屋」。

36:31 *もしかすると、「人々の訴えを取り上げ」。

36:33 *もしかすると、「何」。

かみ いなづま かみ こえ
神は稲妻をとどめず、神の声は
ひび わた
響き渡ります。

- 5 神は驚くべき方法で声をとどろかせます。

かみ おこな いだい わたし
神が行う偉大なことは私たちの
り かい こ
理解を超えています。

- 6 神は雪に、『地上に降れ』と言い、

どしやぶ あめ はげ ふ
土砂降りの雨に、『激しく降れ』
といひます。

- 7 神は全ての人の活動を停止させ、
死にゆく人間全てにご自分の行
いをし
いを知らせます。

- 8 野生動物は巢に入り、
自分のすみかにとどまります。

- 9 暴風が吹き付け、
寒さが北風と共にやって来ます。

- 10 神の息によって氷ができ、
広大な水面は凍って固まります。

- 11 神は雲を水分で重くし、
雲の中で稲妻を走らせます。

- 12 雲は神に導かれて動き回り、
神が命じた通りのことを大地の
いた ところ おこな
至る所で行います。

- 13 神は雲を用いて、処罰し、土地を
うるお
潤し、
ゆ あい しめ
揺るぎない愛を示します。

- 14 ヨブ、聞いてください。
いま一度、神の素晴らしい偉業
かんが
についてじっくり考えてくだ
さい。

第37章

(ヨ) サニ 22:14

(イ) 伝 3:11
啓 15:3

(ヨ) 詩 147:16

(ヨ) アモ 9:6

(ヨ) 詩 104:3

(ヨ) 格 25:23

(ヨ) 詩 147:16

(ヨ) ヨブ 38:29,30

(ヨ) ヨブ 37:3

(ヨ) 詩 148:8

(ヨ) 出 9:23
サー 12:17,18(ヨ) 王一 18:45
ヨブ 36:29,31
ヨブ 38:25-27
ヤコ 5:17,18(ヨ) 詩 111:2
詩 145:5

第2欄

(ヨ) ヨブ 36:29

(イ) ヨブ 36:4
詩 18:30
詩 104:24

(ヨ) ルカ 12:55

(ヨ) イザ 44:24

(ヨ) ロマ 11:34

(ヨ) 代一 16:27
詩 8:1

- 15 神がどのように雲を操るか知って
いますか。

どのように稲妻を雲から放つか
知っていますか。

- 16 雲がどのようにして浮くのか知っ
ていますか。

これらは、全てを知っている方の
す ば いぎょう
素晴らしい偉業です。

- 17 南風が吹いて大地が静まる時、
衣服が熱くなるのはなぜですか。

- 18 神と共に大空を張り伸ばすこと
ができますか。

かた きんぞく かかみ そら
固い金属の鏡のような空を。

- 19 神に何と言えればよいかを教えてく
ださい。

わたし くらやみ なに い
私たちは暗闇にいるので何も言
えません。

- 20 あなたに話がある、と神に言う
でしょうか。

かみ し じじょう かみ つた
神が知らない事情を神に伝えた
ひと
人がいるでしょうか。

- 21 人は光を見ることさえできま
せん。

そら かかや
空で輝いていても、
かぜ くも ふ はら み
風が雲を吹き払わなければ見る
ことができません。

- 22 北から黄金の輝きが来ます。

かみ あつとうき いげん も
神は圧倒的な威厳を持ってい
ます。

37:15 *または、「に命じる」。 37:18 *または、「打ち延ばす」。 37:21 *太陽の光のこと。

23 全能者を理解することなど、わたし
 には到底できません。

神は偉大な力を持っており、
 ご自分の公正さと正しさを曲げ
 ことは決してありません。

24 それで、人は神を畏れなければ
 なりません。

神は、自分が賢いと思っ
 ている人、自分が賢いと思っ
 ている人に好意を示すことはありま
 せん。

38 そこでエホバは暴風の中か
 らヨブに言った。

2 「知らないのに言葉を発し、
 私の考えを覆い隠しているのは
 誰か。

3 男らしく、私の問いに向き合っ
 てみなさい。

私はあなたに質問しよう。あなた
 は私に答えなさい。

4 私が大地を据えた時、あなたは
 どこにいたのか。

おし
 教えてほしい。もし理解して
 いるのなら。

5 誰が大地の寸法を定めたのか、
 誰が大地の上に測り綱を伸ばし
 たのか、

もし知っているのなら教えてほ
 しい。

6 大地の受け台は何のなかに埋まっ
 ているのか。

誰が大地の隅石を据えたのか。

7 その時、明けの星が共に喜びの
 叫び声を上げ、

第37章

(イ) 詩 145:3
 伝 3:11
 ロマ 11:33

(イ) 代一 29:11
 ヨブ 36:22
 イザ 40:26

(イ) 申 32:4
 詩 33:5
 詩 37:28

(イ) 詩 11:7
 詩 71:19

(イ) 詩 38:8
 格 1:7
 マタ 10:28

(イ) 格 3:7
 マタ 11:25
 ロマ 11:20
 ロマ 12:16
 コー 1:26

第38章

(イ) 出 19:16,19
 王一 19:11

(イ) ヨブ 42:3

(イ) 創 1:1
 ネヘ 9:6
 詩 136:6
 格 8:29
 ヘブ 1:10

(イ) 詩 104:5

(イ) 啓 22:16

第2欄

(イ) 創 6:2
 王一 22:19
 ヨブ 1:6
 ヨブ 2:1
 詩 89:6

(イ) 詩 33:7
 格 8:29

(イ) 創 1:9
 エレ 5:22

(イ) 格 8:29

(イ) 創 1:5
 詩 74:16

(イ) ヨブ 24:15
 テサー 5:7

神の子たちが皆、称賛の叫び声
 を上げ始めた。

8 海水が、母の腹から出るのかよ
 うに湧き出た時、

誰がそれを扉でせき止めたのか。

9 その時、私は海の水に雲を着せ、
 濃い暗闇で包み込み、

10 海のための境界を定め、
 かんぬきと扉を据え、

11 こう言った。

『ここまでは来てよいが、これ以
 上はいけない。

あなたの荒波はここで止まる
 のだ。』

12 あなたは朝に対して命令を出し
 たことがあるか。

夜明けに対して、出てくるべき場
 所を教え、

13 地の果てまでも照らせ、
 悪人をそこから追い払わせたこ
 とがあるか。

14 大地は印章の下粘土のように
 姿を変え、
 そこにあるいろいろなものが衣
 服を着たかのようにはっきりと
 見えてくる。

15 悪人は自分たちの光を奪われ、
 高く上げた腕をおられる。

16 あなたは海の源まで下ったこと
 があるか。

38:7 * ヲブライ語の慣用句。神の天使たちを
 指す。

深海^{しんかい たんけん}を探検^(ア)したことがあるか。

- 17 死^しの門^{もん}があなたに明らか^{あき}にされ
たことがあるか。

深い^{ふか}闇^{やみ}の門^{もん}を見た^みことがあるか。^(イ)

- 18 大地^{だいち}の広^{ひろ}さを理解^{りかい}しているのか。^(ロ)
教^{おし}えてほしい。もし全^{すべ}てを知^しって

いるのなら。

- 19 どの方向^{ほうこう}に進めば、光^{ひかり}が住む所^{すどころ}
にたどり着^つけるのか。^(ハ)

また、闇^{やみ}の場所^{ばしょ}はどこか。

- 20 あなたはそれらを元^{もと}の領域^{りょういき}に戻^{もど}
せるのか。

それらの帰^{かえ}り道^{みち}を理解^{りかい}している
のか。

- 21 これらのことをあなたは知^しっている
のだろう。

当時^{とうじ}あなたはすでに生^うまれて
いて、

今^{いま}はとても年^{とし}を取^とっているのだ
から。

- 22 あなたは雪^{ゆき}の倉^{くら}に入^{はい}ったことが
あるか。^(ニ)

ひょうの倉^{くら}を見た^みことがあるか。^(ホ)

- 23 私は雪^{わたし ゆき}やひょうを、苦難^{くなん}の時の
ため、

戦^{たたか}いと戦争^{せんそう}の日のために蓄^{たくわ}えた。^(ヘ)

- 24 光^{ひかり}はどこから分散^{ぶんさん}するのか。

東風^{ひがしかぜ}はどこから来^きて地上^{ちじょう}に吹^ふ
くのか。^(ロ)

38:17 *または、「死の陰」。 38:24 *もしかすると、「稲妻」。

第38章

(ア) 創 1:2
詩 77:19

(イ) 詩 9:13
マタ 16:18

(ロ) ヨブ 10:21, 22

(ハ) 詩 74:17
詩 89:11

(ヘ) イザ 45:7

(ロ) ヨブ 37:6

(ホ) ヨシ 10:11
イザ 30:30

(ロ) 出 9:24
エゼ 13:13

(ロ) 詩 135:7

第2欄

(ア) ヨブ 28:26

(イ) 詩 104:13
詩 107:35

(ロ) 詩 147:7, 8

(ロ) サー 12:18
イザ 30:23
エレ 5:24

(ホ) 創 27:28

(ロ) 詩 147:16

(ホ) ヨブ 37:10

(ロ) アモ 5:8

(ロ) 格 3:19
エレ 31:35
エレ 33:25

- 25 誰^{だれ}が、洪水^{こうずい}のための水路^{すいろ}を開^{ひら}き、
雷雲^{らいうん}の通り道^{とちみち}をつくったのか。^(イ)

- 26 誰^{だれ}が、人^{ひと}が住んでいない所^{ところ}や、
人^{ひと}がいない荒野^{こうや}に雨^{あめ}を降^ふらせる
のか。^(ロ)

- 27 誰^{だれ}が、荒^あれた原野^{げんや}を潤^{うるお}し、
草^{くさ}を芽生^{めば}えさせるのか。^(ロ)

- 28 雨^{あめ}には父^{ちち}親^{おや}がいるか。
露^{つゆ}を生じさせたのは誰^{だれ}か。^(ロ)

- 29 氷^{こおり}は誰^{だれ}の腹^{はら}から出^でてきたのか。
天^{てん}の霜^{しも}を産^うんだのは誰^{だれ}か。^(ロ)

- 30 誰^{だれ}が、水^{みず}を石^{いし}で覆^{おお}うかのように
隠^{かく}し、
深^{ふか}い水^{みず}の表面^{ひょうめん}を固^{かた}く凍^{こお}らせた
のか。^(ホ)

- 31 あなたはキマ星^{せいざ}座^ざを結び合^あわせ
ておけるか。
ケシル星^{せいざ}座^ざの綱^{つな}をほどこことがで
きるか。^(ロ)

- 32 あなたは季^き節^{せつ}に沿^そって星^{せいざ}座^ざを引
き出^だせるか。
アシ星^{せいざ}座^ざとその子^こたちを導^{みちび}くこと
ができるか。

- 33 あなたは天^{てん}体^{たい}を統^{とう}御^ぎする法^{ほう}則^{そく}を
知^しっているか。^(ロ)
天^{てん}体^{たい}に働^{はたら}き掛^かけて地^ち上^{じょう}に影^{えい}響^{きやう}
を及^{およ}ぼすようにできるか。

38:31 *おうし座のプレアデス星団のこともし
れない。 * オリオン座のこともかもしれない。 38:
32 * 直訳、「マザロト」。王二 23:5では、関連し
た表現の複数形が黄道帯の星座を指して用い
られている。 * おおぐま座のこともかもしれない。
38:33 * 直訳、「天」。 * もしかすると、「神」。

34 声^{こゑ}を上げて雲^あに話し掛^{くも はな か}け、
雨^{あめ}を洪水^{こうずい}のように降^ふらせることが
できるか。

35 稲妻^{いなずま}を送^{おく}り出すことができるか。
それはあなた^いの所^{ところ}に来て、『ここ
におります』と言うか。

36 誰^{だれ}が雲^{くも}の中に知恵^{ちえ}を置^おいたか。
誰^{だれ}が空^{そら}の現象^{げんしょう}に理解^{りかい}力^{りよく}を与^{あた}え
たか。

37 誰^{だれ}が雲^{くも}を数^{かぞ}えることができるほど
に賢^{かしこ}いか。
誰^{だれ}が天^{てん}の水^{みづ}がめを傾^{かたむ}けることが
できるか。

38 誰^{だれ}が、土^{つち}を注^{そそ}ぎ出して塊^{かたまり}にし、
地面^{じめん}の土^{つち}くれがくつつき合うよう
にするのか。

39 あなたはライオン^{えもの}のために獲物^{えもの}
を狩^かることができるか。
若いライオン^{わか}の食欲^{しょくよく}を満^みたせ
るか。

40 ライオン^{み ひそ}がすみかに身^みを潜^{ひそ}め、
隠^{かく}れ場^ばで横^{よこ}になって待^{まち}ち伏^ぶせす
る時^{とき}に。

41 誰^{だれ}がワタリガラス^たに食^{もの}べ物^{もの}を備^{そな}
えるか。

ワタリガラス^この子^こが、食^たべ物^{もの}がな
くてさまよい、

神^{かみ}にたず^{たず}ねを求^{もと}めて叫^{さけ}ぶ時^{とき}に。

39 あなたは山^{やま}やギ^こが子^うを産^うむ
時^{とき}を知^しっているか。

38:36 *もしかすると、「人」。*もしかすると、
「人の頭」。

第38章

(7) ゼカ 10:1

(1) エレ 10:12

(7) 詩 136:5
格 3:20

(12) エレ 10:13

(7) 詩 104:21
詩 145:15, 16
ナホ 2:12(7) 詩 147:9
マタ 6:26
ルカ 12:24

第39章

(7) 詩 104:18

第2欄

(7) 詩 29:9

しか 鹿^{しか}が子^こを産^うむのを見^みたことがあ
るか。

2 それらが生まれるまでの月日^{つきひ}を
数^{かぞ}えることができるか。

子^こを産^うむ時^{とき}を知^しっているか。

3 それらは身^みをかがめて子^こを産^うみ、
産^うみの苦^{くる}しみは終^{はら}わる。

4 生まれ^うれた子^こは、野原^{の はら}でたくましく
成長^{せいちょう}し、

親^{おや}のもとを離^{はな}れて帰^{かえ}らない。

5 誰^{だれ}が野口^のバを自由^{じゆう}にし、野口^のバ
の綱^{つな}を解^といたか。

6 私は砂漠^{わたし さばく}平原^{へいげん}を野口^のバの家^{いえ}
とし、
不毛^{ふもう}な土地^ちを野口^のバのすみかと

した。

7 野口^のバは町^{まち}の騒^{さわ}ぎをあざ笑^{わら}い、
追^おい立^たてる人^{ひと}の叫^{さけ}び声^{こゑ}を聞^きか
ない。

8 丘^{おか}を駆^かけ回^{まわ}り、
草^{くさ}地^ちとあらゆる緑^{みどり}の植^{しょくぶつ}物^さを探^{さが}す。

9 野牛^{やぎゅう}はあなた^{じぶん}に自分^{つか}から仕^{つか}える
だろうか。

あなた^{うし}の牛^{うし}小屋^やで夜^よを過^あぐすだ
ろうか。

10 あなた^{やぎゅう}は野牛^{つな}を綱^ひで引^ひいて敵^{うね}に
導^{みちび}けるか。

野牛^{やぎゅう}はあなた^つに付^たいていって谷^{たに}
を耕^{たがや}すだろうか。

11 あなたは野牛^{やぎゅう}の力^{ちから}強^{つよ}さに頼^{たよ}り、

39:5 *または、「オナガー」。39:6 *直訳、「塩
の」。39:9 *または、「飼い葉おけ」。

(7) 申 33:17

自分の重労働を任せるだろうか。

- 12 それがあなただの収穫物を持ち
帰り、
脱穀場に集めてくれるのを期待
するか。

- 13 ダチョウは翼を楽しげに羽ばた
かせる。

しかし、その翼はコウノトリの羽
や羽毛にかなうだろうか。

- 14 ダチョウは卵を地面に残し、
土の中でそれを温める。

- 15 何かにそれが踏まれることや、
野生動物に踏みつけられること
を考えはしない。

- 16 ダチョウは自分のひなを荒く扱
う。自分の子ではないかのよ
うに。
苦労が無駄になることを気にし
ない。

- 17 神が知恵を奪ったからだ。
理解力を与えることはしな
かった。

- 18 とはいえ、ダチョウは羽ばたいて
走り、
馬と乗り手をあざ笑う。

- 19 馬に強さを与えるのはあなたな
のか。

さらさらと鳴るたてがみを首にま
とわせるのはあなたなのか。

- 20 あなたは馬をバッタのように跳び
はねさせることができるか。
馬の荒々しい鼻息は恐ろしい。

第39章

(㉑) 詩 104:17
ゼカ 5:9

(㉑) 哀 4:3

(㉑) 詩 147:10
イザ 31:1

(㉑) エレ 8:16

第2欄

(㉑) 裁 5:22
詩 32:9

(㉑) 格 21:31
エレ 46:9
エレ 47:3
ハバ 1:8

(㉑) イザ 5:28
エレ 8:6

(㉑) エレ 46:4

(㉑) 格 23:5
イザ 40:31

(㉑) エレ 49:16
オバ 4

(㉑) ヨブ 9:26
エレ 49:22

(㉑) マタ 24:28

- 21 馬は谷で地面をかき、強さを
誇る。

戦いに向けて疾走する。

- 22 おびえることなく、恐ろしいことを
あざ笑う。

剣のせいでも引き返したりはし
ない。

- 23 矢筒は馬に当たって音を立てる。
やりと投げやりはきらめく。

- 24 馬は興奮して身震いし、勢いよく
前進する。

角笛の音を聞いてじっとしてい
られない。

- 25 角笛が鳴ると、大声でいなく。
遠くから戦いを嗅ぎつけ、
司令官の大きな声とときの声を
聞き付ける。

- 26 ハヤブサが舞い上がり、南に向
かって翼を広げるのは、
あなたの理解力によるのか。

- 27 ワシが飛び立ち、高い所に巢を
作るのは、
あなたの命令によるのか。

- 28 ワシは崖の上で夜を過ごし、
険しい岩場の上的安心できる所
にすむ。

- 29 そこから食物を探す。
目ではるか遠くまで見通す。

- 30 ワシのひなは血を吸う。
死体がある場所にはワシが
いる。

39:24 *もしかすると、「を信じない」。

39:17 *直訳、「忘れさせた」。

40 エホバは引き^ひつづ^{つづ}きヨブに
言^いった。

2 「人が全能者の非^ひを見^みつけ、争^{あらそ}え
るのか。

かみ いまし
神を戒めたいのなら、述^のべてみ
なさい」。

3 ヨブはエホバに答^{こた}えた。

4 「ご覧^{らん}ください、私^{わたし}は取^とるに足^た
りない者^{もの}です。

何^{なん}とお答^{こた}えしましょう。

て くち お
手で口を押さえるしかありま
せん。

5 1度^ど、いえ2度^ど話^{はな}しましたが、もう
話^{はな}しません。

なに い
何も言^いいません」。

6 そこでエホバは暴風^{ぼうふう}の中^{なか}からヨ
ブに言^いった。

7 「男^{おとこ}らしく、私^{わたし}の問^といに向^むき合^あ
てみなさい。

わたし しつもん
私はあなたに質^{しつもん}問^{もん}しよう。あなた
は私^{わたし}に答^{こた}えなさい。

8 あなたは、私^{わたし}の公^{こう}正^{せい}さに疑^ぎ問^{もん}を
投^なげ掛^かけるのか。

じぶん ただ わたし ゆう
自分の正^{せい}しさのために、私^{わたし}を有^{ゆう}
罪^{ざい}呼^よばわりするのか。

9 あなたの腕^{うで}は、真^{しん}の神^{かみ}の腕^{うで}と同^{おな}
じほど強^{つよ}いのか。

あなたの声^{こえ}は、神^{かみ}の声^{こえ}のようにと
どろくのか。

10 輝^{かがや}く威^い光^{こう}で身^みを飾^{かざ}ってみなさい。

40:8 *または、「を無効にする」。

第40章

(7) ヨブ 33:12, 13
イザ 45:9

(4) ヨブ 13:3
ヨブ 23:3-5
ヨブ 31:35

(7) ヨブ 42:5, 6

(4) 詩 39:9
格 30:32

(7) ヨブ 38:1

(7) ヨブ 38:3
ヨブ 42:4

(4) 詩 51:4
ロマ 3:4

(7) 出 15:6
詩 89:13
イザ 40:26
コー 10:22

(7) ヨブ 37:4
詩 29:3

どうどう いげん
堂々たる威^い厳^{げん}をまといなさい。

11 あなたの激^{げき}しい怒^{いか}りを解^とき放^{はな}
なさい。

ごうまん ひと ひとり み お
傲慢^{ごうまん}な人^{ひと}を一人^{ひとり}も見^み落^おとさずに
卑^{いや}しめなさい。

12 傲慢^{ごうまん}な人^{ひと}を一人^{ひとり}も見^み落^おとさずに
自信^{じしん}を失^{うしな}わせなさい。

あくにん み しだいふ
悪^{あく}人^{にん}を見^みつけ次第^{しだい}踏^ふみにじりな
さい。

13 その人^{ひと}たちを皆^{みな}、土^{つち}の中^{なか}に隠^{かく}し、
人^{ひと}目^めにつか^とない所^{ところ}に縛^{しば}っておき

なさい。

14 そうすれば、私^{わたし}はあなたを認^{みと}
めよう。

あなたは自分^{じぶん}の右^{みぎ}手^てで自分^{じぶん}を守^{まも}
れるのだから。

15 さて、ベヘモト^{*}の話をしよう。

あなたと同じ^{おな}ように、ベヘモトも
私^{わたし}がつく
私^{わたし}が造^{つく}った。

それは雄牛^{おうし}のように草^{くさ}を食^たべる。

16 腰^{こし}の頑^{がん}丈^{じょう}さと、腹^{はら}の筋^{きん}力^{りき}に注^{ちゅう}目^{もく}
しなさい!

17 尾^おは杉^{すぎ}のように固^{かた}く、ももの筋^{すじ}は
織^おり合^あわされている。

18 骨^{ほね}は銅^{どう}の管^{くだ}、手^て足^{あし}は鉄^{てつ}の棒^{ぼう}のよ
うだ。

19 ベヘモトは神^{かみ}が造^{つく}った物^{もの}のうち
筆^{ひつ}頭^{どう}に挙^あげられる。

それを造^{つく}った者^{もの}だけが、剣^{つるぎ}を携^{たずさ}
えてそれに近^{ちか}づける。

40:14 *または、「褒め」。 40:15 *カバのこと
かもしれない。

- 15 背^せ中^{なか}にはうろこ^{れつ}が列^なを成^なして
おり、
隙^{すき}間^まなく封^{ふう}じられてい^いる。
- 16 一つ^{ひと}一つ^{ひと}がび^ひたりとく^くつつき、
空^{くう}気^きさえ入^{はい}り込む^こことはない。
- 17 互^{たが}いに張^はり付^つき、密^{みつ}着^{ちやく}してい^いて引^ひ
き離^{はな}せない。
- 18 レビヤタンの鼻^{はな}息^{いき}は光^{ひかり}を放^{はな}ち、
目^めは夜^よ明^あけの光^{ひかり}のよう^{やう}だ。
- 19 口^{くち}からは稲^{いな}妻^{ずま}の光^{ひかり}が出^でてい^いき、
火^ひ花^{ばな}が飛^とび出^だす。
- 20 鼻^{はな}からは煙^{けむり}が立^たち上^{のぼ}る。
イグサを炉^ろで燃^もやすか^かのよう^{やう}に。
- 21 息^{いき}をすれ^{すみ}ば炭^{すみ}が燃^もえ上^あがり、口^{くち}
から炎^{ほのお}が出^でる。
- 22 首^{くび}はとて^{かんじよう}も頑^い丈^{さきざき}で、行^きく先^{きよう}々に恐^{おそ}
怖^{おそ}を巻^まき起^{おこ}す。
- 23 皮^ひ膚^ふは互^{たが}いにし^しっかりとく^くつつい
てお^おり、
鑄^{ちゆうぞう}造^{ぞう}された物^{もの}のよう^{やう}に固^{かた}く、動^{うご}
く^くことがない。
- 24 心^{しんぞう}臓^{ざう}は石^{いし}のよう^{やう}に、臼^{うす}の下^{した}石^{いし}の
よう^{やう}に丈^{じようぶ}夫^ふだ。
- 25 レビヤタンが起^おき上^あがると、強^{きようじん}韌^{にん}
な人^{ひと}でさ^{おそ}えも恐^{おそ}れる。
- あば まわ ひと
暴^{あば}れ回^{まわ}ると、人^{ひと}はう^うろた^たえる。
- 26 剣^{つるぎ}で攻^{こう}撃^{げき}しても制^{せい}圧^{あつ}できず、
や^なりも投^なげ矢^やも矢^や尻^{じり}も、歯^はが立^た
たない。
- 27 レビヤタンにとつては、鉄^{てつ}はわ^わら、
銅^{どう}は腐^{くさ}った木^き。

41:15 *もしかすると、「うろこの列が自慢であり」。

第41章

㊦ ヨブ 41:7

第2欄

㊦ イザ 41:15

第42章

㊦ 創 18:14
詩 135:6
イザ 43:13
イザ 55:10, 11
エレ 32:17
マル 10:27
ルカ 18:27

- 28 矢^やを放^{はな}たれても逃^にげ去^さりはし
ない。
石^{いし}投^なげ器^きの石^{いし}もわ^わらに^か変わる。
- 29 こん棒^{ぼう}をわ^わらである^みか^かのよう^{やう}に見^み
なし、
投^なげや^やりのう^{おと}なる音^{おと}をあ^わぎ笑^{わら}う。
- 30 腹^{はら}はとが^どった土^ど器^き片^{へん}のよう^{やう}だ。
だ^だっ^くく^く㊦ ㊦ 脱^{だつ}穀^{こく}そ^そりのよう^{やう}に、泥^{どろ}に跡^{あと}を残^{のこ}し
てい^いく。
- 31 レビヤタンは深^{ふか}い水^{みづ}を鍋^{なべ}のよう^{やう}
に沸^わき立^たたせ、
う^うみ^みこ^こう^うゆ^ゆな^なべ^なま^ま
海^{うみ}を香^{かう}油^ゆの鍋^{なべ}のよう^{やう}にか^かき混^ま
ぜ^ぜる。
- 32 通^{とお}った後^{あと}にはき^しらめ^めきが生^{しょう}じる。
ひ^ひと^とふ^ふか^かみ^みず^ずし^しら^らが^がお^{おも}も^も
人^{ひと}は深^{ふか}い水^{みづ}に白^{しろ}髪^ががある^{ある}と思^{おも}う
だ^だらう。
- 33 レビヤタン^{ちじよう}のよう^{やう}な物^{もの}は地^ち上^{じよう}に
い^いない。
お^おそ^そし^しい^いもの^{もの}つ^{つく}
恐^{おそ}れを知^しらない生^いき物^{もの}として造^{つく}ら
れた。
- 34 誇^{ほこ}り高^{たか}い動^{どう}物^{ぶつ}を全^{すべ}てにら^らみ付^つ
ける。
す^すべ^べい^いさ^さや^やじ^じゅう^{ゅう}お^おさ^さお^{おう}
全^{すべ}ての勇^{ゆう}ま^ましい野^や獣^{じゅう}を治^{おさ}める王^{おう}
である。

42 ヨブはそれを聞いてエホバ
に言^いった。

- 2 「私^{わたし}は今^{いま}分^わかりました。
あ^{なん}なたは何^{なん}でも行^{おこな}うことがで^できる
か^かた^た方^{かた}です。
あ^{おこな}なたが行^{おこな}おうとす^すること^{こと}で、あ^あ
な^なたに不^ふ可^か能^{のう}なこ^ことはあ^ありま^ま
せ^{せん}ん。

3 あなたはこうおっしゃいました。
『知らないのに、私の考えを覆い
隠しているのは誰か』。

わたしはな話しましたが、分かっています
ませんでした。

あまりにも素晴らしい事実を理
解していませんでした。

4 こうもおっしゃいました。
『どうか聞いてほしい。私が話
そう。

あなたに質問しよう。あなたは私
に答えなさい』。

5 あなたのことを耳で聞いてはい
ましたが、
今ではあなたをこの目で見ており
ます。

6 それで、言ったことを撤回し、
後悔して土と灰をかぶります』。

7 エホバはヨブに話した。エ
ホバはテマン人エリパズにこう言った。
「私の怒りは、あなたとあなたの2人
の友人に対して燃えている。あなたた
ちは、私に仕えるヨブとは異なり、私に
ついて真実を語らなかった。8 さあ、
雄牛7頭と雄羊7匹を連れて、私に仕
えるヨブの所に行き、自分たちのため
に全焼の犠牲を捧げなさい。私に仕
えるヨブがあなたたちのために祈る。
愚かなことをしたあなたたちを処罰し
ないでほしいと。私はその願いを必ず
聞き入れる。あなたたちは、私に仕え
るヨブとは異なり、私について真実を
語らなかった」。

第42章
(例) ヨブ 38:2

(例) 詩 40:5
詩 139:6

(例) ヨブ 38:3
ヨブ 40:7

(例) ヨブ 40:4

(例) エズ 9:6
詩 51:17

(例) ヨブ 2:11

(例) ヨブ 11:6
ヨブ 15:14, 15
ヨブ 22:2, 3

(例) 創 20:17
ヤコ 5:15

第2欄
(例) マタ 6:14

(例) ヨブ 2:6, 7
ヤコ 5:11

(例) 創 32:10
サー 2:7
代 25:9
格 22:4
イザ 61:7

(例) ヨブ 19:13

(例) 格 3:33
格 10:22
ヘブ 11:6
ヤコ 5:11

(例) ヨブ 1:3

(例) ヨブ 1:1, 2

9 テマン人エリパズ、シュア人ピ
ルダド、ナアマ人ツォファルは行って、
エホバに言われた通りにした。エホ
バはヨブの祈りを聞き入れた。

10 ヨブが友人たちのために祈つ
た後、エホバはヨブの苦難を取り去り、
再び豊かな生活を送らせた。エホバ
は、ヨブが以前に持っていた物を、2倍
にして与えた。11 ヨブの兄弟姉妹
やかつての友人が皆やって来て、ヨブ
の家で一緒に食事をした。皆は、エホ
バがヨブの身に生じるままにしたさま
ざまな災難のことで、同情して慰めた。
一人一人がヨブに、お金と金の輪1つ
を贈った。

12 エホバがヨブを祝福したので、
ヨブの残りの人生は以前よりも豊かに
なった。ヨブは、羊1万4000匹、ラク
ダ6000頭、牛1000対、雌口バ1000
頭を持つようになった。13 さらに、
息子7人と娘3人を持つようになった。

14 そして長女をエミマ、次女をケツィ
ア、三女をケレン・ハプクと名付けた。

15 ヨブの娘たちほど美しい女性はど
の地方にもいなかった。娘たちは兄
弟たちと同じように父親から財産をも
らった。

16 こうしてヨブはさらに140年生
き、自分の子供と孫、4世代を見た。

17 ヨブは長生きして充実した日々を
送り、やがて生涯を終えた。

42:10 * 直訳、「エホバは捕らわれていたヨブを
戻した」。

概要

- 1 2つの道の対比
神の律法を読む人は幸せ (2)
正しい人は実を結ぶ木のように (3)
悪人は吹き払われるもみ殻のよう (4)
- 2 エホバと、神が選んだ者
エホバは国々をあざ笑う (4)
エホバは王を立てる (6)
神の子を敬え (12)
- 3 危険が迫る中での神への確信
なぜ敵対者がこれほど多いのですか (1)
「救うのはエホバ」 (8)
- 4 神に頼る祈り
「心を乱されるとしても、罪を犯してはならない」 (4)
私は穏やかに眠ります (8)
- 5 エホバ、正しい人の避難所
神は悪を憎む (4, 5)
私に正しい歩みをさせてください (8)
- 6 恵みを求める願い
死んだ人は神を賛美しない (5)
神は恵みを求める願いを聞いてくださる (9)
- 7 エホバは正しく裁く方
「私を裁いてください、エホバ」 (8)
- 8 神の栄光と人の尊厳
あなたの名ほど荘厳なものはない (1, 9)
死にゆく人間は何者なのか (4)
人は輝く冠を授けられた (5)
- 9 神の素晴らしい偉業を語る
エホバ、安全な避難所 (9)
神の名を知っている人は神に頼る (10)
- 10 エホバは無力な人を助ける方
悪人は「神などいない」と決め付ける (4)
無力な人はエホバに目を向ける (14)
エホバは永遠に王 (16)
- 11 エホバのもとに避難する
「エホバは聖なる神殿にいる」 (4)
神は暴力を愛する人を憎む (5)
- 12 エホバは立ち上がって行動する
神の言葉は清い (6)
- 13 エホバの救いを切望する
エホバ、いつまでですか (1, 2)
エホバは豊かに報いてくださる (6)
- 14 愚かな人について
「エホバはいない」 (1)
「善いことを行う人は誰もいない」 (3)
- 15 エホバの天幕にとどまるのは誰か
心に真実を語る人 (2)
中傷しない人 (3)
損失を被るとしても約束を守る人 (4)
- 16 良いものは全てエホバから来る
「エホバが私の全て」 (5)
夜、自分の考えによって正される (7)
エホバが右にいてくださる (8)
「あなたは私を墓に放っておかない」 (10)
- 17 保護を求める祈り
あなたは私の心を調べました (3)
「あなたの翼の陰に」 (8)
- 18 救いの神を賛美する
「エホバは私の大岩」 (2)
エホバは、揺るぎない愛を示す人に、揺るぎない愛を示す (25)
神の道は完全 (30)
「私が優れた者になれるのはあなたが謙遜だから」 (35)
- 19 神の創造物と律法は語る
天は神の栄光を知らせる (1)
神の完全な律法は力を吹き込む (7)
「気付かずに犯した罪」 (12)
- 20 神が任命した王の勝利
ある人は兵車や馬に頼るが、私たちはエホバの名を呼ぶ (7)
- 21 エホバに頼る王は祝福される
長く続く命が王に与えられる (4)
神の敵は敗北する (8-12)
- 22 嘆きから賛美へ
「私の神、なぜ私を見捨てたのですか」 (1)
「私の衣服のためにくじを引く」 (18)
会衆の中で神を賛美する (22, 25)
世界中の人々は神を崇拝する (27)

- 23 「エホバは私の牧者」
「私は何も不足しない」(1)
「力を取り戻す」(3)
「私の杯は満たされる」(5)
- 24 栄光の王が門から入る
地球はエホバのもの(1)
- 25 導きと許しを求める祈り
あなたの道をどう歩むべきかを教えてください(4)
エホバを親しい友とする(14)
「私の全ての罪を許してください」(18)
- 26 高潔さを捨てずに歩む
エホバ、私を調べてください(2)
悪い交友を持たない(4, 5)
神の祭壇の周りを歩く(6)
- 27 エホバ、私の命のとりで
神の神殿を感嘆して眺める(4)
たとえ親に見捨てられても、エホバが世話してください(10)
「希望を抱いてエホバを待て」(14)
- 28 詩編作者の祈りは聞かれる
「エホバは私の力、私の盾」(7)
- 29 エホバの力強い声
聖なる装いをして崇拜する(2)
「栄光の神は雷鳴をとどろかせる」(3)
エホバはご自分の民を力づける(11)
- 30 嘆きが喜びに変わる
神の恵みは生涯に及ぶ(5)
- 31 エホバのもとに避難する
「私は命をあなたの手に託す」(5)
「真理の神エホバ」(5)
神はとても善い方(19)
- 32 許される人は幸せ
「自分の罪をあなたに告白した」(5)
神は洞察力を与える(8)
- 33 創造者への賛美
「神に新しい歌を歌え」(3)
エホバの言葉と息によって創造される(6)
エホバの国民は幸せ(12)
エホバは目を向ける(18)
- 34 エホバはご自分に仕える人を助け出す
「共に神の名をたたえよう」(3)
エホバの天使が保護する(7)
- 「エホバが善い神であることを味わい知れ」(8)
骨は1本も折られない(20)
- 35 敵からの救出を求める祈り
敵は追い払われる(5)
群衆の中で神を賛美する(18)
不当に憎まれる(19)
- 36 神の揺るぎない愛は貴い
悪人は神を畏れない(1)
神は命の源(9)
「あなたの光によって私たちは光を見ます」(9)
- 37 エホバに頼る人は成功する
悪を行う人に腹を立ててはならない(1)
「エホバに仕えるのは最高の喜び」(4)
あなたの道をエホバに委ねよ(5)
温厚な人は地上に住み続ける(11)
正しい人はパンに事欠かない(25)
正しい人は地上で永遠に暮らす(29)
- 38 悔い改め、苦悩している人の祈り
「苦しみ、すっかりふさぎ込む」(6)
エホバはご自分を待つ人に答えてくださる(15)
「自分の罪について思い悩んだ」(18)
- 39 命の短さ
人は単なる息にすぎない(5, 11)
「私の涙を無視しないでください」(12)
- 40 他とは比較にならない神に感謝する
神の偉業はあまりに多くて語り尽くせない(5)
神が最も重視するのは犠牲ではない(6)
「あなたの望まれることを喜んで行います」(8)
- 41 病に伏せている時の祈り
病気の時に神が支えてくださる(3)
親しい仲間と裏切られる(9)
- 42 偉大な救い主である神への賛美
水を求める鹿のように神を求める(1, 2)
「なぜ私は絶望しているのだろう」(5, 11)
「神を待て」(5, 11)
- 43 神が裁いて助け出す
「あなたの光と真理を送り出してください」(3)
「なぜ私は絶望しているのだろう」(5)

- 「神を待て」(5)
- 44 助けを求める祈り
私たちを救ったのはあなた(7)
「ほふられる羊のよう」(22)
「立ち上がってください、私たちを助ける方として」(26)
- 45 任命された王の結婚
快い言葉(2)
神は永遠にあなたの王座(6)
王は花嫁の美しさに引かれる(11)
子たちは全世界で高官になる(16)
- 46 「神は私たちの避難所」
神の驚くべき行い(8)
神は地上の全ての場所で戦いを終わらせる(9)
- 47 神は地球全体を治める王
「エホバは威厳に満ちる方」(2)
神を賛美して歌え(6, 7)
- 48 シオン、偉大な王の都
地上の全ての人の喜びとなるもの(2)
都とその塔を調べる(11-13)
- 49 富に頼ることの愚かさ
人は誰も他の人を買戻せない(7, 8)
神は墓から救ってください(15)
富は人を死から救えない(16, 17)
- 50 神はご自分に尽くす人と悪人を裁く
犠牲に基づく神との契約(5)
「神こそが裁く方」(6)
全ての動物は神のもの(10, 11)
神は悪人の悪事を暴く(16-21)
- 51 悔い改めた人の祈り
母が私を身ごもった時から罪深い(5)
「私を罪から清めてください」(7)
「私の内に清い心をつくってください」(10)
神に喜ばれるのは打ちのめされた心(17)
- 52 神の揺るぎない愛に頼る
悪い行いを誇る人への警告(1-5)
神を敬わない人は富に頼る(7)
- 53 愚かな人について
「エホバはいない」(1)
「善いことを行う人は誰もいない」(3)
- 54 敵の中で助けを求める祈り
「神は私を助ける方」(4)
- 55 友に裏切られた人の祈り
親友にあざけられる(12-14)
「重荷をエホバに委ねよ」(22)
- 56 迫害された時の祈り
「神に頼る」(4)
「私の涙をあなたの革袋に」(8)
「単なる人間が私に何を行えるというのだろうか」(4, 11)
- 57 親切を示してほしいと願う
神の翼の下に避難する(1)
敵は自分で仕掛けたわなに落ちる(6)
- 58 地上の人々を裁く神がいる
悪人の処罰を求める祈り(6-8)
- 59 神は盾であり避難所
「反逆者には憐れみを示さないでください」(5)
「あなたの力について歌います」(16)
- 60 神は敵を屈服させる
人間に救いを求めても無駄(11)
「神によって私たちは力を得ます」(12)
- 61 神は敵から守る強固な塔
私はあなたの天幕にとどまる(4)
- 62 本当の救いは神から来る
「私は黙って神を待つ」(1, 5)
「あなたの気持ちを全て神に伝えよ」(8)
人はただの息(9)
資産に頼ってはならない(10)
- 63 神を慕う
「あなたの揺るぎない愛は命よりも価値がある」(3)
最良の部分に満足する(5)
夜、神について思い巡らす(6)
神にしっかり付く(8)
- 64 巧妙な攻撃からの保護
「神は彼らを矢で射る」(7)
- 65 神は地球に気を配る
「祈りを聞く方」(2)
あなたに選ばれる人は幸せ(4)
神は良いものを豊かに与える(11)
- 66 神は驚くことを行う
「来て、神が行ったことを見よ」(5)
「あなたへの誓約を果たす」(13)
神は祈りを聞く(18-20)

- 67 地の果てに至るまで、人々は神を畏れる
神の道は知られる (2)
全ての民が神を賛美しますように (3, 5)
「神は祝福してください」(6, 7)
- 68 神の敵が散らされますように
「孤児の父」(5)
神は孤独な人に家を与える (6)
良い知らせを広める女性たち (11)
人々という贈り物 (18)
「毎日私たちの荷を負ってくださいエホバ」
(19)
- 69 救出を求める祈り
「あなたの家に対する熱い思いを抑え切れ
なかった」(9)
「急いで教えてください」(17)
「酢が与えられた」(21)
- 70 急いで助けてほしいという願い
「私のために、急いで行動してください」(5)
- 71 老齢の人の確信
若い時から神を信頼してきた (5)
「衰えていく時に」(9)
神は私が若い時から教えてくださった (17)
- 72 神の王の平和な統治
正しい人たちは幸せに暮らす (7)
統治は海から海に及ぶ (8)
暴力から人を助け出す (14)
地上には穀物が豊かに実る (16)
神の名は永遠に賛美される (19)
- 73 神を敬う人が正しい見方を取り戻す
「私の足はもう少しでそれていくところだっ
た」(2)
「私は一日中思い悩んだ」(14)
神の聖なる所に入るまでは (17)
悪人は滑りやすい土地にいる (18)
神に近づくのは良いこと (28)
- 74 神に民を思い出してくださいのための祈り
神による救いを思い起こす (12-17)
敵があざけつたことを思い出してください
(18)
- 75 神は公平に裁く
悪人はエホバの杯から飲む (8)
- 76 シオンの敵に対する神の勝利
神は温厚な人を救う (9)
敵は意気をくじかれる (12)
- 77 苦難の時の祈り
神の行いを思い巡らす (11, 12)
神よ、あなたほど偉大な方がいるでしょ
うか (13)
- 78 神の世話と、イスラエルの信仰の欠如
将来の世代に伝える (2-8)
神に信仰を持たなかった (22)
「天の穀物」(24)
「イスラエルの聖なる方を悲しめた」(41)
エジプトから約束の地へ (43-55)
神に挑み続けた (56)
- 79 神の民が国々に攻められた時の祈り
「非難の的となった」(4)
あなたの名のために助けてください (9)
「7倍の報復をしてください」(12)
- 80 回復させてくださるようイスラエルの牧者に
願う
「神よ、私たちを回復させてください」(3)
イスラエルは神のブドウの木 (8-15)
- 81 従うようにとの勧め
外国の神を崇拝してはならない (9)
「私の言うことを聞きさえすれば」(13)
- 82 公正な裁きを促す
神は神々の中で裁く (1)
立場が低い人を守れ (3)
「あなたたちは神」(6)
- 83 敵が迫っている時の祈り
「神よ、沈黙しないでください」(1)
敵は風に巻かれるアザミのよう (13)
神の名はエホバ (18)
- 84 神の偉大な幕屋を慕う
レビ族の人は鳥のようにになりたいと願う (3)
「あなたの庭での1日」(10)
「神は太陽、盾」(11)
- 85 回復を願う祈り
神はご自分に尽くす人たちに平和を語
る (8)
揺るぎない愛と真実が出会う (10)
- 86 エホバのような神はいない
エホバは快く許す (5)
全ての国の人々がエホバを崇拝する (9)
「あなたの道を教えてください」(11)
「私の心を一つにしてください」(11)

- 87 シオン、真の神の都
シオンで生まれた者たち (4-6)
- 88 死から守ってくださるようにとの祈り
「命は今にも墓に落ちそう」(3)
「私の祈りは毎朝あなたに届きます」(13)
- 89 エホバの揺るぎない愛を歌う
ダビデとの契約 (3)
ダビデの子孫は永遠に途絶えない (4)
神に任命された者は神を父と呼ぶ (26)
ダビデとの契約は確実なもの (34-37)
人は墓から逃れられない (48)
- 90 永遠の神と短命の人間
1000年は昨日のよう (4)
人の寿命は70年から80年 (10)
「どうすれば一日一日を大切にできるか教えてください」(12)
- 91 神の隠れがで保護される
鳥を捕る者から助け出される (3)
神の翼の下に避難する (4)
多くの人が倒れても無事 (7)
守るようにと天使たちは命令される (11)
- 92 エホバは永遠にたたえられる
神の偉大な行いと深い考え (5)
正しい人は木のように茂る (12)
年を取っても衰えない (14)
- 93 エホバの強力な統治
「エホバは王になった!」(1)
あなたの教えは信頼できる (5)
- 94 神に復讐を求める祈り
「いつまで悪人は勝ち誇るのですか」(3)
ヤハに正される人は幸せ (12)
神はご自分の民を見捨てない (14)
「法の名の下に問題を巻き起こしている」(20)
- 95 真の崇拜と従順
「今日、あなたたちが神のこの声を聞けばよいのに」(7)
「頑固になってはならない」(8)
「彼らが私と共に休むことはない」(11)
- 96 「エホバに新しい歌を歌え」
エホバは大いに賛美されるべき方 (4)
国々の神は無価値 (5)
聖なる装いをして崇拜する (9)
- 97 エホバは他の神々より高い地位にいる
「エホバは王になった!」(1)
エホバを愛し、悪を憎め (10)
正しい人のための光 (11)
- 98 エホバは救い主、正しく裁く方
エホバによる救いが知らされた (2, 3)
- 99 エホバは聖なる王
ケルブたちの上で王座に座る (1)
神は許すことも処罰することもある (8)
- 100 創造者への感謝
「喜んでエホバに仕えよ」(2)
神が私たちを造った (3)
- 101 清い生き方をする統治者
傲慢な人に我慢できない (5)
忠実な人たちに目を向ける (6)
- 102 虚げられて絶望している人の祈り
「孤独な鳥のようです」(7)
「私の日々は消えゆく影」(11)
エホバはシオンを建て直す (16)
エホバは永遠に存在する (26, 27)
- 103 「私はエホバを賛美する」
神は私たちの罪を遠くに離してください (12)
神が示す父親のような憐れみ (13)
神は私たちが土でできているにすぎないことを覚えている (14)
エホバの王座と王権 (19)
天使は神の言葉を実行する (20)
- 104 素晴らしい創造物のことで神を賛美する
大地は永遠に存続する (5)
死にゆく人間のためのぶどう酒とパン (15)
「あなたの偉業は何と多いのだろう」(24)
生命力が取り去られると、死ぬ (29)
- 105 エホバはご自分の民を支え続ける
神はご自分の契約を覚えている (8-10)
「私が選んだ者たちに触れてはならない」(15)
神は奴隷になったヨセフを用いた (17-22)
エジプトでの神の奇跡 (23-36)
イスラエルはエジプトから出る (37-39)
神はアブラハムとの約束を忘れない (42)
- 106 神の行いを認めなかったイスラエル
彼らは神が行ったことをすぐに忘れた (13)
神の栄光を雄牛の像に置き換えた (19, 20)

- 神の約束に信仰を持たなかった (24)
 バアル崇拜に加わった (28)
 子供たちを邪悪な天使に捧げた (37)
- 107 素晴らしい偉業のことで神に感謝する
 正しい道へと導いた (7)
 喉の渇きを癒やし、空腹を満たした (9)
 闇から連れ出した (14)
 言葉を発して癒やした (20)
 貧しい人たちを守り、虚げられないように
 する (41)
- 108 敵への勝利を求める祈り
 人間に救いを求めても無駄 (12)
 「神によって私たちは力を得ます」 (13)
- 109 苦しむ人の祈り
 「監督の職にほかの人が就きますよう
 に」 (8)
 神は貧しい人の側に立つ (31)
- 110 メルキゼデクのような王また祭司
 あなたの敵の中で統治しなさい (2)
 喜んで自分を差し出す若者たちは露のよ
 う (3)
- 111 素晴らしい偉業のことでエホバを賛美する
 神の名は神聖で崇高なもの (9)
 知恵とはエホバを畏れること (10)
- 112 正しい人はエホバを畏れる
 気前よく貸す人は成功する (5)
 「正しい人は永遠に記憶にとどめられ
 る」 (6)
 気前のよい人は貧しい人に与える (9)
- 113 高い所にいる神は立場が低い人を起き上が
 らせる
 エホバの名は永遠に賛美される (2)
 神は身をかがめる (6)
- 114 イスラエルはエジプトから救出される
 海は逃げた (5)
 山々は雄羊のように跳ね回った (6)
 強固な岩は泉に変わった (8)
- 115 神だけがたたえられますように
 命のない偶像 (4-8)
 地は人間に与えられた (16)
 「死者はヤハを賛美しない」 (17)
- 116 感謝の歌
 「私は何をしてエホバにお返ししよう」 (12)
 私は救いの杯を取る (13)
- 「エホバへの誓約を果たす」 (14, 18)
 神に尽くす人たちの死は損失 (15)
- 117 全ての国はエホバを賛美せよ
 神の揺るぎない愛は大きい (2)
- 118 エホバの勝利に感謝する
 ヤハに呼び掛けると、答えてくださった (5)
 「エホバは私の側にいてくださる」 (6, 7)
 退けられた石が主要な隅石となった (22)
 「エホバの名によって来る方」 (26)
- 119 神の言葉は貴重で素晴らしい
 「若い人はどうすれば清く生きられるだろ
 う」 (9)
 「私はあなたの教えを大切に思う」 (24)
 「あなたの言葉が私の希望の源」 (74, 81,
 114)
 「私はあなたの律法を愛してやまない!」
 (97)
 「私には洞察力がある。私を教えてください
 どんな人よりも」 (99)
 「あなたの言葉は私の足元を照らすラン
 プ」 (105)
 「あなたの言葉は真理そのもの」 (160)
 平和は神の律法を愛する人たちのもの
 (165)
- 120 平和を強く願う外国人
 欺きに満ちた舌から助け出してくださ
 い (2)
 「私は平和を望む」 (7)
- 121 エホバはご自分の民を守る
 「私の助けはエホバから来る」 (2)
 エホバは決して眠らない (3, 4)
- 122 エルサレムの平和を求める祈り
 エホバの家に行く喜び (1)
 一つに結び合わされた都市 (3)
- 123 憐れみを求めてエホバに目を向ける
 召し使いのように、エホバに目を向け
 る (2)
 「私たちは散々侮辱された」 (3)
- 124 「エホバが共にいてくださらなかったなら」
 壊れたわなから逃れる (7)
 エホバという名を持つ方が私たちを助け
 る (8)
- 125 エホバはご自分の民を守る
 「山々がエルサレムを囲んでいるよう
 に」 (2)

- 「イスラエルに平和がありますように」(5)
- 126 シオンの喜ばしい復興
エホバは偉大なことを行った (3)
涙から歓喜へ (5, 6)
- 127 神がいてくださなければ、何をしても無駄
「エホバが家を建てるのでなければ」(1)
子供は神からの贈り物 (3)
- 128 エホバを畏れる人は幸せ
妻は実ったブドウの木のように (3)
「エルサレムの繁栄を見ますように」(5)
- 129 攻撃されても打ち負かされない
シオンを憎む人は恥をかく (5)
- 130 「私は深い所からあなたを呼びます」
「もしあなたが過ちに注目するなら」(3)
エホバは本当に許す (4)
「ひたすらエホバを待つ」(6)
- 131 乳離れした幼児のように満足する
大それたことを望まない (1)
- 132 ダビデとシオンを選ぶ
「あなたが選んだ者を退けないください」(10)
シオンの祭司たちは救いをまとう (16)
- 133 一致して共に住む
アロンの頭に注がれる油のよう (2)
ヘルモンの露のよう (3)
- 134 夜、神を賛美する
聖なる状態で両手を上げて祈る (2)
- 135 偉大なヤハを賛美する
しるしとなることや奇跡でエジプトを懲らしめた (8, 9)
「あなたの名は永遠に続く」(13)
命のない偶像 (15-18)
- 136 エホバの揺るぎない愛は永遠に続く
天と地を見事に造った (5, 6)
ファラオは紅海で死んだ (15)
神は苦しむ人たちのことを思い出す (23)
生きているもの全てに食物を与える (25)
- 137 バビロンの川のほとりで
シオンの歌を歌わなかった (3, 4)
バビロンは壊滅させられる (8)
- 138 神は高い所にいるが、目を留めてくださる
私の祈りに答えてくださった (3)
危険な時も助け出してください (7)
- 139 神はご自分に仕える人のことをよく知っている
神の聖なる力から離れてどこかへ逃げることはできない (7)
私は素晴らしく造られている (14)
「あなたの目は胎児の私を見ました」(16)
「永遠の命に導いてください」(24)
- 140 エホバは力強い救い主
悪を行う人は蛇のよう (3)
暴力的な人は倒れる (11)
- 141 保護を求める祈り
私の祈りが香のようになりますように (2)
正しい人からの戒めは油のよう (5)
悪人は自分で仕掛けた網に掛かる (10)
- 142 迫害する人たちからの救出を求める祈り
逃げ場はない (4)
あなたは私の全て (5)
- 143 雨を待つ乾き切った土地のように神を求める
あなたが行った事をじっくり考えます (5)
「私を教え、あなたの望むことを行えるようにしてください」(10)
良いものである聖なる力によって私を導いてください (10)
- 144 勝利を求める祈り
死にゆく人間は何者なのでしょう (3)
「敵を散らしてください」(6)
エホバの民は幸せ (15)
- 145 偉大な王である神への賛美
私は神の偉大さを知らせる (6)
「エホバは全てのものに対して善いことを行う」(9)
「あなたに尽くす人たちはあなたを賛美します」(10)
神の永遠の王権 (13)
神は手を開いて全てのものを満足させる (16)
- 146 人ではなく神に頼る
死ぬと人の考えは消えうせる (4)
神はかがみ込んでいる人を立ち上げらせる (8)
- 147 神の愛情深くて力強い行いを賛美する
心が傷ついた人を癒やす (3)
全ての星を名で呼ぶ (4)
羊毛のような雪を降らせる (16)

- 148 造られた全てのものはエホバを賛美する
 「神の天使は皆、神を賛美せよ」(2)
 太陽と月と星よ、神を賛美せよ (3)
 若い人も年を取った人も神を賛美する
 (12, 13)

- 149 神の勝利をたたえる歌
 神はご自分の民のことを喜ぶ (4)
 栄誉は神に尽くす人のもの (9)
 150 生きている全てのものはヤハを賛美せよ
 ハレルヤ! (1, 6)

第1巻 (詩編 1-41編)

- 1 何と幸せなのだろう。
 悪人の意見に従って歩まず、
 罪人の道に立たず、
 あざける人と共に座らない人は。

- 2 その人はエホバの律法を喜び、
 昼も夜も小声で読む。

- 3 水の流れのほとりに植えられた
 木のようになり、
 時期が来ると実を結び、その葉
 は枯れない。

おこな すべ せいこう (例)
 行うことは全て成功する。

- 4 悪人はそうではない。
 風が吹き払うもみ殻のように。
 5 悪人が処罰を免れることも、
 罪人が正しい人の集会に出るこ
 ともない。

- 6 正しい人の道はエホバが知って
 いるが、
 悪人の道は消えうせる。

- 2 なぜ国々は動揺し、
 人々はむなしいことをつぶやい
 ているのか。

- 2 地上の王たちは態勢を整え、

1:2 *または、「思ひ巡らす」。 2:1 *または、「思
 い巡らして」。

第1編

- (ア) 格 4:14
 (イ) 格 22:10
 (ロ) 詩 19:7
 詩 40:8
 詩 112:1
 マタ 5:3
 ロマ 7:22
 ヤコ 1:25
 (ロ) ヨシ 1:8
 詩 119:97
 テモ 4:15
 (例) 代 22:13
 エレ 17:7,8
 (例) マタ 25:41
 (例) マラ 3:18
 マタ 13:49,50
 (例) 詩 37:18
 エレ 12:3
 ペー 3:12
 (例) 格 14:12

第2編

- (ロ) 使徒 4:25-28

第2欄

- (ア) マタ 27:1,2
 ルカ 23:10,11
 啓 19:19
 (イ) 詩 89:20
 イザ 61:1
 (ロ) サニ 5:7
 啓 14:1
 (ロ) 詩 45:6
 エゼ 21:27
 ダニ 7:13,14
 啓 19:16
 (例) マタ 3:16,17
 マル 1:9-11
 ロマ 1:4
 (例) 使徒 13:33
 ヘブ 1:5
 ヘブ 5:5
 (例) 詩 72:8
 ヘブ 1:2
 啓 11:15
 (例) 啓 12:5
 啓 19:15
 (例) ダニ 2:44
 啓 2:26,27

高官たちは集まって、
 エホバに、また神が選んだ者に
 逆らう。

- 3 「この鎖を断ち切り、
 この縄を振り捨てよう」と。

- 4 天の王座にいる方が笑う。
 エホバが彼らをあざ笑う。

- 5 そして、怒って彼らに語り、
 激しく怒っておびえさせ、

- 6 こう言う。「この私が聖なる山シ
 オンに

わたし おう た (ロ)
 私の王を立てた」。

- 7 私はエホバの宣言を知らせよう。
 神は私に言った。「あなたは私
 の子。」

きょう わたし ちち (例)
 今日、私はあなたの父となった。

- 8 私に求めよ。そうすれば与え
 よう、

くにくに ざいさん
 国々を財産として、
 ち は しょうぶつ (例)
 地の果てを所有物として。

- 9 あなたは鉄の王笏で彼らを砕き、
 陶器のように粉々にする」。

2:2 *または、「協議して」。 *または、「神のキリス
 ト」。直訳、「[神が]油を注いだ者」。用語集の
 「油を注ぐ」参照。

10 それで今、王たち、洞察せよ。
地上の裁判人たち、矯正を受け
入れよ。

11 畏れを抱いてエホバに仕え、
畏敬の気持ちを抱いて喜べ。

12 神の子を敬え。さもないと、神が
憤り、

あなた方は道から消えうせる。

神の怒りは瞬く間に燃え上がる
からだ。

神のもとに避難する人は皆、幸
せだ。

ダビデが息子アブサロムから
逃げていた時の歌。

3 エホバ、なぜ私の敵対者がこ
れほど増えたのですか。
なぜこれほど多くの人が私に反
抗するのですか。

2 多くの人が私について言います。
「神は彼を救わない」。(セラ)

3 しかしエホバ、あなたは私を守
る盾、
私の栄光、私の頭を起こしてくだ
さる方。

4 私は声を上げてエホバに呼び掛
ける。

すると、聖なる山から答えてくだ
さる。(セラ)

5 私は横になって眠り、
再び目を覚ます。

2:10 *または、「警告を聞け」。2:12 *直訳、
「に口づけせよ」。3:2 *用語集参照。

第2編

(7) フィリ 2:9-11

(4) ヨハ 3:36

第3編

(7) サニ 15:14

(4) サニ 15:12

サニ 16:15

(8) サニ 12:11

(4) サニ 16:7,8

(4) 創 15:1

(7) イザ 45:25

(7) 詩 27:6

第2編

(7) 詩 4:8

格 3:24

(4) 王二 6:15,16

詩 27:3

ロマ 8:31

(7) テモ一 4:10

(4) テサ二 1:6

(7) 詩 37:39

イザ 43:11

啓 19:1

第4編

(7) 詩 11:7

(4) エフ 4:26

エホバが支えていくさる
から。

6 数万の兵士が四方から隊列を成
して向かってきて、

私は恐れない。

7 エホバ、立ち上がってください。
私の神、私を救ってください。

私の敵全ての顎を打ち、
悪人の歯を砕いてください。

8 救うのはエホバ。

あなたはご自分の民を祝福しま
す。(セラ)

指揮者へ。弦楽器の伴奏と共に。
ダビデの歌。

4 正しい方である神、私が呼ぶ時
に答えてください。

苦難から逃れさせてください。
親切を示し、祈りを聞いてくだ
さい。

2 人々よ、いつまで私を尊ばず、侮
辱するのか。

いつまで無価値なものを愛し、偽
りのものを探すのか。(セラ)

3 エホバがご自分に尽くす人を特
に大切にしてくさることを
しね。

私が呼び掛けると、エホバは聞
いてくださる。

4 心を乱されるとしても、罪を犯し
てはならない。

4:1 *または、「苦難の時に広い場所を作って」。

4:3 *または、「を揺るぎなく支持する」、「から
離れない」。「または」、「を見分けて」、「を取り分
けて」。

言^いいたいことは寝^ね床^{どこ}で心^{こころ}の中で

言^いい、黙^{だま}っていよ。(セラ)

5 正^{ただ}しい心^{こころ}で犠^げ牲^{せい}を捧^{ささ}げ、エホバ
に頼^{たの}れ。

6 「誰^{だれ}が私^{わたし}たちにいい喜^くらしをさせ
てくれるだろうか」と言う人^いが
多^おくいる。

エホバ、笑^え顔^{がお}を私^{わたし}たちに向^むけて
ください。

7 私^{わたし}の心^{こころ}はあなたによって喜^{よろこ}びで
満^みちます。

穀^こもつ あたら しゅ
穀^こ物^{もつ}と新^{あらた}しいぶどう酒^{しゅ}をたくさん
得^えた人^{ひと}にも勝^{まさ}る喜^{よろこ}びで。

8 私^{わたし}は横^{よこ}になっ^てて穩^{おだ}やかに眠^{ねむ}り
ます。

エホバ、あなただけが私^{わたし}を安^{あんしん}心^{しん}
して暮^くらせるようにしてくださ
います。

ネヒロムの指揮^し者^{しや}へ。ダビデの歌^{うた}。

5 エホバ、私^{わたし}の言^{こと}葉^はを聞^きいてくだ
さい。

ため息^{いき}に気^き付^づいてください。

2 助^{たす}けを求^{もと}める叫^{さけ}びに注^{ちゅうい}意^いを払^{はら}っ
てください。

私^{わたし}の王^{おう}、私^{わたし}の神^{かみ}、私^{わたし}はあなたに
祈^{いの}ります。

3 エホバ、あなたは朝^{あさ}に私^{わたし}の聲^{こえ}を
聞^きいてください。

朝^{あさ}に私^{わたし}はあなたに不^ふ安^{あん}を打^うち明^あ
け、期^き待^{たい}して待ちます。

4 あなたは悪^{あく}を喜^{よろこ}ぶ神^{かみ}ではない。

第5編

(㊦) 詩 37:3
詩 62:8
格 3:5
ペー 4:19

(㊦) 民 6:26
詩 80:7
格 16:15
ペー 3:12

(㊦) 詩 3:5
格 3:24, 26

(㊦) レビ 25:18

第5編

(㊦) 詩 65:2
ペー 3:12

(㊦) 詩 55:16, 17

(㊦) マル 1:35

(㊦) 詩 89:14
格 6:16-19
ハバ 1:13

第2欄

(㊦) 詩 15:1-5
格 12:19

(㊦) ロマ 12:9
ヘブ 1:9

(㊦) 格 20:19
ヨハ 8:44
コロ 3:9
啓 21:8

(㊦) 創 9:6
詩 55:23
格 6:16, 17
ペー 3:10

(㊦) 詩 69:13

(㊦) サー 3:3
代一 16:1

(㊦) 詩 28:2
詩 138:2

(㊦) 詩 25:4, 5
詩 27:11

(㊦) 格 29:5
コマ 3:13

(㊦) サニ 15:31
サニ 17:23
詩 74:15

(㊦) 詩 40:16

悪^{わる}い人^{ひと}はあなたのもとにとどま
れな^い。

5 高^{こう}慢^{まん}な人^{ひと}はあなたの前^{まえ}に立^た
ない。

あなたは悪^{あく}事^じを働^{はたら}く人^{ひと}全^{すべて}てを
憎^{にく}む。

6 あなたはうそをつく人^{ひと}たちを滅^{ほろ}
ぼす。

エホバは、暴^{ぼう}力^{りよく}で人^{ひと}を欺^{あざむ}く者^{もの}
をひどく嫌^{きら}う。

7 一方^{いつぱう}、私^{わたし}はあなたの大^{おお}きくて揺^ゆ
ぎない愛^{あい}を受け、あなたの家^{いえ}
に入^{はい}る。

あなたへの畏^{おそ}れを抱^{いだ}きつづ、聖^{せい}
なる神^{かみ}殿^{だん}に向^{むか}ってひれ伏^ふす。

8 エホバ、私^{わたし}に正^{ただ}しい歩^{あゆ}みをさせ、
敵^{てき}たちから守^{まも}ってください。

あなたの方^{みち}をつまづかずに歩^{ある}
るようにしてください。

9 彼^{かれ}らが言うこと^{こと}は信^{しん}用^{よう}できない。
心^{こころ}には悪^{あく}意^いしかなく、

喉^{のど}は開^{ひら}いた墓^{はか}で、
舌^{した}はお世^せ辞^じのためにある。

10 神^{かみ}は彼^{かれ}らに有^{ゆう}罪^{ざい}と宣^{せん}告^{こく}し、
彼^{かれ}らは自^じ分^{ぶん}のたくらみによっ^てて倒^{たお}
れる。

数^{かず}多^{おほ}くの違^い反^{はん}をした彼^{かれ}らが追^お
ひわれますように。

あなたに反^{はん}逆^{ぎやく}したからで

11 しかし、あなたのもとに避^ひ難^{なん}する
人^{ひと}は皆^{みな}喜^{よろこ}び、

5:6 *または、「流血と欺きの人」。 5:7 *または、「聖なる所」。 5:9 *または、「彼らは滑らかな舌を使う」。

絶えず^た歎^{かんせい}声^あを上げる。

あなたは^{ひと}その人^{ひと}たちを^{ひと}かばい、
あなたの名^なを愛^{あい}する人^{ひと}たちはあ
なたのおかげ^{よろこ}で喜ぶ。

- 12 エホバ、あなたは^{ただ}正しい人^{ひと}を祝^{しゅく}
福^{ふく}してください。
おおだて^{かこ}大盾^{めぐ}で囲^{おお}むように、恵^{めぐ}みで覆^{おほ}つ
てください。

指揮者^{しきしや}へ。シェミニト調^{せみんちやう}に合わせた^{げんがっき}弦楽器^{げんがき}の
伴奏^{ばんそう}と共に。ダビデ^{だひで}の歌。

- 6 エホバ、怒^{いか}りのうち^{わたし}に私^{いまし}を戒^い
ないでください。
はげ^い激^いしい怒^{いか}りのうち^{わたし}に私^{ただ}を正^{ただ}さない
でください。

- 2 憐^{あわ}れみ^かを掛^かけてください、エホ
バ。私^{わたし}は弱^{よわ}っていきます。
癒^いやしてください、エホバ。私^{わたし}の
骨^{ほね}は震^{ふる}えています。

- 3 ああ、私^{わたし}はひどくかき乱^{みだ}されてい
ます。
おし^{おし}教^{おし}えてください、エホバ、いつま
でですか。

- 4 エホバ、帰^{かえ}ってきて私^{わたし}を助^{たす}け出^だ
してください。
ゆ^ゆ揺^あるぎない愛^{あい}を示^{しめ}し、私^{わたし}を救^{すく}つ
てください。

- 5 死^しんだ人^{ひと}はあなた^{かた}のことを語^{かた}
れませぬ。
はか#^{だれ}墓^{さん}では誰^びがあなた^{さん}を賛^{さん}美^びするで
しょうか。

- 6 私^{わたし}はため息^{いき}ばかりで疲^{つか}れた。

6:表題 *用語集参照。 6:5 *または、「思い出
せ」。”ヘブライ語、シエオル。用語集参照。

第5編

(ㄱ) 詩 15:1
詩 3:3

第6編

(ㄱ) 詩 38:1
エレ 10:24

(ㄱ) 詩 41:4
詩 103:2,3

(ㄱ) マタ 26:38,39

(ㄱ) 詩 13:1,2

(ㄱ) 詩 50:15

(ㄱ) 詩 119:88
哀 3:22

(ㄱ) 詩 30:9
詩 115:17
伝 9:5,10

(ㄱ) 詩 69:3

第2欄

(ㄱ) 詩 39:12

(ㄱ) 詩 31:9

(ㄱ) 詩 3:4
詩 145:18,19
へブ 5:7

(ㄱ) 詩 31:22
詩 40:1
ヨナ 2:2

(ㄱ) 詩 40:14
エレ 20:11

第7編

(ㄱ) 詩 18:2
格 18:10

(ㄱ) エレ 15:15
コ二 4:9
ペ二 2:9

(ㄱ) 詩 10:9

(ㄱ) 格 17:13

夜通^{よとお}し泣^ないて寝^ね床^{どこ}をぬらし、
寝^ね椅子^{いす}は涙^{なみだ}であふれる。

- 7 私^{わたし}の目^めは悲^{かな}しみのために弱^{よわ}り、
私^{わたし}を悩^{なや}ます人^{ひと}たちのせい^{せい}でかす
んだ。

- 8 悪^{あく}事^じを働^{はたら}く人^{ひと}は皆^{みな}、私^{わたし}から離^{はな}れ
去^され。

エホバは私^{わたし}が泣^なく声^{こえ}を聞^きいてく
ださい。

- 9 エホバは恵^{めぐ}みを求^{もと}める私^{わたし}の願^{ねが}い
を聞^きいてください。

エホバは私^{わたし}の祈^{いの}りを受^うけ入^いれて
ください。

- 10 私^{わたし}の敵^{てき}は皆^{みな}恥^{はじ}をかき、うろた
える。

引^ひき下^さがり、突^{とつ}然^{ぜん}に恥^{はじ}をかく。

ベニヤミン族^{そく}のクシュ^{こと}の言^{げん}葉^はに關^{かん}して
ダビデ^{だひで}がエホバに歌^{うた}った哀^{あい}歌^か。

- 7 私^{わたし}の神^{かみ}エホバ、私^{わたし}はあなた^{なん}の
も^もとに避^は難^{なん}しました。

私^{わたし}を迫^{はく}害^{がい}する人^{ひと}全^{ひと}てから私^{わたし}を救^{すく}
私^{わたし}を迫^{はく}害^{がい}する人^{ひと}全^{ひと}てから私^{わたし}を救^{すく}
い、助^{たす}け出^だしてください。

- 2 さもな^だい、誰^{だれ}か^かがライオン^{らいおん}のよ
うに私^{わたし}を引^ひき裂^さきます。

助^{たす}け出^だしてくれる者^{もの}がいない私^{わたし}
を運^{はこ}び去^さります。

- 3 私^{わたし}の神^{かみ}エホバ、も^もし私^{わたし}に何^{なに}か落^お
ち度^どがあるのなら、

も^もし私^{わたし}が不正^{ふせい}に行^{こう}動^{どう}したのなら、

- 4 も^もし私^{わたし}が恩^{おん}をあだで返^{かえ}したの
なら、

6:7 *または、「衰えた」。

もし理由もなく敵から奪い取った

のなら、

5 敵が私を追って追い付き、

私の命を踏みにじるようにし、

私の栄光を土ぼこりにまみれさ

せてください。(セラ)

6 エホバ、怒りを抱いて立ち上がった

てください。

私の敵たちの激怒に立ち向かっ

てください。

私のために目を覚まし、公正な

裁きがなされるよう命じてくだ

さい。

7 国々があなたを取り囲みますよ

うに。

あなたが高い所から彼らに向

かって行動しますように。

8 エホバは人々に宣告を下します。

私を裁いてください、エホバ、

私の正しさと清い心に従って。

9 どうか、悪人の悪い行いを終わ

らせてください。

正しい人がしっかり立てるように

してください。

あなたは心と奥底の感情を調べ

る正しい神からです。

10 神は私の盾、心の正直な人の救い主。

11 神は正しく裁く方。

日々、裁きを言い渡している。

7:9 *または、「心臓と腎臓を検査する」。7:11

*または、「糾弾を浴びせて」。

第7編

(詩) 詩3:7
詩35:1

(イ) 詩103:6

(ウ) 創18:25
詩9:7,8

(エ) 詩18:20
詩26:11
詩41:12

(カ) 詩37:25

(コ) サ一16:7

(ク) 代一28:9
エレ17:10
啓2:23

(ケ) 申32:4
啓15:3

(コ) 創15:1
格30:5

(コ) 格2:21

(ウ) 創18:25
詩9:4
詩98:9

第2欄

(イ) イザ57:7

(イ) 申32:41

(ウ) 申32:21,23

(エ) 申32:42

(ウ) ヤコ1:15

(ウ) エス7:10
詩10:2
詩35:7,8
詩57:6
格26:27

(イ) エス9:24,25

(ウ) 詩35:28

(ウ) ダニ4:17

(コ) イザ25:1
ヘブ13:15
啓15:4

第8編

(ウ) 王一8:27
詩104:1
詩148:13

(イ) マタ21:16
ルカ10:21
コ一1:27

(ウ) 詩19:1

詩104:19
イザ40:26
ロマ1:20

12 ある人が悔い改めないなら、神

は剣を研ぐ。

弓を曲げて弦を張り、射る用意

をする。

13 命を奪う武器を準備し、

火矢を用意する。

14 悪を身ごもっている人を見よ。

彼は災難を宿して、偽りを産む。

15 彼は穴を掘って深くした。

だが、掘ったその穴に落ちる。

16 起こした災難が彼自身に降り掛

かり、

彼の暴力が彼自身に及ぶ。

17 私はエホバの公正さを賛美し、

至高者エホバの名を賛美して歌

おう。

指揮者へ。ギテドで。ダビデの歌。

8 私たちの主エホバ、あなたの名

ほど荘厳なものは地球のどこ

にもない。

あなたはこの上なく尊い方。

2 あなたは、幼い子供たちの口か

ら出る言葉によって

敵対者に強さを明らかにした。

敵や復讐者を黙らせるため。

3 あなたが指で造った天を仰ぎ、

あなたが並べた月や星を眺めて

思う。

4 死にゆく人間が何者なのであな

7:17 *または、「名のために音楽を奏でよう」。

8:表題 *用語集参照。8:1 *もしかすると、「あなたの尊さは天の上で語られている」。8:2 *直訳、「子供や乳児」。

たは心に留めてくださるのか。
人の子が何者なので気に掛けて
くださるのか。

5 あなたは、人を神のような者たち
より少し劣る者とし、
栄光に輝く冠を授けた。

6 そして、ご自分の手で造ったものを
治めさせ、

全てのものの上に立たせた。

7 羊やヤギ、牛、野生動物、

8 空の鳥、海の魚、
海の道を旅するあらゆる生き物
の上に。

9 私たちの主エホバ、あなたの名
ほど荘厳なものは地球のどこ
にもない。

指揮者へ。ムト・ラベン*。ダビデの歌。

✠ [アーレフ]

9 エホバ、心からあなたを賛美し
ます。

あなたの素晴らしい偉業全てを
語ります。

2 私はあなたのことで喜び、歓喜し
ます。

至高者よ、私はあなたの名を賛
美して歌います。

コ [ベート]

3 私の敵は退却する時、

あなたの前でつまづいて滅びる。

4 あなたは私の正しい訴えを聞き
入れてくださる。

8:5 *または、「天使」。9:表題 *用語集参照。

9:2 *または、「名のために音楽を奏で」。

第8編

(ア) 創 1:29
創 9:3
詩 144:3
マタ 6:25,30
ヨハ 3:16
使徒 14:17
ヘブ 2:6-8

(イ) 創 1:26
創 9:1,2

(ウ) 創 1:28
創 9:3

第9編

(カ) 代一 16:12
代一 29:11
啓 4:11

(キ) 詩 28:7

(ク) 詩 56:9

第2欄

(ア) 詩 89:14
ペー 2:23

(イ) 申 9:4

(ウ) 申 25:19

(カ) 詩 90:2
テモ一 1:17

(キ) ロマ 14:10
啓 20:11

(ク) 創 18:25
詩 85:11
イザ 26:9

(ケ) 詩 96:13
詩 98:9
使徒 17:31

(コ) 詩 91:2

(ク) 詩 46:1
詩 54:7

(カ) 詩 91:14
格 18:10
エレ 16:21

(ウ) 代二 20:12
詩 25:15
コ二 1:10

(キ) 詩 96:10
詩 107:19,22
イザ 12:3,4

(ク) 創 4:9,10
創 9:5
申 32:43

王二 9:24,26
王二 24:3,4
ルカ 11:49-51

おうざ すわ こうせい さば (ア)
王座に座って公正に裁く。

↑ [ギメル]

5 あなたは人々を叱責し、悪人を
滅ぼし、

彼らの名をいつまでも永遠に消
し去った。

6 敵たちは永遠の破滅に至った。
あなたが彼らの町を根こそぎに

したので、
彼らは完全に忘れ去られる。

↓ [ヘー]

7 しかしエホバは永遠に治め、
裁くために王座を確立する。

8 世界を正しく裁き、
人々に正しい判決を下す。

↑ [ワーウ]

9 エホバは虐げられている人の安
全な避難所、
苦難の時の安全な避難所。

10 あなたの名を知っている人はあ
なたに頼る。

エホバ、あなたはご自分に導き
を求める人を決して見捨て
ない。

↓ [ザイン]

11 シオンに住むエホバを賛美して
歌え。
その方の行いを人々に知らせよ。

12 流された血の復讐をする方が寛
えている。

9:8 *または、「大地」。9:9 *または、「高台」。

くる ひと さけ けつ わす
苦しむ人の叫びを決して忘れ
(ワ) ない。

口 [ヘート]

- 13 エホバ、親切を示してください。
死の門から私を連れ戻してください
方、
私を憎む人たちによる私の苦悩
を見てください。

- 14 私がシオンの門でああなたの見事
な行いを広め、
あなたによる救いを喜ぶために。

口 [テート]

- 15 人々は自分が掘った穴に落ち、
自分で仕掛けた網に足を取ら
れた。

- 16 エホバは、下す裁きによって知ら
れる。

悪くは じぶん て か
悪人は自分の手によるわなに掛
かった。

ヒガヨン。(セラ)

* [ヨード]

- 17 悪人は墓へと退く。
神を忘れる全ての人は。
18 貧しい人が忘れられたままでい
ることはなく、
温厚な人の希望は決して失われ
ない。

口 [カフ]

- 19 エホバ、立ち上がってください。
死にゆく人間が勝利すること
がありませんように。

第9編

(ワ) 出 3:7
詩 72:13,14
ルカ 18:7

(イ) 詩 30:3
イザ 38:9,10
啓 1:17,18

(ワ) エレ 17:19,20

(イ) 詩 13:5
詩 20:5

(イ) 申 32:35
格 5:22

(イ) 出 14:4
ヨシ 2:10
王二 19:19

(イ) 格 26:27
イザ 3:11

(イ) 詩 12:5
詩 72:4

(イ) 詩 10:17
マタ 5:5

第2編

(イ) 創 18:25
詩 82:8

(イ) 出 15:16
出 23:27

第10編

(イ) 詩 13:1
詩 22:1
エレ 14:8

(イ) 出 14:17

(イ) 詩 7:14,16
詩 37:7
格 5:22
格 26:27

(イ) 出 15:9
ホセ 12:8

(イ) 詩 14:1,2
詩 53:1
ゼバ 1:12

(イ) 詩 37:35

(イ) イザ 26:11
ホセ 14:9

(イ) 格 14:16
伝 8:11

ひとびと まえ とうぜん さば
人々があなたの前で当然の裁き
を受けますように。

- 20 エホバ、彼らをおびえさせて、
死にゆく人間にすぎないことを思
い知らせてください。(セラ)

口 [ラーメド]

- 10 エホバ、なぜ遠く離れて
立っているのですか。
なぜ苦難の時に隠れているので
すか。

- 2 高慢な悪人は、無力な人を付け
狙う。

しかし、自分が仕掛けた策略に
よって自滅する。

- 3 悪人は利己的な願望を平気で口
にし、

貪欲な人を称賛する。

口 [ヌーン]

彼はエホバを侮る。

- 4 悪人は傲慢で、調べることを
せず、

「神などいない」と決めつける。

- 5 彼が行うことは成功する。
彼はあなたの裁きを理解でき
ない。

自分に敵対する者全てをあざ
笑う。

- 6 彼は心の中で言う。「私が動揺す
ることはない。

決して苦しい目に遭うことは
ない。

- 10:3 *もしかすると、「貪欲な人は自分を」。
10:6 *または、「よろける」。

- 9:14 *直訳、「シオンの娘」。9:16 *用語集参
照。9:17 *ヘブライ語、シェオル。用語集参照。

B [ペー]

かれ くち ふ こう ねが こと ば
7 彼の口は、不幸を願う言葉とうそ
と脅しであふれている。

した もんだい お ひと
その舌によって問題を起こし、人
を傷つける。

かれ むら ちか ま ぶ
8 彼は村の近くで待ち伏せし、
かく ば で つみ
隠れ場から出ていって罪のない
ひと ころ (例)
人を殺す。

V [アイン]

め だれ え じき
その目は、誰かを餌食にしようと
ねら (例)
狙う。

かれ しげ
9 彼は茂みにいるライオンのように、
かく ば ま ぶ (例)
隠れ場で待ち伏せする。

むりよく ひと つか ま
無力な人を捕まえようと待ち
かま
構え、

あみ か と (例)
網に掛けて捕らえる。

むりよく ひと いちげき う
10 無力な人は一撃を受けてうずく
まり、

き どく かれ て* か
気の毒にも彼の手に掛かる。

あくにん こころ なか い かみ わす
11 悪人は心の中で言う。「神は忘れ
たのだ。

かお そむ
顔を背けたのだ。

けっ き づ (例)
決して気付くことはない」。

P [コーフ]

た あ (例)
12 エホバ、立ち上がってください。
かみ こうどう (例)
神よ、行動してください。

むりよく ひと わす
無力な人たちを忘れないでくだ
さい。

あくにん かみ あなど
13 どうして悪人は神を侮ったのか。
かれ こころ なか い かみ わたし せき
彼は心の中で言う。「神は私に責
任を問わない」。

10:10 *または、「強い爪」。

第10編

(例) ロマ 3:14

(例) 詩 7:14
詩 12:2
詩 55:21

(例) 格 1:10,11

(例) 詩 17:9,11

(例) ヨブ 38:39,40
詩 17:12
詩 59:3

(例) 詩 140:5
エレ 5:26

(例) 伝 8:11

(例) 詩 73:3,11
詩 94:3,7
エゼ 8:12
エゼ 9:9

(例) 詩 3:7

(例) ミカ 5:9

(例) 詩 9:12
詩 35:10

第2欄

(例) 王二 9:26
代二 6:23

(例) ペー 4:19

(例) 申 10:17,18
詩 146:9
ヘブ 13:6

(例) ヨブ 38:15

(例) 出 15:18
詩 145:13
エレ 10:10
ダニ 4:34
テモ一 1:17

(例) 詩 9:5

詩 44:2

(例) 詩 9:18

(例) 代一 29:18,19

(例) 格 15:8
ペー 3:12

(例) 詩 72:4

(例) イザ 51:12

第11編

(例) 代二 14:11
詩 7:1
詩 56:11

J [レーシュ]

あく じ さいなん み
14 あなたは悪事と災難を見ている。
あなたは目を留め、事態を正す。
え じき ひと め
餌食にされた人はあなたに目を
む (例)
向ける。

こ じ* たす かつ (例)
あなたは孤児を助ける方。

W [シーン]

じゃあく ひと うで お (例)
15 邪悪な人の腕を折ってください。
かれ あく ついきゅう てっいてきき あば
彼の悪を追求し、徹底的に暴い
てください。

えいえん おう (例)
16 エホバはいつまでも永遠に王。
くにぐに ちじょう ほう (例)
国々は地上から滅びた。

N [ターウ]

おんこう ひと
17 エホバ、あなたは温厚な人たち
の訴えを聞いてくださる。

かれ こころ つよ (例) ちゅうい
彼らの心を強くし、よく注意を
はら (例)
払ってください。

こ じ う ひと こう
18 孤児や打ちのめされた人に、公
せい さば おこな (例)
正な裁きを行ってください。

かれ ちじょう し にんげん
彼らが、地上の死にゆく人間をも
おそ す
う恐れないで済むようにしてく
ださる。

し くいしや。ダビデによる。

わたし ひなん
11 私はエホバのもとに避難
した。

それなのに、あなたたちは私に
いうのか。

とり やま に
「鳥のように山へ逃げていけ。

み あくにん ゆみ つる は
2 見ろ、悪人が弓に弦を張り、
矢をつがえ、

10:14 *または、「父親のいない子供」。

こころ しょうじき ひと くらやみ い
心の正直な人を暗闇から射よう

とする。

- 3 法の基盤が崩れているのだから、
ただ ひと なに
正しい人に何ができるだろうか。

- 4 エホバは聖なる神殿にいる。

エホバの王座は天にある。

かみ め み ちゅういぶか め
神はその目で見える。注意深い目
ひとびと しら 例
で人々を調べる。

- 5 エホバは正しい人と悪い人を
しら 例
調べ、

ぼうりよく あい ひと にく 例
暴力を愛する人を憎む。

- 6 神は悪人に、次から次へとわな
かみ あくにん つぎ つぎ
を仕掛ける。

ひ い おう例 なつぶう かれ
火と硫黄と熱風が彼らのために
さだ 例
定められている。

- 7 エホバは正しい方であり、正し
ただ かた 例 ただ
い行いを愛する。

しょうじき ひと かみ こうい え 例
正直な人は神の好意を得る。

し きし 例 *ちやう あ
指揮者へ。シメニト調に合わせて。
ダビデの歌。

12 エホバ、私を救ってください
ちやうじつ *ひと
い。忠実な人はもうお
らず、

しんらい ひと ひとびと なか き
信頼できる人は人々の中から消

えうせました。

- 2 人々は互いにくそを語り、
せじ い *ひと あざむ#例
お世辞を言い、人を欺く。

- 3 エホバは、お世辞を言う唇と、

11:6 *もしかすると、「炭火を雨のように降らせ
る」。[#]または、「彼らが受ける杯」。12:表題
*用語集参照。12:1 *または、「揺るぎない思
いを抱く」。12:2 *直訳、「滑らかな唇で話し」。
[#]直訳、「心と心で話す」。

第11編

例ミカ 1:2
ハバ 2:20

例代 20:6
詩 103:19
啓 4:2,3

例代 16:9
格 15:3
ゼカ 4:10
ヘバ 4:13

例創 6:5
例 7:1

例格 3:31
格 6:16,17

例創 19:24
エゼ 38:22

例申 32:4

例詩 146:8

例ヨブ 36:7
詩 34:15
ペー 3:12

第12編

例詩 28:3

第2欄

例出 15:9,10
サー 2:3
エゼ 28:2

例詩 10:5

例出 3:7

例サニ 22:31
詩 19:8

例サー 2:9

例伝 8:11

第13編

例ヨブ 13:24
詩 6:3
詩 22:2

例詩 22:7,8

おお ほこ した例 と のぞ
大いに誇る舌を取り除く。

- 4 このように言う人々を。「私たち
は舌で優位に立つ。

じ ぶん おも くちびる かた
自分の思うままに唇で語る。
だれ わたし しゅじん
誰も私たちの主人とはなれ

ない。

- 5 エホバは言う。「苦しむ人が虐げ
られ、

まず ひと いき 例
貧しい人がため息をついている。
わたし た あ こうどう
私は立ち上がって行動しよう。
ぶじよく ひと かれ すく
侮辱する人から彼らを救おう」。

- 6 エホバの言葉は清い。
ろき せいらん おと かいじゆんか ぎん
炉で精錬され、7回純化された銀

のようだ。

- 7 エホバ、あなたが彼らを守ってく
ださる。

かれ ひとりひとり せ だい ひとびと
彼ら一人一人をこの世代の人々
えいえん ほ ご
から永遠に保護してください。

- 8 悪人は気ままに歩き回る。
ひとびと だらく すす
人々が堕落へと進んでいるのを
いいことに。

し きし 例 うた
指揮者へ。ダビデの歌。

13 エホバ、いつまで私を忘れ
ているのですか。永遠に
ですか。

いつまで顔を隠すのですか。

- 2 いつまで私は思い悩み、
わたし おも なや
まいにちかな く
毎日悲しみに暮れなければなら
ないのですか。

いつまで敵は勝利するのですか。

12:6 *もしかすると、「地面に据えられた精錬用
の炉」。

3 私の神エホバ、私に目を留め、
答えてください。

私が力を取り戻し、死の眠りに
落ちないようにしてください。

4 敵が、「彼を打ち負かした」と言
うことがないため、

反対者が、落ちぶれる私を見て
喜ぶことがないためです。

5 私はあなたの揺るぎない愛を信
じます。

私の心はあなたによる救いを喜
びます。

6 私はエホバに向かって歌います。
豊かに報いてくださったから
です。

指揮者へ。ダビデによる。

14 愚かな人は心の中で言う。
「エホバはいない」。

彼らの行動は腐敗しててつま
わしい。

善いことを行う人は誰もいない。

2 エホバは天から人々を見下ろし
ている。

洞察力のある人、エホバに導き
を求める人がいるかどうかを
見るために。

3 人々は皆それていき、
皆一様に腐敗している。
善いことを行う人は誰もいない。
一人もいない。

4 悪を行う人は誰も理解しない
のか。

14:1 *または、「無分別な」。

第13編

(ア) 詩 25:2
詩 35:19

(イ) 詩 52:8
詩 147:11
ペー 5:6,7

(ウ) サー 2:1

(エ) 詩 116:7
詩 119:17

第14編

(イ) 詩 10:4
イザ 29:16

(ウ) 詩 53
ロマ 3:10-12

(イ) 代 2:16:9
詩 33:13-15
ヘブ 11:6

(ウ) 伝 7:29

第2編

(ウ) 出 15:16

(イ) 詩 9:9
詩 142:5

(ウ) ロマ 11:26,27

第15編

(エ) 詩 2:6
詩 24:3,4

(イ) 詩 1:1

(ウ) イザ 33:15,16
使徒 10:34,35

(イ) 格 3:32
エフ 4:25

(ウ) レビ 19:16
詩 101:5
格 20:19

(ウ) 格 14:21
ロマ 12:17

(ウ) 出 23:1

(イ) エス 3:2

彼らは、パンを食べるかのように
私の民を食い尽くす。

エホバに呼び掛けない。

5 彼らは強い恐怖に襲われる。

エホバは正しい人の一団と共に
いるからだ。

6 悪を行うあなた方は立場が低い
人の計画を妨げようとする。

しかし、エホバがその人の避難
所となる。

7 イスラエルの救いがシオンから
来ますように!

捕らわれた民をエホバが連れ戻
す時、

ヤコブは喜び、イスラエルは歓
喜せよ。

ダビデの歌。

15 エホバ、あなたの天幕にと
どまるのは誰ですか。

あなたの聖なる山に住むのは誰
ですか。

2 非難されるところがなく、

正しいことを行い、
心に真実を語る人。

3 中傷せず、
周りの人に何も悪いことをせず、
友をけなさない人。

4 卑劣な人を退け、
エホバを畏れる人を敬い、

14:5 *直訳、「世代」。15:1 *または、「でもて
なされる」。15:2 *または、「忠誠を尽くし」。
15:3 *または、「等めない」。

損失を被るとしても約束を破らな
い人。

- 5 お金を貸すときに利息を取らず、
罪のない人を陥れる賄賂を受け
取らない人。
こういう人は決して動揺させられ
ることがない。

ダビデのミクナム。

- 16 神よ、私を守ってください。
私はあなたのもとに避難
しました。

- 2 私はエホバに言った。「あなたは
エホバ、よいものは全てあな
たから来ます。

- 3 私は、地上にいる聖なる人たち、
立派な人たちのことをとても喜ん
でいます。

- 4 他の神々に従う人の悲しみは
増す。
私は、血を飲み物として捧げるこ
とに加わらない。

私の口に他の神々の名が上るこ
とはない。

- 5 エホバが私の全て。
良いものを与えてくださり、私の
財産を守ってくださる。

- 6 心地よい場所が私のために割り
分けられた。
私は自分の財産に満足する。

15:4 *直訳、「誓い」。 15:5; 16:8 *または、「よるける」。 16:表題 *用語集参照。 16:5 *または、「私に与えられた分」。 *直訳、「あなたは私の杯であり」。

第15編

(7) ヨシ 9:18-20
箴 11:34,35
詩 50:14
マタ 5:33

(4) 出 22:25

(7) 出 23:8

(4) 詩 16:7,8
格 12:3
ペニ 1:10

第16編

(4) 詩 25:20

(4) 詩 119:63

(4) 申 8:19
詩 97:7
ヨナ 2:8

(7) 出 23:13
ヨシ 23:6,7

(7) 詩 73:26

(4) 詩 23:5

(4) 詩 78:55

第2欄

(7) イザ 48:17

(4) 詩 17:3
詩 26:2

(7) 詩 139:17,18

(4) 詩 73:23
使徒 2:25-28

(4) 詩 49:15
使徒 2:31
使徒 3:15
啓 1:17,18

(4) ヨブ 14:13,14
使徒 13:34-37

(4) 格 12:28

(7) 詩 21:6
マタ 5:8

第17編

(7) 詩 145:18

- 7 私は、助言してくださったエホバ
を賛美する。
夜、自分の奥底の考えによって
正される。

- 8 私はエホバを絶えず自分の前に
置く。

神が右にいてくださるので、決し
て動揺することはない。

- 9 私の心は喜び、内から喜びが湧
き上がる。

私は安全に住む。

- 10 あなたは私を墓に放っておか
ない。

あなたに尽くす人に墓穴を見さ
せたりはしない。

- 11 あなたは命の道を私に知らせて
くださる。

あなたの前にはあふれる喜びが
ある。

あなたの右には永遠の幸せが
ある。

ダビデの祈り。

- 17 エホバ、公正を求める私の
願いを聞いてください。

助けを求める叫びに注意を払っ
てください。

偽りのない私の祈りを聞いてくだ
さい。

16:7 *または、「奥底の感情」。直訳、「腎臓」。
16:10 *ヘブライ語、シェオル。用語集参照。
*または、「を揺るぎなく支持する」、「から離れな
い」。△もしかすると、「が墓で腐敗するのを許さ
ない」。

わたし こうせい ほんけつ くだ
2 私のために公正な判決を下して
くださいますように。

ただ め む
正しいことに目を向けてください
ますように。

わたし こころ しら よる わたし
3 あなたは私の心を調べ、夜に私
を詳しく探って、清めました。
あなたは、私の内に何も悪巧み
がないこと、

わたし くら い ほん わ
私の口に違反がないことを分
かってくださいます。

ひとびと おこな
4 人々の行いがどうであれ、
私はあなたの言葉に従い、強盗
と同じようには歩みません。

わたし
5 私がつまずかないで、
あなたの道をしっかりとどれるよ
うにしてください。

かみ わたし よ か
6 神よ、私はあなたに呼び掛けま
す。私に答えてくださるから
です。
みみ かたむ * わたし こと ば
耳を傾けてください。私の言葉を
聞いてください。

はんこう ひと
7 あなたに反抗する人々たちの
保護を
みぎで もと ひと
あなたの右手に求める人たちの
救い主、
す ば おこな ゆ
素晴らしいことを行って、揺るぎ
ない愛を示してください。

わたし ひとみ まも
8 私をあなたの瞳のように守ってく
ださい。
つばさ かげ かく
あなたの翼の陰に隠してくだ
さい。

第17編
(ア) 詩 37:5,6

(イ) 詩 11:5
詩 16:7
コ一 4:4

(イ) 詩 26:2
マラ 3:3
ペ一 1:6,7

(ロ) 詩 119:9

(ロ) 詩 18:36
詩 94:18
詩 119:133
詩 121:3

(ロ) 詩 55:16

(ロ) イザ 37:17

(ロ) 詩 31:21
哀 3:22

(ロ) 申 32:9,10
ゼカ 2:8

(ロ) ルツ 2:12
詩 36:7
詩 57:1

第2編

(ア) サ一 24:11
詩 35:4

(イ) サ一 23:26

(イ) 詩 7:6

(ロ) 詩 73:12

(ロ) マタ 5:45

まも わたし こうげき あく
9 守ってください。私を攻撃する悪
人から、

わたし と かこ し てき (イ)
私を取り囲む死にゆく敵から。

かれ む かんかく *
10 彼らは無感覚になり、
高慢に語ります。

わたし かこ こみ (イ)
11 私たちを囲い込み、
たお き かい
倒れさせようと機会をうかがい
ます。

かれ えもの ひ さ こう ま
12 彼はまるで獲物を引き裂こうと待
ち構えるライオン、
かく ば み ひそ わか
隠れ場に身を潜めている若いラ
イオンです。

た あ
13 エホバ、立ち上がってください。
彼に立ち向かい、打ち倒してく
ださい。

つるぎ わたし あくにん たす
あなたの剣で私を悪人から助け
だ だ
出してください。

て
14 エホバ、あなたの手によってこの
世の人々から助け出してくだ
さい。

かれ いま いのち (ロ)
彼らにあるのは今の命です。
あなたは良いもので彼らを満

たし、
かれ じ ぶん おお ども
彼らは自分の多くの子供たちに
さいさん のこ
財産を残します。

わたし ただ おこな
15 しかし、私は正しいことを行い、
あなたの好意を得ます。
まえ め ざ *まんぞく
あなたの前で目覚めて満足し
ます。

17:10 *または、「脂肪で覆われており」。

17:15 *または、「体制」。

(イ) 詩 65:4

17:3 *または、「精錬し」。

17:6 *または、「か
がみ込んで聞いて」。

指揮者へ。エホバに仕えるダビデによる。
サウルと全ての敵の手からエホバに助け
出された日に、エホバに向かって歌った。

18 私の力、エホバ、私はあな
たに愛情を抱えています。

2 エホバは私の大岩、私のとりで、
私を助け出す方。

私の神は私の岩。私が身を寄せ
る方。

私の盾、救いの角、安全な避
難所。

3 私は賛美されるべき方エホバに
呼び掛け、

敵から救われる。

4 死の綱が私に巻き付き、
どうしようもない人たちの激流に
私はおびえた。

5 墓の綱が私に絡み付き、

死のわなに私は直面した。

6 苦難の時に私はエホバに呼び掛
けた。

私の神に助けを求めて叫び続

けた。

神殿にいる神が私の声を聞いて
くださった。

助けを求める叫びが神の耳に届
いた。

7 すると地面は揺れ、震動し始め、
山々は土台からぐらついた。

神の怒りで揺れ動いた。

8 神の鼻から煙が立ち上り、

第18編

(㉑) サニ 22:1

(㉒) 詩 18:32
イザ 12:2

(㉓) 詩 3:3
詩 37:39, 40
詩 40:17

(㉔) 申 32:4

(㉕) 創 15:1
サニ 22:2-4

(㉖) 詩 50:15

(㉗) サニ 20:3
詩 116:3

(㉘) サニ 20:1
サニ 22:5, 6
詩 22:16

(㉙) 伝 9:12

(㉚) 詩 11:4

(㉛) サニ 22:7
詩 10:17
詩 34:15
ペー 3:12

(㉜) 裁 5:4

(㉝) サニ 22:8-16
詩 77:18

第2欄

(㉞) イザ 30:27

(㉟) 詩 144:5
イザ 64:1

(㊱) サニ 22:10

(㊲) 詩 99:1
ヘブ 1:7

(㊳) 詩 97:2

(㊴) ヨブ 36:29

(㊵) サニ 2:10
サー 7:10

(㊶) サニ 22:14
詩 29:3

(㊷) イザ 30:30

(㊸) ヨブ 36:32
詩 144:6

(㊹) 詩 74:15
詩 106:9
詩 114:1, 3

(㊺) 出 15:8
サニ 22:16

(㊻) サニ 22:17-20

詩 124:2-4

(㊼) 詩 3:7

口から焼き尽くす火が出た。
神のもとから炭火が燃え上

がった。

9 神は天を押し曲げて降りてきた。
足元には濃い闇があった。

10 神はケルブに乗って飛んできた。
天使の翼に乗って素早く降りて
きた。

11 そして闇で身を覆い、
暗い雨雲をひとときの住まいと
する。

12 神の前が光り、
ひょうと燃える炭が雲を突き抜け、
降ってきた。

13 エホバは天で雷鳴をとどろかせ
始めた。

至高者が声が響かせた。

ひょうと燃える炭と共に。

14 矢を放って敵を散らし、
稲妻を落として混乱に陥れた。

15 川床が見え、大地の土台があら
わになった。

エホバ、あなたが吐りつけたこ
とによって、
あなたの鼻から出る突風に
よって。

16 神は高い所から手を伸ばし、
私をつかんで深い水の中から引
き上げてくださった。

17 神は強い敵から助け出してくだ
さった。

18:2 *または、「強力な救い主」。用語集参照。
*または、「高台」。**18:5** *ヘブライ語、シエオ
ル。用語集参照。

18:10 *または、「風」。**18:15** *または、「水
路」。

わたし にく わたし つよ ひと
私を憎む、私よりも強い人たち
から。

18 私の災難の日に、彼らは私に立
ち向かってきた。

しかしエホバが支えてくだ
さった。

19 神は私を安全な場所に連れて
いってください。

私のことを喜び、助け出してくだ
さった。

20 エホバは私の正しさに応じて
報い、

私の潔白さに応じて報いてくだ
さる。

21 私はエホバの道を守った。

神を捨てるといふ悪に陥らな
かった。

22 神の法規全てが私の前にあり、
私は神の法令を無視しない。

23 非難されるところがない生き方を
して神の前に立ち、

過ちから身を守る。

24 エホバが私に報いてくださいま
すように。

私の正しさに応じて、
神の前での潔白さに応じて。

25 あなたは、揺るぎない愛を示
す人に、揺るぎない愛を示す。

誠実な人に誠実である。

18:19 *または、「広い」。 18:25 *または、「非
難されるところがない人には、非難されるところ
がない行いをする」。

第18編

(㊦) 詩 35:10

(㊦) サー 19:11
サー 23:26

(㊦) 詩 149:4

(㊦) サー 26:23
王 8:32

(㊦) サー 24:11
サニ 22:21-25
詩 24:3,4

(㊦) 詩 84:11

(㊦) サニ 22:24
格 14:16

(㊦) イザ 3:10
ヘブ 11:6

(㊦) サニ 22:25
格 5:21

(㊦) 詩 97:10

(㊦) サニ 22:26-31
ヨブ 34:11
エレ 32:19

第2欄

(㊦) マタ 5:8

(㊦) 詩 125:5

(㊦) ヨブ 34:28

(㊦) 格 6:16,17
イザ 2:11

ルカ 18:14
(㊦) 詩 97:11
イザ 42:16

(㊦) サニ 5:19
ヘブ 11:32-34

(㊦) サニ 22:30
フィリ 4:13

(㊦) 申 32:4
ダニ 4:37

啓 15:3
(㊦) 詩 12:6
詩 19:8

(㊦) 詩 18:2
詩 84:11

(㊦) 詩 86:8
イザ 45:5

(㊦) 申 32:31
サー 2:2

サニ 22:32-43
(㊦) 詩 84:5,7

(㊦) イザ 26:7

(㊦) ハバ 3:19

(㊦) 創 15:1
申 33:29

詩 28:7
(㊦) サニ 22:36

詩 113:6-8

26 純粋な人に純粋であり、
不正直な人には鋭い賢さを示す。

27 立場が低い人を救い、
傲慢な人を卑しめる。

28 エホバ、私のランプをともしてく
ださるのはあなた。

私の闇を照らす私の神。

29 あなたの助けで、私は略奪隊に
突撃できる。

神の力によって、城壁をよじ登
れる。

30 真の神の道は完全、
エホバの言葉は精錬されたもの。
神のもとに逃れるなら、神は盾と
なってください。

31 エホバのほかには誰が神なのか。
私たちの神以外に誰が岩な
のか。

32 真の神が私に力をまかせ、
私の道を完全にする。

33 神は私の足を鹿のようにし、
高い場所に私を立たせる。

34 神は私の手を戦いのために
鍛え、
私の腕は銅の弓を曲げる。

35 あなたは救いの盾を私に与え、
右手で私を支えてくださる。
私が優れた者になれるのはあな
たが謙遜だから。

18:26 *または、「清い人には清く」。 18:27
*または、「苦しむ」。

36 あなたは私が進む道を広くしてくださる。

私の足が滑ることはない。

37 私は敵を追跡して追い付く。
一掃するまで帰らない。

38 敵を打ち倒して立ち上がれないようにする。

敵は私の足元に倒れる。

39 あなたは戦う力を私に授け、
敵を私の前に倒れさせる。

40 あなたが私の敵を退却させ、
私は、私を憎む人たちを消し去る。

41 彼らは助けを求めて叫ぶが、救う者はいない。
エホバに向かって叫んでも、答えはない。

42 私は彼らを風に舞う土ぼりのように粉々にし、
路上の泥のように投げ捨てる。

43 民が私に言い掛かりをつけても、
あなたが助け出してくださる。
あなたは私を国々の長に任命する。

44 私の知らなかった民が私に仕え、
伝え聞いただけで私に従う。
外国人たちはやって来て、私を恐れて頭を下げる。

45 外国人たちは意気をくじかれ、
震えながらとりでから出てくる。

46 エホバは生きている。

18:40 *または、「敵の背中を私に与え」。
45 *または、「衰えていき」。

第18編

(詩) 詩 17:5

(詩) 詩 2:8,9

(詩) 詩 44:5

(詩) サニ 22:41
詩 34:21

(詩) サニ 30:6

(詩) サニ 8:3
詩 2:8

(詩) サニ 22:44-46

(詩) 申 33:29

第2欄

(詩) 申 32:4

(詩) 出 15:2
サニ 22:47-49(詩) 申 32:35
ナホ 1:2
ロマ 12:19(詩) サニ 7:9
詩 59:1(詩) 申 32:43
詩 117:1
イザ 11:10(詩) サニ 22:50,51
代 16:9
ロマ 15:9(詩) 詩 2:6
詩 144:10(詩) サニ 7:15-17
王 3:6(詩) 詩 89:20,36
イザ 9:7
ルカ 1:32,33
啓 5:5

第19編

(詩) 詩 8:3,4
イザ 40:22
ロマ 1:20(詩) 詩 150:1
啓 4:11

(詩) ロマ 10:18

わたし いわさんび
私の岩が賛美されますように。
わたし すぐかみ
私の救いの神がたたえられますように。

47 真の神が私のために復讐し、
人々は私に屈服する。

48 神は怒り狂う敵から私を助け出す。

あなたは、攻めてくる人たちよりも上に私を引き上げ、
暴力を振るう人から救ってください。

49 それで、エホバ、私は国々であなただけをたたえ、
あなたの名を賛美して歌う。

50 神はご自分の王を見事に救う。
選んだ者に揺るぎない愛を示す。
ダビデとその子孫に、永遠に。

指揮者へ。ダビデの歌。

19 天は神の栄光を知らせ、
大空は神の偉業を伝えて
いる。

2 日が昇るごとに言葉を発し、
夜が来るごとに知識を明かす。

3 何も言わず、何も語らず、
声は聞こえない。

4 しかし、音が世界中に響き渡り、
知らせが世界の果てにまで伝
わった。

18:49 *または、「名のために音楽を奏でる」。
18:50 *または、「に大勝利を収めさせる」。「直訳、「油を注いだ」。用語集の「油を注ぐ」参照。
19:1 *または、「神の手」。
19:4 *もしかすると、「測り綱が世界中へ出ていき」。「または、「大地」。

かみ てん たいよう てんまく
神は天に太陽のための天幕を
張った。

5 たいよう ふうふ しんしつ で
太陽は夫婦の寝室から出てくる
花婿のよう。

よろこ いさ そうろ すず きょうじん ひと
喜び勇んで走路を進む強かな人
のよう。

6 てん いっぽう は で
天の一方の果てから出ていき、
他方の果てへと巡っていく。

その熱から隠れられるものは何
もない。

7 りっぽう かんぜん (イ) ちから ふ
エホバの律法は完全で、力を吹
き込む。

エホバの教えは信頼でき、経験
の浅い人を賢くする。

8 めいれい ただ こころ よろこ
エホバの命令は正しく、心に喜
びが生まれる。

エホバのおきては清く、目が開
かれる。

9 おそ (イ) じゆんすい えいえん
エホバへの畏れは純粋で、永遠
に続く。

エホバの裁きは真実で、全く正
しい。

10 きん よりも、多くの純金よりも好ま
しい。

みつ す したた お はちみつ
蜜よりも、巣から滴り落ちる蜂蜜
よりも甘い。

11 こうして、あなたに仕える人は警
告を受けた。

従うなら大きな報いがある。

19:7 *または、「人を連れ戻す」。「または、「思
い出させるもの」。

19:10 *または、「精錬された金」。

第19編

(イ) 詩 104:19

(イ) 詩 117:72

(イ) 詩 23:3

(イ) 詩 119:111, 129

(イ) 格 1:5

デモニ 3:15

(イ) 代ニ 24:9, 10

(イ) 格 4:4

格 6:23

マタ 6:22

(イ) 申 10:12

格 1:7

マラ 3:16

(イ) 詩 119:137, 160

啓 16:7

(イ) 詩 119:127

格 8:10

(イ) 詩 119:103

格 16:24

(イ) 詩 119:11

(イ) 詩 119:165

第2編

(イ) コー 4:4

(イ) 創 20:6

申 17:12

サ一 15:23

サニ 6:7

代ニ 26:16-18

(イ) 詩 119:133

(イ) イザ 38:3

(イ) 詩 18:2

(イ) ヨブ 19:25

イザ 43:14

(イ) 詩 49:3

詩 51:15

詩 143:5

フィリ 4:8

第20編

(イ) 詩 9:10

格 18:10

(イ) 代ニ 20:8, 9

(イ) サニ 5:7

詩 50:2

詩 134:3

(イ) 詩 21:1, 2

(イ) 詩 59:16

12 だれ まちが み わ
誰が間違いを見分けられるで
しう。

氣付かずに犯した罪を許してく

ださい。

13 で す わたし
出過ぎたことをしないよう私をと
どめてください。

あつ かんぜん (イ)
厚かましくならせないでください。
私が完全になるため、

あからさまな罪を犯さないため
です。

14 わたし いわぬわたし すくぬ (イ)
私の岩、私の救い主エホバ、
わたし くち ことば こころ もくそう (イ) よろこ
私の口の言葉と心の黙想を喜ん

でくださいますように。

指揮者へ。ダビデの歌。

20 くるなん ひ
苦難の日にエホバがあな
たに答えてくださいます

ように。

ヤコブの神の名によってあなた
が保護されますように。

2 かみ せい ぼしよ
神が聖なる場所からあなたを
助け、

シオンから支えてくださいますよ
うに。

3 そな ものすべ おほ
あなたの供え物全てを覚え、
ぜんしょう ささ もの よろこ う い
全焼の捧げ物を喜んで受け入れ
てくださいますように。(セラ)

4 こころ ねが (イ)
あなたの心の願いをかなえ、
けいかくすべ せいこう
計画全てを成功させてくださいま
すように。

5 わたし しょうりき かんせい
私たちはあなたの勝利に歓声を
あげ、

19:13 *または、「多くの違反」。

19:14 *直訳、「
」を買い戻す方」。

20:5 *直訳、「救い」。

わたし かみ な はた かか
私たちの神の名によって旗を掲
(7) げる。

エホバがあなたの願い事全てを
かなえてくださいますように。

わたし し じ
6 私は知っている。エホバはご自
ぶん にんめい せもの(7) すく
分が任命した者を救うと。

かみ せい てん かれ こた
神は聖なる天から彼に答え、
みぎ て みごと すく # (7)
右手で見事に救ってください。

ひと へいしや ひと うま
7 ある人は兵車に、ある人は馬に
たよ (7)
頼る。

わたし かみ な
しかし私たちは神エホバの名を
よ (7)
呼ぶ。

ひと くつぶく たお
8 その人たちは屈服し、倒れた。
わたし た あ ま
しかし私たちは立ち上がり、真つ
すぐ (7)
立った。

おう すく (7)
9 エホバ、王を救ってください。
こた わたし たす
答えてください、私たちが助けを
もと ひ (7)
求める日に。

しきしゃ うた
指揮者へ。ダビデの歌。

21 エホバ、王は喜びます。あ
なた つよ かた
なたが強い方だから。

おお よろこ
大いに喜びます。あなたのおか
すく (7)
げで救われたから。

かれ こころ ねが
2 あなたは彼の心の願いをか
(7)
なえ、

のぞ お あた
望むものを惜しまずに与えた。

(セラ)

かれ むか ゆた しゅくふく
3 彼を迎えて豊かに祝福し、
じゅんきん*かんむり あたま お (7)
純金の冠を頭に置く。

20:6 *直訳、「油を注いだ」。用語集の「油を注ぐ」参照。*または、「で大勝利を収めさせて」。
21:3 *または、「精錬された金」。

第20編

(7) サー 17:45

(7) 詩 2:4,4

(7) 詩 17:7

(7) 詩 33:17
イザ 31:1

(7) 代 11:14
代 20:12
代 32:8

(7) 裁 5:31
詩 125:1

(7) 詩 18:50

(7) 詩 44:4

第21編

(7) 詩 63:11

(7) 詩 28:7

(7) 詩 2:8
詩 20:4

(7) サニ 12:30

第2編

(7) 詩 13:3
詩 61:6

(7) サニ 7:8,9

(7) 詩 72:17

(7) 詩 16:11
詩 45:7

(7) サー 30:6

(7) 詩 16:8

(7) 申 32:22
詩 110:5
マラ 4:1

(7) 詩 34:16

(7) 詩 2:1

(7) 詩 9:3
詩 56:9

かれ いのち ねが もと
4 彼は命を願い求め、あなたはそ
あた (7)
れを与えた。

なが つづ いのち えいえん つづ
長く続く命、いつまでも永遠に続
いのち
く命を。

5 あなたのおかげで救われ、大き
えいこう う (7)
な栄光を受ける。

あなたによって威厳を持ち、光り
かがや
輝く。

6 あなたは彼を永遠に祝福する。

あなたが共にいるので彼は喜ぶ。

7 王はエホバに頼る。

至高者の揺るぎない愛を受ける
しこうしゃ ゆ あい う
ので動揺することはない。

8 あなたの手は全ての敵を捕らえ、
みぎ て にく ひと と
右手はあなたを憎む人たちを捕

らえる。

9 あなたは彼らを火の燃える炉に
な こ かれ ちゅうい む
投げ込む。彼らに注意を向け
るとき
る時に。

エホバが怒りを抱いてのみ込み、
ひ かれ ひ も ち
火が彼らを食い尽くす。

10 彼らの子孫を地上から、
ひとびと なか ほろ
人々の中から滅ぼす。

11 彼らはあなたに悪を行おうと
かれ あく おこな
した。

さくりやく めぐ せいこう (7)
策略を巡らしたが成功しない。

12 あなたが弓で狙いを定めると、
ゆみ ねら さだ
彼らは退却する。

13 エホバ、立ち上がってあなたの
ちから しめ
力を示してください。

21:7 *または、「よろける」。

わたし ちからづよ さん び
 私たちはあなたの力強さを賛美
 して歌います。

しきしゅ ちから ぬし かに
 指揮者へ。「夜明けの鹿鹿」に合わせて。
 ダビデの歌。

22 私(わたし)の神、私(わたし)の神、なぜ私(わたし)を
 見捨てたのですか。

なぜ救(すく)ってくださらないのですか。

なぜ苦悩(くのお)の叫(さけ)びを聞(き)いてくださ

らないのですか。

2 私(わたし)の神、昼(ひる)に呼(よ)び続(つづ)けても、あな
 たは答(こた)えません。

よる わたし ちんもく
 夜も私は沈黙(しんもく)しません。

3 あなたは聖(せい)なる方(かた)。
 イスラエルからの賛美(さんび)に囲(かこ)まれ
 ている。

4 私(わたし)たちの父祖(ふそ)はあなたに頼(たの)った。
 頼(たの)ったので、あなたはいつも助(たす)け
 出した。

5 彼(かれ)らはあなたに向(む)かって叫(さけ)び、救(すく)
 われた。

あなたに頼(たの)ったので、失(しつぼう)望(ぼう)しな
 かった。

6 だが、私(わたし)は虫(むし)けら。人(にんげん)間(かん)では
 ない。

ひとびと たち けいべつ
 人々(ひとびと)にあざけられ、民(たみ)に軽蔑(けいべつ)さ
 れた。

7 私(わたし)を見る人(ひと)は皆(みな)、あざ笑(わら)う。
 冷笑(れいしょう)、あざけって頭(あたま)を振(ふ)る。

8 「彼(かれ)はエホバに身(み)を委(ゆだ)ねたのだ。
 その方(かた)に助(たす)け出してもらえ。

21:13 *直訳、「のために歌い、音楽を奏で」。

22:表題 *曲名が曲調を指すのかもしれない。

22:3 *または、「賛美の中に座って」。22:5

*または、「恥をかかなかった」。

第22編

㊦ 詩 22:16

マタ 27:46

マル 15:34

㊦ ヘブ 5:7

㊦ 詩 42:3

㊦ イザ 6:3

ペー 1:15

㊦ 創 15:1,6

㊦ 出 14:13

ヘブ 11:32-34

㊦ 詩 25:2

詩 99:6

ロマ 10:11

㊦ 詩 31:11

イザ 53:3

㊦ 詩 35:16

㊦ 詩 109:25

第2欄

㊦ マタ 27:41-43

ルカ 23:35,36

㊦ 詩 71:6

詩 139:16

㊦ 詩 10:1

㊦ ルカ 23:46

ヘブ 5:7

㊦ 詩 68:30

㊦ エゼ 39:18

㊦ マタ 26:4

㊦ 詩 57:4

ペー 5:8

㊦ ルカ 22:44

ヨハ 12:27

㊦ マタ 26:38

マル 14:33

㊦ 格 17:22

㊦ ヨハ 19:28

㊦ イザ 53:12

コ一 15:3,4

㊦ 詩 59:5,6

ルカ 22:63

㊦ 詩 86:14

すく 救(すく)ってもらえ。その方(かた)のお氣(き)に入(い)
 りなのだから。

9 あなたは母(はは)の胎内(たいない)から私(わたし)を取り
 出した方(かた)。

母(はは)の胸(むね)の中(なか)で安(あん)心(しん)させてくださ
 った方(かた)。

10 私(わたし)は生(う)まれた時(とき)からあなた(あなた)の世
 話(わ)を受けてきた。

母(はは)の胎内(たいない)にいた時(とき)からあなた(あなた)は
 私(わたし)の神(かみ)。

11 私(わたし)から遠(とお)く離(はな)れたままでいないで
 ください。苦難(くなん)が近(ちか)くに迫(せま)り、
 助(たす)けてくださる方(かた)はほかにいな
 いからです。

12 多(おほ)くの若(わか)い雄牛(おうし)が私(わたし)を取り囲(かこ)み、
 バシヤンの強(きょうりよく)力(りき)な雄牛(おうし)が私(わたし)を取
 り巻(ま)く。

13 口(くち)を大(おほ)きく開(あ)けて私(わたし)に向(む)かって
 くる。

獲(え)物(もの)を引き裂(ひ)くほえるライオン(ライオン)の
 ように。

14 私(わたし)は水(みづ)のように注(そそ)ぎ出(だ)され、
 骨(ほね)は全(すべ)て外(はず)れた。

心(こころ)はろ(ろ)うのようになり、

私(わたし)の奥(おく)深(ふか)くで溶(と)けてしまった。

15 私(わたし)の力(ちから)は乾(かわ)き切(き)り、陶器(とうき)のかけ
 らのようになり、
 舌(した)は菌(ぐ)茎(き)にくっつく。

あなた(あなた)は死(し)の土(つち)ぼりの中(なか)に私(わたし)
 を置(お)く。

16 犬(いぬ)が私(わたし)を取り囲(かこ)み、

悪(あく)党(どう)のよう(よう)に詰(つ)め寄(よ)ってくる。

ライオンのように私の手足にか
みつく。

- 17 私は自分の骨を全部数えること
ができる。

彼らは私を眺め、じっと見つ
める。

- 18 彼らは私の服を分け合い、
私の衣服のためにくじを引く。

- 19 エホバ、遠く離れたままでない
いでください。

私の力である方、急いで私を助
けてください。

- 20 救ってください。私を剣から、
かけがえのないこの命をどう猛
な犬から。

- 21 救ってください。ライオンの口か
ら、野牛の角から。

私に答え、救ってください。

- 22 私はあなたの名を兄弟たちに知
らせ、

会衆の中であなたを賛美する。

- 23 エホバを畏れる人たち、神を賛
美せよ。

ヤコブの全ての子孫、神をたた
えよ。

イスラエルの全ての子孫、畏敬
の気持ちを抱け。

- 24 神は、虐げられている人の苦し
みを軽んじたり無視したり
せず、

顔を背けなかった。

第22編

(7) マタ 27:35
ヨハ 20:25

(4) 詩 34:20
ヨハ 19:36

(4) マル 15:24
ルカ 23:34
ヨハ 19:23, 24

(4) 詩 10:1

(4) 詩 40:13

(4) 詩 22:16

(4) 詩 35:17

(4) ヨハ 17:6

(4) 詩 40:9
ヘブ 2:11, 12

(4) 詩 50:23

(4) 詩 34:6
詩 69:33

(4) 民 6:25

第2編

(4) ヘブ 5:7

(4) 詩 35:18
詩 40:10
詩 111:1

(4) 詩 37:11
イザ 65:13

(4) ゼバ 2:3

(4) 創 22:18
啓 7:9
啓 15:4

(4) 代一 29:11
啓 11:17

第23編

(4) 詩 80:1
エシ 23:3
エゼ 34:12
ペー 2:25

(4) 詩 34:9
詩 84:11
マタ 6:33
フィリ 4:19
ヘブ 13:5

助けを求めて叫ぶと、聞いてくだ
さった。

- 25 私は大きな会衆の中であなたを
賛美する。

神を畏れる人たちの前で誓約を
果たす。

- 26 温厚な人は食べて満足し、
エホバに導きを求める人はその
方を賛美する。

あなたたちが永遠に生きられま
すように。

- 27 地の果てに至るまで、人々は思
い出してエホバの方を向く。
全ての国の人々はあなたの前で
ひれ伏す。

- 28 王権はエホバのもの。
国々に統治している。

- 29 地上の裕福な人は皆、食べて、
ひれ伏す。

土に戻る人は皆、神の前でひざ
まずき、

誰一人自分の命を保てない。

- 30 神に仕える子孫がいる。

次の世代がエホバについて聞く。

- 31 人々は来て、神が行った正しい

ことを、
生まれてくる民に語る。

ダビデの歌。

- 23 エホバは私の牧者。
私は何も不足しない。

- 2 導かれて青々とした牧草地に寝
そべり、

水の豊かな場所^{みづ ゆた ばしょ}で憩^{いこ}いを得^えて、

3 力を取り戻す。

神^{かみ}がご自分^{じぶん}の名^なのために、正^{ただ}し
い道^{みち}に導^{＊みちび}いてくださる。

4 深い陰が覆う谷を歩んでも、

何^{なん}も悪^{わる}いものを恐^{おそ}れない。

あなた[＊]が共にいてくださるから。

あなた[＊]の棒^{ぼう}とつえ[＊]によって安心^{あんしん}で
きる。

5 私の敵の前で、あなたは食卓を 整えてくださる。

頭^{あたま}に油^{あぶら}を塗^ぬってくださる。

私^{わたし}の杯^{さかずき}は満^みたされる。

6 一生涯、あなたの善い行いと揺 るぎない愛は私を離れない。

生^いきている限^{かぎ}り、私^{わたし}はエホバの
家^{いえ}に住^すむ。

ダビデによる。歌。

24 地球とそこにあるもの全て、 大地とそこに住むものはエ

ホバのもの。

2 神が大地を海の上にしっかり

据^すえ、
川^{かわ}の上に固^うく定^{さだ}めた。

3 エホバの山に登れるのは誰か。

聖^{せい}なる場所[＊]に立^たてるのは誰^{だれ}か。

4 手が潔白で、心が清い人。

私^{わたし}に懸[＊]けて偽^{いつわ}りの誓^{ちか}いをしたこと
がなく、

23:2 *もしかすると、「静かな水辺」。23:3

*または、「正しいことを行うよう」。23:4 *また
は、「慰められる」。23:5 *または、「私をもて
なして」。24:4 *または、「私の命」。エホバの
命を指す。

第23編

(ア) エゼ 34:13, 14

(イ) 詩 19:7

詩 51:12

(ウ) 詩 31:3

(エ) ヨブ 38:17

(オ) 詩 3:6

詩 27:1

イザ 41:10

(カ) イザ 43:2

ロマ 8:31

(キ) 詩 22:26

詩 31:19

(ク) ルカ 7:46

ヤコ 5:14

(コ) 詩 16:5

(ク) 詩 103:17

(ケ) 詩 15:1-5

詩 27:4

詩 65:4

詩 122:1

第24編

(イ) 代一 29:11

ヨブ 41:11

コ一 10:26

(ウ) 創 1:9

ヨブ 38:11

詩 136:6

エレ 5:22

(エ) 詩 15:1-5

(イ) サニ 22:21

イザ 33:15, 16

マタ 5:8

第2編

(ア) 詩 34:12, 13

マラ 3:5

(イ) 詩 128:1-5

(ウ) イザ 12:2

(エ) 詩 118:19

詩 122:2

(オ) サニ 6:15

詩 48:1-3

(コ) 詩 93:1

(ケ) 出 15:3

サー 17:47

代二 20:15

イザ 42:13

(ク) 詩 118:19

(イ) 代一 29:11

第25編

(イ) イザ 26:3

(ウ) ロマ 10:11

(イ) 詩 41:11

人^{ひと}を欺^{あざむ}く誓^{ちか}いをしたこともない。

5 その人はエホバから祝福され、

救^{すく}いの神^{かみ}から正^{ただ}しいと認^{みと}めら
れる。

6 これが神に導きを求める人の

世^{せい}代。

ヤコブ^{かみ}の神[＊]、あなた[＊]の好意^{こうい}を得

ようとする人[＊]の世^{せい}代。(セラ)

7 門よ、頭を上げよ。

昔^{むかし}からある扉^{とびら}よ、開[＊]け。

栄^{えい}光^{こう}の王^{おう}が入^{はい}るために。

8 栄光の王とは誰か。

力^{ちから}が強いエホバ、

力^{ちから}強く戦^{たたか}うエホバ。

9 門よ、頭を上げよ。

昔^{むかし}からある扉^{とびら}よ、開[＊]け。

栄^{えい}光^{こう}の王^{おう}が入^{はい}るために。

10 それは誰か、栄光の王とは誰か。

大^{たい}軍^{ぐん}を率^{ひき}いるエホバこそ栄^{えい}光^{こう}の

王^{おう}。(セラ)

ダビデによる。

※ [アーレフ]

25 エホバ、私はあなたに目を 向けます。

□ [ベート]

2 私の神、あなたに頼ります。

私^{わたし}が恥[＊]をかかないようにしてくだ
さい。

敵^{てき}が私^{わたし}を見^みてほくそ笑^えむことが

ないようにしてください。

24:6 *直訳、「顔を求める」。24:7 *または、
「起き上がれ」。25:1 *または、「自分を差し
出し」。

㊦ [ギメル]

- 3 希望を抱いてあなたを待つ人は
決して恥をかきません。
しかし、あくまで不誠実な人は恥
をかきます。

㊦ [ダーレト]

- 4 エホバ、あなたの道を知らせてく
ださい。
その道をどう歩むべきかを教えて
ください。

㊦ [ヘー]

- 5 あなたの真理に従って歩ませ、
教えてください。
あなたは私の救いの神。

㊦ [フーウ]

いちにちじゅう きぼう いだ
一日中、希望を抱いてあなたを
待ちます。

㊦ [ザイン]

- 6 エホバ、思い出してください。
いつも示してくださった、
憐れみと揺るぎない愛を。

㊦ [ヘート]

- 7 若い時の私の罪と違反を思い出
さないでください。

エホバ、あなたの揺るぎない愛
に従って私を思い出してくだ
さい。

あなたは善い方からです。

㊦ [テート]

- 8 エホバは善い方、正しい方。
つみびと い 方 教える。

㊦ [ヨード]

- 9 温厚な人を正しく歩むよう導く。

第25編

(㊦) 詩 69:6

(ㄱ) 詩 31:17

(ㄴ) 出 33:13

詩 86:11

詩 143:8

(ㄷ) 詩 27:11

(ㄹ) 詩 43:3

(ㄴ) 詩 103:17

詩 136:1

(ㄱ) 出 34:6

イザ 55:3

(ㄴ) 詩 6:4

詩 51:1

(ㄴ) 出 33:19

詩 27:13

(ㄴ) 詩 92:15

詩 119:68

詩 145:9

使徒 14:17

(ㄴ) 詩 119:33

イザ 30:20

ミカ 4:2

(ㄱ) ゼバ 2:3

第2編

(㊦) 詩 32:8

(ㄱ) 申 29:1

(ㄴ) 詩 19:7

(ㄷ) 詩 31:3

詩 79:9

詩 109:21

詩 143:11

エゼ 36:22

ダニ 9:19

マタ 6:9

(ㄴ) 詩 111:10

(ㄴ) 詩 37:23

(ㄱ) 詩 31:19

(ㄴ) 詩 37:11

(ㄴ) 格 3:32

ヨハ 15:15

(ㄴ) 創 18:17

創 22:17

アモ 3:7

(ㄴ) 詩 141:8

(ㄱ) 詩 91:3

詩 124:6-8

(ㄴ) 詩 73:21

ご自分の道を温厚な人に教える。

㊦ [カフ]

- 10 エホバの全ての道は揺るぎない
愛の表れであり、信頼できる。
契約と教えるを守り人にとって。

㊦ [ラームド]

- 11 エホバ、あなたの名のために、
過ちを許してください。私の大きな過ちを。

㊦ [メーム]

- 12 エホバを畏れる人は誰か。
神はその人に道を教える。歩むべき道を。

㊦ [ヌーン]

- 13 その人は良いことを経験し、
子孫は地上に住み続ける。

㊦ [サーメク]

- 14 エホバは、ご自分を畏れる人を
親しい友とし、
契約を知らせる。

㊦ [アイン]

- 15 私の目はいつもエホバに向かう。
私の足を網から解放してくだ
さる。

㊦ [ペー]

- 16 顔を向けて親切を示してくだ
さい。

独りきりで無力な私に。

㊦ [ツァーデー]

- 17 私の心の苦しみは増えました。
苦悩から解放してください。

25:10 *または、「思い出させるもの」。 25:13
*または、「地球が与えられる」。

25:6 *または、「昔からの」。

ㄱ [レーシュ]

18 私の苦悩と災難を見てください。
私の全ての罪を許してください。

19 私の敵がどれほど多いかを見て
ください。

どれほど激しく私を憎んでいる
かを。

ㄴ [シーン]

20 私の命を守り、救ってください。
私が恥をかかないようにしてください。
私はあなたのもとに避難しました。

ㄷ [ターウ]

21 潔白で正直であることにより、私
が保護されますように。

私は希望を抱いてあなたを待ち
ます。

22 神よ、イスラエルを全ての苦難から
助け出してください。

ダビデによる。

26 エホバ、私を裁いてください。
い。私は高潔さを捨てず
に歩んでいます。

揺らぐことなくエホバに頼りま
した。

2 エホバ、私を調べ、試してくだ
さい。

奥底の考えと心を清めてくだ
さい。

3 あなたの揺るぎない愛はいつも
私の前にあり、

25:22 *直訳、「買い戻して」。 26:2 *または、「奥底の感情」。直訳、「腎臓」。「または、「精錬して」。

第25編

(ㄱ) サニ 16:12

(ㄱ) 詩 32:5
詩 51:9

(ㄱ) 詩 17:8
詩 121:7

(ㄱ) 詩 41:12

(ㄱ) 詩 37:34

第26編

(ㄱ) 王二 20:3

(ㄱ) 詩 21:7

(ㄱ) 詩 17:3
詩 66:10

第2編

(ㄱ) 詩 43:3
詩 86:11

(ㄱ) エレ 15:17

(ㄱ) 詩 139:21

(ㄱ) 詩 1:1

(ㄱ) 詩 50:23
詩 95:2

(ㄱ) サ一 3:3
代一 16:1
詩 27:4

(ㄱ) 詩 63:2

(ㄱ) サ一 25:29

(ㄱ) サ一 2:9
格 10:9

わたしはあなたの真理に従って歩み
ます。

4 人を欺く者と交友を持ちません。
自分がどんな人かを隠す者を避
けます。

5 悪を行う人との付き合いを嫌い
ます。

悪人との交友を拒みます。

6 エホバ、私は手を洗って自分が
潔白なことを示します。

あなたの祭壇の周りを歩きます。

7 感謝の歌声を響かせ、
あなたの素晴らしい偉業全てを
知らせるために。

8 エホバ、私はあなたが住む家を
愛しています。

あなたの栄光がとどまる所を。

9 私を罪人と共に消し去らないでく
ださい。

私の命を暴力的な人と共に取り
去らないでください。

10 彼らの手は恥ずべき行いに関
わり、

右手は賄賂で満ちています。

11 しかし、私は高潔さを捨てずに歩
みます。

私を助け出し、親切を示してくだ
さい。

12 私は平らな場所に立ち、

26:4 *直訳、「座り」。「または、「偽善者と交流
しません」。 26:5 *直訳、「と座ること」。 26:
9 *または、「血を流す」。 26:11 *直訳、「買い
戻し」。

おお かいしゅう なか * さん び
大きな会衆の中でエホバを賛美
(イ) します。

ダビデによる。

27 エホバは私の光、私の
すく 救い。

だれ おそ ひつよう
誰を恐れる必要があるだろうか。

わたし いのち (ロ)
エホバは私の命のとおり。

だれ ひつよう
誰におびえる必要があるだろ

うか。

2 悪を行う人が私を襲って食い尽
(イ)

くそうとした。

とき わたし てき
その時、私の敵はつまずいて倒

れた。

ぐんたい わたし たい じんえい は
3 軍隊が私に対して陣営を張ろう

とも、

わたし こころ おそ (イ)
私の心は恐れない。

こうげき し か
攻撃を仕掛けてきて、

かみ しんらい うしな
神への信頼を失わない。

わたし (イ) ねが
4 私は1つのことをエホバに願い
もと 求めた。

いま つよ ねが
今も強く願っている。

いっしょうがい いえ す (イ)
一生涯エホバの家に住んで、

うるわ み
エホバの麗しさを見つめ、

かみ しんてん * かんたん なが #
神の神殿を感嘆して眺めるこ

とを。

かみ さいなん ひ わたし ひ なんじょ かく
5 神は災難の日に私を避難所に隠

(イ) してくださる。

かく てんまく (ロ)
隠れがである天幕にかくまい、

いわ うえ たか ところ お
岩の上の高い所に置いてくだ

(イ) さる。

26:12 * 直訳、「集会で」。 27:4 * または、「聖なる所」。 * または、「を思い巡らしながら見る」。

第26編

(イ) 詩 111:1

第27編

(イ) 詩 36:9

詩 43:3

詩 119:105

(イ) 詩 23:4

ロマ 8:31

ヘブ 13:6

(ロ) 詩 62:6

イザ 12:2

(イ) 詩 22:16

(イ) 代二 20:15

代二 32:7

詩 3:6

(イ) 詩 23:6

詩 65:4

(イ) サ一 3:3

代一 16:1

詩 26:8

(イ) 詩 32:7

詩 57:1

ゼバ 2:3

(ロ) 詩 61:4

(イ) 詩 40:2

第2編

(イ) 詩 130:2

(イ) 詩 4:1

詩 5:2

(イ) 詩 63:1

詩 105:4

ゼバ 2:3

(ロ) 詩 69:17

詩 143:7

(イ) 詩 46:1

(イ) 詩 69:8

(イ) イザ 49:15

(イ) 詩 25:4

詩 86:11

イザ 30:20

イザ 54:13

(イ) 詩 31:8

詩 41:2

詩 41:11

いま わたし と かく てき わたし しょう
6 今、私を取り囲む敵に、私は勝
り * 利する。

かみ てんまく かんせい あ ぎ
神の天幕で歓声を上げながら犠

せい ささ
牲を捧げ、

さん び うた #
エホバを賛美して歌う。

7 エホバ、私が声を上げて呼ぶ時、

き (イ)
聞いてください。

しんせつ しめ こた (イ)
親切を示し、答えてください。

わたし こころ かな
8 私の心は語った。「あなたはこう
めい 命じました。

わたし こう い え * つと
『私の好意を得ようと努めな

さい』。

わたし (イ) え
エホバ、私はあなたの好意を得

つと (イ)
ようと努めます。

9 顔を隠さないでください。

わたし いか しりぞ
私を怒りのうちに退けないでくだ

さい。

わたし たす かな (イ)
あなたは私を助ける方。

わたし すく かみ み す
私の救いの神、見捨てないでく

ほう
ださい。放っておかないでくだ

さい。

10 たとえ父と母に捨てられても、

エホバが迎えてくださる。

11 エホバ、あなたの道を教えてください。

さい。

ただ みち * みちび わたし
正しい道に導いてください。私に

てき
は敵がいるからです。

12 敵対者の手に私を渡さないでく

ださい。

27:6 * 直訳、「私の頭は、私を取り囲む敵よりも高く上がる」。 * または、「のために音楽を奏でる」。 27:8 * 直訳、「顔を求めようと」。 27:11 * または、「正しく生きられるよう」。

いつわ かた しやうにん た あ (ワ)
偽りを語る証人が立ち上がり、
わたし はげ おど
私を激しく脅してきます。

13 もし私に信仰がなかったなら、私

はどうなっていただろう。
この地上でエホバの善い行いを
見ることを信じていないなら。

14 希望を抱いてエホバを待て。

勇気を出し、心を強くせよ。

そうだ、希望を抱いてエホバを
待て。

ダビデによる。

28 私の岩であるエホバ、あな
たを呼び続けます。

私が言うことを無視しないでくだ
さい。

あなたが黙ったままであるなら、
私は墓穴に下る人のようになっ
てしまいます。

2 私の願いを聞いてください。助け
を求めて叫ぶ時、

あなたの聖なる所の奥の部屋に
向かって両手を上げて祈る時。

3 悪人と共に、有害なことを行う人
と共に、私を引いていかない
でください。

仲間と平和を語りながら、心に
悪くあるひとととも (ワ)
悪がある人たちと共に。

4 彼らの行いに報いてください、
わる おこな おう
悪い行いに応じて。

27:13 *もしかすると、「私は、この地上でエホバ
の善い行いを見るという信仰を確かに持って
いる」。

第27編

(ワ) マタ 26:59-61

(イ) ヨブ 33:28-30

(ウ) 詩 25:3

詩 62:5

(エ) イザ 40:31

第28編

(ウ) 申 32:4

イザ 26:4

(ウ) ヨブ 33:28

(キ) 詩 5:7

(ウ) 民 16:25,26

詩 26:9

(ウ) 詩 62:4

(ウ) 詩 59:12

エレ 18:22

第2編

(ウ) 詩 62:12

テサ二 1:6

(イ) ヨブ 34:26,27

(ウ) イザ 5:12

(エ) イザ 12:2

(ウ) 創 15:1

サ二 22:3

詩 3:3

(ウ) 詩 56:4

(キ) サ一 16:13

サ二 22:3

詩 20:6

(ウ) 申 9:29

(ウ) イザ 40:11

第29編

(ウ) 代一 16:28,29

かれ て おこな へんぼう
彼らの手が行ったことに返報して

ください、

その行いに応じて。

5 彼らはエホバが行うことも、

神の偉業も心に留めない。

神は彼らを打ち倒す。支えはし

ない。

6 エホバが賛美されますように。

神は助けを求める私の願いを聞

いてくださった。

7 エホバは私の力、私の盾。

私の心は神に頼る。

私は助けられ、心は喜ぶ。

歌で神を賛美する。

8 エホバはご自分の民の力、

とりでであり、ご自分が任命した

者を見事に救う。

9 あなたの民を救い、あなたの財

産である人々を祝福してくだ

さい。

牧者として導き、腕に抱いてくだ

さい、永遠に。

ダビデの歌。

29 力の強い者たち、エホバを
認めよ、

エホバの栄光と力を認めよ。

2 エホバをたたえよ。輝かしい名

を持つ方を。

聖なる装いをしてエホバにひれ

伏せ。

28:8 *直訳、「油を注いだ」。用語集の「油を注
ぐ」参照。 29:2 *もしかすると、「輝かしい神聖
さのゆえに」。「または」、「を崇拝せよ」。

- 3 エホバの^{こえ}声は雲の上で響き渡る。
 栄光の神は雷鳴をとどろかせる。
 厚い雲の上にエホバはいる。
- 4 エホバの^{こえ}声は力強く、
 エホバの^{こえ}声は莊嚴。
- 5 エホバの^{こえ}声は杉を折る。
 レバノンの^{すぎ}杉をエホバは砕く。
- 6 レバノンを^{こやし}子牛のように、
 シルヨンを若い^{わか}野牛のように跳
 びはねさせる。
- 7 エホバの^{こえ}声はひらめく稲妻。
- 8 エホバの^{こえ}声は荒野を震えさせる。
 カデシュの^{こやし}荒野をエホバは震え
 させる。
- 9 エホバの^{こえ}声は、鹿を震えさせて
 出産させる。
 森林を裸にする。
 神の^{かみ}神殿では皆が、「栄光あれ！」
 と言う。
- 10 あふれる水の上にエホバは座る。
 エホバは^{おうざ}王座に座る。王として
 永遠に。
- 11 エホバはご自分の^{じぶん}民に力を与
 える。
 エホバはその^{たみ}民に平和を与えて
 祝福する。
- 詩。家を奉獻する時の歌。ダビデによる。
- 30 エホバ、あなたをたたえま
 す。私を救い出してくだ
 されたから。

29:3 *直訳、「水」。^{みづ}直訳、「多くの水」。^{おほい}29:6 *レバノン山脈と考えられる。29:10 *または、「天の大海」。30:1 *または、「引き上げ
 て」。

第29編

- (ア) サー 7:10
 詩 18:13
 (イ) 詩 104:3
 (ウ) ヨブ 26:11
 ヨブ 40:9
 (エ) イザ 2:12,13
 (オ) 申 3:8,9
 (カ) 出 19:18
 詩 77:18
 (キ) イザ 13:13
 ヘブ 12:26
 (ク) 民 13:26
 (コ) イザ 10:17,18
 エゼ 20:47
 (カ) ヨブ 38:25
 (ケ) テモ 1:17
 (コ) イザ 40:29
 (ク) 詩 72:7

第2編

第30編

- (ア) 詩 25:2
 詩 41:11
 (イ) 王二 20:5
 詩 6:2
 詩 103:3
 (ウ) 詩 86:13
 (エ) 詩 16:10
 詩 28:1
 イザ 38:17
 ヨナ 2:6
 (オ) 詩 32:11
 (カ) 出 3:15
 (キ) イザ 12:1
 (ク) イザ 54:8
 (コ) 詩 126:5
 (カ) サニ 5:12
 詩 89:17

- てき わたし 敵が私のこと^{よろこ}で喜ぶのをあなた
 は許さなかった。
- 2 私の神エホバ、私が助けを求め
 て叫ぶと、あなたは癒やしてく
 だされた。
- 3 エホバ、あなたは私を墓から引
 き上げてくださった。
 墓穴に下つていかなよう助け、
 生き続けるようにしてくだ
 された。
- 4 神に尽くす人たち、エホバを賛
 美して歌え。
 神の聖なる名をたたえよ。
- 5 神の怒りはつかの間であり、
 神の恵みは生涯に及ぶ。
 晩に涙を流しても、朝には喜び
 の声を上げる。
- 6 私は、安らかな気持ちでいた時
 にこう言った。
 「私が動揺することはない」。
- 7 エホバ、あなたの恵みによつ
 て私は山のように強くなりま
 した。
 しかしあなたが顔を隠すと、私は
 おびえました。
- 8 エホバ、私はあなたを呼び続け
 ました。
 エホバに恵みを願ひ続けました。
- 9 私の死に何か良いことがある

30:3 *ヘブライ語、シェオル。用語集参照。30:4 *または、「を揺るぎなく支持する」、「から離れない」。^{はな}または、「のために音楽を奏でよ」。^{はな}30:5,7 *または、「善意」。30:6 *または、「よろける」。^よ30:9 *直訳、「血」。

だろうか、私が墓穴に下るこ
とに。

土はあなたを賛美するだろうか。
あなたが信頼できる方だと言
うだろうか。

10 聞いてください、エホバ、恵みを
与えてください。

エホバ、私を助けてください。

11 あなたは私の嘆きを踊りに変え
てくださった。

私の粗布を取り去り、喜びを着
せてくださった。

12 それであなたを賛美して歌う。

黙ったままではない。

私の神エホバ、あなたを永遠に
賛美します。

指揮者へ。ダビデの歌。

31 エホバ、私はあなたのもと
に避難しました。

私が恥をかかないようにしてくだ
さい。

助け出してください。あなたは正
しい方からです。

2 耳を傾けてください。

急いで助けに来てください。

私のために岩のとりでとなってく
ださい。

私を救う防備された場所となっ
てください。

3 あなたは私の大岩、私のとりで。
あなたはご自分の名のため

31:2 *または、「かがみ込んで聞いて」。

第30編

(㉜) 詩 28:1

(㉜) 詩 6:5
詩 115:17
伝 9:10

(㉜) 詩 88:11
イザ 38:18

(㉜) 詩 143:1

(㉜) 詩 28:7

第31編

(㉜) 詩 18:2

(㉜) 詩 22:4,5
ロマ 10:11

(㉜) 詩 143:1

(㉜) 詩 40:17
詩 70:1
詩 71:2

(㉜) サニ 22:3
詩 18:2

(㉜) サニ 22:2

第2欄

(㉜) 詩 25:11
エレ 14:7

(㉜) 詩 23:3

(㉜) 詩 91:3
マタ 6:13

(㉜) 格 18:10

(㉜) ルカ 23:46
使徒 7:59

(㉜) 申 32:4

(㉜) 詩 9:13

(㉜) 詩 6:7

(㉜) 詩 22:14

(㉜) 格 15:13

(㉜) 詩 71:9

(㉜) 詩 32:3
詩 102:3,5

(㉜) 詩 22:6

詩 42:10
詩 102:8

(㉜) 詩 38:11

に、私を連れ出し、導いてくだ
さる。

4 ひそかに仕掛けられた網から解
放してください。

あなたは私の要塞。

5 私は命をあなたの手に託す。

真理の神エホバ、あなたは私を
救ってください。

6 私は、無価値な偶像を崇拜する
人を憎む。

私はエホバに頼る。

7 あなたの揺るぎない愛を大いに
喜ぶ。

あなたは私の苦悩を見た。

私がひどく苦しんでいることを
知っている。

8 私を敵に引き渡したりせず、
安全な場所に立たせてくださる。

9 エホバ、親切を示してください。
私は苦しんでいます。

苦悩のために衰えました。この
目も、全身も。

10 私の命は悲嘆によって尽きる。

私の年月も、うめきによって。

私の力は過ちによって失われ、
私の骨は弱くなる。

11 私は敵対者全てに、

とりわけ隣人たちにあざけられ、
知人に恐れられる。

人前で私を見る者は逃げていく。

31:5 *または、「生命力」。
*または、「信頼でき
る」。
^直訳、「買い戻して」。
31:8 *または、
「広い」。

- 12 私は彼らの記憶になく、忘れ
去られた。死んでいるかのよ
うに。
私は壊れたつぼのよう。
13 私は悪いことをたくさん言われ、
恐怖に取り囲まれた。
彼らは団結して詰め寄り、
私の命を取り去ろうとたくらむ。
14 エホバ、あなたに頼ります。
私は言います。「あなたは私の神
です」。
15 私の日々はあなたの手の中にあ
ります。
敵から、迫害する人から私を助け
出してください。
16 笑顔を私に向けてください。
揺るぎない愛を示して救ってくだ
さい。
17 エホバ、あなたに呼び掛ける時、
私が恥をかかないようにしてく
ださい。
悪人に、
悪人が恥をかきますように。
墓で沈黙しますように。
18 うそを言う唇が話せなくなります
ように。
正しい人に向かって高慢に語り、
傲慢と侮辱にあふれるその
唇は。
19 あなたは何と善い方なのだろう。
あなたはご自分が善い方である
ことを、あなたを畏れる人に進
んで表し、

31:17 *ヘブライ語、シェオル。用語集参照。

第31編

(7) エレ 20:10

(1) 詩 57:4

(2) 詩 56:4

(3) 詩 43:5

(4) 詩 142:6

(5) 民 6:25

(6) 詩 25:2

イザ 50:7

(7) ネヘ 6:16

イザ 41:11

エレ 20:11

(8) サー 2:9

(9) 詩 12:3

詩 63:11

(10) 詩 73:1

イザ 63:7

(11) イザ 64:4

コエ 2:9

第2欄

(12) 詩 126:2

イザ 26:12

(13) 詩 27:5

詩 32:7

(14) 詩 64:2,3

(15) サー 23:7

(16) 詩 17:7

(17) ヨナ 2:4

(18) 代二 33:13

詩 6:9

格 15:29

ヘブ 5:7

(19) 申 10:12

(20) サー 2:9

詩 145:20

(21) サニ 22:28

イザ 2:11

ヤコ 4:6

(22) イザ 35:4

(23) 詩 62:1

哀 3:20, 21

ミカ 7:7

第32編

(24) イザ 1:18

使徒 3:19

(25) ロマ 4:7,8

あなたのもとに避難する人に皆
の前で示した。

- 20 あなたは隠れがにそれらの人を
かくまい、
人々のたくらみから守る。
避難所に彼らを隠し、
悪意ある攻撃から守る。

- 21 エホバが賛美されますように。
包囲された町にいる私に、神は
素晴らしいことを行って揺るぎ
ない愛を示してください。

- 22 私は慌てふためいて言った。
「あなたの前から消し去られてし
まう」。

しかし、あなたに向かって叫んだ
時、助けを求める私の願いを
聞いてくださった。

- 23 エホバを愛せ、神に尽くす全て
の人たち。

エホバは忠実な人を保護する。
しかし、傲慢な人を厳しく処罰
する。

- 24 勇気を出し、心を強くせよ、
エホバを待つ全ての人たち。

ダビデによる。マスキル。

32 違反を許され、罪を覆われ
る人は幸せだ。

- 2 エホバから罪があると見なされ
ない人、

31:20 *直訳、「舌の言い争い」。 31:23 *または、「を揺るぎなく支持する」、「から離れない」。
32:表題 *用語集参照。 32:1 *または、「許される」。

だれ あざむ ひと しあわ
誰かを欺こうとしない人は幸

せだ。

- 3 私が黙っていると、私の骨は弱つていった。一日中続くうめきによつて。

- 4 あなたの手が昼も夜も私の上に重くのしかかった。

私の気力は奪われた。夏の乾いた熱気にさらされた水のよう

に。(セラ)

- 5 私はついに自分の罪をあなたに告白した。

過ちを隠さなかった。

「違反をエホバに告白しよう」と言った。

すると、あなたは過ちと罪を許してくださった。(セラ)

- 6 それで、あなたに尽くす人は皆、あなたに祈る。

あなたに近づけるうちに。

洪水の水も、その人に達することはない。

- 7 あなたは私の隠れ場。苦難の時に保護してくださる。

救いの歓声で私を囲んでくださる。(セラ)

- 8 「私はあなたに洞察力を与え、進むべき道を教える。

あなたに目を留めて助言を与える。

第32編

(㊦) 格 28:13

(㊦) 詩 38:2

(㊦) 詩 38:18
詩 51:4
ヨ一 1:9

(㊦) レビ 5:5
詩 41:4

(㊦) サニ 12:13
詩 86:5
詩 103:3
イザ 44:22

(㊦) 詩 65:2,3

(㊦) 詩 69:13
イザ 55:6

(㊦) 詩 9:9

(㊦) 出 15:1
サニ 22:1

(㊦) 詩 86:11

(㊦) 格 3:6

第2編

(㊦) 格 26:3
エレ 8:6

(㊦) 詩 34:8
格 13:21
格 16:20

第33編

(㊦) フィリ 4:4

(㊦) 詩 40:3
詩 98:1
詩 149:1
イザ 42:10
啓 5:9

(㊦) 詩 12:6

(㊦) ヨブ 37:23
詩 11:7
詩 45:7

(㊦) 詩 145:16
使徒 14:17

(㊦) ヘブ 11:3

- 9 理解力のない馬やラバのように
なつてはならない。

それらはくつわや手綱によって勢いを抑えなければ従わない。

- 10 悪人の苦痛は多い。

しかしエホバに頼る人は、神の揺るぎない愛に包まれる。

- 11 正しい人たち、エホバのことで喜び、歓喜せよ。

心の正直な人は皆、歓声を上

げよ。

- 33 正しい人たち、エホバのことで歓声を上げよ。

正直な人が神を賛美するのは良

いことだ。

- 2 たて琴を弾いてエホバに感謝せよ。

10 弦の楽器を弾き、神を賛美して歌え。

- 3 神に新しい歌を歌え。

美しく弦を奏で、喜びの声を上げよ。

- 4 エホバの言葉は正しく、神が行うことは全て信頼できる。

- 5 神は正しさと公正を愛する方。エホバの揺るぎない愛は地上に満ちている。

- 6 エホバの言葉によって天が造られた。

口から出る息によって天の全てのものが。

33:2 *または、「のために音楽を奏でよ」。33:6 *直訳、「全軍」。

32:6 *または、「を揺るぎなく支持する」、「から離れない」。

- 7 神は海の水をせき止め、
渦巻く水を倉に収める。
- 8 地上にいる全ての人はエホバを畏れよ。
大地に住む人は皆、神に畏敬の
気持ちを抱け。
- 9 神が語るとその通りになり、
神が命じると存在するように
なった。
- 10 エホバは国々の策略をくじいた。
人々の計画を阻んだ。
- 11 エホバの決定は永遠に存続し、
神の考えは後のどの世代にも
及ぶ。
- 12 エホバを神とする国民は幸せだ。
神が所有物として選んだ民は。
- 13 エホバは天から見下ろし、
全ての人々を見ている。
- 14 自分の住まいから、
地上に住む人を見つめている。
- 15 神は全ての人の心を形作る方。
人が行うこと全てを調べている。
- 16 王は軍隊が大きいから救われる
のではない。
強靱な人も力が強いから救われ
るのではない。
- 17 勝利しようとして馬に頼るのは無
駄である。
馬の強い力によって逃げられる
とは限らない。

33:10, 11 *または、「意図」。 33:10 #または、「考え」。 33:17 *または、「救われよう」。

第33編

(ア) 創1:9
ヨブ38:8-11
格8:29
エ15:22

(イ) 啓14:7

(ウ) 詩148:4,5

(エ) 詩119:90

(オ) イザ8:10
イザ19:3

(カ) 詩21:8,11

(キ) 格19:21
イザ46:10

(ク) 申33:29

(ケ) 詩65:4
詩135:4
ペー2:9

(コ) 詩11:4
詩14:2
格15:3
ヘブ4:13

(コ) 代一28:9
ヨブ34:21
格24:12

(シ) ヨシ11:6

(シ) 代二32:21
詩44:4,5

(セ) 王二7:6,7
詩20:7
格21:31
イザ31:1

第2欄

(ア) ヨブ36:7
詩34:15

(イ) イザ33:15,16

(ウ) 申33:29

(エ) 詩28:7
格18:10

(オ) 詩32:10

(カ) ミカ7:7

第34編

(キ) サー21:12,13

(ク) エレ9:24
コ一1:31

(ケ) 詩35:27

(コ) ヘブ5:7

(ウ) 詩18:48

- 18 エホバの目は神を畏れる人に向
けられている。

神から揺るぎない愛を示される
のを待つ人に。

- 19 死から助け出すため、
飢饉の時に生き続けさせるため
である。

- 20 私たちはエホバに期待を抱く。
神は私たちを助ける方、私たち
の盾。

- 21 私たちの心は神のことで喜び、
神の聖なる名を信頼する。

- 22 エホバ、あなたの揺るぎない愛
が私たちにいつも注がれます
ように。

私たちはあなたを待ち続けます。

ダビデによる。アビメレクの前で気が狂った
ふりをし、追い出されて去った時。

※ [アーレフ]

- 34 私はいつもエホバを賛美
する。
賛美の言葉は絶えず私の口に
ある。

コ [ベート]

- 2 私はエホバを誇りとする。
温厚な人は聞いて、喜ぶ。

1 [ギメル]

- 3 私と共にエホバをあがめよ。
ともに神の名をたたえよう。

7 [ダーレト]

- 4 私が尋ねると、エホバは答えてく
ださった。
全ての恐れから助け出してくだ
さった。

㏍ [ヘー]

- 5 神に目を向ける人の顔は喜びに
輝いた。
彼らが恥をかくことはない。

↑ [ザイン]

- 6 立場が低いこの私が呼ぶと、エ
ホバは聞いてくださった。
全ての苦難から救ってくださった。

㏍ [ヘート]

- 7 エホバの天使は神を畏れる人た
ちの周りにとどまり、
彼らを助け出す。

㏍ [テート]

- 8 エホバが善い神であることを味
わい知れ。
神のもとに避難する人は幸せだ。

㏍ [ヨード]

- 9 エホバを畏れよ、神の聖なる人
たち。
神を畏れる人は何も不足しない。

㏍ [カフ]

- 10 力がある若いライオンも、飢えに
苦しむことがある。
しかしエホバに導きを求める人
は、良いものに不足しない。

㏍ [ラーメド]

- 11 私の子たち、来て、聞きなさい。
エホバへの畏れを教えよう。

㏍ [メーム]

- 12 生きることを喜んでいる人は
誰か。
良い日々を長く送りたい人は。

34:7 *または、「陣取り」。

第34編

- ㏍ サニ 22:1
(イ) 王ニ 6:17
詩 91:11
マタ 18:10
ヘブ 1:7,14
(ウ) 王ニ 19:35
ダニ 6:22
使徒 5:18,19
使徒 12:11
(ロ) ペー 2:3
(イ) 詩 23:1
フリイ 4:19
(ウ) 詩 23:6
詩 84:11
(イ) ヨブ 28:28
格 1:7
格 8:13
(ウ) 申 6:1,2
申 30:19,20
ペー 3:10-12

第2欄

- (イ) ヤコ 1:26
ヤコ 3:8
(イ) 格 12:19
格 15:4
ペー 2:1
(ウ) 詩 37:27
詩 97:10
アモ 5:15
ロマ 12:9
(ウ) マタ 5:9
ヘブ 12:14
(イ) ヨブ 36:7
詩 33:18
(ウ) 詩 18:6
イザ 59:1
(イ) 詩 37:10
格 10:7
(ウ) 詩 145:18,19
(イ) 代ニ 32:22
使徒 12:11
(ロ) 詩 147:3
イザ 61:1
(イ) 詩 51:17
イザ 57:15
イザ 66:2
(ウ) 格 24:16
テモニ 3:12
(ウ) ダニ 6:21,22
コー 10:13

㏍ [ヌーン]

- 13 それならば、悪を語ってはなら
ない。
欺きを語ってはならない。

㏍ [サーメク]

- 14 悪から離れて善を行え。
平和を願い、追求めよ。

㏍ [アイン]

- 15 エホバは正しい人に目を留め、
助けを求める彼らの叫びに耳を
傾ける。

㏍ [ペー]

- 16 しかし、エホバは悪を行う人に
厳しい顔を向ける。
彼らについての記憶を全て地上
から消し去るために。

㏍ [ツァーデー]

- 17 正しい人が叫ぶと、エホバは聞
いてくださった。
全ての苦難から助け出してくだ
さった。

㏍ [コーフ]

- 18 エホバは心が傷ついた人のそば
にいます。
打ちのめされた人を救ってくだ
さる。

㏍ [レーシュ]

- 19 正しい人は多くの苦難に遭う。
しかし、エホバがその全てから
助け出してくださる。

34:13 *または、「舌を悪から、唇を欺きを語る
ことから守れ」。 34:18 *または、「落胆した」。
34:19 *または、「災難」。

㉔ [シーン]

- 20 神はその人の骨を全て守る。
1本も折られることはなかった。

㉕ [ターウ]

- 21 災難によって悪人は死に至る。
正しい人を憎む者は有罪とさ
れる。

- 22 エホバはご自分に仕える人の命
を救う。
神のもとに避難する人は誰も
有罪とされない。

ダビデによる。

- 35 エホバ、私に反対する人た
ちに反論し、
私に対して戦う人たちと戦って
ください。

- 2 小盾と大盾を取り、
私を守るために立ち上がって
ください。

- 3 やりと戦いののおを構え、
私を追ってくる人たちを迎え撃
ってください。

- 「私はあなたを救う」と言って
ください。

- 4 私の命を狙う人たちが恥をかき、
辱められますように。

- 私を消し去ろうとたくらむ人た
ちが面目を失い、退却しますよ
うに。

- 5 彼らが、風に払われるもみ殻の
ようになりますように。

第34編

(㉔) ヨハ 19:36

(ㄱ) 詩 84:11

第35編

(㉔) サー 24:15

(ㄱ) 詩 3:7

(㉔) 出 15:3

(㉔) イザ 42:13

(ㄱ) サー 23:26

(㉔) イザ 12:2

(㉔) エレ 17:18

第2欄

(㉔) 出 14:19,20

イザ 37:36

(ㄱ) 詩 57:6

詩 141:10

(㉔) 詩 18:17

(ㄱ) 詩 40:17

格 22:22,23

(㉔) 詩 27:12

マタ 26:59

(㉔) サー 19:4,5

サー 20:33

エレ 18:20

エホバの天使に追い払われます
ように。

- 6 彼らの道が暗くて滑りやすくなり
ますように。

エホバの天使が彼らを追う時に。
7 彼らは不当にも、私を捕らえる網

を仕掛け、
私を落とす穴を掘りました。

- 8 彼らが不意に災難を被りますよ
うに。

自分で仕掛けた網に掛かり、
穴に落ちて滅びますように。

- 9 私はエホバのことで喜び、
神による救いに歓喜します。

- 10 心から言います。

「エホバ、あなたのような方がい
るでしょう。

あなたは、無力な人を強い人か
ら助け出します。
無力な人、貧しい人を、奪い取る
人から助け出します。」

- 11 悪意を持つ証人たちが進み
出て、

私が知らない事柄を問いたです。

- 12 彼らは善に対して悪を返して
きた。

私は喪失感に襲われる。

- 13 しかし私は、彼らが病気になる
粗布をまとった。

断食して自分を苦しめた。

彼らのための祈りが聞かれない
時は、

- 35:13 *または、「が私の胸に帰ってくる」。

- 34:22 *直訳、「買い戻す」。 35:3 *または、「両刃のおの」。

- 14 友や兄弟のために嘆くかのよう
に歩き回り、

母の死を悼むかのように、悲し

んでうずくまった。

- 15 しかし私が苦境に陥ると、彼らは
喜び、集まった。

待ち伏せて私を打ち倒した

めに。

彼らは私を引き裂くのをやめな

かった。

- 16 神を敬わない人たちは輕蔑して
あざ笑ひ、

私に向かって齒ざしりする。

- 17 エホバ、いつまでただ見ている
のですか。

助け出してください。私を彼らの

攻撃から、

かけがえのないこの命を若いラ

イオンから。

- 18 私は大きな会衆の中であなたに
感謝します。

群衆の中であなたを賛美します。

- 19 理由もなく私の敵となっている人
が、私を見てほくそ笑むことが
ありませんように。

不当にも私を憎む人が、あざ笑
うことがありませんように。

- 20 彼らは平和を語らず、

地上で平和に住む人を欺こうと

たくらみます。

35:15 *または、「中傷する」。 35:19 *または、「
意地悪く目で合図し合う」。

第35編

(㉑) 詩 37:12

(㉒) ハバ 1:13

(㉓) 詩 142:6

(㉔) 詩 22:20
詩 57:4

(㉕) 詩 22:22

(㉖) 詩 69:4
ヨハ 15:24, 25

(㉗) 格 6:12, 13

(㉘) 詩 31:13
エレ 11:19
マタ 26:4

第2編

(㉙) 詩 28:1

(㉚) 詩 10:1
詩 71:12

(㉛) 詩 26:1
詩 96:13

(㉜) 詩 41:1, 2

(㉝) 詩 84:11
詩 149:4

- 21 私に向かって口を大きく開けて非
難し、

こう言います。「ほら見ろ、この目
で見たぞ」。

- 22 エホバ、あなたは見ていまし
た。黙ったままでいないでくだ
さい。

エホバ、私から遠く離れたままで
いないでください。

- 23 おきて、私を守るために立ち上
がってください。

私の神エホバ、訴訟で私の側に
立ってください。

- 24 私の神エホバ、あなたの正しさ
に従って私を裁ってください。
彼らが私を見てほくそ笑むことが
ありませんように。

- 25 彼らが、「どうだ、してやったぞ」
とすることがありませんように。
「われわれは彼をのみ込んだ」と
言うことがありませんように。

- 26 彼らが皆、恥をかって面目を失
いますように、
私の災難をほくそ笑む人が。
私を見下す人が、恥と侮辱をまと
わされますように。

- 27 しかし、私の正しさを喜ぶ人は歡
声を上げますように。
絶えずこう言いますように。

「エホバがあがめられますように。
ご自分に仕える人の平和を喜
ぶ方が」。

わたしはあなたの正しさを詳しく
語り、

一日中あなたを賛美します。

指揮者へ。エホバに仕えるダビデによる。

36 悪人は心の奥に違反が
ある。

彼の目に神への畏れはない。

2 彼はあまにうぬづいて、
自分の過ちを見分けることも憎
むこともできない。

3 その口から出る言葉は有害で人
を欺く。

彼には善を行うための洞察力が
ない。

4 寝床に入っても有害なことをたく
らみ、

善くない道に心を向ける。
悪いことを退けない。

5 エホバ、あなたの揺るぎない愛
は天にまで達します。

あなたの真実さは雲にまで。

6 あなたの正しさは荘厳な山の
よう。

あなたの裁きは広大な水の深み
のよう。

エホバ、あなたは人と動物を生
き続けさせます。

7 神よ、あなたの揺るぎない愛は
何と貴いのでしょ。う。
人々はあなたの翼の陰に避難し
ます。

35:28 *または、「思い巡らし」。36:6 *直訳、
「神の山」。「または、「救い」。

第35編

(7) 詩 51:14

(1) 詩 71:24

第36編

(7) ロマ 3:18

(2) 申 29:19,20

(7) 詩 103:11

(7) 詩 71:19

(3) ロマ 11:33

(7) 詩 145:9
テモ一 4:10

(7) ミカ 7:18

(2) ルツ 2:12
詩 17:8
詩 91:4

第2欄

(7) 詩 65:4

(1) 詩 16:11

(7) ヨブ 33:4
エレ 2:13
使徒 17:28
啓 4:11

(2) 詩 27:1
詩 43:3
ヤコ 1:17
ペー 2:9

(7) 詩 103:17

(7) 詩 7:10
詩 97:11

(7) 詩 1:5

第37編

(7) 詩 73:3
格 23:17

(7) 詩 73:12,19

(2) イザ 1:17
へブ 13:16

(7) 格 28:20

8 あなたの家の最良の物を存分に
飲みます。

あなたは喜びの川の水を飲ませ
ます。

9 あなたは命の源。

あなたの光によって私たちは光
を見ます。

10 あなたを知る人に揺るぎない愛
を示し続けてください。

あなたが正しい方であることを心
の正直な人に示してください。

11 傲慢な人が足で私を踏みつける
ことがありませんように。

悪人が手で私を追い払うことが
ありませんように。

12 悪を行う人は倒れました。
倒され、起き上がれません。

ダビデによる。

N [アーレフ]

37 悪を行う人のせいで腹を立
ててはならない。

悪人をうらやんではならない。

2 彼らは草のようにすぐに枯れ、
若草のようにしおれてしまう。

コ [ベート]

3 エホバに頼り、善を行え。
地上に住み、忠実に歩め。

4 エホバに仕えるのは最高の喜び。
神はあなたの心の願いをかなえ
てくださる。

36:8 *直訳、「肥えた」。37:4 *または、「エホ
バを最高の喜びとせよ」。

J [ギメル]

5 あなたの道をエホバに委ね、神に頼れ。

神があなたのために行動してくださる。

6 神は、あなたの正しさを夜明けの光のように、あなたの公正を真昼の太陽のように、

誰の目にも明らかにしてください。

T [ダーレト]

7 エホバの前で黙っていろ。

辛抱して神を待て。

自分の策略を遂げる人に腹を立ててはならない。

H [ヘー]

8 怒るのをやめ、激怒を捨てよ。腹を立てて悪を行ってはならない。

9 悪を行う人は取り除かれるが、希望を抱いてエホバを待つ人は地上に住み続ける。

J [ワーウ]

10 ほんのもう少しすれば悪人はいなくなる。

彼らがいた場所を見ても、もういない。

11 しかし、温厚な人は地上に住み続け、豊かな平和をこの上なく喜ぶ。

37:5 *直訳、「の上に転がし」。37:8 *もしかすると、「腹を立ててはならない。害をもたらすだけだ」。37:9 *または、「地球が与えられる」。37:11 *または、「地球が与えられ」。

第37編

(7) 詩 55:22
格 16:3

(1) マタ 6:33
フィリ 4:6
ペー 5:6,7

(7) 詩 62:1
哀 3:26

(2) ヨブ 21:7
詩 73:3
エレ 12:1

(7) 格 14:29
エフ 4:26

(7) 詩 55:23

(4) 詩 25:12,13
詩 37:29
マタ 5:5
ペニ 2:9

(7) ヨブ 24:24

(7) サー 25:39
詩 52:4,5

(7) イザ 45:18
マタ 5:5
啓 21:3

(7) 詩 72:7
詩 119:165
イザ 48:18

第2欄

(7) サー 18:21,25

(1) サー 26:9,10

(7) サニ 17:23
エス 7:10
詩 7:15

(7) 格 16:8
格 30:8,9
デモ一 6:6

(7) 詩 16:11

(7) 格 10:7

J [ザイン]

12 悪人は正しい人を陥れようとしたらむ。

その人に向かって歯ざりりする。

13 エホバは悪人を見て笑う。彼の終わりが来ることを知っているからだ。

H [ヘート]

14 悪人は剣を抜き、弓に弦を張る。

虐げられている貧しい人を倒す

ため、正直に歩む人を殺すために。

15 しかし、その剣は彼ら自身の心臓を刺し通し、弓は折られる。

H [テート]

16 正しい人が持つわずかなものは、多くの悪人が持つ豊かなものに勝る。

17 悪人の腕は折られる。しかし、正しい人はエホバが支えてくださる。

* [ヨード]

18 エホバは、非難されるところがない人の歩みを知っている。彼らの財産は永遠に失われ

ない。

19 彼らは災難の時に恥をかかず、飢饉の時にも事欠かない。

J [カフ]

20 しかし、悪人は滅びる。

37:14 *または、「弓を曲げる」。

エホバの敵は、青々とした牧草

地のようにいずれ枯れる。

煙のように消えうせる。

ㄴ [ラーメド]

21 悪人は借りても返さない。

しかし、正しい人は気前よく与える。

22 神からの祝福を受ける人は地上

に住み続けるが、

神からの災いを受ける人は取り除かれる。

ㄴ [メーム]

23 エホバは人の歩みを導く。

その人の道を喜ぶときに。

24 彼はよろけても、倒れ込むことはない。

エホバが手をつかんで支えてくださる。

】 [ヌーン]

25 若かった私も、今は年老いた。

だが、正しい人を見捨てられるのを見たことも、

その子供たちがパンを探すのを見たこともない。

26 彼はいつも惜しみなく貸し、

その子供たちは神から祝福される。

ㄴ [サーメク]

27 悪から離れて善を行え。

第37編

(㉜) 申 15:11
ヨブ 31:16, 22
詩 112:9
格 19:17

(ㄱ) 詩 37:9

(ㄴ) 格 16:9

(ㄷ) 格 11:20

(ㄹ) 詩 34:19
格 24:16

(ㄴ) 詩 91:11, 12

(ㄹ) 詩 94:14
マタ 6:33
ヘブ 13:5

(ㄴ) 申 24:19
詩 145:15
格 10:3

(ㄴ) 申 15:7, 8
詩 112:5

(ㄷ) 詩 34:14
イザ 1:17

第2欄

(㉜) サニ 22:26

(ㄱ) 詩 97:10
格 2:7, 8

(ㄴ) 格 2:22

(ㄷ) 申 30:20
詩 37:9
格 2:21
マタ 5:5

(ㄴ) 馬タ 25:46
啓 21:3, 4

(ㄴ) 馬タ 12:35
エフ 4:29
コ口 4:6

(ㄹ) 申 6:6
詩 40:8

(ㄴ) 詩 121:3

(ㄴ) ペニ 2:9

(ㄷ) 詩 109:31

(ㄹ) 詩 37:22

(ㄴ) 詩 52:5, 6

そうすれば永遠に生きられる。

28 エホバは公正を愛する方。

ご自分に尽くす人を見捨てることはない。

ㄴ [アイン]

その人たちはいつも守られる。

しかし、悪人の子孫は取り除かれる。

29 正しい人は地上に住み続け、
そこで永遠に暮らす。

ㄴ [ペー]

30 正しい人は口で知恵を授け、
舌で公正について語る。

31 神の律法は彼の心の中にあり、
彼の歩みはぐらつかない。

ㄴ [ツァーデー]

32 悪人は正しい人を付け狙い、殺そうとする。

33 しかしエホバは、正しい人が悪人の手に落ちるままにはしない。

正しい人が裁かれる時に有罪とはしない。

ㄴ [コーフ]

34 希望を抱いてエホバを待ち、神の道にとどまれ。

神はあなたを重んじて地上に住み続けさせてくださる。

悪人が取り除かれるのを、あなたは見る。

37:21 *または、「親切に」。 37:22 *または、「地球が与えられる」。 37:23 *または、「しっかりしたものとする」。 37:24 *または、「ご自分の手で」。 37:25 *または、「食べ物」。

37:28 *または、「を揺るぎなく支持する」、「から離れない」。 37:29 *または、「地球が与えられる」。 37:30 *または、「小声で知恵を述べ」。 37:34 *または、「地球を与えて」。

ㄱ [レーシュ]

- 35 私は、悪を行う残酷な人が、
生い茂る野生の木のようにのさばるのを見た。
- 36 しかし、彼は突然に消え去り、いなくなった。
- 彼を捜し続けたが、見つからなかった。

ㄴ [シーン]

- 37 非難されるところがない人に注目し、
正直な人に目を留めよ。
- その人には平和な将来が待っている。
- 38 しかし、違反を犯す人は皆滅ばされ、
悪人の将来は断たれる。

ㄷ [ターウ]

- 39 正しい人の救いはエホバから来る。
- 神は苦難の時の彼らの要塞。
- 40 エホバは彼らを助け、救い出す。
- 悪人から助け出し、救ってくださる。
- 神のもとに避難したから。
- ダビデの歌。思い出すために。

- 38 エホバ、怒って私を戒めな
いでください。

憤って私を正さないでください。

- 2 あなたの矢が私の奥深くにまで
突き刺さり、

第37編

(㉠) エス5:11
ヨブ21:7

(㉡) 出15:9,10

(㉢) 詩37:10

(㉣) ヨブ1:1

(㉤) ヨブ42:12,16

(㉥) 詩1:4
格10:7
ペコ2:9

(㉦) イザ12:2

(㉧) 詩9:9
イザ33:2

(㉨) イザ46:4
コ一10:13

(㉩) 詩22:4
ダニ3:17
ダニ6:23

第38編

(㉪) エレ10:24

第2欄

(㉫) 詩32:4

(㉬) 詩6:2
詩41:4
詩51:8

(㉭) エズ9:6
詩40:12

(㉮) 詩38:3

(㉯) 詩6:7

あなたの手が私の上にのしか
かっている。

- 3 あなたが憤ったので、私の全身
は病んでいる。

私が罪を犯したので、私の内に
安らぎはない。

- 4 私の過ちは頭の上に高く積み重なる。

負い切れない重い荷物のように。

- 5 私の傷は悪臭を放ち、うんで
いる。

私の愚かさのせいで。

- 6 私は苦しみ、すっかりふさぎ込む。
悲しんで一日中歩き回る。

- 7 私の内には焼けるような痛みが
ある。

私は全身が病んでいる。

- 8 私は感覚を失い、完全に打ちの
めされ、

心の苦悩のためにうめき声を上
げる。

- 9 エホバ、あなたは私の願いを全
て知っている。

私のため息はあなたから隠され
ていない。

- 10 私の心臓は激しく鼓動し、力は
尽きた。

目の光は消えた。

- 11 友や仲間、病に侵された私を
避ける。

親しい知人も私と距離を置く。

38:3 *直訳、「私の骨」。 38:7 *直訳、「腰」。

- 12 私の命を狙う人たちはわなを仕
掛け、
私に危害を加えようとする人たちは、私の破滅について語る。
彼らは一日中欺きを口にする。
- 13 しかし、私は耳が聞こえないか
のように、聞かない。
口が利けないかのように、口を
開かない。
- 14 私は聞こえない人のように、
反論を口にしない人のように
なった。
- 15 エホバ、私はあなたを待った。
私の神エホバ、あなたは答えて
くださった。
- 16 私は言った。「彼らが私を見て、
ほくそ笑むことはありませんよ
うに。
足を滑らせるのを見て、私を見下
すことはありませんように。」
- 17 私は倒れそうになった。
いつも痛みを抱えていた。
- 18 私は自分の過ちを告白した。
自分の罪について思い悩んだ。
- 19 しかし、私の敵は活力にあふれ、
強い。
不当にも私を憎む人は、多く
なった。
- 20 彼らは善に対して悪を返して
きた。

38:19 *もしかすると、「理由もなく私の敵となつて
いる人は多い」。

第38編

(7) サニ 16:7
詩 62:4

(4) サニ 16:11

(7) 詩 39:2,9

(4) サニ 16:12
詩 123:2

(4) 詩 138:3

(4) 詩 77:2

(4) 詩 32:5

(7) 詩 51:3

第2編

(7) 詩 22:11
詩 35:22

(4) 詩 27:1
詩 62:2
イザ 12:2

第39編

(7) 代一 16:41
代一 25:1

(4) 格 18:21

(4) 詩 141:3

(4) 詩 38:13
マタ 27:12
ペー 2:23

(4) 詩 90:12

(7) 詩 90:9
ヤコ 4:14

(7) 詩 90:4

ぜん おこな わたし はば
善を行う私を阻もうとした。

- 21 エホバ、私を見捨てないでくだ
さい。
神よ、遠く離れたままでいないで
ください。

- 22 私の救いであるエホバ、
急いで助けに来てください。

指揮者へ。エドトンで。ダビデの歌。

39 私は言った。「自分の歩み に気を付けよう、

言葉で罪を犯さないために。

自分の口を口籠で守ろう、

悪く人に、わたし、まえ、かざ
悪人が私の前にいる限り」。

- 2 私は口が利けず、黙った。

良いことも話さなかった。

しかし、私の痛みは激しかった。

- 3 私の心はくすぶった。

私が思い巡らす間、火は燃え続

けた。

そして私は言った。

- 4 「エホバ、私の終わりがどうなる
かを教えてください。

私の日数がどれほどかも。

自分の命がいかに短いかを知る

ためにです。

- 5 あなたは私の日数をぐくわずか
なものにしました。

あなたの前では私の寿命はない
も同然です。

39:表題 *用語集参照。 39:1 *直訳、「舌」。
#または、「覆って」。 39:2 *または、「ひどくなつ
た」。 39:3 *または、「ため息をつく」。 39:4
*または、「私がいかに知らないか」。 39:5 *直
訳、「手の幅」。

人は皆、しっかり立っているように
見えても、単なる息にすぎま
せん。(セラ)

6 人は皆、動き回る影のようです。
せわしく動きますが、何も得ま
せん。

富を積み上げますが、誰が使う
ことになるかを知りません。

7 ではエホバ、何に希望を抱けば
よいのでしょうか。

あなただけが私の希望です。

8 私の全ての違反を許してくだ
さい。

私が愚かな人に侮辱されないよ
うにしてください。

9 私は口が利けず、
口を開くことができませんでした。

あなたがそうしたからです。

10 あなたの災厄を私から取り除い
てください。

あなたの手が私を打ったので、
私は疲れ果てました。

11 あなたは過ちを犯した人を処罰
して正します。

その人の大切な物を損ないます。
蛾が食い尽くすかのように。

人は皆、単なる息にすぎません。
(セラ)

12 エホバ、私の祈りを聞いてくだ
さい。

助けを求める叫びを聞いてくだ
さい。

第39編

(ア) 詩 62:9
詩 144:4

(イ) 詩 49:10
伝 2:18, 19
伝 4:8
ルカ 12:19, 20

(ウ) 詩 25:11
ミカ 7:19

(エ) ヨブ 40:4
詩 38:13

(オ) サ二 16:10

(カ) 詩 90:8

(キ) 詩 39:5
詩 102:11

(ク) 詩 28:1

第2欄

(カ) レビ 25:23
代一 29:15

第40編

(ク) 詩 34:15

(カ) 詩 33:3
詩 98:1

わたし涙を無視しないでください。
わたしはあなたから見て外国人居住
者にすぎず、

父祖たち全てと同じように通ります。
がりの旅人です。

13 私を厳しい目で見ないでくだ
さい。

私が死んで消え去る前に晴れや
かな気持ちになるようにです。

指揮者へ。ダビデによる。歌。

40 私は希望を抱いて真剣に
エホバを待った。

神は耳を傾け、助けを求める叫
びを聞いてくださった。

2 私を引き上げてくださった。水の
音がとどろく穴から、
ぬかるんだ泥沼から。

私を大岩の上に立たせ、

歩みをしっかりしたものにしてく
だされた。

3 そして、私の口に新しい歌を授け
てくださった。

私たちの神への賛美を。
多くの人はそれを見て畏敬の気
持ちを抱き、
エホバに頼る。

4 エホバに頼る人は幸せだ。
その人は、おごり高ぶる人やうそ
をつく人を当てにしない。

5 私の神エホバ、

39:12 *または、「移住者」。40:1 *または、
「は辛抱強く」。*または、「かがみ込んで聞き」。

なん おお
何と多いでしょう、あなたが
おこな
行ったことは。

す ば いぎょう わたし たい
素晴らしい偉業と私たちに對す
かんが (何)
る考えは。

あなたのような方はいません。
それらを語ったり話したりしよう
としても、

あまりに多くて語り尽くせません。

6 あなたは犠牲や捧げ物を望まず、
わたし みみ ひら (何)
私の耳を開いてくださいました。
ぜんしんよう ささ もの つみ ささ もの もと
全焼の捧げ物と罪の捧げ物を求

めませんでした。

7 私は言いました。「ご覧ください、
わたし き
私は来ました。

まきもの わたし か とお
巻物に私について書いてある通
(何)
りです。

8 私の神、あなたの望まれることを
よろこ おこな (何)
喜んで行きます。

あなたの律法は私の奥深くにあ
(何)
ります。

9 私は大きな会衆の中であなたの
ただ よ し
正しさについての良い知らせ
ひろ (何)
を広めます。

らん わたし うち
ご覧ください、私は口をつぐみま
(何)
せん。

エホバ、あなたがよく知っている
とお
通りです。

10 私はあなたの正しさを心の中に
かく
隠したりしません。

あなたが救ってくださる、信頼で

40:6 *または、「喜ばず」。 40:8 *または、「望まれることを行うのは私の願いです」。

第40編

(何) 啓 15:3

(何) 出 15:11

(何) 詩 139:17, 18

(何) サ一 15:22
詩 51:16, 17
ホセ 6:6

(何) イザ 50:5

(何) ヘブ 10:5-9

(何) ルカ 24:44

(何) ヨハ 4:34

(何) 詩 37:31
ロマ 7:22

(何) 詩 22:22

(何) ヘブ 13:15

第2欄

(何) ヘブ 2:12

(何) 詩 61:6, 7

(何) 詩 71:20

(何) 詩 38:4

(何) 詩 25:17

(何) 詩 38:22
詩 70:1-5

(何) 申 4:29

(何) 詩 13:5

きる、ということをし知らせます。
おお かいしゅう なか
大きな会衆の中で、あなたの揺
るぎない愛と真実さを隠しま
(何)
せん。

11 エホバ、私に憐れみを示すのを
やめないでください。

あなたの揺るぎない愛と真実さ
が、絶えず私を保護しますよ
(何)
うに。

12 数え切れないほどの災難が私を
と かこ (何)
取り囲みます。

あまりに多い自分の過ちに圧
とう さい い みち み
倒され、行くべき道が見えま
(何)
せん。

わたし あやま かみ け おお
私の過ちは髪の毛よりも多く、
こころ
心はくじけました。

13 エホバ、どうか私を救ってくだ
(何)
さい。

エホバ、急いで助けてください。

14 私の命を奪おうとする人が皆、
わたし いのち うば ひと みな
恥をかいて面目を失いますよ
はじ めんぼく うしな
うに。

わたし さいなん よろこ ひと
私の災難を喜ぶ人たちが、
くつじやく たいきやく
屈辱のうちに退却しますように。

15 「いい気味だ！」と私に言う人た
き み わたし い ひと
ちが、

はじ
恥をかいてがくぜんとしますよ
うに。

16 あなたに導きを求める人たちが、
みちび もと ひと (何)
あなたのことで喜び、歓喜します
よろこ かん き
ように。

あなたによる救い^{すく}を切望^{せつぼう}する人^{ひと}
 たちが絶えず^た言いますように。

「エホバがあがめられますよ
 うに」。

- 17 無力^{むりよく}で貧しい私^{わたし}に、エホバが注^{ちゅう}意^いを払ってくださいますように。
 あなたは私^{わたし}を助け、救い出^{すく}す方^{かた}。
 私の神^{かみ}、遅れないでください。

指揮者^{しきしや}へ。ダビデの歌^{うた}。

41

立場^{たちば}が低い人^{ひと}を思いやる人^{ひと}
 は幸^{さい}せだ。

災難^{さいなん}の日^ひにエホバはその人^{ひと}を助^{たす}け出^だす。

- 2 エホバはその人^{ひと}を守^{まも}り、生き続^{つづ}けさせる。

彼^{かれ}は地上^{ちじょう}で、幸^{さい}せな人^{ひと}と言^いわ
 れる。

あなたが彼^{かれ}を敵^{てき}の思^{おも}い通^{とお}りにさ
 せることは決^{けつ}してない。

- 3 エホバは病^{やまい}に伏^ふせる彼^{かれ}を支^{ささ}える。
 病氣^{びょうき}の間^{あいだ}、あなたはその世話^{せわ}を
 する。

- 4 私は言^いった。「エホバ、憐れみ^{あわ}を
 掛^かけてください。

私^{わたし}を癒^いやしてください。あなたに
 対^{たい}して私^{わたし}は罪^{つみ}を犯^{おか}しました」。

- 5 敵^{てき}たちは私^{わたし}について悪^{わる}いことを
 言^いう。

「いつ彼^{かれ}は死^しに、名^なが消^きえ去^さ
 のか」。

第40編
 (詩) 詩 35:27

(イ) 詩 54:4
 イザ 50:7
 ヘブ 13:6

(ウ) 詩 143:7

第41編
 (ウ) 申 15:7,8
 詩 112:9
 格 14:21
 格 22:9

(ウ) マタ 5:7

(ウ) ペニ 2:9

(ウ) 王二 20:5
 詩 103:3

(ウ) 詩 51:1

(ウ) 詩 6:2
 詩 147:3

(ウ) 詩 32:5
 詩 38:3
 格 28:13

第2欄
 (ウ) 詩 3:2
 詩 71:10,11

(イ) サ二 15:12
 ヨブ 19:19
 詩 55:12,13

(ウ) マル 14:18
 ヨハ 13:18
 ヨハ 13:26

(ウ) 詩 31:8
 エレ 20:13

(ウ) 詩 25:21
 格 2:7

(ウ) 詩 34:15

(ウ) 代一 16:36
 代一 29:10

- 6 その1人^{ひとり}が私^{わたし}に会^あいに来^くるとして
 も、その人^{ひと}は心^{こころ}にもないことを
 話^{はな}す。

そして、私^{わたし}に不利^{ふり}な事柄^{こと}を見
 つけ、

出^でていって言^いい触^ふらす。

- 7 私^{わたし}を憎^{にく}む人^{ひと}たちは皆^{みな}、ささやき
 合^あう。

私^{わたし}に對^{たい}して悪^{わる}いことをたくらむ。

- 8 「彼^{かれ}は災難^{さいなん}にみま
 われた。
 病^{やまい}に倒^{たお}れ、二^に度^どと回^{かい}復^{ふく}しないだ
 ろう」。

- 9 私が信^{しん}頼^{らい}していた親^{した}しい友^{とも}、
 一^{いっ}緒^{しょ}にパンを食^たべていた人^{ひと}が私^{わたし}
 に敵^{てき}對^{たい}するようになった。

- 10 エホバ、私^{わたし}に憐^{あわ}れみ^みを掛^かけ、起^お
 き上^あがらせてください。
 彼^{かれ}らに返^{へん}報^{ぼう}するた^ために。

- 11 そして私^{わたし}は知^しる。あなたが私^{わたし}のこ
 とを喜^{よろこ}んでいと。

敵^{てき}が私^{わたし}に向^むかって勝^{しょう}利^りの叫^{さけ}びを
 上^あげられ^みないのを見^{とき}る時^{とき}に。

- 12 私^{わたし}が忠^{ちゅう}誠^{せい}を尽^つくすので、あなたは
 私^{わたし}を支^{ささ}えてくださる。

私^{わたし}を永^{えい}遠^{えん}にあなたの前^{まえ}に置^おいて
 くださる。

- 13 イスラエルの神^{かみ}エホバが賛^{さん}美^びさ
 れますように。

永^{えい}遠^{えん}にわたって。

アーメン、アーメン。

- 41:9 *直訳、「向^むかってかかとを上げた」。

13 *または、「永遠^{えい}から永遠^{えい}まで」。

第2巻 (詩編 42-72編)

42 ^{しきしや}指揮者へ。^{しそん}コラの子孫の^{*}マスキル。
 水の流れを慕う鹿のよ
 うに、
 神よ、私はあなたを慕います。
 2 私は神を、生きている神を求
 める。
 渇きを覚えた人のように。
 いつ私は神の前に出られるのだ
 ろうか。
 3 昼も夜も涙が私の食物となる。
 人々は一日中、「おまえの神はど
 こにいるのか」と私をあざける。
 4 過去のことを私は思い出し、気
 持ちを全て神に伝える。
 私はかつて群衆と共に歩いた。
 前を行ってゆつくり歩いた。神の
 家に向かつて。
 祭りを祝い、喜びと感謝の声を
 上げる群衆と共に。
 5 なぜ私は絶望しているのだろう。
 なぜ心がかき乱されているのだ
 ろう。
 神を待て。
 私は偉大な救い主を賛美する。
 6 私の神、私は絶望しています。
 それであなたを思い出します。
 ヨルダン地方とヘルモンの峰々
 から、
 ミツアル山から。

第42編

(7) 代二 20:19

(1) 詩 63:1

(2) 詩 27:4

詩 84:2

(3) 詩 3:2

詩 42:10

詩 79:10

(4) 申 16:14, 16
代二 30:23, 24

(5) 詩 55:4

マル 14:34

(6) 詩 37:7

哀 3:24

ミカ 7:7

(7) 詩 43:5

(8) 詩 22:1

ヨハ 12:27

(9) ヨナ 2:7

第2編

(10) 詩 88:7

(11) 詩 27:1

(12) 詩 13:1

(13) 詩 38:6

詩 43:2

(14) 詩 3:2

詩 42:3

詩 79:10

(15) 詩 37:7

(16) 詩 42:5

詩 43:5

第43編

(17) 詩 26:1

詩 35:24

(18) 詩 35:1

格 22:22, 23

7 水の深みが水の深みへと呼び掛
 ける。

あなたの渾の音によって。

あなたの荒波に私は圧倒される。

8 昼、エホバは私に揺るぎない愛
 を示してくださる。

夜、私は神について歌い、命を
 与えてくださった神に祈る。

9 私の大きである神に言う。

「なぜ私を忘れたのですか。」

なぜ私は敵に虐げられ、悲し
 んで歩かなければならないので
 すか。」

10 殺意を抱いた敵たちが私をあざ
 ける。

一日中、「おまえの神はどこにい
 るのか」とあざける。

11 なぜ私は絶望しているのだろう。
 なぜ心がかき乱されているのだ
 ろう。

神を待て。
 私は偉大な救い主である私の神
 を賛美する。

43 神よ、私を裁き、
 不忠実な国民との訴訟で
 私の側に立ってください。
 欺きや不正を働く人から助け出
 してください。

42:10 *もしかすると、「私の骨を砕くかのように」。

43:1 *または、「揺るぎない愛を持たない」。

42:表題 *用語集参照。 42:6 *または、「小さい山」。

- 2 あなたは私の神、私の要塞。
なぜ私を捨てたのですか。
なぜ私は敵に虐げられ、悲しんで歩かなければならないのですか。
- 3 あなたの光と真理を送り出してください。
- それらが私を導いてくれますように。
- あなたの聖なる山と偉大な幕屋へ行けるように。
- 4 そして、私は神の祭壇の所に行きます。
- 神のもとへ、あふれる喜びのもとへ。
- 神、私の神。たて琴を弾いてあなたを賛美します。
- 5 なぜ私は絶望しているのだろう。なぜ心がかき乱されているのだろう。
- 神を待て。
- 私は偉大な救い主である私の神を賛美する。
- 指揮者へ。コラの子孫による。マスキル。
- 44 神よ、私たちは自分の耳で聞きました。
- 父祖たちが詳しく話してくれました。
- 彼らの時代に、昔にあなたが行ったことを。
- 2 あなたはご自分の手で国々を追いついて、

第43編

(71) 詩 28:7
詩 140:7

(71) 詩 42:9

(71) 詩 40:11
格 6:23

(71) 詩 5:8
詩 27:11
詩 143:10

(71) 代一 16:1
詩 78:68,69

(71) 詩 84:3

(71) サ二 6:5

(71) 詩 37:7

(71) 詩 42:5,11

第44編

(71) 代二 20:19

(71) 出 13:14
民 21:14
裁 6:13

(71) 申 7:1

第2欄

(71) 出 15:17
詩 78:55
詩 80:8,9

(71) ヨシ 10:5,11
詩 135:10,11

(71) 申 4:38
ヨシ 24:12

(71) サ一 12:22

(71) イザ 63:11-13

(71) 申 7:7,8

(71) 詩 74:12
イザ 33:22

(71) 詩 18:39
フィリ 4:13

(71) 詩 60:12

(71) サ一 17:45
詩 20:7
詩 33:16

(71) ヨシ 24:8

- そこに父祖たちを住ませた。
- あなたは国々を打ち破り、追い出した。
- 3 父祖たちがその土地を取得したのは、自分の剣によるのではない。
- 自分の腕で勝利したのでもない。
- ただあなたの右手と腕と恵みによる。
- あなたは父祖たちのことを喜んだ。
- 4 神よ、あなたは私の王。
- ヤコブが完全に勝利すると宣言してください。
- 5 私たちはあなたの力によって敵対者を追い返す。
- 攻撃してくる人をあなたの名によって踏みつける。
- 6 私は自分の弓に頼らない。
- 私の剣は私を救えない。
- 7 私たちを敵対者から救ったのはあなた。
- 私たちを憎む人をあなたが辱めた。
- 8 私たちは一日中神を賛美する。
- 永遠にあなたの名をたたえる。
- (セラ)
- 9 しかし、あなたは私たちを捨て、辱めた。
- 私たちの軍隊と共に出ていかない。

44:3 *直訳、「顔の光」。44:4 *または、「見事に救われる」。

10 私^{わたし}たちをいつも敵^{てき}対^{たい}者^{しや}の前^{まえ}から
退却^{たいきやく}させ^ける。

私^{わたし}たちを憎^{にく}む人^{ひと}は望^{のぞ}むもの^{もの}を何^{なん}
でも奪^{うば}う。

11 あなたは私^{わたし}たちを引き渡^ひし、食^く
わ^くれる羊^{ひつじ}のよう^{よう}にする。

私^{わたし}たちを国^{くに}々^にに散^ちらした^{した}。

12 あなたはご自^じ分^{ぶん}の民^{たみ}をただも同^{どう}
然^{ぜん}で売^うる。

何^{なん}の利^り益^{えき}も得^えない。

13 あなたは私^{わたし}たちを隣^{りん}人^{じん}から^かの非^ひ
難^{なん}の標^{ひょう}的^{てき}とする。

周^{まわ}りにい^いる皆^{みな}のあざけり^{あざけり}の的^{てき}、笑^{わら}
いものとする。

14 国^{くに}々^にの軽^{けい}蔑^{べつ}の的^{てき}とする。

人^{ひと}々^{びと}はあざけ^あて^て頭^{あたま}を振^ふる。

15 私^{わたし}は一日^{いちにち}中^{ちゆう}屈辱^{くつじやく}を味^{あじ}わい、
恥^はずかしさ^{あつとう}に圧倒^{あつとう}される。

16 のし^{ひと}る人^{ひと}、侮^ぶ辱^{じやく}する人^{ひと}の声^{こえ}が
するから、

復讐^{ふくしゆう}してく^{てき}る敵^{てき}があるから。

17 この全^{すべ}てが降^ふり掛^かか^かつても、私^{わたし}た
ち^{わす}はあなたを忘^{わす}れなかつた。

あなたとの契^{けい}約^{やく}を破^{やぶ}らなかつた。

18 私^{わたし}たちの心^{こころ}はそれなかつた。

私^{わたし}たちの歩^{あゆ}みはあなた^{みち}の道^{みち}から
外^{はず}れな^{はず}い。

19 あなたはジャッカル^{とこ}がすむ所^{ところ}で
私^{わたし}たち^{くだ}を砕^{くだ}いた。

深^{ふか}い陰^{かげ}で私^{わたし}たち^{おお}を覆^{おお}った。

20 もし私^{わたし}たちが、私^{わたし}たちの神^{かみ}の名^なを
忘^{わす}れるなら、

第44編

(7) 申 28:15, 25

(1) 申 28:64

(7) 申 32:30

(2) 申 28:37
代 7:20

(7) 出 34:10

第2編

(7) 詩 139:1
伝 12:14
エレ 17:10

(1) 口マ 8:36

(7) 詩 7:6
詩 78:65, 66(2) ヨブ 13:24
詩 13:1
詩 88:14

(7) 詩 119:25

(7) 詩 33:20

(7) 詩 130:7

第45編

(7) 代 2:20:19

(7) 詩 2:6

(2) サニ 23:2
エズ 7:6
イザ 8:1

あるいは、外^{がい}国^{こく}の神^{かみ}に向^むか^かつて
両^{りやう}手^てを広^{ひろ}げて祈^{いの}るなら、

21 神^{かみ}は気^き付^つくのではない^{ない}か。

神^{かみ}は心^{こころ}の秘^ひ密^{みつ}を知^しって^{いて}いる。

22 私^{わたし}たちはあなた^{いちにちじゆう}のため^{ため}に一日^{いちにち}中^{ちゆう}
死^しにさ^さら^らされて^{いて}いる。

ほふ^ほら^られる羊^{せむつじ}のよう^{よう}に見^みなさ
れ^れた。

23 起^おき^きてくだ^{くだ}さい。エホバ、なぜ
眠^{ねむ}つたま^まで^でいるの^のです^すか。

目^めを覚^さま^ましてくだ^{くだ}さい。私^{わたし}たち^{えいせん}を
永^{えい}遠^{えん}に捨^すてない^{ない}でくだ^{くだ}さい。

24 なぜ顔^{かお}を隠^{かく}すの^のです^すか。
私^{わたし}たちが苦^く悩^{のう}し^{しいた}虐^{わす}げ^げら^られて^{いて}いる

こ^こをな^なぜ忘^{わす}れる^るの^のです^すか。

25 私^{わたし}たちは土^{つち}ぼ^なこ^たり^おの中^{なか}に倒^{たお}され
ま^ました。

私^{わたし}たち^{からだ}の体^じは地^め面^{めん}に押^おし付^つけ^けら
れ^れま^ました。

26 立^たち上^あが^がつてくだ^{くだ}さい、私^{わたし}たち^{たす}を
助^{たす}ける方^{かた}として。

助^{たす}け出^だしてくだ^{くだ}さい、あな^あた^たの揺^ゆ
る^るぎ^ぎな^ない愛^{あい}のゆ^ゆえに^に。

指^し揮^き者^{しや}へ。「ユリ」に合^あわ^わせて。
コ^しラ^らの子^こ孫^{そん}による。マ^まス^すキ^きル。愛^{あい}の歌^{うた}。

45 私^{わたし}の心^{こころ}は良^よいこ^こで沸^わき
立^たつた。

私^{わたし}は言^いう。「私^{わたし}の歌^{うた}は王^{おう}につい^つて
で^である」。

私^{わたし}の舌^{した}が熟^{じゆく}練^{れん}した写^{しや}字^じ生^{せい}の筆^{ひつ}記^き
具^ぐとな^なります^すよう^{よう}に。

44:22 *または、「殺される」。 44:26 *直訳、
「買い戻して」。 45:表題 *用語集参照。 45:1
*または、「書記」。 *または、「尖筆」。

- 2 あなたは人々の中で一番美しい。
快い言葉があなたの口から流れ出る。
それで神はあなたを永遠に祝福した。
- 3 力の強い方、あなたが剣を腰に帯びますように。
威厳と輝きのうちに。
- 4 輝きを帯びて勝利へと進みますように。
真理と謙遜と正義のために乗り進みますように。
あなたの右手は驚くことを成し遂げる。
- 5 あなたの矢は鋭く、人々はあなたの前に倒れる。
矢は王の敵の心臓に突き刺さる。
- 6 神はいつまでも永遠にあなたの王座。
あなたの王国の王笏は公正の王笏。
- 7 あなたは正しいことを愛し、悪いことを憎んだ。
それで、あなたの神はあなたを任命し、
あなたの仲間を喜ばせる以上にあなたを喜ばせた。
- 8 あなたの衣服は全て、没薬、沈香、カシアの香り。

45:4 *または、「成功」。45:7 *または、「神は歓喜の油をあなたの仲間よりもあなたに多く注いだ」。用語集の「油を注ぐ」参照。

第45編

(ア) ヨハ 7:46

(イ) 詩 72:17

(イ) イザ 9:6

(ロ) 啓 1:16
啓 19:15

(ロ) ヘブ 1:3

(ロ) 啓 6:2

(ロ) 啓 19:11

(イ) 詩 2:9
テサ二 1:7,8(イ) 啓 17:14
啓 19:19

(ロ) 詩 89:29,36

(イ) イザ 11:4
エレ 33:15
ヘブ 1:8,9

(イ) ヘブ 7:26

(ロ) マタ 7:23

(イ) イザ 61:1
使徒 10:38

(イ) 詩 21:6

第2欄

(イ) イザ 13:12

壮大な象牙の宮殿から弦楽器の音が聞こえ、あなたは喜ぶ。

- 9 王女たちはあなたの高貴な女性の中にいる。

王妃はオフィルの金で身を飾り、あなたの右に立った。

- 10 娘よ、聞け。注意を払い、耳を傾けよ。

あなたの民と父の家の者たちを忘れよ。

- 11 王はあなたの美しさに引かれる。王はあなたの主。

この方にひれ伏すように。

- 12 ティルスは贈り物を持ってくる。裕福な人たちはあなたの好意を得ようとする。

- 13 宮殿の中にいる王の娘は息をのむほど美しい。

衣装は金で飾られている。

- 14 彼女は見事に織り合わされた衣服を着て王のもとに連れてこられる。

後に続く付き添いの乙女たちもあなたの前に連れてこられる。

- 15 喜びと歓喜にあふれて連れてこられ、

王の宮殿に入る。

- 16 あなたの子たちは父祖たちに取って代わる。

あなたは彼らを全世界で高官に任命する。

45:12 *直訳、「ティルスの娘」。45:14 *もしかすると、「刺しゅう入りの長い衣服」。

(イ) イザ 32:1

17 私はあなたの名がいつの時代までも知られるようにする。

それで人々はあなたをいつまでも永遠に賛美する。

指揮者へ。コラの子孫による。
アラモト調で。歌。

46

神は私たちの避難所、力。
苦難の時、すぐに助けに

なってください。

2 それで私たちは恐れない。たと

え地上に異変が起きても、
山々が深い海の中に落ちても。

3 たとえ海の水がとどろき、激しく
泡立っても。

荒れる海によって山々が揺れ動

いても。(セラ)

4 川があり、その流れは神の都に
喜びを与える。

至高者の聖なる偉大な幕屋に。

5 神は都の中にいる。その都が減
びることはない。

夜明けに神は助けてくださる。

6 国々は騒ぎ立ち、数々の王国は
滅びた。

神が声を上げると大地は溶けた。

7 大軍を率いるエホバは私たちと
共にいる。

ヤコブの神は私たちの安全な避
難所。(セラ)

8 来て、エホバが行うことを見よ。

46:表題 *用語集参照。46:7 *または、「高台」。

第45編

(㉔) 詩 72:17

第46編

(㉔) 代二 20:19

(㉔) 格 14:26

イザ 25:4

(㉔) 申 4:7

詩 145:18,19

ナホ 1:7

(㉔) イザ 54:10

(㉔) 詩 93:4

エレ 5:22

(㉔) 代二 6:6

(㉔) 申 23:14

詩 132:13

イザ 12:6

(㉔) 出 14:24

(㉔) ヨシ 2:24

(㉔) ヨシ 1:9

エレ 1:19

ロマ 8:31

第2欄

(㉔) イザ 11:9

ミカ 4:3

(㉔) イザ 2:11

(㉔) 代一 29:11

(㉔) 代二 20:17

(㉔) 詩 48:3

詩 125:2

第47編

(㉔) 代二 20:19

(㉔) 詩 76:12

(㉔) 詩 22:28

(㉔) 申 33:29

(㉔) 申 9:5

(㉔) 申 7:6

マラ 1:2

神は地上で驚くべきことを行って

きた。

9 神は地上の全ての場所で戦いを
終わらせる。

弓を折り、やりを砕き、

兵車を火で焼く。

10 「降伏し、私が神であることを
知れ。

私は国々でたたえられる。

地上でたたえられる。」

11 大軍を率いるエホバは私たちと
共にいる。

ヤコブの神は私たちの安全な避
難所。(セラ)

指揮者へ。コラの子孫による。歌。

47

全ての民よ、手をたたけ。

神に向かって勝利の歓声を
上げよ。

2 至高者であるエホバは威厳に満
ちる方、

地球全体を治める偉大な王。

3 神は人々を私たちに服従させる。
国々を私たちの足の下に置く。

4 神は私たちに授ける土地を選ぶ。
ご自分が愛するヤコブが誇りとす

る土地を。(セラ)

5 神は歓声に包まれて上った。

エホバは角笛の音と共に上った。

6 神を賛美して歌え。賛美して
歌え。

46:9 *もしかすると、「盾」。47:5 *または、「雄羊の角笛」、「ラッパ」。47:6 *または、「のために音楽を奏でよ」。

わたし おう さん び うた さん
私たちの王を賛美して歌え。賛
び うた
美して歌え。

かみ ちきゅうぜんたい おう
7 神は地球全体の王。

かみ さん び うた どうさつ
神を賛美して歌い、洞察せよ。

かみ くにくに おさ おう (イ)
8 神は国々を治める王となった。

かみ せい おう ざ すわ
神は聖なる王座に座る。

くにくに し どうしゃ あつ
9 国々の指導者たちが集まった。

あぶら かん たみ ども
アブラハムの神の民と共に。

ちじょう し はいしや かみ
地上の支配者たちは神のもの。

かみ ひじょう たか たち ば (イ)
神は非常に高い立場にいる。

うた し しん(イ) し
歌。コラの子孫の詩。

48 エホバは偉大で、大いに賛
び かんた
美されるべき方。

わたし かみ みやこ せい やま
私たちの神の都、聖なる山で。

たか ところ うつく ちじょう すべ
2 高い所において美しく、地上の全

ひと よろこ (イ)
ての人の喜びとなるのは、

きた やま
はるか北にあるシオンの山、偉

だい おう みやこ(イ)
大な王の都。

ぼう び とく なか
3 防備された塔の中で、

かみ じ ぶん あんぜん ひなんじよ*
神はご自分が安全な避難所であ

ることを示した。

み おう あつ *
4 見なさい、王たちが集まった。

ども すす
共に進んできた。

かれ みやこ み おどろ
5 彼らは都を見て驚いた。

あわ きょうふ か
慌てふためき、恐怖に駆られて

に
逃げた。

ふる あ
6 そこで震え上がり、

こ う じょせい
子を産む女性のようにもだえた。

ひがしかぜ
7 あなたは東風によってタルシユ

ふね なん ば
の船を難破させる。

第47編

(イ) エレ 10:7
ゼカ 14:9

(イ) 代一 16:31

詩 96:10

詩 97:1

啓 19:6

(イ) 詩 97:9

第48編

(イ) 代二 20:19

(イ) 哀 2:15

(イ) 詩 47:8

詩 135:21

マタ 5:34, 35

(イ) 詩 125:1

第2欄

(イ) 詩 87:5

イザ 2:2

ミカ 4:1

(イ) 詩 26:3

詩 40:10

詩 63:3

(イ) 詩 113:3

(イ) 詩 17:7

詩 60:5

詩 98:2

(イ) 詩 78:68

(イ) 詩 97:8

(イ) ネヘ 12:38, 39

(イ) イザ 26:1

(イ) 詩 31:14

(イ) イザ 58:11

第49編

(イ) 代二 20:19

わたし き いま じ
8 私たちは、聞いていたことを今自
ぶん め み
分の目で見た。

たいぐん ひき みやこ わたし
大軍を率いるエホバの都、私た

ちの神の都で。

かみ みやこ えいえん
神はその都が永遠にぐらつかな

いようにする。(セラ)

9 神よ、私たちはあなたの揺るぎな

あい おも めく (イ)
い愛を思い巡らします。

あなたの神殿の中で。

10 神よ、あなたへの賛美は、

あなたの名と同じように地の果

てにまで達します。

あなたの右手は正しさに満ちて

います。

11 あなたの裁きによって、シオンの

やま(イ) かん き
山は歡喜し、

ユダの町々は喜びますように。

12 シオンの周りを歩き、一回りせよ。

その塔を数えよ。

13 その土塁に心を留めよ。

その防備された塔を調べよ。

のち せ だい はな
後の世代に話すために。

14 この神は永遠に私たちの神。

ずっといつまでも私たちを導いて

くださる。

し きしや しん(イ) うた
指揮者へ。コラの子孫による。歌。

49 全ての民よ、聞け。

せ かい す すべ ひと ちゅう
世界に住む全ての民よ、注

意を払え。

2 小さな者も大きな者も、

48:11 *直訳、「娘たち」。 48:13 *または、「防
備された城壁」。 48:14 *もしかすると、「私た
ちが死ぬまで」。

48:3 *または、「高台」。 48:4 *または、「落ち
合った」。

ゆうふく ひと まず ひと
裕福な人も貧しい人も。

3 私は口で知恵を語り、

こころ もくそう (けり) かひりよく しめ
心で黙想して理解力を示す。

4 格言に注意を払い、

たと 琴に合せて謎を解き明
かす。

5 苦難の時、私は恐れる必要があ るだろうか。

わたし たお ひと あく なや
私を倒そうとする人の悪に悩まされ
る時に。

6 自分の財産に頼っている人、

ゆた とみ じまん ひと (か)
豊かな富を自慢する人は、

7 誰一人として兄弟を買い戻すこと はできない。

かれ あがな * かみ さ だ
彼ののための贖いを神に差し出す
ことはできない。(か)

8 (人の命を買い戻す代価は非常 に高く、とても支払えない。)

9 彼を永遠に生き続けさせようとし ても。

はかあな み
墓穴を見ないようにさせようとし
ても。(か)

10 全ての人は見る。賢い人でさえ 死ぬのを。

おろ ひと ふんべつ ひと ひと
愚かな人も分別のない人も等し
く滅びるのを。(か)

かれ ざいさん た ひと のこ
彼らは財産を他の人に残すしか
ない。(か)

11 彼らの心の願いは、自分の家が 永遠に存続し、

第49編

(詩) 詩 143:5

(イ) 詩 27:1

(例) 申 8:17, 18
格 18:11

(例) エレ 9:23
テモ— 6:17

(例) 格 11:4
マタ 16:26

(例) 詩 89:48

(例) 伝 2:16
ロマ 5:12

(例) 詩 39:6
格 11:4
格 23:4
伝 2:18
ルカ 12:19, 20

第2欄

(例) 詩 39:5
ヤコ 1:11

(イ) 詩 49:20

(例) ルカ 12:19, 20

(例) マラ 4:3

(例) 詩 39:11

(例) ヨブ 24:19

(例) サ— 2:6
ヨブ 7:9

(例) ヨブ 33:28
詩 16:10
詩 30:3
詩 86:13

(例) ヨブ 1:21
伝 5:15
テモ— 6:17

(例) イザ 10:3

じぶん てんまく だいだいそんぞく
自分の天幕が代々存続すること

である。

かれ じぶん と ち じぶん な まえ
彼らは自分の土地に自分の名前
を付けた。

12 しかし、人は尊ばれていても、生 き続けることはできない。

い じぶん どうぶつ か
いずれ死ぬ動物と変わらない。

13 これが愚かな人たちの結末、 また、彼らに倣う人たち、むなし いことを語って喜ぶ人たちの 結末である。(セラ)

14 彼らは引いていかれる羊のよう に、墓に向かう。

し ひつじか くれ したが
死が羊飼いとして彼らを従える。
あさ しょうじき ひと くれ
朝になると、正直な人たちが彼
らを支配する。

かれ き あとかた (か)
彼らは消え、跡形もなくなる。
きゅうでん はか* (例) す
宮殿ではなく、墓に住むことに
なる。(か)

15 しかし、神は私を墓から救ってく ださる。

わたし
私をしっかりつかんでくださる。
(セラ)

16 恐れてはならない。人が裕福に なっても、

い え めい よ え
その家がますます名誉を得ても。

17 彼は死ぬ時、何一つ持っていけ ない。

めい よ くれ とも くだ
名誉が彼と共に下っていくことは
ない。(か)

49:14 *ヘブライ語、シエオル。用語集参照。

49:15 *または、「墓の力」。用語集参照。"直
訳、「買い戻して」。

49:7 *用語集参照。 49:8 *または、「命のた
めの贖いの」。

18 彼は、生きている間に自分をた
たえる。
(人々は成功する人を見て称賛
する。)

19 しかし彼は結局、亡くなった父祖
たちに加わることになる。
もう光を見ることはない。

20 このことを理解しない人は、たと
え尊ばれていても、
いずれ死ぬ動物と変わらない。

アサフの歌。

50 神の中の神、エホバが話
した。

地上の人々を呼び寄せる。

日が昇る所から沈む所までの
人々を。

2 美しさの極みであるシオンから、
神は輝きを放つ。

3 私たちの神は来る。黙ったままで
はいない。

神の前には焼き尽くす火があり、
周囲では猛烈な嵐が起きている。

4 神は、天に住む者たちと、地上
の人々を呼び寄せる。

ご自分の民を裁くために。

5 「私に尽くす人たちを私のもとに
集めよ。

犠牲に基づいて私と契約を結ぶ
人たちを。

6 天は神の正しさを知らせる。

50:1 *または、「神である者、神」。
*または、「東から西」。
50:5 *または、「を揺るぎなく支
持する」、「から離れない」。

第49編

(7) ルカ 12:19

(7) 格 14:20

(7) 詩 49:12

第50編

(2) 代一 25:1

(2) 詩 95:3

(2) 詩 48:2

哀 2:15

(4) イザ 65:6

(7) 出 19:18

ダニ 7:9,10

ヘブ 12:29

(7) 詩 97:3,4

(2) 申 30:19

申 32:1

イザ 1:2

(7) ミカ 6:2

(2) 出 24:8

第2欄

(7) 詩 75:7

(7) ネヘ 9:30

詩 81:8

(7) 出 20:2

(2) サ一 15:22

イザ 1:11

エレ 7:22,23

ホセ 6:6

(2) ミカ 6:7

(2) 代一 29:14

使徒 17:24

(4) ヨブ 38:41

(7) 申 10:14

ヨブ 41:11

コ一 10:26

(7) ミカ 6:6-8

(2) 詩 69:30,31

格 21:3

ホセ 6:6

ヘブ 13:15

(7) 申 23:21

詩 76:11

伝 5:4

(2) 代二 33:12,13

詩 91:15

(2) 詩 22:21-23

詩 50:23

(2) エレ 7:4

マタ 7:22,23

ロマ 2:21

神こそが裁く方。(セラ)

7 「聞け、私の民。私は話す。

イスラエル、私はあなたを責
める。

私は神、あなたの神。

8 私は犠牲のことであなたを戒め
るのではない。

絶えず私の前にある全焼の捧げ
物のことで戒めるのでもない。

9 私はあなたの家から雄牛を取る
必要はない。

あなたの囲いからヤギを取る必
要もない。

10 森の野生動物は全て私のもの。
どの山にいる獣も。

11 私は山にいる全ての鳥を知って
いる。

野原にいる数え切れない動物も
私のもの。

12 私はたとえ飢えても、それをあな
たに言わない。

大地とその上の全てのものは私
のものだからである。

13 私が雄牛の肉を食べるだろうか。
ヤギの血を飲むだろうか。

14 感謝の気持ちと神への犠牲とし、
至高者への誓約を果たせ。

15 苦難の時に私を呼べ。

私はあなたを助け出し、あなた
は私をたたえる。

16 しかし神は悪人にこう言う。

「どんな権利があって私の規定に
ついて語るのか。

わたし けいやく くち (7)
私の契約を口にするのか。

- 17 あなたは矯正を憎む。

わたし ことば せいむ つづ (4)
私の言葉に背を向け続ける。

- 18 あなたは泥棒を見て喜ぶ。

かんじん ひと つ あ (4)
姦淫をする人と付き合う。

- 19 あなたの口は悪いことを広める。

した あざむ (4)
舌には欺きがある。

- 20 あなたは座って兄弟を非難する。

じぶん はは こ お じど あ (4)
自分の母の子の落し度を見かす。

- 21 あなたがこれらのことをした時、

わたし だま (4)
私は黙っていた。

それで、私があなたと同じだとも
も思っただのか。

いま わたし いまし (4)
今、私はあなたを戒める。

あなたの過ちを明らかにする。

- 22 神を忘れる人よ、どうかこのこと

かんが (4)
を考えてほしい。

さもないと、私はあなたを引き裂
くことになる。

たす だ ひと (4)
助け出す人はいない。

- 23 感謝の気持ち私への犠牲とす

かんじや きもち わたし ぎせい (4)
る人は、私をたたえる。

ただ みち わたし あゆ ひと かみ (4)
正しい道をしっかり歩む人は、神

すく み (4)
による救いを見ることになる。

指揮者へ。ダビデの歌。ダビデがバテ・シバと

かんが (4)
関係を持った後、預言者ナタンが

ダビデのもとに来た時。

- 51 神よ、あなたの揺るぎない

あい したが しんせつ しめ (4)
愛に従って親切を示して

ください。

50:17 *または、「教え」。 50:18 *もしかすると、「仲間になる」。 50:20 *または、「子を受けなす」。

第50編

(7) 申 31:20
ヘブ 8:9

(4) ネヘ 9:26
イザ 5:24

(7) イザ 5:22, 23

(4) エレ 9:5

(7) レビ 19:16

(7) 詩 50:4
伝 12:14

(4) 詩 9:17
エレ 2:32
ホセ 4:6

(7) テサー 5:18
ヘブ 13:15

(7) ミカ 6:8

第51編

(4) サニ 11:3

(7) 民 14:18
詩 25:7
詩 41:4

第2編

(7) 詩 103:13
格 28:13
イザ 43:25
イザ 44:22

(4) イザ 1:18
コヘ 6:11

(7) ヘブ 9:13, 14
ヨヘ 1:7

(4) 詩 32:5
詩 40:12

(7) 創 39:9
サニ 12:13

(7) サニ 12:9
詩 38:18

(4) ロマ 3:4

(7) ヨブ 14:4
ロマ 3:23
ロマ 5:12

(7) サニ 16:7
王二 20:3
代一 29:17

(4) レビ 14:3, 4
ヘブ 9:13, 14

(7) イザ 1:18

(4) 詩 6:2
詩 38:3
イザ 57:15

ふか あわ したが わたし いはん (4)
深い憐れみに従って私の違反を
け さ (7)
消し去ってください。

- 2 私の過ちをことごとく洗い去り、

わたし あやま あら さ (4)
私は罪から清めてください。

- 3 私は自分の違反をよく知ってい

ます。

わたし つみ わたし まえ (4)
私の罪はいつも私の前にあり

ます。

- 4 あなたに、ほかでもなくあなたに

たい *つみ おか (4)
対して罪を犯しました。

あなたから見て悪いことを行い

ました。

それで、あなたが話す事は正

しく、

あなたの裁きはもつともです。

- 5 私は過ちのある者として生まれ、

わたし あやま もの う (4)
私は つみ わたし み (4)
母は罪のうちに私を身ごもりま

した。

- 6 あなたは内面の真実さを喜び

ます。

わたし こころ おくそこ しん ち え り かい (4)
私が心の奥底で真の知恵を理解

できるようにしてください。

- 7 ヒソプで私を罪から清めてくださ

い、私が清くなるように。

わたし さら ゆき (4)
私を洗ってください、雪よりも白

くなるように。

- 8 喜びと歓喜の音を私に聞かせて

ください。

う わたし * よろこ (4)
打ちのめされた私が喜べるよう

にです。

51:3 *または、「頭から離れません」。 51:4 *直訳、「あなただけに」。 51:5 *または、「母が私を身ごもった時から罪深い人間です」。 51:8 *直訳、「あなたに砕かれた骨」。

- 9 私の罪から顔を背け、
全ての過ちを拭い去ってくだ
さい。
- 10 神よ、私の内に清い心をつくって
ください。
- 11 あなたの前から私を追い払わな
いでください。
- 12 あなたによる救いの喜びを再び
味わわせてください。
- あなたに進んで従う気持ち私
の内に呼び起こしてください。
- 13 私は違反を犯す人にあなたの道
を教えます。
- 罪人があなたのもとの帰るた
めに。
- 14 私を流血の罪から救ってください
い。神、私の救いの神よ。
- 私が喜びにあふれてあなたの正
しさを知らせるために。
- 15 エホバ、私の唇を開いてくだ
さい。
- 口であなたを賛美するために。
- 16 あなたは犠牲を望みません。も
し望むのなら、私は捧げたで
しょう。
- あなたは全焼の捧げ物を喜びま
せん。

51:9 *または、「隠し」。 51:11; 52:表題 *用
語集参照。

第51編

(ア) 詩 103:12
イザ 38:17

(イ) ミカ 7:19

(ウ) エレ 32:39

(エ) エゼ 11:19
エフ 4:23

(オ) 詩 21:1

(カ) 使徒 2:38

(キ) 創 9:6

(ク) 詩 38:22
イザ 12:2
啓 7:10

(ケ) ネヘ 9:33
詩 35:28
詩 59:16

ダニ 9:7

(コ) 詩 34:1
詩 109:30
ヘブ 13:15

(カ) 格 21:3

(シ) サ一 15:22
詩 40:6
ホセ 6:6

第2欄

(ア) 王二 22:18,19
代二 33:13

詩 22:24
詩 34:18
格 28:13

イザ 57:15
ルカ 15:22-24
ルカ 18:13,14

(イ) ホセ 14:2

第52編

(ア) サ一 22:9

(エ) サ一 21:7
詩 94:3,4

(オ) 詩 103:17

(カ) 詩 57:4
詩 59:7

(カ) サ一 22:9,18
詩 109:2

- 17 神に喜ばれる犠牲は、悔いる気
持ち。
- 後悔し、打ちのめされた心を、神
よ、あなたは退けません。
- 18 憐れみを掛け、シオンに善いこと
を行ってください。
- エルサレムの城壁を築いてくだ
さい。
- 19 その時、あなたは正しく捧げられ
る犠牲を喜びます。
- 全焼の犠牲と焼き尽くす捧げ物
を喜びます。
- その時、あなたの祭壇に雄牛が
捧げられます。
- 指揮者へ。マスキル。ダビデによる。
エドム人ドエグが来て、サウルに、ダビデが
アヒメレクの家に来たと言った時。
- 52 力の強い人、なぜあなたは
悪い行いを誇るのか。
- 神の揺るぎない愛は一日中絶え
ることがない。
- 2 あなたの舌はかみそりのように
鋭い。
- 害になることをたくらみ、人
を欺く。
- 3 あなたは善よりも悪を愛する。
正しいことではなく、うそを語り
たがる。(セラ)
- 4 ああ、欺きに満ちた舌よ、
あなたは危害を加える言葉全て
を愛する。

51:17 *または、「見下げ」。 51:18 *または、
「善意を示し」。

5 それで神はあなたを永遠に打ち
倒す。

あなたをつかみ上げ、あなたの
天幕から引き離す。

この地上からあなたを引き抜く。
(セラ)

6 正しい人はそれを見て畏敬の気
持ちを抱き、
笑って言う。

7 「この人は神を自分の避難所とし
なかった。

自分の豊かな富を当てにした。
自分の悪巧みに頼った」。

8 しかし私は、神の家の生い茂る
オリーブの木のようになる。
神の揺るぎない愛に頼る、いつ
までも永遠に。

9 私は永遠にあなたを賛美する。
行動してくださったから。

あなたに尽くす人たちの前で、あ
なたの名によって希望を抱く。
それは良いことだから。

指揮者へ。マハラト調で。
マスキル。ダビデによる。

愚かな人は心の中で言う。
「エホバはいない」。

彼らの行動は腐敗していてつま
わしく、正しくない。

善いことを行う人は誰もいない。

52:7 *または、「要塞」。
52:9 *または、「を揺るぎなく支持する」、「から
離れない」。
53:表題；54:表題 *用語集参照。
53:1 *または、「無分別な」。

第52編

(7) 格 12:19
格 19:9

(1) 詩 37:9

(2) 格 2:22

(4) 詩 37:34

(8) 詩 58:10

(4) エレ 17:5

(4) 詩 49:6,7
格 11:28

(2) 詩 13:5
詩 147:11

(2) 詩 50:15

(2) 詩 27:14
詩 123:2
格 18:10

第53編

(2) 詩 10:4
ロマ 1:21

(2) 詩 14:1-7
ロマ 3:10

第2欄

(2) 詩 11:4
詩 33:13-15
エレ 16:17
エレ 23:24

(1) 代一 28:9
代二 15:2
代二 19:1,3
イザ 55:6
ペー 3:12

(2) 伝 7:20
ロマ 3:12

(4) ヨブ 21:7,14

(2) イザ 12:6

第54編

(2) サー 23:19
サー 26:1

(2) 詩 20:1
詩 79:9
格 18:10

2 神は天から人々を見下ろして
いる。

洞察力のある人、エホバに導き
を求める人がいるかどうかを
見るために。

3 人々は皆それていき、
皆一様に腐敗している。
善いことを行う人は誰もいない。
一人もいない。

4 悪を行う人は誰も理解しない
のか。

彼らは、パンを食べるかのように
私の民を食い尽くす。

エホバに呼び掛けな。

5 彼らは強い恐怖に襲われる。
味わったことがないほどの恐
怖に。

神は、あなたを攻撃する人の骨
を散らす。

あなたは彼らに恥をかかせる。
エホバが彼らを退けたから。

6 イスラエルの救いがシオンから
来ますように！

捕らわれた民をエホバが連れ戻
す時、

ヤコブは喜び、イスラエルは歓
喜せよ。

指揮者へ。弦楽器の伴奏と共に。マスキル。
ダビデによる。ジブの人たちが来て、「ダビデは
私たちの所に隠れている」とサウルに言った時。

54 神よ、あなたの名によって
私を救ってください。

53:5 *もしかすると、「恐れるものが何もないの
に恐れる」。

あなたの^{ちから}力で私^{わたし}を守^{まも}ってくだ^{*}

さい。

2 神^{かみ}よ、私^{わたし}の祈^{いの}りを聞^きいてくだ^けさい。

私^{わたし}の言葉^{ことば}に注意^{ちゅうい}を払^{はら}ってくだ

さい。

3 よそ者^{もの}たちが私^{わたし}に敵^{てき}対^{たい}します。

残酷^{ざんこく}な人^{ひと}が私^{わたし}の命^{いのち}を狙^{ねら}います。

彼^{かれ}らは神^{かみ}を敬^{うやま}いません。(セラ)

4 神^{かみ}は私^{わたし}を助^{たす}ける方^{かた}。

エホバは私^{わたし}を支^{ささ}える人^{ひと}たちと共^{とも}

にいます。

5 神^{かみ}は私^{わたし}の敵^{てき}に報^{むく}います。たくらん

だ悪^{あく}は彼^{かれ}ら自^じ身^{しん}に降^ふり掛^かかり

ます。

あなた^{しんじつ}の真^{した}実^がさに従^かって彼^{かれ}らを

消^けし去^さってください。

6 私^{わたし}は進^{すす}んであなた^{ごせい}に犠^{ささ}牲^せを捧^たげ

ます。

エホバ、あなた^なの名^{さん}を賛^び美^めしま

す。それは良^よいことだからです。

7 神^{かみ}はあ^くゆる苦^{なん}難^{すく}から救^{すく}ってくだ

さいます。

私^{わたし}は勝^かち誇^{ほこ}って敵^{てき}を見^みます。

指揮^{しきしや}者^げへ。弦^{げん}楽^{がく}器^きの伴^{ばん}衆^{しゅう}と共に。

マス^{*}キル。ダビ^{*}デによる。

55

神^{かみ}よ、私^{わたし}の祈^{いの}りを聞^きいてく

ださい。

憐^{あわ}れみ^{もと}を求^{ねが}める願^{むし}い^しを無^む視^ししな

い^{*}でくだ^すさい。

54:1 *または、「私の正しさを擁護して」。 54:3

*または、「自分の前に神を置き」。 54:6 *また

は、「良いもの」。 55:表題 *用語集参照。 55:

1 *または、「助けを求めて祈る時、ご自分を隠さ

ないで」。

第54編

(詩) 詩 43:1

(イ) 詩 13:3
詩 65:2

(ウ) 詩 22:16
詩 59:3

(ロ) 詩 36:1

(イ) 代一 12:18
ヘブ 13:6

(ロ) ロマ 12:19

(イ) 詩 143:12

(ウ) 詩 50:14
ヘブ 13:15

(ウ) 詩 7:17
詩 52:9

(ロ) サニ 4:9
詩 34:19
詩 37:39

(イ) 詩 37:34
詩 59:10

第55編

(イ) ペー 3:12

(イ) 詩 28:2
詩 143:7

第2欄

(イ) 詩 17:1

(イ) イザ 38:14

(ウ) サニ 16:5-7

(イ) 詩 69:29

(イ) 詩 18:4
詩 116:3
イザ 38:10

(ウ) サニ 15:14

(イ) サ一 23:14

(ウ) サニ 15:31
サニ 17:7

(ウ) サニ 17:1

(イ) 詩 109:2

(イ) 詩 41:9
マタ 26:21
ヨハ 13:18

2 私^{わたし}に注意^{ちゅうい}を払^{はら}い、答^{こた}えてくだ

さい。

不^ふ安^{あん}で心^{こころ}が休^{やす}まりませ^けん。

私^{わたし}は取^とり乱^{みだ}しています。

3 敵^{てき}の言^{ことば}と悪^{あく}人^{にん}の圧^{あつ}力^{りょく}のせい^で。

彼^{かれ}らは私^{わたし}を散^{さん}々^{ざん}苦^{くる}しめ、

私^{わたし}に怒^{いか}り^{てき}と敵^い意^だを抱^{いだ}く。

4 私^{わたし}の心^{こころ}は苦^く悩^{のう}し、

私^{わたし}は死^しの恐^{きょう}怖^ふに圧^{あつ}倒^{とう}され^ける。

5 恐^{おそ}れてびくびくし、

身^み震^{ふる}いと止^とまらな^い。

6 私^{わたし}は言^いい続^{つづ}ける。「ハト^{つばさ}のよう^にに

翼^{つばさ}があ^られば、

飛^とんでい^あって安^{あん}全^{ぜん}な所^{ところ}に住^すめる

のに!

7 遠^{とお}く^にに逃^にげて、

荒^{こう}野^やで夜^よを過^すごせる^にのに!

(セラ)

8 荒^あれ狂^{くる}う風^{かぜ}から、嵐^{あらし}から逃^{のが}れて、

避^ひ難^{なん}所^{じょ}へす^いぐ^にに行^いける^ののに!

9 エホバ、彼^{かれ}ら^{ごんらん}を混^{けい}乱^{かく}させ、計^{けい}画^{かく}を

阻^{はば}んでくだ^すさい。

私^{わたし}は都^{みやこ}の中^{なか}で暴^{ぼう}力^{りょく}と争^{あらそ}い^みを見^みた

からです。

10 それらは昼^{ひる}も夜^{よる}も城^{じょう}壁^{へき}の上^{うえ}を歩^{ある}

き回^{まわ}る^かのよう^だだ。

惡^{あく}意^いと災^{さい}難^{なん}が都^{みやこ}の中^{なか}にある。

11 そこには破^は滅^{めつ}がある。

虐^{しいた}げと欺^{あざむ}きが広^{ひろ}場^ばから離^{はな}れるこ

と^こはない。

12 私^{わたし}をあ^てぎ^きける^ののは敵^{てき}で^はない。

55:9 *または、「言語を分裂させて」。

てき 耐えられただろう。
わたし む た あ
私に向かって立ち上がったのは
てき
敵ではない。

てき わたし み かく
敵であれば、私は身を隠せた
らう。

- 13 だが、それはあなた、私のよう
ひと。
な人。

し わたし なか まい
よく知っている私の仲間。

- 14 私たちは厚い友情で結ばれた仲
わたし あつ ゆうじよう むす なか
だった。

ぐんしゅう とも かみ いえ ある
群衆と共に神の家へと歩いたも
のだった。

- 15 私の敵たちが破滅するように！
い はか* くだ
生きたまま墓に下っていけ。

かれ す こころ あく
彼らの住まいと心には悪がある。

- 16 私は神に向かって叫ぶ。

すると、エホバは救ってください。

- 17 晩に、朝に、日中に、私は思い
なや *
悩んでうめく。

かみ わたし こえ き
すると、神は私の声を聞いてくだ
さる。

- 18 神は、戦いを仕掛ける人たちが
わたし たす だ * やす あた
ら私を助け出し、安らぎを与え
てください。

わたし む ひと おおぜい
私に向かってくる人は大勢いる。

- 19 神は聞いて、彼らに立ち向かう。
かみ き かれ た む
昔から王座に座っているその方
が。(セラ)

かれ か
彼らは変わろうとしない。

かみ おそ ひと
神を畏れなかった人たちは。

第55編

(㊦) サニ 15:12
サニ 16:23

(㊦) ルカ 22:21
ルカ 22:48

(㊦) サニ 17:23
サニ 18:14

詩 109:15
マタ 27:3,5
使徒 1:16,18

(㊦) 詩 91:15

(㊦) 詩 119:147
ダニ 6:10

(㊦) 詩 5:3

(㊦) 代二 32:7
詩 3:6

(㊦) 詩 143:12

(㊦) 申 33:27
詩 90:2

(㊦) 詩 36:1

第2編

(㊦) サニ 15:12

(㊦) サニ 5:3
伝 8:2

(㊦) サニ 16:23

(㊦) 詩 28:3
詩 62:4

(㊦) 詩 43:5
ペー 5:6,7

(㊦) 詩 37:5
詩 68:19
フィリ 4:6,7

(㊦) 詩 37:23,24
詩 62:2

詩 121:3

(㊦) 詩 55:15

(㊦) 詩 5:6
格 10:27

第56編

(㊦) サニ 21:10

(㊦) サニ 21:12

(㊦) 詩 18:2

- 20 彼は自分と平和な関係にある人
を攻撃した。

けいやく やぶ
契約を破った。

- 21 彼の言葉はバターよりも滑
かだ。

しかし、心には争いがある。

彼の言葉は油よりも心地よい。

しかし、抜き放った剣である。

- 22 重荷をエホバに委ねよ。

そうすれば支えてくださる。

神は正しい人が倒れることを決

して許さない。

- 23 しかし神よ、あなたは悪人を最も
深い穴に下らせる。

流血の罪を負い、人を欺く者は、
寿命の半分も生きることがで

きない。

私はあなたに頼る。

指揮者へ。「遠くにいる沈黙のハト」に合わせて。

ダビデによる。ミクタム。フォリスティア人が

ガトでダビデを捕らえた時。

- 56 神よ、親切を示してください。
さい。

死にゆく人間が私が攻撃する

から。

彼らは一日中戦って私を虐げる。

- 2 敵は一日中かみつこうとする。

私と戦う高慢な人が大勢いる。

- 3 私は恐れる時、あなたに頼る。

- 4 神に頼る。その方の言葉を賛美

する。

55:15 *ヘブライ語、シェオル。用語集参照。

55:17 *または、「騒ぐ」。55:18 *直訳、「買
い戻し」。

55:20 *13,14節に出ている。友だった人のこと。

55:22 *または、「よける」。56:表題 *用語
集参照。56:1 *または、「にかみつく」。

かみ たよ わたし おそ
神に頼る。私は恐れない。
たん ひと わたし なに おこな
単なる人が私に何を行えるとい

うのだろう。

- 5 彼らは一日中、私を悩ます。
わたし き がい くわ あたま
私に危害を加えることしか頭に
ない。

- 6 彼らは攻撃するために身を潜
める。
わたし あゆ み は いのち うば
私の歩みをじっと見張り、命を奪

おうとする。

- 7 悪人である彼らを退けてくだ
さい。
かみ いか いだ くにくに う たち
神よ、怒りを抱いて国々を打ち倒

してください。

- 8 私の放浪の歩みをあなたはよく
知っています。
わたし ほうろう あゆ
私の涙をあなたの革袋に集めて

ください。

あなたの書に記されている私の
涙を。
わたし たす もと ひ てき
9 私が助けを求めるその日に、敵

は退却する。

私は確信している。神が味方で
あることを。
かみ たよ わたし おそ
10 神に頼る。その方の言葉を賛美

する。

エホバに頼る。その方の言葉を
賛美する。
かみ たよ わたし おそ
11 神に頼る。私は恐れない。

単なる人間が私に何を行えると
いうのだろう。
かみ わたし せいやく
12 神よ、私はあなたに誓約したこと

を守っています。

第56編

(7) 詩 27:1
詩 56:10, 11
口マ 8:31
ヘブ 13:6

(7) エレ 18:18

(7) ルカ 20:20

(2) 詩 59:3
詩 71:10

(7) エレ 18:23

(7) サー 27:1

(7) 詩 39:12

(7) マラ 3:16

(7) 詩 18:40

(2) 口マ 8:31

(7) 詩 27:1

(2) 詩 56:4
イザ 51:7, 12

(2) 民 30:2
伝 5:4

第2欄

(7) 詩 50:23

(7) コニ 1:10

(7) 詩 94:18
詩 116:8

(2) ヨブ 33:29, 30

第57編

(7) サー 22:1
サー 24:3
詩 142:表題

(7) 詩 18:2

(7) ルツ 2:12
詩 17:8

(7) 詩 144:7
使徒 12:11

(7) 詩 40:11
詩 61:7

(2) 詩 22:13
詩 35:17

(7) 詩 52:2
詩 64:3
格 25:18

あなたに感謝の犠牲を捧げます。

- 13 あなたは私を死から助け出し、
つまずかないようにしてください
ました。

いのち ひかり
命の光に照らされながら神の前
で歩めるように。

指揮者へ。「滅ばすな」に合わせて。
ダビデによる。ミクタム。ダビデが
サウルから逃げて洞窟に入った時。

- 57 私に親切を示してください。
神よ、親切を示してくだ

さい。

私はあなたのものに避難します。
さいなん す こ
災難が過ぎ去るまで、あなたの
翼の陰に避難します。

- 2 至高者である神に呼び掛けます。
真の神、私のために災難を終わ

らせてくださる方に。

- 3 神は天から助けを与え、救ってく
ださる。

私にかみつこうとする人を封じる。

(セラ)

神は揺るぎない愛と真実さを示
してください。

- 4 私はライオンに囲まれている。
私を食い尽くそうとする人たちの
中で横になるしかない。

彼らの歯は、やりと矢。
舌は鋭い剣。

- 5 神よ、あなたが天でたたえられま
すように。

ちきゅうぜんたい
地球全体でたたえられますよ
うに。

6 彼らは私の足元に網を仕掛けた。

私は苦悩して打ちのめされる。

彼らは私の前に穴を掘った。

しかし彼ら自身がその中に落ち
た。(セウ)

7 私の心は揺らぎません。

神よ、私の心は揺らぎません。

私は歌い、音楽を奏でます。

8 私の心よ、目を覚ませ。

弦楽器もたて琴も目を覚ませ。

私は夜明けを目覚めさせる。

9 エホバ、私は人々の中であなた
を賛美します。

国々であなたを賛美して歌い
ます。

10 あなたの揺るぎない愛は大きく、
天にまで達します。

あなたの真実さは空にまで。

11 神よ、あなたが天でたたえられま
すように。

ちきゅうぜんたい
地球全体でたたえられますよ
うに。

指揮者へ。「滅ぼすな」に合わせる。
ダビデによる。ミクナム。

58 あなたたちは黙っていて、
ただ正しさについて語れる
のか。

人々よ、あなたたちは正しく裁け
るのか。

57:8 *直訳、「栄光」。57:9 *または、「のために音楽を奏で」。58:表題 *用語集参照。

第57編

(㊦) 詩 57:11
詩 108:5

(㊦) 詩 35:7

(㊦) 詩 42:6

(㊦) サー 24:4
格 26:27

(㊦) 詩 112:7

(㊦) 詩 108:2-5

(㊦) 詩 9:11
詩 145:11, 12

(㊦) ロマ 15:9

(㊦) 詩 36:5
詩 103:11

(㊦) 詩 8:1
詩 57:5
詩 108:5

第58編

(㊦) 代 2:19:6

(㊦) 詩 82:2

第2編

(㊦) 伝 3:16
ミカ 3:9

(㊦) 伝 5:8
イザ 10:1, 2

(㊦) 詩 140:3
ヤコ 3:8

(㊦) 格 10:25
エレ 23:19

(㊦) 詩 52:5, 6
詩 64:10
エゼ 25:17
啓 18:20

(㊦) 格 21:18

2 それどころか、あなたたちは心の
中で不正をたくらみ、

自分の手でこの土地に暴力を広
める。

3 悪人は生まれた時から道を踏み
外している。

誕生した時から勝手気ままで、う
そをつく。

4 彼らの言葉は蛇の毒のよう。

彼らは耳が聞こえない。聞こうと
しないコブラのよう。

5 蛇使いの声を聞こうとしない。
どんなに上手に唱えられる呪文
であっても。

6 神よ、彼らの歯を折ってください。
エホバ、ライオンの顎を打ち砕

いてください。

7 彼らが、流れる水のようにいなく
なりますように。

神が弓に弦を張り、矢で倒してく
ださいように。

8 彼らが、溶けていくカタツムリの
ようになりますように。

太陽を見ずに死ぬ胎児のように
なりますように。

9 鍋がいはらの熱で温まる前に、
神は、水気がある枝も燃えてい
る枝も暴風で吹き飛ばす。

10 正しい人は復讐を見て喜び、
足は悪人の血に浸す。

58:3 *または、「腐敗して」。

11 その時、人は言う。「正しい人は
確かに報われる。」

地上の人々を裁く神がいる。

指揮者へ。「滅ぼすな」に合わせて。

ダビデによる。ミクナム。サウルがダビデを殺す
ために部下を遣わして家を見張らせていた時。

59 私の神、敵から助け出して
ください。

攻撃してくる人たちから保護して
ください。

2 悪を行う人から助け出し、
暴力的な人から救ってください。

3 見てください、彼らは待ち伏
せし、

強い者が私を攻撃します。

エホバ、私が反抗したわけでも
罪を犯したわけでもないのに。

4 私は何も悪いことをしていない
のに、彼らは走って、攻撃の用
意をします。

私が呼ぶ時、起き上がって見てく
ださい。

5 大軍を率いる神エホバ、あなた
はイスラエルの神です。
目を覚まして、全ての国に注意を
向けてください。

悪意ある反逆者には憐れみを示
さないでください。(セラ)

6 彼らはいつも夕方に帰ってき
ます。

犬のようにうなり、町をうろつき
ます。

第58編

(ア) イザ 3:10

(イ) 詩 9:16

詩 98:9

第59編

(カ) サー 19:11

(キ) サー 19:12

詩 18:48

詩 71:4

(ク) 詩 12:5

詩 91:14

(コ) サー 19:1

詩 10:9

詩 71:10

(ケ) サー 24:11

サー 26:18

詩 69:4

(コ) 申 33:29

(ク) 格 2:22

(コ) サー 19:11

(イ) 詩 22:16

(イ) 詩 59:14

第2編

(ア) 詩 57:4

詩 64:3

(イ) 詩 10:4,11

詩 73:3,11

(イ) 詩 37:12,13

(イ) 詩 33:10

(イ) 詩 27:1

詩 46:1

(イ) 詩 9:9

詩 62:2

(イ) 詩 6:4

(イ) 詩 54:7

(イ) 創 15:1

申 33:29

詩 3:3

(イ) 詩 64:8

格 12:13

格 16:18

(イ) 詩 7:9

(イ) サー 17:46

詩 9:16

詩 83:17,18

7 彼らの言葉に注意を向けてくだ
さい。

彼らの唇は剣のようであり、

こう言います。「誰も聞いてはい
ない。」

8 しかしエホバ、あなたは彼らのこ
とを笑います。

全ての国をあざ笑います。

9 私の力である方、私はあなたを
待ち続けます。

神は私の安全な避難所。

10 私に揺るぎない愛を示す神が、
助けに来てくださいます。

私が勝ち誇って敵を見るようにし
てください。

11 彼らを殺さないでください。私の
民が忘れないためです。

あなたの力で彼らをさまよわせて
ください。

私たちの盾であるエホバ、彼ら
を追いやってください。

12 言葉で罪を犯す彼らが、
誇りによって捕らえられますよ
うに。

彼らは不幸を願ったり欺いたり
するからです。

13 憤りを抱いて彼らを除いてくだ
さい。

彼らを除き、消し去ってください。
彼らに分からせてください。神が

ヤコブも地の果てまでも治め
ていることを。(セラ)

59:9 *または、「高台」。

59:表題 *用語集参照。59:2 *または、「血に
飢えた」。59:6 *または、「ほえ」。

14 彼らは夕方に帰ってきます。
犬のようにうなり、町をうろつき
ます。

15 食べ物求めてさまよいます。
満足することも休む場所を見つ
けることもありません。

16 しかし私は、あなたの力につい
て歌います。

朝には、喜びにあふれてあなた
の揺るぎない愛について語り
ます。

あなたは私の安全な避難所、
苦難の時に逃れる場所。

17 私の力である方、あなたを賛美
して歌います。

私の安全な避難所。私に揺るぎ
ない愛を示す神。

指揮者へ。「思い出すためのユリ」に合わせて。
ミクタム。ダビデによる。教えるために。
ダビデがアラム・ナハラ임および
アラム・ツォバと戦い、ヨアブが戻って
塩の谷でエドム人1万2000人を討った時。

60 神よ、あなたは私たちを退
け、守備を崩壊させま
した。

私たちに對して怒りました。しか
し今、私たちを受け入れてくだ
さい。

2 あなたは地面を揺らし、引き裂き
ました。
その裂け目を元に戻してくださ
い。地面が崩れたからです。

59:14 *または、「ほえ」。 59:17 *または、「の
ために音楽を奏で」。 60:表題 *用語集参照。

第59編

(㉞) 詩 59:6

(ㄱ) 詩 109:2,10

(ㄴ) ヨブ 37:23
詩 21:13
詩 145:10-12(ㄷ) サー 17:37
詩 61:3

(ㄹ) 格 18:10

(ㄴ) イザ 12:2

(ㄷ) 詩 59:10

第60編

(ㄴ) サニ 8:13
代一 18:3

(ㄴ) 詩 60:10

第2欄

(ㄴ) イザ 51:17

(ㄱ) 詩 18:35
詩 21:8
詩 108:6
詩 118:15
イザ 41:10

(ㄴ) 創 12:6,7

(ㄴ) ヨシ 13:27,28
詩 108:7-9

(ㄴ) ヨシ 13:29-31

(ㄴ) 創 49:10

(ㄷ) 民 24:17
サニ 8:2(ㄴ) 民 24:18
サニ 8:14

(ㄴ) サニ 8:1

(ㄴ) サニ 8:14
詩 108:10-13

3 あなたはご自分の民を苦難に遭
わせました。

よろけさせるぶどう酒を私たちに
飲ませました。

4 あなたを畏れる人に合図を送
てください。

矢をかわしながら逃げられるよ
うに。(セラ)

5 あなたが愛する人たちを助け出
してください。
右手で私たちを救い、答えてくだ
さい。

6 神聖な方である神が話しました。
「私は歓喜し、シェケムを所有地
として与えよう。

スコトの谷を測り分けよう。

7 ギレアデは私のもの。マナセも
私のもの。

エフラ임は私の頭のかぶと。

ユダは私の司令官のつえ。

8 モアブは私のたらい。
私はエドムの上に自分のサンダ
ルを投げる。

フィリスティアに對して勝利の叫
びを上げる。

9 私を包囲された町へ連れていつ
てくれるのは誰ですか。
エドムまで導いてくれるのは誰で
すか。

60:4 *もしかすると、「送っていただきました」。

60:6 *もしかすると、「聖なる場所にいる」。

60:7 *直訳、「とりで」。

60:9 *もしかすると、「防備」。

- 10 それはあなたではありませんか、
わたし しりぞ かみ
私たちを退けた神よ。

もう私たちの軍隊と共に出ていっ
てくださらない、私たちの神よ。

- 11 苦難に遭っている私たちを助け
てください。

人間に救いを求めても無駄なの
です。

- 12 神によって私たちは力を得ます。
かみ わたし ちから え (例)
かみ わたし てきたいしや ふ
神は私たちの敵対者を踏みつけ
ます。

指揮者へ。弦楽器の伴奏と共に。ダビデによる。

- 61 神よ、助けを求める叫びを
き 聞いてください。

わたし いの ちゅうい はら
私の祈りに注意を払ってくだ
さい。

- 2 私は地の果てからあなたに向
かって叫ぶ。

ぜつぼう * とき (例)
絶望している時に。

わたし たか いわ うえ つ
私より高い岩の上に連れていっ
てください。

- 3 あなたは私の避難所、
てき まも きょうこ とう(例)
敵から守る強固な塔。

- 4 私は永遠にあなたの天幕にとど
まり、
つばさ した ひ なん (例)
あなたの翼の下に避難する。

(セラ)

- 5 神よ、あなたは私の誓約を聞き
てくださった。

な おそ ひと
あなたの名を畏れる人のための
ざいなん わたし あた (例)
財産を私に与えてくださった。

61:2 *または、「心が弱くなって」。 61:4 *また
は、「でもてなされ」。

第60編

(例) 申 1:42
申 20:4
ヨシ 7:12
(例) 詩 62:9
詩 118:8
詩 146:3
(例) 詩 18:32
(例) サニ 10:12
詩 44:5

第61編

(例) 詩 5:2
詩 17:1
詩 28:2
詩 55:1
(例) ヨナ 2:2
(例) 詩 27:5
詩 40:2
(例) サ一 17:45
詩 18:2
格 18:10
(例) 詩 23:6
詩 27:4
(例) 詩 63:7
(例) 詩 115:13

第2編

(例) 詩 18:50
詩 21:1,4
(例) サニ 7:16,17
詩 41:12
(例) 詩 40:11
詩 143:12
格 20:28
(例) 詩 146:2
(例) 詩 65:1
詩 66:13
伝 5:4

第62編

(例) 詩 37:39
詩 68:19
イザ 12:2
(例) 詩 18:2
(例) 詩 37:23,24
コ二 4:8,9
(例) 詩 38:12
(例) 詩 5:9
詩 28:3
詩 55:21
(例) 詩 43:5
ミカ 7:7
(例) 詩 62:1,2
詩 71:5

- 6 あなたは王を長生きさせる。

おう ねんげつ なん せ だい およ
王の年月は何世代にも及ぶ。

- 7 王は神の前で永遠に王座に座る。
あなたの揺るぎない愛と真実さ

によって、王が保護されますよ
うに。

- 8 私は永遠にあなたの名を賛美し
て歌う。

まいにち せいやく は (例)
毎日、誓約を果たす。

指揮者へ。エドトンで。ダビデの歌。

- 62 私は黙って神を待つ。
わたし すく かみ く (例)
私の救いは神から来る。

- 2 神は私の岩、救い、安全な避
難所。

わたし どうよう (例)
私がひどく動揺することはない。

- 3 あなたたちは人を殺そうとして襲
うのをやめないのか。

あなたたちは皆、傾いた城壁、
くず いしかべ き
崩れそうな石壁のように危
険だ。

- 4 これらの人、人を高い地位か
ら引き降ろそうと協議し、

うそをつきたがる。
くち しゅくふく ねが こころ わざわ
口では祝福を願うが、心では災
厄が (例)

いを願う。(セラ)

- 5 私は黙って神を待つ。

わたし きぼう かみ く (例)
私の希望は神から来るからだ。

- 6 神は私の岩、救い、安全な避
難所。

61:7 *または、「永遠に住む」。 61:8 *または、
「名のために音楽を奏でる」。 62:表題 *用語集
参照。 62:2 *または、「高台」。 62:3 *もし
かすると、「あなたたちは皆、その人を傾いた城
壁、崩れそうな石壁のように見なす」。 62:4 *ま
たは、「人の尊厳を失わせよう」。

わたくし どうよう
私が動揺することはない。

- 7 私の救いと栄光は神から来る。
神は私の強固な岩、避難所。

- 8 民よ、いつでも神に頼れ。

あなたの気持ちを全て神に伝
えよ。

神は私たちの避難所。(セラ)

- 9 人々はただの息、人は幻影。

まとめてはかりに掛けても、息よ
り軽い。

- 10 脅し取ることを当てにしたり、
強奪に期待をかけたりしてはな
らない。

資産が増えたとしても、得意に
なつてはならない。

- 11 1度、神は話し、2度、私は聞
いた。

力が神のものであると。

- 12 エホバ、揺るぎない愛もあなた
のもの。

あなたは各人に、行いに応じて
報いる。

ダビデの歌。ユダの荒野にいた時。

- 63 神よ、あなたは私の神、あ
なたを探し続けます。

渇きを覚えた人のように、あなた
を求めます。

あなたを慕って弱り衰えました。
水がながく乾き切った土地で。

- 2 私は聖なる場所であなたを見つ
めた。

あなたの力と栄光を見た。

第62編

(例) 詩 16:8
格 10:30
(例) 詩 95:1
イザ 26:4
(例) サー 1:15
(例) 格 14:26
(例) 詩 60:11
(例) イザ 40:15
(例) 申 6:10-12
ヨブ 31:24, 28
格 11:4, 28
格 23:4, 5
マタ 6:19, 24
マル 8:36
ルカ 12:15
テモ 6:17
ヨ一 2:16

(例) ヨブ 9:4
ナホ 1:3
啓 19:1
(例) 詩 36:7
詩 86:15
ミカ 7:18
(例) ヨブ 34:11
格 24:12
ロマ 2:6
ユニ 5:10
ガラ 6:7
テモ 2:4-14
啓 20:12, 13
啓 22:12

第63編

(例) サー 23:14
(例) イザ 26:9
(例) 詩 42:2
(例) 詩 63:表題
詩 143:6
(例) 代一 16:28
詩 96:6

第2欄

(例) 詩 30:5
詩 100:5
(例) 詩 66:16, 17
(例) 詩 71:23
詩 135:3
(例) 詩 119:55, 148
(例) サー 17:37
(例) 詩 5:11
詩 57:1
詩 61:4
(例) イザ 41:10

第64編

(例) 詩 55:1

- 3 あなたの揺るぎない愛は命より
も価値がある。

私はあなたをたたえる。

- 4 一生涯あなたを賛美し、
あなたの名を呼びながら両手を
上げて祈る。

- 5 選び抜かれた最良の部分に満
足し、

喜びの声を上げてあなたを賛美
する。

- 6 あなたのことを寝床の上で考え、
夜警時の間に思い巡らす。

- 7 あなたは私を助ける方。

私はあなたの翼の陰で歓声を上
げる。

- 8 私はあなたにすっかり付く。

あなたは私を右手でつかんで離
さない。

- 9 だが、私を殺そうとする人は、
地下深くに下っていく。

- 10 剣で殺され、
ジャッカル*の餌食になる。

- 11 王は神のことで喜ぶ。
神に懸けて誓う人は皆、歓喜
する。

うそをつく人は沈黙させられる。

指揮者シキヤへ。ダビデの歌。

- 64 私の声を聞いてください、
神よ、私の願いを。

63:5 *または、「最良のものを食べる人のよう
に」。 63:10 *または、「キツネ」。 63:11 *ま
たは、「誇る」。

おそ てき わたし いのち まも
恐ろしい敵から私の命を守ってく
ださい。

2 保護してください。悪人のひそか
なたくらみから、

あく おこな ぐんしゅう
悪を行う群衆から。

3 彼らは舌を剣のように研ぎ、
ざんこく ことば や はな
残酷な言葉を矢のように放とうと
する。

4 罪のない人を隠れ場から射る。

おそ とつぜん い
恐れもせず、突然に射る。

5 彼らは悪巧みを捨てようとし
ない。

わなをどう仕掛けるか相談する。

そして言う。「誰も気付かない」。

6 彼らは悪を行う新たな方法を
さが
探す。

ぬ め さくりやく かんが
抜け目がない策略をひそかに考
え出す。

かくじん こころ かんが ふか こころ
各人の心の考えは深い所に

ある。

7 しかし、神は彼らを矢で射る。

ふ い かれ きず お
不意に彼らは傷を負う。

8 彼らがたくらんで語ったことが、
かれ じしん はめつ (イ)
彼ら自身を破滅させる。

み ひと みな あたま
見る人は皆、あざけて頭を
振る。

9 その時、全ての人は恐れ、

かみ おこな こと し
神が行った事を知らせる。

その方の行いを洞察する。

10 正しい人はエホバのことで喜び、

第64編

(イ) 詩 56:6
詩 109:2

(イ) 詩 10:4,11
詩 59:7

(イ) 詩 140:5

(イ) 詩 7:11,12

(イ) 格 12:13
格 18:7

(イ) 詩 107:40,43

第2編

(イ) 詩 58:10
詩 68:2,3

第65編

(イ) 詩 76:2

(イ) 詩 116:18
伝 5:4

(イ) 詩 145:18
使徒 10:31
ヨ一 5:14

(イ) 詩 40:12
ロマ 7:23,24
ガラ 5:17

(イ) 詩 51:2
イザ 1:18
ヨ一 1:7

(イ) 詩 15:1-5
詩 27:4
詩 84:1-4
詩 84:10

(イ) 詩 36:7,8

(イ) サ一 3:3
代一 16:1

(イ) 申 10:21
啓 15:3

(イ) 詩 22:27

(イ) 詩 93:1

(イ) 詩 89:9
詩 107:29

(イ) イザ 17:12,13
イザ 57:20

そのもとに避難する。

こころ しょうじき ひと みな かん き *

心の正直な人は皆、歡喜する。

し きしや へ。ダビデの詩。歌。

65 神よ、あなたへの賛美がシ

オンにあります。

わたし 私たちはあなたへの誓約を果た
します。

2 祈りを聞く方、あなたのもとにあ
らゆる人が来ます。

3 私は自分の過ちに圧倒されま
した。

しかし、あなたは違反を許してく
ださい。

4 幸です、あなたに選ばれて近く
に招かれ、

あなたの庭に住む人は。

私たちはあなたの家の良いもの
に満足します。

あなたの聖なる神殿で。

5 私たちの救いの神よ、
驚くべき正しい行いによって、あ

なたは答えてくださいます。

すべての人があなたを信頼します。
地の果てに至るまで、

海の向こうの遠くに至るまで。

6 あなたの力によって山々はしっか
り据えられた。

あなたは力強さをまとっている。

7 荒れ狂う海をあなたは静める。
くだ なみ くにくに そうらん (イ)
砕ける波も、国々の騒乱も。

64:10 *または、「誇る」。65:3 *直訳、「覆つて」。65:4 *または、「聖なる所」。

64:5 *または、「悪を行うよう誘い合う」。

8 遠くに住む人たちはあなたが
うことを見て畏敬の気持ちを
抱く。

日が昇る所でも沈む所でも人々
は歓声を上げる。

9 あなたは地球に気を配り、
あふれるほどの実りと豊かさを与
える。

あなたは川を水で満たす。

人に穀物を与える。

このように地球を整えた。

10 あなたは畝の間に水を満たし、
耕された土をならす。

降り注ぐ雨で土をほぐす。成長は
あなたの祝福による。

11 あなたは1年を通じて良いものを
与える。

あなたの道は豊かさであふれる。

12 荒野の牧草地は絶えず潤う。
丘は喜びをまとう。

13 牧草地は羊の群れで覆われ、
谷は穀物で敷き詰められる。
勝利の叫びを上げ、まさに歌う。

指揮者へ。歌。詩。

66 地上の全ての人よ、神に向
かって勝利の叫びを上
げよ。

2 神の輝かしい名を賛美して歌え。
神をたたえ、賛美せよ。

65:8 *直訳、「のしるし」。65:10 *または、「畝」。65:13 *または、「谷あいの平原」。66:

2 *または、「名のために音楽を奏でよ」。

第65編

(㊦) 詩 66:3

(㊦) 申 11:11, 12

使徒 14:17

(㊦) 詩 104:14, 15

(㊦) 詩 147:7, 8

(㊦) 創 27:28

申 33:16

マラ 3:10

(㊦) イザ 35:1

(㊦) イザ 55:12

(㊦) イザ 30:23

(㊦) 使徒 14:17

第66編

(㊦) 詩 98:4

(㊦) 詩 72:19

啓 4:11

第2欄

(㊦) 出 15:16

詩 76:12

イザ 2:19

エレ 10:10

(㊦) 詩 81:15

(㊦) 詩 22:27

マラ 1:11

(㊦) イザ 42:10

啓 15:4

(㊦) 詩 46:8

ゼバ 2:11

(㊦) 出 14:21, 22

(㊦) ヨシ 3:15, 16

(㊦) 出 15:1

(㊦) ダニ 4:34

デモ 1:17

(㊦) 詩 11:4

格 15:3

ヘバ 4:13

(㊦) イザ 37:29

(㊦) 申 32:43

ロマ 15:10

(㊦) サ 25:29

(㊦) サ 2:9

詩 121:3

(㊦) 申 8:2

3 神に言え。「驚くことをあなたは
行いました。

あなたは偉大な力を持つ方です。

敵はあなたの前で身をすくめ
ます。

4 地上の全ての人々はあなたにひれ
伏します。

あなたを賛美して歌います。

あなたの名を賛美して歌います。

(セラ)

5 来て、神が行ったことを見よ。
驚くことを人々に對して行った。

6 神は海を乾いた地面に変えた。
人々は川を歩いて渡った。

私たちは神がしてくださったこと
を喜んだ。

7 神は力強さによって永遠に治
める。

国々を目で見張る。

意地を張る人は思ひ上がったは
ならない。(セラ)

8 人々よ、私たちの神を賛美せよ。
神への賛美の声を響かせよ。

9 神は私たちを生き続けさせる。
つまづかないようにしてください。

10 神よ、あなたは私たちを調べた。
銀を精錬するように、私たちを精
錬した。

11 あなたは私たちを狩猟の網に追
い込み、

66:9 *または、「よろけぬ」。

じゅうあつ* くわ
重圧を加えた。

- 12 死^しに^{にんげん}人間^のに^{すす}乗^{わたし}り進^{わたし}ませ、私^{わたし}たちの上^{うへ}を通^{とお}らせた。

わたし ひ なか みず なか
私たちは火の中、水の中を通^{とお}った。

あなたは安^{やす}らげる場所^{ばしょ}へと導^{みちび}いてくださった。

- 13 私^{わたし}は全^{ぜんしょう}焼^{ささ}の捧^{もの}げ物^もを持^もってあな^{わたし}たの家^{いえ}に入り、

あなたへの誓^{せいやく}約^はを果た^はした。

- 14 苦^く難^{なん}の時^{とき}、唇^{くちびる}で約^{やくそく}束^くし、口^{くち}で語^{かた}った誓^{せいやく}約^はを。

- 15 私^{わたし}は肥^こえた動物^{どうぶつ}の全^{ぜんしょう}焼^{ささ}の捧^{もの}げ物^もを捧^{ささ}げる。

おつじ ぎ せい けむり た のほ
雄羊^{おつじ}を犠^ぎ牲^{せい}にして煙^{けむり}を立^たち上^{のほ}らせる。

雄牛^{おうし}を雄^おヤギ^{とも}と共に捧^{ささ}げる。

(セラ)

- 16 神^{かみ}を畏^{おそ}れる人^{ひと}は皆^{みな}、来^きて、聞^きけ。神^{かみ}が私^{わたし}のため^{はな}にしてくださったこ

とを話^{はな}そう。

- 17 私^{わたし}は口^{くち}で神^{かみ}に呼^よび掛^かけ、舌^{した}でたえた。

- 18 もし私^{わたし}が有^{ゆう}害^{がい}な考^{かんが}えを心^{こころ}に抱^{いだ}いたなら、

エホバは聞^きいてくださらなかつた^はだらう。

- 19 しかし神^{かみ}は聞^きいてくださった。私^{わたし}の祈^{いの}りに注^{ちゅうい}意^いを払^{はら}ってくだ

さした。

66:11 *直訳、「腰に圧迫」。66:12 *直訳、「私たちの頭」。

第66編

(イ) 民 15:3

(イ) 詩 56:12
詩 116:14
伝 5:4,5

(イ) 民 30:2
裁 11:35

(イ) 詩 22:24

(イ) ヨブ 27:8,9
格 15:29
格 28:9
イザ 1:15
ヨハ 9:31

(イ) 詩 34:6
詩 65:2
詩 116:1
ヨ一 3:22

(イ) ヘブ 5:7

第2欄

第67編

(イ) 民 6:25
格 16:15

(イ) ロマ 10:18
コロ 1:23

(イ) 詩 98:2
イザ 49:6
ルカ 2:30,31
使徒 28:28
テト 2:11

(イ) イザ 42:10

(イ) 詩 9:8
詩 96:10
詩 98:9
ロマ 2:5

(イ) レビ 26:4
詩 85:12
イザ 30:23
エゼ 34:27

(イ) 創 17:7

(イ) 詩 22:27
啓 15:4

- 20 神^{かみ}が賛^{さん}美^びされますように。神^{かみ}は私^{わたし}の祈^{いの}りを退^{しりぞ}けず、

揺^ゆるぎない愛^{あい}を快^{こころよ}く示^{しめ}してくださった。

指揮^{しきしや}者^{げんがっき}へ。弦^{げんそう}楽^{ども}器^しの伴^{うた}奏^{うた}と共に。詩。歌。

- 67 神^{かみ}は親^{しんせつ}切^{しめ}を示^{しめ}し、祝^{しゅくふく}福^{ふく}してくださる。

笑^{えがお}顔^{わたし}を私^むたちに向^むけてくださる。
(セラ)

- 2 こうして、あなた^{みち}の道^{ちじょう}は地^{すべ}上^くの全^{ぜん}ての場^{ばしょ}所^しで知^しられ、

あなたによる救^{すく}いは全^{すべ}ての国^{くに}で知^しられる。

- 3 神^{かみ}よ、人^{ひと}々^{びと}があなたを賛^{さん}美^びしますように。

全^{すべ}ての民^{たみ}があなたを賛^{さん}美^びしますように。

- 4 国^{くに}々^{くに}が喜^{よろこ}び、歡^{かんせい}声^あを上げますように。

あなたは人^{ひと}々^{びと}を公^{こうへい}平^{さば}に裁^はきます。
地^{ちじょう}上^{くに}の国^{くに}々^{くに}を導^{みちび}きます。(セラ)

- 5 神^{かみ}よ、人^{ひと}々^{びと}があなたを賛^{さん}美^びしますように。

全^{すべ}ての民^{たみ}があなたを賛^{さん}美^びしますように。

- 6 地^じ面^{めん}は作^{さくもつ}物^うを生^だみ出^はす。

神^{かみ}、私^{わたし}たちの神^{かみ}は祝^{しゅくふく}福^{ふく}してくださる。

- 7 神^{かみ}は祝^{しゅくふく}福^{ふく}してくくださる。

地^ちの果^はてに至^{いた}るまで、人^{ひと}々^{びと}は皆^{みな}、神^{かみ}を畏^{おそ}れる。

67:7 *または、「敬う」。

しきしゃ
指揮者へ。ダビデによる。
詩。歌。

68 ^{かみ た あ てき ち}
神が立ち上がり、敵が散ら
されますように。

^{かみ にく ひと かみ まえ に}
神を憎む人が神の前から逃げて
いきますように。

^{けむり ふ はら}
2 煙が吹き払われるように、あなた
が彼らを吹き払いますように。
^{ろうが ひ と}
ろうが火によって溶けるように、
^{あくにん かみ まえ ほうろ}
悪人が神の前で滅びますよ
うに。

3 しかし、^{ただ ひと よろこ}正しい人は喜び、
^{かみ まえ おお よろこ}
神の前で大いに喜びますように。
^{よろこ}
喜びにあふれて歓喜しますよ
うに。

^{かみ む うた かみ な さん}
4 神に向かって歌え。神の名を賛
美して歌え。
^{さばくへいげん すすす かた む}
砂漠平原を進む方に向かって
歌え。

^{かた な さん}
その方の名はヤハ。その前で
喜び。

^{こ じ* ちち ほ ご かた#}
5 孤児の父、やもめを保護する方、
それは聖なる住まいにいる神。

^{かみ み よ ひと す}
6 神は身寄りのない人に住むため
の家を与える。

^{しゅうじん かいほう はんえい みちび}
囚人を解放し、繁栄へと導く。

^{いじ は *ひと かわ き}
しかし、意地を張る人は乾き切っ
た土地に住まなければなら
ない。

68:4 *または、「名のために音楽を奏でよ」。
*もしくはすると、「雲に乗って」。[△]エホバの短
縮形。68:5 *または、「父親のいない子供」。
*直訳、「裁く方」。68:6 *または、「反抗的な」。

第68編

(㉑)民 10:35
詩 21:8

(イ)ナホ 1:6

(㉑)詩 32:11

(㉑)イザ 12:4

(㉑)出 6:3

(㉑)出 22:22-24

申 10:17,18

詩 10:14

詩 146:9

(㉑)イザ 57:15

(㉑)詩 113:9

(㉑)イザ 61:1

(㉑)申 28:15,23

詩 107:33,34

第2欄

(㉑)出 13:21

(イ)詩 114:1,4

ヘブ 12:26

(㉑)出 19:18

裁 5:4,5

(㉑)民 10:34

(㉑)出 15:20

裁 5:1

裁 11:34

サー 18:6

(㉑)民 31:25-27

ヨシ 10:12,16

ヨシ 12:7

裁 5:19

(㉑)民 31:27

サー 30:23-25

(㉑)民 21:3

ヨシ 10:5,10

(㉑)民 21:33

申 3:8,10

7 ^{かみ}神よ、あなたがご自分の民を導
いた時、

^{さばく すす}
砂漠を進んでいった時、(セラ)

8 ^{じめん ゆ}地面は揺れました。

^{てん かみ まえ はげ あめ ふ}
天は神の前で激しい雨を降らせ
ました。

^{さん かみ}
シナイ山は、神、イスラエルの神
の前で揺れました。

9 ^{かみ ゆた あめ ふ}神よ、あなたは豊かに雨を降ら
せました。

^{つか は}
疲れ果てたご自分の民を回復さ
せました。

10 ^{たみ}民はあなたのもてで天幕を張っ
て住みました。

^{かみ}神よ、あなたは善い方であり、貧
しい人を養ってくださいました。

11 ^{えい}エホバは命令を出す。
良い知らせを広める女性は大軍
を成している。

12 ^{ぐんたい おう に}軍隊の主たちは逃げる。逃げて
いく。

^{いえ}家にとどまっている女性は戦利
品を得る。

13 ^{じんえい ひ とくろ*}あなたたちは陣営の火の所で横
になっていたが、

^{ぎん おお}
銀で覆われたハトの翼がある。
その羽は純金。

14 ^{ぜんのうしや おう ち}全能者が王たちを散らした時、
ツアルモンに雪が降った。

15 ^{バシヤン}バシヤンの山は神の山、

68:9 *または、「財産」。68:13 *もしくはする
と、「羊の囲いの中」。[△]または、「黄緑色の金」。
68:14 *または、「降ったかのような」。[△]68:
15 *または、「荘厳な」。

バシヤンの山は峰が連なる山。

16 峰が連なる山々よ、なぜうらやま

しそうに見るのか、

神が住まいに選んだ山を。

エホバはそこに永遠に住む。

17 神の戦車は幾千、幾万とある。

エホバはシナイ山から聖なる場所に入ってきた。

18 神ヤハよ、あなたは高い所に

昇り、

捕虜を連れ去りました。

人々という贈り物を取りました。

意地を張る人たちをも取りました。彼らの中に住むためです。

19 毎日私たちの荷を負ってくださる

エホバが賛美されますように。

私たちを救う真の神が。(セラ)

20 真の神は私たちを救ってくださ

る神。

主権者である主エホバは死から

の逃げ道をつくってください。

21 神は敵の頭を打ち砕く。

罪を犯し続ける人全ての頭を打ち砕く。

22 エホバは言った。「私は敵をバ

シャンから連れ戻す。

深い海の中から連れ戻す。

23 それは、あなたが足を血に浸し、

あなたの犬が舌で敵の血をなめるためである」。

68:16 *または、「したいと望む」。 68:21 *または、「罪の道を歩む」。

第68編

(㊦) 代一 11:5

詩 48:2,3

詩 132:13

(㊦) 申 12:5,6

王一 9:3

ヘブ 12:22

(㊦) 王二 6:16,17

マタ 26:53

(㊦) 出 19:23

申 33:2

(㊦) サ二 5:7

(㊦) エフ 4:8,11

(㊦) 申 2:36

申 7:22

(㊦) 詩 55:22

ペ一 5:6,7

(㊦) イザ 12:2

イザ 45:17

(㊦) 申 32:39

(㊦) 詩 55:23

エゼ 18:26

(㊦) 民 21:33

(㊦) 詩 58:10

第2編

(㊦) 代一 15:25,28

詩 24:7

(㊦) 代一 15:16

詩 87:7

詩 150:3

(㊦) 裁 11:34

サ一 18:6

(㊦) 詩 95:6

イザ 44:2

(㊦) 創 49:27

サ一 9:21

(㊦) 詩 138:8

(㊦) 王一 10:10

代二 32:23

詩 72:10

(㊦) 王一 6:1

代一 16:1

エズ 5:14

(㊦) エゼ 39:18

24 神よ、人々はあなたの勝利の行進を見ます。

私の神、私の王が行進して聖なる場所に入っていくのを。

25 歌い手たちは前を行き、弦楽器

を弾く人たちは後に続く。

その間で若い女性たちがタンバ

リンを打ち鳴らす。

26 群衆の中で神を賛美せよ。

エホバを賛美せよ、イスラエルの源から出た人たちよ。

27 一番若いベニヤミンが人々を服

従させている。

ユダの高官たちも驕がしい群衆

を服従させている。

ゼブルンの高官も、ナフタリの高官も。

28 あなたの神はあなたが強くなる

と宣言した。

力を示してください、私たちのた

めに行動してください。神よ。

29 王たちはあなたに贈り物を持っ

てくる。

エルサレムにあるあなたの神殿

のため。

30 叱りつけてください。アシの中の

野獣を、

雄牛と子牛の群れを。

人々がひれ伏して銀を持つてくる

まで。

68:26 *直訳、「集会で」。 68:30 *もしかすると、「踏みつける」。

たたか この ひとびと ち
戦いを好む人々を散らしてくだ

さい。

- 31 青銅の品々がエジプトから運ば
れてくる。

いそ かみ おく もの さ
クシュは急いで神に贈り物を差し
出す。

- 32 地上の王国よ、神に向かって
歌い、

エホバを賛美して歌え。(セラ)

- 33 その方は、昔から存在する極め
て高い天で乗り進む。

こえ 声をとどろかせ、力強い声を
出す。

- 34 神の力を認めよ。

かみ い こう うえ
神の威光はイスラエルの上に、
力はある。

- 35 神は威厳に満ちる方。偉大な聖
なる所から出てくる。

その方はイスラエルの神。

たみ つよ ちから あた
民に強さと力を与えてくださる。
神を賛美せよ。

しきしや エリに。合わせて。
ダビデによる。

- 69 神よ、救ってください。水に
のまれて死にそうだから
です。

- 2 私は深い泥の中に沈んだ。立て
る場所はない。

ふか みず げきりゅう お なが
深い水にはまり、激流に押し流さ
れた。

68:31 *もしかすると、「大使たちがエジプトから来る」。68:32 *または、「のために音楽を奏でよ」。

第68編

(ア) イザ 45:14
イザ 60:5

(イ) 申 32:43

(ウ) 詩 104:3

(エ) 詩 96:7

(オ) 詩 47:2
詩 66:5

(カ) 詩 29:11
イザ 40:29-31

第69編

(キ) 詩 144:7
哀 3:54
ヨナ 2:5

(ク) 詩 40:2

(ケ) 詩 32:6
ヨナ 2:3

第2編

(コ) 詩 22:2

(カ) 詩 119:82
詩 119:123
イザ 38:14

(ク) ルカ 23:22
ヨハ 15:24, 25

(コ) 詩 22:6
エレ 15:15

(コ) イザ 50:6
マタ 26:67
マタ 27:29

(コ) ヨブ 19:13
詩 31:11
ヨハ 1:11
ヨハ 7:5

(キ) 王 19:10
詩 119:139
マタ 21:12, 13
マル 11:15-17
ヨハ 2:13-17

(ク) ロマ 15:3

- 3 私は叫び続けて疲れ果てた。
喉はかれ、目は神を待って衰
えた。

- 4 不当にも私を憎む人は、
私の髪の毛よりも多い。
私を殺そうとする人、
不誠実な敵は多くなった。

私は盗んでいないものを返すよう
強要された。

- 5 神よ、あなたは私の愚かさを知っ
ています。

私の罪はあなたから隠されてい
ません。

- 6 主権者である主、大軍を率いる

エホバ、
希望を抱いてあなたを待つ人が、
私のせいで恥をかきませんよ
うに。

イスラエルの神、
あなたに導きを求める人が、私
のせいで辱められませんよ
うに。

- 7 あなたのために私は恥辱を
受け、

屈辱が私の顔を覆う。

- 8 私は兄弟にとってよ者となり、
母の子たちにとって外国人とな
った。

- 9 あなたの家に対する熱い思いを
抑え切れなかった。

あなたを非難する人たちの非難
が私に降り掛かった。

69:4 *または、「理由もなく敵となった人」。

- 10 私は腰を低くして断食し、
そのせいで非難を受けた。
- 11 粗布をまとった時、
人々から軽蔑の目とされた。
- 12 町の門の所に座る人たちは私の
うわさをし、
酔っぱらいは私のことを歌に
する。
- 13 エホバ、私の祈りが届きますよ
うに。
あなたに受け入れていただける
時に。
神よ、揺るぎない愛を豊かに示し
て答えてください。
確実に救ってくださることに
よつて。
- 14 泥の中から助け出してください。
私が沈まないように。
助け出してください。私を憎む人
たちから、深い水から。
- 15 洪水で私を流し去らないでくだ
さい。
深い水に私をのみ込ませないで
ください。
私の上で井戸が口を閉じないよ
うにしてください。
- 16 エホバ、答えてください。あなた
の揺るぎない愛は良いもの
です。
あなたの深い憐れみに従って、
私の方に向いてください。

69:10 *もしかすると、「泣いて」。 69:15 *ま
たは、「穴」。

第69編

(ア) イザ 49:8
ヘブ 5:7

(イ) 詩 68:20

(ウ) 詩 144:7

(エ) 詩 69:2

(オ) 詩 16:10

(カ) 詩 63:3
詩 109:21

(キ) 詩 25:16

第2欄

(ク) 詩 27:9
詩 102:2

(コ) 詩 31:9
詩 40:13

(ク) 詩 22:6

(コ) 詩 142:4

(コ) ヨブ 19:14

(カ) マタ 27:34
マル 15:23

(キ) マタ 27:48
マル 15:36
ルカ 23:36
ヨハ 19:29

(ク) ロマ 11:9,10

- 17 顔を隠さないでください。
急いで答えてください。私は苦し
んでいます。
- 18 私に近づいて、助け出してくだ
さい。
敵から私を救ってください。
- 19 あなたは知っています。私が非難
され、恥をかき、辱めを受けて
いるのを。
あなたは知っています。私の敵全
てを。
- 20 私は非難されて、心が傷つき、傷
は癒えない。
同情を期待したが、誰も同情して
くれなかった。
慰めを期待したが、誰からも得ら
れなかった。
- 21 かえて、食べ物として毒が与え
られ、
喉が渇いているのに酢が与えら
れた。
- 22 彼らの食卓が彼らにとって仕掛
けとなり、
繁栄がわなとなりますように。
- 23 彼らの目が暗くなって見えなく
なり、
腰が絶えず震えますように。
- 24 彼らにあなたの憤りを注ぎ出して
ください。

69:18 *または、「私の命を取り戻して」。「直
訳、「買い戻して」。 69:20 *または、「絶望し
た」。 69:21 *または、「毒草」。

あなたの燃える怒りが彼らに追
い付きますように。

25 彼らの宿営地が荒廃し、
天幕に誰も住まなくなりますよ
うに。

26 彼らはあなたが打った者を追跡
する。

あなたが傷を負わせた者たちの
痛みを詳しく話す。

27 彼らの罪に、罪を加えてください。
彼らがあなたから正しい人と見

られませんように。

28 生きている人の書から消されま
すように。

正しい人たちの中に含められま
せんように。

29 私は苦悩し、痛みを感じています。
神よ、あなたが救いの力で保護

してくださいますように。

30 私は神の名を賛美して歌い、
感謝しながら神をあがめる。

31 エホバはそれを喜んでくださる。
犠牲の雄牛よりも、
角とひづめがある若い雄牛よ
りも。

32 温厚な人はこうしたことを知って
喜ぶ。

神に導きを求める人たち、あな
たたちの心が力づけられます
ように。

69:25 *または、「壁で囲われた宿営」。 69:
28 *または、「命の書」。

第69編

(7) 詩 21:9

(1) 使徒 1:20

(7) 出 32:33

(1) フィリ 4:3

啓 3:5

啓 13:8

(1) 詩 109:22

(1) 詩 50:13-15

ホセ 14:2

第2欄

(7) 詩 10:17

詩 102:17

イザ 66:2

(1) 詩 146:7

イザ 61:1

ルカ 4:18

(7) 詩 96:11

イザ 49:13

(1) 詩 51:18

(1) イザ 61:9

イザ 66:22

第70編

(1) 詩 40:13-17

(7) 詩 5:11

哀 3:25

33 エホバは貧しい人たちの言葉を
聞いている。

捕らわれた民を軽く見ない。

34 天と地が神を賛美しますように。
海も、水中で動き回るもの全

ても。

35 神はシオンを救い、
ユダの町々を建て直す。

民はそこに住み、その土地を
得る。

36 神に仕える人の子孫がその土地
を授かる。

神の名を愛する人が住む。

指揮者へ。ダビデによる。
思い出すために。

70 神よ、私を救ってください。
エホバ、急いで助けてくだ
さい。

2 私の命を奪おうとする人たちが、
恥をかって面目を失いますよ

うに。

私の災難を喜ぶ人たちが、
屈辱のうちに退却しますように。

3 「いい気味だ！」と言う人たちが、
恥をかって引き返しますように。

4 あなたに導きを求める人たちが、
あなたのことで喜び、歓喜します
ように。

あなたによる救いを切望する人
たちが絶えず言いますように。

「神があがめられますように」。

- 5 神よ、無力で貧しい私のために、
急いで行動してください。
あなたは私を助け、救い出さす方。
エホバ、遅れないでください。

71 エホバ、私はあなたのもとに避難しました。

- わかし はじ
私が恥をかかないようにしてくだ
さい。
2 あなたは正しい方です。私を救
い、助け出してください。
わかし こえ みみ かたむ * すく
私の声に耳を傾け、救ってくだ
さい。
3 私のための岩の要塞となってく
ださい。
いつでもそこに入れるように。
わかし すく めいわい だ
私を救うよう命令を出してくだ
さい。

- わかし おおいわ わかし
あなたは私の大岩、私のとりで。
わかし かみ たす だ
4 私の神、助け出してください。悪
人の手から、
ふとう しいた ひと て
不当に虐げる人の手から。
5 主権者である主エホバ、あなた
は私の希望の源。

わかし わか とき
私は若い時からあなたを信頼し
てきました。

- 6 生まれた時からあなたに頼って
きました。
わかし はは たいない と
あなたは私を母の胎内から取り
出しました。
わかし た さん び
私は絶えずあなたを賛美します。

71:2 *または、「をかがみ込んで聞き」。 71:5
*または、「私が若い時から、あなたは私の確信の
源です」。

第70編

(71) 詩 109:22

(71) 詩 141:1

(71) 詩 18:2

(71) 詩 13:3

第71編

(71) 詩 25:2

詩 31:1-3

イザ 45:17

エレ 17:18

(71) 詩 34:15

(71) サニ 22:2,3

詩 18:2

詩 144:2

(71) 詩 17:8,9

詩 59:1

詩 140:4

マタ 6:13

(71) サニ 17:45

エレ 17:7

(71) 詩 22:9,10

詩 139:16

イザ 46:3

第2欄

(71) 詩 51:15

ヘブ 13:15

(71) 詩 92:14

(71) 詩 73:26

伝 12:3

(71) サニ 17:1,2

(71) 詩 3:2

詩 42:10

マタ 27:42,43

(71) 詩 22:11

詩 35:22

詩 38:21,22

(71) サニ 17:23

(71) 詩 109:29

(71) 詩 35:28

詩 40:9

- 7 多くの人にとって、私は奇跡のよ
うな存在になりました。
しかし実は、私には強固な避難
所であるあなたがいいます。
8 私の口はあなたへの賛美であふ
れています。

いちにちじゅう かがや かた
一日中あなたの輝きについて語
ります。

- 9 老齢の時に私を捨てないでくだ
さい。

おとろ とき み す
衰えていく時に見捨てないでくだ
さい。

- 10 敵は私のことを悪く言います。
わかし いのち うば ひと
私の命を奪おうとする人たちは
共謀し、

- 11 こう言います。「神は彼を見捨
てた。

お か つか すす もの
追い掛け捕まえよう。救う者は
誰もいない。

- 12 神よ、遠く離れたままでいないで
ください。

わかし かみ いそ たす
私の神、急いで助けてください。

- 13 私に敵対している人たちが、
わかし てきたい ひと
恥をかき、滅びますように。

わかし さいなん あ ひと
私は災難に遭わせようとする人た
ちが、

めんぼく うしな くつじょく あじ
面目を失い、屈辱を味わいます
ように。

- 14 私は待ち続け、
あなたをこれまで以上に賛美し
ます。

ただ くら かが
15 あなたの正しさを詳しく語ります。

いちにちじゅう すく
一日中あなたによる救いのこ
とを。
し つ *
知り尽くすことができないとは
いえ。

16 主権者である主エホバ、私は
い ちからづよ おこな
行って、あなたの力強い行い
について話します。

ただあなたの正しさを語ります。

17 神よ、あなたは私が若い時から
おし (イ)
教えてくださいました。

わたし いま はな す ば
私は今までずっとあなたの素晴ら
しい偉業を知らせてきました。

18 神よ、私が年を取って白髪になつ
み す (イ)
ても見捨てないでください。

わたし かた
私に語らせてください。あなたの
ちから つぎ せ だい
力について次の世代に、

あなたの力強さについて生まれ
てくる人全てに。

19 神よ、あなたの正しさは際立って
います。

い だい おこな
あなたは偉大なことを行いま
した。

かみ だれ
神よ、誰があなたのようでしょ
うか。

20 あなたは私が多くの苦難や災難
けいけん (イ)
を経験するままにしました。

わたし ふたた ちから
私を再び力づけてください。
ち か ふか * ひ あ
地下深くから引き上げてくだ
さい。

21 私の尊厳を回復してください。
わたし かん なぐさ
私を囲み、慰めてください。

71:15 *または、「数え尽くす」。 71:20 *また
は、「水の深み」。

第71編

(イ) 詩 40:5

(イ) 詩 71:5

(イ) サニ 22:1
代一 16:4
詩 9:1(イ) 詩 37:25
詩 71:9(イ) 出 13:8
代一 29:10, 11
詩 78:2-4

(イ) 詩 36:6

(イ) 出 15:11
詩 86:8
詩 89:6
エレ 10:7

(イ) サニ 12:10, 11

(イ) 詩 40:2
詩 86:13

第2編

(イ) 詩 25:10
詩 108:4
詩 146:6(イ) 詩 63:5
詩 104:33(イ) サニ 4:9
詩 103:4

(イ) 詩 71:8

(イ) 詩 71:13

第72編

(イ) 代一 22:11, 12
代一 29:19
エレ 23:5

(イ) 王一 3:9, 28

わたし かみ げんがっ き さん び
22 私の神、弦楽器であなを賛美
します。

あなたが信頼できる方だから
です。

イスラエルの聖なる方、
ご と さん び うた *
たて琴であなを賛美して歌い
ます。

23 私は歓声を上げ、あなたを賛美
うた (イ)
して歌います。

あなたは私の命を救ってください
ました。

24 一日中、私はあなたの正しさに
ついて語ります。

わたし ほ めつ ひと
私は破壊させようとする人たちは
はじ めんぼく うしな (イ)
恥をかいて面目を失います。

ソロモンについて。

72 神よ、どのように裁くかを王
おし
に教えてください。

おう こ ただ なら
王の子があなたの正しさに倣え
ますように。

2 王があなたの民の訴えを正しく
と あ
取り上げ、

たち ば ひく ひと こうせい あつか
立場が低い人を公正に扱います
ように。

3 山が平和を、
やま へい わ
丘が正義を民にもたらしますよ

うに。

4 王が、民の中の立場が低い人を
まも
守り、

まず ひと こ すく
貧しい人の子たちを救い、

71:22 *または、「のために音楽を奏で」。 71:
23 *直訳、「買い戻して」。 71:24 *または、「思
い巡らし」。

だまし^と取る人^{ひと}を打ち倒^うしますよ
うに。

5 民^{たみ}はあなたを畏^{おそ}れる。

太陽^{たいよう}がある限り^{かぎ}、月^{つき}がある限り^{かぎ}
ずっと。

何代^{なんだい}にもわたって。

6 王^{おう}は刈^かられた草地^{くさち}に降^ふる雨^{あめ}のよ
うになる。

地面^{じめん}を潤^{うる}す豊^{ゆた}かな雨^{あめ}のよう^(例)に。

7 王^{おう}が治^{おさ}める間^{あいだ}、正^{ただ}しい人^{ひと}たちは
幸^{しあわ}せに暮^くらして、

平和^{へい}が行^いき渡^{わた}る。月^{つき}がなくなる
時^{とき}までも。

8 王^{おう}の統治^{とうち}は海^{うみ}から海^{うみ}に及^{およ}ぶ。
川^{かわ}から地^ちの果^はてにまで。

9 砂漠^{さばく}に住^すむ人^{ひと}は王^{おう}にひれ伏^ふし、
敵^{てき}は屈服^{くつぷく}させられる。

10 タルシシュと島^{しま}々^{じま}の王^{おう}たちは貢^{みつ}
ぎ物^{もの}を納^{おさ}める。

シェバとセバの王^{おう}たちは贈^{おく}り物^{もの}
を差^さし出^だす。

11 全^{すべ}ての王^{おう}はひれ伏^ふし、
全^{すべ}ての国^{くに}は仕^{つか}える。

12 王^{おう}は、助^{たす}けを求^{もと}めて叫^{さけ}ぶ貧^{まず}しい
人^{ひと}を救^{すく}い出^だす。

立場^{たちば}が低^{ひく}い人^{ひと}や誰^{だれ}にも助^{たす}けても
らえない人^{ひと}も。

13 立場^{たちば}が低^{ひく}い人^{ひと}や貧^{まず}しい人^{ひと}を哀^{あわ}れ
に思^{おも}い、

貧^{まず}しい人^{ひと}の命^{いのち}を救^{すく}う。

72:7 *直訳、「は芽生え」。72:8 *ユーフラテ
ス川のこと。72:9 *直訳、「土をなめる」。

第72編

(例) イザ 11:4

(例) 詩 89:36,37
ルカ 1:32,33
啓 11:15

(例) サニ 23:3,4
格 16:15
格 19:12

(例) イザ 61:11

(例) 王一 4:25
代一 22:9
イザ 2:4
イザ 9:6

(例) 出 23:31
王一 4:21
詩 2:8
詩 22:27,28
ダニ 2:35
ゼカ 9:10

(例) 詩 2:9
詩 110:1

(例) 王一 4:21

(例) 王一 10:1,2

第2編

(例) 王一 10:10

(例) イザ 30:23

(例) イザ 35:1,2

(例) 王一 4:20

(例) 詩 45:17
詩 89:35,36

(例) 創 22:18
ガラ 3:14

(例) 代一 29:10

(例) 出 15:11

(例) 啓 5:13

(例) 民 14:21
ハバ 2:14

(例) サ一 17:58

14 虐^{しいた}げと暴^{ぼうりよく}力^{ちから}からその人^{ひと}たちを助^{たす}
け出^だす。

彼^{かれ}らの血^ちは王^{おう}の目^めに貴^{とうと}いもの^{もの}と
なる。

15 王^{おう}が生^いき続^{つづ}け、シェバ^{しん}の金^{きん}を与^{あた}
えられますように。

民^{たみ}が王^{おう}のため^{ため}に絶^いえず祈^{いの}りを
捧^{ささ}げ、

一^{いち}日^{にち}中^{じゅう}祝福^{しゅくふく}を求^{もと}めますように。

16 地^ち上^{じょう}には穀^{こく}物^{もつ}が豊^{ゆた}かに実^{みの}り、
山^{やま}々^{やま}の頂^{いただき}でも豊^{ほうさく}作^{さく}になる。

王^{おう}の収^{しゅう}穫^{かく}物^{ぶつ}はレバノ^すンの木^き々^ぎの
よう^(例)に素^す晴^{はる}らしく、

町^{まち}の住^{じゅう}民^{みん}は地^ち上^{じょう}の草^{くさ}木^きのよう^(例)に
咲^さき誇^{ほこ}る。

17 王^{おう}の名^なが永^{えい}遠^{えん}に存^{そん}続^{ぞく}し、
太^{たい}陽^{よう}がある限^{かぎ}り、知^しれ渡^{わた}りますよ
うに。

王^{おう}によつて民^{たみ}が祝^{しゅく}福^{ふく}を受け^うけますよ
うに。

全^{すべ}ての国^{くに}が王^{おう}を幸^{しあわ}せな人^{ひと}と呼^よび
ますように。

18 エホバ神^{かみ}が賛^{さん}美^びされますように、
イスラエ^{かみ}ルの神^{かみ}が。

そ^{かた}の方^{かた}だけが驚^{おどろ}くべきこ^{おこな}とを行^{おこな}っ
ていま^(例)す。

19 神^{かみ}の輝^{かがや}かしい名^なが永^{えい}遠^{えん}に賛^{さん}美^びさ
れますように。

神^{かみ}の栄^{えい}光^{こう}が地^ち上^{じょう}全^{ぜん}体^{たい}に満^みちま^(例)す
よう^(例)に。

アーメン、アーメン。

20 エッサイの子^こダビデ^{だい}の祈^{いの}りは終^お
わつた。

72:14 *直訳、「買い戻す」。

第3巻 (詩編 73-89編)

- アサフの歌。⁽⁷⁾ うた
- 73** ^{かみ} 神はイスラエルに、^{こころ きよ} 心が清
^{ひと たい たし よ} い人に対して確かに善い
^{こと おこな} ことを行⁽⁷⁾ってくださる。
- 2** ^{わたし あし すこ} 私の足はもう少しでそれていくと
^{ころ だつた。} ころだった。
^{あや すべ} 危うく滑るところだった。
^{わたし こゝろ まん *ひと} **3** 私は高慢な人をねたましく
^{おも} 思⁽⁷⁾った。
^{あくにん へい わ} 悪人が平和でいるのを見た。
4 ^{ひと し いた} その人たちに死の痛みはなく、
^{からだ けんこう *めい} 体は健康である。
5 ^{た ひと おも なや} 他人の人たちのように思い悩むこ
^(め) とも、
^{くる} 苦しむこともない。
6 ^{ごうまん くびかざ} 傲慢さを首飾⁽⁷⁾りとし、
^{ほうりよく み} 暴力を身にまとう。
7 ^{め はんえい ふく} 目は繁栄で膨らむ。
^{おも えが いじょう せいこう おさ} 思い描いた以上の成功を収
^{めた。} めた。
8 ^{わら わる はな} あざ笑い、悪いことを話⁽⁷⁾す。
^{えら たい ど と おど} 偉そうな態度を取り、脅しつける。
9 ^{てん はな かた} 天から話⁽⁷⁾すかのように語り、
^{おも はな ちじょう ある} 思うままに話して地上を歩⁽⁷⁾き
^{まわ} 回る。
10 ^{かみ たみ かれ ほう} それで、神の民は彼らの方にな
^{びく。} びく。
^{かれ ゆた みず の} 彼らの豊かな水を飲⁽⁷⁾む。
11 ^{かれ い かみ きづ} 彼らは言う。「神は気付⁽⁷⁾くだろ
^{うか。} うか。

73:3 *または、「自慢する」。73:4 *または、「下腹は肥えている」。

第73編

(7) 代ニ 35:15

(7) 詩 84:11
マタ 5:8

(7) 詩 94:18

(7) ヨブ 21:7
エレ 12:1

(7) 伝 7:15

(7) ヨブ 12:6
ヨブ 21:7,9

(7) エレ 12:1

(7) ヨブ 21:14,15

(7) 詩 53:1

(7) 王一 21:7

(7) 詩 10:4,11
詩 94:3,7
エゼ 8:12
ゼバ 1:12

第2欄

(7) 詩 37:35

(7) 詩 17:14

(7) ヨブ 34:7,9
ヨブ 35:3

(7) 詩 34:19

(7) ヨブ 7:17,18

(7) 詩 35:6,7
エレ 23:11,12

(7) 詩 37:10,20
詩 55:23
格 3:33

(7) ヨブ 21:23

詩 37:1,2
イザ 30:13

^{し こうしや ほんとう し} 至高者は本当に知⁽⁷⁾っている

のか」。

12 ^{あくにん きらく く} こうした悪人は気楽に暮らして
⁽⁷⁾ いる。

^{じ ぶん し さん ふ} 自分の資産を増やしている。

13 ^{わたし きよ こころ たも} 私が清い心を保⁽⁷⁾とうが、
^{て あら けつぱく む だ} 手を洗⁽⁷⁾って潔白でいようが無駄
⁽⁷⁾ なのだ。

14 ^{わたし いちにちじゅうおも なや} 私は一日中思い悩⁽⁷⁾んだ。
^{まいあさ こ う} 毎朝、懲らしめを受けた。

15 ^{わたし} しかし、もし私がそのようなこと
^い を言⁽⁷⁾ったのなら、
^{たみ うら ぎ} あなたの民を裏切⁽⁷⁾ったことに
^{なる。} なる。

16 ^{わたし こと い み り かい} 私は事の意味を理解しよう⁽⁷⁾と
^{して、} して、
^{おも なや} 思い悩⁽⁷⁾んでいた。

17 ^{かみ い だい せい とこ ち} 神の偉大な聖なる所に入るま
^{では。} では。

^{あくにん しょうらい し} そして悪人の将来を知⁽⁷⁾った。

18 ^{かくじつ あくにん すべ} あなたは確実に悪人を滑⁽⁷⁾りやす
^{ど ち お} い土地に置⁽⁷⁾く。

^{ほろ おどしい} 滅びに陥⁽⁷⁾れる。

19 ^{あくにん きゅう は めつ} 悪人は急に破滅⁽⁷⁾する。
^{とつぜん お むか おそ} 突然に終わりを迎⁽⁷⁾える。恐ろしい
^{けつまつ} 結末⁽⁷⁾を。

20 ^{あくにん しりぞ} エホバ、あなたは悪人を退⁽⁷⁾ける。
^{お あくにん め ざ} あなたが起⁽⁷⁾きると、悪人は目覚
^{ひと わす ゆめ} めた人が忘⁽⁷⁾れる夢のように
^{なる。} なる。

- 21 私は心がいら立ち、
奥深くに鋭い痛みを感じた。
- 22 分別がなく、理解できなかった。
あなたの前で理性のない野獣の
ようだった。
- 23 しかし今は、絶えずあなたと共に
いる。
あなたは右手をつかんでくだ
さった。
- 24 あなたは助言して導いてくだ
さり、
そうして私が栄光を受けるように
してください。
- 25 私を助けてくださる方が天にほ
かにいるか。
あなたがいてくださるので、地上
に望むものは何もない。
- 26 私の体と心が衰えようと、
神は私の心の岩、永遠に私の
全て。
- 27 間違いなく、あなたから離れてい
る人たちは滅びる。
あなたのもとから去る不誠実な
人を皆、あなたは消し去る。
- 28 私にとって、神に近づくのは良い
ことだ。
私は、主権者である主エホバの
もとに避難した。
その方の行い全てを知らせるた
めに。

73:21 *直訳、「腎臓」。73:26 *または、「私
に与えられた分」。

第73編

(イ) 詩 73:3

(イ) 詩 16:8

詩 63:8

イザ 41:10

(イ) 詩 25:9

詩 32:8

詩 37:23

詩 143:10

格 3:6

(イ) 詩 37:34

(イ) 詩 42:2

詩 84:2

イザ 26:9

(イ) 詩 16:5

哀 3:24

(イ) 民 15:39

ヤコ 4:4

(イ) 詩 65:4

ヤコ 4:8

(イ) 詩 118:17

第2欄

第74編

(イ) 代一 25:1

代二 35:15

(イ) 哀 5:20

(イ) 申 29:19, 20

詩 100:3

(イ) 申 9:29

(イ) 申 4:20

申 32:9

(イ) 詩 48:2

詩 132:13

(イ) ダニ 9:17

(イ) 詩 79:1

(イ) 哀 2:7

(イ) 王一 6:18, 35

(イ) 王二 25:9

イザ 64:11

マスキル。アサフによる。

74

神よ、なぜ私たちを永遠に
退けたのですか。

あなたの牧草地の羊の群れに對
して怒りに燃えるのはなぜで
すか。

2 思い出してください。昔あなたが
得た民を、

救って財産とした民族を。

あなたが住んだシオンの山を。

3 足を運んでください。ずっと荒廃
したままの土地に。

敵は聖なる場所で全てを荒ら
した。

4 あなたとの会見の場所で、あな
たの敵はほえた。

そこに自分たちの旗を立ててする
しとした。

5 敵は、深い森をおので切り払って
いく人のよう。

6 彫刻 全てをおのと鉄の棒で破壊
した。

7 あなたの聖なる所に火を放った。
あなたの名が付く幕屋を冒瀆し
ておとしめた。

8 敵は一族ともども、心の中で
言った。

「神との会見の場所は、この地上
から全て焼き払わなければな
らない」。

74:表題 *用語集参照。74:2 *直訳、「買い戻
して」。74:4 *または、「あなたの集会場所」。
74:8 *または、「神が崇拜される場所」。

- 9 しるし^{わたし}を私^みたちが見ることは
ない。
預言者^{よげんしゃ}はもういない。
これがいつまで続^{つづ}くのかを知^しっ
ている人^{ひと}は、私^{わたし}たちの中^{なか}にい
ない。
- 10 神^{かみ}よ、いつまで敵^{てきたいしゃ}対^{たい}者はあざけり
続^{つづ}けるのですか。
敵^{てき}は永遠^{えいえん}にあなた^なの名^なを侮^{あなだ}るの
です^か。
- 11 なぜあなた^ては手^{みぎ}を、右^だ手^{みぎ}を出^ださ
ないのですか。
懐^{ふところ}から出^だて彼^{かれ}ら^けを消^けし去^さってく
ださい。
- 12 神^{かみ}は昔^{むかし}から私^{わたし}の王^{おう}、
地^{ちじょう}上^{ずく}で救^{すく}ってくださる方^{かた}。
- 13 あなた^{ちから}は力^{ちから}によって海^{うみ}をかき回^{まわ}
した。
水^{すい}中^{ちゅう}の大^{おお}きな生^いき物^{もの}の頭^{あたま}を打^うち
砕^{くだ}いた。
- 14 レビヤタンの頭^{* あたま}を砕^{くだ}き、
砂^{さばく}漠^ずに住^{たみ}む民^{しよくもつ}に食^{あた}物^{あた}として与^あ
えた。
- 15 泉^{いづみ}と川^{かわ}を生^{しょう}じさせ、
なが^{なが}流^{なが}れ続^{つづ}ける川^{かわ}を干^ひ上^あがらせ^(例)た。
流^{なが}れ続^{つづ}ける川^{かわ}を干^ひ上^あがらせ^(例)た。
- 16 昼^{ひる}はあなた^{よる}のもの。夜^{よる}もあなた^{よる}
のもの。
あなた^{ひかり}は光^きと太^{たい}陽^{よう}を造^{つく}った。
地球^{ちきゅう}の境^{きょう}界^{がい}全^{ぜん}てを引^ひいた。
夏^{なつ}と冬^{ふゆ}を定^{さだ}めた。

74:14 *用語集参照。74:16 *または、「光
体」。

第74編

(例) 詩 13:2
詩 79:4

(例) エゼ 36:23

(例) 詩 44:23
イザ 64:12
哀 2:3

(例) 出 15:2
イザ 33:22

(例) 出 14:21
ネヘ 9:10,11

(例) イザ 48:21

(例) ヨシ 3:13

(例) 創 1:3,5
詩 136:7,8

(例) 使徒 17:26

(例) 創 8:22

第2編

(例) イザ 52:5

(例) 詩 12:5

(例) エズ 3:11

(例) 詩 89:50,51
イザ 52:5

第75編

(例) 代二 35:15

(例) イザ 30:27

- 18 エホバ、思い出^{おも}してください。敵^{てき}
があざけったこと、
愚^{おろ}かな民^{たみ}があなた^なの名^なを侮^{あなだ}った
こと^(例)を。
- 19 あなたのヤマバトの命^{いのち}を野獸^{やじゅう}に
渡^{わた}さないでください。
苦し^{くる}む民^{たみ}の命^{いのち}を永遠^{えいえん}に忘れ^{わす}ない
でください。
- 20 契約^{けいやく}を思い出^{おも}してください。
地^{ちじょう}上^{くら}の暗^{ところ}い所^{ばうりよく}はどこも暴^{そう}力の巢^{くつ}
窟^{くつ}となつてしまつたからです。
- 21 打^うちのめされ^{ひと}た人が失^{しつぽう}望^{ぼう}して引^ひ
き返^{かえ}すことがありませ^(例)んように。
立^{たち}場^ばが低^{ひく}い人^{ひと}や貧^{まず}しい人^{ひと}があなた^{ひと}
の名^なを賛^{さん}美^びしま^(例)すように。
- 22 神^{かみ}よ、立^{たち}上^あが^あつて、あなた^その訴^そ
訟^{しょう}を扱^{あつか}ってください。
愚^{おろ}かな人^{ひと}があなた^{いちにちじゅう}を一日^{いちにち}中^{じゅう}あざ
け^{おも}ったこと^だを思い出^{おも}してくだ
さい。
- 23 敵^{てき}が言^いっている事^{こと}を忘れ^{わす}ないで
ください。
あなた^{はんこう}に反^{ひと}抗^たする人^たが絶^{さわ}えず騒^{さわ}
ぎ声^{こえ}を上げ^あています。
指^し揮^き者^{しきしや}へ、「滅^{めつ}ぼすな」に合^あわせて。
アサフによる。歌。
- 75 私^{わたし}たちはあなた^{かんしや}に感謝^{かんしゃ}しま
す、神^{かみ}よ、あなた^{かんしや}に感謝^{かんしゃ}し
ます。
あなた^{わたし}は私^{わたし}たちと共^{とも}にいま^(例)す。
人^{ひと}々^{びと}はあなた^{おどろ}の驚^{いぎょう}くべき偉^い業^{ぎやう}を
知^しらせ^します。

2 あなたは言う。「私は時を定め、
公平に裁く。」

3 大地とそこに住む全ての人が溶
解したとき、

私が大地の柱を固く定めた。

(セラ)

4 私は自慢する人に言う。「自慢す
るな。」

悪人に言う。「自分の力を誇

るな。

5 得意になって自分の力を誇るな。
高慢に語るな。

6 重んじられることは、
東や西や南から来るのではない。

7 神が裁く方であり、
一方を見下し、一方を重んじる。

8 エホバの手には杯がある。
ぶどう酒は泡立っていて、たくさ
んの香料が混ざっている。

神はそれを必ず注ぎ出し、
地上の悪人全てが飲む。最後の
一滴まで。

9 私は神が行ったことを永遠に知
らせる。

ヤコブの神を賛美して歌う。

10 神は言う。「私は悪人の全ての力
を断つ。」

正しい人は力づけられる。

75:4, 5 *直訳, 「角を上げる。」 75:8 *直訳, 「おり。」 75:9 *または, 「のために音楽を奏でる。」 75:10 *直訳, 「角。」 #直訳, 「の角は上げられる。」

第75編

(7) 詩 50:6
詩 58:11

(1) サー 2:7
ダニ 2:21
ダニ 4:17
ルカ 1:52

(7) 詩 11:5,6

(2) ヨブ 21:19,20
エレ 25:15,28
エレ 49:12
啓 14:9,10
啓 16:19
啓 18:6

第2欄

第76編

(7) 代二 35:15

(1) 詩 48:1,3

(7) 代二 2:5

(2) 創 14:18

(2) 詩 74:2
詩 132:13
詩 135:21

(7) 代二 32:21

(2) 詩 46:9

(2) ルカ 1:51

(7) イザ 31:8
イザ 37:36

(7) ナホ 2:13

(2) 詩 89:7

(7) エレ 10:10
ナホ 1:6

(2) 王一 8:49

(2) 代二 20:29
詩 2:4,5

(2) 詩 147:6
格 3:34
ゼバ 2:3

(7) 格 16:4
ダニ 3:19,28

(7) 民 30:2

指揮者へ。弦楽器の伴奏と共に。
アサフの詩。歌。

76 ユダで神は知られている。
イスラエルで神の名は
偉大。

2 神の避難所はサレムに、
住まいはシオンにある。

3 その場所で神は火矢を破壊した。
盾や剣や武器も。(セラ)

4 あなたは光り輝いている。
獲物がある山々よりも荘厳。

5 勇敢な人は略奪に遭った。

眠り込んでしまった。
戦士は誰も役に立たなかった。

6 ヤコブの神, あなたの叱責で,
兵車を駆る人も馬も深い眠りに
落ちた。

7 あなただけが威厳に満ちる方。
あなたの激しい怒りに誰が耐え
られるだろう。

8 あなたは天から裁きを言い渡
した。

地上の人々は恐れて沈黙した。

9 神が裁くために立ち上がった
から。

地上の温厚な人全てを救うため。
(セラ)

10 人の激しい怒りはあなたへの賛
美となる。
残りの激しい怒りであなたは身
を飾る。

11 あなたたちの神エホバに誓約し、
果たせ。

かみ まわ すべ ひと おそ
神の周りにいる全ての人よ、畏
れを抱いて贈り物をせよ。

- 12 神は指導者たちの意気をくじく。
ちじょう おう おそ いだ
地上の王たちに畏れを抱かせる。

し きしゃ へ。エドトンで。アサフによる。歌。

77 私(わたし)は声を上げ、神に向かっ て叫ぶ。

わたし さいけ かみ き
私が叫ぶと、神は聞いてくだ
さる。

- 2 苦難(くるなん)の日にエホバを探し求める。
よる かみ む りょうて ひろ
夜、神に向かつて両手を広げて
いの つづ
祈り続ける。

それでも慰めが得られない。

- 3 私は神を思い起こしてうめく。
わたし かみ おも お
思い悩んで力が出ない。(セラ)
4 あなたは私のまぶたを開いたま

まにする。

わたし どうよう はな
私は動揺し、話せない。

- 5 私は昔の日に思いをはせる。
わたし むかし ひび おも
遠い過去の年月に。
よる わたし じぶん うた* おも だ
6 夜、私は自分の歌を思い出す。
こころ なか おも めぐ
心の中で思い巡らす。
こた さが しんけん かんが
答えを探して真剣に考える。

- 7 エホバは永遠に私たちを捨てる
のだろうか。
に ど しんせつ しめ
もう二度と親切を示さないのだろ
うか。

- 8 神の揺るぎない愛は永遠に絶え
たのだろうか。
やくそく えいえん は
約束は永遠に果たされないのだ
ろうか。

第76編

(㊦)代ニ 32:23
詩 89:7

第77編

(㊦)代ニ 35:15

(㊦)詩 34:6
格 15:29

(㊦)詩 18:6
詩 50:15

(㊦)詩 42:5

(㊦)詩 143:4

(㊦)詩 143:5
イザ 51:9

(㊦)詩 42:8

(㊦)詩 77:12

(㊦)詩 74:1

(㊦)詩 79:5

第2編

(㊦)イザ 49:14
イザ 63:15

(㊦)詩 31:22

(㊦)代一 16:9
詩 143:5

(㊦)出 15:11
詩 89:8

(㊦)詩 72:18
啓 15:3

(㊦)出 9:16
イザ 52:10
ダニ 3:29
ダニ 6:26,27

(㊦)出 6:6
申 9:29

(㊦)出 14:21
ヨシ 3:16
詩 114:1-3

- 9 神は親切を示すのを忘れたのだ
ろうか。

いか あわ た
怒りで憐れみは絶えたのだろうか。
(セラ)

- 10 私は言い続けなければならない
のか。「私は苦しんでいる。
しこうしゃ わたし たい たいど
至高者が私たちに対する態度を
か
変えたから」。

- 11 私はヤハが行ったことを思い
出す。

むかし おこな おどろ
昔あなたが行った驚くべきことを
おも だ
思い出す。

- 12 あなたの全ての行いを思い巡
らす。

あなたがおこな かんが
あなたが行ったことをじっくり考
える。

- 13 神よ、あなたの道は聖なる道
です。

かみ い だい かみ
神よ、あなたほど偉大な神がい
るでしょうか。

- 14 あなたは真の神。驚くべきことを
おこな
行う。

ひとびと つよ あき
人々に強さを明らかにした。

- 15 力によって民を助け出した。

し せん
ヤコブとヨセフの子孫を。(セラ)

- 16 神よ、水はあなたを見た。

みず み みだ
水はあなたを見て、かき乱さ
れた。

みず ふか どうよう
水の深みも動揺した。

- 17 雲は水を注ぎ出した。

くも そら らいめい
曇り空は雷鳴をとどろかせ、

77:表題 *用語集参照。 77:6 *または、「弦楽器の曲」。

77:15 *直訳、「買い戻した」。

あなたの^や矢がそこら中で^{じゅう と}飛び
交^かった。^(例)

- 18 あなたの^{らいめい}雷鳴は^{へいしや}兵車の^{しやりん}車輪の^{おと}音
のよう。

稲妻は^{いぬずま}大地を^{だいち}照らした。^(例)
地面は^{じゆん}揺れ、^ゆ震動した。^{しんどう}

- 19 あなたの^{みち}道は^{うみ}海の中に、
深い^{ふか}水の中に^{みず}あった。^{なか}

あなたの^{あしあと}足跡を^{あしあと}たどることは^{あしあと}でき
なかった。

- 20 あなたは^{たみ}民を^{ひつじ}羊の^む群れのように
導^{みちび}いた。^(例)

モーセと^てアロンの^{あしあと}手によって。

マスキル。^{*}アサフによる。^(例)

- 78 わたし^{わたし}の^{たみ}民、^{わたし}私の^{りつぽう}律法を^き開け。
わたし^{わたし}の^{ことば}言葉に^{みみ}耳を^{かたむ}傾けよ。

- 2 私は^{わたし}口を開いて^{くち}格言を^{ひら}語る。
昔^{むかし}の^{なぞ}謎を持ち^も出す。^だ

- 3 私たちが^{わたし}聞いて^き知った^し事、
私たち^{ちち}が^{かた}語^{こと}つた^{こと}た、
父たちが^{ちち}語り^{こと}伝えた^{こと}事を、

- 4 私たちは^{わたし}子孫に^し隠さない。
つぎ^{つぎ}の^{せだい}世代に^{かた}語り^{つた}伝える。^(例)

エホバの^{みごと}見事な^{おこな}行いと^{つよ}強さ、
行った^{おこな}素晴らしい^{すば}ことを。^(例)

- 5 神は^{かみ}ヤコブに^{きよくん}教訓を^{あた}与え、
イスラエルに^{りつぽう}律法を^{さだ}定めた。

そして^{わたし}私たちの^ふ父祖に^{そめい}命じた。
これらの^{こと}ことを^{こども}子供たちに^{おし}教える
ようにと。^(例)

第77編

(例) サニ 22:15
詩 144:6
(例) 詩 29:3
(例) 詩 97:4
(例) 出 19:18
サニ 22:8
(例) ネヘ 9:10, 11
ハバ 3:15
(例) 出 13:21
詩 78:52
(例) イザ 63:11
使徒 7:35, 36

第78編

(例) 代一 25:1
(例) 格 1:5, 6
マタ 13:34, 35
(例) 出 13:8
詩 44:1
(例) 申 4:9
申 6:6, 7
申 6:21
申 11:18, 19
ヨシ 4:6, 7
(例) イザ 63:7
(例) 詩 98:1
(例) 創 18:19
申 6:6, 7

第2編

(例) 詩 71:17, 18
詩 102:18
(例) 申 4:10
(例) 申 4:9
詩 103:2
(例) 申 5:29
(例) 出 32:9
申 1:43
申 31:27
王二 17:13, 14
エゼ 20:18
使徒 7:51
(例) 詩 81:11, 12
エレ 7:24-26
(例) 申 31:16
(例) 代二 13:8, 9
ネヘ 9:26
(例) 申 32:18
代二 13:12
エレ 2:32
(例) 詩 106:21, 22
(例) 申 4:34
ネヘ 9:10
(例) 民 13:22
(例) 出 14:21, 22
出 15:8
(例) 出 13:21
出 14:20, 24
(例) 出 17:6
民 20:11
詩 105:41
イザ 48:21
コ一 10:4
(例) 申 8:14, 15

- 6 こうして、^{つぎ}次の^{せだい}世代、
生まれてくる^う子供たちが^{こども}それを
知^しり、
今^{こん}度は^ど自分の^{じぶん}子供たちに^{こども}語り^{かた}伝^{つた}える。^(例)

- 7 それで、^し子孫は^{しんそん}神を^{かみ}信^{しん}頼^{らい}する。
神が^{かみ}行^{おこな}ったことを^{わす}忘れず、
神の^{かみ}おきてを^{まも}る。^(例)

- 8 父祖^{ふそ}のように^いは^はならない。
父祖は、^{ふそ}意地を^{いじ}張る^{はげん}反^{はん}逆^{ぎやく}的な^{てき}
世^せ代。^(例)

- こころ^{こころ}が^{さだ}ま^{せだい}らない^例世^{せだい}代^例であり、
神に^{かみ}忠^{ちゅう}実^{じつ}では^ななかつた。

- 9 エフライム族は^{そく}弓で^{ゆみ}武^ぶ装^{そう}した。
しかし^{たたか}戦いの^ひ日に^{たい}退^{たい}却^{ぎやく}した。

- 10 神の^{かみ}契^{けい}約^{やく}を^{まも}ら^例ず、
神の^{かみ}律^{りつ}法^{ぽう}に従^{したが}って^{あゆ}歩^ほむことを^{こぼ}拒^{こぼ}
んだ。^(例)

- 11 神が^{かみ}行^{おこな}ったことを^{わす}忘^{わす}れた。
神が見^{かみ}せ^みた^す素^す晴^はらしい^{いぎ}偉^{えい}業^{ぎやう}を。^(例)

- 12 神は^{かみ}父祖^{ふそ}の前^{まえ}で^{おどろ}驚^{おどろ}くべき^{おどろ}ことを
行^{おこな}った。^(例)

エジプトで、^ちツォアンの^{いき}地域^いで。

- 13 人^{ひと}が^{わた}渡^{わた}れる^{うみ}よう^わ海^{かい}を^わ分け、
水^{みづ}を^とせき^{かべ}止^とめて^{みち}壁^{かべ}の^くように^くした。^(例)

- 14 昼^{ひる}、^{くも}雲^{くも}によって^{みちび}導^{みちび}いた。
夜^よ通^{とお}し、^ひ火^ひの^{ひかり}光^{ひかり}によって^{みちび}導^{みちび}いた。^(例)

- 15 荒野^{こうや}の^{いわ}岩^{いわ}を^わ割^わり、
存^{ぞん}分^{ぶん}の^{うみ}飲^のませ^{ほう}た。海^{うみ}の^{ほう}よう^{ほう}に^{ほう}豊^{ほう}
富^ふな^{みず}水^{みず}を。^(例)

- 16 大^{おお}岩^{いわ}から^{みず}水^{みず}を^{なが}流^{なが}れ^{なが}させ、
川^{かわ}の^くよう^くに^く下^{くだ}らせ^くた。^(例)

77:20 *または、「に世話させた」。78:表題

*用語集参照。78:1 *または、「指示」。78:5

*または、「思い出させるもの」。

17 それでも、父祖は神に対して罪を
犯し続けた。

砂漠で至高者に反逆した。

18 心の中で神に挑んだ。

欲望のままに食物を求めた。

19 それで神に逆らって言った。

「神は荒野で食事を用意できる
のか」。

20 そこで神は岩を打った。

水が流れ、豊かにあふれ出た。

「神はパンも与えることができる
のか」。

また、民に肉を出せるのか」。

21 エホバは聞いて憤った。

火がヤコブに向かって燃え盛り、
怒りがイスラエルに向かって燃え
上がった。

22 神に信仰を持たず、

救う力に頼らなかったから。

23 それで神は大空の雲に命じ、

天の扉を開いた。

24 マナを雨のように降らせて食べ
させ、

天の穀物を与えた。

25 人々は力の強い者たちのパンを
食べ、

神から食物を十分に与えられた。

26 神は天に東風を起こし、

力によって南風を吹かせた。

27 肉を土ぼこりのように降らせた。

鳥を海辺の砂のように降らせた。

第78編

(7) 申 9:21, 22

詩 95:8

ヘブ 3:16

(1) 詩 106:14

(7) 出 16:8

(1) 出 17:6

(7) 出 16:3

(7) 民 11:10

(1) ヘブ 12:29

(7) 民 11:1

(7) 詩 106:24

ヘブ 3:10

ユダ 5

(7) 出 16:14, 35

出 16:31, 32

民 11:7

申 8:3

ヨハ 6:31

コ 10:2, 3

(7) 詩 103:20

(7) 出 16:12

(7) 民 11:31-34

第2欄

(7) 民 11:19, 20

(1) 民 11:10

(7) 民 11:34

(7) 民 14:2-4

民 25:3

コ 10:8-10

(7) 出 16:15

申 8:14, 15

(7) 民 14:29, 35

申 2:14

(1) 民 21:7

裁 4:3

(7) 申 32:4

(7) 出 6:6

(7) 詩 95:10

ヘブ 3:10

28 それを自分の宿営の中に、
幕屋の周囲に落とした。

29 人々は食べて満腹になった。

神は人々が欲しがるものを与

えた。

30 しかし欲望がまだ満たされない

うちに、

食物がまだ口にある間に、

31 神の憤りが燃え上がった。

神は、屈強な者たちを殺し、

イスラエルの若者たちを倒れさ

せた。

32 それでも人々は、ますます罪を犯

した。

神の素晴らしい偉業に信仰を持

たなかった。

33 それで神は彼らの日々を終わら

せた。

彼らの年月はまるで一呼吸の

よう。

突然の恐怖によって幕を閉じた。

34 神が彼らを殺すたびに、残った

人々は神を探し求めた。

帰ってきて神を探した。

35 そして思い出した。神が自分た

ちの岩であり、

至高の神が救ってくださることを。

36 しかし口で神をだまそうとした。

舌で神にうそをついた。

37 心が神にしっかり付いていな

かった。

78:35 *または、「復讐して」。直訳、「買い戻し
て」。

けいやく ちゅうじつ (7)
契約に忠実でなかった。

38 それでも神は憐れみ深く、過ちを
ゆる 許した。

ほろ 滅ぼすことはしなかった。(9)

なん ど い か (10)
何度も怒りをこらえた。

いきどお つの
憤りを募らせたりせずに。

39 神は思い出した。彼らが人であ
ることを、

ふ もと かぜ *
吹くと戻ってこない風であるこ
とを。

ひとびと なん ど こう や かみ はんぎやく (11)
40 人々は何度荒野で神に反逆し、
さばく かみ きず
砂漠で神を傷つけたことだろう。

く かえ かみ ため (12)
41 繰り返し神を試し、
イスラエルの聖なる方を悲しま
せた。

かみ ちから おも だ
42 神の力を思い出さなかった。
てきたいしや たす だ * ひ の こ
敵対者から助け出された日のこ
とを、

かみ
43 神がエジプトでしるしとなるこ
とを、
ツォアンの地域で奇跡を行ったこ
とを。

うんが ち か (13)
44 ナイルの運河を血に変え、
かわ みず の
川の水を飲めなくなったことを。

かみ む おく
45 神はアブの群れを送り、エジプト
じん くる (14)
人を苦しめた。

とち あ (15)
カエルに土地を荒らさせた。

さくもつ しょうよくおうせい
46 作物を食欲旺盛なバッタに、
らうく み たいぐん あた
労苦の実をバッタの大群に与
えた。

78:38 *直訳、「覆った」。78:39 *もしかすると、「生命力は出ていくと戻ってこない」。78:42 *直訳、「買い戻された」。

第78編

(7) 申 31:20
エレ 31:32

(1) 出 34:6
民 14:18
ネヘ 9:31

(2) 民 14:19,20
エレ 30:11
哀 3:22

(3) ネヘ 9:27
イザ 48:9
エゼ 20:9

(4) 詩 103:14

(5) 民 14:11

(6) イザ 63:10
エフ 4:30
ヘブ 3:16

(7) 民 14:22
申 6:16
詩 95:8,9

(8) 出 14:30

(9) 申 4:34
ネヘ 9:10
詩 105:27-36

(10) 出 7:19

(11) 出 8:24

(12) 出 8:6

(13) 出 10:14,15

第2欄

(7) 出 9:23

(1) 出 9:25

(2) 出 12:29
詩 105:36

(3) 詩 77:20
詩 105:37

(4) 出 14:20
ヘブ 11:29

(5) 出 14:27
出 15:10

(6) 出 15:17

(7) 詩 44:3

(8) ヨシ 24:12
詩 44:2

47 ひょうによってブドウの木を、
ひょうの石でエジプトイチジクの
木を壊滅させた。

48 動物にひょうを、
かちく いなずま お #
家畜に稲妻を落とした。

49 神は敵対者に差し向けた。

も い か
燃える怒りを、
げき ど いきどお くなん
激怒と憤りと苦難を、
さいなん てん し ぐんだん
災難をもたらす天使の軍団を。

50 神はご自分の怒りが通る道をつ
くった。

てきたいしや し まか
敵対者が死ぬに任せ、
えきびょう いのち うば
疫病に命を奪われた。

51 ついには、エジプトの全ての長
男を滅ばした。

てんまく はじ う もの
ハムの天幕で初めに生まれた者
たちを。

52 そして民を羊の群れのように連
れ出した。

こうや かちく む みちび
荒野で家畜の群れのように導
いた。

53 民は安全に導かれ、
おそ かん (16)
恐れを感じなかった。

うみ てき おお (17)
海が敵を覆った。

54 神は民を聖なる領土に連れて
きた。

じぶん ぎみて しゅとく さん
ご自分が右手で取得したこの山
地へと。

55 神は民の前から国々を追い出
した。

78:48 *または、「荷を運ぶ動物」。「もしかすると、「を熱病にかからせた」。78:51 *または、「生殖力が初めに生み出したもの」。

たみ と ち はか づな はいぶん (㉙)
民に土地を測り綱で配分し、

いすらいえ かく ぶ ぞく
イスラエルの各部族をそれぞれ
の家に住ませた。

56 それでも民は、至高者である神
に挑み続け、反逆した。

きょうくん ちゅうい はら (㉚)
教訓に注意を払わなかった。

57 それていつて、父祖のように不誠
実な態度を取った。

ゆみ しんらい
たるんだ弓のように信頼できな
かった。

58 高い場所で神の怒りを何度も引
き起こし、

ちょうこくそう すうはい かみ いきどお (㉛)
彫刻像を崇拜して神を憤らせた。

59 神は聞いて憤り、
イスラエルを全く退けた。

60 ついにはシロの幕屋を捨てた。
ご自分が人の中で住むための天
幕を。

61 神はご自分の力の象徴と
輝きを、

てきたいしゃ うば (㉜)
敵対者に奪われるままにした。

62 民を剣で殺されるままにし、
ご自分の財産である人々のこと

で憤った。

63 火がわかもく、く、つ
火が若者を食い尽くした。

おと め けっこん きょく うた
乙女のために結婚の曲が歌われ
ることはなかった。

64 祭司は剣で倒れた。
やもめは泣かなかった。

65 その時、エホバは起きた。眠り

第78編

(㉙) ヨシ 13:7
(㉚) ネヘ 9:24, 25
(㉛) 申 31:16
申 32:15
裁 2:11
サニ 20:1
ネヘ 9:26
(㉜) 王二 17:15
エレ 44:23
(㉝) 申 9:7
裁 3:6
(㉞) ホセ 7:16
(㉟) 申 12:2
裁 2:2
エゼ 20:28
(㊱) 裁 2:12
サー 7:3
(㊲) 裁 2:20
(㊳) ヨシ 18:1
サー 4:11
(㊴) エレ 7:12
(㊵) サー 4:21
サー 5:1
(㊶) サー 4:2, 10
(㊷) サー 2:33, 34
サー 4:11
(㊸) サー 4:19

第79編

(㉙) 詩 44:23
(㉚) イザ 42:13
(㉛) サー 5:6
(㉜) 創 49:10
(㉝) 詩 87:2
詩 132:13
詩 135:21
(㉞) 詩 76:2
(㉟) 詩 104:5
詩 119:90
伝 1:4
(㊱) サー 16:12, 13
(㊲) サー 17:15
(㊳) サー 7:8
(㊴) サー 6:21
(㊵) サー 8:15
王一 3:6
王一 9:4
王一 15:5
(㊶) サー 18:14

第79編

(㉙) 代一 25:1
(㉚) 出 15:17
(㉛) 王二 24:12, 13
詩 74:3, 7
哀 1:10
(㉜) 王二 25:9, 10
代二 36:17-19
エレ 52:13

から覚めるかのように、

ぶどう酒の酔いからさめる強靱
な人のように。

66 そして敵対者を追い返し、
永遠の恥辱を与えた。

67 神はヨセフの天幕を退けた。
エフライムの部族を選ばな

かった。

68 ユダの部族を選んだ。
ご自分が愛するシオンの山を選

んだ。

69 ご自分の聖なる所を、天と同じく
永続するものとした。

えいえん さだ ちきゅう
永遠のものとして定めた地球の
ように。

70 ご自分に仕えるダビデを選び、
羊の囲いから取り出した。

71 産後の雌羊を世話していたダビ
デを、

ご自分の民ヤコブの羊飼いとし、
財産であるイスラエルを治めさ
せた。

72 ダビデは清い心で民を世話し、
巧みな手腕で導いた。

アサフの歌。

79 神よ、国々はあなたの所有
地を侵略しました。

あなたの聖なる神殿を汚し、
エルサレムを廃虚としました。

2 人々は、あなたに仕える人の死
体を空の鳥に食物として与
えた。

78:56 *直訳、「を試し」。 78:58 *または、「嫉妬させた」。

あなたに^つ尽くす^{*ひと}人の肉^{にく}を地上^{ちじょう}の
野獣^{やじゅう}に^た食べ^(例)させた。

3 血^ちを水^{みず}のようにエルサレムに注
ぎ出^だした。

葬^{ほうむ}人は誰^{ひと}もいない。

4 私^{わたし}たちは周^{まわ}りの人^{ひと}の非難^{ひなん}の的^{まと}と
な^(例)った。

周^{まわ}りからあざけられ、笑^{わら}いものに
され^(例)た。

5 エホバ、いつまで激怒^{げきど}するのです
か。永遠^{えいえん}にです^(例)か。

憤^{いきどお}りはいつまで火^ひのよう^もに燃え
上^あがるのです^(例)か。

6 あなたを知らない^し国^{くに}々に、
あなた^なの名^なを呼^よぼうとし^{おう}ない王^{おう}
国^{こく}に、

激^{はげ}しい怒^{いか}りを浴^あびせて^(例)ください。

7 ヤコブを食^くい尽^つくし、
故郷^{こきょう}を荒廃^{こうはい}させたから^(例)です。

8 先祖^{せんぞ}の過^{あやま}ちの責任^{せきにん}を私^{わたし}たちに問^と
わ^(例)ないでください。

急^{いそ}いで憐^{あわれ}れみを示^{しめ}してください。

私^{わたし}たちはす^{よわ}っかり弱^{よわ}っています。

9 私^{わたし}たちの救^{すく}いの神^{かみ}、助^{たす}けてくだ
さい。

あなた^{かがや}の輝^なかしい名^なのため^(例)に。

私^{わたし}たちを助^{たす}け出^だし、罪^{つみ}を許^{ゆる}してく
だ^(例)さい。

あなた^なの名^なのため^(例)に。

第79編

(例) エレ 7:33

エレ 15:3

エレ 34:20

(例) エレ 14:16

エレ 16:4

(例) 申 28:37

エゼ 36:4

(例) 詩 74:1

詩 85:5

イザ 64:9

(例) ゼバ 1:18

(例) エレ 10:25

(例) 代二 36:20,21

(例) 詩 69:17

哀 3:22

(例) ネヘ 9:34

(例) 代一 16:35

(例) ヨシ 7:9

サー 12:22

代二 14:11

詩 115:1,2

イザ 48:9

エレ 14:7

第2欄

(例) ヨエ 2:17

(例) エレ 51:35

エゼ 36:23

(例) 出 2:23

イザ 42:6,7

(例) 詩 102:19,20

(例) 詩 74:18

(例) エレ 12:14

(例) 詩 74:1

詩 95:7

詩 100:3

(例) 詩 145:4

イザ 43:21

第80編

(例) 代一 25:1

(例) 詩 77:20

イザ 40:11

エレ 31:10

エゼ 34:12

ペー 2:25

(例) 出 25:20,22

サー 4:4

(例) イザ 42:13

10 国^{くに}々に、^{かれ}「彼^{かみ}らの神^{かみ}はどこに
の^いか」などと言^いわせて^(例)よいで
し^(例)ょうか。

私^{わたし}たちの目^めの前^{まえ}で、^{くに}国^{くに}々に知^し

しめ^(例)てください。

あなたに仕^{つか}える人^{ひと}の血^ちの復讐^{ふくしゅう}を。

11 凶人^{しゅうじん}のため息^{いき}を聞^きいてください
ます^(例)ように。

死刑^{しけいせんこく}宣告^{こうこく}を受けた人^{ひと}を偉^い大な力^{ちから}
で保^(例)護^ごしてくだ^(例)さい。

12 エホバ、人^{ひと}々はあなたをあざけ
り^(例)まし^(例)た。

7倍^{ばい}の報復^{ほうふく}をし^(例)てくだ^(例)さい。

13 あなたの民^{たみ}、あなた^{ぼく}の牧草^{ぼくそう}地^ちの
羊^{ひつじ}である私^{わたし}たちは、

永遠^{えいえん}にあなたに感^{かん}謝^{しや}し^(例)ます。

何^{なん}世^せ代^{だい}にもわた^{さん}ってあなたを賛^{さん}
美^(例)し^(例)ます。

指揮^{しきしや}者^{しや}へ、「ユリ」に合^あわせて。
思^{おも}い出^だすために。アザフによる。歌^{うた}。

80 聞^きいてください、イスラエル
の牧^{ぼくしや}者^{しや}。

ヨセフを羊^{ひつじ}の群^むれ^{みちび}のよう^{みちび}に導^{みちび}
て^(例)いる方^(例)。

ケルブたち^{うえき}の上^おで王座^{おうざ}に座^{すわ}
い^(例)る方^(例)。

輝^{かがや}きを放^{はな}て^(例)ください。

2 エフライムとベニヤミンとマナセ
の前^{まえ}で、
あなた^{ちからづよ}の力^{ちから}強^{しめ}さを示^(例)してくだ^(例)さい。

79:2 *または、「を揺るぎなく支持する」、「から
離れない」。 79:9 *直訳、「覆って」。

79:11 *もしかすると、「解放」。 80:1 *もしか
すると、「聞」。

来^きて、私^{わたし}たちを救^{すく}ってください。

3 神^{かみ}よ、私^{わたし}たちを回復^{かいふく}させてくだ

さい。

笑^え顔^がを私^{わたし}たちに向^むけ、救^{すく}ってくだ

さい。

4 大^{たい}軍^{ぐん}を率^{ひき}いる神^{かみ}エホバ、いつま
で憤^{いきどお}って民^{たみ}の祈^{いの}りを拒^{こば}むので

すか。

5 あなたは民^{たみ}に涙^{なみだ}のパンを食^たべさ
せます。

多^{おほ}くの涙^{なみだ}を飲^のませます。

6 あなたは人^{ひと}々に私^{わたし}たちのこと
で口^{こう}論^{ろん}させます。

敵^{てき}は思^{おも}うまにあざ笑^{わら}います。

7 大^{たい}軍^{ぐん}を率^{ひき}いる神^{かみ}、私^{わたし}たちを回復^{かいふく}

させてください。

笑^え顔^がを私^{わたし}たちに向^むけ、救^{すく}ってくだ

さい。

8 あなたは1本^{ぼん}のブドウの木^きをエジ
プトから持^もち出^だしました。

国^{くに}々^にを追^おい出^だし、その木^きを植^うえ
ました。

9 その木^きのために場^ば所^{しょ}を整^{ととの}えま
した。

木^きは根^ね付^づき、地^ち上^{じょう}に広^{ひろ}がります

した。

10 その木^きの影^{かげ}は山^{やま}々^まを、
枝^{えだ}は神^{かみ}の杉^{すぎ}の木^き々^まを覆^{おお}いました。

11 枝^{えだ}は海^{うみ}にまで、
若^{わか}枝^{えだ}は川^{かわ}にまで達^{たっ}しました。

80:11 * ユーフラテス川のこと。

第80編

(ア) イザ 25:9

(イ) 詩 85:4

哀 5:21

(ウ) 民 6:25

詩 67:1,2

(エ) 詩 74:1

詩 85:5

哀 3:44

(オ) 詩 44:13

詩 79:4

(カ) 詩 80:3,19

(キ) イザ 5:7

(ク) 詩 44:2

詩 78:55

エレ 2:21

(ケ) 出 23:28,30

ヨシ 24:12,13

王一 4:25

(コ) 創 15:18

出 23:31

王一 4:21

詩 72:8

第2欄

(ア) イザ 5:5

(イ) ナホ 2:2

(ウ) 王二 18:9

王二 24:1

王二 25:1

代二 32:1

エレ 39:1

(エ) イザ 63:15

(オ) イザ 5:7

エレ 2:21

(カ) 出 4:22

イザ 49:5

(キ) 詩 79:5

エレ 52:12,13

(ク) 詩 89:20,21

(ケ) 詩 80:7

12 あなたはなぜブドウ園^{えん}の石^{いし}壁^{かべ}を
崩^{くず}し、

通^{とお}り掛^かかる人^{ひと}たちに果^か実^{じつ}をもぎ
取^とらせたのですか。

13 森^{もり}のイノシシ^くが食^あい荒^あらし、
野^や生^{せい}動^{どう}物^{ぶつ}が餌^{えさ}にし^めします。

14 大^{たい}軍^{ぐん}を率^{ひき}いる神^{かみ}、帰^{かえ}ってき^きてくだ
さい。

天^{てん}から見^み下^おろし、よ^よく見^みてくだ

さい。

世^せ話^わしてください、このブドウの
木^きを、

15 あなたが右^{みぎ}手^てで植^うえたこの株^{かぶ}を。
見^みてください、あ^あなたがご自^じ分^{ぶん}の
た^ために強^{つよ}くした子^こを。

16 その木^きは焼^やかれ、切^きり倒^{たお}されて
います。

あ^あなたの叱^{しつ}責^{せき}で滅^{ほろ}びます。

17 あ^あなたが支^さえてくださいますよ
うに。

あ^あなたの右^{みぎ}に人^{ひと}を、
あ^あなたがご自^じ分^{ぶん}のた^ために強^{つよ}くし
た人^{ひと}を。

18 私^{わたし}たちはあ^あなたから離^{はな}れません。
私^{わたし}たちを生き続^いけさせ、あ^あなたの
名^なを呼^よべるようにしてください。

19 大^{たい}軍^{ぐん}を率^{ひき}いる神^{かみ}エホバ、私^{わたし}たち
を回^{かい}復^{ふく}させてください。

笑^え顔^がを私^{わたし}たちに向^むけ、救^{すく}ってくだ
さい。

80:15 * または、「ブドウの幹」。

80:16 * 直訳、「あ^あなたの顔^がの叱^{しつ}責^{せき}」。

- 81 指揮者へ。ギテで。アサフによる。
わたし ちから かみ(イ) む
私たちの力である神に向
かって歓声を上げよ。
ヤコブの神に向かって勝利の叫
びを上げよ。
- 2 演奏を始め、タンバリンを取れ。
うつく ねいろ ごと げんがつき
美しい音色のたて琴と弦楽器を
奏でよ。
- 3 新月の時に角笛を吹き鳴らせ。
しんげつ ととき つのぶえ ふ な (イ)
満月の時に、私たちの祭りの
日に。
- 4 それはイスラエルのための規定、
かみ つく き (イ)
ヤコブの神が作った決まり。
- 5 神はエジプトに出撃した時、そ
かみ しゅつげき ととき(イ)
の決まりをヨセフに与えた。
- おも だ (イ)
思い出するためのものとして。
わたし き な こえ* き
私は聞き慣れない声を聞いた。
- 6 「私は彼の肩から重荷を下ろ
した。
かれ て かご かいほう
彼の手は籠から解放された。
- 7 あなたは苦難の時に私を呼んだ。
わたし たす だ (イ)
私はあなたを助け出した。
らいうん なか こた (イ)
雷雲の中からあなたに答えた。
* みず ところ ため
メリバの水の所であなたを試し
た。(セラ)
- 8 聞け、私の民、私はあなたを責
める。
き わたし たみ わたし せ
イスラエル、あなたが私の言うこ
とを聞きさえすれば。
- 9 あなたの所によその神はいなく
なる。

81:表題 *用語集参照。81:5 *または、「言語」。
81:7 *意味、「言い争い」。

第81編

(イ) 代一 25:1

(イ) 詩 28:8

(イ) 民 29:1

(イ) 出 23:16

民 10:10

(イ) レビ 23:23, 24

(イ) 出 12:12

(イ) 出 12:14

(イ) 出 1:13, 14

出 6:6

(イ) 出 14:10, 13

詩 91:15

(イ) 出 19:16, 19

(イ) 出 17:6, 7

(イ) 出 15:26

第2欄

(イ) 出 20:2-5

申 6:13, 14

(イ) 申 5:6

(イ) 申 32:13, 14

(イ) 出 32:1

申 32:15

(イ) エレ 7:23, 24

エレ 11:7, 8

ミカ 6:16

(イ) 申 32:29

(イ) 申 5:29

イザ 48:17, 18

(イ) 民 14:9

(イ) 詩 147:14

(イ) 申 32:13, 14

第82編

(イ) 代一 25:1

(イ) 代二 19:6

(イ) 出 18:21, 22

詩 82:6

ヨハ 10:34, 35

あなたが外国の神にひれ伏すこ
とはない。

10 私エホバはあなたの神。

あなたをエジプトから連れ出し
た者。

口を大きく開けよ。私が十分に与
えよう。

11 しかし、民は私の言うことを聞か
なかった。

イスラエルは私に従わなかった。

12 それで、頑固な心のままに歩ま
せた。

彼らは自分が正しいと思うことを
行った。

13 民が私の言うことを聞きさえす
れば、

イスラエルが私の道を歩みさえ
すればよいのに!

14 私は彼らの敵をすぐに屈服さ
せる。

敵対者を攻撃する。

15 エホバを憎む人は神の前で身を
すくめる。

彼らの結末は永遠に変わらない。

16 しかし、神はあなたを最良の小
麦で養い、

岩から出る蜜で満足させる。

アサフの歌。

82 神は、神の集会を取り仕
切る。

神々の中で裁く。

81:16 *直訳、「彼」。神の民のこと。*直訳、
「小麦の脂肪」。82:1 *または、「神のような者
たち」。

- 2 「あなたたちはいつまで不正な裁
きをし、
悪人をえこひいきするの。

(セラ)

- 3 立場が低い人や孤児を守れ。
無力な人や困窮している人に、
公正な裁きを行え。

- 4 立場が低い人や貧しい人を助け
出し、
悪人の手から救え。

- 5 神々は知らない。理解してい
ない。

闇の中を歩き回っている。

大地の土台は全体が揺らいで
いる。

- 6 「私は言った。『あなたたちは神、
あなたたちは皆、至高者の子。

- 7 とはいえ、人と同じく死ぬ。
支配者と同じく終わりを迎
える』。

- 8 神よ、立ち上がり、地上で裁きを
行ってください。

すべての国はあなたのものだから
です。

歌。アサフの詩。

83 神よ、沈黙しないでくだ
さい。神よ、無言でいないでください。
行動してください。

- 2 見てください、敵が騒いでいます。

82:3 *または、「父親のいない子供」。
82:6 *または、「神のような者たち」。

第82編

(7) レビ 19:15
伝 5:8(4) 申 1:16, 17
代 2:19-7
格 18:5

(7) 申 24:17

(4) エレ 22:3

(4) ミカ 3:1

(4) 詩 11:3
格 29:4(4) ヨハ 10:34, 35
コ一 8:5

(7) 詩 49:12

(7) 詩 146:3, 4

(4) 詩 96:13

第83編

(7) 代 2:20-14

(4) 詩 28:1

(4) 詩 2:1, 2

第2編

(7) 出 1:8-10
代 2:20-1
エヌ 3:6(4) サニ 10:6
イザ 7:2, 5

(7) 代 2:20-1, 10

(4) 代一 5:10

(7) エレ 49:2

(7) 出 15:14
詩 60:8

(4) アモ 1:9

(7) 王二 17:5

(7) 創 19:36-38
申 2:9

(4) 裁 8:10, 12

(7) 裁 4:2, 7, 15

(4) ヨシ 17:11

(4) 裁 7:25

(4) 裁 8:21

あなたを憎む人たちが高慢に振
舞っています。

- 3 あなたの民に対して計略をひそ
かにたくらみ、
あなたが大切にする人たちに对
して陰謀を企てます。

- 4 敵は言います。「さあ、あの民を
滅ぼして、
イスラエルの名がもう思い出さ
れないようにしよう」。

- 5 敵は結託して作戦を立て、
あなたに反抗して同盟を結んだ。

- 6 エドムの天幕とイシュマエル人、
モアブとハグル人、

- 7 ゲバルとアンモンとアマレク、
フィリスティア、さらにティルスの
住民が。

- 8 アッシリアもそこに加わり、
ロトの子孫を支援した。(セラ)

- 9 敵を、メディアンに対してしたよ
うに扱ってください。

キションの川でシセラやヤビンに
したように。

- 10 その者たちはエン・ドルで滅び、
地面の肥やしとなった。

- 11 敵の貴族をオレブやゼエブのよ
うに、
高官をゼバハやツアルムナのように
にしてください。

83:2 *または、「頭を上げて」。83:3 *直訳、
「隠している人」。83:5 *または、「契約」。
83:9 *または、「ワジ」。83:11 *または、「指
導者」。

12 敵は言った。「神が住む土地を
手に入れよう」。

13 私の神、彼らを、風に巻かれるア
ザミのように、

風に吹かれるわらのようにしてく
ださい。

14 森林を焼き尽くす火のように、
山々を焦がす炎のように、

15 あなたが彼らを一風によって
追い、
暴風によっておびえさせますよ
うに。

16 エホバ、彼らの顔を覆い、恥を
かけてください。
あなたの名を探し求めるように
なるためです。

17 敵が永遠に恥をかき、おびえま
すように。

面目を失って滅びますように。

18 人々があなたのことを知りますよ
うに。

エホバという名を持つあなただ
けが、
地球全体を治める至高者である
ということ。

指揮者へ。ギテで。コラの子孫による。歌。

84 あなたの偉大な幕屋は何と
美しいのでしょうか、

大軍を率いるエホバ。

2 私はエホバの庭を慕う気持ちに
あふれます。

83:13 *または、「枯れ草の固まり」。84:表題
*用語集参照。84:1 *または、「深く愛されてい
ます」。

第83編

(7) イザ 17:13

(7) 詩 144:5

ナホ 1:6

(7) イザ 30:30

(7) 詩 11:6

(7) 出 6:3

詩 68:4

イザ 42:8

イザ 54:5

(7) 詩 59:13

詩 92:8

ダニ 4:17

第84編

(7) 代二 20:19

(7) 詩 27:4

詩 43:3

詩 46:4

第2欄

(7) 詩 42:1,2

詩 63:1,2

(7) 詩 23:6

詩 65:4

(7) 代一 25:7

詩 150:1

(7) 詩 28:7

(7) 詩 18:32

イザ 40:29-31

ハバ 3:19

(7) 創 15:1

思い焦がれるあまり、弱り衰えま
した。

身も心も、生きている神に向かっ
て歓声を上げます。

3 大軍を率いるエホバ、私の王、
私の神、

あなたの偉大な祭壇の近くに、
鳥でさえ家を見つめました。

ツバメも自分の巣を見つけ、
ひなを世話しました。

4 あなたの家に住む人は幸いです。
いつもあなたを賛美します。
(セラ)

5 あなたから力を得る人は幸せ
です。

心をあなたの家への道に向けて
います。

6 その人がバカの谷を通る時、
そこは泉に変わります。

秋の雨がそこを祝福で包み込み
ます。

7 その人は歩くにつれて力を得、
シオンの神の前に立ちます。

8 大軍を率いる神エホバ、私の祈
りを聞いてください。

ヤコブの神、耳を傾けてくださ
い。(セラ)

9 ご覧ください、私たちの盾、私た
ちの神、

84:6 *または、「バカが生い茂る谷」。「*もしか
すると、「教師は賛美で身を包み」。

84:9 *もし
かすると、「神よ、私たちの盾をご覧ください」。

あなたが選んだ者の顔を見てく

ださい。

- 10 あなたの庭での1日は、ほかのどんな場所での1000日よりも素晴らしい!

私は神の家の入り口に立つことを選びます。

悪人の天幕に住むことではなく。

- 11 エホバ神は太陽、盾。
恵みと栄光を与えてくださいます。
エホバは潔白に歩む人に良いものを
を出し惜しみしません。

- 12 大軍を率いるエホバ、
あなたに頼る人は幸せです。

指揮者へ。コラの子孫による。歌。

85 エホバ、あなたはご自分の土地に恵みを与えまし

た。
ヤコブの捕らわれていた人たち
を連れ戻しました。

- 2 民の過ちを許し、
全ての罪を覆いました。(セラ)

- 3 あなたは激怒を抑えました。
燃える怒りを捨て去りました。

- 4 私たちの救いの神、私たちを回復させてください。

もう不快に思わないでください。

- 5 私たちに永遠に憤るのですか。
何世代にもわたって、怒りを抱き
続けるのですか。

84:9 *直訳、「油を注いだ」。用語集の「油を注ぐ」参照。 85:2 *または、「許し」。 85:4 *または、「連れ戻して」。

第84編

(7) サー 2:10

(1) 詩 26:8

詩 27:4

詩 43:3,4

(2) 詩 27:1

イザ 60:19,20

(2) 申 33:29

サニ 22:3

詩 144:2

(4) 詩 34:9

詩 37:18

(4) 詩 146:5

エレ 17:7

第85編

(4) 代二 20:19

(1) レビ 26:42

ヨエ 2:18

(2) エズ 2:1

エレ 30:18

エゼ 39:25

(2) エレ 50:20

ミカ 7:18

(4) 詩 103:9

イザ 12:1

(2) 詩 80:3,4

(2) 詩 74:1

詩 79:5

第2編

(7) エズ 3:11

エレ 33:10,11

(1) 哀 3:22

(7) イザ 57:19

(2) 申 8:17,18

詩 78:7

(2) イザ 46:13

(4) 詩 72:3

イザ 32:17

(4) イザ 26:9

イザ 45:8

(2) 詩 84:11

ヤコ 1:17

(7) レビ 26:4

詩 67:6

イザ 25:6

イザ 30:23

(2) 詩 89:14

第86編

(4) 詩 34:6

イザ 66:2

- 6 私たちを再び力づけてくださるな

いのですか、

あなたの民があなたのことで喜べるように。

- 7 エホバ、揺るぎない愛を私たちに示し、

救ってください。

- 8 私は真の神エホバが語ることを聞く。

神は民に、ご自分に尽くす人たちに、平和を語る。

それでも民は再び自信過剰に

なってはならない。

- 9 神は必ず、ご自分を畏れる人たちに快く救う。

こうして神の栄光は私たちの土地にとどまる。

- 10 揺るぎない愛と真実が出会う。
正しさと平和が口づけし合う。

- 11 真実が地から芽生え、
正しさが天から見下ろす。

- 12 そうだ、エホバが良いものを下さる。

私たちの土地には作物が実る。

- 13 正しさは神の前を行き、
神が通る道をつくる。

ダビデの祈り。

86 エホバ、耳を傾け、答えてください。

私は苦しんでいて、貧しいのです。

85:8 *または、「を揺るぎなく支持する」。「から離れない」。 85:12 *または、「繁栄させてくださる」。 86:1 *または、「かがみ込んで聞き」。

- 2 私の命を守ってください。私はあなたから離れません。
あなたに頼るこの私を救ってください。
さい。
あなたは私の神。
3 エホバ、親切を示してください。
私は一日中あなたを呼び続けます。
4 私が喜べるようにしてください。
エホバ、あなたに目を向けます。
5 エホバ、あなたは善い方で、快く許してください。
あなたに呼び掛ける人全てに、
揺るぎない愛を豊かに示してください。
6 エホバ、私の祈りを聞いてください。
助けを求める願いに注意を払ってください。
7 苦難の日あなたに呼び掛けます。
あなたは答えてくださいます。
8 エホバ、あなたのような神はほかにいません。
あなたが行うことに並ぶものはありません。
9 エホバ、あなたが造った全ての国の人々は、
あなたの前に来てひれ伏し、
あなたの名をたたえます。

86:2 *または、「を揺るぎなく支持しています」。
86:4 *または、「自分を差し出し」。

第86編

(詩) 詩 37:28
(代) 代二 16:9
(詩) 詩 57:1
(詩) 詩 25:8
詩 145:9
ルカ 18:19
(イザ) イザ 55:7
ミカ 7:18
(詩) 詩 130:7
(詩) 詩 17:1
(詩) 詩 18:6
(詩) 詩 116:1
(出) 出 15:11
詩 96:5
コ一 8:5,6
(申) 申 3:24
詩 104:24
(イザ) イザ 2:2,3
ゼカ 14:9
啓 7:9,10
(啓) 啓 15:4

第2欄

(詩) 詩 72:18
ダニ 6:27
(申) 申 6:4
詩 83:18
イザ 44:6
コ一 8:4
(詩) 詩 27:11
詩 119:33
詩 143:8
イザ 54:13
(詩) 詩 43:3
(詩) 詩 12:13
エレ 32:39
(マタ) マタ 22:37
(ヨブ) ヨブ 33:28
詩 56:13
詩 116:8
(サニ) サニ 15:12
(詩) 詩 10:4
詩 54:3
(出) 出 34:6
ネヘ 9:17
ヨナ 4:2
(詩) 詩 25:16
(詩) 詩 28:7

- 10 あなたが偉大で、驚くべきことを
行うからです。
ただあなただけが神です。
11 エホバ、あなたの道を教えてください。
私はあなたの真理に従って歩みます。
私の心を一つにしてください、私は
はあなたの名を一心に畏れます。
12 私の神エホバ、心を込めてあなたを賛美し、
あなたの名を永遠にたたえます。
13 あなたは揺るぎない愛をあふれるほどに示し、
墓の底から私を救ってくださいました。
14 神よ、思いがった人たちが私に敵対します。
残酷な人の一団は私の命を狙い、
あなたを全く敬いません。
15 エホバ、あなたは憐れみ深く、
思いやりがある神です。
すぐに怒らず、揺るぎない愛に満ち、
常に信頼できます。
16 私に目を向け、親切を示してください。
あなたに仕える私に力を与えてください。

86:11 *または、「分かれていない心を私に与えて」。
86:13 *ヘブライ語、シエオル。用語集参照。
86:14 *または、「自分たちの前にあなたがいることを意識し」。
86:15 *または、「慈しみ」。
*または、「真実を語り」。

みぶん ひく わたし* すく
身分の低い私を救ってください。

17

あなたが善い方であることをはつ
きり示してください。
わたしにく ひと み は
私を憎む人たちが見て、恥じる
ためです。

エホバ、あなたは私を助け、慰
めてくださいます。

コラのしそんの詩。うた。歌。

87

神の都は聖なる山々に据え
られている。
もん あい
2 エホバはシオンの門を愛して
いる。

ヤコブのてんまくすべ
天幕全てよりも。

3

真の神の都よ、あなたの荘厳さ
が語られている。(セラ)
わたし*わたり し
4 私はラハブとバビロンを、私を知
る者として挙げる。

フィリスティア、ティルス、ク

シュも。

その者たちのことを、「この都で
生まれた」と言う。

5

人はシオンについてこう言う。
「皆それぞれ、この都で生ま
れた」。

至高者が都をしっかりと定める。

6

エホバは人々を記録し、宣言
する。

「この都で生まれた」と。(セラ)

7

歌う人たちが、輪になって踊る人
たちは言う。

「私の泉は全てここにある」。

86:16 *または、「あなたの女奴隷の子」。86:
17 *または、「証拠」。87:4; 88:表題 *用語
集参照。87:4 *または、「認める」。87:7 *ま
たは、「私にとって、あなたは全ての源」。

第87編

(㊦)代二 20:19

(㊦)詩 48:1

(㊦)詩 78:68

詩 132:13

(㊦)詩 48:2

イザ 60:14

(㊦)詩 89:10

イザ 30:7

(㊦)代一 15:16

(㊦)詩 150:4

(㊦)詩 46:4

第2欄

第88編

(㊦)代二 20:19

(㊦)王一 4:30,31
代一 2:6

(㊦)詩 27:9

イザ 12:2

(㊦)詩 22:2

(㊦)王一 8:30

(㊦)詩 141:1

(㊦)詩 71:20

(㊦)イザ 38:10

(㊦)詩 143:7

(㊦)詩 31:12

(㊦)詩 90:7

詩 102:10

(㊦)ヨブ 19:13,19

詩 31:11

詩 142:4

うた。コラのしそんの詩。指揮者へ。マハラト調で、
交互に歌う。エズラハ人へまんのマスキル。

88

エホバ、私の救いの神。
昼、私は叫びます。

夜、あなたの前に行きます。

2

私の祈りがあなたに届きますよ
うに。
たす もと さけ みみ かたむ *
助けを求める叫びに耳を傾けて
ください。

3

私は災難続きで、
命は今にも墓に落ちそうだ。

4

すでに、墓穴に下る人の中に数
えられている。

無力な人のようになり、
死者と共に放置された。

5

殺されて墓に葬られた人のよ
うに。

その人を、あなたは思い出しも、
支えもしない。

6

あなたは私を最も深い墓穴に置
いた。

暗い場所、大きな底知れぬ深
みに。

7

あなたの激しい怒りが私にのし
かかる。

あなたの荒波に私は圧倒される。

(セラ)

8

あなたは私の知人を私から遠ざ
けた。

私のことを忌まわしく思わせた。

私は捕らえられていて逃げられ
ない。

88:2 *または、「をかみ込んで聞いて」。88:
3 *ヘブライ語、シエオル。用語集参照。

- 9 私は苦悩し、目が疲れ果てた。
エホバ、あなたに一日中呼び掛
けます。
あなたに向かって両手を広げ
ます。
- 10 あなたは死者のために奇跡を行
うでしょうか。
無力な死者が立ち上がってあな
たを賛美しますか。(セラ)
- 11 あなたの揺るぎない愛が墓で、
あなたの真実さが滅びの場所で
伝えられることがあるでしょ
うか。
- 12 あなたの奇跡が闇の中で、
あなたの正しさが忘却の土地で
知られるでしょうか。
- 13 エホバ、あなたに助けを求めて
叫びます。
私の祈りは毎朝あなたに届き
ます。
- 14 エホバ、なぜ私を退けるので
すか。
なぜ顔を隠すのですか。
- 15 私は若い時から苦しんでき
ました。
今にも死にそうです。
何も感じなくなりました。
私に恐ろしいことが起きるのを、
あなたは防ぎませんでした。
- 16 あなたの燃える怒りが私を圧倒
します。

88:11 *または、「アバドン」。

第88編

(㊦) ヨブ 17:7
詩 42:3
哀 3:49

(㊦) 詩 55:17

(㊦) ヨブ 14:14
詩 115:17
イザ 38:18

(㊦) 伝 2:16
伝 8:10
伝 9:5

(㊦) 詩 46:1

(㊦) 詩 55:17
詩 119:147

(㊦) 詩 43:2

(㊦) ヨブ 13:24
詩 13:1

(㊦) ヨブ 17:1

(㊦) 詩 102:10

第2編

(㊦) ヨブ 19:13
詩 31:11
詩 38:11
詩 142:4

第89編

(㊦) 王一 4:30, 31
代一 2:6

(㊦) 代一 16:41
イザ 54:10

(㊦) サニ 7:8
王一 8:16
ルカ 1:32, 33

(㊦) 詩 132:11
エゼ 34:23
ホセ 3:5
ヨハ 7:42

(㊦) 代一 17:11
啓 22:16

(㊦) サニ 7:12, 13
ヘブ 1:8

(㊦) 詩 40:5
詩 71:19

あなたからの恐怖が私を打ち砕

きます。

- 17 その恐怖が一日中、水のように
押し寄せ、

四方から私に迫ります。

- 18 あなたは私から友や仲間を遠ざ
けました。
暗闇が私の友となりました。

マスキル。エズラハ人エタンによる。

- 89 私はエホバの揺るぎない愛
について永遠に歌う。

あなたの真実さを後のどの世代
にも知らせる。

- 2 私は言った。「揺るぎない愛は永
続する。

あなたは天にご自分の真実さを
しっかりと据えたら」。

- 3 「私は自分が選んだ者と契約を
結んだ。

私に仕えるダビデに誓った。

- 4 『私はあなたの子孫を永遠に存
続させる。

あなたの王座を保たせる。後の
どの世代までも』。(セラ)

- 5 エホバ、天はあなたの驚くべき
行いを賛美します。

聖なる者たちの会衆におけるあ
なたの真実さを。

- 6 空にエホバのような方がほかに
いるでしょうか。

88:17 *もしかすると、「一度に」。89:表題
*用語集参照。

神の子たちの中で誰がエホバの

ようでしょうか。

7 神は聖なる者たちの集いで畏れ
られている。

周りにいる全ての者は偉大な神

に畏敬の気持ちを抱く。

8 大軍を率いる神工ホバ、
誰があなたのように力強いでしょ
うか、ヤハよ。

あなたは真実さに囲まれている。

9 荒れ狂う海を支配し、
高波を静める。

10 あなたはラハブを打ち破って殺
した。

強い腕によって敵を散らした。

11 天はあなたのもの、地もあなた
のもの。

あなたは大地とそこにあるもの
全てを整えた。

12 北と南を創造した。

タボルとヘルモンは喜びながら
あなたの名を賛美する。

13 あなたの腕には力が、
手には強さがある。

あなたの右手は高く上げられる。

14 正しさと公正はあなたの王座の
土台。

揺るぎない愛と真実があなたの
前にある。

15 歓声を上げる民は幸せだ。

エホバ、その人たちはあなたの
恵みを受けて歩む。

第89編

(ア) ヨブ 38:7

(イ) イザ 6:2,3

(ロ) ダニ 7:9,10

(ニ) サー 2:2

詩 84:12

(ホ) 申 32:4

(ロ) エレ 31:35

(ハ) 詩 65:7

詩 107:29

(イ) イザ 30:7

(ロ) 出 14:26

出 15:4

(ロ) 出 3:20

申 4:34

ルカ 1:51

(イ) コー 10:26

(イ) 代一 29:11

詩 50:12

(イ) ヨシ 19:22,23

(ロ) 申 3:8

ヨシ 12:1

(イ) 出 6:6

(イ) 出 13:3

(イ) 詩 44:3

(イ) 申 32:4

詩 71:19

啓 15:3

(イ) 出 34:6

エレ 9:24

(イ) 民 10:10

詩 98:6

第2欄

(イ) 詩 28:7

(イ) サー 2:10

(イ) 詩 2:6

(ロ) サー 18:14

(ロ) サ二 7:8

(イ) 使徒 13:22

(イ) サ一 16:12,13

使徒 10:38

(イ) 詩 80:17

イザ 42:1

(イ) 代一 17:9

(ロ) サ二 3:1

サ二 7:9

(イ) 詩 110:1

(イ) サ二 7:15

代一 17:13

使徒 13:34

(イ) 王一 4:21

詩 72:8

16 民はあなたの名のことで一日中
喜ぶ。

あなたの正しさによって重んじら
れる。

17 あなたは民の榮譽、また力。
あなたが認めてくださるので、私
たちは強くなる。

18 私たちの盾はエホバのもの。
私たちの王はイスラエルの聖な
る方のもの。

19 あなたはご自分に尽くす人た
ちに幻によって語り掛け、
言った。

「私は強い人に力を与え、
民の中から選んだ人を重んじた。

20 私に仕えるダビデを見つけ、
私の聖なる油を注いで任命した。

21 私は彼を手で支え、
腕で力づける。

22 彼は敵に貢ぎ物を強要されるこ

とはなく、
不正を働く人に虐げられることも
ない。

23 私は彼の前で敵対者を粉砕する。
彼を憎む人を打ち倒す。

24 私の真実さと揺るぎない愛は彼
と共にあり、

私の名によって彼は強くなる。

25 私は彼の手を海の上に、
彼の右手を川の上に置く。

89:17 *直訳、「の角は上げられる」。89:19

*または、「を揺るぎなく支持する」、「から離れない」。89:20 *用語集の「油を注ぐ」参照。

89:7 *または、「会合」。89:10 *用語集参照。

89:15 *直訳、「顔の光の中を」。

- 26 ^{かれ わたし よ い}彼は私を呼んで言う。
『^{わたし ちち}あなたは私の父、
^{わたし かみ すく いわし}私の神、救いの岩』。
- 27 ^{わたし かれ ちょうなん い}私は彼を長男とし、
^{ちじょう もっと くらい たか おう}地上で最も位の高い王とする。
- 28 ^{かれ ゆ あい えいえん}彼への揺るぎない愛を永遠に
^{しめ い}示し、
^{かれ けいやく かなら り こう}彼との契約を必ず履行する。
- 29 ^{わたし かれ し そん えいえん そんぞく}私は彼の子孫を永遠に存続さ
^{せる。}
^{かれ おう ざ てん おな えいぞく}彼の王座は天と同じく永続する。
- 30 ^{かれ し そん わたし りっぽう す}もし彼の子孫が私の律法を捨て、
^{わたし き てい* し たが}私の規定に従わないなら、
- 31 ^{わたし ほうれい そむ}もし私の法令に背き、
^{わたし まも}私のおきてを守らないなら、
- 32 ^{わたし ふじゅうじゆん *かれ ぼう こ}私は不従順な彼らを棒で懲らし
^{める。}
^{あやま おか かれ う}過ちを犯した彼らを打ちたたたく。
- 33 ^{わたし かれ ゆ}それでも私は彼への揺るぎない
^{あい す}愛を捨てない。
^{やくそく かくじつ は *}約束を確実に果たす。
- 34 ^{わたし けいやく そむ}私は契約に背かない。
^の述べたことを変えない。
- 35 ^{わたし いち ど かぎ じぶん しんせい}私は一度限り、自分の神聖さに
^{か ちか}懸けて誓った。
^{わたし いつわ い}私はダビデに偽りを言わない。
- 36 ^{かれ し そん えいえん そんぞく}彼の子孫は永遠に存続し、
^{おう ざ わたし まえ たいよう えい}王座は私の前で太陽のように永
^{ぞく}続する。
- 37 ^{えいえん ゆ}永遠に揺るがない。

89:30 *または、「裁き」。 89:32 *または、「反抗的な」。 89:33 *または、「自分の真実さに反したりはしない」。

第89編

(ア) サニ 22:47
詩 18:2

(イ) 詩 2:7
ヘブ 1:5

(ウ) デモ— 6:15
啓 1:5
啓 19:16

(エ) 使徒 13:34

(オ) サニ 23:5
詩 89:34

(カ) イザ 9:7
エレ 33:17
ヘブ 1:8

(キ) サニ 7:14
王— 11:14,31

(ク) サニ 7:15
王— 11:32,36

(コ) エレ 33:20,21

(コ) ヤコ 1:17

(サ) 民 23:19
詩 132:11

(セ) サニ 7:16,17
詩 72:17
イザ 11:1
エレ 23:5
ヨハ 12:34
啓 22:16

(タ) ダニ 7:14
ルカ 1:32,33

第2欄

(ア) 代— 28:9

(イ) 申 28:37

(ウ) 申 28:25

(エ) 詩 13:1

(オ) ヨブ 7:7
詩 39:5

^{そら}空にいつも^{あらわ}現れる^{きつき}月のように」。

(セラ)

- 38 ^{かれ す しりぞ}しかしあなたは彼を捨て、退
^のけた。
^{じ ぶん にんめい *もの いきどお}ご自分が任命した者に憤った。
- 39 ^{じ ぶん つか ひと}あなたはご自分に仕える人との
^{けいやく は き}契約を破棄した。
^{かれ おうかん じめん な つ けが}彼の王冠を地面に投げ付けて汚
^{した。}
- 40 ^{かれ いしかべ* すべ くず}あなたは彼の石壁を全て崩し、
^{じょうさい こうはい}城塞を荒廃させた。
- 41 ^{とお ひと みな かれ うば}通っていく人は皆、彼から奪い
^と取った。
^{かれ まわ ひと ひ なん い}彼は周りの人から非難された。
- 42 ^{かれ てきたいしや しょうり あた}あなたは彼の敵対者に勝利を与
^{*の}えた。
^{かれ てき みな よろこ}彼の敵を皆、喜ばせた。
- 43 ^{かれ つるぎ つか}あなたは彼の剣を使えないもの
^{にした。}
^{たたか かれ ふ り}戦いで彼を不利にならせた。
- 44 ^{かれ かが うしな}あなたは彼の輝きを失わせ、
^{おう ざ じめん な つ}王座を地面に投げ付けた。
- 45 ^{かれ わか とき みじか}彼の若い時を短くした。
^{かれ はじ}彼に恥をまとわせた。(セラ)
- 46 ^{かく}エホバ、いつまで隠れたままな
^{えいえん}のですか。永遠にですか。
^{はげ い か ひ}あなたの激しい怒りは火のよう
^{も つづ}に燃え続けるのですか。
- 47 ^{わたし いのち みじか おも だ}私の命の短さを思い出してくだ
^(の)さい。

89:37 *直訳、「空の忠実な証人である」。 89:38 *直訳、「油を注いだ」。 89:40 *または、「石でできた避難所」。 89:42 *直訳、「敵対者の右手を持ち上げた」。

あなたは^{もくてき}目的もなく^{すべ}全て^{ひと}の人を
創造^{そうぞう}したのですか。

48 死^しを見ないで生き続けられる人^{ひと}
がいるでしょうか。

墓^{はか}から自分^{じぶん}を救い^{すく}出せるでし^だょう
か。(セラ)

49 エホバ、あなたの揺るぎない愛^{あい}
はどうなってしまったのですか。

ご自分^{じぶん}の真実^{しんじつ}さに懸^かけてダビデ^だ
に誓^{ちか}ったその愛^{あい}は。

50 エホバ、思い出してください。

89:48 *または、「墓の力」。用語集参照。

第89編

(7) ヨブ 30:23
詩 49:7,9

あなたに仕える人たちがあざけ
られたこと、

わたし^{わたし} すべて^{すべ}の民^{たみ}からのあざけりに
耐^たえて^{*}いることを。

51 あなたの敵^{てき}が侮辱^{ぶじよく}したことを、エ
ホバ、

あなたが任命^{にんめい}した者の行動^{*もの こうどう}全て^{すべ}
を敵^{てき}が侮辱^{ぶじよく}したことを。

52 エホバが永遠^{えいえん}に賛美^{さんび}されますよ
うに。アーメン、アーメン。

第2欄

(7) 詩 41:13
詩 72:18

89:50 *直訳、「を懷に抱えて」。 89:51 *直
訳、「油を注いだ」。

第4巻
(詩編 90-106編)

真^{しん}の神^{かみ}に仕える人^{つか}モーセ^{ひと}の祈^{(7) いの}り。

90 エホバ、あなたはいつの時^じ
代^{だい}も私たち^{わたしたち}の住まい^{すまい}と
なってくださいました。

2 あなたは山々^{やまやま}が生まれる前^{まえ}から、
地球^{ちきゅう}と大地^{だいち}を生み出^うす前^{まえ}から、
永遠^{えいえん}から永遠^{えいえん}まで神^{かみ}です。

3 あなたは、死^しにゆく人間^{にんげん}を土^{つち}に
戻^{もど}らせました。

「土^{つち}に戻^{もど}りなさい」と言^いいます。

4 あなたにとって1000年^{ねん}は、過ぎ^{過ぎ}
去^さった昨日^{きのう}のようであり、
夜^{よる}のひとときのようです。

5 人は、あなたにばら^{はら}のけられて
夢^{ゆめ}のように消^きえていきます。
朝^{あさ}、草^{くさ}のように生^はえ出^でます。

90:1 *もしかすると、「避難所」。 90:2 *また
は、「陣痛を伴って産む」。

第90編

(7) 申 33:1

(7) 申 33:27
詩 91:1

(7) エレ 10:12

(7) 詩 93:2
イザ 40:28

ハバ 1:12
デモ 1:17

啓 1:8
啓 15:3

(7) 創 3:19
詩 104:29

詩 146:3,4
伝 3:20

伝 12:7
(7) ペニ 3:8

(7) ヨブ 9:25

(7) 詩 103:15
ペー 1:24

第2欄

(7) ヨブ 14:2

(7) 民 17:12,13
申 32:22

(7) エレ 16:17

(7) 格 24:12
ヘブ 4:13

(7) サニ 19:34,35

あさ^{あさ} はな^{はな} さ^さ み^み お^お

6 朝^{あさ}、花^{はな}を咲^さかせ、身^みを起^おこします。
しかし夜^{よる}にはしおれて干^ひからび
ます。

7 私^{わたし}たちはあなた^いの怒^{いか}りにのみ込^こ
まれます。

8 私^{わたし}たちはあなた^いの怒^{いか}りにおびえます。

8 あなたは私たち^{わたし}の過^{あやま}ちに気付^きい
ています。

あなた^{かお}の顔^{ひかり}の光^{わたし}によって私たち^{わたし}
の秘密^{ひみつ}は暴^{あば}かれます。

9 あなた^{げき}の激怒^どによって私たち^{わたし}
の命^{いのち}は衰^{おとろ}えていきます。

私^{わたし}たちの生涯^{しょうがいの}は、まるでささやき^{*}
のように消^きえ入^いります。

10 私^{わたし}たちの寿命^{じゅみよう}は70年^{ねん}、
丈夫^{じょうぶ}な人^{*ひと}でも80年^{ねん}です。

90:9 *または、「ため息」。 90:10 *または、
「特別に強い」。

じんせい なや かな
人生は悩みと悲しみであふれて
います。

また ま す わたし
瞬間に過ぎ、私たちはいなく
なってしまいます。

11 あなたの怒りの強さは計り知れ
ません。

はげ いか かんが
あなたの激しい怒りを考えると、
あなたを畏れずにはいられま
せん。

12 どうすれば一日一日を大切にで
きるか教えてください。

わたし こころ ち え さず
私たちの心に知恵を授けてくだ
さい。

13 エホバ、帰ってきてください。こ
の状態はいつまで続くので
すか。

わたし あわ おち
私たちのことを哀れに思ってくだ
さい。

14 朝、揺るぎない愛を示してくだ
さい。

わたし やす
私たちが安らげるように、
しょうがい よろこ かんせい あ
生涯にわたって喜び、歓声を上
げられるようにです。

15 あなたに苦しめられた日々と、
災難を経験した多くの年月があ
ります。

ぶん わたし よろこ
その分、私たちが喜べるようにし
てください。

16 あなたに仕える人があなたの行
いを見ますように。

ひと こども かごや
その人の子供たちがあなたの輝
きを見ますように。

90:12 *直訳、「自分の日々を数えることを」。

第90編

(7) ヨブ 14:10
詩 78:39
ルカ 12:20
ヤコ 4:13,14

(4) イザ 33:14
ルカ 12:5

(7) 詩 39:4

(2) 詩 6:4

(8) 詩 89:46

(8) 申 32:36
詩 135:14

(4) 詩 36:7

詩 51:1
詩 63:3
詩 85:7

(7) 詩 149:2

(7) 申 2:14

(7) 詩 30:5

(7) 民 14:31
ヨシ 23:14

第2欄

(7) 詩 127:1
格 16:3
イザ 26:12
コー 3:7

第91編

(4) 詩 27:5
詩 31:20
詩 32:7

(7) 詩 57:1

(2) 詩 18:2
格 18:10

(8) 格 3:5

(8) 出 19:4
申 32:11
ルツ 2:12

(4) 詩 57:3
詩 86:15

(7) 創 15:1
詩 84:11

(7) 詩 121:4,6
イザ 60:2

(7) 詩 64:2,3
イザ 54:17

(7) 出 12:13

(4) 詩 71:3
詩 90:1

わたし かみ しゅくふく
17 私たちの神エホバが祝福してく
ださいように。

あなた わたし おこな せい
あなたが、私たちが行うことを成
功させてくださいますように。

わたし おこな (7)
私たちが行うことをです。

91 し こうしゃ あた かく す
至高者が与える隠れがに住
む人は、

ぜんものうしや かげ (7)
全能者の陰にとどまる。

わたし い
2 私はエホバに言う。

わたし ひな じよ わたし
「あなたは私の避難所、私のと
りで、

わたし たよ わたし かみ(8)
私が頼る私の神」。

かみ たす だ
3 神はあなたを助け出す。

とり と もの
鳥を捕る者のわなから、
は かいてき えきびょう
破壊的な疫病から。

かみ はね おお *
4 神はあなたを羽で覆う。

つばさ した ひ なん (8)
翼の下に、あなたは避難する。
かみ しんじつ (4) おおだて(7) ぼうへき
神の真実さは大盾、防壁。

よる き けん (7)
5 あなたは夜の危険も、
ひる と や おそ (7)
昼に飛んでくる矢も恐れないう。

やみ なか (7) えきびょう
6 闇の中で忍び寄る疫病も、
ま ひる しやう ほう
真昼に生じる滅びも。

7 1000人があなたのそばに倒れ、
まんじん みぎ たお
1万人があなたの右に倒れる。
しかし、あなたに危険が及ぶこと
はない。

8 あなたはただそれを見る。
あくにん しょうつ* もくげき
悪人が処罰されるのを目撃する。

9 あなたが「エホバは私の避難
じよ い
所」と言って、
し こうしゃ す * (4)
至高者のもとに住んだから。

91:4 *または、「あなたに近づく者を羽で阻む」。

91:8 *直訳、「報復」。91:9 *もしかすると、「避難した」。

10 災難^{さいなん}があなたに降り掛^かかること
はない。

災厄^{さいやく}があなたの天幕^{てんまく}に及^{およ}ぶこと
はない。

11 神^{かみ}はあなたのために天使^{てんし}たちに
命令^{めいれい}を出し、
あなたがどこに行こうともあなた
を守^{まも}らせる。

12 天使^{てんし}たちはあなたを手^てに乗^のせて
運^{はこ}び、
あなたが石^{いし}に足^{あし}をぶつけないよ
うにする。

13 あなたは若いライオンとコブラを
踏^ふみつけ、
たてがみがあるライオンとおおへび
を踏^ふみつぶす。

14 神^{かみ}は言った。「彼^{かれ}が私^{わたし}に愛情^{あいじょう}を
抱^{いだ}いたので、私^{わたし}は彼^{かれ}を助^{たす}け
出す。

彼^{かれ}が私^{わたし}の名^なを知^しっているので、彼^{かれ}
を保護^{ほご}する。

15 彼^{かれ}は私^{わたし}に呼び掛^かけ、私^{わたし}は答^{こた}える。
私^{わたし}は苦難^{くなん}に遭^あう彼^{かれ}と共にいる。
彼^{かれ}を助^{たす}け出し、栄^{えい}誉^よを与える。

16 私^{わたし}は彼^{かれ}を長生^{ながい}きさせ、私^{わたし}による救^{すく}
いを見^みさせる。

詩。安息日^{しあんそくび}のための歌^{うた}。

92 エホバに感謝^{かんしゃ}するのは良^よい
ことだ。

至高^{しこうしゃ}者^や、あなたの名^なを賛美^{さんび}
て歌^{うた}うのも。

91:14 *または、「認めて」。 92:1 *または、「名
のために音楽を奏でる」。

第91編

(7) 詩 12:21

(1) 王二 6:17
詩 34:7
マタ 18:10(7) 出 23:20
ヘブ 1:7,14

(4) イザ 63:9

(7) 詩 37:24
マタ 4:6
ルカ 4:10,11

(7) ルカ 10:19

(7) 詩 18:2

(7) 詩 9:10
格 18:10(7) ロマ 10:13
ヘブ 5:7(4) 詩 138:7
イザ 43:2(7) 詩 21:1,4
格 3:1,2

(7) イザ 45:17

第92編

(7) 詩 50:23

第2欄

(7) イザ 63:7

(1) 代一 15:16
代一 25:6
代二 29:25(7) 詩 40:5
詩 145:4
伝 3:11
啓 15:3(4) ヨブ 26:14
ロマ 11:33(7) 詩 14:1
コ一 2:14(7) 詩 37:35,38
エレ 12:1-3(7) 申 28:7
詩 68:1

(7) 詩 23:5

2 朝^{あさ}、あなたの揺るぎない愛^{あい}にっ
いて知^しらせるのも、
夜^{よる}、あなたの真実^{しんじつ}さを知^しらせる
のも。

3 10弦^{げん}の楽器^{がっき}とリユートに、
うつく 美しい音色^{おいろ}のたて琴^{こと}に合^あわせな
がら。

4 エホバ、あなたは行^{こうどう}動^わし、私^{わたし}を
喜^{よろこ}ばせてくださった。
あなたが行^{おこな}ったことのために私^{わたし}
は歓声^{かんせい}を上げる。

5 エホバ、あなたが行^{おこな}ったことは
なん 何^{なん}と偉大^{いだい}なのだろう。
あなたの考^{かんが}えは何^{なん}と深^{ふか}いのだ
ろう。

6 分別^{ぶんべつ}のない人^{ひと}は知^しることがで
きず、

愚^{おろ}かな人^{ひと}は理^り解^{かい}できない。

7 悪^{あく}人は雑草^{ざっそう}のよう^はに生^はえ出^でると
しても、
悪^{あく}を行^{おこな}う人^{ひと}たちはのさばるとし

ても、
永^{えい}遠^{えん}に滅^{ほろ}ぼされる。

8 エホバ、あなたは永^{えい}遠^{えん}にたたえ
られます。

9 エホバ、あなたの敵^{てき}の敗北^{はいぼく}を見^み
てください。

あなたの敵^{てき}が滅^{ほろ}ぶるさまを。
悪^{あく}を行^{おこな}う人^{ひと}は皆^{みな}散^ちらされる。

10 しかし、あなたは私^{わたし}を野牛^{やぎゅう}のよう
に強^{つよ}くしてくださる。
私^{わたし}は新^{あた}しい油^{あぶら}で肌^{はだ}を潤^{うる}す。

- 11 私の目は、敵の敗北を見つめ、
私の耳は、私を攻撃する悪人の

転落について聞く。

- 12 正しい人はヤシの木のように
茂り、
レバノンの杉のように大きく育つ。

- 13 その人たちはエホバの家に植え
られる。

私たちの神の庭で生い茂る。

- 14 年を取っても衰えない。

元気ではずつと、

- 15 エホバが正しい方であることを
知らせる。

神は私の岩、神に不正はない。

- 93 エホバは王になった！
莊嚴さを身にまといている。

エホバは力を身にまといている。

力を帯のように締めている。

大地はしっかりと据えられた。

動かされることはない。

- 2 あなたの王座は、はるか昔に
しっかりと据えられた。

あなたは果てしない昔から存在
している。

- 3 エホバ、川は氾濫しました。
川は氾濫して騒ぎ立っています。
氾濫し、激しい音を立ててい
ます。

- 4 エホバは多くの水のどろきよ
りも、

第92編

(7) 詩 37:34

(4) 詩 52:8

イザ 61:3

イザ 65:22

(7) 詩 100:4

(2) 詩 71:18

格 16:31

イザ 40:31

イザ 46:4

(7) エレ 17:7,8

(7) 申 32:4

第93編

(4) 詩 96:10

詩 97:1

イザ 52:7

啓 11:17

啓 19:6

(7) 詩 145:13

(7) 詩 90:2

第2欄

(7) 詩 65:7

(4) 詩 8:1

詩 76:4

(7) 詩 19:7

詩 119:111

(2) エゼ 43:12

ペー 1:16

第94編

(7) 申 32:35

ナホ 1:2

ロマ 12:19

(7) 創 18:25

使徒 17:31

(4) 詩 31:23

(7) 詩 73:3

詩 74:10

(7) 詩 14:4

(2) 詩 59:2,7

エゼ 8:12

(7) 詩 10:4,11

詩 73:3,11

イザ 29:15

(2) 格 1:22

くだ うみ なみ つよ かた(7)
砕ける海の波よりも強い方。
たか ところ い げん かた(4)
高い所にいる威厳ある方。

- 5 あなたの教えはとても信頼で
きる。

エホバ、あなたの家はいつも神
聖で飾られる。

94 復讐する神、エホバ、
復讐する神、輝きを放つてく

ださい。

- 2 地上の人々を裁く方、立ち上

がってください。

ごうまん ひと どうぜん むく あた
傲慢な人に当然の報いを与えて
ください。

- 3 いつまで悪人は、エホバ、
いつまで悪人は勝ち誇るの
で、

- 4 悪人は口を慎まず、高慢に語り
ます。

悪く おこな ひと みな じまん
悪を行う人は皆、自慢します。

- 5 エホバ、彼らはあなたの民を打
ちのめし、

あなたの財産である人々を虐げ
ます。

- 6 やもめや外国人居住者を殺し、
父親のいない子供を殺します。

- 7 そして言います。「ヤハは見てい
ない。

ヤコブの神は気付いていない。

- 8 分別のない人たち、理解せよ。
愚かな人たち、いつになったら
洞察するのか。

93:5 *または、「思い出させるもの」。
「神聖さはいつまでもあなたの家にふさわしい」。

92:14 *または、「白髪になっても」。
93:1 *または、「ぐらつく」。

9 耳^{みみ}を造^{つく}った方^{かた}は、聞^きくことができ
ないのだろうか。

目^めを形^{かたち}作^{づく}った方^{かた}は、見^みることができ
ないのだろうか。

10 国^{くに}々^にを正^{ただ}す方^{かた}は、戒^{いまし}めることが
できないのだろうか。

その方^{かた}は人^{ひと}に知^ち識^{しき}を授^{さず}けている。

11 エホバは人^{ひと}の考^{かんが}えを知^しっている。
それ^いが息^{いき}のよう^ににむなしいこと^{こと}を
知^しっている。

12 あなたに正^{ただ}される人^{ひと}は幸^{しあわ}せだ。
ヤハよ、あなたに律^{りつ}法^{ぽう}から教^{おし}えら
れる人^{ひと}は。

13 その人^{ひと}は災^{さい}難^{なん}の時^{とき}にも平^{へい}穩^{おん}でい
られる。

ついに^あくは悪^{あく}人^{にん}のため^{ため}の穴^{あな}が掘^ほら
れる。

14 エホバはご自^じ分^{ぶん}の民^{たみ}を見^み捨^すて
ない。

ご自^じ分^{ぶん}の財^{ざい}産^{さん}である人^{ひと}々^々を捨^すて
ない。

15 再び正^{ただ}しい裁^{さば}きが行^{おこな}われるよう
になる。

こころ^{こころ} しょうじき^{しょうじき} ひと^{ひと} みな^{みな} したが^{したが}
心^{こころ}の正^{しょう}直^{じき}な人^{ひと}は皆^{みな}それ^{それ}に従^{したが}う。

16 私^{わたし}のため、悪^{あく}人^{にん}に対^{たい}抗^{こう}してくれ
るのは誰^{だれ}か。

悪^{あく}を^{おこな}う人^{ひと}に立^たち向^むかってくれ
るのは誰^{だれ}か。

17 もしエホバが助^{たす}けてくださらな
かったなら、

私^{わたし}はとっくに消^きえうせていた
らう。

第94編

(詩) 34:15

(詩) 9:5
イザ 10:12(詩) 25:8
イザ 28:26
ヨハ 6:45

(コ) コー 3:20

(詩) 119:71
格 3:11
コ一 11:32
ヘブ 12:5,6

(詩) 19:8

(詩) 55:23
ペ二 2:9(詩) サ一 12:22
詩 37:28
ヘブ 13:5

(詩) 申 32:9

(詩) 詩 124:2,3
コ二 1:10

第2編

(詩) サ一 2:9
詩 37:24
詩 121:3
哀 3:22(詩) 詩 86:17
フイリ 4:6,7(詩) イザ 10:1
ダニ 6:7
使徒 5:27,28

(詩) 詩 59:3

(詩) 王一 21:13

(詩) 詩 18:2

(詩) 格 5:22
テサ二 1:6

(詩) サ一 26:9,10

第95編

(詩) サ二 22:47

(詩) 詩 50:23
詩 100:4

18 「足^{あし}を滑^{すべ}らせてしま^{わたし}う」と私^{わたし}が
言^いった時^{とき},

エホバ、あなた^あは揺^ゆるぎない愛^{あい}
を^{しめ}示^わし、私^{わたし}を支^{ささ}えてくだ^くさ^くった。

19 心^{しん}配^{はい}事^{ごと}で圧^{あつ}倒^{とう}され^{とき}そう^{とき}な時^{とき},
あなた^あは私^{わたし}を安^{あん}心^{しん}させ、落^おち着^つ

か^かせてくだ^くさ^くった。

20 腐^ふ敗^{はい}した支^し配^{はい}者^{しゃ}たち^ははあな^あたと
同^{どう}盟^{めい}を結^{むす}べるだ^だらう^うか。

法^{ほう}の名^なの下^{もと}に問^{もん}題^{だい}を巻^まき起^おこし

て^てい^いる^るの^のに。

21 彼^{かれ}ら^らは正^{ただ}しい人^{ひと}に卑^ひ劣^{れつ}な攻^{こう}撃^{げき}を
加^{くわ}え、

潔^{けつ}白^{ぱく}な人^{ひと}に死^し刑^{けい}を宣^{せん}告^{こく}する。

22 しかし、エホバが私^{わたし}の安^{あん}全^{ぜん}な避^ひ
難^{なん}所^{じょ}。

私^{わたし}の神^{かみ}は私^{わたし}の岩^{いわ}、避^ひ難^{なん}でき^{きる}
る場^ば所^{じょ}。

23 神^{かみ}は彼^{かれ}ら^らの悪^{あく}事^じが彼^{かれ}ら^らの身^みに降^ふ
り掛^かかるよう^{よう}にする。

彼^{かれ}ら^らがた^たくら^らん^んだ悪^{あく}事^じを利^り用^{よう}して
彼^{かれ}ら^らを消^けし去^さる。

私^{わたし}たち^{たち}の神^{かみ}エホバが消^けし去^さる。

95 さあ、エホバに向^むかっ^かて歓^{かん}
声^{せい}を^あ上^あげよう。

救^{すく}いの岩^{いわ}に向^むかっ^かて勝^{しょう}利^りの叫^{さけ}び
を^あ上^あげよう。

2 神^{かみ}の前^{まえ}に行^いって感^{かん}謝^{しゃ}し^しよう。
勝^{しょう}利^りの叫^{さけ}びを^あ上^あげ^うて歌^{うた}おう。

94:19 *または、「不安な気持ちでいっぱいにな
った」。^{*}または、「慰め」。^{*}94:20 *または、
「王座」,「裁判人たち」。^{*}または、「規定を用い
て」。^{*}94:21 *直訳、「潔白人の血を有罪(罪
深い)」と。^{*}94:22 *または、「高台」。

3 エホバは偉大な神。

た かみ かい だい おうけ
 彼のどんな神よりも偉大な王。

4 地下の深い所は神の手中に

ある。

やまや ま いだき かみ (イ)
 山々の頂も神のもの。

5 神が造った海も神のもの。

かみ つく うみ かみ (イ)
 神の手が乾いた陸地を形

づく (イ)
 作った。

6 さあ、崇拜し、ひれ伏そう。

わたくし つく まえ
 私たちを造ったエホバの前でひ

ざまずこう。

7 この方は私たちの神。

わたくし かみ ぼくそうち たみ かみ
 私たちは神の牧草地の民、神が

せ わ ひつじ(イ)
 世話する羊。

きょう こえ
 今日、あなたがたが神のこの声

を聞けばよいのに。

8 「頑固になってはならない。

メリバでの出来事のように、

荒野のマッサにいた日のように。

9 その時、あなたがたの父祖は私

を試した。

私の行ったことを見ておきなが

ら、私に挑んだ。

10 40年間、私はこの世代の人々を

嫌悪し、言った。

『この民は心がいいつもそれて

いき、

私の道を知るようにならな

かった』。

11 私は怒りを抱いて誓った。

『彼らが私と共に休むことは

ない』。

95:8 *意味、「言い争い」。「意味」、「試すこと」。

第95編

(イ) 出 18:11

エレ 10:10

コ 8:5,6

(イ) アモ 4:13

アモ 9:3

(イ) エド 5:22

(イ) 創 1:9,10

(イ) 詩 100:3

マタ 4:10

啓 14:7

(イ) 詩 23:1

イザ 40:11

(イ) ヘブ 3:7-11

ヘブ 4:7

(イ) ヘブ 3:15

(イ) 出 17:7

(イ) 詩 78:18

コ 10:9

(イ) 民 14:22,23

(イ) 創 2:3

民 14:22,23

ヘブ 4:3

第2欄

第96編

(イ) 詩 33:3

詩 40:3

詩 98:1

詩 149:1

イザ 42:10

(イ) 代 16:23-25

詩 66:4

(イ) 詩 40:10

詩 71:15

イザ 52:7

(イ) マタ 28:19

ペ 2:9

啓 14:6

(イ) 詩 97:7

イザ 44:10

(イ) 代 16:26

コ 8:4

(イ) 出 24:9,10

イザ 6:1-3

エゼ 1:27,28

啓 4:2,3

(イ) 代 16:27

代 29:11

(イ) 代 16:28-33

詩 29:1

(イ) 詩 29:2

詩 72:19

(イ) 詩 93:1

詩 97:1

啓 11:15

啓 19:6

96 エホバに新しい歌を歌え。

地上の全ての人たち、エホ
 バに向かって歌え。

2 エホバに向かって歌い、神の名
を賛美せよ。

神による救いの良い知らせを毎

日に広めよ。

3 国々に神の栄光を知らせよ。

全ての民に神の素晴らしい偉業

を知らせよ。

4 エホバは偉大で、大いに賛美さ
れるべき方。

ほかのどんな神よりも威厳に満
ちる方。

5 国々の神は皆、無価値な神。

一方、エホバは天を造った方。

6 威光と輝きに包まれている。

神の聖なる所には力と美がある。

7 国々の氏族はエホバを認めよ。

エホバの栄光と力を認めよ。

8 エホバをたたえよ。輝かしい名

を持つ方を。

供え物を持って神の庭に入れ。

9 聖なる装いをしてエホバにひれ

伏せ。

地上の全ての人は神の前で震

えよ。

10 国々に知らせよ。「エホバは王に
なった！

大地はしっかりと据えられた。動

かされることはない。

96:6 *または、「威厳」。96:9 *もしかすると、「輝かしい神聖さのゆえに」。「または」、「を崇拜せよ」。96:10 *または、「ぐらくつく」。

かみ ひとびと こうへい さば*⁽⁷⁾
神は人々を公平に裁く。

- 11 天は喜び、地は歡喜せよ。
うみ すべて おと
海とそこにある全てのものは音を
ひびかせよ。

- 12 野原とそこにある全てのものは
よろこ⁽²⁾
喜べ。

しんりん きぎ みな かんせい あ ⁽²⁾
森林の木々も皆、歓声を上げよ、

- 13 エホバの前で。
かみ く * ちじょう ひとびと さば
神は来る。地上の人々を裁くた
めに来る。

かみ せ かい* ただ さば ⁽⁴⁾
神は世界を正しく裁く。

ひとびと せいじにつ さば ⁽⁴⁾
人々を誠実に裁く。

- 97 エホバは王になった！
だい ち よろこ ⁽²⁾
大地は喜べ。

おほ しまじま かん き ⁽²⁾
多くの島々は歡喜せよ。

- 2 雲と濃い闇が神の周りにある。
ただ こうせい かみ おうざ どだい⁽⁴⁾
正しさと公正は神の王座の土台。

- 3 火が神の前から出ている、
しゅうい てきたいしゃ や つ ⁽²⁾
周囲の敵対者を焼き尽くす。

- 4 神の稲妻が地上を照らし、
かみ いなづま ちじょう て
大地は見て、震える。

- 5 山々はろうのように溶ける。
やまやま と ⁽²⁾
エホバの前、全地球の主の前で。

- 6 天は神の正しさを知らせる。
てん かみ ただ し
すべ たみ かみ えいこう み ⁽⁴⁾
全ての民は神の栄光を見る。

- 7 彫刻像を崇拜する人、無価値な
かみがみ⁽²⁾ ほこ ひと みな はじ
神々を誇る人々は皆、恥をかく。

かた ふ * すべ
この方にひれ伏せ、全ての
かみがみ ⁽²⁾
神々よ。

96:10 *または、「弁護する」。 96:13 *または、「
「来た」。「または、「大地」。 97:7 *または、「を
崇拜せよ」。

第96編

(7) 詩 67:4
詩 98:9
(4) 詩 98:7
(2) 詩 65:13
(2) 代 16:33
(4) 創 18:25
詩 9:8
詩 98:9
使徒 17:31
ペテ 3:7
(7) 申 32:4

第97編

(4) 詩 96:10
啓 11:16, 17
啓 19:6
(2) イザ 49:13
(2) イザ 60:9
(2) 出 20:21
(2) 詩 99:4
(2) 詩 50:3
ダニ 7:9, 10
(2) ナホ 1:2, 6
マラ 4:1
(2) 出 19:16, 18
詩 77:18
詩 104:32
(2) 裁 5:5
ナホ 1:5
ハバ 3:6

(2) ハバ 2:14
(2) エレ 10:14
(2) イザ 37:19
(2) 出 12:12
出 18:11

第2編

(7) イザ 51:3
(4) 詩 48:11
(2) 出 18:11
イザ 44:8
(2) 詩 34:14
詩 101:3
詩 119:104
ロマ 12:9
ヘブ 1:9
(2) 詩 37:28
詩 145:20
(2) ダニ 3:28
マタ 6:13
(4) 詩 112:4
格 4:18
イザ 30:26
ミカ 7:9

第98編

(2) 詩 33:3
詩 96:1
詩 149:1
イザ 42:10
(2) 出 15:11
詩 111:2
(2) 出 15:6
イザ 52:10
イザ 59:16
イザ 63:5
(2) ルカ 2:30, 31
(2) イザ 5:16

- 8 シオンは聞いて歡喜する。

ユダの町々は喜ぶ。

エホバ、あなたが裁きを行った
から。

- 9 エホバ、あなたは地球全体を治
める至高者。

他のどの神よりもはるかに高い
地位にいる。

- 10 エホバを愛する人たち、悪を
憎め。

神はご自分に尽くす人たちの命
を守っている。

その人たちを悪人の手から助け
出す。

- 11 光が正しい人のためにきらめ
いた。

喜びが心の正直な人を照らした。

- 12 正しい人たち、エホバのことで
喜び、

神の聖なる名をたたえよ。

- 98 エホバに新しい歌を歌え。
神は素晴らしいことを

行った。

右手で、聖なる腕で救ってくだ
さった。

- 2 エホバはご自分による救いを知
らせた。
国々にご自分の正しさを明らか
にした。

97:8 *直訳、「娘たち」。 97:10 *または、「を
揺るぎなく支持する」、「から離れない」。 98:1
*または、「勝利した」。

- 3 イスラエル国民に、揺るぎない愛
を示して支えたと約束したこと
を思い出した。

人々は地の果てに至るまで、私
たちの神による救いを見た。

- 4 地上の全ての人たち、エホバに
向かって勝利の叫びを上げよ。
快活になり、歓声を上げ、賛美し
て歌え。

- 5 たて琴を弾いてエホバを賛美し
て歌え。

たて琴と美しい歌声を響かせて。

- 6 ラッパと角笛を吹き鳴らし、
王エホバの前で勝利の叫びを上
げよ。

- 7 海とそこにある全てのものは音を
響かせよ。

大地とそこに住むものも。

- 8 川も手をたたけ。
山々も皆、歓声を上げよ、

- 9 エホバの前で。
神は地上の人々を裁くために
来る。

神は世界を正しく裁く。
人々を公平に裁く。

- 99 エホバは王になった。人々
は震えよ。
神はケルブたちの上で王座に
座っている。大地は震動せよ。

98:3 *または、「神の勝利」。98:4 *または、「音楽を奏でよ」。98:5 *または、「のために音楽を奏でよ」。98:9 *または、「来た」。「または、「大地」。99:1 *もしかすると、「間」。

第98編

(7) レビ 26:42
ルカ 1:54,55

(1) イザ 49:6
使徒 28:28
ロマ 10:18

(7) 詩 47:1
詩 67:4

(14) 民 10:10
代一 15:28
代二 29:27

(7) イザ 44:23

(7) 詩 9:8
使徒 17:31

(14) 詩 67:4
詩 96:10
ロマ 2:6

第99編

(7) 詩 93:1
啓 11:17

(7) 出 25:22

第2欄

(7) 詩 83:18

(14) 詩 8:1
詩 148:13
啓 15:4

(7) ヨブ 36:6

(14) 申 10:17,18
エレ 9:24

(7) 出 15:2

(7) 代一 28:2
詩 132:7

(14) レビ 19:2

(7) 出 24:6
民 14:19,20

(7) サ一 7:9

(14) 出 15:24,25
サ一 15:10

(7) 出 19:9

(14) 出 40:16
サ一 12:3

(14) 申 9:19

(14) ミカ 7:18

(7) 出 34:6,7

(7) 出 15:2

(14) 詩 2:6

(7) サ一 2:2
イザ 6:3

- 2 シオンにいるエホバは偉大な方。
全ての民を治める高貴な方。

- 3 人々があなたの偉大な名を賛美
しますように。

その名は崇高で聖なるもの。

- 4 神は公正を愛する力強い王。

あなたは正しいことが確実に行
われるようにした。

ヤコブに公正と正しさをもたら
した。

- 5 私たちの神エホバをたたえよ。
神の足台でひれ伏せ。

神は聖なる方。

- 6 モーセとアロンは神の祭司。
サムエルは神の名を呼んだ。

彼らが呼び掛けると、エホバは
答えた。

- 7 神は雲の柱の中から語り掛けた。
彼らは神から与えられた教訓と
規定を守った。

- 8 私たちの神エホバ、あなたは彼
らに答えた。

あなたは彼らのことを許す神
だった。

それでも彼らを処罰した。彼らが
罪深いことを行ったから。

- 9 私たちの神エホバをたたえよ。
神の聖なる山の前でひれ伏せ。

私たちの神エホバは聖なる方。

99:5,9 *または、「崇拜せよ」。99:7 *または、「思い出させるもの」。99:8 *直訳、「に復讐」。

100 ^{かんしゃ うた}
感謝の歌。
^{ちじょう すべ} 地上の全ての人たち、
^む エホバに向かって勝
^り 利の叫びを上げよ。

2 ^{よろこ} 喜んでエホバに仕えよ。
^{かんせい あ} 歓声を上げながら神の前に出よ。

3 エホバが神であることを知れ。
^{かた わたし} その方が私たちを造った。私た
^ち ちはその方のもの。

^{わたし} 私たちは神の民、神の牧草地
^{ひつじ} の羊。

4 ^{かんしゃ} 感謝しながら神の門を入れ。
^{さん び} 賛美しながら神の庭に入れ。
^{かん} 神に感謝し、神の名を賛美せよ。

5 エホバは善い方。
^{かん} 神の揺るぎない愛は永遠に続く。
^{かん} 神の真実さはいつの時代までも
^{かわ} 変わることがない。

^{だビデ} ダビデによる。歌。

101 ^{わたし ゆ} 私は揺るぎない愛と公
^{せい} 正について歌う。

エホバ、あなたを賛美して歌う。

2 ^{わたし しりぞぶ} 私は思慮深く行動し、非難され
^{ところ} ところがない生き方をする。
^{あなた} あなたはいつ私の所に来てくだ
^{さる} さるのか。

^{わたし きよ} 私は清い心で自分の家の中を
^{ある} 歩く。

3 ^{わたし む} 私は無価値なものを目の前に置
^{かな} かない。

100:3 *または、「認めよ」。[＃]もしかすると、「造ったのは私たちではない」。**101:1** *または、「のために音楽を奏でる」。**101:2, 6** *または、「清い」。

第100編

(例) 詩 95:1,2
詩 98:4

(例) 申 12:12
ネヘ 8:10

(例) 申 6:4

(例) 詩 149:2

(例) 詩 95:6,7
エゼ 34:31
ペー 2:25

(例) 詩 50:23
詩 66:13
詩 122:1,2

(例) 詩 65:4

(例) 詩 96:2
ヘブ 13:15

(例) 詩 86:5
ルカ 18:19

(例) 出 34:6,7
申 7:9
詩 98:3

第101編

(例) 王一 9:4
詩 78:70,72

第2欄

(例) 詩 97:10

(例) 格 20:19

(例) 格 20:8

第102編

(例) 詩 61:2
詩 142:2

(例) 詩 55:1
ダニ 9:17

(例) 出 2:23

(例) 詩 27:9
哀 1:20

^{ただ} 正しいことからそれていく人たち
^{おこな} の行いを憎む。

^{ひと} その人たちとは関わらない。

4 ^ま 曲がった心は私から離れている。

^{わたし} 私は悪いことを容認しない。

5 ^{ひと} 人をひそかに中傷する者を黙ら
^{せる} せる。

^め 目が傲慢で心が高慢な人に我慢

できない。

6 ^{ちじょう} 地上の忠実な人たちに目を向け、

^{わたし} 私と共に住まわせる。

^{ひなん} 非難されるところがない生き方を
^{する} する人が、私に仕える。

7 ^{ひと} 人を欺く者が私の家に住むこと

はない。

^{うそ} うそをつく人が私の前に立つこと

はない。

8 ^{わたし} 私は毎朝、地上の悪人を皆、黙

らせる。

^{あく} 悪を行う人を皆、エホバの都か
^ら ら一掃する。

^{いた} 虐げられている人が絶望して、
^{エホバ} エホバに不安を打ち明ける時の祈り。

102 ^{わたし} エホバ、私の祈りを聞
^{いて} ください。

^{たす} 助けを求めろ ^{さけ} 喜びがあなたに届

きますように。

2 ^{くる} 苦しむ私から顔を隠さないでくだ
^{さい} さい。

101:3 *または、「そうした行いが私にくっつくことではない」。**101:4** *直訳、「知らない」。**101:5, 8** *または、「消し去る」。**102:表題** *または、「弱くなって」。

みみ かたむ *

耳を傾けてください。

わたし よ ととき こた
私が呼ぶ時、すぐに答えてくだ

さい。

- 3 私の日々は煙のように消えてい
きます。

わたし ほね ろ も
私の骨は炉で燃えたかのように
焦げました。

- 4 私の心は草のようにしおれ、干
からびています。

た わす
食べることさえ忘れています。

- 5 大声でうめいたせいで、
骨と皮だけになりました。

- 6 私は荒野のペリカンのようです。
廃虚にいる小さいフクロウのよう
です。

- 7 私は横になっても眠れません。
屋根の上の孤独な鳥のようです。

- 8 敵は一日中、私をあざけります。
私をあざ笑う人たちは、私の名
を使って人に災いを求めます。

- 9 灰が私のパンになりました。
私の飲み物には涙が混ざってい
ます。

- 10 あなたが怒り、憤ったからです。
あなたは私を抱え上げて投げ捨
てました。

- 11 私の日々は消えゆく影のよう
です。
私は草のように干からびてい
ます。

102:2 *または、「かがみ込んで聞いて」。 102:7 *もしかすると、「瘦せ衰えました」。 102:8 *または、「ばかにする」。 102:11 *または、「伸びた」。

第102編

(ア) 詩 143:7
イザ 65:24

(イ) 哀 1:13

(ウ) 詩 143:4

(ロ) 詩 6:6
詩 38:8

(ハ) ヨブ 19:20
格 17:22

(ニ) 詩 38:11

(ホ) 詩 31:11
詩 74:10
詩 79:4

(ヘ) 哀 3:15

(ト) 詩 80:5

(チ) 詩 39:5

(リ) ヨブ 14:1,2
詩 102:4

第2欄

(ア) 詩 90:2

(イ) 出 3:15

(ウ) イザ 49:15

(ロ) イザ 60:10

(ハ) エズ 1:1,2
イザ 40:2
ダニ 9:2

(ニ) ネヘ 2:3
詩 137:5

(ホ) 詩 79:1

(ト) イザ 60:3
ゼカ 8:22

(チ) 詩 147:2
エレ 33:7

(リ) イザ 60:1

(ロ) ダニ 9:20,21

(ハ) 詩 22:24

(ニ) 詩 78:4
口マ 15:4

(ヘ) 代 2:16:9

(ト) 出 3:7
イザ 61:1

(リ) 代 2:33:12,13
詩 79:11

- 12 しかしエホバ、あなたは永遠
です。

あなたの名声はいつの時代まで
も続きます。

- 13 あなたは必ず立ち上がり、シオン
に憐れみを示します。
今はあなたが情けを掛ける時
です。

定めの時が来ました。

- 14 あなたに仕える人はシオンの石
を喜びます。
シオンの土にさえ愛情を抱き
ます。

- 15 国々はエホバの名を畏れます。
地上の全ての王はあなたの栄光
を畏れます。

- 16 エホバはシオンを建て直し、栄
光を帯びて現れます。

- 17 困窮した人の祈りに注意を払い
ます。
彼らの祈りを軽んじません。

- 18 このことは後の世代のために書
かれます。

まだ生まれていない民がヤハを
賛美するようになるためです。

- 19 エホバは高くて聖なる所から見
下ろしています。

天から地を見て、

- 20 囚人のため息を聞き、
死刑を宣告された人を解放し
ます。

102:12 *または、「名」。

21 こうして、シオンでエホバの名が
ひろめられます。

エルサレムで神が賛美されます。

22 さまざまな王国や人々がエホバ
に仕えるために集まるのです。

23 神は、まだ先がある私の力を
奪い、

私の寿命を短くしました。

24 私は言いました。

「私の神、人生の半ばにある私を
消し去らないでください。

あなたがいる年月は永遠に続
きます。

25 昔、あなたは地の土台を据え、
天をご自分の手でつくりました。

26 天と地は滅びます。しかしあなた
は存在し続けます。

天と地は、衣服のように擦り切れ
ます。

あなたによって服のように取り換
えられ、消え去ります。

27 しかしあなたは変わりません。
あなたの年月に終わりはありま
せん。

28 あなたに仕える人の子供たちは
安全に住み、

彼らの子孫はあなたの前で平和
に暮らします。

ダビデによる。

103 私はエホバを賛美する。
心を尽くして神の聖な
る名を賛美する。

2 私はエホバを賛美する。

第102編

(例) 詩 9:13, 14

詩 22:22

イザ 51:11

(例) イザ 11:10

イザ 49:22

イザ 60:3

(例) 詩 90:2

ハバ 1:12

啓 1:8

(例) 詩 8:3

イザ 48:13

ヘブ 1:10-12

(例) ヨブ 36:26

マラ 3:6

ヤコ 1:17

(例) イザ 66:22

第2欄

第103編

(例) 申 8:2

詩 105:5

(例) サニ 12:13

イザ 43:25

(例) 出 15:26

詩 41:3

詩 147:3

イザ 33:24

ヤコ 5:15

啓 21:4

(例) 詩 56:13

(例) ミカ 7:18

(例) 詩 23:5

詩 65:4

(例) 詩 51:12

イザ 40:31

(例) 詩 12:5

格 22:22, 23

ヤコ 5:4

(例) 詩 9:8

(例) 出 24:4

民 12:8

(例) 詩 147:19

(例) イザ 55:7

ヤコ 5:11

(例) 出 34:6

ヨエ 2:13

ヨナ 4:2

(例) 詩 30:5

(例) イザ 57:16

(例) ネヘ 9:31

(例) エズ 9:13

詩 130:3

イザ 55:7

神が行ったこと全てを決して忘れ
ない。

3 神はあなたの全ての過ちを許し、
あなたの全ての病気を癒やす。

4 墓穴からあなたの命を取り戻し、
揺るぎない愛と憐れみを示して

あなたを尊ぶ。

5 あなたの生涯を良いもので満
たす。

あなたは若さを保ち続ける。ワシ
がそうであるように。

6 エホバは虐げられている人全て
のために、

正しく公正な裁きを行う。

7 ご自分の道をモーセに、
ご自分の行いをイスラエルの子

孫に知らせた。

8 エホバは憐れみ深く、思いやり
がある。

すぐに怒らず、揺るぎない愛に満
ちている。

9 いつも非難するのでも、
ずっと憤ったままでのでも

ない。

10 私たちの罪に応じて私たちを扱
うことはしなかった。

過ちの当然の報いを私たちにも
たらさなかった。

11 天の高さは地とは比べものにな
らない。

103:8 *または、「慈しみ」。 *または、「愛ある
親切」。

かみ じぶん おそ ひと しめ
神が自分を畏れる人たちに示
す揺るぎない愛の大きさも計り
し け
知れない。

- 12 日の出は日の入りから遠く離れて
いる。

おな かみ わたし いはん
同じように、神は私たちの違反を
わたし とお はな
私たちから遠くに離してくだ
さった。

- 13 父が子を憐れむように、
エホバは自分を畏れる人たち
をあわ け
を憐れんだ。

- 14 神は私たちの造りをよく知って
いる。

わたし つち
私たちが土でできているにすぎな
いことを覚えてる。

- 15 死にゆく人間の日々は草のよう。
ひと の はな はな さ
人は野の花のように花を咲か
せる。

- 16 しかし風が吹けば、跡形もない。
もと
元からそこになかったかのよ
うに。

- 17 エホバの揺るぎない愛は永遠に
わたって、

かみ おそ ひと しめ け
神を畏れる人たちに示される。
かみ ただ ひと こども
神の正しさはその人たちの子供
の こと しめ け
子供に示される。

- 18 神の契約を守る人たちにも、
かみ めいれい ちゅういぶか したが ひと
神の命令に注意深く従う人たち
にも。

- 19 エホバは天に王座を確立した。
おう すべ おさ け
王として全てのものを治める。

103:17 *または、「永遠から永遠まで」。

第103編

(7) 詩 103:17
イザ 55:9
(1) レビ 16:21, 22
イザ 43:25
エレ 31:34
(9) 詩 78:38
イザ 49:15
マラ 3:17
ヤコ 5:15
(12) 詩 78:39
(9) 創 2:7
(9) 詩 90:5, 6
ペー 1:24
(9) ヨブ 14:1, 2
(9) ルカ 1:50
(9) 出 20:6
(12) 出 19:5
申 7:9
詩 25:10
(9) 代 20:6
イザ 66:1
(12) 詩 47:2
詩 145:13
ダニ 4:25

第2編

(9) ダニ 7:10
(1) 王 2:19:35
ルカ 1:19
(9) 王 22:19
詩 148:2
ルカ 2:13, 14
(12) マタ 13:41
ヘブ 1:7

第104編

(9) 詩 103:1
(9) 詩 86:10
(9) 代 16:27
エゼ 1:27, 28
ダニ 7:9
(9) ヤコ 1:17
ヨ一 1:5
(9) イザ 40:22
(12) 詩 18:11
アモ 9:6
(9) 申 33:26
イザ 19:1
(12) サニ 22:11
ヨブ 38:1
(12) エゼ 1:13
ヘブ 1:7, 14
(12) ヨブ 38:4, 6
詩 24:1, 2
(9) 伝 1:4

- 20 神の天使は皆、エホバを賛美
せよ。

ちから み かみ こと ば じっ
力に満ちていて、神の言葉を実
こう け かみ こえ したが もの
行し、神の声に従う者たちよ。

- 21 神の軍勢は皆、エホバを賛美
せよ。

かみ のぞ おこな ほう し しゃ
神が望むことを行う奉仕者たち
ちよ。

- 22 神に造られた者は皆、エホバを
賛美せよ。

かみ おさ *すべ ば しょ
神が治める全ての場所です。
わたし じぶん すべ つ
私は自分の全てを尽くしてエホ
バを賛美する。

104

私はエホバを賛美する。
私の神エホバ、あなたは
とても偉大な方。

い こう *かがや み け
威光と輝きを身にまとう。

- 2 服を着るように光で身を包み、

てん てんまく ぬの ひろ け
天を天幕の布のように広げる。

- 3 空の水の中にご自分の階上の部
屋を組み上げ、

くも じぶん へいしや け
雲をご自分の兵車とし、

かぜ つばさ の うご け
風の翼に乗って動く。

- 4 ご自分の天使たちを風とし、
ご自分の奉仕者たちを、焼き尽く
す火とする。

- 5 神は大地を土台の上に据えた。
だいち えいえん と き
大地はいつまでも永遠に取り去
られない。

103:22 *または、「神の主権が及ぶ」。

104:4 *または、「強くし」。

104:5 *または、「ぐらつかない」。

- 6 あなたは大地が、服を着るかの
ように深い水で覆われるよう
にした。
水は山々の上にあった。
- 7 あなたの叱責によって水は逃
げた。
あなたの雷鳴で慌てて逃げ
去った。
- 8 あなたが定めた場所へと。
山は隆起し、谷は沈下した。
あなたは境界を設け、水が越え
ないようにした。
- 10 再び大地を覆わないようにした。
神は谷に水の流れを送り込む。
水は山の間を流れる。
- 11 野原の全ての野獣はその水を
飲む。
野生のロバは渴きを癒やす。
- 12 空の鳥は水のほとりに巣を作り、
生い茂る葉の間で歌う。
- 13 神は階上の部屋から山々に水を
注ぐ。
あなたが行ったことによって大地
は喜ぶ。
- 14 神は、家畜のために草を、
人のために草木を生えさせ、
土地が食物を生み出すように
する。
- 15 心を喜びで満たすぶどう酒を、
顔を輝かせる油を、
死にゆく人間を元気づけるパ
ンを。

104:10 *または、「フジ」。

第104編

(7) 創 1:2
(1) 創 1:9
(7) 格 8:25
(14) ヨブ 38:8-10
詩 33:7
格 8:29
エレ 5:22
(8) ヨブ 38:37
詩 147:8
エレ 10:13
アモ 9:6
マタ 5:45

(7) 詩 65:9
使徒 14:17

(4) 創 1:29,30
創 9:3

(7) 伝 9:7

(7) 伝 10:19

第2編

(7) エレ 8:7

(1) ヨブ 39:1

(7) 格 30:26

(14) 創 1:16
詩 19:6
エレ 31:35

(7) 創 1:5
詩 74:16
イザ 45:7

(7) アモ 3:4

(4) 詩 147:9

(7) ネヘ 9:6

(7) 格 3:19
エレ 10:12

(14) 創 1:21

(7) ヨブ 41:1

- 16 エホバの木々は潤う。
神が植えたレバノンの杉も。
- 17 そこに鳥が巣を作る。
コウノトリの家はネズの木々。
- 18 高い山々は山やぎのすみか。
大岩はイワダヌキの避難所。
- 19 神は月を造って時を定めた。
太陽は沈む時をよく知っている。
- 20 あなたは闇を生じさせ、夜が訪
れる。
すると、森林が野生動物が歩き
回る。
- 21 若いライオンは獲物を探して
ほえ、
神からの食物を求める。
- 22 日が昇ると、皆戻って行ってそれ
ぞれの巣で横になる。
- 23 人は仕事に出ていき、夕方まで
働く。
- 24 エホバ、あなたの偉業は何と多
いのだろう。
あなたは知恵によって全てを
造った。
地球はあなたが造ったもので満
ちている。
- 25 海はとても大きく、広い。
数え切れないほどの生き物が
いる。
小さいものも、大きいものも。
- 26 そこを船が行き交う。
あなたが造ったレビヤタンも戯
れる。

104:26 *用語集参照。

10 神は、その誓いを宣言によってヤ
コブに保証し、
イスラエルとのずっと続く契約

とし、

11 言った。「カナン地方をあなたに
与える。

そこがあなたたちの所有地と
なる」。

12 その頃、彼らは数が少なかった。
とても少なく、その土地で外国人
だった。

13 彼らは国から国へ歩いた。
1つの王国からほかの民の所
へと。

14 神は、誰も彼らを虐げることがな
いようにし、

彼らのことで王たちを戒め、

15 言った。「私が選んだ者たちに触
れてはならない。

私の預言者たちに何も悪いこと
をしてはならない」。

16 神はその土地に飢饉を生じさせ、
パンの供給を断ち切った。

17 神は彼らに先立って1人の人を
遣わした。

それは奴隷として売られたヨ
セフ。

18 足かせをはめられ、
首は鉄でつながれた。

105:15 *直訳、「油を注いだ」。用語集の「油を注ぐ」参照。 105:16 *直訳、「パンの棒を全て折った」。パンを掛けておくために使われた棒のことかもしれない。 105:18 *または、「で足を痛めつけられ」。

第105編

(㉑) 創 12:7
創 13:14, 15
創 15:18
創 26:3
創 28:13

(㉒) 詩 78:55

(㉓) 創 34:30

(㉔) 創 17:8
創 23:4
代上 16:19-22
使徒 7:4, 5

(㉕) 創 20:1
創 46:6

(㉖) 創 31:7, 42

(㉗) 創 12:17
創 20:2, 3

(㉘) 創 26:9, 11

(㉙) 創 41:30, 54
創 42:5
使徒 7:11

(㉚) 創 37:28, 36
創 45:4, 5
創 50:20

(㉛) 創 39:20

第2編

(㉜) 使徒 7:10

(㉝) 創 41:14

(㉞) 創 41:39-41
創 41:48
創 45:8

(㉟) 創 41:33, 38

(㊱) 創 46:4, 6

(㊲) 出 1:7
使徒 7:17

(㊳) 出 1:8, 9

(㊴) 出 1:10
使徒 7:18, 19

(㊵) 出 3:10
出 4:12
出 6:11

(㊶) 出 4:14
出 7:1

(㊷) ネヘ 9:10
詩 78:43-51

(㊸) 出 10:22, 23

19 エホバの言葉が彼を磨き上
げた。

語った言葉が実現する時まで。

20 王は彼を釈放させた。
人々の支配者は彼を自由に

した。

21 王は彼を自分の家の主人とし、
全財産を管理させた。

22 彼は高官たちに関する全権を委
ねられ、

長老たちに知恵を教えた。

23 次いで、イスラエルはエジプトに
入り、

ヤコブはハムの土地に外国人と
して住んだ。

24 神はご自分の民を大いに増
やし、

敵対者より強くした。

25 敵対者の心を変えた。ご自分の
民を憎むようにと。

ご自分に仕える人たちに対して
策略を巡らすようにと。

26 神はご自分に仕えるモーセを、
ご自分が選んだアロンを遣わ
した。

27 2人はエジプト人の間でしるしと
なることを、

ハムの土地で奇跡を行った。

28 神は闇を送って暗くした。
2人は神の言葉に逆らわな

かった。

105:19 *または、「精錬した」。 105:22 *または、「を望み通りに縛ることができ」。

- 29 神はエジプトの水を血に変え、
魚を死なせた。
- 30 その土地にカエルが群がり、
王の部屋にまで入り込んだ。
- 31 神はアブに襲来を命じた。
ブヨにエジプト全土を襲わせた。
- 32 雨をひょうに変え、
その土地に稲妻を放った。
- 33 ブドウの木とイチジクの木を
倒し、
領土の木々を砕いた。
- 34 バッタに襲来を命じた。
無数の若いバッタに襲わせた。
- 35 バッタはその土地の草木全てを
食い尽くし、
実った物を食い尽くした。
- 36 次いで神は、その土地の全ての
長男、
初めに生まれた者たちを滅ぼ
した。
- 37 ご自分の民を銀や金と共に連れ
出した。
どの部族にも、つまづく人はいな
かった。
- 38 エジプトは彼らが去って喜んだ。
イスラエルへの恐怖に襲われて
いたから。
- 39 神は雲を広げて民を守り、
夜は火で民を照らした。
- 40 彼らが求めると、ウズラを与
えた。

105:32 *または、「燃える炎」。105:36 *または、「生殖力が初めに生み出したもの」。

第105編

(㉑) 出 7:20,21

(ㄱ) 出 8:6

(㉑) 出 8:17,24

(ㄱ) 出 9:23-26

(㉑) 出 10:13-15

(㉑) 出 12:29

(ㄱ) 創 15:13,14

出 3:22

出 12:35,36

(㉑) 出 12:33

(㉑) 出 14:19,20

(ㄱ) 出 13:21

(ㄱ) 詩 78:27

第2編

(㉑) 出 16:12-15

詩 78:24

(ㄱ) 出 17:6

コ 10:1,4

(㉑) 詩 78:15,16

(ㄱ) 創 12:7

創 15:13,14

出 2:24

申 9:5

(㉑) 民 33:3

(㉑) ヨシ 11:23

ヨシ 21:43

ネ 9:22

詩 78:55

使徒 13:19

(ㄱ) 申 6:10,11

ヨシ 5:11,12

(㉑) 申 4:40

第106編

(㉑) ルカ 18:19

(ㄱ) 代 16:34

エズ 3:11

詩 103:17

詩 107:1

(ㄱ) 詩 40:5

(ㄱ) 詩 15:1,2

イザ 64:5

天からのパンで彼らの空腹を満たした。

41 神が岩を開くと、水が流れ出、
砂漠を川のように流れた。

42 神は、ご自分に仕えたアブラハムとの聖なる約束を忘れた。
なかった。

43 それで、ご自分の民を連れ出した。
した。

民は歓喜し、神が選んだ人たちは喜びの声を上げた。

44 神は国々の土地をご自分の民に与えた。

民は他の国の人々が苦勞して作ったものを受け取った。

45 こうして神は、民に規定と律法を守らせた。

ヤハを賛美せよ！

106 ヤハを賛美せよ！
エホバに感謝せよ。神は善い方。

神の揺るぎない愛は永遠に続く。

2 誰がエホバの力強い行いを十分に知らせ、
神の見事な行い全てを語れるだろうか。

3 公正に行動する人、
いつも正しいことを行う人は幸せだ。

4 エホバ、私を覚えていてください

105:45; 106:1 *または、「ハレルヤ」。「ヤハ」はエホバの短縮形。

- い。あなたが民に親切を示す
時に。
私を気に掛け、救ってください。
5 私に、良いことを経験させてくだ
さい。あなたが選んだ人たち
と一緒に。
喜ばせてください。あなたの国
民と共に。
あなたのことを胸を張って賛美さ
せてください。あなたの財産で
ある人たちと共に。
6 私たちは父祖たちと同じように罪
を犯した。
間違いをし、悪事を働いた。
7 エジプトにいた父祖たちは、あ
なたの素晴らしい行いを認め
なかった。
あなたが豊かに示した揺るぎな
い愛を思い出さず、
海で、紅海のそばで反逆した。
8 しかし神は、ご自分の名のため
に彼らを救い、
ご自分の強さを知らせた。
9 紅海を叱責し、干上がらせた。
彼らに海の底を、砂漠を通るか
のように歩かせた。
10 彼らを救い、敵の手から取り戻
した。
11 水が敵対者を覆った。
一人も生き残らなかった。

106:4 *または、「善意」。106:5 *または、「誇
らせて」。106:7 *または、「の意味を理解し」。
106:9 *または、「荒野」。

第106編

(例) ネへ 5:19
詩 51:18
詩 119:132

(例) 出 19:5

(例) ネへ 9:16
詩 78:8

(例) エズ 9:6
ダニ 9:5

(例) 出 14:11, 12

(例) 詩 143:11
エゼ 20:14

(例) 出 9:16
口マ 9:17

(例) 出 14:21, 22

(例) 出 14:30

(例) イザ 49:26

(例) 出 14:13, 28

第2欄

(例) 出 14:31

(例) 出 15:1

(例) 出 15:24
出 16:2, 3
出 17:7

(例) 民 11:4
申 9:22
コ一 10:6

(例) 出 17:2
詩 78:18
コ一 10:9
ヘブ 3:8, 9

(例) 民 11:31, 33
詩 78:29-31

(例) レビ 21:8
民 16:5-7

(例) 民 16:3

(例) 民 16:27, 32

(例) 民 16:35

(例) 出 32:4
申 9:12

(例) 出 20:4

(例) 申 32:18

(例) 申 4:34

(例) 詩 78:51

(例) 出 14:25

- 12 その時、父祖たちは神の約束に
信仰を持ち、
神を賛美して歌い始めた。

- 13 しかし、神が行ったことをすぐに
忘れた。

- 神の助言を待たなかった。

- 14 荒野で利己的な欲望のままに行
動し、

- 砂漠で神を試した。

- 15 神は彼らの願いをかなえた。

- それから彼らを病気にさせ、衰
弱させた。

- 16 宿営の中で、父祖たちはモー

セに、

- エホバの聖なる人アロンに嫉妬
した。

- 17 その時、地面が開いてダタンを
のみ込み、

- アビラムの一派を覆った。

- 18 火が一团の間で燃え盛り、
炎が悪人を食い尽くした。

- 19 父祖たちはホレブで子牛を作り、
金属像にひれ伏した。

- 20 私の栄光を、草食の雄牛の像に
置き換えてしまった。

- 21 父祖たちは救い主である神を忘
れた。

- エジプトで偉大なことを行った
神を。

- 22 ハムの土地で素晴らしい偉業を、
紅海で驚くべきことを行った
神を。

106:19 *または、「製造された像」。

23 神は父祖たちに滅亡を告げるす
前だった。

しかし、神が選んだモーセが間
に入り、

神の激しい怒りを静めた。

24 父祖たちは魅力的な土地の価値
を認めなかった。

神の約束に信仰を持たなかった。

25 天幕の中で不満をつぶやき続け、
エホバの声を聞かなかった。

26 それで、神は彼らに関して手を挙
げて誓った。

荒野で彼らを滅ぼす。

27 彼らの子孫を国々で滅ぼし、各
地に散らす。

28 彼らはベオルのバアルの崇拜に
加わった。

死者に捧げられた犠牲を食
べた。

29 彼らの行動が神を怒らせ、
神罰が彼らに下った。

30 しかし、ピネハスが立って間に入
ると、

神罰はとどめられた。

31 そのことで、彼は正しいと見なさ
れた。

後のどの世代までも永遠にわ
たつて。

32 父祖たちはメリバの水の所で神
を怒らせ、

106:23 *または、「神の前で裂け目に立ち」。
106:28 *または、「を慕った」。「死者に、また
は命のない神々に捧げられた犠牲のこと。106:
32 *意味、「言い争い」。

第106編

(7) 出 32:10,11
申 9:14,19

(1) 民 13:32
申 8:7-9

(7) 民 14:11

(12) 民 14:2
申 1:27

(7) 民 14:22,23

(7) 民 14:28,29
ヘブ 3:11

(7) レビ 26:33
申 4:27

(7) 民 25:3
ホセ 9:10

(7) 民 25:6
申 32:16

(12) 民 25:9
コ一 10:8

(7) 民 25:7,8

(7) 民 25:11-13

第2編

(7) 民 20:2,12
民 27:13,14

(1) 民 20:10

(7) ヨシ 16:10
ヨシ 17:12

裁 1:21

(12) 民 33:52
申 7:1,2

(7) ヨシ 15:63
裁 1:33

(7) イザ 2:6

(7) 裁 2:11,12
王二 17:12

(7) 出 23:32,33

(7) 申 12:31
王二 16:1,3

王二 17:17,18
エレ 7:30,31

コ一 10:20

(12) 王二 21:16

(7) エゼ 16:20

(7) エレ 3:9

(12) 申 32:30
裁 3:8

(12) 裁 10:6-8

モーセは彼らのせいで災いに
遭った。

33 彼らが感情を刺激したので、
モーセは軽率な発言をした。

34 父祖たちは国々を滅ぼし尽くさ
なかった。

エホバに命じられた通りにしな
かった。

35 かえて、そこの人々に混じり、
彼らのやり方を取り入れた。

36 彼らの偶像を崇拜し続け、
それは自分たちにとってわなと
なった。

37 邪悪な天使に、自分の息子や娘
を犠牲として捧げた。

38 罪のない血を流し続けた。
自分の息子や娘の血を。

息子や娘をカナンの偶像への犠
牲とした。

土地は流血で汚された。

39 父祖たちは自分の行いで汚
れた。

自分の神に不忠実な行動をした。

40 エホバの怒りが民に対して燃え
上がった。

神はご自分の財産である人たち
をひどく嫌うようになった。

41 彼らを、国々に度々引き渡し、
彼らを憎む人たちに支配させた。

42 敵が彼らを虐げた。

106:35 *または、「学んだ」。106:39 *直訳、
「不道德な関係を持った」。

かれ てき ちから くつぷく
 彼らは敵の力に屈服した。
 43 かみ なん ど たす だ (ワ)
 神に何度も助け出されたのに、
 はんぎやく したが (イ)
 反逆し、従わなかった。

そして、自分たちの過ちのせいで
 はずかし (ワ)
 辱められた。

44 それでも、神は彼らの苦難を
 見て、
 たす もと さけ き (ワ)
 助けを求める叫びを聞いた。

45 彼らのためにご自分の契約を思
 だ
 い出した。

かれ あわ おも *
 彼らのことを哀れに思った。

じぶん おお # ゆ あい
 ご自分が、大きくて揺るぎない愛
 いだ (ワ)
 を抱いていたから。

46 かみ かれら ひと みな
 神は彼らを捕らえている人が皆、

106:45 *または、「悔やんだ」。「または、「豊かな」。

第106編

(ワ) 裁 10:11, 12
 サー 12:11

(イ) 裁 4:1

(ワ) 裁 6:1-5

(カ) 裁 2:18

(ワ) 裁 3:9

(ワ) 出 34:6

申 32:36

イザ 63:7

哀 3:32

ヨエ 2:13

第2欄

(ワ) エズ 9:9

(イ) 詩 79:9

(ワ) エレ 32:37

(カ) 代一 16:35

(ワ) 代一 29:10

詩 41:13

ルカ 1:68

かれ あわ おも (ワ)
 彼らを哀れに思うようにした。

47 すく わたし かみ
 救ってください。私たちの神工
 ホバ。

くにくに わたし あつ
 国々から私たちを集めてくだ
 さい。

あなたの聖なる名をたたえ、

よろこ さんび (カ)
 喜んであなたを賛美するために。

48 イスラエルの神エホバが賛美さ
 れますように。

えいえん * (ワ)
 永遠にわたって。

すべ たみ # い
 全ての民が「アーメン!」と言

ますように。

さんび △
 ヤハを賛美せよ!

106:48 *または、「永遠から永遠まで」。「または、
 「そうなりますように」。[△]または、「ハレル
 ヤ」。「ヤハ」はエホバの短縮形。

第5巻

(詩編 107-150編)

107 エホバに感謝せよ。神
 よ かな (ワ)
 は善い方。

かみ ゆ あい えいえん つづ (イ)
 神の揺るぎない愛は永遠に続く。

2 エホバが取り戻した人たちはそ
 い
 う言いますように。

かみ ひと てきたいしや て
 神は那人たちを敵対者の手か
 と もど (ワ)
 ら取り戻した。

3 その人たちを各地から集めた。
 ひがし にし * きた みなみ (ワ)
 東から、西から、北から、南から。

4 彼らは荒野を、砂漠をさま
 よった。

す まち みち み
 住める町への道を見つけられな
 かった。

107:2 *直訳、「買い戻した」。107:3 *または、
 「日が昇る所から、日が沈む所から」。

第107編

(ワ) ルカ 18:19

(イ) 代一 16:34

詩 103:17

(ワ) イザ 35:10

エレ 15:21

ミカ 4:10

(カ) 詩 106:47

エレ 29:14

(ワ) イザ 43:5, 6

エレ 31:8

第2欄

(ワ) ホセ 5:14, 15

(イ) イザ 41:17

(ワ) イザ 30:21

(カ) ネヘ 11:3

(ワ) 代一 16:8

(ワ) 詩 40:5

5 う かわ おほ
 飢えと渴きを覚えた。

つか き きうしな
 疲れ切って気を失いそうに

なった。

6 苦難の中でエホバに向かって叫

び続けた。

かみ きゅうち くれ たす だ
 神は窮地にある彼らを助け出
 した。

7 ただ みち あゆ (ワ) す まち
 正しい道を歩ませ、住める町に
 こ (カ)
 来させた。

8 エホバに感謝せよ。揺るぎない
 あい しめ かつ
 愛を示す方に。

ひと す ば いぎょう おこな
 人のために素晴らしい偉業を行
 かつ (ワ)
 う方に。

9 かみ のど かわ い
 神は、喉の渴きを癒やし、

くうふく よ み
空腹を良いもので満たしてくだ
さった。

- 10 深い闇に住む人たち、
苦悩と鉄かせに捕らわれている
人たちがいた。

- 11 彼らは神の言葉に反抗した。
至高者の助言を侮った。

- 12 それで神は、苦難を経験させて
彼らを卑しめた。

彼らはつまずいたが、誰も助け
なかった。

- 13 苦難の中でエホバを呼んで助け
を求めた。

神は窮地にある彼らを救った。

- 14 深い闇から彼らを連れ出し、
彼らの鎖を断ち切った。

- 15 エホバに感謝せよ。揺るぎない
愛を示す方に。

人のために素晴らしい偉業を行
う方に。

- 16 神は銅の扉を砕き、
鉄のかんぬぎを切り落とした。

- 17 愚かな彼らは苦悩した。
自分の違反と過ちのせいで。

- 18 食欲を全く失い、
死の門に近づいた。

- 19 苦難の中でエホバを呼んで助け
を求めた。

神は窮地にある彼らを救った。

- 20 言葉を発して彼らを癒やし、
はまった穴から助け出した。

第107編

(詩) 詩 34:10
イザ 55:2
ルカ 1:53

(詩) 詩 106:43
哀 3:42

(詩) レビ 26:21

(詩) 詩 68:6
詩 146:7
イザ 49:8,9
イザ 61:1

(詩) 哀 3:22

(詩) イザ 45:1,2

(詩) エレ 2:19

(詩) 哀 3:39

(詩) 詩 147:3

第2編

(詩) レビ 7:12
詩 50:14

(詩) 代二 9:21
エゼ 27:9

(詩) 創 1:21
詩 104:25

(詩) 詩 135:7
エレ 10:13
ヨナ 1:4

(詩) ヨナ 1:4,13

(詩) ヨナ 1:14

(詩) 詩 65:7
詩 89:9
ヨナ 1:15

- 21 エホバに感謝せよ。揺るぎない
愛を示す方に。

人のために素晴らしい偉業を行
う方に。

- 22 感謝の犠牲を捧げ、
歓声を上げて神の偉業を知ら
せよ。

- 23 船で海を行き交い、
広大な水の上で貿易をする人
たち、

- 24 その人たちはエホバの偉業を
見た。

深い海での素晴らしい偉業を。

- 25 神の言葉によって暴風が起き、
海で波が巻き起こるのを。

- 26 その人たちは空に持ち上げられ、
深い海へと沈む。

迫りくる災難のために勇気を
失う。

- 27 酔った人のようによろけてふら
つく。

熟練の技も役に立たない。

- 28 苦難の中でエホバに向かって叫
び続ける。

神は窮地にある彼らを助け出す。

- 29 神が暴風をなだめると、
海の波は静まる。

- 30 穏やかになったので彼らは喜ぶ。
望む港まで神によって導かれる。

- 31 エホバに感謝せよ。揺るぎない
愛を示す方に。

人のために素晴らしい偉業を行
う方に。

32 民の会衆の中で神をたたえ、
長老の会合で神を賛美せよ。

33 神は川を砂漠に、
泉を乾き切った土地に変える。

34 肥えた土地を不毛の土地に変
える。

そこに住んでいる人が悪いた
めに。

35 神は砂漠をアシが茂る池に、
乾いた土地を泉に変える。

36 飢えた人をそこに住まわせる。
その人たちは住める町を築く。

37 畑に種をまき、ブドウ園を造る。
豊かな収穫を得る。

38 神が祝福するので、その人たち
はとても多くなり、

家畜が減ることもない。

39 しかし再び、その人たちは少なく
なり、卑しめられる。

虐げ、災難、悲しみを経験して。

40 神は高貴な人たちに侮辱を浴
びせ、

道なき原野をさまよわせる。

41 しかし貧しい人たちを守り、虐げ
られないようにする。

その人たちの家族を羊の群れの
ように増やす。

42 正直な人はその様子を見て喜ぶ。

107:32 * 直訳、「席」。107:41 * または、「高
い所に置き」。手が届かないようにするということ。

第107編

(詩) 107:5

(詩) 111:1

(王) 17:1,7
イザ 42:15
アモ 4:7(創) 13:10
申 29:22,23(王) 20:3:17
イザ 35:7
イザ 41:18(詩) 146:7
ルカ 1:53

(詩) 107:7

(イ) イザ 65:21

(詩) 使徒 14:17

(申) 申 7:13,14

(ヨ) ヨブ 12:21,24

(サ) サー 2:8

(詩) 詩 58:10

第2編

(出) 11:7
詩 63:11(詩) 詩 64:9
ホセ 14:9(詩) 詩 77:12
詩 143:5
エレ 9:24

第108編

(詩) 詩 57:7-11
詩 104:33

(詩) 詩 81:2

(詩) 詩 36:5
詩 103:11(詩) 詩 8:1
詩 57:5,11(詩) 詩 20:6
詩 60:5

しかし不正を働く人は皆、口を開
じる。

43 賢い人はこれらのことに心を
向け、

エホバの揺るぎない愛の行いに
ついてじっくり考える。

歌。ダビデの詩。

108 神よ、私の心は揺らぎ
ません。

心を込めて歌い、音楽を奏で
ます。

2 目を覚ませ。弦楽器もたて琴も。
私は夜明けを目覚めさせる。

3 エホバ、私は人々の中であなた
を賛美します。

国々に
あなたを賛美して歌い
ます。

4 あなたの揺るぎない愛は大きく、
天にまで達します。

あなたの真実さは空にまで。

5 神よ、あなたが天でたたえられま
すように。

地球全体でたたえられますよ
うに。

6 あなたが愛する人たちを助け出
してください。

右手で私たちを救い、私に答え
てください。

7 神聖な方である神が話しました。

108:3 * または、「のために音楽を奏で」。108:
7 * もしかすると、「聖なる場所にいる」。

わたし かん き (7) しよゆう ち
「私は歓喜し、シエケムを所有地
として与えよう。

スコトの谷を測り分けよう。

8 ギレアデは私のもの。マナセも
私のもの。

エフライムは私の頭のかぶと。

ユダは私の司令官のつえ。

9 モアブは私のたらい。

私はエドムの上に自分のサンダ
ルを投げる。

フィリスティアに対して勝利の叫
びを上げる」。

10 私を防備された町へ連れていっ
てくれるのは誰ですか。

エドムまで導いてくれるのは誰で
すか。

11 それはあなたではありませんか、
私たちを退けた神よ。
もう私たちの軍隊と共に出ていっ
てくだらない、私たちの神よ。

12 苦難に遭っている私たちを助け
てください。

人間に救いを求めても無駄なの
です。

13 神によって私たちは力を得ます。
神は私たちの敵対者を踏みつけ
ます。

指揮者へ。ダビデによる。歌。

109

私が賛美する神、黙っ
たままでいないでく
ださい。

第108編

(7) ヨシ 17:7

(7) 創 33:17
詩 60:6-8

(7) ヨシ 13:8,11

(7) 申 33:17

(7) 創 49:10

(7) サニ 8:2

(7) 民 24:18
サニ 8:14

(7) サニ 8:1

(7) 詩 60:9-12

(7) 申 23:14

(7) 詩 18:6

(7) 詩 118:8
詩 146:3,4

(7) サニ 2:4
サニ 22:40
イザ 40:29-31

(7) 詩 44:5

第109編

(7) 詩 33:1

第2欄

(7) サニ 15:2,3
詩 31:18

(7) サニ 15:12
サニ 16:5-7
詩 69:4

(7) サニ 13:39

(7) 詩 35:11,12
詩 38:19,20

(7) 詩 55:12-14

(7) イザ 1:15
ミカ 3:4

(7) 詩 55:23
マタ 27:5

(7) 使徒 1:16-20

2 人を欺く者と悪人が口を開いて
私を攻める。

私についてうそを語る。

3 私を取り囲んで憎しみの言葉を
浴びせる。

不当にも私を攻撃する。

4 私は愛を示したのに、彼らは反
抗する。

しかし、私は祈り続ける。

5 彼らは善に対して悪を返す。
私の愛に対して憎しみを。

6 私の敵が悪人に断罪されますよ
うに。

反抗する者が敵の右に立ちます
ように。

7 敵は裁かれる時、有罪を宣告さ
れますように。

祈りさえも罪と見なされますよ
うに。

8 敵の寿命が短くなり、
就いていた監督の職にほかの人
が就きますように。

9 敵の子供は父親のいない子に
なり、

妻はやもめになりますように。

10 敵の子供が、さまよう物乞いにな
りますように。

廃虚に住んで食べ物をあさりま
すように。

109:6 *または、「訴える」。109:7 *または、
「悪人」と。

108:7 *または、「谷あいの平原」。108:8 *直
訳、「とりで」。

- 11 貸主が敵の全財産を差し押さえ
ますように。
よそ者が所有物を奪いますよ
うに。
- 12 敵に誰も親切を示しませんよ
うに。
敵の孤児に誰も憐れみを示し
ませんように。
- 13 敵の子孫が絶たれますように。
子孫の名は一代で消し去られま
すように。
- 14 敵の父祖の過ちをエホバが覚え
ていますように。
母の罪も消し去られませんか
うに。
- 15 敵が行ったことをエホバがずっと
覚えていきますように。
敵の名を地上から消し去って
だしますように。
- 16 敵は親切を示すのを忘れた。
虐げられた人、貧しい人、心が
傷ついた人を殺そうと付け
狙った。
- 17 人の不幸をしきりに願ひ、自分
が不幸になった。
人の幸福を望まず、自分も幸福
にならなかった。
- 18 敵は不幸を願う言葉で身を包
んだ。
その言葉は水のように敵の体内
を流れ、

109:11 *または、「高利貸が敵の全財産にわなを仕掛け」。

109:12,16 *または、「揺るぎない愛」。

109:12 *または、「父親のいない子供」。

第109編

(7) 詩 37:28

(4) サニ 3:28,29
サニ 21:1

(7) 詩 34:16

(4) ヤコ 2:13

(4) 詩 10:2

(4) サニ 16:11
サニ 17:1,2
詩 37:32

第2欄

(7) 詩 109:29

(4) サニ 17:23

(7) 詩 25:11
詩 31:3(4) 詩 36:7
詩 69:16
詩 86:5

(4) 詩 40:17

(4) 詩 102:4

(4) 詩 31:11

(7) 詩 22:7
マタ 27:39

あぶら ほね なか はい

油のように骨の中に入った。

- 19 不幸を願う敵の言葉が、衣服の
ように敵を覆いますように。

いつも身に着けるベルトのように
なりますように。

- 20 こうしてエホバは返報する。
私に反抗する人に対して、
私のことを悪く言う人に対して。

- 21 主権者である主エホバ、
あなたの名のために私によくし
てください。

助け出してください。あなたの揺
るぎない愛は良いものです。

- 22 私は無力で貧しく、
心は刺し通されました。

- 23 消えゆく影のように去りつつあり
ます。

バッタのように振り落とされま
した。

- 24 私の膝は断食によって弱り、
体は痩せ、衰弱しています。

- 25 私はあざけりの的になりました。
私を見る人は、あざけて頭を振
ります。

- 26 私の神エホバ、助けてください。
揺るぎない愛を示して私を救って
ください。

- 27 それがあなたの手によるというこ
とを人々が知りますように。

エホバ、あなたがそうしたという
ことを。

- 28 人々は私の不幸を願います。し
かしあなたは私に祝福を与え
てくださいますように。
私に向かって立ち上がる人が恥
をかきますように。
私が喜べるようにしてください。
29 私に反抗する人たちが侮辱をま
とわされますように。
長い衣服を着るかのようになで
覆われますように。
30 私は熱烈にエホバを賛美します。
多くの民の前で賛美します。
31 神は貧しい人の右に立ち、
断罪する人たちから救います。

ダビデによる。歌。

110 エホバは私の主に告 げた。

- 「私の右に座っていなさい。
私があなたの敵たちをあなたの
足台として置くまで。」
2 エホバは、権威ある王笏を持つ
あなたをシオンから送り出して
言う。
「あなたの中に入っていき、
敵を征服しなさい。」
3 あなたが軍勢を指揮する日に、
あなたの民は喜んで自分を差
し出す。
あなたが率いる若者たちは神聖
さで光り輝く。

109:29 *または、「袖なしの上着」。 110:2, 7
*1節の「私の主」のこと。 110:3 *または、「あ
なたの軍隊が集まる」。

第109編

(㊦) 詩 35:26

(㊦) 詩 22:22

第110編

(㊦) ロマ 8:34

エフ 1:20

ヘブ 8:1

ヘブ 12:2

(㊦) マタ 22:43, 44

マル 12:36

ルカ 20:42, 43

使徒 2:34, 35

コー 15:25

ヘブ 1:3, 13

ヘブ 10:12, 13

(㊦) 詩 2:8, 9

詩 45:4, 5

マタ 28:18

啓 6:2

啓 12:5

啓 19:11, 15

第2欄

(㊦) ヘブ 7:21, 28

(㊦) 創 14:18

ヘブ 5:5, 6

ヘブ 6:19, 20

ヘブ 7:3, 11

(㊦) 詩 16:8

(㊦) 詩 2:2

ロマ 2:5

啓 11:18

啓 19:19

(㊦) 詩 79:6

(㊦) エレ 25:31-33

第111編

(㊦) 詩 68:4

詩 113:1

啓 19:1

(㊦) 詩 9:1

(㊦) 詩 98:1

詩 139:14

啓 15:3

(㊦) 詩 77:12

詩 143:5

(㊦) 詩 103:17

(㊦) 申 31:19

ヨシ 4:5-7

夜明けに豊かに生じる露のよう。

- 4 エホバは誓った。考えを変える
ことはない。

「あなたは永遠に祭司。

メルキゼデクのような祭司」。

- 5 エホバはあなたの右にいて、
怒りの日に王たちを打ち倒す。

- 6 国々に刑を執行し、
その土地を死体であふれさせる。
広大な土地の支配者を打ち倒す。

- 7 その方は、道のそばに流れる水
の飲み、
頭を高く上げる。

111 ヤハを賛美せよ!

N [アーレフ]

私は心からエホバを賛美する。

コ [ベート]

集まった正直な人の中で。

ギ [ギメル]

- 2 エホバの偉業は素晴らしく、

ダ [ダーレト]

その偉業を喜ぶ人は皆、それを
調べる。

ヘ [ヘー]

- 3 神の行いは栄光に輝いている。

ワ [ワーウ]

神の正しさは永遠に続く。

ザ [ザイン]

- 4 神は、記憶に残る素晴らしい
偉業を行う。

110:4 *または、「侮やむ」。 110:6 *または、
「の間で」。 *または、「地上全体」。 111:1 *ま
たは、「ハレルヤ」。「ヤハ」はエホバの短縮形。

□ [ヘート]

エホバは思いやりがあり、憐れ
み深い。

□ [テート]

5 ご自分を畏れる人に食物を与
える。

□ [ヨード]

ご自分の契約を永遠に覚えて
いる。

□ [カフ]

6 力強い行いをご自分の民に明ら
かにした。

□ [ラームド]

国々の財産を与えて。

□ [メーム]

7 神の手による行いは真実で
公正。

□ [ヌーン]

神の命令は全て信頼でき、

□ [サーメク]

8 常に確実なもの。今もこれからも
ずっと。

□ [アイン]

真実さと正しさに基づいている。

□ [ペー]

9 神はご自分の民を救った。

□ [ツァーデー]

ご自分の契約が永遠に続くよう
定めた。

□ [コーフ]

神の名は神聖で崇高なもの。

第111編

〔出 34:6
ヤコ 5:11

〔イ 詩 37:25
マタ 6:33

〔イ 詩 89:34
詩 105:8

〔イ 詩 44:2
詩 105:44

〔申 32:4

〔イ 詩 19:8
イザ 55:10,11

〔イ 詩 19:9

〔イ 出 15:13
ルカ 1:68
啓 7:10

〔イ 詩 89:7
イザ 6:2,3
ルカ 1:49
啓 4:8

第2欄

〔イ ヨブ 28:28
格 1:7
伝 12:13

〔イ 申 4:6
ヨシ 1:7,8
王 2:3
詩 119:100
テモニ 3:14,
15

第112編

〔イ 出 15:2
啓 19:1

〔イ 詩 111:10

〔イ 詩 1:1,2
詩 40:8

〔イ 詩 25:12,13
詩 37:25,26

〔イ 詩 97:11
ペー 2:9

〔イ ルカ 6:36
エフ 4:32

□ [レーシュ]

10 知恵はエホバを畏れることから
始まる。

□ [スイーン]

神の命令を守る人は皆、深く洞
察する。

□ [ターウ]

神は永遠に賛美される。

112 ヤハを賛美せよ!

□ [アーレフ]

エホバを畏れる人は幸せだ。

□ [ペート]

その人は神のおきてをとても
喜ぶ。

□ [ギメル]

2 その人の子孫は地上で力強い人
となり、

□ [ダーレト]

正直な人から成る世代は祝福を
受ける。

□ [ヘー]

3 その人の家には財産と富がある。

□ [ワウ]

その人の正しさは永遠に変わら
ない。

□ [ザイン]

4 その人は闇の中で、正直な人を
照らす光となる。

□ [ヘート]

思いやりがあり、憐れみ深く、正
しい。

111:10 *直訳、「それらを行う」。112:1 *また
は、「ハレルヤ」。「ヤハ」はエホバの短縮形。

111:4; 112:4 *または、「慈しみ」。111:8

*または、「十分な根拠がある」。111:9 *直訳、
「買い戻した」。

㊦ [テート]

- 5 気^き前^{まえ}よく貸^かす人^{ひと}は、物^{もの}事^{ごと}がうまく
運^{はこ}ぶ。

* [ヨード]

公^{こう}正^{せい}に物^{もの}事^{ごと}を行^{おこな}う。

㊧ [カフ]

- 6 決^{けつ}して動^{どう}揺^{よう}するこ^(イ)とがない。

㊨ [ラーメド]

正^{ただ}しい人^{ひと}は永^{えい}遠^{えん}に記^き憶^{おく}にとどめ
ら^(イ)れる。

㊩ [メーム]

- 7 悪^{わる}い知^しらせを恐^{おそ}れない。

㊪ [ヌーン]

揺^ゆるぎない心^{こころ}でエホバに頼^{たよ}る。

㊫ [サーメク]

- 8 心^{こころ}は揺^ゆれ動^{うご}かす、恐^{おそ}れない。

㊬ [アイン]

最^{さい}後^ごには敵^{てき}対^{たい}者^{しや}の敗^{はい}北^{ぼく}を見^みる。

㊭ [ペー]

- 9 その人^{ひと}は広^{ひろ}く分^{*ぶん}配^{ぱい}し、貧^{まず}しい人^{ひと}
に与^{あた}えた。

㊮ [ツァーデー]

その人^{ひと}の正^{ただ}しさは永^{えい}遠^{えん}に変わ^から
ない。

㊯ [コーフ]

その人^{ひと}は力^{ちから}づけられ、た^(イ)たえら
れる。

㊰ [レーシュ]

- 10 悪^{あく}人^{にん}は見^みて、い^だら立^たつ。

㊱ [シーン]

歯^はぎしりし、溶^とけ去^さる。

112:5 *または、「慈しみを示して」。112:8

*または、「ひるまず」、「ぐらつかず」。112:9

*または、「気前よく」。

第112編

(イ) 申 15:7,8
詩 41:1
格 19:17
ルカ 6:34,35
使徒 20:35
ヘブ 13:16

(イ) 詩 15:5
詩 125:1

(イ) ネヘ 5:19
格 10:7

(イ) 詩 27:1
格 3:25

(イ) 詩 62:8
イザ 26:3

(イ) 格 28:1

(イ) 詩 59:10

(イ) 申 15:11
格 11:24
格 19:17

(イ) 申 24:12,13
コ二 9:9
ヘブ 6:10

第2欄

(イ) 格 11:7

第113編

(イ) 代一 16:36
代一 29:10
詩 106:48

(イ) 詩 72:19
詩 86:9
イザ 59:19
マラ 1:11

(イ) 詩 97:9
詩 99:2

(イ) 王一 8:27

(イ) 出 15:11

(イ) 詩 18:35
詩 138:6
イザ 57:15
イザ 66:2

(イ) サ一 2:7

㊲ [タウ]

悪^{あく}人^{にん}の欲^{よく}望^{ぼう}は滅^(イ)びる。

113

ヤハを賛^{さん}美^びせよ!

エホバに仕^{つか}える人^{ひと}たち、
賛^{さん}美^びせよ。

エホバの名^なを賛^{さん}美^びせよ。

2 エホバの名^なが賛^{さん}美^びされますよ

うに。

今^{いま}もこれからもず^(イ)っと。

3 日^ひが昇^{のぼ}る所^{ところ}から沈^{しず}む所^{ところ}まで、

エホバの名^なが賛^{さん}美^びされますよ

うに。

4 エホバは全^{すべ}ての国^{くに}のはるか上^{うえ}に

いる。

神^{かみ}の栄^{えい}光^{こう}は天^{てん}よりも上^{うえ}にある。

5 誰^{だれ}が私^{わたし}たちの神^{かみ}エホバのよう^(イ)だ

ろうか。

神^{かみ}は高^{たか}い所^{ところ}に住^すんでいる。

6 神^{かみ}は身^みをかがめて天^{てん}と地^ちを見^みる。

7 立^{たち}場^ばが低^{ひく}い人^{ひと}を地^じ面^{めん}から起^おき上^あ

がらせる。

貧^{まず}しい人^{ひと}を灰^{はい}の山^{やま}から引^ひき上^あ

げる。

8 そして高^{こう}貴^きな人^{ひと}たちと共^{とも}に座^{すわ}ら

せる。

ご自^じ分^{ぶん}の民^{たみ}の高^{こう}貴^きな人^{ひと}たちと

共^{とも}に。

9 子^こ供^{ども}がで^{じょ}きない女^{せい}性^{せい}に家^{いえ}を与^{あた}

える。

113:1 *または、「ハレルヤ」。「ヤハ」はエホバ

の短縮形。113:5 *または、「座って」。113:

7 *もしかすると、「ごみ捨て場」。

子どももははしあわ(ア)
子供を持つ母としての幸せも。
さんび*
ヤハを賛美せよ!

114

イスラエルがエジプト
から、
ヤコブの子孫が、外国語を話す
民のもとから出ていった時、

2 ユダは神の聖なる所、
イスラエルは神の領土になった。

3 海は見て、逃げた。

ヨルダン川は引き返した。

4 山々は雄羊のように跳ね回った。

丘も子羊のように。

5 海よ、どうして逃げたのか。

ヨルダンよ、なぜ引き返した
のか。

6 山よ、なぜ雄羊のように、

丘よ、なぜ子羊のように跳ね回っ
たのか。

7 大地は震えよ。主の前で、
ヤコブの神の前で。

8 神は、岩をアシが茂る池に、
強固な岩を泉に変える。

115

私たちではなく、エホバ
よ、私たちではなく、
あなたの名がたたえられますよ
うに。

あなたは揺るぎない愛を示し、信
頼できる方。

113:9 *または、「ハレルヤ」。「ヤハ」はエホバの短縮形。114:8 *または、「火打ち石のような」。115:1 *または、「私たちは何も受けるに値しません、エホバ、何も受けるに値しません」。

第113編

(ア) サー 2:5
イザ 54:1

第114編

(イ) 出 12:41

(ウ) 出 6:7
出 19:6
申 32:9

(エ) 出 14:21

(オ) ヨシ 3:16

(カ) 出 19:18
箴 5:4

(キ) 出 15:8

(ク) ヨシ 4:23

(ケ) 代一 16:29,30

(コ) 出 17:6
民 20:11
申 8:14,15
詩 107:35

第115編

(ウ) イザ 48:11
ヨハ 12:28

(ヨ) 詩 138:2

第2欄

(ア) 出 32:12
民 14:15,16
申 32:26,27
詩 79:10

(イ) 詩 135:15-18
イザ 40:19
イザ 46:6
エレ 10:3,4
エレ 10:8,9
使徒 19:26
コ一 10:19

(ウ) ハバ 2:19

(エ) サ一 5:3
イザ 46:7

(オ) ハバ 2:18

(カ) イザ 44:9

(キ) 詩 97:7

(ク) 格 3:5

(ケ) 申 33:29
詩 33:20

(コ) 出 28:1

(ク) 格 16:20

2 国々が、「彼らの神はどこにいるのか」と言てよいだろうか。

3 私たちの神は天にいる。
ご自分が喜ぶことを行う。

4 国々の偶像は銀や金でできて
いる。

人が手で作った。

5 口があっても、話すことはでき
ない。

目があっても、見ることはでき
ない。

6 耳があっても、聞くことはでき
ない。

鼻があっても、嗅ぐことはでき
ない。

7 手があっても、触ることはでき
ない。

足があっても、歩くことはでき
ない。

喉で声を出すこともできない。

8 偶像を作る人たちは偶像のよう
になる。

偶像に頼る人も皆。

9 イスラエルよ、エホバに頼れ。
神はあなたの盾、あなたを助
ける。

10 アロンの子孫よ、エホバに頼れ。
神はあなたの盾、あなたを助
ける。

11 エホバを畏れる人たち、エホバ
に頼れ。

神はあなたの盾、あなたを助ける。

- 12 エホバは私たちを覚えていて、祝福してください。

イスラエルの子孫を祝福し、アロンの子孫を祝福してください。

- 13 エホバを畏れる人たちを祝福してください。

小さな者も大きな者も。

- 14 エホバはあなたたちを増やす。あなたたちも子供たちも。

- 15 あなたたちがエホバに祝福されますように。

天地を造った方に。

- 16 天はエホバのもの。地は人間に与えられたもの。

- 17 死者はヤハを賛美しない。死の静寂へ下る人も皆。

- 18 しかし私たちはヤハを賛美する。今もこれからもずっと。

ヤハを賛美せよ！

116 私はエホバを愛する。私の声を、助けを求め、願いを聞いてくださるから。

- 2 神は耳を傾けてくださる。

115:17 *直訳、「沈黙」。115:18 *または、「ハレルヤ」。「ヤハ」はエホバの短縮形。116:1 *もしかすると、「私は愛する。エホバは私の声を」。116:2 *または、「かがみ込んで聞いて」。

第115編

(詩) 詩84:11

(イ) 創12:2

(イ) 創13:16

(イ) 詩3:8

(イ) 詩96:5

(イ) イザ66:1

(イ) 創1:28
詩37:29
イザ45:18
使徒17:26

(イ) 詩6:5
伝9:5

(イ) 詩31:17

第116編

(イ) 詩18:6

(イ) 詩34:15

第2欄

(イ) イザ38:10

(イ) 詩18:4
詩38:6

(イ) 詩34:6
ロマ10:13

(イ) 申32:4

(イ) 出34:6
ネへ9:17
ダ二9:9

(イ) 詩19:7

(イ) 詩56:13
詩94:18

(イ) コ二4:13

(イ) ロマ3:4

私は生きている限り神に呼び掛ける。

- 3 死の綱が私に巻き付き、墓が私を捕らえた。

苦難と悲しみに圧倒された。

- 4 その時、エホバの名を呼んだ。「エホバ、助け出してください！」

- 5 エホバは思いやりがあり、正しい方。

私たちの神は憐れみ深い。

- 6 エホバは経験の浅い人を守っている。

すっかり弱った私を、神は救ってくださった。

- 7 私は安らぎを取り戻す。エホバは私に優しくしてください。

- 8 あなたは助け出してくださった。私を死から、私の目を涙から、私の足をつまずくことから。

- 9 私はこの地上でエホバの前を歩む。

- 10 信仰を持っていたので、私は話した。

私はとても苦しんだ。

- 11 取り乱して言った。「人は皆うそつきだ」。

- 12 私は何をしてエホバにお返ししよう。

116:2 *直訳、「自分の日々に」。116:3 *直訳、「シェオルの苦しみが私を見つけた」。116:5 *または、「慈しみ」。

わかし すべて
私のためにしてくださった全ての
よいことに対して。

13 私は救いの杯を取り、

エホバの名を呼ぶ。

14 エホバへの誓約を果たす。

神の民全ての前で。

15 エホバが損失と見るのは、ご自分
分に尽くす人たちの死。

16 ああ、エホバ、私はあなたに仕
える者。

あなたに仕える、身分の低い者。

あなたは、捕らわれていた私を
解放してくださった。

17 私はあなたに感謝の犠牲を
捧げ、

エホバの名を呼ぶ。

18 エホバへの誓約を果たす。

神の民全ての前で。

19 エホバの家の庭で。

エルサレムよ、あなたの中で。

ヤハを賛美せよ！

117 全ての国よ、エホバを賛
美せよ。

全ての民よ、神をたたえよ。

2 神が私たちに抱く揺るぎない愛
は大きく、

エホバの真実さは永遠に続く。

ヤハを賛美せよ！

116:13 *または、「偉大な救出」。**116:15**

*直訳、「貴重なもの」。「または」、「を揺るぎなく支持する」、「から離れない」。**116:16** *または、「あなたの女奴隷の子」。**116:19; 117:2** *または、「ハレルヤ」。「ヤハ」はエホバの短縮形。**117:1** *または、「氏族」。

第116編

(ア) 詩 22:25
ヨナ 2:9

(イ) サー 25:29
ヨブ 1:12
詩 91:14
ゼカ 2:8
ペニ 2:9

(ウ) 詩 107:14

(エ) レビ 7:12
詩 50:23

(オ) 詩 22:25
詩 76:11

(カ) 詩 116:14

(キ) 詩 96:8

(ク) 啓 19:1

第117編

(ク) 啓 7:9,10

(コ) ロマ 15:11

(ケ) 哀 3:22

(セ) 詩 25:10
詩 91:4

(ソ) 詩 100:5

(タ) 詩 111:1

第2編

第118編

(ア) マタ 19:17

(イ) 詩 18:19

(ウ) 詩 27:1

(エ) イザ 51:12
口マ 8:31
ヘブ 13:6

(オ) マタ 26:52,53

(カ) 詩 54:7

(キ) 詩 40:4
詩 146:3,4
エレ 17:5

(ク) エゼ 29:6,7

118 エホバに感謝せよ。神
は善い方。

神の揺るぎない愛は永遠に続く。

2 イスラエルは言え。

「神の揺るぎない愛は永遠に
続く」。

3 アロンの子孫は言え。

「神の揺るぎない愛は永遠に
続く」。

4 エホバを畏れる人は言え。

「神の揺るぎない愛は永遠に
続く」。

5 苦難の時に私はヤハに呼び掛
けた。

ヤハは答え、私を安全な場所に
連れていってくださった。

6 エホバは私の側にいてくださる。
私は恐れない。

人が私に何を行えるだろう。

7 エホバは私の側にいて助けてく
ださる。

私は、私を憎む人たちの敗北を
見る。

8 人間に頼るより、エホバのもとに
避難する方がよい。

9 権力者に頼るより、エホバのもと
に避難する方がよい。

10 全ての国が私を取り囲んだ。

しかし、私はエホバの名によって

118:5 *エホバの短縮形。「または」、「広い」。

118:7 *もしかすると、「私を助ける人たちと共にいて」。

かれら お はら づ
彼らを追い払った。

- 11 彼らは私を取り囲んだ。完全に
取り囲んだ。

わかし な
しかし、私はエホバの名によって
彼らを追い払った。

- 12 彼らは蜜蜂のように私を取り囲
んだ。

つ ひ
しかし、いばらに付いた火のよう
にすぐに消え去った。

わかし な かれ
私はエホバの名によって彼らを
追い払った。

- 13 私は押し倒された。
しかし、エホバが助けてくだ
さった。

- 14 ヤハは私の避難所、私の力。
私を救ってくださった。

- 15 救いを喜ぶ声が上がる。
正しい人たちの天幕から。
エホバの右手は力を発揮する。

- 16 エホバの右手は高く上げられる。
エホバの右手は力を発揮する。

- 17 私は死なない。
生きて、ヤハが行ったことを知ら
せる。

- 18 ヤハは私を厳しく正した。
しかし、私を死に至らせな
かった。

- 19 私のために正しさの門を開け。
私は中に入り、ヤハを賛美する。

- 20 これがエホバの門。

118:15 *または、「勝利」。

第118編

(7) 代二 20:15,17

(7) 代二 14:11

(7) 出 15:2

詩 18:2

イザ 12:2

(7) 詩 89:13

イザ 63:12

(7) 出 15:6

イザ 40:26

(7) 詩 6:5

詩 71:17

(7) 詩 66:10

詩 94:12

(7) 詩 16:10

(7) イザ 26:2

啓 22:14

第2欄

(7) 詩 24:3,4

(7) 詩 116:1

(7) イザ 28:16

ルカ 20:17

使徒 4:11

コエ 3:11

エフ 2:19,20

ペテ 2:4-7

(7) 使徒 5:31

(7) マル 12:10,11

(7) マタ 21:7-9

マタ 23:39

マル 11:7-10

ルカ 19:37,38

(7) 詩 18:28

ペテ 2:9

(7) レビ 23:34

詩 42:4

(7) 出 27:2

(7) 出 15:2

イザ 25:1

(7) 詩 50:23

(7) エズ 3:11

詩 118:1

ただ ひと とお なか はい (7)
正しい人が通って中に入る。

- 21 私はあなたを賛美する。あなた
は答えてくださった。

- 私を救ってください。
けんちくしゃ しりぞ いし しゅよう
22 建築者たちの退けた石が主要な
隅石となった。

- 23 これはエホバによって生じた。
それは私たちにとって素晴ら
しい。

- 24 これはエホバが定めた日。
私たちはこの日に喜び、歓喜
する。

- 25 エホバ、救ってください。お願い
です！

- エホバ、どうか勝利させてくだ
さい！

- 26 エホバの名によって来る方が祝
福されますように。

- 私たちはエホバの家であなた
ちのために祝福を願う。

- 27 エホバは神。
私たちを照らしてください。
えだ て まつ ぎょうれつ くわ
枝を手にして祭りの行列に加
われ。

- さいだん つの(7) ところ
祭壇の角の所へ。

- 28 あなたは私の神、あなたを賛美
する。

- 私の神、あなたをたたえる。

- 29 エホバに感謝せよ。神は善い方。
神の揺るぎない愛は永遠に続く。

118:22 *直訳、「隅の頭」。用語集参照。

119 ^N [アーレフ]
^{ひなん} 非難されるところがない
^い ^{かた} ^{ひと} ^{しあわ}
 生き方をする人は幸
 せだ。

^{ひと} ^{りっぼう} ^{したが}
 その人はエホバの律法に従っ
^{あゆ} ^ゆ
 て歩む。

2 ^{かみ} ^{おし} ^き ^{まも} ^{ひと} ^{しあわ} ^い
 神の教えを守る人は幸せだ。

^{ひと} ^{こころ} ^つ ^{かみ} ^{さが}
 その人は心を尽くして神を探し
^{もと} ^{めい}
 求める。

3 ^ふ ^{せい} ^{おこな} ^{かみ} ^{みち} ^{あゆ} ^い
 不正を行わず、神の道を歩む。

4 あなたは命じた。
^{めい} ^い ^{ちゆういぶ} ^か ^{まも} ^{めい}
 命令を注意深く守るようにと。

5 ^{わたし} ^ゆ ^き ^{めい} ^{まも} ^{めい}
 私が揺らぐことなく、
 あなたの規定を守ることができ
 ればよいのに！

6 ^{そう} ^{すれば} ^{はじ} ^い ^か ^か ^い
 そうすれば、恥をかかない。
 あなたの心で全てをよく考え
 るから。

7 ^{わたし} ^{ただ} ^{ほう} ^き ^き
 私はあなたの正しい法規を
^{まな} ^{まな}
 学び、
^{しょうじき} ^{こころ} ^き ^{まも} ^き
 正直な心であなたを賛美する。

8 ^{あなた} ^き ^{めい} ^{まも} ^{まも}
 あなたの規定を守る。
^{わたし} ^{かんぜん} ^み ^す ^す
 私は完全に見捨てないでくだ
 さい。

9 ^コ [ベート]
^{わか} ^{ひと} ^き ^い ^い
 若い人はどうすれば清く生きら
 れるだろう。
^{こと} ^ば ^{したが} ^{ちゆういぶ} ^か
 あなたの言葉に従って注意深く
^い
 あるならそうできる。

119:2 *または、「思い出させるもの」。119:5
 *直訳、「ああ、私の道がしっかりと据えられ」。
 119:7, 13, 20 *直訳、「裁き」。

第119編

(7) 王二 20:3
 ヤコ 1:25

(イ) 詩 19:7

(7) 代二 31:20, 21

(イ) イザ 38:3

(7) 申 5:33
 エレ 7:23
 ヤコ 2:10

(イ) 詩 51:10

(イ) 詩 119:80

(イ) 格 6:20, 22

第2欄

(7) 詩 25:5

(イ) 詩 112:1

(イ) 詩 19:13
 詩 37:31

(イ) エレ 15:16

(イ) 詩 19:8, 10
 詩 119:72

(イ) 詩 119:93
 詩 119:100

(イ) 詩 25:10

(イ) ヤコ 1:23-25

(イ) イザ 38:20

(イ) 代一 29:15

10 ^{わたし} ^{こころ} ^つ ^{みち} ^び
 私は心を尽くしてあなたに導き
 を求める。

^{わたし} ^{わたし}
 私があなたの心からそれな
 ようにしてください。

11 ^{わたし} ^{こと} ^ば ^{たから} ^い
 私はあなたの言葉を、宝のよう
 に心に蓄える。

^{あなた} ^{たい} ^{つみ} ^{おか} ^い
 あなたに対して罪を犯さない
 ため。

12 ^{エホバ} ^{あなた} ^が ^{賛美} ^{され} ^{ます}
 ように。

^{あなた} ^き ^{てい} ^{おし} ^い
 あなたの規定を教えてください。

13 ^{わたし} ^し ^い ^い ^い
 私は知らせる。
^{あなた} ^{かた} ^{ほう} ^き ^{すべ} ^い
 あなたが語った法規 全てを。

14 ^{あなた} ^{おし} ^{よろこ} ^い ^い
 あなたの教えを喜ぶ。
^他 ^た ^き ^{ちよう} ^い ^い ^い ^い
 他のどんな貴重なものよりも。

15 ^{あなた} ^の ^{命令} ^を ^{じっくり} ^{考え} ^い
 あなたの命令をじっくり考え、
^{あなた} ^が ^{しめ} ^{みち} ^{みつ} ^い ^い
 あなたが示す道を見続ける。

16 ^{あなた} ^の ^{法令} ^を ^{大切に} ^{思う} ^い
 あなたの法令を大切に思う。
^{あなた} ^{こと} ^ば ^{わす} ^い ^い
 あなたの言葉を忘れない。

1 [ギメル]

17 ^{わたし} ^{しんせつ} ^{しめ} ^い ^い
 私に親切を示してください。
^{あなた} ^{こと} ^ば ^{まも} ^い ^い ^い
 あなたの言葉を守って生きるた
 めに。

18 ^{わたし} ^め ^{ひら} ^い ^い ^い
 私の目を開いてください。
^{あなた} ^{りっぼう} ^す ^ば ^い ^い
 あなたの律法にある素晴らしい
 ことをはっきり知るために。

19 ^{わたし} ^と ^ち ^{がいこくじん} ^い ^い
 私はこの土地では外国人。
^{あなた} ^{わたし} ^{かく} ^い ^い
 あなたのおきてを私に隠さない
 でください。

20 ^{わたし} ^{した} ^い ^い ^い
 私は慕ってやまない。
 いつあなたの方の法規のことを。

119:15 *または、「を学び」。

- 21 あなたは、思い上がった人を叱責する。

あなたのおきてからそれる忌まわしい人を。

- 22 私が受けている軽蔑と侮辱を取り去ってください。

私はあなたの教えを守っている。

- 23 高官たちが共に座って私を非難しても、

私はあなたの規定をじっくり考える。

- 24 私はあなたの教えを大切に思う。

それは私の助言者のよう。

▽ [ダート]

- 25 私は地面に倒れ込んでいる。

あなたの言葉の通りに私を生き続けさせてください。

- 26 自分の行いを伝えと、あなたは答えてくださった。

あなたの規定を教えてください。

- 27 あなたの命令の意味を理解させてください。

あなたの素晴らしい偉業をじっくり考えるために。

- 28 私は悲しみのあまり眠れない。

あなたの言葉の通りに私を力づけてください。

- 29 人を欺く生き方を私から取り去ってください。

第119編
(7) 申 28:15

(7) 詩 119:14
詩 119:168

(7) 申 17:18-20
詩 119:105
テモニ 3:16,
17

(7) 詩 22:15

(7) 詩 119:154
詩 143:11

(7) 詩 86:11

(7) 詩 145:5

(7) 詩 141:4
格 30:8

第2編

(7) ヨシ 24:15

(7) 詩 19:7

(7) 詩 25:20
詩 119:80

(7) イザ 48:17
ヨハ 6:45
ヤコ 1:5

(7) 詩 119:112

(7) 詩 23:3

(7) ルカ 12:15
テモニ 6:10
ヘブ 13:5

(7) 民 15:39
格 4:25
格 23:4,5

律法を教え、親切を示してくだ

さい。

- 30 私は忠実な生き方を選んだ。

あなたの法規は確かに正しい。

- 31 私はあなたの教えをしっかりと守る。

エホバ、私が失望することがないようにしてください。

- 32 私は何があってもあなたのおきてに従う。

あなたがそのために私の心を広げてくださるから。

▽ [ヘー]

- 33 教えてください、エホバ、あなたの規定を。

私は最後までそれに従う。

- 34 理解力を与えてください。

あなたの律法を心を尽くして守れるように。

- 35 あなたのおきての道に導いてください。

私はその道を喜ぶ。

- 36 私の心が、自分の利益ではなく、

あなたの教えに向くようにしてください。

- 37 私の目をそらさせてください。無価値なものを見続けな

ために。

119:30 *直訳、「裁き」。119:31 *または、「恥をかく」。119:32 *直訳、「はあなたのおきての道を守る」。「もしかすると、あなたは私から確信できるようにして」。119:35 *または、「を歩ませて」。

あなたの^{みち わたし い つづ}道で私を生き続けさせ
てください。

38 私にした約束を果たしてくだ
さい。

ひとびと^{おそ}人々があなたを畏れるために。

39 私が恐れる恥辱を取り去って
ください。

あなたの裁きは優れている。

40 私はあなたの命令をどんなに
慕っていることか。

あなたの正しさによって私を生
き続けさせてください。

1 [ワーウ]

41 エホバ、あなたの約束 通り、
あなたの揺るぎない愛を私が
受け、

救われますように。

42 私は、私をあざける人に答える。
私はあなたの言葉に頼って
いる。

43 私の口から真理の言葉を完全
に取り去らないでください。
私はあなたの裁きを待ち望んで
いる。

44 私は絶えずあなたの律法を
守る。

いつまでも永遠に。

45 安全な場所を歩き回る。
あなたの命令を探し求めて
いる。

第119編
(例) 詩 19:9
詩 119:75

(例) 詩 51:1
詩 90:14
詩 119:76

(例) 詩 119:33

(例) 詩 118:5

第2欄

(例) ロマ 1:16

(例) ヨブ 23:12
詩 119:174
ロマ 7:22

(例) 詩 119:127

(例) 詩 119:23
詩 119:71

(例) 詩 94:19
ロマ 15:4

(例) 詩 119:157

(例) 民 16:5
申 1:35, 36
申 4:3

(例) ロマ 15:4

46 あなたの教えについて王たちの
前で話す。

私は恥をかかない。

47 あなたのおきてを大切に思う。
それを愛している。

48 愛するそのおきてのことで両手
を上げて祈る。
あなたの規定をじっくり考える。

↑ [ザイン]

49 私への言葉を思い出してくだ

さい。

その言葉によってあなたは希望
を下される。

50 こうして、苦しんでいる私は
慰められる。

あなたの言葉のおかげで生き
続けている。

51 思い上がった人たちが私をひど
く軽蔑する。

しかし、私はあなたの律法から
それない。

52 エホバ、あなたがこれまでに下
してきた裁きを私は思い出す。
そして慰められる。

53 私は激しい怒りに燃える。
あなたの律法を捨てる悪人のこ
とで。

54 私はあなたの規定について
歌う。
どこに住んでいても。

119:48 *または、「を学ぶ」。 119:49 *また
は、「約束」。 *または、「その言葉の実現をあな
たは私に待たせた」。 119:54 *または、「外国
人として住む家」。

119:38 *または、「に語った言葉」。 *もしか
すると、「あなたを畏れる人々にした約束を」。
119:41 *または、「言葉」。 119:45 *または、
「広い」。

(例) 詩 119:158
詩 139:21
格 28:4

55 エホバ、私は夜にあなたの名
を思い出す。

あなたの律法を守るために。

56 私はずっとこうしている。

あなたの命令を守っている
から。

□ [ヘート]

57 エホバは私の全て。

私は、あなたの言葉を守ると約
束した。

58 心を尽くしてあなたに願ひ出る。

あなたの約束 通り、私に親切
を示してください。

59 私は自分の生き方を振り

返った。

あなたの教えに従って再び歩む
ため。

60 私は急ぎ、遅らせない。

あなたのおきてを守ることを。

61 悪人の綱が私に絡み付く。

それでも、あなたの律法を忘れ
ない。

62 真夜中に起きて感謝する。

あなたの正しい法規のことで。

63 あなたを畏れる全ての人が、

あなたの命令を守る人が私
の友。

64 エホバ、あなたの揺るぎない愛

は地上に満ちている。

あなたの規定を教えてください。

第119編

〔詩 63:6
イザ 26:9〕

〔イ 詩 16:5〕

〔イ 出 19:8〕

〔イ 詩 51:17〕

〔イ 詩 57:1〕

〔イ 詩 119:101
エフ 5:15〕

〔イ 代 29:1,3〕

〔イ サ 26:8,9
代 29:1,2〕

〔イ 詩 42:8〕

〔イ 格 13:20〕

〔イ 詩 33:5
詩 104:13〕

第2欄

〔イ 王 3:9
詩 94:10
ダ 2:21
イリ 1:9〕

〔イ 詩 119:11〕

〔イ 詩 86:5
マル 10:18〕

〔イ イザ 48:17〕

〔イ イザ 6:10〕

〔イ 詩 40:8
ロマ 7:22〕

〔イ コー 11:32
ヘブ 12:9-11〕

〔イ 申 17:18,19〕

〔イ 詩 19:7,10
格 3:13-15〕

〔イ 代 22:12
ヨブ 32:8〕

□ [テート]

65 エホバ、あなたはご自分の言

葉通り、

私によくしてくださった。

66 分別と知識を持たせてください。

あなたのおきてを信頼している
私に。

67 私は苦しむ前、道からそれた。

しかし今、あなたの言葉を守る。

68 あなたは善い方。善いことを

行う。

あなたの規定を教えてください。

69 思い上がった人たちは、うそで

私の評判を損なう。

しかし私は心を尽くしてあなた
の命令を守る。

70 その人たちは心が無感覚だ。

しかし私はあなたの律法を大
切に思う。

71 私が苦しんだのは良いこと。

あなたの規定を学べるように
なったから。

72 あなたが公布した律法は私に

とって良いもの。

幾千の金や銀よりも。

□ [ヨード]

73 あなたが手で私を造り、形

作った。

理解力を与えてください。

あなたのおきてを学べるように。

119:67 *または、「間違つて罪を犯した」。

119:57 *または、「私に与えられた分」。

119:58 *または、「あなたの笑顔を求める」。

119:62 *直訳、「裁き」。

74 あなたを畏れる人たちは私を
見て喜ぶ。

あなたの言葉が私の希望
の源。

75 エホバ、私は知っている。
あなたの裁きが正しいことを。
私のことを思っ^て私に苦しみを
味わ^せたことを。

76 揺るぎない愛を示し、どうか私
を慰めてください。

私にした約束の通りに。

77 憐れみを示してください。私が
生き続けるために。

私はあなたの律法を大切に
思う。

78 思い上がった人たちが恥をか
きますように。

その人たちは不当にも悪いこと
を仕掛けてくる。

しかし私はあなたの命令をじっ
くり考える。

79 あなたを畏れる人たちが私のも
とに戻ってきますように。

あなたの教えを知っている人た
ちが。

80 私が、非難されるところがない
心であなたの規定を守れま
すように。

私が恥をかかないために。

119:74, 81 *または、「が語られるのを待つ」。
119:75 *または、「あなたが信頼できる方なの
で」。119:76 *または、「に語った言葉」。
119:78 *もしかすると、「うそで私を傷つける」。
#または、「を学ぶ」。

第119編

(7) 詩 119:147

(7) 詩 119:160

(7) 申 32:4
ヘブ 12:11(7) 出 34:6
詩 86:5(7) 詩 51:1
詩 103:13
詩 119:116
ダニ 9:18
ルカ 1:50

(7) ロマ 7:22

(7) 詩 119:45

(7) 王一 8:58

(7) 詩 119:5,6
ヨ一 2:28

第2欄

(7) ミカ 7:7

(7) 詩 69:3

(7) 詩 86:17
詩 102:2(7) 詩 119:61
詩 119:176(7) 詩 7:6
啓 6:9,10

(7) 詩 142:6

コ [カフ]

81 私はあなたによる救いを待ち焦
がれる。

あなたの言葉が私の希望
の源。

82 あなたの言葉が実現するのを
見たくてたまらず、言う。

「いつ慰めてくださるの
か」と。

83 私は、煙にさらされて干からび
た革袋のよう。

それでもあなたの規定を忘れ
ない。

84 私はどれほどの日々待たな
ければならないのですか。

私を迫害する人をいつ処罰して
くださるのですか。

85 思い上がった人たちが、私を落
とす穴を掘る。

あなたの律法に逆らう人た
ちが。

86 あなたのおきてはどれも信頼で
きる。

人は不当にも私を迫害する。私
を助けてください!

87 私は危うく、地上から消し去ら
れるところだった。

それでも、あなたの命令を捨て
なかった。

88 揺るぎない愛を示し、私を生き
続けさせてください。

あなたが語った教えを守るた
めに。

う [ラーメド]

- 89 エホバ、永遠に、
あなたの言葉は天にある。
- 90 あなたはいつの時代も信頼で
きる方。
- あなたは大地をしっかりと据え
た。ずっと存続するように。
- 91 それらはあなたの法規によって
今日に至るまで残っている。
- どれもあなたに仕えている。
- 92 もし私があなたの律法を大切
に思っていなかったなら、
私は苦しみ、消え去っていただ
ろう。
- 93 私は決してあなたの命令を忘
れない。
- あなたはそれによって私を生き
続けさせてくださったから。
- 94 私はあなたのもの。救ってくだ
さい。
- あなたの命令を知ろうとする
私を。
- 95 悪人は私を殺そうと待ち構える。
しかし私はあなたの教えに細
心の注意を払う。
- 96 どんな完全なことにも限界があ
るを見た。
- しかしあなたのおきてには限界
がない。

119:91 * 神が創造したものの全てのこと。 119:
91, 102 * 直訳, 「裁き」。 119:96 * 直訳, 「は
とても広い」。

第119編

(ア) 詩 89:2
詩 119:152

(イ) 申 7:9

(ウ) 詩 104:5
伝 1:4

(エ) 格 6:23
マタ 4:4

(オ) レビ 18:5
申 30:16
ヨハ 6:63
ロマ 10:5

(カ) 詩 86:2
イザ 41:10

(キ) 詩 119:15

第2欄

(ア) 詩 40:8

(イ) 詩 1:2

(ウ) 詩 19:7
格 2:6
格 10:8

(エ) マタ 11:25
ルカ 2:46, 47

(オ) 詩 18:23
詩 119:59

(カ) 詩 19:7, 10
格 24:13, 14

(キ) 詩 119:100

(ク) 詩 97:10
詩 101:3
格 8:13
格 13:5
ロマ 12:9

(コ) 詩 43:3
格 6:23
イザ 51:4
ロマ 15:4
テモ二 3:16,
17
ペ二 1:19

Ⅱ [メーム]

わたし りっぽう あい
97 私はあなたの律法を愛してやま
ない!

いちにちじゅう かんが せい
一日中じっくり考える。

わたし てき かしこ
98 私は敵よりも賢くなる。

あなたのおきてがいつまでも私
と共にあるから。

わたし どうさつりよく 私を おし
99 私には洞察力がある。私を教え
てくれたどんな人よりも。

あなたのおし かんが *
あなたの教えをじっくり考えて

いるから。

わたし こうどう りかいりよく あらわ
100 私の行動には理解力が表れる。
ねんちょう ひと
年長の人よりも。

あなたの命令を守っている

から。

わる みち いっさいあゆ (キ)
101 悪い道は一切歩まない。

あなたの言葉を守るために。

102 あなたの法規に背かない。

あなたが私を教えてください
から。

103 あなたの言葉は私の舌に何と
甘いのだろう。

わたし うち みつ あま (カ)
私の口に蜜よりも甘い。

104 あなたの命令のおかげで、私の
こうどう りかいりよく あらわ (キ)
行動には理解力が表れる。

じっさい いっわ みち にく
実際、あらゆる偽りの道を憎ん
でいる。

Ⅲ [ヌーン]

105 あなたの言葉は私の足元を照
らすランプ、

わたし すず みち て ひかり(ウ)
私の進む道を照らす光。

119:97 * または, 「学ぶ」。 119:99 * または,
「を学んで」。

- 106 私はあなたの正しい法規を守
ると誓った。
それを果たす。
- 107 私はとても苦しんできた。
エホバ、あなたの言葉通りに私
を生き続けさせてください。
- 108 エホバ、どうか喜んでください、
賛美の言葉という私の自発
的な捧げ物を。
あなたの法規を教えてください。
- 109 私の命は常に危険にさらされて
いる。
それでもあなたの律法を忘れな
かった。
- 110 悪人は私をはめるわなを仕掛
けた。
それでも私はあなたの命令から
それなかった。
- 111 あなたの教えを私は永遠に手
放さない。
それは私の心の喜びだから。
- 112 私は決意を固めた。
どんな時も最後まであなたの規
定に従うと。
- [サーメク]
- 113 私は中途半端な人たちを憎み、
あなたの律法を愛する。
- 114 あなたは私の避難所、私の盾。

119:106,108 *直訳、「裁き」。119:108 *直訳、「私の口」。119:109 *または、「常に私の手にある」。119:111 *または、「永遠の財産とする」。119:113 *または、「心が分かれてい
る人」。

第119編

(7) 詩 34:19

(4) 詩 119:88
詩 143:11(7) 詩 50:23
ホセ 14:2
ヘブ 13:15(4) 申 33:10
イザ 48:17

(4) 詩 119:61

(7) 詩 119:87

(4) 詩 19:8
詩 119:129
エレ 15:16(7) 王一 18:21
啓 3:16(7) 詩 40:8
詩 119:97(4) 詩 32:7
詩 91:2

第2欄

(7) 詩 130:5

(4) 詩 26:5

(7) イザ 41:10

(4) 詩 25:2
ロマ 10:11

(4) イザ 41:13

(7) ヨン 1:8
詩 119:48(4) 代一 28:9
詩 95:10(7) 格 2:22
格 25:4,5
エゼ 22:18

あなたの言葉が私の希望
の源。

115 悪を行う人たち、私から離れ
去れ。

私が神のおきてを守るために。

116 約束 通り、支えてください。

私が生き続けるために。

私の希望が失望に変わらない
ようにしてください。

117 支えてください。私が救われる
ために。

私はあなたの規定を片時も忘
れない。

118 あなたは、あなたの規定からそ
れる人を皆退ける。

その人たちは、欺こうとする偽
り者だから。

119 あなたは、地上の悪人を皆、無
価値な浮きかすのように捨て
去る。

それで私はあなたの教えを愛
する。

120 あなたを恐れて身震いし、
あなたの裁きに恐れを感じる。

♪ [アン]

121 私は公正で正しいことを
行った。

虐げる人に私を引き渡さないで
ください!

122 私の安全を保証してください。

119:114 *または、「が語られるのを待つ」。

119:116 *または、「言葉」。

*または、「希望を抱く私が恥をかかない」。

おも あ ひと わたし しいた
思ひ上がった人が私を虐げま

せんように。

123 私の目は衰えた。

あなたによる救いと、信頼でき
る約束の実現を待ちわびて。

124 揺るぎない愛を示してください。
あなたの規定を教えてください。

125 理解力を与えてください。

私があなたの教えを知るた
めに。

126 エホバが行動する時が来た。
人々はあなたの律法を破った。

127 私はあなたのおきてを愛する。
金よりも、それも純金よりも。

128 私にとって、あなたからの指示
はどれも正しい。

私はあらゆる偽りの道を憎む。

㉔ [ペー]

129 あなたの教えは素晴らしい。
だから私はそれに従う。

130 あなたの言葉が明かされると光
が輝き、

経験の浅い人は理解力を得る。

131 私は口を大きく開き、ため息を
つく。

あなたのおきてを慕っている
から。

132 こちらを向いて私に親切を示し
てください。

119:123 *または、「言葉」。119:127 *または、「精錬された金」。119:128 *または、「命令」。119:131 *直訳、「あえく」。

第119編

(㉔) 詩 69:3
詩 119:81
詩 143:7

(ㄱ) 詩 69:16

(ㄴ) 詩 143:10

(ㄷ) 詩 119:34
テモニ 2:7
ヤコ 1:5

(ㄹ) 詩 9:19
エレ 18:23

(ㄴ) 詩 19:9,10
詩 119:72
格 3:13,14

(ㄴ) 詩 19:8

(ㄴ) 詩 119:104

(ㄴ) 詩 119:105
格 6:23
コニ 4:6
ペニ 1:19

(ㄴ) 詩 19:7
格 1:1,4
テモニ 3:15

(ㄴ) 詩 42:1
ペー 2:2

(ㄴ) サー 1:10,11
サニ 16:11,12
イザ 38:9,20

第2欄

(ㄴ) ヘブ 6:10

(ㄱ) 詩 19:13
ロマ 6:12

(ㄴ) 民 6:25
詩 4:6

(ㄴ) エゼ 9:4
ペニ 2:7,8

(ㄴ) 申 32:4

(ㄴ) 啓 16:5,7

(ㄴ) 王ニ 10:16
詩 69:9
ヨハ 2:17

(ㄴ) 詩 12:6
詩 119:160

(ㄴ) 詩 119:97

(ㄴ) 詩 22:6,7

あなたの名を愛する人たちにあ
なたがいつも通る通りに。

133 あなたの言葉によって私の歩み
を安全に導いてください。

どんな悪も私を支配しませんよ
うに。

134 虐げる人から私を助け出してく
ださい。

私はあなたの命令を守る。

135 笑顔を私に向け、
あなたの規定を教えてください。

136 涙が私の目から流れ落ちる。
人々があなたの律法を守らな
いから。

㉕ [ツァーデー]

137 エホバ、あなたは正しい方。
あなたの裁きは公平。

138 あなたの教えは正しく、
完全に信頼できる。

139 私はあなたに対する熱い思い
を抑え切れない。

私の敵対者があなたの言葉を
忘れたから。

140 あなたの言葉は徹底的に精錬
されたもの。

私はそれを愛する。

141 私は取るに足りない軽蔑され
た者。

とはいえ、あなたの命令を忘れ
ない。

119:132 *直訳、「に対するあなたの裁きに従っ
て」。119:133 *または、「私の足取りをしっか
りしたものにすて」。119:134 *直訳、「買い戻
して」。

- 142 あなたの正義は永遠の正義。
あなたの律法は真実。
- 143 苦難や困難が降り掛かって、
あなたのおきてを大切に思う。
- 144 あなたの教えは永遠に正しい。
理解力を与えてください。私が
生き続けるために。
- 〔コーフ〕
- 145 私は心を込めて呼ぶ。エホバ、
答えてください。
あなたの規定を私は守る。
- 146 あなたに呼び掛ける。救ってく
ださい！
私はあなたの教えを守る。
- 147 夜明け前に目覚め、助けを求
めて叫ぶ。
あなたの言葉が私の希望
の源。
- 148 夜中に目を覚ます。
あなたの言葉をじっくり考える
ため。
- 149 揺るぎない愛を示し、ぜひ私の
声を聞いてください。
エホバ、あなたの公正さに従
い、私を生き続けさせてくだ
さい。
- 150 恥ずべき行いをする人たちが近
づいてくる。
あなたの律法から遠く離れてい
る人たちが。

119:147 *または、「朝の薄明かりの頃」。「*ま
たは、「が語られるのを待つ」。119:148 *また
は、「夜警時の前」。「*または、「を学ぶ」。119:
150 *または、「みだらな」。

第119編

詩 36:6

出 34:6
詩 119:160
ヨハ 17:17

詩 119:34

詩 5:3
詩 88:13
マル 1:35

詩 63:6
ルカ 6:12

詩 51:1
イザ 63:7

第2欄

申 4:7
詩 46:1
詩 145:18

詩 19:9
ヨハ 17:17

詩 119:144
伝 3:14

詩 9:13

サー 24:15
詩 43:1

王二 17:15, 18
詩 73:27
格 15:29

代一 21:13
詩 86:15
イザ 55:7
コ二 1:3
ヤコ 5:11

詩 25:19

詩 139:21

- 151 エホバ、あなたは近くに来てく
ださい。
あなたのおきては全て真実。
昔、あなたの教えを学んだ。
永遠に続くようあなたが定めた
ものを。

〔レーシュ〕

- 153 私の苦悩を見て、助け出してく
ださい。
私はあなたの律法を忘れてい
ない。

- 154 私を守り、助け出してください。
約束通り、私を生き続けさせて
ください。

- 155 救いは悪人から遠く離れて
いる。

あなたの規定を知ろうとしな
かったから。

- 156 エホバ、あなたの憐れみは大
きい。
あなたの公正さに従い、私を生
き続けさせてください。

- 157 迫害する人や敵対する人が多く
いる。
それでも私はあなたの教えに背
かなかった。

- 158 不誠実な人たちを見て嫌気が
さす。

あなたの言葉を守らないから。

- 159 私はあなたの命令を愛してやま
ない！

119:154 *または、「訴訟で私の側に立ち」。
*または、「言葉」。

エホバ、揺るぎない愛を示し、
私を生き続けさせてください。

160 あなたの言葉は真理そのもの。

あなたの正しい法規は全て永
遠に存続する。

Ⅶ [スイーン]または[シーン]

161 高官たちが不当にも私を迫害する。

しかし私の心が畏れるのはあ
なたの言葉。

162 私はあなたの言葉を喜ぶ。

多くの戦利品を得た人のよ
うに。

163 偽りを憎む。ひどく嫌う。

あなたの律法を愛する。

164 あなたの正しい法規のことで、 日に7回あなたを賛美する。

165 豊かな平和はあなたの律法を 愛する人たちのもの。

その人たちはどんなものにもつ
まづかない。

166 エホバ、私はあなたによる救い に希望を抱き、

あなたのおきてを守る。

167 あなたの教えを守り、こよなく 愛する。

168 あなたの命令と教えを守る。

私がすることをあなたは全て
知っている。

119:160, 164, 175 *直訳、「裁き」。

119:165 *または、「その人たちにとって信仰を妨げるものはない」。

第119編

詩 119:40, 88
哀 3:22

詩 7:28

詩 12:6
ヨハ 17:17

詩 119:23

王 22:19

エ 15:16

詩 101:7
詩 119:29, 104

詩 1:2

詩 1:2, 3
格 3:1, 2
イザ 32:17
イザ 48:18

詩 1:2
詩 40:8
ロマ 7:22

詩 139:3
格 5:21
格 15:11
ヘ 4:13

第2欄

詩 18:6

代 22:12
格 2:3, 5

詩 63:5
詩 71:17
詩 145:7

詩 40:9

詩 60:5

申 30:19
ヨシ 24:15, 22

詩 1:2

詩 9:13, 14
イザ 38:19

詩 95:7
ルカ 15:4
ペ 2:25

伝 12:13

Ⅱ [ターウ]

169 エホバ、助けを求める私の叫び があなたに届きますように。

あなたの言葉によって、私に理
解力を与えてください。

170 恵みを求める私の願いがあなた の前に届きますように。

約束 通り、私を救ってください。

171 私の唇から賛美があふれます ように。

あなたはご自分の規定を教え
てくださる。

172 私の口があなたの言葉につい て歌いますように。

あなたのおきては全て正しい。

173 あなたの手にによって私が助けら れますように。

私は自らあなたの命令に従っ
たから。

174 エホバ、私はあなたによる救い を慕う。

あなたの律法を大切に思う。

175 私を生き続けさせてください。 あなたを賛美するために。

あなたの法規が私の助けとなり
ますように。

176 私は迷い出た羊のようにさま よっている。

私を捜してください。私はあな
たのおきてを忘れていない。

119:170 *または、「言葉」。

119:172 *直訳、「舌」。

みやこ のぼ とき うた*
都へ上る時の歌。

120

くなん とし わたし
苦難の時に、私はエホバに呼び掛けた。

かみ こた
神は答えてくださった。

- 2 エホバ、助け出してください。
うそをつく唇から、欺きに満ちた舌から。

- 3 欺きに満ちた舌よ、
神はおまえに何をするだろう、どう処罰するだろう。

- 4 戦士の鋭い矢が襲い、
エニシダの炭が燃え上がる。

- 5 悲惨なことだ！ 私はメシェクに
外国인으로して住んだ。
ケダルの天幕のそばに住んだ。

- 6 あまりにも長い間、
平和を憎む人たちと共に住んだ。
私は平和を望む。しかし私が話

しても、
彼らは戦いを望む。

みやこ のぼ とき うた*
都へ上る時の歌。

121

わたし たす く
私は山に向かって目を上げる。

私の助けはどこから来るだろう。

- 2 私の助けはエホバから来る。
天地を造った方から。
神は、あなたが決して足を滑らせないようにする。
あなたを守っている方は決してうとうとしない。

第120編

〔詩〕 18:6
〔イ〕 詩 50:15
ヨナ 2:1,2
〔ヨ〕 格 12:22
〔カ〕 詩 7:13
〔詩〕 詩 140:10
〔ヨ〕 創 10:2
〔イ〕 エレ 49:28
〔ヨ〕 詩 57:4

第121編

〔ヨ〕 詩 125:2
〔カ〕 詩 46:1
イザ 41:13
エレ 20:11
ヘブ 13:6
〔ヨ〕 詩 91:11,12
格 3:26

第2欄

〔イ〕 イザ 27:3
イザ 40:28
〔イ〕 詩 91:1
イザ 25:4
〔ヨ〕 詩 16:8
詩 109:31
〔カ〕 イザ 49:10
啓 7:16
〔ヨ〕 詩 91:5,6
〔ヨ〕 詩 91:10
格 12:21
〔イ〕 詩 97:10
詩 145:20

第122編

〔ヨ〕 サニ 6:15
詩 27:4
詩 42:4
詩 84:10
〔ヨ〕 代ニ 6:6
詩 84:7
詩 100:4
〔カ〕 サニ 5:9
〔ヨ〕 出 23:17
申 12:5,6
〔イ〕 申 17:8,9
代ニ 19:8
〔カ〕 サニ 7:16
王一 10:18
代ニ 29:23
〔イ〕 詩 51:18

- 4 そうだ、イスラエルを守っている方は、
うとうとすることも眠ることも決してない。

- 5 エホバはあなたを守っている。
エホバはあなたを覆う方。あなたの右にいる。

- 6 昼の太陽も、夜の月も、あなたに害を及ぼさない。

- 7 エホバは全ての危害からあなたを守る。

あなたの命を守る。

- 8 あなたが何をするにしても、エホバが守ってください。
今もこれからもずっと。

122

わたし よろこ
私は喜んだ。「エホバの家に行こう」と言われて。

- 2 エルサレムよ、私たちはあなたの門の中に立っている。

- 3 エルサレムは一つに結び合わされた都市。

- 4 各部族が、ヤハの部族が上ってきた。

イスラエルへの教えに従い、
エホバの名をたたえるために。

- 5 そこに裁きの座が据えられた。
ダビデの王朝の王座が。

- 6 エルサレムの平和を求めよ。

121:8 *直訳、「あなたが出て入っても」。

122:4 *エホバの短縮形。*または、「思い出させるもの」。

120:表題 *用語集参照。120:3 *直訳、「何を加える」。121:3 *または、「よろけない」。

都市^{とし}市^し, あなたを愛^{あい}する人^{ひと}たちは
安全^{あんぜん}に暮^くらす。

7 あなたの土^ど塁^{るい}の内^{うち}側^{がわ}が平和^{へい}であ
り続^{つづ}けますように。

防^{ぼう}備^びされた塔^{とう}の中^{なか}がずと安全^{あんぜん}

でありますように。

8 私は兄^{わたくし}弟^{きょうだい}と友^{とも}のために言^いう。

「あなたに平和^{へい}がありま

すよ

うに」。
9 私^{わたくし}たちの神^{かみ}エホバの家^{いえ}のた
め^めに、

あなたに良^よいこと^{ねが}を願^{ねが}う。

都^{みやこ}へ上^{のぼ}る時^{とき}の歌^{うた}。

123 私^{わたくし}はあなたに向^むかっ
て目^めを上げ^あげる。

天^{てん}の王^{おう}座^ざに

2 召^めし使^{つか}いが主^{しゅ}人^{じん}の手^てに目^めを向^む
けるように、

召^めし使^{つか}いの女^{じょ}性^{せい}が女^{おんな}主^{なし}人^{じん}の手^てに
目^めを向^むけるように、

私^{わたくし}たちも私^{わたくし}たちの神^{かみ}エホバに目^め
を向^むける。

憐^{あわ}れみ^{しめ}を示^ひしていただ^いけるま^まで。

3 憐^{あわ}れみ^{しめ}を示^ひしてください。エホ
バ、私^{わたくし}たちに憐^{あわ}れみ^{しめ}を示^ひ
して

くだ^{くだ}さい。

私^{わたくし}たちは散^{さん}々^{ざん}侮^ぶ辱^{じよく}され^はた^ら。
4 自^じ信^{しん}満^{まん}々^{まん}な人^{ひと}たち^{さん}に散^{さん}々^{ざん}あ^あざ^ざけ

られ、
高^{こう}慢^{まん}な人^{ひと}たち^{さん}に散^{さん}々^{ざん}侮^ぶ辱^{じよく}され^はて
きた。

122:7 *または、「防^{ぼう}備^びされ^はた^ら城^{じやう}壁^{へき}」。

第122編

(㊦) 代一 29:3
詩 26:8
詩 69:9

第123編

(㊦) 詩 25:15
詩 121:1

(㊦) 詩 119:82
詩 130:6

(㊦) 哀 3:25
ミカ 7:7

(㊦) ネヘ 4:4
詩 44:13

第2欄

第124編

(㊦) 詩 46:7
口マ 8:31
ヘブ 13:6

(㊦) 詩 54:4
詩 118:6

(㊦) 詩 3:1
詩 22:16

(㊦) 詩 27:2

(㊦) 詩 56:1

(㊦) 詩 18:4

(㊦) サ一 23:26-28
サ二 17:21,22

(㊦) 詩 25:15
詩 91:3

(㊦) 格 18:10

第125編

(㊦) エレ 17:7

(㊦) 王一 8:12,13
詩 48:2
詩 132:13,14

(㊦) 王一 11:7
使徒 1:12

都^{みやこ}へ上^{のぼ}る時^{とき}の歌^{うた}。
都^{みやこ}へ上^{のぼ}る時^{とき}の歌^{うた}。ダビデによる。

124 「エホバが共^{とも}にいてくだ
さなかつたなら」。

さあ、イスラエル^いは言^いえ。

2 「エホバが共^{とも}にいてくださな
かつたなら」。

人^{ひと}々^{びと}が立^たち上^あがって私^{わたくし}たちを攻^{こう}
撃^{げき}した時^{とき}に。

3 人^{ひと}々^{びと}は私^{わたくし}たちを生^いきたま^まの^み
み込^こんだらう。

私^{わたくし}たちに向^むかっ^{いか}て怒^もりを燃^もやして
いた時^{とき}に。

4 水^{みづ}が私^{わたくし}たちを流^{なが}し去^さっただらう。

急^{きゅう}流^{りゅう}にのめ^めれただらう。

5 激^{げき}流^{りゅう}に圧^{あつ}倒^{とう}され^はた^らだらう。

6 エホバが賛^{さん}美^びされ^はた^らま^まの^み
私^{わたくし}たちを猛^{もう}獣^{じゅう}のよ^ような人^{ひと}々^{びと}に渡^{わた}

さなかつたから。

7 私^{わたくし}たちは自^じ由^{ゆう}にな^{とり}った鳥^{とり}のよ^{よう}う。
獵^{りょう}師^しのわ^のなから逃^{のが}れて。

わ^{こわ}なは壊^{くわ}れ、自^じ由^{ゆう}にな^いった。

8 私^{わたくし}たちは助^{たす}けを得^える。エホバと
い^なう名^なを持^もつ方^{かた}から、

天^{てん}地^ちを造^{つく}った方^{かた}から」。

都^{みやこ}へ上^{のぼ}る時^{とき}の歌^{うた}。
都^{みやこ}へ上^{のぼ}る時^{とき}の歌^{うた}。

125 エホバに頼^{たよ}る人^{ひと}はシオ
ン^{やま}の山^{やま}のよ^{よう}う。

ぐらつくことがなく、

永^{えい}遠^{えん}に存^{そん}続^{ぞく}する。

2 山^{やま}々^{やま}がエルサレ^{かこ}ムを囲^{かこ}んでい^い
るよ^{よう}うに、

エホバもご自分の民を囲んで
いる。

今もこれからずっと。

3 悪人の王笏が、正しい人に配分

された土地にとどまることは
ない。

それで、正しい人が悪に手を染
めることはない。

4 エホバ、善を行ってください。

善い人に、心の正直な人に。

5 曲がった道へそれていく人を、

エホバは除き去る。悪を行う人
を滅ぼす時に。

イスラエルに平和がありますよ
うに。

みやこ 都へ上る時の歌。

126 捕虜にされたシオンの
人々をエホバが連れ
戻した時、

まるで夢を覚えているようだった。

2 その時、私たちの口には笑いが
あふれ、

舌からは歓声が生まれた。

その時、国々は互いに言った。

「エホバはご自分の民のために
偉大なことを行った」。

3 エホバは私たちのために偉大な
ことを行った。

私たちはとても喜んでいる。

4 エホバ、捕虜である私たちを連
れ戻してください。

第125編

(詩) 詩 34:7

イザ 31:5

ゼカ 2:4,5

(イ) イザ 14:5

(イ) 伝 7:7

(イ) 詩 51:18

(イ) 詩 36:10

詩 73:1

(イ) 代一 10:13

詩 53:5

イザ 59:8

第126編

(イ) エズ 1:2,3

詩 85:1

(イ) エズ 3:11

詩 106:47

イザ 49:13

エレ 31:12

(イ) ヨシ 2:9,10

ネヘ 6:15,16

(イ) エズ 7:27,28

イザ 11:11

第2編

(イ) イザ 9:3

(イ) 詩 30:5

イザ 61:1-3

第127編

(イ) 格 3:6

格 10:22

格 16:3

(イ) イザ 27:3

(イ) 詩 3:5

伝 5:12

(イ) 創 33:4,5

創 48:3,4

サー 2:21

(イ) 創 41:51,52

レビ 26:9

ヨブ 42:12,13

詩 128:3

(イ) 格 17:6

(イ) 創 50:23

第128編

(イ) 詩 112:1

ヘブ 5:7

(イ) 詩 119:1

ミカ 6:8

ネゲブに生じる川のように。

5 涙を流しながら種をまく人は、

歓声を上げて収穫する。

6 種が入った袋を持ち、泣きなが

ら出ていく人は、
必ず穀物の束を抱え、歓声を上

げながら帰ってくる。

みやこ 都へ上る時の歌。ソロモンによる。

127 エホバが家を建てるの
でなければ、

建てる人の労働は無駄である。

エホバが町を守るのでなけ

れば、

見張りの番は無駄である。

2 早く起きるのも、遅く寝るのも、

食べ物を得る苦労も無駄である。

神は愛する人を世話し、眠りを与

える。

3 子供はエホバからの財産、

子は神からの贈り物。

4 若かりし時の子供は、

強靱な人の手にある矢のようだ。

5 矢筒が満たされた強靱な人は幸

せだ。

恥をかくことはない。

子供が町の門で敵と渡り合う

から。

みやこ 都へ上る時の歌。

128 エホバを畏れる人は
皆、幸せだ。

その人は神の道を歩む。

2 あなたは、自分で働いて作ったものを食べる。

幸せになり、成功する。

3 あなたの妻は家の中で、実ったブドウの木のようになる。

あなたの子たちは食卓を囲んで、オリーブの若枝のようになる。

4 エホバを畏れる人はそのような祝福を受ける。

5 エホバはシオンからあなたを祝福する。

あなたが生涯ずっとエルサレムの繁栄を見ますように。

6 子や孫に恵まれますように。イスラエルに平和がありますように。

129 「私が若い時から、敵は私を絶えず攻撃してきた」。

さあ、イスラエルは言え。

2 「私が若い時から、敵は私を絶えず攻撃してきた」。

しかし私を打ち負かせなかった。

3 耕す人たちが私の背中を耕し、敵を長くした」。

4 エホバは正しい方。悪人の綱を断ち切った。

5 シオンを憎む人は皆、恥をかき、面目を失って退却する。

6 屋根に生える草のようになる。

第128編

(㉑) 伝 5:18
イザ 65:22

(㉒) 出 23:26
詩 127:3

(㉓) 詩 127:4,5

(㉔) 詩 122:6
イザ 33:20

第129編

(㉑) 出 5:6,9

(㉒) 哀 1:3

(㉓) 詩 118:13
詩 125:3

(㉔) 詩 66:12
イザ 51:23

(㉕) エズ 9:15
ネへ 9:33

(㉖) 詩 124:7

(㉗) ネへ 4:4
ネへ 6:15,16

エス 6:13
エス 9:5
詩 137:7
ゼカ 12:3

第2欄

第130編

(㉑) 哀 3:55
ヨナ 2:1,2

(㉒) 詩 38:4
詩 103:14
詩 143:1,2

イザ 55:7
ダニ 9:18
ロマ 3:20
テト 3:5

(㉓) 出 34:6,7
詩 25:11

(㉔) エレ 33:8,9

(㉕) ミカ 7:7

(㉖) 詩 119:147

それは引き抜かれる前に枯れ、

7 刈り取る人の手も、束を集める人の腕も満たすことはない。

8 通り掛かる人がこう言うこともない。

「エホバの祝福があなたたちにありますように。」

私たちはエホバの名によってあなたたちに祝福を願う。

都へ上る時の歌。

130 エホバ、私は深い所からあなたを呼びます。

2 エホバ、私の声を聞いてください。

助けを求める私の願いに注意深く耳を傾けてくださいますように。

3 ヤハよ、もしあなたが過ちに注目するなら、

エホバよ、誰が立ていられるでしょうか。

4 あなたは本当に許す方。それで人はあなたに畏敬の気持ちを抱く。

5 私は希望を抱いてエホバを待つ。

希望にあふれる。神の言葉を待つ。

6 ひたすらエホバを待つ。見張りが朝を待つ以上に。

そう、見張りが朝を待つ以上に。

130:3 *エホバの短縮形。 #または、「を記録」。

7 イスラエルはエホバを待ち続
けよ。

エホバは揺るぎない愛を示す方。
偉大な力で民を救う。

8 イスラエルの全ての過ちを許す。
都へ上る時の歌。ダビデによる。

131 エホバ、私の心は傲慢
ではなく、
目も高慢ではない。
大それたことや、
身の丈以上のことを望んだりし

ない。
2 自分を落着かせ、静めた。
母に抱かれる乳離れした幼児の
ようになった。

私は満足する。乳離れした幼児
のように。

3 イスラエルはエホバを待て。
今もこれからずっと。

都へ上る時の歌。

132 エホバ、思い出してく
ださい。

ダビデと、ダビデが経験した全て
の苦しみを。

2 ダビデはエホバに誓い、
ヤコブの強力な方に誓約をした。

3 「私は自分の家、天幕に入ら
ない。

自分のベッド、寝椅子で横になら
ない。

130:7 *直訳、「買い戻す」。130:8 *直訳、
「を彼の全ての過ちから買い戻す」。

第130編
(7) 詩 86:5

第131編
(4) 詩 78:70
詩 138:6

(7) サー 18:23

(4) サー 30:6
詩 62:1
イザ 30:15
哀 3:26

(4) 詩 130:7
ミカ 7:7

第132編
(4) サー 20:1

(4) サニ 7:2,3

(7) サニ 5:11

第2欄

(4) サニ 7:2
王一 8:17
代一 15:3,12
使徒 7:45,46

(4) サー 17:12

(7) サー 7:1
代一 13:6

(4) 詩 43:3

(4) 代一 28:2
詩 5:7

(4) 民 10:35
サニ 6:17

(4) 代二 6:41,42

(7) 王一 15:4
王二 19:34

(7) 王一 8:25
詩 89:3,4
詩 89:20,36
イザ 9:7

エレ 33:20,21
マテ 9:27
ルカ 1:69
使徒 2:30,31
使徒 13:22,23

4 目をつぶって寝たり、
まぶたを閉じてうとうとしたりし
ない。

5 エホバのために場所を見つける
まで。
ヤコブの強力な方のために立派
な住まいを」。

6 私たちはエフラタで聞き付け、
森林の野原で見つけた。

7 神の住まいに入ろう。
神の足台に向かってひれ伏そう。

8 エホバ、立ち上がってあなたの
休み場にきてください。
あなたの力を象徴する箱と共に。

9 あなたの祭司たちが正しさを身
にまい、
あなたに尽くす人たちが歓声を
上げますように。

10 あなたに仕えるダビデに約束し
た通り、
あなたが選んだ者を退けないで
ください。

11 エホバはダビデに誓った。
ご自分の言葉を取り消すことは
決してない。

「あなたの子孫の1人を、
あなたの王座につける。

12 あなたの子どもたちが、私との契約
を守り、

132:5,7 *または、「偉大な幕屋」。132:9 *ま
たは、「を揺るぎなく支持する」、「から離れない」。
132:10 *直訳、「油を注いだ」。用語集の「油を
注ぐ」参照。

わたし おし きょうくん* まも (7)
私が教える教訓を守るなら、
かれ こ えいえん
彼らの子たちも永遠に

あなたの王座につく。

13 エホバはシオンを選び、
そこに住むことを望んだ。

14 「ここはえいえん わたし やす ば
ここに住む。それが私の望み。

15 私はその都を豊かに祝福し、食
料を与える。

まず ひと くらふく み (9)
貧しい人の空腹をパンで満たす。

16 祭司たちに救いをまとわせる。
わたし つ ひと かんせい あ
私に尽くす人たちは歓声を上
げる。

17 その都で、私はダビデの力を強く
する。

わたし えら *もの
私が選んだ者のためにランプを
ととの (9)
整えた。

18 その者の敵に恥をまとわせる。
しかし、その者がかぶる王冠は
かがや つづ (9)
輝き続ける。

みやこ のぼ とぎ うた
都へ上る時の歌。ダビデによる。

133 きょうだい いっち とも
兄弟たちが一致して共
に住むのは、

なん す ば
何と素晴らしいことだろう。

なん こち
何と心地よいことだろう。

2 あたま そそ じょうとう あぶら (9)
頭に注がれる上等の油が、
あご なが お
顎ひげに流れ落ちるかのようだ。
アロンのあご (9)
顎ひげに、
アロンのふく えり
服の襟に。

132:12 *または、「思い出させるもの」。 132:
17 *直訳、「油を注いだ」。

第132編

(7) 代一 29:19

(1) サニ 7:12,16
代一 17:11,12
詩 89:20,29

(7) 詩 48:2,3
詩 78:68
ヘブ 12:22

(12) 詩 87:2

(7) 詩 46:5
イザ 24:23

(7) 詩 22:26
詩 147:12,14

(4) 詩 149:4

(7) 詩 132:8,9

(7) 王一 11:36
王一 15:4
代二 21:7

(12) 詩 2:6
詩 72:8
イザ 9:6
啓 11:15

第133編

(7) 創 13:8
ヨハ 13:35
コロ 3:14
ヘブ 13:1

(12) 格 27:9
(12) 出 29:4,7

第2欄

(7) 申 3:8,9
代一 5:23
(1) 詩 125:2

第134編

(7) 啓 19:5
(12) 代一 9:33
代一 23:27,30
ルカ 2:37
啓 7:15

(7) 詩 28:2
詩 141:2

第135編

(7) 詩 113:1
啓 19:5
(4) 詩 96:8
詩 116:19
(7) 詩 119:68
マタ 19:17

3 ヘルモン⁽⁷⁾の露^{つゆ}が、
シオン^{やまやま}の山々に降りるかのよ
うだ。
エホバはシオン^{あた}で与え^{やくそく}ると約束
した。

えいえん いのち しゆくふく
永遠の命という祝福を。

みやこ のぼ とぎ うた
都へ上る時の歌。

134 エホバを賛美せよ、
エホバに仕える全^{さん び}ての
人^{つか}たち、

よる 夜、エホバの家^{いえ}で奉仕^{ほうし}する人^{ひと}
たち。

2 聖なる状態^{せい}で両手^{じょうたい}を上げて祈^{きりやうて}り、
エホバを賛美^{さん び}せよ。

3 天地^{てん ち}を造^{つく}った方^{かた}、エホバが、
シオンからあなたを祝福^{しゆくふく}してくだ
さいますように。

135 ヤハを賛美^{さん び}せよ！
エホバの名^なを賛美^{さん び}
せよ。

さん び 賛美^{さん び}せよ、エホバに仕える人^{つか}
たち、

2 エホバの家^{いえ}で、
わたし かみ いえ にわ ほうし
私たちの神^{かみ}の家の庭^{いえ}で奉仕^{ほうし}する
人^{ひと}たち。

3 ヤハを賛美^{さん び}せよ。エホバは善^よ
い方^{かた}。
かみ な さん び うた *
神^{かみ}の名^なを賛美^{さん び}して歌え。それは
こころよ 快^きいことだから。

134:2 *もしかすると、「聖なる所で」。 135:1
*または、「ハレルヤ」。「ヤハ」はエホバの短縮
形。 135:3 *または、「名のために音楽を奏で
よ」。「または」、「快いもの」。

- 4 ヤハは^{じぶん}ご自分のためにヤコブを^{えら}選んだ。
イスラエルを特別な^{とくべつ}所有物と^{しよゆうぶつ}して。
5 私はよく知っている。エホバが偉^い大であることを、
私たちの主^{わたし}が他の全ての神より^{しゅ た すべ かみ}
も偉大であることを。
6 エホバはご自分が喜ぶことを何^{なん}でも行う。
天で、地で、海で、非常に深い^{てん ち うみ ひじょう ふか}
所で。
7 神は地の果てから雲を生じさ^{かみ ち は くも}せる。
稲妻を放^{いなづま はな}って雨を降らせる。
ご自分の倉^{じぶんくら}から風を送り出す。
8 神はエジプトで初子^{はつこ}を滅ぼした。
人も獣も。
9 エジプトよ、神はあなたのなか^{なか}でし
るしとなることと奇跡^{きせき}を行い、
ファラオと家来全てを懲らしめた。
10 神は多くの国々^{おおくのくに}を滅ぼし、
力強い王たちを殺した。
11 アモリ人の王シホン、
バシャンの王オグ、
カナンの全ての王国を。
12 彼らの土地を所有地として与^{あた}
えた。
ご自分の民イスラエルの所有地^{しよゆうち}
として。

135:4 *または、「宝のような」。135:7 *または、「水蒸気」。「もしかすると、「水門を開いて」。

第135編

(ク) 出 19:5
申 7:6

(イ) 申 10:17
詩 97:9

(ク) 詩 115:3
イザ 46:10

(出) 出 14:21
民 11:31
エレ 10:13
エレ 51:16
ヨナ 1:4

(出) 出 12:12,29

(出) 出 7:20
出 8:6,17
出 9:6,10
出 9:23
出 10:12,21

(イ) 詩 136:15

(ク) 詩 44:2

(ク) ヨシ 12:7,8

(出) 民 21:23,24

(イ) 民 21:33-35

(イ) ヨシ 11:23

第2編

(ク) 出 3:15
詩 102:12

(イ) 出 14:31

(ク) 申 32:36

(出) 詩 115:4-8
イザ 46:6
使徒 17:29
コリ 10:19

(ク) ハバ 2:19

(ク) エレ 10:14

(イ) イザ 44:9

(ク) 詩 97:7

(ク) 申 10:8

(ク) 詩 48:1
詩 132:13

- 13 エホバ、あなたの名は永遠に^{な えいえん}
つづ^{つづ}続く。

エホバ、あなたの名声はいつの^{めいせい*}
時代までもつづ^{つづ}く。

- 14 エホバは民を守り、^{たみ まも}
ご自分に仕える人たちに同情^{どうじょう}
する。

- 15 国々の偶像是銀や金でできて^{くにくに ぎやうざう ぎん きん}
いる。

人が手で作った。

- 16 口があっても、話すことはでき^{くち はな}
ない。

目があっても、見ることはでき
ない。

- 17 耳があっても、聞くことはでき^{みみ き}
ない。

口で息をすることはできない。

- 18 偶像を作る人たちは偶像のよう^{ぎやうざう つく ひと ぎやうざう}
になる。

偶像に頼る人も皆。

- 19 イスラエルの子孫よ、エホバを^{しそん}
賛美せよ。

アロンの子孫よ、エホバを賛美
せよ。

- 20 レビの子孫よ、エホバを賛美^{しそん さんび}
せよ。

エホバを畏れる人たちよ、エホ
バを賛美せよ。

- 21 エホバがシオンから賛美されま^{さんび}
すように。

135:13 *または、「名」。135:14 *または、「民の訴えを正しく取り上げ」。「または、「関して悔やむ」。

エルサレムに住んでいるその
方が。

ヤハを賛美せよ!

136 エホバに感謝せよ。神は善い方。

神の揺るぎない愛は永遠に続く。

2 神の中の神に感謝せよ。

神の揺るぎない愛は永遠に続く。

3 主の中の主に感謝せよ。

神の揺るぎない愛は永遠に続く。

4 ただひとり、偉大な奇跡を行う方。

神の揺るぎない愛は永遠に続く。

5 天を見事に造り上げた。

神の揺るぎない愛は永遠に続く。

6 大地を水の上に広げた。

神の揺るぎない愛は永遠に続く。

7 荘厳な光を造った。

神の揺るぎない愛は永遠に続く。

8 昼を支配する太陽を。

神の揺るぎない愛は永遠に続く。

9 夜を支配する月と星を。

神の揺るぎない愛は永遠に続く。

10 神はエジプトの初子を滅ぼした。

神の揺るぎない愛は永遠に続く。

11 イスラエルをエジプトから連れ出した。

神の揺るぎない愛は永遠に続く。

12 腕を伸ばして、力強い手。

神の揺るぎない愛は永遠に続く。

136:5 *または、「理解力を駆使して天を造った」。

第13編

(7) エレ 3:17

(4) 啓 19:6

第136編

(7) ルカ 18:19

(12) 代 2:7-3

代 20:21

詩 106:1

詩 107:1

(4) 詩 97:9

ダニ 2:47

(4) 出 15:11

啓 15:3

(4) 詩 103:17

(7) ヨブ 38:36

格 3:19, 20

(7) 創 1:9

詩 24:1, 2

(12) 創 1:14

(4) 創 1:16

エレ 31:35

(4) 詩 8:3

(12) 出 12:29

(4) 出 12:51

(7) 出 13:14

第2編

(7) 出 14:21

(4) 出 14:29

(7) 出 14:27, 28

(12) 出 13:18

出 15:22

(4) ヨシ 12:7, 8

(4) 民 21:21-24

(4) 民 21:33-35

(7) 民 32:33

(7) 申 32:36

(12) ネヘ 9:32

(4) 裁 3:9

裁 6:9

(4) 詩 145:15

詩 147:9

13 紅海を2つに分けた。
神の揺るぎない愛は永遠に続く。

14 イスラエルにその中を通らせた。
神の揺るぎない愛は永遠に続く。

15 ファラオと軍隊を紅海に振り落とした。

神の揺るぎない愛は永遠に続く。

16 ご自分の民を荒野で導いた。

神の揺るぎない愛は永遠に続く。

17 偉大な王たちを滅ぼした。

神の揺るぎない愛は永遠に続く。

18 力強い王たちを殺した。

神の揺るぎない愛は永遠に続く。

19 アモリ人の王シホンを。

神の揺るぎない愛は永遠に続く。

20 バシンの王オグを。

神の揺るぎない愛は永遠に続く。

21 彼らの土地を所有地として与えた。

神の揺るぎない愛は永遠に続く。

22 ご自分に仕えるイスラエルの所有地として。

神の揺るぎない愛は永遠に続く。

23 辱められていた私たちを思い出してください。

神の揺るぎない愛は永遠に続く。

24 私たちを敵対者から助け出して

くださった。

神の揺るぎない愛は永遠に続く。

25 私たちを敵対者から助け出して

くださった。

神の揺るぎない愛は永遠に続く。

26 生きているもの全てに食物を与え。

神の揺るぎない愛は永遠に続く。

- 26 天の神に感謝せよ。
神の揺るぎない愛は永遠に続く。

137

バビロンの川のほとり
に私たちは座った。

シオンを思い出して泣いた。

- 2 その土地のポプラの木に、たて
琴を掛けた。

- 3 私たちを捕らえた人たちが、私
たちに歌わせようとした。
あざける人たちが気晴らしを求
めた。

「シオンの歌を1曲、歌って聞か
せろ」。

- 4 外国の地でエホバの歌を歌うこ
となどできるだろうか。

- 5 エルサレム、もし私があなたを
忘れるなら、
私の右手は使えなくなつてし
まへ。

- 6 もし私があなたを思い出さない
なら、
私の舌は上顎にくつついてし
まへ。

もし私の一番の喜びがエルサレ
ムのことでないとしたら。

- 7 エホバ、思い出してください。
エルサレム陥落の日にエドム人
が言ったことを。
「壊せ！ 土台までも壊してしま
え！」

137:2 *バビロンを指す。 137:5 *もしかすると、「うまく動かなく」。

第137編

(7) エレ 51:13
エゼ 13:15
ダニ 10:4

(1) ダニ 9:2,3

(7) イザ 24:8

(14) 詩 123:4

(8) ネヘ 2:3
詩 84:2
イザ 62:1
エレ 51:50

(7) 詩 122:1

(8) エレ 49:7
哀 4:22
エゼ 25:12
オバ 10:13

第2欄

(7) イザ 47:1
エレ 25:12
エレ 50:2

(1) エレ 50:29
啓 18:6

(7) イザ 13:1,16

第138編

(14) 詩 9:1

(8) サー 3:3
代一 16:1
詩 28:2

(7) ヨハ 17:6

(8) 詩 18:6

(7) 詩 29:11
イザ 12:2
イザ 41:10

(7) 詩 102:15
イザ 60:3

- 8 バビロン、おまえはもうすぐ壊滅
させられる。

おまえが私たちに加えた仕打ち
で、おまえに報いる者は幸
せだ。

- 9 おまえの子供たちを捕まえて、
岩にたたきつける者は幸せだ。

ダビデによる。

138

私は心からあなたを賛
美する。

他の神々の前で、
あなたを賛美して歌う。

- 2 あなたの聖なる神殿に向かって
ひれ伏し、

あなたの名を賛美する。

あなたは揺るぎない愛を示し、信
頼できる方だから。

あなたはご自分の言葉と名
を、何よりも素晴らしいものに
した。

- 3 私が呼んだ日、あなたは答えてく
ださった。

私を勇気で強い人にしてくだ
さった。

- 4 エホバ、地上の全ての王はあな
たが語った約束を聞き、
あなたを賛美する。

- 5 エホバの道について歌う。

137:8 *直訳、「バビロンの娘」。 138:1 *もしかすると、「他の神々に気に留めず、あなたのために音楽を奏でる」。 138:2 *または、「聖なる所」。 *もしかすると、「ご自分の言葉で、ご自分の全ての名よりも」。 138:3 *または、「大胆」。

エホバは大きな栄光を帯びて
いる。

- 6 エホバは高い所にいるが、謙遜
な人に目を留める。

しかし傲慢な人のことは、遠くか
ら知っているにすぎない。

- 7 たとえ私が危険のただ中を歩く
としても、
あなたは私を生き続けさせてくだ
さる。

手を伸ばして私の敵の怒りを
遮り、

右手で救ってくださる。

- 8 エホバは私のために全てのこと
を成し遂げてくださる。

エホバ、あなたの揺るぎない愛
は永遠に続く。

あなたが造った民を見捨てない
でください。

指揮者へ。ダビデによる。歌。

139 エホバ、あなたは私の 全てを探りました。

私のことを知っています。

- 2 座るのも立つのも知っています。

遠くから私の考えを知ります。

- 3 旅するものも横になるのも見てい
ます。

私の全ての歩みをよく知ってい
ます。

- 4 私がまだ言葉を口にしていない
のに、

138:8 *または、「行おうとすることをやめない」。

139:3 *直訳、「測ります」。

第138編

(7) 王—8:10,11

(1) サ—2:8
詩 113:6-8
イザ 57:15

(7) ヤコ 4:6
ペ—5:5

(14) 詩 71:20

(14) 詩 103:17

(7) ヨブ 14:15
詩 71:18

第139編

(14) サ—16:6,7
代—28:9
詩 17:3
詩 139:23
エレ 20:12

(7) 創 16:13

(7) 詩 94:11

(14) 創 28:15
サニ 8:14
ヨブ 31:4
詩 121:8
格 5:21

第2編

(7) ヘブ 4:12

(1) ヨブ 26:14
ヨブ 42:3
詩 40:5
ロマ 11:33

(7) ヨナ 1:3

(14) ヨブ 26:6
格 15:11

(14) 詩 63:8
詩 73:23
イザ 41:13

(7) ダニ 2:22

エホバ、あなたはすでに私の考
えをよく知っています。

- 5 あなたは私を前から後ろから
も囲み、

手を私に置きます。

- 6 こうした知識は私の理解を超え
ています。

あまりに高くつかめません。

- 7 あなたの聖なる力から離れてど
こへ逃げるができるでしょ
うか。

あなたから隠れてどこへ走り去る
ことができるでしょうか。

- 8 たとえ私が天に昇るとしても、あ
なたはそこにいます。

墓に寝床を設けるとしても、あな
たはそこにいます。

- 9 たとえ私が夜明けの翼で飛んで
いき、

最果ての海に住むとしても、

- 10 そこでも、あなたの手が私を
導き、

あなたの右手が私を支えます。

- 11 私が、「暗闇の中なら隠れられ
る」と言うとしても、

私を包む夜の闇は光になります。

- 12 あなたにとっては暗闇も暗く
なく、

夜も昼と同じように明るいのです。

139:6 *または、「に私はただ驚くばかりです」。

*または、「あまりに多くて計り知れません」。

139:8 *ヘブライ語、シェオル。用語集参照。

くらやみ ひかり おな
暗闇はあなたにとって光と同じ
です。

わたし じんそう つく
13 あなたは私の腎臓を造りました。
はは たいない し き なか わたし
母の胎内という仕切りの中に私
を置きました。

わたし さん び
14 私はあなたを賛美します。
わたし おどろ す ば とく
私は、驚くほどに素晴らしく造ら
れているからです。

あなた おこな す ば
あなたが行ったことの素晴らし
さを、

わたし し
私はよく知っています。

ひと し わたし つく とく
15 人知れず私が造られた時、
だい ち ふか とく お あ
大地の深い所で織り上げられ
た時、
わたし ほね かく
私の骨はあなたから隠されませ
んでした。

め たい じ わたし み
16 あなたの目は胎児の私を見ま
した。

わたし ぶ ぶん しょ
私のあらゆる部分があなたの書
に書かれました。

かたちづく ひ び
それらが形作られる日々のこ
とが、

ぶ ぶん とく
まだどの部分もできていない時に
書かれました。

かみ かんが なん とうと
17 神よ、あなたの考えは何と貴い
のでしょうか。

なん ぼうだい せい
何と膨大なのでしょうか。

かぞ すなつぶ おお
18 数えようとしても砂粒より多いの
です。

わたし め ざ ひ つづ かぞ
私は目覚めてからも、引き続き数
えます。

139:13 *もしかすると、「母の胎内で私を織り上げ」。
139:15 *または、「胎内で成長した」。
139:18 *直訳、「まだあなたと共にいます」。

第139編

(7) ヘブ 4:13

(イ) 詩 22:9

詩 71:6

エレ 1:5

(7) 創 1:26

(2) 詩 19:1

詩 104:24

詩 111:2

啓 15:3

(7) ヨブ 10:10,11

(7) イザ 55:9

(7) ロマ 11:33

(7) 詩 40:5

(7) 詩 63:6

第2欄

(7) 詩 5:6

(イ) 出 20:7

(7) 代二 19:2

二二 6:14

(2) 詩 119:158

(7) 詩 101:3

(7) エレ 20:12

(7) 詩 94:19

(7) 詩 17:3

(7) 詩 5:8

詩 143:8

詩 143:10

第140編

(2) 詩 18:48

詩 59:1

(7) 詩 64:2,6

かみ あくにん ころ
19 神よ、どうか悪人を殺してくだ
さい。

ぼうりよくてき *ひと
そうすれば、暴力的な人たちは
わたし はな
私から離れていきます。

ひと あくに いだ *
20 その人たちは悪意を抱いてあな
たのことを言い立てます。
あなた てきたい な
あなたに敵対し、あなたの名を
むやみに用います。

わたし にく
21 エホバ、私はあなたのことを憎
む人たちを憎みます。
ひと にく
あなたに反抗する人たちを嫌悪
します。

ひと たい かん
22 その人たちに對して感じるのは
にく しみ だけ だ。
憎しみだけです。

まぎ てき
紛れもない敵だからです。

かみ わたし すべ さぐ わたし こころ
23 神よ、私の全てを探り、私の心を
知ってください。

わたし しら ふ あん き も し
私を調べ、不安な気持ちを知っ
てください。

わたし なに よ
24 私に何か良くないところがない
かどうかを見て、

えい えん いのち みちび (7)
永遠の命に導いてください。

し き しゃ うた
指揮者へ。ダビデの歌。

140 エホバ、悪を行う人
から助け出してくだ
さい。

ぼうりよくてき ひと まち (2)
暴力的な人から守ってください。

ひと こころ なか わる
2 その人たちは心の中で悪いこと
をたくらみ、
いちにちじゅうあそ ひ お
一日中争いを引き起こします。

139:19 *または、「流血の罪を負う」。
139:20 *または、「自分の考えのままに」。

- 3 舌^{した}を蛇^{へび}の舌^{した}のように鋭^{すど}くします。^(ア)
毒蛇^{どくへび}の毒^{どく}が唇^{くちびる}の裏^{うら}にあります。^(イ)

(セラ)

- 4 エホバ、悪人^{あくにん}の手^てから私^{わたし}を守^{まも}つ
てください。^(ロ)

保護^{ほご}してください。暴力^{ぼうりよくてき}的な人^{ひと}

から、

私^{わたし}を転^{ころ}ばせようとたくらむ人^{ひと}

から。

- 5 傲慢^{ごうまん}な人^{ひと}はわな^しを仕掛^かけて私^{わたし}を
狙^{ねら}います。

綱^{つな}を引^ひいて道端^{みちばた}に綱^{あみ}を広^{ひろ}げます。^(ロ)

私^{わたし}を捕^とらえようとわな^しを仕掛^かけま

す。^(イ) (セラ)

- 6 私^{わたし}はエホバに言^いいます。

「あなた^{わたし}は私^{かみ}の神^{かみ}です。

エホバ、助^{たす}けを求^{もと}める私^{わたし}の願^{ねが}い

を聞^きいてください。^(ロ)

- 7 主権^{しゅけん}者^{しゃ}である主^{しゅ}エホバ、私^{わたし}の力^{ちから}
強^{つよ}い救^{すく}い主^{ぬし}、

あなた^{たたか}は戦^{たたか}いの日^ひに私^{わたし}の頭^{あたま}を保^ほ

護^ごしてください。^(イ)

- 8 エホバ、悪人^{あくにん}の願^{ねが}いをかなえな
いください。

たくらみが成功^{せいこう}し、彼^{かれ}らが思^{おも}い上^あ

がること^{こと}がないようにしてくだ

さい。^(ロ) (セラ)

- 9 私^{わたし}を取り囲^とむ人^{ひと}たちが語^{かた}った悪^{わる}
いことが、

その人^{ひと}たちの身^みに降^ふり掛^かかりま

すように。^(イ)

- 10 燃^もえる炭^{すみ}がその人^{ひと}たちの上^{うへ}に降^ふ
りますように。^(ロ)

第140編

(ア) 詩 52:1,2
詩 58:3,4

(イ) ロマ 3:13
ヤコ 3:8

(ロ) 詩 17:8
詩 36:11
詩 71:4

(ロ) 詩 10:9

(ロ) エレ 18:22

(ロ) 詩 28:2
詩 55:1

(イ) サー 17:37

(ロ) サニ 15:31
詩 27:12

(イ) 詩 7:16
格 12:13

(ロ) 詩 11:5,6

第2編

(ア) 詩 55:23

(イ) 詩 12:3

(イ) 詩 10:17,18
詩 22:24

(ロ) 詩 23:6

第141編

(イ) 詩 31:17

(イ) 詩 40:13
詩 70:5

(イ) 詩 39:12

(イ) ルカ 1:9,10
啓 5:8
啓 8:3,4

(イ) 出 30:34-36

(ロ) 出 29:41

(イ) 格 13:3
格 21:23
ヤコ 1:26

(イ) 王一 8:58
詩 119:36

かれが火^ひの中に、また深^{ふか}い穴^{あな}に
投^なげ込ま^これ、

二度^{にど}と立ち上^たがること^あがありませ
んように。

- 11 中傷^{ちゅうしょう}する人^{ひと}の居場所^{いばしょ}が地上^{ちじょう}から
なくなりま^いすように。

暴力^{ぼうりよくてき}的な人^{ひと}が災^{わざわ}いを被^{こうむ}り、打^う
倒^{たお}されま^いすように。

- 12 私^{わたし}は知^しっています。エホバは、立^{たち}
場^ばが低^{ひく}い人^{ひと}を守^{まも}り、

貧^{まず}しい人^{ひと}を公^{こう}正^{せい}に裁^{さば}くこと^いを。

- 13 正^{ただ}しい人^{ひと}は必^{かな}ずあな^なたの名^なをた

たえ、
正^{しょうじき}直^{ひと}な人^{ひと}はあな^{まえ}たの前^すで住^{つづ}み続^{つづ}
けま^いす。

ダビデ^{うた}の歌^{うた}。

141 エホバ、あな^よたに呼^よび
掛^かけま^いす。

急^{いそ}いで助^{たす}けに來^きてくだ^いさい。

私^{わたし}が呼^よぶ時^{とき}、注^{ちゅうい}意^いを払^{はら}ってくだ

さい。^(イ)

- 2 私^{わたし}の祈^{いの}りが、あな^{ささ}たに捧^{ささ}げられ
る香^{けいこう}のようになりま^いすように。

両^{りょうて}手^あを上^{いの}げた祈^{いの}りが、夕^{ゆうがた}方^{こく}の穀^{こく}
物^{もつ}の捧^{ささ}げ物^{もの}のようになりま^いす
ように。^(ロ)

- 3 エホバ、私^{わたし}の口^{くち}を見^み張^はり、
唇^{くちびる}を監^{かん}視^ししてくだ^いさい。

- 4 私^{わたし}の心^{こころ}が悪^{あく}に傾^{かたむ}かないようにし
てください。^(イ)

140:10 *または、「水のたまった」。 140:13
*直訳、「顔の前」。

わたし あくにん つ だ あくじ はたら
私が悪人と連れ立って悪事を働

くことも、

悪人のごちそうを食べることもあ

りませんように。

5 正しい人が私を打つとしても、そ
れは揺るぎない愛の表れです。

わたし いまし た あたま
私を戒めるとしても、それは頭に

注がれる油のようであり、

私がそれを拒むことはありません。

かれ さいなん あ とき わたし いの
彼らが災難に遭う時、私は祈り

つづ
続けます。

6 人々は裁判人が崖から投げ落と
されても、

私の言葉に注意を払います。心

地よい言葉だからです。

7 土を掘ったり耕したりする時のよ
うに、

私たちの骨は開いた墓にまき散

らされました。

8 しかし、主権者である主エホバ、

私はあなたに目を向けます。

あなたのもとに避難しました。

わたし いのち と さ
私の命を取り去らないでくだ

さい。

9 私を守ってください。仕掛けられ

たわなから、

悪く おこな ひと
悪を行う人のわなから。

10 悪人はひとまとめに、自分で仕
掛けた網に掛かります。

わたし ぶ じ とお す
しかし私は無事に通り過ぎます。

141:7 *ヘブライ語、シエオル。用語集参照。

第141編

(ア) サ二 12:7,9

格 17:10

ガラ 6:1

(イ) 格 6:23

ヤコ 5:14

(ウ) 格 9:8

格 19:25

格 25:12

(エ) 代二 20:12

詩 25:15

(オ) エス 7:10

詩 7:14,15

詩 9:15

詩 57:6

第2欄

第142編

(ア) サー 22:1

サー 24:3

ヘブ 11:32,38

(イ) 詩 28:2

詩 141:1

(ウ) 詩 18:6

ヨナ 2:7

マタ 26:38,39

マル 15:34

ヘブ 5:7

(エ) 詩 139:3

(オ) 詩 31:11

詩 69:20

(カ) サー 23:11

(キ) 格 18:10

(ク) サー 20:33

サー 23:26

サー 25:29

マスクル。洞窟にいた時のダビデによる。祈り。

142 私は声を上げてエホバ
に助けを求めます。

声を上げてエホバに恵みを願ひ

ます。

2 神の前で不安を打ち明けます。

神の前で苦しみを語ります。

3 気が遠くなった時、あなたに呼

び掛けます。

あなたは私が通る道を見守って

います。

私が歩く道に、敵がわなを仕掛

けます。

4 私の右を見てください。

私のことを誰も気に掛けてくれま

せん。

逃げ場はなく、気遣ってくれる人

もいません。

5 エホバ、助けを求めてあなたを

呼びます。

私は言います。「あなたは私の避

難所、

この地上における私の全て。

6 助けを求める私の叫びに注意を

払ってください。

私はすっかり弱っています。

迫害する人たちから助け出してく

ださい。

その人たちは私より強いから

です。

142:表題 *用語集参照。142:3 *または、「力が失われた」。

142:4 *直訳、「認めて」。

142:5 *直訳、「私の分」。

7 牢獄^{ろうごく}から私^{わたし}を連れ出し、

あなたの名^なを賛美^{さんび}させてくだ

さい。

私^{わたし}の周り^{まわ}に正しい人^{ただ ひと}が集まりま

すように。

あなたは私^{わたし}に親切^{しんせつ}にしてくださる
からです。

ダビデの歌。

143 エホバ、私の祈^{いの}りを聞
いてください。

助け^{たす}を求める私^{もと}の願^{わたし}いに耳^{ねが}を傾
けてください。

正^{ただ}しくて信賴^{しんらい}できるあなた^{こた}が答^{こた}え
てくださいますように。

2 私^{わたし}を法廷^{ほうてい}に連れ出さないでくだ
さい。

あなたの前^{まえ}では誰^{だれ}も正しい人^{ただ ひと}と
なれないからです。

3 敵^{てき}が私^{わたし}を追^おい掛けます。

私^{わたし}の命^{いのち}を地面^{じめん}に押しつぶしま
した。

私^{わたし}を、ずっ^しと死^{ひと}んでいる人^{ひと}のよう
に暗闇^{くらやみ}に住^すませました。

4 私^{わたし}は氣^きが遠^{とお}くなり、心^{こころ}は何^{なん}も感^{かん}
じません。

5 昔^{むかし}の日々^{ひび}を思^{おも}い出し、

あなた^{すべて}の全^{おこな}ての行^{おも}いを思^{めぐ}い巡^{めぐ}
します。

あなた^{おこな}が行^{こと}った事^{こと}をひたすらじっ
くり考^{かんが}えます。

143:4 *または、「力を失い」。 143:5 *または、「
」を意欲的に学び」。

第143編

(㊦) 詩 65:2

(㊦) ヨブ 9:2

詩 130:3

伝 7:20

ロマ 3:20

ガラ 2:16

ヨ一 1:10

(㊦) 詩 142:3

(㊦) 詩 102:4

(㊦) 詩 77:5,6

詩 77:11,12

詩 111:2,3

第2欄

(㊦) 詩 63:1

(㊦) 詩 40:13

詩 70:5

(㊦) 詩 142:3

(㊦) 詩 27:9

(㊦) 詩 28:1

(㊦) 詩 5:8

格 3:6

(㊦) 詩 59:1

詩 61:3,4

詩 91:1

(㊦) 詩 25:4

(㊦) 詩 31:1

6 あなた^むに向^{りょうて}かって両手^{ひろ}を広^{ひろ}げて
祈^{いの}ります。

雨^{あめ}を待^まつ乾^{かわ}き切^きった土^と地^ちのよう

に、あなた^{もと}を求^{もと}めます。(セラ)

7 エホバ、急^{いそ}いで答^{こた}えてください。

私^{わたし}の力^{ちから}は失^{うしな}われました。

顔^{かお}を隠^{かく}さないでください。

さもないと、私^{わたし}は墓^{はか}穴^{あな}に下^{くだ}る人^{ひと}

のようになってしまう。

8 朝^{あさ}、あなた^ゆの揺^ゆるぎない愛^{あい}にっ
いて聞^きかせてください。

私^{わたし}はあなた^{たよ}に頼^{たよ}ります。

歩^{あゆ}むべき道^{みち}を教^{おし}えてください。

私^{わたし}はあなた^めに目^めを向^むけます。

9 エホバ、敵^{てき}から助^{たす}け出^だしてくだ
さい。

あなた^ほの保^ご護^{もと}を求^{もと}めます。

10 私^{わたし}を教^{おし}え、あなた^{のぞ}の望^{のぞ}むこと^{おこな}を行^{おこな}
えるようにしてください。

あなた^{わたし}は私^{かみ}の神^{かみ}です。

あなた^{せい}の聖^{せい}なる力^{ちから}は良^よいもの
です。

聖^{せい}なる力^{ちから}によっ^{わたし}て私^{たい}を平^ばらな場^ば
所^{しょ}に導^{みちび}いてください。

11 エホバ、あなた^なの名^なのため^{わたし}に私^{わたし}
を生^いき続^{つづ}けさせてください。

正^{ただ}しい方^{かた}であるあなた^{わたし}が、私^{わたし}を
苦^く難^{なん}から助^{たす}け出^だしてくださ

ますように。

12 揺^ゆるぎない愛^{あい}を示^{しめ}すあなた^{てき}が、敵^{てき}

143:8 *または、「自分を差し出し」。 143:10
*または、「正直な人たちの土地」。

を消し去ってくださいますよ
うに。

私はあなたに仕えています。
私を悩ます人を皆滅ぼしてくだ
さい。

ダビデによる。

144

私の岩エホバが賛美さ
れますように。
神は私の手を戦いのために、
私の指を戦闘のために鍛えてく
ださい。

2 神は私に揺るぎない愛を示す方、
私のとりで、
私の安全な避難所、私を救い出
す方、
私の盾、私をご自分のもとに避
難させてくださる方、
人々を私に服従させる方。

3 エホバ、人は何者なのでしょう、
あなたが目を留めるとは。
死にゆく人間の子は何者なので
しょう、あなたが気に掛ける
とは。

4 人は単なる息のよう。
生きる日々は過ぎ去る影のよう。

5 エホバ、天を低くして降りてきて
ください。

山々に触れて煙を上げさせてく
ださい。

6 稲妻を起こして敵を散らしてくだ
さい。

第143編

(㉜) サー 25:29
サー 26:9,10

(ㄱ) 詩 89:20

(㉜) サー 24:12

第144編

(㉜) 申 32:4

(㉜) サニ 22:35
詩 18:2,34

(㉜) サニ 22:2,3

(㉜) 詩 18:47

(㉜) 詩 8:4
へブ 2:6

(㉜) 詩 39:5

(㉜) 代一 29:15
ヨブ 14:1,2

(㉜) 詩 18:9

(㉜) 出 19:18

(㉜) ヨブ 36:32

第2編

(㉜) サニ 22:15

(ㄱ) サニ 22:17,18
詩 18:16,17
詩 54:3

(㉜) 詩 33:3
詩 40:3

詩 96:1
イザ 42:10
啓 5:9
啓 14:3

(㉜) サニ 5:19
詩 18:50

(㉜) サー 17:45,46
サー 21:15,17

矢を放って混乱に陥れてくだ
さい。

7 天から両手を伸ばしてください。
渦巻く水から私を助け出してくだ
さい。

外国人たちの手から救ってくだ
さい。

8 その人たちはうそを語り、
右手を挙げて偽りの誓いをし
ます。

9 神よ、私は新しい歌をあなたに
向かって歌います。

10 弦の楽器に合わせて、あなた
を賛美して歌います。

10 あなたは王たちに勝利を与える
からです。

あなたに仕えるダビデを破壊的
な剣から助け出してください
ます。

11 外国人たちの手から私を助け出
し、救ってください。

その人たちはうそを語り、
右手を挙げて偽りの誓いをし
ます。

12 私たちの息子たちは、勢いよく成
長する苗のようになります。

娘たちは、宮殿を飾るために彫
刻された隅の柱のようになり
ます。

144:8 *直訳、「右手が偽りの右手です」。144:

9 *または、「のために音楽を奏で」。144:10

*または、「救い」。

144:2 *または、「高台」。144:5 *または、「押し
し曲げて」。

13 私たちの倉はいろいろな作物で
あふれます。

羊は外で数千倍、数万倍に増え
ます。

14 牛は身ごもり、事故も流産も起き
ません。

広場で助けを求める声は上がり
ません。

15 このようになる民は幸せです！
エホバを神とする民は幸せです！

ダビデによる賛美。

Ⅹ [アーレフ]

145 王である神、あなたを
たたえます。

あなたの名をいつまでも永遠に
賛美します。

コ [ベート]

2 一日中あなたを賛美します。

あなたの名をいつまでも永遠に
賛美します。

ⅰ [ギメル]

3 エホバは偉大で、大いに賛美さ
れるべき方。

神の偉大さは計り知れない。

ⅰ [ダーレト]

4 何代にもわたって人々はあなた
の行いを賛美する。

あなたの力強い行いについて
語る。

ⅰ [ヘー]

5 あなたの輝かしい栄光と威光に
ついて話す。

144:14 *または、「裂傷」。145:3 *または、「
理解できない」。

第144編

㊦ 詩 33:12
詩 37:9
詩 37:37
詩 146:5

第145編

㊦ イザ 33:22
啓 11:17

㊦ 代一 29:10

㊦ 詩 119:164

㊦ 詩 146:2

㊦ 詩 150:2
ロマ 1:20
啓 15:3

㊦ ヨブ 26:14
詩 139:6
ロマ 11:33

㊦ 出 12:26,27

㊦ 詩 8:1

第2欄

㊦ 王一 8:66
詩 13:6
詩 31:19
イザ 63:7
エレ 31:12

㊦ 詩 151:14
啓 15:3

㊦ 代二 30:9
エフ 2:4

㊦ 出 34:6
ネヘ 9:17

㊦ 詩 25:8
ナホ 1:7
マタ 5:44,45
使徒 14:17
ヤコ 1:17

㊦ 詩 19:1

㊦ 詩 30:4
ヘブ 13:15

㊦ ルカ 10:8,9

わたしはあなたの素晴らしい偉業に
ついて思い巡らす。

↑ [フーウ]

6 人々は、驚くべきあなたの行い
について語る。

私はあなたの偉大さを知らせる。

↑ [ザイン]

7 人々はあなたがいかに善い方
かを思い起こし、生き生きと
語る。

あなたが正しい方なので歓声を
上げる。

ⅰ [ヘート]

8 エホバは思いやりがあり、憐れ
み深い。

すぐに怒らず、揺るぎない愛に満
ちている。

ⅰ [テート]

9 エホバは全てのものに対して善
いことを行う。

神の憐れみは全ての行いにはっ
きりと表れている。

ⅰ [ヨード]

10 エホバ、あなたが造ったものは
皆、あなたをたたえます。

あなたに尽くす人たちはあなた
を賛美します。

コ [カフ]

11 その人たちはあなたの輝かしい
王権について広め、

145:6 *または、「力」。145:8 *または、「慈
しみ」。145:10 *または、「を揺るぎなく支持す
る」、「から離れない」。

あなたの力強さについて話し
ます。

ㇶ [ラーメド]

- 12 あなたの力強い行いと、
栄光に輝く王権について知らせ
るために。

ㇷ [メーム]

- 13 あなたの王権は永遠の王権。
あなたの統治権はいつの時代ま
でも続く。

ㇸ [サーメク]

- 14 エホバは、倒れかけている人を
皆支える。
うずくまっている人を皆立ち上が
らせる。

ㇹ [アイン]

- 15 全てのものは期待を抱いてあな
たに目を向ける。
あなたは季節ごとに食物を与
える。

ㇺ [ペー]

- 16 あなたは手を開いて、
生きている全てのものの願いを
かなえる。

ㇻ [ツァーデー]

- 17 エホバが行うことは全て正しい。
揺るぎない愛に基づいて物事を
行う。

ㇼ [コーフ]

- 18 エホバは、ご自分に呼び掛ける
全ての人の近くにいる。
ご自分に誠実に呼び掛ける全て
の人の近くにいる。

145:18 *または、「正しく」。

第145編

ㇶ申 3:24

代-29:11

啓 15:3

ㇶ詩 98:1

ㇶ詩 103:19

ㇶ詩 146:10

デモ-1:17

ㇶ詩 37:23,24

詩 94:18

ㇶ詩 146:8

ㇶ創 1:30

詩 136:25

ㇶ詩 104:27,28

詩 107:9

詩 132:14,15

ㇶ創 18:25

申 32:4

ㇶ詩 18:25

啓 15:3,4

ㇶ詩 34:18

ヤコ 4:8

ㇶ詩 17:1

第2欄

ㇶ詩 34:9

ㇶ詩 37:39,40

詩 50:15

ㇶ詩 31:23

詩 97:10

ㇶ格 2:22

ㇶ詩 34:1

詩 51:15

ㇶ詩 117:1

詩 150:6

第146編

ㇶ啓 19:6

ㇶ詩 103:1

ㇶ詩 62:9

詩 118:8,9

イザ 2:22

エレ 17:5

ㇶ創 3:19

詩 104:29

伝 3:20

伝 12:7

ㇶ伝 9:5,10

イザ 38:18

ㇶ詩 46:7

ㇶ [レーシュ]

- 19 神はご自分を畏れる人の願いを
かなえてくださる。

助けを求める叫びを聞き、助け
出してください。

ㇷ [シーン]

- 20 エホバはご自分を愛する全ての
人を守り、
悪人にすべてを滅ぼす。

ㇸ [ターウ]

- 21 私はエホバへの賛美の言葉を
語る。

生きている全てのものが、
神の聖なる名をいつまでも永遠
に賛美しますように。

- 146 ヤハを賛美せよ!
私は自分の全てを尽く
してエホバを賛美
する。

- 2 生涯にわたってエホバを賛美
する。

生きている限り私の神を賛美して
歌う。

- 3 権力者にも人の子にも頼っては
ならない。

その人たちには救う力がない。

- 4 人は息絶えると地面に戻る。

まさにその日、その人の考えは
消えうせる。

- 5 ヤコブの神に助けを求める人は
幸せだ。

146:1 *または、「ハレルヤ」。「ヤハ」はエホバの短縮形。 146:2 *または、「のために音楽を奏でる」。 146:3 *または、「高貴な人」。

その人の希望の源は神エホバに
ある。

6 神は天地を造った方。
海とそこにある全てのものを造つ
た方。

いつまでもずっと真実な方。

7 だまし取られた人を公正に扱
う方。

飢えた人にパンを与える方。

エホバは囚人を解放している。

8 エホバは目が見えない人の目を
開いている。

エホバはうずくまっている人を立
ち上がらせている。

エホバは正しい人を愛する。

9 エホバは外国人居住者を守って
いる。

父親のいない子供ややもめを支
える。

悪人の計画を阻む。

10 エホバは永遠に王。

シオンよ、あなたの神はいつの
時代までも王。

ヤハを賛美せよ!

147 ヤハを賛美せよ!
私たちの神を賛美して
歌うのは良いことだ。
神を賛美するのは何と快く、素
晴らしいことだろう。

146:7 *直訳、「縛られた人たち」。146:9 *ま
たは、「の道を曲げる」。146:10; 147:1 *ま
たは、「ハレルヤ」。「ヤハ」はエホバの短縮形。
147:1 *または、「のために音楽を奏でる」。

第146編

(詩) 詩 71:5

エレ 17:7

(イ) 使徒 4:24

啓 14:7

(例) 申 7:9

(詩) 詩 107:9

詩 145:16

(詩) 詩 107:14

詩 142:7

(例) イザ 29:18

イザ 35:5

(詩) 詩 145:14

コニ 7:6

(例) 申 10:18

詩 68:5

(例) 詩 145:20

(例) 出 15:18

ダニ 6:26

啓 11:15

第147編

(例) 詩 135:3

第2欄

(例) 詩 102:16

(イ) 申 30:1-3

エゼ 36:24

(例) イザ 40:26

(詩) ナホ 1:3

(例) イザ 40:28

口マ 11:33

(例) 詩 37:11

(詩) 王 18:45

エレ 14:22

マタ 5:45

(例) ヨブ 38:25-27

イザ 30:23

(例) 詩 136:25

(例) ヨブ 38:41

ルカ 12:24

(例) イザ 31:1

ホセ 1:7

(例) サ 16:7

(例) マラ 3:16

(例) 詩 33:18

2 エホバはエルサレムを建てて
いる。

散らされたイスラエルの住民を
集める。

3 心が傷ついた人を癒やす。

傷を包んでくださる。

4 神は星の数を数える。

全ての星を名で呼ぶ。

5 私たちの主は偉大で力強い方。

その方の理解力は計り知れない。

6 エホバは温厚な人を立ち上げ
らせ、

悪人を地面に投げ付ける。

7 エホバに向かって感謝して歌え。

たて琴に合わせて私たちの神を
賛美して歌え。

8 神は天を雲で覆う。

地上に雨を降らせる。

山々に草を芽生えさせる。

9 神は動物に食物を与える。

えさもと
餌を求めるワタリガラスのひなに
も食べさせる。

10 神は馬の強さを喜ばない。

人の強靱な脚に感銘を受けるこ
ともない。

11 エホバが好ましく思うのは、神を
畏れる人。

神から揺るぎない愛を示される
のを待つ人。

12 エルサレムよ、エホバをたた
えよ。

シオンよ、あなたの神を賛美
せよ。

13 神はあなたの門のかんぬきを頑
丈にする。

あなたの中に住むあなたの子た
ちを祝福する。

14 あなたの領地に平和をもたらす。
最良の小麦をあなたに豊かに与
える。

15 神は地上に命令を出す。
その言葉は素早く走る。

16 神は羊毛のような雪を降らせる。
霜を灰のようにまき散らす。

17 あられをパンくずのように投げ落
とす。

誰がその寒さに耐えられるだ
ろう。

18 神が言葉を送り出すと、あられば
と溶ける。

風を吹かせると、水が流れる。

19 神はご自分の言葉をヤコブに知
らせる。
規定と法規をイスラエルに知ら
せる。

20 神は他のどの国民にもそのよう
にはしなかった。
人々は神の法規について何も知

らない。

ヤハを賛美せよ!

148 ヤハを賛美せよ!
天からエホバを賛美
せよ。

147:14 *直訳、「小麦の脂肪」。147:17 *ま
たは、「氷」。147:20; 148:1 *または、「ハレ
ルヤ」。「ヤハ」はエホバの短縮形。

第147編

(ア) レビ 26:6

イザ 60:17

(イ) 申 8:7,8

詩 132:14,15

(ウ) ヨブ 37:6

(エ) ヨブ 38:29

(オ) ヨシ 10:11

(カ) ヨブ 37:10

(キ) 詩 148:8

(ク) 申 4:5

(コ) 出 19:5

出 31:16,17

申 4:8

代 17:21

ロマ 3:1,2

(ク) 啓 19:6

第148編

(ウ) 詩 89:5

第2欄

(ア) 詩 103:20

ルカ 2:13

(イ) エレ 32:18

ユダ 14

(ウ) 詩 19:1

(エ) 詩 33:6

(オ) 詩 89:37

(カ) 詩 119:91

エレ 31:35,36

エレ 33:25

(キ) 出 9:23

詩 107:25

イザ 30:30

(ク) 詩 98:8

(コ) 代 16:33

イザ 44:23

(ク) イザ 43:20

(ウ) 詩 2:10,11

(イ) 詩 8:1

イザ 12:4

たか ところ かみ さん び
高い所で神を賛美せよ。

2 神の天使は皆、神を賛美せよ。

神の軍隊は皆、神を賛美せよ。

3 太陽と月よ、神を賛美せよ。

全ての輝く星よ、神を賛美せよ。

4 最も高い天よ、天の上の水よ、
神を賛美せよ。

5 それらはエホバの名を賛美せよ。
神の命令でそれらが創造された。

6 神はそれらをいつまでも永遠に
存続させる。

消え去ることがない規定を定

めた。

7 地球からエホバを賛美せよ。
海の大きな生き物と全ての水の

深みよ、

8 稲妻、ひょう、雪、厚い雲よ、
神の言葉を実行する暴風よ、

9 山々と全ての丘よ、
果樹と全ての杉よ、

10 野生動物と全ての家畜よ、
地面を動く生き物と翼のある
鳥よ、

11 地上の王たちと全ての国よ、
高官たちと地上の全ての裁判

人よ、

12 少年も少女も、
少とひとわかひと
年を取った人も若い人も。

13 皆がエホバの名を賛美せよ。
神の名は最も高く、誰も届か

ない。

148:4 *直訳、「天の天」。

かみ いこう ち てん うえ (7)
神の威光は地と天の上にある。

- 14 神はご自分の民を力づける。
ご自分に尽くす人が皆称賛され
るようにする。
ご自分と親しい民、イスラエルの
子孫が。
ヤハを賛美せよ！

149 ヤハを賛美せよ！
エホバに新しい歌を
歌え。

かみ つ *ひと かいしゅう なか
神に尽くす人たちの会衆の中で
神を賛美せよ。

- 2 イスラエルは自分を造った偉大
な方のことで喜べ。

シオンの子たちは自分たちの王
のことで喜べ。

- 3 踊りつつ神の名を賛美せよ。
タンバリンとたて琴に合わせて神
を賛美して歌え。

- 4 エホバはご自分の民のことを
喜ぶ。

すく おんこう ひと かざ (7)
救うことによって温厚な人を飾る。

- 5 神に尽くす人は栄光を受けて
喜べ。

ねどこ かんせい あ (7)
寝床で歓声を上げよ。

- 6 喉を震わせて歌で神を賛美し、
手に両刃の剣を持て。

- 7 国々に復讐し、
人々を処罰するために。

148:14; 149:1 *または、「を揺るぎなく支持する」、「から離れない」。
148:14; 149:1, 9;
150:1, 6 *または、「ハレルヤ」。「ヤハ」はエホバの短縮形。
149:3 *または、「のために音楽を奏でよ」。

第148編

(7) 王一8:27
代一29:11

第149編

(7) 詩33:3
詩96:1
イザ42:10
啓5:9

(7) 詩22:22

(7) 詩100:3
イザ54:5

(7) 裁11:34

(7) 出15:20
詩150:4

(7) 詩84:11

(7) 詩132:16
イザ61:10

(7) 詩63:6

第2欄

(7) 申7:1

第150編

(7) 啓19:6

(7) 詩116:19

(7) 詩19:1

(7) 詩107:15
啓15:3

(7) 申3:24
詩145:3

(7) 詩81:3

(7) 代一15:28

(7) 出15:20

(7) 詩92:1,3
詩144:9

(7) サ一10:5

(7) サ二6:5
代一15:19
代一16:5

(7) 啓5:13

- 8 国々の王たちは鎖で縛り、
国々の高貴な人たちに鉄の足か

せをはめるために。

- 9 記された裁きをその人たちに執
行するために。

このような栄誉は神に尽くす人全
てのもの。

ヤハを賛美せよ！

150 ヤハを賛美せよ！
神の聖なる場所で神を
賛美せよ。

神の力による大空で神を賛美
せよ。

- 2 神の力強い行いのことで神を賛
美せよ。

並外れた偉大さのことで神を賛
美せよ。

- 3 角笛を吹いて神を賛美せよ。

弦楽器とたて琴で神を賛美せよ。

- 4 輪になって踊り、タンバリンを鳴
らして神を賛美せよ。

弦を奏で、笛を吹いて神を賛美
せよ。

- 5 美しい響きのシンバルで神を賛
美せよ。

鳴り響くシンバルで神を賛美
せよ。

- 6 生きている全てのものはヤハを
賛美せよ。

ヤハを賛美せよ！

150:1 *または、「神の力を示す空」。

格言の書

概要

- | | |
|---|--|
| <p>1 格言の目的 (1-7)
 悪い交友の危険 (8-19)
 真の知恵が公の場所で叫ぶ (20-33)</p> <p>2 知恵の価値 (1-22)
 隠された宝のように知恵を求める (4)
 思考力は保護 (11)
 不道徳な行為は災難をもたらす (16-19)</p> <p>3 賢くあってエホバに頼れ (1-12)
 貴重なものを捧げてエホバを敬え (9)
 知恵は幸せをもたらす (13-18)
 知恵は安全をもたらす (19-26)
 他の人への適切な振る舞い (27-35)
 助ける力があるときに、他の人に善を行う (27)</p> <p>4 父の賢い教え (1-27)
 何よりも知恵を得なさい (7)
 悪の道避けよ (14, 15)
 正しい人たちの道は明るさを増す (18)
 「心を守れ」 (23)</p> <p>5 不道徳な女性に関する警告 (1-14)
 妻と喜ぶ (15-23)</p> <p>6 不用意に保証人にならない (1-5)
 「怠け者よ、アリの所へ行け」 (6-11)
 役立たずの悪人 (12-15)
 エホバが憎む7つのもの (16-19)
 悪い女性に警戒する (20-35)</p> <p>7 神の命令に喜んで従って、生きよ (1-5)
 世間知らずの若者が誘惑される (6-27)
 「ほふられに行く雄牛のように」 (22)</p> <p>8 擬人化された知恵が語る (1-36)
 「エホバが……偉業の最初として私を生み出した」 (22)
 「私は優れた働き手として神のそばにいた」 (30)
 「人間に深い愛情を抱いた」 (31)</p> <p>9 真の知恵が招く (1-12)
 知恵によってあなたの日々は多くなる (11)
 愚かな女性が招く (13-18)
 盗んだ水は甘い (17)</p> | <p>ソロモンの格言 (10:1-24:34)</p> <p>10 賢い子は父親を喜ばせる (1)
 勤勉な手は富をもたらす (4)
 言葉が多いと失敗する (19)
 エホバの祝福が人を富ませる (22)
 エホバへの畏れは命を延ばす (27)</p> <p>11 知恵は慎みのある人たちと共にある (2)
 背教者は他の人を破滅させる (9)
 「助言者が多ければ成功する」 (14)
 惜しみなく与える人は報われる (25)
 富に頼る人は倒れる (28)</p> <p>12 戒めを憎む人は分別がない (1)
 心ない発言は剣のように突き刺す (18)
 平和を促進するなら喜びが得られる (20)
 うそをつく唇はエホバにとって忌まわしい (22)
 心配事があると心が沈む (25)</p> <p>13 助言を求める人は賢い (10)
 希望がなかなか実現しないと落ち込む (12)
 忠実な使節は癒やしを与える (17)
 賢い人たちと共に歩むと賢くなる (20)
 懲らしめは愛の表れ (24)</p> <p>14 心は自分の苦しみを知っている (10)
 正しい道に思っても死に至ることがある (12)
 世間知らずの人は全ての言葉を信じる (15)
 裕福な人は友が多い (20)
 穏やかな心は体に良い (30)</p> <p>15 穏やかな答えは激しい怒りを静める (1)
 エホバの目はあらゆる所にある (3)
 正しい人の祈りは神にとって喜び (8)
 相談しないと計画は失敗する (22)
 答える前に思い巡らす (28)</p> <p>16 エホバは動機を調べる (2)
 行うことをエホバに委ねよ (3)
 公正なばかりはエホバからのもの (11)
 誇りは崩壊につながる (18)
 白髪は美しい冠 (31)</p> |
|---|--|

- 17 善に対して悪を返さない (13)
言い争いが始まる前に去れ (14)
真の友はどんな時にも愛する (17)
「喜びにあふれた心は良い薬」 (22)
識別力のある人は言葉を控える (27)
- 18 自分を孤立させる人は利己的で賢くない (1)
エホバの名は強固な塔 (10)
富は想像の中での防壁にすぎない (11)
双方の意見を聞くことの知恵 (17)
兄弟以上の絆で結ばれる友 (24)
- 19 洞察力があればすぐに怒ることはない (11)
争いを好む妻は雨漏りする屋根のよう (13)
思慮深い妻はエホバからのもの (14)
望みがあるうちに子供を懲らしめよ (18)
助言を聞くことの知恵 (20)
- 20 人はぶどう酒によってばかげたことをする (1)
怠け者は冬に耕さない (4)
人の考えは深い所にある水のよう (5)
性急に誓約することへの警告 (25)
若い人の素晴らしさは力 (29)
- 21 エホバは王の心を導く (1)
公正は犠牲に勝る (3)
勤勉さは成功につながる (5)
立場が低い人の叫びを聞かない人は自分も聞いてもらえない (13)
エホバに逆らっては知恵はあり得ない (30)
- 22 良い名は多くの富に勝る (1)
幼い頃の教育は一生役立つ (6)
怠け者は外にいるライオンを怖がる (13)
懲らしめは愚かさを取り除く (15)
仕事に熟練した人は王に仕える (29)
- 23 もてなしを受けた時に思慮深くある (2)
富を追い求めてはならない (4)
富は飛び去ることがある (5)
大酒飲みたちの中にはならない (20)
アルコールは蛇のようにかむ (32)
- 24 悪い人たちをうらやんではいらない (1)
家庭は知恵によって築き上げられる (3)
正しい人は倒れても立ち上がる (16)
仕返ししてはいらない (29)
うとうとすると貧乏になる (33, 34)

ヒゼキヤ王の部下たちが書き写したソロモンの格言 (25:1-29:27)

- 25 内密 (9)
適切な時に話される言葉 (11)
他の人の生活を尊重する (17)
敵の頭の上に炭を積む (21, 22)
良い報告は冷たい水のよう (25)
- 26 怠け者の描写 (13-16)
人の言い争いに加わらない (17)
悪ふざけを避ける (18, 19)
まきがなければ火は消える (20, 21)
中傷する人の言葉はごちそうのよう (22)
- 27 友からの戒めは有益 (5, 6)
わが子よ、私の心を喜ばせよ (11)
鉄が鉄を研ぐ (17)
群れを知っておく (23)
富はいつまでも存続することはない (24)
- 28 律法を聞かない人の祈りは忌まわしい (9)
罪を告白する人には憐れみが見される (13)
手早く富を得ようとすれば罪を犯す (20)
戒めはお世辞に勝る (23)
気前よく与える人は何も不足しない (27)
- 29 しつけられていない子供は恥をかかせる (15)
見通しが示されなければ、民は好き放題にする (18)
怒る人は争いを引き起こす (22)
謙遜な人は栄誉を手にする (23)
人への恐れはわなとなる (25)

アゲルの言葉 (30:1-33)

- 30 貧しくも裕福にもしないでください (8)
満足しないもの (15, 16)
跡を残さないもの (18, 19)
姦淫をする女性 (20)
本能的に賢い生き物 (24)

レムエル王の言葉 (31:1-31)

- 31 有能な妻を誰が見つけられるか (10)
勤勉でよく働く (17)
親切に話す (26)
子供と夫が称賛する (28)
麗しさと美しさははかない (30)

1 イスラエルの王、ダビデの子、ソロモンの格言。

2 知恵を学んで指導を受け、奥深い言葉を理解するためのもの。

3 洞察力、正義、判断力、正直さを身に付けるためのもの。

4 経験のない人を聡明にし、若者に知識と思考力を与えるためのもの。

5 賢い人は聞いてさらに教えを受け、理解力のある人は的確な導きを得る。

6 それは、格言や難解な言葉、賢人の言葉や謎を理解するためである。

7 知識はエホバを畏れることから始まる。愚かな人は知恵と指導を軽く見る。

8 わが子よ、父のしつけを受け入れなさい。母の教えを捨ててはならない。

9 それは、あなたの美しい冠、立派な首飾りである。

10 わが子よ、罪人に誘われても、応じてはならない。

1:1 *または、「箴言」。**1:3** *または、「公正さ」。
*または、「公平さ」。[△]直訳、「を与える指導を受け入れる」。**1:5** *または、「巧みな指揮」。**1:6** *または、「例え話」。**1:7** *または、「に深い敬意を抱く」。**1:8** *または、「訓練」。[△]直訳、「聞き」。[△]または、「律法」。

第1章
〔ワ〕王ー12:12

〔イ〕サニ 12:24

〔ウ〕王ー4:29,32
伝 12:9

〔ロ〕格 8:11

〔イ〕ヘブ 12:11

〔ウ〕王ー3:28

〔イ〕格 3:11,12

〔ウ〕格 15:5

〔ウ〕格 2:11
格 3:21
格 8:12

〔ロ〕格 9:9

〔イ〕サー 25:32,33
格 24:6

〔イ〕伝 12:11

〔イ〕ヨブ 28:28
格 9:10

〔イ〕格 5:12,13
格 18:2

〔イ〕申 6:6,7
エフ 6:4
ヘブ 12:9

〔イ〕レビ 19:3
格 31:26
テモニ 1:5

〔イ〕格 4:7,9

〔イ〕格 3:21,22

〔イ〕創 39:7,8
申 13:6-8

第2欄

〔イ〕格 4:14
格 13:20
コー 15:33

〔イ〕格 6:16-18
ロマ 3:15

〔イ〕格 15:27

〔イ〕ロマ 16:27
コー 1:20
ヤコ 3:17

〔イ〕マタ 10:27

〔イ〕格 8:1-3
格 9:1,3

11 もしこう言われても、「一緒に来い。」

待ち伏せして人を殺そう。

隠れて待とう、誰でも構わない。

12 墓が人をのみ込むように、誰かを丸のみにしてやろう。

生きたまま墓穴に下らせるのだ。

13 貴重品を全て奪い、分捕った物で家をいっぱいにしよう。

14 仲間になれ。盗んだ物を山分けにしよう。

15 わが子よ、彼らに付いていくな。彼らの道に足を踏み入れてはならない。

16 彼らは悪に走り、すぐに人を殺そうとするからだ。

17 鳥から丸見えの所で網を張っても無駄である。

18 彼らは待ち伏せして人を殺そうとし、

隠れていて命を奪おうとする。

19 これが、不当な利益を得ようとす
る人のやり方である。
そのような人は命を失うことになる。

20 真の知恵が通りで大声で叫ぶ。
広場で声を上げている。

21 にぎやかな街角で呼び掛ける。

1:12 *ヘブライ語、シェオル。用語集参照。**1:14** *または、「一緒にくじを引こう」。[△]または、「皆で1つの袋(財布)を使おう」。**1:16** *直訳、「彼らの足」。

まち もん い ぐち い ㄱ
町の門の入り口でこう言う。

22 「経験のない人よ、いつまで経験

のなさを好むのか。

あざける人よ、いつまであざけり

を楽しむのか。

おろ ひと ち しき にく
愚かな人よ、いつまで知識を憎

むのか。

23 私の戒めを受け入れなさい。

そうすれば、私の力を注ぎ出し、

私の言葉を知らせよう。

24 私が呼び掛けたのに、あなたた

ちは拒み続け、

手を差し出したのに、誰も注意

を払わなかったので、

25 また私の助言を全く聞かず、

戒めを受け入れなかったので、

26 私も、あなたたちの災難を笑う。

あなたたちの恐れていたことが

起きる時、私はあざ笑う。

27 あなたたちの恐れていたことが

風のように来て

災難が暴風のように襲う時、

苦難と困難が降り掛かる時。

28 その時、彼らは私を呼び続ける

が、私は答えない。

私を必死に捜すが、見つけれ

ない。

29 知識を嫌い、

エホバを畏れようとしなかった

からだ。

30 彼らは私の助言を退け、

1:23 * または、「私が戒める時、改心しなさい」。

第1章

ㄱ 30:18-20
使徒 20:20

ㄱ 格 5:12,13
ヨハ 3:20

ㄱ 詩 141:5
啓 3:19

ㄱ イザ 54:13

ㄱ イザ 65:12

ㄱ 裁 10:13,14

ㄱ 哀 3:44

ㄱ ホセ 4:6

ㄱ 裁 5:8

第2欄

ㄱ エレ 6:19
ガラ 6:7

ㄱ イザ 48:18

ㄱ 王二 6:15,16
イザ 26:3
ペ二 2:9

第2章

ㄱ 申 6:6,8

ㄱ 格 1:5

ㄱ ヘブ 5:14

ㄱ 王一 3:11,12
格 9:10
デモ二 2:7

ㄱ フィリ 1:9

ㄱ 詩 19:9,10

ㄱ ヨブ 28:15-18

ㄱ ヨブ 28:28
格 8:13
エレ 32:40

ㄱ エレ 9:24
ヨ一 5:20

ㄱ 出 31:2,3

王一 4:29
デモ二 3:16,
17

ヤコ 3:17

いまし まった かる
戒めを全く軽んじた。

31 それで、当然の報いを受け、

多くの策略で自分の首を絞める。

32 経験のない人は身勝手なので死

ぬことになり、

愚かな人は自己満足のために滅

びるのである。

33 しかし、私の言うことを聞く人は

安心して暮らし、

災いを恐れて動揺することは

ない」。

2 わが子よ、あなたが私の言葉を

受け入れ、

私のおきてを大切にすなら、

2 知恵に耳を傾け、

識別力に心を向けるなら、

3 さらに、理解力を叫び求め、

識別力を求めて声を上げるなら、

4 銀を求めるようにそれを求め

続け、

隠された宝を探すように探し続

けるなら、

5 その時、あなたはエホバへの畏

れを理解し、

神についての知識を見つけた。

6 エホバご自身が知恵を与えてく

ださるからである。

神の口から知識と識別力が出る。

7 神は正直な人のために、役立つ

知恵を蓄え、

1:31 * 直訳、「自分の道の実を食べ」。「または、自分のたくらみを食べ飽きる」。
2:1 * または、「蓄える」。

- こうけつ *あゆ ひと たて (例)
高潔に歩む人のための盾となる。
- 8 神は公正の道を見守り、
じぶん につ *ひと みち
ご自分に尽くす人たちの道を
まも (例)
守る。
- 9 その時、あなたは何が正しく公
せい こうへい
正で公平かを、
よ あゆ り
良い歩みとはどんなものかを理
かい (例)
解する。
- 10 知恵があなたの心に入り、
ち え こころ はい (例)
知識が心地よいものとなる時、
ちしき こころ ち (例)
しこうりよく みまも (例)
- 11 思考力があなたを見守り、
しきべつりよく ほ ご
識別力があなたを保護する。
- 12 あなたを次のものから救い出す
つぎ すぐ だ
ためである。
わる みち だらく ことがら はな
悪い道から、墮落した事柄を話
ひと (例)
す人から、
- 13 真つすぐな道を離れて
ま みち はな
やみ みち あゆ ひと (例)
闇の道を歩む人たちから、
- 14 悪を行うことを喜んで、
あく おこな ようこ
だらく わる ことがら たの ひと
墮落した悪い事柄を楽しむ人た
ちから。
- 15 彼らの道はゆがんでおり、
かれ みち
どこまでもねじ曲がっている。
- 16 こうしてあなたは、いかがわしい *
じょせい
女性から、
ふ どうとく *じょせい あま △こと ば
不道徳な女性の甘い言葉から、
すく だ (例)
救い出される。
- 17 その女性は若い時の夫を捨て、
じょせい わか とし おとこ * す (例)
じぶん かみ けいやく わす
自分の神との契約を忘れてる。

2:7 *または、「忠誠を尽くして」。2:8 *または、「を揺るぎなく支持する」、「から離れない」。

2:16 *直訳、「よその」。道徳面で神に従っていない人のことと考えられる。*直訳、「外国の」。道徳面で神から離れている人のことと考えられる。

△または、「誘惑の」。2:17 *直訳、「親友」。

第2章

- (例) 詩 41:12
格 28:18
- (例) 詩 97:10
- (例) 伝 12:13
ミカ 6:8
マタ 22:37-40
- (例) 詩 119:111
- (例) 使徒 17:11
- (例) 伝 7:12
- (例) 格 8:13
- (例) ヨハ 3:19
- (例) 創 39:10-12
格 6:23, 24
格 7:4, 5
- (例) 創 2:24
格 5:18

第2欄

- (例) 格 5:3, 5
格 5:20, 23
格 9:16-18
エフ 5:5
- (例) 伝 7:26
啓 22:15
- (例) 格 13:20
- (例) 詩 37:11, 29

第3章

- (例) 申 5:16
- (例) ホセ 12:6
- (例) 申 6:6, 8
- (例) コ二 8:21
- (例) イザ 26:4
エレ 17:7
- (例) 格 28:26
エレ 10:23
コ一 3:18

(例) サ一 23:2, 4
ネハ 1:11
フィリ 4:6

- 18 彼女の家は死へと沈み、
かのじょ いえ し しず
かのじょ みち し むりよく ひと
彼女の道は死んだ無力な人たち
い つ (例)
に行き着く。
- 19 彼女のもとに行く人は誰も帰って
かのじょ い *ひと だれ かえ
こない。
- いのち みち もと (例)
命の道に戻ってくることもない。
- 20 それで、善い人の道を歩み、
よ ひと みち あゆ
ただ ひと みち (例)
正しい人の道にとどまれ。
- 21 正直な人だけが地上に住み、
しょうじき ひと ちじょう す
ひ なん *ひと ち
非難されるところがない人が地
じょう のこ (例)
上に残るからである。
- 22 悪人は地上から取り除かれ、
あくにん ちじょう と のぞ (例)
ふせいじつ ひと ちじょう のぞ さ
不誠実な人は地上から除き去ら
れる。
- 3 わが子よ、私の教えを忘れては
こ わたし おし * わす
ならない。
わたし こころ まも
私のおきてを心から守ってほ
しい。
- 2 そうすれば、長く生きて
なが い
へい わ ひ び おく (例)
平和な日々を送れる。
- 3 揺るぎない愛と忠実さを手放して
ゆ あい ちゅうじつ * て ばな
はならない。
くび むす こころ か しる (例)
それを首に結べ。心に書き記せ。
- 4 そうすれば、神と人から好意
かみ ひと こう い
を得、
え(例)
ふか どうさつりよく みと
深い洞察力があると認められる。
- 5 心を尽くしてエホバに頼れ。
こころ つ たよ (例)
じぶん かんが * たよ (例)
自分の考えに頼ってはならない。
- 6 どんな道を行く時にも神のことを
かんが (例)
考えよ。

2:19 *または、「と関係を持つ」。2:21 *または、「忠誠を尽くす」。3:1 *または、「律法」。

3:3 *または、「真実さ」。3:5 *直訳、「理解」。

そうすれば神が真^{かみ}つ^ます^{すす}ぐに進ませ
てくださる。

7 自分は賢^{じぶん}いと思^{かしこ}ってはな^{おも}らない。

エホバを畏^{おそ}れ、悪^{あく}から離^{はな}れよ。

8 そうするなら、体^{からだ}が癒^いやされ、
骨^{ほね}が元^{げん}気になる。

9 あなたの貴重^{きちょう}なもの、
全^{すべ}ての産物^{さんぶつ}の初物^{はつもの}を捧^{ささ}げてエホ
バを敬^{うやま}え。

10 そうすれば、あなた^{くら}の倉^{まんばい}は満^み杯^{はい}
になり、
大^{おお}おけは新^{*}しいぶどう酒^{しゅ}であふ
れる。

11 わが子^こよ、エホバの矯^{きょう}正^{せい}を拒^{きょ}否^ひ
してはな^ならない。

その方^{かた}の戒^{いまし}めを嫌^{けん}悪^おしてはな^な
ない。

12 父親^{ちちおや}がかわい^こい^{いまし}わが子^こを戒^{いまし}める
ように、

エホバは愛^{あい}する人^{ひと}を戒^{いまし}めるから
である。

13 知^ち恵^えを得^{ひと}る人、
識^しべつ^{りょく}を身^みに付^つける人^{ひと}は幸^{しあわ}せだ。

14 知^ち恵^えを得^えることは銀^{ぎん}を得^えることに
勝^{まさ}り、

それ^てを手^てにするのは金^{きん}を手^てにす
るよりも価^か値^ちがある。

15 それはサンゴよりも貴^き重^{ちゅう}で、
あなた^のが望^ぞむ^{きちよう}どんなものもこれ
にはかなわ^なない。

3:8 *直訳、「へそ」。3:9 *または、「収入」。
*または、「最良の物」。3:10 *または、「ブドウ
搾り場」。3:11 *または、「指導」。3:15 *用
語集参照。

第3章

(7) ヨシ 1:7
詩 25:9
ヤコ 1:5

(4) 格 26:12
ロマ 12:16

(7) 出 23:19

(2) 民 31:50
申 16:16
ルカ 16:9
テモ— 6:18

(7) 代 二 31:10
マラ 3:10

(7) 格 15:32
ヘブ 12:5,6

(4) 詩 94:12

(7) 申 8:5
ヘブ 12:7,9

(7) 啓 3:19

(2) 伝 7:12

(7) ヨブ 28:15,18

第2欄

(7) フイリ 4:9

(4) 詩 1:1,2

(7) 詩 104:24

(2) 格 8:27
エレ 10:12

(7) ヨブ 36:27
ヨブ 38:37
エレ 10:13

(7) イザ 26:7

(4) 詩 3:5
格 6:22

(7) 伝 5:12

(7) 詩 73:12,19

(2) 詩 27:1

(7) 格 10:29
格 28:1

16 長^{ちやうじゅ}寿^{みぎ}が右^ての手^てにあり、
富^{とみ}と栄^{えい}誉^よが左^{ひだり}の手^てにある。

17 知^ち恵^えの道^{みち}は心^{こころ}地^ちよく、
そ^{とお}の通^{みち}り道^{みち}はどこも平^{へい}穩^{おん}である。

18 知^ち恵^えはそれをつか^{ひと}む人^{ひと}たち^に
とつて命^{いのち}の木^きであり、
しっか^{ひと}りとつか^{ひと}んでい^{ひと}る人^{ひと}たちは
幸^{しあわ}せな人^{ひと}と呼ば^よれる。

19 エホバは知^ち恵^えによつて地^ちの土^ど台^{だい}
を据^すえた。

識^しべつ^{りょく}力^{りき}によつて天^{てん}をしっか^{さだ}り定^{さだ}
め^めた。

20 神^{かみ}の知^ち識^{しき}によつて深^{ふか}い水^{みづ}は分^わけ
られ、

大^{おお}空^{そら}の雲^{くも}は水^{みづ}を滴^{したた}せ^めた。

21 わが子^こよ、それ^{*}らを見^み失^みつてはな
ら^なない。

役^{やく}立^だつ知^ち恵^えと思^し考^{こう}力^{りき}を守^{まも}れ。

22 それらはあな^{いのち}たに命^{いのち}を与^{あた}え、
あなた^{あなた}の首^{くび}飾^{かざ}りとなる。

23 あな^{みち}たは道^{みち}を安^{あん}全^{ぜん}に歩^{ある}き、
決^{けつ}してつま^きずか^なない。

24 横^{よこ}になる時^{とき}、恐^{おそ}れを感じ^{かん}ずることは
な^ない。

横^{よこ}になれば、眠^{ねむ}りは心^{こころ}地^ちよい。

25 突^{とつ}然^{ぜん}の恐^{おそ}ろしいことも、
悪^{あく}人^{にん}たちを襲^{おそ}う嵐^{あらし}も、恐^{おそ}れな^いい。

26 エホバはあな^{あな}たに確^{かく}信^{しん}を持^もたせ
てくだ^なさり、

3:17 *または、「平和」。3:21 *神が持つ前述
の資^し質^{しつ}を指^さすと考え^られる。3:23 *または、「足
は何にもぶつからない」。

あなたの^{あし}足をわなから^{まも}守ってくだ
さる。⁽⁷⁾

27 あなたに^{*}助ける^{たす}力^{ちから}があるときに、
善^{ぜん}を行^{おこな}うべき^{あいて}相手[#]にそうせ^ずに
いては⁽⁷⁾ならない。

28 今^{いま}、与^{あた}えることができるのに、
隣人^{りんじん}に、「帰^{かえ}りなさい。また明日^{あす}
来たら、あ^きげよう」と言^いって
は⁽⁷⁾ならない。

29 隣人^{りんじん}が^{あんしんかん}安心感を抱^{いだ}いてあなたの
近^{ちか}くに住^すんでいるとき、
その人^{ひと}に対して^{たい}悪い^{わる}ことをた^くら
んでは⁽²⁾ならない。

30 人^{ひと}があなたに^{わる}悪いことをしてい
ないなら、
理^{りゆう}由もなくその人^{ひと}と言^いい争^{あそ}つては
なら⁽²⁾ない。

31 暴^{ばうりよくてき}力的な人^{ひと}をうらや^むんではな
ら⁽²⁾ない。
その人^{ひと}のやり方^{かた}をまねしてはな
ら⁽²⁾ない。

32 エホバは、^{あざむ}欺^{ひと}く人を^{きら}ひどく嫌⁽⁷⁾い、
正^{しょうじき}直^{ひと}な人^{した}たちを親^{とも}しい友^{とも}とする
から⁽⁷⁾である。

33 悪^{あく}く人^{にん}の家^{いえ}にはエホバから^{わざわ}の災^{わざ}い
が降^ふり掛^かかり、
正^{ただ}しい人^{ひと}たちの住^すまいには神^{かみ}の
祝^{しゅく}福^{ふく}がある。⁽²⁾

34 神^{かみ}は、あ^{ひと}ぎける人^{ひと}をあ^{わら}ざい笑⁽²⁾い、
温^{おんこう}厚^{ひと}な人^{こう}を好^{こう}意的^いに見^みる。⁽²⁾

3:27 *または、「あなたの手」。^{*}または、「受け
るべき人」。

第3章

(7) 詩 91:14

(7) 申 15:7,8
格 28:27

(7) ヤコ 2:15,16

(2) 格 6:16,18

(7) ロマ 12:18

(7) 格 18:6
格 20:3

(2) 詩 37:1
格 23:17

(7) 格 6:16,17

(7) 詩 15:1,2
詩 24:3,4
詩 25:14

(2) 申 28:15
ヨシ 7:24,25
エス 9:24,25

(7) ヨブ 42:12,13
詩 37:25

(2) 格 19:29

(2) 詩 37:11
詩 138:6
イザ 57:15
ヤコ 4:6

第2欄

(7) エス 6:11,12
格 12:8

第4章

(7) 申 6:6,7
格 19:20
エフ 6:1

(7) 代一 28:9

(2) 王一 2:12

(7) 王一 1:16-21

(7) 申 4:9

(2) レビ 18:5

(7) ネヘ 8:3,8
格 9:10

(7) 伝 7:12

(2) 格 15:14
マタ 13:23
ヘブ 5:14

(7) ダニ 1:17,20

35 賢^{かしこ}い人^{ひと}は名^{めい}誉^よを受け、
愚^{おろ}かな人^{ひと}は不^ふ名^{めい}誉^よなことを誇^{ほこ}り
とす⁽⁷⁾る。

4 私^{わたし}の子^こ供^{ども}たちよ、父^{ちち}のしつ^{*}つけを
受^うけ入^いれなさい。⁽⁷⁾

理^り解^{かい}を得^えるために注^{ちゅう}意^いを払^{はら}い
なさい。

2 私^{わたし}は良^よい教^{おし}えを与^{あた}えるからで
あ⁽⁷⁾る。

私^{わたし}の教^{おし}えを捨^すててはな⁽⁷⁾らない。

3 私^{わたし}は父^{ちち}にとつて良^よい子^こであり、
母^{はは}に特^{とく}にかわい⁽²⁾がられた子^こ
だ⁽⁷⁾った。

4 父^{ちち}は私^{わたし}を教^{おし}えてこ^いう言^いった。「私^{わたし}
の言^{こと}葉^はに心^{こころ}からしっ^{したが}かり従^{したが}つ
て⁽²⁾ほしい。

私^{わたし}のおき^{つづ}てを守^{まも}って、生^いき続^{つづ}けな
さい。⁽²⁾

5 知^ち恵^えを得^え、理^り解^{かい}を得^えよ。
忘^{わす}れてはな⁽⁷⁾らない。私^{わたし}が言^いうこと
からそ⁽⁷⁾れてはな⁽⁷⁾らない。

6 知^ち恵^えを捨^すててはな⁽⁷⁾らない。それ
はあ⁽²⁾なたを守^{まも}る。
それ⁽²⁾を愛^{あい}しなさい。それ⁽²⁾はあ⁽²⁾な
たを^{ほご}保^ほ護^ごする。

7 知^ち恵^えは最^{もっと}も重^{じゅう}要^{よう}な^{*}もの⁽⁷⁾なので、
知^ち恵^えを得^えなさい。

ほかに何^{なに}を得^えるに^えしても、理^り解^{かい}を
得^えなさい。⁽²⁾

8 知^ち恵^えを高^{たか}く評^{ひょう}価^かせよ。あな⁽⁷⁾たは
た⁽⁷⁾たえ⁽⁷⁾られる。

4:1 *または、「訓練」。「直訳」「聞き」。^{*}4:2
または、「律法」。^{}4:7 *または、「主要な」。

それを大切にするとき、あなたは
栄誉を受ける。

- 9 それはあなたの頭の魅力的な花
飾りとなり、

美しい冠のようにあなたを飾

る」と。

- 10 わが子よ、聞いて、私の言葉を受
け入れよ。

そうすれば、あなたは長く生きら
れる。

- 11 私はあなたに知恵の道を教え、
真つすぐな道を歩ませる。

- 12 あなたが歩くとき、歩みは妨げら
れず、

走っても、つまづかない。

- 13 指導をしっかりとつかめ。それを放
してはならない。

それを失ってはならない。命が
関係しているからである。

- 14 悪人が通る道に入ってはなら
ない。

悪い人の道を歩いてはならない。

- 15 それを避けよ。足を踏み入れて
はならない。

それから離れ、通り過ぎよ。

- 16 彼らは、悪を行わないと眠れず、
誰かを倒れさせないと眠りを奪
われる。

- 17 彼らにとって、悪事はパンであり、
暴力はぶどう酒である。

- 18 しかし、正しい人たちの道は夜
明けの光のようだ。

第4章

(ア) 王ー 4:29

(イ) 申 5:16

(ウ) 王ー 4:29

(エ) イザ 26:7

(ウ) 格 8:10
ヘブ 2:1
ヘブ 12:5,6

(ウ) 申 32:45-47
ヘブ 12:11

(ウ) 詩 1:1
コー 15:33

(ウ) アモ 5:15
エフ 5:11

(ウ) 格 5:3,8
テサーー 5:22

第2欄

(ア) サニ 23:3,4
詩 119:105
コー 13:12
コニ 4:6
ペニ 1:19

(イ) 詩 40:8
格 2:1

(ウ) テモー 4:8

(エ) エレ 17:9
マル 7:21-23
エフ 6:14

(ウ) ペー 2:1

(ウ) マタ 6:22

(ウ) エフ 5:15

(ウ) 申 12:32
ヨシ 1:7

真昼になるまで明るさを増して
いく。

- 19 悪人たちの道は暗闇のようだ。
彼らは自分が何につまづいてい
るのか分らない。

- 20 わが子よ、私の言葉に注意を
払え。

私の言葉をよく聞くように。

- 21 それを見失ってはならない。
心にしかりとどめよ。

- 22 それを受け入れる人たちに

とって、

それは命であり、全身を健康に

する。

- 23 ほかの何よりも、あなたの心を
守れ。

命は心に懸かっているからで

ある。

- 24 不正直な話し方を捨て、
人を欺く言葉を自分から引き
離せ。

- 25 あなたの目は真つすぐ前を見る
べきである。

前方を真つすぐ見つめるのだ。

- 26 あなたが歩いていく所を平らに
せよ。

あなたはしっかりと足取りで進
んでいける。

- 27 右にも左にも片寄ってはなら
ない。

悪から足を遠ざけよ。

4:23 *または、「源を発して」。 4:25 *または、「輝く目で見える」。 4:26 *もしかすると、「よく考えよ」。

- 5** わが子よ、私の知恵に注意を払え。
私が識別力について教えることをよく聞きなさい。
- 2** これは思考力を守るため、あなたの唇が知識からそれないためである。
- 3** いかがわしい女性の唇は蜜を滴らせ、彼女の口は油より滑らかである。
- 4** しかし結局は、彼女はニガヨモギのよに苦く、両刃の剣のように鋭い。
- 5** 彼女の足は死へと下る。その歩みは真つぐ墓に向かう。
- 6** 彼女は命の道について全く考えない。
さまよい歩き、行き着く先を知らない。
- 7** 私の子供たちよ、今、私の言うことを聞きなさい。
- 8** 私の言葉から離れてはならない。彼女から遠く離れていよ。
- 彼女の家の入り口に近づいてはならない。
- 9** 自分の評判を落としたり悲惨な日々を過ごすことになったりしないため、
- 10** 知らない人たちがあなたの資産を使い果たしてしまったり、

5:3 *直訳、「よその」。格 2:16参照。 5:5 *ヘブライ語、シェオル。用語集参照。 5:10 *または、「力」。

第5章
(例) 王-4:29
ヤコ 1:19

(例) 格 15:7
(例) 格 7:14-21
(例) 格 9:16, 17
(例) 伝 7:26
(例) 格 6:32, 33
(例) 格 9:14, 15
(例) 格 29:3
(例) 格 6:33-35
格 7:23
(例) 格 31:3
ルカ 15:30

第2欄
(例) 格 7:22, 23

(例) 格 6:27-29
(例) コー 7:3
ヘブ 13:4
(例) 格 5:20
(例) 創 2:24
(例) 申 24:5
伝 9:9

(例) ソロ 2:9

- あなたが働いて得たものが、外国人の家のものとなったりしないためである。
- 11** さもないと、力と体が衰える人生の終わりに、あなたはうめくことになる。
- 12** そしてあなたは言う。「ああ、私は指導を憎み、私の心は戒めを軽んじた。」
- 13** 私は教師たちの言うことを聞かず、私を教える人たちに注意を払わなかった。
- 14** 私は会衆の皆の前で、今にも完全に破滅しそうだ。
- 15** あなた自身の水ためから水を、あなた自身の井戸から湧き出る水を飲め。
- 16** あなたの泉が家の外に、あなたの水の流れが広場にまき散らされてよいだろうか。
- 17** それをあなただけのものとし、知らない人のものとしてはならない。
- 18** あなたの泉に祝福があつてほしい。
- あなたは若い時からの妻と喜ぶように。
- 19** あなたの妻はかわいい雌鹿、優雅な山ヤギである。

5:14 *用語集参照。*直訳、「集会と会衆の中で」。 5:15 *または、「新鮮な水」。 5:18 *または、「水源」。 5:19 *または、「アイベックス」。

いつも彼女の乳房から満足を得
るようにしない。

あなたは妻の愛に絶えず夢中にな
るように。

20 それで、わが子よ、どうしてあな
たはいかがわしい女性に夢中
になったり、
不道德な女性の体を抱いたりし
てよいだろうか。

21 人の道はエホバの目の前に
あり、

神はその人の全ての道を調べる。

22 悪人は、自分自身の過ちに捕ら
えられ、
自分自身の罪という縄で縛ら
れる。

23 彼は指導がないために死に、
あまりの愚かさのために道を踏
み外す。

6 わが子よ、もし隣人の保証人に
なったなら、
知らない人と握手を交わした
なら、

2 自分の約束によってわなに掛
かったなら、

自分が言った言葉によって捕ら
えられたなら、

3 わが子よ、次のようにして抜け
出せ。

あなたは隣人の手に落ちたのだ。

5:19 *または、「に酔う」。5:20 *直訳、「よそ
の」。格 2:16 参照。*直訳、「外国の」。格 2:16
参照。6:1 *契約を交わす時のこと。

第5章

(7) 創 26:8
創 29:20
ソロ 8:6

(1) 格 22:14

(2) 代 2:16:9

詩 11:4
詩 17:3
エレ 17:10
ヘブ 4:13

(4) 詩 7:14-16
ガラ 6:7

第6章

(4) 格 17:18

(4) 格 11:15
格 20:16

(4) 格 18:7

第2欄

(7) マタ 5:25

(1) 格 10:26
格 26:13-15

(2) 格 30:24,25

(4) 格 20:13
格 24:33,34
伝 4:5

(2) 格 13:4
格 20:4
格 24:30-34

(4) 格 16:27
ヤコ 3:6

(4) 格 10:10
格 16:30

(2) 詩 36:1,4
イザ 32:7
ミカ 2:1

(7) 格 16:28
ロマ 16:17

(2) 詩 73:12,18

行って、謙遜になり、隣人にひた
すら懇願せよ。

4 目をつぶって眠ったり、
まぶたを閉じてうとうとしたりす
るな。

5 獵師の手から逃れるガゼルのよ
うに、

鳥を捕る者の手から逃れる鳥の
ように抜け出せ。

6 怠け者よ、アリの所へ行け。
そのやり方を見て、賢くなれ。

7 アリには司令官も、役人も、支配
者もないが、

8 夏の間に食物を用意し、
収穫の時に食糧を集める。

9 怠け者よ、いつまで横になっ
てゐるのか。

いつ起きるのか。

10 しばらく眠り、しばらくうとうとし、
しばらく手を組んで休む。

11 すると、貧乏が盗賊のように、
窮乏が強盗のようにやって来る。

12 役立たずの悪人は、不正直な話
し方をする。

13 目配せし、足で合図し、指をさす。

14 ゆがんだ心で、
いつも悪いことをたくらみ、口論
を繰り返している。

15 それで、彼には突然、災難が降り
掛かる。

一瞬のうちに砕かれ、癒やされ
ることがない。

- 16 エホバが憎むものが6つある。
いや、ひどく嫌うものが7つある。
- 17 傲慢な目、うそをつく舌、無実の
人の血を流す手、
- 18 邪惡なことをたくむ心、急いで
惡に走る足、
- 19 うそばかり言う不正直な証人、
兄弟の間に口論を引き起こす
者である。
- 20 わが子よ、父のおきてを守りな
さい。
- はは おし * す (※)
母の教えを捨ててはならない。
- 21 それをいつも心に縛り、
首に結ぶ。
- 22 あなたが歩き回る時、それは
導き、
あなたが横になる時、それは見
張り、
あなたが目覚める時、それは語
り掛ける。
- 23 おきてはランプ、律法は光、
指導のための戒めは命への道だ
からである。
- 24 それは、あなたを悪い女性から、
不道徳な女性の誘惑の言葉から
守る。
- 25 心の中でその女性の美しさを欲
するな。
その女性の色っぽい目に心を奪
われてはならない。

6:20 *または、「律法」。 6:22 *または、「教え
る」。 6:24 *直訳、「外国の」。格 2:16参照。

- 第6章
(詩) 101:5
格 8:13
格 16:5
(イ) 格 12:22
啓 21:8
(イ) 創 4:8,10
民 35:31
申 27:25
(イ) 格 11:20
ゼカ 8:17
マラ 2:16
(イ) 出 23:1
(イ) レビ 19:16
ガラ 5:20,21
ヤコ 3:14,15
(イ) 申 21:18,21
エフ 6:1
(イ) 詩 119:105
(イ) イザ 51:4
(イ) 格 4:13
ヘブ 12:11
(イ) 伝 7:26
(イ) 格 5:3
格 7:4,5
(イ) マタ 5:28
ヤコ 1:14,15
- 第2欄
(イ) 格 29:3
ルカ 15:16,30
(イ) ガラ 6:7
(イ) サニ 11:4
サニ 12:10,11
格 6:32-35
ヘブ 13:4
(イ) 出 22:1,4
(イ) 格 2:18,19
格 5:20,23
マラ 3:5
コ一 6:9,10
ヘブ 13:4
(イ) 格 5:8,9
(イ) 王一 15:5
代一 5:1
マタ 1:6
(イ) 創 39:19,20

- 26 人は娼婦のためにパン1つの生
活に陥るが、
他人の妻の場合は貴重な命が餌
食となる。
- 27 懷に火をかき集めておいて、服
が燃えないようにできるだろ
うか。
- 28 また、炭火の上を歩いて、足
が焦げないようにできるだろ
うか。
- 29 隣人の妻と関係を持つ人も同じ
である。
彼女に触れる人は誰も処罰を免
れない。
- 30 飢えた人が腹を満たそうとして
盗みをして、
輕蔑されることはない。
- 31 それでも、見つかると、その人は
7倍の償いをし、
自分の家の貴重なものを全て
渡す。
- 32 女性と姦淫をする人は分別が
なく、
そうする人は自分を破滅させる。
- 33 彼が受けるのは傷と不名誉だ
けで、
恥は消し去られない。
- 34 夫は嫉妬のために激怒し、
復讐する時に情けを掛けない。
- 35 夫はどんな償いも受け入れず、
6:32 *直訳、「心が欠けていて」。 6:35 *また
は、「賤い」。

どれほど大きな贈り物^{おお おく もの}をしても、
なだめることはできない。

7 わが子よ、私の言葉^{わたし のことば}を守り、
私のおきて^{わたし のきき}を大切にせよ。

2 私のおきて^{わたし のきき}を守って、生きよ。
私の教え^{わたし のおし}をあなたの目の瞳^めのよ
うに守れ。

3 それを指^{ゆび}に結び、
心に書き記^{こころ か じる}せ。

4 知恵^{ち え}に「あなたは私の姉妹^{わたし のしまい}だ」
と言^いい、

理解^{り かい}を「私の親族^{わたし のしんぞく}」と呼べ。

5 それらが、いかかわしい女性^{おんな}
から、

不道德^{ふ どうとく}な女性^{おんな}と彼女の甘い言
葉^はから、あなたを守るため^{まも}で
ある。

6 私は自分の家の窓^{まど}から、
格子^{こうし}越しに見^み下ろした。

7 世間知らず^{せ けん し}の人たち^{ひとたち}を観察^{くわんさつ}して
いて、

若者^{わかもの}たちの中に分別^{ふんべつ}のない若
者^{わかもの}を見つけた。

8 その若者^{わかもの}はある女性^{おんな}の家^{いえ}への曲
がり角^{かど}の近く^{ちか}を通^{とお}り、

その女性^{おんな}の家^{いえ}の方向^{ほうこう}に進^{すす}む。

9 夕暮^{ゆふぐ}れ時に、晩^{ばん}に、
夜^{よる}と闇^{やみ}が近づ^{ちか}く頃^{ころ}に。

7:1 *または、「蓄えよ」。 7:2 *または、「律法」。
7:5 *直訳、「よその」。格 2:16参照。 *直訳、
「外国の」。格 2:16参照。 ^または、「誘惑の」。
7:7 *または、「経験のない」。 *直訳、「心が欠
けている」。

第7章

(7) 格 10:14

(4) レビ 18:5
申 5:16
イザ 55:3
ヨハ 12:50

(7) 格 2:10,11

(4) 格 23:27,28

(7) 格 2:11,16
格 5:3
格 6:23,24(7) 格 6:32
格 9:16,17

(4) ヨブ 24:15

第2欄

(7) エレ 4:30

(4) 格 9:13-18

(7) 格 23:27,28

(4) レビ 19:5

(7) エゼ 27:7

(7) ソロ 3:6
ソロ 4:14

(4) 格 5:3

10 すると、娼婦^{しょうふ}のような服装^{ふくそう}をした
女性^{おんな}が

ずる賢^{がしこ}い心^{こころ}で彼^{かれ}に会^あう。

11 彼女^{かのじょ}は騒^{さわ}がしくて、ふてぶてしく、
いそ家^{いえ}にいることがない。

12 外^{そと}に出^でたかと思うと、広場^{ひろば}に
行^いき、

あちこちの角^{かど}で待ち伏^ませする。

13 その若者^{わかもの}をつかまえて口づけ
する。

厚^{あつ}かましくもこう言^いう。

14 「私は共食^{きやうしょく}の犠牲^{ぎせい}を捧^{ささ}げなけれ
ばなりませんでした。

今日^{きょう}、誓約^{せいやく}を果た^はしました。

15 それで、あなたに会^あうため、あな
たを探^{さが}すために出^でてきました。
やっと会^あえました。

16 ベッドには、エジプト^{いろうあび}の色鮮^{いろあざ}やか
な亜麻布^{あまぬす}の

すてきなカバー^かを掛^かけました。

17 没薬^{もつやく}、沈香^{じんこう}、シナモン^ふを振りまき
ました。

18 来てください。朝^{あさ}まで2人^{ふたり}で愛^{あい}を
満喫^{まんきつ}しましょう。

激^{はげ}しく愛^{あい}し合^あいましょう。

19 夫^{おっと}は家^{いえ}にいません。

遠^{とお}くへ旅行^{りょこう}に行^いきました。

20 お金^{かね}の袋^{ふくろ}を持^もっていきました。
満月^{まんげつ}の日^ひまで戻^{もど}りません」。

21 その女性^{おんな}は彼^{かれ}を熱心^{ねっしん}に口説^{くど}いて
惑^{まど}わす。

甘い言葉^{あまことば}で誘惑^{ゆうわく}する。

22 突然、彼はその女性に付いていく。ほふられに行く雄牛のよう

に。
足かせ台に行つて罰せられる愚かな人のように。

23 ついには矢が彼の肝臓を刺し通す。

わなになに飛び込む鳥のように、自分分が命を失うことになるのを知らない。

24 だから今、私の子供たちよ、私の言うことを聞きなさい。

私が話す言葉に注意を払いなさい。

25 あなたの心がその女性の道へそ

れていかなないようにしなさい。彼女が通る道にさまよっていつてはならない。

26 彼女によって多くの人が命を落とした。

彼女が殺した人は数知れない。

27 彼女の家は墓に通じており、死の奥の部屋へと下っていく。

8 知恵が呼び掛けていないだらうか。
識別力が声を上げていないだらうか。

2 それは、道沿いの高台、交差点に立つ。

7:22 *または、「殺され」。* または、「足かせを掛けられて」。7:27 *ヘブライ語、シエオル。用語集参照。

第7章
(例) コー 6:18

(例) 格 5:8-11

(例) 格 5:8

(例) 伝 7:26

(例) コー 10:8

第8章
(例) 格 1:20, 21

(例) マタ 10:27

第2欄
(例) 使徒 20:20

(例) 詩 19:7

(例) 詩 19:9, 10
詩 119:72, 127
格 3:13-15

(例) 格 2:11
格 5:1, 2

3 町に通じる門の横、門の入り口
で大声で叫び続ける。

4 「人々よ、私はあなた方に呼び掛けて

いている。
皆に向かって声を上げる。

5 経験のない人たち、聡明さを身に付けよ。

愚かな人たち、理解力のある心を

得よ。
6 聞きなさい。私は重要なことを

語り、
唇は正しいことを話すから

あり、
7 私の口は穏やかに真理を語り、

唇は邪悪なことを嫌悪するから

である。
8 私の口の言葉は全て正しい。

間違つたことや曲がつたことは全

くない。
9 それは皆、識別力のある人に

としては明快であり、
知識を見つけた人にとっては正

しいことである。
10 銀の代わりに私の指導を、

最良の金よりも知識を選べ。

11 知恵はサンゴに勝り、
他のどんな望ましいものもそれ

にはかなわない。

12 知恵である私は、聡明さと共に

住む。
知識と思考力を得た。

8:4 *直訳、「人々の子供たち」。8:5 *直訳、「心を理解せよ」。8:11 *用語集参照。

13 エホバを畏れるとは悪を憎むことである。

わたし おも ぼこ い わる
私は、思い上がりや誇り、悪い道、偽りを憎む。

14 私には良い助言と役立つ知恵がある。

り かい 明 ちから 明 わたし
理解と力は私のものである。

15 私によって、王たちは統治し続け、

こう かん だ せい ぶ かく だ 告
高官たちは正しい布告を出す。

16 私によって、統治者たちは治め続け、

こう ぎ ひと だ さい ば
高貴な人たちは正しい裁きをする。

17 私は、私を愛する人を愛しており、

わたし さが もと ひと わたし み
私を探し求める人は、私を見つける。

18 富と栄光は私と共にある。

えい ぞく ざい さん だ だ
永続する財産と正しさも。

19 私が実らせるものは金にも、精錬された金にも勝り、

わたし う だ さい りょう ぎん
私が生み出すものは最良の銀に勝る。

20 私は、正義の道を、

こう せい い みち ま なか あゆ
公正の道の真ん中を歩む。

21 私を愛する人たちに財産を与え、彼らの倉を満たす。

かれ くら み じょう じょう
彼らの倉を満たす。

22 エホバが、創造の初めとして、昔の偉業の最初として私を生み出した。

8:18 *または、「価値ある世襲財産」。

第8章

(詩) 詩 97:10
詩 101:3
格 16:6
口マ 12:9

(詩) 詩 101:5
ペー 5:5

(詩) 格 4:24

(詩) 格 2:7

(詩) 格 4:7

(詩) 格 24:5

(詩) 詩 72:1

(詩) 格 2:4,5

(詩) 格 3:13,14

(詩) ヨハ 1:1-3,14

(詩) コロ 1:15-17

第2欄

(詩) ミカ 5:2

(詩) ヨハ 8:58

ヨハ 17:5

(詩) 創 1:2

(詩) 詩 33:6

エレ 10:12

(詩) 創 1:6,7

ヨブ 26:10

(詩) ヨブ 38:8-11

詩 33:7

詩 104:6-9

エレ 5:22

(詩) 創 1:26

ヨハ 1:1,3

ヨハ 17:5

コロ 1:15,16

(詩) イザ 42:1

マタ 3:17

(詩) ヨブ 38:7

23 私は、昔から据えられた。初めから、地球より前の時代から。

24 水の深みもなかった時に、私は生み出された。

25 水があふれる泉もなかった時に、

山々が据えられる前に、

丘より前に、生み出された。

26 神が地球やその原野も、土壌の最初の塊もまだ造っていなかった時に。

27 神が天を整えた時、私はそこにいた。

28 神が水の表面に水平線を引いた時、

29 上の方に雲を置いた時、深い水の泉を設けた時、

30 海のために規定を設け、水が制限を越えないようにした時、

31 地の土台を据えた時、その時、私は優れた働き手として神のそばにいた。

32 私は毎日、神が深い愛情を抱く存在で、

いつも神の前で喜んだ。

31 人が住むための地球を見て喜び、

人間に深い愛情を抱いた。

32 だから今、私の子供たちよ、私の言うことを聞きなさい。

8:24 *または、「陣痛を伴って生み出された」。

8:27 *直訳、「円を定めた」。8:29 *または、「定めた」。

- わたし みち しただ ひと しあわ
私の道に従う人たちは幸せだ。
- 33 指導を受け入れて、賢くなれ。
それを軽視してはならない。
- 34 毎日私の戸口に早く来て、
戸口の柱の脇で待ち、
私の言うことを聞く人は幸せだ。
- 35 私を見いだす人は命を見いだし、
エホバの好意を得るからである。
- 36 しかし、私を無視する人は自分を
痛めつけており、
私を憎む人たちは死を愛して
いる」。
- 9 真の知恵は家を建てた。
7本の柱を切り出した。
- 2 肉をしっかり用意し、
ぶどう酒に香料を混ぜ、
食卓を整えた。
- 3 召し使いの女性たちを遣わした。
町の高台から呼び掛けるため
である。
- 4 「経験のない人は誰でもこちらに
来なさい」と。
知恵は、分別のない人に言う。
- 5 「来て、私のパンを食べ、
私が香料を混ぜたぶどう酒を飲
みなさい。
- 6 未熟さを捨てて、生きなさい。
理解の道を前進しなさい」。
- 7 あざける人を正すなら、恥を
かき、

8:33 *直訳、「聞いて」。8:34 *または、「で目覚めていて」。9:4, 16 *直訳、「心が欠けている」。9:6 *または、「経験のない人たちを後に残して」。

第8章
(例) 格 3:11
格 4:13
へブ 12:7,9
(例) 格 13:14
(例) 格 5:23
第9章
(例) 格 1:20-22
(例) 詩 119:130
(例) 格 4:5
格 13:20
(例) 格 15:12
第2欄
(例) 王一 21:20,21
王二 25:15,16
マタ 7:6
(例) 詩 141:5
格 27:6
格 28:23
(例) 格 1:5
格 15:31
格 17:10
格 25:12
(例) 詩 111:10
(例) 代一 28:9
マタ 11:27
ヨハ 17:3
(例) 申 6:1,2
格 8:35
格 10:27
(例) 格 7:10,11
(例) 格 23:27,28
(例) 格 6:32
(例) 格 7:18,19

- あくにん いまし
悪人を戒めるなら、けがをする。
- 8 あざける人を戒めるな。さもない
と、その人はあなたを憎む。
賢い人を戒めよ。そうすれば、そ
の人はあなたを愛する。
- 9 賢い人に伝えよ。その人はさら
に賢くなる。
正しい人を教えよ。その人はさら
に知識を得る。
- 10 知恵はエホバへの畏れから始
まる。
最も聖なる方についての知識が
理解を与える。
- 11 知恵によって、あなたの日々は
多くなり、
あなたは長く生きられる。
- 12 あなたが賢くなるなら、それは自
分自身のためである。
あざける人になるなら、自分一人
で責任を負う。
- 13 愚かな女性は騒がしい。
浅はかで、何一つ知らない。
- 14 自分の家の入り口に、
町の高い所にある席に座り、
通っていく人たちに、
道を真つぐ進んでいく人たちに
呼び掛ける。
- 16 「経験のない人は誰でもこちらに
来なさい」と。
そして、分別のない人たちに
言う。
盗んだ水は甘く、
こっそり食べる物おいしい」。

- 18 彼らは、死んだ無力な人たちが
そこにおり、
彼女の客が墓の底にいることを
知らない。

- 10 ソロモンの格言。
賢い子は父親を喜ばせ、
愚かな子は母親を悲しませる。
2 不正に得た宝は何の役にも立た
ないが、
正しい行いは人を死から救い
出す。
3 エホバは正しい人を飢えさせず、
悪人に 願望を実現させ
ない。
4 怠惰な手は人を貧しくし、
勤勉な手は富をもたらす。
5 夏に穀物を集める子は洞察力が

- あり、
収穫期にぐっすり眠っている子は
恥さらしである。
6 祝福は正しい人の頭にあり、
悪人たちの口は暴力を包み隠す。
7 正しい人は記憶されて祝福され、
悪人たちの名は腐る。
8 心の賢い人は教えを受け入れ、
愚かな話をする人は踏みにじら
れる。
9 高潔に歩む人は安全に歩み、
不正直に歩む人は知られずには
済まない。

9:18 *ヘブライ語、シェオル。用語集参照。 10:
6, 7 *または、「称赞」。

第9章

(例) 格 2:18, 19
格 7:23, 26
格 23:27, 28

第10章

(例) 格 1:1
(例) 格 13:1
格 27:11
(例) 格 11:4
(例) 詩 33:18, 19
詩 37:25
マタ 6:33
(例) 格 20:4
伝 10:18
(例) 格 12:24
格 13:4
格 21:5
(例) 格 6:6, 9
(例) 出 23:25
格 28:20
(例) 詩 112:6
伝 7:1
(例) 詩 9:5
(例) 申 4:6
詩 19:7
詩 119:34
詩 119:100
(例) 格 18:6
(例) 詩 25:21
(例) テモ 5:24

第2欄

(例) 格 6:12, 13
(例) 格 18:21
(例) 格 11:30
(例) マタ 12:35
ヤコ 3:5
(例) 格 17:9
コ 13:4, 7
ペ 4:8
(例) イザ 50:4
(例) 格 26:3
(例) 格 9:9
(例) 格 13:3
格 18:7
(例) 格 19:7
格 30:8, 9
伝 7:12
(例) マタ 7:17
(例) サー 18:17, 21
(例) 伝 5:2

- 10 ずる賢く目配せする人は悲しみを
引き起こし、
愚かな話をする人は踏みにじら
れる。
11 正しい人の口は命の源であり、
悪人たちの口は暴力を包み隠す。
12 憎しみを口論を引き起こし、
愛は全ての違反を許す。
13 識別力のある人の唇には知恵が
あり、
分別のない人の背中のためにむ
ちがある。
14 賢い人は知識を蓄え、
愚かな人の口は破滅を招く。
15 裕福な人の富はその人の要塞。
貧しい人たちの破滅は貧しさに
よる。
16 正しい人の活動は命につながり、
悪人の収益は罪につながる。
17 指導に注意を払うなら人々を命
に導くことができ、
戒めを無視するなら人々をさまよ
わせることになる。
18 憎しみを隠す人はうそをつき、
悪意あるうわさを広める人は愚
かである。
19 言葉が多ければ失敗を避けられ
ない。

10:12 *直訳、「覆う」。 10:13 *直訳、「心が
欠けている」。 *または、「棒」。 10:14 *また
は、「大切にし」。 10:15 *または、「貴重なも
の」。 10:17 *もしかすると、「命への道を行き」。
10:19 *直訳、「違反」。

ことば つつし ひと しりよぶか (7)
言葉を慎む人は思慮深い。

- 20 正しい人の舌は最良の銀。
あくにん こころ かし
悪人の心はほとんど価値がない。
ただ ひと くちびる おお ひと やしな(4)
21 正しい人の唇は多くの人を養い、
おろ ひと ふんべつ
愚かな人たちは分別がないため
に死ぬ。

- 22 エホバの祝福が人を富ませる。
しゆくふく ひと と (4)
それに痛みは伴わない。
いた * とみな

- 23 愚かな人にとって恥ずべき行いは遊びだが、
おろ ひと は おこな
識別力のある人には知恵がある。
しきべつりよく ひと ち え (4)

- 24 悪人には恐れていることが降り
あくにん おそ ふ
掛かるが、
か
ただ ひと ねが
正しい人たちは願いがかなえら
れる。

- 25 嵐が過ぎ去る時、悪人はいなくなる。
あらし す さ とき あくにん
なる。
ただ ひと えいえん の こ どだい
正しい人は永遠に残る土台で
ある。

- 26 怠け者は、雇い主にとって、
なま もの やと ぬし*
は す め けむり
歯に酢、目に煙のようなもので
ある。

- 27 エホバへの畏れは命を延ばし、
あくにん とし みじか (4)
悪人の年は短くされる。

- 28 正しい人の期待は喜びをもた
ただ ひと きたい よろこ
らし、
あくにん のぞ き (4)
悪人の望みは消えうせる。

- 29 エホバの道は、非難されるところ
みち ひなん
がない人にとって保護となり、
ひと ほ ご* (4)

10:21 *または、「導き」。 10:22 *または、「悲しみ」、「苦しみ」。 10:26 *または、「遣わす人」。 10:29 *直訳、「とりで」。

第10章

(7) 詩 39:1
格 17:27
格 21:23
ヤコ 1:19

(7) 格 12:18
格 16:13

(7) エレ 3:15

(4) ホセ 4:6

(4) 申 8:17, 18
詩 37:22
テモ 6:6

(4) 格 2:10, 11
格 14:9
格 15:21

(4) 詩 37:4
ヨ 5:14

(7) 詩 37:10

(7) マタ 7:24, 25

(4) 詩 91:15, 16

(4) 詩 55:23

(4) 詩 16:9
ロマ 12:12

(4) 格 11:7

(4) 格 18:10
イザ 40:31

第2欄

(7) ロマ 2:6-8

(7) 詩 16:8

(7) 詩 37:9

第11章

(4) レビ 29:36

(4) 格 16:18
ルカ 14:8, 9

(4) ミカ 6:8
ペ 5:5

(4) 詩 26:1
格 13:6

(7) 格 28:18

(7) エゼ 7:19
マタ 16:26

(4) 創 7:1

(4) サニ 17:23
エス 7:10
格 5:22

あく おこな ひと は めつ い
悪を行う人たちにとって破滅を意
味する。

- 30 正しい人は決して倒されることが
なく、

あくにん ちじょう す
悪人たちが地上に住むことは
ない。

- 31 正しい人の口は知恵を語り、
ただ ひと くち ち え かな *
ふしようじき した き と
不正直な舌は切り取られる。

- 32 正しい人の唇は心地よい言葉を
ただ ひと くちびる ここち ことば
知っている。

あくにん くち ふしようじき
悪人たちの口は不正直である。

- 11 不正なばかりはエホバに
ふ せい
って忌まわしく、
せいかく おも * かみ よろこ
正確な重りは神にとって喜びで
ある。

- 2 出過ぎたことをすると、恥をかく。
で す
知恵は、慎みのある人たちと共
ち え つつし ひと とち
にある。

- 3 正直な人の高潔さはその人を
しょうじき ひと こうけつ * ひと
導き、
みちび (4)
ふせいじつ ひと ふしようじき ひと
不誠実な人の不正直さはその人
を滅ぼす。

- 4 富は激怒の日に何の役にも立た
ないが、
とみ* げきど ひ なん やく た
正しい行いは人を死から救い
ただ おこな ひと し すく
出す。

- 5 非難されるところがない人は、正
ひ なん ひと ただ
しい行いによって自分の道を
おこな じぶん みち
ま
真つすぐにし、
あくにん じぶん あく たお (4)
悪人は自分の悪のゆえに倒れる。

10:31 *または、「の実を結び」。 11:1 *または、「完全な石重り」。 11:3 *または、「忠誠」。 11:4 *または、「貴重なもの」。

- 6 正直な人の正しさはその人を救い出し、不誠実な人の欲望はその人にとってわなとなる。
- 7 悪人が死ぬ時、彼の望みは消えうせる。彼の力に基づく期待も消えうせる。
- 8 正しい人は苦難から助け出され、代わりに悪人がそこに陥る。
- 9 背教者は言葉によって隣人を破滅させる。正しい人は知識によって助け出される。
- 10 正しい人たちの善良さによって町は喜び、悪人たちが滅びる時、喜びの声が上がる。
- 11 正直な人たちが受ける祝福によって町は栄え、悪人たちの口によって町は打ち壊される。
- 12 分別のない人は隣人を侮辱し、本当に識別力のある人は沈黙を守る。
- 13 中傷する人は内密のことを漏らし、回り、信頼できる人は秘密を守る。
- 14 巧みな指揮がないと民は倒れ、助言者が多ければ成功する。

11:9 *または、「神を認めない人」。 11:11 *または、「願う求める」。 11:12 *直訳、「心が欠けている」。 *または、「軽んじ」。 11:14 *または、「的確な導き」。 *または、「救われる」。

第11章

- (ア) エレ 3:18
(イ) 格 1:32
(イ) 出 15:9,10
ルカ 12:18-20
(ロ) エス 7:9
格 21:18
ダニ 6:23,24
(ロ) 格 2:10-12
(イ) 出 15:20,21
エス 9:19,22
(イ) 格 14:34
(イ) ヤコ 3:6
(イ) 格 17:27
ペー 2:23
(ロ) レビ 19:16
格 20:19
格 26:22
(イ) 格 15:22
格 20:18
格 24:6

第2欄

- (イ) 格 6:1,5
格 20:16
(イ) サー 25:39
ペー 3:3,4
(イ) ルカ 6:38
(ロ) ヤコ 5:3,4
(イ) ヨブ 27:13,14
(イ) ガラ 6:7,8
(イ) 使徒 10:34,35
啓 2:10
(イ) 詩 18:26
格 3:32
(イ) 詩 51:6
格 15:8
(ロ) 伝 8:13
エゼ 18:4

- 15 知らない人の保証人になるなら必ず苦しい目に遭う。契約の握手を避けるなら安全である。
- 16 魅力ある女性は名誉を手にし、冷酷な男性たちは富を手に入る。
- 17 親切であることは自分のためになり、残酷な人は自分を苦しい目に遭わせる。
- 18 悪人は偽りの報酬を得、正しい行いをする人は真の報いを得る。
- 19 正しいことを守り通す人は命に至り、ひたすら悪いことをする人は死に至る。
- 20 心の曲がっている人はエホバにとって忌まわしく、非難されるところがない歩み方をする人は神にとって喜びである。
- 21 確かに、悪人は処罰を免れないが、正しい人たちの子供たちは逃れる。
- 22 美しくても分別をわきまえない女性性は、

11:15 *または、「借金を保証する」。 11:17 *または、「揺るぎない愛を示す」。 *または、「の名誉を傷つける」。 11:18 *直訳、「まく」。 11:21 *直訳、「手に手」。

- ぶた はな きん わ
豚の鼻にある金の輪のようだ。
- 23 ただ ひと ねが よ けっ か
正しい人の願いは良い結果を
う ⅴ
生み、
あくにん のぞ いきどお う
悪人の望みは憤りを生む。
- 24 きまえ あた * ゆた
気前よく与えて、より豊かになる
ⅴ
人がいる。
- あた あた
与えるべきものを与えないのに、
まず ひと ⅴ
貧しくなる人もいる。
- 25 お あた ひと *ⅴ
惜しみなく与える人は報われ、
た ひと さわ #ひと じぶん
他人を爽やかににする人は自分
さわ ⅴ
も爽やかにされる。
- 26 たみ こくもつ う お ひと わる
民は、穀物を売り惜しむ人を悪く
い *
言い、
こくもつ う だ ひと よ い #
穀物を売りに出す人を良く言う。
- 27 よ はげ ひと こうい
良いことをしようと励む人は好意
う ⅴ
を受ける。
- あく さが ひと あく かなら
悪を探す人には悪が必ずやって
く ⅴ
来る。
- 28 とみ たよ ひと たお ⅴ
富に頼る人は倒れ、
ただ ひと あお ば はん
正しい人たちは青菜のように繁
えい ⅴ
栄する。
- 29 かぞく くる め あ *ひと
家族を苦しい目に遭わせる人は
なに そうぞく #ⅴ
何も相続せず、
おろ ひと こころ かしこ ひと つか
愚かな人は心の賢い人に仕える
ことになる。
- 30 ただ ひと はたら いのち き
正しい人の働きは命の木のように
ⅴ
であり、
た ひと ひ よ *ひと かしこ ⅴ
他人を引き寄せる人は賢い。

11:24 *直訳、「まき散らして」。 11:25 *直訳、「
「太らせれ」。「惜しみなく水を与える」。
11:26 *または、「への災いを願ひ」。「ま
または、「への祝福を願う」。
11:29 *または、「の
名誉を傷つける」。「直訳、「風を相続し」。
11:30 *または、「得る」。

第11章

- ⅴイザ 26:9
マタ 5:6
ⅴ申 15:10
格 19:17
伝 11:1,2
ⅴハガ 1:6
ⅴ使徒 20:35
コ二 9:6
ⅴルカ 6:38
ⅴ格 12:2
ⅴエス 7:10
詩 10:2
ⅴヨブ 31:24,28
詩 52:5,7
ⅴ詩 1:2,3
詩 52:8
ⅴヨシ 7:15
ⅴ格 15:4
ⅴコ一 9:20-22
ヤコ 5:19,20

第2欄

- ⅴエゼ 18:24
テサ二 1:6
ペー 4:18

第12章

- ⅴ格 4:13
ⅴ詩 32:9
ⅴ申 25:1
王一 8:31,32
ⅴ詩 37:10,38
ⅴ格 18:22
格 19:14
ⅴ王一 21:25
ⅴサニ 17:1,2
ⅴエス 7:3,4
格 14:3
ⅴ格 24:3
マタ 7:24,25
ⅴ創 41:39
サー 16:18
ⅴサー 25:14,17
マタ 27:3,4
ⅴ格 13:7

- ちしょう ただ ひと むく う
31 地上で正しい人が報いを受ける
のであれば、
あくにん つみびと ⅴ
悪人と罪人はなおさらだ。

- 12 しどう あい ひと ちしき あい
指導を受する人は知識を受
ⅴ
しており、
いまし にく ひと ふんべつ * ⅴ
戒めを憎む人は分別がない。
- 2 よい ひと こうい う
善い人はエホバの好意を受け、
わるだく ひと かみ だんざい
悪巧みをする人は神に断罪さ
ⅴ
れる。

- 3 じゃあく ⅴ あんてい ひと
邪悪さによって安定する人はいな
いが、
ただ ひと ね ひ め
正しい人の根は引き抜かれるこ
とがない。

- 4 ゆうのう つま おっと かんむり ⅴ
有能な妻は夫の冠であり、
は こうどう つま おっと ほね
恥ずべき行動をする妻は夫の骨
くさ ⅴ
を腐らせる。

- 5 ただ ひと かんが こうせい
正しい人の考えは公正であり、
あくにん みちび あざむ
悪人の導きは欺きである。

- 6 あくにん ことば いのち うば ま
悪人の言葉は命を奪おうと待ち
ぶ ⅴ
伏せし、
しょうじき ひと い いのち すく ⅴ
正直な人の言うことは命を救う。

- 7 あくにん たお
悪人は倒されて、いなくなり、
ただ ひと いえ さんぞく ⅴ
正しい人の家は存続する。

- 8 しりよぶか ⅴ くち ひと しょうさん
思慮深い口のゆえに人は称賞
ⅴ
され、
こころ ま ひと ぶじよく
心の曲がっている人は侮辱さ
ⅴ
れる。

- 9 ひと かる み め つか
人に軽く見られても召し使いが
ほう
いる方が、
み は た もの
見えを張って食べ物がないよりも
ⅴ
よい。

12:1 *または、「理性」。

- 10 正しい人は家畜を大切に^たする。
悪人^{あくにん}たちの憐れみ^{あわれみ}は残酷^{ざんこく}でしか
ない。
- 11 自分^{じぶん}の土地^{とち}を耕^{たが}す人は食物^{しょくもつ}が
十分^{じゅうぶん}にあり、
無価値^{むかち}なものを追^おい求め^{もとめ}る人は
分別^{ふんべつ}がない。
- 12 悪人^{あくにん}は他の悪い人^{た わる ひと}たちが捕^{つか}まえ
たものをうらやむ。
- 正しい人^{ただ ひと}たちは根^ねを張^はって実^みを
結^{むす}ぶ木^きのようである。
- 13 悪い人^{わる ひと}は言葉^{ことば}の過^{あやま}ちによってわ
な^なに掛^かかり、
正しい人^{ただ ひと}は苦難^{くなん}から逃^{のが}れる。
- 14 人^{ひと}は、発^{はっ}する言葉^{ことば}によって良^よいも
の^みで満^みたされ、
行^{おこな}う事柄^{ことがら}によって報^{むく}いを与^{あた}えら
れる。
- 15 愚^{おろ}かな人^{ひと}は自分^{じぶん}の道^{みち}は正^{ただ}しいと
思^{おも}うが、
賢^{かしこ}い人^{ひと}は助言^{じょげん}を受け入^うれる。
- 16 愚^{おろ}かな人^{ひと}はすぐ^{*}にいら立ち^だをあ
らわ^{あら}にし、
聡明^{そうめい}な人^{ひと}は侮辱^{ぶじやく}を見過^みごす。
- 17 忠実^{ちゅうじつ}に証言^{しょうげん}する人^{ひと}は真実^{しんじつ}を
告^つげ、
不誠実^{ふせいじつ}な証人^{しょうにん}は偽^{いつわ}りを話^{はな}す。
- 18 心^{こころ}な^{*}い発言^{はつげん}は剣^{つるぎ}のように突^つき
刺^さし、
賢^{かしこ}い人^{ひと}たちの舌^{した}は人^{ひと}を癒^いやす。

12:11 *直訳、「心が欠けている」。12:16 *ま
たは、「同じ日に」。12:18 *または、「軽率な」。

第12章

創 33:12-14
出 23:12
申 22:4,10
申 25:4
ヨナ 4:11

イ 格 28:19
エフ 4:28

イ 王 2:23,24
詩 5:6
伝 5:6

ロ 格 13:2
格 18:20

イ 格 3:7
格 26:12

イ 格 1:5

イ 格 29:11

イ 格 16:24

第2欄

イ ペー 3:10

イ 格 19:9
使徒 5:3,5

イ マタ 5:9

ロ 詩 91:9,10

イ 格 1:30,31
イザ 48:22

イ 詩 5:6
格 6:16,17
啓 21:8

イ 格 10:19

イ 創 39:4
王 11:28

イ 格 19:15

ロ 詩 38:6
格 13:12
格 15:13

イ 格 16:24
イザ 50:4

イ 格 26:13-15

イ 詩 37:27
格 10:7
ハバ 2:4

- 19 真実^{しんじつ}を語^{かた}る唇^{くちびる}は永続^{えいぞく}し、
うそをつく舌^{した}は一瞬^{いっしゅん}でなくなる。
- 20 争^{あらそ}いを仕組^{しく}む人^{ひと}たちの心^{こころ}には欺^{あざむ}
きがあり、
平和^{へいわ}を促^{そくしん}進^{ひと*}する人^{よろこ}たちには喜^{よろこ}
びがある。
- 21 正しい人^{ただ ひと}に災^{わざわ}いが降^ふり掛^かかるこ
とはなく、
悪人^{あくにん}たちには数々^{かずかず}の災難^{さいなん}が生^{しょう}
じ^る。
- 22 うそをつく唇^{くちびる}はエホバにと^いって忌^い
まわしく、
忠実^{ちゅうじつ}に行動^{こうどう}する人^{ひと}は神^{かみ}にと^いって
喜^{よろこ}びである。
- 23 聡明^{そうめい}な人^{ひと}は知^しっている事^{こと}を語^{かた}
らず、
愚^{おろ}かな人^{ひと}の心^{こころ}は愚^{おろ}かなこと^{くち}を口^{くち}
走^{はし}る。
- 24 勤勉^{きんべん}な人^{ひと}は支配^{しはい}し、
怠惰^{たいだ}な人^{ひと}は強^{きょう}制^{せい}労働^{ろうどう}に服^{ふく}する。
怠惰^{しんばい}な人^{ひと}は強^{きょう}制^{せい}労働^{ろうどう}に服^{ふく}する。
- 25 心配^{しんぱい}事^{ごと}があると心^{こころ}が沈^{しず}み、
良^よい言葉^{ことば}によって心^{こころ}が晴^はれる。
- 26 正しい人^{ただ ひと}は自分^{じぶん}の牧草地^{ぼくそうち}をよく
選^{えら}び、
悪人^{あくにん}たちは自分^{じぶん}の道^{みち}を行^いってさ
まよう。
- 27 怠^{なま}け者^{もの}は獲物^{えもの}を追^おわない。
勤勉^{きんべん}さは人^{ひと}の貴^き重^{ちゆう}な宝^{たから}である。
- 28 正しい道^{ただ みち}は命^{いのち}に至^{いた}り、
その道筋^{みちすじ}に死^しはない。

12:20 *直訳、「の助言者」。12:25 *または、
「憂鬱になり」。

13 賢い子は父親のしつけを受
け入れ、

あざける人は叱責を聞かない。

2 人は発する言葉によって良いも
のを受ける。

不誠実な人たちの欲望は暴力に
向かう。

3 自分の口を見張る人は自分の命
を守り、

唇を大きく開く人は破滅する。

4 怠け者は欲しがすが何も得ず、
勤勉な人は十分に満たされる。

5 正しい人はうそを憎み、
悪人たちの行動は恥と不名誉を
もたらす。

6 正義は無実の人を保護し、
悪は罪人を倒す。

7 裕福であるように見せ掛けて、何
も持っていない人がいる。

貧しいように見せ掛けて、多くの
富を持っている人がいる。

8 裕福な人は命のために身代金を
支払うが、

貧しい人は脅されることもない。

9 正しい人の光は明るく輝き、
悪人のランプは消される。

10 出過ぎたことをすると、争いが起
きるだけである。

13:1 *または、「訓練」。
13:3 *または、「言うこと」。
13:4 *直訳、「太らされる」。
13:8 *または、「贖い」。
「叱責を聞かない」。

第13章

〔ヘブ12:7,9〕

〔イサ2:22-25 格9:7〕

〔ヨ格12:14 格18:20〕

〔ロ詩39:1 詩141:3 格21:23〕

〔ヨ格10:19 マタ12:36〕

〔ヨ格26:13-15〕

〔マテ10:4 格12:24〕

〔ヨ詩119:163 格8:13 エフ4:25〕

〔ヨ詩25:21〕

〔ヨ格12:9〕

〔ヨエレ41:8〕

〔ヨエレ39:10〕

〔ヨ詩97:11〕

〔ヨ格24:20〕

〔ヨ裁8:1〕

第2欄

〔ヨ格11:2〕

格24:6 使徒15:5,6

〔ヨ格28:8 エレ17:11〕

〔ヨ詩143:7〕

〔ヨ創21:5-7 ルカ2:29,30〕

〔ヨ代2:36:15,16〕

〔ヨ詩19:8,11 格13:18〕

〔ヨ格24:14〕

〔ヨ格14:15〕

〔ヨサ25:25〕

〔ヨサ2:4,9,10〕

〔ヨ詩141:5 格15:32 へブ12:11〕

〔ヨ王1:47,48〕

〔ヨアモ5:10〕

〔ヨ詩141:5 格15:32 へブ12:11〕

〔ヨ王1:47,48〕

〔ヨアモ5:10〕

〔ヨ使徒4:13〕

11 助言を求める人たちには知恵が
ある。

11 手っ取り早く得た財産は減って
いき、

少しずつためる人の財産は増え
ていく。

12 期待がなかなか実現しないと落
ち込むが、

かなえられた望みは命の木で
ある。

13 指示を軽く見る人は罰を受け、
おきてを尊重する人は報われる。

14 賢い人の教えは命の源であり、
人を死のわなから遠ざける。

15 鋭い洞察力は好感を持たれる。
不誠実な人の道は過酷である。

16 聡明な人は知識によって行動し、
愚かな人は愚かさをさらけ出す。

17 悪い使者は問題に陥る。

忠実な使節は癒やしを与える。

18 指導を軽視する人は貧困と不名
譽を経験し、

矯正を受け入れる人は称賛さ
れる。

19 人は望みがかなうと喜びを感じ、
愚かな人は悪から遠ざかるのを
嫌がる。

20 賢い人たちと共に歩むと賢く
なり、

13:10 *または、「協議する」。
13:11 *または、「むなしものから生じる」。
13:13 *または、「言葉」。
13:14 *または、「律法」。
13:18 *または、「戒め」。

おろ ひと かつ かか あ くる
 愚かな人々と関わり合うと苦し
 い目に遭う。

21 罪人は災いに追われ、
 ただ ひと むく はんえい (例)
 正しい人は報われて繁榮する。

22 善い人は孫の代にまで財産を
 のこ 残し、
 つみびと とみ ただ ひと たくわ
 罪人の富は正しい人のために蓄
 えられる。

23 貧しい人たちの耕作地は多くの
 まず ひと こうさく ち おお
 食物を生み出すが、
 しょくもつ う だ
 不公平によって奪い去られること
 がある。

24 むちを控える人は子供を憎んで
 (例) いる。
 こども あい ひと こ おこた
 子供を愛する人は懲らしめを怠
 らない。

25 正しい人は満足するまで食べ
 (例) るが、
 あくになん くうふく (例)
 悪人たちは空腹である。

14 本^{ほん}当^{とう}に賢^{かしこ}い女^{じょ}性は自^じ分^{ぶん}の
 家庭^{かてい}を築^{きず}き上^あげ、
 おろ じょせい じぶん て かてい
 愚かな女性^{おろじょせい}は自^じ分^{ぶん}の手^てで家^か庭^{てい}を
 は かい
 破壊^{はかい}する。

2 正直^{しょうじき}に歩^{あゆ}む人^{ひと}はエホバ^{おそ}を畏^{おそ}れて
 いる。

ひと あざむき#おこな ひと かみ かる
 人を欺^{あざむき}く行^{おこな}いをする人^{ひと}は神^{かみ}を軽^{かる}
 んじている。

3 愚^{おろ}かな人^{ひと}の傲^{ごうまん}慢^{まん}な言^{こと}葉^ばはむちの
 ようであり、

13:24 *または、「懲らしめ」、「罰」。「もしかす
 ると、「すぐに懲らしめる」。**14:2** *または、「真っ
 すぐに」。「または、「曲がった」。**14:3** *また
 は、「棒」。

第13章

(例) 創 34:1,2

(例) 申 28:20

(例) ロマ 2:9,10

(例) 申 6:10,11

(例) サー 3:12,13
 王 1:5,6
 格 29:15(例) 申 6:7
 格 19:18
 格 22:15
 エフ 6:4
 ヘブ 12:6(例) 詩 34:10
 詩 37:25

(例) イザ 65:13

第14章

(例) 格 24:3
 格 31:26

第2欄

(例) 格 6:16,19
 格 19:5

(例) 格 18:15

(例) 格 13:20

(例) 格 14:12

(例) 格 10:23
 格 30:20

(例) 格 21:12

(例) 格 30:12

かしこ ひと ぐちびる かれ じ しん
 賢^{かしこ}い人^{ひと}たちの唇^{ぐちびる}は彼^{かれ}ら自^じ身^{しん}を
 まも
 守^{まも}る。

4 牛^{うし}がいない所^{ところ}では飼^かい葉^ばおけは
 きれいだが、

ゆた しゅうかく うし
 豊^{ゆた}かな収^{しゅうかく}穫^くをもたらすのは牛^{うし}の
 ちから
 力^{ちから}である。

5 忠^{ちゅうじつ}実^{じつ}な証^{しょうにん}人^{にん}はうそをつかない。
 う せいじつ しょうにん
 不^う誠^{せい}実^{じつ}な証^{しょうにん}人^{にん}はうそばかり言^いう。

6 あざける人^{あざけるひと}は知^ち恵^えを得^えようとする
 が得^えられない。

りかいりよく ひと ち しき しょうい
 理^り解^{かい}力^{りよく}のある人^{ひと}は知^ち識^{しき}を容^{よう}易^いに
 て い (例)
 手^てに入^いれる。

7 愚^{おろ}かな人^{ひと}から離^{はな}れていよ。
 かれ ぐち ち しき で
 彼^{かれ}の口^{ぐち}から知^ち識^{しき}が出^でることは
 (例) ない。

8 聡^{そうめい}明^{めい}な人^{ひと}は知^ち恵^えによつて、自^じ分^{ぶん}
 む
 がどこに向^むかっているか^りを理^り
 解^{かい}し、

おろ ひと じぶん おろ
 愚^{おろ}かな人^{ひと}たちは自^じ分^{ぶん}の愚^{おろ}かさ^りに
 あざむき (例)
 欺^{あざむき}かれる。

9 愚^{おろ}かな人^{ひと}たちは罪^{つみ}を笑^{わら}いの種^{たね}
 (例) にし、

ただ ひと あいだ わ かい
 正^{ただ}しい人^{ひと}たち^{あいだ}の間^わには、和^わ解^{かい}す
 い し#
 る意^い思^しがある。

10 心^{こころ}は自^じ分^{ぶん}の苦^{くる}しみを知^しっており、
 こころ よろこ た ひと きょうゆう
 心^{こころ}の喜^{よろこ}びを他^たの人^{ひと}は共^{きょうゆう}有^{ゆう}でき
 ない。

11 悪^{あく}人^{にん}の家^{いえ}は滅^{ほろ}滅^{ぼろ}され、
 (例) だだ ひと てんまく さか
 正^{ただ}しい人^{ひと}の天^{てんまく}幕^{まく}は榮^{さか}える。

12 人^{ひと}には正^{ただ}しい道^{みち}に思^{おも}えても、
 (例)

14:8 *もしかすると、「によって人を欺く」。**14:**
 9 *または、「償い」。「または、「善意」。

さいしゅうてき し いた みち (7)
最終的に死に至る道がある。

13 笑っていても心が痛むことが

あり、

よろこ かな お
喜びが悲しみに終わることが

ある。

14 身勝手な心の人は自分の歩みの

結果を刈り取り、

よ ひと じ ぶん おこな むく か
善い人は自分の行いの報いを刈

り取る。

15 世間知らずの人は全ての言葉を

信じ、

そうめい ひと ぼ かんが
聡明な人は1歩ごとにじっくり考

える。

16 賢い人は用心深く、悪から遠ざ

かり、

おろ ひと む ぼう * じ しんかじょう
愚かな人は無謀で、自信過剰で

ある。

17 すぐに怒る人は愚かなことをし、

ものごと かんが *ひと にく
物事をよく考える人は憎まれる。

18 世間知らずの人は愚かさを自分

のものとし、

そうめい ひと ち しき かんむり (4)
聡明な人は知識を冠とする。

19 悪い人は善い人の前で、

わる ひと よ ひと まえ
悪人は正しい人の門でひれ伏す

ことになる。

20 貧しい人は隣人からも憎まれ

るが、

ゆうふく ひと とも おお (4)
裕福な人は友が多い。

21 隣人を軽蔑する人は罪を犯して

おり、

14:15, 18 *または、「経験のない」。14:16

*または、「激怒し」。14:17 *または、「思考力

のある」。

第14章

(7) 格 16:25

(7) 格 1:32

(7) ガラ 6:7,8

(4) ネヘ 6:2,3

格 27:12

(7) 格 12:16

格 16:32

(7) 格 4:7-9

(4) 格 19:7

(7) 格 19:4

第2欄

(7) 詩 41:1

格 19:17

イザ 58:7,8

(7) ヨブ 42:10

詩 25:10

(7) 格 28:19

(4) 格 27:22

(7) 詩 34:9

ロマ 8:31

(7) 格 18:10

エレ 15:11

(4) 王一 4:21

(7) 格 17:27

ヤコ 1:19

(7) 格 25:28

格 29:11

伝 7:9

(4) 創 37:3,4

サ一 18:8,9

たち ば ひと おも
立場が低い人たちに思いやりを
しめ ひと しあわ (7)
示す人は幸せである。

22 争いを仕組む人はさまようので

はないか。

ぜん おこな ひと ゆ
善を行おうとする人は揺るぎない

あい ちゆうじつ * しめ (4)
愛と忠実さを示される。

23 あらゆる勤勉な働きには価値が

ある。

こと ば ひんこん おちい (4)
言葉だけでは貧困に陥る。

24 賢い人の冠は富であり、

かしこ ひと かんむり とも
おろ ひと かつどう おろ う
愚かな人の活動は愚かさを生む

だけである。

25 正直な証人は命を救い、

しやうじき しやうにん いのち すぐ
ひと あざむ ひと い
人を欺く人はうそばかり言う。

26 エホバへの畏れは人に強い確

信を抱かせ、

しん いだ (4)
ひと こども ひなん
その人の子供たちにとって避難

所となる。

27 エホバへの畏れは命の泉で

あり、

ひと し とお
人を死のわなから遠ざける。

28 民が多いことは王の威光となり、

たみ おお とう い こう (4)
じんみん しはいしゃ たお
人民がいなければ支配者は倒

れる。

29 すぐに怒らない人は優れた識別

力があり、

たん き ひと おろ
短気な人は愚かさをあらわにし

ている。

30 穏やかな心は体に良く、

しつと ほね くさ (4)
嫉妬は骨を腐らせる。

31 立場が低い人からだまし取るこ

14:22 *または、「真実さ」。14:30 *または、

「命を与え」。

とは人を造った方への侮辱で
あり、

貧しい人に思いやりを示すなら
その方をたたえることになる。

32 悪人は自分の悪によって打ち倒

され、
正しい人は自分の高潔さを避難
所とする。

33 知恵は、理解力のある人の心で
くつろぐが、

愚かな人たちの間では黙ってい
られない。

34 正しさは国民の誉れとなり、
罪は民の恥となる。

35 王は、洞察力をもって行動する家
来を喜び、

恥ずべき行動をする人に激怒
する。

15 穏やかな答えは激しい怒り
を静め、

きつい言葉は怒りをあおる。

2 賢い人の舌は知識を善用し、
愚かな人の口は愚かなことを口
走る。

3 エホバの目はあらゆる所に
あつて、

悪人と善人を見ている。

4 穏やかな舌は命の木であり、
悪意ある言葉は人を落胆させる。

5 愚かな人は父親のしつけを軽
んじ、

15:1 *または、「温和な」。
*または、「とげのある」。
15:4 *または、「人を癒やす」。
*または、「精神を打ち砕く」。
15:5 *またはは、「訓練」。

第14章

(例) 申 24:14, 15

詩 12:5

(例) マタ 19:21

(例) 格 2:7

格 10:9

(例) 格 15:28

(例) 申 4:6

(例) サニ 15:32-34

格 22:29

(例) 王一 2:44, 46

第15章

(例) 裁 8:2, 3

サ一 25:32, 33

格 25:15

(例) 王一 12:14, 16

(例) 格 16:23

イザ 50:4

(例) 代二 16:9

詩 11:4

ヘブ 4:13

(例) 格 12:18

格 16:24

格 17:27

(例) サ一 2:22-25

第2欄

(例) 詩 141:5

格 13:1

ヘブ 12:11

(例) ヤコ 5:3, 4

(例) 詩 37:30

マタ 10:27

(例) マタ 12:34, 35

(例) イザ 1:11

(例) ヤコ 5:16

ペ一 3:12

ヨ一 3:21, 22

(例) 詩 146:9

(例) イザ 26:7

(例) 王一 18:17, 18

(例) レビ 26:21

格 1:32

(例) 詩 139:8

(例) エレ 17:10

ヘブ 4:13

(例) 格 9:7

ヨハ 3:20

ヨハ 7:7

(例) 代二 18:6, 7

(例) 格 12:25

格 17:22

(例) 詩 119:97

使徒 17:11

(例) イザ 30:9, 10

聡明な人は矯正を受け入れる。

6 正しい人の家には多くの財宝が

あり、
悪人に 産物はその人に問題をも

たらす。

7 賢い人の唇は知識を広めるが、
愚かな人の心はそうではない。

8 悪人の犠牲はエホバにとって忌

まわしく、
正しい人の祈りは神にとって喜

びである。

9 エホバは、悪人の道をひどく

嫌い、
正しく生きようとする人を愛する。

10 正しい道を捨てる人にとって指導
は悪いことに思え、

戒めを憎む人は死ぬ。

11 墓と滅びの場所はエホバにすつ
かり見えている。

人の心はなおさだ。

12 あざける人は自分を正してくれる
人を愛さない。

賢い人たちに相談しない。

13 心に喜びがあると表情が明るく
なり、

心に痛みがあると気持ちが沈む。

14 理解力のある心は知識を探し
求め、

愚かな人の口は愚かさを食物と
する。

15:5 *または、「戒め」。
15:6 *または、「収
入」。
15:10 *または、「厳しい」。
15:11 *ヘ
ブライ語、シエオル。用語集参照。
*または、「ア
バドン」。
15:12 *または、「戒めて」。
15:14
*または、「追い求める」。

- 15 苦しむ人^{くる}にはどの日^ひも悪い日^{わる}で、
陽気な心^{ようき}の人^{ひと}には毎日^{まいにち}が宴会^{えんかい}で
ある。^(イ)
- 16 少し^{すこ}の物^{もの}と共にエホバへの畏れ^{おそ}
がある方^{ほう}が、
多く^{おほ}の富^{とみ}に心配^{しんぱい}が伴^{ともな}うよりも
良い。^(ロ)
- 17 愛^{あい}がある家^{いえ}で野菜^{やさい}を食べる方^たが、
憎しみ^{にく}の中で上等^{じょうとう}な牛肉^{ぎゅうにく}を食べ
るよりも良い。^(ロ)
- 18 すぐかとなる人^{ひと}は争い^{あらそ}を引き起^{おこ}
こし、
すぐに怒らない人^{ひと}は言い争い^いを
鎮める。^(イ)
- 19 怠け者^{なま}の道^{みち}はいばらの垣根^{かきね}のよ
うであり、
真面目^{まじめ}な人^{ひと}たちの道^{みち}は平^{たい}らで
ある。^(ロ)
- 20 賢い子^{かしこ}は父親^{ちち}を喜ばせ、
愚かな人^{おろ}は母親^{はは}を軽^{かろ}んじる。^(ロ)
- 21 分別^{ぶんべつ}のない人^{ひと}は愚かなこと^{おろ}を
喜び、
識別力^{しきべつりよく}のある人^{ひと}は真^まつすぐに
歩む。^(ロ)
- 22 相談^{そうだん}しないと計画^{けいかく}は失敗^{しっばい}し、
助言者^{じょげんしゃ}が多^{おほ}ければ達成^{たっせい}される。^(ロ)
- 23 人^{ひと}は適切な答^{てきせつ}えをする^{こた}ことに喜^{よろこ}
びを感じる。^(イ)
適切^{てきせつ}な時^{とき}に話^{はな}される言葉^{ことば}は、何^{なん}
と良い^よのだろう。^(イ)

第15章

- (イ) ヨブ 3:11
(イ) 使徒 16:23-25
(イ) 詩 37:16
(ロ) 格 15:17
(イ) 詩 133:1
(イ) 格 17:1
(イ) 格 10:12
(イ) 創 13:8,9
サー 25:23,24
格 25:15
ヤコ 1:19
(イ) 格 26:13-15
(ロ) イザ 30:21
(イ) 格 27:11
(イ) 格 23:22
格 30:17
(イ) 格 26:18,19
伝 7:4
(ロ) 格 10:23
エフ 5:15,16
ヤコ 3:13
(イ) 格 20:18
(イ) エフ 4:29
(イ) サー 25:32,33
格 25:11

第2欄

- (イ) マタ 7:13,14
(イ) 格 8:35,36
(イ) ルカ 18:14
(ロ) 詩 146:9
(イ) 格 6:16,18
(イ) 詩 19:14
(イ) 申 16:19
サー 8:1,3
格 1:19
(イ) イザ 33:15,16
(イ) 格 16:23
(ロ) 詩 34:15,16
詩 138:6
詩 145:19
ヨハ 9:31
(イ) 格 16:24
格 25:25
(イ) 格 9:8
格 19:20
(イ) 格 5:12,14
ヘブ 12:25
(イ) 格 13:18
マタ 7:24,25
(イ) 詩 111:10
(イ) 格 18:12
ヤコ 4:10

- 24 洞察力^{どうさつりよく}のある人^{ひと}は命^{いのち}の道^{みち}を上^うに
向^むかい、
下^{した}の墓^{はか}から遠^{とお}ざかる。^(イ)
- 25 エホバは傲慢^{ごうまん}な人^{ひと}たちの家^{いえ}を打^う
ち壊^{こわ}し、
やもめの土地^ちの境界^{きょうがい}を保^ほ護^ごする。^(ロ)
- 26 エホバは悪人^{あくにん}のたくらみ^{たくらみ}をひど
く嫌^{きら}い、
心地^{こころ}よい言葉^{ことば}は神^{かみ}にとって清^{きよ}い。^(イ)
- 27 不当^{ふとう}な利益^{りえき}を得^える人^{ひと}は自分^{じぶん}の家^か
族^{ぞく}を苦^{くる}しい目^めに遭^あわせ、
賄賂^{わいろ}を憎^{にく}む人^{ひと}は生^いき続^{つづ}ける。^(イ)
- 28 正しい人^{ただ}は答^{こた}える前^{まえ}に心^{こころ}の中^{なか}で
思^{おも}い巡^{めぐ}らし、
悪人^{あくにん}たちは悪^{わる}いこと^{こと}を口^{くちばし}走る。^(イ)
- 29 エホバは悪人^{あくにん}から遠^{とお}く離^{はな}れて
いて、
正しい人^{ただ}の祈^{いのち}りを聞^きく。^(ロ)
- 30 目^めの輝^{かがや}きは心^{こころ}を喜^{よろこ}ばせ、
良い報^{ほうこく}告^{からだ}は体^{げん}を元^き気^きにする。^(イ)
- 31 命^{いのち}を与^{あた}える戒^{いまし}めを聞^きく人^{ひと}は、
賢^{かしこ}い人^{ひと}々^{たち}の中^{なか}で暮^くらしている。^(イ)
- 32 指導^{しどう}を拒^{こば}む人^{ひと}は自分^{じぶん}の命^{いのち}を軽^{かろ}ん
じており、
戒^{いまし}めを聞^きく人^{ひと}は理^り解^{かい}を得^える。^(ロ)
- 33 エホバへの畏れ^{おそ}は知^ち恵^えを身^みに付^つ
けさせ、
栄^{えい}誉^よに先^{さき}立つ^だのは謙^{けん}遜^{そん}さである。^(イ)

- 15:15 *または、「悲観的な」。「または、「良
い」。15:16 *または、「混乱」。15:17 *直訳、
「肥えた牛」。15:19 *または、「正しい」。15:
21 *直訳、「心が欠けている」。15:22 *また
は、「内密の話し合いを」。
- 15:24 *ヘブライ語、シエオル。用語集参照。
15:27 *または、「の名誉を傷つけ」。15:28
*または、「どう答えるかをよく考え」、「話す前
に考え」。15:30 *または、「明るいまなざし」。
*直訳、「骨を太らせる」。15:32 *直訳、「心」。

16

こころ かんが ととの ひと
心の考えを整えるのは人で

あるが、
正しい答えを述べるよう助けるの
はエホバである。

2 人には自分の道はどれも正しく

思えるが、
エホバは動機を調べる。

3 行うことは何でもエホバに委
ねよ。

そうすれば、計画は成功する。

4 エホバは全てのものをご自分の
目的に役立つようにしている。

災難の日に滅ばされる悪人たち
についても。

5 心が高慢な人は皆エホバにとっ
て忌まわしく、

処罰を免れないことは確かで
ある。

6 揺るぎない愛と忠実さを示すこと
によって、過ちは贖われ、

エホバへの畏れによって、人は
悪から遠ざかる。

7 エホバは、ある人の道を喜ぶ時、
敵たちをさえその人に友好的に
ならせる。

8 正しいことをして少しの物しかな
い方が、

公正を欠いて多くの収入がある
よりも良い。

9 人が心の中で自分の道を計画す
るとしても、

第16章

(7) エレ 1:9
ルカ 12:11,12

(4) サー 15:13,14
詩 36:1,2
格 21:2
エレ 17:9

(7) サー 16:6,7
格 24:12

(4) 詩 37:5
フィリ 4:6,7

(4) 出 14:4
ロマ 9:21

(7) 格 6:16,17
格 8:13
格 21:4

(4) 使徒 3:19

(7) ネへ 5:8,9
コ二 7:1

(7) 創 31:24
出 34:24

(7) テモ一 6:6

(7) 詩 37:16
エレ 17:11

第2欄

(7) 格 16:1
エレ 10:23

(4) 申 17:18,19
王一 3:28

(7) 詩 72:1,14

(4) レビ 19:36
格 11:1

(7) 格 20:26

(7) 格 29:14
啓 19:11

(4) 詩 101:6

(7) サー 22:17,18
王一 2:29

(7) 伝 10:4

(7) 詩 72:1,6

(7) 伝 7:12

(7) 格 4:7

(7) 格 10:9

その人の歩みを導くのはエホバ
である。

10 王は神の決定を語るべきで、
不公正な裁きをしてはならない。

11 公正なてんびんとはかりはエホ
バからのもの、

袋の中の重りは全て神によるも
のである。

12 悪の行いは王たちにとって忌ま
わしい。

王座は正義によって確立される
からである。

13 王たちは、正しいことを語る唇を
喜び、

正直に話す人を愛する。

14 王の激しい怒りは死の使者で
あり、

賢い人はそれをなだめる。

15 王の恵みを受ける人は良い暮ら
しをする。

王の好意は春の雨をもたらず雲
のようだ。

16 金よりも知恵を得る方がどんな
に良いだろう。

銀よりも理解を得る方が望ま
しい。

17 正しい人たちの道は悪から離れ
ている。

自分の道を見守る人は生き続
ける。

16:3 *直訳、「あなたが行うことをエホバに転が
せ」。16:6 *ヘブライ語では、神が揺るぎない
愛を示して支え続けること、とも読める。

16:14 *または、「避ける」。16:15 *直訳、「顔
の光」。

- 18 誇^{ほこ}りは崩^{ほうかい}壊^{かい}につながり、
傲慢^{ごうまん}な精神^{せいしん}は転落^{てんらく}につながる。^(例)
- 19 温厚^{おんこう}な人^{ひと}たちの間^{あいだ}で謙遜^{けんそん}である
方^{ほう}が、
傲慢^{ごうまん}な人^{ひと}たちと戦利品^{せんりひん}を分け合^あ
うよりも良い。
- 20 洞察力^{どうさつりよく}を示^{しめ}す人は成功^{せいこう}する。^{*}
- エホバに頼^{たよ}る人は幸^{しあわ}せである。
- 21 心^{こころ}の賢^{かしこ}い人は理解力^{りかいりよく}がある人^{ひと}と
呼^よばれ、
親切^{しんせつ}な話^{はな}し方^{かた}をす^{せつとくりよく}ると説得力^{せつとくりよく}が
増^ます。^(例)
- 22 洞察力^{どうさつりよく}はそれを持^もつ人^{ひと}にとって
命^{いのち}の泉^{いずみ}であり、
愚^{おろ}かな人^{ひと}を懲^こらしめるのは当^{とう}人^{にん}
の愚^{おろ}かさである。
- 23 賢^{かしこ}い人^{ひと}の心^{こころ}は口^{くち}に洞察^{どうさつりよく}力^{りよく}を
与^{あた}え、
話^{はなし}に説得力^{せつとくりよく}を加^{くわ}える。
- 24 心地^{こころ}よい言葉^{ことば}は滴^{したた}る蜂^{はち}蜜^{みつ}のよ
うで、
甘^{あま}くて健康^{けんこう}に良^よい。^(例)
- 25 人^{ひと}には正^{ただ}しい道^{みち}に思^{おも}えても、
最終^{さいしゅうてき}的に死^しに至^{いた}る道^{みち}がある。^(例)
- 26 労働^{ろうどう}者は食欲^{しょくよく}のゆえに勤^{きん}勉^{べん}に
働^{はたら}く。
- 空腹^{くうふく}に駆^かり立^たてられるのである。^(例)
- 27 どうしようもない人^{ひと}は悪^{わる}いことを
掘^ほり起^{おこ}す。^(例)

16:19 *または、「謙遜な精神を持つ」。

16:20 *直訳、「良いものを見つける」。

16:21 *または、「魅力的な」。

16:24 *直訳、「骨の癒やしとなる」。

第16章
(例) 格 11:2
ダニ 4:30-32

(例) イザ 57:15

(例) 格 4:7

(例) ルカ 4:22
コ口 4:6

(例) 格 22:17,18
マタ 12:35

(例) 格 4:20-22
格 12:18

(例) 格 14:12
マタ 7:22,23

(例) 伝 6:7

(例) 格 6:12,14

第2欄

(例) ヤコ 3:6

(例) ヤコ 3:16

(例) 創 3:1
サー 24:9
口マ 16:17

(例) 詩 92:12-14

(例) レビ 19:32
ヨブ 32:7
格 20:29

(例) 格 14:29
ヤコ 1:19

(例) 格 25:28

(例) 民 26:55
格 18:18

(例) サー 14:41,42
使徒 1:24,26

第17章

(例) 詩 37:16

(例) 格 15:16,17
格 21:9,19

(例) 格 27:21

- 彼の発^{はつげん}言^{ごん}は燃^もえ盛^{さか}る火^ひのよう^{よう}で
ある。^(例)
- 28 問題^{もんだい}を起^{おこ}す人^{ひと}は不和^{ふわ}を生^{しょう}じ
させ、
中傷^{ちゅうしょう}する人^{ひと}は親友^{しんゆう}たちを引^ひき
離^{はな}す。^(例)
- 29 暴力^{ぼうりよくてき}的な人^{ひと}は隣人^{りんじん}を喰^そのか
ま^まちが^{みち}間違^{まちが}った道^{みち}に導^{みちび}く。
- 30 目配^{めくば}せて悪巧^{あくくわ}みをし、
口^{くち}を固^{かた}く結^{むす}んで危^き害^{がい}を加^{くわ}える。
- 31 正^{ただ}しい道^{みち}を歩^{あゆ}む人^{ひと}の白髪^{はくはつ}は
美^{うつく}しい冠^{かんむり}である。^(例)
- 32 すぐ^{おこ}に怒^{ひと}らない人^{ひと}は力^{ちから}の強^{つよ}い人^{ひと}
に勝^{まさ}る、
怒^{おこ}りを抑^{おさ}える人^{ひと}は町^{まち}を征服^{せいふく}する
人^{ひと}に勝^{まさ}る。^(例)
- 33 くじ^{ふく}を服^いのひだ^ひに入れて引^ひく
とき、
その決^{けつてい}定^{てい}は全^{すべ}てエホバから来^くる。^(例)
- 17 平和^{へい}な所^{ところ}で1切^きれの乾^{かわ}いた
パン^{ぱん}を食^たべる方^{ほう}が、
言^いい争^{あらそ}いがある家^{いえ}でたくさん^{たくさん}の
ごちそう^{ごちそう}を食^たべるよりも良^よい。^(例)
- 2 洞察^{どうさつりよく}力^{りよく}のある召^めし使^{つか}いは、恥^はず
べき行^{こうどう}動^{どう}をするそ^{いえ}の家^{むすこ}の息^い子^こ
を従^{したが}わせ、
息^{むすこ}子^この1人^{ひとり}のよう^{よう}に相^{そう}続^{ぞく}分^{ぶん}を持^も
つこと^{こと}になる。
- 3 るつば^{ばん}は銀^{ぎん}のため、炉^ろは金^{きん}の
ため、^(例)

16:28 *または、「たくらむ」。

16:31 *または、「栄光の」。

エホバは心を調べる方である。

4 悪人は有害な話に注意を向け、

うそつきは悪意ある言葉に耳を傾ける。

5 貧しい人をあざ笑うことは人を

造った方への侮辱であり、
他人の災難を喜ぶなら処罰を免れない。

6 孫は高齢者の冠であり、

子供は親を誇りに思う。

7 愚かな人に立派な発言は合わ

ない。
統治者に偽りの発言はなおさらだ。

8 贈り物は持ち主にとって宝石のよ

うであり、
その人はどこに行っても成功する。

9 違反を許す人は愛を示しており、

くどくど言う人は親友を引き離す。

10 理解力のある人への1度の叱

責は、
愚かな人を100回打つよりも効果がある。

11 悪い人はひたすら反逆しよう

とし、
彼を処罰するために残酷な使者が送られる。

12 愚かさにとらわれた愚かな人に

出会うよりは、

17:7 *または、「正直な」。^aまたは、「高貴な人」。

17:8 *または、「に恵みをもたらす石」。

17:9 *直訳、「覆う」。

第17章

(ア) 詩 26:2

格 21:2

格 24:12

(イ) エレ 5:31

(ウ) 格 14:31

(ロ) 格 24:17

オバ 12

(カ) 格 26:7

(コ) 格 16:10

(ケ) 創 32:20

サニ 16:1

(ク) サ一 25:18,35

格 18:16

格 19:6

(ク) 格 10:12

ペー 4:8

(コ) 格 16:28

(ウ) 格 27:22

(ク) 詩 141:5

格 9:8

(ウ) サニ 18:15

サニ 20:1,22

王一 2:22,24

第2欄

(ア) 格 27:3

(イ) サニ 12:8-10

(ア) 創 13:8,9

格 25:8

マタ 5:39

ロマ 12:18

(ウ) 出 23:7

王一 21:13

イザ 5:22,23

(カ) 格 1:22

ロマ 1:20,21

(カ) 格 18:24

ヨハ 15:13

(ウ) ルツ 1:16,17

サー 19:2

(ク) 格 11:15

格 22:26,27

(ウ) ヤコ 3:16

(コ) サニ 15:2-4

(ウ) 詩 18:26

格 6:14,15

(ウ) サ一 2:22-25

サー 8:1-3

サニ 15:14

子を奪われた熊に出くわす方が

よい。

13 善に対して悪を返す人がいれば、

その人の家から悪が離れない。

14 けんかの始まりは水門が開く時

のようである。

言い争いになってしまう前にそこ

を去れ。

15 悪人を無罪とする人、正しい人を

有罪とする人、

どちらもエホバにとって忌まわ

しい。

16 愚かな人が、その気がないのに、

知恵を得る手段を持ってい何

の意味があるのか。

17 真の友はどんな時にも愛を示す。

苦難の時に頼れる兄弟である。

18 分別のない人は握手をして合

意し、

隣人の前で保証人となる。

19 争いを好む人は違反を犯す。

いつも自慢する人は崩壊を招く。

20 心の曲がっている人は成功し

ない。

真実をゆがめて話す人は破滅

する。

21 愚かな子の父親になる人は悲し

みを味わい、

分別のない子の父親には喜びが

ない。

17:14 *または、「せきを切る」。

17:16 *または、「分別」。

直訳、「心」。

17:18 *直訳、「心が欠けている」。

17:19 *直訳、「入り口を高くする」。

17:20 *直訳、「良いものを見つけ」。

- 22 喜びにあふれた心は良い薬になり、
打ちのめされた心は体を弱らせる。
- 23 悪人は賄賂をひそかに受け取って
物事の公正な扱いをゆがめる。
- 24 知恵は識別力のある人の目の前にあり、
愚かな人の目は地の果てまでもさまよう。
- 25 愚かな子は父親を悲しませ、
自分を産んだ母親に心痛を与える。
- 26 正しい人を処罰するのは良くない。
尊敬される人たちは打ちたたくのは正しくない。
- 27 知識のある人は言葉を控え、
識別力のある人は冷静さを保つ。
- 28 愚かな人でも黙っていると、賢い
と見られ、
唇を閉じていると、識別力がある
と見られる。
- 18 自分を孤立させる人は自分の欲求ばかり満たそう
とし、
あらゆる役立ち知恵を退ける。
- 2 愚かな人は何かを理解したいとは思わず、

17:22 *または、「人を癒やし」。 *または、「骨を枯らす」。 17:23 *直訳、「懐から取って」。 17:26 *または、「に罰金を科す」。 17:27 *直訳、「気の冷たさ」。 18:1 *または、「軽視する」。

第17章

〔詩〕格 12:25
格 15:13

〔詩〕格 18:14

〔詩〕出 23:8

〔詩〕伝 2:14

〔詩〕格 15:20

〔詩〕格 10:19
ヤコ 1:19

〔詩〕格 15:4
伝 9:17
ヤコ 3:13

第2欄

第18章

〔詩〕格 10:19

〔詩〕格 11:2

〔詩〕格 10:11

〔詩〕王一 21:9, 10

〔詩〕申 1:16, 17
格 28:21

〔詩〕格 13:10

〔詩〕格 19:19

〔詩〕格 13:3

〔詩〕レビ 19:16

〔詩〕格 26:22

〔詩〕格 10:4

〔詩〕サー 17:45, 46
詩 20:1

〔詩〕詩 18:2
詩 91:14

〔詩〕詩 49:6, 7
格 11:4

エレ 9:23
ルカ 12:19-21

〔詩〕格 11:2
ダニ 5:23, 30
使徒 12:21-23

〔詩〕格 22:4
ペー 5:5

自分の考えばかり話そうとする。

3 悪人が来ると、侮辱も来る。

不名誉なことには恥辱が伴う。

4 人の口の言葉は深い水である。

知恵の泉はほとばしる水の流れ

になる。

5 悪人をひいきするのも、

正しい人を公正に扱わないのも

良くない。

6 愚かな人の言葉は言い争いを起

こす。

その人の口は打たれることを求

めている。

7 愚かな人の口は破滅を招き、

その唇はその人をわなに掛ける。

8 中傷する人の言葉はごちそうのよ

うだ。

のみ込まれて腹の奥に入って

いく。

9 仕事を怠ける人は、

破滅をもたらす人の兄弟である。

10 エホバの名は強固な塔。

正しい人はその中に走り込んで

保護される。

11 裕福な人の富はその人の要塞。

その人の想像の中では防壁で

ある。

12 崩壊に先立つのは高慢な心、

栄誉に先立つのは謙遜さである。

18:8 *または、「むさぼるようにしてのみ込まれる物」。 18:10 *直訳、「高く上げられる」。手が届かない、安全ということ。

13 聞かないうちに返事をする人は、
愚かであり、辱められる。

14 強い心は病気の間の支えとな
るが、
打ちのめされた心には誰が耐え
られるだろうか。

15 理解力のある人の心は知識
を得、
賢い人たちの耳は知識を見つけ
ようとする。

16 贈り物によって道が開かれ、
重要人物に近づける。

17 最初に言い分を述べる人は正し
く見える。

やがて相手方が来て、彼に問い
たずねる。

18 くじは論争を終わらせ、
強い人たち同士を決着をつける。

19 気分を害された友人の頑固さは
防備された町をしのぐ。

かんぬきの掛かった城門のよう
に互いを隔てる論争もある。

20 人が発する言葉は腹を満たす食
物のようで、

人は言ったことの結果を実感する。

21 死も命も舌の力に支配される。
話すのが好きな人はその結果を
刈り取る。

22 良い妻を見つけた人は幸せを見
つけた。

そしてエホバの恵みを受ける。

第18章

〔ア〕格 25:8

〔イ〕ヨブ 1:21
コ二 4:16
コ二 12:10

〔ロ〕格 17:22

〔ホ〕王一 3:7-9
格 9:9

〔ヘ〕創 43:11
格 17:8

〔ヘ〕サ二 16:3,4

〔ヘ〕サ二 19:25-27
格 25:8

〔ロ〕ヨシ 14:1,2
ネヘ 11:1
格 16:33

〔ロ〕創 27:41
サ二 13:22

〔ロ〕サ二 14:28
使徒 15:37-39

〔ロ〕格 12:14
格 13:2

〔ロ〕マタ 15:18
エフ 4:29
ヤコ 3:6,9

〔ホ〕伝 10:12

〔ホ〕格 31:10

〔ロ〕格 19:14
伝 9:9

第2欄

〔ア〕サ二 15:31
マタ 26:49

〔イ〕サ一 19:2,4
格 17:17

第19章

〔ロ〕格 15:16
ヤコ 2:5

〔ロ〕格 28:6

〔ロ〕ロマ 10:2

〔ロ〕格 14:20

〔ホ〕申 19:18,19

〔ロ〕格 19:9

〔ロ〕格 14:20

〔ロ〕伝 9:14,15
ヤコ 2:2,3

23 貧しい人は嘆願を述べ、
裕福な人は厳しい口調で答える。

24 互いを傷つける友人もいれば、
兄弟以上の絆で結ばれる友も
いる。

19 貧しくても高潔に歩む方が、
愚かでうそをつくよりも
良い。

2 知識がないのは良くない。

性急に行動するなら罪を犯す。

3 人は自分の愚かさによって道を
誤り、

その人の心はエホバに対して激
怒する。

4 富は多くの友を引き付け、

貧しい人は友にも見捨てられる。

5 偽りの証言をする人は処罰を免
れず、

うそばかり言う人は逃れられ
ない。

6 多くの人が高貴な人の好意を得
ようとする。

誰もが、贈り物をする人の友と
なる。

7 貧しい人は兄弟全員から憎ま
れる。

友人たちにはなおさら避けら
れる。

頼み事をして回るが、誰も応え
ない。

19:2 *直訳、「足で急ぐ」。19:6 *または、「氣
前がいい」。

18:14 *または、「絶望」。18:17 *または、「を
徹底的に調べる」。18:22 *または、「善意」。

- 8 分別^{ぶんべつ}を身^みに付ける人^{ひと}は自分^{じぶん}を愛^{あい}している。
 識別^{しきべつ}力を大切^{たいせつ}にする人^{ひと}は成功^{せいこう}する。
 9 偽^{いつわ}りの証言^{しょうげん}をする人^{ひと}は処罰^{しよばつ}を免^{まぬ}れず、
 うそばかり言う人^{ひと}は消えうせる。
 10 愚^{おろ}かな人^{ひと}がぜいたくに暮^くらすのはふさわしくない。
 奴隸^{どれい}が支配^{しはい}者^{しや}たちを支配^{しはい}するのはなおよさだ。
 11 洞察^{どうさつ}力^{りき}があればすぐに怒^{おこ}ること
 はない。
 過^{あやま}ちを見過^{みす}ぐす人^{ひと}は美^{うつく}しい。
 12 王^{おう}の激^{げき}しい怒^{いか}りはライオン^{らいおん}のうな
 り声^{こゑ}のよう、
 王^{おう}の好意^{こうい}は草木^{くさき}に降^おりる露^{つゆ}のようだ。
 13 愚^{おろ}かな子^こは父^{ちち}親^{おや}を逆境^{ぎやくきやう}に立^た
 たせ、
 争^{あそ}いを好^{この}む妻^{つま}は雨漏^{あまも}りし続^{つづ}ける
 屋根^{やね}のようだ。
 14 家^{いえ}と富^{とみ}は父祖^{ふそ}から相^{そう}続^{ぞく}するも
 ので、
 思^{しり}慮^{りょ}深^{ふか}い妻^{つま}はエホバからのもの
 である。
 15 怠^{なま}け者^{もの}は眠^{ねむ}ってばかりで、
 怠^{たい}惰^だな人^{ひと}は飢^うえる。
 16 おきてを守る人^{ひと}は自分^{じぶん}の命^{いのち}を
 守^{まも}っており、

第19章

- (例) 格 15:32
 (例) 格 2:2,5
 (例) 格 19:5
 啓 21:8
 (例) サニ 3:24
 サニ 3:38,39
 格 30:21,22
 伝 10:7
 (例) 格 14:29
 格 16:32
 ヤコ 1:19
 (例) 創 50:19-21
 マタ 18:21,22
 エフ 4:32
 (例) 格 16:14
 格 20:2
 ダニ 2:12
 (例) サニ 16:21,22
 (例) 格 21:9,19
 格 27:15
 (例) 創 24:14
 格 18:22
 格 31:10
 (例) 格 23:21
 格 24:33,34
 テサニ 3:10
 (例) 格 16:17

第2欄

- (例) 格 15:32
 (例) 申 15:7,8
 詩 37:25,26
 ヘブ 13:16
 (例) 格 11:24
 マタ 5:7
 ヘブ 6:10
 (例) 格 13:24
 格 22:6,15
 (例) サー 3:12,13
 (例) サー 24:16-18
 サー 26:21
 (例) 格 4:13
 (例) 申 8:14,16
 ヘブ 12:7,11
 (例) 創 11:6,7
 創 50:19,20
 格 21:30
 ダニ 4:35
 使徒 5:38,39
 (例) ミカ 6:8
 (例) 格 14:27
 マラ 3:16
 (例) 格 12:21
 (例) 格 6:9-11
 格 15:19
 格 24:30,31
 格 26:14,15
 (例) 申 25:2

19:8 *直訳,「心を得る」。*直訳,「良いものを
 見つける」。19:11 *または,「違反」。*直訳,
 「通り過ぎる」。19:13 *または,「小言を言う」。

好^すき勝^か手^てな道^{みち}を行^いく人^{ひと}は死^しぬ。

- 17 立場^{たちば}が低^{ひく}い人^{ひと}に親^{しん}切^{せつ}にする人^{ひと}は
 エホバに貸^かており、
 神^{かみ}はその行^{おこな}いに報^{むく}いてくださる。
 18 望^{のぞ}みがあるうち^{うち}にあなたの子^こを
 懲^こらしめ、
 その子^こを死^しなせることがないよう
 にせよ。
 19 すぐかとなる人^{ひと}は罰^{ばつ}を受ける。
 その人^{ひと}を容^{よう}赦^{しや}しようとするなら、
 何^{なん}度もそうしなければならなく
 なる。
 20 助言^{じよげん}を聞^きき、指^し導^{どう}を受け入^うれよ。
 将^{しょう}来^{らい}、賢^{かしこ}くなるためである。
 21 人^{ひと}の心^{こころ}にある計^{けい}画^{かく}は多^{おほ}いが、
 エホバの目^め的^{てき}が実^{じつ}現^{げん}する。
 22 人^{ひと}の美^{うつく}しさはその人^{ひと}の揺^ゆるぎな
 い愛^{あい}である。
 うそをつくより貧^{まず}しい方^{ほう}がよい。
 23 エホバを畏^{おそ}れるなら命^{いのち}に至^{いた}る。
 その人^{ひと}は心^{こころ}地^ちよく休^{やす}み、害^{がい}を受^う
 けない。
 24 怠^{なま}け者^{もの}は器^{もの}の食^うべ物^{ぶつ}に手^てを伸^のば
 すが、
 それを口^{くち}に持^もっていくこともし
 ない。
 25 あざける人^{ひと}を打^うて。経^{けい}験^{げん}のない
 人^{ひと}が聡^{そう}明^{めい}になるためである。
 理^り解^{かい}力^{りき}のある人^{ひと}を戒^いめよ。その
 人^{ひと}が知^ち識^{しき}を深^{ふか}めるためである。

19:17 *または,「返して」。19:18 *または,
 「の死を願う」。19:21 *または,「意図」,
 「助言」。

26 父親を虐待し、母親を追い払う
子は、
恥と不名誉をもたらす。

27 わが子よ、指導を受け入れるの
をやめるなら、
知識の言葉から離れることに
なる。

28 どうしようもない証人は公正をあ
ざ笑い、

悪人たちは悪事をむさぼり食う。

29 裁きはあざける人たちを、
むちは愚かな人たちの背中で
待っている。

20 人はぶどう酒によってばか
げたことをし、酒によって
手に負えなくなる。

これで道を踏み外す人は知恵が
ない。

2 王の恐ろしさはライオンのうなり
声のようで、
王を怒らせる人は自分の命を危
険にさらす。

3 論争を避けることは名誉となる。
愚かな人は皆それに巻き込ま
れる。

4 怠け者は冬に耕さず、
収穫期に何もなくて物乞いを
する。

5 人の心の考えは深い所にある水
のようだ。

19:27 *直訳、「聞く」。20:4 *もしかすると、
「収穫期に見るが何も見つからない」。20:5
*または、「意図」。

第19章

(例) 出 20:12
レビ 20:9
格 20:20
格 30:17

(例) 王 21:9,10

(例) 格 4:16,17

(例) 格 9:12

(例) 格 10:13
格 26:3

第20章

(例) 創 9:20,21
格 23:29-35

(例) イザ 28:7

(例) コー 6:10
ガラ 5:21
エフ 5:18

(例) 格 19:12
伝 10:4

(例) 王 2:22-24

(例) 格 14:29
テモ 2:23

(例) 格 18:6
伝 7:9

(例) 格 6:10,11
テサ 2:3-10

第2欄

(例) ヨブ 1:1
ルカ 1:5,6

(例) 詩 37:25,26

(例) 王 7:7

(例) 王 3:28
詩 72:1,4
格 16:12

(例) ヨブ 14:4
詩 51:5
伝 7:20
ヤコ 3:2

(例) 格 11:1
アモ 8:5
ミカ 6:11

(例) 格 22:15

(例) 出 4:11

(例) 格 10:4

(例) 格 12:11

(例) レビ 19:13
格 21:6

識別力のある人はそれをくみ上

げる。

6 自分の揺るぎない愛を公言する
人は多いが、

実際に忠実な人はまれである。

7 正しい人は高潔に歩んでいる。
その人の子供たちは幸せだ。

8 王は座に就いて裁きを行い、
よく見て全ての悪をふるい分
ける。

9 「私は心を清めた。罪から清く
なった」

と誰が言えるだろうか。

10 不正な重りも不正な計量器も
エホバにとって忌まわしい。

11 子供でさえ、日々の行動に
よって、

振る舞いが清く正しいかどうかを
知られる。

12 聞く耳と見る目は
どちらもエホバが造った。

13 眠りを愛してはならない。さもないと
貪しくなる。

目を開け。そうすれば食物が十
分に得られる。

14 買い手は「これは良くない、良く
ない」と言い、

立ち去ってから買い物の仕方を
自慢する。

15 金も、たくさんのサングもある。

20:10 *または、「2種類の石重りと2種類の計量
容器はどちらも」。20:15 *用語集参照。

それでも、知識^{ちしき}の唇^{くちびる}は貴重^{きちょう}である。

16 知らない人^しの保証人^{ひと}になった人^{ひと}からは、服^{ふく}を取れ。

外国^{がいこく}の女性^{じょせい}のためにそうしたなら、担保^{たんぽ}の品^{しな}を取れ。

17 だまし取ったパン^とはおいしいが、後^{あと}で口^{くち}が砂利^{じゃり}でいっぱいになる。

18 相談^{そうだん}によって計画^{けいかく}は成功^{せいこう}する。巧み^{たくし}な指揮^きによって戦い^{きん}をせよ。

19 中傷^{ちゅうしょう}する人^{ひと}は内密^{ないみつ}のことを漏らし^もて回^{まわ}る。

うわさ好き^ずの人^{*ひと}と交友^{こうゆう}を持^もってはならない。

20 父親^{ちちおや}や母親^{ははおや}をのしる人^{*ひと}は、闇^{やみ}が訪^{おとず}れる時^{とき}にランプ^けを消^けされる。

21 欲張^{よくば}って財産^{ざいさん}を得^えた人^{ひと}は、結局^{けっきょく}は幸^{しあわせ}にはならない。

22 「仕返し^{しかえし}しよう」と言^いってはならない。

希望^{きぼう}を抱^{いだ}いてエホバ^まを待^{まち}て。そうすれば、救^{すく}ってくださる。

23 不正^{ふせい}な重^{おも}りはエホバ^いにとって忌^いまわしく、

人^{ひと}を欺^{あざむ}くはかりは良^よくない。

24 人^{ひと}の歩^{あゆ}みはエホバ^{みちび}によって導^{みちび}かれる。

20:16 *または、「外国人」。 20:18 *または、「助言」。 *または、「しっかりする」。 △または、「的確な導き」。 20:19 *または、「唇で誘う」。 20:20 *または、「に災いがあるようにと言う」。 20:21 *または、「祝福されない」。 20:23 *または、「2種類の石重り」。

第20章

(7) 格 3:13-15
(1) 格 11:15
(7) 格 27:13
(14) 格 6:30,31
(11) 格 15:22
(11) 格 11:14
格 24:6
ルカ 14:31,32
(4) レビ 19:16
格 11:13
格 25:9,23
(7) 出 20:12
レビ 20:9
格 19:26
(7) 格 28:8,20
テモ- 6:9,10
(11) 申 32:35
格 24:29
マタ 5:38,39
ロマ 12:17,19
テサー- 5:15
(11) 詩 37:34
(14) 詩 34:7
ペー 4:19
(14) 詩 37:23
エレ 10:23

第2欄

(1) レビ 27:9
(1) 民 30:2
伝 5:4,6
マタ 5:33
(7) 詩 101:8
(14) イザ 28:27
(11) 詩 61:6,7
(7) 詩 21:7
(4) 伝 11:9
(7) レビ 19:32
格 16:31
(7) 詩 119:71

第21章

(14) 出 14:4
エズ 7:27
(11) ネヘ 2:7,8
イザ 44:28
啓 17:17
(14) 詩 36:1,2
格 16:2
(14) サ- 16:6,7
格 24:12
エレ 17:10

人はどうして自分の道^{みち}を理解^{りかい}で

きるだろうか。

25 「これは聖なるものです」と性急^{せいきゅう}に言^いった後^{あと}で、

誓約^{せいやく}した事^{こと}について考慮^{こうりょ}するの

は、わなとなる。

26 賢い王^{かしこ}は悪人^{あくにん}たちをふるい分け^わけ、

彼ら^{かれ}の上にローラー^{うえ}を走^{はし}らせて

脱殺^{だつこく}する。

27 人の息^{ひと}はエホバ^{いき}のランプ^{らんぷ}のよう

であり、

その人^{ひと}の奥底^{おくそこ}にあるもの^{あき}を明^{あき}ら

かにする。

28 揺るぎない愛^ゆと忠実^あさが王^{おう}を

守^{まも}る。

王^{おう}は揺るぎない愛^{あい}によって王座^{おうざ}

を保^{たも}つ。

29 若い人^{わか}の素晴^{ひと}らしさは力^{ちから}であり、

高齡^{こうれい}の人^{ひと}の輝^{かがや}きは白髪^{はくはつ}である。

30 あざや傷^{きず}は悪^{あく}を取り除^とき、

打^うたれることで人^{ひと}の奥底^{おくそこ}が清^{きよ}め

られる。

21 王^{おう}の心^{こころ}はエホバ^ての手にあ

る水^{みづ}の流れ^{なが}のようだ。

神^{かみ}はそれをどこへでも意^いのままに

導^{みちび}く。

2 人^{ひと}には自分^{じぶん}の道^{みち}はどれ^{ただ}も正^{ただ}しく

思^{おも}えるが、

エホバ^{こころ}は心^{しん}を調^{しら}べる。

3 正^{ただ}しく公正^{こうせい}な事^{こと}を行^{おこな}う方^{ほう}

20:24 *または、「行くべき道」。 20:30 *または、「擦り落とし」。 21:2 *または、「動機」。

犠^ぎ牲^{せい}よりもエホバに喜^{よろこ}ばれる。

- 4 傲慢^{ごうまん}な目と高慢^{こうまん}な心は、
悪^{あく}くにん 人^{ひと}たちを導^{みちび}くランプであり、罪^{つみ}
である。

- 5 勤勉^{きんべん}な人の計^{けい}画^{かく}は必^{かなら}ず成^{せい}功^{こう}に^{*}
な^{なり}が^り、
せ^せっか^かち^ちな人^{ひと}は必^{かなら}ず貧^{びん}乏^{ぼう}へと向^む
か^{かう}う。

- 6 うそをつ^{した}く舌^えによつて得^たた宝^{から}は、
消^きえ^きゆく霧^{きり}、死^しに至^{いた}るわなで
あ^ある。

- 7 悪^{あく}くにん 人^{ひと}たちの暴^{ぼう}力^{りよく}が彼^{かれ}ら自^じ身^{しん}を除^{のぞ}
き^き去^さる。

公^{こう}正^{せい}に行^{こう}動^{どう}しようとしな^いからで
あ^ある。

- 8 罪^{つみ}がある人^{ひと}の道^{みち}はゆがんでい^いる。
清^{きよ}い人^{ひと}の行^{こう}動^{どう}は真^まっすぐであ^ある。

- 9 争^{あらそ}いを好^{この}む妻^{つま}と同^{おな}じ家^{いえ}に在^いるよ
りは、

屋^や根^ねの片^{かた}隅^{すみ}に住^すむ方^{ほう}がよい。

- 10 悪^{あく}人^{にん}は悪^{あく}を渴^{かつ}望^{ぼう}し、
隣^{りん}人^{じん}におも^おしめ^{しめ}を^こ示^{しめ}さな^いい。

- 11 あざける人^{ひと}が罰^{ばつ}を受^うけると、経^{けい}験^{けん}
のな^ない人^{ひと}たち^{かしこ}は賢^{けん}くな^る。

賢^{けん}い人^{ひと}は洞^{どう}察^{さつ}を得^えると、どうすべ
き^きか^わが分^わかる。

- 12 正^{ただ}しい神^{かみ}は悪^{あく}人^{にん}の家^{いえ}を見^みてい^いて、
悪^{あく}くにん 人^{ひと}たちを破^は滅^{めつ}に陥^{おち}らせる。

- 13 立^{たち}場^ばが低^{ひく}い人^{ひと}の叫^{さけ}びに耳^{みみ}をふさ
ぐ人^{ひと}は、

21:5 *または、「良いこと」。 21:6 *もしかする
と、「死を求める人にとって消えゆく霧」。 21:9,
19 *または、「小言を言う」。 21:11 *または、
「知識を得る」。

第21章

(例) サー 15:22,23

ホセ 6:6

ミカ 6:7,8

マタ 12:7

(例) 詩 10:4

(例) 格 13:4

(例) 格 14:29

(例) 格 1:19

格 20:21

(例) 詩 7:14-16

(例) 詩 37:37

格 16:17

ペー 1:22

(例) 格 17:1

格 21:19

格 25:24

格 27:15

(例) 創 6:5

詩 36:1,4

(例) サー 25:10,11

(例) 格 9:9

格 19:25

(例) 創 19:29

詩 37:10,20

ペー 2:4

ペー 3:5,6

第2欄

(例) 申 15:9

格 28:27

ヤコ 5:4

(例) 格 18:16

(例) 詩 106:3

(例) ヤコ 1:15

ペー 2:21

(例) 伝 7:4

ルカ 15:13,14

(例) エス 7:10

(例) 格 17:1

格 21:9

格 25:24

格 27:15

(例) 格 15:6

伝 5:19

(例) ルカ 15:13,14

(例) 格 15:9

格 22:4

マタ 5:6

ロマ 2:6,7

自^じ分^{ぶん}が呼^よぶ時^{とき}に答^{こた}えてもらえ
な^ない。

- 14 ひそかな贈^{おく}り物^{もの}は怒^{いか}りをなだめ、
秘^ひ密^{みつ}の賄^{わい}賂^ろはすさまじい怒^{いか}りを
なだめる。

- 15 公^{こう}正^{せい}に行^{こう}動^{どう}することは正^{ただ}しい人^{ひと}
にとつて喜^{よろこ}びであり、
悪^{あく}く人^{おこな}人^{ひと}たちには恐^{おそ}ろしいこと
である。

- 16 洞^{どう}察^{さつ}力^{りよく}を働^{はたら}かせる道^{みち}からそれる
人^{ひと}は、
死^しんだ無^む力^{りよく}な人^{ひと}たちと一^{いっ}緒^{しょ}に
休^{やす}む。

- 17 快^{かい}楽^{らく}を愛^{あい}する人^{ひと}は貧^{まず}しくな^るり、
ぶ^ぶどう酒^{しゅ}と油^{あぶら}を愛^{あい}する人^{ひと}は裕^{ゆう}福^{ふく}
になら^なない。

- 18 悪^{あく}くにん 人^{ひと}は正^{ただ}しい人^{ひと}のため^{あがな}の贖^{あがな}いで
あ^あり、
不^ふ誠^{せい}実^{じつ}な人^{ひと}は正^{しょう}直^{じき}な人^{ひと}たち^かの代^か
わりとされ^るる。

- 19 争^{あらそ}いを好^{この}む怒^{おこ}りつばい妻^{つま}とい^いる
よ^よりは、
荒^{こう}野^やに住^すむ方^{ほう}がよい。

- 20 賢^{けん}い人^{ひと}の家^{いえ}には貴^き重^{ちゅう}な宝^{たから}と油^{あぶら}が
あ^あり、
愚^{おろ}かな人^{ひと}は持^もっている物^{もの}を浪^{ろう}費^ひ
す^する。

- 21 正^{ただ}しいことと揺^ゆるぎない愛^{あい}を実^{じつ}踐^{せん}
しよ^{しよ}うとする人^{ひと}は、
正^{ただ}しい人^{ひと}とな^{なり}、命^{いのち}と栄^{えい}誉^よを得^える。

- 21:14 *直^ち訳^{やく}、「懷^{わい}」。 21:17 *または、「楽^{らく}しい
時^{とき}を過^くすごすこと」。 21:18 *用^{よう}語^ご集^{しふ}参^{さん}照^{しょう}。

- 22 賢^{かしこ}い人は勇士^{ゆうし}たちの町^{まち}に攻^せめ
込^こみ、
彼^{かれ}らが頼^{たの}みにする強^{つよ}さを損^{そこ}なうこ
とができる。
- 23 自^じ分の口^{くち}と舌^みを見張^みっている
人^{ひと}は、
面^{めん}倒^{だう}なことか身^みを守^{まも}っている。
- 24 思^{おも}い上^あがって無^む謀^{ぼう}な行^{こう}動^{どう}をす
る人^{ひと}、
その名^なは思^{おも}い上^あがった傲^{ごう}慢^{まん}な自^じ
慢^{まん}家^か。
- 25 怠^{なま}けもの欲^{よく}望^{ぼう}はその人^{ひと}を死^しに至^{いた}
らせる。
その人^{ひと}は働^{はたら}こうとしないからで
ある。
- 26 その人^{ひと}は一日^{いちにち}中^{じゅう}欲^{よく}望^{ぼう}にとらわれ
ている。
一^{いっ}方^{ぱう}、正^{ただ}しい人^{ひと}は与^{あた}え、出^だし惜^おし
みしない。
- 27 悪^{あく}人^{にん}の犠^ぎ牲^{せい}は忌^いまわしい。
悪^{わる}い人^{にん}が、い^{いだ}だ*さ*さ*とき
悪^{わる}い考^{かんが}えを抱^{いだ}いて捧^{もた}げる時^{とき}はな
おさるだ。
- 28 うそをつく証^{しょう}人^{にん}は消^きえうせ、
きちんと聞^きく人^{ひと}の証^{しょう}言^{げん}は残^{のこ}る。
- 29 悪^{あく}人^{にん}は厚^{あつ}かましい顔^{かお}をしており、
正^{しょう}直^{じき}な人^{ひと}はしっかりした足^{あし}取^とりで
進^{すす}む。
- 30 エホバに逆^{さか}らって、知^ち恵^えも、識^{しき}
別^{べつ}力^{りよく}も、助^{じょ}言^{げん}もあ^えり得^えない。

第21章

(イ) 伝 7:19
コニ 10:4

(イ) 詩 141:3
格 10:19
伝 10:20

(イ) 民 14:44
エヌ 6:4

(イ) 格 6:6-11
格 13:4
格 19:24

(イ) 詩 37:25,26
詩 112:9
ルカ 6:30

(イ) サー 15:22,23
格 15:8
イザ 1:11

(イ) 申 19:18,19
格 19:5

(イ) 格 28:14
格 29:1

(イ) 格 11:5

(イ) 民 23:7,8
格 19:21
使徒 5:38,39

第2欄

(イ) 詩 20:7
詩 33:17
イザ 31:1

(イ) 代 20:15,17
詩 68:20
啓 7:10

第22章

(イ) 伝 7:1

(イ) 使徒 17:26

(イ) 詩 34:9
格 18:12

(イ) 格 4:14,15

(イ) 創 18:19
申 6:6,7
エフ 6:4

(イ) テモニ 3:14,
15

(イ) 王二 4:1
マタ 18:25

(イ) ガラ 6:7,8

(イ) 詩 125:3

- 31 馬^{うま}は戦^{たたか}いの日^ひのため^{そな}に備^{そな}えられ
るが、

救^{すく}うのはエホバである。

- 22 多^{おほ}く^{とみ}の富^よよりも良^よい名^なを
選^{えら}べ。

尊^{とうと}ばれることは銀^{ぎん}や金^{きん}に勝^{まさ}る。

- 2 裕^{ゆう}福^{ふく}な人^{ひと}と貧^{まい}しい人^{ひと}には共^{きょう}通^{つう}点^{てん}

がある。

どちらもエホバに造^{つく}られた。

- 3 聡^{そう}明^{めい}な人^{ひと}は危^き険^{けん}に気^き付^づいて身^みを

隠^{かく}すが、

経^{けい}験^{けん}のない人^{ひと}たちは進^{すす}んでいっ

て当^{とう}然^{ぜん}の報^{むく}いを受^うける。

- 4 謙^{けん}遜^{そん}さとエホバへの畏^{おそ}れがもた

らすのは、

富^{とみ}と栄^{えい}光^{こう}と命^{いのち}である。

- 5 不^ふ正^{しょう}直^{じき}な人^{ひと}の道^{みち}にはいばらとわ

ながある。

命^{いのち}を大^{たい}切^{せつ}にする人^{ひと}はそれらから

遠^{とほ}く離^{はな}れている。

- 6 少^{しょう}年^{ねん}を彼^{かれ}の行^いくべき道^{みち}に沿^そって

育^{そだ}てよ。

彼^{かれ}は年^{とし}を取^とっても、それか^{はな}ら離^{はな}れ

ない。

- 7 裕^{ゆう}福^{ふく}な人^{ひと}は貧^{まい}しい人^{ひと}たちを支^し

配^{はい}し、

借^かり人^{ひと}は貸^かす人^{ひと}の奴^ど隷^{れい}になる。

- 8 不^ふ正^{せい}をま^{ひと}く人^{ひと}は災^{さい}難^{なん}を刈^かり取^とり、

激^{げき}怒^どしてむちを使うことはできな

くなる。

22:1 *または、「良い評判」。直訳、「名」。22:

3 *または、「罰」。22:6 *または、「子供」,「若者」。

21:22 *または、「よじ登り」。21:25 *直訳、「手」。21:27 *または、「恥ずべき行いをしなから」。21:30 *または、「計画」。

9 気^き前^{まえ}がいい人^{*ひと}は好意^{こうい}を得^える。
貧^{まず}しい人^{ひと}と食物^{しょくもつ}を分^わけ合^あうから
である。

10 あざける人^{ひと}を追^おい出^だせ。

口^{こう}論^{ろん}がなくな^{ろん}り、
論^{ろん}争^{そう}と侮^ぶ辱^{じやく}がやむ。

11 心^{こころ}の清^{きよ}さ^{さい}を愛^{あい}し、話^{はな}し方^{かた}が魅^み力^{りよく}
的^{てき}な人^{ひと}は、

王^{おう}を友^{とも}とする。

12 エホバの目^めは知^ち識^{しき}を守^{まも}る。

かみ ふ せいじつ ひと こと ば くつがえ
神^{かみ}は不^ふ誠^{せい}実^{じつ}な人^{ひと}の言^{こと}葉^はを覆^{くつがえ}す。

13 怠^{なま}け者^{もの}は言^いう。「外^{そと}にライオンが
い^いる!

わたし ひろ ば ま なか ころ ば
私^{わたし}は広^{ひろ}場^ばの真^まん中^{なか}で殺^{ころ}され^ばる!」

14 いか^{*い}がわい^{せい}しい女^{くち}性^{ふか}の口^{あな}は深^{ふか}い穴^{あな}
である。

エホバに非^ひ難^{なん}され^{ひと}る人^{ひと}はそこ^{そこ}に
お^おち^ちる。

15 愚^{おろ}かさ^{しょうねん}が少^{*こ}年^{ふか}の心^ねに深^{ふか}く根^ね差^ざし
て^いいる。

こ せいの # と
懲^こらしめ^{せいの}のむ[#]ち^とがそれ^とを取り
除^{のぞ}く。

16 財^{ざい}産^{さん}を増^ふやそ^{まず}うとして貧^{ひと}しい人^{ひと}か
らだ^とま^{ひと}し取^とる人^{ひと}や、
裕^{ゆう}福^{ふく}な人^{ひと}に贈^{おくる}り物^{もの}をする人^{ひと}は、
最^{さい}後^ごに貧^{まず}しくなる。

17 耳^{みみ}を傾^{かたむ}けて賢^{かしこ}い人^{ひと}た^{こと}ち^ばの言^{こと}葉^はを
聞^きけ。

22:9 *直訳, 「良い目の」。 22:10 *または, 「訴訟」。 22:14 *直訳, 「よその」。 格 2:16 参
照。 22:15 *または, 「子供」, 「若者」。 *また
は, 「棒」。

第22章

(ア) 申 15:7,8
格 11:25
ヘブ 6:10

(イ) 詩 45:2
格 16:13
マタ 5:8

(ウ) 使徒 13:8-10

(エ) 格 26:13-15

(オ) 格 5:3
伝 7:26

(カ) 創 8:21

(キ) 格 13:24
格 19:18

(ク) 詩 12:5
格 14:31

(コ) 格 13:20

第2欄

(ア) 格 15:14

(イ) 格 2:10
格 24:14

(ウ) 格 15:7

(エ) 格 23:10

(オ) 出 23:6
アモ 5:12

(カ) サー 24:12
詩 12:5

(キ) 格 13:20

(ク) 格 6:1-3

わたし ちしき こころ う い
私^{わたし}の知^{ちしき}識^{こころ}を心^うから受^いけ入^いれるた
めである。

18 その言^{こと}葉^はを自^じ分^{ぶん}の内^{うち}に保^{たも}つのは
快^{こころよ}いことである。

そうす^{すべ}れば、そ^{かた}の全^{けい}てをい^いつでも
語^{かた}れる。

19 あな^{しんらい}たがエホバを信^{しん}頼^{らい}するた
めに、

私^{わたし}は今日^{きょう}あな^{ちしき}たに知^あ識^{しき}を与^{あた}える。

20 私^{わたし}はこれ^{じよげん}まであな^{ちしき}たに
助^{じよげん}言^{ちしき}と知^か識^{しき}を書^かかなか^かったか。

21 それ^{しんじつ}は、あな^{たし}たが真^{しん}実^{じつ}で確^{たし}かな
言^{こと}葉^はを知^しって、

あな^{つか}たを遣^つわした人^{ひと}に正^{せい}確^{かく}な報^{ほう}
告^{こく}を持^もって帰^{かえ}るためである。

22 貧^{まず}しい人^{ひと}から、そ^{まず}の貧^{まず}しさのゆえ
に奪^{うば}い取^とってはな^はらず、
立^{たち}場^ばが低^{ひく}い人^{ひと}を町^{まち}の門^{もん}の所^{ところ}で打^う
ちのめ^めしてはな^はらない。

23 エホバご自^じ身^{しん}が彼^{かれ}ら^いの言^いい分^{ぶん}を
弁^{べん}護^ごし、

彼^{かれ}ら^とからだ^とま^とし取^とる人^{ひと}た^{いのち}ちの命^{いのち}
を取^とるからだ。

24 すぐか^{ひと}つとなる人^つと付^あき合^あうな。
激^{げき}怒^どしや^{ひと}すい人^{ひと}と関^{かん}わ^かつてはな
ら^らない。

25 そ^{ひと}の^{おこな}人^{ひと}の行^いいをま^まねるよう^{よう}に
な^なって

わ^かな^かに掛^かかるこ^この^この^のい^いた^ため^めで
あ^ある。

26 契^{けい}約^{やく}の握^{あく}手^{しゅ}をし^ふて負^{さい}債^{ざい}の保^ほ証^{しょう}人^{にん}
に^{ひと}なる人^{ひと}た^{なか}ち^{なか}の中^{なか}に^{なか}い^いてはな
ら^らない。

27 支払うお金がなければ、
あなたが寝ている寝床が取ら
れる。

28 父祖たちが設けた昔の境界標
識をずらしてはならない。

29 仕事に熟練した人を見たことが
あるか。

その人は王たちの前に立ち、
庶民の前には立たない。

23 王と座って食事をする時
には、
自分の置かれた状況をよく考
えよ。

2 食欲が旺盛なら、
喉に短刀を当てよ。

3 王のごちそうを欲しがってはなら
ない。
それは人を欺く食物だからで
ある。

4 富を得ようとして疲れ切ってはな
らない。
そうするのをやめて理解力を
示せ。

5 目をやると、そこに富はない。
それは必ずワシのように翼を生
やして空に飛び去る。

6 けちな人の食物を食べてはなら
ない。
その人のごちそうを欲しがっては
ならない。

23:2 *ヘブライ語、ネフェシユ。用語集参照。
*または、「自分を制しなさい」。23:4 *もしか
すると、「自分の理解に頼るのをやめよ」。23:6
*直訳、「目に関して邪悪な」。

第22章

〔甲〕申 19:14
格 23:10
ホセ 5:10

〔イ〕サー 16:18,19
王一 7:13,14

第23章

〔丙〕格 28:20
ヨハ 6:27
テモ一 6:9,10

〔戊〕ヨ一 2:16,17

〔庚〕格 27:24

第2欄

〔甲〕格 9:7
格 26:4

〔イ〕マタ 7:6

〔丙〕申 19:14
格 22:28

〔戊〕出 22:22,23
詩 10:14

〔庚〕格 13:24
格 19:18
エフ 6:4

7 その人は帳簿を付ける人のよう
だからである。

「食べなさい、飲みなさい」と言
うが、心からではない。

8 あなたは食べたわずかな物を吐
き出し、

褒め言葉は無駄になる。

9 愚かな人に話し掛けるな。
彼はあなたが語る知恵を軽んじ
るからだ。

10 昔の境界標識をずらしてはな
らず、

父親のいない子供たちの煙に侵
入してはならない。

11 彼らを擁護する方は強いからで
ある。

その方があなたに対する彼らの
言い分を支持する。

12 指導を心から受け入れ、
知識の言葉に耳を傾けなさい。

13 少年を懲らしめるのを控えては
ならない。

むちで打つ場合、彼は死なない。

14 彼をむちで打つべきである。
彼は墓から救うためである。

15 わが子よ、あなたの心が賢くなっ
たら、
私は心から喜ぶ。

23:7 *または、「自分の内で計算する」。23:11
*直訳、「買い戻す方」。23:13 *または、「子
供」、「若者」。*または、「棒」。23:14 *ヘブ
ライ語、シエオル。用語集参照。

〔丙〕格 27:11
ヨ三 4

16 あなたの唇が正しいことを語る
とき、

わたし こころ おくそこ* かん き
私は心の奥底から歓喜する。

17 あなたの心は罪人をうらやんで
はならない。

いちにちじゅう おそ いだ
一日中エホバへの畏れを抱いて
いなさい。

18 そうすれば将来があり、
望みが断たれることはない。

19 わが子よ、聞いて賢くなり、
心を中心に進ませよ。

20 ぶどう酒を飲み過ぎる人たちや、
肉をむさぼり食う人たちの中に
いてはならない。

21 酔っぱらいや大食いは貧しく
なり、
居眠りしてぼろ切れをまとうこと
になる。

22 あなたを誕生させた父親の言う
ことを聞け。
ははおや とし と
母親が年を取ったからといって、
軽んじてはならない。

23 真理を買え。決して売るな。
ち え し どう り かい (例)
知恵と指導と理解も。

24 正しい人の父親は必ず喜びにあ
ふれ、
かしこ こ ちちおや ひと こ
賢い子の父親になる人はその子
のこを喜ぶ。

25 あなたの父親と母親は喜び、
あなたを産んだ母親は喜びにあ
ふれる。

第23章

(例) 詩 37:1

(例) 詩 111:10
コニ 7:1(例) 詩 37:37
格 24:14(例) 格 20:1
イザ 5:11
口マ 13:13
ペー 4:3(例) 格 28:7
コー 10:31(例) 申 21:20, 21
格 21:17(例) 出 20:12
出 21:17
マタ 15:5, 6
エフ 6:1

(例) フィリ 3:7, 8

(例) 格 4:5
格 16:16

第2欄

(例) 詩 107:43

(例) 格 22:14

(例) 格 7:10, 12
伝 7:26(例) 格 20:1
エフ 5:18

26 わが子よ、私に心向けよ。
よろこ わたし みち め む
喜んで私の道に目を向けるよ

うに。

27 娼婦は深い穴、
ふどうとく *じよせい せま い ど
不道德な女性は狭い井戸だか
らだ。

28 彼女は強盗のように待ち伏せし、
ふちゆうじつ ひと ふ
不忠実な人を増やす。

29 災いに遭うのは誰か。不安を抱
くのは誰か。

言い争うのは誰か。不平を言う
のは誰か。

わけ きず お だれ め
訳もなく傷を負うのは誰か。目
がうつろなのは誰か。

30 ぶどう酒をだらだらと飲む人、
こうりょう ま しゅ さが だ
香料を混ぜたぶどう酒を探し出
す人だ。

31 ぶどう酒の赤色を見てはなら
ない。

それは杯の中できらめき、滑らか
に流れる。

32 それは最後には蛇のようにかみ、
どくへび 毒蛇のように毒を分泌する。

33 目は異様なものを見、
め い よう み
心はゆがんだことを話す。

34 そして、海の真ん中に横たわって
うみ ま なか よこ
いる人のように、

ほばしら よこ
帆柱のてっぺんに横たわって
ひと
いる人ようになる。

23:27 *直訳、「外国の」。格 2:16参照。23:
30 *または、「集めて味見する」。

23:16 *直訳、「腎臓」。23:23 *または、「得
よ」。

(例) ホセ 4:11

35 「たたかれたが、^{きづ} ^{*}気がな
かった。

^な ^わ殴られたが、分らなかつた。

^{わたし} ^{めづ}私はいつ目覚めるだろうか。

^{ばいの} [#]もう1杯飲もう。

24 ^{わる} ^{ひと}悪い人たちをうらやんでは
ならない。

^{かれ} ^つ ^あ ^{のぞ}彼らと付き合うことを望んではな

^(イ)らない。

2 ^{かれ} ^{こころ} ^{ぼうりよく} ^{おも} ^{めぐ}彼らの心は暴力について思い巡

らし、

^{くちびる} ^{あくじ} ^{かた}唇は悪事について語るからで

ある。

3 ^{かてい} ^{きえ} ^{きず} ^あ家庭は知恵によって築き上げ

^(イ)られ、

^{しきべつりよく}識別力によってしっかりする。

4 ^{ちしき}そして知識によって、
^へ ^や ^{きちよう} ^{うつく} ^{たから}部屋はあらゆる貴重で美しい宝

^(イ)でいっぱいになる。

5 ^{かしこ} ^{ひと} ^{きやうりよく}賢い人は強力で、

^{ひと} ^{ちしき} ^{ちから} ^ま人は知識によって力を増す。

6 ^{たく} ^し ^{き*} ^{たか}巧みな指揮によって戦いをせよ。

^{じやうげんしゃ} ^{おお} ^{しょうり} ^{#(イ)}助言者が多ければ勝利する。

7 ^{おろ} ^{ひと} ^{しん} ^{ちえ} ^{かくとく}愚かな人は真の知恵を獲得でき
^(イ)ない。

^{まち} ^{もん} ^{ところ} ^{なに} ^い ^{こと}町の門の所で何も言う事がない。

8 ^{あくじ} ^{ひと}悪事をたくらむ人は、

^{さくりやく} ^{めいじん} ^よ ^(イ)策略の名人と呼ばれる。

23:35 *または、「痛みを感じ」。^{*}または、「私
はまたそれを求める」。**24:3** *直訳、「家」。
24:6 *または、「的確な導き」。^{*}または、「成功
する」、「救われる」。

第23章

(イ) 創 19:33

第24章

(イ) 詩 26:5

格 1:10

(イ) 格 9:1

格 14:1

(イ) 王一 10:23

格 15:6

(イ) 格 8:14

格 21:22

(イ) 格 20:18

ルカ 14:31,32

(イ) 格 11:14

格 13:10

格 15:22

使徒 15:5,6

(イ) 格 14:6

コ一 2:14

(イ) 格 6:12-14

第2欄

(イ) 格 22:10

(イ) 詩 82:4

(イ) 格 5:21

格 17:3

格 21:2

(イ) 詩 62:12

マタ 16:27

ロマ 2:5,6

(イ) 詩 19:9,10

詩 119:103

(イ) 格 23:18

(イ) 詩 34:19

コ二 1:10

9 ^{おろ} ^{*}愚かなたくらみは罪につながり、
^く ^{なん} ^{どき*} ^{らくたん} ^{ひと} ^{きら} ^(イ)あざける人はひどく嫌われる。

10 ^{ちから} ^{うしな}苦難の時に落胆するなら、
力が失われる。

11 ^し ^つ死へと連れていかれる人たちを
^{すく} ^だ救い出せ。

^{よろめき} ^つ ^{ころ} ^い ^{ひと}よろめきつつ殺されに行く人たち
をとどめよ。

12 ^{あなた} ^が ^{でも} ^{わたし} ^私 ^は ^{その}
ことを知らなかつた」と言っ

ても、

^{こころ*} ^{しら} ^{かた} ^み ^わ心を探る方がそれを見分けら
^(イ)れないだろうか。

^{あなた} ^を ^み ^{かた} ^{それ} ^を ^見 ^て ^い ^る ^方 ^は ^{それ} ^を
^し ^知 ^つ ^て [、]

^{かくじ} ^{おこな} ^{おう} ^{むく} ^(イ)各自の行いに応じて報いる。

13 ^{わが} ^こ ^{おこな} ^{おう} ^{むく} ^(イ)わが子よ、蜂蜜を食べよ。それ
は良いものだからだ。

^す ^{したた} ^{はちみつ} ^{あま} ^巣 ^{から} ^滴 ^る ^蜂 ^蜜 ^は ^甘 ^い [。]

14 ^{おな} ^{ちえ} ^知 ^恵 ^が ^{あなた} ^{にとつ}
て良いことを知れ。

^{それ} ^を ^み ^つ ^け ^る ^{なら} [、] ^{将来} ^が
あり、

^{のぞ} ^た ^(イ)望みが断たれることはない。

15 ^{ただ} ^{ひと} ^{いえ} ^{ちか} ^{あくにん} ^よ正しい人の家の近くで悪人のよ
^ま ^ぶうに待ち伏せをするな。

^{その} ^{ひと} ^{やす} ^{ところ} ^あ ^荒 ^ら ^し ^て ^は ^な
らない。

16 ^{ただ} ^{ひと} ^{かいたお} ^た ^立
正しい人は7回倒れても、また立
^あ ^(イ)ち上がる。

24:9 *または、「愚かな人の」。**24:10** *または、「日」。**24:12** *または、「動機」。**24:14**
*または、「甘い」。

悪^{あく}にん^{にん} わざわ^わ あ
悪人たちは災いに遭ってつま
すく。

- 17 敵^{てき}が倒れるとき、喜^{よろこ}んではなら
ない。

かれ^{かれ} がつまずくとき、心^{こころ}の中^{なか}で喜^{よろこ}
ぶな。

- 18 さもないと、エホバが見て不快^み
に思^{おも}い、

その敵^{てき}に対する怒^{いか}りを静^{しず}める。

- 19 悪い^{わる}ひとたちに腹^{はら}を立ててはな
らず、

悪^{あく}にん^{にん}たちをうらやんではなら
ない。

- 20 わる^{わる}ひと しやうらい^{しやうらい} (口)
悪いひとに将来はなく、

悪^{あく}にん^{にん} ランプ^けは消^けされる。

- 21 わが子^こよ、エホバと王^{おう}を畏^{おそ}れよ。
反^{はん}たいしや * 交^{こう}ゆう^{ゆう}も 持^もつな。

- 22 彼^{かれ}らの災^{さい}難^{なん}は突^{とつ}然^{ぜん}に起^おきる。

りやうしや * かれ^{かれ} は めつ^{めつ}
両者が彼らにどんな破滅^{はめつ}をもた

らすか、誰^{だれ}が分^わかるだらうか。

- 23 い か ことば かしこ ひと
以下の言葉も賢い人たちのもの
である。

さば^{さば} とき ふ^ふこうへい^{こうへい} よ
裁^{さい}きの時に不公平^{ふこうへい}なのは良^よく

ない。

- 24 あく^{あく}にん^{にん} 「あな^{ただ}たは正^{ただ}しい」と言^い
う人^{ひと}は、

ひとびと * くに^{くに}に
人々^{ひと}からののしられ、国々^{くに}から
糾弾^{きゅうだん}される。

- 25 しかし、悪^{あく}人を戒^いめる人^{ひと}たちに
とって物事^{ものごと}はうまくいき、

24:21 * または、「変化を求める人たち」。 24:

22 * エホバと王のこと。 24:24 * または、「災
いを願われ」。

第24章

(ア) サー 26:9,10
エス 7:10

(イ) ヨブ 31:29
格 17:5
格 25:21,22

(ウ) エゼ 26:2,3
ゼカ 1:15

(ロ) 詩 73:18,27
格 10:7

(ハ) 格 13:9

(ニ) サー 24:6,7
ペー 2:17

(ヒ) サニ 15:12

(フ) 民 16:2,31

(ク) 格 20:2

(コ) レビ 19:15
申 1:16,17
申 16:19
代二 19:7
デモ一 5:21

(ケ) 格 17:15

(セ) レビ 19:17
デモ一 5:20

第2欄

(ア) 格 28:23

(イ) 格 27:5

(ウ) 出 20:16

(ロ) エフ 4:25

(ハ) 格 20:22
ロマ 12:17,19
テサー 5:15

(ニ) 格 6:10,11

(ヒ) 格 20:4
格 22:13
伝 10:18

(フ) 格 10:4
格 23:21

第25章

(ア) 王一 4:29,32
伝 12:9

(ロ) 代二 29:1

その人^{ひと}たちは祝^{しゆく}福^{ふく}されて良^よいも
のを受け^うける。

- 26 人々^{ひと}は、正^{しょう}直^{じき}に答^{こた}える人^{ひと}に敬^{けい}意^い
を払^{はら}う。

- 27 外^{そと}の仕事^{しごと}の用意^{ようい}をし、烟^{はたけ}で全^{すべ}
てを整^{ととの}えよ。

それから、自^じ分^{ぶん}の家^{いえ}を築^{きず}け。

- 28 根^{こん}拠^{きよ}がないのに、隣^{りん}人^{じん}に不^ふ利^りな
証^{しょう}言^{げん}をするな。

ひとあざむく^{あざむく}ために唇^{くちびる}を使^{つか}ってはな
らない。

- 29 「やられた通^とりにやり返^{かえ}そう。
仕返^{しかえ}してやる」と言^いってではな
ない。

- 30 わたし なま もの(ハ) はたけ^{はたけ}
私は怠^たけ者の^{もの}畑^{はたけ}や、
分^{ぶん}別^{べつ}のない人^{ひと}のブドウ園^{えん}のそば
を通^{とお}った。

- 31 み くさ
見ると、草^{くさ}がぼうぼうで、
地^じ面^{めん}はイラクサで覆^{おお}われ、
石^{いし}垣^{がき}も壊^{こわ}れていた。

- 32 わたし なが こころ と
私はそれを見^みて、心^{こころ}に留^{とど}めた。
それを見^みて、次^{つぎ}の教^{きょう}訓^{くん}を学^{まな}んだ。

- 33 しばらく眠^{ねむ}り、しばらくうとうとし、
しばらく手^てを組^くんで休^{やす}む。

- 34 すると、貧^{びん}乏^{ぼう}が盗^{とう}賊^{さく}のよう^{よう}に、
窮^{きゅう}乏^{ぼう}が強^{ごう}盗^{とう}のよう^{よう}にやっ^くて来^くる。

25 これらもソロモン^{かくげん}の格^{かく}言^{げん}であ
り、ユダ^やの王^{おう}ヒゼキヤ^きの部^ぶ下^か
たち^かが書^うき写^つしたものである。

24:26 * もしかすると、「率直に答えるのは口づ
けするようなものである。 24:27 * または、「家
庭」。 24:30 * 直訳、「心が欠けている」。 25:
1 * または、「書き写してまとめた」。

- 2 神の栄光は物事を秘密にしてお
くことであり、
王たちの栄光は物事を徹底的に
調べることである。
- 3 天が高く、地が深いように、
王たちの心は計り知れない。
- 4 銀から浮きかすを除け。
そうすれば、完全に精錬されて現
れる。
- 5 王の前から悪人を除け。
そうすれば、王座は正義によって
確立される。
- 6 王の前でうぬづかれるなら
著名な人たちの間にいてはなら
ない。
- 7 高貴な人の前で辱められるよ
りも、
「もっと近くに來なさい」と言われ
る方がよいからである。
- 8 性急に訴訟を起こしてはなら
ない。
後で間違いだと指摘されたら、ど
うするか。
- 9 自分の言い分を当人に伝えよ。
聞いた内密の話は明かしてはな
らない。
- 10 さもないと、聞いた人があなた
に恥をかかせる。
あなたが広めた悪い話は撤回で
きない。

25:9 *または、「他の人の秘密」。 25:10 *ま
たは、「悪意あるうわさ」。

第25章

(例) 申 29:29
ロマ 11:33

(例) 格 17:3

(例) 王一 2:44, 46
格 20:28
格 29:14

(例) 格 27:2

(例) 詩 131:1

(例) ルカ 14:8-10
ペー 5:5

(例) 格 18:17
マタ 5:25

(例) マタ 18:15

(例) 格 11:13

第2欄

(例) 格 15:23
イザ 50:4

(例) 詩 141:5
格 1:8, 9
格 9:8

(例) 格 13:17

(例) マタ 5:37

(例) 創 32:4, 5
格 15:1

(例) 格 25:27

- 11 適切な時に話される言葉は、
銀の器の中の金のリングのよ
うだ。
- 12 聞く耳を持つ人を戒める賢い
人は、
金の耳輪、純金の飾りのようだ。
- 13 忠実な使者は、遣わす人たちに
とって
収穫の日の雪の冷たさのようだ。
主人を爽やかな気分にするから
である。
- 14 渡しもしない贈り物について誇る
人は、
雨を全く降らせない雲や風のよ
うだ。
- 15 辛抱強さによって権力者は説得
され、
穏やかな言葉は強い反対を克服
する。
- 16 蜂蜜を見つけたら、必要な分だ
け食べよ。
食べ過ぎたら、吐き出すことに
なる。
- 17 隣人の家に行くのはほどほどに
せよ。
うんざりされて嫌われないため
である。
- 18 隣人について偽りの証言をする
人は、

25:11 *または、「彫り物」。 25:13 *山地の雪
で冷えた水のこともかもしれない。 25:14 *直訳、
「偽りの」。 25:15 *または、「温和な舌」。 *直
訳、「骨を砕く」。

ばう つるぎ するど や
こん棒, 剣, 鋭い矢のようだ。

19 苦難の時に信頼できない人に頼

るのは,
お 折れた歯やよろける足を当てに

するよなものだ。

20 憂鬱な心に歌を歌う人は,

さむ ひ ふく め ひと
寒い日に服を脱ぐ人のようで,
アルカリに注がれた酢のようだ。

21 敵が飢えているなら, パンを食べ

させなさい。

のど かわ みず の
喉が渴いているなら, 水を飲ま
せなさい。

22 燃える炭をその人の頭の上に積

むことになり,

エホバがあなたに報いてくださ
るからである。

23 北風は大雨をもたらし,

うわさをする舌は怒りを招く。

24 争いを好む妻と同じ家にいるよ

りは,
や ね かたすみ す ほう
屋根の片隅に住む方がよい。

25 遠い土地からの良い報告は,

つか ひと つめ みず
疲れた人にとっての冷たい水の
ようだ。

26 悪人に屈する正しい人は,

汚された泉, 荒らされた井戸の
ようだ。

25:19 *もしかすると, 「不誠実な」。 25:20

*または, 「炭酸ソーダ」。 25:21 *直訳, 「あなたを憎む人」。 25:22 *いわばその人の固い心を溶かし, 態度が和らぐようにする, ということ。 25:24 *または, 「小言を言う」。 25:26 *または, 「妥協する」。

第25章

(例) 出 20:16

(例) 詩 137:3,4

(例) 出 23:5
王二 6:21,22
格 24:17
マタ 5:44

(例) ロマ 12:20

(例) 詩 101:5

(例) 格 21:9,19
格 27:15

(例) 格 15:30
イザ 52:7

第2欄

(例) 格 25:16

(例) 格 27:2
ヨハ 5:44
フィリ 2:3

(例) サー 20:33
格 16:32
格 22:24,25
格 29:11

第26章

(例) 格 30:21,22
伝 10:7

(例) 詩 32:9

(例) 格 27:22

(例) マタ 21:23-25

27 蜂蜜を食べ過ぎるのは良くない

いし,
自分の榮譽を求めるのは榮譽な
ことではない。

28 怒りを抑えられない人は, 城壁のない打ち破られた町のよ

うだ。

26 夏の雪, 収穫期の雨のよ

うに,
愚かな人に誉れはふさわしく
ない。

2 鳥に逃げ去る理由があり, ツバ

メに飛ぶ理由があるように,
災いが来るのにはもっともな理
由がある。

3 馬にはむち, ロバにはくつわ,

愚かな人たちの背中にはむちが
ある。

4 愚かな人にその愚かさに合わせて

て答えるな。

その人と同じレベルにならない
ためである。

5 愚かな人にその愚かさに合わせて

て答えよ。

その人が自分は賢いと思ひ込
まないためである。

6 愚かな人に物事を任せるとは,

自分の足をひどく傷つけて自分
を苦しめる人のようだ。

7 愚かな人たちが口にする格言は,

26:2 *もしかすると, 「鳥が逃げ去り, ツバメが
飛び去るように, 理不尽な災いは通り過ぎる」。
26:3 *または, 「棒」。

不自由で弱った足^{あし}のよう^つだ。

8 愚^{おろ}かな人^{ひと}に栄^{えい}誉^よを与^{あた}える人^{ひと}は、
石^{いし}投^なげ器^きに石^{いし}を縛^{しば}り付^つける人^{ひと}の
よう^{よう}だ。

9 愚^{おろ}かな人^{ひと}たち^{たち}が口^{くち}にする格^{かく}言^{げん}は、
酔^よっぱらいの手^てにあるいば^いらの
よう^{よう}だ。

10 愚^{おろ}かな人^{ひと}や通^{つう}行^{こう}人^{にん}を雇^{やと}う人^{ひと}は、
無^む差^さ別^{べつ}に弓^{きう}を射^やて傷^{きず}を負^おわ^おせる
人^{ひと}のよう^{よう}だ。

11 犬^{いぬ}が自^じ分^{ぶん}の吐^はいた物^{もの}を食^たべ^もに戻^{もど}
るよう^{よう}に、

愚^{おろ}かな人^{ひと}は愚^{おろ}かなこ^{こと}を繰^くり
返^{かえ}す。

12 自^じ分^{ぶん}は賢^{かしこ}いと思^{おも}い込^こんでい^いる人^{ひと}
を^み見た^か。

愚^{おろ}かな人^{ひと}の方^{ほう}がま^まだ望^{のぞ}みがある。

13 怠^{なま}け者^{もの}は言^いう。「道^{みち}に若^{わか}いライオ
ンが^いいる、

広^{ひろ}場^ばにライオ^{ライ}ンが^{オン}い^いる！」

14 扉^{とびら}はち^ちょうつが^がい^いで開^{かい}閉^{へい}し続^{つづ}け、
怠^{なま}け者^{もの}はベ^ベッドで寝^ね返^{がえ}りをし続^{つづ}
け^ける。

15 怠^{なま}け者^{もの}は器^{うつわ}の食^たべ物^{もの}に手^てを伸^のば
す^すが、

疲^{つか}れ切^きってそ^それを口^{くち}に持^もって^い
け^けない。

16 怠^{なま}け者^{もの}は、分^{ぶん}別^{べつ}の^{へん}ある返^{たう}答^{とう}を^{にん}す
る7人^{にん}より

自^じ分^{ぶん}の方^{ほう}が賢^{かしこ}いと思^{おも}い込^こむ。

26:7 *または、「だらりとした」。**26:10** *また
は、「全ての人に」。**26:14** *または、「軸」。

第26章

(例) 格 17:7

(例) 格 19:10
格 26:1

(例) ペニ 2:22

(例) 格 12:15
コ一 3:18
コ一 8:2

(例) 格 22:13

(例) 格 6:9
格 19:15
格 24:33, 34

(例) 格 19:24

第2欄

(例) テサー 4:11
ペ一 4:15

(例) 格 15:21

(例) 格 22:10
ヤコ 3:6

(例) 格 3:30
格 16:28
格 17:14

(例) 格 18:8

(例) サニ 20:9, 10

17 通^{とお}り掛^かか^{かん}つて関^{けい}係^{けい}の^いない言^いい争^{あらそ}
いに激^{げき}怒^どする人^{ひと}は、

犬^{いぬ}の耳^{みみ}をつか^{つか}む人^{ひと}のよう^{よう}だ。

18 火^ひ矢^やと矢^やを放^{はな}つて死^しを^きもたら^もす気^き
が狂^{くる}った人^{ひと}に似^にているのは、

19 隣^{りん}人^{じん}をだ^だまして、「冗^{じょう}談^{だん}だよ」と
言^いう人^{ひと}。

20 ま^まぎがな^なければ火^ひは消^きえ、

中^{ちゅう}傷^うする人^{ひと}がい^いなければ言^いい争^{あらそ}
いはや^やむ。

21 炭^{すみ}火^びに炭^{すみ}を、火^ひにま^まきをく^くべるよ
うに、

争^{あらそ}いを好^{この}む人^{ひと}は言^いい争^{あらそ}いを燃^もえ
上^あが^からせる。

22 中^{ちゅう}傷^うする人^{ひと}の言^{こと}葉^ははご^ごちそう^{そう}のよ
う^{よう}だ。

の^こみ込^こまれて腹^{はら}の奥^{おく}に入^{はい}って
い^いく。

23 悪^{わる}い心^{こころ}から出^でた温^{あた}かな言^{こと}葉^はは、
土^ど器^きの^ぬかけ^がらに塗^ぬった銀^{ぎん}の上^{うわ}葉^は
のよう^{よう}だ。

24 憎^{にく}しみを持^もつ人^{ひと}は唇^{くちびる}で偽^ぎ装^{そう}し、
自^じ分^{ぶん}の内^{うち}で欺^{あざむ}きを抱^{いだ}ている。

25 そ^{ひと}の^{あい}人^そが愛^{はな}想^なよく話^{はな}しても、信^{しん}用^{よう}
しては^しな^なら^らない。

彼^{かれ}の心^{こころ}には7^いつ^いの忌^いまわ^わしいも
の^のがある^あから^かである。

26 憎^{にく}しみ^{あざむ}が欺^かきで隠^{かく}されてい^いても、

26:17 *もしかすると、「口を挟む」。**26:19**
*または、「に悪質ないたずらをして」。**26:22**
*または、「むさぼるようにしてのみ込まれる物」。
26:23 *直訳、「を伴う燃える唇」。**26:25** *ま
たは、「心は全く忌まわしい」。

その人の悪は会衆の中であらわ
に^になる。

27 穴を掘る人はその中に落ちる。
石を転がして^{いし}どける人は、その石
が戻^{もど}ってきてつづされる。

28 うそをつく人は、打ちのめした人
たちを憎^{にく}み、
お世辞を言う口は破滅をもた
らす。

27 明日のことを誇るな。
あなたは日々何が起きるか
知らないからである。

2 自分の口ではなく別の人があな
たを称賛するようにせよ。
自分の唇ではなくほかの人の
ちが。

3 石は重く、砂は重たいが、
愚かな人が起こす面倒なことは
もっと負担になる。

4 激しい怒りは残酷で、怒りは洪
水^{すい}のようである。
しかし、嫉妬には誰が耐えられ
るだろうか。

5 はっきり戒める方が、愛を秘めて
いるよりも良い。

6 忠実な友は傷を負わせ、
敵はたつぷり口づけをする。

7 食欲が満たされている人は巣か
ら滴る蜂蜜を拒否するが、
飢えている人には苦いものでさえ
甘い。

26:28 *直訳、「舌」。27:1 *直訳、「1日が何を産むか」。27:6 *もしかすると、「不誠実な」、「強いられて」。

第26章

(例) エス7:10
詩9:15
格28:10
伝10:8

(例) 格29:5

第27章

(例) ルカ12:19,20
ヤコ4:13,14

(例) 格25:27
エレ9:23
コ二10:18

(例) サ一25:25

(例) 創37:9-11
格14:30
使徒17:5

(例) レビ19:17
マタ18:15

(例) サ二12:7,9
詩141:5
啓3:19

第2欄

(例) サ一23:16
格15:23
格16:24

(例) 格17:17
格18:24

(例) 格10:1
格23:15
ヨ二4

(例) ヨブ1:8,9

(例) 格18:10
イザ26:20
ペリ11:7

(例) 格20:16

(例) 格21:9,19

8 家を離れてさまよう人は、
巣を離れてさまよう鳥のようだ。

9 油と香は心を喜ばせる。
誠実な助言を与えてくれる友もそ
うである。

10 自分の友や父親の友を見捨てて
はならない。

あなたの災難の日に兄弟の家に
入るな。

近くにいる隣人は遠くにいる兄
弟に勝る。

11 わが子よ、賢くあって、私の心を
喜ばせよ。

私をあざける者に私が答えるた
めである。

12 聡明な人は危険に気付いて身を
隠すが、

経験のない人たちは進んでいっ
て当然の報いを受ける。

13 知らない人の保証人になった人
からは、服を取れ。

外国の女性のためにそうしたな
ら、担保の品を取れ。

14 朝早くから大声で仲間にあいさ
つすると、

迷惑だと思われる。

15 争いを好む妻は雨の日に絶えず
雨漏りする屋根のようだ。

27:8 *または、「から逃げ去る」。27:11 *または、「に挑む」。27:12 *または、「罰」。27:13 *または、「外国人」。27:14 *または、「祝福を願う」。*または、「災い」。27:15 *または、「小言を言う」。

- 16 その妻を止められる人は、風を止めることができ、
右手で油をつかむことができる。
- 17 鉄が鉄を研ぐように、
人は友を研ぐ。
- 18 イチジクの木を世話する人はその実を食べ、
主人を世話する人は尊ばれる。
- 19 水が顔を映すように、
人の心は他の人の心を映す。
- 20 墓と滅びの場所は満足すること
がなく、
人の目も満足することがない。
- 21 りつばは銀のため、炉は金のためにあり、
称賛によって人は試される。
- 22 愚かな人を穀物のように、
臼ときねでつぶしたとしても、
愚かさはその人から離れない。
- 23 自分の羊の群れの様子をよく
知っておくべきである。
羊をよく世話しなさい。
- 24 富はいつまでも存続することは
なく、
王冠も代々ずっと存続することはないからである。
- 25 青草は消え、新しい草が現れ、
山々の草木は集められる。
- 26 若い雄羊は服となり、

27:20 *または、「シェオルとアバドン」。 27:21 *または、「人は受ける称賛によってどんな人かが分かる」。 27:23 *または、「に心を留めなさい」、「に注意を払いなさい」。

第27章

(例) サー 23:16
ヘブ 10:24,25

(例) 格 13:4

(例) 創 39:2
格 17:2

(例) 格 30:15,16

(例) 格 17:3

(例) コロ 3:23

(例) 格 23:4,5
テモ一 6:17

第2欄

第28章

(例) ダニ 3:16,17
使徒 4:13

(例) 王一 16:8,15
王一 16:22

(例) ダニ 4:27

(例) 格 14:31

(例) 民 25:6-8
サー 15:22,23
エフ 5:11

(例) 詩 25:14
マル 4:11,12
ヤコ 1:5

(例) 格 16:8
格 19:1

(例) 格 23:20
コ一 15:33

(例) 申 23:19

お雄ヤギは煙の代価となる。

- 27 ヤギのミルクが十分にあって、あ
なたと家族の食料となり、
召し使いの女性たちを養う。

28 悪人は追手がいないのに
に逃げるが、

正しい人はライオンのように動じ
ない。

- 2 国民が律法に背くと、支配者は
次々に変わり、

識別力と知識がある人のおかげ
で、支配者は長くとどまる。

- 3 立場が低い人たちからだまし取
る貧しい人は、

食物を全て流し去る雨のようだ。

- 4 律法を捨てる人たちは悪人を称
賛し、

律法を守る人たちは彼らに憤り
を感じる。

- 5 悪い人たちは公正を理解でき
ない。

エホバに導きを求める人たちは
全てを理解できる。

- 6 高潔に歩む貧しい人は、
墮落した道を行く裕福な人に
勝る。

- 7 理解力のある子は律法を守り、
大食いたちと付き合う子は父親
を辱める。

- 8 利息や高利によって財産を増や
す人は、

28:2 *または、「が反抗する」。

- 1063 貧しい人たちに親切にする人のために蓄えている。
- 9 律法を聞こうとしない人、その人の祈りさえ忌まわしい。
- 10 正直な人たちを惑わして悪の道に導く人は自分の掘った穴に落ち、非難されるところがない人たちは良いものを得る。
- 11 裕福な人は自分は賢いと思い込むが、識別力のある貧しい人がその人を見抜く。
- 12 正しい人たちが勝利を収めると、非常に輝かしい時となり、悪人に権力を握ると、人々は身を隠す。
- 13 自分の違反を隠す人は成功しないが、それを告白して捨てる人は憐れみを示される。
- 14 いつも用心している人は幸福だ。心を守る人は災いに陥る。
- 15 無力な民を従わせる邪悪な支配者は、うなるライオンや襲い掛かる熊のようだ。
- 16 識別力のない指導者は力を乱用し、不当な利益を憎む人は長く生きる。

28:14 *または、「畏れて」。

第28章

- (7) 格 13:22
格 19:17
(1) 詩 66:18
格 15:29
イザ 1:15
(7) 詩 74:14-16
(1) 申 7:12
詩 37:11, 18
詩 84:11
(7) 格 18:11
(7) マル 10:21
(7) 王 17:1-3
格 29:2
(7) サ 15:13-15
(7) サ 12:13
代 33:12, 13
詩 32:3, 5
詩 51:1
(1) 出 7:22
ネ 9:29
格 29:1
エ 16:12, 13
(7) ゼバ 3:3
マ 2:16
(7) ネ 5:15
アモ 4:1
(7) イザ 33:15, 16

第2欄

- (7) 創 9:6
王 21:19
マ 27:3-5
(1) 詩 25:21
(7) 詩 73:12, 18
テサ 5:3
啓 3:3
(7) 格 23:21
ルカ 15:13, 14
(7) サ 18:5
ネ 7:2
詩 101:6
(7) 王 2:50-22
エ 17:11
テモ 6:9
(7) レビ 19:15
格 18:5
ヤコ 2:1
(7) サ 12:7, 9
ガラ 2:11
(7) 詩 141:5
格 27:6
(7) マル 7:10, 11
(7) 格 19:26
(7) 王 3:11-13
(7) 格 3:5
エ 17:9

- 17 人を死なせて流血の罪を負う人は墓まで逃げ続ける。誰もその人を手助けしてはならない。
- 18 非の打ちどころがない歩みをする人は救われ、不正直に歩む人は突然倒れる。
- 19 自分の土地を耕す人はパンを十分に食べ、無価値なものを追い求める人は貧困を十分に味わう。
- 20 忠実な人は多くの祝福を受け、富を得ようと急ぐ人は潔白ではいられない。
- 21 不公平なのは良くない。それでも、人は1切れのパンのために不正を行いかねない。
- 22 ねたむ人は、貧困に見舞われることを知らずに、富を得ようと躍起になる。
- 23 戒めを与える人は後になって、お世辞を言う人よりも好意を得る。
- 24 父親や母親のものを奪って、「何もう悪くない」と言う人は、破壊をもたらす人の仲間である。
- 25 貪欲な人は不和を引き起こし、エホバに頼る人は報われる。
- 26 自分に頼る人は愚かであり、
- 28:17 *または、「穴」。 28:22 *または、「貪欲な」。 28:25 *もしかすると、「高慢な」。 *直訳、「太らされる」。 28:26 *または、「の心に従う」。

知恵によって歩む人は安全で
ある。

27 貧しい人に与える人は何も不足
せず,

目をそらす人は多くの災いに
遭う。

28 悪人たちが権力を握ると、人は
姿を隠し、
彼らが滅びると、正しい人たちが
増える。

29 何度戒められても頑固なま
まの人は、

突然砕かれ、癒やされることが
ない。

2 正しい人が多くなると、民は
喜び、

悪人が支配すると、民はうめく。

3 知恵を愛する人は父親を喜ばせ、
娼婦と付き合う人は財産を乱費
する。

4 王は公正によって国を安定させ、
賄賂を求める人は国を崩壊さ
せる。

5 隣人にお世辞を言う人は、
隣人が通る所に網を張っている。

6 悪い人の違反は当人にとってわ
なとなるが、

正しい人は歓声を上げて喜ぶ。

7 正しい人は貧しい人たちの法的
権利を気に掛けるが、
悪人は気に掛けない。

第28章

(例)ヨブ 28:28

(例)申 15:7,10
詩 41:1
格 19:17
ヘブ 13:16

(例)エス 8:17

第29章

(例)出 11:10
代二 36:11-13

(例)サ一 2:22-25
代二 36:15,16

(例)エス 3:13,15

(例)格 27:11

(例)格 5:8-10
格 6:26
ルカ 15:13,14

(例)サ二 8:15
詩 89:14
イザ 9:7

(例)格 26:28
口マ 16:18

(例)格 5:22

(例)詩 97:11

(例)詩 41:1

(例)エレ 5:28

第2欄

(例)ヤコ 3:6

(例)使徒 19:29,35

(例)格 26:4

(例)創 27:41
サ一 20:31
ヨ一 3:11,12

(例)格 12:16
格 25:28

(例)格 14:29

(例)王一 21:8-11
エレ 38:4,5

(例)詩 72:1,2

(例)格 20:28
格 25:5
イザ 9:7

(例)格 22:6

格 22:15
格 23:13
エフ 6:4

(例)詩 37:34
啓 18:20

8 自慢する人は町に論争の火を
付け、

賢い人は怒りを静める。

9 賢い人が愚かな人と議論を始め
ると、

わめき声やあざけりがあり、満足
は得られない。

10 血に飢えた人たちは無実の人を
憎み、

正しい人たちの命を取ろうと
する。

11 愚かな人は感情をぶちまけ、
賢い人は穏やかさを保つ。

12 支配者がうそに耳を傾けると、
仕える人は皆、悪人になる。

13 貧しい人と虐げられる人には共通点
がある。

両者の目に光を与えるのはエホ

バである。

14 王が貧しい人たちを公平に裁
くと、

王座はいつまでも安定する。

15 懲らしめと戒めは知恵を与え
るが、

しつけられていない子供は母親
に恥をかかせる。

16 悪人が増えると、悪が増えるが、
正しい人は彼らが倒れるのを
見る。

29:10 *または、「非難されるところがない」。
*もしかすると、「正しい人たちはその人の命を守
ろうとする」。

29:13 *両者に命を与える、とい
うこと。

29:15 *または、「むち」、「罰」。

17 あなたの^こ子をしつけなさい。そうすれば、

その子はあなたに安らぎと大きな喜びを与える。

18 見通し^こが示されなければ、民は好き勝手に振る舞う。

律法を守る人たちは幸せである。

19 召し使いを言葉で正すことはできない。

理解しても、従わないからである。

20 性急に話す人を見たか。愚かな人の方がまだ望みがある。

21 召し使いを若い時から甘やかすと、

いずれ感謝しない人になる。

22 怒りっぽい人は争いを引き起こし、

激怒しやすい人は多くの違反を犯す。

23 人は傲慢だと、卑しめられる。謙遜な人は栄誉を手にする。

24 泥棒の仲間は自分を憎んでいる。証言を求める呼び掛けを聞いて

も、何も報告しない。

25 人への恐れはわなとなる。エホバに頼る人は保護される。

26 多くの人が支配者に会う機会を求めるが、

公正な裁きはエホバから来る。

29:18 *または、「幻が」、「神からの啓示が」。

29:24 *または、「災いが関係する誓い」。

26 *もしかすると、「の好意を得ようとする」。直訳、「の顔を求める」。

第29章

(例) ヘブ 12:11

(例) ホセ 4:6

(例) 格 19:16

ヨハ 13:17

ヤコ 1:25

(例) 格 26:3

(例) 伝 5:2

ヤコ 1:19

(例) 格 14:29

格 21:5

(例) 格 15:18

(例) サー 18:8,9

ヤコ 3:16

(例) エス 6:6,10

ヤコ 4:6

(例) 格 18:12

マタ 18:4

フィリ 2:8,9

(例) レビ 5:1

(例) マタ 10:28

マタ 26:75

(例) 代二 14:11

格 18:10

(例) 詩 62:12

ルカ 18:6,7

第2欄

(例) 詩 119:115

詩 139:21

(例) ヨハ 7:7

ヨ一 3:13

第30章

(例) ヨブ 42:3

(例) ヨハ 3:13

(例) イザ 40:12

(例) ヨブ 38:4

(例) 詩 12:6

(例) 創 15:1

サニ 22:31

詩 84:11

(例) 申 4:2

啓 22:18

(例) 格 12:22

27 不正^{ふこうせい}な人は正^{ひと}しい人^{ただ}たちに

とって忌^いまわしく、

正直^{しょうじき}に歩^{あゆ}む人^{ひと}は悪^{あく}人^{にん}にとって忌

まわしい。

30 ヤケの子アグルの言葉^{ことば}に含^{ふく}まれる重^{おも}みのある言葉^{ことば}。イ

ティエルとウカルに語^{かた}ったもの。

2 私は他の誰^{だれ}よりも無^む知^ちで、人^{ひと}が持^もつべき理^り解^{かい}力^{りき}に欠^かけて

いる。

3 私は知^ち恵^えを学^{まな}ばなかつた。最^もも聖^{せい}なる方^{かた}の知^ち識^{しき}を得^えてい

ない。

4 誰^{だれ}が天^{てん}に昇^{のぼ}って降^おりてきたか。誰^{だれ}が風^{かぜ}を両^{りょう}手^てのひらに集^{あつ}めたか。

誰^{だれ}が水^{みづ}を服^{ふく}で包^{つつ}んだか。

誰^{だれ}が地^ちの全^{すべ}ての果^はてを定^{さだ}めたか。

誰^{だれ}が地^ちの全^{すべ}ての果^はてを定^{さだ}めたか。

その方^{かた}の名^なとその子^この名^なは何^{なん}か。

もしあなたが知^しっているなら。

5 神^{かみ}の言^{こと}ばは全^{すべ}て精^{せい}錬^{れん}されてい^いる。神^{かみ}は自^じ分^{ぶん}のも^もとに避^ひ難^{なん}する人^{ひと}

たち^{たち}の盾^{かた}である。

6 神^{かみ}の言^{こと}ばに何^{なん}も付^つけ加^{くわ}えてはな^ならない。

さも^{かみ}ない^いと、神^{かみ}に戒^いめられ、

うそ^{うそ}つきにな^なってしま^まう。

7 神^{かみ}よ、私^{わたし}は2^{ふた}つのこ^{こと}を願^{ねが}い求^{もと}めます。

私^{わたし}が死^しぬ前^{まえ}にかなえてください。

8 偽^{いつわ}りやうそを私^{わたし}から取^とり除^{のぞ}いてく^ください。

わたし まず ゆうふく
私を貧しくも裕福にもしないでく

ださい。

わたし ぶん しょくもつ た
私の分の食物を食べさせてくだ
さい。

わたし み た うら ぎ
9 私が満ち足りてあなたを裏切り、
「エホバとは誰か」と言うこと
のないため、

まず ぬす はたら わたし かみ
貧しくなって盗みを働き、私の神
の名を汚すことのないため

です。

しゅじん む め つか ちゅうしょう
10 主人に向かって召し使いを中傷
してはならない。

さもないと、あなたはののしられ、
有罪とされる。

ちちおや
11 父親をののしり、
ははおや うやま せだい
母親を敬わない世代がある。

じ ぶん きよ おち こ
12 自分は清いと思い込んでいるが、
けが きよ せだい
汚れから清められていない世代

がある。

ひじょう ごうまん め も
13 非常に傲慢な目を持ち、
ひじょう ごうまん め
非常に高慢な目つきをしている
世代がある。

は つるぎ
14 歯が剣のようで、
あご たんとう せだい
顎が短刀のような世代がある。
かれ たち ば ひく ひと ちじょう
彼らは、立場が低い人を地上

から、

まず ひと じんるい なか く つ
貧しい人を人類の中から食い尽
くす。

15 ヒルには、「ちようだい! ちよう
だい!」と叫ぶ2人の娘がいる。
まんぞく
満足しないものが3つ、

30:9 *または、「損なう」。

第30章

㊦ マタ 6:11
テモ一 6:8

㊦ 申 6:10-12

㊦ ダニ 6:24

㊦ レビ 20:9
格 19:26
マル 7:10,11

㊦ 詩 36:1,2
イザ 65:5
ヨ一 1:8

㊦ 詩 101:5
格 6:16,17

㊦ 詩 14:4
格 22:16
イザ 32:7

第2欄

㊦ 格 27:20

㊦ 格 23:22

㊦ レビ 20:9
申 21:18,21
格 20:20

㊦ 格 7:10,11

㊦ 格 19:10
伝 10:7
イザ 3:4

㊦ 創 16:5

じゅうぶん い
「十分だ!」と言わないものが4つ

ある。

16 墓、子供ができない子宮、水不
足の土地、

「十分だ!」と言わない火である。

17 父親をあざ笑ひ、母親への従順
を軽視する目、

それは谷のワタリガラスにつつ

き出され、

若いワシに食い尽くされる。

18 私の理解を超えるものが3つ、

私に分からないものが4つある。

19 空を飛ぶワシの道、岩をばう蛇
の道、海を進む船の道、

若い女性という男性の道である。

20 姦淫をする女性の道はこうで

ある。

食べて、口を拭き、

「何も悪いことはしていない」と
言う。

21 大地を震えさせることが3つ、
人々が耐えられないことが4つ

ある。

22 奴隷が王として支配すること、
愚かな人の所に食物があふれて
いること、

23 嫌われている女性が妻となる

こと、

召し使ひの女性が女主人に取っ
て代わることである。

30:16 *ヘブライ語、シエオル。用語集参照。
30:17 *または、「ワジ」。30:18 *または、「私
にとつてあまりに不思議な」。30:23 *または、
「愛されていない」。

24 地上^{ちじょう}の4つ^いの生き物^{もの}は小さい^{ちい}が、
それらは本能的^{ほんのうてき}に賢^{かしこ}い。

25 アリは強い生き物^{つよ}ではないが、
なつ あいだ しょくもつ よう い
夏の間に食物^{しょくぶつ}を用意^{ようい}する。

26 イワダヌキは力強い生き物^{ちからづよ}では
ないが、
おおいわ す かま
大岩^{おおいわ}に巣^すを構^{かま}える。

27 バッタは王^{おう}がいないが、
みな たいれつ く *すす
皆^{みな}で隊列^{たいれつ}を組^くんで進^{すす}んでいく。

28 ヤモリは足^{あし}で張り付^はき、
おうきゅう はい
王宮^{おうきゅう}に入^{はい}っていく。

29 堂々^{どうどう}とした足取り^{あしど}のものが3つ、
どうどう うご
堂々^{どうどう}と動^{うご}くものが4ついる。

30 野獣^{やじゅう}の中で最も力^{ちから}強く、
なに に
何^{なに}ものからも逃^にげないライオン^{らいおん}、

31 グレーハウンド、雄^おヤギ、
ぐんたい ひき
軍隊^{ぐんたい}を率^{ひき}いる王^{おう}である。

32 あなたが愚^{おろ}かにも威張^{いば}ったなら、
また、そうしようと考えたなら、
て くち お
手^てで口^{くち}を押^おさえよ。

33 ミルクをかき回^{まわ}すとバターが
でき、
はな し つ ち で
鼻^{はな}を締め付^しけると血^ちが出^でるよ

うに、
いか つの い あらそ しょう
怒^{いか}りを募^{つの}らせると言^いい争^{あらそ}いが生^{しょう}
じるからである。

31 レムエル王^{おう}の言葉^{ことば}。母親^{はは}が
かれ おし
彼^{かれ}を教^{おし}えるために与^{あた}えた重^{おも}
みのある言葉^{ことば}。

2 わたし こ わたし なに い
私の子^{わたし}よ、私^{わたし}は何^{なに}を言^いおうか。

30:24 *または、「極めて」。 30:25, 26 *直訳、
「民」。 30:26 *または、「ハイラックス」。 30:
27 *または、「群れに分かれて」。

第30章

(7) ヨブ 35:11

(1) 格 6:6-8

(7) レビ 11:5

(2) 詩 104:18

(2) 出 10:14
ヨエ 1:4

(7) ヨエ 2:7

(4) レビ 11:29, 30

(7) 民 23:24
イザ 31:4

(7) 格 26:12

(2) 格 27:2

(7) 格 26:21

第31章

(2) 格 1:8
テモニ 1:5

第2欄

(7) サー 1:11, 28

(1) ホセ 4:11

(7) 申 17:15, 17
王一 11:1-3
ネヘ 13:26

(2) 伝 10:17
イザ 28:7

(7) 詩 104:15
マタ 27:34

(7) エレ 16:7

(4) 詩 82:4

(7) 申 1:16, 17
サニ 8:15
詩 72:1, 2
イザ 11:4

(7) ルツ 3:10, 11
格 12:4
格 19:14

わたし はら こ なに い
私の腹^{わたし}の子^{はら}よ、何^こを言^{なに}おうか。

わたし せいやく こ なに い
私の誓約^{わたし}の子^{せいやく}よ、何^こを言^{なに}おうか。

3 女性^{じょせい}たちに力^{ちから}を費^{つい}やしてはな
らず、

おう はめつ あゆ
王^{おう}たちの破滅^{はめつ}につな^{あゆ}がる歩^{あゆ}みを
してはならない。

4 レムエルよ、それは王^{おう}たちがすべ
きことではない。

ぶどう酒^{しゅ}を飲^のむのは、王^{おう}たちが
すべきことではなく、

わたし さけ
「私の酒^{わたし}はどこにあるのか」とい
うのは、統治者^{とうちしや}たちが言^いうべ
きことではない。

5 飲^のんで、布告^{ふこく}されたことを忘れ、
たち ば ひく ひと けんり せいげん
立場^{たち}が低^ばい人^{ひく}たちの権^{ひと}力を制^{けんり}限^{せいげん}

することのないためである。

6 死^しにかけている人^{ひと}に酒^{さけ}を、
ひどく苦^{くる}しんでいる人^{ひと}にぶどう酒^{しゅ}
を与^{あた}えよ。

7 飲^のませて貧^{ます}しさを忘れさせよ。
もう面倒^{めんどう}なことを思^{おも}い出^ださないよ
うにさせよ。

8 口^{くち}が利^きけない人^{ひと}のために語^{かた}り、
死^しにかけている全^{すべ}ての人^{ひと}の権^{けんり}力^り
を擁護^{ようご}せよ。

9 口^{くち}を開^{ひら}いて正^{ただ}しく裁^{さば}き、
たち ば ひく ひと ます ひと けんり
立場^{たち}が低^ばい人^{ひく}や貧^{ます}しい人^{ひと}の権^{けんり}力^り
を擁護^{ようご}せよ。

※ [アーレフ]

10 有能^{ゆうのう}な妻^{つま}を誰^{だれ}が見^みつけられるだ
ろうか。

31:9 *または、「言い分を弁護」。 31:10 *また
は、「素晴らしい」。

かのじょ ^{*}
彼女はサンゴよりもはるかに
とうと
貴い。

コ [バート]

- 11 おつと かのじょ こころ しんらい
夫は彼女を心から信頼し、
なに ふそく
何にも不足しない。

メ [ギメル]

- 12 かのじょ しょうがい
彼女は生涯ずっと、
あく ぜん おこな おつと むく
悪ではなく善を行って夫に報
いる。

ツ [ダーレト]

- 13 ようもう あ ま て い
羊毛と亜麻を手に入れ、
よろこ みずか はたら
喜んで自ら働く。

ハ [ヘー]

- 14 しょうにん ふね (イ)
商人の船のようで、
とお しょうくりょう はこ
遠くから食料を運んでくる。

ワ [ワーウ]

- 15 よ あ お
夜が明けないうちに起き、
いえ もの しょうじ じゅんぴ
家の者のために食事を準備し、
め つか じょせい わ あ
召し使いの女性たちにも割り当
て分を与える。

↑ [ザイン]

- 16 かんが うえ はたけ か
よく考えた上で、畑を買う。
はたら * えん つく
よく働いてブドウ園を造る。

ハ [ハート]

- 17 しごと じゅんぴ *
きつい仕事のために準備をし、
ちからづよ うで うご
力強く腕を動かす。

ト [テート]

- 18 じぶん とりひき りえき あ
自分の取引が利益を上げること
し
を知っている。
かのじょ よる き
彼女のランプは夜も消えない。

31:10 *用語集参照。 31:16 *または、「稼いだもので」。 31:17 *直訳、「力で腰に帯をし」。

第31章

(イ) サー 2:18,19
テト 2:3-5

(イ) 代二 9:21

(イ) テモ一 5:9,10

(ロ) 創 24:15,20

第2欄

(イ) 出 35:25

(イ) サ一 25:18
格 19:17
テモ一 2:10
ヘブ 13:16

(イ) ルツ 4:1
ヨブ 29:7,8

(ロ) 裁 13:22,23
サー 25:30,31
エス 5:8
テト 2:3

ヲ [ヨード]

- 19 て いと ま ぼう も
手に糸巻き棒を持ち、
つむをつかむ。

コ [カフ]

- 20 たち ば ひく ひと て さ の
立場が低い人に手を差し伸べ、
まず ひと き まえ あた (イ)
貧しい人たちに気前よく与える。

ヲ [ラーメド]

- 21 ゆき ふ いえ もの しん
雪が降っても家の者のことを心
ばい
配しない。
ぜんいん あた *ふく き
全員、暖かい服を着ているから
である。

メ [メーム]

- 22 かのじょ じぶん
彼女は自分のベッドカバーを
つく
作る。
ふく あ ま むらさき ようもう
服は亜麻と紫の羊毛でできて
いる。

メ [ヌーン]

- 23 かのじょ おつと まち もん ところ し
彼女の夫は町の門の所でよく知
られており、
そこで 土地の長老たちと一緒
すわ
座る。

コ [サーメク]

- 24 かのじょ あ ま い ふく * つく う
彼女は亜麻の衣服を作って売り、
おび しょうにん のうひん
帯を商人に納品する。

メ [アイン]

- 25 ちから かがや み
力と輝きを身にまとい、
しょうらい ふ あん かん *
将来について不安を感じない。

コ [ペー]

- 26 ぐち ひら とき かしこ かた (ロ)
口を開く時には賢く語り、

31:19 *糸巻き棒とつむという棒を使い、繊維を紡いで糸にした。 31:21 *直訳、「2重の」。 31:24 *または、「下着」。 31:25 *または、「将来の日のことを笑う」。

いつも親切^{しんせつ りつぱう}の律法^{したが}に従^{はな *}って話す。

㊦ [ツアーデー]

27 家^{いえ おこな}で行^{ものごと}われる物事^{みまも}を見守^{はたら}り、
働^たかずにパン^{パン}を食^くべることは
ない。

㊧ [コーフ]

28 彼女^{かのじょ}の子供^{こども}たちは立^たち上^あがって
彼女^{かのじょ}を褒^ほめ、
夫^{おとと}も立^たち上^あがって称^{しょう}賛^{さん}する。

㊨ [レーシュ]

29 「有能^{ゆうのう}な女性^{*じょせい}は多^{おほ}いが、

31:26 *または、「教^{おし}える時^{とき}には親^{おや}切^きに話^{はな}す」、
「舌^{した}には揺^ゆるぎない愛^{あい}の律法^{りつぽう}がある」。 31:29
*または、「素晴^{すはら}らしい」。

第31章

(㊦) 格 14:1
デモ—5:9,10
テト 2:3-5

第2欄

(㊦) 王二 9:30
エス 1:10-12
格 6:25,26

(㊦) 創 24:60
裁 5:7
ペー 3:3,4

(㊦) ルツ 3:10,11

(㊦) ロマ 16:1,2

あなたは、あなたは誰^{だれ}よりも優^{すぐ}れ
ている。

㊩ [シーン]

30 麗^{うるわ}しさは時^{とき}に偽^{いつわ}りで、美^{うつく}しさもま
たはか^{*}ないが、
エホバを畏^{おそ}れる女性^{じょせい}は称^{しょう}賛^{さん}さ
れる。

㊪ [ターウ]

31 彼女^{かのじょ}が行^{おこな}うことに関^{かん}して報^{むく}いを
与^{あた}えよ。
彼女^{かのじょ}の働^{はたら}きを町^{まち}の門^{もん}の所^{ところ}で称^{しょう}
賛^{さん}せよ。

31:30 *または、「むなししい」。

伝道の書

概要

- 1 全てはむなししい (1-11)
地球は永遠に存続する (4)
自然界で繰返される現象 (5-7)
この地上に新しいものは何もない (9)
人の知恵には限界がある (12-18)
風を追うようなもの (14)
- 2 ソロモンの研究結果 (1-11)
人の知恵にはそれなりの価値がある (12-16)
一生懸命働くことのむなしさ (17-23)
食^くべ、飲^のみ、よく働^{はたら}く (24-26)
- 3 何事にも時がある (1-8)
人生を楽しむことは神からの贈り物 (9-15)
人には永遠を思う心がある (11)
神は全てを公正に裁^{さだ}め (16, 17)
人も動物もいずれ死^しぬ (18-22)
皆、土に戻る (20)
- 4 虐げられるのは死んでいるより悲惨 (1-3)
仕事に関するバランスの取れた見方 (4-6)

- 友人の価値 (7-12)
1人よりも2人がよい (9)
支配者の人生はむなししい (13-16)
- 5 畏^{おそ}れを抱^{かか}って神に近づく (1-7)
位の高い者に監視されている (8, 9)
財産のむなしさ (10-20)
お金^{かね}を愛^{あい}する人は満足しない (10)
働く人は心地よく眠れる (12)
- 6 所有しながらも楽しめない (1-6)
今持っている物を楽しむ (7-12)
- 7 良い名と死ぬ日 (1-4)
賢い人の叱責 (5-7)
終わりは始めよりも優れている (8-10)
知恵の利点 (11, 12)
良い日と悪い日 (13-15)
極端に走らない (16-22)
招集者の所見 (23-29)
- 8 不完全な人間の支配 (1-17)

- 王の命令を守る (2-4)
 人の支配は有害 (9)
 刑罰が速やかに下されない (11)
 食べ、飲み、喜ぶ (15)
- 9 皆、同じ結末に至る (1-3)
 生きている間に人生を楽しむ (4-12)
 死んだ人は何も知らない (5)
 墓では何の活動もできない (10)
 思いも寄らないこと (11)
 知恵がいつも評価されるとは限らない (13-18)
- 10 少しの愚かさが賢い人の評判を損なう (1)
 能力不足がもたらす危険 (2-11)

- 愚かな人の悲惨な状態 (12-15)
 愚かな支配者もいる (16-20)
 鳥があなたの言葉を繰り返す (20)
- 11 時を逃さずに行う (1-8)
 パンを水の上に投げる (1)
 朝から夕方まで種をまく (6)
 責任感を持って若い時を楽しむ (9, 10)
- 12 年を取る前に創造者を覚える (1-8)
 招集者の結論 (9-14)
 賢い言葉は牛追い棒のようだ (11)
 真の神を畏れる (13)

エルサレムの王、ダビデの子、招集者の言葉。

「何とむなしいことか!」と招集者は言う。

「何とむなしいことか! 全てはむなしい!」

太陽の下で人が一生懸命働いたとして、どんな良いものを得ることができらう。

4 世代は去り、次の世代となる。しかし地球は永遠に存続する。

5 日は昇り、やがて沈む。そして元の所に急いで戻り、また昇る。

6 風は南に向かって吹き、循環して北に向かう。絶え間なく巡り、循環を続ける。

第1章

(例) 王一 2:12
 代二 9:30

(例) 王一 8:1, 22

(例) 詩 39:5
 ロマ 8:20

(例) 伝 2:11
 マタ 16:26
 ヨハ 6:27

(例) 詩 78:69
 詩 104:5
 詩 119:90

(例) 創 8:22
 詩 19:6

第2欄

(例) ヨブ 38:8, 10

(例) ヨブ 36:27, 28
 イザ 55:10
 アモ 5:8

(例) 創 8:22
 伝 1:4

7 川は海に流れていく。しかし海がふれることはない。

川は始まりから、また流れる。

8 全ては疲れることばかりだ。誰も語り尽くすことはできない。見ても目は満足せず、聞いても耳は満たされない。

9 今あるものは、これからもある。行われたことは、これからも行われる。

この地上に新しいものは何も無い。

10 何かについて「これは新しい」と言えるだろうか。

それはずっと昔からあった。私たちの時代よりも前からあった。

11 誰も昔の人を覚えていない。これから生まれる人も、誰の記憶にも残らず、

1:3 *または、「この地上」。1:5 *または、「輝きを放ち」。「または、「息を切らして」。

1:7 *または、「冬に流れる川」。

その後^{あと う}に生まれる人^{ひと}の記憶^{きおく}にも
残^{のこ}らない。

12 私は招集者^{わたくし しょうしゅうしゃ}, エルサレムでイス
ラエルを治める王^{おさ おう}。13 私は、この地
上^{じょう おこな}で行われた全ての事柄^{ことがら}, 神^{かみ}が人に
与えた哀れな務め^{つと}について研究^{けんきゅう}し, 知
恵^{ち え}を働かせて調べよう^{しら}と心^{こころ}に決めた。

14 私はこの地上^{わたくし ちじょう おこな}で行われた全てを
見たが、
何^{なん}と、全てはむなしく、風^{かぜ}を追う
ようなものだった。

15 曲^まがっているものは真^まっすぐにで
きない。
ないものは数えることができ
ない。

16 私は心^{わたくし こころ}の中で言った。「私は、
これまでにエルサレムにいた誰^{だれ}よりも
優れた知恵^{ち え}を手^てに入れた。私の心^{わたくし こころ}
は非常に多くの知恵^{ち え}と知識^{ち しき}を得た。」
17 私は真剣^{わたくし しんけん}に、知恵^{ち え}とはどんなもの
か、狂気^{きやうき}とは何か、愚かな行い^なとは何
かを知ろうとした。これもまた風^{かぜ}を追
うようなものだ。

18 知恵^{ち え}が多いと、いら立ち^{だ おお}も多い。
それで人は知識^{ち しき}を増やすと、痛
みが増す^ふのだ。

2 私は心^{わたくし こころ}の中で言った。「さあ、楽^{たの}
しみとやらを経験^{けいけん}してみよう。ど
んなに楽しいものなのか」。しかし、そ
れもむなしいことだった。

1:17 *または、「ひどい愚かさ」。

第1章

〔7〕伝 2:16
伝 9:5
イザ 40:6

〔イ〕王 11:42
伝 1:1

〔イ〕伝 8:16

〔ロ〕王 4:29, 30

〔詩〕39:5, 6
伝 2:11, 18
伝 2:26
ルカ 12:15

〔イ〕伝 2:9

〔イ〕王 3:28
王 4:29-31
代 2:10-12

〔イ〕伝 2:2, 3
伝 2:12
伝 7:25

〔イ〕伝 2:15
伝 12:12

第2欄

第2章

〔イ〕詩 104:15
伝 10:19

〔イ〕王 9:17-19
代 2:9, 15, 16

〔イ〕王 7:1, 8

〔ロ〕王 4:25
ソ 4:8, 11

〔イ〕サ 8:10, 13
王 9:22

〔イ〕王 4:22, 23

〔イ〕王 9:14, 28
王 10:10
代 2:15

〔イ〕王 10:14, 15
代 2:9, 13, 14

〔イ〕王 3:13
王 10:23

〔ロ〕伝 11:9

2 私は笑^{わたくし わら}いについて「狂^{くる}ってい
る!」,

楽しみ^{たの}について「何^{なん}の役^{やく}に立つ
のか」と言った。

3 知恵^{ち え}を保ちながらもぶどう酒^{たも しゅ}を
存分^{ぞんぶん}に飲み、それが楽しいかどうか
を試^{ため}してみた。また、愚かなこともし
て、人^{ひと}が地上^{ちじょう}での短い生涯^{しやうがい}で何^{なに}を行
うのが最善^{さいぜん}かを知ろうとした。4 私
は大きな仕事^{しごと}に取り掛かった。自分^{じぶん}
のために家^{いえ}を建て、ブドウ園^{えん}をつ造^{つく}った。
5 自分^{じぶん}のために庭園^{ていえん}や公園^{こうえん}を造^{つく}り、
その中にあらゆる種類^{しゆい}の果樹^{かじゅ}を植^くえ
た。6 自分^{じぶん}のために池^{いけ}を造^{つく}った。そ
うして木^きの茂^{しげ}る木立^{こだち}に水^{みづ}を引^ひくのだっ
た。7 私は男女^{わたくし だんじやう}の召^めし使^{つか}いを得^えた。
私の家^{わたくし いえ}で生まれた召^めし使^{つか}いもいた。

また、これまでにエルサレム^{おさ}を治^{おさ}めた
誰^{だれ}よりも多くの、牛^{うし}や羊^{ひつじ}といった家畜^{かちく}
を得^えた。8 私は銀^{えん}や金^{きん}を自分^{じぶん}のた
めに蓄^{たくわ}え、王^{おう}たちや州^{しゅう}が所有^{しやうゆう}する宝^{たから}を
ためた。自分^{じぶん}のために歌手^{かじゅ}の男女^{だんじやう}と、
人^{ひと}を大^{おほ}いに喜^{よろこ}ばせる存在^{そんざい}つまり女性^{じよせい}、
それも大勢^{おおいぜい}の女性^{じよせい}を集^{あつ}めた。9 こう
して私は偉大^{わたい}な者^{もの}となり、これまでに
エルサレム^{だれ}にいた誰^{だれ}よりも優^{すぐ}れた者^{もの}と
なった。そして知恵^{ち え}はずっと私のもの
だった。

10 私は自分^{わたくし じぶん}の願^{ねが}いを何^{なん}でも満^み
そうとした。どんな楽^{たの}しみも心^{こころ}の赴^{おもむ}
きままに求^{もと}めた。一生^{いっしょう}懸命^{けんめい}に働^{はたら}き、心^{こころ}

2:6 *または、「森林」。2:8 *または、「つまり
貴婦人、貴婦人たち」。

には喜びが生まれた。この喜びこそ
わたし いっしょうけんめい はたら え ほうしゅう 　
私が一生懸命に働いて得た報酬だ。

11 私は、自分の手で行った全てのこ
と、苦労して成し遂げたことを振り返
てみた。すると、全てはむなしく、風を
追うようなもので、この地上に本当に
価値のあるものは何もなかった。

12 私は知恵と狂気と愚かな行い
に注意を向けた。(王の後に現れる人
に何ができるだろう。すでに行われた
ことしかできない。) 13 そして私は、
愚かな行いよりも知恵が優れている
のを知った。闇よりも光が優れている
のと同じように。

14 賢い人は物事をはっきり見る *
が、愚かな人は闇の中を歩く。それで
も皆が迎える結末は1つであることに、
私は気付いた。 15 そして心の中で
言った。「愚かな人に起きることが私
にも起きるなら、私はいったい何のた
めに非常に賢くなったのだろう」。そ
れで心の中で言った。「これもまたむ
なしい」。 16 賢い人も愚かな人も、
人の記憶にいつまでも残ることはな
い。月日がたつと誰もが忘れ去られ
る。賢い人はどのようにして死ぬのか。
愚かな人と同じようにである。

17 私は生きることと憎むように
なった。この地上で行われてきた全て
が苦難に思えたからだ。全てはむな
しく、風を追うようなものだ。 18 私
は、この地上で一生懸命に働いて得

第2章

　伝 3:22
伝 5:18
伝 9:9
イ王 7:1
　詩 49:10
伝 1:14
伝 2:16
テモ 6:7
　伝 1:3
伝 2:17
　伝 1:17
伝 7:25
　格 4:7
伝 7:11,12
　格 4:25
　格 14:8
格 17:24
ヨハ 3:19
ヨ 2:11
　伝 3:19,20
伝 9:2,3
伝 9:11

　詩 49:10
　出 1:8
伝 1:11
　伝 6:8
ロマ 5:12

イ王 19:2,4
エレ 20:17,18
　ヨブ 7:6
伝 2:21
ロマ 8:20
　伝 1:14
伝 5:16

第2欄

　伝 2:4-8
イ詩 39:6
ルカ 12:20
　王 12:6,8
代 12:1,9
　伝 2:18
伝 5:15,16
　伝 1:3
伝 3:9
　ヨブ 14:1,2
ルカ 12:29
　創 31:40,41
　申 12:18
伝 3:22
伝 8:15
使徒 14:17
　伝 3:12,13
伝 5:18,19
　王 4:7
王 4:22,23
王 10:4,5
王 10:21
　サ 18:14
格 3:32,33
イザ 3:10
　申 6:10,11
格 13:22
格 28:8

た全てを憎むようになった。それを私
あと あらわ ひと のこ
の後に現れる人のために残すこと
になるからだ。 19 しかも、その人
が賢い人か愚かな人か誰にも分か
らない。いずれにしてもその人は、私が
この地上で知恵と努力を尽くして得た
全てを手にする。これもまたむなしい。

20 それで私はこの地上で一生懸命
に働いたことを振り返り、心に絶望を
覚えた。 21 人は知恵や知識や技能
を駆使して一生懸命に働いても、自分
の報酬を、働いていなかった人に渡さ
なければならなくなる。これもまたむ
なしく、大きな悲劇である。

22 人は、この地上で一生懸命に
働き、志を持ってそうしただとして、い
たいどんな良いものを得るのだろう
か。 23 生きている間ずっと、その人
の務めは痛みといらだちを生み、夜に
なっても心が休まらない。これもむな
しい。

24 食べ、飲み、一生懸命働く 充
実感、人にとってこれ以上の幸せはな
い。私はこれもまた、真の神からのも
のだと気付いた。 25 私より良い物
を食べ、飲む者はいない。

26 神はご自分を喜ばせる人に知
恵と知識と喜びを与える。一方、罪人
には、財産を蓄える務めを与え、その
財産は真の神を喜ばせる人のものと
なる。これもまたむなしく、風を追うよ
うなものだ。

2:14 *直訳、「目が頭の中にある」。

2:21 *または、「全て」。 *または、「災難」。

3 ^{なにごと} ^{とき} 何事にも時がある。
^{ちじょう} ^{すべ} ^{かつどう} ^{とき} この地上の全ての活動には時
 がある。

2 ^う ^{まとき} ^し ^{とき} 生まれる時があり、死ぬ時
 がある。

^う ^{とき} ^う 植えるのに時があり、植えられた
^{もの} ^{ひきぬく} ^{とき} 物を引き抜くのに時がある。

3 ^{ころ} ^{とき} ^い 殺すのに時があり、癒やすのに
 時がある。

^{こわ} ^{とき} ^た ^{とき} 壊すのに時があり、建てるのに時
 がある。

4 ^な ^{とき} ^{わら} ^{とき} 泣くのに時があり、笑うのに時
 がある。

^な ^{さけ} ^{とき} ^{おど} 泣き叫ぶのに時があり、踊るの
 に時がある。

5 ^{いし} ^と ^{のぞ} ^{とき} ^{いし} 石を取り除くのに時があり、石を
 集めるのに時がある。

^{ほうよう} ^{とき} ^{ほうよう} 抱擁するのに時があり、抱擁を
^{ひか} ^{とき} 控えるのに時がある。

6 ^{さが} ^{とき} ^{うしな} ^{もの} 捜すのに時があり、失った物とし
^{あきら} ^{とき} て諦めるのに時がある。

^ほ ^{ぞん} ^{とき} ^す 保存するのに時があり、捨てるの
 に時がある。

7 ^さ ^{とき} ^ひ ^ぬ ^{とき} 裂くのに時があり、縫うのに時
 がある。

^{だま} ^{とき} ^ひ ^{はな} 黙っているのに時があり、話すの
 に時がある。

8 ^{あい} ^{とき} ^{にく} 愛するのに時があり、憎むのに
 時がある。

^{たたか} ^{とき} ^{へい} ^わ ^{とき} 戦いの時があり、平和の時
 がある。

3:2 *または、「生む」。

第3章

(7) サニ 3:31

(1) 詩 39:1

(7) サニ 19:4

サニ 25:23,24

エス 4:13,14

詩 145:11

格 9:8

(12) 詩 139:21

ロマ 12:9

第2欄

(7) 伝 1:3

伝 5:15,16

(1) 創 1:31

ロマ 1:20

(7) 詩 37:3

テサー 5:15

(12) 伝 5:18,19

イザ 65:21,22

(7) エレ 10:7

啓 15:4

(7) 伝 1:9

(7) 詩 82:2

詩 94:16,21

(7) 伝 12:14

使徒 17:31

ロマ 2:5,6

9 ^{ちから} ^つ ^{はたら} 力を尽くして働いたとして、どん
^よ ^え ^{こと} ^が ^{できる} ^{だらう}。な
 良いものを得ることができたらう。

10 ^{わたし} ^{かみ} ^{ひと} ^{あた} ^{つと} ^し 私は神が人に与えた務めを知っ
^{かみ} ^{すべ} ^{てきせつ} ^{とき} ^{うつく} た。11 ^{かみ} ^{ひと} ^{えいえん} ^{おも} ^{こころ} 神は全てを適切な時に美し
^{あた} ^{ひと} ^{しん} ^{かみ} ^{おこな} くした。神は人に、永遠を思う心さえ
 与えた。それでも人は、真の神の行い
 を決して知り尽くすることがない。

12 ^{わたし} ^{けつろん} ^{しょうがい} ^{あいだ} 私はこう結論した。生涯の間、
^{よろこ} ^{ぜん} ^{おこな} ^{ひと} ^{いじょう} 喜び、善を行う。人にとってこれ以上
^{しあわ} ^{ひと} ^{みな} ^た ^の の幸せはない。13 ^{かみ} ^{おおく} ^{もの} 人は皆、食べ、飲
^{いっしょうけんめい} ^{はたら} ^{じょうじつかん} ^え み、一生懸命働いて充実感を得るとよ
 い。それは^{かみ} ^{おおく} ^{もの} 神からの贈り物なのだ。

14 ^{わたし} ^{しん} ^{かみ} ^{さだ} ^{こと} ^{がら} 私は、真の神が定めた事柄は
^{すべ} ^{えいぞく} ^し 全て永続することを知らようになった。
 それに加えたりそれから取り去ったり
^{くわ} ^{なに} ^{しん} ^{かみ} ^が ^{その} すべきものは何もない。真の神がその
^{ひとびと} ^{かみ} ^{おそ} ^の ようにした。それで人々は神を畏れる。

15 ^お ^{こと} ^お ^{こと} 起きる事は、すでに起きた事で
^{そんざい} ^お ^{しん} ^{かみ} ^お あり、存在するようになるものは、すで
^{そんざい} ^お ^{しん} ^{かみ} ^お に存在していた。真の神は、追われて
 いるものを探す。

16 ^{わたし} ^{ちじょう} ^{こうせい} ^ば ^{あく} 私はこの地上で、公正の場に悪
^{せい} ^ぎ ^ば ^{あく} ^し があり、正義の場に悪があるのも知っ
^お ^{ところ} ^{なか} ^い ^{しん} た。17 ^{かみ} ^{ただ} ^{ひと} ^{こころ} ^{なか} ^い ^{しん} それで心の中で言った。「真
^{かみ} ^た ^{ひと} ^お ^{さば} ^の ^{しん} の神は正しい人も悪い人も裁く。全て
^{かつどう} ^{すべ} ^{おこな} ^{とき} の活動、全ての行いに時がある。

18 ^{わたし} ^{ひと} ^{こころ} ^{なか} ^い 私は人についても心の中で言っ
^{しん} ^{かみ} ^{ひと} ^{ため} ^{ひと} ^{どうぶつ} た。「真の神は人を試し、人と動物が
^{おな} ^{しめ} ^{ひと} 同じようであることを示す」。19 ^お ^{どうぶつ} ^お ^お 人
 には終わりがあり、動物にも終わりが

3:11 *または、「に組織した」、「に整えた」、「に
 配置した」。*または、「を始まりから終わりま
 で決して知る」。3:15 *もしかすると、「過ぎ
 去った」。

ある。皆、同じ終わりを迎える。動物は死に、人も死ぬ。皆、1つの命を持っている。だから人は動物より優れているわけではない。全てはむなし。

20 皆、同じ場所へ行く。皆、土から生じ、土に戻る。21 人の命は昇っていくのか、動物の命は地面に下っていくのか、いったい誰が知っているだろう。

22 私は人にとって、働く充実感以上の幸せはないのを知った。それが人の得る報酬だからだ。誰も自分の死

後、起きていることを見ることはできない。

4 さらに私はこの地上で行われている虐げの行為全てに注意を向けた。私は虐げられている人たちの涙を見た。彼らには慰めてくれる人がいなかった。彼らを虐げる人たちには力があり、彼らには慰めてくれる人がいなかった。

2 私は、今生きている者よりも、すでに死んだ者の方に祝いの言葉を述べた。3 どちらの者よりも、まだ生まれていない者の方が幸せだ。この地上における苦しみの伴う出来事を見ていないからだ。

4 私は、人が対抗心を燃やして努力を重ね、熟練した仕事をするのを知った。これもまたむなく、風を追うようなものだ。

5 愚かな人は腕組みをしたままでも何せす、痩せ衰える。

3:19, 21 *または、「息」。4:4 *または、「一生懸命に働き」。4:5 *直訳、「自分の肉体を食べている」。

第3章

(7) ヨブ 14:10

詩 39:5

詩 89:48

(7) 創 7:22

詩 104:29

伝 12:7

(7) 伝 9:10

(7) 創 2:7, 19

(7) 創 3:19

ヨブ 10:9

(7) 詩 146:3, 4

伝 3:19

伝 9:10

(7) 申 12:7

伝 5:18

(7) ヨブ 14:21

伝 6:12

第4章

(7) 詩 69:20

詩 142:4

(7) ヨブ 3:17

伝 2:17

(7) エレ 20:18

(7) 伝 1:14

(7) ガラ 5:26

(7) 格 6:10, 11

格 20:4

第2欄

(7) 詩 37:16

格 15:16

格 16:8

格 17:1

(7) 格 27:20

伝 5:10

(7) 詩 39:6

ルカ 12:18-20

(7) 伝 2:22, 23

(7) 創 2:18

格 27:17

(7) 王 1:22-8

代 2:25, 15, 16

(7) 格 19:1

格 28:6, 16

(7) サメ 7:8

ヨブ 5:11

(7) 創 41:14, 40

6 両手いっぱい仕事を持つのは風を追うようなことだ。それよりも、片手は休息で満たす方がよい。

7 私は、この地上におけるむなしことの別の例に注意を向けた。8 ある孤独な人がいる。親しい人がおらず、息子も兄弟もいない。一生懸命働き続け、裕福になっても満足しない。その人は自分にこう問い掛けるだろう。「誰のために一生懸命働き、良いものを我慢しているのだろう」。これもまたむなく、哀れな務めである。

9 1人よりも2人がよい。2人で働くことで十分な報酬が得られるからだ。

10 もし1人が倒れても、もう1人が起こしてあげられる。しかし、倒れた時に起こしてくれる者がいない人の場合は、どうなるのだろう。

11 さらに、2人が一緒に横になれば温かい。1人では温かくしていられるだろうか。12 1人なら誰かに打ち負かされるかもしれない。しかし2人なら立ち向かえる。三つよりの綱は素早く断ち切ることができない。

13 年を取っているのに愚かに警告を受け入れない王よりも、貧しくても賢い子供の方がよい。14 彼は、その王の治世には貧しい者として生まれたが、牢屋から出て王となった。15 私

4:9 *または、「より多くの利益」。4:12 *または、「簡単に」。4:14 *賢い子供のこともかもしれない。

は、この地上を歩き回っている全ての
人々、代わりに立つ若い王について考

えた。16 彼を支持する者はいつも
いるが、後から現れる人たちは彼のこ
とを喜ばない。これもまたむなくしく、風
を追うようなものだ。

5 真の神の家に行く時は自分の歩
みに注意を払いなさい。そこで
は、愚かな人のように犠牲を捧げるよ
りも、耳を傾ける方がよい。愚かな人
は自分が悪を行っていることに気付い
ていない。

2 急いで口を開いてはならない。真
の神の前で心の赴くままに性急に言
葉を発してはならない。真の神は天に
いるが、あなたは地にいる。だから、あ
なたは言葉を選ばなければならぬ。

3 心配事がありに多いと、夢を見る
ことになる。言葉がありに多いと、
愚かな人の話になる。4 神に誓
約したなら、先延ばしせず果たせ。
愚かな人は喜ばれないからだ。誓約
は果たせ。5 誓約して果たさないよ
りは、誓約しない方がよい。6 口を
滑らせて罪を犯してはならない。天使
の前で、間違いでしと言っではなら
ない。さもないと、真の神はあなたの
言葉のことで憤り、あなたが手で築い
たものを破壊してしまうだろう。7 心
配事が多いと夢を見ることになり、同

5:2 *直訳、「少なくともなければ」。5:3 *または、「何かで頭がいっぱいだ」と。5:6 *または、「使者」。

第4章

[イ] サ20:21

第5章

[イ] 詩15:1,2

[イ] サ13:12,13

サ15:22

格21:27

イザ1:13

ホセ6:6

[イ] 申31:12

使徒17:11

[イ] 民30:2

サ14:24

[イ] 格10:19

[イ] マタ6:25,34

ルカ12:18-20

[イ] 格10:19

格15:2

[イ] 申23:21

詩76:11

マタ5:33

[イ] 伝10:12

[イ] 民30:2

詩66:13

[イ] 申23:22

格20:25

[イ] 裁11:35

[イ] 裁11:35

[イ] レビ5:4

[イ] 詩127:1

ハガ1:11

[イ] 伝5:3

第2欄

[イ] 伝12:13

[イ] 伝3:16

[イ] サ8:11,12

王4:7

代26:9,10

ソロ8:11

[イ] 伝4:8

[イ] マタ6:24

ルカ12:15

テモ6:10

[イ] 王4:22,23

[イ] 格23:4,5

ヨ1:21

[イ] 格23:4,5

マタ6:19

[イ] ヨ1:21

[イ] 詩49:17

ルカ12:20

テモ6:7

じく、言葉が多いとむなしい結果に至
る。真の神を畏れなさい。

8 もし、貧しい人が虐げられ、辺り
で公正や正義が侵されているのを見
ても、そのことで当惑してはならない。
高官は、さらに位の高い者の監視下
にあり、その位の高い者の上にはさら
に位の高い者がいるからだ。

9 大地の恵みは皆で分け合うもの
だ。王でさえ畑に支えられている。

10 お金を愛する人は、いくらお金
を手にしても満足しない。財産を愛す
る人は収入に満足しない。これもまた
むなしい。

11 良い物が増えると、それを当て
にする人々も増える。所有者には、
得た物を自分の目で見て喜ぶほかに、
どんな利益があるだろう。

12 主人に仕える人は、食べるが
少ないか多いかに関わりなく、心地よ
く眠れる。しかし、多くのものを持つ裕
福な人は眠れない。

13 私はこの地上で大きな悲劇を見
た。ため込んだ財産が、その所有者に
害を及ぼした。14 その財産は事業
に失敗して失われた。彼に子が生ま
れる時、所有物は何も残っていない。

15 人は、母から生まれた時と同じ
ように、裸で去っていく。生まれたとき
と同じである。一生懸命働いても、何一
つ持っていけない。

5:10 *直訳、「銀」。5:11 *直訳、「食べる」。
5:13 *または、「災難」。

16 これも大きな悲劇だ。人は、生まれた時と全く同じように去っていく。風を追うかのように一生懸命働くことに何の価値があるのだろうか。17 毎日に、暗闇の中で食べ、多くのいら立ち、病気、憤りを経験する。

18 私は人にとって何が良いことかを知った。それは、真の神が与えてくださる、地上での短い生涯の間、食べ、飲み、一生懸命働いて充実感を得ることだ。それが人の報酬である。

19 真の神が人に財産や所有物を与え、しかもそれを人が楽しめるようにしてくださるので、人はその報酬を受け取り、一生懸命働いて喜びにあふれる。これは神からの贈り物である。

20 人は自分の命の日々が過ぎていくことをあまり気に留めない。真の神が人の心を喜びで満たしているからである。

6 私はこの地上で、人の間でよく起る別の悲劇を見た。2 ある人は真の神から財産や所有物や栄誉を与えられ、望むものを何でも手にする。しかし真の神は本人にそれを楽しむませない。よその者がそれを楽しむことはあっても。これはむなしいことであり、耐え難い苦痛である。3 たとえある人が100人の子を持ち、長生きして老齢に達したとしても、墓に入る前

5:16; 6:1 *または、「災難」。5:20 *または、「思い返さない」。

第5章

(7) マタ 16:26
ヨハ 6:27

(4) テモ 6:10

(7) 王 4:20
伝 2:24
伝 3:22
イザ 65:21,22

(4) 王 3:12,13
ヨブ 42:12

(4) 申 8:10
伝 3:12,13
テモ 6:17
ヤコ 1:17

(4) 申 28:8
詩 4:7

第2欄

第6章

(7) 伝 4:2,3

(4) ヨブ 3:11,13
ヨブ 14:1

(4) ヨブ 30:23
伝 3:20
ロマ 5:12

(4) 創 3:19
格 16:26

(4) 詩 49:10
伝 2:15,16

(4) 代 29:15
ヨブ 8:9
ヨブ 14:1,2
詩 102:11

に、良いものを満喫していなかったなら、私は、彼よりは死産の子の方がましだと言わざるを得ない。4 死産の子はむなしく生まれ、闇のうちに去っていく、名前も闇に覆われる。5 太陽を見ることも、何かを知ることもない。それでも、前述の者よりはましだ。6 1000年、さらに1000年生きたとしても、楽しみを経験しなかったなら、何の意味があるというのだろうか。皆、同じ場所に行くのではないか。

7 人が一生懸命働くのは腹を満たすためだが、欲求は決して満たされない。8 賢い人には愚かな人に勝るどんな利点があるだろう。貧しい人が生き抜く方法を知っているからといって、何の得があるだろう。9 目の前の物を楽しむ方が、自分の欲求を追い掛けるよりもよい。これもまたむなしく、風を追うようなものだ。

10 存在するようになったものは、すでに名が付けられていた。人がどういうものかは知られている。人は自分よりも強力な者と争うことはできない。

11 言葉が多くなれば、むなしいことも多くなる。それによって、人にどんな良いことがあるというのか。12 人は、短くてむなしい生涯を送り、それは影のように過ぎる。そうした人生で何をを行うのが最善か、誰が知っている

6:3 *または、「墓さえも自分のものにしておらず」。6:10 *または、「に自分の言い分を述べる」。6:11 *もしかすると、「物事」。

だろう。誰も自分の死後、太陽の下で起きることを知らせてもらうことはできない。

7 良い名は良い油よりも価値がある。死ぬ日は生まれる日より価値がある。**2** 宴会が開かれる家に行くよりも、死を悼む家に行く方がよい。死は全ての人が迎える終わりであり、生きている人はそれを心に留めなければならない。**3** 笑よりも、苦悩の方がよい。悲しい顔をするこころで心が正されるからだ。**4** 賢い人の心は、死を悼む家にあるが、愚かな人の心は、楽しいことが行われる家にある。

5 愚かな人の歌を聞くよりも、賢い人の叱責を聞く方がよい。**6** 愚かな人の笑いは、鍋の下でいばらが燃える音のようだ。これもまたむなしい。**7** 圧迫は賢い人に狂気じみた行動を取らせる。賄賂は心を墮落させる。

8 事の終わりはその始めよりも優れている。辛抱強いことは傲慢であることよりも優れている。**9** すぐに腹を立ててはならない。腹立ちは愚かな人の胸にとどまる。

10 「昔の方が良かった」と言っ

てはならない。そのように言うのは愚

のあることではないからだ。

11 知恵に加えて財産があるのは

7:1 *または、「良い評判」。直訳、「名」。7:9 *もしかすると、「愚かな人の特徴だ」。

第7章

(例) 格 10:7
格 22:1
イザ 56:5
ルカ 10:20
(イ) イザ 5:11, 12
(例) 詩 119:71
ルカ 6:21
(例) コリ 7:10
ヘブ 12:11
(例) サー 25:36
格 21:17
(例) 詩 141:5
格 15:31
(例) 伝 2:2
(例) 出 23:8
申 16:19
サー 8:1-3
格 17:23
(例) 格 13:10
ヤコ 5:10
ペー 5:5
(例) 格 16:32
ヤコ 1:19
(例) 創 4:5
エス 5:9
格 14:17, 29
格 29:11
(例) ルカ 9:62

第2欄

(例) 格 10:15
(イ) 格 4:5, 6
(例) 格 3:13, 18
格 8:35
格 9:11
(例) コリ 9:12
イザ 14:27
(例) ヤコ 5:13
(例) コリ 7:10
イザ 45:7
(例) 格 27:1
伝 9:11
ヤコ 4:13, 14
(例) 詩 39:5
(例) 創 4:8
サー 22:18
(例) コリ 21:7
詩 73:12
(例) イザ 65:5
マタ 6:1
ロマ 10:3
ロマ 14:10
(例) 格 3:7
ロマ 12:3
(例) 格 16:18
(例) 詩 14:1
格 14:9
(例) 詩 55:23
格 10:27
(例) フイリ 4:5
(例) 格 21:22
格 24:5
(例) 代 2:6
詩 51:5
ロマ 3:23
ヨハ 1:8
(例) サー 24:9

良いことであり、人にとって役に立つ。**12** お金は身の守りであり、知恵も身の守りである。しかし知識や知恵の利点は、人の命を保たせることだ。

13 真の神の行いについて考えなさい。神が曲げたものを誰が真つすぐにできるだろう。**14** 良い日には、善良さを示しなさい。逆境の日には、どんな日も神がつくったことを考えなさい。神は、人が未来に何が起きるかを見通せないようにしたのだ。

15 私はむなしい生涯の間に全てを見た。正しい人が、正しいことを行っても死んでいき、悪人が、悪いことを行うにもかかわらず長生きする。

16 正しさにあまりにこだわってはならない。賢くなり過ぎる必要はない。どうして自分の身を滅ぼすのか。

17 悪くなり過ぎる必要はない。愚かになつてはならない。まだ時が来ないのにどうして死んでよいだろう。

18 一方の忠告を守りながら他方の忠告も守るのが一番だ。神を畏れる人は両方を受け入れる。

19 知恵は、賢いものを都市の10人の強い者よりも強くする。**20** 常に善を行って罪を犯さない正しい人は、地上に一人もいない。

21 また、人々が話す言葉一つ一つを心に留めてはならない。さもない

7:11 *直訳、「太陽を見る者たち」。7:14 *または、「災難」。

と、あなたは、召し使いがあなたに不幸が生じることを願うのを聞くだろう。

22 あなたは、自分が何度も、他の人たちに不幸が生じることを願ったのをよく知っている。

23 私は、こうした全てを知恵を働かせて試し、「私は賢くなる」と言った。しかし知恵に達することはできなかった。24 存在するようになったものは、あまりに遠く、非常に深い。誰がそれを理解できるだろう。25 私は、知恵と物事の理由とを知ろうとし、調べようとし、探ろうとした。また、愚かさがいかに悪く、狂気がいかに愚かであるかを理解しようとした。26 そして私は知った。獵師の網のような女は死よりもひどい。その女の心は引き網のようであり、手は拘束する鎖のようだ。真の神に喜ばれている人はその女から逃げることができるが、罪人はその女に捕まる。

27 招集者は言った。「私が知ったことをここに述べよう。私は、結論を引き出そうと物事を一つ一つ調べた。28 しかし絶えず探していたものは見つからなかった。1000人の中から1人の男を見つけたが、1人の女を見つめることはできなかった。29 私が知ったのは次のことだけだ。真の神は人間を正直な者として造ったが、人間がいろいろなことを考え出すようになったのだ」。

7:28 *または、「正直な男」。

第7章
(例) ヤコ3:2,8,9

(例) 詩 36:6
詩 139:6
イザ 55:9
ロマ 11:33

(例) 伝 1:17
伝 2:12

(例) 創 39:7-9

(例) 格 5:3,14
格 7:22,23
格 22:14

(例) 伝 1:1

(例) 創 1:26,31

(例) 創 3:6
創 6:12
申 32:5

第2欄

第8章
(例) 格 24:21,22
ロマ 13:1
テト 3:1
ペー 2:13

(例) サニ 5:3

(例) 伝 10:4

(例) 王一 1:5,7
格 20:2

(例) 王一 2:24,25

(例) ロマ 13:5
ペー 3:13

(例) サ一 24:12,13
サ一 26:8-10
詩 37:7

(例) 伝 3:17

(例) 詩 89:48

8 誰が賢い人のようだろうか。誰が問題の解決策を知っているだろうか。人は知恵によって顔が輝き、険しい表情が和らぐ。

2 私は言う。「王の命令を守りなさい。あなたは神に誓いを立てた。」

3 王の前から不意に立ち去ろうとしてはならない。悪に関わってはならない。王は自分の望み通りに物事を行う。4 王の言葉は絶対である。誰が王に向かって『何をしているのだ』と言えるだろう。

5 おきてを守る人は災いを経験しない。賢い心は適切な時や物事の扱い方をし知ることになる。6 人が直面する困難は非常に多く、何事も適切な時に正しく扱わなければならない。

7 未来に何が起きるかを誰も知らない。それで、事がどう運ぶかを誰が人に告げることができるだろう。

8 生命力を意のままに操ったり保ったりできる人は一人もいない。同じように、死ぬ日を意のままに操ることができる人はいない。戦いの間、持ち場から離れることは誰にもできない。同じように、悪を行う人たちは悪にはまり、その結果を免れることはない。

9 私はこの全てを見た。地上で行われた全てについて真剣に考えた。これまでずっと、人は人を支配し、人に

8:1 *または、「物事の意味」。8:5 *または、「判断」。8:6 *または、「判断しなければ」。8:8 *または、「息」、「風」。「もしかすると、「悪人が悪によって助け出される」。

7 さあ、喜びながら食物を食べ、上
機嫌でぶどう酒を飲みなさい。真の神
はあなたの行いをすでに喜んでくだ
さった。8 白い服をいつも着て、頭
には油を付けておかなければならな
い。9 神があなたに与えてくださ
った、地上での短い生涯の間、愛する
妻と一緒に人生を楽しみなさい。それ
が、地上で一生懸命に働くあなたに対
する分け前だからである。10 あな
たにできることは何でも、力を尽くして
行いなさい。あなたの行く場所、つま
り墓では、働くことも考えることも学ぶ
ことも理解することもできないからだ。

11 私はこの地上で次のことも知る
ようになった。足の速い人がいつも競
走に勝つわけでも、強い人が戦いに
勝つわけでもない。また、賢い人がい
つも食事にありつけるとは限らない。
知的な人が裕福になることも、知識があ
る人が成功するとも限らない。なぜな
ら、思いも寄らないことがいつ誰にで
も起きるからだ。12 人は自分にい
つ不幸が生じるかを知らない。まるで、
残酷な網に掛かる魚や、わなに掛かる
鳥のように、人も、突然起きる災難の
時にわなに掛かる。

13 私は地上で知恵に関する別の
出来事も見た。それは心に残った。

14 ある小さい町があり、そこに住ん
でいる人は少なかった。そこへ、強

9:8 *喪服ではなく明るい色の服を着ることは楽
しい気持ちを表す。9:9 *または、「むなし」。
9:10 *ヘブライ語、シエオル。用語集参照。

第9章

(7) 申 12:7
詩 104:15
伝 2:24

(1) 申 16:15
使徒 14:17

(7) ダニ 10:2,3

(1) 格 5:18

(7) 伝 5:18

(7) 詩 115:17
詩 146:3,4
イザ 38:18

(7) サー 17:50
詩 33:16

(7) 伝 2:15

(7) サニ 17:23

(1) 伝 8:8
ヤコ 4:13,14

第2欄

(7) 伝 9:11

(1) 格 21:22
格 24:5
伝 7:12,19
伝 9:18

(7) マル 6:3
コ一 2:8

(1) ヨシ 22:20
コ一 5:6
ヘブ 12:15

第10章

(7) 民 20:10,12
サニ 12:9-11

(7) 格 14:8
格 17:16

(7) 格 10:23

(7) 格 13:16
格 18:7

(7) 伝 8:2,3

(1) サ一 25:23,24
格 25:15

(7) サ一 26:21
王一 12:13,14

力な王がやって来て、包囲し、その町
を攻めるための大きな土塁を築いた。

15 その町には、貧しいとはいえ賢い
人がいた。そしてその人は知恵を働
かせて町を救った。しかし、誰もその
賢い人のことを記憶にとどめなかつ
た。16 それで私はこう思った。「知
恵は強さよりも価値がある。だが、貧
しい人の知恵は軽視され、誰もその人
の言葉に注意を払わない」。

17 愚かな人を支配する者の呼び
声を聞くよりも、賢い人が静かに述べ
る言葉に注意を払う方がよい。

18 知恵は武器よりも価値がある。
たった1人の罪人が多くの良いものを
台無しにする。

10 死んだハエは、上質の香油
を臭くし、台無しにする。同じ
ように、少しの愚かさか、賢くて尊敬さ
れている人の評判を損なう。

2 賢い人の心は当人を正しい方向
に導き、愚かな人の心は当人を間違っ
た方向に導く。3 愚かな人はどんな
道を進んでも、良い判断ができず、愚
かささらけ出す。

4 支配者の怒りがあなたに向かっ
て燃えても、自分の持ち場を離れて
はならない。穏やかさは重大な罪を
防ぐ。

5 私は地上で悲惨な出来事、権力
者が犯した間違いを見た。6 多くの

10:2 *直訳、「右手にあり」。
*直訳、「左手にあり」。

第10章

(4) 格 26:27

(ウ) 王一 10:6,8
詩 37:30
ルカ 4:22
エフ 4:29

(工) 詩 64:2,8
格 10:14,21
格 14:3

(カ) 格 10:19
格 15:2

(キ) 格 27:1
伝 6:12
ヤコ 4:13, 14

第2欄
代二 13:7
代二 36:9

(イ) 格 31:4,5

(ウ) 格 21:25
格 24:33,34

(エ) 詩 104:15
伝 9:7

(才) 伝 7:12

第11章
格 22:9

(ケ) 詩 37:21
ルカ 6:38
コ二 9:7
テモ一 6:18

18 甚だしく怠けるなら屋根の梁が
ゆがみ、手を動かさないなら家に雨漏
りが生じる。

20 たとえ頭あたまの中なかであっても、王おうに
ふ 幸しやうが 生なじることねがを 願ねがては 不ふ幸しやうな 例
寝室しんしつでも、裕福ゆうふくな 人ひとに 不ふ幸しやうが 生なじること

とを願^{ねが}ってはならない。鳥^{とり}があなただの
声^{こゑ}を伝^{つた}えるかもしれず、翼^{つばさ}のある生^いき
物^{もの}があなただの言^{こと}葉^はを繰^くり返^{かえ}すかもし
れないからだ。

11 あなたのパンを水の上に投
げなさい。月日がたてば、あ
なたはそれを再び得ることになる。
2 持ち物を7人に、いや、8人にも
分けてあげなさい。あなたは、地上で
どんな災難が起きるかを知らないか
らだ。

くも いぶん み あめ ちじょう
3 雲は水分で満ちると、雨を地上に
 ふ き みなみ きた たお
 降らせる。木が南に、あるいは北に倒
 れるとしても、木があるのはその倒れ
 たほうこう
 方向である。

10:19 *または、「食物」。**10:20** *もしかすると、「ベッドの上」。[#]または、「王のことを悪く言って」。[△]または、「考え」。**11:1** *または、「水面に流れ」。

4 風を見守っている者は種をまかない。雲を眺めている者は刈り取らない。

5 あなたは、妊婦の腹の中で胎児の骨に生命力がどのように働くのを知らない。同じように、あなたは真の神の行いを知らない。神は何でも行うことができる。

6 朝に種をまき、夕方になるまで手を休めてはならない。あなたは、どの種が育つか、これかそれか、あるいは両方なのかを知らないからだ。

7 光は心地よい。日の光を見るのは目にとって良いことだ。8 もし長生きできるのであれば、それらの年月を楽しみなさい。しかし、闇の日々が多くなることを忘れてはならない。やってくるその日々は全てむなし。

9 若い人たち、若いうちに喜びなさい。若い間にあなたの心が喜びで満ちてほしい。心が促す道を進み、目が導く場所に行きなさい。しかし、全てのことに關して、真の神があなたに責任を問うことを覚えておきなさい。

10 悩みのもとを心の中から除き去り、有害な事柄を体から払いのけなさい。若さも青春もむなしいものである。

12 それで、若いうちにあなたの偉大な創造者を覚えなさい。やがて、苦難の日々を迎え、「何も楽

11:5 *神の聖なる力のことも指すのかもしれない。11:9 *または、「を栽く」。12:1 *または、「意識し」。

第11章

(7) 格 20:4

(4) 詩 139:15

(7) ヨブ 26:14

詩 40:5

伝 8:17

ロマ 11:33

(4) 伝 9:10

コ二 9:6

コロ 3:23

(4) 伝 5:18

伝 8:15

(4) 伝 12:1

(4) 伝 3:17

伝 12:14

ロマ 2:6

(7) 詩 25:7

テモ二 2:22

第12章

(7) 詩 71:17

詩 148:7,12

ルカ 2:48,49

テモ二 3:15

(4) 詩 90:10

第2欄

(7) サ一 4:15

(4) 創 48:10

(7) サ二 19:34,35

(4) 格 16:31

(7) ヨブ 30:23

伝 9:10

(4) 創 50:7,10

(7) 創 3:19

詩 146:4

(7) 創 2:7

ヨブ 27:3

ヨブ 34:14,15

詩 104:29

イザ 42:5

(7) 王一 8:1

(4) 伝 1:2,14

(7) 王一 10:1,3

王一 10:6,8

(4) 王一 4:29,32

格 1:1

(7) 格 16:24

格 25:11

しくない」とあなたが言う年月が来るからだ。2 その日々には、太陽も光も月も星も暗くなる。大雨の後に雲が戻ってくる。3 その時には、家の見張り地震、強い男はかがみ込み、女性人数が減ったので粉をひくのをやめ、婦人は窓を眺めて辺りが暗いことに気付く。4 通りに面する扉は閉ざされ、ひき臼の音は低くなる。鳥の声で目が覚めるようになり、娘たちの歌声がほとんど聞こえなくなる。

5 さらに、高い所を怖がり、通りを恐れる。アーモンドの木は花を咲かせ、バッタは身を引きずって歩き、ケーパーの実のはじける。なぜなら、人は、自分の家がずっと住む家へと歩いており、嘆く者たちが通りを歩き回るからだ。

6 また、銀の綱は取り除かれ、金の鉢は砕かれ、泉のそばのかめも、水ためは壊される。7 こうして、人は土に戻る。元々、土でできているからだ。生命力も真の神のもとに戻る。神が与えたものだからだ。

8 招集者は言う。「何とむなしいとか! 全てはむなし」。

9 招集者は賢くなっただけでなく、知っていることをいつも人々に教えた。また、多くの格言をまとめるために、思い巡らし、徹底的に調査した。10 招集者は、喜ばれる言葉を探し、真実を正確に記録しようと努めた。

12:2 *もしかすると、「を伴って」。12:9 *または、「順序よく並べる」。

11 賢い人の言葉は、牛追い棒のよ
うだ。集められた格言は、しっかりと
打ち込まれたくぎのようだ。それらの
言葉はひとりの牧者が下さったもので
ある。12 わが子よ、こうしたもの以外
に関しては、次の忠告を聞きなさい。
多くの書物を作ることに終わりがな

第12章

〔7〕使徒 2:37
ヘブ 4:12

第2欄

〔7〕伝 1:18
〔イ〕ヨブ 28:28
詩 111:10
格 1:7
〔ウ〕ヨハ 5:3
〔ロ〕申 6:1,2
〔ヨ〕詩 62:12
伝 11:9
マタ 12:36,37
使徒 17:31
コニ 5:10
テモ 5:24

く、専念し過ぎると体が疲れる。

13 全てを聞いた今、結論はこうだ。
真の神を畏れ、その方のおきてを守り
なさい。人の務めはそれに尽きる。

14 真の神は、人からは見えない事も
含め、あらゆる行いについて、その善
悪を裁くからだ。

ソロモンの歌

概要

ソロモン王の宿営にいるシュラムの乙女 (1:1-3:5)

- 歌の中の歌 (1)
乙女 (2-7)
エルサレムの女性たち (8)
王様 (9-11)
「金の輪を作ってあげよう」 (11)
乙女 (12-14)
「いとしいあの人、没葉の匂い袋みたい」
(13)
羊飼 (15)
「私の愛する人、あなたは美しい」
乙女 (16, 17)
「いとしいあなた、あなたは美しい」 (16)
- 乙女 (1)
私はただのサフラン
羊飼 (2)
私が愛する人はユリのように
乙女 (3-14)
愛を無理に呼び起こさないでください (7)
羊飼いの言葉 (10後半-14)
「私の愛する美しい人、立って一緒に行こ
う」 (10後半, 13)
乙女の兄たち (15)
「キツネを捕まえてくれ」
乙女 (16, 17)
「いとしいあの方は私のもの、私はあの方の
もの」 (16)
- 乙女 (1-5)
夜中に愛するあの方のことを考えた (1)

エルサレムにいるシュラムの乙女 (3:6-8:4)

- シオンの女性たち (6-11)
ソロモンの一行の様子
- 羊飼 (1-5)
「私の愛する人、あなたは美しい」 (1)
乙女 (6)
羊飼 (7-16前半)
「私の花嫁、あなたに心を奪われた」 (9)
乙女 (16後半)
- 羊飼 (1前半)
エルサレムの婦人たち (1後半)
「愛の表現に酔いさない!」
乙女 (2-8)
見た夢について語る
エルサレムの女性たち (9)
「あなたの愛する人のどこがほかの男性よ
りいいの?」
乙女 (10-16)
「1万人の中で一番目立つ」 (10)
- エルサレムの女性たち (1)
乙女 (2, 3)
「私はいとしいあの方のもの、あの方は私の
もの」 (3)
王様 (4-10)
あなたはティルツアのように美しい (4)
女性たちの言葉 (10)
乙女 (11, 12)

王様(と他の人たち)(13前)

乙女(13中)

王様(と他の人たち)(13後)

7 王様(1-9前半)

愛する乙女、あなたは何と魅力的なのだろう(6)

乙女(9後半-13)

「私はいいわあの人。あの人々が欲しいのは私」(10)

8 乙女(1-4)

あなたが私の兄のようだったら(1)

シュラムの娘は戻り、揺るぎない愛を抱いていることを示す(8:5-14)

8 乙女の兄たち(5前半)

恋人に寄り添っているのは誰だ?

乙女(5後半-7)

愛は死のように強い(6)

乙女の兄たち(8, 9)

「もし妹が城壁なら……。もし妹が扉なら……」(9)

乙女(10-12)

「私は城壁」(10)

羊飼(13)

あなたの声を私に聞かせてほしい

乙女(14)

ガゼルみたいな素早さで

1 歌の中の歌、ソロモンの歌。

2 「あなたが口づけしてくれる といいのに。」

あなたの愛の表現はぶどう酒よりも素晴らしい。

3 あなたの香油はいい香り。

あなたの名は注がれた香油のよう。

だから、乙女たちはあなたを愛するの。

4 私を連れ出して。走りましょう。

王様に奥の部屋に連れてこれたの。

一緒に楽しみ、喜びましょう。

ぶどう酒より甘い愛の表現を交わしましょう。

乙女たちがあなたを愛するもの当然ね。

第1章

王 1:29,32

ソロ 4:10

格 27:9
伝 9:8
ソロ 5:5

伝 7:1

第2欄

詩 120:5
エゼ 27:21

出 36:14

ソロ 6:3

5 エルサレムの女性たち、私は色

が黒い。でも美しい。

ケダルの天幕のように、ソロモンの天幕のように。

6 色が黒いからといって、私を見つめな

いで。

これは太陽が照り付けたせい。

兄たちに怒られて、

ブドウ園の見張りをさせられた。

自分のブドウ園は見張れな

かった。

7 教えて、大好きなあなた。

どこで羊の群れに草を食べさせ

るの。

真昼に羊をどこに横たわらせ

るの。

あなたの友人の羊たちの中で、

パールをかぶった女性のように

なりたくない。

1:7 *または、「喪服のパール」。

1:1 *または、「最も優れた」。1:4 *または、「について語り」。

- 8 「女性^{じょせい}の中で最も美しい人^{ひと}、
もし知らないなら、羊^しの足跡^{ひつじ}をた
どって行って、
羊飼^{ひつじか}いたちの天幕^{てんまく}のそばであな
たの子ヤギ^こを放^{はな}してみたら」。
- 9 「愛^{あい}するあなたをファラオ^{へいしや}の兵車^{へいしや}
の雌馬^{めうま}に例えよう。
- 10 あなたの頬^{ほお}はかわいらしく、耳飾^{みみかざ}
り^きで引き立^ひつ。
きれいな首^{くび}にビーズ^{くびかざ}の首飾^{くびかざ}りが
よく似合^{にあ}う。
- 11 銀^{ぎん}の飾^{かざ}りが付^ついた金^{きん}の輪^わを作^{つく}
てあげよう」。
- 12 「王様^{おうさま}が円卓^{えんたく}の前^{まえ}に座^{すわ}っている。
わたし、こうりょう^{こうりょう}の香^かりを漂^{ただよ}わせる。
私は香料^{ただよ}の香^かりを漂^{ただよ}わせる。
- 13 いとしいあの人^{ひと}は、没薬^{もつやく}の匂^{にお}い
袋^{ぶくろ}みたい
袋^{ぶくろ}みたい
私の胸元^{むなもと}で夜^{よる}を過^すぎす。
- 14 いとしいあの人^{ひと}は、エン・ゲディ^{エン・ゲディ}
のブドウ園^{ぶどうえん}に咲^さくヘンナ^{はな}の花^{はな}
のよう」。
- 15 「ああ、私の愛^{わたし}する人^{あい}、あなた^{ひと}は
美しい。
ああ、あなたは美しい。あなた^{うつく}の
目^めはハト^{はと}の目^めのようだ」。
- 16 「いとしいあなた^{うつく}、あなたは美^{うつく}
しい。本^{ほん}当^{とう}にすてき。
私^{わたし}たちが横^{よこ}になる場所^{ばしょ}は青葉^{あおば}
の上^{うえ}。
- 17 私^{わたし}たちの家^{いえ}の梁^{はり}は杉^{すぎ}、天井^{てんじょう}はネ
ズ^きの木^き。

1:10 *もしかすると、「編んだ髪の間」。1:12

*直訳、「カンショウ」。1:16 *または、「かっこいい」。1:17 *または、「の大きな家」。

第1章

(例) 王 10:28
代 1:16,17
ソ 6:4

(例) ソ 4:13,14

(例) 出 30:23,25
エ 2:12
詩 45:8
ソ 4:6
ソ 5:13

(例) ヨ 15:20,62
サ 23:29
代 20:2

(例) ソ 4:13

(例) ソ 4:1
ソ 5:2

(例) ソ 5:10

第2欄

第2章

(例) ソ 2:16

(例) サ 30:11,12

(例) ソ 8:3

(例) サ 2:18

(例) ソ 3:5
ソ 8:4

(例) ソ 2:17
ソ 8:14

2 私は^{わたし}沿^{えん}岸^{がん}平^{へい}原^{げん}のた^ただのサフ^{さふ}ラ
ン^{たに}、谷^やに咲^さくユ^ゆリ。

2 「私^{わたし}が愛^{あい}する人^{ひと}は乙女^{おとめ}たちの
中^{なか}で、

いばらの中^{なか}のユ^ゆリのようだ」。

3 「私^{わたし}のい^いとしい人^{ひと}は男^{だん}子^したちの
中^{なか}で、

森^{もり}の中^{なか}のリン^きゴ^きの木^きのよう。

ああ、その木陰^{こかげ}に座^{すわ}りたい。

その果^か実^{じつ}は甘^{あま}い。

4 あの人^{ひと}は私^{わたし}を宴^{えん}会^{かい}の家^{いえ}に連^つれて
い^いった。

愛^{あい}の旗^{はた}を掲^{かか}げてくれた。

5 干^ほしぶどうのお菓^{かし}子^しで私^{わたし}を元^{げん}氣^き
づ^けて。

リン^{わたし}ゴ^{ちから}で私^{わたし}を力^{ちから}づけて。

恋^{こい}に病^やんでい^いる。

6 あの人^{ひと}は左^{ひだり}手^てで私^{わたし}の頭^{あたま}にそ^そと
触^ふれ、

右^{みぎ}手^てで私^{わたし}を抱^だき締^しめる。

7 エルサレ^{エルサレ}ム^むの女^{じょ}性^{せい}たち、皆^{みな}さん
はガゼ^{ガゼ}ル^るや野^のの雌^め鹿^{じか}の美^{うつく}し^きさ
が分^わかる女^{じょ}性^{せい}。

誓^{ちか}ってください。私^{わたし}の愛^{あい}を無^む理^りに
呼^よび起^おこさない^めと。

8 いとしいあの人^{ひと}の声^{こえ}がする!

あッ! あの人^{ひと}が来^くる!

山^{やま}に登^{のぼ}り、丘^{おか}を駆^かけてや^くって来^くる。

9 いとしいあの人^{ひと}はガゼ^{ガゼ}ル^るや若^{わか}い
雄^お鹿^{じか}みたい。

壁^{かべ}の向^むこうに立^たっている。

2:1 *または、「クロッカス」。

窓^{まど}の外^{そと}からじっと見^みつめ、格子^{こうし}
越^こしにうかがっている。

10 いとしいあの人^{ひと}は私^{わたし}に言う。
『私^{わたし}の愛^{あい}する美^{うつく}しい人^{ひと}、立^たって一^{いっ}
緒^{しょ}に行^いこう。

11 ほら、冬^{ふゆ}は過^すぎて、雨^{あめ}はどこかに
行^いったよ。

12 大地^{だいち}に花^{はな}が咲^さき、刈^{かり}り込^こみの季^き
節^{せつ}が来^きた。

ヤマバトのさえずりも聞^きこえるよ。

13 早^{はや}い時^じ期^きになるイチジク^{いちじく}が熟^{じやく}
して^{じやく}いる。

ブドウの花^{はな}が開^{ひら}いて、香^{かお}りを放^{はな}っ
て^{はな}いる。

私^{わたし}の愛^{あい}する美^{うつく}しい人^{ひと}、立^たって一^{いっ}緒^{しょ}
に行^いこう。

14 大岩^{おおいわ}の隠^{かく}れがに、崖^{がけ}のくぼみに
い^いる私^{わたし}のハト、

姿^{すがた}を見^みせて、声^{こえ}を聞^きかせて。

あな^{こえ}たの^{ここち}声^{こえ}は心^{こころ}地^ちよく、あな^{すがた}たの^あ姿^{すがた}は愛^{あい}らしい』。

15 「キツネを捕^{つか}まえてくれ。

ブドウ園^{えん}を荒^あらす小^こギツネ^ね
ちを。

私^{わたし}たち^{えん}のブドウ園^{はな}には花^さが咲^さい
たから」。

16 「い^{ひと}としいあの人^{わたし}は私^{わたし}のもの、私^{わたし}
はあ^{ひと}の人^{ひと}のもの。

あ^{ひと}の人^{はな}はユリ^{あいだ}の花^{はな}の間^{ひつじ}で羊^せを世^わ
話^{はな}している。

17 い^{ひと}としいあな^{わたし}た、

2:11 *または、「雨期」。

第2章

(ア) ソロ 6:11

(イ) イザ 18:5
ヨハ 15:2

(ウ) エレ 8:7

(ロ) イザ 28:4
ナホ 3:12

(ホ) ソロ 5:2
エレ 48:28

(ハ) ソロ 8:13

(ニ) ソロ 1:5
ソロ 6:10

(ヒ) ソロ 7:10

(ヘ) ソロ 2:1
ソロ 6:3

(コ) ソロ 1:7

第2欄

(ア) サニ 2:18

(イ) ソロ 2:9
ソロ 8:14

第3章

(ア) ソロ 1:7

(ロ) ソロ 5:6

(ハ) ソロ 5:7

(ニ) ソロ 8:2

(ホ) ソロ 2:7
ソロ 8:4

(ウ) 出 30:23,24
出 30:34

そよ風^{かぜ}が吹^ふき、影^{かげ}が消^きえてしま^うう
前^{まえ}に、早^{はや}く帰^{かえ}ってき^てて。

私^{わたし}たち^{へだ}を隔^{へだ}てる山^{やま}に^{やま}いるガゼル^{ガゼル}
や若い雄^{わか}鹿^{おじか}美^いたいに。

3 夜中^{よなか}にベッ^あドで、愛^{あい}するあ^{ひと}の人^{ひと}
のこ^{かんが}を考^{かんが}えた。

あ^あ会^あいた^いい^{たい}け^れど、こ^ここ^こには^いい
な^いい。

2 『起^おきて町^{まち}の中^{なか}を歩^{ある}いてこ^うよう。
愛^{あい}するあ^{ひと}の人^{ひと}を^{とお}通^{ひろ}り^ばや^さ広^{ひろ}場^ばで^{さが}搜^{さが}
し^てこ^うよう』。

搜^{さが}した^みけ^れど、見^みつ^つか^らな
か^った。

3 町^{まち}を巡^{じゅん}回^{かい}する見^み張^はり^みが私^{わたし}を見^みつ
け^た。そ^それ^そで^で聞^きい^てみ^た。

『私^{わたし}の恋^{こい}人^{びと}を見^みま^せん^でし^たか』。

4 そ^そこ^こを^{はな}離^あれて^あす^ぐ、愛^{あい}するあ^{ひと}の人^{ひと}
を見^みつ^つけ^たの。

彼^{かれ}を^{はな}つ^つか^まえ^て、離^{はな}さ^なか^った。
私^{わたし}の母^{はは}の^{いえ}家^つに^いっ^た。
私^{わたし}を^う産^うだ^な人^{ひと}の奥^{おく}の^へ部^や屋^やに。

5 エルサレ^{じよせい}ム^{みな}の女^に性^{せう}たち^{たち}、皆^{みな}さん
はガゼ^のル^めや野^{うつく}の雌^め鹿^{じか}の美^{うつく}し^さ
が分^わか^る女^に性^{せう}。

誓^{ちか}つ^てく^ださ^い。私^{わたし}の愛^{あい}を無^む理^りに
呼^よび^お起^おこ^さな^いと^い。

6 「荒^{こう}野^やか^ら来^くる^のは^何？ 煙^{けむり}
の柱^{はしら}？

没^{もつ}葉^{やく}、乳^{にゅう}香^{こう}、商^{しょう}人^{にん}の^にい^ろろ^うな^な
香^{こう}料^{りょう}の^{かお}香^{かお}りが^しる^る。

2:17 *もしかすると、「切り立った山々」。または、
「ベテルの山々」。

- 7 「見て！ ソロモンが寝椅子に
乗っている。
60人の強い男たちが囲んで
いる。
イスラエルの強靱な男たちで、
8 みんな剣を持つ鍛えられた戦士。
夜に生じる危険に備え、腰に剣
を帯びている」。
- 9 「あれはソロモン王の寝椅子。
レバノンの木で作らせた。
10 支柱は銀、台座は金、椅子に
は紫の羊毛。
内部の飾り付けには、エルサレ
ムの女性たちの思いが込めら
れている」。
- 11 「シオンの女性たち、見に出てい
らっしゃい。
ソロモン王が花婿の冠を付けて
いる。
結婚の日、王の喜びの日に母君
が作った物を」。
- 4 「ああ、私の愛する人、あなたは
美しい。
ああ、あなたは美しい。
ベールの奥のあなたの目は、ハ
トの目のようだ。
あなたの髪は、ギレアデの山を
下るヤギの群れのようだ。
- 2 あなたの歯は、毛を刈って洗わ
れたばかりの羊の群れのよ
うだ。

第3章

(例) 王-9:22

(例) 王-5:8,9

(例) サニ 12:24
格 4:3

第4章

(例) 民 32:1
申 3:12
ソロ 6:5-7

第2欄

(例) ソロ 1:10

(例) ネヘ 3:25
ソロ 7:4(例) サニ 8:7
王ニ 11:10

(例) ソロ 7:3

(例) 伝 2:5

(例) ソロ 4:1

(例) 申 3:25

(例) 申 3:8,9
詩 133:3

(例) 格 5:18,19

みんな双子を産み、子を失った
ことがない。

3 あなたの唇は緋色の糸のようだ。
話す言葉は心地よい。

ベールに隠れた頬は、割ったザ
クロのようだ。

4 あなたの首はダビデの塔のよ
うだ。

石を積み重ねて建てられている。
1000の盾が掛かっている。

戦士たちが使う円盾が。

5 あなたの2つの乳房は、2頭の子
鹿、ガゼルの双子のようだ。
ユリの花の間で草を食べて
いる」。

6 「そよ風が吹き、影が消えてしま
う前に、
没葉の山に、乳香の丘に行きた
いの」。

7 「私の愛する人、あなたの全てが
美しい。

欠点が見当たらない。

8 私の花嫁、一緒にレバノンを下り
よう。

一緒にレバノンを下りよう。

アマナ、セニル、ヘルモンの山頂
から下ろう。

ライオンのすみかから、ヒョウが
いる山から下ろう。

9 私の妹、私の花嫁、あなたに心
を奪われた。

4:3 *または、「赤い」。

4:8 *または、「アンティ・レバノン」。

3:7 *貴人を運ぶための覆いの付いた寝椅子。

3:11 *または、「花の冠」。

まなざし^{ひと}一つで、首飾り^{くびかざ}の1粒^{つぶ}で
心^{こころ}を奪^{うば}われた。

10 私の妹^{わたし}、私の花嫁^{いはなよめ}、あなたの愛^{あい}
の表現^{ひょうげん}は何^{なん}と美しい^{うつく}のだから!

あなたの愛^{あい}の表現^{ひょうげん}はぶどう酒^{しゅ}よ
りも、

あなたの香料^{かうりょう}の香り^{かお}はどんな香^{かう}
料^{りょう}よりも素晴^{すば}らしい!

11 私の花嫁^{わたし}、あなたの唇^{くちびる}からは蜂^{はち}
蜜^{みつ}が滴^{したた}る。

舌^{した}の裏^{うら}には蜜^{みつ}と乳^{ちち}がある。

あなたの衣服^{いふく}はレバノンの森^{もり}の
香り^{かお}。

12 私の妹^{わたし}、私の花嫁^{いはなよめ}、あなたは閉^と
じられた庭園^{ていえん}。

閉^とじられた庭園^{ていえん}、封^{ふう}じられた泉^{いずみ}。

13 あなたは楽園^{*らくえん}のよう。ザクロ^{*}が
たくさん実^みを付^つけている。

さいりょう かじつ
最良^{さいりょう}の果実^{かじつ}、ヘンナやカンショウ
の木^きがある楽園^{らくえん}。

14 カンショウ^(カ)とサフラン^{*(カ)}、ショウブと
シナモン^(カ)、

いろいろな乳香^{にゅうこう}の木^き、没薬^{もつやく}と沈^{じん}
香^{かう}、最良^{さいりょう}の香料^{かうりょう} 全て^{みな}がある
楽園^{らくえん}。

15 あなたは庭園^{ていえん}の泉^{いずみ}、新鮮^{しんせん}な水^{みず}の
井戸^{いど}、

レバノンから流^{なが}れ出^でる川^{かわ}。

16 目^めを覚^さませ、北風^{きたかぜ}。

4:13 *もしかすると、「あなたの肌」。^{*}または、「庭園」。
4:14 *アシに似た芳香植物を指すと
考えられる。

第4章

(カ) ソロ 7:12

(イ) ソロ 1:2,4

(カ) エス 2:12
ソロ 1:12

(カ) 格 16:24

(カ) ソロ 5:1

(カ) ヨハ 12:3

(カ) イザ 43:24

(カ) 格 7:17

(カ) 詩 45:8

(カ) 出 30:23,24
出 30:34
エゼ 27:2,22

(カ) エレ 18:14

第2欄

第5章

(カ) ソロ 4:16

(イ) ソロ 4:13,14

(カ) ソロ 4:11

(カ) ソロ 1:2

(カ) ソロ 3:1

(カ) ルカ 2:8

はい みなみかぜ
入^いってこい、南風^{みなみかぜ}。
わたし ていえん やさ ふ *

私の庭園^{わが}に優^{やさ}しく吹^ふけ。
かお ただよ

「いとしいあの人^{ひと}が庭園^{ていえん}に入^{はい}って

きて、
さいりょう かじつ た
最良^{さいりょう}の果実^{かじつ}を食べ^たますように」。

5 「私の妹^{わたし}、私の花嫁^{いはなよめ}、庭園^{ていえん}に
入^{はい}ったよ。

もつやく こうりょう あつ (イ)
没薬^{もつやく}と香料^{かうりょう}を集^{あつ}め、
みつばち す はちみつ た
蜜蜂^{みつばち}の巣^すと蜂蜜^{はちみつ}を食^たべ、

ぶどう酒^{ぶどう}と乳^{ちち}を飲^のんだよ。

「さあ、2人^{ふたり}とも、食^たべなさい!

の あい ひょうげん よ
飲^のんで、愛^{あい}の表現^{ひょうげん}に酔^よいなさ
い!」

2 「眠^{ねむ}っていても、心^{こころ}は起^おきている。
いとしいあの人^{ひと}が戸^{かど}をたたく音^{おと}

がする!
わたし いもうと あい ひと と あ
『私の妹^{わたし}、愛^{あい}する人^{ひと}、戸^{かど}を開^あけて。

わたし かんべき ひと
私のハト^{わたし}、完璧^{かんべき}な人^{ひと}。
わたし あたま つゆ
私の頭^{わたし}は露^{つゆ}でぬれ、

かみ よつゆ しめ (カ)
髪^{かみ}は夜露^{よつゆ}で湿^{しめ}ってしまった」。

3 長い服^{なが}を脱^{ふく}いでしまった。
また着^きないといけ^ぬないの?

あし あら
足^{あし}を洗^{あら}ってしまった。
また汚^{よご}さないといけ^ぬないの?

4 いとしいあの人^{ひと}が鍵穴^{かぎあな}から手^て
離^{はな}したので、

居^いても立^たってもしられ^ななかった。

5 あの人^{ひと}のために戸^{かど}を開^あけようと
起^おき上^あがった。

4:16 *または、「息を吹き掛けよ」。

わたしの手から没葉が、指から没葉
の滴が取手に滴った。

6 いとしいあの人のために戸を開
けた。

でも、行ってしまった後だった。
あの人がいなくてぼうぜんと
した。

さが搜したけれど、見つからな
かった。

よ呼んだけれど、答えがなかった。

7 町を巡回する見張りに会い、
たたかれて傷つけられた。

城壁の見張りにショールを奪わ
れた。

8 エルサレムの女性たち、誓ってく
ださい。

いとしいあの人を見つけたら、
私が恋に病んでいることを伝え
ると。

9 「女性の中で最も美しい人、
あなたの愛する人のどこがほか
の男性よりいいというの？

私たちに誓いを立てさせるな
んて、

あなたの愛する人のどこがほか
の男性よりいいというの？」

10 「いとしいあの方は生き生きとし
て輝いている。

1万人の中で一番目立つ。

11 あの方の頭は金、それも純金。

5:7 *または、「パール」。

第5章

(例) ソロ 3:1,3

第2欄

(例) ソロ 6:2

(例) ソロ 1:13

(例) 詩 92:12

(例) ソロ 2:3

髪はヤシの葉のようになびいて
いて、

ワタリガラスのように黒い。

12 あの方の目は、川のほとりにい
るハトみたい。

乳の中で水浴びし、水の豊かな
池のそばに座るハト。

13 あの方の頬は香料の庭、
香りの良いハーブの丘。
唇は没葉が滴るユリの花。

14 手はかんらん石をはめ込んだ金
の筒。

腹部はサファイアで覆われたつ
やのある象牙。

15 脚は純金の台座に据えられた大
理石の柱。

姿はレバノンのよう。杉のように
そびえ立つ。

16 口はとても甘く、あの方の全てが
魅力的。

エルサレムの女性たち、これが
私のいとし人、

私が愛する人なの。

6 「女性の中で最も美しい人、
あなたの愛する人はどこに行っ
たの？

どっちに向かったの？

一緒に捜しましょう。

2 「いとしいあの方は庭園に、香料
の庭に行ったの。

5:11 *もしかすると、「ナツメヤシの房のようで」。

5:12 *もしかすると、「泉の縁」。

羊を世話し、ユリの花を摘むた
めに。

3 私はいとしいあの人のもの、あ
の人は私のもの。

あの人はユリの花の間で羊を世
話している」。

4 「私の愛する人、あなたはティル
ツァのように美しく、

エルサレムのように美しい。

旗に集まる軍隊のように私を圧
倒する。

5 私を見つめないでほしい。

夢中になってしまうから。

あなたの髪は、ギレアデの斜面
を下るヤギの群れのようにだ。

6 あなたの歯は、洗われたばかり
の羊の群れのようにだ。

みんな双子を産み、子を失った
ことがない。

7 ベールに隠れた頬は、割ったザ
クロのようだ。

8 私には60人の王妃、80人の側
室、数え切れない乙女がいる。

9 でも、私のハト、完璧な人はただ
1人。

その人の母にとって特別な娘。

その人の母が産んだお気に入り
の娘。

女性たちはその人を見て、幸せ
な人と言う。

第6章

(例) ソロ 1:7
ソロ 2:16

(例) ソロ 7:10

(例) ソロ 2:16

(例) ソロ 1:9

(例) 王一 14:17
王一 15:33

(例) 詩 48:2

(例) ソロ 6:10

(例) ソロ 1:15
ソロ 4:9
ソロ 7:4

(例) ソロ 4:1-3

(例) 王一 11:1

(例) ソロ 2:14

第2欄

(例) ソロ 6:4

(例) 伝 2:5

(例) ソロ 1:6

王妃や側室たちも、その人を褒

める。

10 『この女の人は誰？

夜明けのように輝き、

満月のように美しく、

日の光のように清らかで、

旗に集まる軍隊のようにみんな
を圧倒する』。

11 「クルミの木の庭園に、

谷の若葉を見に行きました。

ブドウの木が芽を出したかど

うか、

ザクロの花が咲いたかどうかを
見ようとして。

12 そうしたらいつの間にか、

立派な人たちが動かす兵車の所
に行き着きました。

13 「戻っておいで、戻っておいで、

シュラムの乙女。

戻っておいで、戻っておいで。

あなたの姿を見たい！」

「どうしてシュラムの乙女を見たい
のですか」。

「あの乙女は2つのグループの踊
りのようだ！」

7 「立派な女性、サンダルを履い
たあなたの足は何と美しい

のだろう！

ももの丸みは、職人が作った見
事な装飾品のようだ。

6:11 *または、「ワジ」。 6:12 *または、「快く
仕える」。 6:13 *または、「はマハナイム」。

6:4 *または、「快い都市」。 6:7 *または、「こ
めかみ」。

- 2 あなたのへそは丸い鉢。
香料を混ぜたぶどう酒がいつも
そこにあるようにと願う。
あなたの腹部は積み上げられた
小麦。
ユリの花に囲まれている。
- 3 あなたの2つの乳房は、2頭の子
鹿、ガゼルの双子のようだ。
- 4 あなたの首は象牙の塔のようだ。
目は、バト・ラビムの門のそばに
あるヘシュボンの池のようだ。
鼻は、ダマスカスの方を向くレバ
ノンの塔のようだ。
- 5 頭はカルメルのように麗しい。
豊かな髪は紫の羊毛のようだ。
その流れる長い髪が王を魅了
する。
- 6 愛する乙女、あなたは何と美しい
のだろう。
何と魅力的なのだろう。
好ましいものの中で、あなたに並
ぶものはない!
- 7 あなたの立った姿はヤシの木、
乳房はナツメヤシの房のようだ。
- 8 『ヤシの木に登り、実の付いた柄
をつかもう』と私は言った。
あなたの乳房がブドウの房のよ
うであってほしい。
あなたの息がリンゴの香りのよう
であってほしい。
- 9 あなたの口が最高のぶどう酒の
ようであってほしい。

第7章

(ア) ソロ 4:5

(イ) ソロ 1:10

(イ) ソロ 4:4

(ロ) ソロ 4:1

(民) 21:25
ヨシ 21:8,39

(イザ) 35:2

(キ) ソロ 6:5

(イ) エス 8:15

(イ) ソロ 7:3
ソロ 8:10

第2欄

(ア) ソロ 2:16
ソロ 6:3

(イ) ソロ 1:14

(イ) ソロ 2:13

(ロ) ソロ 6:11

(イ) ソロ 1:2
ソロ 4:10

(イ) 創 30:14

(キ) ソロ 4:16

第8章

(イ) ソロ 1:2

(イ) ソロ 3:4

「そのぶどう酒がおいしいあの人の
のために滑らかに流れますよ
うに。
唇を優しく潤し、眠りに誘います
ように。

10 私はいとしいあの人のもの。

あの人が欲しいのは私。

11 来て、いとしい人。

一緒に野原に行き、
ヘンナの木の所で一休みしま
しょう。

12 朝早く起きてブドウ園に行きま
しょう。

ブドウの木は芽を出したかな。

花は開いたかな。

ザクロの花は咲いたかな。

そこであなたに愛を伝えたい。

13 コイナスの香りがする。

いろいろな上質の果実が戸口に
ある。

新しい物も古い物も、

いとしいあなた、あなたのため
に集めておいたの。

8 あなたが、私の母の乳で育った
兄のようだったら!

外で会って口づけできるのに。
そのことで誰も私をけなさない。

2 あなたを案内して、

私にいろいろ教えてくれた母の
家に連れていくの。

7:9 *直訳、「眠っている人たちの唇にそっと流
れ」。

香料を加えたぶどう酒を飲ませ

てあげる。

ザクロの新鮮なジュースも。

3 あの人^{ひと}は左手^{ひだりて}で私の頭^{わたし あたま}にそっと

触れ、

右手^{みぎて}で私^{わたし}を抱き締める。

4 エルサレムの女性^{じょせい}たち、誓^{ちか}ってくだ
さい。

私の愛^{あい}を無理^{むり}に呼び起^よこさな
いと」。

5 「恋人^{こいびと}に寄り添^よって荒野^{こうや}から来る
のは誰^{だれ}だ？」

「リンゴの木^きの下^{した}で、眠^{ねむ}るあなた
を起^おこしたの。

そこは、あなたの母^{はは}が陣痛^{じんつう}を経^{けい}
験^{けん}し、あなたを産^うんだ場所^{ばしょ}。

6 私のことをいつも思^{おも}っていてくだ
さい。

印章^{いんしやう}を胸元^{むなもと}に下^さげるように、腕^{うで}
にくくり付け^つるかのように。

愛^{あい}は死^しのように強^{つよ}く、

あなただけ^{おも き も *}を思^{おも}う気持^きちは墓^{はか}と
同^{おな}じように変^かわるこ^かとがありま
せん。

愛^{あい}の火^ひは燃^もえ盛^{さか}る火^ひ、ヤハの炎^{△ ほの}。あ
いの火^あは燃^もえ盛^{さか}る火^ひ、ヤハの炎^{△ ほの}。

7 渦巻^{うずま}く水^{みづ}も愛^{あい}を消^けすことはでき
ない。

川^{かわ}も愛^{あい}を流^{なが}し去^さることはでき
ない。

もしある人^{ひと}が、愛^{あい}を得^えるために家^{いえ}
の財産^{ざいさん}全^{すべ}てを差^さし出^だすなら、

第8章

(ア) ソロ 2:6

(イ) ソロ 2:7
ソロ 3:5

(ウ) ヨハ 15:13
エフ 5:25
啓 12:11

(ロ) 申 4:24
ヨ一 4:8

(例) コー 13:8,13

第2欄

(ア) ソロ 1:6

(イ) 伝 2:4

(ウ) ソロ 1:6
ソロ 6:11

(ロ) ソロ 2:14

(例) ソロ 2:9,17

それは人^{ひと}からはねつけられるで
しょう。

8 「私^{わたし}たちにはまだ乳房^{ちぶさ}もない小^{ちい}さ
な妹^{いもうと}がいる。

その妹^{いもうと}が結婚^{けっこん}を申し込^こまれたら、
何^{なに}をしてやれるだろうか。

9 「もし妹^{いもうと}が城壁^{じやうへき}なら、その上^{うえ}に銀^{ぎん}
の胸壁^{きようへき}を築^{きず}こう。

もし妹^{いもうと}が扉^{とびら}なら、杉^{すぎ}の板^{いた}でふさ
いでしまおう。

10 「私^{わたし}は城壁^{じやうへき}、乳房^{ちぶさ}は塔^{とう}のようです。
は晴^はれやかな気持^きちであの人^{ひと}の前^{まえ}
にいます。

11 ソロモン王^{おう}はバアル・ハモンにブ
ドウ園^{えん}を持^もっていて、
その管理^{かんり}を人^{ひと}に任せました。
その人^{ひと}たちは収穫^{しゆかく}物^{ぶつ}を手^てにす
る代^かわりに銀^{ぎん}1000枚^{まい}を払^{はら}
います。

12 私^{わたし}のブドウ園^{えん}は私^{わたし}のものです。
ソロモン王^{おう}、銀^{ぎん}1000枚^{まい}はあなた
のもの、
200枚^{まい}は管理^{かんり}する人^{ひと}たちのもの
です」。

13 「ああ、庭園^{ていえん}に住^すむあなた、
あなた^{こえ}の声^{こえ}を仲間^{なかま}たちが聞^ききた
がっている。

その声^{こえ}を私^{わたし}に聞^きかせてほしい」。

14 「いとしい人^{ひと}、早^{はや}く来て。
香料^{かうりやう}の山^{やま}のガゼル^{わか}や若^{わか}い雄鹿^{おじか}み
たいな素^す早^{はや}さで」。

8:7 *もしかすると、「その人は軽蔑される」。

8:6 *または、「全くの専心」。^{*}ヘブライ語、シェ
オル。用語集参照。[△]エホバの短縮形。

イザヤ書^{しょ}

概要

- 1 父親と反抗的な子たち (1-9)
エホバは形式的な崇拜を憎む (10-17)
「物事を正そう」(18-20)
シオンは再び忠実な都市になる (21-31)
- 2 エホバの山は高くそびえる (1-5)
剣をすきに (4)
エホバの日に傲慢な人は卑しめられる (6-22)
- 3 ユダの指導者たちは民を惑わす (1-15)
色目を使うシオンの娘たちは断罪される (16-26)
- 4 7人の女性が1人の男性にすぎる (1)
エホバが芽生えさせるものは栄光に輝く (2-6)
- 5 エホバのブドウ園についての歌 (1-7)
エホバのブドウ園には災いがある (8-24)
神はご自分の民に対して怒りに燃える (25-30)
- 6 神殿にいるエホバの幻 (1-4)
「聖なる方、聖なる方、聖なる方」エホバ (3)
イザヤの唇は清められる (5-7)
イザヤは任務を与えられる (8-10)
「ここに私がおります！ 私を遣わしてください！」(8)
「エホバ、いつまでですか」(11-13)
- 7 アハズ王への言葉 (1-9)
シェアル・ヤシュブ (3)
インマヌエルというし (10-17)
不忠実の結果 (18-25)
- 8 アッシリアによる侵略は近い (1-8)
マヘル・シャルル・ハシュ・バズ (1-4)
恐れてはいけない。「神が私たちと共におられる」(9-17)
イザヤと子供たちはしるし (18)
邪悪な天使ではなく、律法に頼る (19-22)
- 9 大きな光がガリラヤで輝く (1-7)
「平和の統治者」の誕生 (6, 7)
神はイスラエルを打つために手を伸ばす (8-21)
- 10 神はイスラエルを打つために手を伸ばす (1-4)
アッシリアは神の怒りを表明する棒 (5-11)
アッシリアに対する処罰 (12-19)
ヤコブの残りの者が帰る (20-27)
神はアッシリアを処罰する (28-34)
- 11 エッサイの小枝による正しい統治 (1-10)
オオカミと子羊が共に過ごす (6)
エホバについての知識が地上に満ちる (9)
残りの者が帰還する (11-16)
- 12 感謝の歌 (1-6)
「ヤハ、エホバは、私に力を与え、守る方」(2)
- 13 バビロンに対する宣告 (1-22)
エホバの日は近い！ (6)
メディア人がバビロンを滅ぼす (17)
バビロンには人が住まなくなる (20)
- 14 イスラエルは自分の土地に住む (1, 2)
バビロンの王に対するあざけりの言葉 (3-23)
輝く者が天から落ちる (12)
エホバの手はアッシリア人を砕く (24-27)
フィリステアに対する宣告 (28-32)
- 15 モアブに対する宣告 (1-9)
- 16 モアブに対する言葉の続き (1-14)
- 17 ダマスカスに対する宣告 (1-11)
国々はエホバに叱責される (12-14)
- 18 エチオピアに対する言葉 (1-7)
- 19 エジプトに対する宣告 (1-15)
エジプトはエホバを知るようになる (16-25)
エホバのための祭壇がエジプトにできる (19)
- 20 エジプトとエチオピアに対するしるし (1-6)
- 21 海の荒野に対する宣告 (1-10)
見張り台の上で見張る (8)
「バビロンは倒れた！」(9)
ドマと砂漠平原に対する宣告 (11-17)
「見張りよ、夜はいつ明けるのか」(11)
- 22 幻の谷に関する宣告 (1-14)
シェブナの代わりにエリヤキムが管理人になる (15-25)
象徴的な掛けくぎ (23-25)
- 23 ティルスに対する宣告 (1-18)
- 24 エホバは土地を空にする (1-23)
エホバはシオンで王となる (23)
- 25 神の民は豊かに祝福される (1-12)

- エホバは上等のぶどう酒の宴を催す (6)
死はなくなる (8)
- 26 信頼と救いに関する歌 (1-21)
ヤハ、エホバは、永遠の岩 (4)
地上の人々は正しさを学ぶ (9)
「あなたの死者は生きる」 (19)
奥の部屋に入って隠れていなさい (20)
- 27 レビヤタンがエホバに殺される (1)
イスラエルをブドウ園になぞらえた歌 (2-13)
- 28 エフライムの酔っぱらいたちには災いがある! (1-6)
ユダの祭司や預言者はよろめく (7-13)
「死との契約」 (14-22)
シオンの貴重な隅石 (16)
エホバは普通ではない事柄を行う (21)
エホバによる矯正には知恵が表れている (23-29)
- 29 アリエルには災いがある! (1-16)
口先だけの崇拜はとがめられる (13)
耳が聞こえない人が聞き、目が見えない人が見る (17-24)
- 30 エジプトは何の助けにもならない (1-7)
民は預言の言葉を退ける (8-14)
信頼するなら力を得る (15-17)
エホバはご自分の民に情けを掛ける (18-26)
エホバは偉大な教師 (20)
「これが道である」 (21)
エホバはアッシリアを処罰する (27-33)
- 31 本当に助けてくれるのは人間ではなく神 (1-9)
エジプトの馬は単なる動物 (3)
- 32 王と高官たちが真の公正のために治める (1-8)
気楽に生きている女性たちへの警告 (9-14)
聖なる力が注がれる際の祝福 (15-20)
- 33 裁きと、正しい人が持てる希望 (1-24)
エホバは裁く方、法を定める方、王 (22)
「私は病気だ」と言う人はいなくなる (24)
- 34 エホバは国々に復讐する (1-4)
エドムは荒廃する (5-17)
- 35 再びパラダイスになる (1-7)
目が見えない人や耳が聞こえない人が癒やされる (5)
救い出された人たちのための「神聖な道」 (8-10)
- 36 セナケリブがユダを侵略する (1-3)
ラブシャケがエホバをあざける (4-22)
- 37 ヒゼキヤはイザヤを通して神の助けを求める (1-7)
セナケリブがエルサレムに脅しをかける (8-13)
ヒゼキヤの祈り (14-20)
イザヤは神からの答えを伝える (21-35)
天使がアッシリア人18万5000人を討つ (36-38)
- 38 ヒゼキヤの病気と回復 (1-22)
感謝の歌 (10-20)
- 39 バビロンからの使者たち (1-8)
- 40 神の民への慰め (1-11)
荒野で叫ぶ声 (3-5)
神の偉大さ (12-31)
国々はおけからこぼれる滴のよう (15)
神は「丸い地」の上に住んでいる (22)
全ての星が名で呼ばれる (26)
神は疲れ果てることがない (28)
希望を抱いてエホバを待つ人は力を得る (29-31)
- 41 征服者が日の出の方から来る (1-7)
イスラエルは神に仕える者として選ばれた (8-20)
「私の友アブラハム」 (8)
他の神々は試される (21-29)
- 42 神に仕える者の任務 (1-9)
「私はエホバ。それが私の名」 (8)
エホバを賛美する新しい歌 (10-17)
イスラエルは目が見えず、耳が聞こえない (18-25)
- 43 エホバはご自分の民を再び集める (1-7)
神々は審理を受ける (8-13)
「あなたたちは私の証人である」 (10, 12)
バビロンからの解放 (14-21)
「互いに主張を戦わせよう」 (22-28)
- 44 神が選んだ人々が受ける祝福 (1-5)
エホバのほかに神はいない (6-8)
人が作った偶像は滑稽 (9-20)
エホバはイスラエルを救う方 (21-23)
キュロスを通してもたらされる復興 (24-28)
- 45 キュロスが選ばれてバビロンを征服する (1-8)
粘土は陶芸家と争えない (9-13)

- 他の国々がイスラエルを認める (14-17)
創造と啓示において神は信頼できる (18-25)
地は人が住むために創造された (18)
- 46 バビロンの偶像とイスラエルの神の違い (1-13)
エホバは将来について予告する (10)
日の出の方から肉食の鳥が来る (11)
- 47 バビロンの滅び (1-15)
占星術師たちは無力 (13-15)
- 48 イスラエルは叱責され、清められる (1-11)
エホバはバビロンに対して行動する (12-16 前半)
神の教えは有益 (16後半-19)
「バビロンから出よ!」 (20-22)
- 49 エホバに仕える者が果たす役割 (1-12)
国々の光 (6)
イスラエルは慰められる (13-26)
- 50 イスラエルの罪により問題が生じる (1-3)
エホバに仕える従順な者 (4-11)
教えを受けて話し、聞く (4)
- 51 シオンは復興し、エデンの園のようになる (1-8)
シオンを造った偉大な方からの慰め (9-16)
エホバの憤りの杯 (17-23)
- 52 目覚めよ、シオンよ! (1-12)
良い知らせを持ってくる者の足は美しい (7)
シオンの見張りたちは一斉に叫ぶ (8)
エホバの器具を運ぶ人は清くなければならぬ (11)
エホバに仕える者は重んじられる (13-15)
容姿が損なわれる (14)
- 53 エホバに仕える者が苦しみ、死に、葬られる (1-12)
軽んじられ、避けられる (3)
病気や痛みを担う (4)
羊のように殺される (7)
多くの人の罪を担う (12)
- 54 不妊のシオンは多くの子を持つようになる (1-17)
エホバはシオンの夫 (5)
シオンの子たちはエホバに教えられる (13)
シオンを攻撃する武器は役に立たない (17)
- 55 無償で食べて飲むようにとの招き (1-5)
- エホバとその信頼できる言葉を探し求める (6-13)
神の行いは人の行いより高い (8, 9)
神の言葉は必ず成果を収める (10, 11)
- 56 外国人や宦官が祝福される (1-8)
全ての人のための祈りの家 (7)
目が見えない見張り、声が出ない犬 (9-12)
- 57 正しい人と忠実な人たちは滅びた (1, 2)
イスラエルは他の神々と売春をした (3-13)
謙遜な人たちは慰められる (14-21)
邪悪な者たちは荒海のように (20)
邪悪な者たちに平和はない (21)
- 58 偽りの断食と真の断食 (1-12)
喜んで安息日を守る (13, 14)
- 59 イスラエルは罪のせいで神から引き離された (1-8)
罪の告白 (9-15前半)
エホバは悔い改めた人たちのために介入する (15後半-21)
- 60 エホバの栄光がシオンを照らす (1-22)
ハト小屋に向かうハトのよう (8)
銅を金に替える (17)
小さな者が千人にもなる (22)
- 61 選ばれて良い知らせを告げる (1-11)
「エホバの恵みの年」 (2)
「正義の大木」 (3)
外国人が手伝う (5)
「エホバの祭司」 (6)
- 62 シオンの新しい名 (1-12)
- 63 エホバは国々に復讐する (1-6)
エホバが昔に示した揺るぎない愛 (7-14)
悔い改めの祈り (15-19)
- 64 悔い改めの祈りが続く (1-12)
エホバは「陶芸家」 (8)
- 65 エホバは偶像崇拝者たちを断罪する (1-16)
幸運の神と運命の神 (11)
「私に仕える者たちは食べる」 (13)
新しい天と新しい地 (17-25)
家を建て、ブドウ園を造る (21)
無駄に労苦することはなくなる (23)
- 66 真の崇拜と偽りの崇拜 (1-6)
母であるシオンと子たち (7-17)
人々が集められてエルサレムで崇拜する (18-24)

1 ユダの王ウジヤ、ヨタム、アハズ、
ヒゼキヤの時代に、アモツの子
イザヤがユダとエルサレムに関して見
た幻。

2 天よ、聞け。地よ、注意を払え。

エホバが話した。

「私は子供たちを養ひ、育てた。

しかし彼らは私に反抗した。

3 牛は飼い主を、

ロバは持ち主の飼い葉おけをよ
く知っている。

しかしイスラエルは私を知らず、

私の民は理解が欠けている。

4 罪深い国民、

重い過ちを負っている民、

悪を行う子孫、墮落した子たち

には災いがある！

彼らはエホバを捨て、

イスラエルの聖なる方を侮り、

その方に背を向けた。

5 あなたたちはもう全身を打たれ

ているのに、なおも反逆する

のか。

頭はすっかり病んでおり、

心臓もすっかり弱っている。

6 頭から足の裏まで、健全な所は

ない。

傷やあざやただれがあり、

それらは手当てされておらず、包

帯も巻かれておらず、油を塗ら

れてもない。

第1章

(例) 代 26:22
イザ 6:1

(例) 代 27:1,2

(例) 代 28:1

(例) 代 29:1,2
代 32:20

(例) マタ 1:9

(例) 代 32:32

(例) 詩 50:4

(例) 申 1:31

(例) 申 4:25,26
エゼ 20:8

(例) ホセ 4:6

(例) ダニ 9:11

(例) 申 31:16
エレ 2:5

(例) エレ 5:3

(例) ネヘ 9:34,35
ダニ 9:8

(例) ルカ 10:34

第2欄

(例) 申 28:33,63

(例) 王二 18:11

(例) 王二 18:13,14
イザ 8:7,8

(例) 創 19:24,25
申 29:22,23
ロマ 9:29

(例) 創 13:13
イザ 3:8,9

(例) 申 32:32
ユダ 7

(例) サー 15:22
格 15:8

ホセ 6:6
ミカ 6:7

(例) 出 29:38

(例) レビ 3:14-16

(例) レビ 4:18,21

(例) レビ 16:5

(例) レビ 17:11

7 あなたたちの土地は荒廃し、
町々は火で焼かれた。

あなたたちの目の前で土地が外
国人に食い荒らされ、

外国人に滅ばされた荒れ地のよ
うになった。

8 シオンは取り残された。ブドウ園

の仮小屋のように、

キュウリ畑の掘り立て小屋のよ
うに、

包囲された町のように。

9 大軍を率いるエホバが少しの生

存者を残してくださなかった

なら、

私たちはまさにソドムのように

なり、

ゴモロと同じようになっていただ
ろう。

10 ソドムの支配者たちよ、エホバの

言葉を聞け。

ゴモロの民よ、私たちの神の律

法に注意を払え。

11 エホバはこう言う。

「あなたたちが多くの犠牲を捧げ

ても、私にとって何の価値があ

るだろう。

雄羊の全焼の捧げ物や、肥えた

動物の脂肪はもうたくさんだ。

私は若い雄牛や子羊やヤギの血

を喜ばない。

1:8 *直訳、「シオンの娘」。**1:10** *または、「指
示」。

1:1 *意味、「エホバの数い」。**1:3** *または、「
主人」。**1:6** *直訳、「て和けられ」。

- 12 あなたたちは来て私の前に出るが、
誰がこのことを求めたのか。
私の庭を踏み荒らすことを。
- 13 無価値な穀物の捧げ物をこれ以上
上持ってきてはならない。
あなたたちの香は忌まわしい。
あなたたちは新月や安息日を祝
い、大会を開くが、
特別な集まりで魔力が使われる
ことに私は耐えられない。
- 14 私はあなたたちの新月の祝いや
祭りを憎んだ。
それらは私にとって重荷となり、
私は負うのに疲れた。
- 15 あなたたちが両手を広げて祈る
時、私は目を覆う。
あなたたちが多くの祈りを捧げ
ても、私は聞いていない。
あなたたちの手は血にまみれて
いる。
- 16 体を洗い、自分を清めなさい。
もう私の前で悪いことをしてはな
らない。
悪を行うのをやめなさい。
- 17 善を行うことを学び、公正に
裁き、
虐げる人を正し、
父親のいない子供の権利を
守り、
やもめの言い分を弁護しな
さい。

1:17, 23 *または、「孤児」。

第1章

- (ア) 申 16:16
(イ) 伝 5:1
マラ 1:8
(ウ) 格 21:27
エゼ 8:11, 12
(エ) 民 28:11
(オ) 出 31:13
(カ) レビ 23:2
(キ) レビ 19:26
(ク) 格 15:29
(コ) マタ 6:7
(コ) 格 28:9
イザ 59:2
哀 3:44
(セ) ミカ 3:2-4
(ソ) エレ 4:14
(シ) イザ 55:7
(セ) ミカ 6:8
(ソ) 申 10:18
エレ 22:3

第2欄

- (ア) ミカ 6:2
ヤコ 4:8
(イ) 詩 51:7
イザ 44:22
ミカ 7:19
(ウ) 申 28:1, 2
ヨエ 2:19
(エ) レビ 26:33
格 29:1
(オ) 詩 48:2
(カ) エレ 2:20
(キ) サニ 8:15
王一 3:28
(ク) 代二 19:9, 10
(コ) ミカ 3:1-3
ルカ 13:34
(コ) エゼ 22:18
(セ) イザ 3:14
ミカ 3:9-11
(ソ) 出 23:8
(シ) 出 22:22
エレ 5:28

- 18 エホバはこう言う。
「来なさい。私たちの間で物事を
正そう。
あなたたちの罪は緋のようだが、
雪のように白くされる。
紅の布のように赤いが、
羊毛のようになる。」
- 19 あなたたちは、進んで従うなら、
この土地の良い物を食べること
になる。
- 20 しかし、拒んで反逆するなら、
剣に食い尽くされることになる。
エホバの口がこれを語ったので
ある。
- 21 忠実な都市が娼婦になってし
まった！
そこには公正が満ち、
正しさが行き渡っていたのに、
今は人殺しばかりだ。
- 22 あなたの銀は浮きかすとなり、
麦酒は水で薄められている。
- 23 あなたの高官たちは強情で、泥
棒の仲間。
皆、賄賂を愛し、贈り物を求
める。
父親のいない子供を公正に扱
わず、
やもめの訴えを取り上げようとし
ない。

1:18 *または、「赤」。

1:19 *または、「聞く」。

1:22 *都市つまりエルサレムのこと。*または、「小麦酒」。

24 そのため、^{しん しゆ たいぐん ひき}真の主、大軍を率い
るエホバ、
^{きょうりよく かた せん}イスラエルの強力な方はこう宣
言する。

「^{き わたし はんたいしや}聞きなさい！ 私は反対者たち
を除き去り、
^{てき ふくしゅう}敵たちに復讐する。

25 私はあなたを処罰し、
^{う かんぜん ぶん り}あなたの浮きかすを完全に分離
させ、
^{ふじゆんぶつ と のぞ}不純物をことごとく取り除く。

26 そして、^{はじ と き おな}初めの時と同じように、
^{ふたたび さいばんにん じよげんしや}再び裁判人や助言者がいるよう
にする。

その後、あなたは『^{せいぎ と し}正義の都市』、
『^{ちゅうじつ まち よ}忠実な町』と呼ばれる。

27 シオンは公正によって救われ、
^{こうせい すく せい}そこに帰る人たちは正しさによっ
て救われる。

28 反逆者^{はんぎやくしや つみびと}と罪人は一緒に打ち砕
かれ、

エホバを捨て^する者たちは終わり
を迎える。

29 彼らはあなたが欲した大き
な木々^{きぎ}を^は駈^けじ、

あなたは自分が選んだ庭園^{じぶん えら ていえん}
のために恥辱^{ちじよく}を受ける。

30 あなたたちは葉^はのしおれた大木^{たいぼく}
のようになり、
^{みず ていえん}水のない庭園のようになる。

1:25 *直訳、「あくによるかのうりに」。 1:27
*直訳、「買い戻され」。 1:29 *偶像崇拜と関
連がある木々や庭園のことと思われる。

第1章

(例) エゼ 5:13

(例) エレ 6:29,30
エレ 9:7
マラ 3:3(例) 民 12:3
サー 12:1,3
イザ 32:1
エゼ 34:23

(例) イザ 62:1

(例) エレ 31:11

(例) エゼ 20:38

(例) 王一 9:6,7

(例) エゼ 6:13

(例) イザ 65:3
イザ 66:17

(例) エレ 17:5,6

第2欄

第2章

(例) イザ 1:1

(例) ゼカ 8:3

(例) 詩 72:1,8
詩 86:9(例) ミカ 4:1-3
ハガ 2:7
使徒 10:34,35

(例) ゼカ 8:23

(例) イザ 54:13

(例) イザ 51:4

(例) 詩 46:9

31 強い人は^{つよ ひと あさ}麻くずとなり、
^{ひと おこな ひばな}その人の行いは火花となる。
^{とも も あ}共に燃え上がり、
^{ほのお け もの}その炎を消す者はいない」。

2 アモツのイザヤがユダとエル
サレムに関して見た事柄。

2 最後の日々に、

エホバの家の山は、
^{やまやま いただき たか}山々の頂より高くしっかりと据え
られ、

どの丘よりも高くそびえる。
^{すべ}全ての^{くに}国に^{ひとびと}人々が^{なが}なが
流れるように
そこに向かう。

3 多くの人々が行って、こう言う。

「さあ、エホバの山に登ろう。

ヤコブの神の^{かみ いえ い}家に行こう。
^{かみ じぶん みち}神はご自分の道について教えて
くださる。

わたしは^{わたし みち あゆ}その道を歩もう」。

律法がシオンから、
エホバの言葉がエルサレムから
出る。

4 神は国々の中で裁きを下し、
^{かみ くにに なか さば}多くの^{かみ くにに}人々を正しい方向に導く。

彼らは剣をすきに、
^{かみ つく か}やりを鎌に作り替える。
国は国に向かつて剣を振り上

げず、

彼らはもはや戦いを学ばない。

1:31 *燃えやすい糸状の繊維。 2:2 *または、
「終わりの時代」。 *または、「上に高められる」。
2:3 *または、「指示」。 2:4 *または、「人々に
関して物事を正す」。

(例) 詩 72:7
イザ 60:18
マタ 26:52

- 5 ヤコブの子孫よ、来なさい。
エホバの光の中を歩もう。
- 6 あなたはご自分の民、ヤコブの子孫を見捨てました。
彼らが東からのものをたくさん取り入れたからです。
フィリスティア人のように魔術を行い、
外国人の子供が大勢います。
- 7 彼らの土地は銀と金で満ち、
財宝が限りなくあります。
その土地は馬で満ち、
兵車が限りなくあります。
- 8 その土地は無価値な神々で満ちています。
彼らは自分の手で作った物にひれ伏します。
自分の指で作った物に。
- 9 こうして人は自分を卑しめ、墮落します。
あなたが彼らを許すことはあり得ません。
- 10 あなたたちは岩の間に入り、
土の中に身を隠せ。
エホバの恐ろしさと荘厳な輝きのゆえに。
- 11 傲慢な人は頭を垂れることになり、
高慢な人は卑しめられる。
その日にはエホバだけがたたえられる。
- 12 それは大軍を率いるエホバの日。

第2章

(ア) イザ 60:19,20

(イ) 申 31:16,17

(イ) 申 18:10

(ロ) 申 17:15,16

(ヨ) 代二 28:1,2
代二 33:1,7

(ヨ) 出 20:18

(ケ) ゼバ 1:4,7

第2欄

(ア) イザ 66:16

(イ) 王一 10:22
エゼ 27:25

(イ) イザ 27:9

(ロ) 啓 6:15

(ヨ) イザ 2:10
テサ二 1:9(ヨ) イザ 30:22
イザ 31:7

すべての傲慢な人や高慢な人に、
その日は来る。
身分が高い人にも低い人にも、
皆に来る。

13 高くそびえるレバノンの全ての杉と、

バシヤンの全ての巨木にも、

14 全ての高大な山と、

全ての高い丘にも、

15 全ての高い塔と、

全ての強固な城壁にも、

16 タルシシュの全ての船と、

全ての美しい小舟にも。

17 傲慢な人はさげすまれ、

高慢な人は卑しめられる。

その日にはエホバだけがたたえられる。

18 無価値な神々は完全に消え去る。

19 神が立ち上がって地上を恐怖に震え上がらせる時、

人々は岩場の洞窟や地面の穴に入る。

エホバの恐ろしさと荘厳な輝きのゆえに。

20 その日、人々は、
拝むために作った銀や金の無価値な神々を、

トガリネズミやコウモリに向かって投げ捨てる。

2:13 * プナ科の木と思われる。 2:20 * 食欲旺盛な小型哺乳類。

21 神が立ち上がって地上を恐怖に
震え上がらせる時、
人々は岩場の穴や大岩の裂け目
に入る。

エホバの恐ろしさと荘厳な輝き
のゆえに。

22 単なる人間に頼るのをやめよ。そ
れがあなたたちのためである。
人間は鼻を通る息にすぎない。
考慮に入れる価値があるだろ
うか。

3 真の主、大軍を率いるエホバは、
エルサレムとユダから、生活を
支えるあらゆるものを取り
除く。

すなわち、全てのパンと水、

2 強い人と戦士、
裁判人と預言者、占い師と長老、

3 五十人長、要人、助言者、
熟練した魔術師や蛇使いを。

4 私は少年たちを高官とする。
不安定な者が人々を支配するよ
うになる。

5 民は虐げ合い、
おのおのが仲間を苦しめる。
少年が老人を襲い、
軽んじられている人が敬われて
いる人に逆らう。

6 おのおのが父親の家にいる兄弟
にすがり付き、こう言う。

2:22 *または、「鼻で息をしている」。 3:4 *ま
たは、「気まぐれな」。

第3章

例レビ 26:26
申 28:49, 51
エレ 37:21
エゼ 4:16

例エゼ 13:9

例出 18:21

例申 18:10, 12
イザ 8:19

例エレ 9:4, 5
ミカ 3:2, 3

例レビ 19:32

第2欄

例代 2 33:1, 6
エゼ 9:9

例創 18:20
イザ 1:10
ユダ 7

例伝 8:12
ゼバ 2:3

「あなたはマントを持っている。わ
れわれの指導者になって、
このがれきの山を何とくして
くれ」。

7 しかしその日、彼は異議を唱
える。

「あなたたちの傷の手当てはし
ない。
私の家には食べ物も服もない。
私を指導者にしないでくれ」。

8 エルサレムはつまずき、
ユダは倒れた。
言葉と行いによってエホバに逆
らったからだ。

栄光に輝くその方の前で、人々
は反抗的に振る舞う。

9 彼らの表情は彼らに不利な証言
をしている。

彼らはソドムのように罪をさらけ
出し、隠そうとしない。

災いだ！ 彼らは災難を身に招い
ている。

10 正しい人たちに伝えよ。物事が
うまくいくと。

彼らの行いは報われる。

11 邪悪な人には災いがある！

災難が降り掛かることになる。
自分がしたのと同じことをされる

のである。

12 私の民は、仕事を割り当てる者
たちに虐げられており、
女性たちに支配されている。

わたし たみ し どうしや
私の民よ、指導者たちはあなた

をさまよわせており、
歩むべき方向を混乱させる。

- 13 エホバは訴えるために用意し、
ひとびと けい せんこく た
人々に刑を宣告するために立ち
上がる。

- 14 エホバは民の長老と高官を断罪
する。

「あなたたちはブドウ園を焼き
払った。

あなたたちの家には貧しい人か
ら盗んだ物がある。

- 15 私の民を打ち砕き、貧しい人の
かお どころ お くだ まず ひと
顔を泥に押し付けるとは、何
ごと 何
事か」と、
しゅけんしや しゅ たいぐん ひき
主権者である主、大軍を率いる
エホバは言う。

- 16 エホバはこう言う。
「シオンの娘たちは傲慢で、
あご あ き いろ め つか
顎を上げ、色目を使って、
から あし ど ある
軽やかな足取りで歩き、
あしくび かざ おと
足首の飾りでチリンチリンと音を
立てる。そのため、

- 17 エホバはシオンの娘たちの頭を
かさぶただらけにする。
エホバは彼女たちの額をむき出
しにする。

- 18 その日、エホバは美しい物を取
り去る。

あし わ ひたいかざ み かづきがた かざ 何
足輪、額飾り、三日月形の飾り、

3:13 *または、「ための場に就き」。 3:16 *直
訳、「首(喉)を伸ばし」。

第3章

(例) エレ 5:31
ハバ 1:4

(例) イザ 1:23
エレ 5:26-28
ミカ 2:1,2
ミカ 6:10

(例) ミカ 3:2,3

(例) イザ 3:24

(例) 裁 8:26

第2欄

(例) 出 38:8

(例) エス 2:12

(例) ミカ 1:16

(例) 哀 2:10

(例) 哀 2:21

(例) 哀 1:4

(例) 哀 2:10

第4章

(例) イザ 3:25

(例) 創 30:22,23
ルカ 1:24,25

(例) イザ 30:23
ヨエ 3:18
ゼカ 9:17

- 19 耳飾り、腕輪、パール、
あたまかざ あしくび かざ おび
20 頭飾り、足首の飾り、飾り帯、
こうりょう い もの まも
香料の入れ物、お守り、
ゆび わ はな わ
21 指輪、鼻輪、
れいふく がいい
22 礼服、外衣、マント、財布、
てかがみ 何 あ まぬの ふく*
23 手鏡、亜麻布の服、

ターバン、パールを取り去る。
バルサム油の香りは悪臭に変

わり、
おび なわ
帯は縄に、
うつく かみがた あたま 例
美しい髪形はそった頭に、
こう か ふく あらぬの ふく 例
高価な服は粗布の服に、
うつく や いん か
美しさは焼き印に変わる。

- 25 男性たちは剣によって倒れ、
つよ ひと たたか たお 何
強い人たちは戦いで倒れる。
とし い ぐち なげ かな 例
26 都市の入り口は嘆き悲しみ、
かのじよ* さび じ めん すわ 何
彼女は寂しく地面に座る」。

4 その日、7人の女性が1人の男性
にすがって言う。

「私たちは自分のパンを食べ、
自分の服を着ます。

ただ、あなたの名前を名乗らせ
てください。

私たちの恥を取り去るためです」。

2 その日、エホバが芽生えさせるも
のは栄光に輝き、土地の実りは生き
残ったイスラエル人にとって誇らしく
美しいものとなる。 3 シオンに残っ

3:19 *または、「垂れ飾り」。 3:23 *または、
「下着」。 3:26 *都市つまりエルサレムのこと。
4:1 *結婚しておらず子供がいない、という恥辱
のこと。

ている人とエルサレムに残された人、
すなわちエルサレムで生きる者として
書き記される人は皆、聖なる者と呼ば
れる。

4 エホバは処罰の力と焼き払う 風
によって、シオンの住民の汚れを洗い
流し、エルサレムの中で流された血を
洗い落とす。その時、5 エホバはシ
オンの山全体と大会が行われる場所
の上に、昼は雲と煙を、夜は明るく燃
える火を生じさせる。栄光に輝くもの
全てが保護されるのである。6 また、
昼の暑さをしのぎ、嵐や雨から避難す
るための仮小屋が建てられる。

5 どうか、私の愛する方に向かっ
て歌わせてほしい。
私の愛する方とブドウ園に関する
歌を。

私の愛する方は、肥沃な丘の斜
面にブドウ園を持っていた。

2 土地を耕し、石を取り除き、
えり抜きの赤ブドウの木を植え、
中央に塔を建て、
ブドウ搾り場を造った。
そして良いブドウが実るのを期
待したが、
質の悪いブドウしか実らな
かった。

3 「さあ、エルサレムの住民とユダ
の人たち、

4:4 *ヘブライ語、ルーアハ。用語集参照。*ま
たは、「浄化する」。△直訳、「娘たち」。◎直訳、
「排せつ物」。

第4章

(例) 出 32:32,33

(例) エゼ 22:20-22

(例) エゼ 36:25

(例) 出 13:21
民 9:15
ゼカ 2:4,5

(例) 詩 121:5

(例) イザ 25:4

第5章

(例) 詩 80:8
イザ 5:7
エレ 2:21
ルカ 20:9(例) マタ 21:33
マル 12:1

(例) ホセ 10:1

第2欄

(例) ミカ 6:2

(例) 代二 36:15
エゼ 24:13(例) レビ 26:31,33
ネヘ 2:3
詩 79:1(例) 申 29:22,23
エレ 25:11
エレ 45:4

(例) イザ 32:13

(例) 申 11:16,17

(例) 詩 80:8
エレ 12:10

(例) ミカ 6:8

(例) 申 15:9

どうか、私とブドウ園の間の問題
を裁いてほしい。

4 私がブドウ園のためにすべきこ
とで、
まだしていないことが何かあ
るか。
良いブドウを期待していたのに、
なぜ質の悪いブドウしか実らな
かったのか。

5 私が自分のブドウ園に何をす
るか、
どうかあなたたちに伝えさせてほ
しい。

私は柵を取り払い、
ブドウ園は焼き払われる。
私は石垣を取り壊し、
ブドウ園は踏み荒らされる。

6 私はそこを荒れ地にする。
枝は剪定されず、地面はくわで掘
られず、
いばらと雑草が生い茂る。
私は雲に命じてそこに雨を降ら
せないようにする。

7 大軍を率いるエホバのブドウ園
はイスラエル国民であり、
神の大切な栽培地はユダの人た
ちなのである。
神は公正さを期待したが、
不正が見られた。
正しさを期待したが、
苦悩の叫びが聞こえた。

5:7 *または、「神が喜んで植えたのは」。

- 8 家に家を連ねる人たち、
 畑に畑を加える人たちには災い
 がある！
 ついに余地がなくなり、
 あなたたちは自分たちだけで土
 地に住んでいる。
- 9 私は、大軍を率いるエホバが誓
 うのを聞いた。
 大きくて美しい多くの家が荒れ
 果てて誰も住まなくなり、
 人々はそれを見て恐怖を感じ
 る、と。
- 10 4万平方メートルのブドウ園から
 22リットルのぶどう酒しかで
 きず、
 220リットルの種から22リットル
 の穀物しかできない。
- 11 酒を飲むために朝早く起きる人
 たちには災いがある！
 彼らは夕方遅くまでだらだらと過
 ぎし、ぶどう酒にのまれる。
- 12 彼らの宴会には、たて琴と弦
 楽器、
 タンバリン、笛、ぶどう酒がある。
 彼らはエホバの行いについて考
 えず、
 その方の偉業を見ようとし
 ない。
- 13 それで、私の民は捕囚の身と
 なる。

5:10 *直訳、「10対」。10対の牛が1日にすき返す面積を表す。

第5章
 (例) ミカ 2:1,2

(例) 王一 21:15,16

(例) 代二 36:20,21
 イザ 27:10

(例) 申 28:15,17
 ヨエ 1:17

(例) ルカ 21:34
 ロマ 13:13

第2欄
 (例) イザ 27:11
 エレ 8:7
 ホセ 4:6

(例) 哀 4:9

(例) 申 28:63

(例) イザ 6:3
 啓 4:8

(例) 申 32:4

- 知識が欠けているために。
 身分の高い人たちも飢え、
 皆の喉がからからに渴く。
- 14 墓は自らを広げ、
 口を限りなく大きく開けた。
 都市の高貴な人たち、騒々しい
 群衆、浮かれ騒ぐ人たちは、
 必ずそこに下る。
- 15 人は卑しめられ、さげすまれる。
 傲慢な人は頭を垂れることに
 なる。
- 16 大軍を率いるエホバは、公正さ
 のゆえにたたえられる。
 真の神、聖なる方は、正しさに
 よってご自分を神聖なものと
 する。
- 17 子羊は牧草地にいるかのように
 草を食べ、
 外国人居住者は荒れ果てた場所
 で食事を取る。
 かつて肥えた動物がいた場所で。
- 18 欺きの縄で自分の過ちを引き、
 荷車の綱で自分の罪を引く人た
 ちには災いがある！
- 19 彼らは言う。「神に急いで行動し
 ていただく。
 われわれがそれを見ることがで
 きるように。
 イスラエルの聖なる方に目的を
 実現していただく。

5:14 *ヘブライ語、シェオル。用語集参照。*エ
 ルサレムのこと。△または、「栄華」。5:16 *ま
 たは、「裁き」。5:19 *または、「決定」、「意図」。

われわれがそれを知ることがで
きるように」。

20 善を悪と言い、悪を善と言う人

たち、
闇を光とし、光を闇とする人

たち、
苦いものを甘いとし、甘いものを
苦いとする人たちには災いが

ある！

21 自分は賢いと思い込み、
思慮深いと自負している人たち
には災いがある！

22 酒豪として知られている人たち、
酒に香料を混ぜる名人とされて
いる人たちには災いがある！

23 賄賂を受け取って悪人を無罪
とし、
正しい人を公正に扱わない人た
ちにも！

24 火がわらをのみ込み、
枯れ草が炎の中で燃え尽きるよ

うに、
彼らの根は腐り、
花は粉のように散らばる。
彼らが、大軍を率いるエホバの
律法を退け、

イスラエルの聖なる方の言葉を
軽んじたからだ。

25 そのため、エホバはご自分の民
に対して怒りに燃え、
手を伸ばして彼らを打つ。

第5章

(例) エレ 5:12
エレ 17:15
エゼ 12:22

(イ) 格 17:15
マラ 2:17

(例) 格 3:7
ロマ 12:16

(出) 格 23:20
格 31:4,5

(例) 申 16:19
イザ 1:23
ミカ 3:11

(例) 王一 21:13
格 17:15

(例) 申 31:20
王二 17:13,14
ネヘ 9:26
イザ 1:4

(例) 申 31:16,17
代二 36:15,16
哀 2:2

第2欄

(例) エレ 16:4

(イ) エレ 52:4

(例) 申 28:49,50
エレ 5:15

(出) エレ 4:13

(例) ハバ 1:8

(例) エレ 50:17

(例) エレ 6:23

(例) エレ 4:23

山々は震え、彼らの死体は通り
のぐみのようになる。

民が背いたために、神の怒りは
収まらず、

手は打つために伸ばされたまま
である。

26 神は遠くの国民に向かって旗印
を掲げた。

口笛を吹き、地の果てから彼らを
呼び寄せた。

彼らはとても素早くやって来る。

27 その中には疲れている者も、よろ
めく者もない。

誰ももうとうとせず、眠らない。

彼らの腰のベルトは緩められて
おらず、

サンダルのはもは切れていない。

28 彼らの矢はどれも鋭く、
どの弓も引かれている。

馬のひづめは火打ち石のように、
車輪は暴風のような。

29 彼らはライオンのようにほえる。

若いライオンのようにうなり、
獲物を捕まえて運び去る。

助け出す者はいない。

30 その日、彼らは獲物に向かってう
なる。

まるで海鳴りのように。
土地を見つめる人は皆、重苦し
い暗闇を見る。

光も雲に遮られて暗くなった。

6 ウジヤ王^{おう}が死^しんだ年^{とし}に、私^{わたし}はエホバ^みを見た。その方^{かた}は高^{たか}い所^{ところ}にある王座^{おうざ}に座^{すわ}っており、長^{なが}い衣^いの裾^{すそ}が神殿^{しんでん}いっばいに広^{ひろ}がっていた。**2** セラフ^{せらか}たちがその方^{かた}の上^{うへ}の方^{ほう}に立^たっていた。おのおの6^つの翼^{つばさ}を持^もち、2^つで顔^{かお}を覆^{おお}い、2^つで足^{あし}を覆^{おお}い、2^つで飛^とびまわ^{まわ}るのであつた。

3 互^{たが}いにこ^いう言^いっていた。
「聖^{せい}なる方^{かた}、聖^{せい}なる方^{かた}、聖^{せい}なる方^{かた}、大軍^{たいぐん}を率^{ひき}いるエホバ。
全^{ぜん}世界^{せかい}にその方^{かた}の栄光^{えいこう}が満^みちてい^いる」。

4 その大^{おお}きな声^{こえ}で扉^{とびら}の軸^{じく}が震^{ふる}え、神殿^{しんでん}*は煙^{けむり}で満^みたされた。

5 私^{わたし}は言^いった。「災^{わざわ}いだ!
私^{わたし}は死^しんでも同^{どう}然^{ぜん}だから。
私^{わたし}は唇^{くちびる}が汚^{けが}れている者^{もの}で、
唇^{くちびる}が汚^{けが}れている民^{たみ}の中^{なか}に住^すんでいる、
大軍^{たいぐん}を率^{ひき}いる王^{おう}エホバを見^みてしま^まった!」

6 すると、セラフ^{ひとり}の1人^{ひとり}が私^{わたし}の所^{ところ}に飛^とんできた。手^てには、祭壇^{さいだん}から火^ひ箸^しで取^とった、赤^{あか}く燃^もえる炭^{すみ}を持^もっていた。**7** それを私^{わたし}の口^{くち}に触^ふれさせて、言^いった。

「見^みなさい! これがあなた^{くちびる}の唇^{くちびる}に触^ふれました。
あなた^{あやま}の過^ごちは除^さき去^さられ、
罪^{つみ}は贖^{あがな}われました」。

6:4 *直訳、「家」。6:5 *直訳、「沈黙させられたから」。

第6章
(7) 代ニ 26:23

(イ) 王ニ 22:19
ダニ 7:9

(イ) 出 15:11
啓 4:8

(イ) 啓 15:8

(イ) イザ 29:13

(イ) 啓 8:5

(イ) エゼ 10:2

第2欄

(イ) 創 1:26
ヨハ 1:1,2
ヨハ 12:41

(イ) 詩 110:3
マタ 4:19,20

(イ) エレ 5:21
マタ 13:14
ルカ 8:9,10
使徒 28:25,26

(イ) エゼ 3:7

(イ) エレ 6:10
ヨハ 3:20

(イ) マタ 13:15
使徒 28:27

(イ) 代ニ 36:20,21
イザ 3:26
イザ 24:1

(イ) 王ニ 25:11

8 それから私^{わたし}はエホバ^{こえ}の声^{こえ}を聞^きいた。「私^{わたし}は誰^{だれ}を遣^{つか}わそうか。誰^{だれ}が私^{わたし}たちのため^{ため}に行^いくだろうか」。そこで私^{わたし}は言^いった。「ここ^{ここ}に私^{わたし}がおります! 私^{わたし}を遣^{つか}わしてください!」

9 すると神^{かみ}は言^いった。
「行^いって、この民^{たみ}に言^いいなさい。
『あなたたちは何^{なん}度も聞^きくが、理^り解^{かい}しない。
何^{なん}度も見^みるが、何^{なん}も知^しるようには
な^ならない』。

10 この民^{たみ}の心^{こころ}を鈍^{にぶ}くし、
耳^{みみ}をよく聞^きこえなくし、
目^めを閉^とざしなさい。
彼^{かれ}らは目^めで見^みることも、
耳^{みみ}で聞^きくことも、
こころ^{こころ}で理^り解^{かい}することもなく、
私^{わたし}のもの^{もの}に帰^{かえ}らず、癒^いやされ^されるこ
とはない」。

11 私^{わたし}が「エホバ、いつまでですか」
と尋^{たず}ねると、神^{かみ}は言^いった。

「町々^{まちまち}が廃^{はい}虚^{きよ}と化^かして誰^{だれ}も住^すまな
くなり、
家々^{いえいえ}に住^{じゅう}人がい^いなくな^んり、
土^ど地^ちが荒^あれ果^はて^るまで」。

12 エホバ^{ひとびと}が人々^{ひと}を遠^{とほ}くに移^{うつ}し、
土^ど地^ちが広^{ひろ}い範^{はん}圍^いにわ^わた^たつて荒^{こう}廢^{はい}
するまで。

13 ただし、民^{たみ}の10^{ぶん}分の1^{のこ}は残^{のこ}る。
民^{たみ}は大^{たい}木^いのよう^{きよ}に、巨^{きよ}木^きのよう^きにまた
燃^もやされ^さるが、切^きり倒^{たお}され^あた^き後^きに切^きり

イザヤ 7:1-16

株が残る。聖なる子孫がその切り株となる。

7 ユダの王、ウジヤの子ヨタムの子アハズの時代に、シリアのレツイン王と、イスラエルの王でレマルヤの子ペカハが、エルサレムに戦いを仕掛けにやって来た。しかし、攻め取ることはできなかった。**2**「シリアがエフライムと手を組んだ」という知らせがダビデの王家に伝えられた。

アハズの心と民の心は、風に揺られる森の木々のように動揺した。

3 エホバはイザヤに言った。「どうか、アハズに会いに行つてほしい。あなたの子シェアル・ヤシュブと共に、洗濯人の野原に至る街道沿いにある、上の池の水道の端に行きなさい。**4** アハズにこう言わなければならない。『冷静でいるようにしなさい。恐れてはいけない。これら2つのくすぶる丸太の端くれのために、シリアのレツインとレマルヤの子の燃える怒りのために、心を弱くしてはいけない。**5** シリアはエフライムとレマルヤの子と共に、あなたに危害を加えようとたくらみ、こう言っている。**6**「ユダに攻めていき、引き裂いて征服しよう。そして、タブエルの子そをその王にしよう。』」

7 主権者である主エホバはこう言っている。

7:3 *意味、「残りの者だけが帰る」。**7:6** *意味、「水路」。**7:6** *もしかすると、「脅かして」。**7:6** *意味、「城壁を破壊」。

第7章

(例) 王二 16:1,2

(例) 王二 15:37
代二 28:6

(例) 王二 16:5

(例) イザ 8:18

(例) 王二 18:17

(例) 王二 15:30
イザ 8:6,7

(例) 王二 16:5

第2欄

(例) 王二 17:6
ホセ 1:6

(例) 王一 16:23,24

(例) 王二 15:27

(例) 裁 6:36,37
イザ 37:30
イザ 38:7,8

(例) 代二 36:15,16

(例) イザ 9:6
ヨハ 1:14
テモ一 3:16(例) マタ 1:23
ルカ 1:30-35

「それは成功せず、
そのようにはならない。

8 シリアの首都はダマスカス、

ダマスカスの王はレツイン。

わずか65年のうちに、
エフライムは粉々に砕かれ、民
ではなくなる。

9 エフライムの首都はサマリア、
サマリアの王はレマルヤの子。

しっかりとした信仰がなければ、
あなたたちがしっかりと立ち続ける
ことはない』」。

10 エホバはアハズにさらに話した。
11「あなたの神エホバにしろし
を求めなさい。それは墓のように深い
か、空のように高いかもしれない」。

12 しかしアハズは言った。「私は
求めません。エホバを試すこともし
ません」。

13 イザヤは言った。「ダビデの王
家の皆さん、どうか聞いてください。人
をいら立たせるだけでは飽き足らず、
神をもら立たせるのですか。**14** エ
ホバは皆さんにしろしをお与えにな
ります。乙女が妊娠して男の子を産み、
インマヌエルと名付けます。**15** そ
の子は、善悪を判断できるようになる
までに、バターと蜂蜜を食べます。

16 その男の子が善悪を判断できるよ
うになる前に、あなたが恐れている
2人の王の土地は完全に捨てられま

7:11 *ヘブライ語、シェオル。用語集参照。**7:14** *意味、「私たちと共に神がいる」。

す。17 エホバはあなたと民とあなたの父の家族に、エフライムがユダから分かれて以来味わったことがないような苦難を味わわせます。アッシリアの王に来させるのです。

18 その日、エホバは口笛を吹き、エジプトのナイル川の遠い支流にいるハエと、アッシリアにいる蜜蜂を呼び寄せます。19 それらは皆やって来て、険しい谷、岩の裂け目、全てのいばらの茂みや水場にとどまります。

20 その日、川の地方の雇われたかみそり、すなわちアッシリアの王により、エホバはユダの頭と脚の毛をそり、顎ひげもそり落とします。

21 その日、人は群れの若い雌牛1頭と羊2匹を生かしておくことになります。22 ミルクがたくさんあるので、人はバターを食べます。土地に残っている人は皆、バターと蜂蜜を食べるのです。

23 その日、かつて銀1000枚に値する1000本のブドウの木があった場所はどこも、いばらと雑草に覆われます。24 人は弓矢を持ってそこに行きます。土地全体がいばらと雑草だらけになるからです。25 以前はくわで切り開かれていた山々に、あなたは近寄らなくなります。いばらと雑草を恐れるからです。そこは牛が草をはみ、羊が踏み荒らす場所になります。

7:19 *または、「ワジ」。7:20; 8:7 *ユーフラテス川のこと。

第7章

(例) 王二 15:29
王二 16:8,9
イザ 8:3,4
イザ 17:1

(例) 王一 12:20

(例) 王二 18:13,14
代二 28:19,20
イザ 36:1

(例) 王二 16:7

第2欄

第8章

(例) イザ 30:8

(例) 王二 16:10

(例) イザ 8:18

(例) 王二 15:29
王二 16:8,9
王二 17:6
イザ 7:16
イザ 17:1

(例) 王二 17:16
エレ 17:13

(例) イザ 7:1

(例) 王二 17:5
王二 18:9

8 エホバは私に言った。「大きな書き板に、ごく普通の筆記具で『マヘル・シャルル・ハシュ・バズ』と書きなさい。2 そして、2人の忠実な証人、祭司ウリヤと、エベレクヤの子ゼカリヤに、それが本物であることを書面によって保証してもらおう」。

3 私は女預言者と関係を持ち、彼女が妊娠して、やがて男の子を産んだ。するとエホバは私に言った。「その子をマヘル・シャルル・ハシュ・バズと名付けなさい。4 その子が『お父さん!』『お母さん!』と呼べるようになる前に、ダマスカスの資産とサマリアからの戦利品がアッシリアの王の前に運び去られる」。

5 エホバはさらに私に話した。

6 「この民が、穏やかに流れるシロアハの水を退け、

レツィンとレマルヤの子のことで喜ぶので、

7 エホバは川の力強い大量の水を、

アッシリアの王とその全勢力を、彼らに襲い掛からせる。

彼は全ての川床を満たし、全ての岸にあふれ出、

8 勢いよく流れてユダを通る。

8:1 *直訳、「死にゆく人間の」。^aまたは、「尖筆」。^a意味はもしかすると、「戦利品に向かって急ぎ、速やかに略奪品の所に来る」。8:2 *または、「ことを証言」。8:3 *イザヤの妻のこと。8:6 *シロアハは水道だった。

洪水^{こうずい}となって通^{とお}っていき、首^{くび}にまで達^{たつ}する。

インマヌエル^{✠イ}よ、彼^{かれ}が広^{ひろ}げた翼^{つばさ}は、

あなた^{とち}の土地^{かんぜん}を完全^{おほ}に覆^{おほ}う。

9 人々^{ひとびと}よ、害^{がい}を及^{およ}ぶすがいい。だが、粉^{こな}々に砕^{くだ}かれることになる。

遠^{とお}い土地^{とち}から来^きた全^{すべ}ての者^{もの}よ、聞^きけ!

戦^{たたか}いの用意^{ようい}をするが[✠]いい。だが、粉^{こな}々に砕^{くだ}かれることになる!

戦^{たたか}いの用意^{ようい}をするが[✠]いい。だが、粉^{こな}々に砕^{くだ}かれることになる!

10 戦^{せんりやく}略^たを立てるが^{しつ}いい。だが、失^し敗^{ばい}に終^おわる!
何^{なん}でも言^いうが^{せいこう}いい。だが、成^{せい}功^{こう}する
ことはな^いい!
神^{かみ}が私^{わたし}たちと共^{とも}におられ[✠]るか
らだ!

11 神^{かみ}の強^{つよ}い力^{ちから}が私^{わたし}に働^{はたら}いた。エホバは民^{たみ}に倣^{なら}わないように警^{けい}告^{こく}し、こ
う言^いった。

12 「この民^{たみ}が陰^{いん}謀^{ぼう}と呼^よぶもの^{いんぼう}を陰^{いん}謀^{ぼう}
と呼^よんではいけ^ない!
彼^{かれ}ら^{おそ}が恐^{おそ}れるもの^{おそ}を恐^{おそ}れてはい
け^ない。

恐^{きょうふ}怖^ふに震^{ふる}えてはいけ^ない。

13 大^{たい}軍^{ぐん}を率^{ひき}いるエホバ^{しんせい}だけ^いを神^{かみ}聖^{せい}
なものと^し、

8:8 *イザ 7:14 参照。 8:9 *または、「帯を締める」。 8:10 *ヘブライ語で「インマヌエル」。イザ 7:14; 8:8 参照。

第8章

(例) 代 28:19, 20
イザ 7:17, 20
イザ 10:28-32

(例) イザ 7:14
マタ 1:23

(例) 代 2:32-21

(例) 申 20:1
詩 44:3

(例) レビ 10:3
レビ 22:32

第2欄

(例) 伝 12:13
マタ 10:28

(例) マタ 21:42, 44
ルカ 20:17, 18
ロマ 9:31-33
コリ 1:23
ペテ 2:7, 8

(例) 申 31:16, 17
ミカ 3:4

(例) 詩 33:20

(例) ヘブ 2:13

(例) イザ 7:14, 16
イザ 8:3, 4

(例) レビ 20:6
申 18:10, 11
詩 146:4
伝 9:5, 10

この神^{かみ}だけ^{おそ}を畏^{おそ}れ、
この神^{かみ}の前^{まえ}で震^{ふる}えるべきである^例。

14 この方^{かた}は聖^{せい}なる所^{ところ}となる。

しかし、イスラエル^{おうこく}の2^{ふた}つの王^{おう}国^{こく}

にとっては、
つまずき^{いし}の石^{いし}、妨^{さまた}げの岩^{いわ}となり、
エルサレム^{じゅうみん}の住^す民^{みん}にとっては、
仕^し掛^かけ、またわなとなる。

15 彼^{かれ}ら^{おほ}の多^たくはつまずいて倒^{たお}れ、打^う
ち砕^{くだ}かれ、

わな^かに掛^かかって捕^とらわれる。

16 保証^{ほしょう}の書[✠]面^{しよめん}を巻^まき、
私^{わたし}の弟^{でし}子^したち^{なか}の中^{りっぼう}で^{ふういん}律^{りつ}法^{ぽう}に封^{ふう}印^{いん}

をせよ!

17 私^{わたし}は、ヤコブ^しの子^{そん}孫^{かお}から顔^{かく}を隠^{かく}
して^例いるエホバ^まを待^{まち}ち続^{つづ}け、希^き望^{ぼう}を抱^{いだ}
いてこの方^{かた}に頼^{たよ}る。

18 私^{わたし}と、エホバ^{あた}が与^{あた}えてくださ^いった子^こ供^{ども}たち^例とは、イスラエル^いの中^{なか}のし
るしま^例た奇^き跡^{せき}である。シオン^しの山^{やま}に住^す
んで^例いる、大^{たい}軍^{ぐん}を率^{ひき}いるエホバ^いからの
しるしま^きた奇^{せき}跡^{せき}なのである。

19 人々^{ひとびと}があなた^{れいばい}たちに、「ささや
いたりつづやいたりする霊^い媒^{ばい}師^しや占^{うらな}
い師^しに尋^{たず}ねなさい」と言^いうかもしれな
い。民^{たみ}は自^じ分^{ぶん}たち^{かみ}の神^{かみ}に尋^{たず}ねるべき
ではないか。生^いきて^例いる人^{ひと}たち^いのた
め^しに死^し者^{たず}に尋^{たず}ねることがあ^いってよ^いいだ
ろうか。 20 律^{りつ}法^{ぽう}と、保^ほ証^{しょう}の書^{しよめん}面^{たし}を確^{たし}
かめ^例るべきである!

8:16, 20 *または、「証し」。 8:16 *または、「指示」。 8:17 *または、「一心に待ち」。

この言葉に従って語らないなら、彼らに光はない。21 おのおのが苦しめ、飢えて、土地を歩き回る。飢えて憤っているので、天を見上げて自分の王と神を冒瀆する。22 そして地に目を向けるが、見えるのは苦難と闇、暗がりと困難、光のない陰鬱さだけである。

9 しかし、陰鬱さは、土地が苦難に見舞われた時のようではなくなる。かつてゼブルンの土地とナフタリの土地が辱められた時のようではなくなる。後に神は、海沿いの道、ヨルダン地方、異国の人々のガリラヤがたえられるようにする。

2 闇の中を歩んでいた民は、大きな光を見た。
深い陰の地に住んでいた人たちの上に、
光が輝いた。

3 あなたはその国民を多くし、大いに喜ばせた。
彼らはあなたの前で喜ぶ。
収穫の時に喜ぶ人々のように。
戦利品を喜んで分ける人たちのように。

4 あなたは、彼らが負っていたてんびん棒や、
肩を打つ棒や、仕事を割り当てる者のつえを粉々に砕いた。
ミディアンの時と同じように。

第8章
[7] 格 4:19
[1] 申 28:15, 48

第9章
[1] 王二 15:29
[1] マタ 4:13-16
ルカ 1:78, 79
ルカ 2:30-32
ヨハ 1:9
ヨハ 8:12
[1] 裁 8:12, 28
イザ 10:26, 27

第2欄
[1] ルカ 1:35
ルカ 2:11
[1] 創 49:10
詩 2:6
ゼカ 6:13
ルカ 22:29
啓 19:16
[1] イザ 11:2
マタ 7:28, 29
マタ 12:42

[1] 詩 45:3
ヨハ 1:18
[1] 詩 72:1, 7
ダニ 2:44
[1] ルカ 1:32, 33
[1] イザ 42:1
マタ 12:18
[1] 詩 45:6
イザ 32:1
エレ 23:5
ペリ 1:8
[1] サニ 7:16, 17
啓 11:15
[1] 王二 17:6
[1] アモ 5:11

5 行進して地面を揺らす長靴と、
血にまみれた服は皆、
火にくべる燃料となる。
6 私たちのために子が生まれた。
私たちに男子が与えられた。
彼は肩に統治の責任を負い、
素晴らしい助言者、力強い神、
永遠の父、平和の統治者と呼

ばれる。
7 彼の統治は限りなく栄え、
平和がいつまでも続く。
彼はダビデの王座につき、
王国によって統治する。
その王国は公正と正義によって
確立され、
今もこれからもずっと存続する。
大軍を率いる熱心な神エホバが
そうならせる。

8 エホバはヤコブに警告の言葉を
伝えた。
それはイスラエルに対して語られた。
9 民は皆そのことを知る。
エフラ임もサマリアの住民も。
傲慢で心がおごり高ぶった彼らはこう言う。

10 「れんがは崩れたが、
われわれは切り石で建てる。
エジプトイチジクの木は切られ
たが、

9:6 *または、「という名で」。 9:7 *または、「政府」。

われわれは代わりに^か杉^{すぎ}を使う^{つか}」。

11 エホバはレツィンの敵^{てきたいしや}対者^{たいしや}たち
にイスラエルを攻めさせ、
イスラエルの敵^{てき}たちを奮^{ふる}い立た
せる。

12 東^{ひがし}からシリア^{にし*}, 西^{にし*}からフィリスティ
ア^{じん き}人が来^くて、
口^{くち}を開^あけてイスラエルをむさぼり
食^くう。

民^{たみ}が背^{そむ}いたために、神^{かみ}の怒^{いか}りは
収^{おさ}まらず、
手^ては打^うつために伸^のばされたまま
である。

13 民^{たみ}が自分^{じぶん}たちを打^うつ方^{かた}のもとに
戻^{もど}っていないからだ。
彼^{かれ}らは大軍^{たいぐん}を率^{ひき}いるエホバに
頼^{たよ}っていない。

14 エホバはイスラエルから、
頭^{あたま}と尾^お、若^{わか}枝^{えだ}とイグサ^きを1日^{いちにち}のう
ち^きに切り取^とる。

15 敬^{うやま}われている長老^{ちやうろう}が頭^{あたま}、
偽^{いつわ}りを教^{おし}えている預言^{よげん}者が尾^おで
ある。

16 導^{みちび}いている人^{ひと}たちは民^{たみ}をさまよ
わせており、
導^{みちび}かれてい^{ひと}る人^{ひと}たちは混乱^{こんらん}して
いる。

17 そのため、エホバは若^{わか}者^{もの}のこと
を喜^{よろこ}ばず、
父^{ちち}親^{おや}のい^{しめ}ない子^こ供^{ども}ややもめ^{あわ}に憐^{あは}
れ^{しめ}みを示^{しめ}さない。

9:12 *直訳, 「背後」。 9:14 *もしかすると,
「ヤシの枝とアシ」。 9:17 *または, 「孤児」。

第9章

(7) 代二 28:18

(4) 申 31:17

(7) イザ 5:25
イザ 10:4(24) 王二 17:13, 14
ホセ 7:10
アモ 4:6
アモ 5:6(24) 王二 17:6
ホセ 10:15

(7) 申 13:1-3

第2欄

(7) 申 4:25, 26

(4) イザ 5:25

(7) 代二 28:6

(24) イザ 5:25

かれら^{かれ}は皆^{みな}、背^{はい}教^{きやう}者^{しや}また悪^{あく}人^{にん}で
彼^{かれ}らは皆^{みな}、背^{はい}教^{きやう}者^{しや}また悪^{あく}人^{にん}で
あり、

無^む分^{ぶん}別^{べつ}なことを語^{かた}っているからで
ある。

民^{たみ}が背^{そむ}いたために、神^{かみ}の怒^{いか}りは
収^{おさ}まらず、
手^ては打^うつために伸^のばされたまま
である。

18 邪^{じゃ}悪^{あく}さは火^ひのように燃^もえ、
いばらと雑^ざ草^{そう}を焼^やき尽^つくす。

森^{もり}の茂^{しげ}みに火^ひが付^つき、
煙^{けむり}がもうもうと立ち上^{のぼ}る。

19 大軍^{たいぐん}を率^{ひき}いるエホバは激^{げき}怒^どし、
土^{どち}地^ちは燃^もえ上^あがった。

民^{たみ}は火^ひにくべる燃^{ねん}料^{りやう}となる。
誰^{だれ}もが兄^{きやう}弟^{だい}さえ容^{よう}赦^{しや}しない。

20 人^{ひと}は右^{みぎ}にき^きりつ^つけるが、
まだ飢^うえてい^いる。

左^{ひだり}に食^くらい付^つくが、
満^{まん}足^{ぞく}しない。

それぞれ自^じ分^{ぶん}の腕^{うで}の肉^{にく}をむさば
り食^くう。

21 マナセはエフライムをむさぼり
食^くい、

エフライムはマナセをむさぼり
食^くう。

彼^{かれ}らは共^{とも}にユダ^{おそ}を襲^{おそ}う。

民^{たみ}が背^{そむ}いたために、神^{かみ}の怒^{いか}りは
収^{おさ}まらず、

手^ては打^うつために伸^のばされたまま
である。

10

ゆうがい きてい さだ もの
有害な規定を定める者

たち、

つね きび ふ こく しる もの
常に厳しい布告を記す者たちに
は災いがある！

かれ まづ ひと もう た
2 彼らは貧しい人の申し立てを
退け、

わたし たみ なか たち ば ひく ひと こう
私の民の中で立場が低い人を公
正に扱わず、

こ じき も もの うば
やもめや孤児の持ち物を奪い
取る。

しよばつ ひ せい とお は めつ
3 処罰の日、速くから破滅が
やって来る時に、

あなたたちはどうするのか。

たす もと だれ に
助けを求めて誰のもとに逃げる
のか。

とみ* の こ
どこに富を残していくのか。

ほりよ なか
4 捕虜たちの中でうずくまるか、
殺された者たちの中に倒れるし
かない。

たみ そむ かみ いか
民が背いたために、神の怒りは
おさ
収まらず、
て う の
手は打つために伸ばされたまま
である。

み じん せい
5 「見なさい！ アッシリア人である。

わたし いか ひょうめい ぼう せい
私の怒りを表明する棒であり、
かれ* て わたし きゅうだん
彼は手にしたついで私の糾弾を
あ
浴びせる。

わたし かれ つか はいきよう こくみん
6 私は彼を遣わし、背教した国民
を攻めさせる。

わたし げき ど たみ
私を激怒させた民を。

10:2 *または、「父親のいない子供」。10:3

*または、「名声」。10:5 *直訳、「彼ら」。

第10章

(例) レビ 19:15
申 1:16, 17

(例) アモ 2:7, 8

(例) 申 27:19
ヤコ 1:27

(例) ホセ 9:7

(例) 申 28:49, 50

(例) ホセ 5:13

(例) イザ 5:25
イザ 9:12

(例) 創 10:9, 11

(例) 王二 17:3
イザ 8:3, 4
イザ 10:24

(例) 王二 17:6

第2欄

(例) 申 28:45, 63
王二 17:22, 23

(例) 王二 18:19, 24

(例) アモ 6:2

(例) 代二 35:20

(例) 王二 17:24

(例) 王二 19:11, 13

(例) 王二 17:5
王二 18:9, 10

(例) 王二 16:8, 9

(例) 王二 19:17, 18

(例) 王二 18:33, 34
代二 32:16, 19

かれ めい おお せん り ひん りやくだつ
彼に命じて多くの戦利品や略奪
品を奪わせ、

たみ とお どり ふ
民を通りの泥のように踏みにじら
せる。

7 しかし、彼はそうしようとは思
わず、

こころ なか くわだ
心の中でそのようには企てない。
かれ こころ ほろ つ
彼の心にあるのは滅ばし尽くす

ことであり、
すこ おお くに のぞ さ
少しではなく多くの国を除き去る
ことだからである。

8 彼はこう言う。
わたし つか こうかん みな おう
『私に仕える高官は皆、王ではな
いか。』

9 カルノはカルケミシュのようでは
ないか。

ハマトはアルパドのようではな
いか。

サマリアはダマスカスのようでは
ないか。

10 私は無価値な神々の王国を手に
入れた。

エルサレムやサマリアよりも多く
の彫像を持つ国々を！

11 私はサマリアとその無価値な
神々にしたのと同じことを、
エルサレムとその偶像にもするの
ではないか。』

12 エホバはシオンの山とエルサ
レムで行うべきことを全て終わらせる。
その時、私はアッシリアの王のおごり

高ぶった心と、自慢げで高慢なまなざしのために、彼を処罰する。13 彼がこう言うからだ。

『私は自分の力によってこのことを行う。

また、自分の知恵によって行う。

私は賢いからだ。

さまざまな民の境界を取り除き、
彼らの財宝を奪い取り、
強有力な者のように住民を制圧する。

14 鳥の巢に手を伸ばす人のように、
私はさまざまな民の資産を手に入れる。
見捨てられた卵を集める人のように、
全世界をかき集める！
誰も翼を羽ばたかせず、口を開かず、さえずらない』。

15 おは、それを使って切る者に対して高ぶるだろうか。
のこぎりは、それをひく者に対して高ぶるだろうか。
つえは、それを掲げる者を振るうことができるだろうか。
棒は、それを持つ者を掲げることができるだろうか。

16 真の主、大軍を率いるエホバは、
彼の太った者たちを痩せ衰えさせ、

10:15 *直訳、「木ではない」。10:16 *アッシリアのこと。

第10章

(イ) 王二 18:19
王二 18:28,35

(イ) 王二 15:29
王二 17:6
王二 18:11
代一 5:26

(イ) 王二 16:8
王二 18:16

(イ) 王二 18:19,25

(イ) イザ 10:5

(イ) 代二 32:21

第2欄

(イ) イザ 30:30,31

(イ) 詩 84:11

(イ) イザ 9:5
イザ 30:27
イザ 31:8,9
ナホ 1:6

(イ) イザ 37:36

(イ) 代二 28:20,21
ホセ 5:13
ホセ 14:3

(イ) イザ 65:9
ホセ 1:10,11

彼の栄光の下で火を燃え上がる。
せる。

17 イスラエルの光である方は火となり、

イスラエルの聖なる方は炎となる。

それは燃え上がり、彼の雑草といばらを1日のうちに焼き尽くす。

18 彼の森林と果樹園の栄光は完全に除き去られる。
あたかも病気の人が弱り果てるときのように。

19 森には木がごくわずかしが残らず、
少年が書き留められるほどの数になる。

20 その日、イスラエルの残っている人々と、
ヤコブの子孫の生き延びた人たちは、
自分たちを打った者に頼るのをやめる。

エホバに、イスラエルの聖なる方に、
心から頼るようになる。

21 残りの者だけが帰る。
ヤコブの残りの者が、力強い神のもとに帰る。

22 イスラエルよ、あなたの民は海のように多いが、

そのうちの^{のこ}残りの^{もの}者だけが^{かえ}帰る。

滅びが定められており、

人々は処罰にのみ込まれる。

23 主権者である主、大軍を率いる

エホバが定めた滅びが、

全土にもたらされるのである。

24 主権者である主、大軍を率いる

エホバはこう言う。「シオンに住んで
いる私の民よ、アッシリア人はエジプ

トがしたように棒であなを打ち、つ

えを振り上げたが、彼らを恐れては

ならない。25 ほんのもう少しすれ

ば、糾弾は終わる。私の怒りは彼らの

滅びへと向けられる。26 大軍を率

いるエホバは、オレブの岩のそばでミ

ディアンを打ち負かした時のように、

彼に向かってむちを振るう。エジプト

に対して行ったように、つえを海の上

にかざす。

27 その日、彼の荷はあなたの肩か

ら取り去られ、

彼のてんびん棒はあなたの首か

ら離される。

油のゆえに、てんびん棒は砕か

れることになる。

28 彼はアヤトに来た。

ミグロンを歩いていった。

ミクマシに荷物を置く。

29 彼らは渡り場を渡った。

ゲバで夜を過ごす。

10:22 *または、「公正さ」。10:26 *アッシリ
アのこと。

第10章

(例) イザ 1:9

(例) イザ 28:22

(例) ロマ 9:27,28

(例) 申 28:45,63

(例) 出 14:3,9

(例) 王二 18:13

イザ 10:5

(例) 王二 19:35

(例) 裁 7:25

裁 8:21

詩 83:11

(例) 代二 32:21

イザ 30:32

ナホ 3:7

(例) 出 14:21,27

(例) イザ 9:4

ナホ 1:13

(例) イザ 14:25

(例) 王二 19:35

イザ 37:35,36

(例) ヨシ 7:2

(例) サー 13:2

サー 14:31

(例) ヨシ 21:8,17

代二 16:6

第2欄

(例) 裁 20:13

(例) ホセ 5:8

(例) ヨシ 21:8,18

エレ 1:1

(例) サー 22:18,19

(例) 代二 32:21

イザ 37:36

第11章

(例) ルツ 4:17

サー 17:58

マタ 1:1,6

ルカ 3:23,32

使徒 13:22,23

ロマ 15:12

(例) 詩 132:11

イザ 53:2

啓 5:5

啓 22:16

(例) エレ 23:5

エレ 33:15

ゼカ 3:8

ゼカ 6:12

(例) イザ 42:1

ヨハ 1:32

使徒 10:38

(例) ルカ 2:52

(例) イザ 9:6

(例) ヘブ 5:7

ラマは震え、サウルのギベアは
逃げた。

30 ガリムよ、甲高い声で叫べ！

ライシャよ、注意を払え！

哀れなアナトテよ！

31 マドメナは逃げ去った。

ゲビムの住民は避難した。

32 この日、彼はノブで立ち止まる。

シオンの山、エルサレムの丘に

向かって、こぶしを振る。

33 真の主、大軍を率いるエホバは、

すさまじい音を立てて枝を切り落

としている。

非常に高い木々が切り倒されて

おり、

そびえ立つ木々が低くされて

いる。

34 神はおので森の茂みを切り払い、

レバノンは力強い者によって倒さ

れる。

11 エッサイの切り株から小枝
が生え出る。

彼の根から出る芽は実を結ぶ。

2 その者の上にエホバの聖なる力

がとどまる。

それにより知恵と理解を示し、

助言を与え、強くなり、

知識を得て、エホバを畏れる。

3 彼は喜んでエホバを畏れる。

10:30 *直訳、「ガリムの娘」。10:32 *直訳、

「シオンの娘」。10:34 *または、「鉄の道具」。

11:2 *用語集参照。

見^みること^{ことがら}に基^{もと}づいて裁^{さば}く

ことをせず、

聞^きいた事柄^{ことがら}だけに基^{もと}づいて戒^{いまし}め

ることもしない。

4 立場^{たちば}が低^{ひく}い人^{ひと}たちを公平^{こうへい}に

裁^{さば}き、

地^{ちじょう}上の温厚^{おんこう}な人^{ひと}たちのために公^{こう}

正^{せい}に戒^{いまし}めを与^{あた}える。

口^{くち}から出^でる棒^{ぼう}で地^{ちじょう}上^うを打^うち、

唇^{くちびる}から出^でる息^{いき}で邪悪^{じゃあく}な人^{ひと}々^とを死^し

に至^{いた}らせる。

5 正し^{ただ}さが帯^{おび}として胸^{どう}に巻^まかれ、

忠実^{ちゅうじつ}さも腰^{こし}の帯^{おび}となる。

6 オオカミ^{こひつじ}が子羊^{とも}と共に過^すぎし、

ヒョウ^こが子ヤギと共に寝^ねそべる。

子牛^{こうし}とライオン^こと肥え^{どうぶつ}た動物^が

皆^{みな}一^{いっしょ}緒[＊]にいて、

小^{ちい}さな子供^{こども}に導^{みちび}かれる。

7 雌牛^{めうし}と熊^{くま}が一^{いっしょ}緒[＊]に食^たべ、

子牛^{こうし}と子熊^{こぐま}も共^{とも}に寝^ねそべる。

ライオン^{らいうし}が雄牛^{おうし}のようにわら^たを食^た

べる。

8 乳児^{にゅうじ}がコブラ^すの巣^{うえ}の上^{あそ}で遊^{あそ}び、

乳離^{ちばな}れた子^こが毒蛇^{どくへび}の巣穴^{すあな}の上^{うえ}

に手^てを置^おく。

9 私の聖^{わたくし}なる山^{せい}のど^{やま}のどこにも、

荒^あらしたり危^き害^{がい}を加^{くわ}えたりするも

のはいない。

水^{みづ}が海^{うみ}を覆^{おお}っているように、

エホバ^{ちしき}についての知^ち識^{しき}が必^{かな}ず地^ち

第11章

(例)ヨハ7:24
ヨハ8:16

(イ)詩2:9
詩110:2
啓19:11,15

(例)テサニ2:8

(イ)啓3:14

(例)イザ65:25

(例)エゼ34:25

(例)ホセ2:18

(例)イザ51:3

イザ56:7

イザ65:25

(例)イザ2:4

イザ35:9

イザ60:18

ミカ4:4

第2欄

(例)詩22:27
ハバ2:14

(イ)ロマ15:12
啓22:16

(例)創49:10

イザ49:22

イザ62:10

(イ)使徒11:18

使徒28:28

(例)イザ11:16

(例)イザ27:13

エレ44:28

ミカ7:12

(例)エレ44:15

(例)ゼバ3:10

(例)ダニ8:2

(例)イザ66:19

(例)エズ1:2,3

イザ49:22

イザ62:10

(例)詩147:2

イザ66:20

(イ)代ニ30:1,10

エレ31:6

(例)エレ3:18

エゼ37:16,19

ホセ1:11

(例)アモ9:11,12

オバ18

(例)イザ25:10

(例)エレ49:2

(例)出14:22

(例)創15:18

上^{じょう}に満^みちるからである。

10 その日^ひ、エッサイ^{ねい}の根^たが立^あち上^が

り、国^{くに}々^にのた^はめの旗^{はた}印^{じるし}となる。

人^{ひと}々^とは彼^{かれ}に導^{みちび}きを求^{もと}め、

彼^{かれ}の休^{やす}み場^ばは栄^{えい}光^{こう}に輝^{かがや}く。

11 その日^ひ、エホバ^{ふた}は再^たび手^てを差^さし

伸^のべて、ご自^じ分^{ぶん}の民^{たみ}の残^{のこ}りの者^{もの}を取^とり

戻^{もど}す。アッシリ[＊]ア、エジプ[＊]ト、パトロ[＊]ス、

クシュ[＊]、エラム[＊]、シナル[＊]、ハマト[＊]、海[＊]の

島^{しま}々^{じま}から、残^{のこ}っている人^{ひと}々^とを取^とり戻^{もど}す

のである。12 国^{くに}々^にのた^はめの旗^{はた}印^{じるし}を

掲^{かか}げ、イスラエル[＊]の追^おいやられた人^{ひと}々^と

ちを集^{あつ}め、ユダ[＊]の散^ちらされた人^{ひと}々^とを

地^{ちじょう}上[＊]の四^し方^{ほう}から集^{あつ}める。

13 エフラ[＊]イムの嫉^{しつ}妬^とはなくなり、

ユダ[＊]に敵^{てき}意^いを示^{しめ}す者^{もの}たち[＊]は滅^{ほろ}ば

される。

エフラ[＊]イムはユダ[＊]に嫉^{しつ}妬^とせず、

ユダ[＊]はエフラ[＊]イムに敵^{てき}意^いを示^{しめ}さ

ない。

14 彼^{かれ}らは西^{にし}のフィリス[＊]ティア[＊]人^{じん}の丘^{おか}

に襲^{おそ}い掛^かかり、

共^{とも}に東^{ひがし}の人^{ひと}々^とから物^{もの}を奪^{うば}い取^とる。

エドム[＊]とモアブ[＊]に対^{たい}して勢^{せい}力^{りき}を振^ふ

るい、

アンモン[＊]人^{じん}を服^{ふく}従^{じゅう}させる。

15 エホバ[＊]はエジプ[＊]トの海^{うみ}の湾^{わん}を2

つに分^わけ、

川^{かわ}の上[＊]で手^てを振^ふりかざす。

11:10、12 *または、「合図のさお」。11:10

*または、「彼を探し求め」。11:11 *バビロニア

のこと。11:14 *直訳、「肩」。11:15 *もしか

すると、「干上がらせ」。*ユーフラテス川のこと。

11:4 *または、「正しく」。11:6 *もしかすると、
「子牛とライオンが一緒に食べ」。

しゃくねつ いき かわ なが ふ
灼熱の息を川の7つの流れに吹
き掛け、
たみ は わた
民がサンダルを履いたまま渡れ
るようにする。

16 かみ たみ のこ もの (何)
神の民の残りの者のために、アッ
シリアから出る街道が備えら
れる。

イスラエルがエジプトから出てき
た日に道が備えられたように。

12 その日、あなたは必ずこう
言う。

「エホバ、わたしはあなたに感謝し
ます。

あなたは私に対してお怒りです

たが、
いか じょじょ しず わたし なぐさ
怒りを徐々に静め、私を慰めてく
ださったからです。

2 かみ わたし すく かた(何)
神は私を救う方。
わたし しんらい おそ (何)
私は信頼し、恐れない。

ヤハ、エホバは、私に力を与え、
まも かた
守る方。

わたし すく (何)
私を救ってくださいました。

3 あなたたちは歓喜し、
すく いずみ みず (何)
救いの泉から水をくむ。

4 そして、その日こう言う。

「エホバに感謝し、神の名を
よ
呼べ。

かみ おこな ひとびと し (何)
神の行いを人々に知らせよ。

その名がたたえられていることを
ひろ (何)
広めよ。

11:15 *もしかすると、「息で川を7つの流れに
分けけ。 12:2 *エホバの短縮形。

第11章
(何) エズ 1:2,3

(何) イザ 19:23
イザ 27:13
イザ 35:8
イザ 40:3
イザ 57:14
エレ 31:21

第12章
(何) 申 30:3
詩 30:5
詩 85:1
詩 126:1
イザ 40:2
イザ 66:13

(何) イザ 45:17

(何) イザ 26:4

(何) 詩 118:14
ホセ 1:7

(何) イザ 49:10

(何) 代一 16:8
詩 105:1,2

(何) 出 15:2

第2欄
(何) 詩 149:3

(何) 詩 98:1

第13章
(何) イザ 1:1

(何) エレ 25:12
エレ 50:1-3
啓 18:2

(何) エレ 51:12
エレ 51:27,28

(何) イザ 45:1

(何) ダニ 5:28

(何) エレ 50:15

(何) エレ 50:9
エレ 51:28

5 エホバを賛美して歌え。偉業を
おこな (何)
行われたからだ。

そのことを全世界に知らせよ。

6 シオンに住む者よ、大声で叫び、
かんせい あ
歓声を上げよ。

あなたのただ中にいるイスラエ
ルの聖なる方は偉大だからで
ある。

13 アモツの子イザヤが見た幻。
バビロンに対する宣告。

2 いわやま うえ はたじるし* かか (何)
「岩山の上に旗印を掲げよ。
かれ む かて
彼らに向かって呼び掛け、手を
振り、

かれ せぞく もん はい
彼らが貴族たちの門から入るよ
うにせよ。

3 わたし にんめい *もの めいれい だ
私は任命した者たちに命令を出
した。

わたし いか ひょうめい
私の怒りを表明させるために、
わたし せんし ほこ よろこ
私の戦士たち、誇らしげに喜ぶ
もの よ あつ
者たちを呼び集めた。

4 き やまやま ぐんしゅう
聞け！ 山々に群衆がいる。
かず おお たみ おと
数が多い民の音のようだ！

き かずかず おうこく そうおん
聞け！ 数々の王国の騒音、
あつ くにくに そうおん (何)
集められた国々の騒音を！
たいぐん ひき たたか
大軍を率いるエホバは戦いのた
め ぐんぜい しゅうしゅう (何)
め 軍勢を招集している。

5 いきどお ぶ き
エホバと憤りの武器は、
とお とち (何)
遠くの土地から、
てん は く
天の果てからやって来る。

12:5 *または、「のために音楽を奏でよ」。 12:
6 *直訳、「住む女」。住民全体を1人の女性とし
て表現している。 13:2 *または、「合図のさお」。
13:3 *直訳、「神聖なものとした」。

ぜん せ かい ほろ
全世界を滅ぼすために。

6 泣き叫べ。エホバの日が近い

らだ!

その日に全能者は滅びをもた
らす。

7 そのため、皆の手は力なく垂れ 下がり、

心は恐れにとらわれる。

8 人々はひどく取り乱している。

子を産んでいる女性のように、
けいれんと痛みに襲われる。

恐怖のあまり見つめ合い、
顔に苦渋の色を浮かべている。

9 エホバの日が来る。

激怒と燃える怒りを伴う残酷な
日が。

土地を恐怖の光景に変え、

罪人をそこから滅ぼし尽くすた
めに。

10 天の星も星座も輝かず、 昇ってくる太陽は暗く、 月も光を放たない。

11 私は世界の人々に悪い行いの責 任を問ひ、

邪悪な者たちに過ちの責任を
と問う。

思い上がった者たちの誇りをく
じき、

傲慢な圧制者を卑しめる。

12 死にゆく人間を、精錬された金よ

りも、

死にゆく人間を、精錬された金よ

りも、

死にゆく人間を、精錬された金よ

りも、

死にゆく人間を、精錬された金よ

りも、

死にゆく人間を、精錬された金よ

りも、

第13章

(イ) エレ 51:11

(イ) イザ 13:18

エレ 50:13

(イ) エレ 50:43

(イ) ダニ 5:6

(イ) エレ 50:23,29

(イ) ヨブ 9:9

ヨブ 38:31

アモ 5:8

(イ) 詩 137:8

エレ 51:37

啓 18:2

(イ) エレ 50:29

ダニ 5:22,23

(イ) エレ 50:30

エレ 51:3,4

第2欄

(イ) 王一 10:11

(イ) エレ 51:29

(イ) エレ 50:16

(イ) エレ 51:3,4

(イ) 詩 137:8,9

(イ) イザ 21:2

エレ 50:9

エレ 51:11

ダニ 5:30,31

(イ) エレ 50:14

(イ) イザ 47:5

ダニ 4:30

(イ) イザ 47:1

オフィルの金よりもまれなものと
する。

13 そのため、私は天を震わせる。

大軍を率いるエホバの激怒によ
り、その燃える怒りの日に、

地は揺り動かされる。

14 追われるガゼルのように、

集める者がいない羊の群れのよ
うに、

人はそれぞれ自分の民のもとに
帰る、

それぞれ自分の土地に逃げて
いく。

15 見つかった者は皆、刺し通され、 捕らわれた者は皆、剣によって 倒れる。

16 彼らの子供たちは目の前で打ち 砕かれ、

家々は略奪され、
妻たちは暴行される。

17 私はメディア人に彼らを攻めさ せる。

メディア人は銀を何とも思わず、
金を見て喜びもしない。

18 彼らは弓で若者たちを打ち倒す。 子供たちを哀れに思わず、 彼らに憐れみを示さない。

19 最も輝かしい王国、 カルデア人にとって美しく誇らし いバビロンは、

最も輝かしい王国、

カルデア人にとって美しく誇らし

いバビロンは、

最も輝かしい王国、

カルデア人にとって美しく誇らし

いバビロンは、

最も輝かしい王国、

カルデア人にとって美しく誇らし

いバビロンは、

最も輝かしい王国、

カルデア人にとって美しく誇らし

いバビロンは、

最も輝かしい王国、

カルデア人にとって美しく誇らし

いバビロンは、

最も輝かしい王国、

カルデア人にとって美しく誇らし

いバビロンは、

13:10 *直訳、「ケシル」。オリオン座と周囲の星
座のことかもしれない。

13:19 *または、「諸王国の飾り」。

神が滅ぼしたソドムとゴモラのよ
うになる。

- 20 そこに人が住むことはなくなり、
いつの時代までも居住地にはな
らない。
そこにアラブ人が天幕を張ること
はなく、
羊飼いが群れを休ませることも
ない。

- 21 砂漠の生き物がそこで寝そべり、
家々にはワシミミズクが群がる。
ダチョウがそこにすみ、
野ヤギが跳ね回る。
22 遠ばえる動物が塔でほえ、
華やかだった宮殿でジャッカル
がほえる。
バビロンの終わりは近く、先延
ばしにされることはない。

- 14 エホバはヤコブに憐れみを
示し、再びイスラエルを選び、
彼らを自分たちの土地に住ませる。
外国人居住者たちが彼らに加わって
ヤコブの子孫と結び付く。2 さまざ
まな民が、彼らを彼らの場所に連れて
いく。イスラエル国民はエホバの土
地でそれらの民を所有し、男性も女性
も召し使いとする。自分たちを捕らえ
ていた者たちを捕らえ、労働を強いて
いた者たちを服従させる。

3 エホバがあなたを痛みと混乱と

13:21 *もしかすると、「ヤギのような邪悪な天使」。
14:1 *または、「て休ませる」。

第13章

(イ) 創 19:24,25
エ 50:40

(イ) エ 50:3,13
エ 51:29,37
啓 18:21

(イ) 啓 18:2

(イ) エ 51:33

第14章

(イ) レビ 26:42

(イ) ゼカ 1:17

(イ) 申 30:1-3
イザ 66:20
エ 24:6
エゼ 36:24

(イ) イザ 56:6,7
イザ 60:3
ゼカ 8:22,23

(イ) イザ 61:5
ゼカ 2:8,9

第2欄

(イ) エズ 3:1
エズ 9:8
エ 30:10

(イ) エ 50:23

(イ) 詩 125:3

(イ) 代 2:36,17
エ 50:17

(イ) ハバ 1:6
ゼカ 1:15

(イ) 詩 126:2
イザ 49:13
エ 51:48
啓 18:20

イザヤ 13:20-14:9

どれいろうどう かいほう ひ (イ)
奴隷労働から解放する日に、4 あな
たはバビロンの王に対してこのあざけ
りの言葉を語る。

ろうどう し もの お
「労働を強いていた者が終わりを
迎え！
あつせい お (イ)
圧制は終わった！

- 5 エホバは邪悪な者たちの棒を、
支配者たちのつえを折った。

- 6 憤って人々を絶え間なく打ち続
けた者、
いかに 怒りに任せて国々を服従させて
ようしゃ ばくがい もの う くだ
容赦なく迫害した者を打ち砕
いた。

- 7 今や全世界は安らいでおり、騒
乱はやんだ。
ひとびと かんせい あ (イ)
人々は歓声を上げる。

- 8 ネズの木々もあなたのことで
喜ぶ。

レバノンの杉と共に喜んで言う。
『あなたが倒れて以来、
誰もわれわれを切り倒しに来な
い』と。

- 9 地下の墓も騒ぎ立つ。
やって来るあなたを迎えようと。
あなたのために無力な死者たち
を目覚めさせる。
ちじょう あつせいき し どうしや# もの
地上で圧制的な指導者だった者
たちを。
くにぐに おう みな おう づ
国々のかつての王を皆、王座か
ら立ち上がらせる。

14:9 *ヘブライ語、シエオル。用語集参照。『直
訳、「雄ヤギ」。

10 彼らは皆、あなたにこう言う。
『あなたもわれわれのように弱く
なったのか。

われわれと同じようになった
のか。

11 あなたの誇りは墓に落とされた。
げんがっき おと とち ア
弦楽器の音と共に。

うじが敷き詰められてあなたの
寝床となり、
うごめく虫があなたの覆いと
なる』。

12 輝く者、夜明けの子よ、
あなたは天から落ちた！
くにぐに せいふく もの
国々を征服した者よ、
あなたは切り倒された！

13 あなたは心の中で言った。
わたし てん のぼ けい
『私は天に昇る。
かみ ほしほし うえ おうざ す けい
神の星々の上に王座を据え、
きた は かいけん やま すわ けい
北の果てにある会見の山に座る。

14 雲の頂よりも高く上り、
しこうしゃ ふ ま
至高者のように振る舞う』。

15 しかし、あなたは墓に、
ふか あな そこ お
深い穴の底に落とされる。

16 あなたを見る者たちは、あなた
を見つめ、
ねん い しら い
念入りに調べて言う。
『これが、地上を揺るがし、
かずかず おうこく ふる あ
数々の王国を震え上がらせてい
もの けい
た者か。

17 大地を荒野のようにし、
まちまち ほろ けい
町々を滅ばし、

第14章

(ア) 啓 18:22

(イ) 代二 36:17

エレ 51:7

エゼ 29:19

ダニ 5:18,19

(イ) イザ 47:7

ダニ 4:30

(ロ) ダニ 5:22,23

(ヨ) 詩 48:1,2

(ヨ) エレ 51:25

(キ) 王二 25:21

イザ 64:10

第2編

(ア) 王二 24:12,14

王二 25:11

(イ) イザ 43:14

エレ 50:25

エレ 51:56

(イ) エレ 51:62

(ロ) イザ 13:1,21

エレ 50:35,39

啓 18:2

しゅうじん こ こく かえ
囚人を故国に帰らせなかった
もの けい
者か』。

18 国々の他の王は皆、
それぞれ自分の墓に、
おごそ よこ
厳かに横たえられた。

19 しかしあなたは、墓に入れられず
捨てられた。

ひどく嫌われた芽のように。
つるぎ さ ころ もの
剣で刺し殺された者たち、
いわ あな な こ もの
岩だらけの穴に投げ込まれる者
たちにおお
に覆われる。

踏みにじられた死体のように。

20 あなたが他の王たちと共に葬ら
れることはない。

自分の土地を滅ばし、
じぶん たみ ころ
自分の民を殺したからだ。
あく おこな もの しもん に ど なまえ
悪を行う者の子孫は二度と名前
を呼ばれない。

21 彼の子たちを殺す用意をせよ。
かれ ふ そ
彼らの父祖たちの罪のゆえに。
かれ た あ せ かい し
彼らが立ち上がって世界を支
はい
配し、

土地を町々で満たすことはない。

22 「私は彼らに敵対する」と、大軍
を率いるエホバは宣言する。

「そして、バビロンから名と残りの者
し そん まっそん いっそう けい
と子孫と末孫を一掃する」と、エホバ
は宣言する。

23 「そこをヤマアラシのすみか、ま
ぬまち めつぼう は けい
た沼地とし、滅亡のほうきで掃く」と、

たいぐん ひき せんげん
大軍を率いるエホバは宣言する。

24 たいぐん ひき ちか
大軍を率いるエホバは誓った。

わたし い と とお ものごと
「私が意図した通りに物事は
運び、

わたし き とお お
私が決めた通りのことが起こる。

25 わたし じん わたし と ち
私はアッシリア人を私の土地で
砕き、

わたし やまやま ふ (ワ)
私の山々で踏みじじる。

わたし たみ たい あっせい お *
私の民に対する圧制を終わらせ、
たみ かた おも に と のぞ (ワ)
民の肩から重荷を取り除く。

26 ぜん せ かい たい き
これが全世界に対して決められ
たことであり、
すべ く に む の *
全ての国に向かって伸ばされた
手である。

27 たいぐん ひき き
大軍を率いるエホバが決めたこ
とを、
だれ はば (ワ)
誰が阻めるだろうか。
の
伸ばされたその手を、
だれ ひ もど (ワ)
誰が引き戻せるだろうか。

28 おう し とし (ワ) せん
アハズ王が死んだ年に、この宣
告がなされた。

29 「フィリステアよ、あなたの中の
だれ よろこ
誰も喜んではならない。

あなたを打つ者のつえが折られ
たからといって。

へび お (ワ) どくへび (ワ)
蛇の根から毒蛇が出、

へび し せん と か ひ
蛇の子孫は飛び掛かる火のよう
な蛇となるからである。

30 たち ば ひく もの はつこ
立場が低い者の初子が食べ、

14:25 *または、「民が負わされていたてんびん
棒を取り除き」。 14:26 *または、「を打とうと
している」。 14:29 *または、「突進する毒蛇」。

第14章

(ワ) 代二 32:21,22
イザ 30:31
イザ 31:8
イザ 37:36,37

(ワ) イザ 10:24

(ワ) 詩 33:11
格 19:21
格 21:30
イザ 46:11

(タ) 代二 20:5,6
イザ 43:13

(ワ) 王二 16:20
代二 28:27

(ワ) 代二 26:3,6

(ワ) 王二 18:1,8

第2欄

(ワ) エレ 47:1
エゼ 25:16
ヨエ 3:4
アモ 1:6-8
ゼバ 2:4
ゼカ 9:5

(ワ) 詩 48:1-3
詩 87:1,2
詩 132:13,14

第15章

(ワ) エレ 9:25,26
エゼ 25:11

(タ) 民 21:28
申 2:9

(ワ) 王二 3:24,25
エレ 48:31

(ワ) エレ 48:18

(ワ) エレ 48:1

(ワ) 民 21:30
ヨシ 13:15-17

(ワ) 申 14:1

(タ) エレ 48:36,37

まず もの あんしん よこ なか
貧しい者が安心して横になる中、
わたし き が
私は飢餓によってあなたの根を
死に至らせる。

あなたの残っている民は殺さ
れる。

31 もん な さげ まち こえ あ
門よ、泣き叫べ！ 町よ、声を上
げよ！

フィリステアよ、皆が気を落とす
ことになる！

北から煙がやって来るからだ。

その隊列から離れる者はい
ない。

32 いこく ししや なん こた
異国の使者たちに何と答えるべ
きだろうか。

エホバがシオンの土台を据えた
のであり、
くる *たみ ひ なん
苦しむ民はそこに避難する、とで
ある。

15 たい せんこく (ワ)
モアブに対する宣告。
いち や ほろ
一夜のうちに滅ばされた

ため、

モアブのアルは沈黙させられた。

一夜のうちに滅ばされたため、
モアブのキルは沈黙させられた。

2 ひとびと * いえ# (ワ) い
人々は家とディボンに行った。

泣くために高い場所に行った。

モアブはネボとメデバのことで
泣き叫ぶ。

みな あたま (ワ) あご き
皆の頭がそられ、顎ひげが切り
落とされている。

14:32 *または、「立場が低い」。 15:2 *直訳、
「彼」。「または、「神殿」。

3 彼らは通りで粗布をまとった。
皆が屋上や広場で泣き叫び、
泣き崩れる。

4 ヘシュボンとエルアレは叫び、
その声はヤハツにまで聞こえる。
そのため、モアブの兵士たちも
叫び続ける。
人々は震えている。

5 私心はモアブのことで嘆く。
逃亡者たちはゾアルやエグラト・
シェリシヤまで逃げた。

ルヒトの上り坂を泣きながら
上り、

ホロナイムへの道で惨事について
泣き叫ぶ。

6 ニムリムの水は枯れ果て、
青草は干からびた。
草はなくなり、緑は全く残っていない。

7 そのため、彼らは蓄えていた物
や財産を運び去っている。

ポプラの谷を渡っている。

8 叫び声はモアブの領土中に響き
渡る。

泣き叫ぶ声はエグライムにまで
届き、

ベエル・エリムにまで届く。

9 ディモンの水は血に染まって
いる。

ディモンにはさらに災いがある。

15:3 *または、「泣きながら下りてくる」。 15:7
*または、「ワジ」。

第15章

(イ) エレ 48:38

(イ) 民 32:37
イザ 16:9

(イ) 裁 11:20

(イ) 創 13:10

(イ) エレ 48:34

(イ) エレ 48:3,5

(イ) エレ 48:20

第2欄

(イ) 王二 17:25,26

第16章

(イ) 民 21:13

(イ) エレ 48:19

(イ) エレ 48:8,42

(イ) サ二 7:16,17

(イ) 詩 45:6
詩 72:1,2
イザ 9:6,7
イザ 32:1
エレ 23:5

に逃げるモアブ人と、土地に残っ
ている者たちを、
ライオンが襲う。

16 土地の支配者に雄羊を
送れ。

セラから荒野を通して、
シオンの山に。

2 モアブの住民はアルノンの渡り
場で、
巢から追い払われた鳥のように
なる。

3 「助言をし、決めたことを行え。
真昼にあなたの陰を夜のように
せよ。

散らされた人たちをかくまえ。
逃げていく人たちを裏切っては

ならない。

4 モアブよ、散らされた人たちを住
まわせよ。

滅ぼす者のゆえに、彼らの隠れ
場となれ。

虐げる者は終わりを迎え、滅び
は終わり、

踏みしめる者たちは地上から滅
びる。

5 そして揺るぎない愛によって王座
が確立される。

ダビデの天幕の中で王座につく
者は、忠実に行動する。

公平に裁き、速やかに正しいこと
を行う。

16:1 *直訳、「シオンの娘」。 16:2 *直訳、「娘
たち」。

6 私^{わたし}たちはモアブ^{ほこ}の誇^{ほこ}りについて
聞^きいた。彼^{かれ}は非常^{ひじょう}に高^{たか}ぶって
いる。

彼の傲^{かれ}慢^{ごうまん}さ、誇^{ほこ}り、激怒^{げきど}について
聞^きいた。

しかし、彼^{かれ}の中身^{なかみ}のない話^{はなし}は無^む
駄^だに終^おわる。

7 それで、モアブはモアブのことで
泣^なき叫^{さけ}ぶ。

人^{ひと}々は皆^{みな}、泣^なき叫^{さけ}ぶ。

打^うちのめされた人^{ひと}たちはキル・ハ
レセト^ほの干^{かし}しぶどうの菓子^{かし}のこ
とで嘆^{なげ}く。

8 ヘシュボン^しの段丘^{だんきゅう}は荒^あれ果^はてた。

シブマ^しのブドウ^きの木^まの真^まっ赤^かな
枝^{えだ}は、

国^{くに}々^{くに}の支^し配^{はい}者^{しや}たち^ふに踏^ふみにじら
れた。

その枝^{えだ}はヤゼル^{たつ}にまで達^{たつ}し、
伸^のびて荒^{こう}野^やに及^{およ}んでいた。

若^{わか}枝^{えだ}は海^{うみ}に届^{とど}くほど生^おい茂^{しげ}って
いた。

9 そのため、私^{わたし}はヤゼル^{たつ}のことで
泣^なくように、シブマ^しのブドウ^きの
木^まのことで泣^なく。

ヘシュボン^しとエルアレ^えよ、私^{わたし}は
涙^{なみだ}であなたをすっかりぬらす。

あなた^{なつ}の夏^{くだもの}の果^{しゅうかく}物^{たい}と収^{おさ}穫^{とく}に対^{たい}す
る歓^{かん}聲^{せい}はやんだからである。

第16章

(7) エレ 48:26,29
ゼバ 2:9,10

(7) アモ 2:1

(7) イザ 15:2
エレ 48:20

(2) 王二 3:24,25

(7) ヨシ 13:15,17

(7) 民 32:37,38
ヨシ 13:15,19

(7) ヨシ 13:24,25
エレ 48:32

(7) イザ 15:4
エレ 48:34

第2欄

(7) エレ 48:33

(7) ゼバ 2:9

(7) イザ 15:1

(2) イザ 15:5
エレ 48:36

(7) エレ 48:7,35

(7) イザ 25:10
エレ 48:46,47
ゼバ 2:9

第17章

(7) エレ 49:23
ゼカ 9:1

(7) 王二 16:8,9
イザ 8:4
アモ 1:5

(7) 民 32:34
ヨシ 13:15,16
王二 10:32,33

(2) 王二 17:6
イザ 7:8
イザ 28:1,2
ホセ 5:14

10 喜^{よろこ}びと楽^{たの}しみが果^か樹^{じゅ}園^{えん}から取^とり
去^きられた。

ブドウ園^{えん}で喜^{よろこ}びの歌^{うた}も歓^{かん}聲^{せい}も聞^き
かれな^いい。

もう搾^{しぼ}り場^ばでブドウ^ぶを踏^ふむ人^{ひと}はい
ない。

私^{わたし}は叫^{さけ}び声^{こゑ}を絶^たえさせ^たのだ。

11 そのため、私^{わたし}の心^{こころ}はモアブ^{ほこ}のこ
とで、

私^{わたし}の奥^{おく}底^{そこ}はキル・ハレセト^きのこ
とで騒^{さわ}ぎ立^たつ。

かき鳴^ならされるたて琴^{こと}のように。

12 モアブ^{ほこ}が高^{たか}い場所^{ばしょ}で疲^{つか}れ果^はて
ても、自^じ分^{ぶん}の聖^{せい}なる所^{ところ}に行^いって祈^{いの}って
も、何^{なに}も成^なし遂^とげられな^いい。

13 これはエホバ^いが以^い前^{ぜん}モアブ^{ほこ}に
関^{かん}して語^{かた}った言^{こと}葉^はである。 14 そして
今^{いま}エホバ^いは言^いう。「雇^{やと}われた労^{ろう}働^{どう}者^{しや}
の年^{ねん}期^きに従^{したが}って3年^{ねん}のうに、モアブ^{ほこ}
の栄^{えい}光^{こう}はあらゆる混^{こん}乱^{らん}と共^{とも}に汚^{けが}され
る。残^{のこ}る者^{もの}はごくわずか^とで、取^とるに足^たり
ない」。

17

ダマスкас^{たい}に対する宣^{せん}告^{こく}。

「見^みなさい! ダマスкас^{たい}は
町^{まち}ではな^くなり、

がれき^{やま}の山^{やま}となる。

2 アロエル^ろの町^{まち}々^{まち}は捨^すてられる。

そこでは家^か畜^{ちく}の群^むれが横^{よこ}たわり、
誰^{だれ}にも脅^{おび}やされな^いい。

3 防^{ぼう}備^びされた町^{まち}々^{まち}がエフライム^ふ
から、

16:14 *または、「雇^{やと}われた労^{ろう}働^{どう}者^{しや}が数^{かず}えるよう
に注^{ちゅう}意^い深^{しん}く数^{かず}えられた3年^{さん}。3年^{さん}ちようどのこ

16:8 *または、「赤^せブドウ^ぶがたわ^わに実^みった」。

16:9 *もしかすると、「に對^{たい}してとき^{とき}の聲^{こゑ}が浴^{よく}
せられた」。

おうこく
王国がダマスカスから消えう

せる。

シリアの残っている人たちの栄

光は、

イスラエル人の栄光のように失

われると、大軍を率いるエホ

バは宣言する。

4 「その日、ヤコブの栄光は損な

われ、

健やかな体は痩せ細る。

5 収穫する人が畑の穀物を集め、

穂を収穫する時のようになる。

人がレファイムの谷で落ち穂を拾

う時のようになる。

6 オリーブの木がたたかれる時の

ように、

わずかな実が残らない。

熟したオリーブが一番上の枝に

2つか3つしかなく、

実がなる枝に4つか5つしかな

いと、イスラエルの神エホバ

は宣言する。

7 その日、人は自分を造った方を

見上げ、イスラエルの聖なる方を見つ

める。8 自分の手で作った祭壇を見

ることはなく、自分の指で作った聖木

や香台も見つめない。

9 その日、堅固な町々は、森林地

帯の見捨てられた場所のよう

になる。

17:4 *直訳、「肉の脂肪」。17:5 *または、「谷

あいの平原」。17:6 *または、「採り残し」。

17:8 *用語集参照。

第17章

(㉔) 王二 16:8,9

(㉔) ヨシ 15:8,12
ヨシ 18:11,16

(㉔) 申 4:27
申 24:20

(㉔) ホセ 8:6,11

(㉔) 代二 31:1

(㉔) ホセ 10:14
アモ 3:11

第2欄

(㉔) 詩 50:22
ホセ 8:14

(㉔) 申 32:4
サニ 22:32

(㉔) 申 28:30
ホセ 8:7

イスラエル人の前に捨てられた

枝のようになり、

荒れ地になる。

10 救ってくださる神をあなたが忘れ

たからである。

あなたは、要塞である方、岩のよ

うな方を思い出さなかった。

そのため、美しい栽培地を設け、

そこによ者の芽を植える。

11 その日に栽培地を念入りに柵で

囲い、

朝に種を芽生えさせるが、

病氣と癒えない痛みの日収穫

は消えうせる。

12 聞け！多くの民が騒ぎ立てて

いる！

まるで荒れ狂う海のように。

国々が大声でわめいている！

その音は大波のとどろきのよ

うだ。

13 国々は多くの波のとどろきのよう

な音を立てる。

神に叱責されると、人々は追わ

れて遠くに逃げる。

山々の上で風に払われるもみ殻

のように。

暴風に巻かれるアザミのように。

14 夕方恐怖が生じる。

朝になる前に彼らはいなくなる。

17:10 *または、「好ましい」。*または、「外国

の神」。^または、「若枝を挿す」。17:13 *ま

たは、「枯れ草の固まり」。

わたし うば と もの
私たちから奪い取る者たちはこ
ういう目に遭い、
りゃくだつ もの けっか
略奪する者たちはこういう結果に
なる。

18 エチオピアの川の地方の、
は おと た むし と ち
羽音を立てる虫の土地には
わざわ 災いがある！

2 その土地は海路で使節を遣わす。
パピルスの舟を水に浮かべ、こ
う言う。

「速い使者たちよ、行け。
せ たか はだ なめ *ごくみん
背が高く、肌が滑らかな国民の
もとへ。

あらゆる場所で恐れられている
たみ ところ
民の所へ。

かわ と ち お なが
川によって土地を押し流された、
せいふく つよ #ごくみん
征服する強い国民のもとへ」。

3 土地の全住民、地上に住む者たちよ、
あなた方は山々の上に掲げられ
る旗印のようなものを見、
ふ な つのぶえ おと
吹き鳴らされる角笛のような音を
聞く。

4 エホバは私にこう言った。
わたし へいせい たち わたし しょうてい
「私は平静を保ち、私の所定の場
所を眺める。

まばゆい日の光に伴う熱のよ

うに。
あつ しゅうかく じ き お つゆ
暑い収穫の時期に降る露のよ
うに。

18:2, 7 *直訳、「引き伸ばされ、磨き上げられ
た」。18:2, 7 *または、「張力があって踏み
にじる」。18:3 *または、「合図のさお」。18:4
*もしかすると、「から」。

第18章

〔イザ 20:3,4
エゼ 30:4

〔イ 代 12:2,3
代 14:9
代 16:8

第2欄

〔イ 伊ザ 8:18
イザ 24:23

第19章

〔イ エレ 25:17,19
エゼ 29:2
ヨエ 3:19

5 収穫の前、花が開いて散り、
ブドウの実が熟していく時、
わかえだ かま き と
若枝は鎌で切り取られ、
ま き ひげも ち ら れ て と り 除 か
巻きひげも切られて取り除か
れる。

6 それらは皆、山々にいる肉食の
鳥のため、

また野獣のために残しておか
れる。

にくしよく とり た なつ す
肉食の鳥はそれを食べて夏を過

ごし、
すべ やじゅう た しゅうかく
全ての野獣もそれを食べて収穫
の時を過ごす。

7 その時、大軍を率いるエホバの
もとに贈り物が持ってこられる。

せ たか はだ なめ *ごくみん
背が高く、肌が滑らかな国民
から。

あらゆる場所で恐れられている
たみ
民から。

かわ と ち お なが
川によって土地を押し流された、
せいふく つよ #ごくみん
征服する強い国民から。
たいぐん ひき な ふ
大軍を率いるエホバの名が付さ
れた場所、シオンの山に」。

19 エジプトに対する宣告。

エホバは速い雲に乗って、
エジプトに入ってくる。

エジプトの無価値な神々はその
む か ち かみがみ
方の前で震え、
エジプトの心は恐れにとらわ
れる。

2 「私はエジプト人にエジプト人を
けしかけ、

〔イ 出 12:12
エレ 43:12
エレ 46:25
エゼ 30:13

かれ たたか
彼らは戦うことになる。

それぞれが兄弟や隣人と戦い、
まち まち おうこく おうこく たたか
町と町、王国と王国が戦う。

3 エジプトはうろたえる。

わたし かれ けいかく こんらん (7)
私は彼らの計画を混乱させる。
かれ む か ち かみがみ たよ
彼らは無価値な神々に頼り、
へびつか いはいし し うらな し
蛇使いや霊媒師や占い師のもと
に行く。

4 私はエジプトを無情な主人の手に渡す。

さび おう かれ しはい
厳しい王が彼らを支配することに
なると、真の主、大軍を率い
るエホバは宣言する。

5 海の水は干上がり、川も枯れる。

6 川は悪臭を放つようになる。

エジプトのナイルの運河は水か
さが減り、枯れる。

アシやイグサは朽ちる。

7 ナイル川のほとりや河口の植物は枯れ果てる。

ナイル川沿いの、種をまかれた
土地は全て乾き切る。

それらは吹き飛ばされ、なくな
てしまう。

8 漁師たちは嘆き、

ナイル川に釣り針を投げ入れる
者たちは悲しみ、
みず うえ あみ ひろ もの
水の上に網を広げる者たちは
減っていく。

9 すいた亜麻で布を作る者たちや、織り機で白い織物を織る者たちは恥をかく。

10 織り手たちは打ちのめされ、

第19章

(7) イザ 19:11, 13

(7) イザ 8:19
使徒 16:16
啓 18:23

(7) イザ 20:3, 4
エレ 46:25, 26
エゼ 29:19

(7) エゼ 30:12
ゼカ 10:11

(7) 出 2:3

(7) 申 11:10

(7) エゼ 29:10

(7) 出 9:25, 31
格 7:16

第2欄

(7) 詩 78:12
エゼ 30:14

(7) イザ 44:25

(7) 創 41:8
王一 4:30
使徒 7:22

(7) エレ 46:14
エゼ 30:13

(7) ヨブ 12:20, 24
イザ 19:3

やど ろうどうしや ひ たん く
雇われた労働者たちは悲嘆に暮
れる。

11 ツォアンの高官たちは愚かで

ある。
ファラオの極めて賢い顧問官た
ちは、無分別な助言をする。

あなた方はファラオにどうして言
えるのか。

「私は賢者たちの子孫、
昔の王たちの子孫です」と。

12 では、あなたの賢者たちはどこに いるのか。

大軍を率いるエホバがエジプ
トに関して決めた事を彼ら
が知っているなら、言わせて
みよ。

13 ツォアンの高官たちは愚かなこと をした。

ノフの高官たちは欺かれた。
エジプトの諸部族の長たちは自
国を惑わした。

14 エホバはエジプトを混乱させた。

彼らにより、エジプトは何を行う
にも惑わされた。
酔った人が自分の吐いた物の上
でよろめくように。

15 エジプトは何も行えなくなる。

頭のためにも尾のためにも、
若枝のためにもイグサのため
にも。

19:13 *または、「メンフィス」。 19:15 *もしか
すると、「ヤシの枝のためにもイグサのためにも」。

16 その日、エジプトは女性のようになり、恐怖に震える。大軍を率いるエホバが手を振り上げるからである。

17 そして、ユダの土地はエジプトに恐怖を抱かせる。エジプト人は、ユダについて聞く時、大軍を率いるエホバが自分たちに対して決めた事のために恐れを感じる。

18 その日、エジプトには、カナンの言語を話し、大軍を率いるエホバに尽くすことを誓う5つの町があることになる。その1つは「打ち壊す町」と呼ばれる。

19 その日、エジプトの真ん中にエホバのための祭壇ができ、境界の所にエホバのための柱ができる。20 それはエジプトで、大軍を率いるエホバについてのしるしまた証しとなる。人々が虐げられてエホバに向かって叫ぶと、神は彼らを救う偉大な救い主を遣わす。21 エホバはエジプト人に知られるようになり、エジプト人はその日にエホバを知り、犠牲と供え物を捧げ、エホバに誓約をしてそれを果たす。22 エホバはエジプトを打つ。打って癒やす。人々はエホバのもとに帰り、神は彼らの願いに応え、彼らを癒やす。

23 その日、エジプトからアッシリアへの街道が備えられる。アッシリア人がエジプトに入り、エジプト人がアッ

19:18 *または、「を揺るぎなく支持する」、「から離れない」。

第19章

(イ) イザ 11:15

(イ) イザ 20:3, 4
エレ 25:17, 19
エレ 43:10, 11
エゼ 29:6

(イ) エレ 43:4, 7
エレ 44:1

(イ) イザ 19:1
エレ 46:13

(イ) イザ 11:16
イザ 35:8
イザ 40:3

第2欄

(イ) ゼカ 2:11

(イ) 申 32:9
詩 115:12
イザ 61:9

第20章

(イ) ヨシ 13:2, 3

(イ) アモ 1:8

(イ) イザ 1:1

(イ) イザ 19:1

(イ) イザ 18:1

(イ) イザ 8:18

(イ) イザ 19:4

シリアに入る。エジプトはアッシリアと共に神に仕える。24 その日、イスラエルはエジプトとアッシリアと共に、世界の中で祝福となる。25 大軍を率いるエホバが彼らを祝福し、こう言うからである。「私の民であるエジプト、私が手で造ったアッシリア、私の財産であるイスラエルは祝福される」。

20 アッシリアのサルゴン王がタルタンをアシュドドに遣わした年のことである。タルタンはアシュドドと戦い、攻め取った。2 その時、エホバがアモツの子イザヤに語り掛けてこう言った。「腰に巻いている粗布を取り、サンダルを脱ぎなさい」。彼はその通りにし、裸になってはだしで歩き回った。

3 それからエホバは言った。「私に仕えるイザヤは、エジプトとエチオピアに対するしるしまた予告として、3年の間、裸になってはだしで歩き回った。同じように、4 捕虜となったエジプト人と捕囚にされたエチオピア人は、少年も老人も裸にされ、はだしにされ、尻をむき出しにされて、アッシリアの王に連れていかれる。エジプトは裸にされるのである。5 彼らはおびえ、自分たちが望みをかけていたエチオピアと誇りにしていたエジプトを恥

20:1 *または、「司令官」。20:2 *または、「半裸」。20:4 *または、「恥をかく」。20:5 *または、「美しさを称賛していた」。

じる。6 その日、この海沿いの地帯の住民はこう言う。『私たちの希望のよりどころは、あのありきまだ！ アッシリアの王から救ってもらおうと、助けを求めて逃げてきたのに。こうなっては、どうして逃れられるだろうか』。

21 海の荒野に対する宣告。
それは南で吹き荒れる暴風

のようにやって来る。

荒野から、恐ろしい土地から。

2 深刻な幻が私に示された。
「不誠実な者が不誠実に行動し、滅ぼす者が滅ぼしている。

エラムよ、上っていけ！ メディアよ、包囲せよ！

私は彼女が生じさせた苦しみを全て終わらせる。」

3 そのため、私は非常に苦しんでいる。

出産する女性のように、けいれんに襲われた。

苦痛のあまり何も聞こえず、動揺のあまり何も見えない。

4 心がうろたえ、恐怖に身震いする。

待ち焦がれていた夕暮れに震え上がる。

5 食卓を整え、座席を並べよ！
食べて、飲め！

第21章
イザ 13:1,20

イザ 13:4,18

エレ 51:11,28
ダニ 5:28,30

詩 137:1
イザ 14:4,7
イザ 35:10

ハバ 3:16

ダニ 5:1

第2欄

エゼ 3:17

ハバ 2:1

エレ 50:3,9
エレ 51:27,28

イザ 13:19
イザ 14:4
イザ 45:1
エレ 51:8
ダニ 5:28,30
啓 14:8
啓 18:2

エレ 50:2
エレ 51:44,52

王一 8:46

高官たちよ、立ち上がって、盾に油を塗れ！

6 エホバは私にこう言った。

「行って、見張りを立て、見たことを報告させなさい。」

7 見張りは、2頭の馬が引く戦車と、

ロバが引く戦車と、

ラクダが引く戦車を見た。

目を凝らして注意深く見た。

8 そして、ほえるライオンのように叫んだ。

「エホバ、私は昼間ずっと見張り台の上に立ち、

毎晩自分の見張り所に就いています。」

9 ご覧ください。

2頭の馬に引かれた戦車に乗って、人々がやってきます！」

それから大声でこう言った。

「彼女は倒れた！ バビロンは倒れた！

彼女の神々の彫像は全て粉々に砕かれた！」

10 踏みにじられた私の民よ、私の脱穀場の産物よ、

私は、イスラエルの神、大軍を率

いるエホバから聞いたことを

あなたたちに伝えた。

21:1 *古代バビロニアの地域のことと思われる。
21:2 *バビロンのことと考えられる。
3 *直訳、「私の腰は痛みに満ちている」。

21:5 *または、「注げ」。用語集の「油を注ぐ」参照。
21:8 *または、「物見の塔」。
21:10 *直訳、「脱穀された」。
*直訳、「子」。

11 ドマに対する宣告。

だれ 誰かがセイルから私に呼び掛けている。
「見張りよ、夜はいつ明けるのか。」
見張りよ、夜はいつ明けるのか。」

12 見張りは言った。

「いずれ朝が来て、また夜になる。
尋ねなければ、尋ねなさい。
また来なさい!」

13 砂漠平原に対する宣告。

デダンの商人の一団よ、
あなた方は砂漠平原の森で夜を
過ごす。

14 テマの住民よ、

水を持ってきて喉が渇いている
人を迎え、
逃げてきた人のためにパンを
持ってくるように。

15 彼らは剣から逃げてきたので

ある。
抜かれた剣、引かれた弓、残酷
な戦いから。

16 エホバは私にこう言った。「雇
われた労働者の年期に従って1年のう
ちに、ケダルの栄光は全て失われる。

17 弓を持つ戦士はケダルにわずかし
か残らない。イスラエルの神エホバ
がそう語ったからである」。

21:11 *意味、「沈黙」。「直訳、「どうなのか」。

21:16 *または、「雇われた労働者が数えるよう
に注意深く数えられた1年」1年ちようとのこと。

第21章

(イ) 創 32:3
申 2:8
詩 137:7

(イ) エレ 25:17, 23

(イ) ヨブ 6:19
エレ 25:17, 23

(イ) 創 25:13
詩 120:5
ソロ 1:5
イザ 42:11
エレ 49:28
エゼ 27:21

第2欄

第22章

(イ) エレ 6:6

(イ) イザ 3:1
エレ 38:2
哀 4:9

(イ) 王二 25:4, 5

(イ) 王二 25:11

(イ) エレ 4:19
エレ 8:18, 19
エレ 9:1

(イ) ミカ 1:8, 9

(イ) ミカ 7:4

(イ) 王二 25:10
ネヘ 1:3

(イ) 創 10:22

22 幻の谷に関する宣告。

あなたはどうしたのか。

皆が屋根に上っているとは。

2 あなたは非常に騒がしかった。

騒々しい都市、浮かれた町。

殺された人たちは剣で殺された

のでも、

戦いで死んだのでもない。

3 支配者たちは皆、一緒に逃げた。

弓が使われることもなく、彼らは

捕らわれた。

遠くへ逃げた人も皆、

見つかって捕らわれた。

4 そのため私は言った。

「私を見ないでほしい。

激しく泣きたいからだ。

私の民が滅ぼされたことにつ

いて、

私を無理に慰めようとししないでほ

しい。

5 主権者である主、大軍を率いる

エホバから、

幻の谷に、混乱と敗北と動揺の

日が来た。

城壁は破壊され、

山に向かって呼び声が上がる。

6 エラムは矢筒を持ち、

人が乗った兵車と馬を引き連

れる。

22:1 *エルサレムのことと考えられる。 22:4

*直訳、「民の娘」。擬人法で、哀れに思う気持ち

や同情を表現しているのかもかもしれない。 22:6

*または、「騎手」。

キルは盾の覆いを外す。

7 あなたの最も良い谷は戦車で

いっぱいになり、
馬が門の前に陣取り、

8 ユダの覆いは取り除かれる。

その日、あなたは『森の家』の武器
庫の方を見る。9 あなたたちは『ダ

ビデの町』の城壁にある多くの裂け目
を見て、下の池の水を集める。10 エ

ルサレムの家々を数え、その一部を取り
壊して城壁を補強する。11 そして、

古い池の水を入れるために、2つの城
壁の間に貯水池を造る。しかし、これ

らを造った偉大な方に目を向けず、
昔にこれらを形作った方を見ようとし

ない。

12 その日、主権者である主、大軍を

率いるエホバは、
人々が泣き、嘆き悲しみ、
頭をそり、粗布をまとうことを求

める。

13 ところが、人々は祝い、喜び、

牛を殺し、羊をほふり、
肉を食べ、ぶどう酒を飲む。

『食べたり飲んだりしよう。明日
には死ぬのだから』と。

14 大軍を率いるエホバは私の耳
にこう告げた。『あなたが死ぬ
まで、この過ちが贖われることはない』

22:6 *または、「盾を準備する」。22:7 *または、「谷あいの平原」。*または、「騎手」。22:8 *または、「防備」。22:13 *または、「殺し」。

第22章

(イ) 王二 16:9

(イ) 王一 7:1,2

(イ) 王二 25:9,10
エレ 52:7

(イ) ネヘ 3:15

(イ) ヨエ 2:17

(イ) イザ 5:12
イザ 56:12
アモ 6:1,4
ルカ 17:27
ヤコ 5:5

(イ) コー 15:32

(イ) レビ 26:31
イザ 1:11
エレ 15:1
エゼ 24:13

第2欄

(イ) 王二 18:37
王二 19:2

(イ) 王二 18:26,37

(イ) 創 41:41,42
エス 8:15

(イ) 啓 3:7

と、主権者である主、大軍を率いるエ
ホバは言う。

15 主権者である主、大軍を率い
るエホバはこう言う。「家の管理人
シェブナの所に行つて、言いなさい。

16 『あなたはここで何をしているの
か。誰と関わりがあってここに自分の
墓を作ったのか』。彼は高い場所に墓
を作っている。大岩をくりぬいて休み

場を作っている。17 『エホバはあな
たを激しく投げ落とし、力づくで捕らえ
る。18 あなたをしっかりと包み、広

い土地に球のように投げ入れる。あ
なたはそこで死に、あなたの豪華な兵

車もそこにあつて、主人の家に不名誉
をもたらす。19 私はあなたをその

地位から退け、その職務を辞めさせる。

20 その日、私は、ヒルキヤの子、私
に仕えるエリヤキムを呼び、21 あな

たの長い服を着せ、あなたの飾り帯を
かたし、固く締めさせ、あなたの権威を渡す。彼

はエルサレムの住民とユダ国民にとつ
て父ようになる。22 私は彼の肩

にダビデの王家の鍵を置く。彼が開け
ると誰も閉じず、彼が閉じると誰も開け

ない。23 私は彼を掛けくぎのように
しっかりと打ち込み、彼は自分の父の

家にとって栄光の座となる。24 彼の
父の家の栄光が全て彼に掛けられる。

子孫や末孫、全ての小さな器、鉢形の

22:15 *または、「宮殿」。22:16 *直訳、「住
まい」。22:24 *直訳、「重み」。*または、「枝
族」。

器、全ての大きなつばが掛けられる。

25 その日、しっかりと打ち込まれた掛けぎは取り除かれる。それは切り落とされ、掛けられていた荷も落ちて駄目になる。エホバ自身がそう語ったのである』と、大軍を率いるエホバは宣言する。

23 ティルスに関する宣告。
タルシシュの船よ、泣き叫べ！

港は滅ばされ、入っていけなくなった。

それはキッテムで彼らに明らかにされた。

2 海沿いの地帯の住民よ、沈黙せよ。

海を渡る、シドンからの商人たちはあなたを富ませていた。

3 シホルの穀物、ナイルの収穫物が、

海を越えて運ばれ、あなたは利益を得た。

国々に収益がもたらされた。

4 海のとりでであるシドンよ、恥じよ。

海がこう言ったからである。

「私は産みの苦しみを味わったことがない。子を産んだことが

なく、男子を育てたことも、女子を養ったこともない」。

23:3 *ナイル川の支流。"直訳、「種」。 23:4 *直訳、「処女」。

第22章
(ア) イザ 22:15, 17

第23章
(イ) エレ 25:17, 22
エレ 47:4
エゼ 26:3
エゼ 27:2
ヨエ 3:4
アモ 1:9, 10
ゼカ 9:3, 4

(イ) 代二 9:21
エゼ 27:25

(イ) 創 10:2, 4
エレ 2:10
エゼ 27:6

(イ) 創 10:15
エゼ 27:8

(イ) エレ 2:18

(イ) エゼ 27:32, 33
エゼ 28:4

(イ) エレ 47:4

第2欄
(ア) イザ 19:1, 16

(イ) エゼ 27:35
エゼ 28:19

(イ) エゼ 28:2

(イ) ダニ 4:37
ヤコ 4:6

(イ) イザ 23:1
エゼ 26:14, 17

5 人々は、エジプトについての知らせを聞いた時のように、ティルスについての知らせを聞いて苦悩する。

6 タルシシュに渡れ！

海沿いの地帯の住民よ、泣き叫べ！

7 これが、昔から、初めの頃から歓喜していた、あなた方の町なのか。

彼女は遠い土地に住むために足を運んでいた。

8 ティルスがこうなると決めたのは誰か。

ティルスは冠を授ける者であり、その商人たちは高官であり、貿易商たちは全世界でたてられていたのに。

9 このことを決めたのは、大軍を率いるエホバである。

あらゆる美しさを誇っていた彼女の誇りをくじき、

世界中でたたえられていた者たち皆を辱めるために。

10 タルシシュの人々よ、ナイル川のように自分の土地にあふれ出よ。

造船所はもはやない。

11 神は海の上に手を伸ばし、幾つもの王国を揺るがした。

23:10 *直訳、「娘」。「もしかすると、「港」。

エホバはフェニキアのとりでを滅
ぼし尽くすよう命じた。

- 12 そしてこう言う。「虐げられた者、
シドンの処女である娘よ、
あなたはもう歓喜することは
ない。
立ち上がって、キツテムに渡れ。
とはいえ、そこでも安らぎを見い

だせない。

- 13 見なさい！ カルデア人の土地で
ある。

アッシリアではなく、この民こ

そが、

かのじよ さばく い もの
彼女を砂漠の生き物のための場
所とした。

ほう い どう た
包囲するための塔を建て、
かのじよ ぼう び どう は かい
彼女の防備された塔を破壊し、
かのじよ くず はいきよ
彼女を崩れゆく廃虚とした。

- 14 タルシスの船よ、泣き叫べ！
あなた方のとりでは滅ぼされた。

15 その日、ティルスは70年間忘
れられることになる。それは1人の王
の生涯に等しい。70年の終わりに、
ティルスは娼婦の歌にある通りになる。

- 16 「忘れられた娼婦よ、たて琴を
も まち めぐ
持つて町を巡れ。

たて琴を巧みに奏で、

多くの歌を歌え。

ひとびと おも だ
人々に思い出してもらうために」。

- 17 70年の終わりに、エホバはティ

第23章

(例) エゼ 26:5, 15

(例) エゼ 26:13

(例) エゼ 27:6

(例) イザ 13:19

ハバ 1:6

(例) イザ 10:12

ナホ 3:18

ゼバ 2:13

(例) エゼ 26:8, 9

(例) イザ 23:1

(例) エレ 25:8, 11

エレ 27:3, 6

第24章

(例) イザ 60:5

第24章

(例) イザ 5:5

エレ 4:6

エゼ 6:6

(例) 王二 21:13

(例) 申 28:63, 64

ネヘ 1:8

エレ 9:16

(例) エゼ 7:12, 13

(例) レビ 26:31

申 29:28

(例) エレ 4:28

哀 1:4

(例) レビ 18:24

民 35:33, 34

代二 33:9

エレ 3:1

エレ 23:10, 11

哀 4:13

(例) 王二 22:13

ダニ 9:5

(例) ミカ 3:11

(例) 出 19:3, 5

出 24:7

エレ 31:32

エレ 34:18-20

ルスに注意を向け、彼女は再び報酬
を得るようになり、地上の全ての王国
と売春をする。18 彼女の収益と報
酬はエホバにとって聖なるものとな
る。蓄えられることも、取っておかれる
こともない。その報酬は、エホバの民
が満足するまで食べ、上品な服を着る
ために使われるからである。

24 エホバは土地を空にし、荒
廃させている。

土地をひっくり返し、住民を散
らす。

2 皆が同じ目に遭う。

民も祭司も、

召し使いも主人も、

召し使いの女性も女主人も、

買い手も売り手も、

貸し手も借り手も、

債権者も債務者も。

- 3 土地は完全に空にされ、
完全に略奪される。

エホバがこの言葉を語ったので
ある。

- 4 土地は嘆き悲しみ、痩せている。
大地は枯れ、衰えている。

土地の主立った人たちは弱る。

- 5 土地は住民によって汚された。

彼らが律法を無視し、

規定を変え、

ずっと続く契約を破ったからだ。

24:1 *または、「大地」。「または、「の表面をねじ曲げ」。

24:4 *もしかすると、「乾き切り」。

24:5 *または、「古くからの」。

23:12 *ティルスのことと考えられる。23:13
*または、「略奪し」。23:15 *直訳、「日々」。

- 6 そのため、災いが土地を食い尽くし、
住んでいる人たちは有罪とされた。
そのため、土地の住民は減り、
ごくわずかな人だけが残った。
新しいぶどう酒は嘆き悲しみ、ブドウの木は枯れ、
陽気な人たちは皆ため息をついている。
タンバリンの楽しげな音はやみ、
浮かれる人たちの騒ぎは終わり、
たて琴の心地よい音はやんだ。
9 彼らは歌なしにぶどう酒を飲む。
酒を飲んでも苦く感じる。
10 捨てられた町は破壊され、
どの家も閉ざされて入れない。
11 通りでぶどう酒を求めて叫ぶ声がする。
喜びは全て消えうせた。
土地から楽しみがなくなった。
12 都市は廃虚と化した。
門は壊され、がれきの山とになった。
13 その土地で、人々の間で、こうなる。
オリーブの木がたたかれる時のようになり、
ブドウの収穫が終わった後の採り残しのようになる。

24:7 *もしかすると、「乾き切り」。

第24章

(7) レビ 26:15,16

(1) 申 4:27

申 28:15,62

(7) エレ 8:13

ヨエ 1:10

(1) イザ 32:12

(7) エレ 7:34

(7) 王二 25:8-10

(7) 哀 5:15

(7) イザ 32:14

エレ 9:11

哀 1:4

哀 2:8,9

(7) 申 24:20

(7) エレ 6:9

エゼ 6:8

第2欄

(7) イザ 40:9

エレ 31:12

エレ 33:10,11

(1) イザ 43:5

(7) イザ 11:11

イザ 60:9

(1) 出 15:11

エズ 9:15

詩 145:7

啓 15:3

(7) エレ 9:2,3

(7) エレ 8:3

エゼ 14:21

(7) エレ 48:44

(7) エレ 4:24

- 14 人々は大声を出し、
歓声を上げる。
海からエホバの威光を広く知らせる。
15 彼らは光の地方でエホバをたたえ、
海の島々でイスラエルの神エホバの名をたたえる。
16 地の果てから歌が聞こえる。
「正しい方に栄光あれ!」と。
しかし私は言う。「私は弱っている! 私には弱っている!」
災いだ! 不誠実な者が不誠実に行動した。
不誠実な者が裏切り、不誠実に行動した。
17 この土地に住むあなたを待ち受けるのは、恐怖と落とし穴とわな。
18 恐ろしい音から逃げる者は穴に落ち、
穴からはい上がる者はわなに掛かる。
天の水門が開かれ、
地の土台が震える。
19 土地は張り裂け、
かき乱され、
激しく揺れる。
20 土地は酔った人のようによるめき、

24:14 *または、「西」。 24:15 *または、「東の方」。 24:16 *または、「を飾れ」。

風に揺さぶられる掘った小屋
のようにぐらつく。

違反が重くのしかかり、倒れて、
再び起き上がることはない。

21 その日、エホバは高い所にいる
軍勢と、

地上の王たちに注意を向ける。

22 捕虜が穴に集め入れられるよう
に彼らは集められ、

監獄に閉じ込められる。

なが つき ひ のち かれ ちゅうい む
長い月日の後、彼らに注意が向
けられる。

23 満月は当惑し、

輝く太陽は恥じる。

大軍を率いるエホバが、シオン
の山とエルサレムで王となり、

ご自分の民の長老たちの前で榮
光に輝くからである。

25 エホバ、あなたは私の神
です。

私はあなたをたたえ、お名前を
賛美します。

あなたは素晴らしいことを行わ
れたからです。

昔から決めておられた事柄を、
誠実に、また確実に。

2 あなたは都市を石の山に、
防備された町を崩れゆく廃墟に

しました。

外国人の塔はもはやなくなり、
二度と建て直されません。

25:1 *または、「意図して」。

第24章

(㉔) 王ニ 21:16
代ニ 36:15, 16
エレ 14:20

(㉔) 啓 21:23

(㉔) 詩 132:13

イザ 12:6
ヨエ 3:17
ミカ 4:7
ゼカ 2:10

(㉔) 詩 97:1
啓 11:17

(㉔) 王一 8:11

第25章

(㉔) 詩 40:5
詩 98:1
詩 107:8
詩 145:1, 4

(㉔) 詩 33:11

(㉔) 申 32:4
ネヘ 9:33

第2欄

(㉔) 詩 46:10
詩 66:3
エゼ 38:23

(㉔) 詩 46:1
ナホ 1:7
ゼバ 3:12

(㉔) 詩 91:1
詩 121:5-7
イザ 49:10

(㉔) イザ 11:9
イザ 65:25

(㉔) 詩 72:16
詩 85:11, 12
エレ 31:12

3 そのため、強い民があなたをた
たえ、
圧倒的な国民の都市があなたを
恐れます。

4 あなたは、立場が低い人のと
りで、

苦悩している貧しい人のとりで、
暴風雨から逃れるための避

難所、
暑さを避けるための陰となられ
ました。

圧倒者たちの怒りが、壁に打ち
付ける暴風雨のようになる時、

5 乾き切った土地の熱気のように
なる時、

あなたはよそ者たちの騒ぎを鎮
めます。

雲の影によって暑さが和らぐよ
うに、

圧倒者たちの歌は沈黙させられ
ます。

6 大軍を率いるエホバはこの山で
全ての人々のために、

豪華な料理の宴を、
上等のぶどう酒の宴を催す。

骨髓をふんだんに使った豪華な
料理の宴、

こされた上等のぶどう酒の宴で
ある。

7 神はこの山で、全ての人々を包
んでいる覆いと、

25:6 *または、「おりの上に寝かせられた」。

すべ くに おお おりもの* と
 全ての国を覆っている織物を取
 のぞ #
 り除く。

8 神は死を永久にのみ込む。

しゅけんしや しゅ すべ
 主権者である主エホバは全ての
 かお なみだ めぐ (何)
 顔から涙を拭う。

じ ぶん たみ たい ひ なん ぜん せ
 ご自分の民に対する非難を全世
 かい のぞ さ
 界から除き去る。

エホバご自身がそう語ったので
 ある。

9 その日、彼らはこう言う。

わたし かみ (何)
 「これが私たちの神だ！
 き ぼう いだ かた ま
 希望を抱いてこの方を待ってきた
 わたし (何)
 私たちを、

かみ すく (何)
 神は救ってくださる。

これがエホバだ！

わたし き ぼう いだ かた
 私たちは希望を抱いてこの方を
 ま
 待ってきた。

かん き かみ すく よろこ (何)
 歓喜し、神による救いを喜ぼう。

10 エホバの手がこの山の上にとどまる。

じ ぶん ぼ しょ ふ
 モアブは自分の場所で踏みつけ
 られる。

こ やま うえ ふ
 肥やしの上で踏みつけられ
 るわらのように。

11 神は手を伸ばしてモアブを打つ。

およ ひと て みず う
 泳ぐ人が手で水を打つように。

て たく うご
 手を巧みに動かして、

モアブの傲慢さを打ち砕く。

12 安全な高い城壁に囲まれた強固な都市を、

25:7 *または、「ペール」。「直訳、「のみ込む」。

25:8 *または、「取り除く」。

第25章

(何) ホセ 13:14
 コー 15:54
 テモニ 1:10
 啓 20:14

(何) イザ 35:10
 啓 7:17
 啓 21:4

(何) イザ 25:1

(何) 詩 37:34
 詩 146:5

(何) ミカ 7:7

(何) 詩 20:5
 ゼバ 3:14,15

(何) 詩 132:13,14
 イザ 12:6

(何) イザ 15:1
 ゼバ 2:9

(何) エレ 48:29
 ヤコ 4:6

第26章

第26章
 (何) エレ 33:10,11

(何) 出 15:1
 サニ 22:1
 イザ 5:5

(何) 詩 48:2,12

(何) イザ 60:18
 ゼカ 2:4,5

(何) イザ 60:11

(何) 詩 119:165
 イザ 54:13
 フイリ 4:6,7

(何) 詩 9:10
 エレ 17:7

(何) 代二 20:20
 詩 62:8
 格 3:5

(何) 申 32:4,31

かみ う くだ
 神は打ち砕く。

じ めん う たお つち
 地面に打ち倒し、土にまみれさ

せる。

26 その日、ユダでこの歌が歌われる。

わたし きょうこ とし (何)
 「私たちに強固な都市がある。

かみ すく じょうへき どのい
 神による救いが、城壁や土塁の
 ようになる。

2 門を開けよ。正しい国民、

ちゅうじつ おこな つづ こくみん
 忠実な行いを続けている国民が
 はい
 入ってこられるように。

3 あなたに全く頼る人たちを、あなた

たは守り、

た ま へい わ あた (何)
 絶え間ない平和を与えます。

かれ
 彼らがあなたを信頼するから

です。

4 いつまでもエホバに頼れ。

* えいえん いわ(何)
 ヤハ、エホバは、永遠の岩だか

らだ。

5 神は、高い所に住んでいる者

たち、

そびえ立つ都市を低くし、打ち

倒す。

じ めん う たお つち
 地面に打ち倒し、土にまみれさ

せる。

6 足がそれを踏みつける。

くる ひと あし たち ば
 苦しんでいる人たちの足、立場
 ひく ひと あし
 が低い人たちの足が。

7 正しい人の道は真つすぐです。

26:3 *もしかすると、「考えが揺れ動かない」。

26:4 *エホバの短縮形。 26:7 *または、「平ら」。

あなたは真^まつぐな^{かた}な方であり、
 正^{ただ}しい人^{ひと}が歩^{あゆ}む道^{みち}を平^{たい}らにされ
 ます。

8 エホバ、私^{わたし}たちはあなた^{こうせい}の公^{みち}正^{あゆ}
 の道^{みち}を歩^{あゆ}み、
 希^き望^{ぼう}を抱^{いだ}いてあなた^まを待^{まち}ちます。
 あなた^なの名^なを大^{たい}切^{せつ}にし、それが
 人^{ひと}々^{びと}の記^き憶^{おく}に刻^{きざ}まれること^{こと}を
 願^{ねが}います。

9 夜^{よる}に、私^{わたし}はあなた^{した}を慕^きう気^き持^もち
 でいっばいになります。
 心^{こころ}からあなた^さを探^{さが}し求^{もと}めます。
 あなた^がが世^せ界^{かい}を裁^さく時^{とき}、
 地^ち上^{じょう}の住^{じゅう}民^{みん}は正^{ただ}しさについて学^{まな}
 びます。

10 邪^{じゃ}悪^{あく}な人^{ひと}は情^{なさ}けを掛^かけられても、
 正^{ただ}しさ^{まな}を学^{まな}びませ^ない。
 正^{しょう}直^{じき}さに満^みちる土^と地^ちでも悪^{あく}を
 行^{おこな}い、

エホバの威^い光^{こう}を誅^{めと}めませ^ない。

11 エホバ、あなた^ては手^{たか}を高^あく上^あげ
 ておられま^{かれ}すが、彼^わら^わは分^わかっ
 ていませ^ない。
 ご自^じ分^{ぶん}の民^{たみ}に対^{たい}するあな^{ねつ}たの熱^{ねつ}
 意^いを^み見^みて、彼^{かれ}ら^はは恥^はじま^すす。
 あなた^{てき}の敵^むに向^むけら^ひれる火^ひが、
 彼^{かれ}ら^やを焼^つき尽^つくしま^すす。

12 エホバ、あなた^{へい}は平^わ和^わを与^{あた}えてく
 ださ^ないます。
 私^{わたし}たち^{おこな}が行^{みな}ったこと^{こと}は皆^{みな}、
 あなた^なのおか^とげで成^なし遂^とげられ
 たので^すす。

第26章

(㊦) 詩 63:6
 詩 119:62
 ルカ 6:12

(㊦) 詩 9:8
 詩 58:10, 11
 詩 85:11, 13
 詩 96:13
 詩 97:2
 イザ 61:11

(㊦) 詩 106:43

(㊦) エレ 2:7
 ホセ 11:7

(㊦) 詩 28:5
 イザ 5:12

(㊦) イザ 6:9

(㊦) イザ 57:19
 エレ 33:6, 7

第2欄

(㊦) 代二 12:7, 8

(㊦) テモ二 2:19

(㊦) エレ 51:39

(㊦) イザ 60:21

(㊦) 王一 4:21

(㊦) 詩 78:34, 35
 ホセ 5:15

13 私^{わたし}たちの神^{かみ}エホバ、私^{わたし}たちはあ
 なた^い以外^{がい}の主^{しゅ}人^{じん}に支^し配^{はい}されて
 きま^なしたが、

あなた^なのお名^な前^{まえ}だけ^{だけ}を口^{くち}にし
 ます。

14 彼^{かれ}らは死^しんでお^いり、も^いう生^いきるこ
 とはありませ^ない。
 死^しんで無^む力^{りき}であり、起^おき上^あがるこ
 とはありませ^ない。

あなた^がが彼^{かれ}ら^に注^{ちゅう}意^いを向^むけたか
 らで^すす。
 彼^{かれ}ら^を滅^{ほろ}ぼし^つ尽^つくし、二^に度^どと話^わ題^{だい}
 に上^のらなくするた^にめ^に。

15 エホバ、あなた^{こく}はこの国^{みん}民^ふを増^ふ
 やされま^なした。
 この国^{こく}民^{みん}を増^ふやし、
 ご自^じ分^{ぶん}が栄^{えい}光^{こう}に輝^{かが}よう^ににされま
 した。

この土^と地^ちの全^{すべ}て^{きょう}の境^{かい}界^{かい}を大^{おお}きく
 広^{ひろ}げま^なした。

16 エホバ、人^{ひと}々^{びと}は苦^く難^{なん}の時^{とき}にあ^な
 なた^たに頼^たりま^なした。
 あなた^{きょう}から矯^{せう}正^{せい}を受^うけた時^{とき}、小^こ
 声^{こえ}で祈^{いの}りを捧^{ささ}げま^なした。

17 私^{わたし}たちは、産^うみ^{くる}の苦^{くる}しみ^ののため
 に叫^{さけ}ぶ妊^{にん}婦^ふのよう^{よう}になりま
 した。

エホバ、あなた^ののゆえ^えに。

18 私^{わたし}たちは妊^{にん}娠^{しん}し、陣^{じん}痛^{つう}を味^{あじ}わい
 ましたが、

26:13 *または、「賛美」。 26:15 *イスラエル
 のこと。

あたかも風を産んだかのよう

です。

土地に救いをもたらしては

らず、

土地に住む者は誰も生まれてい

ません。

19 「あなたの死者は生きる。

私の民の死体は起き上がる。

土の中に住む者たち、

目を覚まし、歓声を上げなさい！

あなたの露は朝露のようであり、

大地は無力な死者を生き返ら

せる。

20 私の民よ、行って、奥の部屋に

入り、

扉を閉めなさい。

少しの間、隠れていなさい。

憤りが過ぎ去るまで。

21 エホバは自分の場所から来て、

土地の住民に過ちの責任を問う。

土地は流血をあらわにし、

殺された者たちをものは覆い隠

さない」。

27

その日、エホバは、鋭く、

大きく、強い剣を持ち、

滑るように動く蛇レビヤタンに注

意を向ける。

身をくねらす蛇レビヤタンに注意

を向け、

海にいたるその巨獣を殺す。

26:19 *直訳、「私の死体」。「*もしかすると、
「草(アオイ)の露」。[△]または、「産む」。

26:20 *または、「糾弾」。

27:1 *用語集参照。

第26章

イザ 25:8
ホセ 13:14
マル 12:26
ヨハ 5:28, 29
ヨハ 11:24, 25
使徒 24:15
コリ 15:21
テサロ 4:14
啓 20:12, 13

イ創 3:19

イ創 7:15, 16
出 12:22, 23
格 18:10

イ詩 27:5
詩 91:4

第27章

イ申 32:41
エレ 47:6

第2欄

イ詩 80:8
イザ 5:1
エレ 2:21

イ申 33:29

イザ 35:6
イザ 41:18
イザ 58:11

イ詩 121:4
イザ 46:3, 4

イ詩 85:2, 3
イザ 12:1

イゼ 39:25
ホセ 14:5

イザ 60:21, 22
エレ 30:18, 19

イエレ 4:11
エゼ 13:13

イザ 4:4
イザ 48:10

2 その日、彼女に向かって歌え。

「泡立つぶどう酒を生み出すブド

ウ園よ！

3 私エホバが、彼女を守っている。

絶えず彼女に水を注ぐ。

昼も夜も彼女を守る。

誰からも危害を受けないように。

4 私は憤っていない。

誰が戦いでいばらや雑草を持つ

て私に挑むだろうか。

私はそれらを踏みつけ、まとめて

火を付ける。

5 それを望まない者は、私のとりで

に来て、

私と和解せよ。

和解せよ、私と」。

6 後の日々に、ヤコブは根付き、

イスラエルは花を咲かせて芽を

出し、

土地を産物で満たす。

7 彼は自分を打つ者によって打た

れなければならないのか。

虐殺される民のように殺されな

なければならないのか。

8 彼女を追い出す時、あなたは

声で叫び、彼女と争われる。

東風の日に、神は激しい突風で

彼女を追い払う。

9 このようにヤコブの過ちは贖わ

れる。

27:2 *イスラエルのことと思われる。ここでは擬
人化され、ブドウ園になぞらえられている。

かれ つみ と さ とき つぎ
彼の罪が取り去られる時、次の
ような結果になる。

けつ か
かみ さいだん すべ いし
神は祭壇の全ての石を、
みじんに砕かれた石灰石のよう
にし、

せいぼく こうだい ひと のこ (例)
聖木や香台は一つも残らない。

10 ぼう び と し だれ す
防備された都市には誰も住まな
くなる。

ぼくそう ち み す こうや
牧草地は見捨てられ、荒野のよ
うに放置される。

こうし くさ た よこ
そこで子牛が草を食べて横た

わり、

えだ た つ (例)
枝を食べ尽くす。

11 こえだ か
小枝が枯れると、
じょせい
女性たちがやって来て折り、

それで火をたく。

たみ り かい か (例)
この民は理解が欠けている。

そのため、彼らを造った方は憐
れみを示さず、

かれ かたちづく かた なさ か
彼らを形作った方は情けを掛け
ない。

12 その日、エホバは流れる川から
エジプトの谷に至るまで、実をはたき
落とす。イスラエルの民よ、あなたたち
は次々に拾い集められることになる。

13 その日、大きな角笛が吹き鳴らさ
れ、アッシリアで滅びつつあった人た
ちとエジプトに散らされた人たちが来
て、エルサレムの聖なる山でエホバに
ひれ伏す。

27:12 *ユーフラテス川のこと。*または、「ワ
ジ」。

第27章

(例) ミカ 5:13,14

(例) イザ 6:11,12

エレ 26:18

哀 2:5

エゼ 36:4

(例) イザ 32:14

(例) 申 32:28

イザ 1:3

エレ 4:22

ホセ 4:6

(例) 代二 36:15,16

エゼ 9:9,10

(例) 民 34:2,5

(例) 申 30:3

ネへ 1:9

イザ 11:11,12

アモ 9:14

(例) イザ 49:22

イザ 62:10

(例) 王二 17:6

イザ 11:16

ホセ 9:3

(例) エレ 43:4,7

ゼカ 10:10

(例) イザ 2:3

イザ 25:6

イザ 52:1

エレ 3:17

第2欄

第28章

(例) イザ 7:2

(例) 王二 17:6

イザ 17:3

(例) イザ 11:16

(例) 詩 18:34

詩 68:35

28 エフライムの酔っぱらいた
ちの派手な冠には災い
がある！

その輝かしい美しさは、しおれゆ
く花のようだ。

それはぶどう酒に酔いつぶれた
者たちの肥沃な谷の上にある。

2 エホバは力が強い者を持って

いる。

その者は、ひょうを伴う激しい嵐、
破壊的な暴風、

ひどい洪水を引き起こす雷雨の

ように、

力強く冠を地面に投げ落とす。

3 エフライムの酔っぱらいたちの派
手な冠は、

足で踏みにじられる。

4 その輝かしい美しさは、しおれゆ
く花のようだ。

それは肥沃な谷の上にあり、

夏の前の早い時期になるイチジ

クのようになる。

それを見る者は、手に取るとすぐ
にのみ込む。

5 その日、大軍を率いるエホバは、
ご自分の民の残っている人たちにとつ
て、輝かしい冠、美しい花輪となる。

6 座って裁く者にとっては公正さのよ
りどころとなり、門の所で攻撃を防ぐ者
たちにとっては力の源となる。

28:1, 3 *または、「傲慢な」、「誇らしげな」。

28:1 *首都サマリヤのことと思われる。

28:1, 4 △直訳、「谷の頭」。

7 祭司や預言者もぶどう酒のせいで墮落し、

酒を飲んでよろめく。
彼らは酒のせいで墮落し、

ぶどう酒によって混乱し、
酒を飲んでよろめく。

幻を見て墮落し、
間違った判断をする。

8 彼らの食卓は吐いた物にまみれ
ている。

汚れていない所はない。

9 「誰に知識を伝え、
聞いた事柄を説明するのか。

乳離れしたばかりの子供、
乳房から離されたばかりの子供
にか。

10 『命令に次ぐ命令、命令に次ぐ
命令、
1行ごとに、1行ごとに、
ここに少し、そこに少し』という
具合だ。

11 それで神は、口ごもりながら外国語を話す者たちによって、この民に語る。12 神はかつて彼らに言った。「これが休み場である。疲れている人は休みなさい。これが憩いの場所である。しかし、彼らは聞こうとしなかった。13 彼らにとってエホバの言葉はこう聞こえる。

「命令に次ぐ命令、命令に次ぐ命令、

28:10,13 *または、「測り綱に測り綱、測り綱に測り綱」。

第28章

(例) 王二 16:10,11
エレ 5:31

(例) 王二 21:13
イザ 28:17
哀 2:8

(例) 申 28:49,50
エレ 5:15
コ一 14:21

(例) 詩 81:10,11

第2欄

(例) イザ 28:17

(例) 代二 36:15,16
イザ 8:14,15

(例) イザ 28:18

(例) イザ 30:9,10

(例) 詩 118:22

(例) エフ 2:19,20

(例) マタ 21:42
マル 12:10
ルカ 20:17
使徒 4:11

(例) ロマ 9:33
ロマ 10:11
ペ一 2:4,6

(例) 王二 21:13

1行ごとに、1行ごとに、
ここに少し、そこに少し。

彼らは歩くと、

よろめいて後ろに倒れ、

傷を負い、わなに掛かって捕ら
われる。

14 自慢する者たち、エルサレムでこ
の民を治める者たち、

エホバの言葉を聞け。

15 あなたたちはこう言う。

「われわれは死と契約を結び、
墓と協定を交わした。

激流が通り過ぎる時も、

われわれの所までは来ない。

われわれはうそを避難所とし、

偽りの中に身を隠したのだ。

16 そのため、主権者である主エホ
バはこう言う。

「私はシオンに、試された石を土
台として据える。

強固な土台の貴重な隅石である。

信仰を抱く人は動揺することが

ない。

17 私は公正を測り綱とし、
正しさを水準器とする。

ひょうが偽りの避難所を一扫し、

水が隠れ場を押し流す。

18 あなたたちの、死との契約は解
消され、

28:15 *ヘブライ語、シェオル。用語集参照。
*もしかすると、「と共に幻を見た」。28:17 *ま
たは、「下げ振り」。

墓との協定は無効になる。

激流が通り過ぎる時、

あなたたちは押しつぶされる。

19 それは通り過ぎるたびに、

あなたたちを押し流す。

来る朝も来る朝も、

昼も夜もそれは通り過ぎる。

人々は恐怖を抱いて初めて、聞

いた事柄を理解する」。

20 ベッドは体を伸ばすには短過ぎ、

織られた布は体をくるむには幅

が狭過ぎる。

21 エホバはペラツィム山の時のよ

うに立ち上がる。

ギベオンに近い谷の時のように

奮い立つ。

不思議なことを行い、

普通ではない事柄を成し遂げる

ために。

22 あざ笑ってはならない。

さもなければ、もっときつく縛ら

れることになる。

私は、主権者である主、大軍を

率いるエホバから聞いた。

全土が滅ばされることになっ

た。

23 耳を傾け、私の声を聞け。

注意を払って、私の言うことを

聞け。

28:18 *ヘブライ語、シェオル。用語集参照。

28:19 *もしかすると、「人々は理解すると、途方もない恐怖を感じる」。28:21 *または、「谷あいの平原」。28:22 *または、「全世界」。

第28章

(イ) イザ 28:15

(イ) イザ 24:1

(イ) ヨシ 10:8-14

サニ 5:20

代一 14:10-16

(ロ) 哀 2:15

ハバ 1:5-7

(イ) 代二 36:15,16

エレ 20:7

(イ) イザ 10:23

イザ 24:1

第2欄

(イ) 詩 30:5

詩 103:9

ミカ 7:18

(イ) 出 9:31,32

エゼ 4:9

(イ) 詩 119:71

(ロ) イザ 41:15

アモ 1:3

(イ) 詩 103:9

イザ 21:10

ミカ 7:18

(イ) レビ 26:44

エレ 10:24

(イ) 詩 40:5

エレ 22:19

ロマ 11:33

24 耕す人は、種をまく前に一日中

耕し続けるだろうか。

いつまでも地面を掘り起こし、な

らすだろうか。

25 地面を平らにしたなら、

黒クミンを散らし、クミンをまく

のではないか。

また、小麦、キビ、大麦をそれぞ

れの場所に植え、

スペルト小麦を畑の端に植える

のではないか。

26 神が彼を正しく教える。

彼の神が指示を与えるのである。

27 黒クミンが脱穀そりにひかれる

ことはなく、

クミンの上をローラーが転がるこ

ともない。

黒クミンは棒で打たれ、

クミンはついで打たれる。

28 人はパンのために穀粒をつぶす

だろうか。

いや、いつまでも脱穀し続けるこ

とはない。

馬で引く車のローラーを穀物の

上に転がす時、

穀粒をつぶすことはしない。

29 これも大軍を率いるエホバから

の言葉である。

その方の助言は素晴らしく、

成し遂げる事柄は偉大である。

28:26 *または、「矯正する」、「罰する」。28:

29 *または、「目的」。*または、「役立つ知恵」。

29 「ダビデが陣営を張った都市
市アリエル、アリエルに
は災いがある!

来る年も来る年も、
一連の祭りを行い続けるがよい。

2 私はアリエルに苦難をもたらす。
悲しみと嘆きがあり、

その都市は私にとって神の祭壇
の炉ようになる。

3 私はあなたの周囲に陣営を張り、
とがった杭の柵を巡らして包

囲し、
あなたを攻めるための土塁を
築く。

4 あなたは打ち倒され、
地面から話すようになり、
言うことは土のせいであらう
くなる。

あなたの声は地面から聞こえて
くる。

霊媒師の声のように。

あなたの言葉は土の中からささ
やかれる。

5 あなたに群がる敵は細かい粉の
ようになり、

群がる圧制者は風に払われるも
み殻のようになる。

それは突然、瞬間に起きる。

6 大軍を率いるエホバがあなたに
注意を向ける。

29:1 *意味はもしかすると、「神の祭壇の炉」。
エルサレムのことと思われる。**29:5** *直訳、「よ
そ者」。

第29章

(ア) サニ 5:7,9

(イ) 申 16:16

(ウ) 申 28:53-55

(エ) イザ 51:19
哀 1:4

(オ) エレ 15:14
ゼバ 1:7

(カ) 王二 24:11
王二 25:1

(キ) イザ 51:23

(ク) イザ 13:19
イザ 14:22
イザ 21:9

(コ) イザ 13:11
イザ 17:13

(ク) イザ 47:9
イザ 48:3

第2欄

(ア) サ一 2:10
エレ 50:25
ナホ 1:3

(イ) エレ 25:12,14

(ウ) イザ 10:12
エレ 51:24

(エ) ハバ 1:5

(イ) イザ 6:9

(ウ) イザ 6:10
ロマ 11:8

(キ) エレ 14:14
エレ 27:15

(ク) ミカ 3:7

雷鳴と地震と大きな音をもって。
暴風と大嵐と焼き尽くす炎を
もって」。

7 アリエルに群がって戦っている全
ての国の人々、

すなわち、その都市と戦っている
全ての者、

都市を包囲するための塔、
都市に苦難をもたらしている者

たちは、
夜の夢のようになる。

8 空腹の人が、食べている夢を見

たのに、
目覚めると空腹のままであるよ

うに。
また、喉が渇いている人が、飲ん
でいる夢を見たのに、
目覚めると疲れて喉が渇いたま
まであるように。

シオンの山に群がって戦う全ての
国の人々は、そのようになる。

9 ぼうぜんとし、ひどく驚け。
自分の目を覆い、見えなくなれ。

彼らは酔っているが、ぶどう酒の
せいではない。

よるめいているが、酒のせいでは
ない。

10 エホバはあなたたちの心を深く
眠らせ、

あなたたちの目を閉じ、頭を
覆った。

目とは預言者、頭とは幻を伝え
る者である。

11 あなたたちにとってはどの^{まぼろし}幻も、
封印^{ふういん}された書^{しょ}の言葉^{ことば}のようになる。字^じ
が読める人にそれを渡して、「どうか^{こえ}
声を出して読んでください」と言う^いと、
その人は「封印^{ふういん}されているから読めま
せん」と言う。 **12** 字^じが読めない人
にその書^{しょ}を渡して、「どうか^{こえ}
読んでください」と言う^いと、その人は「私は字^じが
読めません」と言う。

13 エホバはこう言う。
「この民は口では私に近づくと
いい、
くちびる わたし うやま ^い
唇で私を敬うが、
こころ わたし とお ^{はな}
心は私から遠く離れている。
かれ わたし おそ ^{にんげん}
彼らが私を畏れるのは、人間の
めいれい ^{おし こ}
命令を教え込まれたからにす
ぎない。」

14 そのため、この私が^{わたし おどろ}
驚き^{おどろ}を重ねて。
けんじん ^{ち え ほう}
賢人たちの知恵は滅び、
しりよぶか ^{ひと り かい うしな}
思慮深い人たちの理解は失わ
れる^お。

15 計画^{けいかく}をエホバから必死^{ひっし}に隠^{かく}そう
とする者たちには災いがある。
かれ ^{くらやみ なか こと はこ}
彼らは暗闇の中で事を運び、
い ^{だれ み}
こう言う。「誰がわれわれを見て
いるだろうか。
だれ ^し
誰がわれわれのことを知ってい
るだろうか。」

29:15 *または、「意図」。

第29章
イザ 8:16

イザ 48:1
エレ 5:2

マタ 15:7-9
マル 7:6-8

イザ 28:21
ハバ 1:5

エレ 8:9
コ一 1:19

イザ 30:1

エゼ 8:12

第2欄
イザ 64:8

エレ 18:6

ロマ 9:20, 21

イザ 35:1
イザ 41:19

イザ 32:14, 15

イザ 35:5
イザ 42:16

イザ 41:16

ミカ 2:1

16 あなたたちは物事^{ものごと}をゆがめて
いる！
とうげい ^{か ねん ど おな み}
陶芸家が粘土と同じに見なされ
るべきだろうか。
つく ^{もの つく ひと}
作られた物が作った人について、
かれ ^{わたし つく}
「彼は私を作らなかった」と言う
べきだろうか。
かたちづく ^{もの かたちづく ひと}
形作られた物が形作った人につ

いて、
「彼は分か^わっていない」と言う^いだ
ろうか。

17 もう間もなく、レバノン^{か じゅえん}は果樹園
に変えられ、
か じゅえん ^{もり み}
果樹園は森と見なされるように
なる。

18 その日、耳が聞こえない人が書
物^{もつ ことば き}の言葉^{ことば}を聞き、
め ^{み ひと と くら やみ}
目が見えない人が暗がり^{くら}と闇^{やみ}
から解かれて見る。

19 温厚^{おんこう}な人はエホバの^{ひと}ことで大い
に喜び、
まづ ^{ひと}
貧しい人もイスラエルの聖なる
かた ^{かん き せい}
方の^{かた}ことで歓喜する。

20 圧制者^{あつせいしや}はいなくなり、
じ ^{まん もの お むか}
傲慢^{じまん}する者は終わりを迎え、
あく ^{じ はたら き かい もの}
悪事を働こうと機会^{きかい}をうかがう者
みなほろ^お
は皆滅ばされる。

21 偽りの言葉^{いつわ ことば}によって人^{ひと}を有罪^{ゆうざい}とす
る者、
まち ^{もん ところ べん こ ひと *}
町の門の所で弁護^{べんご}する人をわな

29:16 *または、「はひねくれている」。 29:21
*直訳、「戒める人」。

に掛けようとする者、
根拠のない主張をして正しい人

が公正に扱われないようにする
者は、滅ぼされるのである。

22 それで、アブラハムを助けたエ
ホバは、ヤコブの子孫にこう言う。

「ヤコブはもはや恥じることが
なく、

顔が青ざめることもなくなる。

23 彼が、自分の中にいる子供たち、
私が形作った者たちを見る時、
彼らは私の名を神聖なものと

する。

ヤコブの聖なる者を神聖なもの
とし、

イスラエルの神に畏敬の気持ち
を抱く。

24 考え方が間違っている人たちも
理解するようになり、
不平を言う人たちも教えを受け
入れる」。

30 エホバはこう宣言する。
「強情な子たちには災いが
ある。

彼らは、私が立てたのではない
計画を実行し、

私の聖なる力に導かれることな
く同盟を結び、

罪を重ねる。

29:22 *直訳、「買い戻した」。「恥や失望によっ
て青ざめるということ。30:1 *直訳、「献酒を
注ぎ」。契約を結ぶことを指していると考えられる。

第29章

(ア) アモ 5:10

(イ) エゼ 13:19

(ウ) ネヘ 9:7
ミカ 7:20

(エ) ヨエ 2:27

(オ) イザ 45:11

(カ) イザ 8:13
ホセ 3:5

第30章

(キ) イザ 1:2
イザ 63:10
イザ 65:2

(ク) イザ 29:15

第2欄

(コ) 民 27:21
王一 22:7

(ケ) イザ 31:1
エゼ 29:6

(コ) エレ 17:5

(カ) イザ 19:11
エゼ 30:14

(オ) イザ 31:3
エレ 2:36

(カ) イザ 31:1
エレ 37:7,8

(キ) 詩 87:4
詩 89:10

2 私に助言を求めずにエジプトに
行き、

ファラオの保護の下に身を潜め、
エジプトの陰に避難する。

3 ファラオに保護を求めたことはあ
なたたちの恥となり、
エジプトの陰に避難したことは
恥辱となる。

4 高官たちはツォアンにおり、
使節はハネスに着いた。

5 皆が、全く役に立たない民のせ
いで恥をかく。

その民は何の助けにも、ために
もならず、
恥と不名誉をもたらすだけで
ある」。

6 南にいる動物に対する宣告。

苦難と困難の土地、
はえるライオンがいる土地、
毒蛇や飛び掛かる火のような蛇
がいる土地を通り、

人々は財産をロバの背に載せ、
物資をラクダのこぶに載せて
運ぶ。

しかし、それらは民の役に立た
ない。

7 エジプトは何の助けにもなら
ない。

それで私はこの者を、「じっと座
るラハブ」と呼んだ。

30:2 *直訳、「ファラオのとりでに」。30:6 *ま
たは、「突進する毒蛇」。30:7 *用語集参照。

- 8 「さあ、^い行つて、
^{たみ まえ か いた か}
 民の前でこれを書き板に書き、
^{しよ しる (例)}
 書に記しなさい。
 それが将来、^{しょうらい ふ へん あか}
 不変の証となるよ
^(例)
 うに。
- 9 彼らは反逆的な民、人を欺く子
^(例)
 たち、
 エホバの律法を聞こうとしない
^(例)
 子たちである。
- 10 予見者たちに向かつて『予見する
^(例)
 な』^いと言い、
^{まぼろし つた もの}
 幻を伝える者たちに向かつてこう
^{い しんじつ まぼろし つた (例)}
 言う。『^い真実の幻を伝えるな。
^{きぶん よ はな ひと}
 気分が良くなることを話せ。人を
^{まど げんえい み (例)}
 惑わす幻影を見ろ。
- 11 道からそれ、進路から外れろ。
^(例)
 もうイスラエルの聖なる方につ
^{はな (例)}
 いて話すな』。
- 12 そのため、イスラエルの聖なる方
^(例)
 はこう言う。
 「あなたがこの言葉^{ことば しりぞ (例)}を退け、
^{さ ぎ いたつ たよ}
 詐欺と偽りに頼り、
^(例)
 それにものをいわせているので、
- 13 この過ちはあなたたちにとって破
^{あやま やぶ}
 れた城壁^{じょうへき}のようになる。
^{つ で いま くずれ たか}
 突き出て今にも崩れそうな高い
^{じょうへき}
 城壁のように、
^{とつぜん またた ま ほうかい}
 突然、瞬間に崩壊する。
- 14 それは陶器家の大きなつぼのよ
^(例)
 うに壊され、
^{こなごな くだ}
 粉々に砕かれる。

30:9 *または、「指示」。

第30章

- (例) イザ 8:1
 エレ 36:2
- (例) ロマ 15:4
- (例) 申 31:27
 イザ 1:4
 エレ 44:3
- (例) イザ 59:3
 エレ 9:3
- (例) 代二 33:10
 代二 36:15,16
 ネヘ 9:29
 エレ 7:13
- (例) 代二 16:10
 代二 18:7
 エレ 11:21
 エレ 26:11

(例) エレ 23:16,17
 エゼ 13:7
 ミカ 2:11

(例) アモ 7:13,16

(例) アモ 2:4,5

(例) エレ 13:25
 ミカ 3:11

第2欄

- (例) 代一 5:20
 代二 16:8
 イザ 26:3
- (例) マタ 23:37
 使徒 7:51

(例) イザ 31:1,3

(例) 申 28:49,50
 エレ 4:13
 哀 4:19
 ハバ 1:6,8

(例) レビ 26:36
 申 32:30

(例) エゼ 12:16

(例) 出 34:6
 エゼ 36:9,10

(例) 詩 102:13
 ロマ 9:15

ろ^ろの火^ひを移^{うつ}したり、
^{みず *}
 水^{みず}たまりから水^{みず}をすくったりす
 るための破片も残らないほ
 どに」。

- 15 主権者である主エホバ、イスラ
^{しゅけんしゅ しゅ}
 エルの聖なる方はこう言う。
^{せい かた い}
 「あなたたちは、私のもとに戻^{もど}つ
^{やす}
 て休むなら、救われる。
^{へいせい たも しんらい ちから}
 平静を保ち、信頼するなら、力^{ちから}を
^{え (例)}
 得る」。

しかし、あなたたちはそうしよう
 としなかった。

- 16 かえて、「いや、われわれは馬^{うま}
^{の に い}
 に乗って逃げる！」と言った
 ので、

あなたたちは逃げることになる。
 「われわれは速^{はや}い馬^{うま}に乗る！」と
^{い (例)}
 言ったので、

速^{はや}い者^{もの}たちに追われることに
 なる。

- 17 1人の威嚇^{いこく}で1000人が震え、
^{ひとり いこく にん ふる (例)}
 5人の威嚇^{いこく}であなたたちは逃
 げる。

山頂^{さんちょう}の柱^{はしら}のように、丘^{おか}の上^{うへ}の旗^{はた}
^{じるし *}
 印^みのように見えるほど、
^{じるし *}
 わずかな人しか残らない。

- 18 それでも、エホバはあなたたち
^{なす か しんぼうづ}
 に情けを掛けようと辛抱強く
^{ま *}
 待っており、
^{あわ しめ た あ (例)}
 憐れみを示そうと立ち上がる。

30:14 *もしかすると、「水ため」。 30:17 *ま
 たは、「合図のさお」。 30:18 *または、「と待ち
 続けて」。

エホバは公正の神だからである。

この方を待ち続ける人は皆、幸
せだ。

19 民がシオンに、エルサレムに住
む時、あなたは決して泣かない。神は
助けを求めるあなたの叫び声を聞く
と、必ず情けを掛ける。聞いてすぐに
あなたに答えてくださる。 20 エホ
バはあなたたちに苦難というパンを
食べさせ、圧迫という水を飲ませる。
とはいえ、あなたの偉大な教師はもは
や姿を隠さず、あなたは自分の目で偉
大な教師を見る。 21 右や左にそれ
そうになる時には、後からあなたの
耳に、「これが道である。この道を歩
みなさい」という言葉が聞こえる。

22 あなたたちは、彫像を覆って
いる銀や、金属像にかぶせた金を汚
す。それらを月経の時の布のように投
げ捨て、「消えてなくなれ!」と言う。

23 神はあなたが地面にまく種のため
に雨を降らせてくださり、地面から
栄養豊かな食物が豊富に生み出され
るようになる。その日、あなたの家畜
は広い牧草地で草を食べる。 24 地
面を耕す牛やロバは、シャベルとフォ
ークでえり分けて酸味が味付けされ
た飼料を食べる。 25 幾つもの塔
が倒れ、大勢が殺される日に、全ての

30:18 *または、「一心に待つ」。 30:22 *また
は、「塑造された像」。「もしかすると、「汚物と
呼ぶ」。 30:24 *脱穀したものを放り上げ、もみ
殻を風で吹き分ける作業。

第30章

(ア) 詩 99:4

エレ 10:24

(イ) エレ 17:7

(ウ) ネヘ 11:1

イザ 44:28

イザ 62:1

エレ 31:6

ゼカ 1:17

(ウ) ネヘ 12:27

イザ 61:3

(ウ) エレ 29:11,12

(ウ) レビ 26:26

詩 80:5

(ウ) ヨブ 36:22

詩 32:8

詩 71:17

詩 119:102

(ウ) 申 5:32

ヨシ 1:7,8

格 4:27

(ウ) 詩 25:8,9

(ウ) 出 32:4

申 7:5,25

裁 17:3,4

(ウ) ホセ 14:8

ゼカ 13:2

(ウ) 詩 65:9

ゼカ 10:1

(ウ) ホセ 2:21,22

(ウ) イザ 65:10

第2欄

(ウ) イザ 41:18

イザ 44:3

(イ) イザ 60:20

啓 21:23

啓 22:5

(ウ) 哀 2:13

(ウ) エレ 33:6

アモ 9:11

(ウ) イザ 10:17

ナホ 1:6

ゼバ 3:8

(ウ) 王二 19:28

詩 32:9

(ウ) 申 16:14

詩 42:4

エレ 33:10,11

(ウ) 申 32:4

イザ 26:4

(ウ) 詩 29:3,4

(ウ) 出 15:16

詩 98:1

(ウ) ナホ 1:2

高い山や丘の上に川や水路ができる。

26 満月の光は太陽の光のようにな
り、太陽の光は7倍強くなり、7日分の
光のようになる。エホバがご自分の
民のけがを包み、自ら打った民の重い
傷を癒やす日に、そのようになる。

27 エホバが遠くからやって来る。

怒りに燃え、厚い雲と共に。

その方の唇は憤りに満ちて

おり、

舌は焼き尽くす火のようだ。

28 その方の聖なる力は、首にまで

達する激流のようであり、

滅びのふるいで国々を揺り動

かす。

人々は口にくつわをはめられ、

惑わされる。

29 あなたたちの歌は、

祭りの準備をする夜に歌われる

歌のようになる。

あなたたちは心から喜ぶ。

エホバの山に、イスラエルの

岩のような方のもとに行くだ

めに、

笛を持って歩く人のように。

30 エホバは威厳ある声を響かせ、

振り下ろす腕を見せる。

その腕は燃える怒りのうちに、

30:26 *または、「崩壊」、「裂け目」。 30:27

*直訳、「エホバの名」。 30:28 *または、「その
方の息」。*直訳、「無価値」。 30:29 *または、
「のために自分を神聖なものとす」。*または、
「の音に合わせて」。

焼き尽くす炎と、豪雨と、雷雨と、
ひょうと共に振り下ろされる。

31 エホバの声によってアッシリアは
恐怖に襲われる。

神はつえでアッシリアを打つ。

32 エホバがアッシリアに処罰のつ
えを振り下ろすたびに、
タンバリンとたて琴が鳴らされる。

神は腕を振りかざして彼らと
戦う。

33 トフェトはすでに用意されており、
王のために整えられている。
神は、深く広い場所にまきを

積み、
大量のまきで多くの火をおこす。
エホバの息が、流れる硫黄のよ
うに、
まきに火を付ける。

31 助けを求めてエジプトに行
く人たちには災いがある。

彼らは馬に頼り、
数が多いからといって戦車を頼

みにし、
力強いからといって軍馬を頼み
にする。

イスラエルの聖なる方に目を向
けず、

エホバを探し求めない。

2 神にも知恵がある。災いをもた
らし、

30:33 *ここでは物を燃やす比喩的な場所を
指しており、滅びを表している。 31:1 *または、
「騎手」。

第30章

(例) 詩 18:13

(例) 裁 5:4

(例) ヨシ 10:11

(例) イザ 37:36

(例) イザ 10:12

(例) 出 15:20
裁 11:34

(例) イザ 10:24, 26

(例) 王二 23:10
エレ 7:32

(例) イザ 37:37, 38
エゼ 32:22

第31章

(例) イザ 30:2

(例) 申 17:15, 16

第2欄

(例) エゼ 29:6, 7

(例) 詩 33:17
格 21:31

(例) 申 32:11, 12
詩 91:4

(例) イザ 55:7
ヨエ 2:12

ご自分の言葉を取り消さない。

悪くおこなひと
悪を行う人たちや、
悪人にん たす ひと てきたい (例)
悪人を助ける人たちに敵対する。

3 エジプト人は単なる人間であり、
神ではない。

彼らの馬は単なる動物であり、目
に見えない強力な存在では
ない。

エホバが手を伸ばす時、
助けを与えるものはつまずき、
助けを受ける者も倒れる。

彼らは皆、同時に滅びる。

4 エホバは私にこう言った。

「若くて強いライオンが獲物の上
でうなる時、

追い払うために羊飼いの一団が
呼び集められても、

ライオンは彼らの声におびえず、
騒ぎにもひるまない。

同じように、大軍を率いるエホバ
も下ってきて、

シオンの山とその丘の上で戦う。

5 舞い降りる鳥のように、大軍を率

いるエホバはエルサレムを
守る。

その都市を守り、救う。

その都市を容赦し、助け出す」。

6 「イスラエルの民よ、あなたたち
があからさまに反抗した者のもとに戻
りなさい。 7 その日、各人は、役に立
たない銀の神々や無価値な金の神々

31:3 *直訳、「肉体」。

しりぞ つかふか て
を退ける。罪深くもあなたたちの手で
つく かみがみ
作った神々をである。

- 8 アッシリア^{じん にんげん}人は、人間のものでは
ない剣^{つるぎ たお}によって倒れる。
人^{にんげん}間のものではない剣^{つるぎ}が、彼^{かれ}
をむさぼり食^くう。

かれ つるぎ おそ に
彼は剣を恐れて逃げ、
わかも きょうせいろうどう か
弱者^{わかも}たちは強制労働^{きょうせいろうどう}を課される。

- 9 彼^{かれ}の大岩^{おおいわ}は恐怖^{きょうふ}のあまり逃げ
去^さり、
こうかん はたじるし*
高官^{こうかん}たちは旗印^{はたじるし}のためにおびえ
る^と、エホバは宣言^{せんげん}する。
その方^{かた}の光^{ひかり}はシオン^{しおん}に、炉^ろはエ
ルサレムにある。

32 ひどり おうい せい ぎ どう
1人の王^{ひとりの}が正義^{おうい}のために統^{せい}治^ぎする。

こうかん こうせい おき
高官^{こうかん}たちが公正^{こうせい}のために治^{おさ}める。

- 2 彼^{かれ}らはおのおの、風^{かぜ}から逃^{のが}れる
ための場所^{ばしょ}、
ばうふう う ひなん
暴風雨^{ばうふう}から避難^{ひなん}するための
場所^{ばしょ}、

みず とち なが みず
水^{みず}のない土地^{とち}に流^{なが}れる水^{みず}、
かわ き とち おおいわ かげ
乾^{かわ}き切^きった土地^{とち}にある大岩^{おおいわ}の陰^{かげ}

- のようになる。
み ひと め と
3 見る人^みたちの目^{ひと}はもはや閉^めざさ
れず、
き ひと みみ ちゅうい はら
聞^きく人^{ひと}たちの耳^{みみ}は注^{ちゅうい}意^{はら}を払^{はら}う。
せいきゅう ひと こころ まな *
4 性急^{せいきゅう}な人^{ひと}たちの心^{こころ}は学^{まな}ぶために
じっくりと考^{かんが}え、

31:9 *または、「合図のさお」。 *または、「火」。
32:4 *または、「知識について」。

第31章

例 王二 19:35
代二 32:21
イザ 37:36

第32章

例 創 49:10
詩 2:6
ルカ 1:32,33
ヨハ 1:49

例 詩 45:6
詩 72:1
イザ 9:7
イザ 11:4,5
エレ 23:5
ゼカ 9:9
ヘブ 1:9
啓 19:11

第2欄

例 イザ 35:6

例 ミカ 2:1

例 エレ 5:26
ミカ 7:3

例 王一 21:9,10

例 イザ 3:16

くち ひと した
口^{くち}ごもる人^{ひと}たちの舌^{した}はよどみなく
はっきりと話^{はな}す。

- 5 無^む分別^{ぶんべつ}な人^{ひと}が気^き前^{まえ}のいい人^{ひと}と言^い
われることはなくなり、
む せつそう ひと こう き ひと よ
無^む節操^{せつそう}な人^{ひと}が高貴^{こうき}な人^{ひと}と呼ばれ
ることもなくなる。

- 6 無^む分別^{ぶんべつ}な人^{ひと}はたわ言^{ごと}を語^{かた}り、
ごころ なか ゆうがい
心^{ごころ}の中で有害^{ゆうがい}なことをたくらむ。
はいきょう うなが *
背教^{はいきょう}を促^{うなが}し、エホバに向^むかって
理^り不尽^{ふじん}なことを語^{かた}り、
う ひと た もの え
飢^うえている人^{ひと}が食^たべ物^{もの}を得^えられ
ないようにし、

のど かわ ひと の もの あた
喉^{のど}が渴^{かわ}いている人^{ひと}に飲^のみ物^{もの}を与^{あた}
えない。

- 7 無^む節操^{せつそう}な人^{ひと}の手口^{てぐち}はあくどい。
は おこな うなが
恥^はずべき行^ういを促^{うなが}し、
くる ひと は
苦^{くる}しんでいる人^{ひと}をうそによつて破^は
滅^{めつ}させる。

まず ひと ただ はな とき
貧^{まず}しい人^{ひと}が正^{ただ}しいことを話^{はな}す時^{とき}
にも。

- 8 一方^{いっぽう}、惜^おしみなく与^{あた}える人^{ひと}は、い
つも気^き前^{まえ}がよく、
もの お
物^{もの}惜^おしみせず^に与^{あた}え続^{きつづ}ける。

- 9 「気^き楽^{らく}に生^いきている女性^{じょせい}たち、立^た
ち上^あがって私^{わたし}の声^{こえ}を聞^きけ！
き ぐろう むすめ (例) わたし い
気^き苦^く勞^{ろう}がない娘^{むすめ}たち、私^{わたし}が言う
こと^{ちゅうい}に注^{はら}意^{はら}を払^{はら}え！

- 10 1年^{ねん}余^{あま}り後^{のち}に、気^き苦^く勞^{ろう}がないあな
た^{あな}たちは慌^{あわ}てふためく。
しゅうかくき お まった
ブドウの収^{しゅうかく}穫^き期^きが終^おわつても、全^{まった}

32:6 *または、「不敬な振る舞いをし」。 32:8
*または、「高潔な事柄を行い」。

く実^みが集められていないか
らだ。

- 11 気楽^{きらく}に生きている女性^{じょせい}たち、震え^{ふる}上げられ!

気苦^{きく}勞^{ろう}がない娘^{むすめ}たち、慌^{あわ}てふた
めけ!

服^{ふく}をすっかり脱^ぬぎ、
腰^{こし}に粗^{あら}布^{ぬの}を巻^まけ。

- 12 良い^よ畑^{はたけ}や、よく実^みがなるブドウ^{ぶどう}の
木^きに起^おきたことで、
嘆^{なげ}き悲^{かな}しんで胸^{むね}をたたけ。

- 13 私の民^{わたしたち}の土地^{とち}はいばらに覆^{おお}わ
れる。

喜^{よろこ}びに沸^わいていた家々^{いえいえ}全て^{すべ}が、
歓喜^{かんき}の都^{とし}市^{おほ}が、覆^{おほ}われる。

- 14 防備^{ぼうび}された塔^{とう}は捨^すてられ、
にぎやかだった都^{とし}市^みは見捨^{みす}てら
れた。

オフェル^{おみ}と見張^{みは}り台^{だい}はずと荒^あれ
地^ちのままになり、

野^の口^{くち}バが喜^{よろこ}ぶ場^ば所^{しょ}、

家畜^{かちく}のための牧草^{ぼくそう}地^ちとなる。

- 15 上^うから聖^{せい}なる力^{ちから}が私^{わたし}たちに注^{そそ}
がれ、

荒^{こう}野^やが果樹^{かじゅえん}園^{えん}になり、

果樹^{かじゅえん}園^{えん}が森^{もり}と見^みなされるように
なるまで。

- 16 その時^{とき}、荒^{こう}野^やには公^{こう}正^{せい}が満^みち、
果樹^{かじゅえん}園^{えん}には正^{ただ}しさが行^いき渡^{わた}る。

- 17 真^{しん}の正^{ただ}しさは平^{へい}和^わをもたらし、

32:14 *または、「物見の塔」。

第32章

(例) 哀 2:12
ゼバ 1:13

(例) イザ 3:24

(例) イザ 22:2
哀 2:15

(例) 王二 25:9,10

(例) 代二 27:1,3
ネヘ 3:26

(例) イザ 27:10

(例) イザ 44:3

(例) イザ 29:17
イザ 35:1,2

(例) イザ 42:1,4
イザ 60:21

(例) 詩 119:165
イザ 55:12

第2欄

(例) エゼ 37:26
ミカ 4:3,4

(例) イザ 60:18
イザ 65:22

エレ 23:6
エゼ 34:25
ホセ 2:18

(例) イザ 30:23,24

第33章

(例) 王二 18:13
イザ 10:5

(例) イザ 10:12
ナホ 3:7

(例) 詩 123:2

(例) 詩 44:3
イザ 52:10

(例) 詩 46:1
ナホ 1:7

(例) 詩 46:6
詩 68:1
イザ 17:13

絶^たえることのない平^{へい}穩^{おん}と安^{あん}心^{しん}を
生^うみ出^だす。

- 18 私の民^{わたしたち}は、平^{へい}和^わな住^すまいに、
安^{あん}全^{ぜん}な家^{いえ}に、心^{こころ}休^{やす}まる平^{へい}穩^{おん}な場^ば
所^{しょ}に住^すむ。

- 19 とはいえ、ひょうによつて森^{しん}林^{りん}は
倒^{たお}れ、

都^{とし}市^{かんぜん}は完^は全^{かい}に破^{かい}壊^{かい}される。

- 20 全^{すべ}ての水^{みづ}のそばに種^{たね}をまき、
牛^{うし}やロバ^{ろば}を放^{ほう}牧^{ぼく}するあな^きた^きち
は幸^{しあ}せだ。

33 滅^{ほろ}ばし、裏^{うら}切^ぎったあな^きた^きに
は災^{わざわい}いがある!

あな^きた^き自身^{じしん}は滅^{ほろ}ぼされておら^きず、
裏^{うら}切^ぎられていない。

滅^{ほろ}ばし終^おえると、あな^きた^きは滅^{ほろ}ぼさ
れる。

裏^{うら}切^ぎり終^おえると、裏^{うら}切^ぎられる。

- 2 エホバ、憐^{あは}れみ^{しめ}を示^{しめ}してくだ
さい。

私^{わたし}たちは希^き望^{ぼう}を抱^{いだ}いてあな^きた^きを
待^{まち}ちます。

朝^{あさ}ごとに力^{ちから}を与^{あた}えてください。

苦^く難^{なん}の時^{とき}に救^{すく}ってください。

- 3 騒^{さわ}がしい音^{おと}を聞^きいて、人^{ひと}々^{びと}は逃^に
げます。

あな^たが立^たち上^あがる時^{とき}、国^{くに}々^{くに}は
散^ちり散^ぢりになります。

- 4 食^{しょく}欲^{よく}旺^{おう}盛^{せい}なバツ^{あつ}タ^{とき}が集^{あつ}まる時^{とき}の
よう^がに、あな^た方^{せん}の戦^{せん}利^り品^{ひん}は
集^{あつ}められる。

32:20 *または、「送り出す」。33:2 *直訳、
「腕となって」。33:3 *または、「とどろく声」。

ひとびと たいぐん
人々はバツタの大群のようにそ
れに群がる。

5 エホバはたたえられる。
このうえ たか ところ すみ
もなく高い所に住み、
シオンを公正と正しきで満たす。

6 その方はあなたの時代に安定を
もたらす。

じゅうぶん すく けい ち え ち し き
十分な救い、知恵、知識、エホ
バへの畏れは宝である。

7 勇士たちが通りで叫ぶ。
へい わ し ゃ はげ な
平和の使者たちが激しく泣く。

8 街道は荒れ果て、
みち とお ひと だれ
道を通る人は誰もいない。

かれ* けいやく やぶ
彼は契約を破り、
まちまち しりぞ
町々を退けた。

し にんげん き と けい
死にゆく人間を気に留めない。

9 土地は嘆き悲しみ、枯れていく。
とち なげ かな * か
レバノンのは恥じ、朽ちた。
さばく
シャロンは砂漠のようになった。

は ふ お
バシヤンとカルメルは葉を振り落
とす。

10 エホバはこう言う。
いま わたし た あ
「今、私は立ち上がる。
いま わたし じ ぶん けい
今、私は、自分がたたえられ、
あがめられるようにする。

11 あなたたちは枯れ草を身ごもり、
わらを産む。
みづか じゃあく せいしん や つ
自らの邪惡な精神により、焼き尽
くされる。

12 さまざまな民は、石灰が焼かれ
るとき
る時のようになる。

第33章

[イ] 詩 27:1

[イ] 格 19:23

[イ] 王二 18:19, 20

[イ] イザ 37:24

[イ] ナホ 1:4

[イ] 詩 46:10

[イ] イザ 5:24

第2欄

[イ] イザ 9:18

[イ] 申 28:66, 67

[イ] 申 32:22
ナホ 1:6
ヘブ 12:29

[イ] エゼ 18:17

[イ] 代一 29:17

[イ] 出 23:8
申 16:19[イ] 王一 19:5, 6
詩 34:9, 10
イザ 65:13

[イ] 王二 15:19

き はら ひ
切り払われたいばらのように火
で燃やされる。

13 遠くにいる人たち、私が何を行う
かを聞きなさい!

ちか ひと わたし ちから し
近くにいる人たち、私の力を知り
なさい!

14 シオンの罪人たちは恐れている。
はいきょうしや ふる
背教者たちは震えている。

『われわれのうち誰が、焼き尽く
す火がある所で生きられるだ
ろうか。』

われわれのうち誰が、消せない
炎に耐えられるだろうか。』

15 正しい歩みを続ける人、
しょうじき とうと けい
正直なことを語り、

さ ぎ ふ とう り え き し り ぞ
詐欺による不当な利益を退け、
わいろ う と こ ぼ けい
賄賂を受け取らずに拒み、
ひと ころ けいかく き
人を殺す計画について聞こうと

せず、

わる み ひと
悪いことを見ようとしな人、

16 その人は高い所に住む。
いわ おお かんぜん ひなんじょ*
岩の多いとりで安全な避難所

となる。

きようきゅう
パンを供給され、
のみず がなくなることはない。

17 あなたは輝かしい王を見つめ、
とお とち み
遠い土地を見る。

18 心の中で恐怖を思い起こす。
こころ なか きょうふ おち お *
「秘書官はどこにいるのか。

みつ もの はか もの
貢ぎ物を量った者はどこにいる
のか。』

33:8 *敵のこと。 33:9 *もしかすると、「乾き
切り」。

33:16 *または、「高台」。 33:18 *または、「思
い巡らす」。

とう かぞ もの
塔を数えた者はどこにいる

のか。

19 横柄な民を見ることはもうない。

かれ げん ご あいまい かり
彼らの言語はあまりに曖昧で理

解でぎず、

くち こと ば き と
口ごもるもので言葉を聞き取れ

ない。

20 私たちの祭りの都市、シオンを

見よ！

あなが見るエルサレムは、平

穏な住まい、

うご 動かされることのない天幕で

ある。

その杭は決して引き抜かれず、

1本の綱も断ち切られない。

21 そこで、威光に輝く方エホバは、

私たちのために川や広い運河が

流れる場所となる。

そこをガレー船隊が通ることは

なく、

堂々とした船が通過することも

ない。

22 エホバは私たちを裁く方、

エホバは私たちのために法を定

める方、

エホバは私たちの王。

私たちを救ってくださる方である。

23 あなたの綱は垂れ下がる。

帆柱はしっかり立たず、帆は張ら

れない。

33:19 *直訳、「深くて」。

第33章

〔甲〕申 28:49, 50

イザ 28:11

エレ 5:15

〔イ〕申 12:5, 6

〔ウ〕詩 125:1

〔エ〕創 18:25

詩 50:6

詩 98:9

〔イ〕レビ 26:3

ヤコ 4:12

〔ウ〕詩 44:4

詩 97:1

啓 11:15, 17

〔イ〕イザ 12:2

ゼバ 3:17

第2欄

〔イ〕イザ 33:4

〔イ〕申 7:15

啓 21:4

啓 22:1, 2

〔ウ〕エレ 50:20

ミカ 7:18, 19

第34章

〔エ〕エレ 25:15

ヨエ 3:12

ゼバ 3:8

ゼカ 14:3

〔イ〕イザ 30:27

ナホ 1:2

〔ウ〕啓 19:11, 15

〔イ〕エレ 25:33

〔イ〕エゼ 39:4

〔イ〕申 32:41

その時、たくさんの戦利品が分

けられ、

足が不自由な人も多くの略奪品

を手に入れる。

24 「私は病気だ」と言う住民はいな

くなる。

その土地に住む人々は過ちを許

される。

34 国々よ、近寄って聞け。

人々よ、注意を払え。

世界とそこに満ちるもの、

大地とそこから生じる全てのもの

は聞け。

2 エホバは全ての国に対して激

怒し、

彼らの全ての軍隊に対して憤っ

ている。

彼らを滅ぼし尽くし、

完全に打ち負かす。

3 殺された人たちは投げ捨てられ、

死体から悪臭が立ち上る。

山々に彼らの血が大量に流れる。

4 天の全軍は朽ち果て、

天は巻物のように巻かれる。

彼らの軍勢は皆、弱り果てる。

しおれた葉がブドウの木から

落ち、

しなびた実がイチジクの木から

落ちるように。

5 「天で私の剣は血にまみれる。

34:3 *または、「山々は彼らの血のせいで溶ける」。

それはエドムを処罰^{しよばつ}するために
振り下ろされる。

私が滅ぼすことにした民の上に。

6 エホバは剣を持っており、

それは血だらけになる。

脂肪^{しぼう}、若い雄羊^{わか おひつじ}とヤギの血、
雄羊の腎臓^{じんぞう}の脂肪^{しぼう}で覆われる。

エホバはボツラで人々を犠牲

とし、

エドムで大勢^{おおぜい}を討つのである。

7 野牛も彼らと共に倒れる。

若い雄牛も強い牛と共に。

彼らの土地は血まみれになり、
土は脂肪^{しぼう}で覆われる。

8 エホバは復讐^{ふくしゅう}の日を定めている。

シオンの訴訟に関する報復^{ほうふく}の
年^{とし}を。

9 彼女の川は歴青^{れきせい}に変えられ、

土は硫黄^{いおう}に変えられる。

その土地は燃える歴青のように

なる。

10 それは昼も夜も消えられず、

煙^{けむり}がいつまでも立ち上る。

彼女はいつの時代も荒廃したま

まとなり、

永久に誰もそこを通らない。

11 ペリカンとヤマアラシが彼女を

所有し、

トラフズクとワタリガラスがそこ

にすむ。

34:9 *エドムの首都ボツラのことと考えられる。
#または、「ピツチ」。

第34章

(7) 詩 137:7

エレ 49:7,22

(7) レビ 3:16

(7) イザ 63:1-3
オバ 8,9

(7) 申 32:41
詩 94:1

(7) イザ 35:4

(7) マラ 1:4

第2欄

(7) マラ 1:3

神はその上に空虚^{くうきょ}の測り綱^{はかづな}を伸

ばし、

荒廃^{こうはい}の下げ振りを垂らす。

12 彼女の高貴な人たちは誰も王位

につけられず、

高官たちは皆存在しなくなる。

13 防備された塔にはいばらが生え、

要塞にはイラクサやとげ草が生

える。

彼女はジャッカルのみかた

なり、

ダチョウのための囲いとなる。

14 砂漠の生き物が、遠ばえする動

物に出合い、

野ヤギが仲間と呼び掛ける。

ヨタカがそこにすみ着き、休む所
を見つめる。

15 蛇がそこに巣を作って卵を産み、

それをかえて自分の陰に集

める。

トビのつがい^{あつ}がそこに集まる。

16 エホバの書を調べて、声に出し

て読め。

どの動物も欠けることはなく、

必ずつがいになる。

エホバの口から命令が出たので

あり、

その方の聖なる力によってそれら

が集められたのである。

34:11 *直訳、「石」。 34:14 *もしかすると、
「ヤギのような邪悪な天使」。 34:15 *または、
「突進する蛇」。 34:16 *直訳、「それらの一
つも」。

- 17 神^{かみ}がそれらのためにくじ^ひを引いたのであり、
ご自分^{じぶん}の手で、それぞれに割^わり
当て^あられた場所^{ばしょ}を測^{はか}った。
それらはいつまでもそこを所^{しよ}
有^{ゆう}し、
いつの時代^{じだい}までもそこにすむ。

35 荒野^{こうや}と乾き切^{かわ}った土地^きは歎^{とち}かん
喜^きし、
砂漠^{さばく}平原^{へいげん}は喜^{よろこ}びに満ちてサフラ
ン^{*}のように花^{はな}を咲^さかせる。

- 2 必ず花^{かなら}を咲^{はな}かせ、
喜^{よろこ}んで歎声^{かんせい}を上げろ。
レバノンの栄光^{えいこう}が与^{あた}えられ、
カルメルとシャロンのように輝^{かがや}く。
ひとびと わたし ^{かみ} ^{かがや}
人々は私^{わたし}たちの神^{かみ}エホバの輝^{かがや}か
しい栄光^{えいこう}を見る。

- 3 弱^{よわ}った手^てを強^{つよ}くし、
震^{ふる}える膝^{ひざ}をしっかりとさせよ。
4 心に不安^{こころ ふあん}を抱^{いだ}いている人^{ひと}たちに
言^いえ。
「強^{つよ}くありなさい。恐^{おそ}れてはいけ
ない。
あなたたちの神^{かみ}が来^きて復讐^{ふくしゅう}する。
神^{かみ}が来^きて報復^{ほうふく}する。
神^{かみ}が来^きてあなたたちを救^{すく}う」。
5 その時^{とき}、目^めが見^みえない人^{ひと}は見^みえ
るようになり、
耳^{みみ}が聞^きこえない人^{ひと}は聞^きこえるよう
になる。

34:17 *直訳、「それらのためにそれを測り綱で分けた」。 35:1 *または、「クロッカス」。

第35章

(7) イザ 29:17
イザ 32:14, 15

(1) イザ 4:2

イザ 27:6

イザ 35:6

イザ 51:3

エゼ 36:35

(7) ホセ 14:5, 6

(1) イザ 60:13

(7) エレ 50:19

(7) イザ 65:10

(1) ヘブ 12:12

(7) エレ 51:56

(7) イザ 25:9

ゼバ 3:16, 17

(7) 詩 146:8

イザ 42:16

マタ 9:28-30

(7) イザ 29:18

エレ 6:10

マル 7:32-35

ルカ 7:22

第2欄

(7) マタ 11:5

使徒 8:7

使徒 14:8-10

(1) マタ 15:30

(7) イザ 44:3

(1) エレ 9:11

(7) エズ 1:3

イザ 11:16

イザ 49:11

イザ 62:10

エレ 31:21

(7) イザ 52:1

(1) イザ 11:6, 7

イザ 65:25

エゼ 34:25

ホセ 2:18

(7) 詩 107:2, 3

イザ 62:12

(7) 申 30:4

(7) イザ 51:11

エレ 31:11, 12

(7) エレ 33:10, 11

- 6 その時^{とき}、足^{あし}が不自由^{ふじゆう}な人^{ひと}は鹿^{しか}の
よう⁽⁷⁾に跳^はびはね、

口^{くち}が利^きけない人^{ひと}は歎声^あを上げる。

こうや みず わ で

荒野^{こうや}に水^{みず}が湧^わき出^でて、

さばくへいげん

砂漠^{さばく}平原^{へいげん}に川^{かわ}が流^{なが}れる。

- 7 熱^{ねつ}で乾^{かわ}き切^きった地面^{じめん}はアシ^{しげ}が茂^{しげ}
る池^{いけ}になり、

かんそう

乾燥^{かんそう}した地面^{じめん}は泉^{いずみ}になる。

ジャッカルが休^{やす}んでいたすみか

には、

あおくさ

青草^{あおくさ}やアシヤパピルス^はが生^はえる。

- 8 そこには街道^{かいどう}ができる。
「神聖^{しんせい}な道^{みち}」と呼ば^よばれる道^{みち}である。
けが

汚^{けが}れた人^{ひと}がその道^{みち}を通^{とお}ることは

ない。

それはその道^{みち}を歩^{ある}く人^{ひと}のための

ものであり、

おろ

愚^{おろ}かな人^{ひと}が入^{はい}ってくることは

ない。

- 9 そこにライオン^{らいおん}はおらず、
どう猛^{もう}な野獣^{やじゅう}が来^くることはない。

そのようなものはいないので

ある。

すく

救^{すく}い出^だされた人^{ひと}たちだけがそこ

を歩^{ある}く。

- 10 エホバに救^{すく}い出^だされた人^{ひと}たちが、
歎声^{かんせい}を上げながらシオン^あに
帰^{かえ}ってくる。

いつまでも続^{つづ}く喜^{よろこ}びが彼^{かれ}らの冠^{かんむり}

となる。

35:6 *直訳、「人の舌」。 35:9, 10 *直訳、「買
い戻された」。

かれ かん き
彼は 歓喜にあふれ、
かな いき に さ け
悲しみやため息は逃げ去る。

36 ヒゼキヤ王の治世の第14年

に、アッシリアの王セナケリ
ブがユダの防備された町々全てを攻
めに来て、占領した。2 アッシリアの
王はラキシュから、ラブシャケを大軍
と共にエルサレムのヒゼキヤ王の所
に送った。彼らは、洗濯人の野原に至
る街道沿いにある、上の池の水道のそ
ばに陣取った。3 すると、家の人た
ちのまとめ役でヒルキヤの子であるエ
リヤキム、秘書官シェブナ、アサフの子
である記録官ヨアハが、ラブシャケの
所に出ていった。

4 するとラブシャケがこう言った。
「ヒゼキヤに言ってもらいたい。『アッ
シリアの王、大王はこう言っている。
「おまえはどうしてそこまで強気なの
か。5 おまえは『私には戦略と戦
力がある』というが、それは口先だけ
だ。いったい誰に頼って、私に背くの
か。6 いいか。おまえは、エジプトと
いうあの折れかけたアシの支えに
頼っているが、寄り掛かっても、それに
手のひらを刺し通されるだけだ。エジ
プトの王ファラオに頼るなら、皆そのよ
うになるのだ。7 おまえたちは私に、
『私たちが頼っているのは、私たちの
神エホバだ』と言うだろう。だが、ヒ
ゼキヤはその神の高い場所と祭壇を

36:2 *または、「献酌人の長」。36:3 *または、「宮殿」。

第35章

(例) イザ 30:19
イザ 65:19

第36章

(例) イザ 10:5

(例) 王二 18:13

代二 32:1

イザ 8:7,8

イザ 10:28-32

イザ 33:8

(例) 王二 19:8

(例) 代二 32:9

(例) 王二 18:17,18

(例) イザ 7:3

(例) イザ 22:20,21

(例) 王二 19:2

(例) 王二 18:19-25

王二 19:10

(例) 王二 18:1,7

(例) 王二 17:4

イザ 30:2,7

エレ 37:7

第2欄

(例) 王二 18:1,4

代二 31:1

(例) 申 12:11

代二 7:12

代二 32:12

(例) 王二 18:13

(例) イザ 22:15

(例) 王二 18:17

(例) エズ 4:7

ダニ 2:4

(例) 王二 18:26,27

(例) 代二 32:18

(例) 王二 18:28-

35

つぎつぎ と のぞ
次々と取り除いてしまったではない
か。そしてユダとエルサレムに、『この
祭壇の前でひれ伏すべきだ』と言っ
ている』。8 わが主人であるアッシリ
アの王と賭けをしなさい。おまえが
じゅうぶん の て よう い
十分な乗り手を用意できたら、2000
とう うま あた へいしや き
頭の馬を与えてやろう。9 兵車と騎
手のためにエジプトに頼るおまえに
は、わが主人の家来の中で最も目立
たない総督の1人さえも追い返さない
だろう。10 私がエホバからの許可
なしにこの土地を滅ぼそうとして上っ
てきたと思うか。エホバが私に、『こ
の土地に攻め上って滅ぼせ』と言った
のだ。

11 エリヤキムとシェブナとヨアハ
は、ラブシャケに言った。「アラム語で
話してください。私たちは理解できま
すから。城壁の上の人たちに聞こえる
所では、ユダヤ人の言語で話さないで
ください」。12 ラブシャケは言った。
「わが主人は、これらのことをおまえの
主人やおまえだけに話すよう私を遣わ
したというのか。城壁の上に座ってい
る者たちにも話すためではないか。彼
らもおまえたちと共に自分の便を食
べ、尿を飲むようになるのだ」。

13 ラブシャケは立って、ユダヤ人
の言語で大声でこう叫んだ。「アッシリ
アの王、大王の言葉を聞け。14 王
はこう言っている。『ヒゼキヤにだま
されるな。彼にはおまえたちを救い

36:11 *または、「シリア語」。

出すことなどできない。**15** ヒゼキヤが「エホバは必ず救い出してください。この都市がアッシリアの王の手に渡されることはない」とおまえたちに言ってエホバを信頼させようとしても、その手に乗るな。**16** ヒゼキヤの言うことに耳を貸してはならない。アッシリアの王はこう言う。「和平に応じ、降伏せよ。そうすれば、それぞれが自分のブドウの木やイチジクの実を食べ、自分の水のための水を飲めるようになる。**17** やがて私が、おまえたちの土地のような土地へと連れていってやる。そこには、穀物と新しいぶどう酒、パンとブドウ園がふんだんにある。**18** 『エホバが救い出してください』と言うヒゼキヤに欺かれてはならない。国々の神の中に、アッシリアの王の手から自分の国を救った神がいるか。**19** ハマトやアルパドの神々はどこにいるのか。セファルワイムの神々はどこにいるのか。その神々はサマリアを私の手から救ったか。**20** こうした国の神々の誰も私の手から自分の国を救えなかったのに、エホバは私の手からエルサレムを救えるというのか。』

21 それでも、彼らは沈黙を守り、一言も答えなかった。王から、「皆さんは答えてはなりません」と命じられていたからである。**22** 家の人たちのまとめ役にヒルキヤの子であるエリヤ

第36章

(例)代二 32:11,15
ダニ 3:15

(イ)王二 19:22

(例)王二 17:6
王二 17:22,23(ロ)王二 19:11,12
代二 32:14
イザ 37:11,12

(例)エレ 49:23

(例)王二 17:24

(例)王二 17:6
王二 17:22,23
イザ 10:11(例)王二 19:17,18
代二 32:15
イザ 37:23(例)王二 18:36,37
格 9:7

第2欄

(例)イザ 22:15

第37章

(イ)王二 19:1-4

(例)代二 26:22
イザ 1:1

(ロ)イザ 26:17,18

(例)サー 17:45
王二 18:28,35

(例)王二 17:18

(例)代二 32:20
詩 50:15
ヨエ 2:17

(例)王二 19:5-7

(例)王二 18:17

(ロ)申 20:1

(例)格 21:1

キム、秘書官シェブナ、アサフの子である記録官ヨアハは衣服を引き裂き、ヒゼキヤの所に来て、ラブシャケの言葉を伝えた。

37 それを聞いたヒゼキヤ王は衣服を引き裂き、粗布を身に

つけ、エホバの家に入った。**2** それから、家の人たちのまとめ役エリヤキム、秘書官シェブナ、祭司の長老たちに粗布を身に付けさせ、アモツの子である預言者イザヤの所に遣わした。

3 彼らはイザヤに言った。「ヒゼキヤはこう言っています。『今日は苦難と叱責と屈辱の日です。子供が生まれそ

うのに産む力がないのです。**4** エホバ神がラブシャケの言葉を聞き流すことはないでしょう。彼は、生きている神をあげよう、主人であるアッシリアの王から遣わされました。エホバ神は、聞いた事柄について彼に責任を問われます。それで、生き残っている人たちのために祈ってください。』」。

5 イザヤの所にやって来たヒゼキヤ王の家来たちに、**6** イザヤは言った。「皆さんの主人にこう言いなさい。『エホバはこう言っています。『あなたが生きた言葉、アッシリアの王の従者が語った私への冒瀆の言葉のことで恐れてはならない。**7** 私は彼に1つの考えを植え付ける。彼はある報告を聞いて自分の土地に帰る。私は

37:3 *または、「侮辱」。

36:22; 37:2 *または、「宮殿」。

かれ じぶん と ち つるぎ たお
彼が自分の土地で剣によって倒れる
ようにする』』。

8 ラブシャケは、アッシリアの王が
ラクシュから離れたことを聞き、王の
もとに戻った。王はリブナを攻撃し
ていた。9 王は、エチオピアのティ
ルハカ王が戦いを仕掛けに向かって
きているという知らせを聞いた。王は
ヒゼキヤの所に再び使者たちを遣わ
して、こう言った。10 「ユダのヒゼキ
ヤ王にこう伝えよ。『おまえが信頼して
いる神が「エルサレムがアッシリアの
王の手に渡されることはない」と言う
としても、だまされるな。11 いいか。
アッシリアの王たちがあらゆる国を滅
ぼし尽くしたことをおまえも聞いたは
ずだ。それでも、自分だけは救い出さ
れるというのか。12 私の父祖たち
が滅ぼした国々の神々は民を救いだ
したか。ゴザン、ハラン、レツェフはどう
なったか。テル・アサルにいたエデン
の民はどこにいるか。13 ハマトの
王、アルパドの王、セファルワイム、ヘ
ナ、イワの町々の王はどこにいるか』。

14 ヒゼキヤはこの手紙を使者たち
から受け取って読んだ。それからエ
ホバの家に上っていき、手紙をエホバ
の前に広げた。15 そしてエホバ
にこう祈り始めた。16 「ケルブたち
の上に王として座っている、イスラエ
ルの神、大軍を率いるエホバ、あなた
だけが、地上の全ての王国の真の神

第37章

(7) 代二 32:21

イザ 37:37,38

(1) ヨシ 10:29,30

王二 8:22

王二 19:8-13

(7) 王二 18:17

(2) 代二 32:15

(8) 王二 17:5,6

代二 32:13

イザ 10:11

(7) イザ 36:19

(4) 創 11:31

(7) 王二 17:24

イザ 36:19

(7) 王二 19:14-19

(3) 王一 8:30

代二 6:20

代二 20:9

ダニ 9:3

(7) 詩 46:7

イザ 8:13

第2欄

(7) 代二 6:40

詩 65:2

(1) 代二 16:9

ペー 3:12

(7) イザ 37:4

(2) 王二 15:29

王二 16:8,9

代一 5:26

(7) イザ 10:11

(7) イザ 40:19

イザ 41:7

エレ 10:3

ホセ 8:6

使徒 17:29

(4) 申 32:31,39

詩 83:18

詩 96:5

(7) 王二 19:20,21

(7) 王二 19:4,16

(3) 王二 18:30,35

イザ 10:12,13

です。天と地を造られたのはあなたで
す。17 エホバ、耳を傾けて聞いて
ください！ エホバ、目を開いてご覧く
ださい！ セナケリブが送ってきた、
生きている神へのあざけりの言葉全て
を聞いてください。18 エホバ、アッ
シリアの王たちは確かにあらゆる国
と自分たちの領土を荒廃させました。
19 彼らはそうした国の神々を火の中
に投げ入れました。それらは神では
なく、人が木や石で作ったものだった
からです。それで滅ぼせたのです。
20 私たちの神エホバ、彼の手から私
たちを救ってください。エホバ、あな
ただけが神であることを地上の全ての
王国が知るためです。

21 アモツの子イザヤはヒゼキヤ
の所に人を遣わして、こう伝えた。
「イスラエルの神エホバはこう言っ
ています。『あなたはアッシリアのセナケ
リブ王について私に祈った。それで、
22 エホバはセナケリブ王に対して
次の言葉を語った。

「処女であるシオンはあなたを見
下げ、あざ笑う。

エルサレムはあなたに向かって
頭を振る。

23 あなたは誰をあざけり、冒瀆した
のか。

誰に対して声を荒らげ、高慢な
目を向けたのか。

37:22 *直訳、「シオンの娘」。^{*}直訳、「エルサ
レムの娘」。

37:16 *もしかすると、「間」。

イスラエルの^{せい}聖なる者^{もの}に対してで
ある!

24 あなたは家来たちを通してエホ
バを^{けい}あざけり、^いこう言った。

『私は^{わたし}無数の^{むすう}戦車^{せんしや}を^{ひき}率い、
やまやま^{やま} ^いただき ^{やま}おく
山^の頂^の、レバノンの山奥^のにまで
登^{のぼ}る。

そこにそびえる^{すぎ}杉^{りつぱ}、立派な^きネズの
木^きを切り倒^{たお}し、

も^もっと ^{たか} ^{しゆく}い^いふ ^{ふか} ^{もり} ^{はい}
最も^い高い^い宿営^み地^の、深い^い森^のに入る。

25 私は^{わたし}井戸^いを^ほ掘^みって水^{みづ}を^の飲^のみ、
^{あし} ^{うら} ^{かわ} ^み ^あ
足^{あし}の裏^{うら}でエジプトの川^{かわ}を干^ひ上^あが
らせる』。

26 あなたは聞^きかなかつたか。遠^{とお}い
昔^{むかし}から、決^きまっていた。

ず^{まえ}っと前^{わたし}から、私は^{よう}用意^いして
いた。

今^{いま}、^{じつげん}それを実現^せさせる。
^{ぼう} ^び ^{まち} ^{まち} ^{はい} ^{きょ}
あなたは防備^{やま}された^の町^の々^のを^を廃^は虚^{きょ}
の山^のにする。

27 住民^{じゅうみん}たちは無力^{むりよく}になり、
おびえ、屈辱^{くつよく}を味^{あじ}わう。
^の ^{はら} ^{くさ} ^き ^{あおく} ^さ
野原^のの草^の木^きや青^{あおく}草^さのようになり、
^{ひがしかぜ} ^ひ ^や ^ね ^{くさ}
東風^{ひがしかぜ}で干^ひからびた、屋根^やの草^{くさ}の
よくなる。

28 しかし、私は^{わたし}よく知^しっている。
あなたが座^{すわ}るのも、出^でていくのも
入^{はい}ってくるのも、
あなたが私^{わたし}に^{げき}激怒^どする^ののも。

29 あなたの^{げき}激怒^どと怒鳴^{どな}り声^{こえ}が、私^{わたし}
^{みみ} ^{とど} ^こ
の耳^{みみ}に届^{とど}いたからだ。

37:25 *または、「ナイルの運河」。 37:26 *ま
たは、「形作って」。

第37章

(例) 出 15:11
王二 19:22-24
イザ 10:20
エゼ 39:7

(例) 代二 32:17

(例) イザ 10:10,11

(例) 詩 33:11
イザ 46:10

(例) イザ 55:10,11

(例) 王二 19:25,26

(例) 格 5:21
格 15:3
ヘブ 4:13

(例) 王二 19:27,28

(例) 詩 46:6
イザ 10:15
イザ 37:23

(例) イザ 36:4,20

第2欄

(例) 詩 32:9

(例) 王二 19:29-31

(例) イザ 1:9
イザ 10:20,21

(例) 王二 19:4

(例) イザ 59:17
ヨエ 2:18
ゼカ 1:14,15

(例) イザ 10:24

(例) 代二 32:22
イザ 10:32

(例) 王二 19:32-34

(例) イザ 31:5

(例) 申 32:27
サー 12:22
王二 20:6
エゼ 36:22

(例) 王一 15:4

わたしはあなたの鼻^{はな}にかぎを引^ひっ掛^か
^{くち} ^の
け、口^{くち}にくつわをはめ、
あなたを引^ひいて、来^きた道^{みち}を帰^{かえ}
せる」。

30 あなたの^{*}ために次^{つぎ}のよう^{*}な^{*}しる
しを示^{しめ}そう。あなたたちは、今年^{ことし}は自^し然^{ぜん}
に生^{ぜん}えたものを食^はべ、来^{らい}年^{ねん}はそれか
ら芽^めを出^だした穀物^{こくもつ}を食^たべるが、3年^{さん}目^{ねん}
には、種^{たね}をまいて刈^かり取^とり、ブドウ園^{えん}
を造^{つく}って実^みを食^たべる。 31 ユダ国民^{こくみん}
の逃^{のが}れて残^{のこ}っている人^{ひと}たちは下^{した}に根^ねを
張^はり、上^{うへ}に実^みを付^つける。 32 残^{のこ}り^{もの}の者^{ひと}
がエルサレムから、生^いき残^{のこ}っている人^{ひと}
たちがシオンの山^のから出^でていく。大軍^{たいぐん}
を率^{ひき}いる熱心^{ねっしん}な神^{かみ}エホバがそうなら
せる。

33 エホバはアッシリア^{おう}の王^{おう}につい
て言う^い。

「彼^{かれ}がこの都市^{とし}に入^{はい}ることは^(例)ない。
そこ^やに矢^いを射^やることも、
盾^{たて}を持^もって立^たち向^むかうことも、
攻^せめるための土壘^{どるい}を築^{きず}くことも
ない』。

34 エホバはこう宣^{せんげん}言^{げん}しています。
『彼^{かれ}は来^きた道^{みち}を帰^{かえ}り、
この都市^{とし}に入^{はい}ることは^(例)ない。

35 私はこの都市^{とし}を救^{すく}う。
自分^{じぶん}のため、私^{わたし}に仕^{つか}えたダビデ^{だい}
のためである』。

37:30 *ヒゼキヤのこと。 *または、「こぼれ種
から」。

36 それからエホバの天使が出ていき、アッシリア人の陣営で18万5000人を討った。人々が朝早く起きて見ると、皆、死んでいた。37 それで、アッシリアのセナケリブ王はそこを去り、帰ってニネベにとどまった。38 そして、ニスロク神の家でひれ伏していた時、自分の子アドラメレクとシャルエツェルに剣で殺された。その2人はアララト地方に逃げた。セナケリブの子エサル・ハドンが代わりに王になった。

38 その頃、ヒゼキヤは病気になる、死にそうになっていた。アモツの子である預言者イザヤが来て言った。「エホバはこう言っています。『家の人たちに指示を出さない。あなたは回復せず、死ぬからだ』」。

2 それでヒゼキヤは顔を壁に向け、エホバに祈り始めた。3 「エホバ、お願いです。どうか、思い出してください。私が心を尽くして忠実にあなたに仕え、あなたから見て良いことを行ったのを」。そしてヒゼキヤは激しく泣きました。

4 エホバがイザヤに語り掛けてこう言った。5 「戻って、ヒゼキヤにこう言いなさい。『あなたの父祖ダビデの神エホバはこう言っている。『私はあなたの祈りを聞いた。あなたの涙を見た。あなたの寿命を15年延ばそう。』

37:38 *または、「神殿」。38:3 *直訳、「の前で歩み」。

第37章

(7) 王二 19:35-37
代二 32:21

(4) 創 10:8,11
ヨナ 1:2

(7) 王二 19:7,28

(2) 代二 32:21

(7) 創 8:4

(7) エズ 4:1,2

第38章

(4) 代二 32:24

(7) 王二 19:20
イザ 1:1

(7) 王二 20:1-3

(2) ネへ 13:22
詩 20:1-3
へブ 6:10

(7) 代二 31:20,21

(2) 王二 20:4-6

(2) 格 15:29
ヨ一 5:14

(2) 詩 39:12
詩 56:8

(7) 申 32:39
サー 2:6

第2欄

(7) 代二 32:22

(4) 王二 20:8-11

(7) ヨシ 10:12,13

(2) 詩 6:5
伝 9:5

(7) 詩 146:4
伝 8:8

(7) ヨブ 17:1

6 そして、アッシリアの王の手からあなたとこの都市を救い、この都市を守る。7 エホバは語ったことを実行する。エホバからのしるしは、こうである。8 私は、太陽によりアハズの階段を下った影を、10段戻す』。すると、階段を下った影が10段上に戻った。

9 ユダのヒゼキヤ王が病気になる、回復した時に書いた詩。

10 私は言った。「人生の半ばで、私は墓の門を入っていかなければならない。残りの年月を奪い去られる」。

11 私は言った。「私はヤハを、地上でヤハを見ることはない。何もかもが絶える場所の住民と共にある時、もう人を目にすることはなくなる。

12 私の住まいは引き抜かれ、私から取り去られた。羊飼いの天幕のように。私は機織りのように自分の命を巻き上げた。

神は私を縦糸のように断ち切る。夜明けから日暮れまで、あなたは私の命を終わらせようとします。

13 私は朝になるまで自分を落着かせせる。

38:8 *日時計のように、時間を計測するのに使われていた階段のことかもしれない。38:10 *ヘブライ語、シエオル。用語集参照。38:11 *エホバの短縮形。

神^{かみ}はライオンのように、私^{わたし}の骨^{ほね}を
残^{のこ}らず砕^{くだ}き続^{つづ}ける。

夜明^{よあ}けから日暮^{ひぐ}れまで、あな
たは私^{わたし}の命^{いのち}を終わ^おらせようと
する^す。

14 私^{わたし}はアマツバメやツグミのように
さえず^{つづ}り続^{つづ}ける。

ハトのようにクークーと鳴^なき続^{つづ}
ける^け。

私^{わたし}の目^めは天^{てん}を仰^{あお}いで疲^{つか}れ果^はてた。
『エホバ、私^{わたし}はとてども苦し^{くる}んでい
ます。

私^{わたし}を支^{ささ}えてください!』

15 何^{なん}といえ^いばよいのだろう。

神^{かみ}は私^{わたし}に語^{かた}り掛^かけ、行^{こう}動^{どう}してくだ
さった。

私^{わたし}は生^{しょう}涯^{がい}、謙^{けん}遜^{そん}に歩^{あゆ}む。

ひどい苦^{くる}しみを味^{あじ}わったからだ。

16 『エホバ、人^{ひと}は皆^{みな}これら^{*}のものに
よ^いって生^いきます。

それ^{わたし}は私^{わたし}にも生^いきる力^{ちから}を与^{あた}えてく
れます。

あな^{わたし}たは私^{わたし}を再^{ふた}び健^{けん}康^{こう}にし、生^い
き続^{つづ}けさせてくださいまし。

17 ご覧^{らん}ください、私^{わたし}は平^{へい}和^わの代^かわり
にひどい苦^{くる}難^{なん}を味^{あじ}わいました。

しかし、あな^{わたし}たは優^{やさ}しくしてくだ
さり、

私^{わたし}を滅^{ほろ}びの穴^{あな}から守^{まも}ってください
まし⁽⁴⁾。

38:14 *もしかすると、「鶴」。「直訳、「私の保
証人になって」。 38:15 *または、「厳肅に」。
38:16 *神の言葉と行いのこと。

第38章

(7) 詩 39:10

(4) 詩 102:7

(7) イザ 59:11

(4) 詩 39:7

(7) 詩 39:12
詩 119:82, 123(7) サー 2:6
ヨブ 33:28
詩 71:20(4) 詩 30:3
詩 86:13
ヨナ 2:6

第2欄

(7) イザ 43:25
ミカ 7:18

(4) 詩 30:9

(7) 詩 6:5
詩 115:17

(4) 伝 9:5, 10

(7) 創 18:19
申 4:9
ヨシ 4:21-24

(7) 詩 30:11, 12

(4) 王二 20:5
詩 84:2

(7) 王二 20:7

(7) 王二 20:8

第39章

(4) 代二 32:23

(7) 王二 20:5
王二 20:12, 13

私^{わたし}の全^{すべ}ての罪^{つみ}をご自^じ分の後^ごろに
投^なげ捨^すててくださいまし⁽⁴⁾。

18 墓^{はか}はあな^{*}たをたたえ^きることがで
き^きず、

死^しはあな^{さん}たを賛^{さん}美^びする^すことがで
き⁽⁴⁾ません。

墓^{はか}穴^{あな}に下^{くだ}る人^{ひと}は、あな^{しん}たの真^{じん}実^{じつ}
さ^きに希^き望^{ぼう}を抱^{いだ}けませ⁽⁴⁾ん。

19 生^いきてい^{ひと}る人^{ひと}こそあな^{さん}たを賛^{さん}美^びで
き^きます。

私^{わたし}が今^き日^{よう}そ^ううで^きてい^{よう}に
で^すす。

父^{ちち}親^{おや}はあな^{しん}たの真^{じん}実^{じつ}さについ
て子^こたち^{おし}に教^{おし}えることがで
き^すます。

20 エホバ、私^{わたし}を救^{すく}ってください。

私^{わたし}たちは弦^{げん}楽^{がく}器^きで私^{わたし}の歌^{うた}を演^{えん}奏^{そう}
し⁽⁴⁾ます。

生^いきてい^{かぎ}る限^{かぎ}り、エホバの
家^{いえ}で』。

21 イザヤは言^いった。「干^ほしいちじく
の菓^か子^しを持^もってき^はて、腫^はれ物^{もの}に当^あてな
さい。そうすれば彼^{かれ}は回^{かい}復^{ふく}し⁽⁴⁾ます」。

22 ヒゼキヤはこ^{たず}う尋^{たず}ねていた。「私^{わたし}
がエホバの家^{いえ}に上^{のぼ}ってい^けけるとい^{いう}し
る^しが^あり^ます^か」。

39 その頃^{ころ}、バビロンの王^{おう}、バラ
ダ^こンの子メロダク・バラダ^ン
ンがヒゼキヤに手^て紙^{がみ}と贈^{おく}り物^{もの}を贈^{おく}った。
ヒゼキヤが病^び氣^きにな^り、その後^ご回^{かい}復^{ふく}し⁽⁴⁾
た^きと聞^きいたから^いだ^つった。 2 ヒゼキヤ

38:17 *または、「視界から取り除いて」。 38:
18 *ヘブライ語、シェオル。用語集参照。

は使者たちを歓迎し、宝物庫を見せた。銀や金も、バルサム油や他の高価な油も、全ての武器も、宝物庫にあった物を残らず見せた。自分の家の中、全領土の中で、ヒゼキヤが彼らに見えなかった物は一つもなかった。

3 その後、預言者イザヤがヒゼキヤの王の所に入ってきて尋ねた。「あの人たちは何と言いましたか。どこから来たのですか」。ヒゼキヤは、「遠い国、バビロンからやって来ました」と言った。4 イザヤは尋ねた。「あなたの家で彼らに何を見せたのですか」。ヒゼキヤは答えた。「私の家にある物全てを見せました。私の宝物庫の中で見えなかった物は一つもありません」。

5 イザヤはヒゼキヤに言った。「大軍を率いるエホバの言葉を聞きなさい。6 エホバはこう言っています。『あなたの家にある物全て、あなたの父祖たちがこれまで蓄えてきた物全てが、残らずバビロンに持っていかれる日が来る。7 生まれてくるあなたの子孫の中には、連れていかれてバビロンの王の宮殿で廷臣にされる者もいる』」。

8 ヒゼキヤはイザヤに言った。「あなたが語ったエホバの言葉はもっともです。そして言った。『私の生涯中、平和と安定を与えていただけるのですから、感謝します』」。

39:2, 4, 6 *または、「宮殿」。39:8 *直訳、「真実」。

第39章

(7) 代ニ 32:27

(4) 王ニ 20:14,15

(7) 王ニ 20:16-18

王ニ 24:11,13

王ニ 25:13

代ニ 36:18

ダニ 1:1,2

(2) 王ニ 24:12

ダニ 2:49

ダニ 5:29

(7) 王ニ 20:19

第2欄

第40章

(7) イザヤ 49:13

イザヤ 51:3

ヨニ 1:3,4

(4) 詩 79:8,9

エレ 31:34

エレ 33:8

(7) エレ 16:18

ダニ 9:11,12

(2) イザヤ 35:8

イザヤ 57:14

マラ 3:1

(7) イザヤ 11:16

マタ 3:1,3

マル 1:2-4

ルカ 3:3-6

ヨハ 1:23

(7) イザヤ 42:16

(4) イザヤ 24:15

(7) イザヤ 49:6

イザヤ 52:10

(7) ヨブ 14:1,2

詩 90:5,6

(2) ヤコ 1:11

(7) 詩 103:15,16

40 あなたたちの神はこう言う。
「慰めよ、私の民を慰めよ。」

2 エルサレムの心に語り、伝えよ。

彼女の労役が終わり、
罪が償われたことを。

彼女はエホバの手から、自分の
全ての罪に対する十分の報い
を受けた」。

3 荒野で叫ぶ声がする。
「エホバの道を整えよ！」

私たちの神のために、砂漠を通
る真つすぐな街道を造れ。

4 全ての谷を埋め、
全ての山と丘を低くするように。

でこぼこの地面を平らにし、
険しい土地を谷あいの平原にし
なければならない。

5 エホバの栄光が明らかにされ、
全ての人が共にそれを見る。

エホバの口が語ったのである。

6 聞け！ 誰かが「叫べ！」と言って
いる。

別の者が、「何と叫べばいいの
か」と尋ねる。

「人は皆、青草である。
人々の揺るぎない愛は全て、野
の花のようだ。」

7 青草は干からび、花は枯れる。
エホバが息を吹き掛けるからで
ある。

40:2 *または、「エルサレムを慰め」。『エルサレムのこと。^または、「2倍」。40:3 *または、「きれいにせよ」。40:4 *または、「高くし」。

たし ひとびと あおくさ
確かに人々は青草にすぎない。

- 8 青草は干からび、花は枯れる。
あおくさ ひ はな か
しかし、私たちの神の言葉は永
えん そんぞく (7)
遠に存続する。

- 9 シオンに良い知らせを持ってくる
じょせい (4)
女性よ、

たか やま のぼ
高い山に登れ。

エルサレムに良い知らせを持っ
じょせい
てくる女性よ、
ちからづよ こえ あ
力強く声を上げよ。

こえ あ おそ
声を上げ、恐れてはいけない。
ユダの町々に、「ほら、あなたた
ちの神です」と告げよ。

- 10 主権者である主エホバが力を帯
しゅけんしゃ しゅ ちから お
びて来て、
じぶん うで おさ (2)
ご自分の腕によって治める。

むく あた なが
報いを与えることを願い、
ほうしゅう し はら (4)
報酬を支払おうとしている。

- 11 神は羊飼いのようにご自分の群
かみ ひつじか (4)
れを世話する。

うで こひつじ あつ みどころ だ
腕で子羊を集め、懷に抱いて
はこ
運ぶ。

こ ちち の ひつじ やさ
子に乳を飲ませている羊を優しく
みちび (4)
導く。

- 12 誰が手のひらのくぼみで全ての
だれ て すべ
水を量り、
みず はか (4)
水を量り、

ひら て はば* てん はか
開いた手の幅で天を測れるか。

だれ ちじょう つち ようき あつ
誰が地上の土を容器に集め

い (4)
入れ、
やまやま
山々をてんびんで、

40:12 *手を開いた状態で親指の先から小指の先までの長さ。付録B14参照。

第40章

(7) イザ 46:10
ペー 1:24,25

(4) イザ 52:7

(7) イザ 12:2
イザ 25:9

(4) イザ 53:1
ヨハ 12:37,38

(7) イザ 62:11
啓 22:12

(7) イザ 49:10
エゼ 34:15,16
ペー 2:25

(4) 創 33:13
ペー 5:2,3

(7) 格 30:4

(7) ヨブ 38:4,5

第2欄

(7) ヨブ 36:22,23
ロマ 11:34
コー 2:16

(4) 詩 147:5

(7) 詩 62:9

(4) ダニ 4:35

(7) イザ 41:11,12

(4) 出 8:10
詩 86:8
エレ 10:6,7

(4) 申 4:15,16
使徒 17:29

(7) 詩 115:4-8

おか はか
丘をはかりで量れるか。

- 13 誰がエホバの聖なる力を測れ
だれ せい ちから* はか
るか。

だれ じょげんしゃ かみ おし
誰が助言者として神を教えられ
(7)
るだろうか。

- 14 神は理解するために誰に助言を
かみ り かい だれ じょげん
求めたというのか。

だれ かみ こうせい みち おし
誰が神に公正の道を教え、
ちしき あた
知識を与え、
しん り かい みち しめ (4)
真の理解の道を示すのか。

- 15 国々はおけからこぼれる滴のよ
くにくに
うであり、

はかりの上のほこりのように見な
(4)
される。

かみ しまじま こま
神は島々を細かいちりのように
もち あ
持ち上げる。

- 16 レバノンでさえ火を燃やし続ける
のに足りず、

そこにいる野生動物も全焼の捧
や せいどうぶつ ぜんしょう ささ
げ物として十分ではない。

- 17 全ての国は神の前で無に等しく、
すべ くにかみ まえ む ひと (4)
価値のないむなしなものと思な
か ち
される。

かみ ひつてき もの だれ (4)
神に匹敵する者が誰かいるか。

かみ なに
神を何になぞらえられるという
(4)
のか。

- 19 職人が偶像を鑄造し、
しよくにん ぐうぞう ちゅうぞう
金属細工人がそれに金をか
きんぞくさいく にん きん
金をか

(4)
ぶせ、

40:13 *または、「エホバの考え」。^aもしかすると、「理解できるか」。 40:16 *または、「十分なまきを供給でず」。

ぎん くさり つく
銀の鎖を作る。

- 20 ある人が寄進物にしようと、
くさ き えら 腐らない木を選び、
じゅくれん しょくにん さが 熟練した職人を探す。
たお ちようこくそう つく 倒れない彫刻像を作るために。

- 21 あなたたちは知らないのか。
き 聞いていないのか。
さいしょ つ 最初から告げられていないのか。
ち どだい す 地の土台が据えられた時から理
かい 解していないのか。

- 22 丸い地の上に住む方がいる。
ち す の 地に住む者たちはバツタのよ
うだ。
かた てん うす お の その方は天を薄織りの布のよう
ひろ に広げ、

- てんまく は す 天幕のように張って住まいとする。
23 こうかん しっさやく 高官たちを失脚させ、
ちじょう さいばんにん* む か 地上の裁判人たちを無価値なも
のとする。

- 24 かれ う 彼らはまともに植えられることも、
まかれることも、
ね づ 根付くこともなく、
いき ふ か ひ 息を吹き掛けられて干からび、
かわぜ はこ さ かわ の わらのように風に運び去られる。

- 25 せい なた い 聖なる方はこう言う。
「あなたたちは私を誰になぞらえ、
だれ どうとう み 誰と同等に見なそうという
のか。

- 26 てん み あ 天を見上げてみなさい。
だれ もの そうそう 誰がこれらの物を創造したのか。

40:22 *または、「球形の」。 40:23 *または、「支配者」。

第40章

(イ) イザ 44:14,15

(イ) イザ 41:7
イザ 46:6,7
エレ 10:3,4

(イ) 詩 19:1
ロマ 1:20

(イ) イザ 66:1

(イ) イザ 44:24
エレ 10:12
ゼカ 12:1

(イ) 王一 21:20,21
王二 10:10,11
エレ 22:24,30

(イ) 詩 102:25

第2欄

(イ) 詩 147:4

(イ) 詩 89:13

(イ) イザ 49:14
エゼ 37:11

(イ) 創 21:33
詩 90:2
エレ 10:10
テモ一 1:17

(イ) 詩 121:4
イザ 27:3

(イ) 詩 139:4,6
詩 147:5
イザ 55:9
ロマ 11:33
コ一 2:16

(イ) 詩 29:11
イザ 40:26
フリ4 4:13
ヘブ 11:33,34

(イ) 詩 103:5

ほし ぐんぜい かぞ あ ひき
星の軍勢を数え上げて率いてい
る者である。

その者は全ての星を名で呼ぶ。
ぼうだい かつりよく* きやういてき ちから も
膨大な活力と驚異的な力を持つ
ているので、
ひと ひとつとして欠ける星はない。

- 27 ヤコブよ、なぜ言うのか。
イスラエルよ、なぜ言い張る
のか。

『エホバは私の歩みを見てい
ない。
かみ こうせい あつか 神は公正に扱ってくれない』と。

- 28 あなたは知らないのか。聞いて
いないのか。

ち は は そうそう
地の果てから果てまでを創造し
たエホバは、永遠にわたって
かみ 神である。

つか は よわ
疲れ果てることも、弱ることも
ない。

その理解力は計り知れない。

- 29 かみ つか ひと ちから あた
神は疲れた人に力を与え、
よわ ひと かつりよく あた
弱った人にみなぎる活力を与
える。

- 30 しょうねん つか は よわ
少年が疲れ果てて弱ることも、
せいねん たお
青年がつまづいて倒れることも
ある。

- 31 き ぼう いだ
しかし、希望を抱いてエホバを
まつ ひと ふたた ちから え
待つ人は、再び力を得る。
つばさ ひろ ま あ
ワシのように翼を広げて舞い上
がる。

40:26 *または、「動的エネルギー」。

はし よわ
走っても弱ることがなく、
ある つか は (7)
歩いても疲れ果てない」。

41

しまじま よわし い
「島々よ、静かに私の言うこ
とを聞け。
くにくに ちから と もど
国々は力を取り戻せ。
ちか き かた (7)
近くに来て、語れ。
さば あつ
裁きのために集まれ。

2 誰がある者を日の出の方から立
ちあがらせ、
せい ぎ にな あしもと よ
正義を担わせようと足元に呼び
寄せたのか。

もの くにくに わた おう
その者に国々を渡し、王たちを
ふくじゅう (2)
服従させるために。

だれ かれ もの つるぎ まえ
誰が彼らをその者の剣の前でみ
じんに碎き、

その者の弓の前でわらのように
ふ ち
吹き散らすのか。

3 その者は彼らを追い、妨げられ
ることなく進む。

ある みち とお
歩いたことがない道を通して。

4 誰が行動し、このことを行い、
はじ だいだい ひとびと よ だし
初めから代々の人々を呼び出し
てきたのか。

わたし さいし もの (8)
私エホバは最初の者であり、
さい ご ひとびと たい か
最後の者々に対しても変わら
ない」。

5 島々は見て、恐れた。
ち は ふる はじ
地の果ても震え始めた。
ひとびと けっそく く
人々は結束し、やってくる。

6 それぞれが仲間を助け、

41:1 *または、「私の前で静かにしていよ」。

41:2 *または、「東」。

第40章

(7) 王—18:46
詩 84:7

第41章

(7) イザ 41:21

(7) イザ 44:28
イザ 46:11
啓 16:12

(2) イザ 45:1

(7) イザ 43:10
イザ 44:6
イザ 48:12
啓 1:8

(7) イザ 46:4
マラ 3:6
ヤコ 1:17

第2欄

(7) イザ 44:12
イザ 46:6

(7) 出 19:5,6
レビ 25:42

(7) 申 7:6
詩 33:12

(2) 代二 20:7
ヤコ 2:23

(7) 詩 107:2,3

(7) イザ 43:10

(7) サ—12:22
エレ 33:25,26

(7) 申 20:1
詩 46:1
口マ 8:31

(7) イザ 60:19,20

(2) 申 33:27
詩 115:9

(7) イザ 45:24

きょうだい ゆう き だ
兄弟に「勇気を出しなさい」と
い
言う。

7 職人は金属細工人を力づける。

かな う の もの
金づちで打ち延ばす者は、
さぎょうだい う もの ちから
作業台で打ちたたく者を力づけ、
きんぞく せつごう で き
金属の接合について「いい出来
だ」と言う。

そして偶像は倒れないようにくぎ
で固定される。

8 「しかし、イスラエルよ、あなたは
わたし つか もの (7)
私に仕える者であり、

わたし えら
ヤコブよ、私が選んだあなたは、
わたし とも し せん (2)
私の友アブラハムの子孫である。

9 私はあなたを地の果てから連れ
だし、

もっととお ところ よ だ
最も遠い所から呼び出した。

わたし い
私は言った。『あなたは私に仕え
る者である。』

わたし えら しりぞ
私はあなたを選んだ。退けては
いない。(8)

10 恐れはいけな。私があなた
と共にいる。

しんばい さいし わたし
心配してはいけな。私があな
たの神である。

わたし つよ かなら たす
私はあなたを強くし、必ず助
ける。(2)

わたし せい ぎ みぎて
私の正義の右手であなたをしっ
かりと支える』。

11 あなたに激怒する者は皆恥をか
き、辱められる。

41:10 *または、「つかんで離さない」。

あなたに^は菌^む向^{もの}かう者^{のぞ}たちは除^さき
去^{はろ}れ、滅^めびる。

12 あなたと争^{あらそ}う者^{もの}たちを捜^{さが}しても見
つからない。
あなたと戦^{たたか}う者^{もの}たちは無^むに等^{ひと}し
いもの、価^か値^ちのないもの^に
なる。

13 あなたの神^{かみ}である私^{わたし}エホバは、
あなたの右^{みぎ}手をしかりつ
かみ、
『恐^{おそ}れはいけな^い。私^{わたし}があなた
を助^{たす}ける』と言^いう。

14 虫^{むし}のようなヤコブ^{ヤコブ}、イスラエルの
人^{ひと}たち、恐^{おそ}れはいけな^い。
私^{わたし}があなたを助^{たす}ける」と、あなた
を救^{すく}う方^{かた}、イスラエルの聖^{せい}なる
方^{かた}エホバは宣^{せん}言^{げん}する。

15 「私^{わたし}はあなたを脱^{だつ}穀^{こく}そりとした。
両^{りやう}刃^ばの付^ついた新^{あた}しい脱^{だつ}穀^{こく}機^きと
した。
あなた^{やま}は山^{やま}々^ふを踏^ふみつ^くけて砕^{くだ}き、
丘^{おか}をもみ殻^{がら}のようにする。

16 あなたがそれら^{ほう}を放^あり上げると、
風^{かぜ}が運^{はこ}び去^さり、暴^{ぼう}風^{ふう}が吹^ふき散^ち
らす。
あなた^{かん}はエホバ^きのこ^こで歡^{かん}喜^きし、
イスラエルの聖^{せい}なる者^{もの}について
誇^{ほこ}る。

17 「困^{こま}っている人^{ひと}や貧^{まず}しい人^{ひと}が水^{みず}を
求^{もと}めているが、全^{まった}くない。

41:14 *無防備で惨めだということ。 #直訳、
「買い戻す」。

第41章
[ア] イザ 40:17
イザ 60:12

[イ] イザ 54:17

[ロ] 申 33:29

[コ] 申 7:7

[カ] イザ 43:14
イザ 47:4

[ケ] ミカ 4:13

[キ] イザ 25:9

[ク] イザ 12:6

第2欄

[ア] 申 28:48
アモ 8:11

[イ] イザ 30:19
イザ 55:1

[ロ] 詩 94:14
イザ 42:16
ヘブ 13:5

[コ] イザ 30:25

[ケ] ヨエ 3:18

[ク] 詩 107:35

[キ] イザ 32:14,15
イザ 60:21

[ク] イザ 51:3
イザ 55:13

[ク] エゼ 39:28

かれ^{のど}は喉^{かわ}が渴^{した}き、舌^{かわ}が乾^{かわ}いて
いる。

私^{わたし}エホバ^かが彼^{かれ}らに答^{こた}える。

イスラエルの神^{かみ}である私^{わたし}は、彼^{かれ}
を見^み捨^すてない。

18 私^{わたし}は、はげ山^{やま}に川^{かわ}が流^{なが}れるよう
にし、

谷^{たに}あいの平^{へい}原^{げん}に泉^{いずみ}を湧^わき出^ださ
せる。

荒^{こう}野^やをアシ^{しげ}が茂^{いけ}る池^かに変^かえ、
水^{みず}のない土^ど地^ちを泉^{いずみ}に変^かえる。

19 砂^さ漠^{ばく}に杉^{すぎ}を植^うえる。

アカシア、ギンバイカ、松^{まつ}も。

砂^さ漠^{ばく}平^{へい}原^{げん}にネズ^きの木^きを、

トネリコとイトスギと共に植^うえる。

20 エホバの手^てがこれ^{おこな}を行^{おこな}い、
イスラエルの聖^{せい}なる者^{もの}がそれ^{*}を
もたらしたことを、

全^{すべ}ての^{ひと}人^みが^し見^みて知^しり、
注^{ちゅう}意^いを払^{はら}って理^り解^{かい}でき^するよう^にに
す
るために」。

21 「訴^うえ^たで^で出^でよ」と、エホバ^いは言^いう。
「論^{ろん}拠^{きょ}を^{しめ}示^{しめ}せ」と、ヤコブ^おの王^{おう}は
言^いう。

22 「証^{しょう}拠^こを^{てい}提^{てい}出^{しゅつ}し、これ^おから起^おきる
事^{こと}柄^{がら}を私^{わたし}たち^つに告^つげよ。
以^い前^{ぜん}に^{こと}あ^{がら}った事^{こと}柄^{がら}につ^{はな}いて話^{はな}し

てみよ。
私^{わたし}たちがそれら^{かんが}につ^{*}いて考^{かんが}え、

41:20 *または、「創造した」。 41:22 *または、
「を心に留め」。

先行きを知ることができるよ

うに。

あるいは、今後のことを宣言して

みよ。

23 将来に起きる事柄を私たちに告げよ。

そうすればあなた方が神であることが分かる。

良いことでも悪いことでも、何か

行ってみよ。

それを見る私たちは驚嘆するだろう。

24 あなた方は実在せず、何も成し遂げていない。

あなた方を選ぶ者は忌まわしい。

25 私はある者を北から立ち上げ、彼は来る。

日が昇る方から来て、私の名を呼ぶ。

彼は支配者たちを粘土のように踏みつける。

湿った粘土を踏み陶芸家のよ

うに。

26 誰が初めからこのことを告げて、私たちが知ることができるようにしたか。

誰が前もって告げて、私たちが『彼は正しい』と言えるようにしたか。

知らせた者は誰もいない！

41:25 *または、「東」。^{*}または、「代官」。

第41章

(イ) イザ 42:9
イザ 46:9, 10
イザ 48:5

(イ) イザ 44:6, 7

(イ) エレ 10:5

(イ) イザ 44:10
エレ 10:14, 15

(イ) 申 7:26
申 27:15
詩 115:4, 8

(イ) イザ 44:28
イザ 45:1
エレ 51:28, 29

(イ) イザ 46:11
啓 16:12

(イ) ミカ 7:10

(イ) イザ 43:9
イザ 44:7
イザ 45:21

第2欄

(イ) ハバ 2:18, 19

(イ) イザ 43:10

(イ) エズ 1:1, 2
イザ 40:9

(イ) 詩 115:4-8
イザ 44:9
コヘ 8:4

第42章

(イ) イザ 52:13

(イ) イザ 49:7
ルカ 9:35

(イ) マタ 3:17
ヨハ 6:27
ペロ 1:17

(イ) イザ 61:1
マタ 3:16

(イ) マタ 12:15-18

(イ) ゼカ 9:9
マタ 12:16, 19

(イ) マタ 11:28, 29
ヘブ 2:17

(イ) イザ 11:3, 4
マタ 12:20
ヨハ 5:30
啓 19:11

宣言した者は誰もいない！

あなた方から何かを聞いた者は誰もいない！

27 私が最初にシオンに、「これから起きることを見なさい！」と言った。

そして、エルサレムに良い知らせを伝える者を遣わす。

28 私はずっと見ていたが、誰もいなかった。

彼らの中に、助言を与える者は

いなかった。

私は彼らに返答させようと尋ね続けた。

29 彼らは皆、幻影である。何も行っていない。

彼らの金属像は風であり、むなしいものである。

42 見なさい、私が支えている奉仕者、

私が選び、喜んでいる者である。

私は彼の内に聖なる力を宿らせた。

彼は国々に公正をもたらす。

2 彼は叫ばず、声を上げず、通りで声を発することもない。

3 傷ついたアシを折らず、くすぶるランプの火を消さない。

忠実に公正をもたらす。

4 彼は消えそうになることも折られ

41:29 *または、「実在しない」。42:1 *または、「是認した」。

することもなく、地上に公正を確
立する。

島々は彼の律法を待ち続ける。

5 真の神エホバは、天を創造し、
広げた偉大な方、

地を据え、豊かな産物を生じさ
せた方、

地上の人々に息を与え、

地上で歩む者に生命力を与える
方である。

その方はこう言う。

6 「私エホバが、正義をもってあな
たを呼び、

あなたの手を取った。

私はあなたを守り、民のための
契約とし、

国々の光とする。

7 あなたは見えない人の目を開き、
囚人を監獄から連れ出し、

暗闇の中に座っている人たちを
牢屋から連れ出すことになる。

8 私はエホバ。それが私の名。

私は自分の栄光をほかの誰にも
与えず、

自分の栄誉をどんな彫像にも与
えない。

9 最初の事柄はすでに起きた。

今、わたしは新しい事柄を告げて

いる。

それらが生じる前に、あなたたち
に知らせよう。

第42章

(例) イザ 9:7
イザ 49:8

(例) イザ 40:22, 26

(例) エレ 10:12

(例) 創 2:7
使徒 17:24, 25

(例) ヨブ 12:10

(例) イザ 49:8

(例) イザ 49:6
ルカ 2:29-32
ヨハ 8:12

(例) イザ 35:5

(例) イザ 61:1
ペー 2:9

(例) 出 34:14

(例) イザ 41:23
イザ 43:19
ペニ 1:21

第2欄

(例) 詩 96:1
詩 98:1
啓 14:3

(例) イザ 44:23

(例) イザ 51:5

(例) イザ 35:1

(例) 創 25:13
イザ 60:7

(例) 詩 22:27

イザ 24:15
イザ 66:19

(例) イザ 59:17

(例) 出 15:3

(例) サー 2:10

(例) 詩 107:33
イザ 44:27

イザ 50:2

(例) イザ 29:18
イザ 35:5
エレ 31:8

(例) イザ 30:21

(例) イザ 60:1, 20

(例) イザ 40:4

10 エホバに新しい歌を歌え。

地の果てからその方を賛美せよ。

海に乗り出す人たちと、海に満ち
る全てのものよ。

島々とその住民よ。

11 荒野とそこにある町々は声を上
げよ。

ケダルの人々が住む集落も。

大岩の住民は歓声を上げよ。

山々の頂から叫べ。

12 エホバの栄光を認め、

島々でその方を賛美せよ。

13 エホバは勇士のように出ていき、

戦士のように熱意を燃やす。

叫び、ときの声を上げ、

ご自分が敵よりも強いことを
示す。

14 「私は長い間、静かにしていた。

沈黙し、自分を制していた。

出産する女性のように、

うめき、あえぎ、息を切らす。

15 私は山や丘を荒廃させ、

そこにある草木を全て枯れさ
せる。

川を島々に変え、

アシが茂る池を干上がらせる。

16 目が見えない人々を導いて彼

らの知らない道を通らせ、

なじみのない道を歩かせる。

彼らの前の闇を光に変え、

険しい土地を平地に変える。

42:4 *または、「指示」。 42:8 *または、「誰とも分け合わず」。

42:15 *または、「沿岸」。

わたしかれ おこな
私は彼らのためにこれを行い、
かれ みす
彼らを見捨てない」。

- 17 彫刻像に頼る者たち、
きんぞくそう む
金属像に向かって「われわれの
かみ い もの
神」と言う者たちは、

しりぞ はじ づ
退けられてすっかり恥をかく。

- 18 耳が聞こえない人たち、聞きな
さい。

め み ひと み
目が見えない人たち、よく見な
さい。

- 19 目が見えないのは、私に仕える
もの
者だけではないか。
わたし つか
私が遣わす使者ほどに耳が聞こ
えぬもの
えない者がいるか。

むく もの め み
報われた者ほどに目が見えな
い者、

つか もの め み
エホバに仕える者ほどに目が見
えない者がいるか。

- 20 あなたは多くのものが見えてい
るのに、注意を払わない。
き
聞こえているはずなのに、耳を傾
けようとしなない。

- 21 エホバは自分の正義のために、
よろこ りつぼうき いだい かや
喜んで律法を偉大で輝かしいも
のとした。

- 22 しかし、この民は略奪され、奪い
去られた。
みな あな と ろう や と
皆が穴に捕らわれ、牢屋に閉じ
込められている。
りやくだつ だれ すく だ
略奪されて、誰にも救い出しても
らえず、

42:21, 24 *または、「指示」。

第42章

(イ) イザ 44:10, 11
イザ 45:16

(イ) イザ 6:9, 10
イザ 43:8

(イ) イザ 56:10
エレ 4:22
エゼ 12:2

(エ) エゼ 33:31

(イ) 申 28:15, 33
エレ 50:17

(イ) 詩 102:19, 20

(イ) 申 28:29, 52

第2欄

(イ) 裁 2:12, 14
代二 15:3, 6
詩 106:41

(イ) 申 32:22
ナホ 1:6

(イ) イザ 9:13
エレ 5:3
ホセ 7:9

(イ) イザ 57:11

第43章

(イ) 詩 100:3
イザ 43:15
イザ 44:2, 21

(イ) イザ 44:23
エレ 50:34

うば さ だれ つ もど
奪い去られて、誰にも「連れ戻
せ!」と言ってももらえない。

- 23 あなたたちのうち誰がこれに耳
かたむ
を傾けるだろうか。

く とき だれ ちゅう
やがて来る時のために、誰が注
意を払って聞くだろうか。

- 24 ヤコブを奪い去られるままにし、
りやくだつしや わたし
イスラエルを略奪者たちに渡し
たのは誰か。

それはエホバではないか。わたし
かた たい つみ おか
ちはその方に対して罪を犯
した。

ひとびと かた みち あゆ
人々はその方の道を歩もうと

せず、
かた りつぼうき したが づ
その方の律法に従わなかった。

- 25 神は彼に怒りを浴びせ続け、
いきどお せん か だれ つつ づ
憤りと戦火で彼を包んだ。

それは彼の周りを焼き尽くした
が、彼は気に掛けなかった。

それは彼に向かって燃え盛った
が、彼は心を留めなかった。

43 ヤコブよ、あなたを創造し
た方、

イスラエルよ、あなたを形作つ
た方、

エホバはこう言う。

「恐れてはいけない。私はあなた
を救い、

あなたの名を呼んだ。あなたは
私のものである。

42:25 *イスラエルのこと。 43:1 *直訳、「買
い戻し」。

- 2 あなたが^{みず}水の中を通るとき、私^{わたし}はあなたと共にいる。
 川^{かわ}を渡るとき、あなたが水にのま^{みず}れることはない。
 火^ひの中を歩いても、あなたは焼^やかれず、
 炎^{ほのお}に焦^こがされることもない。
 3 私はあなたの神エホバ、
 イスラエルの聖なる者、あなたの救^{すく}い主である。
 私はあなたのための贖^{あがな}いとして
 エジプト^{あた}を与え、
 あなたと引き換えにエチオピアと
 セバ^{あた}を与えた。
 4 私はあなたを責^とぶようになり、
 重んじ^{おも}、愛した。
 それで、あなたの代わりに人々^{ひとびと}を与え、
 あなたの命^{いのち}と引き換えに国々^{くにくに}を与える。
 5 恐れは^{おそ}いけ^{わたし}ない。私はあなたと共にいる。
 東^{ひがし}からあなたの子孫^{しそん}を連れてきて、
 西^{にし}からあなたを集める。
 6 北^{きた}に向かって『引き渡せ!』と
 言い、
 南^{みなみ}に向かってこう言う。『引き留^ひめるな。
 私の息子^{むすこ}たちを遠^とくから、娘^{むすめ}たちを地の果^ちてから連れてくるよ
 うに。

43:3 *用語集参照。

第43章

[ア] 出 14:29

[イ] ヨシ 3:15,16
王二 2:8

[ウ] 出 19:5,6

[エ] 申 7:8
エレ 31:3

[オ] イザ 41:10

イザ 44:2
エレ 30:10[カ] 申 30:1-3
詩 106:47
イザ 66:20
エゼ 36:24
ミカ 2:12
ゼカ 8:7

[キ] エレ 3:18

[ク] エレ 31:8

第2欄

[ア] エレ 33:16

[イ] 詩 100:3
イザ 29:23[ウ] イザ 6:9,10
イザ 42:18,19

[エ] イザ 41:1

[オ] イザ 41:21,22
イザ 44:7

[カ] 王一 18:24,25

[キ] 使徒 1:8
啓 1:5

[ク] 申 4:37

[コ] イザ 41:4

[ク] イザ 44:8

- 7 彼らは皆、私の名で呼ばれて

おり、
 私が自分の栄光のために創^{そう}造^{ぞう}し、
 形作^{かたちづく}った者たちである』。

- 8 目があるのに見えない民、
 耳があるのに聞こえない民を連^つれ出^だす。

- 9 全ての国は1つの場所に集^{あつ}合^あし、
 人々は集まれ。

彼らのうち誰^{だれ}がこれを告げられ
 るか。

誰^{だれ}が最初の事柄^{さいしょ}を私^{わたし}たちに聞^きか
 せられるか。

彼らに証人^{しょうにん}を出^ださせ、自分たち
 の正^{ただ}しさを証明^{しょうめい}させてみよ。
 聞^きく者^{もの}たちに、『それは真実^{しんじつ}だ!』
 と言^いわせてみよ。

- 10 エホバはこう宣言^{せんげん}する。
 「あなたたちは私の証人^{しょうにん}である。
 私に仕える者であり、私が選^{えら}んだ
 のである。

あなたたちが私を知り、私に信^{しん}
 仰^{こう}を持ち、
 私が変^{かわ}わらないことを理解^{りかい}する
 ために。

私の前^{まえ}に存在^{そんざい}するようになった
 神^{かみ}はおらず、
 私の後^{あと}にもいない。

43:9 *偽りの神々のことと考えられる。*将来に起きる最初の事柄のことかもしれない。43:10 *または、「私を信頼し」。*直訳、「形作られた」。

11 私、この私がエホバであり、ほか
に救い主はいない。

12 エホバはこう宣言する。
「あなたたちの中にほかの神が
いなかった時に、
私こそが、救うと告げ、実際に救
い、そのことを知らせた。

それで、あなたたちは私の証人であ
り、私は神である。

13 また、私は常に変わらない。
誰も私の手から何かを奪い取る
ことはできない。

私が行動する時、誰が阻めるだ
ろうか。

14 あなたたちを救う方、イスラエ
ルの聖なる方、エホバはこう
言う。

「私はあなたたちのためにバビロ
ンに人を遣わし、全ての門の
かんぬきを外す。

カルデア人は自分たちの船の中
で苦悩して叫ぶ。

15 私はあなたたちの聖なる者エホ
バ、イスラエルの創造者、あな
たたちの王である。

16 これはエホバの言葉である。
その方は海の中に道をつくる。
荒れ狂う水の中をも通る道を。

17 その方は戦車と馬を引き出し、
強い戦士たちから成る軍隊を引
き出す。

第43章

(例) 申 6:4

(例) イザ 12:2
ホセ 13:4
デモ— 2:3
ユダ 25

(例) 申 32:12

(例) イザ 46:1, 5, 10

(例) イザ 41:4
啓 1:8

(例) 申 32:39

(例) イザ 14:27
ダニ 4:35(例) イザ 44:6
イザ 63:16

(例) イザ 54:5

(例) イザ 45:1, 2

(例) エレ 50:10

(例) 詩 89:18

(例) イザ 43:1

(例) 申 33:5
詩 74:12
イザ 33:22
啓 11:17(例) 出 14:16
ヨシ 3:13

(例) 出 15:4

第2欄

(例) エレ 51:39

(例) イザ 42:9

(例) イザ 11:16
イザ 40:3

(例) イザ 41:18

(例) イザ 41:17
エレ 31:9(例) 詩 33:12
イザ 41:8
ペー 2:9

(例) イザ 60:21

(例) イザ 64:7

(例) エレ 2:5
ホセ 7:10
ミカ 6:3

「彼らは横たわり、起き上ら
ない。

燃えるランプの火が消されるよう
に、消し去られる」。

18 「以前のことを思い出してはなら
ない。

過去についてあれこれ考えては
ならない。

19 私は新しいことを行う。

今それは起ころうとしている。
あなたたちは気付いていない

のか。

私は荒野に道をつくり、
砂漠に川が流れるようにする。

20 野獣が私をたたえる。

ジャッカルやダチョウが。

私が荒野で水を湧き出させ、

砂漠に川が流れるようにする
からだ。

私の民、私の選んだ者が水を飲

めるように。

21 その民は、私が自分のために形
作った。

彼らが私を賛美するようになるた
めに。

22 しかし、ヤコブよ、あなたは私に
呼び掛けていない。

イスラエルよ、あなたは私にうん
ざりしたからである。

23 私に全焼の捧げ物の羊を持って
きていないし、

犠牲^{ぎせい}を捧^{ささ}げて私^{わたし}をたたえることも
していない。

私は^{わたし}供え物^{そな}を持^もってくるようあな
たに強要^{きやうよう}したことはなく、
乳香^{にゅうこう}を要求^{ようきゅう}してあなたをうんざり
させたこともない。

24 あなたは自分^{じぶん}のお金^{かね}で私^{わたし}のため
に香り^{かお}の良いショウブ^よをかうこ
とをせず、
犠牲^{ぎせい}の脂肪^{しぼう}で私^{わたし}を満足^{まんぞく}させな
かった。

かわりに、多く^{おほ}の罪^{つみ}で私^{わたし}を悩
ませ、

数々^{かずかず}の過^{あやま}ちで私^{わたし}を煩^{わづら}わせた。

25 私^{わたし}、この私^{わたし}が、私^{わたし}自身^{みづかみ}のために
あなたの違反^{いはん}を消^けし去^さって
おり、

あなたの罪^{つみ}を思い出^{おも}さない。

26 互^{たが}いに主張^{しゅちやう}を戦^{たたか}わせよう。私^{わたし}に
思い起^{おも}こさせなさい。
言^いい分^{ぶん}を述^のべて、自分^{じぶん}が正^{ただ}しい
ことを証明^{しょうめい}してみなさい。

27 あなたの最初^{さいしよ}の父祖^{ふそ}は罪^{つみ}を
犯^{おか}し、
あなたの代弁^{だいべん}者^{しや}たちは私^{わたし}に反
逆^{ぎやく}した。

28 それで私^{わたし}は、聖^{せい}なる場所^{ばしょ}の長^{ちやう}た
ちを汚^{けが}れたものとし、
ヤコブ^{はろ}が滅^{ほろ}ぼされるようにし、

第43章

(ア) イザ 66:3

(イ) レビ 3:14-16

(ウ) イザ 1:14,15

(エ) 詩 25:7
詩 79:8,9
エゼ 20:9(オ) イザ 1:18
エ 50:20

(カ) エレ 31:34

(キ) イザ 28:7
エレ 5:31

第2欄

(ア) 詩 79:4
詩 137:3

第44章

(イ) 創 17:1,7
創 35:10,11
イザ 41:8(ウ) イザ 43:1
イザ 44:21(エ) 申 32:15
申 33:5,26(オ) イザ 41:10
エレ 30:10

(カ) イザ 41:17

(キ) イザ 32:14,15

(ク) イザ 61:11

(ケ) ゼカ 13:9

イスラエル^{いすらえ}が侮辱^{ぶじよく}されるままに
する。

44 今^{いま}こそ聞きなさい、私^{わたし}に仕
えるヤコブ^{やこぶ}よ、
私^{わたし}が選^{えら}んだイスラエル^{いすらえ}よ。

2 あなたを造^{つく}った者^{もの}、あなたを形
作り、

胎内^{たいない}にいる時^{とき}から助^{たす}けてきた者^{もの}、
エホバ^いはこう言う。

『私^{わたし}に仕^{つか}えるヤコブ^{やこぶ}よ、
私^{わたし}が選^{えら}んだエシュルン^{えしゅるん}よ、恐^{おそ}れて
はならない。

3 私^{わたし}は喉^{のど}が渴^{かわ}いている者^{もの}に水^{みづ}を
注^{そそ}ぎ、

乾^{かわ}いた地面^{じめん}に川^{かわ}が流^{なが}れるように
する。

あなたの子孫^{しそん}に私^{わたし}の聖^{せい}なる力^{ちから}を
注^{そそ}ぎ、

あなた^{まつそん}の末孫^{しゆくふく}を祝^{しゆく}福^{ふく}する。

4 彼^{かれ}らは青^{あおく}草^{くさ}の中^{なか}から伸^のび出^でるか
のように、

川^{かわ}のほとりのポプラ^{そだ}のように
育^{そだ}つ。

5 ある人^{ひと}は「私^{わたし}はエホバ^いのもの」と
言^いう。

ある人^{ひと}はヤコブ^{やこぶ}の名^なを名^な乗^のる。

ある人^{ひと}は自分^{じぶん}の手^てに「エホバ^いの
もの」と書^かき、

イスラエル^{いすらえ}を自分^{じぶん}の名^なとする』。

6 エホバ^{おう}、イスラエル^{いすらえ}の王^{わう}、

44:2 *または、「生まれた」。^{*}意味、「正しい者」。イスラエルの名誉称号。 44:3 *または、「乾燥した土地」。

43:24 *アシに似た芳香植物を指すと考えられる。 43:25 *または、「反逆的な行い」。 43:27 *律法の教師たちのことかもしれない。

イスラエルを救う者、大軍を率い
るエホバはこう言う。

『私は最初であり、最後である。

私のほかに神はいない。

7 私のような者がいるだろうか。

その者を上げ、そのことを主
張し、私に証明してみよ!

私が昔の民を定めた時からして

きたように、

間もなく起きる事柄や、

やがて生じる事柄を告げてみよ。

8 あなたたちは恐れてはならない。

恐怖で身がすくむことがないよう

にしなさい。

私は前もって一人一人にはっきり

告げたではないか。

あなたたちは私の証人である。

私のほかに神がいるだろうか。

いや、ほかに岩のような者はい

ない。私は全く知らない。』

9 彫刻像を作る者は皆むなしく、
彼らがあがめている物は何の役

にも立たない。

それらの像は何も見ず、何も知

らないので、証人にはなり得

ない。

それで、作った者たちは恥をかく

ことになる。

10 何の役にも立たない神や金属
像を、

第44章

(例) 出 6:6
エレ 50:34

(例) イザ 41:4
イザ 48:12
啓 22:13

(例) 申 4:35,39
イザ 43:10

(例) イザ 46:9

(例) イザ 43:9
イザ 45:21

(例) イザ 41:10

(例) イザ 43:10

(例) 申 32:4
サニ 22:32

(例) 裁 10:14
王一 18:26
コ一 8:4

(例) 詩 115:4,5

(例) エレ 51:17

第2欄

(例) エレ 10:5
使徒 19:26

(例) サ一 5:3,7

(例) イザ 40:19
イザ 41:7
イザ 46:6

(例) 出 20:4
申 4:15,16
使徒 17:29

(例) 申 27:15

(例) イザ 40:20
エレ 10:3

誰が形作ったり鑄造したりする
のか。

11 その者の仲間も皆恥をかくこと
になる!

職人たちは人間にすぎない。

皆で集まって立つがよい。

彼らはおびえ、共に恥をかく。

12 金属細工人は道具を使って炭火
の上で鉄を加工する。

金づちでそれを形作り、

力強い腕で作業する。

しかし、空腹になり、力が出なく
なる。

水を飲まず、疲れてしまう。

13 木彫り職人は測り綱で測り、赤い
チョークで下図を描く。

のみで削り、コンパスで印を付

ける。

それを人の姿に似せ、

人間のように美しくし、

家の中に安置する。

14 杉を切り倒す仕事をしている人
がいる。

彼はある種の木、巨木を選び、

森の木々の中で大きく育つよう

にする。

また、月桂樹を植え、雨がそれを
成長させる。

15 木は火にくべる燃料となる。
人はその一部を使って暖を取る。

44:12 *または、「なた」。 44:13 *または、「宮」。 44:14 *ブナ科の木と思われる。

火^ひをたき、パン^やを焼く。

それだけでなく、神^{かみ}を作^{つく}って崇^{すう}拝^{はい}

する。

彫^{ちよう}刻^{こく}像^{ぞう}を作^{つく}り上^あげ、その前^{まえ}でひ

れ伏^ふす。

16 木^きの半^{はん}分^{ぶん}を火^ひの中^{なか}で燃^もやす。

それで肉^{にく}をあぶり、食^たべて満^{まん}足^{そく}

する。

また、暖^{だん}を取^とってこ^こう言^いう。

「あ^ひあ、火^みを見^みていたら温^{あた}

ま^つった」。

17 そ^のし^て、残^{のこ}り^きの木^{ちようこくぞう}で彫^{つく}刻^く像^{ぞう}を作^{つく}り、
自^じ分^{ぶん}の神^{かみ}と^する。

それ^ふにひ^{すうはい}れ伏^ふし、崇^{すう}拝^{はい}し、

それ^むに向^いか^つて祈^{いの}っ^てこ^いう言^いう。

「救^{すく}っ^てく^わだ^たさい。あ^わなたは私^{わたし}の

神^{かみ}で^す」。

18 彼^{かれ}ら^なは何^しも知^なら^なず、何^りも理^り解^{かい}して
い^ない。

目^めが閉^とざさ^れてい^てみ^えず、

心^{こころ}に洞^{どう}察^{さつ}力^{りよく}が^ないから^であ^る。

19 誰^{だれ}も心^{こころ}の中^{なか}で思^{おも}い巡^{めぐ}らすこ^とを

せ^ず、

知^ち識^{しき}も理^り解^{かい}力^{りよく}も^ないので、こ^う言^い

うこ^とは^ない。

「私^{わたし}は木^きの半^{はん}分^{ぶん}を火^ひの中^{なか}で燃^も

や^し、

そ^すの炭^{すみ}火^びでパ^んを焼^やき、肉^{にく}をあ

ぶ^つて食^たべ^た。

そ^のう^であ^らば、残^{のこ}り^きの木^いで忌^いま^わ

しい物^{もの}を作^{つく}るべ^きだ^{らう}か。

第44章

出^し20:4,5
レビ26:1
ハバ2:18,19

イザ37:37,38
イザ45:20
イザ46:7

エレ10:8,14
ロマ1:21-23

申27:15

第2欄

イザ43:1
イザ44:1

イザ49:15

詩51:1
詩103:12
イザ1:18
イザ43:25
エレ33:8
使徒3:19

イザ1:27
イザ48:20
イザ59:20

イザ49:13
イザ55:12

イザ60:21

イザ44:6

木^きの切^きれ端^{はし}を崇^{すう}拝^{はい}すべ^きだ^{らう}

う^か」。

20 彼^{かれ}は灰^{はい}を食^たべてい^る。

自^じ身^{しん}の欺^{あざむ}か^れた心^{こころ}によ^つて惑^{まど}わ

され^た。

自^じ分^{ぶん}を救^{すく}うこ^とが^でき^ず、

「私^{わたし}の右^{みぎ}手^てにあ^いる物^{もの}は偽^{いつわ}り^では

な^いか」と言^いうこ^とも^ない。

21 「ヤコ^{おほ}ブよ、イス^いラ^いエルよ、これ^ら

のこ^とを覚^{おぼ}えてお^きな^さい。

あ^なたは私^{わたし}に仕^{つか}え^る者^{もの}で^ある。

私^{わたし}が^かあ^かた^ちを^{つく}ったので^あり、

あ^なたは私^{わたし}に仕^{つか}え^る者^{もの}で^ある。

イス^いラ^いエルよ、私^{わたし}が^わあ^なたを^{わす}れ

るこ^とは^ない。

22 私^{わたし}は^いあ^なたの^{はん}違^{はん}反^{はん}を^{くも}雲^{くも}で覆^{おお}う^か

のよ^うに、

あ^なたの罪^{つみ}を厚^{あつ}い雲^{くも}で覆^{おお}う^かの

よ^うに覆^{おお}い隠^{かく}す。

私^{わたし}の^{かえ}もと^にに帰^{かえ}り^なさ^い。私^{わたし}は^わあ^な

たを^{すく}救^うす。

23 天^{てん}よ、歡^{かん}聲^{せい}を^あ上^あげ^よ!

エホバが^{こうどう}行^{こう}動^{どう}したから^だ。

地^ちの深^{ふか}い所^{ところ}よ、勝^{しょう}利^りの叫^{さけ}びを^あ

上^あげ^よ!

山^{やま}々^{やま}よ、喜^{よろこ}ん^で叫^{さけ}べ!

森^{もり}とそ^{すべ}の^き全^きて^きの^き木^き々^きも。

エホバは^{すく}ヤコ^きブを^き救^きい、

イス^{うえ}ラ^{ひか}エル^{かがや}の上^かで^か光^かり^か輝^かく。

24 あ^なたを^{すく}救^うう^か、

44:19 *または、「乾いた木片」。 44:22, 24
*直訳、「買い戻す」。 44:23 *直訳、「買い戻
し」。

胎^{たい}内にいる時^{とき}から形^{かたち}作^{つく}った方^{かた}、
エホバはこう言う。
「私はエホバであり、全てのもの^{すべて}
を造^{つく}った。
自^{みづか}ら天^{てん}を広^{ひろ}げ、地^ちを据^すえた。
誰^{だれ}が私^{わたし}と共^{とも}にいたか。
25 私^{わたし}は偽^{いつはり}預^よ言^{げん}者^{しゃ}たちのしるしを無^む

効^{こう}にし、
占^{うら}い師^したちを愚^{おろ}か者^{もの}のように行^{こう}
動^{どう}かせる。
賢^{けん}人^{じん}たちを混^{こん}乱^{らん}させ、
彼^{かれ}らの知^ち識^{しき}を愚^{おろ}かさ^かに変^かえる。
26 自^じ分^{ぶん}に仕^{つか}える者^{もの}の言^{こと}葉^はを現^{じつげん}

現^{あらわ}せ、
使^し者^{しゃ}たちの予^よ告^{こく}通^どりになるよう
にする。
エルサレムについて、『そこ^{ひと}に人^{ひと}
が住^すむようになる』と^い言^いい、
ユダ^まの町^{まち}々について、『それ^{また}ら^は
再^{さい}建^{けん}され、
私^{わたし}は虚^{はいきよ}を元^{もと}通^どりにする』と^い言^いう。

27 深^{ふか}い水^{みづ}に、『蒸^{じょう}発^{はつ}せよ。
私^{わたし}はあ^かな^わた^すの川^{かわ}を全^{すべ}て干^ひ上^あがら
せ^いる』と^い言^いう。
28 キュロスについて、『私^{わたし}の牧^{ぼくしや}者^{しゃ}、
私^{わたし}が望^{のぞ}むこ^{こと}を完^{かん}全^{ぜん}に成^なし遂^とげ
る者^{もの}』と^い言^いう。

エルサレムについて、『建^たて直^{なお}さ
れる』と^い言^いい、
神^{しん}殿^{でん}について、『土^ど台^{だい}が据^すえられ
る』と^い言^いう」。

44:25 *または、「中身の無い話をする者たち」。

第44章

〔イ〕ヨブ 26:7
イザ 40:22
〔イ〕イザ 42:5
イザ 48:13
〔イ〕ホセ 9:7
〔イ〕サニ 15:31
イザ 29:14
〔イ〕ヨシ 23:14
イザ 55:10,11
ゼカ 1:6

〔イ〕詩 147:2

〔イ〕イザ 60:10

〔イ〕イザ 61:4

〔イ〕イザ 42:15
エレ 50:38
啓 16:12

〔イ〕エズ 1:1,2
イザ 41:25
イザ 45:1
イザ 46:11
ダニ 10:1

〔イ〕イザ 48:14

〔イ〕代二 36:22,23
エズ 6:3
イザ 45:13

第2欄

第45章

〔イ〕イザ 45:4
〔イ〕イザ 13:17
イザ 41:25
〔イ〕エズ 1:1,2
イザ 44:28
〔イ〕イザ 13:4
〔イ〕詩 107:16
〔イ〕エレ 50:35,37
〔イ〕エズ 1:1,2
イザ 44:28
〔イ〕申 4:35,39
申 32:39

45 私^{わたし}はキュロスの右^{みぎ}手^てを
取^とった。

国^{くに}々^{くに}を彼^{かれ}に従^{したが}わせ、
王^{おう}た^ぶち^きの武^ぶ器^きを取^とり上^あげ、
彼^{かれ}の前^{まえ}で2枚^{まい}扉^{とびら}を開^{ひら}いて、
門^{もん}が閉^とじられ^いないよう^にする。

エホバは自^じ分^{ぶん}が選^{えら}んだ者^{もの}である
キュロスにこう言う。

2 「私^{わたし}はあ^なた^たの前^{まえ}を行^いき、
険^{けわ}しい土^と地^ちを平^{たい}らにする。
銅^{どう}の扉^{とびら}を粉^{こな}々^{ごなごな}に砕^{くだ}き、
鉄^{てつ}のかんぬきを切^きり落^おとす。

3 暗^{くら}闇^{やみ}の中^{なか}にある宝^{たから}、ひそかな場^ば
所^{しょ}に隠^{かく}され^たた宝^{たから}をあ^なた^たに与^{あた}
え^る。

あ^しなたは知^しることになるだ^{らう}。
私^{わたし}がイスラエルの神^{かみ}エホバで

あり、
あ^なた^たを名^な指^さしで呼^よぶ者^{もの}である
こ^をを。

4 私^{わたし}に仕^{つか}えるヤコブ、私^{わたし}が選^{えら}んだイ
スラエルのた^めに、
私^{わたし}はあ^なた^たを名^な指^さしで呼^よぶ。
あ^なた^たは私^{わたし}を知^しらなかつたが、
私^{わたし}はあ^なた^たに名^{めい}譽^よある名^なを与^{あた}
え^る。

5 私^{わたし}がエホバであり、ほかにはい
ない。
私^{わたし}以外^いに神^{かみ}はい^ない。
あ^なた^たは私^{わたし}を知^しらなかつたが、

45:1 *直訳、「腰の帯を解き」。「直訳、「油を注いだ」。用語集の「油を注ぐ」参照。

わたし ちから *
私はあなたを力づける。

- 6 日が昇る所から沈む所まで、
ひとびと し
人々は知ることになるだろう。

わたしいがい だれ け
私以外に誰もいないことを。

わたし
私がエホバであり、ほかにはい
ない。

- 7 私は光を形作り、闇を創造し、
へい わ け わざわ そうぞう け
平和をつくり、災いを創造する。

わたし すべ おこな
私エホバがこれら全てを行って
いる。

- 8 天よ、上から雨を降らせよ。
くも せい ぎ したた け
雲は正義を滴らせるように。
ち ひら すく ゆた う
地は開いて、救いを豊かに生み
出し、
せい ぎ め ぼ け
正義をも芽生えさせよ。

わたし そうぞう
私エホバがこれを創造したので
ある。

- 9 自分を造った方と争う者には災
いがある！
かれ ど き
彼はただの土器のかけらであり、
じ めん お
地面に落ちているかけらの1つに

すぎないからだ。

ねん ど とうがい か む なに
粘土が陶芸家に向かって、「何を
つく
作っているのか」などと言うだ
ろうか。

あなたの作品が、「この人には
のうりよく # △い
能力がない」などと言ううだ
うか。

45:5 *直訳、「の帯を固く締める」。45:6 *ま
たは、「東から西」。45:9 *または、「言い争う」。
#直訳、「手」。△もしかすると、「粘土が、『あな
たの作品には取っ手がない』などと」。

第45章

〔イ〕サ- 17:46
詩 102:15,16
イザ 37:20

〔イ〕詩 83:18

〔イ〕創 1:3
エレ 31:35

〔ロ〕出 10:21
詩 104:20

〔イ〕イザ 26:12

〔イ〕伝 7:14
アモ 3:6

〔イ〕エゼ 34:26

〔イ〕イザ 61:11

〔イ〕イザ 29:16
エレ 18:6
口マ 9:20

第2欄

〔イ〕イザ 43:3

〔イ〕ホセ 1:10

〔イ〕創 1:1
イザ 40:28

〔ロ〕創 1:27

〔イ〕イザ 44:24
エレ 32:17
ゼカ 12:1

〔イ〕ネへ 9:6

〔イ〕イザ 42:6

〔イ〕代二 36:23
エズ 1:2,3
イザ 44:28

〔イ〕イザ 13:17

〔ロ〕イザ 14:16,17
イザ 43:14
イザ 49:25

- 10 父親に向かって、「何の父となる
のか」と言う者、

じょせい む なに う
女性に向かって、「何を産もうと
しているのか」と言う者には災
いがある。

- 11 イスラエルの聖なる方、イスラエ
ルを形作った方、エホバはこ
う言う。

「あなたたちは、これから起きる
ことがら わたし うたが
事柄について私を疑うのか。
わたし こ け おこな わたし
私の子たちや行いについて、私
に命じるのか。」

- 12 私が地を造り、その上に人を創
造した。

わたし みずか て てん ひろ
私が自らの手で天を広げたので
あり、

てん ぜんぐん めいれい だ け
天の全軍に命令を出す。

- 13 「私は正義のためにある者を立
ち上げらせ、

かれ みち すべ ま
彼の道を全て真つすぐにする。

かれ わたし とし た もの け
彼が私の都市を建てる者であり、
だい か わいる もと け わたし ほしゅう
代価も賄賂も求めずに私の捕囚

の民を自由にする」と、大軍を
ひき
率いるエホバは言う。

- 14 エホバはこう言う。

「エジプトの利益、エチオピアの
しょうひん# せ たか じん
商品、背の高いシバ人が、
あなたのもとに来て、あなたのも
のとなる。」

45:10 *または、「何によって陣痛を味わっている
のか」。45:14 *もしかすると、「労働者」。#も
しかすると、「商人」。

かれ くさり
彼らは鎖につながれてあなたの
うしろ ある
後ろを歩き、

き ふ (ア)
やって来てあなたにひれ伏し、
いの い
祈ってあなたにこう言う。

たし かみ とも
『確かに神はあなたと共におられ
ます。

ほかにはいません。ほかに神は
いません』。

15 イスラエルの神、救い主であるあ
なたは、

まさしくご自分を隠される神です。

16 偶像を作る者は皆、恥をかき、辱
められ、

ふめい よ こうむ た さ
不名誉を被って立ち去ることに
なる。

17 一方イスラエルはエホバによつ
て救われる。それは永遠の救
いである。

あなたたちは永遠にわたり、恥
をかくことも不名誉を被ること
もない。

18 エホバは天の創造者、真の神で
あり、

ち かたちづく かた つく
地を形作った方、それを造って
す かた (イ)
しっかりと据えた方。

い み *そうそう
意味もなく創造したのではなく、
ひと す かたちづく
人を住まわせるために形作つ
た方。

その方がこう言う。

わたし
「私がエホバであり、ほかにはい
ない。

第45章

(ア) エス 8:17
イザ 14:1, 2
イザ 49:23
イザ 60:14
イザ 61:5

(イ) ゼカ 8:23

(ウ) イザ 43:11
イザ 60:16
テト 1:3

(ロ) 詩 97:7
イザ 44:9

(ハ) イザ 26:4
イザ 51:6

(ニ) イザ 29:22
イザ 54:4
ヨエ 2:26
ゼバ 3:11

(ホ) イザ 42:5
エレ 10:12

(ヘ) 詩 78:69
詩 104:5
詩 119:90
格 3:19

(ヘ) 創 1:28
創 9:1
詩 37:29
詩 115:16

第2欄

(ア) イザ 48:16

(イ) 詩 111:7, 8
詩 119:137

(ウ) イザ 66:20
エレ 50:28

(ロ) イザ 42:17
エレ 50:2

(ハ) イザ 43:3

(ニ) 申 4:39
イザ 44:8
マル 12:32

(ホ) ミカ 7:7

(ヘ) 申 4:35

(ウ) イザ 55:10, 11

わたし ばしょ くら とち
19 私は、ひそかな場所、暗い土地
かた (ウ)
で語ってはいない。

わたし みちび もと い み
『私に導きを求めても意味はな
い』と、

ヤコブの子孫に言ってはいない。

わたし ただ
私はエホバであり、正しいことを
かた しんじつ (イ)
語り、真実なことを告げる。

20 集まって、来なさい。

くにぐに のが ひと とち
国々から逃れてきた人たちよ、共
ちかよ (ロ)
に近寄りなさい。

ちょうこくそう も はこ もの
彫刻像を持ち運ぶ者たち、
すく かみ いの もの
救うことができない神に祈る者

なにし (ロ)
たちは、何も知らない。

21 言い分を述べ、訴え出よ。

いっしょ きようぎ
一緒に協議するがよい。

だれ むかし こく
誰が昔にこのことを予告し、
いぜん つ
以前から告げていたのか。

わたし
それは私エホバではないか。

わたし かみ
私のほかに神はいない。
ただ かみ すく めし (ハ) わたしがい
正しい神、救い主は、私以外に

いない。

22 地の果てに至るまで、全ての人
わたし たよ すく (ハ)
は私に頼り、救われるように。

わたし かみ (ロ)
私が神であり、ほかにはいない。

わたし じぶん じしん か ちか
23 私は自分自身に懸けて誓った。

わたし くち で ことば ただ
私の口から出た言葉は正しく、
てっかい (ロ)
撤回されることはない。

すべ ひと わたし む
全ての人は私に向かってひざま
ずき、

45:18 *もしかすると、「空っぽになるように」。

45:19 *または、「無駄である」。

わたし につ * ちか #7
私に尽くすことを誓って、

- 24 こう言う。『確かに、エホバは本
当に正しく、強い方である。
この方に激怒していた者は皆、そ
のもとに来て恥じる。
25 イスラエルの子孫は皆エホバに
よって正しさを証明され、
その方について誇る。』

46 ベルはかがみ、ネボはうず
くまる。

かれ ぐうざう に はこ どうぶつ の
彼らの偶像は荷を運ぶ動物に載
せられる。

つか どうぶつ ふたん にもつ
疲れた動物の負担となる荷物
のよう。

- 2 彼らは共にかがみ、うずくまる。
積み荷を救うことはできず、
自分たち自身が捕らわれる。

- 3 「ヤコブの子孫よ、イスラエル国
民の残っている全ての人よ、私
の言うことを聞きなさい。

わたし う とき
私はあなたたちが生まれた時か
らさえ、胎内にいる時から世
話をした。

- 4 あなたが年を取っても私は変わ
らない。

あなたがしらが になってもせ お
背負い
続ける。

これまでしてきたように、あなた
を運び、背負い、救う。

45:23 *または、「を揺るぎなく支持する」、「から
離れない」。“または、「全ての膝は私に向かっ
てかがみ、全ての舌は私に尽くすことを誓って」。
46:2 *動物に載せられた偶像のこと。

第45章

(7) 申 6:13
ロマ 14:11

(7) イザ 61:9

第46章

(7) エレ 50:2
エレ 51:44

(7) イザ 45:20

(7) イザ 1:9

(7) 出 19:4
申 1:31
イザ 44:2

(7) イザ 41:4

(7) イザ 43:13

第2欄

(7) 出 15:11

(7) 使徒 17:29

(7) イザ 40:19
エレ 10:8,9

(7) イザ 44:16,17
ダニ 3:1,5

(7) エレ 10:5

(7) サー 5:3

(7) 王 18:26
イザ 37:37,38
ヨナ 1:5

(7) 申 33:26

(7) イザ 42:9
イザ 45:21

- 5 あなたたちはわたしを誰になぞらえ、
誰と同等に見なすのか。

だれ くら に みたい など と言う
誰と比べ、似ているなど言う
のか。

- 6 ある者たちは財布から金を惜し
まずに出し、

はかりで銀を量る。
金銀細工を雇い、神を作ら
せる。

そしてひれ伏し、それを崇拝する。

- 7 それを肩に載せて運び、
安置するが、それは立っているだ
けである。

その場所から動くことはない。
それに向かって叫んでも、答えは
ない。

それは誰をも苦難から救うこと
ができない。

- 8 こうした事柄を思い起こし、勇気
を出しなさい。

違反を犯す人たちよ、それを心
に留めなさい。

- 9 ずっと昔の事柄を思い起こしな
さい。

私が神であり、ほかにはいない
ことを。

私が神であり、私のような者は誰
もない。

- 10 私は、結末を初めから、
まだ行われていないことをずっと
前から予告する。

46:9 *直訳、「最初」。

『私の決定はその通りになり、
私は自分が望むことを全て行う』
と言う。

- 11 肉食の鳥を日の出の方から、
私の決定を実行する者を遠い土
地から呼ぶ。

私は語ったことを実現させ、
決めたことを実行する。

- 12 心が頑固な者たち、正しさから
程遠い者たち、
私の言うことを聞け。

- 13 私は間もなく正しいことを行う。
それは遠い先のことでない。
私の救いが遅れることはない。
私はシオンを救い、イスラエルを
光り輝かせる」。

47 処女であるバビロンよ、
降りてきて土ぼこりの中に
座れ。

カルデア人の娘よ、
王座のない地面に座れ。

あなたは二度と人々から、上品
で甘やかされているとは言わ
れなくなる。

- 2 ひき臼で麦粉をひけ。
ボールを外せ。
裾の長い衣を脱ぎ、脚をあらわ
にせよ。
川を渡れ。

- 3 あなたの裸はあらわになり、

第46章

〔イ〕詩 33:11
〔イ〕詩 135:6
イザ 55:10, 11

〔イ〕イザ 41:2
イザ 45:1

〔エ〕エズ 1:1, 2
イザ 44:28
イザ 48:14

〔イ〕民 23:19
ヨブ 23:13

〔イ〕イザ 12:2
イザ 51:5
イザ 62:11

〔イ〕イザ 44:23
イザ 60:21

第47章

〔イ〕詩 137:8
エレ 50:41, 42
〔イ〕ダニ 5:30

第2欄

〔イ〕申 32:35, 41
詩 94:1

〔イ〕イザ 41:14
イザ 43:3
イザ 44:6

〔イ〕イザ 47:1

〔エ〕イザ 13:19
イザ 14:4
啓 17:5

〔イ〕代二 36:15, 16
イザ 42:24, 25
ゼカ 1:15

〔イ〕申 28:63
エゼ 24:21

〔イ〕エレ 52:14

〔イ〕王二 25:18-21
詩 137:8

〔イ〕申 28:49, 50

〔イ〕ダニ 4:30
啓 18:7

〔イ〕啓 18:3

〔イ〕ダニ 5:22, 23

〔イ〕啓 18:7

〔イ〕啓 18:10

あなたの恥はさらされる。
私は復讐をし、誰にも邪魔をさせ
ない。

- 4 「私たちを救う方は、
イスラエルの聖なる方。
名は、大軍を率いるエホバ」。

- 5 カルデア人の娘よ、
黙って座り、暗闇に入れ。
あなたはもう「多くの王国の女
王」とは呼ばれない。

- 6 私は自分の民に対して憤った。
自分の財産を汚れたものとし、
あなたの手に渡した。
あなたは彼らに憐れみを示さな
かった。

老人にも重い荷を負わせた。

- 7 「私は永遠に女王であり続ける」
とあなたは言った。

これらのことを心に留めず、
終わりについて考えなかった。

- 8 快樂を愛する者よ、聞け。
安らかに座り、心の中でこう言う
女よ。

「私のような者はほかにいない。

私はやもめにはならない。
子供を失うことも決してない」。

- 9 その2つのことが突然、1日のう
ちにあなたに生じる。
子供を失うことと、やもめになる
ことが。

47:3 *もしかすると、「誰とも快く会おうとしない」。
47:4 *直訳、「買い戻す」。
47:5, 7 *または、「女主人」。
47:6 *直訳、「てんびん棒」。

46:10, 11 *または、「目的」、「意図」。
46:11 *または、「東」。
46:12 *直訳、「強い」。
47:1 *直訳、「バビロンの娘」。

それは容赦なくあなたに生じる。
あなたが呪術にふけり、強力な
呪文を唱えるからだ。

- 10 あなたは平然と悪を行い続け、
「誰も私を見ていない」と言った。
自分の知恵と知識によって道を
誤り、心の中で言う。

「私のような者はほかにいな
い」と。

- 11 あなたは災いに見舞われ、
どんなまじないもそれを止められ
ない。
逆境に遭い、それを回避でき
ない。

突然、考えたこともないような破
滅に直面する。

- 12 あなたが若い時から苦労して覚
えた、
呪文や数々の呪術を使ってみよ。
もしかしら役に立つかもしれ
ない。
人々を畏れさせることができるか
もしれない。

- 13 あなたは助言者が多過ぎて疲れ
果てている。
彼らは天を崇拜し、星を眺め、
あなたに起こる事柄について新
月のたびに知らせる。
彼らを立たせて、あなたを救わ
せてみよ。

47:9 *もしかすると、「唱えるにもかかわらず」。
47:13 *もしかすると、「天を区分し」、「占星術
師で」。

第47章

(イ) エレ 51:29

(イ) エゼ 21:21

ダニ 5:7
啓 18:23

(イ) 啓 18:10

(イ) ダニ 2:2

(イ) ダニ 5:7

第2欄

(イ) エレ 51:6

第48章

(イ) 創 32:28

(イ) 申 6:13

(イ) レビ 19:12
ゼバ 1:4,5

(イ) イザ 52:1

(イ) エレ 21:1,2

- 14 彼らはわらのようで、
火に焼き尽くされる。
炎の力から自分たちを救い出せ
ない。

それは暖を取るための炭火では
なく、

前に座るためのたき火でもない。

- 15 あなたの蛇使いたち、
若い時から共に働いた者たちは、
このようになる。

彼らはさまよい、それぞれ自分の
行きたい方へ行く。

あなたを救う者は誰もいない。

48 ヤコブの子孫よ、これを 聞け。

イスラエルの名を名乗り、

ユダの泉から出た人たちよ。

エホバの名に懸けて誓い、

イスラエルの神に呼び掛けるが、

誠実さと正しさに欠ける人た
ちよ。

- 2 彼らは聖なる都市の住民を名
乗り、

イスラエルの神に支えを求める。

その神の名は、大軍を率いるエ
ホバ。

- 3 「私は以前の事柄をずっと昔に告
げた。

それは私の口から出ていき、

私はそれを知らせた。

47:15 *直訳、「自分の地方」。
48:1 *もしかすると、「の子孫である」。
48:3 *直訳、「最初」。

突然、私は行動し、それは起きた。

4 私は、あなたが非常に頑固で、あなたの首筋が鉄、額が銅であることを知っていたので、

5 ずっと昔に告げた。それが起きる前に、あなたに聞かせた。

あなたがこう言えないように。『私の偶像がこれを行った。私の彫刻像と金属像がこれを命じたのだ』。

6 あなたはこの全てを聞いて、見た。それを広めないのか。あなたが知らない、秘められてきた事柄を。

7 それは昔ではなく今、創造されている。今日まであなたが聞いたことのない事柄である。

それでああなたは、『それをすでに知っている』とは言えない。

8 あなたは聞いておらず、知らない。過去には耳をふさいでいた。私は、あなたが非常に不誠実で、生まれた時から違反者と呼ばれてきたことを知っている。

9 しかし、私の名のために怒りを抑え、

第48章

(ア) ヨシ 21:45
イザ 55:10, 11

(イ) 出 32:9
王二 17:13, 14
代二 36:15, 16
詩 78:8
エゼ 3:7

(ウ) イザ 43:10

(エ) イザ 42:9
イザ 65:17

(オ) イザ 29:10

(カ) エレ 5:11
エレ 9:2

(キ) 申 9:7
詩 95:10

(ク) サー 12:22
詩 25:11
詩 79:9
エレ 14:7

第2欄

(ア) ネヘ 9:30, 31
詩 78:38

(イ) 格 17:3

(ウ) イザ 1:25
エレ 9:7

(エ) イザ 48:9

(オ) エゼ 20:9

(カ) イザ 43:13
イザ 46:4

(キ) イザ 44:6
啓 1:8
啓 22:13

(ク) ヨブ 38:4

(コ) イザ 40:22
イザ 42:5

(コ) イザ 45:1

(ウ) イザ 44:28

(シ) イザ 13:19
エレ 50:13

(ス) イザ 41:2

(セ) イザ 45:5

私の榮譽のために自分を制し、あなたを滅ぼすことはしない。

10 私はあなたを精錬したが、銀のようにではない。

苦悩の溶鉱炉の中であなたを試した。

11 私は自分自身のために行動する。私が汚されることがあってよいだろうか。

私は自分の栄光をほかの誰にも与えない。

12 ヤコブよ、私が呼んだイスラエルよ、私の言うことを聞きなさい。私は変わらない。私は最初であり、最後でもある。

13 私の手が地の土台を据え、私の右手が天を広げた。私が呼び掛けると、それらは共に立ち上がる。

14 あなたたちは皆、集まって聞きなさい。

彼らのうちの誰がこれらのことを知らせたか。

エホバは彼を愛した。彼は神が喜ぶことをバビロンに對して行い、

彼の腕がカルデア人を襲う。

15 私が語り、彼を呼んだ。私が彼を連れてきたのであり、彼は成功を収める。

48:10 * または、「調べた」。もしかすると、「選んだ」。

48:11 * または、「誰とも分け合わない」。

48:14 * 偽りの神々のこと。* キュロスのこと。

16 私に近づいて、聞きなさい。
最初から私はひそかに語ったり

はしていない。

それが起きた時から私はそこに

いた。

今、主権者である主エホバが、
ご自分の聖なる力と共に私を
遣わした。

17 あなたを救う方、イスラエルの聖
なる方、エホバはこう言う。

「私エホバは、あなたの神で
ある。

あなたのためになる生き方を

教え、

あなたを導いて正しい道を歩ま
せる。

18 あなたが私のおきてに注意を払
いさえすれば！

そうすれば、あなたの平和は川
の流れのように豊かになり、
あなたの正しい行いは海の波の
ように多くなる。

19 あなたの子孫は砂のように、
末孫は砂粒のようにたくさんに
なる。

彼らの名は決して私の前から取
り除かれず、消し去られない」。

20 パピロンから出よ！
カルデア人から逃げよ！

歓声を上げてこのことを知らせ、
広めよ！

第48章

(例) イザ 45:19

(例) イザ 43:14

イザ 44:6

イザ 54:5

(例) 王一 8:36

詩 25:8

イザ 54:13

ミカ 4:2

(例) 詩 32:8

イザ 30:20, 21

イザ 49:10

(例) 申 5:29

詩 81:13, 14

(例) 詩 119:165

イザ 32:18

イザ 66:12

(例) アモ 5:23, 24

(例) 創 22:15, 17

エレ 33:22

ホセ 1:10

(例) エレ 50:8

啓 18:4

(例) イザ 49:13

第2欄

(例) エレ 50:2

(例) エレ 31:10, 11

(例) 出 15:24, 25

申 8:14, 15

イザ 43:19

(例) 出 17:5, 6

民 20:11

(例) イザ 57:20, 21

第49章

(例) イザ 55:4

(例) イザ 44:2

イザ 46:3

(例) イザ 51:16

(例) イザ 43:10

(例) イザ 44:23

こう言って、地の果てにまで伝え
るように。

「エホバはご自分に仕えるヤコブ
を救い出した。

21 神に導かれて荒野を通った時、
彼らは渇きを覚えなかった。

神は彼らのために岩から水を流
れ出させた。

岩を割ると、水がほとばしった。

22 「邪悪な者たちに平和はない」と、
エホバは言う。

49 島々よ、私の言うことを
聞け。

遠くの国々よ、注意を払え。

エホバは、私が生まれる前に私
を呼んだ。

私が母の胎内にいた時から私の
名を口にした。

2 私の口を鋭い剣のようにし、
ご自分の手の陰に私をかく
まった。

私を研いだ矢し、

ご自分の矢筒の中に隠した。

3 私にこう言った。「イスラエルよ、
あなたは私に仕える者である。

私はあなたを通して私の栄光を
示す」。

4 私は言った。「私は労苦したが報
われなかった。

むなしいもののために無駄に力
を使い果たした。

しかし、エホバが必ず私を裁いてくださり、

私の神が報酬を与えてくださる」。

5 エホバは、胎内にいた私を形作り、ご自分に仕えさせた。

今その方は、ヤコブをご自分のもとに連れ戻すようにと私に言った。

イスラエルをご自分のもとに集めるために。

私はエホバから栄光を与え

られ、私の神が私の力となってくださる。

6 神は言った。「あなたは私に仕える者として、

ヤコブの諸部族を立ち上げらせ、保護されたイスラエル人を連れ戻す。

だが、それだけでは十分ではない。

私の救いが地の果てにまで及ぶように、

私はあなたが国々の光となるようにもした」。

7 軽んじられ、国民にひどく嫌われ、支配者たちに仕えている者に、イスラエルを救う方、イスラエルの聖なる方であるエホバはこう言う。

「王たちは見て、立ち上がり、

49:4 *または、「公正に扱って」。 49:7 *直訳、「買い戻す」。

第49章

(ア) イザ 40:10

(イ) イザ 56:8

(ウ) 詩 98:2

イザ 11:10

イザ 52:10

使徒 13:47

(ロ) イザ 42:6

マタ 12:18

ルカ 2:30,32

(ヨ) イザ 53:3

(ヲ) イザ 43:14

第2欄

(ア) イザ 42:1

(イ) 申 7:9

(ウ) 詩 69:13

(ロ) ルカ 1:69

ルカ 22:43

コ二 6:2

ヘブ 5:7

(ヲ) イザ 42:6,7

(ヨ) イザ 54:3

(ヲ) 詩 102:19,20

(ウ) 詩 112:4

イザ 9:2

ルカ 1:68,79

(ヨ) イザ 55:1

イザ 65:13

(ロ) イザ 32:2

(ヲ) エゼ 34:23

(ウ) 詩 23:1,2

エレ 31:9

啓 7:16,17

(ヲ) 詩 107:6,7

イザ 11:16

イザ 40:3,4

(ヲ) 申 30:4

(ヲ) イザ 43:5,6

高官たちはひれ伏す。

あなたを選んだ、イスラエルの聖なる者、

信頼できる者であるエホバのゆえに」。

8 エホバはこう言う。

「私は恵みの時にあなたに答え、救いの日にあなたを助けた。

私はあなたを守り続けた。

あなたを民のための契約として与えるために。

土地を復興させ、荒廃した相続地を民に所有させるために。

9 捕らわれている人たちに『出なさい!』と言い、

暗闇の中にいる人たちに『姿を見せなさい!』と言うために。

彼らはみ端で草を食べる。

あらゆる踏みならされた道の周りが牧草地となる。

10 彼らは飢えることも、喉が渇くこともなく、

焼け付くような暑さや太陽の熱

に襲われることもない。

憐れみ深い者が彼らを導き、泉のほとりに連れていく。

11 私は、私の全ての山を道にし、私の街道を高くする。

12 彼らは遠くからやって来る。北から、西から、シニムから来る」。

49:8 *または、「善意」。 49:9 *もしかすると、「はげ山」。

- 13 てん、歓^{かん}声^{せい}を上げよ。地^ちよ、喜^{よろこ}べ。
やまやま かん き さけ (イ)
山々は歡喜して叫^よべ。

エホバはご自^じ分^{ぶん}の民^{たみ}を慰^{なぐさ}めてく
ださ^(イ)り、

苦し^{くる}んでい^{ひと}る人^{あわ}たちを憐^{あは}れんでく
ださ^(ロ)る。

- 14 しかし、シオンは言^いい続^{つづ}けた。
「エホバは私^{わたし}を捨て^すた。エホバ
は私^{わたし}を忘^{わす}れた」と。

- 15 女性^{じょせい}が自^じ分^{ぶん}の乳^{ちち}を飲^のませている
子^こを忘^{わす}れたり、
自^じ分^{ぶん}が産^うんだ子^こを思^{おも}いやらな
かつたりするだ^ろうか。

たとえ女^{じょせい}性^{せい}たち^{わす}が忘^{わす}れたとして
も、私^{わたし}があなたを忘^{わす}れること^はは
決^けしてない^(イ)。

- 16 私^{わたし}は手^てのひらにあなたを刻^{きざ}んだ。
あなた^{じょうへき}の城^{つね}壁^{わたし}は常^{まえ}に私^{わたし}の前^{まえ}に
あ^る。

- 17 あなたの子^こたち^{いそ}は急^{かえ}いで帰^{かえ}って
く^る。
あなたを破^は壊^{かい}し荒^{こう}廢^{はい}させ^{もの}た者^{もの}た
ち^は、い^なく^なる。

- 18 目^めを上げ^あて、周^{しゅう}圍^いを見^みなさい。
子^こたち^{みな}が皆^{あつ}、集^{あつ}ま^{ちか}ってき^{ちか}ている。
あなた^めの^あも^{しゅうい}とにや^みって来^きる。
エホバはこ^{せんげん}う宣^{わたし}言^いす。「私^{わたし}は生
きてい^{わたし}る私^{わたし}自^じ身^みに懸^かけて誓^{ちか}う。
あなた^{かれ}は彼^{みな}ら皆^{そうしよくひん}を装^み飾^ろ品^ろのよう
に身^みに着^ろけ、
花^{はな}嫁^{なよめ}がする^{かれ}よう^みに彼^{かれ}ら^みを身^みにま^まと
うこ^うに^うなる。

第49章

(イ) イザ 42:10

(イ) イザ 55:12

(イ) イザ 12:1

イザ 40:1

イザ 66:13

(ロ) イザ 44:23

イザ 61:3

エレ 31:13

(イ) イザ 54:7

(イ) 哀 5:20

(イ) イザ 44:21

エレ 31:20

(イ) イザ 43:5,6

イザ 60:4

第2欄

(イ) イザ 51:3

(イ) エレ 30:18,19

(イ) エレ 51:34

(ロ) エレ 30:16

(イ) イザ 54:1,2

(イ) イザ 43:5

エレ 31:17

(イ) 哀 1:1

(イ) イザ 62:4

(イ) エズ 1:3

イザ 11:10,12

イザ 62:10

(ロ) イザ 60:4

イザ 66:20

- 19 あなたのさ^ばま^{しょ}な場^あ所^とは荒^はれ
果^はて、人^{ひと}け^とがなく、あなた^ちの土^{こうはい}
地^(イ)は荒^ち廢^{こうはい}してい^あたが、

今^{いま}や住^すんでい^{ひと}る人^{きゆう}たち^{きゆう}にと^{くつ}つて窮^{くつ}屈^{くつ}過^{くつ}ぎ^{くつ}るほ^{くつ}どに^{くつ}なる。

あなた^こを^{はな}の^さみ込^さんだ者^(イ)たち^(イ)は遠^とく^{とお}に離^{はな}れ去^さる。

- 20 あなた^こが子^こども^なを亡^なくした^{あと}後^うに生^う
まれ^こた子^こたち^こが、あなた^いに
言^いう。

『こ^{わたし}こ^{わたし}は私^{わたし}にと^{きゆうくつ}つて窮^{きゆうくつ}屈^{くつ}過^{くつ}ぎ^{くつ}ます。

私^{わたし}が住^すめるよう^{ばしょ}に場^あ所^とを空^あけてく
だ^(イ)さい』。

- 21 あなた^こは心^{こころ}の中^{なか}で言^いう。

『こ^{だれ}れは誰^{だれ}の^こ子^なたち^こなの^こだ^こらう。

私^{わたし}は子^こども^なを亡^なくし、子^こども^こがで^こき

な^くく^くる、

捕^は囚^{しゆう}の身^みにな^みったの^に。

誰^{だれ}がこ^この^{そだ}子^こたち^{そだ}を育^{そだ}てたの^だだ
らう。

私^{わたし}は独^{ひと}りば^{ひと}ち^{ひと}だ^{ひと}ったの^に、

こ^この^き子^こたち^きはど^きこ^きから来^きたの^きだ
らう』。

- 22 主^{しゅ}権^{けん}者^{しゅ}である主^{しゅ}エホバ^{しゅ}はこ^{しゅ}
う言^いう。

「私^{わたし}は国^{くに}々^{くに}に向^むか^てつて手^{たか}を高^{たか}
く
上^あげ、

人^{ひと}々^{ひと}に向^むか^{はた}つて旗^{かき}印^(イ)を掲^かげ^かる。

彼^{かれ}ら^{むすこ}はあ^{むすこ}なた^{うで}の息^{うで}子^{うで}たち^{うで}を腕^{うで}に
抱^{かか}え、

あ^{むすめ}なた^{かた}の娘^のたち^つを肩^{かた}に^つ乗^つせて連^つ
れ^(ロ)てく^つる。

49:22 *または、「合図のさお」。「直訳、「懷」。

23 王^{おう}たちがあなたの世^せ話^わ係^{かり}となり、
王女^{おうじょ}たちがあなたの乳母^{うば}となる。
かれ 彼らはあなたにひれ伏^ふし、屈服^{くつぷく}
する。

あなたは私がエホバであること
を知る。

希望^{きぼう}を抱^{いだ}て私^{わたし}を待^{まち}つ人^{ひと}たちが
恥^{はじ}をかくことはない。

24 力^{ちから}がある者^{もの}に捕^とらわれた人^{ひと}たち
を取り戻^{もど}せるだろうか。

あつせいしや ほりよ すく だ
圧制者^{あつせいしや}の捕虜^{ほりよ}を救^{すく}い出^だせるだろ
うか。

25 エホバはこう言う。

「力^{ちから}がある者^{もの}の捕虜^{ほりよ}でさえ取り戻^{もど}
され、

あつせいしや と ひと すく
圧制者^{あつせいしや}に捕^とらわれた人^{ひと}たちが救^{すく}
い出^だされる。

わたし てきたい もの
私は、あなたに敵対^{てきたい}する者^{もの}たち
に敵対^{てきたい}し、

あなたの子^こたちを救^{すく}う。

26 あなたを虐待^{ぎやくたい}する者^{もの}たちに自分^{じぶん}
たちの肉^{にく}を食^たべさせる。

かれ あま しゅ よ
彼らは甘いぶどう酒^{あま しゅ}に酔^ようかの
ように自分^{じぶん}たちの血^ちに酔^よう。

すべ ひと し
全ての人^{ひと}は知らなければならな
くなる。

わたし へい すく
私がエホバであり、あなた^{へい}の救^{すく}
い主^{ぬし}、

あなたを救^{すく}う者^{もの}、ヤコブ^{きょうりよく}の強力^{ちから}な
者^{もの}であることを。

49:23 *直訳、「あなたの足の土をなめる」。

49:26; 50:2 *直訳、「買い戻す」。

第49章

(例) イザ 60:10,16

(例) イザ 60:14

(例) ミカ 7:16,17

(例) イザ 25:9

(例) エレ 29:14

エレ 46:27

ホセ 6:11

ヨエ 3:1

(例) イザ 52:2

エレ 29:10

エレ 50:34

ゼカ 9:11

(例) イザ 54:17

(例) エゼ 39:28

(例) テモ 1:1

(例) イザ 41:14

イザ 48:20

(例) イザ 60:16

第2欄

第50章

(例) 申 24:1

(例) 王二 17:16,17

(例) イザ 59:2

エレ 3:1

(例) エレ 35:15

(例) イザ 40:28

イザ 59:1

(例) 出 14:21,29

詩 106:9

イザ 51:10

(例) 詩 107:33

詩 114:1,3

イザ 42:15

ナホ 1:4

(例) 出 10:21

(例) 出 4:11

エレ 1:9

(例) ヨハ 7:15,46

50 エホバはこう言う。

「私が去^わせたといい、あな
たちの母親^{ははおや}の離婚証書^{りこんしょうしょ}

はどこにあるのか。

私がどの債権者^{さいけんしゃ}にあなたたちを
売^うったというのか。

あなたたちは自分の過^{じぶん}ちのため
に売^うられたのであり、

母親^{ははおや}はあなたたちの違反^{いはん}のため
に追^おい出^だされたのだ。

2 私が来^きた時^{とき}、誰^{だれ}もいなかったの
はどうしてか。

私が呼^よんだ時^{とき}、誰^{だれ}も答^{こた}えなかつ
たのはどうしてか。

私の腕^{うで}は、救^{すく}うには短^{みじ}過ぎると
いうのか。

私^{わたし}には救^{すく}い出^だす力^{ちから}がないという
のか。

私は海^{うみ}を叱^{しか}りつけて干^ひ上がらせ、
川^{かわ}を砂漠^{さばく}に変^かえる。

水^{みづ}がないために魚^{さかな}は腐^{くさ}り、
乾^{かわ}き切^きって死^しぬ。

3 私は天^{てん}に暗闇^{くらやみ}をまどわせ、
粗布^{あらぬの}で覆^{おお}う。

4 主権者^{しゅけんしゃ}である主^{しゅ}エホバは、私^{わたし}に
話^{はな}し方^{かた}を教^{おし}えてくださった。

疲^{つか}れた人^{ひと}に適^{てき}切^{せつ}な言葉^{ことば}で答^{こた}えら
れるように。

神^{かみ}は毎朝^{まいあさ}、私^{わたし}を目覚めさせてく
ださり、

50:4 *または、「よく訓練された舌を私に与えて」。
*もしかすると、「を適切な言葉で力づけ」。

わかし せい と みみ す
私が生徒のように耳を澄まして
き 聞けるようにしてください。

- 5 主権者である主エホバが私の耳
を聞いてくださった。

わかし はんこうてき
私は反抗的ではなく、
せ む 背を向けることはなかった。

- 6 打ちたたく者たちに背中を差し
出し、
ひげを引き抜く者たちに頬を差
し出した。

ぶじやく つば かお おお かく
侮辱や唾から顔を覆い隠さな
かった。

- 7 主権者である主エホバが私を助
けてくださる。

そのため、私は屈辱を感じない。
そのため、私は顔を火打ち石の
ようにした。

はじ 恥をかくことはないと知っている。

- 8 私を正しいと認めてくださる方が
近くにいます。

だれ わかし うった *
誰が私を訴えられるだろうか。
さば ば とも た #
裁きの場に共に立とう。

わかし たい そしょう お
私に対して訴訟を起こすのは
だれ 誰か。

わかし ちか よ
私に近寄るがいい。

- 9 主権者である主エホバが私を助
けてくださる。

だれ わかし ゆうざい せんこく
誰が私に有罪を宣告するのか。
かれ みな い ふく す
彼らは皆、衣服のように擦り

き 切れ、

50:8 *または、「私と争える」。[#]または、「場で
向き合おう」。

第50章

(7) マタ 13:54

(1) 詩 40:6-8

(7) マタ 26:39
フリイ 2:8

(1) マタ 26:67
マル 14:65
ルカ 22:63
ヨハ 18:22

(8) イザ 49:8

(7) エゼ 3:8,9

(4) ロマ 8:33

第2欄

(7) イザ 42:1
イザ 53:11

第51章

(1) 創 21:2

(7) 創 12:1
創 15:2

が く つ
蛾に食い尽くされる。

- 10 あなたたちのうち誰が、エホバ
を畏れて、
その方に仕える者の声に耳を傾
けているか。

だれ ひかり ふか やみ なか あゆ
誰が、光のない深い闇の中を歩
んできたか。

その人はエホバの名に信頼を置
き、自分の神に頼れ。

- 11 「火を付けて、火花を散らしてい
る者たち、

あなた方は皆、自分の火の光の
中を、

自分が生じさせた火花の中を
歩め。

あなた方は私の手により、
ひどく苦しんで横たわることに

なる。

- 51 正しく生きようとしている人
たち、

エホバに導きを求めている人

たち、

私の言うことを聞きなさい。

自分たちが切り出された岩と、
掘り出された岩穴に目を向けな

さい。

- 2 あなたたちの父アブラハムと、
あなたたちを産んだサラに目を
向けなさい。

わかし よん とき かれ ひとり
私が呼んだ時、彼は1人だっ
たが、

51:2 *または、「陣痛を伴って生み出した」。

わたし かれ しゆくふく し そん おお
私は彼を祝福し、子孫を多く
した。

3 エホバはシオンを慰める。

はいきよすべ やす
その廃虚全てに安らぎをもた

らし、

こう や
荒野をエデンのようにし、

さばくへいげん その
砂漠平原をエホバの園のように

する。

そこには喜びと楽しみがあり、

かんしゃ こえ うつく うた ひび わたし
感謝の声と美しい歌が響き渡る。

4 私の民よ、私に注意を払いな

さい。

わたし こくみん わたし みみ む
私の国民よ、私に耳を向けな

さい。

わたし りつぼう さだ
私は律法を定め、

わたし ほう き* たみ ひかり
私の法規をさまざまなる民の光と
する。

5 私は間もなく正しいことを行い、

すく
救いをもたらす。

わたし うで たみ さば
私の腕はさまざまなる民を裁く。

しまじま わたし のぞ
島々は私に望みをかけ、

わたし うで* ふ ま
私が腕を振るうのを待つ。

6 天を見上げ、地を見下ろしな

さい。

てん けむり ち
天は煙のように散らされ、

ち い ふく す き
地は衣服のように擦り切れ、

じゅうみん し
住民はブヨのように死ぬ。

しかし、私の救いは永遠であり、

わたし せい ぎ けつ た *わ
私の正義は決して絶えない。

第51章

(イ) 王一 4:20

(イ) 詩 102:13

イザ 66:13

エレ 31:12

(イ) イザ 44:26

イザ 61:4

(イ) 創 2:8

(イ) イザ 35:1

イザ 41:18

(イ) エレ 33:10, 11

(イ) 出 19:6

申 7:6

(イ) イザ 2:3

ミカ 4:2

(イ) 格 6:23

(イ) イザ 46:13

(イ) イザ 12:2

イザ 56:1

(イ) サ一 2:10

イザ 2:4

(イ) イザ 60:9

(イ) イザ 45:17

(イ) 詩 102:25-27

マタ 24:35

第2欄

(イ) エレ 31:33

(イ) イザ 50:9

(イ) イザ 45:17

ルカ 1:50

(イ) ルカ 1:51

(イ) 詩 87:4

詩 89:10

イザ 30:7

(イ) 出 15:4

ネへ 9:10, 11

詩 106:22

エゼ 29:3

(イ) 出 14:21, 22

(イ) 詩 106:9

(イ) エレ 31:11

ゼカ 10:10

7 何が正しいかを知っている人

たち、

わたし りつぼう* こころ と
私の律法を心に留めている人

たち、

わたし い き
私の言うことを聞きなさい。

し にんげん おそ
死にゆく人間のあざけりを恐れ

てはならない。

かれ ぶじよく
彼らの侮辱のためにおびえては

ならない。

8 蛾が彼らを衣服のように食い尽

くし、

い が かれ ようもう
衣蛾が彼らを羊毛のようにむさ

ばり食う。

わたし せい ぎ えいん そんぞく
私の正義は永遠に存続し、

わたし すく じだい
私の救いはいつの時代までも

及ぶ。

9 目覚めよ！ 目覚めよ！

ちから
力をまとい、エホバの腕よ！

むかし す じだい
昔のように、過ぎ去った時代のよ

うに、目覚めよ。

ラハバを打ち砕き、海の巨獣を

刺し通したのは、あなたでは

ないか。

10 広くて深い海の水を干上がらせ

たのは、あなたではないか。

うみ そこ みち すく だ *
海の底を道とし、救い出された

ひと たち
人たちが渡るようにした

のも。

11 エホバに救い出された人たちが

かえ
帰ってくる。

51:7 *または、「指示」。 51:9 *用語集参照。

*エホバの腕のこと。 51:10, 11 *直訳、「買い戻された」。

51:4 *または、「公正」。 51:5 *または、「力」。

51:6 *または、「打ち砕かれない」。

歓^{かん}聲^{せい}を上げながらシオン^くに来^くる。
いつま^いでも続^{つづ}く喜^{よろこ}びが彼^{かれ}ら^{かんむり}の冠^{かんむり}
となる。

彼^{かれ}ら^{かんき}は歡^{かん}喜^きにあふれ、
悲^{かな}しみやため息^{いき}は逃^にげ去^さる。

- 12 「あなたたちを慰^{なぐさ}めているのは、
この私^{わたし}である。

死^しにゆ^{にんげん}く人^{あおくさ}間^か、青^{にんげん}草^このよう^{おそ}に枯^か
れる人^{にんげん}間^かの子^こを、なぜ恐^{おそ}れる
のか。

- 13 あなたを造^{つく}ったエホバ^{わす}をな^なぜ忘^{わす}れるのか。

天^{てん}を広^{ひろ}げ、地^ちの土^ど台^{だい}を据^すえた
者^{もの}を。

あなたにち^{いちにち}じゅう^{じゅう}しいた^{しいた}者^{もの}の激^{はげ}
しい怒^{いか}りを恐^{おそ}れていた。

その者^{もの}があなたを滅^{ほろ}ぼせるかの
ように。

今^{いま}、し^{しいた}た^{もの}の怒^{いか}りはど^いこにある
のか。

- 14 鎖^{くさり}につな^ながれてか^かがんでいる者^{もの}
は、間^まもなく自^じ由^{ゆう}にさ^される。

死^しんで墓^{はか}穴^{あな}に入れられることは
なく、

パンに事^{こと}欠^かくこともない。

- 15 私^{わたし}はあなた^{かみ}の神^{かみ}エホバ^{かみ}であり、
う^う海^みをかき回^{まわ}して波^{なみ}を荒^{あら}立たせる。
名^なは、大^{たい}軍^{ぐん}を率^{ひき}いるエホバ。

- 16 私^{わたし}の言^{こと}葉^はをあなた^{くち}の口^{くち}に入れ、
わ^{わたし}た^てし^{かげ}の陰^{おほ}であなた^{おほ}を覆^{おほ}う。
天^{てん}を植^{うえ}え、地^ちの土^ど台^{だい}を据^すえ、

第51章

イザ 35:10

イザ 61:7

イザ 25:8
イザ 65:18,19

イザ 49:13
イザ 66:13

詩 118:6
ダニ 3:16,17
マタ 10:28

イザ 44:2

イザ 40:22

エズ 1:2,3
イザ 48:20
イザ 52:2

エレ 31:35,36
ヨナ 1:4

イザ 47:4

申 33:27
詩 91:1

イザ 65:17
イザ 66:8,22

第2欄

イザ 60:14
エレ 31:33
ゼカ 8:8

イザ 52:1
イザ 60:1

エレ 25:15

エゼ 14:21

哀 1:17

哀 2:11

イザ 51:17

イザ 54:9
イザ 62:8

シオンに『あなた^{わたし}は私の民^{たみ}』と言^い
うために。

- 17 目^め覚^めめよ！ 目^め覚^めめよ！

立^たち上^あがれ、エルサレ^いムよ。

あなた^てはエホバ^いの手^てにある憤^{いきどお}り
の杯^{さかずき}から飲^のんだ。

器^{うつわ}から飲^のみ、ふらつ^さかせ^させる杯^{さかずき}を
飲^のみ干^ほした。

- 18 彼女^{かのじょ}が産^うんだ子^こたち^{みちび}のうち、誰^{だれ}
も彼女^{かのじょ}を導^{みちび}かない。

彼女^{かのじょ}が育^{そだ}てた子^こたち^{だれ}のうち、誰^{だれ}も
彼女^{かのじょ}の手^てを取^とろうとしない。

- 19 2組^{くみ}の災^{わざわい}いがあなたに降^ふり掛^か
かった。

誰^{だれ}があなたに同^{どう}情^{じょう}するだ^うろうか。
滅^{ほろ}びと荒^{こう}廃^{はい}、飢^うえと剣^{つるぎ}！

誰^{だれ}があなたを慰^{なぐさ}めるだ^なろうか。

- 20 あなたの子^こたち^きは気^きを失^うし、
ど^きの街^{まち}角^{かど}にも横^{よこ}たわ^うっている。
網^{あみ}に掛^かかった野^や生^{せい}の羊^{ひつじ}のように。

エホバ^いの憤^{いきどお}り、あなた^{かみ}の神^{かみ}の叱^{しつ}
責^{せき}を十^{じゅう}分^{ぶん}に味^{あじ}わ^あった。

- 21 それで、ど^きうか聞^きいてほ^きしい。
ぶど^{しゅ}う酒^{しゅ}によ^よら^よず^{くる}に酔^よい、苦^{くる}しん
でいる女^{おんな}よ。

- 22 あなた^{しゅ}の主^{しゅ}エホバ^じ、ご自^じ分^{ぶん}の民^{たみ}
を弁^{べん}護^ごする神^{かみ}はこ^いう言^いう。

「私^{わたし}は、ふらつ^さかせ^させる杯^{さかずき}をあなた^{さかずき}
の手^てから取^とる。

その器^{うつわ}、私^{わたし}の憤^{いきどお}りの杯^{さかずき}から、
あなた^には二^に度^どと飲^のむこと^{こと}はない。

23 私はそれを、あなたを苦しめた者たちに渡す。

彼らはあなたに、『おまえを踏んで歩けるように、ひれ伏せ』と言った。

それであなたは、自分の背を地面のようにし、

彼らが歩くための通りのようにした。

52 目覚めよ！ 目覚めよ！
力をまといえ、シオンよ！

美しい衣服を身に着けよ、聖なる都市エルサレムよ！

割礼を受けていない汚れた者があなたの中に入ることはない。

2 エルサレムよ、土を振り払って立ち上がり、席に着け。

捕らわれたシオンよ、首に巻かれた縄を解け。

3 エホバはこう言う。
「あなたたちはただで売られたのであり、

代価なしに買い戻される。

4 主権者である主エホバはこう言う。

「初め、私の民はエジプトに行き、そこで外国人として暮らした。

それから、理由もなくアッシリアに虐げられた」。

5 「では今、私はどうすべきだろう

第51章
(例) イザ 49:25

第52章
(例) ハガ 2:4

(例) イザ 51:17

(例) イザ 61:3

(例) イザ 35:8
イザ 60:21
啓 21:27

(例) イザ 51:14
イザ 61:1

(例) イザ 50:1

(例) イザ 45:13

(例) 創 46:5-7

第2欄
(例) 詩 137:3
エレ 50:17

(例) 詩 74:10
ロマ 2:24

(例) エゼ 20:44

(例) イザ 40:9
ナホ 1:15
使徒 8:4
ロマ 10:15
エフ 6:14,15

(例) ルカ 2:14
使徒 10:36
エフ 2:17

(例) 詩 93:1
イザ 33:22
ミカ 4:7
マタ 24:14
啓 11:15,17

(例) イザ 61:4

(例) イザ 66:13

(例) イザ 44:23

か」と、エホバは言う。

「私の民はただで奪われた。

彼らを支配する者たちは勝利の叫びを上げ続けており、

私の名は一日中、しきりに侮られて」と、エホバは言う。

6 「そのため、私の民は私の名を知ることになる。

そのため、彼らはその日、話しているのが私であることを知るようになる。

それは私なのである！」

7 山々を越えて良い知らせを持つてくる者、

平和について伝える者、より良い事柄についての良い知らせを持ってくる者、

救いについて伝える者、

シオンに「あなたの神は王となった！」と言う者の足は、何と美しいのだろう。

8 聞け！ あなたの見張りたちは声を上げる。

彼らは一斉に歓声を上げる。

エホバがシオンを連れ戻す時、彼らははっきり見るのである。

9 エルサレムの廃墟よ、喜んで、一斉に歓声を上げよ。

エホバがご自分の民を慰め、エルサレムを救ったからである。

52:8 *または、「目と目を合わせて」。
52:9 *直訳、「買い戻した」。

52:1 *用語集参照。 52:2 *直訳、「シオンの娘」。

10 エホバはすべての国の人々の目の
前^{まえ}で聖^{せい}なる腕^{うで}をあらわにした。

地の果^ちてに至^{いた}るまで、人々^{ひとびと}は私^め
たちの神^{かみ}による救^{すく}いを見る^み。

11 立ち去^たれ。立ち去^たれ。そこから出^で
よ。汚^{けが}れたものには一切触^{いっさいふ}れ
るな!

エホバの器^き具^ぐを運^{はこ}んでいる人^{ひと}た
ちよ、
かのじょ^{かのじょ}なかで、みきよ
彼女^{かのじょ}の中から出^でて、身^みを清^{きよ}く
保^{たも}て。

12 あなたたちは慌^{あわ}てて去^さることは
なく、
逃^にげること^{ひつよう}もなし。

エホバがあなたたちの前^{まえ}を行^いき、
イスラエルの神^{かみ}が背^{はい}後^ごも守^{まも}ってく
ださるからだ。

13 私^{わたし}に仕^{つか}える者^{もの}は、洞^{どう}察^{さつ}力^{りき}をもつて
行^{こう}動^{どう}する。

高^{たか}い地^ち位^いに就^つけられ、
偉^い大^{だい}な者^{もの}とされ、非^ひ常^{じょう}に重^{おも}んじら
れる。

14 彼^{かれ}の容^{よう}姿^しはほかの誰^{だれ}よりも損^{そこ}な
われ、
その堂^{どう}々^{どう}たる姿^{すがた}はどんな人^{にん}間^{げん}よ
りも醜^{みにく}くなった。

それ^おで多^{おほ}くの人^{ひと}が驚^{おどろ}いて彼^{かれ}を見
つめたように、

15 彼^{かれ}は多^{おほ}くの国^{くに}の人^{ひと}々^{びと}を驚^{おどろ}かせる
ことになる。

52:10 *または、「神の勝利」。 52:11 *バビロ
ンのことと考えられる。

第52章

(イ) イザ 51:9

(イ) 詩 22:27
イザ 49:6(イ) イザ 48:20
エレ 50:8
エレ 51:6
ゼカ 2:6(イ) レビ 5:2
エゼ 44:23(イ) レビ 10:3
民 3:6,8
エズ 1:7
エズ 8:30(イ) コニ 6:17
啓 18:4(イ) 出 13:21
代一 14:15

(イ) イザ 58:8

(イ) イザ 42:1
イザ 61:1
フィリ 2:5-7(イ) 詩 2:6
詩 110:1
イザ 9:6
マタ 28:18

(イ) 詩 2:2

第2欄

(イ) 詩 2:10
詩 72:11

(イ) ロマ 15:20,21

第53章

(イ) ロマ 16:16

(イ) イザ 51:9

(イ) イザ 40:5
ヨハ 12:37,38(イ) イザ 11:1
ゼカ 6:12(イ) イザ 52:14
ヨハ 1:10
フィリ 2:7(イ) 詩 22:7
マタ 26:67,68
ヨハ 6:66
ペー 2:4(イ) ゼカ 11:13
ヨハ 18:39,40
使徒 3:13,14
使徒 4:11

(イ) マタ 8:14-17

(イ) レビ 16:21,22
ペー 2:24
ヨー 2:1,2

王^{おう}たちは彼^{かれ}の前^{まえ}で口^{くち}を閉^とざす。
告^つげられてい^{こと}なかつた事^{こと}柄^{がら}を

見^みて、

聞^きいてい^{こと}なかつた事^{こと}柄^{がら}について
考^{かん}えるからである。

53

私^{わたし}たちから聞^きいた事^{こと}に誰^{だれ}が
信^{しん}仰^{こう}を持^もったでし^{こと}うか。

エホバの力^{ちから}は誰^{だれ}に示^{しめ}されたで
し^{こと}うか。

2 彼^{かれ}は小^こ枝^{えだ}のよう^{かわ}に、乾^きき切^きった地^じ
面^{めん}の中^{なか}の根^ねのよう^ねに、人^{ひと}の前^{まえ}
に生^はえてい^{こと}る。

堂^{どう}々^{どう}たる姿^{すがた}はしてお^からず、輝^{かがや}かし
くも^{こと}ない。

私^{わたし}たちは彼^{かれ}を見^みても、そ^{よう}の容^{よう}姿^し
に引^ひき付^つけられ^{こと}ない。

3 彼^{かれ}は軽^{かる}んじられ、人^{ひと}々^{びと}に避^さけら
れた。

苦^く痛^{つう}を味^{あじ}わうこと^{*}になつており、
病^び気^きをよく知^しっていた。

顔^{かお}が私^{わたし}たちから隠^{かく}されてい^{こと}るか
のよう^{こと}だった。

彼^{かれ}は軽^{かる}んじられ、私^{わたし}たちは彼^{かれ}を
無^む視^しした。

4 彼^{かれ}はま^なさしく私^{わたし}たちの病^び気^きを
担^{たん}い、

私^{わたし}たちの痛^{いた}み^おを負^おった。

し^わかし私^{わたし}たちは、彼^{かれ}が災^{さい}厄^{やく}に遭^あ
い、神^{かみ}に打^うたれて苦^{くる}しんでい
ると考^{かん}えた。

52:15 *または、「言葉を失う」。 53:1 *もしか
すると、「私たちが」。 *直訳、「腕」。 53:2 *ま
たは、「神」。 53:3 *または、「理解して」。 *も
しかすると、「人々が顔を背けるような者だった」。

5 彼は私たちの違反のために刺し
通され、

私たちの過ちのために打ち砕か
れた。

彼が処罰を受けたので私たちに
平和がもたらされ、
彼の傷のおかげで私たちは癒や
された。

6 私たちは皆、羊のようにさま
よい、

それぞれの道を歩んでいた。

エホバは私たち皆の過ちを彼に
負わせた。

7 彼は虐げられ、苦しめられるまま
になったが、

口を開こうとしなかった。

羊のように、殺されるために連れ
てこられ、

毛を刈る人たちの前で黙ってい
る雌羊のようになり、

口を開こうとしなかった。

8 彼は不当な裁きを受けて取り去
られた。

誰が彼の家系の詳細を知ろうと
するだろうか。

彼は地上から除かれた。

私の民の違反のゆえにむちで打
たれた。

9 悪人と共に墓を与えられ、
裕福な人と共に葬られた。

53:7 *または、「ほふられる」。53:8 *または、「抑圧と裁きのゆえに」。「または、「生き方」。
△または、「ゆえに打たれて死んだ」。

第53章

(ア) ダニ 9:24
ロマ 4:25

(イ) ゼカ 12:10
ヨハ 19:34

(ウ) マタ 20:28
ロマ 5:6,19

(エ) コロ 1:19,20

(オ) ペー 2:24

(カ) ペー 2:25

(キ) ペー 3:18

(ク) 詩 22:12

詩 69:4

(ケ) ペー 2:23

(コ) ヨハ 1:29
コー 5:7

(ケ) マタ 27:12-14
使徒 8:32,33

(シ) ダニ 9:26
マタ 27:50

(ス) ゼカ 13:7
ヨハ 11:49,50

ロマ 5:6
ヘブ 9:26

(セ) マタ 27:38

(ト) マタ 27:57-60
マル 15:46
ヨハ 19:41

第2欄

(ア) ペー 2:22

(イ) レビ 16:11
コ二 5:21

ヘブ 7:27

(ウ) イザ 9:7
テモ一 6:16

(エ) コロ 1:19,20

(オ) イザ 42:1

(カ) ロマ 5:18,19

(キ) ペー 2:24

(ク) 詩 22:14
マタ 26:27,28

ヘブ 7:14

(ケ) マル 15:27

ルカ 22:37
ルカ 23:32,33

(コ) マタ 20:28
テモ一 2:5,6

テト 2:13,14

ヘブ 9:28

(ケ) ロマ 8:34

ヘブ 7:25

ヘブ 9:26

ヨ一 2:1,2

何にも間違
何も間違ったことをしておらず、
欺きを語ったこともないのに。

10 しかし、エホバは彼が打ち砕か
れることを望み、彼が苦しむよ
うにしました。

もしあなたが彼の命を有罪の捧
げ物とするなら、

彼は自分の子孫を見て、長く生
きることになり、

エホバの望まれることは彼を通
して成げられます。

11 彼は苦悩の結果を見て満足し
ます。

私に伝える正しい者は、自分の
知識によって、

多くの人が正しいと見なされるよ
うにし、

彼らの過ちを負う。

12 それで、私は彼に多くの人たちと
同様に分け前を与え、

彼は力がある者たちと戦利品を
分け合う。

彼が自分の命を捧げて死をも受
け入れ、

違反者たちの1人に数えられた
からである。

彼は多くの人の罪を担い、
違反者たちのために仲裁した。

54

エホバはこう言う。
「子供を産んだことがない

53:9 *または、「暴力を振るったことはなく」。
53:10 *または、「喜び」。「または、「喜ばれる
こと」。53:12 *直訳、「注ぎ出して」。

ふにん おんな かんせい あ 不妊の女よ、歓声を上げよ！
う くる あじ 産みの苦しみを味わったことが
おんな かん き さび ない女よ、歓喜して叫べ！
み す おんな こども 見捨てられた女の子供は、
おとこ おんな こども おお 夫がいる女の子供よりも多いか
らだ。

- 2 あなたの天幕の場所を広げよ。
あなたの偉大な幕屋の布を
張れ。
ためらわずに、天幕の綱を延
ばし、
杭をしっかりと打ち込め。
3 あなたは右にも左にも広がって
いき、
あなたの子孫は国々を手
入れ、
荒廃した町々に住むようになる。
4 恐れてはならない。あなたが恥
をかくことはない。
屈辱を感じるな。あなたが失望
することはない。
あなたは若い時の恥を忘れ、
やもめだった時の恥辱をもはや
思い出さない。

- 5 「あなたを造った偉大な者は、あ
なたの夫のようである。
名は、大軍を率いるエホバ。
あなたを救うのは、イスラエルの
聖なる者。
全世界の神と呼ばれることに
なる。

54:1, 5 *または、「主人」。54:5, 8 #直訳、
「買い戻す」。

第54章

(7) イザ 62:4

(1) イザ 66:7,8

(7) イザ 44:23

イザ 49:13

(12) ガラ 4:26,27

(7) イザ 49:20

(7) イザ 33:20

(7) イザ 49:8

エゼ 36:35

(7) イザ 41:10

(7) イザ 61:7

(7) イザ 44:2

(7) エゼ 16:8

ホセ 2:16

(7) イザ 44:6

(7) ゼカ 14:9

ロマ 3:29

第2欄

(7) イザ 49:14

イザ 62:4

(1) 申 30:1,3

詩 30:5

詩 106:47

イザ 27:12

エレ 29:10

(7) イザ 47:6

エゼ 39:23

(12) イザ 55:3

(7) イザ 48:17

イザ 49:26

(7) 創 7:23

(7) 創 8:21

(7) エレ 31:35,36

エゼ 39:29

(7) イザ 51:6

(7) イザ 55:3

(7) イザ 14:1

(7) イザ 52:2

(7) 哀 1:2,17

- 6 エホバは、あなたが捨てられて
悲嘆に暮れた妻であるかのよ
うに、

若い時に結婚して後に退けられ

た妻であるかのように、

あなたに呼び掛けた」と、あなた
の神は言う。

- 7 「私は少しの間あなたを捨て

たが、

深い憐れみをもってあなたを連

れ戻す。

- 8 私は短い間、激しく憤ってあなた

から顔を隠したが、

永遠に続く揺るぎない愛をもって

あなたを憐れむ」と、あなたを

救うエホバは言う。

- 9 「これは私にとってノアの時代の
ようである。

私は、ノアの洪水が地上を覆う

ことはもうないと言ったように、

あなたに対して憤ったり叱責した

りすることはもうないと言う。

- 10 山は取り除かれ、
丘は揺らぐかもしれない。

しかし、あなたに対する私の揺る

ぎない愛が取り除かれること

はなく、

私の平和の契約が揺らぐことも

ない」と、あなたを憐れむエホ

バは言う。

- 11 「苦しめられ、嵐に翻弄され、慰
められていない女よ、

わたし かた つか
私は固いモルタルを使ってあな
たの石を敷き、
サファイアをあなたの土台として
据えている。

12 ルビーでああなたの胸壁を、
輝く石でああなたの門を造り、
宝石でああなたの全ての境界を設
ける。

13 あなたの子たちは皆エホバに教
えられ、
豊かな平和を味わう。

14 あなたは正しさによってしっかり
と据えられる。
圧迫から速く離れ、
何も恐れず、おびえることもない。
恐怖を抱かせるものがあなたに
近づくことはない。

15 もしも誰かが攻撃するとしても、
それは私の命令によるのでは
ない。
誰であれあなたを攻撃する者は
倒れることになる。

16 「この私が職人を創造した。
風を送って炭火をおこし、
武器を作り出者を。
滅びと破滅をもたらす者も、この
私が創造した。

17 あなたを攻撃するために作られ
るどんな武器も役に立たず、
裁判においてあなたを責めると

第54章

(例) 啓 21:19

(例) エレ 31:34
ヨハ 6:45(例) 詩 119:165
イザ 66:12
エレ 33:6(例) イザ 1:26
イザ 60:21

(例) イザ 52:1

(例) エレ 23:4
ゼバ 3:13(例) エゼ 38:16,22
ゼカ 2:8
ゼカ 12:3

(例) イザ 10:5

(例) 詩 2:2,4
イザ 41:12

第2欄

(例) エレ 23:6

第55章

(例) 詩 42:2
詩 63:1
アモ 8:11
マタ 5:6

(例) イザ 41:17

(例) 啓 21:6
啓 22:17

(例) ヨエ 3:18

(例) イザ 25:6

(例) 詩 36:7,8
詩 63:5

(例) ヤコ 4:8

(例) イザ 61:8

(例) サニ 7:8,16
サニ 23:5
詩 89:28,29
エレ 33:25,26
使徒 13:34(例) 啓 1:5
啓 3:14

の舌も有罪とされる。

これはエホバに仕える者たちが
受ける財産であり、
私が彼らを正しいと見なす」と、
エホバは宣言する。

55 喉が渇いている全ての人た
ち、水のある所に来な
さい!

お金がない人たち、来て、買って
食べなさい!
来て、無償で、お金を払わずにぶ
どう酒とミルクを買いなさい。

2 あなたたちはなぜ、パンではな
い物のためにお金を払い続け
るのか。

なぜ、満足できない物のために
稼ぎを費やしているのか。

私の言うことを一心に聞き、良い
物を食べなさい。

そうすれば、本当に豊かな物を
大いに喜べる。

3 耳を傾け、私のもとに来なさい。
聞きなさい。そうすれば、あなた

たちは生き続け、
私は進んであなたたちと永遠の
契約を結ぶ。

ダビデに揺るぎない愛を示すと
いう確かな約束に基づいて。

4 私は彼を、国々に対する証人
とし、

54:17 *または、「あなたによってとがめられる」。

55:2 *または、「苦勞して稼いだお金」。「直
訳、肥えた物」。55:3 *または、「信頼できる」。

54:11 *または、「積み」。54:12 *または、「火
の」。

ひとびと し どうしや^(例) し れいかん^(例)
人々の指導者また司令官とした。

5 あなたは自分が知らない国民を

よ
呼び、

あなたをし 知らなかった 国民^{こくみん}があ
なたのもとに走ってくる。

あなたの神エホバ、イスラエル
の聖なる方^{せい}のために。

その方があなたに栄光^{えいこう}を与える
からである。

6 見いだせるうちにエホバを探し 求めよ。

その方が近くに^よにいるうちに呼び
掛けよ。

7 悪い行いをやめ、有害な考えを 捨てよ。

あわ
憐れんでくださるエホバのもとに
帰れ。

私たちの神のもとに帰れ。
神は寛大に許してくださる。

8 エホバはこう宣言する。

「私の考えはあなたたちの考えと
は違い、

あなたたちの行いは私の行いと
は違う。

9 天が地より高いように、

私の行いはあなたたちの行いよ
り高く、

私の考えはあなたたちの考えよ
り高い。

10 雨や雪は天から降り注ぎ、地を

55:7 * または、「惜しみなく」。 55:8, 9 * また
は、「道」。

第55章

(例) ダニ 9:25
マタ 23:10

(例) 創 49:10

(例) ゼカ 8:23

(例) イザ 49:3
イザ 60:9

(例) 代一 28:9

(例) 詩 145:18
ヤコ 4:8

(例) エゼ 18:21
使徒 3:19

(例) 出 34:6
代二 33:12,13

(例) 民 14:18
詩 103:12,13
イザ 43:25

(例) 詩 40:5

(例) 詩 103:11

第2欄

(例) 民 23:19
イザ 46:11

(例) ヨシ 23:14
イザ 45:23

(例) 詩 135:6
イザ 46:10

(例) イザ 35:10

(例) イザ 54:13
イザ 66:12

(例) イザ 42:11

(例) イザ 44:23

(例) イザ 41:19
イザ 60:13

(例) エレ 33:9

第56章

(例) ミカ 6:8

うるお め だ さくもつ しやう
潤し、芽を出させて作物を生

じさせ、

種をまく人に種を与え、食べる人
にパンを与える。

それまでは天に戻らない。同じよ
うに、

11 私の口から出る言葉も、 成果を収めずに私のもとに戻る

ことはない。

必ず私の望むことを成し遂げ、
私が託した使命を確実に果たす。

12 あなたたちは喜びながら出て いき、

平和のうちに連れ戻される。

山や丘はあなたたちの前で歓喜
の声を上げ、

野の木々はこぞって手をたたく。

13 いばらの代わりにネズの木が 生え、

イラクサの代わりにギンバイカの
木が生える。

それはエホバに名声をもたらし、
消え去ることのない永遠のしるし
となる。

56 エホバはこう言う。

「公正を守り、正しいことを
行ないなさい。

私は間もなく救いをもたらし、
私の正しさを明らかにする。

2 このことを行う人、

55:11 * または、「喜ぶこと」。

これにしっかりと従う人は幸福で
ある。

安息日を汚すことなく守り、
どんな悪事にも手を出さない
人は。

3 エホバのもとに来る外国人は、
『エホバはきつとご自分の民から
私を引き離す』と言ってはなら
ない。
宦官は、『私は枯れた木だ』と
言うてはならない。

4 私の安息日を守り、私の喜ぶこと
を選び、私の契約にしっかりと従う宦官
たちに、エホバはこう言う。

5 「私は、私の家で、私の壁の内側
で、彼らに場所と名を与える。
それは息子や娘よりも勝って
いる。

私が彼らに与えるのは永遠
の名、
消え去ることのない名である。

6 エホバに奉仕し、その名を愛し、
仕えるためにエホバのもとに来
る外国人たち、

安息日を汚すことなく守り、
私の契約にしっかりと従う人たち
皆を、

7 私は自分の聖なる山に連れて
きて、
私の祈りの家の中で喜ばせる。

第56章

[イ] イザ 58:13, 14

[イ] イザ 60:10
ゼカ 8:23

[イ] マラ 1:11

[イ] イザ 2:3
ミカ 4:2
ゼカ 8:3

第2欄

[イ] 王一 8:29, 43
マタ 21:13
マル 11:17
ルカ 19:46[イ] 申 30:3
イザ 27:12
ホセ 1:11[イ] イザ 49:22
イザ 60:4

[イ] エレ 12:9

[イ] イザ 6:10
イザ 29:10[イ] エレ 6:13, 14
エゼ 13:16

[イ] エゼ 33:6

[イ] ミカ 3:6

[イ] イザ 52:22
イザ 28:7
ホセ 4:11

彼らの全焼の捧げ物や犠牲は、
私の祭壇の上で受け入れら
れる。

私の家は全ての国の人々のため
の祈りの家と呼ばれる。

8 イスラエルの散らされた人たち
を集めている、主権者である主エホバ
はこう宣言する。

「私は、すでに集められた人たち
に加えて、他の人たちをも彼の
もとに集める。

9 野原にいる全ての野生動物よ、
森林にいる全ての野生動物よ、
食べに来い。

10 見張りたちは目が見ておらず、
誰も注意を払っていない。
彼らは皆、声が出ない犬であり、
ほえることができない。

あえぎながら寝たわり、うたた寝
してばかりいる。

11 彼らは猛烈な食欲を持つ犬で
あり、

決して満足しない。
彼らは何も理解していない羊飼
いである。

皆が好き勝手に歩んでおり、
ひとりりこふどうりえきもと
一人残らず不当な利益を求めて
こう言う。

12 「さあ、私はぶどう酒を持ってこ
よう。
皆で酒をたっぷり飲もう。

56:2 *直訳、「人の子」。 56:3 *用語集参照。
56:5 *または、「記念」。

56:11 *ヘブライ語、ネフェシュ。用語集参照。

あ す きょう おな
明日も今日と同じようになる。い
や、ずっといい日になる！」

57

ただ ひと 死
正しい人が死んでも、
だれ ころ と
誰も心に留めない。
ちゅうじつ *ひと つ さ #
忠実な人たちが連れ去られる
のに、
ただ ひと わざわ △つ さ
正しい人が災いのゆえに連れ去
られたことを誰も悟らない。

かれ やす
2 彼は安らかになる。
しょうじき あゆ ひと みな ねどこ* やす
正直に歩む人は皆、寝床で休む。

ちかよ
3 「あなたたちは近寄りなさい。
おんなじゆじゅうし こ
女呪術師の子たちよ、
かんいん おとこ しょうふ こども
姦淫をする男と娼婦の子供よ。

だれ わら
4 誰を笑いのみにしているのか。
たれ む くち おお あ した
誰に向かって口を大きく開け、舌
を突き出すのか。

いはん こども
あなたたちは違反の子供、
あざむ こども (何)
欺きの子供ではないか。

おお き ぎ あいだ (何) すべ お
5 大きな木々の間で、全ての生い
しげ き した (何)
茂った木の下で、

じょうよく も もの
情欲に燃える者たち、
たに* おおいわ さ め した
谷で、大岩の裂け目の下で、
こども ころ #もの (何)
子供を殺す者たちではないか。

たに* なめ いし えら
6 あなたは谷の滑らかな石を選
んだ。

と ぶん
それらがあなたの取り分なので
ある。

の もの ささ
あなたはそれらに飲み物の捧げ

第57章

(何) ミカ 7:2

(何) イザ 1:4
イザ 30:9

(何) イザ 1:29

(何) 申 12:2
王一 14:22,23

(何) 王二 16:1,3
エレ 7:31

(何) エレ 3:9

第2欄

(何) エレ 7:18

(何) エレ 2:20
エゼ 16:16
エゼ 23:17

(何) エゼ 20:28

(何) エゼ 16:25,33
エゼ 23:18

(何) イザ 30:9,10
イザ 59:3

もの そそ だ そな もの ささ
物を注ぎ出し、供え物を捧
げる。

わたし まんぞく *
こういうことに私は満足するだろ
うか。

こうだい やま うえ ねどこ
7 あなたは高大な山の上に寝床を
もう (何)
設け、

のぼ ぎ せい ささ (何)
登っていった犠牲を捧げた。

とびら とぐち はしら うし きねん ひ
8 扉と戸口の柱の後ろに記念碑を
お
置いた。

わたし はな はだか
私から離れて裸になり、
のぼ ぎ せい ねどこ ひろ
登っていった自分の寝床を広

くし、
かれ けいやく むす
彼らと契約を結んだ。

この かれ ねどこ とも (何)
好んで彼らと寝床を共にし、
だんこん み *
男根を見つめた。

あぶら こうりょう たずさ
9 油とたくさんの香料を携えて、
メレクのもとに行った。
し せつ とお おく
使節を遠くに送り、
はか# くだ
墓に下った。

おお みち あゆ ろうく
10 あなたは多くの道を歩もうと労苦
したが、
『もう駄目だ!』とは言わな

かった。
かつりょく ふる お
活力を奮い起こし、
あきら *
諦めない。

だれ だれ おそ
11 あなたは誰におびえ、誰を畏れ
たのか。
はじ (何)
そうようにうそをつき始めるとは。
わたし おも お
あなたは私のことを思い起こ
さず、

57:1 *または、「揺るぎない愛を示す」。*死ぬ
ということ。^もしかすると、「災いから」。57:
2 *墓のこと。57:5, 6 *または、「ワジ」。57:
5 *または、「ほふる」。

57:6 *または、「慰められる」。57:8 *偶像崇
拝を指しているのかも知れない。57:9 *もしか
すると、「王」。*ヘブライ語、シェオル。用語集参
照。57:10 *直訳、「疲れ果て」。

(何) イザ 1:3
エレ 2:32
エレ 9:3

何^{なに}も心^{こころ}に留^とめなかつた。

私^{わたし}は沈^{ちん}黙^{もく}し、手^てを引^ひいたのでは

ないか。

それであな^{わたし}たは私^{おそ}を畏^{おそ}れな

かつた。

12 私^{わたし}はあな^{ただ}たの「正^{ただ}しさ」と行^いいを
暴^{あば}く。

それら^{まつた}は全^いくあな^いたのためにな
ら^いない。

13 あな^{たす}たは助^{もと}けを求^{さけ}めて叫^{さけ}んでも、
あつ^{あつ}め^{くう}た偶^{ぞう}像^{すく}に救^{すく}つてはもらえ
ない。

それら^{みな}は皆^{かぜ}、風^{はこ}に運^さび去^さられ、
たん^{たん}単^いなる息^ふに吹^ふき飛^とばされ^る。

しか^{わたし}し、私^ひの^{なん}も^{ひと}とに避^ひ難^とする人^{ひと}は
と^とち^ちあ^あた^あ
土^ち地^ちを与^あえられ、
私^{わたし}の聖^{せい}なる山^{やま}を所^{しやう}有^{ゆう}する。

14 こ^いう言^{こえ}う声^{こえ}がす。『道^{どう}路^ろを造^{つく}れ！
み^みち^ちと^との^い道^{みち}を整^{ととの}えよ！

私^{わたし}の民^{たみ}の道^{みち}から障^{しょう}害^{がい}物^{ぶつ}を取り
除^{のぞ}け』。

15 永^{えい}遠^{えん}に生^いきてい^いて聖^{せい}なる名^なを
持^もつ、

至^し高^{こう}の方^{かた}はこ^いう言^いう。

「私^{わたし}は高^{たか}く聖^{せい}なる場^ば所^{しょ}に住^すんでい
るが、

打^うちのめ^{けん}され^{せん}た謙^{けん}遜^{そん}な人^{ひと}たちと
共^{とも}に^いる。

謙^{けん}遜^{そん}な人^{ひと}たちを元^{げん}気^きづけ、

打^うちのめ^{けん}され^{せん}た人^{ひと}たち^{ひと}の心^{こころ}を力^{ちから}
づけるた^いめに。

57:11 *または、「物事を隠した」。 57:15 *ま
たは、「住んで」。

第57章

(イ) イザ 42:24, 25

(イ) 詩 50:21

(イ) イザ 58:2

(イ) イザ 66:3

(イ) エレ 7:4

ミカ 3:4

(イ) 箴 10:14

イザ 42:17

(イ) イザ 56:6, 7

イザ 66:20

エゼ 20:40

ヨエ 3:17

(イ) イザ 35:8

イザ 40:3

イザ 62:10

(イ) 創 21:33

詩 90:2

イザ 40:28

デモ一 1:17

(イ) 出 15:11

ルカ 1:46, 49

(イ) 王一 8:27

(イ) 詩 34:18

詩 147:3

イザ 61:1

イザ 66:2

第2欄

(イ) 詩 103:9

ミカ 7:18

(イ) ヨブ 34:14, 15

(イ) エレ 6:13

エレ 8:10

(イ) エレ 3:14

(イ) エレ 33:6

ホセ 14:4

(イ) イザ 49:10

(イ) イザ 61:2

哀 1:4

(イ) イザ 12:1

(イ) イザ 48:18

エフ 2:17

(イ) 格 13:9

イザ 3:11

16 私^{わたし}はいつまでも敵^{てき}対^{たい}することは

せず、

常^{つね}に憤^{いきど}つたま^いまでい^いることも

ない。

さ^{わたし}もな^{ひと}ければ、私^{わたし}のゆえに人^{ひと}の

生^{せい}気^きは弱^{よわ}まり、

私^{わたし}が造^{つく}った生^いき物^{もの}は弱^{よわ}り果^はてる。

17 彼^{かれ}が罪^{つみ}深^{ふか}くも不^ふ当^{とう}な利^り益^{えき}を追^おい

求^{もと}めたこ^{わたし}に、私^いは憤^いつて

い^いた。

そ^{かれ}れで彼^うを打^{わたし}ち、私^{かお}の顔^{かく}を隠^{かく}し、

憤^{いきど}つてい^いた。

し^{かれ}かし、彼^{そむ}は背^{つづ}き続^いけ、心^{こころ}のまま

に歩^{あゆ}んだ。

18 私^{わたし}は彼^{かれ}の歩^{あゆ}みを見^みたが、

彼^{かれ}を癒^いやし、導^{みちび}き、

彼^{かれ}および共^{とも}に嘆^{なげ}き悲^{かな}しむ人^{ひと}たち

を以^い前^{ぜん}のよ^{なぐさ}うに慰^{なぐさ}めるこ^いに

す。

19 「私^{わたし}は唇^{くちびる}の实^みを創^{そう}造^{ぞう}している。

遠^{とほ}くにい^{ひと}る人^{ひと}にも近^{ちか}くにい^{ひと}る人^{ひと}に

も絶^たえ間^まない平^{へい}和^わが与^{あた}えられ、

私^{わたし}は彼^{かれ}を癒^いやす」と、エホバは

言^いう。

20 「し^{じゃ}かし、邪^{あく}悪^{もの}な者^{しず}たちは静^{しず}まる

こ^{あらう}とがで^{あらう}き^{あらう}ない荒^{あらう}海^{みづ}のよ^{みづ}うで

あ^{みづ}り、

そ^{みづ}の水^{みづ}は海^{かい}藻^{そう}や泥^{どろ}を打^うち上^あげ続^{つづ}

ける。

21 邪^{じゃ}悪^{あく}な者^{もの}たち^{へい}に平^わ和^わは^いない」と、

私^{わたし}の神^{かみ}は言^いう。

57:17 *イスラエルのこと。 57:18 *または、
「人たちに慰めをもって償う」。 57:19 *賛美の
言葉のこと。

58

「^{こえ かぎ さけ}声を限りに叫びなさい。た

めらってはいけません！

^{つのぶえ}角笛のように^{こえ あい}声を上げなさい。

^{わたし たみ かれ はんこう}私の民に彼らの反抗について、

^{し そん かれ つみ}ヤコブの子孫に彼らの罪について
て告げなさい。

2 ^{かれ ひ わたし みちび もと}彼らは日ごとに私に導きを求め、

^{わたし みち し よろこ あらわ}私の道を知るこの喜びを表す。

^{ただ おこな こくみん}正しいことを行った国民であるか

のように。

^{じ ぶん かみ こうせい す}自分たちの神の公正を捨てな

かったかのように。

^{ただ さば わたし もと}正しく裁くよう私に求め、

^{かみ ちか よろこ い}神に近づくことを喜んでこう言う。

3 『^{だんじき}断食しているのに、どうして見て
くださらないのですか。

^{じ ぶん くる}自分たちを苦しめているのに、ど
うして^{き じ}気に留めないのですか。』

なぜなら、あなたたちは^{だんじき}断食の

^{ひ じ ぶん *}日に自分のしたいことをし、

^{ろうどうしゃ しいた}労働者たちを虐げるからだ。

4 ^{だんじき けつきよく こうろん あらそ}断食しても結局は口論や争いに

なり、

^{はげ なぐ あ}こぼしで激しく殴り合う。

そのように^{だんじき}断食しても、あなたた

^{こえ てん き}ちの声が天で聞かれることは

ない。

5 ^{わたし のぞ だんじき}私が望む断食は、

^{ひと じ ぶん くる}人が自分が苦しめる日なのだろう

うか。

^{あたま た}頭をイグサのように垂れ、

第58章

〔イザ〕1:2

イザ 31:6

イザ 59:13

〔イ〕イザ 29:13

エゼ 33:32

〔イ〕イザ 1:14,15

〔ヨ〕マラ 3:14

〔ヨ〕レビ 16:29

〔ヨ〕エレ 34:15,16

ミカ 3:2-4

第2欄

〔ヨ〕エレ 34:8,9

〔イ〕格 28:27

〔ヨ〕詩 41:1

詩 112:9

格 19:17

格 22:9

〔ヨ〕エゼ 18:7,8

ヤコ 2:15,16

ヨ一 3:17

〔ヨ〕格 4:18

〔ヨ〕出 14:19

イザ 52:12

〔ヨ〕イザ 32:6

イザ 59:3

〔ヨ〕申 15:7,8

^{あらぬの はい うえ ね どころ もう}粗布と灰の上に寝床を設けるこ

となのか。

あなたはこれを断食と呼び、エ

^{よろこ ひ よ}ホバに喜ばれる日と呼ぶのか。

6 いや、私が望む断食はこうで

ある。

^{ふ とう そくばく と}不当な束縛を解き、

^{ぼう なわ}てんびん棒の縄をほだし、

^{しいた ひと かいほう}虐げられている人を解放し、

^{すべ ぼう お}全てのてんびん棒をおること。

7 また、空腹の人にパンを分け

与え、

^{まず いえ ひと じ ぶん いえ}貧しくて家のない人を自分の家

に招き入れ、

^{はだか ひと み ふく き}裸の人を見たなら服を着せ、

^{にくしん せ む}肉親に背を向けたくないことである。

8 そうすれば、あなたの^{ひかり よ あ}光は夜明

^{かがや わた}けのように輝き渡り、

あなたは速やかに癒やされる。

^{せい ぎ *}正義があなたの前を行き、

^{えいこう はい こ}エホバの栄光があなたの背後を

守る。

9 あなたが呼ぶと、エホバは答

える。

あなたが助けを求めて叫ぶと、

『私はここにいます！』と言う。

もしあなたがてんびん棒を除き

去り、

^{ゆび わるくち}指をさすことや悪口をやめ、

10 あなた自身が欲する物を空腹の

^{ひと あた}人に与え、

58:8 *または、「あなたの正しさ」。

58:3 *または、「喜びを追い求め」。

苦しんでいる人を十分に世話するなら、

あなたの光は闇の中でも輝き、
あなたの暗がりは真昼のようになる。

11 エホバは常にあなたを導き、
乾き切った土地でもあなたを十分に世話し、
元気づける。

あなたはよく潤っている庭園のようになり、
水が枯れることのない泉のよう

になる。

12 人々はあなたのために古い廃墟を建て直し、

あなたは過ぎ去った時代の土台を修復する。

あなたは、破れた城壁を直す者、
人が住む通りを修復する者と呼ばれる。

13 もしあなたが安息日を守り、私の聖なる日に自分のしたいことをせず、

安息日を最高に喜ばしい日、エホバの聖なる日、重んじるべき日と呼び、
自分のしたいことをしたり無駄口を利いたりする代わりにその日を重んじるなら、

第58章

〔イ〕詩 37:5,6

〔イ〕イザ 49:10

〔イ〕イザ 61:11
エレ 31:12

〔ロ〕ネヘ 2:5
エレ 31:38

〔ロ〕イザ 61:4

〔ロ〕ネヘ 6:1
アモ 9:11,14

〔ネ〕ネヘ 13:15
イザ 56:2
エレ 17:21

〔ロ〕申 5:12-14

第2欄

〔イ〕申 32:13

〔イ〕詩 105:10,11
エレ 3:18

第59章

〔イ〕民 11:23
イザ 50:2

〔ロ〕詩 116:1

〔ロ〕エレ 5:25

〔ロ〕申 31:16,17
申 32:20
イザ 57:17
エゼ 39:23
ミカ 3:4

〔ネ〕イザ 1:15
エレ 2:34
エゼ 7:23

〔ロ〕エレ 7:9,10
エゼ 13:8

〔ロ〕エレ 5:1
エゼ 22:30
ミカ 7:2

〔ロ〕イザ 30:12,13

〔イ〕ミカ 2:1

〔イ〕ヨブ 8:13,14

14 あなたはエホバのゆえに最高の喜びを味わい、

私はあなたを地上の高い所に乗り進ませ、

あなたの父祖ヤコブに与えた土地の産物を食べさせる。

エホバの口がこれを読んだのである。

59 エホバの腕が短過ぎて救えないということはない。その方の耳が遠くて聞こえないということもない。

2 あなたたちは自らの過ちによって神から引き離されたのだ。

あなたたちの罪のせいで神は顔を隠したので、

耳を傾けようとしないのである。

3 あなたたちの手のひらは血で汚れ、

指は過ちで汚れている。

あなたたちの唇はうそを語り、舌は正しくないことをささやく。

4 誰も正義を擁護せず、
法廷で正直であらうとしない。
人々はむなしいものに頼り、無

価値なことを語る。

災難を宿し、有害なことを産む。

5 彼らは毒蛇の卵をかえし、
クモの巣を張る。

その卵を食べる者は死に、

58:14 * または、「あなたが父祖ヤコブの財産を楽しめるようにする。」

58:11 * 直訳、「あなたの骨に力を与える。」

58:12 * 直訳、「裂け目」。 58:13 * または、「喜びを追い求めず」。

くだ たまご どくへび
砕かれた卵からは毒蛇がえる。

- 6 そのクモの巣は衣服にはならず、
かれ じぶん つく み
彼らは自分で作ったもので身を
おお 覆うことができない。

ゆうがい おこな
有害なことを行い、
ばうりよく ふ
暴力を振るう。

- 7 彼らは悪を行うために走り、
む じつ ひと こころ いそ
無実の人を殺そうと急ぐ。
かれ かんが ゆうがい
彼らの考えは有害であり、
かれ みち は めつ ふ こころ
彼らの道には破滅と不幸がある。

- 8 彼らは平和の道を知らず、
かれ すず みち こうせい
彼らが進む道に公正はない。
かれ じぶん みち ま
彼らは自分の道を曲げる。
みち あゆ もの へい わ し
その道を歩む者は平和を知るこ
とがない。

- 9 そのため、公正は私たちから遠
く離れており、

せい ぎ わたし ちか
正義は私たちに近づくかない。
わたし ひかり ま のぞ やみ
私たちは光を待ち望むが、闇が
ある。

あか ま のぞ くら なか
明るさを待ち望むが、暗がりの中
を歩き続ける。

- 10 目が見えないかのように手探り
で壁を伝い、

め 目がないかのように手探りし続
ける。

ま ひる ゆうやみ なか
真昼なのに夕闇の中にいるかの
ようにつまづく。

きょうけん ひと なか し
強健な人たちの中で、まるで死
人のようだ。

第59章

【イザヤ 57:12

【イ】エレ 6:7
ミカ 6:12

【イ】エレ 22:17
エゼ 9:9
マタ 23:35

【ロ】ロマ 3:15-17

【イ】イザヤ 5:7
イザヤ 59:15
エレ 5:1
アモ 6:12
ハバ 1:4

【イ】エレ 8:15

【イ】イザヤ 5:30

【イ】申 28:15, 29

第2欄

【イ】イザヤ 1:5
エゼ 5:5, 6

【イ】エレ 14:7
ホセ 5:5

【イ】エズ 9:13
ネヘ 9:33
ダニ 9:5

【イ】イザヤ 31:6
イザヤ 32:6
エレ 17:13

【イ】エレ 5:23

【イ】詩 82:2
ハバ 1:4

【イ】イザヤ 5:22, 23

【イ】イザヤ 48:1

【イ】ミカ 3:2

- 11 私たちは皆、熊のようにうなり
続け、

ハトのように悲しげに鳴き続
ける。

こうせい ま のぞ
公正を待ち望むが、それはない。
すく ま のぞ ほど
救いを待ち望むが、それは程
遠い。

- 12 私たちは何度もあなたに反抗し
ました。
ひと ひと つみ わたし ふ り
一つ一つの罪が、私たちに不利
な証言をしています。

わたし はんこう
私たちは反抗したことを自覚して
おり、
じぶん あやま し
自分たちの過ちをよく知ってい
ます。

- 13 私たちは違反を犯し、エホバを
拒んだ。

わたし かみ せ む
私たちの神に背を向けた。
あつぱく はんこう かつ
圧迫と反抗について語り、
こころ なか かんが いっわ こと ば
心の中でうそを考え、偽りの言葉
をささやいた。

- 14 公正は追い返され、
せい ぎ とお た
正義は遠くに立っている。
しんじつ* ひろ ば
真実は広場ですまずき、
しょうじき はい
正直さは入ってくることができ

ない。

- 15 真実は消えうせた。
あく はん ひと もの うば
悪から離れる人は物を奪われる。
エホバはこれを見て不快に

おも
思った。
こうせい み
公正が見られなかったからで
ある。

16 神は誰もいないのを見て、
誰も仲裁しないことに驚いた。

それで、ご自分の正義に促され、
ご自分の腕で救った。

17 そして正義をよろいのように身に
着け、

救いのかぶとをかぶった。

復讐の衣服を着て、
熱意を上着のようにまとった。

18 神は人々の行いに対して報いる。
反対者に憤りを表し、敵に報復
する。

島々に当然の返報をする。

19 人々は日が沈む方でエホバの名
を畏れ、

日が昇る方で神の栄光を畏れる。
神は激しく流れる川のようにやっ
て来るからだ。

エホバの聖なる力にあおられた
川のように。

20 「救う者はシオンに来る。

ヤコブの子孫の、違反から離れ
る人たちの所に来る」と、エホ
バは宣言する。

21 「これが、私が彼らと結ぶ契約
である」と、エホバは言う。「あなたの
上にある私の聖なる力と、私があなた
の口に入れた私の言葉は、あなたの
口からも、あなたの子供の口からも、

59:16 *または、「勝利した」。 59:17 *または、「勝利」。
*または、「袖なしの上着」。 59:20 *直訳、「買い戻す」。
59:21 *または、「子孫」。

第59章

(例) エフ 6:17
テサー 5:8

(例) 申 32:35
詩 94:1

(例) ヨブ 34:11
詩 62:12
エレ 17:10

(例) イザ 1:24
哀 4:11
エゼ 5:13

(例) イザ 48:17

(例) イザ 62:11

(例) 申 30:1-3
ロマ 11:26

(例) ロマ 11:27

第2欄

第60章

(例) イザ 51:17
イザ 52:1

(例) イザ 60:19, 20

(例) イザ 11:10

(例) イザ 49:23

(例) 啓 21:23, 24

(例) イザ 49:17, 18
イザ 54:1

(例) イザ 49:21, 22

(例) エレ 33:9

(例) イザ 61:6
ハガ 2:7, 8

あなたの孫の口からも、取り除かれる
ことはない。今もこれからもずっと」と、
エホバは言う。

60 「女よ、立って、光を照らせ。
あなたの光が来た。

エホバの栄光があなたの上に輝
いている。

2 闇が地上を覆い、
濃い暗がりが国々を包む。

しかし、エホバがあなたを照

らし、
その栄光があなたの上に現れる。

3 人々はあなたの光のもとに行き、
王たちもあなたの光輝に引き寄
せられる。

4 目を上げて、周囲を見なさい！
皆が集まり、あなたのもとにやっ
て来る。

遠くからあなたの息子たちが
やって来る。

娘たちも腕に抱かれて連れてこ
られる。

5 その時、あなたは見て、顔を輝
かせ、

胸が高鳴って喜びに満ちる。

海の富があなたのもとに向かい、
国々の資産があなたのもとに来
るからだ。

6 ラクダの大群があなたの土地を
覆う。

59:21 *または、「子孫の子孫」。 60:3 *また
は、「夜明けの明るさ」。

メディアンとエファの若い雄のラ
クダが。

シェバの人々も皆やって来て、
金と乳香を運んでくる。

エホバの栄誉を広くたたえる。

7 ケダルの羊の群れは全てあなた
のもとに集められる。

ネバヨトの雄羊もあなたの役に
立つ。

それらは私の祭壇の上で捧げら
れて受け入れられ、

私は私の輝かしい家をいっそう
美しくする。

8 雲のように飛んでくるこれらの者
は誰か。

まるでハト小屋に向かうハトのよ
うだ。

9 島々は私に望みをかける。

タルシシュの船が先頭をいき、
遠くからあなたの子たちを連れ
てくる。

銀や金も携えて、あなたの神工
ホバの名のもとに、

イスラエルの聖なる者のもとに
来る。

その者があなたに栄光を与える
のである。

10 外国人があなたの城壁を築き、
彼らの王たちはあなたに仕える。
私は憤ってあなたを打ったが、

第60章

〔訳〕代一 1:32, 33

〔イ〕マラ 1:11

〔イ〕イザ 42:11

〔ロ〕創 25:13

〔イ〕出 29:39, 42
イザ 56:6, 7

〔イ〕ハガ 2:9

〔イ〕イザ 51:5

〔イ〕イザ 60:4
イザ 66:20

〔イ〕詩 149:4
イザ 52:1
イザ 55:5

〔ロ〕エズ 7:27
ネヘ 2:7, 8
イザ 49:23

第2欄

〔イ〕申 30:3

詩 30:5
イザ 54:7
イザ 57:17, 18

〔イ〕啓 21:25, 26

〔イ〕イザ 60:3, 5

〔ロ〕イザ 41:11

〔イ〕イザ 35:1, 2

〔イ〕イザ 41:19
イザ 55:13

〔イ〕詩 132:7

〔イ〕イザ 62:12

〔イ〕代二 36:20, 21
イザ 49:14
エレ 30:17
哀 1:4

〔ロ〕イザ 35:10
イザ 61:7
エレ 33:10, 11

情けを掛けてあなたを憐れむ。

11 あなたの門は常に開け放たれ、
昼も夜も閉じられない。

彼らの王たちが先頭に立ち、
国々の資産があなたのもとに運
ばれてくる。

12 あなたに仕えない国民や王国は
滅び、
国々はすっかり荒廃する。

13 レバノンの栄光があなたのもと
に来る。

ネズの木、トネリコ、イトスギも
共に、

私の聖なる所を美しくするた
めに。

私は私の足を置く場所に栄光を
与える。

14 あなたを虐げた者の子たちが来
て、あなたにひれ伏す。

さげすんでいる者は皆あなたの
足元にひれ伏し、

あなたをこう呼ばなければなら
なくなる。

エホバの都市、イスラエルの聖
なる者のシオンと。

15 あなたは見捨てられ、憎まれ、誰
も通らない場所だったが、

私はあなたを永遠に誇るべきも
のとし、

いつの時代までも喜びの源と
する。

60:10 *または、「善意を示して」。

60:7 *または、「美しい」。 60:8 *または、「鳥
小屋の出入り口」。 60:9 *または、「が以前の
ように」。 *または、「あなたを美しくする」。

16 あなたは^{くにぐに} 国々の乳を^{ちち} 飲み、
王^{おう}たちの乳房^{ちぶさ}を^す 吸うことになる。

あなたは^{かなら} 必ず、私^{わたし} エホバがあなた^{すく} の救^{ぬし}い主であり、
ヤコブ^{きょうりよく}の強力^{もの}な者があなたを^{すく} 救^{すく}う者であることを^し 知る。

17 私は^{わたし} 銅^{どう}を金^{きん}に替^かえ、
鉄^{てつ}を銀^{ぎん}に、木^きを銅^{どう}に、
石^{いし}を鉄^{てつ}に替^かえる。
平和^{へい}をあなた^{かん}の監督^{とく}とし、
正義^{せいぎ}をあなた^{かん}の管理^り者^{しや}とする。

18 誰^{だれ}もあなた^{とち}の土地^{ぼうりよく}で暴力^{のみ}を耳^{みみ}に
しなくなり、
あなた^{きようかい}の境界^{ない}内で破滅^{はめつ}や滅び^{ほろ}びに
ついて聞^きかなくなる。
あなたは^{じぶん} 自分^{じょう}の城^{へき}壁^{すく}を『救^{すく}い』
と呼^よび、自分^{じぶん}の門^{もん}を『賛美^{さんび}』と
呼^よぶ。

19 太陽^{たいよう}はもはやあなた^{ひる}にとって昼^{ひる}
の光^{ひかり}とはならず、
輝^{かがや}く月^{つき}もあなた^てを照^てらすことは
ない。

エホバ^{えい}があなた^{えん}の永遠^{ひかり}の光^{ひかり}と
なり、
あなた^{かみ}の神^{うつく}があなた^{うつく}の美^{うつく}しさと
なる。

20 あなた^{たいよう}の太陽^{しず}はもはや沈^{しず}まず、
あなた^{つき}の月^かは欠^かけない。
エホバ^{えい}があなた^{えん}のために永遠^{ひかり}の
光^{ひかり}となり、

60:16 *直訳、「買い戻す」。 60:17 *または、
「あなたに仕事を割り当てる者」。

第60章
イザヤ 61:6

イザヤ 49:23

イザヤ 49:26

イザヤ 1:26
イザヤ 32:1

イザヤ 2:4
イザヤ 11:9
イザヤ 54:14
ゼカ 9:8

イザヤ 26:1

詩 36:9
イザヤ 60:1
啓 21:23
啓 22:5

ゼカ 2:4,5

詩 27:1
詩 84:11

第2欄

イザヤ 25:8
イザヤ 30:19
イザヤ 35:10

イザヤ 44:23

イザヤ 43:6,7

第61章

イザヤ 42:1
マタ 3:16

マタ 11:4,5
使徒 10:37,38

ルカ 4:17-21

ルカ 7:22
使徒 26:17,18

イザヤ 34:8

イザヤ 25:8
マタ 5:4
ルカ 6:21

あなたの^{なげ}嘆^{なげ}きの日々^ひは終^おわるの
である。

21 あなたの民^{たみ}は皆^{みな}、正^{ただ}しいことを
おこな
行^いい、
とち^{とち} えい^{えい}えん^{えん} しょ^{しょ}う^う
土地^{とち}を永^{えい}遠^{えん}に所^{しよ}有^うする。
かれ^{かれ} わたし^{わたし} えい^{えい}こ^こう^う する *
彼^{かれ}らは、私^{わたし}が栄^{えい}光^{こう}を受け^うけるよ
うに、

私^{わたし}が植^うえた苗^{なえ}、私^{わたし}が形^{かた}作^{ちづく}った者^{もの}
たちである。

22 小^{ちい}さな者^{もの}が千^{せん}人^{にん}にもなり、
取^とるに足^たりない者^{もの}が強^{きやう}大^{だい}な国民^{こくみん}
になる。

私^{わたし} エホバ^{えい}が、定^{さだ}め^めの時^{とき}にそれ^{それ}を
速^{はや}める。

61 主^{しゅ}権^{けん}者^{しや}である主^{しゅ}エホバ^{えい}
の聖^{せい}なる力^{ちから}が私^{わたし}の^{うえ}に
あ^ある。

エホバ^{わたし}が私^{えら}を選^{えら}び、温^{おん}厚^{こう}な人^{ひと}に
良^よい知^しらせを告^つげよう^うにさ
せ^せたからである。

私^{わたし}は神^{かみ}から遣^{つか}わされて、こ^ころ^{ころ} ^{きず}
傷^{きず}ついた人^{ひと}を癒^いやし、

と^と 捕^とらわ^とれている人^{ひと}に釈^{しやく}放^{ほう}を、
囚^{しゅう}人^{じん}に目^めが大^{おお}きく開^{ひら}かれること
を^し 知^しら^しせる。

2 また、エホバ^めの恵^{めぐ}みの年^{とし}と、
私^{わたし}たちの神^{かみ}の復^{ふく}讐^{しゅう}の日^ひについて
広^{ひろ}め、
なげ^{なげ} かな ^{ひと}すべ ^{なぐさ} ^い
嘆^{なげ}き悲^{かな}しむ人^{ひと}全^{ぜん}てを慰^{なぐさ}め、

60:21 *または、「美しくされる」。 61:1 *直訳、
「に油を注ぎ」。用語集の「油を注ぐ」参照。 61:
2 *または、「善意」。

- 3 シオンのこと^{なげ}で嘆き^{かな}悲^{かな}しんでいる
人^{ひと}たちに、
灰^{はい}の代^かわりに頭^{あたま}飾^{かざ}りを、
悲^{かな}しみの代^かわりに歡喜^{かんき}の油^{あぶら}を、
落胆^{らくたん}の代^かわりに贊美^{さんび}の衣服^{いふく}を与^{あた}える。
彼^{かれ}らは正義^{せいぎ}の大木^{たいぼく}と呼ば^よれる。
エホバがご自分の栄光^{じぶん えいこう}のために
植^うえた木々^{きぎ}である。
4 彼^{かれ}らは古い^{ふる}廢虚^{はいきょ}を建^たて直^{なお}す。
過^か去^こに荒^あれ果^はてた場所^{ばしょ}を復^{ふつ}
興^{こう}し、
破^は壊^{かい}された町々^{まちまち}を元通^{もとどお}りにする。
なが^{なが}あいた^{あいた}こ^{こう}は^{はい}い^いば^ばし^{しよ}
長^{なが}い間^{あいだ}荒^あれ^れしていた場所^{ばしょ}をで
あ^ある。
5 「よそ^{もの}が立^たってあな^{あなた}た^{たち}の羊^{ひつじ}
の群^むれを世話^{せわ}し、
外^{がい}国^{こく}人^{じん}があな^{あなた}た^{たち}のた^ために農^{のう}
業^{ぎよう}をし、ブドウ^{ぶどう}を栽^{さい}培^{ばい}する。
6 あな^{あなた}た^{たち}はエホバの祭^{さい}司^しと呼^よ
ば^ばれ、
神^{かみ}の奉^{ほう}仕^し者^{しゃ}だと言^いわ^われる。
国^{くに}々^にの資^し産^{さん}を食^たべ、
彼^{かれ}ら^{とみ}の富^{ほこ}につ^{ほこ}いて誇^{ほこ}る。
7 恥^{はじ}の代^かわりに2倍^{ばい}の分^{わけ}け前^{まえ}を
得^えて、
屈辱^{くつじよく}の代^かわりに自^じ分^{ぶん}の分^{ぶん}につ^{ぶん}
て喜^{よろこ}んで叫^{さけ}ぶ。
自^じ分^{ぶん}た^{たち}の土^{とち}地^ちで2倍^{ばい}の分^{わけ}け前^{まえ}
を持^もつようになり、

61:3 *または、「ご自分を美しくする」。 61:6
*または、「栄光」。

第61章

- [イ] イザ 60:21
[イ] イザ 49:8
イザ 51:3
[イ] イザ 44:26
イザ 58:12
[エ] エゼ 36:33,34
[イ] イザ 60:10
[ヨ] イザ 14:1,2
[イ] 出 19:6
[イ] イザ 23:17,18
イザ 60:5,7
[イ] ゼカ 9:12

第2欄

- [イ] イザ 35:10
[イ] 申 32:4
詩 33:5
詩 37:28
[イ] 格 6:16-19
[イ] イザ 55:3
エレ 32:40
[イ] ゼカ 8:13
[イ] イザ 65:23
[イ] イザ 65:13
[イ] イザ 52:1
啓 21:2
[イ] 出 28:39,41
[ヨ] イザ 45:8
イザ 62:1
[イ] イザ 58:11
イザ 60:18
イザ 62:7

第62章

- [イ] 詩 102:13
ゼカ 2:12

いつまでも喜^{よろこ}ぶこと^{こと}になる。
8 私^{わたし}エホバは公^{こう}正^{せい}を愛^{あい}し、
強^{ごう}奪^{だつ}と不正^{ふせい}を憎^{にく}んでいる。
民^{たみ}に誠^{せい}実^{じつ}に報^{ほう}酬^{しゅう}を与^{あた}え、
彼^{かれ}らと永^{えい}遠^{えん}の契^{けい}約^{やく}を結^{むす}ぶ。
9 彼^{かれ}らの子孫^{しそん}は国^{くに}々^にの中^{なか}で知^し
られ、
末^{まつ}孫^{そん}は人^{ひと}々^との間^{あいだ}で知^しら^れれる。
彼^{かれ}らを見^みる人^{ひと}は皆^{みな}、
彼^{かれ}ら^しがエホバに祝^{しゅく}福^{ふく}され^した子孫^{しそん}
だ^だと分^わか^かる。
10 私^{わたし}はエホバのこ^{こと}で歡喜^{かんき}する。
私^{わたし}の神^{かみ}のこ^{こと}で喜^{よろこ}びに満^みちる。
神^{かみ}は救^{すく}いの衣^い服^{ふく}を着^きせてく^くだ
さ^さつた。
正義^{せいぎ}の外^{がい}衣^いをま^まとわ^わせてく^くだ
さ^さつた。
祭^{さい}司^しの^にに似^にたターバ^{ターバ}ンを巻^まく花^{はな}
婿^{むこ}のよう^{よう}に。
装^{そう}飾^{しよく}品^{ひん}で身^みを飾^{かざ}る花^{はな}嫁^{よめ}のよう^{よう}に。
11 大^{だい}地^ちが芽^めを生^{しょう}じさせ、
庭^{てい}園^{えん}がま^まか^かれた種^{たね}を芽^め生^{しょう}えさせ
るよう^{よう}に、
主^{しゅ}権^{けん}者^{しゃ}である主^{しゅ}エホバは全^{すべ}ての
国^{くに}の人^{ひと}々^との前^{まえ}で、
正^{せい}義^ぎと贊^{さん}美^びを芽^め生^{しょう}えさせる。
62 シオンのた^ために、私^{わたし}は黙^{だま}
てい^{てい}ない。
エルサレ^{エルサレ}ムのた^ために、じ^じつと^として
はい^{はい}ない。

62

エルサレ^{エルサレ}ムのた^ために、じ^じつと^として
はい^{はい}ない。

61:10 *または、「袖なしの上着」。

かのじょ* ただ あか ひかり
彼女の正しさが明るい光のよう
かがや^(カ)
に輝き、
すく 救いがたいまつのように燃える
^(イ)
までは。

2 「女よ、国々はあなたの正しさ
を見、
おう みな えいこう み 四
王たちは皆あなたの栄光を見る。
あなたは新しい名で呼ばれるこ
とになる。
みずか なづ な
エホバ自らが名付ける名で。

3 あなたはエホバが持つ美し
い冠、
かんむり
あなたの神の手にある、王の
ターバンとなる。

4 もはやあなたは捨てられた女と
は言われず、
い^(カ)
あなたの土地は荒廃していると
は言われぬ。
い^(カ)
あなたは『私の喜びのもと』と呼
ばれ、
わ^(カ)
あなたの土地は『妻となった者』
と呼ばれる。

エホバがあなたのことを喜び、
あなた^との土地は妻のようになる
のである。

5 若者が乙女を妻とするように、
あなたの子たちはあなたを妻と
する。

はなむこ はなよめ かん き
花婿が花嫁のことで歓喜するよ
うに、
あなたの神はあなたのことで歓
喜する。
^(イ)

62:1 *エルサレムのこと。

第62章

(イ) イザ 1:26

(イ) イザ 51:5

(イ) イザ 54:1

イザ 60:1

(四) イザ 49:23

イザ 60:11

(四) エレ 33:16

(四) イザ 49:14

イザ 54:6

(四) イザ 32:14

(四) 詩 149:4

ゼバ 3:17

(四) イザ 65:18,19

エレ 32:41

第2欄

(イ) イザ 61:11

エレ 33:9

ゼバ 3:19,20

(イ) 申 28:49-51

エレ 5:17

(イ) 申 14:23

イザ 65:21,22

(四) イザ 40:3

イザ 48:20

(四) イザ 57:14

(四) エズ 1:1,3

イザ 11:12

イザ 49:22

(四) ゼカ 9:9

マタ 21:5

ヨハ 12:15

6 エルサレムよ、あなたの城壁の
うえ わたし み は お
上に私は見張りを置いた。
かれ ひる よる けつ だま
彼らは昼も夜も決して黙っていて
はならない。

エホバについて語る人たちは、
やす
休んではならない。

7 神に祈り続けなさい。
かみ いの つづ *
神がエルサレムをしっかりと
す
据え、

せ かい しようさん まと
世界の称賛の的とするまで。

8 エホバは右手を、強い腕を挙げ
て誓った。
ちか
て誓った。

わたし こくもつ
「私はもう、あなたの穀物をあな
たの敵に食べさせない。

あなたが苦労して造った新しい
ぶどう酒を、外国人が飲むこと
はなくなる。

9 穀物を刈り取る人たちがそれを
食べ、エホバを賛美する。

ぶどう しゅうかく ひと わたし
ブドウを収穫する人たちが、私の
せい にわ しゅ の 例
聖なる庭でぶどう酒を飲む。

10 通れ、門を通れ。
とお もん とお
民のために道を整えよ。

つく かいどう つく
造れ、街道を造れ。
いし と のぞ 例
石を取り除け。

ひとびと はたじしき かか 例
人々のために旗印を掲げよ。

11 エホバは地の果てにまでこう知
らせた。

「シオンに言え。

『あなたの救いが来る。

かみ むく あた ねが
神は報いを与えることを願い、

62:7 *または、「神を休ませてはならない」。

62:10 *または、「合図のさお」。 62:11 *直訳、
「シオンの娘」。

ほうしゅう し はら (7)
報酬を支払おうとしている』と」。
かれ せい たみ すく
12 彼らは聖なる民、エホバに救わ
れた人々と呼ばれ、
あなたは「求められるもの」、^す「捨てられていない都市」と呼ばれる。

63 エドムからやって来る者、
あざ いろ * い ふく き
鮮やかな色の衣服を着
てボツラから来る者は
だれ
誰か。
りっ ば よそお
立派な装いをして、
おお ちから も すす
大きな力を持って進んでくるこの
ものは。
わたし ただ かた もの
「私である。正しいことを語る者、
おお ちから すく もの
大きな力で救う者である」。

2 なぜあなたの衣服は赤く、
しほ ば ふ ひと ふく
ブドウを搾り場で踏み人の服に
に
似ているのですか。

3 「私は搾り場でブドウを独りで踏
んだ。
だれ わたし いっしょ
誰も私と一緒にいなかった。
わたし いか ひとびと ふ
私は怒りのうちに人々を踏み
つづ
続け、
いきどお かれ ふ (4)
憤りのうちに彼らを踏みつけた。
わたし い ふく かれ ち ほ か
私の衣服に彼らの血が跳ね掛
かり、
よご
すっかり汚れてしまった。

4 私は復讐の日を心に決めたので
あり、
わたし たみ すく * とし き
私の民を救う年が来たからで
ある。

62:12 *直訳、「買い戻された」。63:1 *もし
かすると、「真つ赤な」。63:4 *直訳、「買い戻
す」。

第62章

(7) イザ 40:9,10
啓 22:12

(7) 詩 107:2,3

(7) イザ 54:7

第63章

(4) 詩 137:7
イザ 34:5,6

(4) アモ 1:12

(4) ヨエ 3:13
啓 14:19,20
啓 19:15

(4) イザ 34:2

第2欄

(7) イザ 51:9
イザ 52:10
イザ 59:16

(7) エレ 25:15,16

(7) 詩 78:12
詩 105:5

(4) 出 24:7

(4) 出 14:30

(4) 出 3:7

わたし み たす もの
5 私は見ていたが、助けになる者
はいなかった。

おどろ ささ もの
驚くことに、支えようとする者は
いなかった。

わたし うで すく *
そのため、私の腕が救いをもた
らし、

わたし いきどお ささ
私の憤りが支えとなった。

わたし いか ひとびと ふ
6 私は怒りのうちに人々を踏み
つけ、

わたし いきどお かれ よ (4)
私の憤りで彼らを酔わせ、
かれ ち じめん なが だ
彼らの血を地面に流れ出さ

せた。
わたし ゆ あい
7 私は、エホバの揺るぎない愛の
おこな
行い、

エホバの素晴らしい行いについ
て語る。

エホバは憐れみと大きくて揺る
ぎない愛により、

わたし こく
私たちのために、イスラエル国
民のために、

おお よ おこな
多くの良いことを行ってください
たからだ。

かれ たし わたし たみ わたし つ
8 「彼らは確かに私の民、私に尽く
す子たちである」と神は言い、

かれ すく ぬし (4)
彼らの救い主となった。

かれ くる とき
9 彼らが苦しんでいたどの時にも、
かみ くる あじ (4)
神も苦しみを味わった。

そして、神ご自身の使者が彼らを
すく (4)
救った。

63:5 *または、「勝利」。63:8 *または、「偽
ることがない」。63:9 *または、「神に仕える
天使」。

(4) 出 14:19
出 23:20

神は愛と思いやりをもって彼らを
救い、

昔はいつも彼らを抱き上げて運
んだ。

10 しかし、彼らは反逆し、神の聖な
る力を悲しませた。

そのため神は彼らの敵となり、
彼らと戦った。

11 彼らは昔の日々を、
神に仕えたモーセの時代を思い
出した。

「群れの牧者たちと共に民を海か
ら連れ出した方はどこにおら
れるのか。

ご自分の聖なる力を彼の内に宿
らせた方はどこにおられる
のか。

12 その方はご自分の輝かしい腕で
モーセの右手を支え、

民の前で水を分け、
永遠の名声を得た。

13 その方は、民が波立つ水の間に
歩いて通れるようにし、

平原の馬のようにつまずかずに
歩けるようにした。

14 彼らは家畜が谷あいの平原に下
る時のように、

エホバの聖なる力によって休
んだ。

このようにあなたはご自分の民
を導き、

63:9 *直訳、「買い戻し」。 63:13 *または、「
深い」。 *または、「荒野」。

第63章

(7) 申 7:8

(4) 出 19:4
申 1:31

(7) 申 9:7

(2) 使徒 7:51
エフ 4:30

(8) レビ 26:14, 17
申 28:63

(7) エレ 21:5

(4) 詩 77:20

(7) 出 14:30
イザ 51:10

(7) 民 11:16, 17

(2) 出 6:1, 6
出 15:16

(7) 出 14:21, 22

(7) 出 9:15, 16
出 14:17
ロマ 9:17

(2) ヨシ 22:4

第2欄

(7) サニ 7:23
ネへ 9:10

(4) エレ 31:20

(7) 申 4:31
ネへ 9:17

(2) 出 4:22

(7) イザ 41:14

(7) イザ 6:10

(4) 詩 74:2
詩 80:14, 15

かがや 輝かしい名声を得ました。

15 天から見てください。

神聖さと栄光に満ちた、あなた
の高大な住まいから。

あなたの熱意と力強さ、
深い思いやりと憐れみはどこに
あるのですか。

それらは私に示されていません。

16 あなたは私たちの父です。
アブラハムが私たちを知らない
としても、

イスラエルが私たちを認めない
としても、

エホバ、あなたは私たちの父
です。

昔から私たちを救ってきた方
です。

17 エホバ、なぜ私たちがあなたの
道からそれるままにしているの
ですか。

なぜ私たちが心を固くするままに
し、あなたを畏れないようにす
るのですか。

あなたに仕える者たちのために、
あなたの財産である民のために
戻ってきてください。

18 あなたの聖なる民が土地を所有
しているのはわずかな間で
した。

63:14 *または、「美しい」。 63:15 *または、
「美しさ」。 *直訳、「内なる所の高ぶり」。 63:
16 *直訳、「買い戻して」。 63:17 *または、「を
あなたの道からそれさせて」。 *直訳、「の心を
固くならせ」。

わたし たちの てき せいの ところ
私たちの敵があなたの聖なる所
を踏みじりました。

- 19 私たちは長い間、あなたに治め
られたことがない者たちのよ
うになり、
あなたの名で呼ばれたことがな
い者たちのようになりました。

64 あなたが天を引き裂いて
下ってきていたなら、
あなたのゆえに山々は揺れ動い
たでしょう。

- 2 火が茂みを燃え立たせ、
水を沸騰させるように。

そうすれば、あなたのお名前が
敵たちに知られ、

あなたの前で国々が震えたで
しょう。

- 3 あなたは、私たちの望みを超え
た驚異的なことを行われた時、
下ってこられ、あなたの前で山々
は揺れ動きました。

- 4 待ち続ける者のために行動してく
ださる神は、あなた以外にい
ません。

昔から、誰もほかに見たことも聞
いたこともなく、
そのような神に注意を向けたこと
もありません。

- 5 あなたは、喜んで正しいことを行
う者たち、
あなたを心に留めてあなたの道

第63章

〔訳〕代二 36:19
イザ 64:11
哀 1:10

第64章

〔訳〕出 34:10

〔訳〕ハバ 3:6

〔訳〕詩 130:6-8
イザ 25:9
ミカ 7:7
コー 2:9

第2欄

〔訳〕イザ 1:21
イザ 63:10

〔訳〕レビ 12:2
レビ 15:20

〔訳〕申 31:17
イザ 57:17

〔訳〕イザ 63:16

〔訳〕イザ 29:16
イザ 45:9
エレ 18:6

〔訳〕詩 74:1
詩 79:5

あゆ もの むか
を歩む者たちを迎えてください
ました。

あなたが憤ったのは、私たちが
なが あいだつみ おか つづ
長い間罪を犯し続けたから
です。

それなのに救っていただけるの
でしょうか。

- 6 私たちは皆、汚れた者のようにな
りました。

ただ おこな すべ げっけい とき
正しい行いも全て、月経の時の
ぬの ぬの
布のようです。

私たちは皆、葉のようにしおれ、
あやま かぜ わたし はこ
過ちが風のように私たちを運び
去るでしょう。

- 7 あなたのお名前を呼ぶ者も、
あなたにすがろうとする者もいま
せん。

あなたが私たちから顔を隠し、
わたし あやま よわ *
私たちを過ちのゆえに弱らせて
いるからです。

- 8 しかし、エホバ、あなたは私たち
の父です。

わたし ねん ど とうげい
私たちは粘土で、あなたは陶芸
家です。

わたし みな て つく
私たちは皆、あなたの手で造ら
れたのです。

- 9 エホバ、ひどく憤らないでくだ
さい。

私たちの過ちをいつまでも覚えて
おかないでください。

どうか目を向けてください。私た

64:7 *直訳、「溶かして」。 64:8 *または、「私
たちを形作った方」。

ちは皆、あなたの民なのです。

10 あなたの聖なる町々は荒野となりました。

シオンは荒野となり、

エルサレムは荒地となりました。

11 父祖たちがあなたを賛美した場所、

神聖さと栄光に満ちた家は、火で燃やされてしまいました。

私たちが大切にしていた物は皆、荒れ果てています。

12 それでもなお、エホバ、あなたはご自分を制するのですか。

沈黙し続け、私たちがひどく苦

しむままにしておかれるのですか。

65 「私は、私を知ろうとしなかった者たちが私を探し求めるようにした。

私を探さなかった者たちが私を見つけるようにした。

私の名を呼んでいなかった国民に、『私はここにいる、私はここにいる!』と言った。

2 私は頑固な民に向かって一日中両手を広げた。

自分たちの考えに従って、良くない道を歩んでいる者たち。

3 その民は庭園で犠牲を捧げ、れ

第64章

(例) 詩 79:1

哀 1:4

哀 5:18

ミカ 3:12

(例) 代 2:36,17,19

エレ 52:12,13

(例) 詩 74:10,11

ゼカ 1:12

第65章

(例) イザ 55:6,7

(例) ロマ 10:20,21

(例) 申 31:27

ネへ 9:29

ゼカ 7:11

(例) エレ 5:23

(例) イザ 59:7,8

エレ 35:15

(例) イザ 1:29

イザ 66:17

第2欄

(例) 王 2:17,16,17

エレ 32:29

(例) 民 19:16

(例) レビ 11:7,8

イザ 66:17

(例) 申 14:3

(例) 詩 50:3,21

エレ 16:18

エゼ 11:21

(例) 出 20:4,5

レビ 26:39

(例) 王 1:22,41,43

王 2:12:3

んがの上で犠牲の煙を立ち上

らせ、

絶えず面と向かって私を怒らせている。

4 彼らは墓地に座り、

ひそかな場所で夜を過ごし、

豚の肉を食べ、

不潔なものの煮汁を器に入れて

いる。

5 彼らは言う。『離れている。私に近寄るな。

私はあなたより清いからだ』と。

これらは私の鼻の中の煙、一日中燃える火である。

6 見なさい! 私の前に記録がある。

私はじっとしてはおらず、

彼らに返報する。

十分に返報する。

7 彼らの過ちと父祖たちの過ちに對して。

彼らが山の上で犠牲の煙を立ち上らせ、

丘の上で私を非難したので、

私はまず彼らへの報いを量って十分に与える」と、エホバは

言う。

8 エホバはこう言う。

「ブドウの房の中に新しいぶどう

65:4 *もしかすると、「見張り小屋」。*または、「汚れた」。65:5 *もしかすると、「私の神聖さがあなたにうつるからだ」。65:6, 7 *直訳、「彼らの懷に」。

64:11 *または、「美しさ」。*または、「神殿」。

酒になるものがあると、
誰かが『それを損なうな。中に
良いものがいくらあるから
だ』と言う。

私は、私に仕える者たちのため
に同じようにし、
皆を損なうことはしない。

9 私はヤコブから子孫を出し、
私の山々を授かる者をユダから
出す。

私が選んだ者たちがその土地を
所有し、
私に仕える者たちがそこに住む。

10 シャロンは羊の牧草地となり、
アコルの谷は牛の休み場となる。
私を探し求める民のために。

11 しかし、あなたたちはエホバを
捨て、
私の聖なる山を忘れ、
幸運の神のために食卓を整え、
運命の神のために香料を混ぜた
ぶどう酒を杯に満たしている。

12 それで、私はあなたたちが剣で
討たれるようにする。
あなたたちは皆、処刑のために
身をかめることになる。
私が呼んだのに答えず、
私が話したのに聞かなかったか
らだ。

あなたたちは私から見て悪いこ
とを行い続け、

65:8 *直訳、「祝福」。 65:10 *または、「谷あ
いの平原」。

第65章

(7) エレ 30:11
アモ 9:8

(1) イザ 60:21
エゼ 37:21
オバ 17

(7) イザ 61:7
ゼバ 3:20

(10) イザ 33:9

(8) ヨシ 7:24
ホセ 2:15

(7) イザ 1:4

(4) 代二 28:24
代二 34:25

(7) レビ 26:25
エゼ 6:13

(7) エゼ 9:6

(7) 代二 36:15,16

第2欄

(7) イザ 66:3

(1) 詩 37:19,25
アモ 8:11

(7) イザ 49:10

(10) イザ 66:14

(8) イザ 66:5

(7) イザ 62:2
エレ 33:16

(4) 申 6:13

(7) イザ 12:1
エレ 31:12
ゼバ 3:14,15

(7) エズ 5:2
イザ 51:16
イザ 66:22
ペニ 3:13

私にとって不快なことを選んだ。

13 そのため、主権者である主エホ
バはこう言う。

「私に仕える者たちは食べるが、
あなたたちは飢える。

私に仕える者たちは飲むが、あ
なたたちは喉が渇く。

私に仕える者たちは喜ぶが、あ
なたたちは恥をかく。

14 私に仕える者たちは心が晴れや
かなので喜んで叫ぶが、

あなたたちは心が痛むので叫び
声を上げ、

意気をくじかれて泣きわめく。

15 あなたたちが残す名は、私が選
んだ者たちが災いを願う際に
使われる。

主権者である主エホバはあなた
たち一人一人を死に至らせ

るが、

自分に仕える者たちを別の名で
呼ぶ。

16 地上で祝福を求める者は、
真実の神によって祝福され、
地上で誓いを立てる者は、
真実の神に懸けて誓う。

以前の苦難は忘れられ、
私の目から隠される。

17 私は新しい天と新しい地を創造
している。

65:14 *または、「良い状態」。 65:16 *または、
「信頼できる」。直訳、「アーメンである」。「また
は、「問題」。

以前の事柄は思い出されるこ

とも、

心に浮かぶこともない。

18 私が創造しているものについて

歓喜し、永遠に喜びなさい。

私はエルサレムを喜びのもとと

して、

住民を歓喜のもととして創造して

いるのである。

19 私はエルサレムについて喜び、

私の民について歓喜する。

その都市の中で泣き声や苦悩の

叫びが聞かれることはなく

なる。

20 「そこには、数日しか生きない乳

児も、

寿命を全うしない老人もいなく

なる。

罪人は100歳であっても災いを

受け、

100歳で死んだ者も少年と見な

されるのである。

21 人々は家を建てて住み、

ブドウ園を造って実を食べる。

22 建てた家に他人が住むことは

なく、

植えた物を他人が食べることも

ない。

私の民の寿命は木の寿命のよう

になり、

65:20 *もしかすると、「100歳に達しない者は災いを受けたと見なされ」。

第65章

(例) 啓 21:1,4

(例) イザ 51:11

(例) イザ 62:4

エレ 32:41

(例) イザ 25:8

エレ 31:12

(例) エレ 31:4

(例) イザ 62:8

アモ 9:14

(例) 詩 92:12-14

第2欄

(例) レビ 26:3-5

申 28:4

(例) イザ 66:22

(例) イザ 61:9

(例) イザ 35:9

ホセ 2:18

(例) イザ 2:3,4

イザ 11:6-9

ミカ 4:2

第66章

(例) マタ 5:34,35

(例) 代二 6:18

使徒 17:24

(例) 代一 28:2

使徒 7:48-50

(例) イザ 40:26

私が選んだ者たちは働く喜びを
存分に味わう。

23 彼らは無駄に労苦することは

なく、

生まれる子たちが苦しむことも

ない。

彼らとその子孫は、エホバに祝

福された民だからである。

24 彼らが呼び掛ける前に私は答え、

彼らがまだ話しているうちに私は

聞き入れる。

25 オオカミと子羊が一緒に食べ、

ライオンは雄牛のようにわらを食

べる。

蛇は土を食物とする。

これらは私の聖なる山のどこに

おいても、荒らしたり危害を

加えたりしない」と、エホバは

言う。

66 エホバはこう言う。

「天は私の王座、地は私の

足台である。

では、あなたたちは私のために

どこに家を建てられるという

のか。

私が休む場所はどこか」。

2 エホバはこう宣言する。

「私の手がこの全てを造り、

皆そのようにして存在するように

なった。

それで、私が目を留めるのは、

65:23 *または、「無意味に」。

けんそん い き * わたし こ
謙遜で、意気をくじかれ、私の言
ば おそ げもの の
葉を畏れている者である。

3 牛をほふる者は、人を打ち倒す
もの の
者のようである。

ひつじ ぎせい ささ もの いぬ
羊を犠牲として捧げる者は、犬
の首を折る者のようである。

そな もの ささ もの ぶた ち
供え物を捧げる者は、豚の血を
捧げる者のようである。

にゅうこう き ねん ささ もの の
乳香を記念のために捧げる者は、
ふし ぎ こと ば しょうさん もの *
不思議な言葉で称賛する者の
ようである。

かれ じぶん みち えら
彼らは自分たちの道を選んだの
であり、

きわ ふ かい よろこ
極めて不快なものを喜ぶ。

4 それで私は彼らを処罰することを
えら び、
選び、

かれ おそ こと たら
彼らが恐れている事柄をもた
らす。

わたし よ だれ こと
私が呼んだのに誰も答えず、
わたし はな だれ き
私が話したのに誰も聞かなかつ
たからだ。

かれ わたし み わる おこな
彼らは私から見て悪いことを行
つづ
い続け、

わたし ふ かい えら の
私にとって不快なことを選んだ。

5 エホバの言葉を畏れているあな
こと ば おそ 選
たたちは、その言葉を聞け。

「あなたたちを憎む兄弟たち、あ
な たちを私の名のゆえに
し だ もの
締め出す者たちは、『エホバ

第66章

(ア) 王二 22:18, 19
ルカ 18:14

(イ) イザ 1:11

(ロ) レビ 11:27

(コ) 申 14:8

(ケ) レビ 2:1, 2

(コ) イザ 1:13

(セ) 申 28:15

(ソ) エレ 7:13

(ソ) 王二 21:9
イザ 65:3

第2欄

(ア) イザ 5:18, 19
イザ 29:13

(イ) イザ 65:13, 14
エレ 17:13, 18

(ロ) イザ 54:1

(コ) 詩 137:6

(ロ) イザ 44:23

がたたえられますように!』と
い 言 った。

かみ あらわ よろこ
神は現れてあなたたちを喜ば

せる。

かれ はじ こと
彼らは恥をかくことになる。

6 都市から騒がしい音がする! 神
でん おと
殿から音がする!

エホバが敵に当然の返報をする
おと
音である。

7 彼女*は陣痛が起こる前に子を産
か の じょ * じんつう お まえ こ う
んだ。

う くる はじ まえ おとこ
産みの苦しみが始まる前に男の
こ しゅっさん
子を出産した。

8 このようなことを聞いたことがあ
るか。

こと たら み
このような事柄を見たことがあ
るか。

と ち にち う だ い
土地が1日で生み出されるだろ
うか。

こくみん いっせい う
国民が一斉に生まれるだろうか。

しかし、シオンは産気づいた途
たん こ う
端に子たちを産んだ。

9 「私は、子が今にも生まれるよう
にしてから、それをとどめるだ
ろうか」と、エホバは言う。

「出産を生じさせながら、胎を閉
しゅっさん しょう たい と
ぎすだろうか」と、あなたの神
い
は言う。

10 エルサレムを愛するあなたたち
みな かの じょ とも よろこ かん き
は皆、彼女と共に喜び、歓喜
せよ。

66:7 *都市つまりエルサレムのこと。

66:2 *または、「悔いる気持ちがあり」。 66:2,
5 *または、「心に掛けている」。 66:3 *もしか
すると、「偶像をたたえる者」。

彼女のことで嘆き悲しんでいるあ
なたたちは皆、彼女と共に大
いに喜べ。

- 11 あなたたちは彼女の慰めの乳房
から乳を飲み、満足する。
十分に飲んで、彼女の豊かな栄
光を喜ぶ。

- 12 エホバはこう言う。
「私は、川のように豊かな平和を
彼女に与え、
国々の栄光を激流のように彼女
に向かわせる。

あなたたちは乳を飲み、腕に抱
かれて運ばれ、
膝の上であやされる。

- 13 母親が子を慰めるように、
私もあなたたちを絶えず慰める。
あなたたちはエルサレムのことで
慰められる。

- 14 これを見て、あなたたちは心から
喜び、
骨が若草のように活力に満ちる。
エホバの力は仕える者たちに知
られ、
神は敵たちを糾弾する」。

- 15 「エホバは火のように来る。
神の兵車は暴風のようにである。
神は激しい怒りのうちに返報し、
炎によって叱責するために来る。

- 16 エホバは火によって刑を執行し、
剣によって全ての人を処罰する。
大勢がエホバに討たれることに
なる。

第66章

(ア) イザ 9:7

(イ) イザ 60:3
ハガ 2:7

(ウ) イザ 51:3

(エ) イザ 44:28
イザ 65:18, 19

(オ) イザ 59:18

(カ) 申 4:24

(キ) 詩 50:3
エレ 25:32, 33

(ク) テサ二 1:7, 8

第2欄

(ア) イザ 1:29
イザ 65:3(イ) レビ 11:7, 8
イザ 65:4

(ウ) レビ 11:29

(エ) 創 10:4

(オ) 創 10:6, 13

(カ) 創 10:2
エゼ 27:12, 13(キ) イザ 60:3
マラ 1:11(ク) 申 30:1-3
イザ 11:16
イザ 43:6
イザ 60:4, 9(コ) イザ 65:17, 18
ペ二 3:13
啓 21:1(コ) イザ 65:23
エレ 31:35, 36

真ん中の者に従って庭園に入
ろうと自分を神聖にし、身を清めてい
る者たち、豚の肉やネズミや他の忌ま
わしいものを食べている者たちは皆、
共に終わりを迎える」と、エホバは宣
言する。18 「私は彼らの行いと考え
を知っているで、いろいろな言語を
話す全ての国の人々を集めるために
来る。人々は来て、私の栄光を見る」。

19 「私は人々の中にするしを置き、
逃れる者たちの幾らかを国々に遣わ
す。弓の名手たちがいるタルシシュと
プルとルドに、また、トバルとヤワン、遠
くの島々に遣わす。その国々は私につ
いて聞いたことがなく、私の栄光を見
たこともない。私が遣わす者たちは、
国々で私の栄光について知らせる。

20 彼らは全ての国からあなたたちの
兄弟を皆連れ出す。エホバへの供え
物として、馬、兵車、覆いの付いた荷
車、ラバ、足の速いラクダに乗せて、私
の聖なる山、エルサレムに連れてくる。
イスラエルの民が清い器に供え物を
入れて、エホバの家に持ってくる時の
ようにである」と、エホバは言う。

21 「また私は、祭司とレビ族のた
めに幾人かを選ぶ」と、エホバは言う。

22 「私が造っている新しい天と新
しい地が私の前で存在し続けるよう
に、あなたたちの子孫と名も存在し続
ける」と、エホバは宣言する。

66:17 * 偶像崇拜を行うための特別な庭園の
こと。

23 エホバはこう^い言う。
 「新月^{しんげつ}から新月^{しんげつ}まで、また安息日^{あんそくび}
 から安息日^{あんそくび}まで、
 全て^{すべ}のひと^{ひと}がやって来て私^{わたし}にひれ
 伏^ふす。」

66:23 *または、「を崇拜する」。

第66章

〔イ〕詩 86:9
 ゼカ 14:16
 マラ 1:11

第2欄

〔イ〕イザ 34:10
 マタ 25:41
 マル 9:47,48
 テサニ 1:9

24 そして彼ら^{かれ}は出ていき、私^{わたし}に反^{はん}
 逆^{ぎやく}した者^{もの}たちの死体^{したい}を見る。
 それらに湧いた虫は死なず、
 それらを燃やす火は消されず、
 それらは全ての人にとって不快
 なものとなる」。

エレミヤ書

概 要

- エレミヤは任命されて預言者になる (1-10)
 アーモンドの木の幻 (11, 12)
 鍋の幻 (13-16)
 エレミヤは任務のために強くされる (17-19)
- イスラエルはエホバを捨てて他の神々に従う (1-37)
 イスラエルは野ブドウのよう (21)
 服の裾に血が染み付いている (34)
- イスラエルの背教のひどさ (1-5)
 イスラエルとユダは姦淫をした (6-11)
 悔い改めるようにとの呼び掛け (12-25)
- 悔い改めは祝福をもたらす (1-4)
 北から災難が来る (5-18)
 エレミヤは災難について苦悩する (19-31)
- 民はエホバからの矯正を受け入れない (1-13)
 破滅するが根絶やしにはされない (14-19)
 エホバは民に責任を問う (20-31)
- エルサレムは間もなく包囲される (1-9)
 エホバはエルサレムに激しい怒りを浴びせる (10-21)
 平和ではないのに「平和だ!」と言う (14)
 残酷な民が北から攻めてくる (22-26)
 エレミヤは金属を精錬する者 (27-30)
- エホバの神殿への間違った頼り方 (1-11)
 神殿はシロのようになる (12-15)
 偽りの崇拜に対する非難 (16-34)
 「天の女王」への崇拜 (18)
 ヒンノムで子供が犠牲として捧げられた (31)
- 民は大衆が好む道を選ぶ (1-7)
 エホバの言葉を退けた人に知恵はない (8-17)
 エレミヤはユダが弱り果てたことを嘆く (18-22)
 「ギレアデにバルサムはないのか」(22)
- エレミヤの深い悲しみ (1-3前半)
 エホバはユダに責任を問う (3後半-16)
 ユダに関する嘆き (17-22)
 エホバについて知っていることを誇る (23-26)
- 異国の神々と、生きている神 (1-16)
 間もなく滅ぼされ、捕囚にされる (17, 18)
 エレミヤは悲嘆する (19-22)
 エレミヤの祈り (23-25)
 人は自分の歩みを導けない (23)
- ユダは神との契約を破る (1-17)
 町の数ほど多くの神々がいる (13)
 エレミヤはほふられる子羊のよう (18-20)
 エレミヤの故郷の人々からの反対 (21-23)
- エレミヤの訴え (1-4)
 エホバの答え (5-17)
- ぼろぼろになった亜麻布の帯 (1-11)
 ぶどう酒のつぼが碎かれる (12-14)
 矯正できないユダは捕囚にされる (15-27)
 クシュ人が肌の色を変えられるだろうか (23)
- 干ばつ、飢饉、剣 (1-12)
 偽預言者たちは断罪される (13-18)
 エレミヤは民の罪を認める (19-22)

- 15 エホバはご自分の裁きを変えない (1-9)
エレミヤの訴え (10)
エホバの答え (11-14)
エレミヤの祈り (15-18)
神の言葉を食べて喜ぶ (16)
エレミヤはエホバによって強くされる (19-21)
- 16 エレミヤは結婚したり、葬儀や宴会に行ったりしてはならない (1-9)
処罰の後の復興 (10-21)
- 17 ユダの罪は根深い (1-4)
エホバに頼るなら祝福される (5-8)
心は信用できない (9-11)
エホバはイスラエルの希望 (12, 13)
エレミヤの祈り (14-18)
安息日を神聖な日とする (19-27)
- 18 陶芸家の手の中にある粘土 (1-12)
エホバはイスラエルに背を向ける (13-17)
エレミヤに対する策略と、エレミヤの嘆願 (18-23)
- 19 エレミヤは土器の瓶を砕くように言われる (1-15)
子供がバアルに捧げられた (5)
- 20 パシュフルがエレミヤを殴打する (1-6)
エレミヤは語らずにはいられない (7-13)
神の言葉は燃える火のよう (9)
エホバは恐るべき戦士のように (11)
エレミヤの訴え (14-18)
- 21 エホバはゼデキヤの頼みを退ける (1-7)
人々は命か死を選ぶことになる (8-14)
- 22 悪い王たちに対する裁きの言葉 (1-30)
シャルムについて (10-12)
エホヤキムについて (13-23)
コニヤについて (24-30)
- 23 良い牧者と悪い牧者 (1-4)
「正しい芽」の統治下で安らかに暮らす (5-8)
偽預言者たちは断罪される (9-32)
エホバからの「重たい言葉」 (33-40)
- 24 良いイチジクと悪いイチジク (1-10)
- 25 エホバは国々と論争をする (1-38)
人々は70年の間バビロンに仕える (11)
神の憤りのぶどう酒が入った杯 (15)
国から国へと災いが広がる (32)
エホバに討たれた者たち (33)
- 26 エレミヤは殺すと脅される (1-15)
エレミヤは助かる (16-19)
ミカの預言の引用 (18)
預言者ウリヤ (20-24)
- 27 バビロンが課すくびき (1-11)
ゼデキヤはバビロンに服従するように言われる (12-22)
- 28 エレミヤと偽預言者ハナニヤ (1-17)
- 29 バビロンで捕囚にされている人々に宛てたエレミヤの手紙 (1-23)
イスラエルは70年の後に帰還する (10)
シエマヤに対する言葉 (24-32)
- 30 回復と癒やしの約束 (1-24)
- 31 イスラエルの残りの者は再び自分たちの土地に住む (1-30)
ラケルが子供たちのことで泣く (15)
新しい契約 (31-40)
- 32 エレミヤは畑を買う (1-15)
エレミヤの祈り (16-25)
エホバの答え (26-44)
- 33 復興の約束 (1-13)
「正しい芽」の統治下で安らかに暮らす (14-16)
ダビデおよび祭司たちとの契約 (17-26)
昼と夜に関する契約 (20)
- 34 ゼデキヤに対する裁きの言葉 (1-7)
奴隷を解放する契約が破られる (8-22)
- 35 レカブの子孫の従順さは称賛に値する (1-19)
- 36 エレミヤは言葉を巻物に書き取るよう指示する (1-7)
バルクは巻物を読み上げる (8-19)
エホヤキムは巻物を燃やす (20-26)
新しい巻物に再び言葉が書き記される (27-32)
- 37 カルデア人の撤退は一時的 (1-10)
エレミヤは投獄される (11-16)
ゼデキヤはエレミヤと会う (17-21)
エレミヤはパンを供給される (21)
- 38 エレミヤは水ために入れられる (1-6)
エベド・メレクがエレミヤを救う (7-13)
エレミヤはゼデキヤに降伏を促す (14-28)
- 39 エルサレムの陥落 (1-10)
ゼデキヤは逃げるが捕まる (4-7)

- エレミヤは守られる (11-14)
 エベド・メレクは生き延びる (15-18)
- 40 ネブザラダンはエレミヤを解放する (1-6)
 ゲダリヤが土地の総督となる (7-12)
 ゲダリヤに対する陰謀 (13-16)
- 41 ゲダリヤはイシュマエルに暗殺される (1-10)
 イシュマエルはヨハナンに敗走させられる (11-18)
- 42 民はエレミヤに、祈って導きを求めるよう頼む (1-6)
 エホバは、エジプトに行ってはならないと答える (7-22)
- 43 民は従わず、エジプトに行く (1-7)
 エジプトでエホバがエレミヤに語り掛ける (8-13)
- 44 エジプトにいるユダヤ人が災いに遭うという予告 (1-14)
 民は神の警告を退ける (15-30)
 「天の女王」への崇拜 (17-19)
- 45 バルクに対するエホバの言葉 (1-5)
- 46 エジプトに対する預言 (1-26)
 エジプトはネブカドネザルに征服される (13, 26)
 イスラエルへの約束 (27, 28)
- 47 フィリステア人に対する預言 (1-7)
- 48 モアブに対する預言 (1-47)
- 49 アンモンに対する預言 (1-6)
 エドムに対する預言 (7-22)
 エドムは国として存在しなくなる (17, 18)
 ダマスカスに対する預言 (23-27)
 ケダルとハツォルに対する預言 (28-33)
 エラムに対する預言 (34-39)
- 50 バビロンに対する預言 (1-46)
 バビロンから逃げなさい (8)
 イスラエルは連れ戻される (17-19)
 バビロンの水は干上がる (38)
 バビロンには誰も住まなくなる (39, 40)
- 51 バビロンに対する預言 (1-64)
 バビロンは突然メディア人に滅ぼされることになる (8-12)
 書がユーフラテス川に投げ入れられる (59-64)
- 52 ゼデキヤはバビロンに反逆する (1-3)
 ネブカドネザルがエルサレムを包囲する (4-11)
 都市と神殿は破壊される (12-23)
 人々は捕らわれてバビロンに連れていかれる (24-30)
 エホヤキンが釈放される (31-34)

1 ベニヤミンの土地のアナトデにいた祭司ヒルキヤの子、エレミヤの言葉。**2** ユダの王、アモンの子ヨシヤの時代、その治世の第13年に、エホバがエレミヤに語り掛けた。**3** また、ユダの王、ヨシヤの子エホヤキムの時代にも語り掛けた。それは、ユダの王、ヨシヤの子ゼデキヤの治世の第11年が終わるまで、第5の月にエルサレムの住民が捕囚にされるまで続いた。

1:1 *意味はもしかすると、「エホバは重んじる」。

第1章

ヨシ 21:8,18

王二 21:19,20

王二 22:1,2

王二 24:1
代二 36:4

王二 24:18,19

王二 25:8,11
エレ 52:12,15

第2欄

裁 13:5
詩 139:15,16

イリカ 1:13,15

4 エホバが私に語り掛けてこう言った。

5 「私は、あなたを母親の胎内で形成する前から知っており、生まれる前にあなたを神聖なものとした。」

国々に対する預言者とした。」

6 しかし、私は言った。「ああ、主権者である主エホバ!

私はどのように話したらいいか

1:5 *または、「選び」。[#]直訳、「胎内から出る」。
 △または、「取り分けた」。

わ 分かりません。少年にすぎな
いからです。

7 すると、エホバは言った。

「私は少年にすぎない」と言って
はいけない。

私が遣わす所へ行き、皆に、
私が命じることを全て話しな
さい。

8 彼らの見た目のために恐れでは
いけない。

『私があなたと共にいて、あな
たを救う』と、エホバは宣言
する。

9 エホバは手を伸ばし、私の口に
触れた。それからエホバは言った。
「私は、私の言葉をあなたの口に入れ
た。10 今日、私はあなたを国々や
王国の上に任命した。引き抜き、取り
壊し、滅ぼし、打ち壊し、建てて、植え
るためだ」。

11 エホバが再び私に語り掛け、
「エレミヤ、何が見えるか」と言った。
それで私は、「アーモンドの木の枝が
見えます」と言った。

12 エホバは言った。「あなたが見
た通りだ。私は自分の言葉を実行す
るため、しっかり目覚めている」。

13 エホバがもう一度私に語り掛
け、「何が見えるか」と言った。それで
私は言った。「煮え立っている鍋が見

第1章

出 4:10

王 3:5,7

出 7:1,2

エゼ 2:6

出 3:11,12
エ 15:20
使徒 18:9,10

イザ 6:7

出 4:12,15
エゼ 33:7

エ 18:7-10
エ 24:5,6

第2欄

エ 6:1
エ 10:22

エ 5:15
エ 6:22
エ 25:9

エ 39:3

申 28:52
エ 34:22
エ 44:6

ヨシ 24:20
王 22:17
代 7:19,20

エゼ 8:10,11
ホセ 11:2

イザ 2:8

エゼ 2:6

えます。鍋の口が北を向かないように
傾けられています」。14 すると、エホ
バは言った。

「北から災いが降り掛かる。
この土地に住む全ての人の上に」。

15 エホバはこう宣言する。
『私は北の諸王国の全ての部族
を呼び寄せる。』

王たちは来て、それぞれ自分の
王座を据える。

エルサレムの門の入り口に、
その周囲の城壁に向かって、
またユダの全ての町に向かって。

16 私は、あらゆる悪を行った民に
対する裁きを言い渡す。

彼らが私を捨て、
ほかの神々のために犠牲の煙を
立ち上らせ、
自分の手で作った物にひれ伏し
ているからである』。

17 あなたは用意を整えるべきで
ある。

立ち上がって、私が命じることを
全て彼らに話さなければなら
ない。

彼らにおびえてはならない。
私が彼らの前であなたをおびえ
させることにならないために。

18 今日、私はあなたを、防備され
た町、

1:17 *または、「行動の準備をする」。直訳、「腰
に帯を締める」。

1:6 *または、「若者」。1:11 *直訳、「目覚め
つつある者」。1:13 *直訳、「あおられている」。
鍋の下火があおられていることを指す。

てつ はしら どう じょうへき くになんたい
鉄の柱、銅の城壁とし、国全体
に立ち向かわせる。

すなわち、ユダの王たち、高官
たち、

祭司たち、民に対して。

19 彼らは必ずあなたと戦うが、

あなたに勝つことはない。

『私があなたと共にいて、あな
たを救う』と、エホバは宣言
する。

2 エホバが私に語り掛けてこう
言った。2「行って話し、エル
サレムに聞かせなさい。『エホバはこ
う言っている。

「私はあなたの若い時の深い愛
情をよく覚えている。

あなたが婚約した時に示した
愛を。

荒野で、種がまかれていない土
地で、

あなたが私の後に従ったことを。

3 イスラエルはエホバにとって聖な

るもの、収穫の初物だった』。

『彼をむさぼり食う者は誰でも有
罪となり、

災難を被る』と、エホバは宣言
する。

4 エホバの言葉を聞け。ヤコブの
子孫よ、

イスラエル国民の全ての家族よ。

5 エホバはこう言う。

2:2 *または、「揺るぎない愛」。

第1章

(例) エレ 15:20
エレ 20:11
エゼ 3:8
ミカ 3:8

(例) エレ 26:12

(例) 創 28:15
出 3:12
ヨシ 1:5

第2章

(例) ホセ 2:15

(例) 出 24:3

(例) 申 2:7

(例) 出 19:6
申 7:6

(例) 出 17:8,13

第2欄

(例) イザ 5:4
ミカ 6:3

(例) 申 32:21

(例) 詩 115:4,8

(例) 出 14:30

(例) 申 1:1
申 32:9,10

(例) 申 8:14,15

(例) 民 13:26,27
申 6:10,11
申 8:7-9

(例) レビ 18:24
民 35:33
詩 78:58
詩 106:38
エレ 16:18

(例) サー 2:12
哀 4:13

(例) エゼ 34:7,8

(例) 王一 18:19
エレ 23:13

「あなたたちの父祖たちは、私に
どんな落ち度があったので、
私から遠く離れていき、無価値な
偶像に從って歩み、

自らも無価値な者となったのか。

6 彼らはこう尋ねなかった。

『エホバはどこにおられるのか。

私たちをエジプトから連れ出し
た方、

私たちを荒野で、砂漠や穴だら

けの土地で、

水のない、深い陰に覆われた土
地で、

誰も通らず、誰も住まない土地で

導いた方は』。

7 私はあなたたちを実り豊かな土
地に連れてきて、

豊かな産物を食べさせた。

しかし、あなたたちは私の土地

に入ってそこを汚し、

私が与えた場所を忌まわしいも
のにした。

8 祭司たちは『エホバはどこにお
られるのか』と尋ねなかった。

律法を教える者たちは私をよく

知らず、

牧者たちは私に背き、

預言者たちはバアルによって預
言し、

何の役に立たない神々に
従った。

2:7 *または、「果樹園の多い」。

- 9 『それで、^{わたし}私はあなたたちとさら^{あらそ}に争い、
あなたたちの子孫とも争う』と、
エホバは宣言する。
- 10 『キツテムの海沿いの地帯に渡^みて、見なさい。
ケダルに人を送^つて、よく考^{かんが}えな
さい。
かつてこのようなことが起^おこった
かどうか確^{たし}かめなさい。
- 11 国民が自分たちの神々を、神で
はないものと取り換^とえたことな
どあるだろうか。
ところが、^{わたし}私の民は^{わたし}私の栄光を、
何の役にも立^たたないものと取^かり換^かえてしまった。
- 12 天よ、このことに驚^{おどろ}いて目を見^めは
張^みれ。
極^{きよくど}度の恐^{きょうふ}怖^ふに震^{ふる}え上がれ』と、
エホバは宣言する。
- 13 『私の民は2つの悪事を行^{おこな}ったか
らだ。
^{かれ}彼は^い生きた水^{みづ}の源である私^{わたし}を
捨^すて、
^{じぶん}自分たちのために水^{みづ}ためを
掘^ほった。
^{みづ}水をためられない、壊^{こわ}れた水た
めを』。
- 14 『イスラエルは召^めし使^{つか}いなのか。
^{いえ}家に生^うまれた奴^ど隷^{れい}なのか。

2:10 *または、「キツテムの島々」。 2:13 *また
は、「切り出した」。岩から切り出したと思われる。

第2章
(例) エゼ 20:35
ミカ 6:2

(例) 創 10:2,4

(例) 創 25:13
詩 120:5
エレ 49:28

(例) 詩 106:20

(例) 詩 36:9
エレ 17:13
啓 22:1

第2欄
(例) イザ 5:29
エレ 4:7

(例) エレ 46:19

(例) エレ 43:4,7
エレ 46:14
エゼ 30:18

(例) 代一 28:9
代二 7:19,20

(例) イザ 30:2
イザ 31:1
哀 5:6
エゼ 16:26
エゼ 17:15

(例) 王二 16:7
ホセ 5:13

(例) エレ 4:18

(例) エレ 5:22

そうでないなら、どうして物^{もの}を奪^{うば}
われたのか。

- 15 彼^{かれ}に向^むかって若^{わか}いライオンがほ
え、大^お声^{おこえ}を上げ^あた。

彼の土地^{かれ}を恐^と怖^{きょうふ}の光景^{こうけい}に変^か
えた。

彼の町々^{かれ}には火^まが放^{はな}たれ、
誰^{だれ}も住^すまなくな^なった。

- 16 ノフとタフパネスの人々^{あた}があなた
の頭^くのてっぺんを食^くらう。

- 17 これはあなたが自ら身^{みづか}に招^{まね}いた
ことではないか。

あなたを導^{みちび}いていた神エホバを
捨^すてることによ^よって。

- 18 なぜあなたはエジプトに行^いこう
とし、

シホルの水^{みづ}を飲^{のみ}もうとするのか。
なぜアッシリアに行^いこうとし、

川^{かわ}の水^{みづ}を飲^{のみ}もうとするのか。

- 19 あなたは自分^{じぶん}の邪悪^{じゃあく}さのゆえに
ただ
正^{ただ}されるべきであり、
自分^{じぶん}の不忠実^{ふちゅうじつ}さのゆえに戒め^{いまし}ら

れるべきである。

あなたの神エホバを捨^すてること
がいかに悪^{わる}く、

悲痛^{ひつう}なことかを思^{おも}い知^しりなさい。

あなたは私^{わたし}を全^{まった}く畏^{おそ}れなかつた』
と、主権者^{しゅけんしや}である主^{しゅ}、大軍^{たいぐん}を率^{ひき}
いるエホバは宣^{せんげん}言^{かん}する。

- 20 『昔^{むかし}、私はあなたが負^おわされた

2:14 *または、「捕らわれた」。 2:16 *または、
「メンフィス」。 2:18 *ナイル川の支流。*ユー
フラテス川のこと。

てんびん棒^{ぼう* う くだ}を打ち砕^{くだ}き、
あなたを縛^{しば}る鎖^{くさり}を断^たち切^きった。
しかしあなたは、「私は仕^{わたし}えな^{つか}い」
と言^いった。

すべ たか おか うえ すべ お
全ての高^{たか}い丘^{おか}の上^{うえ}で、全ての生^{すべ}
い茂^{しげ}った木^きの下^{した}で、
寝^ねそべてて売^{ばい}春^{しゅん}をしてい^つた。

21 私は純^{じゆん}良^{りやう}な種^{たね}をまき、あなたを
えり抜^ぬきの赤^{あか}ブドウの木^きとして
植^うえ^はた。

それなのに、どうして私^{わたし}の前^{まえ}で、
質^{しつ}の悪^{わる}い野^のブドウの木^きに変^か
わってしま^なったのか^か。

22 『たとえあなたがアルカリ^{* あら}で洗^{あら}い、
た[#]くさんのせ^{つか}っけんを使^{つか}っても、
私^{わたし}の前^{まえ}であなた^たの罪^{つみ}は染^しみ付^つい
たま^なまでである』と、主^{しゅ}権^{けん}者^{しや}であ
る主^{しゅ}エホバは宣^{せん}言^{げん}する。

23 どうしてあなたは、私^{わたし}は自^じ分^{ぶん}を
汚^{けが}してない。
バアルに従^{したが}ってな^いどい^いない』と言^い
えるのか。

谷^{たに}での振^ふる舞^まいを思^{おも}い起^おこしな
さい。

自^じ分^{ぶん}が何^{なに}をし^したか考^{かん}えな^なさい。
あなたは、当^あてもな^{はし}く走^{まわ}り回^{まわ}る、
若^{わか}くて足^{あし}の速^{はや}い雌^{めす}のラクダ^{らくだ}のよ
うだ。

24 欲^{よく}情^{じやう}に駆^かられて風^{かぜ}のにおい^{にお}を
嗅^かぐ、

2:20 *用語集参照。2:22 *または、「炭酸
ソーダ」。「または、「あく」。

第2章

(7) レビ 26:13

(1) 王 14:22,23
エゼ 6:13(7) 出 34:15
エゼ 16:15,16(2) 出 15:17
詩 80:8
イザ 5:1

(7) イザ 5:4

(7) エレ 16:17

第2欄

(7) エレ 18:12

(1) イザ 2:6
エレ 3:13

(7) エレ 44:17

(2) エズ 9:7

(7) イザ 44:13

(7) 代二 29:6
エレ 32:33(7) 裁 10:13-15
詩 78:34
詩 106:47
イザ 26:16
ホセ 5:15

(7) 申 32:37,38

こうや な めす の
荒野^{こうや}に慣^なれた雌^{めす}の野^の口^{くち}バ^ばのよ
うだ。

だれ はつじようき めす おさ
誰^{だれ}が発^{はつ}情^{じよう}期^きの雌^{めす}を抑^{おさ}えらる^るるだ
ろうか。

さが おす くらう
それを探^{さが}す雄^{おす}は苦^く勞^{らう}するこ^こが
ない。
その時^じ期^きに雌^{めす}を見^みつけ^るる。

25 はだしにな^いてしま^いわな^いよう
にし、
のど かわ
喉^{のど}が渴^{かわ}かないよう^{よう}にしな^いさい。

しかしあなた^いは言^いった。
『いいえ、それ^むは無^む理^りです^す！
わたし もの * こい
私^{わたし}はよそ者^{もの}たち^{*}に恋^{こい}をし^したので、
かれ つ
彼^{かれ}らに付^ついていき^います』と。

26 捕^{つか}まてて恥^{はじ}をか^かく泥^{どろ}棒^{ぼう}のよう^{よう}に、
イスラエル国民^{こくみん}は恥^{はじ}をか^かいた。
かれ おう こうかん
彼^{かれ}らの王^{おう}たち^{こうかん}や高^{こう}官^{かん}たち、
さい し よげんしや (2)
祭^{さい}司^したち^{よげんしや}や預^よ言^{げん}者^{しや}たちも。

27 彼^{かれ}らは木^きに向^むか^かつて『あなた^いは私^{わたし}の父^{ちち}です』と言^いい、
いし む
石^{いし}に向^むか^かつて『あなた^{わたし}が私^{わたし}を産^う
みま^いした』と言^いう。

わたし せ む かお む
私^{わたし}には背^せを向^むけて、顔^{かお}を向^むけ
ない。

わがわ あ た あ
しかし災^{わがわ}いに遭^あうと、『立^たち上^あ
が^がつて、

すく
救^{すく}ってくだ^いさい!』と言^いう。

28 あなた^いが作^{つく}った神^{かみ}々^{かみ}はどこに
るのか。

わがわ あ
災^{わがわ}いに遭^あっているあなた^{すく}を救^{すく}え

2:25 *または、「外国の神々」。

るのなら、彼らが立ち上がれ
ばよい。

ユダよ、あなたの神々は、あなたの
町の数ほど多くなった。

29 『なぜあなたたちは私と争い続
けるのか。

なぜ皆で私に反逆したのか』と、
エホバは宣言する。

30 私はあなたたちの子たちを打っ
たが、無駄だった。

彼らは矯正を全く受け入れな
かった。

あなたたちの剣は預言者たちを
むさぼり食った。

うろつき回るライオンのように。

31 この世代の人たち、エホバの言
葉を考えなさい。

私はイスラエルにとって、荒野の
ように、

重苦しい闇に覆われた土地のよ
うになってしまったのか。

この民、私の民は、なぜこう言っ
たのか。

『私たちは自由に歩き回ります。
もうあなたのもとには来ません』。

32 乙女が自分の装飾品を、
花嫁が自分の帯を忘れるだろ

うか。

それなのに私の民は私を忘れ、
数え切れない日々が過ぎた。

33 女よ、愛を求めて何と巧みに計
画を立てるのか。

第2章

(7) エレ 11:13

(4) エレ 5:1

エレ 9:2

ダニ 9:11

(7) 代二 28:20-

22

イザ 9:13

(2) イザ 1:5

エレ 5:3

ゼバ 3:2

(7) 代二 36:15,16

ネヘ 9:26

使徒 7:52

(7) 申 32:15

(4) 詩 106:21

イザ 17:10

エレ 18:15

ホセ 8:14

第2欄

(7) 代二 33:9

(4) 王二 21:16

詩 106:38

イザ 10:1,2

マタ 23:35

(7) 出 22:2

(2) イザ 30:3

エレ 37:7

(7) 代二 28:20,21

(7) サニ 13:19

あなたは悪い行いに熟練した。

34 あなたの服の裾には、罪のない
貧しい人たちの血が染み付い
ている。

彼らはあなたの家に押し入って
はいないのに、

あなたの裾は血まみれになっ
ている。

35 しかしあなたは言う。

『私は潔白だ。

私に対する神の怒りは静まった
に違いない』と。

私はあなたを断罪しようとして

いる。

あなたが『私は罪を犯さなかつ
た』と言うからだ。

36 なぜ自分の不安定な歩みをそん
なに軽く考えるのか。

あなたはエジプトについても恥
じる。

アッシリアについて恥じたのと同
じように。

37 そのため、あなたは両手で頭を
抱えて出ていく。

あなたが信頼した者たちをエホ
バは退けたのである。

彼らがあなたに良い結果をもた
らすことはない。

3 人々はこう尋ねる。「もし人が妻
と離婚し、彼女が去ってほかの
人の妻になったなら、離婚した人は彼
女のもとに戻るだろうか。」

土地はすっかり汚されてしまった
のではないか。

エホバはこう宣言する。

「あなたは多くの相手と売春を
した。

それなのに私のもとに戻れるだ
ろうか。

2 目を上げて、周囲のはげ山を見
なさい。

あなたが犯されなかった場所が
あるか。

あなたは道端に座って相手を
待った。

荒野をさすう人のように。

売春と悪い行いによって、

あなたは土地を汚し続ける。

3 それで雨はとどめられており、
春にも雨が降らない。

あなたは売春をする妻のように
厚かましく、

恥を知ろうとしない。

4 それなのに、私に呼び掛けてこう
言う。

『父よ、あなたは私が若い時から
共にいてくださいました！』

5 いつまでも憤慨することや、
わだかまりを持ち続けることが

あってよいでしょうか。

あなたはそう言いながら、
あらゆる悪いことを行い続ける。

第3章

(ア) イザ 24:5
エレ 2:7

(イ) エレ 2:20
エゼ 16:28, 29

(ウ) エゼ 16:16
エゼ 20:28

(エ) レビ 26:19
エレ 14:4
アモ 4:7

(オ) エレ 6:15

(カ) エレ 2:2

(キ) ミカ 2:1
ミカ 7:3

第2欄

(ア) 王二 22:1

(イ) エゼ 20:28
ホセ 4:13

(ウ) 王二 17:13
代二 30:6
ホセ 14:1

(エ) エゼ 16:46
エゼ 23:2, 4

(オ) エゼ 23:4, 5, 9
ホセ 2:2
ホセ 9:15

(カ) 申 24:1

(キ) 王二 17:19
エゼ 23:4, 11

(ク) イザ 57:5, 6
エレ 2:27

(ケ) エゼ 16:51
エゼ 23:4, 11

(コ) 王二 17:6
エレ 23:8

(ケ) エレ 4:1
エゼ 33:11
ホセ 14:1

(コ) ホセ 11:8, 9

6 ヨシヤ王の時代に、エホバは私
に言った。『あなたは不忠実なイスラ

エルがしたことを見たか。彼女は全て
の高い山に登り、全ての生い茂った木
の下に行って、売春をした。7 彼女

がこのようなことをした後も、私は戻っ
てくるようにと言いつづけたが、彼女は
戻ってこなかった。そしてユダは自分
の不誠実な姉妹をずっと見ていた。

8 私はそれを見て、姦淫をした不忠
実なイスラエルに離婚証書を渡して
去らせた。それでも、不誠実な姉妹ユ

ダは恐れず、自分も行って売春をした。

9 彼女は売春を軽く考え、土地を汚し
て石や木と姦淫をし続けた。10 こ

うしたことがあっても、不誠実な姉妹
ユダは心を尽くして私のもとに戻ると
いうことはなかった。戻るふりをした
にすぎない』と、エホバは宣言する。

11 エホバはさらに言った。「不誠
実なユダよりは、不忠実なイスラエル
の方がまだ正しい。12 行って、北に
次の言葉を伝えなさい。

『背信のイスラエルよ、戻りなさい』

と、エホバは言う。『私は怒ってあ
なたたちを見下げることはしない。揺
るぎない愛を抱えているからである』

と、エホバは宣言する。『私はいつ
までも憤慨することはない。13 た
だ、自分の罪を認めなさい。あなたは、
あなたの神エホバに背いたのである。
全ての生い茂った木の下でよそ者た

* こう い ふ わたし こえ したが
ちに好意を振りまき、私の声に従わな
かった」と、エホバは宣言する』。

14 「背信の子たちよ、戻りなさい」
と、エホバは言う。「私は確かにあな
たたちの主人となったからである。町
から1人ずつ、氏族から2人ずつ選ん
で、あなたたちをシオンに連れてい
く。15 そして、私の心になかった牧
者たちを与え、彼らは知識と洞察力
をもってあなたたちを養う。16 その
時、あなたたちはその土地で子を生ん
で大いに増える」と、エホバは宣言す
る。「人々はもはや、『エホバの契約
の箱!』とは言わない。その箱を思い
浮かべることも、思い出すことも、懐か
しむこともなく、それが再び作られるこ
とはない。17 その時、人々はエル
サレムをエホバの王座と呼ぶ。全て
の国の人々はエホバの名をたたえる
ためにエルサレムに集められ、頑固に
も悪い心のままに歩むことはもうな
くなる」。

18 「その時、ユダ国民とイスラエル
国民は並んで歩き、共に北の土地から
来て、私があなたたちの父祖たちと与
えた土地に入る。19 私はこう思っ
ていた。『私はあなたを子として扱い、
良い土地を、国々の中で最も美しい
土地を与えた!』また、あなたたちが
私に『父よ!』と呼び掛け、私に従うの
をやめないと思っていた。20 『とこ

3:13 *または、「外国の神々」。3:14 *もしか
すると、「夫」。

第3章

(例) エレ 23:3

(例) エレ 23:4

エゼ 34:23

(例) ホセ 1:10

(例) 詩 87:3

エゼ 43:7

(例) イザ 2:2,3

イザ 56:6,7

イザ 60:3

ミカ 4:1,2

ゼカ 2:11

ゼカ 8:22,23

(例) エレ 50:4

エゼ 37:19

ホセ 1:11

(例) 代二 36:23

エズ 1:3

アモ 9:15

(例) エゼ 20:6

第2欄

(例) イザ 48:8

ホセ 3:1

ホセ 5:7

(例) イザ 17:10

ホセ 8:14

ホセ 13:6

(例) ホセ 14:1,4

(例) エレ 31:18

ホセ 3:5

(例) イザ 65:7

(例) イザ 12:2

(例) ホセ 9:10

(例) エレ 2:19

ろが、妻が不誠実にも夫のもとを去る
ように、イスラエル国民よ、あなたたち
も私に対して不誠実だった』と、エホ
バは宣言する」。

21 はげ山の上で声が聞こえる。
イスラエルの民の泣き声や懇願
である。

彼らは曲がった生き方をし、
自分たちの神エホバを忘れたの
である。

22 「背信の子たちよ、戻りなさい。
私は、誓いたあなたたちを癒
やす」。

「私たちはここにいます! あなた
のもとに参りました。
エホバ、あなたは私たちの神だ
からです」。

23 丘や山の上の騒ぎは、まさしく偽
りです。

私たちの神エホバこそ、イスラエ
ルを救ってくださいます。

24 しかし、恥ずべきものが、私たち
の若い時から、
父祖たちが苦勞して得たものを
食い尽くしました。

羊や牛の群れ、息子や娘たちを。

25 私たちは恥の中横たわり、
恥辱に覆われています。

私たちの神エホバに対して罪を
犯してきたからです。

3:20 *直訳、「友」。3:24 *または、「恥ずべ
き神」。

わたし わか とき いま (ワ) わたし
私たちの若い時から今まで、私
たちも父たちも。
わたし かみ こえ したが
私たちの神エホバの声に従いま
せんでした。

4 エホバはこう宣言する。
「イスラエルよ、もしあなたが
戻ってくるなら、
わたし もど
もし私のもとに戻り、
けが ぐうどう わたし まえ のぞ
汚らわしい偶像を私の前から除
き去るなら、
あなたはもはやさまよい歩くこと
はない。

2 そして、もしあなたが、真実と公
せい せい
正と正義をもって、
い かみ か
『生きている神エホバに懸けて!』
と誓うなら、
くにくに かれ* しゅくふく う
国々は彼によって祝福を受け、
かれ ほこ (ワ)
彼について誇る」。

3 エホバはユダの人たちとエルサ
レムにこう言う。

じ ぶん こうさく ち たがや
「自分たちのために耕作地を耕し
なさい。
なか たな つづ
いばらの中に種をまき続けては
ならない。

4 ユダの人たちとエルサレムの住
みん
民よ、
かつれい* う したが
割礼を受けてエホバに従い、
こころ ほう ひ と さ (ワ)
心の包皮を取り去りなさい。

さもなければ、あなたたちの悪
おこな
い行いのために、

4:2 *エホバのことかもしれない。**4:4** *用語
集参照。

第3章

(ワ) エズ 9:7
詩 106:7

第4章

(イ) エレ 3:22
ヨエ 2:12,13

第2欄

(ワ) 哀 4:11

(イ) エレ 6:1

(ワ) エレ 35:11

(タ) エレ 1:14

エレ 21:7

エレ 25:9

(ワ) エゼ 26:7

(ワ) 王ニ 24:1

王ニ 25:1

エレ 5:6

エレ 50:17

(ワ) イザ 5:9

イザ 6:11

エレ 2:15

エレ 9:11

(ワ) エレ 6:26

(ワ) 王ニ 25:5

わたし いきどお ひ も あ
私の 憤りは火のように燃え上

がり、
だれ け (ワ)
誰にも消せなくなる」。

5 ユダで伝え、エルサレムで伝

めよ。
くにくに さけ つのぶえ ふ な (イ)
国中で叫び、角笛を吹き鳴らせ。
おおごえ よ か け い
大声で呼び掛け、こう言うように。
あつ ぼう び まちまち に
「集まれ。防備された町々に逃げ
よう。

6 シオンに向かって旗印を掲げよ。
ひ なん た ど
避難し、立ち止まるな」。

わたし きた わざわ (タ) だい き ぼ ほう
私は北から災いを、大規模な崩
壊をもたらそうとしているか
らだ。

7 国々を滅ぼす者は出発した。
くにくに ほろ もの しゅつぱつ (タ)
国々は滅ぼす者は出発した。
しげ すがた あらわ
茂みから姿を現すライオンのよ
うに。

あなたの土地を恐怖の光景に変
えるために、自分の場所から
出ていった。

あなたの町々は廃虚と化し、誰
も住まなくなる。

8 それで、粗布をまとえ。
あらぬの (ワ)
それで、粗布をまとえ。
かな * な さけ
悲しんで泣き叫べ。

エホバが私たちに対して怒りを
燃やし続けているからだ。

9 「その日、王と高官たちの心は
しづ* (ワ)
沈み、

祭司たちは恐怖に襲われ、

4:6 *または、「合図のさお」。**4:8** *または、
「胸をたたいて」。**4:9** *または、「王と高官たち
は勇気を失い」。

預言者たちはばうぜんとする」と、
エホバは宣言する。

10 私は言った。「ああ、主権者である主エホバ！ あなたは『平和が訪れる』と言って、まさにこの民とエルサレムを完全に欺かれました。剣が私たちの喉元に突き付けられています」。

11 その時、この民とエルサレムはこう告げられる。

「砂漠の荒れた丘から熱風が
来て、

私の民に吹き付ける。

吹き散らすためでも、清めるためでもない。

12 極めて強く吹く風が、私の命に
よって来る。

私は民に裁きを言い渡す。

13 見なさい！ 敵は雨雲のように
来る。

その兵車は暴風のようだ。

その馬はワシよりも速い。

『災いだ！ 私たちは滅ばされる！』

14 エルサレムよ、救われるために、
心を洗って悪から清めなさい。

あなたはいつまで悪い考えを抱
き続けるのか。

15 声がダンから知らせを告げ、
エフライムの山地から災難につ
いて伝える。

4:11 *直訳、「民の娘」。擬人法で、哀れに思う気持ちや同情を表現しているのかもしれない。

第4章

(イ) イザ 29:9, 10

(イ) エレ 6:13, 14

エレ 14:13

エレ 23:16, 17

(イ) エゼ 14:9

(イ) イザ 5:26, 28

(イ) 申 28:49, 50

哀 4:19

ハバ 1:8

(イ) イザ 1:16

エゼ 18:31

(イ) エレ 8:16

第2欄

(イ) 王二 25:1, 2

(イ) イザ 63:10

エゼ 2:3

(イ) 詩 107:17

(イ) ゼバ 1:15, 16

(イ) エレ 10:20

16 それを国々に知らせ、
エルサレムに伝えなさい」。

「番兵たちが遠い土地からやって
来て、

ユダの町々に向かってときの声
を上げる。

17 彼らは野原の番人のように四方
から彼女を攻める。

彼女が私に反逆したからである」
と、エホバは宣言する。

18 「あなたは自分の生き方や行い
の報いを受ける。

何とひどい災難を味わうのだ
ろう。

それはあなたの心臓にまで達
する」。

19 ああ、私は苦しんでいる。
苦しんでいる！

心の中で大きな痛みを感じて
いる。

心臓が高鳴り、黙っていることが
できない。

角笛の音、戦いの合図を聞いた
からだ。

20 災難に次ぐ災難が伝えられた。
国全体が滅ばされたのである。

私の天幕も突然に荒らされた。
天幕の布が一瞬のうちに。

4:16 *直訳、「見張りたち」。いつ攻撃するか見
定めるために町を監視する者たちのこと。

4:17 *エルサレムのこと。 4:19 *直訳、「私の
腸」。「直訳、「心臓の壁」。[△]もしかすると、「と
きの声」。

- 21 私はいつまで旗印を見続け、
角笛の音を聞き続けるのだから。
うか。
- 22 「私の民は愚かで、
私に全く注意を払わない。
無知な人々で、理解力がない。
悪を行うことには抜け目がな
いが、
善を行うことは知らない。」
- 23 私は彼らの土地を見たが、人け
がなく荒廃していた。
空を見たが、もはや光はな
かった。
- 24 山々を見ると、何と震動して
おり、
丘も揺れていた。
- 25 見ると、人は誰もおらず、
鳥も皆逃げ去ってしまった。
- 26 見ると、実り豊かな土地は荒野
となり、
町々は全て壊されていた。
エホバの怒りが燃えたからで
ある。
- 27 エホバはこう言う。
「国全体は荒廃することになる。
しかし、私は完全に滅ぼすことは
しない。」
- 28 地は悲しみに暮れ、
天は暗くなる。
私が語り、決めたからである。

4:21 *または、「合図のさお」。4:22 *直訳、「子たち」。
*または、「賢い」。4:23 *または、「天」。
4:26 *または、「果樹園の多い」。

第4章

(例) エレ 6:1

(例) 申 32:6
エレ 5:21

(例) エレ 9:10

(例) イザ 5:30
ヨエ 2:31

(例) イザ 5:25

(例) ゼバ 1:3

(例) 申 29:22,23

(例) レビ 26:32
代二 36:20,21
イザ 6:11
エレ 10:22
エゼ 33:28(例) イザ 24:4
ヨエ 1:10(例) イザ 5:30
ヨエ 2:30,31

第2欄

(例) 王二 23:26
エゼ 24:14

(例) 王二 25:4

(例) イザ 2:19

(例) エゼ 23:22,26

(例) 哀 1:2

(例) 哀 1:17

わたし かんが かんが かんが かんが
私は考えを変えず、その通りに
行。

29 騎手と弓を射る者たちの音を聞

いて、
町の全住民が逃げ去る。
彼らは茂みに分け入り、
岩によじ登る。
全ての町は捨てられ、
誰も住まなくなる。

30 破滅した今、あなたは どうする
のか。

かつてあなたは緋色の服を着て、
金の装飾品で身を飾り、
目を大きく見せるために黒い顔
料を塗っていた。

しかし、自分を美しく見せたのは
無駄だった。

あなたに情欲を抱く者たちはあ
なたを退け、

あなたの命を奪おうとしているか
らだ。

31 私は、病気の女性のような声を
聞いた。

初めての子を産む女性のような
うめき声、

息を切らしてあえいでいるシオン
の声である。

彼女は両手を広げて言う。
「私はもう駄目です！ 私を殺そう
とする者たちのせいで疲れ果
てました」。

4:28 *または、「悔やまず」。4:30 *または、「赤い」。
*または、「アイシヤドー」。4:31 *直訳、「シオンの娘」。

5 エルサレムの通りを歩き回り、
あちこちうろたえながらまわ
り回りを注意深く見回しなさい。
ひろばで探してみなさい。
おこなうことが正しい人、
ちゅうじつと
忠実であろうとする人がいるかど
うか。

もしいば、私は彼女を許す。
2 人々が「生きている神エホバに
懸けて!」と言うとしても、
けっきょく結局それは偽りの誓いである。
3 エホバ、あなたの目は忠実な人
を探しているではありません
んか。

あなたは民を打ったのに、何の
効果もありませんでした。

打ちのめしたのに、彼らは矯正
を受け入れませんでした。

彼らは顔を岩よりも硬くし、
生き方を変えようとしませんで
した。

4 私は思った。「これは立場が低い
人たちに違いない。

彼らが愚かなことを行うのは、エ

ホバの道を知らず、

神の裁きを知らないからだ。

5 主立った人たちの所に行って話
すことにしよう。

彼らなら、エホバの道を、

神の裁きを知っているはずだ。

5:1 *エルサレムのこと。**5:3** *直訳、「彼らは
弱りませんでした。」「または、「非常に頑固に
なり」。

第5章

(7) エゼ 22:29
ミカ 7:2

(1) イザ 48:1

(7) 代二 16:9

(4) 代二 28:20-22
エレ 2:30

(8) ゼカ 7:11

(4) 詩 50:17
イザ 42:24, 25
エゼ 3:7
ゼバ 3:2

(4) ミカ 3:1

第2欄

(7) エズ 9:6
イザ 59:12
エゼ 23:19

(1) ヨシ 23:6, 7
エレ 2:11
エレ 12:16
ゼバ 1:4, 5

(7) エゼ 22:11

(4) レビ 26:25
エレ 9:9
エレ 44:22
ナホ 1:2

しかし、彼らは皆、てんびん棒を
お
折り、

縄を断ち切ってしまった」。*

6 そのため、森林のライオンが彼ら
を襲い、

砂漠平原のオオカミが襲撃し
つづ
続け、

ヒョウが彼らの町で待ち伏せして
いる。

出てくる人は皆引き裂かれる。

彼らの違反は多く、

不忠実な行いは数え切れないか
らだ。

7 どうして私はあなたを許せるだろ
うか。

あなたの子たちは私を捨て、
神ではないものに懸けて誓う。

私は彼らに必要なものを与え

たが、

彼らは姦淫をし続け、

娼婦の家に群がった。

8 発情した雄馬のようで、
それぞれ他人の妻に向かってい

なく。

9 エホバはこう宣言する。

「私は彼らにこれらのことの責任
を問うべきではないか。

このような国民に報復すべきでは
ないか」。

10 「彼女のブドウ園に向かって攻め
上り、破壊せよ。

5:5 *一連の行為は、神への服従を放棄したことを
表している。

ただし、^{かんぜん}完全に滅^{ほろ}ぼしてはならない。⁽¹⁾

^{わかえだ}と^さ若枝を取り去れ。

それらはエホバのものではないからだ。

- 11 イスラエル国民とユダ国民は、
わたし^{わたし}たい^{たい}まつた^{まつた}ふ^ふせいじつ^{せいじつ}
私に対して全く不誠実だった」と、
エホバは宣言する。⁽¹⁾

- 12 「彼らはエホバを否定し、こう言
い続ける。
『神は^{かみ}何^{なに}もしない。^(*)
わたし^{わたし}わがわ^{わがわ}み^みま
私たちが災いに見舞われること

はない。

^{せんそう}戦争^{ききん}と^み飢饉⁽¹⁾を見ることはない』。

- 13 預言者たちはむなしいことを語つており、
^{かれ}うち^{うち}こと^{こと}ば^ば
彼らの内に言葉はない。
^{かれ}む^むひと^{ひと}
彼らは無に等しくなる」。

- 14 それで、大軍を率いる神エホバ
はこう言う。

「この人たちがこのようなことを
い
言っているので、

わたし^{わたし}わたし^{わたし}こと^{こと}ば^ば^(*)
私は私の言葉をあなたの口から
で^でひ^ひと^と
出る火とする。

この民は木であり、
ひ^ひや^やつ^つと^と⁽¹⁾
火で焼き尽くされる」。

- 15 エホバはこう宣言する。
「イスラエル国民よ、私はある国
^{みん}とお^{とお}つ^つ
民を遠くから連れてきて、あな
たたちを攻めさせる。^(*)

5:12 *もしかすると、「神などいない」。 5:13

直訳、「風になり」。^()神の言葉のこと。 5:14

*エレミヤのこと。

第5章

(1) レビ 26:44
エレ 46:28

(1) イザ 48:8

エレ 3:20
ホセ 5:7
ホセ 6:7

(1) 代二 36:15,16
イザ 28:15

(1) エレ 23:17

(1) エレ 1:9

(1) エレ 23:29

(*) エレ 1:15
エレ 4:16
エレ 25:9
エゼ 7:24
ハバ 1:6

第2欄

(1) 申 28:49,50

(1) レビ 26:16

(1) エレ 4:27

(1) 申 4:27
申 28:48
申 29:24,25
代二 7:21,22

(1) エレ 4:22

それは長い間存在する国民、
^{むかし}むかし^{こくみん}
昔からいる国民である。

あなたはその国民の言語を知

らず、

^{かれ}はな^{はな}り^りかい^{かい}⁽¹⁾
彼らが話すことを理解できない。

- 16 彼らの矢筒は、口を開けた墓の
ようだ。

^{ぜんいん}ぜんいん^{せんし}
全員が戦士である。

- 17 彼らはあなたの作物やパンをむ
さばり食う。⁽¹⁾

あなたの息子や娘たち、

あなたの羊や牛の群れ、

あなたのブドウやイチジクの木も
むさばり食う。

そして、あなたが頼みにしてい
^{ぼう}ぼう^び^{まち}まち^{つるぎ}^{ほろ}
る防備された町々を剣で滅
ぼす」。

- 18 エホバはこう宣言する。「とは
いえ、その時にも、私はあなたたちを
^ねね^だ⁽¹⁾
根絶やしにはしない。 19 『私たちの
^{かみ}かみ^{わたし}
神エホバはなぜ私たちにこのようなこ
とをしたのか』と人々が尋ねたら、あ
なたはこう答えなさい。『あなたたち
^{かみ}かみ^す^{じぶん}^と^ち^{がいこく}^{かみ}
は神を捨て、自分の土地で外国の神
^{つか}つか^{じぶん}^{つか}
に仕えたので、自分のものではない土
^ちち^{がいこくじん}^{つか}⁽¹⁾
地で外国人に仕えることになる』。

- 20 ヤコブの子孫の中で伝え、
ユダで広めよ。こう言え。

- 21 「愚かで無分別な民よ、聞きな
さい。

5:21 *直訳、「心がない」。

かれ め み
彼らは目があるのに見る事が
できない。
みみ き
耳があるのに聞くことができ
ない。

22 エホバはこう宣言する。
『あなたたちは私を畏れない

のか。
わたし まえ ふる
私の前で震えるべきではないか。
わたし うみ きょうかい すな お
私は海の境界として砂を置いた。
それは変わる事のない規定で
あり、越えることができない。
う よ なみ お
打ち寄せる波もそれを押しのけ
ることはできず、
あ くる なみ こ
荒れ狂う波も越えていくことはで
きない。

23 しかし、この民は頑固で反逆的
な心を持つ。

それによって、好き勝手に歩
んだ。

24 彼らは心の中で言うことは
ない。

わたし かみ おそ
「私たちの神エホバを畏れよう。
う き あめ ふ
雨期に雨を降らせてくださる
方々。
あき あめ はる あめ ふ
秋の雨も春の雨も降らせ、
しゅうかく さだ しゅう
收穫のために定められた週を
守ってくださる方々。」

25 あなたたちは過ちのせいでこうし
た恵みを受けられなくなり、
つみ よ え
罪のせいで良いものを得られな
くなった。

26 私の民の中に悪い人たちがいる。

第5章

(ア) イザ 59:10

(イ) イザ 6:9
エゼ 12:2
マタ 13:13

(ウ) ヨブ 38:8,11
詩 33:7
格 8:29

(エ) 詩 95:10
エレ 11:8

(オ) 申 11:14

(カ) 申 28:23,24
エレ 3:3

第2欄

(ア) アモ 8:5
ミカ 6:11,12

(イ) イザ 1:23

(ウ) 詩 82:2

(エ) エレ 14:14
哀 2:14
エゼ 13:6

(オ) イザ 30:10
ヨハ 3:19

第6章

(カ) 代二 11:5,6
アモ 1:1

(キ) エレ 4:5

(ク) エレ 1:14
エレ 10:22

とり と もの と き
鳥を捕る者がかがむ時のように、
かれ 彼らはじっと見ている。
ひじょう きけん
非常に危険なものを仕掛け、
ひとびと
人々を捕らえる。

27 鳥でいっぱい籠のように、
かれ いえ あざむ み
彼らの家は欺きで満ちている。
そのため彼らは力を得て裕福に
なった。

28 彼らは太って、肌につやがある。
あく み
悪に満ちあふれている。
じぶん せいこう
自分たちの成功ばかり気に掛け、
ちちおや ひと うった べんご
父親のいない人の訴えを弁護し
ない。

まず ひと こうせい あつか 例
貧しい人を公正に扱わない』。

29 エホバはこう宣言する。
わたし かれ せきにん
「私は彼らにこれらのことの責任
を問うべきではないか。
このような国民に報復すべきでは
ないか。」

30 恐ろしいこと、ひどいことがこの
土地で起こった。

31 預言者は偽りの預言をし、
さいし じぶん けんりよく ふ
祭司は自分たちの権力を振るう。
わたし たみ よろこ
そして私の民はそれを喜んで
いる。

お くり と き
終わりが来る時、あなたたちはど
うするか。

6 ベニヤミンの子孫よ、エルサレ
ムから離れて避難せよ。
例 つのぶえ ふ な 例
テコアで角笛を吹き鳴らせ。

ベト・ハケレムのろしを上げよ!
きた わざわ おお さいなん
北から災いが、大きな災難が
せま 迫っているからだ。

2 シオンは美しく優雅な女性のよ
うだ。

3 羊飼いたちが群れを連れてやつ
て来て、
彼女の周囲に天幕を張る。
それぞれ自分の群れに草を食べ
させる。

4 「彼女と戦う用意をせよ！
立ち上がれ。真昼に彼女を攻め
よう！」

「駄目だ。日が傾きかけて、
夕方の影が伸びてきている！」

5 「立ち上がれ。夜の間に攻撃し、
彼女の防備された塔を打ち壊
そう」。

6 大軍を率いるエホバはこう言う。
「木を切り倒し、エルサレムを攻
めるための土塁を築け。

彼女は責任を問われるべき都市
である。

彼女の中には圧迫しかない。

7 水ためが水を冷たく保つように、
彼女も悪をみずみずしく保つ。
暴力と破壊が彼女の中で聞か
れる。

病氣と災厄が絶えず私の前に
ある。

8 エルサレムよ、警告を聞きな
さい。

さもなければ、私は嫌悪を抱い

第6章

(イ) イザ 3:16

(イ) 王二 25:1

(イ) エレ 4:16,17

(イ) 代二 36:17,19
アモ 2:5

(イ) エゼ 21:21,22

(イ) 王二 21:16
エゼ 7:23(イ) エゼ 7:11
ミカ 2:2

第2欄

(イ) エゼ 23:18

(イ) レビ 26:34
エレ 9:11(イ) イザ 6:10
使徒 7:51(イ) 代二 36:15,16
エレ 20:8

(イ) エレ 20:9

(イ) エレ 18:21

(イ) エゼ 9:6

(イ) 申 28:30
エレ 8:10
哀 5:11
ゼバ 1:13

てあなたから離れる。

あなたを荒廃させ、誰も住まない
場所にす。

9 大軍を率いるエホバはこう言う。

「彼らはブドウの木に残ったブド
ウを集めるように、イスラエル
の残りの者を集め尽くす。

ブドウを収穫する者のように、も
う一度あなたの手を伸ばしな
さい」。

10 「私は誰に話し、警告したらよい
でしょうか。

誰が耳を傾けるでしょうか。

ご覧ください、彼らの耳は閉ざさ
れており、彼らは注意を払うこ
とができません」。

ご覧ください、彼らはエホバの
言葉を軽く見ており、

それを受け入れようとしません。

11 それで、私はエホバの怒りで満
たされ、

それを抑えるのに疲れました」。

「それを通りにいる子供に浴びせ
なさい。若者の集団にも。

ひとびとみなと
人々は皆捕らわれる。

男性もその妻も、年配の人も非
常に年老いた人も。

12 彼らの家は、煙や妻ともども、
他の者たちに渡される。

私がこの土地の住民に向かって

6:2 *直訳、「シオンの娘」。6:4 *直訳、「彼女
との戦いを神聖なもの」。

6:10 *直訳、「割礼を受けておらず」。6:11
*直訳、「日々」。

て の
手を伸ばすからである」と、エ
ホバは宣言する。

- 13 「身分の低い人から高い人まで、
皆が不当な利益を得ている。

預言者から祭司まで、皆が詐欺
を働いている。

- 14 彼らは私の民の衰弱を軽々しく
癒やそうとして、

『平和だ！ 平和だ！』と言う。

平和ではないにもかかわらず。

- 15 人々は自分たちが行った忌ま
わしい事柄を恥じているだろ
うか。

少しも恥じていない！

そもそも恥を知らない。

そのため、彼らは倒れた者たち
の中に倒れる。

私が処罰する時、彼らはつまづい
て倒れる」と、エホバは言う。

- 16 エホバはこう言う。
「分かれ道の所に立って、見な
さい。

昔の道について尋ねなさい。

どれが良い道かを尋ね、その道
を歩んで、

やすぎを見いだしなさい。

しかし民は、「その道は歩みませ
ん」と言う。

- 17 「私が任命した見張りたちは
言った。

『角笛の音に注意を払え！』と。

- 6:14 *または、「傷」。^アまたは、「表面的に」。

第6章

(ア) エゼ 22:12

(イ) エレ 2:8
エレ 8:10-12
エレ 23:11
ミカ 3:5,11
ゼバ 3:4

(ウ) エレ 14:13
エレ 23:16,17
エゼ 13:10
デサー 5:3

(ロ) エレ 3:3

(エ) イザ 30:21

(オ) エレ 18:15

(カ) エレ 25:4
エゼ 3:17
ハバ 2:1

(ク) イザ 58:1

第2欄

(ア) ゼカ 7:11

(イ) 申 4:25,26
ダニ 9:12

(ウ) イザ 1:11
イザ 66:3
エレ 7:21
アモ 5:21

(ロ) 代二 36:17
哀 2:21

(エ) エレ 1:14
エレ 25:9

しかし民は、「注意を払いませ
ん」と言った。

- 18 「それで、国々よ、聞け！

群衆よ、知るように。

彼らに何が起こるかを。

- 19 地上の人々よ、聞け！

私はこの民に災いをもたらす。

彼らのたくらみの結果として。

彼らが私の言葉に全く注意を払
わず、

私の律法を退けたからだ」。

- 20 「あなたがシエバから乳香を、

遠い土地から香りの良いショウ
ブを持ってきても、それが何だ
というのか。

あなたたちの全焼の捧げ物は受
け入れられない。

私はあなたたちの犠牲を喜ば
ない」。

- 21 エホバはこう言う。

「私はこの民の前につまづきの石
を置き、

彼らはそれにつまづいて倒れる。

父親も子供も、隣人も友も倒れ、
皆滅びる」。

- 22 エホバはこう言う。

「見なさい！ 1つの民が北の土地
からやって来る。

強大な国民が目覚めて、地の果
てから来る。

- 6:19 *または、「指示」。 6:20 *アシに似た芳香
香植物を指すと考えられる。

23 彼らは弓と投げやりをつかむ。

残酷で、憐れみを示さない。
海のようにとどろく声を出し、馬
に乗る。

シオンよ、彼らは戦闘隊形を
整え、

戦士のようにあなたを攻める」。

24 私たちはその知らせを聞いた。

手が力なく垂れ下がり、
苦悩した。

出産する女性のように苦しみ
に見舞われた。

25 畑に出ていくな。

道を歩くな。
敵は剣を持っており、
周囲に恐怖がある。

26 私の民よ、

粗布をまとい、灰をかぶれ。
一人息子を亡くしたかのように
悲しみ、泣き叫べ。
滅ぼす者が突然に私たちを襲う
からだ。

27 「私はあなたを、私の民の中で、
金属を精錬する者とした。

民を徹底的に調査する者である。
注意を払って、彼らの行いを調

べなさい。

28 彼らは皆、極めて頑固で、

歩き回って中傷する。
銅や鉄のようで、

第6章

(7) ハバ 1:8

(1) エゼ 21:7

(2) エレ 4:31

(3) エレ 4:8

(8) 哀 1:2,16

(9) エレ 15:8

(4) イザ 30:1
イザ 48:4
エレ 5:23

(9) エレ 9:4

第2欄

(7) エレ 9:7
エゼ 22:20

(1) エゼ 24:13

(9) エレ 14:19
哀 5:22

第7章

(3) エレ 26:13

(8) ミカ 3:11

(9) エレ 21:12
エレ 22:3

(4) 申 24:17
詩 82:3
ゼカ 7:9,10
ヤコ 1:27

全員が堕落している。

29 ふいごは焦げてしまった。
火の中から出てくるのは鉛で

ある。

懸命に精錬し続けても全く無駄
であり、

悪い者たちは取り除かれてい
ない。

30 彼らは退けられた銀と呼ばれる。

エホバが彼らを退けたからで
ある。

7 エホバがエレミヤに語り掛けて
こう言った。2「エホバの家の

門の所に立って、次の言葉を語りな
さい。『エホバにひれ伏すためにこ

れらの門を通して入る、ユダの全ての
人たち、エホバの言葉を聞きなさい。

3 イスラエルの神、大軍を率いるエホ
バはこう言っている。「あなたたちの

生き方や行いを改めなさい。そうす
れば、この場所に住み続けてよい。

4 欺きの言葉を信用してこう言っ
てはならない。『これはエホバの神殿だ、
エホバの神殿だ、エホバの神殿だ！』

5 もしあなたが本当に生き方や
行いを改め、隣人同士の問題を公正

に扱い、6 外国人居住者や孤児や
やもめを虐げず、この場所で無実の人

の血を流さず、ほかの神々に従って自
ら災いを招くようなことをしないなら、

6:29 *火をおこすための送風器。7:4 *直訳、
「これら」。神殿の建物群を指す。7:6 *または、
「父親のいない子供」。

6:23 *直訳、「シオンの娘」。6:24 *直訳、「陣
痛」。6:26 *直訳、「民の娘」。6:27 *エレミ
ヤのこと。

(9) 申 8:19

7 この場所に、私があなたたちの父
祖たちに与えたこの土地に、いつまで
も住み続けてよい』』。

8 「ところが、あなたたちは欺きの言
葉を信用している。それは全く無益で
ある。9 あなたたちは、盗んだり、人
を殺したり、姦淫をしたり、うその誓い
をしり、バアルに犠牲を捧げたり、知
らなかった神々に従ったりしながら、
10 私の名が付されたこの家に来て、
私の前に立ち、『私たちは救われる』
と言えるのか。あらゆる忌まわしい事
柄を行っているというのに。11 私
の名が付されたこの家は、あなたたち
には強盗のすみかに見えるのか。私は
あなたたちの行いを見た』と、エホ
バは宣言する。

12 『シロにある私の場所、私が自分
の名のために最初に選んだ場所に行
きなさい。そして、私の民イスラエルの
悪い行いのゆえに、私がそこに対し
て行ったことを見なさい』。13 エホ
バはこう宣言する。『あなたたちはこ
れらのことを行い続けた。私が繰り返
し語り掛けたのに、聞かなかった。私
が呼び続けたのに、答えなかった。14
それで私は、私の名が付された、
あなたたちが頼っている家に、また、
あなたたちと父祖たちに与えたこの
場所に、シロに対して行ったのと同じ
ことをする。15 あなたたちの兄弟全

7:7 *または、「永遠から永遠まで」。7:9 *または、「のために犠牲の煙を立ち上らせ」。7:13
*直訳、「早く起きては」。

第7章

【イザ 30:10
エレ 5:31
エレ 14:14

【イザ 3:14
ミカ 2:2

【エレ 5:2

【エレ 11:13

【マタ 21:13
マル 11:17
ルカ 19:45, 46

【ヨシ 18:1

【申 12:5, 11

【サー 4:11
詩 78:60
エレ 26:6, 9

【代二 36:15, 16
エレ 25:3, 4

【イザ 65:12

【王二 25:8, 9

【エレ 7:4

【サー 4:10, 11
詩 78:60
エレ 26:4, 6
哀 2:7

第2欄

【王二 17:22, 23

【出 32:9, 10
エレ 11:14

【エレ 15:1

【エレ 44:17

【イザ 57:6
エレ 19:13
エゼ 20:28

【ダ二 9:7

【哀 2:3

【王二 22:17
エレ 17:27

【イザ 7:11
エレ 6:20
ホセ 8:13
アモ 5:21

【サー 15:22
ホセ 6:6

て、エフライムの子孫全てを追い払っ
たように、あなたたちを私の前から追
い払う』。

16 あなたはこの民のために祈って
はならない。彼らのために声を上
げたり、祈りを捧げたり、懇願したり
してはならない。私は耳を傾けない。

17 ユダの町々とエルサレムの通りで
彼らが何をしているか、あなたには見
えないのか。18 子供たちは薪を集
め、父親たちは火を付け、妻たちは麦
粉をこねて、天の女王への犠牲の菓子
を作っている。また、ほかの神々のた
めに飲み物の捧げ物を注いで、私を
怒らせている。19 『しかし、彼らが
傷つけているのは私なのか。自分た
ち自身を傷つけ、辱めているのではな
いか』と、エホバは宣言する。20 そ
れで、主権者である主エホバはこう言
う。『私の怒りと憤りが、この場所に、
人間と動物に、野の木々と土地の産
物に浴びせられる。私の怒りは燃え
上がり、消されることはない』。

21 イスラエルの神、大軍を率いる
エホバはこう言う。『あなたたちの
全焼の捧げ物をほかの犠牲に加え、
自分たちでその肉を食べるがよい』。

22 私は、あなたたちの父祖たちをエ
ジプトから連れ出した日に、全焼の捧
げ物や犠牲について話すことも命じる
こともしなかった。23 ただし、この

7:16 *エレミヤのこと。7:18 *背教したイスラ
エル人が崇拝した女神の称号。豊作の女神かも知
れない。7:19 *または、「怒らせている」。

めいれい あた わたし こえ したが
命令を与えた。「私の声に従いなさい。そうすれば、私はあなたたちの神となり、あなたたちは私の民となる。私が命じる通りに歩みなさい。そうすれば物事はうまくいく』。24 しかし、彼らは聞かず、耳を傾けなかった。自分たちのたくらみを実行し、頑固にも悪い心のままに歩んで、前進するどころか後退した。25 あなたたちの父祖たちがエジプトを出た日から今までそうである。それで私は、私に仕える預言者全てをあなたたちのもとにつかづき、まいにちくかえ*遣わし続けた。毎日のように繰り返し遣わした。26 それでも彼らは私の言うことを聞こうとせず、耳を傾けなかった。頑固で、父祖たちよりも悪いことを行った。

27 あなたがこれらの言葉を全て語っても、彼らは聞かない。あなたが呼び掛けても、彼らは答えない。あなたは彼らにこう言う。『これは、自分たちの神エホバの声に従わず、矯正を受け入れなかった国民である。忠実さは消えうせ、彼らの話題になることさえない』。

29 あなたの長い髪の毛を刈って捨て、はげ山の上で哀歌を歌いなさい。エホバは激怒してこの世代を退けたのであり、見捨てるからである。30 エホバはこう宣言する。『ユダの民は、私

7:23 *または、「命じる道をしっかりと」。7:24 *または、「考えに従い」。7:25 *直訳、「毎日早く起きては」。7:26 *直訳、「うなじを固くして」。7:29 *または、「献じられた」。

第7章

(例) 出 19:5
レビ 26:3,12

(例) 申 5:29

(例) 出 32:8

(例) ホセ 4:16
ゼカ 7:12

(例) 申 9:7
サ一 8:8

(例) 王二 17:13
代二 36:15
ネへ 9:17,30
エレ 25:4

(例) 代二 33:10
エレ 25:3

(例) エレ 26:2
エゼ 2:7

(例) エレ 5:1
ミカ 7:2

第2欄

(例) 王二 21:1,4
代二 33:1,4
エレ 23:11
エレ 32:34

(例) ヨシ 15:8,12

(例) 申 12:29-31
王二 17:17
代二 28:1,3
代二 33:1,6
エゼ 20:31

(例) レビ 18:21
レビ 20:3
エレ 19:5,6
エレ 32:35

(例) エレ 19:11
エゼ 6:4,5

(例) 申 28:26
詩 79:2
エレ 16:4

(例) イザ 24:8
エレ 25:10

(例) レビ 26:33
イザ 1:7
イザ 6:11

第8章

(例) 申 4:19
王二 17:16
王二 21:1,3
エレ 19:13
エゼ 8:16
ゼバ 1:4,5

(例) エレ 16:4

から見て悪いことを行った。私の名が付けられた家に汚らわしい偶像を置き、その家を汚した。31 また、ヒンノムの子の谷にあるトフトの高い場所を築き、息子や娘を火で焼いた。そのようなことを私は命じたことがなく、考えたこともない』。

32 エホバはこう宣言する。『それで、そこがもはやトフトとかヒンノムの子の谷とはではなく、殺りくの谷と呼ばれるようになる時が来る。人々はトフトに死者を葬り続け、葬る場所がなくなる。33 この民の死体は鳥や野獣に食べられる。誰もそれらを追い払わない。34 私はユダの町々とエルサレムの通りで、歓喜や祝福の声、花婿や花嫁の声がもはや聞かれないようにする。その土地は荒れ果てた所になるのである』。

8 エホバはこう宣言する。「その時、ユダの主たちの骨、高官たちの骨、祭司たちの骨、預言者たちの骨、エルサレムの住民の骨が、墓から持ち出される。2 彼らが愛し、仕え、従い、導きを求め、拝んだ、太陽や月や天の全ての星の前に、骨がまき散らされる。それらは集められることも葬られることもなく、地面にまかれた肥やしのようになる』。

3 「この邪悪な国民のうち生き残った人たちは、私が彼らを追いやる全て

7:31,32 *用語集の「ゲヘナ」参照。7:31 *または、「心に思った」。8:2 *直訳、「天の全軍」。

の場所^{ばしょ}で、命^{いのち}よりも死^しを選^{えら}ぶ」と、大軍^{たいぐん}を率^{ひき}いるエホバは宣^{せんげん}言^{げん}する。

4 「あなたは彼らに言^{かれ}わなければならぬ。『エホバはこ^いう言^いっている。

「人々^{ひとびと}は倒^{たお}れたま^たま立^あち上^あがらな
いのだ^いろうか。

誰^{だれ}か^{かんが}が考^{かんが}え直^{なお}すなら、他^たの者^{もの}も
考^{かんが}え直^{なお}すのではな^いいか。

5 この民^{たみ}、エルサレム^{ふちゅうじつ}が、いつま^もで
も不忠^{ふちゅうじつ}実^{じつ}なのはど^うし^てか。

彼^{かれ}らは欺^{あざむ}きに固^こ執^{しつ}し、
考^{かんが}え直^{なお}そうとしな^いい。

6 私^{わたし}は注^{ちゅうい}意^いを払^{はら}い、ず^きと聞^きいてい
たが、彼^{かれ}らは正^{ただ}しいこ^{こと}を語^{かた}
らな^なかつた。

誰^{だれ}も悪^{わる}い行^{おこな}いを悔^くい改^{あらた}めず、『私^{わたし}
は何^{なん}とい^いうこ^{こと}をし^{した}のか』と
言^いわな^なかつた。

皆^{みな}、大衆^{たいしゅう}が好^{この}む道^{みち}に戻^{もど}っていく。
戦^{せんじょう}場^{ばう}に突^{とっしん}進^{しん}する馬^{うま}のよう^に。

7 空^{そら}を飛^とぶコウノトリ^{きせつ*}でさ^え、季^き節^{せつ}
を知^しっている。

ヤマバト、アマツバメ、ツグミ[#]も、
渡^{わた}りの時^{とき}を守^{まも}る。

し^しかし、私^{わたし}の民^{たみ}はエホバ^{さば}が裁^{さば}
く時^{とき}を理^り解^{かい}してい^いない』。

8 『なぜあな^{わたし}た^たちは、私^{わたし}た^たちは
賢^{かしこ}く、エホバ^{りつぽう}の律^も法^{ほう}を持^もつて
い^いる』と言^いえるのか。

8:7 *または、「定められた時」。*もしくはと、「鶴」。^または、「戻る」。8:8 *または、「指示を知って」。

第8章

(例) エレ 5:3

(例) エレ 5:1

(例) イザ 1:3

第2欄

(例) イザ 8:1

(例) イザ 29:14

(例) 申 28:30
ゼバ 1:13(例) イザ 56:11
エゼ 33:31
ミカ 3:11(例) エレ 5:31
エレ 6:12-15
エレ 27:9
哀 2:14
エゼ 22:28(例) エレ 23:16, 17
エゼ 13:10

(例) エレ 3:3

(例) エレ 23:12

書^{しょ}記^きの筆^{ひつ}記^きは、うそ^{うそ}を書^かくた
め^めだけ^{だけ}に使^{つか}われた。

9 賢^{かしこ}い者^{もの}たち^はは恥^{はじ}を^かいた。

彼^{かれ}ら^ははおび^とえ、捕^とら^われる。

エホバ^{こと}の言^{こと}葉^はを退^{しりぞ}けた彼^{かれ}らに、
一^い体^{たい}ど^ちんな知^ち恵^えがあ^あるとい^いう

のか。

10 私^{わたし}は彼^{かれ}ら^はの妻^{つま}を他^た人^{にん}に与^{あた}え、
彼^{かれ}ら^はの畑^{はたけ}も他^た人^{にん}に所^{しやう}有^{ゆう}さ^せせる。

身^み分^{ぶん}の低^{ひく}い人^{ひと}か^から高^{たか}い人^{ひと}ま^まで、
皆^{みな}が不^ふ当^{とう}な利^り益^{えき}を^え得^とてお^おり、

預^よ言^{げん}者^{しや}か^から祭^{さい}司^しま^まで、皆^{みな}が詐^さ欺^ぎ
を働^{はたら}いてい^いるから^だ。

11 彼^{かれ}ら^はは私^{わたし}の民^{たみ}の衰^さ弱^{じやく}を軽^{かる}々^がしく
癒^いやそ^うとして、

「平^{へい}和^わだ！ 平^{へい}和^わだ！」とい^いう。

平^{へい}和^わではな^ないにか^かかわら^ず。

12 人^{ひと}々^{びと}は自^じ分^{ぶん}た^たち^はが行^{おこな}った^い忌^いま
わ^わしい事^{こと}柄^{がら}を恥^はじてい^いるだ^ら

うか。

すこ^{すこ}し^はも恥^はじてい^いない！

そ^そも^もも恥^はを^し知^しら^ない。

そ^そのた^ため、彼^{かれ}ら^はは倒^{たお}れた者^{もの}た^たち
の^{なか}中^{ちゆう}に倒^{たお}れる。

私^{わたし}が処^{しょ}罰^{ばつ}する時^{とき}、彼^{かれ}ら^ははつ^つま^まずい
て倒^{たお}れる』と、エホバ^{こと}は言^いう。

13 エホバ^{せんげん}はこ^こう宣^{せんげん}言^{げん}する。

『取^とり入^いれの時^{とき}、私^{わたし}は彼^{かれ}ら^はを滅^{ほろ}
ぼ^ぼす。

ブドウ^きの木^きにもイチジク^きの木^きにも

8:8 *または、「秘書官」。*または、「偽りの尖筆」。8:11 *直訳、「民の娘」。*または、「傷」。^または、「表面的に」。

実は残らず、葉は枯れる。
私が彼らに与えたものは取り去られる』。

- 14 「なぜ私たちはここに座っているのか。

集まって、防備された町々に入り、そこで滅びよう。

私たちの神エホバは、私たちを捨て去り、

毒の水を与えて飲ませる。

私たちがエホバに対して罪を犯したからだ。

- 15 平和を待ち望んでいたが、良いものは来なかった。

癒やしの時を待ち望んでいたが、恐怖が来た！

- 16 ダンから、敵の馬が鼻を鳴らすのが聞こえる。
雄馬がいなく声に、全土が震える。

敵たちはやって来て、土地とその中の全てのものを、町も住民も食い尽くす。

- 17 「私はあなたたちの中に蛇を送り込む。

まじないが効かない毒蛇であり、必ずあなたたちをかむ」と、エホバは宣言する。

- 18 私の悲しみは癒えない。

私の心は沈んでいる。

- 19 遠い土地から、助けを求める叫び声がする。

第8章

(例) エレ 4:5

(例) エレ 9:15
エレ 23:15
哀 3:19

(例) エレ 4:10
エレ 14:19

第2欄

(例) エレ 4:19, 20
エレ 14:17

(例) 創 37:25

(例) エレ 30:12, 13

(例) エレ 30:17
エレ 33:4, 6

第9章

(例) イザ 22:4
エレ 13:17

(例) エレ 5:7
エレ 23:10

私の民がこう言っている。

「エホバはシオンにおられないのですか。

シオンの王はそこにおられないのですか」。

「なぜ彼らは彫像によって、無価値な外国の神々によって、

私を怒らせたのか」。

- 20 「収穫の時は過ぎ、夏は終

わった。

だが私たちは救われていない！」

- 21 私の民が弱り果てたので、

私は打ちのめされた。

私は意気消沈し、恐怖にとらわれた。

- 22 ギレアデにバルサムはないのか。そこには癒やす人がいないのか。なぜ私の民は回復していないのか。

9 ああ、私の頭が水の源で、私の目が涙の泉だったなら！

そうすれば私は昼も夜も泣くのに。

私の民の殺された人たちのために。

- 2 ああ、私のために荒野に旅人の宿があったなら！

そうすれば私は自分の民から離れて去っていくのに。

彼らは皆が姦淫をしたのであり、

8:19, 21, 22 *直訳、「民の娘」。8:22 #または、「痛みを和らげる香油」。△または、「医者」。

ふ せじつ ひとびと しゅうだん
不誠実な人々の集団だからだ。

- 3 彼らは舌を弓のように曲げる。
かれ した ゆみ ま *
ちゅうじつ いつわ と ち
忠実さではなく偽りが土地には

ぴこっている。

かれ あく あく かさ
「彼らは悪に悪を重ね、
わたし まった ちゅうい はら (イ)
私に全く注意を払わない」と、エ

ホバは宣言する。

- 4 「あなたたちは皆、隣人を警戒し
なさい。

きょうだい しんよう
兄弟さえ信用してはならない。

どの兄弟も裏切り、
きょうだい うら ぎ (イ)
りんじん ちゅうしよう (ロ)
どの隣人も中傷するからだ。

- 5 それぞれ隣人をだまし、
だれ しんじつ かた
誰も真実を語らない。
いつわ かた した くんれん (ロ)
偽りを語るよう舌を訓練し、
つか ま ちが おこな
疲れるまで間違ったことを行う。

- 6 あなたは欺きの中で暮らして
いる。

かれ あざむ み わたし し
彼らは欺きに満ち、私を知ろうと
しなかった」と、エホバは宣言
する。

- 7 それで、大軍を率いるエホバは
こう言う。

わたし くれ きよ * ため (ロ)
「私は彼らを清め、試す。
わたし たみ# たい なに
私の民に対して、ほかに何がで
きるだろうか。

- 8 彼らの舌は命を奪う矢で、欺きを
語る。
かれ した いのち うば や あざむ
ひと くち りんじん へい わ
人は口では隣人に平和について
語るが、

9:3 *弦を張る時に弓を曲げるように、舌でうそ
をつく用意をするということ。9:7 *または、「精
錬し」。「直訳、「民の娘」。

第9章

(イ) イザ 59:3

(イ) エレ 4:22

(イ) エレ 12:6
ミカ 7:2,5(ロ) エレ 6:28
エゼ 22:9(ヨ) 詩 50:19
ミカ 6:12(カ) イザ 1:25
イザ 48:10

第2欄

(イ) エレ 5:9,29

(イ) エレ 4:25
ゼバ 1:3(ヨ) 詩 79:1
エレ 26:18

(ロ) エレ 10:22

(ヨ) エレ 4:27
エレ 25:11
エレ 32:43

(カ) エレ 7:24

こころ なか おそ
心の中では襲おうとたくらむ」。

- 9 エホバはこう宣言する。
わたし くれ せんげん
「私は彼らにこれらのことの責任
を問うべきではないか。
このような国民に報復すべきでは
ないか。

- 10 私は山々のことで泣いて嘆き、
わたし やまやま な なげ
こう や ぼくそう ち あい か
荒野の牧草地のことで哀歌を
うた
歌う。

それらは焼かれて、誰も通らなく
なり、

かちく こえ き
家畜の聲が聞かれなくなつてし
まったからだ。

とり やじゅう に さ
鳥や野獣も逃げ去り、いなく
なった。

- 11 私はエルサレムをがれきの山、
わたし わたし やま(ロ)
ジャッカルのみすみかとし、
まちまち だれ す はいきよ
ユダの町々を誰も住まない廃虚
とする。

- 12 これを理解できるほど賢いのは
だれ かしこ
誰か。

エホバは誰に語り掛け、これを
告げられるようにしたのか。

なぜこの土地は滅びたのか。
こう や や こ
なぜ荒野のように焼け焦げ、
だれ とお
誰も通らなくなったのか。

- 13 エホバはこう答えた。「彼らが、
わたし あた りっぽう* しりぞ まち
私が与えた律法を退け、それを守ら
ず、私の声に従わなかったからだ。

- 14 彼らは頑固にも心のままに歩み、
かれ がん こ こころ あゆ (ロ)
ふ そ おし とお
父祖たちから教えられた通りにバアル

9:13 *または、「指示」。

の像に頼った。15 それで、イスラエルの神、大軍を率いるエホバはこう言う。『私はこの民にニガヨモギを食べさせ、毒の水を飲ませる。16 そして、彼らも父祖たちも知らなかった国々に彼らを散らし、剣を送って後を追わせ、彼らを根絶やしにする』。

17 大軍を率いるエホバはこう言う。『理解力を働かせなさい。哀歌を歌う女性たちを集め、熟練した女性たちを呼びなさい。

18 急いで来させ、私たちのために嘆きの声を上げさせなさい。私たちの目から涙があふれ、まぶたから水が滴るように。

19 シオンから嘆きの声が聞こえる。「私たちは打ちのめされた！大きな恥をかいいた！土地を去らなければならず、敵に家を破壊された」。

20 女性たち、エホバの言葉を聞きなさい。耳を傾け、その言葉を受け入れなさい。

娘たちにこの嘆きの歌を教え、互いにこの哀歌を教えなさい。

21 死が窓から入ってきたからだ。それは私たちの防備された塔に入った。

通りから子供を連れ去り、広場から若者を連れ去るために』。

第9章

〔イ〕 裁 3:7
サー 12:10
ホセ 11:2
〔イ〕 エレ 8:14
エレ 23:15
哀 3:15, 19

〔イ〕 レビ 26:33
申 28:64
詩 106:27
ゼカ 7:14

〔ロ〕 エレ 29:17
エゼ 5:2

〔イ〕 代二 35:25

〔イ〕 エレ 6:26
エレ 14:17

〔イ〕 エレ 4:31
エゼ 7:16
ミカ 1:8, 9

〔イ〕 哀 4:15
ミカ 2:10

〔イ〕 イザ 29:2
エレ 7:29

〔ロ〕 代二 36:17
エレ 6:11

第2欄

〔イ〕 イザ 5:25
エレ 16:3, 4

〔イ〕 イザ 5:21

〔イ〕 申 8:12-14
申 8:17, 18

〔ロ〕 コー 1:31
コ二 10:17

〔イ〕 出 34:6
詩 89:14

〔イ〕 詩 99:4
ホセ 6:6
ミカ 6:8
ミカ 7:18

〔イ〕 アモ 3:1, 2

〔イ〕 イザ 19:1
エゼ 29:2

〔イ〕 イザ 1:1
〔ロ〕 エレ 27:2, 3
エゼ 32:29
オバ 1

〔イ〕 エレ 49:1
エゼ 25:2

〔イ〕 イザ 15:1
エレ 48:1

〔イ〕 エレ 25:17, 23
エレ 49:32

〔イ〕 レビ 26:41
エレ 4:4

22 こう言いなさい。

『エホバはこう宣言している。民の死体は、畑にまかれた肥やしのようになる。

刈り取られて無造作に置かれた穀物のようになり、誰もそれを拾い集めない』。

23 エホバはこう言う。

「賢い人は知恵を誇ってはならない。

強い人は力を誇ってはならない。裕福な人は富を誇ってはなら

ない。

24 「誇る人は、私について理解し知っていることを誇りなさい。

私はエホバであり、揺るぎない愛と公正と正義を地上で示す。

それらのことを私は喜ぶのである」と、エホバは宣言する。

25 エホバはこう宣言する。「割礼

を受けてはいるが、受けていないのも同然の者たち全てに、私が責任を問う時

が来る。26 エジプト、ユダ、エドム、

アンモン人、モアブ、またもみあげを

短く切って荒野に住んでいる者たち全

てに、私は責任を問う。異国の人々は

皆、割礼を受けておらず、イスラエル国

民全体も心に割礼を受けていないの

である」。

9:22 *または、「刈り取る人の後ろに並べられた」。9:24 *または、「洞察」。9:26 *または、「こめかみの所で髪を」。

10 イスラエル^{こくみん}国民よ、エホバが
あなたたち^{たい}に対して^{かた}語った
言葉^{ことば}を聞きなさい。 **2** エホバはこう
言う。

「異国^{いこく}の人々の生き方^{ひとびと}に倣^いっては
ならない。

天^{てん}のしるしにおびえてはなら

ない。

異国^{いこく}の人々がそれにおびえるか
らという。

3 その人々の習慣^{ひとびと しゅうかん}はむなしいもの
である。

森^{もり}の中のただの木^{なかに き}が切り倒^きされ、
職人^{しよくにん}が道具^{どうぐ}を使って^{つか}削^{けず}る。

4 そして銀^{ぎん}や金^{きん}で飾^{かざ}り付け、
倒^{たお}れないように金づち^{かな}とくぎで固^こ
定^{てい}する。

5 それはキュウリ畑^{ばたけ}のかかし^{はな}のよう
に、話^わすことができない。

歩^{ある}くことができないので、運^{はこ}ばれ
なければならぬ。

それを恐^{おそ}れてはならない。害^{がい}を
及^{およ}ぼすことも、
善^よいことを行^{おこな}うこともできないか
らだ。

6 エホバ、あなたのような方^{かた}はい
ません。

あなたは偉大^{いだい}な方^{かた}、あなたの名^な
は力強^{ちからづよ}く、偉大^{いだい}です。

7 国々^{くにぐに}を治^{おさ}める王^{おう}よ、誰^{だれ}があなた
を畏^{おそ}れないでしょうか。

10:3 *または、「偽り」。 *または、「なた」。

第10章

(例) レビ 18:3, 30
レビ 20:23
申 12:30

(イ) イザ 47:13

(例) イザ 40:20
イザ 44:14, 15
イザ 45:20
ハバ 2:18

(例) 詩 115:4
イザ 40:19

(例) イザ 41:7

(例) ハバ 2:19

(例) イザ 46:7

(例) イザ 41:23
イザ 44:9
コー 8:4

(例) 出 15:11
サニ 7:22
詩 86:8

(例) 詩 22:28

第2欄

(例) 詩 89:6
ダニ 4:35

(イ) エレ 51:17
ハバ 2:18

(例) イザ 44:19

(例) 王一 10:22

(例) ヨシ 3:10
ダニ 6:26

(例) ダニ 4:3
ハバ 1:12
啓 15:3

(例) ナホ 1:5

(例) イザ 2:18
エレ 51:17, 18
ゼバ 2:11

(例) 格 3:19
イザ 45:18

(例) 詩 136:3, 5
イザ 40:22
エレ 51:15, 16

あなたは畏^{おそ}れられるべき方^{かた}です。
国々^{くにぐに}の全^{すべ}ての賢^{かしこ}い者^{もの}たちの中^{なか}に
も、どの王国^{おうこく}にも、あなた^{かた}のよ
うな方^{だれ}は誰^{だれ}もいないからです。

8 彼^{かれ}らは皆^{みな}、愚^{おろ}かで分別^{ふんべつ}がない。
木^きが与^{あた}える教^{おし}えは全^{まった}くむなし。

9 銀^{ぎん}の板^{いた}がタルシシュ^{タルシシュ}から、金^{きん}がウ
ファズ^{ウファズ}から運^{はこ}ばれてくる。

職人^{しよくにん}や金属^{きんぞく}細^{さい}工^{こう}人がそれらで木^き
を覆^{おお}う。

偶像^{ぐうざう}の服^{ふく}は青糸^{あおいと}と紫^{むらさき}の羊毛^{ようもう}毛^{もう}で
きている。

偶像^{ぐうざう}は全^{すべ}て熟練^{じゆくれん}工^{こう}人^{にん}によつて作^{つく}
られた。

10 しかし、エホバは本^{ほん}当^{とう}に神^{かみ}で
ある。

生^いきている神^{かみ}、永^{えい}遠^{えん}の王^{おう}。

そ^{かた}の方^いの債^{きど}りによつて大^{だい}地^ちは
震^{ふる}え、

ど^{こくみん}の国民^{こくみん}もそ^{かた}の方^{かた}の糾^{きゆう}弾^{だん}に耐^た
えられない。

11 あなたたちは彼^{かれ}らにこう言^いうべき
である。

「天^{てん}も地^ちも造^{つく}らなかつた神^{かみ}々^{がみ}は、
地^ちからも天^{てん}の下^{した}からも滅^{ほろ}びる」。

12 神^{かみ}はご自^じ分^{ぶん}の力^{ちから}によつて地^ちを
造^{つく}った方^{かた}、

ご自^じ分^{ぶん}の知^ち恵^えによつて大^{だい}地^ちを据^す
えた方^{かた}、

ご自^じ分^{ぶん}の理^り解^{かい}によつて天^{てん}を広^{ひろ}げ
た方^{かた}。

10:8 *または、「全^{ぜん}く^くの偽^{いつはり}り」。 10:11 *11節は
アラム語で書かれた。

13 神が^{かみ}声^{こえ}を^{はつ}発すると、
 天の水が^{てん}騒^{みず}ぎ^{さわ}立^たつ。
 神は地の果てから雲を生じさ^{かみ}
 せる。^(イ)

稲妻を^{いなずま}放^{はな}つて雨を降らせる。^{あめ}
 ご自分の倉から風を送り出す。^(ウ)

14 全ての人は無分別で無知な行動^{すべ}
 を取る。^と

全ての金属細工人は彫刻像のせ^{すべ}
 いで恥をかく。^(ロ)

作^{つく}った金属像は偽りであり、
 命^{いのち}がないからである。^(ハ)

15 それらの像はむなしいものであ^{そら}
 り、あざけられる。^(ニ)
 処罰^{しよばつ}の日に滅びることになる。^{ほろ}

16 ヤコブの神はそのようなものでは^{かみ*}
 ない。

全てのものを造った方であり、
 イスラエルはその方の財産で^(ホ)
 ある。

その方^{かた}の名は、大軍を率いるエ^な
 ホバ。^(ヘ)

17 包圍^{ほうい}されている女よ、^{おんな*}
 あなたの荷物を拾い集めよ。

18 エホバはこう言う。^い
 「私は今、この土地から住民を放^{わたし}
 り出す。^{いま}
 彼らに苦難を味わわせる」。^{とち}
^{じゅうみん}
^{ほう}
^だ
^(イ)
^{かれ}
^{くなん}
^{あじ}

10:13 *または、「水蒸気」。^{*}もしかすると、「水路をつくって」。^{10:14} *または、「鑄造された像」。^{*}または、「息」。^{10:15} *または、「偽り」。^{10:16} *直訳、「分」。^{*}または、「その方が持つつえ」。^{10:17} *エルサレムのことと考えられる。

第10章

(イ) ヨブ 37:2
 ヨブ 38:34

(イ) ヨブ 36:27
 詩 135:7

(ウ) 創 8:1
 出 14:21
 民 11:31
 ヨナ 1:4

(ロ) イザ 42:17
 イザ 44:11

(ロ) エレ 51:17
 ハバ 2:18, 19

(ウ) イザ 41:29

(ホ) 申 32:9
 詩 135:4

(ウ) イザ 47:4

(ウ) 申 28:63
 エレ 16:13

第2欄

(イ) エレ 8:21

(イ) エレ 4:20

(ウ) エレ 31:15

(ロ) エレ 5:31

(ロ) エレ 2:8
 エレ 8:9

(ウ) エレ 23:1
 エゼ 34:5, 6

(ホ) エレ 1:15
 エレ 4:6
 エレ 6:22
 ハバ 1:6

(ウ) エレ 9:11

(ウ) 詩 17:5
 詩 37:23
 格 16:3
 格 20:24

(ロ) 詩 6:1
 詩 38:1

19 災い^{わざわ}だ！ 私は弱^{わたし}り果てた。^は^(イ)

私の傷は癒えない。

私は言った。「これは私が耐えな^{わたし}
 ければならない病だ」。^{やまい}

20 私の天幕は破壊され、天幕の綱^{わたし}
 は全て引きちぎられた。^(イ)

私の子たちは出ていって、もうい^{わたし}
 ない。^(ロ)

私の天幕を張ったり、天幕の布^{わたし}
 を広げたりする人は誰も残っ^{ひろ}
 ていない。^{ひと}^{だれ}^{のこ}

21 牧者たちは無分別に振る舞い、
 エホバに尋ねなかった。^(イ)
 そのため、洞察力をもって行動で^{どうさつりよく}
 きず、^{こうどう}

彼らの群れは全て散らされた」。^(ロ)

22 聞け！ 知らせだ！ 敵が来る！
 北の土地から、大きな地響きを
 立てながら。^(ロ)

ユダの町々を荒廃させ、ジャッカ
 ルのすみかとするために。^(ロ)

23 エホバ、私はよく知っています。
 人は自分の道を定めることがで^{わたし}
 きません。^{ひと}^{じぶん}^{みち*}^{さだ}

自分で自分の歩みを導くことが
 できないのです。^(ロ)

24 エホバ、私を裁き、正してくだ
 さい。

とはいえ、怒りのうちに正さない
 てください。^(ロ)

10:19 *または、「傷を負った」。^{10:23} *また
 は、「生き方」。

わたし のぞき しまわ ないよ
私が除き去られてしまわないよ
うに。

25 あなたを無視する国々に、

あなたの名を呼ぼうとしない

民に、

はげしい 怒りを浴びせてください。

かれ 彼らはヤコブを食い尽くしたか

らです。

食い尽くして根絶やしにし、

ヤコブの故郷を荒廃させました。

11 エホバがエレミヤに語り掛
けてこう言った。 2 「あなた
たちはこの契約の言葉を聞きなさい！

それをユダの人たちとエルサレムの
住民に告げ、 3 こう言いなさい。『イ
スラエルの神エホバはこう言ってい
る。「この契約の言葉に従わない人は
災いを受ける。 4 その言葉は、私が

あなたたちの父祖たちをエジプトから
落鋤炉の中から連れ出した日に、
彼らに命じたものである。私は言った。『私の声に従い、私が命じることを

すべておこな
う。』
わたし たみ わたし
あなたは私の民となり、私はあなたた
ちの神となる。 5 そして私は、あなた
たちの父祖たちに誓った、非常に肥沃
な土地を与えるという誓いを果たす。
その誓いは今も有効である』』。

私は答えた。「アーメン、エホバよ。」

6 エホバはさらに言った。「これら

11:2 *エレミヤへの指示と思われる。 11:5
*直訳、「乳と蜜が流れる地」。「または、「そうな
りますように」。

第10章

(例) エレ 30:11

(例) イザ 34:2

(例) エレ 51:34

(例) イザ 10:22

(例) 詩 79:6,7

エレ 8:16

哀 2:22

第11章

(例) 申 27:26

申 28:15

(例) 出 24:3

(例) 出 13:3

申 4:20

(例) レビ 26:3,12

(例) 創 15:18

出 3:8

レビ 20:24

申 6:3

第2欄

(例) エレ 7:13

エレ 25:4

エレ 35:15

(例) イザ 65:2

エレ 7:24,26

エゼ 20:8

ゼカ 7:11,12

(例) 裁 2:11,17

サー 8:8

王二 22:17

(例) 代二 28:22,23

(例) 申 31:16

王二 17:6,7

ホセ 6:7

(例) 王二 22:16

エレ 6:19

エゼ 7:5

(例) イザ 1:15

エレ 14:12

エゼ 8:18

ミカ 3:4

(例) 申 32:37,38

エレ 2:28

ことば すべて、ユダの町々とエルサレ
ムの通りで語りなさい。『この契約の
ことば 聞き じっこう わたし
言葉を聞いて、実行しなさい。 7 私
はあなたたちの父祖たちをエジプト
から連れ出した日に、厳重に訓戒し
た。『私の声に従いなさい』と繰り返
し訓戒し、今に至っている。 8 し
かし、彼らは聞かず、耳を傾けなかった。
頑固にも悪い心のままに歩み続けた。
彼らが私の命じたことを実行しようと
しなかったため、私はこの契約の言葉
通りの結果を彼らにもたらした』。

9 エホバはさらに言った。「ユダの
人たちとエルサレムの住民は、陰謀を
たくらんだ。 10 私の言葉に従おう
としなかった昔の父祖たちと同じ過
ちを犯した。やはりほかの神々に従
い、仕えたのである。イスラエル国民
とユダ国民は、私が彼らの父祖たち
と結んだ契約を破った。 11 それで
エホバはこう言う。『私は彼らに、逃
れることができない災いをもたらす。
彼らが助けを求めても、私は耳を傾け
ない。 12 ユダの町々とエルサレ
ムの住民は、自分たちが犠牲を捧げて
いる神々のもとに行き、助けを求め
る。しかし、それらの神々は災いの時に決
して彼らを救わない。 13 ユダよ、あ
なたの神々はあなたの町の数ほど多
くなった。あなたたちは恥ずべきもの
のために、エルサレムの通りの数ほど

11:7 *直訳、「早く起きては」。 11:12 *または、
「犠牲の煙を立ち上らせている」。 11:13 *また
は、「恥ずべき神」。

おおい さいだん つく ぎ せい
多くの祭壇を作った。バアルに犠牲を
ささ さいだん である
捧げるための祭壇である。』

14 あなたはこの民のために祈って
はならない。彼らのために声を上げ
たり、祈りを捧げたりしてはならない。
かれ わざわ わたし よ か
彼らが災いのゆえに私に呼び掛けて
も、私は聞かない。

わたし あい もの なん けん り
15 私の愛する者は何の権利があつ
て私の家にいるのか。

おお ひと わる じっこう
多くの人が悪いたくらみを実行

したというのに。

* わざわ ふ か とき
あなたに災いが降り掛かる時、
かれ せい にく #
彼らはそれを聖なる肉によつ
て回避できるだろうか。

とき
その時あなたは歓喜するだろ
うか。

16 エホバはかつてあなたを、生い
り げん ぎ よ
茂ったオリーブの木と呼んだ。
りっぱ み うつく き
立派な実がなる美しい木である。
おん とも かみ かのじょ ひ
ごう音と共に、神は彼女に火を
はな
放ち、
てき えだ お
敵たちは枝を折った。

17 あなたを植えた者、大軍を率い
るエホバは、あなたに災いが降り掛か
ることを宣言した。イスラエル国民と
ユダ国民が悪を行なったからである。彼
らはバアルに犠牲を捧げて私を怒ら
せた。』

18 エホバが知らせてくださったの
で、私は知りました。

11:14 *エレミヤのこと。 11:15 *ユダのこと。
神殿で捧げられる犠牲のこと。

第11章
(7) エレ 7:9,10

(4) エレ 7:16
エレ 14:11

(7) イザ 5:2
エレ 2:21

(24) エレ 19:5,15

第2欄
(7) エレ 18:18

(4) 代一 28:9
エレ 17:10
エレ 20:12

(7) エレ 1:1

(24) イザ 30:10
アモ 2:12
アモ 7:16

(7) 代二 36:17
哀 2:21

(7) エレ 18:21

(4) ヨシ 21:8,18

その時あなたは、彼らが何をして
いるか見せてくださいました。

19 私はほふられるために連れてい
かれる、おとなしい子羊のよう
でした。

かれ わたし たい
彼らが私に対してたくらんでいる
ことを知りませんでした。

き み いっしょ ほう
「木をその実と一緒に滅ぼそう。
かれ ちじょう のぞ さ
彼を地上から除き去ろう。
かれ な おも だ
彼の名がもう思い出されないよ

うに」。

20 しかし、大軍を率いるエホバは
ただ さば
正しく裁きます。

ひと おくそこ かんが * こころ しら (4)
人の奥底の考えと心を調べます。
あなたが彼らに復讐するのを見
てください。

わたし じ ぶん うった ぬだ
私は自分の訴えをあなたに委ね
ました。

21 エホバはアナトデの人たちに
たい かな かれ いのち うば
対して語る。彼らはあなたの命を奪お
うとしており、こう言う。「エホバの名
によって預言するな。さもないと、われ
われの手に掛かって死ぬことになる」。

22 それで、大軍を率いるエホバはこ
う言う。「私は彼らに責任を問う。若
もの つるぎ し (4) むすこ むすめ
者たちは剣によって死に、息子や娘た
ちは飢餓によって死ぬ。 23 そこに
のこ もの ひとり かれ せきにん
残る者は一人もいない。彼らが責任
を問われる年に、私はアナトデの人た
ちに災いをもたらすからだ」。

11:19 *または、「殺される」。 11:20 *または、
「奥底の感情」。直訳、「腎臓」。

12 エホバ、あなたは正しい方
です。

私があなたに訴えるときも、公正

についてあなたと話すときも。

しかし、邪悪な人たちが成功

を収めているのはどうしてで

すか。

不誠実な人たちが気楽に暮らし

ているのはどうしてですか。

2 あなたが彼らを植え、彼らは根
付きました。

彼らは成長し、実を結びました。

あなたについて話しますが、奥底

の考えはあなたから遠く離れ

ています。

3 エホバ、あなたは私をよくご存じ
で、私を見ておられます。

私の心を調べ、あなたと結び付

いていることを知っておられ

ます。

彼らを、ほふられる羊のように選

び出し、

殺す日のために取り分けてくだ

さい。

4 いつまでこの土地は干からびた

ままで、

どの野原の草木も枯れているの

でしょうか。

そこに住む人たちの悪い行いの

ために、

野獣や鳥は一扫されました。

第12章

(ア) 創 18:25

(イ) ヨブ 12:6

ヨブ 21:7

詩 73:3

エレ 5:28

(ウ) イザ 29:13

(エ) 詩 139:1,2

(オ) 王二 20:3

詩 17:3

エレ 11:20

(カ) エレ 14:6

エレ 23:10

第2欄

(ク) エレ 4:13

(コ) エレ 9:4

(カ) ルカ 13:35

(コ) 出 19:5

イザ 47:6

(カ) 哀 2:1

(カ) 王二 24:2

エゼ 16:37

(カ) イザ 56:9

エレ 7:33

「神は私たちの行く末を見ない」
と、彼らは言いました。

5 あなたは、人と走って疲れるの
なら、

どうして馬と競走できるだろうか。

平和な土地では安心していられ

るとしても、

ヨルダン川沿いのうっそうとした

茂みの中ではどうするのか。

6 あなたの兄弟たち、父の家の人
たちでさえ、

あなたに対して不誠実だった。

あなたに向かって怒鳴った。

彼らを信用してはならない。

たとえ良いことを言うとしても、

7 「私は、私の家を捨て、財産を捨
て去った。

深く愛する者を、彼女の敵の手

に渡した。

8 私の財産である彼女は、私にとっ
て森林のライオンのように

なった。

私に向かってほえたため、

私は彼女を憎むようになった。

9 私の財産である彼女は、私にとっ
て色とりどりの肉食の鳥のよ

うだ。

ほかの肉食の鳥に囲まれ、襲わ

れる。

全ての野獣よ、来い。集まれ。

食べに来い。

10 多くの羊飼いが私のブドウ園を
破壊し、

私の土地を踏み荒らした。

良い土地を荒野に変えてし

まった。

11 そこは荒れ地になり、干から
びた。

私の前で荒廃している。

土地全体が荒廃させられたが、

誰も気に留めない。

12 荒野のあらゆる踏みならされた
道を通して、滅ぼす者たちが
やって来た。

土地の端から端まで、エホバの
剣がむさばり食っている。

誰にも平和はない。

13 人々は小麦をまいたが、いばら
を刈り取った。

疲れ果てるまで働いたが、無駄

だった。

エホバの燃える怒りのために、

彼らは自分たちの産物を恥

じる。

14 エホバは邪悪な近隣の民全て
に対して語る。彼らは、私が私の民イ
スラエルに所有させた土地に手を出

している。「私は彼らを、彼らの土地か
ら引き抜く。また、ユダ国民を彼らの
中から引き抜く。15 しかし、彼らを
引き抜いた後、私は再び憐れみを示

12:11 *もしかすると、「嘆いている」。

第12章

(例) 詩 80:8

イザ 5:1,7

エレ 6:3

(例) イザ 63:18

エレ 3:19

(例) エレ 9:11

エレ 10:22

(例) イザ 42:24,25

(例) レビ 26:33

エレ 15:2

(例) レビ 26:16

ミカ 6:15

(例) 詩 79:4

エレ 48:26

エゼ 25:3

ゼカ 1:15

ゼカ 2:8

(例) エレ 48:2

エレ 49:2

第2欄

(例) イザ 60:12

し、彼らを各自の土地に、相続地に連
れ戻す。

16 「もし彼らが私の民の生き方を
確かに学ぶなら、また、バアルに懸け
て誓うことを私の民に教えたように、
『生きている神エホバに懸けて!』と私
の名に懸けて誓うようになるなら、彼
らは私の民の間で栄えることになる。

17 しかし、もし従おうとしないなら、
私はその国民を完全に引き抜いて滅
ぼす」と、エホバは宣言する。

13 エホバは私にこう言った。
「亜麻布の帯を買いに行っ
て、腰に締めなさい。それを水に浸し
てはならない」。2 それで私はエホ
バに言われた通り、帯を買って腰に締
めた。3 エホバが再び私に語り掛
けてこう言った。4 「あなたが買って
締めている帯を取り、立ってユーフラ
テス川に行き、大岩の裂け目に帯を隠
しなさい」。5 それで私はエホバに
命じられた通り、行ってユーフラテス
川のほとりに帯を隠した。

6 日がたってから、エホバは私に
言った。「立ってユーフラテス川に行
き、私がそこに隠すよう命じた帯を取
り出しなさい」。7 それで私はユー
ラテス川に行き、帯を隠した場所から
掘り出した。見ると、帯はぼろぼろで、
使い物にならなくなっていた。

8 エホバが私に語り掛けた。

9 「エホバはこう言う。『このように、私

はユダの誇りとエルサレムの甚だしい
誇りを打ち砕く。10 この悪い民は、
私の言葉に従おうとせず、頑固にも心
のままに歩み、ほかの神々に従い、そ
れらに仕えてひれ伏している。それで、
この使い物にならない帯のようにな
る。』11 エホバはこう宣言する。『人
が腰に帯を結ぶように、私はイスラエ
ル国民全体とユダ国民全体を私に結
び付けた。彼らが私の民、名誉、賛美、
美しいものとなるためだった。しかし、
彼らは従わなかった。』

12 彼らに次の言葉も伝えなさい。
『イスラエルの神エホバはこう言っ
ている。「大きなつばは全てぶどう酒で
満たされるべきである」。彼らはあ
なたにこう返答するだろう。『大きな
つばが全てぶどう酒で満たされるべき
ことを、私たちはすでに知っているでは
ないか』。13 それで彼らに言いな
さい。『エホバはこう言っている。『私は
この土地の全住民をすっかり酔わせ
る。ダビデの王座についている王たち
も、祭司や預言者たちも、エルサレム
の全ての住民も。14 そして、私は彼
らを、父も子も一緒に、ぶつけ合わせ
て砕く」と、エホバは宣言する。『私は
いたわらず、悲しまず、憐れみも示さ
ない。私が彼らを滅ぼすのを阻むもの
は何もない。』。

15 聞いて、注意を払いなさい。
傲慢であってはならない。
エホバが語ったからである。

第13章

(例) レビ 26:19
ゼバ 3:11

(例) 代二 36:15,16

(例) エレ 6:28

(例) 出 19:5
申 26:18
詩 135:4

(例) エレ 33:9

(例) エレ 6:17

(例) イザ 29:9
イザ 51:17
エレ 25:27

(例) エレ 6:21
エゼ 5:10

(例) エゼ 7:4
エゼ 24:14

第2欄

(例) イザ 59:9

(例) エレ 9:1

(例) 詩 100:3

(例) 王二 24:12
エレ 22:24,26

(例) 申 28:64

(例) エレ 6:22

(例) エゼ 34:8

16 あなたたちの神エホバをたたえ
なさい。

神が闇を生じさせる前に、また、
あなたがたが日暮れに山の上で
つまずく前に。

あなたたちは光を望むが、
神は深い陰を生じさせ、
それを濃い闇に変える。

17 もしあなたがたが聞こうとしない
なら、
私はあなたがたの誇りのゆえに
ひそかに泣く。

目から涙があふれ、多くの涙を
流す。

エホバの群れが捕らわれて連れ
去られたからだ。

18 王と太后にこう言いなさい。

『もっと低い場所に座りなさい。
あなたがたの美しい冠は頭から
落ちるからだ。』

19 南の町々は閉ざされ、開く者は
誰もいない。

ユダの人たちは皆、捕囚にされ、
ことごとく連れ去られた。

20 目を上げて、北からやって来る者
たちを見なさい。

あなたに与えられた群れ、美し
い羊はどこにいるのか。

21 処罰される時、あなたは何と言う
のか。

13:18 *または、「貴婦人」。13:19 *または、
「包囲され」。

はじめから親しい友情を育んで
た者たちに罰せられる時に。
あなたは出産する女性が味わう
ような苦しみに襲われるので
はないか。

22 あなたは心の中で、『どうして私
がこんな目に遭うのか』と言
うだろう。

あなたの大きな過ちのゆえに、あ
なたの服の裾は剥ぎ取られ、
あなたのかかととは手荒い扱いを
受けたのである。

23 クシュ人が肌の色を変えたり、
ヒョウが斑点を変えたりできるだ
ろうか。

もしできるなら、あなたたちも善
を行えるだろう。
悪を行うよう教え込まれてはい
ても。

24 私は彼らを、砂漠の風に吹き飛
ばされるわらのように散らす。

25 これがあなたに起きること、私が
あなたに与える分である」と、
エホバは宣言する。
「あなたが私を忘れて、偽りを信
じるからだ。

26 それで私は、あなたの服の裾を
顔の上までめくり上げ、
あなたの恥をさらす。

27 あなたの姦淫、情欲、みだらな
売春が見られることになる。

13:23 *または、「エチオピア人」。13:27 *直
訳、「いななき」。*または、「恥ずべき」。

第13章

(ア) イザ 39:1,2

(イ) エレ 6:24
ミカ 4:9

(ウ) エレ 5:19
エレ 16:10,11

(エ) エゼ 16:37

(オ) 格 27:22

(カ) レビ 26:33
申 28:64

(キ) エレ 2:32

(ク) 申 32:37,38
イザ 28:15
エレ 10:14

(コ) 哀 1:8
エゼ 16:37
エゼ 23:29

(コ) エレ 2:20
エゼ 16:15

第2欄

(ア) イザ 65:7
エゼ 6:13

(イ) エゼ 24:13

第14章

(ウ) 申 28:24

(エ) ヨエ 1:10

(カ) レビ 26:20
申 28:23

(キ) エレ 12:4
ヨエ 1:18

(ク) ヨシ 7:9
詩 25:11
詩 115:1,2

丘の上でも、野原でも、
私はあなたの極めて不快な振る
舞いを見た。

エルサレムよ、あなたには災い
がある！

いつまで汚れたままにいるのか。

14 干ばつについて、エホバが
エレミヤに語った言葉。

2 ユダは悲しみ、門は衰えた。

力なく地面に座り込み、
エルサレムから叫び声上がる。

3 主人たちは水を求めて召し使い
たちを遣わす。

召し使いたちは水ために行くが、
水はない。

彼らは空の器を持って戻る。

恥じて、失望し、頭を覆う。

4 土地に雨が降らないので地面は
ひび割れている。

そのため農業をする人たちは落
胆し、頭を覆う。

5 野の雌鹿でさえ、産んだばかり
の子を見捨てる。

草がないからである。

6 野ロバははげ山の上に立ち、
ジャッカルのように息を荒くする。

草木がないために目が衰える。

7 私たちの過ちは、私たちに不利
に働いていますが、

エホバ、あなたの名のために行
動してください。

14:3 *または、「小さな者」。*または、「溝」。

わたし ふちゅうじつ
私たちは不忠実なことをたくさん
行い、

あなたに対して罪を犯しました。

8 イスラエルの希望、苦難の時の

救い主よ、

なぜあなたはこの土地でよそ者

のように振る舞っているのですか。

なぜ一夜を過ごすただけに
立ち寄った旅人のようなので
すか。

9 なぜ、ぼうぜんとしている人、

力があるのに救うことができない
人のようなのですか。

エホバ、あなたは私たちの中に

おられ、

私たちはあなたの名で呼ばれて
います。

私たちを見捨てないでください。

10 この民についてエホバはこう言う。
「彼らはさまようことを好み、自分たちの足をとどめていない。それで、エホバは彼らのことを喜ばない。彼らの過ちを思い起こし、罪の責任を問う」。

11 エホバはさらに私に言った。「この民に良いことが起きるようにと祈ってはならない。12 彼らが断食をしても、私は彼らの嘆願に耳を傾けな

い。彼らが全焼の捧げ物や穀物の捧げ物を捧げても、私は喜ばない。剣と

第14章

〔イ〕エズ 9:6
ネヘ 9:33
ダニ 9:5,8

〔イ〕詩 106:8
詩 106:21
イザ 45:15

〔ヨ〕出 29:45
申 23:14

〔ヨ〕ダニ 9:19

〔ヨ〕エレ 2:23

〔ヨ〕エレ 2:25

〔ヨ〕エレ 6:20

〔ヨ〕ホセ 8:13

〔ヨ〕エレ 7:16
エレ 11:14

〔ヨ〕イザ 1:15
イザ 58:3
エレ 11:11
エゼ 8:18

〔ヨ〕イザ 1:11

第2欄

〔ヨ〕エレ 9:16
エゼ 5:12

〔イ〕エレ 4:10
エレ 5:31
エレ 6:13,14
エレ 23:16,17
エレ 27:8-10
エゼ 13:10
ミカ 3:11

〔ヨ〕エレ 23:25,26
エレ 29:21

〔ヨ〕エレ 23:21
エレ 27:15

〔ヨ〕哀 2:14

〔ヨ〕エレ 5:12,13
エレ 23:15
エゼ 12:24
エゼ 13:9

〔ヨ〕詩 79:2,3
エレ 9:22

〔ヨ〕エレ 4:18

〔ヨ〕エレ 8:18,21
エレ 9:1

〔ヨ〕哀 1:15

き が えきびょう* かれ ほろ 〔イ〕
飢餓と疫病によって彼らを滅ぼす」。

13 それで私は言った。「ああ、主権者である主エホバ! 預言者たちは彼

らにこう告げています。『あなたたちは剣を見ず、飢餓に見舞われない。私はこの場所であなたたちに真の平和を与える』。

14 すると、エホバは言った。「預言者たちは私の名によって偽りの預言をしている。私は彼らを遣わしておらず、彼らに命じても語ってもいない。彼らがあなたたちに預言しているのは、偽りの幻、無価値な占い、自分たちの心のたくらみである。15 それで、私が遣わしていないのに、私の名によって預言し、この土地は剣にも飢餓にも襲

われないと言っている預言者たちについて、エホバはこう言う。『その預言者たちは剣と飢餓によって滅びる。』

16 そして、彼らの預言を聞いている民は、飢餓と剣のためにエルサレムのとおほほうだ おotto つまむ むすこ 通りに放り出される。夫も妻も、息子も娘も、誰にも葬られない。私は彼らに見合った災いをもたらず』。

17 あなたは彼らにこう言わなければならない。

『私の目から昼も夜も涙があふれ
るまになれ。』

私の処女である民は、完全に打ち碎かれ、

非常に重い傷を負ったからだ。

14:12 *または、「病氣」。14:14 *または、「欺き」。14:17 *直訳、「民の娘」。

18 私^{わたし}が野原^{の ばら}に行^いって見^みると、
 剣^{つるぎ}で殺^{ころ}された人^{ひと}たちがいる！
 町^{まち}に入^{はい}っていくと、
 飢^き餓^がで弱^{よわ}っている人^{ひと}たちがいる！
 預言者^{よげんしゃ}も祭司^{さいし}も見知^{みし}らぬ土地^{とち}を
 さまよっている』。

19 あなたはユダ^{かんぜん}を完全^{しりぞ}に退^のけたの
 ですか。
 シオン^{しやうおん}を憎^{にく}悪^{にく}したのですか。
 私^{わたし}たちを打ち^うち、癒^いやされないよう
 にした^{した}のはどうしてですか。
 平和^{へい}を待ち望^まんでいたのに、良^よ
 いものは来^きませんでした。
 癒^いやしの時^{とき}を待ち望^まんでいたの
 に、恐怖^{きようふ}が来^きました！

20 エホバ、私^{わたし}たちは、自分^{じぶん}たちの
 邪惡^{じゃあく}さと、

父祖^{ふそ}たちの過^{あやま}ちを認^{みと}めます。

あなたにたいして罪^{つみ}を犯^{おか}しました。

21 あなたの名^なのために、私^{わたし}たちを
 退^{しりぞ}けないでください。

あなた^{えいこう}の栄光^{おうこう}の王座^{かうざ}を軽^{かろ}んじな
 いでください。

私^{わたし}たちとの契約^{けいやく}を覚^{おぼ}えていて、破^{やぶ}
 らないでください。

22 国^{くに}々の無価^{むか}値^ちな偶^{ぐう}像^{ざう}が、雨^{あめ}を降^ふ
 らせてくれるでしょうか。
 天^{てん}が自^{みづか}ら雨^{あめ}を降^ふらすことができる

でしょうか。

私^{わたし}たちの神^{かみ}エホバ、それができ
 るのはあなただけではありま
 せんか。

第14章

(ア) エゼ 7:15

(イ) 哀 5:10

(ウ) 申 28:36

(エ) エレ 12:8
哀 5:22

(オ) 代二 36:15,16

(カ) エレ 8:15

(キ) エズ 9:7
ダニ 9:5,8

(ク) エゼ 36:22
ダニ 9:15

(ケ) 出 32:13
レビ 26:41,42
詩 106:43-45

(コ) 申 28:12
イザ 30:23
ヨエ 2:23

第2欄

第15章

(ア) 出 32:11
サー 7:9
詩 99:6
詩 106:23

(イ) エゼ 5:2

(ウ) エゼ 12:11

(エ) エゼ 14:21

(オ) 申 28:26
エレ 7:33

(カ) 申 28:15,25
エレ 24:9
エゼ 23:46

(キ) 王二 21:11
王二 23:26
王二 24:3,4

私^{わたし}たちは希望^{きぼう}を抱^{いだ}いてあなたを
 待ちます。

あなただけがこれら全てを行^{すべ}わ
 れるからです。

15 エホバは私^{わたし}に言^いった。「たと
 えモーセとサムエルが私^{わたし}の

前^{まえ}に立^たっていたとしても、私^{わたし}がこの民^{たみ}
 に情^{なさ}けを掛^かけることはない。彼^{かれ}らを
 私^{わたし}の前^{まえ}から追^おい払い、去^さらせなさい。

2 もし彼^{かれ}らがあなたに、『どこに行^いけ
 ばいいのか』と言うなら、彼^{かれ}らに言^いい
 なさい。『エホバはこう言^いっている。

「死^しに至^{いた}る病^{びよう}気^きにかか^かる人^{ひと}は、死^し
 に至^{いた}る病^{びよう}気^きに！

剣^{つるぎ}によって倒^{たお}れる人^{ひと}は、剣^{つるぎ}に！

飢^うえに苦^{くる}しむ人^{ひと}は、飢^うえに！

捕^{ほしゅう}囚^いにされ^される人^{ひと}は、捕^{ほしゅう}囚^いに！』

3 エホバはこう宣^{せん}言^{げん}する。『私^{わたし}は
 彼^{かれ}らが4つの災^{わざわい}いに襲^{おそ}われるように
 する。人^{ひと}を殺^{ころ}す剣^{つるぎ}、引^ひきずっていく犬^{いぬ}、
 むさぼり食^くって滅^{ほろ}ぼす鳥^{とり}と野獸^{やじゅう}であ
 る。4 そして私^{わたし}は、地^ち上の全^{ぜん}ての王^{おう}
 国^{こく}が彼^{かれ}らについて見^み聞^ききして恐^{きよう}怖^ふを
 抱^{いだ}くようにする。ユダ^{うだ}の王^{おう}、ヒゼキヤの
 子^こマナセがエルサレムで行^{おこな}ったことの
 ためである。

5 エルサレムよ、誰^{だれ}があなたを思^{おも}
 いやるだろうか。

誰^{だれ}があなたに同^{どう}情^{じよう}するだろうか。

誰^{だれ}があなた^{あん}の安^あ否^ひを尋^{たず}ねるため
 に立^たち寄^よるだろうか。

15:3 *もしかすると、「4種類の処罰を受ける」。

6 エホバはこう宣言する。

『あなたは私から離れ去った。

あなたは私に背を向け続ける。

それで、私はあなたに向かって

手を伸ばし、滅ぼす。

哀れに思うことに疲れた。

7 私はこの土地の門の所で、人々

をフォークで散らす。

彼らから子供を奪う。

私は私の民を滅ぼす。

彼らが生き方を改めようとしな

いからだ。

8 彼らの中のやもめは私の前で海

の砂よりも多くなる。

私は、滅ぼす者を真昼に彼らの

もとに送り、母親も若者も襲わ

せる。

彼らが突然、動揺と恐怖に見舞

われるようにする。

9 7人の子を産んだ女は衰えた。

息も絶え絶えになっている。

彼女の太陽は昼間のうちに

沈み、

恥と屈辱をもたらした。』

『彼らのうち、わずかに残ってい

る人たちを、

私は敵の前で剣で討つ』と、エ

ホバは宣言する。

10 母よ、あなたが私を産んだことは

災いでした。

15:6 *もしかすると、「後ろ向きに歩き続ける」。
#または、「悔やむ」。 15:7 *脱殻したものを放り上げ、もみ殻を風で吹き分ける作業を指している。 15:9 *もしかすると、「恥じて当惑した」。

第15章

(ア) エレ 2:13

(イ) イザ 1:4

(ウ) ゼバ 1:4

(エ) 申 28:15, 18

エレ 9:21

エゼ 24:21

(オ) エレ 5:3

(カ) エレ 44:27

エゼ 5:12

(キ) エレ 20:14

第2欄

(ク) エレ 20:5

(ケ) レビ 26:38

エレ 16:13

(コ) 申 32:22

イザ 42:24, 25

エレ 17:4

(ク) エレ 11:20

エレ 12:3

エレ 17:18

エレ 37:15

くにじゅう ひと た わたし あらそ てき
国中の人が絶えず私と争い、敵

対しています。

私はお金を貸すことも借りること

もしていないのに、

皆が私に災いがあることを願

います。

11 エホバは言った。

「私は必ずあなたを助ける。

災いの時に必ずあなたのために

仲裁し、

苦難の時に敵に立ち向かう。

12 人は鉄を粉々に砕けるだろうか。

北からの鉄、また銅をも。

13 私は、あなたの資産や財宝が買

われるのではなく、略奪される

ようにする。

あなたが領土の全域で犯した、

あらゆる罪のためである。

14 私はそれらをあなたの敵に渡し、

あなたの知らない土地へ持って

いかせる。

私の怒りによって火が燃え立ち、

あなたたちに向かって燃え上

がっている。

15 エホバ、あなたはご存じです。

私を思い出して、注意を向けてく

ださい。

私は迫害する者たちに復讐してく

ださい。

あなたが怒りを抑えるゆえに私

15:13 * ユダ国民のことと思われる。

が死んでしまう、ということが
ありませんように。

私があなたのために非難に耐え
ていることを知ってください。

16 私はあなたの言葉を受け、それ
を食べました。

あなたの言葉によって私の心は
喜びにあふれました。

大軍を率いる神エホバ、私はあ
なたの名で呼ばれています。

17 私は浮かれ騒ぐ人たちと一緒に
座って楽しむことはしません。

あなたが手を置いてくださったの
で、独りで座ります。

あなたは私を 憤りで満たしま
した。

18 なぜ私の痛みは長引き、傷は治
らないのでしょうか。

どうしても癒えません。
あなたは私にとって、信頼できな
いもの、

当てにならない水源のようになら
れるのですか。

19 エホバはこう言う。

「あなたが戻ってくるなら、私は
あなたを回復させ、

私の前に立たせる。
貴重なものや無価値なものから

取り分けるなら、

あなたは私の代弁者になる。

第15章

(例) 詩 69:7

(例) エゼ 3:1-3
啓 10:9,10

(例) 詩 1:1

(例) エレ 20:8

第2欄

(例) エレ 1:18
エゼ 3:9

(例) エレ 20:11

第16章

(例) エレ 15:2

(例) 詩 79:2,3
イザ 5:25
エレ 7:33
エレ 9:22
エレ 36:30

人々はあなたの方に向き直らな
ければならず、
あなたが彼らの方に向き直るこ
とはない」。

20 エホバはこう宣言する。

「私はこの民に対してあなたを強
固な銅の城壁とする。

彼らは必ずあなたと戦うが、
あなたに勝つことはない。

私があなたと共にいて、あなた
を救い、助け出す。

21 私はあなたを邪悪な人たちの手
から助け出し、
冷酷な人たちの手から救い
出す」。

16 エホバが再び私に語り掛け
てこう言った。 2 「あなたは

妻を迎えてはならない。この場所で
息子や娘を持つてはならない。 3 こ
こで生まれる息子や娘について、また
この土地で子供を産む母親や、子供

をもうける父親について、エホバはこ
う言う。 4 『彼らは死に至る病氣に
よって死ぬが、誰にも悲しまれず、葬ら
れもしない。地面にまかれた肥やしの
ようになる。彼らは剣と飢餓によって
滅び、死体は鳥や野獣に食べられる』。

5 エホバはこう言う。

『葬儀をしている家に入ってはな
らない。

15:21 *直訳、「買い戻す」。 16:5 *または、
「喪に服す人たちが会食を」。

15:15 *直訳、「私を取り去る」。 15:17 *また
は、「糾弾の言葉」。 15:19 *直訳、「私の口
のよう」。

(例) エゼ 5:12

なげ どうじょう
嘆いたり同情したりするために
い (ワ)
行つてはならない。』

せんげん
エホバはこう宣言する。

わたし たみ へい わ と
『私はこの民から平和を取り
さ
去った。』

ゆ あい あわ しめ
揺るぎない愛や憐れみを示すこ
ともない。(ワ)

み ぶん たか ひと ひく ひと と
6 身分の高い人も低い人もこの土
ち し
地で死ぬ。

かれ ほうむ だれ かな
彼らは葬られず、誰にも悲しまれ
ない。

だれひとり かれ じ ぶん からだ
誰一人、彼らのために自分の体
にき きず つ
に切り傷を付けたり、

かみ け お *

髪を毛をそり落としたりしない。

も ふく ひと なぐさ
7 喪に服す人たちを慰めようと、

かれ た もの あた もの
彼らに食べ物を与える者はい

ない。
ち はは し かな の
父や母の死を悲しんで飲むた

め、
なぐさ さかづき さ だ もの
慰めの杯を差し出す者もない。

えんかい いえ はい
8 宴会をしている家に入ってもなら

ない。
ひとびと いっしょ すわ た の
人々と一緒に座って食べたり飲

んだりすべきではない。』

9 イスラエルの神、大軍を率いるエ
ホバはこう言う。『わたし、この場所で、
ま * め まえ かん き
間もなくあなたたちの目の前で、歓喜
しゅくふく こえ はなむこ はなよめ こえ
や祝福の声、花婿や花嫁の声がもは
き
や聞かれぬようにする。』

16:6 * 悲しみを表す異教の習慣。背教したイス
ラエルで行われていたと思われる。 16:9 * 直
訳、「あなたたちの日々」。

第16章
(ワ) エゼ 24:16,17

(イ) 申 31:17
イザ 27:11
イザ 63:10

(ワ) イザ 24:7,8
エレ 7:34
啓 18:23

第2欄
(ワ) エレ 5:19

(イ) 裁 2:12

(ワ) エレ 8:1,2

(ヨ) ダニ 9:11
アモ 2:4

(ヨ) エレ 7:26

(ヨ) ネハ 9:29
エレ 6:28

(ヨ) 代二 7:20
エレ 15:14
エレ 17:4

(ヨ) 申 4:27,28
申 28:36

(ヨ) 出 20:2
エレ 23:7,8

(ヨ) 申 30:1-3
エレ 3:18
エレ 24:6
エレ 30:3
エレ 32:37
アモ 9:14

10 あなたがこの民にこれらの言
ば すべ つ かれ たず
葉を全て告げると、彼らはこう尋ねる
だろう。『なぜエホバは私たちにこう
お お わざわ い
した大きな災いをもたらすと言うの
わたし かみ たい わたし
か。私たちの神エホバに対して、私
たちはどんな過ちや罪を犯したのか。』

11 あなたはこう返答しなければなら
ない。『エホバはこう宣言している。

「あなたたちの父祖たちが私を捨てた
からである。ほかの神々に従い、仕
え、ひれ伏し続けた。彼らは私を捨て、
わたし りっぼう まも (ヨ)
私の律法を守らなかった。 12 そ

してあなたたちは、父祖たちよりもは
るかに悪いことを行つた。私に従わず、
それぞれが頑固で悪い心のままに歩
んでいる。 13 それで、私はあなたた

ちをこの土地から放り出し、あなたた
ちも父祖たちも知らなかった土地に行
かせる。あなたたちはそこで昼も夜も

ほかの神々に仕えなければならない。
わたし なさ か
私はあなたたちに情けを掛けないか
らである。』

14 エホバはこう宣言する。『しか
ひとびと
し、人々がもはや、イスラエルの民を

エジプトから連れ出した、生きている
かみ か ちか い
神エホバに懸けて誓う!』とは言わな
くなる時が来る。 15 人々は、「イス

ラエルの民を北の土地や他の土地に
追いやつた後、その全ての土地から連
れ出した、生きている神エホバに懸け

て誓う!』と言うようになる。私は彼ら
を、彼らの土地に、父祖たちに与えた
ちか い わたし かれ
土地に連れ戻す。』

16 エホバはこう宣言する。

『私は多くの漁師を呼び集め、
彼らは人々を捕らえる。

その後、私は多くの狩人を呼び
集め、

彼らは人々を狩り出す。

全ての山や丘で、また大岩の裂
け目から。

17 私は人々の行いを全て見ている。

彼らは私から隠れることはでき
ない。

彼らの過ちが私の目を逃れるこ
ともない。

18 私はまず、彼らの過ちと罪に対し
て十分に返報する。

彼らが、命のない汚らしい偶
像で私の土地を汚し、

私の所有地を忘まわしいもので
満たしたからだ』。

19 エホバ、あなたは私の力、私の
とりで、

苦難の日に私が逃げ込む場所
です。

人々が地の果てからあなたのも
とに来て、こう言うでしょう。

「私たちの父祖たちが手にした

のは、
全くの偽り、むなしくて何の役に
も立たないものでした」。

20 人が神々を作ることなどできるだ
ろうか。

それらは実際には神ではない。

第16章

(ア) イザ 40:2

(イ) レビ 26:30
詩 106:38

(ウ) エレ 17:17

(エ) エレ 10:5,14

(オ) 詩 115:4
エレ 2:11
コエ 8:4

第2欄

第17章

(ア) 裁 3:7
代二 24:18
代二 33:1,3

(イ) イザ 1:29
エゼ 6:13

(ウ) 王二 24:11,13
エレ 15:13

(エ) レビ 26:30
エゼ 6:3

(オ) 哀 5:2

(ウ) 申 28:48
エレ 16:13

(イ) イザ 5:25
エレ 15:14

(ウ) イザ 30:1,2

21 「それで、私は人々に知らせる。
今度こそ、私の力と強さを知ら
せる。

彼らは私の名がエホバであるこ
とを知らなければならなく
なる」。

17 「ユダの罪は、鉄の筆記具で
書き記されている。

ダイヤモンドの先端で、
彼らの心と、祭壇の角に刻まれ
ている。

2 彼らの子孫は、祭壇や聖木を覚
えている。

生い茂った木のそば、高い丘
の上、

3 田舎の山の上にあったものを。
私は、あなたの資産、全ての財
宝、高い場所が略奪されるよ
うにする。

あなたが領土の全域で犯した罪
のために。

4 私が与えた土地を、あなたは自
分のせいであらう。

私は、あなたが知らない土地で
敵に仕えるようにする。

あなたたちが私の怒りを火のよ
うに燃え立たせたからだ。

それはいつまでも燃える」。

5 エホバはこう言う。
「単なる人に頼り、

17:1 *または、「尖筆」。17:2 *用語集参照。

17:4 *もしかすると、「あなたたちは私の怒りに
よって火のように燃え立たした」。

にんげん ちから あ *⁽⁷⁾

人間の力を当てにし、

こころ 心がエホバから離れていく人は、
わざわ 災いを受ける。

6 その人は砂漠にばつんと立つ木
のようになる。

よいものを見ることはなく、
こうや 荒野の乾き切った場所に住む。
だれ 誰も住めない不毛な土地に。

7 エホバに頼る人、
エホバを信頼する人は祝福さ
れる。

8 その人は水辺に植えられた木の
ようになる。
なが 流れに向かって根を伸ばす木の
ように。

あつ 暑さが来ても気にせず、
つね 常に葉が青々と茂る。
かん 干ばつの年にも心配せず、
み 実を結ぶのをやめない。

9 心はほかのどんなものよりも信
用でえず、必死になる。

だれ 誰がこれを知り得るだろうか。

10 私エホバは、心を探り、
おくそこ 奥底の考えを調べている。
ひとりひとり 一人一人に、生き方に応じて、
おこな 行ったことに応じて報いるた
めに。

11 不当なやり方で富を得る人は、

17:5 *直訳、「肉を自分の腕とし」。17:5, 7
*または、「強い人」。17:6 *直訳、「塩の」。
17:9 *または、「欺きに満ち」。「もしかすると、
「直しようがない」。17:10 *または、「奥底の感
情」。直訳、「腎臓」。

第17章

(7) 王二 16:7

(4) 詩 34:8
詩 146:5
イザ 26:3

(2) 詩 1:3
詩 92:12,13

(2) 創 6:5
創 8:21
格 28:26

(2) サ一 16:7
代一 28:9
格 17:3
格 21:2

(2) ロマ 2:6
ガラ 6:7
啓 2:23
啓 22:12

(2) 格 28:20
イザ 1:23
ヤコ 5:4

第2欄

(7) 代二 2:5
イザ 6:1

(4) 詩 73:27
イザ 1:28

(2) エレ 2:13
啓 22:1

(2) エレ 15:20

(2) イザ 5:19
ペニ 3:4

う 産んでいない卵を集めるシャコ
のようだ。

じんせい 人生の半ばに富が去っていき、
けつぎよく 結局、分別がないことが明らか
になる。

12 初めから高い所にある、栄光の
王座、

それが私たちの聖なる所である。

13 イスラエルの希望であるエホバ、
あなたを捨てる人は皆、恥をかき
ます。

はいきよう 背教してあなたから離れる人た
ちは、土に書かれた文字のよ
うに消え去ります。

い 生きた水の源であるエホバを捨
てたからです。

14 エホバ、癒やしてください。

そうすれば私は癒やされます。

すく 救ってください。

そうすれば私は救われます。

あなたこそ私が賛美する方です。

15 ある人たちは私にこう言います。

「エホバの言葉はどこにある
のか。

どうかそれを実現させてほしい。」

16 しかし、私は牧者としてあなたに
従うことから逃げず、

さいなん 災難の日を待ち望むこともしませ
んでした。

17:11 *キジ科の鳥。17:12 *または、「たたえ
られてきた」。17:13 *直訳、「私」。エホバを指
すと思われる。

あなたは私が話したこと全てをよ
くご存じます。

それは皆あなたの目の前で起き
ました。

17 私をおびえさせないでください。
あなたは災いの日に私の避難所
となってくださいます。

18 私を迫害する人たちが恥をかき、
私は恥をかきませんように。
彼らが恐怖に襲われ、
私は恐怖に襲われませんように。
彼らに災いの日を味わわせ、
打ち砕いて完全に滅ぼしてくだ
さい。

19 エホバは私にこう言った。
「行って、ユダの王たちが出入りする、
民の子たちの門、またエルサレムの全
ての門の所に立ちなさい。20 こう
言わなければならない。『これらの門
を通して入る、ユダの王たち、ユダの
全ての人たち、エルサレムの全住民よ、
エホバの言葉を聞きなさい。21 エ
ホバはこう言っている。『気を付けな
さい。安息日に荷物を運んではなら
ず、エルサレムの門を通して持ち込ん
ではならない。22 安息日にどんな
荷物も家から持ち出してはならず、仕
事を一切してはならない。私があなた
たちの父祖たちに命じた通り、安息日
を神聖な日としなさい。23 父祖た
ちは聞かず、耳を傾けなかった。従う

17:18 *または、「2回」。

第17章

(例) エレ 15:15
エレ 20:11

(例) エレ 18:23

(例) エレ 7:2

(例) ネヘ 13:19

(例) 出 20:9,10
レビ 23:3

(例) 出 31:13

第2欄

(例) イザ 48:4
エゼ 20:13

(例) 申 5:12-14

(例) 詩 132:11

(例) エレ 22:4

(例) エレ 32:44

(例) エレ 33:13

(例) レビ 1:3

(例) エズ 3:3

(例) レビ 2:1,2

(例) 詩 107:22
詩 116:17
エレ 33:10,11

(例) 王二 25:9,10
エレ 39:8

(例) 王二 22:16,17
哀 4:11

第18章

(例) エレ 19:1

ことも矯正を受け入れることも、かたく
に拒んだ』。

24 『エホバはこう宣言する。『もし
あなたが私にしっかり従い、安息
日にこの都市の門を通して荷物を持
ち込むことをせず、仕事を一切しない
ことによって安息日を神聖な日とする
なら、25 ダビデの王座につく王や
高官たちが、兵車や馬に乗って、この
都市の門を通して入る。王や高官た
ち、ユダの人たちとエルサレムの住民
はい。そしてこの都市にはいつまで
も人が住む。26 ユダの町々、エル
サレムの周辺、ベニヤミンの土地、低
地、山地、ネゲブから人々がやって来
て、全焼の捧げ物、犠牲、穀物の捧げ
物、乳香、感謝の犠牲をエホバの家
に持ってくる。』

27 しかし、もしあなたが私に
従わず、安息日を神聖な日とせず、安
息日に荷物を運んでエルサレムの門
を通して持ち込むなら、私はその門に
火を放つ。火は必ずエルサレムの防
備された塔を焼き尽くし、消されるこ
とはない』。

18 エホバがエレミヤに語り掛
けてこう言った。2 「立つ
て、陶芸家の家に行きなさい。そこで
あなたに私の言葉を聞かせる。』

3 私が陶芸家の家に行くと、陶芸
家はろくろを回していた。4 ところ
が、粘土で作っていたその器は出来が

17:26 *または、「南」。

悪^{わる}かった^たので、陶芸^{とうげい}家はそれ^{それ}を別^{べつ}の器^{うつわ}に作り直し^{つく}、思い通り^{おも}の形^{かたち}にした。

5 すると、エホバが私^{わたし}に語り掛^{かた}けてこう言^いった。6 「エホバはこう宣^{せん}言^{げん}する。『イスラエル国民^{こくみん}よ、私^{わたし}はこの陶芸^{とうげい}家^かがした通り^{とお}のことをあなた^{おこな}たちに行^いえないだろう^か。イスラエル国民^{こくみん}よ、あなた^{あなた}たちは、陶芸^{とうげい}家^かの手^ての中^{なか}にある粘^{ねん}土^どのように私^{わたし}の手^ての中^{なか}にある。7 私^{わたし}がある国民^{こくみん}または王国^{おうこく}を引き抜^ひき、打ち壊^{こわ}し、滅^{ほろ}ぼすことについて語^{かた}ったとし^して、8 その国民^{こくみん}が、私^{わたし}が非難^{ひなん}した悪^{わる}い行^いいをやめた場合^{おこな}、私^{わたし}もその国民^{こくみん}にもたらそうとしていた災^{わざ}いについて思^{おも}い直^{なお}す。9 しかし、私^{わたし}がある国民^{こくみん}または王国^{おうこく}を建てて植^うえることについて語^{かた}ったもの、10 その国民^{こくみん}が私^{わたし}から見て悪^{わる}いことを行^いい、私^{わたし}の声^{こえ}に従^{したが}わない場合^あい、私^{わたし}はその国民^{こくみん}のために思^{おも}い直^{なお}す。』」。

11 どうか、ユダの人^{ひと}たちとエルサレム^{じやうみん}の住^い民^{みん}に言^いってほしい。『エホバはこう言^いっている。『私^{わたし}は災^{わざ}いをもたらそうとしており、あなた^{あなた}たちに対して策^{さく}を巡^{めぐ}らしている。どうか、悪^{わる}い行^いいをやめ、生^いき方^{かた}や習^{しゅう}慣^{かん}を改^{あらた}めてほしい。』』。

12 しかし、彼^{かれ}らは言^いった。「それは無理^{むり}だ！ われわれは自^じ分の考^{かん}えに思^{おも}いがあつたが、^あゆむ、それぞれ^{それぞれ}が頑^{がん}固^こで悪^{わる}い心^{こころ}のままに行動^{こうどう}する」。

13 それで、エホバはこう言^いう。

18:8, 10 *または、「悔^いやむ」。

第18章

(例) ロマ 9:20,21

(例) エレ 1:10
エレ 12:14
エレ 25:9
エレ 45:4

(例) 王 8:33,34
詩 106:45
エレ 7:3
エレ 26:3
エゼ 18:21
ヨエ 2:13
ヨナ 3:5,10

(例) イザ 1:16
エゼ 18:23

(例) エレ 2:25

(例) 申 29:19,20
エレ 7:24

第2欄

(例) エレ 2:13

(例) エレ 2:19
エレ 3:21

(例) エレ 10:14,15

(例) エレ 6:16

(例) レビ 26:33
エゼ 6:14

(例) 王 1:9
エレ 19:8
哀 2:15
ミカ 6:16

(例) 申 28:37

(例) 申 31:17

(例) エレ 11:19

「どうか、国^{くに}々^{ぐに}の中^{なか}で尋^{たず}ねてみてほしい。

このようなこと^{こと}を聞^きいたことがあ^あるだろう^か。

イスラエル^{イスラエル}の乙女^{おとめ}はおぞま^{おぞま}しいこ^ことを行^いった。

14 レバノンの雪^{ゆき}が山腹^{さんぷく}の岩^{いわ}々^わから消^きえさるだろう^か。

遠^{とお}くから流^{なが}れてくる冷^{つめ}たい水^{みず}が干^ひ上がるだろう^か。

15 それなのに、私^{わたし}の民^{たみ}は私^{わたし}を忘^{わす}れた。

彼^{かれ}らは無^む価^か値^ちなものに犠^ぎ牲^{せい}を捧^{ささ}げ、^捧捧^捧げ、

昔^{むかし}からの道^{みち}を歩^{あゆ}む人^{ひと}たちをつま^{つま}ずかせて、

平^{たい}らではない裏^{うら}道^{みち}を歩^{ある}かせる。

16 そのため、人^{ひと}々^{びと}は彼^{かれ}らの土^{とち}地^ちをみ^みて恐^{きょう}怖^ふを感じ^{かん}じ、

いつまでもそ^むこに向^むかっ^て口^{くち}笛^{ふえ}を吹^ふく。

通^{とお}り掛^かかる人^{ひと}は一^{ひと}人^{ひと}残^{のこ}らず恐^{きょう}怖^ふを抱^{いだ}いて見^みつめ、頭^{あたま}を振^ふる。

17 私^{わたし}は東^{ひがし}風^{かぜ}のよう^{よう}に、民^{たみ}を敵^{てき}の前^{まえ}に散^まらす。

災^{さい}難^{なん}の日^ひに、私^{わたし}は彼^{かれ}らに顔^{かお}では^はなく背^せを向^むける」。

18 彼^{かれ}らは言^いった。「エレミヤ^{たい}に対^{たい}して策^{さく}略^{りやく}を練^ねろう。祭^{さい}司^しから律^{りつ}法^{ぽう}が、賢^{けん}人^{じん}から助^{じょ}言^{げん}が、預^よ言^{げん}者^{しゃ}から言^{こと}葉^はが

18:15 *または、「のために犠^ぎ牲^{せい}の煙^{えん}を立^たち上^あらせ」。
*または、「整備^{せいび}されてい^{ない}ない」。
18:18 *または、「指示^し示^し」。

うしな 失われることはない。エレミヤを非難
 * かれ い いっさいちゅうい ほら
 し、彼の言うことに一切注意を払わない
 ようにしよう。

19 エホバ、私に注意を払い、
 わたし はんたいしや い
 私の反対者たちが言っているこ
 とを聞いてください。

20 善に対して悪が返されてよいで
 しょうか。
 かれ わたし いのち うば あな ほ
 彼らは私の命を奪おうと穴を掘
 りました。

わたし まえ た かれ
 私があなたの前に立って、彼ら
 について良いことを語り、
 あなたの憤りを静めようとしたこ
 とを思い起こしてください。

21 彼らの子たちが飢餓で苦しみ、
 かれ こ きが くる
 彼らが剣によって倒れるようにし
 てください。
 つま こども な
 妻たちが子供を亡くし、やもめにな
 りますように。

おとこ し いた びょうき いのち お
 男たちは死に至る病気で命を落
 とし、
 わかもの たたか さい つるぎ う
 若者たちは戦いの際に剣で討た
 れますように。

22 あなたが略奪者たちに彼らを突
 りやくだつしゃ かれ とつ
 然襲わせる時、
 ぜんおそ と き
 彼らの家から叫び声が聞こえま
 すように。

かれ わたし つか あな
 彼らは私を捕まえようと穴を
 ほ
 掘り、
 わたし あし と し か
 私の足を捕らえるわなを仕掛け
 たのです。

18:18 *直訳、「舌で打ち」。

第18章
 (例) 詩 35:7

(例) エレ 12:3

(例) 哀 5:3

(例) 代二 36:17

(例) 詩 38:12

第2欄

(例) エレ 11:19,20

(例) 詩 35:4

(例) エレ 15:15

第19章

(例) エレ 18:2

(例) ヨシ 15:8,12
 代二 28:1,3
 エレ 7:31

(例) 王二 22:16,17
 イザ 65:11

(例) 代二 33:1,4

(例) 王二 21:16
 イザ 59:7
 エレ 2:34
 哀 4:13
 マタ 23:34,35

23 しかし、エホバ、あなたは、
 わたし ころ かれ さくりやくすべ
 私を殺そうとする彼らの策略全て
 をよくご存じます。

かれ あやま おお *

彼らの過ちを覆わないでくだ

さい。

かれ つみ まえ めぐ
 彼らの罪をあなたの前から拭い

去らないでください。

かれ まえ たお
 彼らをあなたの前で倒れさせてく

ださい。

いか こうどう と
 あなたが怒りのうちに行動を取
 る時に。

19 エホバはこう言った。「行っ
 とうげい かひ と き びん か
 て、陶芸家から土器の瓶を買
 いなさい。民の長老と祭司の長老を
 たみ ちょうろう さいし ちょうろう
 何人か連れて、2『陶片の門』の入
 なんにん つ どうへん もん い
 り口に面した、ヒンノムの子の谷に行
 ぐち めん こ たに(例) い
 きなさい。そこで、私があなたに話す
 わたし はな
 言葉を語るように。3 こう言いなさ
 こと ば かた
 い。『ユダの王たちとエルサレムの住
 こと ば き じゅう
 民たち、エホバの言葉を聞きなさい。
 かみ たいぐん ひき
 イスラエルの神、大軍を率いるエホバ
 はこう言っている。

わたし ばしよ わざわ
 「私はこの場所に災いをもたらそう
 としており、それについて聞く人は衝
 げき う * かれ わたし す (例)
 撃を受ける。4 彼らが私を捨て、ここ
 か は ばしよ
 を変わり果てた場所にしたらからであ
 (例) じぶん ふ そ
 る。ここで、自分たちも父祖たちもユダ
 おう し かみがみ ぎせい
 の王たちも知らなかった神々に犠牲
 ささ ばしよ つみ ひと
 を捧げており、この場所を罪のない人
 たちの血で満たした。5 彼らはバア
 ち み (例) かれ
 ルのための高い場所を築き、子供を

18:23 *または、「許さないで」。19:3 *直訳、
 「耳が鳴る」。

ひや 焼いてバアルへの全焼の捧げ物
とした。そのようなことを私は命じた
ことも語ったこともなく、考えたことも
ない』。

6『エホバはこう宣言する。「それで、この場所がもはやトフェトとかヒンノムの子の谷とではなく、殺りくの谷と呼ばれるようになる時が来る。7 私はこの場所所でユダとエルサレムの計画を阻み、彼らを敵の前で剣によって倒れさせ、彼らの命を奪おうとしている者たちの手に渡す。そして、彼らの死体を鳥や野獣に食べさせる。8 私は、この都市を見る人々が恐怖を感じ、そこに向かって口笛を吹くようにする。通り掛かる人は一人残らず恐怖を抱いて見つめ、もたらされた全ての災厄のために口笛を吹く。9 私は彼らに息子や娘の肉を食べさせる。彼らは敵に包囲され、彼らの命を奪おうとしている者たちに囲まれて死に物狂いになり、それぞれ仲間の肉を食べる』。

10 あなたと一緒に行く人たちの目の前で瓶を破き、11 彼らに言いなさい。『大軍を率いるエホバはこう言っている。「陶芸家の器が砕かれて二度と修復できなくなるように、私はこの民と都市を砕く。彼らはトフェトに死者を葬り続け、葬る場所がなくなる』。

12 エホバはこう宣言する。『私はこの場所と住民に対してそのように

19:5 *または、「心に思った」。

第19章

(7) 代二 28:1,3
代二 33:1,6
イザ 57:5

(1) レビ 18:21
エレ 7:31
エレ 32:35

(7) エレ 7:32

(2) 申 28:25,26
詩 79:2
エレ 7:33
エレ 16:4

(7) 王一 9:8
エレ 18:16
哀 2:15

(7) レビ 26:29
申 28:53
哀 2:20
哀 4:10
エゼ 5:10

(7) エレ 7:32

第2欄

(7) 詩 79:1

(1) エレ 8:1,2
ゼバ 1:4,5

(7) エレ 7:18
エレ 32:29

(2) ネヘ 9:17,29
ゼカ 7:12

第20章

(7) 代二 16:10

(7) エレ 6:25

(7) 申 28:32

し、この都市をトフェトのようにする。

13 エルサレムの家々とユダの王たちの家々は、トフェトのように汚れた所となる。彼らは家の屋上で天の全ての星に犠牲を捧げ、家でほかの神々のために飲み物の捧げ物を注いだからだ』。

14 エレミヤは、エホバに遣わされて行行ったトフェトで預言し、戻ってくると、エホバの家の庭に立ち、民全てにこう言った。15「イスラエルの神、大軍を率いるエホバはこう言っています。『私はこの都市と周囲の全ての町に、私が告げた災いのごとごとくもたらす。彼らが私の言葉に従うことをかたく拒んだからである』。

20 さて、祭司で、エホバの家の主任事務官でもあった、イメ

ルの子パシュフルは、エレミヤがこれらのことを預言した時に聞いていた。2 パシュフルは預言者エレミヤを殴打し、エホバの家にある、「ベニヤミンの上の門」の足かせ台につないだ。3 翌日になって、パシュフルがエレミヤを足かせ台から解放すると、エレミヤは彼にこう言った。

「エホバはあなたの名前を、パシュフルではなく、『周囲に恐怖』としました。4 エホバはこう言っています。『私はあなたとあなたの友人全てを恐怖に陥れる。彼らはあなたの目の前で敵の剣によって倒れる。私はユ

19:13 *直訳、「天の全軍」。

ダ全体をバビロンの王の手に渡し、彼
は人々を捕らえてバビロンに連れて
いき、剣で殺す。5 私はこの都市の
全ての富、全ての資産、全ての貴重な
物、またユダの王たちの全ての財宝
を、敵の手に渡す。彼らはそれを略奪
し、取り上げて、バビロンに持ってい
く。6 そして、パシュフル、あなたとあ
なたの家に住む人は皆、捕らわれるこ
とになる。あなたはバビロンに行って、
そこで死に、友人全てと共に葬られる。
彼らに偽りの預言をしたからである。』

7 エホバ、あなたは私をだまし、私
はだまされました。

あなたは私に対して力を振るい、
勝ちました。

私は一日中、笑いのものにされ、
皆が私をあざけています。

8 私は語るたびに叫び、
「暴力と破滅!」と声高に言わな
ければなりません。

エホバの言葉のせいで、私は一
日中侮辱され、からかわれ
ます。

9 それでは私は言いました。「この方
について話さないことにしよう。
もうこの方の名によって語ること
はしない」と。
ですが、神の言葉は私の心の中
で燃える火、
骨の中に閉じ込められた火のよ
うになりました。

第20章

(例) エレ 25:9
エレ 39:9

(例) 王二 20:17
王二 24:11,13
王二 25:13-15
哀 1:10

(例) 代二 36:10
エレ 15:13

(例) エレ 14:14
エレ 28:15
エレ 29:21

(例) エゼ 3:14
ミカ 3:8

(例) 詩 22:7
エレ 15:10,15

(例) 代二 36:16
エレ 6:10

(例) 王一 19:2,4
ヨナ 1:3

第2欄

(例) エレ 6:11
アモ 3:8
使徒 4:19,20

(例) 詩 31:13

(例) 詩 38:16

(例) エレ 1:8
ロマ 8:31

(例) 詩 27:2
エレ 15:15,20
エレ 17:18

(例) 詩 6:10

(例) エレ 17:10

(例) 詩 59:10
エレ 17:18

(例) エレ 11:20
ペー 2:23

わたしはそれを抑えるのに疲れ、もう
耐えられなくなりました。

10 私は悪いうわさをたくさん聞き、
恐怖に包まれました。

「彼を非難しよう。皆で非難して
やろう!」

私にあいさつする人は皆、私が
挫折するのを待っていました。
「彼は愚かな間違いをするだろう。」

そうなれば、われわれが優位に
立ち、彼に復讐できる」。

11 しかし、エホバは恐るべき戦士
のように私と共にいてくださ
いました。

そのため、私を迫害する人たちは
つまずき、優位に立つことはあ
りません。

成功することなく、大いに恥をか
きます。

彼らの恥辱は永久に続き、忘れ
られることはありません。

12 大軍を率いるエホバ、あなたは
正しい人を調べておられます。
人の奥底の考えと心をご覧にな
ります。

あなたが彼らに復讐するのを見
せてください。

私は自分の訴えをあなたに委ね
ました。

13 エホバに向かって歌え!

20:10 *または、「『平和がありますように』と
言う」。 20:12 *または、「奥底の感情」。直訳、
「腎臓」。

エホバを賛美せよ！

この方は貧しい人を悪人の手から救ってくださったからだ。

14 私が生まれた日は災いだ！

母が私を産んだ日は祝福されるな！

15 父に良い知らせを伝え、

「あなたに男の子が生まれまして！」と言って、
父を大喜びさせた人は、災いを受ける。

16 その人は、エホバが嘆くことなく滅ぼした町々のようになれ。

朝に叫び声を聞き、真昼に戦いの合図を聞くことになれ。

17 なぜ彼は私を母の胎内で殺さなかったのか。

そうすれば、母が私の墓となり、ずっと身ごもったままになっていたのに。

18 なぜ私は母の胎内から出なればならなかったのか。

苦しみや悲しみを見て、
恥じながら生涯を終えるだけではないか。

21 ゼデキヤ王が、マルキヤの子パシュフルと、マアセヤの子で祭司のゼパニヤをエレミヤのもとに遣わした時、エレミヤはエホバの言葉を受けた。王はこう頼んだ。 2 「どう

20:16 *または、「が滅ぼして悔やまなかった」。
20:17 *もしかすると、「神」。

第20章

(例) ヨブ 3:3
エレ 15:10

(例) ヨブ 10:18

(例) ヨブ 3:20

第21章

(例) 王二 24:18
代二 3:15
代二 36:9,10

(例) エレ 38:1

(例) エレ 29:25
エレ 37:3
エレ 52:24,27

第2欄

(例) 王二 25:1
エレ 32:28
エレ 39:1

(例) サ一 7:10
代二 14:11
イザ 37:36,37

(例) エレ 32:5

(例) イザ 5:25

(例) イザ 63:10
哀 2:5

(例) 申 28:21,22
エゼ 7:15

(例) 王二 25:6,7
エレ 37:17
エレ 39:5-7
エレ 52:9-11
エゼ 17:20

(例) 申 28:49,50
代二 36:17

か、私たちのためにエホバに尋ねてください。バビロンのネブカドネザル王が私たちに戦いを仕掛けているからです。もしかしたら、彼が撤退するように、エホバは過去に行われたような驚くべきことを行ってくださいるかもしれません。

3 エレミヤは彼らに言った。「ゼデキヤにこう言いなさい。 4 『イスラエルの神エホバはこう言っている。「私は、あなたたちが持っている武器、城壁の外で包囲しているバビロンの王とカルデア人と戦うための武器の矛先を、あなたたちの方に向かせる。そして、それらを都市の真ん中に集める。 5 私は手を伸ばし、力強い腕と怒りと憤りと激怒をもって、自らあなたたちと戦う。 6 この都市の住民を、家畜もろとも打つ。彼らはひどい疫病で死ぬ」。

7 『エホバはこう宣言する。「その後、私は、ユダのゼデキヤ王と家来たちとこの都市の人々、疫病と剣と飢餓を生き延びる人たちを、バビロンのネブカドネザル王の手に渡す。彼らの敵、彼らの命を奪おうとしている者たちの手に渡すのである。ネブカドネザルは剣で彼らを討つ。彼らを哀れに思わず、同情も憐れみも示さない」。

8 また、この民に言いなさい。『エホバはこう言っている。「私はあなた

21:2 *または、「ネブカドレザル」。 21:4 *または、「逆にする」。 *もしかすると、「彼ら」。

たちの前に、命の道と死の道を置いて
 いる。9 この都市にとどまる人は、剣
 と飢餓と疫病によって死ぬ。一方、出
 ていって、あなたたちを包圍している
 カルデア人に降伏する人は、死ぬこと
 なく逃れ、生き続ける』。

10 『エホバはこう宣言する。「私が
 この都市に厳しい顔を向けたのは、災
 いをもたらすためであって、良いことの
 ためではない。都市はバビロンの王
 の手に渡され、火で焼かれる」。

11 ユダの王家の人たち、エホバの
 言葉を聞きなさい。12 ダビデの王
 家よ、エホバはこう言う。

「朝ごとに公正な裁きを行いな

さい。

物を奪われている人、だまし取
 る人の手から救いなさい。

さもなければ、あなたたちの悪

い行いのために、

私の憤りは火のように燃え上

がり、

誰も消せなくなる』。

13 『谷に住む者よ、平地の岩よ、

私はあなたに敵対している』と、

エホバは宣言する。

『あなたたちは言う。「誰が私た

ちに向かってくるだろうか。

誰が私たちの住まいに攻め入る

だろうか」と。

21:9 *または、「自分の命を戦利品として得て」。
 21:13 *または、「谷あいの平原」。

第21章

(例) エレ 27:12,13
 エレ 38:2,17

(例) エレ 44:11

(例) エレ 38:3

(例) 代二 36:17,19

エレ 17:27

エレ 34:2

エレ 37:10

エレ 39:8

(例) イザ 1:17

エレ 22:3

エゼ 22:29

ミカ 2:2

(例) エレ 7:5-7

(例) 申 32:22

イザ 1:31

エレ 7:20

第22章

(例) エレ 5:9

エレ 9:9

(例) 代二 36:17,19

エレ 52:12,13

第22章

(例) レビ 19:15

イザ 1:17

エゼ 22:7

ミカ 2:2

(例) 王二 24:3,4

エレ 7:6,7

(例) 王一 2:12

(例) エレ 17:24,25

(例) エレ 39:8

ミカ 3:12

14 私はあなたたちの行いに応じて、
 あなたたちに責任を問う。
 そして森林に火を放ち、
 それは周囲のもの全てを焼き尽
 くす』と、エホバは宣言する。

22 エホバはこう言う。「ユダの
 王の家にいき、この言葉を伝
 えなさい。2 こう言わなければなら
 ない。『ダビデの王座についてユ
 ダの王よ、エホバの言葉を聞きな
 さい。これらの門を通して入る、あなた
 の家来や民も。3 エホバはこう言っ
 ている。「公正と正義を守りなさい。物
 を奪われている人、だまし取る人の
 手から救いなさい。外国人居住者を
 不当に扱ってはならず、父親のいない
 子供ややもめに危害を加えてはなら
 ない。この場所で無実の人の血を流
 してはならない。4 もしあなたたち
 がこの言葉を注意深く実行するなら、
 ダビデの王座につく王たちはこの家
 の門を通して入ることになる。兵車や
 馬に乗って、家来や民と共に入る』。

5 『しかし、もしあなたたちがこれら
 の言葉に従わないなら、この家は廃虚
 と化す。私は自分自身に懸けてそう誓
 う』と、エホバは宣言する。

6 エホバはユダの王の家について
 こう言う。

『あなたは私にとってギレアデの
 ようであり、

22:1 *または、「宮殿」。22:3 *または、「孤
 児」。

レバノンの頂^{いただき}のようである。

しかし、私はあなたを荒野^{こうや}に

する。

あなたのどの町^{まち}にも人が住ま^すな
くなる。

7 私は滅ぼ^{わたし}す者^{ほう}たちを任命^もしてあ
なたを攻めさせる。

それぞれが武器^{ぶき}を持^もっている。
彼らはあなた^{かれ}の最良^{さいりょう}の杉^{すぎ}を切り
倒^{たお}し、火^ひの中に投げ込む。

8 多くの国^{おお}の人々^{くに}がこの都市^{ひとびと}のそ
ばを通^{とお}って、「なぜエホバはこの大き
な都市^{とし}にこのようなことをしたのだ
ろう」と言い合う。9 そしてこう言う。
「彼ら^{かれ}が自分^{じぶん}たちの神^{かみ}エホバとの契約^{けいやく}
を破^{やぶ}って、ほかの神々^{かみがみ}にひれ伏^ふして仕
えたからだ⁽⁴⁾』。

10 死んだ者^しのために泣^{もの}いてはなら
ない。
彼^{かれ}のために悲^{かな}しむのではなく、
去^さっていく者^{もの}のために激^{はげ}しく泣^なき
なさい。
彼^{かれ}はもう戻^{もど}らず、自分^{じぶん}が生まれ
た土地^{とち}を二度^{にど}と見^みないからで
ある。

11 ヨシヤの子^こシャルム⁽⁴⁾は、父^{ちち}ヨシ
ヤに代^かわってユダの王^{おう}として治^{おさ}めてい
たが、この場所^{ばしょ}から出^でていった。その
シャルム⁽⁴⁾について、エホバはこう言う。
『彼^{かれ}はもう戻^{もど}ってこない。 12 捕^とらわ

22:7 *直訳、「神聖なものとて」。 22:11 *エ
ホアハズとも呼ばれる。

第22章

(7) イザ 6:11
エレ 7:34

(4) エゼ 9:1

(7) エレ 21:14

(4) 申 29:24-26
王 9:8,9
哀 2:15

(4) 王 22:16,17

(4) 代 3:15
代 2:36-1

(4) 王 22:29,
30

第2欄

(7) 王 22:34
代 2:36:4

(4) レビ 19:13
ミカ 3:9,10

(4) 王 22:1,2
王 23:23,25

れて連れ^つれていかれた場所^{ばしょ}で死^しに、もう
この土地^{とち}を見る^みことはない⁽⁷⁾』。

13 正^{ただ}しさを無視^{むし}して自分^{じぶん}の家^{いえ}を
建^たて、

公正^{こうせい}を無視^{むし}して階上^{かいじょう}の部屋^{へや}を造^{つく}
る者^{もの}、

同胞^{どうほう}に無償^{むしょう}で仕^{つか}えさせ、
資金^{ちんぎん}を払^{はら}おうとしない者^{もの}には災

いがある⁽⁴⁾。

14 彼^{かれ}は言^いう。『自分^{じぶん}のために広^{ひろ}々と
した家^{いえ}を建^たて、

ゆったりとした階上^{かいじょう}の部屋^{へや}を造^{つく}
ろう。

窓^{まど}を設^{もう}け、杉^{すぎ}の板^{いた}を張り、
朱色^{しゅいろ}に塗^ぬろう』と。

15 あなたは他^たの人^{ひと}より多^{おほ}く杉^{すぎ}を使^{つか}
うことで、権力^{けんりょく}を示^{しめ}す続^{つづ}ける
のか。

あなた⁽⁴⁾の父^{ちち}親^{おや}も食^たべて飲^のんだが、
公正^{こうせい}と正義^{せいぎ}を守^{まも}り、
物事^{ものごと}はうまく運^{はこ}んだ。

16 彼^{かれ}は苦^{くる}しんでいる人^{ひと}や貧^{まず}しい人^{ひと}
の申し立^{もう}てを弁^た護^{べん}し、
物事^{ものごと}はうまく運^{はこ}んだ。

エホバはこう宣^{せん}言^{げん}する。

『私^{わたし}を知^しるとはそういうことでは
ないか。

17 しかし、あなた⁽⁴⁾の目^めと心^{こころ}はひた
すら、
自分^{じぶん}の不当^{ふとう}な利益^{りえき}や、無^む実^{じつ}の人^{ひと}
の血^ちを流^{なが}すこと、

詐欺を働くことや脅し取ることに
向けられている。』

18 それで、ユダの王、ヨシヤの子
エホヤキムについて、エホバはこう
言う。

『人々は彼の死を悼まず、
「ああ、兄弟！ ああ、姉妹！」と言
わない。

彼の死を悼まず、
「ああ、主人よ！ ああ、王よ！」と
言わない。

19 彼は死んだロバのように扱わ
れる。
引きずり回され、エルサレムの門
の外に投げ捨てられる。』

20 レバノンに登って、叫びなさい。
バシャンで声を上げなさい。
アバリムから叫びなさい。
あなたの愛人は皆滅ぼされたか
らである。

21 私はあなたが安心してゐる時に
語り掛けたが、
あなたは『従いません』と
言った。

これがあなたの若い時からの生
き方であり、
あなたは私の声に従ってこな
かった。

22 あなたの全ての牧者は風に追い
立てられ、
愛人たちは捕らわれることに
なる。

第22章

(例) 王二 23:34
代二 36:4

(例) エレ 36:30

(例) 代二 36:5,6

(例) 申 32:49

(例) 王二 24:7

(例) エレ 2:31
エレ 6:16

(例) 申 9:7
裁 2:11

(例) エレ 23:1
エゼ 34:2

第2欄

(例) エレ 22:6

(例) イザ 2:12,13

(例) エレ 4:31
エレ 6:24

(例) 王二 23:34

(例) 王二 24:6
エレ 22:28
エレ 37:1
マタ 1:11

(例) 王二 24:12,15
代二 36:9,10
エレ 24:1
エレ 29:1,2

(例) エレ 52:31-34

(例) 代一 3:17,18

あなたはことごとく災いに遭って
恥をかき、辱められる。

23 レバノンに住み、杉に囲まれて横
たわる者よ、
あなたは痛みを味わう時、
出産する女性のように苦しみに
見舞われる時、
どんなにかうめくことだろう。』

24 「エホバはこう宣言する。『私
は、生きている私自身に懸けて誓う。
たとえユダの王、エホヤキムの子コ
ニヤが私の右手にある印章付きの指
輪であっても、私はあなたを抜き取る。

25 私はあなたを、あなたの命を奪お
うとしている者たちの手に渡す。あな
たが恐れている者たちの手に、バビロ
ンのネブカドネザル王の手に、カルデ
ア人の手に渡す。 26 あなたと、あな
たを産んだ母親を、あなたたちが生ま
れた所ではない別の土地に投げつけ
る。あなたたちはそこで死ぬ。 27 帰
りたいと切望する土地に戻ることは決
してない。

28 この人コニヤは、軽んじられ、壊
された単なるつば、
誰も欲しがらない器なのか。
なぜ彼とその子孫は投げ落と
され、
彼らの知らない土地に投げ込ま
れるのか。』

22:23 *または、「杉の木に巣を作る」。
「陣痛」。 22:24 *エホヤキンまたエ
コニヤとも呼ばれる。

29 世界よ、世界よ、世界よ、エホバの言葉を聞け。

30 エホバはこう言う。

『この人を、子供がいない人、生涯成功しない人として書き記しなさい。

彼の子孫は誰も成功しないからだ。

ダビデの王座につかず、再びユダを治めることはない』。

23 「私の牧草地の羊を殺し、散らしている牧者たちには災いがある!」と、エホバは宣言する。

2 イスラエルの神エホバは、私の民の牧者たちに対してこう言う。「あなたがたは私の羊を散らした。追い散らし続けて、彼らに注意を向けなかった」。

「それで私は、あなたたちの悪い行いのためにあなたたちに注意を向ける」と、エホバは宣言する。

3 「私は、私の残っている羊を、追いやった全ての土地から集め、彼らの牧草地に連れ戻す。彼らは子を産んで増える。4 そして私は、彼らをしっかり世話する牧者たちを立てる。彼らはもはや恐れることもおびえることもなくなり、誰も失われない」と、エホバは宣言する。

5 エホバはこう宣言する。「私がダビデの家系から正しい芽を生じさせる

22:29 *または、「大地」。 23:5 *または、「後継者」。

第22章

(例) 代ニ 36:9,10
エレ 36:30
マタ 1:12

第23章

(例) エレ 10:21
エレ 50:6
エゼ 34:2

(例) エゼ 34:5

(例) イザ 11:11

イザ 35:10
エレ 29:14
エレ 31:8

(例) エレ 50:19

エゼ 34:14
ミカ 2:12

(例) 申 30:3,5

アモ 9:14
ゼカ 10:8

(例) エレ 3:15

ヨハ 21:15
使徒 20:28

第2欄

(例) イザ 11:1
イザ 53:2
エレ 33:15,16
ゼカ 3:8
マタ 2:23

(例) ルカ 1:32,33

(例) イザ 9:7
イザ 11:3,4
イザ 32:1

(例) ゼカ 10:6

(例) 申 33:28

エレ 32:37
ゼカ 14:11

(例) イザ 54:17

(例) エレ 16:14,15

(例) イザ 43:5
エゼ 34:13
ゼバ 3:20

(例) エレ 3:8,9
エレ 5:7
エレ 13:27
エゼ 22:11

(例) イザ 24:4
ヨエ 1:10

(例) エレ 12:4

とき くる ひとり おう おさ どうさつりよく
時が来る。1人の王が治め、洞察力を
しめ とち こうせい せい ぎ まち
示し、この土地で公正と正義を守る。

6 彼の時代にユダは救われ、イスラエルは安らかに暮らすようになる。彼は『エホバは私たちの正義』という名で呼ばれる。

7 エホバはこう宣言する。「人々がもはや、『イスラエルの民をエジプトから連れ出した、生きている神エホバに懸けて誓う!』とは言わなくなる時が来る。8 人々は、『イスラエル国民の子孫を北の土地や他の土地に追いやった後、その全ての土地から連れ出し、連れ戻した、生きている神エホバに懸けて誓う!』と言うようになる。そして、彼らは自分たちの土地に住む」。

9 預言者たちについて。

わたし こころ う
私の心は打ちのめされた。
わたし けね すべ ふる
私の骨は全て震えている。
わたし しゅ まわ よ ひと
私はぶどう酒が回って酔った人

のようだ。

エホバとその聖なる言葉のゆえに。

10 この土地は姦淫をする人で満ちている。

わざわ とち なげ かな
災いのために土地は嘆き悲

しみ、

こう や ぼくそう ち かむ き
荒野の牧草地は乾き切った。

かれ かる い かた め* しょう
彼らは悪い生き方をし、力を乱用する。

11 「^{よ げんしや}預言者も^{さいし}祭司も^{けが}汚れている。
^{わたし}私は^{じ ぶん}自分の^{いえ}家の中で^{なか}さえ^{かれ}彼らの
^{わる}悪い^{おこな}行いを見た」と、^いエホバ
^{せんげん}は宣言する。

12 「それで、^{かれ}彼らの^{みち}道は^{すべ}滑りやすく
^{くら}て^{くろ}暗くなり、
^{かれ}彼らは^お押されて^{たお}倒れる。
^{わたし}私が^{しょぼつ}処罰の^{とし}年に^{かれ}彼らに^{わざわ}災いをも

たらすからである」と、エホバ
 は宣言する。

13 「私は^{わたし}サマリアの^い預言者たちの^{なか}中
^ふに^{かい}不快な^{こと}事柄を見た。
^{かれ}彼らは^{せんげん}バアルに^{そそのか}唆されて^{よ げん}預言し
^ており、
^{わたし}私の^{たみ}民イスラエルを^{まど}惑わして
^{いる}。

14 私はエルサレムの^{よ げんしや}預言者たちの
^{なか}中にも^{こと}ひどい^み事柄を見た。
^{かれ}彼らは^{かんいん}姦淫をし、^{いつわ}偽りに^{あゆ}まみれて
^{あゆ}歩む。

^{あくにん}悪人たちを^きけしかけ、
^{じ ぶん}自分たちの^{わる}悪い^{おこな}行いをやめない。
^{わたし}私にとって^{かれ}彼らは^{みな}皆^いソドムのよう
^{であり}、
^{とし}都市の^{じゅうみん}住民は^いゴモラのように
^{ある}。

15 それで、^{たいぐん}大軍を^{ひき}率いるエホバは
^{よ げんしや}預言者たちに対してこう言う。

「私は^{わたし}彼らに^{かれ}ニガヨモギを^た食べさ
^{どく}せ、^{みず}毒の水を^の飲ませる。

23:11 *または、「背教して」。 23:14 *直訳、
 「の手を強くし」。

第23章

イザ 28:7
 エレ 5:31
 エレ 6:13
 エゼ 22:25
 ゼバ 3:4

代ニ 33:1,5
 代ニ 36:14
 エレ 7:11
 エゼ 8:10,11
 エゼ 23:39

イ 13:16

エゼ 16:46

イ 29:21,23

イ 23:26

イザ 3:9

創 18:20
 申 32:32
 イザ 1:10
 ユダ 7

イ 8:14
 エレ 9:15

第2欄

イ 27:9
 エレ 29:8

哀 2:14

イ 14:14
 エゼ 13:3
 エゼ 22:28

イ 4:10
 エレ 6:13,14
 エレ 8:11
 エゼ 13:10

ミカ 3:11

イ 25:32
 エレ 30:23,24

エルサレムの^{よ げんしや}預言者たちから、
^{はいきよう}背教が^{くにじゅう}国中に^{ひろ}広まったからで
 ある。

16 ^{たいぐん}大軍を^{ひき}率いるエホバはこう言う。

「あなたたちに^{よ げん}預言している^{よ げん}預言
^{しや}者たちの^{こと}言葉を^き聞いてはなら
^いない。

^{かれ}彼らはあなたたちを^{あざむ}欺いている。
^{かれ}彼らが^{かた}語る^{まぼろし}幻は、^{じ ぶん}自分たちの^{ころ}心
^でから^い出たものであり、
^{くち}エホバの^で口から^い出たものでは
 ない。

17 ^{かれ}彼らは、^{わたし}私を^{あなど}侮る人たちに^く繰り
^{かえ}返しこう言う。

『あなたたちは^{へい}平和を^{たの}楽しむ』と
^いエホバは^い言った』。
^{がん}また、^こ頑固な^{こころ}心の^{あゆ}ままに^{ひと}歩む人
^{みな}たち^い皆にこう言う。

『あなたたちに^{わざわ}災いが^ふ降り^か掛かる
^いことはない』。

18 ^{だれ}誰が^{した}エホバの^{とも}親しい^{なか}友たちの^{なか}中
^たに^た立ち、
^{かみ}神の^{こと}言葉を見^み聞き^きした^きだろうか。
^{だれ}誰が^{かみ}神の^{こと}言葉を見^き聞こうと^{ちゅうい}注意を
^{はら}払った^いだろうか。

19 ^み見なさい！^みエホバの^{ぼうふう}暴風が^{はげ}激し
^{き ぶ}く^あ吹き^あ荒れる。
^{うず}渦巻く^ま大嵐のように、^{じゃあく}邪悪な^{ひと}人
^{ずじょう}たちの^あ頭上で^{くる}荒れ^い狂う。

20 エホバの怒りは静まらない。

23:16 *または、「むなし希望で満たしている」。
 23:19 *または、「激怒のうちに」。

こころ なか かんが じっこう な と
心の中の考えを実行して成し遂

げるまでは。

さいご ひ び
最後の日々にあなたたちはこの

ことをはっきりと理解する。

わたし よげんしゃ つか
21 私は預言者たちを遣わさなかつたが、彼らは走った。

わたし かれ かた か
私は彼らに語り掛けなかったが、
かれ よげん けい
彼らは預言した。

かれ わたし した とも
22 もし彼らが私の親しい友たちの
なか た
中に立っていたなら、

わたし たみ わたし こと ば き
私の民に私の言葉を聞かせて、
わる い かた おこな
悪い生き方や行いをやめさせて
いただろう。

わたし ちか とき かみ とお
23 「私は近くにいる時だけ神で、遠
くにいる時は神ではないのか」
と、エホバは言う。

だれ ばしょ かく
24 「誰かがひそかな場所に隠れて、
わたし み
私から見えなくなることなどあ
るだろうか」と、エホバは言う。

わたし てん ち すべ み
「私は天と地の全てが見えてい
るのではないか」と、エホバは
言う。

わたし わたし な いつわ よ
25 「私は、私の名によって偽りの預
言をしている預言者たちが、『夢を見
た！ 夢を見た！』と言うのを聞いた。

なか いつわ よげん つづ かれ
26 この預言者たちはいつまで心
の中で偽りの預言をし続けるのか。彼ら
は自分たちの心のたくらみを預言して
いる。27 彼らの父祖たちがバアル
のゆえに私の名を忘れたように、彼ら

23:24 *または、「私は天と地に満ちている」。

23:26 *または、「欺き」。

第23章

(例) エレ 14:14
エレ 27:15
エレ 29:8,9

(例) エレ 25:4,5

(例) 創 16:7,13
格 15:3
アモ 9:2
ヘブ 4:13

(例) 詩 139:7

(例) 申 18:20
エレ 27:9
エレ 29:21,23

(例) エレ 14:14

第2欄

(例) 裁 3:7
王二 21:1,3

(例) エレ 5:14

(例) ヘブ 4:12

(例) 申 18:20
エレ 14:15
エゼ 13:2,3

(例) エゼ 13:7

(例) ゼバ 3:4

(例) エレ 7:8
哀 2:14

(例) エレ 12:7

み ゆめ かに あ
は見た夢について語り合うことによつ
わたし たみ わたし な わず
て私の民に私の名を忘れさせようとし
ている。28 夢を見る預言者は、その
ゆめ かに こと ば いっぽう わたし こと
夢について語るがよい。一方、私の言
ば う もの わたし こと ば ただ つた
葉を受ける者は、私の言葉を正しく伝
えるべきである。

「わらは穀物と比べものにならない
のではないかと、エホバは言う。

わたし こと ば ひ (例) おお
29 「私の言葉は火のようであり、大
いわ う くだ
岩を打ち砕くハンマーのようではない
か」と、エホバは言う。

わたし わたし こと ば めず
30 「それで私は、私の言葉を盗み
あ よげんしゃ てきたい
合っている預言者たちに敵対してい
る」と、エホバは宣言する。

わたし つ じ ぶん かつ
31 「私は、『お告げだ！』と自分勝
て い よげんしゃ てきたい
手に言う預言者たちに敵対している」
と、エホバは宣言する。

いつわ ゆめ かに じ まん
32 「偽りの夢を語り、うそや自慢に
わたし たみ まど よげんしゃ
よって私の民を惑わす預言者たちに、
わたし てきたい (例) せんげん
私は敵対している」と、エホバは宣言
する。

わたし かれ つか かれ めい
「私は彼らを遣わすことも、彼らに命
じることもしなかった。彼らがこの民
の役に立つことはない」と、エホバは
宣言する。

たみ よげんしゃ さいし
33 「この民か預言者か祭司が、『エ
ホバからのどんな重々しい言葉があ
るか』と尋ねる時、あなたはこう答え
なさい。『重くて厄介なのはあなたた
ちだ！ 私はあなたたちを捨てる』と、

23:33 *または、「重荷」。このヘブライ語には、
「神からの重要な宣告」と「負担となる重いもの」
という2つの意味合いがある。

エホバは宣言^{せんげん}している』。34『これがエホバからの重々^{おもおも}しい言葉^{ことば*}だ!』と言う預言者^{よげんしや}や祭司^{さいし}や民^{たみ}についていえば、私は^{わたし}その者^{もの}と家^{いえ}の人^{ひと}たちに注意^{ちゅうい}を向ける。35 あなたたちはそれぞれ仲間^{なかま}や兄弟^{きょうだい}にこう言^いっている。『エホバは何^{なん}と答^{こた}えたか。エホバは何^{なん}と話^{はな}したか』。36 しかし、もうエホバからの重々^{おもおも}しい言葉^{ことば*}について話^{はな}してはならない。重く^{おも}て厄介^{やっかい*}なのは各自^{かくじ}の言葉^{ことば}であり、あなたたちは、生^いきている神^{かみ}、大軍^{たいぐん}を率^{ひき}いるエホバ、イスラエル[#]の神^{かみ}の言葉^{ことば}を変^かえたのである。

37 あなたは預言者^{よげんしや}にこう言^いう。『エホバはあなたにどん^{どん}な答^{こた}えを与^{あた}えたか。エホバは何^{なん}と話^{はな}したか。38 もしあなたが「エホバからの重々^{おもおも}しい言葉^{ことば*}!」と言^いいつづけるなら、エホバはこう言^いう。「私が『エホバからの重々^{おもおも}しい言葉^{ことば*}!』と言^いってはならない』と告^つげた後に、あなたたちが『これがエホバからの重々^{おもおも}しい言葉^{ことば*}だ』と言^いっているので、39 私はまさしくあなたたちを持ち上^もげ、あなたたちと父祖^{ふそ}たちに与^{あた}えた都市^{とし}と共に捨^すて去^さる。40 そして、永久^{えいきゅう}に続^{つづ}く恥辱^{ちじよく}と屈辱^{くつじよく}をあなたたちにもたらす。それは忘れ^{わす}れることがない』』。

24 エホバは私^{わたし}に、エホバの神^{しん}殿^{でん}の前に置^まかれた2つの籠^{かご}に入^{はい}ったイチジクを見^みせた。それは、

23:34, 36, 38 *または、「重荷」。23:36 #直訳、「私たち」。

第23章

(例) エレ 24:9
エレ 42:18
哀 5:20
ダニ 9:16

第2欄

第24章

(例) 王二 24:6
代一 3:16

(例) エレ 22:24

(例) 王二 24:15, 16
エレ 29:1, 2

(例) エレ 24:8

(例) エズ 1:3
エレ 12:15
エレ 25:11
エレ 29:10
エゼ 36:24

(例) エレ 1:10
エレ 30:18
エレ 32:41

(例) 申 30:6
エレ 31:33
エゼ 11:19

(例) エレ 30:22
エレ 32:38
ゼカ 8:8

(例) エレ 29:13

(例) エレ 29:17

バビロンのネブカドネザル^{おう}王^{わう}が、ユダ^{おう}の王^{わう}、エホヤキムの子エコニヤ^おを捕^とらえた後のことだった。ネブカドネザル^おは、ユダ^{おう}の高官^{こうかん}たち、職人^{しよくにん}、鍛冶屋^{かじや}も捕^とらえ、エルサレムからバビロンに連^つれていった。2 1つの籠^{かご}に入^{はい}っていたイチジクはとても良^よく、早い時期^{はやき}になるイチジク^おのようだったが、もう1つの籠^{かご}に入^{はい}っていたイチジクはとても悪^{わる}く、食^たべられなかった。

3 エホバは私^{わたし}に、「エレミヤ^{なに}、何^{なん}が見^みえるか」と尋^{たず}ねた。それで私^{わたし}は言^いった。「イチジクです。良^よいイチジクはとて^たも良^よいですが、悪^{わる}い方はとて^たも悪^{わる}くて食^たべられませ^なん」。

4 すると、エホバが私^{わたし}に語^{かた}り掛^かけて言^いった。5 「イスラエルの神^{かみ}エホバはこう言^いう。『私は、捕囚^{ほしゅう}にされたユダ^{ひと}の人^{ひと}たち、この場所^{ばしょ}から私^{わたし}がカルデア^{じん}人^{にん}の土地^{とち}に追^おいやつた人^{ひと}たちを、これらの良^よいイチジク^おのように良^よいものと見^みなす。6 彼^{かれ}らに目^めを留^{とど}めて恵^{めぐ}みを与^{あた}え、この土地^{とち}に戻^{もど}らせる。彼^{かれ}らを生^たてるのであり、壊^{こわ}しはしない。彼^{かれ}らを生^たてるのであり、引^ひき抜^ぬきはしない。7 彼^{かれ}らに私^{わたし}を知^しる心^{こころ}、私^{わたし}がエホバであること^{こと}を知^しる心^{こころ}を与^{あた}える。彼^{かれ}らは私^{わたし}の民^{たみ}となり、私^{わたし}は彼^{かれ}らの神^{かみ}となる。彼^{かれ}らは心^{こころ}を尽^{つく}くして私^{わたし}のもの^{もの}に戻る。

8 一方^{いっぽう}、とて^たも悪^{わる}くて食^たべられ^なないイチジク^おについて、エホバはこう言^いう。

24:1 *エホヤキンまたコニヤとも呼ばれる。
#もしかすると、「とりでを築く」。

わたしは、ユダのゼデキヤ王と高官たち、この土地にいてエルサレムに残っている人たちと、エジプトに住んでいる人々たちを、悪いイチジクのように見なす。9 私は彼らに災難をもたらし、地上の全ての王国が彼らについて見聞きして恐怖を抱くようにする。私が彼らを追いやる全ての場所で、人々は彼らを非難し、格言の題材とし、あざけり、彼らに災いがあることを願う。10 私は彼らに対して剣と飢餓と疫病を送り、彼らと父祖たちに与えた土地から滅ぼし去る』』。

25 ユダの王、ヨシヤの子エホヤキムの治世の第4年、すなわちバビロンのネブカドネザル王の治世の第1年に、エレミヤはユダの民全てに関する言葉を受けた。2 預言者エレミヤはユダの民全てとエルサレムの全住民にこう語った。

3 「ユダの王、アモンの子ヨシヤの治世の第13年から今まで、この23年間、エホバが私に語り掛け、私は繰り返し皆さんに話しましたが、皆さんは聞きませんでした。4 エホバはご自分に仕える預言者全てを皆さんのもとに繰り返し遣わしましたが、皆さんは聞き、みみ、かたむき、聞かず、耳を傾けませんでした。5 預言者たちはこう伝えました。『どうか、ひとりひとりが悪い生き方や行いをやめてほしい。そうすれば、昔エホバがあ

25:2 *または、「について」。25:3, 4 *直訳、「早く起きては」。

第24章

㉔王ニ 25:6,7
エゼ 12:12,13
㉔エレ 44:1
エレ 46:13
㉔エレ 15:4
エレ 34:17
㉔申 28:64
エレ 29:18
㉔エレ 26:4,6
エレ 29:22
㉔レビ 26:33
エレ 9:16
㉔申 28:59
エレ 15:2
エゼ 7:15

第25章

㉔王ニ 24:1
エレ 36:1
エレ 46:2
ダニ 1:1
㉔エレ 1:2
㉔エレ 7:13
エレ 13:10
㉔エレ 29:19
㉔王ニ 17:13
イザ 55:7
エレ 18:11
エレ 35:15
エゼ 18:30
エゼ 33:11

第2欄

㉔申 32:21
ネヘ 9:26
㉔レビ 26:25
イザ 5:26
エレ 1:15
㉔エレ 27:6
エレ 43:10
㉔申 28:49,50
エレ 5:15
エゼ 7:24
㉔エゼ 26:7
エゼ 29:19
ハバ 1:6
㉔イザ 24:7
エゼ 26:13
㉔エレ 7:34
㉔代ニ 36:20,21
ダニ 9:2
ゼカ 1:12
ゼカ 7:5
㉔申 30:3
エズ 1:1,2
エレ 29:10
㉔イザ 47:1
エレ 51:1
ダニ 5:26,30

なたたちと父祖たちに与えた土地に、ずっと住み続けることになる。6 ほかの神々に従ったり、仕えたり、ひれ伏したりして、自分の行いによって私を怒らせてはならない。悪い行いをやめないなら、私はあなたたちに災いをもたらす』。

7 エホバはこう宣言しています。『しかし、あなたたちは私の言うことを聞かなかった。自分の行いによって私を怒らせ、災いを身に招いた』。

8 それで、大軍を率いるエホバはこう言っています。『あなたたちが私の言葉に従わないので、9 私は北の全ての部族を呼び寄せると、エホバは宣言する。『私に仕えるバビロンのネブカドネザル王を呼び寄せ、彼らにこの土地と住民と周囲の国々を攻めさせる。それらを滅ぼし尽くし、恐怖の光景に変え、ずっと荒廃したままにし、人々がそれらに向かって口笛を吹くようにする。10 人々の間で、歓喜や祝福の声、花婿や花嫁の声がもはや聞かれないようにし、ひき臼の音とランブの音を絶やす。11 この土地全体は荒れ果て、恐怖の光景となり、これらの国の人々は70年の間バビロンの王に仕えなければならぬ』』。

12 エホバはこう宣言しています。『しかし、70年が満了した時、私は、過ちを犯したバビロンの王と国民に責任を問う。そして、カルデア人の土地

25:12 *または、「を処罰する」。

をいつまでも荒れ果てた所にする。
13 私がその土地に対して語った全ての言葉、この書に記されている全てのこと、すなわちエレミヤが全ての国に対して預言した事柄を実現させる。**14** 多くの国の人々と強大な王たちが、彼らを奴隷にする。私は彼らの振る舞いや行いに応じて彼らに返報する』」。

15 イスラエルの神エホバは私にこう言った。「この憤りのぶどう酒が入った杯を私の手から取り、私があなたを遣わす全ての国の人々に飲ませなさい。**16** 彼らは飲んで、よろめき、狂人のように行動する。私が彼らのなかを送ろうとしている剣のためである」。

17 それで、私はエホバの手から杯を取り、エホバに遣わされて行った全ての国の人々に飲ませた。**18** まずエルサレムとユダの町々から始め、その王たちや高官たちに。それらを廃虚とし、恐怖の光景に変え、人々がそれらに向かって口笛を吹き、災いがあることを願うようにするためであり、間もなくそうなる。**19** それから、エジプトの主ファラオと、家来たち、高官たち、民全て、**20** あらゆる外国人に。ウツの全ての王に。フィリスティア人の土地の全ての王、すなわち、アシュケロン^(イ)の王、ガザ^(イ)の王、エクロンの王、アシュド^(イ)の残っている人たちの王に。
21 エドム、モアブ、アンモン人に。

25:18 *または、「今日そうになっている」。

第25章

(イ) イザ 13:1,19
 イザ 14:4,23

(イ) エレ 50:9
 エレ 51:27

(イ) イザ 14:2
 ハバ 2:8

(イ) 詩 137:8
 エレ 50:29
 エレ 51:6,24
 啓 18:6

(イ) エレ 51:7
 哀 4:21
 エゼ 23:32-34
 ナホ 3:7,11

(イ) エレ 1:10

(イ) イザ 51:17

(イ) エレ 24:9

(イ) エレ 46:2

(イ) エレ 47:1

(イ) エレ 47:5

(イ) エレ 49:17
 哀 4:21

(イ) エレ 48:1

(イ) エレ 49:1

第2欄

(イ) エレ 27:2,3
 エレ 47:4

(イ) エレ 49:8

(イ) エレ 9:25,26
 エレ 49:32

(イ) エレ 49:31,32

(イ) エレ 49:34

(イ) エレ 51:11

(イ) エレ 51:41

(イ) イザ 63:6
 ハバ 2:16

(イ) 王一 9:7
 エレ 7:12,14
 ダニ 9:18
 ホセ 12:2

ミカ 6:2

(イ) エレ 49:12
 オバ 16

22 ティルス^(イ)の全ての王、シドン^(イ)の全ての王、海の島の王たちに。**23** デダン^(イ)、テマ、ブズ、もみあげを短く切っている全ての人のために。**24** アラビア^(イ)の人の全ての王、荒野に住むさまざまな民の全ての王に。**25** ジムリの全ての王、エラムの全ての王、メディア人の全ての王に。**26** 北の全ての王、近く^(イ)の王にも遠く^(イ)の王にも次々に、また地上の他の全ての王国に。そして、彼らの後にシエジャクの王が飲む。

27 「あなたは彼らに言わなければならない。『イスラエルの神、大軍を率いるエホバはこう言っている。「飲んで、酔って、吐いて、倒れて、起き上がれなくなれ。私があなたの方^(イ)のなか^(イ)に送ろうとしている剣のために』」。**28** もし彼らがあなたの手から杯を取って飲もうとしないなら、こう言いなさい。『大軍を率いるエホバはこう言っている。「あなたの方^(イ)は飲まなければならない**29** 私が、まず私の名^(イ)が付された都市に災いをもたらすのであれば、あなたが処罰を免れることができるだろうか』」。

『あなたは処罰を免れない。私は剣を呼び、地上に住む全ての人を攻めさせるからだ』と、大軍を率いるエホバは宣言する。

30 あなたは彼らにこれらの言葉全てを伝え、こう言いなさい。

25:23 *または、「こめかみの所で髪を」。**25:26** *バベル(バビロン)を暗号化した名前と思われる。

『エホバは高い所からほえ、
聖なる住まいから声を上げる。
自分の居場所に向かって大声で
ほえる。

ブドウを搾り場で踏み人たちのよ
うに叫び、
地上に住む全ての人に対して勝
ち誇って歌う』。

- 31 『騒音が地の果てにまで響き
渡る。

エホバが国々と論争をするか
らだ。

全ての人間を自ら裁き、
『じゃあくものをつるぎう
邪悪な者たちを剣で討つ』と、エ
ホバは宣言する。

- 32 大軍を率いるエホバはこう言う。
『見なさい！ 国から国へと災い
が広がっており、
地の果てから激しい大風が解き
放たれる。

33 その日、エホバに討たれた者
たちが、地の果てから果てにまで横た
わる。彼らは悲しまれず、集められるこ
とも葬られることもない。地面にまか
れた肥やしのようになる』。

- 34 牧者たちよ、泣き叫び、声を上げ
なさい！
群れの中の有力者たちよ、のた
うち回りなさい。
あなた方がほふられ、散らされ
る時が来たからである。

第25章

㊦ ヨエ 3:2

あなた方は貴重な器が落ちて碎
けるのと同じようになる！

- 35 牧者たちに逃げ場はなく、
群れの中の有力者たちも逃れら
れない。

- 36 聞きなさい！ 牧者たちは叫び声
を上げ、
群れの中の有力者たちは泣き叫
んでいる。

エホバが彼らの牧草地を荒廃さ
せているからだ。

- 37 平和な住まいは生気の無い所と
なった。

エホバの燃える怒りのために。

- 38 神は若いライオンのようにすみか
を去った。
残酷な剣のために、
また神の燃える怒りのために、
彼らの土地は恐怖の光景と
なった。

26 ユダの王、ヨシヤの子エホ
ヤキムの治世の初めごろに、
エホバが次のように語った。2 「エ
ホバはこう言う。『エホバの家の庭に
立ちなさい。そして、エホバの家で崇
拝するために入ってくる、ユダの町々
の全ての人に話しなさい。私があなた
に命じることを全て伝えるように。一
言も省いてはならない。3 もしかし
たら、彼らは聞いて、それぞれ悪い生
き方をやめるかもしれない。そうなれ

26:2 *または、「ひれ伏す」。#または、「につい
て」。

第26章

㊦ ホセ 5:14

第26章

㊦ 王二 23:34

代二 36:4

エレ 25:1

エレ 35:1

エレ 36:1

わたしかれわるおこな
ば、私は彼らの悪い行いのためにもた
らそうとしている災いについて思い直
す。4 彼らに言いなさい。「エホバ
はこう言っている。『もしあなたが
私の言うことを聞かず、私が与えた律
法に従わず、5 私に仕える預言者た
ちの言葉を聞かないなら(私は繰り返
し彼らを遣わしているが、あなたたち
は耳を傾けていない)、6 私は、この
家をシロのようにし、地上の全ての国
の人々がこの都市に災いがあること
を願うようにする』』」。

7 祭司と預言者と民全ては、エレミ
ヤがエホバの家でこれらの言葉を話
すのを聞いた。8 エレミヤが民全て
に話すようエホバに命じられたことを
皆話し終えると、祭司と預言者と民全
ては彼を捕らえて言った。「あなたは
必ず死ぬ。9 なぜあなたはエホバ
の名によって預言し、『この家はシロ
のようになり、この都市は滅ぼされて
誰も住まなくなる』と言ったのか。そ
して、民全てはエホバの家でエレミヤ
を取り囲んだ。

10 ユダの高官たちはこれらの言
葉を聞くと、王の家からエホバの家に
やって来て、エホバの新しい門の入り
口の所に座った。11 祭司たちと預
言者たちは、高官たちと民全てに言っ
た。「この人は死刑にされるべきです。
この都市に対して、皆さんが聞いた通

26:3 *または、「悔やむ」。26:4 *または、「指
示」。26:5 *直訳、「早く起きては」。26:10
*または、「宮殿」。

第26章

(ア) イザ 55:7
エレ 18:7,8
エレ 36:3
エゼ 18:27

(イ) 王二 17:13,14
エレ 7:12-14
エレ 25:3

(ウ) 詩 78:60

(ロ) エレ 24:9

(ハ) エレ 26:2

(ニ) エレ 36:10

(ホ) エレ 18:19,20

第2欄

(ア) エレ 38:4

(イ) エレ 1:17

(ウ) エレ 7:3
エレ 36:3
エゼ 18:32
ヨナ 3:9

(ロ) ミカ 1:1

(ハ) 代二 29:1

りに預言したからです」。

12 エレミヤは高官たちと民全てに
言った。「エホバが私を遣わし、この
家と都市に対して、皆さんが聞いた全
ての言葉を伝えさせました。13 です
から、生き方や行いを改め、皆さんの
神エホバの声に従ってください。そ
うすれば、エホバは皆さんにもたらす
と述べた災いについて思い直されま
す。14 私についていえば、皆さんの
手中にあります。皆さんがよいと思う
こと、正しいと思うことを私にしてくだ
さい。15 ただ、知っておいていただ
きたいのですが、私を殺すなら、皆さ
んとこの都市と住民は無実の人の血
を流した責任を負うことになります。
確かにエホバが私を遣わし、これらの
言葉全てを語らせ、皆さんに聞かせた
からです」。

16 すると、高官たちと民全ては、祭
司たちと預言者たちに言った。「この
人は死刑にされるべきではありません
。私たちの神エホバの名によって私
たちに語ったからです」。

17 さらに、土地の長老が何人か
立ち上がり、民の会衆 全体に向かっ
て言い始めた。18 「モレシエのミ
カは、ユダのヒゼキヤ王の時代に預
言し、ユダの民全てにこう言いました。
『大軍を率いるエホバはこう言ってい
ます。』

26:13 *または、「悔やまれます」。26:17 *用
語集参照。

「シオンは煙のように掘り起こ

され、

エルサレムはがれきの山となり、

神殿の丘は森の高い場所のよう

になる』。

19 ユダのヒゼキヤ王とユダの全ての人は、ミカを殺すようなことをしたでしょうか。王はエホバを畏れ、エホバの恵みを求めたので、エホバは彼らにもたらすと述べた災いについて思い直されたではありませんか。私たちは、大きな災いを身に招こうとしています。

20 エホバの名によって預言した人がもう1人いました。キルヤト・エアリムの人シェマヤの子ウリヤで、エレミヤが語ったような言葉でこの都市と土地に対して預言しました。**21** エホヤキム王と全ての戦士や高官たちはウリヤの言葉を聞き、王は彼を殺そうとしました。ウリヤはそれを聞いて怖くなり、エジプトに逃げました。

22 それでエホヤキム王は、アクバルの子エルナタンとほかの人たちをエジプトに遣わしました。**23** 彼らはウリヤをエジプトから連れ出してエホヤキム王のもとに連れていき、王は彼を剣で討つて、死体を一般の人々の墓地に投げ入れました。

24 シャファンの子アヒカムがエレミヤをかばったので、エレミヤが民の手に渡されて殺されることはなかった。

26:18 *直訳、「家の山」。^aまたは、「木に覆われた尾根」。**26:19** *または、「悔やまれた」。

第26章

(例) 詩 79:1
エレ 9:11

(例) ミカ 3:12

(例) 代二 32:26

(例) ヨシ 15:20, 60
ヨシ 18:11, 14
サー 7:2

(例) 王二 23:34
代二 36:5

(例) 代二 16:10

(例) エレ 36:11, 12

(例) エレ 2:30

(例) 王二 22:10

(例) 王二 22:12, 13
エレ 39:13, 14
エレ 40:5

(例) 王一 18:4

第2欄

第27章

(例) エゼ 25:12, 13
オバ 1

(例) エレ 48:1
エゼ 25:8, 9

(例) エレ 49:1, 2
エゼ 25:2

(例) イザ 23:1
エレ 47:4
エゼ 26:3

(例) イザ 23:4
エゼ 28:21
ヨエ 3:4

(例) ダニ 4:17

(例) エレ 25:9
エレ 28:14
エレ 43:10
ダニ 2:37, 38

(例) 詩 137:8
エレ 50:14, 27
ダニ 5:26, 30

(例) エレ 25:12, 14
エレ 51:11

(例) エゼ 26:7, 8

27 ユダの王、ヨシヤの子エホヤキムの治世の初めごろ

に、エホバがエレミヤに語り掛けた。

2 「エホバは私にこう言いました。

『自分のために縄とくびきを作り、首に掛けなさい。**3** そして、エドムの王、

モアブの王、アンモン人の王、ティル

スの王、シドンの王に、それを送りなさい。

ユダのゼデキヤ王のもとに遣わされてエルサレムにきた使者たちを通して送るのである。**4** 王たちに対する

次の命令を使者たちに与えなさい。

「イスラエルの神、大軍を率いるエ

ホバはこう言う。あなた方は王にこう

言いなさい。**5** 『私は、大きな力と伸

ばした腕によって、地球と人間と地上

の動物を造り、私が良いと思う者に与

えた。**6** そして今、これら全ての土

地を、私に仕えるバビロンのネブカド

ネザル王の手に渡した。野獣をも彼

に与えて仕えさせた。**7** 全ての国の

人々が、彼とその子と孫に仕える。し

かし、彼の国が終わる時が来ると、多

くの国の人々と強大な王たちが彼を

奴隷にする』。

8 『ある国民または王国が、バビロ

ンのネブカドネザル王に仕えようとせ

ず、バビロンの王が課すくびきを首に

掛けようとしないうちに、私は剣と飢餓

と疫病によってその国民を処罰し、彼

の手によって滅ぼす』と、エホバは宣

言する。

27:2 *用語集参照。

9『それで、「あなた方はバビロンの王に仕えることにはならない」と言っている預言者、占い師、夢を見るもの、魔術師、呪術師の言うことを聞いてはならない。10 彼らは偽りの預言をしている。もしあなたが聞くなから、自分の土地から遠くへ連れ去れることになり、私はあなた方を散らし、滅ぼす。

11 しかし私は、バビロンの王が課すくびきを首に掛けて仕える国民を、自国の土地にとどまらせる。彼らはその土地を耕してそこに住む』と、エホバは宣言する』。

12 私はユダのゼデキヤ王にも同じように話し、こう言った。「バビロンの王が課すくびきを首に掛け、彼とその民に仕えなさい。そうすれば生き続けることができます。13 バビロンの王に仕えない国民についてエホバが述べた通り、あなたと民が剣と飢餓と疫病によって死ぬようなことになってよいでしょうか。14『皆さんはバビロンの王に仕えることにはなりません』と言っている預言者たちの言葉を聞き入れてはなりません。彼らは偽りの預言をしているからです。

15 エホバはこう宣言しています。『わたしは彼らを遣わしていないのに、彼らは私の名によって偽りの預言をしている。もしその預言者たちの言うことを聞くなから、私はあなたたちを彼らと共に散らし、滅ぼす』。

第27章

㉑ 王ニ 24:17
代ニ 3:15
エレ 37:1

㉒ エレ 38:2,20

㉓ 王ニ 25:7

㉔ 王ニ 25:3

㉕ エレ 21:9

エゼ 14:21

㉖ エレ 28:1,2

エレ 28:11

エレ 37:19

㉗ エレ 14:14

エレ 23:21

エレ 28:15

エレ 29:8,9

エゼ 13:6

㉘ エレ 20:6

エレ 29:21

エゼ 13:3

第2欄

㉑ 王ニ 24:11,13

代ニ 36:7

エレ 28:1-3

ダニ 1:1,2

㉒ エレ 14:13

㉓ エレ 27:11

エレ 38:17

㉔ 王ニ 7:15

王ニ 25:17

代ニ 4:11,12

エレ 52:21

㉕ 王ニ 7:23

㉖ 王ニ 7:27

王ニ 25:16

代ニ 4:11,14

㉗ 王ニ 24:14,15

代ニ 36:10

エレ 24:1

ダニ 1:2,3

㉘ 王ニ 25:13,14

代ニ 36:18

エレ 52:17,18

ダニ 5:3

16 また、私は祭司たちとこの民全
てにこう言った。『エホバはこう言
ています。『エホバの家の器具は間も
なくバビロンから戻ってくる!』と預言
している預言者たちの言葉を聞き入
れてはならない。彼らは偽りの預言を
しているからである。17 彼らの言う
ことを聞いてはならない。バビロンの
王に仕えるなら、生き続けることがで
きる。この都市が廃虚になるようなこ
とがあってよいだろうか。18 もし彼
らが預言者であり、エホバの言葉を受
けているなら、エホバの家とユダの王
の家とエルサレムに残っている器具が
バビロンに持ち去られないよう、大軍
を率いるエホバに懇願するがよい』。

19 大軍を率いるエホバは、柱と
『海』と台車と、この都市に残っている
器具について話しました。20 それ
らは、バビロンのネブカドネザル王が、
ユダの王、エホヤキムの子エコニヤ
をユダとエルサレムの高貴な人たち
皆と共に捕らえてエルサレムからバビ
ロンに連れていった時に、持ってい
なかつたものです。21 イスラエルの
神、大軍を率いるエホバは、エホバの
家とユダの王の家とエルサレムに残
っている器具について、こう言ってい
ます。22『エホバはこう宣言する。「そ
れらはバビロンに持ち去られ、私が
注意を向ける日までそこにあること

27:18, 21 *または、「宮殿」。 27:19 *神殿に
ある銅の「海」のこと。

なる。そして私はそれらを持ち帰り、この場所に^{わたし も かえ}戻す^{ばしょ もど}』。』。

28 その年、ユダのゼデキヤ王^{とし おう}の治世^{ちせい}の初め^{はじ}ごろ、第4年^{だいねん}の

第5^{だい}の月^{つき}のことである。ゼベオンから^{きよ べんしや}来た預言者^{よげんしや}、アズルの子^こハナニヤは、エホバの家^{いえ}で、祭司たちと民^{たみ}全ての^{みな}前で^{まえ}私^{わたし}に言った。 **2** 「イスラエルの^い神^{かみ}、大軍^{たいぐん}を率^{ひき}いるエホバはこう言^いって

います。『私はバビロンの王^{わう}が課^かしているくびき^おを折^はる。 **3** バビロンのネ

ブカドネザル王^{おう}がここからバビロンに^も持ち去^さった、エホバの家^{いえ}の器具^{きぐすべ}全て^{みな}を、2年以内にこの場所^{ばしょ}に持ち帰^{かえ}る』。』。

4 『『また、ユダの王^{わう}、エホヤキムの子^こエコニヤと、捕囚^{ほしゅう}にされてバビロンに^い行^いったユダの人^{ひと}たちを皆^{みな}、この場所^{ばしょ}に^つ連れ戻^{もど}す。私はバビロンの王^{わう}が課^かしているくびき^おを折^はるのである』と、エホバは宣言^{せんげん}しています』。

5 そこで預言者エレミヤは、エホバの家^{いえ}に立^たっていた祭司^{さいし}たちと民^{たみ}全ての^{みな}前で、預言者ハナニヤに話^{はな}した。

6 預言者エレミヤはこう言^いった。「アーメン！ エホバがそうしてくださいま^{*}すように！ エホバがあなたの預言^{よげん}した言葉^{ことば}の通り^{とお}にし、エホバの家^{いえ}の器具^きをバビロンからこの場所^{ばしょ}に持ち帰^{かえ}り、捕囚^{ほしゅう}にされた人々^{ひとびと}を皆^{みな}連れ戻^{もど}して^つくださいますように！ **7** ですが、私が^{わたし}あなたと民^{たみ}全ての^{みな}に聞こえるように話^{はな}しているこの言葉^{ことば}をどうか聞^きいてくださ

28:6 * または、「そうなりますように」。

第27章

(ア) エズ1:7
エズ5:14

第28章

(イ) 王ニ24:17
代ニ36:10

(ウ) ヨシ11:19
サニ21:2

(エ) エレ27:4,8

(オ) 王ニ24:11,13
エレ27:16
ダニ2:2

(カ) 王ニ23:36
王ニ24:6

(キ) 王ニ24:8
王ニ25:27
エレ37:1

(ク) 王ニ24:12,14
エレ24:1

第2編

(ア) エレ27:2

(イ) エレ28:4

(ウ) エレ27:2

(エ) 申28:48
エレ5:19

(オ) エレ27:6
ダニ2:37,38

(カ) エレ28:1

い。 **8** 私^{わたし}やあなたよりもずっと昔^{むかし}の預言者^{よげんしや}たちは、多くの土地^{おほ とち}や強大な王^{きやうだい おう}国^{こく}が戦争^{せんそう}や災い^{わざわい}や疫病^{えきびよう}に見舞^みわれることを預言^{よげん}していました。 **9** ある預言者^{よげんしや}が平和^{へいわ}について預言^{よげん}し、その言葉^{ことば}の通り^{とお}になれば、その預言者^{よげんしや}が確^{たし}かにエホバに遣^わわされたことが分^わかります』。

10 すると、預言者ハナニヤは預言者エレミヤの首^{くび}からくびき^おを取り、それを折^はった。 **11** そして、民^{たみ}全ての^{みな}前で^{まえ}言^いった。「エホバはこう言^いっています。『このように、私は2年以内に、バビロンのネブカドネザル王^{わう}が課^かしているくびき^おを全ての^{みな}国^{くに}の人々^{ひとびと}の首^{くび}から取^とって折^はる』。そこで、預言者エレミヤは去^さっていった。』

12 預言者ハナニヤが預言者エレミヤの首^{くび}からくびき^おを取^とって折^はった後^{のち}、エホバがエレミヤに次のように語^{かた}った。 **13** 「行^いって、ハナニヤに言^いいなさい。『エホバはこう言^いっている。「あなたは木^きのくびき^おを折^はったが、代^{かわ}わりに鉄^{てつ}のくびき^くを作ることになる」。 **14** イスラエルの神^{かみ}、大軍^{たいぐん}を率^{ひき}いるエホバはこう言^いっている。『私はこれら全ての^{みな}国^{くに}の人々^{ひとびと}の首^{くび}に鉄^{てつ}のくびき^くを掛^かける。こうして彼らはバビロンのネブカドネザル王^{わう}に仕^{つか}えなければならな^い。私は彼^{かれ}に野獣^{やじゅう}をも与^{あた}える』。』

15 預言者エレミヤは預言者ハナニヤに言^いった。「ハナニヤ、どうか聞^きいてください！ あなたはエホバに遣^わわ

されていないのに、この民が偽りを信じてるようにしました。16 それで、エホバはこう言っています。『私はあなたを地上から除き去る。今年、あなたは死ぬ。民をあおってエホバに反逆させようとしたからである』。

17 こうして、預言者ハナニヤはその年の第7の月に死んだ。

29 これは、預言者エレミヤがエルサレムから書き送った手紙の言葉である。エレミヤは、捕囚にされた人々のうちの長老たち、祭司、預言者、民、すなわち、ネブカドネザルに捕らわれてエルサレムからバビロンに連れていかれた人たちが全てに宛てて書いた。2 それは、エコニヤ王、太后、廷臣たち、ユダとエルサレムの高官たち、職人や鍛冶屋がエルサレムから出ていった後のことだった。3 手紙は、ユダのゼデキヤ王がバビロンのネブカドネザル王のもとに遣わした、シャファンの子エラサとヒルキヤの子ゲマルヤによって届けられた。次のように書かれていた。

4 「イスラエルの神、大軍を率いるエホバは、人々が捕囚にされてエルサレムからバビロンに連れていかれるようにした。その人たちが皆にこう言う。5 『家を建てて住みなさい。果樹園を造って実を食べなさい。6 妻を迎えて息子や娘をもうけなさい。息子たち

29:2 *または、「貴婦人」。「もしかすると、「とりでを築く人」。

第28章

(例) エレ 14:14
エレ 23:21
エレ 27:15
エゼ 13:3

(例) 申 13:5
申 18:20
エレ 29:32

第29章

(例) 王二 24:8
エレ 22:24

(例) エレ 22:26

(例) 王二 24:15,16
エレ 24:1

(例) 王二 24:18

(例) 王二 22:8
エレ 26:24
エレ 39:13,14
エゼ 8:11

第2欄

(例) テモ 2:1,2

(例) エレ 14:14
エレ 27:14

(例) エレ 23:21
エレ 28:15

(例) 代二 36:20,21
エズ 1:1-3
ダニ 9:2
ゼカ 1:12

(例) 申 30:3
エズ 2:1
エレ 24:6

(例) ゼバ 3:15

(例) エレ 31:17

(例) ダニ 9:3

(例) レビ 26:40

(例) 申 4:29
申 30:1-4
王一 8:47,48
エレ 24:7

(例) イザ 55:6

のために妻を迎え、娘たちを嫁がせ、彼らも息子や娘をもうけられるようにしなさい。そこで増えるように。減ってはならない。7 私があなたたちを捕囚の身にした都市の平和を求め、その都市のためにエホバに祈りなさい。都市が平和ならあなたたちも平和だからである。8 イスラエルの神、大軍を率いるエホバはこう言う。「あなたたちの中にいる預言者や占い師に欺かれてはならない。彼らが見ている夢に注意を向けてはならない。9 『彼らは私の名によって偽りの預言をしている。私は彼らを遣わしていない』と、エホバは宣言する』。

10 「エホバはこう言う。『バビロンで70年が満了したら、私はあなたたちに注意を向ける。私の約束を果たし、あなたたちをこの場所に連れ戻す』。

11 エホバはこう宣言する。『私は、あなたたちのために自分が行おうとしていることをよく知っている。あなたたちに災いではなく平和をもたらし、良い将来と希望を与えたいと思っている。12 あなたたちが私を呼び、私のもとに来て祈る時、私は耳を傾ける』。

13 『あなたたちは私を探し、見つける。心を尽くして私を探し求めるからである。14 私はあなたたちが私を見つけられるようにする』と、エホバは宣言する。『そして、捕らわれているあなたたちを集め、私があなたたちを

29:11 *または、「考えている」。

追い^{すべ}やった^{くに}全ての^{あつ}国や場所から集め^お出す。あなたたちを捕囚^みの身^おにして追^おい出したが、元の場所へ連れ戻すので^おある』と、エホバは宣言する。

15 ところがあなたたちは、『エホバは私たちのためにバビロンで預言者たちを立てた』と言っている。

16 ダビデの王座についている王と、この都市に住んでいる民全て、すなわち、あなたたちと一緒に捕囚にされなかった兄弟たちについて、エホバはこう言う。**17** 『大軍を率いるエホバはこう言う。「私は彼らに対して剣と飢餓と疫病を送り、彼らをとても悪く食べられない腐ったイチジクのようにする」』。

18 『私は剣と飢餓と疫病によって彼らを追い立て、地上の全ての王国が彼らについて見聞きして恐怖を抱くようにする。私が彼らを追いやる全ての国で、人々は驚き、彼らに向かって口笛を吹き、彼らに災いがあることを願ひ、彼らを非難する。**19** 彼らが私の言葉に耳を傾けなかったからである。私に仕える預言者たちを繰り返し遣わして伝えさせた言葉を、彼らは聞こうとしなかった』と、エホバは宣言する。

『あなたたちも耳を傾けなかった』と、エホバは宣言する。

29:16 *エルサレムのこと。 **29:17** *もしかすると、「裂けた」。 **29:19** *直訳、「早く起きては」。

第29章

〔イ〕イザ 49:25
エレ 30:3
エゼ 39:28

〔イ〕詩 126:1

ホセ 6:11
アモ 9:14
ゼバ 3:20

〔イ〕エレ 28:1

〔イ〕エレ 24:10

〔イ〕エレ 24:2,8

〔イ〕レビ 26:33

〔イ〕申 28:25
エレ 34:17

〔イ〕王一 9:8
代二 29:8
エレ 25:9
哀 2:15

〔イ〕エレ 24:9

〔イ〕エレ 7:13

〔イ〕エレ 6:19

第2欄

〔イ〕エレ 14:14
エレ 29:8
哀 2:14

〔イ〕エレ 7:9,10
エレ 27:15

〔イ〕エレ 23:14

〔イ〕エレ 16:17
エレ 23:24

〔イ〕エレ 29:31,32

〔イ〕王二 25:18,21
エレ 21:1,2
エレ 37:3
エレ 52:24,27

20 それで、私がエルサレムからバビロンに追いやった、捕囚にされた全ての人よ、エホバの言葉を聞きなさい。**21** コラヤの子アハブとマアセヤの子ゼデキヤは、私の名によってあなたたちに偽りの預言をしている。イスラエルの神、大軍を率いるエホバは、彼らについてこう言う。『私は彼らをバビロンのネブカドネザル王の手に渡し、彼はあなたたちの目の前で彼らを討つ。**22** バビロンで捕囚にされているユダの人たちは皆、誰かに災いがあることを願う際、彼らに起きたことに触れてこう言うようになる。「エホバがあなたを、バビロンの王が火の中で焼いたゼデキヤやアハブのようににしてくださいますように!」**23** 彼らは隣人の妻と姦淫をし、私が命じなかった偽りの言葉を私の名によって語って、イスラエルで恥ずべきことを行った。

「私はそのことを知っており、証人である」と、エホバは宣言する』。

24 「ネヘラムのシェマヤにあなたはこう言う。**25** 『イスラエルの神、大軍を率いるエホバはこう言っている。「あなたは、エルサレムにいる民全てと、マアセヤの子である祭司ゼバニヤと、全ての祭司に、自分の名前で手紙を書き送り、こう述べた。**26** 『エホバがあなたを祭司エホヤダの代わりに祭司としたのは、あなたをエホバの家^{いえ}の監督とし、預言者のように振る舞う

狂人を取り締まらせて、足かせや首かせをはめさせるためです。27 それなのに、あなたはどうして、あなたたちに預言しているアナトデのエレミヤをしっせき吐責していないのですか。28 彼はバビロンにいる私たちに手紙を送ることまでし、こう述べました。「捕囚は長びく！家を建てて住みなさい。果樹園を造って実を食べなさい——』』』」。

29 祭司ゼパニヤが預言者エレミヤにこの手紙を読んで聞かせると、30 エホバがエレミヤに語り掛けてこう言った。31 「捕囚にされている人々皆にこう書き送りなさい。『エホバはネヘラムのシェマヤについてこう言っている。「私はシェマヤを遣わしていないのに、彼はあなたたちに預言し、偽りを信じさせようとした。そのため、32 エホバはこう言う。『私はネヘラムのシェマヤとその子孫に注意を向ける。彼の家系の人がこの民の中で生き残ることはない。私が私の民のために行う良い事柄を彼が見ることもない。彼は民をあおってエホバに反逆させようとしたからである』と、エホバは宣言する』』」。

30 エホバがエレミヤに語り掛けてこう言った。2 「イスラエルの神エホバはこう言う。『私があなたに話す言葉を全て書に記しなさい。3 「捕らわれている私の民、イス

29:26 *または、「首輪」。

第29章

(ア) エレ 20:2

(イ) エレ 43:2

(ウ) エレ 1:1

(エ) エレ 29:5

(オ) 王二 25:18,21

(カ) エレ 14:14
エレ 28:15,16
エゼ 13:8,9

第2欄

第30章

(ア) 申 30:3
エゼ 39:25

(イ) エズ 2:1
エレ 29:14
エレ 32:44
エゼ 20:42
アモ 9:14

(ウ) エレ 4:31
ミカ 4:9

(エ) ヨエ 2:11
ゼバ 1:14

(オ) エゼ 34:23
エゼ 37:24
ホセ 3:5

ラエルとユダを、私が集める時が来る」と、エホバは宣言する。「私は彼らの父祖たちに与えた土地に彼らを連れ戻し、再びそこを所有させる」と、エホバは言う』」。

4 これはエホバがイスラエルとユダに語った言葉である。

5 エホバはこう言う。

「私たちはおびえる声を聞いた。恐怖があり、平和はない。

6 どうか尋ねてみてほしい。

男性が子供を産めるだろうか。

では、なぜ私は、全ての強い男性が、出産する女性のように、腹に手を当てるのを見ている

のか。

なぜどの顔も青ざめているのか。

7 ああ！ その日は恐ろしい日であり、

そのような日はほかにない。

ヤコブにとって苦難の時である。

しかし彼は救い出される」。

8 大軍を率いるエホバはこう宣言する。「その日、私はあなたの首に掛けられたてんびん棒を折り、縄を2つに引きちぎる。よそ者が彼を奴隷にすることはもはやない。9 彼らは、彼らの神エホバと、私が彼らのために立てる王ダビデに仕える」。

30:6 *または、「腰」。30:7 *直訳、「大いなる」。30:8 *または、「外国人」。*または、「彼ら」。

10 エホバはこう宣言する。
 「私に仕えるヤコブよ、恐れては
 ならない。

イスラエルよ、おびえてはなら
 ない。

私はあなたを遠い土地から
 救い、

あなたの子孫を捕囚の地から
 救う。

ヤコブは戻り、平穩に暮らし、
 誰にも脅かされない。

11 エホバはこう宣言する。
 「私はあなたと共にいて、あなた
 を救う。

あなたを追いやった全ての国で、
 人々を根絶やしにする。

しかし、あなたを根絶やしにはし
 ない。

とはいえ、あなたを適度に矯
 正し、

決して処罰せずにはおかない」。

12 エホバはこう言う。
 「あなたの衰弱を治すことはでき
 ない。

あなたの傷は癒えない。

13 誰もあなたの言い分を弁護せず、
 あなたの潰瘍を癒やす方法は
 ない。

あなたを治すことはできない。

14 あなたの愛人は皆、あなたを忘
 れた。

もはやあなたを相手にしない。

第30章

(ア) イザ 41:13

(イ) イザ 49:25
エレ 3:18

(ウ) エレ 33:16
エゼ 34:25
ホセ 2:18
ミカ 4:4

(エ) エレ 50:29
エレ 51:24

(オ) レビ 26:44
ネヘ 9:31
哀 3:22
アモ 9:8

(カ) 出 34:6,7
エレ 46:27,28

(キ) 代二 36:15,16
イザ 6:10
エレ 8:21,22

(ク) 哀 1:2,19

第2欄

(ク) 哀 2:5

(イ) エレ 5:6

(ウ) 代二 36:14

(エ) イザ 41:11
エレ 25:12

(オ) エレ 51:29,56
ミカ 5:9

(カ) ゼカ 2:8,9

(キ) 哀 2:15

(ク) 詩 102:13
エレ 33:6,7

(コ) 詩 85:1
エレ 24:6
エレ 29:10

わたしは敵がするようにあなたを
 打ち、

残酷な者のようにあなたを処罰
 した。

あなたの大きな過ち、数々の罪
 のためである。

15 なぜ自分の衰弱のゆえに叫ぶ
 のか。

あなたの痛みは癒えない！
 あなたの大きな過ち、数々の罪
 のために、

私はあなたにこのことを行った。

16 それで、あなたをむさぼり食う者
 は皆むさぼり食われ、

あなたの敵は皆捕らわれる。

あなたから奪い取る者は奪い取
 られ、

私はあなたから略奪する者が略
 奪されるようにする」。

17 「彼らはあなたを見捨てられた者
 と呼び、

『誰にも相手にされないシオン』
 と言うが、

私はあなたの健康を回復させ、
 傷を癒やす」と、エホバは宣
 言する。

18 エホバはこう言う。
 「私は、ヤコブの捕らわれている
 子孫を集め、
 ヤコブの幕屋を哀れに思う。

30:18 *直訳、「ヤコブの天幕の捕らわれた
 人々」。

都市はその丘の上に再建され、
防備された塔が、あるべき場所
に立つ。

19 彼らは感謝を表し、笑い声を上げる。

私は彼らを増やすので、彼らが減
ることはない。

私は彼らを非常に多くするので、
彼らが取るに足りない者となるこ
とはない。

20 ヤコブの子孫は昔のようになり、
その民は私の前にしっかりと立
ち続ける。

私は彼を虐げる者を全て処罰
する。

21 威厳がある者が彼の家系から
出る。

彼を治める者が彼の子孫の中か
ら現れる。

私はその者を近寄せ、彼は私
に近づく。

「さもなくば、誰があえて私に
近づこうとするだろうか」と、エ
ホバは言う。

22 「こうして、あなたたちは私の民
となり、私はあなたたちの神と
なる」。

23 見なさい！ エホバの暴風が激し
く吹き荒れる。

第30章

(例) ミカ 4:8

(例) エズ 3:12

ネヘ 8:17

イザ 35:10

(例) 申 30:5

イザ 27:6

ゼカ 10:8

(例) イザ 60:22

ミカ 4:7

(例) イザ 1:26

(例) イザ 49:26

エレ 50:18

(例) ホセ 2:23

(例) エレ 31:1

エゼ 11:20

エゼ 36:28

(例) エレ 25:32

第2欄

(例) エレ 4:28

(例) エレ 23:20

第31章

(例) レビ 26:12

エレ 30:22

エレ 31:33

(例) 申 7:8

(例) エレ 33:7

アモ 9:11

(例) エレ 30:18,19

(例) アモ 9:14

ミカ 4:4

猛烈な大嵐が邪悪な人たちの頭
上で荒れ狂う。

24 エホバの燃える怒りは静まら

ない。

心の中の考えを実行して成し遂
げるまでは。

最後の日々にあなたたちはこの
ことを理解する。

31 「その時、私はイスラエルの
全ての家族の神となり、彼ら
は私の民となる」と、エホバは宣言
する。

2 エホバはこう言う。

「剣から逃れて生き残った人た
ちは、荒野で恵みを受けた。

イスラエルが休み場に向かって
歩いていた時に」。

3 遠くからエホバが私に現れて
言った。

「私は永遠の愛をもってあなたを
愛してきた。

そのため、揺るぎない愛をもって
あなたを引き寄せたのである。

4 私はあなたを建て直し、あなたは
建て直される。

イスラエルの乙女よ、あなたは
再びタンパリンを手に取り、

喜びにあふれて踊る。

5 あなたは再びサマリアの山々に
ブドウ園を造る。

31:3 *または、「あなたに揺るぎない愛を示し続
けてきた」。 31:4 *または、「笑っている人た
ちの囁りに加わる」。

30:19 *もしかすると、「彼らを尊ばれる者とする」。
30:21 *または、「命を懸けて」。 30:23
*または、「激怒のうちに」。

さいばいじん う み あじ
栽培人たちは植えて、実を味
わう。

- 6 エフライムの山々にいる見張り
たちが呼び掛ける日が来る。

『立って、シオンに、私たちの神
エホバのもとに上っていこ
う』と。

- 7 エホバはこう言う。
「喜びにあふれてヤコブに向かっ
て叫びなさい。

国々の上に立っているゆえに喜
んで叫びなさい。
このことを広く知らせ、神を賛美
して言いなさい。

『エホバ、あなたの民を、イスラ
エルの残りの者を救ってくだ
さい』と。

- 8 私は北の土地から彼らを連れ
戻す。

地の果てから彼らを集める。
その中には、目が見えない人や
足が不自由な人、

妊娠している女性や出産が間近
い女性もいる。

彼らは大きな会衆となってここに
戻ってくる。

- 9 彼らは泣きながら来る。
私は、恵みを求める彼らを導く。
つまづくことがない平らな道を歩
かせて、

水が流れる所に連れていく。

31:9 * または、「ワジ」。

第31章

(例) 申 30:9
イザ 65:21, 22

(例) イザ 2:3
エレ 50:4, 5

(例) 申 32:43
イザ 44:23

(例) イザ 1:9
エレ 23:3
ヨエ 2:32

(例) イザ 43:6
エレ 3:12

(例) 申 30:4
エゼ 20:34
エゼ 34:12

(例) イザ 35:6
イザ 42:16

(例) エズ 2:1, 64

(例) エレ 50:4

(例) イザ 35:7
イザ 49:10

第2欄

(例) 創 48:14
出 4:22

(例) イザ 11:11
イザ 42:10

(例) イザ 40:11
エゼ 34:11-13
ミカ 2:12

(例) イザ 44:23
イザ 48:20

(例) イザ 49:25

(例) エズ 3:13
詩 126:1
イザ 51:11

(例) ヨエ 3:18

(例) イザ 65:10

(例) イザ 58:11

(例) イザ 35:10

(例) ゼカ 8:4

(例) エズ 3:12

(例) イザ 51:3
イザ 65:19

わたしはイスラエルの父であり、エ
フライムは私の初子なので
ある。

- 10 国々よ、エホバの言葉を聞き、
遠くの島々に知らせよ。

「イスラエルを散らした者が彼を
集め、
群れを見守る羊飼いのように彼
を見守る。

- 11 エホバはヤコブを救い、
彼より強い者の手から助け出す。

- 12 人々は来て、シオンの山で歓声
を上げ、

エホバからの良いもののゆえに
顔を輝かせる。

穀物、新しいぶどう酒、油、
若い羊や牛について喜ぶ。

彼らはよく潤っている庭園のよう
になり、

二度と弱り果てることはない。

- 13 「その時、乙女は喜びにあふれて
踊り、

若者も老人も共に踊る。

私は彼らの悲しみを歓喜に変
える。

彼らを慰め、悲嘆の代わりに喜
びを与える。

- 14 私は祭司たちを豊かな物で満足
させ、

31:11 * 直訳、「買い戻し」。「または、「取り戻
す」。

31:12 * または、「エホバの善い行い」。

31:14 * 直訳、「肥えた物」。

わたし たみ わたし よ *
私の民は私からの良いものに
まんぞく (何) せんげん
満足する」と、エホバは宣言
する。

15 「エホバはこう言う。

『ラマで声が聞こえる。嘆きと悲
痛な泣き声が。

ラケルが子供たちのことで泣き
悲しんでいる。

彼女は慰められるのを拒んだ。

子供たちがもういないからで
ある』。

16 エホバはこう言う。

『泣くのをやめ、涙を拭いな
さい。

あなたの行いは報われるからだ。

子供たちは敵の土地から戻って
くる』と、エホバは宣言する。

17 『あなたの将来には希望がある。

子供たちは自分たちの領地に
戻ってくる』と、エホバは宣言
する。

18 「私はエフライムがこう嘆くのを 確かに聞いた。

『あなたは私を正し、私は正され
ました。

訓練されていない子牛のように。
私を連れ戻してください。私はあ

なたのもとに戻ります。

あなたは私の神エホバなのです。

19 私はあなたのもとに戻った後、自 分を責めました。

第31章

(何) 申 30:9
イザ 63:7

(何) ヨシ 18:21, 25
エレ 40:1

(何) 哀 1:16

(何) マタ 2:16-18

(何) エズ 1:5
エレ 23:3
エゼ 11:17
ホセ 1:11

(何) エレ 29:11

(何) エレ 46:27

(何) 申 30:1-3

第2欄

(何) エズ 9:6

(何) エレ 31:9
ホセ 14:4

(何) ホセ 11:8

(何) 申 32:36
ミカ 7:18

(何) イザ 62:10

(何) イザ 35:8

(何) イザ 1:26

(何) ゼカ 8:3

おし り かい のち ひ たん
教えられて理解した後、悲嘆して

ももをたたきました。

私は恥じ、自分が嫌になりま

した。

若い時に非難されるようなことを
行ったからです』。

20 「エフライムは私の大切な子、愛 する子ではないか。

私は彼を叱責するたびに、彼の

ことを心に留める。

そのために感情が揺さぶられて
いる。

彼を本当に哀れに思う』と、エホ
バは宣言する。

21 「自分のために標識を置き、 道しるべを立てなさい。

街道に、通らなければならない
道に、注意を払いなさい。

イスラエルの乙女よ、戻りなさい。

あなたの町々に戻りなさい。

22 不忠実な娘よ、いつまでふらつく のか。

エホバは地上に新しいことを創
造した。

女性が男性を一心に追い求める
のである」。

23 イスラエルの神、大軍を率いる

エホバはこう言う。「捕らわれている
人々を私が集めて戻す時、彼らはユダ

の土地と町々で再びこう言う。『正しさ
に満ちる住まいよ、聖なる山よ、エホ

バから祝福されますように』。24 そこに、ユダとその全ての町の人々が共に住む。農業をする人たちも、家畜の世話をする人たちでもある。25 私は疲れている人を元気づけ、弱り果てている人を強くする。

26 ここで私は起きて、目を開けた。心地よい眠りだった。

27 「私がイスラエルの土地とユダの土地で、人や家畜の子孫を増やす時が来る」と、エホバは宣言する。

28 エホバはこう宣言する。「私は、引き抜き、取り壊し、打ち壊し、滅ばし、害を加えるために彼らを見張ったように、建てて植えるために彼らを見守る。29 その時、彼らはもう、『父たちが酸っぱいブドウを食べたのに、子たちの歯が浮いた』とは言わなくなる。30 人はそれぞれ自分の過ちのために死ぬのである。酸っぱいブドウを食べる人は、自分の歯が浮く。

31 エホバはこう宣言する。「私がイスラエル国民およびユダ国民と新しい契約を結ぶ時が来る。32 その契約は、私が彼らの父祖たちの手を取ってエジプトから連れ出した日に、その父祖たちと結んだ契約のようなものではない。『私は確かに彼らの主人だ』たのに、彼らは私との契約を破った』と、エホバは言う。

31:25 *または、「満足させ」。「または、「満たす」。31:29 *直訳、「なまった」。31:32 *もしかすると、「夫」。

第31章

(例) エレ 33:12
エゼ 36:10,11

(例) 詩 107:9

(例) 申 30:9
エゼ 36:9
ホセ 2:23

(例) エレ 44:27
エレ 45:4

(例) 詩 102:16
詩 147:2
エレ 24:6

(例) エゼ 18:2-4

(例) マタ 26:27,28
ルカ 22:20
コリ 11:25
ヘブ 8:8-12

(例) 出 19:5

(例) エゼ 16:59

第2欄

(例) エゼ 11:19

(例) ヘブ 10:16

(例) エレ 24:7
エレ 30:22

(例) イザ 54:13
ヨハ 17:3

(例) イザ 11:9
ハバ 2:14

(例) エレ 33:8
エレ 50:20
マタ 26:27,28
ヘブ 8:10-12
ヘブ 9:15
ヘブ 10:17

(例) イザ 51:15

(例) イザ 54:10
エレ 33:20,21

(例) エレ 30:11

33 エホバはこう宣言する。「これが、そうした時代の後に私がイスラエル国民と結ぶ契約である。私は、私の律法を彼らの奥深くに入れ、彼らの心の中に書き記す。そして、私は彼らの神となり、彼らは私の民となる。

34 エホバはこう宣言する。「彼らがそれぞれ、隣人や兄弟を教えて、『エホバを知りなさい!』と言うことはもうなくなる。最も小さな者から最も大きな者まで、皆が私を知るようになるからだ。私は彼らの過ちを許し、彼らの罪をもはや思い出さない。

35 エホバは太陽を与えて昼の光とし、
月や星の法則を定めて夜の光

とし、
海をかき回して波を荒立たせる。
大軍を率いるエホバという名を
持つその方はこう言う。

36 『『これらの規定が無効になることはないため、
イスラエルの子孫は私の前で常に
国民であり続ける』と、エホバは宣言する。

37 エホバはこう言う。「『天を測ることはできず、地の土台を調べ尽くすこともできないように、私がイスラエルの子孫のあらゆる行いのゆえに彼らすべてを退けることはない』と、エホバは宣言する。

31:35 *または、「法令」。

38 エホバはこう宣言する。「『ハナヌエルの塔』から『隅の門』に至るまで、この都市がエホバのために建て直される時が来る。39 測り綱はガレブの丘まで真っすぐに伸び、ゴアの方に向かう。40 死体と灰の谷 全体、またキデロンの谷に至る段丘、東を向く『馬の門』の隅までの全ての段丘は、エホバにとって聖なるものとなる。二度と引き抜かれることも打ち壊されることもない」。

32 ユダのゼデキヤ王の治世の第10年、すなわちネブカドネザルの治世の第18年に、エホバがエレミヤに語り掛けた。2 その時、バビロンの王の軍がエルサレムを包囲していた。預言者エレミヤは、ユダの王の家にある「監視の庭」に拘束されていた。3 ユダのゼデキヤ王が彼を拘束して、こう言ったのである。「どうしてあなたはこのように預言するのですか。『エホバはこう言っています。』「私はこの都市をバビロンの王の手に渡し、彼は都市を攻め取る。4 ユダのゼデキヤ王は、カルデア人から逃れることはない。必ずバビロンの王の手に渡され、彼と対面して、じかに話す」。

5 エホバはこう宣言しています。「彼はゼデキヤをバビロンに連れていき、ゼデキヤは私が注意を向ける時まで

31:40 *犠牲にした動物の脂が染み込んだ灰のこと。*または、「谷あいの平原」。32:2 *または、「宮殿」。

第31章

(7) ネヘ 3:1
ゼカ 14:10

(1) 代二 26:9

(7) ネヘ 12:27
イザ 44:28
エレ 30:18

(1) ゼカ 1:16

(8) サニ 15:23
王二 23:6
ヨハ 18:1

(7) ネヘ 3:28

(7) ヨエ 3:17

第32章

(7) エレ 25:1

(7) ネヘ 3:25
エレ 33:1
エレ 38:28

(7) エレ 37:18,21

(7) エレ 34:2,3
エレ 37:8,17

(7) 王二 25:6,7
エレ 38:17,18
エレ 39:5
エゼ 12:13

第2欄

(7) エレ 21:4
エゼ 17:15

(1) ヨシ 21:8,18
エレ 1:1

(7) レビ 25:23,24

(1) 創 23:16

(7) エレ 32:44

(7) ルツ 4:9

(7) エレ 51:59

(7) エレ 36:4
エレ 36:26

(7) エレ 33:1

そこにいることになる。あなたたちはカルデア人と戦い続けても勝つことはない』」。

6 エレミヤは言った。「エホバが私に語り掛けてこう言いました。7 『あなたのおじシャルムの子ハナムエルが、あなたのもとに来てこう言う。『アナトテにある私の畑を買い取ってほしい。あなたにそれを買い戻す第1の権利があるからだ』』」。

8 エホバが言った通り、私のおじの子ハナムエルが、「監視の庭」にいる私のもとに来てこう言った。「どうか、ベニヤミンの土地のアナトテにある私の畑を買い取ってください。あなたには所有する権利と買い戻す権利があるからです。ぜひ買い取ってください」。それで、私はエホバの言葉の通りだと分かった。

9 こうして私は、アナトテにある畑をおじの子ハナムエルから買い、代金として銀10枚と80グラムを量った。

10 それを証書に記し、封印をし、証人たちを立てて、代金をかりで量った。11 そして、おきてと法的な要求に従って封印された購入証書と、封印されていない証書を手に取り、12 マフセヤの子ネリヤの子バルクに渡した。私のおじの子ハナムエルと、購入した証書に記した証人たちと、「監視の庭」に座っていたユダヤ人皆が、それを見ていた。

32:7 *父方のおじのこと。

13 私は彼らの前でバルクに命じて言った。14 「イスラエルの神、大軍を率いるエホバはこう言っています。『これらの証書、封印された購入証書と封印されていないもう1つの証書を、土の器に入れなさい。長い間保管するためである』。15 イスラエルの神、大軍を率いるエホバはこう言っています。『家や畑やブドウ園が、再びこの土地で買われるようになる』。』

16 私はネリヤの子バルクに購入証書を渡した後、エホバに祈って言った。17 「ああ、主権者である主エホバ！ あなたは、大きな力と伸ばした腕によって天と地を造られました。あなたに不可能なことは何もありません。18 あなたは揺るぎない愛を幾千代までも示しつつ、父たちの過ちの報い後の世代に受けさせる方、真の神、力強く偉大な方で、大軍を率いるエホバという名を持っておられます。19 素晴らしい目的を持ち、偉大なことを行い、人々の歩み全てをご覧になっています。一人一人に、生き方や行いに応じて報いるためです。20 あなたがエジプトで行われたしるしとなることや奇跡は、今でも知られています。そのようにしてあなたはイスラエルで、また全ての人の間で名を上げ、今に至っています。21 そしてあなたは、しるしと、奇跡と、力強い手と、伸

32:18 *直訳、「後の子たちの懐」。32:19 *または、「助言を与え」。

第32章

(ア) アモ 9:14
ゼカ 3:10

(イ) イザ 40:26
啓 4:11

(ウ) 出 34:6,7
民 14:18

(ロ) イザ 28:29

(エ) 格 15:3
ヘブ 4:13

(ク) 伝 12:14
エレ 17:10
ロマ 2:6

(ケ) 出 7:3,5
出 9:15,16
申 4:34
サニ 7:23
イザ 63:12

第2欄

(ア) 出 6:1,6
出 15:16
申 26:8

(イ) 出 3:8

(ウ) 創 13:14,15
創 26:3

(ロ) 申 28:15
ヨシ 23:16

(エ) 申 28:52
王二 25:1
エレ 33:4
エゼ 4:1,2

(ク) レビ 26:31,33

(ケ) エレ 14:12
エレ 15:2

(コ) 王二 25:4
エレ 20:5

ばした腕と、恐るべき行いによって、ご自分の民イスラエルをエジプトから連れ出されました。

22 やがてあなたは、彼らの父祖たちにご与えと誓ったこの非常に肥沃な土地を、彼らにお与えになりました。

23 彼らは入ってきて土地を手に入れましたが、あなたの声に従わず、あなたの律法に従って歩みませんでした。あなたに命じられたことを何もしなかったで、あなたは災いがごとくと彼らに降り掛かるようにされました。24 ご覧ください、人々が来て土壘を築き、この都市を攻め取ろうとしています。剣と飢餓と疫病のために、この都市は攻めてきたカルデア人の手に落ちるでしょう。ご覧のように、全てあなたが言われた通りになりました。25 それなのに、主権者である主エホバ、あなたは私に、『畑を買い取って代金を支払い、証人たちを立てなさい』と言われました。この都市はカルデア人の手に落ちますのに」。

26 すると、エホバがエレミヤに語り掛けてこう言った。27 「私はエホバ、全ての人の神である。私に不可能なことなどあるだろうか。28 エホバはこう言う。『私はこの都市をカルデア人の手に、バビロンのネブカドネザル王の手に渡そうとしている。彼はこの都市を攻め取る。29 都市に攻めてきたカルデア人は、入ってきて都市

32:22 *直訳、「乳と蜜が流れる地」。

に火を放ち、家々もろとも焼く。その家々の屋上で、民はバアルに犠牲を捧げ、ほかの神々のために飲み物の捧げ物を注いで、私を怒らせた。』

30 エホバはこう宣言する。『イスラエルとユダの民は若い頃からずっと、私から見て悪いことばかり行ってきた。イスラエルの民は行いによって私を怒らせ続けている。 **31** この都市は、彼らによって建てられた日から今まで、私を怒らせ憤らせるものでしかなかった。それで、私の顔の前から取り除かれなければならない。 **32** イスラエルとユダの民があらゆる悪を行って私を怒らせたからである。民、王や高官たち、祭司、預言者、ユダの人たちとエルサレムの住民が私を怒らせた。

33 彼らは私に背を向け続け、顔を向けなかった。私は繰り返し彼らを教えるようにしたが、誰も聞こうとせず、矯正を受けなかった。 **34** 彼らは私の名が付された家に汚らわしい偶像を置き、その家を汚した。 **35** その上、ヒンノムの谷にバアルのための高い場所を築き、息子や娘を火で焼いてモレクに捧げた。ユダに罪を犯させるそのような忌まわしいことを私は命じたことがなく、考えたこともない。』

36 あなたたちは、この都市が剣と飢餓と疫病によってバビロンの王の手

32:33 *直訳、「早く起きては」。**32:35** *用語集の「ゲヘナ」参照。「直訳、「火の中を通らせて」。[△]または、「心に思った」。

第32章

〔例〕王ニ 25:9,10
代ニ 36:17,19

哀 4:11

〔例〕エレ 7:18

エレ 19:13

エレ 44:25

〔例〕申 9:7

王ニ 17:9

〔例〕王ニ 11:7

王ニ 21:1,4

〔例〕王ニ 23:27

王ニ 24:3,4

〔例〕王ニ 11:9,10

王ニ 23:26

代ニ 10:13

〔例〕エゼ 22:6

〔例〕ミカ 3:5,11

〔例〕代ニ 29:6

エレ 2:27

〔例〕エレ 25:3

エレ 35:15

〔例〕王ニ 21:1,4

エレ 23:11

エゼ 8:5,6

〔例〕ヨシ 15:8,12

〔例〕代ニ 28:1,3

代ニ 33:1,6

エレ 7:31

〔例〕レビ 18:21

申 18:10,12

第2欄

〔例〕申 30:3

エレ 29:14

エゼ 37:21

〔例〕エレ 23:3,6

エレ 33:16

エゼ 34:25

〔例〕エレ 31:33

ミカ 4:5

〔例〕エゼ 11:19

〔例〕申 5:29

〔例〕イザ 55:3

イザ 61:8

〔例〕エゼ 39:29

〔例〕エゼ 36:26

〔例〕イザ 65:19

ゼバ 3:17

〔例〕イザ 58:11

エレ 24:6

アモ 9:15

〔例〕エレ 31:28

ゼカ 8:14,15

〔例〕エゼ 37:14

〔例〕エレ 31:23

〔例〕エレ 17:26

エレ 33:13

〔例〕エレ 32:10,25

〔例〕詩 126:1

に渡されると言っている。この都市について、イスラエルの神エホバはこう言う。 **37** 『私は、怒りと憤りと激怒のうちに彼らを追いやった全ての土地から、彼らを集める。この場所に連れ戻し、安らかに暮らせるようにする。 **38** 彼らは私の民となり、私は彼らの神となる。 **39** 私は一つの心と一つの道を与えて、彼らがいとも私を畏れるようにする。それは彼ら自身と後の世代のためになる。 **40** 私は彼らと永遠の契約を結び、彼らに善を行うことをやめない。彼らの心に私への畏れを抱かせ、私から離れていかないようにする。 **41** 彼らのことで歓喜し、彼らに善を行う。心を尽くし、自分の全てを尽くして、彼らをこの土地にしつかりと植える』。

42 「エホバはこう言う。『私は、この民にこの大きな災いをことごとくもたらしたように、約束している良いことも全てもたらす。 **43** あなたたちは、「ここは人も動物もない荒れ地で、カルデア人の手に渡された」と言っているが、再びこの土地で畑が買われるようになる。』

44 『ベニヤミンの土地、エルサレムの周辺、ユダの町々、山地の町々、低地の町々、南の町々で、畑が買われて代金が支払われ、購入証書が記されて封印され、証人たちが立てられる。と捕らわれている人々を私が連れ戻すからである』と、エホバは宣言する。』

33 エレミヤがまだ「監視の庭」に拘束されていた時、エホバが再びエレミヤに語り掛けてこう言った。2「大地を造ったエホバ、大地を形作ってしっかり据えたエホバはこう言う。エホバがその名である。

3『私に呼び掛けなさい。そうすれば私はあなたに答え、あなたが知らないこと、理解し難い偉大なことを直ちに告げる』。

4「敵が土塁を築き、剣を持って攻めてきたため、この都市の家々とユダの王たちの家々は取り壊された。イスラエルの神エホバは、その家々について語る。5 また、カルデア人と戦うために来る人たちについて語る。私は怒りと憤りのうちに彼らを打ち倒し、辺りは死体だらけになる。彼らの悪い行いのために、私はこの都市から顔を隠したのである。6『私は彼女を回復させ、健康にする。そして彼女を癒やし、豊かな平和と真理を与え

る。7 ユダとイスラエルの捕らわれている民を連れ戻し、初めの時にしたように彼らを祝福する。8 私に対して犯した全ての罪から彼らを清め、私に対して犯した全ての罪や違反を許す。9 私が彼らに与えるあらゆる良いものについて聞く地上のすべての国の人々の前で、彼女の名は私を歓喜させ、彼女は私に賛美と栄光をもたら

33:6 *都市つまりエルサレムのこと。『または、「啓示する」。33:7 *直訳、「建てる」。

第33章

(例) ネヘ 3:25
エレ 32:2
エレ 37:21
エレ 38:28

(例) イザ 48:6

(例) 申 28:52
エレ 32:24

(例) イザ 30:26
エレ 30:17

(例) イザ 54:13

(例) 申 30:3
エレ 30:3

(例) エレ 24:6

(例) イザ 40:2
ゼカ 13:1

(例) 詩 85:2
イザ 43:25
エレ 31:34
ミカ 7:18

第2欄

(例) イザ 62:3,7

(例) ネヘ 6:15,16

(例) ミカ 7:17

(例) エレ 31:12

(例) ゼカ 9:17

(例) 代二 5:13
エズ 3:11
詩 106:1
イザ 12:4
ミカ 7:18

(例) レビ 7:12
詩 107:22

(例) イザ 65:10
エレ 32:43

(例) エレ 17:26

(例) エレ 32:44

(例) エレ 29:10

す。私が彼女に与えるあらゆる良いものと平和のために、人々は恐れて震える』。

10「エホバはこう言う。『人も家畜もない荒れ地だとあなたたちが言うこの場所で、荒れ果てて人も住民も家畜もないユダの町々とエルサレムの通りで、再び声が聞かれるようになる。11 歓喜や祝福の声、花婿や花嫁の音がして、人々はこう言う。「大軍を率いるエホバに感謝しよう。エホバは善い方だからだ。神の揺るぎない愛は永遠に続く!』

『彼らはエホバの家に感謝の捧げ物を持ってくる。私が、捕らわれている民をこの土地に連れ戻し、初めの時のようにするからである』と、エホバは言う。

12「大軍を率いるエホバはこう言う。『人も家畜もないこの荒れ地とすべての町々に再び牧草地ができ、羊飼いたちが群れを休ませる』。

13「山地の町々、低地の町々、南の町々、ベニヤミンの土地、エルサレムの周辺、ユダの町々で、再び羊飼いが羊を数えるようになる』と、エホバは言う。

14「エホバはこう宣言する。『私がイスラエル国民とユダ国民に関して語った良い約束を果たす時が来る。15 その時、私はダビデのために正

33:13 *直訳、「羊を数える人の手の下を再び群れが通る」。

しい芽を芽生えさせ、その者はこの土
地で公正に裁き、正しいことを行う。

16 その時、ユダは救われ、エルサレムは安らかに暮らすようになる。その都市は「エホバは私たちの正義」という名で呼ばれる』。

17 「エホバはこう言う。『イスラエルの王座には必ずダビデの家系の人がつく。18 また、必ずレビ族の祭司の1人が私の前に立ち、全焼の捧げ物を捧げ、穀物の捧げ物を焼き、犠牲を捧げる』。

19 エホバが再びエレミヤに語り掛けてこう言った。20 「エホバはこう言う。『あなたが、昼と夜に関する私の契約を破ることができず、決まった時間に昼と夜が来るのを妨げられないのと同じように、21 私に仕えたダビデとの契約も破られることはなく、彼の王座について王として治める子が必ず生まれる。私に奉仕するレビ族の祭司たちとの契約も破られることはない。22 私は、私に仕えたダビデの子孫と、私に奉仕するレビ族を増やし、数え切れない天の星のように、量り切れない海の砂のようにする』。

23 エホバが再びエレミヤに語り掛けてこう言った。24 「この人々が『エホバは自分で選んだ2つの家系を退ける』と言っていることに、あなたは気付いていないのか。彼らは私の民

33:15 *または、「後継者」。33:22 *直訳、「軍」。

第33章

(イ) イザ 53:2
ゼカ 6:12

啓 22:16

(イ) イザ 11:1,4

エレ 23:5

ヘブ 1:9

(イ) イザ 45:17

(ロ) エゼ 28:26

(ロ) エレ 23:6

(ロ) サニ 7:16,17

王一 2:4

詩 89:20,29

イザ 9:7

ルカ 1:32,33

(イ) 創 1:16

イザ 54:10

エレ 31:35-37

(イ) サニ 7:16,17

サニ 23:5

詩 89:34,35

詩 132:11

イザ 55:3

(イ) イザ 9:6

ルカ 1:32,33

(ロ) 申 21:5

第2欄

(イ) 創 1:16

(イ) 詩 104:19

エレ 31:35,36

(イ) イザ 14:1

エレ 31:20

(ロ) エズ 2:1,70

第34章

(イ) 王二 25:1

エレ 32:2

エレ 39:1

エレ 52:4

(イ) 代二 36:11

エレ 37:1

(イ) エレ 21:10

エレ 32:28,29

エレ 39:8

(イ) エレ 37:17

エレ 39:5

(イ) 王二 25:6,7

エゼ 12:13

(ロ) エゼ 17:16

を侮っており、もはや国民とは見なしていない。

25 エホバはこう言う。『私は、昼と夜に関する契約と、天と地の法則を確立したのと同じように、26 ヤコブの子孫および私に仕えたダビデの子孫を決して退けない。ダビデの子孫から、アブラハムとイサクとヤコブの子孫を治める者たちを選ぶ。私は捕らわれている民を哀れに思い、集めて戻すのである』。

34 バビロンのネブカドネザル王とその全軍、領土の全ての王国と全ての民が、エルサレムとその周辺の町々を攻めていた。その時、エホバがエレミヤに語り掛けた。

2 「イスラエルの神エホバはこう言う。『行って、ユダのゼデキヤ王に話さない。』「エホバはこう言っている。『私はこの都市をバビロンの王の手に渡し、彼はそれを火で焼く。3 あなたは彼の手から逃れられない。必ず捕らわれ、彼の手に渡される。バビロンの王と対面し、彼はあなたとじかに話す。あなたはバビロンに行くことになる。』4 とはいえ、ユダのゼデキヤ王、エホバの言葉を聞きなさい。『エホバはあなたについてこう言う。『あなたは剣によって死ぬことはない。』

5 安らかに死に、人々はあなたのために香をたく。あなたの父祖たち、以

33:25 *または、「法令」。

ぜん おう
前の王たちのためにしたようにであ
る。そして人々は『ああ、主人よ!』と
い して いた わたし
言 ば 言 ば
ってあなたの死を悼む。『私がこの
こと ば 言 ば
言葉を語ったのである』と、エホバは
せんげん
宣言する』』』。

6 預言者エレミヤはエルサレムで、
ユダのゼデキヤ王にこれらの言 ば
を すべて 語った。7 その時バビロンの王
の軍勢は、エルサレムと、ユダに残
っていた町すなわちラキシとアゼラを
攻めていた。ユダの町々のうち、防備
された町はその2つしか残っていない
なかったのである。

8 ゼデキヤ王がエルサレムの全て
の人と契約を結び、奴隷の解放を宣言
した後、エホバがエレミヤに語り掛け
た。9 契約により、全ての人がヘブ
ライ人の奴隷を男性も女性も解放する
ことになり、誰も仲間のユダヤ人を奴
隷にしておくことができなくなった。

10 全ての高官と民は従った。皆が契
約を結び、男奴隷も女奴隷も解放し
て、もう奴隷にしないことにしたのであ
る。彼らは従い、奴隷たちを行かせた。

11 ところが、後になって彼らは解放
した男奴隷や女奴隷を連れ戻し、再び
奴隷にした。12 そのため、エホバ
がエレミヤに語り掛けた。エホバはこ
う言った。

13 「イスラエルの神エホバはこう
いう。『私は、あなたたちの父祖たちを
エジプトから、奴隷となっていた土地
から連れ出した日に、彼らと契約を結

第34章

(例) エレ 4:5

(例) ミカ 1:13

(例) ヨシ 15:20, 35

(例) 出 21:2

(例) 出 13:3

第2欄

(例) 出 24:7

(例) 出 21:2
レビ 25:10
レビ 25:39-42
申 15:12

(例) レビ 19:12

(例) 出 21:2
レビ 25:10(例) 王二 25:3
エレ 21:7(例) エレ 15:2, 4
エレ 29:18

(例) 創 15:10, 17

んで言った。14 「あなたたちはおの
おの、自分が買って6年間仕えさせた
ヘブライ人の兄弟を、7年目に解放す
べきである。彼を自由の身にしなければ
ならない。しかし、父祖たちは私
の言うことを聞かず、耳を傾ねなかつ
た。15 最近、あなたたちは考えを
変え、私から見て正しいことを行っ
た。仲間を解放すると宣言し、私の前
で、私の名が付された家で契約を結
んだ。16 ところが、また考えを変え、
わたしの名を汚した。男奴隷や女奴隷を
私の名を汚した。男奴隷や女奴隷を
彼らの望み通り解放したのに、連れ戻
して再び奴隷にしたのである』。

17 それで、エホバはこう言う。『あ
なたたちは私に従わず、おのおのが兄
弟を、仲間を解放しなかった。その
ため、私はあなたたちに解放を言
い渡す』と、エホバは宣言する。『剣と
疫病と飢餓による解放である。そし
て、地上の全ての王国はあなたたちに
起きたことを見聞きして恐怖を抱く。

18 私は、私との契約を破った人たち
を敵の手に渡す。彼らは子牛を2つに
切り裂いてその間を通り、私の前で契
約を結んだが、契約の言葉を実行し
なかった。19 その人たちは、2つに
切り裂かれた子牛の間を通った、ユ
ダの高官たち、エルサレムの高官た
ち、廷臣たち、祭司たち、民全てである。
20 私は彼らを敵の手に、彼らの命を

34:15 *直訳、「今日」。34:17 *つまり、死ぬ
ということ。

うば 尊おうとしている者たちの手に渡し、
かれ したい とり やじゅう た 彼らの死体は鳥や野獣に食べられる。

21 また、私はユダのゼデキヤ王と高
官たちを敵の手に渡す。彼らの命を奪
おうとしている者たちの手に、あなた
たちの所から引き揚げているバビロ
ンの王の軍勢の手に渡すのである』。

22 エホバはこう宣言する。『私は
命令を与え、敵たちをこの都市に連れ
戻す。彼らはこの都市を攻め取って火
で焼く。私はユダの町々を誰も住まな
い荒れ地にする』。

35 ユダの王、ヨシヤの子エホ
ヤキムの時代に、エホバが
エレミヤに語り掛けてこう言った。

2 「レカブの子孫の所に行き、彼らと
話して、エホバの家に連れてきなさい。
食堂の1つに連れて入り、ぶどう酒を
飲むように勧めなさい。

3 それで私は、ハバツィヌヤの子エ
レミヤの子アザヌヤと、彼の兄弟た
ち、彼の子たち皆、またレカブの他の
子孫全員を連れて、4 エホバの家に
入った。そして、真の神に仕える人、イ
グダルヤの子ハナンの子たちの食堂
に連れてきた。その食堂の隣に高官
たちの食堂があり、その下には戸口番
シャルムの子マアセヤの食堂があっ
た。5 それから私は、レカブの子孫
である人たちの前にぶどう酒を満たし
た杯と器を置いて、「ぶどう酒を飲み
なさい」と言った。

35:2 *または、「部屋」。

第34章

(7) 申 28:26
詩 79:2
エレ 16:4

(1) エレ 37:5

(7) 王二 25:6,7
哀 4:20

(14) 王二 25:9,10
エレ 32:29
エレ 39:8

(14) レビ 26:33
エレ 44:2

第35章

(14) 王二 23:34
代二 36:5
ダニ 1:1

第2欄

(7) 王二 10:15

(1) 代二 36:5,6
ダニ 1:1

6 しかし、彼らは言った。「私たち
はぶどう酒は飲みません。私たちの父
祖、レカブの子エホナダブからこう命
じられたからです。『あなたたちも子
孫も、決してぶどう酒を飲んでではなら
ない。7 また、家を建てたり、種をま
いたり、ブドウ園を造ったり手に入れ
たりしてもならない。ずっと天幕に住
まなければならぬ。そうすれば、外
国人として暮らしている土地に長い間
住むことができるだろう』。8 それで
私たちは、父祖レカブの子エホナダブ
から命じられた全てのことに従い続け
ています。私たちも、妻たちも、息子や
娘たちも、決してぶどう酒を飲みませ
ん。9 また、家を建てず、ブドウ園も
畑も種も持っていません。10 天幕
に住み続け、父祖エホナダブから命じ
られた全てのことに従い続けていま
す。11 しかし、バビロンのネブカド
ネザル王がこの土地に攻めてきた時、
私たちは、『カルデア人とシリア人の
軍から逃れるために、エルサレムに入
ろう』と言って、今はエルサレムに住ん
でいます」。

12 すると、エホバがエレミヤに語
り掛けてこう言った。13 「イスラエ
ルの神、大軍を率いるエホバはこう言
う。『行って、ユダの人たちとエルサレ
ムの住民に告げなさい。エホバはこ
う宣言する。『あなたたちは、私の言葉

35:6, 10 *直訳、「ヨナダブ」。エホナダブの短
縮形。

に從うようにと何度も忠告されたのではないか。14 レカブの子エホナダ

ブは、ぶどう酒を飲まないようにと子孫に命じ、彼らはその言葉を守った。今までずっとぶどう酒を飲まず、父祖の命令に従ってきた。ところがあなたた

ちは、私が繰り返し語り掛けたにもかかわらず、私に従わなかった。15 私は、私に仕える預言者全てをあなたたちのものに遣わし続けた。繰り返し遣わしてこう言った。『どうか、一人一人

が悪い生き方をやめ、正しいことを行ってほしい。ほかの神々に従って歩

んだり、仕えたりしてはならない。そうすれば、私があなたたちと父祖たちに与えた土地に住み続けることになる。』

しかし、あなたたちは私の言うことに耳を傾けず、聞かなかった。16 レカブの子エホナダブの子孫は父祖に与えられた命令を守ったが、この民は私の言うことを聞かなかった。』

17 「それで、イスラエルの神、大軍を率いる神エホバはこう言う。『私は、警告していた通り、ユダとエルサレムの全住民に災いをことごとくもたらす。語り掛けたのに彼らが聞かず、何でも呼び掛けたのに答えなかったからである。』

18 エレミヤは、レカブの子孫である人たちに言った。『イスラエルの神、大軍を率いるエホバはこう言っています。『あなたたちは、父祖エホナダブ

35:14, 15 *直訳、「早く起きては」。

第35章

(ア) エレ 32:33

(イ) エレ 35:8

(ウ) 代二 36:15,16
ネヘ 9:26,30
エレ 25:3

(エ) エレ 7:24,25

(オ) イザ 1:16
エレ 25:5
エゼ 18:30
ホセ 14:1

(カ) エレ 7:5-7

(キ) エレ 35:8

(ク) 申 28:15
申 29:26,27
ヨシ 23:15,16
王二 23:27

(コ) イザ 65:12
イザ 66:4
エレ 7:13,14

第2欄

第36章

(ア) 王二 23:36
エレ 25:1

(イ) エレ 4:16
エレ 32:30

(ウ) エレ 1:5
エレ 25:9

(エ) エレ 1:1,2
エレ 25:3

(オ) イザ 55:7
エゼ 33:11
ミカ 7:18

(カ) エレ 32:12
エレ 45:2-5

(キ) エレ 45:1

の命令に従い、全ての命令を守り続けており、命じられた通りにしている。そのため、19 イスラエルの神、大軍を率いるエホバはこう言う。『私の前に立って仕える人が、レカブの子エホナダブの子孫から絶えることはない。』

36 ユダの王、ヨシヤの子エホヤキムの治世の第4年に、エホバがエレミヤに語り掛けてこう言った。2 「巻物を手に取り、私がイスラエルとユダと他の全ての国に対して語った言葉を書き記しなさい。私がヨシヤの時代にあなたに初めて話した日から今までの間に、あなたに語った言葉を全て書き記すのである。3 ユダ国民は、私が彼らにもたらそうとしている災いについて聞くと、悪い生き方をやめるかもしれない。そうすれば、私は彼らの過ちや罪を許す。

4 そこでエレミヤはネリヤの子バルクを呼び、エホバから聞いた言葉を全て伝えた。バルクはそれを巻物に書き取った。5 それからエレミヤはバルクにこう命じた。『私は拘束されていて、エホバの家に入ることができません。6 それで、あなたが入っていった、私から聞いた巻物に書き取ったエホバの言葉を読み上げてほしい。断食の日にエホバの家で、人々に聞こえるように読んでください。そのようにして、町々からやって来るユダの

35:19 *直訳、「ヨナダブ」。エホナダブの短縮形。

民^{たみ}全^{すべ}てに読^よみ聞^きかせるのです。7 もしかすると彼^{かれ}らは、エホバ^{たみ}がこの民^{たみ}に対して大^{たい}きな怒^{おこ}りと憤^{いきどお}りを表^{あらわ}そうとしておられることを知^しって、エホバ^{めく}に恵^{めぐ}みを求^{もと}めて祈^{いの}り、おのおのが悪^{わる}い生^いき方^{かた}をやめるかもしれせん。

8 そこでネリヤの子バルクは、預^よ言^{げん}者^{しゃ}エレミヤに命^{めい}じられた通^{とお}りにした。エホバの家^{いえ}で、巻^{まき}物^{もの}からエホバの言^{こと}葉^はを読^よみ上^あげた。

9 ユダの王^{おう}、ヨシヤの子エホヤキム^この治^ち世^{せい}の第^{だい}5年^{ねん}、第^{だい}9の月^{つき}に、断^{だん}食^{じき}が呼^よび掛^かけられた。エルサレ^よムの全^{すべ}ての^{ひと}と、ユダの町^{まち}々^ちからエルサレ^よムにや^まって来^きた全^{すべ}ての^{ひと}が、エホバの前^{まえ}で断^{だん}食^{じき}するこ^{こと}に^なった。10 その時^{とき}バルクは、エホバの家^{いえ}で、巻^{まき}物^{もの}からエ^こレミヤの言^{こと}葉^はを読^よみ上^あげた。上^うの庭^{てい}の、エホバの家^{いえ}の新^{にい}しい門^{もん}の入^いり口^{ぐち}の^{ところ}に^ある、写^{しゃ}字^じ生^{せい}シャ^{しゃ}フ^ふア^あンの子^こゲマ^がル^るヤの部^ぶ屋^やで、人^{ひと}々^{たち}に聞^{きこ}えるよう^{よう}に^よ読^よんだのである。

11 シャ^こフ^こア^あンの子^こゲマ^がル^るヤの子^こミ^みカ^かヤは、巻^{まき}物^{もの}から読^よみ上^あげられたエ^こホバの言^{こと}葉^はを全^{すべ}て聞^きくと、12 王^{おう}の家^{いえ}に行^いき、秘^ひ書^{しょ}官^{かん}の部^ぶ屋^やに入^いった。そ^ここには全^{すべ}ての高^{こう}官^{かん}が座^{すわ}っていた。秘^ひ書^{しょ}官^{かん}エリ^えリ^りシャ^{しゃ}マ、シエ^しマ^まヤの子^こデ^でラ^らヤ、ア^あク^くボ^ぼルの子^こエル^えナ^なタ^たン、シャ^{しゃ}フ^ふア^あンの子^こゲマ^がル^るヤ、ハ^はナ^なニ^にヤの子^こゼ^ぜデ^でキ^きヤと、他^たの全^{すべ}ての高^{こう}官^{かん}である。13 ミカ

36:8 *または、「書」。36:10 *または、「書記」。*または、「食堂」。36:12 *または、「宮殿」。*または、「廷臣」。

第36章

(7) エレ 7:1,2

(1) 王二 23:36

(7) 代二 20:2,3
エス 4:15,16

(12) エレ 26:10

(7) 王二 22:8
代二 34:20,21
エレ 26:24
エレ 39:13,14
エゼ 8:11

(7) エレ 36:25

(7) エレ 36:20

(7) 王二 22:14
エレ 26:22

(7) エレ 36:25

第2欄

(7) エレ 36:26

(1) エレ 36:14

ヤは彼^{かれ}らに、自^じ分^{ぶん}が聞^きいた言^{こと}葉^はを全^{すべ}て告^つげた。バルク^{ひとびと}が人^{ひと}々^{たち}に聞^{きこ}えるよう^{よう}に読^よみ上^あげた巻^{まき}物^{もの}の言^{こと}葉^はである。

14 する^{こう}と高^{かん}官^{かん}たちは、クシの子^こシエ^しレ^れム^むヤの子^こネ^ねタ^たヌ^ぬヤの子^こエ^えフ^ふデ^でィ^いをバ^ばルク^るのもとに遣^{つか}わして言^いった。「あな^あた^あが人^{ひと}々^{たち}に聞^{きこ}えるよう^{よう}に読^よんだ巻^{まき}物^{もの}を持^もって、来^きてくだ^{くだ}さい」。そ^こでネ^ねリ^りヤ^やの子^こバルク^るは巻^{まき}物^{もの}を持^もって、彼^{かれ}ら^らの^{ところ}に^いった。15 高^{こう}官^{かん}たちはバ^ばルク^るに、「ど^どう^うか座^{すわ}って、そ^それ^れを^を読^よみ上^あげ^てくだ^{くだ}さい」と言^いった。そ^それ^れでバ^ばルク^るは巻^{まき}物^{もの}を読^よんだ。

16 高^{こう}官^{かん}たちは巻^{まき}物^{もの}の言^{こと}葉^はを全^{すべ}て聞^きくと、恐^{おそ}れを感じ^{かん}じて顔^{かお}を見^み合^あわ^わせ、バ^ばルク^るに言^いった。「私^わた^たち^ちはこ^これ^れら^らの^{こと}言^{こと}葉^はを全^{すべ}て王^{おう}に伝^{つた}えな^なけ^けれ^れば^ばなり^りま^ませ^せん」。17 そ^そし^してバ^ばルク^るに尋^{たず}ね^ねた。「こ^これ^れら^らの^{こと}言^{こと}葉^はを全^{すべ}てを^をど^どう^うに^に書^かいた^たの^か、ど^どう^うか教^{おし}えて^てくだ^{くだ}さい。エ^えレ^れミ^みヤ^やか^から^ら聞^きいて^て書^かき^き取^とった^たの^かです^すか」。18 バ^ばルク^るは答^{こた}えた。「エ^えレ^れミ^みヤ^やがこ^これ^れら^らの^{こと}言^{こと}葉^はを全^{すべ}てを^を私^わに^に伝^{つた}え、私^わは^はイ^いン^んク^くで^でこ^この^こ巻^{まき}物^{もの}に^に書^かき^き取^とり^りま^ました。19 高^{こう}官^{かん}たち^ちはバ^ばルク^るに^に言^いった。「行^いって、身^みを^を隠^{かく}しな^なさい。あ^あな^なた^たも^もエ^えレ^れミ^みヤ^やも^もです。誰^{だれ}に^にも^も居^い居^い場所^{ばしょ}を^を知^しら^られ^れない^いよう^{よう}に^にし^しな^なさい」。

20 高^{こう}官^{かん}たちは巻^{まき}物^{もの}を秘^ひ書^{しょ}官^{かん}エ^えリ^りシャ^{しゃ}マの部^ぶ屋^やに^に置^おき、庭^{にわ}に^にいる王^{おう}の^もと^とに^に行^いって、自^じ分^{ぶん}た^たち^ちが聞^きいた^{こと}を^を全^{すべ}て王^{おう}に^に伝^{つた}えた。

21 王^{おう}はエ^えフ^ふデ^でィ^いに^に巻^{まき}物^{もの}を取^とって^こ

させ、エフディはそれを秘書官エリシャマの部屋から持ってきた。そして、王と、王のそばに立っている全ての高官に聞こえるように、巻物を読み始めた。22 これは第9の月のことで、王は冬の家に座っており、王の前には火鉢があって火が燃えていた。23 エフディが3段か4段読み終わるたびに、王はその部分を秘書官のナイフで切り取り、火鉢の火の中に投げ入れたので、やがて巻物は全部燃えてしまった。24 巻物の言葉全てを聞いた王も家来たちも、誰一人恐れを感じず、自分たちの衣服を引き裂くこともしなかった。25 エルナタンとデラヤとゲマルヤが、巻物を燃やさぬように王に懇願したが、王は彼らの言うことを聞かなかった。26 さらに王は、王の子エラフメエルとアズリエルの子セラヤとアブデエルの子シェレムヤに、秘書官バルクと預言者エレミヤを捕らえるよう命じた。しかし、エホバは2人が見つからないようにした。

27 バルクがエレミヤから聞いた言葉を書き取った巻物が王に燃やされた後、エホバが再びエレミヤに語り掛けてこう言った。28 「もう1つ巻物を手に取って、ユダのエホヤキム王が燃やした最初の巻物に書かれていた言葉を、元通りに書き記しなさい。

29 そして、ユダのエホヤキム王に対し

36:22 * 11月後半から12月前半。付録B15参照。 36:26 * 王家の一員という意味かもしれない。

第36章

(イ) 王ニ 24:8

(イ) エレ 36:12

(イ) エレ 36:10

(ロ) エレ 1:19

(イ) エレ 36:2

(イ) エレ 36:23

第2欄

(イ) エレ 25:8,9

(イ) 王ニ 24:6,8

王ニ 24:15

代ニ 36:9,10

エレ 22:24,30

(イ) エレ 22:18,19

(ロ) 申 28:15

エレ 19:15

(イ) 代ニ 36:15,16

(イ) エレ 36:2,4

(イ) エレ 36:23

第37章

(イ) 王ニ 24:17-19

代ニ 3:15

(イ) 王ニ 24:12

エレ 22:24

して言いなさい。『エホバはこう言っている。「あなたはこの巻物を燃やしてこう言った。『なぜあなたはこれに、「バビロンの王は必ずやって来てこの土地を滅ぼし、人も動物も根絶やしにする」と書いたのか』。30 それで、エホバはユダのエホヤキム王に対してこう言う。『彼の子孫でダビデの王座につく者はいなくなる。彼の死体は葬られず、昼は暑さに、夜は寒さにさらされる。31 私は、彼と子孫と家来たちに過ちの責任を問い、彼らとエルサレムの住民とユダの人たちに災いをことごとくもたらす。私はその災いについて彼らに告げたが、彼らは聞かなかった』』。

32 そこでエレミヤはもう1つ巻物を手に取り、ネリヤの子である秘書官バルクに渡した。バルクは、ユダのエホヤキム王が燃やした巻物に書かれていた言葉全てを、エレミヤから聞いて書き取った。また、同じような言葉がさらにたくさん書き加えられた。

37 ヨシヤの子ゼデキヤ王が、エホヤキムの子コニヤに代わって治め始めた。バビロンのネブカドネザル王によって、ユダの王とされたのである。2 しかし、ゼデキヤも家来たちも民も、預言者エレミヤを通して語られたエホバの言葉を聞かなかった。

3 ゼデキヤ王は、シェレムヤの子エ

37:1 * エホヤキムまたはエホヤキムとも呼ばれる。

(ロ) 代ニ 36:10-12

フカルと祭司マアセヤの子ゼパニヤを、預言者エレミヤのもとに遣わして言った。「どうか、私たちのために、私たちの神エホバに祈ってください」。

4 この時、エレミヤはまだ投獄されておらず、民の中で自由に行き来していた。5 エルサレムを包囲していたカルデア人は、ファラオの軍がエジプトを出発したと聞いて、エルサレムから引き揚げた。6 すると、エホバが預言者エレミヤに語り掛けてこう言った。

7 「イスラエルの神エホバはこう言う。『私に尋ねるためにあなたたちを遣わしたユダの王に、こう言いなさい。『あなたたちを助けよう』と向かってきているファラオの軍は、自分たちの国エジプトに帰らなければならなくなる。』

8 そしてカルデア人は戻ってきて、この都市を攻め取り、火で焼く。9 エホバはこう言う。『カルデア人は去っていくに違いない』と言って、自分たちを欺いてはならない。彼らは去っていくからである。10 たとえあなたたちが、攻めてくるカルデア人の全軍を打ち倒し、彼らに負傷兵しか残らないとしても、彼らは自分たちの天幕から出陣し、この都市を火で焼く』。

11 ファラオの軍が来ると知って、カルデア人の軍がエルサレムから引き揚げた時、12 エレミヤはエルサレムからベニヤミンの土地に向かおうとした。郷里で自分の分の土地を得るためだった。13 ところが、「ベニヤ

第37章

(例) エレ 38:1,4

(例) 王二 25:18,21
エレ 21:1,2
エレ 29:25

(例) エレ 37:15

(例) エゼ 17:15

(例) エレ 34:21

(例) エレ 17:5
哀 4:17
エゼ 17:17(例) エレ 32:29
エレ 34:22
エレ 39:8

(例) エレ 21:4

(例) エレ 34:21

(例) エレ 1:1

第2欄

(例) エレ 26:11
エレ 38:4(例) エレ 20:2
ヘブ 11:32,36

(例) エレ 38:14

(例) エレ 21:7
エレ 24:8
エレ 34:21
エゼ 12:12,13(例) エレ 14:13
エレ 23:16,17
エレ 27:14
エレ 28:1,2
哀 2:14

(例) エレ 37:15

ミンの門」に着くと、ハナニヤの子シェレムヤの子でイルイヤという名前の守衛の長が、預言者エレミヤを捕らえて言った。「あなたはカルデア人のもとに逃げようとしている!」14 エレミヤは言った。「違います! 私はカルデア人のもとに逃げたりしません」。しかしイルイヤは聞かず、エレミヤを拘束して、高官たちの所へ連れていった。15 高官たちは激怒してエレミヤを打ちたたき、秘書官エホナタンの家に拘禁した。その家は牢屋になっていたのである。16 エレミヤは地下牢にある円天井の部屋に入れられ、何日もの間そこにいた。

17 その後、ゼデキヤ王はエレミヤを連れてこさせ、自分の家でひそかにこう尋ねた。「エホバからの言葉が何がありますか」。エレミヤは「あります」と答え、続けて、「あなたはバビロンの王の手に渡されます」と言った。

18 エレミヤはさらにゼデキヤ王に言った。「私は、あなたや家来たちやこの民に対してどんな罪を犯したというので、投獄されたのですか。19 『バビロンの王があなたたちとこの土地を攻めることはない』と預言した預言者たちは、一体どこにいるのですか。20 王よ、どうか聞いてください。恵みを求める私の願いをかなえてくださいますように。私を秘書官エホナタンの

37:15 *直訳、「にある足かせの家に入れた」。
37:16 *直訳、「水ための家」。37:17 *または、「宮殿」。

家に送り返さないでください。送り返されたら、私はそこで死んでしまします。21 それでゼデキヤ王は、エレミヤを「監視の庭」に拘禁しよう命じた。毎日、パン職人の通りから丸いパン1つがエレミヤに届けられ、都市のパンが尽きるまで続いた。エレミヤはずっと「監視の庭」にいた。

38 さて、マタンの子シェファトヤ、パシュフルの子ゲダリヤ、シェレムヤの子ユカル、マルキヤの子パシュフルは、エレミヤが民全てにこう語るのを聞いた。2「エホバはこう言っています。『この都市にとどまる人は、剣と飢餓と疫病によって死ぬ。一方、カルデア人に降伏する人は、死ぬことなく逃れ、生き続ける』。3 エホバはこう言っています。『この都市は必ずバビロンの王の軍勢の手に渡され、彼は都市を攻め取る』。

4 高官たちは王に言った。「どうか、この人を死刑にしてください。彼はこうした言葉を語って、この都市に残っている兵士や民全ての士気を弱めているからです。この人は、民の平和ではなく、災いを願っています」。5 ゼデキヤ王は答えた。「彼のことは任せます。王であつても、あなたたちを止めることはできません」。

6 それで高官たちはエレミヤを捕

38:2 *または、「自分の命を戦利品として得て」。
38:4 *直訳、「手」。

第37章

(イ) エレ 26:15
エレ 38:8,9

(イ) ネヘ 3:25
エレ 32:2
エレ 33:1
エレ 38:13,28

(イ) 王一 17:6

(イ) 王二 25:3
エレ 38:9

第38章

(イ) エレ 37:3

(イ) エレ 21:1,2

(イ) エレ 27:13
エレ 29:18
エゼ 7:15

(イ) エレ 21:8-10

(イ) 王二 25:1,2
代二 36:17

(イ) エレ 26:11

第2欄

(イ) エレ 33:1
エレ 37:21
エレ 38:28

(イ) エレ 39:16

(イ) エレ 37:13

(イ) エレ 52:6

(イ) 王二 20:13

らえ、「監視の庭」にある、王の子マルキヤの水のために入れた。縄を使ってエレミヤを下ろしたのである。水ためには水がなく、泥があるだけで、エレミヤは泥の中に沈み始めた。

7 王の家にいたエチオピア人の宦官エベド・メレクは、エレミヤが水ために入れられたことを聞いた。その時、王は「ベニヤミンの門」の所に座っていた。8 そこでエベド・メレクは王の家から出て、王に話した。9「王よ、あの人たちは預言者エレミヤに非道なことをしました。水ために投げ込んだのです。彼はそこで飢え死にしていまうでしょう。もう都市にパンは残っていないからです」。

10 すると王はエチオピア人エベド・メレクにこう命じた。「ここから30人の男たちを連れていって、預言者エレミヤが死なないうちに水ためから引き上げなさい」。11 それでエベド・メレクは男たちを連れて王の家に入り、宝物庫の下にある場所からぼろ切れや布切れを取って、水ための中のエレミヤの所に縄で下ろした。12 そしてエチオピア人エベド・メレクはエレミヤに言った。「どうぞ、ぼろ切れと布切れを脇の下に当てて、縄で擦れないようにしてください」。エレミヤはその通りにした。13 彼らは縄でエレミヤを

38:6 *王家の一員という意味かもしれない。

38:7,8,11 *または、「宮殿」。38:7 *または、「廷臣」。用語集参照。

す。もし彼らの手に渡されたら、むご
い扱いを受けるかもしれません」。

20 エレミヤは言った。^{かれ}「^で彼らの手に^{わたし}渡されることはありません。どうか、私^{わたし}が伝えているエホバの言葉に従って^{したが}ください。そうすれば物事はうまくいき、あなたは生き^{つづ}続けられます。21 しかし、もし降伏しようとし^{こと}ないなら次の^{つぎ}ようになることを、エホバは私に示^{わたし}されました。22 ユダの王^{おう}の家に残^いっている女性^{じよせい}たちは皆、バビロンの王^{みな}に仕える高官^{おう}たちの前に連れ出され、こ^{つか}う言^ごいます。

あし どろ なか しず こ
あなたの足を泥の中に沈み込

背を向けて逃げ去りました』。

23 あなたの妻たちや子たちは皆、カルデア人の前に連れ出されます。あなたも彼らの手から逃れられず、バビロンの王に捕らわれます。あなたのせいでの都市は火で焼かれます」。

24 ゼデキヤはエレミヤに言った。
「これらのことについて誰にも知らせて
はなりません。あなたが殺されない
ためです。25 高官たちが、私があ
なたと話したことを聞き、あなたの所
に来て、こう言うと思います。『どうか、王

38:22 *または、「宮殿」。

に何を言ったか教えてほしい。何も隠さずに話すように。そうすれば、私たちはあなたを殺したりしない。王はあなたに何と言ったのか。そうしたら、**26** 彼らにこう答えなさい。『私は、エホナタンの家に送り返されてそこで死ぬことになるように、王に懇願していました』。

27 やがて、全ての高官がエレミヤの所に来て、聞いたのだ。エレミヤが王に命じられた通りに答えると、彼らはそれ以上何も言わなかった。誰もエレミヤと王の会話を聞いていなかったからである。**28** エレミヤはエルサレムが攻め取られる日まで「監視の庭」にいた。エルサレムが攻め取られた時もそこにいた。

39 ユダのゼデキヤ王の治世の第9年、第10の月に、バビロンのネブカドネザル王とその全軍が攻めてきて、エルサレムを包囲した。

2 ゼデキヤの治世の第11年、第4の月の9日に、都市の城壁が破られた。

3 バビロンの王に仕える全ての高官が入って行って、「中央の門」の所に座った。サムガルであるネルガル・シャルエツェル、ラブサリスであるネボ・サルセキム、ラブマグであるネルガル・シャルエツェル、また残りの高官たちがいた。

39:3 *または、「廷臣の長」。*または、ヘブライ語本文の区切り方を変えると、「ネルガル・シャルエツェル、サムガル・ネボ、サルセキム、ラブサリス」。^または、「魔術師(占星術師)の長」。

第38章

(7) エレ 38:4

(4) エレ 37:15

(7) エレ 15:20
エレ 32:2
エレ 33:1
エレ 37:21
エレ 39:13,14

(2) 王ニ 25:8,9
代ニ 36:17

第39章

(7) 王ニ 25:1,2
エレ 52:4,5
エゼ 24:1,2

(7) 王ニ 25:3,4
エレ 52:6,7
エゼ 33:21

(4) エレ 1:15

第2欄

(7) 申 28:25

(4) 王ニ 25:4-7
エレ 52:7-11

(7) エレ 32:4
エレ 38:18

(2) 王ニ 17:24

(7) 王ニ 23:31,33

(7) エレ 21:7
エレ 34:18-20

(4) エゼ 12:13

(7) イザ 5:9
エレ 38:18

(7) 王ニ 25:9-11
代ニ 36:17,19
ネヘ 1:3
エレ 52:13-15

(2) 王ニ 25:20
エレ 40:1
エレ 52:12

(7) 王ニ 25:12
エレ 52:16

4 ユダのゼデキヤ王と兵士たちは皆、彼らを見ると逃げた。夜のうちに王の庭園を通り、2重の城壁の間の門を通過して都市から出て、アラバの道を行った。**5** しかし、カルデア人の軍は後を追ひ、エリコの砂漠平原でゼデキヤに追いついた。ゼデキヤは捕らえられ、ハマト地方のリブラにいるバビロンのネブカドネザル王のもとに連れていかれて、刑を宣告された。**6** バビロンの王は、そこリブラで、ゼデキヤの目の前で彼の子たちを殺させ、ユダの高貴な人たちも全て殺させた。**7** それからゼデキヤを失明させ、バビロンに連れていくために銅の足かせをはめた。

8 カルデア人は王の家や民家を焼き払い、エルサレムの城壁を破壊した。**9** 護衛官の長ネブザラダンは、都市に残されていた人たちと、投降してきた人たちと、ほかに残っていた人たちを捕らえて、バビロンに連れていった。

10 ただし、何も持っていない最も貧しい人々をいくらかユダに残しておいた。そしてその日、彼らにブドウ園と畑を与えて働かせた。

11 バビロンのネブカドネザル王は、エレミヤについて護衛官の長ネブザラダんにこう命じた。**12** 「彼を連れ

39:4 *用語集参照。**39:8** *または、「宮殿」。**39:10** *もしかすると、「ブドウ園を与えて強制労働を課した」。

ていて、世話を加えて。危害を加えてはならない。彼が望むことは何でもかなえてやれ」。

13 それで、護衛官の長ネブザラダン、ラブサリスであるネブシャズバン、ラブマグであるネルガル・シャルエツェル、またバビロンの王に仕えるたの主立った人たちは、人を遣わして、**14** エレミヤを「監視の庭」から連れ出させた。そしてシャファンの子アヒカムの子ゲダリヤに託し、彼の家に連れていかれるようにした。こうしてエレミヤは民の中で暮らした。

15 エレミヤがまだ「監視の庭」に拘束されていた時、エホバが彼に語り掛けてこう言った。**16** 「行って、エチオピア人エベド・メレクに言いなさい。『イスラエルの神、大軍を率いるエホバはこう言っている。「私はこの都市に対して語った言葉を実現させ、良いことではなく災いをもたらす。その日、あなたはそれを目の当たりにする」』。

17 『しかし、その日に私はあなたを救う。あなたは、あなたが恐れている人々の手に渡されることはない』と、エホバは宣言する。

18 『私が必ず逃れさせるので、あなたは剣によって倒れることはない。私に頼ったので、あなたは死ぬことなく逃れる』と、エホバは宣言する』。

39:13 *または、「廷臣の長」。[#] または、「魔術師(占星術師)の長」。**39:18** *または、「自分の命を戦利品として得る」。

第39章

(7) エレ 40:2,4

(4) エレ 38:28

(7) 王二 22:8

(12) 代二 34:20,21
エレ 26:24(8) 王二 25:22
エレ 40:5
エレ 41:2(7) エレ 32:2
エレ 37:21

(8) エレ 38:7

(7) 詩 37:39,40
エレ 17:7

(7) エレ 45:2,5

第2欄

第40章

(7) エレ 39:9
エレ 52:12,13

(4) ヨシ 18:21,25

(7) エレ 50:7

(12) エレ 39:11,12

(8) 王二 22:8

(7) 王二 22:12,13
エレ 26:24(8) 王二 25:22
エレ 39:13,14
エレ 41:2

40 護衛官の長ネブザラダンが
ラムでエレミヤを解放した

後、エホバがエレミヤに語り掛けた。

エレミヤは手かせをはめられてラムに連れていかれたのであり、捕らわれてバビロンに連れていかれるエルサレムとユダの人たちの中にいた。**2** 護衛官の長はエレミヤを連れ出し、言った。「あなたの神エホバは、この場所にこの災いが降り掛かることを予告した。**3** そして、エホバは語った通りに災いをもたらした。あなたたちがエホバに対して罪を犯し、その声に従わなかったからだ。だからこのことがあなたたちに起きたのだ。**4** 私は今日、あなたの手かせを外し、あなたを解放する。もし私と一緒にバビロンに行くのが良いと思うなら、来なさい。めんどうを見よう。しかし、私と一緒にバビロンに行きたくないなら、来なくていい。見なさい、全土があなたの前に広がっている。どこでも好きな所に行きなさい」。

5 エレミヤがどこにも行かないでいると、ネブザラダンは言った。「バビロンの王がユダの町々の総督とした、シャファンの子アヒカムの子ゲダリヤの所に戻って、彼と共に民の中で暮らせばいい。それか、どこでも好きな所に行きなさい」。

そして護衛官の長は食料と贈り物を与えて、エレミヤを行かせた。**6** そ

40:5 *または、「が戻らないで」。

れで、エレミヤはミツパ⁽⁷⁾にいるアヒカムの子ゲダリヤの所⁽⁸⁾に行き、その土地に残っていた民の中で彼と共に暮らした。

7 やがて、部下と共に野外にいた全ての軍隊長たちは、バビロンの王がアヒカムの子ゲダリヤを土地の総督としたことを聞いた。バビロンに連れていかれなかった貧しい男女や子供たちをゲダリヤが治めることになった、ということだった。8 それで、軍隊長たちはミツパにいるゲダリヤの所に来た。ネタヌヤの子イシュマエル、カレアハの子のヨハナンとヨナタン、タヌフメトの子セラヤ、ネトファの人エパイの子たち、マアカトの子エザヌヤが、部下たちと共に来た。9 シャファンの子アヒカムの子ゲダリヤは、彼らと部下たちに誓って言った。「カルデア人に仕えることを恐れてはなりません。この土地に住んでバビロンの王に仕えれば、物事はうまくいきます。10 私は、皆さんを代表してカルデア人に応対するために、ミツパにすることにします。皆さんは、ぶどう酒と夏の果物と油を集めて容器に入れ、自分たちが確保した町々に住みなさい」。

11 モアブ、アンモン、エドム、またそれ以外の土地にいた全てのユダヤ人も、バビロンの王がユダに人々を残しておき、シャファンの子アヒカムの子ゲダリヤに治めさせていることを聞いた。12 それで、ユダヤ人は皆、散ら

第40章

(7) 裁 20:1
王一 15:22

(7) 王二 25:22
エレ 39:10

(7) 王二 25:23

(7) 王二 25:25

(7) エレ 41:11, 16
エレ 43:2

(7) エレ 42:1, 2

(7) 王二 25:24
エレ 27:11

(7) エレ 39:10

第2欄

(7) エレ 41:10

(7) エレ 41:2

(7) 王二 25:22

第41章

(7) 王二 25:23
エレ 40:14

(7) 王二 25:25

されていた全ての場所から戻り始め、ユダに入⁽⁸⁾って、ミツパにいるゲダリヤの所に来た。そして、ぶどう酒と夏の果物を大量に集めた。

13 野外にいた、カレアハの子ヨハナンと全ての軍隊長たちが、ミツパにいるゲダリヤの所に来た。14 彼は言った。「アンモン人の王バアリスが、あなたを殺そうと、ネタヌヤの子イシュマエルを送ったことを知らないのですか」。しかし、アヒカムの子ゲダリヤは彼らの言うことを信じなかった。

15 その後、カレアハの子ヨハナンは、ミツパでゲダリヤにひそかに言った。「私に、ネタヌヤの子イシュマエルを討ちに行かせてください。誰にも知られないようにします。あなたが彼に殺され、あなたのもとに集まったユダの民が皆散らされて、ユダの残りの者が滅びるようなことになってよいでしょうか」。16 しかし、アヒカムの子ゲダリヤは、カレアハの子ヨハナンに言った。「そうしてはなりません。あなたがイシュマエルについて言っていることはうそです」。

41 第7の月に、王家の子孫で、王に仕える主立った人の1人

でもあった、エリシャマの子ネタヌヤの子イシュマエルが、10人の部下を連れて、ミツパにいるアヒカムの子ゲダリヤの所に来た。そして、ミツパで一緒に食事をしている時に、2 ネタヌヤの子イシュマエルと10人の部下は立

ち上がり、シャファンの子アヒカムの子
ゲダリヤを剣で討った。こうしてイシュ
マエルは、バビロンの王が土地の総
督とした人を殺した。3 また、ミツパ
でゲダリヤのそばにいたユダヤ人皆
と、そこにいたカルデア人の兵士たち
も討った。

4 ゲダリヤが殺されてから2日目、
まだ誰もそのことを知らない時に、
5 シェケム、シロ、サマリアから80人
の人たちがやって来た。彼らは顎ひ
げをそり落とし、服を引き裂き、体に切り
傷を付けていて、穀物の捧げ物と乳
香をエホバの家に持っていこうとして
いた。6 それで、ネタヌヤの子イシュ
マエルは彼らを迎えにミツパから出て
いった。泣きながら歩いていき、彼ら
に会うと、「アヒカムの子ゲダリヤの
所に来てください」と言った。7 とこ
ろが、彼らが町に入ると、ネタヌヤの子
イシュマエルと部下たちは彼らを殺し、
水ために投げ込んだ。

8 しかし、彼らのうちの10人がイ
シュマエルに言った。「私たちを殺さ
ないでください。蓄えた小麦、大麦、
油、蜜を、烟に隠してあります」。それ
でイシュマエルは、その10人をほか
の人たちと共に殺すことはしなかった。
9 イシュマエルが殺した人たちを投
げ込んだ水ためは大きく、アサ王がイ
スラエルのバアシャ王のゆえに造った
ものだった。その水ためを、ネタヌヤ

第41章

(ワ) 王ー12:1

(イ) ヨシ18:1

(ワ) 王ー16:23,24

(エ) レビ19:27,28
申14:1

(ワ) レビ2:1

(ワ) 王ー15:22
代二16:6

第2欄

(ワ) エレ40:12

(イ) エレ40:7

(ワ) エレ40:14

(エ) エレ40:13
エレ43:2

(ワ) エレ40:6

(ワ) エレ41:2

の子イシュマエルは死体で満たしたの
である。

10 イシュマエルはミツパに残って
いた人たちを全て捕らえた。護衛官
の長ネブザラダガンがアヒカムの子ゲ
ダリヤの管理下に置いた、王の娘たち
や他の人たちである。ネタヌヤの子イ
シュマエルは彼らを捕らえ、アンモン
人の所に渡ろうと出発した。

11 カレアハの子ヨハナと、共に
いた全ての軍隊長たちは、ネタヌヤの
子イシュマエルが行った悪事について
聞くと、12 部下全員を連れて、ネタ
ヌヤの子イシュマエルと戦うために出
発した。そして、ギベオンの豊かな水
のそばで彼を見つけた。

13 イシュマエルに連れられていた
人たちは、カレアハの子ヨハナと他
の軍隊長たちを見ると、大喜びした。

14 イシュマエルに捕らわれてミツパ
から連れてこられた人たちは皆、向き
を変えてカレアハの子ヨハナと一緒に
戻っていった。15 一方、ネタヌヤ
の子イシュマエルと8人の部下は、ヨ
ハナから逃れてアンモン人の所に行
った。

16 カレアハの子ヨハナと、共に
いた全ての軍隊長たちは、ネタヌヤの
子イシュマエルから救った人たちを連
れていった。イシュマエルがアヒカム
の子ゲダリヤを討った後に、ミツパに
残っていた人たちである。男性、兵士、

女性、子供、廷臣たちが、ギベオンから連れ戻された。17 そして彼らは進んでいき、ベツレヘムのそばにあるキムハムの宿に寄った。エジプトに向かうとしていたのである。18 それは、カルデア人を恐れたからだだった。バビロンの王が土地の総督としたアヒカムの子ゲダリヤを、ネタヌヤの子イシュマエルが討ったためである。

42 全ての軍隊長たち、カレアハの子ヨナハン、ホシャヤの子エザヌヤ、また身分の低い人から高い人まで皆が近づいてきて、2 預言者エレミヤに言った。「どうか、恵みを求める私たちの願いを聞いてください。に残っている私たちが皆のために、あなたの神エホバに祈ってください。ご覧の通り、大勢のうち少ししか残っていません。3 私たちが歩むべき道と行うべきことを、あなたの神エホバが教えてくださいますように」。

4 預言者エレミヤは答えた。「分かりました。皆さんの願い通り、皆さんの神エホバに祈ります。そして、エホバの答えを全て、一言残らず皆さんに伝えます」。

5 彼らはエレミヤに言った。「もし私たちが、あなたの神エホバがあなたを通して与えてくださる指示通りにしないなら、信頼できる確かな証人であられるエホバから処罰されますように。6 私たちは、あなたを私たちの

第41章

(7) 創 35:19

(4) 王 25:26
エレ 42:14
エレ 43:7

第42章

(2) エレ 40:13,14

(8) 申 28:62

第2欄

(7) エレ 41:16

(4) 申 32:36
エレ 18:7,8
ミカ 7:18

(7) エレ 41:17,18

(2) 出 34:6

(4) エレ 43:4,7

神エホバのもとに遣わし、その言葉が良くて悪くても従います。私たちの神エホバの声に従うなら、物事はうまくいくでしょう」。

7 10 日後、エホバがエレミヤに語り掛けた。8 それでエレミヤは、カレアハの子ヨナハンと、彼と共にいた全ての軍隊長たち、また身分の低い人から高い人まで皆を呼んで、9 彼らに言った。「私は皆さんに遣わされ、恵みを求める皆さんの願いを神に伝えました。イスラエルの神エホバはこう言っています。10 『あなたたちがこの土地にとどまるなら、私はあなたたちを建て、打ち壊しはしない。あなたたちを植え、引き抜きはしない。あなたたちにもたらした災いについて嘆くからである。11 あなたたちはバビロンの王を恐れているが、恐れてはならない』。

エホバはこう宣言しています。12 『彼のことで恐れてはならない。私が共にいて、あなたたちを救い、彼の手から助け出すからである。13 私はあなたたちに憐れみを示す。彼はあなたたちを憐れみ、あなたたちの土地に帰す。14 』

13 しかし、あなたたちが、「いや、われわれはこの土地にとどまらない!」と言って、あなたたちの神エホバの声に従わず、14 こう言うとする。「われわれはエジプトに行く。そこでは、戦

42:10 * または、「悔やむ」。

いを見ることも、角^つ笛^{ぶえ}の音^{おと}を聞くことも、パン^うがなくて飢^うえるということもない。われわれはそこに住^すむ」。15 もしそうなら、ユダ^{のこ}の残り^{もの}の者^きよ、エホバの言葉^{ことば}を聞きなさい。イスラエルの神^{かみ}、大軍^{たいぐん}を率^{ひき}いるエホバはこう言う。「もしあなたが、エジプト^いに行くことを固^{かた}く決^{けつ}意^いし、そこに住^すむために行くなら、16 恐^{おそ}れている剣^{つるぎ}がそこエジプトで追^おい付^{つき}き、心配^{しんぱい}している飢^き餓^がが後^{あと}を追^おってエジプトまで行き、あなたたちはそこで死^しぬことになる。17 エジプト^いに行って住^すもうと決^{けつ}意^いしている人^{ひと}たちは皆^{みな}、剣^{つるぎ}と飢^き餓^がと疫^{えき}病^{びょう}によって死^しぬ。誰^{だれ}一人^{ひとり}、私^{わたし}がもたらす災^{わざわい}いを生き延^のびることも、逃^{のが}れることもない」。

18 イスラエルの神^{かみ}、大軍^{たいぐん}を率^{ひき}いるエホバはこう言^いっています。『もしあなたがエジプト^いに行くなら、私^{わたし}はエルサレム^{じやうみん}の住^い民^{みん}に怒^{いか}りと憤^{いきどお}りを浴^あびせよう。あなたたちに怒^{いか}りを浴^あびせる。人々^{ひとびと}はあなたたちに災^{わざわい}いがあることを願^{ねが}い、起^おきたことを見^み聞きして恐^{きよう}怖^ふを抱^{いだ}き、中^{ちゆう}傷^{しょう}や非^ひ難^{なん}を浴^あびせる。あなたたちは二度^{にど}とこの場所^{ばしょ}を見^みることはない』。

19 ユダ^{のこ}の残り^{もの}の者^{みな}である皆^{みな}さんに對^{たい}して、エホバは話^{はな}されました。エジプト^いに行^いってはなりません。私^{わたし}が今日^{けい}皆^{みな}さんに警^{けい}告^{こく}したことをはつきりと知^しってください。20 過^{あやま}ちを犯^{おか}すなら、

42:15 *または、「しばらく住む」。

第42章

(イ) 申 28:45
エレ 44:12-14
エレ 44:27,28

(イ) 王 25:8-10
代 23:34,25
代 23:36,16,17
哀 2:4

(イ) エレ 29:18

第2欄

(イ) エレ 42:1,2

(イ) 代 24:19
ネへ 9:26
ゼカ 7:11

第43章

(イ) エレ 41:16
エレ 42:1-3

(イ) エレ 36:4
エレ 45:1

(イ) エレ 38:4,6

命^{いのち}を失^{うしな}うことになります。皆^{みな}さんはこ言^いって、皆^{みな}さんの神^{かみ}エホバのもとに私^{わたし}を遣^つわしました。『私^{わたし}たちのために、私^{わたし}たちの神^{かみ}エホバに祈^{いの}ってください。私^{わたし}たちの神^{かみ}エホバが言^いわれることを全^{すべ}て伝^{つた}えてください。その通^{とお}りにし^します』。21 そして、私^{わたし}は今日^{けい}皆^{みな}さんに伝^{つた}えましたが、皆^{みな}さんは神^{かみ}エホバの聲^{こえ}に従^{したが}わず、神^{かみ}が私^{わたし}を遣^つわして伝^{つた}えさせたことを何^{なに}も行^{おこな}わないでしょう。22 それで、次^{つぎ}のことをはつきりと知^しってくだい。皆^{みな}さんは、行^いって住^すみたいと願^{ねが}っている場^{ばしょ}所で、剣^{つるぎ}と飢^き餓^がと疫^{えき}病^{びょう}によって死^しぬことになりま^す」。

43 エレミヤは民^{かみ}全^{ことば}てに、彼^{かれ}らの神^{かみ}エホバの言^{ことば}を語^{かた}り終^{おえ}えた。彼^{かれ}らの神^{かみ}エホバから託^{たく}された言^{こと}葉^はを一^{ひと}つ残^{のこ}らず伝^{つた}えた。すると、2 ホシャヤ^この子^こアザリヤ、カレアハ^おの子^こヨハナン^あ、また思^{おも}い上^あがった人^{ひと}たちが皆^{みな}、エレミヤに言^いった。「あなたはうそを言^いっています！ 私^{わたし}たちの神^{かみ}エホバが、あなたを遣^つわして『エジプト^いに行^いって住^すんではならない』と言^いわせるはずがありません。3 ネリヤ^その子^こバルクが、あなたを咬^そして私^{わたし}たちに敵^て対^{たい}させ、私^{わたし}たちをカルデア^{じん}人^ての手に渡^{わた}そうとして、いるに違^{ちが}いありません。私^{わたし}たちが殺^{ころ}されるか、捕^とらわれてバビロン^{しむ}に連^れれてい^いかれるように仕^し向^むけているのです」。

4 こうして、カレアハ^この子^こヨハナン^こ、全^{すべ}ての軍^{ぐん}隊^{たい}長^{ちやう}たち、また他^たの全^{すべ}ての人^{ひと}

は、エホバの^{こえ}声に従^{したが}わず、ユダにとどまろうとしなかった。5 カレアハの子ヨハナンと全ての^{すべ}軍隊長^{ぐんたいちよう}たちは、ユダの^{のこ}残り^{もの}の^{みな}つ^つを皆連れ去った。それは、ユダに住むために、散らされて^すいた^ち国々^{くにぐに}から戻^{もど}ってきていた人たちである。6 その中^{なか}には、男^{だんじよ}や子^こ供^{ども}たち、王^{おう}の娘^{むすめ}たち、護衛官^{ごゑいかん}の長^{ちよう}ネブザラダンがシャファンの子アヒカムの子ザダリヤに託した^{たくすべ}全ての^{ひと}人、また預言者^{よげんしゃ}エレミヤと、ネリヤの子バルクがいた。7 民はエホバの^{こえ}声に従^{したが}わず、エジプト^いに入り、タフパヌヘスまで行った。

8 タフパヌヘスで、エホバがエレミヤに語り掛^かけて^いこう言^おった。9 「大きな石を幾つか^{いしいくつ}手に取り、ユダヤ人たちが^み見^まえている前^{まえ}で、タフパヌヘスのファラオの^い家^{いえ}の^い入り口^{ぐち}にある^いれんが^おの石畳^{いしだたみ}に^{かく}隠^おし、モルタルで覆^おいなさい。

10 それから、彼らに^{かれ}い^いいなさい。『イスラエルの神、大軍を率^{かみ}いる^{たいぐん}エホバはこう言^わっている。『私は、私に仕えるバビロンのネブカドネザル王^{おう}を連れてこさせ、私が^わ隠^{かく}したこれらの石の^{いし}真上^{まうえ}に彼の王座^{おうざ}を置く。彼は石の上に^{かれ}壮麗^{さうらい}な天幕^{てんまく}を張^はる。11 彼はや^{かれ}って来てエジプトを攻^せめる。ある人たちは死^しに至^{いた}る病氣^{びやうき}にかかり、ある人たちは捕^とらわれ、ある人たちは剣^きで討^うたれる。12 私はエジプトの神々の家^{かみ}に火^いを放^はつ。彼はそれらを燃^もやし、神々^{かみ}を奪^うば

43:12、13 *または、「神殿」。

第43章

(ア) エレ 40:11,12

(イ) エレ 39:10

(ウ) 王二 22:8

(ロ) 代二 34:20,21
エレ 26:24

(ヲ) 王二 25:22

(ク) エレ 2:14,16
エレ 44:1
エゼ 30:4,18

(ケ) エレ 25:9
エレ 27:6
エゼ 29:19,20

(コ) ダ二 2:21
ダ二 5:18

(ク) エレ 25:17,19
エレ 46:13
エゼ 29:19
エゼ 30:4,18

(コ) エレ 44:13
エゼ 5:12

(ヲ) エレ 46:25

第2欄

第44章

(ア) エゼ 29:10
エゼ 30:6

(イ) エゼ 30:18

(ウ) エレ 46:14
エゼ 30:16

(ロ) エゼ 29:14
エゼ 30:14

(ヲ) エレ 43:4,7

(ヲ) 王二 25:9,10
エレ 39:8

(キ) 哀 1:1

(コ) 申 13:6-9
申 32:17
エレ 19:4

(ヲ) エレ 11:17

(ロ) 代二 36:15,16
イザ 65:2
エレ 7:24-26
エレ 35:15

(ヲ) エレ 19:13

い^さ去^きる。羊飼^{ひつじか}いが外^{がい}衣^いを身^みにまとうように、彼はエジプトを身^みにまとい、安^{やす}らかにそこを去^さる。13 そして、エジプトにあるベト・シェメシュの柱^{はしら}を粉^{こな}々に砕^{くだ}き、エジプトの神々の家^{かみ}を火^いで燃^もやす。』」。

44

エジプトのミグドル、タフパヌヘス、ノフ、パトロス地方

に住^すんでいる全てのユダヤ人について、エレミヤはこう語^{かた}った。2 「イスラエルの神、大軍を率^{かみ}いるエホバはこう言^わっています。『あなたたちは、私がエルサレムとユダの全ての町^{まち}にもたらした災^{わざ}い^いを見た。今それらは^い廢虚^{はいきよ}になっており、誰も^{だれ}住^すんでいない。3 そうな^いったのは、人々が^{ひとびと}悪^{あく}を行^{おこな}って私^{わたし}を怒^{いか}らせたからである。あなたたちも父祖^{ふそ}たちも知らな^しかった神々のもとに行^いって犠^ぎ牲^{せい}を捧^{つか}げ、仕^{つか}えたのである。4 私は、私に仕^{つか}える預言者^{よげんしゃ}全^{ぜん}てをあな^いなたたちのもとに遣^{つか}わし続^{つづ}けた。繰^くり返^{かえ}し遣^{つか}わしてこう言^わった。『どうか、私

が憎^{にく}んでいるこの忌^いまわしいことをしな^いいでほしい。5 しかし、人々は聞^きかず、耳^{みみ}を傾^{かたむ}けな^あかった。悪^{あく}を行^{おこな}い続^{つづ}け、ほかの神々に犠^ぎ牲^{せい}を捧^{つか}げた。6 そのため、私は憤^わりと怒^{いきどお}りをユダの町々^{まちまち}とエルサレムの通^{とお}りに浴^あびせ、燃^もえ上^あがらせた。それらは^{はいきよ}廢虚^あまた荒

43:12 *または、「人々を捕らえて連れ去る」。
*または、「無傷で」。43:13 *または、「太陽の家(神殿)」。
ヘリオポリスのこと。^または、「オベリスク」。
44:1 *または、「メンフィス」。
44: *直訳、「早く起きては」。

れ地となり、今に至っている』。

7 イスラエルの神、大軍を率いる神

エホバはこう言っています。『なぜあな
なたたちは大きな災いを身に招い
ているのか。ユダの全ての男女や子
供や幼児が滅びて、誰も残らないよう
になってしまう。8 なぜ、住むため
に行ったエジプトでほかの神々に犠
牲を捧げ、その行いによって私を怒ら
せるのか。あなたたちは滅びること
になり、地上の全ての国の人々があな
たたちに災いがあることを願い、非難を
浴びせる。9 あなたたちは、ユダの
土地とエルサレムの通りでの、父祖た
ちの悪い行い、ユダの王と妻たちの悪
い行い、あなたたち自身と妻たちの悪
い行いを忘れたのか。10 人々は今
までずっと謙遜にならず、私を畏れもせ
ず、私があなたたちと父祖たちに与え
た律法や法令に従って歩んでいない』。

11 それで、イスラエルの神、大軍
を率いるエホバはこう言っています。
『私は、あなたたちに災いをもたらし、
ユダ全体を滅ぼすことを決意してい
る。12 エジプトに行って住むことを
決意していたユダの残りの者を、私は
捕らえる。彼らは皆エジプトで滅びる。
剣によって倒れ、飢餓によって滅びる。
身分の低い人から高い人まで、剣と飢
餓によって死ぬ。人々は彼らに災いが
あることを願い、起きたことを見聞き
して恐怖を抱き、中傷や非難を浴びせ

44:10 *または、「打ちのめされておらず」。

第44章

【イザ】6:11
エレ 39:8

【イ】王一 9:7
エレ 24:9
エレ 42:18

【イ】王二 21:19,20
王二 24:8,9

【イ】王一 11:1-3

【イ】エレ 44:19

【イ】エレ 36:22-24

【イ】申 6:1,2

【イ】エゼ 30:13

第2欄

【イ】エレ 42:17,18

【イ】エレ 21:9
エレ 42:22
エレ 43:11

【イ】エレ 43:4,7

【イ】エレ 44:1

【イ】エレ 7:18

る。13 私は、エルサレムを処罰した
ように、エジプトに住んでいる人たち
を剣と飢餓と疫病によって処罰する。

14 エジプトに行って住んでいたユダ
の残りの者は、逃れることも生き延び
ることもなく、ユダには戻れない。そこ
に戻って住むことを切望するが、逃れ
るほんのわずかな人たち以外は戻る
ことはない』。

15 すると、妻たちがほかの神々に
犠牲を捧げていることを知っていた男
性たちと、そばに立っていた妻たちか
ら成る大きな集団、またエジプトのパ
トロスに住んでいた全ての人が、エレ
ミヤに答えた。16 「私たちは、あな
たがエホバの名によって語った言葉
を聞くつもりはありません。17 逆
に、自分たちが語った言葉の通りにし、
天の女王に犠牲を捧げ、飲み物の捧
げ物を注ぎ出します。私たちが父祖た
ち、また王や高官たちが、ユダの町々
やエルサレムの通りでしていたように
です。その頃、私たちはパンを十分に
食べ、裕福で、何の災いにも遭いませ
んでした。18 ところが、天の女王に
犠牲を捧げることや、飲み物の捧げ物
を注ぎ出すことをやめた時から、あら
ゆる物に不足するようになり、剣と飢
餓によって滅ぼされたのです」。

19 さらに女性たちが言った。「私
たちは、天の女王に犠牲を捧げ、飲み

44:17-19 *背教したイスラエル人が崇拜した
女神の称号。豊作の女神かもしれない。

もの^{もの}ささ^{ささ}もの^{もの}そそ^{そそ}だ^だあ^あおつと^{おつと}
物の捧げ物を注ぎ出すに当たって、夫
たちの承諾を得ました。それで、天^{てん}の
女王をかたどった犠牲の菓子を作り、
飲み物の捧げ物を注ぎ出したのです。

20 エレミヤは、自分^{じぶん}に話^{はな}している
全て^{すべて}の人^{ひと}、男性^{だんせい}たちと妻^{つま}たちに言^いった。

21 「皆さんや父祖^{みな}たち、王^{おう}や高官^{こうかん}た
ちや民^{たみ}が、ユダの町々^{まちまち}やエルサレム^{エルサレム}の
通りで捧^とげた犠牲^{ぎせい}を、エホバは覚^{おぼ}えて
おられ、思^{おも}い起^{おこ}されました。22 つ

いにエホバは、皆さんの悪い行^{わる}いや
忌まわしい行^い為^ゐに耐^たえられなくなりま
した。そのため皆さんの土地^ちは荒^{こう}廢^{はい}
し、誰^{だれ}も住^すんでおらず、今^{いま}に至^{いた}っていま

す。人々^{ひとびと}はその土地^ちを見て恐^{きょう}怖^ふを抱^{いだ}
き、そこ^{そこ}に災^{わざわ}いがあることを願^{ねが}ってい
ます。23 皆さんがそのような犠牲^{ぎせい}を

捧^{ささ}げ、エホバに對^{たい}して罪^{つみ}を犯^{おか}し、エホ
バの聲^{こゑ}を聞^きかず、この方^{かた}の律法^{りつぽう}や法令^{ほうれい}
や教^{おし}えにたが^{したが}わなかつたので、今^{いま}この災^{わざわ}
いが降^ふり掛^かかっているのです。

24 エレミヤは続^{つづ}けて、女性^{じょせい}たちを
含む^{ふく}全て^{すべて}の人^{ひと}に言^いった。「エジプトに
いるユダの皆さん、エホバの言葉^{ことば}を聞^き
きなさい。25 イスラエルの神^{かみ}、大軍^{たいぐん}
を率^{ひき}いるエホバはこう言^いっています。
『あなたたちと妻^{つま}たちは、自分^{じぶん}たちが
語^{かた}ったことを実^{じっさい}際^{さい}に行^{おこな}った。『われわ
れは必ず誓^{かなら}約^{せいやく}を果^はたし、天^{てん}の女王^{じょおう}に
犠牲^{ぎせい}を捧^{ささ}げ、飲^のみ物^{もの}の捧^{ささ}げ物^{もの}を注^{そそ}
ぎ出す』と言^いったのである。あなたたち

44:23 *または、「悪い出させるもの」。44:25
*背教したイスラエル人が崇拜した女神の称号。
豊作の女神かもしれない。

第44章

(例) エレ 11:13
エゼ 16:24, 25

(例) 王 9:8, 9
哀 2:15
エゼ 33:29

(例) 代二 36:15, 16
ダ二 9:11

(例) エレ 7:18
エレ 44:15, 17

第2欄

(例) エゼ 20:39

(例) イザ 48:1, 2
エレ 5:2

(例) エレ 1:10

(例) エレ 44:12

(例) レビ 26:44
イザ 27:13
エレ 44:14

(例) 王二 25:7
エレ 34:21
エレ 39:5

じょせい かなら せいやく は とお
女性^{じょせい}は必ず誓^{かなら}約^{せいやく}を果^はたし、その通^{とお}りに
おこな^{おこな}う行^いう』。

26 それで、エジプトに住^すんでいる
ユダの皆さん、エホバの言葉^{ことば}を聞きな
さい。『エホバはこう言^いう。「私は自^{わたし}分^{ぶん}
の偉大^{いだい}な名^なに懸^かけて誓^{ちか}う。エジプ
ト全土^{ぜんど}のユダの人々^{ひと}の中に、私の名^{わたし}
を呼^よんで誓^{ちか}う人^{ひと}はもういなくなる。誰^{だれ}
も、『生^いきている神^{かみ}、主権^{しゅけん}者^{しや}である主^{しゅ}エ
ホバに懸^かけて誓^{ちか}う!』とは言^いわなくな
る。27 私は彼^{かれ}らを見^み張^はっている。良^よ
いことではなく災^{わざわ}いをもたらすため
である。エジプトにいるユダの人々^{ひと}たちは
皆^{みな}、剣^{つるぎ}と飢餓^{きが}によって滅^{ほろ}び、存^{そんざい}在^{ざい}しなく
なる。28 わずかな人^{ひと}だけが、剣^{つるぎ}から
逃^{のが}れて、エジプトからユダに返^{もど}る。そ
の時^{とき}、エジプトに住^すむために來^きたユダ
の残^{のこ}りの者^{もの}は皆^{みな}、私の言葉^{ことば}と彼^{かれ}ら
の言葉^{ことば}のどちら^{どちら}が実^{じつげん}現^{げん}したのか^しを知^しるこ
とになる。』」。

29 「エホバはこう宣^{せんげん}言^{げん}しています。
『次^{つぎ}のことが、私^{わたし}がこ^この場^ば所^{しょ}であな
たちを処^{しよ}罰^{ばつ}することのしるしとなる。あ
なたたちに災^{わざわ}いをもたらすとい^{わたし}う私^{わたし}
の約^{やく}束^{そく}が必ず実^{かなら}現^{じつげん}すること^しを、あなた
たちが知^しるためである。30 エホバ
はこう言^いう。「私は、エジプトの王^{おう}ファ
ラオ・ホフラを敵^{てき}の手に、彼^{かれ}の命^{いのち}を奪^{うば}
おうとしている者^{もの}たちの手^てに渡^{わた}す。ユ
ダのゼデキヤ王^{おう}を、彼^{かれ}の命^{いのち}を奪^{うば}
していた敵^{てき}、バビロンのネブカドネザ
ル王^{おう}の手に渡^{わた}したのと同じようにで
ある。』」。

45 ユダの王、ヨシヤの子エホヤキムの治世の第4年に、ネリヤの子バルクが預言者エレミヤから聞いた言葉を巻物に書き取った際、エレミヤがバルクに語り掛けた。

2 「バルク、あなたについてイスラエルの神エホバはこう言っています。

3 『あなたはこう言った。「災い！わたしは私の痛みに悲しみを加えた。私は嘆いて疲れ、安らぎを得ることができていない」』。

4 『彼に言いなさい。「エホバはこう言っている。『私は建てたものを打ち壊し、植えたものを引き抜いている。この土地全体でそうする。5 しかし、あなたは成功を追い求めている。そうしたものを追い求めてはならない』』。

エホバはこう宣言しています。『私はすべての人に災いをもたらそうとしている。ただ、あなたがどこに行っても、死ぬことなく逃れられるようにしよう』。

46 国々について、エホバが預言者エレミヤに語った言葉。

2 エジプトについて。エジプトの王ファラオ・ネコの軍に関して。彼はユーフラテス川のほとりにいて、カルケミシュでバビロンのネブカドネザル王に敗れた。ユダの王、ヨシヤの子エホヤキムの治世の第4年のことである。

45:1 *または、「書」。45:5 *直訳、「大きなこと」。*または、「期待して」。△または、「自分の命を戦利品として得る」。

第45章

(例) エレ 25:1
エレ 36:1

(例) エレ 32:12
エレ 43:3

(例) エレ 36:4, 32

(例) イザ 5:5
エレ 1:1, 10

(例) イザ 66:16
エレ 25:17, 26
ゼバ 3:8

(例) エレ 21:9
エレ 39:18
エレ 43:6

第46章

(例) エレ 1:10

(例) エレ 25:15, 19
エゼ 29:2
エゼ 32:2

(例) 代二 35:20

(例) 王二 23:36
エレ 25:1
エレ 36:1

第2欄

(例) 王二 24:7

(例) エゼ 29:3
エゼ 32:2

(例) エゼ 27:2, 10

(例) イザ 66:19

(例) 創 10:6, 13
エゼ 30:4, 5

3 「小盾や大盾を用意し、出陣せよ。

4 騎手たちよ、馬に馬具を付けての乗り、

配置に就いてかぶとをかぶれ。小やりを磨き、よろいを着けよ。

5 エホバはこう宣言する。

『なぜ彼らは恐怖におびえているのか。』

彼らは退却しており、戦士たちは打ち負かされた。

彼らは慌てて逃げ、戦士たちは振り返ろうとしない。

周囲に恐怖がある。

6 素早い者も逃げることができず、戦士たちは逃れられない。

北の方、ユーフラテス川の岸辺で、

彼らはつまづいて倒れた』。

7 ナイル川のように上ってくるもの、波立つ川のように来る者は誰か。

8 エジプトがナイル川のように上ってくる。

波立つ川のように来て、言う。『私は上っていて大地を覆う。

町と住民を滅ぼす』と。

9 馬よ、上っていけ！

兵車よ、狂ったように駆け巡れ！戦士たちは前進せよ。

盾を持つクシュとプト、また弓を持って曲げるルド人よ。

46:9 *直訳、「踏む」。弓に弦を張る動作のこと。

10 その日は、主権者である主、大軍を率いるエホバのものであり、敵たちに報復する復讐の日である。剣はむさばり食って満足し、彼らの血を存分に飲む。主権者である主、大軍を率いるエホバは、北の土地のユーフラテス川のほとりで人々を犠牲とするのである。

11 処女であるエジプトよ、バルサムを得るためにギレアデに上っていけ。

あなたはさまざまな治療を受けてきたが、無駄だった。

治ることはない。

12 国々はあなたが辱められたことを聞いた。

あなたの叫び声が大地に響き渡った。

戦士たちは互いにつまずき、一緒に倒れる。

13 バビロンのネブカドネザル王がエジプトを打ち倒すために来ることにして、エホバが預言者エレミヤに語った言葉。

14 「エジプトで伝え、ミグドルで広めなさい。

ノフとタフパヌヘスでも広めるように。こう言いなさい。

『配置に就き、用意を整えよ。

第46章

(7) 王ニ 24:7

(1) 剣 37:25
エレ 8:22

(7) エゼ 30:21

(12) エゼ 32:9

(7) エレ 43:10
エゼ 29:19
エゼ 30:10(7) エレ 44:1
エゼ 29:10
エゼ 30:6(4) エレ 43:4,7
エゼ 30:18

第2欄

(7) エゼ 29:3

(1) ヨシ 19:17,22
裁 4:6
詩 89:12

(7) 王一 18:42

(12) エゼ 32:15

つるぎ 剣があなたの周囲でむさばり食うからである。

15 あなたの強い者たちが一掃されたのはどうしてか。

彼らは踏みとどまらなかった。

エホバに押し倒されたのである。

16 大勢がつまずいて倒れ、互いにこう言っている。

「立ち上がれ！ 残酷な剣から逃れて、

同胞のもとに、故郷に帰ろう。』

17 彼らはそこで言い広めた。

『エジプトの主ファラオは無意味

に騒ぎ立てるだけで、

好機を逃した』と。

18 大軍を率いるエホバという名の王が宣言する。

『私は、生きている私自身に懸けて誓う。

彼は山々の中のタボルのように、海辺のカルメルのようにやって来る。

19 エジプトに住む人々よ、捕囚の身となるために荷物をまとめよ。

ノフは恐怖の光景となり、火を放たれて誰も住まなくなる。

20 エジプトは美しい若い雌牛のようだ。

北からアブが飛んできて彼女をおそ襲う。

46:17 *直訳、「定めの時」。 46:18 *エジプトを征服する者のこと。 46:19 *直訳、「娘」。
もしかすると、「荒れ地になつて」。

46:10 *または、「ほふる」。 46:11 *直訳、「エジプトの娘」。 46:14, 19 *または、「メンス」。

21 彼女の中^{なか}にいる^{やと}雇^{へい}われた^し兵士^たは、肥^こえた^{うし}子牛^しのよう^だだ。
しかし、彼^{かれ}らも後^{こう}退^{たい}し、一^{いっ}緒^{しょ}に逃^にげ、

踏^ふみとどま^めれな^かった。
彼^{かれ}らの災^{さい}難^{なん}の日^ひ、処^{しよ}罰^{ぼつ}の時^{とき}が来^き

たのである』。

22 『彼女^{かのじよ}は腹^{はら}ばい^{すす}で進^{しん}む蛇^{へび}のよう^なな音^{おと}を立て^たる。

敵^{てき}は大^{おお}勢^{ぜい}で彼^{かのじよ}女^おを追^おう。

お^ものを持^もって、木^きを切^きる者^{もの}たち^ののよう^にに。

23 敵^{てき}は、通^{とお}れそ^{かのじよ}うもな^かった彼^{かのじよ}女^おの森^{しん}林^{りん}を切^きり倒^{たお}す』と、エホバは宣^{せん}言^{げん}する。

『彼^{かれ}らはバツ^おタ^およりも多^{おほ}く、数^{かず}え切^きれな^いい。

24 エジ^きプト^はは恥^{はじ}をか^く。

北^{きた}の人^{ひと}々^{びと}の手^てに渡^{わた}され^るる』。

25 イス^{かみ}ラ^{たい}エル^{ぐん}の神^{ひき}、大^い軍^{わたし}を率^{かみ}いるエホバは言^いう。『私^{わたし}は、ノ^のの神^{かみ}アモ^ん、ファ^{かみ}ラ^{がみ}オ、エジ^{かみ}プト^{がみ}とそ^{かみ}の神^{かみ}々^{がみ}と王^{おう}たち^{がみ}に注^{ちゅう}意^いを向^むける。ファ^{かみ}ラ^{がみ}オと、彼^{かれ}に頼^{たよ}る者^{もの}全^{ぜん}てに注^{ちゅう}意^いを向^むける』。

26 『私^{わたし}は彼^{かれ}ら^を、彼^{かれ}ら^のの命^{いのち}を奪^{うば}おうとして^もいる者^{もの}たち^のの手^てに渡^{わた}す。バビ^おロ^んのネ^おバ^かド^ねザ^るル^王と家^け来^{らい}たち^のの手^てに渡^{わた}す。そ^の後^ご、エジ^いプト^{ぜい}には以^い前^{ぜん}のよう^にに人^{ひと}が住^すむよう^にになる』と、エホバは宣^{せん}言^{げん}する。

46:22 *または、「木切^きれを集^あめる」。 46:24 *直^ち訳^{やく}、「エジ^きプト^のの娘^{むすめ}」。 46:25 *テ^てーベ^べのこと^{こと}。

第46章
(例) エレ 46:5,15

(例) エゼ 30:10

(例) エゼ 30:14

(例) ナホ 3:8

(例) 出 12:12

イザ 19:1

エレ 43:12,13

(例) エレ 17:5

エレ 42:14

(例) エレ 43:10,11

エゼ 32:11

(例) エゼ 29:13,14

第2欄

(例) イザ 41:13

イザ 43:1,2

イザ 44:2

(例) イザ 11:11

エレ 50:19

エゼ 39:27

アモ 9:14

ゼバ 3:20

(例) エレ 23:3,6

エレ 30:10,11

(例) エレ 25:9

(例) エレ 5:10

アモ 9:8

(例) エレ 10:24

第47章

(例) エレ 25:17,20

エゼ 25:15,16

アモ 1:6

ゼバ 2:4

ゼカ 9:5,6

27 『私^{わたし}に仕^{つか}えるヤコ^{おそ}ブよ、恐^{おそ}れてはならない。

イス^いラ^すエル^えよ、おび^おえてはな^ならない。

私^{わたし}はあ^とな^とを遠^とい^ち土^ち地^ちから救^{すく}い、

あ^しな^した^しの子^し孫^{そん}を捕^ほ囚^{しゅう}の地^ちから救^{すく}う。

ヤ^もコ^どブは戻^{へい}り、平^{へい}穩^{おん}に暮^くらし、誰^{だれ}にも脅^{おび}かさ^れない。

28 私^{わたし}に仕^{つか}えるヤコ^{おそ}ブよ、恐^{おそ}れてはな^ならない』と、エホバは宣^{せん}言^{げん}する。『私^{わたし}はあ^とな^とと共^{とも}に^いる。

あ^おな^おた^{すべ}を追^くい^にや^くった全^{ぜん}て^のの国^{こく}で、人^{ひと}々^{びと}を根^ね絶^{だつ}やしに^する。

し^しか^しし、あ^あな^なた^だを根^ね絶^{だつ}やしに^はし^しない。

と^ては^きい^きえ、あ^あな^なた^だを適^{てき}度^どに矯^{きよう}

正^{せい}し、決^{けつ}して処^{しよ}罰^{ぼつ}せ^ぜずにはお^おか^かない』。

47 ファ^うラ^たオ^まがガ^うザ^たを打^{うち}ち倒^{たお}す前^{まえ}に、フィ^{じん}リス^{じん}ティア^{じん}人^{じん}につ^にてエホバが預^よ言^{げん}者^{しや}エレ^{かた}ミヤ^{こと}に語^{こと}った言^{こと}葉^は。 2 エホバはこ^いう言^いう。

「見^みなさい！ 北^{きた}から水^{みづ}が来^くる。

激^{はげ}しく流^{なが}れる川^{かわ}になり、土^ど地^ちとそ^{なか}の全^{ぜん}て^のの物^{もの}を覆^{おお}い、町^{まち}と住^{じゅう}民^{みん}を覆^{おお}う。

人^{ひと}々^{びと}は叫^{さけ}び声^{こゑ}を上げ、土^ど地^ちの住^{じゅう}民^{みん}は皆^{みな}泣^なき叫^{さけ}ぶ。

3 雄^{おう}馬^まがひ^ふづめ^なを踏^おみ鳴^おらす音^{おと}、

せんしゃ そうおん しゃりん おん き
戦車の騒音、車輪の轟音を聞

いて、

父たちは手が力なく垂れ下がり、

振り向いて子を見ることもしない。

4 全てのフィリスティア人を滅ぼす

日が来ようとしている。

ティルスとシドンは、残っている

援軍を断たれる。

エホバはフィリスティア人を滅ぼすのである。

カフトル島から来て残っている者たちを。

5 ガザは、はげになる。

アシュケロンは沈黙させられた。

彼らの谷あいの平原に残っている者よ、

あなたはいつまで体に切り傷を付け続けるのか。

6 ああ、エホバの剣よ！

いつまで静まらないつもりか。さやに戻り、休んで、黙っていよ。

7 どうして静まれるだろうか。

エホバがそれに命令したのだから。

アシュケロンと海辺を攻めるために、それを遣わしたのである。

48 モアブについて。イスラエルの神、大軍を率いるエホバはこう言う。

47:4 *クレタ島のこと。 47:5 *人々が悲しみと恥のために頭をそるということ。

第47章

㉔ エレ 25:17, 20
アモ 1:8
ゼバ 2:5

㉔ エゼ 26:2
アモ 1:9, 10

㉔ イザ 23:1, 4
エレ 25:17, 22
エレ 27:2, 3
エゼ 28:21
ヨエ 3:4

㉔ 創 10:13, 14
申 2:23

㉔ ゼバ 2:4

㉔ 申 14:1
エレ 16:6

㉔ 申 32:41

㉔ エゼ 25:16

第48章

㉔ 創 19:36, 37
イザ 15:1

第2欄

㉔ 民 32:37, 38

㉔ ヨシ 13:15, 19
エゼ 25:9

㉔ イザ 15:2

㉔ 民 32:37
イザ 16:8

㉔ イザ 15:5
エレ 48:34

㉔ イザ 15:5

㉔ 民 21:29
王 11:7

「災いだ！ ネボは滅ぼされた。

キルヤタイムは恥をかかれ、攻め取られた。

安全な避難所は恥をかかれ、壊された。

2 人々はもはやモアブを褒めたたえない。

ヘシュボンで彼女の没落を企てた。

『さあ、この国を滅ぼそう』と。

マドメンよ、あなたも黙っているべきである。

剣が迫っているからだ。

3 ホロナイムから叫び声が聞こえる。

破壊と大々的な崩壊の音も。

4 モアブは打ち壊された。彼女の小さな子たちは叫び声を上げる。

5 人々はルビトの上り坂を泣きながら上る。

ホロナイムの下り坂では、惨事を嘆く声を聞く。

6 逃げて、自分たちの命を守れ！荒野の低木のようになれ。

7 あなたは自分の行いや財宝に頼るので、

やはり攻め取られることになる。

ケモシュは捕囚の身となる。

自分に仕える祭司や高官と共に。

48:1 *または、「高台」。 48:2, 7 *モアブのこと。 48:6 *ピヤクシン属の低木かもしれない。

8 滅ぼす者が全ての町を襲い、
逃れる町は一つもない。
谷は滅び、平地は滅ばし尽くさ

れる。

エホバが言った通りに。

9 モアブのために標識を立てよ。
荒れ果てた彼女は逃げるからで
ある。

彼女の町々は恐怖の光景となり、
誰も住まなくなる。

10 エホバからの任務をいかにげん
に行う者は災いを受ける！
剣で血を流そうとしない者は災
いを受ける！

11 モアブ人は若い時から穏やかに
暮らしてきた。

おりの上に寝かせられたぶどう
酒のように。

器から別の器へ注がれたことは
なく、

捕囚の身になったこともない。

そのため、味はそのまま保たれ、
香りも変わっていない。

12 エホバはこう宣言する。『私が
人々を遣わし、彼らを覆す時が来る。
人々は彼らをひっくり返して器を空に
し、大きなつばを粉々に砕く。 13 イ
スラエル国民が、頼みにしていたペテ
ルについて恥じているように、モアブ
人はケモシュについて恥じることに
なる。

48:8 *または、「谷あいの平原」。「または、「台
地」、「高原」。

第48章

(例) エゼ 25:9

(例) ゼバ 2:9

(例) 王一 12:28, 29
ホセ 10:15
アモ 5:5

第2欄

(例) イザ 16:6

(例) エレ 48:8

(例) イザ 34:2

(例) 詩 24:8

(例) エゼ 25:11

(例) 民 21:30
ヨシ 13:15, 17
イザ 15:2

(例) エレ 48:8

(例) 民 32:34
申 2:36

14 あなた方はよくも言えたものだ。
「われわれは強い戦士であり、
戦う用意ができています」と。」

15 『モアブは滅ばされ、
彼女の町々は攻め込まれた。
えり抜きの若者たちが殺され
た』と、

大軍を率いるエホバという名の
王が宣言する。

16 間もなくモアブ人に災難が降り
掛かる。

彼らの没落は非常に近い。

17 彼らの名を知っている周りの者
は皆、

彼らに同情しなければならなく

なる。

『強い棒が、美しいつえが折られ
てしまった!』と言え。

18 ディボンに住む人々よ、栄光の
座から降り、
喉が渇いたまま座れ。

モアブを滅ぼす者があなたを
攻め、

防備された場所を荒廃させる。

19 アロエルに住む者よ、道のそば
に立って見張れ。

逃げる男性と、避難する女性に、
『何が起こったのか』と尋ねよ。

20 モアブは恥をかき、恐怖に襲わ
れた。

48:18 *直訳、「娘」。「もしかすると、「乾いた
地面に」。

泣き^な叫び^{さけ}、声^{こえ}を上げよ。

モアブが滅^{ほろ}ぼされたことを、アル
ノン^{アル}で広めよ。

21 平地^{へい}は処罰^{しよばつ}されることになる。

ホロン、ヤハツ、メファアト、22 ディボ
ン、ネボ、ベト・ディブラタイム、23 キ
ルヤタイム、ベト・ガムル、ベト・メオン、

24 ケリヨト、ボツラが処罰^{しよばつ}される。モ
アブの全ての町^{まち}が、遠いものも近いもの
も処罰^{しよばつ}される。

25 エホバはこう宣言^{せんげん}する。

『モアブの角^{つの}は切り落^きとされ、
腕^{うで}は折^おられた。

26 彼^{かれ}を酔^よわせよ。エホバに対して
高^{たか}ぶったからである。

モアブは吐^はいた物^{もの}にまみれ、
あざけりの的^{まと}となっている。

27 あなたはイスラエルをあざけった
のではなかったか。

彼^{かれ}が泥棒^{どろぼう}仲間^{なかま}でもあるかのよ
うに、

彼^{かれ}に向かって頭^{あたま}を振り、非難^{ひなん}した
ではないか。

28 モアブの住民^{じゅうみん}よ、町々^{まちまち}を去^さり、大
岩^{いわ}の上に住^すめ。

峡谷^{きやうこく}の岩壁^{がんぺき}に巢^すを作るハトのよ
うになれ』。

29 「私たちはモアブの誇^{ほこ}りについ
て聞^きいた。彼は非常^{ひじょう}に傲慢^{ごうまん}で
ある。

48:21 *または、「台地」、「高原」。48:25 *ま
たは、「力は奪われ」。

第48章

(例)民 21:13
ヨシ 13:8,9

(イ)ゼバ 2:9

(例)民 21:23
イザ 15:4

(イ)ヨシ 13:15,18

(例)民 32:34

(例)民 32:3,4

(例)民 32:37
エレ 48:1

(例)民 32:37,38
ヨシ 13:15,17
エゼ 25:9

(例)アモ 2:2

(例)エレ 25:15,16

(例)エレ 48:42

(イ)哀 2:15
ゼバ 2:8

第2欄

(例)イザ 16:6
イザ 25:10,11
ゼバ 2:9,10

(イ)王 3:24,25
イザ 16:7

(例)民 32:37,38
ヨシ 13:15,19

(イ)民 21:32
民 32:34,35
ヨシ 21:8,39

(例)イザ 16:8,9
エレ 48:8

(例)エレ 25:10

(例)イザ 16:10

(例)民 21:25
ヨシ 13:15,17

(例)民 32:37
イザ 16:9

(イ)民 21:23

かれ 高慢^{こうまん}さ、誇^{ほこ}り、傲慢^{ごうまん}さ、お
彼^{たか}の心^{こころ}について聞^き
いた。

30 「エホバはこう宣言^{せんげん}する。

『私は彼の激怒^{げきど}を知^しっている。

しかし、彼^{かれ}の中身^{なかみ}のない話^{はなし}は無
駄^だに終わ^おる。

何も成^なし遂^とげられない。

31 それで、私はモアブのことで
泣^なき、

モアブ全体^{ぜんたい}のために声^{こえ}を上げる。
キル・ヘレスの人^{ひと}たちのために

嘆^{なげ}く。

32 シブマのブドウの木^きよ、
私はヤゼルのために泣^なき悲^{かな}しむ
以上^{いじょう}に、

あなたのために泣^なき悲^{かな}しむ。

あなたがたくさん^{わかにだ}の若枝^{うみ}は海^{うみ}を
渡^{わた}った。

海^{うみ}を越^こえ、ヤゼルに達^{たつ}した。

あなた^{なつ}の夏^{くだもの}の果物^{しゅうかく}と収^{ほろ}穫^{もの}された
ブドウを、滅^{ほろ}ぼす者^{おそ}が襲^めった。

33 喜び^{よろこ}と楽^{たの}しみが果樹園^{かじゅえん}から、

モアブの土地^{とち}から取り去^とられた。

私はブドウ搾^{しぼ}り場^ばからぶどう酒^{しゅ}を
絶^たやした。

歓^{かんせい}声^{せい}を上げながらブドウを踏^ふむ
人^{ひと}はいなくなる。

歓^{かんせい}声^{せい}は別^{べつ}の叫^{さけ}び声^{こゑ}に変わる』。

34 「『ヘシュボンから叫^{さけ}び声^{こゑ}があ
り、エルアレまで届^{とど}いた。

人^{ひと}々の声^{こゑ}はヤハツまで届^{とど}き、

ゾアルからホロナイム^(ア)まで、エグ
ラト・シェリシヤ^{とど}まで届いた。
ニムリムの水さえ枯れ果てる。

35 高い場所^{たか}に捧げ物^{ばしょ}を持ってくる^{ささ}
人や、^も
自分の神^{じぶん}に犠牲^{かみ}を捧げる人^{ぎせい}を、^{ささ}
私はモアブから絶やす^{わたし}』と、エホ
バは宣言^{せんげん}する。

36 『そのため、私の心^{わたし}は笛^{こころ}のように、
モアブのために嘆く^{なげ}。

私の心^{わたし}は笛^{こころ}のように、キル・ヘレ
スの人^{ひと}たちのために嘆く^{なげ}。

築かれた^{きず}富^{とみ}が滅び^{ほろ}ぶからだ。

37 全ての頭^{すべ}はそれ^{あたま}れ、
全ての顎^{すべ}ひげは切り落^{あご}とされて
いる。

全ての手^{すべ}に切り傷^てがあり、
腰^{こし}には粗布^{あらぬの}が巻^まかれている^(イ)！』

38 「エホバはこう宣言^{せんげん}する。
『モアブの全ての屋上^{すべ}と全ての広
場^ばで、
人々^{ひとびと}はただ泣き叫^なぶ。
私がモアブを捨て^{わたし}られたつぼの
ように砕^{くだ}いたからである。

39 彼女^{かのじょ}はおびえている^{*}！泣き
叫^{さけ}べ！
モアブは恥^はじて背^せを向^むけた！
モアブはあざけりの^まとなり、
周囲^{まわ}の皆^{みな}にとって恐^{おそ}ろしいものと
なった』。

40 「エホバはこう言う。
『見なさい！襲^みい掛^{おそ}かるワシのよ
うに、
敵^{てき}がモアブの上^{うへ}に翼^{つばさ}を広^{ひろ}げる。

41 町々^{まちまち}は攻め取^せられ、
彼女^{かのじょ}のとりでは奪^{うば}われる。
その日^ひ、モアブの戦士^{せんし}たちの
心^{こころ}は、
出産^{しゅつさん}で苦しむ女性^{じょせい}の心^{こころ}のように
なる』。

42 『『モアブは滅^{ほろ}ぼし尽^つくされ、存^{そん}
在^{ざい}しなくなる。
エホバに対して高^{たか}ぶったからで
ある。

43 モアブの住民^{じゅうみん}よ、恐怖^{きょうふ}と落^おとし穴^{あな}
とわなが、
あなたを待ち受^まけている』と、エ
ホバは宣言^{せんげん}する。

44 『恐怖^{きょうふ}から逃^にげる者は穴^{あな}に落^おち、
穴^{あな}からはい上^あがる者はわな^{もの}に掛^か
かる』。

エホバはこう宣言^{せんげん}する。
『私はモアブに処罰^{しよばつ}の年^{とし}が来る
ようにする。

45 逃^にげてきた者^{もの}たちが、ヘシュボン
の陰^{かげ}に力^{ちから}なく立ち尽^たくす。
火^ひがヘシュボンから、
炎^{ほのお}がシホンの中^{なか}から出^でる。
それはモアブの額^{ひたい}と、
荒々^{あらあら}しい戦士^{せんし}たちの頭蓋骨^{ずがいこつ}を焼^や
き尽^つくす』。

第48章
(ア) エレ 48:2,3

(イ) イザ 15:4-6

(ウ) イザ 16:11

(エ) エレ 16:6

(オ) レビ 19:28

(カ) 創 37:34
イザ 15:2,3

第2欄

(ア) 哀 4:19
ハバ 1:8

(イ) エレ 49:22

(ウ) エレ 30:11

(エ) エレ 48:29

(オ) 民 21:26,28

(ア) 民 24:17
アモ 2:2

48:36 *葬儀で哀悼のために吹かれる笛のこと。
*または、「ざわめく」。48:39 *モアブのこと。

48:42 *または、「民ではなくなる」。

46 『モアブよ、あなたには災いが
ある！

ケモシュの民は滅びた。

あなたの息子たちは捕らわれ、
娘たちは捕囚の身となった。

47 しかし、私は最後の日々に、捕ら
われているモアブの人々を集
める』と、エホバは宣言する。
『ここまでがモアブに対する裁き
の言葉である』。

49 アンモン人について。エホ
バはこう言う。

「イスラエルに子はいないのか。
相続人はいないのか。

なぜマルカムがガドの手に入れ
たのか。

なぜマルカムの民がイスラエル
の町々に住んでいるのか」。

2 「エホバはこう宣言する。

『私がアンモン人のラバに戦い
の合図を聞かせる時が来る。

かのじよが、彼女がはげれきの山となり、
周辺の町々には火が放たれる』。

『イスラエルは、自分の土地を
奪った者たちを所有することにな
る』と、エホバは言う。

3 『ヘシュボンよ、泣き叫べ！ アイ
は滅ばされたからだ。

ラバの周辺の町々よ、叫び声を
上げよ。粗布をまとえ。

49:2 *もしかすると、「ときの声」。
△または、「彼女に依存する」。

第48章

(例) 民 21:29
王 11:7

(例) エレ 48:7

(例) エゼ 25:11

第49章

(例) 創 19:36,38
申 2:19
代 20:1

(例) 王 11:5
ゼバ 1:4,5

(例) アモ 1:13

(例) 申 3:11
ヨシ 13:24,25
エゼ 25:5
アモ 1:14

(例) エゼ 21:19,20

(例) イザ 14:2
エレ 50:19
ゼバ 2:9

第2欄

(例) アモ 1:13,15

(例) 創 36:10,11
エゼ 25:13
アモ 1:12
オバ 8

泣き叫んで、石の囲いの中を歩
き回れ。

マルカムは捕囚の身となる。
自分に仕える祭司や高官と共に。

4 不忠実な娘よ、なぜあなたは谷
について、
肥沃な平原について自慢する
のか。

あなたは自分の財宝に頼り、
「誰が私の所に攻めてくるだろう
か」と言う』。

5 「主権者である主、大軍を率いる
エホバはこう宣言する。
『私はあなたに恐ろしいことが起
こるようにする。

それはあなたの周囲から来る。
あなた方はあらゆる方向に散ら
され、

逃げる人たちを集める者はい
ない』。

6 『しかし、後に私は、捕らわれて
いるアンモン人を集める』と、
エホバは宣言する。

7 エドムについて。大軍を率いるエ
ホバはこう言う。

「テマンにもはや知恵はない
のか。

理解力がある人たちは良い助言
をしなくなったのか。

彼らの知恵は腐ってしまった
のか。

49:3 *または、「羊の囲い」。 49:4 *または、
「谷あいの平原」。
△または、「水が流れる」。

8 逃げよ！ 退け！

デダンの住民よ、下って行って身を隠せ！

私はエサウに災難をもたらす。
彼に注意を向けるべき時に。

9 もしブドウを収穫する人たちがあなただけの所に来たら、

幾らかの実を採り残しておくのではないか。

もし夜に泥棒が来たら、
欲しい物だけしか盗まないだろう。

10 しかし私は、エサウの物を全て奪う。

彼の隠れ場を暴き、
隠れられないようにする。
彼の子ども兄弟も隣人も皆滅ばされ、

彼はいなくなる。

11 あなたの孤児たちを置いていけ。
私が彼らを生き続けさせる。

あなたのやもめたちは私に頼る。

12 エホバはこう言う。「私の憤りの杯から飲むように渡されていない者たちが飲まなければならないのであれば、あなたが全く処罰されないことがあってよいだろうか。あなたは罰を免れない。杯から飲まなければならない」。

49:11 *または、「父親のいない子供たち」。

第49章

イザ 21:13
エレ 25:17,23

イオバ 5

イオバ 6,9

マラ 1:3,4

エレ 25:27,28
哀 4:21
オバ 16

第2欄

イザ 34:6
イザ 63:1
エレ 49:22
アモ 1:12

イオバ 18
マラ 1:3

イオバ 1

イオバ 2-4

エレ 49:13

創 19:24,25

イザ 34:6,10

13 エホバはこう宣言する。「私は自分自身に懸けて誓った。ボツラは恐怖の光景となり、非難され、廃虚と化し、災いを受ける。町々は皆、ずっと荒廃したままになる」。

14 私はエホバからの知らせを聞いた。

国々に使節が遣わされて、こう言っている。

「集まって、彼女を攻めよ。
戦いの用意をせよ」。

15 「私はあなたを、国々の中で取るに足りない者、人々に軽んじられる者とした」。

16 あなたは、自分がおった恐怖と、
自分の心のうねばれにより、欺

かれた。
大岩を隠れがとし、
最も高い丘に住んでいる者よ。

あなたはワシのように高い所に巣を作るが、

私はそこからあなたを引きずり下ろす」と、エホバは宣言する。

17 「エドムは必ず恐怖の光景となる。通り掛かる人は皆、恐怖を抱いて見つめ、もたらされた全ての災厄のために口笛を吹く。 18 ソドムとゴモラと近くの町々が滅ばされた時のように、誰もそこに住もうとせず、誰一人定住しない」と、エホバは言う。

49:14 *エドムのこと。

19 「見なさい！ ヨルダン川沿いの
うっそうとした茂みから出てくるライオン
のように、誰かが安全な牧草地に攻
めてくる。私は彼をそこからすぐに逃
げ去らせる。そして、選んだ者にそこ
を治めさせる。私のような者、私に挑
む者が誰かいるだろうか。私の前に
立ちふさがることができる牧者がいる
だろうか。 20 人々よ、エホバのエド
ムに対する決定と、テマンの住民に対
する考えを聞きなさい。

群れの小さな者たちは必ず引い
ていかれる。

彼らの住まいは彼らのせいであ
る。廃する。

21 彼らが倒れる音で、大地は震

えた。
叫び声が聞こえる！

それは紅海にまで届いた。

22 見なさい！ 敵はワシのように舞
い上がって襲い掛かり、
ボツラのうへに翼を広げる。

その日、エドムの戦士たちの
心は、

出産で苦しむ女性の心のように
なる。

23 ダマスカスについて。

「ハマトとアルパドは恥をかいた。
悪い知らせを聞いたからだ。
彼らは恐れにとらわれている。

49:19 *エドムのことと思われる。 49:20 *ま
たは、「意図」。

第49章

(ア) エレ 4:7

(イ) 詩 76:7
エレ 50:44-46
ナホ 1:6

(ウ) オバ 9

(エ) マラ 1:4

(オ) 王一 9:26

(カ) エレ 4:13

(キ) エレ 48:40
エレ 49:13(ク) イザ 17:1
アモ 1:3(ケ) 民 13:21
王二 17:24
ゼカ 9:1,2

第2欄

(ア) アモ 1:4

(イ) 創 25:13
イザ 42:11
イザ 60:7
エゼ 27:21

海は不安に揺れ動き、静まること
がない。

24 ダマスカスは勇気を失った。

逃げようとしたが、恐怖にとらわ
れた。

出産する女性のように、
苦しみや痛みに見舞われた。

25 栄誉の町、歓喜の町が、
捨てられていないのはどうし
てか。

26 町の若者たちは広場で倒れ、
その日に兵士たちも皆滅びる」
と、大軍を率いるエホバは宣
言する。

27 「私はダマスカスの城壁に火を
放ち、
それはベン・ハダドの防備された
塔を焼き尽くす」。

28 バビロンのネブカドネザル王が
打ち倒した、ケダルと、ハツォルの諸王
国について。エホバはこう言う。

「立ち上がって、ケダルに行き、
東の人々を滅ぼせ。

29 彼らの天幕と羊の群れは奪わ
れる。

天幕の布も全ての品々も。

ラクダも連れ去られ、人々は
叫ぶ。

『周囲に恐怖がある！』と。

30 エホバはこう宣言する。
「逃げて、遠くへ行け！

ハツォルの住民よ、下って行って
身を隠せ。

バビロンのネブカドネザル王が
あなた方を攻める作戦を立て、
あなた方を陥れる計画を考え出
したからだ。

31 「立ち上がって、平和な国を、
安らかに暮らしている民を攻め
よ!」と、エホバは宣言する。

「そこは屏もかんぬきもない。
彼らは孤立して住んでいる。

32 彼らのラクダは奪い去られ、
たくさんの家畜も略奪される。
もみあげを短く切っている人た
ちを、

私はあらゆる方向に散らし、
四方から彼らに災難をもたらす」
と、エホバは宣言する。

33 「ハツォルはジャッカルのみかた
なり、
ずっと荒廃したままになる。

誰もそこに住もうとせず、
だれひとりていじゅう
誰一人定住しない」。

34 ユダのゼデキヤ王の治世の初
めに、エラムについて、エホバが預言
者エレミヤに語った言葉。35 「大軍
を率いるエホバはこう言う。『私はエ
ラムの弓を、彼らの強さの源を折る。
36 そして、天の四方の果てから四方
の風をエラムに吹き付けさせ、彼らを

49:32 *または、「こめかみの所で髪を」。49:
32, 36 *直訳、「風」。

第49章

(例) エレ 9:25,26
エレ 25:17,23

(例) 王二 24:18

(例) 創 10:22
イザ 21:2
エレ 25:17,25
エゼ 32:24
ダニ 8:2
使徒 2:8,9

(例) イザ 22:6

第2欄

(例) エレ 25:17,25

第50章

(例) イザ 13:1

(例) エレ 51:8
啓 14:8

(例) イザ 46:1
エレ 51:44

(例) イザ 13:17
エレ 51:11,48

あらゆる方向に散らす。エラムの散ら
された人々が行かない国はない』。

37 「私はエラム人を、敵の前で、彼
らの命を奪おうとしている者たちの前
で打ち砕く。彼らに災いをもたらし、私
の燃える怒りを浴びせる。剣を送って
後を追わせ、彼らを根絶やしにする」
と、エホバは宣言する。

38 「私はエラムに私の王座を置き、
そこから王と高官たちを滅ぼす」と、
エホバは宣言する。

39 「しかし、最後の日々に、エラム
の捕らわれている人々を集めると、
エホバは宣言する。

50 バビロンについて、カルデ
ア人の土地について、エホ
バが預言者エレミヤを通して語った
言葉。

2 「国々の中で伝え、広めよ。

旗印を掲げ、広めよ。

何も隠してはならない!

こう言え。『バビロンは攻め取ら
れた。

ペルは恥をかいた。

メロダクはおびえた。

彼女の像は恥をかいた。

彼女の汚らわしい偶像はおび
えた。』

3 1つの国民が北から彼女に向
かって攻めてきたからだ。

50:2 *または、「合図のさお」。*バビロンのこ
と。△ヘブライ語で「ふん」を意味する言葉と関
連があると考えられる、嫌悪を表す表現。

その国民は彼女の土地を恐怖の
光景に変える。

誰もそこに住んでいない。
人も動物も逃げ去り、
いなくなりました。

4 エホバはこう宣言する。「その時、
イスラエルの民とユダの民は共に来
る。泣きながら歩き、共に自分たちの
神エホバに導きを求める。5 シオン
への道を探ね、顔をその方向に向け
て、言う。『行こう。忘れられること
のない永遠の契約によって、エホバと結
び付こう』。6 私の民は、さまよう羊
の群れとなった。羊飼いたちのせいで
さまよったのである。山々の上に連れ
ていかれ、山から丘へと歩き回った。
自分たちの休み場を忘れてしまった。
7 彼らを見つける者たちは皆、彼らを
むさぼり食い、敵たちは言った。『われ
われには罪はない。彼らがエホバに対
して罪を犯したのだ。正しさの源であ
り、父祖たちが希望を抱いて待ったエ
ホバに対して、罪を犯したのだ』。

8 「バビロンの中から逃げ、
カルデア人の土地から出なさい。
群れを率いる雄羊や雄ヤギのよ
うにならなさい。

9 私は強大な国々の一団を起

こし、
北の土地からバビロンを攻めさ
せる。

50:7 *直訳、「住まい」。

第50章

〔イザ〕11:12
エレ3:18
ホセ1:11

〔イ〕エレ31:8,9

〔イ〕ホセ3:5

〔イ〕イザ35:10

〔イ〕エレ31:31

〔イ〕イザ53:6

〔イ〕エレ10:21
エレ23:2
エゼ34:2,6

〔イ〕詩79:6,7

〔イ〕イザ48:20
エレ51:6,45
ゼカ2:7
コ二6:17
啓18:2,4

〔イ〕イザ21:2
エレ51:11,27,
28,48
ダニ5:28,30

第2欄

〔イ〕イザ13:17,18

〔イ〕エレ25:12
エレ27:6,7

〔イ〕啓17:16

〔イ〕哀1:21

〔イ〕イザ14:4-6
イザ47:6
エレ30:16

〔イ〕イザ47:8

〔イ〕イザ13:20,21

〔イ〕ゼカ1:15

〔イ〕エレ25:12

〔イ〕エレ51:37

彼らは戦闘隊形を組んで彼女を
攻め取る。
彼らの矢は戦士の矢のようで

あり、
親から子供を奪う。
彼らは成果を収めずに戻ること

はない。

10 カルデアは略奪される。
彼女から略奪する者は皆、満足
する」と、エホバは宣言する。

11 「あなた方は喜び続け、歓喜し続
けた。

私の財産を奪い取る時に。
若い雌牛のように草の上で跳ね
続け、

雄馬のようにいななき続けた。

12 あなた方の母は恥をかいた。
あなた方を産んだ女は失望した。
彼女は国々の中で最も取るに足
りず、

水のない荒野また砂漠である。

13 エホバの憤りのために、そこに
住む人はいなくなり、

彼女はすっかり荒れ果てる。

バビロンのそばを通る人は恐怖
を抱いて見つめ、

もたらされた全ての災厄のため

に口笛を吹く。

14 弓を曲げる者は皆、

50:9 *もしかすると、「矢」。50:11 *または、「
のようにひづめて草をかき」。50:14 *直訳、
「踏む」。弓に弦を張る動作のこと。

せんとうたいけい く しほう
戦闘隊形を組んで四方からバビ

ロンを攻めよ。

かのじょ む い や お
彼女に向かって射よ。矢を惜し
むな。

かのじょ たい つみ おか
彼女はエホバに対して罪を犯し
たからだ。

15 しほう かのじょ む
四方から彼女に向かってときの
声を上げよ。

かのじょ こうふく
彼女は降伏した。
はしら たお じょうへき こわ
柱は倒れ、城壁は壊された。

これはエホバの復讐なのである。

あなた方は彼女に復讐せよ。

かのじょ とお かのじょ
彼女がした通りのことを彼女に
行え。

16 パピロンから、種をまく者と、
しゅうかく と き かま ふ もの と
収穫の時に鎌を振るう者を取り
除け。

ざんこく つるぎ おそ みな じぶん
残酷な剣を恐れて、皆が自分の
民のもとに戻り、
じぶん と ち に にかえ
自分の土地に逃げ帰る。

17 イスラエルの民は散らされた羊
である。ライオンが彼らを追い散らし
た。最初にアッシリアの王が彼らを
むさぼり食い、その後バビロンのネ
ブカドネザル王が彼らの骨をかじっ
た。18 それで、イスラエルの神、大
軍を率いるエホバはこう言う。『私は、
アッシリアの王を処罰したのと同じよ
うに、バビロンの王とその国を処罰す
る。19 そして、イスラエルを牧草地
につもどし、かれはカルメルとバシャン
に連れ戻す。彼はカルメルとバシャン
で草を食べ、エフライムとギレアデの
山々の上で満たされる』。

第50章

㉑ イザ 13:18
エレ 51:11

㉒ エレ 51:35, 36

㉓ エレ 51:58

㉔ エレ 51:6, 11

㉕ 詩 137:8
啓 18:6

㉖ エレ 51:23

㉗ イザ 13:14
エレ 51:9

㉘ エレ 23:1
エレ 50:6
エゼ 34:5

㉙ エレ 2:15

㊦ 王二 17:6
イザ 8:7

㊧ 王二 25:1
代二 36:17
エレ 4:7

㊨ 王二 19:35
イザ 14:25
ゼバ 2:13

㊩ イザ 11:16
イザ 65:10
エレ 23:3
エレ 33:7
エゼ 34:14
ミカ 2:12

㊪ ミカ 7:14

㊫ エレ 31:6

㊬ オバ 19

第2欄

㉑ イザ 44:22
エレ 31:34
ミカ 7:19

㉒ エゼ 23:22, 23

㉓ イザ 14:5, 6
エレ 51:20

㉔ エレ 51:41
啓 18:15, 16

㉕ エレ 51:31
ダニ 5:30
啓 18:8

㉖ イザ 13:5
エレ 51:11

㉗ エレ 51:27

㉘ エレ 50:10

㉙ イザ 14:22, 23

20 「その時、イスラエルの罪を探し

ても、それはどこにもなく、

ユダの罪も見つからない。

わたし じぶん のこ ひと
私は自分が残しておいた人たち
を許すからである」と、エホバ
は宣言する。

21 「メライムの土地を、ペコドの住
民を攻めよ。

かれ ころ かんぜん ほろ
彼らを殺し、完全に滅ぼせ」と、

エホバは宣言する。

わたし めい すべ おこな
「私が命じたことを全て行え。

22 その土地で戦いの音がし、
だいさん じ お
大惨事が起こる。

23 全世界を打ったハンマーは折ら
れ、壊された！

くにくに み き
国々はバビロンについて見聞き
して恐怖を抱いた！

24 バビロンよ、私はわなを仕掛け、
あなたは気付かずに捕まった。
あなたは見つかり、捕らわれた。
エホバに敵対したからである。

25 エホバは武器庫を開き、
いきどお ぶ き と だ
憤りの武器を取り出す。

しゅげんしゃ しゅ たいぐん ひき
主権者である主、大軍を率いる

エホバは、
カルデア人の土地で行うべきこ
とがある。

26 遠くから来て彼女を攻めよ。
かのじょ こくもつそう こ ひら
彼女の穀物倉庫を開き、
かのじょ こくもつ やま つ あ
彼女を穀物の山のように積み上
げ、完全に滅ぼせ。
だれひとり のこ
誰一人残らないようにせよ。

- 27 若い雄牛を全て殺せ。
 ほふるための場所に引いていけ。
 彼らは悲惨だ！ 彼らの日が、
 処罰のときが来たからだ。
- 28 逃げる人たちの声がする。
 彼らはバビロンから逃れ、
 シオンでエホバ神の復讐につ
 いて、
 神殿のための復讐について伝
 える。
- 29 バビロンを攻めるために、弓を
 射る者たちを集めよ。
 弓を曲げている者たちを皆。
 彼女の周囲に陣営を張り、一人
 も逃がすな。
 彼女の行いに応じて返報せよ。
 彼女がした通りのことを彼女に
 行え。
 彼女はエホバに対して、イスラエ
 ルの聖なる者に対して、
 高慢に振る舞ったからである。
- 30 それで、彼女の若者たちは広場
 で倒れ、
 その日に彼女の兵士たちも皆滅
 び」と、エホバは宣言する。
- 31 主権者である主、大軍を率いる
 エホバはこう宣言する。
 「反抗的な者よ、私はあなたに敵
 対している。
 あなたの日、あなたに責任を問
 う時が必ず来る。

50:29 *直訳、「踏んでいる」。弓に弦を張る動作のこと。 50:30 *直訳、「沈黙させられる」。

第50章
 (イ) イザ 34:6,7
 エゼ 39:18

(イ) 詩 94:1
 エレ 51:11

(イ) エレ 50:14

(イ) 詩 137:8
 エレ 51:56

(イ) 哀 3:64
 啓 18:6

(イ) イザ 14:13

(イ) イザ 13:17,18

(イ) イザ 14:13
 ダニ 4:30

(イ) エレ 51:25

第2欄

(イ) エレ 51:26

(イ) イザ 47:6

(イ) イザ 14:17

(イ) イザ 41:14
 啓 18:8

(イ) イザ 47:4

(イ) 哀 3:59

(イ) イザ 14:3,4

(イ) エレ 51:24

(イ) イザ 47:13
 エレ 51:57
 ダニ 5:7

- 32 反抗的な者よ、あなたはつまず
 いて倒れ、
 誰にも立ち上がらせてもらえ
 ない。

私はあなたの町々に火を放ち、
 それはあなたの周囲のもの全て
 を焼き尽くす」。

- 33 大軍を率いるエホバはこう言う。
 「イスラエルとユダの民は虐げら
 れている。

彼らを捕らえている者たちは皆、
 手放そうとせず、
 解放することを拒んだ。

- 34 しかし、彼らを救う者は強い。
 名は、大軍を率いるエホバ。
 必ず彼らの訴えを弁護する。
 この土地に安らぎをもたらし、
 バビロンの住民を動揺させるた
 めに」。

- 35 エホバはこう宣言する。
 「剣がカルデア人を襲う。
 それはバビロンの住民と高官と
 賢人を襲う。

- 36 剣が偽預言者たちを襲い、彼
 らは愚かなことを行う。
 剣が彼女の戦士たちを襲い、彼
 らはおびえる。

- 37 剣が彼らの馬や戦車を襲い、
 彼女の中にいるあらゆる民を
 襲う。

50:34 *直訳、「買い戻す」。 50:36 *または、「中身のない話をする者たち」。

(イ) エレ 51:30

かれら^{かれ}は女性^{じょせい}のように弱^{よわ}くなる。
 剣^{つるぎ}が彼女^{かのじょ}の財宝^{ざいほう}を襲^{おそ}い、それら^{それら}
 は略奪^{りやくだつ}される。

38 彼女^{かのじょ}の水^{みづ}は損^{そこ}なわれ、干^ひ上がる。
 そこは影像^{えいよう}の地^ちであり、
 ひとびと^{ひとびと}は恐ろしい幻^{まぼろし}のために狂^{くる}つ
 たように行動^{こうどう}し続ける。

39 砂漠^{さばく}の生き物^{いのもの}が、遠^{とお}ばえする動^{どう}
 物^{ぶつ}と共にすみ、
 彼女^{かのじょ}の中にダチョウ^{なか}がすむ。
 そこに人^{ひと}が住^すむことは二度^{にど}と
 なく、

いつの時代^{じだい}までも居住^{きょじゅう}地^ちにはな
 らない」。

40 エホバはこう宣言^{せんげん}する。「神^{かみ}が
 ソドムとゴモラ^しと近く^{ちか}の町々^{まちまち}を滅^{ほろ}ぼし
 た時^{とき}のように、誰^{だれ}もそこに住^すもうとせ
 ず、誰^{だれ}ひとり定住^{ていじゅう}しない。

41 見^みなさい！ 1つ^{たみ}の民^{きた}が北^{きた}から
 やって来る。

強大^{きょうだい}な国民^{こくみん}と偉大^{いだい}な王^{おう}たちが、
 地^ちの果^はてから行動^{こうどう}を起^{おこ}す。

42 彼女^{かれ}ら^{ゆみ}は弓^なと投げやり^{たく}を巧^{たく}みに
 使^{つか}う。

ざんこく^{ざんこく} あわ しめ (2)
 残酷^{ざんこく}で、憐れ^{あわ}みを示^{しめ}さない。
 うまの
 馬^{うま}に乗りながら、
 海^{うみ}のようにとどろく声^{こえ}を出す。

バビロン^{バビロン}よ、彼^{かれ}らは戦闘^{せんとう}隊形^{たいけい}を
 整^{ととの}え、1人^{ひとり}の人^{ひと}のようにあなた^{あなた}
 を攻^せめる。

50:42 *直訳、「バビロンの娘」。

第50章

(例) イザ 13:8

(例) イザ 45:3

(例) イザ 44:27
 エレ 51:36,37
 啓 16:12

(例) イザ 46:1
 エレ 51:44,52
 ダニ 5:1,4

(例) イザ 13:20,21
 エレ 51:37
 啓 18:2

(例) エレ 25:12
 エレ 51:43,64

(例) イザ 13:19

(例) 創 19:24,25
 ユダ 7

(例) エレ 51:26

(例) イザ 45:1
 エレ 51:11
 エレ 51:27,28

(例) イザ 13:5,17

(例) エレ 50:9

(例) 詩 137:8
 イザ 13:17,18

(例) エレ 51:42

(例) エレ 51:27

第2欄

(例) エレ 51:31

(例) ダニ 5:6

(例) イザ 41:25

(例) エレ 49:19-21

(例) エレ 51:11

(例) イザ 13:1,20
 エレ 51:43

(例) 啓 18:9

第51章

(例) エレ 50:9

43 バビロンの王^{おう}は彼^{かれ}らについての
 知らせ^しを聞^きいた。

手が力^{ちから}なく垂^たれ下^{くだ}がり、苦悩^{くう}

する。

出産^{しゅっさん}する女性^{じょせい}のように苦痛^{くつう}に襲^{おそ}

われる。

44 見^みなさい！ ヨルダン^{がわ}川^そ沿^そいの
 うっそうとした茂^{しげ}みから出^でてくるライオ
 ンのように、誰^{だれ}かが安全^{あんぜん}な牧草^{ぼくそう}地に攻^せ
 めてくる。私^{わたし}は彼^{かれ}らをそこからすぐ
 に逃^にげ去^さらせる。そして、選^{えら}んだ者^{もの}にそ
 こを治^{おさ}めさせる。私^{わたし}のような者^{もの}、私^{わたし}に
 挑^{いど}む者^{もの}が誰^{だれ}かいるだろうか。私^{わたし}の前^{まえ}
 に立ちふさ^たがることができ^{ぼくしや}る牧者^{ぼくしや}がい
 るだろうか。 45 人々^{ひとびと}よ、エホバのバ
 ビロンに対する決^{けつ}定^{てい}と、カルデア^{かつてい}人の
 土地^{とち}に対する考^{かんが}えを聞^ききなさい。

群^むれの小^{ちい}さな者^{もの}たちは必^{かな}ず引^ひ

ていかる。

彼^{かれ}らの住^すまいは彼^{かれ}らのせい^{こう}で荒
 廢^{はい}する。

46 バビロンが捕^とらわれる時^{とき}の音^{おと}で
 大地^{だいち}は震^{ふる}え、
 叫^{さけ}び声^{こえ}が国^{くに}々に聞^きこえる」。

51 エホバはこう言^いう。
 「私^{わたし}は破^は壊^{かい}的な風^{かぜ}を起^{おこ}し、
 バビロン^{バビロン}と、レブ・カマイ^{レブ}の住^す民^{じん}
 に吹^ふき付^つけさせる。

2 脱^{だつ}穀^{こく}する者^{もの}たちをバビロンに
 送^{おく}り、

50:45 *または、「意図」。 51:1 *カルデアを暗
 号化した名前と思われる。

かれ かのじょ* たみ ち # と ち
 彼らは彼女の民を散らして土地
 を空にする。

わざわ ひ し ほう かのじょ せ
 災いの日に四方から彼女を攻め
 るのである。

- 3 弓を射る者は弓を曲げない。
 だれ も よろい を 着 け て 立 た ない。
 か の じょ わ か も の じ ひ か
 彼女の若者たちに慈悲を掛け
 るな。

- か の じょ ぜん ぐん ほろ つ
 彼女の全軍を滅ぼし尽くせ。
 4 彼らはカルデア人の土地で殺さ
 れて倒れる。

バビロンの通りで刺し通される。

- 5 イスラエルとユダは、自分たちの
 神から、大軍を率いるエホバ
 から、見捨てられてはいない。
 いっばう じん と ち
 一方、カルデア人の土地は、イ
 スラエルの聖なる者から見
 罪に満ちている。

- 6 バビロンの中から逃げなさい。
 の が い の (例)
 逃れて生き延びなさい。
 か の じょ あやま ほろ
 彼女の過ちのために滅びてはな
 らない。

エホバの復讐の時が来た。

か の じょ おこな たい へんばう
 彼女の行いに対して返報するの
 である。

- 7 バビロンはエホバの手にある金
 の杯だった。
 か の じょ ぜん せ かい よ
 彼女は全世界を酔わせた。

51:2 *バビロンのこと。*脱殻したものを放り
 上げ、もみ殻を風で吹き分ける作業を指している。
 51:3 *直訳、「踏まない」。弓に弦を張る動作の
 こと。51:5 *直訳、「やもめにされて」。

第51章

(例) エレ 50:14,29

(例) イザ 13:17,18
エレ 50:30

(例) イザ 13:15

(例) 詩 94:14
イザ 44:21
エレ 46:28
ゼカ 2:12(例) エレ 50:8
ゼカ 2:7
啓 18:4(例) エレ 25:12,14
エレ 50:15

第2欄

(例) 啓 17:1,2
啓 18:3

(例) エレ 25:15,16

(例) イザ 21:9
イザ 47:9
啓 14:8

(例) 啓 18:2,9

(例) イザ 13:14

(例) 啓 18:4,5

(例) ミカ 7:9

(例) エレ 50:28

(例) エレ 50:14

(例) イザ 13:17
イザ 45:1

(例) イザ 13:2

ひとびと しゅ の
 人々はそのぶどう酒を飲んだた
 め、正気を失った。

- 8 突然バビロンは倒れ、砕かれた。
 か の じょ な さげ (例)
 彼女のことで泣き叫べ!

か の じょ いた
 彼女の痛みのためにバルサムを
 持ってくるように。

もしかすると彼女は癒やされるか
 もしれない」。

- 9 「私たちはバビロンを癒やそうと
 したが、彼女は癒やされな
 かった。

か の じょ す じ ぶん
 彼女を捨てて、それぞれ自分の
 土地に戻ろう。

か の じょ つみ てん たつ
 彼女の罪は天に達し、
 くも とど (例)
 雲に届くほどになった。

- 10 エホバは私たちのために公正に
 行動してくださった。

い 行こう。シオンで私たちの神エホ
 おこな くわ はな
 バの行いについて詳しく話
 そう。

- 11 「矢を研ぎ、円盾を持て。
 エホバはメディア人の王たちの
 こころ ふる た (例)
 心を奮い立たせた。

バビロンを滅ぼそうとしているか
 らだ。

これはエホバの復讐、神殿のた
 めの復讐なのである。

- 12 バビロンの城壁に向かって旗印
 を掲げよ。

かん し きょうか み は はい ち
 監視を強化し、見張りを配置

せよ。

51:11 *もしかすると、「矢筒を満たせ」。51:
 12 *または、「合図のさお」。

伏兵を置く。

エホバは作戦を立てたのであり、

バビロンの住民を攻めるとい

う約束を果たす。

13 「多くの水の上に住み、

豊富に財宝を持つ女よ、

あなたの終わりが来た。もう利

益を得ることはできない。

14 大軍を率いるエホバはご自分に

懸けて誓った。

『私はあなたを、バッタのように

数え切れない人々で満たす。

彼らはあなたに対して勝つ誇って

叫ぶ。』

15 神はご自分の力によって地を

造った方、

ご自分の知恵によって大地を据

えた方、

ご自分の理解によって天を広げ

た方。

16 神が声を発すると、

天の水が騒ぎ立つ。

神は地の果てから雲を生じさ

せる。

稲妻を放って雨を降らせる。

ご自分の倉から風を送り出す。

17 全ての人は無分別で無知な行動

を取る。

全ての金属細工人は彫刻像のせ

いで恥をかく。

51:16 *または、「水蒸気」。*もしかすると、「水路をつくって」。

第51章

(例) 啓 17:17

(例) 啓 17:1,15

(例) イザ 45:3

エレ 50:37

(例) ハバ 2:9

啓 18:11,12

啓 18:19

(例) エレ 50:15

(例) 詩 93:1

詩 104:24

(例) 詩 136:5

格 3:19

イザ 40:22

エレ 10:12-16

(例) 詩 135:7

(例) イザ 44:11

第2欄

(例) ハバ 2:19

(例) イザ 41:29

エレ 14:22

(例) 申 32:9

(例) イザ 47:4

つくった金属像は偽りであり、

命がないからである。

18 それらの像はむなしいものであ

り、あざけられる。

処罰の日に滅びることになる。

19 ヤコブの神はそのようなものでは

ない。

全てのものを造った方であり、

ご自分の財産を支えるついで

ある。

その方の名は、大軍を率いるエ

ホバ。

20 「あなたは私のこん棒、戦うため

の武器である。

私はあなたを使って国々を打ち

砕き、

幾つもの王国を滅ぼす。

21 あなたを使って馬と乗り手を打ち

砕き、

戦車と乗り手を打ち砕く。

22 あなたを使って男性と女性を打

ち砕き、

老人と少年を打ち砕き、

若い男女を打ち砕く。

23 あなたを使って羊飼いと群れを

打ち砕き、

農業をする人と家畜を打ち砕き、

総督と代官を打ち砕く。

51:17 *または、「息」。51:18 *または、「偽り」。51:19 *直訳、「分」。*もしかすると、「つえをも造った」。51:23 *または、「くびきでつなかれた動物」。

24 ^{わたし}そして私は、バビロンと、カルデ^ア
アの全住民に返報する。

^{かれ}彼らがシオンで、^めあなたたちの目
^{まえ}の前で行った、^{あくじ}あらゆる悪事
に^{たい}対してである」と、エホバは
^{せんげん}宣言する。

25 「破壊をもたらす山よ、全世界を
^{はろ}滅ぼす者よ、

^{わたし}私はあなたに敵対している。
^むあなたに向かって手を伸ばし、^ああ
^{おおいわ}なたを大岩から^お転げ落とし、
^や焼き尽くされた山とする」と、エ
ホバは宣言する。

26 「^{ひとびと}人々があなたから^{すまいし}隅石や^{どい}土台
石を^{いし}取ることはない。

^{えいきゅう}あなたは永久に荒れ果てたまま
になるからである」と、エホバ
は^{せんげん}宣言する。

27 「^と土地に^{はたじるし}旗印を^{かか}掲げよ。
^{くに}国々の中で^な角笛を吹き鳴らせ。
^{かのじよ}彼女を^せ攻めるために^{くに}国々を取り
分けよ。

^{おうこく}王国を^{しょうしゅう}招集せよ。アララト、ミニ、
アシュケナズを。

^{ちようへい}徴兵官を任命せよ。

^{むら}群がる^{うま}バッタのように、^こ馬を来さ
せよ。

28 ^{かのじよ}彼女を^せ攻めるために^{くに}国々を取り
分けよ。

^{メディア}メディアの主たち、^お総督や^{すべ}全ての
^{だいかん}代官たち、

第51章

[7] 詩 137:8

[1] エレ 25:9

[2] エレ 50:31

[3] エレ 50:13, 40
啓 18:21[4] イザ 13:2
エレ 51:12

[5] 創 8:4

[6] 創 10:2, 3
エレ 50:41[7] イザ 13:17
ダニ 5:30, 31

第2欄

[8] イザ 13:13, 19
エレ 50:13
エレ 50:39, 40

[9] イザ 13:7

[10] エレ 50:37

[11] 詩 107:16
イザ 45:2[12] イザ 47:11
エレ 50:24, 43[13] イザ 44:27
エレ 50:38
啓 16:12[14] 代二 36:17, 18
エレ 50:17

また彼らが^{かれ}治める^{おさ}全土^{ぜんど}をも。

29 大地は^{だいち}揺れ、^ゆ震える。

バビロンに対するエホバの^{かんが}考え
が^{じっこう}実行され、

バビロンは^{きょうふ}恐怖の^{こうけい}光景となり、^{だれ}誰
も^す住まなくなる。

30 バビロンの^{せんし}戦士たちは^{たたか}戦うのを
やめた。

とりでに^{すわ}座り込み、^こ弱々しくなり、^い
女性のように^{じょせい}なった。

^{いはいえ}家々には^ひ火が^{はな}放たれ、
^{こわ}かんぬきは壊された。

31 ^{きゅうし}急使は走って^{はし}別の^{べつ}急使^{きゅうし}に会い、
^{ししや}使者は走って^{はし}別の^{べつ}使者^{ししや}に会い、

バビロンの^{おう}王に^{ほうこく}報告する。

^{かれ}彼の都市が^{とし}四方^{しほう}から^せ攻め^と取られ
たことを。

32 また、^{わた}渡り場が^ば奪われ、^{うば}
パピルスの^{ふね}舟が^ひ火で^や焼かれ、
^{へいし}兵士たちが^{おびえて}いることを。

33 イスラエルの^{かみ}神、^{たいぐん}大軍を^{ひき}率いる
エホバは^いこう言う。

「バビロンは^{*}脱穀場のようだ。

^{かのじよ}彼女を^ふ踏みつける^{とき}時が来た。
^ま間もなく^{かのじよ}彼女を^{かい}刈り^{とき}入れる^く時が
来る」。

34 「バビロンの^おネブカドネザル王は
^{わたし}私を^くむさばり^い食った。

^{わたし}私は^{ごんらん}混乱に^{おとし}陥れ、
^{から}空の^{うつわ}器のようにした。

51:27 *または、「合図のさお」。[#]バビロンのこ
と。51:27, 28 *直訳、「神聖なものとせよ」。

51:33 *直訳、「バビロンの娘」。

おお へび わたし こ 何
大きな蛇のように私をのみ込み、
わたし よ ほら み
私の良いもので腹を満たし、
わたし あら なが
私を洗い流した。

- 35 『私の体に振るわれた暴力がバ
ピロンにも加えられますよう
に!』と、シオンの住民は言う。
『カルデアの住民が、私の血を流
した責任を問われますよう
に!』と、エルサレムは言う。

- 36 それで、エホバはこう言う。
「私はあなたの訴えを弁護し、
あなたのために復讐する。
バビロンの海を干上がらせ、井
戸を枯らす。

- 37 バビロンは、がれきの山、
ジャッカルのすみか、恐怖の光景
となり、
だれ す
誰も住まなくなる。
ひとびと む くちぶえ
人々はそこに向かって口笛を
吹く。

- 38 住民は皆、若いライオンのように
ほえ、
ライオンの子のようにうなる」。

- 39 エホバはこう宣言する。
「彼らが高揚している時、私は宴
を設け、
かれ よ かん き 何
彼らを酔わせて、歓喜させる。
かれ えいえん ねむ つ
彼らは永遠の眠りに就き、
め さ 何
目を覚ますことはない。

- 40 私は彼らの子羊のように、雄羊
や雄ヤギのように、

第51章

(何) エレ 51:44
(イ) 詩 137:8
エレ 50:29
(何) エレ 50:34
(何) 申 32:35
(何) イザ 44:27
エレ 50:38
(何) エレ 25:12
エレ 50:15
(何) イザ 13:19,22
(何) エレ 50:13,39
(何) ダニ 5:1,4
(何) エレ 25:17,27
エレ 51:57

第2欄

(何) エレ 25:17,26
(イ) イザ 13:19
エレ 49:25
ダニ 4:30
(何) イザ 13:1,20
エレ 50:39
(何) イザ 46:1
エレ 50:2
(何) 代二 36:7
エズ 1:7
エレ 51:34
ダニ 1:1,2
(何) エレ 51:58
(何) イザ 48:20
啓 18:4
(何) イザ 13:13
(何) エレ 51:6
ゼカ 2:7

ほふるための場所に引いて
いく」。

- 41 「シェシャクは攻め取られた!
全世界の称賛の的だった都市は
捕らわれた!
くにくに きょうふ いだ み き
国々はバビロンについて見聞き
して恐怖を抱いた!
うみ おお
42 海がバビロンに覆いかぶさった。
かのじよ む すう なみ おお
彼女は無数の波に覆われた。
かのじよ まちまち きょうふ こうけい
43 彼女の町々は恐怖の光景となり、
水のない土地、砂漠となった。
だれ す だれ とお
誰もそこに住まず、誰もそこを通
らない。

- 44 私はバビロンでベルに注意を
向け、
ベルがのみ込んだものを口から
出させる。
ひとびと なが
人々が流れるようにベルのもと
に来ることはもうない。

- バビロンの城壁は倒れる。
45 私の民よ、彼女の中から出な
さい!

エホバの燃える怒りから逃れて、
生き延びなさい!

- 46 その土地で聞かれる知らせのた
めに臆病になったり恐れたり
してはならない。

1年のうちに知らせが来て、
翌年には別の知らせが来る。
土地に暴力が満ち、支配者が支
配者と争う、と。

51:41 *バベル(バビロン)を暗号化した名前と思われる。

47 私がバビロンの彫像に注意を向ける時が来る。

彼女の全土は恥をかき、
殺された人たちは皆、彼女の中で倒れる。

48 天と地とその中の全てのものは、
バビロンのことで歓声を上げる。
滅ぼす者たちが北から彼女に向かって来るからである」と、エホバは宣言する。

49 「バビロンのせいで、イスラエルの人たちが殺されて倒れた。
それだけでなく、世界各地の人たちが殺されてバビロンで倒れた。

50 剣から逃れる人たち、立ち止まらずに進みなさい!

遠くからエホバを思い起こさない。

エルサレムのことを思い浮かべなさい」。

51 「私たちは恥を聞いた。あざけりを聞いたからだ。

恥辱が私たちの顔を覆った。
外国人がエホバの家の聖なる場所に押し入ったからだ」。

52 「私が彼女の彫像に注意を向ける時が来る。

彼女の全土で、傷を負った人たちがうめくことになる」と、エホバは宣言する。

第51章

(ア) イザ 13:15
ダニ 5:30

(イ) イザ 44:23
イザ 48:20
イザ 49:13
啓 18:20

(ウ) エレ 50:3
エレ 50:41

(エ) エレ 50:17
エレ 51:24

(オ) エレ 50:8
啓 18:4

(カ) エズ 1:3
詩 137:5

(キ) 詩 79:1
哀 1:10

(ク) イザ 13:15

第2欄

(ア) イザ 14:13
ダニ 4:30

(イ) エレ 50:10

(ウ) イザ 13:6

(エ) エレ 50:22,23

(オ) イザ 21:2

(カ) エレ 50:36

(キ) 申 32:35
詩 94:1

イザ 34:8
エレ 50:29
啓 18:5

(ク) 詩 137:8

(ク) エレ 25:27

(ク) エレ 51:39

(ウ) エレ 50:15
エレ 51:44

53 「たとえバビロンが天に昇ろうとも、

そびえ立つ要塞の防備を固めようとも、
彼女を滅ぼす者たちが私のものから行く」と、エホバは宣言する。

54 「聞け! バビロンから叫び声が上がリ、
カルデア人の土地から大きな崩壊の音が聞こえる。

55 エホバはバビロンを滅ぼして
おり、
彼女の大きな声を沈黙させる。
押し寄せる敵は海の波のように

とどろき、
彼らの声が聞こえる。

56 滅ぼす者がバビロンを襲う。
彼女の戦士たちは捕らわれ、
彼らの弓は砕かれる。

エホバは報復する神なのであり、
必ず返報する。

57 私は、彼女の高官や賢人たち、
総督や代官や戦士たちを酔わ
せる。

彼らは永遠の眠りに就き、
目を覚ますことはない」と、大軍を率いるエホバという名の王が宣言する。

58 大軍を率いるエホバはこう言う。
「バビロンの城壁は厚いが、完全
に破壊され、

もん たか ひ はな
門は高いが、火を放たれる。

ひとびと む だ ろうく
人々は無駄に労苦する。

くにぐに ひ ねんりょう
国々は火に燃料をくべることに
ただで、つか は け
なるだけで、疲れ果てる」。

59 預言者エレミヤが、マフセヤの
子ネリヤの子セラヤに命じた言葉。ユ

ダのゼデキヤ王の治世の第4年に、セ
ラヤが王と共にバビロンに行った時
のことである。セラヤは補給係の長

だった。60 エレミヤは、バビロンに
降り掛かる全ての災いの1つの書に記

した。これら全ての言葉をバビロンに
対して書いたのである。61 そして、

セラヤに言った。「バビロンに行って
その都市を見たら、あなたはこれらの
言葉を全て読み上げなければなりま

せん。62 それから、こう言うてくだ
さい。『エホバ、あなたは、この場所が

滅ぼされ、人も動物もいなくなり、永久
に荒れ果てたままになると言われまし

た』。63 この書を読み終えたら、石
を結び付けて、ユーフラテス川の中に

投げ入れてください。64 そしてこう
言います。『このようにバビロンは沈

んでいき、二度と上がってこない。私が
災いをもたらすからである。人々は疲

れ果てることになる』。

ここまでがエレミヤの言葉である。

52 ゼデキヤは21歳で王になり、
エルサレムで11年治めた。
彼の母はハムタルといい、リブナのエ
レミヤの娘だった。2 ゼデキヤはエ

第51章

(例) ハバ 2:13

(例) エレ 32:12
エレ 36:4
エレ 45:1

(例) イザ 13:1,20
イザ 14:23
エレ 50:3,39
エレ 51:29,37

(例) 啓 18:21

(例) エレ 51:58

第52章

(例) 王二 24:17-20
代二 36:11,12

(例) 王二 23:31

第2欄

(例) 王二 24:1
代二 36:5

(例) レビ 26:33
申 31:16,17

(例) 代二 36:11,13
エゼ 17:15

(例) 申 28:52
王二 25:1,2
イザ 29:3
エレ 39:1
エゼ 4:1,2
エゼ 21:21,22

(例) エレ 39:2

(例) 申 28:53-57
王二 25:3-7
イザ 3:1
エゼ 4:16

(例) エレ 39:4-7

(例) エレ 24:8
エレ 34:21
エレ 37:17
エレ 38:18

(例) エゼ 12:13

ホヤキムと全く同じように、エホバか
ら見て悪いことを行い続けた。3 エ

ルサレムとユダで起きたことはエホバ
を怒らせ、ついに神は彼らを投げ捨て

た。そして、ゼデキヤはバビロンの王
に反逆した。4 ゼデキヤの治世の

第9年、第10の月の10日に、バビロン
のネブカドネザル王が全軍を率いて

エルサレムに攻めてきた。彼らは陣営
を張り、都市の周囲に包囲壁を建て

た。5 都市はゼデキヤ王の治世の
第11年になっても包囲されていた。

6 第4の月の9日、都市の中では飢
餓がひどく、民のための食糧はなく

なっていた。7 ついに都市の城壁が
破られ、兵士たちは皆、夜のうちに逃

げた。カルデア人が都市を囲む中、
彼らは王の庭園のそばの2重の城壁

の間の門を通過して都市から出て、アラ
バの道を行った。8 しかし、カルデ

ア人の軍隊は王の後を追ひ、エリコ
の砂漠平原でゼデキヤに追い付いた。

王の兵士たちは皆、散り散りになった。
9 王は捕らえられ、ハマト地方のリブ

ラにいるバビロンの王のもとに連れて
いかれて、刑を宣告された。10 バ

ビロンの王は、ゼデキヤの目の前で彼
の子たちを殺し、そこリブラでユダの

全ての高官をも殺した。11 それか
らゼデキヤを失明させ、銅の足かせを

はめてバビロンに連れていき、死ぬま
で牢屋に入れておいた。

12 第5^{だい}の月^{つき}の10^か日^日, バビロンのネ
ブカドネザル^{おう}王^ちの治世^{せい}の第19^{だい}年^{ねん}のこ
と、バビロンの王^{おう}の従者^{じゅうしや}で護衛官^{ごえい官}の長^{ちょう}
であるネブザラダン^はが、エルサレム^にに
入^{はい}ってきた。13 彼はエホバ^{かれ}の家^{いえ}と
王^{おう}の家^{いえ}とエルサレム^{すべ}の全^{いそ}ての家^{いえ}を焼
き払^はった。大きな家^{はら}もことごとく焼^や
き払^はった。14 エルサレム^{へき}の周囲^{ごえい}の城^{かん}
壁^はは、護衛官^{じん}の長^{ぜん}と共に^といたカルデ
ア^あ人の全軍^いによって取り壊^{くわ}された。

15 護衛官^{ごえい}の長^{かん}ネブザラダン^ちは、立
場^ばが低^{ひく}い人^{ひと}たちの一^{いち}部^ぶと、都^{とし}市^しに残^{のこ}
れて^ていた人^{ひと}たちを捕^とらえて連^つれていっ
た。また、バビロンの王^{おう}に投降^{とうこう}した人^{ひと}
たちと、残^{のこ}っていた優^{すぐ}れた職^{しよく}人^{にん}たちも
連^つれ去^さった。16 ただし、最^もも貧^{まい}しい
人^{ひと}たちをいくらか残^{のこ}しておき、ブドウ^の
栽培^{さいばい}人^{にん}や強^{きやう}制^{せい}労^{ろう}働^{どう}者^{しや}として働^{はたら}かせた。

17 カルデア^{じん}人は、エホバ^{いえ}の家^{いえ}の
銅^{どう}の柱^{はしら}と、エホバ^いの家^{いえ}にあつた台車^{だいしや}と
銅^{どう}の「海^{うみ}」を粉^{こな}々に砕^{くだ}いて、銅^{どう}を全^{すべ}
てバビロン^のへ持^もち去^さった。18 また、
缶^{かん}、シャベル^あ、明^けかり消^けし、鉢^{はち}、杯^{はい}など、
神殿^{しんでん}での奉仕^{ほうし}に使^{つか}う銅^{どう}の器^き具^ぐを全^{すべ}
てうば^うば。19 護衛官^{ごえい}の長^{かん}は、純金^{じゆんきん}や
純銀^{じゆんぎん}でできた水盤^{すいばん}、炭^{すす}入れ、鉢^{はち}、缶^{かん}、ラ
ンブ台^{だいいさかずき}、杯^{はい}、小鉢^{せうはち}を奪^はった。20 ソ
ロモン王^{おう}がエホバ^いの家^{いえ}のために造^{つく}
った2本^{ほん}の柱^{はしら}、「海^{うみ}」、「海^{うみ}」の下^{した}にある
12頭^{とう}の銅^{どう}の雄牛^{おうれい}、台車^{だいしや}については、こ
れら全^{すべ}てに使^{つか}われた銅^{どう}は量^{はか}り切^きれな
かった。

52:13 *または、「宮殿」。

第52章

(例) 王二 25:8-10

(例) 王一 9:8

代二 36:17,19

詩 74:8

詩 79:1

エレ 26:18

哀 2:7

エゼ 24:21

(例) エレ 39:8

(例) 王二 25:11,12

エレ 39:9,10

(例) 王二 25:22

(例) 王一 7:15,21

(例) 王一 7:27

(例) 王一 7:23

代二 4:11-15

(例) 王二 25:13-16

エレ 27:19,22

(例) 王一 7:45

(例) 代二 4:19,22

(例) 王一 7:50

(例) 王一 7:48,49

(例) 代二 24:14

代二 36:18

(例) 王一 7:23,25

第2欄

(例) 王一 7:15-20

(例) 代二 3:15

(例) 代二 3:16

代二 4:13

(例) 代一 6:14

エズ 7:1

(例) エレ 21:1,2

エレ 29:25

(例) 王二 25:18-21

(例) 王二 25:6

エレ 52:10

(例) レビ 18:25

レビ 26:33

申 28:36

イザ 24:3

エレ 25:9

(例) 王二 24:12,14

(例) エレ 32:1

(例) エレ 6:9

21 柱^{はしら}はそれぞれ高^{たか}さが8メートル
あり、周^{まわ}りを測^{はか}り綱^{づな}で測^{はか}ると5.3メート
ルだった。中^なは空洞^{くうどう}で、銅^{どう}の厚^{あつ}さは7
センチだった。22 柱^{はしら}の上^{うへ}の柱頭^{ちゆうとう}も
銅^{どう}でできていて、高^{たか}さは2.2メートル
だった。柱頭^{ちゆうとう}の周囲^{しゅうい}の網細工^{あみざいく}とザク
ロも全^{いそ}て銅^{どう}でできていた。2本^{ほん}目の柱^{はしら}
も同じ^{おな}じつくりで、ザクロも同じ^{おな}じだった。
23 ザクロ^{そくめん}は側面^こに96個^{あみ}あつた。網
細工^{ざいく}の周^{まわ}りのザクロ^{ざんぶ}は全^{いそ}部^ぶで100個
だった。

24 護衛官^{ごえい}の長^{かん}は、祭司^{さいし}長^{しやう}セラヤ^{にん}と
次^じ位の祭司^{さいし}ゼバニヤ^{にん}と3人^{とごちばん}の戸口^{かどぐち}番^{ばん}
も連^つれ去^さった。25 また、兵士^{へいし}たちを
かんどくして^{ていしん}ひとり^{ひとり}に^しない^し王^{おう}
監督^{かんごく}していた廷臣^{ていしん}1人^{ひとり}、市^し内に^にいた王^{おう}
の側近^{そくきん}7人^{にん}、軍隊^{ぐんたい}の長^{ちやう}の秘書官^{ひしよかん}で徴^{ちやう}
兵^{へい}を行^{おこな}っていた人^{ひと}、まだ市^し内に^にいた一^{いっ}
般^{ばん}の人^{ひと}60人^{にん}を、都^{とし}市^しから連^つれ去^さった。

26 護衛官^{ごえい}の長^{かん}ネブザラダン^{ちやう}はこれら
の人^{ひと}を捕^とらえ、リブ^らラにいるバビロン
の王^{おう}のもとに連^つれてい^つったのである。

27 バビロンの王^{おう}はハマト地方^{ちほう}のリブ
ラ^はで彼^{かれ}らを殺^{ころ}した。こうしてユダ^ほは捕
囚^{しゅう}にされ、国^{くに}を追^おわれた。

28 ネブカドネザル^{ちやう}が捕^とらえて連^つ
れて^ついった人^{ひと}々は次^{つぎ}の通^とりである。治世^{ちせい}
の第7^{だい}年に、ユダヤ人^{にん}3023人^{にん}。

29 ネブカドネザル^{ちやう}の治世^{ちせい}の第18^{だい}
年^{ねん}に、エルサレム^しから連^つれ去^さられた
832人^{にん}。

30 ネブカドネザル^{ちやう}の治世^{ちせい}の第23^{だい}
年^{ねん}に、護衛官^{ごえい}の長^{かん}ネブザラダン^{ちやう}が捕^と
らえて連^つれて^ついったユダヤ人^{にん}745人^{にん}。

全部で4600人が捕囚にされた。
31 ユダのエホヤキン王が捕囚に
されて37年目の、第12の月の25日、
その年に即位したバビロンのエビル・
メロダク王は、ユダのエホヤキン王を
釈放し、牢屋から出した。 32 そして
52:31 *直訳、「の頭を上げ」。

第52章
(7) 王ニ 24:8
エレ 24:1
エレ 37:1
マタ 1:11

(7) 王ニ 25:27-
30

親切に語り掛け、彼と共にバビロンに
いた他の王たちよりも上の立場を与
えた。 33 それでエホヤキンは囚人
服を脱ぎ、生涯中いつもバビロンの王
の前で食事をした。 34 彼は生きて
いる間、死ぬ日まで、バビロンの王か
ら毎日定期的に食物を与えられた。

哀 歌

概 要

- エルサレムが擬人化され、やもめとして描写
されている
捨てられて独りで座っている (1)
シオンの大きな罪 (8, 9)
シオンは神に退けられた (12-15)
誰もシオンを慰めない (17)
- エルサレムに対するエホバの怒り
エホバは容赦がない (2)
エホバはエルサレムの敵のよう (5)
シオンのことで涙が流される (11-13)
通り掛かる人は、美しかった都市をあざけ
る (15)
敵たちはシオンの破滅を喜ぶ (17)
- エレミヤは自分の気持ちと希望を言い表す
「辛抱強く待ちます」 (21)
神の憐れみは朝ごとに新たに示される
(22, 23)

- 神はご自分に希望を抱く人に善いことを行
う方 (25)
若い時に苦労するのは良いこと (27)
神はご自分に近づくものを雲で阻んだ
(43, 44)
- 包囲されたエルサレムの悲惨な様子
食べる物が無い (4, 5, 9)
女性たちは自分の子供を煮る (10)
エホバは怒りを浴びせる (11)
 - 復興を願う人々の祈り
「思い起こしてください。私たちに起きたこ
とを」 (1)
「罪を犯した私たちは悲惨です!」 (16)
「エホバ、私たちを連れ戻してください」 (21)
「良い日々を新たに与えてください」 (21)

1 ^N [アーレフ]
いま かのじょ ひと すわ
今や彼女は独りで座っている!
ひと とし (7)
人であふれる都市だったのに。
やもめのようになってしまった!

1:1 *1-4章は、ヘブライ語の折り句つまりアル
ファベット順の形式で書かれている。

第1章
(7) 詩 122:3,4
第2欄
(7) 王ニ 4:20

(7) 申 28:15,48
王ニ 25:11,12

くにぐに なか はんえい * (7)
国々の中で繁栄していたのに。
きょうせいろどう か (7)
強制労働を課されている!
かず しゅう# なか じょう
数ある州の中で女王だった
のに。

1:1 *または、「人口が多かった」。[#]または、「管
轄地域」。

□ [ベート]

かのじょ よる はげ な (例) なみだ ほお
2 彼女は夜に激しく泣き、涙が頬

を伝う。
あいじん ひとり なぐさ こ (例)
愛人は一人も慰めに来ない。
とも みな うら ぎ (例) てき
友は皆、裏切り、敵となった。

♪ [ギメル]

3 ユダは捕囚の身となった。
くのう じゅうろう どう か (例)
苦悩し、重労働を課された。
い こく す (例) やす
異国に住まなければならず、休
み場は見つからない。
く なん なか はくがい もの みな
苦難の中で、迫害する者たち皆
に追い詰められた。

▽ [ダーレト]

4 シオンへの道は嘆き悲しんでい
る。誰も祭りに来ないからだ。
かのじょ もん すべ あ は (例) さいし
彼女の門は全て荒れ果て、祭司
たちはため息をついている。
おと め ひ たん かのじょ
乙女たちは悲嘆に暮れ、彼女は
ひどく苦しんでいる。

□ [ヘー]

5 敵たちが彼女の主人となり、気
楽に過ごしている。
かのじょ おお いはん おか
彼女が多くの違反を犯したた
め、エホバが悲しみを味わわ
せた。
かのじょ こども てき お た
彼女の子供たちは敵に追い立て
られ、捕らわれた。

♪ [ワーウ]

6 シオンは輝きをことごとく失った。
かのじょ こうかん ぼくそう ち み
彼女の高官たちは、牧草地を見
つけられない雄鹿のよう
であり、

第1章

(例) 哀 1:16

(例) エレ 4:30
エゼ 16:37

(例) エレ 30:14

(例) レビ 26:33
王二 24:14, 15
王二 25:21
エレ 39:9
エレ 52:27

(例) エレ 17:4

(例) 申 28:64

(例) アモ 8:10

(例) イザ 3:26

(例) ゼカ 1:15

(例) 代二 36:15, 16
ネへ 9:33
ダニ 9:7, 16

(例) エレ 39:9
エレ 52:30

(例) エゼ 24:21

第2欄

(例) 王一 10:27

(例) エレ 52:4

(例) 詩 137:7
哀 2:16

(例) イザ 1:4
イザ 59:2
エゼ 22:4

(例) エレ 13:22
エゼ 23:29

(例) エレ 4:31

(例) エレ 8:7

(例) エレ 50:29

(例) エレ 52:17, 19
ダニ 1:1, 2

(例) 代二 36:17, 18
詩 74:7
エレ 52:13

お ちから ある
追われながら力なく歩く。

↑ [ザイン]

7 エルサレムは、家のない苦悩の
日々、
むかしも きちよう もの
昔持っていたあらゆる貴重な物
を思い出す。
たみ てき て お だれ かのじょ
民が敵の手に落ち、誰も彼女を
助けなかった時、
てき かのじょ は めつ み
敵たちは彼女の破滅を見てあざ
わら (例)
笑った。

□ [ヘート]

8 エルサレムは大きな罪を犯した。
そのため、忌まわしいものと
なった。
かのじょ もの みな
彼女をたたえていた者たちは皆、
いま み さ
今では見下している。
かのじょ はだか (例)
彼女の裸を見たからだ。
かのじょ (例) は せ む
彼女はうめき、恥じて背を向
ける。

□ [テート]

9 彼女の汚れは裾に染み付いて
いる。
かのじょ けが すそ し つ
彼女は自分の将来を全く考えな
かった。
おどろ お だれ なぐさ
驚くほど落ちぶれ、誰にも慰めて
もらえない。
わたし (例) のう み
エホバ、私の苦悩を見てください。
てき たか (例)
い。敵がおごり高ぶっています。
* [ヨード]
てき かのじょ ざいほう て
10 敵は彼女のあらゆる財宝に手を
掛けた。
かのじょ み い こく ひとびと せい
彼女は見た。異国の人々が聖な
ところ (例) はい
る所に入るのを。

あなたの会衆に入ることを禁じら
れていたのに。

ㇿ [カフ]

- 11 彼女の民は皆ため息をつき、パン
を探している。

貴重な品と引き換えに食べ物
を得て、生き延びようとしている。
エホバ、ご覧ください。私は無価
値な女のようにになってしまいま
した。

ㇾ [ラーメド]

- 12 それは道を行くあなた方にとって

どうでもいいことなのですか。
目を留めて、見てください！
私に与えられた痛みと匹敵する
痛みがあるでしょうか。
エホバの燃える怒りの日に味
わった痛みです。

ㇾ [メーム]

- 13 神は高い所から私の骨の中に火
を送り込み、全ての骨を服従
させます。

私の足元に網を広げ、私を引き
返させました。
私を惨めな女にしました。
一日中、私は病んでいます。

ㇿ [ヌーン]

- 14 私の違反はくびきのように首にく
くられています。

神が自らそれをくくりました。
私はそれを首に掛けられ、力を
失いました。

1:10, 14 *用語集参照。 1:11 *エルサレムが
擬人化されている。

第1章

(ㄱ) エレ 38:9
エレ 52:6
哀 2:12
哀 4:4

(ㄱ) エレ 21:7

(ㄱ) 詩 102:3

第2欄

(ㄱ) レビ 26:37
エゼ 11:9

(ㄱ) 王二 24:14,15

(ㄱ) 代二 36:17

(ㄱ) 啓 14:19
啓 19:15

(ㄱ) エレ 31:15

(ㄱ) エレ 4:31

(ㄱ) 申 28:49
王二 24:1,2
王二 25:1

(ㄱ) 哀 1:8

(ㄱ) ネへ 9:33
ダニ 9:7

(ㄱ) サー 12:14,15

エホバは私を敵の手に渡しまし
た。私は彼らに抵抗できま
せん。

ㇿ [サーメク]

- 15 エホバは私の中にある強い者た
ちを皆、投げ捨てました。

若者たちを打ち砕くため、群衆を
呼び集めて私を攻めました。

エホバはユダの処女である娘を
ブドウ搾り場で踏みつけま
した。

ㇾ [アイン]

- 16 これらのことのために、私は泣い
ています。目から涙があふれ
ます。

慰め、力づけてくれる者は誰も近
くにいません。

敵に圧倒され、私の子たちは打
ちのめされています。

ㇿ [ペー]

- 17 シオンは両手を広げたが、誰に
も慰めてもらえない。

エホバはヤコブの周囲の敵に、
ヤコブを攻めるよう命じた。

エルサレムは彼らにとって忌まわ
しいものとなった。

ㇾ [ツアーデー]

- 18 エホバは正しい方です。私がそ
の方の命令に逆らったのです。

全ての国の民よ、聞いて、私の痛
みを見てください。

1:15 *エルサレムのことと考えられる。

わたし おとめ せいねん と
私の乙女や青年たちは捕らわれ
てしまいました。

ㄱ [コフ]

19 私は愛人たちに呼び掛けました
が、裏切られました。

わたし さいし ちょうろう と し
私の祭司や長老たちは、都市の
中で息絶えました。

い 延びようと食べ物を探しな
がら。

ㄴ [レーシュ]

20 エホバ、ご覧ください。私は窮地
に陥っています。

むね うちき はげ どうよう
胸の内は激しく動揺しています。

こころ みだ
心が乱れています。あなたにこと
ごとく逆らったからです。

そと つるぎ いのち うば けい いえ なか
外では剣が命を奪い、家の中に
も死があります。

ㄷ [シーン]

21 人々は私のため息を聞きました。
誰も慰めてくれません。

てき みな わたし ふ か
敵たちは皆、私に降り掛かった
災いについて聞きました。

あなたがそれをもたらしたので、
彼らは喜んでます。

しかし、あなたが宣告した日が
来ると、彼らは私のようになり
ます。

ㄹ [ターウ]

22 彼らの悪事が全てあなたの前で
明らかになり、あなたが彼らを
厳しく扱ってくださいますよ
うに。

1:20 *直訳、「腸」。

第1章

(ㄱ) 申 28:32

(ㄷ) エレ 30:14

(ㄹ) 王二 25:3
エレ 38:9

(ㄷ) 詩 107:11
イザ 1:2
イザ 63:10

(ㄹ) 申 32:25
エレ 15:2

(ㄹ) エゼ 25:6,7
オバ 12

(ㄷ) イザ 13:19
エレ 25:12-14
ヨエ 3:19

(ㄹ) 詩 137:8,9
イザ 51:22,23

(ㄹ) エレ 51:35

第2欄

第2章

(ㄹ) 哀 2:15

(ㄷ) 代一 28:2
詩 132:7
イザ 60:13

(ㄹ) 申 28:52
ミカ 5:11

(ㄷ) エゼ 21:26,27

(ㄹ) イザ 39:7
イザ 43:28

(ㄹ) 詩 74:10,11

(ㄷ) 申 32:22
イザ 42:25
エレ 7:20

(ㄹ) 申 28:63
イザ 63:10
エレ 21:5

(ㄹ) 王二 25:21

わたし すべ いはん わたし
私の全ての違反のために、私を
厳しく扱われたように。
私は何度もため息をつき、心が
病んでいます。

ㄴ [アーレフ]

2 エホバは怒りの雲でシオンを
覆った！

イスラエルの美を天から地に投
げ落とした。

怒りの日に、ご自分の足台を思
い起こさなかった。

ㄷ [ベート]

2 エホバはヤコブの住まい全てを
容赦なくのみ込んだ。

激怒のうちに、ユダの防備され
た場所を打ち壊した。

王国と高官たちを地面に打ち倒
し、汚れたものとした。

ㄹ [ギメル]

3 神は怒りに燃え、イスラエルの力
を全て断った。

敵が近づいてくると、神は右手を
引き戻し、

ヤコブの中で火のように燃え続
けて、周囲を焼き尽くした。

ㄱ [ダーレト]

4 神は敵のように弓を曲げ、右手
を構えた。

好ましく見える人たちを皆、殺し
ていった。

2:1 *直訳、「シオンの娘」。2:2 *直訳、「ユダの娘」。2:3 *直訳、「角」。2:4 *直訳、「踏み」。弓に弦を張る動作のこと。

火ひのような怒いかりを、シオンシオンの天幕てんまく
に浴あびせた。

㐱 [ヘー]

- 5 エホバは敵てきのようになり、
イスラエルをのみ込こんだ。
全ての塔すべをのみ込こみ、
防備ぼうびされた場所ばしょを全てすべ滅ほろぼした。

そして、ユダを大おおいに悲かなしませ、
嘆なげかせる。

1 [ワーウ]

- 6 神はご自分の仮小屋かりこやを、庭園ていえんに
ある掘ほて立て小屋たのように手
荒あらく扱あつかい、
ご自分じぶんの祭まつりを終おわらせた。
エホバはシオンで祭まつりと安息日あんそくび
を忘わすれさせ、

激はげしい憤いきどおりを表あらわし、王おうや祭さい司しを
氣きに留とめない。

1 [ザイン]

- 7 エホバはご自分の祭壇さいだんを退しりぞけ、
ご自分じぶんの聖せいなる所ところを見捨みすてた。
防備ぼうびされた塔とうの城壁じょうへきを敵てきの手に
渡わたした。

彼らはエホバの家の中なかで、祭まつり
の日のように声こえを上げた。

㐱 [ヘート]

- 8 エホバはシオンの城壁じょうへきを滅ほろぼす
ことことにし、測り綱はかづなで測はかった。
滅ほろびをもらすことを思おもいとどま
らず、

第2章

㐱 エレ 4:4

㐱 エレ 10:20

㐱 エレ 30:14

㐱 王二 25:8,9

代二 36:19

イザ 63:18

イザ 64:11

㐱 哀 1:4

㐱 エレ 52:24,27

㐱 レビ 26:31

エレ 26:6

エレ 52:12,13

エゼ 24:21

ミカ 3:12

㐱 代二 36:19

㐱 詩 74:4

㐱 王二 25:10

エレ 39:8

㐱 王二 21:13

イザ 28:17

第2欄

㐱 ネへ 1:3

エレ 14:2

㐱 申 28:15,36

王二 24:15

王二 25:7

哀 4:20

エゼ 12:13

ダ二 1:3,6

㐱 詩 74:9

エレ 23:16

エゼ 7:26

㐱 イザ 3:26

㐱 エレ 6:26

エゼ 7:18

㐱 哀 3:48

㐱 エレ 14:17

㐱 エレ 11:22

哀 2:19

哀 4:4

㐱 申 28:49,51

王二 25:3

イザ 3:1

エレ 18:21

どるい じょうへき なげ かな
土壘どるいと城壁じょうへきが嘆なげき悲かなしむように
する。

それらは共にともにもろくなった。

㐱 [テート]

- 9 彼女の門かのかどは地面じめんに沈しずみ込こんだ。
神はかんぬきを打ち壊こわした。
王おうと高官こうかんたちは異国いこくの人々ひとびとの中

にいる。

律法りっぽうはなく、預言者よげんしやたちはエホ
バからの幻まぼろしを見ない。

1 [ヨード]

- 10 シオンの長老ちやうろうたちは地面じめんに座すわつ
て黙だまり込こむ。
頭あたまに土つちをかぶり、粗布あらぬのをまとう。
エルサレムの乙女おとめたちはひれ伏ふ
した。

㐱 [カフ]

- 11 私の目わたしは涙なみだを流ながして疲つかれ切きった。
胸むねの内うちは激はげしく動揺どうようしている。
肝臓かんぞうは地面じめんにこぼれ出た。
私の民わたしが落たみちぶれたために。
町まちの広場ひろばで子供こどもや幼児ようじが氣きを
失うしなっているために。

㐱 [ラーメド]

- 12 子供こどもたちは母親ははおやに尋ね続たずける。
「穀物こくもつやぶどう酒しゅはどこにある
の?」と。
そして、傷きずを負おった人ひとのように、
都市としの広場ひろばで氣きを失うしなう。
母親ははおやの腕うでに抱だかれながら、息絶いきた
えていく。

2:4, 8, 10 *直訳, 「シオンの娘」。 2:5 *直訳,
「ユダの娘」。 2:6 *または, 「滅ぼした」。 2:8
#直訳, 「のみ込む」。

2:9 *または, 「指示」。 2:11 *直訳, 「腸」。
#直訳, 「民の娘」。擬人法で, 哀れに思う気持ち
や同情を表現しているのかもかもしれない。

ㇶ [メーム]

13 エルサレムよ、私はどんな例を示し、

あなたを何になぞらえたらよいだろうか。

処女であるシオンよ、あなたを何と比べたら慰めることができる

だろう。

あなたの崩壊は海のように大きい。誰があなたを癒やせるだろうか。

ㇷ [ヌーン]

14 預言者たちがあなたに関して見た幻は、偽りでむなし。

彼らはあなたの過ちを明らかにせず、あなたが捕らわれるままにした。

人を惑わす偽りの幻について、あなたに伝え続けた。

ㇸ [サーメク]

15 通り掛かる人は皆、あなたに向かってあざけるように手をたたく。

驚いて口笛を吹き、エルサレムに向かって頭を振り、こう言う。

「これが、『美しさの極み、全世界の喜び』と言われていた都市なのか」。

ㇹ [ペー]

16 敵は皆、あなたに向かって口を開けた。

第2章

(㉑) エレ 14:17
ダニ 9:12

(㉒) エレ 30:12

(㉓) エレ 2:8
エレ 27:14
エゼ 13:2,3

(㉔) エレ 23:14

(㉕) エレ 23:32
エレ 27:9
ミカ 3:5
ゼバ 3:4

(㉖) エゼ 25:2,6

(㉗) 王一 9:8
エレ 25:9

(㉘) 詩 48:2
エゼ 16:14

第2欄

(㉙) エレ 51:34

(㉚) ミカ 4:11

(㉛) オバ 13

(㉜) エレ 18:11
ミカ 2:3

(㉝) レビ 26:14,17
申 28:15

(㉞) 王二 23:27

(㉟) エゼ 5:11

(㊱) イザ 51:20
哀 4:9
エゼ 5:16

口笛を吹き、歯ざりして言う。
「われわれは彼女をのみ込んだ。
これこそ待ち望んでいた日だ。その日が来たのを目撃した!」

㊲ [アイン]

17 エホバは行おうとしていたことを行った。

ご自分が言ったことを、ずっと昔に命じたことを実行した。

容赦なく打ち壊し、敵があなた

のことで喜ぶようにした。

敵たちの力を強くした。

㊳ [ツァーデー]

18 シオンの城壁よ、人々の心はエホバに向かって叫ぶ。

昼も夜も、川のように涙を流せ。休息してはならず、目を休ませて

もならない。

㊴ [コーフ]

19 立ち上がれ! 夜に、見張りが始まる時に叫べ。

エホバの顔の前に、心を水のよう

うに注ぎ出せ。その方に向かって両手を上げて

祈れ。どの街角でも飢えて気を失っている子供たちの命のために。

㊵ [レーシュ]

20 エホバ、ご覧ください。あなたが非常に厳しく扱われた者を見てください。

2:13, 15 * 直訳、「エルサレムの娘」。2:13, 18 * 直訳、「シオンの娘」。

2:17 * 直訳、「角を上げた」。2:18 * 直訳、「目の娘」。

じょせい じぶん う けんこう
女性たちが自分の産んだ健康な
こども た づつ
子供を食べることが続いてよ
いでしょうか。

さいし よげんしゃ
祭司や預言者がエホバの聖なる
ところ ころ
所で殺されてよいのでしょうか。

㊦ [シーン]

しょうねん ろうじん し どお よこ
21 少年も老人も死んで、通りに横た
わっています。

わたし おとめ せいねん つるぎ
私の乙女や青年たちも剣によっ
て倒れました。

いかに ひ かれ ようしゃ
あなたは怒りの日に彼らを容赦
なく殺しました。

㊦ [ターウ]

まつ ひ き
22 祭りの日が来たかのように、あな
たは四方から恐怖を呼び集め
ます。

いきどお ひ のが ひと
エホバの憤りの日に、逃れた人
も生き残った人もいませんで
した。

わたし う そだ こ てき
私が産んで育てた子たちは、敵
に根絶やしにされました。

㊦ [アーレフ]

わたし かみ げき ど
3 私は神の激怒のつえによる苦
悩を見た者である。

かみ わたし お た ひかり
2 神は私を追い立て、光ではなく
闇の中を歩ませる。

いちにちじゅう なん ど わたし しりぞ
3 一日中、何度も私を退ける。

㊦ [ベート]

かみ わたし にく ひ ふ おとろ
4 神は私の肉と皮膚を衰えさせ、
私の骨を折った。

わたし ほろい どく くらん と かこ
5 私を包圍し、毒と苦難で取り囲
んだ。

第2章

㊦ レビ 26:29
申 28:53
エレ 19:9
哀 4:10
エゼ 5:10

㊦ エゼ 9:6,7

㊦ 申 28:49,50
代二 36:17

㊦ エレ 9:21
エレ 18:21

㊦ エレ 13:14
エレ 21:7
哀 3:43
エゼ 5:11
エゼ 9:6

㊦ 申 16:16

㊦ ゼバ 1:18

㊦ 申 28:18

第3章

㊦ 申 28:15,29
エレ 13:16

㊦ イザ 63:10

㊦ エレ 8:14
エレ 9:15
哀 3:19

第2欄

㊦ エレ 39:7

㊦ 詩 80:4
詩 102:2
イザ 1:15
ミカ 3:4

㊦ イザ 63:17

㊦ ヨブ 38:39,40
ホセ 5:14
アモ 5:18,19

㊦ エレ 6:8
エレ 32:43

㊦ エレ 9:15
エレ 23:15

㊦ 詩 102:9
エレ 6:26

わたし くら ばしょ すわ とお
6 私は暗い場所に座らせた。遠い
むかし し りと
昔に死んだ人のように。

㊦ [ギメル]

かみ わたし かべ かこ に
7 神は私を壁で囲み、逃げられな
いようにした。

わたし おも どう あし
私に重い銅の足かせをはめた。

わたし たす もと ひっし さけ
8 私が助けを求めて必死に叫んで
も、私の祈りを退ける。

わたし ゆ て き いし
9 私の行く手を切り石でふさぎ、
私の道をゆがめた。

㊦ [ダーレト]

かみ くま かく
10 神は熊のように、隠れているライ
オンのように、私を待ち伏せ
する。

わたし みち はず
11 私を道から外れさせ、
引き裂いて、見捨てた。

ゆみ ま せ わたし や まど
12 弓を曲げ、私を矢の的にする。

㊦ [ヘー]

かみ じぶん や づつ や わたし じん
13 神はご自分の矢筒の矢で私の腎
臓を射抜いた。

わたし すべ くに たみ わら
14 私は全ての国の民の笑いものに
なり、一日中、彼らの歌の題
材となった。

かみ わたし にが み
15 神は私を苦いもので満たし、ニ
ガヨモギであふれさせた。

㊦ [フーウ]

かみ じゃり わたし 歯 くだ
16 神は砂利で私の歯を砕き、
わたし はい なか ちぢ あ
私を灰の中で縮み上げらせる。

わたし わたし へい わ うば さ
17 あなたは私から平和を奪い去り
ます。

3:8 *または、「阻む」、「遮る」。3:11 *もしか
すると、「休眠させ」。3:12 *直訳、「踏み」。弓
に弦を張る動作のこと。

わたし こうふく わす
私は幸福を忘れてしまいました。

- 18 それで私は言います。「私の栄光も、エホバへの期待も失われた」と。

↑ [ザイン]

- 19 思い起こしてください。私が苦悩
して、家もないことを。ニ
ガヨモギと毒のことを。

- 20 あなたは必ず思い起こしてくださ
り、身をかがめて私を助けてく
ださい。

- 21 私はこのことを心の中で思い返
し、辛抱強く待ちます。

□ [ヘート]

- 22 エホバの揺るぎない愛のおか
げで、私たちは滅びませんで
した。

- 23 それは朝ごとに新たに示されま
す。あなたは常に信頼できる
方です。

- 24 私は言いました。「エホバが私の
全てです。ですから、私はその
方を辛抱強く待ちます」と。

□ [テート]

- 25 エホバは、ご自分に希望を抱く
人、ご自分に導きを求める人
に、善いことを行方う。

- 26 エホバの救いを静かに待つのは
良いことである。

3:24 *直訳、「私の分」。 3:26 *または、「辛抱強く」。

第3章

(ア) ネヘ 9:32
詩 137:1

(イ) エレ 9:15
哀 3:5

(ウ) 詩 113:5-7

(ロ) 詩 130:6-8

ミカ 7:7

(ヨ) エズ 9:8

(ヨ) ネヘ 9:31

エレ 30:11

ミカ 7:18

(ヨ) 詩 30:5

(ウ) 申 32:4

詩 36:5

(ウ) 詩 16:5

詩 73:26

詩 142:5

(ロ) 詩 130:6-8

(ヨ) 詩 25:3

詩 130:5

イザ 25:9

イザ 30:18

ミカ 7:7

(イ) 代 28:9

イザ 26:9

ゼバ 2:3

(ウ) 詩 116:6

(ロ) 詩 37:7

第2欄

(ア) 詩 119:71

(イ) 詩 39:8,9

哀 3:39

(ウ) エゼ 16:63

(ロ) ヨエ 2:12-14

(ヨ) エレ 3:12

エレ 31:37

エレ 32:40

ミカ 7:18

(ヨ) 詩 30:5

詩 103:9,11

イザ 54:7

エレ 31:20

(ヨ) イザ 55:7

エゼ 33:11

ペ二 3:9

(ウ) 詩 102:19,20

(ウ) 詩 12:5

格 17:15

- 27 人が若い時に苦勞するのは良い
ことである。

↑ [ヨード]

- 28 神に荷を負わされた人は、独り
で座って黙っている。

- 29 ひれ伏して口を土に付けよ。まだ
望みがあるかもしれない。

- 30 自分を打つ者に頬を差し出し、
十分に侮辱を受けよ。

□ [カフ]

- 31 エホバは私たちをいつまでも捨
ててはおかない。

- 32 悲しみを生じさせたが、憐れみ
を示してくださる。揺るぎない
愛に満ちているから。

- 33 人々を苦しめたり悲しませたり
することを、その方は望んでい
ない。

□ [ラーメド]

- 34 地上の全ての囚人を踏みじじる
こと、

- 35 至高者の中で人を公正に扱わな
いこと、

- 36 訴訟において人を陥れることを、
エホバは容認しない。

□ [メーム]

- 37 エホバが命じていないのに、何
かを言って実現させられる者
がいるだろうか。

- 38 至高者の口から、悪い事柄と良

3:27 *直訳、「てんびん棒を負う」。

ことがら いっしょ で
い事柄が一緒にすることは
ない。

- 39 生きている人が、自分の罪の結果について不平を言うべきだろうか。

】【ヌーン】

- 40 自分たちの生き方を見つめ直し、エホバのもとに帰ろう。
- 41 天にいる神に向かって両手を上げ、心からこう祈ろう。
- 42 「私たちは違反を犯して逆らい、あなたから許されていません。

□【サーメク】

- 43 あなたは怒り、私たちが近づけないようにしました。
- わたし お ようしゃ ごろ
私たちを追って、容赦なく殺しました。
- 44 ご自分に近づくものを雲で阻み、私たちの祈りが届かないようにしました。
- わたし ひとびと どうぜん
45 私たちが人々からごみくず同然と見なされるようにします。

□【ペー】

- 46 敵は皆、私たちに向かって口を開ける。
- 47 私たちは常に恐れを感じ、落とし穴にはまっているかのようだ。
- こうはい ほうかい あじ
荒廃と崩壊を味わっている。
- 48 私の目から涙が川のように流れる。私の民が衰弱したために。

3:48 *直訳、「民の娘」。

第3章

(例) 詩 103:10
ミカ 7:9

(例) ハガ 1:5

(例) 申 4:30
イザ 55:7
ヨエ 2:13

(例) 申 4:29
代 2:7-14
代 2:34-27

(例) ネへ 9:26

(例) 王 24:3,4
ダニ 9:5,12

(例) 格 15:8

(例) 申 4:26
哀 2:2
エゼ 9:10

(例) 詩 80:4
格 15:29
格 28:9
イザ 1:15
ミカ 3:4
ゼカ 7:13

(例) 哀 2:16

(例) 申 28:66,67

(例) イザ 51:19
エレ 4:6

(例) エレ 9:1

第2欄

(例) エレ 14:17
哀 1:16

(例) 詩 80:14
詩 102:19-21
イザ 63:15

(例) エレ 11:22

(例) 詩 130:1
ヨナ 2:1,2

(例) エレ 50:34

□【アイン】

- 49 私の目は止めどなく涙を流し続ける。

- 50 エホバが天から見下ろし、ご覧になるまで。

- 51 私の都市の全ての娘たちを見て、私は悲しみに暮れる。

□【ツァーデー】

- 52 敵たちは鳥を狩るかのように、理由もなく私を追いかけて詰めた。

- 53 穴の中にいる私の命を絶とうと、石を投げつけた。

- 54 水が私の頭を越えるまでになり、私は「もうおしまいだ!」と言った。

□【コーフ】

- 55 エホバ、私は深い穴からあなたのお名前を呼びました。

- 56 私の声を聞いてください。助けや安らぎを求める叫びに対して、耳を閉ざさないでください。

- 57 私が呼び掛けた日に、あなたは近づいてくださり、「恐れてはならない」と言ってくださいました。

□【レーシュ】

- 58 エホバ、あなたは私の訴えを弁護し、私の命を救ってくださいました。

- 59 エホバ、あなたは私が不当な仕打ちを受けたのをご覧になりました。

3:58 *直訳、「買い戻して」。

わたし こうせい あつか
どうか私が公正に扱われるよう
にしてください。

- 60 あなたは彼らの復讐を、私に対
するたくらみを全てご覧になり
ました。

㊦ [シーン]または[シーン]

- 61 エホバ、あなたは彼らのあざけ
りを、私に対するたくらみを全
て聞かれました。

- 62 私に敵対する者たちの言葉、私
について一日中ささやく事
柄を。

- 63 見てください。彼らは座っている
時も立っている時も、私をあざ
ける歌を歌います。

㊦ [ターウ]

- 64 エホバ、あなたは彼らの行いに
応じて返報します。

- 65 彼らの心を固くします。それが彼
らへの災いです。

- 66 あなたは怒りのうちに彼らを追
い、エホバの天の下から滅ば
し尽くします。

㊦ [アーレフ]

4 ひか かがや じんきん
光り輝く純金がかぐすんでし

まった!

せい いし(㊦) まちかど ち
聖なる石がどの街角にも散ら
ばっている!

㊦ [ベート]

- 2 精錬された金のように貴重だっ

たシオンの子たちは、
とうげい か つく ど き
陶芸家が作った土器のつばのよ
うに見なされた!

第3章

(㊦) エレ 51:36,37

(㊦) 詩 74:18

第4章

(㊦) 王一 6:22

(㊦) 王一 5:17

王一 7:9-12

(㊦) エレ 52:12,13

第2欄

(㊦) ヨブ 39:14-16

(㊦) レビ 26:29

申 28:53-57

エレ 19:9

哀 4:10

(㊦) 哀 1:11

哀 2:11,12

(㊦) エレ 52:6

(㊦) アモ 6:4,7

(㊦) エレ 6:2,26

(㊦) エゼ 16:48

(㊦) 創 19:24,25

ダニ 9:12

(㊦) 民 6:2

↑ [ギメル]

- 3 ジャッカルでさえ乳を与えて子を
養うのに、
わたし たみ* こう や
私の民は荒野のダチョウのよう
に冷酷になった。

↑ [ダーレト]

- 4 乳児は喉が渇き、舌が上顎に
くっつく。

こども ほ
子供はパンを欲しがすが、誰も
あた (㊦)
与えない。

㊦ [ヘー]

- 5 以前ごちそうを食べていた人た
ちが、飢えて通りに横たわって
いる。
こう か ふく* き そだ ひと (㊦)
高価な服を着て育った人たちが、
はい
灰にまみれている。

↑ [フーウ]

- 6 私の民への処罰は、ソドムの罪
に対する処罰よりも重い。
また ま ほう たす
ソドムは瞬間に滅ばされ、助け
る者はいなかった。

↑ [ザイン]

- 7 彼女のナジルは、雪よりも清く、
ミルクよりも白かった。
サングよりも赤みがかっており、
サファイアのようにつやが
あった。

㊦ [ヘート]

- 8 今や彼らの見た目はすすよりも
黒く、

4:3,6 *直訳,「民の娘」。4:5 *直訳,「緋色」。

4:6 *または,「私の民の過ちは、ソドムの罪よりも大きい」。4:7 *エルサレムのこと。*用語集
参照。4:8 *直訳,「黒さ」。

とお 通^とりで見^み分け^わけが付^つかない。
かれ 彼^からの皮^ひ膚^ふはしな^はびて骨^{ほね}に張^はり
付^つき、枯^かれ木^きのよ^ようにな^なった。

㊦ [テート]

- 9 剣^{つるぎ}で殺^{ころ}される人^{ひと}の方^{ほう}が、飢^うえ死^じ
に^にする人^{ひと}よりもし^しだ。
さくもつ 作^{さく}物^{もつ}が不^ふ足^{そく}して、い^いわば刺^さし通^{とお}
さ^され、やつ^はれ果^はてる人^{ひと}よりも。

㊦ [ヨード]

- 10 思^{おも}いやり深^{ふか}かった女^{じょ}性^{せい}た^たちが、そ
の^て手^てで自^じ分^{ぶん}の子^こ供^{ども}を煮^にた。
わたし たみ* すい^{すい}じやく と^{とき}き こ^こども
私^{わたし}の民^{たみ}が衰^{すい}弱^{じやく}して^{して}いる時^{とき}、子^こ供^{ども}
が^か彼女^{かのじょ}たち^{たち}の嘆^{なげ}きの食^{しょく}事^じと
な^なった。

㊦ [カフ]

- 11 エホバは憤^{いきどお}りを表^{あらわ}し、燃^もえる怒^{いか}り
を浴^あびせ^した。
シオン^あで火^ひをお^おこし、そ^かれは彼^{かのじょ}女^{じょ}
の土^ど台^{だい}を焼^やき尽^つくす。

㊦ [ラーメド]

- 12 地^{ちじょう}上^{おう}の王^{わう}たちも、大^{だい}地^ちに^す住^{すべ}む全^{ぜん}
ての^{ひと}人^{しん}も、信^{しん}じな^なか^かった。
て^てき 敵^{てき}たち^{たち}がエルサレ^{エル}ム^{サレム}の門^{もん}から
入^{はい}って^はく^くること^{こと}など。

㊦ [メーム]

- 13 そう^よな^{げん}った^{しゃ}のは、預^{よめい}言^{げん}者^{しゃ}たち^{たち}の罪^{つみ}
と、祭^{さい}司^したち^{たち}の過^{あやま}ち^ちのた^ため。
かれ 彼^からは都^{とし}市^しの中^{なか}で、正^{ただ}しい人^{ひと}た
ち^ちの血^ちを流^{なが}した。

㊦ [ヌーン]

- 14 彼^からは目^めが見^みえな^ない^いか^かのよ^ように
通^{とお}りをさ^さま^まよ^よった。

第4章

㊦ 詩 102:5

㊦ エレ 29:17
エレ 38:2㊦ レビ 26:29
哀 2:20
哀 4:3

㊦ 申 28:54-57

㊦ エレ 6:11
エレ 7:20
エゼ 22:31㊦ 申 32:22
王二 25:9,10㊦ 申 29:24
王一 9:8㊦ エレ 5:31
エレ 14:14
ミカ 3:11
ゼバ 3:4㊦ エレ 26:8
マタ 23:31
使徒 7:52㊦ 申 28:28
ゼバ 1:17

第2欄

㊦ イザ 1:15
エレ 2:34

㊦ 申 28:25,65

㊦ レビ 26:33
申 28:64
エレ 24:9

㊦ 王二 25:18,21

㊦ 哀 5:12
エゼ 9:6

㊦ 哀 1:19

㊦ エレ 37:7
エゼ 29:6㊦ 王二 25:5
哀 3:52

ち 血^ちによ^よって汚^{けが}れてお^おり、
ふく 其^{ふく}の服^{ふく}に触^ふれるこ^ことは誰^{だれ}にも許^{ゆる}
さ^されな^ない。

㊦ [サーメク]

- 15 人^{ひと}々^とは彼^{かれ}らに向^むか^かって叫^{さけ}ぶ。
「向^むこ^こうへ行^いけ! 汚^{けが}らわ^わい!
行^いけ! 行^いけ! われ^{われ}われ^{われ}に触^{さわ}
るな!」と。
かれ いえ 彼^{かれ}らは家^{いえ}もな^なく、さ^さま^まよ^よい歩^{ある}く。
い こく 異^い国^{こく}の人^{ひと}々^とはこ^こう言^いった。
「彼^{かれ}ら^らをこ^ここに^にとどま^まらせ^せるわ^わけに
はい^いか^かな^ない。

㊦ [ペー]

- 16 エホバは彼^{かれ}ら^らを散^ちらしたので
あ^あり、
かれ 他^たの^たら^らを好^{こう}意^い的^{てき}に見^みるこ^ことは
な^ない。
だれ 誰^{だれ}も祭^{さい}司^しを尊^{とう}ば^ばず、長^{ちやう}老^{ろう}を敬^{うやま}わ
ない。

㊦ [アイン]

- 17 私^{わたし}たち^{たち}は目^めが疲^{つか}れ切^きっ^きてい^いる。
たす 助^{たす}けを求^{もと}めてむ^めな^なく目^めを凝^こ
ら^らした^たか^から。
ひ^ひた^たす^すら^ら見^み張^はつ^つて、待^{まち}ち^ち続^{つづ}け^けた。
わたし 我^{わたし}たち^{たち}を救^{すく}うこ^こがで^でき^きな^なか^かつ
た^た国^{こく}民^{みん}を。

㊦ [ツァーデー]

- 18 敵^{てき}が私^{わたし}たち^{たち}の一^{いつ}挙^{きょ}一^{いち}動^{どう}をう^うか^かが
う^うの^ので、広^{ひろ}場^ばを歩^{ある}くこ^こがで^でき
な^なか^かった。
わたし お^おの^のち^ちか^か 我^{わたし}たち^{たち}の終^{しん}わ^わり^りは近^{じん}づ^づいた。人^{じん}

4:15 *または、「外国人としてここに住まわせる」。

生は終わった。終わりが来た
のだ。

ㇶ [コーフ]

- 19 追ってくる者たちは、空を飛ぶワ
シよりも速かった。
山々の上で私たちを追い、荒野
で待ち伏せした。

ㇿ [レーシュ]

- 20 私たちの命の息吹である、エホ
バに選ばれた者が、彼らの大
きな穴の中に捕らわれた。
その者のついでに私たちは、「異国
の人々の間にいても、彼の陰
の下で生きる」と言っていた。

ㇾ [スィーン]

- 21 ウツに住むエドムよ、喜び、歓喜
せよ。

ただし、あなたにも杯が回ってく
る。あなたは酔って、裸をさら
すことになる。

ㇿ [ターウ]

- 22 シオンよ、あなたの過ちに対する
処罰は終わった。

あなたが再び捕囚の身になるこ
とはない。

エドムよ、神はあなたの過ちに注
意を向け、

あなたの罪を明らかにする。

- 5 エホバ、思い起こしてください。
私たちに起きたことを。

4:20 *直訳、「油を注がれた」。用語集の「油を注ぐ」参照。*または、「保護」。4:21, 22 *直訳、「エドムの娘」。4:22 *直訳、「シオンの娘」。

第4章

(㉔) 申 28:49, 50
イザ 5:26
エレ 4:13
ハバ 1:8

(㉔) エレ 37:1

(㉔) 王二 25:5, 6
エレ 39:5

(㉔) 詩 137:7
オバ 12

(㉔) エレ 25:17, 20
オバ 16

(㉔) エレ 49:10, 12

(㉔) レビ 26:44
イザ 52:1
イザ 60:18

(㉔) イザ 34:5
エゼ 25:13
エゼ 35:15
アモ 1:11
オバ 13

第2欄

第5章

(㉔) 詩 79:4
哀 2:15

(㉔) 申 28:30
詩 79:1
エレ 6:12
ゼバ 1:13

(㉔) 出 22:24
エレ 18:21

(㉔) 申 28:15, 48
イザ 3:1
エゼ 4:11, 16

(㉔) 申 28:65

(㉔) イザ 30:2
エレ 44:12
エゼ 17:17, 18

(㉔) 代二 28:16
エレ 2:18, 36

(㉔) エゼ 4:10

(㉔) 王二 25:3
哀 4:8

(㉔) 申 28:30

(㉔) エレ 39:6

(㉔) イザ 47:6
エレ 6:11
哀 4:16

目を留めて、みてください。私た
ちの恥辱を。

- 2 私たちの相続地はよそ者に、家
は外国人に渡されました。

- 3 私たちは父のいない孤児になり
ました。

母はまるでやもめのようにです。

- 4 自分たちの水を飲むにもお金を
払わなければならない、まきも買
わなければならない。

- 5 追い詰められ、疲れ果てました
が、休ませてもらえませんか。

- 6 エジプトとアッシリアに手を差し
出します。

足りないパンを得ようとして。

- 7 罪を犯した父祖たちはもういな
いのに、私たちが彼らの過ち
を負わなければならない。

- 8 立場の低い人たちが、今では私
たちを支配しています。

誰も彼らの手から私たちを救って

くれません。

- 9 荒野で剣に襲われるので、命懸
けでパンを持ってこなければ
なりません。

- 10 飢えの苦しみのために、皮膚が
炉のように熱くなりました。

- 11 シオンにいる妻たちとユダの
町々にいる乙女たちは辱めら
れました。

- 12 高官たちは片手を縄で縛られて
つるされ、長老たちも尊ばれ
ませんで。

- 13 若者たちはひき白を運ばされ、
少年たちはまきを担がされて
よろめきます。
- 14 長老たちは都市の門の所からい
なくなり、若者たちは音楽を奏
でません。
- 15 私たちの心は喜びを失い、踊り
は嘆きになりました。
- 16 頭から冠が落ちました。
罪を犯した私たちは悲惨です！
- 17 そのため、私たちの心は病んで
います。
これらのことののために、目がかす
んでいます。
- 18 シオンの山は荒廃し、キツネがう
ろついています。

第5章
(ア) ヨシ 20:4
(イ) エレ 25:10
(ウ) アモ 8:10
(エ) 哀 1:22
(オ) 申 28:65
(カ) エレ 26:18

第2欄
(ア) 詩 102:12
詩 145:13
詩 146:10
(イ) 詩 79:5
エレ 14:19
(ウ) 申 4:30
詩 80:3
詩 85:4
エレ 31:18
(エ) エレ 33:13
(オ) 申 28:15

- 19 エホバ、あなたは永遠に王座に
座られます。
あなたの王座はいつの時代まで
も存続します。
- 20 どうして私たちをずっと忘れ、こ
れほど長く見捨てておかれる
のですか。
- 21 エホバ、私たちを連れ戻してくだ
さい。喜んであなたのもとに帰
ります。
昔のような良い日々を新たに与
えてください。
- 22 しかし、あなたは私たちをすっか
り退けました。
今でも激しくお怒りになってい
ます。

エゼキエル書

概要

- | | |
|---|---|
| <p>1 エゼキエルはバビロンで神の幻を見る (1-3)
エホバの天の兵車の幻 (4-28)
嵐と雲と火 (4)
4つの生き物 (5-14)
4つの車輪 (15-21)
氷の塊のようにきらめく台座 (22-24)
エホバの王座 (25-28)</p> <p>2 エゼキエルは預言者として任命される (1-10)
聞くとしても、聞かないとしても (5)
哀歌が記された巻物を見る (9, 10)</p> <p>3 エゼキエルは神から与えられた巻物を食べ
る (1-15)
エゼキエルは見張りとして仕える (16-27)
務めを怠るなら死の責任を問われる
(18-21)</p> | <p>4 エルサレムの包囲が演じられる (1-17)
390日および40日の間、罪を負う (4-7)</p> <p>5 エルサレムの滅びが演じられる (1-17)
エゼキエルは毛をそって3つに分ける (1-4)
エルサレムの人々は異国の人々よりも悪い
(7-9)
反逆者たちの3つの結末 (12)</p> <p>6 イスラエルの山々に対する預言 (1-14)
汚らしい偶像はないがしろにされる (4-6)
「あなたたちは私がエホバであることを知ら
なければならなくなる」(7)</p> <p>7 終わりが来る (1-27)
類を見ない災い (5)
お金が通りに投げ捨てられる (19)
神殿は汚される (22)</p> |
|---|---|

- 8 エゼキエルは幻の中でエルサレムに連れていかれる (1-4)
神殿で忌まわしい事柄を見る (5-18)
タンムズのために泣いている女性たち (14)
太陽を崇拝している男性たち (16)
- 9 刑を執行する6人の者と、インク入れを持つ者 (1-11)
聖なる所から処罰が始まる (6)
- 10 車輪の間から火が取られる (1-8)
ケルブと車輪の描写 (9-17)
神の栄光が神殿から離れる (18-22)
- 11 悪い高官たちが断罪される (1-13)
都市が鍋に例えられる (3-12)
復興の約束 (14-21)
「新たな精神」を持たせる (19)
神の栄光がエルサレムから離れる (22, 23)
エゼキエルは幻の中でカルデアに戻る (24, 25)
- 12 象徴的な行動によって捕囚が予告される (1-20)
捕囚の身となるために荷物をまとめる (1-7)
長は暗闇の中で去る (8-16)
不安を抱きながらパンを食べ、恐怖におびえながら水を飲む (17-20)
格言が偽りであることが示される (21-28)
「私の言葉の実現が遅れることはない」(28)
- 13 偽預言者たちに対する言葉 (1-16)
しっくい塗られた壁は倒れる (10-12)
女性の偽預言者たちに対する言葉 (17-23)
- 14 偶像崇拝者たちが断罪される (1-11)
エルサレムは処罰を免れられない (12-23)
正しい人々であるノア、ダニエル、ヨブ (14, 20)
- 15 エルサレムは役に立たないブドウの木 (1-8)
- 16 神はエルサレムを愛する (1-63)
彼女は捨て子だった (1-7)
神は彼女を飾り、結婚の契約を結ぶ (8-14)
彼女は不忠実になる (15-34)
姦淫の罪で処罰される (35-43)
サマリアとソドムとの比較 (44-58)
神は契約を思い起こす (59-63)
- 17 2羽のワシとブドウの木の謎掛け (1-21)
- 柔らかい若枝が立派な杉の木になる (22-24)
- 18 人はそれぞれ自分の罪の責任を負う (1-32)
罪を犯す人は死ぬ (4)
息子は父親の罪を負わない (19, 20)
神は悪い人の死を喜ばない (23)
悔い改めるなら生き続けられる (27, 28)
- 19 イスラエルの長たちのための哀歌 (1-14)
- 20 イスラエルの反逆の歴史 (1-32)
イスラエルの復興の約束 (33-44)
南に対する預言 (45-49)
- 21 神の処罰の剣がさやから抜かれる (1-17)
バビロンの王がエルサレムを攻める (18-24)
イスラエルの邪悪な長が取り除かれる (25-27)
「冠を脱ぎなさい」(26)
「法的権利を持つ者が来るまで」(27)
剣がアンモン人に向けられる (28-32)
- 22 流血の罪を負った都市エルサレム (1-16)
イスラエルは無価値な浮きかすのよう (17-22)
イスラエルの指導者や民はとがめられる (23-31)
- 23 不忠実な姉と妹 (1-49)
オホラはアッシリアと関係を持つ (5-10)
オホリバはバビロンとエジプトと関係を持つ (11-35)
姉と妹は処罰される (36-49)
- 24 エルサレムはさび付いた鍋のよう (1-14)
エゼキエルの妻の死がしるしとなる (15-27)
- 25 アンモンに対する預言 (1-7)
モアブに対する預言 (8-11)
エドムに対する預言 (12-14)
フィリスティアに対する預言 (15-17)
- 26 ティルスに対する預言 (1-21)
「引き網の干し場」(5, 14)
石や土が海に投げ込まれる (12)
- 27 沈んでいく船のようなティルスに関する哀歌 (1-36)
- 28 ティルスの王に対する預言 (1-10)
「私は神だ」(2, 9)
ティルスの王に関する哀歌 (11-19)
「エデンにいた」(13)
「保護を与える選ばれたケルブ」(14)

- 「あなたの中に不正が見いだされる」(15)
シドンに対する預言 (20-24)
イスラエルの復興 (25, 26)
- 29 ファラオに対する預言 (1-16)
エジプトはバビロンに報酬として与えられる (17-21)
- 30 エジプトに対する預言 (1-19)
ネブカドネザルによる攻撃が予告される (10)
ファラオの力は弱められる (20-26)
- 31 丈が高い杉であるエジプトは倒れる (1-18)
- 32 ファラオとエジプトに関する哀歌 (1-16)
エジプトは割礼を受けていない者たちと共に葬られる (17-32)
- 33 見張りの責任 (1-20)
エルサレムの陥落の知らせ (21, 22)
廃虚に住む人たちの言葉 (23-29)
人々は言葉を聞いても行動しない (30-33)
エゼキエルは「情熱的な愛の歌のよう」(32)
「自分たちの中に預言者がいた」(33)
- 34 イスラエルの牧者たちに対する預言 (1-10)
エホバはご自分の羊を世話する (11-31)
「私に仕えるダビデ」が牧者となる (23)
「平和の契約」(25)
- 35 セイルの山々に対する預言 (1-15)
- 36 イスラエルの山々についての預言 (1-15)
イスラエルの復興 (16-38)
「私の偉大な名を、必ず神聖なものとする」(23)
「エデンの園のよう」(35)
- 37 乾いた骨の谷の幻 (1-14)
2本の棒が1つになる (15-28)
1人の王が治める1つの国民 (22)
永遠に続く、平和の契約 (26)
- 38 ゴグがイスラエルを攻撃する (1-16)
エホバはゴグに怒りを表す (17-23)
「彼らは私がエホバであることを知らなければならなくなる」(23)
- 39 ゴグとその兵は滅びる (1-10)
ハモン・ゴグの谷に葬られる (11-20)
イスラエルの復興 (21-29)
- イスラエルに神の聖なる力が注がれる (29)
- 40 エゼキエルは幻の中でイスラエルに連れていかれる (1, 2)
エゼキエルは幻の中で神殿を見る (3, 4)
庭と門 (5-47)
外側の東の門 (6-16)
外側の庭と他の門 (17-26)
内側の庭と門 (27-37)
神殿での奉仕のための食堂 (38-46)
祭壇 (47)
神殿の玄関 (48, 49)
- 41 神殿の聖なる所 (1-4)
壁と小部屋 (5-11)
西の建物 (12)
建物が測られる (13-15前半)
聖なる所の中 (15後半-26)
- 42 2つの食堂群 (1-14)
神殿の四方が測られる (15-20)
- 43 エホバの栄光が神殿に満ちる (1-12)
祭壇 (13-27)
- 44 東の門は閉じられたままになる (1-3)
外国人に関する規定 (4-9)
レビ族と祭司のための規定 (10-31)
- 45 聖なる寄進物と都市 (1-6)
長に割り当てられる土地 (7, 8)
長は正直でなければならない (9-12)
民からの寄進物と、長の役割 (13-25)
- 46 さまざまな捧げ物 (1-15)
長の所有地の相続 (16-18)
捧げ物を煮る場所 (19-24)
- 47 神殿から流れ出る川 (1-12)
水が徐々に深くなる (2-5)
死海の水がきれいになる (8-10)
沼地はきれいにならない (11)
食物と癒やしを与える木 (12)
土地の境界 (13-23)
- 48 土地の分割 (1-29)
都市の12の門 (30-35)
都市の名は「エホバがそこにいる」(35)

1 第30年、第4の月の5日、私は捕囚の民の1人としてケバル川のほとりにいた。すると天が開かれ、私は神の幻を見始めた。**2** それはエホヤキン王が捕囚にされて5年目の、第4の月の5日のことだった。**3** カルデア人の土地、ケバル川のほとりで、エホバが祭司ブジの子エゼキエルに語り掛けた。その土地でエホバの力が彼に働いた。

4 私が見ていると、非常に激しい風が北から吹いてきた。明るい光に包まれた巨大な雲の中で火がきらめいており、火の中には琥珀金のようなものがあつた。**5** 火の中には4つの生き物のようなものがいて、どれも人間のような姿をしていた。**6** それぞれに4つの顔と4つの翼があつた。**7** 足は真っすぐで、足の裏は子牛の足の裏のようであり、磨き上げた銅のように輝いていた。**8** 四方の翼の下には人間の手があつた。4つの生き物それぞれに顔と翼があつたのである。**9** 翼は互いに触れ合っていた。4つの生き物は進む時に向きを変えず、それぞれ真っすぐに前進するのであつた。**10** 4つの生き物の顔については、それぞれに人間の顔があり、右側にはライオンの顔、左側には雄牛の顔、後ろにはワシの顔があつた。**11** 顔はそうになっていて、翼は上に向

第1章
〔例〕王二 24:12,14

〔例〕エゼ 3:15

〔例〕代二 36:9,10

〔例〕エレ 22:25

〔例〕エゼ 3:14

〔例〕王一 19:11

〔例〕出 19:18
詩 97:2,3

〔例〕エゼ 8:2

〔例〕エゼ 10:9,15
啓 4:6

〔例〕イザ 6:2
エゼ 10:20,21
啓 4:8

〔例〕ダニ 10:5,6

〔例〕エゼ 10:11,15

〔例〕サニ 17:10
格 28:1

〔例〕格 14:4

〔例〕ヨブ 39:27,29

〔例〕エゼ 10:14,15
啓 4:7

第2欄

〔例〕イザ 6:2

〔例〕詩 103:20
ヘブ 1:7,14

〔例〕ダニ 7:9,10

〔例〕エゼ 10:9-13
啓 4:7

〔例〕格 15:3
ゼカ 4:10

〔例〕エゼ 10:15-17

かって広げられていた。翼のうち2つは互いに触れ合い、2つは体を覆っていた。

12 4つの生き物はそれぞれ真っすぐに前進し、聖なる力に導かれるままどこにでも行くのであつた。進む時に向きは変えなかった。**13** また、生き物の姿は燃える炭火のようで、たいまつのようなものが生き物の間を行き来していた。たいまつのは火は明るく、火から稲妻が出ていた。**14** 生き物は行ったり戻ったりする時、ひらめく稲妻のように動いた。

15 私がそれらの生き物を見ていると、4つの顔を持つ生き物それぞれのそばに1つの車輪があり、地表に接していた。**16** 車輪の全体はかんらん石のように光っていて、4つとも同じ形だった。その構造は、輪の中に輪があるかのようだった。**17** 車輪は進む時、向きを変えずに4つのどの方向にも行くことができた。**18** 車輪は非常に大きく、圧倒されるほどだった。4つの車輪の外側は全て、たくさんの目で覆われていた。**19** 生き物が進む時には、車輪も一緒に進み、生き物が地上から浮き上がる時には、車輪も浮き上がるのであつた。**20** 生き物は聖なる力に導かれるまま、その力が行く所へどこにでも行つた。車輪も一緒に浮き上がるのは、生き物に働いてい

1:12 *用語集参照。**1:16** *2つの輪が同じ軸を中心にして直角に交わっていたのかもしれない。

1:3 *意味、「神は強くする」。**1:4** *または、「稲妻」。「金と銀の輝く合金」。

る聖なる力が車輪の中にもあったからである。21 生き物が進むと、車輪も進み、生き物が止まると、車輪も止まった。生き物が地上から浮き上がると、車輪も一緒に浮き上がった。生き物に働いている聖なる力が車輪の中

にもあったからである。

22 生き物の頭上には、巨大な台座のようなものがあった。それは壮大な氷の塊のようにきらめき、生き物の頭上に広がっていた。23 その台座の下で、生き物の翼は真つすぐに伸びて触れ合っていた。翼のうち2つは体の片側を覆うためのもので、もう2つは反対側を覆うためのものだった。24 私は生き物の翼の音を聞いた。それは勢いよく流れる水の音のようであり、全能者の声のようだった。生き物が進むと、車勢のような音がした。生き物は止まる時、翼を垂れるのであった。

25 生き物の頭上にある台座の上から声がした。(生き物は止まる時、翼を垂れるのであった。) 26 生き物の頭上にある台座の上には、サファイアの石のようなものがあり、それは王座のようだった。上にあるその王座には、人間のような姿をした方が座っていた。27 その方の腰と思われる所から上には、琥珀金のように光るものが見え、火が出てくるかのようだった。腰から下にも、火のようなものが見え

第1章

(ア) エゼ 10:1

(イ) 詩 29:3
エゼ 43:2
啓 14:2(ウ) 出 24:10
詩 96:6
エゼ 10:1(エ) 王 22:19
詩 99:1
イザ 6:1
啓 4:2(オ) ダニ 7:9
(カ) エゼ 8:2

第2欄

(イ) 申 4:24
詩 104:1,2(イ) 啓 4:3
(ウ) 出 24:16,17
エゼ 8:4

第2章

(イ) ダニ 10:11

(イ) エゼ 3:24

(ウ) 代 2:36,15
エゼ 33:7(イ) イザ 1:4
エレ 16:12(ウ) 申 9:24
詩 78:8
エレ 3:25
使徒 7:51

(イ) エゼ 3:7

(ウ) エゼ 12:2

(イ) エゼ 3:11
エゼ 33:4,15
エゼ 33:33
ヨハ 15:22
使徒 20:26(イ) 王 1:15
ルカ 12:4

(イ) ミカ 7:4

(イ) イザ 51:7

(イ) エレ 1:8
エゼ 3:9

た。その方の周りは光り輝いており、28 雨の日に雲に懸かる虹のようだった。周りの輝かしい光はそのように見え、エホバの栄光のようだった。それを見た時、私はひれ伏した。すると、誰かが話す声が聞こえてきた。

2 その方は私に言った。「人の子よ、立ち上がちなさい。あなたに話すことがある」。2 その方が私に語り掛けると、聖なる力が私に入り、私を立ち上がらせた。それで、私は語りかけている方の言葉に耳を傾けた。

3 その方はこう言った。「人の子よ、私はあなたをイスラエルの民のもとに、私に逆らう反逆的な国民のもとに遣わす。彼らとその父祖たちは、今日までずっと私に背いてきた。4 その反抗的で心が固い民のもとに、私はあなたを遣わす。あなたは彼らに、『主権者である主エホバはこう言っている』と言わなければならない。5 彼らは、聞くとしても、反逆的な民であるために聞かないとしても、自分たちの中に預言者がいたことを知ることになる。

6 人の子よ、彼らや彼らの言葉を恐れてはいけな。あなたはいばらに囲まれ、サソリと共に住んでいるが、彼らの言葉を恐れてはならず、彼らの顔を見ておびえてもいけない。彼らは反

2:1 *エゼキエル書の中で93回出てくる「人の子」という表現の最初の例。2:4 *または、「厚かましく」。2:6 *もしかすると、「人々は強情であなたを刺すだけのようであり」。

ぎやくてき たみ 逆的な民なのである。7 彼らが聞いても聞かなくても、あなたは私の言葉を話さなければならない。彼らは反逆的な民なのである。

8 人の子よ、私が話していることを聞きなさい。この逆的な民のように逆らってはいけない。口を開けて、私が与える物を食べなさい。

9 見ると、私に向かって手が差し出され、その手には巻物があつた。

10 その巻物が私の前で広げられると、表にも裏にも文字が書かれていた。哀歌と悲しみと嘆きが記されていた。

3 その方は私に言った。「人の子よ、目の前にある物を食べなさい。この巻物を食べ、行って、イスラエル国民に話さない。」

2 私が口を開けると、その方は私に巻物を食べさせて、3 こう言った。「人の子よ、私が与えている巻物を食べ、腹を満たしなさい。」私が食べ始めると、それは口の中で蜜のように甘かった。

4 その方は言った。「人の子よ、行って、イスラエル国民に私の言葉を話さない。5 あなたは、分からない言語や知らない言葉を話す人々の所に行くのではなく、イスラエル国民のもとに遣わされるのである。6 あなたは、分からない言語や知らない言葉を話す多くの民の所に行くのではない。理解できない言葉を話す人々のもとにあ

第2章
(例) エレ 1:17

(例) エレ 15:16
啓 10:9,10

(例) エレ 1:9

(例) エゼ 3:1

(例) 啓 5:1

(例) エゼ 19:1

第3章
(例) 啓 10:9,10

(例) 詩 119:103
エレ 15:16
啓 10:9,10

第2欄
(例) ヨナ 3:4,5
マタ 11:21

(例) ルカ 10:16

(例) 出 34:9
エレ 3:3
エレ 5:3

(例) エレ 1:18,19
エレ 15:20
ミカ 3:8

(例) イザ 50:7

(例) エレ 17:18

(例) 王二 24:12,14

(例) エゼ 2:5

(例) エゼ 8:3

(例) エゼ 1:24

(例) エゼ 10:16

(例) エゼ 1:3

なたを遣わしたとすれば、彼らは耳を傾けるだろう。7 しかし、イスラエル国民はあなたの言うことに耳を傾けない。私の言うことに耳を傾けようとし

ないのである。イスラエル国民は皆、頭が固く、心も固い。8 それで私は、あなたの顔を彼らの顔と同じように固くし、あなたの額を彼らの額と同じように固くした。9 あなたの額を打ち石よりも硬いダイヤモンドのようにした。彼らを恐れしたり、彼らの顔を見ておびえたりしてはいけない。彼らは反逆的な民なのである。

10 その方はさらに言った。「人の子よ、私があなたに話す言葉を全て聞き、心に留めなさい。11 行って、捕囚にされている同胞たちに話さない。彼らが聞いても聞かなくても、『主権者である主エホバはこう言っている』と言いなさい。」

12 それから私は聖なる力によって運ばれた。私の後ろでごう音がして、「エホバの場所から、その方がたたえられますように」と言う声が聞こえた。

13 また、生き物の翼が触れ合う音と、そのそばにある車輪の音と、ごう音がした。14 私は悲痛な思いと激しい怒りを抱きながら、聖なる力に運ばれていった。エホバの力が私に強く働いていた。15 こうして私は、ケバル川のほとりのテル・アビブに住んでい

3:12, 14 *もししかすると、「天使」。3:12 *直訳、「エホバの栄光」。3:14 *直訳、「手」。

捕囚^{ほしゅう}の民^{たみ}の所^{ところ}に行き、そこにとどまった。7日の間、放心^か状態でその民^{たみ}の中にいた。

16 7日間の終わりに、エホバが私^{わたし}に語り掛けてこう言った。

17 「人の子よ、私はあなたをイスラエル国民の見張りに任命した。あなたは私の口から出る言葉^{ことば}を聞いたなら、私からの警告^{けいこく}を彼らに伝えなければならぬ。18 私が悪い人に、『あなたは必ず死ぬ』と言うのに、あなたがその人に警告せず、悪い生き方をやめて生き続けられるように諭さないなら、その悪い人は自分の過ちのために死ぬことになるが、私はその人の死の責任^{せきにん}をあなたに問う。19 一方、あなたが悪い人に警告したのに、その人が悪い行いや生き方をやめないなら、その人は自分の過ちのために死ぬが、あなたは自分の命を救うことになる。20 また、正しい人が正しい行いをやめて間違ったことを行う場合、私はその人を倒れさせ、その人は死ぬ。もしあなたがその人に警告しなかったのなら、その人は自分の罪のために死ぬに、正しい行いは思い出されないが、私はその人の死の責任^{せきにん}をあなたに問う。21 他方、あなたが正しい人に人をが罪を犯さないなら、その人は警告を受けたために必ず生き続け、あな

3:18, 20 *または、「その人の血の代価をあなたに求める」。3:20 *または、「不正な」。

第3章

〔エ〕エレ 23:9

〔イ〕イザ 21:8

イザ 62:6

エレ 6:17

〔イ〕イザ 58:1

エゼ 33:7

〔ヨ〕使徒 2:40

テモ 4:16

〔ヨ〕エゼ 33:4

〔ヨ〕エゼ 33:8

〔ヨ〕エゼ 33:9

使徒 18:6

使徒 20:26

〔ヨ〕エゼ 18:24,26

エゼ 33:12,18

〔ヨ〕レビ 19:17

エゼ 33:6

ヘブ 13:17

〔ヨ〕格 17:10

エゼ 33:14,15

ヤコ 5:19,20

第2欄

〔ヨ〕エゼ 1:27,28

〔イ〕エゼ 1:1

〔ヨ〕エゼ 2:2

ダニ 10:19

〔ヨ〕エゼ 24:27

エゼ 33:22

〔ヨ〕マタ 11:15

〔ヨ〕イザ 30:9

第4章

〔ヨ〕王二 24:11

エレ 39:1

〔ヨ〕王二 25:1

〔ヨ〕エレ 6:6

エレ 32:24

〔ヨ〕エゼ 21:22

たは自分の命を救うことになる」。

22 エホバの力がその場所^{ところ}で私に働き、その方は言った。「立て、谷あいの平原^{へいげん}に行きなさい。私はそこであなたと話す」。23 私は立って、谷あいの平原^{へいげん}に行った。見ると、エホバの栄光^{えいこう}が輝^{かがや}いていた。ケバル川のほとりで見た栄光^{えいこう}のようだった。それで私はひれ伏した。24 すると、聖なる力が私に入り、私を立ち上がらせた。神はこう言った。

「あなたの家^{いえ}に入^{はい}って閉^とじこもりなさい。25 人の子よ、人々はあなたを縄^{なわ}で縛^{しば}り、彼らの所^{ところ}に出ていけないようにする。26 私はあなたの舌^{した}を上顎^{あご}に張り付^つかせる。あなたは口が利けなくなり、彼らを戒めることがなくなる。彼らは反逆的な民なのである。27 私はあなたと話すときに、あなたの口^{くち}を開^{ひら}く。あなたは彼らに、『主権者である主エホバはこう言っている』と言わなければならない。聞く人は聞くが、聞かない人は聞かないだろう。彼らは反逆的な民なのである。

4 人の子よ、れんがを1つ持ってきて、自分の前^{まえ}に置きなさい。それに都市^{とし}を、エルサレムの絵^えを彫^ほりなさい。2 そして、それを包圍^{ほうい}し、包圍壁^{ほういへき}を建て、攻めるための土塁^{どるい}を作り、陣営^{じんえい}を敷き、周囲^{しゅうい}に破城槌^{はじょうづい}を配置^{はいち}しなさい。3 また、鉄板^{てつばん}を持^もってきて、それを鉄^{てつ}の壁^{かべ}として自分と都市^{じふん}の間に置^おきなさい。3:22 *直訳、「手」。

き、顔を都市に向けなさい。こうして都市は包囲される。あなたが包囲するのである。これはイスラエル国民に対するしるしである。

4 それから、体の左側を下にして横たわり、身にイスラエル国民の罪を負いなさい。あなたは横たわる日数の間、彼らの罪を負うのである。5 私はあなたに390日を課す。それは彼らの罪の年数に等しい日数であり、あなたはイスラエル国民の罪を負う。6 その期間を全うしなければならぬ。

2度目には、体の右側を下にして横たわり、40日の間ユダ国民の罪を負う。私はあなたに、1年に対して1日、1年に対して1日を与えたのである。7 あなたはエルサレムの包囲に顔をむけ、腕をむき出しにし、都市に対して預言しなければならぬ。

8 私はあなたを縄で縛り、あなたが包囲の期間を全うするまで、体の向きを一方の側から他方の側に変えられないようにする。

9 小麦、大麦、空豆、レンズマメ、キビ、スペルト小麦を1つの器に入れ、それで自分のためにパンを作りなさい。横たわっている日数の間、390日間、それを食べるのである。10 あなたは1日につき230グラムの食物を量って食べる。決まった時間に食べるのである。

4:4 * 直訳、「それ」。エゼキエルの左半身のこと。

第4章

(例) エゼ 12:6
エゼ 24:24

(例) 王二 17:21

(例) 民 14:34
王一 12:19,20

(例) 王二 23:27

(例) エレ 52:4

(例) エゼ 4:5

第2欄

(例) ホセ 9:3

(例) 出 22:31
レビ 7:24
レビ 11:40

(例) 申 14:3
イザ 65:4
イザ 66:17

(例) レビ 26:26
イザ 3:1
エゼ 5:16

(例) 王二 25:3
エレ 37:21
哀 1:11
哀 4:9
哀 5:9,10

(例) エゼ 12:18

11 また、水も量り、0.6リットルを飲む。決まった時間に飲むのである。

12 パンは大麦の丸いパンのようにして食べる。人間の乾いた便を燃料とし、人々の目の前で焼くのである。

13 エホバはさらに言った。「私はイスラエル人を国々に追いやり、そこで彼らはそのように汚れたパンを食べることになる。」

14 それで私は言った。「主権者である主エホバ、それはできません！ 私は若い時から今まで、死んでいた動物や引き裂かれた動物の肉を食べて自分を汚したことはなく、汚れた肉を口にすることもありません。」

15 するとその方は言った。「分かった。人間の便の代わりに牛のふんを使つてよい。その上でパンを焼きなさい」。16 さらにこう言った。「人の子よ、私はエルサレムで食物が手に入らないようにする。人々は大きな不安を抱きながらパンを量って食べ、恐怖におびえながら水を量って飲む。17 こうして、彼らはパンと水に事欠き、動揺して顔を見合わせ、自分たちの過ちのせいで瘦せ衰えていく。

5 人の子よ、鋭い剣を手にとって、理髪師のかみそりのように使い、頭と顎ひげをそりなさい。それからばかりを使って毛を量り、3つに分けなさい。2 3分の1は包囲の期間が終

4:16 * 直訳、「パンの棒を折る」。パンを掛けておくために使われた棒のことかもしれない。

わたしたしに都市の中で燃やし、別の3分の1は都市の周囲で剣で打ち、最後の3分の1は風に散らさない。私は剣を抜いてその後を追う。

3 また、あなたはその毛を少し取っておいて、服のひだに包まなければならない。4 さらにその毛をもういくらか取り、火の中に投げ込んで、焼き尽くさない。そこから火がイスラエル国民全体に広がる。

5 主権者である主エホバはこう言う。『これがエルサレムである。私はこの都市を異国の人々のただ中に置き、周囲を国々が取り囲むようにした。』

6 この都市は私の法規や法令に背き、周囲の国や土地の人々より悪い行いをするようになった。人々は私の法規を退け、私の法令に従って歩まなかったのである。』

7 それで、主権者である主エホバはこう言う。『あなたたちは周囲の国の人々よりも厄介で、私の法令に従って歩まず、私の法規を守らなかった。かえって、周囲の国々の法規に従った。そのため、8 主権者である主エホバはこう言う。「都市よ、私はあなたに敵対している。異国の人々の目の前で、あなたのただ中で私が刑を執行する。9 あなたのあらゆる忌まわしい行いのゆえに、私は、これまで一度もしたことがなく二度としないようなことを、あなたの中で行う。』

5:3 *または、「裾」。

第5章

(例) エレ 9:21

エゼ 4:8

(例) エレ 15:2

(例) レビ 26:33

エゼ 5:12

(例) エレ 4:4

(例) エゼ 16:46,47

(例) 王二 21:9,11

エレ 2:11

(例) エレ 21:5

エゼ 15:7

(例) 申 29:22,24

王一 9:8

哀 2:15

(例) 哀 4:6

ダニ 9:12

第2欄

(例) レビ 26:29

エレ 19:9

哀 4:10

(例) レビ 26:33

申 28:64

(例) レビ 20:3

王二 21:1,7

代二 36:14

エレ 32:34

(例) 哀 2:21

エゼ 7:4

(例) エレ 14:12

エレ 15:2

エレ 21:9

(例) レビ 26:33

エレ 9:16

エレ 42:16

(例) エゼ 16:42

(例) 出 20:3,5

出 34:14

申 6:15

(例) 申 28:37

王一 9:7

ネヘ 2:17

(例) 詩 79:4

エレ 24:9

哀 2:15

哀 3:61,62

10 そのため、あなたの中で親が子を食べ、子が親を食べる。私はあなたの中で刑を執行し、残っている人を皆あらゆる方向に散らす。』

11 主権者である主エホバはこう宣言する。『私は、生きている私自身に懸けて誓う。あなたが汚らしい偶像やあらゆる忌まわしい行いによって私の聖なる所を汚したので、私はあなたを退ける。私の目はあなたを惜しまず、私は全く同情しない。12 あなたの3分の1は疫病で死ぬか、飢餓によってあなたの中で命を落とす。別の3分の1はあなたの周囲で剣によって倒れる。そして最後の3分の1を私はあらゆる方向に散らし、剣を抜いてその後を追う。13 こうして私の怒りは収まり、人々に対する憤りは静まり、私は気が治まる。私が彼らへの憤りを表し終える時、彼らは、私エホバが全くの専心をもって語ったことを知らなければならなくなる。』

14 私はあなたを廃虚とし、周囲の国々の中で、また通り掛かる人全てから見て、非難の的とする。15 私が怒りと憤りと激しい処罰をもってあなたに刑を執行する時、あなたは周囲の国の人々の非難と軽蔑の的となり、彼らに警告と恐怖を与える存在となる。私エホバが語ったのである。』

16 私は人々を滅ぼすために、飢餓

5:10, 12 *直訳、「風」。5:11 *または、「減少させる」。5:12 *または、「病氣」。

という矢^やを放^{はな}つ。命^{いのち}を奪^{うば}うその矢^やに
よってあなたは破滅^{はめつ}する。私は食物^{しょくもつ}
が手^てに入^{はい}らないようにし、あなたの飢^う
餓^がを一層^{いっそう}ひどくする。17 私は飢餓^きと
どう猛^{もう}な野獣^{やじゅう}を送^{おく}り込み、それらはあ
なたから子供^{こども}たちを奪^{うば}う。あなたは疫^{えき}
病^{びょう}と流血^{りゅうけつ}に苦^{くる}しみ、剣^{つるぎ}によって倒^{たお}れ
ることになる。私エホバが語^{かた}ったので
ある』。

6 エホバが再び私^{わたし}に語^{かた}り掛^かけてこ
う言^いった。2 「人^{ひと}の子^こよ、顔^{かお}を
イスラエルの山^{やま}々^{やま}の方^{ほう}に向^むけて、それ
らに對^{たい}して預^{よげん}言^{ごん}しなさい。3 こ^こう言^い
わなければならぬ。『イスラエルの
山^{やま}々^{やま}よ、主^{しゅ}権^{けん}者^{しゃ}である主^{しゅ}エホバの言^{こと}
葉^はを聞^ききなさい。主^{しゅ}権^{けん}者^{しゃ}である主^{しゅ}エホ
バは、山^{やま}や丘^{おか}や川^{かわ}や谷^{たに}にこ^こう言^いって
いる。「私^{わたし}はあなたたちに剣^{つるぎ}を差^さ
し向^むけ、あなたたちの高^{たか}い場^{ばしょ}所^{しよ}を滅^めぼ
す。4 祭^{さい}壇^{だん}は破^は壊^{かい}され、香^{かう}台^{だい}も壊^{こわ}
される。私^{わたし}は、殺^{ころ}された人^{ひと}たちを、あな
たたちの汚^{けが}らわしい偶^{ぐう}像^{ざう}の前^{まえ}に投^なげ
出す。5 イスラエルの民^{たみ}の死^し体^{たい}を彼^{かれ}
らの汚^{けが}らわしい偶^{ぐう}像^{ざう}の前^{まえ}に投^なげ出し、
あなたたちの骨^{ほね}を祭^{さい}壇^{だん}の周^{しゅう}圍^いにまき
散^ちらす。6 あなたたちが住^すむ全^{ぜん}ての
場^ば所^{しよ}で、町^{まち}は滅^めぼされ、高^{たか}い場^ば所^{しよ}は破^は
壊^{かい}されて廢^{はい}虚^{きょ}と化^かす。祭^{さい}壇^{だん}は破^は壊^{かい}され
て粉^{こな}々^{ごな}になり、汚^{けが}らわしい偶^{ぐう}像^{ざう}は滅^めび、

5:16 *直訳、「パンの棒を折り」。パンを掛けて
おくために使われた棒のことかもしれない。6:
4 *ヘブライ語で「ふん」を意味する言葉と関連
があると考えられる、嫌悪を表す表現。

第5章

(例) 申 32:23

(例) レビ 26:26

エゼ 4:16

(例) レビ 26:22

申 32:24

エゼ 14:21

エゼ 33:27

(例) エゼ 21:3

第6章

(例) イザ 27:9

(例) レビ 26:30

(例) エレ 8:1,2

(例) エレ 2:15

エレ 32:29

ミカ 3:12

(例) エゼ 16:39

第2欄

(例) エレ 14:18

(例) エゼ 7:4

(例) エレ 30:10

エレ 44:28

エゼ 14:22

(例) 申 30:1,2

詩 137:1

(例) 詩 78:40,41

イザ 63:10

(例) 民 15:39

(例) エゼ 20:43

エゼ 36:31

(例) エゼ 33:29

ダニ 9:12

ゼカ 1:6

(例) エレ 15:2

エレ 16:4

エゼ 5:12

(例) エゼ 5:13

こうだい き たお
香^{かう}台^{だい}は切^きり倒^{たお}され、あなたたちが作^{つく}
た物^{もの}は一掃^{いっそう}される。7 殺^{ころ}された人^{ひと}
たちはあなたたちの中で倒^{たお}れ、あなたた
ちは私^{わたし}がエホバであることを知らなけ
ればならぬ。

8 しかし、私^{わたし}はある人^{ひと}たちを残^{のこ}して
おく。あなたたちのうちのある人^{ひと}たち
は剣^{つるぎ}から逃^{のが}れて、国^{くに}々に追^おいやられ、
さまざまな土^ど地^ちに散^ちらされる。9 逃^{のが}
れた人^{ひと}たちは、捕^と虜^{りょ}として連^つれていか
れる国^{くに}々^ごで私^{わたし}を思^{おも}い出^だし、私^{わたし}を悲^ひ嘆^{たん}さ
せたことを思^{おも}い知^しる。私^{わたし}から離^{はな}れて
いっただ彼^{かれ}らの不^ふ忠^{ちゅう}実^{じつ}な心^{こころ}と、汚^{けが}らわ
しい偶^{ぐう}像^{ざう}を慕^もって見^み続^{つづ}ける目^めのゆえに、
私^{わたし}は悲^ひ嘆^{たん}したのである。彼^{かれ}らは自分^{じぶん}た
ちが行^{おこな}ったあ^あらゆる悪^{わる}い事^{こと}柄^{がら}や忌^いま
わしい事^{こと}柄^{がら}を恥^はじ、嫌^{きら}悪^{あく}するようにな
る。10 彼^{かれ}らは、私^{わたし}がエホバであるこ
とと、彼^{かれ}らに災^{わざ}いをもたらすと告^つげた
のが口^{くち}先^{さき}だけではな^ないことを、知^しらな
ければならぬ。』

11 主^{しゅ}権^{けん}者^{しゃ}である主^{しゅ}エホバはこ^こ
う言^いう。『手^てをたき、足^{あし}を踏^ふみ鳴^ならし
て、イスラエル国民^{こくみん}が行^{おこな}ったあ^あらゆる
悪^{わる}い事^{こと}柄^{がら}や忌^いまわしい事^{こと}柄^{がら}を嘆^{なげ}きな
さい。彼^{かれ}らは剣^{つるぎ}と飢^き餓^がと疫^{えき}病^{びょう}によっ
て倒^{たお}れることになる。12 遠^{とほ}くにいる人^{ひと}
は疫^{えき}病^{びょう}によっ^して死^しに、近^{ちか}くにいる人^{ひと}
は飢^き餓^がによっ^して死^しぬ。私^{わたし}は彼^{かれ}らに
對^{たい}して憤^{いきどお}りを十^{じゅう}分^{ぶん}に表^{あらわ}す。13 殺^{ころ}

6:9 *または、「不道德な」、「ふしだらな」。*ま
たは、「に不道德に従い続ける」。

れた人たちは、汚らしい偶像の間、
祭壇の周囲、全ての高い丘の上、全ての
山の頂、全ての生い茂った木の下、
汚らしい偶像をなだめるための香
りの良い捧げ物を捧げた大木の枝の
下に、横たわることになる。その時、あ
なたたちは私がエホバであることを
知らなければならなくなる。14 私
は人々に向かって手を伸ばし、土地を
荒廃させる。彼らが住む場所は皆、
ディブラの近くの荒野よりも荒廃する。
こうして、彼らは私がエホバであるこ
とを知らなければならなくなる。』

7 エホバが再び私に語り掛けてこ
う言った。2 「人の子よ、主権
者である主エホバはイスラエルの土
地に向かってこう言う。『終わりが来
る！ この土地の隅々にまで終わりが来
ている。3 今あなたに終わりが来
ている。私はあなたに怒りを表し、あ
なたの歩みに応じた裁きを下し、あら
ゆる忌まわしい行いの責任を問う。
4 私の目はあなたを惜しまず、私は同
情しない。あなたは自分の歩みの報
いを受け、忌まわしい行いの結果に苦
しみ。あなたたちは私がエホバである
ことを知らなければならなくなる。』

5 主権者である主エホバはこう言
う。『災いが来る。類を見ない災いで
ある。6 終わりが来る。終わりは来
て、あなたに襲い掛かる。それは来る。

6:13 *または、「心地よい香り」。

第6章
(例) エレ 8:2

(例) エゼ 20:28

(例) エゼ 12:15

第7章
(例) エゼ 5:11

(例) エレ 16:18
エゼ 16:43

(例) エゼ 6:13

(例) 王二 21:12
ダニ 9:12

第2欄
(例) ゼバ 1:14

(例) 代二 34:21

(例) エレ 7:20
エゼ 5:13

(例) エレ 13:14

(例) イザ 66:6
エゼ 33:29

(例) ゼバ 1:14

(例) イザ 59:6
エレ 6:7
ミカ 6:12

(例) ゼバ 1:18

(例) エレ 4:5

7 この土地の住民よ、あなたの番が
来た。その時は来る。その日は近い。
混乱があり、山々で歓喜の声は聞か
れない。

8 私は間もなくあなたに激しい怒
りを浴びせ、あなたへの怒りを十分
に表す。あなたの歩みに応じた裁きを
下し、あらゆる忌まわしい行いの責任
を問う。9 私の目はあなたを惜しま
ず、私は同情しない。あなたは自分の
歩みの報いを受け、忌まわしい行いの
結果に苦しむ。あなたたちは、私エホ
バがあなたたちを打っていることを知
らなければならなくなる。

10 その日が来る！ それは来る！
あなたの番が来た。つえに花が咲
き、うぬべれが芽生えた。11 暴力
が高じて邪悪のつえとなった。人々
も、彼らの富も、群衆も、名声も残らな
い。12 その時は来る。その日はやっ
て来る。買う人は喜んでではなく、売る
人は悲しんでではない。群衆全てに
憤りが表されるからである。13 土地
を売った人は、たとえ命拾いしたとして
も、そこに戻ることはない。預言は群衆
全体に対するものだからである。誰も
戻らず、過ちのせいで誰も生き延びるこ
とはない。

14 人々はラッパを吹き、皆が用意
を整えたが、誰も戦いに行かない。群

7:7, 10 *もしかすると、「花輪」。7:12 *全
ての人が滅ぼされるので、土地を買う人も
売る人も利益を得られない、ということ。
7:13 *または、「幻」。
*もしかすると、「誰も悪巧みによって」。

しゅうすべ わたし いきどお あらわ
衆全てに私の 憤りが表されるからで
ある。15 外には剣があり、中には
疫病と飢餓がある。野原にいる人は
剣によって死に、都市の中にいる人は
飢餓と疫病によって息絶える。16 生
き延びて逃れた人は山々に行き、谷
間にいるハトのように、それぞれ自分
の過ちを嘆く。17 全ての手は力な
く垂れ下がり、全ての膝から水が滴る。
18 彼らは粗布をまとい、震えに襲わ
れた。皆が恥じるようになり、どの頭も
はげになる。

19 人々は自分たちの銀を通りに
投げ捨て、自分たちの金を憎む。その
銀も金も、エホバの激怒の日に彼らを
救うことはできない。彼らは満足でき
ず、自分たちの腹を満たすこともできな
い。それは彼らにとって過ちのもとと
なったからである。20 彼らは美しい
装飾品を誇り、それらで忌まわしい像
を、汚らしい偶像を作った。そのた
め、私は彼らがそれを憎むようにする。
21 私はそれを略奪品として外国人の
手に渡し、戦利品として地上の邪悪
な者たちに渡す。その者たちはそれを
汚す。

22 私は人々から顔を背け、敵たち
は私のひそかな場所を汚す。強盗が
そこに入って汚す。

7:17 *恐怖のあまり失禁すること。7:18 *悲しんで頭をそるということ。7:19 *彼らの銀や金のこと。7:20 *金や銀の品々のこと。
*偶像を作るのに使われた銀や金のこと。7:22 *エホバの聖なる所の至聖所を指していると思わ
れる。

第7章

(ア) エレ 7:20
エレ 12:12
(イ) レビ 26:25
(ロ) エレ 14:18
エゼ 5:12
(ロ) イザ 59:11
(ロ) エゼ 21:7
(ロ) イザ 3:24
(ロ) イザ 22:12
(ロ) 格 11:4
ゼバ 1:18
(イ) 王二 21:1,7
エレ 7:30

(ロ) エレ 18:17
(イ) 代二 36:19
哀 1:10

第2欄

(ア) エレ 39:6,7
哀 3:7
(イ) 王二 21:16
王二 24:3,4
エレ 2:34
エゼ 9:9
(ロ) イザ 59:6
ミカ 2:2

(ロ) エレ 6:12
哀 5:2
(ロ) エゼ 21:2
(イ) イザ 57:21
エレ 8:15
(ロ) エレ 21:1,2
エレ 37:17

(イ) 詩 74:9
哀 2:9
エゼ 20:3

(ロ) エレ 52:10

(イ) エゼ 6:13

第8章

(イ) ダニ 7:9
(ロ) エゼ 1:4,27

23 鎖を作りなさい。この土地はゆ
がんだ裁きによる流血に満ち、都市は
暴力に満ちているからである。24 私
は国々の中で最悪の者たちをこさせ、
彼らは人々の家を手に入れる。私は
強力な人たちの誇りを奪い去り、彼
らの聖なる所は汚される。25 彼ら
は苦悩する時、平和を求めるが、どこ
にもない。26 災難が相次いで降り
掛かり、次々に知らせが届き、人々は
預言者に預言を求める。祭司は律法
を教えることができず、長老は助言を
与えることができない。27 王は嘆
き悲しみ、長は絶望に陥り、民は恐怖
で手が震える。私は彼らの行いに応じ
て彼らを扱い、彼らが裁いたように彼
らを裁く。彼らは私がエホバであるこ
とを知らなければならなくなる。』

8 第6年、第6の月の5日、私は自
分の家で座っており、ユダの長老
たちが私の前に座っていた。すると、
主権者である主エホバの力が私に
働いた。2 見てみると、火のように
見える方がいた。その方の腰と思わ
れる所から下には火があり、腰から上
は琥珀金のように輝いていた。3 そ
この方は手のようなものを伸ばし、私の
髪の毛の房をつかんだ。すると、神か
らの幻の中で、私は聖なる力によって
運ばれ、地と天の間を通してエルサレ

7:23 *捕らえて縛るための鎖のこと。7:26 *ま
たは、「幻」。*または、「指示を与える」。7:27
*または、「荒廃を身にまとい」。8:2 *金と銀の
輝く合金。8:3 *もしかすると、「天使」。

ムに連れてこられた。そこは北を向いて、うちがわもんが、いぐちしつと、てい内側の門の入り口で、嫉妬をかき立てる偶像があった。4 見ると、イスラエルの神の栄光が輝いていた。それは私が谷あいの平原で見たものに似ていた。

5 その方は私に、「人の子よ、どうか目を上げて、北の方を見てほしい」と言った。それで私が北の方を見ると、祭壇の門の北の入り口の所に、嫉妬をかき立てる偶像があった。6 その方は言った。「人の子よ、ここでイスラエル国民が行っている、ひどく忌まわしい事柄が見えるか。そのために私は聖なる所から遠く離れている。しかし、あなたももっとひどく忌まわしい事柄を見る。」

7 それからその方は私を庭の入り口に連れてきた。見ると、壁に穴があった。8 その方は、「人の子よ、どうか壁の穴を掘り上げてほしい」と言った。それで壁の穴を掘り広げると、入り口が見えた。9 その方は、「入って行って、人々がここで行っている邪悪で忌まわしい事柄を見なさい」と言った。10 それで入って行って見ると、地面を動く生き物と忌まわしい動物のさまざまな像、イスラエル国民のあらゆる汚らしい偶像があった。それらは周囲の壁に彫られていた。

11 それらの前にイスラエル国民の

8:10 *ヘブライ語で「ふん」を意味する言葉と関連があると考えられる、嫌悪を表す表現。

第8章

(例) エレ 20:2
エゼ 9:2

(例) 申 32:16

(例) 出 40:34

(例) エゼ 1:27, 28

(例) 代二 36:14

(例) エレ 26:4, 6

(例) レビ 11:10

(例) 出 20:4, 5

第2欄

(例) 王二 22:3, 4
王二 25:22
エレ 26:24

(例) エゼ 16:17, 18

(例) イザ 29:15
エゼ 9:9

(例) 代二 36:14

(例) 代二 4:9

(例) 申 4:19
王二 17:16
エレ 8:1, 2

(例) 王二 21:16
エレ 19:4
エゼ 9:9

長老70人が立っており、その中にシャファンの子ヤアザヌヤもいた。それぞれが香炉を持ち、香の煙が立ち上っていた。12 その方は言った。「人の子よ、イスラエル国民の長老たちが暗闇の中で、それぞれ自分の偶像が飾られている奥の部屋で行っていることが見えるか。彼らは、『エホバは私たちを見ていない。エホバはこの土地を捨てた』と言っている。」

13 その方は続けて、「あなたは、彼らが行っている、もっとひどく忌まわしい事柄を見る」と言った。14 そして、私をエホバの家の北の門の入り口に連れてきた。見ると、女性たちが座っていて、タンムズという神のために泣いていた。

15 その方はさらに言った。「人の子よ、これが見えるか。あなたはこれよりももっとひどく忌まわしい事柄を見る。」16 そして、私をエホバの家の内側の庭に連れてきた。すると、エホバの神殿の入り口で、玄関と祭壇のあいだに、25人ほどの男性がエホバの神殿に背を向け、顔を東に向けて、東にある太陽にひれ伏していた。

17 その方は言った。「人の子よ、これが見えるか。ユダ国民にとって、こうした忌まわしい事柄を行い、この土地を暴力で満ちし、私を怒らせ続けるのは、ささいなことなのだろうか。彼ら

8:12 *または、「自分の飾り物がある」。

わたし はな む えだ* つ だ
は私の鼻に向かって枝を突き出してい
る。18 それで私は激しい怒りのうち
に行動する。私の目は彼らを惜しま
ず、私は同情しない。彼らが私の耳に
向かって大声で叫んでも、私は聞か
ない。

9 それからその方は、私に聞こえる
ように大声でこう言った。「この
都市を処罰する者たちよ、それぞれ破
壊するための武器を持って、集まりな
さい!」

2 見ると、北を向いている上の門の
方から6人の者が、それぞれ打ち砕く
ための武器を持ってやって来た。彼ら
と共に、亜麻布の服を着て腰に秘書官
のインク入れを着けた者がいた。彼
らは入ってきて、銅の祭壇のそばに
立った。

3 すると、ケルブの上で輝いていた、
イスラエルの神の栄光が、昇って家
の戸口の所に移った。その方は、亜麻
布の服を着て腰に秘書官のインク
入れを着けた者に呼び掛け始めた。
4 エホバはその者に言った。「この都
市、エルサレムの中を巡りなさい。そ
して、この都市の中で行われているあ
らゆる忌まわしい事柄のために嘆き
悲しんでいる人たちの額に、印を付け
なさい。」

5 またその方は、私に聞こえるよう
に他の者たちにこう言った。「彼の後

8:17 *偶像崇拜に使う枝のことと思われる。
9:2 *または、「書記」。9:3 *神殿のこと。

第8章

(例) エゼ 5:11
エゼ 7:9

(例) イザ 1:15
ミカ 3:4

第9章

(例) エレ 20:2
エゼ 8:3

(例) 代二 4:1

(例) エゼ 3:23
エゼ 8:3,4
エゼ 11:22

(例) エゼ 10:4

(例) エゼ 5:11

(例) 詩 119:53
ペ二 2:7,8

第2欄

(例) 出 32:26,27
エゼ 7:4

(例) 代二 36:17

(例) 出 12:23
ヨシ 2:17-19
啓 9:4

(例) 王二 25:18,21
エレ 25:29

(例) エゼ 8:11

(例) 哀 2:21

(例) 創 18:23
エゼ 11:13

(例) 代二 36:14
イザ 1:4

(例) 王二 21:16
エレ 2:34
マタ 23:30

(例) エゼ 22:29

(例) イザ 29:15
エゼ 8:12

(例) エゼ 5:11
エゼ 7:4

に付いて都市の中を巡り、人々を討ち
なさい。あなたたちの目は彼らを惜し
んではならず、あなたたちは一切同情
してはならない。6 老人も、若者も、
乙女も、子供も、女性も、全て殺さな
ければならない。ただし、印がある
人には近づいてはならない。私の聖
なる所から始めなさい。それで彼ら
は家の前にいた長老たちから始めた。

7 その方はさらに彼らに言った。「家
を汚し、庭を死体でいっぱいにしな
さい。行きなさい!」それで彼らは出て
いき、都市の中で人々を討った。

8 彼らが人々を討っている間、1人
残された私は、ひれ伏して叫んだ。
「ああ、主権者である主エホバ! あな
たはエルサレムに激しい怒りを浴び
せ、イスラエルの残っている人たちを
皆滅ぼされるのですか。」

9 すると、その方は言った。「イスラ
エルとユダの国民の過ちは非常に大
きい。この土地は流血に満ち、この都
市は腐敗に満ちている。彼らは、『エ
ホバはこの土地を捨てた。エホバは
見ていない』と言っている。10 それ
で、私の目は彼らを惜しまず、私は同
情しない。彼らに自分たちの歩みの
報いを受けさせる。」

11 私が見ていると、亜麻布の服を
着て腰にインク入れを着けた者が
戻ってきて、「私はあなたから命じら
れた通りにしました」と報告した。

10 さらに^み見ていると、ケルブ^たは^{ずじょう}ちの頭上^{たいざき}にある台座^{うえ}の上に、
サファイアの石のようなものが現れた。
それは王座のように見えた。**2** 神は^{あまぬの}ふく^きもの^のに^いしゃりん^の亜麻布の服を着た者に言った。「車輪^{あいだ}の間、ケルブの下に入り、ケルブの間^{すみ}にある炭火^{りょうて}を両手に満たし、都市の上^みにまき散らしなさい」。それで私が^{わたし}見^みていると、その者は入っていった。

3 その者が入った時、ケルブたちは^{いへき}家の右側^{みぎがわ}に立っており、雲が内側の庭^{にわ}に満ちていた。**4** そして、エホバの^{えいこう}栄光^{けいこう}がケルブたちから昇って家の戸^{かど}口の所に移り、家は徐々に雲で満たされ、庭はエホバの栄光の輝きで満ちた。**5** ケルブたちの翼の音が、外側の庭にまで聞こえた。それは全能の神の声のようだった。

6 神は亜麻布の服を着た者に、「車輪の間、ケルブの間から火を持っていきなさい」と命じ、その者は入っていった。車輪のそばに立った。**7** ケルブの1人が、ケルブたちの間にあった火に向かって手を伸ばし、火をいくらか取って、亜麻布の服を着た者の両手に置いた。その者は火を持って出ていった。**8** ケルブたちの翼の下には、人間の手のようなものがあつた。

9 私が見ていると、ケルブたちのそばに4つの車輪があつた。それぞれのケルブのそばに1つの車輪があり、かんらん石のように光っていた。**10** 車

10:1 *または、「大空」。10:3 *神殿のこと。

第10章

【イザ6:1
エゼ1:22,26
啓4:2,3

【イ】エゼ9:2

【ウ】エゼ1:16

【エ】エゼ1:13

【ヨ】王二25:8,9

【ヨ】エゼ1:27,28
エゼ9:3

【ヨ】出40:35
代二5:13
エゼ43:5

【ヨ】詩29:3,4
エゼ1:24
ヨハ12:28,29

【ヨ】エゼ1:13

【ヨ】エゼ9:2

【ヨ】エゼ1:8

【ヨ】エゼ1:15-18

第2欄

【ヨ】啓4:6,8

【イ】エゼ1:6,10
啓4:7

【ヨ】エゼ1:3

【ヨ】エゼ1:19-21

【ヨ】エゼ1:27,28

【ヨ】エゼ9:3
エゼ10:4

輪^{りん}は4つとも同じ形をしていて、輪^わの中^{なか}に輪^わがあるかのようだった。**11** 車輪^{りん}は進む時、向きを変えずに4つのど^{ほうこう}の方向^いにも行くことができた。ケルブの頭^{あたま}が向いている方へ、向きを変えずに行くのである。**12** ケルブたちの全身^{ぜんしん}、その背中^{せなか}と手^てと翼^{つばさ}、また4人のケルブのそばにある車輪^{しゃりん}は、たくさんの目^めで覆われていた。**13** また、車輪^{しゃりん}に向かって「車輪よ!」と呼び掛ける声^{こえ}が聞こえた。

14 ケルブにはそれぞれ4つの顔^{かお}があつた。1つ目はケルブの顔^{かお}、2つ目は人間の顔^{にんげん}、3つ目はライオンの顔^{かお}、4つ目はワシの顔^めだった。

15 ケルブたちは昇っていくのであつた。それは私がケバル川^{がわ}で見たのと同じ生き物だった。**16** ケルブが進むと、車輪^{しゃりん}も一緒に進み、ケルブが翼^{つばさ}を広げて地上^{ちじょう}から高く舞い上がる、車輪^{しゃりん}も向きを変えず、そのそばを離れなかつた。**17** ケルブが止まると、車輪^{しゃりん}も止まり、ケルブが昇ると、車輪^{しゃりん}も一緒に昇った。生き物に働いている聖なる力が車輪の中にもあつたからである。

18 エホバの栄光^{えいこう}は、家の戸口^{いへぐち}の所から離れ、ケルブたちの上にとどまった。**19** 見ていると、ケルブたちは翼^{つばさ}を広げて地上^{ちじょう}から昇り、車輪^{しゃりん}も一緒に昇っていった。ケルブたちはエホバの家の東の門^{いへひがしもん}の入り口^{いぐち}で止まり、イ

スラエルの神の栄光がその上で輝いていた。

20 これは、私がケバル川で、イスラエルの神の下にいるのを見た生き物であり、私はそれがケルブであることを知った。**21** ケルブは4人とも4つの顔と4つの翼があり、翼の下には人間の手のようなものがあつた。**22** その顔は、ケバル川のほとりで見たのと同じだった。ケルブたちはそれぞれ真っすぐに前進するのであつた。

11 それから私は聖なる力によって持ち上げられ、エホバの家の東の門に連れてこられた。見ると、門の入り口に25人の男性がいて、その中にアズルの子ヤアザヌヤとベナヤの子ペラトヤがいた。民の高官たちである。**2** 神は私に言った。「人の子よ、この人たちはこの都市で悪事をたくらみ、人々に良くないことを勧めている。**3** 彼らはこう言っている。『今は自分たちの家を建てる時ではないだろうか。この都市は鍋で、私たちは肉だ』。

4 彼らに対して預言しなさい。人の子よ、預言しなさい。

5 するとエホバの聖なる力が私に注がれ、その方は私に言った。「こう言いなさい。『エホバはこう言っている。『イスラエル国民よ、あなたたちは

11:1 *もしかすると、「天使」。**11:2** *または、「に対して」。**11:3** *エルサレムのこと。ユダヤ人はこの都市の中にいれば安全だと考えていた。

第10章
(例) エゼ 11:22

(イ) エゼ 1:1,22

(例) エゼ 1:8

(ロ) エゼ 1:10

(例) エゼ 1:12
エゼ 10:11

第11章

(例) エゼ 10:19

(例) イザ 1:23
エゼ 22:27

(例) エゼ 12:27

(例) エゼ 24:3

(ロ) エゼ 3:17
エゼ 20:46
エゼ 21:2

(例) ペ二 1:21

第2欄

(例) エゼ 7:23
エゼ 22:3,4

(イ) エゼ 24:6

(例) エレ 38:19

(ロ) エレ 39:6,7
エレ 52:24-27

(例) 王二 25:18-21
代二 36:17

(例) 王二 14:25
エレ 52:27

(例) エゼ 6:13

(例) エズ 9:7
ネへ 9:34

(例) 申 12:29-31
代二 28:1,3
詩 106:34-36

(ロ) エゼ 9:8

正しいことを言った。私はあなたたちの考えを知っている。**6** あなたたちのせいで、この都市で多くの人が死に、通りは死人で埋め尽くされている』。』**7** 「それで、主権者である主エホバはこう言う。『あなたたちが都市にばらまいた死体こそ肉であり、都市は鍋である。しかし、あなたたちはそこから取り出される』。

8 「主権者である主エホバはこう宣言する。『あなたたちが恐れている剣を、私はあなたたちに差し向ける。**9** 私はあなたたちを都市の中から連れ出して外国人の手に渡し、刑を執行する。**10** あなたたちは剣によって倒れる。私はイスラエルの境界で処罰を下し、あなたたちは私がエホバであることを知らなければならなくなる。

11 この都市があなたたちにとって鍋になることはなく、あなたたちがその中の肉になることもない。私はイスラエルの境界で処罰を下し、**12** あなたたちは私がエホバであることを知らなければならなくなる。私の規定に従って歩まず、私の法規を守らず、かえって周りの国々の法規に従って行動したからである』。

13 私が預言するとすぐに、ベナヤの子ペラトヤが死んだ。それで私はひれ伏し、大声で叫んだ。「ああ、主権者である主エホバ! あなたはイスラエルの残っている人たちを根絶やしにされるのですか」。

14 エホバが再び私に語り掛けてこう言った。15「人の子よ、あなたの兄弟たちのうち、買い戻す権利がある人たち、またイスラエル国民全体は、エルサレムの住民からこう言われた。『エホバから遠く離れていなさい。この土地は私たちのものだ。所有地として私たちに与えられたのだ』。16 それで、こう言いなさい。『主権者である主エホバはこう言っている。『わたしは彼らを遠くの国々に追いやり、さまざまな土地に散らしたが、それでも、彼らが行った国々で、私はしばらくの間彼らの聖なる所となる。』』

17 また、こう言いなさい。『主権者である主エホバはこう言っている。『私はあなたたちを、さまざまな民の中から、ちぎられていた国々から集め、イスラエルの土地を与える。18 人々はそのこころに、汚らわしい物や忌まわしい行いを全て取り除く。19 私は、彼らに一致した心を与え、新たな精神を持たせる。彼らの体から石のような心を取り除き、柔らかい心を与える。20 それは、彼らが私の法令に従って歩み、私の法規を守るようになるためである。こうして彼らは私の民となり、私は彼らの神となる。』』

21 『しかし、汚らわしい物や忌まわしい行いに引き続き心を向けている人たちは、自分の歩みの報いを受け

11:19 * 直訳、「1つの」。「神の導きに敏感に應じる心のこと。」

第11章

(例) 王二 24:14,15
エレ 24:5

(例) レビ 26:44

(例) イザ 11:11,12
エレ 30:10,11
エゼ 34:13,14
アモ 9:14,15

(例) エゼ 37:23

(例) エレ 24:7
エレ 31:33
エレ 32:39

(例) 詩 51:10
エゼ 36:31

(例) ゼカ 7:12

(例) エゼ 36:26

第2欄

(例) エゼ 1:19

(例) エゼ 10:18,19

(例) エゼ 9:3
エゼ 10:4

(例) ゼカ 14:4

第12章

(例) イザ 6:9,10
エレ 5:21
ロマ 11:8

(例) エゼ 2:3,5

(例) 代二 36:20
エレ 52:10,11

ることになる」と、主権者である主エホバは宣言する。』。

22 その時、ケルブたちが翼を広げ、車輪がすぐそばにあった。イスラエルの神の栄光がその上で輝いていた。

23 そしてエホバの栄光は都市からのぼり、都市の東にある山の上にとどまった。24 それから私は聖なる力によって持ち上げられ、カルデアにいる捕囚の民の所に連れてこられた。それは神の聖なる力による幻の中でのことだった。そして私が見ていた幻は消え去った。25 私はエホバが見せてくださった全ての事柄を捕囚の民に話し始めた。

12 エホバが再び私に語り掛けてこう言った。2「人の子よ、あなたは反逆的な民の中に住んでいる。彼らは目があるのに見ず、耳があるのに聞かない。反逆的な民だからである。3 人の子よ、捕囚の身となるために荷物をまとめなさい。そして、昼間、人々の目の前で、捕囚の身となりなさい。人々の目の前で、捕囚の身として、自分の家から別の場所に行くのである。彼らは反逆的な民ではあるが、注目するかもしれない。4 昼間、人々の目の前で、捕囚の身となるためにまとめた荷物を外に出しなさい。そして夕方、人々の目の前で、捕らわれて連れていかれる人のように去りなさい。

11:24 * もしかすると、「天使」。

5 人々の目の前で壁に穴を開け、その穴を通して荷物を持ち出さない。6 人々の目の前で荷物を肩に載せ、暗闇の中で持ち出すように。顔を覆って、地面が見えないようにしない。私はあなたをイスラエル国民に對するしるしとする。

7 私は命じられた通りにした。昼間、捕囚の身となるためにまとめた荷物を外に出し、夕方、壁に穴を開けた。暗くなると、人々の目の前で荷物を肩に載せて持ち出した。

8 朝に、エホバが再び私に語り掛けてこう言った。9 「人の子よ、反逆的な民であるイスラエル国民は、『何をしているのか』とあなたに尋ねなかったか。10 彼らに言いなさい。『主権者である主エホバはこう言っている。『この宣告は、エルサレムの長たちと、都市の中にいるイスラエル国民全体に對するものである』』。

11 こう言いなさい。『私はあなたたちに對するしるしである。私が行った通りのことが彼らに起きる。彼らは捕囚にされ、捕囚の地に連れていかれる。12 彼らの中にいる長は、荷物を肩に載せ、暗闇の中で去る。壁に穴を開け、その穴を通して荷物を持ち出す。顔を覆って、地面が見えないようにする。』13 私は、彼に向かって網を投げ、狩猟用の網で彼を捕らえる。彼をバビロンへ、カルデア人の土地へ連れていくが、彼はその土地を見ず、そ

第12章

(例) 王ニ 25:4

(例) イザ 8:18

エゼ 4:3

エゼ 24:24

(例) エレ 21:7

エゼ 21:25

(例) エゼ 24:24

(例) エレ 52:15

(例) 王ニ 25:4

エレ 39:4

(例) エレ 52:9

エゼ 17:20, 21

第2欄

(例) 王ニ 25:6, 7

エレ 34:3

エレ 52:11

エゼ 17:16

(例) 王ニ 25:5

(例) レビ 26:33

エレ 42:15, 16

(例) レビ 26:26

(例) 詩 107:33, 34

エレ 6:7

(例) イザ 6:11

ゼカ 7:14

(例) イザ 64:10

エレ 25:9

(例) エゼ 6:13

(例) イザ 5:19

アモ 6:3

ペニ 3:3, 4

こで死ぬ。14 彼を取り巻く従者や兵士皆を、私はあらゆる方向に散らし、剣を抜いてその後を追う。15 私が彼らを国々に追いやり、さまざまな土地に散らす時、彼らは私がエホバであることを知らなければならなくなる。16 私は、少数の人たちが剣や飢餓や疫病を免れるようにする。それは彼らが、行く先々の国で自分たちのあらゆる忌まわしい行いについて話すためである。そして、彼らは私がエホバであることを知らなければならなくなる。

17 エホバが再び私に語り掛けてこう言った。18 「人の子よ、震えながらパンを食べ、動揺し不安を抱きながら水を飲みなさい。19 この土地の人々に言いなさい。『主権者である主エホバは、イスラエルの土地のエルサレムの住民にこう言っている。『彼らは不安を抱きながらパンを食べ、恐怖におびえながら水を飲む。彼らの土地は、そこに住んでいるすべての人たちの暴力のゆえに、完全に荒廃するからである。20 人が住む町々は滅ぼされ、土地は荒地になる。そして、あなたたちは私がエホバであることを知らなければならなくなる』』。

21 エホバが再び私に語り掛けてこう言った。22 「人の子よ、イスラエルで人々が語っている、『日々は過ぎ去り、全ての幻には意味がない』という格言はどういうことか。23 彼らに言いなさい。『主権者である主エホバは

こう言っている。「私はこの格言を語れないようにし、彼らがそれをイスラエルで口にすることはなくなる。』彼らに、『日々は近づいており、全ての幻は実現する』と言いなさい。24 イスラエル国民の中から、偽りの幻も、人を喜ばせる古いも、もはやなくなる。25 『それは、私エホバが語るからである。私が語る言葉は全て、速やかにその通りになる。反逆的な民よ、私は間もなく言葉を述べ、それを実行する』と、主権者である主エホバは宣言する。』

26 エホバが再び私に語り掛けてこう言った。27 「人の子よ、イスラエルの民はこう言っている。『彼が見ている幻はずっと後のことであり、彼は遠い将来について預言しているのだ。』28 それで、彼らに言いなさい。『主権者である主エホバはこう言っている。『私の言葉の実現が遅れることはない。私が述べることは全てその通りになる』と、主権者である主エホバは宣言する。』』

13 エホバが再び私に語り掛けてこう言った。2 「人の子よ、イスラエルの預言者たちに対して預言しなさい。預言をでっち上げる者たちにこう言いなさい。『エホバの言葉を聞きなさい。3 主権者である主

12:24 *または、「欺く」。12:25 *直訳、「あなたたちの日々」。13:2 *または、「自分の心のままに預言する」。

第12章

(例) ヨエ 2:1
ゼバ 1:14

(例) エレ 14:14
哀 2:14
エゼ 13:23

(例) 哀 2:17
ゼカ 1:6

(例) エレ 16:9
ハバ 1:5

(例) イザ 5:19
イザ 28:15
ペニ 3:3,4

第13章

(例) ミカ 3:5
ゼバ 3:4

(例) エレ 14:14
エレ 23:16

第2欄

(例) エレ 23:32

(例) イザ 2:12
ヨエ 1:15

(例) エゼ 22:30

(例) エレ 29:31,32

(例) エゼ 22:28

(例) エレ 14:14
エレ 28:15,16
エレ 29:8,9

(例) エゼ 6:13
エゼ 11:10

(例) エレ 6:13,14

エホバはこう言っている。「何も見ていないのに、自分の心のままに語る愚かな預言者には災いがある! 4 イスラエルよ、あなたの預言者たちは、廃虚にいるキツネのようになった。5 あなたたちは、石の壁が崩れている箇所に行かず、エホバの日の戦いでイスラエル国民が立ち続けられるようにかべたなを(例) 6 「彼らに偽りの幻を見て、偽りの予告をしている。エホバに遭わされていないのに、『エホバの言葉はこうである』と言っており、自分たちの言葉が実現するのを待ちわびてきた。7 私が何も述べていないのに、『エホバの言葉はこうである』と言うあなたたちは、偽りの幻を見て偽りの予告をしているのではないか。』

8 『それで、主権者である主エホバはこう言う。『あなたたちが偽りを語り、偽りの幻を見たので、私はあなたたちに敵対している』と、主権者である主エホバは宣言する。9 私は手を伸ばし、偽りの幻を見て偽りの予告をする預言者たちを処罰する。彼らは私と親しい民の中にいることはなくなり、イスラエル国民の登録簿に記されることもなく、イスラエルの土地に戻ることもない。こうして、あなたたちは私を知らなければならなくなる。10 この全ては、平和がないのに彼らが「平和だ!」と言って私の民を惑わしたた

めである。薄い仕切り壁が造られると、
彼らはそれにしっくいを塗る。』

11 しっくいを塗る者たちに、その
壁は倒れると言いなさい。激しい雨が
打ち付け、ひょうが降り、暴風が壁を
壊す。12 壁が倒れると、あなたたち
は、『塗ったしっくいはどうなったの
か』と問われる。

13 それで、主権者である主エホバ
はこう言う。『私は、憤りのうちに暴風
を起こし、怒りのうちに激しい雨を生
じさせ、激怒のうちにひょうを降らせて
壁を破壊する。14 私はあなたたち
がしっくいを塗った壁を壊して地面に
たたきつけ、その土台をむき出しにす
る。都市が倒れると、あなたたちもそ
のなかで滅びる。あなたたちは私がエ
ホバであることを知らなければならな
くなる。』

15 『私は、壁に対して、またそれに
しっくいを塗った者たちに対して、憤り
を十分に表す時、あなたたちにこう言
う。「壁はもうなく、しっくいを塗る者た
ちももういない。16 エルサレムに
向かって預言し、平和がないのに、そ
の都市は平和だという幻を見るイスラ
エルの預言者たちは、いなくなった。』
と、主権者である主エホバは宣言する。

17 人の子よ、あなたの民の娘たち、
預言をでっち上げる女性たちに厳し

13:10 *もうい内壁を造り、しっくいを塗って頭
文に見せ掛けようとする、ということ。13:11
*直訳、「ひょうよ、あなたたちも」。

第13章

【イザ 30:10
エゼ 22:28

【イザ 27:8

【エレ 37:19

【イザ 30:12,13

【エレ 6:13,14
エレ 28:1-4

第2欄

【ミカ 3:11

【イエレ 23:14

【エゼ 6:13

【エレ 27:14

【エレ 23:14

【エレ 23:16,17

い顔を向け、彼女たちに対して預言し
なさい。18 こう言いなさい。『主権
者である主エホバはこう言っている。
「皆の腕に巻くための布を縫い合わ
せ、皆の頭のためのベールを作って、
人々の命を捕らえようとする女性たち
には災いがある！ あなたたちは、私
の民の命を捕らえ、自分たちの命を保
とうとしているのか。19 わずかな大
麦や少しのパンのために、私の民の
中で私を汚すのか。うそに耳を傾ける
民にうそをつくことにより、死ぬべきで
ない人を死なせ、生きるべきでない人
を生かしておくのか。』

20 主権者である主エホバはこう
言う。『女性たちよ、私は、あなたたち
が鳥を捕らえるかのように人々を捕ら
えるために使う布を憎み、あなたた
ちの腕から剥ぎ取る。そして、鳥のよ
うに捕らわれている人たちを解放す
る。21 また、あなたたちのベールを
剥ぎ取り、あなたたちの手から私の民
を救い出す。あなたたちはもはや私の
民を捕らえることはなく、私がエホバ
であることを知らなければならなくな
る。22 私が正しい人を苦しめな
かったのに、あなたたちは正しい人を
偽りによって落胆させた。また、悪人
を後押しして、そういう人が悪い行い
をやめて生き続けることがないように
した。23 それで、女性たちよ、あな

13:18 *肘や手首に巻く魔術用のバンドのこと。
*または、「あらゆる背丈の人の」。13:22 *直
訳、「の手を強くして」。

私たちはもう偽りの幻を見ることも占
 いをするこもない。私はあなたたち
 の手から私の民を救い出し、あなたた
 ちは私がエホバであることを知らなけ
 ればならなくなる』。

14 イスラエルの長老が何人か
 やって来て、私の前に座った。

2 すると、エホバが私に語り掛けてこ
 う言った。 **3** 「人の子よ、この人たち
 は汚らしい偶像に頼ることを心に決
 めており、人々が罪を犯すように仕向
 けている。私は彼らが尋ねることを
 聞くべきだろうか。 **4** 彼らと話して、
 言いなさい。『主権者である主エホバ
 はこう言っている。「イスラエル人が、
 汚らしい偶像に頼ることを心に決
 めていて、人々が罪を犯すように仕向
 けておきながら、預言者に何かを尋ね
 に来る場合、私エホバは、その人の
 汚らしい偶像の多さに応じて答え
 る。 **5** 私はイスラエル国民に恐怖を
 抱かせる。彼らが皆、私から離れてい
 き、汚らしい偶像に頼ったからで
 ある』』。

6 それで、イスラエル国民に言いな
 さい。『主権者である主エホバはこう
 言っている。『戻ってきなさい。汚らわ
 しい偶像から離れ、あらゆる忌まわし
 い行いから顔を背けなさい。 **7** イス
 ラエル人や、イスラエルにいる外国人

14:3 *ヘブライ語で「ふん」を意味する言葉と関
 連があると考えられる、嫌悪を表す表現。 **14:5**
 *直訳、「イスラエルの家の心を捕らえる」。

第13章
 (例) 申 18:10, 14
 エレ 27:9
 ミカ 3:6

第14章
 (例) エゼ 33:30, 31

(例) 王二 3:13
 イザ 1:15
 エレ 11:11

(例) エレ 2:5

(例) イザ 55:7

第2欄
 (例) エレ 21:1, 2
 エゼ 33:31

(例) レビ 20:2, 3

(例) 王一 22:21, 22
 エレ 4:10
 テサ二 2:10, 11

(例) エレ 24:7
 エゼ 11:19, 20

(例) レビ 26:26

(例) イザ 3:1
 エレ 15:2

(例) エレ 7:20

(例) 創 6:8, 9
 ヘブ 11:7

(例) ダニ 10:11

(例) ヨブ 1:8
 ヨブ 42:8

居住者が、私から離れ、汚らしい偶
 像に頼ることを心に決めていて、人々
 が罪を犯すように仕向けておきなが
 ら、私の預言者に何かを尋ねに来る
 場合、私エホバがその人に答える。

8 私はその人に厳しい顔を向け、その
 人を警告のしるしおよび格言の題材と
 し、私の民の中から除く。そして、あな
 たたちは私がエホバであることを知ら
 なければならなくなる』。

9 『預言者がだまされて何らかの答
 えを述べる場合、私エホバがその預
 言者をだましたのである。私は彼に向
 かって手を伸ばし、私の民イスラエル
 の中から除き去る。 **10** 彼らはその
 罪を負わなければならない。尋ねる
 人の罪は、預言者の罪と同じと見なさ
 れる。 **11** それは、イスラエル国民が
 もう私から離れてさまよわず、あらゆる
 違反によって自分たちを汚さなくなる
 ためである。そして彼らは私の民とな
 り、私は彼らの神となる』と、主権者で
 ある主エホバは宣言する』。

12 エホバが再び私に語り掛けて
 こう言った。 **13** 「人の子よ、国が不
 忠実なことをして私に対して罪を犯す
 場合、私はその国に向かって手を伸
 ばし、食物が手に入らないようにする。
 そして飢饉を生じさせ、人々と動物を
 滅ぼす。 **14** 「『たとえノア、ダニエル、
 ヨブの3人が国の中にいたとして

14:13 *直訳、「パンの棒を折る」。パンを掛けて
 おくために使われた棒のことかもしれない。

も、彼らは自分たちの正しさゆえに自らを救うことしかできない』と、主権者である主エホバは宣言する」。

15 『あるいは、私がどう猛な野獣に国をうつかせ、それによって人がいなくなり、そこが野獣のせいでも誰も通らない荒れ地になるとする。16 生きている私自身に懸けて言うが、たとえその3人が国の中にいたとしても、彼らは息子も娘も救えない。自らを救うことしかできず、国は荒廃する』と、主権者である主エホバは宣言する」。

17 『あるいは、私が国に剣を差し向け、「剣が国を歩き巡るようにしなさい」と言い、人々と動物を滅ぼすとする。18 生きている私自身に懸けて言うが、たとえその3人が国の中にいたとしても、彼らは息子も娘も救えない。自らを救うことしかできない』と、主権者である主エホバは宣言する」。

19 『あるいは、私が国に疫病をまん延させ、激しい怒りを浴びせて死をもたらし、人々と動物を滅ぼすとする。20 生きている私自身に懸けて言うが、たとえノア、ダニエル、ヨブが国の中にいたとしても、彼らは息子も娘も救えない。自分たちの正しさゆえに自らを救うことしかできない』と、主権者である主エホバは宣言する」。

21 「主権者である主エホバはこう言う。『私がエルサレムの人々と動物を滅ぼすため、剣、飢餓、どう猛

第14章

(例) 格 11:4
エレ 15:1
ペニ 2:9

(例) レビ 26:22
エレ 15:3

(例) レビ 26:25
エレ 25:9
エゼ 21:3

(例) ゼバ 1:3

(例) 申 28:21, 22

(例) 創 7:1

(例) ダニ 10:11

(例) ヨブ 1:8
ヨブ 42:8

(例) エゼ 18:20
ゼバ 2:3

(例) エレ 32:43

第2欄

(例) エゼ 5:17
エゼ 33:27

(例) エレ 15:2

(例) 申 4:31
代二 36:20
エゼ 6:8
ミカ 5:7

(例) ネヘ 9:33
エレ 22:8, 9
エゼ 9:9
ダニ 9:7

な野獣、疫病という4つの処罰を下す時も、そのようになる。22 しかし、残っている人たちが逃れて、連れ出される。息子も娘も、あなたたちの所に来る。彼らの生き方や行いを見る時、あなたは、私がエルサレムにもたらした災い、その都市に行った全てのことについて、必ず納得する」。

23 『あなたたちは、彼らの生き方や行いを見る時、それによって納得する。そして、その都市に対して私が行わなければならないことを、理由もなく行ったのではないということを知る』と、主権者である主エホバは宣言する」。

15 エホバが再び私に語り掛けてこう言った。2 「人の子よ、ブドウの木は、森林の他の木やその枝とどのように違うか。3 ブドウの木で作ったさおを仕事に使えるだろうか。その木で、器具を掛けるくぎを作るだろうか。4 その木は燃料として火に投げ入れられ、火で両端を焼かれて真ん中も焦げる。それが何かの仕事に適しているだろうか。5 燃やされる前でさえ、その木には使い道がない。火で焼かれて焦げてしまったら、なおのこと役に立たないのではないか」。

6 「それで、主権者である主エホバはこう言う。『私は、森林の木々の中でブドウの木を、火にくべる燃料として

14:22, 23 *または、「慰められる」。

14:15 *または、「子供が奪われ」。

あた^あと。それとお^おなじようにエルサレム^{エルサレム}の住民^{じゆうみん}を扱^{あつか}う。7 私は彼らに厳しい顔^{かお}を向^むけた。彼らは火^かから逃^にれたが、火^ひで焼^やき尽^つくされることになる。私が彼らに厳しい顔^{かお}を向^むける時^{とき}、あなたたちは私がエホバであることを知らなければならなくなる^しる』。

8 『私はこの土地^{とち}を荒廃^{こうはい}させる。彼らが不忠実^{ふちゅうじつ}なことをしたからである』と、主権者^{しゅけんしや}である主エホバは宣言^{せんげん}する。

16 エホバが再び私に語り掛^かけてこう言^いった。2 「人の子^{ひとこ}よ、エルサレムの忌まわしい行^{ぎやう}について、彼女自身^{かのじよ}に知らせなさい。3 こう言^いわなければならない。『主権者^{しゅけん}である主エホバはエルサレムにこう言^いっている。「あなたはカナン人の土地^{とち}で生まれた。あなたの父^{ちち}はアモリ人^{じん}、母^{はは}はヘト人^{じん}だった。4 あなたが生まれた日^ひに、あなたのへその緒^おは切^きられず、あなたは水^{みづ}で洗^{あら}われず、塩^{しお}でこすられず、布^{ぬの}にくるまれなかった。5 あなたをかわいそうに思^{おも}ってこれらのことを1つでも行^{おこ}おうとする者は、一人もい^ひなかった。誰もあなたに同情^{どうじやう}せず、あなたは野原^{のほら}に投げ捨^すてられた。生まれた日^ひに憎^{にく}まれたからである。

6 そばを通^{とお}り掛^かかった私は、あなたが自分^{じぶん}の血^ちにまみれて足^{あし}をばたつかせているのを見た。それで、血^ち

16:2 *エルサレムのこと。

第15章

(例) 詩 80:14-16
イザ 5:24
エレ 7:20
エゼ 20:47

(例) エゼ 6:7
エゼ 7:4

(例) イザ 6:11
エレ 25:11
エゼ 6:14

(例) 代二 36:14

第16章

(例) エゼ 8:10
エゼ 20:4

(例) ヨシ 10:5
王一 21:25, 26
王二 21:11

(例) 代一 1:13, 14

第2欄

(例) ルツ 3:9

(例) 詩 23:5

(例) 詩 48:2

(例) 王一 4:21

まみれのあなたに、『生き続けなさい!』と言^いった。血^ちまみれのあなたに、『生き続けなさい!』と言^いったのである。7 私はあなたを、野原^{のほら}に生^はえる草^{くさ}のよう^いに大きな群衆^{ぐんしゆう}とした。あなたは成長^{せいちやう}して大きくなり、上等^{じやうとう}の装飾品^{そうしやうひん}を身^みに着^きけた。胸^{むね}も膨^{ふく}らみ、髪^{かみ}も伸^のびた。しかし、裸^{はだか}のままだった』。

8 主権者^{しゅけんしや}である主エホバはこう宣言^{せんげん}する。『私は、そばを通^{とお}り掛^かかってあなたを見た時^{とき}、あなたが愛情^{あいじやう}を表現^{ひやうげん}できる年頃^{としごろ}になったことに気^きづいた。それで、服^{ふく}を広^{ひろ}げてあなたの裸^{はだか}を覆^{おお}い、誓^{ちか}いを立てて、あなたと契約^{けいやく}を結^{むす}んだ。こうして、あなたは私のものとなった。9 さらに、私はあなたを水^{みづ}で洗^{あら}って血^ちを洗^{あら}い落^おとし、あなたに油^{あぶら}を塗^ぬった。10 それから、刺^さしゅうが施^{ほどこ}された服^{ふく}を着^きせ、上等^{じやうとう}の革^{かわ}のサンダル^はを履^はかせ、上等^{じやうとう}の亜麻布^{あまぬの}であなたを覆^{おお}い、高価^{こうか}な服^{ふく}を着^きせた。11 あなたを装飾品^{そうしやうひん}で飾^{かざ}り、腕輪^{うでわ}をはめ、首飾^{くびかざ}りを着^きけた。12 また、鼻輪^{はなわ}や耳輪^{みみわ}を着^きけた。13 あなたは金^{きん}や銀^{ぎん}で身^みを飾^{かざ}っていった。上等^{じやうとう}の亜麻布^{あまぬの}や高価^{こうか}な生地^{きじ}で装^まい、刺^さしゅうが施^{ほどこ}された服^{ふく}を着^きた。上等^{じやうとう}の麦^{むぎ}粉^こと蜜^{みつ}と油^{あぶら}を食^たべ、非常^{ひじやう}に美^{うつく}しくなり、女王^{じやおう}にふさわしい者^{もの}となった』。

14 『あなたが美しいので、名声^{めいせい}が国^{くに}々の間^{あいだ}に広^{ひろ}まっていた。私があな

16:8 *または、「裾」。16:10 *または、「アザラシの皮」。16:13 *または、「王位」。16:14 *直訳、「名」。

たを光り輝かせたので、その美しさは
完全だったのである』と、主権者であ
る主エホバは宣言する。

15 『しかし、あなたは自分の美し
さを誇るようになり、自分の名声ゆえ
に娼婦となった。通り掛かる全ての者
と見境なく売春をし、自分の美しさを
差し出した。16 あなたは自分の服
を使って色とりどりの高い場所を造
り、そこで売春を行った。そのようなこ
とはあつてはならず、決して起きてはな
らない。17 またあなたは、私が与
えた金や銀の美しい装飾品を使って
男性の像を作り、それらと売春をした。
18 そして、刺しゅうが施された服で像
を覆い、私の油と香を像に捧げた。
19 さらに、私が与えたパンをも、あな
たは心地よく香りとして像に捧げた。
わたしはあなたがたに食べさせた上等の麦粉
と油と蜜から作ったパンである。まさ
にこのことが起きたのである』と、主権
者である主エホバは宣言する。

20 『あなたは私のために産んだ
息子や娘を偶像に犠牲として捧げ
た。まだ自分の売春に満足していな
いのか。21 あなたは私の子たちを
殺し、火で焼いて犠牲として捧げた。
22 あらゆる忌まわしい行いや売春に
ふけりながら、あなたは自分の幼い頃
のことを思い出さなかった。裸で、自
分の血にまみれて足をばたつかせて

16:19 *または、「安らぎの」。16:21 *または、
「ほふり」。*直訳、「火の中を通して」。

第16章

(例) 王一 10:1
詩 50:2
哀 2:15

(例) エレ 7:4
ミカ 3:11

(例) 王一 11:5,7
詩 106:35,36
イザ 57:7,8
エレ 2:20
ヤコ 4:4

(例) エレ 3:13

(例) 王一 14:22,23
代二 21:5,11

(例) イザ 57:7,8

(例) エゼ 8:10,11

(例) 王二 22:16,17

(例) 出 13:2

(例) 詩 106:37,38

(例) レビ 18:21
レビ 20:2
王二 16:1,3
代二 33:1,6
エレ 7:31
エゼ 20:26

第2欄

(例) エレ 13:27
ゼバ 3:1

(例) エレ 2:23,24

(例) エレ 3:2

(例) イザ 30:2,3
エレ 2:36

(例) 申 28:48

(例) エレ 2:11,12

(例) 詩 106:41

(例) 王二 16:7

(例) エゼ 23:14,16

(例) エレ 3:3

いた時のことだ。23 悪事の限りを
尽くしたあなたには、災い、災いがあ
る』と、主権者である主エホバは宣言

する。24 『あなたは自分のために
塚を設け、全ての広場に高い場所を
造った。25 全ての通りの最も目立
つ場所に高い場所を造り、通り掛かる
全ての者に自分を差し出すことによ
って自分の美しさを忌まわしいものに変
えて、売春を重ねた。26 あなたは情
欲的な隣人であるエジプトの人々と
ばいしゅんを、数え切れないほどの売春に
よって私を怒らせた。27 私はあな
たに向かって手を伸ばし、食料を減ら
す。そして、あなたを憎む女性たち、す
なわちあなたのみだらな行いにあき
れたフィリステア人の娘たちに、あな
たを引き渡して意のままに扱わせる。

28 あなたは満足せず、さらにアッシ
リアの人々と売春をした。しかし、彼ら
と売春をした後も満足しなかった。

29 それで、商業の地の人々やカルデ
ア人と売春を重ねた。しかし、それ
でも満足しなかった。30 あなたがこ
れらのことを行い、恥知らずな娼婦の
ように振舞ったとき、あなたの心は何
と病んでいたのか』と、主権者である
主エホバは宣言する。31 『しかし、
全ての通りの最も目立つ場所に塚を
設け、全ての広場に高い場所を造った

16:25 *直訳、「両脚を広げる」。16:29 *直
訳、「カナン土地」。16:30 *または、「弱かつ
た」。*もしかすると、「私はあなたへの激しい怒
りに満たされた」。

とき、あなたは娼婦とは違って金銭を受
け取ろうとしなかった。32 あなたは
姦淫をする妻であり、夫の代わりによ
そ者と関係を持つ。33 普通はどの
娼婦も人から贈り物を受け取るが、あ
なたは自分に情欲を抱く全ての者に
贈り物を与えた。彼らに賄賂を贈り、
周囲からあなたの所に来させて、売春
を行う。34 あなたは売春を行う他
の女性とは逆のことをする。あなたの
やり方で売春を行う者は誰もいない。
金銭を支払うのはあなたであって、相
手ではない。あなたのやり方は逆で
ある。』

35 それで、娼婦よ、エホバの言葉
を聞きなさい。36 主権者である主
エホバはこう言う。『あなたは情欲に
燃え、裸をさらして、売春を行った。愛
人たちや、あらゆる忌まわしい偶像、汚
らわしい偶像と売春をしたのである。
そして、自分の子供の血を偶像に犠牲
として捧げることさえした。37 その
ため私は、あなたが喜ばせた全ての
愛人たち、あなたが愛した者も憎んだ
者も全て集める。彼らを共に周囲から
集めてあなたに敵対させ、あなたの裸
を彼らにさらす。彼らは丸裸のあなた
を見る。』

38 そして私は、姦淫や流血の罪を
犯した女性に見合った処罰をあなた
に下し、激しい怒りと嫉妬によってあ

第16章

(例) エレ 3:1,20
(例) 創 38:16
(例) イザ 57:9
(例) 代二 16:2,3
(例) イザ 1:21
(例) エレ 3:6
(例) 王二 21:11
(例) 詩 106:37,38
(例) エレ 13:22
哀 1:8
(例) 創 38:24
レビ 20:10
申 22:22
(例) 創 9:6
出 21:12

第2欄

(例) 詩 79:2,3
エゼ 23:25
(例) イザ 27:9
エゼ 16:24
(例) エレ 4:30
(例) イザ 3:18-23
エゼ 23:26
(例) エゼ 23:46,47
ハバ 1:6
(例) 申 22:20,21
(例) 代二 36:17
エレ 25:9
(例) 王二 25:8,9
(例) エゼ 23:27
(例) エゼ 5:13
(例) イザ 40:2
(例) エレ 2:32
(例) 王二 21:25,26
王二 21:2,9
詩 106:35,36

(例) 申 20:17
ヨシ 10:5
王二 21:11
エゼ 16:3
(例) エゼ 23:33
(例) エレ 3:8
(例) 創 18:20
イザ 3:9
エレ 23:14

あなたの血が流れるようにする。39 私
はあなたを彼らの手に渡す。彼らは
あなたの塚を崩し、高い場所を取り壊し、
服を剥ぎ取り、美しい装飾品を奪って、
あなたを裸にする。40 また、群衆を
あなたに敵対させて、あなたを石打ち
にし、剣で殺す。41 あなたの家々を
火で焼き、多くの女性の目の前であな
たに刑を執行する。私はあなたの売
春を終わらせ、あなたが金銭を支払う
ことはなくなる。42 あなたに対する
私の激しい怒りは収まり、私の 憤りは
あなたに向けられなくなる。私は気が
休まり、もはや怒りを感じなくなる。』

43 主権者である主エホバはこう
宣言する。『あなたは自分の幼い頃の
ことを思い出さず、これらのことを行っ
て私を怒らせたため、自分の歩みの報
いを受けることになる。みだらな行い
やあらゆる忌まわしい行いを続けるこ
とはもうない。』

44 格言を語る人は皆、「この母に
してこの娘あり」という格言をあなた
に当てはめる。45 あなたは、夫や
子供を軽んじた母の娘であり、夫や子
供を軽んじた姉妹たちの1人である。
あなたの母はヘト人、父はアモリ人
だった。』

46 『あなたの姉はサマリアであ
り、娘たちと共にあなたの北に住んで
いる。あなたの妹はソドムであり、娘

16:36 *ヘブライ語で「ふん」を意味する言葉と
関連があると考えられる、嫌悪を表す表現。

16:46 *恐らく、周辺の町々のこと。*直訳、
「左」。

たちと共にあなたの南に住んでいる。

47 あなたは彼女たちの生き方に倣い、同じ忌まわしい行いをしただけでなく、程なくしてあらゆる面で彼女たちよりも堕落した。48 私は、生きている私自身に懸けて言う。あなたの妹ソドムと娘たちは、あなたと娘たちが行ったほどのことはしていない』と、主権者である主エホバは宣言する。49『あなたの妹ソドムは次の過ちを犯した。彼女と娘たちは高慢で、十分の食料を持ち、平穩無事に暮らしていたが、苦しんでいる人や貧しい人を助けなかった。50 彼女たちはずっと傲慢で、私のまえで忌まわしい行いを続けたので、私は彼女たちを取り除くことにした。

51 サマリアも、あなたの半分も罪を犯さなかった。あなたが忌まわしいことからかのじよをおおおこなつづ事柄を彼女たちよりも多く行い続けたので、あなたのあらゆる忌まわしい行いのゆえに姉妹たちが正しく見えるほどだった。52 あなたは姉妹たちの振る舞いを正当化したので、恥辱を受けなければならない。彼女たちよりも忌まわしい事柄を行ったあなたの罪のゆえに、彼女たちはあなたよりも正しい。それで、姉妹たちを正しい者のようにみせたことを恥じ、恥辱を受けなさい』。

53『私は、彼女たちの捕らわれて

16:46 *直訳、「右」。16:52 *または、「姉妹たちを弁護した」。

第16章
(7) 創 19:24,25

(1) 王二 21:2,9
エゼ 5:5,6

(7) ユダ 7

(12) 格 16:5

(12) 創 13:10

(7) 格 1:32

(14) 格 21:13

(7) 格 16:18

(7) 創 13:13
創 18:20
創 19:4,5

(12) 創 19:24,25
哀 4:6
ペ二 2:6

(11) 王二 21:13
エレ 23:13
エゼ 23:33

(12) エレ 3:11

第2欄

(7) 詩 126:1

(1) エゼ 36:11

(7) エゼ 21:24

(12) 代二 28:18

(12) イザ 3:11
ガラ 6:7

(7) 申 29:12
エレ 22:8,9

(14) エレ 32:40
エレ 50:4,5

(7) エゼ 20:43

いる民、すなわちソドムと娘たちおよびサマリアと娘たちの捕らわれている民を集める。また、あなたの捕らわれている民も一緒に集め、54 あなたが恥辱を受けるようにする。あなたは彼女たちを慰めるようなことをしたために、恥じることになる。55 あなたの姉妹であるソドムとサマリア、またその娘たちは、以前の状態に戻る。あなたと娘たちも以前の状態に戻る。56 あなたは高慢になった日に、妹のソドムのことを話そうとしなかった。57 それはあなたの邪悪さが明らかになる前のことだった。今や、シリアの娘たちとその隣人があなたを非難し、周囲のフィリスティア人の娘たちがあなたを軽蔑している。58 あなたは自分のみだらな行いや忌まわしい行いの報いを受ける』と、エホバは宣言する。

59「主権者である主エホバはこう言う。『私はあなたの行いに応じてあなたを扱う。あなたは誓いを軽んじ、私との契約を破った。60 しかし私は、幼い頃のあなたと結んだ契約を思い起こし、あなたと永遠の契約を結ぶ。61 あなたは自分の振る舞いを思い出し、自分の姉妹たち、姉たちや妹たちを迎える時、恥じることになる。私は彼女たちを娘としてあなたに与えるが、それはあなたとの契約によるのではない』。

62『私はあなたと契約を結び、あ

あなたは私がエホバであることを知らなければならなくなる。63 あなたがした全てのことのために私が贖罪を行う時、あなたは自分がしたことを思い出して恥じ、恥辱のゆえに口を開けなくなる』と、主権者である主エホバは宣言する」。

17 エホバが再び私に語り掛けよう言った。2 「人の子よ、イスラエル国民に関して謎を掛け、例えを語りなさい。3 こう言わなければならない。『主権者である主エホバはこう言っている。「大きい翼と長い羽を持ち、色とりどりの豊かな羽毛に覆われた大きなワシが、レバノンに来て、杉の木の頂を折り取った。4 一番上の若枝を取り、それを商業の地に持ってきて、商人の町に置いた。5 それから、その土地の種をいくらか取り、肥えた畑にまいた。柳のように、豊かな水のほとりに植えたのである。6 種は芽生え、低く生い茂るブドウの木になった。枝葉を内側に向け、根を下に伸ばしていった。こうしてブドウの木が育ち、新芽を出し、枝を伸ばした。

7 また、大きい翼と羽を持つ別の大きなワシがやって来た。するとブドウの木は、植えられた場所からワシに向かってどんどん根を伸ばし、枝葉も伸ばして、水を得ようとした。8 この木はすでに、豊かな水のほとりにある

17:4 * 直訳、「カナン土地」。

第16章
[例] 詩 103:12
ミカ 7:18,19

[例] エズ 9:6
エゼ 36:31

第17章
[例] ホセ 12:10
[例] 申 28:49,50
エレ 4:13
哀 4:19

[例] エレ 22:23
[例] 王二 24:12
代二 36:9,10
エレ 24:1

[例] 王二 24:15
[例] 王二 24:17
エレ 37:1
[例] エゼ 17:13,14

[例] 代二 36:11
[例] エレ 37:5,7
[例] エゼ 17:15

[例] 王二 24:20
代二 36:11,13

第2欄
[例] エレ 37:1
[例] エレ 21:7
[例] 王二 25:7

[例] 王二 24:12,14
イザ 39:7
エレ 22:24,25
エレ 52:31,32

[例] 王二 24:17
エレ 37:1
[例] 代二 36:11,13

[例] 王二 24:15
エレ 24:1
[例] エレ 27:12
エレ 38:17

[例] 王二 24:20
代二 36:11,13
[例] 申 17:16

[例] エレ 37:5

良い畑に植えられていた。枝を張って実を結び、立派なブドウの木になるようにである』。

9 こう言いなさい。『主権者である主エホバはこう言っている。「それは立派な木になるだろうか。誰かが根を引き抜き、実を腐らせ、芽をしておれさせるのではない。その木は枯れてしまい、根こそぎ引き抜くのに強い腕力も大勢の人も必要なくなる。10 植え替えられても、それは立派な木になるだろうか。東風が吹き付けると、完全に枯れてしまうのではない。それは芽生えた場所で枯れることになる』。

11 エホバが再び私に語り掛けてこう言った。12 「どうか反逆的な民に言ってほしい。『あなたたちはこれらのことが何を意味するか分からないのか』。こう言いなさい。『バビロンの王がエルサレムに来て、王と高官たちを捕らえ、バビロンに連れていった。13 さらに、王家の子孫の1人を選んでその者と契約を結び、誓いを立てさせた。そして、その土地の主立った人たちを連れ去った。14 それは、その王国を弱めて立ち上がれないようにし、契約を守ることによってのみ存続できるようにするためだった。15 しかし、ユダの王はついにバビロンの王に反逆してエジプトに使者を送り、馬と大軍を得ようとした。彼は成功するだろうか。このようなことをしている者

17:12 * ユダの王のこと。

が、処罰^{しよばつ}を免れられるだろうか。契約^{けいやく}を破^{やぶ}っておきながら、逃^{のが}れられるだろうか。』

16『主権者^{しゅけんしゃ}である主エホバはこう宣言^{せんげん}する。『私は、生きている私自身^{わたしじしん}に懸^かけて言う。彼はバビロンで死ぬ。そこは彼を王にした王^{おう}が住む場所^{ばしょ}であり、彼はその王への誓い^{ちか}を軽^{かる}んじ、王との契約^{けいやく}を破^{やぶ}った。17 ファラオの大勢^{たいせい}の兵から成る大軍^{たいぐん}は、全く戦いの役^{やく}に立たない。攻めるための土壘^{どるい}が築^{きず}かれ、包囲壁^{ほうい}が建てられて、多くの命^{いのち}が奪^{うば}われる。18 彼は誓い^{ちか}を軽^{かる}んじ、契約^{けいやく}を破^{やぶ}った。約束^{やくそく}しておきながらこれらのことを行^{おこな}ったので、逃^{のが}れられない。』

19『それで、主権者^{しゅけんしゃ}である主エホバはこう言う。『生きている私自身^{わたしじしん}に懸^かけて誓^{ちか}う。私は彼に、私への誓い^{ちか}を軽^{かる}んじて私の契約^{けいやく}を破^{やぶ}ったことの報^むいを受けさせる。20 彼に向かつて網^{あみ}を投げ、狩猟用^{しゅりよう}の網^{あみ}で彼を捕^とらえる。そしてバビロンに連れていき、そこで彼を裁^{さば}く。私に対して不忠実^{ふちゅうじつ}なことをしたからである。21 彼の軍隊^{ぐんたい}から逃^にげた者は一人残らず剣^{けん}によって倒^{たお}れ、残^{のこ}っている人はあらゆる方向^{ほうこう}に散^ちらされる。あなたたちは、私エホバが語^{かた}ったことを知らなければならなくなる。』

17:16 *ゼデキヤのこと。*ネブカドネザルのこと。17:18 *直訳、‘手を差し出して’。17:21 *直訳、‘風’。

第17章
[例] エレ 32:3,4

[イ] エレ 34:2,3
エレ 52:11

[例] エレ 37:7,8
哀 4:17
エゼ 29:6

[ロ] 申 5:11

[例] エゼ 12:13

[例] エゼ 20:36

[例] エゼ 12:14

[例] エゼ 6:13

第2欄

[例] イザ 11:1
エレ 23:5

[イ] イザ 53:2

[例] 詩 2:6

[ロ] イザ 9:6
エゼ 21:26,27
ダニ 4:17
アモ 9:11

[例] サー 2:7,8
ルカ 1:52

第18章

[例] エレ 31:29,30

22『主権者^{しゅけんしゃ}である主エホバはこう言う。『私は、高い杉^{たかし}の木の頂^{すび}から若^き枝^{えだ}を取^とって植^うえる。小枝^{こえだ}の一番上^{いちばんうえ}からやわ^{やわ}らかい若枝^{わかし}を取り、高大^{こうだい}な山^{やま}の上に植^うえる。23 イスラエルの高い山^{たか}にそれを植^うえる。それは枝^{えだ}を伸^のばし、実^みを結^{むす}び、立派^{りっぱ}な杉^{すぎ}の木^きになる。あらゆる種類^{しゅるい}の鳥^{とり}がその木^きの下^{した}に、枝葉^{えだは}の陰^{かげ}にすむ。24 そして野^のの全^{すべ}ての木^きは、私エホバが高い木^{たか}を低^{ひく}くし、低い木^きを高くしたことを知らなければならなくなる。また、私は青々^{せいせい}とした木^きを枯^{かわ}れさせ、枯^{かわ}れた木^きに花^{はな}を咲^さかせた。私エホバが語^{かた}り、これを行^{おこな}ったのである。』

18 エホバが再び私に語り掛^かてこう言^いった。2『あなたたちはイスラエルの土地^{とち}で、『父^{ちち}たちが酸^すっぱいブドウを食^たべたのに、子^こたちの歯^はが浮^うく』という格言^{かくげん}を口^{くち}にして

いるが、どういふことなのか。3 主権者^{しゅけんしゃ}である主エホバはこう宣言^{せんげん}する。『私は、生きている私自身^{わたしじしん}に懸^かけて言う。あなたたちがイスラエルでこの格言^{かくげん}を口^{くち}にし続けることはない。4 全^{すべ}ての命^{いのち}は私^{わたし}のものである。父^{ちち}の命^{いのち}も子^この命^{いのち}も、私^{わたし}のものである。罪^{つみ}を犯^{おか}す人は、死ぬことになる。

5 ある人^{ひと}が正しい人^{こうせい}で、公正^{こうせい}で正しいことを行^{おこな}うとする。6 その人^{ひと}は、山^{やま}の上^{うへ}で偶像^{こうぼう}に犠牲^{けいせい}として捧^{ささ}げられた物^{もの}

18:4 *ヘブライ語、ネフェシュ。用語集参照。

を食べず、イスラエル国民の汚らわしい偶像に頼ろうとせず、隣人の妻を汚したり月経中の女性と関係を持ったりしない。7 誰をも不当に扱わず、お金を貸した相手に担保を返し、誰からも物を奪わず、飢えている人に食べ物を与え、裸の人に服を着せる。8 利息を取ったり高利で貸したりせず、不公正なことを行わず、争っている人たちの正しく公正に裁く。9 忠実に行動できるように、私の法令に従って歩み続け、私の法規を守り続ける。そのような人は正しい人であり、必ず生き続ける』と、主権者である主エホバは宣言する。

10 『しかし、その人に息子が生まれて、その息子が強盗か殺人か他のことならなに おこな 事柄を何か行ったりとす。11 (父親はこれらのことを何も行っていないのに) 息子が、山の上で偶像に犠牲として捧げられた物を食べたり、隣人の妻を汚したり、12 困っている人や貧しい人を不当に扱ったり、人の物を奪ったり、担保を返さなかったり、汚らわしい偶像に頼ったり、忌まわしい行いにふけったり、13 高利で貸して利息を取ったりするなら、その息子は生き続けることはない。これらの忌まわしいことなら おこな 事柄を行ったりのために、必ず死ぬことになる。その死の責任は彼自身にある。

18:6 *ヘブライ語で「ふん」を意味する言葉と関連があると考えられる、嫌悪を表す表現。18:8 *または、「真の公正に基づいて」。

第18章

(例) 申 12:2
エシ 3:6
(例) レビ 20:10
(例) レビ 18:19
レビ 20:18
(例) 格 14:21
(例) 申 24:12, 13
(例) レビ 6:2, 4
(例) 申 15:11
(例) イザ 58:6, 7
ヤコ 2:15, 16

(例) 出 22:25
詩 15:5
ルカ 6:34, 35

(例) レビ 19:35

(例) レビ 19:15
レビ 25:14
申 1:16

(例) レビ 18:5

(例) レビ 19:13

(例) 創 9:6
出 21:12

(例) 申 15:7, 8

(例) レビ 26:30

(例) 王二 21:11

(例) エゼ 22:12

第2欄

(例) 申 16:20
ロマ 10:5

(例) 申 24:16
エシ 31:30
エゼ 18:4

(例) イザ 3:10, 11
ガラ 6:7

(例) イザ 55:7
エゼ 3:21
エゼ 33:12, 19
使徒 3:19

14 一方、ある人に息子が生まれ、その息子は父親が犯したあらゆる罪を見るものの、自分はそのようなことを行わないとする。15 その息子は、山の上で偶像に犠牲として捧げられた物を食べず、イスラエル国民の汚らわしい偶像に頼ろうとせず、隣人の妻を汚さない。16 誰をも不当に扱わず、担保を取り上げず、何人もから奪わず、飢えている人に食べ物を与え、裸の人に服を着せる。17 貧しい人を虐げず、高利で貸したり利息を取ったりせず、私の法規を守り、私の法令に従って歩む。そのような人が父親の過ちのために死ぬことはない。必ず生き続ける。18 他方、その父親は、詐欺を働き、兄弟から物を奪い、同胞たちの中で間違ったことを行ったので、その過ちのために死ぬ。

19 あなたたちは、「どうして息子は父親の罪を負わないのか」と言うだろう。この息子は、公正で正しいことをおこな わたし ほうれい すべ まも かなら 行い、私の法令を全て守ったので、必ず生き続ける。20 罪を犯す人が死ぬのである。子が父の罪を負うことはなく、父が子の罪を負うこともない。ただ、正しいことをして報われるのは正しいひと じしん わる しょうつ 人自身であり、悪いことをして処罰されるのは悪い人自身である。

21 もし悪い人が、自分が犯した全ての罪から離れ、私の法令を守り、公正で正しいことを行うなら、その人は必ず生き続ける。死ぬことはない。

22 その人は、犯したどの違反についても責められることはない。正しいことを行ったために生き続ける。』

23 主権者である主エホバはこう宣言する。『私は、悪い人の死を少しでも喜ぶだろうか。かえて、その人が悪い行いをやめて生き続けることを喜ぶのではないか。』

24 正しい人が、正しい行いをやめて間違ったことを行い、悪い人がするようなあらゆる忌まわしい事柄を行う場合、その人は生き続けられるだろうか。その人の正しい行いは何一つ思い出されない。その人は不忠実さと犯した罪のために死ぬ。

25 あなたたちは、「エホバの行いは不公平だ」と言うだろう。イスラエル国民よ、どうか聞いてほしい。私の行いは不公平なのだろうか。あなたたちの行いが不公平なのではないか。

26 正しい人が、正しい行いをやめて間違ったことを行い、そのために死ぬ場合、その人は自分の間違った行いのために死ぬのである。

27 悪い人が、自分が行った悪いことから離れ、公正で正しいことを行うようになる場合、その人は生き延びる。

28 自分の過ちに気づき、犯した全ての違反から離れる場合、その人は必ず生き続ける。死ぬことはない。

18:22 *または、「その人が犯したどの違反も思い出されることはない。」 18:24 *または、「不公平な」。

第18章

(例)代二 33:12,13

詩 25:7

イザ 43:25

(例)エゼ 33:16

(例)哀 3:33

エゼ 33:11

デモ一 2:3,4

ペ二 3:9

(例)ミカ 7:18

(例)エゼ 33:12,18

ヘブ 10:38

ヨ二 8

(例)格 21:16

エゼ 3:20

(例)ヨブ 35:2

格 19:3

エゼ 33:17,20

(例)申 32:4

(例)イザ 55:9

エレ 2:17

(例)イザ 55:7

デモ一 4:16

第2欄

(例)創 18:25

詩 145:17

イザ 40:14

(例)ヨブ 34:11

ロマ 2:6

(例)詩 34:14

イザ 1:16

(例)詩 51:10

エレ 32:39

エゼ 11:19

エフ 4:23,24

(例)申 30:15

格 8:36

使徒 13:46

(例)エレ 29:11

哀 3:33

エゼ 33:11

ルカ 15:10

ペ二 3:9

(例)申 30:16

第19章

(例)代二 36:1

29 イスラエル国民は、「エホバの行いは不公平だ」と言うだろう。イスラエル国民よ、私の行いは不公平なのだろうか。あなたたちの行いが不公平なのではないか。』

30 主権者である主エホバはこう宣言する。『それで、イスラエル国民よ、私はあなたたちを各自の行いに応じて裁く。悔い改めて、あなたたちの全ての違反から完全に離れなさい。それらの違反があなたたちに罪をもたらさないようにしなさい。』 31 犯した全ての違反を捨て去り、新たな心と新たな精神を持つようになりなさい。イスラエル国民よ、あなたたちが死ぬようなことがあってよいだろうか。』

32 『私は誰の死をも喜ばない。悔い改めて生き続けなさい』と、主権者である主エホバは宣言する。

19 「あなたは、イスラエルの長たちに関する哀歌を歌わなければならない。2 こう歌いなさい。

『あなたの母はどんな母だったか。ライオンの群れにいた雌ライオンだった。

若くて強いライオンの間に横たわり、子供たちを育てた。

3 育て上げられた1頭の雄が、若くて強いライオンになった。獲物を引き裂くことを学び、人間さえ餌食とした。

18:31 *直訳、「自分たちのためにつくりなさい」。

- 4 他国^{たこく}の人々^{ひとびと}はそのライオンに
ついて聞き、落^おとし穴^{あな}で捕^とら
えた。
そしてかぎ^ひを引^ひっ掛^かけ、エジプト
に連れてい^つった。
- 5 雌^{めす}ライオンは待ち、悟^{さと}った。子供^{こども}
が戻^{もど}ってくる見^み込^こみがないこ
とを。
それで別^{べつ}の子供^{こども}を選^{えら}び、若^{わか}くて強^{つよ}
いライオンになるようにした。
- 6 その雄^{おす}もライオン^{あいだ}の間^{ある}を歩^{まわ}き回^わり、
若^{わか}くて強^{つよ}いライオンになった。
獲^え物を引^ひき裂^さくこと^{まな}を学^{まな}び、人^{にんげん}間^{かん}
さえ餌^え食^{じき}した。
- 7 防^{ぼう}備^びされた塔^{とう}の周^{まわ}りをうろつ^くき、
町^{まち}々^{まち}を荒^{こう}廃^{はい}させた。
荒^あれ果^はてた土^ど地^ちに、そのライオン
のほえ声^{ごえ}が響^{ひび}き渡^{わた}った。
- 8 周^{まわ}りの地^ち域^{いき}の人^{ひと}々^{びと}がや^きって来^きて、
ライオン^むに向^{あみ}か^なって網^{あみ}を投^なげ、
落^おとし穴^{あな}で捕^とらえた。
- 9 そしてかぎ^ひを引^ひっ掛^かけてお^いりに入^い
れ、バビロ^おンの王^{おう}のもの^つに連^つ
れていき、
そこでライオン^とを閉^こじ込^こめた。
その声^{こえ}がも^やうイ^やスラエ^まルの山^{やま}々^{やま}
で聞^きかれな^いようにするた
め^めに。
- 10 あな^はたの母^{はは}は、水^{みづ}のほ^うとりに植^う
えられたブドウ^きの木^きのよう
だ^たった。

19:10 *直訳、「あなたの血の中のブドウの木」。

第19章

(ア) 王ニ 23:31-34
代ニ 36:4
エレ 22:11, 12

(イ) エレ 22:17

(ウ) 格 28:15

(カ) 詩 80:8
イザ 5:7

第2欄

(ア) イザ 5:5
エゼ 15:6

(イ) 王ニ 23:34
王ニ 24:6
王ニ 25:5-7

(ウ) 申 32:22
エゼ 15:4

(カ) 申 28:48
エレ 17:5, 6
エレ 52:27

(ウ) エゼ 17:16, 18

ゆたかな^{みず}水^みのゆえ^みに実^{むす}を結^{えだ}び、枝^{えだ}
を茂^{しげ}らせた。

- 11 その枝^{えだ}は、王^{おう}笏^{しやく}に適^{てき}した強^{つよ}い枝^{えだ}
にな^なった。

木^きは成^{せい}長^{ちやう}し、他^たの木^き々^ぎの上^{うえ}にそ
びえ立^たち、
その高^{たか}さと豊^{ゆた}かな枝^{えだ}葉^はのゆえ^{えだ}に
目^め立^だつようにな^なった。

- 12 し^げかし、激^{げき}怒^どのう^ひちに引^ひき抜^ぬか
れ、地^{ひがし}面^みに投^ひげ捨^してら^れれて、
東^{ひがし}風^{かぜ}が実^みを干^ひからびさせ^せた。
つよえだ^とと^かひ^ひ
強^{つよ}い枝^{えだ}はも^もぎ取^とら^れて枯^かれ、火^ひ
で焼^やき尽^つくさ^れれた。

- 13 今^{いま}やそ^きの木^こは荒^{こう}野^やに植^うえられ、
みず^{みず}のな^{かん}い乾^{かん}燥^{そう}した土^ど地^ちに立^たっ
て
い^いる。

- 14 火^ひが枝^{えだ}から燃^もえ広^{ひろ}がり、若^{わか}枝^{えだ}や
実^みを焼^やき尽^つくし^た。
もう強^{つよ}い枝^{えだ}は残^{のこ}ってお^おらず、治^{おさ}め
るた^おめの^{うしやく}王^{おう}笏^{しやく}はな^{ない}い。

これは哀^{あい}歌^かであり、哀^{あい}歌^かとして歌^{うた}わ
れる』。

20 第^{だい}7年^{ねん}、第^{だい}5の月^{つき}の10日^か、イ
スラエ^{ちやうろう}ルの長^{なん}老^{にん}が何^{なん}人^{にん}か
や^きって来^きて、私^{わたし}の前^{まえ}に座^{すわ}った。エホバ
に何^{なに}か尋^{たず}ねるた^ためだ^たった。2 すると、
エホバ^{わたし}が私^{わたし}に語^{かた}り掛^かてこ^いう言^いった。
3 「人^{ひと}の子^こよ、イ^{ちやうろう}スラエ^{ちやうろう}ルの長^{なん}老^{にん}たち
と話^{はな}して、言^いいなさい。『主^{しゅ}権^{けん}者^{しゃ}である
主^{しゅ}エホバ^いはこ^いう言^いって^いる。』「あな^いた
た^いちは私^{わたし}に何^{なに}か尋^{たず}ねに^き来^いたのか。』『生^い

19:11, 14 *または、「つえ」。

きて^{わたし}いる^{じしん}私自身に懸^かけて^{ちか}誓^{わたし}うが、私は
あなたたちが尋ねても答^たえない』と、
主権者である主エホバは宣言する』。

4 あなたは彼^{かれ}らを裁^{さば}く用^{*よう}意^いができて
いるか。人の子^{ひと}よ、彼^{かれ}らを裁^{さば}く用^{*よう}意^い
ができて^{ひと}いるか。彼^{かれ}らに、父祖^{ふそ}たちが
おこな^{おこな}った忌まわしい事柄^{ことば}を知ら^しせないさ

い。5 こう言^いいなさい。『主権者^{しゅけんしや}であ
る主エホバはこう言^いっている。『私は、
イスラエルを選^{えら}んだ日^ひに、ヤコブの子^こ
孫^{そん}に誓^{ちか}うこともし、エジプトで私^{わたし}につ
いて知^しらせた。彼^{かれ}らに誓^{ちか}って、『私は

あなたたちの神エホバである』と言^いっ
たのである。6 その日^ひ、私^{わたし}は次^{つぎ}のこ
とを誓^{ちか}った。彼^{かれ}らをエジプトから連^つれ
出し、彼^{かれ}らのために見^みつけておいた土^ど
地^ち、非常^{ひじょう}に肥沃^{ふよく}な土^ち地に連^つれていくこ
とである。その土^ち地^ちは全^とての土^ち地^ちの中^{なか}
で最^もも美^{うつく}しかった。7 そして私^{わたし}は彼^{かれ}

らに言^いった。『あなたたちはおのおの、
目^めの前^{まえ}にある忌まわしい物^{もの}を投^なげ捨^す
てなけ^ければなら^なない。エジプトの汚^{けが}ら
わしい偶^{ぐう}像^{ざう}によつて自^じ分^{ぶん}を汚^{けが}してはな
ら^なない。私^{わたし}はあなたたちの神エホバ
である』。

8 ところが、彼^{かれ}らは私^{わたし}に反^{はん}逆^{ぎやく}し、耳^{みみ}
を傾^{かたむ}けようとしなかつた。目^めの前^{まえ}に
ある忌まわしい物^{もの}を投^なげ捨^すてず、エ

20:4 *または、「彼らに裁きを宣告する」。20:
5 *直訳、「手を挙げる」。20:6 *または、「探り
出して」。*直訳、「乳と蜜が流れる地」。△また
は、「全ての土地の飾りだった」。20:7 *ヘブラ
イ語で「ふん」を意味する言葉と関連があると考
えられる、嫌惡を表す表現。

第20章

(イ) イザ 1:12,15
エゼ 14:3

(イ) エゼ 16:51
エゼ 22:2
ルカ 11:47

(例) 申 7:6

(四) 出 4:31
出 6:7,8

(例) 出 3:8

(例) レビ 18:3
申 29:16,17
ヨシ 24:14

(例) レビ 20:7

第2欄

(例) 出 32:4

(イ) 民 14:13-16
申 9:27,28
サー 12:22

(例) 出 32:11,12
ヨシ 2:9,10
ヨシ 4:7,8

(四) 出 13:17,18
出 15:22

(例) 申 4:8

(例) 申 8:3
申 30:16

(例) 出 31:13
出 35:2

(例) 出 20:8-10
レビ 23:3,24
レビ 25:4,11

(例) 出 32:8
民 14:22,23

(四) 民 14:11,12

(例) ヨシ 7:9
エゼ 36:22

ジプトの汚^{けが}らわしい偶^{ぐう}像^{ざう}を捨^すて去^さら
なかつた。それで私^{わたし}は、彼^{かれ}らに激^{げき}しい
怒^{いか}りを浴^あびせることにし、エジプト
で彼^{かれ}らへの怒^{いか}りを十分^{じゅうぶん}に表^{あらわ}そうと考^{かんが}え
た。9 しかし、私^{わたし}は自分^{じぶん}の名^なのため
に行動^{こうどう}し、異^い国^{こく}の人々^{ひと}の前^{まえ}で私^{わたし}の名^な
が汚^{けが}されないようにした。彼^{かれ}らは異^い国^{こく}
の人々^{ひと}の中に住^すんでおり、私^{わたし}は彼^{かれ}らを
エジプトから連^つれ出^だした時^{とき}、異^い国^{こく}の
人々^{ひと}の前^{まえ}で彼^{かれ}らに私^{わたし}につい^つて知^しらせ
たからである。10 こうして私^{わたし}は、彼^{かれ}
らをエジプトから連^つれ出^だして荒^{こう}野^やに導^{みちび}
いた。

11 それから、彼^{かれ}らに私^{わたし}の法^{ほう}令^{れい}を
与^{あた}え、私^{わたし}の法^{ほう}規^きを知^しらせて、それ^{それ}に
従^{したが}う人^{ひと}が生^いき続^{つづ}けられるようにした。

12 また、私^{わたし}と彼^{かれ}らの間^{あいだ}のしるしとし
て、私^{わたし}の安^{あん}息^{そく}日^びを与^{あた}えた。私^{わたし}エホバが
彼^{かれ}らを神聖^{しんせい}なものとしていることを、彼^{かれ}
ら^らが知^しるため^{ため}だった。

13 ところが、イスラエル国民^{こくみん}は荒^{こう}
野^やで私^{わたし}に反^{はん}逆^{ぎやく}した。私^{わたし}の法^{ほう}令^{れい}に従^{したが}って
歩^{あゆ}まず、私^{わたし}の法^{ほう}規^きを退^{しりぞ}けた。それ^{それ}に従^{したが}
え^いば生^いき続^{つづ}けられるのに、そうしなかつ
た。彼^{かれ}らは私^{わたし}の安^{あん}息^{そく}日^びをすつかり汚^{けが}し
てしまつた。それで私^{わたし}は、荒^{こう}野^やで彼^{かれ}
らに私^{わたし}の激^{げき}怒^どを浴^あびせて根^ね絶^だやしにし
ようと考えた。14 しかし、私^{わたし}は自分^{じぶん}
の名^なのため^{ため}に行動^{こうどう}し、異^い国^{こく}の人々^{ひと}の
前^{まえ}で私^{わたし}の名^なが汚^{けが}されないようにした。
異^い国^{こく}の人々^{ひと}の目^めの前^{まえ}で彼^{かれ}らを連^つれ出^だ
したからである。15 ただし、私^{わたし}は荒

20:9, 14 *イスラエル人のこと。

や ^{かれ} 彼らに誓った。私が与えた土地、
 野で彼らに誓った。私が与えた土地、
 すなわち非常に肥沃な土地、全ての
 土地の中で最も美しい土地に、彼らを
 連れていかないことを誓ったのであ
 る。16 彼らが私の法規を退け、私の
 法令に従って歩まず、私の安息日を
 汚したからである。彼らの心は汚らわ
 しい偶像に頼っていた。

17 とはいえ、私は彼らを哀れに思
 い、滅ぼさなかった。荒野で根絶や
 しにはしなかった。18 彼らの子
 孫に荒野で言った。『父祖たちの規
 定に従って歩んではならない。彼ら
 の決定に従ってはならず、彼らの汚
 らわしい偶像によって自分を汚して
 はならない。19 私はあなたがたの
 神エホバである。私の法令に従って
 歩み、私の法規を守って実行しなさい。
 20 私の安息日を神聖なものとしな
 さい。それは私とあなたがたの間のしる
 しとなる。私があなたがたの神エホバ
 であることを、あなたがたが知るため
 である』。

21 ところが、子孫たちも私に反逆
 し始めた。私の法令に従って歩まず、
 私の法規を守らず、実行しなかった。
 それに従えば生き続けられるのに、そ
 うしなかった。彼らは私の安息日を汚
 した。それで私は、彼らに激しい怒り
 を浴びせることにし、荒野で彼らへの
 怒りを十分に表そうと考えた。22 し

20:15 *直訳、「乳と蜜が流れる地」。「または、
 「全ての土地の飾り」。

第20章

(7) 民 13:26, 27

(4) 民 14:30
詩 95:11
詩 106:26, 27(2) 出 32:1, 4
民 25:1, 2
使徒 7:42

(4) 民 14:33

(4) 詩 78:8

(4) 申 4:1

(4) エレ 17:22

(2) 出 31:13

(4) 民 25:1
申 9:23

(4) イザ 63:10

第2欄

(7) 詩 78:38

(4) 詩 25:11
詩 79:9
エレ 14:7
ダニ 9:19(4) レビ 26:33
詩 106:26, 27

(4) レビ 26:15, 16

(4) エレ 2:7

(4) 詩 81:12

(4) レビ 18:21
エレ 7:31

(4) ヨシ 23:5

(4) 申 12:2

(4) エゼ 16:24, 25

かし、私は思いとどまり、自分の名の
 ために行動して、異国のの人々の前で
 私の名が汚されないようにした。異国
 の人々の目の前で彼らを連れ出した
 からである。23 ただし、私は荒野で
 彼らに誓った。彼らを国々に散らし、
 さまざまな土地に追いやることを誓っ
 たのである。24 彼らが私の法規を
 守らず、私の法令を退け、私の安息日
 を汚し、父祖たちの汚らわしい偶像に
 頼ったからである。25 さらに私は、
 彼らが良くない規定や、人生き続け
 させることができない法規に従うまま
 にした。26 そして、彼らが全ての初
 子を火で焼いた時、その犠牲によって
 彼らが汚れるようにした。彼らが荒廃
 し、私がエホバであることを知るため
 である』。

27 人の子よ、イスラエル国民に話
 して、言いなさい。『主権者である主エ
 ホバはこう言っている。「こうして、あ
 なたたちの父祖たちは繰り返し不忠
 実に行動し、私を冒瀆した。28 私
 は、彼らに与えたと誓った土地に彼ら
 を連れていった。彼らは、高い丘や葉
 が茂った木を見ると、犠牲や不快な捧
 げ物を捧げ始めた。犠牲の心地よい
 香りをそこで捧げ、飲み物の捧げ物を
 注いだ。29 それで私は彼らに尋ね
 た。『あなたがたが通う高い場所は
 いったい何なのか(それは今でも「高
 い場所」と呼ばれている)』』。

20:22 *イスラエル人のこと。

30 イスラエル国民に言いなさい。
『主権者である主エホバはこう言っている。「あなたたちは、父祖たちの汚らしい偶像に頼り、それらと売春をすることにより、父祖たちと同じように自分を汚しているのか。31 子供を火で焼き、汚らしい偶像に犠牲を捧げることにより、今でも自分を汚しているのか。それなのに、イスラエル国民よ、私はあなたがたが尋ねることに答えるべきだろうか』」。

主権者である主エホバはこう宣言する。『生きている私自身に懸けて誓うが、私はあなたがたが尋ねても答えない。32 あなたたちは、「木や石を崇拜している異国の人々のようになろう。他の国々の民族のようになろう」と言うが、決してあなたがたが考えているようにはならない』」。

33 「主権者である主エホバはこう宣言する。『生きている私自身に懸けて誓う。私は力強い手と、伸ばした腕と、あふれる激しい怒りをもって、王としてあなたがたを治める。34 力強い手と、伸ばした腕と、あふれる激しい怒りをもって、あなたがたをさまざまな民の中から連れ出し、散らされていた国々から集める。35 そしてさまざまな民の荒野に連れていき、そこで面と向かって裁く。』

36 私は、エジプトの荒野であなた

20:30 *他の神を崇拜することが売春に例えられている。 20:32 *または、「に奉仕している」。

第20章

〔イ〕 裁 2:19
代 21:13
エレ 13:26, 27

〔イ〕 申 18:10, 12
詩 106:36-38
エレ 7:31

〔イ〕 イザ 1:15

〔イ〕 ゼカ 7:13

〔イ〕 エレ 44:17

〔イ〕 エレ 21:5
エゼ 8:18

〔イ〕 イザ 27:13
エゼ 34:16

〔イ〕 エレ 2:9

第2欄

〔イ〕 レビ 27:32
エゼ 34:17

〔イ〕 エゼ 34:20, 21

〔イ〕 エゼ 13:9

〔イ〕 裁 10:14
詩 81:12

〔イ〕 イザ 1:13
エゼ 23:39

〔イ〕 イザ 2:2, 3
イザ 66:20

〔イ〕 イザ 56:7
ゼカ 8:22

〔イ〕 マラ 3:4

〔イ〕 イザ 11:11
エレ 23:3

〔イ〕 イザ 5:16
エゼ 38:23

たちの父祖たちを裁いたように、あなたたちをも裁く』と、主権者である主エホバは宣言する。37 『あなたたちが牧者のつえをくぐらせて、契約を守る義務を負わせる。38 私は、私に逆う者や背いている者を、あなたたちの中から取り除く。外国人として住んでいる土地から連れ出すが、彼らはイスラエルの土地には入らない。そして、あなたがたは私がエホバであることを知らなければならなくなる』。

39 イスラエル国民よ、主権者である主エホバはこう言う。『おのおの行って、自分の汚らしい偶像を崇拜するがよい。その後、私の言うことを聞かなくても、あなたがたはもはや犠牲や汚らしい偶像によって私の聖なる名を汚すことはできない』。

40 主権者である主エホバはこう宣言する。『イスラエル国民全体は、私の聖なる山、イスラエルの高い山で、その土地で私に仕える。私はそこで彼らのことを喜び、寄進物や最上の捧げ物、あらゆる聖なるものを求める。41 私は、あなたがたをさまざまな民の中から連れ出し、散らされていた国々から集める時、心地よい香りのゆえにあなたがたのことを喜ぶ。そして、あなたがたの中で、異国の民の目の前で、私は神聖なものとされる』。

42 『私があなたがたをイスラエルの土地に、父祖たちに与えると誓った

20:37 *直訳、「契約の絆に入れる」。

土地に連れていく時、あなたたちは私
がエホバであることを知らなければ
なくなる。43 あなたたちはそこ
で、自分を汚した振る舞いや行いをおも
い出し、行ったあらゆる悪い事柄のゆ
えに自分を嫌悪する。44 私は、あな
たたちを悪い振る舞いや墮落した行
いに応じて扱うことはせず、私の名の
ために行動する。その時、イスラエル
国民よ、あなたたちは私がエホバで
あることを知らなければならなくな
る』と、主権者である主エホバは宣言
する。

45 エホバが再び私に語り掛けてこ
う言った。46 「人の子よ、顔を南の
方に向けて、南に宣告しなさい。南の
森林に対して預言しなさい。47 南
の森林に向かってこう言いなさい。
『エホバの言葉を聞きなさい。主権者
である主エホバはこう言っている。
「私はあなたに火を放つ。その火はあ
なたの中で、青々とした木も枯れた木
も全て焼き尽くす。燃え盛る炎は消さ
れず、南から北まで全ての人が熱を感
じる。48 全ての人は、私エホバが
森林に火を放ったのを見る。その火
は消されることがない』』。

49 私は言った。「ああ、主権者であ
る主エホバ！ 彼らは私について、『彼
は謎めいたことを語っているだけでは
ないか』と言っています」。

20:43 *直訳、「自分の顔」。20:47 *または、
「全ての地面が焦げる」。

第20章
(例) エゼ 11:17

(例) エゼ 36:23

(例) レビ 26:40

エゼ 6:9

エゼ 16:61

(例) エレ 31:18

(例) 詩 79:9

エゼ 36:22,23

(例) 申 32:22

エレ 21:14

(例) イザ 66:24

(例) 代二 7:20

哀 2:17

第2欄

第21章

(例) レビ 26:33

(例) エレ 23:20

(例) イザ 22:4

エレ 4:19

エゼ 9:8

(例) エゼ 7:15-17

(例) イザ 66:16

エレ 12:12

アモ 9:4

21 エホバが再び私に語り掛け
てこう言った。2 「人の子
よ、顔をエルサレムの方に向け、聖な
場所に対して宣告し、イスラエルの
土地に対して預言しなさい。3 イス
ラエルの土地に向かってこう言いな
さい。『エホバはこう言っている。「私は
あなたに敵対しており、剣をさやから
抜いて、あなたの中の正しい人も悪い
人も滅ぼす。4 あなたの中の正しい
人も悪い人も滅ぼすために、私の剣は
さやから抜かれ、南から北まで全ての
人に向けられる。5 全ての人は、私
エホバが剣をさやから抜いたことを
知らなければならなくなる。剣はもう
戻らない』』。

6 人の子よ、震えながらため息をつ
きなさい。人々の中で悲嘆したため息
をつくのである。7 『なぜため息を
ついているのか』と言われたら、『知
らせを聞いたからだ』と言いなさい。
知らせは必ず届き、全ての人は心が恐
れにとらわれ、手が力なく垂れ下がり、
気が沈み、膝から水が滴る。『知らせ
は必ず届き、その通りになる』と、主権
者である主エホバは宣言する。

8 エホバが再び私に語り掛けてこ
う言った。9 「人の子よ、預言しな
さい。『エホバはこう言っている。「言
いなさい。『剣だ！ 剣が研がれ、磨か
れた。10 それは大勢を殺すために

21:6 *または、「腰砕けになって」。21:7 *恐
怖のあまり失禁すること。

と いなずま ひか みが
研がれ、稲妻のように光るために磨か
れた』』。』。

「私たちは歓喜すべきではないか」。
『剣は、全てのつえを退けるように、
私の子の王笏を退けるだろうか。

11 剣は磨かれて手で振るわれるた
めに与えられる。それは研がれて磨
かれ、刑を執行する者の手に渡される。

12 人の子よ、泣き叫びなさい。剣
が私の民に向けられたからである。そ
れはイスラエルの全ての長に向けら
れた。彼らと民は、剣によって倒れる
ことになる。それで悲しんで、ももをた
たきなさい。**13** 私の民は試された。
剣が王笏を退けたらどうなるだろう
か。王笏は存続しなくなる』と、主権
者である主エホバは宣言する。

14 人の子よ、預言し、手をたたい
て、『剣だ!』と3回言いなさい。そ
れは殺すための剣、大勢を殺す剣で
あり、人々を取り囲む。**15** 人々の心
は恐れにとらわれ、大勢が都市の門
の所で倒れる。私は剣によって人々が
殺されるようにする。剣は殺すために
磨かれ、稲妻のように光る。**16** 剣
よ、右に鋭く切り付けよ! 左に向かっ
て切れ! 刃が向いている方へ進め!
17 私も手をたたき、私の激しい怒
りは収まる。私エホバが語ったので
ある」。

18 エホバが再び私に語り掛けて
こう言った。**19** 「人の子よ、バビロ

21:10 *直訳、「木」。

第21章

(例) 創 49:10
サニ 7:12,14

(例) エレ 25:9
エレ 51:20

(例) エゼ 9:8
ミカ 1:8

(例) エゼ 19:1

(例) エレ 6:27

(例) 王二 25:7
エゼ 19:14
エゼ 21:26

(例) 王二 25:1,2

(例) エゼ 21:7

(例) イザ 1:24
エゼ 5:13
エゼ 16:42

第2欄

(例) エレ 49:2
エゼ 25:5
アモ 1:14

(例) サニ 5:9
代二 26:9
代二 32:2,5
代二 33:1,14

(例) エレ 32:24
エレ 52:4

(例) 代二 36:11,13
エゼ 17:13

(例) 王二 25:6,7

(例) 代二 36:11,13
エレ 24:8
エレ 52:1,2
エゼ 17:19

(例) 王二 25:5-7
エレ 52:8,11
エゼ 12:12,13

ンの王の剣がやって来る2つの道を
書きなさい。道はどちらとも同じ土地で
始まる。道が分かれて2つの都市に
向かう地点に、道しるべを置きなさい。

20 剣は、一方の道を通るとアンモン
人のラバに向かい、もう一方の道を通
るとユダの防備されたエルサレムに向
かうことになる。**21** バビロンの王
は、道が2つに分かれる所で止まり、
占いをする。矢を振り、偶像に何いを
立て、肝臓を調べる。**22** 王の右手
に、占いはエルサレムと出た。その都
市に対して破城槌を配置し、殺りくを
宣言し、ときを声を上げ、門に向かって
破城槌を置き、攻めるための土塁を築
き、包囲壁を建てるのである。**23** そ
の占いは、彼らに誓いを立てた人々の
目には間違っているように映る。しか
し、王は那些人々の罪を思い出し、
人々を捕らえる。

24 それで、主権者である主エホバ
はこう言う。『あなたたちの罪は思い
出された。自ら違反を明らかにし、あ
らゆる行いに罪が見いだされるように
したからである。あなたたちは思い出
されたので、敵の手に落ちる』。

25 致命的な傷を負った、イスラエ
ルの邪悪な長よ、あなたの日が来た。
最終的な処罰の時である。**26** 主権
者である主エホバはこう言う。『ター
バンを外し、冠を脱ぎなさい。それら

21:19 *直訳、「手」。**21:21** *直訳、「テラフィ
ム」。**21:23** *エルサレムの住民のこと。

がそのままになることはない。立場が
ひくもの たか (イ) たか もの ひく
低い者を高くし、高い者を低くしな
(イ) わたし は めつ は めつ は めつ
い。27 私は、破滅、破滅、破滅をも
ほうてきけん り も もの く
たらす。法的権利を持つ者が来るま
かんむり だれ (イ) わたし
で、冠は誰のものにもならない。私は
もの かんむり あた (イ)
その者に冠を与える』。

28 人の子よ、預言しなさい。『主権
しや しや
者である主エホバは、アンモン人と彼
ら (イ) ぶじよく
らの侮辱についてこう言っている』。言
い (イ) つるぎ ひとびと ころ
なさい。『剣だ！ 人々を殺すために
つるぎ ぬ ぎやくさつ
剣が抜かれた。それは虐殺のために、
いなづま ひか みが
稲妻のように光るために磨かれた。

29 あなたに関する偽りの幻やうその
うらな
占いがどうであれ、あなたは殺され
じゃあく もの うえき つ あ
た邪悪な者たちの上に積み上げられ
る (イ) ことになる。(その者たちは、自分
たちの日すなわち最終的な処罰の時
が来て殺されたのである。) 30 剣を
き ころ つるぎ
さやに戻しなさい。私は、あなたが創
もど わたし そう
造された場所、生まれた土地で、あな
だんざい わたし いか
たを断罪する。31 あなたに私の怒
あ わたし げきど ひ ふ
りを浴びせ、私の激怒の火を吹き付け
る (イ) ほろ
。そして、滅ぼすことにたけた残忍な
もの たち にあなたを引き渡す。32 あ
なたは火にくべる燃料となる。その土
ひ ねんりよう (イ) と
地で血を流し、もう思い出されること
ち ち なが おち だ
はない。私エホバが語ったからであ
る (イ) わたし かた
る』。

22 エホバが再び私に語り掛け
て (イ) こと (イ) ひと こ
こう言った。2 人の子
りゅうけつ つみ お と し (イ) さば い
よ、流血の罪を負った都市に裁きを言

21:29 *直訳、「の首の上」。

第21章

(イ) エゼ 21:13

(イ) 詩 75:7

ダニ 4:17

(イ) ダニ 4:37

ルカ 21:24

(イ) 創 49:10

詩 89:3,4

詩 110:1

イザ 9:6

イザ 11:10

ルカ 1:32,33

啓 5:5

(イ) 詩 2:6,8

ダニ 7:13,14

ルカ 22:29

(イ) エゼ 25:5

(イ) エレ 49:2,3

第22章

(イ) 王二 21:16

エレ 2:34

マタ 23:37

第2欄

(イ) エゼ 16:51

(イ) エゼ 24:6

(イ) エゼ 12:25

(イ) 王二 21:11

(イ) 創 9:6

(イ) レビ 26:30

エゼ 23:37

(イ) 申 28:37

王一 9:7

詩 80:6

エゼ 23:32

ダニ 9:16

(イ) 詩 79:4

(イ) イザ 1:23

ミカ 3:1-3

ゼバ 3:3

(イ) 申 27:16

(イ) 出 22:21,22

詩 82:3

イザ 1:17

(イ) レビ 19:30

(イ) 出 23:1

レビ 19:16

(イ) エレ 13:27

(イ) レビ 18:7

レビ 20:11

い渡し、彼女に自らのあらゆる忌まわ
おこな し よう
しい行いについて知らせる用意がで
きているか。3 こう言わなければな
(イ) しゅけんしや しゅ
らない。『主権者である主エホバは
い じゅうみん ち なが と
こう言っている。『住民の血を流す都
し (イ) とき (イ)
市よ。あなたの時は来ている。あなた
けが ぐうそう* つく じ ぶん けが
は汚らしい偶像を作って自分を汚
(イ) じ ぶん なが ち
した。4 あなたは自分が流した血に
ゆうざい (イ) けが ぐうそう
よって有罪となり、汚らしい偶像に
けが (イ) じ ぶん ひ
よって汚れた。あなたは自分の日々
お はや ねんげつ
の終わりを早めた。あなたの年月の
お き わたし
終わりが来た。そのため、私はあなた
いこく ひとびと ひなん まと すべ
を異国の人々の非難の的とし、全ての
くに (イ) まと (イ) ちか
国のあざけりの的とする。5 近くの
くに と おく (イ)
国も遠くの国もあなたをあざける。あ
な けが ちそうらん み
なたは名が汚れており、騒乱に満ちて
なか
いる。6 あなたの中にいるイスラエ
ちよう けい
ルの長たちは、それぞれ権威を振るっ
ち なが * (イ) なか ひとびと
て血を流す。7 あなたの中で、人々
ちちおや ははおや けい し (イ) がいいくじんきょじゅう
は父親や母親を軽視し、外国人居住
しゅ と ちちおや こと*
者からだまし取り、父親のいない子供
ふとう あつか (イ)
ややもめを不当に扱う』。

8 「『あなたは私の聖なる場所を軽
わたし あんそく び けが (イ)
んじ、私の安息日を汚す。9 あなた
なか ひと ちゅうしょう ち なが
の中に、あなたを中傷して血を流そうとす
もの (イ) なか ひとびと
る者たちがいる。あなたの中で、人々
やま うえ ぎ せい た おこな
は山の上で犠牲を食べ、みだらな行
つづ (イ) なか ひとびと
いを続ける。10 あなたの中で、人々
ちちおや つま かんけい も * (イ) げっけい けが
は父親の妻と関係を持ち、月経で汚

22:2 *都市つまりエルサレムのこと。22:3

*ヘブライ語で「ふん」を意味する言葉と関連

があると考えられる、嫌悪を表す表現。22:6

*または、「人を殺す」。22:7 *または、「孤児」。

22:10 *直訳、「父親の裸をさらし」。

ている女性を辱める。11 あなたのなか、ある人は隣人の妻と忘ましきことを行い、別の人はみだらな行いによって義理の娘を汚し、また別の人は父親の娘すなわち自分の姉妹を辱める。12 あなたの中で、人々は賄賂を受け取って血を流す。あなたは利息を取ったり、もうけのために貸したりし、隣人から脅し取る。あなたは私をすっかり忘れてしまった』と、主権者である主エホバは宣言する。

13 私は、あなたが得た不当な利益に対して、またあなたの中で血が流されたことに対して、嫌悪を抱いて手をたたく。14 私があなたに対して行動を取る時、あなたの心は耐えられようか。あなたの手は力を保てるだろうか。私エホバが語ったのであり、私は行動を起こす。15 私はあなたを国々に散らし、さまざまな土地に追いや、あなたの汚れを終わらせる。

16 そして、あなたは異国のの人々の中で侮辱され、私がエホバであることを知らなければならなくなる』。

17 エホバが再び私に語り掛けてこう言った。18 「人の子よ、イスラエル国民は私にとって無価値な浮きかすようになった。彼らは皆、炉の中の銅、スズ、鉄、鉛である。彼らは銀の浮きかすとなった。

19 それで、主権者である主エホバ

22:12 * または、「人を殺す」。* または、「高利で」。

第22章

(例) レビ 18:19
レビ 20:18

(例) レビ 18:20
レビ 20:10
エゼ 5:8

(例) レビ 18:15

(例) レビ 20:17

(例) 出 23:8
申 27:25
イザ 1:23

(例) 申 23:19

(例) 出 22:25
レビ 6:4,5

(例) エゼ 21:7

(例) 申 4:27
申 28:25

(例) イザ 1:25
エゼ 23:27

(例) エゼ 6:13

(例) 格 17:3
エゼ 6:28-30

第2欄

(例) 詩 119:119
格 25:4

(例) エゼ 21:31

(例) 申 4:24
詩 21:9
エゼ 21:12

(例) 詩 68:2

(例) エゼ 5:31
エゼ 6:13,14

(例) ミカ 3:5

(例) エゼ 2:8
哀 4:13
ミカ 3:11

(例) レビ 20:3
レビ 22:2

(例) レビ 10:10

(例) レビ 11:46,47

はこう言う。『あなたたち皆が無価値な浮きかすようになったので、私はあなたたちをエルサレムの中に集めている。20 銀、銅、鉄、鉛、スズが炉の中に集められ、火を吹き付けられて溶かされるように、私は怒りと激怒のうちにあなたたちを集め、息を吹き掛けて溶かす。21 あなたたちを集めて、私の激怒の火を吹き付けると、あなたたちは彼女の中で溶ける。22 炉のなか、銀が溶かされるように、彼女の中で溶かされる。そしてあなたたちは、私エホバがあなたたちに激しい怒りを浴びせたことを知らなければならなくなる』。

23 エホバが再び私に語り掛けてこう言った。24 「人の子よ、彼女に言いなさい。『あなたは憤りの日に清められることも雨が降り注ぐこともない土地である。25 彼女の中で預言者たちは陰謀を企てた。ほえるライオンが獲物を引き裂くように、彼らは人々を餌食にする。宝や貴重な物を奪い、彼女の中で多くの人をやもめにした。26 彼女の祭司たちは、私の律法を破り、私の聖なる場所を汚し続ける。聖なるものと世俗のものを区別せず、何が汚れていて何が清いかを知らせず、私の安息日を守ろうとしない。私は彼らの中で汚されている。27 彼女の高官たちは、獲物を引き裂くオ

22:21 * エルサレムのこと。

オカミのようであり、不当な利益を得るために人々を襲って殺す。28 彼女の預言者たちは、しっくいを塗るかのように彼らの行いを覆った。偽りの幻を見て、うその占いをし、エホバが語っていないのに、「主権者である主エホバはこう言っている」と語る。

29 この土地の人々は、詐欺や強盗を働き、困っている人や貧しい人を不当に扱い、外国人居住者をだまして公正に扱わなかった。』

30 『私は彼らの中で人を探していた。この土地が滅ばされないように、石の壁を修理するか、私の前で壁の裂け目に立って土地を守ってくれる人である。しかし、誰も見つからなかった。

31 それで、私は彼らに怒りを浴びせ、私の激怒の火で根絶やしにする。彼らに自分たちの歩みの報いを受けさせる』と、主権者である主エホバは宣言する。

23 エホバが再び私に語り掛けてこう言った。2 「人の子よ、2人の女性がいた。同じ母から生まれた娘たちだった。3 2人はエジプトで娼婦になり、若い頃から売春を行った。その土地で乳房をつかまれ、乙女の胸をなで回された。4 彼女たちの名前は、姉がオホラ、妹がオホリバだった。2人は私のものとなり、息子や娘を産んだ。オホラはサマ

23:4 *意味、「彼女の天幕」。*意味、「私の天幕は彼女の中にある」。

第22章

(イ) ミカ 3:1-3
ゼバ 3:3

(イ) イザ 30:10
エレ 23:25
哀 2:14
エゼ 13:9,10

(イ) イザ 2:13
イザ 3:14
エレ 21:12
ミカ 2:2

(出) 出 32:11
詩 106:23

第23章

(イ) エレ 3:6,7

(イ) レビ 17:7
申 29:16,17
ヨシ 24:14
エゼ 20:8

第2欄

(イ) 王 16:23,24

(イ) 王 14:16
王 21:25,26

(イ) ホセ 2:5

(出) 王 15:19
王 17:3
ホセ 5:13
ホセ 7:11

(イ) ホセ 5:3

(出) 出 32:1,4
王 12:28,29
王 10:29

(イ) 王 15:29
代 5:26

(イ) ホセ 2:10

(イ) 王 17:6
王 18:11

(出) エレ 3:6-8
エゼ 16:46,47

(イ) 王 16:7

(イ) 王 17:19

リアのことであり、オホリバはエルサレムのことである。

5 オホラは、私のものでありながら売春を行うようになり、愛人である近隣のアッシリア人に情欲を抱いた。

6 彼らは、青い服を着た総督や、代官であり、皆が馬に乗った好ましい若者

だった。7 オホラはアッシリアのえり抜きの者たち皆と売春を続け、自分が情欲を向ける者たちの汚らわしい偶像によって自分を汚した。8 彼女はエジプトで行っていた売春をやめなかった。彼女が若い時に、人々は彼女と寝て乙女の胸をなで回し、彼女に情欲を燃やしたのである。9 それで私は、オホラを愛人の手に、彼女が情欲を向けたアッシリアの人々の手に渡し

た。10 彼らは彼女の裸をさらし、息子や娘を奪い、彼女を剣で殺した。彼女は女性たちの中で汚名を着せられ、彼らは彼女に刑を執行した。

11 それを見た妹のオホリバは、いっそう墮落して情欲を燃やし、姉よりもひどい売春を行った。12 彼女は近隣のアッシリアの人々に情欲を抱いた。彼らは、立派な服を着て馬に乗った総督や代官であり、皆が好ましい若者だった。13 オホリバが自分を汚した時、私は2人とも同じ道を歩んだのを見た。14 オホリバはますます売春を行っていった。彼女は壁

23:7 *ヘブライ語で「ふん」を意味する言葉と関連があると考えられる、嫌悪を表す表現。23:8 *または、「彼女と不道德な性関係を持った」。

に彫られた男性たちを見た。それは
朱色に彫られたカルデア人の像で、

15 腰に帯を締め、端を垂らしたター
パンを頭に巻き、戦士のいでたちをし
ていた。それは皆、カルデア人の土地
で生まれたバビロニア人の像だった。

16 オホリバはそれを見るや、彼らに
情欲を抱くようになり、カルデアにい
る彼らのもとに使者を送った。17 す
るとバビロンの人々はやって来ては彼
女の寝床で関係を持ち、情欲によって
彼女を汚した。彼女は汚された後、嫌
悪を抱いて彼らから離れていった。

18 オホリバが恥知らずにも売春を
行い続け、自分の裸をさらし続けたの
で、私は嫌悪を抱いて彼女から離れて
いった。彼女の姉から離れたのと同じ
ようにである。19 オホリバは、若い
頃にエジプトで売春を行った時のこと
を思い起こし、ますます売春を行って
いった。20 ロバや馬のような生殖
器を持つ男たちに情欲を燃やした。
まるで彼らのそばめのようにである。

21 あなたは、エジプトで人々があな
たの胸を、若い頃の乳房をなで回した
時の、みだらな行いを渴望した。

22 それで、オホリバよ、主権者であ
る主エホバはこう言う。『私は、あな
たの愛人たちをけしかなけている。あ
なたが嫌悪を抱いて離れていった者
たちに、あなたを四方から攻めさせる。

23:17 *または、「不道徳な性関係」。23:20

*用語集参照。

第23章

(例) エゼ 16:29

(例) エレ 3:2
エゼ 16:36, 37

(例) 詩 106:39, 40
エレ 6:8
エレ 12:8

(例) エゼ 20:7

(例) エゼ 16:25

(例) ヨシ 24:14

(例) エゼ 23:3

(例) エゼ 16:37
ハバ 1:6

(例) エレ 6:22
エレ 12:9

第2欄

(例) エゼ 21:19

(例) 王二 24:2

(例) エレ 50:21

(例) エレ 39:5

(例) エゼ 15:7
エゼ 20:47

(例) エレ 13:22
啓 17:16

(例) イザ 3:18-23
エレ 4:30
エゼ 16:39

(例) エゼ 23:3

(例) イザ 27:9
エゼ 16:41
エゼ 22:15

(例) エレ 21:7

(例) 申 28:49, 51

(例) エゼ 16:36, 37
エゼ 16:39

23 バビロンの人々と全てのカルデア
人、ペコドとシオアとコアの人たち、ま

たアッシリアの人々全てに、あなたを
せめさせる。彼らは、皆が好ましい若
者で、総督や代官、戦士、選ばれた者
であり、馬に乗っている。24 ごう音
を立てるたくさんの戦車と大勢の兵で
あなたを攻撃する。大盾と小盾とかぶ
とを身に着け、あなたの周囲に陣取
る。私は彼らに裁く権限を与え、彼ら

は思い通りにあなたを裁く。25 私
はあなたへの憤りを表し、彼らはあな
たに激しい怒りを向ける。あなたの鼻
と耳は切り取られ、残っている人は剣
によって倒れる。あなたの息子や娘は
奪われ、残っている人は火で焼き尽く
される。26 彼らはあなたの服を剥
ぎ取り、美しい装飾品を取り上げる。

27 私は、エジプトで始まったあなた
のみだらな行いと売春をやめさせる。
あなたは見ることをやめ、もはやエジ
プトを思い起こさない。』

28 主権者である主エホバはこう言
う。『私は、あなたが憎んでいる者た
ち、あなたが嫌悪を抱いて離れていっ
た者たちに、あなたを引き渡そうとし
ている。29 彼らはあなたに憎しみ
を向け、あなたが苦労して手に入れた
物を全て奪い、あなたを裸にする。あ
なたの不道徳とみだらな行いと売春
の恥がさらされることになる。30 そ
ういう目に遭うのは、あなたが娼婦の

ように異国の人々を追い掛け、彼らの
けが けが けが けが
汚らしい偶像によって自分を汚した
からである。31 あなたは自分の姉
おなじみ かわい かわい
と同道を歩んだのであり、私は彼女
の杯をあなたに渡す。』

32 主権者である主エホバはこう
いう。

『あなたは、姉の深くて大きい杯
から飲み、笑いものにされ、あ
ざけられる。
杯は冷笑とあざけりで満ちて
いる。』

33 あなたはひどく酔い、悲しみに暮
れる。

それは恐怖と荒廃の杯、
あなたの姉サマリアの杯。

34 あなたはそれを飲み干し、杯の
かけらをかじらなければなら
ない。

そして、自分の胸を切り裂く。
「私が語ったからである」と、主
権者である主エホバは宣言
する。』

35 それで、主権者である主エホバ
はこう言う。『あなたは、私を忘れ、完
全に無視したので、自分のみだらな行
いと売春の報いを受ける。』

36 それからエホバは私に言った。
「人の子よ、オホラとオホリバに裁きを
言い渡し、極めて不快な行いを思い知

第23章

(7) エレ 2:18

(1) 詩 106:35, 36

エゼ 6:9

エゼ 23:7

(7) エレ 3:8

エゼ 16:46, 47

(7) 王二 21:13

エレ 25:15

ダニ 9:12

(7) イザ 51:17

(7) 申 28:37

王一 9:7

哀 2:15

(7) 詩 75:8

(7) 王一 14:9

ネヘ 9:26

イザ 17:10

エレ 2:32

エレ 13:25

(7) エゼ 23:4

第2欄

(7) ホセ 1:2

ヤコ 4:4

(7) レビ 18:21

王二 17:17, 18

エゼ 16:36

(7) エレ 7:31

(7) レビ 20:3

(7) イザ 57:9

(7) エレ 4:30

(7) イザ 57:7

(7) イザ 65:11

(7) エゼ 8:10, 11

(7) エゼ 16:17, 18

(7) レビ 20:10

(7) 創 9:6

エゼ 16:38

らせてほしい。37 2人は姦淫をし、
て ち ち ち
手は血に染まっている。汚らしい偶
像と姦淫をしただけでなく、私のため
に産んだ子たちをささ火で焼き、食物
として偶像に捧げたのである。38 そ
う え わたし たい つぎ おこな
の上、私に対して次のことも行った。
その日に私の聖なる所を汚し、私の安
息日を汚したのである。39 2人は、
じぶん こ ころ * けが けが
自分の子たちを殺し、汚らしい偶像
に犠牲として捧げた後、まさにその日
に私の聖なる所に入ってきてそこを汚
した。私の家の中でそのようなしたの
である。40 さらに、2人は使者を送
り、遠くから男性たちを呼び寄せた。
彼らがやってくる、あなたは体を洗
い、目に化粧をし、装飾品で身を飾つ
た。41 そして、豪華な寝椅子に座
り、その前にある食卓の上に私の香と
あぶら油を置いた。42 気楽に過ごす群衆
の声があり、その中には荒野から連れて
こられた酔った者たちもいた。彼らは
ふたり て うで わ あたま うつく かんむり
2人の手に腕輪をはめ、頭に美しい冠
をかぶせた。

43 私は姦淫をして疲れ果てた彼
女について、『彼女は売春を行い続け
る』と言った。44 そして彼らは、娼
婦の所に行くように彼女の所に通っ
た。そのようにして、みだらな行いをす
る女性オホラとオホリバの所に行った
のである。45 しかし、正しい者たち
は、姦淫と流血の罪に見合った裁きを

23:37 *他の神を崇拝することが姦淫に例えら
れている。23:39 *または、「ほふり」。

23:35 *直訳、「背後に投げ捨てた」。

彼女に下す。彼女たちは姦淫をしたのであり、手が血に染まっているからである。

46 主権者である主エホバはこう言う。『2人は軍隊に攻められ、略奪に遭い、それを見る人々は恐怖を感じる。』**47** 軍隊は2人に石を投げ付け、剣で切り殺す。彼女たちの息子や娘を殺し、家々を火で焼く。**48** 私はこの土地でみだらな行いをやめさせる。すべての女性は教訓を得て、あなたたちのみだらな行いに倣うことはなくなる。**49** あなたたちは敵に襲われて、自分のみだらな行いの報いと、汚らしい偶像との罪の報いを受ける。そして、私が主権者である主エホバであることを知らなければならなくなる。』

24 第9年、第10の月の10日、エホバが再び私に語り掛けてこう言った。**2** 「人の子よ、この日付を、まさにこの日を記録しなさい。バビロンの王はまさにこの日にエルサレムを攻め始めた。**3** 反逆的な民に関する例えを語り、彼らについてこう言いなさい。

『主権者である主エホバはこう言っている。

「鍋を火に掛けよ。火に掛けて、水を入れよ。

4 あらゆる良い肉片を鍋に入れよ。もと肩の肉を入れ、最上の骨で鍋を満たすのである。

第23章

(例) 王ニ 24:3,4
詩 106:38
エゼ 23:37

(例) エレ 15:4
エレ 25:9
エゼ 16:40

(例) レビ 20:2

(例) 代ニ 36:17

(例) 王ニ 25:9,10
エレ 39:8

(例) ペニ 2:6

(例) エゼ 6:13

第24章

(例) 王ニ 25:1
エレ 39:1
エレ 52:4

(例) エゼ 11:3

(例) エゼ 11:7

第2欄

(例) エレ 39:6

(例) 王ニ 21:16
ミカ 7:2
マタ 23:35

(例) エゼ 11:7,9

(例) エレ 2:34

(例) レビ 17:13
申 12:16

(例) 王ニ 24:3,4

(例) マタ 23:37

5 最上の羊を選び、鍋の下にまきを敷き詰めよ。肉片をゆで、骨を煮るように。』

6 主権者である主エホバはこう言う。

『流血に満ちた都市には災いがあ

る！この都市はさび付いた鍋であり、さびが取り除かれていない。肉を1切れずつ全て取り出せ。

くじを引いて選んではならない。

7 血が都市の中にあるからである。彼女の血をむき出しの岩に注

いだ。

地面には注がず、土で覆わな

かった。

8 私は、復讐するために激しい怒りをかき立てようと、彼女の血をむき出しの岩に注が

れたままにし、

その血が覆われないようにした。』

9 主権者である主エホバはこう言う。

『流血に満ちた都市には災いがあ

る！私はまきを高く積み上げる。

10 まきを積み重ね、火をおこせ。

肉を十分にゆで、肉汁を注ぎ出し、骨を焦がせ。

24:7 *都市つまりエルサレムのこと。

11 空の鍋を炭火の上に置き、
銅が真っ赤になるまで熱するよ

うに。

鍋の汚れは中で溶け、さびはな
くなっていく。

12 しかし、
いいことに、

頑固なさびは落ちない。
鍋をそのさびごと火に投げ入れ
よ!』

13 『あなたの汚れは、みだらな行
いのせいである。私はあなたを清めよ
うとしたが、あなたは汚れたままで清
くならなかった。あなたに対する私の
激しい怒りが和らぐまで、あなたは清
くならない。14 私エホバが語った
のである。これは必ず起きる。私はた
めらわずに行動し、悲しまず、嘆かな
い。あなたは自分の生き方や行いに
応じて裁かれる』と、主権者である主
エホバは宣言する。

15 エホバが再び私に語り掛けて
こう言った。16 「人の子よ、私は、あ
なたの愛する人を速やかに奪おうとし
ている。あなたは嘆いてはいけない。
泣いて涙を流してもいけない。17 声
を出さずに悲しみなさい。死者のため
に喪に服してはいけない。ターバンを
巻き、サンダルを履きなさい。口ひげ

24:14 *または、「悔やまない」。24:16 *直訳、
「一撃で」。「または、「胸をたたいて」。24:17
*または、「上唇」。

第24章

(例) エレ 21:10
エレ 32:29
エゼ 22:15

(例) エレ 5:3
エレ 6:29

(例) 代二 36:14
エゼ 22:9

(例) エゼ 5:12,13
エゼ 8:18

(例) エレ 13:14
エゼ 5:11

(例) エゼ 24:18,21

(例) エレ 16:5

(例) レビ 10:6

(例) サ二 15:30

第2欄

(例) ミカ 3:7

(例) エレ 16:7

(例) 詩 74:7
詩 79:1
エレ 7:14
哀 1:10
哀 2:7
エゼ 9:7

(例) 代二 36:17
エレ 6:11

(例) エゼ 24:17

(例) レビ 26:39
エゼ 33:10

(例) イザ 8:18
イザ 20:3
エゼ 4:3

を覆ってはいけない。人が持ってきた
パンを食べてはいけない。

18 朝に私は人々に語り掛け、夕方
に妻が死んだ。それで次の朝、私は
命じられた通りにした。19 人々は
私に、「あなたがしているこれらのこと
が私たちとどんな関係があるのか、話
してくれませんか」と言った。20 私
は彼らに答えた。「エホバが私に語り
掛けて、こう言いました。21 『イスラ
エル国民に言いなさい。「主権者で
ある主エホバはこう言っている。『私
は、わたしの聖なる所を汚そうとしてい
る。あなたたちが大いに誇りに、大切に
し、心から慕っている場所を汚すので
ある。あなたたちが残してきた息子や
娘は、剣によって倒れる。22 そして
あなたたちは、エゼキエルがした通り
にしなければならない。口ひげを覆
わず、人が持ってきたパンを食べない。
23 ターバンを巻き、サンダルを履く。
嘆くことも泣くこともしない。自分の過
ちのせいで弱り果て、互いに悲しみを
表す。24 エゼキエルはあなたたち
に対するしるしとなった。あなたたち
は彼がした通りにする。それが起きる
とき、あなたたちは私が主権者である主
エホバであることを知らなければなら
なくなる』』」。

25 「人の子よ、私は民の要塞を取
り去る。彼らが喜び、大切にし、心か
ら慕っているその美しい物を、彼らの

息子や娘と共に取り去るのである。その日に、**26** 逃れた人が、起きた事をあなたに報告する。**27** その日に、あなたは口を開いて、逃れた人に語り掛け、もはや黙ったままではない。あなたは彼らに対するしるしとなり、彼らは私がエホバであることを知らなければならなくなる」。

25 エホバが再び私に語り掛けてこう言った。**2** 「人の子よ、顔をアンモン人の方に向けて、彼らに対して預言しなさい。**3** アンモン人についてこう言わなければならぬ。『主権者である主エホバの言葉を聞きなさい。主権者である主エホバはこう言っている。「私の聖なる所がけがれ、汚された時、イスラエルの土地が荒廃させられた時、ユダ国民が捕囚にされた時、あなたは『いい気味だ!』と言った。そのため、**4** 私はあなたを東方の人たちに渡し、所有させる。彼らはあなたの中に宿営を設け、自分たちの天幕を張る。そして、あなたの産物を食べ、ミルクを飲む。**5** 私はラバをラクダの牧草地とし、アンモン人の土地を羊の群れの休み場とする。あなた方は私がエホバであることを知らなければならなくなる』」。

6 「主権者である主エホバはこう言う。『あなたは手をたたき、足を踏み鳴らし、軽蔑を込めてイスラエルの土地

第24章

(例) 申 28:32
エレ 11:22

(例) エゼ 33:21

(例) エゼ 3:26
エゼ 33:22

第25章

(例) 創 19:36, 38

(例) エレ 49:1
アモ 1:13
ゼバ 2:9

(例) サニ 12:26
エゼ 21:20

(例) 哀 2:15

第2編

(例) ゼバ 2:8

(例) エレ 49:2
アモ 1:14

(例) イザ 15:1
エレ 48:1
アモ 2:1

(例) 申 2:4

(例) 民 32:37, 38
ヨシ 13:15, 19

(例) エゼ 25:4

(例) エゼ 21:28, 32

(例) エレ 48:1

(例) 代二 28:17
詩 137:7
哀 4:22
アモ 1:11
オバ 10

(例) マラ 1:4

(例) エレ 49:7, 8

(例) イザ 11:14
イザ 63:1

について喜んだ。そのため、**7** 私はあなたに向かって手を伸ばし、国々から渡し、略奪させる。あなたを人々の中から除き、国々から除いて滅ぼし尽くす。あなたは私がエホバであることを知らなければならなくなる』。

8 主権者である主エホバはこう言う。『モアブとセイルは、「ユダ国民はほかの全ての国民と同じだ」と言った。そのため、**9** 私はモアブの側面を敵の攻撃にさらす。モアブの国境に近い町々、その土地の美しい町々である、ベト・エシモトやバル・メオンが攻撃され、キルヤタイムまで攻め込まれる。**10** 私はモアブをアンモン人と共に東方の人たちに渡し、所有させる。アンモン人が国々の間で思い出されることはない。**11** そして私はモアブで刑を執行し、モアブ人は私がエホバであることを知らなければならなくなる』。

12 主権者である主エホバはこう言う。『エドムはユダ国民に対する復讐に燃え、復讐をして大きな罪を負った。**13** そのため、主権者である主エホバはこう言う。「私はエドムに向かって手を伸ばし、人々と家畜を滅ぼし、土地を荒廃させる。テマンからデダンに至るまで、人々は剣によって倒れる。**14** 『私は、私の民イスラエルの手によってエドムに復讐する。私の

25:9 *または、「斜面」。*または、「土地の飾り」。

25:4 *または、「壁で囲われた宿営」。**25:5** *アンモン人の王国の首都。

民は私の怒りと憤りをエドムに表し、
エドム人は私の復讐を味わうことにな
る』と、主権者である主エホバは宣言
する』。

15 主権者である主エホバはこう
言う。『フィリスティア人は弱まること
のない敵意を抱き、復讐して滅びをも
たらそうと悪巧みをした。16 その
ため、主権者である主エホバはこう言
う。「私はフィリスティア人に向かって
手を伸ばし、ケレト人を排除し、海辺に
残っている住民を滅ぼす。17 彼ら
を激しく処罰し、大いに復讐する。私
が彼らに復讐する時、彼らは私がエホ
バであることを知らなければならなく
なる』』。

26 第11年、その月の1日、エホ
バが私に語り掛けてこう言
った。2 「人の子よ、ティルスはエルサ
レムに向かってこう言った。『いい気味
だ！ さまざまな民が通る門は破られ
た！ この都市が滅ばされたので、全
ての物は私の方に来て、私は裕福に
なる』。そのため、3 主権者である
主エホバはこう言う。『ティルスよ、私
はあなたに敵対している。海が波を起
こすように、私は多くの国に行動を起
こさせ、あなたを攻めさせる。4 彼ら
はティルスの城壁を破壊し、塔を壊す。
私は土壌を削り取り、この町をむき出
しの岩にする。5 この町は海のただ
中で、引き網の干し場となる』。

主権者である主エホバはこう宣言

第25章

(ア) ナホ 1:2

(イ) 代二 28:18
イザ 9:11, 12
イザ 14:29
エレ 47:1
ヨエ 3:4-6
アモ 1:6

(イ) エレ 25:17, 20
ゼバ 2:4

(ロ) ゼバ 2:5

(イ) エレ 47:4

第26章

(イ) ヨエ 3:4-6
アモ 1:9

(イ) 哀 1:1

(イ) イザ 23:11
アモ 1:10
ゼカ 9:4

(イ) エゼ 27:32

第2欄

(イ) エレ 25:9
エゼ 29:18

(イ) ダニ 2:37

(イ) ハバ 1:8

(ロ) エレ 4:13

(イ) イザ 5:28
ハバ 1:8

(イ) エゼ 27:32, 33
エゼ 28:5, 18
ゼカ 9:3

(イ) イザ 23:16

する。『私が語ったからであり、ティル
スは国々に略奪される。6 本土の
町々は剣によって倒れ、人々は私がエ
ホバであることを知らなければならな
くなる』。

7 主権者である主エホバはこう言
う。『私は、北からバビロンのネブカド
ネザル王にティルスを攻めさせる。彼
らは王の中の王であり、馬、戦車、騎兵、
大きな軍隊と共に来る。8 彼は本土
の町々を剣で滅ぼし、包囲壁を建て、
あなたを攻めるための土塁を築き、あ
なたに向かって大盾を構える。9 破
城槌でああなたの城壁を打ちたたき、
おので塔を打ち壊す。10 彼の馬が
あまりに多いので、あなたは土ぼこり
に覆われる。人々が城壁の壊れた都
市になだれ込む時のように、彼があ
なたの門を通して入る時、騎兵と戦車
の車輪の音のために城壁は揺れる。

11 あなたの全ての通りは彼の馬の
ひづめで踏みにじられる。住民は剣で
ころ殺され、巨大な柱はどれも倒れて碎け
る。12 彼らはあなたの資産を奪い
取り、商品を略奪し、城壁を壊し、立派
な家を打ち壊す。そして、あなたの石
や木材や土を海に投げ込む』。

13 『私はあなたの騒がしい歌をや
めさせる。たて琴の音ももう聞かれな
くなる。14 私はあなたをむき出し
の岩にする。あなたは引き網の干し場

26:6 *直訳、「娘たち」。26:7 *または、「ネブ
カドレザル」。26:9 *または、「剣」。

となり、決して再建されない。私エホバが語ったからである』と、主権者である主エホバは宣言する。

15 主権者である主エホバはティルスにこう言う。『死にかけている人々がうめき、あなたの中で虐殺が行われる時、あなたが崩壊する音に鳥々は身震いしないだろうか。 **16** 海の全ての長は、自分たちの座から降りてきて、長い外衣を脱ぎ、刺しゅうが施された服を脱ぎ捨て、震え始める。彼らは地面に座り、震え続け、ぼうぜんとあなたを見つめる。 **17** そしてあなたをしのんで哀歌を歌い、こう言う。

「あなたは滅びてしまった。

海から来た人々が住み着いた、褒めたたえられた町よ。

あなたと住民は海で力を振るい、地上に住む全ての人が恐怖を覚

えるほどだった。

18 あなたが崩壊する日に、鳥々は震える。

あなたがいなくなる時、海の鳥々はかき乱される』。

19 主権者である主エホバはこう言う。『私はあなたを滅ぼし、誰も住めない町のようにする。荒波にあなたをのみ込ませ、大波があなたを覆う。その時、 **20** 私はあなたを、一緒に墓

26:15 *直訳、「殺された」。 26:16 *または、「袖なしの上着」。 #直訳、「震えを身にまとう」。 26:17 *直訳、「彼女と彼女の」。

第26章
(例) エゼ 26:4,5

(例) エゼ 27:28

(例) エゼ 27:35
エゼ 32:10

(例) エゼ 27:32

(例) アモ 1:9,10

(例) エゼ 28:2

(例) イザ 23:5

(例) エゼ 27:34

第2欄
(例) エゼ 28:8

(例) エゼ 27:36

第27章
(例) エゼ 26:17

(例) イザ 23:9
エゼ 28:2,12

(例) 申 3:8,9
代一 5:23

あなたに下る者たちと共に、昔の人々のもとに連れていく。過去に滅ぼされた場所に似た、最も低い場所に、墓穴に下る者たちと共に住ませる。あなたは誰も住まない所となり、私は地上に栄光を与える。

21 私はあなたを突然の恐怖に陥れ、あなたはいなくなる。人々はあなたを捜すが、あなたは永久に見つからない』と、主権者である主エホバは宣言する。

27 エホバが再び私に語り掛けてこう言った。 **2** 「人の子よ、ティルスに関する哀歌を歌いなさい。 **3** ティルスにこう言いなさい。

『海の出入り口に住んでいる者の、多くの島の民と取引をする商

人よ、主権者である主エホバはこう言っている。

「ティルスよ、あなたは、『私は完璧なまでに美しい』と言った。

4 あなたの領地は海のただ中にある。

あなたを造った者たちが、あなたをこの上なく美しくした。

5 彼らはあなたの厚板を全てセニルのネズの木で作った。

レバノンの杉を使ってあなたのために帆柱を作った。

26:20 *または、「地上を飾る」。 27:4 *または、「完璧に」。

- 6 バシヤンの巨木でオールを
作った。
キツテムの島々からの、象牙をは
め込んだイトスギ材で船首を
作った。
エジプトの色とりどりの亜麻布が
帆に使われた。
甲板を覆う日よけは、エリシャの
島々からの青糸と紫の羊毛で
できていた。
8 シドンとアルワドの住民があなた
のこぎ手だった。
ティルスよ、あなたの中にある技
術を持つ者たちが船員だった。
9 ゲバルの経験豊かな者や技術者
を持つ者が、あなたの接ぎ目を
ふさいだ。
海の全ての船と船乗りが、商品
を取引するためにあなたの所
に来了。
10 ベルシャ、ルド、プトの人たちが、
戦士としてあなたの軍隊に
いた。
彼らは盾とかぶとをあなたに
掛け、あなたに栄光をもたら
した。
11 あなたの軍隊のアルワドの人た
ちは周囲の城壁の上に立ち、
勇ましい者たちが塔の中で配置
に就いた。

27:6 *ブナ科の木と思われる。 27:9 *直訳、「老人」。 27:10 *または、「あなたを美しく飾った」。

第27章

(7) 創 10:2,4

(7) 創 10:2,4

(7) 創 10:15,18

(2) 王 9:27

(8) ヨシ 13:2,5

(7) エゼ 27:27

(8) 創 10:6
エレ 46:9

第2欄

(7) 代 2:9-21

(7) 創 10:2,4
ヨナ 1:3

(7) エレ 10:9

(2) イザ 66:19

(7) 創 10:2

(7) ヨエ 3:6

(8) 創 10:2,3
エゼ 38:6

(7) 創 10:7

(7) 王 10:22

(2) 裁 11:12,33

(7) 創 43:11

(7) エレ 8:22

(2) 王 5:9
エズ 3:7

使徒 12:20

(2) イザ 7:8

彼らは城壁の周りに円盾を掛け、
あなたをこの上なく美しくした。

12 あなたが非常に裕福だったの
で、タルシシュはあなたと取引をした。
銀、鉄、スズ、鉛と引き換えに、あなた
の品物を手に入れた。 13 ヤワン、
トバル、メシエクもあなたと交易をし、
奴隷や銅製品と引き換えにあなたの
商品を手に入れた。 14 トガルマの
子孫は、馬やラバと引き換えにあなた
の品物を手に入れた。 15 デダンの
人々もあなたと交易をした。あなたは
多くの島で商人を雇い、人々は象牙と
コクタンをあなたに贈った。 16 エド
ムも、豊かな産物を求めてあなたと取
引をした。トルコ石、紫の羊毛、色と
りどりの布、上等の織物、サンゴ、ル
ビーと引き換えに、あなたの品物を手
に入れた。

17 ユダとイスラエルもあなたと交
易をし、ミニトの小麦、えりすぐりの食
物、蜜、油、パルサムと引き換えにあ
なたの品物を手に入れた。

18 ダマスカスも、豊かな産物を求
めて、裕福なあなたと取引をし、ヘル
ボンのぶどう酒とツァハルの羊毛を運
んできた。 19 ウザル地方のペダン
とヤワンは、錬鉄、カシア、ショウブと
引き換えにあなたの品物を手に入れ

27:11 *または、「完璧に」。 27:18 *または、「赤みがかった灰色の」。 27:19 *ニッケイの一種。 *アシに似た芳香植物を指すと考えられる。

た。20 デダンは、馬のくら用の布であなたと交易をした。21 あなたはアラブ人と、ケダルの全ての長を雇った。彼らは子羊や雄羊やヤギを扱う商人だった。22 シェバとラアマの商人たちもあなたと交易をした。あらゆる種類の極上の香料、宝石、金と引き換えに、あなたの品物を手に入れた。23 ハラン、カネ、エデン、シェバの商人たち、アシュル、キルマドもあなたと交易をした。24 彼らはあなたの市場で、美しい服、青い生地と色とりどりの布で作られたマント、多彩なじゅうたんを取引した。それらは全て縄でしっかり縛られていた。

25 タルシシュの船があなたの商品を運んだ。

あなたは荷をいっぱい積んで大海原のただ中を進んだ。

26 こぎ手たちはあなたを荒れた海に連れてきた。

東風により、あなたは大海原のただ中で難破した。

27 あなたの富、品物、商品、船乗り、船員、

あなたの接ぎ目をふさぐ者、商ひんとりひきものすべて、あなたのなかぐんしゅうやぜんたい、あなたの中にいる群衆全体が、大海原のただ中で沈む。

あなたが崩壊する日に。

27:20 *または、「織物の服」。27:25 *もしくは、「栄光に輝いて」。27:27 *直訳、「会衆」。

第27章

(㉑) 創 25:3

(㉑) 創 25:13

(㉑) 代 17:11

イザ 60:7

(㉑) 創 10:7

(㉑) 王 10:1,2

イザ 60:6

(㉑) 創 11:31

(㉑) 王 19:12

アモ 1:5

(㉑) 創 25:3

ヨブ 6:19

(㉑) 創 10:22

(㉑) 王 10:22

イザ 23:14

(㉑) エゼ 27:8,9

(㉑) エゼ 27:10,11

(㉑) エゼ 26:14

第2欄

(㉑) イザ 23:1

エゼ 26:17

(㉑) エゼ 26:5

(㉑) エゼ 27:14,16

(㉑) ゼカ 9:3

(㉑) エゼ 26:19

(㉑) エゼ 27:27

(㉑) エゼ 26:15

(㉑) エゼ 28:17

28 あなたの船員が叫ぶ時、海沿いの地帯は身震いする。

29 全てのこぎ手、船乗り、海の男たちが、

船から下りて陸に立つ。

30 彼らはあなたのことで悲しんで声を上げて泣く。

頭土をかわり、灰にまみれてのうち回る。

31 髪の毛をそり落として粗布をまとい、

あなたのことで悲しんで激しく泣き叫ぶ。

32 彼らは悲嘆に暮れ、あなたをしのんで哀歌を歌い、こう言う。

『海のただで沈黙させられたティルスに匹敵する者がいるだろうか。』

33 あなたの品物が大海原から運ばれてくると、多くの民が満足した。

あなたの豊かな富と商品により、地上の王たちは裕福になった。

34 今やあなたは大海原で難破し、深い水の中に沈んでいる。

あなたの商品も民も皆一緒に沈んだ。

35 島々の住民は皆ぼうぜんとあなたを見つめる。

王たちは恐怖に震え、顔をしかめる。

27:32 *または、「詠唱する」。

36 国々の商人は、あなたに起きた
ことに驚いて口笛を吹く。

あなたは突然に悲惨な最期を
迎え、

永久に存在しなくなる』』』。

28 エホバが再び私に語り掛け
てこう言った。2「人の子

よ、ティルス^{しゅけんしや}の指導者^{しどうしや}に言いなさい。
『主権者である主エホバはこう言っ
ている。

「あなたは心が傲慢になり、こう
言い続ける。

『私は神だ。海のただ中で、神の
座に着いている』。

しかしあなたは人にすぎず、神で
はない。

心の中で自分は神だと思い込ん
でいるのだ。

3 あなたはダニエルよりも賢い。
あなたに解けない秘密はない。

4 あなたは知恵と識別力によって
裕福になり、

宝物庫に金や銀を蓄え続ける。

5 あなたは商才にたけ、多くの富
を得た。

その富のゆえにあなたの心は傲
慢になった』。

6『それで、主権者である主エホバ
はこう言う。

「あなたは心の中で自分は神だと
思い込んでいるので、

第27章

(7) 詩 37:10

第28章

(7) エゼ 28:5

(7) エゼ 27:4

(7) ダニ 2:48

(7) ゼカ 9:3

(7) イザ 23:1,3
エゼ 27:12

第2欄

(7) エゼ 30:10,11

(7) イザ 23:9

(7) エゼ 27:26

(7) エゼ 28:3

(7) エゼ 27:3

7 私は外国人にあなたを攻めさ
せる。

国々の中で最も冷酷な者たちが、
あなたに向かって剣を抜く。

あなたの知恵による美しさは損
なわれ、輝かしい栄光は汚さ
れる。

8 彼らはあなたを墓に下らせ、
あなたは大海原のただ中で殺さ
れて死ぬ。

9 あなたは自分を殺す者に向かっ
て、『私は神だ』とまだ言う
のか。

あなたは人にすぎず、神ではなく、
あなたを汚す者たちの手に落
ちる』。

10『あなたは外国人の手に掛かっ
て、割れを受けていない者の
ように死ぬ。

私が語ったからである』と、主
権者である主エホバは宣言
する。

11 エホバが再び私に語り掛けて
こう言った。12「人の子よ、ティルス
の王に関する哀歌を歌い、彼に言いな
さい。『主権者である主エホバはこう
言っている。

「あなたはまさしく完全だった。
知恵に満ち、完璧なまでに美し
かった。

28:8 *直訳、「穴」。28:10 *用語集参照。
28:12 *または、「完全さの見本」。

13 あなたは神の園であるエデンに
いた。

あなたはあらゆる宝石で飾られ
ていた。

ルビー、トパーズ、碧玉、
かんらん石、しまめのう、ひすい、
サファイア、トルコ石、エメラ
ルド。

石を留める枠や台座は金ででき
ていた。

それらはあなたが創造された日
に用意された。

14 私はあなたを任命し、保護を与
える選ばれたケルブとした。

あなたは神の聖なる山にいて、
燃える石の間を歩き回った。

15 創造された日から、あなたの歩
みには非の打ちどころがな
かった。

あなたの中に不正が見いだされ
るまでは。

16 交易が盛んになると、
あなたは暴力に満ち、罪を犯す
ようになった。

そのため、保護を与えるケルブ
よ、私はあなたを汚れた者と
して神の山から追い出し、
燃える石から遠ざけて滅ぼす。

17 あなたの心は、自分の美しさの
ゆえに傲慢になった。

28:14 *直訳、「油を注がれた」。用語集の「油
を注ぐ」参照。

第28章

(7) エゼ 27:16

(1) イザ 14:13

(7) ヨエ 3:4

アモ 1:9

(2) 王一 10:11

代二 9:21

エゼ 27:12

(7) ヨエ 3:6

(7) イザ 23:9

エレ 25:17, 22

エレ 47:4

ヨエ 3:8

(7) エゼ 27:3

第2欄

(7) イザ 14:14

(1) イザ 14:15

(7) アモ 1:9, 10

(2) エゼ 27:35

(7) エゼ 27:36

(7) イザ 23:4

エレ 25:17, 22

エゼ 32:30

あなたの知恵は、輝かしい栄光
のゆえに腐敗した。

私はあなたを地上に投げ落とし、
王たちの前で見せ物にする。

18 あなたは大きな罪と不当な交易
により、自分の聖なる所を汚
した。

私はあなたの中で火を生じさせ、
あなたを焼き尽くさせる。

地上で、あなたを見る全ての人
の前で、あなたを灰にする。

19 国々の中であなたを知っていた
人々は皆、ぼうぜんとななた
を見つめる。

あなたは突然に悲惨な最期を
迎え、
永久に存在しなくなる。』

20 エホバが再び私に語り掛けて
こう言った。 21 「人の子よ、顔をシド
ンの方に向け、その町に対して預言し
なさい。 22 こう言わなければなら
ない。『主権者である主エホバはこう
言っている。

「シドンよ、私はあなたに敵対して
おり、あなたの中で栄光を受
ける。

私が町に刑を執行し、その中で
神聖なものとされる時、人々
は私がエホバであることを知
らなければならなくなる。

23 私は町の中で疫病をまん延させ、
通りには血が流れる。

つるぎ しほう おそ とき ひとびと ころ
剣が四方から襲う時、人々は殺

されて町の中で倒れる。

かれ わたし
彼らは私がエホバであることを
し
知らなければならなくなる。

24 イスラエル国民は、痛みを引き
おこす危険^(イ)なばら、つまりイスラエル
を軽蔑する者たちに、もはや囲まれ
ることはない。人々は私が主権者であ
る主エホバであることを知らなければ
ならなくなる』。

25 『主権者である主エホバはこう
言う。「さまざまな民の中に散らされて
いたイスラエル国民が私が再び集め
るとき^(イ)わたし、かれ、なか、いこく、ひとびと
の時、私は彼らの中で、異国の人々の
めまえ^(イ)しんせい^(イ)の
目の前で神聖なものとされる。イス
ラエル国民は、私に仕えたヤコブ^(イ)
わたし、あた、とち、す^(イ)かれ、かみ
私が与えた土地に住む。26 彼らは
そこ^(イ)あんしん^(イ)す^(イ)わたし、かれ、かみ
そこに安心して住み、家を建て、ブドウ
園を造る。彼らを軽蔑する周囲の者た
ち^(イ)ぜんたい^(イ)たい^(イ)よげん^(イ)の
ち全てに私が刑を執行する時、彼ら
は安心して住み、私が彼らの神エホ
バであることを知らなければならな
くなる』。

29 第10年、第10の月の12日、
エホバが私に語り掛けてこ
う言った。2 「人の子よ、エジプトの
王ファラオに顔を向け、彼とエジプト
全体に対して預言しなさい。3 こう
言わなければならない。『主権者であ
る主エホバはこう言っている。

「エジプトの王ファラオよ、私はあ
なたに敵対している。

第28章

(イ) エゼ 26:6

(イ) 民 33:55
ヨシ 23:12,13(イ) 申 30:3
イザ 11:12
エレ 30:18
ホセ 1:11

(イ) イザ 5:16

(イ) 創 28:13

(イ) エレ 23:8

(イ) イザ 32:18
エレ 23:6
ホセ 2:18(イ) イザ 65:21,22
エレ 31:5
アモ 9:14

(イ) エレ 30:16

第29章

(イ) エレ 25:17,19
エレ 43:10,11
エゼ 31:2(イ) エレ 46:25
エゼ 31:18

第2欄

(イ) エゼ 32:2

(イ) エゼ 29:9

(イ) エレ 25:33

(イ) エゼ 32:4

(イ) イザ 36:6
エレ 37:5-7
エゼ 17:17

(イ) エレ 17:5

じぶん * なが よこ
自分のナイルの流れに横たわる、
うみ きょうゆう^(イ)
海の巨獣よ。

あなたは言った。『ナイル川は私
のもの。

わたし、じぶん、つく、(イ)
私が自分のために造ったのだ』。

4 私はあなたの頸にかぎを引っ掛
け、ナイルの魚をあなたのうろ
こに付かせる。

あなたと、あなたのうろこに付く
ナイルの魚全てを、ナイルから
引き上げる。

5 そして、あなたをナイルの全ての
魚と共に砂漠に捨てる。

あなたは荒野に倒れ、拾い集め
られることはない。

わたし、ちじょう、やじゅう、そら
私はあなたを地上の野獣と空を
飛ぶ鳥に食べさせる。

6 エジプトの住民は皆、私がエホ
バであることを知らなければ
ならなくなる。

かれ、こくみん
彼らはイスラエル国民にとって、
ぼん * ささ
1本のわらほどの支えにもなら
なかった。

7 イスラエルの民があなたの手を
つかんだ時、

あなたは押しつぶされ、彼らの
肩にけがをさせた。

かれ、よ、か、とき
彼らがあなたに寄り掛かった時、
お、かれ、あし*
あなたは折れ、彼らの足をよろ
けさせた。

29:3 * 以下、「ナイル」は川と、かんがい用の運
河を指す。29:6 * 直訳、「アシ」。29:7 * 直
訳、「腰」。

8 それで、主権者である主エホバはこう言う。「私はあなたに剣を差し向け、人々と動物を滅ぼす。9 エジプトは滅ぼされ、荒廃し、人々は私がエホバであることを知らなければなくなる。あなたが、『ナイル川は私のもの。私が造ったのだ』と言ったからである。10 私はあなたとナイルに敵対し、ミグドルからシエナまで、エチオピアとの国境に至るまで、エジプトを滅ぼし、乾いて荒れ果てた所にする。11 人も家畜もそこを通ることはなくなり、40年の間誰もそこに住まない。12 私はエジプトを最も荒れた土地とし、エジプトの町々を40年の間最も荒廃した町々とする。エジプト人を国々に散らし、さまざまな土地に追いやる」。

13 主権者である主エホバはこう言う。「私は40年の後、さまざまな民の中に散らされていたエジプト人を集めて戻す。14 捕らわれていたエジプト人を、出身地であるパトロスに連れ戻す。彼らはそこで取るに足りない王国を造る。15 エジプトは他の王国に劣るようになり、もはや他の国を支配することはなくなる。私は彼らを非常に少なくして、他の国を従わせることができるようにする。16 エジプトは、二度とイスラエル国民に信頼されることはない。エジプト人に助けを求めた過ちを、イスラエル国民に思い起こさせるだけの存在になる。もし

29:9 *直訳、「彼」。

第29章

(ア) エレ 46:14
エゼ 30:4
エゼ 32:12

(イ) エレ 43:11-13

(ウ) エゼ 29:3

(エ) エレ 44:1

(オ) エゼ 30:6,7

(カ) エゼ 30:12

(キ) エゼ 31:12

エゼ 32:13

(ク) エレ 46:19

(コ) エゼ 30:23

(カ) エレ 46:25,26

(ケ) 創 10:13,14

エゼ 30:14

(セ) エゼ 30:13

(ソ) エゼ 32:2

(タ) イザ 30:2

イザ 36:4,6

エレ 2:18

エレ 37:5-7

第2欄

(ア) エレ 25:9

エレ 27:3,6

(イ) エゼ 26:7

(ウ) エレ 43:10,12

(エ) エゼ 30:9,10

(オ) サー 2:10

ルカ 1:69

てイスラエル国民は、私が主権者である主エホバであることを知らなければなくなる。』』。

17 第27年、第1の月の1日、エホバが私に語り掛けてこう言った。

18 「人の子よ、バビロンのネブカドネザル王はティルスを攻め、軍隊に重労働を課した。どの頭もはげ、どの肩も擦りむけた。しかし、王と軍隊は、ティルスを攻め落とすための労苦に対し、何の報酬も得なかった。

19 それで、主権者である主エホバはこう言う。「私はエジプトをバビロンのネブカドネザル王に与える。彼はエジプトの富を運び去り、多くの戦利品や略奪品を手に入れる。それが彼の軍隊のための報酬となる。』

20 『彼女を攻めた労苦に対する報酬として、私はエジプトを彼に与える。彼らが私のために行動したからである』と、主権者である主エホバは宣言する。

21 その日、私はイスラエル国民のために1本の角を生えさせ、彼らの中で話す機会をあなたに与える。彼らは私がエホバであることを知らなければなくなる。』

30 エホバが再び私に語り掛けてこう言った。2 「人の子よ、預言しなさい。『主権者である主エホバはこう言っている。』

29:20 *ティルスのこと。 29:21 *または、「イスラエル国民に力を授け」。

『『ああ、その日が来る!』と泣き
叫びなさい。

3 その日が近いからである。

エホバの日は近いのである。

それは暗雲の日、国々の定め
の時となる。

4 剣がエジプトを襲い、エジプトで
人々が殺されて倒れる時、エ
チオピアは慌てふためく。

エジプトの富は奪われ、国の基
盤は崩される。

5 エチオピア、プト、ルド、他の国
の人々、

クブ、また契約の地の人々は皆、
剣によって倒れる』。

6 エホバはこう言う。

『エジプトの支持者たちも倒れ、
エジプトの高慢な力はすっかり
衰える』。

主権者である主エホバはこう宣言
する。『ミグドルからシエネまで、人々
はその土地で剣によって倒れる。

7 エジプトは最も荒れた土地とされ、
エジプトの町々は最も荒廃した町々
となる。8 私がエジプトに火を放

た時、同盟国が皆滅ぼされる時、彼らは
私がエホバであることを知らなけれ
ばならなくなる。9 その日、私は船
で使者を送り、うぬばれているエチオ
ピアを震え上がらせる。彼らは、エジ

30:5 * エジプトと同盟を結んだイスラエル人の
ことかもしれない。

第30章

(7) オバ 15

(7) エゼ 32:7

(7) 詩 110:6

(22) エゼ 32:11, 12

(7) ゼバ 2:12

(7) ナホ 3:8, 9

(7) エゼ 30:18

(7) エレ 44:1

(7) エゼ 29:10

(22) エレ 46:19

エゼ 29:12

エゼ 32:18

第2欄

(7) エゼ 29:19

エゼ 32:11

(7) ハバ 1:6

(7) エゼ 29:5

(22) エゼ 29:3

(7) エゼ 31:12

(7) エレ 43:12

エレ 46:14

(7) エレ 46:5

(7) 創 10:13, 14

エレ 44:1

(7) エレ 46:25

プトにその日が来る時、慌てふためく
ことになる。その日は必ず来るからで
ある』。

10 主権者である主エホバはこう言
う。『私は、バビロンのネブカドネザル
の手により、エジプトの群衆を根絶
やしにする。11 王と兵士たち、国々
の中で最も冷酷な者たちが、エジプト
を滅ぼすために連れてこられる。彼ら
は剣を抜いてエジプトを攻め、その土
地を殺された人々で満たす。12 私
はナイルの運河を干上がらせ、その土
地を悪人たちに売り渡す。土地とその
中の全てのものを、外国人の手によっ
て荒廃させる。私エホバが語ったので
ある』。

13 主権者である主エホバはこう言
う。『私は汚らしい偶像も滅ぼし、
ノブの無価値な神々を根絶やしにす
る。エジプトから長が出ることはもう
なく、私はエジプトに恐れを抱かせる。

14 パトロスを荒廃させ、ツォアンに火
を放ち、ノに刑を執行する。15 エジ
プトのとりであるシンに激しい怒り
を浴びせ、ノの人々を滅ぼす。16 私
はエジプトに火を放つ。シンは恐怖に
おびえ、ノは打ち破られ、ノブは白昼に
攻撃される。17 オンとピベセトの若
者は剣によって倒れ、町々は捕らわれ

30:13 * ヘブライ語で「ふん」を意味する言葉と
関連があると考えられる、嫌悪を表す表現。30:
13, 16 * または、「メンフィス」。30:14 * テー
ベのこと。30:17 * ヘリオポリスのこと。

る。18 私がテハフネヘスでエジプトの圧制を終わらせる時、そこでは昼間も暗くなる。彼女の傲慢な力は絶え、彼女は雲に覆われ、彼女の町々は捕らわれる。19 私はエジプトに刑を執行し、彼らは私がエホバであることを知らなければならなくなる』。

20 第11年、第1の月の7日、エホバが私に語り掛けてこう言った。

21 「人の子よ、私はエジプトの王ファラオの腕を折った。それが治るように包帯が巻かれることも、剣を持てるように添え木が当てられることもない」。

22 「主権者である主エホバはこう言う。『私はエジプトの王ファラオに敵対している。彼の強い腕と折れた腕の両方を折り、手から剣が落ちるようにする。23 そして、エジプト人国々に散らし、さまざまな土地に追いやる。24 私はバビロンの王の腕を強くし、彼の手に私の剣を渡し、ファラオの腕を折る。ファラオはバビロンの王の前で、死にそうな人のようにうめき声を上げる。25 私はバビロンの王の腕を強くするが、ファラオの腕は弱々しく垂れ下がる。私がバビロンの王の手に私の剣を渡し、彼がエジプトに対してそれを振るう時、人々は私がエホバであることを知らなければならなくなる。26 私はエジプト人を

30:18 *直訳、「てんびん棒を折る」。*エジプトのことと思われる。30:24 *または、「力」。

第30章

(例) エゼ 30:8

(例) エレ 46:20
エゼ 31:18

(例) エレ 46:19

(例) エレ 46:25
エゼ 29:3(例) 王二 24:7
エレ 46:2

(例) エレ 46:21

(例) エゼ 29:12

(例) エレ 27:6

(例) エゼ 32:11,12

(例) エゼ 29:19,20

第2欄

(例) エゼ 29:12

第31章

(例) エレ 46:2
エゼ 29:2

国々に散らし、さまざまな土地に追いやり、彼らは私がエホバであることを知らなければならなくなる』。

31 第11年、第3の月の1日、エホバが再び私に語り掛けてこう言った。2 「人の子よ、エジプトの王ファラオとその群衆に言いなさい。

『あなたは偉大さの点で誰に似ているだろうか。

3 アッシリア人、またレバノンの杉のようだ。

美しい枝は陰を作る林のようで、丈は高く、

頂は雲に達していた。

4 木は水によって大きくなり、深い泉によって高くなった。

植えられた場所の周囲には川が流れ、

野の全ての木を潤す幾つもの水路があった。

5 そのため、この木は野のほかのどの木よりも高くなった。

大枝が増え、細い枝も長く伸びた。

川の豊かな水によって。

6 空を飛ぶ全ての鳥が大枝に巣を作り、

野の全ての野生動物が枝の下で子を産み、

人口の多い国の人々が皆、木陰に住んだ。

7 木は非常に美しくなり、枝が非常に長く伸びた。

豊かな水に根を下ろしたからである。

8 神の園のほかのどの杉も、この木と比べものにならなかった。どのネズの木も、この木のような大枝はなかった。

どのスズカケノキも、この木の枝には見劣りした。

神の園のほかのどの木も、この木の美しさにはかなわなかった。

9 私はこの木を美しくし、枝葉を茂らせた。真の神の園であるエデンのほかの全ての木は、この木をうらやんだ。

10 それで、主権者である主エホバはこう言う。『この木は非常に高くなり、頂が雲に達し、その丈の高さゆえに心が高慢になったので、11 私はこれを国々の強力な支配者に引き渡す。彼は必ずこれを攻め、私はこの木の邪悪さゆえにこれを退ける。』

12 外国人たち、国々の中で最も冷酷な者たちが、この木を切り倒し、山々の上に捨てる。枝葉は全ての谷に落ち、枝は折れて土地の全ての川に横たわる。地上の全ての民が木陰から出て、この木を見捨てる。13 空を飛ぶ

第31章

(例) 創 2:8
エゼ 28:12, 13

(例) エゼ 30:10, 11
ハバ 1:6

(例) エゼ 32:5, 6

第2欄

(例) エゼ 29:5
エゼ 32:4

(例) エゼ 31:9

(例) エゼ 30:6
エゼ 32:31

(例) エゼ 32:18, 20

(例) エゼ 31:9
エゼ 32:19

すべての鳥が倒れた幹にすみ、野の全ての野生動物が枝にすみ。14 もはや、水辺にあるどの木も丈が高くならず、頂が雲に達することはない。水を十分に得たどの木も、雲に届くほど高くなることはない。それらは皆、死んで地下に下るからである。人々と共に墓穴に下るのである。』

15 主権者である主エホバはこう言う。『私が墓に下る日に、私は悲しみを生じさせる。そして、深い水を覆い、川をせき止めるので、豊かな水がとどめられる。私はその木のゆえにレバノンを暗くし、野の木は全て枯れ果てる。』

16 墓穴に下る全ての者と共にその木を墓に下らせる時、私はその崩壊の音によって国々を身震いさせる。エデンの全ての木、レバノンのえり抜きの上の木々、水を十分に得た全ての木は、地下で慰められることになる。17 それらは彼と共に、また国々の中で彼の陰に住んだ支持者たちと一緒に、墓に下った。剣で殺された者たちのもとに下ったのである。』

18 『栄光や偉大さの点でああなたに匹敵する木がエデンにあったらどうか。しかし、あなたはエデンの木々と共に必ず地下に下ることになる。剣で殺された者たちと共に、割礼を受けていない者たちの中に横たわる。ファラオと

31:15-17 *ヘブライ語、シエオル。用語集参照。
31:17 *「レバノンの杉」のこと。

その群衆^{ぐんしゅう}全てがそのようになる』と、
主権者^{しゅけんしや}である主エホバは宣言^{せんげん}する。

32 第12年^{だい ねん}, 第12の月^{だい つき}の1日^{ついでち}, エ
ホバが再び私に語り掛けて
こう言った。 **2** 「人の子よ, エジプト^{い ひと こ}
の王^{おう}ファラオに関する哀歌^{あいか}を歌い, 彼^{かれ}
に言いなさい。

『あなたは国々^{くにぐに}の中で, 若くて強^{なかつ}

いライオン^{らいおん}のようだった。

しかし, 沈黙^{ちんもく}させられた。

あなたは海の巨獣^{きょじゅう}のようだった。

自分の川^{かわ}の中で暴れ回り,

足^{あし}で水を濁^{にご}らせ, 川^{かわ}を汚^{よご}した』。

3 主権者^{しゅけんしや}である主エホバはこう
言う。

『私は多くの国^{わたくし おお くに}の人々^{ひとびと}を集め,

あなたに向かつて網^むを投げさ

せる。

彼^{かれ}らは私の引き網^{わたくし ひ}であなを引
き上げる。

4 私はあなたを大地^{わたくし だい ち}に捨て,

荒野^{こうや}に投げ捨てる。

空^{そら}を飛ぶ全て^{と すべ}の鳥^{とり}をあなたの上^{うへ}
に止まらせ,

地上^{ちじょう}の全ての野獣^{すべ やじゅう}の腹^{はら}をあなた
で満たす。

5 あなたの肉^{にく}を山^{やま}の上に投げ
捨て,

あなたの残骸^{ざんがい}で谷^{たに}を満たす。

6 あなたからほとぼしる血^ちで大地^{だい ち}
を血まみれにする。

第32章

(ア) イザ 51:9,10
エゼ 29:3

(イ) エゼ 29:5

(ウ) エゼ 31:12

第2欄

(ア) イザ 13:1,10

(イ) エゼ 29:12

エゼ 30:26

(ウ) エレ 43:10,11

エレ 46:25,26

エゼ 30:24

その血^ちは山^{やま}にまで達^{たつ}し, 川^{かわ}に満
ちる』。

7 『あなたが消え去る時^{き さ とし}, 私は天^{わたくし てん}を
覆^{おお}い,

星^{ほし}を暗くし, 太陽^{たいよう}を雲^{くも}で覆^{おお}う。

月^{つき}も輝^{かがや}きを失^{うしな}う。

8 私はあなた^{わたくし}のゆえに天^{てん}の全て^{すべ}の
光体^{こうたい}を暗くし,

あなた^{あなた}の土地^{とち}を暗闇^{くらやみ}で覆^{おお}う』と,

主権者^{しゅけんしや}である主エホバは宣言^{せんげん}
する。

9 『私は多くの民^{わたくし おお たみ}の心^{こころ}を悩^{なや}ませる。

あなた^{あなた}の民^{たみ}を, 捕虜^{ほりよ}として他の
国々^{くにぐに}へ,

あなたが知らなかった土地^{とち}へ連
れていく時に。

10 私は多くの民^{わたくし おお たみ}に恐れ^{おそ}を抱^{いだ}かせる。

私が剣^{わたくし つるぎ}を振りかざす時^{とき},

彼^{かれ}らの王^{おう}たちはあなた^{あなた}のことで
恐怖^{きょうふ}に震^{ふる}える。

あなたが崩壊^{ほうかい}する日に,

彼^{かれ}らは命^{いのち}を失^{うしな}うことを恐^{おそ}れて震
え続ける』。

11 主権者^{しゅけんしや}である主エホバはこう
言う。

『バビロンの王^{おう}の剣^{つるぎ}があなたを
襲^{おそ}う。

12 私は, あなた^{わたくし}の群衆^{ぐんしゅう}が強い戦士^{つよ せんし}
たちの剣^{つるぎ}によって倒^{たお}れるように
する。

32:2 *直訳, 「彼らの川」。

32:6 *直訳, 「川床はあなたで満ちる」。

32:2 *直訳, 「彼らの川」。

その戦士は皆、国々の中で最も
冷酷な者たちである。

彼らはエジプトの誇りをくじき、
彼女の群衆は滅ばし尽くさ
れる。

13 私は彼女の豊かな水のそばにい
る家畜を全て滅ぼす。

人の足や家畜のひづめが水を濁
らせることは二度とない』。

14 『その時、私は水を澄み渡らせ、
川をよどみなく流れさせる』と、
主権者である主エホバは宣言
する。

15 『私がエジプトを荒れ果てた所
にし、
そこに満ちていたものを全て取り
除く時、

その住民を全て打ち倒す時、
彼らは私がエホバであることを
知らなければならなくなる。

16 これは哀歌であり、人々は必ずこ
れを歌う。

国々の娘たちが歌う。

エジプトとその群衆全てをしのん
で歌う』と、主権者である主エ
ホバは宣言する』。

17 第12年、その月の15日、エ
ホバが私に語り掛けてこう言った。

18 「人の子よ、エジプトの群衆のこと
で嘆き悲しみ、彼女を地下に下らせな

32:12, 18 *エジプトのこと。 32:14 *直訳、
「油のように」。 32:16 *または、「詠唱する」。

第32章

(例) エゼ 30:10,11
ハバ1:6

(例) エゼ 29:19

(例) エゼ 30:12

(例) エゼ 29:8,11

(例) 詩 107:33,34
エゼ 29:12

(例) エゼ 30:26

第2欄

(例) エゼ 29:8

(例) イザ 37:36
ゼカ 10:11

(例) 創 10:22
エレ 49:34,35

さい。彼女と、強大な国々の娘たちを、
墓穴に下る者たちと共に下らせるので
ある。

19 『あなたは美しさの点で誰に勝
るといふのか。下っていき、割礼を受
けていない者たちと共に横たわりなさ
い!』

20 『エジプト人は剣で殺された者
たちの中に倒れる。彼女は剣で討た
れた。彼女とその群衆全てを引いて
いきなさい。』

21 ファラオと彼を助けた者たちは、
深い墓の中にいる最も強い戦士たち
から話し掛けられる。彼らは剣で殺さ
れ、必ず下っていき、割礼を受けていな
い者たちのように横たわる。 22 アッ
シリアとその群衆全てもそこにいる。
群衆は皆剣によって倒れ、その人々の
墓が王を取り囲んでいる。 23 彼女
の群衆の墓は穴の深い所にあり、彼
女の墓を取り囲んでいる。その人々は
地上で恐怖を生じさせたため、皆剣で
討たれたのである。

24 エラムもそこにて、その群衆全
てが彼女の墓を取り囲んでいる。群衆
は皆剣によって倒れたのである。地上
で恐怖を生じさせたその人々は、割礼
を受けないまま地下に下った。そし
て、墓穴に下る者たちと共に恥辱を受
ける。 25 殺された者たちの間に彼

32:21 *ヘブライ語、シェオル。用語集参照。

32:23 *アッシリアのこと。 32:24 *エラムの
こと。

彼女の寝床が設けられた。彼女の墓の周りを群衆全てが取り囲んでいる。その人々は皆割礼を受けておらず、剣で殺された。地上で恐怖を生じさせたからである。そして、墓穴に下る者たちと共に恥辱を受ける。エラムは殺された者たちの間に横たえられた。

26 そこにはメシェクとトバルとその群衆全てもいる。彼らの墓は王を取り囲んでいる。その人々は皆割礼を受けておらず、剣で刺し通された。地上で恐怖を生じさせたからである。27 その人々は、割礼を受けないまま倒れた強い戦士たちと共に、武器を持って墓に下った者たちと共に、横たわっているのではない。そして、頭の下に剣が置かれ、骨の上に自分たちの罪が置かれる。これらの強い戦士は、地上で恐怖に陥れたからである。28 あなたは、割礼を受けていない者たちと共に滅ぼされ、剣で殺された者たちと共に横たわることになる。

29 エドムもそこにいる。彼女の王たちと全ての長たちは、力が強かったが、剣で殺された者たちの間に横たえられた。彼らも、割礼を受けていない者たちや墓穴に下る者たちと共に横たわる。

32:26 *直訳、「彼女」。32:27 *ヘブライ語、シェオル。用語集参照。*戦士が剣と共に葬られ、軍人として栄誉を受けることを指しているのかもしれない。32:28 *ファラオもしくはエジプトのこともかもしれない。32:29 *エドムのこと。

第32章

創 10:2
エゼ 38:2

創 25:30
イザ 34:5
エゼ 25:12, 13
アモ 1:11
オバ 1
マラ 1:4

第2欄

創 10:15
エゼ 28:21

創 31:16

第33章

創 3:11

創 26:25
エゼ 6:3
エゼ 21:9

創 4:5
ホセ 8:1

創 6:17
ゼカ 1:4

創 3:19
使徒 18:6

30 そこには北の長たち皆と、全てのシドン人もいる。彼らは強さのゆえに恐怖を生じさせたが、殺された者たちと共に辱められて下っていった。そして、割礼を受けないまま、剣で殺された者たちと共に横たわり、墓穴に下る者たちと共に恥辱を受ける。

31 ファラオはこの全てを見て、自分の群衆に起きたことについて慰められる。ファラオとその全軍は剣で殺される」と、主権者である主エホバは宣言する。

32 『ファラオが地上で恐怖を生じさせたため、ファラオとその群衆全ては、割礼を受けていない者たちと共に、剣で殺された者たちと共に横たえられる』と、主権者である主エホバは宣言する。

33 エホバが私に語り掛けてこう言った。2 「人の子よ、同胞たちに話して、言いなさい。

『私がある土地に剣を差し向けたとする。そして、その土地の人々が1人の人を選んで自分たちのための見張りとし、3 その人が土地に剣が向かってくるのを見て、角笛を吹いて人々に警告したとする。4 もし誰かが角笛の音を聞いたものの、警告に注意を払わず、剣によって命を奪われるなら、それはその人自身の責任である。5 その人は角笛の音を聞いたが、警告に

33:4 *直訳、「その人の血はその人自身の頭上にある」。

注意を払わなかった。死の責任はその人自身にある。もし警告に注意を払ってれば、命は助かっていたはずである。

6 しかし、もし見張りが、剣が向かってくるのを見たのに角笛を吹かず、人々が警告を受けず、そのうちの誰かが剣によって命を奪われるなら、その人は自分の過ちのために死ぬが、私はその人の死の責任を見張りに問う。』

7 人の子よ、私はあなたをイスラエル国民の見張りに任命した。あなたは私の口から出る言葉を聞いたら、私からの警告を彼らに伝えなければならぬ。8 私が悪い人に、『あなたは悪いことをしているので必ず死ぬ』と言うのに、あなたがその人にはっきり警告せず、生き方を変えるよう諭さないなら、その人は自分の過ちのために悪人として死ぬことになるが、私はその人の死の責任をあなたに問う。9 一方、あなたが悪い人に警告し、悪い行いをやめるよう諭したのに、その人が生き方を変えようとしないなら、その人は自分の過ちのために死ぬが、あなたは自分の命を救うことになる。

10 人の子よ、イスラエル国民に言いなさい。『あなたたちはこう言った。「私たちの反抗と罪は、私たちに重く

33:6 *または、「その人の血の代価を見張りに求める」。33:8 *または、「その人の血の代価をあなたに求める」。

第33章

(イ) イザ 56:10

(イ) エゼ 3:18

(イ) イザ 21:8

エシ 1:17

エゼ 3:17

(イ) イザ 3:11

エゼ 18:4

(イ) 格 11:21

(イ) 格 15:10

(イ) エゼ 3:19

使徒 18:6

第2欄

(イ) レビ 26:39

イザ 64:6

エゼ 24:23

(イ) エゼ 37:11

(イ) エゼ 18:23

テモ一 2:3,4

(イ) イザ 31:6

ルカ 15:10

(イ) 詩 130:7,8

(イ) イザ 55:7

エシ 3:22

エシ 25:5

使徒 3:19

(イ) エゼ 18:31

ペ二 3:9

(イ) エゼ 3:20

エゼ 18:24

(イ) 王一 8:48,50

エゼ 18:21

(イ) エゼ 18:26

(イ) ペ二 2:20

(イ) エゼ 18:4

(イ) イザ 55:7

エゼ 18:21

ミカ 6:8

(イ) 出 22:26

(イ) レビ 6:2,4

エゼ 22:29

のしかかり、私たちを弱らせている。どうして生き続けられるだろうか。』

11 彼らに言いなさい。『主権者である主エホバはこう宣言している。「生きている私自身に懸けて誓う。私は悪い人の死を喜ばず、かえって、悪い人が生き方を変えて生き続けることを喜ぶ。悔い改めて、悪い行いをやめなさい。イスラエル国民よ、あなたたちが死ぬようなことがあってよいだろうか。』

12 人の子よ、同胞たちに言いなさい。『正しい人が反抗する時、その人の正しさがその人を救うことはない。悪い人が悪い行いをやめる時、その人の悪がその人を倒れさせることはない。また、正しい人が罪を犯す日に、自分の正しきゆえに生き続けるということとはなくなる。13 私が正しい人に、「あなたは必ず生き続ける」と言うとする。もしその人が自分の正しさに慢心して間違ったことを行うなら、その人の正しい行いは何一つ思い出されず、その人は間違ったことを行ったために死ぬ。

14 一方、私が悪い人に、「あなたは必ず死ぬ」と言うとする。もしその人が罪から離れて公正で正しいことをおこなう、15 担保を返し、奪ったものを償い、間違ったことを行わずに命の法にに従って歩むなら、その人は必ず生

33:13 *または、「不公平な」。33:15 *または、「に導く」。

きつづ けし 続ける。死ぬことはない。16 その人は、犯したどの罪についても責められることはない。公正で正しいことを行ったために、必ず生き続ける』。

17 しかし、あなたの同胞たちは、『エホバの行いは不公正だ』と言った。実際に不公正なのは彼らの行いである。

18 正しい人が正しい行いをやめて間違ったことを行う場合、その人は死ぬことになる。19 一方、悪い人が悪い行いをやめて、公正で正しいことを行う場合、その人は生き続ける。

20 しかし、あなたたちは、『エホバの行いは不公正だ』と言った。イスラエル国民よ、私はあなたたちを各自の行いに応じて裁く。

21 やがて、わたしが捕囚にされて12年目の、第10の月の5日に、エルサレムから逃げてきた人が私の所に来て、「都市は陥落しました!」と言った。

22 その逃げてきた人が来る前の夕方、エホバの力が私に働き、その人が朝に私の所に来る前に、神は私の口を開いた。それで私は口が利けるようになった。

23 そして、エホバが私に語り掛けてこう言った。24 「人の子よ、これらの廃虚に住む人たちはイスラエルの土地についてこう言っている。『アブラハムはたった1人だったのに、この

33:16 *または、「その人が犯したどの罪も思い出されることはない」。33:22 *直訳、「手」。

第33章

〔レビ 18:5
エゼ 18:27

〔イザ 1:18

〔イゼ 20:11

〔イゼ 10:38
ペニ 2:20

〔イゼ 18:27

〔イゼ 18:25,29

〔イゼ 24:25-27

〔王二 25:4
代二 36:17
エレ 39:2

〔イゼ 3:26

〔イゼ 39:10
エゼ 36:4

第2欄

〔イ創 12:7

〔イ創 9:4
レビ 17:12

〔イゼ 22:6

〔イゼバ 3:3

〔イゼ 5:8

〔イ申 4:26
ヨシ 23:15

〔イゼ 42:22
エゼ 5:12

〔イ代二 36:20,21
イザ 6:11
エレ 44:2

〔イゼ 6:3

〔王二 17:9
代二 36:14

〔イゼ 9:11
エレ 25:11

とち しょゆう 土地を所有するようになった。わたしは、大勢いるのだから、この土地は私たちが所有するように与えられたに違いない』。

25 それで、彼らに言いなさい。『主権者である主エホバはこう言っている。「あなたたちは肉を血と共に食べ、汚らしい偶像をしきりに見て、血を流し続ける。それなのにこの土地を所有することが許されるだろうか。26 あなたたちは自分の剣に頼り、忌まわしい行いにつけり、それぞれ隣人の妻を汚した。それなのにこの土地を所有することが許されるだろうか』。

27 あなたは彼らにこう言わなければならない。『主権者である主エホバはこう言っている。「わたしは、生きていた私自身に懸けて誓う。廃虚に住んでいる人たちは剣によって倒れる。た野原にいる人たちを、私は野獣に食べさせる。とりでや洞窟にいる人たちは病気で死ぬ。28 私はその土地をすっかり荒れ果てた所にし、その高慢な誇りは失われ、イスラエルの山々は荒廃し、そこを通る人はいなくなる。

29 彼らが行ったあらゆる忌まわしい事柄のために、私がその土地をすっかり荒れ果てた所にする時、彼らは私がエホバであることを知らなければならなくなる』。

33:25 *ヘブライ語で「ふん」を意味する言葉と関連があると考えられる、嫌悪を表す表現。「または、「人を殺し」。

30 人の子よ、あなたの同胞たちは、城壁のそばや家の戸口であなについて話している。それぞれ自分の兄弟に、『エホバからの言葉を聞きに行こう』と言っている。31 彼らは群がってきて、私の民としてあなたの前に座る。そしてあなたの言葉を聞くが、従いはしない。彼らの口はあなたをおだてるが、心は不当な利益を貪欲に求める。32 あなたは彼らにとって、弦楽器の巧みな演奏にあわせて美しい声で歌われる、情熱的な愛の歌のようだ。彼らはあなたの言葉を聞くが、誰も行動しない。33 その言葉は必ず実現する。それが実現するとき、彼らは自分たちの中に預言者がいたことを知らなければならなくなる。

34 エホバが再び私に語り掛けてこう言った。2 「人の子よ、イスラエルの牧者たちに対して預言しなさい。預言して、牧者たちに言いなさい。『主権者である主エホバはこう言っている。「自分自身を養ってきたイスラエルの牧者たちには災いがある! 牧者が養うべきなのは羊の群れではないか。3 あなたたちは脂肪を食べ、羊毛を身にまとい、最も肥えた動物をほふるが、羊の群れを養うことはしない。4 あなたたちは弱い羊を力づけず、病気の羊を癒やさず、けがをした羊に包帯をせず、はぐれた羊

33:31 *または、「みだらなことを語り」。34:3 *または、「殺す」。

第33章

(例) エレ 18:18

(例) イザ 29:13
エレ 44:16,17

(例) エゼ 2:5

第34章

(例) エレ 23:1
ミカ 3:1,11
ゼバ 3:3
ゼカ 11:17
マタ 23:13(例) イザ 40:11
ヨハ 21:15(例) 王二 21:16
エレ 22:17
ミカ 3:3
ゼカ 11:4,5

(例) イザ 56:11

第2欄

(例) ルカ 15:4

(例) エレ 22:13

(例) エレ 23:2
エレ 50:6
マタ 9:36

(例) エレ 52:24-27

(例) サ一 17:34,35
詩 80:1
イザ 56:8

をつ連れ戻さず、いなくなった羊を捜さなかった。かえって、厳しく手荒に従わせた。5 それで、牧者がいないために彼らは散らされた。散らされて、あらゆる野獣の餌食となった。6 私の羊は全ての山と全ての高い丘の上をさまよった。私の羊は地上の全域に散らされ、誰も捜そうとも見つけ出そうともしなかった。

7 それで、牧者たちよ、エホバの言葉を聞きなさい。8 『主権者である主エホバはこう宣言する。「生きている私自身に懸けて誓う。私は行動を起こす。牧者がいなかったため、私の羊はあらゆる野獣の餌食となった。私の牧者たちは私の羊を捜さず、自分自身を養うだけで私の羊を養わなかった。』9 それで、牧者たちよ、エホバの言葉を聞きなさい。10 主権者である主エホバはこう言う。『私は牧者たちに敵対しており、私の羊に関し彼らに責任を問う。彼らに私の羊の世話をやめさせ、牧者たちはもはや自分自身を養わなくなる。私は彼らの口から私の羊を救い出し、羊はもう彼らの餌食にならない。』

11 主権者である主エホバはこう言う。「私はここにおり、自ら自分の羊を捜し、世話する。12 散らされた羊を見つけて養っている羊飼いのように、私は自分の羊を世話する。雲と濃い

34:10 *または、「彼らの手から私の羊を取り返す」。「または、「を養うこと」。

(例) イザ 40:11

くらやみ ひつじ ち すべ ばしょ
 暗闇の日に散らされた全ての場所か
 ら、羊を救い出す。13 私は羊をさま
 ざまな民の中から連れ出し、国々から
 集めて、彼らの土地に連れていき、イス
 ラエルの山の上で養う。川のはとりや、
 その土地の全ての居住地のそばで養
 う。14 私は良い牧草地で羊を養う。
 羊はイスラエルの高い山の上で草を
 食べる。良い牧草地に横たわり、イ
 スラエルの山の上で最良の牧草を食
 べる。

15 主権者である主エホバはこう
 宣言する。「私は自ら自分の羊を養
 い、横たわらせる。16 いなくなった
 羊を捜し、はぐれた羊を連れ戻し、け
 がをした羊に包帯をし、弱い羊を力づ
 ける。しかし、肥えた羊と強い羊を滅
 ぼし尽くす。私は彼らに処罰を食らわ
 せる。」

17 羊について、主権者である主エ
 ホバはこう言う。「私は羊たちを裁こ
 うとしており、雄羊と雄やぎを裁こうと
 している。18 あなたたちは、最良の
 牧草を食べるだけでは満足できない
 のか。残りの牧草を足で踏み荒らさな
 ければならないのか。また、澄み切っ
 た水を飲んだ後、足踏みして水を濁さ
 なければならぬのか。19 私の
 羊は、あなたたちの足で踏み荒らされ
 た牧草を食べ、あなたたちの足踏み
 で濁った水を飲まなければならぬの
 か。」

34:17 *直訳、「私の羊」。

第34章

(例)ヨエ 2:1,2
 ゼバ14:15,15
 (例)エレ 23:3
 エゼ 11:17
 アモ 9:14
 ミカ 7:14
 (例)イザ 25:6
 イザ 30:23
 エレ 31:12
 (例)エレ 33:12
 (例)エレ 3:15
 (例)ゼバ 3:13
 (例)ミカ 4:6
 マタ 15:24
 ルカ 15:4
 (例)ゼカ 10:3

第2欄

(例)イザ 40:11
 エレ 23:3
 (例)ヨハ 10:11
 ヘブ 13:20
 ペー 5:4
 啓 7:17
 (例)イザ 11:1
 エレ 30:9
 (例)エゼ 37:24
 ホセ 3:5
 (例)出 29:45
 エレ 31:1
 (例)詩 2:6
 イザ 9:6
 エレ 23:5
 ミカ 5:2
 ルカ 1:32
 使徒 5:31
 (例)エゼ 37:26
 (例)レビ 26:6
 イザ 11:6-9
 イザ 35:9
 イザ 65:25
 ホセ 2:18
 (例)エレ 23:6
 エレ 33:16
 (例)イザ 56:7
 エゼ 20:40
 ミカ 4:1
 (例)創 12:2,3
 申 28:12
 ゼカ 8:13
 (例)レビ 26:4
 詩 85:12
 イザ 35:2
 エゼ 36:30
 (例)レビ 26:13

(例)エレ 30:10
 エレ 46:27

20 それで、主権者である主エホバ
 は彼らにこう言う。「私はここにお
 り、肥えた羊と痩せた羊を自ら裁く。

21 あなたたちが、病気の羊を全て脇
 腹や肩で押し続け、角で突き続けて、
 遠くに散らしてしまったからである。

22 私は私の羊を救い、彼らはもはや
 飢餓にされることはなくなる。私は羊
 たちを裁く。23 また、1人の牧者を
 立てて彼らを治めさせる。それは私に
 仕えるダビデであり、彼らを養う。その
 者が彼らを養い、彼らの牧者となる。

24 そして、私エホバが彼らの神とな
 り、私に仕えるダビデが彼らの長とな
 る。私エホバが語ったのである。

25 私は彼らと平和の契約を結び、
 どう猛な野獣をその土地から除き去
 る。彼らは荒野で安全に住み、森林で
 眠るようになる。26 私は彼らと、私
 の丘の周囲を祝福し、良い時に雨を
 降らせる。祝福が雨のように降り注
 ぐ。

27 野の木は実を結び、土は産
 物を生み出し、彼らはその土地に安全
 に住む。私が彼らを抑圧から解放し、
 彼らを奴隷にした者たちから救い出
 す時、彼らは私がエホバであることを
 知らなければならなくなる。28 彼ら
 はもはや異国のの人々の飢餓とはなら
 ず、地上の野獣に食い殺されることは
 なく、安らかに暮らして、誰にも脅かさ
 れない。

34:26 *もしかすると、「祝福の経路とし」。

34:27 *直訳、「彼らのてんびん棒を折り」。

29 私は有名になる栽培地を彼らのために設ける。彼らはもう飢餓のせいで死ぬことはなくなり、異国のひとびとから侮辱されることもなくなる。

30 『そして彼らは、彼らの神である主エホバが共におり、彼らすなわちイスラエル国民が私の民であることを知らなければならなくなる』と、主権者である主エホバは宣言する』。

31 『あなたたちは私の羊、私が世話をしている羊である。あなたたちは人にすぎず、私はあなたたちの神である』と、主権者である主エホバは宣言する』。

35 エホバが再び私に語り掛けてこう言った。2 『人の子よ、顔をセイルの山地に向け、それに対して預言しなさい。3 こう言いなさい。『主権者である主エホバはこう言っている。「セイルの山地よ、私はあなたに敵対しており、あなたに向かって手を伸ばし、あなたを荒れ果てた所ににする。4 あなたの町々を廃虚に変える。あなたは荒れ果てた所になり、私がエホバであることを知らなければならなくなる。5 あなたが、弱まることのない敵意を示し、イスラエル人の災難の時、最終的な処罰の時に、彼らが剣で討たれるようにしたからである』』。

6 主権者である主エホバはこう宣言する。『それで、生きている私自身に

第34章

(ア) エゼ 36:29

(イ) エゼ 36:15

(ロ) エゼ 37:27

(ロ) 詩 78:52

詩 100:3

イザ 40:11

第35章

(ロ) 創 32:3

申 2:5

(ロ) エレ 49:8

哀 4:22

エゼ 25:8,9

オバ 1

(ロ) エゼ 25:12,13

(ロ) ヨエ 3:19

マラ 1:3

(ロ) 創 27:41

アモ 1:11

(ロ) 詩 137:7

オバ 10

第2欄

(ロ) オバ 15

(イ) エゼ 25:14

(ロ) エゼ 25:13

(ロ) エレ 49:17,18

エゼ 25:13

マラ 1:4

(ロ) エゼ 36:5

オバ 13

(ロ) アモ 1:11

(ロ) オバ 3

か 懸けて誓う。私はあなたの血が流れるようにし、あなたは必ず血を流すことになる。あなたは血を憎んだので、必ず血を流すことになる。7 私はセイルの山地を荒れ果てた所にし、そこを行き来する者を途絶えさせる。8 私はセイルの山々を殺された者たちで満たす。あなたの丘や谷や全ての川に、剣で殺された者たちが倒れる。9 私はあなたをずっと荒廃したままにし、あなたの町々には誰も住まない。あなた方は私がエホバであることを知らなければならなくなる』。

10 あなたは、『この2つの国民と2つの土地は私のものとなり、われわれは両方を手に入れる』と言った。エホバがそこにいたのにそう言ったのである。そのため、11 主権者である主エホバはこう宣言する。『生きているわたしは、あなたが私自身に懸けて誓う。私は、あなたが彼らを憎んで表した怒りと嫉妬に応じてあなたを扱う。そしてあなたを断罪する時、自分について彼らに知らせる。12 あなたは次のことを知らなければならなくなる。私エホバは、イスラエルの山々に向かってあなたが言った不敬なことを全て聞いた。あなたは、「彼らは荒廃させられ、われわれに餌食として与えられた」と言ったのである。13 また、私に向かって高慢に話し、多くの言葉を語った。私はそれを全て聞いた』。

14 主権者である主エホバはこう言う。『私があなたを荒れ果てた所にする時、全世界は喜ぶ。 15 イスラエル国民の相続地が荒廃させられた時にあなたが喜んだので、私はあなたに同じことが起きるようにする。セイルの山地よ、あなたは荒廃する。エドム全土がそうなのである。そして、人々は私がエホバであることを知らなければならなくなる』。

36 「人の子よ、イスラエルの山々についてこう預言しなさい。『イスラエルの山々よ、エホバの言葉を聞きなさい。 2 主権者である主エホバはこう言っている。「敵があなたたちに向かって、『いい気味だ！昔からある高い場所さえも私たちのものになった！』と言った』。

3 それで、預言しなさい。『主権者である主エホバはこう言っている。「あなたたちは四方から攻められて荒廃し、生き残っていた異国の人々に所有されることになり、人々の話題に上って中傷され続けた。そのため、

4 イスラエルの山々よ、主権者である主エホバの言葉を聞きなさい！ 山や丘、川や谷、廃虚となった場所、捨てられた町々、生き残っていた周囲の国の人々に略奪されてあざけられた町々に、主権者である主エホバは語る。

5 それらに主権者である主エホバはこう言う。『私は燃えるような熱意を

第35章

〔例〕哀 4:21
オバ12:15

〔例〕イザ 34:5

エゼ 25:12, 13
エゼ 36:5

第36章

〔例〕エレ 49:1
エゼ 35:10

〔例〕申 28:37
王一 9:7
哀 2:15
ダニ 9:16

〔例〕エレ 25:9

〔例〕詩 79:4
エゼ 34:28

第2欄

〔例〕ゼバ 3:8

〔例〕オバ 12

〔例〕エゼ 25:12, 13
エゼ 35:10, 11
アモ 1:11

〔例〕詩 74:10
詩 123:4

〔例〕エレ 25:9
エレ 49:17

〔例〕イザ 44:23
イザ 51:3
エゼ 36:30

〔例〕ゼカ 8:4

〔例〕イザ 51:3
エレ 30:18, 19
アモ 9:14

〔例〕エレ 31:27

〔例〕イザ 54:7
エレ 30:18

〔例〕ハガ 2:9

〔例〕ホセ 2:20
ヨエ 3:17

〔例〕エレ 32:44
オバ 17

もって、生き残っている異国の人々とエドム全体を非難する。彼らは大きな喜びとひどい軽蔑を抱いて、私の土地を自分たちの所有地とし、牧草地を奪って土地を略奪した』。

6 それで、イスラエルの土地について預言し、山や丘、川や谷に言いなさい。『主権者である主エホバはこう言っている。「私は熱意と激しい怒りのうちに話す。あなたたちが異国の人々に侮辱されたからである』。

7 主権者である主エホバはこう言う。『私は手を挙げて誓う。周りの国の人々は自分たちの恥を負うことになる。 8 一方、イスラエルの山々よ、あなたたちは枝を伸ばし、私の民イスラエルのために実を結ぶ。彼らは間もなく戻ってくるのである。 9 私は共にいて、あなたたちに注意を向ける。あなたたちは耕され、種をまかれる。 10 私は、あなたたちの民、イスラエル国民全体の人口を増やす。町々には人が住み、廃虚は建て直される。 11 私は確かにあなたたちの民と家畜を増やす。その数は増え、多くの子が生まれる。私は以前のようにあなたたちに人が住むようにし、昔よりも栄えさせる。そして、あなたたちは私がエホバであることを知らなければならなくなる。 12 私は私の民イスラエルに、あなたたちの上を歩かせ、彼らはあなたたちを所有するようになる。』

あなたたちは彼らの相續地となり、二
度と彼らから子供を奪うことはない。』

13 「主権者である主エホバはこう
言う。『人々はあなたたちに、「あなた
は人をむさばり食い、自分の国々から
子供を奪う土地だ」と言っている。』

14 『そのため、あなたはもはや人を
むさばり食うことも、自分の国々から
子供を奪うこともなくなる』と、主権者
である主エホバは宣言する。 15 『私
は、あなたがもう異国の人々に侮辱さ
れたり、あざけられたりしないように
する。あなたはもはや自分の国々を倒
れさせることはない』と、主権者である
主エホバは宣言する。

16 エホバが再び私に語り掛けてこ
う言った。 17 「人の子よ、イスラエル
国民は自分たちの土地に住んでいた
とき、自分たちの生き方や行いによって
土地を汚した。私にとって彼らの歩み
は、月経の汚れのようだった。 18 そ
れで私は、彼らに激しい怒りを浴びせ
た。彼らがその土地で血を流し、汚ら
わしい偶像で土地を汚したからであ
る。 19 私は彼らを国々に散らし、さ
まざまな土地に追いやった。彼らの生
き方や行いに応じて彼らを裁いたので
ある。 20 しかし、彼らが行った先の
国々で、人々は彼らについて、『これ
はエホバの民だが、その神の土地か
ら去らなければならなかったのだ』と

36:18 *ヘブライ語で「ふん」を意味する言葉と
関連があると考えられる、嫌悪を表す表現。

第36章

(イ) イザ 65:23

(イ) イザ 54:4
イザ 60:14
ミカ 7:8
ゼバ 2:8
ゼバ 3:19(イ) 詩 106:38
イザ 24:5
エレ 2:7
エレ 16:18(イ) レビ 12:2
イザ 64:6

(イ) イザ 42:24,25

(イ) エゼ 23:37

(イ) レビ 26:38
エゼ 22:15

第2欄

(イ) イザ 52:5
ロマ 2:24(イ) 詩 74:18
イザ 48:9
エゼ 20:9

(イ) 詩 106:7,8

(イ) イザ 5:16
エゼ 20:41

(イ) 詩 102:13-15

(イ) 申 30:3
イザ 43:5
エレ 23:3
エゼ 34:13
ホセ 1:11(イ) 民 19:13
詩 51:7(イ) イザ 4:4
エレ 33:8

(イ) エゼ 6:4

(イ) エレ 32:39

(イ) 詩 51:10
エゼ 11:19,20

(イ) ゼカ 7:12

(イ) エレ 31:33

い、私の聖なる名を汚した。 21 そ
れで私は、イスラエル国民が行った先
の国々で汚した、私の聖なる名を気に
掛ける。

22 「イスラエル国民に言いなさい。
『主権者である主エホバはこう言っ
ている。「イスラエル国民よ、私が行動
を起こすのはあなたたちのためではな
く、あなたがたが行った先の国々で汚
した、私の聖なる名のためである。』」

23 主権者である主エホバはこう宣
言する。『私は、あなたがたが異国の
人々の中で汚した、私の偉大な名を、
必ず神聖なものとす。そして、あな
たたちの中で、異国の人々の目の前
で、私が神聖なものとされる時、異国
の人々は私がエホバであることを知
らなければならなくなる。 24 私は
あなたたちを国々から連れ出し、あら
ゆる土地から集めて、あなたがたの土
地に連れ戻す。 25 清い水を振り掛
けて、あなたたちを清くする。あらゆ
る汚れと汚らわしい偶像から、私はあ
なたたちを清める。 26 あなたたち
に新たな心を与え、新たな精神を持
させる。あなたがたの体から石のような
心を取り除き、柔らかな心を与える。
27 私の聖なる力をあなたがたの内
に宿らせ、私の規定に従って歩むよう
にさせる。あなたがたは私の法規を守
り、実行する。 28 そしてあなたがた

36:26, 27 *ヘブライ語、ルーアハ。用語集参
照。 36:26 *神の導きに敏感に応じる心のこと。

は、私が父祖たちに与えた土地に住み、私の民となり、私はあなたたちの神となる。』

29 『私はあなたたちをあらゆる汚れから救い、穀物に呼び掛けて豊かに実らせ、あなたたちが飢饉で苦しまないようにする。』**30** 木の実や畑の作物を豊かに生じさせ、あなたたちが二度と飢饉のために異国のの人々の間で恥をかくことがないようにする。**31** あなたたちは、自分の悪い生き方と、善くなかった行いを思い出し、自分の罪と忌まわしい行いのために自分を嫌悪する。**32** しかし、次のことを知っておきなさい。私はあなたたちのためにこれを行うのではない。イスラエル国民よ、自分の歩みのゆえに恥じ、屈辱を味わいなさい』と、主権者である主エホバは宣言する。

33 主権者である主エホバはこう言う。『あなたたちをあらゆる罪から清める日に、私は町々に人が住むようにし、廃虚が建て直されるようにする。』**34** 通り掛かる人全てから見て荒廃していた土地は、耕される。**35** それで人々はこう言う。「あの荒れ果てていた土地は、エデンの園のようになった。壊されて荒廃し、廃虚になっていた町々は、防備が固められ、人が住むようになった」。**36** あなたたちの周りに残っている異国のの人々は、私エホバが、壊されたものを築き、荒廃し

第36章

〔ア〕エレ 30:22
エゼ 37:25,27

〔イ〕エゼ 34:29

〔ウ〕エゼ 34:27

〔エ〕エズ 9:6

ネヘ 9:26

エレ 31:18

エゼ 6:9

〔ヨ〕申 9:5

ダニ 9:19

〔カ〕ゼカ 8:8

〔キ〕イザ 58:12

エレ 33:10,11

アモ 9:14

〔ク〕創 2:8

〔ク〕イザ 51:3

第2欄

〔ア〕エゼ 28:26

エゼ 37:14

〔イ〕出 23:17

〔ウ〕エレ 30:18,19

第37章

〔エ〕啓 21:10

〔ウ〕エゼ 37:11

〔ウ〕申 32:39

サー 2:6

〔ウ〕創 2:7

エゼ 37:14

ていた場所に草木を植えたことを知らなければならなくなる。私エホバが語り、これを行ったのである。』

37 主権者である主エホバはこう言う。『私はさらにイスラエル国民の願いを聞き入れ、その民を羊の群れのように増やす。**38** 祭りの期間中にエルサレムに集まる群れのように、聖なる人たちの群れのように、人の群れが廃虚になっていた町々にあふれ、彼らは私がエホバであることを知らなければならなくなる。』

37 エホバの力が私に働き、エホバはご自分の聖なる力によって私を運び、谷あいの平原の真ん中に置いた。そこは骨でいっぱいだった。**2** 神は私にその周りを回らせた。見ると、その谷あいの平原には非常にたくさんの骨があり、どれも乾き切っていた。**3** 神は私に、「人の子よ、これらの骨は生き返るだろうか」とたずねた。それで私は、「主権者である主エホバ、それはあなたのご存じです」と答えた。**4** すると神は言った。「これらの骨について、こう預言しなさい。『乾いた骨よ、エホバの言葉を聞きなさい。』

5 主権者である主エホバはこれらの骨にこう言っている。「私はあなたたちに息を吹き込み、あなたたちは生き返る。**6** 私はあなたたちに筋や

36:38 *もしかすると、「祭りの期間中にエルサレムで犠牲にされる羊の群れのように」。

肉を付け、皮膚で覆い、息を吹き込む。あなたがたは生き返り、私がエホバであることを知らなければならなくなる』』。

7 私は命じられた通りに預言した。するとすぐにカタカタという音がして、骨と骨が組み上がっていった。8 見ていると、筋や肉が付き、皮膚で覆われた。しかし、まだ息は吹き込まれていなかった。

9 神は言った。「風に向かって預言しなさい。人の子よ、預言して、風に言いなさい。『主権者である主エホバはこう言っている。『風よ、四方から来て、この殺された人たちに吹き付け、彼らが生き返るようにしなさい』』。

10 それで私は神に命じられた通りに預言した。すると息が吹き込まれ、彼らは生き返って、立ち上がった。非常に大きな軍勢だった。

11 神は言った。「人の子よ、これらの骨はイスラエル国民全体である。彼らはこう言っている。『私たちの骨は乾いていて、希望は失われた。私たちは完全に孤立している』。12 それで、彼らに預言しなさい。『主権者である主エホバはこう言っている。『私の民よ、私はあなたがたの墓を開き、あなたがたを墓から引き上げて、イスラエルに連れていく。13 私の民よ、私

第37章

(イ) 啓 11:11

(イ) エゼ 36:10

(イ) イザ 49:14

(イ) イザ 66:14

(イ) エゼ 11:17
アモ 9:14

第2欄

(イ) 詩 126:2

(イ) イザ 32:14, 15
エゼ 36:27(イ) 代二 15:9
代二 30:11(イ) 王一 11:31
王一 12:20(イ) イザ 11:13
エレ 3:18(イ) エレ 50:4
ゼカ 10:6

が墓を開き、あなたがたを墓から引き上げる時、あなたがたは私がエホバであることを知らなければならなくなる』。14 『私は聖なる力をあなたがたの内に宿らせ、あなたがたを生き返らせて、あなたがたの土地に住ませる。あなたがたは、私エホバが語り、これを行ったことを知らなければならなくなる』と、エホバは宣言する。』

15 エホバが再び私に語り掛けてこう言った。16 「人の子よ、1本の棒を手に取り、その棒に、『ユダと、共にいるイスラエルの民のために』と書きなさい。それから別の棒を手に取り、その棒に、『エフライムの棒。ヨセフと、共にいるイスラエル国民全体のために』と書きなさい。17 そして2本の棒を一緒に持ち、あなたの手の中で1本の棒になるようにしなさい。18 あなたの同胞たちから、『これらのことが何を意味するか教えてほしい』と言われたら、19 こう言いなさい。『主権者である主エホバはこう言っている。『私は、エフライムの手の中にある、ヨセフと他のイスラエルの部族の棒を取り、ユダの棒と一緒に持って、1本の棒とする。それらは私の手の中で1つになる』。20 あなたが文字を書いた棒を、人々から見えるように持ちなさい。

21 さらに彼らに言いなさい。『主

37:16 * または、「彼の仲間である」。

37:9 * または、「息」。ヘブライ語、ルーアハ。用語集参照。* 直訳、「4つの風」。37:10 * ヘブライ語、ルーアハ。用語集参照。

権者である主エホバはこう言っている。^(イ)「私はイスラエル人を、彼らが行った先の国々から連れ出し、あらゆる方向から集めて、彼らの土地に連れていく。^(イ) 22 その土地で、イスラエルの山々で、私は彼らを1つの国民とし、1人の王が彼ら全てを治める。彼らはもはや2つの国民ではなくなり、2つの王国に分かれたままにはならない。^(イ) 23 汚らわしい偶像や忌まわしい行いやあらゆる違反によって自分たちを汚すことはもうない。私は彼らを、罪につながった全ての不忠実から救い、清める。彼らは私の民となり、私は彼らの神となる。^(イ)

24 私に仕えるダビデが彼らの王となり、彼らは皆1人の牧者に導かれる。なり、彼らは皆1人の牧者に導かれる。彼らは私の法規に従って歩み、私の法令を注意深く守る。^(イ) 25 そして、私に仕えたヤコブに私が与えた土地、あなたたちの父祖たちが住んだ土地に住む。彼らとその子供と孫たちはそこに永遠に住み、私に仕えるダビデが永遠に彼らの長となる。^(イ)

26 私は彼らと平和の契約を結ぶ。それは永遠に続く契約となる。私は彼らを定住させ、増やし、永遠に彼らの中に私の聖なる所を置く。^(イ) 27 私の天幕が彼らと共にあり、私は彼らの神となり、彼らは私の民となる。^(イ) 28 私

37:23 *ヘブライ語で「ふん」を意味する言葉と関連があると考えられる、嫌悪を表す表現。 37:27 *または、「住まい」、「家」。「または」、「の上に」。

第37章

(イ) 申 30:3
イザ 11:12
エレ 16:14, 15
アモ 9:14
(イ) エレ 3:18
ホセ 1:11
(イ) 創 49:10
詩 2:6
イザ 9:6
エレ 23:5
ルカ 1:32
(イ) エゼ 37:19
ゼカ 10:6
(イ) イザ 2:18
エゼ 11:18
ホセ 14:8
ゼカ 13:2
(イ) エレ 31:33
エゼ 36:28
(イ) エレ 23:5
エレ 30:9
ホセ 3:5
ルカ 1:32
(イ) ヨハ 10:16
ペー 5:4
(イ) 申 30:8-10
エレ 32:39
エゼ 36:27
(イ) エレ 30:3
(イ) イザ 60:21
アモ 9:15
(イ) ヨエ 3:20
(イ) エゼ 34:24
ルカ 1:32
(イ) エゼ 34:25
(イ) エレ 30:19
ゼカ 8:5
(イ) レビ 26:12
エゼ 11:19, 20
エゼ 43:7
ホセ 2:23
啓 21:3

第2欄

(イ) エゼ 36:23

第38章

(イ) イザ 66:19
エゼ 27:13
エゼ 32:26
(イ) エゼ 38:15
(イ) エゼ 39:1
(イ) 王二 19:20, 28
エゼ 29:3, 4
エゼ 39:2
(イ) エゼ 38:15
(イ) 代一 1:8
(イ) 創 10:2, 3
エゼ 27:14
(イ) エゼ 39:2

の聖なる所が永遠に彼らの中にあるようになる時、国々は、私エホバがイスラエルを神聖なものとしていることを知らなければならなくなる。』」。

38 エホバが再び私に語り掛けてこう言った。 2 「人の子よ、メシェクとトバルの長たちの長である、マゴグの地のゴグに敵しい顔を向け、彼に対して預言しなさい。 3 こう言いなさい。『主権者である主エホバはこう言っている。「メシェクとトバルの長たちの長であるゴグよ、私はあなたに敵対している。 4 あなたを向き直らせ、あなたの頸にかぎを引っ掛けて、あなたをその全軍、馬や騎兵と共に連れ出す。兵は非常に大勢いて、立派な服を着て大盾や小盾を持っており、皆が剣を振るう。 5 ペルシャ、エチオピア、プトも共にいて、皆が小盾とかぶとを身に着けている。 6 ゴメルとその全ての兵、北の果てのトガルマの子孫とその全ての兵など、多くの民があなたと共にいる。

7 用意をしなさい。あなたと、共に集まっている全ての軍隊は、準備をしなさい。あなたは彼らの司令官となる。

8 長い月日の後、あなたに注意が向けられる。あなたは最後の年月に、剣による惨害の後に連れ戻され、人々がいる土地に攻め込む。その人々は、多くの民の中から集め出され

38:7 *直訳、「守護者」。 38:8 *または、「あなたは呼び集められる」。

て、長い間荒廃していたイスラエルの山々に登った。その土地に住む人々は、さまざまな民の中から連れ戻され、皆が安心して住んでいる。9 あなたは嵐のように彼らを襲う。あなたと、あなたの全ての兵と、共にいる多くの民は、雲のようにその土地を覆う』。

10 主権者である主エホバはこう言う。『その日、あなたの心にさまざまな考えが入り、あなたは邪悪な計画を立てる。11 そしてこう言う。「私は、無防備な居住地ばかりの土地に攻め込む。騒ぎもなく安らかに暮らしている人々を攻める。彼らは皆、城壁やかんぬきや門に守られていない居住地に住んでいる」。12 あなたは多くの戦利品や略奪品を手に入れようとし、かつて廃虚だったものの人が住むようになった場所と、国々から再び集められた人々を攻撃する。その人々は財産を蓄えており、世界の中心に住んでいる。

13 シェバとデダン、タルシシュの商人と全ての戦士は、あなたに言う。「あなたは多くの戦利品や略奪品を手に入れるために攻め込むのか。軍隊を集めたのは、銀や金を運び去り、財産を奪い、非常に多くの戦利品を手に入れるためか』。

14 それで、人の子よ、ゴグに預言しなさい。『主権者である主エホバはこ

38:11 *または、「囲いのない田舎の村」。38:13 *または、「若くて強いライオン」。

第38章

(例) エレ 23:5,6
エゼ 28:25,26
エゼ 34:25

(例) 出 15:9

(例) エレ 33:12

(例) ゼカ 10:8

(例) イザ 60:5
イザ 61:6

(例) エゼ 27:22

(例) エゼ 27:15

(例) エゼ 27:25

第2欄

(例) エゼ 38:8

(例) エゼ 39:2

(例) ゼバ 3:8

(例) ヨエ 3:2

(例) 出 14:4
王二 19:17-19
詩 83:17,18
エゼ 39:21

(例) ヨエ 3:16
ナホ 1:2
ゼカ 2:8

(例) ナホ 1:5

う言っている。「私の民イスラエルが安らかに暮らしている日に、あなたはそのことを気に留めないのだろうか。15 あなたは自分の場所から、北の果てから、多くの民と共にやって来る。彼らは皆が馬に乗り、大勢いて、大軍を成している。16 あなたは土地を覆う雲のように、私の民イスラエルを攻める。私は最後の日々に、私の土地をあなたに攻めさせる。それは、ゴグよ、私がさまざまな国の民の目の前で、あなたを通して自分を神聖なものとするとき、それらの民が私を知るようになるためである』。

17 主権者である主エホバはこう言う。『私は過去に、私に仕えるイスラエルの預言者たちを通して、ある者について語った。あなたこそ、その者ではないか。預言者たちは長年の間、あなたが攻めてくることを預言していた』。

18 主権者である主エホバはこう宣言する。『その日、ゴグがイスラエルに攻め込む日に、私の非常に激しい怒りが燃え上がる。19 私は熱意と、燃え盛る激怒のうちに話す。その日、イスラエルに大きな地震が起こる。20 私のゆえに、海の魚、空を飛ぶ鳥、野獣、地面をはう全ての爬虫類、地上の全ての人間は震え、山は崩れ、崖は崩落し、全ての城壁は地面に倒れる』。

21 主権者である主エホバはこう宣言する。『私は、私の全ての山の上で

つるぎ よ か せ すべ
 剣に掛け、ゴグを攻めさせる。全
 ひと つるぎ じぶん きょうだい む
 ての人の剣は自分の兄弟に向けられ
 る。22 私は疫病と流血をもってゴ
 けい しっこう はげ あめ
 グに刑を執行する。そして、激しい雨と
 けい ひひ いおう
 ひょうと火と硫黄を、ゴグとその兵の上
 にと、また共にいる多くの民の上に降ら
 せる。23 私は必ず自分があがめら
 れるようにし、自分を神聖なものとし、
 おお く に ひとびと め まえ じぶん
 多くの国の人々の目の前で自分につ
 いて知らせる。彼らは私がエホバであ
 ることを知らなければならなくなる。』

39 人の子よ、ゴグに対して預言
 しなさい。『主権者である主
 エホバはこう言っている。「メシェクと
 トラバルの長たちの長であるゴグよ、私
 はあなたに敵対している。2 あなた
 を向き直らせ、あなたを導いて、北の
 果てから上ってこさせ、イスラエルの
 山々や山に連れてくる。3 あなたの左手
 から弓をたたき落とし、あなたの右手
 から矢が落ちるようにする。4 あな
 たと、あなたの全ての兵と、共にいる
 民は、イスラエルの山々に倒れる。私
 はあなたをあらゆる肉食の鳥と野獣
 に食べさせる。』

5 『あなたは野原に倒れる。私が
 語ったからである』と、主権者である
 主エホバは宣言する。

6 『私はマゴグに対し、また島々に
 安心して住んでいる者たちに対し、火
 を差し向ける。彼らは私がエホバで
 あることを知らなければならなくなる。』

第38章

(例) 代ニ 20:23
 ハガ 2:22
 ゼカ 14:13

(例) ゼカ 14:12

(例) 出 9:22
 ヨシ 10:11

(例) イザ 30:30

(例) 創 19:24

(例) エレ 25:31

第39章

(例) エゼ 38:2

(例) エゼ 27:13
 エゼ 32:26

(例) エゼ 38:4,15

(例) エゼ 38:21

(例) 啓 19:17,18

(例) エレ 25:33

(例) エゼ 38:22

第2欄

(例) エゼ 38:16

(例) イザ 6:3

(例) 詩 46:9

(例) エゼ 38:2

(例) エゼ 39:15

(例) 申 21:22,23

(例) エゼ 38:16

わたし わたし せい な わたし たみ
 7 私は、私の聖なる名を私の民イス
 エルの中で知らせ、その聖なる名をも
 う汚させない。国々は、私がエホバで
 あり、イスラエルの聖なる者であること
 を知らなければならなくなる。』

8 主権者である主エホバはこう宣
 言する。『これは必ず起こり、その通り
 になる。これが、私が語っていた日
 である。9 イスラエルの町々の住民は
 出ていって、武器を燃やして火をたく。
 小盾や大盾、弓や矢、こん棒や小やり
 を燃やすのである。7年の間、それら
 を使って火を付ける。10 野原から木
 を取ってくることも、森で薪を集めるこ
 とも必要なくなる。武器を使って火を
 付けるからである。』

『彼らは戦利品を奪い返し、略奪者
 たちから略奪する』と、主権者である
 主エホバは宣言する。

11 『その日、私はゴグに墓地を与
 える。それはイスラエルの中、海の東
 を旅する者たちの谷にあり、通る者た
 ちの道をつさぐ。人々はそのこにゴグと
 その群衆全てを葬り、そこをハモン・ゴ
 グの谷と呼ぶ。12 イスラエル国民
 は7カ月かけて彼らを葬り、こうして土
 地を清める。13 土地の全ての人は
 彼らを葬るために働き、それによって
 名声を得る。私が自分に栄光をもた
 らす日にそうなる』と、主権者である主
 エホバは宣言する。

39:9 *もしかすると、「手やり」。39:11 *また
 は、「ゴグの群衆の谷」。

14 『任命された人たちが絶えず土地を巡り、地面の上に残っている死体を葬って、土地を清める。彼らは7カ月のあいだ、探し続ける。15 土地を巡る人たちは人の骨を見つければ、傍らに標識を立てる。それから、葬るために任命された人たちが、ハモン・ゴグ谷に骨を葬る。16 そこにはハモンという名の町もできる。こうして人々は土地を清める』。

17 人の子よ、主権者である主エホバはこう言う。『あらゆる種類の鳥とすべての野獣に言いなさい。「集まって、きなさい。私があなたたちのために用意している犠牲の周りに集まりなさい。それは大量の犠牲であり、イスラエルの山々の上にある。あなたたちは肉を食べ、血を飲む。18 力の強い者たちの肉を食べ、地上の長たちの血を飲む。彼らは雄羊、子羊、ヤギ、雄牛であり、皆バシヤンの肥えた動物である。19 あなたたちは、私が用意する犠牲から、満腹になるまで脂肪を食べ、酔うまで血を飲む』。

20 『あなたたちは私の食卓で、馬、兵車の乗り手、力の強い者、あらゆる戦士で腹を満たす』と、主権者である主エホバは宣言する。

21 『私は国々の中で私の栄光を示す。全ての国の人々は、私が刑を執行し、彼らの中で力を表すのを見る。

第39章
(ア) エゼ 39:11

(イ) エゼ 39:12

(ウ) イザ 34:6-8
エレ 46:10
ゼバ 1:7

(エ) 啓 19:17,18

(オ) エゼ 38:4-6
ハガ 2:22
啓 19:17,18

(カ) 出 7:4
出 14:4
イザ 37:20
エゼ 38:16
マラ 1:11

第2欄
(ア) 代二 7:21,22

(イ) 申 31:18
イザ 59:2

(ウ) レビ 26:24,25
申 32:30
詩 106:40,41

(エ) エレ 30:3
エゼ 34:13

(オ) ホセ 1:11
ゼカ 1:16

(カ) エゼ 36:21

(キ) ダニ 9:16

(ク) レビ 26:5,6

(ク) エレ 30:10
アモ 9:14
ゼバ 3:20

(コ) イザ 5:16
エゼ 36:23

(ケ) 申 30:4

(セ) イザ 45:17
イザ 54:8
エレ 29:14

(ソ) イザ 32:14,15
ヨエ 2:28

22 その日以降、イスラエル国民は、私が彼らの神エホバであることを知らなければならなくなる。23 イスラエル国民が捕囚にされたのは自分たちの過ちのため、私に不忠実だったためであることを、国々は知らなければならなくなる。それで私はイスラエル国民から顔を隠し、彼らを敵の手に渡し、彼らは皆剣によって倒れた。24 私は彼らを汚れと違反に応じて扱い、私の顔を彼らから隠した』。

25 主権者である主エホバはこう言う。『私は、ヤコブの子孫で捕らわれている人々を連れ戻し、イスラエル国民全体に憐れみを示す。そして、私の聖なる名を熱心に擁護する。26 彼らは、私に不忠実だったために恥をかい、自分たちの土地に安全に住み、誰にも脅かされない。27 私は、彼らをさまざまな民の中から連れ戻し、敵の国々から集める時、彼らの中で、多くの国の人々の目の前で、自分を神聖なものとする』。

28 『私が彼らを捕囚の身にして国々に追いやり、それから一人残らず集めて彼らの土地に連れ戻す時、彼らは私が彼らの神エホバであることを知らなければならなくなる。29 私はもはや彼らから顔を隠さず、イスラエル国民に私の聖なる力を注ぐ』と、主権者である主エホバは宣言する。

39:25 *直訳、「名に全くの専心を示す」。

39:16 *意味、「群衆」。

40 私たちが捕囚にされて25年
目の初め、第1の月の10日、
都市が陥落してから14年目のその日
に、エホバの力が私に働き、私は都市
に連れていかれた。2 神は幻の中
で私をイスラエルに連れていき、非常
に高い山の上に下ろした。南の方に
都市のようなものがあった。

3 そこに連れていかれると、私は
1人の人を見た。その姿は銅のように
輝いていて、亜麻の綱とアシの物差し
を持ち、門の所に立っていた。4 そ
の人は私に言った。「人の子よ、よく見
て、注意深く聞き、私が見せるもの全
てに注意を払いなさい。あなたはその
ために連れてこられたからです。あな
たが見ることを全部イスラエル国民に
話さない」。

5 見ると、神殿の周りを塙が囲ん
でいた。私に話した人が持っていたア
シの物差しは、長さが3.1メートルあ
った。彼は塙を測り始めた。塙の厚さ
は3.1メートルで、高さも3.1メートル
だった。

6 それから彼は東に向いている門
に行き、その階段を上った。門の入り
口の空間を測ると、奥行きは3.1メー
トルで、もう一方の空間の奥行きも3.1
メートルだった。7 守衛室はそれぞ
れ幅と奥行きが3.1メートルで、守衛

40:1 *エルサレムのこと。 40:5 *直訳、「家」。
40-48章で、「家」が神殿の建物群や主な建物
を指す場合、「神殿」と訳している。*付録B14
参照。

第40章

(例) 王二 24:15, 16

(例) 王二 25:8-10
エゼ 33:21

(例) エゼ 8:3

(例) イザ 2:2

(例) エゼ 1:5, 7
ダニ 10:5, 6(例) エゼ 47:3
ゼカ 2:1, 2
啓 11:1
啓 21:15

(例) エゼ 43:10

(例) エゼ 40:10
エゼ 43:1, 4
エゼ 46:1, 2

第2欄

(例) 代一 9:26, 27

室と守衛室の間隔は2.6メートルだっ
た。神殿の方を向いている、門の玄関
の隣の空間は3.1メートルだった。

8 彼は、神殿の方を向いている、門
の玄関を測った。それは3.1メートル
だった。9 それから門の玄関を測る
と、4.1メートルだった。玄関の脇の柱
を測ると、1メートルだった。門の玄関
は、神殿の側にあった。

10 東の門の両側に、守衛室が3つ
ずつあった。それら3つは同じ大きさ
で、両側にある脇の柱もそれぞれ同じ
大きさだった。

11 それから彼は門の入り口の幅
を測った。5.2メートルだった。門の外
側の幅は6.7メートルだった。

12 両側にある守衛室の前にある
仕切られた場所は52センチだった。
守衛室はそれぞれ3.1メートルだった。

13 それから彼は、片側の守衛室の
屋根から反対側の守衛室の屋根まで
の距離を測った。13メートルだった。
守衛室の入り口は、反対側の守衛室
の入り口と向かい合っていた。14 そ
して彼は脇の柱を測ると、それぞれ高
さが31メートルだった。彼は庭の周囲
の門の脇の柱を全て測った。15 門
の入り口の前から、門の神殿側の玄
関の前までは、26メートルだった。

16 門の中の両側にある守衛室と
その脇の柱には、窓枠が奥に向かって

40:13 *守衛室の壁の一番上の所のところかもし
れない。

(例) エゼ 40:20, 21

狭まっている窓があった。玄関の内側のどの面にも窓があり、脇の柱にはヤシの木の模様がかった。

17 彼は私を外側の庭に連れてきた。見ると、庭の周りには石畳があり、食堂があった。石畳の上に30の食堂があったのである。18 門の横の石畳の幅は、門の全長と同じだった。これが下の石畳である。

19 それから彼は、下の門の前から内側の庭の端までの距離を測った。その距離は、東側も北側も52メートルだった。

20 外側の庭には北を向いている門もあり、彼はその長さと同幅を測った。

21 門の両側に守衛室が3つずつあった。脇の柱と玄関は最初の門と同じ寸法だった。門の長さは26メートル、幅は13メートルだった。22 窓、玄関、ヤシの木の模様は、東の門のものと同じ大きさだった。人々は7段の階段を上ると門に着き、進んでいくと玄関があった。

23 内側の庭には、北の門と向かい合う門と、東の門と向かい合う門があった。彼が門から門までの距離を測ると、52メートルだった。

24 次に彼は私を南の方に連れてきた。見ると、南側にも門があった。彼がその脇の柱と玄関を測ると、他のものと同じ大きさだった。25 門とその玄関の周囲には、他の門と同じ窓

第40章

(イ) 王一 6:4
エゼ 41:26

(イ) 王一 6:35

(イ) 代一 28:12

(イ) エゼ 41:20,26

(イ) エゼ 46:9

第2欄

(イ) エゼ 40:20,22

(イ) エゼ 40:20,21

(イ) エゼ 40:16

(イ) エゼ 40:32,34
エゼ 40:35,37

(イ) エゼ 44:4

があった。門の長さは26メートル、幅は13メートルだった。26 門に至る7段の階段があり、進んでいくと玄関があった。玄関の両脇に柱があり、それぞれにヤシの木の模様がかった。

27 内側の庭には、南を向いている門もあった。彼が南の方へ門から門までの距離を測ると、52メートルだった。28 次に彼は南の門から私を連れて内側の庭に入った。彼が南の門を測ると、他の門と同じ大きさだった。29 守衛室、脇の柱、玄関は、他のものと同じ大きさだった。門とその玄関の周囲には窓があり、門の長さは26メートル、幅は13メートルだった。

30 周囲の玄関は長さが13メートル、幅が2.6メートルだった。31 門の玄関は外側の庭に面していて、その脇の柱にはヤシの木の模様がかった。門に至る階段は8段だった。

32 彼は東から私を連れて内側の庭に入り、門を測った。他の門と同じ大きさだった。33 守衛室、脇の柱、玄関は、他のものと同じ大きさで、門とその玄関の周囲には窓があった。門の長さは26メートル、幅は13メートルだった。34 門の玄関は外側の庭に面していて、両脇の柱にはヤシの木の模様がかった。門に至る階段は8段だった。

35 それから彼は私を連れて北の門に入り、門を測った。他の門と同じ大きさだった。36 守衛室、脇の柱、玄

関は、他のものと同じだった。門の周囲には窓があり、門の長さは26メートル、幅は13メートルだった。37 脇の柱は外側の庭に面していて、両方の柱にヤシの木の模様があった。門に至る階段は8段だった。

38 門の脇の柱の近くに、食堂とその入り口があった。そこで全焼の捧げ物が洗われた。

39 門の玄関の両側に台が2つずつあり、その上で、全焼の捧げ物、罪の捧げ物、有罪の捧げ物がほふられた。

40 北の門の入り口の外側に2つの台があった。また、門の玄関の反対側にも2つの台があった。41 門の両側

に4つずつ、全部で8つの台があり、その上で犠牲がほふられた。42 全焼の捧げ物のための4つの台は、切り石

でできていた。長さとは幅は78センチ、高さは52センチだった。それらの上に、全焼の捧げ物や犠牲をほふるの

に使う道具が置かれていた。43 幅7センチの棚が、内側の壁にぐるりと取り付けられていた。台の上には供え物の肉が置かれることになっていた。

44 内側の門の外には、歌い手たちのための食堂があった。内側の庭の中の、北の門の近くにあり、南を向いていた。東の門の近くにも別の食堂があり、それは北を向いていた。

45 彼は私に言った。「南を向いているこの食堂は、神殿での奉仕を行う

第40章
[例] レビ 8:21

[例] レビ 1:3,6
レビ 8:20
エゼ 43:18

[例] レビ 4:3,4

[例] レビ 5:6
レビ 7:1
エゼ 42:13
エゼ 44:29

[例] 代一 6:31,32

第2欄
[例] 民 3:6-8
代一 9:22,23
詩 134:1

[例] レビ 6:12,13
民 18:5
代二 13:10,11

[例] 王一 2:35
エゼ 43:19

[例] 民 16:39,40
エゼ 44:15,16

[例] 王一 6:3
代二 3:4

[例] 王一 7:21

祭司たちのためのものです。46 北を向いている食堂は、祭壇での務めを行う祭司たちのためのものです。彼らはザドクの子孫で、エホバに近づいて奉仕するために任命されたレビ族の人たちです。

47 それから彼は内側の庭を測った。その長さとは幅は52メートルで、正方形だった。祭壇は神殿の前にあった。

48 そして彼は私を連れて神殿の玄関に入り、玄関の脇の柱を測った。片側が2.6メートル、反対側も2.6メートルだった。門の幅は、片側が1.6メートル、反対側も1.6メートルだった。

49 玄関の幅は10.4メートル、奥行きは5.7メートルだった。人々は玄関まで階段を上っていった。両脇の柱の横に、1本ずつ柱があった。

41 それから彼は私を連れて聖所に入り、脇の柱の幅を測った。片方が3.1メートル、もう片方も3.1メートルだった。2 入り口の幅は5.2メートルで、入り口の側壁は片側が2.6メートル、反対側も2.6メートルだった。彼が聖所の奥行きを測ると20.7メートルで、幅は10.4メートルだった。

3 それから彼は中に入り、入り口の脇の柱を測った。その厚さは1メートル

40:49 *もしかすると、「6.2」。41:1 *直訳、「神殿」。41章と42章で、この言葉は聖所か、聖なる所全体(聖所と至聖所を含む神殿)を指す。41:3 *至聖所の中ということ。

ルだった。入り口の幅は3.1メートルで、入り口の側壁は3.6メートルだった。4 次に彼が聖所に面するその部屋を測ると、奥行きと幅は10.4メートルだった。そして彼は私に、「これが至聖所です」と言った。

5 それから彼が神殿の壁を測ると、厚さは3.1メートルだった。神殿を囲む小部屋の幅は2.1メートルだった。

6 小部屋の上に小部屋があり、3階建てになっていて、各階に30部屋あった。神殿の壁の周囲に出っ張りがあり、小部屋の梁を支えていた。梁が神殿の壁に差し込まれているのではなかった。7 神殿の両側にらせん状の通路があり、上の階に上につれてはばひろくなった。1階から2階を通じて3階に行くにつれ、階が上がるごとに小部屋の幅も広がった。

8 見ると、神殿は高い土台の上に立っており、土台の幅は神殿の幅より広がった。それは小部屋の土台でもあり、角までの高さはちょうど3.1メートルだった。9 小部屋の外側の壁の厚さは2.6メートルだった。神殿の一部である小部屋に沿って、土台の端まで空間があった。

10 神殿の両側と食堂群の間に、幅10.4メートルの区画があった。11 小部屋に沿った空間と小部屋とをつなぐ入り口が、1つは北側に、もう1つは南側

41:7 *らせん階段のことと思われる。41:9

*神殿を囲む細い通路のことと思われる。41:

10 *または、「部屋」。

第41章

例 出 26:33

例 王一 6:5

例 王一 6:6,10

例 王一 6:8

例 代一 28:12

第2欄

例 代二 3:8

エゼ 41:4

例 王一 6:4

例 王一 6:15

代二 3:5

例 王一 6:29

王一 7:36

代二 3:7

例 エゼ 40:16

例 エゼ 1:5,10

啓 4:7

にあった。神殿を囲むその空間の幅は2.6メートルだった。

12 神殿の西側の区画に面した建物は、奥行きが36メートル、幅が47メートルだった。建物の壁の厚さはどこも2.6メートルだった。

13 彼が神殿を測ると、全長は52メートルだった。区画と建物の奥行きと壁の厚さを足すと、それも52メートルだった。14 東を向いている神殿の正面と、両側の区画の幅を合わせると、52メートルだった。

15 彼は神殿の後ろにある区画に面した建物の幅を測った。両側の廊下を含めて52メートルだった。

彼はさらに、聖所、至聖所、庭に面する玄関を測った。16 また、それら3つの入り口の所、窓枠が奥に向かつて狭まっている窓、廊下も測った。入り口の所の近くには、床から窓までの間に板が張られていた。窓には覆いがあった。17 入り口の上や、神殿の内部と外側、周囲の壁全体が測られた。18 壁にはケルブとヤシの木の模様が彫られていた。ヤシの木はそれぞれ2人のケルブの間にあり、ケルブにはそれぞれ2つの顔があった。

19 人間の顔が片側のヤシの木の方を向き、ライオンの顔が反対側のヤシの木の方を向いていた。神殿内の周囲全体にそのように彫られていた。

20 聖なる所の壁には、床から入り口

41:13 *聖なる所の西側の建物のこと。

の^{うえ}の部分^{ぶん}まで、ケルブ^きとヤシ^しの木の^もの^{よう}模様が彫^ほられていた。

21 聖なる所の入り口は四角^{せい とうかく}だった。聖なる場所^{せい ばしょ}の前^{まえ}には、次^{つぎ}のようなものがあつた。**22** 高さ^{たか}1.6メートル、幅^{はば}1メートル^きの、木の祭壇^{さいだん}のようなものである。四隅^{よすみ}に支え^{ささえ}があり、基部^{きぶ}と側面^{そくめん}は木^きでできていた。彼は私^{かれ わたし}に、「これがエホバの前^{まえ}にある食卓^{しょくたく}です」と言った。

23 聖所^{せいじよ}と聖なる場所^{せい ばしょ}にはそれぞれ2つの扉^{とびら}があつた。**24** 扉^{とびら}は折り戸^{おど}になっており、各扉^{かくとびら}を2つに折り畳^{おた}むことができた。**25** 聖なる所の扉^{せい せいのとびら}には、壁^{かべ}と同じように、ケルブ^きとヤシ^しの木の模様が彫^ほられていた。玄関^{げんかん}の外側^{そとがわ}には木のひさし^きがあつた。**26** また、玄関^{げんかん}の両側^{りょうがわ}と、神殿^{しんでん}の小部屋^{せうへつ}とひさしにそまどわく^{そ まどわく}が奥^{おく}に向^むかって狭^{せば}ま^まつて沿^{まど}つて、窓枠^{まど}が奥^{おく}に向^むかって狭^{せば}ま^まつている窓^{まど}とヤシ^しの木の模様^{もよう}があつた。

42 それから彼は私^{かれ わたし}を北^{きた}の方^{ほう}へ、外側^{そとがわ}の庭^{にわ}へ連れてい^つつた。^(イ)そして、神殿^{しんでん}の横^{よこ}の区画^{くかく}の隣^{となり}にあり、隣接^{りんせつ}する建物^{たてもの}の北側^{きたがわ}にある、食堂群^{しょくどうぐん}につ^つつ連れてきた。**2** 北側^{きたがわ}に入り口^いがあり、長さ^{なが}は52メートル、幅^{はば}は26メートルだった。**3** 内側^{うちがわ}の庭^{にわ}の幅^{はば}10.4メートルの区画^{くかく}と、外側^{そとがわ}の庭^{にわ}の石畳^{いしだま}の間にあつた。廊下^{ろうか}と廊下^{ろうか}が向かい合^あつて、3階^{がいだ}建て^{しょうどう}で^{まえ}だった。**4** 食堂^{しょくどう}の前^{まえ}を通

41:21 *直訳、「戸口の柱」。聖所の入り口を指していると思われる。*至聖所を指していると思われる。**41:22** *角のことかもしれない。**42:4** *または、「部屋」。

第41章
(イ) 王一 6:33

(イ) 出 30:1
王一 7:48
啓 8:3

(イ) エゼ 44:16
マラ 1:7

(イ) 王一 6:31-35

(イ) エゼ 41:17,18

(イ) エゼ 40:16

第42章

(イ) エゼ 40:2

(イ) エゼ 42:13

(イ) エゼ 41:12,15

(イ) エゼ 41:10

第2欄

(イ) エゼ 42:10,11

(イ) エゼ 41:12
エゼ 42:1

(イ) エゼ 42:4

(イ) エゼ 42:9

(イ) エゼ 42:1

る通路^{つうろ}は、幅^{はば}が5.2メートル、長さ^{なが}が52メートルだった。食堂^{しょくどう}の入り口^いは北^{きた}を向^むいていた。**5** 建物^{たてもの}の3階^{しょうどう}の食堂^{しょくどう}は、1階^{かい}や2階^{しょうどう}の食堂^{せま}より狭^{せま}かった。廊下^{ろうか}が場所^{ばしょ}を取^とっていたからである。**6** 食堂^{しょくどう}は3階^{かい}建て^{しょうどう}で、庭^{にわ}の柱^{はしら}のような柱^{はしら}はなかつた。そのため、3階^{かい}は1階^{かい}や2階^{かい}よりも床^{ゆか}の面積^{めんせき}が狭^{せま}くなっていた。**7** 外側^{そとがわ}の庭^{にわ}の方^{ほう}の食堂^{しょくどう}は、他の食^た堂^{しょく}と向かい合^あって、その近^きくにあつた外側^{そとがわ}の石壁^{いしかべ}は長さ^{なが}が26メートルだった。**8** 外側^{そとがわ}の庭^{にわ}の方^{ほう}の食堂^{しょくどう}は全長^{ぜんちよう}が26メートルで、聖なる所^{せい ところ}の方^{ほう}の食堂^{しょくどう}は全長^{ぜんちよう}が52メートルだったの^{しょうどう}である。**9** 食堂群^{しょくどうぐん}の東側^{ひがしがわ}には入り口^いがあり、外側^{そとがわ}の庭^{にわ}から入^{はい}ってくることができた。

10 南^{みな}の方^{ほう}にも、庭^{にわ}の東^{ひがし}を向^むく石壁^{いしかべ}の内側^{うちがわ}に食堂^{しょくどう}があつた。神殿^{しんでん}の横^{よこ}の区画^{くかく}と建物^{たてもの}の隣^{となり}である。**11** それら^{しょうどう}の食堂^{まへ}の前^{きた}には、北^{きた}の方^{ほう}の食堂^{しょうどう}と同じ^{おな}ように通路^{つうろ}があつた。食堂^{しょくどう}の奥^{おく}行きや幅^{はば}は同じで、出口^{でぐち}や配置^{はいち}も同じだった。北^{きた}の方^{ほう}の食堂^{しょうどう}の入り口^いは、**12** 南^{みな}の方^{ほう}の食堂^{しょうどう}の入り口^いと同様^{どうよう}だった。通路^{つうろ}の最初^{さいしょ}の所^{ところ}、東^{ひがし}を向^むく隣接^{りんせつ}した石壁^{いしかべ}の横^{よこ}に入り口^いがあり、そこから入^{はい}ることができた。^(イ)

13 それから彼は私^{かれ わたし}に言^いった。「神^{しん}殿^{でん}の横^{よこ}の区画^{くかく}の隣^{となり}にある、北^{きた}の食堂^{しょくどう}と南^{みな}の食堂^{しょくどう}は、聖なる食堂^{せい しょくどう}で、エホバに

42:4 *ギリシャ語セプトウアギンタ訳の「100 キュビト」に基づく換算。ヘブライ語本文は「1 キュビトの道」となっている。付録B14参照。

ちか さいし ちきわ せい
 近づく祭司たちがそこで極めて聖なる
 ささ もの た (イ) きわ せい
 捧げ物を食べます。そこに、極めて聖
 ささ もの こくもつ ささ もの つみ
 なる捧げ物である、穀物の捧げ物、罪
 ささ もの ゆうざい ささ もの お
 の捧げ物、有罪の捧げ物を置くのです。
 せい ぼしょ (イ) さい
 そこは聖なる場所だからです。14 祭
 し はい せい ぼしょ
 司たちは入ったなら、聖なる場所から
 そとがわ にわ で
 そのまま外側の庭に出ていってはなり
 ません。まず、奉仕する際に着る服を
 め (イ) せい
 脱がなければなりません。それは聖
 なるものだからです。彼らはほかの服
 き いっぱん ひとびと はい ところ
 を着てから、一般の人々も入れる所に
 い
 行きます」。

15 彼は奥の神殿の辺りを測り終
 わたし つ へがし む もん(イ)
 えると、私を連れて、東を向いている門
 とお で しゅういぜんたい はか
 を通って出て、周囲全体を測った。

16 アシの物差しで東側を測ると、
 端はし なが
 端から端までの長さは1.6キロだった。

17 北側を測ると、長さは1.6キロ
 きたがわ はか なが
 だった。

18 南側を測ると、長さは1.6キロ
 みなみがわ はか なが
 だった。

19 西側に戻って測ると、長さは1.6
 にしがわ まわ はか なが
 キロだった。

20 こうして彼は四方を測った。周
 い かべ かこ (イ) なが はば
 囲は壁に囲まれていて、長さも幅も1.6
 けい かべ せい
 キロだった。その壁によって聖なるも
 のと世俗のものが分けられていた。

43 それから彼は、東を向いてい
 る門 わたし つ (イ)
 る門に私を連れていった。

2 見ると、イスラエルの神の栄光が東
 み かみ えいこう ひがし
 の方から近づいてきた。その方の声
 ほう ちか (イ) かた こえ

42:15 *直訳、「奥の家」。

第42章

(イ) レビ 6:14,16
 レビ 7:1,6
 レビ 10:12,13
 レビ 24:8,9
 民 18:10
 エゼ 40:46

(イ) レビ 2:3
 民 18:9
 ネヘ 13:5

(イ) 出 28:40
 出 29:8,9
 レビ 8:13
 エゼ 44:19

(イ) エゼ 40:6

(イ) エゼ 40:5

(イ) エゼ 45:1,2

(イ) レビ 10:10
 エゼ 44:23
 コ二 6:17

第43章

(イ) エゼ 40:6
 エゼ 42:15
 エゼ 44:1

(イ) エゼ 9:3
 エゼ 11:23

第2欄

(イ) エゼ 1:24
 ヨハ 12:28,29

(イ) イザ 6:3
 エゼ 10:4

(イ) エゼ 1:3,4
 エゼ 3:23

(イ) エゼ 10:19
 エゼ 44:1,2

(イ) 出 40:34
 王一 8:10
 エゼ 44:4

(イ) エゼ 40:3

(イ) イザ 6:1
 エレ 3:17
 エゼ 1:26

(イ) 代一 28:2

(イ) 出 29:45
 詩 68:16
 詩 132:14
 ヨエ 3:17

(イ) エゼ 39:7
 ゼか 13:2

(イ) エゼ 8:3

いさお なが みず おと (イ)
 は勢いよく流れる水の音のようで、そ
 かた えいこう だいち あか て
 の方の栄光によって大地は明るく照ら
 (イ) わたし み
 されていた。3 私が見たものは、か
 わたし* とし ぼろし きた とき
 つて私が都市を滅ぼすために来た時
 み まぼろし がわ
 に見た幻のようで、ケバル川のほとり
 み わたし (イ) わたし ふ
 で見たもののようだった。私はひれ伏
 した。

4 エホバの栄光は、東を向いてい
 もん とお しんでん* はい (イ)
 る門を通して神殿に入った。5 する
 せい ちから* わたし た うちがわ
 と、聖なる力が私を立たせて、内側の
 にわ つ みる しんでん
 庭に連れてきた。見ると、神殿はエホ
 バの栄光で満ちていた。6 誰かが
 しんでん なか わたし はな か き
 神殿の中から私に話し掛けるのが聞
 こえ、神殿を測っていた人が来て私の
 そばに立った。7 彼は私に言った。

「人の子よ、ここは私の王座がある
 ばし せい(イ) わたし あし お ぼしよ (イ)
 場所、私の足を置く場所である。ここ
 わたし 民のなか えいえん
 で私はイスラエルの民の中に永遠に
 す (イ) こくみん わたし
 住む。イスラエル国民は、もはや私の
 せい な けが (イ) たみ おう
 聖なる名を汚すことはない。民も王た
 ばいしゅん* おう したい わたし
 ちも、売春や王たちの死体によって、私
 せい な けが
 の聖なる名を汚すことはもうない。

8 彼らは、自分たちの神殿の入り口
 わたし しんでん い ぐち となり もう じぶん
 を私の神殿の入り口の隣に設け、自分
 しんでん とぐち はしら わたし しんでん
 たちの神殿の戸口の柱を私の神殿の
 とぐち はしら た わたし
 戸口の柱のそばに立てた。私と彼ら
 あいだ まい かべ (イ)
 の間には1枚の壁しかなかった。その
 わたし せい い おこな
 ようにして彼らは忌まわしい行いに
 によって私の聖なる名を汚したので、私
 いか わたし ね だ
 は怒りのうちに彼らを根絶やしにし

43:3 *もしかすると、「その方」。43:4 *直訳、「家」。43:5 *もしかすると、「天使」。43:7 *神の言葉を代弁していると考えられる。*他の神を崇拜することが売春に例えられている。

た。9 彼らが売春と王たちの死体を
わたくしとお わたしかれなか
私から遠ざけるなら、私は彼らの中に
えいえん す い
永遠に住む。

10 人の子よ、イスラエル国民が自
ぶん あやま は 例
分たちの過ちのために恥じるよう、こ
の神殿について彼らに詳しく話しなさい。
かれ しん でん せつ けい まな
彼らは神殿の設計を学ばなければ

ならない。11 彼らが自分たちの
おこな は せつ けい しん でん せつ
行いを恥じるなら、彼らに神殿の設
けい はい ち で い ぐち し
計、すなわち配置や出入り口を知らせ

なさい。神殿の設計と法令、また律
ぼう すべ しめ せつ けい め まえ か
法を全て示し、彼らの目の前で書きな
さい。彼らが設計の全てに注意を払
い、法令を守るようになるためである。

12 これが神殿の律法である。山頂の
しゅういぜんたい きわ 例
周囲全体は極めて聖なるものである。
しん でん りつぼう さんちよう
これが神殿の律法なのである。

13 祭壇の寸法は、以下の通りであ
る。基部は高さが52センチ、縁の幅

が52センチである。周囲に高さ22セ
ンチのへりがある。これが祭壇の基
部である。14 基部の上の小さい段

は高さが1メートル、縁の幅が52セ
ンチである。小さい段の上の大きい段
は高さが2.1メートル、縁の幅が52セ
ンチである。15 祭壇の炉は高さが

2.1メートルで、四隅から4つの角が上
に突き出ている。16 祭壇の炉は正
方形で、長さも幅も6.2メートルである。

17 炉の下の段は長さで幅が7.3メー
トルで、周囲に26センチのへりがあ

43:9 *他の神を崇拜することが売春に例えられ
ている。

第43章

(例)ダニ 9:12

(例)エゼ 37:23

エゼ 37:26

コニ 6:16

(例)エゼ 16:63

(例)エゼ 40:4

(例)エゼ 44:5

(例)エゼ 11:19,20

エゼ 36:27

(例)詩 93:5

エゼ 40:2

エゼ 42:20

(例)出 27:1

代二 4:1

(例)出 27:2

啓 9:13

(例)出 38:1

代二 4:1

第2欄

(例)出 40:29

レビ 1:5

(例)レビ 8:18-21

エゼ 45:19

(例)出 29:10

レビ 8:14

(例)エゼ 40:46

エゼ 44:15

エゼ 48:11

(例)出 29:36,37

レビ 8:15

ヘブ 9:23

(例)出 29:14

レビ 8:17

ヘブ 13:11

(例)レビ 2:13

る。基部の縁の幅はどの面も52セン
チである。

さいだん かいだん ひがしがわ
祭壇の階段は東側にある。

18 それから彼は言った。「人の子
よ、主権者である主エホバはこう言
う。『祭壇を造るに当たり、これらの指示に
したが せしや しん し
従わなければならない。全焼の捧げ
もの ささ さいだん ち ふ か
物を捧げ、祭壇に血を振り掛けるので
ある。』

19 主権者である主エホバはこう宣
言する。『あなたは、群れの中の若い
おうち どう つみ ささ もの い
雄牛を1頭、罪の捧げ物として、ザドク
しん 例 わたし ちか つか せく
の子孫で私に近づいて仕えるレビ族
の祭司たちに与える。20 雄牛の血
をいくらか取り、祭壇の4つの角、炉の
した だん よすみ しゅうい つ
下の段の四隅、周囲のへりに付けな
さい。そのようにして祭壇を罪から清め、
さいだん しょうざい おこな 例
祭壇のために贖罪を行うのである。』

21 それから、罪の捧げ物であるその
わか おうち しん でん さだ ぼ しょ
若い雄牛を、神殿の定められた場所、
せい い ところ そと や
聖なる所の外で焼かなければなら
ない。22 2日目に、あなたは傷のない
お びき つみ ささ もの ささ
雄ヤギを1匹、罪の捧げ物として捧げ
る。祭司たちは祭壇を罪から清める。
わか おうち きよ おこな
若い雄牛で清めたのと同じようにで
ある。』

23 『祭壇を罪から清め終えたら、
あなたは群れの中から、傷のない若
おうち どう きず おひつじ びき ささ
い雄牛1頭と傷のない雄羊1匹を捧げ

る。24 あなたはそれらをエホバに
さ だ さいし うえ しお
差し出し、祭司たちはその上に塩をま
き、全焼の捧げ物としてエホバに捧げ

43:18 *神の言葉を代弁していると考えられる。

なければならぬ。25 7日の間、あなたは雄ヤギ1匹を罪の捧げ物として毎日捧げる。群れの中から若い雄牛1頭と雄羊1匹も捧げる。傷のないどうぶつ、ささの動物を捧げるのである。26 7日の間、祭司たちは祭壇のために贖罪を行い、祭壇を清めて使えるようにする。

27 その期間が終わると、8日目以降、祭司たちはあなたたちの全焼の捧げ物と共食の犠牲を祭壇で捧げる。そして私はあなたたちのことを喜び」と、主権者である主エホバは宣言する。

44 神殿を測っていた人は、私を連れて、聖なる所の外側の、東を向いている門の所に戻った。門は閉じられていた。2 エホバは私に言った。「この門は閉じられたままになる。開けてはならず、人間がここから入ることはない。イスラエルの神エホバがここを通過して入ったからである。それで閉じたままにしなければならぬ。3 しかし、長は門の中に座り、エホバの前でパンを食べる。長だからである。彼は門の玄関を通過して入り、そこを通過していく」。

4 それから神殿を測っていた人は、北の門を通過して神殿の前に私を連れてきた。見ると、エホバの栄光がエホバの神殿に満ちていた。それで私はひれ伏した。5 エホバは言った。「人の子よ、注意を払い、よく見て、エホバ

第43章

(出 29:35)

(レビ 9:1)

(エゼ 20:40)

第44章

(エゼ 43:1)

(エゼ 46:1)

(エゼ 43:2)

(申 12:5,7)

(エゼ 46:2)

(イザ 6:1-3
エゼ 10:4)(エゼ 1:27,28
エゼ 3:23)

第2欄

(エゼ 40:4)

(レビ 22:2
民 18:2,3)(王二 23:8,9
代二 29:1,5
ネヘ 9:34
エゼ 23:11
エゼ 8:5)

(代一 26:1)

の神殿の法令や律法について私が話すこと全てを注意深く聞きなさい。神殿の入り口と、聖なる所の全ての出口に、よく注意を払いなさい。6 あなたは反逆的なイスラエル国民に言わなければならない。『主権者である主エホバはこう言っている。「イスラエル国民よ、忌まわしい行いをやめなさい。7 あなたたちが、心にも体にも割礼を受けていない外国人を私の聖なる所に連れてくると、彼らは私の神殿を汚す。あなたたちは私にパンを、脂肪と血を捧げるが、あらゆる忌まわしい行いのゆえに私との契約は破れている。8 あなたたちは私の聖なるものを大事にしてこなかった。私の聖なる所での務めを他の者たちに行わせている』。

9 『主権者である主エホバはこう言う。「イスラエルに住んでいる、心にも体にも割礼を受けていない外国人は、誰も私の聖なる所に入ってはならない』。

10 『イスラエルが私から離れ、汚らしい偶像に頼った時に、私から遠く離れたいったレビ族は、自分たちの過ちの報いを受ける。11 そして彼らは私の聖なる所の奉仕者となり、神殿の門を見張って神殿で奉仕する。民のために全焼の捧げ物や犠牲をほふり、民の前に立って民に奉仕する。

44:10 *ヘブライ語で「ふん」を意味する言葉と関連があると考えられる、嫌悪を表す表現。

43:25 *または、「完全な」。43:27 *イスラエルの民のこと。

12 彼らは汚らしい偶像の前で
に奉仕し、イスラエル国民に罪を犯さ
せたため、私は彼らに対して手を挙げ
て誓った。彼らは自分たちの過ちをむ
いを受ける』と、主権者である主エホ
バは宣言する。13『彼らは、私に近
づいて祭司として仕えることはなく、私
の聖なるものや極めて聖なるものにも
一切近づけない。自分たちが行った
忌まわしい事柄のために恥辱を受け
る。14 しかし、私は彼らに神殿での
務めを担わせ、そこでの奉仕やあらゆる
仕事を行わせる』。

15 主権者である主エホバはこう
宣言する。『ザドクの子孫であるレビ
族の祭司たちは、イスラエル人が私か
ら離れた時に、私の聖なる所で務め
を行った。彼らは私に近づいて奉仕
し、私の前に立って脂肪と血を捧げる。
16 彼らこそ私の聖なる所に入る。私
の食卓に近づいて奉仕し、私に対する
務めを行う。』

17 彼らが内側の庭の門に入る時
には、亜麻布の服を着るべきである。
内側の庭の門や庭の中で奉仕する
時には、羊毛の服を着てはならない。

18 亜麻布のターバンを頭に巻き、亜
麻布のもの引きで腰を覆うべきであ
る。汗をかくようなものを身に着け
てはならない。19 人々がいる外側
の庭に出ていく前に、奉仕する際に着
ていた服を脱がなければならない。

44:16 *または、「祭壇」。

第44章

(ア) イザ 9:16
マラ 2:8

(イ) 民 18:2,4

(ウ) 王一 2:35
エゼ 40:46

(エ) エゼ 48:9,11

(オ) レビ 3:14-16

(カ) レビ 17:6

(キ) エゼ 41:21,22

(ク) 民 18:7

(コ) 出 28:39,42
出 39:27,28
レビ 16:4

(コ) 出 28:40,42

(ケ) レビ 6:10
エゼ 42:14

第2欄

(ウ) エゼ 42:13

(イ) レビ 21:1,5
申 14:1

(ウ) レビ 10:9

(エ) レビ 21:7

(ウ) レビ 21:10,14

(ウ) マラ 2:7

(キ) 申 17:9

(ウ) 代一 23:3,4
代二 19:8

(ウ) レビ 23:2

(ウ) レビ 21:1-3

(ウ) レビ 4:3

それを聖なる食堂に置き、ほかの服
を着る。服によって人々を神聖にして
しまうことがないようにするためであ
る。20 彼らは頭をそったり、髪を長
く伸ばしたりしてはならない。髪を整
えておくべきである。21 祭司は内
側の庭に入る時、ぶどう酒を飲んで
はならない。22 彼らはやもめや離婚
された女性を妻にしてはならない。イ
スラエルの子孫である処女か、祭司の
妻だったやもめとであれば、結婚して
よい』。

23『彼らは私の民に、聖なるもの
と世俗のものとの違いを知らせるべき
である。また、汚れたものと清いもの
との違いを教える。24 訴訟の際に
は、彼らが取り仕切って裁く。私の法
規に従って裁かなければならない。ま
た、私の全ての祭りに関する律法や
法令を守り、私の安息日を神聖な
ものとするべきである。25 彼らは死
んだ人に近づいてはならない。汚れて
しまうからである。ただし、父親、母親、
息子、娘、兄弟、また未婚の姉妹のた
めには、自分を汚してもよい。26 祭
司が清められた後、彼のために7日を
数えなければならない。27 この祭
司は、聖なる場所、内側の庭に入って、
そこで奉仕する日に、罪の捧げ物を捧
げなければならない』と、主権者であ
る主エホバは宣言する。

44:19 *または、「部屋」。*または、「人々に神
聖さをうつす」。

28『彼らの財産についていえば、
わたくし、かれ、ざいさん*、
私が彼らの財産である。あなたたちは
イスラエルで彼らに所有地を与えては
ならない。私が彼らの所有する分だ
からである。29 彼らは、穀物の捧げ
物、罪の捧げ物、有罪の捧げ物を食べ
る。イスラエルで捧げられたものは全
て彼らのものとなる。30 あらゆる初
物の寄進物のうち最上の物は、祭司
たちのものとなる。粗びき粉の初物も
祭司に与えるべきである。そうすれば、
家々に祝福がとどまる。31 祭司は、
鳥であれ他の動物であれ、すでに死ん
でいたものや引き裂かれていたもの
を食べてはならない』。

45『あなたたちは土地を相続地
として割り当てるとき、土地の
うち聖なる分をエホバに寄進しなけ
ればならない。その長さは13キロ、幅
は5.2キロとする。その区域全体が聖
なる分となる。2 その中で、長さも幅
も260メートルの正方形の区画が、聖
なる場所のために用いられる。その
周囲には26メートルの牧草地が設け
られる。3 測られた土地から、あな
たは長さ13キロ、幅5.2キロを測り、そ
の中に聖なる所があることになる。そ
れは極めて聖なるものである。4 そ
の区域は、土地のうち祭司たちのた
めの聖なる分となる。彼らは聖なる所
の奉仕者であり、エホバに近づいて奉

44:28 *または、「彼らに与えられる土地」。
#または、「受ける分」。

第44章

(例) 民 18:20
申 18:1
ヨシ 13:14
エゼ 45:4
(例) レビ 2:3
(例) レビ 6:17,18
レビ 7:1,6
コ— 9:13
(例) レビ 27:21
民 18:14
(例) 出 23:19
民 18:8,12
民 18:26,27
申 18:4
(例) 民 15:20
ネヘ 10:35-37
(例) 格 3:9,10
マラ 3:10
(例) 出 22:31
レビ 22:3,8

第45章

(例) ヨシ 14:1,2
エゼ 47:21,22
(例) エゼ 48:20
(例) エゼ 48:8,9
(例) ヨシ 21:1,2
(例) エゼ 48:10,11

第2欄

(例) エゼ 40:46
(例) エゼ 48:13
(例) エゼ 40:17
(例) エゼ 48:15
(例) エゼ 48:21
(例) イザ 32:1
イザ 60:17
エレ 22:17
エレ 23:5
エゼ 22:27
エゼ 46:18
ミカ 3:1-3
(例) ヨシ 11:23
(例) エレ 22:3
ミカ 6:8
ゼカ 8:16
(例) ミカ 2:2
(例) レビ 19:36
格 11:1
アモ 8:5
ミカ 6:10,11

仕する。その区域は彼らの家のため
の場所、また聖なる所のための神聖な
場所となる。

5 神殿の奉仕者であるレビ族のた
めに、長さ13キロ、幅5.2キロの区域
がある。彼らは20の食堂を所有する。

6 あなたたちは都市の所有地とし
て、長さは聖なる寄進物と同じ13キロ、
幅は2.6キロの区域を与えなければ
ならない。それはイスラエル国民全体
のものとなる。

7 長のためには、聖なる寄進物の
両側、都市に割り当てられる区域の
両側に土地がある。それは聖なる寄
進物および都市の所有地の隣に、西
側と東側にある。西の境界から東の
境界までの長さは、部族に割り当てら
れる地域と同じである。8 その土地
は、イスラエルの中で長の所有地とな
る。私の長たちはもはや私の民を不
当に扱わず、イスラエル国民の各部族
に土地を与える』。

9 主権者である主エホバはこう言
う。『イスラエルの長たちよ、あなたた
ちは行き過ぎた!』

主権者である主エホバはこう宣言
する。『暴力と圧制を終わらせ、公正で
正しいことを行いなさい。私の民の所
有物を奪うのをやめなさい。10 あ
なたたちは、正確なばかり、正確な乾
りょうきじゅんようき、正確な液量基準容器を
使うべきである。11 乾量基準容器

45:5 *または、「部屋」。

と^{えきりようきじゅんようき}液量基準容器の容量は一定でな^けければ^ならない。液量基準容器の容量は220リットルの10分の1、乾量基準容器の容量も220リットルの10分の1とする。220リットルを基に計量する。**12** 標準の重りは11.4グラムとする。大きな重りは680グラムである』。

13 『あなたたちは次の物を寄進すべきである。小麦220リットルごとに3.7リットル、また大麦220リットルごとに3.7リットル。**14** 油は液量基準容器を使って量られる。液量の基準は22リットルであり、その10倍が220リットルになる。**15** また、イスラエルの家畜の群れから、羊200匹ごとに1匹を捧げる。以上の物を、穀物の捧げ物、全焼の捧げ物、共食の犠牲とし、民のために贖罪を行う』と、主権者である主エホバは宣言する。

16 『土地の全ての人、これらの物をイスラエルの長に寄進する。**17** そして長は、全焼の捧げ物、穀物の捧げ物、飲み物の捧げ物を準備する。祭り、新月、安息日、イスラエル国民の全ての定められた祭りの際に捧げられるものである。長が、罪の捧げ物、穀物の捧げ物、全焼の捧げ物、共食の犠牲を差し出し、イスラエル国民のために贖罪がなされるようにする』。

18 主権者である主エホバはこう言う。『第1の月の1日に、あなたは群れの中から傷のない若い雄牛1頭を取り、聖なる所を罪から清めなければな

第45章

(例) 出 30:13

(例) レビ 2:1

(例) レビ 1:10

(例) レビ 3:1

(例) レビ 1:4
レビ 6:30
ペテ 9:22

(例) 出 30:14

(例) 代一 16:2
代二 30:24

(例) 王一 8:64

(例) 代二 35:7

(例) イザ 66:23

(例) 申 16:16
代二 8:12, 13
代二 31:3

第2欄

(例) レビ 16:16

(例) エゼ 41:21

(例) レビ 4:27, 28

(例) レビ 16:20

(例) レビ 23:5

(例) 出 12:18

(例) レビ 4:13, 14

(例) レビ 23:8

(例) レビ 23:34
申 16:13
代二 7:8
ゼカ 14:16

第46章

(例) エゼ 40:32

(例) 出 20:9

(例) エゼ 44:1, 2

らない。**19** 祭司は罪の捧げ物の血をいくらか取り、神殿の戸口の柱、祭壇の炉の下の下段の四隅、内側の庭の門の戸口の柱に付ける。**20** あなたはその月の7日にも同じようにする。間違つて、あるいは知らずに罪を犯す人のためである。そして、あなたたちは神殿のために贖罪を行わなければならない。

21 第1の月の14日に、あなたたちは過ぎ越しの祭りをを行う。そして7日間、無酵母パンを食べるべきである。

22 その日、長は、自分自身と土地の全ての人のために、罪の捧げ物として若い雄牛1頭を差し出す。**23** また、祭りの7日の間、エホバへの全焼の捧げ物として、傷のない若い雄牛7頭と傷のない雄羊7匹を毎日差し出す。加えて、罪の捧げ物として雄ヤギ1匹を毎日差し出す。**24** さらに、穀物の捧げ物として、若い雄牛1頭ににつき22リットル、雄羊1匹につき22リットル、そして22リットルにつき油3.7リットルを差し出すべきである。

25 第7の月の15日から、長は祭りの7日の間、罪の捧げ物、全焼の捧げ物、穀物の捧げ物、油を同じように差し出す』。

46 「主権者である主エホバはこう言う。『内側の庭の、東を向いておくが、安息日と新月の日には閉じておくが、安息日と新月の日には開けられるべきである。**2** 長は外か

ら、門の玄関を通して入り、門の戸口の柱のそばに立つ。祭司たちは彼が差し出した全焼の捧げ物と共食の犠牲を捧げ、彼は門の入り口の所でひれ伏した後に出ていく。しかし門は夕方まで閉じてはならない。3 民も、安息日と新月の日に、その門の入り口で、エホバの前でひれ伏す。

4 長が安息日にエホバに差し出す全焼の捧げ物は、傷のない雄の子羊6匹と傷のない雄羊1匹とする。5 穀物の捧げ物は、雄羊1匹につき22リットル、雄の子羊の分については可能な限りの量を捧げる。加えて、22リットルにつき油3.7リットルを捧げる。6 新月の日には、群れの中の傷のない若い雄牛1頭、雄の子羊6匹、雄羊1匹を捧げる。傷のないものでなければならぬ。7 また、穀物の捧げ物として、若い雄牛1頭につき22リットル、雄羊1匹につき22リットル、雄の子羊の分については可能な限りの量を捧げる。さらに、22リットルにつき油3.7リットルを捧げる。

8 長は入ってくる時、門の玄関を通して入り、同じ道を通して出ていくべきである。9 民が祭りの際にエホバの前に入ってくる時には、崇拜のために北の門を通して入る人は南の門を通して出るべきであり、南の門を通して入る人は北の門を通して出るべきである。誰も、自分が入ってきた門を通して帰ってはならない。反対側の

第46章

(例) エゼ 44:3

(例) 詩 81:3

イザ 66:23

(例) 民 28:9,10

エゼ 45:17

(例) エゼ 46:11

(例) 民 28:11-15

(例) エゼ 46:2

(例) 出 23:14

申 16:16

(例) エゼ 40:20

(例) エゼ 40:24

第2欄

(例) エゼ 45:21,24

エゼ 46:6,7

(例) レビ 1:3

(例) エゼ 45:17

(例) エゼ 46:1,2

(例) 出 29:38

民 28:3,5

門を通して出ていかなければならない。10 彼らの長は、彼らが入ってくる時に入り、彼らが出ていく時に出るべきである。11 さまざまな祭りの際の穀物の捧げ物は、若い雄牛1頭につき22リットル、雄羊1匹につき22リットル、雄の子羊の分については可能な限りの量を捧げる。加えて、22リットルにつき油3.7リットルを捧げる。

12 長がエホバへの自発的な捧げ物として全焼の捧げ物や共食の犠牲を差し出す場合、東を向いている門が彼のために開けられる。彼は安息日の時と同じように、全焼の捧げ物と共食の犠牲を差し出す。彼が出ていった後に門を閉じなければならない。

13 あなたは毎日、エホバへの全焼の捧げ物として、傷のない1歳未満の雄の子羊1匹を差し出すべきである。毎朝差し出すのである。14 加えて、穀物の捧げ物として毎朝3.7リットルと、エホバへの日々の穀物の捧げ物である上等の麦粉に振り掛ける油1.2リットルを差し出す。これはずっと守るべき法令である。15 日々の全焼の捧げ物として、雄の子羊と穀物の捧げ物と油を毎朝差し出さなければならない。』

16 主権者である主エホバはこう言う。『長が子供それぞれに相続地として土地を贈る場合、それはその子供たちの所有地となる。相続によって所有することになるのである。17 しかし、

ちょう じぶん そうぞく ち いち ぶ め つか
 長が自分の相続地の一部を召し使い
 おく ば あい じ ゆう とし けい
 に贈る場合、それは自由の年までその
 め つか ちよう
 召し使いのものととなり、それから長に
 かえ こと も
 返される。子供だけが、ずっと相続地
 しよう ちよう ため
 を所有できるのである。18 長は、民
 しよう ち ため た の
 の所有地から民を立ち退かせること
 により、民の相続地を奪ってはなら
 ない。自分の所有地から子供に相続
 じぶん しよう ち こと も そうぞく
 地を与えるべきである。私の民の誰
 ち あた わたし ため だれ
 も、自分の所有地から追い出されるこ
 じぶん しよう ち お だ
 とがあってはならない』。

19 それから神殿を測っていた人
 わたし つ もん い ぐち けい とお
 は、私を連れて門のそばの入り口を通
 さい し せい しよくどう* きた む
 り、祭司たちの聖なる食堂、北を向い
 しよくどう ほう い けい み
 ている食堂の方に行った。見ると、食
 どう うし にし ほう ばしょ
 堂の後ろつまり西の方に、ある場所が
 あった。20 彼は私に言った。「ここ
 さい し ゆうざい ささ もの つみ こと
 は祭司たちが有罪の捧げ物と罪の捧
 もの に ばしょ こくもつ ささ もの
 げ物を煮る場所、また穀物の捧げ物
 や ばしょ けい なに そとがわ にわ も
 を焼く場所です。何かを外側の庭に持
 ち出して、人々を神聖にしてみようこ
 だ ひとびと しんせい *
 がないようにするためです」。

21 彼は私を外側の庭に連れ出
 かれ わたし そとがわ にわ つ だ
 して、庭の四隅を回った。見ると、外
 にわ よすみ まわ み そと
 側の庭の各隅のそばに庭があった。
 がわ にわ かくすみ にわ
 22 外側の庭の四隅の所にあつたの
 そとがわ にわ よすみ ところ
 は、長さ21メートル、幅16メートル
 なが はば
 の小さい庭だった。4つとも同じ大き
 ちい にわ *おな おお
 さだった。23 4つの周囲の壁には
 しゅうい かべ
 出張りがあり、その下に捧げ物を煮

46:19 *または、「部屋」。46:20 *または、「人々に神聖さをうつす」。46:22 *または、「4つの庭とそれぞれの隅の建造物」。46:23 *または、「周囲には列が」。

第46章

(例) レビ 25:10

(例) エゼ 42:9

(例) エゼ 42:1

(例) レビ 2:4,5

(例) エゼ 44:19

第2欄

(例) 代二 35:13

第47章

(例) エゼ 41:2

(例) ゼカ 13:1

ゼカ 14:8

啓 22:1

(例) エゼ 40:20

(例) エゼ 40:6

エゼ 44:1,2

(例) エゼ 40:3

啓 21:15

る場所が作られていた。24 彼は私
 ばしょ つく かれ わたし
 に言った。「これらは、神殿の奉仕者
 ひとびと さ だ げ せい に ばしょ
 が、人々が差し出す犠牲を煮る場所
 です」。

47 それから神殿を測っていた
 ひと わたし つ しん でん い
 人は、私を連れて神殿の入り
 ぐち けい もと み しん でん い ぐち
 口に戻った。見ると、神殿の入り口の
 ところ した みず ひがし ほう なが で
 所の下から、水が東の方へ流れ出て
 いた。神殿の正面は東を向いていた
 いた しん でん しょう めん ひがし む
 のである。水は神殿の右側の下から
 みず しん でん みぎがわ した から
 出て、祭壇の南を通って流れ下って
 で さいだん みなみ とお なが くだ
 いた。

2 彼は北の門を通して私を連れ出
 かれ きた もん けい とお わたし つ だ
 し、外を回って東を向いている外側の
 そと まわ ひがし む そとがわ
 門に連れていった。見ると、水が右側
 もん つ (例) み みぎがわ
 からちよろちよろと流れていた。

3 彼は測り綱を持って東の方に行
 かれ はか づな も ひがし ほう い
 き、520メートルを測って、私に水の中
 (例) はか わたし みず なか
 を歩かせた。水はくるぶしまであった。

4 彼はさらに520メートルを測り、
 わたし みず なか ある みず ひざ
 私に水の中を歩かせた。水は膝まで
 あった。

さらに520メートルを測り、私を歩
 かせた。水は腰までであった。

5 さらに520メートルを測ると、水
 かかわ ある わたし
 は川になり、歩いて渡れなかった。
 およ わたし ふか かわ
 泳がなければ渡れないほど深い川
 だった。

6 彼は私に、「人の子よ、これを見
 たず
 ましたか」と尋ねた。

それから彼は私を歩かせ、川岸に
 かかわ わたし ある かかわし
 戻らせた。7 戻って見ると、川の両
 もと もと み かわ りょう

岸^{ぎし}には非常^{ひじょう}にたくさん^きの木^きがあった。^(ア)
8 彼は言^{かれ}った。「この水^{みづ}は東^{ひがし}の方^{ほう}へ流^{なが}れていき、アラバを通^{とお}って下^{くだ}り、海^{うみ}に流^{なが}れ込みます。すると、海^{うみ}の水^{みづ}はきれいになります。**9** この水^{みづ}が流^{なが}れる所^{ところ}では、生き物^{いきもの}の大群^{たいぐん}が生^いきるようになります。この水^{みづ}が流^{なが}れるので、たくさん^{さかな}の魚^{うみづ}が居^あるようになります。海^{うみ}の水^{みづ}はきれいになり、川^{かわ}が流^{なが}れる所^{ところ}ではあらゆるもの^いが生^いきるようになります。

10 エン・ゲディからエン・エグライム^いに至^{いた}るまで、漁師^{りょうし}たちが海^{うみ}沿^ぞいに立^たち、引き網^{ひきあみ}のための干^ほし場^ばができます。大^{おお}海^{うみ}の魚^{いし}のように、いろい^ろな種^{しゅ}類^{るい}の魚^{さかな}がた^くさ^ん居^あるようになります。

11 沼^{ぬま}地^ちや湿^{しつ}地^ちもあり、そこはきれいに^いにな^りま^せん。塩^{しお}にまみ^れるま^まに^にさ^れま^す。

12 川^{かわ}の両^{りょう}岸^{ぎし}では、あ^かじゆ^{じゆ}の果^{くわ}樹^{じゆ}が育^{そだ}ちま^す。その葉^はは枯^かれず、実^みがな^らなくなるこ^とはあ^りま^せん。毎^{まい}月^{つき}、新^{あたら}しい実^みがな^りま^す。木^きを潤^{うる}す水^{みづ}は聖^{せい}なる所^{ところ}か^ら流^{なが}れ出^でて居^いるか^らで^す。実^みは食^{しょく}物^{ぶつ}にな^り、葉^はは人^{ひと}を癒^いや^しま^す。

13 主^{しゅ}権^{けん}者^{しや}である主^{しゅ}エホバ^いはこ^う言^いう。「これはあ^なた^たち^がイス^いラ^らエル^るの12部^ぶ族^{ぞく}に相^{そう}続^{ぞく}地^ちとして割^わり当^あて^る領^{りやう}地^ちであり、ヨセ^よフは2つ^{ふた}の域^{いき}地^ちを得^える。**14** あ^なた^たち^はこ^れを^うけ^つ継^つぎ^を、平^{へい}等^{どう}に土^ど地^ちを得^える。こ^の土^ど地^ちは私^{わたくし}

第47章

(ア) 啓 22:1,2

(イ) 申 4:47,49

(ウ) ゼカ 14:8

(エ) ヨシ 15:20,62
代 20:2

(オ) 民 34:2,6

(カ) 申 29:22,23
詩 107:33,34
エレ 17:6

(キ) エゼ 47:1

(ク) 啓 22:1,2

(コ) 創 48:5
代 1-5:1
エゼ 48:5

第2欄

(ア) 創 26:3

創 28:13

(イ) エゼ 48:1

(ウ) 民 34:2,8

(エ) 民 13:21

(オ) サ 2:8

(カ) エゼ 47:18

(キ) 民 34:2,9

(ク) エゼ 48:1

(コ) 民 32:1

(カ) 申 32:51

(イ) エゼ 48:28

(イ) 民 34:2,8

があ^なた^たち^の父^ふ祖^そた^ちに与^{あた}え^ると誓^{ちか}ったも^のであ^り、今^{いま}あ^なた^たち^に相^{そう}続^{ぞく}地^ちとして割^わり当^あて^られ^て居^いる。

15 土^ど地^ちの北^{きた}の境^{きやう}界^{かい}は次^{つぎ}の通^{とお}りである。大^{おお}海^{うみ}か^らヘト^へロ^ろン^んへ^の道^{みち}を通^{とお}ってツエ^とダ^だド^どに向^むか^い、**16** ハ^ハマ^マト^と、ベ^ベロ^ろタ^タ、シ^シブ^ぶラ^らイ^いム^むを^へ経^へて、ハ^ハツ^ツエ^えル^る・ハ^ハティ^{ティ}コ^こン^んに^{いた}至^{いた}る。シ^シブ^ぶラ^らイ^いム^むはダ^ダマ^マス^すカ^カスの領^{りやう}域^{いき}とハ^ハマ^マト^との領^{りやう}域^{いき}の^{あいだ}に^{あり}、ハ^ハツ^ツエ^えル^る・ハ^ハティ^{ティ}コ^こン^んはハ^ハウ^うラ^らン^んの境^{きやう}界^{かい}に^めん^に面^めして^居る。**17** そ^こで、境^{きやう}界^{かい}は海^{うみ}か^らハ^ハツ^ツア^あル^る・エ^エノ^のン^んま^でであ^り、ダ^ダマ^マス^すカ^カスの北^{きた}の境^{きやう}界^{かい}とハ^ハマ^マト^との境^{きやう}界^{かい}に^ぞ沿^ぞって^居る。こ^のが北^{きた}の境^{きやう}界^{かい}であ^る。

18 東^{ひがし}側^{がわ}は、ハ^ハウ^うラ^らン^んとダ^ダマ^マス^すカ^カスの間^{あいだ}を通^{とお}り、ギ^ギレ^れア^あデ^でとイ^いス^すラ^らエ^えルの間^{あいだ}のヨ^よル^るダ^だン^ん川^{がわ}に^そ沿^ぞって^居る。あ^なた^たち^は北^{きた}の境^{きやう}界^{かい}か^ら東^{ひがし}の海^{うみ}ま^でに^はか^るる^べきであ^る。こ^のが東^{ひがし}の境^{きやう}界^{かい}であ^る。

19 南^{みなみ}の境^{きやう}界^{かい}は、タ^タマ^まル^るか^らメ^メリ^りバ^バト^と・カ^カデ^でシ^しュ^ゆの水^{みづ}を^へ経^へて、谷^{たに}と大^{おお}海^{うみ}に^{いた}至^{いた}る。こ^のが南^{みなみ}の境^{きやう}界^{かい}であ^る。

20 西^{にし}側^{がわ}は大^{おお}海^{うみ}であ^る。南^{みなみ}の境^{きやう}界^{かい}か^ら、レ^れボ^ぼ・ハ^ハマ^マト^との真^ま横^{よこ}の地^ち点^{てん}に^{いた}至^{いた}る。こ^のが西^{にし}の境^{きやう}界^{かい}であ^る。

21 「あ^なた^たち^はこ^の土^ど地^ちを^わけ^け、イ^いス^すラ^らエ^えルの12部^ぶ族^{ぞく}に^わ割^あり^あて^てな^けれ^ばな^らない。**22** 相^{そう}続^{ぞく}地^ちとして分^{ぶん}割^{かつ}し、共^{とも}に住^がい^いく^く外^{がい}国^{こく}人^{じん}に^わも^あけ^あて^て与^{あた}え^るる^べきであ^る。彼^{かれ}らはあ^なた^たち^の中^{なか}で

47:8 *または、「砂漠平原」。用語集参照。**47:9** *直訳、「2本の川」。**47:10** *地中海のこと。**47:14** *直訳、「これをそれぞれ兄弟と同じように相続する」。

47:18 *死海のこと。**47:19** *または、「ワジ」。エジプトの谷のこと。**47:20** *または、「ハマトの入り口」。

暮らす間に子供をもうけたのであり、あなたがたにとって生来のイスラエル人になる。彼らはあなたがたと共にイスラエルの部族の中で相続地を得る。23 外国人居住者には、その人が住むようになった部族の領地の中に相続地を与えるべきである」と、主権者である主エホバは宣言する。

48 「部族の名前は、最北から順に以下の通りである。ダン（イ）の地域は、ヘトロンからレボ・ハマト（イ）を経てハツァル・エナンに至る道に沿っている。ダマスカスの北の境界に沿っており、ハマトの隣にある。そして、東の境界から西の境界までである。2 アシエル（イ）の地域はダンと境界を接しており、東の境界から西の境界までである。3 ナフタリの地域はアシエルと境界を接しており、東の境界から西の境界までである。4 マナセの地域はナフタリと境界を接しており、東の境界から西の境界までである。5 エフライムの地域はマナセと境界を接しており、東の境界から西の境界までである。6 ルベンの地域はエフライムと境界を接しており、東の境界から西の境界までである。7 ユダの地域はルベンと境界を接しており、東の境界から西の境界までである。8 ユダと境界を接して、東の境界から西の境界まで、あなたがたは寄進物を取り分けなければならない。その幅は13キロで

48:1 *または、「ハマトの入り口」。

第48章

（イ）ヨシ 19:40

（イ）民 34:2,8

（イ）エゼ 47:15-17

（イ）ヨシ 19:24

（イ）ヨシ 19:32

（イ）ヨシ 13:29

（イ）ヨシ 17:17,18

（イ）ヨシ 18:7

（イ）ヨシ 15:1
ヨシ 19:9

第2欄

（イ）エゼ 45:1

（イ）民 35:2
エゼ 45:3,4

（イ）エゼ 40:46
エゼ 44:15

（イ）エゼ 23:11
エゼ 22:26

（イ）エゼ 45:6

（イ）エゼ 48:35

あり、東の境界から西の境界までの長さは、部族に割り当てられた地域と同じである。中央に聖なる所がある。

9 あなたたちがエホバのために取り分ける寄進物は、長さが13キロ、幅が5.2キロである。10 これが祭司のための聖なる寄進物となる。北側が13キロ、西側が5.2キロ、東側が5.2キロ、南側が13キロである。その中央にエホバの聖なる所がある。11 それはザドクの子孫で神聖なものとされた祭司たちのためのものである。彼らは私に対する務めを行い、イスラエル人とレビ族が離れていった時に離れなかった。12 彼らは、寄進物である土地の中で、極めて聖なるものとして取り分けられた区域を持つ。それはレビ族の区域と境界を接している。

13 レビ族は、祭司の区域のすぐ隣に、長さ13キロ、幅5.2キロの区域を持つ。（全体の長さは13キロ、幅は5.2キロである。）14 彼らは、土地のこの最上の部分を買ったり、交換したり、譲渡したりしてはならない。それはエホバにとって聖なるものだからである。

15 13キロの境界に沿って残っている幅2.6キロの区域は、都市の世俗の用途のためのもので、居住地や牧草地になる。その中央に都市がある。

16 都市の大きさは次の通りである。北の境界、南の境界、東の境界、西

の境界はそれぞれ2.3キロ。17 都市の牧草地は、北側、南側、東側、西側にそれぞれ130メートル。

18 残りの部分の長さは、聖なる寄進物と同じで、東側が5.2キロ、西側も5.2キロである。その長さは聖なる寄進物と同じで、その産物は都市で仕える人たちの食物となる。19 イスラエルの全部族から来て都市で仕える人たちが、そこを耕す。

20 寄進物全体は13キロ四方である。あなたたちは聖なる寄進物を都市の所有地と共に取り分けなければならない。

21 聖なる寄進物と都市の所有地の両側に残っている土地は、長のもとなる。それは寄進物の東側と西側の13キロの境界の横にある。長さは隣接する地域と同じで、長のためのものとなる。その中央に聖なる寄進物と、神殿の聖なる所がある。

22 レビ族の所有地と都市の所有地は、長のものである土地に挟まれている。長の領地は、ユダの境界とベニヤミンの境界の間にある。

23 残りの部族についていえば、ベニヤミンの地域は東の境界から西の境界までである。24 シメオンの地域はベニヤミンと境界を接しており、東の境界から西の境界までである。25 イッサカルの地域はシメオンと境界を接しており、東の境界から

第48章

(ア) エゼ 45:1

(イ) エゼ 45:6

(ウ) エゼ 45:7

(エ) エゼ 48:8

(オ) ヨシ 18:11

(カ) ヨシ 19:1

(キ) ヨシ 19:17

第2欄

(ク) ヨシ 19:10

(ケ) 創 49:13

(コ) ヨシ 18:7

(ク) エゼ 47:19

(コ) 民 20:13

(ク) 創 15:18

(ケ) 民 34:2

(ク) エゼ 47:13

(ク) エゼ 48:16

(ク) エレ 3:17

ヨエ 3:21

ゼカ 2:10

にし 西の境界までである。26 ゼブルンの地域はイッサカルと境界を接しており、東の境界から西の境界までである。

27 ガドの地域はゼブルンと境界を接しており、東の境界から西の境界までである。28 南の境界はガドの境界と重なっており、タマルからメリバト・カデシュの水を経て、谷と大海に至る。

29 これが、あなたたちがイスラエルの部族に相続地として分割すべき土地であり、彼らはこれらの地域を割り当てられる」と、主権者である主エホバは宣言する。

30 「都市の出入り口は以下の通りである。都市の北側の長さは2.3キロ。

31 都市の門には、イスラエルの部族の名前が付けられる。北側の3つの門のうち、1つはルベンの門、1つはユダの門、1つはレビの門。

32 東側も長さが2.3キロで、3つの門がある。1つはヨセフの門、1つはベニヤミンの門、1つはダンの門。

33 南側も長さが2.3キロで、3つの門がある。1つはシメオンの門、1つはイッサカルの門、1つはゼブルンの門。

34 西側も長さが2.3キロで、3つの門がある。1つはガドの門、1つはアシェル、1つはナフタリの門。

35 都市の周囲の長さは9.3キロである。都市はその日以降、『エホバがそこにいる』という名で呼ばれる」。

48:28 *または、「ワジ」。エジプトの谷のこと。
*地中海のこと。

ダニエル書^{しょ}

概要

- 1 エルサレムがバビロニア人に包囲される (1, 2)
捕虜にされた若者たちが特別な訓練を受ける (3-5)
4人のヘブライ人の忠実さが試される (6-21)
- 2 ネブカドネザル王は気掛かりな夢を見る (1-4)
どの賢人も夢について説明できない (5-13)
ダニエルは神に助けを求める (14-18)
秘密を明らかにした神を賛美する (19-23)
ダニエルは夢の内容を王に話す (24-35)
夢の解き明かし (36-45)
王国を表す石が像を打ち砕く (44, 45)
ダニエルは王から栄誉を受ける (46-49)
- 3 ネブカドネザル王の金の像 (1-7)
像を崇拜するようにとの命令 (4-6)
3人のヘブライ人は従っていないと非難される (8-18)
「私たちがあなたの神々に仕えません」(18)
火の燃え盛る炉に投げ込まれる (19-23)
奇跡により火の中から救い出される (24-27)
王はヘブライ人の神を称賛する (28-30)
- 4 ネブカドネザル王は神の王権を認める (1-3)
王は木の夢を見る (4-18)
木が倒されてから7つの時が過ぎる (16)
神は人間の統治者 (17)
ダニエルは夢を解き明かす (19-27)
夢の最初の実現 (28-36)
王は7つの時の間、正気を失う (32, 33)
王は天の神をたたえる (37)
- 5 ペルシャザル王の宴会 (1-4)
手が現れて壁に文字を書く (5-12)
ダニエルは文字の意味を解き明かすように言われる (13-25)
解き明かし: バビロンは滅びる (26-31)
- 6 ペルシャの役人たちがダニエルを陥れようとたくらむ (1-9)
ダニエルは祈ることをやめない (10-15)
ダニエルはライオンの穴に投げ込まれる (16-24)
ダリウス王はダニエルの神をたたえる (25-28)
- 7 4匹の獣の幻 (1-8)
高慢な小さな角が生えてくる (8)
年月を経た方が法廷を開く (9-14)
人の子が王になる (13, 14)
ダニエルに幻が解き明かされる (15-28)
4匹の獣は4人の王 (17)
聖なる者たちが王国を受ける (18)
10本の角つまり10人の王が権力を持つ (24)
- 8 雄羊と雄ヤギの幻 (1-14)
小さな角が高ぶる (9-12)
2300の晩と朝が過ぎるまで (14)
ガブリエルが幻を解き明かす (15-27)
雄羊と雄ヤギについての説明 (20, 21)
どう猛な顔つきの王が権力を持つ (23-25)
- 9 ダニエルの告白の祈り (1-19)
70年の荒廃 (2)
ガブリエルがダニエルの所に来る (20-23)
70週の預言 (24-27)
69週の後にメシアが現れる (25)
メシアは除かれる (26)
都市と聖なる場所は滅ぼされる (26)
- 10 神の使いがダニエルを訪ねる (1-21)
ミカエルが天使を助ける (13)
- 11 ペルシャとギリシャの王たち (1-4)
南の王と北の王 (5-45)
取り立て人が遣わされる (20)
契約の指導者が砕かれる (22)
要塞の神がたたえられる (38)
南の王と北の王が押し合う (40)
東と北からの不穏な知らせ (44)
- 12 「終わりの時」とその先 (1-13)
ミカエルが行動を起こす (1)
洞察力がある人たちは明るく輝く (3)
真の知識が満ちあふれる (4)
ダニエルは報いを受けるために立ち上がる (13)

1 ユダのエホヤキム王^{（けおう）（ち）（せい）（だい）}の治世^{（ち）（せい）}の第3年^{（だい）（さん）}, バビロンのネブカドネザル王^{（ねん）（せい）}が攻めてきて、エルサレムを包圍した。^{（けい）} **2** エホバは、ユダのエホヤキム王と、真の神の家の器具の一部を、ネブカドネザル王の手に渡した。王はその器具を、シナルにある自分の神の家に持ち帰り、自分の神の宝物庫に入れた。^{（けい）}

3 それから王は廷臣の長アシェパナズに、王族や高貴な人たちを含むイスラエル人の中から幾人かを選んでくるよう命じた。^{（めい）} **4** 欠点がなく、容姿が良く、知恵と知識と識別力に恵まれ、王の宮殿で仕えるのにふさわしい若者たちを連れてきて、カルデア人の言語や文学を教えるようにとのことだった。^{（けい）} **5** さらに王は、自分の美食とどう酒の中からその若者たちに毎日の食事を供給するよう定めた。彼らは3年間訓練され、その期間が終わったら王に仕えることになっていた。

6 若者たちの中に、ユダ族出身のダニエル、ハナニヤ、ミシャエル、アザリヤがいた。^{（けい）} **7** 廷臣の長は彼らに別の名前を与え、ダニエルをベルテシャザル、ハナニヤをシャデラク、ミシャエルをメシャク、アザリヤをアベデネゴと呼んだ。

1:2 *または、「神殿」。「バビロニアのこと。**1:5** *もしかすると、「養われ」。**1:6** *意味、「私を裁くのは神」。「意味、「エホバは好意を示した」。^{（けい）} 意味はもしかすると、「誰が神のようだろうか」。^{（けい）} 意味、「エホバは助けた」。**1:7** *つまり、バビロニア人の名前。

第1章

（けい）代ニ 36:4
エシ 22:18,19
エシ 36:30

（けい）申 28:49,50
王ニ 24:1
代ニ 36:5,6

（けい）イザ 42:24

（けい）創 10:9,10

（けい）代ニ 36:7
エシ 1:7

（けい）王ニ 20:16,18

（けい）ダニ 1:17,20
ダニ 5:11,12

（けい）ダニ 2:48
ダニ 5:13,29

（けい）ダニ 2:17,18

（けい）ダニ 4:8
ダニ 5:12

（けい）ダニ 2:49
ダニ 3:12,28

第2欄

（けい）王ニ 8:49,50
詩 106:44,46

（けい）ダニ 1:20
ダニ 4:9
ダニ 5:11,12

8 しかしダニエルは、王の美食やどう酒で自分を汚さないことを心に決めた。それで、自分を汚さずに済むよう、廷臣の長に許可を求めた。^{（けい）} **9** 真の神は、廷臣の長がダニエルに親切と憐れみを示すようにした。^{（けい）} **10** といえ、廷臣の長はダニエルにこう言った。「私は王を恐れている。王がおまえたちの食べ物と飲み物をお定めになったのに、同じ年頃の若者たちと比べておまえたちの顔色が悪いのをご覧になったら、どうなるだろうか。王の前でわたしの首が危うくなる」。^{（けい）} **11** ダニエルは、自分とハナニヤとミシャエルとアザリヤの世話係として廷臣の長により任命された人に言った。^{（けい）} **12** 「どうか、私たちを10日の間試してください。食べ物はいくつかの野菜、飲み物は水にしてください。^{（けい）} **13** そして、私たちの顔色と、王の美食を食べている若者たちの顔色を比べた上で、私たちをどうすべきか判断ください」。

14 世話係はこの願いを聞き入れ、彼らを10日の間試した。^{（けい）} **15** 10日の後、彼らの顔色は、王の美食を食べていたどの若者よりも良く、健康的だった。^{（けい）} **16** それで世話係は、その後も彼らに美食とどう酒ではなく野菜を与えた。^{（けい）} **17** 真の神はこの4人の若者に、知識と、あらゆる書物の意味を悟る力と、知恵を与えた。ダニエルはどんな幻や夢も理解できるようにされた。

1:10 *直訳、「私の頭が有罪になる」。

18 王が定めた期間が終わり、廷臣の長は若者たちをネブカドネザルの前に連れていった。19 王が彼らと話す、全ての若者の中で、ダニエル、ハナニヤ、ミシャエル、アザリヤに並ぶ者は一人もいないことが分かった。それで4人は王に仕えることになった。20 王は、知恵と理解力を要する事柄について彼らに尋ね、その全てにおいて彼らが王国中の魔術師やまじない師よりも10倍優れていることを知った。21 ダニエルはキュロスの王の治世の第1年までそのままとどまった。

2 ネブカドネザルは治世の第2年に、何度か夢を見て心が落ち着かず、眠れなくなった。2 それで王は、夢について説明させるために、魔術師、まじない師、呪術師、カルデア人を招集しよう命じた。その者たちはやって来て、王の前に立った。3 王は彼らに言った。「私はある夢を見た。その夢で見たのが何だったのかわりたくて、心が落ち着かない」。4 カルデア人たちはアラム語で王に答えた。「王がいつまでも生き続けますように。どのような夢かを私どもにお話ください。そうすれば解き明かします」。

5 王はカルデア人たちに言った。「これが最後の通告だ。もし夢の内容を私に話さず、解き明かさないうち、お

2:2 * 占星術などの占いに精通している人たちのこと。2:4 * ダニ 2:4後半から7:28はアラム語で書かれた。

第1章
[ア] ダニ 1:5

[イ] ダニ 1:3,6

[ウ] ダニ 2:2
ダニ 4:7
ダニ 5:8

[エ] ダニ 6:28
ダニ 10:1

第2章
[ウ] ダニ 4:4,5

[ウ] ダニ 4:6,7
ダニ 5:7,8

[ウ] 王二 18:26
エズ 4:7
イザ 36:11

第2欄
[ウ] ダニ 2:48
ダニ 5:16,29

[イ] ダニ 2:24

またちは手足を切り取られ、おまたちの家は公衆便所にされる。6 だが、もし夢の内容を話し、解き明かすなら、贈り物と褒美と大きな栄誉を与えよう。さあ、夢の内容を話し、解き明かしてみよ」。

7 彼らは再び答えた。「どのような夢かを私どもにお話ください。そうすれば解き明かします」。

8 王は言った。「分かっているぞ。おまたちは最後の通告を受けて、時間を経ようとしているのだ。9 もし夢について私に説明しないなら、おまたちは皆必ず罰を受けることになる。だから、申し合わせてうそ偽りを並べ立て、状況が変わるのを待つつもりだろう。さあ、夢の内容を話してみよ。そうすれば、解き明かせるかどうかも分かる」。

10 カルデア人たちは王に答えた。「王が求めておられることを行える者は、地上に一人もいません。どんな大王や総督も、このようなことを魔術師やまじない師やカルデア人に求めたことはありません。11 王が求めておられることは難しく、それを王に説明できる者がいるとすれば、死にゆく人間とは暮らしを共にしない神々だけでしよ」。

12 すると王は激怒し、バビロンの賢人を皆殺しにするよう命じた。

13 命令が出されて賢人たちが殺さ

2:5 * もしかすると、「ごみ捨て場」、「ふんの山」。

れることになった時、人々はダニエルとその友たちも殺そうとして搜した。

14 バビロンの賢人たちを殺すためにやって来た、王の護衛官の長アルヨクに、ダニエルは思慮深く用心しながら話し掛けた。15 王の役人アルヨクにこう尋ねた。「なぜ王はこのような厳しい命令を出されたのですか」。アルヨクはダニエルに事情を話した。

16 それでダニエルは王のもとに行き、解き明かしをするための時間を願い求めた。

17 それからダニエルは自分の家に帰り、友であるハナニヤ、ミシャエル、アザリヤに事情を伝えた。18 そして彼らに、自分たちがバビロンの他の賢人たちと共に殺されてしまわないよう、天の神に祈って憐れみと秘密の解き明かしを求めてほしいと頼んだ。

19 すると夜、幻の中でダニエルに秘密が明らかにされた。そのためダニエルは天の神を賛美した。20 ダニエルは言った。

「神のお名前が永遠にわたって賛美されますように。

知恵と強大な力は神だけのものだからです。

21 神は時や時期を変え、王を退けたり立てたりし、賢い人に知恵を、識別力のある人に知識を与えます。

2:20 *または、「永遠から永遠まで」。

第2章
[7] ダニ 2:9

[1] ダニ 2:28

[2] 代一 29:11
ヨブ 12:13
詩 147:5
エレ 32:17-19

[4] 使徒 1:7

[5] サ一 2:7,8
詩 75:7
エレ 27:5
ダニ 4:17

[6] 格 2:6
伝 2:26
ヤコ 1:5

第2欄
[7] エレ 32:3
コ一 2:10

[1] 詩 139:12
ヘブ 4:13

[2] 詩 36:9
詩 112:4

[4] ダニ 1:17
ダニ 2:28

[5] ダニ 2:12,14

[7] ダニ 1:3,6

[8] ダニ 1:7

[9] 創 41:15

[9] ダニ 2:10,11

22 奥深い事柄や秘められた事柄を明らかにし、

闇の中にあるものを知っておられ、

光がその方と共にあります。

23 私の父祖たちの神、あなたに感謝し、あなたを賛美します。

知恵と力を私に与えてくださった

からです。

そして、私たちが願い求めたことを知らせてくださいました。

王の氣に掛かっている事柄に

ついて知らせてくださったの

です」。

24 ダニエルは、バビロンの賢人たちを皆殺しにするよう王から任命されていたアルヨクのもとに行き、言った。「バビロンの賢人を誰も殺さないでください。私を王の前に連れていてください。私が王の夢を解き明かします」。

25 アルヨクは急いでダニエルを王の前に連れていき、言った。「ユダで捕らえて連れてきた人々の中で、王の夢を解き明かせる者を見つけました」。

26 王は、ベルテシャザルと呼ばれていたダニエルに言った。「おまえは本当に私が見た夢の内容を話し、解き明かせるのか」。27 ダニエルは王に答えた。「どの賢人も、まじない師も、魔術師も、占星術師も、王が尋ねておられる秘密について説明することはできません。28 しかし、秘密を明らか

にされる神が天におられます。その方
が、最後の日々に起きる事柄をネブ
カドネザル王に知らせたのです。あな
たが見た夢、床に就いておられた時
に頭の中で見た幻について申し上げ
ます。

29 王は床に就いて、将来何が起き
るかを考えておられました。そして、秘
密を明らかにされる方が、起きる事柄
を知らせました。**30** この秘密が私
に明らかにされたのは、ほかの誰より
も優れた知恵を持っているからではあ
りません。王が解き明かしを知って、
心の中のお考えを理解できるようにな
るためです。

31 王は巨大な像をご覧になりました。
た。その像は非常に大きく、まばゆい
輝きを放ち、あなたの前に立ってい
ました。恐ろしい姿でした。**32** 像の
頭は純金でできており、胸と腕は銀、
腹とももは銅、**33** すねは鉄、足は一
部が鉄、一部が粘土でできていまし
た。**34** あなたが見ておられると、1
つの石が人手によらずに切り出され、
像の鉄と粘土でできた足の所を打っ
て、粉々に砕きました。**35** その時、
鉄も粘土も銅も銀も金も全て粉々に
砕けて、夏の脱穀場のもみ殻のようにな
り、風に運び去られて跡形もなくな
りました。そして、像を打った石は大き
な山となり、地上全体に広がりました。

36 これが夢の内容です。では、こ

2:33 *または、「焼いた粘土」。

第2章

(7) 創 40:8
ダニ 1:17

(1) ダニ 2:47

(1) ダニ 2:37,38
ダニ 7:4

(1) ダニ 5:28
ダニ 7:5
ダニ 8:3,20

(1) ダニ 2:39
ダニ 7:6
ダニ 8:5,21

(1) ダニ 7:7,19

(1) ダニ 2:40-42

(1) ダニ 2:44,45

第2欄

(7) エレ 28:14
ダニ 5:18

(1) エレ 27:5-7

(1) ダニ 2:32
ダニ 4:20-22

(1) イザ 45:1
エレ 51:28,29
ダニ 5:28

(1) ダニ 7:6
ダニ 8:5,21
ダニ 11:3

(1) ダニ 2:33
ダニ 7:19,23

(1) ダニ 7:7

れから私たちが王に解き明かします。
37 王よ、あなたは王の中の王です。
天の神はあなたに王国と力と強さ
と栄光を与えました。**38** また、至る
所に住む人々と、野獣や鳥をあなたの
手に委ね、その全てをあなたに支配さ
せました。あなたこそが、金の頭です。

39 あなたの後に、劣った別の王国
が生じます。次いで別の王国、3番目
の銅のものが生じ、全世界を支配し
ます。

40 4番目の王国は、鉄のように強
いものとなります。鉄は他の全ての物
を打ち砕いて粉々にしますが、この王
国も、物を粉砕する鉄のように、それま
での王国を全て粉砕します。

41 ご覧になったように、足とその
指は一部が粘土、一部が鉄でできてい
ました。つまり、この王国は分裂するこ
とになります。ですが、鉄の硬さもいく
らか持ち合わせています。ご覧になっ
たように、鉄が軟らかい粘土と交ざっ
ているのです。**42** 足の指には鉄の
部分と粘土の部分があるので、この王
国には強い部分と弱い部分がある
ことになります。**43** ご覧になったよ
うに、鉄が軟らかい粘土と交ざってい
ますから、強い部分が人々と交ざるこ
とになります。しかし、鉄が粘土と結び
付かないように、それらが一つになる
ことはありません。

2:41 *直訳、「陶芸家の粘土」。**2:43** *または、
「人の子孫」。一般の人々のこと。

44 この王たちの時代に、^(イ)天の神は^(ロ)決して滅ばされることのない^(ハ)王国を建てます。その王国はほかのどんな民にも渡されません。これらの王国を全て打ち砕いて終わらせ、その王国だけが永遠に存続します。45 山から1つの石が人手によらずに切り出され、鉄、銅、粘土、銀、金を打ち砕いたのを、あなたがご覧になった通りです。偉大な神が、将来起きる事柄を王に知らせました。この夢は真実であり、解き明かしも確かです。

46 すると、ネブカドネザル王はダニエルの前でひれ伏して敬意を表し、贈り物を与えて香をたくよう命じた。

47 王はダニエルに言った。「あなた方の神はまさしく、神の中の神、王たちの主、秘密を明らかにされる方だ。あなたがこの秘密を明らかにすることができたのだから。」48 そして王はダニエルを高い地位に就け、たくさんの良い贈り物を与え、バビロン州全体を治めさせ、バビロンの全ての賢人の大長官とした。49 また、ダニエルの願いを聞き入れ、シャデラク、メシャク、アベデネゴにバビロン州の行政を任せた。ダニエルは宮廷で仕えた。

3 王ネブカドネザルは金の像をつくった。高さは27メートル、幅は2.7メートルで、彼はそれをバビロン州のドラという平野に建てた。2 そし

2:48 *または、「管轄地域」。3:1 *直訳、「60 キュビト」。付録B14参照。#直訳、「6キュビト」。

第2章

(イ) サニ 7:13
イザ 9:7
ダニ 7:13, 14

(イ) 創 49:10
詩 2:6
マタ 6:10
ルカ 22:29
ヨハ 18:36
啓 11:15
啓 20:6

(イ) ダニ 4:17
ダニ 7:27

(イ) 詩 2:7-9
詩 110:5, 6
啓 19:15

(イ) ダニ 4:34
ルカ 1:31-33

(イ) ダニ 2:34, 35

(イ) 創 41:28
ダニ 2:28

(イ) 創 41:39
ダニ 1:17
ダニ 2:28
ダニ 4:9

(イ) ダニ 2:6
ダニ 5:16, 29

(イ) ダニ 1:7

第2欄

第3章

(イ) エレ 29:22

てネブカドネザル王は使いを送り、太守、長官、総督、顧問官、財務官、裁判官、行政官など、各州の高官全員を招集して、自分が建てた像の奉獻式に

来させた。3 そこで、太守、長官、総督、顧問官、財務官、裁判官、行政官など、各州の高官全員が、ネブカドネザル王の建てた像の奉獻式のために集まり、像の前に立った。4 伝令官が大声でこう宣告した。「あらゆる民族や国や言語の人々に命じる。5 角笛、笛、チ

ター、三角琴、弦楽器、バグパイプその他の楽器の音が聞こえたら、あなた方はひれ伏して、ネブカドネザル王が建てた金の像を崇拜しなければならぬ。6 ひれ伏して崇拜しない者は、直ちに火の燃え盛る炉に投げ込まれることになる。7 それで、角笛、笛、チター、三角琴、弦楽器その他の楽器の音が皆に聞こえると、あらゆる民族や国や言語の人々はひれ伏し、ネブカドネザル王が建てた金の像を崇拜した。

8 その時、何人かのカルデア人がすすみ出て、ユダヤ人たちを非難した。

9 彼らはネブカドネザル王に言った。「王がいつまでも生き続けますように。」

10 王のご命令によれば、角笛、笛、チター、三角琴、弦楽器、バグパイプその他の楽器の音を聞く者は皆、ひれ伏して金の像を崇拜しなければならぬ

3:8 *または、「中傷」。

ん。11 ひれ伏して崇拜しない者は、火の燃え盛る炉に投げ込まれることになっています。12 ところが、王がバビロン州の行政を任せたユダヤ人のシャデラク、メシャク、アベデネゴは、王を無視しています。王の神々に仕えず、王が建てた金の像を崇拜しようとしません。

13 するとネブカドネザルはいきり立ち、シャデラク、メシャク、アベデネゴをつれてくるよう命じた。そのため彼らは王の前に連れてこられた。14 ネブカドネザルは彼らに言った。「シャデラク、メシャク、アベデネゴ、おまえたちが私の神々に仕えず、私が建てた金の像を崇拜しようとしないうのは本当か。15 もし今おまえたちが、角笛、笛、チター、三角琴、弦楽器、バグパイプその他の楽器の音を聞いたらひれ伏して、私の造った像を崇拜するつもりなら、それでよい。しかし、崇拜しようとしないうちに火の燃え盛る炉に投げ込む。一体どんな神が私の手からおまえたちを救い出せるというのか。

16 シャデラク、メシャク、アベデネゴは王に答えた。「ネブカドネザル王、この件で私たちがお答えする必要はありません。17 もし火の燃え盛る炉に投げ込まれても、私たちが仕えている神は私たちを救い出すことができます。王の手から救い出してくださるでしょう。18 そうならないとしても、ご

第3章

[7] ダニ 3:4-6

[1] ダニ 1:7
ダニ 2:49[7] イザ 46:1
エレ 50:2
ダニ 2:47[1] 出 5:2
代二 32:15
イザ 36:4,20[7] サー 17:37
詩 27:1
イザ 12:2
ダニ 6:27

第2欄

[7] 出 20:5
使徒 5:29

[1] ダニ 2:47

しやうち わたし かみがみ
承知ください。私たちはあなたの神々に仕えることも、あなたが建てた金の像を崇拜することもいたしません。

19 ネブカドネザルは、シャデラク、メシャク、アベデネゴに対して激怒し、血相を変えて、炉をいつもより7倍熱くするよう命じた。20 そして自分の軍隊の屈強な男たちに命じて、シャデラク、メシャク、アベデネゴを縛らせ、火の燃え盛る炉に投げ込ませた。

21 それで3人は、マントや服や帽子などを身につけたまま縛られ、火の燃え盛る炉に投げ込まれた。22 王の命令が厳しく、炉が非常に熱かったため、シャデラク、メシャク、アベデネゴを抱え上げた男たちの方が炎によって死んでしまった。23 シャデラク、メシャク、アベデネゴの3人は縛られたまま、火の燃え盛る炉の中に落ちた。

24 すぐさまネブカドネザル王は怖くなり、慌てて立ち上がって高官たちに言った。「われわれは3人の男たちを縛って火の中に投げ込んだのではなかったか。彼らは、その通りです、王よ」と答えた。25 王は言った。「見ろ! 4人の男たちが火の中に自由にある。彼らは全く無傷で、4人目はまるで神々の子のようだ。」

26 ネブカドネザルは火の燃え盛る炉の口に近づいて、言った。「至高の神に仕えるシャデラク、メシャク、アベデネゴ、出てきなさい!」シャデラク、メ

3:19 *または、「態度を一変させて」。

シャク、アベデネゴは火の中から出てきた。27 そこに集まっていた太守、長官、総督や他の高官たちは、3人の体が火の影響を全く受けていないのを見た。髪の毛1本も焦げておらず、マントも元のままで、火のおいさえ付いていなかった。

28 ネブカドネザルは言った。「シャデラク、メシャク、アベデネゴの神が賛美されますように。その方は天使を遣わして、ご自分に仕える者たちを救った。彼らはその方を信頼し、王の命令に背いて死ぬことになっても、自分たちの神以外の神に仕えたり、他の神を崇拝したりしなかった。29 それで私は次のことを命じる。どの民族や国や言語の者であれ、シャデラク、メシャク、アベデネゴの神を悪く言うなら、その者は手足を切り取られ、その者の家は公衆便所にされる。この神のように人を救うことができる神はほかにないからだ。」

30 それから王は、シャデラク、メシャク、アベデネゴをバビロン州でさらに高い地位に就けた。

4 「ネブカドネザル王から、全世界の民族や国や言語の人々へ。あなた方に豊かな平和があることを願う。2 至高の神が私に行われた、奇跡*不思議なことについて知らせよう

3:28 *または、「体を差し出す」。3:29 *もしくは、「ごみ捨て場」、「ふんの山」。4:2, 3 *直訳、「しるし」。

第3章

[7] ダニ 3:2

[1] ヘブ 11:33, 34

[7] ダニ 2:47

ダニ 4:34

[10] ダニ 3:15

[7] ダニ 4:35

ダニ 6:26, 27

[7] ダニ 2:49

第2欄

第4章

[7] 詩 10:16

詩 90:2

エレ 10:10

[1] ダニ 2:1

[7] ダニ 2:2

[10] イザ 47:13

[7] ダニ 2:10, 11

[7] イザ 46:1

エレ 50:2

[7] ダニ 1:7

[7] ダニ 4:18

ダニ 5:11, 12

[7] ダニ 1:20

ダニ 2:48

[10] 創 41:38

ダニ 6:3

[7] ダニ 1:17, 20

[10] ダニ 4:20-22

[10] ダニ 4:26

とおも。3 その方の奇跡*は何と壮大で、不思議なことは何と並外れているのだらう。その方の王国は永遠に存続し、その方の統治はいつの時代までも続く。

4 私ネブカドネザルは、家で安らかに過ごし、宮殿で優雅に暮らしていた。

5 だが、ある夢を見て怖くなった。床に就いていた時、頭の中で恐ろしい光景や幻を見た。6 それで命令を出し、バビロンの全ての賢人を私の前に連れてこさせて、夢を解き明かさせることにした。

7 魔術師、まじない師、カルデア人、占星術師たちがやって来た。私はどのような夢を見たか話したが、彼らはそれを解き明かすことができなかった。8 最後にダニエルがやって来た。この者は私の神の名にちなんでベルテシャザルと呼ばれており、聖なる神々の力を持っている。私は彼に夢の内容を話した。

9 『魔術師の長ベルテシャザル、あなたが聖なる神々の力を持っていて、どんな秘密も明らかにできることを、私はよく知っている。私が夢の中で見た幻について説明し、解き明かしてほしい。

10 私は寝ながら、頭の中でこのような幻を見た。大地の真ん中に、非常に高い木が立っていた。11 その木

4:7 * 占星術などの占いに精通している人たちのこと。

は成長して強くなり、頂が天に達して、
地の果てからも見えるほどだった。

12 葉が美しく茂り、豊かに実がなつて、
全てのものを養うことができた。木陰に野獣が集まり、
枝に鳥がすみ着き、全ての生き物がその木から食べ物を得た。

13 私が寝ながら頭の中で幻を見ていて、
見張りの者、聖なる者が天から下ってきた。**14** その者は大声でこう言った。「この木を切り倒し、
枝を切り落とし、葉を振り落とし、実をまき散らさない！
木陰から野獣を、枝から鳥を追い払いなさい。**15** しかし、切り株と根は地面に残し、鉄と銅のたがをはめて野の草の中に放置しなさい。
天からの露にぬれるままにし、地上の草木の間で野獣と共に生かしておきなさい。**16** その心は変えられ、
人の心ではなくなり、獣の心が与えられて、
7つの時が過ぎることになります。**17** これは見張りの者たちによって布告され、この要請は聖なる者たちによって告げられました。
そのようにして、至高者が人間の王国の統治者であり、
ご自分の望むものを与え、最も立場の低い人をさすの上に立てるということを、人々に知らせるためです」。

18 これが、私ネブカドネザル王が見た夢だ。さあ、ベルテシャザル、これを解き明かしてくれ。私の王国の他の賢人たちは誰も解き明かせないのだ。

第4章

[7] ダニ 4:23-26

[1] ダニ 4:31
ダニ 5:18,20

[7] ダニ 4:32,33

[2] ルカ 21:24

[7] ダニ 4:32

[7] ダニ 4:13

[4] ダニ 4:34

[7] イザ 47:13
ダニ 2:27
ダニ 5:8,15

第2欄

[7] ダニ 1:7

[1] ダニ 4:10,11

[7] ダニ 4:12

[2] イザ 14:13,14

[7] ダニ 2:37,38

[7] ダニ 4:13
ダニ 8:13[4] ダニ 4:13-16
ルカ 21:24

だが、あなたにはできるだろう。聖なる神々の力を持っているからだ』。

19 その時、ベルテシャザルと呼ばれるダニエルは、しばし驚き、おびえ始めた。

王は言った。『ベルテシャザル、この夢と解き明かしのためにおびえることはない』。

ベルテシャザルは答えた。『王よ、この夢があなたを憎む者たちに当てはまり、解き明かしがあなたの敵に当てはまるとういのですが。』

20 あなたがご覧になった木、すなわち、成長して大きく強くなり、頂が天に達して地の果てからも見え、**21** 葉が美しく茂り、豊かに実がなつて、全てのものを養うことができ、木陰に野獣が集まり、枝に鳥がすみ着いた木、

22 それは王ご自身です。あなたは強大な方となり、威光が天にまで達し、支配が地の果てにまで及んだからです。

23 そして王は、見張りの者、聖なる者が天から下ってくるのをご覧になりました。その者はこう言いました。「この木を切り倒して損ないなさい。しかし、切り株と根は地面に残し、鉄と銅のたがをはめて野の草の中に放置しなさい。7つの時が過ぎるまで、天からの露にぬれるままにし、野獣と共に生かしておきなさい」。**24** 王よ、これも解き明かししましょう。これは至高者の布告であり、必ず王の身に起こる事柄

です。25 あなたは人々の中から追いやられ、野獣とすみかを共にし、雄牛のように草を食べることになります。天からの露にぬれるままになり、こうして7つの時が過ぎます。そしてあなたは、至高者が人間の王国の統治者であり、ご自分の望む者にそれを与えるということを知るのです。

26 木の切り株と根は残しておくようにとのことでしたから、天が治めているということをあなたが知った後に、王国は再びあなたのものになります。27 王よ、私の忠告を聞き入れてくださいますように。正しいことを行って罪から離れ、貧しい人たちに憐れみを示して悪から離れてください。そうすれば、繁栄が長続きするかもしれません。』。

28 この全てがネブカドネザル王の身に起こった。

29 12カ月後、王はバビロンの王宮の屋上を歩いていた。30 王は言った。「私はこの大いなるバビロンを、王家のために、また私の輝かしい威光を示すために、自分の偉大な力で築いたのだ。」

31 王がその言葉を言い終えないうちに、天から声が聞こえた。「ネブカドネザル王、あなたに告げます。『王国はあなたから取り去られました。』

32 あなたは人々の中から追いやられ、野獣とすみかを共にし、雄牛のように草を食べることになり、こうして7つ

第4章

(例) ダニ 4:31-33

(例) ルカ 21:24
啓 12:6,14

(例) ダニ 4:16

(例) サー 2:7,8
ヨブ 34:24
エレ 27:5
エゼ 21:26,27
ダニ 2:21
ダニ 7:13,14
ルカ 1:32,33

(例) ダニ 4:15

(例) 王一 21:29
ヨエ 2:14
ヨナ 3:8-10(例) ダニ 4:25
使徒 12:22,23

第2欄

(例) ダニ 4:17

(例) ダニ 4:25

(例) ダニ 4:16

(例) 詩 10:16
ダニ 4:3(例) ヨブ 34:24
イザ 43:13

(例) イザ 45:9

(例) ダニ 4:26

(例) ダニ 4:2,3

(例) 申 32:4
詩 33:5

の時が過ぎます。そしてあなたは、至高者が人間の王国の統治者であり、ご自分の望む者にそれを与えるということを知るのです。』。

33 途端に、その言葉通りのことがネブカドネザルに起こった。彼は人々の中から追いやられ、雄牛のように草を食べ始め、体は天からの露にぬれた。やがて髪の毛はワシの羽根のように長く伸び、爪は鳥の爪のようになった。

34 「その期間の終わりに、私ネブカドネザルは天を見上げた。すると、正気に戻った。私は至高者を賛美し、永遠に生きておられる方をたたえた。その方の統治は永遠に続き、その方の王国はいつの時代までも存続するからである。35 地上に住む全ての者は無に等しく、その方は天の軍勢にも地上に住む人々にも望み通りのことを行う。誰もその方の行動を妨げることはできず、『いったい何をしたのか』と言うこともできない。

36 私は正気に戻り、私の王国の栄光や、私の輝かしい威光も元に戻った。高官や貴族たちも私に面会を求めようになり、私は自分の王国に復帰して、威厳が増した。

37 今、私ネブカドネザルは、天の王を賛美し、あがめ、たたえる。この方は行うこと全てが正しく、公正であり、

4:35 *または、「手をとどめる」。4:37 *または、「真理であり」。

おごり高^{たか}ぶる者^{もの}を辱^{はづかし}めることができるからである。

5 ベルシャザル王は、1000人の貴族のために大きな宴会を催し、彼らの前でぶどう酒を飲んでいた。

2 酔ったベルシャザルは、父ネブカドネザルがエルサレムの神殿から奪った金や銀の器を持ってくるよう命じた。それを使って、自分と貴族たち、また側室やそばめたちが酒を飲むためだった。**3** そこで、エルサレムにあった神の家の神殿から奪った金の器が持ってこれ、王と貴族たち、また側室やそばめたちはそれを使って酒を飲んだ。**4** 彼らはぶどう酒を飲み、金、銀、銅、鉄、木、石でできた神々を賛美した。

5 その時、人の手の指が現れて、王宮のランプ台に近い壁に文字を書き始めた。王は、文字を書くその手の甲を見た。**6** 王は青ざめ、おびえて腰を抜かし、膝が震えた。

7 王は大声で命じ、まじない師、カルデア人、占星術師たちを連れてこさせた。そしてバビロンの賢人たちに言った。「この文字を読んで意味を解き明かす者には、紫の衣を着せ、金の首飾りを掛け、この王国の第3の地位を与えよう。」

8 王に仕える賢人が皆やって来たが、文字を読むことも、王に解き明かす

第4章

〔出 18:10,11
ヤコ 4:6

第5章

〔イ 7:1
ダニ 8:1

〔イザ 21:5
エレ 51:39

〔王 25:15
代 36:18
エズ 1:7
エレ 52:19
ダニ 1:1,2

〔イザ 21:2,3

〔ダニ 2:2
ダニ 4:6

〔イ 創 41:39,42
エス 8:15

〔ダニ 2:6,48

第2欄

〔ダニ 2:27
ダニ 4:7

〔イザ 13:1,7

〔ダニ 4:8,9

〔ダニ 2:47,48

〔ダニ 1:7
ダニ 4:8

〔ダニ 1:17,20
ダニ 6:3

〔王 24:11,14

〔ダニ 1:3,6
ダニ 2:25

〔ダニ 4:9

〔ダニ 1:17,20

こともできなかった。**9** そのためベルシャザル王は非常に怖くなり、顔が青ざめた。貴族たちも困惑した。

10 王や貴族たちが話しているのを聞いた太后が、宴会場に入ってきてこう言った。「王がいつまでも生き続けますように。おびえたり、青ざめたりしないでください。**11** あなたの王国には、聖なる神々の力を持つ人がいます。あなたの父上の時代に、その人は啓発を受け、洞察力や神々のような知恵を示しました。父上ネブカドネザル王はその人を、魔術師、まじない師、カルデア人、占星術師たちの長に任命しました。あなたの父上がそうなさったのです。**12** 王がベルテシャザルと呼んだそのダニエルは、並外れた知性や知識や洞察力を持ち、夢を解き明かしたり、謎を解いたり、難問を解決したりすることができたからです。ダニエルを呼べば、文字の意味を解き明かせるでしょう。」

13 そこでダニエルが王の前に連れてこられた。王はダニエルに尋ねた。「私の父である王がユダで捕らえて連れてきたダニエルというのは、あなたのことか。**14** あなたが神々の力や並外れた知恵を示したと聞いた。

15 ここに書かれた文字を読んで解き明かしてもらうために、賢人やまじな

5:10 *直訳、「女王」。**5:11** *または、「持つ有能な人」。

5:2 *または、「祖父」。**5:5** *直訳、「壁のしっくい」。**5:7, 11** *占星術などの占いに精通している人たちのこと。

い師^したちを私^{わたし}の前^{まえ}に連れてこさせた^つが、誰^{だれ}も解^とき明^あかすことができない。

16 聞^きくところによると、あなたは解^とき明^あかしをし^した^しり難^{がた}問^{もん}を解^と決^{けつ}した^しりでき^きるそうではないか。もしこの文^も字^じを読^よんで意^い味^みを解^とき明^あかせるなら、あなたに紫^{むらさき}の衣^{ころも}を着^きせ、金^{きん}の首^{くび}飾^{かざ}りを掛^かけ、この王^{おう}国^{こく}の第^{だい}3^{さん}の地^ち位^いを与^{あた}えよう。

17 ダニエルは王^{おう}に答^{こた}えた。「贈^{おく}り物^{もの}は必要^{ひつよう}ありません。褒^{ほう}美^びはほかの人^{ひと}にお与^{あた}えください。ですが、私^{わたし}はこの文^も字^じを王^{おう}にお読^よみし、解^とき明^あかします。18 王^{おう}よ、至^し高^{こう}の神^{かみ}はあなた^{おうこく}の父^{ちち}上^{うえ}ネブカドネザル^{ねぶかどねざる}に、王^{おう}国^{こく}と偉^い大^{だい}な力^{ちから}と栄^{えい}誉^よと威^い光^{こう}を与^{あた}えました。

19 神^{かみ}から与^{あた}えられた偉^い大^{だい}な力^{ちから}のゆえに、あらゆる民^{みん}族^{ぞく}や国^{くに}や言^{げん}語^ごの人^{ひと}々^{びと}が父^{ちち}上^{うえ}の前^{まえ}で恐^{おそ}怖^ふに震^{ふる}えました。あの方^{かた}は思^{おも}いのま^まに人^{ひと}を殺^{ころ}したり生^いかししたり、重^{おも}んじたり辱^{はづかし}めたりしました。20 しかし、心^{こころ}が傲^{ごうまん}慢^{まん}になり、強^{ごう}情^{じょう}になって、思^{おも}い上^あがった振^ふる舞^まいをして時^{とき}、王^{おう}座^ざから降^おろされ、尊^{そん}厳^{げん}を奪^{うば}われました。21 人^{ひと}々^{びと}の中^{なか}から追^おひつ追^おわれ、心^{こころ}が獣^{けもの}の心^{こころ}のようになり、野^の口^{くち}バとすみかを共^{とも}にし、雄^お牛^{うし}のよう

に草^{くさ}を食^くべ、体^{からだ}は天^{てん}からの露^{つゆ}にぬれました。そして、至^し高^{こう}の神^{かみ}が人^{にん}間^{げん}の王^{おう}国^{こく}の統^{とう}治^ち者^{しや}であり、ご自^じ分^{ぶん}の望^{のぞ}む者^{もの}をその上^{うへ}に立^たてる、ということを知^しったのです。

22 ところが、その方^{かた}の子^こであるあな

たベルシャザルは、この全^{すべ}てを知^しりな

第5章

(イ) イザ 47:12,13
ダニ 2:10,11
ダニ 5:8

(イ) ダニ 2:28

(イ) ダニ 2:6
ダニ 5:7

(ロ) ダニ 2:37,38

(ヨ) エレ 25:9
ダニ 3:4,5
ダニ 4:22

(ヨ) ダニ 2:12
ダニ 3:6,29

(イ) イザ 14:13,14
ダニ 4:30

(イ) ダニ 4:31-35

第2欄

(イ) エレ 50:29

(イ) ダニ 5:2,3

(ヨ) 詩 115:4-7
イザ 46:6,7

(ロ) 詩 104:29

(ヨ) ダニ 5:5

(ヨ) イザ 13:11
エレ 25:12
エレ 27:6,7
エレ 50:1,2
エレ 51:11

(イ) エズ 1:1,2
イザ 21:2
イザ 45:1
エレ 50:9
ダニ 6:28
ダニ 9:1

(ヨ) ダニ 5:7,16

(ヨ) イザ 21:9
エレ 51:8,31
エレ 51:39,57

(ヨ) ダニ 6:1
ダニ 9:1

がら、謙^{けん}遜^{そん}になっていません。23 か
えって、天^{てん}の主^{しゅ}に対して高^{たか}ぶり、その神^{かみ}
の家^いの器^きを持^もってこさせました。そ
して、あなたと貴^き族^{ぞく}たち、また側^{そく}室^{しつ}や
そばめたちは、それを使^{つか}ってぶどう酒^{しゅ}
を飲^のみ、銀^{ぎん}、金^{きん}、銅^{どう}、鉄^{てつ}、木^き、石^{いし}でできた
神^{かみ}々^{さん}を賛^{さん}美^びしました。何^{なに}も見^みえず、何^{なに}
も聞^きこえず、何^{なに}も知^しらない神^{かみ}々^{さん}をです。
それなのにあなたは、あなた^{いのち}の命^{すべ}と全^{ぜん}
ての道^{みち}を掌^み握^{やく}しておられる神^{かみ}をたたえ
てはいません。24 そのため、神^{かみ}から
送^{おく}られた手^てによってこの文^も字^じが書^かか
れたのです。25 書^かかれた言^{こと}葉^ははこ
うです。メネ、メネ、テケル、そしてパル
シン。

26 意^い味^みを解^とき明^あかしましよう。メ
ネ。神^{かみ}はあなた^{おうこく}の王^{おう}国^{こく}の日^{かぞ}数^ずを数^{かぞ}
えて、それを終^はわらせた。

27 テケル。あなたはてんびん^{はか}で量^{はか}
られて、不^ふ足^{そく}があることが分^わかった。

28 ペレス。あなた^{おうこく}の王^{おう}国^{こく}は分^わけら
れて、メデ^めイア^い人とペル^おシャ^お人^{じん}に与^{あた}えら
れた。

29 するとペル^めシャ^いザル^だは命^{めい}令^{れい}を出^だ
し、家^け来^{らい}たちはダニ^{むら}エル^{さき}に紫^{ころも}の衣^{ころも}を
着^きせ、金^{きん}の首^{くび}飾^{かざ}りを掛^かけた。そして、ダ
ニエルが王^{おう}国^{こく}の第^{だい}3^{さん}の支^し配^{はい}者^{しや}になる
ことが布^ふ告^{こく}された。

30 まさにその夜^{よる}、カル^{じん}デア^お人^うの王^{おう}
ベル^べル^ろシャ^ろザル^ろは殺^{ころ}された。31 メデ^{じん}
イア^い人^{じん}ダリ^だウス^うが、およそ62歳^{さい}の時^{とき}にそ
の王^{おう}国^{こく}を治^{おさ}め始^{はじ}めた。

5:31 *または、「与えられた」。

6 ダリウスは、王国全体を治めるために120人の太守を任命することにした。**2** また、彼らの上に3人の高官を立てた。その1人がダニエルだった。王が損失を被ることがないように、太守たちはその高官たちに報告することになっていた。**3** ダニエルは、他の高官や太守たちの中で抜きん出たようになった。並外れた知性を持っていたからであり、王は彼に王国全域を治める権威を与えようと考えていた。

4 高官や太守たちは、国務に関することでダニエルを非難する口実を探そうとしていたが、何の口実も落ち度も見つけれなかった。ダニエルは信頼でき、怠慢や落ち度は全くなかったからである。**5** そのため彼らは言った。「ダニエルの神の律法のことと言い掛かりをつけない限り、彼を非難する口実は見つからないだろう」。

6 そこで高官や太守たちは一団となって王のもとに行き、こう言った。「ダリウス王がいつまでも生き続けまうように。**7** 王に仕える役人、長官、太守、高官、総督が皆で相談いたしまして、王に次のような法令を制定していただくとういことになりました。30日の間、王以外の人や神に請願をしてはならず、背いた者はライオンの穴に投げ込まれる、という禁令です。**8** 王よ、この法令を制定し、ご署名くださいますように。そうすれば変

第6章
[7] エス 1:1
ダニ 9:1

[1] ダニ 2:48
ダニ 5:29

[7] エズ 8:36
エズ 8:9
ダニ 3:2

[1] ダニ 1:17,20
ダニ 5:12

[7] エス 3:8

[7] ダニ 3:6

[7] エス 3:12
エズ 8:10

第2欄
[7] エス 1:19
エズ 8:8

[7] 王一 8:44,45

[7] エズ 8:8
ダニ 6:7,8

[1] ダニ 1:3,6
ダニ 2:25
ダニ 5:13

[7] エズ 3:8
ダニ 6:10

更でなくなります。メディアとペルシャの法律は取り消すことができないからです」。

9 それでダリウス王は禁令に署名した。

10 ダニエルは、法令に署名がされたことを知ると、すぐに自分の家に入った。屋上の部屋の窓はエルサレムに向かって開かれていた。ダニエルはそれまでいつもしていた通り、日に3度ひざまずいて祈り、自分の神を賛美した。**11** その時、役人たちが押し入ってきて、ダニエルが自分の神に請願して恵みを求めているのを見つけた。

12 彼らは王のもとに行き、王が制定した禁令について思い起こさせた。「ご署名になった禁令によれば、30日の間、王以外の人や神に請願をする者がいれば、ライオンの穴に投げ込まれることになっていたのではありませんか」。王は答えた。「その通りだ。メディアとペルシャの法律は取り消すことができない」。**13** すぐに彼らは王に言った。「ユダで捕らわれて連れてこられたダニエルは、王も、ご署名になった禁令も無視し、日に3度祈っています」。**14** これを聞いた王は非常に悩み、何とかしてダニエルを救えないものかと考えた。日が暮れるまで、ダニエルを助けようと手を尽くした。**15** ついに役人たちが一団となって王のもとに行き、こう言った。「王よ、ご承

知^ちの通り^{とお}、メディア^{めー}とペルシャ^{ほーりつ}の法律^{ほーりつ}によれば^い、王^{おう}が制定^{せい}した禁令^{きん}や法令^{ほうれい}は一切^{いっさい}変更^{へんこう}できません^い。

16 それで王^{おう}は命令^{めいれい}を出し^だ、ダニエル^{だにえ}は連れてこられて^つ、ライオン^{らいおん}の穴^{あな}に投げ込まれた^な。王^{おう}はダニエル^{だにえ}に言った^い。「あなたが常に^{つね}仕えて^{つか}いる神^{かみ}が、あなたを救^{すく}ってくださるに違^{ちが}いない^い」。

17 それから石^{いし}が運ばれてきて^{はこ}、穴^{あな}の口^{くち}に置かれた^お。王^{おう}は自分の認印指輪^{じふんしゆい}と貴族^{きそく}たちの認印指輪^{にんいんしゆい}でそれに封印^{ふういん}をし、ダニエル^{だにえ}の件^{けん}に関して何も変更^{へんこう}されなようにした^い。

18 王^{おう}は宮殿^{きやうでん}に帰^{かえ}った。断食^{だんじき}をし、あらゆる楽^{たの}しみ事^{ごと}を拒^きみ、眠^{ねむ}れぬ夜^{よる}を過^すごした。19 夜^{よる}が明^あけるとすぐ、王^{おう}は起きてライオン^{らいおん}の穴^{あな}へ急^{いそ}いだ。

20 穴^{あな}に近づくと、悲^{かな}しげな声^{こゑ}でダニエル^{だにえ}に呼び掛け^よ、こう尋ねた^{たず}。「生きて^いいる神^{かみ}に仕えるダニエル^{だにえ}、あなたが常に仕えて^{つね}いる神^{かみ}は、あなたをライオンから救^{すく}うことができたか^い」。21 すぐにダニエル^{だにえ}は王^{おう}に言った^い。「王^{おう}がいつまでも生き続^{つづ}けますように。22 私の神^{かみ}が天使^{てんし}を遣^{つか}わして、ライオン^{らいおん}の口^{くち}をふさいでくださいましたので、私は無^な事^じです。私は神^{かみ}の前^{まへ}で潔白^{けつぱく}であり、王^{おう}に対して^{たい}も何も悪^{わる}いことはしておりません^い」。

23 王^{おう}は大^{おほ}喜び^{よろこ}び、ダニエル^{だにえ}をかから引き上げるよう命^{めい}じた。引き上げら

6:18 *もしかすると、「演奏者たちを呼ぶこともなく」。

第6章

(例) エス 8:8
ダニ 6:8

(例) ダニ 6:7
ヘブ 11:32, 33

(例) サー 17:37
ヘブ 11:32, 33

(例) 詩 34:7
詩 118:5
ダニ 3:28

第2欄

(例) 詩 37:40
格 18:10
ダニ 3:26, 27

(例) エス 7:10

(例) エス 8:9
ダニ 4:1

(例) ダニ 3:29

(例) ダニ 4:34

(例) ダニ 3:28

(例) エレ 32:20
ダニ 4:3

(例) ダニ 5:31
ダニ 6:1, 2

(例) 代 2:36, 22, 23
エズ 1:1, 2
イザ 44:28

第7章

(例) ダニ 5:1, 30

(例) ダニ 2:19
ダニ 8:1

(例) イザ 30:8
ハバ 2:2
啓 1:11

れたダニエル^{だにえ}は、全く無傷^{むきず}だった^じ。自分の神^{かみ}を信賴^{しんらい}したためである^い。

24 それから王^{おう}は命令^{めいれい}を出し^だ、ダニエル^{だにえ}を非難^{ひなん}した人^{ひと}たちが連れてこられて、妻子^{さいし}と共にライオン^{らいおん}の穴^{あな}に投げ込まれた^な。彼ら^{かれ}が穴^{あな}の底^{そこ}に落ちる前^{まえ}に、ライオン^{らいおん}が飛び掛^とかり、彼ら^{かれ}の骨^{ほね}をことごとく砕^{くだ}いた^い。

25 そしてダリウス王^{だりうす}は、全土^{ぜんど}に住むあらゆる民族^{みんぞく}や国^{くに}や言語^{げんご}の人々^{ひとびと}にこう書^かき送^{おく}った。「あなたが豊かな平和^{へい}があることを願^{ねが}う。26 私は次のことを命^{めい}じる。私の王国^{おうこく}の領土全域^{りやうどぜんいき}において、民^{たみ}はダニエル^{だにえ}の神^{かみ}の前^{まえ}で畏れかしこまるように。この方^{かた}こそ生きて^いいる神^{かみ}であり、永遠^{えいえん}に存在^{そんざい}されるからである。この方^{かた}の王国^{おうこく}は決して滅ぼされず、統治^{とうち}は永遠^{えいえん}に続^{つづ}く。27 この方は人^{ひと}を助け、救^{すく}い、天^{てん}においても地に^ちおいても奇跡^{きせき}や不思議^{ふしぎ}なことを行^{おこな}われる。ダニエル^{だにえ}をライオン^{らいおん}の爪^{つめ}から救^{すく}ったのである^い」。

28 こうしてダニエル^{だにえ}は、ダリウスの王国^{おうこく}でもペルシャ人^{じん}キュロスの王国^{おうこく}でも活躍^{かつやく}した^い。

7 バビロンのペルシャザル王^ちの治世^{せい}の第1年^{だいねん}に、ダニエル^{だにえ}は夢^{ゆめ}を見た^み。床^{とこ}に就^ついていた時^{とき}に頭^{あたま}の中でまぼろし^{まぼろし}を見たのである^い。それで、その夢^{ゆめ}を幻^{まぼろし}を見たのである^い。それで、その夢^{ゆめ}を書き留^{かき}め、見た内容^{ないよう}を全て記録^{きろく}した^い。

2 ダニエル^{だにえ}は言^いった。

6:24 *または、「中傷^{ちゆうけう}」。
6:26 *または、「主権^{しゅけん}」。
6:27 *直訳^{ちやくやく}、「しるし」。

「私が夜に幻を見ていて、天の四方の風が広大な海を波立たせていた。

3 そして、4匹の巨大な獣が海から出てきた。それぞれ姿が異なっていた。

4 1匹目の獣はライオンに似ており、ワシの翼があった。私が見ていると、翼は引き抜かれ、その獣は地上から持ち上げられて、人間のように2本足で立つようにされ、人間の心を与えられた。

5 2匹目の獣は熊に似ていた。前足を上げ、口には3本のあばら骨をくわえており、『起き上がって、肉をたくさん食べよ』と言われた。

6 さらに見ていると、別の獣が現れた。ヒョウに似ており、背中に鳥のような翼が4つあった。頭も4つあり、支配する権威を与えられた。

7 この夜、私が見ていた幻の中で、続いて4匹目の獣が現れた。恐ろしく、すさまじい獣で、非常に強く、大きな鉄の歯があった。この獣はむさぼり食い、打ち砕き、残ったものを足で踏みにじった。それまでのどの獣とも異なっており、10本の角があった。8 私が角を眺めていると、それらの間に別の小さな角が生えてきて、初めにあった角のうち3本が引き抜かれてしまった。生えてきた角には人間のような目があり、高慢に語る口があった。

9 さらに見ていると、王座が据え

第7章

[A] イザ 57:20
[B] 啓 17:5
[C] ダニ 7:17
[D] ダニ 2:37, 38
[E] 申 28:49, 50
[F] エレ 48:40
[G] 哀 4:19
[H] ハバ 1:8
[I] ダニ 2:39
[J] ダニ 5:28
[K] ダニ 8:3, 20
[L] イザ 13:17, 18
[M] ダニ 11:2
[N] ダニ 2:39
[O] ダニ 8:5
[P] ダニ 11:3
[Q] ダニ 8:8
[R] ダニ 11:4
[S] ダニ 2:40
[T] ダニ 7:19
[U] ダニ 7:24
[V] ダニ 7:20
[W] 啓 13:5

第2欄

[X] 詩 90:2
[Y] ダニ 7:13, 22
[Z] ハバ 1:12
[AA] イイザ 6:1, 2
[AB] 啓 4:2, 3
[AC] 詩 104:1, 2
[AD] 申 9:3
[AE] ヘブ 12:29
[AF] 詩 50:3
[AG] 詩 97:3
[AH] 申 33:2
[AI] 王 22:19
[AJ] 詩 68:17
[AK] ヘブ 12:22
[AL] ユダ 14
[AM] 啓 5:11
[AN] サ 2:10
[AO] 詩 50:6
[AP] ダニ 7:8, 25
[AQ] ダニ 7:3
[AR] マタ 24:30
[AS] ルカ 21:27
[AT] ヨハ 3:13
[AU] 使徒 7:56
[AV] 啓 14:14
[AW] 詩 90:2
[AX] ダニ 7:9, 22
[AY] ハバ 1:12
[AZ] 詩 2:6
[BA] 詩 110:1, 2
[BB] マタ 28:18
[BC] ユー 15:25
[BD] エフ 1:22
[BE] 啓 3:21
[BF] フィリ 2:9-11
[BG] 創 49:10
[BH] 詩 45:6
[BI] イザ 9:6, 7
[BJ] ダニ 2:44
[BK] ルカ 1:32, 33
[BL] 啓 11:15
[BM] ダニ 8:27
[BN] ダニ 7:3

られ、年月を経た方が座った。その方の衣服は雪のように白く、髪の毛は真っ白な羊毛のようだった。王座は炎であり、その車輪は燃える火だった。10 その方の前から火が川のように流れ出ていた。その方に仕えている者は千の千倍、その方の前に立っている者は1万の1万倍いた。法廷が開廷し、書物が開かれた。

11 角が高慢な言葉を語り続けるので、見ていると、獣は殺され、その体は燃える火の中に投げ込まれて滅ぼされた。12 残りの獣は、統治権をとり去られたが、ひとときの間生かしておかれた。

13 この夜、私が見ていた幻の中で、今度は天の雲と共に人の子のような者がやって来た。その者は年月を経た方に近づくことを許され、その方のすぐ前に連れてこられた。14 その者に統治権と栄誉と王国を与えられ、あらゆる民族や国や言語の人々が彼に仕えるようにされた。その統治は終わることなく永遠に続き、その王国は滅ぼされることがない。

15 私ダニエルは、頭の中で見た幻のせいで怖くなり、心がかき乱された。16 それで、立っている者の1人に近づき、見た事柄の意味を尋ねた。すると彼は答えて、これらのことを解き明かしてくれた。

17 『この4匹の巨大な獣は、地上で

7:5 *または、「体の片側が起こされ」。7:8, 11 *または、「自慢げ」。

けんりよく も * にん おう (例)
権力を持つようになる4人の王です。

18 しかし、至上者の聖なる者たちが
おうこく う (例) しじょうしゃ せい もの (例)
王国を受け、いつまでも永遠に王国を
て (例) 国にします。』

19 私は4匹目の獣についてさらに
わたくし ひき め けもの
知りたかった。それはほかのどの
し おも
獣とも異なっていた。並外れて恐ろし
けもの もの なみはず おそ
く、鉄の歯と銅の爪を持ち、むさぼり
てつ は どう つめ も
食って打ち砕き、残ったものを足で踏
く う くだ のこ あし ふ
みにじっていた。20 頭には10本の
(例) あたま ほん
角があり、別の角が生えてきて3本が
つ (例) べつ つの ほん
抜け落ちた。生えてきた角には目と、
め お (例) は えてきた つの め
高慢に語る口があり、ほかの角よりも
こうまん* かた くち つの
大きく見えた。私はこれらについても
おお み わたくし
知りたかった。

21 見てみると、その角が聖なる者
み つの せい もの
たちに戦いを仕掛け、優勢になったが、
たたか し か ゆうせい (例)
22 年月を経た方が来て裁きを下し、
ねんげつ え かた (例) さい くだ
至上者の聖なる者たちが勝利を収め
しじょうしゃ せい もの (例) しょうり おさ
た。そして定められた時が来て、聖な
さだ とき せい
る者たちが王国を手にした。

23 解き明かしをしにくれた者はこ
と あ もの
う言った。『4匹目の獣は、地上に生
い ひき め けもの ちじょう しょう
じる4番目の王国です。それはほか
ばん め おうこく
のどの王国とも異なり、全世界をむ
おうこく こと ぜん せ かい
さぼり食い、踏みにじり、打ち砕きま
く ふ う くだ
す。24 10本の角は、その王国から
(例) ほん つの おうこく
出て権力を持つようになる10人の王
で けんりよく も にん おう
です。その後さらに別の王が権力を持
ご べつ おう けんりよく も
ちます。彼は先の王たちとは異なり、
かれ さき おう こと
3人の王を辱めます。25 そして至高
にん おう はずかし (例) しこう

7:17 *直訳、「立ち上がる」。7:20 *または、「
自慢げ」。

第7章

(例) ダニ 2:39,40
(例) ダニ 7:25,27
(例) マタ 19:28
テモニ 2:12
啓 3:21
啓 5:9,10
(例) ダニ 7:21,22
ルカ 22:29
(例) ダニ 2:40
ダニ 7:7
(例) ダニ 7:24
(例) ダニ 7:8
(例) ダニ 8:23,24
ダニ 12:7
啓 13:7
(例) 詩 90:2
ダニ 7:9,13
ハバ 1:12
(例) ダニ 7:18,27
(例) マタ 19:28
ルカ 22:29
啓 1:6
啓 3:21
啓 5:9,10
啓 20:4
(例) ダニ 2:40
ダニ 7:7
(例) ダニ 7:20

第2欄

(例) ダニ 7:8
(例) ダニ 12:7
啓 13:5-7
(例) ダニ 7:10,11
(例) ダニ 7:22
マタ 19:28
ルカ 22:29
啓 20:4
(例) 啓 11:15

第8章

(例) ダニ 5:1,30
(例) ダニ 7:1,15
(例) 創 10:22
イザ 11:11
イザ 21:2
(例) ネヘ 1:1
エズ 2:8
(例) イザ 13:17
エレ 51:11
ダニ 7:5
ダニ 8:20
(例) エス 1:1,3
(例) イザ 44:28
(例) イザ 45:1
エレ 51:12
ダニ 5:30,31

しゃ さか こと ば かた (例) しじょうしゃ せい
者に逆らう言葉を語り、至上者の聖な
もの の
る者たちを絶えず悩ませ、時と法を変
えようとします。聖なる者たちは一時
ふたとき ほんとき* あいだ かれて ひととき
と二時と半時の間、彼の手に渡され
(例) ます。26 しかし、法廷が開廷し、彼
どう ちけん と さ かわれ ねだ
の統治権を取り去りました。彼を根絶
やしにし、完全に滅ぼすためです。

27 王国と、統治権と、天の下の全
おうこく えいどう しじょうしゃ せい
ての王国の栄光は、至上者の聖なる
もの あた (例) くれ おうこく
者たちに与えられました。彼らの王国
えいごん そんな* (例) すべ くに ひとひと
は永遠に存続し、全ての国の人々は
かれ つか したが
彼らに任せ、従います。』

28 私が見聞きした事柄はこれで終
わたくし み こと ぐら お
わりである。私ダニエルは仰天し、青
わたくし ぎょうてん あ
ざめた。しかし、このことを自分の胸
おき じぶん むね
に納めておいた。』

8 ベルシャザル王の治世の第3
ねん わたくし いぜん み
年、私ダニエルは、以前に見た
まぼろし ちが まぼろし み (例) わたくし (例)
幻とは違う幻を見た。2 私はエラム
しゅう * (例) じょう せう
州にあるシュシャン城にいて、ウライの
すい まぼろし み
水路のそばで幻を見ていた。3 目
あ びき おひつじ (例) すいろ まえ
を上げると、1匹の雄羊が水路の前に
た ほん つの
立っていた。それには2本の角があっ
た。2本の角は長かったが、一方が他
ほう なが なが ほう あと の
方よりも長く、長い方は後から伸びた
(例) ものだ。4 見てみると、その雄
ひつじ にし きた なみん む とっしん
羊は、西、北、南に向かって突進した。
(例) やじゅう まえ た
どんな野獣もその前に立つことはでき
ず、その力から誰かを救い出せる者も
いなかっ。雄羊は思うままに振る舞
(例) こうまん
い、高慢になった。

7:25 *つまり、三時半。8:2 *または、「スサ」。
*または、「宮殿」、「要塞」。

5 さらに^み見^びていると、1匹^{ひき}の雄^おやぎ^{やぎ}が西^{にし}からや^きって来^きた。地^ち表^{ひょう}に触^ふれること^{ごと}なく、地^ち上^{じやうぜんたい}全体^{ぜんたい}を横^{よこ}切^ぎって来^きた。目^めの^{あいだ}間^{かん}に1本^{ほん}の^き際^{さい}立^だった角^{かく}があ^いった。

6 その雄^おやぎ^{やぎ}は、水^{すい}路^ろの前^{まえ}に立^たって^いいた2本^{ほん}の角^{かく}がある雄^お羊^{やぎ}に向^むかっ^てて、^{もうれつ}猛^{まう}烈^{れつ}な怒^{いか}り^いを抱^{いだ}え^は走^{はし}って来^きた。

7 雄^おやぎ^{やぎ}は雄^お羊^{やぎ}に対^{たい}する敵^{てき}意^いに満^みち、迫^{せま}って^おい^おつ^おつ^おて、雄^お羊^{やぎ}を打^{うち}倒^{たお}して2本^{ほん}の角^{かく}を折^おつ^おつ^おた。雄^お羊^{やぎ}には立^たち向^むか^かう^うがな^なか^かつ^つた。こ^こう^こし^して雄^おやぎ^{やぎ}は雄^お羊^{やぎ}を地^ち面^{めん}に投^なげ倒^{たお}して踏^ふみつ^つけ^けた。その力^{ちから}から雄^お羊^{やぎ}を救^{きう}い^い出^だす者^{もの}はい^いな^なか^かつ^つた。

8 雄^おやぎ^{やぎ}は非^ひ常^{じやう}に高^{こう}慢^{まん}にな^なつ^つが、強^{きやう}大^{だい}にな^なると、大^{おほい}き^きな角^{かく}は折^おれ^れた。代^かわ^わりに4本^{ほん}の^き際^{さい}立^だった角^{かく}が^は生^はえ^えて^てき^きて、^{てん}天^{てん}の^し四^し方^{ほう}の^{かぜ}風^{ふう}に向^むかっ^てて伸^のび^のた。

9 そのうち^{うち}の1本^{ほん}から、別^{べつ}の^{ちい}小^{せう}さな^な角^{かく}が^は生^はえ^え出^だた。そ^それ^れは非^ひ常^{じやう}に強^{きやう}大^{だい}にな^なつ^つて^いき^き、南^{みなみ}と東^{ひがし}と^{うつく}美^みし^しい^{ちが}地^ちに^は力^{ちから}を及^{およ}び^びし^した。10 天^{てん}の^{ぐん}軍^{ぐん}勢^{せい}に達^{たつ}するま^まで^でに強^{きやう}大^{だい}にな^なり、そ^その^{ぐん}軍^{ぐん}勢^{せい}と星^{せい}の^{いく}幾^{いく}ら^らか^かを地^ち上^{じやう}に落^おつ^おつ^おて踏^ふみ^みに^じつ^つた。11 天^{てん}の^{ぐん}軍^{ぐん}勢^{せい}の^{ちやう}長^{ちやう}に^{たい}対^{たい}して^さえ^え高^{たか}ぶ^ぶり、そ^その^{かた}方^{かた}へ^への^ひ日^ひご^ごとの^ぎ犠^ぎ牲^{せい}が途^と切^ぎれる^せよう^{よう}に^し、そ^その^{かた}方^{かた}の^{せい}聖^{せい}なる^{ところ}所^{ところ}の^{さだ}定^{さだ}ま^まつ^つた^い場^ば所^{しやう}を打^{うち}壊^{くわい}した。12 違^い反^{はん}の^{ぐん}ゆ^ゆえ^えに、^ひ軍^{ぐん}が^ひ日^ひご^ごとの^ぎ犠^ぎ牲^{せい}と共^{とも}に^ひ引^ひき^つ渡^{わた}さ^された。そ^そして^{しん}角^{かく}は^しし^しき^きりに^ま真^ま

8:5 *または、「日^ひが沈^{しん}む方^{かた}」。
8:9 *または、「日^ひが昇^{しょう}る方^{かた}」。
*または、「飾^しり^りの地^ち」。
8:11 *または、「絶^{けつ}え^え間^{かん}ない」。

第8章
[7] ダニ 2:39
ダニ 7:6
ダニ 8:21

[1] ダニ 11:3

[7] ダニ 8:22
ダニ 11:4

[1] 詩 48:2
ダニ 11:16, 45

[7] ダニ 11:31
ダニ 12:11

第2欄
[7] ダニ 12:11

[1] ダニ 8:2

[7] ルカ 1:19, 26

[1] ダニ 9:21, 22

[7] ダニ 10:14
ダニ 12:4, 9

[7] ダニ 10:9, 10

[7] ダニ 12:17

理^りを地^ち面^{めん}に投^なげ付^{つけ}け、行^{こう}動^{どう}して成^{せい}功^{こう}を^おお^お取^とり^りめ^めた。

13 私^{わたし}は1人^{ひとり}の聖^{せい}なる者^{もの}が話^{はな}してい^いるの^きを聞^きいた。別^{べつ}の^{せい}聖^{せい}なる者^{もの}が、話^{はな}してい^いる者^{もの}に言^いった。「日^ひご^ごとの^ぎ犠^ぎ牲^{せい}と、荒^{こう}廢^{はい}を引^ひき起^{おこ}す違^い反^{はん}に關^{かん}する^{まぼろし}幻^{まぼろし}、聖^{せい}なる場^ば所^{しやう}と軍^{ぐん}が踏^ふみに^じじら^られ^れると^いう^う幻^{まぼろし}は、いつ^{いつ}ま^まで^で続^{つづ}く^くの^いで^でし^しょう^うか」。
14 す^すると^との^{もの}者^{もの}は私^{わたし}に言^いつ^つた。「2300^にの^{あさ}晩^{ばん}と朝^{あさ}が過^あぎ^ぎる^るま^まで^です。そ^そう^うす^すれば^ば聖^{せい}なる場^ば所^{しやう}は必^{かならず}ず^ず正^{ただ}し^しい^い状^{じやう}態^{たい}に^{もど}戻^{もど}さ^され^れま^ます」。

15 私^{わたし}ダニエル^{だに}が幻^{まぼろし}を見^みな^なが^り理^り解^{かい}し^しよう^うと^として^{して}い^いる^ると、突^{とつ}然^{ぜん}、人^{ひと}の^{よう}よ^よう^うな^な姿^{すがた}の^{もの}者^{もの}が私^{わたし}の^{まえ}前^{まえ}に^{あら}わ^われ^れた。16 す^すると、ウ^{すい}ライ^{らい}の^{ひと}水^{すい}路^ろから^こ人^{ひと}の^こ声^{こゑ}が^き聞^きこ^こえて、こ^こう^う呼^よび^かけ^かけ^かた。17 「ガブ^がリ^りエ^えル、そ^その^{ひと}人^{ひと}に、見^みた^{こと}事^{ごと}柄^{がら}を理^り解^{かい}さ^さな^なさい」。
17 彼^{かれ}が私^{わたし}の^た立^たつ^{ところ}所^{ところ}に^{ちか}近^きづ^づいて^{とき}き^きて^こ来^きた^こ時^{とき}、私^{わたし}は^は怖^{こわ}く^くな^なつ^つて^ひれ^れ伏^ふした。彼^{かれ}は私^{わたし}に^い言^いつ^つた。「人^{ひと}の^こ子^こよ、^{まぼろし}この^お幻^{まぼろし}が^{とき}終^{しん}わ^わりの^{かん}時^{とき}に^{かん}關^{かん}する^るもの^{であ}る^るこ^こと^を理^り解^{かい}し^しな^なさい」。
18 し^しか^かし^し、^{かれ}彼^{かれ}が^{わたし}と^{はな}話^わしてい^いる^あ間^{かん}に、私^{わたし}は^{かお}顔^{かお}を^じ地^ち面^{めん}に^め付^{つけ}け^たま^ま眠^{ねむ}り^を込^こめ^めて^{した}ま^まつ^つた。そ^それ^れで^で彼^{かれ}は私^{わたし}に^ふ触^ふれ、立^たち^あ上^あが^がら^らせ^せて^くれ^れた。19 そ^それ^れか^から^か彼^{かれ}は^い言^いつ^つた。「^{きやう}糾^{きやう}弾^{たん}の^{とき}時^{とき}の^{まつ}末^{まつ}期^きに^お起^{おこ}る^る事^{こと}柄^{がら}を^ああ^なな^なに^し知^しら^らせ^せま^ます。幻^{まぼろし}は^{さだ}定^{さだ}め^めら^られた^お終^{しん}わ^わりの^{とき}時^{とき}に^{かん}關^{かん}する^るもの^のだ^から^らで^す」。

20 あ^あな^なた^たが^み見^みた^{ほん}2本^つの^お角^{かく}が^ある^る雄^お羊^{やぎ}は、メ^ひデ^ひア^ひと^つペ^つル^つシ^しヤ^やの^{おう}王^{わう}を^{あらわ}表^{あらわ}し

8:14 *または、「2300^に日^{にち}」。

ています。⁽⁷⁾ **21** 毛深い雄ヤギはギリシャの王を表して、目の間にあった大きな角は最初の王を表しています。⁽⁸⁾ **22** その角が折れて、代わりに4本の角が生えてきましたから、彼の国から4つの王国が生じることになります。しかし、彼ほどの力はありません。

23 彼らの王国の末期、違反を犯す者たちの行いが極限に達する時、曖昧な言い回しを理解する、どう猛な顔つきの王が権力を持つようになります。

24 その王の力は強大になりますが、自らの力でそうなるものではありません。彼は甚だしい破滅をもたらし、行うこと全てにおいて成功を取めます。力の強い者たちや聖なる民を破滅に至らせま。 **25** ずる賢く人々を欺いて成ころころ、なかこうまん、ひとびとあんな功し、心の中で高慢になり、人々が安心してゐる時に大勢を破滅に至らせま。そして長たちの長にさえ立ち向かいますが、人手によらずに打ち砕かれることになります。

26 幻の中で晩と朝について述べられた事柄は真実ですが、あなたはこの幻を秘密にしておかなければなりません。遠い将来に関するものだからです。

27 私ダニエルは疲れ果て、何日か体調を崩した。その後起きて、宮廷の仕事をしたが、自分が見た事柄のた

8:22 *直訳、「立ち上がる」。**8:23** *または、「悪巧みにたけている」。**8:24** *または、「ひどい滅び」。**8:25** *もしかすると、「警告をせずに」。

第8章

(7) ダニ 7:5
ダニ 8:3
ダニ 11:2

(8) ダニ 7:6

(9) ダニ 8:5
ダニ 11:3

(10) ダニ 8:8
ダニ 11:4

(11) ダニ 7:25
ダニ 8:10

(12) ダニ 10:14

(13) ダニ 7:28
ダニ 10:16

(14) ダニ 2:48, 49

第2欄

(15) ダニ 8:17

第9章

(16) ダニ 6:28
ダニ 11:1

(17) ダニ 5:30, 31

(18) エズ 1:1, 2
詩 79:1
イザ 64:10
哀 1:1

(19) 代 2:36, 20, 21

エレ 25:11
エリ 29:10
ゼカ 1:12
ゼカ 7:5

(20) エズ 8:21

(21) 申 5:9, 10
ネヘ 1:5

(22) 出 34:6

(23) エズ 9:6, 7
ネヘ 9:26, 33
詩 106:6
哀 3:42

(24) 代 2:36, 15, 16
エレ 7:13

めにぼうぜんとしていた。誰もその幻を理解できなかった。

9 アハシュエロスの子ダリウスの治世の第1年のことである。(ダリウスはメディア人の子孫で、カルデア人の王国の王とされた。) **2** その年に、私ダニエルは書物を調べ、エルサレムの荒廃が終わるまでの年数を知った。それはエホバが預言者エレミヤに語ったもので、70年だった。

3 それで私は真の神エホバに顔を向け、祈って懇願した。断食をし、粗布をまとい、灰をかぶりながらそうした。

4 私の神エホバに祈り、次のように告白をした。

「真の神エホバ、あなたは偉大で威厳に満ちる方です。あなたを愛してあなたのおきてを守る人たちとの契約を守り、揺るぎない愛を示す方です。**5** 私たちは罪を犯し、間違いをし、悪事を働き、あなたに逆いました。あなたのおきてや法規からそれました。

6 あなたに仕える預言者たちが、あなたの名によって、私たちの王たち、高官たち、父祖たち、民全てに語ったのに、耳を傾けませんでした。**7** エホバ、あなたは正しい方ですが、私たちが今も恥辱を受けています。ユダの人たち、エルサレムの住民、イスラエル全体が、あなたに対して不忠実なことをしたために、近くにいる人も遠くにいる人も、あなたに追いやられた全て

9:2 *聖なる書物のこと。

の土地で恥辱を受けているのです。

8 エホバ、私たちはあなたに対して罪を犯したので、恥辱を受けています。王たちも、高官たちも、父祖たちもです。

9 憐れみ深く許してくださる神エホバに、私たちは背きました。**10** 私たちの神エホバの声に従わず、あなたに仕える預言者たちを通して与えてくださった律法を守りませんでした。**11** イスラエル全体はあなたの律法を破り、背を向けてあなたの声に従いませんでした。そのためあなたは、私たちに災いが降り掛かるようにされました。真の神に仕えたモーセの律法に記された、誓いによる災いです。私たちがあなたに対して罪を犯したからです。

12 あなたは、私たちと指導者たちに対して語った言葉を実行し、私たちに大きな災難をもたらされました。それまで地上全体で起きたためしがないようなことが、エルサレムで起こりました。**13** モーセの律法に記されている通り、災難がことごとく私たちに降り掛かりました。それでも私たちは、神エホバに恵みを求めず、自分たちの過ちから離れず、あなたの真理を洞察しませんでした。

14 そのためエホバは見張っておられ、私たちに災難をもたらされました。私たちの神エホバは常に正しいことを行ってこられました。しかし、私たちはその声に従いませんでした。

9:13 *または、「あなたの正しさ」、「あなたが信頼できること」。

第9章

〔レビ 26:33
申 28:41
王二 17:6
イザ 11:11

〔イ 出 34:6,7
ネ 9:17
詩 86:5

〔イ 出 34:6,7
ネ 9:17
詩 86:5

〔イ 王二 17:13,14

〔申 28:15
申 31:17

〔哀 2:17

〔イ エレ 39:8

〔イ 王二 26:16,17
申 28:15
哀 1:1

〔イ 王二 26:16,17
申 28:15
哀 1:1

〔イ 王二 26:16,17
申 28:15
哀 1:1

第2欄

〔イ 出 6:1

〔イ 出 9:16
ネ 9:10
詩 106:7,8

〔イ 詩 89:14
イザ 26:9

〔イ 王二 26:38,39
王二 9:7-9
詩 79:1,4
エレ 24:9

〔イ 王二 26:38,39
王二 9:7-9
詩 79:1,4
エレ 24:9

〔イ 民 6:23,25

〔イ 詩 102:13
イザ 54:7,8
エレ 14:7

〔イ 王二 8:30

〔イ 詩 79:8,9
イザ 63:18,19
エレ 14:9

〔イ 詩 87:1,2
ゼカ 8:3

15 私たちの神エホバ、あなたは力

強い手でご自分の民をエジプトから連れ出し、ご自分の名を上げて今に至っています。私たちは罪を犯し、悪事を働きました。**16** これまで常に正しいことを行ってこられたエホバ、どうかあなたの怒りと憤りが、あなたの都市エルサレムから、あなたの聖なる山から離れますように。私たちの罪と父祖たちの過ちのために、エルサレムとあなたの民は周囲の全ての人々から非難されています。**17** ああ、私たちの神、あなたに仕える私の祈りと懇願を聞いてください。エホバ、あなたご自身のために、あなたの荒廃している聖なる所を気に掛けてください。

18 私の神、耳を傾けて聞いてください！ 目を開けて、私たちの荒れ果てた様子を、あなたの名で呼ばれてきた都市をご覧ください。私たちが懇願しているのは、自分たちの行いが正しいからではなく、あなたが深い憐れみを示してくださるからです。**19** エホバ、聞いてください。エホバ、お許しください。エホバ、私たちに注意を向けて、救ってください！ 私の神、あなたご自身のために、行動を遅らせないでください。あなたの都市とあなたの民は、あなたの名で呼ばれているからです。

20 私はこのように声を出して祈り、自分の罪と自分の民イスラエルの罪を告白し、私の神の聖なる山に関して、私の神エホバに恵みを求めている。

21 私が声を出して祈っていると、い
ぜん まぼろし なか み けいひと (イ) わたし
前に幻の中で見た人ガブリエルが私
の所にやって来た。夕方の供え物をす
る頃、わたし つか き ゆうがた そんな もの
は、私は疲れ切っていた。22 彼
は次のように述べて、私が物事を理解
できるようにした。

「ダニエル、私はあなたに洞察と理
解を与えるために来ました。23 あ
なたが懇願し始めた時に神が述べら
れた言葉を、私は伝えに来ました。あ
なたは大切な人だからです。それで、
このことについてよく考えて、幻を理解
しなさい。

24 あなたの民と聖なる都市のた
めに、70週が定められました。これ
は、違反を終わらせ、罪をなくし、過ち
を償い、永遠の正しさをもたらし、幻と
預言に証印を押し、最も聖なる所を神
聖なものとするためです。25 あなた
が知って理解すべきこととして、エルサ
レムを修復して建て直せという命令が
出されてから、指導者であるメシアが
現れるまでに、7週、さらに62週があり
ます。都市は広場も堀も修復され、建
て直されますが、それは苦難の時とな
ります。

26 そして、62週の後にメシアは除
かれます。彼には何も残りません。

やがて来る指導者に率いられた

9:23 *または、「高く評価されている」。「神に愛
されている」。9:24 *1週は7年。*直訳、「預
言者」。^または、「至聖所」。*直訳、「に油を
注ぐ」。用語集の「油を注ぐ」参照。9:25 *ま
たは、「選ばれた者」。9:26 *または、「死刑に
される」。

第9章

(イ) ダニ 8:1
(イ) ダニ 8:16
ルカ 1:19
(イ) ダニ 10:11,19
(イ) ネヘ 11:1
イザ 52:1
(イ) ルカ 1:76,77
ヘブ 9:26
(イ) ロマ 3:25
ヨハ 2:1,2
ヨハ 4:10
(イ) イザ 53:11
ロマ 1:16,17
(イ) コリ 1:19,20
(イ) ネヘ 2:5,11
ネヘ 6:15
(イ) イザ 55:4
マタ 23:10
ヨハ 1:45,49
(イ) 詩 2:2
ヨハ 1:41
(イ) ルカ 3:1,2
(イ) イザ 53:8,12
マタ 26:2
ルカ 24:26
コリ 15:3
(イ) マル 9:12

第2欄

(イ) マタ 24:15
ルカ 19:43,44
ルカ 21:20
(イ) ルカ 21:22,24
(イ) ヘブ 9:11,12
ヘブ 10:8-10
(イ) マル 13:14
ルカ 21:20

第10章

(イ) エズ 1:1,2
イザ 45:1
ダニ 1:21
ダニ 6:28
(イ) ダニ 2:17
ダニ 4:8
(イ) ダニ 9:3
(イ) 創 2:14
(イ) 啓 19:14
(イ) エゼ 1:16
(イ) エゼ 1:5,7

ひとびと、都市と聖なる場所を滅ぼし、
洪水が終わりをもたらします。終わり
まで戦争があり、荒廃が定められてい
ます。

27 彼は多くの人のために1週の
間契約の効力を保たせ、週の半ばに
犠牲と供え物を終わらせませう。

そして、荒廃をもたらす者が、極め
て不伐なものの上に昇って来ます。全
てが滅びるまで、定められた事柄が、
荒廃しているものの上に降り掛かり
ます。

10 ペルシャのキュロス王の治世
の第3年、ベルテジャザルと
呼ばれていたダニエルに啓示が与え
られた。その内容は真実であり、大き
な争いに関するものだった。ダニエル
は自分が見た事柄について説明を受
け、その内容を理解した。

2 その頃、私ダニエルは丸3週間、
嘆き悲しんでいた。3 何も良い物を
食べず、肉もぶどう酒も口にせず、体
に油を塗ることも丸3週間しなかった。

4 第1の月の24日、大河チグリスの
岸にいたとき、5 私は亜麻布の服を
着た人を見た。腰にはウファズ産の金
でできたベルトを巻いていた。6 体
はかんらん石のようで、顔は稲妻のよ
うに明るかった。目は燃えるたいまつ
のようで、腕と足は磨き上げた銅のよ
うに見えた。彼の話す声は群衆の声

9:27 *メシアのことと考えられる。10:4 *直
訳、「ヒデケル」。

のようだった。7 この幻を見たのは
わたし 私ダニエルだけだった。私と一緒に
いた人たちは見なかったが、強い恐怖
に襲われ、逃げていって身を隠した。

8 私は1人残された。この壮大な
幻を見た時、私は力尽き、青ざめて、
氣力をすっかり失った。9 それから
彼の声が聞こえてきたが、彼が話すの
を聞いているうちに、私はひれ伏して
顔を地面に付けたまま眠り込んでし
まった。10 すると、手が私に触れて
起こしてくれたので、私は両手と両膝
を突いて起き上がった。11 彼は私
に言った。

「大切な人ダニエル、これから私が
話す言葉に注意を払いなさい。その
場で立ち上がりなさい。私はあなたに
会うために遣わされたのです。」

こう言われた時、私は震えながら立
ち上がった。

12 彼はさらに言った。「ダニエル、
恐れることはありません。あなたが物
ごとく理解しようと努め、神の前で謙遜
になろうと心に決めた最初の日から、
あなたの祈りは聞かれています。私
が来たのもそのためです。13 しか
し、ペルシャの領土の長が21日間、
私の前に立ちはだかりました。そこ
へ主立った長のひとりミカエルが助
けに来てくれて、私はペルシャの主た

10:11,19 *または、「高く評価されている」、「神
に愛されている」。10:13 *または、「最高の
長」。*意味、「誰が神のようだろうか」。

第10章

(7) 王ニ 6:17
使徒 9:7

(1) ダニ 7:28
ダニ 8:27

(7) ダニ 8:18

(2) エレ 1:9
啓 1:17

(7) ダニ 9:23
ダニ 10:19

(7) 啓 1:17

(4) ダニ 9:23

(7) エフ 6:12

(7) ダニ 10:21
ダニ 12:1
ユダ 9
啓 12:7,8

第2欄

(7) ダニ 2:28

(1) ダニ 8:17,26
ダニ 12:4

(7) イザ 6:7
エレ 1:9

(2) ダニ 10:8

(7) 裁 6:22

(7) イザ 6:5

(4) ダニ 10:10

(7) ダニ 9:22,23
ダニ 10:11

(7) 啓 1:17

(7) 裁 6:23

(7) ダニ 10:13

(7) ダニ 12:1

(7) ダニ 10:13
ユダ 9
啓 12:7,8

ちのそばにとどまりました。14 私が
来たのは、最後の日々にあなたの民
に起きる事柄をあなたに理解させるた
めです。幻は将来に関するものだから
です。

15 彼がこれらのことを私に話した
時、私は下を向いて言葉を失った。

16 すると、人のような姿の者が私の
唇に触れた。それで私は口を開き、
目の前に立っていた者に言った。「私
は幻のために震えており、力が残って
いません。17 私のような者が、ど
うしてあなたと話せるでしょうか。力が
残っておらず、息も絶え絶えになってい
ます」。

18 人のような姿の者は再び私に
触れて、力づけてくれた。19 そして
こう言った。「大切な人よ、恐れること
はありません。あなたに平和がありま
すように。勇気を出し、強くありなさ
い」。彼が話しているうちに私は力づ
けられ、こう言った。「どうぞお話しくだ
さい。あなたは私を力づけてください
ました」。

20 彼は言った。「私がなぜあなた
の所に来たか、分かりますか。私はペ
ルシャの長と戦うためにすぐ戻らなけ
ればなりません。私が去ると、ギリシャ
の長がきます。21 しかし、私は真実
の書に記されている事柄をあなたに
伝えます。これらのことにおいて私を
強く支えてくれているのは、あなたた
ちの長ミカエルにほかなりません。

11 メディア人ダリウスの治世の第1年に、私は彼を力づけて守るために立ち上がりました。2 これから私があなたに話すことは真実です。

さらに3人の王がペルシャのために立ち上がります。4人目の王は他の王たちよりも多くの富を築きます。その富によって強くなると、彼は総力を挙げてギリシャ王国を攻めます。

3 強大な王が立ち上がり、大きな権力を振るって支配し、思うままに行動します。4 しかし、立ち上がった後、彼の王国は碎かれ、四方に分けられます。彼の子孫に分けられるのではなく、彼が支配した時のような権力が振るわれることもありません。王国は根こそぎにされ、他人の手に渡ります。

5 彼に仕えていた高官の1人だった南の王が強くなります。しかし、別の者がその王をしのぐようになり、彼よりも大きな権力を振るって支配します。

6 幾年かの後に彼らは同盟を結び、南の王の娘がその締結のために北の王のもとに来ます。しかし、彼女は自分の力を保てず、彼も立つことなく力を失います。彼女も、彼女を連れてきた者たちも、彼女の父親も、彼女を強くしていた者も、引き渡されることになります。7 彼女の根から出た芽の1つが父親に代わって立ち上がり、軍隊

第11章
[7] ダニ 5:30, 31
ダニ 9:1

[4] ダニ 8:21

[例] ダニ 8:5, 21

[例] ダニ 7:6
ダニ 8:8, 22

の所に行って北の王の要塞を攻め、戦って勝利を収めます。8 そして、彼らの神々、金属像、貴重な銀や金の品を携え、捕虜を連れてエジプトに戻ります。幾年かの間は北の王に近づきません。9 北の王は南の王の王国を攻めますが、自分の国に戻ります。

10 彼の子たちは戦いに備えて大軍を集めます。その1人は勢いよく進軍し、洪水のように土地を通っていきますが、引き返し、戦いを続けながら要塞にたどり着きます。

11 南の王は憤慨し、出陣して北の王と戦います。彼は大軍を集めますが、それは敵の手に落ちます。12 大軍は連れ去られてしまいます。彼は高慢になり、幾万もの人を打ち倒しますが、自分の強い立場を生かしません。

13 北の王は戻ってきて、前よりも大きな大軍を集めます。そして、幾年かの後、ある期間の終わりに、大きな軍隊を率い、大量の物資を携えてやって来ます。14 その時、多くの者が南の王に立ち向かいます。

あなたの民の中の暴力的な人たちは、駆り立てられて幻を実現させようとしますが、つまずきます。

15 北の王はやって来て土壘を築き、防備された町を攻め取ります。南の

11:8 *または、「铸造された像」。11:10 *直訳、「彼」。11:11 *北の王のことと思われる。11:12 *南の王のことと思われる。11:14 *または、「強盗の子たち」。*または、「理想」。

11:1 *ミカエルのことと思われる。11:4 *直訳、「天の4つの風」。11:6 *直訳、「腕の力」。

軍勢は對抗できず、えり抜きの兵士たちにも立ち向かう力があります。

16 攻めてくる者は思うままに行動し、誰もその前に立ちはだかりません。彼は『美しい地』に立ち、根絶やしにする力を手にします。**17** 自分の王国の全勢力をもって突き進むことを決意し、協定が結ばれることになり、こうして彼は行動を取ります。娘を破滅に至らせることが彼に許されます。彼女は立ち続けず、彼のものではなくなり、す。**18** 彼は海沿いの地帯に目を向け、多くの場所を攻め取ります。1人の司令官が自分のために彼からの侮辱をとどめ、それはやみます。司令官はその侮辱に報復します。**19** 彼は自分の国の要塞に目を向け、つまずいて倒れ、姿を消します。

20 彼に代わって立ち上がる者は、取り立て人を遣わして輝かしい王国をめぐらせます。しかし、その者は数日のうちに倒れます。それは怒りや戦いによるものではありません。

21 彼に代わって、嫌悪されている者が立ち上がります。人々は彼に王国の威光を与えようとしません。彼は人々が安心してゐる時に来て、やすやすと王国を手に入れます。**22** 洪水

11:15 *直訳、「腕」。**11:16** *または、「飾りの地」。**11:17** *直訳、「女たちの娘」。**11:19, 25, 28** *北の王のことと思われる。**11:20** *税の取り立て人のことかもしれない。または、「仕事を割り当てる者」。**11:21** *または、「卑劣な」。**11:21, 24** *もしかすると、「警告をせず」に」。**11:21** *または、「陰謀によって」。

第11章

〔詩〕48:2
ダニエル 8:9
ダニエル 11:41, 45

第2欄

〔創〕15:18
使徒 3:25

のような軍勢は彼のために押し流されて、砕かれます。契約の指導者もそうなります。**23** 人々との同盟のゆえに、彼は欺くことを続け、小さな国民によって強大な者となります。**24** 人々が安心してゐる時に、彼は州の最も豊かな地域に行き、父祖たちが行わなかったことを行います。略奪品や戦利品を分配し、防備された場所を攻めることをたくらみしますが、それはひとときの間だけです。

25 彼は力と勇気を奮い起こし、大きな軍隊で南の王を攻めます。南の王も戦いに備え、非常に強大な軍隊で応戦します。人々が陰謀を企てるため、彼は立ち続けることができません。

26 彼の美食を食べていた者たちが彼を倒れさせます。

彼の軍隊は押し流され、大勢が殺されて倒れます。

27 この2人の王は心の中で悪事をたくらみ、1つの食卓に着いてうそを言い合います。しかし、何事も成功しません。定められた時に終わりが来るからです。

28 彼は大量の品々を携えて自分の国に戻り、心は聖なる契約に逆らいます。彼は行動を取り、自分の国に戻ります。

29 定められた時に彼は再び南を攻めますが、以前のようにはいきませ

11:22 *直訳、「洪水の腕」。

〔イ〕ダニエル 9:25
ヨハ 1:45, 49

〔イ〕ダニエル 12:9

ん。30 キツテムの船に攻められて、
打ち負かされるからです。

彼は戻って行って聖なる契約に糾弾を浴びせ、行動を取ります。戻って
行って、聖なる契約を破る者たちに注意を向けます。31 彼から出る軍勢
が立ち上がり、聖なる所、要塞を汚し、
日ごとの犠牲を除き去ります。

彼らは荒廃をもたらし極めて不快な
ものを据えます。

32 悪を行って契約を破る者たち
を、彼は言葉で欺いて背教へと導き
ます。しかし、自分たちの神を知って
いる民は持ちこたえ、行動を取ります。

33 洞察力がある人たちは、大勢に物
事を理解させます。彼らはしばらくの
間、剣や炎、拘禁や強奪によって倒

れることになります。34 倒れている
時、彼らは多少の助けを得ます。人を
言葉で欺いて彼らに加わる者が多く
います。35 洞察力がある人たちの
幾人かが倒れ、その人たちのゆえに
終わりの時まで、精錬し、清め、白くす
ることが行われます。その定められた
時はこれから来ます。

36 その王は思うままに行動し、高
慢になり、自分はあらゆる神より上
だと考え、神の中の神に向かって厚か
ましいことを語ります。そして、糾弾
の時が終わるまで成功を収めます。決

第11章

創 10:4
民 24:24
イザ 23:1
エレ 2:10
エゼ 27:6

ダニ 11:28

ダニ 8:11

ダニ 8:12

ダニ 12:11
マタ 24:15
マル 13:14
ルカ 21:20

ダニ 12:10

ダニ 12:10

申 10:17
詩 136:1,2

第2欄

詩 48:2
ダニ 8:9
ダニ 11:16,45

められた事柄は必ず起きるからです。

37 彼は自分の父祖たちの神を無視
し、女たちの願ひも他のあらゆる神々
も無視して、自分は全ての者より上だ
と考えます。38 ただし、要塞の神を
たたえます。父祖たちが知らなかった
神を、金や銀や宝石や他の貴重な物
によってたたえます。39 なじみのな
い神と共に、強固に防備されたとりで
に対して行動を取ります。自分を認め
てくれる者たちに大きな栄誉を与え、
大勢を支配させます。また、代価と引
き換えに土地を配分します。

40 終わりの時に、南の王は彼と押
し合います。北の王は、兵車や騎手や
多くの船で南の王を激しく攻撃し、
国々に入って、洪水のように勢いよく
通っていきます。41 『美しい地』に
も入り、多くの国が倒れることになりま
す。しかし、エドム、モアブ、またアンモ
ン人の主な人たちは彼の手から逃れ
ます。42 彼は国々に向かってしきり
に手を伸ばし、エジプトは逃れること
ができません。43 彼は隠された金
銀の宝を支配し、エジプトの貴重な物
全てを支配します。リビア人とエチオ
ピア人は彼に従います。

44 しかし、彼は東と北からの知ら
せに動揺し、激怒して出陣します。破
壊し、多くの者を滅ぼし尽くすため

11:39 *または、「の助けを得て」。「もしかす
ると、「自分が認める」。11:40 *または、「角
を突き合わせ」。11:41 *または、「飾りの地」。
11:44 *または、「日が昇る方」。

11:30 *または、「怒り」。11:31 *直訳、「腕」。
*または、「絶え間ない」。11:32, 34 *または、
「おだてて」、「唆して」。11:36 *北の王のこと
と思われる。

す。45 彼は自分の壮麗な天幕を、
大きな海と『美しい地』の聖なる山と
の間に張ります。そして、ついに終わ
りを迎えます。彼を助ける者は誰もいま
せん。

12 その時、あなたの民のため
に立っている偉大な長ミカ
エルが行動を起こします。そして、国
が始まってからその時まで生じたこと
がない苦難の時が来ます。その時、あ
なたの民、書に記されている人は皆、
逃れます。2 地面の中で眠っている
多くの人が目を覚まします。ある人た
ちは永遠の命を得、ある人たちはとが
められて永久に嫌悪されます。

3 洞察力がある人たちは、天空の
ように明るく輝きます。大勢を正しい
道へと導いている人たちは、星のよう
にいつまでも永遠に輝きます。

4 ダニエル、終わりの時までこれら
の言葉を秘密にしておき、この書を封
印しておきなさい。多くの人が巡り歩
き、真の知識が満ちあふれます。

5 私ダニエルが見ると、ほかに2人
の者が立っていた。1人は川のこちら
の岸に、もう1人は向こう岸にいた。

6 亜麻布の服を着た人は川の水の
上にいて、1人がその人にこう尋ね
た。「これらの驚くべき事柄が終わる

第11章

〔詩〕48:2
ダニ 8:9
ダニ 11:16, 41

第12章

〔イ〕ダニ 10:21
〔イ〕ダニ 10:13
ユダ 9
啓 12:7, 8
〔ロ〕マラ 3:16
ルカ 10:20
啓 3:5

〔ヨ〕イザ 26:20
ヨエ 2:31, 32
マタ 24:21, 22
啓 7:13, 14

〔ヨ〕ダニ 8:17, 26
ダニ 12:9

〔イ〕イザ 11:9

〔ヨ〕ダニ 10:4

〔ヨ〕ダニ 10:5, 6

第2欄

〔イ〕ダニ 4:34
啓 4:9
啓 10:6

〔イ〕ダニ 8:24

〔ヨ〕ルカ 18:34
使徒 1:7
ペー 1:10, 11

〔ロ〕ダニ 8:17, 26
ダニ 10:14
ダニ 12:4

〔ヨ〕ダニ 11:35

〔ヨ〕詩 111:10
ダニ 11:33
ダニ 12:3

〔イ〕ダニ 8:11

〔ヨ〕ダニ 11:31
マル 13:14

〔ヨ〕ヨハ 11:24
使徒 17:31
使徒 24:15
啓 20:12

までに、どれほどの時が過ぎますか」。

7 すると、亜麻布の服を着て川の水の
上にいた人が、天に向かって右手と左
手を挙げ、永遠に生きている方に懸け
てこう言うのが聞こえた。「定められ
た一時、定められた二時、そして半時
が過ぎます。聖なる民の力が打ち砕か
れるとすぐ、これらの事柄は全て終わ
ります」。

8 私は聞いたが理解できなかった
ので、こう尋ねた。「これらの事柄はど
んな結末を迎えるのでしょうか」。

9 彼は言った。「ダニエル、いきな
さい。これらの言葉は終わりの時
まで秘密にされ、封印されるからです。

10 多くの人が自分を清めて白くし、
精錬されます。悪い人たちは悪いこと
を行い、誰一人として理解しません。
しかし、洞察力がある人たちは理解し
ます」。

11 日ごとの犠牲が取り除かれ、荒
廃をもたらし極めて不快なものが据え
られる時から、1290日がたちます。

12 待ち続けて1335日に達する人
は幸いです！

13 あなたは最後まで進んでいきな
さい。あなたは休みますが、日々の終
わりに、報いを受けるために立ち上が
ります」。

12:7 *つまり、三時半。 12:11 *または、「絶え
間ない」。 12:12 *または、「一心に待つて」。
12:13 *または、「自分の取り分のために」、
「割り当てられた場所にて」。

11:45 *または、「宮殿のような」。 *または、「飾
りの地」。 12:1 *意味、「誰が神のようだろう
か」。 *直訳、「立ち上がり」。 12:4 *または、
「それつまり、書」を徹底的に調べ。

ホセア書^{しょ}

概要

- ホセアの妻と、妻が産んだ子供たち (1-9)
エズレル (4)、ロ・ルハマ (6)、ロ・アミ (9)
復興と一致の希望 (10, 11)
- 不忠実なイスラエルへの処罰 (1-13)
夫エホバのもとに戻る (14-23)
「あなたは私を夫と呼ぶ」 (16)
- ホセアは姦淫をしている妻を買い戻す (1-3)
イスラエルがエホバのもとに戻ってくる (4, 5)
- イスラエルに対するエホバの訴訟 (1-8)
神についての知識がない (1)
イスラエルの偶像崇拜とふしだらな行い (9-19)
不道德な欲望によって道を踏み外す (12)
- エフライムとユダは裁かれる (1-15)
- エホバのもとに戻ろうという呼び掛け (1-3)
揺るぎない愛がほとんど見られない (4-6)
大切なのは犠牲よりも揺るぎない愛 (6)
民の恥すべき行い (7-11)
- エフライムの悪が語られる (1-16)
神の網から逃れることはできない (12)
- 偶像崇拜の結果を刈り取る (1-14)
風をまき、暴風を刈り取る (7)
イスラエルは自分を造った神を忘れた (14)
- エフライムは罪のために神に退けられる (1-17)
恥すべき神に身を捧げる (10)
- 質の悪いブドウの木であるイスラエルは荒れ果てる (1-15)
まいて、刈り取る (12, 13)
- イスラエルは少年の頃から神に愛された (1-12)
「わが子をエジプトから呼び出した」 (1)
- エフライムはエホバのもとに戻るべき (1-14)
ヤコブは神と闘った (3)
ヤコブは神の恵みを求めて泣いた (4)
- エフライムは偶像を崇拜し、エホバを忘れた (1-16)
「死よ、さあ、とげで刺してみよ」 (14)
- エホバのもとに戻るようにとの呼び掛け (1-3)
賛美の言葉を捧げる (2)
イスラエルは癒やされ、不忠実ではなくなる (4-9)

1 ユダの王ウジヤ、ヨタム、アハズ、ヒゼキヤの時代、イスラエルの王アッシュの子アラバムに、エホバがベエリの子ホセアに語った言葉。**2** エホバがホセアを通して語り始めた時、エホバはホセアにこう言った。「結婚しなさい。あなたの妻は売春をするようになり、あなたは妻の売春によって子供たちを持つ。この

1:1 *「ヤハに救われた」、「ヤハは救った」という意味があるホシャヤの短縮形。**1:2** *または、「不道德な行いをする」、「ふしだらな関係を持つ」。

第1章

- (ア) イザ 1:1
ミカ 1:1
(イ) 代 26:1, 3, 4
(ロ) 王 15:32-34
(ロ) 王 16:1-3
(ロ) 王 18:1-3
(ロ) 王 23:10, 11
(イ) 王 14:23, 24
アモ 1:1

第2章

- (ロ) 申 31:16
ホセ 3:1
(イ) 王 10:29-31
(ロ) 王 15:8, 10

土地は売春によってエホバに全く従わなくなったからだ。

3 そこでホセアはデブライムの娘ゴメルと結婚した。ゴメルは妊娠し、ホセアとの間に男の子が生まれた。

4 エホバはホセアに言った。「その子をエズレルと名付けなさい。私は間もなくエヒウの子孫にエズレルの流血行為の責任を問う、イスラエルの王国を終わらせるからだ。**5** その日、私

1:4 *意味、「神は種をまく」。

はエズレルの谷でイスラエルの弓を折る。

6 ゴメルは再び妊娠し、女の子を産んだ。神はホセアに言った。「その子をロ・ルハマと名付けなさい。私はイスラエル国民にもう憐れみを示さないからだ。彼らを必ず追い払う。7 だが、ユダ国民には憐れみを示し、神である私エホバが救う。ただし、弓や剣や戦いや馬や騎手によって救うのではない。

8 ロ・ルハマが乳離れた後、ゴメルは妊娠して男の子を産んだ。9 神は言った。「その子をロ・アミと名付けなさい。あなたたちは私の民ではないし、私はあなたたちの神ではないからだ。

10 イスラエルの民の数は海の砂のようになり、量ることも数えることもできないほどになる。彼らは、『あなたたちは私の民ではない』と言われた場所で、『生きている神の子たち』と言われることになる。11 ユダの民とイスラエルの民は集められて一つになり、自分たちのために1人の長を選び、そこから出ていく。エズレルの日は大いなる日となるのである。

2 兄弟たちに、『私の民』と言え。姉妹たちに、『憐れみを示される女性』と言え。

1:5 *または、「谷あいの平原」。1:6 *意味、「憐れみを示されない」。1:9 *意味、「私の民ではない」。2:1 *ホセ 1:9の脚注参照。*ホセ 1:6の脚注参照。

第1章

(ア) ホセ 2:23

(イ) 王二 17:6
王二 17:22, 23

(ウ) ホセ 11:12

(エ) 王二 19:34, 35

(オ) イザ 37:36

(カ) 創 13:16
創 22:17

(キ) ペー 2:10

(ク) ロマ 9:25, 26
コ二 6:18(ケ) エズ 3:1
イザ 11:12
エレ 3:18
エゼ 37:19
ミカ 2:12

(コ) ホセ 2:22

第2章

(ウ) エレ 31:33
エゼ 36:28
ゼカ 13:9

(エ) ホセ 2:23

第2欄

(ア) エレ 3:8

(イ) エゼ 23:4, 5
ホセ 3:1(ウ) エズ 9:6
ダニ 9:7
ホセ 9:10(エ) エゼ 23:7, 8
ホセ 8:9(オ) イザ 31:1
ホセ 5:13(カ) エレ 31:18
エゼ 23:4
ホセ 5:15(キ) 申 32:12-14
ネへ 9:25

ははおや うった うった
2 母親を訴えよ。訴えよ。

かのじょ わたし つま (ウ) わたし、かの
彼女は私の妻ではなく、私は彼

じょ おつと
女の夫ではない。

かのじょ ばいしゅん*
彼女は売春をやめるべきだ。

ちぶさ あいだ かんいん のぞ
乳房の間から姦淫を除くべきだ。

3 さもないと、私は彼女を裸にして、
う ひ
生まれた日のようにする。

かのじょ こうや
彼女を荒野のようにし、

みず とち
水のない土地のようにし、

のど かわ し
喉の渇きで死なせる。

4 私は彼女の子たちに憐れみを示
わたし かのじょ こ あわ しめ
さない。

ばいしゅん こ
売春による子だからだ。

5 その子たちの母親は売春をした。
こ ははおや ばいしゅん (イ)
その子たちを身ごもったのは、恥

こ み もったのは、恥
じよせい(ウ)
ずべきことをした女性。

『愛人たちに付いていこう。』

わたし みず ようもう あま
私には、パンと水、羊毛と亜麻、

あぶら の もの あいじん
油と飲み物をくれる愛人たち

がいます』と、彼女は言った。

6 だから、私は彼女の道をいばら
わたし かのじょ みち
かきね さえぎ
の垣根で遮る。

いし へい た
石の塀を立てて、

かのじょ みち み
彼女が道を見つけれられないよう

にする。

7 彼女は愛人たちを追い掛けるが、
かのじょ あいじん お か
お つ (ウ)
追いつけない。

かれ さが み
彼らを捜すが、見つけれられない。

かのじょ おつと ところ かえ (ウ)
彼女は、『夫の所に帰ろう。』

ころ ほう いま
あの頃の方が今よりもよかった』

い (ウ)
と言う。

2:2 *または、「不道德な行い」、「ふしだらな関係」。

8 彼女は認めなかった。
穀物や新しいぶどう酒や油を与

えたのも、
銀と金をたくさん与えたのも私

であることを。

彼女はそれらをバアルのために
使った。

9 『だから私は対応を変え、
収穫の時に穀物を、
取り入れの時に新しいぶどう酒
を取り去る。

裸を覆う羊毛と亜麻を彼女から
奪い去る。

10 今、私は彼女の局部を愛人たち
にさす。

彼女を私の手から助け出す者は
いない。

11 私は彼女からあらゆる喜びを
奪い、

祭り、新月、安息日、祝祭全てを
終わらせる。

12 私は彼女のブドウとイチジクの
木々を荒らす。

彼女が「報酬としてもらったもの、
愛人たちがくれたもの」と言っ
た木々である。

私はそれらをただの林にして、野
生動物に食い荒らさせる。

13 私は、彼女がバアルの像に犠牲
を捧げた日々について責任を
問う。

その日々、彼女は指輪や装飾品

第2章

(7) 申 32:28
イザ 1:3

(4) ホセ 8:4

(7) イザ 17:11

(2) 詩 50:22
ホセ 5:14

(2) アモ 5:21
アモ 8:10

(2) 裁 3:7
王一 16:30-32
王二 10:28
ホセ 11:2

第2欄

(7) イザ 17:10

(4) 申 30:5
イザ 65:21
エレ 32:15
エゼ 28:25, 26
アモ 9:14

(2) ヨシ 7:24-26
イザ 65:10

(2) 出 15:1

(2) 出 23:13
ヨシ 23:6, 7

(2) ゼカ 13:2

(2) エゼ 34:25

(2) イザ 11:6-8

(2) イザ 2:4
エゼ 39:9
ゼカ 9:10

(2) レビ 26:5, 6
エレ 23:6
ミカ 4:3, 4

で身を飾って、愛人たちを追い
掛け、

私のことを忘れた』と、エホバは
宣言する。

14 『私は彼女を荒野に行かせるが、
彼女を説得する。
彼女の心に語り掛ける。

15 それ以後、私は彼女にブドウ園
を返し、
アコルの谷を希望の門として与

える。
彼女はそこで、若かった時と同じ

ように、

エジプトから出てきた日と同じよ
うに答える。

16 その日、あなたは私を夫と呼ぶ。
もう主人とは呼ばない』と、エホ
バは宣言する。

17 『私は彼女がバアルの像の名前
を口にすることがないように
する。

その名前は二度と思い出されな
くなく。

18 その日、私は民のために、
野生動物や鳥や地面を動く生き
物と契約を結ぶ。

この土地から弓と剣と戦いをな
くし、
彼らが安心して横になれるよう
にする。

2:15 *または、「谷あいの平原」。 2:16 *また
は、「バアル」。 2:18 *または、「暮らせる」。

19 私はあなたに永遠の結婚の約束
をする。

ただ 公正と揺るぎない愛と憐
れみによってあなたに約束
する。

20 私は誠実にあなたに約束する。
あなたは必ずエホバを知る。』

21 エホバは宣言する。
『その日、私は答える。
私は天に答え、天は地に答える。』

22 地は穀物と新しいぶどう酒と油
に答え、
それらの物はエズレルに答える。

23 私は私の民を種のように地上に
まく。

あわれめを示されていなかった人
たちに憐れみを示し、
私の民ではなかった人たちに、
「あなたは私の民である」と
言う。

かれ彼らは、「あなたは私の神です」
と言う。』

3 エホバは私に言った。「別の男
に愛され、姦淫をしているその女
を、もう一度愛さない。ほかの神々
に頼り、干しぶどうの菓子を好んでい
るイスラエルの民を、エホバは同じよ
うに愛する。』

2 そこで私は銀15枚と大麦330
リトルで彼女を買取った。3 そ

2:22 *意味、「神は種をまく」。2:23 *直訳、
「彼女」。*ホセ 1:6の脚注参照。^ホセ 1:9の
脚注参照。3:1 *偽りの崇拜に使われた。

第2章
(例)ミカ 7:18

(例)イザ 54:13
エレ 24:7
エレ 31:34

(例)申 28:12
ゼカ 8:12

(例)ホセ 1:11

(例)エレ 31:27

(例)ホセ 2:1
ロマ 9:25,26
ペー 2:10

(例)ホセ 1:10

第3章

(例)ホセ 1:2,3

(例)裁 10:13
エレ 3:20

(例)申 7:6-8
王二 13:23
詩 106:44,45

第2欄

(例)裁 8:27

(例)裁 17:5
サー 19:15,16

(例)王二 17:6
王二 18:9,10

(例)エレ 50:4

(例)エレ 30:9
エゼ 34:23,24
エゼ 37:24,25
アモ 9:11
ルカ 1:31-33

(例)申 4:30

第4章

(例)ミカ 6:2

(例)ミカ 7:2

(例)ホセ 11:12

(例)王一 21:18,19

(例)エゼ 23:37

(例)ホセ 1:4
ホセ 6:8,9

(例)アモ 8:7,8

(例)アモ 5:10,13

して彼女に言った。「長い間、あなたは私のものとなる。あなたは売春をし
てはならず、ほかの男と関係を持っ
てはならない。私もあなたと関係を持た
ない。』

4 これは、イスラエルの民が長い
間、王も高官も犠牲も柱もエフォドや
テラフィム像もなく住むことになるか
らである。5 その後、イスラエルの民
は戻ってきて、エホバ神に仕え、自分
たちの王ダビデを探し求める。最後の
日々、彼らは善いものを頂こうとして、
畏れを抱いてエホバのもとに来る。

4 イスラエルの民よ、エホバの言
葉を聞け。

エホバには、この土地の住民に
対する訴訟がある。

この土地には、真実も、揺るぎな
い愛も、神についての知識も
ないからだ。

2 偽りの誓い、うそ、殺人、
盗み、姦淫がはびこり、
流血行為が相次いでいる。

3 そのためこの土地は嘆き悲しみ、
住民は皆、衰える。

野生動物も鳥も、魚さえも死に絶
える。

4 「しかし、誰も言い争ったり戒め
たりしてはいけない。』

3:3 *または、「不道德な行いをして」、「ふしだら
な関係を持つて」。「または、「あなたに対して同
じようにする」。3:4 *用語集参照。「または、
「家の神」、「偶像」。3:5 *ダビデの子孫のこと。

あなたの民は、祭司と言い争う者たちのようだからだ。

- 5 あなたは真屋につまずき、
預言者もあなたと共につまずく。
まるで夜であるかのように。

私はあなたの母を沈黙させる。

- 6 私の民は私を知らないで、沈黙させられる。

あなたが私を知ろうとしなかった
ので、

私もあなたを退けて、祭司として
私に仕えさせることはもうし

ない。

あなたが神の律法を忘れた

ので、

私もあなたの子たちを忘れる。

- 7 祭司は増えれば増えるほど、私
に対してますます罪を犯した。

私は彼らの栄光を恥に変える。

- 8 彼らは私の民の罪に食い付き、
民の過ちをむさぼる。

- 9 民も祭司も同じようになる。

私は彼らの行いについて責任を
問う。

行動の報いを受けさせる。

- 10 彼らは食べても満たされない。

ふしだらな関係を持っても子孫
は増えない。

エホバを軽視したからである。

第4章

(例) 申 17:12

(例) エレ 2:8

(例) 王二 17:15,16

(例) エズ 9:6,7

(例) アモ 3:1,2

(例) レビ 26:26
ミカ 6:14

(例) ホセ 9:11,12

第2欄

(例) 格 20:1
格 23:31,33
イザ 28:7

(例) エレ 3:6

(例) 王二 17:10-12
エレ 2:20
エゼ 20:28

(例) エレ 4:22

- 11 ふしだらな関係とぶどう酒と新しい
ぶどう酒は、

正しいことをしようという気持ち
を失わせる。

- 12 私の民は木像に尋ね、
つえが告げることを行う。

彼らはふしだらな欲望によって道
を踏み外し、

ふしだらな関係によって神に従
わなくなる。

- 13 彼らは山の頂で犠牲を捧げ、
丘で犠牲を焼いて煙にする。

巨木やエゴノキや大木の下でそ
うする。

木陰が心地よいからだ。

そのため、あなたたちの娘は売
春をし、

嫁は姦淫をする。

- 14 私は売春についてあなたたちの
娘に、

姦淫についてあなたたちの嫁に
責任を問うことはしない。

男たちが娼婦と一緒に出掛け、
神殿娼婦と一緒に犠牲を捧げて

いるからである。

分かっているそれらの民は破
滅する。

- 15 イスラエルよ、あなたは売春をし
ている。

4:11, 12 *または、「不道徳な行い」。 4:12
*または、「占い師のつえ」。 *または、「不道徳
な」。 4:13 *ブナ科の木と思われる。 *または、
「不道徳な行いをし」、「ふしだらな関係を持ち」。

4:5 *または、「滅ぼす」。 4:6 *または、「滅ぼ
される」。 *または、「指示」。 4:7 *もしかする
と、「彼らは私の栄光を恥と引き換えた」。 4:10
*または、「不道徳な行いをして」。

(例) エゼ 23:4,5

だが、ユダは罪を犯すな。

あなたはギルガルやベト・ア
ベンに行つてはいけない。

『生きている神エホバに懸けて』
と言って誓つてはいけない。

16 頑固な雌牛のように、イスラエル
は頑固になった。

エホバは今、広い牧草地で若い
雄羊を世話するように、彼らを
世話するだろうか。

17 エフライムは偶像と組んでいる。
放つておけ!

18 麦酒が底を突くと、
彼らはふしだらな関係を持つ。
支配者たちは恥ずべきことに溺
れる。

19 風の翼に巻き込まれ、
彼らは捧げた犠牲を恥じること
になる」。

5 「祭司たちよ、聞け。
イスラエル国民よ、注意を払え。

王家よ、耳を傾けよ。

あなたたちは裁かれる。

あなたたちはミツパのわな、
タボルに広げられた網だからで
ある。

2 離れ落ちていく者たちは、ほふる
ことにはまり込んだ。

4:18 *または、「小麦酒」。^{*}または、「不道徳な行いをする」。4:19 *または、「吹き飛ばされ」。5:2 *または、「反逆者」。^{*}または、「殺す」。^{*}または、「没頭した」。

第4章

(例) 王二 17:18

(例) ホセ 9:15
ホセ 12:11
アモ 4:4

(例) ホセ 5:8
ホセ 10:5

(例) イザ 48:1
エレ 5:2
エゼ 20:39

(例) 詩 78:8
詩 81:11,12
ゼカ 7:11,12

(例) ホセ 11:2
ホセ 13:1,2

(例) ミカ 7:3

第5章

(例) ホセ 4:9

(例) 裁 4:6
エレ 46:18

第2欄

(例) エゼ 23:4,5
ホセ 4:17,18

(例) ホセ 4:12
アモ 2:7

(例) イザ 9:9,10
ホセ 7:10

(例) 王二 17:19,20
エゼ 23:30,31
アモ 2:4,5

(例) イザ 1:15
ミカ 3:4

(例) イザ 48:8
エレ 3:20

(例) ホセ 8:1

(例) イザ 10:29

(例) ホセ 4:15
ホセ 10:5

(例) イザ 28:1-3
ホセ 9:13

わたしかれすべけいこく*
私は彼ら全てに警告する。

3 私はエフライムを知っている。
イスラエルは私の目から隠され
てはいない。

エフライムよ、あなたはふしだら
な関係を持った。

イスラエルは自分を汚した。

4 彼らは行いのゆえに神のもとに
戻れない。

彼らのなかに^{*}まよくぼう
彼らの中にふしだらな欲望があ
るからだ。

彼らはエホバを認めない。

5 イスラエルの誇りが罪の証拠だ。
イスラエルとエフライムは過ちを
犯したため、倒れた。
ユダも彼らと共に倒れた。

6 羊や牛を連れ、彼らはエホバを
探し求めに行った。

だが、見つけれなかった。
神は彼らから離れたのである。

7 彼らはエホバを裏切った。
外国人の子を持つようになった。

1カ月のうちに、彼らは自分の分
と一緒に滅ぼされる。

8 ギベアで角笛を、ラマでラッパを
吹き鳴らせ!

ベト・アベンでときの声を上げよ!

ベニヤミンよ、軍隊を率いよ。

9 処罰の日、エフライムは恐怖の
光景となる。

5:2 *または、「を矯正する」。5:3 *または、「不道徳な行いをした」。5:4 *または、「不道徳な」。5:7 *または、「煙」。

イスラエルの部族の中で、必ず
起きる事柄を私は知らせた。

- 10 ユダの高官たちは境界線をずらす者のようだ。

私は激怒を水のように彼らに浴びせる。

- 11 エフライムは圧迫され、裁きで打ち砕かれる。

自分の敵に従うことにしたからである。

- 12 私はエフライムにとって蛾のよう
うで、
ユダにとって腐れのようなものだ。

- 13 エフライムが自分の病気を、ユダ
が自分の潰瘍を見た時、

エフライムはアッシリアに行き、
大王のもとに使者を送った。

だが、大王はあなたたちを癒や
せなかった。

あなたたちの潰瘍を治せな
かった。

- 14 私はエフライムに対して若いライ
オンのように、
ユダに対して強いライオンのよう
になる。

私は彼らを引き裂き、運び去る。
救い出す者はいない。

- 15 私は自分の場所に戻る。
彼らが罪の報いを受けるまで。
彼らは私の好意を求める。
苦しむ中、私の助けを求める」。

第5章

[7] 申 19:14

[4] 王 20:1

[7] ホセ 8:9

ホセ 12:1

[2] 詩 50:22

[7] アモ 2:14

[7] レビ 26:38, 40

[4] 申 4:29, 30
申 30:10

第2欄

第6章

[7] ホセ 5:14

[4] イザ 58:1
エレ 1:9, 10
エゼ 3:8, 9

[7] エレ 23:29

[2] ゼバ 3:5

- 6 「さあ、エホバのもとに戻る。
神は私たちを引き裂いたが、癒

やしてください。

私たちを打ったが、傷を包んでく
ださい。

- 2 神は2日後に私たちを生き返

らせ、

3 日目に起き上がらせてくださり、
私たちは神の前で生きる。

- 3 私たちはエホバを知る。

知ろうと真剣に努力する。
朝日のように、神は必ず出てこら

れる。

降り注ぐ雨のように、
大地を潤す春の雨のように、私

たちの所に来られる」。

- 4 「エフライムよ、私はあなたをどう
したらよいのか。

ユダよ、あなたをどうしたらよい
のか。

あなたたちが抱いていると言う
揺るぎない愛は、

朝の雲やすぐに消える露のよ
うだ。

- 5 だから私は預言者たちによって
あなたを切り倒す。

私の口の言葉であなたを殺す。
あなたへの判決は光のように放

たれる。

- 6 私が喜ぶのは犠牲ではなく、揺
るぎない愛である。

6:6 * または、「憐れみ」。

5:15 * 直訳、「顔」。

ぜんしやう ささ もの かみ し
全焼の捧げ物ではなく、神を知

ることである。

7 しかし彼らは、ただの人のように
けいやく やぶ (イ)
契約を破った。

わたし うら ぎ
私をそこで裏切った。

8 ギレアデは悪を行う者たちの町。
あく おこな もの まち(イ)
血の足跡が覆われている。

9 祭司の一群は待ち伏せする略奪
さい し いちだん ま ぶ りやくだつ
隊のようだ。

(イ) ろじよう ひと ごろ
シェケムの路上で人を殺す。

かれ は おこな
彼らは恥ずべきことを行う。

10 私はイスラエルでおぞましいこと
わたし
を見た。

ばいしゆん (イ)
エフライムはそこで売春をする。

じ ぶん けが (イ)
イスラエルは自分を汚した。

11 そして、ユダよ、あなたのために
しゅうかく とき さだ
収穫の時が定められている。
とき わたし わたし たみ と
その時、私は、私の民の捕らわ
ひと あつ もと (イ)
れている人たちを集めて戻す。

7 「私がイスラエルを癒やす時、
わたし
エフライムの過ちとサマリアの
あやま(イ)
悪は暴かれる。

かれ あざむ(イ) お い めす そと
彼らは欺き、押し入って盗み、外
りやくだつ はたら(イ)
では略奪を働く。

2 私が彼らの悪全てを覚えていて
わたし かれ あくすべ おぼ
ということを、彼らは考えもし
かれ かんが
ない。

いま かれ じ ぶん おこな と かこ
今、彼らは自分の行いに取り囲
まれている。

かれ わたし かお ま まえ
彼らは私の顔の真ん前にいる。

3 彼らは悪によって王を、
かれ あく おう
欺きによって高官たちを喜ば
あざむ こうかん よろこ
せる。

第6章

(イ) サー 15:22
格 21:3
イザ 1:11
ミカ 6:6-8
マタ 9:13
マタ 12:7

(イ) 王二 17:15
イザ 24:5
ホセ 8:1

(イ) ホセ 12:11

(イ) ミカ 7:2

(イ) 王一 12:25

(イ) 王二 17:6,7
エレ 3:6

(イ) エゼ 23:4,5

(イ) 申 30:3
エレ 29:14
アモ 9:14

第7章

(イ) イザ 28:1

(イ) アモ 8:14
ミカ 1:5

(イ) ミカ 7:3

(イ) ホセ 6:9

(イ) 申 32:29
イザ 1:3
アモ 8:7

第2欄

(イ) イザ 5:11
イザ 28:1

(イ) 王二 15:8,10
王二 15:14

(イ) イザ 9:13

(イ) 詩 106:34-36
エゼ 23:4,5

(イ) 王二 13:3
王二 15:19

(イ) ホセ 5:5

4 彼らは皆、姦淫をする。
かれ みな かんいん

パン職人が火を付けたかまどの
しよくにん ひ つ
ようだ。

き じ ふく ま あいだ
生地をこねて膨らむのを待つ間、
た も
かき立てなくてよいほど、燃え
つづ
続ける。

5 王の日に、高官たちはぐったり
おう ひ こうかん
した。

かれ しゆ げき ど
彼らはぶどう酒のせいで激怒
する。

おう ひと て さし
王はあざける人たちに手を差し
の
伸べた。

6 彼らはかまどのように燃える心で
かれ も こころ
近づく。
ちか *
しよくにん ひとばんじゅうぬむ
パン職人は一晩中眠る。

あさ ひ も
朝になると、かまどの火は燃え
さか
盛る。

7 彼らは皆、かまどのように熱い。
かれ みな あつ
自分の支配者たちを食い尽くす。
じ ぶん しはいしゃ く つ
かれ おう みなたお (イ)
彼らの王たちは皆倒れた。
かれ だれ わたし よ か (イ)
彼らの誰も私に呼び掛けない。

8 エフライムは国々と交わり合っ
くにくに ま あ
ている。

かためん や
エフライムは片面しか焼かれて
まる か し
いない丸い菓子のような。

9 よそ者たちに力を奪われたのに、
もの ちから うば (イ)
それに気付かない。

かみ しろ き
髪が白くなったのに、それに気
づ
付かない。

10 イスラエルの誇りが罪の証拠だ。

7:6 *もしかすると、「悪巧みをして近づく彼らの心はかまどのようだ」。

それにもかかわらず、^{かれ}彼らはエホバ^{かみ}神のもとに戻ることも、^{もど}
^{かみ}神を探し求めることもなかった。

- 11 エフライムは、^{ふんべつ}分別がない単純^{たんじゆん}なハトのようだ。

エジプトに助けを求めたり、アッシリア^いに行ったりした。

- 12 彼らがどこに行こうと、私は^{かれ}彼ら^{わたし}の上に網を広げる。

彼らを空の鳥のように落とす。

- 13 彼らには災いがある！ 私から逃

げたからだ。

彼らには破滅がある！ 私に對して違反を犯したからだ。

私は救おうとしたのに、^{わたし}彼らは私^{かれ}について偽りを語った。

- 14 彼らは寢床で泣き叫びながらも、^{かれ}心から私^{わたし}を呼んで助けを求める

ことはなかった。

穀物と新しいぶどう酒のために^{こくもつ}身を傷つけ、私に背く。

- 15 私が訓練して、^{わたし}彼らの腕^{くんれん}を強くしたにもかかわらず、

彼らは私に逆らい、悪事をたくらむ。

- 16 彼らは進路を変えたが、^{かれ}高い^{しんろ}ものに向かつてはいない。

彼らはたるんだ弓のように信賴^{ゆみ}できなかった。

第7章

(ア) ネヘ 9:35
イザ 9:13
アモ 4:6
ゼカ 1:4

(イ) イザ 1:3

(ウ) 王二 17:4
イザ 31:1

(エ) 王二 15:19
エゼ 23:4,5

(オ) 申 28:15
王二 17:13

(カ) イザ 59:13

(キ) 詩 78:37
イザ 29:13

(ク) 詩 78:57

第2欄

(ア) エゼ 36:19,20
ホセ 9:3

第8章

(イ) ホセ 5:8

(ウ) 申 28:49,50

(エ) ホセ 6:7

(オ) 王二 17:15

(カ) イザ 48:1
ミカ 3:11

(キ) 詩 50:17

(ク) 王一 12:26,28
ホセ 13:2

(ウ) 王一 13:34

(エ) ホセ 10:5,6

(オ) 申 32:21,22
王二 17:18

彼らの^{かれ}高官^{こうかん}たちは、反抗^{はんかうてき}的な言^{こと}葉^はを放つため、剣^{つるぎ}によって倒^{たお}れる。

そうしてエジプトであざけりの的^{まと}になる。

8 「角笛を口に当てよ！

エホバの家にワシのように向^むかってくる敵がいる。

彼らが私の契約^{けいやく}を破り、私の律^{りつ}法^{ぽう}に違反^{いはん}したからだ。

- 2 彼らは私に、『私の神^{かみ}よ、私たち^{わたし}イスラエルはあなたを知^しっています！』と叫ぶ。

- 3 イスラエルは善いことを退けた。^よ敵に追跡^{しりぞ}されるがいい。

- 4 彼らは王を任命したが、それは私^{わたし}によるものではなかった。^{こうかん}高官^{こうかん}を任命したが、私の承認^{しやうにん}を

得てはいなかった。

銀^{ぎん}や金^{きん}で偶像^{ぐうざう}を作り、身^みの破滅^{はめつ}を招いた。

- 5 サマリアよ、あなたの子牛^{こうし}は退け^{しりぞ}られた。

彼らに對して私の怒りが燃え上^もがった。

彼らはいつまで純潔^{じゅんけつ}になれないのか。

- 6 それはイスラエルから出た。^{しよくにん}職人^{しよくにん}が作ったもので、神^{かみ}ではない。

サマリアの子牛^{こうし}は粉々^{こなこな}に碎^{くだ}かれる。

8:5 * または、「清く」。

7:13 * 直訳、「買い戻そう」。 7:16 * 真の崇拜のこと。

- 7 彼らがまいてるのは風。
刈り取るのは暴風。
穂を付ける麦は一つもなく、麦粉
はできない。
たとえできたとしても、外国人が
食い尽くす。
- 8 イスラエルは食い尽くされる。
彼らは国々の中で、好ましくない
器ようになる。
- 9 孤立した野口バのようにアッシリ
アに行ったからだ。
エフライムは愛人を雇った。
- 10 彼らが国々で愛人を雇っても、私
はかき集める。
彼らは、王や高官から課せられ
た重荷のせいで苦しみます。
- 11 エフライムは祭壇を増やして罪を
犯した。
それらは罪を犯すための祭壇に
なった。
- 12 私は、私の律法の多くのことを書
いて与えた。
しかしそれらは関係のないもの
と見なされた。
- 13 彼らは私に犠牲の供え物をし、
その肉を食べるが、
私エホバはそれを喜ばない。
神は彼らの過ちを覚えていて、罪
の罰を与える。
彼らはエジプトのもとに戻った。

8:7 *または、「よそ者」。8:12 *または、「指
示」。8:13 *もしかすると、「戻る」。

第8章

- [7] 格 22:8
[1] イザ 17:11
[2] 申 28:15, 33
[3] 王二 15:29
王二 18:11
エレ 50:17
[4] レビ 26:33
[5] 王二 15:19
エゼ 23:4, 5
ホセ 5:13
ホセ 12:1
[6] エゼ 23:9
[7] 王二 14:26
代一 5:26
[8] イザ 10:10, 11
[9] ホセ 12:11
[10] 王二 17:15
ネヘ 9:26
[11] イザ 1:11
アモ 5:22
[12] ホセ 9:9
アモ 8:7
[13] ホセ 7:16
ホセ 9:3

第2欄

- [7] 申 32:18
[1] 王一 12:25, 31
[2] 代二 26:9, 10
[3] 王二 18:13
代二 36:17, 19
エレ 17:27
エレ 34:7

第9章

- [8] ホセ 10:5
[9] エゼ 23:4, 5
ホセ 4:12
[10] ホセ 2:12
ミカ 1:7
[11] ホセ 2:8, 9
アモ 5:11
[12] レビ 20:22
申 28:63, 64
ヨシ 23:15, 16
王一 9:6, 7
[13] 王二 17:6
[14] 民 15:5
民 28:14
ヨエ 1:13
[15] イザ 1:11

- 14 イスラエルは自分を造った神を
忘れ、幾つもの神殿を建てた。
ユダも防備された町を増やした。
私はその町々に火を放ち、
火は各町の塔を焼き尽くす。

- 9 「イスラエルよ、喜ぶな。
国々のように浮かれるな。
あなたは売春によって神から離
れた。
どの脱穀場でも売春の報酬を受
した。

- 2 脱穀場にもブドウ搾り場にも養っ
てもらえなくなる。
新しいぶどう酒からも見放さ
れる。

- 3 エホバの土地に住み続けること
はない。

エフライムはエジプトに戻り、
アッシリアで汚れたものを食べる
ことになる。

- 4 彼らはもうエホバにぶどう酒の
捧げ物を注ぐことをしない。
彼らの犠牲を神は喜ばない。
それは嘆きのパンのようだ。
それを食べる人は皆、自分を
汚す。

彼らのパンは自分だけのための
もの。
エホバの家に持ってこられること
はない。

9:1 *または、「不道德な行い」、「ふしだらな関
係」。

- 5 集合の日、エホバの祭りの日に、
あなたたちは何をするのか。
- 6 彼らは壊滅させられ、逃げざるを得ない。
エジプトが彼らを集め、メンフィスが彼らを葬る。
イラクサが彼らの銀の貴重な物を手に入れ、
いばらが彼らの天幕の中に生える。
- 7 処罰の時が来る。
報復の時が来る。
イスラエルは知るがいい。
預言者は愚か者になり、神からの言葉語る者は狂う。
あなたの過ちが大きい、あなたに対する敵意も大きい。
- 8 エフライムの見張りは私の神と共にいた。
しかし預言者の全ての道は鳥を捕る者のわなのようだ。
神の家には敵意がある。
- 9 彼らはギベアのように、破壊へとまり込んでいった。
神は彼らの過ちを覚えていて、罪を罰する。
- 10 「私は、荒野でブドウを見つけるかのように、イスラエルを見つけた。
早い時期になるイチジクの最初の実を見つけるかのように、

9:5 *または、「決められた祝祭」。

- 第9章
[7] ホセ 7:13
[4] ホセ 7:16
ホセ 8:13
[7] エレ 2:14, 16
[2] イザ 10:3
[7] イザ 21:6, 8
エレ 6:17
エゼ 33:7
[7] 王一 17:1
王二 2:14
[7] 王一 18:19
[7] 裁 19:22
裁 20:4-6
ホセ 10:9
[7] ホセ 8:13
[7] エレ 2:2
第2欄
[7] 民 25:1-3
申 4:3
詩 106:28
[4] 王一 16:31
エレ 11:13
[7] 申 28:15, 18
[2] 申 28:32
申 32:25
[7] 申 31:17
王二 17:18
[7] エゼ 28:12
[7] ホセ 4:15
ホセ 12:11
アモ 5:5
[7] レビ 26:27, 33
王二 17:18
アモ 5:27
[7] 申 29:19, 20

- あなたたちの父祖たちを見つけた。
しかし彼らはペオルのバアルのもとに行った。
恥ずべきものに身を捧げ、
自分が愛したもののように、極めて不快なものとなった。
- 11 エフライムの栄光は鳥のように飛び去った。
子を産むことも、妊娠することも、命を宿すこともない。
- 12 彼らが子を育てても、私が一人残らず奪う。
私が彼らから離れるとき、彼らには災いがある！
- 13 牧草地に置かれたエフライムは、私にとってティルスのようにだった。
エフライムは今、ほふる者に子を差し出さなければならない。
- 14 エホバよ、与えるべきものを彼らに与えてください。
流産する胎と、乳が出ない乳房を。
- 15 「彼らの全ての悪がギルガルにあった。
だから私はそこで彼らを憎むようになった。
悪い行いのゆえに、私は彼らと私の家から追い払う。
彼らをもう愛さない。

9:10 *または、「恥ずべき神」。 9:14 *または、「しほんだ」。

かれ こうかん みな がん こ
彼らの高官は皆、頑固だ。

16 エフライムは倒される。

根が干からび、実を付けない。
子を産むとしても、私はその貴重
な子孫を死に至らせる。

17 私の神は彼らを退ける。

彼らは神の言葉に耳を傾けな
かった。

国々をさまようことになる。

10 「イスラエルは、質の悪いブドウの木。

実を付け、実が多くなればなる
ほど、祭壇を増やす。
土地の実りが豊かになればなる
ほど、聖柱が立派になる。

2 彼らの心は偽善的だ。

彼ら是有罪とされる。
神は彼らの祭壇を壊し、柱を
砕く。

3 彼らは言う。『われわれに王はいない。』

われわれがエホバを畏れなかつたからだ。
だが、王がいたとしても、いったい何をしてくれるのか。』

4 彼らは口先だけの言葉を発し、偽りの誓いをし、契約を結ぶ。裁きは、畑の畝に生え出る毒草のようだ。

5 ベト・アベンの子牛の偶像のため

10:1 *もしかすると、「伸び放題の」。

*用語集参照。10:2 直訳、「滑りやすい」、「滑らかだ」。

第9章

(ア) イザ 7:8

(イ) 王二 17:14, 15
ゼカ 1:4

(ウ) 申 28:64
アモ 9:9

第10章

(エ) イザ 5:3, 4

(オ) ホセ 8:11
ホセ 12:11

(カ) ホセ 8:4

(キ) ホセ 3:4
ホセ 13:11

(ク) 王二 17:4

(コ) アモ 5:7
アモ 6:12

第2欄

(ク) 王一 12:28, 29
ホセ 4:15
ホセ 8:5
アモ 3:14

(イ) 王二 17:3
ホセ 5:13

(ウ) ミカ 6:16

(エ) 王二 17:4

(オ) 王一 12:28-30
ミカ 1:5

(カ) ホセ 4:15

(キ) アモ 7:9

(ク) 王二 23:15

(コ) ルカ 23:30
啓 6:16

(コ) 裁 20:4-6
ホセ 9:9

に、サマリアの住民たちは恐れる。

民はその偶像について嘆き悲

しむ。

子牛の偶像とその栄光について
喜んでいた外国の神の祭司たちも嘆き悲しむ。

それは捕らえられて連れ去られるからである。

6 それは大王への贈り物としてアッシリアに持っていかれる。

エフライムは屈辱を味わい、
イスラエルは従った助言のゆえに恥をかく。

7 サマリアと王は必ず滅ぼされる。水に浮かぶ木切れのように。

8 イスラエルの罪、ベト・アベンの高い場所は一掃される。

いばらとアザミが祭壇の上に生い茂る。

民は山に向かって、『われわれを覆ってくれ!』と言い、

丘に向かって、『われわれにかぶさってくれ!』と言う。

9 イスラエルよ、ギベアの時からあなたは罪を犯してきた。

彼らは変わろうとしなかった。
戦いは、ギベアの不正の子たちを圧倒しなかった。

10 私は意のままに彼らを懲らしめる。

10:9 *または、「完全に滅ぼさ」。

かれ 彼らの2つの過ちが彼らにくくり
つけられる時、

かれ 彼らに対して国々が集められる。

11 エフライムは飼いなされた若い

雌牛で、喜んで脱殻していた。

私はそのきれいな首には何もし

ないでおいた。

今、私はエフライムに人を乗ら

せる。

ユダは耕し、ヤコブはその人の

ために畑をならす。

12 正しいことをまいて、揺るぎない

愛を刈り取れ。

自分たちのために耕作地を

耕せ。

まだエホバを探し求める時間が

あるうちに。

そうすれば、私が行って正しいこ

とを教えよう。

13 あなたたちは悪を耕し、不正を

刈り取った。

欺きの実を味わった。

自分のやり方を信じ、大勢の戦

士たちに頼ったからだ。

14 あなたの民に対してどよめきが

起きる。

あなたの防備された町々は全て

荒らされる。

シャルマンによってアルベルの家

が荒廃したように。

その戦闘の日、母親たちは子供

第10章

(例) 王ニ 17:6

(例) エレ 4:3,4

(例) イザ 55:6

アモ 5:4

(例) 申 32:2

イザ 45:8

(例) 格 22:8

ホセ 8:7

ガラ 6:7

(例) 王ニ 18:9,10

第2欄

(例) アモ 7:9

(例) 王ニ 18:9,10

第11章

(例) 申 7:8

(例) 出 4:22

マタ 2:14,15

(例) イザ 30:9-11

(例) 裁 2:13

裁 3:7

王ニ 16:30-32

王ニ 18:19

王ニ 17:13,16

ホセ 2:13

(例) 王ニ 12:32,33

ホセ 13:1,2

(例) 申 8:2

(例) 申 1:31

申 33:27

イザ 46:3

(例) イザ 63:9

(例) 王ニ 17:3

(例) 王ニ 17:13,14

アモ 4:6

と並んで打ち砕かれた。

15 ペテルよ、あなたたちの基だしい

悪のゆえに、あなたたちに対

してこうしたことが行われる。

夜明けにイスラエルの王は必ず

亡き者にされる」。

11 「私は、少年だった時のイス

ラエルを愛していた。

わが子をエジプトから呼び出

した。

2 彼らは呼ばれば呼ばれるほど、

離れていった。

バアルの像に犠牲を捧げ、

彫像に犠牲を捧げ続けた。

3 私はエフライムに歩き方を教え、

腕の中に抱いた。

だが、彼らは私に癒やされたこと

に気づきもしなかった。

4 親切の縄で、愛の綱で、私は彼

らを導き続けた。

彼らの首からくびきを外して

やり、

それぞれに優しく食べ物を与

えた。

5 彼らはエジプトに戻らず、アッシ

リアが彼らの王となる。

彼らが私のもとに戻ることを拒ん

だからだ。

6 彼らが悪事を企てたので、

11:2 *イスラエルを教えるよう遣わされた預言者などから呼ばれる、ということ。 11:4 *直訳、「人間の」。親が子供に歩き方を教える時に使うような、という意味だと思われる。 *直訳、「頸」。

△用語集参照。

10:10 *くびきを負うかのように処罰を受けるということ。 10:11 *または、「装具を付ける」。

つるぎ まちまち む ふ まわ (7)
剣が町々に向かって振り回され、

かんぬきが破壊され、彼らは食
い尽くされる。

7 私の民は私に対してひたすら不
忠実だ。

うえ* ほう よ だれひとり た
上の方に呼ばれても、誰一人立
ち上がらない。

8 エフライムよ、どうしてあなたを
見放せるだろうか。

イスラエルよ、どうしてあなたを
引き渡せるだろうか。

どうしてあなたをアダムのように
扱えるだろうか。

どうしてあなたをツェボイムの
ようにできるだろうか。

わたし こころ か どうじょう か
私の心は変わり、同情に駆ら
れた。

9 私は燃える怒りをぶつけはし
ない。

エフライムを再び滅ぼすことはし
ない。

わたし かみ にんげん
私は神であって人間ではない。

あなたたちのただ中にいる聖な
者である。

げき ど む
激怒してあなたたちに向かって
いくことはない。

10 彼らはエホバに従って歩む。
神はライオンのようにほえる。

ほえる時、西から子供たちが震
えながらやって来る。

11 彼らは小鳥のように震えながら

11:7 * 真の崇拝のこと。

第11章

(7) レビ 26:31

(7) イザ 31:1

(7) 詩 78:57, 58
エレ 3:6

(7) ホセ 6:4

(7) 創 10:19
申 29:22, 23

(7) 申 32:36
エレ 31:20

(7) エレ 30:11

(7) ヨエ 3:16

(7) ゼカ 8:7

第2欄

(7) イザ 11:11, 12
イザ 60:8, 9
ゼカ 10:10

(7) エレ 23:6
エゼ 28:25, 26
エゼ 37:21
アモ 9:14

(7) ミカ 6:12

(7) 王二 18:1, 6
代二 29:1, 2
ホセ 4:15

第12章

(7) 王二 15:19
ホセ 8:9

(7) 王二 17:4

(7) 王二 17:19
エレ 2:35
ホセ 4:1
ミカ 6:2

(7) イザ 31:11

(7) 創 25:26

(7) 創 32:28

(7) 創 32:24-26

(7) 創 28:13, 19

(7) 創 28:16
創 32:30

(7) 出 3:15

(7) イザ 31:6

ホセ 14:1
ヨエ 2:12, 13

エジプトから出てくる。

ハトのように震えながらアッシリ
アから出てくる。

わたし かれ いえ す
私は彼らを家に住まわせる」と、
エホバは宣言する。

12 「エフライムはうそで私を囲み、
欺きでイスラエルを囲んだ。

だがユダはまだ神と共に歩き
回り、

もつと せい もの ちゅうじつ (7)
最も聖なる者に忠実である。

12 「エフライムは風にすがって
いる。

いちにち ゆう ひがしかぜ お か
一日中、東風を追い掛けている。

ぼうりよく かさ
うそと暴力を重ねる。

けいやく むす (7)
アッシリアと契約を結び、エジプ
トに油を持っていく。

2 エホバには、ユダに対する訴訟
がある。

あゆ かた せきにな
ヤコブの歩み方について責任を
と問う。

おこな おう へんぼう (7)
ヤコブの行いに応じて返報する。

3 彼は胎内で兄のかかとをつか
んだ。

ちからづよ かみ たたか (7)
力強く神と闘った。

4 天使と闘い続け、優位に立った。
泣いて、恵みを求めた。

かみ かれ み
神はベテルで彼を見つて、そこで
私たちに語った。

5 大軍を率いる神エホバ、
エホバという名で、神は記憶さ
れる。

かみ もと (7)
6 「神のもとに戻れ。

揺るぎない愛と公正を守れ。

希望を抱いていつも神を待て。

7 貿易商はごまかしのはかりを手

にし、
だまし取ることを楽しむ。

8 エフライムは言い続ける。

『私は金持ちになった。富を築

いた。
私の苦労の中に悪や罪を見つけ
る者はいない』と。

9 私は、エジプトの時からあなたの神エホバである。

決められた時の日々のように、
私はあなたを再び天幕に住まわ

せる。

10 私は預言者たちに話し、

多くの幻を見せ、
預言者たちを通して例え話を
語った。

11 ギレアデに欺きと偽りがある。

民はギルガルで雄牛を捧げて
きた。
彼らの祭壇は畑の畝に積まれた
石のよう。

12 ヤコブはアラムの領土に逃げた。

イスラエルはそこで妻を得るため
に仕えた。

妻を得るために羊の番をした。

13 エホバは預言者によってイスラ

12:7 *または、「商人」。12:9 *もしかすると、「祭り」。12:11 *または、「怪異なこと」、「神秘的なこと」。12:12 *または、「シリア」。

第12章

(例) 申 16:20
ミカ 6:8

(例) アモ 8:5,6
ミカ 2:1,2

(例) 啓 3:17

(例) 申 8:17-19

(例) 出 20:2
ホセ 13:4

(例) 王一 17:1
王二 17:13
アモ 7:14,15

(例) ホセ 6:8

(例) ホセ 9:15
アモ 4:4

(例) 王二 17:9,10
ホセ 8:11
ホセ 10:1

(例) 創 28:5
申 26:5

(例) 創 32:28

(例) 創 29:18

(例) 創 31:38

第2欄

(例) 出 12:50,51
詩 77:20

(例) ヨシ 24:17
サー 12:8

(例) 王二 17:9-11
エゼ 23:4,5

(例) 申 28:37

第13章

(例) ヨシ 17:17

(例) 王二 17:16
ホセ 11:2

(例) ホセ 2:8

(例) 王一 12:26,28
王一 19:18

(例) 出 20:2

ホセ 12:9

(例) イザ 43:11

イザ 45:21,22

エルをエジプトから連れ出

した。

イスラエルは預言者によって守ら
れた。

14 エフライムは神をひどく怒らせて きた。

流血の罪を負っている。

主は、受けた侮辱のことでエフラ
イムに返報する。

13 「エフライムが語ると、人々 は震えた。

彼はイスラエルで際立つ存在

だった。

しかしバアルのことで罪を犯し、
死んだ。

2 今、彼らは罪を重ね、金属像を 銀で作る。

彼らは偶像を器用に作る。

どれも職人の仕事である。

彼らは、『犠牲を捧げる人は子牛
に口づけせよ』と言う。

3 彼らは朝の雲のようになる。

すぐに消える露、
脱穀場から吹き飛ばされるも

み殻、

屋根の穴から出る煙のように
なる。

4 私は、エジプトの時からあなた の神エホバである。

あなたが知っていた神は私だけ
だった。

私のほかに救い主はいない。

13:2 *または、「铸造された像」。

- 5 荒野で、水のない土地で、
私はあなたを世話した。
6 彼らは牧草地で草をはみ、満ち足りた。
満ち足りると高慢になり、私を忘れた。
7 私は彼らに対して若いライオンのようになる。
道端で待ち伏せするヒョウのようになる。
8 子を奪われた熊のように彼らを襲って胸を引き裂く。
ライオンのように彼らを食らう。
野獣が彼らを引き裂く。
9 イスラエルよ、あなたは滅ぼされる。
あなたを助ける者である私に逆らったからだ。
10 どの町でも救ってくれるはずの、
あなたの王はどこにいるのか。
あなたを治める者たちはどこにいるのか。
あなたは『王と高官たちを与えてほしい』と言った。
11 私は怒りを抱いて王を与えた。
私は憤りを抱いて王を取り去る。
12 エフライムの過ちはくるまれ、
罪は保管されている。
13 産みの苦しみ襲う。
彼は愚かな子で、生まれる時になっても出てこない。

13:12 *または、「保存され」。

第13章

(例) 申 2:7
申 32:9,10

(例) ネヘ 9:25

(例) 申 6:10-12
申 8:12-14
申 32:15,18
イザ 17:10

(例) ホセ 5:14

(例) サー 8:19,20

(例) サー 8:4,5

(例) サー 8:7
サー 12:13

(例) サー 12:25
王二 17:4
エレ 52:11

第2欄

(例) イザ 25:8
イザ 26:19

(例) コー 15:55

(例) 啓 20:13,14

(例) 王二 17:20

(例) 王二 17:18
アモ 3:9,10

(例) エゼ 20:21

(例) イザ 7:8

第14章

(例) 代二 30:6,7
イザ 55:6,7
ホセ 12:6
ヨエ 2:12,13

(例) ミカ 7:18

(例) ヘブ 13:15

- 14 私は墓から彼らを救い出す。
死から彼らを取り戻す。
死よ、さあ、とげで刺してみよ。
墓よ、さあ、破壊させてみよ。
私は同情を示さない。
15 たとえエフライムがアシの中で
生い茂っても、東風が吹き付け
ける。
エホバの風だ。
砂漠から吹き付け、井戸を枯れさせ、泉を干上がらせる。
あらゆる貴重な物の宝物庫が略奪に遭う。
16 サマリアは有罪とされる。
神に逆らってきたからだ。
彼らは剣によって倒れる。
子供は打ち砕かれ、妊婦は切り裂かれる。
14 「イスラエルよ、エホバ神のもとに戻れ。
あなたは過ちを犯したため、倒れた。
2 次の言葉と共に、エホバのもとに戻れ。
こう言うのだ。『どうか過ちを許してくださいように。
私たちがらの良いものを受け入れてください。
私たちは、若い雄牛を捧げるようにに賛美の言葉を捧げます。』

13:14 *または、「墓の力」。用語集参照。*直訳、「買い戻す」。14:2 *直訳、「唇の若い雄牛」。

- 3 アッシリアは救^{すく}ってくれません。^(ア)
 わたし^{わたし}はもう馬^{うま}に乗りません。^(イ)
 自分たちで作ったものに、「私^{わたし}たち^{じぶん}の神^{つく}よ!」とはもう言^いいません。
 あなたは、父親^{ちちおや}のいない子供^{こども}に
 憐れ^{あわ}みを示^{しめ}してくださるから
 です』。^(ロ)
- 4 私の癒^いやしによって、彼^{かれ}らは不^ふ忠^{ちゅう}
 実^{じつ}ではなくなる。^(ロ)
 わたし^{わたし}は彼^{かれ}らを喜^{よろこ}んで愛^{あい}する。^(例)
 わたし^{わたし}の怒^{いか}りは彼^{かれ}らから離^{はな}れたか
 らだ。^(例)
- 5 私はイスラエルのために露^{つゆ}のよ
 うになる。
 彼^{かれ}はユリのように咲^さき誇^{ほこ}り、
 レバノンの木^き々のように根^ねを下^お
 ろす。
 6 小枝^{こえだ}の伸^のばし、
 オリブの木^きのように立^{りっ}派^ぱに
 なる。

第14章

(ア) ホセ 5:13

(イ) イザ 31:1

(ロ) 申 10:17,18

(ロ) 詩 103:3
イザ 57:18

(例) ゼバ 3:17

(例) イザ 12:1

第2欄

(ア) ゼカ 8:12

(イ) ホセ 14:3

(例) エレ 31:18

(ロ) 申 32:4

香^かりはレバノンのよう。
 7 彼^{かれ}らは私^{わたし}の陰^{かげ}に再び住^すむ。
 穀^{こく}物を育^{そだ}て、ブドウの木^きのように
 花^{はな}を咲^さかせる。^(ア)
 わたし^{わたし}の名声^{めいせい}はレバノンのぶどう酒^{しゅ}
 のようになる。
 8 エフライムは、『私^{わたし}には偶^{ぐう}像^{ぞう}とこ
 れ以上^{いじょう}何^{なん}の関^{かん}わりがあるだろ
 うか』と言う。^(イ)
 わたし^{わたし}はこた^{こた}み^みまも^も。^(例)
 私は答^{こた}え、見^み守^{まも}る。
 わたし^{わたし}は生^おい^{しげ}茂^きったネズの木^きのよう
 になる。
 あなたは私^{わたし}から実^みを採^とる」。
 9 賢^{かしこ}い人^{ひと}はいるか。これら^りのこと^{こと}を
 理^り解^{かい}せよ。
 思^し慮^{りょ}深^{ふか}い人^{ひと}はいるか。これら^しに
 ついて悟^{さと}れ。
 エホバの道^{みち}は正^{ただ}しい。^(ロ)
 正^{ただ}しい人^{ひと}がそこを歩^{あゆ}み、
 違^い反^{はん}を犯^{おか}す人^{ひと}はそこでつまずく。

ヨエル書

概 要

- 1 虫の大災厄 (1-14)
 「エホバの日は近い」(15-20)
 ヨエルはエホバに呼び掛ける (19, 20)
- 2 エホバの日に大軍が送り込まれる (1-11)
 エホバのもとに戻るようにとの呼び掛け
 (12-17)
 心を引き裂く (13)
 民へのエホバの対応 (18-32)

- 「私は聖なる力をあらゆる人に注ぐ」(28)
 天と地での不思議なこと (30)
 エホバの名を呼ぶ人は救われる (32)
- 3 エホバはあらゆる国を裁く (1-17)
 エホシャファトの谷 (2, 12)
 判決の谷 (14)
 エホバはイスラエルのための要塞 (16)
 エホバは民を祝福する (18-21)

1 エホバがペトエルの子ヨエルを
通して語った言葉。

2 「長老たち、聞け。
この土地の住民たち、皆、耳を
傾けよ。

このようなことがあなたたちの時
代にあったか。

父祖たちの時代にはどうだっ
たか。

3 あなたたちの子たちに語れ。
その子たちは自分の子たちに
語れ。

その子たちは次の世代に語れ。

4 食らい付くバッタが残したもの
は、群がるバッタが食べた。

群がるバッタが残したものは、羽
のないバッタが食べた。

羽のないバッタが残したものは、
食い荒らすバッタが食べた。

5 酔っぱらいたち、目を覚まして泣
き悲しめ！

ぶどう酒に溺れる者たち、皆、泣
き叫べ。

あなたたちの口に入る甘いぶど
う酒はもうない。

6 強くて数の多い国民が、私の土
地に來たからだ。

歯はライオンの歯のようで、
顎はライオンの顎のようだ。

7 私のブドウの木を荒らし、私のイ
チジクの木を切り株にした。

第1章
ヨエ 2:2

イ出 10:14,15

ヨエ 2:25

イザ 28:1
アモ 6:6

申 28:39

ヨエ 2:2

啓 9:7,8

第2欄

レビ 2:1

イ出 29:40

レビ 26:20

申 28:39,40

レビ 26:20

出 30:19,20

レビ 2:1

出 29:40

丸裸にし、小枝の皮まで剥いで、
投げ捨てた。

8 花婿を失って粗布をまとう乙女
のように泣き叫べ。

9 エホバの家から穀物の捧げ物も
飲み物の捧げ物もなくなり、
祭司たち、エホバの奉仕者たち
は嘆く。

10 畑は荒れ果て、大地は嘆く。
穀物は荒らされ、新しいぶどう酒
は干上がり、油は底を突いた。

11 耕作人たちは小麦と大麦のこと
でぼうぜんとし、

ブドウの栽培人たちは泣き叫ぶ。
畑の収穫がなくなったからだ。

12 ブドウの木は枯れ、イチジクの木
もしおれた。

ザクロの木、ヤシの木、リンゴの
木、野原の全ての木が枯れた。
民の喜びは屈辱に変わった

のだ。

13 祭司たち、粗布をまとって嘆き悲
しめ。

祭壇の奉仕者たち、泣き叫べ。
神の奉仕者たち、中に入り、粗布
をまとって夜を過ごせ。

神の家に、穀物の捧げ物も飲み
物の捧げ物も集まらなくなっ

たからだ。

14 断食を呼び掛けよ。特別な集ま
りを招集せよ。

長老たちとこの土地の住民全て

1:1 *意味、「エホバは神」。1:2 *または、「地上」。

1:8 *または、「夫」。1:13 *または、「胸をた
たけ」。

ヨエ 2:15

をエホバ^{かみ いえ あつ}神の家に集め、

エホバ^{たす さけ もと}に助けを呼び求めよ。

15 災^{わざわ}いだ！ その日^ひが来る。

エホバ^{ひ ちか い}の日^ひは近い。

その日^ひは全能者^{ぜんのうしや}による破壊^{はかい}のよ
う^くに来る。

16 目^めの前^{まえ}から食^たべ物^{もの}が取り去^とられ、

神^{かみ いえ}の家^{やうこ}から喜^{たの}びも楽^どしさも取り

去^さられた。

17 シャベル^{した}の下^{たね*}で、種^{たね*}はしぼんだ。

倉^{そう こ}庫^あは荒^{こくもつぐら}らされ、穀^{こわ}物^さ倉^さは壊^{こわ}さ
れた。

穀^{こくもつ}物^つが尽^{つく}きたから。

18 家^か畜^{ちく}までがうめく。

牛^{うし}の群^むれはさまよう。牧^{ぼく}草^{そう}がな

いからだ。

羊^{ひつじ}の群^むれも苦^{くる}しむ。

19 エホバ^{わたし}、私^{わたし}はあなたに呼^よび掛^かけ

ます。

火^ひが荒^{こう}野^やの牧^{ぼく}草^{そう}を焼^やき尽^{つく}くし、

炎^{ほのお}が野^の原^{はら}の全^{すべ}ての木^きをなめ尽^{つく}く

したからです。

20 野^{やじゆう}獣^{じゆう}までがあなたに助^{たす}けを求^{もと}め

ます。

川^{かわ}が枯^かれ、火^ひが荒^{こう}野^やの牧^{ぼく}草^{そう}を焼^や

き尽^{つく}くしたからです。

2 「シオンで角^つ笛^{ぶえ}を吹^ふき鳴^ならせ！

私^{わたし}の聖^{せい}なる山^{やま}でとき^{とき}の声^{こえ}を上^あ

げよ。

この土^と地^ちの住^{じゆう}民^{みん}は皆^{みな}、震^{ふる}え上^あ

がれ。

1:17 *もしかすると、「干^{かん}しいちじく」。2:1 *ま
たは、「地上」。

第1章

(例) 代二 20:3, 13

(例) ヨエ 2:1

ゼバ 1:7, 14

ゼバ 2:2

ペ二 3:10

啓 6:16, 17

(例) ミカ 7:7

ハバ 3:18

第2章

(例) エゼ 33:2, 3

アモ 3:6

第2欄

(例) ゼバ 1:14, 16

マラ 4:1

(例) アモ 5:18, 20

(例) ゼバ 1:15

(例) ヨエ 1:6

(例) ヨエ 1:19

(例) 創 2:8

(例) 啓 9:7

(例) 啓 9:9

(例) 格 30:27

エホバ^ひの日^くが来るからだ！ それ
は近^{ちか}い。

2 闇^{やみ}と暗^{くら}闇^{やみ}の日^ひ、雲^{ひり}と濃^{くも}い暗^こ闇^{くらやみ}

の日^ひ。

山^{やま}々^{やま}に広^{ひろ}がる明^あけ方^{がた}の光^{ひかり}のよう。

数^{かず}が多^{おほ}くて強^{つよ}い民^{たみ}が在^在る。

そのようなのは、これまでいた
ことがない。

これからも二^に度^どと出^でてこない。

ど^せの世^{だい}代^{とし}の年^{とし}にも。

3 その前^{まえ}を火^ひが焼^やき尽^{つく}くし、

その後^{うし}ろを炎^{ほのお}がなめ尽^{つく}くす。

その前^{まえ}にある土^と地^ちがエデ^{その}ンの園^{その}

のようでも、

後^{うし}ろでは荒^あれ果^はてた荒^{こう}野^やになる。

何^{なに}も逃^{のが}れられない。

4 その姿^{すがた}は馬^{うま}のよう。

軍^{ぐん}馬^ばのよう^{はし}に走^{はし}る。

5 山^{やま}々^{やま}のてっ^はぺんを跳^{まわ}ね回^{まわ}る。

兵^{へい}車^{しや}のよう^{おと}な音^{おと}、わらを燃^もやす火^ひ

のぱちぱちという音^{おと}を立てて。

戦^{せん}闘^{とう}隊^{たい}形^{けい}を組^くんだ強^{つよ}い民^{たみ}のよう。

6 人^{ひと}々^とは苦^{くる}しめられる。

皆^{みな}の顔^{かお}が青^{あお}ざめる。

7 戦^{せん}士^しのよう^{とつげき}に突^{とつ}撃^{げき}してくる。

兵^{へい}士^しのよう^{じようへき}に城^{じやう}壁^{へき}をよ^のび登^{のぼ}って

くる。

それぞれが自^じ分^{ぶん}の進^{しん}路^ろから離^{はな}れ

ず、道^{みち}からそれない。

8 押^おし合^あうこともなく、

それぞれが自^じ分^{ぶん}の進^{しん}路^ろを行^いく。

誰^{だれ}か^やが矢^やに撃^うたれて倒^{たお}れても、

誰^{だれ}も隊^{たい}列^{れつ}を乱^{みだ}さない。

9 町の中へ突き進み、城壁の上を
走る。
家々に上り、泥棒のように窓から
入り込む。

10 その時、地は震え、天は揺れる。
太陽と月は暗くなり、星も輝きを
失う。

11 エホバは自分の軍勢の前で声を
上げる。
その陣営には非常に多くの者が
いる。
自分の言葉を実行する神は強い。
エホバの日は非常に畏るべき大
いなる日。

いったい誰が耐えられるのだ
うか。

12 エホバは宣言する。
「今からでも、心を尽くして私の
もとに戻れ。

断食し、涙を流し、泣き叫んで。

13 衣服ではなく心を引き裂き、
あなたたちの神エホバのもとに
戻れ。

神は思いやりがあって、憐れみ
深く、

すぐに怒らず、揺るぎない愛に満
ちている。

神は災いについて考え直す。

14 いったい誰が言えるだろう。
神が怒りを静めて考え直すことは
ない、とか、

第2章

〔ヨ〕ヨエ 2:31
マタ 24:29
ルカ 21:25
啓 9:2

〔イ〕ヨエ 2:25

〔ヨ〕ヨエ 2:2

〔エ〕エレ 30:7
アモ 5:18
ゼバ 1:15

〔ヨ〕啓 6:16,17

〔ヨ〕エレ 4:1
ホセ 12:6
ホセ 14:1,2

〔サ〕サー 7:6
代二 20:3

〔ヨ〕サニ 1:11,12

〔ヨ〕王二 22:18,19
詩 51:17
イザ 57:15

〔ヨ〕イザ 48:9

〔ヨ〕出 34:6
民 14:18
ネヘ 9:17
詩 106:44,45
ミカ 7:18,19

〔ヨ〕代二 30:8,9
エレ 18:7,8
ゼバ 2:2,3

第2欄

〔ヨ〕ヨエ 1:14

〔イ〕出 19:10

〔ヨ〕申 31:12
代二 20:3,13

〔ヨ〕代二 8:12

〔ヨ〕申 32:26,27
詩 79:9,10
ミカ 7:10

〔ヨ〕申 32:36
イザ 60:10
哀 3:22
ホセ 11:8

わたしがエホバ神に穀物や飲み
物を捧げられるよう、神が祝
福を残しておくことはない、な
どと。

15 シオンで角笛を吹き鳴らせ！
断食を呼び掛けよ。特別な集ま
りを招集せよ。

16 民を集めよ。会衆を神聖にせよ。
老人たちを集合させよ。子供や
乳児たちを集めよ。
花婿は奥の部屋から、花嫁は寝
室から出よ。

17 祭司たち、エホバの奉仕者たち

ちは、
玄関と祭壇の間で泣き悲しんで
言え。

『エホバ、あなたの民を哀れに
思ってください。』

あなたの財産である人たちが
国々に支配されて、軽蔑的
になるようにはしないでくだ

さい。
人々が、「彼らの神はどこにいる

のか」などと言ってよいでしよ
うか。』

18 そうすれば、エホバは自分の土
地への熱い愛を表し、
自分の民を思いやる。

19 エホバは民に答える。
『私はあなたたちに穀物と新しい
ぶどう酒と油を送る。』

2:11 *もしかすると、「神の言葉を実行する者」。

2:13 *または、「慈しみ」。2:13, 14 *または、「悔やむ」。

2:14 *作物のこと。2:16 *用語集参照。*ま
たは、「長老」。2:18 *または、「土地のために
熱心になり」。

あなたは十分に満たされる。

私はもうあなたが国々の
中であざけられるようにはし
ない。

20 私は北から来る者たちをあなた

たちから遠ざけ、
乾いて荒れ果てた所に追いやる。

彼らの前衛を東の海に、後衛を
西の海に追い払う。

彼らからひどい臭いが立ち上り、
悪臭が立ち込める。

神は偉大なことを行うのである。』

21 大地よ、恐れるな。喜び、歓喜

せよ。

エホバは偉大なことを行うか

らだ。

22 野原の動物たちよ、恐れるな。

荒野の牧草地は緑になる。

木々は実を付ける。

イチジクの木もブドウの木も豊かに
実る。

23 シオンの子たち、エホバ神のこと

で喜び、歓喜せよ。

神は秋の雨を程よく降らせる。

あなたたちに豊かな雨を与える。

秋の雨と春の雨を、以前のよ

うに。

24 脱穀場は穀物でいっぱいになり、

搾り場は新しいぶどう酒と油であ

ふれる。

25 群がるバツタ、羽のないバツタ、

第2章

【イザ 62:8,9

アモ 9:13

マラ 3:10

【イゼ 34:29

エゼ 36:15

【イザ 34:2,3

【イザ 30:23

イザ 51:3

【イゼ 34:27

【アモ 9:14

ゼカ 8:12

【イザ 12:6

ゼカ 10:7

【レビ 26:4

申 11:14

【レビ 26:10

アモ 9:13

マラ 3:10

第2欄

【ヨエ 1:4

【レビ 26:5

【申 26:10,11

【ゼバ 3:11

【詩 46:5

【レビ 26:11,12

エゼ 37:26,27

【イザ 32:15

イザ 44:3

エゼ 39:29

【使徒 2:16-18

【使徒 2:19,20

【マタ 24:29

マル 13:24,25

ルカ 21:25

啓 6:12

【ゼバ 1:14,15

マラ 4:5

【使徒 2:21

ロマ 10:13

食い荒らすバツタ、食らい付く

バツタ、

あなたたちの所に私が送り込ん

だ大軍がいくつ尽くした年月を、

私は埋め合わせる。

26 あなたたちは必ず満足するまで

食べ、

エホバ神の名を賛美する。

あなたたちのために神は奇跡を

行ったから。

私の民は二度と恥をかかない。

27 あなたたちは知る。

私がイスラエルの中にいること、

私があなたたちの神エホバであ

り、ほかにはいないことを。

私の民は二度と恥をかかない。

28 その後、私は聖なる力をあらゆ

る人に注ぐ。

あなたたちの息子や娘は預

言し、

老人は夢を見、若者は幻を見る。

29 その時、私は聖なる力を私の男

奴隷と女奴隷にも注ぐ。

30 私は天と地で不思議なことを見

せる。

血と火、煙の柱である。

31 太陽は闇に、月は血に変わる。

エホバの偉いなる畏るべき日が

来る前に。

32 エホバの名を呼ぶ人は皆救わ

れる。

2:20 *死海のこと。 #地中海のこと。

2:28 *用語集参照。 2:30 *または、「予告」。

エホバが言った通り、逃れた人
たちがシオンの山とエルサレ
ムにいたことになる。

エホバが呼び寄せる、生き残る
人たちである」。

3 「私がユダとエルサレムの捕ら
われている民を連れ戻すその
日、その時、

2 私はあらゆる国の民を集め、
エホシャファトの谷に連れていく。
私はそこで彼らを裁く。
私の民、私の財産であるイスラ

エルのために。

彼らはイスラエルを国々に散

らし、
私の土地を自分たちで分け
合った。

3 彼らは私の民のことでくじを引く。
娼婦を買うために少年を引き
渡し、
ぶどう酒を飲むために少女を
売る。

4 ティルスとシドン、フィリスティア
の全域よ、

いったい何だというのか。

何かのことで私に報復している

のか。

報復しているというなら、
私はすぐ、速やかに、その報復が
あなたの方の身に降り掛かるよ
うにする。

3:2 *意味、「エホバは裁く方」。**3:2,12** *または、「谷あいの平原」。

第2章

(ア) オバ17

第3章

(イ) 申30:3
エレ30:3
エゼ39:28
アモ9:14
ゼバ3:20

(ウ) エゼ38:22
ヨエ3:12
ゼバ3:8
ゼカ14:3
啓16:14,16

(エ) エゼ35:10,11
ゼバ2:8,9

(オ) オバ11

(カ) イザ23:12
エレ47:4
エゼ25:15-17
アモ1:9,10
ゼカ9:1,2

第2欄

(イ) 代二21:16,17

(イ) 申28:32
エゼ27:8,13

(イ) イザ11:11,12
イザ43:5,6
イザ49:12
エレ23:7,8
エゼ34:12

(エ) オバ19,20

(イ) イザ34:1,2

(ウ) エゼ38:7

(イ) エゼ38:9
ゼバ3:8
啓16:14

5 あなた方は私の銀と金を取り、
私の最上の宝を自分たちの神殿
に持っていった。

6 ユダとエルサレムの人々をぎり
シャ人に売り渡し、
祖国から遠くに引き離れた。

7 私は、あなたが売り渡した場
所から戻ってくるよう彼らを奮
い立たせ、

あなたの方の報復があなたの方の身
に降り掛かるようにする。

8 私はあなたの方の息子や娘たちを
ユダの人々に売り渡す。

彼らは、その息子や娘たちをシェ
バの人たち、遠くの国民に売
り渡す。

エホバ自身がそう語ったので

ある。

9 国々にこう知らせよ。
『戦いの準備をせよ! 戦士たち
を奮い立たせよ!
全兵士が進軍し、攻撃せよ!』

10 あなた方のすきを剣に、鎌をやり
に作り替えよ。

弱い者は、「私は強い」と言え。

11 周りの全ての国よ、加勢に來い。
集まれ!』

エホバ、あなたの強い者たちを
そこに送り込んでください。

12 「国々は奮い立ち、エホシャファ
トの谷に来るがよい。

3:11 *または、「戦士」。

わたし まわ すべ くに さば
私は周りの全ての国を裁くため
にそこに座る。

- 13 鎌を入れよ。作物が実ったか
らだ。

きて みて しば ば
来て、踏みつぶせ。ブドウ搾り場
がいっぱいだからだ。

おお おお 悪く はび
大おけはあふれる。悪がはび
こっているからだ。

- 14 群衆、群衆が判決の谷にいる。
判決の谷にエホバの日が間もな
く来る。

- 15 太陽と月は暗くなり、
星も輝きを失う。

- 16 エホバはシオンからほえ、
エルサレムから声を上げる。
天と地は揺れる。

しかしエホバは民のための避
難所、

イスラエルの民のための要塞と
なる。

- 17 あなたたちは、私があなたたち
の神エホバであり、聖なる

3:14 *または、「谷あいの平原」。

第2章
(7) 詩 76:8,9
ヨエ 3:2

(1) イザ 63:3
啓 14:18-20

(7) イザ 34:2
ゼバ 1:14

(11) 詩 50:15

第2欄
(7) ゼカ 8:3

(1) イザ 4:3

(7) イザ 60:18
ナホ 1:15
ゼカ 14:21

(11) アモ 9:13
ゼカ 9:17

(11) エゼ 47:1
啓 22:1

(7) イザ 19:1

(11) エレ 49:17

(7) エゼ 25:12,13

(7) アモ 1:11
オバ 10

(11) 詩 48:8
イザ 33:20
イザ 60:15
アモ 9:15

(11) イザ 4:4
エゼ 36:25
ミカ 7:18,19

(11) イザ 24:23
ミカ 4:7

やま す
山シオンに住んでいることを
知る。

エルサレムは聖なる場所となる。
よそ者たちはもうそこを通らない。

- 18 その日、山に甘いぶどう酒が
滴り、

丘に乳が流れ、
ユダの川はどこも水が流れる。
エホバの家から泉が湧き出て、
アカシアの木の谷を潤す。

- 19 エジプトは荒れ果て、
エドムは荒野となる。
ユダの民への暴力のゆえに。
彼らはユダの土地で無実の人の
血を流した。

- 20 しかし、ユダには常に、
エルサレムには代々ずっと、人が
住む。

- 21 私はかつて彼らを無実だとは
見なさなかったが、無実と見
なす。

エホバはシオンに住む。

3:17 *または、「外国人」。 3:18 *または、「ワ
ジ」。 3:21 *または、「に流血の罪はない」。

アモス書

概 要

- 1 アモスはエホバから言葉を受ける (1, 2)
度重なる反抗への処罰 (3-15)
シリア (3-5), フィリスティア (6-8), テイルス
(9, 10), エドム (11, 12), アンモン (13-15)

- 2 度重なる反抗への処罰 (1-16)
モアブ (1-3), ユダ (4, 5), イスラエル (6-16)
3 神の処罰について知らせる (1-8)
神は内密のことを啓示する (7)

サマリアに対する言葉 (9-15)

- 4 バシヤンの雌牛たちに対する言葉 (1-3)
エホバはイスラエルの偽りの崇拜に対し、冷
やかな言葉を投げ掛ける (4, 5)
矯正を受け入れないイスラエル (6-13)
「神に会う用意をせよ」(12)
神は「自分の考えを人に告げ」る (13)
- 5 イスラエルは倒れた処女のように (1-3)
神のもとに戻って、生き続けよ (4-17)
悪を憎み、善を愛せ (15)
エホバの日、闇の日 (18-27)

イスラエルの犠牲ははねつけられる (22)

- 6 気楽に生きている者たちに災いがある (1-14)
象牙のベッド、鉢で飲むぶどう酒 (4, 6)
- 7 イスラエルの終わりが近いことを示す幻 (1-9)
バツタ (1-3)、火 (4-6)、下げ振り (7-9)
アモスは預言しないようにと言われる (10-17)
- 8 夏の果物が入った籠の幻 (1-3)
弱者を苦しめる者たちへの断罪 (4-14)
神の言葉の飢饉 (11)
- 9 神の処罰は免れられない (1-10)
ダビデの仮小屋は起こされる (11-15)

1 テコアの羊の飼育者だったアモ
*の言葉。これは、ユダのウジャヤ
王の時代、イスラエルの王ヨアシュの
子ヤラベアムの時代、地震の2年前に、
アモスがイスラエルに関する幻の中で
受けた言葉である。2 彼は言った。

「エホバはシオンからほえ、
エルサレムから声を上げる。
羊飼いの牧草地は嘆き悲しみ、
カルメルの頂も枯れる」。

3 「エホバはこう言っている。
『ダマスカスの3つの反抗、4つ
の反抗のゆえに、私は撤回し
ない。

彼らが鉄の脱穀そりでギレアデ
を踏みつぶしたからだ。

4 私はハザエルの家に火を放つ。
火はベン・ハダドの防備された塔
を焼き尽くす。

第1章

(7) 代二 11:5,6
(1) 代二 26:1,3,4
イザ 1:1
(7) 王二 13:10,11
(12) 王二 14:23,24
ホセ 1:1
アモ 7:10
(7) ゼカ 14:5
(7) イザ 33:9
ナホ 1:4
(7) 王二 8:12
王二 10:32,33
王二 13:7
(7) 王一 19:15
(7) エレ 49:27

第2欄

(7) イザ 7:8
イザ 8:4
イザ 17:1
(7) 王二 16:9
(7) エゼ 25:15
(12) 代二 21:16,17
代二 28:18
ヨエ 3:4,6
(7) エレ 25:17,20
エレ 47:1
ゼカ 9:5
(7) イザ 20:1
(7) エレ 47:5
(7) ゼバ 2:4
(7) イザ 14:29
エレ 47:4
エゼ 25:16,17
ゼバ 2:5
ゼカ 9:6

5 私はダマスカスのかんぬきを
折る。

ビクアト・アベンから住民を、
ベト・エデンから支配者を絶やす。
シリアの民は捕らえられ、キルに
連れていかれる」と、エホバ
は言う。

6 エホバはこう言っている。
『ガザの3つの反抗、4つの反抗
のゆえに、私は撤回しない。

彼らが捕虜たちをそっくりエドム
に引き渡したからだ。

7 私はガザの城壁に火を放つ。
火は防備された塔を焼き尽くす。

8 私はアシュドから住民を、
アシュケロンから支配者を絶
やす。

私はエクロンにも手を向ける。

フィリスティア人の残りの者たち
も滅びる」と、主権者である主
エホバは言う。

1:1 *意味、「荷である」もしくは「荷を運ぶ」。

1:3 *または、「犯罪」。

- 9 エホバはこう言っている。
『ティルス^(イ)の3つの反抗^{はんこう}、4つの反抗^{はんこう}のゆえに、私は撤回^{てっかい}しない。
彼ら^{かれ}が捕虜^{ほりよ}たちをそっくりエドムに引き渡したから、
兄弟^{きょうだい}たちとの契約^{けいやく}を思い起こさなかったからだ。
- 10 私はティルスの城壁^{じょうへき}に火^ひを放つ。火は防備^{ぼうび}された塔^{とう}を焼き尽くす』。
- 11 エホバはこう言っている。
『エドム^(ロ)の3つの反抗^{はんこう}、4つの反抗^{はんこう}のゆえに、私は撤回^{てっかい}しない。
彼^{かれ}が自分^{じぶん}の兄弟^{きょうだい}を剣^{つるぎ}で追い掛け、憐れみ^{あわれみ}を示さなかったからだ。
- 彼は怒りに任せて絶え間なく引き裂き、ずっと激怒し続けた。
- 12 私はテマン^(イ)に火^ひを放つ。火はボツラの防備^{ぼうび}された塔^{とう}を焼き尽くす』。
- 13 エホバはこう言っている。
『アンモン人^{じん}の3つの反抗^{はんこう}、4つの反抗^{はんこう}のゆえに、私は撤回^{てっかい}しない。
彼ら^{かれ}が領土^{りょうど}を広げようとして、ギレアデ^{ぎれあで}の妊婦^{にんぶ}たちを切り裂いたからだ。
- 14 私はラバ^(イ)の城壁^{じょうへき}に火^ひを付ける。火は防備^{ぼうび}された塔^{とう}を焼き尽くす。戦闘^{せんとう}の日のとき^ひの聲^{こえ}が上がる中で。
暴風^{ぼうふう}の日の大風^{おおあらし}の中で。

第1章

(イ) エゼ 26:2

(イ) ヨエ 3:4,6

(イ) エゼ 26:12

(ロ) ヨエ 3:19

(イ) エゼ 25:12

(イ) 代二 28:17

オバ10

(イ) 創 36:10,11

オバ9

(イ) イザ 34:5,6

エレ 49:13

(イ) エゼ 25:3

ゼバ 2:8

(ロ) 裁 11:12,13

エレ 49:1

(イ) エレ 49:2

エゼ 25:5

第2欄

(イ) エレ 27:2,3

エレ 49:3

第2章

(イ) エレ 48:29,30

エゼ 25:8,9

ゼバ 2:8

(イ) エレ 48:21,24

(ロ) イザ 15:1

(イ) イザ 16:14

エレ 48:7

(イ) 王二 17:19

エレ 2:13

(イ) レビ 26:14-16

代二 36:14

(イ) エレ 9:14

(イ) サー 12:15

代一 28:9

代二 36:17,19

エレ 17:27

エレ 37:8

エレ 52:12-14

ホセ 8:14

- 15 彼ら^{かれ}の王^{おう}は高官^{こうかん}たちと共に捕らえられ、連れていかれる」と、エホバは言う』。

- 2 エホバはこう言っている。
『モアブ^(イ)の3つの反抗^{はんこう}、4つの反抗^{はんこう}のゆえに、私は撤回^{てっかい}しない。

彼^{かれ}がエドム^(イ)の王^{おう}の骨^{ほね}を焼いて灰にしたからだ。

- 2 私はモアブ^(イ)に火^ひを放つ。火はケリヨト^(イ)の防備^{ぼうび}された塔^{とう}を焼き尽くす。
モアブ^(イ)は死ぬ。

どよめきが起こり、ときの声^{こゑ}と角笛^{つづ}が響き渡る中で。

- 3 私はモアブ^(イ)から支配者^{しはいしや}を除き去り、
高官^{こうかん}たち全てもともどもに殺す」と、エホバは言う』。

- 4 エホバはこう言っている。
『ユダ^(イ)の3つの反抗^{はんこう}、4つの反抗^{はんこう}のゆえに、私は撤回^{てっかい}しない。
彼ら^{かれ}がエホバ^(イ)の律法^{りっぽう}を退けた

から、
規定^{きてい}を守らなかつたからだ。
父祖^{ふそ}たちも信じたうそに、彼ら^{かれ}は惑わされた。

- 5 私はユダ^(イ)に火^ひを放つ。火はエルサレム^(イ)の防備^{ぼうび}された塔^{とう}を焼き尽くす』。

- 6 エホバはこう言っている。

2:1 *または、「犯罪」。「直訳、「石灰」」。2:4 *または、「指示」。

『イスラエルの3つの反抗^{はんこう}、4つ
の反抗^{はんこう}のゆえに、私は撤回^{てっかい}し

ない。

彼^{かれ}らが銀^{ぎん}と引き換えに^ひただ^{ただ}ひと

たちを^う売り、

サンダル1足^{そく}と引き換えに^ひ貧しい^か
人^またちを^う売^ひるからだ。

7 彼^{かれ}らは立場^{たちば}が低い^{ひく}人^{ひと}たちの頭^{あたま}を

踏^ふんで地面^{じゆん}に押し付け、

温厚^{おんこう}な人^{ひと}たちの道^{みち}を^{さえぎ}る。

父^{ちち}親^{おや}と息子^{むすこ}が同じ^{おな}女性^{じよせい}と関係^{かんけい}を

持^もち、

私^{わたし}の聖^{せい}なる名^なを汚^{けが}す。

8 どの祭壇^{さいだん}のそばでも、担保^{たんぽ}に取^とつ

た衣服^{いふく}を敷^しいて横^{よこ}になる。

罰金^{ばっきん}として取り立てた^とぶどう酒^{しゅ}を、
自分^{じぶん}の神々^{かみがみ}の家^{いえ}で飲^いむ。

9 『彼^{かれ}らの前^{まえ}でアモリ人^{じん}を全滅^{ぜんめつ}させ

たのは私^{わたし}である。

アモリ人^{じん}は杉^{すぎ}のように高^{たか}く、巨木^{きよぼく}

のよう^{よう}に強^{つよ}かったが、

私^{わたし}は上^{うえ}の実^みから下^{した}の根^ねまで滅^{ほろ}ぼ

し尽^つくした。

10 私^{わたし}はあなたたち^{あなたたち}をエジプト^{えじぷと}から

連^つれ出^だし、

40年^{ねんこう}荒野^{あゐ}を歩^{ある}かせ、

アモリ人^{じん}の土地^ちを取得^{しゅとく}させた。

11 私^{わたし}はあなたたち^{あなたたち}の子^この中から預^よ

言^{げん}者^{しや}を、

若^{わか}者^{かも}の中からナヅルを任^せ命^{めい}した。

イスラエルの民^{たみ}よ、そうではない

第2章

(ア) 申 28:45
王二 17:6,7
エゼ 23:4,5
ホセ 4:1,2

(イ) アモ 5:11
アモ 8:4-6

(ウ) アモ 4:1

(エ) イザ 10:1,2
アモ 5:12

(オ) ホセ 8:11
ホセ 10:1

(カ) 出 22:26
申 24:12

(キ) 民 21:23-25
ヨシ 24:8
詩 135:10,11

(ク) 申 2:31-33

(コ) 出 12:51

(コ) 民 14:34
申 2:7

(セ) サ一 3:20
王一 17:1
王一 19:19

(ソ) 民 6:2
裁 13:5

第2欄

(ア) 民 6:3,4

(イ) イザ 30:10,11
アモ 7:12,13

(ウ) アモ 9:1

(エ) 申 28:25

第3章

(オ) 出 19:5
申 7:6
詩 147:19,20

(カ) ダニ 9:11,12
ホセ 12:2
アモ 4:12

か』と、エホバは宣^{せん}言^{げん}する。

12 『それなのに、あなたたちはナヅ
ルにぶどう酒^{しゅ}をしきりに勧め、
「預^よ言^{げん}してはならない」と預^よ言^{げん}者^{しや}
に命^{めい}じた。

13 だから私^{わたし}はあなたたちの場所^{ばしょ}で
あなたたちをつぶす。

刈^かり取^とった穀物^{こくもつ}を積^つんだ荷車^{にぐるま}が

下^{した}にあるものをつぶすかのよ

うに。

14 素^す早^ばい人^{ひと}もどこにも逃^にげられず、
強^{つよ}い人^{ひと}も力^{ちから}を失^うしな。

生^いき残^{のこ}る戦^{せん}士^しはいない。

15 弓^{ゆみ}を持つ人^もは立^たっていられず、

足^{あし}が速^{はや}い人^{ひと}も逃^にげられず、

騎^し手^{しゅ}も生^いき残^{のこ}れない。

16 最^もも勇^{ゆう}敢^{かん}な戦^{せん}士^しさえ、

その日^ひには裸^{はだか}に逃^にげる。』と、エホ

バは宣^{せん}言^{げん}する。

3 「イスラエルの民^{たみ}よ、エホバが話^{はな}
したこの言^{こと}葉^はを聞^ききなさい。あ

なたたち^{あなたたち}に關^{かん}する言^{こと}葉^は、私^{わたし}がエジプト

から連^つれ出^だした民^{みん}族^{ぞく}全^{ぜん}体^{たい}に關^{かん}する言^{こと}

葉^はである。

2 『私^{わたし}は地上^{ちじょう}の全^{すべ}ての民^{みん}族^{ぞく}のうちあ

なたたち^{あなたたち}だけをよく知^しった。

だからこそ、私^{わたし}はあなたたち^{あなたたち}の全^{すべ}

ての過^{あやま}ちの責^{せき}任^{にん}を問^とう。

3 会^あう約^{やく}束^{そく}をしていないのに2人^{ふたり}の

人^{ひと}が一^{いっしょ}緒^{ある}に歩^{ある}くだろうか。

2:16 *または、「心が強い」。 3:3 *または、「約束^{やくそく}して会^あったわけではない」。

2:8 *または、「神殿」。 2:9 *ブナ科の木と思
われる。 2:11 *用語集参照。

- 4 獲物^{えもの}がないのにライオン^{もり}が森で
ほえるだろうか。
何も捕^{つか}まえていないのに若^{わか}いラ
イオン^すが巣^すでうなるだろうか。
5 何も仕掛^{なにか}けていないのに鳥^{とり}が地
面^{めん}でわなにか^か掛かるだろうか。
何も掛^{なにか}かっているのにわなが
地面^{じめん}から跳^はね上^あがるだろうか。
6 町^{まち}で角笛^{つのぶえ}が吹^ふかれるなら、民^{たみ}は
震^{ふる}え上^あがるのではないか。
町^{まち}で災^{わざわ}いが起^おきるなら、それは
エホバによることではないか。
7 内密^{ないみつ}のことを預言者^{* よげんしゃ}に啓示^{けいじ}して
からでなければ、
主権者^{しゅけんしゃ}である主エホバ^{しゅ}は事^{こと}を行^{おこな}
わない。
8 ライオン^{しゅけんしゃ}がほえた！ 誰^{だれ}が恐れな
いだろうか。
主権者^{しゅけんしゃ}である主エホバ^{しゅ}が語^{かた}
た！ 誰^{だれ}が預言^{よげん}しないだろう
か』。
9 『アシュドド^{ほうび}の防備^{とう}された塔^{うえ}の
上^{うえ}で、
エジプト^{ほうび}の防備^{とう}された塔^{うえ}の上^{うえ}で、
知^しらせよ。
こ^いう言^{やま}うのだ。「サマリア^{やまやま}の山^{やま}々^{やま}
に^む向^{あつ}か^(二)って集^{あつ}まれ。
そ^そこで^{なか}の騷^{さわ}乱^{らん}とそ^{なか}の中^{なか}での詐^さ欺^ぎ
を^み見^(四)よ。
10 彼^{かれ}らは正^{ただ}しいこと^{おこな}をど^しのよう^しに行^し
うか^しを^し知らない。

3:5 *もしかすると、「餌を置いて」。
3:7 *または、「秘密」、「意図」。

第3章

(四) 創6:13
創18:17
詩25:14
イザ42:9
ダニ9:22
啓1:1

(四) アモ1:2

(四) エレ20:9
アモ7:14,15
使徒4:19,20

(四) 王二17:22,23

(四) ホセ7:1
アモ4:1

第2欄

(四) 王二17:6

(四) ホセ11:6
アモ6:8

(四) イザ8:4
アモ6:4

(四) ホセ4:9

(四) 王一12:32,33
ホセ13:2

(四) 王二23:15,16
代二31:1
代二34:1,7
ホセ10:2
ミカ1:6

(四) 王一22:39

(四) アモ6:11

防備^{ほうび}された塔^{とう}で暴力^{ぼうりよく}と破壊^{はかい}を積^つ
み重^{かさ}ねている』と、エホバは
宣言^{せんげん}する』。

- 11 それで、主権者^{しゅけんしゃ}である主エホバ^{しゅ}
はこ^いう言^いう。

『敵^{てき}がこ^との土地^{ちこ}を囲^(四)む。
彼^{かれ}はあ^ちなたから力^{ちから}を剥^はぎ取^とり、
あ^{ほうび}なたの防備^{とう}された塔^{とう}は略奪^{りやくだつ}に
遭^あう』。

- 12 エホバはこ^いう言^いう。

『サマリア^{ごうか}で豪華^{りっぱ}なベド^{すわ}や立派^{りっぱ}
な寝椅子^{ねいす}に座^{すわ}っているイスラ
エル^{ひと}の人^{ひと}たち^とが取り戻^{もど}される。
だ^{ひつじか}がそれは、羊飼^{ひつじか}いがライオン^{くち}
の口^{くち}から、羊^{ひつじ}の2本^{ほん}の脚^{あし}や耳^{みみ}
の切^きれ端^はを取り戻^{もど}すか^{もど}のよう
である』。

- 13 主権者^{しゅけんしゃ}である主エホバ^{しゅ}、大軍^{たいぐん}を
率^{ひき}いる神^{かみ}は宣言^{せんげん}する。

『聞^きいて、ヤコブ^{しそん}の子孫^{こく}に警告^{けいこく}
せよ。

- 14 私^{わたし}がイスラエル^{はんこう*}の反抗^{せきにん}の責任^{せきにん}を
問^とう日^ひ、
私^{わたし}はベテル^{さいだん}の祭壇^{さいだん}にも責任^{せきにん}を
問^とう。
祭壇^{さいだん}の角^{つの}は切^きられて地面^{じめん}に落^お
ちる。

- 15 私^{わたし}は冬^{ふゆ}の家^{いえ}も夏^{なつ}の家^{いえ}も壊^{こわ}す。
『象牙^{そうげ}の家々^{いえいえ}は壊滅^{かいめつ}し、
大^{おお}きな家々^{きいえいえ}はな^{せんげん}くなる』とエホバ
は宣言^{せんげん}する』。

3:12 *または、「ダマスカスの」。
3:14 *または、「犯罪」。
3:15 *もしかすると、「たくさんの」。

4 「この言葉^{ことば}を聞^きけ。
サマリアの山^{やま}にいるバシヤンの
雌牛^{めうし}たちよ。

立場^{たちば}が低^{ひく}い人^{ひと}からだまし取り^と、貧^い乏^{まじ}

しい人を打ち^{うち}のめし、
おと* 夫^{さい}に「お酒^いを持^もってき^きて!」と言^い
う女性^{じょせい}たちよ。

2 主権者^{しゅけんしや}である主エホバは自分^{じぶん}の
神聖^{しんせい}さに懸^かて誓^{ちか}った。

『あなたたちが肉^{にく}かぎで引^ひき上^あ
げられ、
あなたたちの残^{のこ}りも釣^つり針^{はり}で引^ひき
上^あげられる時^{とき}が来る。

3 あなたたちはそれぞれ、すぐ前^{まえ}の
城壁^{じょうへき}の裂^さけ目^めから出^でて、
ハルモンに投^なげ出^だされる」と、エ
ホバは宣^{せん}言^{げん}する。』

4 『ベテル^いに行^いって、違^{いはん}反^{おか}を犯^きすが
いい。

ギルガル^いに行^いって、違^{いはん}反^{かさ}を重^{かさ}
ねよ。

朝^{あさ}には犠^ぎ牲^{せい}を、3日^か目^めには10分^{ぶん}
の1^{いち}を持^もってくるがいい。

5 感謝^{かんしゃ}の犠^ぎ牲^{せい}としてパン種^{しゅ}入^いりの
パン^{ぱん}を燃^もやせ。

自分^{じぶん}の自^じ発^{はつ}的な捧^{ささ}げ物^{もの}について
おお 大^{こえ}きな声^{こえ}で触^ふれ回^{まわ}れ!

イスラエル^{たみ}の民^{たみ}よ、それがあな
たたちの好^{この}むことなのだから』
と、主権者^{しゅけんしや}である主エホバは
宣^{せん}言^{げん}する。

4:1 *または、「主人」。 4:4 *または、「反逆する」。
用語集参照。

第4章

(ア) アモ 6:1

(イ) ホセ 4:1, 2
ミカ 2:2

(ウ) 王一 12:28, 29
ホセ 4:13
アモ 3:14

(エ) ホセ 4:15
ホセ 9:15
アモ 5:5

(オ) ホセ 8:11, 13

(カ) 申 14:28

(キ) レビ 7:12

第2欄

(ア) レビ 26:26
申 28:38
申 32:24
王一 18:2
王二 4:38

(イ) エレ 3:6, 7

(ウ) 申 28:23, 24

(エ) 王一 18:5

(オ) ホセ 7:10

(カ) 申 28:22

(キ) 申 28:40, 42

(ク) イザ 42:24

(ク) 出 9:3
申 28:27, 60

(コ) レビ 26:23, 25
王二 8:12

(ウ) 王二 13:7

6 『私^{わたし}はどの町^{まち}でもあなたたち^{あなたたち}に何^{なに}
も食^たべ物^{もの}を与^{あた}えず、
どの家^{いえ}でもパン^{ぱん}がなくなるように
した。

それでもあなたたちは私^{わたし}のもとに
戻^{もど}ってこなかった』と、エホバ
は宣^{せん}言^{げん}する。

7 『また、私^{わたし}は収^{しゅう}穫^{かく}の前^{まえ}の3カ月^{げつ}あ
なたたち^{あなたたち}に雨^{あめ}を与^{あた}えなかった。
ある町^{まち}で雨^{あめ}を降^ふらせても、別^{べつ}の町^{まち}
では降^ふらせなかった。

ある畑^{はたけ}には雨^{あめ}が降^ふったが、別^{べつ}の
畑^{はたけ}は雨^{あめ}が干^ひ上がった。

8 水^{みず}を飲^のみに2、3の町^{まち}の人^{ひと}が1つ
の町^{まち}によろけながら行^いったが、
喉^{のど}の渴^{かわ}きは癒^いやされなかった。

それでもあなたたちは私^{わたし}のもとに
戻^{もど}ってこなかった』と、エホバ
は宣^{せん}言^{げん}する。

9 『私^{わたし}はあなたたち^{あなたたち}を立^たち枯^がれと病^{びょう}
害^{がい}で打^うった。

あなたたちは果樹園^{かじゅえん}とブドウ園^{ぶどう園}
を増^ふやしたが、

バツカがイチジク^きの木^きとオリーブ^あ
の木^きを食^くい荒^あらした。

それでもあなたたちは私^{わたし}のもとに
戻^{もど}ってこなかった』と、エホバ
は宣^{せん}言^{げん}する。

10 『私^{わたし}はあなたたち^{あなたたち}の所^{ところ}にエジプト^{えじぷと}
を襲^{おそ}ったような疫^{えき}病^{びょう}を送^{おく}った。
若^{わかもの}者^{もの}たちを剣^{つるぎ}で殺^{ころ}し、馬^{うま}を捕^{つか}ま
えた。

4:6 *直訳、「何も付いていない歯を与え」。

宿営の悪臭があなたたちの鼻を
突くようにした。

それでもあなたたちは私のもとに
戻ってこなかった』と、エホバ
は宣言する。

11 『私はあなたたちに滅びをもたら
した。

ソドムとゴモラを滅ぼしたように。
あなたたちは火の中からつかみ
出された丸太のようだった。

それでもあなたたちは私のもとに
戻ってこなかった』と、エホバ
は宣言する。

12 それでイスラエルよ、私はあなた
にそうようにする。

私があなたにそうするのだから、
イスラエルよ、神に会う用意を
せよ。

13 山々を形作り、風を創造した
神に。

自分の考えを人に告げ、夜明け
を闇に変え、地上の高い場所
を踏みつける神に。

その名は、大軍を率いる神エホ
バである。

5 「イスラエル国民よ、私があなた
たちに対して哀歌として語る言
葉を聞け。

2 『処女イスラエルは倒れた。

二度と立ち上がれない。

自分の土地で見捨てられた。

誰も彼女を起き上がらせない』。

第4章

(ア) 申 28:26

(イ) 創 19:24,25

(ウ) ホセ 7:10

(エ) イザ 40:12

(オ) エレ 10:13

(カ) 出 10:22

イザ 5:30

アモ 8:9

(キ) ミカ 1:3

第2欄

第5章

(ア) 申 4:27

申 28:62

(イ) 代二 15:2

イザ 55:3,6

(ウ) 王一 12:28,29

アモ 3:14

(エ) ホセ 4:15

アモ 4:4

(オ) アモ 8:14

(カ) 王二 17:6

ホセ 9:15

(キ) エゼ 33:11

(ク) アモ 6:12

(コ) ヨブ 9:9

ヨブ 38:31-33

3 主権者である主エホバはこう
言う。

『イスラエルでは、
町が1000人を出兵しても100人
しか残らず、
町が100人を出兵しても10人し
か残らない』。

4 エホバはイスラエル国民にこう
言う。

『私のもとに戻って、生き続けよ。

5 ペテルに出入りしてはいけない。
ギルガルに行ってはいけない。
ベエル・シェバを訪れてはいけ
ない。

ギルガルは必ず捕らえられて連
れ去られ、

ペテルは何もない所になる。

6 神が火のようにヨセフの子孫に
向かっていって、
その火が誰にも消されずにペ
テルを焼き尽くすことがない
よう、

エホバのもとに戻って、生き続
けよ。

7 あなたたちは公正をニガヨモギ
に変え、
正しいことを地面に捨てていく。

8 キマ星座とケシル星座を造っ
た神。

5:5 *もしかすると、「気味が悪い場所」。5:7
*または、「苦いもの」。5:8 *おうし座のプレ
アデス星団のことかもしれない。*オリオン座のこ
ともかもしれない。

ふか かげ あさ か
深い陰を朝に変え、
ひる よる くら 〇
昼を夜のように暗くし、
うみ みず よ あつ だい ち そそ
海の水を呼び集めて大地に注
ぐ神。

その名はエホバである。

9 神は突如、強い者に破滅をもたらし、

ぼう び ぼう しょ は めつ
防備された場所を破滅させる。

10 彼らは、町の門で戒めを与える
ひと にくみ、

しんじつ かた ひと い きら 〇
真実を語る人を忌み嫌った。

11 あなたたちは貧しい人に農地代
を要求し、

こくもつ みつ もの だ 〇
穀物の貢ぎ物を出させている。

だから、切り石の家を建てても、
そこに住み続けることはない。

りっ ば えん つく
立派なブドウ園を造っても、ぶど
う酒を飲むことはない。

12 私はあなたたちの反抗の行いが
どれほど多く、

あなたたちの罪がどれほど重い
かを知っている。

あなたたちは正しい人々を苦しめ、

わいろ# う と
賄賂を受け取り、
まち もん まづ ひと けん り
町の門で貧しい人たちの権利を

ないがしろにしている。

13 その時、洞察力のある人は沈黙
する。

それは災いの時となるからだ。

5:11 *または、「土地税」。 5:12 *または、「犯罪」。
#または、「口止め料」。

第5章

〔イ〕出 10:21,22

〔イ〕ヨブ 36:27,28
伝 1:7

〔イ〕王ー 18:17
王ー 22:8

〔ミ〕ミカ 2:2

〔イ〕イザ 9:9,10

〔イ〕申 28:30

〔イ〕イザ 10:1,2
アモ 2:6,7

〔イ〕ミカ 2:3

第2欄

〔イ〕イザ 1:16,17
ミカ 6:8

〔イ〕レビ 18:5
申 30:19,20

〔イ〕代二 15:2
ミカ 3:11

〔イ〕詩 34:14
詩 97:10
ロマ 12:9

〔イ〕代二 19:6
アモ 5:24

〔イ〕エレ 31:7
ゼカ 10:6

〔イ〕ホセ 9:2

〔イ〕イザ 5:18,19

〔イ〕アモ 4:12

〔イ〕ゼバ 1:14,15

14 悪ではなく善を行え。

そうすれば生き続けられる。

そして大軍を率いる神エホバが
あなたたちと共にいるように
なる。

あなたたちが言った通りに。

15 悪を憎み、善を愛せ。

まち もん こうせい さば おこな
町の門で公正な裁きが行われる
ようにせよ。

たいぐん ひき かみ
大軍を率いる神エホバは、ヨセ
フの残っている人たちに憐れ
みを掛けるかもしれない。』

16 エホバ、大軍を率いる神エホバ
はこう言う。

『どの広場でも泣き叫ぶ声がし、
どの街路でも人々が「ああ、あ
あ!」と言うことになる。

かれ こうさく にん よ なげ かな
彼らは耕作人と呼んで嘆き悲し
ませ、

なげ かな ひと やと な さけ
嘆き悲しむ人を雇って泣き叫ば
せる。』

17 『どのブドウ園でも泣き叫ぶ声が
する。

わたし なか とお
私があなたたちの中を通るから
だ』と、エホバは言う。

18 『エホバの日を待ち望んでいる者
に災いがある!』

あなたたちにとってエホバの日
はどんな日になるか。

ひかり やみ ひ 〇
光ではなく闇の日である。

19 ライオンから逃げても熊に出く
わし、

いえ はい かべ て か へび
家に入って壁に手を掛けると、蛇

にかまれるかのようになる。

- 20 エホバの日は光ではなく闇ではないか。

かがや くらやみ
輝きではなく暗闇ではないか。

- 21 私はあなたたちの祭りを憎み、忌み嫌った。

わたし とくべつ あつ
私はあなたたちの特別な集まり

の香りを喜ばない。

- 22 あなたたちが私に全焼の捧げ物や供え物を捧げても、私は喜ばない。

こ か ちく きょうしよく ぎ せい こころよ
肥えた家畜の共食の犠牲も快く

思わない。

- 23 やかましい歌をやめよ。
げんが っ き えんそう わたし き
弦楽器の演奏を私に聞かせるな。

- 24 公正を水のように流れさせ、正義を常に流れる川のようにせよ。

- 25 イスラエルよ、
こう や ねんかん
荒野での40年間、あなたたちは
わたし ぎ せい そな もの も
私に犠牲と供え物を持ってき
たか。

- 26 あなたたちは、自分たちの王サクトとカイワン、
じ ぶん つく ほし かみ ぐうそう
自分たちで作った星の神の偶像
を担ぐことになる。

- 27 私はあなたたちをダマスカスの
はるむ ほう っ さ
はるか向こうに連れ去る』と、
たいぐん ひき かみ
大軍を率いる神エホバという
な かみ い
名の神は言う。

5:26 *どちらも土星のここのよう。神として崇拝された。

第5章

〔7〕 格 15:8

〔1〕 詩 50:8
イザ 66:3
ホセ 6:6

〔7〕 イザ 1:11

〔1〕 アモ 6:5
アモ 8:10

〔8〕 ミカ 6:8

〔7〕 使徒 7:42, 43

〔4〕 王二 15:29
王二 17:6

〔7〕 アモ 4:13

第2欄

第6章

〔7〕 アモ 3:13, 15

〔1〕 民 34:2, 8
王二 14:28

〔7〕 イザ 56:12

〔1〕 アモ 5:12

〔8〕 王一 22:39

〔7〕 アモ 3:12

〔4〕 イザ 22:13

〔7〕 イザ 5:12

〔7〕 代二 7:6
代二 29:25, 26

〔1〕 イザ 5:11

〔7〕 王二 15:29
王二 17:6

〔1〕 申 28:41
アモ 5:5

- 6 「災いがある！
シオンでいい気になっている者

たち、

サマリアの山で安心して切っている
もの
者たち、

イスラエル国民が会いに行く大
国のおもだ 者の
国の主立った者たちに。

- 2 カルネに行って、見よ。

そこから大ハマトに向かい、
だい だい だい だい
フィリステア人のガトに行け。

それらはこれらの王国に勝って
おうこく * まさ
いるか。

それらの領地はあなたたちのよ
りょうち
り大いいか。

- 3 あなたたちは災いの日を意に介さず、

ばうりよく し はい まね よ
暴力の支配を招き寄せるのか。

- 4 あなたたちは象牙のベッドに横
になり、寝椅子に寝そべり、
む おひつじ こ こうし * た
群れの雄羊と肥えた子牛を食
べる。

- 5 たて琴の音に合わせて即興で
うた 歌い、

ダビデのように楽器を作り出す。

- 6 ぶどう酒を鉢で飲み、
さいじょう あぶら からだ め
最上の油を体に塗る。

ヨセフの惨状に心を痛めもし
ない。

- 7 だから、あなたたちは真つ先に
と 捕らえられて連れでいかれる。

6:1 *または、「気楽に生きている」。6:2 *ユダ王国とイスラエル王国のことと考えられる。6:4 *または、「若い雄牛」。6:5 *または、「弦楽器」。

土地の温厚な人を根絶やしにする者たち、

5 このように言う者たちよ。
『新月の祭りが終わって穀類を売

れるようになるのはいつか。
安息日が終わって穀物売りに出せるようになるのはいつか。
計量容器を小さくし、重りを重

くし、
ごまかしのはかりを作るのだ。

6 困っている人を銀で、
貧しい人をサンダル1足で買
える。
穀物のかすを売り付けられる』。

7 エホバはヤコブの誇りに懸けて
誓った。
『私は彼らの行い全てを忘れ
ない。

8 それでこの土地は揺れ、
その住民全てが嘆き悲しむ。
土地は全体がナイル川のように
盛り上がり、

エジプトのナイル川のように波打
ち、沈み込む』。

9 主権者である主エホバは宣言
する。
『その日、私は真昼に太陽を沈
ませ、
白昼に地上を暗くする。

10 私はあなたたちの祭りを葬儀に、
あなたたちの歌を全て哀歌に変
える。

8:8 *または、「地上」。

第8章

(7) アモ 2:6,7

(1) 民 10:10

(7) 出 20:8

(2) レビ 19:35,36
ホセ 12:7
ミカ 6:10,11

(2) レビ 25:39
アモ 2:6

(2) 申 33:26
詩 68:34

(2) ホセ 8:13

(2) ホセ 4:3

(2) アモ 9:5

(2) ミカ 3:6

(2) ホセ 2:11

第2欄

(7) 詩 74:9
エゼ 7:26
マタ 4:4

(1) ホセ 8:5
ホセ 10:5

(2) 王一 12:28-30

(2) アモ 5:5

(2) 王二 18:11
ホセ 13:16

第9章

(2) イザ 6:1
エゼ 1:27,28

すべての腰に粗布を巻かせ、
すべての頭をそり上げさせる。
その日を一人息子の葬儀のよう

にし、
その日の終わりを苦い日のよう
にする』。

11 主権者である主エホバは宣言
する。

『私がこの土地に飢饉を送り込む
時が来る。

パンの飢饉でも水の枯渇でも
ない。

エホバの言葉の飢饉である。

12 彼らはよろけながら、
海から海へ、北から東へと行く。

エホバの言葉を探し回すが、
見つけれない。

13 その日、美しい乙女も青年も、
喉の渇きのために気を失う。

14 彼らはサマリアの罪に懸けて
誓う。

「ダンよ、生きているあなたの神
に懸けて誓う」とか、

「生きているベエル・シェバの道
に懸けて誓う」と言う。

彼らは倒れ、二度と立ち上がれ
ない』。

9 私は、エホバが祭壇の上の方に
いるのを見た。神は言った。「柱
の頭を打ちなさい。敷居までが揺れ
る。頭を切り落としなさい。私は生き

8:12 *または、「日の出の方向」。

残^{のこ}っている者^{もの}たちを剣^{つるぎ}で殺^{ころ}す。誰^{だれ}一人^{ひとり}に逃^にげられない。逃^にげようとしても、逃^にげ切^きれない。

- 2 たとえ掘^ほって墓^{はか}に入り込^{はい}んでも、私^{わたし}が手^てで引^ひつ張り出^だす。
たとえ天^{てん}の上^{のぼ}っても、私^{わたし}が引^ひきずり下^おろす。

- 3 たとえカルメル^{さんちよう}の山頂^{かく}に隠^{かく}れても、私^{わたし}が見^みつけ出^だして捕^{つか}まえる。
たとえ私^{わたし}の目^めを避^さけて海^{うみ}の底^{そこ}に隠^{かく}れても、私^{わたし}が蛇^{へび}に命^{めい}じてかみつかせる。

- 4 たとえ敵^{てき}に捕^とらえられ、連^つれていかれても、私^{わたし}が剣^{つるぎ}に命^{めい}じて殺^{ころ}させる。
私^{わたし}は祝福^{しゅくふく}ではなく災^{わざわ}いをもたらすために目^めを向^むける。

- 5 主権者^{しゅけんしや}である主^{しゅ}、大軍^{たいぐん}を率^{ひき}いるエホバがこの土地^{とち}に触^ふれるので、そこは溶^とけ、全住民^{ぜんじゅうみん}が嘆^{なげ}き悲^{かな}しむ。

そこは全体^{ぜんたい}がナイル川^{がわ}のように盛り上^{もあ}がり、エジプト^このナイル川^{がわ}のように沈^{しず}み込^こ込む。

- 6 『天^{てん}に階^{かい}段^{だん}を作^{つく}って、地^ちの上^{うへ}に建^{たて}物^{もの}を建^たて、海^{うみ}の水^{みづ}を呼^よび集^{あつ}めて大^{だい}地^ちに注^{そそ}ぐ神^{かみ}。

第9章

(7) アモ 2:14

(1) エレ 23:24

(1) レビ 26:33

(1) 申 28:63,65

(1) ミカ 1:4

(1) ホセ 4:3

(1) アモ 8:8

(1) ヨブ 36:27,28
詩 135:7

第2欄

(7) 出 3:15
アモ 4:13
アモ 5:8

(1) 出 12:51

(1) エレ 47:4

(1) 王二 16:9

(1) 王一 13:34
王二 18:11

(1) エレ 30:11

(1) レビ 26:33
申 28:64(1) イザ 9:6,7
イザ 16:5
エレ 23:5
エゼ 37:24,25
ゼカ 12:8
ルカ 1:31-33

その名^なはエホバである』。

7 エホバは言う。

『イスラエル^いの民^{たみ}よ、あなたたち
は私^{わたし}にとってクシュ人^{じん}のよう
ではないか。
私^{わたし}はイスラエルをエジプトから、
フィリステア人^{じん}をクレタから、
シリアをキルから連れ出^だしたの
ではなかったか』。

8 『主権者^{しゅけんしや}である主^{しゅ}エホバの目^めは
罪^{つみ}深^{ふか}い王国^{おうこく}の上^{うへ}にある。

神^{かみ}はその王国^{おうこく}を地^ち上^{じよう}から滅^{ほろ}ぼす。
とはいえ、私^{わたし}はヤコブの子孫^{しそん}を
完全^{かんぜん}に滅^{ほろ}ぼすことはしない』

と、エホバは宣^{せん}言^{げん}する。

9 『私^{わたし}は命^{めい}令^{れい}を出^だす。

イスラエルをあらゆる国^{くに}の民^{たみ}の
中^{なか}で揺^ゆさぶる。
小石^{こいし}を一つ残^{ひと}らず取^とりのけるた
めに、ふるいを揺^ゆするかのよ
うに。

10 彼^{かれ}らは剣^{つるぎ}によつて死^しぬ。

私^{わたし}の民^{たみ}の全^{すべ}ての罪^{つみ}人^{びと}たち、
「災^{わざわ}いは近^{ちか}づいていないし、われ
われに及^{およ}びはしない」と言^いっ
ている者^{もの}たちは』。

11 『その日^ひ、私^{わたし}は倒^{たお}れたダビデ^{かり}の仮^{かり}
小^こ屋^やを起^{おこ}し、裂^さけ目^めを修^{しゆ}理^り
する。

糜^{はい}虚^{きよ}を修^{しゆ}復^{ふく}する。

9:11 * または、「天幕」、「小屋」。

9:2 * ヘブライ語、シェオル。用語集参照。9:5
* または、「地上」。9:6 * または、「円天井」。

た なお むかし (ア)
建て直して昔のようにする。

12 そうして彼らはエドムの残っているものと、

わかし な よ すべ くに たみ
私の名で呼ばれる全ての国の民
を所有する』と、このことを行
うエホバが宣言する。

13 エホバは宣言する。

たがや ひと しゅうかく ひと
『耕す人が収穫する人に、
たね はこ ひと ふ ひと
種を運ぶ人がブドウを踏む人に
追いつく時が来る。
あま しゅ やま したた(カ) おか
甘いぶどう酒で山は滴り、丘は
うるお(ウ)
潤う。

14 私は、私の民イスラエルの捕ら

第9章

(ア) サニ 7:11
使徒 15:16-18

(イ) 民 24:18
イザ 11:14
オバ 18,19
(ウ) レビ 26:5
ホセ 2:22
(エ) ヨエ 3:18
(オ) イザ 35:1
イザ 55:12

第2欄

(ア) エズ 3:1
エレ 30:3
エゼ 39:25
(イ) イザ 61:4
エゼ 36:33
(ウ) イザ 65:21, 22
エゼ 28:25, 26
(エ) イザ 62:8, 9
ミカ 4:4
(オ) イザ 60:21
エゼ 34:27, 28
エゼ 37:25

われている人たちを集めて
戻す。

かれ こうはい まちまち た なお
彼らは荒廃した町々を建て直して、そこに住む。

ブドウ園を造って、ぶどう酒を
飲み、

かじゅえん つく くだもの た (カ)
果樹園を造って、果物を食べる。』

15 『私は彼らを彼らの土地に植える。

わたし あた とち
私が与えたその土地から、
かれ に ど ひ め
彼らは二度と引き抜かれな
い』と、あなたの神エホバは
言う。』

オバデヤ書

概要

傲慢なエドムは辱められる (1-9)
エドムがヤコブに加えた暴力 (10-14)
あらゆる国の民に対するエホバの日 (15, 16)

ヤコブの子孫の復興 (17-21)
ヤコブがエドムを焼き尽くす (18)
王権はエホバのものになる (21)

1 オバデヤの幻。

これは主権者である主エホバが
エドムに関して言っていること
である。

「私たちはエホバからの知らせを
聞いた。

国々に使節が遣わされた。

『立ち上がれ。エドムとの戦いに
備えよう』。

(ア) イザ 21:11
エゼ 25:12-14
ヨエ 3:19
アモ 1:11,12

第2欄

(ア) エレ 49:14-16
(ア) エレ 49:8

2 『私はあなたを、国々の中で取るに足りない者とした。

あなたはひどく軽んじられる。

3 あなたは心のうぬばれにより、欺かれた。

大岩を隠れがとし、高い所に住んでいる者、

『誰が私を地面に引きずり下ろさるだろうか』と心の中で言う者よ。

1 * 意味、「エホバに仕える者」。 # 直訳、「彼女」。(イ) マラ 1:4

- 4 たとえあなたがワシのように自分^{ぶん}のすみかを高くしたり、
巢^すを星^{ほし}の間に作^あったりしても、
わたしはそこからあなたを引きずり下^おろす」と、エホバは宣言^{せんげん}する。
- 5 「もし泥棒^{どろぼう}があなたの所^{ところ}に来^きたら、
夜^{よる}に強盗^{ごうとう}が来^きたら、
(あなたはすっかり荒^あらされる。)
欲^ほしい物^{もの}だけを盗^{ぬす}むのではな
いか。
もしブドウを収穫^{しゅうかく}する人^{ひと}たちがあ
なたの所^{ところ}に来^きたら、
幾^{いく}らかの実^みを採^とり残^{のこ}しておくの
ではないか。
- 6 エサウは探^{さが}し出^だされた！
隠^{かく}された宝^{たから}は全て見^みつけ出^ださ
れた！
- 7 彼^{かれ}らはあなたを国境^{こっきょう}にまで追^おい
やった。
あなた^{どうめいしゃ}の同盟者^{みな}は皆^{みな}、あなたを
裏切^{うらぎ}った。
あなたと平和^{へいわ}な関係^{かんけい}にあった人^{ひと}
たちがあなたを打^うち負^まかした。
あなたと共^{とも}にパンを食^たべる人^{ひと}
たちがあなたの下^{した}に網^{あみ}を仕掛^{しか}
ける。
あなたはそれ^{きづ}に気付^{きづ}かない。
- 8 エホバは宣言^{せんげん}する。
「その日^ひ、私はエドムから賢人^{けんじん}
たちを滅^{ほろ}ぼし、
エサウの山地^{さんち}から識別^{しきべつりよく}力を除^{のぞ}き
去^さる。

4 *もしかすると、「ワシのように高く飛んだり」。
5 *もしかすると、「どれほど荒らされるだろうか」。
7 *または、「あなたと契約を結んでいた者」。

(例) 申 24:21
エレ 49:9,10

(例) エレ 49:7

第2欄

(例) 創 36:10,11
エゼ 25:13
アモ 1:12

(例) エレ 49:22

(例) イザ 34:5,6

(例) 創 27:41,42
民 20:20,21
詩 83:4-6
詩 137:7
ヨエ 3:19
アモ 1:11

(例) エレ 49:13

(例) マラ 1:3,4

(例) 王二 24:10,16
エレ 52:28

(例) ヨエ 3:3

(例) ミカ 4:11

(例) 哀 4:21

(例) ゼカ 1:15

(例) 詩 137:7
エゼ 25:12

(例) アモ 1:11

(例) エレ 30:7

(例) エレ 9:25,26
エレ 25:32
ヨエ 3:12,14
ミカ 5:15

- 9 テマンよ、あなたの戦士^{せんし}たちはお
びえる。
殺^{ころ}りくにより、一人一人^{ひとりひとり}がエサウ
の山地^{さんち}で倒^{たお}されるからだ。
- 10 あなたは兄弟^{きょうだい}ヤコブ^{くわ}に加^{くわ}えた暴
力^{りよく}のゆえに恥^{はじ}で覆^{おほ}われる。
あなたは永久^{えいきゅう}に消^きえ去^さる。
- 11 あなたが離^{はな}れて立^たっていた日^ひ、
よそ者^{もの}たちが彼^{かれ}の兵士^{へいし}たちを捕^ほ
虜^{りよ}にし、
外国人^{がいこくじん}たちが彼^{かれ}の門^{もん}をくぐり、エ
ルサレムについてくじを引^ひい
た日^ひ、
あなたはそ^{もの}の者^{ひとり}たちの1人^{ひとり}のよう
に振^ふる舞^まった。
- 12 あなたは、あなたの兄弟^{きょうだい}が不幸^{ふこう}
に見^み舞^まわれる日^ひに満足^{まんぞく}げに眺^{なが}
め^めるべきではない。
ユダの民^{たみ}が減^へびていく日^ひに喜^{よろこ}ぶ
べきではない。
彼^{かれ}らの苦難^{くなん}の日^ひに威張^{いば}って話^{はな}す
べきではない。
- 13 私の民^{わたくし}の災難^{さいなん}の日^ひに私の民^{わたくし}の門^{もん}
に入^{はい}ってくるべきではない。
彼の災難^{さいなん}の日^ひに彼^{かれ}の災^{わざ}いを満足^{まんぞく}
げに眺^{なが}めるべきではない。
彼の災難^{さいなん}の日^ひに彼^{かれ}の富^{とみ}に手^てを出^だ
すべきではない。
- 14 逃^にげる人^{ひと}たちを殺^{ころ}すために分^わか
れ道^{みち}に立^たつべきではない。
その苦難^{くなん}の日^ひに、生き残^{いのこ}った人^{ひと}
たちを引き渡^ひすべきではない。
- 15 あらゆる国^{くに}の民^{たみ}に対するエホバ
の日^ひが近^{ちか}いからだ。

あなたがしたのと同じことをあなたもされる。

あなたがしたのと同じ仕打ちが、あなたの身に降り掛かる。

16 あなた方が私の聖なる山で飲んだのと同じように、あらゆる国の民が絶えず飲み続ける。

彼らは飲んで、飲み干し、まるで存在していなかったかのようになる。

17 だが、シオンの山には逃れてくる人たちがいる。

そこは聖なる所とされる。

ヤコブの子孫は自分たちのものを取り戻す。

18 ヤコブの子孫は火となり、ヨセフの子孫は炎となる。

彼らはエサウの子孫をわらのように燃やし、焼き尽くす。

エサウの子孫は誰も生き残らない。

16 *または、「絶えず私の怒りのぶどう酒を飲み」。

(例) エゼ 35:15

(例) エレ 25:17
エレ 49:12

(例) ヨエ 2:32

(例) イザ 4:3
ゼカ 8:3

(例) イザ 14:2
アモ 9:11,12

(例) エレ 49:17,18
エゼ 35:15

第2欄

(例) アモ 9:11,12

(例) イザ 11:14
アモ 1:8

(例) 王二 17:24
エレ 31:5,6

(例) 王一 17:9

(例) 詩 122:6,7

(例) エレ 13:19
エレ 33:13

(例) 詩 149:6,7
エゼ 35:11

(例) 詩 22:28
ゼカ 14:9

エホバ自身がそう語ったのである。

19 彼らはネゲブとエサウの山地を取得する。

シェフェラとフィリスティア人の土地も。

彼らはエフライムの野原とサマリアの野原を取得し、

ベニヤミンはギレアデを取得する。

20 カナン人の土地はザレパテマでが、

捕囚にされたこの土塁の民、イスラエルの民のものとなる。

捕囚にされたエルサレムの民、セファラドにいた人たちは、

ネゲブの町々を所有する。

21 エサウの山地を裁くため、救い主たちがシオンの山に登る。

そして王権はエホバのものになる。

20 *または、「防塞」。

ヨナ書

概要

1 ヨナはエホバから逃げようとする (1-3)
エホバは激しい嵐を起こす (4-6)
災難の原因はヨナ (7-13)
荒れた海にヨナが投げ込まれる (14-16)
巨大な魚がヨナをのみ込む (17)

2 魚の中でのヨナの祈り (1-9)
ヨナは陸に吐き出される (10)
3 ヨナは神に従い、ニネベに行く (1-4)
ニネベの人たちはヨナの言葉を聞いて悔い改める (5-9)

神はニネベを滅ぼさないことにする (10)

4 ヨナは怒り、死にたくなる (1-3)

エホバはヨナに憐れみについて教える (4-11)

「あなたがそのような怒るのは正しいことなのか」(4)

ヒヨウタンを使って教える (6-10)

1 エホバはアミタイの子ヨナに言った。**2** 大都市ニネベに行き、処罰について知らせなさい。その人々の悪は目に余るものがある。

3 しかし、ヨナはエホバから逃げてタルシシュに行こうとした。ヨッパに下って、タルシシュ行きの船を見つけた。それで料金を払って乗船し、エホバから離れて、ほかの人たちと一緒にタルシシュに向かった。

4 エホバは海に暴風を吹かせた。激しい嵐が起き、船は難破しそうになった。**5** 船乗りたちは恐れて、それぞれ自分の神に助けを求め始めた。そして、船を軽くしようと、船内の荷物を海に投げていった。一方、ヨナは船底に下り、そこで横になってぐっすり眠っていた。**6** 船長が近くに来て、言った。「どうして眠っているんだ。起きて、あなたの神に呼び掛けてくれ！ 真の神が気に掛け、助けてくれるかもしれない」。

7 船乗りたちはこう言い合った。「くじを引こうじゃないか。誰のせいでこんな災難に遭っているのか、調べよう」。それでくじを引くと、くじはヨナに当たった。**8** 彼らはヨナに言った。「どうか言ってくれ。こんな災難に遭っているのはあなたのせいなのか。あ

第1章

(例) 王ニ 14:25
ルカ 11:29,30

あなたの仕事は何だ。どこから来たんだ。国はどこか。どの民族か」。

9 ヨナは答えた。「私はヘブライ人です。海と陸を造った方、天の神エホバを畏れる者です」。

10 船乗りたちはますます恐れ、「何てことをしたんだ」と言った。(ヨナがエホバから逃げようとしていることを知ったのだった。ヨナがそう話したからである。)

11 彼らは、「海が静まるためには、あなたをどうしたらいいのか」と言った。海がいつそう荒れてきたのである。**12** ヨナは答えた。「私を抱えて、海に投げ込んでください。そうすれば、海は静まります。激しい嵐に襲われているのは私のせいなのです」。**13** それでも船乗りたちは必死にこいで、船を陸に戻そうとした。しかし、うまくいかなかった。海がいつそう荒れてきたのである。

14 それで彼らはエホバに向かって叫んだ。「ああ、エホバ、どうかこの人のことで私たちを死なせないでください！ 無実の人の死の責任を私たちに負わせないでください。エホバ、あなたは望まれることを行ってこられたのですから」。**15** そうしてヨナを抱え、海に投げ込んだ。すると、荒れ狂って

(例) マタ 12:41

(例) 使徒 27:18,38

(例) ヨナ 3:9

(例) 格 16:33
格 18:18

(例) ヨシ 7:14,18
サー 14:42,43

1:1 *意味、「ハト」。 1:5 *または、「甲板の下」。

1:9 *または、「崇拜する」。 1:14 *直訳、「血」。

いた海は静まった。16 それで彼らはエホバを非常に畏れ、エホバに犠牲を捧げて誓約をした。

17 エホバは巨大な魚を送り、ヨナをのみ込ませた。ヨナはその魚の腹の中に3日3晩いた。

2 ヨナは魚の腹の中でエホバ神に祈った。2 こう言った。

「苦難のさなか、私はエホバに向かって叫びました。

神は答えてくださいました。墓の底から、私は助けを求めて叫びました。

あなたは私の声を聞いてくださいました。

3 あなたが私を深い所に、大海原のただ中に投げ込むと、水流が私を巻き込みました。

あなたの荒波が押し寄せてきました。

4 私は言いました。『私はあなたの目の前から追い払われた。

あなたの聖なる神殿を再び見ることなど、どうしてできるだろう』。

5 水が私を巻き込み、命を奪おうとしました。

深い水に覆われました。海藻が頭に絡まりました。

6 山々の裾に私は沈んでいきました。

第1章

(ア) ダニ 6:26,27

(イ) マタ 12:39,40
マタ 16:4
ルカ 11:29,30

第2章

(ウ) 詩 91:14,15
マタ 12:40

(ロ) 詩 120:1

(ハ) 詩 130:1,2

(ニ) 詩 69:1

(ヒ) 詩 42:7

(フ) 詩 69:1

第2欄

(ア) 詩 16:10
詩 30:3
イザ 38:17
使徒 2:31(イ) 詩 142:2,3
詩 143:4,5

(ウ) 詩 18:6

(ロ) 詩 50:14

(ハ) 詩 3:8
イザ 12:2

第3章

(ア) ヨナ 1:1,2

(イ) 創 10:8,11
ナホ 1:1
ゼバ 2:13

(ウ) ヨナ 2:9

(ロ) 創 10:8,11

(ハ) 出 9:20
マタ 12:41
ルカ 11:32

わたしの上で大地のかんぬきが永久に掛けられました。

しかし、私の神エホバ、あなたは私の命を穴から引き上げてくださいました。

7 命が尽きようとしていた時、私が思い出したのはエホバでした。

私の祈りはあなたに、あなたの聖なる神殿に届きました。

8 無価値な偶像を崇拜する人は、揺るぎない愛を示す方を捨てています。

9 しかし私は、感謝の声を上げ、あなたに犠牲を捧げます。

誓約したことを果たします。救いはエホバから来ます」。

10 やがてエホバが魚に命じたので、魚はヨナを陸に吐き出した。

3 エホバはヨナに再び言った。2 「大都市ニネベに行き、私があなたに告げる言葉を知らせなさい」。

3 ヨナはエホバから言われたことに従い、ニネベに行った。ニネベはとても大きな都市で、歩くと3日かかる広さだった。4 ヨナは都市に入って1日歩き、「あと40日でニネベは滅ぼされます」と知らせた。

5 すると、ニネベの人たちは神に信仰を持ち、断食を呼び掛けて粗布をまとった。身分の高い人から低い人までがそうした。6 ヨナが知らせた言葉がニネベの王に伝わり、王は王座

2:8 *もしかすると、「自分の揺るぎない愛」。

2:2 *ヘブライ語、シェオル。用語集参照。#直訳、「腹」。

から立ち上がって王の服を脱ぎ、粗布を身に着けて灰の中に座った。7 そして、ニネベ中に布告を出した。

「王と貴族たちの命令である。人も動物も、牛も羊も、何も食べてはならない。食事をして水も飲んでならない。8 人も動物も粗布を身に着けるように。神に真剣に呼び掛け、悪い行いと暴力行為をやめなさい。9 真の神が、なさろうとしていた事を考え直し、燃える怒りを静めてくださり、われわれは滅びないで済むかもしれない。」

10 真の神は、彼らがしたこと、悪い行いをやめた様子を見て、彼らにもたらすと言った災いについて考え直し、災いをもたさなかった。

4 だが、このことはヨナにとって非常に不愉快だった。彼は激しく怒った。2 それでエホバに祈った。「ああ、エホバ、私が自分の土地にいた時に思ったのは、まさにこのことです。だから私は最初タルシシュに逃げようとしたのです。あなたが思いやりがあって憐れみ深い神で、すぐに怒らず、揺るぎない愛に満ち、災いのことを悲しむ方であることを知っていたのです。3 エホバ、どうか私の命を取り去ってください。生きているより死んだ方がましです。」

4 エホバは尋ねた。「あなたがどのように怒るのは正しいことなのか。」

3:9,10 *または、「悔やみ」。 4:2 *または、「慈しみ」。

第3章
[7] ルカ 11:32

[1] エレ 18:7,8
エゼ 18:21-23
ヨナ 4:2

第4章
[7] ヨナ 1:3

[10] 出 34:6
詩 78:38
詩 86:5
詩 145:8

[10] 民 11:11,15
王一 19:2,4
ヨブ 6:8,9

第2欄
[7] ヨナ 3:4

[1] ヨナ 4:3

[7] ヨナ 4:4

[10] ヨナ 3:3

[10] 詩 36:6
詩 145:9

5 その後、ヨナは都市から出て、都市の東に腰を下ろした。そこに簡単な小屋を作り、その陰に座って、都市に何が起きるかを見ようとした。

6 エホバ神は1本のヒョウタンを生えさせ、ヨナの上に伸びてくるようにした。頭上に日陰ができ、ヨナは不快感から解放された。ヨナはヒョウタンのことをとても喜んだ。

7 しかし翌日の夜明けに、真の神は1匹の虫を送った。虫がヒョウタンを襲ったので、ヒョウタンは枯れた。8 太陽が照りだすと、神は東から熱風も送った。太陽がヨナの頭に照り付け、ヨナはぐったりした。彼は死なせてほしいと繰り返し願ひ、「生きているより死んだ方がましです」と何度も言った。

9 神はヨナに尋ねた。「あなたがヒョウタンのことでそのように怒るのは正しいことなのか。」

ヨナは言った。「正しいことです。死にたくなるほど怒っています。」

10 エホバは言った。「あなたは、自分で手間をかけたわけでも育てたわけでもないヒョウタンを惜しんでいる。それは一夜にして育ち、一夜にして枯れた。11 一方、大都市ニネベには、何が良くて何が悪いかわからない12 万人以上の人や多くの家畜がいる。私がニネベを惜しむのはもっともなことではないか。」

4:6 *もしかすると、「トウゴマ」。 4:11 *または、「右と左の違い」。

ミカ書

概要

- | | |
|---|---|
| <p>1 サマリアとユダへの処罰 (1-16)
罪と反抗が災難を招く (5)</p> <p>2 人々を虐げる者には災いがある (1-11)
イスラエルは再び集められ、一つになる (12, 13)
人ではぎわうことになる (12)</p> <p>3 指導者や預言者への糾弾の言葉 (1-12)
ミカはエホバの聖なる力によって力がみなぎる (8)
お金のために教える祭司たち (11)
エルサレムはがれきの山となる (12)</p> <p>4 エホバの山は高くそびえる (1-5)
剣をすきに (3)
「エホバの名によって歩む」 (5)
復興したシオンは強化される (6-13)</p> <p>5 地上全体を治める偉大な統治者 (1-6)</p> | <p>統治者はベツレヘムから出る (2)
残っている人たちは露やライオンのようになる (7-9)
清めが行われる (10-15)</p> <p>6 イスラエルに対する神の訴訟 (1-5)
エホバが求めていることは何か (6-8)
公正、揺るぎない愛、慎み (8)
イスラエルの罪と処罰 (9-16)</p> <p>7 イスラエルの道徳的な腐敗 (1-6)
自分の家の人たちが敵になっている (6)
「神を辛抱強く待つ」 (7)
神の民は弁護される (8-13)
ミカの祈りと神への賛美 (14-20)
エホバの答え (15-17)
「あなたのような神がいるでしょうか」 (18)</p> |
|---|---|

1 ユダの王ヨタム、アハズ、ヒゼキヤの時代に、エホバがモレシエトのミカに語った言葉。サマリアとエルサレムに関する幻の中でミカが受けた言葉である。

- 2** 「全ての国よ、聞け！
大地とそこにあるもの全てよ、注目せよ。
主権者である主エホバは、あなたたちを非難する証人となる。
エホバが、聖なる神殿から。
3 エホバは自分の場所から出ていく。

1:1 *ミカエル(意味、「誰が神のようだろうか」)またはミカヤ(意味、「誰がエホバのようだろうか」)の短縮形。

第1章

- (例) イザ 1:1
ホセ 1:1
- (例) 王二 15:32-34
代二 27:1,2
- (例) 王二 16:1,2
- (例) 王二 18:1-3
代二 29:1,2
- (例) エレ 26:18
- (例) 詩 50:7

第2欄

- (例) 裁 5:5
詩 97:5
- (例) 王二 17:7,8
- (例) ホセ 7:1
- (例) 王二 16:2,4

くだ ちじょう たか ぼしょ ふ
下ってきて、地上の高い場所を踏
みつける。

- 4** その下で山々は溶け、
谷は引き裂かれる。
火の前のろうのように。
急斜面を流れる水のように。
- 5** この全ては、ヤコブの反抗のゆえ、
イスラエルの罪のゆえである。
ヤコブの反抗とは何か。
サマリアではないか。
ユダの高い場所とは何か。
エルサレムではないか。

6 私はサマリアを野原のがれきの山とし、

1:4 *または、「谷あいの平原」。

ブドウを植える所とする。

サマリアの石を谷に投げ落とし、

土台をあらわにする。

7 彼女の彫像は全部打ち砕かれ、

身を売って得た贈り物は全て火

で焼かれる。

私は偶像を残らず破壊する。

彼女は売春の報酬からそれらを

集めた。

それらは再び娼婦の報酬と

なる。

8 このために私は泣き叫び、う

めく。

はだしになり、裸で歩く。

ジャッカルのように泣き叫び、

ダチョウのように嘆き悲しむ。

9 彼女の傷は癒えない。

それはユダにまで及んだ。

災厄が私の民の門にまで、エル

サレムにまで広がった。

10 「ガトで知らせてはならない。

少しも泣き悲しんではならない。

ベト・アフラで、土にまみれて転

げ回れ。

11 シャフィルの住民よ、裸で恥をさ

らしながら越えていけ。

ツァアナン¹の住民は出ていかな

かった。

ベト・エツェルで泣き叫ぶ声がし、

そこはもうあなたたちの支えと

はならない。

1:7 *または、「売春の報酬」。1:10 *または、「アフラの家」。

第1章

(例) レビ 26:30
ホセ 8:6

(イ) ホセ 2:5
ホセ 9:1

(例) エレ 4:19

(イ) イザ 20:2

(例) イザ 1:5,6
エレ 15:18

(例) 王二 18:13
イザ 8:7,8

(例) 代二 32:2
ミカ 1:12

第2欄

(例) ヨシ 15:20,39
王二 18:14

(イ) 王一 14:16
王二 16:2,3
エレ 3:8

(例) ヨシ 15:20,44

(イ) 代二 11:5,8

(例) イザ 7:17

(例) ネヘ 11:25,30

(例) 申 28:41
王二 17:6
イザ 39:7

第2章

(例) 王一 21:7

(例) 出 20:17
王一 21:2
イザ 5:8

12 マロトの住民は良いことを待って

いたが、

悪いことがエホバからエルサレ

ムの門に下った。

13 ラキシの住民よ、兵車を2頭の

馬につなげ。

シオンの人々の罪はあなたから

始まった。

イスラエルの反抗があなたのう

ちに見つかった。

14 それであなたはモレシエト・ガト

に別れの贈り物をする。

アクジブの家々は、イスラエルの

王たちを欺くものだった。

15 マレシャの住民よ、私はあなたの

もとに征服者を来させる。

イスラエルの栄光はアドラムにま

で及ぶ。

16 大切な子供たちのために、髪を

切り落とし、頭をそれ

ハゲワシのようなはげ頭にせよ。

子供たちがあなたのもとから連

れ去られたからだ。

2 「有害なことをたくらむ者、
寝床の上で悪いことを計画する
者には災いがある！

朝日が昇ると、彼らは実行に

移す。

彼らの手には力があるからだ。

2 彼らは畑を欲しがり、奪う。

家も欲しがり、取る。

1:13 *直訳、「娘」。[#]シオンの人々のことかも知れない。1:15 *または、「追い立てる者」。

いえ そうぞくざいさん と 〇
家と相続財産をだまし取る。

3 それでエホバはこう言う。

わたし
『私はあなたたちにもたらす災い
について考えている。』

あなたが 〇
あなたたちは逃れられず、もう傲
慢には歩めない。

わがわ とき 〇
災いの時なのだ。

4 その日、人々はあなたたちにつ

いての詩を繰り返す。

はげ なげ 〇
あなたたちについて激しく嘆く。

わたし 〇
こう言うのだ。『私たちはすっかり
荒らされた。』

わたし 〇
私たちの民の分は人手に渡され
た。取り去られたのだ！

わたし はたけ ふちゅうじつ もの あた 〇
私たちの畑は不忠実な者に与え
られた」。

5 あなたはエホバの会衆の中に、

はか づな は と ち わ 〇
測り綱を張って土地を分ける者
を持たなくなる。

6 「伝道をやめよ！」と彼らは伝

道し、

でんどう 〇
「こうしたことを伝道してはなら
ない。

はずかし 〇
われわれが辱められることなど
ない」と言う。

7 ヤコブの子孫よ、こう言われてい

るのを聞いたか。

* が まん 〇
「エホバは我慢できなくなった
のか。

しゅう 〇
これがその仕打ちか」。

わたし ことば しやうじき あゆ ひと 〇
私の言葉は、正直に歩む人には

第2章

〔イ〕エレ 22:17
エゼ 22:12,29

〔イ〕エレ 18:11

〔イ〕アモ 2:14

〔イ〕イザ 2:11

〔イ〕アモ 5:13

〔イ〕エレ 9:10
哀 1:1

〔イ〕イザ 6:11
エレ 25:9
ゼバ 1:2

〔イ〕王二 17:23

第2欄

〔イ〕詩 106:38,39

〔イ〕エレ 9:19
エレ 10:18

〔イ〕王一 22:6,8
イザ 9:15,16
エレ 6:13,14
エゼ 13:2,3

〔イ〕イザ 11:11
エレ 23:3
エレ 31:7,8
ミカ 4:6

〔イ〕エゼ 34:11

〔イ〕エゼ 36:38
ゼカ 8:22

よいことをもたらすのではな
いか。

8 しかし先頃、私の民は敵として立 ち上がった。

ふく きりっば かざ 〇
あなたたちは、服から立派な飾
りを公然と剥ぎ取る。

たたか かえ ひと 〇
戦いから帰ってくる人のように安
心して通っていく人たちから。

9 あなたたちは私の民の女性たち を快適な家から追い出し、 子供たちから私の光輝を永久に 取り去る。

10 起き上がって進め。ここは安住の 地ではない。

けが 〇 は めつ 〇 ひ とう 〇
汚れのゆえに破滅がある。悲痛
な破滅である。

11 風と欺きに付いていく者が、 「私はあなたにぶどう酒などの酒

について伝道しよう」と、たわ
言を言うなら、

その者こそ、この民のための伝
道者だ！

12 ヤコブよ、私はあなたの全てを必 ず集める。

のこ ひと 〇
イスラエルの残っている人たちは
必ず集合させる。

わたし かれ ひと 〇
私は彼らを一つにならせる。

かこ なか ひつじ ぼくそう ち 〇
囲いの中の羊たち、牧草地にい
る群れのように。

そこは人でにぎわうことになる。』

13 突破する者が彼らの前を行く。

2:8 * または、「服と」。

2:4 * または、「土地」。2:5 * 用語集参照。2:
7 * または、「エホバの力」。

かれ^つは^{やぶ}突き破り、門^{もん}を^{とお}通^でって出^でて
いく。

かれ^{おう}の^{かれ}王^{まへ}が^{すす}彼^{すす}らの^{すす}前^{すす}を進^{すす}む。

せんとう^い先^い頭^いにはエホバ^いが^いいる。

3 私は^{わたし}言^いった。「^きどう^きか^き聞^きいてほ^きしい。

ヤコブ^{ちよう}の^{ちよう}長^{ちよう}たち^{ちよう}よ、イスラエル^しの^い司^い令^い官^いたち^いよ。

あなた^{こうせい}たちは^な公^な正^なと^なは^な何^なかを^な
知^しっている^しべき^しで^しは^しない^しか。

2 それ^{ぜん}な^{ぜん}のに、あなた^{ぜん}たち^{ぜん}は^{ぜん}善^{ぜん}を^{ぜん}
憎^{にく}み、^{あく}悪^{あく}を^あ愛^あする。

わたし^{たみ}の^{かわ}民^ひから^{ほね}皮^{ほね}を^{ほね}引^{ほね}き^{ほね}ち^{ほね}ぎ^{ほね}り、^{ほね}骨^{ほね}か^{ほね}
ら^{ほね}肉^{ほね}を^{ほね}ち^{ほね}ぎ^{ほね}り^{ほね}取^{ほね}る。

3 私の^{わたし}民^{たみ}の^{たみ}肉^{にく}を^{にく}食^くらい、^く
皮^{かわ}を^は剥^はぎ、^は
骨^{ほね}を^{くだ}砕^{くだ}いて^{こな}粉^{こな}々^{こな}に^{こな}す。

なべ^{なべ}で^{なべ}調^{なべ}理^{なべ}さ^{なべ}れる^{なべ}もの、^{なべ}鍋^{なべ}の中^{なべ}の^{なべ}
肉^{にく}の^{にく}よう^{にく}に。

4 その^{とき}時^{とき}、彼^{かれ}らは^{たす}エホバ^{たす}に^{たす}助^{たす}けを^{たす}
求^{もと}めても、^{こと}答^{こと}えても^{こと}ら^{こと}え^{こと}ない。

かみ^{かみ}の^{とき}時^{とき}、^{かれ}彼^{かれ}ら^{かみ}から^{かみ}顔^{かみ}を^{かく}隠^{かく}す。

かれ^あの^あ悪^あく^あを^{おこな}行^{おこな}った^{おこな}から^{おこな}だ。

5 歯^はで^{もの}か^{もの}む^{もの}物^{もの}が^{もの}ある^{もの}時^{もの}には『^{せい}平^{せい}和^{せい}
だ!』と^{せんげん}宣^{せん}言^{げん}し、
くち^{くち}に^{なに}い^いの^{もの}者^{もの}には^{もの}
口^{くち}に^{なに}何^いも^{もの}入^いれて^{もの}く^{もの}れ^{もの}ない^{もの}者^{もの}には^{もの}
戦^{たたか}いを^{せんこく}宣^{せん}告^{こく}する^{せん}預^{せん}言^{げん}者^{げん}たち、
わたし^{たみ}の^{たみ}民^{たみ}を^{たみ}さ^{たみ}ま^{たみ}よ^{たみ}わ^{たみ}せ^{たみ}て^{たみ}いる^{たみ}預^{たみ}言^{げん}
者^{しや}たち^いに、
エホバ^いは^いこ^いう^い言^いっている。

3:5 *もしかすると、「かみながら」。[#]直訳、「神聖なものとする」。

第2章
イザ 62:10

イザ 49:10
イザ 52:12

第3章
ミカ 3:9

王 22:8
アモ 5:10

代 19:2

エゼ 22:27
アモ 8:4
ゼバ 3:3

エゼ 34:2,3

イザ 3:15

哀 3:44

申 31:17,18
イザ 1:15
イザ 3:11

エゼ 13:19
エゼ 34:2

エレ 23:16,17
エゼ 13:10

イザ 9:15,16
イザ 56:10

第2欄
エレ 13:16

詩 74:9
エゼ 13:23

イザ 59:9,10
アモ 8:9

イザ 29:10

ミカ 3:1

申 27:19
エレ 5:28

エレ 22:13

イザ 1:23
イザ 5:20,23
エゼ 22:12

エレ 6:13

イザ 56:10,11

6 『あなた^{よる}たち^きには^い夜^いが^い来^いて、^い幻^いは^い
な^いく^いなる。

あなた^{やみ}たち^{やみ}には^{やみ}闇^{やみ}し^{やみ}か^{やみ}な^{やみ}く^{やみ}なり、
え^{うらな}な^{うらな}く^{うらな}なる。

太陽^{たいよう}が^よ預^よ言^{げん}者^{しや}たち^{しや}の^{うえ}上^{しず}に^{しず}沈^{しず}み、
ひる^{ひる}は^{くら}暗^{くら}く^{くら}なる。

7 幻^{まぼろし}を^{つた}伝^{ひと}える^は人^はは^は恥^はをか^はき、
う^{うらな}ら^{うらな}な^{うらな}し^{うらな}し^{うらな}つ^{うらな}ぼ^{うらな}う^{うらな}
占^{うらな}い^{うらな}師^{うらな}は^{うらな}失^{うらな}望^{うらな}する。

かれ^{かれ}ら^{かれ}は^{かれ}皆^{みな}、^{くち}口^{くち}ひ^{くち}げ^{くち}を^{くち}覆^{くち}う。

かみ^{かみ}の^{かみ}神^{かみ}から^{かみ}の^{かみ}答^{かみ}え^{かみ}が^{かみ}ない^{かみ}から^{かみ}だ。』。

8 一^{いっぼう}方^{わたし}、私^{わたし}は^{せい}エホバ^{せい}の^{ちから}聖^{ちから}なる^{ちから}力^{ちから}に^{ちから}
よ^よつて^よ力^よが^よみ^よな^よぎ^より、

公^{こう}正^{せい}と^{つよ}強^{つよ}さ^{つよ}に^{つよ}満^{つよ}ち^{つよ}て^{つよ}い^{つよ}る。

はん^{はん}こ^{こう}う^{こう}反^{はん}抗^{こう}に^{はん}つ^{こう}いて^{はん}イス^いラ^いエル^えに^い告^いげ^える^いた^いめ^い
で^いある。

9 どう^いか^き聞^きいて^きほ^きしい。

ヤコブ^{ちよう}の^{ちよう}長^{ちよう}たち^{ちよう}、イスラエル^しの^し司^し令^し官^したち^し、

こう^{こう}せい^{せい}い^いの^きき^きら^きま^き公^ま正^まを^ま忌^きみ^き嫌^きい、^ま真^まつ^ます^まぐ^まな^まの^ま
を^{すべ}全^{すべ}て^{すべ}曲^まげ^まる^ま者^{もの}たち、

10 流^{りゅう}血^{けつ}によ^{りゅう}つて^{りゅう}シ^しオン^しを^し、^ふ不^ふ正^{せい}に^{せい}
よ^よつて^よエル^えサ^えレ^えム^えを^え建^たて^たる^た者^{もの}たち^{もの}

11 指^し導^{どう}者^{しや}たち^{しや}は^わ賄^わ賂^ろの^わた^わめに^わ
裁^{さい}ぎ^{さい}、

さい^{さい}し^{さい}は^{さい}代^{だい}価^かの^おた^おめに^お教^おえ、

よ^よげん^{げん}し^しや^しの^{かね}金^{かね}を^{うらな}占^{うらな}う^{うらな}。

それ^{かれ}で^{かれ}も^{かれ}彼^{かれ}ら^{かれ}は^{かれ}エホバ^{かれ}に^{かれ}頼^{たよ}つて^{たよ}
い^い言^いう。

3:7 *または、「口」。3:8 *用語集参照。3:

11 *または、「長」。*または、「銀」。△または、「頼っていると主張して」。

「エホバはわれわれと共にいてく
ださるのではないか。」

われわれに災いが降り掛かるこ
とはない」と。

12 それで、あなたたちのせいで、
シオンは畑のように掘り起こ

され、

エルサレムはがれきの山となり、
神殿の丘は森の高い場所のよう
になる。

4 最後の日々に、
エホバの家の山は、
山々の頂より高くしっかりと据え

られ、

どの丘よりも高くそびえる。

人々が流れのようにそこに向
かう。

2 多くの国の民が行って、こう言う。

「さあ、エホバの山に登ろう。

ヤコブの神の家に行こう。

神はご自分の道について教えて
くださる。

私たちはその道を歩もう。

律法がシオンから、

エホバの言葉がエルサレムから
出る。

3 神は多くの人々の中で裁きを
下し、

3:12 *直訳、「家の山」。^aまたは、「木に覆われ
た尾根」。4:1 *または、「終わりの時代」。^aまた
は、「上に高められる」。4:2 *または、「指
示」。

第3章

(イ) イザ 48:1, 2
エレ 7:4

(イ) アモ 9:10

(イ) 詩 79:1

(エ) エレ 26:18

第4章

(イ) イザ 11:9
ゼカ 8:3

(イ) 詩 86:9
イザ 2:2-4
イザ 60:3
啓 15:4

(イ) エレ 31:6
ゼカ 8:20, 21

(イ) サー 2:10
詩 96:13
イザ 51:4, 5

第2欄

(イ) ホセ 2:18
ゼカ 9:10

(イ) 詩 72:7
イザ 9:7
イザ 60:18

(イ) ゼカ 3:10

(イ) イザ 54:14
エゼ 34:25
エゼ 39:25, 26

(イ) ゼカ 10:12

(イ) 詩 147:2
イザ 56:8
エゼ 34:12, 16
エゼ 37:21
ゼバ 3:19

(イ) イザ 10:21
ミカ 2:12
ミカ 7:18

(イ) イザ 60:22

(イ) サニ 5:7

とお 強く くにくに ひと ただ
遠くの強い国々の人たを正し
い方向に導く。

彼らは剣をすきに、

やりを鎌に作り替える。

国は国に向かって剣を振り上

げず、

彼らはもはや戦いを学ばない。

4 彼らはそれぞれ自分のブドウの
木やイチジクの木の下に座り、

誰にも脅かされない。

大軍を率いるエホバの口が語っ

たのである。

5 人々は皆、それぞれ自分の神の
名によって歩む。

しかし私たちは、いつまでも永遠
に、私たちの神エホバの名に
よって歩む。

6 エホバは宣言する。

「その日、私は足を引きずってい
た者を集める。

散らされていた者を集める。

私が厳しく扱った人たちも。

7 私は足を引きずっていた者を残り
の者とし、

遠くに離されていた者を強い国
民とする。

エホバは王としてシオンの山で
彼らを治める。

今もこれからもずっと。

8 羊の群れの塔、シオンの丘よ、

4:3 *または、「人たちに関して物事を正す」。4:

4 *または、「住み」。4:8 *直訳、「シオンの娘」。

かれ いだい ち は およ
彼の偉大さが地の果てにまで及
ぶからだ。

5 彼は平和をもたらす。

アッシリア人が私たちの土地を
侵略し、防備された塔を踏み
つけるなら、

私たちはアッシリア人に対して7
人の牧者、いや、8人の高官を
立てる。

6 彼らは剣によって、アッシリアの
土地を、

ニムロデの土地を入り口から処
罰する。

統治者は私たちをアッシリア人
から救い出す。

私たちの土地が侵略され、領土
が踏みつけられる時に。

7 ヤコブの残っている人たちは多く
の人々の中で、

エホバからの露や草木に降る豊
かな雨のようになる。

それらは人間を頼みにすることも
待つこともない。

8 ヤコブの残っている人たちは国々
の中、多くの人々の中で、

森の動物たちの中のライオン、羊
の群れの中の若いライオンの
ようになる。

それらは通って行って襲い掛か
り、引き裂く。

助ける者は誰もいない。

第5章

〔イ〕ゼカ 9:9,10

9 あなたの^て手は敵対者^{てきたいしゃ}の上に高く^{うえ たか}
上げられる。

あなたの敵は全て滅ぼされる。

10 エホバは宣言する。

「その日、私はあなたの馬を滅
ぼし、

あなたの兵車を打ち壊す。

11 あなたの土地の町々を滅ぼし、
防備された場所を全て破壊する。

12 私はあなたがしている呪術を終

わらせ、

魔術を行う者はあなたの所から
いなくなる。

13 私はあなたの彫像と柱を打ち
砕く。

あなたは自分の手で作ったもの
にひれ伏すことはもうない。

14 私はあなたの所から聖木を引き
抜き、

あなたの町々を滅ぼし尽くす。

15 私に従わなかった国々に、
怒りと憤りを抱いて復讐する。

6 エホバが言っていることをどう
か聞いてほしい。

立って、山々の前で訴えを提起
せよ。

丘があなたの声を聞けるように。

2 山々よ、エホバの訴えを聞け。
強固な大地の土台も聞け。

エホバには、ご自分の民に対す
る訴訟がある。

第2欄

〔イ〕イザ 2:6
イザ 8:19

〔イ〕イザ 2:8
エゼ 36:25
ホセ 14:3
ゼカ 13:2

〔イ〕イザ 27:9

第6章

〔イ〕イザ 5:3

〔イ〕詩 50:1,4
イザ 1:2

5:14 *用語集参照。

5:5 *または、「指導者」。

イスラエルをこう訴えるのである。^(ア)

3 「私の民よ、私があなたに何をし
たというのか。

あなたをどのように疲れさせたと
いうのか。^(イ)

私に向かって証言せよ。

4 私はエジプトからあなたを連れ
出し、^(イ)

奴隷となっていた土地からあな
たを救い出した。^(イ)

あなたの前にモーセ、アロン、ミ
リアムを遣わした。^(イ)

5 私の民よ、どうか思い出してほ
しい。

モアブのバラク王が何をたく
らみ、^(イ)

ベオルの子バラムが何と答えた
かを。^(イ)

シッテムからギルガルで何が起
きたかを。

そうすれば、エホバが正しいこと
を行う神であるのが分かるだ
ろう。^(イ)

6 何を持ってエホバの前に行こ
うか。^(イ)

何を持って、高い所にいる神の
前でひれ伏そうか。^(イ)

全焼の捧げ物を、1歳の子牛を
持つて前に出ようか。^(イ)

7 数千匹の雄羊をエホバは喜ばれ
るだろうか。^(イ)

第6章

(ア) イザ 43:26
エレ 2:35
ホセ 4:1

(イ) エレ 2:5

(イ) 出 12:51
申 4:20

(イ) 申 7:8

(イ) 出 15:20

(イ) 民 22:5,6

(イ) 民 23:7,8
民 24:10
啓 2:14

(イ) 民 25:1
民 33:48,49

(イ) ヨシ 4:19

(イ) サー 15:22
詩 51:16,17
イザ 1:11

第2欄

(イ) 詩 50:8-15

(イ) 王二 3:26,27
エゼ 16:20

(イ) 格 21:3
イザ 1:17
エレ 22:3
エゼ 45:9
ホセ 12:6

(イ) 格 3:3
ホセ 6:6
ゼカ 7:9

(イ) 格 8:13

(イ) 申 10:12,13

(イ) イザ 9:13

(イ) 申 25:13
格 11:1
ホセ 12:7

(イ) イザ 59:3
ミカ 7:2

(イ) エレ 9:3

(イ) イザ 1:5

すうまんばい あぶら よろこ
数万杯の油を喜ばれるだろうか。^(イ)
自分の反抗のことで、長男を差し
出そうか。^(イ)

自分の罪のことで、子供を差し出
そうか。^(イ)

8 神はあなたに、何が善いことか
を伝えた。^(イ)

エホバがあなたに求めているこ
とは何か。^(イ)

ただ公正を守り、揺るぎない愛を
抱き、^(イ)

慎みを持って神と共に歩むことで
ある。^(イ)

9 エホバの声が町に響き渡る。
知恵がある人たちはあなたの名
を畏れる。^(イ)

処罰の棒と処罰を命じた方に注
意を向けよ。^(イ)

10 まだ、悪人の家に悪の宝がある
のか。^(イ)

忌まわしい不正確な計量容器が
あるのか。^(イ)

11 不正なばかりとごまかしの石重り
の袋を持ちながら、
道徳的に清いといえるか。^(イ)

12 裕福な者たちは暴力にまみれ、
住民たちはうそを言う。^(イ)
彼らの口には人を欺く舌がある。^(イ)

13 「それで、私はあなたを打って傷
を負わせる。^(イ)

6:8 *または、「公平であり」。
6:11 *または、「潔白」。

あなたの^{つみ}罪のゆえに破滅^{はめつ}させる。

14 あなたは食べても満たされない。

あなたの腹は空っぽになる。

あなたは物を運んでも、無事に

は運べない。

運べたとしても、私はそれを敵に
わたす。

15 あなたは種をまいても、刈り取る
ことはない。

オリーブを踏んでも、油を使うこ
とはない。

新しいぶどう酒を造っても、ぶど
う酒を飲むことはない。

16 あなたはオムリの法令とアハブ
家の慣行全てに従っている。

彼らの勧めのままに歩んでいる。
それで私は、人々があなたにつ
いて見聞きして恐怖を抱くよう
にする。

人々が住民たちに向かって口笛
を吹くようにする。

あなたたちは国々から輕蔑さ
れる」。

7 悲惨なことだ！

私は、夏の果物の収穫の後、
早い時期になる好物のイチジク
を見つけれない人、

ブドウの採り残しが集められ
た後、

食べられるブドウの房を見つけ
られない人のようだ。

2 揺るぎない愛を示す人は地上か
ら消え、

第6章

(7) レビ 26:26
エゼ 4:16
ホセ 4:10

(4) 申 28:38
エレ 12:13
ヨエ 1:10
アモ 5:11

(7) 王 16:25,30
王 21:1,3

(4) エレ 19:8

(4) 詩 44:13
エレ 51:51
哀 5:1
ダニ 9:16

第2欄

第7章

(7) イザ 57:1

(4) イザ 59:7

(7) エレ 3:5
エレ 4:22
エゼ 22:6

(4) イザ 1:23
ミカ 3:11

(4) 王 21:5,6

(7) イザ 10:3
エゼ 12:23
ホセ 9:7

(4) イザ 22:5

(7) エレ 9:4

(7) エゼ 22:7

(4) ルカ 12:53

(7) エレ 12:6
マタ 10:35,36

(4) 詩 123:2
イザ 8:17

(4) 詩 25:5
詩 62:1
哀 3:26

(4) 詩 40:1
イザ 12:2
イザ 25:9

ひとびと なか しょうじき ひと
人々の中に正直な人はいない。

かれ みな ひと ち なが
彼らは皆、人の血を流すために
待ち伏せする。

ひ あみ じぶん きょうだい つか
引き網で自分の兄弟を捕まえる。

3 彼らの手は器用に悪いことを
する。

こうかん ようきゅう
高官は要求がましく、
さいばんにん ほうしゅう もと せい
裁判人は報酬を求め、
ちやうめい ひと ほ
著名な人は欲しいものについて
語る。

かれ けつたく
彼らは結託している。

4 最も良い人がいばらのようで、
最も正直な人もいばらの垣根よ
り悪い。

あなたの見張りの日、あなたの
裁きの日が来る。
彼らは混乱に陥る。

5 仲間を信じてはいけな。い。
親友も信頼してはいけな。い。
寄り添って寝る妻に何を話すか
にも注意せよ。

6 息子は父を見下し、
娘は母に、嫁はしゅうとめに逆
らっている。

自分の家の人たちが敵になっ
ている。

7 しかし私はエホバに目を向け続
ける。

わたくし すく かみ しんぼうづよ ま せい
私の救いの神を辛抱強く待つ。
わたくし かみ き せい
私の神は聞いてくださる。

8 敵よ、私のことで喜ぶな。
私は倒れても起き上がる。

闇の中に住んでいても、エホバ
が私の光となってくださる。

- 9 私は神に対して罪を犯したので、
エホバの怒りを耐え忍ぶ。
神が私の件で弁護し、私のため
に公正をもたしらしてくださる

まで。

神は私を光の中に連れ出してく

ださる。

私は神の正義を見る。

- 10 私の敵もそれを見る。

「あなたの神エホバはどこにいる
のか」と私に言っていたその
敵は恥をかく。

私の目は敵を見る。

敵は路上の泥のように踏みつけ
られる。

- 11 それはあなたの石の壁が築かれ
る日となる。

その日、境界は広げられる。

- 12 その日、あなたのもとに人々が
やって来る。

アッシリアやエジプトの町々
から。

エジプトから川までの一帯から。
海から海まで、山から山までの所
から。

- 13 土地は住民たちのせいで荒れ果
てる。

自分たちが行ったことの結果と
して。

7:11 *もしかすると、「布告は速くに離れる」。

7:12 *ユーフラテス川のこと。

第7章

(7) 哀 1:18

(4) 詩 79:10

詩 115:2

ヨエ 2:17

(7) イザ 11:16

イザ 27:13

ホセ 11:11

第2欄

(7) イザ 40:11

(4) エレ 50:19

エゼ 34:23

(7) 詩 78:12

イザ 63:11

エレ 23:7,8

(4) 詩 126:2

イザ 26:11

イザ 66:18

(7) イザ 49:23

(7) エレ 33:9

(4) エレ 23:3

ヨエ 2:32

(7) 出 34:6,7

イザ 1:18

イザ 44:22

エレ 50:20

ダニ 9:9

- 14 あなたのついでで世話してくだ
さい。

あなたの民、あなたの財産であ
る羊の群れを。

自分たちだけで森の中、果樹園
の中に住んでいた群れを。

昔の日々のようにバシャンとギレ

アデで草をはませてやってくだ

さい。

- 15 「あなたがエジプトから出てきた
時のように、

私はあなたに驚くべきことを見

せる。

- 16 国々は見て、恥じ入る。

あらゆる力があるにもかかわらず。

彼らは手で口を押さえる。

耳は聞こえなくなる。

- 17 彼らは蛇のように土をなめる。
地面の爬虫類のように震えなが
らとりでから出てくる。

私たちの神エホバのもとに恐怖

のうちにやって来る。

彼らはあなたを恐れる。

- 18 あなたのような神がいるでしょ
うか。
あなたはご自分の財産である民
の残りの者のために、
過ちを許し、違反を見過す方。
いつまでも怒りを抱き続けること
はない。

7:17 *または、「屈服させられる」。

ゆ 揺るぎない愛を示すことを喜ば
れるから。

19 神は私たちに再び憐れみを示して
くださる。

わたし 私たちの過ちを征服してくだ
さる。

7:19 *または、「踏みつけて」、「抑え付けて」。

第7章

(㉞) 詩 103:9
イザ 57:16
哀 3:22
(㉟) 申 30:3
詩 103:8,13
ホセ 2:19

第2欄

(㉞) 詩 103:12
イザ 55:7
エレ 31:34
(㉟) 創 22:17
詩 105:8-11
ルカ 1:72,73
使徒 3:25,26

すべ 全ての罪を深い海の中に投げ込
んでくださる。

20 あなたはヤコブを支え続けら
れる。

アブラハムに揺るぎない愛をお
示しになる。

むかし ひび わたし ふ そ
昔の日々、私たちの父祖たちに
誓われた通りに。

ナホム書

概 要

- 敵に対する神の復讐 (1-7)
神は全くの専心を要求する (2)
エホバは自分のものに避難してくる人たち
を心に留める (7)
ニネベは滅ぼされる (8-14)
苦難は二度と生じない (9)
良い知らせがユダに伝えられる (15)

- ニネベは荒廃する (1-13)
「川の水門が開けられる」 (6)
- 「流血に満ちた都市には災いがある!」 (1-19)
ニネベが処罰される理由 (1-7)
ニネベはノ・アモンと同様に陥落する (8-12)
ニネベの陥落は決定的 (13-19)

1 ニネベに対する宣告。エルコシュ
の人ナホムの幻の書。

2 エホバは全くの専心を要求する
神、復讐する神。
エホバは復讐する。憤りを表そう
としている。

エホバは敵たちに復讐する。
敵たちへの憤りを抱いている。

3 エホバはすぐに怒らず、偉大な
力を持っている。
エホバが当然の処罰をせずにお
くことは決してない。

1:1 *意味、「慰める者」。

第1章

(㉞) イザ 10:12
ナホ 3:7
ゼバ 2:13
(㉟) 出 20:5
(㊱) 申 32:35,41
イザ 59:18
(㊲) 民 14:18
(㊳) ヨブ 9:4
(㊴) 出 34:6,7

第2欄

(㉞) ヨブ 38:1
(㉟) ヨブ 38:11
詩 104:6,7
詩 107:29
(㊱) ヨシ 3:16
(㊲) イザ 33:9
アモ 1:2
(㊳) サニ 22:8
詩 68:7,8

かみ みち はかいてき かぜ あらし なか
神の道は破壊的な風と嵐の中に

あり、
かみ あし た つち くも
神の足が立てる土ばかりは雲で
ある。

4 神は海を叱りつけ、干上がら
せる。

すべ 全ての川を干上がらせる。

バシャンとカルメルは枯れ、
レバノンの花も枯れる。

5 神のゆえに山々は揺れ、

丘は溶ける。

かみ かお だい ち お あ
神の顔のゆえに大地は押し上げ
られる。

土地も、そこに住む全てのものも。

6 神の憤りを前にしていったい誰が立ってられるか。

燃える怒りにいったい誰が耐えられるか。

神の憤りは火のように吐き出される。

岩も神のゆえに砕かれる。

7 エホバは善い方で、苦難の日のとりで。

自分のもとに避難してくる人たちを心に留める。

8 神はすさまじい洪水でニネベを完全に滅ぼす。

闇が敵たちを追跡する。

9 あなた方はエホバに対して何をたくらむのか。

神は完全な滅びをもたらす。

苦難は二度と生じない。

10 いばらのように密生し、

麦酒に酔う人のようであっても、彼らは乾いたわらのように焼き尽くされる。

11 エホバに対して悪事をたくらみ、役に立たない助言を与える者があなたから出る。

12 エホバはこう言う。
「たとえ強くて数が多くても、
彼らは倒され、消え去る。
私はあなたを苦しめたが、もう苦しめない。

1:7 *または、「世話する」。 1:10 *または、「小麦酒」。 1:12 *ユダのこと。

第1章

(例) 詩 97:4,5
イザ 24:1

(例) エレ 10:10

(例) 申 32:22

(例) 詩 136:1
マタ 19:17

(例) 詩 46:1
詩 91:2
格 18:10
イザ 25:4

(例) 詩 1:6

(例) イザ 10:24,25

第2欄

(例) イザ 14:25

(例) イザ 52:7
ロマ 10:15

(例) 申 16:16

第2章

(例) エレ 25:9

(例) 王二 17:6

13 私はあなたのでんぴん棒を折り、
あなたのかせを断つ。

14 エホバはあなたに関して命じた。
『あなたの名は存続しない。』

私はあなたの神々の家から彫刻像や金属像を除き去る。

私はあなたの墓を作る。

あなたが卑劣だからだ。』

15 良い知らせを持ってくる者、
平和について伝える者が山々を越えてくる。

ユダよ、あなたの祭りを祝え。あなたの誓約を果たせ。

どうしようもない者が再びあなたの所を通ることはないからだ。
その者は完全に滅ぼされる。』

2 散らす者があなたに向かって
やって来た。

防塞の守りを固めよ。

道を見張れ。

気を引き締め、力を奮い起こせ。

2 エホバはヤコブの誇りを回復する。

イスラエルの誇りも。

破滅させる者たちが彼らを破滅させ、

彼らの若枝を損なったからだ。

3 強い人たちの盾は赤い。

戦士たちは紅で装っている。

戦いに備える日、

1:13 *用語集参照。 1:14 *アッシリアのこと。
*または、「神殿」。 *または、「鑄造された像」。
2:1 *ニネベのこと。 *直訳、「腰を強くし」。 2:2 *イスラエルのこと。

戦車の鉄の装備が火のようにき
らめく。

ネズの木の下が振りかざさ
れる。

4 通りを戦車が狂ったように疾駆
する。

広場を駆け巡る。
たいまつのように光り、
稲妻のようにきらめく。

5 士官たちが招集され、
進んでいってつまずく。

城壁に急ぎ、
防壁を築く。

6 川の水門が開けられる。
宮殿は崩れ落ちる。

7 事は定められた。
都市は裸にされ、連れ去られる。
女奴隷たちは嘆く。

ハトのような声を上げ、胸をた
たく。

8 ニネベはずっとため池のよう
だった。

だが、みんな逃げていく。
「止まれ! 止まれ!」
それでも、誰も引き返さない。

9 銀を奪え、金を奪え!
財宝に限りはない。

ありとあらゆる貴重な物が大量
にある。

10 都市は、何もなくなり、荒れ果て、
壊滅する。

2:6 *または、「溶ける」。

第2章

(例) 創 10:8,11

(例) ゼバ 2:13

(例) ゼバ 2:15

第2欄

(例) エレ 2:14,15
エレ 50:17

(例) イザ 10:12

(例) 詩 46:9
イザ 37:24

(例) 王二 18:17

心は恐れにとられ、膝は崩れ、
腰は震える。
皆の顔が青ざめる。

11 ライオンのすみかはどこに行った
のか。

若いライオンが食べる場所、
ライオンが子を連れていく場所
はどこか。

誰にも脅かされることはなかった
のに。

12 ライオンは十分な獲物を子のた
めに引き裂き、

雌ライオンのために絞め殺した。
獲物で巢を、
引き裂いた動物ですみかをいつ
ぱいにした。

13 大軍を率いるエホバは宣言する。
「私はあなたを攻める。

私は戦車を煙の中で焼き払う。
剣があなたの若いライオンたち
を餌食にする。

私はあなたの獲物を地上から
絶つ。

あなたの使者たちの声はもう聞
かれない」。

3 流血に満ちた都市には災いが
ある!

欺きと強奪がはびこっている。
獲物をむさばり続けている。

2 むちの響きと車輪の音。
疾走する馬と弾む兵車。

3 またがる騎手、きらめく剣、光る
やり。

ころ おおぜい もの し たい やま
殺された大勢の者、死体の山。

死体は数え切れない。

ひとびと し たい なん ど
人々が死体に何度もつまづく。

- 4 これはこの都市の度重なる売春
のため。

み わく おんなじゅじゅつ
魅惑してうっとりさせる女呪術

師は、

ばいしゅん くにぐに じゅじゅつ
売春によって国々を、呪術によつ
て氏族たちをわなに掛ける。

- 5 大軍を率いるエホバは宣言する。
「私はあなたを攻める。
わたし * セ (例)
私はあなたの服の裾を顔の上ま

でまくり上げ、

くにぐに はだか いく
国々にあなたの裸を、幾つもの
おうこく はじ
王国にあなたの恥をさらす。

- 6 私は汚物をあなたに投げ付け、
あなたを卑しめる。
あなたを見せ物にする。
7 あなたを見た人は皆あなたから
逃げ、こう言う。

『二ネベは滅ばされた！

だれ どうじょう
誰が同情するだろうか』。

わたし なぐさ もの
私はあなたを慰める者をいった

いどこに見つけられるだろ

うか。

- 8 あなたは、ナイルの運河のそば
に座っていたノ・アモンより優
れているのか。

そこはみず かこ うみ とみ うみ
そこは水に囲まれ、海が富、海
が城壁だった。

- 9 エチオピアとエジプトがその限り
ない力の源だった。

第3章

(例) ナホ 2:13

(例) ゼバ 2:15

(例) ナホ 2:8

(例) イザ 19:6

(例) エレ 46:25
エゼ 30:14

第2欄

(例) 創 10:6

(例) 代二 16:8
エレ 46:8,9

(例) イザ 20:4

(例) 詩 75:8
エレ 25:15

(例) 代二 32:3,4

(例) ゼバ 2:13

(例) 出 10:14,15

プトとリビア人からの支援も

あった。

- 10 だが、捕らわれて連れていか
れた。

こども まちかど いた ところ う
子供たちも街角の至る所で打ち
砕かれた。

おもだ ひと
主立った人たちについてくじが
ひかれ、

ゆうりよくしや みな あし
有力者たちは皆、足かせをはめ
られた。

- 11 あなたも酔いつぶれ、姿をくら
ます。

てき に ば さが ちど
敵からの逃げ場を探し求める。

- 12 あなたの防塞はどことも、早い時
期の実を付けたイチジクの木
のようだ。

ゆ み た ひと ぐち
揺すられると、食べる人の口の
中に実が落ちる。

- 13 あなたの軍隊は女性のようにだ。
あなたの土地の門は敵のために
広く開けられる。

ひ もん や つ
火が門のかんぬきを焼き尽くす。

- 14 攻囲に備えて水をくめ。

ぼうさい きょうか
防塞を強化せよ。
どろ なか はい ねん ど ふ
泥の中に入り、粘土を踏みつ

けよ。

れんがの型を手にとれ。

- 15 そこでも火があなたを焼き尽くす。
剣があなたを切り倒す。
若いバツタのようにあなたを食ら
うのだ。

わか かず おお
若いバツタのように数を多くせよ。
バツタのように数を多くせよ。

16 あなたは商人たちを天の星より
多くした。

若いバツタは脱皮し、飛び去る。

17 あなたの番兵たちはバツタのよ
うだ。

役人たちはバツタの群れのよ

うだ。

寒い日には石囲いの中で過ご

すが、

太陽が出ると飛び去る。

居場所は誰にも分からない。

18 アッシリアの王よ、

第2欄

第3章

㉑ ナホ 2:8

㉒ ゼバ 2:15

㉓ イザ 10:5,6
イザ 37:18

あなたの牧者たちはうとうとして
いる。

高貴な人たちは家でぬくぬくとし
ている。

あなたの民は山々に散らされ、
集める者はいない。

19 あなたの惨状に救済はない。

あなたの傷は癒えない。

あなたについて聞く人は皆、手
をたたく。

あなたの度重なる蛮行に苦しま
なかった人はいないからだ。

ハバクク書

概要

- 助けを求めるハバククの叫び (1-4)
「エホバ、私はいつまで助けを求めて叫ばなければならないのですか」(2)
「圧制を見過ごしておられるのはどうしてですか」(3)
神は処罰のためにカルデア人を用いる (5-11)
ハバククはエホバに嘆願する (12-17)
「私の聖なる方、あなたは死ぬことはありません」(12)
「あなたの目はあまりにも清いので、悪を見続けることはできません」(13)
- 「神が私を通して何と話されるか……私は常に見守っている」(1)

- エホバはハバククに答える (2-20)
「待ち続けよ」(3)
正しい人はしっかりした信仰によって生きる (4)
カルデア人への5つの災い (6-20)
エホバについての知識が地上に満ちる (14)
- ハバククは、行動してくださるようにとエホバに祈る (1-19)
神はご自分が選んだ民を救う (13)
苦難の中でもエホバのことで歓喜する (17, 18)

1 預言者ハバククが幻の中で与えられた宣告。

2 エホバ、私はいつまで助けを求

1:1 *意味はもしかすると、「熱烈な抱擁」。

第2欄

第1章

㉑ 詩 13:1

めて叫ばなければならないの
です。

あなたは聞いてくださらないので
す。

わたしはいつまで暴力からの救出を
願わなければならないので

すか。

あなたは介入してくださらないの
ですか。

3 私に悪事を見させるのはどうして
ですか。

圧制を見過しておられるのはど
うしてですか。

私の前に破壊や暴力があるのは
なぜですか。

口論や争いがあまりにも多いの

はなぜですか。

4 律法は力を失い、

公正が全く守られていません。
悪い人が正しい人を取り囲んで

いるため、

公正がゆがめられています。

5 「国々を見て、注目せよ。

驚いて見つめ、がくぜんとせよ。

あなたたちの時代に起きること
がある。

あなたたちが聞いても信じない
ようなことである。

6 私はカルデア人を駆り立てる。

冷酷で気性の荒い国民である。

彼らは地上の広い範囲を巡り、
他人の住まいを占領しようと

する。

7 彼らは恐ろしくて、怖い。

自分の正義と権威を打ち立てる。

第1章

(7) 詩 22:1
詩 74:10
啓 6:10

(4) ヨブ 12:6
詩 12:8
伝 8:11
イザ 1:21
使徒 7:52, 53

(7) イザ 28:21
イザ 29:14
哀 4:11, 12
使徒 13:40, 41

(3) エレ 22:7
エレ 46:2

(8) 申 28:49-51
エレ 5:15-17
エレ 6:22, 23
エゼ 23:22, 23

(7) エレ 39:5-7
ダニ 5:18, 19

第2編

(7) エレ 5:6

(4) エレ 4:13
哀 4:19
エゼ 17:3

(7) エレ 25:9

(3) イザ 27:8
エゼ 17:10

(8) 王ニ 24:12

(7) エレ 32:24
エレ 52:7

(4) イザ 47:5, 6
エレ 51:24
ゼカ 1:15

(7) ダニ 5:1, 4

(7) 詩 90:2
詩 93:2
啓 1:8

(3) テモ一 1:17
啓 15:3

(7) 申 32:4

(3) エレ 30:11

8 彼らの馬はヒョウより速く、
夜のオオカミよりどう猛。
彼らの軍馬は疾駆する。

遠くからやって来る。
彼らは獲物に飛び付くワシのよ
うに襲い掛かる。

9 暴力を振るうため、こぞって一心
不乱にやって来る。

集結した彼らの顔は東風のお
うだ。

砂をすくうように人々を捕虜に
する。

10 王たちをあざけり、
高官たちをあざ笑う。

どの防備された場所をもあざ
笑い、

土を積み上げて攻め取る。

11 そして風のように進み、通って
いく。

だが、彼らは有罪とされる。

振るった力を自分たちの神によ
るものとするからだ。

12 エホバ、あなたは永遠の昔から
おられます。

私の神、私の聖なる方、あなたは
死ぬことはありません。

エホバ、あなたが刑の執行のた
めに彼らを任命しました。

私の岩、あなたが処罰のために
彼らを立てたのです。

1:11 *もしかすると、「自分の力を自分の神とす
る」。 1:12 *もしかすると、「私たちは死にませ
ん」。 *または、「戒め」。

1:2 *または、「救って」。 1:7 *または、「威厳」。

13 あなたの目はあまりにも清いので、悪を見続けることはできません。

あなたは悪を見過ごすことができません。

それなのに、不誠実な者たちを見過ごしておられるのはどうしてですか。

悪い人が自分より正しい人を締め付けているのに、どうして黙っておられるのですか。

14 人を海の魚や、治める者がいない地面を動く生き物のようにしておかれるのはなぜですか。

15 彼はその全てを釣り針で引き上げます。

引き網で捕まえます。

漁網で集めるのです。

こうして彼は非常に喜びます。

16 それで彼は引き網に犠牲を捧げ、漁網に犠牲を捧げます。

それによって彼の分け前は豊か

になり、

食べる物は上質になります。

17 彼は、引き網を満たしては空にすることを続けるのでしょうか。

同情もなしに国々で殺りくを続けるのでしょうか。

2 私は見張り所にとずっと立ち、土塁の上に居続ける。

1:15 *敵であるカルデア人のこと。 1:16 *または、「のために犠牲の煙を立ち上らせ」。 1:17 *もしかすると、「彼は、剣を抜く」。

第1章

(例) 詩 5:4,5

(例) エレ 12:1

(例) 詩 35:21,22

(例) エレ 50:11

(例) 代二 36:17
ナホ 3:7

第2章

(例) イザ 21:8
ミカ 7:7

第2欄

(例) 出 17:14

(例) 申 31:9,11

(例) ミカ 7:7

(例) ヨハ 3:36
ロマ 1:17
ガラ 3:11
ヘブ 10:38

神が私を通して何と話されるか、私が与えられる戒めにどう答える

るとよいかを、

私は常に見守っている。

2 するとエホバは私に答えた。「この幻について書き、板にはっきり記し、

朗読する人が読みやすいようにせよ。

3 この幻は定められた時のためのもので、

終わりに向かって急いでおり、偽りではない。

たとえ遅れるとしても、待ち続けよ。

必ずその通りになるからである。遅くなることはない！

4 誇らしげな者を見よ。

その者の心の中は正直でない。

一方、正しい人はしっかりした信仰によって生きる。

5 ぶどう酒は人に愚かなことをさせる。

だからその高慢な男は目標を達成しない。

欲望を墓のように大きくする。

その者は死のようであり、満足することがない。

あらゆる国を集め続け、

2:2 *または、「すらすらと読める」。 2:3 *または、「実現」。 *または、「遅れているように思えても」。 ^または、「心から待ち望め」。 2:4 *もしかすると、「信じていること」、「忠実さ」。 2:5 *ヘブライ語、シェオル。用語集参照。

あらゆる^{たみ よ あつ}民を寄せ集める。

- 6 それらの人^{ひと}たち皆^{みな}が、その者^{もの}に
あざけりの言葉^{ことば}や皮肉^{ひにく}や風刺^{ふうし}
を言^いわないだろうか。

こう言^いう。

『自分^{じぶん}のものではない物^{もの}を増^ふや
し(こんなこと^{こと}がいつまで続^{つづ}く
のか)、
負債^{ふさい}を大き^{おお}くしている者^{もの}には災^{わざわ}い
がある!

- 7 あなたの債権者^{さいけんしゃ}たちは突如^{とつじょ}立ち
上^あがる。
目^め覚^ざめ、あなたを激^げしく揺^ゆさ
ぶり、
あなたから略奪^{りやくだつ}する。

- 8 あなたは多く^{おほく}の国^{くに}から略奪^{りやくだつ}した
ので、
国々^{くにぐに}の残^{のこ}っている人^{ひと}たち皆^{みな}があ
なたから略奪^{りやくだつ}する。

あなたが人^{ひと}の血^ちを流^{なが}したから、
土地^{とち}や町々^{まちまち}やそこに住^すむ人^{ひと}たち
に暴力^{ぼうりょく}を振^ふるったからだ。

- 9 自分^{じぶん}の家族^{かぞく}のため^{ため}に不当^{ふとう}な利益^{りえき}
を得^えて、
自分^{じぶん}の巢^すを高^{たか}い所^{ところ}に作^{つく}り、
災^{わざわ}いの手^てから逃^{のが}れようとする者^{もの}に
は災^{わざわ}いがある!

- 10 あなたは自分^{じぶん}の家族^{かぞく}にとつて恥^{はじ}
となること^{けいかく}を計^{けい}画^{かく}した。
多く^{おほく}の国々^{くにぐに}を滅^{ほろ}ぼすことにより、
あなた^{あなた}は自分^{じぶん}に對^{たい}して罪^{つみ}を
犯^{おか}す。

第2章

(例) イザ 14:16, 17

(例) イザ 14:4

(例) エレ 51:11

(例) イザ 13:19
エレ 27:6, 7
ゼカ 2:7-9

(例) 代二 36:17
詩 137:8

(例) イザ 14:20

第2欄

(例) エレ 51:58

(例) 詩 72:19
イザ 11:9
ゼカ 14:9

(例) 詩 75:8
イザ 51:22, 23
エレ 25:28
エレ 51:57

- 11 城壁^{じょうへき}から石^{いし}が叫^{さけ}び、
屋根^{やね}から材木^{ざいもく}が答^{こた}える。

- 12 流血^{りゅうけつ}によって都^{とし}市^たを建^たて、
不正^{ふせい}によって町^{まち}を築^{きず}く者^{もの}には災^{わざわ}
いがある!

- 13 人々^{ひとびと}がひたすら働^{はたら}いても火^ひに燃^{ねん}
料^{りょう}をくべることになるだけ
で、国々^{くにぐに}が無駄^{むだ}に疲^{つか}れ果^はてる
のは、
大軍^{たいぐん}を率^{ひき}いるエホバによること
ではないか。

- 14 水^{みづ}が海^{うみ}を覆^{おお}っているように、
エホバの栄光^{えいこう}についての知^ち識^{しき}が
地上^{ちじょう}に満^みちるのである。

- 15 友^{とも}に飲^のむ物^{もの}を与^{あた}えて、
それ^{げきど}に激怒^{げきど}と怒^{いか}りを足^たし、
酔^よわせて裸^{はだか}を見^みようとする者^{もの}には
災^{わざわ}いがある!

- 16 あなたは栄光^{えいこう}ではなく不^ふ名^{めい}誉^よに
満^みたされる。

あなたも飲^のめ。そして割^{かつ}礼^{れい}を受^うけ
てい^{ところ}ない所^{ところ}をさらせ。

エホバの右^{みぎ}手^ての杯^{さかずき}があなたのも
とに回^{まわ}ってくる。

恥辱^{ちじよく}があなたの栄光^{えいこう}を覆^{おお}う。

- 17 あなたがレバノンに加^{くわ}えた暴^{ぼう}力^{りょく}
があなたを覆^{おお}い、
野獣^{やじゅう}を恐^{おそ}れさせた破^は壊^{かい}があなた
を襲^{おそ}う。

あなたが人^{ひと}の血^ちを流^{なが}したから、

土地や町々やそこに住む人たちに暴力を振ったからだ。

18 彫刻師が彫った彫刻像が何の役

に立つだろうか。

金属像、うそを教える教師が何の役に立つだろうか。

たとえ作った者が頼としても、それらは口が利けない無価値な神々だ。

19 木に向かって「目を覚ませ」と言ったり、

口が利けない石に向かって「起きろ、教えてくれ」と言ったりする者には災いがある！

それは金や銀をかぶせたもので、中には全く息がない。

20 しかし、エホバは聖なる神殿に

いる。
地上全体はその前で黙っているよ！』

3 預言者ハバククの祈り。哀歌の形で。

2 エホバ、私はあなたについて聞きました。

エホバ、私はあなたが行われたことに敬服します。

定めの際にそれをもう一度行ってください。

定めの際にそれを広く知らせてください。

2:18 *または、「鑄造された像」。3:2 *もしかすると、「私たちの時代」。直訳、「年月の間」。

第2章

(ア) 詩 137:8
エレ 50:28
エレ 51:24

(イ) イザ 42:17
イザ 44:19, 20
イザ 45:20

(ウ) イザ 40:19
イザ 46:6

(エ) エレ 51:17

(オ) イザ 6:1

(カ) 詩 76:8
詩 115:3
ゼカ 2:13

第2欄

第3章

(ア) 哀 3:32

(イ) 申 33:2
箴 5:4
詩 68:7, 8

(ウ) 出 19:16

(エ) 出 13:21

(オ) 民 14:11, 12
民 16:46
民 25:1, 9

(カ) イザ 13:13
ハガ 2:21

(キ) 出 14:25
出 23:27

(ク) 詩 114:1, 4
ナホ 1:5

(コ) 出 15:14, 15
民 22:3, 4

(コ) 詩 114:1, 3
イザ 50:2
ナホ 1:4

(ケ) 申 33:26

(セ) 詩 68:17

混乱を生じさせる時、忘れずに憐れみを示してくださいませよ

うに。

3 神がテマンから来られた。聖なる方がパラン山から。(セラ)

神の威光が天を覆い、地は賛美で満たされた。

4 神の輝きは日の光のよう。手からは2つの光が出た。

その手に強さが隠されていた。

5 神の前を疫病が行き、足元には熱病が続いた。

6 神は立ち止まり、地面を揺り動かした。

目をやり、国々を跳び上らせた。

永遠の山は打ち砕かれ、古来の丘もひれ伏した。

これが遠い昔の神の歩みである。

7 私はクジャンの天幕での苦境を見た。

メディアンの土地の天幕の布は震えた。

8 エホバ、川に対してなのですか。あなたは川に対して怒りを燃やしているのですか。

それとも、海に対して激怒しているのですか。

あなたは馬に乗られたからです。あなたの兵車は勝利をもたらしました。

3:3 *用語集参照。3:8 *または、「救い」。

9 あなたの^{ゆみ おお はず い}弓は覆いを外され、射
る^{ようい}用意ができています。

誓い^{ちか}によって武器^{ぶ き *}が整えられて
います。(セラ)

あなたは川^{かわ}で大地^{だい ち}を裂^さかれま
した。

10 山々^{やまやま}はあなたを見て、もだえ苦し
み^みました。

大雨^{おおあめ}の水^{みず}が流れ^{なが}広がりました。
深い^{ふか}所^{ところ}が大声^{おおこえ}を上げ、手^てを高く
上げました。

11 太陽^{たいよう}と月^{つき}は高い住まいにとどまり
ました。

あなたの矢^やが光^{ひかり}のように飛^とびま
した。

あなたのやりの稲妻^{いなずま}が輝^{かがや}きま
した。

12 あなたは憤^{いきどお}りながら地上^{ちじょう ある}を歩い
ていきました。

怒^{いか}りを抱^{いだ}いて国々^{くにくに}を踏^ふみつぶし
ました。

13 あなたはご自分^{じぶん}の民^{たみ}を救^{すく}うた
めに、

あなた^{えら}が選^{えら}んだ者^{もの}を救^{すく}うために
出^でていきました。

悪^{あく}人^{にん}の家^{いえ}の指^し導^{どう}者^{しゃ}を打^うち倒^{たお}しま
した。

その土台^{どだい}から屋根^{やね}までがあらわ
にされました。(セラ)

14 あなたは戦士^{せんし}たちの頭^{あたま}を戦士^{せんし}た

3:9 *もしかすると、「矢」。^{*}もしかすると、「諸
部族の誓いが述べられます。 3:12 *直訳、「脱
穀しました」。 3:13 *直訳、「油を注いだ」。用
語集の「油を注ぐ」参照。

第3章

出 19:18
詩 114:1,4

詩 77:16

ヨシ 10:12

詩 77:17,18

第2欄

詩 119:120
エレ 23:9
ダニ 8:27

詩 42:5
イザ 26:20
哀 3:26

出 15:2
サー 2:1
詩 18:2
詩 27:1
イザ 61:10

イザ 12:2
フイリ 4:13

サニ 22:34

ち自身^{じしん}の武器^{ぶ き}で刺^さし通^{とお}しま
した。

彼ら^{かれ}が私^{わたし}を散^ちらそうとして風^{あらし}のよ
うに出^でてきた時^{とき}に。

彼ら^{かれ}は苦しむ人^{くるひと}たちを隠^{かく}れて襲^{おそ}
うことを非常^{ひじょう}に喜^{よろこ}びました。

15 あなたは馬^{うま}で海^{うみ}を、
うねる広^{こう}大な水^{すい}を踏^ふみ進^{すす}いま
した。

16 私^{わたし}は聞^きき、体^{からだ}の芯^{しん}が震^{ふる}えました。
その知^しらせに、唇^{くちびる}が震^{ふる}えました。

私の骨^{ほね}は腐^{くさ}り、
足^{あし}は揺^ゆれました。

しかし、私^{わたし}は苦難^{くなん}の日^ひを静^{しず}かに
待^{まち}ちます。

それは、私^{わたし}たちを攻^せめる民^{たみ}に訪^{おとず}
れる日^ひだからです。

17 イチジク^{いちじく}の木^きに花^{はな}が付^つかず、
ブドウ^{ぶどう}の木^きに実^みがなくなっても、

オリーブ^{おリーブ}が不作^{ふさく}に終^おわり、
畑^{はたけ}が食物^{しょくもつ}を生^うみ出^ださなくても、

囲^{かこ}いから羊^{ひつじ}が消^きえ、
小^こ屋^やから牛^{うし}がいなくなっても、

18 私^{わたし}はエホバ^{えほば}のこ^{こと}で歡喜^{かんき}します。
私の救^{すく}いの神^{かみ}のこ^{こと}で喜^{よろこ}びにあ

ふれます。

19 主^{しゅ}権^{けん}者^{しゃ}である主^{しゅ}エホバ^{えほば}は私^{わたし}
の力^{ちから}。

私^{わたし}の足^{あし}を鹿^{しか}の足^{あし}のよう^{よう}にし、
高^{たか}い場所^{ばしょ}を歩^{ある}かせてくださ
います。

指揮^{しきしや}者^{わし}へ。私^{わたし}の弦^{げん}楽^{がく}器^きで。

3:16 *または、「音」。 3:17 *または、「段丘」。

ゼパニヤ書^{しよ}

概要

- | | |
|---|---|
| 1 エホバの処罰の日は近い (1-18)
エホバの日はすぐにやって来る (14)
銀も金も助けにならない (18) | 3 周圀の国への処罰 (4-15)
逆返し、墮落した都市エルサレム (1-7)
処罰と復興 (8-20)
清い言語に変わる (9)
謙遜でつましい人々は救われる (12)
エホバはシオンのことを歓喜する (17) |
| 2 怒りの日が来る前に、「エホバのもとに行け」 (1-3)
「正しいことをせよ。温厚であるようにせよ」 (3)
「あなたたちは隠されるだろう」 (3) | |

1 ユダの王アモンの子ヨシヤの時^{だい}に、ヒゼキヤの子アマルヤの子ゲダリヤの子クシの子ゼパニヤ^{*}にエホバが語った言葉。

2 「私は地上から全てのものを一掃^{いっそう}する」とエホバは宣言する。

3 「私は人と獣を一掃^{いっそう}する。鳥と魚、悪人と過ちのもとを一掃^{いっそう}する。

私は地上から人を除き去る」と、エホバは宣言する。

4 「私はユダとエルサレムの全住民^{ぜんじゅうみん}に対して手を伸ばす。この場所からバアルの痕跡^{こんせき}をこごとく消し去る。

祭司^{さいし}たちを、また外国^{がいこく}の神^{かみ}の祭司^{さいし}たちの名を消し去る。

5 屋上で天の星にひれ伏^ふす者、

第1章

(例) 王ニ 21:18-20

(例) 王ニ 22:1, 2
エレ 1:2

(例) 王ニ 22:16
イザ 6:11
エレ 6:8

(例) エレ 4:25

(例) エゼ 14:3

(例) 民 25:3
裁 2:11, 13
代ニ 28:1, 2
エレ 11:17

(例) 王ニ 23:5

(例) 代ニ 33:1, 3
エレ 19:13

第2欄

(例) ヨン 23:6, 7
王ニ 11:33
エレ 49:1

(例) イザ 48:1

(例) イザ 1:4
エレ 2:13

(例) イザ 43:22

(例) ヨエ 2:1
ペニ 3:10

(例) 王ニ 25:7
エレ 39:6

マルカムに尽くすことを誓^{ちか}いながら、エホバに尽くすことをひれ伏^ふして誓^{ちか}う者、

6 エホバに従^{したが}うのをやめ、エホバに導^{みちび}きを求めたり尋ねたりしない者を消し去る。

7 主権者である主エホバの前で黙^{だま}っているよ。

エホバの日は近いからだ。

エホバは犠牲^{ぎせい}を用意した。

招いた人々を神聖なものにした。

8 「エホバの犠牲の日、私は責任を問う。

高官たち、王の子たち、外国の服装^{ふくそう}をする者全てに。

9 その日、私は責任を問う。

壇に上る者全てと、

1:1 *意味、「エホバは覆い隠した(蓄えた)」。

1:3 *偶像崇拝に関係した物や行いのことと考えられる。

1:5 *または、「を揺るぎなく支持する」、「から離れない」。**1:9** *または、「台」、「敷居」。王座のある壇のことかもしれない。

しゅじん いえ ぼうりよく あざむ み
主人の家を暴力と欺きで満たす
者たちに。

10 エホバは宣言する。

ひ さかな もん^(ア) さけ
「その日、『魚の門』から叫び
声^(イ)が、
とし だい ち^(イ)く^(イ) な さけ
都市の第2地区から泣き叫ぶ
声^(イ)が、
おか おお ものおと
丘から大きな物音がする。

11 マクテシュの住民よ、泣き叫べ。

ばうえきしょう^(イ) # みな な もの
貿易商は皆、亡き者にされた。
ぎん はか もの みな ほう
銀を量る者は皆、滅ばされた。

12 その時、私はランプを手に、エ ルサレムを注意深く探す。

よ
『エホバは善いことをしてくれな
い^(イ)が、悪いことをもたらすわけ
でもない』と心^(イ)の中で^(イ)い^(イ)って、
のう^(イ)のうと暮らす者たちに責任^(イ)を
問^(イ)う。

13 彼らの富は奪われ、家は荒らさ れる。

かれ いえ た す
彼らは家を建てても、そこに住む
ことはない。

えん つく
ブドウ園を造っても、ぶどう酒を
飲^(イ)むことはない。

14 エホバの大きい日は近い！

それは近く、すぐ^(イ)にや^(イ)って来る。
エホバの日には悲痛^(イ)な音^(イ)が
する。
せん し さけ ごえ あ^(イ)
戦士も叫び声を上げる。

1:11 *エルサレムの一区画で、「魚の門」の近く
と思われる。*または、「商人」。1:12 *直訳、
「[ぶどう酒のように]おりの上で固まっている」。
1:14 *または、「急速に」。

第1章

(ア) 代ニ 33:1,14
ネヘ 3:3
ネヘ 12:38,39

(イ) 代ニ 34:22

(イ) 詩 10:13
詩 14:1

(イ) イザ 6:11

(イ) 申 28:30
エレ 5:17

(イ) ヨエ 2:1

(イ) ハバ 2:3

(イ) イザ 66:6

(イ) イザ 33:7
ヨエ 1:15

第2欄

(イ) 啓 6:17

(イ) エレ 30:7

(イ) アモ 5:18,20
使徒 2:20

(イ) ヨエ 2:2

(イ) エレ 4:19

(イ) イザ 2:12,15

(イ) 申 28:28,29
イザ 59:9,10

(イ) イザ 24:5
ダニ 9:5,8

(イ) 詩 79:2,3
エレ 9:22
エレ 16:4

(イ) 格 11:4
イザ 2:20
エゼ 7:19

(イ) 申 32:22
エレ 7:20

(イ) エレ 4:27

第2章

(イ) イザ 1:4
エレ 6:15

(イ) ヨエ 1:14
ヨエ 2:15,16

(イ) 王二 23:26
代ニ 36:16,17
エレ 23:20
哀 4:11

15 その日は激怒^(イ)の日、

くなん く^(イ)のう^(イ)
苦難と苦悩の日、
あらし こうはい ひ
嵐と荒廃の日、
やみくらやみ ひ^(イ)
闇と暗闇の日、
くも こくらやみ ひ^(イ)
雲と濃い暗闇の日、
つのぶえ こえ ひ^(イ)
角笛とときの声の日。

16 角笛とときの声の日。

ぼう び まちまち すみ たか どう
防備された町々と隅の高い塔は
攻められる。

17 私は人々に苦難をもたらす。

かれ め み
彼らは目が見えないかのように
ある まわ^(イ)
歩き回る。

エホバに対して罪を犯したか
らだ。

かれ ち つち
彼らの血は土のように、
ちよう 腸はふんのようにまかれる。

18 エホバの激怒の日には銀も金も

たす^(イ)
助けにならない。
かみ げきじよう ひ ちじょうぜんたい
神の激情の火によって地上全体

は焼き尽くされる。
かみ ちじょう じゅうみんすべ ほう
神は地上の住民全ての滅び、

おそ ほう
恐ろしい滅びをもたらすので
ある。

2 恥を知らない国民よ、

あつ あつ^(イ)
集まれ、集まれ。

2 布告が施行される前に、

その日^(イ)がみ^(イ)がら^(イ)のように過ぎ去
る前に、

エホバの燃える怒りがあなたた
ちに降り掛かる前に、

エホバの怒りの日^(イ)があなたたち
に訪れる前に、

3 エホバのもとに行け、
地上の全ての温厚な人たち、神
の正しい規定を守る人たちよ。
正しいことをせよ。温厚であるよ
うにせよ。

エホバの怒りの日にあなたたちは
隠されるだろう。

4 ガザは見捨てられた町となり、
アシュケロンは荒れ果てる。
アシュドドは真昼に追い出され、
エクロンは根こそぎにされる。

5 「海辺に住む者たち、ケレト人の
国民には災いがある！

エホバの言葉の予先はあなた方
に向いている。

カナン、フィリスティア人の土
地よ、

私はあなたを滅ぼして、住民が
一人も残らないようにする。

6 海辺は牧草地になる。
羊飼いのための井戸と羊のため
の石囲いのある所になる。

7 そこはユダの民の残っている人
たちのための地域になる。

彼らはそこで草をはむ。
晩にアシュケロンの家々で横た
わる。

エホバ神が彼らに目を向け、
捕らわれていた人たちを連れ戻
すのである」。

第2章

(ア) イザ 55:6
アモ 5:6

(イ) 創 7:13, 16
イザ 26:20
ヨエ 2:12, 14
アモ 5:15

(イ) エレ 47:5

(イ) エレ 25:17, 20
アモ 1:6-8
ゼカ 9:5, 6

(イ) エゼ 25:16, 17

(イ) イザ 11:11
エレ 31:7
ハガ 1:12

(イ) 詩 126:1
エレ 23:3
エゼ 39:25
アモ 9:14
ミカ 2:12
ミカ 4:10
ゼバ 3:20

第2欄

(イ) エレ 48:26, 27
エゼ 25:8, 9

(イ) エレ 49:1
エゼ 25:3

(イ) 詩 83:2, 4

(イ) エゼ 25:11
アモ 2:1, 2

(イ) 創 19:24, 25

(イ) アモ 1:13-15
ユダ 7

(イ) イザ 16:6
エレ 48:29

(イ) 詩 22:27
マラ 1:11

(イ) イザ 43:3
エゼ 30:4, 5

8 「私はモアブからののしりとア
モン人からの侮辱を聞いた。
彼らは私の民をあざけり、領土に
対して誇り高ぶった。

9 それで私は、生きている私自身
に懸けて誓う」と、

大軍を率いるエホバ、イスラエ
ルの神は宣言する。

「モアブはソドムのように、
アンモン人はゴモラのように
なる。

イラクサが茂る場所、塩の穴
になり、いつまでも荒れ地に
なる。

私の民の残っている人たちが彼
らから略奪する。

私の国民の残りの者が彼らを追
い立てる。

10 彼らは、誇りの代償として、こう
したことを経験する。

大軍を率いるエホバの民をあざ
けり、誇り高ぶったからだ。

11 エホバは彼らに威厳を見せつ
ける。

地上の全ての神を除き去るので
ある。

国々の全ての島が私にひれ伏す。
それぞれの場所から。

12 エチオピア人よ、あなた方も私
の剣で殺される。

2:11 *または、「を恐れさせる」。^a または、「弱
らせる」。^a または、「を崇拜する」。

2:3 *または、「謙遜」。 2:7 *または、「を気遣
い」。

- 13 神は手を北に伸ばし、アッシリア
を滅ぼす。

二ネベを荒廃させ、砂漠のような
乾燥地にする。

- 14 そこには野生動物が、あらゆる
種類の獣が横たわる。

ペリカンもヤマアラシも柱頭の
間で夜を過ごす。

窓から鳴き声がする。

敷居は荒れたままになり、
杉板があらわになる。

- 15 これが、安心して切って座っていた
誇り高き都市、

『私が一番だ。誰も比べものにな
らない』と思っていた都市だ。

見聞きした人たちが恐怖を抱く
ような場所に変わり果てた。

野生動物が横たわる場所になっ
たのだ。

そこを通る人は皆、口笛を吹き、
こぶしを振る。

- 3 反逆し、汚れた、圧制の都市に
災いがある！

- 2 耳を傾けようとして、矯正を受け
入れなかった。

エホバを信頼せず、神に近づか
なかった。

- 3 高官たちはほえるライオン。

裁判人たちは夜のオオカミ。

朝にはしゃぶる骨さえ残ってい

ない。

- 4 預言者たちは横柄で、不誠実。

第2章

(7) ナホ 3:7

(11) ナホ 3:1,19

第3章

(7) イザ 5:7

エレ 6:6

(12) エレ 22:21

エレ 32:23

(10) 詩 50:17

イザ 1:5

エレ 5:3

(10) 詩 78:22

エレ 17:5

(11) イザ 29:13

(7) イザ 1:23

エゼ 22:27

(7) 哀 2:14

第2欄

(7) エレ 23:11

(11) エゼ 22:25,26

ミカ 3:9

(7) 申 32:4

(12) エレ 21:12

(10) エレ 3:3

エレ 8:12

ゼパ 2:1

(10) レビ 28:28

(11) イザ 5:3,4

イザ 63:8

ペニ 3:9

(7) エレ 7:5-7

エレ 25:5,6

(7) ミカ 2:1

(10) 詩 37:34

詩 130:7

イザ 30:18

(11) イザ 34:2

ヨエ 3:2

啓 16:14

啓 19:19

祭司たちは聖なるものを汚す。
律法を破る。

- 5 その中であって、エホバは正し
く、悪を全く行わない。

毎朝、ご自分の法規を知らせる。
朝日のように確実に。

それなのに、不正な者は恥じる
ことをしない。

- 6 「私は国々を滅ぼし、隅の塔は
荒廃した。

私は街路を荒らして、誰も通らな
いようにした。

町々は荒れ果て、人がいなく
なった。住民がいなくなった。

- 7 私は、『あなたはきっと私を畏れ、
矯正を受け入れる』と言った。

そのすみかが破壊されないよう
にするためである。

私はこの全てのことで責任を問
わなければならないのだ。

しかし彼らは、かえってますます
墮落していった。

- 8 エホバは宣言する。

『それで、私が略奪のために立ち
上がる日まで、私を待ち続

けよ。

私の判決は、国々を集め、王国
を集め、

私の 憤り、燃える怒りをこごと
く浴びせることだからだ。

3:7 *または、「処罰しなれば」。3:8 *もし
かすると、「証人として」。*または、「辛抱強く
待て」。

わたし げきじょう ひ ちじょうぜんたい
私の激情の火によって地上全体
は焼き尽くされる。

9 その時、私は国々の言語を清い
言語に変える。

みな な よ *
皆がエホバの名を呼び、
かた なら かみ つか #
肩を並べて神に仕えるため
ある』。

10 エチオピアの川の地方から、
わたし こんがん もの ち
私に懇願する者たち、散らされた
私の民が、

わたし おく もの も (例)
私に贈り物を持ってくる。

11 その日、あなたは私に逆らって
おこな すべ (例)
行った全てのこのために恥
をかくことはない。

とき わたし ごうまん ほこ もの
その時、私は傲慢に誇る者たち
をあなたの所から除き去るの
である。

わたし せい やま ごうまん
あなたが私の聖なる山で傲慢に
なることは二度とない。

12 私は謙遜でつましい人々があ
なたの所に残るようにする。
わたし けんそん ひとびと * ひと なん
その人々はエホバのもとに避難
する。

13 イスラエルの残っている人たちは
不正を行わない。

うそを語らず、口には欺きに満ち
た舌はない。

た *よこ だれ おびや
食べて横たわり、誰にも脅かされ
ることがない』。

3:9 *または、「賛美し」。「または」、「一致して
神を崇拝する」。**3:10** *直訳、「散らされた者た
ちの娘」。**3:12** *直訳、「エホバの名」。**3:13**
*または、「草をはんで」。

第3章

(例) エゼ 36:5

(例) ゼカ 8:23

(例) イザ 60:4

(例) イザ 45:17

イザ 54:4

(例) イザ 11:9

(例) イザ 57:15

イザ 61:1

(例) イザ 10:22

ミカ 4:7

(例) イザ 60:21

(例) エレ 30:10

エゼ 34:28

エゼ 39:25,26

ホセ 2:18

ミカ 4:4

第2欄

(例) エズ 3:11

イザ 12:5,6

ゼカ 2:10

(例) ミカ 4:8

(例) イザ 40:2

ゼカ 8:13

(例) ミカ 7:10

ゼカ 2:8,9

(例) エゼ 48:35

(例) アモ 9:15

ゼカ 14:11

(例) エレ 46:28

(例) イザ 12:6

(例) 申 30:9

詩 147:11

イザ 62:3

イザ 65:19

エレ 32:41

(例) 哀 1:4

哀 2:6

(例) 哀 5:1

(例) イザ 60:14

ゼカ 14:3

14 シオンよ、歓声を上げよ。

イスラエルよ、勝利の叫びを上
げよ。

エルサレムよ、心から喜び、歓喜
せよ。

15 エホバは処罰をあなたから取り
除いた。

あなたの敵を退けた。

イスラエルの王エホバがあなた
と共にいる。

あなたはもう災いを恐れない。

16 その日、エルサレムに対して次
の言葉がある。

「シオンよ、恐れてはならない。

気力を失ってはならない。

17 あなたの神エホバがあなたと共
にいます。

力強い神が救う。

神は、大きな喜びを抱いてあな
たのことを歓喜する。

あなたへの愛のゆえに安らぐ。

喜びの叫びを上げてあなたのこ
とを喜び。

18 私は、あなたの祭りに出られずに
悲しんでいた人たちを集める。

彼らは恥辱を受けていたので、あ
なたのもとに行けなかった。

19 その時、私はあなたを虐げる者
全てに対して行動する。

3:14 *直訳、「シオンの娘」。「直訳、「エルサ
レムの娘」。**3:16** *直訳、「手を垂れさせて」。
3:17 *または、「沈黙する」、「静になる」、「満
足する」。

あし ひ もの すく (ア)
足を引く者を救い、
ち もの あつ (イ)
散らされていた者を集める。
かれ はずかし う すべ と
彼らが、辱めを受けた全ての土
ち
地で、
しょうさん めい よ う
称賛と名誉を受けるようにする。
とき わたし
20 その時、私はあなたたちを連れ
てくる。

第3章
(ア) ミカ 4:6,7
(イ) イザ 11:11,12
イザ 27:12
エゼ 28:25
エゼ 34:15,16
アモ 9:14

第2欄
(ア) イザ 60:15
イザ 61:7
エレ 30:10
エレ 33:7,9
エゼ 39:25,27

とき わたし
その時、私はあなたたちを集
める。
と ひと
捕らわれていた人々をあなた
たちの目の前に連れ戻す時、
わたし
私はあなたたちが地上の全ての
たみ なか めい よ しょうさん う
民の中で名誉と称賛を受ける
ようにする」と、エホバは言う。

ハガイ書

概要

- 1 神殿を建て直していないことについての吐責 (1-11)
「今は板張りの家に住む時だろうか」(4)
「自分がしていることについてよく考えてみなさい」(5)
種をたくさんまいても、収穫はわずかしかない (6)
民はエホバが言ったことを聞いて従う (12-15)
- 2 第二神殿に栄光が満ちることになる (1-9)
あらゆる国が揺り動かされる (7)
国々の貴重なものが入ってくる (7)
神殿を建て直すなら祝福がある (10-19)
神聖さはうつたりはしない (10-14)
ゼルバベルへの言葉 (20-23)
「私はあなたを印章付きの指輪のようにする」(23)

1 ダリウス王の治世の第2年、第6
の月の1日、エホバは預言者ハ
ガイを通して、シャルテルの子である
ユダの総督ゼルバベルと、エホツァダ
クの子である大祭司ヨシュアに、こう
言った。

第3章
(ア) エズ 5:1

(イ) エズ 3:2
エズ 5:2

(ウ) エズ 4:4,23

2 「大軍を率いるエホバはこう言う。
『この民は、「エホバの家を建てる時は
まだ来ていない」と言っている』」。

第2欄
(ア) エレ 52:12,13

3 エホバは預言者ハガイを通して、

1:1 *意味、「祭りの時に生まれた」。**1:2** *または、「神殿」。^aまたは、「建て直す」。

(イ) 申 28:22

さらに言った。**4** 「あなたたちにとつ
て今は板張りの家に住む時だろう
か。私の家が荒廃しているというの
に。**5** 大軍を率いるエホバはこう言
う。『自分がしていることについてよく
考えてみなさい。**6** 種をたくさんま
いても、収穫はわずかしかない。食べ
ても、満腹にはならない。飲んで、満
足するほどは飲めない。服を着ても、
温かくならない。働いて賃金をもらっ
ても、穴だらけの袋に入れているかの
ようだ』」。

7 大軍を率いるエホバは、『自分が
していることについてよく考えてみなさ
い』と言う。

8 『山に行つて木を切り出し、私の
家を建てなさい。そうすれば、私は喜
び、栄光を受ける』と、エホバは言う。

9 大軍を率いるエホバは宣言する。
『あなたたちは多くの収穫を期待して
いたが、わずかしかなかった。あなた
たちはそれをこの家に持ってきた
が、私はそれを吹き飛ばした。どうして
か。あなたたちがそれぞれ自分の家の
ために走り回り、私の家が荒廃して
いるからだ。10 それで、天からの露
はなくなり、大地の美りもなくなった。
11 私は大地と山々に干ばつを起こ
した。穀物や新しいぶどう酒や油や作物
は不足し、人や家畜は苦しみ、あなた
たちの労働は全て無駄になった』。

12 シャルテルの子ゼルバベル、エ
ホツァダクの子である大祭司ヨシュア、
ほかの民全ては、エホバ神が言ったこと
と、預言者ハガイの言葉を聞いて従つ
た。エホバ神がハガイを遣わしたか
らである。民はエホバを畏れるように
なった。

13 エホバの使者ハガイはエホバ
からの任務に沿つて、この言葉を民に
伝えた。『私はあなたたちと共にい
る』とエホバは宣言する。

14 エホバは、シャルテルの子であ
るユダの総督ゼルバベル、エホツァダ
クの子である大祭司ヨシュア、ほかの

第1章

〔例〕エズ 3:7

〔例〕エズ 5:2

エズ 6:15

ゼカ 1:16

〔例〕イザ 60:13

〔例〕マラ 2:2

〔例〕ハガ 1:4

〔例〕代一 3:17-19

ルカ 3:23, 27

〔例〕マタ 1:12

〔例〕代一 6:15

〔例〕代二 15:2

イザ 8:10

ロマ 8:31

〔例〕エズ 1:8

エズ 5:14

〔例〕ゼカ 3:1

ゼカ 6:11-13

第2欄

〔例〕エズ 1:1, 5

〔例〕エズ 5:2

ゼカ 6:15

〔例〕エズ 4:24

ハガ 1:1

ゼカ 1:1

第2章

〔例〕エズ 5:1

エズ 6:14

〔例〕エズ 1:8

〔例〕代一 3:17-19

ゼカ 4:9

〔例〕代一 6:15

〔例〕ゼカ 3:8

ゼカ 6:11

〔例〕王一 6:1

エズ 3:12

〔例〕ゼカ 4:10

〔例〕ゼカ 8:9

〔例〕出 3:12

イザ 43:2

ロマ 8:31

〔例〕出 29:45

出 34:10

〔例〕ゼカ 4:6

〔例〕イザ 41:10

ゼカ 8:13

〔例〕ヘブ 12:26, 27

民全てを心で奮い立たせた。それで
彼らはやつて来て、自分たちの神であ
る、大軍を率いるエホバの家の工事
に取り掛かった。15 ダリウス王の
治世の第2年、第6の月の24日のこと
だった。

2 第7の月の21日に、エホバは預
言者ハガイに言った。2 「シャ
ルテルの子であるユダの総督ゼルバ
ベルと、エホツァダクの子である大祭
司ヨシュアと、ほかの民に問い掛けな
さい。3 『栄光があった頃のこの家
を見たことがある人はいるか。その家
は、今はどう見えるか。かつてと比べ
ると、ないに等しいのではないか』。

4 『ゼルバベル、今、勇気を出しな
さい。エホツァダクの子である大祭司
ヨシュア、勇気を出しなさい』とエホバ
は言う。

『民全ても勇気を出し、働きなさい』
とエホバは言う。

大軍を率いるエホバは宣言する。
『私はあなたたちと共にいる。5 あ
なたたちがエジプトから出た時に私
が約束した事を思い出しなさい。私の
力は今もあなたたちのただ中にある。
おそれてはならない』。

6 大軍を率いるエホバはこう言う。
『間もなく、私は天と地と海と陸をもう
一度揺り動かす』。

2:3 *または、「神殿」。2:5 *もしかすると、「私
の力があなたたちのただ中であつた時のことであ
る」。

7『また、私はあらゆる国を揺り動かす。あらゆる国の貴重なものが入ってくる。私はこの家を栄光で満たす』と、大軍を率いるエホバは言う。

8『銀は私のもの、金も私のものもある』と、大軍を率いるエホバは宣言する。

9『この家の将来の栄光は、かつてのものより大くなる』と、大軍を率いるエホバは言う。

『そして私はこの場所に平和を与える』と、大軍を率いるエホバは宣言する。

10 ダリウスの治世の第2年、第9の月の24日に、エホバは預言者ハガイに言った。11「大軍を率いるエホバはこう言う。『律法について祭司たちにこう尋ねなさい。12「服のひだに聖なる肉を入れて運んでいて、その服がパンや煮込み料理やぶどう酒や油やそのほかの食べ物に触れたら、その食べ物も聖なるものになるか』』。

祭司たちは、「なりません」と答ええた。

13 ハガイは尋ねた。「死体に触れたために汚れている人が、それらの食べ物に触れたら、それは汚れたものになりますか」。

祭司たちは、「汚れたものになります」と答えた。

14 ハガイは言った。「『この民はそ

第2章

(例) イザ 2:2
イザ 60:5,11

(例) 出 40:35
王一 8:11
イザ 66:12

(例) イザ 60:13

(例) 詩 85:8
イザ 2:4
イザ 60:17,18
ゼカ 8:12

(例) ハガ 1:1

(例) マラ 2:7

(例) レビ 7:21
民 5:2,3
民 9:6
民 19:11
民 31:19

第2欄

(例) エズ 3:10
ゼカ 4:9

(例) ハガ 1:6
ゼカ 8:10

(例) 申 28:22

(例) エズ 5:2
ゼカ 8:9

(例) ハガ 1:6

(例) 格 3:9,10
ゼカ 8:12

(例) ハガ 2:10

(例) ハガ 2:6
ヘブ 12:26,27

(例) イザ 60:12
ダニ 2:44
ゼバ 3:8

のようだ。この国民は私の前ですでにそのようだ。彼らが作った物は全てそのようである。差し出す物はどれも汚れている』とエホバは宣言しています。

15『しかし、今日からはよく考えなさい。エホバの神殿で石の上に石が置かれる前は、16 どうだったか。20杯分あると思って穀物の山に来てみると、10杯分しかなかった。ブドウ搾り場から50杯分をくもうとして来てみると、20杯分しかなかった。17 私はあなたたちを、あなたたちが作った物全てを、立ち枯れと病害とひょうで打った。それでも、誰も私のもとに戻ろうとしなかった』とエホバは宣言しています。

18『今日からはよく考えなさい。今日、第9の月の24日、エホバの神殿の土台が据えられた日からは、よく考えなさい。19 倉庫にはいまだ種がない。ブドウの木、イチジクの木、ザクロの木、オリーブの木はいまだ実を付けていない。しかし今日から、私は祝福を与える』。

20 同じ日、エホバは再びハガイに言った。21「ユダの総督ゼルバベルにこう言いなさい。『私は天と地を揺り動かす。22 私は全ての王国の王座を転覆させ、全ての国民の勢力を全滅させる。私は兵車と乗てり手を打ち倒す。馬は倒れ、乗り手

2:14 *または、「彼らが自分の手で行うこと」。
2:19 *または、「穀物の穴蔵」。

2:7 *または、「好ましい」。2:13 *ヘブライ語、ネフェエシュ。用語集参照。

は剣で討ち合うことになる』。

23 『その日に』と大軍を率いるエホバは宣言する。『私はあなたを用いる。私に仕えるシャルテルの子ゼルバ

第2章

〔7〕裁 7:22

〔8〕マタ 1:12

第2欄

〔7〕エズ 3:8

ベルよ』とエホバは宣言する。『私はあなたを印章付きの指輪のようにする。あなたは私が選んだ人だからだ』と大軍を率いるエホバは宣言する。

ゼカリヤ書

概要

- 1 エホバのもとに戻るようにとの呼び掛け (1-6)

「私のもとに戻りなさい……そうすれば、私もあなたたちのもとに戻ろう」(3)

幻1: ギンバイカの木々の間の騎手たち (7-17)
エホバは再びシオンを慰める (17)

幻2: 4本の角と4人の職人 (18-21)
- 2 幻3: 測り綱を持った人 (1-13)

エルサレムを測る (2)

エホバが「火の城壁」になる (5)

神の瞳に触れる (8)

多くの国の人々がエホバのもとに来る (11)
- 3 幻4: 大祭司の服が取り換えられる (1-10)

サタンが大祭司ヨシュアを妨害しようとする (1)

「私は、私に仕える『芽』を連れてくる!」(8)
- 4 幻5: ランプ台と2本のオリーブの木 (1-14)

「人間の力によるのではなく、私の聖なる力による」(6)

小さな始まりの日を軽く見てはならない (10)
- 5 幻6: 飛んでいる巻物 (1-4)
- 幻7: 計量容器 (5-11)

中にいる女性の名前は「邪悪」(8)

容器はシナルに持っていられる (9-11)
- 6 幻8: 4両の兵車 (1-8)

王と祭司になる「芽」(9-15)
- 7 エホバは心のこもっていない断食をとがめる (1-14)

「本当に私のために断食をしたのか」(5)

「公正に裁きなさい。揺るぎない愛と憐れみを示し合いなさい」(9)
- 8 エホバのおかげでシオンは平和と真実の場所となる (1-23)

「真実の都市」エルサレム (3)

「真実を語り合いなさい」(16)

断食から祝祭へ (18, 19)

誠実な心でエホバに仕える (21)

10人の人が1人のユダヤ人の長い服をつかむ (23)
- 9 周辺の国への神の処罰 (1-8)

シオンの王が来る (9, 10)

口バに乗った謙遜な王 (9)

エホバの民の解放 (11-17)
- 10 偽りの神にではなくエホバに雨を願い求める (1, 2)

エホバは民を一つにする (3-12)

ユダの民から出る中心人物 (3, 4)
- 11 神の真の牧者を退けた結果 (1-17)

「ほふられようとしている羊の群れを世話しなさい」(4)

「好意」と「結束」という2本のつえ(7)

牧者の報酬は銀30枚 (12)

お金を宝物庫に投げ入れる (13)
- 12 エホバはユダとエルサレムを守る (1-9)

エルサレムは「重い石」(3)

刺し通された人のことで泣き叫ぶ (10-14)
- 13 偶像や偽預言者が除き去られる (1-6)

偽預言者は恥をかく (4-6)

牧者は打たれる (7-9)

3分の1が精錬される (9)
- 14 真の崇拜が完全に行き渡る (1-21)

オリーブ山が半分に裂ける (4)

エホバだけが神となり、エホバの名だけが
呼ばれる (9)
エルサレムの敵対者たちへの神罰 (12-15)

飯小屋の祭りの祝い (16-19)
全ての鍋がエホバにとって聖なるものとな
る (20, 21)

1 ダリウスの治世の第2年、第8の
月に、エホバはイドの子ベレク
ヤの子である預言者ゼカリヤにこう
言った。**2** 「エホバはあなたたちの
父たちに激しく憤った。
3 彼らに言いなさい。『大軍を率い
るエホバはこう言う。『私のもとに戻
りなさい』と大軍を率いるエホバは言
う。『そうすれば、私もあなたたちのも
とに戻ろう』と大軍を率いるエホバは
言う』。』

4 『父たちのようになってはいけな
い。当時の預言者たちは彼らに、「大
軍を率いるエホバはこう言っている。
『悪い生き方や行いをやめ、どうか戻っ
てきてほしい』』と伝えた』。

『それでも彼らは聞かず、私に注意を
向けなかった』とエホバは宣言する。

5 『あなたたちの父たちはすでに死
んだ。当時の預言者たちはもう生きて
はいない。**6** だが、父たちは、私に
仕えた預言者たちに私が命じた言葉
と宣言がその通りになるのを目の当
たりにしたのではないか』。それで彼
らは私のもとに戻り、『大軍を率いる
エホバは、心に決めた通りに、私たち
の生き方や行いに応じて私たちを扱
われた』と言った』。

1:1 *意味、「エホバは覚えた」。

第1章

(例) エズ 4:24
ハガ 1:1
ハガ 2:10

(例) エズ 5:1

(例) 王二 22:16,17
エレ 44:5,6

(例) エゼ 33:11
ミカ 7:18,19
マラ 3:7

(例) エズ 9:6,7
イザ 1:16
イザ 55:7
ホセ 14:1

(例) 代二 36:15,16
エレ 11:7,8

(例) 代二 36:17
ダニ 9:11,12

(例) 申 28:20,45
エレ 23:20

第2欄

(例) エズ 4:24

(例) ゼカ 1:15

(例) 詩 74:10
詩 102:13

(例) 代二 36:20,21
エレ 25:11,12
ダニ 9:2
ゼカ 7:5

7 ダリウスの治世の第2年、第11の
月つまりシェバトの月の24日、エホ
バは、イドの子ベレクヤの子である預
言者ゼカリヤに幻を見せた。**8** そ
の夜、私は、赤い馬に乗った人を見
た。その人は谷間にあるギンバイカの
木々の間で立ち止まった。その後ろに
は、赤や赤茶や白の馬もいた。

9 それで私は言った。「これらの馬
に乗っている人たちは誰なのでしょ
うか」。

私と話していた天使は答えた。「こ
れらの人が誰なのか、教えましょう」。

10 するとギンバイカの木の木の間に
立ち止まっていた人が言った。「これ
らの人は、地上を巡回するようにとエ
ホバから遣わされました」。**11** それ
らの人は、ギンバイカの木の間に
立っていたエホバの天使に言った。
「地上を巡回してきました。どこも静か
で平穏です」。

12 エホバの天使は言った。「大軍
を率いるエホバ、あなたはいつまで
エルサレムとユダの町々に憐れみを示
されないのでしょうか。この70年間、
あなたは憤っておられます」。

13 エホバは、私と話していた天

1:7 *付録B15参照。

使に、優しい慰めの言葉で答えた。

14 それから、私と話していた天使が

私に言った。「大声で言いなさい。『大

軍を率いるエホバはこう言ってい

ます。『私はエルサレムとシオンを愛

してやまない。私の愛は非常に熱い。

15 安楽にしている国々については

憤っている。私の憤りは激しい。なぜ

なら、私はわずかに憤っただけだった

にもかかわらず、それらの国々がもた

らした災難は行き過ぎたものだったか

らだ』」。

16 それでエホバはこう言っていま

す。『私は憐れみを抱いてエルサレ

ムに戻り、私の家がそこに建てられ

る。測り綱がエルサレムの上に伸ばさ

れる』と、大軍を率いるエホバは宣言

する』。

17 もう一度大声で言いなさい。

『大軍を率いるエホバはこう言ってい

ます。『私の町々は再び良いものであ

ふれるようになる。エホバは再びシオ

ンを慰め、再びエルサレムを選ぶ』」。

18 それから私が目を上げると、4

本の角が見えた。19 それで、私と

話していた天使に、「これらは何です

か」と尋ねた。彼は、「ユダとイスラエ

ルとエルサレムを追い散らした角で

す」と答えた。

20 さらにエホバは私に4人の職人

を見せた。21 私は、「これらの人は

何をしに来るのですか」と尋ねた。

すると、「それらの角は、ユダを追い

第1章

(イ)ヨエ 2:18
ゼカ 8:2

(イ)エレ 48:11
ゼカ 1:11

(イ)イザ 54:8

(ロ)詩 137:7
イザ 47:6

エレ 51:35

(イ)イザ 12:1
エレ 33:14

ゼカ 8:3

(イ)エズ 6:14,15
イザ 44:28

ハガ 1:14

(イ)エレ 31:38,39
エゼ 40:2,3

ゼカ 2:1,2

(イ)イザ 51:3

(イ)詩 132:13
ゼカ 2:12

ゼカ 3:2

(ロ)ゼカ 1:21

(イ)王二 24:12,14

(イ)王二 15:29
王二 17:6

王二 18:11
エレ 50:17

(イ)王二 25:11
代二 36:17,19

第2欄

第2章

(イ)ゼカ 1:16

(イ)エレ 31:38,39

(イ)イザ 33:20
イザ 44:26

エレ 30:18
エレ 31:24

エレ 33:10,11
エゼ 36:10

ゼカ 8:4,5

(ロ)詩 125:2
イザ 26:1

(イ)イザ 12:6
イザ 60:19,20

ハガ 2:9

(イ)イザ 11:12,16

(イ)申 28:64
エゼ 5:12

(イ)イザ 48:20
イザ 52:2

エレ 50:8
ミカ 4:10

ち散らして、誰も頭を上げられないよう

にした角です。一方、これらの人たちは、

角をおびえさせるために来ます。

ユダに向かつて角を上げて追い散ら

そうとする国々の角を投げ倒すために

来るのです」という答えが返ってきた。

2 私が目を上げると、測り綱を手に

した人が見えた。2 私は、「ど

こに行くのですか」と尋ねた。

その人は、「エルサレムを測りに行

きます。幅と長さを調べるためです」と

答えた。

3 すると、私と話していた天使が出

ていき、別の天使がその天使に会い

に行つて、4 こう言った。「あちらに

走って行って、あの若者に言いなさい。

『「エルサレムには人と家畜が多くなる

ので、そこは城壁のない町のようにな

る。5 私がそこを囲む火の城壁にな

り、そこに私の栄光があるようにする」

と、エホバは宣言しています』」。

6 「『さあ、来なさい! 北の土地か

ら逃げなさい』とエホバは言ってい

ます。

『私はあなたたちを四方に散らした』

とエホバは宣言しています。

7 シオンよ、来なさい! バビロンに

住んでいる人よ、逃げなさい。8 大

軍を率いるエホバは、栄光をお受け

になった後、あなたたちから略奪して

いた国々に私をお遣わしになりました

2:6 *直訳、「天の4つの風」。2:7 *直訳、「バ

ビロンの娘」。

た。その方はこう言っています。『あなたたちに触れる者たちは私の瞳に触れているのである。9 私は今、彼らに向かつて手を振りかざす。彼らは自分の奴隷たちに略奪される』。あなたは、大軍を率いるエホバが私を遣わしたことを必ず知ります。

10 エホバは宣言しています。『シオンよ、歓声を上げなさい。私は行って、あなたの中に住むからだ。11 その日、多くの国の人々がエホバのもとに来て、私の民となる。私はあなたのの中に住む』。あなたは、大軍を率いるエホバが私をあなたのものに遣わしたことを知ります。12 エホバは、聖なる土地でユダをご自分の分として所有し、エルサレムを再び選びます。13 全人類よ、エホバの前で黙っていない。その方は聖なる住まいから立ち上がったからです。

3 それから私は、大祭司ヨシュアがエホバの天使の前に立っているのを見せられた。サタンが、ヨシュアを妨害しようとしてヨシュアの右側に立っていた。2 エホバの天使がサタンに言った。「サタン、エホバがあなたを叱責されますように。エルサレムを選んだエホバがあなたを叱責されますように。このヨシュアは、火の中からつかみ出された燃える丸太なのです!」

2:8 *または、「眼球」。2:10 *直訳、「シオンの娘」。

第2章

㉑ 王二 24:2
ミカ 4:11

㉒ 申 32:9,10
詩 105:14,15
テサ二 1:6

㉓ イザ 14:2

㉔ イザ 35:10

㉕ イザ 40:9,10

㉖ レビ 26:11,12
イザ 12:6

㉗ 詩 22:27
イザ 2:2,3
ゼカ 8:22,23

㉘ 代二 6:6
ゼカ 1:17

第3章

㉙ エズ 5:2
ハガ 1:14
ゼカ 6:11

㉚ ヨブ 1:6

㉛ ユダ 9

㉜ 代二 6:6
ゼカ 2:12

第2欄

㉝ 出 28:2

㉞ 出 29:6

㉟ マラ 2:7

㊱ イザ 42:1
イザ 52:13

㊲ イザ 11:1
イザ 53:2,11
エレ 23:5
エレ 33:15
ゼカ 6:12

㊳ エレ 50:20

3 ヨシュアは、汚れた服を着て天使の前に立っていた。4 天使は前に立っている者たちに、「彼の汚れた服を脱がせなさい」と言った。それからヨシュアに言った。「私はあなたの過ちを取り除きました。あなたはきちんとした服を着ます」。

5 私は、彼の頭に清いターバンを巻いてください」と言った。すると、そこにいた者たちがヨシュアの頭に清いターバンを巻き、服を着せた。エホバの天使はそばに立っていた。6 エホバの天使はヨシュアに宣言した。7 「大軍を率いるエホバはこう言っています。『あなたが私の道を歩み、私の前で責務を果たすなら、あなたは私の家で裁判人として仕え、私の庭を管理することになる。私はあなたに、ここに立っている者たちと同じように、私のいる所に自由に来ることを許す』。

8 『大祭司ヨシュア、あなたもあなたの前に座る祭司たちも、どうか聞いてほしい。あなたたちはしるしだからである。私は、私に仕える「芽」を連れくる! 9 私がヨシュアの前に置いた石を見なさい! この1つの石に7つの目がある。私はこれに彫り込みをする。そして、この土地の罪を1日のうちに取り去る』と、大軍を率いるエホバは宣言しています。

10 『その日、あなたたちは皆、自分

3:4 *または、「罪」。*または、「正装」。3:7 *または、「私の民を裁き」。*または、「任される」、「守る」。

のブドウの木やイチジクの木の下に
来るよう隣人を招く』と、大軍を率いる
エホバは宣言しています。

4 私と話していた天使が戻ってき
て、眠っている人を起こすときの
ように、私を目覚めさせた。 **2** それ
から私に言った。「何が見えますか」。

私は言った。「全体が金でできてい
るランプ台が見えます。台の上部に鉢
があります。台の上には7つのランプ
があります。7つです。台の上にあるラ
ンプには7本の管が付いています。

3 そして、横には2本のオリーブの木
があって、1本は鉢の右に、1本は鉢の
左にあります」。

4 私は、私と話していた天使に尋
ねた。「これらのものは何を表してい
るのでしょうか」。 **5** すると、私と話し
ていた天使は尋ねた。「これらのもの
が何を表しているか、分からないので
すか」。

私は、「分かりません」と答えた。

6 彼は言った。「ゼルバベルへの
エホバの言葉はこうです。『軍隊によ
るのでも、人間の力によるのでもなく、
私の聖なる力によるのである』と大軍
を率いるエホバは言う。 **7** 大きな山
よ、あなたは何者か。ゼルバベルの前
で、あなたは平らになる。彼が頭石を
持ってくると、「素晴らしい！ 素晴らし
い！」という叫び声がかかる』。

4:6 *用語集参照。 4:7 *または、「平地」。
*または、「かざ石」。

第3章

㉑ 王-4:25
ホセ2:18
ミカ4:4

第4章

㉑ 出25:31
王-7:48,49

㉑ 出25:37

㉑ ゼカ4:11,14
啓11:3,4

㉑ サ-17:45
ホセ1:7

㉑ 裁6:34
裁15:14

㉑ エズ3:2
ハガ1:1

㉑ イザ40:4

第2欄

㉑ エズ3:8,10
エズ5:14,16

㉑ エズ6:14
ゼカ6:12

㉑ エズ3:12
ハガ2:3

㉑ 代二16:9
格15:3
エレ16:17
啓5:6

㉑ ゼカ4:2,3

㉑ ハガ2:4
啓11:3,4

8 エホバは再び私に言った。
9 「ゼルバベルがこの家の土台を据
えた。彼が家を完成させる」。あなた
は、大軍を率いるエホバが私をあな
たたちのものに遣わしたことを知る。
10 「小さな始まりの日を軽く見たの
は誰か。民は、ゼルバベルの手に下
げ振りがあつたのを見て、喜ぶ。エホバ
の7つの目もそれを見る。その目は地
上全体に行き届いている」。

11 私は天使に尋ねた。「ランプ
台の右と左にあるこの2本のオリ
ーブの木は何を表しているのですか」。
12 私は再び尋ねた。「2本の金の管
で金色の油を注いでいる2本のオリ
ーブの木の枝は何を表しているの
ですか」。

13 すると彼は尋ねた。「これらのも
のが何を表しているか、分からないの
ですか」。

私は、「分かりません」と答えた。

14 彼は言った。「これらは、全世界
の主のそばに立つ2人の選ばれた者
を表しています」。

5 私が再び目を上げると、巻物の
5 飛んでいるのが見えた。 **2** 天
使は私に言った。「何が見えますか」。
私は答えた。「巻物が飛んでいるの
が見えます。その長さは10メートルほ
ど、幅は5メートルほどです」。

4:10 *または、「小さなこと」。*直訳、「石、ス
ズ」。 4:12 *実がなっている木の枝のこと。 4:
14 *直訳、「油の子たち」。

3 彼は言った。「それは地上全体の
うえ で わざわ いっぽう めん
上に出ていく災いです。一方の面に、
ぬす わざわ う けい か
盗むなら災いを受けると書かれている
のに、盗む人が皆、処罰されないでい
ぬす ひと みな しょうばつ
るから、また、もう一方の面に、偽りの
いっぽう めん いつわ
誓いをするなら災いを受けると書かれ
ちか ちか わざわ う けい か
ているのに、偽りの誓いをする人が皆、
いっぽう いたつわ ちか ひと みな
処罰されないでいるからです。4 大
ぐん ひき せんげん
軍を率いるエホバは宣言しています。
わたし おく こ ぬす
『私がそれを送り込んだ。それは、盗
む人の家と、私の名によって偽りの誓
ひと いえ わたし ない いつわ ちか
いをする人の家に入る。それは家のな
いえ ざいもく いし ほろ
にとどまり、家を材木や石もろとも滅ぼ
し尽くす』。

5 私と話していた天使は前に出て、
わたし はな てん し まえ で
私に言った。「目を上げて、何が出て
いくか見てください」。

6 私は、「これは何ですか」と尋
ねた。

かれ で けいりょうようき
彼は「これは、出ていく計量容器で
す」と答え、さらに、「これは地上 全体
ひとと じょうたい い
の人々の状態です」と言った。7 そ
れから、鉛の丸いふたが持ち上げられ
るのが見えた。すると、容器の中に女
せい すわ くれ じょ
性が座っていた。8 彼は、「この女
せい じゃあく い
性は『邪惡』といいます」と言った。
かれ じょせい けいりょうようき なか おもど
彼は女性を計量容器の中に押し戻し、
なまり ようき くち お つ
鉛のふたを容器の口に押し付けるよ
うにしてかぶせた。

9 私が目を上げると、2人の女性が
く み ふたり かぜ う
来るのが見えた。2人は風を受けて飛

第5章
(例) 出 20:15

(例) 出 20:7
レビ 19:12

第2欄
(例) 創 10:8,10
創 11:1,2
ダニ 1:2

第6章
(例) ゼカ 6:6

(例) ゼカ 6:7

(例) 詩 104:4

(例) 代 18:18
ヨブ 1:6
ダニ 7:10
ルカ 1:19
ヘブ 1:7,14

んでいて、コウノトリの翼のような翼が
つばさ つばさ
あった。2人は計量容器を天と地の間
ふたり けいりょうようき てん ち あいだ
に持ち上げた。10 私は、私と話して
も あ わたし わたし はな
いた天使に尋ねた。「2人は計量容器
ふたり けいりょうようき
をどこに持っていくのですか」。

11 彼は答えた。「シナルです。あ
かれ こた せいの
の女性のためにそこに家を建てるの
じょせい いた た
です。家が出来ると、女性はそこ
いえ で き あ じょせい
に置かれます。彼女にふさわしい場所
お かのじょ ばしょ
です」。

6 私が再び目を上げると、4両の
わたし ふたたび め あ りょう
兵車が2つの山の間から出てく
へいしや やま あいだ で
るのが見えた。それらの山は銅の山
あめ 銅の山
だった。2 1番目の兵車には赤い馬
ばんめ へいしや あか うま
が並び、2番目の兵車には黒い馬が並
ばんめ へいしや しろ
んでいた。3 3番目の兵車には白い
うま しろ ばんめ へいしや
馬が並び、4番目の兵車には、ぶちの
うま ぶちの うま
馬、まだらの馬が並んでいた。

4 私は、私と話していた天使に尋
ねた。「これらは何でしょうか」。

5 天使は私に答えた。「これらは天
てん し わたし こた てん
の4つの勢力で、全世界の主の前に
せいりよく ぜん せかいの しゅ まえ
立つた後に出ていきます。6 黒い馬
くろ うま
の兵車は北の土地に向かって出て
へいしや きた とち む で
いき、白い馬は海の向こうに出てい
(例) しろ うま うみ む で
き、ぶちの馬は南の土地に向かって出
うま みなみ とち む で
ていきます。7 まだらの馬は地上を
か めぐ いさ で
駆け巡るために勇んで出ていきます」。
てん し ちじょう か
それから天使は、「さあ、地上を駆け
めぐりなさい」と言った。すると、馬たち
ちじょう か めぐ
は地上を駆け巡りだした。

8 彼は私に向かって叫び、こう言っ

5:11 * バビロニアのこと。

5:6 * 直訳、「エファ」。ここでは22リットルが入る
容器を指す。付録B14参照。* または、「この
土地」。

(例) ゼカ 2:6,7

た。「見なさい。北の土地に向かって出ていった馬は、北の土地に対するエホバの気持ちを静めました」。

9 エホバは再び私に言った。

10 「ヘルダイとトビヤとエダヤから、捕囚にされた人々の所から持ってきた物を受け取りなさい。その日、あなたはバビロンから来た人たちと一緒に、ゼパニヤの子ヨシヤの家にいかなければならない。11 あなたは銀と金を取って冠を作り、エホツァダクの子である大祭司ヨシュアの頭に載せなければならぬ。12 そしてヨシュアにこう言いなさい。

『大軍を率いるエホバはこう言っている。『芽』という名の者がいる。その者は自分の場所から芽を出し、エホバの神殿を建てる。13 彼はエホバの神殿を建て、威光を帯びる。彼は王座について治め、王座にいながら祭司ともなる。その2つの間には調和がある。14 冠は、ヘレム、トビヤ、エダヤ、ゼパニヤの子ヘンが行ったことの記念として、エホバの神殿の中に置かれる。15 そして遠くの人たちがやって来て、エホバの神殿の建設に加わる。あなたたちは、大軍を率いるエホバが私をあなたたちのもとに遣わしたことを知る。あなたたちがエホバ神の言うことを聞いて従うなら、そのようになる』。

6:11, 14 *または、「豪華な冠」。6:13 *統治者と祭司の役割のこと。6:14 *または、「を思い起こさせるもの」。

第6章

(例) ハガ 1:1
ゼカ 3:3,5

(例) イザ 11:1
ゼカ 3:8

(例) ゼカ 8:9

(例) ヘブ 3:1
ヘブ 4:14
ヘブ 8:1

(例) ゼカ 6:10

第2欄

第7章

(例) エズ 6:14
ゼカ 1:1

(例) 王二 25:8-10
エレ 52:12-14

(例) エレ 25:11
ゼカ 1:12

(例) エレ 41:1,2

(例) 代二 36:15

(例) 格 21:3
エレ 21:12

(例) 格 16:6
ホセ 10:12
ミカ 6:8

(例) 出 22:22
申 24:17
イザ 1:17

(例) 出 23:9
マラ 3:5

(例) 格 22:22

7 ダリウス王の治世の第4年、第9の月つまりキスレウの月の4日に、エホバはゼカリヤに言葉を伝えた。2 ベテルの人たちは、エホバの恵みを求めようとして、シャルエツェルと、レグム・メレクとその部下たちを送り出し、3 大軍を率いるエホバの家の祭司たちと預言者たちにこう尋ねさせた。「これまで私たちが何年もしてきたように、第5の月に泣き悲しんで食事控えるべきでしょうか」。

4 大軍を率いるエホバが再び私に言った。5 「この土地の民全てと祭司たちに言いなさい。『あなたたちは、70年にわたって第5の月と第7の月に断食して泣き叫んだ時、本当に私のために断食をしたのか。6 食べて飲む時も、自分のために食べて飲んだのではないか。7 エルサレムと周辺の町に人が住んでいて平和であり、ネゲブにもシェフェラにも人が住んでいたころ、エホバが当時の預言者たちを通して伝えた言葉に、あなたたちは従うべきではないか』」。

8 エホバは再びゼカリヤに言った。9 「大軍を率いるエホバはこう言う。『正しく公正に裁きなさい。揺るぎない愛と憐れみを示し合いなさい。10 やもめや父親のいない子供、外国人や貧しい人からだまし取ってはならない。互いに対して心の中で悪を

7:1 *付録B15参照。7:3 *または、「神殿」。*直訳、「私」。7:10 *または、「孤児」。

たくらんではない。』⁽⁷⁾ 11 彼らは^{かれ}注意を払おうとせず、頑固に背を向け、耳をふさいで聞こうとしなかった。⁽⁸⁾ 12 心をダイヤモンドのように硬くし、大軍を率いるエホバが聖なる力によって当時の預言者たちを通して伝えた律法や言葉に従わなかった。そのため、大軍を率いるエホバの激しい憤りが向けられた。

13 大軍を率いるエホバは言う。『彼らは、私が呼んでも聞かなかった。それで私も、彼らが呼んでも聞かなかった。』⁽⁹⁾ 14 私は彼らを、知らない国々の中に暴風に散らした。彼らが去った土地は荒廃したまになり、通り過ぎる人も戻ってくる人もいない。彼らはその美しい土地を、人々が見聞きすると恐怖を抱くような場所に変えてしまったのである。』

8 大軍を率いるエホバは再び言った。2 「大軍を率いるエホバはこう言う。『私はシオンを愛してやまない。私の愛は非常に熱い。私は彼女を愛してやまない。私の憤りは激しい。』

3 「エホバはこう言う。『私はシオンに戻り、エルサレムに住む。エルサレムは真実の都市と呼ばれ、大軍を率いるエホバの山は聖なる山と呼ばれることになる。』

4 「大軍を率いるエホバはこう言う。

7:12 *もしかすると、「硬い石」。^aまたは、「指示」。8:3 *または、「忠実」。

第7章

(7) ゼカ 8:17
(1) 代 2:33-10
エレ 6:10
(2) ネ 9:29
(3) 王 17:13,14
イザ 6:10
エレ 25:7
(4) エゼ 3:7
(5) ネ 9:30
使徒 7:51
(6) 代 2:36-15,16
エレ 21:5
(7) イザ 50:2
(8) イザ 1:15
哀 3:44
(9) 申 28:64
エレ 5:15
(10) レビ 26:22,33
代 2:36,20,21

第8章

(1) ヨエ 2:18
ゼカ 1:14
(2) ゼカ 1:16
(3) イザ 12:6
ヨエ 3:17
ゼカ 2:11
ゼカ 8:8
(4) イザ 1:26
イザ 60:14
エレ 33:16
(5) イザ 2:2
イザ 11:9
イザ 66:20
エレ 31:23

第2欄

(7) イザ 65:20
エレ 30:10
(8) エレ 30:19
エレ 31:4,27
ゼカ 2:4
(9) 詩 107:2,3
(10) エレ 3:17
ヨエ 3:20
アモ 9:14
(11) レビ 26:12
エレ 30:22
エゼ 11:20
(12) エズ 5:1
(13) イザ 35:4
ハガ 2:4
(14) ハガ 1:6

『エルサレムの広場には再び年老いた人たちが座る。長寿のため、皆、つえを手にしている。』⁽¹⁾ 5 また、都市の広場は、遊ぶ子供たちであふれる。』

6 「大軍を率いるエホバはこう言う。『その時、この民の残っている人たちにとっては難し過ぎるように思えるかもしれない。だからといって、私にとってのも難し過ぎるのだろうか。』と、大軍を率いるエホバは宣言する。』

7 「大軍を率いるエホバはこう言う。『私は、東と西の土地から私の民を救い出す。』⁽²⁾ 8 私は彼らを連れてくる。彼らはエルサレムに住む。彼らは私の民となり、真実の神、正しい神である私が彼らの神となる。』

9 「大軍を率いるエホバはこう言う。『預言者たちから今この言葉を聞いている人たち、勇気を出しなさい。この言葉は、神殿を建てるため、大軍を率いるエホバの家の土台が据えられた日に語られたのと同じ言葉である。』

10 その時より前、人も家畜も、働いても報われなかった。敵のせいでの安全に旅をすることができなかった。私は、皆がぶつかり合うままにしていたからである。』

11 大軍を率いるエホバは宣言する。『しかし今は、この民の残っている人たちを以前のように扱うことはし

8:7 *または、「日が昇る土地と日が沈む土地」。

8:8 *または、「信頼できる」。8:9 *直訳、「手を強くし」。

ない。12 平和の種がまかれる。ブドウの木が実を付け、大地に実りがあり、天は露をもたらす。私はこの民の残っている人たちにこの全てを与える。

13 ユダの民とイスラエルの民よ、あなたたちは国々の間で不幸の象徴だったが、私はあなたたちを救い、あなたたちは祝福の象徴となる。恐れてはいけぬ! 勇気を出しなさい。』

14 大軍を率いるエホバはこう言う。『大軍を率いるエホバは言う。『あなたたちの父祖が私を憤らせたので、かつて私はあなたたちに災いをもたらす決め、決定を変えなかった。』

15 今度は、エルサレムとユダの民に良いことを行うと決めた。恐れてはいけぬ!』

16 『あなたたちは次のようにすべきである。真実を語り合いなさい。門の所での裁きに真実と平和があるようにしなさい。17 互いに対して心の中で、災いとなることをたくらんではいけぬ。偽りの誓いをしてはいけぬ。これらはどれも私が憎むことである。』と、エホバは宣言する。』

18 大軍を率いるエホバは再び私に言った。19 『大軍を率いるエホバはこう言う。『第4の月の断食、第5の月の断食、第7の月の断食、第10の月の断食は、ユダの民にとって歓喜と喜びの時、喜びの祭りとなる。だから、真実と平和を愛しなさい。』

8:13 *直訳、「手を強くし」。8:14 *または、「悔やま」。8:17 *直訳、「愛して」。

第8章

(例) ハガ 2:19
(例) レビ 26:4
申 28:4
イザ 30:23
(例) イザ 35:10
イザ 61:7
(例) 申 28:37
エレ 42:18
(例) 創 22:18
イザ 19:24, 25
(例) イザ 41:10
(例) イザ 35:4
(例) エレ 4:28
エゼ 24:14
(例) エレ 31:28
エリ 32:42
(例) イザ 43:1
ゼバ 3:16
(例) レビ 19:11
格 12:19
エフ 4:25
(例) ゼカ 7:9
(例) ゼカ 7:10
(例) ゼカ 5:4
(例) 格 6:16-19
(例) エレ 52:6, 7
(例) エレ 52:12-14
(例) 王二 25:25
ゼカ 7:5
(例) エレ 52:4
(例) イザ 35:10
エレ 31:12

第2欄

(例) エレ 50:4, 5
(例) 詩 22:27
イザ 2:2, 3
イザ 11:10
イザ 55:5
イザ 60:3
ホセ 1:10
ミカ 4:2
ハガ 2:7
(例) ゼカ 2:11
啓 7:9
啓 14:6
(例) 出 12:37, 38
(例) イザ 45:14

第9章

(例) エレ 49:27
アモ 1:3
(例) ヘバ 4:13
ペー 3:12
(例) エレ 49:23
(例) イザ 23:1
アモ 1:9, 10
(例) エゼ 28:21
ヨエ 3:4
(例) エゼ 28:2, 3

20 大軍を率いるエホバはこう言う。『国々と多くの町の住民がやって来る時が来る。21 1つの町の住民が別の町の住民の所に行つて、「さあ、誠実な心でエホバに恵みを求めに行こう。大軍を率いるエホバに仕えよう。私も一緒に行く」と言う。22 多くの人や強い国々が、大軍を率いるエホバに仕えるため、エホバに恵みを求めるため、エルサレムにやってくる。』

23 大軍を率いるエホバはこう言う。『その時、あらゆる言語の国々から来た10人の人が、1人のユダヤ人の長い服をつかむ。しっかりつかんで、「あなたたちと一緒にに行かせてほしい。神があなたたちと共にいる、と聞いたからだ」と言う。』

9 宣告。
「エホバの言葉の矛先はハドラクの土地に向けられている。
ダマスカスも的である。
エホバの目は人類を、
そしてイスラエルの全部族を見ている。

2 境界を接するハマトにも矛先が向けられている。
ティルスとシドンにも。非常に利口だからだ。

3 ティルスは土塁を築いた。
銀を土のように、

8:23 *または、「服の端」。9:3 *または、「要塞」。

金^{きん}を路^ろ上^{じょう}の泥^{どろ}のよう^つに積^あみ上^あげた。

4 エホバはティルス^{ぎいさん}の財産^とを取り上げ、

軍勢^{ぐんぜい}を海^{うみ}に投げ落^なとす。
ティルス^おは火^かで焼^やき尽^つくさる。

5 アシュケロン^みはそれ^{おそ}を見て恐^{おそ}れる。
ガザ^おも大^くいに苦悩^{くろう}する。
エクロン^{のぞ}もそう。望^{あわ}みが泡^きと消^きえるからだ。

ガザ^おでは王^たが絶^たえ、
アシュケロン^{ひと}には人^すが住まなく
なる。

6 アシュドド^{がいこくじん}には外国^す人が住^すみ着^つく。
こうして私^{わたし}はフィリスティア人^{じん}の
誇^{ほこ}りを打^うち砕^{くだ}く。

7 私^{わたし}は、フィリスティア人^{じん}の口^{くち}から
血^ちにまみれた物^{もの}を、
歯^はの間^{あいだ}から汚^{けが}らわしい物^{もの}を取り
除^{のぞ}く。

そうしてフィリスティア人^{じん}が神^{かみ}の
ため^{のこ}に残^{のこ}され、
ユダ^{しゅちょう*}で首長^{しゅちょう*}のようになる。

エクロン^{じん*}もエブス人^{じん*}のよう
なる。

8 私^{わたし}の家^{いえ}を守^{まも}るため、私^{わたし}が番兵^{ばんべい*}と
して宿営^{しゅくえい*}し、
誰^{だれ}も出入^{でい}りできないようにする。

9:4 *もしかすると、「海で打ち倒す」。9:7 *部族^{ぶしよく}の族^{しよ}のこと。9:8 *または、「前哨」。

第9章

(ア) エゼ 27:32,33

(イ) エゼ 26:17
エゼ 27:26

(ウ) エゼ 28:18

(エ) ゼバ 2:4

(オ) アモ 1:8

(カ) イザ 60:14

(キ) サ二 5:6,7
王一 9:20,21

(ク) 詩 125:2

第2欄

(ア) イザ 54:14

(イ) 詩 2:6
イザ 32:1
エレ 23:5
ルカ 19:37,38
ヨハ 1:49

(ウ) マタ 11:29

(エ) 王一 1:33,34
マタ 21:5,7
ヨハ 12:14,15

(オ) イザ 9:7

(カ) 出 23:31
詩 2:8
詩 72:8

(キ) イザ 49:9

(ク) イザ 61:1
エレ 31:17

(ク) イザ 61:7

圧制^{あつせい}者^{しや}が入^{はい}ってくることはもう
ない。

私^{わたし}はこの目^めで見た^みのだ。

9 シオン^{*}よ、大^{おお}に喜^{よろこ}べ。

エルサレム[#]よ、勝利^{しょうり}の叫^{さけ}びを上^あげよ。

あなた^{おう}の王^くがや^いって来る。

救^{すく}いをもた^{ただ}ら^{おう}ず正しい王^{おう}だ。

謙遜^{けんそん}で、ロバ^のに乗^のっている。

雌^めロバ^この子^こ、子^のロバ^のに乗^のって
いる。

10 私^{わたし}はエフライム^{せんしや}から戦車^{せんしや}を、
エルサレム^{うま}から馬^{のぞ}を除^さき去^さる。

戦^{たたか}いの弓^{ゆみ}が取り去^とられる。

王^{おう}は国^{くに}々^{くに}にへい^{へい}わし^{わし}を知ら^しせる。

王^{おう}の統^{とう}治^ちは海^{うみ}から海^{うみ}に、

川^{かわ}から地^ちの果^はてに及^{およ}ぶ。

11 シオン^{*}よ、私^{わたし}は、捕^とらわれたあな
た^{たみ}の民^みを水^{みず}のない穴^{あな}から出^だす。

あなた^あたの契^{けい}約^{やく}の血^ちによ^よって。

12 希望^{きぼう}を抱^{いだ}く捕^とらわれた民^{たみ}よ、と^とり
返^{もど}す。

私^{わたし}は今日^{きょう}あなた^いに言^いう。

『シオン^{わたし}よ、私^{わたし}はあなた^{わたし}に2倍^{ばい}の
分^わけ前^{まえ}を与^{あた}える。』

13 私^{わたし}はユダ^{ゆだ}を弓^{ゆみ}として使^{つか}い、
そ^{*}の弓^{ゆみ}にエフライム^{*}をつがえる。

9:8 *または、「監督官」。「民の苦悩を見たとい
うことだと考えられる。9:9 *直訳、「シオンの
娘」。「直訳、「エルサレムの娘」。[△]または、「勝
利した」、「救われた」。[◎]または、「雄ロバ」。9:
10 *ユーフラテス川のこと。9:11 *もしかする
と、「エルサレム」。直訳、「あなた」。9:13 *矢
として、ということ。

シオンよ、私はあなたの子たちを
目覚めさせる。

ギリシャの子たちに立ち向かわ
せるため。

シオンよ、私はあなたを戦士の
剣のようにする。』

14 エホバが民の上に現れ、
矢を稲妻のように飛ばす。
主権者である主エホバが角笛を
鳴らし、
南の暴風と共に進む。

15 大軍を率いるエホバが民を守る。
民は敵の石投げ器の石を打ち砕
き、封じる。
ぶどう酒を飲んだかのように、喜
びのあまり騒ぐ。

鉢のように満たされ、
祭壇の隅のように浸るのだ。

16 その日、エホバ神は自分の民を、
羊の群れを救うかのように救う。
彼らは神の土地できらめく王冠
の宝石のようになる。

17 神は何と善い方なのだろう。
何と美しいのだろう。
穀物が若者を、
新しいぶどう酒が乙女を元気づ
ける。』

10 「春の雨の時期、エホバに
雨を願い求めよ。

エホバは雷雲を作る方、
雨を降らせ、みんなのために野
原の草を与える方。

第9章

(7) ヨシ 6:5

(1) ミカ 5:9
ゼカ 10:5
ゼカ 12:6(7) 出 27:2
レビ 4:7

(2) エゼ 34:22

(7) イザ 62:3
ゼバ 3:20(7) 詩 25:8
詩 31:19
イザ 63:7

第10章

(7) 申 11:14
エレ 14:22
エレ 51:16
エゼ 34:26
ヨエ 2:23

第2欄

(7) エゼ 34:16,17

(1) 申 20:1

(7) ハガ 2:22

(2) エレ 3:18
エゼ 37:16,19
ホセ 1:10,11

(7) エレ 31:9,20

2 テラフィム像は欺きを語る。

古い師は偽りの幻を見る。

無価値な夢について語り、

空虚な慰めを与えようとする。

だから民は羊のようにさまよう。

羊飼いがいないので苦しむ。

3 私は牧者たちに怒りを燃やす。

圧制的な指導者たちに責任を

問う。

大軍を率いるエホバは、自分の

羊たち、ユダの民に目を向

けた。

彼らを戦闘用の立派な馬のよう

にした。

4 彼らから中心人物が、

要となる統治者が、

戦いの弓が出る。

全ての監督が皆、共に出てくる。

5 彼らは戦士のようになり、

戦場で路上の泥を踏みつける。

彼らは戦う。エホバが共にいる

からだ。

敵の騎手たちは屈辱を味わうこ

とになる。

6 私はユダの民を強くし、ヨセフの

子孫を救う。

彼らを連れ戻して、憐れみを

示す。

10:2 *または、「家の神」、「偶像」。
「怪異なこと」、「神秘的なこと」。
10:3 *直訳、「雄ヤギ」。
10:4 *直訳、「隅の塔」。長、重要人物の比喩表現。
*直訳、「杭」。統治者、要となる人の比喩表現。

かれ わたし す
彼らは、私に捨てられたことがな
いかにようになる。

わたし かれ かみ かれ
私は彼らの神エホバであり、彼
らに答える。

7 エフライムの人たちは強い戦士
のようになり、

ぶどう酒を飲んだかのように
喜ぶ。

こども み よろこ
子供たちもそれを見て喜ぶ。

エホバのことで歓喜する。

8 『私は口笛を吹いて民を集める。

わたし かれ すく だ 来
私は彼らを救い出す。

かれ おお ふ つづ
彼らは多くなり、増え続ける。

9 私は彼らを種のように国々に散
らすが、

かれ とお ば しょ わたし おも
彼らは遠くの場所で私を思い
出す。

こども とも ちから と もど
子供たちと共に力を取り戻し、
帰ってくる。

10 私は彼らをエジプトから連れ
戻し、

アッシリアから集める。

ギレアデとレバノンに連れていく。

もっと土地が要るようになる。

11 私は海を圧迫して通り抜ける。
海の波を打ち払う。

ナイル川の水は全て干上がる。

アッシリアの誇りは傷つけられ、
エジプトの王笏も失われる。

12 私エホバは彼らを強くする。
かれ わたし な あゆ 来
彼らは私の名によって歩む』と、
エホバは宣言する。

10:8 *直訳、「買い戻す」。

第10章

(ア) エレ 30:18

(イ) ゼカ 9:15

(ウ) イザ 66:14
ゼバ 3:14

(エ) イザ 44:22
イザ 51:11

(イ) イザ 11:11

(ウ) エレ 50:19
ミカ 7:14

(イ) イザ 49:19,20
イザ 54:1,2

(ウ) イザ 11:15

(ウ) イザ 19:1
エゼ 30:13

(ウ) イザ 41:10
イザ 45:24

(イ) ミカ 4:5

第2欄

第11章

(ア) エゼ 34:8

(イ) エゼ 22:25

(ウ) ネへ 5:8

(ウ) エゼ 34:2,4

(イ) ゼカ 11:4

11 「レバノンよ、あなたの扉を
開け。

火があなたの杉林を焼き尽くす。

2 ネズの木よ、泣き叫べ。

杉は倒れ、堂々とした木々が崩
れ落ちた！

バシャンの巨木よ、泣き叫べ。

深い森が荒れ果てた！

3 聞け、牧者たちの泣き叫ぶ声を。

彼らの栄光は失われた。

聞け、若いライオンのほえ声を。

ヨルダン川の深い茂みが荒れ果
てた。

4 私の神エホバはこう言う。『ほふ
られようとしている羊の群れを世話し

なさい。5 買い手たちはそれらをほ

ふっても、罪に問われない。売り手た

ちは、「これでもうかるぞ。エホバが賛

美されますように」と言う。牧者たち

は、羊たちをかわいそうに思うことも

ない』。

6 『私はこの土地の住民をもう思い

やることはしない。私は誰もが隣人の

手や王の手に落ちるようにする。彼ら

はこの土地を荒らすが、私は誰も救い

出さない』とエホバは宣言する。

7 私は、ほふられようとしている羊

の群れを世話し始めた。群れの苦し

んでいる羊たちよ、あなたたちのため

だ。私は2本のつえを取って、一方を

11:2 *ブナ科の木と思われる。11:4 *または、

「殺され」。

「好意」と呼び、もう一方を「結束」と
呼び、群れを世話し始めた。8 私は
1カ月のうちに3人の牧者をやめさせ
た。彼らに我慢できなくなったからだ。
彼らも私をひどく嫌っていた。9 私
は言った。「私はあなたたちを世話し
続けることはしない。死にそうなもの
は死ねばよい。息絶えそうなものは
息絶えればよい。残されるものたち
は互いの肉を食うがよい」。10 私
は「好意」のつえを取って、そのつ
えを切り、民と結んだ契約を破棄した。
11 その日に契約は破棄された。私
を見ていた苦しむ羊たちは、エホバが
語った言葉だと悟った。

12 私は、「良いと思われるなら、報
酬を下さい。良いと思われなければ、
結構です」と彼らに言った。すると彼
らは、報酬として銀30枚を私に支
払った。

13 エホバは私に言った。「それを
宝物庫に投げ入れなさい。彼らが私
を査定したその大層な額を」。それで
私は銀30枚を取って、エホバの家の
宝物庫に投げ入れた。

14 それから私はもう1本のつえで
ある「結束」を切り、ユダとイスラエル
の兄弟の絆を断った。

15 エホバは私に言った。「愚かな
牧者の道具を取りなさい。16 私は
この土地に牧者が立つようにする。そ
の牧者は、息絶えそうな羊を介抱しな

11:15 *または、「役に立たない」。

第11章

(例) ゼカ 11:10, 14

(例) ゼカ 11:7

(例) マタ 26:14, 15

マタ 27:9

マル 14:10, 11

(例) 出 21:32

(例) マタ 27:5, 6

使徒 1:18

(例) ゼカ 11:7

(例) 王一 12:19, 20

エゼ 37:16

(例) エゼ 34:2, 4

第2欄

(例) エレ 23:2

エゼ 34:6

マタ 9:36

(例) エゼ 34:21

(例) 創 31:38

(例) エゼ 34:3, 10

(例) ヨハ 10:12

(例) エレ 23:1

マタ 23:13

第12章

(例) ヨブ 26:7

イザ 42:5

(例) 詩 102:25

イザ 45:18

(例) ゼカ 14:14

(例) ゼバ 3:19

(例) ゼカ 14:2, 3

い。若い羊を捜さず、けがをした羊を
手当てせず、しっかり立つ羊に食物
を与えない。肥えた羊の肉にかぶりつ
ぎ、羊のひづめをもぎ取る。

17 群れを見捨ててどうしようもない
牧者には災いがある!

剣で腕と右目を打たれる。

腕は全く動かなくなり、

右目は全く見えなくなる。

12 宣告。

「イスラエルに関するエホバ
の言葉」とエホバは宣言
する。

天を広げ、地の土台を据え、人
の内に命を与える神が宣言
する。

2 「私はエルサレムを、周囲のあら
ゆる民をふらつかせる杯とする。ユダ
が、エルサレムが包囲される。3 そ
の日、私はエルサレムをあらゆる民に
とって重い石とする。それを持ち上げ
る者は皆、必ず重傷を負う。地上の
あらゆる国がエルサレムを攻めに集
まる。4 エホバは宣言する。「その
日、私は全ての馬を打って混乱させ、
乗り手を打って気を狂わせる。私は
ユダの民を見守り、国々の全ての馬を
打って失明させる。5 ユダの首長た
ちは心の中で、『エルサレムの住民は、
大軍を率いる神エホバのゆえに私の

12:1 *または、「息」。12:2 *または、「鉢」。

12:3 *または、「重荷の」。12:5 *部族の長の
こと。

ちから^イ 力^いだ^ひ』と言う。6 その日、私はユダの
しゅちょう^い 首長^わたちを、まきの間の火^あの燃えるつ
ぼのように、刈り取って並べた穀物の
あいた^い 間の燃えるたいまつのようにする。彼
ら^みは、右に左に周囲のあらゆる民を焼
き尽くす。そしてエルサレムの住民は
自分の都市エルサレムに再び住む。

7 エホバはまずユダの天幕を救う。
ダビデの子孫とエルサレムの住民が
ユダに比べて美しくなり過ぎないように
するためである。8 その日、エホ
バはエルサレムの住民を守る。その
日、彼らの中の最も弱い人はダビデ
のようになり、ダビデの子孫は神のよ
うに、彼らの前を行くエホバの天使の
ようになる。9 その日、私はエルサ
レムを攻めに来る国々全てを必ず滅
ぼす。

10 私は聖なる力をダビデの子孫
とエルサレムの住民に注ぐ。彼らは私
の好意を得、祈願を捧げる。彼らは自
分たちが刺し通した人を見つめ、独り
子について泣き叫ぶかのように泣き
叫び、長男について悲しむかのように
ひどく悲しむ。11 その日、エルサレ
ムの泣き叫ぶ声は、メギドの平原のハ
ダドリモンの泣き叫ぶ声のように大
きくなる。12 この土地は一族ごとに
泣き叫ぶ。ダビデ氏族は自分たちだ
けで泣き叫び、女性たちは女性たちだ
けで泣き叫ぶ。ナタン氏族は自分たち

第12章

(イ) イザ 41:10
ヨエ 3:16
ゼカ 12:8

(イ) イザ 41:15

(イ) ミカ 4:13
ゼカ 9:15

(イ) ゼカ 2:4

(イ) エレ 23:6
ヨエ 3:16
ゼカ 2:5
ゼカ 9:15

(イ) 出 14:19
出 23:20

(イ) イザ 54:17
ハガ 2:22

(イ) ヨハ 19:34, 37
ヨハ 20:27
啓 1:7

(イ) 王二 23:29
代二 35:22

(イ) サ二 5:13, 14
ルカ 3:23, 31

第2欄

(イ) 出 6:16

(イ) 出 6:17
代一 23:10

第13章

(イ) エゼ 36:25, 29

(イ) 出 23:13

(イ) 申 13:5

(イ) 申 13:6-9
申 18:20

(イ) 王二 1:8
マタ 3:4

だけで泣き叫び、女性たちは女性たち
だけで泣き叫ぶ。13 レビ族は自分
たちだけで泣き叫び、女性たちは女性
たちだけで泣き叫ぶ。シムイ氏族は自
分たちだけで泣き叫び、女性たちは女
性たちだけで泣き叫ぶ。14 残りの
全ての氏族も、各氏族が自分たちだけ
で泣き叫び、女性たちは女性たちだけ
で泣き叫ぶ。

13 その日、ダビデの子孫とエル
サレムの住民のために、罪と
汚れを清める井戸が掘られる。

2 大軍を率いるエホバは宣言する。
「その日、私はこの土地から偶像の
名を消し去る。それらの名は思い出
されることはない。私はまた、この土
地から預言者と汚れる力を除き去
る。3 それでもなお預言する人がい
れば、生みの親である父と母がその人
に、『あなたは生きられない。エホバ
の名によってうそを語ったからだ』と
言う。そして、生みの親である父と母
は、その人が預言するゆえにその人を
刺し通す。

4 その日、どの預言者も、預言して
は、自分の幻のことで恥をかく。そし
て、毛の職服を着て人を欺こうとし
たりせず、5 『私は預言者ではない。
耕作人だ。若い時に買われたのだ』
と言う。6 『体の傷はどうしたのか』
と誰かに聞かれたら、『友達の家で付
けられた傷だ』と答えることになる。

13:6 *または、「私を愛する人たち」。

12:7 *または、「輝き」。12:8 *直訳、「つま
ずく」。

7 大軍を率いるエホバは宣言する。

「剣よ、目を覚まして私の牧者に

立ち向かえ。

私の仲間^{なかつ}に立ち向かえ。

牧者^{ぼくしや}を打ち、群れ^{ぐん}を散らせ。

私は、取るに足りない者^{もの}たちに

手を向ける。

8 エホバは宣言する。

「全土^{ぜんど}で3分の2が除かれ、絶

える。

3分の1は残される。

9 私はその3分の1を火の中に

通す。

銀を精錬^{せいれん}するかのように彼らを精

錬し、

金を試すかのように彼らを試す。

彼らは私の名を呼び、私は答

える。

私は『彼らは私の民』と言い、

彼らは『エホバは私たちの神』と

言う。

14 「その日が来る。エホバの
日である。あなたから奪った

物があなたのたなかで分けられる。

2 私はあらゆる国を戦いのために集

めて、エルサレムを攻めさせる。都市

は攻略され、家々は略奪に遭い、女性

たちは犯される。都市の半分は連れ

去られるが、残りの民は都市から連れ

去られることはない。

3 エホバは出ていって、戦闘の日^{せんとう ひ}に

13:7 *または、「羊たち」。 13:8 *または、「死
ぬ」。 14:1 *2節に出てくる都市のこと。

第13章

(イ) エゼ 34:23

ミカ 5:4

ヨハ 10:11

ヘブ 13:20

(イ) イザ 53:8

ダニ 9:26

使徒 3:18

(イ) マタ 26:31

マタ 26:55,56

マル 14:27,50

ヨハ 16:32

(イ) マラ 3:2,3

(イ) エレ 30:22

第2欄

第14章

(イ) 出 15:3

代二 20:15

(イ) エゼ 38:23

ヨエ 3:2,14

啓 16:14

(イ) ルカ 19:29

使徒 1:12

(イ) アモ 1:1

(イ) 申 33:2

ヨエ 3:11

ユダ 14

(イ) イザ 13:9,10

夏も 5:18

(イ) ヨエ 2:31

テサ一 5:2

ペ二 3:10

(イ) 啓 21:6

啓 22:17

(イ) エレ 17:13

エゼ 47:1

ヨエ 3:18

啓 22:1

(イ) 申 3:17

(イ) ヨシ 1:4

(イ) 詩 97:1

啓 19:6

(イ) 申 6:4

(イ) イザ 42:8

イザ 44:6

(イ) 王一 15:22

(イ) 代一 4:24,32

(イ) 申 1:7

(イ) エレ 37:13

(イ) ネヘ 3:1

エレ 31:38

(イ) エレ 30:18

戦うときのように、それらの国と戦う。

4 そしてその日、エルサレムの東に面

するオリーブ山に足を据えて立つ。オ

リーブ山は東から西に向かって半分

に裂け、非常に大きな谷ができる。山

の半分は北に移り、半分は南に移る。

5 あなたたちは私の山の間の谷に逃

げる。その山の間の谷はアツエルにま

で広がる。あなたたちは、ユダのウジ

ヤ王の時代に地震で逃げた時と同じ

ように逃げる。エホバ神は来る。全て

の聖なる者たちが神と共にいる。

6 その日、貴重な光はなくなり、物

は凍り付く。7 その日は、エホバの

日として知られる日となる。昼も夜も

ない。晩になっても光がある。8 そ

の日、生きた水がエルサレムから出て、

半分は東の海に、半分は西の海に流

れる。夏も冬もそうなる。9 エホバ

は地上全体の王となる。その日、エホ

バだけが神となり、その名だけが呼ば

れることになる。

10 ゲバからエルサレムの南のリモ

ンまで、全土がアラバのようになる。

エルサレムは自分の場所にそびえ立

ち、『ベニヤミンの門』から『第一の

門』や『隅の門』にまで、『ハナヌエ

ルの塔』から王のブドウ搾り場にまで、

人が住むようになる。11 民がそこ

に住み、滅びよう定められることは

14:4 *または、「日の出の方向」。 #直訳、「海」。

14:6 *または、「動かなくなる」。寒さで固まるか

のように動かなくなる、ということ。 14:8 *死海
のこと。 #地中海のこと。 14:10 *用語集参照。

二度とな^にい。エルサレ^{エル}ムに安心^{あんしん}して住^すむのである。

12 エルサレ^{エル}ムに戦^{たたか}いを仕掛^しける人々^{ひと}全^{ぜん}てに、エホバは神罰^{しんばつ}を下^{くだ}す。彼ら^{かれ}の肉^{にく}体^{たい}は自^じ分^{ぶん}の足^{あし}で立^たっているうち^{うち}に腐^{くさ}り、目^めはくぼ^{くさ}みの中^{なか}で腐^{くさ}り、舌^{した}は口^{くち}の中^{なか}で腐^{くさ}る。

13 その日^ひ、エホバによる混^{こん}乱^{らん}が彼^{かれ}ら^らの間^{あいだ}に広^{ひろ}がる。ど^どの^{ひと}人^{とも}も友^{とも}の手^てをつかみ、友^{とも}の手^てに対^{たい}して手^てを上げ^あげる。

14 ユダもエルサレ^{エル}ムでの戦^{たたか}いに加^{くわ}わる。周^{しゅう}圍^いの国^{くに}全^{ぜん}ての富^{とみ}、金^{きん}と銀^{ぎん}と衣^い服^{ふく}が大量^{たいりょう}に集^{あつ}めら^れれる。

15 そして、その神罰^{しんばつ}と同^{おな}じよ^{しん}うな^{しん}神^{しん}罰^{ばつ}が、馬^{うま}、ラバ、ラクダ、ロバ、宿^{しゆく}営^{えい}に^いる家畜^{かちく}全^{ぜん}てに下^{くだ}る。

16 エルサレ^{エル}ムに攻^せめ^きに來^きたあ^あら^らゆる国^{くに}のう^のち^この残^{ひと}っている人^{みな}は皆^{まい}、毎^{まい}年^{ねん}上^あって^あい^あって、大^{たい}軍^{ぐん}を率^{ひき}いる王^{おう}エホバにひれ伏^ふし、仮^{かり}小^{せう}屋^やの祭^{まつ}りを祝^{いわ}う。

14:13 *または、「1人が別の1人を攻撃する」。

14:16 *または、「を崇拜し」。

第14章

(ア) イザ 60:18
エレ 31:40

(イ) エレ 23:6
エレ 33:16

(ウ) 王二 19:34,35
ヨエ 3:2

(ロ) 裁 7:22
エゼ 38:21

(ハ) 代二 14:13
代二 20:25
ゼカ 2:8,9

(ニ) イザ 66:23

(ホ) 詩 86:9

(ヘ) レビ 23:34
ネヘ 8:14,15

第2欄

(ア) イザ 60:12

(イ) 出 28:36
出 39:30

(ウ) サ一 2:13,14

(ロ) 出 25:29
民 4:7

(ハ) エゼ 44:9

17 地上^{ちじょう}の家^か族^{ぞく}のう^うち、エルサレ^{エル}ムに上^{のぼ}って^{のぼ}い^{のぼ}って大^{たい}軍^{ぐん}を率^{ひき}いる王^{おう}エホバにひれ伏^ふさ^ふない人^{ひと}の上^{うへ}には、雨^{あめ}が降^ふらない。18 エジ^えプ^いト^うの人^{ひと}々^{たち}が上^{のぼ}って入^{はい}ってこ^こないなら、そ^その^{ひと}人^{たち}の^{うへ}上^{うへ}にも雨^{あめ}は降^ふらない。仮^{かり}小^{せう}屋^やの祭^{まつ}りを祝^{いわ}い^{いわ}に上^{のぼ}ってこ^こない国^{くに}々^{々に}を処^{しょ}罰^{ばつ}するエホバの神罰^{しんばつ}が下^{くだ}ることになる。19 これ^{これ}が、エジ^えプ^いト^うの罪^{つみ}と、仮^{かり}小^{せう}屋^やの祭^{まつ}りを祝^{いわ}い^{いわ}に上^{のぼ}ってこ^こない国^{くに}々^{々に}の罪^{つみ}に対^{たい}する処^{しょ}罰^{ばつ}である。

20 その日^ひ、馬^{うま}の鈴^{すず}に、『神^{しん}聖^{せい}さはエホバのもの』と記^{しる}される。また、エホバの家^{いえ}の鍋^{なべ}は祭^{さい}壇^{だん}の前^{まえ}の鉢^{はち}のようになる。21 エルサレ^{エル}ムとユダの鍋^{なべ}は全^{ぜん}て聖^{せい}なるものとなり、大^{たい}軍^{ぐん}を率^{ひき}いるエホバのものとなる。犠^ぎ牲^{せい}をさ^さげる人^{ひと}が皆^{みな}、入^{はい}って^いきて、煮^にえるためにそれら^{それら}が皆^{みな}、使^{つか}う。その日^ひ、大^{たい}軍^{ぐん}を率^{ひき}いるエホバの家^{いえ}にカナン人^{じん}はもうい^いなくな^くる。

14:21 *もしかすると、「商人」。

マラキ書

概 要

- 民へのエホバの愛 (1-5)
粗末な犠牲を差し出す祭司たち (6-14)
神の名は国々の中で偉大なものとなる (11)
- 民を正しく教えていない祭司たち (1-9)
祭司の唇は知識を保つべき (7)
不当な離婚の罪 (10-17)
『私は離婚を憎む』と、イスラエルの神工
ホバは言う (16)

- 真の主が神殿を清めに来る (1-5)
契約の使者 (1)
エホバのもとに戻るようにとの勧め (6-12)
エホバは変わらない (6)
「私のもとに戻ってきなさい。そうすれば、
私もあなたたちのもとに戻ろう」 (7)
10分の1全部を持ってくるなら、エホバは祝
福を注ぐ (10)

正しい人と悪い人 (13-18)

神の前で記録の書が記される (16)

正しい人と悪い人の違い (18)

4 エホバの日の前にエリヤが来る (1-6)

「正義の太陽」が照り輝く (2)

1 ^{せんこく}宣告。
エホバがマラキを通して語った
イスラエルへの言葉。

2 『私はあなたたちに愛を示した』
とエホバは言う。

しかしあなたたちは「どのように私
たちに愛を示したのですか」と言う。

エホバは宣言する。「エサウはヤコ
ブの兄弟ではなかったか。だが、私は
ヤコブを愛し、**3** エサウを憎んだ。
私は彼の山々を荒廃させ、彼の土地
を荒野のジャッカルのみかたにした」。

4 「エドムは、『われわれは打ち砕
かれたが、戻って廃虚を再建する』と
言う。しかし、大軍を率いるエホバは
こう言う。『彼らが建てても、私は壊
す。彼らは、^{じやあく}「邪惡の土地」とか「エホ
バから永遠に断罪された民」と呼ば
れる。**5** あなたたちは自分の目で見
て、「イスラエルの土地のことでエホ
バがたたえられますように」と言う』。

6 『^こ子は父を敬い、^め召し使いは主
人を敬う。私が父であるのなら、私へ
の敬意はどこにあるのか。私が主人で
あるのなら、私への畏れはどこにある
のか』と、大軍を率いるエホバは、私

第1章

(7) 申 10:15

(7) 創 25:25,26

(7) ロマ 9:13

(7) エレ 49:20
ヨエ 3:19

(7) イザ 34:10,13

(7) イザ 34:5
オバ 18

(7) 出 20:12

(7) 出 4:22

(7) イザ 1:2

第2欄

(7) エゼ 22:26

(7) エゼ 41:21,22
コ一 10:21(7) レビ 22:20,22
申 15:21

(7) 代二 23:4

の^な名を^{かる}軽んじているあなたたち祭司に
言う。

『しかしあなたたちは言う。「私たち
はあなたの^な名をどう^{かる}軽んじたか」と』。

7 『私の祭壇に汚れた^た食べ物を差
し出すことによってである』。

『あなたたちは言う。「私たちはあな
たをどう汚したか』。

『「エホバの^{しょくたく}食卓は^{かる}軽んじてよい」と
言うことによってである。**8** あなたた
ちは、^め目が見えない動物を犠牲として
差し出ししながら、「悪いことではない」
と言う。足が不自由な動物や病気の
動物を差し出ししながら、「悪いことで
はない」と言う』。

「それを総督に差し出してみてほし
い。総督はあなたのことを喜ぶだろう
か。あなたを快く迎えるだろうか」と、
大軍を率いるエホバは言う。

9 「神に今、^{かけ}情けを掛けてもらえる
よう懇願しなさい。そのような^{ささ}捧げ物
を出すあなたたちの誰かを、神が快く
迎えることなどあるだろうか」と、大軍
を率いるエホバは言う。

10 「あなたたちの中に、^{なか}進んで扉
を閉じる人が果たしているか。あなた

1:10 *務めとして神殿の扉を閉じることと考え
られる。

1:1 *意味、「私の使者」。**1:6** *または、「大主
人」。^めまたは、「尊敬」。

たちは、私の祭壇に火を付けることも
ただではしない。私はあなただちのこ
とを喜ばない。あなたたちが出す供え
物をどれほど喜ばない」と、大軍を率い
るエホバは言う。

11「日が昇る所から沈む所まで、
国々の中で私の名が偉大なものとな
る。あらゆる場所で犠牲が焼かれて煙
にされ、私の名のために清い供え物
が捧げられる。国々の中で私の名が
偉大なものとなるからである」と、大
軍を率いるエホバは言う。

12「しかしあなたたちはそれを汚
している。『エホバの食卓は汚れてい
る。その上の捧げ物、食べ物』は軽んじ
てよい』と言って。13 また、あなた
たちは『ああ面倒だ!』と言い、鼻をふ
んと鳴らす」と、大軍を率いるエホバ
は言う。「あなたたちは、盗んだ動物
や足が不自由な動物や病気の動物を
持つてくる。そのようなものを供え物
として持つてくるのだ! それをあなた
たちの手から受け取るべきだというの
か」と、エホバは言う。

14「群れの中に傷のない雄の動物
がいるのに、誓約をして、傷のある動
物をエホバに犠牲として捧げるずる賢
い者は、災いを受ける。私は偉大な王
であり、私の名は国々の中で崇高なも
のとなる」と、大軍を率いるエホバは
言う。

1:11 *または、「東から西」。1:12 *もしかすると、「私」。1:14 *または、「欠陥」。

第1章
(例) エレ 6:13
ミカ 3:11

(例) イザ 1:11
エレ 6:20

(例) 詩 113:3
イザ 45:6
イザ 59:19

(例) 詩 22:27
ゼバ 3:9
マタ 28:19
啓 15:4

(例) エゼ 22:26

(例) マラ 1:7

(例) レビ 22:20, 22
申 15:21
申 17:1

(例) 詩 47:2
エレ 10:10

(例) 啓 15:4

第2欄

第2章

(例) マラ 1:6

(例) レビ 26:14-17
申 28:15

(例) ハガ 1:11

(例) ヨエ 1:17

(例) 出 40:12, 15
民 3:6
民 18:23
エゼ 44:15, 16

(例) 代二 17:8, 9

(例) 出 32:26

(例) 申 24:8
代二 15:3
ネヘ 8:7, 8
エゼ 44:23, 24

2「祭司たちよ、このおきてはあなた
たちのためのものである。2 あ
なたたちが聞くことも心に留めること
もせず、私の名をたたえないなら、私
はあなたたちに災いをもたらし、あな
たたちの祝福を災いに変える。私は
すでに祝福を災いに変えてきた。あな
たたちが心に留めていないからだ」
と、大軍を率いるエホバは言う。

3「私は、あなたたちのゆえに、あ
なたたちがまいた種を駄目にする。私
はあなたたちの顔にふんを、祭りのふ
んを浴びせ、あなたたちは一緒に運び
去られる。4 そしてあなたたちは、
私がこのおきてをあなたたちに与えて、
レビとの私の契約が続くようにしたこ
とを悟る」と、大軍を率いるエホバは
言う。

5「彼との私の契約は、命と平和
の契約だった。私は命と平和を畏れ
と共に与えた。彼は私を畏れた。私
の名に畏敬の気持ちを抱いたのだ。

6 真実の律法が彼の口にあった。彼
の唇に不正が見つかることはなかつた。
彼は平和に、正直に私と共に歩ん
だ。多くの人の悪い生き方をやめさせ
た。7 祭司の唇は知識を保つべき
であり、民は祭司の口に律法を求める
べきである。祭司は、大軍を率いるエ
ホバの使者だからである。

8 それなのに、あなたたちはその

2:3 *直訳、「叱責する」。「犠牲の動物から出るふんのこと。2:5 *または、「尊敬」、「敬意」。2:6, 7 *または、「指示」。

道からそれた。律法に関して多くの人
に道を踏み外させた。あなたたちはレ
ビの契約を破った」と、大軍を率いる
エホバは言う。9「それで私は、あな
たたちが見下げられるようにし、全て
の民の前であなたたちを卑しめる。あ
なたたちが私の道を守らず、律法の適
用に偏りがあったからである」。

10「私たち全ての父は、ひとりでは
ないか。私たちを創造したのは、ひと
りの神ではないか。私たちが互いに
裏切り、父祖たちの契約を汚してい
るのはどうしてか。11 ユダは裏切り
行為をした。忌まわしいことがイスラ
エルとエルサレムで行われてきた。ユ
ダはエホバが愛する神聖さを汚し、外
国の神を崇拜する女性を妻にした。
12 エホバは、誰でもそのような
ことを行う人を、ヤコブの天幕から排
除する。たとえそれが、大軍を率いる
エホバに供え物を差し出す人であっ
ても」。

13「あなたたちはほかにも、エホバ
の祭壇が涙や泣き声やため息で覆わ
れるようなことをしている。あなたたち
の供え物はもう見向きもされず、あな
たたちが出す物はどれも好意的に見
られない。14 あなたたちは『どうし
てか』と言う。エホバはあなたとあな
たの若い時からの妻との間を見てき
た証人である。彼女はあなたの伴侶、

2:8 *もしかすると、「与えた指示によって」。
#直訳、「多くの人をつまづかせた」。2:11 *も
しかすると、「聖なる所」。

第2章

(ア) ルカ 11:52

(イ) ネヘ 13:29

(ウ) レビ 19:15

申 1:17

申 16:19

(エ) マラ 1:6

コヘ 8:6

(オ) ネヘ 5:8

(カ) レビ 20:26

(キ) 申 7:1,3

箴 3:5,6

王一 11:1,2

ネヘ 13:23

(ク) サー 15:22

(コ) 格 21:27

第2欄

(ウ) 格 5:18-20

マタ 19:4-6

(イ) 創 2:24

マタ 5:32

マタ 19:8,9

マル 10:5-9

(ウ) マラ 2:10

(エ) イザ 1:14,15

(ウ) エゼ 18:29

第3章

(ウ) マタ 3:1-3

マタ 11:7,10

マル 1:2-4

ルカ 1:76

ヨハ 1:6,23

ヨハ 3:28

(ウ) 詩 11:4

(ウ) イザ 1:25

エレ 2:22

契約した妻であるにもかかわらず、あ
なたは彼女を裏切ったのだ。15 し
かし、そうはしない人がいた。聖なる
力の残りを保持していたからである。そ
の人は何を求めていたか。神の子孫
である。だから、あなたたちも自分の
内面の傾向に気を付けなさい。若い
時からの妻を裏切ってはならない。

16 私は離婚を憎む」と、イスラエル
の神エホバは言う。「暴力を振るう人
をも憎む」と、大軍を率いるエホバは
言う。「自分の内面の傾向に気を付け
なさい。裏切りをしてはならない。」

17 あなたたちは語る言葉でエホ
バを疲れさせた。それでもあなたたち
は言う。『どう疲れさせたか』と。『悪
いことを行う人全てを、エホバは良い
とご覧になり、喜ばれる』と言ったり、
『公正の神はどこにいるのか』と言っ
たりすることによってである」。

3「私は使者を遣わす。その使者
は私の前に道を整える。あなた
たちが探し求めている真の主が突如、
神殿に来る。あなたたちが楽しみにし
ている契約の使者が来る。彼は必ず
来る」と、大軍を率いるエホバは言う。

2「彼が来る日、誰が耐えらる
だろうか。彼が現れる時、誰が立つて
いられるだろうか。彼は、精錬工の
火や洗濯人のせっけんのようである。

2:14 *または、「正式に結婚した」。2:15 *ヘ
ブライ語、ルーアハ。用語集参照。2:16 *直訳、
「暴力で自分の服を覆う」。3:1 *または、「前の
道をきれいにする」。3:2 *または、「あく」。

3 主は、銀を精錬する者また清める者として座り、レビの子たちを清くする。彼らを金や銀のように純化する。彼らはエホバに正しく供え物を差し出す民となる。4 こうしてユダとエルサレムの供え物は、昔の日々や以前の年月のように、まさしくエホバが喜ぶものとなる。

5 私は裁くためにあなたたちに近づく。私は、呪術師、姦淫をする人、偽りの誓いをする人、雇った労働者ややもめや父親のいない子供からだまし取る人、外国人を助けない人を直ちに有罪とする。そうした人たちは私を畏れなかった」と、大軍を率いるエホバは言う。

6 「私はエホバであり、私は変わらない。あなたたちはヤコブの子であり、あなたたちはまだ終わっていない。7 父祖たちの時代以来、あなたたちは私の規定からそれ、それを守ってこなかった。私のもとに戻ってきなさい。そうすれば、私もあなたたちのもとに戻ろう」と、大軍を率いるエホバは言う。

あなたたちは言う。「戻るとは、どういうことですか」と。

8 「人間が神から奪うことなどあり得ないと思うか。あなたたちは私から奪っている」。

3:3 *または、「精錬」。3:4 *または、「満足する」。3:5 *または、「孤児」。*または、「の権利を認めない」。3:6 *または、「変わっていない」。

第3章

(詩) 66:10
格 25:4
ゼカ 13:9

(代) 代 2:7:1

(申) 申 18:10,12

(出) 出 20:7

(格) 格 14:31
ヤコ 5:4

(申) 申 24:17
イザ 1:17
ヤコ 1:27

(出) 出 23:9
ゼカ 7:10

(イ) イザ 43:10
イザ 46:4
ヤコ 1:17

(申) 申 9:7
使徒 7:51

(コ) エレ 3:12
ゼカ 1:3
ヤコ 4:8

第2欄

(レ) レビ 27:30
申 14:28

(代) 代 2:31:11
ネヘ 12:44
ネヘ 13:10

(申) 申 28:12

(レ) レビ 26:10
代 2:31:10
格 3:9,10

(申) 申 11:14
ゼカ 8:12

(イ) イザ 61:9

(マ) マラ 1:6

(ヨ) ヨブ 21:14,15
詩 73:13,14
イザ 58:3
ゼバ 1:12

あなたたちは言う。「どのように奪うたでしょうか」。

「10分の1や寄進物のことである。

9 あなたたちは必ず災いを受ける。私から奪っているからだ。国民全体がそうしている。10 10分の1全部を倉庫に持ってきて、私の家に食物があるようにしなさい。私があなたたちのために天の水門を開いて、あふれるほどに祝福を注ぐかどうか、私を試してほしい」と、大軍を率いるエホバは言う。

11 「私は、あなたたちのために、バツを叱りつける。それがあなたたちの土地の実りを駄目にしたり、野原のブドウの木が実を付けなくなったりすることはない」と、大軍を率いるエホバは言う。

12 「あらゆる国の民が皆、あなたたちを幸せな民と呼ぶようになる。あなたたちの土地は喜びの場所になるからだ」と、大軍を率いるエホバは言う。

13 「あなたたちは私に対して無礼なことを言った」と、エホバは言う。

あなたたちは言う。「どんなひどいことを言ったでしょうか」。

14 「あなたたちは言う。『神に仕えても無駄だ。神への務めを守り、大軍を率いるエホバの前で厳粛に歩んで

3:8 *用語集参照。3:9 *もしかすると、「冒瀆によって私を冒瀆している」。3:11 *直訳、「食い尽くすもの」。

きた。でもそれが何^{なに}になっただろう。

15 これからは、思い^{おも}上^あがった人^{ひと}たちは幸^{しあわ}せだと言^いおう。悪い^{わる}ことを行^{おこな}う人^{ひと}たちは成功^{せいこう}する。彼^{かれ}らは神^{かみ}を試^{ため}しても、うまくやりお^{おそ}せている』。

16 その時^{とき}、エホバを畏^{おそ}れる人^{ひと}たちが仲間^{なかま}と語^{かた}り合^あっていた。エホバはじつと耳^{みみ}を傾^{かたむ}けていた。エホバを畏^{おそ}れる人^{ひと}と神^{かみ}の名^なについて思^{おも}い巡^{めぐ}らす人^{ひと}のために、神^{かみ}の前^{まえ}で記録^{きろく}の書^{しょ}が記^{しる}された。

17 大軍^{たいぐん}を率^{ひき}いるエホバは言^いう。「わたくしとくべつ＊しよゆうぶつにうだひかれ私が特別^{とくべつ}な所有^{しよゆう}物を生^うみ出^だす日^ひ、彼^{かれ}らは私^{わたし}のものとなる。親^{おや}が従^{じゅう}順^{じゆん}な子^こ供^{ども}を思^{おも}いやるように、私^{わたし}は彼^{かれ}ら^{おそ}を思^{おも}いやる。18 あなたた^おちは再^{ふた}び、正^{ただ}しい人^{ひと}と悪い^{わる}人^{ひと}、神^{かみ}に仕^{つか}える人^{ひと}と仕^{つか}えない人^{ひと}の違^{ちが}いを目^めにすることになる」。

4 大軍^{たいぐん}を率^{ひき}いるエホバは言^いう。「炉^ろのように燃^もえる日^ひが来^くる。思^{おも}い上^あがった人^{ひと}と悪い^{わる}ことを行^{おこな}う人^{ひと}は皆^{みな}、

3:16 ＊または、「考^{かん}える」。もしかすると、「を大^{だい}切^{せつ}にする」。＊または、「覚^{かく}えておくための書^{しょ}」。3:17 ＊または、「宝^{たから}のような」。

第3章
[7] エレ 12:1

[1] イザ 26:8

[2] 詩 56:8
詩 69:28

[3] イザ 62:3
ペー 2:9

[4] エレ 31:33

[4] 詩 103:13

[4] 詩 58:10, 11

第4章
[2] ゼバ 2:2
ペニ 3:7

第2欄
[7] 申 4:5

[1] ヨエ 2:31
使徒 2:20
ペニ 3:10

[2] マタ 11:13, 14
マル 9:11, 12

[2] ルカ 1:17

わらのようになる。後^{のち}の日^ひに彼^{かれ}らは必^{かなら}ず食^くい尽^つくされ、根^ねも枝^{えだ}も残^{のこ}らない。

2 しかし、私^{わたし}の名^なをたたえるあな^なた^たち^ちには、正^{せい}義^ぎの太^{たい}陽^{よう}が照^てり輝^{かがや}き、その光^{ひかり}はあな^なた^たち^ちを癒^いやす。あな^なた^たち^ちは、肥^こえた子^こ牛^{こうし}のよう^はに跳^はね回^{まわ}る」。

3 大軍^{たいぐん}を率^{ひき}いるエホバは言^いう。「あな^なた^たち^ちは悪^{わる}い人^{ひと}たち^ちを踏^ふみつ^いける。私^{わたし}が行^{こう}動^{どう}する日^ひ、彼^{かれ}らはあな^なた^たち^ちの足^{あし}の下^{した}で粉^{こな}のよう^いになる」。

4 あな^なた^たち^ちは、私^{わたし}に仕^{つか}えたモーセ^{りつぽう}の律^{りつぽう}法^{わたくし}、私^{わたし}がホレブでイスラエル^{ぜんたい}全体^{まも}に守^もるよう命^{めい}じた規^き定^{てい}と法^{ほう}規^きを覚^{おぼ}えていなさい。

5 エホバの大^{おお}いなる畏^{おそ}るべき日^ひが来^くる前^{まえ}に、私^{わたし}はあな^なた^たち^ちに預^よ言^{げん}者^{しゃ}エリヤ^{つか}を遣^{つか}わす。6 彼^{かれ}は、父^{ちち}た^ちの心^{こころ}を子^{こども}供^{ども}た^ちの心^{こころ}のよう^せにし、子^{こども}供^{ども}た^ちの心^{こころ}を父^{ちち}た^ちの心^{こころ}のよう^せにする。そ^それは、私^{わたし}が来^きて地^ち上^{じやう}を打^うち、滅^{ほろ}ぼし尽^つくことにならな^ないよう^なにするため^{ため}である」。

4:6 ＊または、「子^こ供^{ども}た^ちに向^むき直^{ちか}らせ」。「また^{また}は、「父^{ちち}た^ちに向^むき直^{ちか}らせる」。

(ここまでがヘブライ語・アラム語聖書。)

以下はギリシャ語聖書。)

マタイによる福音書

概要

- 1 イエス・キリストの系譜 (1-17)
イエスの誕生 (18-25)
- 2 占星術師の訪問 (1-12)
エジプトに逃げる (13-15)
ヘロデが男の子たちを殺す (16-18)
ナザレに戻る (19-23)
- 3 バプテストのヨハネが伝道する (1-12)
イエスのバプテスマ (13-17)
- 4 悪魔がイエスを誘惑する (1-11)
イエスはガリラヤで伝道を開始する (12-17)
最初の弟子たちが呼ばれる (18-22)
イエスは伝道し、教え、癒やす (23-25)
- 5 山上の垂訓 (1-48)
イエスは山で教え始める (1, 2)
9つの幸福 (3-12)
塩と光 (13-16)
イエスは律法を実現する (17-20)
怒り (21-26), 姦淫 (27-30), 離婚 (31, 32),
誓い (33-37), 仕返し (38-42), 敵への愛
(43-48) に関する助言
- 6 山上の垂訓 (1-34)
善行を見せびらかしてはならない (1-4)
祈り方 (5-15)
模範的な祈り (9-13)
断食 (16-18)
地上の宝と天の宝 (19-24)
心配するのをやめなさい (25-34)
王国をいつも第一にしなさい (33)
- 7 山上の垂訓 (1-27)
裁くのをやめなさい (1-6)
求め、探し、たたき続けなさい (7-11)
黄金律 (12)
狭い門 (13, 14)
実によって分かる (15-23)
岩の上の家と砂の上の家 (24-27)
群衆はイエスの教えに大変驚く (28, 29)
- 8 重い皮膚病の人が癒やされる (1-4)
士官の信仰 (5-13)
- 9 イエスはカペルナウムで大勢の人を癒やす (14-17)
イエスの後に従うには (18-22)
イエスは嵐を静める (23-27)
イエスは邪悪な天使たちを豚の中に送り込む (28-34)
- 9 イエスは、まひした人を癒やす (1-8)
イエスはマタイを招く (9-13)
断食に関する質問 (14-17)
ヤイロの娘。イエスの外衣に触った女性 (18-26)
イエスは、目が見えない人と口が利けない人を癒やす (27-34)
収穫は多いが、働き手は少ない (35-38)
- 10 12使徒 (1-4)
奉仕の指示 (5-15)
弟子たちは迫害される (16-25)
人を恐れないで、神を畏れなさい (26-31)
平和ではなく剣 (32-39)
イエスの弟子を受け入れる (40-42)
- 11 バプテストのヨハネが称賛される (1-15)
悔い改めない世代が断罪される (16-24)
イエスは、謙遜な人に好意を示す父を賛美する (25-27)
イエスと共に働くのは爽やか (28-30)
- 12 イエスは「安息日の主」 (1-8)
片手がまひした男性が癒やされる (9-14)
神が愛する奉仕者 (15-21)
邪悪な天使を聖なる力によって追い出す (22-30)
許されない罪 (31, 32)
どんな木かは実によって分かる (33-37)
ヨナのしるし (38-42)
邪悪な天使が帰ってくると (43-45)
イエスの母親と弟たち (46-50)
- 13 王国に関する例え (1-52)
種をまく人 (1-9)
イエスが例えを使った理由 (10-17)
種をまく人の例えの説明 (18-23)

- 小麦と雑草 (24-30)
 からの種とパン種 (31-33)
 例えを使うという預言が実現する (34, 35)
 小麦と雑草の例えの説明 (36-43)
 隠された宝と立派な真珠 (44-46)
 引き網 (47-50)
 新しい宝と古い宝 (51, 52)
 イエスは郷里で受け入れられない (53-58)
- 14 バプテストのヨハネは首をはねられる (1-12)
 イエスは5000人に食事をさせる (13-21)
 イエスは水の上を歩く (22-33)
 ゲネサレでの癒やし (34-36)
- 15 人間の伝統の偽善が暴かれる (1-9)
 汚れは心から出てくる (10-20)
 フェニキア人女性の素晴らしい信仰 (21-28)
 イエスは多くの病気を癒やす (29-31)
 イエスは4000人に食事をさせる (32-39)
- 16 しるしを求める人々 (1-4)
 パリサイ派とサドカイ派のパン種 (5-12)
 王国の鍵 (13-20)
 岩の上につくられる会衆 (18)
 イエスは自分の死を予告する (21-23)
 真の弟子とは (24-28)
- 17 イエスの姿が変わる (1-13)
 からの種のような信仰 (14-21)
 イエスは再び自分の死を予告する (22, 23)
 魚の口にある硬貨で税を払う (24-27)
- 18 王国で一番偉い者 (1-6)
 信仰を妨げるもの (7-11)
 迷い出た羊の例え (12-14)
 仲間を助ける方法 (15-20)
 許そうとしない奴隷の例え (21-35)
- 19 結婚と離婚 (1-9)
 独身を受け入れる人 (10-12)
 イエスは子供たちに祝福があるよう願う (13-15)
 裕福な青年の質問 (16-24)
 王国のための犠牲 (25-30)
- 20 ブドウ園の労働者たちに同じ賃金 (1-16)
 イエスは再び自分の死を予告する (17-19)
 王国での立場を求める (20-28)
 イエスは多くの人のための贖い (28)
- 目が見えない2人の人が癒やされる (29-34)
- 21 イエスはエルサレムに入る (1-11)
 イエスは神殿を清める (12-17)
 イチジクの木に災いが宣告される (18-22)
 イエスの権威に異議が唱えられる (23-27)
 2人の子の例え (28-32)
 残忍な耕作人たちの例え (33-46)
 主要な隅石が退けられる (42)
- 22 結婚披露宴の例え (1-14)
 神とカエサル (15-22)
 復活に関する質問 (23-33)
 最も重要な2つのおきて (34-40)
 キリストはダビデの子か (41-46)
- 23 律法学者とパリサイ派の人たちに倣ってはならない (1-12)
 律法学者とパリサイ派の人たちには災いがある (13-36)
 イエスはエルサレムのことを嘆く (37-39)
- 24 キリストの臨在のしるし (1-51)
 戦争, 食糧不足, 地震 (7)
 良い知らせが伝えられる (14)
 大患難 (21, 22)
 人の子のしるし (30)
 イチジクの木 (32-34)
 ノアの時代のような (37-39)
 ずっと見張っていないさい (42-44)
 忠実な奴隷と邪悪な奴隷 (45-51)
- 25 キリストの臨在のしるし (1-46)
 10人の乙女の例え (1-13)
 タラントの例え (14-30)
 羊とヤギ (31-46)
- 26 祭司たちはイエスを殺そうとたくらむ (1-5)
 イエスに香油が注がれる (6-13)
 最後の過ぎ越しと裏切り (14-25)
 主の晩餐の制定 (26-30)
 ペテロの否認が予告される (31-35)
 イエスはゲッセマネで祈る (36-46)
 イエスは捕らえられる (47-56)
 サンヘドリンでの裁判 (57-68)
 ペテロはイエスとの関係を否定する (69-75)
- 27 イエスはピラトに引き渡される (1, 2)
 ユダは首をつって死ぬ (3-10)

イエスはピラトの前に立つ (11-26)
 人前であざけられる (27-31)
 ゴルゴタで杭にくぎ付けにされる (32-44)
 イエスの死 (45-56)
 イエスは葬られる (57-61)

墓は警備される (62-66)

- 28 イエスは復活する (1-10)
 兵士たちは賄賂をもらってうそをつく (11-15)
 人々を弟子とする任務 (16-20)

1 アブラハムの子、ダビデの子、イエス・キリストについての歴史の書。

2 アブラハムの子はイサク、
 イサクの子はヤコブ、
 ヤコブの子はユダとその兄弟
 たち、

3 ユダの子はタマルが産んだペレツとゼラハ、
 ペレツの子はヘツロン、
 ヘツロンの子はラム、

4 ラムの子はアミナダブ、
 アミナダブの子はナフシオン、
 ナフシオンの子はサルモン、

5 サルモンの子はラハブが産んだ
 ボアズ、
 ボアズの子はルツが産んだオベデ、

オベデの子はエッサイ、
6 エッサイの子はダビデ王。
 ダビデの子はウリヤの妻が産んだ
 ソロモン、

7 ソロモンの子はレハベアム、
 レハベアムの子はアビヤ、

第1章

(マ) 創 22:18
 (イ) 代一 17:11
 マタ 9:27
 ルカ 1:32,33

(マ) 創 21:3

(イ) 創 25:26
 代一 1:34

(マ) 創 29:35

(マ) 創 38:29,30

(イ) ルツ 4:18-22

(マ) 代一 2:9

(マ) 代一 2:10,11

(ヨ) ヨシ 2:1

(イ) ルツ 4:13

(イ) 代一 2:12

(イ) 代一 2:13,15

(イ) サニ 12:24

代一 3:5

(イ) 王一 11:43

第2欄

(イ) 代一 3:10-19
 代二 14:1

(イ) 王一 15:24

(マ) 代二 21:1

(イ) 王二 15:32

(イ) 王二 15:38

(イ) 王二 18:1

(イ) 王二 20:21

(マ) 代二 33:20

(イ) 王二 21:24

(ヨ) 王二 23:34

(イ) 代一 3:15,16

(イ) 王二 24:12,15

代二 36:9,10

(イ) エズ 3:2

ネヘ 12:1

アビヤの子はアサ、

8 アサの子はエホシャファト、
 エホシャファトの子はエホラム、
 エホラムの子はウジヤ、

9 ウジヤの子はヨタム、
 ヨタムの子はアハズ、
 アハズの子はヒゼキヤ、

10 ヒゼキヤの子はマナセ、
 マナセの子はアモン、
 アモンの子はヨシヤ、

11 ヨシヤの子はエコニヤとその兄弟たち、バビロンへの強制移住の時期。

12 バビロンへの強制移住の後、エコニヤの子はシャルテル、
 シャルテルの子はゼルバベル、

13 ゼルバベルの子はアビウデ、
 アビウデの子はエリヤキム、
 エリヤキムの子アゾル、

14 アゾルの子はザドク、
 ザドクの子はアキム、
 アキムの子エリウデ、

15 エリウデの子はエレアザル、
 エレアザルの子マタン、
 マタンの子ヤコブ、

1:1 *用語集参照。#または、「メシア」、「選ばれた者」。△または、「系譜」。

16 ヤコブの子はヨセフで、その妻マ
リアからイエスが生まれ、キリ
ストと呼ばれている。

17 それで、アブラハムからダビデ
までは全部で14代、ダビデからバビ
ロンへの強制移住までは14代、バビ
ロンへの強制移住からキリストまでは
14代だった。

18 イエス・キリストの誕生の経緯
はこうだった。母親のマリアは、ヨセフ
との婚約中、2人が結ばれる前に、聖
なる力によって妊娠した。19 夫の
ヨセフは正しい人であり、マリアに恥
をさらさせたくなかったので、ひそ
かに離婚しようと思った。20 ところ
が、ヨセフがこれらのことをよく考えた
後、エホバの天使が夢の中で現れて、
言った。「ダビデの子ヨセフ、妻マリア
を迎え入れることを恐れてはなりません。
妊娠しているのは聖なる力による
のです。21 彼女は男の子を産みま
す。イエスと名付けなさい。その子は
民を罪から救うからです」。22 この
全ては実際に起きた。預言者を通し
てエホバが次のように語ったことが実
現するためである。23 「処女が妊娠
して男の子を産み、その子はインマヌ
エルと名付けられる」。この名は訳せ

1:18 *または、「神が送り出す力」。用語集参照。
1:20 *ギリシャ語聖書のこの訳の本文中に、神
の名エホバが237回出てくる。ここはその最初の
箇所。付録A5参照。*または、「宿して」。1:
21 *「エホバは救い」という意味のヘブライ語
名エシユアもしくはヨシユアに相当する。1:22,
24 *付録A5参照。

第1章
[マ] マタ 13:55
マル 6:3

[イ] ルカ 3:23-38

[イ] ルカ 1:35

[マ] 申 24:1

[イ] ルカ 1:35

[マ] マタ 1:25
ルカ 1:31

[イ] ルカ 2:30
ヨハ 1:29
使徒 4:12
使徒 5:31
エフ 1:7
ヘブ 7:25
ペー 2:24

[イ] イザ 7:14

第2欄
[イ] イザ 8:8,10

[イ] ルカ 2:7

[イ] ルカ 2:21

第2章
[マ] ルカ 1:5

[イ] ミカ 5:2
ルカ 2:4

[イ] マタ 27:37

[イ] ヨハ 7:42

[イ] サニ 5:2
ミカ 5:2

ば、「わたしと共に神がいる」という
意味である。

24 ヨセフは眠りから覚め、エホバ
の天使が指示した通りに行い、妻を
迎え入れた。25 しかし、マリアが子
を産むまでは性関係を持たなかった。
そして、その子をイエスと名付けた。

2 イエスがヘロデ王の時代にユダ
ヤのベツレヘムで生まれた後、
占星術師たちが東方からエルサレム
に来て、2 こう言った。「ユダヤ人の
王として生まれた方はどこにおられま
すか。東方にいた時にその方の星を
見たので、敬意を表するために来まし
た」。3 ヘロデ王はそれを聞いて動
揺し、エルサレムの人々も皆、動揺し
た。4 王は民の祭司長と律法学者
たち全員を集めると、キリストがどこ
で生まれることになっているのかを尋
ねた。5 その人たちは答えた。「ユ
ダヤのベツレヘムです。預言者がこ
う書いています。6『ユダのベツレヘ
ムよ、あなたは決してユダの統治者た
ちの間で最も取るに足りない町では
ない。統治する者があなたから出て、
私の民イスラエルの牧者となるからで
ある』」。

7 そこでヘロデは占星術師たちを
ひそかに呼び寄せ、星がいつ現れた
かを注意深く聞いた。8 そして、ベ
ツレヘムに遣わす際にこう言った。

2:1 *用語集参照。2:2 *または、「ひざまず
く」。2:4 *または、「メシア」、「選ばれた者」。

「行ってその子をよく捜し、見つけたら報告しなさい。私も行って敬意を表したい」。9 占星術師たちは王の言葉を聞いた後、出掛けた。何と、東方にいた時に見た星が先を行き、子供がいる所の上まで来て止まった。10 それを見て、占星術師たちは非常に喜んだ。11 家の中に入り、母親のマリアと共にいる幼い子供を見て、ひれ伏して敬意を表した。また、金、乳香、没薬を取り出し、贈り物として差し出した。12 しかし、ヘロデのもとに戻らないようにと夢の中で神から警告を与えられたので、別の道を通して自分たちの国に帰っていった。

13 占星術師たちが去った後、エホバの天使が夢の中でヨセフに現れて、言った。「起きて、この子とその母親を連れてエジプトに逃げ、私が知らせるまでとどまりなさい。ヘロデがこの子を探して殺そうとしています」。14 そこでヨセフは起き、夜のうちに子供とその母親を連れ、エジプトに行つて、15 ヘロデの死までとどまった。こうして、エホバが預言者を通して「私はわが子をエジプトから呼び出した」と語ったことが実現した。

16 この時ヘロデは、占星術師たちにだまされたと思って激怒した。そして人を遣わし、占星術師たちから注意深く聞いておいた時に基づいて、ベツレヘムとその一帯にいる2歳以下の

2:13, 15, 19; 3:3 *付録A5参照。

第2章

(例) マタ 2:2

(例) マタ 2:22

(例) マタ 1:20
マタ 2:19

(例) ホセ 11:1

(例) マタ 2:7

第2欄

(例) 創 35:19

(例) エレ 31:15

(例) マタ 1:20

(例) マタ 2:12

(例) マル 1:9
ルカ 2:39

(例) ヨハ 1:45

(例) イザ 11:1
イザ 53:2
エレ 23:5
ゼカ 3:8

第3章

(例) ヨハ 1:6

(例) マル 1:3,4
ルカ 3:3-6

(例) マタ 4:17

(例) マル 1:2
ヨハ 1:23

男の子を全員殺させた。17 この時、預言者エレミヤを通して語られた次の言葉が実現した。18 「ラマで声が聞こえた。泣き悲しみ、激しく泣き叫ぶ声である。ラケルは自分の子供たちのために泣き悲しみ、慰めてもらおうとはしなかった。子供たちがもういないからである」。

19 ヘロデが死ぬと、エホバの天使がエジプトにいたヨセフに夢の中で現れて、20 言った。「起きて、この子とその母親を連れてイスラエルに行きなさい。この子の命を狙っていた者たちは死にました」。21 そこでヨセフは起き、子供とその母親を連れてイスラエルに戻った。22 しかし、アケラオが父親のヘロデに代わってユダヤを支配していることを聞き、そこにいくのを恐れた。さらに、夢の中で神から警告を与えられたので、ガリラヤ地方に逃れ、23 ナザレという町に来て住んだ。「彼はナザレ人と呼ばれる」という預言者たちの言葉が実現するためである。

3 さて、バプテストのヨハネがユダヤの荒野に来て伝道し、2 こう言った。「悔い改めなさい。天の王国は近づいたからです」。3 この人については、預言者イザヤを通して次のように言われていた。「荒野で叫ぶ声がする。『エホバの道を整えよ。その

2:23 *恐らく、「芽」という意味のヘブライ語の表現に由来。

道路を真^まつすぐにせよ^①』。4 ヨハネはラクダの毛の服を着て、腰に革の帯を締めていた。食べ物はバッタと野生の蜂蜜^②だった。5 その頃、エルサレムとユダヤ全土とヨルダン川一帯の人々がヨハネの所に来て、6 自分の罪を正直に告白し、ヨルダン川でヨハネからバプテスマを受けていた。

7 ヨハネは、パリサイ派とサドカイ派の人たちがバプテスマの場所に大勢来るのを見て、言った。「毒蛇のような者たち、神が表そうとしている憤りから逃れるようにと誰に言われたのですか。8 では、悔い改めていることを示す行動を取りなさい。9 『私^{わたし}たちには父アブラハムがいる』などと心の中で言ってはなりません。神はこれらの石からアブラハムのために子供を生じさせることもできるのです。10 すでに木の根元におのが置かれています。立派な実を結ばない木は皆、切り倒されて火に投げ込まれます。11 私は、あなたが悔い改めたので水でバプテスマを施します。しかし、私の後から来る方は私より強く、私はその方のサンダルを脱がせるにも値しません。その方は聖なる力と火でバプテスマを施します。12 その方は農作業に使うシャベルを手にし

3:6, 16; 4:1 *用語集参照。3:6 *または、「によって浸された」、「から浸礼を受けていた」。3:7 *直訳、「毒蛇たちの子孫」。3:11 *聖なる力で選ぶことと火で滅ぼすことを指す。3:12 *脱穀したものを放り上げ、もみ殻を風で吹き分ける作業。

第3章

①イザ 40:3

②王二 1:8

③マル 1:6

④マ 1:5

⑤マル 1:9

⑥マル 12:18

ルカ 7:30

⑦マタ 12:34

⑧マタ 23:33

ルカ 3:7-9

ルカ 21:23

⑨ヨハ 8:33, 39

⑩マタ 7:19

ルカ 13:6-9

⑪使徒 19:4

⑫ヨハ 1:15, 27

⑬マル 1:7, 8

ヨハ 1:33

使徒 2:1, 4

コ 12:13

⑭ルカ 3:16, 17

第2欄

①マラ 4:1

②マル 1:9

③ルカ 3:21

④イザ 11:2

マル 1:10, 11

ルカ 4:18

ヨハ 1:32

⑤ヨハ 12:28

⑥詩 2:7

ルカ 9:35

⑦イザ 42:1

マタ 17:5

ルカ 3:22

第4章

①マル 1:12, 13

ルカ 4:1-4

②ヘバ 4:15

③テサー 3:5

④申 8:3

ルカ 4:4

ヨハ 4:34

⑤ネヘ 11:1

イザ 52:1

ており、脱穀場をすっかりきれいにし、小麦を倉の中に集めますが、もみが殻は消えない火で焼き払います。

13 そのとき、イエスがガリラヤからヨルダン川に来た。ヨハネからバプテスマを受けるためである。14 しかし、ヨハネはとどめようとして言った。「わたしこそあなたからバプテスマを受ける必要があるのに、あなたが私の所に來られるのですか」。15 イエスは答えた。「今回はそうさせてください。このようにして、私たちは正しいことを全て行うのです」。ヨハネはそれ以上とどめなかった。16 イエスはバプテスマを受けた後、すぐに水から上がった。何と、天が開き、ヨハネは、神の聖なる力がハトのように下ってイエスの上に来るのを見た。17 さらに天から声がした。「これは私の愛する子、私はこの子のことを喜んでいす」。

4 それからイエスは、聖なる力に導かれて荒野に行き、悪魔から誘惑を受けた。2 40日間ずっと断食した後、空腹を感じた。3 誘惑者がイエスに近づき、言った。「神の子なら、これらの石に、パンになるように命じなさい」。4 イエスは答えた。『人は、パンだけではなく、エホバの口から出る全ての言葉によって生きなければならぬ』と書いてあります。

5 次いで、悪魔はイエスを聖なる都

3:17 *または、「を是認した」。4:2 *直訳、「40日40夜」。4:4 *付録 A5 参照。

に連れていき、神殿の最も高い所に立たせて、**6** 言った。「神の子なら、飛び降りなさい。『神はあなたのために天使たちに命令を出す』、『天使たちはあなたを手に乗せて運び、あなたが石に足をぶつけないようにする』と書いてありますから」。**7** イエスは言った。『「エホバ神を試してはならない」』とも書いてあります」。

8 さらに、悪魔はイエスをとりわけ高い山に連れていき、世界の全ての王国とその栄光を見せて、**9** 言った。「ひれ伏して私を崇拜するなら、これら全てをあげましょう」。**10** そのとき、イエスは言った。「離れ去れ、サタン! 『あなたが崇拜すべきなのはエホバ神であり、この方だけに神聖な奉仕をしなければならない』と書いてあるのです」。**11** その時、悪魔はイエスから離れた。すると、天使たちが来てイエスに仕え始めた。

12 さて、イエスはヨハネが捕らえられたことを聞くと、ガリラヤに去っていった。**13** さらに、ナザレを去ってから、ゼブルンとナフタリの地域にある湖のほとりのカペルナウムに来て住んだ。**14** 預言者イザヤを通して次のように語られたことが実現するためである。**15** 「ゼブルンの土地とナフタリの土地、海の道路沿い、ヨルダン

4:5 *または、「胸壁の所」、「屋上の壁の所」。
4:7, 10 *付録A5参照。 4:9 *または、「私に1度崇拜の行為をする」。

第4章

(ヨ) ルカ 4:9-12

(イ) 詩 91:11, 12

(ヨ) 申 6:16

ルカ 4:12

コ 10:19

(ヨ) ルカ 4:5-8

(ヨ) 啓 22:9

(ヨ) 申 6:13

申 10:20

ルカ 4:8

(ヨ) ルカ 4:13

ヤコ 4:7

(ヨ) ルカ 22:43

ヘブ 1:7, 14

(ヨ) マル 6:17, 18

ルカ 3:19, 20

(ヨ) マル 1:14

ルカ 4:14

(ヨ) ルカ 4:31

第2欄

(ヨ) ヨハ 1:9

(イ) イザ 9:1, 2

(ヨ) マタ 10:7

マル 1:14, 15

(ヨ) ヨハ 1:42

(ヨ) マル 1:16-18

(ヨ) ルカ 5:10, 11

(ヨ) マル 10:28

ルカ 18:28

(ヨ) マタ 10:2

マタ 27:55, 56

マル 3:17

マル 10:35

ヨハ 21:2

(ヨ) マル 1:19, 20

(ヨ) マタ 9:35

マル 1:39

マル 6:6

(ヨ) ルカ 4:16

使徒 13:13, 14

(ヨ) ルカ 9:11

使徒 10:37, 38

(ヨ) マル 6:55

(ヨ) マル 1:32

使徒 5:16

(ヨ) マタ 17:15

川の向こう側、異国の人々のガリラヤよ!**16** 闇にいる民は大きな光を見、死の陰に覆われた地方にいる人たちの上に光が昇った」。**17** その時から、イエスは伝道を開始して、「悔い改めなさい。天の王国は近づいたからです」と言い始めた。

18 イエスがガリラヤ湖の岸边を歩いていると、2人の兄弟、ペテロと呼ばれるシモンとその兄弟アンデレが湖に網を投げていた。2人は漁師だった。

19 イエスは言った。「私に付いてきなさい。魚ではなく人を集める漁師にしてあげましょう」。**20** 2人は直ちに網を捨てて後に従った。**21** イエスはそこから歩いていき、別の2人の兄弟、ゼバダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネを目にした。2人は父親のゼバダイと舟にいて、網の手入れをしていた。イエスが呼ぶと、**22** 2人は直ちに舟と父親を残して後に従った。

23 イエスはガリラヤを巡り、会堂で教え、王国の良い知らせを伝え、民のあらゆる病気や不調を治した。

24 イエスの評判はシリア中に広まり、さまざまな病気や苦痛を抱える人全て、邪悪な天使に取りつかれた人や、てんかんがある人、体がまひした人などがイエスの所に連れてこられ、イエスはその人たちを治した。**25** その結果、ガリラヤ、デカポリス、エルサレム、ユ

4:23 *用語集参照。 4:25 *または、「10の町の地方」。

ダヤ、またヨルダン^{がわ}川の向^むこう側^{がわ}から、
大勢^{おおぜい}の人が来てイエスの後^{あと}に従^{したが}つた。

5 イエスは群衆^{ぐんしゅう}を見て、山^{やま}に登^{のぼ}った。そして腰^{こし}を下^おろすと、弟子^{でし}たちがそば^{そば}に來た。**2** イエスは口^{くち}を開^{ひら}き、教^{おし}え始^{はじ}めた。

3 「神^{かみ}の導^{みちび}きが必要^{ひつよう}であることを自^じ覺^{かく}している人^{ひと}たちは幸福^{こうふく}です。天^{てん}の王^{おう}國^{こく}はその人^{ひと}たちのものだからです。

4 嘆^{なげ}き悲^{かな}しむ人^{ひと}たちは幸福^{こうふく}です。慰^{なぐさ}められるからです。

5 温和^{おんわ}な人^{ひと}たちは幸福^{こうふく}です。地球^{ちきゅう}を与^{あた}えられるからです。

6 正^{ただ}しいこと^{せつぼう}を切望^{きつぼう}している人^{ひと}たちは幸福^{こうふく}です。満^みたされるからです。

7 憐れ^{あわれ}み深^うい人^{ひと}たちは幸福^{こうふく}です。憐れ^{あわれ}みを受け^うけるからです。

8 心^{こころ}の純粋^{じゆんすい}な人^{ひと}たちは幸福^{こうふく}です。神^{かみ}を見るからです。

9 平和^{へいわ}をつくる人^{ひと}たちは幸福^{こうふく}です。神^{かみ}の子^こと呼ば^よばれるからです。

10 正^{ただ}しいこと^{はくがい}をして^して迫害^{はくがい}されてきた人^{ひと}たちは幸福^{こうふく}です。天^{てん}の王^{おう}國^{こく}はその人^{ひと}たちのものだからです。

11 私^{わたし}のために非難^{ひなん}され、迫害^{はくがい}され、悪意^{あくい}のあるうそをいろいろ言^いわれるとき、あなたたちは幸福^{こうふく}です。**12** 喜^{よろこ}び、歡喜^{かんき}しなさい。天^{てん}での報^{むく}いは大^{おお}きいからです。以^い前の預言^{よげん}者^{しや}たちも同^{おな}じよう^{はくがい}に迫害^{はくがい}されまし

5:3 *または、「聖なる力を乞い求める」。**5:5** *または、「温厚な」。**5:6** *直訳、「に飢え渴いて」。**5:9** *または、「求める」。

第5章

(ルカ 6:20)

(イザ 61:2,3
マタ 11:28)(テモ 6:11
テト 3:2)

(詩 37:11)

(イザ 55:1
ルカ 6:21)

(ヨハ 6:35)

(マタ 6:14
マタ 18:33
ヤコ 2:13)(詩 24:3,4
詩 73:1)(ロマ 12:18
ヘブ 12:14
ヤコ 3:18)(マル 10:29,30
ペー 3:14)

(マタ 10:22)

(ヨハ 15:20)

(ルカ 6:22,23
ヤコ 1:2
ペー 4:14)(使徒 5:41
ロマ 5:3)

(ヘブ 11:6)

(代 2 36:16
使徒 7:52
ヘブ 11:32,37)

第2欄

(マル 9:50)

(ルカ 14:34,35)

(ヨハ 8:12
ヨハ 12:36
フィリ 2:15)(マル 4:21
ルカ 11:33)(エフ 5:8
フィリ 2:15)

(エフ 5:9)

(ヨハ 15:8
ペー 2:9,12)

(ルカ 4:21)

(イザ 40:8
ルカ 16:17)(マタ 15:7-9
マタ 23:23
ルカ 11:42)(マタ 18:3
ヨハ 3:5)

13 あなたたちは地^ちの塩^{しお}です。しかし、塩^{しお}が塩氣^{しおけ}を失^{うしな}ったら、どのようにして塩氣を取り戻せるでしょうか。もはや何^{なに}にも使^{つか}えず、そ^そ外^{そな}に投^なげ捨^すてられて踏^ふみつけられるしかありません。

14 あなたたちは世^よの光^{ひかり}です。山^{やま}の上^{うへ}にある町^{まち}は、隠^{かく}されることがありません。**15** また、人^{ひと}はランプ^{らんぷ}をともし、籠^{かご}で覆^{おお}うのではなく台^{だい}の上に置^おきます。そうすれば、家^{いえ}の中^{なか}にいる全員^{ぜんいん}を照^てらせます。**16** 同じよう^{おな}に、あなたたちの光^{ひかり}を人^{ひと}々の前^{まへ}に輝^{かがや}かせなさい。そうすれば、人^{ひと}々はあなたたちの立派^{りっぺい}な行^{こう}動^{どう}を見て、天^{てん}にいる父^{ちち}をたたえるでしょう。

17 私^{わたし}が律法^{りっぽう}と預言^{よげん}者の言^{こと}葉^はを取り消^とすために來た、と考^{かんが}えてはなりません。取り消^とすためではなく、実現^{じつげん}するために來ました。**18** はっきり言^いいますが、律法^{りっぽう}から最^も小^{ちひ}さな文^{もん}字^じ1つや文^{もん}字^じの1画^さが消^きえ去^されるよりも、天^{てん}地^ちが消^きえ去^さる方がまだ早^{はや}いでしょう。記^{しる}されたことは全^{すべ}て起^おきるのです。

19 ですから、小^{ちひ}さなおきての1つ^{ひとつ}を破^{やぶ}り、そうするよう教^{おし}える人^{ひと}は、天^{てん}の王^{おう}國^{こく}にふさわしくない者^{もの}と呼ば^よべれます。しかし、そうしたおきてを守^{まも}り、教^{おし}える人^{ひと}は、天^{てん}の王^{おう}國^{こく}にふさわしい者^{もの}と呼ば^よべれます。**20** 實際^{じっさい}、あなたたちは、律法^{りっぽう}がくしややパリサイ派^はの人^{ひと}たちより正^{ただ}しいとい^{しめ}うことを示^{しめ}していなければ、決^{けつ}して天^{てん}の王^{おう}國^{こく}に入^{はい}れません。

5:15 *または、「量り籠」。

21 あなたたちは、古代の人々がこう命じられたのを知っています。『殺人をしてはならない。殺人を犯す人は法廷に引き出される』。22 しかし私は言います。仲間に対して憤りを抱き続ける人は皆、法廷に引き出されます。ひどく侮辱的な言葉を仲間と言う人は最高法廷に引き出されます。また、『どうしようもない愚か者!』と言う人は、火の燃えるゲヘナに投げ込まれます。

23 それで、あなたが供え物を祭壇に持ってきて、仲間が自分に対して何か反感を抱いていることをそこで思い出したなら、24 供え物を祭壇の前に残して、出掛けていきなさい。まず仲間と仲直りし、それから戻ってきて、供え物を捧げなさい。

25 訴訟の相手とは、法廷に共に向かう間に素早く問題を解決しなさい。そうしなければ、その人があなたを裁判官に引き渡し、裁判官が法廷の役人に引き渡して、あなたは牢屋に投げ込まれてしまいます。26 はっきり言いますが、最後の小さな硬貨を払い終えるまで、そこから決して出られません。

27 あなたたちは、こう命じられたのを知っています。『姦淫をしてはならない』。28 しかし私は言います。女

第5章

(例) 創 9:6
出 20:13
申 5:17

(例) レビ 24:17
申 17:8,9

(例) コロ 3:8
ヤコ 1:19

(例) マタ 10:28
ルカ 12:5
ヨ 3:15

(例) 申 16:16

(例) ヨ 4:20

(例) ルカ 12:58,59

(例) 出 20:14
申 5:18
ルカ 18:20
ロマ 13:9

第2欄

(例) サ二 11:2
ヨブ 31:1

(例) マル 7:20-22

(例) ルカ 11:34

(例) マタ 18:9
マル 9:47

(例) コロ 3:5

(例) マタ 18:8

(例) 申 24:1
マタ 19:3,8
マル 10:2,4

(例) マタ 19:9
マル 10:11,12
ルカ 16:18
ロマ 7:3

(例) レビ 19:12

(例) 民 30:2
申 23:21
伝 5:4

(例) ヤコ 5:12

(例) イザ 66:1

(例) 詩 48:2

性を見つけて情欲を抱く人は皆、すでに心の中で姦淫をしたのです。29 そこで、もし右目があなたに罪を犯させているなら、えぐり出して捨て去りなさい。体の一部を失う方が、全身がゲヘナに投げ込まれるよりは、よいのです。30 また、もし右手があなたに罪を犯させているなら、切り離して捨て去りなさい。体の一部を失う方が、全身がゲヘナに落ちるよりは、よいのです。

31 さらに、こう命じられました。『妻を離婚する人は、離婚証書を妻に与えなさい』。32 しかし私は言います。誰でも性的不道徳以外の理由で妻を離婚するなら、妻は姦淫することになりかねません。離婚された女性と結婚する人は姦淫することになります。

33 また、あなたたちは、古代の人々がこう命じられたのを知っています。『誓いをして実行しないことがあってはならず、エホバへの誓約を果たさなければならない』。34 しかし私は言います。一切誓ってはなりません。天に懸けてもです。天は神の王座だからです。35 地に懸けてもです。地は神の足台だからです。エルサレムに懸けてもです。それは偉大な王の都市だからです。36 自分の頭に懸けて誓ってもなりません。あなたは髪の毛1本、白くも黒くもできないからです。

5:29, 30 *または、「信仰の妨げとなって」。5:32 *ギリシャ語、ボルネイア。用語集参照。5:33 *付録A5参照。5:36 *つまり、命。

5:22 *直訳、「兄弟」。「エルサレムの外のごみ焼却場。用語集参照。5:26 *直訳、「最後のクワドランス」。付録B14参照。

37 ただ、『はい』は、はいを、『いいえ』は、いいえを意味するようにしなさい。それ以上のことは邪悪な者から出るのです。

38 あなたたちは、こう命じられたのを知っています。『目には目、歯には歯』。39 しかし私は言います。悪人と争ってはなりません。右の頬を平手打ちする人には、もう一方の頬も向けなさい。40 あなたを法廷に連れていって內衣を取ろうとする人には、外衣も与えなさい。41 権威のある人から1キロ行くよう要求されたなら、一緒に2キロ行きなさい。42 求める人に与えなさい。借りようとする人に背を向けてはなりません。

43 あなたたちは、こう命じられたのを知っています。『隣人を愛し、敵を憎まなければならぬ』。44 しかし私は言います。敵を愛し続け、迫害する人のために祈り続けなさい。

45 自分が天にいる父の子であることを示すためです。父は悪人にも善人にも太陽を昇らせて、正しい人にも正しくない人にも雨を降らせてくださるのです。46 愛してくれる人を愛したからといって、どんな報いがあるでしょうか。徴税人も同じことをしていませんか。47 兄弟たちだけにあいさつしたからといって、特別なことをしているの

5:37 *サタンのこと。5:39 *侮辱や挑発を意図したもの。5:42 *利息なしで借りるということ。5:46 *徴税人は同国人に軽蔑されていた。

第5章

(マ) ヤコ 5:12

(イ) ヨハ 8:44

(マ) 出 21:24, 25
レビ 24:20
申 19:21(マ) 格 24:29
イザ 50:6
ルカ 6:29
ロマ 12:17
ペテ 2:23

(マ) コー 6:7

(マ) レビ 25:36
申 23:19(マ) レビ 19:18
マル 12:31(マ) 格 25:21
ロマ 12:20(マ) ルカ 6:27, 28
使徒 7:60
ロマ 12:14

(マ) エフ 5:1

(マ) ルカ 6:35
使徒 14:17

(マ) ルカ 6:32, 33

第2欄

(マ) レビ 19:2
申 18:13
ルカ 6:36
ペテ 1:16

第6章

(マ) マタ 23:5

(マ) 格 19:17
マタ 10:42

(マ) ルカ 18:11

(マ) マタ 6:16
マタ 23:5

(マ) ルカ 6:12

しょうか。異国の人も同じことをしていませんか。48 ですから、あなたたちは、天の父が完全であるように完全でなければなりません。

6 注目されようとして人前で善行をすることがないように注意しなさい。そうでないと、天にいる父からの報いはありません。2 それで、憐れみの施しをするとき、偽善者たちが人から称賛を受けようとして会堂や街路でするように、施す前にラッパを吹いてはなりません。はっきり言いますが、その人たちは報いを全部得てしまっています。3 憐れみの施しをするときには、右手がしていることを左手に知らせはなりません。4 憐れみの施しをひそかにするためです。そうすれば、ひそかに見ている父が報いてくださいます。

5 また、祈るとき、偽善者たちのようであってはなりません。その人たちは、人に見るように会堂の中や大通りの角に立って祈ることを好みます。はっきり言いますが、その人たちは報いを全部得てしまっています。6 祈るときには、自分の部屋に入って戸を閉じてから、ひそかな所にいる父に祈りなさい。そうすれば、ひそかに見ている父が報いてくださいます。7 祈るとき、異国の人も同じことを何度も言ってはなりません。その人たちは、多くの言葉を並べれば聞かれる

6:2 *用語集参照。

とおもっています。8 異国の人々のようであってはいけません。天の父は、あなたたちが求める前から、必要とするものを知っているのです。

9 それでは、このように祈らなければなりません。

『天におられる私たちの父よ、お名前が神聖なものとされますように。

10 あなたの王国が来ますように。あなたの望まれることが、天と同じように地上でも行われますように。

11 今日、この日のためのパンを私たちに与えてください。12 私たちに罪を犯した人々を私たちが許しましたように、私たちの罪をお許してください。13 私たちを誘惑に陥らせないで、邪悪な者から救い出してください。』

14 人の過ちを許すなら、天の父もあなたたちを許してください。

15 逆に、人の過ちを許さないなら、父もあなたたちの過ちを許されません。

16 断食をするとき、偽善者たちのように悲しそうな顔をするのをやめなさい。その人たちは、断食をしていることが人々に分かるように、顔を見苦しくします。はっきり言いますが、その人たちは報いを全部得てしまっています。17 断食をするときには、頭に油を塗り、顔を洗いなさい。18 断食をしていることが、人ではなく、ひそかな

6:9 *または、「聖なるものとして扱われ」、「最高の敬意をもって扱われ」。6:12 *直訳、「負債がある」。6:13 *サタンのこと。6:16 *または、「外見を整えません」。

第6章

(ル) ルカ 12:30
(イ) ルカ 11:2-4
(ヨ) 出 6:3
詩 83:18
(エ) エゼ 36:23
(ダ) ダニ 2:44
マタ 6:33
啓 11:15
(マ) マタ 26:42
テモ一 2:4
啓 4:11
(サ) 詩 37:10
ルカ 23:43
使徒 24:15
(ク) 詩 37:25
格 30:8
マタ 6:34
テモ一 6:8
(ケ) マタ 18:21
マル 11:25
(コ) マタ 26:41
コ一 10:13
啓 3:10
(モ) ヨハ 17:15
ヨ一 5:19
(メ) エフ 4:32
コロ 3:13
(ミ) マタ 18:35
ヤコ 2:13
(メ) 使徒 13:2,3
使徒 14:23
(イ) イザ 58:5
ルカ 18:11,12

第2欄

(ル) マタ 13:22
ルカ 12:20
ヤコ 5:3
(イ) マタ 19:21
マル 10:21
ルカ 12:33,34
ルカ 18:22
(ヨ) ペー 1:3,4
(エ) 格 4:25
ルカ 11:34
エフ 1:18
(ダ) マタ 20:15
(マ) ヤコ 4:4
(サ) マタ 13:22
ルカ 16:13
(ク) テモ一 6:8
ヘブ 13:5
(ケ) 詩 55:22
フィリ 4:6
ペー 5:6,7

(コ) ルカ 12:22-28
(モ) ヨブ 38:41
詩 147:9
マタ 10:29

ところにいる父だけに分かるためです。そうすれば、ひそかに見ている父が報いてくださいます。

19 自分のために地上に宝を蓄えるのをやめなさい。そこでは蛾やさびがむしばみ、泥棒が入って盗みます。

20 むしろ、自分のために天に宝を蓄えなさい。そこでは蛾やさびがむしばんだり、泥棒が入って盗んだりすることはありません。21 あなたの宝のある所、そこにあなたの心もあるのです。

22 目は体にとって明かりです。もし目の焦点が合っていれば、体全体が明いでしょう。23 しかし、目が欲で満ちていれば、体全体が暗いでしょう。あなたの内にあるのが光ではなく闇であれば、その闇はどれほど深いことでしょう。

24 誰も2人の主人の奴隷にはなれません。一方を憎んで他方を愛するか、一方に尽くして他方を軽く見るかです。神と富との奴隷にはなれません。

25 それでは、何を食べ何を飲むのだろうかと自分の命のことで、また何を着るのだろうかと自分の体のことで、心配するのをやめなさい。命は食物より、体は服より大切ではありません。26 鳥をよく観察しなさい。種をまいたり、刈り取ったり、倉に集め

6:22 *または、「が澄んでいれば」。「または」、「に光が満ちる」。6:23 *直訳、「邪悪であれば」。

たりはしません。それでも天の父は鳥を養っています。あなたたちはそれよりも価値があるではありませんか。27 心配したからといって、誰が自分の寿命を少しでも延ばせるでしょうか。28 また、服のことでなぜ心配しているのですか。野のユリがどのようにに育つかをよく考えなさい。苦労して働いたり、糸を紡いだりはしません。29 しかし、華やかな生活を送ったソロモン王でさえ、このような花の1つほどにも装ってはいませんでした。30 では、神が、今日ここに生えていて明日火に投げ込まれる野の草木にこのように服を与えているなら、ましてあなたたちには服を与えてくださるのではないのでしょうか。信仰の少ない人たち。31 それで、心配して、『何を食べるのか』、『何を飲むのか』、『何を着るのか』などと言ってはなりません。32 これら全ては異国のの人々が必死に求めているものです。天の父は、あなたたちがこうしたものを必要としていることを知っています。33 ですから、王国と神から見て正しいことをいつも第一にしなさい。そうすれば、こうしたほかのもの全ても、あなたたちに与えられます。34 それで、次の日のことを決して心配してはなりません。次の日は次の日です。心配する事があります。その日の問題は、その日だけで十分です。

6:27 *直訳、「1キュビト」。付録B14参照。

第6章

(マ) 詩 39:5

(イ) 王 10:4,5

(イ) ルカ 10:41

(イ) ルカ 12:29-31

(イ) 詩 37:25

(イ) 出 16:4,19

第2欄

第7章

(イ) ルカ 6:37

ロマ 2:1

ロマ 14:13

(イ) マタ 18:33,34

ヤコ 2:13

(イ) マル 4:24

ルカ 6:38

ガラ 6:7

(イ) ルカ 6:41,42

(イ) 格 9:7

マタ 10:14

(イ) マル 11:24

ヤコ 1:5

ヨ 5:14

(イ) ルカ 11:9-13

(イ) ヨハ 14:13

ヨ 3:22

7 裁くのをやめなさい。裁かれなためです。2 人を裁いているのと同じ仕方、自分も裁かれ、人に量って与えるのと同じはかりで、人からも量って与えられます。3 なぜ仲間の目の中にあるわらを見ながら、自分の目の中にある材木に気付かないのですか。4 また、どうして仲間、『あなたの目からわらを取り除かせてください』と言えるのですか。見なさい、自分の目の中には材木があるのです。5 偽善者よ! まず自分の目から材木を取り除きなさい。そうすれば、仲間の目からわらを取り除く方法がはっきり分かります。

6 聖なるものを犬に与えてはなりません。真珠を豚の前に投げてもなりません。豚がそれを踏みつけ、向き直ってあなたたちに襲い掛かることのないためです。

7 求め続けなさい。そうすれば与えられます。探し続けなさい。そうすれば見つかります。たたき続けなさい。そうすれば開かれます。8 誰でも求めている人は受け、探している人は見つけ、たたいている人には開かれます。9 実際、あなたたちのうち誰が、自分の子からパンを求められて、石を渡すでしょうか。10 また、魚を求められて、蛇を渡すでしょうか。11 それで、あなたたちが罪深い人間でありながら、子供に良い贈り物を与えることを

7:3 *直訳、「兄弟」。

心^{こころえ}得^えているのであれば、まして天^{てん}にいい
る父^{ちち}は、ご自分^{じぶん}に求^{もと}めている人^{ひと}にいい
もの^(イ)を与^{あた}えてくださるのです。

12 ですから、人^{ひと}からしてほしいと思^{おも}
うことは全て、人^{ひと}にもしなければなりま
せん。これが律法^(イ)と預言者^{りっぽう}の書^よが教^{おし}
えていることです。

13 狭^{せま}い門^{もん}を通^{とお}って入りなさい。滅^{ほろ}
びに至^{いた}る門^{もん}は広くてその道^{みち}は広々とし
ており、それを通^{とお}って入^{はい}っていく人^{ひと}は多^{おほ}
いからです。14 一方^{いつぱう}、命^{いのち}に至^{いた}る門^{もん}
は狭^{せま}くてその道^{みち}は狭^{せま}められており、そ
れを見^みつける人^{ひと}は少^{すく}ないのです。

15 羊^{ひつじ}のふりをしてやって来る偽^(イ)預^{けい}言^{かい}者^{しや}たち^(イ)に警^{けい}戒^{かい}していなさい。その人^{ひと}
たちは実^{じっさい}際には、むさぼり食^くうオオカ
ミです。16 その人^(イ)たちは実^{ひと}によつて
見^み分けられます。いばらからブドウ
を、アザミからイチジクを集^{あつ}めることな
どあるでしょうか。17 同じように、良^よ
い木^きは皆^{みな}、立^{りっ}派^ぱな実^みをならせ、腐^{くさ}った
木^きは皆^{みな}、悪^{わる}い実^みをならせます。18 良^よ
い木^きは皆^{みな}、悪^{わる}い実^みをならせることはできず、
腐^{くさ}った木^きは皆^{みな}、立^{りっ}派^ぱな実^みをならせることも
できません。19 立^{りっ}派^ぱな実^みをならせ
ていない木^きは皆^{みな}、切^きり倒^{たお}されて火^ひに
投^なげ込まれます。20 このように、そ
の人^{ひと}たちは実^みによつて見^み分けられるの
です。

21 私^{わたし}に向^むかって『主^{しゅ}よ、主^{しゅ}よ』と言^い
う人^{ひと}全員^{ぜんいん}が天^{てん}の王^{おう}国^{こく}に入^{はい}るのではな
く、天^{てん}にいる私^{わたし}の父^{ちち}の望^{のぞ}むことを行^{おこな}う

第7章

(イ) ヤコ 1:17

(イ) ルカ 11:13

(イ) ルカ 6:31

(イ) ロマ 13:10
ガラ 5:14

(イ) ルカ 13:24

(イ) 使徒 14:22
ペー 4:18

(イ) ルカ 6:26

(イ) マタ 24:11
ペー 2:1
ヨ一 4:1(イ) 使徒 20:29,
30

(イ) ルカ 6:44

(イ) マタ 12:33

(イ) ルカ 6:43

(イ) マタ 3:10
ルカ 13:6,9

(イ) マタ 12:33

第2欄

(イ) ロマ 2:13
ヤコ 1:22
ヨ一 2:17
ヨ一 5:3

(イ) ルカ 6:46

(イ) エレ 14:14
エレ 27:15

(イ) ルカ 13:25-27

(イ) ルカ 6:47-49
ヤコ 1:25

(イ) ヤコ 1:23,24

(イ) コー 3:13

(イ) マル 1:22
ルカ 4:32

(イ) ヨハ 7:46

人^{ひと}だけが入^{はい}ります。22 その日^ひには、
おほ 多く^{おほ}の人^{ひと}が私^{わたし}に向^むかって『主^{しゅ}よ、主^{しゅ}よ、
わたくし 私^{わたし}たちはあなた^なの名^なによつて預^よ言^{げん}し、
あなた^なの名^なによつて邪^じ悪^{あく}な天^{てん}使^したち
を追^おい出^だし、あなた^なの名^なによつて多^{おほ}く
の強^{きやうりよく}力^{りよく}を行^{おこな}いをしなかつたでしょう
か』と言^いいます。23 その時^{とき}、私^{わたし}は
はっきり言^いいます。『あなた^なたちのこと
は全^{まった}く知^しりません。不法^{ふぼう}なことをする
人^{ひと}たち、離^{はな}れ去^さりなさい!』

24 それで、私^{わたし}のこれら^この言^{こと}葉^ばを聞^き
いて実^{じっ}行^{こう}する人^{ひと}は皆^{みな}、岩^{いわ}の上^{うへ}に家^{いえ}を建^た
てた思^{おも}慮^お深^こい人^{ひと}のようです。25 大^{おほ}雨^{あめ}が降^こって洪水^{こうすい}が押^おし寄^よせ、風^{かぜ}が激^{げき}
しく吹^ふき付^つけても、その家^{いえ}は崩^おれ落^ちち
ませんでした。岩^{いわ}の上^{うへ}に土^ど台^{だい}が据^すえら
れていたからです。26 また、私^{わたし}のこ
れら^この言^{こと}葉^ばを聞^きいても実^{じっ}行^{こう}しない人^{ひと}
は皆^{みな}、砂^{すな}の上^{うへ}に家^{いえ}を建^たてた愚^{おろ}かな人^{ひと}
のようです。27 大^{おほ}雨^{あめ}が降^こって洪水^{こうすい}
が押^おし寄^よせ、風^{かぜ}が強^{つよ}く吹^ふき付^つけると、そ
の家^{いえ}は全^{かんぜん}に崩^{くず}れ落^おちました。

28 イエスがこれら^この言^{こと}葉^ばを語^{かた}り終^お
えると、群^{ぐん}衆^{しゅう}はその教^{おし}え方^{かた}に大^{たい}変^{へん}驚^{おどろ}
いていた。29 律^{りっ}法^{ぽう}学^{がく}者^{しや}たち^(イ)のよう
にはなく、権^{けん}威^いを授^{さず}かった人^{ひと}のよう
に教^{おし}えていたからである。

8 イエスが山^{やま}から下^{くだ}りてきた後^{あと}、大^{おほ}
勢^{ぜい}の人^{ひと}がそ^その後^{あと}に従^{したが}った。2 す
ると、重^{おも}い皮^ひ膚^ふ病^{びよう}の男^{だん}性^{せい}がや^きって来^き
てイエスに敬^{けい}意^いを表^{ひょう}し、言^いった。「主^{しゅ}よ、あ

7:22 *または、「奇跡」。

7:16, 20 *または、「行^いうこと」。

あなたは、お望みに^{のぞ}なるだけで、私^{わたし}を癒^いや^てす^てことができ^すます。3 イエスは手^てを伸^のばして男性^{なんせい}に触^{さわ}り、「そう望^{のぞ}みます。良^よくなりなさい」と言^いった。すぐ^すに病^{びょう}気^きは治^{なお}った。4 イエスは言^いった。「誰^{だれ}にも話^{はな}さないようにしなさい。ただ自分^{じぶん}を祭^{さい}司^しに見^みせに行^いき、モーセ^{モーセ}が指^さ定^{てい}した供^くえ物^{ぶつ}を捧^{たか}げなさい。癒^いやさ^れれた証^{しょう}拠^ことしてです」。

5 イエスがカペルナウムに入^{はい}ると、ある士^し官^{かん}がそのもとに來^きて、嘆^{たん}願^{がん}して6 言^いった。「閣^{かく}下^か、私^{わたし}の召^めし使^{つか}いが、体^{からだ}がまひして家^{いえ}で寝^ね込んでおり、ひどく苦^{くる}しんでおります。7 イエスは言^いった。「そち^ちらへ行^いく時^{とき}に治^{なお}してあげま^{せう}しょう」。8 士^し官^{かん}は答^{こた}えた。「閣^{かく}下^か、私^{わたし}のよ^ような者^{もの}の家^{いえ}に來^きていた^きたくには及^{およ}びませ^ん。ただ一^{ひと}言^{こと}言^いってくだされば、め^めつ^{つか}か^かは癒^いやされま^すす。9 といいま^すすのは、私^{わたし}は権^{けん}威^いの下^{もと}にある人間^{にんげん}で、私^{わたし}の下^{もと}にも兵^{へい}士^しがおり、この者^{もの}に『行^いけ!』と言^いえ^ばば、行^いき、別^{べつ}の者^{もの}に『來^きい!』と言^いえ^ばば、來^きま^すす。また、私^{わたし}の奴^ど隷^{れい}に、『これ^{これ}をせよ!』と言^いえ^ばば、それ^{それ}をし^しま^すす。10 イエスはこ^これ^{これ}を聞^きいてとて驚^{おどろ}き、後^{あと}に從^{したが}う人^{ひと}た^ちに言^いった。「はつきり言^いいますが、イスラエル^{いす}の中^{なか}でも、こ^これ^{これ}ほどの信^{しん}仰^{こう}は見^みたこ^ことが^があ^ありませ^ん。11 とはいえ、あな^{あな}た^たち^ちに言^いいま^ますが、大^{たい}勢^{せい}の^{ひと}人^{ひと}が東^{ひがし}や西^{にし}から來^きて、天^{てん}の王^{おう}國^{こく}でアブラハム^あ、イサ^いク^く、ヤコ^やコ^こと共^{とも}に食^{しょく}卓^{たく}に

8:2 *または、「清くする」。

第8章

(7) マル 1:40-44
ルカ 5:12-14

(7) マル 1:41
ルカ 5:13

(7) イザ 53:4

(24) マタ 9:30
マタ 12:15, 16
マル 7:35, 36

(24) レビ 14:2
ルカ 17:14

(24) レビ 14:3, 4
レビ 14:19, 20

(24) ルカ 7:1-9

(24) マタ 15:28
ルカ 7:9

第2欄

(7) ルカ 13:29

(7) ルカ 13:28

(24) マタ 9:29
マタ 15:28
マル 9:23

(24) ルカ 7:10

(24) コー 9:5

(24) マル 1:29-34
ルカ 4:38-41

(24) マル 5:41
使徒 3:7

(24) イザ 53:4

(24) マル 4:35
ルカ 8:22

(24) ルカ 9:57

(24) ルカ 9:58
コ二 8:9

(24) ルカ 9:59

つ^つ*⁽⁷⁾着^いきま^すす。12 一^{いっ}方^{ぽう}、王^{おう}國^{こく}の子^こた^ちはそ^そと^とや^やみ^みほ^{ほう}う^うだ^だし^しな^なかな^{かな}外^がの闇^{やみ}に放^{はな}り出^でされ、そ^そこ^こで泣^なき悲^{かな}しん^{しん}だり歯^はぎしりし^したりし^しま^すす。13 そ^それ^れか^から^らイエ^いスは士^し官^{かん}に言^いった。「行^いきなさい。あな^{あな}た^たが信^{しん}じ^じた通^とりにな^なりま^すすよ^うに」。す^すると、召^めし使^{つか}いはそ^その^{とき}時^{とき}に癒^いやさ^れた^た。

14 イエスはペテロ^いの^{はい}家^{いえ}に入^{はい}り、ペテロ^いの^{はい}しゅう^{しゅう}とめ^めが熱^{ねつ}病^{びょう}にかか^かつて寝^ねてい^いるの^のを見^みた。15 そ^それ^れで彼^{かの}女^{じょ}の^お手^てに触^{さわ}ると、熱^{ねつ}が引^ひき、しゅう^{しゅう}とめ^めは起^おき上^あが^あつてイエ^いス^えをも^もてな^なし始^{はじ}め^めた。16 夕^{ゆう}方^{ほう}にな^なつてか^から、人^{ひと}々^々は邪^{じあ}悪^{あく}な^なてん^{てん}し^しと^とり^りつか^{つか}れた^{れた}人^{ひと}を大^{たい}勢^{せい}連^{れん}れてきた。イエ^いスは邪^{じあ}悪^{あく}な天^{てん}使^したち^ちを言^{こと}言^ごば^ばで追^おい出^でし、病^{びょう}気^きに苦^{くる}しむ人^{ひと}全^{ぜん}てを治^{なお}した。17 預^よ言^{げん}者^{しや}イザ^いヤ^やを通^{とお}して語^{かた}られた次^{つぎ}の言^{こと}言^ごば^ばが現^{じつ}現^{げん}するた^ためであ^ある。『彼^{かれ}は私^{わたし}たち^ちの病^{びょう}気^きを取^とり去^さり、私^{わたし}たちの病^{びょう}を担^{たん}った』。

18 イエスは周^{まわ}りの群^{ぐん}衆^{しゅう}を見^みて、向^むこう岸^{ぎし}へ出^{しゅ}発^{ぱつ}するよ^{よう}命^{めい}じ^じた。19 あ^ある律^{りっ}法^{ぽう}学^{がく}者^{しや}がや^やつて來^きて、言^いった。「先^{せん}生^{せい}、あな^{あな}た^たが行^いく所^{ところ}なら、ど^どこへでも付^ついてい^いきま^すす。20 し^しかし^しイエ^いスは言^いった。「キツ^きネ^ねには穴^{あな}が^があ^あり、鳥^{とり}には巢^すが^があ^ありま^ますが、人^{ひと}の^こ子^こには自^じ分^{ぶん}の家^{いえ}が^があ^ありませ^ん。21 そ^それ^れか^から、弟^で子^しの1^い人^{ひとり}がイエ^いスに言^いった。「主^{しゅ}よ、ま^まず行^いつて父^{ちち}を葬^{ほう}ら^らせてく^くださ^いい」。

8:11 *直訳、「で横になり」。8:15 *または、「に仕え」。8:20 *イエスのこと。用語集参照。
*直訳、「頭を横たえる所」。

22 イエスは言った。「私の後に従い
つづ しにん しにん ほうむ (ワ) 続け、死人は死人に葬らせなさい」。

23 イエスが舟に乗ると、弟子たち
が後に従った。24 ところが、湖に大
あらし しょう ふね なみ 嵐が生じ、舟は波にのまれそうになっ
た。それでも、イエスは眠っていた。

25 弟子たちが来てイエスを起こし、
「主よ、助けてください。死んでしまい
そうです!」と言った。26 しかしイ
エスは言った。「なぜそんなに怖がっ
ているのですか。信仰の少ない人た
ち。それから起き上がって風と湖を
叱りつけた。すると湖面はすっかり穏
やかになった。27 弟子たちはとて
も驚き、「どういふ方なのだろう。風や
みずうみ したが い 湖さえ従うのだ」と言った。

28 イエスが向こう岸に着いてガダ
ラの人たちの地域に入ると、邪悪な天
使に取りつかれた2人の男が墓場か
ら出てきてイエスに会った。2人はとり
わけ凶暴だったので、誰もすぐ近くの
道を通る勇気がなかった。29 2人
はわめいて、言った。「神の子よ、何
をしに来たのですか。私たちを罰する
ために、定められたときよりも前に来
たのですか」。30 遠く離れた所で、
豚の大きな群れが草を食べていた。

31 それで邪悪な天使たちはイエスに
嘆願し始め、「私たちを追い出すので
したら、あの豚の群れの中に送り込ん
でください」と言った。32 イエスが

8:26 *または、「小い心な」。8:28 *または、「記
念の墓」。

第8章

(ワ) ルカ 9:60

(イ) マル 4:36

(ワ) マル 4:37-41

ルカ 8:23-25

(マ) マタ 14:31

マル 4:40

(ワ) 詩 89:9

詩 107:29

ルカ 8:25

(ワ) マル 5:1-3

ルカ 8:26, 27

(キ) ルカ 4:34, 41

(ワ) マル 1:24

ヤコ 2:19

(ワ) マル 5:7-10

ルカ 8:28

(マ) マル 5:11-17

(ワ) 申 14:8

ルカ 8:31-34

第2欄

(ワ) ルカ 8:35-37

第9章

(イ) マタ 4:13

マル 2:1

(ワ) マル 2:3-12

ルカ 5:18-26

(マ) ヨハ 2:24, 25

(ワ) マル 2:9

(ワ) マル 2:10, 11

ルカ 5:24

ヨハ 5:8

「行け!」と言うと、邪悪な天使たちは
出てきて豚の中に入った。何と、群れ
ぜんたい とっしん がけ みずうみ おみず 全体が突進して崖から湖に落ち、水の
なか し ぶた か ひと 中で死んだ。33 豚を飼っていた人
たちは逃げて町に入り、邪悪な天使に
と おとこ ふく いっ 取りつかれた男たちのことを含め、一
さい し 切のことを知らせた。34 すると、町
じゅう ひと あ で 中の人がイエスに会いにきてきた。
そしてイエスを見ると、この地域から出
ていくようにと求めた。

9 イエスは舟に乗って対岸に渡
り、自分の町に来了。2 すると、
人々が、体がまひした男性を担架で
運んできた。イエスは彼らの信仰を見
て、まひした男性に言った。「安心し
てください。あなたの罪は許されてい
ます」。3 律法学者のある人たちは
こころ なか おとこ ぼうとく 心の中で、「この男は冒瀆している」と
言った。4 イエスはその考えが分か
り、こう言った。「なぜ邪悪なことを心
の中で考えているのですか。5 例え
ば、『あなたの罪は許されている』と
言うのと、『起き上がって歩きなさい』
と言うのでは、どちらが簡単ですか。

6 しかし、人の子が罪を許す権威を地
上で持っていることをあなた方が知る
ために—。それから、まひした男性
に言った。「起き上がって担架を持ち、
家に帰りなさい」。7 すると、男性は
起き上がり、家に戻っていった。8 群
衆はこれを見て畏れを抱き、このよう

9:2 *直訳、「子供よ、勇気を出して」。9:6 *イ
エスのこと。用語集参照。

な権威^{けんい}を人^{ひと}に与^{あた}えた神^{かみ}をたたえた。

9 次ので、イエスはそこから歩いていく途中で、マタイという男性^{だんせい}が徴税^{ちょうぜい}所に座^{すわ}っているのを見掛け、^み「私の弟子^{わたし}になりなさい」と言った。するとマタイは立ち上^たがって、イエスの後^{あと}に従^{したが}った。10 その後、イエスが弟子たちと共にマタイの家^{いえ}で食事を^{しょくじ}していると、多くの徴税人^{おお}や罪人^{ちようぜいにん}が来て加^{くわ}わった。

11 ところが、パリサイ派^はの人^{ひと}たちがこれを見て、弟子たち^みに、「あなたたち^{せんせい}の先生^{ちようぜいにん}が徴税人^{つみびと}や罪人^{しょくじ}をするのはどうしてか」と言った。12 これを聞いてイエスは言^いった。「健康な人^{けんこう}に医者^{いしや}は必要^{ひつよう}ではなく、病氣^{びやうき}の人に必要^{ひつ}なのです。13 『私が望^{のぞ}むのは憐れみ^{あわれ}であって、犠牲^{ぎせい}ではない』^(イ)ということの意味^{いみ}を、行^いって学^{まな}べなさい。私は、正しい人^{ただ}ではなく罪人^{つみびと}を招^{まね}くため^きに来^きました」。

14 その時^{とき}、ヨハネの弟子たち^{でし}がイエスの所^{ところ}に来てこ^きろ尋^{たず}ねた。「私^{わたし}たちとパリサイ派^はの人^{ひと}たちは断食^{だんじき}を行^{おこな}うのに、あなた^{でし}の弟子たち^{だんじき}はどうして断食^{だんじき}をしないのですか」。15 イエスは言^いった。「花婿^{はなむこ}の友人^{ゆうじん}たちは、花婿^{はなむこ}がい^いつしよ一緒に^{いっしょ}いる限り^{かぎ}、嘆き^{なげ}悲^{かな}しむ理由^{りゆう}がありません。しかし、花婿^{はなむこ}が取り去^とられる時^{とき}が来^きます。そうなれば、断食^{だんじき}をします。16 古い外衣^{ふる}を繕^かうために、縮^{しゆく}んでいない布切れ^{ぬのき}を使う人^{つか}はいませ

9:9 *または、「私の後に従い」。9:10 *または、「食卓で横になって」。9:16 *まだ洗っていない新しい布切れのこと。

第9章

(イ) マル 2:14
ルカ 5:27,28

(イ) マル 2:15-17
ルカ 5:29-32

(イ) ルカ 7:39
ルカ 15:2
ルカ 19:7

(イ) ルカ 5:31

(イ) 格 21:3
ホセ 6:6
マタ 12:7

(イ) マル 2:18-20
ルカ 5:33-35

(イ) マタ 22:2

(イ) マタ 26:2

第2欄

(イ) マル 2:21,22
ルカ 5:36-39

(イ) マル 5:22-24
ルカ 8:41,42
ヨハ 11:25

(イ) レビ 15:25

(イ) マル 5:25-34
マル 6:56
ルカ 8:43-48

(イ) マル 10:52
ルカ 7:50
ルカ 17:19
ルカ 18:42

(イ) ヨハ 4:53

(イ) マル 5:38-43
ルカ 8:52-56

ん。外衣^{がい}は新しい布切れ^{あたらしぬのき}に引^ひつ張^ばられ、もつとひどく破^{やぶ}れてしま^{やぶ}うから^{やぶ}です。17 また人は、新しいぶどう酒^{しゅ}を古い革袋^{かわぶくろ}に入れませ^いん。もしそうしたら、革袋^{かわぶくろ}は張り裂^はけ、ぶどう酒^{しゅ}はこぼれて、革袋^{かわぶくろ}は駄目^{だめ}になってしま^{だめ}います。やは^{あたら}り、新しいぶどう酒^{しゅ}は新しい革袋^{あたらしかわぶくろ}に入^いれます。そうすれば、両方^{りやうほう}とも保^{たも}たれます」。

18 イエスがこうしたことを話^{はな}していると、ある指導者^{しどうしや}が近づ^{ちか}づいてきて、敬^{けい}意^いを表^{ひょう}し、言^いった。「今^{いま}ごろはもう、私^{わたし}の娘^{むすめ}は死^しんでしま^しったに違^{ちが}いありませ^{ちが}ん。でも、おいでになっ^てて手^てを置^おいてやっ^てくださ^いい。そうすべ^ばば、娘^{むすめ}は生^いき返^{かえ}ります」。

19 そこでイエスは立ち上^たがり、弟^で子^したちと一緒^{いっしょ}に、そ^{ひと}の人^{ひと}につ^ついてい^いった。20 すると、12年間^{ねんかん}も出^{しゅ}血^{けつ}に悩^{なや}む女性^{じよせい}が後^{うし}ろか^{ちか}近づ^{ちか}づき、イエスの外^{がい}衣^いの裾^{すそ}に触^{さわ}った。21 「あの方^{かた}の外^{がい}衣^いに触^{さわ}るだけで良^よくなる」と、心^{こころ}の中^{なか}で言^いい続^{つづ}けていたのである。22 イエスは振^ふり返^{かえ}り、女性^{じよせい}に気^き付^づいて言^いった。「安心^{あんしん}してくださ^いい。あなた^きが良^よくな^よったのは信^{しん}仰^{こう}があ^いったから^いです」。その時^{とき}、女性^{じよせい}は良^よくな^よった。

23 イエスは先^{さき}ほどの指^{しどうしや}導^い者の家^{いえ}に入^{はい}って、笛^{ふえ}を吹^ふく人^{ひと}たちと騒^{さわ}ぎ立^たてる人^{ひと}々^とを見^みた時^{とき}、24 「ここから出^でていきなさい。少女^{しょうじよ}は死^しんだのではな

9:18 *または、「ひざまずき」。9:22 *直訳、「娘よ、勇気を出して」。

く、眠^{ねむ}っているのです」と言^いった。人々^{ひとびと}はイエスのことをあざ笑^{あざわら}いだした。

25 人々^{ひとびと}が外^{そと}に出ると、イエスはすぐに入^{はい}っていき、少女^{しょうじょ}の手^てを握^{にぎ}った。すると少女^{しょうじょ}は起き上^{おきあ}がった。26 言うまでもなく、この話^{はなし}はその地方^{ちほうぜんたい}全体^{くわんしゅう}に広^{ひろ}まった。

27 イエスがそこから歩^{ある}いていくと、目^めが見えな^みい2人^{ふたり}の人^{ひと}が、「ダビデの子^こよ、憐れみ^{あわれみ}をお掛^かけください」と叫^こびながら付^ついてきた。28 イエスが家^{いえ}の中^{なか}に入ると、目^めが見えな^みい2人^{ふたり}はそのもとに來^きた。イエスは、「私^{わたし}にできるという信仰^{しんこう}がありますか」と尋^{たず}ねた。2人は、「はい、主^{しゅ}よ」と答^{こた}えた。

29 それでイエスは2人^{ふたり}の目^めに触^{さわ}り、「あなたたちの信仰^{しんこう}通りになりま^ように」と言^いった。30 すると、2人^{ふたり}は目^めが見えるようになった。イエスは、「誰^{だれ}にも知^しられないようにしなさい」と厳^{げん}重^{じゅう}に命^{めい}じた。31 しかし、2人^{ふたり}は出^でていってから、イエスのことをその地方^{ちほうぜんたい}に言^いひ広^{ひろ}めた。

32 この人^{ひと}たちが去^さっていくと、邪^{じゃ}惡^{あく}な天使^{てんし}に取りつ^とかれて口^{くち}が利^きけな^いい男性^{だんせい}が連^つれてこられた。33 邪^{じゃ}惡^{あく}な天使^{てんし}が追^おい出^だされると、口^{くち}が利^きけな^いかった男性^{だんせい}は言^{こと}葉^ばを發^{はつ}した。群衆^{ぐんしゅう}はとて^{おどろ}も驚^{おどろ}き、「このようなこと^{こと}はイスラエル^{いすらい}で一度^{いちど}も見たこと^{こと}がない」と言^いった。34 しかしパリサイ派^{パリサイ}の人^{ひと}たちは、「彼^{かれ}が邪^{じゃ}惡^{あく}な天使^{てんし}を追^おい出^だすの

第9章

(ヨ) ヨハ 11:11
(イ) マル 9:27
(ル) ルカ 8:55
(マ) マタ 20:30
(マ) 使徒 14:9,10
(マ) マタ 20:34
(イ) イザ 42:2
マタ 12:15,16
マル 1:44,45
マル 7:35,36
(ヨ) マタ 12:22
ルカ 11:14
(ヨ) マタ 15:31
(ヨ) マル 2:12

第2欄

(マ) マタ 12:24
マル 3:22
ルカ 11:15
(イ) マタ 4:23
(ヨ) マタ 14:14
ヘブ 4:15
(マ) 民 27:16,17
王一 22:17
エゼ 34:5
マル 6:34
(ヨ) ルカ 10:2
ヨハ 4:35
(ヨ) ロマ 10:14

第10章

(イ) マル 3:14,15
マル 6:7
ルカ 9:1,2
(ヨ) マル 3:16-19
ルカ 6:13-16
使徒 1:13
(ヨ) ヨハ 1:42
使徒 15:14
(ヨ) マル 1:16
ヨハ 1:40
(ヨ) マタ 4:21
(ヨ) ヨハ 1:45
(マ) ヨハ 11:16
ヨハ 20:27
(マ) マル 2:14
ルカ 5:27
(ヨ) マタ 26:47
ヨハ 13:18
(ヨ) マル 6:7
ルカ 9:1,2
(ヨ) 王二 17:24
(ヨ) イザ 53:6
エゼ 34:6
使徒 13:45,46
(ヨ) マタ 4:17
ルカ 10:9

は、邪^{じゃ}惡^{あく}な天使^{てんし}の支^し配^{はい}者^{しや}の力^{ちから}によるのだ」と言^いっていた。

35 イエスは全^{すべ}ての町^{まち}や村^{むら}を旅^{たび}して回^{まわ}り、会堂^{かいどう}で教^{おし}え、王^{おう}國^{こく}の良^よい知^しら^らせを伝^{つた}え、あらゆる病^{びょう}氣^きや不^ふ調^{ちょう}を治^{なお}した。36 群衆^{ぐんしゅう}を見^みて、か^かわいそ^うに思^{おも}った。羊飼^{ひつじか}いのい^いない羊^{ひつじ}のよう^{よう}に痛^{いた}めつけられ、放^{ほう}り出^だされて^ていたからである。37 そこで弟^{でし}子^したち^{たち}に言^いった。「收^{しゅう}穫^{かく}は多^{おほ}いですが、働^{はたら}き手^ては少^{すく}ないのです。38 それで、收^{しゅう}穫^{かく}のため^{ため}に人^{ひと}を遣^{つか}わして^{して}くださ^さるよう^{よう}に、收^{しゅう}穫^{かく}の主^{しゅじん}人^{ひと}にお願^{ねが}いしなさい。

10 イエスは12弟^{でし}子^しを呼^よび寄^よせ、邪^{じゃ}惡^{あく}な天使^{てんし}に對^{たい}する權^{けん}威^いを與^{あた}えた。それらを追^おい出^だし、あらゆる病^{びょう}氣^きや不^ふ調^{ちょう}を治^{なお}すためである。

2 12使徒^{しと}の名^な前は次^{つぎ}の通^{とお}りである。ま^まず、ペテロ^{ペテロ}と呼ば^よばれるシモン^{シモン}とその兄^{きょうだい}弟^{でし}アンデレ^{アンデレ}、ゼベダイ^{ゼベダイ}の子^こヤコブ^{ヤコブ}とその兄^{きょうだい}弟^{でし}ヨハネ^{ヨハネ}、3 フィリポ^{フィリポ}とバルトロマイ^{バルトロマイ}、トマス^{トマス}と徴^{てい}税^{しやうぜい}人^{にん}マタイ^{マタイ}、アルパヨ^{アルパヨ}の子^こヤコブ^{ヤコブ}と、タダイ^{タダイ}、4 熱^{ねっしん}心^{しん}な人^{ひと}シモン^{シモン}と、ユダ^{ユダ}・イスカリオテ^{イスカリオテ}である。このユダ^{ユダ}は後^{のち}にイエス^{イエス}を裏^{うら}切^ぎった。

5 イエスはこ^この12人^{にん}に次^{つぎ}の指^し示^じを與^{あた}えて遣^{つか}わした。「異^い國^{こく}の人^{ひと}々^{たち}の所^{ところ}に行^いって^てはな^ならず、サマ^{サマ}リヤ^{リヤ}人^{にん}の町^{まち}に入^{はい}って^てはな^なりませ^せん。6 い^いつも、イスラエル^{いすらい}國^{こく}民^{みん}の迷^まい^でて^てひ^ひつじ^きと^ところ^{ところ}に行^いきなさい。7 行^いって、天^{てん}の王^{おう}國^{こく}は近^{ちか}づいた』と伝^{でん}道^{どう}しなさい。8 病^{びょう}氣^きの

10:6 * 人のこと。

たのですか。風に揺れるアシですか。
8 でなければ、何を見に出ていったの
 ですか。上等な服で装った人ですか。
 上等な服を着た人なら王の家にな
 います。**9** では、いったいなぜ出てい
 ったのですか。預言者を見るためです
 か。そうです。しかも、預言者をはるか
 に上回る人です。**10** この人につい
 て、こう書かれています。『私はあなた
 の前に使者を遣わす。その使者はあ
 なたの前に道を整える』。**11** はっき
 り言います。これまでに生まれた人で、
 パプテストのヨハネより偉大な人は現
 れていません。しかし、天の王国で最
 も目立たない者も彼より偉大です。
12 パプテストのヨハネの時から今に
 至るまで、人々は天の王国を目標にし
 てひたむきに努力しており、それをとら
 えつつあります。**13** 預言者の書と
 律法の全ては、ヨハネの時まで預言し
 たからです。**14** そして、皆さんが受
 け入れるかどうかにかかわらず、彼が、
 『来ることになっているエリヤ』です。
15 耳のある人は聞きなさい。

16 この世代を誰になぞらえましょ
 うか。広場に座って友達に叫ぶ幼い
 子供たちのようです。**17** こう言うの
 です。『笛を吹いてあげたのに、踊っ
 てくれなかった。泣き叫んだのに、胸
 をたたいて悲しんでくれなかった』。
18 同じように人々は、ヨハネが来て

たのですか。風に揺れるアシですか。
8 でなければ、何を見に出ていったの
 ですか。上等な服で装った人ですか。
 上等な服を着た人なら王の家にな
 います。**9** では、いったいなぜ出てい
 ったのですか。預言者を見るためです
 か。そうです。しかも、預言者をはるか
 に上回る人です。**10** この人につい
 て、こう書かれています。『私はあなた
 の前に使者を遣わす。その使者はあ
 なたの前に道を整える』。**11** はっき
 り言います。これまでに生まれた人で、
 パプテストのヨハネより偉大な人は現
 れていません。しかし、天の王国で最
 も目立たない者も彼より偉大です。
12 パプテストのヨハネの時から今に
 至るまで、人々は天の王国を目標にし
 てひたむきに努力しており、それをとら
 えつつあります。**13** 預言者の書と
 律法の全ては、ヨハネの時まで預言し
 たからです。**14** そして、皆さんが受
 け入れるかどうかにかかわらず、彼が、
 『来ることになっているエリヤ』です。
15 耳のある人は聞きなさい。

16 この世代を誰になぞらえましょ
 うか。広場に座って友達に叫ぶ幼い
 子供たちのようです。**17** こう言うの
 です。『笛を吹いてあげたのに、踊っ
 てくれなかった。泣き叫んだのに、胸
 をたたいて悲しんでくれなかった』。
18 同じように人々は、ヨハネが来て

たのですか。風に揺れるアシですか。
8 でなければ、何を見に出ていったの
 ですか。上等な服で装った人ですか。
 上等な服を着た人なら王の家にな
 います。**9** では、いったいなぜ出てい
 ったのですか。預言者を見るためです
 か。そうです。しかも、預言者をはるか
 に上回る人です。**10** この人につい
 て、こう書かれています。『私はあなた
 の前に使者を遣わす。その使者はあ
 なたの前に道を整える』。**11** はっき
 り言います。これまでに生まれた人で、
 パプテストのヨハネより偉大な人は現
 れていません。しかし、天の王国で最
 も目立たない者も彼より偉大です。
12 パプテストのヨハネの時から今に
 至るまで、人々は天の王国を目標にし
 てひたむきに努力しており、それをとら
 えつつあります。**13** 預言者の書と
 律法の全ては、ヨハネの時まで預言し
 たからです。**14** そして、皆さんが受
 け入れるかどうかにかかわらず、彼が、
 『来ることになっているエリヤ』です。
15 耳のある人は聞きなさい。

16 この世代を誰になぞらえましょ
 うか。広場に座って友達に叫ぶ幼い
 子供たちのようです。**17** こう言うの
 です。『笛を吹いてあげたのに、踊っ
 てくれなかった。泣き叫んだのに、胸
 をたたいて悲しんでくれなかった』。
18 同じように人々は、ヨハネが来て

たのですか。風に揺れるアシですか。
8 でなければ、何を見に出ていったの
 ですか。上等な服で装った人ですか。
 上等な服を着た人なら王の家にな
 います。**9** では、いったいなぜ出てい
 ったのですか。預言者を見るためです
 か。そうです。しかも、預言者をはるか
 に上回る人です。**10** この人につい
 て、こう書かれています。『私はあなた
 の前に使者を遣わす。その使者はあ
 なたの前に道を整える』。**11** はっき
 り言います。これまでに生まれた人で、
 パプテストのヨハネより偉大な人は現
 れていません。しかし、天の王国で最
 も目立たない者も彼より偉大です。
12 パプテストのヨハネの時から今に
 至るまで、人々は天の王国を目標にし
 てひたむきに努力しており、それをとら
 えつつあります。**13** 預言者の書と
 律法の全ては、ヨハネの時まで預言し
 たからです。**14** そして、皆さんが受
 け入れるかどうかにかかわらず、彼が、
 『来ることになっているエリヤ』です。
15 耳のある人は聞きなさい。

16 この世代を誰になぞらえましょ
 うか。広場に座って友達に叫ぶ幼い
 子供たちのようです。**17** こう言うの
 です。『笛を吹いてあげたのに、踊っ
 てくれなかった。泣き叫んだのに、胸
 をたたいて悲しんでくれなかった』。
18 同じように人々は、ヨハネが来て

たのですか。風に揺れるアシですか。
8 でなければ、何を見に出ていったの
 ですか。上等な服で装った人ですか。
 上等な服を着た人なら王の家にな
 います。**9** では、いったいなぜ出てい
 ったのですか。預言者を見るためです
 か。そうです。しかも、預言者をはるか
 に上回る人です。**10** この人につい
 て、こう書かれています。『私はあなた
 の前に使者を遣わす。その使者はあ
 なたの前に道を整える』。**11** はっき
 り言います。これまでに生まれた人で、
 パプテストのヨハネより偉大な人は現
 れていません。しかし、天の王国で最
 も目立たない者も彼より偉大です。
12 パプテストのヨハネの時から今に
 至るまで、人々は天の王国を目標にし
 てひたむきに努力しており、それをとら
 えつつあります。**13** 預言者の書と
 律法の全ては、ヨハネの時まで預言し
 たからです。**14** そして、皆さんが受
 け入れるかどうかにかかわらず、彼が、
 『来ることになっているエリヤ』です。
15 耳のある人は聞きなさい。

第11章
 マタ 3:1,5
 ルカ 7:24-28
 ルカ 1:67,76
 マラ 3:1
 マタ 3:3
 マル 1:2
 ルカ 1:17
 ヨハ 3:28

ルカ 7:28
 ヨハ 3:3
 ルカ 13:24
 ルカ 16:16
 マラ 4:5
 マタ 17:10-13
 ルカ 7:31-35

第2欄
 マタ 9:10
 マル 2:15
 ヨハ 2:2

ルカ 5:30
 ルカ 15:2
 ルカ 19:7
 ルカ 7:34,35
 ヨナ 3:5,6
 ルカ 10:13

ルカ 10:14
 ルカ 4:31
 ルカ 10:15

マタ 10:15
 ルカ 10:12

食べたり飲んだりしないと、『彼は邪
 悪な天使に取りつかれている』と言
 い、**19** 人の子が来て食べたり飲ん
 だりすると、『見ろ、大食い、大酒
 飲みの男、徴税人や罪人たちの仲間
 だ』と言います。しかし、知恵は行動
 によって明らかになります」。

20 それからイエスは、強力な行い
 の多くをしても悔い改めが見られな
 かった町を非難し始めた。**21** 「コラ
 ジンよ、あなたには災いがあります！
 ベツサイダよ、あなたには災いがあり
 ます！ あなたの方でなされた強力
 な行いがティルスやシドンでなされて
 いたなら、そこの人々は粗布と灰の中
 でとくに悔い改めていたでしょう。

22 実際、裁きの日には、あなた方よ
 りティルスやシドンの方が処罰が軽い
 でしょう。**23** カペルナウムよ、あな
 たが天に上げられるようなことがある
 でしょうか。あなたは墓に下るのです。
 あなたのなかでなされた強力な行いが
 ソドムでなされていたなら、ソドムは
 今日まで残っていたでしょう。**24** 実
 際、裁きの日には、あなたよりソドムの
 方が処罰が軽いでしょう」。

25 その時、イエスは言った。「天地
 の主である父よ、あなたを大いに賛美
 します。あなたはこのようなことを賢
 い知識人たちから隠し、幼い子供た

11:19 *イエスのこと。用語集参照。 *または、
 「知恵の正しさは結果によって証明されます」。
11:20 *または、「奇跡」。**11:23** *ギリシヤ語、
 ハデス。用語集参照。

ちに啓示されたからです。26 そう
 です、父よ、これは、あなたのお考え
 に沿ったことです。27 全てのものは
 父によって私に渡されています。子を
 本当^{ほんとう}に知っているのは父だけであり、
 父を本当^{ほんとう}に知っているのは、子と、子
 が進んで父を啓示する者たちだけで
 す。28 疲れていて、荷を負い切れない
 人は皆、私の所に来てください。そ
 うすれば、爽やかにしてあげましょう。
 29 私と共に働いて、私から学んでく
 ださい。私は温和で、謙遜だからです。
 あなたたちは爽やかさを感じてしま
 う。30 私と共に働くことは心地よく、
 私に負わせる荷は軽いのです」。

12 その頃、イエスは安息日に穀
 物畑を通った。弟子たちは
 空腹になり、穀物の穂をむしって食べ
 始めた。2 これを見てパリサイ派の
 人たちがイエスに言った。「見なさい、
 あなたの弟子たちは安息日にしては
 いけないことをしています」。3 イエ
 スは言った。「ダビデが、自分と仲間が
 空腹になった時に何をしたか、読んだ
 ことがないのですか。4 ダビデは神
 の家の中に入り、皆で供え物のパンを
 食べました。それは彼も仲間も食べて
 はならず、祭司だけが食べてよいもの
 でした。5 また、安息日に神殿にい
 る祭司たちが安息日を守らなくても罪

11:29 *または、「私のくびき(てんびん棒)を
 負って」。「直訳、「心のへりくだった者」。11:
 30 *または、「私のくびき(てんびん棒)は負いや
 ずく」。

第11章

(イ) イザ 29:14
 マタ 13:15
 ルカ 10:21
 コー 1:27

(イ) ヨハ 3:35

(イ) ヨハ 1:18

(イ) ルカ 10:22
 ヨハ 10:15
 ヨー 5:20

(イ) ゼカ 9:9

第12章

(イ) 出 12:16
 申 23:25
 マル 2:23-28
 ルカ 6:1-5

(イ) 出 20:10
 出 31:15
 申 5:14

(イ) サー 21:1-6

(イ) 出 25:30
 出 40:22,23

(イ) レビ 24:5-9

第2欄

(イ) 民 28:9
 ヨハ 7:22

(イ) ルカ 11:31,32

(イ) マタ 23:23

(イ) ホセ 6:6
 ミカ 6:6,8
 マタ 9:13

(イ) マル 2:27,28
 ルカ 6:5

(イ) マル 3:1-6
 ルカ 6:6-11

(イ) ルカ 14:3
 ヨハ 9:16

(イ) 出 23:4
 申 22:4
 ルカ 14:5

(イ) マル 3:7

(イ) マタ 8:3,4
 マル 3:11,12
 マル 7:35,36

にならないことを、律法の中で読んだ
 ことがないのですか。6 しかしあな
 た方に言いますが、神殿より偉大な者
 がここにいます。7 あなた方は、『私
 が望むのは憐れみであって、犠牲では
 ない』ということの意味を理解してい
 たなら、罪のない人を断罪したりはし
 なかったでしょう。8 人の子は安息
 日の主なのです」。

9 イエスはそこを去ってから、会堂
 に入った。10 すると、片手がまひし
 た男性がいた。それで人々は、「安息
 日に病気を治してよいのでしょうか」
 とイエスに尋ねた。イエスを訴えよう
 としてだった。11 イエスは言った。
 「あなたの方で、飼っている1匹の羊
 が安息日に穴に落ちた場合、つかん
 で引き出さない人がいるでしょうか。

12 人は羊よりずっと価値があるの
 ではないでしょうか。それで、安息日に
 立派なことをしてよいのです」。13 そ
 れから、その男性に言った。「手を伸
 ばしなさい」。男性がそうすると、手
 は治り、もう一方の健康な手と同じよ
 うになった。14 しかしパリサイ派の
 人たちは出ていき、イエスを殺そうと
 して相談した。15 イエスはこれを
 知って、その場を去った。大勢の人が
 付いてきて、イエスは全員を治した。
 16 しかし、自分のことを誰にも話さな
 いようにと嚴重に命じた。17 預言

12:8 *イエスのこと。用語集参照。12:10 *ま
 たは、「なえた」。

しや 者と イザヤを通して 次のように 語られた
ことが 実現 するためである。

18 「見なさい、私が選んだ奉仕者、
わたしは、愛し、喜んで いる者である。私は
彼に 聖なる力を 与え、彼は、公正とは
何かを 国々に 明らかにする。 **19** 彼
は 言い争わず、叫び立てず、誰も おどおど
りて 彼の声を 聞かない。 **20** 彼は、傷
ついた アシを 折らず、くすぶる ランプの
火を 消さず、やがて 確実に 公正を もた
らす。 **21** まさに、国々は 彼の 名に 望
みを かける」。

22 その時、邪悪な天使に取りつか
れた、目が見えなくて 口が利けない 男
性が 連れてこられた。イエスが 治すと、
その 男性は 話したり 見たり できる よう
になった。 **23** 群衆は 皆、大変 驚き、
「もし かしら この 人が ダビデ の子で
はないか」と 言い出した。 **24** これ
を 聞いて パリサイ派 の人たちは 言っ
た。「この 男が 邪悪な 天使を 追い出す
のは、邪悪な 天使の 支配者 ベエルゼ
ブの 力によるのだ」。 **25** イエスは
その 考えを 知って、こう 言った。「内部
で 分裂 している 王国 は どれも 荒廃 し、
内部で 分裂 している 町や 家は どれも 長
くは 続きません。 **26** 同じ ように、サ
タンが サタンを 追い出す なら、サタン
が 自分 自身に 敵対 して 分裂 している こ
とになります。そう したら、その 王国 は
どうして 長く 続く でしょうか。 **27** その

第12章
〔マ〕使徒 3:13

〔イ〕マタ 3:17
マタ 17:5

〔マ〕イザ 61:1
マル 1:10

〔マ〕テモニ 2:24

〔マ〕マタ 11:28

〔マ〕イザ 11:10
イザ 42:1-4
使徒 4:12

〔マ〕マル 3:22-27
ルカ 11:15-23

第2欄
〔マ〕ルカ 11:20

〔イ〕マル 9:40
ルカ 9:50
ルカ 11:23

〔マ〕マル 3:28,29
使徒 7:51
ヘブ 6:4,6

〔マ〕テモニ 1:13

〔マ〕ルカ 12:10
ヘブ 10:26

〔マ〕マタ 7:17
ルカ 6:43

〔マ〕マタ 3:7
マタ 23:33

〔マ〕マタ 15:11

うえ、もし 私が ベエルゼブブ によって 邪
悪な 天使を 追い出す のであれば、あな
た 方 の弟子 は 誰によって 追い出す ので
すか。従って、あなた 方 が 間違っ っ
て いることを あなた 方 の弟子 が 示します。
28 しかし、私が 邪悪な 天使を 追い出
す のが 神の 聖なる 力による のであれ
ば、神の 王国 は もう あなた 方 の所に 来
ています。 **29** また、家財を 奪うため
に 強い 人 の家に 侵入 した なら、まず そ
の 強い 人 を 縛ら なければ なりません。
そうして 初めて、その 家 の物を 奪えま
す。 **30** 私の 側に いない 人は 私に 敵
対 しており、私 と 一緒に 集め ない 人は
散ら しています。

31 それで あなた 方 に 言います。あ
らゆる 種類 の 罪や 冒瀆 は 許 されます
が、聖なる 力に 対する 冒瀆 は 許されま
せん。 **32** 例えば、人 の子に 逆らう 言
葉を 語る 人も 許 されます。しかし、聖
なる 力に 逆らう 事を 語る 人は 許されま
せん。今の 体制でも、将来 の体制でも
です。

33 木を 立派 なもの にして 実も 立派
なもの にするか、木を 腐ら せて 実も 腐
らせるか のどちらか に 下さい。どん
な 木か は 実によって 分かる のです。

34 毒蛇 のような 者たち、あなた 方 は
邪悪な のに、どうして 良い 事柄を 語れ
る でしょうか。心に 満ちあふ れている
ものが 口から 出ます。 **35** 善い 人は、

12:32 *または、「時代」。用語集参照。 **12:34**
*直訳、「毒蛇たちの子孫」。

12:18 *または、「是認した」。 **12:24** *サタン
を指す。

たくわ 蓄えている 善いものの中 中から 善いもの
を出し、邪悪な人は、蓄えている邪
悪なものの中から邪悪なものを出し
ます。36 あなた方に言いますが、人
は、自分が語る無益な言葉全てにつ
いて裁きの日に責任を問われます。
37 あなたは、自分の言葉によって正
しいと認められ、自分の言葉によつて
有罪とされます。

38 その時、何人かの律法学者とパ
リサイ派の人たちがイエスに言った。
「先生、あなたからのしるしを見たいの
ですが」。39 イエスは答えた。「邪
悪な姦淫の世代はしるしを求め続け
ますが、預言者ヨナ^(イ)のしるし以外にし
るしが与えられることはありません。

40 ヨナが巨大な魚の腹の中に3日3
晩いたように、人の子も墓の中に3日
3晩いるのです。41 ニネベの人々
は裁きの際にこの世代と共に復活し、
この世代を断罪します。ニネベの人々
はヨナの伝道によって悔い改めたか
らです。しかし見なさい、ヨナを上回る
者がここにいます。42 南の女王も
裁きの際にこの世代と共に復活し、こ
の世代を断罪します。女王はソロモン
の知恵を聞くために地の果てから来
たからです。しかし見なさい、ソロモン
を上回る者がここにいます。

43 邪悪な天使は人から出してく
ると、水のない土地を通して休み場を探
しますが、見つかりません。44 そこ

12:39 *または、「不忠実な」。

第12章

(イ) ルカ 6:45
ヤコ 3:6

(イ) 伝 12:14
ロマ 14:12

(イ) マタ 16:1

(イ) マタ 16:4
ルカ 11:29-32

(イ) ヨナ 1:17

(イ) マタ 16:21
マタ 17:23
マタ 27:63
ルカ 24:46

(イ) ヨナ 3:5

(イ) ルカ 11:30

(イ) 王一 10:1
代二 9:1

(イ) マタ 12:6
ルカ 11:31

(イ) ルカ 11:24-26

第2欄

(イ) ヘブ 6:4,6
ペ二 2:20

(イ) マタ 13:55
ヨハ 2:12
使徒 1:14
コ一 9:5
ガラ 1:19

(イ) マル 3:31-35

(イ) ヨハ 20:17
ペ 2:11

(イ) マル 3:35
ルカ 8:21

第13章

(イ) マル 4:1

(イ) マタ 13:34

(イ) マル 4:3-9
ルカ 8:4-8

(イ) マタ 13:19

(イ) マタ 13:20,21

で、『出てきた家に戻ろう』と言いま
す。着いてみると、誰もいませんが、き
れいに掃かれ、飾り付けられています。
45 そこで出ていき、もっと邪悪な天
使7人を連れてきて、中に入って住み
着きます。こうして、その人の最終的な
状態は最初より悪くなります。この邪
悪な世代もそうなります。

46 イエスがまだ人々に話している
うちに、イエスの母親と弟たちがやっ
て来て、彼に話そうとして外に立っ
ていた。47 ある人が言った。「お母
さんと兄弟たちが外にいて、話した
がっていますよ」。48 イエスは、そう
知らせた人に言った。「私の母とは誰
ですか。私の兄弟たちとは誰ですか」。

49 そして、弟子たちの方を手で指し
て、言った。「見てください。私の母と
兄弟たちです! 50 天にいる父の望
むことを行う人が、私の兄弟、姉妹、母
なのです」。

13 その日、イエスは家を出て、
湖のほとりに座っていた。

2 すると、非常に大勢の人が集まっ
てきたので、イエスは舟に乗って腰を下
ろした。群衆は皆、浜辺に立っていた。

3 イエスは多くのことを例えて話し、
こう言った。「さて、人が種をまきに出
掛けました。4 まいてみると、幾らか
は道端に落ち、鳥が来て食べてしまい
ました。5 幾らかは土が少ない岩地
に落ち、土が深くないのですぐに芽を
出しました。6 しかし、太陽が昇ると

日に焼けて、根がないので枯れてしま
いました。7 幾らかはいばらの間に
落ち、伸びてきたいばらにふさがれて
しまいました。8 さらに、幾らかは良
い土に落ち、実を付け始め、ある種は
100倍、ある種は60倍、ある種は30
倍の実を付けました。9 耳のある人
は聞きなさい」。

10 弟子たちが来て、イエスに言っ
た。「例えを使って話すのはどうして
ですか」。11 イエスは答えた。「あな
たたちは、天の王国の神聖な秘密を理
解することを許されていますが、あの人
たちは許されていません。12 持って
いる人は、さらに与えられて満ちあふ
れるほどにされます。しかし、持ってい
ない人は、持っているものまで取り去
られます。13 ですから、例えを使っ
て話すのです。あの人たちは見えてい
ても無駄に見、聞いていても無駄に聞き、
意味を悟らないからです。14 この人
たちについて、イザヤの次の預言が実
現しています。『あなたがたは確かに
聞くが、決して意味を悟らず、確かに目
を向けるが、決して見えない。15 こ
の民は心が鈍くなり、よく耳を傾けず、
目を閉じてしまったからである。これ
は、彼らが決して、目で見ず、耳で聞か
ず、心で意味を悟らず、私のもとに帰ら
ず、私が彼らを癒やすことのないため
である』。

16 しかし、あなたたちの目は見る
ので、また耳は聞くので、幸せです。

第13章

(マ) マタ 13:22
マル 4:18,19
ルカ 8:14

(イ) マタ 13:23
マル 4:8
ルカ 8:8

(ヨ) マタ 11:15

(マ) マル 4:10,11
ルカ 8:9,10

(ヨ) コー 2:9,10
エフ 1:9-12
コロ 1:26,27

(ヨ) マタ 25:29
マル 4:25
ルカ 8:18

(イ) イザ 6:10
マル 4:12

(ヨ) ヨハ 12:40
ロマ 11:8
コリ 3:14

(ヨ) イザ 6:9,10
マル 4:12
使徒 28:26,27

(ヨ) ルカ 10:23,24

第2欄

(ヨ) ヨハ 8:56
エフ 3:5
ペー 1:10

(イ) マル 4:14
ルカ 8:11

(ヨ) ペー 5:8

(マ) マル 4:15
ルカ 8:12

(ヨ) マル 4:16,17
ルカ 8:13

(ヨ) ルカ 12:22

(イ) マタ 6:21
マル 4:18,19
マル 10:23
ルカ 8:14
テモ 6:9
テモ 2:4,10

(ヨ) マル 4:20
ルカ 8:15

17 はっきりいいますが、多くの預言
者や正しい人は、あなたたちが見てい
るものを見たいと願いながら見ず、あ
なたたちが聞いていることを聞きたい
と願いながら聞かなかったのです。

18 では、種をまいた人の例えを聞
きなさい。19 人が王国に関する言
葉を聞いても意味を悟らない場合、邪
悪な者がやって来て、心にまかれたも
のをさらっていきます。これが道端に
まかれたものです。20 岩地にまか
れたもの、これは王国に関する言葉を
聞き、喜んですぐに受け入れる人です。

21 けれども自分の内に根がなく、一
時は続きますが、その言葉のために苦
難や迫害が生じると、すぐに信仰を捨
ててしまいます。22 いばらの間にま
かれたもの、これは王国に関する言葉
を聞く人ですが、今の体制での心配事
や富の誘惑によってその言葉がふさ
がれ、実らなくなります。23 良い土
にまかれたもの、これは王国に関する
言葉を聞いて、意味を悟る人です。そ
の人たちは本当に実を結び、ある人は
100倍、ある人は60倍、ある人は30
倍の実を生み出します」。

24 イエスは別の例えを用いてこ
う言った。「天の王国は畑に良い種
をまいた人のようです。25 人々が
眠っている間に、敵がやって来て、小
麦の間に雑草をまいて去りました。

13:19 *サタンのこと。13:22 *または、「時
代」。用語集参照。

26 茎^{くき}が伸びて実^みを生み出すと、その
 時^{とき}に雑草^{ざっそう}も現^{あらわ}れました。 27 それで、
 奴隷^{どれい}たちが来て家の主人^{しゅじん}に言いまし
 た。『ご主人さま、畑^{はたけ}にまいたのは良
 い種^{たね}ではありませんでしたか。それな
 のに、どうして雑草^{ざっそう}が生えるのでしょ
 うか』。 28 主人^{しゅじん}は言いました。『敵^{てき}の
 仕業^{しわざ}です』。奴隷^{どれい}たちは言いました。
 『では、行^いってそれを抜きましようか』。
 29 主人^{しゅじん}は言いました。『いいえ、雑
 草^{そう}を抜く時^{とき}に小麦^{こむぎ}も一緒^{いっしょ}に引き抜くと
 いけません。 30 収穫^{しゅうかく}まで両方^{りょうほう}とも
 一緒^{いっしょ}に成長^{せいちょう}させておきなさい。収穫^{しゅうかく}の
 季節^{きせつ}になったら、刈り取^かる者^{もの}たちにこ
 う言います。まず雑草^{ざっそう}を抜き、焼くため
 に縛^{しば}って束^{たば}にし、それから小麦^{こむぎ}を倉^{くら}に
 集^{あつ}めなさい、と』。

31 イエスは別の例^{べつ}えを用^{もち}いてこ
 う言^いった。「天^{てん}の王国^{おうこく}はからし^{たね}の種^{くさね}のよ
 うです。人^{ひと}がそれを畑^{はたけ}に植^うえました。
 32 それはあらゆる種^{たね}の中で一番^{いちばん}小^{ちひ}さ
 なのですが、成長^{せいちょう}すると、野菜^{やさい}のうち
 で一番^{いちばん}大^{おお}きく、木^きのようになるので、鳥^{とり}
 が来て枝^{えだ}の間に巢^{あいだ}を作^{つく}ります」。

33 イエスは別の例^{べつ}えを話^{はな}した。
 「天^{てん}の王国^{おうこく}はパン種^{ぱんどう}のようです。女性^{じょせい}
 がそれを取^とって麦粉^{むぎこ}3杯^{はい}分^{ぶん}と混ぜると、
 やがて全体^{ぜんたい}が発酵^{はっこう}しました」。

34 イエスはこれら全て^{すべ}を例^{たと}えで群
 衆^{しゅう}に話^{はな}した。實際^{じっさい}、例^{たと}えを使^{つか}わずに話
 そうとはしなかった。 35 預言者^{よげんしゃ}を
 通^{とお}してこ^{かた}う語^{かた}られたことが実現^{じつげん}するた

13:33 *22リットル。

第13章

(イ) マタ 13:38, 39

(イ) 啓 14:15

(イ) マル 4:30-32
ルカ 13:18, 19

(四) ルカ 13:21

(イ) マル 4:33, 34

第2欄

(イ) 詩 78:2

(イ) マタ 24:14
ロマ 10:18
コロ 1:6

(イ) ヨハ 8:44

(四) マタ 13:30

(イ) マタ 13:30

(イ) 裁 5:31

(イ) フィリ 3:7

めである。わたしは口^{くち}を開^{ひら}いて例^{たと}えを語^{かた}
 り、始めから隠^{かく}されてきた事柄^{ことば}を言^い
 広^{ひろ}める」。

36 それから、イエスは群衆^{ぐんしゅう}を解散^{かいさん}
 させた後^{あと}、家^{いえ}に入^{はい}った。弟子^{でし}たちが来^き
 て、「畑^{はたけ}の雑草^{ざっそう}の例^{たと}えを説明^{せつめい}してくだ
 さい」と言^いった。 37 それでイエスは
 言^いった。「良^よい種^{たね}をま^まく人^{ひと}は人^{ひと}の子^こで
 す。 38 畑^{はたけ}は世界^{せかい}です。良^よい種^{たね}は王
 国^{おうこく}の子^こたち、雑草^{ざっそう}は邪惡^{じゃあく}な者^{もの}の子^こた
 ち、 39 雑草^{ざっそう}をまいた敵^{てき}は惡魔^{あくま}です。
 収穫^{しゅうかく}は体制^{たいせい}の終結^{しゅうけつ}で、刈り取^かる者^{もの}は
 天使^{てんし}たちです。 40 それで、体制^{たいせい}の終
 結^{けつ}の時^{とき}には、雑草^{ざっそう}が抜^ぬかれて火^ひで焼
 かれるようなこと^{こと}が生^{しょう}じます。 41 人^{ひと}
 の子^こは天使^{てんし}たちを遣^{つか}わし、天使^{てんし}たち
 は、人^{ひと}に罪^{つみ}を犯^{おか}させる人^{ひと}たちと不法^{ふぽう}な
 ことを行^{おこな}う人^{ひと}たちを王国^{おうこく}から取^とり除^ぞき、
 42 火^ひの燃^もえる炉^ろに投^なげ込^こみます。彼
 らはそこで泣^なき悲^{かな}しんだり齒^はぎしりし
 たりします。 43 その時^{とき}、正^{ただ}しい人^{ひと}
 たちは父^{ちち}の王国^{おうこく}で太陽^{たいよう}のよう^{あか}に明^{かが}るく輝^{かが}
 きます。耳^{みみ}のある人^{ひと}は聞^ききなさい。

44 天^{てん}の王国^{おうこく}は野原^{のほら}に隠^{かく}された宝^{たから}
 のようです。ある人^{ひと}がそれを見^みつけて
 再び隠^{かく}しました。そして、喜^{よろこ}びのあま
 り、行^いって持^もち物^{もの}を全^{すべ}て売^うり、その野原^{のほら}
 を買^かいます。

45 また、天^{てん}の王国^{おうこく}は立^{りつ}派^ぱな真珠^{しんじゆ}を

13:35 *もしかすると、「世^よが始^{はじ}まって」。 13:
 37 *イエスのこと。用語集参照。 13:38 *サタ
 ンのこと。 13:39, 40 *または、「時代^{じだい}」。用
 語集参照。 13:41 *直訳、「つまずきのもとに
 なる」。

さがもと たびしょうにん こう
探し求める旅商人のようです。 46 高
か しんじゅ み い も
価な真珠1つを見つけると、行って持
ものすべ そくご う しんじゅ か
ち物全てを即座に売り、その真珠を買
いました。

47 また、天の王国は、海に下ろさ
れてあらゆる種類の魚を集める引き
網のようです。 48 網がいっぱいに
なると、人々は浜辺に網を引き上げ、
こし お よ い もの あつ
腰を下ろして、良いものを入れ物に集
め、良くないものを投げ捨てました。

49 体制の終結の時にもそのように
なりま。天使たちは出ていって、正
しい人の中から邪悪な人をより分け、
50 火の燃える炉に放り込みます。彼
らはそこで泣き悲しんだり歯ざしりし
たりします。

51 これら全ての意味を悟りました
か」。弟子たちは、「はい」と言った。

52 イエスは言った。「では次のことを
覚えておきなさい。天の王国について
教えられた教師は皆、宝物庫から新し
い物と古い物を取り出す家の主人の
ようです」。

53 イエスはこれらの例えを話し終
えると、そこを去った。 54 そして郷
里に入り、会堂で教え始めた。そのた
め、人々は大変驚いて言った。「この
ひと ち え きょうりよく おこな *
人は、このような知恵と強力な行いを
する力をどこで得たのか。 55 この人
は大工の息子ではないか。母親はマ
リアといい、弟はヤコブ、ヨセフ、シ

13:49 *または、「時代」。用語集参照。 13:
54; 14:2 *または、「奇跡」。

第13章

(7) フィリ 3:8

(1) レビ 11:9

(7) レビ 11:12

(14) マタ 2:23

(14) マル 6:1-6

(14) ルカ 4:22

ヨハ 6:42

第2欄

(7) マタ 12:46

ヨハ 2:12

使徒 1:14

コリ 9:5

ガラ 1:19

(1) ヨハ 7:15

(7) ペー 2:7,8

(14) マル 6:4

ルカ 4:24

ヨハ 4:44

第14章

(14) マル 6:14

ルカ 9:7-9

使徒 4:27

(14) マタ 16:13,14

マル 6:16

(14) マル 6:17,18

ルカ 3:19,20

(7) レビ 18:16

レビ 20:21

(7) マル 6:20

ルカ 1:67,76

(14) 創 40:20-22

(7) マル 6:21-29

(14) マル 6:25

モン、ユダではないか。 56 妹たちも
みな わたし いっしょ
皆、私たちと一緒にいる。では、この
全てをどこで得たのか。 57 こうし
て人々はイエスを信じようとしなかつ
た。しかしイエスは言った。「預言者
は、郷里や自分の家以外であれば敬
われます」。 58 そして、人々の信仰
がなかったので、そこで強力な行いを
あまりしなかった。

14 その頃、地域支配者ヘロデが
イエスの評判を聞き、 2 家
来たちに言った。「これはバプテスト
のヨハネだ。生き返ったのだ。だか
ら強力な行いができるのだ」。 3 ヘ
ロデはかつて、自分の兄弟フィリポ
の妻ヘロディアのことでヨハネを捕ら
え、縛って牢屋に入れていた。 4 ヨ
ハネがヘロデに、「彼女を自分のもの
とするのは正しくありません」と言って
いたからである。 5 ヘロデは、ヨハ
ネを殺したいと思ったが、群衆を恐れ
た。人々がヨハネを預言者と見なして
いたからだ。 6 さて、ヘロデの
誕生日 祝いの時、ヘロディアの娘が踊
りを見せ、ヘロデを喜ばせた。 7 そ
れでヘロデは娘に、何でも欲しいもの
を与えると誓った。 8 そこで娘は、母
親の言い付け通り、「バプテストのヨ
ハネの首をお皿に載せて、ここでお与
えください」と言った。 9 王は悲し
んだが、自分の誓いや一緒に食事をし

14:1 *ヘロデ・アンテパスのこと。用語集参照。

ている人たちのことを考え、それを与えるようにと命令した。10 そして人を遣わし、牢屋の中でヨハネの首をはねさせた。11 首は大皿に載せて持ってこられ、娘に与えられた。娘は母親の所に持っていった。12 その後、ヨハネの弟子たちが来て遺体を運び出し、葬った。それから、イエスの所に来て報告した。13 それを聞いたイエスは、独りになるために、そこから舟で静かな場所に向かった。ところが、人々がそのことを聞き付け、町々から歩いてその場所に向かった。

14 イエスは岸に下り、大勢の人を見た時、かわいそうに思い、病気の人たちを治した。15 夕方になる頃、弟子たちが来て言った。「ここは辺ぴな場所で、もう遅い時間です。群衆を解散させ、村に行って自分で食べ物を買えるようにしてあげてください。16 しかしイエスは言った。「その必要はありません。あなたたちが食べ物を与えなさい」。17 弟子たちは言った。「5つのパンと2匹の魚しかありません」。18 イエスは、「私の所に持ってきなさい」と言った。19 そして、草の上に座るよう群衆に指示した。5つのパンと2匹の魚を取り、天を見上げて祈り、パンを割って弟子たちに渡し、次いで弟子たちが群衆に与えた。20 こうして皆が食べて満足した。余ったかけらを拾うと、12個の

第14章

(マ) マル6:31-33
ルカ9:10

(イ) マタ9:36
マタ15:32
マル1:41
マル6:34
ルカ7:13
ヘブ2:17
ヘブ5:2

(イ) ルカ9:11

(イ) マル6:35-44
ルカ9:12-17
ヨハ6:5-13

(イ) マタ15:36
マル6:41
ルカ9:16

第2欄

(イ) 王二4:42-44
マル6:42,43
マル8:8
ルカ9:17
ヨハ6:12,13

(イ) マル6:44
ルカ9:14
ヨハ6:10

(イ) マル6:45-52
ヨハ6:16-21

(イ) マル6:46
ルカ6:12
ルカ9:18

(イ) マル6:50
ヨハ6:20

(イ) マタ6:30
マタ8:26
マタ28:16,17
ヤコ1:6

籠がいっぱいになった。21 食べた男性は約5000人で、女性や子供もいた。22 それからすぐイエスは弟子たちを舟に乘らせて先に対岸に向かわせ、群衆は解散させた。

23 イエスは群衆を解散させた後、祈りをするため自分だけで山に登った。日が暮れても、1人でそこにいた。24 その頃までに、舟は陸から何百メートルも離れていたが、向かい風で、波のためになかなか進まなかった。25 ところが、第4夜警時に、イエスは湖の上を歩いて舟の所に来た。26 弟子たちは、イエスが湖の上を歩いているのを目にして動揺し、「幻影

だ!」と言った。そして、恐れあまり叫び声を上げた。27 しかし、イエスはすぐに話し掛け、「安心しなさい。私です。恐れることはありません」と言った。28 ペテロは言った。「主よ、あなたでしたら、水の上を歩いてそちらに行くよう私に命令してください」。29 イエスは、「来なさい!」と言った。そこでペテロは舟から出て、水の上を歩いてイエスの方に向かった。30 ところが暴風を見て怖くなり、沈み始めた時、「主よ、助けてください!」と叫んだ。31 イエスはすぐに手を伸ばしてペテロをつかみ、「信仰の少ない人よ、なぜ疑いに負けたのですか」と言った。32 2人が舟に乗り込んで

14:25 *午前3時ごろから午前6時ごろの日の出まで。

から、暴風^{ばうふう}はやんだ。33 その時^{とき}、舟^{ふね}にいた弟子^{でし}たちは、「確^{たし}かにあなた^{あなた}は神^{かみ}の子^こです」と言って、敬意^{けいぎ}を表^{あらわ}した。34 一行^{いっこう}は湖^{みずうみ}を渡^{わた}り、ゲネサレに着^ついた。

35 その場所^{ばしょ}の人^{ひと}たちはイエス^きに気づ^きき、周囲^{しゅうい}の全地方^{ぜんぽう}に知^しらせた。人々^{ひとびと}は病氣^{びょうき}の人^{ひと}を皆^{みな}連^つれてきた。36 その人^{ひと}たちは、外衣^{えいぎ}の裾^{すそ}にだけでも触^ふれさせてくださいとイエス^きに嘆願^{たんがん}した。そして、触^ふれた人^{ひと}は皆^{みな}すっかり良^よくなった。

15 その後、エルサレム^{エルサレム}からパリサイ派^{パリサイ}の人^{ひと}と律法学者^{りっぽうがくしや}たち^{たち}がイエスの所^{ところ}に来て、言^いった。2 「あなた^{あなた}の弟子^{でし}が父祖^{ふそ}たちからの伝統^{でんどう}を破^{やぶ}っているのはどうしてですか。例え^{たと}ば、食事^{しょくじ}をする時^{とき}に手^てを洗^{あら}いません」。

3 イエスは答^{こた}えた。「あなた^{あなた}が自分^{がた}分^{ぶん}たちの伝統^{でんどう}によって神^{かみ}のおきてを破^{やぶ}っているのはどうしてですか。4 例え^{たと}ば、神^{かみ}は、『父^{ちち}と母^{はは}を敬^{うやま}いなさい』、そして、『父^{ちち}や母^{はは}に暴言^{ぼうげん}を吐^{はき}く人^{ひと}は死刑^{しけい}にしない』と言^いいました。5 ところがあなた^{あなた}方は言^いいます。『父^{ちち}や母^{はは}に、「私の物^{わたくしもの}でお役^{やく}に立^たちそうな物^{もの}はどれも神^{かみ}に獻納^{けんなん}された供え物^{そなえもの}なのです』と言^いえば、6 父^{ちち}や母^{はは}を敬^{うやま}わなくてよい』。そのようにして、自分^{自分}たちの伝統^{でんどう}によって神^{かみ}の言葉^{ことば}を否定^{ひてい}

14:33 *または、「ひざまずいた」。15:2 *儀式上の清めをしないということ。15:4 *または、「をのしる」。

第14章
[マ] マル6:53-56

[イ] マタ9:20,21
マル3:10
ルカ6:19

第15章
[マ] マル7:1,2

[ロ] ルカ11:38
ヨハ2:6

[ヨ] マタ15:9
マル7:8-13
コロ2:8

[ヨ] 出20:12
申5:16
エフ6:2

[ヨ] 出21:17
レビ20:9

[ヨ] マル7:11,12

第2欄

[ヨ] マル7:13

[イ] マル7:6

[ヨ] イザ29:13
マル7:7

[ロ] マル7:14

[ヨ] マル7:15
エフ4:29
ヤコ3:6

[ヨ] マル7:17

[ヨ] マタ23:15,16
ルカ6:39

[ヨ] マル7:18-23

[ヨ] マル7:20

[ロ] 創8:21
エレ17:9

しています。7 偽善者^{ぎぜんしや}たち、イザヤはあなた方^{あなた}について適切^{てきせつ}にこう預言^{よげん}しました。8 『この民^{たみ}は唇^{くちびる}で私^{わたし}を敬^{うやま}うが、心^{こころ}は私^{わたし}から遠^とく離^{はな}れている。9 私^{わたし}を崇拜^{すうはい}し続^{つづ}けても無駄^{むだ}である。人間^{にんげん}の命令^{めいれい}を教理^{きょうり}として教^{おし}えるからである』。10 そして、群衆^{ぐんしゅう}を近^{ちか}くに呼^よんで言^いった。「聞^きいて、意味^{いみ}を悟^{さと}りなさい。11 口^{くち}に入るもの^{はい}が人^{ひと}を汚^{けが}すのではありませぬ。口^{くち}から出^でるもの^{はい}が人^{ひと}を汚^{けが}すのです」。

12 その時^{とき}、弟子^{でし}たちが来^きて言^いった。「パリサイ派^{パリサイ}の人^{ひと}たちがあなた^{あなた}の言^いったことを聞^きいて反感^{はんかん}を抱^{いだ}いたのを知^しっていますか。13 イエスは答^{こた}えた。「天^{てん}の父^{ちち}が植^うえたのでない植物^{しょくぶつ}は全て引き抜^ひかれます。14 放^{はな}っておきなさい。あの人^{ひと}たちは目^めが見^みえない案内^{あんない}人^{にん}です。目^めの見^みえない人^{ひと}が目^めの見^みえない人^{ひと}を案内^{あんない}すれば、2人^{ふたり}とも穴^{あな}に落^おちます」。15 ペテロは言^いった。「例^{れい}えの説明^{せつめい}をしてください」。16 イエスは言^いった。「あなた^{あなた}たちもまだ理解^{りかい}していないのですか。17 口^{くち}に入るもの^{はい}は何^{なん}でも胃^いを通^{とお}って下^げ水^{すい}に排^{はい}出^{しゅつ}されるのではありませぬか。18 しかし、口^{くち}から出^でるもの^{なん}は何^{なん}でも心^{こころ}から出^でてくるのであり、それが人^{ひと}を汚^{けが}します。19 例え^{たと}ば、心^{こころ}から、邪惡^{じゃあく}な考^{かんが}えが出^でてきます。殺^{ころ}人^{じん}、姦淫^{かんいん}、性的不道徳^{せいどく}、盗^{ぬす}み、偽証^{ぎしやう}、冒瀆^{ぼうとく}です。20 これらは人

15:19 *ギリシャ語パルネイアの複数形。用語集参照。

を汚します。しかし、手を洗わずに食事をすることは人を汚しません。

21 イエスはそこを去り、ティルスとシドンの地方に行った。**22** すると、その地方のフェニキヤ人女性が来て、「主よ、ダビデの子よ、憐れみをお掛けください。娘が邪悪な天使に取りつかれ、ひどく苦しめられています」と叫んだ。**23** しかしイエスは、一言も答えなかった。それで弟子たちが来て、言った。「この女性を追い払ってください。後に付いてきて、ずっと叫んでいます」。**24** イエスは答えた。「私は、イスラエル国民の迷い出た羊の所にしか遣わされていません」。**25** しかし女性は来て、イエスに敬意を表し、言った。「主よ、お助けください!」

26 イエスは答えた。「子供たちのパンを取って小犬に投げ与えるのは正しくありません」。**27** 女性は言った。「そうです、主よ。けれど、小犬も主人の食卓から落ちるパンくずを食べます」。**28** そこでイエスは言った。「素晴らしい信仰です! あなたの願う通りのことが起きますように」。すると、娘はその時、癒やされた。

29 イエスはそこをたち、ガリラヤ湖の近くに来了。そして、山に登って座っていた。**30** すると、大勢の人が、手足が不自由な人、目が見えない人、口

第15章

(マ) マル 7:24

(イ) マル 7:25-30

(イ) イザ 53:6

マタ 10:5,6

使徒 3:26

使徒 13:46

ロマ 15:8

(ロ) マル 7:28

(イ) マル 7:31

第2欄

(イ) イザ 35:5

マタ 19:2

マル 3:10

(イ) マタ 9:33

(イ) マタ 14:14

マル 6:34

(ロ) マル 8:1-9

(イ) 王二 4:42-44

(イ) マタ 14:19

(イ) マル 8:9,9

(イ) マル 8:10

が利けない人など、多くの人を連れてきて、イエスの足元に置いた。イエスはその人たちを治した。**31** 群衆は、口が利けなかった人が言葉を発し、手が不自由だった人が治り、足が不自由だった人が歩き、目が見えなかった人が見えるようになったのを見て、とても驚き、イスラエルの神をたたえた。

32 イエスは弟子たちを呼んで、言った。「群衆がかわいそうです。私と共に3日いて、食べる物がありません。空腹のまま去らせたくありません。途中で倒れてしまうかもしれません」。

33 しかし弟子たちは言った。「この辺びな場所のどこで、これほどの群衆に十分食べさせるだけのパンを得られるでしょうか」。**34** するとイエスは言った。「パンは幾つありますか」。弟子たちは、「7つです。それに小さな魚が何匹かあります」と言った。**35** イエスは、地面に座るよう群衆に指示した後、**36** 7つのパンと数匹の魚を取って、感謝の祈りをしてから、それを割って弟子たちに渡し始め、そして弟子たちが群衆に与えた。**37** 皆が食べて満足した。余ったかけらを拾うと、7つの大籠がいっぱいになった。**38** 食べた男性は4000人で、女性や子供もいた。**39** そして、イエスは群衆を解散させてから、舟に乗ってマガダン地方に入った。

15:32 *または、「何も食べない」。**15:37** *または、「食料籠」。

15:20 *儀式上の清めをしないということ。

15:24 *人のこと。**15:25** *または、「ひどまずき」。

16 ここでパリサイ派とサドカイ派の人たちが近づいてきて、イエスを試すために、天からのしるしを見せてくれるよう頼んだ。**2** イエスは答えた。「あなた方は、夕方になると、『夕焼けだから、晴れる』と言い、**3** 朝には、『朝焼けで雲が出ているから、今日は冬のような雨が降る』と言います。空模様から天気を見分ける方法を知らながら、時代のしるしは見分けられないのです。**4** 邪悪な姦淫の世代はしるしを求め続けますが、ヨナのしるし以外にしるしが与えられることはありません。そして、人々を残したまま去っていった。

5 さて、弟子たちは対岸に向かって、パンを持っていくのを忘れた。

6 イエスは言った。「じっと見張っていて、パリサイ派とサドカイ派のパン種に気を付けなさい」。**7** それで弟子たちは、「パンを持ってこなかった」と互いに話し始めた。**8** これを知って、イエスは言った。「なぜパンがないことについて話し合っているのですか。信仰の少ない人たち。**9** まだ要点が分からないのですか。5つのパンを5000人で食べた時、余りを幾つの籠に拾ったかを覚えていないのですか。

10 また、7つのパンを4000人で食べた時、余りを幾つの大籠に拾いましたか。**11** 私がパンについて話したの

16:4 *または、「不忠実な」。**16:10** *または、「食料籠」。

第16章

マタ 12:38
マル 8:11
ルカ 11:16

ヨナ 1:17
マタ 12:39
ルカ 11:29

マル 8:12

マル 8:13-21

マル 8:15
ルカ 12:1

マタ 14:17

マタ 15:34

第2欄

ルカ 12:1

マル 8:27-29
ルカ 9:18-20

マタ 14:1,2

ヨハ 1:25,26

マル 8:29
ルカ 9:20
ヨハ 1:40,41
ヨハ 4:25
ヨハ 11:27

詩 2:7
マタ 14:33
使徒 9:20,22
ヘブ 1:2
ヨハ 4:15

マタ 11:27

ヨハ 1:42

ロマ 9:33
コリ 3:11
コリ 10:4
エフ 2:20
ペテ 2:6-8

でないことを、どうして悟らないのですか。ただ、パリサイ派とサドカイ派のパン種に気を付けなさい」。**12** その時、弟子たちは、パンのパン種ではなく、パリサイ派とサドカイ派の教えに気を付けるように言ったのだ、ということを理解した。

13 イエスはカエサレア・フィリビ地方に来ていた時、弟子たちに、「人々は人の子のことを誰だと言っていますか」と尋ねた。**14** 弟子たちは言った。「バプテストのヨハネや、エリヤ、エレミヤ、預言者の1人などと言っています」。**15** イエスは言った。「でも、あなたたちは、私のことを誰だと言いますか」。**16** シモン・ペテロが答えた。「キリスト、生きている神の子です」。

17 それでイエスは言った。「ヨナの子シモン、あなたは幸福です。なぜなら、そのことを啓示したのは人間ではなく、天にいる父だからです」。**18** また、あなたはペテロであり、私はこの岩の上に自分の会衆をつくります。死の力はそれを征服できません。**19** 私はあなたに天の王国の鍵を与えます。何でもあなたが地上で縛るものは天ですでに縛られており、何でもあなたが地上で解くものは天ですすでに解かれています」。**20** それからイエスは、自分分がキリストであることを誰にも言わ

16:13 *イエスのこと。用語集参照。**16:17** *直訳、「肉と血」。**16:18** *用語集参照。*または、「墓の門」。用語集の「墓」参照。

ないようにと弟子たちに厳重に指示した。

21 この時から、イエスは、自分が必ずエルサレムに行って長老と祭司長と律法学者たちから多くの苦しみを受け、殺され、3日目に生き返る、ということを弟子たちに説明し始めた。**22** すると、ペテロはイエスを脇に連れていき、「主よ、自分を大切にしてください。決してそのような目には遭いませぬ」と言って、叱り始めた。

23 しかし、イエスはペテロに背を向けて言った。「私の後ろに下がれ、サタン！ あなたは私の邪魔をしています。神の考えではなく、人間の考えを抱いているからです」。

24 それからイエスは弟子たちに言った。「誰でも私に付いてきたいと思うなら、自分を捨て、苦しみの杭を持ち上げ、絶えず私の後に従いなさい。**25** 自分の命を救おうと思ふ人はそれを失いますが、私のために命を失う人はそれを得るからです」。

26 全世界を手に入れても、命を失うなら、いったい何の価値があるでしょうか。また、人は自分の命と引き換えに何を与えることができるでしょうか。

27 人の子は、天使たちを伴い、自分の父の栄光を帯びて来ることになっており、その時、一人一人の振る舞いに応じて報います。**28** はっきり言いま

第16章

(マ) マル 8:29,30
ルカ 9:20,21

(マ) 詩 16:10
イザ 53:12
マタ 17:22,23
マタ 20:18,19
マル 8:31
ルカ 9:22
ルカ 24:46
コヘ 15:3,4

(マ) マル 8:32

(マ) マル 8:33

(マ) マタ 10:38
マル 8:34
ルカ 9:23
ルカ 14:27

(マ) マル 8:35
ルカ 9:24
ルカ 17:33
ヨハ 12:25
啓 12:11

(マ) マル 8:36
ルカ 9:25

(マ) 詩 49:8

(マ) 詩 62:12
格 24:12
ルカ 9:26
ロマ 2:6
ペー 1:17

第2欄

(マ) マタ 17:2
マル 9:1
ルカ 9:27

第17章

(マ) マル 9:2-8
ルカ 9:28-36

(マ) 啓 1:13,16

(マ) 詩 2:7
イザ 42:1
マタ 3:17
ペー 1:17,18

(マ) 申 18:15
マル 9:7
ルカ 9:35
使徒 3:22,23
ヘブ 2:3

(マ) マタ 16:20
マル 9:9

すが、ここに立っている人の中には、死を伝える前に、人の子が王としての栄光を帯びて来るのを見る人たちがいます」。

17 6日後、イエスはペテロとヤコブとその兄弟ヨハネだけを連れて、高い山に登った。**2** そして3

人の目の前でイエスの姿が変わった。顔は太陽のように輝き、外衣は光のように明るく輝いた。**3** さらに、モーセとエリヤが現れ、イエスと語り合っていた。

4 そこでペテロがイエスに言った。「主よ、私たちがこの場にいられるのは素晴らしいことです。よろしければ、ここに3つの天幕を立てます。あなたと、モーセと、エリヤのためです」。

5 ペテロがまだ話しているうちに、明るい雲が皆を覆った。そして何と、雲の中から声があつて、「これは私の愛する子、私はこの子のことを喜んで

いる。彼の言うことを聞きなさい」と言った。**6** 弟子たちはこれを聞くと、

ひれ伏して非常に恐れた。**7** その時イエスが近づいて3人に触り、「起き上がりなさい。恐れることはありません」と言った。**8** 3人が目を上げると、

イエスのほかは誰も見えなかった。

9 山を下っていた時、イエスは、「人の子が生き返るまでは、この幻について誰にも語ってはなりません」と命令した。

16:28 *直訳、「王国のうちに」。 **17:2** *または、「白くなった」。 **17:5** *または、「を是認した」。 **17:9** *イエスのこと。用語集参照。

16:23 *直訳、「をつまずかせるものです」。 **16:24** *用語集参照。

10 弟子たちは、「では、なぜ律法学者たちは、まずエリヤが来なければならぬと言うのですか」と質問した。**11** イエスは答えた。「確かにエリヤが来て、全てのものを回復します。**12** しかしあなたがたに言います。エリヤはすでに来たのですが、人々は彼を見分けず、彼に対してしたい放題のことをしました。このように、人の子も人々によって苦しめられます」。**13** この時、弟子たちは、イエスがバプテストのヨハネについて話したことに気付いた。

14 彼らが群衆の方に来ると、ある男性がイエスに近づき、ひざまずいて、言った。**15** 「主よ、息子に憐れみをお掛けください。息子はてんか病があり、ひどい状態です。何度も火の中に倒れ、何度も水の中に落ちます。**16** 息子をあなたの弟子たちのもとに連れてきましたが、治せませんでした」。**17** それでイエスは言った。「ああ、不信仰で不健全な世代よ、私はいつまであなたがたといなければならないのでしょうか。いつまであなたがたのことを耐えなければならないのでしょうか。その子をごここに連れてきなさい」。**18** それから、イエスが邪悪な天使を叱りつけると、その子から出ていった。その時、少年は治った。**19** そこで弟子たちはイエスのもとにそとと来て、「なぜ私たちは追い出せなかったのでしょうか」と言った。**20** イエ

第17章
[マ] マル 9:11
[イ] イザ 40:3
マラ 4:5,6
マタ 11:13, 14
マル 9:12
ルカ 1:17

[マ] マル 9:13
[マ] マタ 16:21
ルカ 23:24, 25

[マ] ルカ 9:37

[マ] マル 9:17-29
ルカ 9:38-42

[マ] 申 32:5,20

[マ] マタ 8:13
マタ 9:22
マタ 15:28
ヨハ 4:51,52

第2欄

[マ] マタ 21:21
マル 11:23
ルカ 17:6

[イ] マタ 20:18
ルカ 9:44,45

[マ] マタ 16:21
マル 9:31

[マ] 出 30:13,14

[マ] コー 10:32
コニ 6:3

スは言った。「信仰が少ないためです。はっきり言いますが、からの種ほどの信仰があるなら、この山に、『ここからあそこに移れ』と言うとしても、それは移るものであり、何事も不可能ではありません」。 **21** —

22 ガリラヤに集まっていた時のこと、イエスは弟子たちに言った。「人の子は裏切られて人々に引き渡され、**23** 殺され、3日目に生き返ります」。弟子たちは非常に悲しんだ。

24 一行がカペルナウムに着いた後、2ドラクマ税を徴収する人たちがペテロに近づいて、「あなたたちの先生は2ドラクマ税を払わないのですか」と言った。**25** ペテロは、「払います」と言った。しかし、家に入ると、イエスが先に言った。「シモン、どう考えますか。地上の王たちは物品税や人頭税を誰から受け取っていますか。自分の子からですか、それともほかの人からですか」。**26** ペテロが「ほかの人からです」と言うと、イエスは言った。「そうであれば、子は税を課されています」。**27** しかし、反感を抱かせないために、湖に行って、釣り針を垂らしなさい。最初に釣れる魚を取って口を開けると、銀貨が1枚見つかります。それを取って、私とあなたの分の税を払いなさい」。

17:21 *付録A3参照。**17:24** *付録B14参照。**17:27** *直訳、「ステデル硬貨」。4ドラクマに相当する。付録B14参照。

18 その時、弟子たちがイエスの近くに来て、「天の王国ではいったい誰が一番偉いのですか」と言った。**2** イエスは、幼い子供を呼んで弟子たちの真ん中に立たせ、**3** こう言った。「はっきり言いますが、心を入れ替えて幼い子供のようにならなければ、決して天の王国に入れません。**4** ですから、この幼い子供のように謙遜になる人が、天の王国で一番偉いのです。**5** そして、私の名のためにこのような幼い子供1人を受け入れる人は、私も受け入れます。**6** しかし、私に信仰を持つそのような目立たない人1人の信仰を妨げる人は、ロバの回す石臼を首に掛けられて深い海に沈められる方がよいでしょう。**7** 世は、信仰の妨げとなっているので、災いがあります！ もちろん、信仰を妨げるものが生じるのは仕方ありませんが、その経路となる人には災いがあります！**8** そこで、もし一方の手か足があなたの信仰の妨げとなるなら、それを切り離して捨て去りなさい。片方の手や足を失って命を得る方が、両手や両足があるまま永遠の火に投げ込まれるよりは、よいのです。**9** また、もし一方の目があなたの信仰の妨げとなるなら、それをえぐり出して捨て去りなさい。片方の目を失って命を得る方が、両目があるまま火の燃える

18:3 *または、「変化して」。**18:6** *または、「に罪を犯させる」。直訳、「をつまずかせる」。

第18章

(マ) マル 9:33-37
ルカ 9:46-48
ルカ 22:24

(マ) マタ 19:14
ペー 2:2

(マ) ルカ 18:17

(マ) 格 15:33
マタ 20:26
マタ 23:12
ルカ 9:48
ルカ 14:11
ルカ 22:26
ヤコ 4:10
ペー 5:5

(マ) マル 9:42
ルカ 17:1,2

(マ) コロ 3:5

(マ) マタ 25:41
マル 9:43-48

第2欄

(マ) マタ 5:22
マタ 5:29
マル 9:47
ロマ 8:13

(マ) ルカ 1:19
ヘブ 1:7,14

(マ) ペー 2:25

(マ) ルカ 15:3-7

(マ) ペテ 3:9

(マ) レビ 19:17
格 25:8,9
ルカ 17:3

(マ) ヤコ 5:20

(マ) 申 19:15
コ二 13:1
テモ一 5:19

(マ) ヨハ 18:28
使徒 10:28
使徒 11:2,3

(マ) ロマ 16:17
コー 5:11

ゲヘナに投げ込まれるよりは、よいのです。**10** それら目立たない人のうち一人も軽く見ないようにしなさい。あなたたちに言いますが、彼らの天使たちは、天にいる父の前に常にいます。**11** —

12 どう考えますか。ある男性に100匹の羊がいて、その1匹が迷い出るなら、男性は99匹を山に残し、迷い出ている羊を捜しに出掛けないでしようか。**13** そして見つければ、間違いなく、迷い出なかった99匹のことに以上にもその羊のことを喜びます。**14** 同じように、天にいる私の父はそれら目立たない人の1人が滅びることも望んでいません。

15 また、もし仲間が罪を犯したなら、行って、あなたと彼の間だけで罪を明らかにしなさい。彼があなたの話を聞けずなら、あなたは仲間を助けたのです。**16** しかし、もし彼が聞かないなら、1人か2人を連れていきなさい。どんなことも2人か3人の証言によって確かめられるためです。**17** もし彼が、その人たちが話すことを聞かないなら、会衆に話しなさい。もし会衆が告げることも聞かないなら、彼を、あなたにとって、異国の人や徴税人のような者としなさい。

18:9 *用語集参照。**18:10** *直訳、「顔を常に見て」。**18:11** *付録A3参照。**18:14** *もしかすると、「あなたたち」。**18:15** *直訳、「兄弟」。**18:16** *直訳、「彼を戒め」。**18:16** *直訳、「口」。

18 はつきり言いますが、何でもあな
たたちが地上で縛るものは天ですでに
縛られており、何でもあなたたちが地
上で解くものは天ですでに解かれてい
ます。 **19** さらに言いますが、地上に
いるあなたたちのうちの2人が、どん
な重要な事柄でも、同意して願ひ求め
るなら、天にいる父によってその通り
になります。 **20** 2人か3人が私の名
によって集まっている所には、私もいる
からです。

21 その時、ペテロが来て言った。
「主よ、仲間が私に罪を犯すとき、何
回許すべきでしょうか。7回ですか」。

22 イエスは言った。「いいえ、7回で
はなく77回です。

23 それで、天の王国は、奴隷たち
に借金の清算を求めた王のようです。

24 清算が始まり、王に1万タラントを
借りている男性が連れてこられました。
25 ところが、返すお金がなかつ

たので、自分と妻と子供たち、また所
有物全てを売って返済するよう王であ
る主人から命じられました。 **26** 奴
隷はひれ伏して敬意を表し、『もうし
ばらくご辛抱ください。全部お返しし
ますから』と言いました。 **27** 主人
は、かわいそうに思い、奴隷を許して
負債を取り消してあげました。 **28** と
ころが、その男性は出ていって、自分に

100デナリを借りている仲間の奴隷を

18:24 *銀1万タラントは6000万デナリ。付録
B14参照。 **18:28** *付録B14参照。

第18章
(マ) マル 11:24
ヨハ 14:13
ヨハ 16:23, 24
ヨ一 3:22
ヨ一 5:14

(イ) コー 5:4, 5

(マ) マタ 6:12
マル 11:25
ルカ 17:4
エフ 4:32
コロ 3:13

(出) 出 21:7
レビ 25:39
王二 4:1
ネヘ 5:8

(ヨ) ヨー 1:9

第2欄
(イ) イザ 55:7
マタ 6:12
マタ 7:12
ヤコ 2:13

(イ) マタ 6:14
マル 11:25
ルカ 17:3
エフ 4:32

(イ) ロマ 2:6

第19章
(出) マル 10:1

(ヨ) 申 24:1
マル 10:12-13

み 見つけ、その奴隷を捕まえて首を絞め
ながら、『借金を全部返せ』と言いま
した。 **29** 仲間の奴隷はひれ伏して
嘆願し始め、『もうしばらく辛抱してく
ださい。返しますから』と言いました。

30 しかしその男性は応じようとせず、
借金を返すまで牢屋に入れてしま
いました。 **31** 仲間の奴隷たちは、起き
た事柄を見て非常に悲しみ、行って主
人に全て報告しました。 **32** そこで
主人は、その男性を呼んで言いま
した。『悪悪な奴隷よ、あなたが嘆願し
た時、私は負債を全て取り消してあげ

ました。 **33** 私があなたに憐れみを
掛けたように、あなたも仲間の奴隷に
憐れみを掛けるべきではありませんで
したか』。 **34** 憤った主人は、借金を
全て返すまで、その男性を牢番たちに
引き渡しました。 **35** もしあなたたち
各自が仲間を心から許さないなら、天
の父もこの主人と同じようにします」。

19 イエスはこうしたことを語り
終えると、ガリラヤを出発し、
ユダヤと境界を接する地方、ヨルダン
川の向こう側に行った。 **2** 再び大勢
の人が付いてきて、イエスはその人々
をそこで治した。

3 パリサイ派の人たちが来て、イエ
スをためそうとして、こう尋ねた。「どん
な理由でも、妻を離婚してよいので
しょうか」。 **4** イエスは答えた。「あ
なた方は読まなかったのですか。人
間を創造した方は、初めから男性と

じょせいにつく^(ア) 5『それで、男は父と母
女性に造り、^(イ) 2人から離れて妻にしっかり付き、^(ロ) 2人は
一体となる』と言いました。6 それ
で、^(ハ) 2人はもはや別々ではなく、一体で
す。ですから、神が結び合わせたものを、^(ニ) 人
が離してはなりません。7 パリサイ派の人たちは
言った。「では、なぜモーセは、妻を離婚する
なら離婚証書を与えるように、と指示したので
すか」。8 イエスは言った。「モーセはあなた
の方の頑固さを考えて、妻との離婚に関して譲歩
したのです。初めからそうならなかったわけでは
ありません。9 あなたの方に言いますが、性的不道
徳^(イ) 以外の理由で妻を離婚して別の女性と結婚
する人は、姦淫^(ロ) をすることになります」。

10 弟子たちがイエスに言った。「妻に
関して男の立場がそのようなものであれば、結
婚しない方がよいでしょう」。11 イエスは
言った。「全ての人がそのことを受け入れる
わけではなく、神の助けによって受け入
れることができる人だけがそうします。12
生まれつき障害があるので結婚しない人
や、人に障害を負わされたので結婚しない
人もいれば、天の王国のために結婚しない
人もいます。それを受け入れることができる
人は、受け入れなさい」。

19:6 *直訳、「くびきでつないだ」。19:9 *ギリ
シャ語、ポルネイア。用語集参照。19:11 *また
は、「そのような贈り物を受けている」。19:12
*機能の障害を指すと考えられる。

第19章

(ア) 創 1:27
創 5:2
(イ) 創 2:24
エフ 5:31
(ロ) マル 10:9
コ 7:11
(ニ) 申 24:1
マタ 5:31
(ハ) マル 10:5
(イ) 創 2:24
(ロ) マラ 2:14
マタ 5:32
マル 10:11, 12
ルカ 16:18
ロマ 7:3
コ 7:10
ヘブ 13:4

(イ) コ 7:7
(ロ) コ 7:32, 38
コ 9:5

第2欄

(ア) マル 10:13-16
ルカ 18:15-17
(イ) マタ 18:3
マル 10:14
ルカ 18:16
(ロ) マル 10:17-22
ルカ 18:18-23
(ニ) マル 10:18
(イ) レビ 18:5
ルカ 10:25-28
(ロ) 出 20:13
申 5:17
(ハ) 出 20:14
申 5:18
(イ) 出 20:15
申 5:19
(ロ) 出 20:16
申 5:20
(イ) レビ 19:18
マタ 22:39
マル 12:31
ルカ 10:27
ロマ 13:9
(イ) マタ 6:20

13 その時、手を置いて祈ってもら
うために、イエスの所に幼い子供たちが
連れてこられたが、弟子たちはその人
たちを叱りつけた。14 しかしイエス
は言った。「子供たちをそのまま来さ
せなさい。止めようとしてはなりません。
天の王国はこの子供たちのよう
な人のものだからです」。15 こうし
て、子供たちに手を置いてから、去って
いった。

16 さて、ある青年がイエスのもと
に来て、言った。「先生、永遠の命を得
るには、どんな善いことをしなければ
なりませんか」。17 イエスは言った。
「なぜ善いことについて私に尋ねるの
ですか。善い方はおひとりだけです。
とはいえ、命を受けたいなら、おきて
を絶えず守りなさい」。18 その青年
は、「どのおきてですか」と言った。イ
エスは言った。「殺人をしてはならな
い。姦淫をしてはならない。盗んでは
ならない。偽りの証言をしてはならな
い。19 父と母を敬いなさい。隣人
を自分自身のように愛さなければなら
ない」。20 その青年は言った。「そ
の全てを守ってきました。まだ足りな
いことがあるのでしょうか」。21 イエ
スは言った。「完全でありたいと思
うなら、行って、持ち物を売り、貧しい人
たちに与えなさい。そうすれば、天に
宝を持つようになります。それから来

19:21 *または、「申し分のない人」。

て、私の弟子になりにさい」。22 青年はこれを聞くと、悲嘆しながら去っていった。多くの資産を持っていたからである。23 イエスは弟子たちに言った。「はっきり言いますが、裕福な人が天の王国に入るのは難しいことです。24 さらに言えば、裕福な人が神の王国に入るよりは、ラクダが針の穴を通る方が簡単です。

25 弟子たちはそれを聞くと、大変驚いて、「いったい誰が救われるのでしょうか」と言った。26 イエスは弟子たちをじっと見て言った。「人にはこれが不可能でも、神には全てのことが可能です。

27 そこでペテロが言った。「見てください！ 私たちは全てのものに別れを告げて、あなたに従ってきました。私たちは何を受けるのでしょうか。

28 イエスは弟子たちに言った。「はっきり言います。再創造の際、人の子が栄光の座に座する時に、私に従ってきたあなたたちも12の座に座り、イスラエルの12部族を裁きます。29 そして、私の名のために、家、兄弟、姉妹、父親、母親、子供、あるいは土地に別れを告げた人は皆、百倍を受け、永遠の命を受けます。

30 しかし、多くの最初の人たちが最後に、最後の人たちが最初になります。

19:21 *または、「私の後に従い」。19:28 *イエスのこと。用語集参照。

第19章
[ル] ルカ 12:33
ルカ 18:22
フィリ 3:7

[イ] ルカ 18:23

[マ] マル 10:23
ルカ 18:24
テモ一 6:10

[マ] マル 10:25
ルカ 18:25

[マ] マル 10:26,27
ルカ 18:26,27

[ヨ] ヨブ 42:2

[マ] マル 10:28
ルカ 5:11
ルカ 18:28
フィリ 3:8

[ク] ダニ 7:14
マタ 20:21
ルカ 22:28-30
コ一 6:2
啓 20:4

[マ] マル 10:29,30
ルカ 18:29,30
ヘブ 10:34

[マ] マタ 20:16
マル 10:31
ルカ 13:30

第2欄

第20章
[マ] マタ 21:33

[レ] レビ 19:13
申 24:14,15

20 というのは、天の王国は、あの家の主人のようだからです。主人は、ブドウ園の労働者を雇うために朝早く出掛けました。2 労働者たちと1日1デナリで合意し、ブドウ園に行かせました。3 午前9時ごろにも出掛けると、仕事がなくて広場に立っている人たちがいました。4 そこで、『あなたたちもブドウ園に行きなさい。相応の賃金を払います』と言いました。5 それでその人たちは行きました。主人は昼の12時ごろと午後3時ごろにも出掛けて、同じようにしました。6 最後に、午後5時ごろに出掛けて、ほかにも立っている人たちを見つけ、言いました。『なぜ仕事をしないで一日中ここに立っていたのですか。』7 その人たちは言いました。『誰も雇ってくれなかったからです。』主人は言いました。『あなたたちもブドウ園に行きなさい。』

8 夕方になって、ブドウ園の主人は責任者に言いました。『労働者たちを呼んで、賃金を払いなさい。最後の人から順に最初の人までです。』9 午後5時の人たちが来て、それぞれ1デナリを取りました。10 それで、最初の人たちは来た時、もっと受け取れると考えましたが、やはり1デナリずつでした。11 それを受け取ると、家の主人に文句を言い始め、12 『この最後の人たちは1時間働いただけで

20:2 *付録B14参照。

す。それなのに、^や焼^つけ付^{あつ}く暑^{なか}さの中で
 一日中働いた私たちと同じ扱^{あつか}いなの
 ですか!』と言いました。13 しかし
 主人はその1人に言いました。『あな
 たに不当なことは何もしていません。
 1デナリで合意したではありませんか。
 14 自分の分を受け取って、行きな
 い。この最後の人にもあなたと同じよ
 うに与えたいのです。15 私は自分
 の物で望むことをしてもいいのではあ
 りませんか。それとも、私が惜しみなく
 与えるので、あなたはねたむのです
 か』。16 このように、最後の人たちが
 が最初に、最初の人たちが最後にな
 ります。

17 イエスはエルサレムに上^{のぼ}ってい
 く途中、12弟子だけを脇に連れていき、
 路上でこう言った。18 「さあ、私たち
 はエルサレムに上^{のぼ}っていきます。人の
 子^こ*は祭司長と律法学者たちに引き渡
 され、死^しに値すると断罪されて 19 異
 国の人々に引き渡されます。人の子^こ
 はあざけられ、むち打たれ、杭に掛け
 られて死にます。そして3日目に生き
 返ります。

20 その時、ゼベダイの息子たちの
 はおや^は むすこ^{むすこ} ふたり^{ふたり} とも^{とも} けい^{けい} い^い ひょう^{ひょう}*
 母親が息子2人と共に、敬意を表し
 ながら、あることを求めようとしてイエ
 スに近づいた。21 イエスは言っ
 た。「願いは何ですか」。母親は言っ
 た。「この息子たちがあなたの王国で

20:15 *または、「善い」。「直訳、「あなたの目は
 邪悪になる」。20:18 *イエスのこと。用語
 集参照。20:20 *または、「ひざまずき」。

第20章

(7) マタ 20:2
 (1) マタ 6:23
 (7) マタ 19:30
 マル 10:31
 ルカ 13:30
 (12) マル 10:32
 ルカ 18:31
 (7) マタ 16:21
 マル 10:33, 34
 ルカ 9:22
 ルカ 18:32, 33
 (7) マタ 27:31
 ヨハ 19:1
 (14) マタ 17:22, 23
 マタ 28:6
 使徒 10:40
 コー 15:4
 (7) マタ 4:21
 マタ 27:55, 56
 (7) マル 10:35-40

第2欄

(7) マタ 19:28
 (1) マタ 26:39
 マル 10:38
 マル 14:36
 ヨハ 18:11
 (7) 使徒 12:2
 ロマ 8:17
 コニ 1:7
 啓 1:9
 (12) マル 10:39, 40
 (7) マル 10:41-45
 ルカ 22:24
 (7) マル 10:42
 (14) コニ 1:24
 ペー 5:3
 (7) マタ 18:4
 マタ 23:11
 マル 10:43, 44
 ルカ 22:26
 (7) マル 9:35
 (12) ルカ 22:27
 ヨハ 13:14
 フイリ 2:7
 (14) イザ 53:11
 マル 10:45
 テモ 2:5, 6
 テト 2:13, 14
 ヘブ 9:28

ひとり^{ひとり} はあなたの右に、ひとり^{ひとり} は左に座れ
 るようにしてください。22 イエスは
 答えた。「あなたたちは、自分が何を
 求めているか分かっていません。私
 が飲もうとしている杯から飲むことが
 できますか。2人は、「できます」と
 言った。23 イエスは言った。「確か
 に、あなたたちは私の杯から飲むで
 しょう。しかし、私の右また左に座るこ
 とは、私が決めることではありません。
 その場所は、そこに座る者たちのため
 に、天にいる私の父によって用意され
 ています」。

24 ほかの10人はそのことを聞く
 と、その2人の兄弟に対して憤った。
 25 しかしイエスは弟子たちを呼び、
 こう言った。「あなたたちは、国々の支
 配者が威張り、偉い人たちが権威を振
 るうことを知っています。26 あなた
 たちの間ではそうであってはなりません。
 偉くならない人は奉仕者でなければ
 ならず、27 1番でありたい人は奴
 隷でなければなりません。28 人の
 子も、仕えてもらうためではなく仕える
 ために、また多くの人と引き換える贖
 いとして自分の命を与えるために来ま
 した」。

29 一行がエリコを出る時、大勢の
 人がイエスの後に従った。30 する
 と、道路の脇に座っていた目が見えな
 い2人の人が、イエスがそばを通って
 いることを聞き、「主よ、憐れみをお

20:28 *用語集参照。

か 掛けください、ダビデの子よ!」と叫ん
だ。31 ところが人々は、黙っている
ようにと言って、叱った。けれども2人
はますます大声で叫び、「主よ、憐れみ
をお掛けください、ダビデの子よ!」と
言った。32 それでイエスは立ち止
まり、2人を呼び、「何をしてほしいので
すか」と言った。33 2人は、「主よ、
目が見えるようにしてください」と言っ
た。34 イエスはかわいそうに思い、
2人の目に触れた。すると、2人はすぐ
に目が見えるようになり、イエスの後
に従った。

21 一行はエルサレムに近づき、
オリブ山にあるベテパゲ
に着いた。その時、イエスは2人の弟
子を遣わして、2 こと言った。「向こ
うに見えるあの村に行きなさい。すぐ
に、1頭のロバがつかがれていて子ロ
バと一緒にいるのが見つかります。そ
れらを解いて連れてきてください。
3 何か言われたら、『主が必要として
いるのです』と言わなければなりません。
そうすれば、すぐに行かせてくれ
ます」。

4 このことは、預言者を通して語ら
れたことが実現するために実際に起
きた。こう言われていた。5 「シオン
に告げなさい。『あなたの王がやって
来る。温和であり、ロバに乗っている。
それも、荷ロバの子、子ロバに乗って
いる』」。

21:5 *直訳、「シオンの娘」。

第20章

(マ) マタ 9:27
マル 10:46-52
ルカ 18:35-43

(マ) マタ 9:29

第21章

(マ) マル 11:1-3
ルカ 19:28-31

(マ) イザ 62:11
ヨハ 12:15

(マ) マタ 21:29

(マ) ゼカ 9:9

第2欄

(マ) マル 11:4-6
ルカ 19:32-35

(マ) 王一 1:38,40
マル 11:7-11
ヨハ 12:14,15

(マ) ルカ 19:36-38

(マ) マタ 9:27
マタ 21:15

(マ) 詩 118:25,26
ヨハ 12:13

(マ) マル 11:9,10

(マ) マタ 21:46
ルカ 7:16
ルカ 24:19

(マ) マル 11:15,16
ルカ 19:45
ヨハ 2:15

(マ) イザ 56:7

(マ) エレ 7:11
マル 11:17
ルカ 19:46
ヨハ 2:16

(マ) マタ 21:9

(マ) マル 11:18

ルカ 19:39,40

6 それで弟子たちは行き、イエスが
指示した通りにした。7 ロバと子ロ
バが連れてこられ、弟子たちはその上
に自分の外衣を掛け、イエスが乗っ
た。8 群衆の多くは自分の外衣を
道路に敷き、ほかの人たちは木の枝を
切り落として道路に敷いていった。
9 さらに群衆は、イエスの前に行く人
も後に続く人もこう叫び続けた。「お
救いください、ダビデの子を! エホバ
の名によって来る方が祝福されますよ
うに! お救いください、この上なく高
い所で!」

10 イエスがエルサレムに入ると、
町中の人々が騒ぎ立ち、「これは誰か」
と言った。11 群衆は、「これは預言
者イエス、ガリラヤのナザレから来た
方だ!」と告げていった。

12 イエスは神殿に入り、神殿で売
り買いしている人を皆追い出し、両替
屋の台と、ハトを売る人のベンチを倒
した。13 そして言った。『『私の家
は祈りの家と呼ばれる』と書いてある
のに、あなた方はそれを強盗のすみか
としています。14 またイエスは、目
が見えない人や足が不自由な人たちが
来たので、治した。

15 祭司長と律法学者たちは、イエ
スがした驚くべき事柄や、「お救い
ください、ダビデの子を!」と神殿で叫ん
でいる少年たちを見て憤り、16 イエ
スに言った。「子供たちが言っている

21:9 *付録A5参照。

ことが聞こえるか」。イエスは言った。
「はい。『あなたは、幼い子供たちの口
から賛美を生じさせた』とあるのを読
んだことがないのですか」。17 そし
て、その人たちを後に残し、都を出て
ベタニヤに行き、そこで夜を過ごした。

18 イエスは朝早く都に戻る途中、
空腹を感じた。19 道端にイチジク
の木を見つけた、そこに行ったら、葉の
ほかには何も見当たらなかった。そ
れで、「もう二度と実を結ばないように
に」と言うと、イチジクの木は一瞬で
枯れた。20 弟子たちはこれを見て
とても驚き、「イチジクの木が一瞬で枯
れたのはどうしてですか」と言った。

21 イエスは答えた。「はっきりいま
す。信仰を持って疑わないなら、私が
イチジクの木にしたようなことができ
るだけでなく、この山に、『持ち上が
つて海に入れ』と言っても、そうなります。
22 信仰を持って祈り求めるもの全て
を受けるのです」。

23 イエスが神殿に入って教えてい
ると、祭司長と民の長老たちがやって
来て、「どんな権威でこうしたことをす
るのか。誰があなたにこの権威を与え
たのか」と言った。24 それでイエス
は言った。「私も1つ尋ねます。あなた
方が答えるなら、私もどんな権威でこ
れらのことを行うかを言いましょう。

25 ヨハネによるバプテスマはどこか
らのものでしたか。天からですか、そ

21:16 *直訳、「幼い子供や乳児」。

第21章

(7) 詩 8:2

(1) マル 11:11
ルカ 21:37
ヨハ 11:1

(1) マル 11:12

(1) ルカ 13:6

(1) マタ 3:10
マル 11:13,14

(1) マル 11:20,21

(1) マタ 17:20
マル 11:22,23
ルカ 17:6

(1) マル 11:24
ルカ 11:9
ヨハ 14:13
ヤコ 1:5
ヨハ 3:22

(1) マル 11:27-33
ルカ 20:1-8

第2欄

(1) マタ 21:32
マル 11:30,31
ルカ 7:29,30

(1) ルカ 3:12
ルカ 7:29,30

れとも人からですか」。ところが、その
人たちは論じ合うようになった。「『天
から』と言えば、『では、なぜ彼を信じ
なかったのか』と言うだろう。26 だ
が、『人から』と言えば、群衆の反応が
怖い。皆がヨハネを預言者と見ている
からだ。27 それで、「私たちは知
らない」と答えた。そこでイエスは
言った。「私も、どんな権威で行うかを
言いません」。

28 どう考えますか。ある男性に
2人の子供がいました。その男性は
1人目の子の所に行き、『今日、ブドウ
園に行つて働きなさい』と言いました。

29 その子は、『行きません』と答えま
したが、後になって、後悔して出掛けて
いきました。30 父親は2人目の子
に近づいて、同じことを言いました。
その子は、『行きます、お父さん』と答
えましたが、出掛けていきませんでした。
31 2人のうち、どちらが父親の
望んだ通りにしましたか。祭司長と
民の長老たちは、「1人目の子だ」と
言った。イエスは言った。「はっきり言
いますが、徴税人や娼婦があなた方よ
り先に神の王国に入りつつあります。

32 ヨハネが来て正しい道を示したの
に、あなた方はヨハネを信じなかった
からです。ところが、徴税人や娼婦は
信じました。あなた方はそれを見ても、
後悔して信じるようにはなりませんで
した。

21:25 *または、「人に由来するもの」。 21:30
*直訳、「主よ」。

33 別の例えを話しましょう。ある地主の男性がいました。その男性はブドウ園を造り、周りを柵で囲い、その中にブドウ搾り場を掘り、塔を建て、耕作人たちに貸し出し、外国へ旅行に出ました。**34** 実りの時期を迎えた時、実った物を受け取るために耕作人のもつに奴隷たちを遣わしました。**35** ところが耕作人たちは、奴隷たちを捕まえ、1人を殴り倒し、もう1人を殺し、もう1人を石打ちにしました。**36** 再び地主は、奴隷をもつ大勢遣わしましたが、耕作人たちは同じようにしました。**37** 最後に地主は、『私の息子なら尊敬するだろう』と言って、息子を遣わしました。**38** 耕作人たちはその息子を見ると、互いに言いました。『こいつは相続人だ。さあ、殺して、ブドウ園を手に入れよう!』**39** そして息子を捕まえ、ブドウ園の外に放り出して殺してしまいました。**40** では、ブドウ園の持ち主が来たら、この耕作人たちをどうするでしょうか。**41** 祭司長と民の長老たちは言った。「その邪悪な者たちにおそろしい滅びをもたらし、ブドウ園をほかの耕作人、実った物を納める人に貸し出すだろう」。

42 イエスは言った。「聖書の中で読んだことがないのですか。『建築者たちの退けた石、それが主要な隅石と

21:41 *または、「邪悪な」。 21:42 *直訳、「隅の頭」。用語集参照。

第21章

(ア) イザ 5:7

(イ) イザ 5:2

(ウ) マル 12:1-9
ルカ 20:9-16

(エ) ネヘ 9:26

(オ) 代二 36:15
使徒 7:52
ヘブ 11:32,37

(カ) ヘブ 1:2

(キ) 使徒 2:23
使徒 3:15

第2欄

(ア) イザ 28:16
ルカ 20:17
使徒 4:11
ロマ 9:33
エフ 2:20
ペー 2:7(イ) 詩 118:22,23
マル 12:10,11(ウ) イザ 8:14
ペー 2:7,8

(エ) ルカ 20:18

(オ) マル 12:12
ルカ 20:19(カ) マタ 21:11
ヨハ 7:40

第22章

(キ) ルカ 14:16
啓 19:9

(ク) ルカ 14:17,18

(ケ) ルカ 14:18,19

なった。これはエホバによって生じたのであり、私たちにとって驚くべきものである』とあります。**43** それで、神の王国はあなたがたから取られ、望ましい実を生み出す国民に与えられます。**44** また、この石の上に落ちる人は粉々になります。この石が落ちてくると人は砕かれます」。

45 祭司長とパリサイ派の人たちは、イエスの例えを聞いた時、自分たちについて話しているのだと分かった。**46** イエスを捕らえたいと思ったが、群衆を恐れた。群衆はイエスを預言者と見ていたからである。

22 イエスは、もう一度例えを使って話した。**2** 「天の王国は、息子の結婚のために披露宴を設けた王のようです。**3** 王は奴隷たちを遣わして、披露宴に招いた人たちを呼びましたが、その人たちは来ませんでした。**4** 再びほかの奴隷たちを遣わして言いました。『招いた客にこう言いなさい。「さあ、食事の準備ができました。雄牛と肥えた動物の肉をはじめ、全て用意ができています。披露宴に来てください」』。**5** ところが、その人たちは関心を払わず、ある人は畑に、別の人は商店に出掛けていきました。**6** ほかの人は、奴隷たちを捕まえて痛めつけ、殺してしまいました。

7 王は憤り、軍隊を送って殺人者た

21:42 *付録 A5参照。

ちを殺し、その町を焼きました。8 それから奴隷たちに言いました。『披露宴の用意はできていますが、招いた人たちはふさわしくありませんでした。9 それで、町の外に通じる道路に行き、見つけた人を誰でも披露宴に招きなさい。10 そこで、奴隷たちは道路に出ていき、見つけた人を悪人も善人も皆集めました。こうして、結婚式の部屋は食事をする人でいっぱいになりました。

11 王は、客を見るために入ってきた時に、結婚式の服を着ていない人を見つからせ、12 言いました。『どうして結婚式の服を着ないで入ってきたのですか』。その人は何も言えませんでした。13 王は召し使いたちに言いました。『この人の手足を縛って外の闇に放り出さない。彼はそこで泣き悲しんだり歯ぎしりしたりします』。

14 招かれる人は多いですが、選ばれる人は少ないのです。

15 その時、パリサイ派の人たちは出掛け、イエスの揚げ足を取ろうと相談した。16 そして、自分たちの弟子をヘロデ党の人たちと一緒に遣わして、こう言わせた。「先生、私たちは、あなたが真実を話す方で、真理に沿って神の道を教えることを知っています。あなたは誰の顔色もうかがったりしません。人の外見を見ないからです。17 それで、考えを聞かせてください。

第22章

(イ) ダニ 9:26

(イ) 使徒 13:45,46

(イ) マタ 21:43
ルカ 14:23(イ) マル 12:13-17
ルカ 20:20-26

(イ) マル 3:6

第2欄

(イ) ダニ 3:17,18
マラ 3:8
マル 12:17
ルカ 20:25
ルカ 23:2
ロマ 13:7(イ) 使徒 4:1,2
使徒 23:8(イ) マル 12:18-23
ルカ 20:27-33(イ) 創 38:7,8
申 25:5,6
ルツ 1:11
ルツ 3:13

カエサルに人頭税を払ってよいでしょう。か、払ってはいけません。うか、

18 しかしイエスは彼らの悪意に気付いて、言った。「なぜ私を試すのですか、偽善者たち。19 人頭税の硬貨を見せなさい」。デナリ硬貨がイエスの所を持ってきた。20 イエスは言った。「これは誰の肖像と称号ですか」。21 その人たちは、「カエサルのです」と言った。イエスは言った。「それでは、カエサルのものはカエサルに、しかし神のものは神に返しなさい」。

22 その人たちはこれを聞いてとても驚き、イエスを残して去っていった。

23 その日、復活などはないと言うサドカイ派の人たちがやって来て、こう尋ねた。24 「先生、モーセは、『男が子供を持たずに死んだら、彼の兄弟が残された妻と結婚して兄弟のために子孫をもうけなければならない』と言いました。25 さて、私たちの所に7人の兄弟がいました。長男は結婚し、死にましたが、子孫がおらず、妻を兄弟のもとに残しました。26 次に、3男、結局7人ともが同じようになりました。27 最後にその女性が死にました。28 そうすると復活の際、この女性は7人のうち誰の妻なのでしょう。か。全員が妻にしたのです。

29 イエスは答えた。「あなた方は考え違いをしています。聖書も神の力

22:17 *または、「払うのは正しい」。22:19 *付録B14参照。

も知らないからです。30 復活の節、男性も女性も結婚しません。天使のようになります。31 死者の復活に関して、神が語った事柄を読まなかったのですか。こう言っています。32 『私はアブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である』。この方は死んだ人の神ではなく、生きている人の神です。33 群衆はこれを聞いて、イエスの教えに大変驚いた。

34 パリサイ派の人たちは、イエスがサドカイ派の人たちを沈黙させたことを聞いた後、一団となってやって来た。35 その中の律法に通じた人が、イエスを試してこう尋ねた。36 「先生、律法の中で最も重要なおきてはどれですか」。37 イエスは言った。『あなたは、心を尽くし、知力を尽くし、自分の全てを尽くして、あなたの神エホバを愛さなければならぬ』。38 これが最も重要な第一のおきてです。39 第二も同様で、こうです。『あなたは隣人を自分自身のように愛さなければならぬ』。40 律法全体と預言者の言葉はこの2つのおきてに懸かっています。

41 パリサイ派の人たちが集まっている間に、イエスが尋ねた。42 「キリストについてどう考えますか。彼は誰の子ですか」。その人たちは、「ダビデの子です」と言った。43 イエスは

22:37 *ギリシャ語、プシュケー。用語集参照。
22:37, 44 *付録A5参照。

第22章

(マ) マル12:24-27

(イ) ルカ20:35,36

(例) 出3:6

(ロ) ルカ20:37,38
ロカ4:17

(例) マタ7:28
マル11:18

(例) マル12:28

(例) 申6:5
申10:12
ヨシ22:5
マル12:30
ルカ10:27

(例) レビ19:18
マル12:31
ルカ10:27
コロ3:14
ヤコ2:8
ペー1:22

(例) ロマ13:10
ガラ5:14

(ロ) マル12:35-37
ルカ20:41-44

(例) ヨハ7:42

第2欄

(例) サニ23:2

(例) 詩110:1
使徒2:34,35
コ一15:25
ヘブ1:13
ヘブ10:12,13

(例) マル12:37

第23章

(ロ) マタ2:7,8

(例) マタ11:28

(例) ルカ11:46

(例) マタ6:1,2

(例) 申6:6,8

(例) 民15:38,39

(ロ) マル12:38,39
ルカ11:43
ルカ14:7,10
ルカ20:46

たず尋ねた。「では、どうしてダビデは、聖なる力によって彼を主と呼んでいるのですか。こう言っています。44 『エホバは私の主に言った。「私の右に座っていなさい。私があなたの敵たちをあなたの足の下に置くまで』。45 ダビデが主と呼んでいるのであれば、どうしてダビデの子でしょうか。46 誰も一言も答えられなかった。その日以降、あえてイエスに質問する人はいなかった。

23 それからイエスは群衆と弟子たちと話した。2 「律法学者とパリサイ派の人たちは自分たちをモーセの地位に置いています。

3 ですから、その人たちが告げることは全て行い、守りなさい。しかし、その行いに倣ってはなりません。その人たちは言いはしますが、実行しないからです。4 重い荷をくくって人の肩に載せますが、自分ではそれを指で動かそうともしません。5 行うことは全て、人に見せるためにしています。お守りとして身に着ける聖句箱を大きくし、服の裾の飾りを長くしています。6 また、夕食会では最も目立つ場所を、会堂では最も良い座席を好み、7 広場であいさつされることや、ラビと呼ばれることを好みます。8 しかしあなたたちは、ラビと呼ばれてはなりません。あなたたちの先生はただひ

23:5 *または、「フリンジ」。23:6 *または、「正面の」。23:7 *または、「先生」。

とりであり、あなたたちは皆、兄弟だからです。9 また、地上の誰をも父と呼んではなりません。あなたたちの父はただひとり、天にいる方だからです。10 また、指導者と呼ばれてもなりません。あなたたちの指導者はキリストひとりだからです。11 あなたたちの間で一番偉い人は奉仕者でなければなりません。12 高慢になる人は低く評価され、謙遜になる人は高く評価されるのです。

13 偽善者である律法学者とパリサイ派の人たち、あなた方には災いがあります！人の前で天の王国を閉ざすからです。自分自身がはらず、入ろうとする人をも入らせません。14 —

15 偽善者である律法学者とパリサイ派の人たち、あなた方には災いがあります！1人を改宗させるために海と陸を巡り、改宗させると、その人を自分以上にゲヘナに行くべき者とするからです。

16 目が見えない案内人たち、あなた方には災いがあります！『神殿に懸けて誓っても、守らなくてよい。しかし、神殿の金に懸けて誓うなら、義務を負う』とあなた方は言います。17 愚かで目が見えない人たち！金と、金を神聖にする神殿とでは、どちらが重要ですか。18 さらにあなた方は、『祭壇に懸けて誓っても、守らなくてよ

第23章

(マ) ヨハ 13:13

(マ) マタ 6:9

(マ) マタ 20:26

マル 9:35

ルカ 22:26

(マ) 格 16:18

(マ) 格 29:23

マタ 18:4

ルカ 14:11

ロマ 12:3

ペー 5:5

(マ) ルカ 11:52

(マ) マタ 6:2

ルカ 12:56

(マ) マタ 15:14

(マ) マタ 5:34,35

第2欄

(マ) 王一 8:13

(マ) レビ 27:30

(マ) ミカ 6:8

ヨハ 7:24

(マ) マタ 9:13

マタ 12:7

(マ) ルカ 11:42

(マ) マタ 15:14

(マ) レビ 11:23

(マ) レビ 11:4

(マ) マル 7:3,4

(マ) マル 12:38,40

(マ) ルカ 11:39

(マ) ルカ 12:56

い。しかし、その上の供え物に懸けて誓うなら、義務を負う』と言います。

19 目が見えない人たち！供え物と、供え物を神聖にする祭壇とでは、どちらが重要ですか。20 それで、祭壇に懸けて誓う人は、祭壇とその上の全ての物に懸けて誓っています。21 神殿に懸けて誓う人は、神殿とそこに住んでいる方に懸けて誓っています。22 また、天に懸けて誓う人は、神の王座とそこに座っている方に懸けて誓っています。

23 偽善者である律法学者とパリサイ派の人たち、あなた方には災いがあります！ミント、ディル、クミンの10分の1を納めながら、律法の中のもっと重大な事柄、すなわち公正と憐れみと忠実を無視しているからです。10分の1を納める必要はありますが、後者を無視すべきではありません。24 目が見えない案内人たち、あなた方は、ブヨを取り除きながらラクダのみ込んでいます！

25 偽善者である律法学者とパリサイ派の人たち、あなた方には災いがあります！杯と皿の外側は清めますが、内側は貪欲と身勝手さに満ちています。26 目が見えないパリサイ派の人たち、まず杯と皿の内側を清めて、外側も清くなるようにしなさい。

27 偽善者である律法学者とパリサイ派の人たち、あなた方には災いがある

23:14 *付録A3参照。23:15 *または、「転向」。「用語集参照」。

23:25 *または、「強奪」。

ります！ 白くぬつた墓に似ているから
です。外側は確かに美しく見えますが、
内側は死人の骨とあらゆる汚れに満
ちています。28 同じように、あなた
方は、外側は人々の目に正しい人と
映りますが、内側は偽善と不法に満ち
ています。

29 偽善者である律法学者とパリ
サイ派の人たち、あなた方には災い
があります！ 預言者の墓を建て、正
しい人の墓を飾り付けて、30 こう
言うからです。『私たちは父祖たちの
時代に生きていたら、一緒になって預
言者たちの血を流したりはしなかつ
た』。31 それであなた方は、預言者
を殺害した者たちの子であることを自
ら証言しているのです。32 それな
ら、父祖たちが始めたことをやり遂げ
なさい。

33 蛇よ、毒蛇のような者たちよ、あ
なた方はどうしてゲヘナの処罰を逃れ
られるでしょうか。34 それで、私は
預言者と賢人と教師たちをあなた方
のもとに遣わします。あなた方はその
中のある人を殺し、杭に掛け、ある人
を会堂でむち打ち、あちこちの町で迫
害します。35 こうして、正しい人ア
ベルの血から、あなた方が聖なる所と
祭壇の間で殺害した、バラキヤの子ゼ
カリヤの血に至るまで、地上で流され
た正しい人の血全ての責任をあなた

23:29 *または、「記念の墓」。23:33 *直訳、
「毒蛇たちの子孫」。

第23章
[ル] ルカ 11:44
使徒 23:3
[イ] ルカ 16:15

[イ] マタ 6:2
[ロ] ルカ 11:47
[ヨ] ルカ 11:48
使徒 7:52
ヘブ 11:32,37

[ヨ] マタ 3:7
マタ 12:34
ルカ 3:7
[キ] マタ 10:28
ルカ 12:5

[イ] ルカ 11:49-51
[ヨ] マタ 13:52
[ロ] ヨハ 16:2
使徒 7:59

[ヨ] 使徒 5:40
コニ 11:24
[イ] ルカ 21:12
[ロ] 創 4:8,10
ヘブ 11:4

[ヨ] 代二 24:20-22

第2欄
[ヨ] ヨハ 8:59
ヘブ 11:32,37
[イ] ルカ 13:34
ルカ 19:41,42

[ヨ] 王一 9:7,8
エレ 12:7
エレ 22:5
マタ 21:43
ルカ 21:20

[ヨ] 詩 118:26
第24章
[ヨ] マル 13:1,2
ルカ 19:44
ルカ 21:5,6

[ヨ] マタ 24:27
マタ 24:37-39
[キ] マタ 13:39
マタ 28:20
マル 13:3,4
ルカ 21:7

方は負います。36 はっきり言います
が、その全ての責任をこの世代が負い
ます。

37 エルサレム、エルサレム、預言
者たちを殺し、遣わされた人々を石打
ちにする者よ、私はめんどりが翼の下
にひなを集めるようにあなた方を集
めたいと何度思ったことでしょう。し
かし、あなた方はそれを望みませんで
した。38 聞きなさい、あなた方の家
は見捨てられます。39 あなた方に
言いますが、あなた方は今後、『エホ
バの名によって来る方が祝福されます
ように!』と言う時まで、決して私を見
ることはありません。

24 さて、イエスが神殿から去っ
ていく時に、弟子たちが近づ
いてきて神殿の建物を指し示した。
2 それでイエスは言った。「この全て
を見ているのですか。はっきり言い
ますが、石がこのまま石の上に残って
崩されないでいることは決してありま
せん」。

3 イエスがオリブ山の上で座って
いると、弟子たちが自分たちだけで近
づいてきて、言った。「教えてください。
そのようなことはいつあるのでしょうか。
あなたの臨在と体制の終結のし
るしは何ですか」。

4 そこでイエスは言った。「誰にも

23:38 *神殿のこと。*もしかすると、「見捨てら
れて荒れ果て」。23:39 *付録A5参照。24:
2 *建物構成する切り石のこと。24:3 *用語
集参照。*または、「時代」。用語集参照。

30 その時、人の子のしるしが天に現れます。そして、地上の全ての民族は胸をたたいて悲しみ、人の子が力と大きな栄光を帯びて天の雲に乗ってくるのを見ます。31 そして人の子は、大きなラッパの音と共に天使たちを遣わし、天使たちは、四方から、天の果てから果てまで、選ばれた者たちを集めます。

32 イチジクの木の場合から学びなさい。若枝が柔らかくなって葉を出す、と、すぐに、夏が近いことが分かります。33 同じように、これら全てを見たら、人の子が近づいて戸口にすることを知らないさい。34 はっきり言いますが、これら全てが起きるまで、この世代は決して過ぎ去りません。35 天と地は過ぎ去りますが、私の言葉は決して過ぎ去りません。

36 その日と時刻については誰も知りません。天使たちも子も知らず、父だけが知っています。37 人の子の臨在の時はちょうどノアの時代のようになります。38 洪水前のその時代、ノアが箱船に入る日まで、人々は食べた、飲んだり、結婚したりしていました。39 そして、洪水が来て全ての人を流し去るまで注意しませんでした。人の子の臨在の時もそのようになります。40 その時、2人の男性が畑にいて、一方は連れていかれ、他方は捨てられま

第24章

(イ) 啓 1:7

(イ) ダニ 7:13

(イ) マタ 26:64

マル 13:26

ルカ 21:27

(イ) マル 13:27

(イ) マル 13:28-31

ルカ 21:29-33

(イ) ヤコ 5:8,9

(イ) ルカ 21:33

(イ) テサー 5:1,2

(イ) マル 13:32

使徒 1:7

(イ) 創 6:11-13

ルカ 17:26,27

(イ) 創 7:7

ヘブ 11:7

ペー 3:19,20

ペニ 2:5

(イ) 創 7:23

ペニ 3:6

第2欄

(イ) マル 17:35

(イ) マタ 25:13

マル 13:33

ルカ 21:36

(イ) テサー 5:2

ペニ 3:10

(イ) ルカ 12:39,40

(イ) マル 13:35

(イ) ルカ 12:42-44

(イ) 啓 16:15

(イ) ルカ 12:45,46

(イ) マタ 25:13

(イ) マタ 13:42

す。41 2人の女性がひき臼を回していて、一方は連れていかれ、他方は捨てられます。42 それで、ずっと見張っていないさい。主がどの日に来るかを知らないからです。

43 しかし、1つのことを知っておきなさい。家の主人は、泥棒がどの夜警時に来るかを知っていたなら、目を覚ましていて、家に押し入らせはしなかったでしょう。44 ですから、あなたたちも、用意ができていることを示しなさい。人の子は予期しない時刻に来るからです。

45 主人が、召し使いたちに適切な時に食物を与えるため、彼らの上に任命した忠実で思慮深い奴隷はいったい誰でしょうか。46 主人が来て、そうしているところを見るなら、その奴隷は幸せです！47 はっきり言いますが、主人は自分の全ての持ち物を管理させるためにその奴隷を任命します。

48 しかし、もしその奴隷が悪悪で、『主人は遅れている』と心の中で言い、

49 仲間の奴隷たちをたたいて、酔っぱらいたちと共に食べたり飲んだりし始めるなら、50 その奴隷の主人は、奴隷が予期していない日、思ってもいない時刻に来て、51 最も厳しく彼を罰し、偽善者たちと一緒にならせませう。奴隷はそこで泣き悲しんだり歯がしりたりします。

24:43 * または、「夜の何時時」。24:45 * または、「賢い」。

24:31 * 直訳、「4つの風」。24:37, 39 * 用語集参照。

25 その時、天の王国は、ランプを持って花婿を迎えに出た

10人の乙女のように。2 そのうち5人は愚かで、5人は思慮深い人でした。

3 愚かな乙女たちはランプを持ちましたが、油を携えていかず、4 一方、思慮深い乙女たちは、ランプと共に、油を瓶に入れて持っていきました。

5 花婿が遅れている間に、皆、眠くなって眠り込んでしまいました。6 真

夜中に、『さあ、花婿だ！ 迎えに出なさい』と叫ぶ声がしました。7 そこ

で、乙女は皆起きて、ランプを確認しました。8 愚かな乙女たちは思慮

深い乙女たちに言いました。『油を分けてください。今にもランプが消

えそうです』。9 思慮深い乙女たちは答えました。『みんなの分はなさそ

うです。それより、油を売る人たちの所に行つて自分の分を買ってください』。

10 その5人が買いに行っている間に花婿が来て、用意ができていた乙女た

ちは結婚の披露宴のために花婿と一緒に中に入り、戸が閉められました。

11 その後、残りの乙女たちも来て、『旦那さま、旦那さま、開けてください』

と言いました。12 花婿は答えました。『はつきり言いますが、あなたたちのことは知りません』。

13 ですから、ずっと見張っていなさい。あなたたちは、その日も時刻も知らないからです。

14 それはちょうど、外国へ旅行に出る際に、奴隷たちを呼び寄せて、自分の持ち物を委ねた男性のようです。15 その男性は、ある人には5タラント、別の人には2タラント、さらに別の人には1タラントと、各自の能力に応じて与えてから、外国へ行きました。16 5タラントを受け取った人はすぐに出掛け、それで商売をして、さらに5タラントを手に入れました。17 2タラントを受け取った人も同じように、さらに2タラントを手に入

れました。18 しかし、ただ1タラントを受け取った奴隷は、出掛けていって地面を掘り、主人のお金を隠しておきました。

19 長い時がたち、主人が来て、預けたお金について奴隷たちに確認しました。20 5タラントを受け取った人が進み出て、稼いだ5タラントを差し出し、言いました。『ご主人さま、5タラントを委ねてくださいましたが、ご覧

ください、さらに5タラントを手に入れました』。21 主人は言いました。『よく頑張りました！ あなたは忠実なよい奴隷です。わずかなものに忠実でした。多くのものを管理させるためにあなたを任命しましょう。主人である私と共に喜びなさい』。22 次に、2タラントを受け取った人が進み出て、言いました。『ご主人さま、2タラントを委ねてくださいましたが、ご覧

第25章

(イ) ルカ 12:35
フィリ 2:15

(イ) ヨハ 3:28,29
啓 19:7

(イ) マタ 7:24,26

(イ) ルカ 12:35

(イ) 啓 19:9

(イ) ルカ 13:25,27

(イ) テサー 5:6
ペー 5:8

(イ) マタ 24:42,50
マル 13:33

第2欄

(イ) ルカ 19:12,13

(イ) ルカ 19:15

(イ) ルカ 19:16,17

(イ) ルカ 16:10

(イ) ヘブ 12:2

14 それはちょうど、外国へ旅行に出る際に、奴隷たちを呼び寄せて、自分の持ち物を委ねた男性のようです。15 その男性は、ある人には5タラント、別の人には2タラント、さらに別の人には1タラントと、各自の能力に応じて与えてから、外国へ行きました。16 5タラントを受け取った人はすぐに出掛け、それで商売をして、さらに5タラントを手に入

れました。17 2タラントを受け取った人も同じように、さらに2タラントを手に入

れました。18 しかし、ただ1タラントを受け取った奴隷は、出掛けていって地面を掘り、主人のお金を隠してお

きました。19 長い時がたち、主人が来て、預けたお金について奴隷たちに確認

しました。20 5タラントを受け取った人が進み出て、稼いだ5タラントを

差し出し、言いました。『ご主人さま、5タラントを委ねてくださいましたが、

ご覧ください、さらに5タラントを手に入

れました』。21 主人は言いました。『よく頑張りました！ あなたは忠実な

よい奴隷です。わずかなものに忠実で

した。多くのものを管理させるために

あなたを任命しましょう。主人である

私と共に喜びなさい』。22 次に、2

タラントを受け取った人が進み出て、

言いました。『ご主人さま、2タラントを委ねてくださいましたが、

ご覧

25:15 * 付録 B14 参照。 25:18 * 直訳、「銀」。

ださい、さらに2タラントを手に入れま
した。』**23** 主人は言いました。『よく
頑張りました！ あなたは忠実な良い
奴隷です。わずかなものに忠実でし
た。多くのものを管理させるためにあ
なたを任命しましょう。主人である私
と共に喜びなさい。』

24 最後に、1タラントを受け取った
奴隷が進み出て、言いました。『ご主人
さま、あなたが厳しい方で、まかなわ
なかった所で刈り取り、脱穀しなかった所で
集めることを知っていました。』**25** そ
れで怖くなり、行って、あなたの1タラン
トを地中に隠しておきました。さあ、お
返しいたします。』**26** 主人は答えま
した。『怠惰な悪い奴隷よ、私がまか
なかった所で刈り取り、脱穀しなかつ
た所で集めることを知っていたという
のですね。』**27** それならあなたは、私
のお金を銀行家に預けておくべきでし
た。そうすれば、私は来てすぐ、利息と
一緒に受け取れたでしょう。

28 さあ、この男からその1タラント
を取り上げて、10タラントを持って
いる人に与えなさい。』**29** 持ってい
る人は皆、さらに与えられて満ちあ
ふれます。しかし、持っていない人
は、持っているものまで取り上げられ
ます。』**30** 役に立たないこの奴隷を
外の闇に放り出さない。彼はそこで
泣き悲しんだり歯ぎしりしたりします。』

31 人の子は栄光を帯びて、全ての

第25章
(例) ルカ 19:18, 19

(例) ルカ 19:20-23

(例) ルカ 19:24-26

(例) マタ 13:12
マル 4:25
ルカ 8:18
ヨハ 15:2

(例) ダニ 7:13

第2欄

(例) マタ 16:27

(例) ヨハ 10:14

(例) マタ 25:41

(例) ヘブ 13:2
ヨシ 5

(例) ヤコ 2:15, 16

(例) テモニ 1:16

(例) マタ 10:42

(例) 格 19:17
マタ 10:40
マル 9:41
ヘブ 6:10

(例) マタ 7:23

天使と共に来ると、その時、栄光の座
に座ります。』**32** 全ての国の人々が
彼の前に集められ、人の子は、羊飼
いが羊をヤギから分けるように、人々を
分けます。』**33** そして羊を自分の右
に、ヤギを自分の左に置きます。

34 それから王は、右にいる人た
ちに言います。『さあ、私の父に祝福さ
れた人たち、世が始まって以来あな
たたちのために用意されている王国
を受けなさい。』**35** 私が飢えたと食
べ物を与え、喉が渇くと飲み物を与
えてくれたからです。よそから来ると
温かく迎え、**36** 裸でいると服を与
えてくれました。病気になると思話を
し、牢屋にいとと訪問してくれまし
た。』**37** その時、正しい人たちはこ
う答えます。『主よ、いつ、あなたが
飢えているのを見て食べ物を差し上
げ、喉が渇いているのを見て飲み物を
差し上げたでしょうか。』**38** いつ、よ
そから来たのを見て温かく迎え、裸な
のを見て服を差し上げたでしょうか。

39 いつ、病気であったり牢屋にいた
りするのを知って訪問しましたか。』
40 王は答えます。『実のところ、これ
ら私の兄弟のうち最も目立たない人
の1人にしたのは、それだけ私にした
のです。』

41 それから王は、左にいる人た
ちに言います。『災いを宣告された人た
ち、私から離れ、悪魔と邪悪な天使た

25:36 *または、「服が足りない」。

ちのために用意された永遠の火に入りなさい。42 私が飢えても食べ物を与えず、喉が渴いても飲み物を与えてくれなかったからです。43 よそから来ても温かく迎えず、裸でいても服を与えず、病気があったり牢屋にいたりしても世話をしてくれませんでした。』44 その時、その人たちもこう答えます。『主よ、いつ、あなたが飢え、喉が渴き、よそから来ており、裸であり、病気があり、牢屋にいるのを見て、仕えませんでしたか。』45 その時、王は答えます。『実のところ、これら最も目立たない人の1人にしなかったのは、それだけ私にしなかったのです。』46 この人たちは永遠の死を迎え、正しい人たちは永遠の命を受けます。』

26 さて、イエスはこれら全てを語り終えてから、弟子たちに言った。2「知っての通り、今から2日後に過ぎ越しの祭りが行われます。そして、人の子は引き渡され、杭に掛けられて死にます。』

3 その頃、祭司長と民の長老たちは、カヤファという大祭司の家の中庭に集まり、4 イエスをうまく捕らえて殺そうと相談した。5 しかし、「祭りの時はやめておこう。民の間に騒動が起きないようにするためだ」と言っていた。

25:46 *直訳、「切断」。26:2 *イエスのこと。用語集参照。26:4 *または、「計略によって」。

第25章
[マ] マタ 18:8,9

[イ] 啓 12:9
啓 20:10

[ヨ] ゼカ 2:8
使徒 9:4,5

[ロ] ペニ 2:9

[ヨ] ロマ 2:6,7

第26章

[ヨ] 出 12:14
マル 14:1,2
ルカ 22:1,2
ヨハ 13:1

[マ] マタ 16:21
マタ 20:18,19
マタ 27:26
マル 15:15
ヨハ 19:16

[ヨ] マタ 26:57
ルカ 3:2
ヨハ 11:49
ヨハ 18:13,24

[ヨ] 詩 2:2

第2欄

[イ] マル 14:3-9
ヨハ 12:1-8

[イ] 申 15:11

[ヨ] マル 14:7

[ロ] マル 14:8
ヨハ 12:7

[ヨ] マル 14:9

[ヨ] マタ 10:2,4
ヨハ 13:2

[マ] マル 14:10,11
ルカ 22:3-6

[ヨ] ヨハ 11:57

[ヨ] 出 21:32
ゼカ 11:12
マタ 27:3

[ヨ] 出 12:18
出 23:15
ルカ 22:1

[ヨ] マル 14:12-16
ルカ 22:7-13

6 イエスがベタニヤで、重い皮膚病だったシモンの家にいた時に、7 白い石のつばに入った高価な香油を持った女性が近づき、食事をしていたイエスの頭に注ぎ始めた。8 これを見た弟子たちは、憤って言った。「もったいないではないか。9 これなら高く売れて、貧しい人たちに施しをすることができたのに」。10 イエスはこれに気付いて弟子たちに言った。「なぜこの女性を困らせようとするのですか。私に立派なことをしてくれたのです。11 貧しい人たちはずっといますが、私はずっといるわけではありません。12 この女性がこの香油を私の体につけたのは、私が葬られる時のための準備です。13 はっきり言いますが、世界中どこでも良い知らせが伝えられる所では、この女性がしたことも語られ、思い起こされます。』

14 その時、12人の1人でユダ・イスカリオテという人が、祭司長たちの所に行き、15 こう言った。「イエスを裏切って渡したら、何をくれますか」。祭司長たちは銀30枚を与えることにした。16 それ以降、ユダは裏切る良い機会をうかがい続けた。』

17 無酵パンの祭りの最初の日、弟子たちがイエスの所に来て、言った。「過ぎ越しの食事をどこに準備したらいいでしょうか」。18 イエスは言った。「町の中の誰その所に行き、こ

26:7 *直訳、「雪花石こう」。

う言いなさい。『先生が、私の時が近づきました。あなたの家で弟子たちと過ぎ越しを祝います』と言っていきます。』**19** それで弟子たちはイエスの指示通りに行い、過ぎ越しの準備をした。

20 夕方になった時、イエスは12弟子と食卓に着いていた。**21** 食事中に、イエスは言った。「はっきり言いますが、あなたたちの1人が私を裏切ります」。 **22** 弟子たちは非常に悲しみ、それぞれが「主よ、まさか私ではありませんね」と言い始めた。

23 イエスは答えた。「私と一緒にパンを鉢に浸す人が、私を裏切る人です。」

24 もちろん人の子は書かれていた通り去っていきますが、人の子を裏切るその人には災いがあります！ 生まれてこなかった方がよかったでしょう。

25 裏切ろうとしていたユダが言った。「ラビ、まさか私ではありませんね」。イエスは言った。「あなたは分かっています」。

26 食事中に、イエスはパンを取り、祈ってから、それを割って弟子たちに渡し、言った。「取って、食べなさい。これは私の体を表しています」。 **27** また、杯を取り、感謝の祈りをしてから、それを渡して言った。「皆、杯から飲みなさい。 **28** これは私の『契約の血』を表しており、それは罪の許しの

26:18 *または、「定めの時」。 **26:20** *直訳、「で横になって」。

第26章

【申 16:6

【イ マル 14:17-21
ルカ 22:14

【ロ ルカ 22:21-23
ヨハ 6:70
ヨハ 13:21, 22

【コ 詩 41:9

マル 14:20
ルカ 22:21
ヨハ 13:26

【ヨ 申 27:25

ルカ 22:22
ヨハ 17:12

【イ マル 14:21

【キ コー 10:16

【ロ マル 14:22
ルカ 22:19
コー 11:23-26

【イ マル 14:23
ルカ 22:20

【コ 出 24:8
エレ 31:31
コー 10:16
ヘブ 7:22

第2欄

【イ エフ 1:7
ヘブ 9:20, 22

【イ マタ 20:28
マル 14:24

【ロ マル 14:25
ルカ 22:18

【コ ルカ 22:39
ヨハ 18:1

【ヨ ゼカ 13:7
マル 14:27, 28
ヨハ 16:32

【イ マタ 28:7
マタ 28:16

【キ マル 14:29-31

【ロ マル 14:30
ルカ 22:34
ヨハ 13:38

【ロ ルカ 22:33

【コ ヨハ 18:1

【ヨ マル 14:32-36
ルカ 22:40

【イ イザ 53:3

ため、多くの人のために注ぎ出されることになっています。**29** しかしあなたたちに言いますが、私は今後、天の父の王国であなたたちと共に新しいものを飲むその日まで、ブドウからできたものを決して飲みません」。 **30** 最後に、皆で賛美の歌を歌ってから、オリブ山に出ていった。

31 それからイエスは言った。「今夜、あなたたちは皆、私を見捨てます。『私は牧者を打つ。すると、群れの羊は散り散りになる』と書いてあるからです。**32** しかし私は、生き返らされた後、先にガリラヤに行きます」。 **33** それに対してペテロは言った。「ほかのみんながあなたを見捨てても、私は決して見捨てません！」 **34** イエスは言った。「はっきり言いますが、今夜、おんどりが鳴く前に、あなたは3度、私を知らないと言います」。 **35** ペテロは言った。「たとえ一緒に死ぬことになるとしても、あなたを知らないとは決して言いません」。ほかの弟子も皆、同じことを言った。

36 それから、イエスは弟子たちと一緒にゲッセマネという所に来て、言った。「私が向こうに行って祈りをする間、ここに座っていなさい」。 **37** そして、ペテロおよびゼベダイの2人の子を連れていったが、深く悲しみ、ひどく苦悩し始めた。 **38** それから3

26:30 *または、「詩編」。 **26:33** *直訳、「つまり」。

人に言った。「私は悲しみのあまり、死んでしまいそうです。ここにとどまて、私と共にずっと見張っていなさい」。

39 そして少し進んでいき、ひれ伏して祈った。「父よ、もしできることでしたら、この杯を私から取り去ってください。それでも、私が望む通りにではなく、あなたが望まれる通りになりますように」。

40 イエスは3人の弟子たちの所に戻り、眠っているのを見て、ペテロに言った。「私と共に1時間見張っていることもできなかったのですか」。

41 ずっと見張っていて絶えず祈り、誘惑に負けないようにしていなさい。もっとも、心は強く願っていても、肉体は弱いのです」。

42 イエスは、また2度目に離れていき、祈った。「父よ、私が飲まずに済むようこの杯が取り去られることはないのでしょうか。ただ、あなたの望まれることが行われますように」。

43 再び戻ると、3人は眠っていた。まぶたが重くなっていたのである。**44** それで3人を残してまた離れていき、3度目の祈りをして、もう一度同じことを語った。**45** それから弟子たちの所に戻って、言った。「このような時に、あなたたちは眠って休んでいます！ さあ、人の子が裏切られて罪人たちに引き渡される時が近づきました。**46** 立ちなさい。行きましょう。見なさい、私を裏切る人が近づいてき

第26章

〔マ〕マル 14:34

〔イ〕ヘブ 5:7

〔マ〕マタ 20:22
ヨハ 18:11〔マ〕マル 14:36
ルカ 22:42
ヨハ 5:30
ヨハ 6:38
ヘブ 10:9〔マ〕マル 14:37-42
ルカ 22:45〔マ〕マル 13:33
ペー 5:8
啓 16:15〔マ〕ルカ 18:1
ロマ 12:12
エフ 6:18
ペー 4:7〔マ〕マタ 6:13
ルカ 22:46〔マ〕マル 14:38
ロマ 7:23〔マ〕マタ 6:10
ヨハ 12:27

第2欄

〔マ〕マル 14:43-47
ルカ 22:47-51
ヨハ 18:3

〔イ〕詩 41:9

〔マ〕マル 14:47
ルカ 22:50
ヨハ 18:10

〔マ〕ヨハ 18:11

〔マ〕創 9:6

〔マ〕王二 6:17
ダニ 7:10
マタ 4:11〔マ〕ルカ 19:47
ヨハ 18:20〔マ〕マル 14:48,49
ルカ 22:52,53

ました」。**47** イエスがまだ話しているうちに、12人の1人であるユダが来た。祭司長と民の長老たちに遣わされた大勢の人も、剣やこん棒を持って一緒に来た。

48 さて、イエスを裏切る者は前もって合図を決め、「私が口づけするのがその人だ。捕まえろ」と言っていた。**49** それで、真つすやイエスの所に行き、「こんばんは、ラビ」と言って、優しく口づけした。**50** しかしイエスは、「何のためにここにいるのですか」と言った。その時、人々が進み出、イエスを捕らえて拘束した。**51** ところが、イエスと一緒にいた1人が、剣をつかんで抜き、大祭司の奴隷に襲い掛かって耳を切り落とした。**52** その時、イエスは言った。「その剣をさやにさして、おきなさい。剣を取る人は皆、剣で滅びます」。

53 それとも、私が天の父に訴えてこの瞬間に12軍団以上の天使を送っていただくことができないと思うのですか。**54** そのようにしたなら、必ずこうなると述べる聖書の言葉はどうして実現するでしょうか」。**55** この時、イエスは人々に言った。「強盗にたいするようにつるぎやこん棒を持って私を捕らえに来たのですか。私は毎日神殿で座って教えていたのに、あなた方は私を捕まえませんでした」。**56** しかし、この全ては、預言者たちの記したことが実現するために起きたので

す」。その時、弟子たちは皆イエスを見捨てて逃げていった。

57 イエスを捕らえた人たちは、大祭司カヤファの所に引いていった。そこに律法学者と長老たちが集まっていた。**58** ペテロは、かなり離れてイエスに付いていき、大祭司の家の中庭まで来た。中に入った後、成り行きを見ようとしてその家の従者たちと一緒に座った。

59 一方、祭司長たちとサンヘドリン全体は、イエスを死刑にするため、イエスに不利な偽証を探していた。

60 しかし、偽の証人がおお勢に進み出たにもかかわらず、何も見つからなかった。後に2人の人が進み出て、

61 言った。「この者は、『神の神殿を壊して3日で建て直せる』と言いました」。**62** すると、大祭司が立ち上がった。イエスに言った。「何も答えないのか。この人たちがあなたに不利な証言をしているが、どうなのか」。

63 しかし、イエスが黙ったままなので、大祭司は言った。「生きている神に懸けて誓って言え、あなたは神の子キリストなのか」。**64** イエスは言った。「その通りです。実際、今後あなた方は、人の子が強力な方の右に座り、また天の雲に乗って来るのを見ます」。**65** すると、大祭司は外衣を引き裂いて言った。「この者は冒瀆し

第26章

(マ) 詩 22:16-18
イザ 53
ダニ 9:26

(イ) ゼカ 13:7
マル 14:50
ヨハ 16:32

(マ) ヨハ 18:13

(マ) マル 14:53, 54
ルカ 22:54, 55

(マ) ヨハ 18:16

(マ) マル 14:55-59

(マ) 詩 27:12
詩 35:11

(マ) マタ 27:39, 40
ヨハ 2:19
使徒 6:14

(マ) マル 14:60-65

(マ) イザ 53:7
使徒 8:32

(マ) ルカ 22:67-71

(シ) ダニ 7:13
ヨハ 1:51

(マ) 詩 110:1
ルカ 22:69

(マ) マル 14:62
啓 1:7

第2欄

(マ) レビ 24:16
ヨハ 19:7

(イ) イザ 50:6

(マ) ルカ 22:63, 64

(マ) イザ 53:3

(マ) マル 14:66-72
ルカ 22:54-62
ヨハ 18:15-17

(マ) ヨハ 18:25-27

(マ) マタ 26:34
マル 14:30
ヨハ 13:38

た！これ以上、証人が必要でしょうか。皆さんは今、冒瀆の言葉を聞きました。**66** どう思いますか」。「この者は死に値する」と人々は答えた。**67** それからイエスの顔に唾を掛け、こぶしで殴った。ある人たちは顔を平手打ちして、**68** 言った。「キリストよ、預言者ならわれわれに言ってみろ。おまえを打ったのは誰か」。

69 さて、ペテロが外で中庭に座っていると、召し使いの女性がやって来て、「あなたも、ガリラヤ人のイエスと一緒にいました！」と言った。**70** しかしペテロは皆の前でそれを否定し、「何の何を話しているのか、分からない」と言った。**71** ペテロが門の方に出ていくと、別の女性が気づき、そこにいる人たちに、「この人はナザレ人のイエスと一緒にいました」と言った。

72 ペテロは再びそれを否定し、「そんな人は知らない！」と誓って言った。

73 しばらくして、周りに立っていた人たちが寄ってきて、ペテロに言った。「確かにあなたも彼らの仲間だ。なまりではつきり分かる」。**74** その時ペテロは、「そんな人は知らない！」と言いい、うそなら神罰を受けてもいいと誓い始めた。するとすぐに、おんどりが鳴いた。**75** ペテロは、「おんどりが鳴く前に、あなたは3度、私を知らないと言います」とイエスから言われたこと

26:59 *用語集参照。 26:64 *直訳、「あなた自身が言いました」。肯定を意味する慣用表現。

26:73 *または、「方言」。

おも ^だを思い出した。そして、^{そと}外に出で^{はげ}激しく泣いた。

27 朝になった時、祭司長と民の長老たち全員は、イエスを死刑にしようと協議した。**2** そして、イエスを縛ってから引いていき、総督ピラトに引き渡した。

3 その時、裏切り者のユダは、イエスが有罪とされたのを見て後悔し、銀30枚を祭司長と長老たちに返して、

4 「私は無実の人を裏切って罪を犯した」と言った。その人たちは、「私たちが知ったことではない。あなたが始末すべきことだ!」と言った。**5** ユダは銀を神殿に投げ込み、去って首をつって死んだ。**6** しかし祭司長たちはその銀を取り、「これを聖なる宝物庫に入れることは許されない。血の代価だからだ」と言った。**7** 協議した後、そのお金で陶芸家の土地を買って、見知らぬ人たちの墓地とした。

8 それで、その土地は今日まで、血の土地と呼ばれている。**9** この時、預言者エレミヤを通して語られた次の言葉が実現した。「彼らはその人の代価、銀30枚を取った。イスラエル人はその人の代価をそのように定めた。**10** そして、エホバが私に命令したところに従い、陶芸家の土地のためにそれを与えた」。

11 イエスは総督の前に立った。総督は一言も答へなかった。**12** しかし、祭司長と長老たちから訴えられている間、何も答へなかった。**13** そこでピラトは言った。「この人たちがあなたに不利な証言をこんなに多く行っているのが、聞こえないのか」。**14** それでも、イエスは一言も答へなかった。そのため総督はとても驚いた。

11 イエスは総督の前に立った。総

27:4 *直訳、「血」。[#]または、「それはあなたの問題だ」。**27:10** *付録A5参照。

第27章

(マ) マル 15:1
ルカ 22:66

(イ) 詩 2:2
マタ 20:18, 19
ルカ 23:1
ヨハ 18:28
使徒 3:13

(マ) マタ 26:14, 15
マル 14:10, 11

(マ) 使徒 1:16, 18

(マ) 使徒 1:19

(マ) ゼカ 11:12, 13

第2欄

(マ) マル 15:2-5
ルカ 23:3
ヨハ 18:33, 37

(イ) イザ 53:7
マタ 26:63
ヨハ 19:9

(マ) マル 15:6-10
ヨハ 18:39

(マ) ルカ 23:18
ヨハ 18:40
使徒 3:14

(マ) マル 15:11-14

督が、「あなたはユダヤ人の王なのか」と質問すると、イエスは、「その通りです」と答えた。**12** しかし、祭司長と長老たちから訴えられている間、何も答へなかった。**13** そこでピラトは言った。「この人たちがあなたに不利な証言をこんなに多く行っているのが、聞こえないのか」。**14** それでも、イエスは一言も答へなかった。そのため総督はとても驚いた。

15 さて、祭りのたびに、群衆が望む囚人1人を釈放するのが総督の習慣だった。**16** ちょうどその時、バラバという悪名高い囚人がいた。

17 人々が集まった時、ピラトは言った。「どちらの人を釈放してほしいのか。バラバか、それともキリストといわれるイエスカ」。**18** イエスを引き渡したのがねたみのためであることに気付いていたのである。**19** さらに、ピラトが裁きの座に座っている間に、妻から伝言が届いた。「その無実の人に関わらないでください。私は今日、その人のことで夢の中でとても苦しんだのです」。**20** しかし祭司長と長老たちは、バラバの釈放を求めてイエスの方は死刑にさせるよう、群衆を説き伏せた。**21** そこで総督は言った。「2人のうちどちらを釈放してほしいのか」。群衆は、「バラバを」と言った。**22** ピラトは言った。「では、キリ

27:11 *直訳、「あなた自身が言っています」。肯定を意味する慣用表現。

ストといわれるイエスの方はどうしたらよいか。群衆は皆、「杭に掛けろ!」と言った。23 ピラトは言った。「この人がどんな悪事をしたというのか」。それでも群衆は、「杭に掛けろ!」とますます激しく叫び続けた。

24 ピラトは、何にしても無駄で、むしろ騒動が起きそうなを見て、群衆の前で水で手を洗い、「この人の血について私は潔白だ。あなた方自身が責任を負わなければならない」と言った。25 民は皆、「彼の血についてはわれわれと子供たちが責任を負ってもよい」と答えた。26 そこでピラトはバラバを釈放し、イエスの方は、むちで打たせ、杭に掛けて処刑するために引き渡した。

27 それから、総督の兵士たちはイエスを総督の邸宅内に連れていき、全部隊をイエスの周りに集めた。28 そして、イエスの服を剥ぎ取って緋色の衣をまとわせ、29 いばらで冠を編んでかぶらせ、アシを右手に持たせた。そしてイエスの前にひざまずき、あざけて、「ごあいさつ申し上げます、ユダヤ人の王よ!」と言った。30 それから唾を掛け、そのアシを取って頭をたたき始めた。31 最後に、あざけてから、緋色の衣を剥ぎ取って本人の外衣を着せ、杭にくぎ付けにするために引いていった。

27:22 *または、「杭に掛けて処刑しろ」。27:28 *または、「赤い」。27:29 *または、「万歳」。

第27章
(㉔) ルカ 23:21
(㉔) ルカ 23:23
使徒 3:13
(㉔) 使徒 5:27,28
テサ一 2:14,15
(㉔) ルカ 18:33
ヨハ 19:1
(㉔) マル 15:15
ルカ 23:25
(㉔) マル 15:16-20
(㉔) ヨハ 19:2,3
(㉔) イザ 50:6
マタ 26:67
(㉔) イザ 53:7
マタ 20:18,19

第2欄
(㉔) マル 15:21
ルカ 23:26
(㉔) マル 15:22-24
ルカ 23:33
ヨハ 19:17
(㉔) 詩 69:21
(㉔) 詩 22:18
マル 15:24
ルカ 23:34
ヨハ 19:23,24
(㉔) マル 15:26
ルカ 23:38
ヨハ 19:19
(㉔) イザ 53:12
マル 15:27
ルカ 23:33
ヨハ 19:18
(㉔) ルカ 18:32
ヘブ 12:3
(㉔) 詩 22:7
詩 109:25
(㉔) マタ 26:60,61
ヨハ 2:19
(㉔) マル 15:29-32
(㉔) ルカ 23:35
(㉔) ヨハ 1:49
ヨハ 12:13
(㉔) 詩 22:8
(㉔) マル 14:62
ヨハ 5:18
ヨハ 10:36

32 兵士たちは出ていく時に、シモンという名前のキレネの男性を見つけ、イエスの苦しみの杭を強制的に運ばせた。33 ゴルゴタすなわち「どくろの場所」と呼ばれる所に来た時、34 胆汁を混ぜたぶどう酒をイエスに飲ませようとしたが、イエスはその味を見た後、飲もうとはしなかった。35 兵士たちは、イエスを杭にくぎ付けにしてから、くじを引いてイエスの外衣を分配し、36 そこに座ってイエスを見張っていた。37 また、「これはユダヤ人の王イエス」と罪状を書き、頭上に掲げた。

38 この時、2人の強盗がイエスの左右に1人ずつ、杭に掛けられた。39 そばを通る人たちはイエスについて暴言を吐き、頭を振って40 こう言った。「神殿を壊して3日で建てる者よ、自分を救ってみろ! 神の子なら、苦しみの杭から下りてこい!」41 同じように祭司長たちも、律法学者や長老たちと一緒にあってあざけりだし、こう言った。42 「ほかの人は救ったが、自分は救えないのだ! 彼はイスラエルの王だ。今、苦しみの杭から下りてきてもらおうではないか。そうすれば信じてやろう。43 彼は神に頼ったのだ。神に気に入られているのなら、いま救い出してもらえばいい。『私は神の子だ』と言ったのだ。44 —

27:32 *用語集参照。27:34 *苦い液。

いし ふういん けい び たい お はか
石に封印をし、警備隊を置いて、墓を
けい び
警備した。

28 安息日の後、週の最初の日
あ ころ
が明ける頃、マリア・マグダレ
ネともう1人のマリアが墓を見に来た。

2 大きな地震が起きた後だった。
* てん し であと くだ
エホバの天使が天から下ってきて
いし ころ
石を転がしてどけたのである。そし
いし うえ すわ い すがた いなすま
て石の上に座っていた。**3** 姿は稲妻
いふく ゆき しろ
のようで、衣服は雪のように白かった。

4 見張りの人たちは、天使に対する恐
れのために、震えて死人のようになっ
ていた。

5 しかし天使は女性たちに言った。
「恐れることはありません。杭に掛けら
れて死んだイエスを捜していることは
分かっています。**6** イエスはここに
はいません。彼が言った通り、生き返
りました。さあ、横たわっていた場所
を見なさい。**7** それから急いで行っ
て、イエスが生き返ったことを弟子た
ちに告げなさい。彼は先にガリラヤに
行っています。そこで会えます。では、
伝えましたよ」。

8 それで、女性たちは急いで墓を
さ おそ おお ようこ いだ
去り、恐れと大きな喜びを抱きつつ、
弟子たちに報告するために走った。

9 すると何と、イエスが現れ、「おはよ
う」と言った。女性たちは近づいてイ
エスの足をつかみ、敬意を表した。

10 その時、イエスは言った。「恐れる

28:2 *付録A5参照。28:8 *または、「記念の
墓」。28:9, 17 *または、「ひざまずいた」。

第28章

㉑ マル 16:1
ルカ 24:1
ルカ 24:10
ヨハ 20:1

㉒ マル 16:4,5
ルカ 24:2,4

㉓ 使徒 1:10

㉔ マル 16:6

㉕ マタ 16:21
マタ 17:22,23
コリ 15:3,4

㉖ マタ 26:32
マタ 28:16
マル 14:28

㉗ マル 16:7

㉘ マル 16:8
ルカ 24:9

第2欄

㉙ マタ 27:65

㉚ マタ 27:64

㉛ マタ 26:32

㉜ コー 15:6

㉝ エフ 1:20,21
フィリ 2:9

㉞ 使徒 1:8
ロマ 10:18
ロマ 11:13
啓 14:6

㉟ 使徒 2:38
使徒 8:12

㊱ 使徒 20:20
コー 11:23
ペコ 3:1,2
ヨハ 3:23

㊲ マタ 13:39
マタ 13:49
マタ 24:3

ことはありません！ 行って、私の兄弟
たちに報告しなさい。そうすれば彼
らはガリラヤに行き、そこで私に会え
ます」。

11 女性たちが向かっている間に、
警備隊の何人かが町に入り、起きた
こと全てを祭司長たちに報告した。

12 祭司長たちは、長老たちと集まっ
て協議した後、かなりの枚数の銀を
兵士たちに与えて、**13** こう言った。

「夜中に彼の弟子たちが来て、私たち
が眠っている間に死体を盗んだ」と言
え。**14** もしこれが総督の耳に入っ
たら、私たちが説明するから、心配し
なくてよい」。**15** 兵士たちは銀を受
け取り、指示された通りにした。それ
で、この話が今日までユダヤ人の間に
広まっている。

16 ところで、11人の弟子はガリラヤ
に向かい、イエスが会うために指定し
ていた山に行った。**17** 弟子たちは
イエスを見ると、敬意を表したが、ある
人たちは疑った。**18** イエスは近づ
いて、こう話した。「私には天と地にお
ける全ての権威が与えられています」。

19 それで、行って、全ての国の人々を
弟子としなさい。父と子と聖なる力の
名によってバプテスマを施し、**20** 私
が命じた事柄全てを守るように教え
なさい。私は体制の終結までいつの
日もあなたたちと共にいるのです」。

28:19 *用語集参照。*または、「権威」。28:
20 *または、「時代」。用語集参照。

マルコによる福音書

概要

- 1 バプテスマを施す人ヨハネが伝道する (1-8)
イエスのバプテスマ (9-11)
イエスはサタンから誘惑を受ける (12, 13)
イエスはガリラヤで伝道を開始する (14, 15)
最初の弟子たちが呼ばれる (16-20)
邪悪な天使が追い出される (21-28)
イエスはカペルナウムで大勢の人を癒やす (29-34)
静かな場所で祈る (35-39)
重い皮膚病の人が癒やされる (40-45)
- 2 イエスは、まひした人を癒やす (1-12)
イエスはレビを招く (13-17)
断食に関する質問 (18-22)
イエスは「安息日の主」 (23-28)
- 3 片手がまひした男性が癒やされる (1-6)
非常に大勢の人が岸辺に来る (7-12)
12使徒 (13-19)
聖なる力に対する冒瀆 (20-30)
イエスの母親と弟たち (31-35)
- 4 王国に関する例え (1-34)
種をまく人 (1-9)
イエスが例えを使った理由 (10-12)
種をまく人の例えの説明 (13-20)
ランプを籠で覆わない (21-23)
自分が使うのと同じはかり (24, 25)
種をまく人が眠る (26-29)
からしの種 (30-32)
例えを使う (33, 34)
イエスは嵐を静める (35-41)
- 5 イエスは邪悪な天使たちを豚の中に送り込む (1-20)
ヤイロの娘。イエスの外衣に触った女性 (21-43)
- 6 イエスは郷里で受け入れられない (1-6)
12人が奉仕の指示を受ける (7-13)
バプテスマを施す人ヨハネの死 (14-29)
イエスは5000人に食事をさせる (30-44)
イエスは水の上を歩く (45-52)
ゲネサレでの癒やし (53-56)
- 7 人間の伝統の偽善が暴かれる (1-13)
汚れは心から出てくる (14-23)
シリアのフェニキアの女性の信仰 (24-30)
耳が聞こえない人が癒やされる (31-37)
- 8 イエスは4000人に食事をさせる (1-9)
しるしを求める人たち (10-13)
パリサイ派とヘロデのパン種 (14-21)
ベツサイダで目が見えない男性が癒やされる (22-26)
ペテロはイエスがキリストだと認める (27-30)
イエスは自分の死を予告する (31-33)
真の弟子とは (34-38)
- 9 イエスの姿が変わる (1-13)
邪悪な天使に取りつかれた少年が癒やされる (14-29)
信仰がある人には全てのことが可能 (23)
イエスは再び自分の死を予告する (30-32)
弟子たちは誰が偉いかと言い合う (33-37)
反対していない人は味方している (38-41)
信仰を妨げるもの (42-48)
「自分の内に塩を持ちなさい」 (49, 50)
- 10 結婚と離婚 (1-12)
イエスは子供たちに祝福があるよう願う (13-16)
裕福な人の質問 (17-25)
王国のための犠牲 (26-31)
イエスは再び自分の死を予告する (32-34)
ヤコブとヨハネのお願い (35-45)
イエスは多くの人のための贖い (45)
目が見えないバルテマイが癒やされる (46-52)
- 11 イエスはエルサレムに入る (1-11)
イチジクの木に災いが宣告される (12-14)
イエスは神殿を清める (15-18)
枯れたイチジクの木の教訓 (19-26)
イエスの権威に異議が唱えられる (27-33)
- 12 残忍な耕作者人たちの例え (1-12)
神とカエサル (13-17)
復活に関する質問 (18-27)
最も重要な2つのおきて (28-34)
キリストはダビデの子か (35-37前半)
律法学者たちに関する警告 (37後半-40)

貧しいやもめの2枚の硬貨 (41-44)

13 体制の終結 (1-37)

戦争, 地震, 食糧不足 (8)
 良い知らせが伝えられる (10)
 大患難 (19)
 人の子が来る (26)
 イチジクの木の場合 (28-31)
 ずっと見張っていない (32-37)

14 祭司たちはイエスを殺そうとたくらむ (1, 2)

イエスに香油が注がれる (3-9)
 ユダがイエスを裏切る (10, 11)
 最後の過ぎ越し (12-21)

主の晩餐の制定 (22-26)

ペテロの否認が予告される (27-31)

イエスはゲッセマネで祈る (32-42)

イエスは捕らえられる (43-52)

サンヘドリンでの裁判 (53-65)

ペテロはイエスとの関係を否定する (66-72)

15 イエスはピラトの前に立つ (1-15)

人前であざけられる (16-20)

ゴルゴタで杭にくぎ付けにされる (21-32)

イエスの死 (33-41)

イエスは葬られる (42-47)

16 イエスは復活する (1-8)

1 神の子イエス・キリストについて
 の良い知らせの始まり。 **2** 預

言者イザヤの書にこう書かれている
 通りである。「(私はあなたの前に使
 者を遣わす。その使者はあなたの
 道を整える。)」 **3** 荒野で叫ぶ声が

する。『エホバの道を整えよ。その道
 路を真つぐにせよ』。 **4** この言葉
 の通り、バプテスマを施す人ヨハネが
 荒野で、罪の許しのための悔い改めを
 象徴するバプテスマについて伝道し

た。 **5** ユダヤ全域の人々とエルサ
 レムの全住民がヨハネの所に来て、自
 分の罪を正直に告白し、ヨルダン川で
 ヨハネからバプテスマを受けていた。

6 ヨハネはラクダの毛の服を着て、腰
 に革の帯を締め、バッタと野生の蜂蜜
 を食べていた。 **7** そして、伝道して
 こう言っていた。「私より強い方が後

第1章

(マ) マタ 3:1

マタ 3:1,3

マタ 11:10

ルカ 3:2-6

ルカ 7:27

(イ) イザ 40:3

ヨハ 1:23

(マ) マタ 3:1,2

使徒 13:24

使徒 19:4

(マ) マタ 3:5,6

(マ) マタ 1:8

(マ) マタ 3:4

第2欄

(マ) ルカ 3:16

ヨハ 1:26,27

使徒 13:25

(イ) ヨエ 2:28

使徒 2:1,4

使徒 11:16

コリ 12:13

(マ) マタ 3:13

ルカ 3:21,22

(イ) イザ 42:1

マタ 3:16

ヨハ 1:32-34

(マ) 詩 2:7

マタ 3:17

ルカ 3:22

ペテ 1:17

(マ) マタ 4:1-10

ルカ 4:1-13

(イ) マタ 4:11

から来ます。私はその方のサンダルの
 のみをほどもにも値しません。 **8** 私
 は水でバプテスマを施しましたが、そ
 の方は聖なる力でバプテスマを施し
 ます。

9 その頃、イエスがガリラヤのナザ
 レから来て、ヨルダン川でヨハネから
 バプテスマを受けた。 **10** イエスは
 水から上がるとすぐ、天が分かれて聖
 なる力がハトのように自分の上に下っ
 てくるのを見た。 **11** そして天から声
 があつた。「あなたは私の愛する子、
 私はあなたのことを喜んでゐる」。

12 それからすぐ、聖なる力がイ
 エスを駆り立てて荒野に行かせた。

13 イエスは40日間荒野にいて、サタ
 ンから誘惑を受けた。そこには野獣
 もいた。天使たちがイエスに仕えて
 いた。

1:8 *マタ 3:11の脚注参照。 **1:11** *または、
 「を是認した」。

1:3 *付録 A5参照。 **1:4,8** *用語集参照。 **1:**
5 *または、「によって浸された」、「から浸礼を受
 けていた」。

14 ヨハネが捕らえられた後、イエスはガリラヤに行き、神の良い知らせを伝えて、15 こう言った。「定められた時が来て、神の王国は近づきました。悔い改めて、良い知らせに信仰を持ちなさい」。

16 イエスがガリラヤ湖の岸辺を歩いていると、シモンとその兄弟アンデレが湖に網を投げていた。2人は漁師だった。17 イエスは言った。「私に付いてきなさい。魚ではなく人を集める漁師にしてあげましょう」。

18 2人は直ちに網を捨てて後に従った。19 イエスは少し歩いていき、ゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネが舟の中で網の手入れをしているの目にして、20 すぐに2人を呼んだ。2人は、父親のゼベダイと雇われ人たちを舟に残してイエスの後に付いていった。21 一行はカペルナウムに入った。

イエスは、安息日になるとすぐ、会堂に入って教え始めた。22 人々はその教え方に変々驚いた。イエスは、律法学者たちのようではなく、権威を授かった人のように教えていたからである。23 ちょうどその時、邪悪な天使に取りつかれた男性が会堂にいて、大声でこう言った。24 「ナザレ人イエス、何をしに来たのですか。私たちを滅ぼすのですか。あなたが誰かはよく分かっています。神の聖なる方

第1章

(マ) マタ 4:12

(ル) ルカ 4:14,15
ルカ 8:1

(マ) マタ 4:17

(マ) マタ 10:2

(マ) ルカ 5:4

(マ) マタ 4:18

(マ) マタ 4:19,20

(マ) マタ 19:27
ルカ 5:11

(マ) マタ 4:21,22

(マ) ルカ 4:31-37

(マ) マタ 7:28,29

(マ) マタ 8:28,29

第2欄

(マ) ヤコ 2:19

(マ) マタ 8:14,15
ルカ 4:38,39

(マ) コー 9:5

(マ) マタ 8:16
ルカ 4:40,41

(マ) イザ 53:4

です」。25 しかしイエスは、「黙りなさい。その人から出なさい!」と叱りつけた。26 すると邪悪な天使は、その男性にけいれんを起こさせ、力の限りわめいてから、出ていった。27 人々は皆、非常に驚き、口々にこう言った。「どういふことだ。新しい教えだ! 邪悪な天使たちにさえ権威をもって命じ、それらは従うのだ」。28 こうしてイエスの評判は、すぐにガリラヤ全域の至る所に広まった。

29 一行は会堂を出て、シモンとアンデレの家に行った。ヤコブとヨハネも一緒だった。30 シモンのしゅうとめが熱病で寝ていて、そのことがすぐにイエスに伝えられた。31 イエスは彼女の所に行き、その手を取って起こした。しゅうとめは熱が引き、皆をもてなし始めた。

32 夕方になり、日が沈むと、人々は病気の人や邪悪な天使に取りつかれた人を残らずイエスのもとに連れてくるようになった。33 町中の人々が戸口の前に集まった。34 イエスはさまざまな病気の人を大勢治し、多くの邪悪な天使を追い出した。邪悪な天使たちには話をさせなかった。彼らがイエスはキリストだと知っていたからである。

35 朝早くまだ暗いうちに、イエスは起きて外に出、静かな場所へ行った。

1:31 *または、「に仕え」。1:34 *もしかすると、「彼らはイエスが誰かを」。

て、祈りを始めた。36 ところが、シモンたちが追ってきて 37 イエスを見つ、「みんなが捜しています」と言った。38 しかしイエスは言った。「どこかほかの所、近くの町に行きましよう。そこで传道するからです。私はそのために来たからです」。39 イエスは進んでいき、ガリラヤ中の会堂で伝道し、邪悪な天使たちを追い出した。

40 また、重い皮膚病の男性がイエスの所に来て、ひざまずいて嘆願し、「あなたは、お望みになるだけで、私を癒やすことができます」と言った。

41 イエスはかわいそうに思い、手を伸ばして男性に触り、「そう望みます。良くなりなさい」と言った。42 すぐに病気は消え、男性は良くなった。

43 イエスは次のように嚴重に命じて直ちにその男性を去らせた。44 「誰にも何も言わないようにしなさい。ただ自分を祭司に見せに行き、モーセが指示した物を捧げなさい。癒やされた証拠としてです」。45 しかし、男性は去ってから、起きたことを大いに語り、広め始めた。そのためイエスは、町に入れば人目につくので、町の外の静かな場所にとどまっていた。それでも、人々があちらこちから絶えずやって来た。

2 しかし、何日か後、イエスは再びカペルナウムに入り、家にいることが知れ渡った。2 そして、大勢の

第1章

(マ) マタ 14:23
マル 14:32
ルカ 4:42
ヘブ 5:7

(イ) イザ 61:1
ルカ 4:43
ヨハ 17:4

(マ) マタ 4:23

(マ) マタ 8:1,2
ルカ 5:12

(マ) マタ 8:3
ルカ 5:13

(マ) レビ 14:3,4
レビ 14:10,11
申 24:8

(マ) マタ 8:4
ルカ 5:14

(マ) ルカ 5:15

第2章

(マ) マタ 4:13
マタ 9:1

第2欄

(イ) イザ 61:1
エフ 2:17
ヘブ 2:3

(イ) ルカ 5:18,19

(マ) 使徒 14:9,10

(イ) イザ 53:11
マタ 9:2
ルカ 5:20
ルカ 7:47,48

(マ) マタ 9:3-8
ルカ 5:21-26

(イ) イザ 43:25

(イ) マタ 9:4
ルカ 6:8
啓 2:23

(イ) ダニ 7:13

(イ) イザ 53:11

(イ) マタ 9:33
ヨハ 7:31
ヨハ 9:32

ひとが集まったため、戸口の辺りにも場所がなくなった。イエスは神の言葉を語り始めた。3 すると人々が、体がまひした男性を4人がかりで運んできた。4 しかし、大勢の人がいてすぐそばに連れていけなかったので、イエスのいる辺りの屋根を剥がして穴を開け、まひした男性を担架に乗せたままおろした。5 イエスは彼らの信仰を見て、まひした男性に言った。「あなたの罪は許されています」。6 そこには律法学者が何人か座っていて、こころなかでこう考えていた。7 「この男はなぜこんなことを言うのか。神を冒瀆している。神以外の誰が罪を許せるのか」。8 しかしイエスはすぐに、こころなかで考えているのですか。9 このまひした人に、『あなたの罪は許されている』と言うのと、『起き上がって、担架を持って歩きなさい』と言うのとでは、どちらが簡単ですか。10 しかし、人の子が地上で罪を許す権威を持っていることをあなた方が知るために――。そして、まひした男性に言った。11 「さあ、起き上がって担架を持ち、家に帰りなさい」。12 すると、男性は起き上がってすぐに担架を持ち、皆の前を歩いて出ていった。皆、非常に驚き、神をたたえて、「こんなことは見たことがない」と言った。

2:10 *イエスのこと。用語集参照。

1:40 *または、「清くする」。

13 イエスは再び湖の岸边に出ていった。すると群衆が集まってきたので、教え始めた。14 そして歩いていく途中に、アルパヨの子レビが徴税所に座っているのを見掛け、「私の弟子になりなさい」と言った。するとレビは立ち上がって、イエスの後に従った。15 その後、イエスが弟子たちと共にレビの家で食事をしていた時、多くの徴税人や罪人が一緒にいた。そのような人が大勢、イエスの後に従っていたのである。16 ところが、パリサイ派の律法学者たちは、イエスが罪人や徴税人と食事をしているのを見て、弟子たちに、「彼は徴税人や罪人と食事をするのか」と言いだした。17 これを聞いてイエスは言った。「丈夫夫人に医者には必要ではなく、病氣の人に必要なのです。私は、正しい人ではなく罪人を招くために来ました」。

18 さて、ヨハネの弟子たちとパリサイ派の人たちは断食を實踐していた。それでイエスの所に来て、言った。「ヨハネの弟子とパリサイ派の弟子は断食を行うのに、あなたの弟子はどうして断食を行わないのですか」。19 イエスは言った。「花婿と一緒にいる間、花婿の友人たちは断食をする理由がありますか。花婿と一緒にいる限り、断食はできません。20 しかし、花婿が取り去られる時が来ます」。

2:14 *マタイとも呼ばれる。「または、「私の後に従い」。2:15 *または、「食卓で横になって」。「徴税人は同国人に軽蔑されていた」。

第2章

(イ) マタ 9:9
ルカ 5:27,28

(イ) マタ 9:10,11
ルカ 5:29,30

(イ) イザ 61:1
マタ 9:12,13
ルカ 5:31,32
ルカ 19:10
テモ 1:15

(イ) マタ 9:14,15
ルカ 5:33-35

(イ) マタ 22:2
コニ 11:2
啓 19:7

(イ) ルカ 17:22

第2欄

(イ) マタ 9:16,17
ルカ 5:36-38

(イ) マタ 12:1-8
ルカ 6:1-5

(イ) サ 21:1-6

(イ) サ 22:20

(イ) 出 25:30
レビ 24:5-9

(イ) 出 20:9,10

(イ) マタ 12:8
ルカ 6:5

その日には、断食をします。21 古い外衣を繕うために、縮んでいない布切れを使う人はいません。もしそうしたら、古い布は新しい布切れに引き張られ、もっとひどく破れてしまいます。22 また、新しいぶどう酒を古い革袋に入れる人はいません。もしそうしたら、ぶどう酒のせいで袋が破裂し、ぶどう酒も袋も駄目になってしまいます。やはり、新しいぶどう酒は新しい革袋に入れます」。

23 イエスが安息日に穀物畑の中を歩いている時、弟子たちが歩きながら穀物の穂をむしり始めた。24 それでパリサイ派の人たちがイエスに、「見なさい。なぜ彼らは安息日にはいけないことをしているのか」と言った。25 しかしイエスは言った。「ダビデが、自分と仲間が食べ物に困って空腹になった時に何をしたか、読んだことがないのですか」。

26 祭司長アビヤタルに関する記述によれば、ダビデは神の家の中に入って供え物のパンを食べました。それは祭司以外は食べてはいけないものでしたが、ダビデは仲間にも与えたので「ありませんか」。27 そしてイエスは言った。「人のために安息日が設けられたのであり、安息日のために人が存在するようになったものではありません。28 人の子は安息日の主でもあるのです」。

2:21 *まだ洗っていない新しい布切れのこと。

3 イエスは再び会堂に入った。そこに、片手がまひした男性がいた。**2** 人々は、イエスが安息日にその男性を治すかどうか、じっと見ていた。イエスを訴えようとしてだった。**3** イエスは、片手がまひした男性に言った。「立って、中央に来なさい」。**4** そして人々に言った。「安息日にしてよいのは、助けることです、苦しめることです。命を救うことです、殺すことです」。人々は黙っていた。**5** イエスは憤りを覚えながら見回し、人々の心が無感覚なのを深く悲しんで、男性に言った。「手を伸ばしなさい」。男性がそうすると、手は治った。**6** すると、パリサイ派の人たちは出ていき、すぐにヘロデ党の人たちと協議を始めた。イエスを殺そうとしてであった。

7 一方、イエスは弟子たちと湖に向かった。ガリラヤとユダヤから来た非常に大勢の人が付いていった。**8** エルサレム、イドマヤ、ヨルダン川の向こう、ティルスやシドンの周辺からも非常に大勢の人がやって来た。イエスがやっている多くのことについて聞いたからである。**9** イエスは、群衆に押しつぶされてしまわないよう、弟子たちに小舟を用意させた。**10** 多くの人を治したイエスに触ろうとして、重い病気の人が皆、押し寄せていたのである。**11** 邪悪な天使たちでさえ、

3:1, 3 *または、「なえた」。

第3章

(マ) マタ 12:9-14
ルカ 6:6-11

(イ) ルカ 14:1-3

(マ) ヨハ 12:39, 40

(マ) マタ 22:16
マル 12:13

(マ) マタ 12:15

(マ) マタ 9:20, 21
マル 5:27, 28
マル 6:56

(マ) マタ 8:31

第2欄

(マ) マル 1:23, 24
マル 5:7
ルカ 4:41

(イ) マタ 12:15, 16
マル 1:25

(マ) ヨハ 15:16

(マ) ルカ 6:12, 13

(マ) マタ 10:1

(マ) マタ 10:2-4
ルカ 6:14-16
使徒 1:13

(マ) ヨハ 1:42

(マ) ルカ 9:54

(マ) ヨハ 7:5

(マ) マタ 9:34
マタ 10:25
マタ 12:24-29
ルカ 11:15
ヨハ 8:48

イエスを見るたびに、ひれ伏して「あなたは神の子です」と叫ぶのだった。

12 しかしイエスは、そのことを誰にも話さないようにと何度も厳重に命じた。

13 イエスは山に登り、自分が望む人々を呼び寄せた。**14** そして12人を選び、使徒と呼んだ。自分に同行させ、伝道に遣わし、**15** 邪悪な天使を追い出す権威を与えるためである。

16 選ばれた12人は、イエスがペテロとも呼んだシモン、**17** ゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネ(イエスはこの2人に、「雷の子たち」を意味するボアネルゲスという名前を与えた)、

18 アンデレ、フィリポ、バルトロマイ、マタイ、トマス、アルパヨの子ヤコブ、タダイ、熱心な人シモン、**19** そしてユダ・イスカリオテであり、この人は後にイエスを裏切った。

それからイエスがある家に入ると、**20** 再び人々が集まり、食事でもできないほどだった。**21** イエスの親族はそのことを聞き、イエスを捕まえに行った。「彼は頭がおかしくなってしまう」と言っていた。**22** また、エルサレムから下ってきた律法学者たちは、「彼はベエルゼブブに取りつかれて、**23** 邪悪な天使の支配者の力で、邪悪な天使を追い出しているのだ」と言っていた。**23** それでイエスは、その人々を呼び、例えを使って話した。「サタンがサタンを追い出せますか。

3:14 *または、「任命し」。3:16 *または、「任命された」。3:22 *サタンを指す。

24 王国が内部で分裂するなら、その王国は長くは続きません。25 家が内部で分裂するなら、その家は続かないでしょう。

26 サタンが自分自身に敵対して分裂するなら、長くは持たず、終わりを迎えます。27 それに、家財を奪うために強い人の家に入ったなら、まずその強い人を縛らなければなりません。そうして初めて、その家の物を奪えます。

28 はっきり言いますが、人は、どんな罪を犯し、どんな冒瀆の言葉を発しても、全て許されます。29 ただし、聖なる力を冒瀆する人は永久に許されず、永遠の罪を負うのです。

30 イエスがそう語ったのは、「邪悪な天使に取りつかれている」と言われたからだだった。

31 さて、イエスの母親と弟たちがやって来て、家の外に立ち、ある人にイエス呼びに行かせた。32 イエスの周りには人々が座っていて、「お母さんと兄弟たちが外で呼んでいますよ」と言った。33 それに対してイエスは、「私の母また兄弟たちとは誰ですか」と言った。34 そして、周りに座っている人たちを見て言った。「ここにいるのが私の母と兄弟たちです！」

35 神の望むことを行う人が、私の兄弟、姉妹、母なのです。

4 イエスが再び湖のほとりで教え始めると、非常に大勢の人が近くに集まった。それでイエスは舟に乗って座り、岸から少し離れたが、群

第3章

(ア) ルカ 11:17, 18

(イ) マタ 12:31, 32
ルカ 12:10

(ウ) ヘブ 6:4, 6
ヘブ 10:26

(エ) ヨハ 7:20
ヨハ 10:20

(オ) マタ 13:55
ヨハ 2:12
使徒 1:14

(カ) マタ 12:46-50
ルカ 8:19-21

(キ) マル 6:3

(ク) マタ 12:49
ヘブ 2:11

(コ) マタ 12:50
ルカ 8:21
ヨハ 15:14

第2欄

第4章

(ア) マタ 13:1, 2
ルカ 8:4

(イ) マタ 13:34

(ウ) マタ 13:3-9
ルカ 8:5-8

(エ) マル 4:14

(オ) マル 4:16, 17

(カ) マル 4:18, 19

(キ) マル 4:20

(ク) 格 1:5
マタ 11:15
ルカ 8:8

(コ) マタ 13:10
ルカ 8:9

(カ) エフ 1:9, 10
コロ 1:26, 27

(イ) マタ 13:11
ルカ 8:10

(イ) イザ 6:9, 10
マタ 13:13, 14
ヨハ 12:40
使徒 28:26

(イ) マタ 13:18
ルカ 8:11
ペー 1:25

しゅう みな きし べ 衆は皆、岸辺にいた。2 イエスは多くのことを例えて教え始め、こう言った。3 「聞きなさい。人が種をまきに出掛けました。4 まいていると、幾らかは道端に落ち、鳥が来て食べてしまいました。5 幾らかは土が少ない岩地に落ち、土が深くないのですぐに芽を出しました。6 しかし、太陽が昇ると日に焼けて、根がないので枯れてしまいました。7 幾らかはいばらの間に落ち、伸びてきたいばらにふさがれて、実を付けませんでした。8 しかし、幾らかは良い土に落ち、成長して大きくなり、実を付け始め、30倍、60倍、100倍の実を結ぶようになりました。9 そしてイエスは、「聞く耳のある人は聞きなさい」と付け加えた。

10 イエスが1人になった時、12人と一緒に周りにいた人たちが、例えについて質問し始めた。11 イエスは言った。「あなたたちには神の王国の神聖な秘密に関する理解が与えられています、ほかの人たちには全てのことが例えのみです。12 それで、その人たちは、目を向けますが見えず、聞きはしますが意味を悟りません。神のもとに帰って許されることもありませんが、13 さらに言った。「あなたたちはこの例えが分かっていません。では、どうして全ての例えを理解できるでしょうか。

14 人がまく種とは神の言葉です。

15 種が道端にまかれたのは、次のような人です。その人が神の言葉を聞くとすぐ、サタンがやって来て、まかれた言葉を取り去ります。16 また、岩地にまかれたのは、次のような人です。その人は神の言葉を聞くとすぐ、喜んで受け入れます。17 けれども自分の内に根がなく、一時は続きますが、後で神の言葉のために苦難や迫害が生じると、すぐに信仰を捨ててしまいます。18 ほかに、いばらの間にまかれた人がいます。これは神の言葉を聞いた人ですが、19 今の体制での心配事や、富の誘惑、またほかのいろいろなものへの欲望が心に入り込んできて、神の言葉がふさがれ、実らなくなってしまう。20 最後に、良い土にまかれた人とは、神の言葉を聞き、快く受け入れ、30倍、60倍、100倍の実を結ぶ人のことです。

21 またイエスは言った。「ランプを持ってきて、籠で覆ったりベッドの下に置いたりしますか。台の上に置くのではありませんか。22 隠されているものは全て明らかにされ、注意深く秘められているものは全て公になります。23 聞く耳のある人は聞きなさい。」

24 イエスはさらに言った。「聞いている事柄に注意を払いなさい。あなたたちは自分が量って与えるのと同じ

4:19 *または、「時代」。用語集参照。4:21 *または、「量り籠」。

第4章
[ア] ペー 5:8

[イ] マタ 13:19
ルカ 8:12

[ウ] マタ 13:20, 21
ルカ 8:13

[エ] マタ 13:22
ルカ 8:14

[オ] マタ 6:25
マタ 24:38, 39

[カ] 格 23:4, 5
マル 10:23
ルカ 18:24
テモ一 6:9
テモ二 4:10

[キ] ヨー 2:16

[ク] マタ 13:23
ルカ 8:15

[コ] マタ 5:15
ルカ 8:16, 17
ルカ 11:33

[コ] マタ 10:26
ルカ 12:2

[ケ] 格 1:5
マタ 11:15
啓 2:7

[ク] ルカ 8:18
ヤコ 1:25

第2欄
[ア] マタ 25:23

[イ] マタ 13:12
ルカ 8:18
ルカ 19:26

[ウ] マタ 13:31, 32
ルカ 13:18, 19

[エ] 詩 78:2

[オ] マタ 13:11
マタ 13:34, 35
マル 4:11

[カ] マタ 8:18

くわ 加えられます。25 持っている人にはさらに与えられますが、持っていない人は持っているものまで取り上げられるのです。

26 イエスは続けて言った。「神の王国は、人が地面に種をまく場合のようです。27 人は夜に眠り、昼は起きていますが、そうしているうちに、種は芽を出し、丈が高くなります。どのようにしてかを人は知りません。28 地面はひとりでの、最初は茎、次に穂、最後に熟した穂の中身というように、次第に実を生じさせていきます。29 穀物が実るとすぐ、人は鎌を入れます。収穫の時が来たからです。」

30 イエスは続けて言った。「神の王国を何になぞらえることができるでしょうか。どんな例えで説明できるでしょうか。31 それはからしの種のようです。地面にまかれる時、地上のあらゆる種の中で一番小さなものです。

32 しかし、まかれると成長して、どんな野菜より大きくなり、大きな枝を伸ばし、その陰に鳥が巣を作れるほどになります。」

33 イエスは、人々の聞く力に応じて、このような例えをたくさん使って神の言葉を語った。34 実際、例えを使わずに話そうとはしなかった。しかし、弟子たちだけの時に全ての説明をした。

35 その日の夕方、イエスは、「向こう岸に渡りましょう」と言った。36 そ

れで弟子たちは、群衆を解散させてから、イエスを舟に棄せたまま出発した。ほかの舟も一緒だった。37 ところが、激しい暴風が起き、舟は何度も波を浴びて、水浸しになった。38 しかしイエスは、船尾で枕を使って眠っていた。それで弟子たちはイエスを起こし、「先生、私たちが死んでしまいそうなのに何とも思わないのですか」と言った。39 イエスは起き上がって、風を叱りつけ、湖に「静まれ! 静かなれ!」と言った。すると風はやみ、湖面はすっかり穏やかになった。40 イエスは弟子たちに言った。「なぜそんなに怖がっているのですか。まだ少しも信仰がないのですか」。41 しかし弟子たちは大変な畏れを感じ、「一体どういう方なのだろう。風や湖さえ従うのだ」と互いに言った。

5 一行は湖の向こう側に着き、ゲラサの人たちの地域に入った。2 イエスが舟を下りてすぐ、邪悪な天使に取りつかれた男が墓場から出てきてイエスに会った。3 この男は墓場に住み着いていて、その時まで誰一人として、鎖を使っても縛り付けておけなかった。4 足かかと鎖でたばび縛られたが、鎖を引きちぎり、足かせを打ち壊してしまった。誰にもこの男を従わせる力がなかった。5 この男は昼も夜も絶えず、墓場や山の中で叫

4:38 *または、「クッションを敷いて」。4:40 *または、「小さな」。5:2 *または、「記念の墓」。

第4章

(例) マタ 8:23
ルカ 8:22

(例) マタ 8:24-27
ルカ 8:23-25

(例) 詩 89:9

(例) ヨハ 6:19

第5章

(例) マタ 8:28
ルカ 8:26, 27

第2欄

(例) ルカ 8:28-30

(例) 使徒 16:17, 18

(例) ルカ 8:31

(例) レビ 11:7, 8
申 14:8

(例) マタ 8:30-33
ルカ 8:32-34

(例) ルカ 8:35-37

んだり、石で自分の体を傷つけたりしていた。6 ところが、遠くからイエスを見つけると、走ってきてひれ伏した。7 そして大声で叫んで、言った。「至高の神の子イエス、何をしに来たのですか。私を罰しないことを神に懸けて誓ってください」。8 これはイエスが、「その人から出なさい、邪悪な天使よ」と言っていたからである。9 しかしイエスは、「あなたの名前は何ですか」と尋ねた。男は、「レギオンです。私たちは大勢いるからです」と答えた。10 そして、邪悪な天使たちをその地方から追い出さないようにと繰り返し嘆願した。

11 ところで、豚の大群がその山で草を食べていた。12 邪悪な天使たちは、「私たちが豚の中に送り込んで、その中に入らせてください」と嘆願した。13 イエスがそれを許すと、邪悪な天使たちは男から出てきて豚の中に入った。すると、2000匹ほどの群れが突進して崖から湖に落ち、溺れ死んだ。14 豚を飼っていた人たちは逃げていき、町や田舎でそのことを知らせた。人々は、何が起きたのかを見ようとしてやって来た。15 イエスのところへくると、邪悪な天使の軍団に取りつかれていた人が服を着て、正気になって座っていた。それで恐ろしくなった。16 また、目撃していた人たちが

5:9 *古代ローマの軍団のこと。ここでは、多数という意味。

ら、^{じゃあく てん し と}邪悪な天使に取りつかれた男や豚^{おとこ ぶた}に起きたことを聞いた。17 それでイエスに、この地域から去ってくださいと嘆願^{たんがん はじ}し始めた。

18 イエスが舟^{ふね}に乗りようとしていると、邪悪な天使に取りつかれていたその男が、一緒に行かせてくださいと言ってきた。19 しかしイエスはそれを許さず、こう言った。「親族^{しんぞく}のもとに帰り、エホバがしてくださった全てのことと示してくださった憐れみについて知らせなさい」。20 男は去っていき、イエスがしてくれた全てのことをデカポリスで広め始めた。人々は皆、とても驚いた。

21 イエスが再び舟で湖を渡って対岸^{たいがん}に着くと、大勢の人が集まってきた。イエスは湖のほとりにいた。22 そこへ、会堂の役員の1人で、ヤイロという男性^{だんせい}が来た。イエスを見つけると、その足元にひれ伏し、23 何度も嘆願して、言った。「私の娘は今にも死にそうです。元気になるまで生きてくれるよう、おいでになって手を置いてやってください」。24 そこでイエスと一緒に行った。すると、大勢の人がイエスに群がるように付いてきた。

25 ところで、12年間も出血が続いている女性がいた。26 多くの医者にかかってはひどい苦しみを味わい、資産^{しさん}を使い果たしたのに少しもよくな

5:19 *付録A5参照。 5:20 *または、「10の町の地方」。 5:23 *または、「病状が極めて深刻」。 5:26 *または、「いろいろな苦痛に遭われ」。

第5章

[7] マタ 8:34

[1] ルカ 8:38,39

[7] ルカ 8:40

[2] マタ 9:18
ルカ 8:41,42

[7] ルカ 4:40

[7] レビ 15:25

[4] マタ 9:20-22
ルカ 8:43,44

第2欄

[7] マタ 14:36
マル 6:56

[1] マタ 9:21

[7] ルカ 5:17
ルカ 6:19

[2] ルカ 8:45-48

[7] ルカ 7:50
ルカ 8:48

[7] マタ 9:22

[4] ルカ 8:49

[7] ルカ 8:50
ヨハ 11:39,40

らず、かえって悪くなっていた。27 その女性はイエスの評判を聞いて、群衆の中でイエスの後ろから近づき、外衣に触った。28 「あの方の外衣に触るだけで良くなる」と言い続けていたのである。29 すると出血はすぐに止まり、つらい病気が癒やされたことを体で感じた。

30 イエスはすぐに、力が自分から出ていったことに気づき、群衆の中で振り返って、「外衣に触ったのは誰ですか」と言った。31 しかし弟子たちは言った。「人々が群がってきているのに、『触ったのは誰か』と言うのですか」。32 それでもイエスは、誰が触ったのかと周囲を見回していた。33 女性は、自分の身に起きたことが分かり、恐れて震えながら進み出て、イエスの前でひれ伏し、全てをありのままに話した。34 イエスは言った。「あなたが良くなったのは信仰があったからです。安心して暮らさない。つらい病気は治りました」。

35 イエスが話しているうちに、会堂の役員の一家から何人かの人が来て、「娘さんは亡くなりました。もう先生を煩わさなくてもよいではありませんか」と言った。36 イエスはその言葉を耳にして、会堂の役員に言った。「心配は要りません。ただ信仰を抱きなさい」。37 イエスは、ペテロ、ヤコブ、

5:34 *直訳、「娘よ、あなた」。 5:36 *または、「心配するのをやめなさい」。

ヤコブの兄弟ヨハネ以外は付いてこさせなかった。

38 一行は会堂の役員の家に来た。イエスは、人々が騒ぎ立て、泣いたりわめいたりしているのを目にした。

39 そして中に入って言った。「なぜ泣いて、騒いでいるのですか。子供は死んだのではなく、眠っているのです。」

40 人々はイエスのことをあざ笑いだした。しかしイエスは人々を外に出してから、父親と母親と弟子たちと一緒に、子供のいる所に入っていくた。

41 そして子供の手を取って、「タリタクミ」と言った。これは訳せば、「少女よ、さあ、起きなさい」という意味である。**42** すると少女はすぐに起き上がって歩き始めた。(少女は12歳だった。) その時、両親はわれを忘れて大喜びした。**43** しかしイエスは、このことを誰にも知らせないようにと繰り返し命じた。そして、少女に何かを食べさせてあげるようにと言った。

6 イエスはそこを去って郷里に来了。弟子たちが後に従っていた。**2** 安息日にイエスが会堂で教え始めると、聞いていた人の多くは大変驚き、こう言った。「この人は、これらのことをどこで学んだのか。このような知恵があって、これほどの強力な行いができるのは、一体どうしてか。**3** この人は大工で、マリアの息子、またヤコブ、ヨセフ、ユダ、シモンの兄ではな

第5章

(7) マタ 17:1
マタ 26:36,37

(4) マタ 9:23-26
ルカ 8:51-56

(7) ルカ 8:52
ヨハ 11:11

(2) マタ 9:25
ルカ 7:14
ルカ 8:54
使徒 9:40

(9) マル 1:42-44
マル 7:35,36

第6章

(7) ルカ 4:16

(4) ヨハ 6:42
ヨハ 7:15

(7) マタ 13:54-58

(7) イザ 53:2

(2) ヨハ 6:42

(7) ガラ 1:19

第2欄

(7) マル 3:31

(4) マタ 13:57
ルカ 4:24
ヨハ 4:44

(7) マタ 9:35
ルカ 13:22

(2) ルカ 10:1

(7) マタ 10:1
ルカ 9:1-6

(7) マタ 10:9,10

(4) マタ 10:11

(7) マタ 10:14
ルカ 10:10,11
使徒 13:50,51

(7) 使徒 2:38
使徒 3:19

(2) ルカ 10:17

いか。妹たちもここに一緒にいる」。こうして人々はイエスを信じようとしなかった。**4** しかしイエスは言った。「預言者は、郷里や親族の間や自分の家以外であれば敬われます」。**5** それで、何人かの病人に手を置いて治す以外、そこで強力な行いができなかった。**6** イエスは人々の信仰のなさにとっても驚いた。そして村々を巡回し、教えていった。

7 さて、イエスは12人を呼び寄せて、二人ずつ遣わすことに取り掛かり、邪悪な天使に対する権威を与えた。

8 また、次のように指示した。旅のために、つえ以外は何も、パンも食物袋も帯の中にお金も、持っていないはならない。**9** サンドルを履きなさい。しかし、替えの衣服を持っていってはならない。**10** イエスはさらに言った。「どこでも、ある家に入ったら、その土地を去るまではそこに滞在しなさい。**11** どこでも、人々があなたたちを迎えず、耳を傾けない土地では、そこを出る時に、後はその人たちの責任であることを示すために足の汚れを振り払いなさい。**12** それで12人は出掛け、悔い改めるようにと伝道した。**13** そして多くの邪悪な天使を追いつし、大勢の病人に油を塗って治した。**14** さて、ヘロデ王がそのことを聞いた。イエスの名前がよく知られるようになったからである。人々は、「バプ

6:9 *直訳、「衣服を2枚着て」。

5:43 *または、「強く」。**6:2** *または、「奇跡」。

テスマを施す人ヨハネが生き返った。
だから強力な行いができるのだ」と
言っていた。15 また、「あれはエリ
ヤだ」と言う人や、昔もいたような預
言者だ」と言う人もいた。16 しかし
ヘロデはそれを聞いて、「私が首をは
ねたあのヨハネが生き返ったのだ」と
言った。17 ヘロデはかつて、自分
の兄弟フィリポの妻ヘロデアとのこと
でヨハネを捕らえさせ、縛って牢屋に
入れていた。なぜなら、ヘロデはヘ
ロデアと結婚していて、18 ヨハネが
ヘロデに、「兄弟の妻を自分のものと
するのは正しくありません」と言ってい
たからである。19 それでヘロデア
は恨みを抱き、殺したいと思ったが、で
きなかった。20 ヘロデが、ヨハネは
正しい聖なる人だと知っていて、ヨハ
ネを恐れ、保護しておいたからである。
ヘロデはヨハネが話すことを聞いて、
どうしたらいいかと当惑しながらも、
喜んで話を聞いていた。

21 ところが、ヘロデアにとって都合
の良い日がやって来た。ヘロデが自
分の誕生日に、高官、軍司令官、ガリ
ラヤの著名人などのために夕食会を
開いた時のことである。22 ヘロデ
アの娘が入ってきて踊り、ヘロデをは
じめ、食事をしていた人たちを喜ばせ
た。王は娘に、「何でも欲しいものを
言いなさい。それをあげよう」と言っ
た。23 しかも、「欲しいものが何で
あっても、王国の半分でも、あげよう」

第6章

(7) マタ 14:1-5
ルカ 9:7-9(7) マタ 16:14
マル 8:28

(7) ルカ 3:19,20

(7) レビ 18:16
レビ 20:21(7) マタ 11:11
マタ 21:26

(7) 創 40:20-22

(7) マタ 14:16-12

第2欄

(7) マタ 14:8

(7) ルカ 9:10

(7) マタ 11:29
マタ 14:13

(7) ヨハ 6:1,2

(7) マタ 14:14
ヘブ 4:15(7) 王一 22:17
イザ 53:6
エゼ 34:5,8
マタ 9:36(7) イザ 61:1
ルカ 9:11

と誓った。24 娘が出ていって母親
に、「何を求めたらいいでしょうか」と
聞くと、母親は、「バプテスマを施す者
ヨハネの首を」と言った。25 娘はす
ぐ、王のもとに急ぎ、「バプテスマのヨ
ハネの首を大皿に載せて今すぐお与
えくださいますように」と願い出た。
26 王は深く悲しんだが、自分の誓い
や客のことを考えると、願いを退けた
くはなかった。27 それで、すぐに護
衛を遣わし、ヨハネの首を持ってくるよ
うに命令した。護衛は行って、牢屋
の中でヨハネの首をはね、28 大皿
に載せて持ってきた。そして、それを娘
に与え、娘は母親に渡した。29 ヨ
ハネの弟子たちはそのことを聞くと、
来て遺体を引き取り、墓に葬った。

30 使徒たちはイエスのもとに集
まって、行ったことや教えたことを全部
報告した。31 イエスは言った。「さ
あ、一緒に静かな場所に行って、少し
休みなさい」。出入りする人が多く、食
事をする暇もなかったからである。
32 それで一行は舟に乗り、自分たち
だけになれる静かな場所に向かった。
33 ところが、それは見られていて、多
くの人に知れ渡った。それで全ての町
から人々が走っていき、舟より先に着
いた。34 イエスは舟を下り、大勢の
人を見て、かわいそうに思った。羊飼
いのいない羊のようだったからであ
る。そして、多くのことを教え始めた。

6:29 *または、「記念の墓」。

35 午後の遅い時間になっていた。弟子たちがイエスのもとに来て、言った。「ここは辺ぴな場所で、もう遅い時間です。36 皆を解散させ、周りの田舎や村に行き、自分でお金を稼ぐようにしてください。37 イエスは答えた。「あなたがたは食べ物を与えなさい」。すると弟子たちは言った。「私たちが200デナリ分のパンを買ってきて、人々に与えるのですか」。38 イエスは言った。「パンは幾つありますか。見てきなさい」。弟子たちは確かめてきて、言った。「5つです。ほかに魚が2匹です」。39 イエスは全員に、青草の上にグループになって座るよう指示した。40 人々は100人また50人のグループになって座った。41 イエスは5つのパンと2匹の魚を取り、天を見上げて祈ってから、パンを割って弟子たちに渡し始めた。人々に配らせるためである。また、2匹の魚を皆のために分けた。42 こうして皆が食べて満足した。43 かけらを拾うと、パンだけで12個の籠がいっぱいになった。44 パンを食べた男性は5000人だった。

45 それからすぐイエスは弟子たちを舟に乘らせ、バツサイダ沖を通して先に対岸に向かわせ、群衆は解散させた。46 イエスは別れを告げた後、祈りをするため山に行った。47 日が暮れて、舟は湖の中ほどにあった

6:37 *付録B14参照。

第6章

[7] マタ 14:15-21
ルカ 9:12-17

[1] ヨハ 6:5

[2] 王二 4:42-44
マタ 15:33
ヨハ 6:7

[3] ヨハ 6:9

[4] ヨハ 6:10-13

[5] マル 8:6
ルカ 24:30
使徒 27:35[6] マタ 14:20
ルカ 9:17
ヨハ 6:13

[7] マタ 14:22

[8] マタ 6:6
マタ 14:23
マル 1:35
ルカ 6:12

第2欄

[9] マタ 14:24-33
ヨハ 6:16-21[10] マタ 14:27
ヨハ 6:20

[11] マタ 14:34-36

[12] マタ 9:20
マル 5:25-28
ルカ 8:43,44
使徒 19:11,12

第7章

[13] マタ 15:1

が、イエスは1人で陸にいた。48 向かい風のために弟子たちが必死でこいでいるのを見て、第4夜警時の頃、湖の上を歩いて舟の方に向かった。とはいえ、そばを通り過ぎるつもりだった。49 弟子たちは、イエスが湖の上を歩いているの目を見ると、幻影だと思い、叫び声を上げた。50 皆、イエスを見て動揺したのである。しかし、イエスはすぐに話し掛け、「安心しなさい。私です。恐れることはありません」と言った。51 そして舟に乗り込むと、風はやんだ。弟子たちはすっかり驚いた。52 先ほどのパンの意味を把握しておらず、まだ心が鈍くて理解できなかったのである。

53 一行は湖を渡ってゲネサレに着き、岸辺に舟を止めた。54 舟を下りると、人々はすぐイエスに気付いた。55 そして、その地域全体を駆け回り、病気で苦しむ人々を担架に乗せ、イエスがいと聞いた所に運んだ。56 イエスがどこの村、町、田舎に入っても、人々は病氣の人々を広場に置き、その人たちは、外衣の裾にだけでも触れさせてくださいとイエスに嘆願するのだった。そして、触れた人は皆良くなった。

7 さて、エルサレムから来ていたパリサイ派の人と律法学者たちがイエスの周りに集まった。2 そして、

6:48 *午前3時ごろから午前6時ごろの日の出まで。*または、「通り過ぎようとした」。6:56 *または、「市場」。

第7章
(ア) マタ 23:25
ルカ 11:38, 39

(イ) マタ 15:2

(ウ) マタ 15:7-9

(エ) イザ 29:13

(オ) ガラ 1:14
コロ 2:8

(カ) マタ 15:3-6

(牛) 出 20:12
申 5:16
丁 7:6:2

第2欄
(ア) テモ一 5:8

(イ) マタ 15:6

(ウ) マル 7:3

(エ) マタ 15:10

(オ) マタ 15:11

(カ) マタ 15:15-20

(キ) マタ 15:18

(ク) 創 6:5
創 8:21
エレ 17:9

のために何一つさせません。13 自分たちが伝える伝統によって神の言葉を否定しているのです。ほかにも、似たようなことをたくさん行っています」。

14 イエスは群衆を再び呼んで、言っ
た。「皆さん、私の話すことを聞いて、
意味を理解してください。15 外か
ら人に入って行って人を汚せるものは
何もありません。人から出てくるもの
が人を汚します。」16 —

17 イエスが群衆から離れて家に入ると、弟子たちがこの例えについて質問し始めた。18 イエスは言った。

「あなたたちも理解していないのです
か。外から人に入って行って人を汚せ
るものは何もないのではありません

か。19 それは人の心ではなく胃に
入^{はい}っていき、それから下水^{げすい}に出^でていく
からです。こうしてイエスは全ての食^{すべ}料^{しよく}

物を清^{きよ}いものとした。20 さらに言っ^いた。「人^{ひと}から出^でてくるもの^{もの}が人^{ひと}を汚^{けが}します。21 中^{ちゅう}から、つまり人^{ひと}の心^{こころ}か

ら、有害な考えが出てきます。性的不
 どうとく＊ぬす さつじん かんいん どんよく じゃ
 道徳、盗み、殺人、22 姦淫、貪欲、邪
 あく こゝろ あざむ はじし おこな＊
 悪な行為、欺き、恥知らずな行い、ねた

み、冒瀆、傲慢、無分別です。23 これら邪悪な事柄は皆、中から出てきてひとけが人を活します。

7:16 *付録A3参照。**7:21** *ギリシャ語ポルネイアの複数形。用語集参照。**7:22** *ギリシャ語、アセルゲイア。用語集参照。＃または、「ねたむ目」。

24 イエスはそこをたつて、ティルスとシドンの地方に行った。ある家に入り、誰にも知られたくなかったが、気付かれてしまった。**25** すぐに、邪悪な天使に取りつかれた小さな娘を持つ女性が、イエスのことを聞き、やって来て足元にひれ伏した。**26** この女性 はギリシャ人でシリアのフェニキアで暮らしており、邪悪な天使を娘から追い出してくれるよう求め続けた。**27** しかしイエスは言った。「まず子供たちに十分食べさせるべきです。子供たちのパンを取って小犬に投げ与えるのは正しくありません」。**28** それでも女性は、「そうです、主よ。でも、食卓の下の小犬も小さな子供たちのパンくずを食べます」と答えた。**29** イエスは言った。「そこまで言うのであれば、分かりました。行きなさい。邪悪な天使はあなたの娘から出ていきました」。**30** 女性は家に帰っていき、幼い娘が寝床で横になっているのを見た。邪悪な天使はすでに出ていた。**31** イエスはティルス地方から戻るとき、シドンを経て、デカポリス地方を通ってガリラヤ湖に行った。**32** ここで人々は、耳が聞こえず言語障害のある男性をイエスのもとに連れてきて、その男性に手を置いてくれるようにと嘆願した。**33** イエスは群衆の中からその男性だけを連れていった。指を

7:26 *または、「の生まれで」。**7:31** *または、「10の町の地方」。

第7章

(7) マタ 15:21

(7) マタ 15:22-28

(7) マタ 10:5,6

マタ 15:26

ロマ 9:4

エフ 2:12

(7) マタ 15:28

(7) ヨハ 4:49-51

(7) マタ 15:29

(7) マタ 9:32,33
ルカ 11:14

第2欄

(7) マル 8:23

ヨハ 9:6

(7) イザ 35:5

マタ 11:5

マタ 15:30

(7) イザ 42:2

マタ 8:3,4

マル 5:42,43

(7) マル 1:43-45

(7) 使徒 14:11

(7) イザ 35:5,6

マタ 15:31

第8章

(7) マタ 14:14

マル 6:34

(7) マタ 15:32-38

(7) マル 6:38

(7) マル 6:41

男性の両耳に入れ、それから唾を掛けて、舌に触れた。**34** そして、天を見上げて深く息を吐き、「エファタ」、つまり「開かれよ」と言った。**35** すると、耳は開かれ、言語障害はなくなり、男性は普通に話し始めた。**36** イエスは人々に、誰にも言わないようにと命じた。しかし、イエスが命じれば命じるほど、人々はますます広めるのだった。**37** 実際、すっかり驚いて、「あの人は何でも見事に行った。耳が聞こえない人を聞こえるように、口が利けない人を話せるようにするのだ」と言った。

8 その頃、再び大勢の人が集まっていて、食べる物がなかった。イエスは弟子たちを呼び寄せて、言った。**2** 「群衆がかわいそうです。私と共に3日いて、食べる物がありません」。**3** 空腹のまま家に帰らせたら、途中で倒れてしまうでしょう。遠くから来ている人もいます」。**4** 弟子たちは答えた。「この辺びな場所で、この人々に十分食べさせるだけのパンをどこから得られるでしょうか」。**5** イエスは尋ねた。「パンは幾つありますか」。弟子たちは、「7つです」と答えた。**6** イエスは、地面に座るよう群衆に指示し、7つのパンを取って感謝の祈りをしてから、それを割り、人々に配るために弟子たちに渡し始めた。そして弟子たちが群衆に配った。**7** 小さな魚も何

8:3 *または、「何も食べない」。

匹かあったので、祈ってから、それらも配
 するように言った。8 人々は食べて満
 足した。余ったかけらを拾うと、7つの
 大籠がいっぱいになった。9 そここ
 いた男性は約4000人だった。その後
 イエスは人々を解散させた。

10 すぐにイエスは弟子たちと舟に乗
 り、ダルマヌタ地方に入った。11 パ
 リサイ派の人たちが来てイエスと議論
 を始め、天からのしるしを求めた。イ
 エスを試すためである。12 イエス
 は深く嘆いて言った。「なぜこの世代
 はしるしを求めるのですか。はっきり
 言いますが、この世代にしるしが与え
 られることはありません」。13 そし
 て、その人々を残して再び舟に乗り、
 対岸に向かった。

14 ところで、弟子たちはパンを持っ
 ていくのを忘れた。それで、舟にはパ
 ンが1つしかなかった。15 イエスは
 はっきり警告した。「じっと見張ってい
 て、パリサイ派のパン種とヘロデの
 パン種に気を付けなさい」。16 そ
 れで弟子たちは、パンがないことにつ
 いて言い合いを始めた。17 これに
 気づいてイエスは言った。「なぜパン
 がないことについて言い合っているの
 ですか。まだ分らず、理解できない
 のですか。今でも心が鈍くて理解でき
 ないのですか。18 『目があっても見
 えないのですか。耳があっても聞こ
 えないのですか』。覚えていませんか。

8:8, 20 *または、「食料籠」。

第8章

(7) マタ 15:37

(1) マタ 15:39

(7) マタ 16:1-3

(2) マタ 12:38

ヨハ 6:30

(7) マタ 16:4

(7) マタ 16:5-12

(7) マタ 16:6

ルカ 12:1

第2欄

(7) マル 6:38

(1) マタ 14:20

マル 6:43

ルカ 9:17

ヨハ 6:13

(7) マタ 15:37

(2) マル 6:56

(7) マル 7:32,33

ヨハ 9:1,6

(7) マタ 16:13-15

ルカ 9:18,19

(7) マタ 14:1,2

マル 6:14

(7) マル 9:11

19 私が5つのパンを5000人のため
 に割った時、幾つの籠がかけらでいっ
 ぱいになりましたか。12個です」と
 弟子たちは言った。20 「7つのパン
 を4000人のために割った時、幾つの
 大籠がかけらでいっぱいになりました
 か。12個です」と弟子たちは言った。

21 「まだ理解できないのですか」とイ
 エスは言った。

22 さて、一行はベツサイダに入っ
 た。人々は目が見えない男性をイエ
 スの所に連れてきて、その男性に触
 れてくれるよう嘆願した。23 イエス
 は目が見えない男性の手を取って村
 の外に連れていった。そして、男性の
 両目に唾を掛けてから、男性に両手を
 当て、「何か見えませんか」と尋ねた。

24 男性は目を上げて言った。「人が
 見えます。木のように見えますが、歩き
 回っています。25 イエスが両手を
 再び男性の両目に当てると、はっきり
 見えるようになった。視力が戻り、全て
 のものがくっきり見えた。26 イエス
 はその男性を家に帰らせ、「この村に
 入ってはいけません」と言った。

27 次に、イエスと弟子たちはカエ
 サレア・フィリピの村々に向かった。
 道中、イエスは弟子たちに、「人々は
 私のことを誰だと言っていますか」と
 質問し始めた。28 弟子たちは言っ
 た。「バプテスタのヨハネや、エリヤ、
 預言者の1人などと言っています」。

29 イエスは質問した。「でも、あなた

たちは、私のことを誰だと言いますか。ペテロが答えた。「キリストです」。30 するとイエスは、自分のこと

を誰にも言わないようにと弟子たちに厳重に命じた。31 また、人の子が必ず多くの苦しみに遭い、長老と祭司長と律法学者たちに退けられて殺され、3日後に生き返る、ということをおしえ始めた。32 しかも、そのことをはっきりと語っていた。ところが、ペテロはイエスを脇に連れていって叱り始めた。33 イエスは向きを変え、弟子たちを見ながらペテロを叱り、「私の後ろに下がれ、サタン！ あなたは、神の考えではなく、人間の考えを抱えています」と言った。

34 次にイエスは、弟子たちと一緒に群衆に自分のもとに呼んで、言った。「誰でも私に付いてきたいと思うなら、自分を捨て、苦しみの杭を持ち上げ、絶えず私の後に従いなさい。」

35 自分の命を救おうと思う人はそれを出しますが、私と良い知らせのために命を失う人はそれを救うからです。

36 全世界を手に入れても、命を失うなら、いったい何の価値があるでしょう。37 人は自分の命と引き換えに、いったい何を与えることができるでしょうか。38 この罪深い姦淫の世代において私と私の言葉を恥じるようになる人については、人の子も、

8:31; 9:9 *イエスのこと。用語集参照。8:

34 *用語集参照。8:38 *または、「不忠実な」。

第8章

〔マ〕マタ 16:16
ルカ 9:20
ヨハ 1:40, 41
ヨハ 6:68, 69

〔イ〕マタ 16:20
マル 9:9
ルカ 9:21, 22

〔ヨ〕マタ 26:2

〔シ〕マタ 16:21
マタ 17:22, 23

〔ヨ〕マタ 16:22

〔ヨ〕マタ 16:23

〔シ〕マタ 10:38
マタ 16:24
ルカ 9:23
ルカ 14:27

〔ヨ〕マタ 10:39
マタ 16:25
ルカ 9:24
ヨハ 12:25
啓 12:11

〔ヨ〕マタ 16:26
ルカ 9:25

〔ヨ〕詩 49:8

第2欄

〔ヨ〕マタ 16:27
マタ 25:31
テサニ 1:7

〔イ〕マタ 10:33
ルカ 9:26
ルカ 12:9
テモニ 1:7, 8

第9章

〔ヨ〕マタ 16:28
ルカ 9:27
〔シ〕マタ 17:1-8
ルカ 9:28-36

〔ヨ〕ルカ 3:22
ヨハ 12:28

〔ヨ〕詩 2:7
イザ 42:1
マタ 3:17
ペニ 1:17

〔シ〕申 18:15
マタ 17:5
ルカ 9:35
使徒 3:22, 23

〔ヨ〕マタ 17:9
ルカ 9:36

〔ヨ〕マタ 12:15, 16
マル 8:29, 30

聖なる天使たちと共に、自分の父の栄光を帯びて来る時、その人を恥じるのです。

9 イエスはさらに言った。「はっきり言いますが、ここに立っている人の中には、死を迎える前に、神の王国が力を持ってすでに来ているのを見る人たちがいます」。2 日後、イエスはペテロとヤコブとヨハネだけを連れ、高い山に登った。そして3人の目の前でイエスの姿が変わった。3 外衣はきらきら輝き、地上のどんな洗濯人にもできないほどに白くなった。

4 また、エリヤがモーセと共に現れ、イエスと語り合っていた。5 そこでペテロがイエスに言った。「ラビ、私たちがこの場にいられるのは素晴らしいことです。3つの天幕を立てさせてください。あなたと、モーセと、エリヤのためです」。6 ペテロはどう反応したらいいかわからなかったのである。3人ともすっかり恐れていた。7 すると、雲ができて皆を覆い、雲の中から声がした。「これは私の愛する子である。彼の言うことを聞きなさい」。8 その瞬間、3人は辺りを見回したが、イエス以外にはもう誰も見えなかった。

9 山を下っていた時、イエスは、人の子が生き返るまでは、見た事柄を誰にも話してはならない、と厳重に命じた。10 3人はその言葉を心に留めたが、この生き返るとはどういう意味

9:5 *または、「先生」。9:10 *もしかすると、「この件を胸にしまい込んだ」。

なのかを論じ合った。**11** そしてイエスに質問し始め、「なぜ律法学者たちは、まずエリヤが来なければならないというのですか」と言った。**12** イエスは言った。「確かにエリヤがまず来て、全てのものを回復します。では、人の子が必ず多くの苦しみに遭い、侮辱される、と書いてあるのはどうしてでしょうか。**13** あなたたちに言いますが、エリヤは現に来て、人々は彼に対してしたい放題のことをしました。書かれていた通りです」。

14 彼らがほかの弟子たちの所に来ると、大勢の人が群がっていて、律法学者たちが弟子たちと言いつついた。**15** 群衆はイエスを見掛けると非常に驚き、走り寄って、あいさつした。

16 イエスは、「何を言いつけているのですか」と尋ねた。**17** 群衆の1人が答えた。「先生、息子が邪悪な天使に取りつかれて話せないのです、あなたの所に連れてきました。**18** そのものはいつでも息子を襲うと地面にたたきつけ、息子は泡を吹き、歯ざりして、ぐったりしてしまいます。あなたの弟子たちに、追い出してくれるよう頼みましたが、できませんでした」。**19** それでイエスは言った。「ああ、不信仰な世代よ、私はいつまであなた方といなければならないのでしょうか。いつまであなた方のことを耐えなければならいのでしょうか。その子を連れてきなさい」。**20** その少年が連れてこられた。邪悪

第9章

(例) マラ 4:5,6
マル 8:27,28

(例) マタ 17:10

(例) マタ 17:11

(例) ダニ 9:26

(例) 詩 22:6,7
イザ 50:6
イザ 53:3
ルカ 23:11

(例) マタ 11:13,14
ルカ 1:13,17

(例) マタ 17:12

(例) ルカ 9:37

(例) マタ 17:14-17
ルカ 9:38-42

(例) 申 32:20

(例) マタ 17:17
ルカ 9:41

第2欄

(例) マタ 17:20
マル 11:23
ルカ 17:6
ヨハ 11:40
使徒 14:9,10

(例) ルカ 17:5

(例) マタ 17:18
マル 1:23-25
ルカ 4:34,35
使徒 10:38

(例) マタ 17:19,20

な天使はイエスを見ると、すぐにその子にけいれんを起こさせ、子供は地面に倒れ、泡を吹きながら転げ回った。**21** イエスは父親に尋ねた。「こうしたことがいつから起きているのですか」。父親は言った。「小さな頃からずっとです。**22** 邪悪な天使は息子を殺そうとして、何度も火の中や水の中に投げ込みました。しかし、何かできるのでしたら、かわいそうだと思って私たちを助けてください」。**23** イエスは言った。「『できるなら』と言うのですね。信仰がある人には全てのことが可能です」。**24** 父親は直ちに声を張り上げて言った。「私には信仰があります! もっと信仰を持てるよう助けてください!」

25 その時イエスは、群衆が押し寄せてくるのに気づき、邪悪な天使を叱りつけて、「口と耳をふさぐ邪悪な天使よ、私は命じます。この子から出て、二度はいってはなりません」と言った。

26 すると、邪悪な天使は叫び声を上げて、何度もけいれんを起こさせてから、出ていった。子供は死んだように見え、大半の人が「この子は死んだ!」と言った。**27** しかし、イエスが手を取って起こすと、子供は立ち上がった。**28** イエスが家に入ってから、弟子たちがそっと尋ねた。「なぜ私たちが追い出せなかったのでしょうか」。**29** イエスは言った。「この種のものは、祈らなければ追い出せません」。

30 一行はそこを出発してガリラヤを通ったが、イエスはそのことを誰にも知られたくなかった。**31** 弟子たちを教え、こう話していたからである。「人の^{ひと}は裏切られて人々に引き渡され、殺されます。しかし、殺されても3日後に生き返ります」。**32** けれども、弟子たちはその言葉が理解できず、質問する勇氣もなかった。

33 一行はカペルナウムに入った。家の中にいた時、イエスは弟子たちに、「途中で何を言っていたのですか」と質問した。**34** 弟子たちは黙っていた。途中で、誰が一番偉いかと言っていたからである。**35** イエスは腰を下ろし、12人と呼んで、言った。「1番でありたい人は、みんなの最後となり、みんなの奉仕者とならなければなりません」。**36** そして、幼い子供を真ん中に立たせ、その子に腕を回して、弟子たちに言った。**37** 「私の名のためにこのような幼い子供1人を受け入れる人は、私をも受け入れます。そして私を受け入れる人は、私だけだけでなく、私を遣わした方をも受け入れます」。

38 ヨハネがイエスに言った。「先生、ある人があなたの名を使って邪悪な天使を追い出していたので、私たちはやめさせようと思いました。私たちの後に従っていないからです」。**39** しかしイエスは言った。「やめさせようとしてはなりません。私の名によって強

第9章

[7] マタ 26:2

[1] マタ 16:21

マタ 17:22, 23

マル 8:31

ルカ 9:44, 45

[2] マタ 18:1-5

ルカ 9:46-48

ルカ 22:24

[3] マタ 20:26-28

マル 10:43-45

フィリ 2:8, 9

[4] ルカ 18:16

[5] マタ 10:40

ルカ 9:48

ヨハ 13:20

[6] ルカ 9:49

第2欄

[7] ルカ 9:50

[1] マタ 25:40

[2] マタ 10:42

[3] マタ 18:6

ルカ 17:1, 2

[4] マタ 5:30

マタ 18:8

コロ 3:5

[5] マタ 10:28

マタ 23:33

ルカ 12:5

[6] ガラ 5:24

[7] マタ 5:29

マタ 18:9

ロマ 8:13

[8] イザ 66:24

力^{りよく}を行^{おこな}い^{*}をしながら、すぐ^{わたし}に私^{わる}を悪く言^いえる人はいないからです。**40** 私たちに反対していない人は私たちに味方^{みかた}しているのです。**41** はっきり言いますが、あなたたちがキリストの弟子だという理由で1杯の飲^のみ水^{みず}をくれれば、必ず報^{むく}いを得^えます。**42** しかし、信仰^{しんこう}を持つ^もそのような目^め立たない人^{ひと}の信仰^{しんこう}を妨^ひげる人は、ロバの回す石臼^{いしうす}を首^{くび}に掛^かけられて海^{うみ}に投^なげ込まれる方がよいでしょう。

43 もし一方の手^{しんこう}があなたの信仰^{しんこう}の妨^{さまた}げとなるなら、それを切り捨^きてなさい。片方^{かたほう}の手^てを失^うて命^{いのち}を得^える方が、両手^{りょうて}があるままゲヘナ^{*}に、消えない火^なの中^{なか}に行くよりは、よいのです。**44** — **45** また、もし一方の足^{あし}があなたの信仰^{しんこう}の妨^{さまた}げとなるなら、それを切り捨^きてなさい。片方^{かたほう}の足^{あし}を失^うて命^{いのち}を得^える方が、両足^{りょうあし}があるままゲヘナ^なに投^なげ込まれるよりは、よいのです。

46 — **47** また、もし一方の目^めがあなたの信仰^{しんこう}の妨^{さまた}げとなるなら、それを捨^すて去^{かたほう}りなさい。片方^{かたほう}の目^めを失^うて神の王国^{おうこく}に入る方が、両目^{りょうめ}があるままゲヘナ^なに投^なげ込まれるよりは、よいのです。**48** ゲヘナ^しでは、うじは死^ひなず、火^きは消^めえません。

49 全ての人^{すべ}には、塩^{しお}が振^ふり掛^かけられるように、火^ひが注^{そそ}がなければならない

9:39 *または、「奇跡」。**9:42** *または、「に罪を犯させる」。直訳、「をつまずかせる」。**9:43** *用語集参照。**9:44**, **46** *付録A3参照。

ないのです。⁽⁷⁾ **50** 塩は良いものです。
しかし、もし塩が塩気を失ったら、何に
よって塩気を取り戻せるのですか。自
分のうちに塩を持ちなさい。そして、互
いに平和を保ちなさい。

10 イエスはそこをたち、ユダヤ
と境界を接する地方、ヨルダ
ン川の向こう側にいった。再び群衆
が集まってきた。それで、いつものよう
に、再び教え始めた。**2** そこへパリ
サイ派の人たちが近づいてきて、イエ
スを試そうとして、夫が妻を離婚しても
よいかどうかを尋ねた。**3** イエスは
言った。「モーセは何と命じました
か」。**4** パリサイ派の人たちは言っ
た。「モーセは、離婚証書を書いて妻
を離婚することを許しました」。**5** し

かしイエスは言った。「モーセはあな
たの方の頑固さを考えて、そのおきてを
書きました」。**6** とはいえ、創造の始
めから、『神は人間を男性と女性に造
りました』。**7** それで、男は父と母から
離れ、**8** 2人は一体となります。』。そ
れで、2人はもはや別々ではなく、一
体です。**9** ですから、神が結び合わ
せたものを、人が離してはなりません
」。**10** 再び家にいた時、弟子たち
はこのことについてイエスに質問し始
めた。**11** イエスは言った。「妻を離
婚して別の女性と結婚する人は、妻に
対して姦淫の罪を犯すのです」。**12** ま
た、もし妻が、夫と離婚した後、別の男

第9章

(7) ルカ 17:29
(1) マタ 5:13
ルカ 14:34, 35
(2) コロ 4:6
(3) ロマ 12:18
エフ 4:29
テサ一 5:13
ヘブ 12:14

第10章

(7) マタ 19:1, 2
(2) マタ 19:3
(3) 申 24:1
マタ 5:31
マタ 19:7
(2) 申 9:6
使徒 13:18
(2) マタ 19:8
(2) 創 1:27
創 5:2
マタ 19:4
(2) マタ 19:5
(2) 創 2:24
エフ 5:31
(2) マタ 19:6
(2) マタ 5:32
マタ 19:9
ルカ 16:18

第2欄

(7) ロマ 7:3
(1) マタ 19:13
ルカ 18:15
(2) マタ 18:4
マタ 19:14
ルカ 18:16
ペー 2:2
(2) マタ 18:3
ルカ 18:17
(2) マル 9:36
(2) マタ 19:16
ルカ 18:18
(2) 詩 86:5
マタ 19:17
ルカ 18:19
(2) 出 20:13
申 5:17
マタ 5:21
ヨ一 3:15
(2) 出 20:14
申 5:18
(2) 出 20:15
申 5:19
(2) 出 20:16
申 5:20
(2) レビ 19:13
(2) 出 20:12
申 5:16
エフ 6:2

性^{せい}と結婚^{けつこん}するなら、姦淫^{かんいん}をすることにな
ります」。

13 さて、イエスに触れてもらうため
に、人々が幼い子供たちを連れてき
たが、弟子たちは人々を叱りつけた。

14 イエスはこれを見て憤り、言った。
「子供たちを私の所に来させなさい。
止めようとしてはなりません。神の王
国はこの子供たちのような人のもの
だからです」。**15** はっきり言いますが、
おきな^{おきな} ことば^{ことば} 神^{かみ}の^{おう} 王^{おう}
国^{こく}はこの子供^{こども}たち^{こども}のような人^{ひと}のもの
だからです。**15** はっきり言いますが、
幼い^{おきな} 子供^{こども}のように神^{かみ}の^{おうこく} 王^{おう} 国^{こく}を受け入
れる人でなければ、決してそこに入れ
ません」。**16** それから、子供たちを
抱き寄せ、手を置いて、祝福があるよ
うにお願い始めた。

17 イエスが進んでいくと、ある男性
が走ってきてひざまずき、こう質問した。
「善い^よ 先生^{せんせい}、永遠^{えいえん}の命^{いのち}を受け^うけるには何
をしなければなりませんか」。**18** イ
エスは言った。「なぜ私のことを善い
と呼ぶのですか。神以外に善い者は
誰もいません」。**19** あなたはおきて
を知っています。『殺人^{ころ}をしてはいけ
ない。姦淫^{かんいん}をしてはいけない。盗んでは
いけない。偽りの証言^{しょうげん}をしてはいけ
ない。だまし取^とってはいけない。父^{ちち}
と母^{はは}を敬^{うやま}いなさい』。**20** その男性
は言った。「先生、その全てを子供の
時から守^{まも}ってきました」。**21** イエス
はその男性を見つめ、愛^{あい}を抱^{いだ}いて言っ
た。「あなたには1つのことが欠けてい
ます。行って、持っている物を全て売り、
貧しい人たちに与えなさい。そうすれ

ば、天^{てん}に宝^{たから}を持つようになります。それから来^きて、私^{わたし}の弟^{でし}子^しにききなさい」。

22 しかし、男^{おとこ}性^{せい}はこれ^{これ}を聞^きいて悲^{かな}しくなり、悲嘆^{ひたん}しながら去^さっていった。多^{おほ}くの資^し産^{さん}を持^もっていたからである。

23 イエスは周^{しゅう}圍^いを見^み回^{まわ}してから、弟^{でし}子^したち^{たち}に言^いった。「お金^{かね}のある人^{ひと}たちが神^{かみ}の王^{おう}国^{こく}に入^{はい}るのは何^{なん}と難^{むづか}しいのでしょ^う」。24 しかし、弟^{でし}子^したちはその言^{こと}ばに驚^{おどろ}いた。それでイエスは言^いった。「神^{かみ}の王^{おう}国^{こく}に入^{はい}るのは何^{なん}と難^{むづか}しいのでしょ^う」。25 裕^{ゆう}福^{ふく}な人^{ひと}が神^{かみ}の王^{おう}国^{こく}に入^{はい}るより^{より}は、ラ^らクダ^くが針^{はり}の穴^{あな}を通^{とお}る方^{ほう}が簡^{かん}単^{たん}です」。26 弟^{でし}子^したちはますます驚^{おどろ}いて、「い^いた^たい誰^{だれ}が救^{すく}われるのでしょ^うか」と言^いった。27 イエスは弟^{でし}子^したち^{たち}を真^まっすぐに見^みて言^いった。「人^{ひと}には不^ふ可^か能^{のう}でも、神^{かみ}にとつてはそ^そうではありま^ません。神^{かみ}には全^{かん}てのこ^{こと}が可^か能^{のう}なです」。28 ペテロ^{ペテロ}がイエスに言^いい^いだした。「見^みてくだ^{くだ}さい！ 私^{わたし}たちは全^{かん}ての物^{もの}に別^{わか}れを告^つげて、あな^あたに從^{したが}ってき^きました」。29 イエスは言^いった。「は^はき^きり言^いいます^が、私^{わたし}のため、ま^また良^よい知^しら^らせのた^ために、家^{いえ}、兄^{きょう}弟^{だい}、姉^し妹^{まい}、母^ぼ親^{しん}、父^ふ親^{しん}、子^こ供^{ども}、あ^あるい^いは^はは^はに別^{わか}れを告^つげた人^{ひと}は皆^{みな}、30 今^{いま}この時^じ期^きに百^{ひゃく}倍^{ばい}を、家^{いえ}、兄^{きょう}弟^{だい}、姉^し妹^{まい}、母^ぼ親^{しん}、子^こ供^{ども}、煙^{えん}を迫^{はく}害^{がい}と共^{とも}に得^えて、新^{しん}し^したい^{たい}せ^{せい}い^いえん^{えん}の命^{いのち}を得^えます。31 し

10:21 *または、「私の後に従い」。10:26 *もしかすると、「と言い合った」。10:30 *または、「時代」。用語集参照。

第10章

(イ) マタ 19:21

(イ) ルカ 18:23

(イ) エレ 9:23

テモ一 6:17

(イ) マタ 19:24

ルカ 18:25

(イ) マタ 19:25, 26

ルカ 18:26, 27

(イ) ヨブ 42:2

(イ) マタ 19:27

ルカ 18:28

(イ) マタ 10:37

マタ 19:29

ルカ 18:29, 30

(イ) マタ 5:11

使徒 14:22

第2欄

(イ) マタ 19:30

マタ 20:16

ルカ 13:30

(イ) マタ 20:17-19

マル 8:31

マル 9:31

ルカ 9:22

ルカ 18:31-33

(イ) 使徒 10:40

コ一 15:3, 4

(イ) マタ 10:2

(イ) マタ 20:20, 21

(イ) マタ 19:28

(イ) マタ 20:22, 23

ルカ 12:50

ヨハ 18:11

ロマ 6:3

(イ) 使徒 12:2

啓 1:9

かし、多^{おほ}くの最^{さい}初^{しよ}の人^{ひと}たちが最^{さい}後^ごに、最^{さい}後^ごの人^{ひと}たちが最^{さい}初^{しよ}になります」。

32 さて、一^{いっ}行^{こう}はエルサレ^{エル}ム^ムに上^{のぼ}る道^{みち}を先^すず進^{すす}んでいたが、イエス^{イエス}が先^{せん}頭^{とう}を行^いくので、弟^{でし}子^したちは非^ひ常^{じょう}に驚^{おどろ}いた。し^しかし、付^ついてきた人^{ひと}たちは恐^{おそ}れを感じ^{かん}るようになった。イエスは再^{ふた}び12人^{にん}を脇^{わき}に連^つれていき、自^じ分^{ぶん}に間^まもなく起^おき事^{こと}柄^{がら}を話^{はな}し始^{はじ}めた。33 「さあ、私^{わたし}たちはエルサレ^{エル}ム^ムに上^{のぼ}っていきま^ます。人^{ひと}の子^こは祭^{さい}司^し長^{ちやう}と律^{りつ}法^{ぽう}学^{がく}者^{しや}たち^ちに引^ひき渡^{わた}され、死^しにあ^あたい^{たい}と断^{だん}罪^{ざい}されて異^い国^{こく}の人^{ひと}々^{びと}に引^ひき渡^{わた}されま^ます。34 そして、人^{ひと}の子^こはあ^あざけられ、唾^{つば}を掛^かけられ、むち打^うたれ、殺^{ころ}されま^ます。し^しかし、3日^か後^ごに生^いき返^{かえ}りま^ます」。

35 ゼベダイ^{ゼベ}の息^{むすこ}子^しであるヤコ^{ヤコ}ブとヨハ^{ヨハ}ネが近^{ちか}づいてきて、言^いった。「先^{せん}生^{せい}、ぜ^ぜひと^ともお願^{ねが}いしたいこ^{こと}があるの^のです^が」。36 イエスは言^いった。「何^{なん}をし^して^はいいので^うか」。37 2人^{ふたり}は言^いった。「栄^{えい}光^{こう}をお受^うけに^になる時^{とき}、私^{わたし}たち^ちの1人^{ひとり}をあな^あたの右^{みぎ}に、1人^{ひとり}を左^{ひだり}に座^{すわ}らせてくだ^{くだ}さい」。38 し^しかしイエスは言^いった。「あな^あたたち^ちは、自^じ分^{ぶん}が何^{なん}を求^{もと}めているか^か分^わか^かつていま^{いま}せん。私^{わたし}が飲^のんでいる杯^{さかずき}から飲^のみ、私^{わたし}が受^うけてい^いるバ^バプテ^{プテ}スマ^{スマ}を受^うけるこ^{こと}がで^できま^ますか」。39 2人^{ふたり}は、「で^できま^ます」と言^いった。イエスは言^いった。「あな^あたたち^ちは、私^{わたし}が飲^のんでいる杯^{さかずき}から飲^のみ、私^{わたし}が受^うけてい^いるバ^バプテ^{プテ}スマ^{スマ}を受^うけるで^でし^しょう」。

10:33 *イエスのこと。用語集参照。

40 しかし、私の右または左に座することは、私が決めることではありません。その場所は、そこに座る者たちのために用意されています」。

41 ほかの10人はそのことを聞くと、ヤコブとヨハネに対して憤った。

42 しかしイエスは弟子たちを呼び、こう言った。「あなたたちは、国々の支配者と見なされている人たちが威張り、偉い人たちが権威を振るうことを知っています。43 あなたたちの間ではそうであってはなりません。偉くなりたい人は奉仕者でなければならず、

44 1番でありたい人は皆の奴隷でなければなりません。45 人の子でさえ、仕えてもらうためではなく仕えるために、また多くの人と引き換える贖いとして自分の命を与えるために来たのです」。

46 それから一行はエリコに入った。ところで、イエスと弟子たちおよびかなり大勢の人がエリコから出ていくと、目が見えない物乞いバルテマイ(テマイの子)が道路の脇に座っていた。47 そして、ナザレンイエスが通っていく、と聞くと、「ダビデの子イエス、憐れみをお掛けください!!」とおおごえさけ、大声で叫びだした。48 すると、多くの人が、黙っているようにと言って、叱り始めた。しかしバルテマイは、「ダビデの子よ、憐れみをお掛けください!」

10:42 *または、「を支配しているように見える」。

10:45 *用語集参照。

第10章

(7) マタ 20:24

(1) マタ 20:25
ルカ 22:25
ペー 5:2,3

(7) マタ 20:26,27
マル 9:35
ルカ 9:48
ルカ 22:26

(10) ヨハ 13:14
フィリ 2:7

(7) イザ 53:10
ダニ 9:24
マタ 20:28
ガラ 3:13
テト 2:13,14

(7) マタ 20:29-34
ルカ 18:35-43

(4) エレ 23:5
ロマ 1:3

(7) マタ 9:27
マタ 15:22

第2欄

(7) マタ 9:20,22

(1) イザ 35:5
イザ 42:7
マル 8:25

第11章

(7) ヨハ 11:18

(10) マタ 21:1-3
ルカ 19:29-34

(7) マタ 21:6

とますます叫び立てた。49 それでイエスは立ち止まり、「あの人を呼んでください」と言った。人々は目が見えないその人に、「勇氣を出して、立ち上がりなさい。あなたを呼んでおられる」と言った。50 その人は外衣を脱ぎ捨てて躍り上がり、イエスのもとに行った。51 イエスは、「何をしてほしいのですか」と言った。その人は、「ラボニ、目が見えるようにしてください」と言った。52 イエスは言った。「行きなさい。あなたが良くなったのは信仰があったからです。すると、バルテマイはすぐに目が見えるようになり、イエスの後に従うようになった。

11 さて、一行がエルサレムに近づいて、オリブ山にあるベテパゲとベタニヤの近くまで来た時、イエスは弟子の2人を遣わして、2 こう言った。「向こうに見えるあの村に行きなさい。そこに入るとすぐ、子ロバが1頭つながれているのが見つかります。まだ誰も乗ったことがないロバです。それを解いて連れてきてください。3 もし誰かに、『なぜそんなことをしているのだ』と言われたら、『主が必ずや要としているのです。すぐにここに返します』と言いなさい。4 そこで2人は出掛けていき、脇道沿いにある戸口の所に子ロバがつながれているのを見つけ、それを解いた。5 そこに立っていた人の何人かに、「子ロバを

10:51 *意味、「先生」。

と解いたりして何をしているのだ」と言われたが、**6** 2人がイエスから言われた通りに答えると、行かせてくれた。

7 イエスのもとに子ロバが連れてこられた。弟子たちはその上に自分の外衣を掛け、イエスが乗った。**8** また、多くの人は自分の外衣を道路に敷き、ほかの人たちは野原から葉の付いた枝を切り落としてきて、敷いた。**9** 前を行く人も後に続く人もこう叫び続けた。「お救いください、この方々！ エホバの名によって来る方が祝福されますように！ **10** 間もなく来る、私たちの父ダビデの王国が祝福されますように！ お救いください、この上なく高い所で！」**11** イエスはエルサレムに入って神殿に行き、全ての物を見て回った。しかし、もう時刻が遅かったので、12人と一緒にベタニヤに行った。

12 次の日、一行がベタニヤを出てくる時、イエスは空腹を感じた。**13** そして、遠くから、葉を付けたイチジクの木を見つけ、実がなっていないかと見に行った。しかし、近づいてみると、葉のほかには何も見当たらなかった。イチジクの季節ではなかったのである。**14** そこでイエスは木に向かって言った。「もう二度と実を付けないように」。弟子たちはそれを聞いていた。

15 一行はエルサレムにきた。イエ

第11章

(ワ) 王1:33
ゼカ 9:9

(イ) マタ 21:7,8
ヨハ 12:14,15

(ウ) ルカ 19:36
ヨハ 12:13

(エ) マタ 21:15

(オ) 詩 118:25,26
マタ 21:9
ルカ 19:37,38
ヨハ 12:13

(カ) ゼカ 9:9
ルカ 1:32

(キ) マタ 21:10

(ク) マタ 21:18

(コ) マタ 21:19
マル 11:20

第2欄

(ワ) マタ 21:12
ルカ 19:45,46
ヨハ 2:14-16

(イ) 王1:8:43
イザ 56:7

(ウ) エレ 7:11
マタ 21:13
ルカ 19:46
ヨハ 2:16

(エ) マル 14:1
ルカ 20:19

(オ) ルカ 19:47,48

(カ) マタ 21:19,20

(キ) マル 11:14

(ク) マタ 17:20
マタ 21:21
ルカ 17:6

(コ) マタ 7:7
マタ 18:19
マタ 21:22
ルカ 11:9
ヨハ 14:13
ヨハ 15:7
ヨハ 16:24

スは神殿に入り、神殿で売り買いしている人々を追出し始め、両替屋の台と、ハトを売る人のベンチを倒した。

16 また、神殿を通して物を運ぶことを誰にも許そうとしなかった。**17** そして、「『私の家は全ての国の人々のための祈りの家と呼ばれる』と書いてあるではありませんか。それなのに、あなた方はそれを強盗のすみかとししました」と言って教えていた。**18** 祭司長と律法学者たちはそれを聞き、どうしたらイエスを殺せるかを考えるようになった。イエスを恐れていたのである。群衆が皆イエスの教えに大変驚いていたからである。

19 夕方になると、イエスと弟子たちは都から出ていった。**20** そして朝早く、通り掛かりに、あのイチジクの木がすでに根元から枯れているのを見た。**21** ペテロが思い出してイエスに言った。「ラビ、見てください！ あなたが災いを宣告したイチジクの木が枯れています」。 **22** それでイエスは弟子たちに言った。「神に信仰を持ちなさい。**23** はっきり言いますが、誰でも、この山に向かって、『持ち上げて海に入れ』と言って、心の中で疑わず、自分の言うことは起きるという信仰があるなら、その通りになります。**24** ですから、祈って求めること全てはすでに与えられたという信仰を持ちなさい。そうすれば、それを受けることになります。**25** 立つて祈るときには、

誰かにに対して何か不満があっても許しなさい。天にいる父に自分の過ちを許していただくためです」。26 —

27 一行は再びエルサレムに来了。イエスが神殿を歩いていると、祭司長と律法学者と長老たちがやって来て、28 「どんな権威でこうしたことをするのか。こうしたことをする権威があなたに与えたのか」と言った。29 イエスは言った。「1つ質問します。それに答えるなら、私もどんな権威でこれらのことを行うかを言います。

30 ヨハネによるバプテスマは天からのものでしたか、それとも人からのものでしたか。答えてください」。31 その人たちは論じ合うようになった。「『天から』と言えば、『では、なぜ彼を信じなかったのか』と言うだろう。32 かといって、『人から』と言えるだろうか。群衆を恐れていたのである。皆が、ヨハネは確かに預言者だったとおもっていたからである。33 それでイエスに、「私たちは知らない」と答えた。イエスは言った。「私も、どんな権威で行うかを言いません」。

12 それからイエスは例えを使って話した。「ある男性がブドウ園を造り、周りを柵で囲い、ブドウ搾り場用に大きな穴を掘り、塔を建て、耕作人たちに貸し出し、外国へ旅行に出ました。2 時期が来て、耕

作人たちのもとに奴隷を遣わしました。ブドウ園の収穫をいくらか受け取るためです。3 ところが耕作人たちはその奴隷を捕まえて殴り、何も持たせずに去らせました。4 再び別の奴隷を遣わすと、耕作人たちは奴隷の頭を殴りつけ、侮辱しました。5 それで別の人を遣わすと、耕作人たちはその人を殺してしまいました。ほかに多くの人を遣わしたのですが、耕作人たちは殴ったり殺したりしました。6 まだ1人、遣わされる人がいました。愛する息子です。『私の息子なら尊敬するだろう』と言って、最後に息子を遣わしました。7 ところが、耕作人たちは互いに言いました。『こいつは相続人だ。さあ、殺してしまおう。そうすれば、ブドウ園はわれわれのものだ』。8 そして息子を捕まえて殺し、ブドウ園の外に放り出してしまいました。9 ブドウ園の持ち主はどうするでしょう。やって来て耕作人たちを殺し、ブドウ園をほかの人たちに与えるでしょう。10 あなた方はこの聖句を読んだことがないのですか。『建築者たちの退け石、それが主要な隅石となった。11 これはエホバによって生じたのであり、私たちにとって驚くべきものである』。

11:26 *付録A3参照。11:30 *または、「人によって来る」。

第11章

(7) 詩 103:10-12
マタ 6:12,14
エフ 4:32
コロ 3:13

(4) マタ 21:23-27
ルカ 20:1-8

(7) マル 1:4

(4) マタ 21:25
ルカ 20:4

(4) マタ 3:1,5
マタ 14:3,5
マル 6:20

第12章

(4) イザ 5:7

(4) イザ 5:2

(4) マタ 21:33-41
ルカ 20:9-16

第2欄

(4) ヘブ 11:32,37

(4) 詩 2:7
ガラ 4:4
ヨ一 4:9

(4) 詩 2:8
ヘブ 1:2

(4) 使徒 2:23

(4) マタ 21:41,43

(4) マタ 21:42
ルカ 20:17
使徒 4:10,11
エフ 2:20
ペー 2:7

(4) 詩 118:22,23

作人たちのもとに奴隷を遣わしました。ブドウ園の収穫をいくらか受け取るためです。3 ところが耕作人たちはその奴隷を捕まえて殴り、何も持たせずに去らせました。4 再び別の奴隷を遣わすと、耕作人たちは奴隷の頭を殴りつけ、侮辱しました。5 それで別の人を遣わすと、耕作人たちはその人を殺してしまいました。ほかに多くの人を遣わしたのですが、耕作人たちは殴ったり殺したりしました。6 まだ1人、遣わされる人がいました。愛する息子です。『私の息子なら尊敬するだろう』と言って、最後に息子を遣わしました。7 ところが、耕作人たちは互いに言いました。『こいつは相続人だ。さあ、殺してしまおう。そうすれば、ブドウ園はわれわれのものだ』。8 そして息子を捕まえて殺し、ブドウ園の外に放り出してしまいました。9 ブドウ園の持ち主はどうするでしょう。やって来て耕作人たちを殺し、ブドウ園をほかの人たちに与えるでしょう。10 あなた方はこの聖句を読んだことがないのですか。『建築者たちの退け石、それが主要な隅石となった。11 これはエホバによって生じたのであり、私たちにとって驚くべきものである』。

12 祭司長と律法学者たちは、自分たちのことを念頭に置いた例えだと

12:10 *直訳、「隅の頭」。用語集参照。12:11 *付録A5参照。

わ
分かったので、イエスを捕らえたいと
おも ぐんしゅう おそ
思ったが、群衆を恐れた。それで、イエ
スの こ さ け
スを残して去っていった。

13 次に、パリサイ派およびヘロデ
とう ひと なんにん とこ
党の人たちの何人かがイエスの所に
つか へ
遣わされた。イエスの揚げあしと
ためだった。14 この人たちは到着
すると、イエスに言った。「先生、私た
しは、あなたが真実を話す方で、誰の
かおいろ
顔色もうかがったりしないことを知っ
ています。あなたは人の外見を見るの
ではなく、真理に沿って神の道を教え
ているからです。カエサルに人頭税を
はら *
払ってよいでしょうか、払ってはいけな
いでしょうか。15 私たちは払うべき
でしょうか、払うべきではないでしょ
うか」。イエスは偽善を見破って言った。
わたし ため こうか*
「なぜ私を試すのですか。デナリ硬貨
をも み
を持ってきて見せなさい」。16 それ
が持つてこられると、イエスは言った。
だれ しょうぞう しょうごう
「これは誰の肖像と称号ですか」。そ
の ひと
の人たちは、「カエサルのです」と言っ
た。17 イエスは言った。「カエサル
のものはカエサルに、しかし神のものは
かみ かえ け
神に返しなさい」。その人たちはイエ
スの こた おどろ
の答えにととても驚いた。

18 復活などはないと言うサドカイ
派の ひと け
人たちがやって来て、こう尋ね
た。19 「先生、モーセは、もし誰か
し つま あと の こ こども
が死んで妻を後に残し、子供を残さ

第12章

(7) マタ 21:45, 46
ルカ 20:19

(1) マタ 22:15-22
ルカ 20:20-26

(2) ロマ 13:7
テト 3:1
ペー 2:13

(3) マラ 3:8
マタ 22:21
ルカ 20:25

(4) 使徒 23:8

(5) マタ 22:23-28
ルカ 20:27-33

第2欄

(7) 創 38:7, 8
申 25:5, 6

(1) マタ 22:29

(2) マタ 22:30
ルカ 20:34-36

(3) 出 3:2, 6
マタ 22:31
ルカ 20:37

(4) マタ 22:32
ルカ 20:38

(5) マタ 22:34-36

ないなら、彼の兄弟が残された妻と結
こん きょうだい し そん
婚して兄弟のために子孫をもうける
べきである、と書きました。20 7人
の兄弟がいきました。長男が妻を迎え
ましたが、子孫を残さずに死にました。
21 次男がその女性と結婚しました
が、子孫を残さずに死に、三男も同様
でした。22 そして、7人とも子孫を残
しませんでした。最後にその女性も死
にました。23 復活の際、この女性
は誰の妻なのでしょう。7人が妻に
したのです。24 イエスは言った。
「そのような考え違いをするのは、聖書
も神の力も知らないからではありません
んか。25 生き返る時、男性も女性も
けっこん てんし
結婚しません。天使のようになります。
26 死者が生き返ることに關しては、
モーセが書きたいばらの木に關する
きじゆつ なか かみ わたし
記述の中で、神がモーセに『私はアブ
ラハムの神、イサクの神、ヤコブの神
である』と言ったのを読まなかったの
ですか。27 この方は死んだ人の神
ではなく、生きている人の神です。あな
た方はひどい考え違いをしています」。
28 そばに來て議論を聞いていた律
ぼうがくしゃ ひとり
法学者の1人は、イエスが見事に答え
たを見て、こう尋ねた。「全てのおき
ての中で、どのおきてが第一ですか」。
29 イエスは答えた。「第一はこうで
す。1 きき
「聞きなさい、イスラエル、私た
かみ *
ちの神エホバはただひとりのエホバで

12:14 *または、「払うのは正しい」。12:15
*付録 B14参照。

12:28 *または、「最も重要」。12:29 *付録
A5参照。

あり、**30** あなたは、心を尽くし、知力を尽くし、力を尽くし、自分の全てを尽くして、あなたの神エホバを愛さなければならない』。**31** 第二はこうです。『あなたは隣人を自分自身のように愛さなければならない』。これらより重要なおきてはほかにありません。**32** 律法学者は言った。「先生、『神はただひとりであり、そのほかにはいない』と、真理に沿ってよくおっしゃいました。**33** 心を尽くし、理解力を尽くし、力を尽くして神を愛すること、また、隣人を自分自身のように愛することは、全焼の捧げ物と犠牲全部よりはるかに価値があります。』**34** イエスは、この人が的確に答えたのを見て、「あなたは神の王国から遠くありません」と言った。しかし、それ以上イエスに質問する勇氣は誰にもなかった。

35 一方イエスは、神殿で教えた時に、こう言った。「律法学者たちが、キリストはダビデの子だと言うのはどうしてですか。**36** 聖なる力によってダビデ自身がこう言いました。『エホバは私の主に言った。『私の右に座っていなさい。私があなたの敵たちをあなたの足の下に置くまで』。』

37 ダビデ自身が主と呼んでいるのに、どうしてダビデの子なのですか。』
大勢の人がイエスの話すことを喜んで聞いていた。**38** イエスは教えて

第12章

(例) 申 6:4,5
ヨシ 22:5
マタ 22:37
ルカ 10:27
(例) レビ 19:18
マタ 22:39,40
ロマ 13:9
ガラ 5:14
ヤコ 2:8
(例) 申 4:39
申 6:4
イザ 45:21

(例) 申 6:5
サー 15:22
ホセ 6:6

(例) マタ 22:46

(例) マタ 22:42-45
ルカ 20:41-44
ヨハ 7:42

(例) サニ 23:2
テモニ 3:16
ペニ 1:21

(例) 詩 110:1
使徒 2:34,35
コリ 15:25
ヘブ 1:13

(例) ロマ 1:3
啓 22:16

第2欄

(例) ルカ 20:45-47

(例) マタ 23:6,7
ルカ 11:43

(例) 王二 12:9

(例) ルカ 21:1

(例) ルカ 21:2

(例) ルカ 21:3
コニ 8:12

(例) ルカ 21:4

第13章

(例) マタ 24:1
ルカ 21:5

いる時に、こう言った。「律法学者たちがに氣を付けなさい。この人たちは長い服を着て歩き回ることや、広場であいさつされることを望み、**39** 会堂では最も良い席座を、夕食会では最も目立つ場所を望みます。**40** やもめたちの家から奪い取り、人の目に留まるように長い祈りをします。このような人たちは、それだけ厳しい処罰を受けます」。

41 イエスは寄付箱の見える所に座り、人々が寄付箱にお金を入れる様子を眺めていた。多くの裕福な人たちがたくさんのお金を入れていた。**42** そこへ、貧しいやもめがやって来て、ごく小額の小さな硬貨2枚を入れた。**43** イエスは弟子たちを呼び寄せて、こう言った。「はっきり言いますが、この貧しいやもめは、寄付箱にお金を入れたほかの人たち全てよりたくさん入れました。**44** 皆は余っている中から入れましたが、この女性にはむしろ自分が持つ全て、生活に必要な全てのものを入れたからです」。

13 イエスが神殿から出ていく時に、弟子の1人が言った。「先生、見てください。何と見事な石と建物なのでしょう」。**2** しかしイエス

12:39 *または、「正面の」。**12:40** *または、「財産を」。^aまたは、「見せ掛けのために」。^aまたは、「重い」。**12:41** *または、「容器」。**12:42** *直訳、「2レプタ、つまり1クワドランス」。^a付録B14参照。

12:30 *ギリシャ語、プシュケー。用語集参照。
12:30, 36 *付録A5参照。

は言った。「この立派な建物を見ているのですか。石がこのまま石の上に残って崩されないでいることは決してありません」。

3 イエスがオリブ山の上で神殿が見える所に座っていた時、ペテロ、ヤコブ、ヨハネ、アンデレだけが来て尋ねた。4 「教えてください。そのようなことはいつあるのでしょうか。それから全ての終結が近いことを示すしるしは何ですか」。5 イエスはこう言い始めた。「誰にも惑わされないように気を付けなさい。6 多くの人が私の名を使って現れ、『私がその者だ』と言って多くの人を惑わします。7 また、戦争の音や戦争の知らせを聞いても、動揺してはなりません。これらのことは必ず起きますが、終わりはまだなのです」。

8 国民は国民に、王国は王国に敵対して立ち上がり、あちこちで地震があり、食糧不足もあります。これらは苦しみの激痛の始まりです。

9 気を付けていなさい。あなたたちは地方法廷に引き渡され、会堂で打ちたたかれ、私のために総督や王の前に立たされます。その人たちに証言するためです。10 また、全ての国の人々の間で、良い知らせがまず伝えられなければなりません。11 人々があなたたちを引き渡すために連れていくとき、何を言おうかと心配してはな

第13章

(ア) レビ 26:31
マタ 24:2
ルカ 19:44
ルカ 21:6
(イ) マタ 24:3
ルカ 21:7
(ウ) マタ 24:4,5
ルカ 21:8
(エ) マタ 24:6
ルカ 21:9
(オ) 啓 6:4
(カ) マタ 24:7
ルカ 21:10,11
啓 6:6,8
(ケ) マタ 24:8
(コ) 使徒 4:15
(ク) マタ 10:17
ヨハ 16:2
(コ) マタ 24:9
ルカ 21:12,13
テモニ 3:12
啓 2:10
(ウ) マタ 24:14
ロマ 10:18
啓 14:6

第2欄

(ア) 出 4:12
マタ 10:19,20
ルカ 12:11,12
ルカ 21:14,15
使徒 4:8
使徒 6:9,10
(イ) ミカ 7:6
マタ 10:21
ルカ 21:16
テモニ 3:1,3
(ウ) ルカ 21:17
(エ) テモニ 4:7
ヘブ 3:6
(ウ) マタ 10:22
マタ 24:13
ルカ 21:19
啓 2:10
(ウ) ダニ 9:27
ダニ 11:31
(ケ) マタ 24:15-20
ルカ 21:20-23
(ク) ルカ 21:23
ルカ 23:28
(ウ) 啓 7:14
(コ) ダニ 12:1
マタ 24:21
(ウ) マタ 24:22

りません。何でもその時に与えられること、それを言いなさい。話すのは、あなたたちではなく、聖なる力だからです。12 さらに、兄弟が兄弟を、父が子供を引き渡して死なせ、子供が親に歯向かい、死に至らせます。13 そしてあなたたちは、私の名のために全ての人から憎まれます。しかし、終わりで耐え忍んだ人が救われます。

14 荒廃をもたらす極めて不快なもの、立つてはならない所に立っているのを見掛けるなら(読者は識別力を働かせなさい)、その時、ユダヤにいる人は山に逃げ始めなさい。15 屋上にいる人は、下りてはならず、家から何かを持ち出そうとして中に入ってもなりません。16 畑にいる人は、外衣などの物を取りに帰ってはなりません。17 その期間、妊娠している女性と赤ん坊に乳を飲ませている人にとっては悲惨なことになります。18 それで冬に起きないように祈っていなさい。19 その期間は、神による創造の始めからその時まで起きたことがなく、また二度と起きないような患難の期間となるからです。20 実際、エホバがその期間を短くしないとすれば、誰も救われないでしょう。しかし神は、選んだ者たちのために、その期間を短くします。

21 またその時、『見なさい、ここにキリストがいる』とか、『見なさい、そ

こにいる』とか言う人がいても、信じてはなりません。22 偽キリストや偽預言者が現れ、できれば選ばれた者たちをも迷わそうとして、奇跡や不思議なことを行うからです。23 ですから、気を付けなさい。私はあなたたちに全てのことを前もって告げました。

24 しかしその期間、その患難の後に、太陽は暗くなり、月は光らず、25 星は天から落ちていき、天にある力は揺り動かされます。26 またその時、人々は、人の子が大きな力と栄光を帯びて雲と共に来るのを見ます。27 そしてその時、人の子は天使たちを遣わし、四方から、地の果てから天の果てまで、選ばれた者たちを集めます。

28 イチジクの木の例えから学びなさい。若枝が柔らかくなって葉を出すと、すぐに、夏が近いことが分かります。29 同じように、これらのことが起きているのを見たら、人の子が近づいて戸口にいることを知りなさい。30 はっきり言いますが、これら全てが起きるまで、この世代は決して過ぎ去りません。31 天と地は過ぎ去りますが、私の言葉は決して過ぎ去りません。

32 その日や時刻については誰も知りません。天使たちも子も知らず、父だけが知っています。33 ずっと見えて、目を覚ましていなさい。あなたたち

13:22 *直訳、「しるし」。13:26 *イエスのこと。用語集参照。13:27 *直訳、「4つの風」。

第13章

㉞ マタ 24:23, 24

ルカ 17:23

ルカ 21:8

ヨハ 4:1

㉞ マタ 7:15

㉞ マタ 24:42

エフ 6:18

ペテ 3:17

㉞ マタ 24:29

ルカ 21:25, 26

㉞ ダニ 7:13

㉞ マタ 24:30

ルカ 21:27

啓 1:7

㉞ マタ 24:31

㉞ マタ 24:32

ルカ 21:29-33

㉞ マタ 24:33

㉞ マタ 24:34

ルカ 21:32

㉞ イザ 51:6

㉞ ヨシ 23:14

イザ 40:8

マタ 24:35

㉞ マタ 24:36

使徒 1:7

㉞ ロマ 13:11

テサロ 5:6

第2欄

㉞ マタ 25:13

ルカ 21:34

㉞ マタ 25:14

㉞ ルカ 12:35, 36

㉞ マタ 24:42

㉞ ルカ 21:36

㉞ マタ 25:5

㉞ ハバ 2:3

第14章

㉞ 出 12:3, 6

レビ 23:5

㉞ レビ 23:6

㉞ ヨハ 13:1

㉞ マタ 26:2-5

ルカ 22:1, 2

㉞ マタ 26:6-9

ヨハ 12:2-5

は、定められた時がいつかを知らないからです。34 それは、家を離れて外国へ旅行に行く人が、奴隷たちに權威を与え、それぞれに仕事を委ね、戸口番にはずっと見張っているようにと命令するのに似ています。35 それで、家の主人がいつ帰ってくるか、夜の初めか、夜遅くか、夜明け前か、あるいは早朝かを知らないのですから、ずっと見張っていなさい。36 主人が突然に来てあなたたちが眠っているところを見つけたということのないためです。37 私があなたたちに言っていることは、全ての人に言っているのです。ずっと見張っていなさい。

14 さて、過ぎ越しと無酵母パンの祭りが2日後に迫った。祭司長と律法学者たちは、イエスをうまく捕らえて殺す方法を探していた。

2 こう言っていた。「祭りの時はやめておこう。民が騒動を起こすかもしれない」。

3 イエスがベタニヤで、重い皮膚病だったシモンの家で食事をしていた時に、1人の女性が、白い石のつぼに入った香油を持ってやって来た。香油は純粋のナルドで、とても高価なものだった。女性はつぼの口を割り、イエスの頭に注ぎ始めた。4 すると、何人かが憤って互いに言った。「香油がもったいないではないか。5 この香

13:35 *直訳、「おんどりが鳴く頃」。14:1 *または、「計略によって」。14:3 *直訳、「雪花石こう」。

油^ゆなら300デナリ^{せいじょう う}以上で売^うれて、貧^{まず}しい人^{ひと}たちに施^{ほどこ}しをすることができたのに^に!」そして、その女性^{じょせい}のことを非常^{ひじょう}に不快^{ふかい}に感じていた。6 しかしイエスは言^いった。「この女性^{じょせい}をそのままにしておきなさい。なぜ困^{こま}らせようとするのですか。私^{わたし}に立派^{りっぱ}なことをしてくれました^のです。7 貧^{まず}しい人^{ひと}たちはずっといて、いつでも望^{のぞ}む時^{とき}に善^よいことをしてあげられますが、私^{わたし}はずっといるわけ^{わけ}ではありません。8 この女性^{じょせい}は自分^{ぶん}にできることをしました。私^{わたし}の体^{からだ}が葬^{ほうむ}られる時^{とき}のために香油^{こう ゆ}を注^{そそ}いだのです。9 はっきり言^いいますが、世界中^{せかいじゅう}どこでも良^よい知らせが伝^{つた}えられる所^{ところ}では、この女性^{じょせい}がしたことも語^{かた}られ、思^{おも}い起^{おこ}されま^すす」。

10 12人^{にん}の1人^{ひとり}ユダ・イスカリオテは、イエスを裏切^{うらぎ}って渡^{わた}そうとして、祭司長^{さいしやう}たちの所^{ところ}に行^いった。11 話を聞^きいた祭司長^{さいしやう}たちは喜^{よろこ}び、銀^{ぎん}を与^{あた}えることを約束^{やくそく}した。それでユダは、裏切^{うらぎ}る機会^{きかい}を探^{さが}うようになった。

12 無酵^{むこう}母^ぼパン^{ぱん}の最初^{さいしよ}の日^ひ、慣例^{かんれい}として過^すぎ越^げしの犠^ぎ牲^{せい}を捧^{ささ}げると、弟子^{でし}たちがイエスに言^いった。「過^すぎ越^げしの食^{しょく}事を、どこに行^いって準備^{じゅんび}したらいいでしょうか。13 そこでイエスはこう言^いって弟子^{でし}の2人^{ふたり}を遣^{つか}わした。「町^{まち}の中^{なか}に行^いきなさい。そうすると、水^{みづ}がめを運^{おとこ}んでいる男^{ひと}の人に会^あいます。付^つ

14:5 *付録B14参照。*または、「に腹立たしく語った」、「をとがめた」。14:11 *または、「お金」。

第14章

(マ) マタ 26:10
ヨハ 12:7
(イ) 申 15:11
(マ) マタ 26:11
ヨハ 12:8
(マ) マタ 26:12
ヨハ 12:7
(マ) マタ 24:14
(マ) マタ 26:13
(マ) マタ 26:14-16
ルカ 22:3-6

(マ) ゼカ 11:12
(マ) 出 12:15, 18
出 23:15
(マ) ルカ 22:1, 7
(マ) 民 9:2
マタ 26:17-19

第2欄

(マ) ルカ 22:10-13
(イ) マタ 26:20
ルカ 22:14
(マ) 詩 41:9
マタ 26:21, 22
ルカ 22:21, 23
ヨハ 13:21, 22
(マ) マタ 26:23
(マ) ルカ 22:22
(マ) マタ 26:24
(マ) マタ 26:26
ヨハ 11:23, 24
(マ) マタ 26:27
ヨハ 10:16
ヨハ 11:25
(マ) エレ 31:31
ヘブ 7:22
ヘブ 9:15

(マ) 出 24:8
レビ 17:11
ヘブ 9:22

いていて、14 その人^{ひと}がどこに入^{はい}っていても、家^{いえ}の主人^{しゅじん}にこう言^いいなさい。『先生^{せんせい}が、弟子^{でし}たちと過^すぎ越^げしの食^{しょく}事ができる客室^{きやくしつ}はどこでしょうか』と言^いっています。15 そうすると、整^{ととの}った大きな階^{かい}上の部屋^{へや}を見せてくれます。そこで準備^{じゅんび}をきなさい。16 それで弟子^{でし}たちは出^でていった。町^{まち}に入^{はい}ると、イエスが言^いった通り^{とおり}になり、過^すぎ越^げしの準備^{じゅんび}をした。

17 夕方^{ゆうがた}になってから、イエスは12人^{にん}と共^{とも}に来^きた。18 食卓^{しょくたく}に着^ついて食^{しょく}べていた時^{とき}、イエスは言^いった。「はっきり言^いいますが、私^{わたし}と一緒に食^{しょく}事^じをしているあなたたちの1人^{ひとり}が私^{わたし}を裏切^{うらぎ}ります」。19 弟子^{でし}たちは深^{ふか}く悲^{かな}しみ、「まさか私^{わたし}ではありませんね」と口々^{くちぐち}に言^いい始めた。20 イエスは言^いった。「それは12人^{にん}の1人^{ひとり}、私^{わたし}と一緒にパンを鉢^{はち}に浸^{ひた}っている人^{ひと}です。21 人^{ひと}の子は書^かかれてい^おる通り去^とっていきますが、人^{ひと}の子を裏切^{うらぎ}るその人^{ひと}には災^{わざわ}いがあります! 生^うまれてこ^なかった方^{ほう}がよかったでしょう」。

22 食事中^{しょくじちゆう}に、イエスはパンを取^とり、祈^{いの}ってから、それ^{それ}を割^わって渡^{わた}し、「取^とりなさい。これは私^{わたし}の体^{からだ}を表^{あらわ}しています」と言^いった。23 また、杯^{さかずき}を取^とり、感^{かん}謝^{しゃ}の祈^{いの}りをしてから、それ^{それ}を渡^{わた}した。みな、さかずき^のを飲^のんだ。24 イエスは言^いった。「これは私^{わたし}の『契約^{けいやく}の血^{けち}』を

14:18 *直訳、「で横になって」。14:21 *イエスのこと。用語集参照。

あらわ 表しています。それは多くの人のため^{おほ}に注ぎ出されることになっていま^{ひと}す。25 はっきり言いますが、私は神^{おほく}の王国^{あた}で新しいものを飲む^のその日^ひまで、ブドウからできたものをもう決して^{けつ}飲みません^の。26 最後に、皆で賛美^{さいご}の歌^{みな}を歌ってから、オリーブ山^{さん}に出て^びいった。

27 イエスは言った。「あなたたちは^い皆、私を見捨てます。『私は牧者^{ぼくしや}を打^うつ。すると、羊は散り散りになる』と書^かいてあるからです。28 しかし私は^わ生き返らされた後、先にガリラヤに行^いきます。29 するとペテロは言った。「たとえほかのみんなが見捨てても、私^わは見捨てません」。30 するとイエスは言った。「はっきり言いますが、今日^{けふ}、そう^{こん}です、今夜^{こんや}、おんどりが2度鳴く前^{まえ}に、あなたは3度、私を知らないと言^いいます」。31 しかしペテロはこう言^いい張った。「一緒に死ぬことになるとして^{いっしょ}も、あなたを知らないとは決して言^いいません」。ほかの皆も同じことを言^いいだした。

32 ゲッセマネという所^{ところ}に来ると、イエスは弟子^{でし}たちに言^いった。「私が祈^{いの}りをする間、ここに座^{あひだ}っていなさい」。33 それから、ペテロとヤコブとヨハ^つネを連れていったが、不安^{ふあん}に駆^かられ、ひどく苦悩^{くなん}し始めた。34 そして3人に言^いった。「私は悲^{かな}しみのあまり、死^しんで

14:26 *または、「詩編」。 14:33 *または、「ばうぜんとし」。

第14章

(7) イザ 53:12
マタ 26:28
ルカ 22:20
(4) マタ 26:30
ルカ 22:39
ヨハ 18:1
(7) イザ 53:5
ダニ 9:26
(24) ゼカ 13:7
マタ 26:31-33
マタ 26:56
マル 14:50
ヨハ 16:32

(7) マル 16:7
(7) ルカ 22:31-33
ヨハ 13:37
(4) マタ 26:34
ルカ 22:34
ヨハ 13:38
(7) マタ 26:35
(7) マタ 26:36, 37
ルカ 22:39-41
ヨハ 18:1
(7) マル 9:2
(7) ヨハ 12:27

第2欄

(7) マタ 26:38
(4) ロマ 8:15
ガラ 4:6
(7) マタ 26:39
ルカ 22:42
ヨハ 6:38
ヘブ 5:7
(24) マタ 26:40
ルカ 22:45
(7) マタ 6:13
ルカ 11:4
ルカ 22:46
(7) マタ 26:41
ロマ 7:23
(4) マタ 26:42-46

(7) ヨハ 13:1

(7) ヨハ 18:2

しまいそうです。ここにとどまって、ずつと見張^{みは}っていなさい。35 イエスは少し進んでいって地面^{じめん}に伏し、もしで^ふきることならその事態^{じぶん}が自分^すから過^かぎ去^さるように、と祈^{いの}り始めた。36 こ^いう言^いった。「アバ、父^{ちち}よ、あなたには全^{すべ}てのことが可能です。この杯^{さかずき}を私^{わたし}から取^とり除^{のぞ}いてください。それでも、私^{わたし}の望^{のぞ}むことではなく、あなた^{のぞ}の望^{のぞ}まれることを」。37 イエスは戻^{もど}り、3人^{にん}が眠^{ねむ}っているのを見て、ペテロに言^いった。「シモン、眠^{ねむ}っているのですか。1時^{かん}間^み見張^{みは}っている力^{ちから}もなかったのですか。38 ずつと見張^{みは}っていて絶えず^い祈^{いの}り、誘惑^{ゆうわく}に負^まけないようにしていなさい。もっとも、心^{こころ}は強く願^{ねが}っていて^ねも、肉体^{にくたい}は弱^{よわ}いのです。39 イエスは再び離^{ふた}れていき、同じこと^{おな}を祈^{いの}った。40 再び戻^{もど}ると、3人^{にん}は眠^{ねむ}っていた。まぶたが重^{おも}くなっていたのである。3人^{にん}はイエスに何^{なん}と言^いっていいか分^わからなかつた。41 それから、イエスは3度目^{どめ}に戻^{もど}ってきて、言^いった。「このよ^ような時^{とき}に、あなたたちは眠^{ねむ}って休^{やす}んでいま^いす! もう十分^{じゅうぶん}です! 時^{とき}が来^きました! さあ、人^{ひと}の子は裏切^{うらぎ}られて罪人^{つみびと}たちに引^ひき渡^{わた}されます。42 立^たちなさい。行^いきましよう。見^みなさい、私^{わたし}を裏切^{うらぎ}る人^{ひと}が近^{ちか}づいてきました」。

43 するとすぐ、イエスがまだ話^{はな}しているうちに、12人^{にん}の1人^{ひとり}であるユダ^{はな}が

14:36 *「父よ」という意味のヘブライ語もしくはアラム語。 14:38 *または、「やる気はあつても」。

あらわ さいしちょう りっぽうがくしゃ ちょうろう
現れた。祭司長と律法学者と長老たち
につか ひとびと つるぎ ぼう
ちに遣わされた人々も、剣やこん棒を
も いっしょ き けい うら
持って一緒に来た。44 イエスを裏
切るものまえ あいず う あ
ける者は前もって合図を打ち合わせ、
わたし うち ひと つか
「私が口づけするのがその人だ。捕ま
えて、しっかりと引いていけ」と言っ
ていた。45 それで、真つすぐイエスに
近づき、「ラビ!」と言って、優しく口づ
けた。46 人々はイエスを捕らえ
て拘束した。47 しかし、そばに立っ
ていた1人が剣を抜き、大祭司の奴隷
におそ か つるぎ ぬ だいいし けい
に襲い掛かって耳を切り落とした。
48 そこでイエスは言った。「強盗に
対するように剣やこん棒を持って私を
と き わたし まい
捕らえに來たのですか。49 私は毎
にちしん でん おし とき がた いっしょ
日神殿で教える時にあなた方と一緒に
にいたのに、あなた方は私を捕まえま
せんでした。でも、これは聖書の言葉
が実現するためです」。

50 弟子たちは皆イエスを見捨てて
に 逃げていった。51 しかし、上等の
あ まぬの ふく き わかもの あと つ
亜麻布の服を着た若者がすぐ後を付
いていった。人々がこの若者を捕まえ
ようとしたが、52 亜麻布の服を残し
て、裸のまま逃げていった。

53 イエスは大祭司の所に引いてい
か、祭司長と長老と律法学者たち全
員が集会した。54 ペテロは、かな
り離れてイエスに付いていき、大祭司
の家の中庭に入った。そして、その家
の従者たちと一緒に座って、たき火で
からだ あたた けい いっぽう さいしちょう
体を温めていた。55 一方、祭司長

14:52 *または、「半裸で」、「下着姿で」。

第14章

(マ) マタ 26:47-51
ルカ 22:47-51
ヨハ 18:3

(イ) マタ 26:51
ルカ 22:50
ヨハ 18:10

(マ) マタ 26:55,56
ルカ 22:52,53

(ヨ) ルカ 19:47
ヨハ 18:20

(マ) 詩 22:6
イザ 53:7
ダニ 9:26
ルカ 22:37

(マ) ゼカ 13:7
マタ 26:31
ヨハ 16:32

(マ) ヨハ 18:13

(マ) マタ 26:57
ルカ 22:54,55

(マ) マタ 26:58
ヨハ 18:15

第2欄

(マ) マタ 26:59,60

(イ) 詩 35:11

(マ) マタ 26:61
マル 15:29
ヨハ 2:19

(マ) マタ 26:62,63

(マ) イザ 53:7
ペー 2:23

(マ) ダニ 7:13

(マ) 詩 110:1
エフ 1:20
コロ 3:1

(マ) マタ 24:30
マタ 26:64
ルカ 21:27
啓 1:7

(マ) マタ 26:65,66

(ヨ) レビ 24:16
ヨハ 19:7

(マ) イザ 50:6
イザ 53:3
マタ 26:67,68

たちとサンヘドリン全体は、イエスを
死刑にするため、イエスに不利な証言
を探していたが、見つけれなかった。
56 大勢の人がイエスに不利な
偽証をしていたが、その証言は一致し
ていなかったのである。57 また、あ
る人たちが立ち上がり、イエスに不利
な偽証をしてこう言った。58 「この
者が、『人手によるこの神殿を壊し、人
手によらない別のものを3日で建てる』
と言うのを聞きました」。59 しかし、
こうした点でも証言は一致していな
かった。

60 そこで、大祭司が真ん中に立ち、
イエスにこう質問した。「何も答えな
いのか。この人たちがあなたに不利
な証言をしているが、どうなのか」。

61 しかしイエスは黙ったままで、全く
答えなかった。大祭司が再び質問を
始め、「あなたは褒めたたえるべき方
の子キリストか」と言った。62 する
とイエスは言った。「その通りです。あ
なた方は、人の子が強力な方の右に
座り、また天の雲と共に来るのを見ま
す」。63 大祭司は衣服を引き裂い
て、言った。「これ以上、証人が必要で
しょうか。64 皆さんは冒瀆の言葉
を聞きました。どうしますか」。皆、
イエスを死に値する者と断罪した。

65 ある人たちはイエスに唾を掛けた
り、イエスの顔を覆ってからこぶで殴
り、「誰が殴ったか、預言者なら言っ

14:55 *用語集参照。14:64 *または、「どう
考えますか」。

みる!」^いと言^はじ^はめた。法^{ほう}廷^{てい}の役^{やく}人^{にん}たちは、顔^{かお}を平^{ひら}手^て打^うち^てし^てから、^つ連^れて^いい^った。

66 さて、ペテロ^{した}が下^{した}の中^{なかに}庭^わに^いい^ると、大^{だい}祭^{さい}司^しに仕^{つか}え^る女^{じょ}性^{せい}の1人^{ひとり}がや^って来^きた。**67** ペテロ^めが体^てを温^ぬめ^てい^るのを目^めにし、ペテロ^みを真^まっすぐに見^みて、言^いった。「あなたも、あ^なのナザ^なレ^れ人^{じん}イエス^{いっしょ}と一^{いっ}緒^{しょ}にいま^{いま}し^た」。**68** し^しかしペテロ^しはそれ^{それ}を否^ひ定^{てい}し、「そ^その人^{ひと}を知ら^しないし、あ^あなたが何^{なに}を話^{はな}して^いるの^のかも理^り解^{かい}で^きない」と言^いって、入^いり口^{ぐち}の方^{ほう}に出^でてい^いった。**69** そ^そこで女^{じょ}性^{せい}はペテロ^{せい}を目^めにし、そば^{そば}に立^たて^いい^る人^{ひと}たち^{たち}に、「こ^この^{この}人^{ひと}は彼^{かれ}ら^らの仲^な間^まで^す」と、ま^また言^いい^はじ^はめた。**70** ペテロ^{ふた}は再^{また}びそれ^{それ}を否^ひ定^{てい}した。しば^{しば}らくし^て、そば^{そば}に立^たて^いた人^{ひと}たち^{たち}がま^またもやペテロ^いに言^いい^だした。「確^{たし}かにあ^あなたは彼^{かれ}ら^らの仲^な間^まだ。実^{じつ}際^{さい}、ガリ^がラヤ^ら人^{じん}では^{では}ないか」。**71** し^しかしペテロ^いは、「あ^あなたたち^{たち}が言^いっ^てい^る人^{ひと}など知^しら^ない」と言^いい、う^うそ^そなら神^{しん}罰^{ばつ}を受^うけ^ても^もい^いと誓^{ちか}い^はじ^はめた。**72** す^すぐに、お^おん^んど^どりが2度^ど目^めに鳴^ないた。ペテロ^めは、「お^おん^んど^どりが2度^ど鳴^なく前^{まえ}に、あ^あなたは3度^ど、私^{わたし}を知ら^しないと言^いいます」^(イ)とイエス^いから言^いわ^れた^{こと}を思^{おも}い^だし、泣^なき崩^{くず}れ^た。

15 明^あけ方^{がた}にな^なるとす^すぐ、祭^{さい}司^し長^{ちょう}と長老^{ちやうろう}と律^{りつ}法^{ぽう}学^{がく}者^{しゃ}たち^が、す^すなわ^なち、サンヘドリン^{ぜんたい}全^{ぜん}体^{たい}が協^{きやうぎ}議^ぎをし

14:68 *または、「入り口の間」。

第14章

(イ) ルカ 22:63-65

(イ) マタ 26:69-75

ルカ 22:55-62

ヨハ 18:25, 26

(イ) ヨハ 18:27

(イ) マタ 26:34

マル 14:30

ルカ 22:34

ヨハ 13:38

第2欄

第15章

(イ) 詩 2:2

マタ 27:1, 2

ルカ 22:66

ヨハ 18:28

使徒 3:13

使徒 4:26

(イ) ヨハ 18:33, 37

(イ) マタ 27:11-14

ルカ 23:3

(イ) マタ 26:62

(イ) ヨハ 19:9, 10

(イ) イザ 53:7

(イ) マタ 27:15-18

ヨハ 18:39

(イ) ルカ 23:16

(イ) マタ 21:38

(イ) マタ 27:20-23

使徒 3:14

(イ) ルカ 23:20-25

(イ) ヨハ 19:6

た。そして、イエスを縛^{しば}って引^ひいてい^いき、ピラト^ひに引^ひき渡^{わた}した。**2** ピラト^{じん}がイエス^{おう}に、「あ^あなたはユダヤ^{しや}人の王^{わう}なのか」^(イ)と質^{しつもん}問^{もん}すると、イエス^いは、「そ^その通^とり^とで^です」^(イ)と答^{こた}え^えた。**3** し^しかし祭^{さい}司^し長^{ちやう}たち^{たち}は、多^{おほ}くのこ^ことに^につ^ついてイエス^いを訴^うえ^えた。**4** そ^そこでピラト^{ふた}は再^{また}び質^{しつ}問^{もん}し^はじ^はめた。「何^{なん}も答^{こた}え^えるこ^ことはな^ないのか。こ^{この}人^{ひと}たち^{たち}はこ^{この}ん^{この}な^なに多^{おほ}くのこ^ことを訴^うえ^えて^いるで^はないか」。**5** それ^いでも、イエス^いはも^もう何^{なん}も答^{こた}え^えな^なか^かつ^つた。そ^そのた^ため^めピラト^いはと^とて^ても驚^{おどろ}いた。

6 とこ^ころで、ピラト^{まつ}は祭^{まつ}りのた^たびに、^{ひと}人^{ひと}々^々が求^{もと}める囚^{しゅう}人^{じん}1人^{ひとり}を釈^{しゃく}放^{ほう}して^いいた。**7** こ^{この}の^{この}時^{とき}に^には、バ^ばラ^らバ^バとい^いう男^{おとこ}が暴^{ぼう}動^{どう}を起^{おこ}した者^{もの}たち^{たち}と一^{いっ}緒^{しょ}に牢^{ろう}屋^やに入^いっ^てい^いた。暴^{ぼう}動^{どう}の^{さい}際^{さい}に殺^{さつ}人^{じん}を^おか^かの^{もの}を^{ぐん}ん^{しゅう}犯^{はん}した者^{もの}たち^{たち}だ^だつ^つた。**8** 群^{ぐん}衆^{しゅう}がや^やつて来^きて、い^いつ^いつ^いの^のよ^ように^にし^してほ^ほしいとピラト^いに求^{もと}め^めはじめ^{はじめ}た。**9** それ^{それ}に^に対^{たい}してピラト^いは言^いった。「ユダヤ^{じん}人^{おう}の王^{わう}を釈^{しゃく}放^{ほう}してほ^ほしいのか」。**10** 祭^{ちやう}司^し長^{ちやう}たち^{たち}がイエス^ひを引^ひき渡^{わた}したの^のがね^ねた^たみ^みのため^めであるこ^ことに^に気^き付^づいて^いいた^たのである。**11** し^しかし祭^{さい}司^し長^{ちやう}たち^{たち}は、代^かわ^わりにバ^ばラ^らバ^バを釈^{しゃく}放^{ほう}させ^せよう^ととして群^{ぐん}衆^{しゅう}をあ^あお^おった。**12** そ^そこでピラト^{ふた}は再^{また}び言^いった。「で^では、ユダヤ^{じん}人^{じん}の王^{わう}と呼^おん^んで^でい^いる者^{もの}の方^{ほう}はど^どうした^らい^いか」。**13** 群^{ぐん}衆^{しゅう}はも^もう一^{いち}度^ど叫^{さけ}ん^んだ^だ。「杭^かに掛^かけろ!」**14** し^しかしピラト

15:2 *直訳、「あなた自身が言っています」。肯定を意味する慣用表現。15:13 *または、「杭に掛けて処刑しろ」。

は言った。「この人がどんな悪事をし
たというのか」。それでみんな群衆は、「杭
に掛けろ!」とますます激しく叫んだ。

15 そこでピラトは、群衆を満足させよ
うと思ってバラバを釈放し、イエスをむ
ちで打たせてから、杭に掛けて処刑す
るために引き渡した。

16 兵士たちはイエスを中庭に、つ
まり総督の邸宅内に引いていき、全部
隊を呼び集めた。17 そして、イエス
に紫の衣をまといわせ、いばらの冠を編
んでかぶらせて、18「ごあいさつ申
し上げます、ユダヤ人の王よ!」と呼び
掛け始めた。19 また、アシで頭をた
たいたり唾を掛けたりし、ひざまずい
てひれ伏した。20 最後に、あざけ
つてから、紫の衣を剥ぎ取って、本人の
外衣を着せた。そして、杭にくぎ付け
にするために連れ出した。21 また、
田舎から来ていた通行人にイエスの
苦しみの杭を強制的に運ばせた。そ
れは、アレクサンデルとルフォスの父
と親である、キレネのシモンという人
だった。

22 こうして、兵士たちはイエスをゴ
ルゴタという所に連れてきた。これは
訳せば、「どくろの場所」という意味で
ある。23 ここで、没薬を混ぜたぶど
う酒を与えようとしたが、イエスは受
けようとしなかった。24 それから、
イエスを杭にくぎ付けにし、イエスの

15:18 *または、「万歳」。15:19 *または、「敬
意を表するしぐさをした」。15:21 *用語集参
照。15:23 *麻酔作用がある。

第15章

(7) 使徒 3:13
使徒 13:28

(7) ヨハ 19:1

(7) マタ 27:24,26

(7) マタ 27:27-31

(7) ヨハ 19:3

(7) ヨハ 19:16

(7) マタ 27:32
ルカ 23:26

(7) マタ 27:33-37
ルカ 23:33

(7) ヨハ 19:17
ヘブ 13:12

(7) 詩 69:21

第2欄

(7) 詩 22:18
ヨハ 19:23,24

(7) マタ 27:29,37
ルカ 23:38
ヨハ 19:19

(7) マタ 27:38

(7) 詩 22:7
詩 109:25
イザ 53:3

(7) マタ 27:39-42
マル 14:58

(7) ルカ 23:35

(7) マタ 16:4

(7) マタ 27:44
ペテ 2:23

(7) マタ 27:45
ルカ 23:44

(7) 詩 22:1

マタ 27:46-49

が外衣に関して、それぞれの取り分をく
じで決め、分配した。25 イエスを杭
にくぎ付けにしたのは午前9時であつ
た。26 イエスの罪状として、「ユダ
ヤ人の王」と記されていた。27 さ
らに、2人の強盗をイエスの左右に1人
ずつ、杭に掛けた。28 — 29 そば
を通る人たちはイエスに暴言を吐き、
頭を振ってこう言った。「おいおい。神
殿を壊して3日で建てる者よ、30 苦
しみの杭から下りてきて自分を救って
しろ」。31 同じように祭司長たちも、
律法学者たちと一緒にあってあざけ
り、こう言った。「ほかの人は救ったが、
自分は救えないのだ! 32 イスラエ
ルの王キリストに、今、苦しみの杭から
下りてきてもらおうではないか。そう
したら信じよう」。一緒に杭に掛けら
れた人たちが、イエスを非難する
のだった。

33 昼の12時になった時、闇が全
土に垂れ込めて、午後3時にまで及ん
だ。34 午後3時に、イエスは、「エ
リ、エリ、ラマ サバクタニ」と大声で
叫んだ。これは訳せば、「私の神、私
の神、なぜ私を見捨てたのですか」と
いう意味である。35 近くに立ってい
た人の何人かが、それを聞いて、「ほ
ら、エリヤを呼んでいる」と言いだし
た。36 ある人が走って行って、酸味
の強いぶどう酒を海綿に含ませ、そ
れをアシの先に付けてイエスに飲ま

15:28 *付録 A3参照。

せようとし、「このまま、エリヤが下ろしに来るかどうかを見よう」と言った。**37** しかし、イエスは大きな叫び声を上げて、息を引き取った。**38** すると、聖なる所の幕が上から下まで2つに裂けた。**39** イエスを前にして立っていた士官は、このようにしてイエスが息を引き取ったのを見て、「確かにこの人は神の子だった」と言った。

40 離れた所で女性たちも見ていたが、その中には、マリア・マグダレネ、小ヤコブとヨセの母親マリア、サロメがいた。**41** イエスがガリラヤにいた時、同行して仕えていた人たちである。ほかに、イエスと一緒にエルサレムに来ていた女性が大勢いた。

42 さて、すでに午後遅くで、しかも準備の日、つまり安息日の前日だったので、**43** ユダヤ人の最高法廷の評判の良い一員であるアリマタヤのヨセフがやって来て、勇気を出してピラトの前に行き、イエスの体を頂きたいと願いだした。自らも神の王国を待つ人であった。**44** しかしピラトは、イエスがもう死んだのだろうかと気になり、士官を呼び寄せて、死んだかどうかを尋ねた。**45** こうして、士官に確かめた上で、遺体をヨセフに与えることにした。**46** ヨセフは上等の亜麻布を買い、イエスを下ろしてその布に包み、岩をくりぬいた墓に葬った。そ

第15章

(イ) 詩 69:21
ヨハ 19:29

(イ) 詩 31:5
マタ 27:50
ルカ 23:46
ヨハ 19:30

(イ) 出 26:31-33
ヘブ 6:19

(イ) マタ 27:51
ルカ 23:45
ヘブ 10:19, 20

(イ) マタ 27:54
ルカ 23:47

(イ) マタ 27:55, 56
ルカ 23:49

(イ) ルカ 8:2, 3

(イ) 申 21:22, 23
マタ 27:57, 58
ルカ 23:50-52
ヨハ 19:38

(イ) イザ 53:9

第2欄

(イ) マタ 27:59, 60
ルカ 23:53
ヨハ 19:40

(イ) マタ 27:61
ルカ 23:55

第16章

(イ) 出 20:8, 9

(イ) マタ 28:1

(イ) ルカ 23:55, 56

(イ) ルカ 24:1
ヨハ 20:1

(イ) ルカ 24:2, 3

(イ) ルカ 24:4

(イ) マル 8:31
ルカ 18:33
使徒 4:10

(イ) マタ 28:5, 6

(イ) マタ 26:32
マル 14:28

(イ) マタ 28:7

(イ) マタ 28:8
ルカ 24:9

して、墓の入り口に石を転がしておいた。**47** マリア・マグダレネと、ヨセの母親マリアは、イエスが葬られた所を見つめていた。

16 安息日が終わると、マリア・マグダレネ、ヤコブの母親マリア、サロメは香料を買った。イエスの体につけに行くためである。**2** そして、週の最初の日の朝とても早く、墓にきた。太陽はすでに昇っていた。

3 「墓の入り口から誰が石を転がしてどけてくれるでしょうか」と話していた。**4** ところが、目を上げて見ると、石は非常に大きかったのに、すでに転がしてどけてあった。**5** 墓の中に入ると、白くて長い服を着た若者が右側に座っているのが見え、驚いて立ち尽くした。**6** その者は言った。「驚くことはありません。杭に掛けられて死んだナザレ人のイエスを捜していますね。イエスは生き返りました。ここにはいません。見なさい、イエスを横たえた場所です。**7** さあ、行って、弟子たちとペテロに言いなさい。『イエスは先にガリラヤに行っています。彼が言った通り、そこで会えます』。**8** 女性たちは外に出ると、墓から逃げるようにして走った。震えていて、胸がいっぱいだった。誰にも何も話さなかった。恐れていたのである。

16:8 *信頼できる初期の写本によれば、マルコの福音書は、8節の言葉で終わっている。付録A3参照。

15:38 *用語集参照。**15:43** *または、「サンヘドリン」。**15:46; 16:2** *または、「記念の墓」。

ルカによる福音書

概要

- 1 テオフィロへの言葉 (1-4)
バプテストのヨハネの誕生をガブリエルが予告する (5-25)
イエスの誕生をガブリエルが予告する (26-38)
マリアがエリサベツを訪ねる (39-45)
マリアがエホバをあがめる (46-56)
ヨハネの誕生と命名 (57-66)
ゼカリヤの預言 (67-80)
- 2 イエスの誕生 (1-7)
天使が羊飼いたちの前に現れる (8-20)
割礼と清め (21-24)
シメオンがキリストを見る (25-35)
アンナがイエスのことを語る (36-38)
ナザレに戻る (39, 40)
12歳のイエスが神殿に (41-52)
- 3 ヨハネの活動の始まり (1, 2)
ヨハネはバプテスマについて伝道する (3-20)
イエスのバプテスマ (21, 22)
イエス・キリストの系譜 (23-38)
- 4 悪魔がイエスを誘惑する (1-13)
イエスはガリラヤで伝道を開始する (14, 15)
イエスはナザレで受け入れられない (16-30)
カペルナウムの会堂で (31-37)
シモンのしゅうとめや他の人たちが癒やされる (38-41)
静かな場所にいるイエスを群衆が見つめる (42-44)
- 5 奇跡による大漁、最初の弟子たち (11-11)
重い皮膚病の人が癒やされる (12-16)
イエスは、まひした人を癒やす (17-26)
イエスはレビを招く (27-32)
断食に関する質問 (33-39)
- 6 イエスは「安息日の主」(1-5)
片手がまひした男性が癒やされる (6-11)
12使徒 (12-16)
イエスは教え、癒やす (17-19)
幸福と災い (20-26)
敵への愛 (27-36)
裁くのをやめなさい (37-42)
実によって分かる (43-45)
- 7 士官の信仰 (1-10)
イエスはナインでやもめの息子を復活させる (11-17)
バプテストのヨハネが称賛される (18-30)
悔い改めない世代が断罪される (31-35)
罪深い女性が許される (36-50)
お金を借りた人たちの例え (41-43)
- 8 イエスに同行した女性たち (1-3)
種をまく人の例え (4-8)
イエスが例えを使った理由 (9, 10)
種をまく人の例えの説明 (11-15)
ランプを覆わない (16-18)
イエスの母親と弟たち (19-21)
イエスは嵐を静める (22-25)
イエスは邪悪な天使たちを豚の中に送り込む (26-39)
ヤイロの娘。イエスの外衣に触った女性 (40-56)
- 9 12人が奉仕の指示を受ける (1-6)
ヘロデがイエスのことで当惑する (7-9)
イエスは5000人に食事をさせる (10-17)
ペテロはイエスがキリストだと認める (18-20)
イエスは自分の死を予告する (21, 22)
真の弟子とは (23-27)
イエスの姿が変わる (28-36)
邪悪な天使に取りつかれた少年が癒やされる (37-43前半)
イエスは再び自分の死を予告する (43後半-45)
弟子たちは誰が偉いかと言い合う (46-48)
反対していない人は味方している (49, 50)
サマリア人の村はイエスを受け入れない (51-56)
イエスの後に従うには (57-62)
- 10 イエスは70人を遣わす (1-12)
悔い改めない町には災いがある (13-16)
70人が帰ってくる (17-20)
イエスは、謙遜な人に好意を示す父を賛美する (21-24)
親切なサマリア人の例え (25-37)
イエスはマルタとマリアを訪ねる (38-42)

- 11 祈り方 (1-13)
 - 模範的な祈り (2-4)
 - 邪悪な天使を神の力によって追い出す (14-23)
 - 邪悪な天使が帰ってくる (24-26)
 - 本当の幸福 (27, 28)
 - ヨナのはし (29-32)
 - 体にとって明かり (33-36)
 - 宗教上の偽善者たちには災いがある (37-54)
- 12 パリサイ派のパン種 (1-3)
 - 人を恐れないで、神を畏れなさい (4-7)
 - キリストとの結び付きを認める (8-12)
 - 愚かである裕福な人の例え (13-21)
 - 心配するのをやめなさい (22-34)
 - 小さな群れ (32)
 - 見張っている (35-40)
 - 忠実な管理人と不忠実な管理人 (41-48)
 - 平和ではなく分裂 (49-53)
 - 時を見分ける必要がある (54-56)
 - 論争を解決する (57-59)
- 13 悔い改めないなら滅ぼされる (1-5)
 - 実を結ばないイチジクの木の例え (6-9)
 - 体が不自由な女性が安息日に癒やされる (10-17)
 - からしの種とパン種の例え (18-21)
 - 狭い戸口を通して入るには努力が必要 (22-30)
 - ヘロデ、「あのキツネ」 (31-33)
 - イエスはエルサレムのことを嘆く (34, 35)
- 14 水腫の人が安息日に癒やされる (1-6)
 - 謙遜な客となる (7-11)
 - 報いる力がない人を招きなさい (12-14)
 - 言い訳をして断った客たちの例え (15-24)
 - 弟子になるには (25-33)
 - 塩気を失った塩 (34, 35)
- 15 迷い出た羊の例え (1-7)
 - なくした硬貨の例え (8-10)
 - いなくなった息子の例え (11-32)
- 16 不正を行う管理人の例え (1-13)
 - 「ごく小さなことに忠実な人は多くのことに忠実」 (10)
 - 律法と神の王国 (14-18)
 - 裕福な男性とラザロの例え (19-31)
- 17 信仰の妨げ、許し、信仰 (1-6)
 - 役に立たない奴隷 (7-10)
 - 重い皮膚病の人10人が癒やされる (11-19)
 - 神の王国が来る (20-37)
 - 神の王国は「あなた方のただ中に」ある (21)
 - 「ロトの妻のことを思い出しなさい」 (32)
- 18 粘り強いやもめの例え (1-8)
 - パリサイ派の人と徴税人 (9-14)
 - イエスと子供たち (15-17)
 - 裕福な支配者の質問 (18-30)
 - イエスは再び自分の死を予告する (31-34)
 - 物乞いの人の目が見えるようになる (35-43)
- 19 イエスはザアカイの家に行く (1-10)
 - 10ミナの例え (11-27)
 - イエスはエルサレムに入る (28-40)
 - イエスはエルサレムのことで泣き悲しむ (41-44)
 - イエスは神殿を清める (45-48)
- 20 イエスの権威に異議が唱えられる (1-8)
 - 残忍な耕作人たちの例え (9-19)
 - 神とカエサル (20-26)
 - 復活に関する質問 (27-40)
 - キリストはダビデの子か (41-44)
 - 律法学者たちに関する警告 (45-47)
- 21 貧乏なやもめの2枚の硬貨 (1-4)
 - これから起きることのしるし (5-36)
 - 戦争、大きな地震、流行病、食糧不足 (10, 11)
 - エルサレムが軍隊に囲まれる (20)
 - 異国のの人々の定められた時 (24)
 - 人の子が来る (27)
 - イチジクの木の例え (29-33)
 - ずっと目を覚ましていなさい (34-36)
 - イエスは神殿で教える (37, 38)
- 22 祭司たちはイエスを殺そうとたくらむ (1-6)
 - 最後の過ぎ越しの準備 (7-13)
 - 主の晩餐の制定 (14-20)
 - 「私を裏切る人の手が食卓で私の近くにありまず」 (21-23)
 - 誰が偉いかに関する激しい議論 (24-27)
 - 王国のためのイエスの契約 (28-30)
 - ペテロの否認が予告される (31-34)
 - 備えが必要。2本の剣 (35-38)

- オリーブ山でのイエスの祈り (39-46)
 イエスは捕らえられる (47-53)
 ペテロはイエスとの関係を否定する (54-62)
 イエスは笑いものにされる (63-65)
 サンヘドリンでの裁判 (66-71)
- 23 イエスはピラトとヘロデの前に立つ (1-25)
 イエスと2人の犯罪者は杭に掛けられる (26-43)

- 「あなたは私と共にパラダイスにいることになります」(43)
 イエスの死 (44-49)
 イエスは葬られる (50-56)
- 24 イエスは復活する (1-12)
 エマオへの道で (13-35)
 イエスは弟子たちの前に現れる (36-49)
 イエスは天に昇る (50-53)

1 私たちが全く信じている出来事を1つの記述にまとめることに、多くの人が取り組んできました。**2** 最初からの目撃証人^{さいしよ もくげきしょうにん}で音信^{おんしん}を広めた人々も、そうした出来事を私たちに伝えました。**3** 私も、全てのことを初めから綿密に調べましたので、テオフィロ閣下、あなたに順序立てて書いてお伝えすることにしました。**4** 聞いて学ばれた事柄の確かさを十分に知っていたくためです。

5 ユダヤの王ヘロデの時代に、アビヤの組にゼカリヤという祭司^{さいし}がいた。妻はアロンの家系の女性で、エリサベツという名前だった。**6** 2人は、エホバの全てのおきてと法的な要求に全く従っており、神から見て正しい人だった。**7** しかし、エリサベツには子供がでず、2人には子供がいなかった。しかも、2人ともかなり年を取っていた。

8 さて、ゼカリヤは、自分の組が当番の時に、神の前で祭司として奉

第1章
 (イ) ヨハ 20:30,31
 (イ) ヨハ 15:27
 ペー 5:1
 ペ二 1:16

(イ) ヘブ 2:3
 (四) 使徒 1:1
 (イ) ヨハ 20:30,31
 (イ) マタ 2:1
 (イ) 代一 24:3,10
 (イ) 代一 24:1,19
 代二 8:14
 代二 31:2

第2欄
 (イ) 出 30:7,8

(イ) 出 40:5
 (イ) ルカ 1:59,60
 (四) ルカ 1:57,58
 (イ) ルカ 7:28
 (イ) 民 6:2,3
 マタ 11:18
 (イ) エレ 1:5
 ロマ 9:10-12

(イ) マラ 4:6

仕していた。**9** 祭司職^{さいししよく}のしきりに従^{したが}って、香^{かう}をたく番^{ばん}となり、エホバの聖なる所^{せい ところ}に入った。**10** 大勢^{おおぜい}の人々が皆、香^{かう}をたく時刻^{じこく}に外で祈^{いの}っていた。**11** エホバの天使^{てんし}がゼカリヤの前に現れて香の祭壇^{みづがわ}の右側^たに立った。**12** ゼカリヤはそれを見て動揺^{み どうよう}し、恐れ^{おそ}れの気持ちに襲^{おそ}われた。**13** しかし天使は言った。「ゼカリヤ、恐れることはありません。あなたの祈願^{き がん}は聞き入れられたからです。妻のエリサベツは男の子を産みます。その子をヨハネと名付けなさい。**14** あなたは喜びと大きな幸せを感じ、多くの人がその誕生を喜びます。**15** その子はエホバの前で偉大な人となるからです。彼はぶどう酒などの酒を一切飲んではなりません。その子は生まれる前でさえ聖なる力に満たされます。**16** そして、イスラエル人の多くをエホバ神のもとに帰らせませう。**17** また、エリヤが持っていた聖なる力と強さを持って神

1:15 *または、「まさに母の胎内にいる時から」。
1:17 *または、「気迫と力」。

1:5, 15 △用語集参照。**1:6, 9, 11, 15, 16**
 *付録 A5 参照。

の前^{まえ}を行^いき、父親^{ちちおや}の心^{こころ}を子^こ供^{ども}の心^{こころ}のよ
うに^い、不^ふ従^{じゅう}順^{じゅん}な人^{ひと}に正^{ただ}しい人^{ひと}の役^{やく}立^だ
つ知^ち恵^えを得^えさせて、準^{じゅん}備^びがで^たま民^{たみ}を
エホバ^{*}のため^{ため}に整^{ととの}え^{ます}」。

18 ゼカリヤは天使^{てんし}に言^いった。「そ
のよう^{よう}なこ^ことをど^どうして信^{しん}じら^られるで
しょう^{しやう}か。私^{わたし}は年^{とし}で^とすし、妻^{つま}もか^かなり
年^{とし}を取^とって^といます」。**19** 天使^{てんし}は答^{こた}
え^えた。「私^{わたし}はガブリエル^{ガブリエル}、神^{かみ}のすぐ前^{まえ}
に立^たつ者^{もの}で^す。あな^{あな}たにこ^この良^よい知^ち
ら^らせを告^つげ^つるため^{ため}に遣^{つか}わ^わされ^れまし^した。

20 ただ^{ただ}し、これ^{これ}ら^らのこ^ことが起^おき^きる日^ひ
ま^まで、あな^{あな}たは口^{くち}が利^きけな^はくなり、話^{はな}
すこ^ことがで^できま^ません。私^{わたし}の言^{こと}葉^はを信^{しん}じ^じな
か^かつたから^{から}で^です。その言^{こと}葉^はは定^{さだ}め^められ
た時^{とき}に実^{じつ}現^{げん}し^しま^ます」。**21** 一^{いっ}方^{ぱう}、人^{ひと}々^{びと}
はゼカリヤ^{ぜかりや}をず^まと待^{たい}って^ていたが、聖^{せい}
なる所^{ところ}で手^て間^ま取^とっているこ^ことを意^い外^{がい}に
おも^{おも}って^ていた。**22** やが^{やが}てゼカリヤ^{ぜかりや}が
で^でて^てきたが話^{はな}せな^はかつたの^の、人^{ひと}々^{びと}は、
聖^{せい}なる所^{ところ}で衝^{しょう}撃^{げき}的な^なもの^{もの}を見^みたの^のだ
と悟^{さと}つた。ゼカリヤ^{ぜかりや}は身^みぶ^ぶりをし^して^てい
たが、口^{くち}は利^きけな^なかつた。**23** 聖^{せい}な
る奉^{ほう}仕^しの期^き間^{かん}が終^おわ^わると、ゼカリヤ^{ぜかりや}は
家^{いえ}に帰^{かえ}つた。

24 しば^{しば}らくして、妻^{つま}のエリサベツ^{えりさべつ}は
妊^{にん}娠^{しん}した。そ^そして、5^ごカ月^{げつ}間^{かん}引^ひきこ^こも^も
つて^てい^いて、こ^こう言^いった。**25** 「エホバ^{*}が
こ^このよ^ように^にし^して^てくだ^{くだ}さいまし^した。私^{わたし}に
注^{ちゅう}意^いを向^むけ、人^{ひと}々^{びと}の間^{かん}で受^うける恥^ち辱^{じよく}を
と^とき^き取^とり去^さって^てくだ^{くだ}さ^さつたの^ので^です」。

1:17, 25, 28, 32 *付録A5参照。**1:22** *ま
たは、「幻」。**1:23** *または、「人々のための」。

第1章

[マ] マタ 11:13, 14
マタ 17:10-12

[イ] マラ 4:5, 6

[イ] イザ 40:3
マラ 3:1

[ダ] ダニ 8:16
ダニ 9:21
ルカ 1:26, 27

[ヘ] ヘブ 1:7, 14

[創] 創 30:22, 23
サー 1:10, 11

第2欄

[ダ] ダニ 8:16
ルカ 1:19

[イ] イザ 7:14

[マ] マタ 1:18

[ガ] ガラ 4:4

[マ] マタ 1:21-23
ルカ 2:21

[フ] フリ 2:9-11
デモ 6:15

[マ] マタ 27:54
ヨハ 1:49

[サ] サニ 7:8, 12
詩 132:11
イザ 9:7
イザ 11:1, 10
エレ 23:5
マタ 1:1

[ダ] ダニ 2:44
ダニ 7:13, 14
ヘブ 1:8

[イ] イザ 7:14
マタ 1:24, 25

[マ] マタ 1:18, 20

[ヨ] ヨハ 6:68, 69

[マ] マタ 14:33
ヨハ 1:32, 34
ヨハ 20:31

26 その6^{げつめ}カ月^{てんし}目に、天使^{てんし}ガブリエ^{ガブリエ}

ル^ルは、神^{かみ}からナザレ^{ナザレ}というガリラヤ^{ガリラヤ}の
町^{まち}に遣^{つか}わ^わされ^れた。**27** ダビデ^{だびで}の子^し孫^{そん}

のヨセフ^{よせふ}という男^{だんせい}性^{こんやく}と婚^{こん}約^{やく}して^ていた
処^{しよじやう}女^にのもとに^にである。その名^な前^{まえ}はマリ
ア^アとい^いった。**28** 天使^{てんし}は来^きて、言^いっ
た。「こん^{こん}にち^には、あな^{あな}たは^おお大^めいに^に恵^{めぐ}
まれ^めた人^{ひと}で^です。エホバ^{*}はあな^{あな}たと共^{とも}
に^にお^おられ^れま^ます」。**29** し^しかしマ^マリア^{リア}は
こ^この言^{こと}葉^はに^にひど^{ひど}く戸^こ惑^{まど}い、こ^このあ^あい

さ^さつは^はど^どうい^いうこ^この^{かん}な^なのだら^らうと考^{かんが}え
た。**30** 天使^{てんし}は言^いった。「マ^マリ^リア^ア、恐^{おそ}
れ^れるこ^ことはあ^ありま^ません。あな^{あな}たは神^{かみ}の
め^めぐ^ぐえ^えを^を得^えまし^した。**31** あな^{あな}たは妊^{にん}娠^{しん}
し^して男^{おとこ}の子^こを産^うみ^みま^ます。イエス^{イエス}と名^な付^つ
け^けな^なさい。**32** そ^その^こ子^こは偉^い大^{だい}な者^{もの}と
なり、至^し高^{こう}の^こ子^こと^と呼^よば^はれ^れま^ます。エホ
バ^{*}神^{かみ}は父^{ちち}ダビデ^{だびで}の王^{おう}座^ざを彼^{かれ}に与^{あた}え、
33 彼^{かれ}は王^{おう}としてヤコブ^{やこぶ}の子^こ孫^{そん}を永^{えい}久^{きゅう}
に治^{おさ}め^めま^ます。そ^その王^{おう}国^{こく}に^に終^おわ^わり^りはあ^あり
ま^ません」。

34 し^しかしマ^マリア^{リア}は^{てんし}天^{てん}使^しに^い言^いった。
「ど^どうしてそ^そのよ^ようなこ^ことがあ^あるで^でし^しょう
か。私^{わたし}は男^{おとこ}の人^{ひと}と関^{かん}係^{けい}を持^もつたこ^こ
とがあ^ありま^ません」。**35** 天^{てん}使^しは答^{こた}え^えた。
「聖^{せい}なる力^{ちから}が^{はたら}あな^{あな}たに^に働^{はたら}き、至^し高^{こう}の^し
力^{ちから}があな^{あな}たを^を覆^{おお}い^いま^ます。そ^それで、生^う
ま^まれる子^こは聖^{せい}なる者^{もの}、神^{かみ}の子^こと^と呼^よば^はれ
ま^ます。**36** 親^{しん}族^{ぞく}のエリサベツ^{えりさべつ}もあ^あの
と^とし^しに^{にん}しん^{しん}、子^こ供^{ども}が^がで^でき^きないとい^いわれ
て^ていたの^のが今^{いま}では6^{げつめ}カ月^{てんし}目^めにな^なり^りま

1:31 *または、「胎内に子を宿して」。

す。37 神にとっては、どんな宣言も不可能ではないのです」。38 マリアは言った。「ご覧ください、私はエホバの奴隷でございます！ あなたの宣言の通り、私が私に起きるようになります。すると、天使は去っていった。

39 その後、マリアは旅立ち、山地に、ユダの町に急で行った。40 そして、ゼカリヤの家に入って、エリサベツにあいさつした。41 エリサベツがマリアのあいさつを聞いた時、胎児は躍り上がった。エリサベツは聖なる力に満たされ、42 大声で叫んだ。「あなたは女性の中で祝福された人、あなたのおなかの子も祝福されています！ 43 私の主の母親に来ていただけるとは何と光栄なことでしょう。44 私があなたのあいさつを聞くと、私のおなかの子は喜んで躍り上がりました。45 信じたあなたも幸いです。エホバから語られたことは完全に実現するからです。

46 マリアはこう言った。「私はエホバをあがめ、47 私の心は救い主である神のおかげで喜びにあふれます。48 神は低い立場にある奴隷の私に目を留めてくださったからです。今後、あらゆる世代の人々が私を幸せな人と言います。49 強力な神が素晴らしいことをしてくださったからであり、そ

第1章

(イ) 創 18:14
マタ 19:26

(イ) サ 2:1

(イ) サ 2:23
イザ 43:3
ハバ 3:18
テト 1:3
ユダ 25

(イ) サ 1:10,11

(イ) ルカ 11:27

第2欄

(イ) 詩 71:19
詩 111:9

(イ) 詩 103:17

(イ) サ 22:28

(イ) ヨブ 12:19

(イ) サ 2:7

(イ) サ 2:5
詩 34:10
詩 107:9

(イ) 詩 98:3
イザ 41:8,9

(イ) 創 17:19
ミカ 7:20
ガラ 3:16

(イ) ルカ 1:14

(イ) 創 17:10,12
レビ 12:2,3

(イ) ルカ 1:13

の方の名は聖なるものです。50 いの時代も、神はご自分を畏れる人々に憐れみを示されます。51 神は力強い腕で物事をを行い、傲慢な心を持つ者たちを散らされました。52 権力を持つ人々をその座から降ろし、身分の低い人々を高くされました。

53 飢えた人々を良いもので十分に満たし、裕福な人々を何も持たせずに去らせました。54 神はご自分に仕えるイスラエルを助けに来られました。憐れみをお忘れになりません。55 父祖たちにお告げになった通り、アブラハムとその子孫に憐れみを永久に示されるのです。56 マリアは3カ月ほどとどまってから、家に帰った。

57 エリサベツは、出産のときに来て、男の子を産んだ。58 隣人や親族は、エリサベツがエホバから大きな憐れみを示されたことを聞き、彼女と共に喜んだ。59 8日目に、隣人や親族がその子に割礼を施そうとやって来て、父親の名前を取ってゼカリヤと名付けようとした。60 しかし母親は言った。「駄目です！ この子はヨハネと呼ばれるのです。61 するとその人たちは言った。「親族の中に、そう呼ばれている人は一人もいません。62 そして、その子を何と呼びたいかを父親に身ぶりで尋ねた。63 父親は書き板を求め、「名前はヨハネ」と

1:37 *または、「何事も」。1:38, 45, 46, 58 *付録 A5参照。1:46 *または、「私の全存在」。

1:59 *用語集参照。

書いた。皆はとても驚いた。64 た
ちまち父親は、口が開いて舌が動くよ
うになり、神を賛美し始めた。65 近
辺に住む人は皆、畏れを感じ、この一
部始終がユダヤの山地一帯で話題に
なった。66 皆、聞いたことを心に留
めて、「この子はどんな人になるのだ
ろうか」と言った。エホバがその子と
共にいたのである。

67 父親のゼカリヤは聖なる力に
満たされて、こう預言した。68 「イ
スラエルの神エホバが賛美されます
ように。ご自分の民に注意を向け、救
い出されたからです。69 そして、ご自
分に仕えたダビデの家系に救いの角
が現れるようにしてくださいました。

70 昔の聖なる預言者たちを通して語
られた通りです。71 神は私たちを、
敵から、また私たちを憎む全ての者か
ら救ってくださるのです。72 神は父
祖たちとの関係で憐れみを示し、聖
なる契約を思い出されます。73 こ
の契約は、父祖アブラハムに誓われ
た誓いのことで、74 神は私たちを
敵から救い出した後、恐れずに神聖な
奉仕を行えるようにしてくださいま
す。75 私たちはいつの日も神の
前で忠実で正しくあるのです。76 わ
が子よ、おまえは至高者の預言者と呼
ばれる。道を整えるためにエホバの

1:66, 68, 76; 2:9 *付録A5参照。1:69

*または、「強力な救い主」。用語集参照。1:75

*または、「揺るぎない思いを抱いて」。

第1章

(ル) ルカ 1:20

(イ) 王ー 1:48

詩 41:13

詩 72:18

詩 106:48

(イ) 詩 111:9

ルカ 7:16

(イ) 詩 132:17

(イ) サー 2:10

(イ) エレ 23:5

ダニ 9:24

(イ) 詩 106:10

(イ) 創 17:7

レビ 26:42

詩 106:45, 46

(イ) 創 22:15-18

詩 105:8, 9

ミカ 7:20

第2欄

(イ) イザ 40:3

マラ 3:1

マタ 3:3

(イ) マル 1:4

(イ) 詩 107:10

イザ 9:2

マタ 4:16

第2章

(イ) マタ 1:16

(イ) サー 16:1

ミカ 5:2

マタ 2:6

(イ) ルカ 1:26, 27

(イ) マタ 1:18

(イ) マタ 1:25

(イ) イザ 53:2

前に行くからだ。77 そして、罪の許
しによる救いについて民に知らせる。

78 それは神の温かい思いやりによ
る。この思いやりによって、神は私たち
を夜明けのように照らし、79 闇と死
の陰にいる人たちに光を与え、私たち
を平和の道に導く。

80 その子は大きくなり、内面も成
長した。そして、イスラエルの民の前
に現れる日まで荒野にいた。

2 その頃、カエサル・アウグストゥス
から全土の住民に登録の命令
が出た。2 (この登録はクレニオが
シリア総督の時に行われた最初のも
のだった。) 3 それで人々は皆、登
録のためにそれぞれ自分の町に出掛
けた。4 ヨセフも、ナザレの町を出
て、ガリラヤからユダヤに入り、ベツレ
ヘムと呼ばれるダビデの町に上った。

ダビデの家系の人だったからであり、

5 彼と約束通り結婚して出産を控え
たマリヤと共に、登録をするためだっ
た。6 2人がそこにいる間に、出産
の時が来た。7 そしてマリヤは男の
子、初めての子を産み、布の帯でくる
んで、飼ひ葉おけに寝かせた。泊まれ
る部屋がどこにもなかったからである。

8 同じ地方で、羊飼ひたちが屋外
で生活して、夜間に羊の群れの番をし
ていた。9 突然、エホバの天使がそ

1:80 *または、「聖なる力によって」。2:1 *ま
たは、「全世界」。

の人たちの前に立ち、エホバの栄光が周囲にきらめいた。羊飼いたちはとても恐ろしくなった。10 しかし天使は言った。「恐れることはありません。聞きなさい。私は民の全てにとって大きな喜びとなる良い知らせを告げます。11 今日、ダビデの町で、皆さんの救い主、主であるキリストが生まれました。12 その子は布の帯にくるまって飼葉おけに寝ているので、すぐに分かります。13 突然、天の大軍がその天使に加わり、神を賛美して、言った。14 「この上なく高いところ、かみ えいこう ちじょう かみ ようこ 所では神に栄光が、地上では神に喜ばれる人々の間に平和がありますように」。

15 天使たちが天に去っていったら、羊飼いたちは互いにこう言いだした。「ぜひ、エホバが知らせてくださった出来事をベツレヘムまで見に行きましょう。16 羊飼いたちは急いで行き、マリアとヨセフ、それに飼葉おけに寝ている赤ん坊を見つけました。17 それを見て、この子について自分たちに告げられた事を知らせた。18 聞いた人は皆、羊飼いたちが告げた事に非常に驚いた。19 しかしマリアは、これらのことを全て記憶にとどめていき、じっくりと考えていた。20 羊飼いたちは、見聞きした全てのことについて神をたたえて賛美

2:9, 15, 22-24, 26 *付録A5参照。2:14 *または、「善意の」。

第2章
(7) サー 20:6

(1) イザ 9:6

(7) 使徒 2:36
フィリ 2:11

(10) ダニ 7:10
啓 5:11

(7) ルカ 2:51

第2欄
(7) 創 17:10, 12
レビ 12:2, 3

(1) マタ 1:20, 21
ルカ 1:30, 31

(7) レビ 12:2, 4

(10) 出 13:2, 12
出 22:29
民 3:13
民 8:17

(7) レビ 12:6, 8

(7) イザ 40:1
イザ 49:13

(7) レビ 12:6, 7

(7) 創 46:30

(7) イザ 52:10
ルカ 3:4, 6
使徒 4:12

しながら、戻っていった。告げられた通りだったのである。

21 8日後、割礼を施す時になると、その子はイエスと名付けられた。これはマリアが妊娠する前に天使から告げられた名である。

22 両親はモーセの律法に沿って自分たちを清める時が来ると、その子をエホバに差し出すためにエルサレムに連れていった。23 エホバの律法に、「長男は皆エホバにとって聖なるものと呼ばれなければならない」と書いてある通りにである。24 また、エホバの律法に、「ヤマバト2羽か若いエバト2羽」と述べられているところに従って犠牲を捧げた。

25 さて、エルサレムにシメオンという男性がいた。神を畏れる正しい人で、イスラエルが慰めを受ける時を待っており、聖なる力に導かれていた。26 さらに、エホバのキリストを見るまでは死なない、と聖なる力によって神から啓示されていた。27 シメオンは聖なる力に動かされて神殿に入った。両親が赤ん坊のイエスを連れて、律法のしきたり通りに行うために入ってくると、28 シメオンはその子を腕に抱き、神を賛美して、言った。29 「主権者である主よ、今あなたは宣言通り、この奴隷を安らかに行かせてくださいます。30 私の目は救い

あなたが用意され、全ての国の人々が
見ることでできるもので、**32** 異国の
人々からバールを取り除くための光、
あなたの民イスラエルの栄光です。

33 父親と母親は、その子について語
られることを聞いて不思議に思った。
34 また、シメオンは2人のために祝
福を願い、母親のマリアに言った。「こ
の子が選ばれたのは、イスラエルの多
くの人が倒れ、あるいは立ち上がるた
めであり、この子は非難的になりま
す。**35** (そうです、長い剣があなた
の心を刺し通します。) 多くの人の本
当の考えが明らかになるためです」。

36 さて、アシェル族の人で、パヌエ
ルの娘であるアンナという女預言者
がいた。この女性はかなり年を取って
いた。結婚して7年間夫と暮らしたが、
37 今はやもめで84歳だった。いつ
も神殿に来て、昼も夜も神聖な奉仕を
し、断食と祈願をしていた。**38** アン
ナはちょうどこの時に近くに来て、神に
感謝し始め、エルサレムの救出を待つ
人全てにその子のことを語りだした。
39 こうして、両親はエホバの律法
に従って全てのことを果たしてから、ガ
リラヤにある自分たちの町ナザレに
戻っていった。**40** 子供は成長して
強くなっていき、知恵にあふれ、引き続
き神の恵みを受けた。

41 さて、イエスの両親は、過ぎ越し

第2章
[7] イザ 40:5

[1] イザ 11:10
イザ 42:6
イザ 49:6
使徒 13:47
使徒 26:23

[2] イザ 9:2
マタ 4:16

[3] イザ 8:14

[4] コー 1:23,24

[5] 使徒 28:22
ペー 2:7,8

[6] ヨハ 19:25

[7] イザ 52:9
マル 15:43
ルカ 2:25

[8] レビ 12:6

[9] マタ 2:23
ルカ 1:26

[10] ルカ 2:52

第2欄
[1] 出 23:14,15
申 16:16

[2] 出 34:23

[3] 詩 119:99
マタ 7:28
マル 1:22
ヨハ 7:15

[4] ヨハ 2:16

[5] 出 20:12
申 5:16
エフ 6:1
コロ 3:20

[6] ルカ 2:19

の祭りのためにエルサレムに毎年行
くことにしていた。**42** イエスが12
歳の時も、祭りの習慣に従って上って
いった。**43** 祭りの期間が終わって
帰途に就いた時、少年イエスはエル
サレムに残っていたが、両親はそのこ
とに気付かなかった。**44** 一緒に旅
行している人たちの中にいるものと思
い、1日の道のりを行って、それから親
族や知人の間を捜し始めた。**45** と

ころが見つからず、エルサレムに引き
返して捜し回った。**46** やっと3日後
に、イエスが神殿で教師たちの真ん中
に座り、話を聞いたり質問をしたりし
ているのが見つかった。**47** イエス
が話すのを聞いていた人は皆、その子
の理解力と答えにとっても驚いていた。
48 両親はイエスを見て大変驚き、母
親が言った。「どうしてこんなことをし
たの。お父さんもお母さんも必死に捜
したのよ」。**49** しかしイエスは言っ
た。「なぜ捜されたのですか。私が父
の家にいるはずだと思われなかった
のですか」。**50** けれども両親は、イ
エスが言っていることを理解できな
かった。

51 それからイエスは両親と共に
下ってナザレに戻り、その後も両親に
従っていた。また、母親はこうしたこと
全てを注意深く心に留めた。**52** イ
エスは引き続き成長し、ますます賢く
なり、神と人から好意を受けていった。

3 ティベリウス・カエサルの治世の第15年、ポンテオ・ピラトがユダヤの総督、ヘロデがガリラヤの地域支配者、その兄弟フィリポがイツリアとテラコニテ地方の地域支配者、ルサニアがアビレネの地域支配者だった時、**2** アンナスとカヤファが祭司長だった時代に、荒野でゼカリヤの子ヨハネは神から言葉を受けた。

3 それでヨハネはヨルダン川一帯を巡り、罪の許しのための悔い改めを象徴するバプテスマについて伝道した。**4** 預言者イザヤの言葉の書にこう記されている通りである。「荒野で叫ぶ声がする。『エホバの道を整えよ。その道路を真つすぐにせよ。**5** 全ての谷を埋め、全ての山と丘を平らにしなければならず、曲がった道を真つすぐにし、でこぼこの道をならさなければならぬ。**6** そして全ての人が神の救いを見る』」。

7 ヨハネは、バプテスマを受けに来る群衆にこう言い始めた。「毒蛇のような者たち、神が表そうとしている憤りから逃れるようにと誰に言われたのですか。**8** では、悔い改めていることを示す行動を取りなさい。『私たちには父アブラハムがいる』などと心の中で言っではなりません。神はこれらの石からアブラハムのために子供を生じさ

第3章

(7) マタ 14:1
ルカ 23:6,7

(4) マタ 26:57
ヨハ 18:13
ヨハ 18:24
使徒 4:5,6

(7) ヨハ 1:6

(4) ルカ 1:80

(4) マタ 3:1,2
マル 1:4
ルカ 1:76,77

(4) マタ 3:3
マル 1:3
ヨハ 1:23

(4) イザ 40:3-5
ルカ 2:30
使徒 28:28

(7) マタ 3:7-10
マタ 23:33

第2欄

(7) マタ 7:19

(4) テモ 6:18
ヤコ 2:15,16
ヨ 3:17

(7) マタ 21:32
ルカ 7:29

(4) ルカ 19:8

(7) 出 23:1,7
レビ 19:11

(4) ヨハ 1:25

(4) ヨハ 1:26,27

せることもできるのです。**9** すでに木の根元におのが置かれています。立派な実を結ばない木は皆、切り倒されて火に投げ込まれます」。

10 すると、群衆がヨハネに尋ねた。「では、どうすればいいのでしょうか」。

11 ヨハネは答えた。「衣服を2枚持っている人は1枚も持っていない人と分け合い、食べ物を持っている人も同じようにしなさい」。**12** 徴税人たちもバプテスマを受けに来て、「先生、私たちはどうすればいいのでしょうか」と言った。**13** ヨハネは言った。「税率以上の金額を要求してはなりません」。**14** また、兵役に就いている人たちも、「私たちはどうすればいいのでしょうか」と尋ねた。ヨハネは言った。「誰にも嫌がらせをしたり言い掛かりをつけたりはなりません。自分の給料で満足しなさい」。

15 さて、民は期待を抱いていて、皆がヨハネについて、「もしかしたら彼がキリストではないか」と心の中で考えていた。**16** それでヨハネは皆にこう言った。「私は水でバプテスマを施します。しかし、私より強い方が来ます。私はその方のサンダルひもをほどこにも値しません。その方は聖なる力と火でバプテスマを施します」。

3:11 *または、「替えの衣服を」。**3:12** *徴税人は同国人に軽蔑されていた。**3:13** *または、「徴収」。**3:14** *または、「誰からも脅し取った」。**3:16** *マタ 3:11の脚注参照。

3:1 *ヘロデ・アンテパスのこと。用語集参照。
*直訳、「四分領太守」。**3:3** *用語集参照。**3:4** *付録A5参照。**3:6** *または、「救いの手段」。
3:7 *直訳、「毒蛇たちの子孫」。

(7) マタ 3:11,12
マル 1:7,8
使徒 2:1,4

17 その方は農作業に使うシャベル
て 手をにしています。脱穀場をすっかり
きれいにし、小麦を倉の中に集めるた
めです。しかし、もみ殻は消えない火
で焼き払います。

18 ヨハネはほかにも多くのこと
を説き勧め、引き続き民に良い知らせ
を告げた。19 しかし地域支配者
のヘロデは、自分の兄弟の妻ヘロデ
アに関し、また自分がした全ての悪事
に関して、ヨハネに戒められたため、
20 もう1つ悪事を行った。ヨハネを牢
屋に閉じこめたのである。

21 さて、民が皆バプテスマを受け
ていた時、イエスもバプテスマを受け
た。そして祈っていると、天が開き、
22 聖なる力がハトのような形をとっ
てイエスの上に降り、天から声があっ
た。「あなたは私の愛する子、私はあ
なたのことを喜んでいる」。

23 イエスは活動を開始した時、お
よそ30歳で、人々の意見では、

ヨセフの子であった。ヨセフの父
はヘリで、さかのぼると、

24 マタテ、レビ、メルキ、ヤンナイ、
ヨセフ、

25 マタテヤ、アモス、ナホム、エス
リ、ナンガイ、

26 マアテ、マタテヤ、セメイン、ヨセ
ク、ヨダ、

3:17 *脱穀したものを取り上げ、もみ殻を風で吹
き分ける作業。3:22 *または、「を是認した」。

第3章

(7) マタ 14:3-5
マル 6:17-20
(1) マタ 3:13
(2) マタ 3:16
マル 1:9,10
(3) 詩 2:7
マタ 3:17
マタ 17:5
マル 1:11
ヨハ 1:32-34
(4) マタ 1:1-17
(5) 民 4:2,3
(6) マタ 1:16
マタ 13:55
ルカ 4:22
ヨハ 6:42

第2欄

(7) エズ 3:2
(1) 代 3:17
マタ 1:12
(2) サニ 5:13,14
代 3:5
(3) サ 16:13
サ 17:58
マタ 1:6
(4) イザ 11:1
(5) ルツ 4:17
(6) ルツ 4:13
(7) ルツ 4:21
(1) 代 2:11
(2) ルツ 4:12
ルツ 4:18,19
代 2:4,5
(3) 創 29:35
代 2:1
(4) 創 25:26
(5) 創 21:2,3
(6) 代 1:28
(7) 創 11:24
(1) 創 11:26,27
(2) 創 11:22
(3) 創 11:20
(4) 創 11:18
(5) 創 11:16
(6) 創 11:14
代 1:25
(7) 創 11:12
(1) 創 11:10
(2) 創 5:32
(3) 創 5:29
(4) 創 5:25
(5) 創 5:21
(6) 創 5:19
(7) 創 5:12,16
(1) 創 5:9
代 1:2
(2) 創 4:26
創 5:10
(3) 創 5:7
(4) 創 5:1,4
代 1:1

第4章

(1) マタ 4:1-4
マル 1:12,13
(2) ヘブ 2:18

27 ヨハナン、レサ、ゼルバベル、
シャルテル、ネリ、

28 メルキ、アデイ、コサム、エルマ
ダム、エル、

29 イエス、エリエゼル、ヨリム、マタ
テ、レビ、

30 シメオン、ユダ、ヨセフ、ヨナム、
エリヤキム、

31 メレア、メンナ、マタタ、ナタン、
ダビデ、

32 エッサイ、オベデ、ボアズ、サル
モン、ナフシオン、

33 アミナダブ、アルニ、ヘツロン、ペ
レツ、ユダ、

34 ヤコブ、イサク、アブラハム、テ
ラ、ナホル、

35 セルグ、レウ、ペレグ、エベル、
シェラハ、

36 カイナン、アルパクシャド、セム、
ノア、レメク、

37 メトセラ、エノク、ヤレド、マハラ
ルエル、カイナン、

38 エノシュ、セツ、アダムに至る。そ
してアダムは神の子であった。

4 さて、イエスは聖なる力に満ち
てヨルダン川を後にした。そし
て、聖なる力によって荒野のあちらこ
ちらへ導かれて 2 40日になり、悪魔
から誘惑を受けた。その日々、何も食
べなかったで、その期間が終わった
とき、空腹を感じた。3 すると、悪魔が
イエスに言った。「神の子なら、この石

ナウムでなされたことを聞いた。それを郷里のここでも行え。』**24** そしてイエスは言った。「はっきり言いますが、預言者は郷里では受け入れられません。**25** 実例を挙げましょう。エリヤの時代に、3年半にわたって雨が降らず、大飢饉が全土を襲った時、イスラエルにはやもめが大勢いました。

26 それでも、エリヤはその誰の所にも遣わされず、シドンのザレパテにいた1人のやもめの所にだけ遣わされました。**27** また、預言者エリシャの時に、イスラエルには重い皮膚病の人が大勢いました。それでも、そのうちの一人も癒やされず、シリア人ナアマンだけが癒やされました。**28** 会堂でこの話を聞いていた人は皆、怒りていっぱいになった。**29** そして、立ち上がってイエスを町の外へ追い立て、町が立っている山の崖に連れていった。突き落とそうとしたのである。**30** しかしイエスは彼らの真ん中を通り抜けて、進んでいった。

31 それからイエスはガリラヤの町カペルナウムに下っていき、安息日にひとびとをおし、**32** 人々はその教え方に大変驚いた。イエスは権威をもって話したからである。**33** さて、会堂には、邪悪な天使に取りつかれた男性がいて、大声でこう叫んだ。

34 「ああ、ナザレ人イエス、何をしに来たのですか。私たちを滅ぼすのです

第4章
[7] マタ 4:13

[1] マタ 13:57
マル 6:4
ヨハ 4:44

[9] 王一 18:1

[10] 王一 17:9,10

[9] 王二 5:1,14

[9] ルカ 2:34

[9] ヨハ 8:59
ヨハ 10:39

[9] マル 1:21,22

[9] マタ 7:28
ヨハ 7:46

[10] マル 1:23-28

[9] マタ 2:23

第2欄

[9] マタ 8:29
ルカ 4:41
ルカ 8:28
ヤコ 2:19

[1] マタ 8:14,15
マル 1:29-31

[9] マタ 8:16,17
マル 1:32-34

[10] マタ 8:28,29
マル 3:11

[9] 使徒 16:17,18

[9] マル 1:23-25
マル 3:11,12
ルカ 4:33-35

[9] マル 1:35-38

か。あなたが誰かはよく分かっています。神の聖なる方です」。**35** しかしイエスは、「黙りなさい。その人から出なさい」と叱りつけた。邪悪な天使はその男性を人々の真ん中に投げ倒し、傷を負わせることなく出ていった。**36** 皆は非常に驚き、互いにこう言いだした。「何と、言った通りになった。かれ、けんい、ちから、めい、じゃあく、彼が権威と力をもって命じると、邪悪な天使たちは出ていくのだ」。**37** こうしてイエスに関する話は周囲の地方の隅々まで広まっていった。

38 イエスは会堂を出てから、シモンの家に入った。するとシモンのしゅうとめが高い熱で苦しんでいて、人々から、助けてほしいと頼まれた。**39** それで彼女のそばに立ち、その熱を吐りつけると、熱が引いた。しゅうとめはすぐさま起き上がり、皆をもてなし始めた。

40 日が沈む頃、人々が皆、家にいるさまざまな病気の人をイエスのもとに連れてきた。イエスは一人一人に手を置いて治した。**41** また、邪悪な天使たちが叫び声を上げ、「あなたは神の子です」と言いながら、多くの人から出てきた。イエスは彼らを吐りつけ、話すのを許さなかった。彼らがイエスはキリストだと知っていたからである。

42 夜明けに、イエスは出掛け、静かな場所に行った。ところが、群衆が

4:27 *または、「清められず」。

4:39 *または、「に仕え」。

さが はじ め、イエスのいる所^{ところ}に^き来た。そして、自分たちの所^{ところ}から去^さっていくのを引き留^ひめようとした。43 しかしイエスは言^いった。「私はほかの町^{まち}にも^{かみ}神^{しん}の王国^{おうこく}の良^よい知^しらせを^{ひろ}広めなければなりません。そのために遣^{つか}わされたからです」。44 こうしてイエスはユダヤ^いの会堂^{かいどう}で伝道^{でんどう}していった。

5 ^{ひと}人々^{びと}がイエスに群^{むら}が^{かみ}ってきて神^{かみ}の言^{こと}葉^ばを聞^きいていた時^{とき}のこと、イ

エスはガネサレ湖^このほとり^たに立^たてい

た。2 湖畔^{こはん}に2そうの舟^{ふね}が泊^とめてあるのが見え、漁師^{りようし}たちが舟^{ふね}から下^おりて、網^{あみ}を洗^{あら}っていた。3 イエスはそ

のうちの1そう、シモンの舟^{ふね}に^{のり}、陸^{りく}から少し離^{はな}すよう求^{もと}めた。それから腰^{こし}を下^おろし、舟^{ふね}から群衆^{ぐんしゅう}に教^{おし}え始^{はじ}めた。

4 話^わし終^{おき}えると、シモンに言^いった。「沖^{おき}に^{のり}乗^{のり}り出し、網^{あみ}を下^おろして漁^{りよう}をしなさい」。5 しかしシモンは答^{こた}えた。「先^{せん}生^{せい}、一晩^{ひとばん}中^{じゅう}働^{はたら}いて何^{なに}も捕^とれませんでした。それでも、おっしやる通^{とお}り、網^{あみ}を下^おろしてみます」。6 下^おろしてみると、

非^ひ常^{じょう}に多^{おほ}くの魚^{さかな}が掛^かかった。網^{あみ}が裂^さけ始^{はじ}めるほどだった。7 それで、もう

いっばいになり、洗^{すす}みかけた。8 シモン・ペテロはこれを見てイエスの前^{まへ}にひれ伏^ふし、「私^{わたし}から離^{はな}れてください、主^{しゅ}よ。私は罪^{つみ}深^{ふか}い男^{おとこ}なのです」と言^いった。9 大漁^{たいりよう}だったので、シモンも一

第4章

(イ) マタ 4:23
ルカ 8:1

第5章

(イ) マタ 4:18
マル 1:16

(イ) マタ 4:21

(イ) ヨハ 21:3

(イ) ヨハ 21:6

第2欄

(イ) マタ 4:21
マル 1:19

(イ) マタ 4:19
マル 1:17

(イ) マタ 4:20
マタ 6:33
マタ 19:27
マル 1:20
ルカ 18:28
フィリ 3:8

(イ) マタ 8:2
マル 1:40-45

(イ) マタ 8:3
マル 1:41

(イ) レビ 14:2-4
レビ 14:10, 20

(イ) マタ 8:4

(イ) マタ 4:24, 25
マル 3:7, 8
ヨハ 6:2

しよ 緒^{しよ}にいた人も非^ひ常^{じょう}に驚^{おどろ}き、圧倒^{あつどう}されてしまったのである。10 シモンの仲間^{なかま}であるゼバダイの息子^{むすこ}たち、ヤコブとヨハネも同様^{どうよう}だった。しかしイエスはシモンに言^いった。「恐^{おそ}れることはありま

せん。今後^{こんご}、あなた^{ひと}は人^いを生^いきたまま捕^とるのです。11 この人^{ひと}たちは舟^{ふね}を陸^{りく}に戻^{もど}し、一^{いっさい}切^すのものを捨^すててイエスの後^{あと}に従^{したが}った。

12 イエスがある町^{まち}にいた別^{べつ}の時^{とき}のこと、全^{ぜん}身^{しん}重^{おも}い皮膚病^{ふびよう}の男^{だんせい}性がいた。その男^{だんせい}性はイエスを見掛^みけると、ひれ伏^ふしてこ^{ねが}う願^{がね}った。「主^{しゅ}よ、あなた^おは、お

望^ぞみになるだけで、私^{わたし}を癒^いやすことがで^いきます。13 イエスは手^てを伸^のべし

て男^{だんせい}性に触^{さわ}り、「そ^ぞう望^ぞみます。良^よくな

りなさい」と言^いった。すぐ^{だんせい}に病^{びょう}気^きは消^きえた。14 イエスは男^{だんせい}性に、誰^{だれ}にも話^{はな}さ

さないようにと命^{めい}じ、こ^いう言^いった。「た

だ自分^{じぶん}を祭^{さい}司^しに見^みせに行^いき、モーセ^{モー}が指^し示^じした通^{とお}りに捧^{ささ}げ物^{もの}をしなさい。癒^いやされた証^{しょうこ}拠^ことしてです。15 そ

れでもイエスに関^{かん}する話^{はな}は広^{ひろ}まってい

くばかりで、大勢^{おおせい}の人^{ひと}が、イエスの言^{こと}葉^ばを聞^きくため、また病^{びょう}気^きを治^{なお}してもらうた

めに、集^{あつ}まってくるのだった。16 し

かしイエスは人^{ひと}けのない場^ば所^{しょ}に行^いって

し^{おこな}を行うためのエホバの力^{* ちから}があった。

18 すると、男^{おとこ}たちが、体^{からだ}がまひした男性^{だんせい}を担架^{たんか}で運^{はこ}んできた。中^{なか}に連れ^つれて入^{はい}ってイエスの前^{まえ}に置^おこうとしていた。

19 大勢^{おおぜい}の人が入^{はい}って入^{はい}っていけなかつたので、男^{おとこ}たちは屋根^{やね}の上^{うへ}に上^{のぼ}って瓦^{かわら}を剥^はがし、その男性^{だんせい}を担架^{たんか}に乗^のせたまま、イエスの前^{まえ}にいた人々^{ひとびと}の間^{あいだ}に下^おろした。20 イエスは彼ら^{かれ}の信^{しん}仰^{こう}を見^みて、

その男性^{だんせい}に、「あなた^{あなた}の罪^{つみ}は許^{ゆる}されています」と言^いった。21 すると、律法^{りっぽう}がくしやとパリサイ派^はの人^{ひと}たちは考^{かんが}へ始^{はじ}め、こ^こう言^いった。「冒瀆^{ぼうとく}の言^{こと}葉^はを吐^はくこ

の男^{おとこ}は何^{なに}者^{もの}か。神^{かみ}以外^いに誰^{たれ}が罪^{つみ}を許^{ゆる}せるのか。22 しかしイエスはそ^{その}の考^{かんが}えを悟^{さと}り、こ^こう言^いった。「心^{こころ}の中^{なか}で何^{なに}を考^{かんが}えているのですか。23 『あなた^{あなた}の罪^{つみ}は許^{ゆる}されている』と言^いうのと、『起^おき上^あがって歩^{ある}きなさい』と言^いうのとでは、どちら^{どちら}が簡^{かん}単^{たん}ですか。24 しか

し、人^{ひと}の子^こが罪^{つみ}を許^{ゆる}す権^{けん}威^いを地^ち上^{じやう}で持^もっていること^{こと}をあなた^{あなた}が知^しるため

に――イエスはまひした男性^{だんせい}に言^いった。「さあ、起^おき上^あがって担架^{たんか}を持^もち、家^{いえ}に帰^{かえ}りなさい。25 すると、男性^{だんせい}

は人々^{ひとびと}の前^{まえ}で立^たち上^あがり、担架^{たんか}を持^もって、神^{かみ}をたえながら家^{いえ}に戻^{かえ}って入^{はい}った。26 人々^{ひとびと}は一人残^{ひとり}らず驚^{きやう}嘆^{たん}して、

神^{かみ}をたたえるようになり、また畏^{おそ}れに満^みたされて、「今日^{けふ}は不思議^{ふしぎ}なことを見^みた」と言^いった。

5:17 *付録A5参照。 5:24 *イエスのこと。用語集参照。

第5章

(例) マル 2:1,2

(例) マタ 9:2
マル 2:3-12

(例) マタ 9:2-8

(例) 詩 103:2,3
詩 130:3,4
イザ 43:25

(例) ヨハ 5:6-9

第2欄

(例) マタ 9:9
マル 2:14(例) マタ 9:10-13
マル 2:15-17

(例) ルカ 15:1,2

(例) イザ 53:4
マタ 9:12
マル 2:17(例) マタ 9:13
テモ一 1:15(例) マタ 9:14,15
マル 2:18-20
ルカ 7:34(例) マタ 22:2
コ二 11:2
啓 19:7

(例) ヨハ 16:19,20

27 こうしたことの後^{あと}、イエスは外^{そと}に出^でて、レビ^{* ちやうぜいにん}という徴税人^{ちやうぜいしや}が徴税所^{ていしや}に座^{すわ}っているのを見^みて、「私の弟子^{わしたし}にな

りなさい」と言^いった。28 レビは一切^{いっさい}のもの^{もの}を後^{あと}に残^{のこ}して立^たち上^あがり、イエスの後^{あと}に従^{したが}うようになった。29 そし

てイエスのために自^じ分の家^{ぶん}で盛大^{せいだい}な宴^{えんかい}会^{もう}を設^おけた。大勢^{おおぜい}の徴税人^{ちやうぜいにん}その他^{その他}の人^{ひと}たちも一^{いっ}緒^{しよ}に食^{しょく}事^じをしていた。

30 パリサイ派^はの人^{ひと}やその律法学者^{りっぽうがくしや}たちがイエスの弟子^{でし}たちに向^むかっ

て不^ふ満^{まん}の口^{くち}にし始^{はじ}め、「徴税人^{ちやうぜいにん}や罪人^{つみびと}たちと食^{しょく}べたり飲^のんだりするの^のはど

うしてか」と言^いった。31 イエスは答^{こた}えた。「健康^{けんこう}な人^{ひと}に医^い者^{しや}は必要^{ひつよう}ではな

く、病^{びやう}気^きの人^{ひと}に必要^{ひつよう}なのです。32 私^{わたし}は、正^{ただ}しい人^{ひと}でな

く罪人^{つみびと}を悔^くい改^{あらた}めに導^{みちづ}くために来^きました。33 ある人^{ひと}たちがイエスに言^いった。

「ヨハネの弟子^{でし}はたびたび断^{だん}食^{じき}をして祈^{いの}願^{ねが}を捧^たげ、パリサイ派^はの弟子^{でし}もそう

するの^のに、あなた^{あなた}の弟子^{でし}は食^{しょく}べたり飲^のんだりし^のます。34 イエスは言^いった。「花婿^{はなむこ}が一^{いっ}緒^{しよ}に

いる間^{かん}、花婿^{はなむこ}の友^{ゆう}人^{じん}たち^{たち}に断^{だん}食^{じき}をさせることがで

きますか。35 しかし、花婿^{はなむこ}がま^まさに取^とり去^され

る時^{とき}が来^きます。その時^{とき}には、断^{だん}食^{じき}をし

ます。36 さらにイエスは次^{つぎ}の例^{たと}えを話^{はな}し

た。「古^{ふる}い服^{ふく}を繕^{つくろ}うために、新^{あらた}しい外

衣^いを切^きり取^とって使^{つか}う人^{ひと}はいません。も

5:27 *マタイとも呼ばれる。 *または、「私の後^{あと}に従^{したが}う。 5:29 *または、「食卓^{しょくたく}で横^{よこ}になっ

しそうしたら、その新しい布切れのせいで古い服が破れてしまいますし、その布切れは古いものに合いません。

37 また、新しいぶどう酒を古い革袋に入れる人はいません。もしそうしたら、新しいぶどう酒のせいで革袋が破裂し、ぶどう酒はこぼれて、革袋は駄目になってしまいます。**38** やはり、新しいぶどう酒は新しい革袋に入れなければなりません。**39** 古いぶどう酒を飲んだ後は、誰も新しいものを欲しがりません。『古いのはうまい』と言うのです。

6 さて、安息日に、イエスは穀物畑の中を通っており、弟子たちは穀物の穂をむしり、それを手でこすって食べていた。**2** すると、パリサイ派のある人たちが、「なぜあなたたちは安息日にしてはいけないことをしているのか」と言った。**3** しかしイエスは答えた。「ダビデが、自分と仲間が空腹になった時に何をしたか、読んだことがないのですか。**4** ダビデは神の家の中に入り、供え物のパンを受け取って食べ、仲間にも与えました。それは、誰も食べてはならず、祭司だけが食べてよいものでした。**5** そしてイエスは言った。「人の子は安息日の主です」。

6 別の安息日のこと、イエスは会堂に入って教え始めた。そこに、右手が

第5章

(7) マタ 9:16,17
マル 2:21,22

第6章

(1) 申 23:25

(7) マタ 12:1-8
マル 2:23-28

(14) 出 20:9,10
申 5:13,14
ヨハ 5:9,10

(7) サ- 21:1-6

(7) レビ 24:5-9

(7) マタ 12:8
マル 2:27,28

(7) ルカ 13:14
ヨハ 9:16

第2欄

(7) マタ 12:9-14
マル 3:1-6

(1) ルカ 5:22
ヨハ 2:24,25

(7) マタ 12:11
マル 3:4
ヨハ 7:23

(14) マタ 6:6
マル 3:13

(7) マタ 14:23

(7) マタ 10:2-4
マル 3:14-19
使徒 1:13

(7) ヨハ 14:8

(7) ヨハ 11:16

まひした男性がいた。**7** 律法学者とパリサイ派の人たちは、イエスが安息日に治すのかどうか、じっと見ていた。イエスを訴える理由を見つけようとしてだった。**8** しかしイエスは、その考えを知っていたので、片手がまひした男性に言った。「立ち上がって、中央に立ちなさい」。男性は身を起こして、そこに立った。**9** イエスは言った。「あなた方に尋ねますが、安息日にしてよいのは、助けることですか、苦しめることですか。命を救うことですか、滅ぼすことですか」。**10** そして皆を見回してから、その男性に言った。「手を伸ばしなさい」。男性がそうすると、手は治った。**11** ところが、律法学者とパリサイ派の人たちは怒り狂い、イエスをどう始末しようかと話し合いを始めた。

12 こうしたある日のこと、イエスは祈りをするため山に出ていき、夜通し神に祈った。**13** 夜が明けると、弟子たちを自分の所に呼び、その中から12人を選び、使徒と呼んだ。**14** イエスがペテロとも呼んだシモン、その兄弟アンデレ、ヤコブ、ヨハネ、フィリポ、バルトロマイ、**15** マタイ、トマス、アルパヨの子ヤコブ、熱心な人と呼ばれるシモン、**16** ヤコブの子ユダ、そしてユダ・イスカリオテであり、この人は後に反逆者となった。

17 イエスはその人たちと共に下り

6:5, 8 *または、「なえた」。

てきて、平^{たい}らな所^{ところ}に立^たった。そこには、
大勢^{おおぜい}の弟子^{でし}たちや、ユダヤ全土^{ぜんど}とエル

サレム、およびティルスとシドンの沿岸^{えんがん}
地方^{ちほう}から来た非常^{ひじょう}に大勢^{おおぜい}の人々^{ひとびと}が
いた。イエスの話^{はなし}を聞^きくため、また病氣^{びょうき}
を癒^いやしてもらうために来たのである。

18 邪悪^{じゃあく}な天使^{てんし}に苦しめられている人
たちも治^{なお}された。19 群衆^{ぐんしゅう}は皆^{みな}イエ
スに触^{さわ}ろうとしていた。イエスから力^{ちから}
が出^でて、全^{すべ}ての人^{ひと}を癒^いやしていたから
である。

20 イエスは目^めをあげて弟子^{でし}たち
の方^{ほう}を見て、こ^こう言^いい始めた。

「貧^{まず}しいあなたたちは幸福^{こうふく}です。神^{かみ}
の王^{おう}国^{こく}はあなたたちのものだから
です。

21 いま飢^うえているあなたたちは幸
福^{ふく}です。満^みたされるからです。

いま泣^なき悲^{かな}しむあなたたちは幸福^{こうふく}
です。笑^{わら}うようになるからです。

22 いつでも人々^{ひとびと}があなたたちを憎^{にく}
むとき、また人^{ひと}の子^このために人々^{ひとびと}が
あなたたちを締め出^{しだ}し、非難^{ひなん}し、汚名^{おめい}
を着^きせるとき、あなたたちは幸福^{こうふく}です。

23 その日^ひには喜^{よろこ}び、躍^{おど}り上がりな
さい。天^{てん}での報^{むく}いは大^{おお}きいからです。彼^{かれ}
らの父祖^{ふそ}も預言者^{よげんしゃ}たちに同^{おな}じことをし
ていました。

24 しかし、裕福^{ゆうふく}なあなたたちには
災^{わざわ}いがあります。慰^{なぐさ}めを全^{すべ}て得^えている
からです。

6:22 *または、「あなたたちの名を悪いものとし
て退ける」。

第6章

(7) マル 5:30

(1) マタ 5:2,3

ヤコ 2:5

(2) 詩 107:9

イザ 55:1

エレ 31:25

マタ 5:6

(3) イザ 61:3

啓 21:4

(8) マタ 5:10,11

ヨハ 17:14

ペー 3:14

(2) ヨハ 16:2

(4) 代二 36:16

マタ 5:12

ルカ 11:47

使徒 7:52

(2) ヤコ 5:1

(2) マタ 6:2

第2欄

(7) イザ 65:13

(1) ヤコ 4:4

ヨ一 4:5

(2) 出 23:4

格 25:21

マタ 5:44

ロマ 12:20

(3) 使徒 7:59,60

ロマ 12:14

(8) マタ 5:39,40

ヨ一 6:7

(2) 申 15:7,8

格 3:27

格 21:26

マタ 5:42

(4) マタ 7:12

(2) マタ 5:46,47

(2) レビ 25:35,36

申 15:7,8

マタ 5:42

25 いま満^みたされているあなたたち
には災^{わざわ}いがあります。飢^うえるようにな
るからです。

いま笑^{わら}っているあなたたちには災^{わざわ}い
があります。嘆^{なげ}いて泣^なくようになるか
らです。

26 全^{すべ}ての人^{ひと}があなたたちのことを
良^よく言^いうとき、あなたたちには災^{わざわ}いが
あります。彼らの父祖^{ふそ}も偽預言者^{にせよげんしゃ}たち
にそのようにしたのです。

27 しかし、聞^きいているあなたたち
に言^いいます。敵^{てき}を愛^{あい}し、あなたたちを憎^{にく}
む人^{ひと}に善^{ぜん}を行^{おこな}い続^{つづ}けなさい。28 あ
なたたちへの災^{わざわ}いの願^{ねが}う人^{ひと}のために
しゅくふくもとぶじよくひといの
祝福^{しゅくふく}を求め、侮辱^{ぶじよく}する人^{ひと}のために祈^{いの}
り続^{つづ}けなさい。29 あなたの頬^{ほお}を打^う
つ人^{ひと}には、もう一方^{いっぽう}の頬^{ほお}も差^さし出^だしな
さい。外^{がい}衣^いを奪^うう人^{ひと}には、内^{ない}衣^いも取^とらせ
なさい。30 求^{もと}める人^{ひと}には誰^{だれ}にでも
あ^{あた}たえ、あなた^{もの}の物^{うば}を奪^うう人^{ひと}から返^{かえ}
して
もらおうとはなりません。

31 また、人^{ひと}からしてほしいと思^{おも}う
通^{とお}りに、人^{ひと}にもしなさい。

32 愛^{あい}してくれる人^{ひと}を愛^{あい}したからと
いって、称^{しょうざん}賛^うを受けるでし^{つみ}ょうか。罪^{つみ}
人^{びと}たちも、愛^{あい}してくれる人^{ひと}を愛^{あい}します。

33 よくしてくれる人^{ひと}に善^{ぜん}を行^{おこな}ったか
らといって、称^{しょうざん}賛^うを受けるでし^{つみ}ょうか。
罪^{つみ}人^{びと}たちも同^{おな}じことをします。34 ま
た、返^{へんさい}済^{さい}してくれそ^{ひと}うな人^かに貸^かすから
といって、称^{しょうざん}賛^うを受けるでし^{つみ}ょうか。罪^{つみ}

6:34 *利息なしで貸すということ。

びと ぜんがくかえ き たい
人たちも、全額返ってくることを期待し
つみびと か
てて罪人たちに貸します。35 かえて、
てき あい つづ ぜん おこな つづ かえ
敵を愛し続け、善を行い続け、返しても
き たい か つづ
らうことを期待せずに貸すことを続け

なさい。そうすれば、報いは大きく、あ
し こうしや こ かみ
なたたちは至高者の子となります。神
かんしや あくにん しんせつ だい
は感謝しない悪人にも親切なのです。

36 天の父が憐れみ深いように憐れ
ぶか だい
み深くありなさい。

37 また、裁くのをやめなさい。そう
さば けつ さば だい だんざい
すれば決して裁かれません。断罪する
のをやめなさい。そうすれば決して断
ざい ゆる *
罪されません。いつも許しなさい。そ
ゆる # だい
うすれば許されます。38 いつも与
ひとびと あた
えなさい。そうすれば、人々は与えてく
だい い ふく * お
れます。あなたたちの衣服に惜しみ
そぞ こ お い ゆ
なく注ぎ込み、押し入れ、揺すって入
れ、あふれるほどこしてくれ。人に
はか あた おな ひと
量って与えるのと同じはかりで、人か
はか あた
らも量って与えてもらえます。

39 イエスはさらに例えを話した。
たど はな
「目の見えな人が目の見えな人を
め み ひとめ ひと
案内できるでしょうか。2人とも穴に
あんない ふたり あな
落ちてしまいませんか。40 生徒は
お せい *
せんせい うえ じゅうぶん
先生より上ではありませんが、十分に
おし ひと みな せんせい
教えられた人は皆、その先生のように
なにか ま * め なか
なります。41 なぜ仲間の目の中
み じ ぶん
にあるわらを見ながら、自分の目の
なか ざいもく きづ だい
中にある材木に気付かないのですか。
じ ぶん じ しん め なか ざいもく み
42 自分自身の目の中の材木が見え

6:37 *または、「放免し」。「または、「放免さ
れ」。6:38 *当時の人、服を帯の上の所で
引っぱり出して、そこに物を入れて運んだ。6:
40 *または、「弟子」。6:41 *直訳、「兄弟」。

第6章

(7) 出 22:25
レビ 25:37
申 23:20
詩 37:25,26

(1) マタ 5:45
使徒 14:17

(7) マタ 5:48
エフ 5:1,2
ヤコ 2:13

(11) マタ 7:1,2
ロマ 14:10

(7) マタ 6:14
マル 11:25

(7) 格 19:17

(11) マタ 15:14

(7) マタ 7:3-5

第2欄

(7) マタ 7:16-18

(1) マタ 12:33

(7) マタ 12:34,35

(11) マタ 7:21
ルカ 13:24
ロマ 2:13
ヤコ 1:22

(7) マタ 7:24-27

(7) 詩 125:1

(11) ヤコ 1:23,24

ていないのに、どうして仲間、『あな
なか ま と のぞ
たの目の中にあるわらを取り除かせ
め なか と
てください』と言えるのですか。偽善
い ぎ ぜん
者よ！ まず自分の目から材木を取り
しや じ ぶん め ざいもく と
除きなさい。そうすれば、仲間の目の
のぞ なか ま め
中にあるわらを取り除く方法がはつき
なか と のぞ ほうほう
り分かります。

43 立派な木が腐った実を結ぶこと
りっぱ き くさ み むす
はなく、腐った木が立派な実を結ぶこ
くさ き りっぱ み むす
ともありません。44 どんな木かはそ
の实によって分かります。例えば、い
み よつ わ だい たど
ばらからイチジクを集めることはなく、
いばらの茂みからブドウを切り取るこ
ともありません。45 善い人は、心に
たくわ しげ き と
蓄えている善いものの中から善いもの
と だ じゃあく ひと たくわ
を取り出し、邪悪な人は、蓄えている
じゃあく なか じゃあく と
邪悪なものの中から邪悪なものを取
り出します。心に満ちあふれているも
のが口から出るのです。

46 では、なぜ、私が『主よ！ 主よ！』
と呼びながら、私が言うことを行わな
いのですか。47 私のもとに来て、私
の言葉を聞き、それを実行する人は皆、
どんな人といえるでしょうか。48 そ
の人は家を建てる時に、地面を深く掘
り下げて岩の上に土台を据えた人の
ようです。その結果、洪水が生じて川
の水が押し寄せても、家はびくともし
ませんでした。しっかり建てられてい
たからです。49 一方、聞いても行わ
ない人は、地面に土台なしで家建て
た人のようです。川の水が押し寄せる
と、家はすぐに崩れ、全壊しました」。

7 イエスはこれらのことを民に話し終えると、カペルナウムに入った。**2** さて、ある士官の大切な奴隷が重い病気で死にかかっていた。**3** 士官はイエスのことを聞くと、奴隷を治しに来てくれるよう頼むために、ユダヤ人の長老たちを遣わした。**4** 長老たちはイエスのもとに来て、真剣に嘆願し始め、こう言った。「あの人の願いをぜひかなえてあげてください。**5** 私たちの民を愛して、会堂を建ててくれました」。 **6** それでイエスは一緒に行った。士官の家からあまり遠くない所まで来た時、士官はイエスに次のように伝えるために友人たちを遣わした。「閣下、わざわざ私のような者の家に来ていただくには及びません。**7** それに、私はあなたのもとに伺うにはふさわしくない者だとも思いました。ただ一言言ってくださり、私の召し使いが癒やされるようにしてください。**8** といいますのは、私は權威の下に置かれた人間で、私の下にも兵士がおり、この者に『行け!』と言えば、行き、別の者に『来い!』と言えば、来ます。また、私の奴隷に、『これをせよ!』と言えば、それを行います。**9** イエスはこれらのことを聞いてとても驚き、後に従う群衆の方を向いて言った。「あなたたちに言いますが、イスラエルでもこれほどの信仰は見たことがありません」。 **10** そして、遣わされ

第7章
〔マタ 8:5,6

〔イ 8:8,9

〔イ 8:10

第2欄
〔マタ 8:13

〔イ 王 17:17
ルカ 8:41,42

〔イ へブ 4:15

〔イ 8:52
ヨハ 11:33

〔イ 王 17:21,22
ルカ 8:52-54
ヨハ 11:43
使徒 9:40

〔イ 王 17:23
王 2:4:36

〔イ 申 18:15
ヨハ 4:19
ヨハ 6:14
ヨハ 7:40

〔イ 8:16

〔イ 8:11:2-6

〔イ 詩 40:7
詩 118:26
ゼヤ 9:9
マタ 3:11

た人たちが家に戻ると、奴隷は健康になっていた。

11 この後すぐ、イエスはナインという町に移動した。弟子や他の大勢の人が同行していた。**12** 町の門に近づくと、死人が運び出されてくる場所だった。それはある母親の一人息子で、しかも母親はやめだった。町のかなり多くの人も一緒にいた。**13** 主イエスはその母親を見ると、かわいそうに思い、「泣くことはありません」と言った。**14** そして、遺体を載せた台に近づいて触った。担いでいた人たちは立ち止まった。イエスは言った。「若者よ、さあ、起き上がりなさい!」 **15** すると死人は床をおこして話し始め、イエスは息子を母親に渡した。**16** この時、皆は畏れを抱き、神をたたえ始めて、「偉大な預言者が私たちの間に現れた」、**17** 「神はご自分の民に注意を向けてくださった」と言った。**18** イエスに関するこの話はユダヤ全土と周囲の全地方に広まった。**19** ヨハネは弟子のうち2人を呼び寄せ、主イエスに次のように尋ねさせるために遣わした。「あなたが、来ることになっている方ですか。それとも、ほかの方を待つべきでしょうか」。 **20** その人たちはイエスの所に来て、言った。「バ

プテストのヨハネに遣わされました。お尋ねします。『あなたが、来ることになっている方ですか。それとも、別の方を待つべきでしょうか』。21 その時イエスは、重い病気をふめさまざまな病気の人や、邪悪な天使に取りつかれた人を大勢治し、目が見えない多くの人に視力を授けていた。22 そしてこう答えた。「行って、耳聞きた事柄をヨハネに報告しなさい。目が見えなかった人は見、足が不自由だった人は歩き、重い皮膚病の人は治り、耳が聞こえなかった人は聞き、死人は生き返り、貧しい人には良い知らせが告げられています。23 私に疑いを抱かない人は幸せです」。

24 ヨハネの使者が去っていくと、イエスはヨハネについて群衆に話し始めた。「皆さんは何を見に荒野に出たのですか。風に揺れるアシですか。25 でなければ、何を見に出たのですか。上等な服で装った人ですか。きらびやかな服を着てぜいたくに暮らしている人なら王の家にいます。26 では、いったい何を見に出たのですか。預言者ですか。そうです。しかも、預言者をはるかに上回る人です。27 この人について、こう書かれています。『私はあなたの前に使者を遣わす。その使者はあなたの前に道を整える』。28 皆さんに言

7:23 *直訳、「つまづかない」。7:25 *直訳、「柔らかな」。

第7章

[7] イザ 53:4

[1] イザ 42:7

[7] イザ 29:18
イザ 35:5,6[1] イザ 61:1
ルカ 4:18
ヤコ 2:5[7] イザ 8:14
ルカ 2:34
ヨハ 6:66

[7] マタ 11:7-11

[7] マル 1:6

[7] マル 1:2
ルカ 1:67,76[7] イザ 40:3
マラ 3:1
ルカ 1:16,17
ヨハ 1:23

第2欄

[7] マタ 11:11

[1] マタ 3:5,6
ルカ 3:12[7] 使徒 13:46
ロマ 10:2,3

[1] マタ 11:16-19

[7] 民 6:2,3
マタ 3:4
ルカ 1:13,15[7] マタ 11:19
ルカ 5:30

[7] ヨハ 10:37,38

いますが、これまでに生まれた人で、ヨハネより偉大な人はいません。しかし、神の王国で最も目立たない者も彼より偉大です。29 (民と徴税人たちはこれを聞いて、神が正しいことを認めた。ヨハネのパプテスマを受けていたのである。30 しかし、パリサイ派の人と律法に通じた人たちは、自分たちに対する神の意向を無視した。ヨハネからパプテスマを受けていなかったからである。)

31 それで、私はこの世代の人々を誰になぞらえるべきでしょうか。誰に似ていますか。32 広場に座って次のように叫び合う幼い子供たちに似ています。『笛を吹いてあげたのに、踊ってくれなかった。泣き叫んだのに、一緒に泣いてくれなかった』。33 同じように皆さんは、パプテストのヨハネが来てパンを食べたりぶどう酒を飲んだりしないと、『彼は邪悪な天使に取りつかれている』と言い、34 人の子が来て食べたり飲んだりすると、『見る、大食いで、大酒飲みの男、徴税人や罪人たちの仲間だ!』と言います。35 しかし、知恵は結果によって明らかにあります」。

36 さて、パリサイ派のある人がイエスに、一緒に食事をしてほしいと求め続けた。そこでイエスはその人の家

7:30 *または、「指示」。7:32 *または、「市場」。7:34 *イエスのこと。用語集参照。7:35 *または、「知恵の正しさはその全ての子供によって証明されます」。

は^{はい}に^{しよくたく}入^つり、食卓^{*}に着いた。37 すると、
その町^{まち}で罪人^{つみびと}として知られる女性^しが、
イエスがその家で食事^{いえ}をしていること
を知^しり、白^{しろ}い石^{いし}のつばに入^{はい}った香油^{こうゆ}
を持^もってきた。38 そして、イエスの後^{うし}
ろ、その足元^{あしもと}に来て、泣^きいて涙^{なみだ}で彼の
足^{あし}をぬらし始め、髪^{かみ}の毛^けで拭^ふいていっ
た。また、イエスの足^{あし}に優^{やさ}しく口^{くち}づけ
し、香油^{こうゆ}を注^{そそ}いだ。39 イエスを招^{まね}い
たパリサイ派^はの人はそれを見て、心^{こころ}
の中^{なか}で言^いった。「この人^{ひと}が本^{ほん}当^{とう}に預言者^{よげんしゃ}
なら、自分^{じぶん}に触^{さわ}っているのが誰^{だれ}でどん
な女^{おんな}か知^しっているはずだ。この女^{おんな}は罪人^{つみ}
だ」。40 それでイエスは言^いった。
「シモン、あなたに言^いうことがありま
す」。シモンは言^いった。「先生^{せんせい}、何^{なん}でし
うか」。

41 「2人^{ふたり}の人^{ひと}がある人^{ひと}からお金^{かね}
を借^かりていました。1人^{ひとり}は500デナリ、も
う1人^{ひとり}は50デナリでした。42 2人^{ふたり}が
返済^{へんさい}できないので、貸^かした人^{ひと}は2人^{ふたり}を
寛大^{かんだい}に許^{ゆる}してやりました。では、ど
ちらの人^{ひと}が彼^{かれ}をより愛^{あい}するでしょうか」。
43 シモンは答^{こた}えた。「多く許^{おほ}しても
らった方^{ほう}だと思^{おも}います」。イエスは言^い
った。「あなた^いの言^いう通りです」。44 そ
して女性^{じょせい}の方^{ほう}を向^むきながらシモンに
言^いった。「この女性^{じょせい}が見^みえますか。私^{わたし}
が家^{いえ}に入^{はい}っても、あなた^{あし}は足^{あし}を洗^{あら}う水^{みづ}
をくれませんでした。しかし、この女性^{じょせい}
は涙^{なみだ}で私^{わたし}の足^{あし}をぬらし、髪^{かみ}の毛^けで拭^ふい

7:36 *直訳、「で横になった」。7:37 *直訳、「雪花石こう」。7:41 *付録B14参照。

第7章
[7] マタ 26:6,7
マル 14:3
ヨハ 12:3

[1] ルカ 15:2

第2欄
[7] 詩 32:1
詩 51:1
詩 103:2,3
イザ 43:25
イザ 44:22

[1] マタ 9:2
マル 2:5

[7] マル 2:7
ルカ 5:21

[1] マタ 9:22
ルカ 8:48

第8章
[7] マタ 9:35
ルカ 4:43

[7] ルカ 24:9,10

[7] マタ 27:55
マル 15:40,41

てくれました。45 あなたは私^{わたし}に口^{くち}
づけしませんでした、この女性^{じょせい}は、私^{わたし}
が入^{はい}ってきた時^{とき}から私^{わたし}の足^{あし}に優^{やさ}しく口^{くち}
づけしてやめませんでした。46 あ
なたは私^{わたし}の頭^{あたま}に油^{あぶら}を注^{そそ}ぎませんでし
たが、この女性^{じょせい}は私^{わたし}の足^{あし}に香油^{こうゆ}を注^{そそ}
いでくれました。47 それで、彼女^{かのじょ}の
罪^{つみ}は多いとはいへ許^{ゆる}されています。彼^{かれ}
女^{おんな}は多く愛^{あい}したからです。ところが、わ
ずかし^{あひ}か許^{ゆる}されていない人は、わずか
し^{あひ}か愛^{あい}しません。48 そして女性^{じょせい}に
言^いった。「あなた^{つみ}の罪^{つみ}は許^{ゆる}されていま
す」。49 一緒^{いっしょ}に食卓^{しょくたく}に着^ついてい
た人々^{ひとびと}は互^{たが}いに言^いい始めた。「罪^{つみ}さえ許^{ゆる}
すこの人^{ひと}は、どうい^{ひと}うな^{ひと}の^{ひと}だろう」。
50 イエスは女性^{じょせい}に言^いった。「あなた^{すく}
が救^{すく}われたのは信^{しん}仰^{こう}があ^{しんこう}ったからで
す。安心^{あんしん}して暮^くらしなさい」。

8 その後^{あと}すぐ、イエスは町^{まち}から町^{まち}へ、
村^{むら}から村^{むら}へと旅^{たび}をし、神^{かみ}の王^{おう}国^{こく}
の良^よい知^しらせを伝^{つた}へた。12人^{にん}が一^{いっ}緒^{しょ}
にいた。2 邪^{じゃ}悪^{あく}な天^{てん}使^しから解^{かい}放^{ほう}
され病^{びょう}氣^きを癒^いやされた女性^{じょせい}たちもいた。
邪^{じゃ}悪^{あく}な天^{てん}使^し7人^{にん}を追^おい出^だしてもら^{もら}った、
マ^マグダレネと^マ呼^よばれるマ^マリヤ、3 ま
た、ヘ^けロデ家^{かん}の管^{かん}理^り人^{にん}ク^くーザの妻^{つま}ヨハ
ンナ、スザンナ、その他^{その他}多^たくの女^{おんな}性^{せい}たち
である。この女^{おんな}性^{せい}たちは、自分^{じぶん}の持^もち
物^{もの}を使^{つか}ってイエスと使^し徒^とたち^{たち}に仕^{つか}えて
いた。

4 さて、あちこちの町^{まち}から来^くる人^{ひと}た

7:47 *または、「大きい」。7:49 *直訳、「で横
になって」。

ちを含め大勢の人が集まった時、イエスは例えを使って話した。5「人が種をまきに出掛けました。まいていると、幾らかは道端に落ちて踏みつけられ、鳥が食べてしまいました。6 幾らかは岩の上に落ち、芽生えた後、水気がないので干からびてしまいました。7 幾らかはいばらの間に落ち、一緒に成長するいばらにふさがれてしまいました。8 しかし、幾らかは良い土に落ち、芽生えた後、100倍の実を生み出しました」。イエスはそう述べた後、大声で言った。「聞く耳のある人は聞きなさい」。

9 弟子たちは、この例えがどういう意味かを尋ねた。10 イエスは言った。「あなたたちは、神の王国の神聖な秘密を理解することを許されていますが、他の人々には例えのままです。それで、その人たちは見えていても無駄に見、聞いていても意味を悟りません。11 さて、例えの意味はこうです。種は神の言葉です。12 道端のものととは聞いた人のことですが、その後、信じて救われることがないよう、悪魔がやって来て、その心から神の言葉を取り去ります。13 岩の上のものととは、神の言葉を聞くと喜んで受け入れる人のことですが、根がありません。しばらくは信じますが、試験の時期に離れ去ってしまいます。14 いばらの間に落ちたもの、これは神の言葉を聞いた人で

第8章

(7) マタ 13:1-3
マル 4:1,2
(1) マタ 13:3-9
マル 4:3-9
ルカ 8:12
(2) ルカ 8:13
(3) ルカ 8:14
(4) ルカ 8:15
(5) マタ 11:15
マタ 13:9
マル 4:9
(6) マタ 13:10
マル 4:10
(7) 詩 78:2
マタ 13:34,35
マル 4:34
(8) イザ 6:9,10
マタ 13:11,13
マル 4:11,12
(9) マタ 13:13-23
マル 4:14-20
(10) マタ 13:19
マル 4:15
コ二 4:3,4
(11) マタ 13:20,21
マル 4:16,17

第2欄

(7) マタ 19:23
テモ一 6:9
(1) テモ二 4:10
(2) マタ 13:22
マル 4:18,19
(3) 使徒 16:14
(4) マタ 13:23
マル 4:20
ヘブ 10:36
(5) マタ 5:15
マル 4:21
ルカ 11:33
フリ 2:15
(6) マタ 10:26
マル 4:22
ルカ 12:2
(7) マタ 25:23
(8) マタ 13:12
マタ 25:29
マル 4:24,25
ルカ 19:26
(9) マタ 13:55
ヨハ 7:5
使徒 1:14
(10) マタ 12:46,47
マル 3:31,32
(11) マタ 12:48-50
マル 3:33-35
ヨハ 15:14
(12) マタ 8:18,23
マル 4:35,36

すが、生活上の心配事や富や快楽によって気を散らされて、成長がすすり止まり、何も実らせることができません。15 良い土の上のもの、これは非常に良い心で神の言葉を聞いた後、それをしっかり保ち、耐え忍んで実を結ぶ人です。

16 ランプをともした後、それを器で覆ったりベッドの下に置いたりする人はいません。台の上に置いて、入ってくる人にその光が見えるようにします。17 隠されているものは全て明らかになり、注意深く秘められているものは全て必ず知られて公になります。18 ですから、どのように聞くかに注意を払いなさい。持っている人にはさらに与えられますが、持っていない人は持っていると思うものまで取り上げられるのです。

19 さて、イエスの母親と弟たちがやって来たが、人ばかりでそばに行けなかった。20 それでイエスに、「お母さんと兄弟たちが外にいて、会いたがっています」と伝えられた。21 それに対してイエスは言った。「私の母また兄弟たちとは、神の言葉を聞いてじっとう実行するこの人たちのことです」。

22 ある日のこと、イエスは弟子たちと舟に乗り、「湖の向こう側に渡りましょう」と言った。それで出帆した。23 しかし、帆走している間にイエスは眠り込んだ。激しい暴風が湖に吹

き^おろし^{ふね}、舟^{みず}は水^ををい^いっぱい^かぶつ^で
て危険^{きけん}な状態^{じょうたい}にな^つてきた。24 弟^で
子^したちはイエスの所^{ところ}に行^いって起^おこし^お、
「先生^{せんせい}、先生^{せんせい}、私たちは死^しんでしま^いいそ
うです！」と言^いった。そこでイエスは起^お
き上^あがり、風^{かぜ}と荒^あれ狂^{くる}う波^{なみ}を叱^{しか}りつ^け
た。すると暴風^{ぼうふう}は収^{おさ}まり、湖面^{こめん}は穏^{おだ}
かになった。25 イエスは言^いった。
「あなたたちの信仰^{しんこう}はどこにあるので
すか」。弟子^{でし}たちは畏^{おそ}れを抱^{いだ}き、大^{たい}変^{へん}
驚^{おどろ}いて、「一^{いっ}体^{たい}どうい^いう方^{かた}なのだろう。
風^{かぜ}や波^{なみ}にさ^めえ命^{いのち}じ、それらは従^{したが}うのだ」
と互^{たが}いに言^いった。

26 一^{いっ}行^{こう}はゲラサ^{ひと}の人^{ちい}たちの地^い域^き
の岸^{きし}に着^ついた。ガリラヤ^ガ地方^りの向^{むか}
い側^{がわ}である。27 イエスが陸^{りく}に上^あが
ると、そこ^{そこ}の町^{まち}の人^{ひと}で、邪悪^{じゃあく}な天使^{てんし}に
取^とりつかれた男^{おとこ}がイエス^あに会^あった。
男^{おとこ}はか^{なが}なり長^{ふく}いこ^き服^きを着^きたことがな
く、家^{いえ}ではなく墓^{はか}場^ばに住^すみ着^ついてい
た。28 イエスを見^みると叫^{さけ}び、その前^{まえ}
でひれ伏^ふして、大^{おお}声^{おごえ}で言^いった。「至高^{しこう}の
神^{かみ}の子^こイエス、何^{なに}に來^きたのですか。
お願^{ねが}いします。私^{わたし}を罰^{ばつ}しないでくださ
い。29 (という^いのは、イエス^あがその
邪悪^{じゃあく}な天使^{てんし}に男^{おとこ}から出^でるよう^{めい}に命^{めい}
じていたからである。邪悪^{じゃあく}な天使^{てんし}がそ
おとこ^{おとこ}なんどと^と * 何^{なん}おとこ^く
の男^{おとこ}に何^{なん}度も取^とりついたので、男^{おとこ}は繰^{かえ}
り返^{あし}し足^{くさり}かせと鎖^{しば}で縛^{かん}られ、監^{かん}視^しされ
ていた。しかし、それら^{それら}を断^たち切^きり、
邪悪^{じゃあく}な天使^{てんし}によって刃^{へん}びな場^ば所^{しょ}へ追^お

8:27 *または、「記念の墓」。 8:29 *もしかす
ると、「を長い間しっかり捕らえてきた」。

第8章

(7) マタ 8:24-27
マル 4:37-41

(7) 詩 89:9

(7) マタ 8:27
マル 4:41

(7) マル 5:1

(7) マタ 8:28,29
マル 5:2-10

(7) マル 1:23,24

(7) マル 9:20,21

第2欄

(7) 啓 20:2,3

(7) レビ 11:7,8
申 14:8

(7) マタ 8:30-34
マル 5:11-17

い^いやられるのだった。) 30 イエスは、
「あなた^なの名^な前は^{なん}何^{たず}ですか」と尋^{たず}ね
た。男^{おとこ}は、「レギオン^{*}です」と言^いった。
多^{おほ}くの邪悪^{じゃあく}な天使^{てんし}が彼^{かれ}に入^{はい}り込^こんで
いたのである。31 邪悪^{じゃあく}な天使^{てんし}たち
は、底^{そこ}知^しれぬ深^{ふか}みに去^さってい^いけとは
命^{めい}じないでください、と嘆^{なげ}願^{ねが}い続^{つづ}け
た。32 ところで、そこ^{そこ}の山^{やま}で豚^{ぶた}の大^{たい}
群^{ぐん}が草^{くさ}を食^たべていた。邪悪^{じゃあく}な天使^{てんし}た
ちが、豚^{ぶた}の中^{なか}に入^{はい}ることを許^{ゆる}してくださ
いと嘆^{なげ}願^{ねが}すると、イエスはそれ^{それ}を許^{ゆる}
した。33 邪悪^{じゃあく}な天使^{てんし}たちは男^{おとこ}から出^で
てきて豚^{ぶた}の中^{なか}に入^{はい}った。すると、群^{ぐん}れ
は突^{とつ}進^{しん}して崖^{がけ}から湖^{みずうみ}に落^おち、溺^{おぼ}れ死^し
んだ。34 豚^{ぶた}を飼^かっていた人^{ひと}たちは起^お
きたことを見^みて逃^にげてい^いき、町^{まち}や田^で舎^{いなか}
でそのこと^{こと}を知ら^しせた。

35 人^{ひと}々は何^{なに}が起^おきたのかを見^みよ
うとして出^でてきた。イエス^{イエス}の所^{ところ}に來^く
ると、邪悪^{じゃあく}な天使^{てんし}に取^とりつかれてい^いた男^{おとこ}
が服^{ふく}を着^きて、正^{しょう}気^きにな^あってイエス^{イエス}の足^{あし}
もと^{もと}に座^{すわ}っていた。それで恐^{おそ}ろしくな^なっ
た。36 目^め撃^{げき}していた人^{ひと}たちは、邪
悪^{あく}な天使^{てんし}に取^とりつかれた男^{おとこ}がどのよ
うに良^よくなったかを見^みる人^{ひと}々に知^しらせ
た。37 それで、周^{しゅう}辺^{へん}のゲラサ^{ひと}の人^{ひと}
たちの地^ち域^{いき}から來^きた大^{おほ}勢^{せい}の男^{おとこ}は、自^じ
分^{ぶん}たちの所^{ところ}から去^さるようイエス^{イエス}に求^{もと}
めた。非^ひ常^{じょう}な恐^{おそ}れにとらわれていたの
である。それからイエス^{イエス}は舟^{ふね}に乘^のり、出^で
てい^いこうとした。38 邪悪^{じゃあく}な天使^{てんし}が

8:30 *古代ローマの軍団のこと。ここでは、多数
という意味。

で おとこ いっしょ たの
出た男は、一緒にいさせてほしいと頼
み続けた。しかしイエスはこう言って
おとこ さ けい いえ かえ かみ
男を去らせた。39「家に帰り、神が
してくださった事を語り続けなさい」。
おとこ さ
男は去っていき、イエスがしてくれた
こと まちゅう ひろ
事を町中で広めた。

40 イエスが戻ると、群衆は親切に
むか みな ま う
迎えた。皆イエスを待ち受けていたの
である。41 すると、ヤイロという男性
がやって来た。会堂の役員だった。そ
してイエスの父元にひれ伏し、家に来
てくれるよう嘆願し始めた。42 12
さい ひとりむすめ し
歳ぐらいの一人娘が死にそうだったの
である。

イエスが進んでいくと、人々が群
がった。43 ところで、12年間も出血
が続き、誰にも治してもらえずにいる
女性がいた。44 女性は後ろから近
づき、イエスの外衣の裾に触った。す
ると出血はすぐに止まった。45 イエ
スは、「触ったのは誰ですか」と言っ
た。皆が自分ではないと答えている
と、ペテロが言った。「先生、人々があ
なたを囲んで群がっているのです」。
46 それでもイエスは言った。「誰か
が私に触ったのです。私から力が出て
いきました」。47 女性は、気がかれ
ていたと分かり、震えながら進み出
て、イエスの前でひれ伏し、イエスに
さわ り ゆう い よう す
触った理由とすぐに癒やされた様子
を皆の前で説明した。48 イエスは
言った。「あなたが良くなったのは信

第8章
(7) マル 5:18-20

(1) マル 5:21

(2) マタ 9:18,19
マル 5:22-24

(3) レビ 15:25

(4) マタ 9:20-22
マル 5:25-29

(5) 民 15:38,39

(6) マル 5:30-34

(7) ルカ 5:17

第2欄
(7) マタ 9:22
ルカ 7:50

(1) マル 5:35-37

(2) ヨハ 11:25
ロマ 4:17

(3) ルカ 7:12,13

(4) マタ 9:23-26
マル 5:38-43
ヨハ 11:11
使徒 7:60
使徒 13:36

(5) マル 5:41
ルカ 7:14
ヨハ 11:43

(6) 創 2:7
伝 3:19
イザ 42:5

(7) マル 5:42

(8) マル 7:35,36

第9章
(1) マタ 10:1
マル 6:7

こう
仰があったからです。安心して暮らし
なさい」。

49 イエスが話しているうちに、会堂
の役員の家から人が来て、「娘さんは
亡くなりました。もう先生を煩わすこ
とはありません」と言った。50 これ
を聞いてイエスは役員に言った。「心
配は要りません。ただ信仰を持ちなさ
い。そうすれば娘さんは救われます」。
51 その家に着くと、イエスは、ペテロ、
ヨハネ、ヤコブ、娘の父親と母親以外
は、誰も一緒に中に入らせなかった。

52 一方、人々は皆泣き、娘のために
胸をたたいて悲しんでいた。イエスは
言った。「泣くのをやめなさい。少女
は死んだのではなく、眠っているの
です」。53 人々はイエスのことをあざ
笑いだした。少女が死んだことを知っ
ていたからである。54 しかしイエス
は少女の手を取って呼び掛け、「起き
なさい!」と言った。55 すると少女
は生き返り、すぐに起き上がった。イエ
スは、少女に何か食べさせてあげるよ
う命じた。56 両親はわれを忘れた
ようになったが、イエスは起きた事を
誰にも話さないようにと指示した。

9 それから、イエスは12人と呼ば
集め、全ての邪悪な天使を制し
たり病気を治したりする力と權威を与
えた。2 そして、神の王国について
伝え、また病気を癒やすために遣わ

8:54 *直訳、「子供よ、起きなさい」。8:55 *ま
たは、「に生命力が戻り」。

して、**3** こう言^いった。「旅^{たび}のため^{なに}に何^{なん}も、つえも食物袋^{しょくもつぶくろ}もパン^かもお金^{かね}も、持^もていって^もはなりません。また、替^かえの衣服^{いふく}を持^もててもなりません。**4** どこでも、ある家^{いえ}に入^{はい}ったなら、そこ^{そこ}に滞^{たいざい}在^{ざい}し、そしてその町^{まち}から去^さりなさい。**5** どこでも、人々^{ひとびと}があなたたちを迎^{むか}えない所^{ところ}では、その町^{まち}を出^でる時^{とき}に、後^{あと}はその人^{ひと}たちの責任^{せきにん}であること^{こと}を示^{しめ}すために足^{あし}の土^{つち}を振り払^ふいなさい」。**6** そこで12人^{にん}は出掛^{でか}けていき、村^{むら}から村^{むら}へと回^{まわ}り、至^{いた}る所^{ところ}で良^よい知^しらせを広^{ひろ}め、病氣^{びょうき}を治^{なお}した。

7 さて、地域支配者^{ちいきしはいしや}ヘロデ^{へろで}は、起^おきている全^{すべ}てのことについて聞^きき、ひどく当惑^{とうわく}していた。というのは、ある人^{ひと}は、ヨハネ^いが生き返^{かえ}ったと言^いっており、**8** ほかの人^{ひと}は、エリヤ^{あらわ}が現^{あら}れた、またほかの人^{ひと}は、古代^{こだい}の預言者^{よげんしや}の1人^{ひとり}が生き返^{かえ}った、と言^いっていたからである。**9** ヘロデ^いは言^いった。「ヨハネ^いは私^{わたくし}が首^{くび}をはねた^き。では、うわさが聞^きこえてくるこの人^{ひと}は誰^{だれ}か」。こうしてヘロデ^{ひと}はその人^{ひと}に会^あおうとしていた。

10 使徒^{しと}たちは帰^{かえ}ってきて、行^{おこな}ったことを全^{ぜん}部^ぶイエス^いに報^{ほう}告^{こく}した。イエス^いは使徒^{しと}たちを連^つれ、自^じ分^{ぶん}たちだけでベツサイダ^{まち}という町^{ところ}に去^さっていっ^た。**11** しかし、人々^{ひとびと}はそれを知^しってその場所^{ばしょ}に向^むかった。イエス^いはその人^{ひと}たちを親^{しん}切^{せつ}に迎^{むか}え、神^{かみ}の王^{おう}国^{こく}について

9:3 * 直訳、「2枚の」。**9:7** * ヘロデ・アンテパスのこと。用語集参照。

第9章

(マ) マタ 10:9,10
マル 6:8,9
ルカ 10:4

(イ) マタ 10:11
マル 6:10
ルカ 10:5,7

(マ) マタ 10:14
マル 6:11
ルカ 10:10,11
使徒 13:50,51

(マ) マタ 11:1
マル 6:12,13

(マ) マタ 14:1,2
マル 6:14-16

(マ) マル 8:27,28
ルカ 9:18,19

(マ) マタ 14:3,10

(イ) ルカ 23:8

(マ) マル 6:30

(マ) マタ 14:13

第2欄

(マ) マタ 14:14
マル 6:34
ヨハ 6:2

(イ) マタ 14:15-21
マル 6:35-44
ヨハ 6:5-13

(イ) 王二 4:42-44

(マ) マタ 14:20
マル 6:43
ヨハ 6:13

(マ) マタ 16:13-16
マル 8:27-30

(イ) ルカ 9:7,8

(マ) マタ 16:16
マル 8:29
ヨハ 1:41
ヨハ 6:68,69

はな はじ ちりょう ひつよう ひと
話^{はな}し始^{はじ}め、治^{ちりょう}療^{ひつよう}が必要^{ひと}な人^{ひと}たちを癒^いやした。**12** やがて1日^{いちにち}が終^おわる頃^{ころ}、12人^{にん}が寄^よってき^て言^いった。「群衆^{ぐんしゅう}を解^{かい}散^{さん}させ、周^{まわ}りの村^{むら}や田舎^{いなか}に行^いって宿^{やど}と食料^{しょく}を見^みつけられるようにしてあげてく^ださい。ここは辺^{へん}びな場^ば所^{じょ}ですから」。

13 しかしイエスは、「あなたたちが食^たべ物^{もの}を与^{あた}えなさい」と言^いった。12人^{にん}は言^いった。「5つ^{ひき}のパン^{さかな}と2匹^{ふたひき}の魚^{いそ}しかありません。私^{わたくし}たちがみんなのため^{ため}に食^たべ物^{もの}を買^かってくるというなら別^{べつ}ですが」。**14** 約^{やく}5000人^{にん}の男^{だん}性^{せい}がい^いたのである。しかしイエス^いは弟^{でし}子^したち^{たち}に、「50人^{にん}ぐらいずつ^{づつ}のグルー^ぐー^るー^うに^にして座^{すわ}らせなさい」と言^いった。**15** 弟^{でし}子^したちはその通^{とお}り^りにし、全^{ぜん}員^{いん}を座^{すわ}らせた。

16 イエスは5つ^{ひき}のパン^{さかな}と2匹^{ふたひき}の魚^{いそ}を取^とり、天^{てん}を見^み上^あげて祈^{いの}ってから、それら^らを割^わって弟^{でし}子^したち^{たち}に渡^{わた}し始^{はじ}めた。群衆^{ぐんしゅう}に配^{くば}らせるためである。**17** こうして皆^{みな}が食^たべて満^{まん}足^{ぞく}した。余^{あま}り^りを拾^{ひろ}うと、か^かけらは籠^{かご}12個^{こふん}になっ^た。

18 後^{のち}に、イエス^いが1人^{ひとり}で祈^{いの}っている間^{あいだ}に、弟^{でし}子^したち^{たち}が来^きた。イエス^いはこ^{こう}うしつもん^{しつもん}ぐんしゅう^{ぐんしゅう}わたし^{わたし}だれ^{だれ}と質^あ問^{もん}した。「群衆^{ぐんしゅう}は私^{わたくし}のことを誰^{だれ}だと言^いっていますか」。**19** 弟^{でし}子^したちは答^{こた}えた。「パプテスト^{パプテスト}のヨハネ^{ヨハネ}や、エリヤ^{エリヤ}、さら^に、古^こ代^{だい}の預^よ言^{げん}者^{しや}の1人^{ひとり}が生き返^{かえ}った、などと言^いっています」。**20** イエス^いは言^いった。「でも、あなたたちは、私^{わたくし}のことを誰^{だれ}だと言^いいますか」。^(イ)ペテロ^{ペテロ}が答^{こた}えた。「神^{かみ}のキリスト^{キリスト}です」。

21 それでイエス^いは弟^{でし}子^したち^{たち}にき^きづ^づば

り語り、このことを誰にも話さないように指示した。22 またこう言った。「人の子は必ず多くの苦しみに遭い、長老と祭司長と律法学者たちに退けられて殺され、3日目に生き返ります」。

23 イエスはさらに皆に言った。「誰でも私に付いてきたいと思うなら、自分を捨て、日々苦しみの杭を持ち上げ、絶えず私の後に従いなさい。24 自分の命を救おうと思う人はそれを失いますが、私のために命を失う人はそれを救うからです。25 全世界を手に入れても、命を失ったり身を滅ぼしたりするなら、いったい何の価値があるでしょうか。26 私と私の言葉を恥じるようになる人については、人の子も、自分の栄光および父と聖なる天使たちの栄光を帯びて来る時、その人を恥じるのです。27 でも実を言うと、ここに立っている人の中には、死を迎える前に神の王国を見る人たちがいます」。

28 イエスはこれらのことを話してから8日ほど後に、ペテロとヨハネとヤコブを連れて、祈りをするため山に登った。29 そして祈っているうちに、イエスの顔の様子が変わり、服はきらめくほど白くなった。30 さらに、2人の人がイエスと語り合っていた。モーセとエリヤだった。31 この2人が栄光を帯びて現れ、エルサレムで実現し

9:22 *イエスのこと。用語集参照。 9:23 *用語集参照。

第9章

(7) マタ 16:20

(1) イザ 53:5,8
ルカ 17:25

(7) マタ 16:21
マル 8:31

(1) フィリ 3:7,8

(7) マタ 10:38
マタ 16:24
マル 8:34
ルカ 14:27

(7) マタ 16:25
マル 8:35
ヨハ 12:25
使徒 20:24
啓 2:10

(7) マタ 16:26
マル 8:36

(7) マタ 10:33
マル 8:38
テモニ 2:12

(7) マタ 16:28
マル 9:1

(7) マタ 17:1-8
マル 9:2-8

第2欄

(7) ルカ 9:22
ルカ 13:33

(1) ペニ 1:16

(7) ルカ 3:22
ヨハ 12:28

(1) 詩 2:7
イザ 42:1
マタ 3:17
ペニ 1:17

(7) 申 18:15
マタ 17:5
マル 9:7
使徒 3:22,23

(7) マタ 17:9
マル 9:9

(7) マル 9:14,15

(7) マタ 17:14-16
マル 9:17,18

ようとしているイエスの旅立ちについて語り始めた。32 ペテロたちは眠りに落ちていたが、すっかり目が覚めた時、イエスの栄光と、イエスと共に立つ2人の人が見えた。33 2人がイエスから離れていく時に、ペテロがイエスに言った。「先生、私たちがこの場にいられるのは素晴らしいことです。3つの天幕を立てさせてください。あなたと、モーセと、エリヤのためです」。ペテロは自分が何を言っているのかよく分かっていなかった。34 しかし、ペテロがこうしたことを言っているうちに、雲ができて皆を覆い始めた。雲の中に入っていくにつれ、ペテロたちは怖くなった。35 すると雲の中から声がして、「これは私の子、私が選んだ者である。彼の言うことを聞きなさい」と言った。36 その声があった時にはイエスしか見えなかった。3人沈黙を守り、見た事柄についてしばらく誰にも何も知らせなかった。

37 翌日、彼らが山を下りると、大勢の人がイエスを出迎えた。38 そして、群衆の中から1人の男性が叫んでこう言った。「先生、息子を一見見てやってください。一人息子なのです。39 息子は邪悪な天使に襲われると、突然に叫びます。その者は息子にけいれんを起こさせて泡を吹かせ、傷を負わせた後もなかなか離れません。40 あなたの弟子たちに、追い出してくれるようお願いしましたが、できませ

んでした」。41 それでイエスは言^いつた。「ああ、不^ふ信^{しん}仰^{こう}で不^ふ健^{けん}全^{ぜん}な世^{せい}代^{だい}よ、私^{わたくし}はいつまであな^がた方^{がた}とい^て、あな^たた方^{がた}のこ^をを耐^たえな^けれ^ばな^らないの^でし^ょう。息^{むすこ}子^こをこ^こに連^つれ^てき^なさ^い」。

42 少^{しょう}年^{ねん}が近^{ちか}づ^いてく^る時^{とき}も、邪^{じゃ}悪^{あく}な天^{てん}使^しは彼^{かれ}を地^じ面^{めん}にた^たき^つけ、激^{げき}しくけいれんさ^せた。し^かし、イ^エス^スは邪^{じゃ}悪^{あく}な天^{てん}使^しを叱^{しか}り^つけ、少^{しょう}年^{ねん}を癒^いや^して父^{ちち}親^{おや}に返^{かえ}し^た。43 皆^{みな}は神^{かみ}の見^み事^{こと}な力^{ちから}に大^{たい}変^{へん}驚^{おどろ}いた。

イ^エス^スが行^{おこな}う全^{すべ}ての事^{こと}柄^{がら}に皆^{みな}が非^ひ常^{じょう}に驚^{おどろ}いてい^ると、イ^エス^スは弟^{でい}子^したち^ちに言^いった。44 「この言^{こと}葉^はをよ^く聞^きい^て覚^{おぼ}えてお^きな^さい。人^{ひと}の子^こは裏^{うら}切^ぎら^れて人^{ひと}々^{びと}に引^ひき^わた^せれ^ます」。45 し^かし弟^{でい}子^したち^ちは、イ^エス^スが言^いって^いるこ^をを理^り解^{かい}で^きな^かつ^た。そ^の意^い味^みは、把^は握^{かく}で^きな^いよう隠^{かく}さ^れて^いた^のであ^る。弟^{でい}子^したち^ちはこ^のこ^とにつ^いてイ^エス^スに質^{しつもん}問^うする勇^{ゆう}気^きもな^かつ^た。

46 そ^の後^ご、弟^{でい}子^したち^ちの間^{あいだ}で、自^じ分^{ぶん}たち^ちの中^{なか}で誰^{だれ}が一^{いち}番^{ばん}偉^{えい}い^かとい^う議^ぎ論^{ろん}が起^おき^た。47 イ^エス^スは弟^{でい}子^したち^ちのこ^{ころ}の中^{なか}の考^{かんが}え^をを知^しり、幼^{おきな}い子^こ供^{ども}を自^じ分^{ぶん}の脇^{わき}に立^たた^せ、48 こ^う言^いつ^た。「私^{わたくし}の^なのた^めにこ^の幼^{おきな}い子^こ供^{ども}を受^うけ^い入^いれる人^{ひと}は、私^{わたし}も受^うけ^い入^いれ^ます。そ^して、私^{わたし}を受^うけ^い入^いれる人^{ひと}は、私^{わたし}を遣^{つか}わ^した方^{がた}も受^うけ^い入^いれ^ます。あ^なた^たち^ちの間^{あいだ}でよ^り小^{ちい}さな者^{もの}として行^{こう}動^{どう}する人^{ひと}こそ偉^{えい}い^のです」。

49 そ^こでヨ^よハ^ハネ^ネが言^いつ^た。「先^{せん}生^{せい}、

第9章
(7) 申 32:5

(イ) マタ 17:17, 18
マル 9:19-27

(ウ) マタ 17:22, 23
マル 9:31, 32
ルカ 18:31-33

(エ) マタ 18:1-5
マル 9:33-37
ルカ 22:24

(オ) マル 9:37
ヨハ 12:44

(カ) 格 18:12
マタ 18:4, 5
マタ 23:11, 12

第2欄
(7) マル 9:38-40

(イ) 使徒 1:1, 2
テモ一 3:16

(ウ) ヨハ 4:9

(エ) マル 3:17

(オ) 王二 1:10

(カ) マタ 8:20

ある人^{ひと}があ^なた^たの^な名^なを使^{つか}つて邪^{じゃ}悪^{あく}な天^{てん}使^しを追^おい^だし^てい^たの^で、私^{わたくし}たち^ちは^やめ^させ^ようと^しま^した。私^{わたくし}たち^ちと一^{いっ}緒^{しょ}にあ^なた^たに^{したが}従^{したが}つて^いない^{から}で^す」。

50 し^かしイ^エス^スはヨ^よハ^ハネ^ネに言^いつ^た。「や^めさ^せよ^うと^して^はな^りま^せん。あ^なた^たち^ちに^{はんたい}反^{はん}対^{たい}して^いない^人はあ^なた^たち^ちに^{みかた}味^み方^{かた}して^いる^ので^す」。

51 イ^エス^スは、天^{てん}に上^あげ^られ^る時^{とき}が近^{ちか}づ^いて^おり、エル^いサ^いレ^いム^むへ行^いく決^{けつ}意^いを固^{かた}め^た。52 そ^して、先^{さき}に使^し者^{しや}を遣^{つか}わ^した。使^し者^{しや}たち^ちは出^で掛^かけ、イ^エス^スのた^めに準^{じゅん}備^びを^しよ^うとサ^さマ^まリ^りア^あ人^{じん}の村^{むら}に^{はい}入^いつ^た。53 し^かし人^{ひと}々^{びと}はイ^エス^スを^{むか}い^いれ^なか^つた。イ^エス^スがエル^いサ^いレ^いム^むへ行^いく^かと^して^いた^{から}で^ある。

54 弟^{でい}子^しのヤ^やコ^こブ^ぶとヨ^よハ^ハネ^ネはこ^れを^みて、言^いつ^た。「主^{しゅ}よ、お^の望^ぞみ^でし^{たら}、天^{てん}か^ら火^ひが下^{くだ}る^{よう}求^{もと}め^て彼^{かれ}ら^を滅^{ほろ}ぼ^しじ^くし^まし^よう^か」。55 し^かしイ^エス^スは^ふむ^むふ^ふた^りし^かに^いつ^た。56 一^{いっ}行^{こう}は別^{べつ}の村^{むら}に^いつ^た。

57 道^{みち}を^{すす}進^{すす}んで^いく^と、あ^る人^{ひと}がイ^エス^スに^いつ^た。「あ^なた^たが^いく^{ところ}所^{ところ}なら、ど^こへ^でも^付い^いて^いき^ます」。58 し^かしイ^エス^スは^いつ^た。「キ^きツ^つネ^ねに^は穴^{あな}が^あり、鳥^{とり}に^は巣^すが^あり^ます^が、人^{ひと}の^こ子^こに^は自^じ分^{ぶん}の^{いえ}家^かが^あり^ませ^ん」。59 そ^れか^ら別^{べつ}の^{ひと}人^{ひと}に、「私^{わたくし}の^し弟^{でい}子^しに^{なり}な^さい」と^いつ^た。そ^の人^{ひと}は、「主^{しゅ}よ、ま

9:53 *直訳、「イエスの顔がエルサレムへ行くこ^とに^{むか}へ^られ^て」。

9:58 *直訳、「頭を横たえる^{ところ}」。

9:59 *または、「私の後に^{したが}従^{したが}い^て」。

ず行って父を葬らせてください」と言った。**60** しかしイエスは言った。

「死人は死人に葬らせ、あなたは行って神の王国を広く知らせなさい」。

61 さらに別の人が言った。「主よ、私はあなたの後に従います。でも、まず家の者に別れを告げさせてください」。

62 イエスは言った。「すぐに手を掛けてから後ろのものを見る人は神の王国にふさわしい人ではありません」。

10 これらのことの後、主イエスはほかの70人を指名し、行こうとしている全ての町と場所へ、先

に2人ずつ遣わした。**2** その際、こう言った。「収穫は多いですが、働き手は少ないのです。それで、収穫のために人を遣わしてくださるよう、収穫の主人にお願いしなさい。**3** 行きなさい。私はあなたたちを遣わします。あなたたちはオオカミの間にいる子羊のようになります。」**4** 財布も食物袋もサンダルも持って行っては

なりません。また道中、誰にもあいさつをしてはなりません。**5** どこでも家に入ったなら、まず、『この家に平和がありますように』と言いなさい。**6** 平和を望む人がそこにいるなら、あなたたちが願う平和はその人のもとにとど

ります。しかし、いないなら、それはあなたたちに戻ってきます。**7** その家に滞在し、提供される物を食べたり飲んだりしなさい。働く人は報酬を受け

るに値します。家から家へと移っていつてはなりません。

8 また、どこでも町に入ったら人々を迎えてくれる所では、出される物を食べ、**9** そこにいる病気の人々を治し、『神の王国はあなたの方の近くに

来ました』と告げなさい。**10** しかし、どこでも町に入ったら人々を迎えてくれない所では、その大通りに出

て、こう言いなさい。**11** 『この町で足に付いた土さえも、あなたの方に向

けて払い落とします。それでも、神の王国が近くに来たことを知っておきな

さい。』**12** あなたたちに言いますが、その日には、その町よりソドムの方が処罰が軽いでしょう。

13 コラジンよ、あなたには災いが

あります! ベツサイダよ、あなたには災いがあります! あなたの方の中でな

された強力な行いがティルスやシドンでなされていたなら、その人々は

粗布をまとって灰の中に座り、とくに悔い改めていたでしょう。**14** 実際、

裁きの際には、あなたの方よりティルスやシドンの方が処罰が軽いでしょう。

15 カベルナウムよ、あなたが天に上げられるようなことがあるでしょうか。

あなたは墓に下るのです!

16 あなたたちの言葉を聞く人は私

の言葉も聞きます。あなたたちを無視

10:11 *自分に責任がないことを示す動作。

10:13 *または、「奇跡」。**10:15** *ギリシャ語、ハデス。用語集参照。

第9章

[7] マタ 8:21

[7] エフ 2:1

[7] マタ 8:22

[7] 創 19:17

[7] マタ 10:37

[7] コー 9:24

[7] フィリ 3:13

第10章

[7] マル 6:7

[7] マタ 9:37,38

[7] コー 3:9

[7] テサ 2:3:1

[7] マタ 10:16

[7] マタ 10:9,10

[7] ルカ 9:3

[7] マタ 10:12,13

[7] マタ 10:11

[7] ルカ 9:4

[7] ガラ 6:6

第2欄

[7] マタ 10:9,10

[7] コー 9:11,14

[7] テモ 5:18

[7] マタ 3:1,2

[7] ルカ 9:2

[7] マタ 10:14

[7] ルカ 9:5

[7] 使徒 13:50,51

[7] マタ 11:24

[7] マタ 11:21-23

[7] マタ 10:40

[7] マル 9:37

[7] ヨハ 13:20

るに値します。家から家へと移っていつてはなりません。

8 また、どこでも町に入ったら人々を迎えてくれる所では、出される物を食べ、**9** そこにいる病気の人々を治し、『神の王国はあなたの方の近くに

来ました』と告げなさい。**10** しかし、どこでも町に入ったら人々を迎えてくれない所では、その大通りに出て、こう言いなさい。**11** 『この町で足に付いた土さえも、あなたの方に向

けて払い落とします。それでも、神の王国が近くに来たことを知っておきな

さい。』**12** あなたたちに言いますが、その日には、その町よりソドムの方が処罰が軽いでしょう。

13 コラジンよ、あなたには災いがあります! ベツサイダよ、あなたには災いがあります! あなたの方の中でな

された強力な行いがティルスやシドンでなされていたなら、その人々は粗布をまとって灰の中に座り、とくに悔い改めていたでしょう。**14** 実際、

裁きの際には、あなたの方よりティルスやシドンの方が処罰が軽いでしょう。**15** カベルナウムよ、あなたが天に上げられるようなことがあるでしょうか。

あなたは墓に下るのです!

16 あなたたちの言葉を聞く人は私の言葉も聞きます。あなたたちを無視

10:11 *自分に責任がないことを示す動作。

10:13 *または、「奇跡」。**10:15** *ギリシャ語、ハデス。用語集参照。

する人は私をも無視します。さらに、私
を無視する人は私を遣わした方をも
無視します。

17 70 人が喜びながら帰ってきて
て、言った。「主よ、あなたの名を使
うと、邪悪な天使も服従するのです」。

18 イエスは言った。「サタンがすでに
稲妻のように天から落ちたのが見えま
す。19 私はあなたたちに、蛇やサソ
リを踏みつけ、敵の全ての力を制する
権威を与えました。それで、あなたた
ちに害を加えるものは何もありません
に。20 とはいえ、邪悪な天使が服
従することを喜ぶのではなく、あなた
たちの名前が天に記されたことを喜
びなさい。21 まさにこの時、イエ
スは聖なる力により喜びにあふれて
言った。「天地の主である父よ、あなた
を大いに賛美します。あなたはこのよ
うなことを賢い知識人たちが注意深
く隠し、幼い子供たちに啓示されたか
らです。そうです、父よ、これはあなた
のお考えに沿ったことです。22 全て
のものは父によって私に渡されていま
す。子がどのような者かを知っている
のは父だけであり、父がどのような方
かを知っているのは、子と、子が進ん
で父を啓示する者たちだけです」。

23 イエスは弟子たちの方を向き、
彼らだけに言った。「あなたたちが
見ているものを見る人は幸いです。24
あなたたちに言いますが、多くの
預言者や王は、あなたたちが見ている

第10章

(7) ヨハ 5:23
ヨハ 12:48
ヨハ 15:23

(1) 使徒 16:17, 18

(7) ヨハ 12:31
ヨハ 16:11
ヘブ 2:14
啓 12:7-9

(1) 詩 91:13

(例) 出 32:32
ダニ 12:1
フリ 4:3
啓 3:5

(例) コー 1:19
コー 2:6

(例) マタ 11:25, 26

(例) ヨハ 10:15

(例) マタ 11:27
ヨハ 1:18
コ二 4:6

(1) マタ 13:16, 17

第2欄

(例) ペー 1:10, 11

(例) マタ 19:16
マル 10:17
ルカ 18:18

(例) 申 6:5
申 10:12
ヨシ 22:5
マル 12:30

(1) レビ 19:18
マタ 19:19
ロマ 13:9
ガラ 5:14
ヤコ 2:8

(例) レビ 18:5
ヨハ 17:3

(例) ルカ 16:15

(例) ヨハ 4:9

ものを見たいと願いながら見ず、あな
たたちが聞いていることを聞きたいと
願いながら聞かなかったのです」。

25 さて、律法に通じた男性が立ち
上がり、イエスを試そうとして言った。
「先生、永遠の命を受けるには何をす
る必要があるでしょうか。26 イエ
スは言った。「律法には何と書いてあ
りますか。どう読みますか。27 そ
の男性は答えた。『あなたは、心を尽
くし、力を尽くし、知力を尽くし、自分
の全てを尽くして、あなたの神エホバ
を愛さなければならぬ』、そして、
『隣人を自分自身のように愛さなけれ
ばならぬ』。28 イエスは言った。
「その通りです。それを行い続けな
さい。そうすれば命を得ます」。

29 しかしその男性は、自分の正し
さを示そうとしてイエスに言った。「私
の隣人とはいったい誰でしょうか」。

30 イエスは答えた。「ある男性がエ
ルサレムからエリコに下っていく途中
で、強盗たちに襲われました。強盗は
服を剥ぎ、殴り、半殺しにして去って
いきました。31 たまたま、ある祭司が
その道路を下っていきましたが、男性
を見ると、道の反対側を通り過ぎまし
た。32 同じように、あるレビ族の人
も、そこにきて彼を見ると、道の反対
側を通り過ぎました。33 ところが、
その道路を通っていたあるサマリア人

10:27 *ギリシャ語、プシユケー。用語集参照。
*付録 A5 参照。

はそこに^{き かれ み}来て彼を見ると、^{かわい}そうに思いました。**34** それで^{ちかよ きず}近寄り、傷に^{あぶら しゆ そそ}油とぶどう酒を注いで^{ほうたい}包帯をしてあげました。それから^{かれ じぶん かちく}彼を自分の家畜に^{の やど や つ}乗せ、宿屋に連れて^{せ わ}いって世話をしました。**35** 次の日、^{つぎ ひ}2デナリを取り出し、^{やど や しゅじん わたし}宿屋の主人に渡して言いました。『この人の世話をしてください。もっと費用がかかったら、戻ってきた時に払いますから』。**36** この3人のうち誰が、強盗に襲われた人にとって^{だれ ごうとう おそ ひと}隣人になったと思いますか』。**37** 律法に通じた男性は言った。「その人に^{たい あわ ぶか こうとう ひと}対して憐れみ深く行動した人です」。イエスは言った。「行って、あなたも同じように^{い おな}しなさい」。

38 さて、^{いっこう すず}一行は進んでいき、イエスはある村に入った。そして、マルタと^{むら はい}いう女性がイエスを客として家に迎えた。**39** マルタにはマリアという姉妹^{まい し}がいたが、マリアは主イエスの足元に座って、主が話すのをずっと聞いていた。**40** 一方、マルタはもてなすための種々の用事に^{しゅじゆ ようじ き と}気を取られていた。そして、イエスの所に^{ところ き い}来て、言った。「主よ、マリアが私だけに用事をさせていることを^{なん おも}何とも思わないのですか。手伝^{て くだ}うよう^い言ってください」。 **41** 主は答えた。「マルタ、マルタ、あなたは多くのことに^{おお き つか こころ みだ}気を使つて心をかき乱されています。**42** でも、必要なのはわ

第10章
[7] マタ 19:19

[7] 格 14:21

[7] ルカ 6:36
ヨハ 13:17
エフ 4:32

[7] ヨハ 12:2

第2欄
[7] マタ 4:4
マタ 6:33

第11章
[7] レビ 22:32
イザ 5:16
エゼ 36:23

[7] ダニ 2:44
ダニ 7:13,14
マタ 6:9-13

[7] 詩 37:25

[7] 詩 79:9
ダニ 9:19

[7] マル 11:25
エフ 4:32
コロ 3:13

[7] ルカ 22:46
コ一 10:13
ヤコ 1:13
啓 3:10

ずかなもの、というより1つだけです。マリアは良いものを選びました。それが彼女から取り上げられることはありません」。

11 さて、イエスはある場所^{ばしょ}で祈っていた。祈りを終えると、1人の弟子^{いの}が言った。「主よ、私たちに祈り方を教えてください。ヨハネも弟子たちに教えました」。

2 そこでイエスは言った。「祈るときにはいつでも、こう^い言いなさい。『父よ、お名前が神聖なもの^{な まえ しんせい}とされますように。あなたの王国が来ますように。』**3** 毎日の必要に応じて、日ごとに私たちにパンをお与えください。 **4** 私たちの罪をお許ください。私たちも、私たちに罪を犯す人^{わたし つみ おか かひと}を皆許しますか。私たちが誘惑に陥らせないでください』。

5 それからイエスはこう^い言った。「あなたたちの1人が真夜中に友人の所^{ひとり ま よ なか ゆうじん ところ}に行つて、こう^い言つたとしましょう。『友よ、パンを3つ貸してください。 **6** 友人が旅の途中^{たび とちゆう いま}で今うちに来たのです。 **7** したが、出す物が何もありません』。 **7** しかし、その人は中からこう答えます。『無理なことを言わないでください。もう戸には鍵を掛け、幼い子供たちが私と一緒に寝ています。起きていって何かをあげることはできません』。 **8** あ

10:42 *または、「最も良い」。 **11:2** *または、「聖なるものとして扱われ」、「最高の敬意をもって扱われ」。 **11:4** *直訳、「負債がある」。

なたたちに言いますが、その人は、友人だという理由で起きてきて何かを与

えることはないとしても、しつこく頼むなら、必ず起きてきて何でも必要とする

物を与えてくれます。9 それで、求め続けなさい。そうすれば与えられます。探し続けなさい。そうすれば見つ

かります。たたき続けなさい。そうすれば開かれます。10 誰でも求めている人は受け、探している人は見つ

け、たたいっている人には開かれます。11 実際、あなたたちのうちの父親

が、自分の子から魚を求められて、魚ではなく蛇を渡すでしょうか。12 また、卵を求められて、サソリを渡すで

しょうか。13 それで、あなたたちが罪深い人間でありながら、子供に良い

贈り物を与えることを心得ているのであれば、まして天の父は、ご自分に求

めている人に聖なる力を与えてくださるのです」。

14 後にイエスは、口が利けない人から邪悪な天使を追い出した。邪悪な天使が出ると、口が利けなかつ

た人は言葉を発し、群衆はとても驚いた。15 しかし、何人かが言った。「彼は邪悪な天使の支配者ベエルゼ

ブブの力で、邪悪な天使を追い出しているのだ」。16 ほかの人たちは、イエスを試そうとして、天からのしるしを

求め始めた。17 イエスはその考えを知って、こう言った。「内部で分裂し

第11章
(ル) ルカ 18:5

(イ) ロマ 12:12

(例) マタ 7:7,8

(ロ) マル 11:24
ヨハ 15:7
ヤコ 1:6
ヨ一 3:22
ヨ一 5:14

(例) マタ 7:9,10

(例) マタ 7:11
ヤコ 1:17

(例) マタ 12:22

(例) マタ 9:32-34

(例) マタ 12:24-30
マル 3:22-27

(ロ) マタ 12:38
マル 8:11

(例) ヨハ 2:24,25

第2欄

(例) 出 8:19

(例) マタ 12:28
ルカ 17:21

(例) マタ 12:30

(ロ) マタ 12:43-45

ている王国はどれも荒廃し、内部で分裂している家は崩壊します。18 同じ

ように、サタンも自分自身に敵対して分裂しているなら、その王国はどうし

て長く続くでしょうか。こう言うのは、私がベエルゼブブによって邪悪な天

使を追い出すとあなた方が言うからです。19 もし私がベエルゼブブに

よって邪悪な天使を追い出すのであれば、あなた方の弟子は誰によって追

い出すのですか。従って、あなた方が間違っていることをあなた方の弟子が示

します。20 しかし、私が邪悪な天使を追い出すのが神の力によるのであ

れば、神の王国はもうあなた方の所にきています。21 強い人が十分に武

装して自分の邸宅を守っているなら、その持ち物は安全です。22 しかし、

もっと強い人がその人を襲って打ち負かすときには、その人の頼みとしてい

た武器を全部取り上げ、それから、奪い取った物を分配します。23 私の

側にいない人は私に敵対しており、私と一緒に集めない人は散らしています。

24 邪悪な天使は人から出てくると、水ののない土地を通って休み場を探し

ますが、見つからないと、『出てきた家に帰ろう』と言います。25 着いてみ

ると、きれいに掃かれ、飾り付けられています。26 そこで出ていき、もっと

邪悪な天使7人を連れてきて、中に入って住み着きます。こうして、その

11:15 *サタンを指す。

11:20 *直訳、「指」。

ひと さいしゅうてき じょうたい さいしょ わる
人の最終的な状態は最初より悪く
なります」。

27 イエスがこれらのことを話して
いたところ、群衆の中からある女性が
イエスに大声で言った。「あなたを産
んで乳を飲ませた女性は幸福です！」

28 しかしイエスは言った。「いいえ、
神の言葉を聞いて守っている人たちが
ぞ幸福です！」

29 人々が寄り集まってきた時、イ
エスはこう言い始めた。「この世代は
邪悪な世代です。しるしを求めますが、
ヨナのしるし以外にしるしが与えら
れることはありません。30 ちょうど
ヨナがニネベの人々に対してしるしと
なったように、人の子がこの世代に対
してしるしとなります。31 南の女王
は裁きの際にこの世代の人々と共に
復活し、その人々を断罪します。女王
はソロモンの知恵を聞くために地の
果てから来たからです。しかし見なさ
い、ソロモンを上回るものがここにいま
す。32 ニネベの人々も裁きの際に
この世代と共に復活し、この世代を断
罪します。ニネベの人々はヨナの伝道
によって悔い改めたからです。しかし
見なさい、ヨナを上回る者がここにいま
す。33 人はランプをともした後、
それを人目につかない所に置いたり
籠で覆つたりせず、台の上置き、入っ
てくる人にその光が見えるようにしま

11:30 *イエスのこと。用語集参照。11:33
*または、「量り籠」。

第11章

(7) ルカ 1:46-48

(イ) 申 29:9

詩 1:1,2

詩 112:1

詩 119:2

マタ 7:21

ヤコ 1:25

(イ) マタ 12:38-42

マタ 16:4

(四) ヨナ 1:17

(四) 王一 10:1

代二 9:1

(四) マタ 12:42

(四) ヨナ 3:5

(イ) マタ 5:15

マル 4:21

ルカ 8:16

第2欄

(7) マタ 6:22,23

(イ) マタ 15:2

(イ) マタ 23:25,26

(四) レビ 27:30

す。34 目は体にとって明かりです。
目の焦点が合っていると、体全体も明
るくなります。しかし、目が欲で満ちて
いると、体も暗くなります。35 それ
で、あなたの内の光が闇にならない
ように用心していなさい。36 あなたの
体は、全体が明るく少しも暗い所が
ないなら、明かりが照らすときのように
全く明るいのです。

37 イエスがこのことを言い終え
ると、パリサイ派のある人が、一緒
に食事をしてほしいと頼んだ。それで
イエスは中に入り、食卓に着いた。
38 ところが、その人はイエスが食事
の前に手を洗わないのを見て驚いた。

39 しかし主イエスはその人に言っ
た。「パリサイ派の人たち、あなた方
は杯と皿の外側は清めますが、あなた
の方の内側は貪欲と邪悪に満ちてい
ます。40 無分別な人たち！ 外側を
作った方は内側も作ったではありませんか。
41 憐れみの施しをする時
には、内面からのものを与えなさい。
そうすれば、あなた方は何もかも清く
なるのです。42 しかし、パリサイ派
の人たち、あなた方には災いがありま
す！ ミントやヘンルーダなど、あらゆる
ハーブの10分の1を納めながら、神
の公正と神への愛を無視しているか

11:34 *または、「が澄んでいると」。
*または、「にも光が満ち」。
*直訳、「邪悪だと」。
11:37 *直訳、「で横になった」。
11:38 *儀式上の清
めをしないということ。
11:41 *用語集参照。
11:42 *または、「野菜」。

らです。10分の1を納める義務はありますが、後者を無視すべきではありません。43 パリサイ派の人たち、あなた方には災いがあります！ 会堂の最も良い座席や、広場であいさつされることを好むからです。44 あなた方には災いがあります！ 目につきにくい墓のようだからです。人々はその上を歩いても気付きません」。

45 それに対して、律法に通じたある人が言った。「先生、その発言は私たちをも侮辱しています」。46 イエスは言った。「律法に通じたあなた方にも災いがあります！ 担うのが大変な荷を人に負わせますが、自分ではその荷に指一本触れないからです」。

47 あなた方には災いがあります！ 預言者の墓を建てますが、預言者を殺したのはあなた方の父祖だからです。48 あなた方は父祖たちがしたことを知っていて、しかもそれに同意しているのです。彼らが預言者を殺し、あなた方がその墓を建てています。49 それで神も知恵により述べました。『私は預言者や使徒たちを彼らの所に遣わす。彼らはそのうちのある人たちを殺したり迫害したりする。50 こうして、この世代は、世が始まって以来流された全ての預言者の血の責任を問われる。51 アベルの血から、祭壇と神

第11章
[7] マタ 23:23, 24
ヨハ 7:24

[7] マタ 23:6, 7

[7] マタ 23:27, 28

[2] マタ 23:2, 4

[7] マタ 23:29-31

[7] 使徒 7:52
ヘブ 11:32, 37

[7] 啓 18:21, 24

[7] 創 4:8, 10

第2欄
[7] 代二 24:20-22

[7] マタ 23:13
テサー 2:14-16

[7] ルカ 20:20

第12章
[2] マタ 16:6
マル 8:15

[7] マタ 10:26, 27
マル 4:22
ルカ 8:17

[7] ヨハ 15:14

[7] 使徒 20:24

[7] マタ 10:28

[7] イザ 8:13
ヘブ 10:31
ペー 2:17
啓 14:7

の家の間で殺されたゼカリヤの血に至るまで』。そうです、あなた方に言いますが、この世代が責任を問われるのです。

52 律法に通じたあなた方には災いがあります！ 知識の鍵を取り去ったからです。自分自身が入らず、入ろうとする人の邪魔をします」。

53 イエスがそこから出ると、律法学者とパリサイ派の人たちはイエスに激しく詰めてさらに質問を浴びせ始め、54 揚げ足を取ろうと狙っていた。

12 そうしている間に、数え切れないほどの人々が集まってきた。イエスはまず弟子たちに言い始めた。「パリサイ派のパン種つまり偽善を付けなさい。2 しかし、注意深く秘められているものは全て明らかにされ、秘匿にされているものは全て知られるようになります。3 それで、あなたたちが闇の中で言う事は何でも光の中で聞かれ、自分の部屋でささやく事はおくらう。4 友よ、さらに言いますが、体は殺せてもその後は何もできない人たちを恐れてはなりません。5 しかし、誰を畏れるべきかを示しましょう。殺した後でゲヘナに投げ込む権威がある方を畏れなさい。そうです、この方を畏れなさい。

11:51 *または、「神殿」。*または、「に要求される」。12:5 *用語集参照。

11:43 *または、「正面の」。11:44 *または、「目立つようにしていない」。11:44, 47 *または、「記念の墓」。11:49 *直訳、「神の知恵も」。11:50 *または、「血を要求される」。

6 スズメ5羽は小額の硬貨2枚で売
ていませんか。それでも、その1羽で
さえ神に忘れられることはありません。

7 ところが、あなたたちは髪の毛まで
全て数えられています。恐れることは
ありません。あなたたちはたくさんの
スズメより価値があるのです。

8 あなたたちに言いますが、人前で
私を認める人全てを、人の子も神の
天使たちの前で認めます。9 しかし、
人前で私を認めない人は、神の天使
たちの前で認められません。10 人
の子に逆らう言葉を使う人は皆許さ
れますが、聖なる力を冒瀆する人は許
されません。11 公の集会、また政
府の役人や権威者の前に連れていか
れるとき、どう弁明しようか、何を言
うかと心配してはなりません。12 言
うべきことは聖なる力によってその時
に教えられるからです。

13 その時、群衆の中のある人が
言った。「先生、相続財産を私に分け
るよう私の兄弟に言ってください」。

14 イエスはそれに言った。「私は
あなたたち2人の裁判官や仲裁人に
任命されていますか。15 それから
群衆に言った。「じっと見張っていて、
あらゆる貪欲に警戒しなさい。たくさ
んの物を持っても、命は所有物か
らは生じないからです」。16 そして

12:6 *直訳、「2アサリオン」。付録B14参照。
*または、「見過ごされる」。12:8 *イエスのこ
と。用語集参照。12:11 *もしかすると、「会
堂」。12:15 *または、「強欲」。

第12章

[A] マタ 10:29

[I] マタ 10:30
ルカ 21:18[I] マタ 10:31
ルカ 12:24

[K] ロマ 10:9

[M] マタ 10:32,33

[M] マル 8:38

ルカ 9:26

テモ二 2:12

ヨ一 2:23

[M] マタ 12:31,32

マル 3:28,29

[M] マタ 10:19,20

マル 13:11

ルカ 21:14,15

[I] 出 4:12

使徒 6:8,10

[K] 出 20:17

申 5:21

コ口 3:5

[I] テモ一 6:7

第2欄

[I] ヤコ 4:13-16

[I] 詩 49:16-19
格 27:1

[I] 伝 11:9

マタ 6:20

テモ一 6:17-19

ヤコ 2:5

[M] マタ 6:25-30

フリイ 4:6

[M] ヨブ 38:41

詩 147:9

[M] マタ 6:26

ルカ 12:7

つぎ 次のような例えを話した。「ある裕福
な人の土地で作物が豊かに実りまし
た。17 そこでその人は心の中で考
え始めました。『どうしようか。作物を
集める場所がない』。18 その人は
言いました。『こうしよう。倉を取り壊
して、もっと大きいのを建て、そこに
穀物などを全て集めるのだ。19 そ
して自分に言おう。『おまえはたくさん
の良い物を何年分も蓄えることがで
きた。楽にして、食べて、飲んで、楽し
め』。20 しかし神は言いました。
『無分別な者よ、今夜、あなたの命は
取り上げられる。そうしたら、蓄えた物
は誰のものになるのか』。21 自分
のために宝を蓄えても、神から見て裕
福でない人はこうなるのです」。

22 それからイエスは弟子たちに
言った。「ですから、何を食べるのだろ
うかと自分の命のことで、また何を着
るのだろうかと自分の体のことで、心
配するのをやめなさい。23 命は食
物より、体は服より価値があります。

24 ワタリガラスのことを考えなさい。
種をまいたり刈り取ったりしません
し、納屋も倉も持っていません。それ
でも神はその鳥を養っています。あな
たたちは鳥よりずっと価値があるので
はありませんか。25 心配したから
といて、誰が自分の寿命を少しでも
延ばせるでしょうか。26 では、その
ような小さなこともできないのに、なぜ

12:25 *直訳、「1キュビト」。付録B14参照。

ほかのことについて^{しんばい}心配⁽⁷⁾するのですか。

27 ユリがどのように^{そだ}育^{かんが}つかを考^いえなさい。苦^{くろう}勞^{はたら}して働^いいたり、糸^{いと}を紡^{つむ}いだりはしません。しかし、華^{はな}やかな生^{せい}活^{かつ}を送^{おく}ったソロモン王^{おう}でさえ、このよう^{はな}な花^{よそお}の1つほどにも装^{よそお}ってはいませんでした。**28** 神^{かみ}が、今日^{きょう}は生^いえていて明日^{あす}火^ひに放^{ほう}り込^こまれる野^のの草^{くさ}木^きにこのように服^{ふく}を与^{あた}えているなら、ましてあ

なたたちには服^{ふく}を与^{あた}えてくださるのです。信^{しん}仰^{こう}の少^{すく}ない人^{ひと}たち。**29** それで、何^{なに}を食^たべるのか、何^{なに}を飲^のむのかとばかり考^{かんが}えるのをやめ、心^{しん}配^{ぱい}して氣^きをもむのをやめなさい。**30** これらは

全^{すべ}て世^よの人^{ひと}々が必^{ひつ}死^しに求^{もと}めているものですが、天^{てん}の父^{ちち}は、あなたたちがこう

したものを必要^{ひつよう}としてい^しることを知^しっています。**31** そうではなく、神^{かみ}の王^{おう}国^{こく}をいつも第一^{だいいち}にしなさい。そうすれ

ば、こうしたものはあなたたちに与^{あた}えられます。

32 恐^{おそ}れることはあ^ちりません、小^{ちい}さな群^むれよ。天^{てん}の父^{ちち}は、あなたたちに王^{おう}国^{こく}を与^{あた}えることを喜^{よろこ}んでいます。**33** 持^もち物^{もの}を売^うって、憐^{あわ}れみ^{ほどこ}の施^せしをしなさい。擦^{すり}り切^きれない財^{さい}布^ふ、決^{けつ}してつきる

ことのない宝^{たから}を天^{てん}に持^もちなさい。そこでは、泥^{どろ}棒^{ぼう}が近^{ちか}づくことも蟻^ががむしばむこともあ^ありません。**34** あなたたち

の宝^{たから}のある所^{ところ}、そこにあなたたちの心^{こころ}もあるのです。

12:33 *用語集参照。

第12章

(7) マタ 6:34

(1) 王ー 10:4-7

(7) マタ 6:31, 32

(2) 代二 16:9

フィリ 4:19

(7) 詩 34:10

マタ 6:33

テモ一 4:8

(7) ヨハ 10:14

(4) ダニ 7:27

ルカ 22:28-30

ヘブ 12:28

ヤコ 2:5

啓 1:6

(7) マタ 19:21

ルカ 18:22

使徒 2:45

使徒 4:34, 35

(7) マタ 6:20, 21

ルカ 16:9

テモ一 6:18,

19

第2欄

(7) エフ 6:14

ペー 1:13

(1) マタ 25:1

フィリ 2:15

(7) マタ 25:5

(2) マル 13:35

(7) マタ 24:43

テサー 5:2

ペニ 3:10

啓 16:15

(7) マタ 24:44

マタ 25:13

啓 3:3

(4) マタ 24:45-47

35 身^み支^じ度^{たく}を整^{ととの}え、ラン^みプをともし

ていなさい。**36** 主^{しゅ}人が披^ひ露^{ろう}宴^{えん}から

帰^{かえ}って来^きて戸^とをたたく時^{とき}にすぐ開^あけら

れるように待^{まち}っている奴^ど隷^{れい}たちのよ

うでありなさい。**37** 主^{しゅ}人が来^きた時^{とき}、

見^み張^はつているところを見^みられるその奴^ど隷^{れい}

たちは幸^{しあわ}せです！ 実^{じつ}のところ、主^{しゅ}人

は前^{まえ}掛^かけをして、彼^{かれ}らを食^{しょく}卓^{たく}に着^つか

せ、給^き仕^きしてくれま^ます。**38** 主^{しゅ}人が第^{だい}

2夜^や警^{けい}時^じに、あるいは第^{だい}3夜^や警^{けい}時^じに来^き

たとしても、用^{よう}意^いができてい^いるところ

を見^みられるなら、奴^ど隷^{れい}たちは幸^{しあわ}せで

す！**39** とはいえ、このことを知^しって

おきなさい。家^{いえ}の主^{しゅ}人は、泥^{どろ}棒^{ぼう}がど

の時^じ刻^{こく}に來^きるかを知^しっていたなら、

家^{いえ}に押^おし入^いらせはしなかつたでしょう。

40 あなたたちも用^{よう}意^いをしていなさい。

思^{おも}ってもい^いない時^じ刻^{こく}に人^{ひと}の子^こは來^く

からです」。

41 その時^{とき}ペテロが言^いった。「主^{しゅ}よ、

この例^{たと}えは私^{わたし}たちにだけ話^{はな}しているの

ですか。それとも、全^{すべ}ての人^{ひと}にです

か。**42** 主^{しゅ}はこ^いう言^いった。「主^{しゅ}人が、

じゅうしや、^{じゅうしや} 42 主^{しゅ}はこ^いう言^いった。「主^{しゅ}人が、

従^{じゅうしや}者^{しや}たちに必要^{ひつよう}な食^{しょく}料^{りょう}を適^{てき}切^きな時^{とき}に

与^{あた}えていくため、彼^{かれ}らの上^{うへ}に任^{にん}命^{めい}する

忠^{ちゅう}実^{じつ}な管^{かん}理^り人^{にん}、思^{しり}慮^{りょ}深^{ふか}い者^{もの}はいつた

誰^{だれ}でしょう。か。**43** 主^{しゅ}人が来^きて、そ

うしてい^いるところを見^みるなら、その奴^ど隷^{れい}

は幸^{しあわ}せです！**44** 実^{じつ}を言^いうと、主^{しゅ}人は

12:35 *直^ち訳^{やく}、「腰^{こし}に帯^{おビ}を締^しめ」。**12:37** *直^ち

訳^{やく}、「で横^{よこ}にならせ」。**12:38** *午^ご後^ご9時^じごろから

真^ま夜^や中^{ちゅう}まで。^{ちゅうじつ} *真^ま夜^や中^{ちゅう}から午^ご前^{ぜん}3時^じごろまで。

12:42 *または、「家^{いへ}の召^よし使^{つか}いたち」。^だ *または、「賢^{けん}い」。

自分の全ての持ち物を管理させるためにその奴隷を任命します。45

しかし、もしもその奴隷が、『主人は来るのが遅い』と心の中で言い、召し使いの男女をたいて、食べたり飲んだり酔ったりし始めるなら、46 その奴隷の主人は、奴隷が予期していない日、思ってもいない時刻に来て、最も厳しく彼を罰し、不忠実な者たちと一緒にならせませう。47 その時、主人の意向を理解していながら用意せず、求められたことを行わなかったその奴隷は、何度も打ちたたかれます。48

しかし、理解せずに打たれるようなことをした人は、少なく打たれます。実際、多く与えられた人には多くのことが要求され、多くを委ねられた人には普通以上のことが要求されます。

49 私は地上に火をおくすために来ました。そして、すでに火が付けた以上、さらに願うべきことがあるのでしょうか。50 しかし私には受けるべきバプテスマがあります。それが終わるまで私はどれほど苦しむことでしょう。51 私が来たのは地上に平和を与えるためだと思いませんか。そうではありません。平和ではなく分裂です。52 今後、1つの家で5人が分裂し、3人が2人と、2人が3人と対立します。53 分裂して、父が息子と、息子が父と対立し、母が娘と、娘が母と対

第12章

(マ) マタ 24:48-51

(イ) ヤコ 1:22

ヤコ 4:17

(イ) マタ 25:29

ヨハ 15:2

(マ) ヨハ 12:27

(イ) マタ 10:34-36

ヨハ 7:41,43

ヨハ 9:16

第2欄

(イ) ミカ 7:6

(イ) マタ 16:2,3

ルカ 19:42

(イ) マタ 5:25,26

第13章

(マ) 使徒 3:19

りつ立し、しゅうとめが嫁と、嫁がしゅうとめと対立します」。

54 イエスは群衆にも言った。「皆さんは、西に雲が出るのを見ると、すぐに『嵐が来る』と言い、そうなります。

55 また、南風が吹いているのが分かれると、『熱波が来る』と言い、そうなります。56 偽善者たち、天気がどうなるかを見分けられるのに、なぜ、この特別な時を見分けられないのですか。

57 何が正しいかをなぜ自分で判断しないのですか。58 例えば、訴訟の相手と一緒に支配者の所へ向かう場合、道中で論争の解決に努めるものです。そうしなければ、相手があなたを裁判官の前に呼び出し、裁判官が看守に引き渡し、看守があなたを牢屋に投げ込みます。59 実のところ、最後の小さな硬貨を払い終えるまで、そこから決して出られません」。

13 その時、居合わせた人たちがイエスに、犠牲を捧げていたガリラヤ人たちをピラトが殺したことについて知らせた。2 そこでイエスは言った。「そのガリラヤ人たちはそうした苦しみに遭ったのだから他の全てのガリラヤ人よりひどい罪人だったのだ、と思いませんか。3 決してそうではありません。しかし皆さんも、悔い改めないなら、滅ばされます。4 また、シロアムの塔が倒れて死んだあの18人はエルサレムの他の全ての住

12:47 *または、「意向に沿って」。

12:59 *直訳、「最後のレプタ」。付録B14参照。

民より罪が重かった、と思いますか。

5 決してそうではありません。しかし皆さんも、悔い改めないなら、滅ぼされます」。

6 イエスはさらにこの例えを話した。「ある人が、ブドウ園に1本のイチジクの木を持っていました。実があるかと見に行きましたが、見つかりませんでした。**7** それでブドウの栽培人に言いました。『このイチジクの木に実があるかともう3年も見に来ていますが、一つも見つかりません。切り倒してしまいなさい! なぜ土地を無駄にしているのですか』。**8** 栽培人は答えました。『ご主人さま、あと1年そのままにしてください。周りを掘って肥やしをやりま。す。**9** この先、実を結ぶようであればそれでいいですし、そうでなければ切り倒してください』」。

10 安息日に、イエスは会堂で教えていた。**11** そこに、18年間邪悪な天使に取りつかれて病弱な女性がいた。腰が折れ曲がり、どうしても真っすぐに立てなかった。**12** イエスはその女性を見て話し掛け、「あなたはもう病弱ではありません」と言った。**13** そして両手を置くと、その女性はすぐさま真っすぐに立ち、神をたたえ始めた。**14** ところが会堂の役員は、イエスが安息日に病気を治したので憤り、群衆にこう言った。「仕事をすべき日は6日あるのだから、それらの日に来て治してもらいなさい。安息日は駄

第13章

(7) マタ 21:19
マル 11:13

(1) ペコ 3:9

(7) イザ 61:1
ルカ 4:18

(2) 出 20:9,10
出 35:2
申 5:13,14

第2欄

(7) マタ 12:10
マル 3:2
ヨハ 5:15,16

(1) マタ 23:27,28
ルカ 12:1

(7) ルカ 14:5

(2) ルカ 9:43

(7) マタ 13:31,32
マル 4:30-32

(7) マタ 13:33

(4) イザ 55:6
マタ 7:13,14
フリ 3:12-14
テモ 6:12

目だ」。**15** しかし主イエスがこう答えた。「偽善者たち、あなた方はそれぞれ安息日に牛やロバを家畜小屋から解いて、水を飲ませに引いていきませんか。**16** それなら、アブラハムの子孫でサタンに18年も縛られていたこの女性が安息日に解放されてもいいではありませんか」。**17** イエスがこう言うと、反対者たちは皆、恥ずかしく思うようになった。しかし、群衆は皆、イエスがした素晴らしい事柄全てを喜ぶようになった。

18 それでイエスは言った。「神の王国は何に似ているでしょうか。それを何になぞらえましょうか。**19** それは、人が庭に植えたからしの種のようにです。それは成長して木のようになり、鳥が枝に巣を作りました」。

20 さらに言った。「神の王国を何になぞらえましょうか。**21** それはパン種のようにです。女性がそれを取って、小麦粉3杯分と混ぜると、やがて全体が発酵しました」。

22 イエスは町から町へ、村から村へと旅をし、人々を教えながらエルサレムへの旅を続けた。**23** ある人が言った。「主よ、救われる人は少ないのですか」。イエスは言った。**24** 「狭い戸口を通して入るため、精力的に励みなさい。あなた方に言いますが、入ろうとしても入れない人が多いからで

13:16 * 直訳、「娘」。**13:21** * 22リットル。

す。25 家の主人が立ち上がって戸に鍵を掛けると、あなた方は外に立て戸をたたき、『主よ、開けてください』と言います。しかし主人はこう答えます。『あなた方がどこの人か知りません』。26 その時あなた方は言い始めます。『私たちはあなたと一緒に食べたり飲んだりしましたし、あなたは私たちの大通りで教えてくださいました』。27 しかし主人は言います。『あなた方がどこの人か知りません。悪を行う者たちよ、皆、私から離れ去りなさい!』28 あなた方は、アブラハム、イサク、ヤコブ、全ての預言者が神の王国にいるのに自分が外に放り出されているのを見る時、そこで泣き悲しんだり歯ざしりしたりします。29 さらに、人々が東や西から、北や南から来て、神の王国で食卓に着きます。30 そして、最後の人が最初になります。最初の人々が最後になりました。

31 ちょうどその時、パリサイ派のある人たちが来てイエスに告げた。「ここから立ち去りなさい。ヘロデがあなたを殺そうとしています」。32 イエスは言った。「行って、あのキツネに言いなさい。『私は今日と明日、邪悪な天使を追い出し、人々を癒やしています。そして3日目に終えます』。33 とはいえ、私は今日、明日、その翌日、進んでいかなければなりません。預言者

13:29 *直訳、「で横になり」。

第13章

(ル) ルカ 6:46

(イ) マタ 7:22,23

(イ) マタ 8:11,12

(ロ) マタ 19:30
マル 10:31

第2欄

(イ) マタ 16:21

(イ) 代二 24:20,21
ネへ 9:26

(イ) マタ 23:37

(ロ) レビ 26:31
王一 9:7,8
エレ 12:7
エレ 22:5

第14章

(イ) ルカ 6:9
ヨハ 7:23

(イ) 出 23:5
申 22:4

(イ) マタ 12:11
ルカ 13:15

がエルサレムの外で殺されることはあり得ないからです。34 エルサレム、エルサレム、預言者たちを殺し、遣わされた人々を石打ちにする者よ、私はめんどりが翼の下にひなたたちを集めるようにあなた方を集めたいと何度思ったことでしょう。しかし、あなた方はそれを望みませんでした。35 聞きなさい、あなた方の家は見捨てられます。あなた方に言いますが、あなた方は、『エホバの名によって来る方が祝福されますように!』と言う時まで、決して私を見ることはありません。

14 別の時のこと、イエスは安息日にパリサイ派のある指導者の家に食事に行った。人々はイエスをじっと見ていた。2 そして、水腫になった男性がイエスの前にいた。3 そこでイエスは、律法に通じた人として尋ねた。「安息日に病気を治してよいでしょうか、治してはいいのでしょうか」。4 しかしその人たちは黙っていた。イエスは男性に触って癒やし、そこから去らせた。5 それから言った。「あなた方のうち、息子や牛が井戸に落ちた場合、安息日だからすぐに引き上げないという人がいるでしょうか」。6 その人たちは答えることができなかった。

7 イエスは、招かれた人たちが最

13:33 *または、「考えられない」。13:35 *神殿のこと。*付録A5参照。14:2 *体内に液体が多量にたまった状態。

も目立^{めだ}つ場所^{ばしょ}を選^{えら}ぶ様^{よう}子^すを目^めにし
て、1つ^{ひとつ}の例^{れい}えを話^わした。こ^こう言^いった。

8「結^{けつ}婚^{こん}の披^ひ露^{ろう}宴^{えん}に招^{まね}かれたとき、最^もも目^め立^だつ場所^{ばしょ}を取^とってはい^いません。

もしかすると、あな^{あな}たより重^{じゅう}要^{よう}な人^{ひと}が

招^{まね}かれてい^いるかもし^しれ^れません。9 そ

の場合^{ばい}、招^{まね}いた人^{ひと}から、『この方^{かた}に場^ば

所^{しょ}を譲^{ゆず}ってくだ^{くだ}さい』と言^いわれ^れます。そ

の時^{とき}、恥^はずかしい思^{おも}いをしな^しが^がら最^もも

良^よくない場^ば所^{しょ}に移^{うつ}るこ^こに^にな^なります。

10 むしろ、招^{まね}かれたとき^{とき}は、行^いって、

最^もも良^よくない場^ば所^{しょ}に着^つきなさい。そう

す^すると、招^{まね}いた人^{ひと}から、『友^{とも}よ、も^もと良^よ

い場^ば所^{しょ}に行^いってくだ^{くだ}さい』と言^いわれ^れま

す。その時^{とき}、一^{いっ}緒^{しょ}にい^いる全^{すべ}ての客^{きやく}の前^{まえ}

で誉^ほれを受^うけ^けます。11 高^{こう}慢^{まん}になる

人^{ひと}は皆^{みな}低^{ひく}く評^{ひょう}価^かされ、謙^{けん}遜^{そん}になる人^{ひと}

は皆^{みな}低^{ひく}く評^{ひょう}価^かされ^るのです」。

12 次にイエスは自^じ分^{ぶん}を招^{まね}いた人^{ひと}

にも言^いった。『昼^{ちゅう}食^{しょく}会^{かい}や夕^{ゆう}食^{しょく}会^{かい}を設^{もう}

けるとき^{とき}は、友^{ゆう}人^{じん}や兄^{きょう}弟^{だい}、親^{しん}族^{ぞく}や裕^{ゆう}福^{ふく}

な隣^{りん}人^{じん}など^{など}を呼^よんでは^はな^なり^りま^ません。そ

の^の人^{ひと}たちを呼^よぶと、お返^{かえ}しに招^{まね}かれて

報^{むく}われ^れるでし^しょう。13 むし^{むし}ろ、宴^{えん}会^{かい}

を設^{もう}けるとき^{とき}は、貧^みしい人^{ひと}、体^{たい}が不^ふ

自^じ由^{ゆう}な人^{ひと}、足^{あし}が不^ふ自^じ由^{ゆう}な人^{ひと}、目^めが見^み

えな^ない人^{ひと}など^{など}を招^{まね}きなさい。14 そ^そうす

るなら幸^{しあわ}せです。そ^その^の人^{ひと}たちにはあ^あな

たに報^{むく}いるもの^{もの}が何^{なん}もな^ないから^{から}です。あ^あな^なたは、正^{ただ}しい人^{ひと}たち^{たち}が復^ふ活^{かつ}する時^{とき}

に報^{むく}われ^れます」。

15 一^{いっ}緒^{しょ}にいた客^{きやく}の1人^{ひとり}がこれ^{これ}らの

14:8 * 直訳、「で横になつて」。

第14章

(マ) マタ 23:2,6

ルカ 11:43

ルカ 20:46

(イ) 格 25:6,7

(イ) 格 15:33

ヤコ 4:10

ペー 5:5

(四) 格 29:23

マタ 23:12

ルカ 18:14

ヤコ 4:6

(四) ヨブ 31:16, 22

格 3:27, 28

(四) ヨハ 5:28, 29

ヨハ 11:24

使徒 24:15

第2欄

(イ) マタ 22:2

(イ) マタ 22:3

(イ) マタ 22:5

(四) マタ 22:9, 10

(四) マタ 21:43

マタ 22:8

こ^こを聞^きいてイエスに言^いった。『神^{かみ}の
王^{おう}国^{こく}で食^{しょく}事^じをする人^{ひと}は幸^{しあわ}せです』。

16 イエスはそ^その人^{ひと}に言^いった。『あ

る^{だん}性^{せい}が盛^{せい}大^{だい}な夕^{ゆう}食^{しょく}会^{かい}を設^{もう}けて、大^お

勢^{ぜい}の人^{ひと}を招^{まね}きまし^した。17 そ^そして夕^{ゆう}

食^{しょく}会^{かい}の時^{とき}刻^{こく}に奴^ど隷^{れい}を遣^{つか}わして、招^{まね}

てお^おいた人^{ひと}たち^{たち}に言^いいま^ました。『おい

でくだ^{くだ}さい。全^{すべ}て用^{よう}意^いがで^できまし^した』。

18 とこ^{ところ}ろが、皆^{みな}が同^{おな}じよう^{よう}に言^いい訳^{わけ}

をし始^{はじ}めまし^した。最^{さい}初^{しつ}の人^{ひと}は言^いいま^ま

した。『煙^{たば}を^か買^かったので、見^みに行^いかな^なけ

ればな^なりま^ません。すみま^うせんが、何^うえ

ま^ません』。19 別^{べつ}の人^{ひと}は言^いいま^ました。

『牛^{うし}を5対^{ついか}買^かったので、調^{しら}べ^べに行^いくこ

ろ^ろです。すみま^うせんが、何^うえま^ません』。

20 ま^{また}別^{べつ}の人^{ひと}は言^いいま^ました。『結^{けつ}婚^{こん}

した^{しゅっせき}ば^かりな^なので、出^{しゅ}席^{せき}で^できま^ません』。

21 奴^ど隷^{れい}は戻^{もど}って、これ^{これ}らのこ^こを主^{しゅ}

人^{じん}に伝^{つた}えまし^した。主^{しゅ}人^{じん}は怒^{おこ}って奴^ど隷^{れい}

に言^いいま^ました。『急^{いそ}いで町^{まち}の大^{おお}通^{とお}りや

路^ろ地^ちに行^いき、貧^みしい人^{ひと}、体^{たい}が不^ふ自^じ由^{ゆう}な

人^{ひと}、目^めが見^みえな^ない人^{ひと}、足^{あし}が不^ふ自^じ由^{ゆう}な

人^{ひと}をこ^こに連^つれてき^きなさい』。22 や^やが

て奴^ど隷^{れい}は言^いいま^ました。『ご主^{しゅ}人^{じん}さ^さま、お

命^{めい}じにな^なった通^{とお}りにしま^ました。でも、ま

だ空^あきが^があ^あります』。23 そ^それで主^{しゅ}人^{じん}

は奴^ど隷^{れい}に言^いいま^ました。『道^{どう}路^ろや小^こ道^{みち}に

で出^でてい^いき、無^む理^りに^にでも人^{ひと}々^々に^に来^きさせ、

家^{いへ}をい^いっぱ^ぱいにし^しなさい。24 招^{まね}か

れて^たいたあ^あの人^{ひと}たち^{たち}は誰^{だれ}も私^{わたし}の夕^{ゆう}食^{しょく}

会^{かい}で食^たべるこ^こは^はで^でき^きな^ないのだ』。

25 さて、大^{おお}勢^{ぜい}の人^{ひと}がイエスと一^{いっ}緒^{しょ}

に旅^{たび}してい^いたが、イエスは振^ふり向^むいて

かれ 彼らにこう言った。26 「私のものに
きて、自分の父親、母親、妻、子供、兄
弟、姉妹、さらには自分の命以上に私
を愛さないなら、私の弟子になること
はできません。27 自分の苦しみの
杭を運びながら私に付いてくる人でな
ければ、私の弟子になることはできま
せん。28 例えば、塔を建てようと思
う場合、まず座って費用を計算し、完
成させるだけのものを持っているかど
うかを確かめるのではないでしょう
か。29 そうしないなら、土台を据えても仕
上げられないかもしれず、見ている人
たちは皆あざけり始めるでしょう。
30 『この人は建て始めたが仕上げら
れなかった』と言うのです。31 また、
ある王が別の王との戦いに出ていく
場合、まず座って、2万の軍勢で攻めて
くる相手に1万の軍勢で立ち向かえる
かどうかを協議するのではないでしょ
うか。32 実際、立ち向かえないなら、
相手がまだ遠くにいる間に、使節団を
遣わして和平を求めます。33 同じよ
うに、持ち物すべてに別れを告げない
人は誰も私の弟子になることができま
せん。

34 確かに塩は良いものです。しか
し、塩が塩気を失ったら、何によって塩
気を取り戻せるのですか。35 それ
は土にも肥やしにも適さず、捨てられ
ます。聞く耳のある人は聞きなさい」。

14:26 *または、「自分の命を憎まない」。14:
27 *用語集参照。14:33 *または、「を手放さ
ない」。

第14章

[7] 啓 12:11

[イ] マタ 10:37
ルカ 18:29, 30
ヨハ 12:25[ウ] マタ 16:24
マル 8:34
ルカ 9:23[ロ] マタ 19:27
ルカ 9:62
フィリ 3:7, 8[ヨ] マタ 5:13
マル 9:50
コロ 4:6[イ] マタ 13:43
マル 4:9
啓 2:29

第2欄

第15章

[7] マタ 9:10, 11
マル 2:15, 16
ルカ 5:29, 30
テモ 1:15[イ] エゼ 34:11, 16
マタ 18:12, 13
ルカ 19:10[ウ] マタ 18:14
ロマ 12:15
ペー 2:25[ロ] エゼ 33:11
ルカ 5:32[ヨ] マタ 9:13
マル 2:17

15 さて、徴税人や罪人たちが
皆、話を聞こうとしてイエス
の周りに集まってきた。2 パリサイ
派の人も律法学者も不平を言い続け、
「この男は罪人たちを歓迎して一緒
に食事をする」と言った。3 それで
イエスはこの例えを話した。4 「ある
男性が100匹の羊を持っていて1匹が
いなくなったとき、その男性は99匹を
荒野に残して、迷い出た羊を見つける
まで捜すのではないでしょう
か。5 そ
して見つけると、その羊を肩に載せて
喜びます。6 家に着くと、友人や隣
人を呼び集めて言います。『一緒に喜
んでください。迷い出ている羊が見つ
かりました』。7 あなた方に言いま
すが、同じように、悔い改める1人の罪
人については、悔い改める必要のない
99人の正しい人についてよりも、大き
な喜びが天にあるのです。

8 また、ある女性が10枚のドラクマ
硬貨を持っていて1枚をなくした場合、
ランプをともして家の中を掃き、見つ
けるまで注意深く捜すのではないで
しょうか。9 そして見つけると、友人
や隣人を呼び集めて言います。『一緒
に喜んでください。なくしたドラクマ硬
貨が見つかりました』。10 同じよう
に、あなた方に言いますが、悔い改め
る1人の罪人については、神の天使た
ちと一緒に喜ぶのです」。

15:8 *付録B14参照。15:9 *または、「友人
や隣人の女性たち」。

11 それからイエスは言った。「ある男性に2人の息子がいました。12 下の

息子が父親に言いました。『お父さん、財産のうち私が頂くことになる分を下さい』。それで父親は資産を2人に分けました。13 数日後、下の息子は全ての物をまとめて遠い国に旅立ち、そこで好き放題の生活をして財産を乱費しました。14 全てを使い果たした時、その国中でひどい飢饉が起き、彼は困窮し始めました。15 その国のある住民の所に転がり込むことまでし、野原で豚を飼う仕事をさせられました。16 豚が食べているイナゴマメのさやでおなかを満たしたいと思うほどでしたが、誰も何もくれませんでした。

17 その息子は本心に立ち返った時、言いました。『父の所では大勢の雇われ人に有り余るほどパンがあるのに、私はここで飢え死にしそうだ。

18 ここを出て父のもとに行き、こう言おう。『お父さん、私は天に対しても、あなたに対しても罪を犯しました。

19 もう息子と呼ばれるに値しません。雇われ人の1人のようにしてください』。20 そしてそこを出て父親のもとに向かいました。彼がまだ遠くにいる間に、父親は息子を見てかわいそうに思い、走って行って抱き締め、優しく口づけしました。21 息子は言

第15章
[レビ 11:7,8]

第2欄
[代二 7:14
詩 32:5
詩 51:4
格 28:13
ルカ 18:13
ヨ一 1:9]

いました。『お父さん、私は天に対しても、あなたに対しても罪を犯しました。もう息子と呼ばれるに値しません』。22 しかし父親は奴隷たちに言いました。『さあ早く、長い服、一番良いのを出してきてこの子に着せ、指輪をはめ、サンダルを履かせなさい。23 それから、肥えた子牛を連れてきて調理しなさい。食べて祝いましょう。24 私のこの息子が死んでいたのに生き返ったのです。いなくなっていたのに見つかりました』。そして楽しいひとときが始まりました。

25 上の息子は畑にいましたが、帰ってきて家に近づくと、音楽と踊りの音が聞こえました。26 召し使いを呼び、何かと尋ねました。27 召し使いは言いました。『弟さんがお帰りになりました。無事に戻ってこられたので、お父さまは肥えた子牛を振る舞われたのです』。28 ところが彼は怒り、入ろうとしませんでした。すると父親が出てきて、中に入るよう促し始めました。29 上の息子は父親にこう答えました。『私はこれまで何年もあなたのために奴隷のように働いてきて、言い付けに背いたことは一度もありません。それなのに、友人と一緒に食べるための子ヤギさえ一度も下さったことはありません。30 ところが、娼婦たちと一緒にあなたの資産を乱費したあのあなたの息子が戻るとす

15:13 *または、「浪費」、「放蕩の」。15:20 *または、「首を抱き」。

[ロマ 6:13
エフ 2:4,5]

15:27 *または、「元気に」。

ぐ、肥えた子牛を振る舞ったのです。』

31 父親は言いました。『息子よ、おまえはいつも私といたし、私の物は全部おまえのものだ。32 でも、祝って喜ばずにはいられなかった。おまえの弟が死んでいたのに生き返り、いなくなっていたのに見つかったのだ。』

16 イエスは弟子たちにも言った。「ある裕福な男性に仕える家の管理人が、主人の物を浪費していると訴えられました。2 そこで主人は管理人を呼んで言いました。『私の耳に入ったこのことはどういことですか。管理人として行った取引の報告を出なさい。あなたにはもうこの家で言うことがありません。』3 管理人は心の中で言いました。『どうしよう。主人は管理人の仕事させないつもりだ。わたしはつちほりをするほど強くないし、物乞いをするのは恥ずかしい。4 そうだ、いい考えがある。こうすれば、管理人を辞めさせられた時に人々が家に迎え入れてくれるはずだ。』5 管理人は主人の債務者を一人一人呼びました。最初の人に、『私の主人にどれくらい借りがありますか』と言いました。6 彼は答えました。『オリブ油100杯分です。』管理人は言いました。『契約書を受け取って座り、急いで50と書きなさい。』7 次に、別の人に言いました。『さてあなたは、どれくらい借りがありますか』。彼は答えま

16:6 *2200リットル。

第2欄

第16章

㊦ ヨハ 12:36

エフ 5:8

テサー 5:5

㊦ マタ 19:21

テモ一 6:17

㊦ マタ 25:34

ルカ 12:20, 21

㊦ ルカ 12:48

㊦ マタ 6:24

した。『小麦100袋分です。』管理人は言いました。『契約書を受け取って、80と書きなさい。』8 主人は管理人を褒めました。正しい人とは言えませんが、役立つ知恵を使ったからです。いまの体制の人々は自分たちの世代に對して、光の中にいる人々より、役立つ知恵を上手に使うのです。

9 また、あなたたちに言いますが、この世の富によって友をつくり、そうした物が尽きた時に永遠の住まいに迎え入れてもらえるようにしなさい。10 ごく小さなことに忠実な人は多くのことにも忠実であり、ごく小さなことで不正をする人は多くのことでも不正をします。11 それで、あなたがこの世の富に関して忠実であることを示していないなら、誰があなたたちに本当に価値あるものを託すでしょう。12 そして、ほかの者の所有するものに関して忠実であることを示していないなら、誰があなたたちに、あなたたちのためのものを与えるでしょう。13 どんな召し使いも2人の主人の奴隷となることはできません。一方向を憎んで他方を愛するか、一方に尽くして他方を軽く見るかです。神と富との奴隷になることはできません。

14 お金を愛するパリサイ派の人たちがこの全てを聞いていて、イエスの

16:7 *2万2000リットル。 16:8 *または、「抜目なく行動した」、「思慮深く行動した」。*または、「時代」。用語集参照。 16:9, 11 *直訳、「正しくない」。

ことを冷笑し始めた。15 イエスは言った。「あなた方は人前で自分を正しく見えますが、神はあなた方の心を知っています。人の間で重んじられるものは、神から見て極めて不快なものなのです。」

16 律法と預言者の言葉が広められたのはヨハネの時まででした。それ以降は、神の王国が良い知らせとして広められており、誰もがその王国に入ろうとひたむきに努力しています。17 天地が消え去るとしても、律法の文字の1画が実現せずになくなることはありません。

18 妻を離婚して別の女性と結婚する人は皆、姦淫することになり、夫に離婚された女性と結婚する人は姦淫することになります。

19 ある裕福な男性が紫布や亜麻布の服で装い、毎日ぜいたく楽しく暮らしていました。20 一方、その家の門の所に、潰瘍だらけのラザロという物乞いがいて、21 裕福な男性の食卓から落ちる物でおなかを満たしていたと思っていました。その上、犬が来ては潰瘍をなめるのでした。22 やがてラザロは死に、天使によってアブラハムのそばに運ばれました。

また、裕福な男性も死んで葬られました。23 そして墓の中で苦しみな

16:22, 23 *直訳、「懷」。16:23 #ギリシャ語、ハデス。用語集参照。

第16章

(イ) イザ 53:3

(イ) マタ 6:2
マタ 23:27, 28
ルカ 18:9(イ) サー 16:7
代一 28:9
代二 6:30

(イ) ペー 5:5

(イ) マタ 11:12, 13

(イ) マタ 5:17, 18

(イ) マタ 5:32
マタ 19:9
マル 10:11, 12

第2欄

(イ) 申 18:18
ルカ 24:25-27

(イ) ヨハ 5:46

がら目を上げると、遠くにアブラハムがいて、そのそばにラザロがいるのが見えました。24 それで呼び掛けて言いました。『父アブラハム、私に憐れみをかけ、ラザロを遣わして、彼が指先を水に浸して私の舌を冷やすようにしてください。私はこの燃え盛る火の中で苦しんでいます』。25 しかしアブラハムは言いました。『あなたが生きている間に良い物を満喫し、ラザロが悪い物を受けたことを思い出しなさい。しかし今、ラザロはここで慰められ、あなたは苦しんでいます。26 しかも、私たちとあなた方との間には大きくて深い裂け目が設けられており、ここからあなた方の所に行きたいと思う者たちもそうできず、人々がそこから私たちの所に渡ってくることもできません』。27 すると彼は言いました。『それなら、お願いです。ラザロを私の父の家に遣わしてください。28 私には5人の兄弟がいます。彼らもこの苦しみのある場所に来ることがないように、ラザロがしっかり言い聞かせるのです』。29 しかしアブラハムは言いました。『彼らにはモーセと預言者の言葉があります。それに従えばよいのです』。30 彼は言いました。『いいえ、それは無理です。父アブラハム。でも誰かが生き返って行けば、彼らは悔い改めます』。31 しかしアブラハムは言いました。『モーセや預言者の言葉に従わないなら、誰

かが生き返^{い かせ}っても、やはり説得^{せつとく}されな
いでしょう』。

17 イエスは弟子たちに言った。
「信仰^{しんこう}の妨^{さまた}げとなるものが

生^{しょう}じること^きは避け^さけられませんが、そ
の経路^{けいろ}となる人^{ひと}には災^{わざわ}いがありま
す! **2** その人^{ひと}にとっては、これら^め目立^め
たない人^{ひと}1人^{ひとり}の信仰^{しんこう}を妨^{さまた}げるよりは、
石臼^{いしうす}を首^{くび}に掛^かけられて海^{うみ}に投げ込^なま
れる方がよい^このです。 **3** 注意^{ちゅうい}してい
なさい。仲間^{なか}が罪^なを犯^{つみ}すなら強^おく警告^{けいこく}
し、悔^いい改^{あらた}めるなら許^{ゆる}してあげな
さい。 **4** その人^{ひと}が1日^{いちにち}に7回^{ななかい}あなたに
罪^{つみ}を犯^おし、7回^{ななかい}戻^{かえ}ってきて『悔^いい改^{あらた}め
ます』と言う^いとしても、許^{ゆる}さなければなり
ません」。

5 さて、使徒^{しと}たちが主^{しゅ}イエスに言っ
た。「さら^{しんこう}に信仰^{しんこう}を与^{あた}えてください」。
6 主^{しゅ}は言^いった。「から^たしの種^{くさね}ほどの信
仰^{しんこう}があ^あったなら、この黒桑^{くろくわ}の木^きに、『引
き抜^ひかれて海^{うみ}に根^ねをうろせ!』と言っ
ても、この木^きは従^{したが}うでし^いょう。

7 あなたたちのうち^{だれ}の誰^{たれ}が、畑^{はたけ}を
耕^{たがや}したり羊^{ひつじ}の番^{ばん}をしたりする奴隷^{めい}が
戻^{もど}った時^{とき}に、『すぐこ^きこに來^きて、食卓^{しょくたく}
に着^ついて食^{しょくじ}事をしなさい』と言^いうでし^いょう
か。 **8** そうでな^なく、『私^{わたし}の夕食^{ゆうしょく}のた
めに何^{なに}か用意^{ようい}し、前掛^{まえか}けをして、私^{わたし}が
食^たべたり飲^のんだりし終^おわるま^まで給仕^{きゆうじ}
しなさい。その後^{のち}は、食^たべたり飲^のんだり
して構^{かま}いません』と言^いうのではありま

17:1 *または、「罪を犯させる」。直訳、「つまず
かせる」。**17:3** *直訳、「兄弟」。

第17章

(マ) マタ 18:6
マル 9:42

(イ) 格 17:10

(ヨ) レビ 19:17
マタ 18:15

(ヨ) イザ 55:7
マタ 6:12
マタ 18:21, 22
コロ 3:13
ペー 4:8

(ヨ) マル 9:23, 24
ヘブ 12:2

(ヨ) マタ 17:20
マタ 21:21
マル 11:23

第2欄

(ヨ) コー 9:16

(イ) レビ 13:45, 46

(ヨ) レビ 14:2-4
申 24:8
マタ 8:3, 4
ルカ 5:13, 14

(ヨ) 王二 5:1, 14

(ヨ) 王二 17:24
ヨハ 4:9

(ヨ) マタ 9:22
マル 5:34
ルカ 7:50

(ヨ) マタ 24:3

せんか。 **9** 奴隷^{どれい}が割^わり当^あてられたこ
とをしたからといって、ありがたく感じ
たりするでし^いょうか。 **10** あなたたち
も、割^わり当^あてられたことを全部^{ぜんぶ}した時^{とき}、
『私^{わたし}たちは役^{やく}に立^たたない奴隷^{どれい}です。当
然^{とうぜん}すべきことをしたまです』と言^いいな
さい」。

11 イエスはエルサレム^いに行く途中^{とちゅう}、
サマリア^さとガリラヤ^{あいだ}の間^とを通^{とお}っていた。
12 ある村^{むら}に入^{はい}っていくと、重^{おも}い皮膚^{ひふ}
病^{びょう}の人^{ひと}10人^{にん}がイエスを見^みて、離^{はな}れた
ところ^{ところ}たあ^あで、 **13** 声^{こえ}をあ
げて言^いって立ち上^あがり、 **13** 声^{こえ}を上げて
言^いった。「イエス、先生^{せんせい}、憐^{あわ}れみをお掛
けください!」 **14** イエスはそ^{ひと}の人^{ひと}たち
を見^みて、言^いった。「自分^{じぶん}を祭司^{さいし}に見
せに行^いきなさい」。そ^{ひと}の人^{ひと}たちは出^で掛^か
けていく途中^{とちゅう}で癒^いやされた。 **15** そ
うち^きの1人^{ひとり}は、癒^いやされたことに気
づ^きき、大^{おお}声^{こえ}で神^{かみ}をたたえながら戻^{もど}って
きた。 **16** そしてイエスの足元^{あしもと}にひ
れ伏^ふして感謝^{かんしゃ}した。しかも、そ^{ひと}の人^{ひと}
はサマリア人^{じん}だ^いった。 **17** それでイ
エスは言^いった。「10人全^{にんぜんいん}員^{いん}が癒^いやさ
れたのではありませ^かんか。では、ほか
の9人^{かみ}はどこにいますか。 **18** 神^{かみ}
をたたえるために戻^{もど}ってきたのは、こ
の他^た国^{こく}の人^{ひと}だけなのですか。 **19** そ
してそ^{ひと}の人^{ひと}に言^いった。「立^たって、行^いきな
さい。あな^よたが良^よくなったのは信仰^{しんこう}
があ^あったからです」。

20 イエスは、神^{かみ}の王^{おう}国^{こく}がいつ來^く
るのかをパリサイ派^{さい}の人^{ひと}たちから尋^{たず}ねら
れた時^{とき}、こ^こう答^{かみ}えた。「神^{かみ}の王^{おう}国^{こく}は目^め

立つ^だようす^{ようす}で来るのではなく、**21** また人々^{ひとびと}が『そこを見なさい!』とか『そこを!』とか言うのでもありません。見なさい、神^{かみ}の王国^{おうこく}はあなた^{がた}の方^{なた}のた^{なか}だ中にあります^{あり}。

22 それからイエスは弟子^{でし}たちに言った。「あなた^{ひと}たちが人^この子^{じだい}の時代^{じだい}を1日^{いちにち}でも見^みたいと願^{ねが}う時^{とき}が来^きます。しかし、見^みられません。**23** そして人々^{ひとびと}が『そこを見なさい!』とか『ここを見なさい!』とか言^いいます。出^でていったり後^{あと}をおい掛^かけたりしてはなりません。**24** 人^{ひと}の子^こは自分^{じぶん}の日^ひには、天^{てん}の一方^{いつぱう}から他^{ほか}方^{ほう}まで光^{ひか}り輝^{かが}やいすま稲妻^{いなづま}のようだからです。**25** しかし、まづ人^{ひと}の子^こは必ず^{かなら}多くの苦^{くる}しみに遭^あい、この世^せ代^{だい}から退^{しりぞ}けられます。**26** また、人^{ひと}の子^この時代^{じだい}にはちょうどノア^{のだい}の時代^{じだい}のよう^ななことが生^{しょう}じます。**27** ノア^{はこぶね}が箱船^{はこぶね}に入^{はい}る日^ひまで、人々^{ひとびと}は食^たべたり、飲^のんだり、結^{けっこん}婚^{こん}したりしていました。そして、こ^{こう}づい^{ずい}き^{すべ}ひ^{ひと}と^{ほろ}ろ^ろと^い洪水^{こうすい}が来^きて全^{ぜん}ての人^{ひと}を滅^{めつ}ぼしました。**28** 同じく、ちょうどロト^{らふ}の時代^{じだい}のよう^ななことが生^{しょう}じます。人々^{ひとびと}は食^たべたり、飲^のんだり、買^かったり、売^うったり、植^{うえ}えたり、建^たてたりしていました。**29** しかし、ロト^{らふ}がゾドム^{そどむ}から出^でた日^ひに天^{てん}から火^ひと硫黄^{りゅうわう}が降^ふって全^{ぜん}ての人^{ひと}を滅^{めつ}ぼしました。**30** 人^{ひと}の子^こが現^{あらわ}れる日^ひも同様^{どうよう}です。

31 その日^ひ、屋上^{おくじょう}にいる人^{ひと}は、家^{いえ}の

17:21 *または、「間」。 17:22 *イエスのこと。用語集参照。

第17章

(イ) マタ 12:28
マタ 21:5

(イ) マタ 24:23
マル 13:21
ルカ 21:8
ヨハ 4:1

(イ) ダニ 7:13

(イ) マタ 24:27

(イ) マル 8:31
マル 9:31
ルカ 9:22

(イ) 創 6:5

(イ) マタ 24:37-39

(イ) 創 7:7

(イ) 創 7:17,21

(イ) 創 19:15

(イ) 創 19:24,25

(イ) コー 1:7
テサ二 1:7,8

第2欄

(イ) 創 19:17,26

(イ) マタ 10:39
マタ 16:25
マル 8:35
ルカ 9:24
ヨハ 12:25

(イ) マタ 24:40,41

(イ) マタ 24:28

第18章

(イ) ロマ 12:12
エフ 6:18
フリ4:6
コロ 4:2
テサー 5:17

(イ) ルカ 11:7,8

中^{なか}に持^もち物^{もの}があつても取^とりにも下^おりてはならず、烟^{はたけ}に出^でている人^{ひと}も、物^{もの}を取^とりにも帰^{かえ}つてはなりません。**32** ロト^{らふ}の妻^{つま}のことを思^{おも}い出^だしなさい。**33** 自分^{じぶん}の命^{いのち}を安全^{あんぜん}に守^{まも}ろうとする人^{ひと}はそれ^{うしな}を失^{うしな}いますが、自分^{じぶん}の命^{いのち}を失^{うしな}う人^{ひと}はそれ^{うしな}を救^{すく}います。**34** あなた^いたちに言^いいますが、その夜^{よる}、2人^{ふたり}が1つ^{ひとつ}の寝^ねどこにいて、一方^{いつぱう}は連^つれていかれ、他^{ほか}方^{ほう}は捨^すてられます。**35** 2人^{ふたり}の女^{じよせい}性が同^{おな}じひきき^{うす}を回^{まわ}していて、一方^{いつぱう}は連^つれていかれ、他^{ほか}方^{ほう}は捨^すてられます。**36** —**37** それで弟子^{でし}たちは言^いった。「主^{しゅ}よ、どこですか」。イエスは言^いった。「死^し体^{たい}のある所^{ところ}にはワシ^{あつ}も集^あまります」。

18 イエスは弟子^{でし}たちに、常^{つね}に祈^{いの}り、諦^{あきら}めてはならないことについて、さら^{さら}に例^{たと}えを話^{はな}した。**2** 「あ^まち^{かみ}かみ^{おそ}ひと^{けい}いの町^いに、神^{かみ}への畏^{おそ}れも人^{ひと}への敬^{けい}意^いもない裁判^{さいばん}官^{かん}がいました。**3** その町^{まち}には1人^{ひとり}のやもめもいて、何^{なん}度^ども彼^{かれ}のものに來^きては、『訴訟^{そしやう}の相^あ手^てとの間^{あいだ}で公^{こう}正^{せい}な裁判^{さいばん}がなされるようにしてくださ^いい』と言^いいました。**4** 裁判^{さいばん}官^{かん}はしば^いらくは氣^きが通^すみませんでしたが、その後^ご、心^{こころ}の中^{なか}で言^いいました。『私^{わたし}は神^{かみ}を畏^{おそ}れたり人^{ひと}を敬^{うやま}たりしないが、**5** このやもめ^{さいばんかん}がうるさく言^いってくるから、公^{こう}正^{せい}な裁判^{さいばん}がなされるようにしてやろう。そうすれば、訴^{うった}え続^{つづ}けて私^{わたし}を困^{こま}らせること^{しゅ}はないだ^いらう』。**6** 主^{しゅ}イエスは

17:36 * 付録 A3 参照。 18:5 * または、「とことんまでやって来て私を小突き回す」。

言った。「^{ただ}正しくない人とはいえ、この^{さいばんかん}裁判官が言ったことを聞きましたか。

7 では神は、^{かみ}昼も夜もご自分に向かって^{よる}叫ぶ^{じぶん}選ばれた者たちのために^む必ず^{かなら}公正を^{こうせい}もたらしてくださいませないでしょうか。神は彼らに対して^{かみ}辛抱^{しんぼう}しています。

8 そして、^{すみ}速やかに^{こうせい}公正を^{ひと}もたらしてくださいませのです。とはいえ、^{こき}人の^く子は来る^{とき}時、このような^{しんこう}信仰を^{しんこう}地上で^{ほんとう}本当に^み見つけるでしょうか。

9 またイエスは、^{じぶん}自分こそ^{ただ}正しい^{おも}と思^たって他人を^{おも}さげすむ^{たにん}人々に^{ひと}次の^{つぎ}例え^{たと}を^{はな}話した。10 「2人の^{ふたり}人が^{ひと}祈りを^{いの}するために^{しんでん}神殿に^{のぼ}上りました。1人は^はパリサイ派の^{ひと}人、もう1人は^{ひとり}徴税人^{ちようぜいにん}でした。11 パリサイ派の^は人は^{ひと}立って、^は心の^{こころ}中で^なこの^な祈り^{いの}はじめました。『神よ、^{かみ}私の^{わたし}、^は私が^はほかの^{ほか}人々^{ひと}のように、^{おど}脅し^{もの}取る者、^{ふせい}不正な者、^{もの}姦淫^{かんいん}をする者ではなく、この^{ちようぜいにん}徴税人の^{ちようぜいにん}ようでもないことを^{おさ}感謝^{かんしや}します。12 私は^{わたくし}週に^{しゅう}2回^{かいだんじき}断食^えをし、^え得る^え物^{もの}全部^{すべ}ての^{ぶん}10分の^{おさ}1を^{おさ}納めて^{めい}います』。

13 一方、^{いっぽう}徴税人は^{ちようぜいにん}離れた^{はな}所に^{ところ}立って、^{てん}天を見^み上げようと^あもせず、^{かな}悲しんで^{むね}胸を^{かみ}たたきながら、^{かみ}『神よ、^{つみ}罪人の^{わたし}私の^{わたし}に^じ慈悲^{しめ}をお示^{めい}ください』と言^いいました。14 あなた方に^{がた}言^いいますが、この^{ひと}人は^はパリサイ派の^{ひと}人より^{ただ}正しい^{あき}ことが^{あき}明らかになり、^{いえ}家に^{かえ}帰^{かえ}って^{めい}きました。15 ^{こうまん}高慢^{ひと}になる人は^{ひと}皆^{みな}辱め^{はづかし}られますが、^{けん}謙

18:8 *イエスのこと。用語集参照。#または、「この信仰」。直訳、「信仰」。18:13 *または、「憐れみをお掛け」。

第18章

[啓 6:9,10]

[イ ペ二 3:9]

[マタ 23:23]

[詩 51:1-3]

[イザ 66:2
マタ 21:28-31]

第2欄

[イザ 2:11]

マタ 23:12

ヤコ 4:6

ペー 5:5

[イ マタ 19:13-15
マル 10:13-16]

[イ ペー 2:2]

[マタ 18:3
マル 10:15][マタ 19:16-22
マル 10:17-22
ルカ 10:25-28][マタ 19:17
マル 10:18][出 20:14
申 5:18][出 20:13
申 5:17][出 20:15
申 5:19][出 20:16
申 5:20][出 20:12
申 5:16]ロマ 13:9
エフ 6:2[イ マタ 6:20
マタ 19:21
マル 10:21
ルカ 12:33
デモ一 6:18, 19]

遜^{そん}になる人は^{ひと}高く^{たか}評価^{ひやうか}されるのです^{めい}。]

15 さて、イエスに触^ふれてもらうために、^{ひと}人々が^{ひと}幼児たちも^{ようじ}連れてきたが、^し弟子たちは^しそれを見^みて人々を^{ひと}叱り^{しか}つけ始めた。16 しかし、イエスは^{よう}幼児たちを^{ひと}自分の^{じぶん}もとに^よ呼んで、^い言^いった。「子供たちを^{こども}私の^{わたし}所に^{ところ}来させなさい。止^とめようとして^{かみ}はなりません。神の^{おうこく}王国は^{こども}この^{ひと}子供たちの^{ひと}ような^{ひと}人の^{ひと}もの^{ひと}のだからです。17 はっきり^い言^いいます^いが、^{おさな}幼い^{こども}子供の^{わたくし}ように^{ところ}神の^{おうこく}王国^{おうこく}を受け^い入^いれる人^{ひと}でなければ、^{けつ}決して^{はい}そこに入^いれませ^いん」。

18 また、ある^し支配者^{はいしや}が^しイエスに^しこ^しう^し質問^{しつもん}した。「^よ善^{ぜん}先生^{せんせい}、^{えい}永遠^{えい}の^{いのち}命^{いのち}を^う受^うけるには^{なに}何^いを^いしな^いければ^いなりませ^いんか」。19 イエスは^い言^いった。「^ななぜ^な私^{わたし}の^いことを^い善^いいと呼^よぶのですか。神以外^しに^い善^いい者^{もの}は^{だれ}誰^いも^いいませ^いん。20 あな^いたは^いおきて^いを知^しっています。『姦淫^{かんいん}を^いして^いはいけ^いない。殺^{ころ}人を^{ころ}して^いはいけ^いない。盗^{ぬす}んでは^いはいけ^いない。偽^{いつわ}りの^{しやうげん}証言^{しやうげん}を^いして^いはいけ^いない。父^{ちち}と母^{はは}を^い敬^{かうやま}い^いなさい』。21 その^{ひと}人^いは^い言^いった。『その^{すべ}全^{すべ}てを^{こども}子供^{とき}の時^{まも}から^い守^{まも}って^いきま^いした」。22 それを^い聞^きいて^いイエスは^い言^いった。「あ^いなたは^い足^たり^いない^いこと^いが^いま^いだ^い1つ^いあり^います。持^もつて^いいる^い物^{もの}を^い全^{すべ}て^い売^うって、^{しやうえき}収益^{しやうえき}を^い貧^{みず}しい^い人^いたち^いに分^わけ^い与^{あた}えなさい。そ^いう^いす^いれば、^い天^{てん}に^い宝^{たから}を持^もつ^いようにな^いります。そ^いれ^いから^い来^きて、^い私^{わたし}の^い弟^{でし}子^しにな^いりな^いさい」。23 その^い人^いは^いこれ^いを^い聞^きいて、

18:22 *または、「私の後に従い」。

ひどく^{かな}悲^{ひじょう}しんだ。非常^{ゆうふく}に裕福^{ゆふく}だったからである。

24 イエスはその人を見て言った。「お金^{かね}も持^もつ人^{ひと}たちが神^{かみ}の王国^{おうこく}に入^{はい}っていくのは何^{なん}と難^{むずか}しいでしょう。

25 実際^{じっさい}、裕福^{ゆうふく}な人^{ひと}が神^{かみ}の王国^{おうこく}に入るよりは、ラクダ^{らくだ}が縫^ぬい針^{はり}の穴^{あな}を通^{とお}る方が簡単^{かんたん}です」。**26** これを聞^きいた人たちは、「いったい誰^{だれ}が救^{すく}われるのでしょうか」と言った。**27** イエスは言った。「人^{ひと}には不^ふ可能^{かのう}なことも神^{かみ}には可能^{かのう}です」。**28** ペテロ^{ペテロ}は言った。「見てください！ 私^{わたし}たちは自分^{じぶん}のものに別^{わか}れを告^つげて、あなたに從^{したが}ってきました」。**29** イエスは弟子^{でし}たちに言った。「はつきり言^いいますが、神^{かみ}の王国^{おうこく}のために、家^{いえ}、妻^{つま}、兄弟^{きょうだい}、親^{おや}、あるは子供^{こども}に別^{わか}れを告^つげた人^{ひと}は皆^{みな}、**30** この時期^{じき}に何倍^{なんばい}も得^えて、新^{あらた}しい体制^{たいせい}で永遠^{えいえん}の命^{いのち}を得^えます」。

31 イエスは12人^{にん}を脇^{わき}に連^つれていき、こう言^いった。「さあ、私^{わたし}たちはエルサレム^{のぼ}に上^{のぼ}っていきます。人^{ひと}の子^こに關^{かん}して預^よ言^{げん}者^{しゃ}たちが書^かいた事^{こと}柄^{がら}は皆^{みな}、成^なし遂^とげられます。**32** 例^{れい}え、人^{ひと}の子^こは異^い国^{こく}の人^{ひと}々とひき渡^{わた}され、あざけられ、ひどく扱^{あつか}われ、唾^{つば}を掛^かけられます。**33** そして、むち打^{うち}たれてから殺^{ころ}されますが、3日^{にち}目に生^なき返^{かえ}ります」。**34** しかし、12人^{にん}はこれらのことの意味^{いみ}が全^{まった}くつかめなかった。これら^{ことば}の言^{ことば}葉^みの意味^{いみ}が彼^{かれ}らから隠^{かく}されて

18:30 *または、「時代」。用語集参照。

第18章

(イ) マタ 19:22
マル 10:22

(イ) 格 11:28
マタ 19:23
マル 10:23, 24
テモ一 6:9

(イ) マタ 19:24
マル 10:25

(イ) マタ 19:25

(イ) マタ 19:26
マル 10:27

(イ) マタ 19:27

(イ) マタ 19:28, 29
マル 10:29, 30

(イ) 啓 2:10

(イ) マタ 16:21
マタ 20:17-19
マル 10:32-34

(イ) マタ 27:2
使徒 3:13

(イ) 詩 22:7

(イ) イザ 50:6

(イ) イザ 53:5, 7

(イ) マル 10:33, 34
ルカ 9:22

第2欄

(イ) マタ 20:29-34
マル 10:46-52

(イ) ルカ 7:50
ルカ 17:19

(イ) マタ 20:34

(イ) ルカ 5:26

いて、彼^{かれ}らは言^いわれたことが理^り解^{かい}で
なかつた。

35 さて、イエスがエリコ^{ちか}に近^{ちか}づく
と、目^めが見^みえない人^{ひと}が道^{どう}路^ろの脇^{わき}に
すわ^{すわ}って物^{もの}乞^ごいをしていた。**36** その
人^{ひと}は多^{おほ}くの人^{ひと}が通^{とお}っていく物^{もの}音^{おと}を聞^きい
て、何^{なん}が起^{おこ}き^{おこ}ているか^かを尋^{たず}ね始^{はじ}めた。
37 人^{ひと}々は、「ナザレ^な人^にイエス^{おと}が通^{とお}
ていくのだ！」と知^しらせた。**38** そ
こでその人^{ひと}は叫^{さけ}んだ。「ダビデ^だの子^こ
イエス^{あわ}、憐^{あわ}れみ^{れみ}をお掛^かけください！」
39 すると、先^{せん}頭^{とう}にいた人^{ひと}たちが、静^{しず}
かにしているように言^いって、叱^{しか}り始^{はじ}め
た。しかし、その人^{ひと}は、「ダビデ^だの子^こよ、
憐^{あわ}れみ^{れみ}をお掛^かけください！」とまです
す叫^{さけ}び立^たてた。**40** そこでイエス^いは立^た
ち止^どまり、彼^{かれ}を連^つれてくるよう命^{めい}じた。
彼^{かれ}が近^{ちか}く来^きてから、イエス^いは尋^{たず}ねた。

41 「何^{なん}をしてほしいのですか。その
人^{ひと}は、「主^{しゅ}よ、目^めが見^みえるようにし
てください」と言^いった。**42** イエス^いは言^い
った。「目^めが見^みえるようになりなさい。あ
なたがよ^よくなつたのは信^{しん}仰^{こう}があつた
からです」。**43** すると、その人^{ひと}はたち
まち目^めが見^みえるようになり、神^{かみ}をたた
えつつイエス^いの後^{あと}に従^{したが}うようになった。
人^{ひと}々^{ひと}も皆^{みな}、これを見^みて神^{かみ}を賛^{さん}美^びした。

19 イエスはエリコ^{ちか}に入り、そこ
を通^{とお}っていった。**2** そこに
ザアカイ^{だんせい}という男^{ちようぜい}性がいた。徴^{ちよう}税^{ぜい}人^{ふく}の
長^{ちよう}で、裕福^{ゆうふく}だった。**3** ザアカイ^{ちよう}はこ
のイエス^いがど^どんな人^{ひと}かを見^みようとして
いたが、背^せが低^{ひく}く、人^{ひと}が多^{おほ}かつたので

見られなかった。4 それでイエスを
見るために、先の方に走って行ってエ
ジプトイチジクの木によじ登った。イ
エスがそこを通ろうとしていたからで
ある。5 イエスはその場所に来た
時、見上げて言った。「ザアカイ、急い
で下りてきなさい。私は今日あなたの
家に必ず行きます」。6 ザアカイは
急いで下り、喜んでイエスを客として迎
えた。7 これを見た人々は皆、「罪
びの家に客として行った」と不平を
言った。8 しかし、ザアカイは立ち
上がって主イエスに言った。「主よ、
持ち物の半分を貧しい人々に与えま
すし、誓し取ったものは何でも4倍にし
て返します」。9 イエスは言った。
「今日この家の人たちは救われまし
た。この人もアブラハムの子だからで
す。10 人の子は、迷い出た人を捜
して救うために来たのです」。

11 弟子たちがこれらのことを聞いて
いると、イエスは別の例えを話した。
エルサレムの近くに来ており、神の王
国がすぐにも現れると弟子たちが考え
ていたからである。12 それでこう
言った。「ある高貴な生まれの男性が、
王権を確立して戻するために遠くの土
地へ旅行に出ました。13 その男性
は10人の奴隷を呼んで10ミナを与え、
『私が戻って来るまでこれで商売をし

第19章

(7) マタ 9:11
ルカ 5:30
ルカ 15:2

(1) 出 22:1
レビ 6:4,5

(7) エゼ 34:16
マタ 9:13
マタ 15:24
ルカ 15:4
ロマ 5:8
デモ一 1:15

(2) 使徒 1:6

(7) マタ 25:14
マル 13:34
ヨハ 18:36

第2欄

(7) マタ 25:15

(1) マタ 25:19

(7) マタ 25:20,21

(2) ルカ 16:10

(7) マタ 25:22,23

(7) マタ 25:24

(*) マタ 25:26,27

なさい』と言いました。14 ところが、
市民は彼を憎み、使節団を後から送っ
て、『あなたが私たちの王になること
は望みません』と言わせました。

15 やがて主人は王権を確立して
戻った時、お金を与えておいた奴隷
たちを呼び寄せました。商取引でも
うけたものを確かめるためでした。

16 最初の人が進み出て言いました。
『主よ、頂いた1ミナで10ミナをもうけ
ました』。17 主人は言いました。
『よく頑張りました！ あなたはよい奴
隷です。非常に小さなことに忠実であ
ることを示したので、10の町に対する
権威を与えましょう』。18 2番目の
人が来て言いました。『主よ、頂いた1
ミナで5ミナを得ました』。19 主人
は言いました。『あなたも5つの町を
受け持ちなさい』。20 しかし、別
の人が来て言いました。『主よ、頂い

た1ミナがここにあります。布に包ん
で隠しておきました。21 あなたが
怖かったのです。あなたは厳しい方
で、預けなかったものを引き出し、ま
かなかったものを刈り取られるからで
す。22 主人は言いました。『私は
あなた自身の言葉によってあなたを
裁きます。悪い奴隷よ。私が厳しい人
間で、預けなかったものを引き出し、ま
かなかったものを刈り取ることを知っ
ていたのですね。23 それな
ら、なぜ私のお金を銀行に入れなかつ
たのですか。そうすれば、私は戻って

19:4 *または、「いちじく桑」。19:8 *または、
「言い掛かりをつけて脅し取った」。19:10 *イ
エスのこと。用語集参照。19:12 *または、「王
国」。19:13 *付録B14参照。

来た時に利息と一緒に受け取れたでしょう。』

24 そして、そばに立っている人たちに言いました。『この男からその1ミナを取って、10ミナを持っている人に与えなさい』。 **25** その人たちが『主よ、あの人はすでに10ミナ持っています!』と言うと、 **26** 主人は答えた。『あなたたちに言います。持っている人は皆、さらに与えられますが、持っていない人は、持っているものまで取り上げられます。 **27** 加えて、私が王となることを望まなかった敵たちを連れてきて、私の前で処刑しなさい。』

28 イエスはこれらのことを言ってから、旅を続け、エルサレムに上っていった。 **29** そして、オリーブ山にあるベテパゲとベタニヤの近くに来た時、弟子の2人を遣わして、 **30** こう言った。「向こうに見えるあの村に行きなさい。そこにいったら、子ロバが1頭つながれているのが見つかります。誰も乗ったことがないロバです。それを解いて連れてきてください。 **31** もし誰かに、『なぜそれを解いているのだ』と尋ねられたら、『主が必要としているのです』と言わなければなりません。 **32** 2人が出掛けていくと、イエスが言った通りだった。 **33** 子ロバを解いていると、その持ち主たちに、「なぜ子ロバを解いているのだ」と言われたが、 **34** 2人は、「主が必要としているのです」と言った。 **35** イエ

第19章
〔イ〕マタ 25:28

〔イ〕マタ 13:12
マタ 25:29
マル 4:25
ルカ 8:18

〔イ〕使徒 1:12

〔ロ〕マタ 21:1-3
マル 11:1-6

〔ロ〕マタ 21:6,7

第2欄
〔イ〕ゼカ 9:9
マル 11:7-10
ヨハ 12:14,15

〔イ〕マタ 21:8

〔イ〕詩 118:26
マタ 21:9
マル 11:9

〔ロ〕マタ 21:15
ヨハ 12:19

〔ロ〕ヨハ 11:35

〔ロ〕イザ 6:9,10
マタ 13:14

〔イ〕申 28:52
ダニ 9:26
ルカ 21:20

〔イ〕ルカ 23:28,29

スのもとに子ロバが引いてこれ、弟子たちはその上に自分の外衣を掛け、イエスを乗せた。

36 イエスが進んでいくと、人々は自分の外衣を道路に敷いていった。

37 イエスがオリーブ山を下る道路に近づくとすぐ、大勢の弟子たちは皆喜び、目にした全ての強力な行いのために大声で神を賛美し始めて、 **38** こう言った。「エホバの名によって王として来る方が祝福されますように! 天に平和が、この上なく高い所に栄光がありまように!」 **39** しかし、パリサイ派のある人たちが群衆の中からイエスに言った。「先生、あなたの弟子たちを叱ってください」。 **40** イエスは答えた。「あなた方に言いますが、この人たちが黙っているなら、石が叫ぶでしょう」。

41 イエスはエルサレムの近くに来た時、それを眺めて泣き悲しみ、

42 こう言った。「もしあなたが、そうです、あなたが、平和に関係することをおののに見分けていたならー。しかし今、それはあなたの目から隠されています。 **43** 敵があなたの周りに先のとがった杭で柵を築き、あなたを完全に包囲する時が来るからです。 **44** 敵は、あなたとあなたの子供たちを滅ぼし尽くし、あなたの中で石

19:37 *または、「奇跡」。 **19:38** *付録A5参照。 **19:43** *または、「四方から攻め立てる」。 **19:44** *エルサレムの住民のこと。*建物を構成する切り石のこと。

を石の上に^{いし のこ}残したままにはしておきません。あなたが、検分^{けんぶん}されている時^{とき}を見分^{みわ}けなかったからです。

45 それからイエスは神殿^{しんでん}に入り、物^{もの}を売^うっている人^{ひと}たちを追^おい出し始め^{はじ}め、46 こう言った。『私の家^{わたくし いえ}は祈^{いの}りの家^かとなる』と書いてあるのに、あなた方はそれを強盗^{ごうとう}のすみか^{すみか}としました。

47 イエスは神殿^{しんでん}で毎日^{まいにち}教え続^{つづ}けた。しかし、祭司長^{さいしちょう}と律法学者^{りっぽうがくしゃ}および民^{たみ}の主^{おも}立^だった人^{ひと}たちは、イエスを殺^{ころ}そうとしていた。48 とはいえ、その方法^{ほうほう}が見^みつからなかった。民^{たみ}が皆^{みな}イエスの言葉^{ことば}を聞^きこうとしてずっと離^{はな}れずにいたからである。

20 イエスが神殿^{しんでん}で民^{たみ}を教^{おし}えて良^{よし}い知らせ^{しらせ}を告^つげていたある日^ひのこと、祭司長^{さいしちょう}と律法学者^{りっぽうがくしゃ}たちが長老^{ちやうろう}たちと一^{いっしょ}緒^きにやっ来て、2 「言^いってみなさい。どんな権威^{けんい}でこ^{これ}うしたことをするの^のか。誰^{だれ}があなたにこの権威^{けんい}を与^{あた}えたのか^{のか}」と言^いった。3 イエスは答^{こた}えた。「私も質^{わたし}問^{しつもん}しますから、答^{こた}えてください。4 ヨハネのバプテスマ^{てん}は天^{てん}からのもの^{もの}でしたか、それとも人^{ひと}からのもの^{もの}でしたか」。5 その人^{ひと}たちは意見^{いけん}を出^だし合^あい、こ^こう言^いった。『天^{てん}から』と言^いえば、『なぜ彼^{かれ}を信^{しん}じなかつたのか』と言^いうだろう。6 だが、『人^{ひと}から』と言^いえば、民^{たみ}は皆^{みな}、われわれを石^{いし}打ち^{うち}にするだろう。ヨハ

20:4 *または、「人に由来する」。

第19章

(マ) マタ 24:2
マル 13:2
ルカ 21:6

(イ) マタ 21:12
マル 11:15, 16

(イ) イザ 56:7

(ヨ) エレ 7:11
マタ 21:13
マル 11:17
ヨハ 2:16

(ヨ) マル 11:18

(ヨ) マル 12:37
ルカ 21:38

第20章

(マ) マタ 21:23-27
マル 11:27-33

第2欄

(ヨ) ルカ 7:29

(イ) イザ 5:7

(ヨ) マタ 21:33-41
マル 12:1-9

(ヨ) 王二 17:13, 14
代二 36:15, 16
使徒 7:52
ヘブ 11:36, 37

(ヨ) マタ 17:5
ヨハ 3:16

(ヨ) 使徒 3:15

ネは預言者^{よげんしゃ}だったと信^{しん}じ込^こんでいるからだ。7 それで、どこからのもの^{もの}か知らない^{しらない}と答^{こた}えた。8 イエスは言^いった。『私も、どんな権威^{けんい}でう^うかを言^いいません』。

9 それからイエスは民^{たみ}にこの例^{たと}えを話^{はな}し始^{はじ}めた。「ある男性^{だんせい}がブドウ園^{えん}をつく^{つく}こうさくにんかだ^かがいこく^{こく}を造^{つく}り、耕作人^{こくさくじん}たちに賃^かし出^だして、外国^{がいこく}へ長^{なが}い旅行^{りょこう}に出^でました。10 時期^{じき}が来^きて、耕作人^{こくさくにん}たちのもとに奴隷^{どれい}を遣^{えん}わしました。ブドウ園^{えん}の収獲^{しゅうかく}の幾^{いく}らかを納^{おさ}めさせるためです。ところが耕作人^{こくさくにん}たちはその奴隷^{どれい}を殴^{なぐ}ってから、何も持^もたせずに去^さらせました。11 しかしブドウ園^{えん}の持ち主^{もぬし}は再び別^{べつ}の奴隷^{どれい}を遣^{えん}わしました。耕作人^{こくさくにん}たちはその奴隷^{どれい}も殴^{なぐ}って侮辱^{ぶじよく}し、何も持^もたせずに去^さらせました。12 それでも持ち主^{もぬし}は3人目^{にんめ}を遣^つわしましたが、耕作人^{こくさくにん}たちはこの人^{ひと}にも傷^{きず}を負^おわせて追^おい出^だしました。13 持ち主^{もぬし}は言^いいました。『どうしようか。私^{わたし}の愛^{あい}する息子^{むすこ}を遣^つわそう。息子^{むすこ}ならきっと尊^{そんけい}敬^{けい}するだろう』。14 耕作人^{こくさくにん}たちはその息子^{むすこ}を見ると、論^{ろん}じ合^あって言^いいました。『こいつは相^{そう}続^{ぞく}人^{にん}だ。殺^{ころ}してしまつて、ブドウ園^{えん}をわ^われわ^れのものにしよう』。15 そし^そて息子^{むすこ}をブドウ園^{えん}の外^{そと}に放^{ほう}り出^だして殺^{ころ}してしまひました。では、ブドウ園^{えん}の持ち主^{もぬし}は彼^{かれ}らをどうするでしようか。16 やっ来てこの耕作人^{こくさくにん}たちを殺^{ころ}し、ブドウ園^{えん}をほかの人^{ひと}たちに与^{あた}えるでしよう』。

これを聞いて民は言った。「そんなことが決して起きませんように!」

17 しかしイエスは民を真つすぐに見て言った。「では、『建築者たちの退けた石、それが主要な隅石となった』と書いてあるのはどういう意味ですか。

18 その石の上に落ちる人は皆粉々になります。その石が落ちてくる人は砕かれます」。

19 律法学者と祭司長たちはこれが自分たちのことを念頭に置いた例えだと気付いたので、まさにその時イエスを捕まえようとした。しかし民を恐れた。20 そこで、イエスをじっと観察してから、ひそかに雇った人たちを遣わし、正しい人のふりをさせた。イエスの揚げ足を取って、政府また総督に引き渡そうとしてだった。21 その人たちはこう質問した。「先生、私たちは、あなたが正しく話して教え、不公平な扱いをせず、真理に沿って神の道を教えることを知っています。

22 カエサルに税を払ってよいでしょうか、払ってはいけなでしょうか」。

23 しかしイエスは彼らのずる賢さを見抜いて、言った。24 「デナリ硬貨を見せなさい。それには誰の肖像と称号がありますか」。その人たちは、「カエサルのです」と言った。25 イエスは言った。「ではぜひ、カエサル

第20章

〔詩〕118:22
イザ28:16
マタ21:42,44
マル12:10,11
使徒4:11
ペー2:7

〔イ〕イザ8:14,15

〔イ〕マタ21:45,46
マル12:12

〔イ〕マタ22:15-22
マル12:13-17

第2欄

〔イ〕ロマ13:7
テト3:1
ペー2:13

〔イ〕マタ22:21
マル12:17

〔イ〕使徒23:8

〔イ〕マタ22:23-28
マル12:18-23

〔イ〕創38:7,8
申25:5,6

〔イ〕マタ22:29,30
マル12:24,25

のものはカエサルに、しかし神のものは神に返しなさい。26 その人たちは民の前でイエスの揚げ足を取ることができず、その答えにとっても驚き、黙ってしまった。

27 しかし、復活などはないと言うサドカイ派の人が何人かやって来て、こう尋ねた。28 「先生、モーセは、『妻がいる男が死んで、子供がいらないなら、彼の兄弟が残された妻と結婚して兄弟のために子孫をもうけるべきである』と書きました。29 さて、7人の兄弟がいました。長男が妻を迎えましたが、子供がなく死にました。30 次に男、31 そして三男がその女性と結婚しました。7人ともが同様で、子供を残さずに死にました。32 最後にその女性も死にました。33 そうすると復活の際、この女性は誰の妻となるのでしょうか。7人が妻にしたのです。

34 イエスは言った。「今の体制の人々は結婚します。35 しかし、将来の体制で生きるにふさわしいと見なされ、復活するにふさわしいと見なされた者たちは、結婚しません。36 実際、もう死ぬこともありません。天使のようになるのであり、復活することによって神の子供になります。37 死者が生き返ることに關しては、モーセも、いばらの木に關する記述の中で明らかにしました。その際エホバを『ア

20:34 *または、「時代」。用語集参照。20:37 *付録A5参照。

20:17 *直訳、「隅の頭」。用語集参照。20:22 *または、「払うのは正しい」。20:24 *付録B14参照。

ブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神』と呼んでいます。38 この方は死んだ人の神ではなく、生きている人の神です。彼らは皆、神にとっては生きていますのです。39 それに対して律法学者の何人かが言った。「先生、立派な答えです。40 もはや何一つ質問する勇氣もなかったのである。

41 するとイエスが尋ねた。「人々が、キリストはダビデの子だと言うのはどうしてですか。42 ダビデ自身が詩編の書でこう述べています。『エホバは私の主に言った。『私の右に座していなさい。43 私があなたの敵たちをあなたの足台として置くまで。』44 このようにダビデが主と呼んでいるのに、どうしてダビデの子でしょうか。

45 それから人々が皆、聞いている時に、イエスは弟子たちに言った。46 「律法学者たちに気を付けなさい。この人たちは長い服を着て歩き回ることとを好み、広場であいさつされることを愛し、会堂では最も良い座席を、夕食会では最も目立つ場所を好みます。47 また、やもめたちの家から奪い取り、人の目に留まるように長い祈りをします。このような人たちは、それだけ厳しい処罰を受けます。

20:38 *または、「から見て」。20:42 *付録A5参照。20:46 *または、「正面の」。20:47 *または、「財産を」。*または、「見せ掛けのために」。^または、「重い」。

第20章
[イ] 出3:2,6
マタ22:31-33
マル12:26,27

[イ] マタ22:32

[イ] マタ22:41-46
マル12:35-37

[ロ] 詩110:1
使徒2:34,35

[ロ] マタ23:2,6,7
マル12:38-40

第2欄

第21章
[イ] マル12:41

[イ] マル12:42

[イ] マル12:43,44
コ2:8-12

[ロ] マタ22:37

[ロ] マタ24:1,2
マル13:1,2

[ロ] ルカ19:44

[ロ] マタ24:3
マル13:4

[ロ] テモニ3:13
ヨ一4:1
啓12:9

[ロ] マタ24:4,5
マル13:5,6

[ロ] マタ24:6
マル13:7

21 さて、イエスが目を上げると、裕福な人たちが寄付箱に寄付を入れているのが見えた。2 次ので、貧乏なやもめがごく小額の小さな硬貨2枚を入れるのを見て、3 こう言った。「はっきり言いますが、この貧しいやもめは、彼ら全てよりたくさん入れました。4 あの人たちは皆、余っている中から寄付を入れましたが、この女性は乏しい中から自分が持つ生活費全てを入れたからです。

5 後に、神殿が立派な石や献納物で飾られていることについて何人かが話していた時、6 イエスは言った。「あなたたちがいま見ているこれらの物についていえば、石が石の上に残らずに崩されてしまう時が来ます。7 それで彼らはこう質問した。「先生、そのようなことは実際にいつあるのでしょうか。そのようなことが起きるのが近いことを示すしはは何ですか。

8 イエスは言った。「惑わされないように気を付けなさい。多くの人が私の名を使って現れ、『私がその者だ』とか『その時が近い』とか言うからです。その人たちに付いていってはなりません。9 さらに、戦争や騒乱について聞いても、おびえてはなりません。まずこれらのことが必ず起きますが、終わりはすぐには来ないのです。

21:1 *または、「容器」。21:2 *直訳、「2レベタ」。付録B14参照。21:6 *建物や騒乱に切り石のこと。21:9 *または、「無秩序」、「暴動」。

10 それからイエスは言った。「^い国^{こく}民^{みん}は国民に^{こくみん}, 王国^{おうこく}は王国^{おうこく}に敵対^{てきたい}して立ち上がります。**11** 大きな地震^{だいじんしん}があり, あちこちで食糧^{しょくりょう}不足^{ふそく}や流行^{りゅうこう}病^{びょう}があります。また, 恐ろしい光景^{こうけい}や天^{てん}からの大きなしるし^{しるし}があります。

12 しかし, これら全て^{すべて}が起きる前^{まえ}に, 人々^{ひとびと}はあなたたちを捕らえて迫害^{はくがい}し, 会堂^{かいどう}や牢屋^{ろうや}に引き渡し^{ひきわた}し, あなたたちは私の名^なのために王^{おう}や総督^{そうとく}の前に連れていかれます。**13** それは証言^{しょうげん}する機会^{きかい}となります。**14** それで, どのように弁明^{べんめい}するかを前もって練習^{れんしゅう}しない, と心に決めなさい。**15** 私があなたたちに言葉^{ことば}と知恵^{ちえ}を与えるからです。反対者^{はんたいしや}は皆一緒に^{みないっしょ}になってもそれに抵抗^{ていこう}も反論^{はんろん}もできません。**16** さらに, あなたたちは, 親^{おや}, 兄弟^{きょうだい}, 親族^{しんぞく}, 友人^{ゆうじん}たちによってさえ引き渡され^{ひきわた}れ, 中には殺される人もいます。**17** また, 私^{わたし}の名^なのために全ての人から憎まれま^{にく}す。**18** それでも, あなたたちの髪^{かみ}の毛^け1本も失われま^{うしな}せん。**19** あなたたちは忍耐^{にんたい}によって命^{いのち}を受けま^うす。

20 エルサレムが陣営^{じんえい}を張^はった軍^{ぐん}隊^{たい}に囲まれるのを見たなら, その時^{とき}, 荒廃^{こうはい}が近づいたことを知りなさい。**21** その時^{とき}, ユダヤにいる人は山^{やま}に逃げ始め^{はじ}めなさい。都^{みやこ}の中^{なか}にいる人はそこを出^でなさい。田舎^{いなか}にいる人は都^{みやこ}に入^{はい}てはなりません。**22** なぜなら, これ

21:11 *直訳, 「疫病」。**21:16** *または, 「裏切られけ」。**21:19** *または, 「獲得し」。

第21章
[イ] 啓 6:4

[イ] マタ 24:7
マル 13:8

[イ] 使徒 11:28
啓 6:8

[ロ] ヨハ 16:2

[ロ] マタ 10:17, 18
マタ 24:9
マル 13:9
使徒 25:23
啓 2:10

[ロ] ルカ 12:11, 12

[イ] マル 13:11
使徒 6:8, 10

[イ] ミカ 7:6
マル 13:12, 13
使徒 7:59

[イ] マタ 10:22
マタ 24:9

[ロ] マタ 10:29, 30
ルカ 12:6, 7

[イ] マタ 24:13
ロマ 5:3, 4
ヘブ 10:36
ペテ 1:5, 6

[イ] ルカ 19:43

[ロ] ダニ 9:26
マタ 23:37, 38
マタ 24:15, 16

[ロ] マル 13:14

第2欄

[イ] マタ 24:19
マル 13:17
ルカ 23:28, 29

[イ] 申 28:64
ダニ 9:26

[イ] ダニ 4:25

[ロ] マタ 24:29
マル 13:24, 25

[イ] ダニ 7:13

[イ] マタ 24:30
マル 13:26
啓 1:7

[イ] マタ 24:32, 33
マル 13:29, 29

は処罰^{しょばつ}が下される期間^{きかん}であり, 書か^かれていること全てが実現^{じつげん}するのです。**23** その期間^{きかん}, 妊娠^{にんしん}している女性^{じょせい}と赤^{あか}坊^{ぼう}に乳^{ちち}を飲^のませている人にとっては悲惨^{ひさん}なことになります! その土地^ちはひどい貧困^{ひんこん}に見舞^{みま}われ, この民^{たみ}に対する憤り^{ひどびと}が表されるからです。**24** 人々^{ひとびと}は剣^{つるぎ}の刃^はに倒^{たお}れ, 捕らわれて全て^{すべて}の国^{くに}の人々^{ひとびと}のもとへ引^ひいていかれます。そしてエルサレムは, 異国^{いこく}の人々の定め^{さだ}められた時^{とき}が満ちるまで異国^{いこく}の人々^{ひとびと}に踏^ふみにじられます。

25 また, 太陽^{たいよう}と月^{つき}と星^{ほし}にしるしがあり, 地上^{ちようじやう}では, 海^{うみ}のどろきと動揺^{どうよう}のために, 逃げ道^{にみち}を知らないさまざまな国^{くに}の人々^{ひとびと}が苦悩^{くのう}します。**26** 人々^{ひとびと}は, 世界^{せかい}を襲^{おそ}う事柄^{ことがら}に対する恐れと予想^{おそ}かき^うろし^なな^{てん}の力^{ちから}が揺り動か^{ゆりうご}かされるからです。**27** またその時^{とき}, 人々^{ひと}は, 人の子^こが力^{ちから}と大きな栄光^{えいこう}を帯び^おて雲^{くも}と共に来るのを見ま^みす。**28** しかし, これらのことが起き始めたら, 真^ますぐに立ち, 頭^{あたま}を上げなさい。あなたたちの救出^{ききうしゅつ}が近づいているからです」。

29 イエスは1つの例^{たと}えを話した。「イチジク^{いちじく}の木^きやほかの全て^{すべて}の木^きを見なさい。**30** 木^きが芽^めを出^でしていれば, あなたたちは自分でそれを見て, もう夏^{なつ}が近いことを知ります。**31** 同じように, これらのことが起きているのを見たら, 神^{かみ}の王国^{おうこく}が近いことを知^しりな

21:22 *または, 「復讐の」。**21:24** *または, 「異邦人」。**21:27** *イエスのこと。用語集参照。

さい。32 はっきりいいますが、全て
が起きるまで、この世代は決して過ぎ
去りません。33 天と地は過ぎ去り
ますが、私の言葉は決して過ぎ去りま
せん。

34 とはいえ、食べ過ぎや飲み過
ぎや生活上の心配事で心が圧迫され
ないよう注意していなさい。そうでな
いと、その日が全く突然に訪れます。
35 わなのようにです。その日は地上
の全ての人に訪れます。36 それで、
必ず起きるこの全てのことを逃れて人
のの前に立つことができるよう、常
に祈願をしつつ、ずっと目を覚ましてい
なさい。

37 こうしてイエスは、昼は神殿で
教え、夜は出ていってオリブ山で泊
まるのだった。38 民は皆、神殿でイ
エスの話を聞こうとして朝早く来た。

22 さて、無酵母パンの祭り、い
わゆる過ぎ越しが近づいて
いた。2 祭司長と律法学者たちは、
イエスを除き去るうまい方法を探し
ていた。民を恐れていたのである。
3 また、12人の中に数えられ、イスカ
リオテと呼ばれるユダにサタンが入り
込んだ。4 ユダは出掛けていき、イ
エスを裏切って渡す方法について祭
司長と神殿の指揮官たちと話し合っ
た。5 その人たちは喜び、銀を与え
ることで合意した。6 ユダは承諾し、
群衆がいない時にイエスを裏切って

第21章

〔マ〕マタ 24:34
マル 13:30

〔イ〕マタ 24:35
マル 13:31

〔ロ〕イザ 5:11,12
ロマ 13:13

〔コ〕格 11:4
マタ 6:25
テモ一 6:8

〔ホ〕テサ一 5:2,3
ペ二 3:10

〔ケ〕マタ 24:42
マル 13:35
啓 6:16,17
啓 16:15

〔セ〕ロマ 12:12
エフ 6:18
ペ一 4:7

〔ソ〕マタ 25:13
マル 13:33
コ一 16:13
ペ一 5:8

第22章

〔ロ〕レビ 23:5-8
ルカ 22:7
ヨハ 13:1

〔コ〕出 12:3,6

〔ロ〕ルカ 9:22

〔イ〕マタ 21:45,46
マタ 26:3-5
マル 14:1,2
ルカ 20:19

〔コ〕マタ 26:14-16
マル 14:10,11
ヨハ 6:70
ヨハ 13:2,27
使徒 1:16,17

〔ロ〕ヨハ 13:18

〔イ〕ゼカ 11:12

第2欄

〔イ〕出 12:14,18
申 16:1,2
マタ 26:17
マル 14:12

〔イ〕出 12:8

〔イ〕マタ 26:18,19
マル 14:13-16

〔コ〕マタ 26:20
マル 14:17

わたすよい機会をうかがうようになった。

7 無酵母パンの日になった。過ぎ
越しの犠牲が捧げられなければなら
ない日である。8 そこでイエスはペ
テロとヨハネを遣わして言った。「行っ
て、過ぎ越しの食事を用意しなさい」。
9 2人は言った。「どこに用意したら
いいでしょうか」。10 イエスは言っ
た。「町に入ると、水がめを運んでいる
男の人に会います。付いていって、そ
の人が入る家に入りなさい。11 そ
して、家主にこう言いなさい。『先生が、
「弟子たちと過ぎ越しの食事ができる
客室はどこでしょうか」と言っていま
す』。12 その人は整った大きな階上
の部屋を見せてくれます。そこに用意
しなさい。13 それで2人が出掛け
ると、イエスが話した通りになり、過ぎ
越しの準備をした。
14 その時刻が来たとき、イエスは使
徒たちと食卓に着いた。15 イエス
は言った。「私は苦しみを受ける前に
ぜひあなたたちと一緒にこの過ぎ越し
の食事をしたい、と思っていました。
16 あなたたちに言いますが、神の王
国で全てが実現するまで私は二度とそ
れを食べません。17 そして杯を受
け取り、感謝の祈りをしてからこう言っ
た。「これを取って、順番に回しなさい。
18 あなたたちに言いますが、今
後、神の王国が来るまで私はブドウか
らできたものを二度と飲みません」。

19 また、イエスはパンを取り、感謝の祈りをしてから、それを割って渡し、こう言った。「これは、あなたたちのために与えられる私の体を表しています。このことを行っていき、私のことを思い起こしなさい」。**20** また、食事が済んでから、杯についても同じようにして、こう言った。「この杯は私の血による新しい契約を表しています。それはあなたたちのために注ぎ出されることになっています」。

21 でも見なさい。私を裏切る人の手が食卓で私の近くにあります。**22** 確かに、人の手は定められたところに従って進んでいきます。しかし、人の子を裏切るその人には災いがあります！」**23** 使徒たちは、自分たちのうちいったい誰がそんなことを行おうとしているのか、論じ合い始めた。

24 ところが、自分たちの中で誰が一番偉いのかについても激しい議論が起きた。**25** しかしイエスはこう言った。「国々の王は威張り、権威を持つ人たちは善行者と呼ばれます。**26** しかし、あなたたちはそうであってはいけません。あなたたちの間で一番偉い人は一番若い人のように、教え導く人は奉仕する人のようになりなさい。**27** というのは、食事をしている人と給仕している人では、どちらが偉

22:19 *または、「記念し」。**22:22** *イエスのこと。用語集参照。**22:27** *または、「奉仕して」。

第22章

[ア] 出 12:8
[イ] ヘブ 10:10
ペー 2:24
[ウ] コー 10:16
[エ] マタ 26:27, 28
マル 14:23, 24
コー 11:23-25
[オ] 出 24:8
[カ] エレ 31:31
ヘブ 7:22
ヘブ 8:8
[キ] ヘブ 9:13, 14
ペー 1:18, 19
[ク] 詩 41:9
マタ 26:21
マル 14:18
ヨハ 13:21
[ケ] イザ 53:7, 8
ダニ 9:26
使徒 4:27, 28
[コ] マタ 26:24
[ク] マタ 26:22
マル 14:19
ヨハ 13:22
[コ] マル 9:34
ルカ 9:46
[ク] マタ 20:25-27
マル 10:42-44
[セ] ペー 5:2, 3
[ソ] ルカ 9:46-48

第2欄

[ア] マタ 20:28
ヨハ 13:3-5
フリ 2:5-7
[イ] ヘブ 4:15
[ウ] ヨハ 6:67, 68
[エ] ダニ 7:27
ルカ 12:32
テモニ 2:12
ヘブ 12:28
ヤコ 2:5
啓 1:6
[オ] ルカ 13:29
ヨハ 17:24
[カ] コー 6:2
啓 2:26, 27
啓 3:21
啓 20:6
[キ] マタ 19:28
[ク] マタ 26:31
マル 14:27
ペー 5:8
[ケ] ヨハ 17:15
[コ] ヘブ 12:12
[ク] マタ 26:33
マル 14:29
ヨハ 13:37
[セ] マタ 26:34
マル 14:30
ルカ 22:61
ヨハ 13:38
[ソ] マタ 10:9, 10
マル 6:7-9
ルカ 9:2, 3

いですか。食事をしている人ではありませんか。しかし私は、あなたたちに仕える人です。

28 とはいえ、あなたたちは私が訓練に遭っている間もずっと一緒にいました。**29** それで私は、天の父が私と契約を結んだように、あなたたちと王国のための契約を結び、**30** あなたたちが私の王国で私と一緒に食卓に着いて食べたり飲んだりし、王座に座ってイスラエルの12部族を裁くようにします。

31 シモン、シモン！ サタンはあなたたちを渡すよう要求しました。小麦をふるいにかけるように試すためです。

32 しかし私は、あなたの信仰が尽きないように祈願しました。立ち直った後は、兄弟たちを力づけなさい」。

33 ペテロは言った。「主よ、私はあなたと牢屋に入ることも死ぬことも覚悟しています」。**34** しかしイエスは言った。「ペテロ、あなたに言います。今日おんどりが鳴くまでの間に、あなたは3度、私を知っていることを否定します」。

35 またイエスは使徒たちに言った。「財布も食物袋もサンドルも持たせずに遣わした時、何にも不足しなかったのではありませんか」。使徒たちは、「はい、何にも」と言った。

36 イエスは言った。「しかし今、財布がある人はそれを持ち、食物袋も同じ

22:27 *または、「奉仕する」。

ようにしなさい。剣^{つるぎ}を持^もっていない人^{ひと}は、外衣^{がい}を売^いってそれを買^かいなさい。

37 というのは、書^かかれてい^いること、すなわち『彼^{かれ}は不法^{ふほう}な者^{もの}たちと共^{とも}に数^{かず}えられた』という言葉^{ことば}は、私^{わたし}に関^{かん}して必ず成^{かな}し遂^すげられるからです。これ^{これ}は私^{わたし}に関^{かん}して実現^{じつげん}しつ^つつあります。

38 使徒^{しと}たちは言^いった。「主^{しゅ}よ、ご覧^{らん}ください、ここ^{ここ}に剣^{つるぎ}が2本^{ほん}あります」。イエスは言^いった。「それ^{それ}で十分^{じゅうぶん}です」。

39 イエスはそこを出^でて、いつも^{いつも}のよう^{よう}にオリーブ山^{やま}に行^いった。弟子^{でし}たちも後^{あと}に従^{したが}った。40 その場所^{ばしょ}に着^つくと、イエスは弟子^{でし}たち^{たち}に言^いった。「誘惑^{ゆうわく}に負^まけないように祈^{いの}っていないさ^いい」。

41 そして、石^{いし}を投^なげれば届^{とど}くほどの所^{ところ}まで離^{はな}れ、膝^{ひざ}をか^かめて祈^{いの}り始^{はじ}め、

42 こう言^いった。「父^{ちち}よ、あな^{あな}たが望^{のぞ}まれるよう^{よう}でしたら、この杯^{さかずき}を私^{わたし}からと^とり除^{のぞ}いてください。とはい^いえ、私^{わたし}の望^{のぞ}むこと^{こと}ではなく、あな^{あな}たの望^{のぞ}まれること^{こと}がなされますよう^{よう}に」。43 その時^{とき}、天^{てん}使^しが現^{あらわ}れてイエス^{イエス}を力^{ちから}づけた。44 しかしイエス^{イエス}は深^{ふか}く苦悩^{くう}し、さら^{さら}に真剣^{しんけん}に祈^{いの}り続^{つづ}けた。汗^{あせ}が血^ちのよう^{よう}になっ^なて地面^{じめん}に滴^{した}り落^おちた。45 イエス^{イエス}が祈^{いの}りを終^おえて立^あち上^{でし}がり、弟子^{でし}たちの所^{ところ}に行^いくと、彼^{かれ}らは悲嘆^{ひたん}のあ^あまり疲^{つか}れて眠^{ねむ}っていた。46 イエス^{イエス}は言^いった。「なぜ眠^{ねむ}っているのですか。起^おき上^あがり、誘惑^{ゆうわく}に負^まけないように祈^{いの}っていないさ^いい」。

47 イエス^{イエス}がまだ話^{はな}しているうち

第22章

(7) イザ 53:12

(1) ルカ 18:31

(7) マタ 26:30

マル 14:26

ヨハ 18:1

(14) マタ 26:41

マル 14:38

ルカ 22:46

(14) マタ 6:10

マタ 26:39

マル 14:36

ヨハ 5:30

ヨハ 6:38

(14) 王一 19:5,7

ダニ 10:18,19

マタ 4:11

(14) ヨハ 12:27

ヘブ 5:7

(7) マタ 26:40

マル 14:37

(7) マタ 26:41

マル 14:38

ルカ 22:40

第2欄

(7) マタ 26:47-50

マル 14:43-46

ヨハ 18:2,3

(14) マタ 26:51,52

マル 14:47

ヨハ 18:10,11

(7) マタ 26:55,56

マル 14:48,49

(14) ルカ 19:47

(14) ヨハ 7:30

(14) ヨハ 19:11

(14) イザ 53:7

使徒 8:32

(7) マタ 26:57,58

マル 14:53,54

ヨハ 18:15

(7) マタ 26:69-75

マル 14:66-72

ヨハ 18:18

に、人々^{ひとびと}がやっ^きて来^きた。率^{ひき}いていたのは12人^{にん}の1人^{ひとり}、ユダ^よと呼ば^{ひと}れる人^{ひと}で、イエス^{イエス}に近^{ちか}づいて口^{くち}づけた。

48 しかしイエス^{イエス}は、「ユダ^{ユダ}、口^{くち}づけて人^{ひと}の子^こを裏切^{うらぎ}るのですか^い」と言^いった。49 イエス^{イエス}の周^{まわ}りにいた人^{ひと}たちは成^なり行^ゆきを見^みて、「主^{しゅ}よ、剣^{つるぎ}で切り掛^かかりましようか^い」と言^いった。50 そし^して、1人^{ひとり}が大祭司^{だいいし}の奴隷^{だいいし}に襲^{おそ}い掛^かかって右耳^{みぎみみ}を切り落^きとした。51 しかしイ

エス^{イエス}は、「やめなさい^い」と言^いった。それ^{それ}から、奴隷^{どれい}の耳^{みみ}に触^ふれて癒^いやした。

52 そして、捕^とらえに來^きた祭司長^{さいし}と神殿^{しん}の指揮官^{しきかん}と長老^{ちやうろう}たちに言^いった。「強^{ごう}盗^{とう}に対するよう^{よう}に剣^{つるぎ}やこん棒^{ぼう}を持^もってきたのですか^い。53 私^{わたし}が毎日^{まいにち}神殿^{しん}であな^{あな}た方^{がた}と一緒^{いっしょ}にいた時^{とき}には、私^{わたし}を捕^{つか}まえませんでし^した。しかし、今^{いま}はあな^{あな}た方^{がた}の時^{とき}、間^まが支配^{しはい}する時^{とき}です」。

54 その人^{ひと}たちはイエス^{イエス}を捕^とらえて引^ひいていき、大祭司^{だいいし}の家^{いえ}の中^{なか}に連れてい^いった。一方^{いっぽう}ペテロ^{ペテロ}は、離^{はな}れて付^ついてい^いった。55 人々^{ひとびと}が中庭^{なかにわ}の中央^{ちやうおう}で火^ひをたいて一緒^{いっしょ}に座^{すわ}った時^{とき}、ペテロ^{ペテロ}もその中^{なか}にいた。56 召^めし使^しいの女^め性^{せい}が、ペテロ^{ペテロ}が火^ひに照^てらされて座^{すわ}っているのを目^めに^にて、じっ^じと見^みつめ、こう言^いった。「この人^{ひと}も彼^{かれ}と一緒^{いっしょ}にいま^{いま}した」。57 しかしペテロ^{ペテロ}はそれ^{それ}を否定^{ひてい}して、「私^{わたし}はその人^{ひと}を知ら^しない^い」と言^いった。58 しばらくして、別^{べつ}の人^{ひと}がペテロ^{ペテロ}を見^みて言^いった。「あな^{あな}たも彼^{かれ}らの仲^{なかつ}間^まだ」。しかしペテロ^{ペテロ}は、「仲間^{なかつ}間^まではな

い」と言った。^(イ) **59** それから1時間ほどたつて、別の男性が強く言い張るようになった。「確かにこの人も彼と一緒にいた。実際、ガリラヤ人ではないか!」 **60** しかしペテロは言った。「何のことを言っているのか、分からない」。するとすぐ、まだ話しているうちに、おんどりが鳴いた。**61** すいイエスが振り向いてペテロを真っすぐに見た。ペテロは、「今日おんどりが鳴く前に、あなたは3度、私を知らないと言います」という主の言葉を思い出した。^(イ) **62** そして、外に出て激しく泣いた。

63 さて、イエスの番をしていた人々はイエスを殴ってあざけり始めた。^(イ) **64** 顔を覆ってから、^(イ)「預言者なら言うてみる! おまえを打ったのは誰か」と言うのだった。**65** そしてほかにも冒瀆の言葉を浴びせた。

66 夜が明けると、民の長老たち、祭司長と律法学者たちが集まった。^(イ) そして、イエスをサンヘドリン広間に引き出して、言った。^(イ) **67** 「もしあなたがキリストなら、そう言いなさい」。しかしイエスは言った。「たとえ言っても、あなたは全く信じないでしょう。**68** また、質問しても、あなたは答えないでしょう。**69** しかし今後、人の子は強力な神の右に座ります^(イ)。 **70** すると皆が言った。「では、あなたは神の子なのか」。イエスは言った。「その通

22:66 *用語集参照。

第22章

(イ) ヨハ 18:25-27

(イ) マタ 26:75
マル 14:72(イ) イザ 50:6
イザ 53:5
マタ 26:67,68
マル 14:65

(イ) 詩 22:7

(イ) 詩 2:2
マタ 27:1
マル 15:1
使徒 4:26(イ) マタ 26:63
マル 14:61

(イ) ダニ 7:13

(イ) 詩 110:1
マタ 26:64
マル 14:62
使徒 2:32,33
使徒 7:55
コロ 8:34
コロ 3:1
ヘブ 1:3

第2欄

(イ) マタ 26:65
マル 14:63

第23章

(イ) マタ 27:2
マル 15:1
ヨハ 18:28

(イ) 詩 35:11

(イ) マル 12:17

(イ) ヨハ 18:36

(イ) マタ 27:11

(イ) ヨハ 18:38
ヘブ 7:26
ペー 2:21,22

(イ) ルカ 3:1

(イ) マタ 14:1
マル 6:14
ルカ 9:7-9

りです^{*}。 **71** その人たちは言った。「どうしてこれ以上、証言が必要でしょう。私たちが自身が彼の口から聞きました」。

23 大勢の人が皆立ち上がり、イエスをピラトのもとに引いていった。^(イ) **2** そしてイエスのことを訴え始め、こう言った。「この男は私たちの民を扇動し、カエサルに税を払うことを禁じ、自分が王キリストだと言っていました」。**3** ピラトはイエスに質問した。「あなたはユダヤ人の王なのか」。イエスは、「その通りです」と答えた。^(イ) **4** ピラトは祭司長たちと群衆に言った。「この男は犯罪など犯してはいない」。**5** しかし彼らは言い張った。「彼はユダヤ全土で教えて民をあおっています。ガリラヤから始めてここまで来たのです」。**6** ピラトはこれを聞くと、この男がガリラヤ人かどうかを尋ねた。**7** そして、ヘロデの管轄下の者であることを確かめた後、ヘロデのもとに送った。その頃ヘロデもエルサレムにいたのである。

8 ヘロデはイエスを見ると、大変喜んだ。イエスのことをいろいろ聞いて、かなり前から会ってみたいと思っていたのである。イエスが行く奇跡も見たと思っていた。**9** そこで、あれこれ質問し始めたが、イエスは何も答えな

22:70 *直訳、「あなた自身が私がそうだと言っています」。肯定を意味する慣用表現。**23:3** *直訳、「あなた自身が言っています」。肯定を意味する慣用表現。**23:8** *直訳、「しるし」。

かった。10 祭司長と律法学者たちが次々に立ち上がり、イエスのことを激しく訴えた。11 そこでヘロデは兵士たちと一緒に、イエスを侮辱し、きらびやかな服を着せてあざけてから、ピラトのもとに送り返した。12 その日を境に、それまで対立していたヘロデとピラトは親しい関係になった。

13 ピラトは祭司長と支配者たち、また民を呼び集めて、14 こう言った。「あなたは、民を駆り立て反乱を起こさせる者だと言ってこの男を連れてきた。それであなたの方で取り調べたが、あなた方が訴えているような罪は全く見つからなかった。15 それはヘロデも同じだ。彼を私たちに送り返してきた。彼は死に値するとは何もしていないのだ。16 それで、彼を懲らしめてから釈放する」。17 — 18 しかし群衆は皆こう叫んだ。「その男を殺せ。バラバを釈放しろ!」19 (バラバは町で起きた暴動と殺人の罪で牢屋に入れられていた。) 20 ピラトはイエスを釈放したいと思って、再び群衆に呼び掛けた。21 群衆は、「杭に掛けろ! 杭に掛けろ!」とわめきだした。22 ピラトは3度目にこう言った。「この男がどんな悪事をしたというのか。死に値することは何も見つからなかった。そ

第23章

[ア] イザ 53:7

[イ] イザ 53:3

[例] 詩 22:7

[ロ] ヨハ 18:38

[例] マタ 27:26
ヨハ 19:1[例] マタ 27:20, 21
マル 15:11
ヨハ 18:40[例] マタ 27:22-26
マル 15:12-15
ヨハ 19:12

[例] ヨハ 19:6

第2欄

[例] ヨハ 19:15, 16

[イ] マル 15:21
ヨハ 19:17

[例] マル 13:17

[ロ] マタ 24:19
ルカ 21:23

[例] ホセ 10:8

れで、彼を懲らしめてから釈放する」。23 それでも群衆は引き下がらず、イエスを処刑するよう大声で要求した。そしてその声が上回った。24 それでピラトは彼らの要求通りにすることを決定した。25 暴動と殺人の罪で牢屋に入れられていた男、彼らが要求していた者を釈放し、イエスの方は彼らの意向に沿って処刑のために引き渡したのである。

26 兵士たちはイエスを引いていく時、田舎から来ていたキレネのシモンという男性を捕まえて苦しみの杭を担がせ、イエスの後ろを行かせた。27 大勢の人々がその後を行き、女性たちも胸をたたいて悲しみ、泣き叫びながら付いていった。28 イエスは女性たちのほうを向いて言った。「エルサレムの女性たち、私のために泣くのをやめなさい。むしろ、自分と自分の子供たちのために泣きなさい。29 人々が、『子供ができない女性、また子供を産まなかった女性や乳を飲ませなかった女性は幸せだ!』と言うとき、自分と自分の子供たちのために泣きなさい。30 その時人々は、山に向かって、『われわれにかぶさってくれ!』と言い、丘に向かって、『われわれを覆ってくれ!』と言いだします。31 木に生氣がある時にこうしたことがなされるのであれば、枯れた時には何が起きるでしょうか。

23:23 *または、「杭に掛けて処刑」。23:26 *用語集参照。

23:17 *付録A3参照。23:21 *または、「杭に掛けて処刑しろ」。

32 ほかに^{ふたり}も2人の犯罪者^{はんざいしや}が、イエスと一緒に^{いっしょ}に処刑^{しよけい}されるために引かれていった。33 兵士^{へいし}たちは、どくろ^{どくろ}と呼ばれる所^{ところ}に着いた時^{とき}、イエスを杭^{くい}にくぎ付け^{くぎづけ}にし、その左右^{さゆう}に犯罪者^{はんざいしや}たちを1人ずつ^{ひとり}くぎ付け^{くぎづけ}にした。34 しかしイエスは言った。「父よ、彼ら^{かれら}をお許^{ゆる}ください。自分^{じぶん}たちが何^{なに}をしているのか^し知らないのです」。さらに彼ら^{かれら}は、くじ^{くじ}を引^ひいてイエスの服^{ふく}を分配^{ぶんぱい}した。35 民^{たみ}は立^たって見^みつめていた。しかし支配者^{しはいしや}たちは冷笑^{れいしやう}しながら言^いった。「ほかの人^{ひと}は救^{すく}ったのだ。神^{かみ}のキリスト^{えりす}、選ばれた者^{もの}であるなら、自分^{じぶん}を救^{すく}うたいいい」。36 兵士^{へいし}たちもイエスをあざけり、近づ^{ちかづ}いて酸味^{さんみ}の強い^{つよ}ぶどう酒^{しゅ}を差^さし出^だした。37 「ユダヤ人^{じん}の王^{おう}なら、自分^{じぶん}を救^{すく}ってみろ」と言^いった。38 またイエスの上^{うへ}の方^{ほう}には、⁽⁴⁾「これはユダヤ人^{じん}の王^{おう}」と記^しされていた。

39 杭に掛けられた犯罪者の1人
がイエスに暴言を吐き始め、「キリス
トだろ。自分とわれわれを救ってみろ」
と言った。40 それに対してひとり
が、彼を叱った。「神を少しも畏れな
いのか。同じ処罰を受けているのに。
41 われわれの場合は当然だ。自分
がしたことへの報いを受けているのだか
ら。しかしこの人は何も悪いことはし
ていない」。42 さらに言った。「イエ
ス、王国に入る時に私を思い出してく
ださい」。43 イエスは言った。「今日

第23章

(ア) イザ 53:12
マタ 27:38

14 2016.03.27.22

(ウ) ヨハ 19:17, 18

(エ) 詩 22:18
マタ 27:35
マル 15:24
ヨハ 19:24

(オ) 詩 22:7,8
マタ 27:42,43
マル 15:31

(カ) 詩 69:21

(キ) マタ 27:37
マル 15:26
ヨハ 19:19

(ク) マタ 27:44
マル 15:32

(ケ) ルカ 1:32, 33

第2欄

(ア) イザ 11:6
イザ 35:1
イザ 65:17
使徒 24:15
啓 21:1

(イ) マタ 27:45
マル 15:33

(7) 出 26:31-33

(エ) ヘブ 10:19, 20

(才) 詩 31:5

(カ) マタ 27:50

(キ) マタ 27:54

(ク) マタ 27:55, 56
マル 15:40, 41
ルカ 8:2, 3

(ケ) マタ 27:57-60
マル 15:43-46
ヨハ 19:38

(㉔) 申 21:22,23

(サ) イザ 53:9

あなたに言います。あなたは私と共に
パラダイス(7)にいることになります」。

44 ところで、すでに^{ひる}昼の12時^じごろにな^なっていたが、^{やみ}闇が^{ぜん}全土に垂^たれ込^こめて、午後3時にまで及^{およ}んだ。45 日の光^ひがなくな^なったのである。その時^{とき}、聖^{せい}なる所^{ところ}の幕^{まく}が真^まん中^{ちゆう}で裂^さけた。46 イエスは大声^{おほこゑ}で叫^よんだ。「父^{ちち}よ、私^{わたし}の命^{いのち}をあなたの手^てに託^{たく}します」。こう言^いってか^から、息^{いき}を引^ひき取^とった。47 士官^{しかん}は起^おき^きた事^{こと}柄^{がら}を見て神^みをた^たえ^えるようになり、^{ほんとう}「本当に、この人^{ひと}は正^{ただ}しい人^{ひと}だ^たった」と言^いった。48 処^{しょ}刑^{けい}を見^みに集^{あつ}ま^まっていた群^{ぐん}衆^{しゆう}は皆^{みな}、起^おき^きた事^{こと}柄^{がら}を見て、悲^{かな}し^しんで胸^{むね}をた^たき^きな^なが^がら家^{いえ}に帰^{かえ}った。

49 イエスの知人たちは皆、離れた所
に立っていた。ガリラヤからイエスに
同行してきた女性たちもいて、これら
のことを見た。

50 さて、ヨセフという男性がいた。
さいこうほうてい＊ いちりん ただ よ ひと
最高法廷の一員で、正しくて善い人
だった。 51 (この男性は法廷の他
のひとたちがつくらんだ行為を支持する
とうりょう じん まち
投票をしなかった。) ユダヤ人の町ア
リマタヤの人で、神の王国を待って
いた。 52 この男性がピラトの前
にいき からだ いきだたいと願
い、イエスの体を頂きたいと願
い出た。 53 そしてその体を下ろして
じょうとう あまぬの つつ いわ ほ ほか＊
上等の亜麻布に包み、岩を掘った墓
はうむ じん ほうむ
に葬った。そこにはまだ誰も葬られ
ることがなかった。 54 それは準備

23:45 *用語集参照。 23:46 *または、「生命
力」。 23:50 *または、「サンヘドリン」。 23:
53 *または、「記念の幕」。

の日で、安息日が始まろうとしていた。

55 イエスと一緒にガリラヤから来ていた女性たちは後に付いていってその墓を見、遺体が葬られる様子を見た。56 それから香料と香油を準備しに戻った。しかし言うまでもなく、安息日にはおきて通り休んだ。

24 しかし、週の最初の日の朝でも早くに、女性たちは準備した香料を持って墓に来た。2ところが、墓の入り口から石が転がしてどけてあった。3中に入ってみると、主イエスの体が見当たらなかった。4 当惑していると、何と、光り輝く衣服を着た2人の人が現れた。5 女性たちが恐れて顔を上げずにいたので、2人は言った。「なぜ、生きている者を墓の中で捜しているのですか。6 イエスはここにはいません。生き返りました。彼がガリラヤにいた時に話したことを思い出しなさい。7 『人の子は必ず、罪深い人々に引き渡されて杭に掛けられて死に、3日目に生き返る』と言いました」。8 女性たちはイエスの言葉の思い出し、9 墓から戻って、この全てを11人とほかの全員に報告した。10 マリア・マグダレネ、ヨハンナ、ヤコブの母親マリア、また一緒にいたほかの女性たちも、これらのことを使徒たちに告げるのだった。11 しかし、11人とほかの人たち

23:55; 24:1, 2, 9, 12 *または、「記念の墓」。
24:7 *イエスのこと。用語集参照。

第23章

(ル) マル 15:42
ヨハ 19:42

(イ) 出 20:9, 10
申 5:13, 14

(ヨ) マタ 27:61
マル 15:47

(ヨ) 出 16:29
出 20:9, 10
出 31:15
申 5:12

第24章

(ヨ) マタ 28:1
マル 16:1, 2
ヨハ 20:1

(ヨ) マタ 28:2
マル 16:4

(ヨ) マル 16:5

(ヨ) マタ 28:5-7
マル 16:5-7

(ヨ) ヨナ 1:17
マタ 16:21
マル 8:31
ルカ 9:22

(ヨ) ヨハ 2:22

(ヨ) マタ 28:8

第2欄

(ヨ) ヨハ 20:14
ヨハ 21:4

(イ) マタ 2:23
マタ 21:11

(ヨ) 申 18:18
ルカ 7:15, 16
ヨハ 3:2
ヨハ 6:14
使徒 2:22

(ヨ) ルカ 23:1
使徒 3:13
使徒 13:27, 28

にとってそうした話はあるに思え、女性たちを信じようとしなかった。

12 けれどもペテロは立って墓に走っていった。そして前かがみになったのぞいたが、亜麻布しか見えなかった。それで、起きた事柄を不思議に思いつながら去っていった。

13 その同じ日、弟子の2人がエルサレムから約11キロ離れたエマオという村へ旅をし、14 この全ての出来事について語り合っていた。

15 2人が語り合い、論じ合っていると、当のイエスが近づいてきて一緒に歩き始めた。16 ところが、2人はイエスだとは見分けられずにいた。

17 イエスは言った。「歩きながら何のことを論議しているのですか」。2人は悲しそうな顔をして立ち止まり、

18 クレオパという人が答えた。「あなたはよそからエルサレムに来て1人で住んでいるために、最近そこで起きたことを知らないのですか」。

19 イエスが、「どんなことですか」と尋ねると、2人は言った。「ナザレ人イエスにすることです。その人は、神と全ての人の前で行いも言葉も強力な預言者であることを示しました。20 私たちの祭司長や支配者たちは彼を引き渡して死刑宣告を受けさせ、杭にくぎ付け

24:18 *もしかすると、「エルサレムを訪れたのに、最近そこで起きたことをあなただけが知らないのですか」。

にしました。21 しかしわたしは、この人がイスラエルを救出する方だという希望を抱いていました。それなのに、これらのことが起きてから今日で3日目です。22 その上、仲間の女性たちにも非常に驚かされました。というのは、女性たちは朝早く墓に行きましたが、23 その遺体は見つからず、戻ってきて、天使たちを見たことを話してくれました。そして、天使たちが彼は生きていたと言ったということです。24 私たちの仲間が何人か墓に出掛けていき、女性たちが言った通りなのを見たのですが、彼の姿は見ませんでした。

25 するとイエスは言った。「ああ、無分別で心が鈍い人たち! どうして預言者たちが語った全てのことを信じていないのですか。26 キリストはこうした苦しみを経て栄光を受ける必要があったのではありませんか。27 そして、モーセと全ての預言者の書から始めて、聖書全巻にある自分に関連した事柄を2人に解き明かした。

28 ついに、2人が目指す村の近くに来了。イエスはさらに旅を続ける様子を見せた。29 しかし2人は、とどまるように勧め、こう言った。「一緒に泊まってください。そろそろ夕方で、1日ももう終わりですから」。そこでイエスは一緒に泊まるため中に入りました。30 一緒に食事をしていた時、

24:22, 24 *または、「記念の墓」。

第24章

(7) 使徒 1:6

(1) マタ 28:1,8
ルカ 24:9-11

(7) ルカ 24:12
ヨハ 20:3

(1) フィリ 2:9-11
ヘブ 2:9
ペー 1:11

(7) 詩 22:16-18
イザ 53:7-9
コー 15:3

(7) ヨハ 1:45
使徒 10:43
使徒 26:22

第2欄

(7) マタ 14:19
マタ 15:36
マル 6:41

(1) ヨハ 20:19

(7) コー 15:3,5

(1) ルカ 24:30,31

(7) ヨハ 20:21

イエスはパンを取って祈り、それを割って2人に渡し始めた。31 そこで2人の目はすっかり開かれ、それが誰なのかが分かった。しかしイエスの姿は見えなくなった。32 2人は互いに言った。「あの方が道中、話してくれた時、聖書をはっきり説明してくれた時、私たちの心は燃えていたではないか」。33 2人はすぐさま立ち上がってエルサレムに戻った。11人と他の人たちが集まっていて、34 「主は本当に生き返って、シモンの前に現れたのだ!」と言っていた。35 2人も、道中での出来事や、パンを割った時にイエスだと分かったということを話した。

36 こうしたことを話していたころ、当のイエスが皆の真ん中に立ち、「あなたたちに平和がありますように」と言った。37 しかし弟子たちは仰天して恐れ、自分たちは幻影を見ているのだと思った。38 それでイエスは言った。「なぜ動揺しているのですか。なぜ心に疑いを抱くのですか。39 私の手と足を見なさい。間違いなく私です。私に触り、見てみなさい。幻影であれば、あなたたちが見ているような肉体はありません。40 このように言いながら、手と足を弟子たちに見せた。41 それでも弟子たちがあまりの喜びと驚きで信じられずにいると、イエスは、「そこに何か食べ物があ

24:32 *または、「すっかり解いて」。24:39 *直訳、「肉と骨」。

りますか」と言った。42 焼き魚を渡すと、43 イエスはそれを受け取り、皆の目の前で食べた。

44 イエスは弟子たちに言った。「まだあなたたちと一緒にいた時に話した通り、私について、モーセの律法の中、また預言者と詩編の書の中に書いてあることは全て必ず実現します。

45 そして、聖書の意味を把握できるよう弟子たちの思考を十分に刺激してから、46 こう言った。「このように書いてあります。キリストは苦しみを受け、3日目に生き返り、47 その名によって、罪の許しのために悔い改めるようにとの知らせが、エルサレムから

第24章

(7) マタ 16:21

ルカ 9:22

(1) ルカ 24:27

(2) ヨハ 12:16

(3) イザ 53:5

マル 9:31

(4) 使徒 5:31

第2欄

(7) 使徒 4:1,2

使徒 5:27,28

(1) ガラ 3:14

(2) ヨハ 15:26,27

使徒 1:8

(3) ヨエ 2:28

ヨハ 14:16

使徒 1:4,5

使徒 2:1,4

(4) 使徒 1:9

(2) ヨハ 16:22

使徒 1:12

(4) 使徒 2:46,47

はじめて全ての国の人々に伝えられます。48 あなたたちはこれらのことの証人となります。49 そして、私はあなたたちの上に、天の父が約束したものを送ります。しかし、高い所からの力を授けられるまでは都にいなさい。

50 イエスは弟子たちをベタニヤまで連れていき、両手を上げて彼らのために祝福を願った。51 そして祝福を願っているうちに彼らから離れ、天に上げられた。52 弟子たちはイエスに敬意を表し、大きな喜びを抱いてエルサレムに帰った。53 そしていつも神殿にいて、神を賛美していた。

24:52 * または、「ひざまずき」。

ヨハネによる福音書

概要

- 言葉は人間となった (1-18)
バプテストのヨハネの証言 (19-28)
イエスは神の子羊 (29-34)
イエスの最初の弟子たち (35-42)
フィリポとナタナエル (43-51)
- カナでの結婚式、水をぶどう酒に (1-12)
イエスは神殿を清める (13-22)
イエスは人間の心に何があるかを知っている (23-25)
- イエスとニコデモ (1-21)
再び生まれる (3-8)
神は人類を愛した (16)
イエスに関するヨハネの最後の証言 (22-30)
上からの者 (31-36)
- イエスとサマリア人女性 (1-38)

- 「聖なる力と真理に導かれて」神を崇拝する (23, 24)
大勢のサマリア人がイエスを信じる (39-42)
イエスは役人の息子を癒やす (43-54)
- ベツザタで病気の人が癒やされる (1-18)
イエスは父によって権威を与えられている (19-24)
死者がイエスの声を聞く (25-30)
イエスについての証言 (31-47)
 - イエスは5000人に食事をさせる (1-15)
イエスは水の上を歩く (16-21)
イエスは「命のパン」(22-59)
多くの人がイエスの言葉に反感を抱く (60-71)
 - イエスは幕屋の祭りに行く (1-13)
イエスは祭りの時に教える (14-24)
キリストに関するさまざまな意見 (25-52)

- 8 父がイエスについて証言する (12-30)
 イエスは「世の光」(12)
 アブラハムの子 (31-41)
 「真理によって自由になります」(32)
 悪魔の子 (42-47)
 イエスとアブラハム (48-59)
- 9 イエスは、生まれつき目が見えない男性を癒やす (1-12)
 癒やされた男性がパリサイ派の人たちから質問される (13-34)
 パリサイ派の人たちは目が見えない (35-41)
- 10 羊飼いと羊の囲い (1-21)
 イエスは立派な羊飼ひ (11-15)
 「私にはほかの羊がいます」(16)
 ユダヤ人たちが献納の祭りでイエスに会う (22-39)
 多くのユダヤ人は信じようとしなない (24-26)
 「私の羊は私の声を聞きます」(27)
 父と子は結び付いている (30, 38)
 ヨルダン川の向こう側で多くの人が信じる (40-42)
- 11 ラザロの死 (1-16)
 イエスはマルタとマリアを慰める (17-37)
 イエスはラザロを復活させる (38-44)
 イエスを殺すたくらみ (45-57)
- 12 マリアがイエスの足に香油を注ぐ (1-11)
 イエスはエルサレムに入る (12-19)
 イエスは自分の死を予告する (20-37)
 ユダヤ人の信仰の欠如によって預言が実現する (38-43)
 イエスが来たのは世を救うため (44-50)
- 13 イエスは弟子たちの足を洗う (1-20)
 イエスはユダが裏切り者であることを明らかにする (21-30)
 新しいおきて (31-35)
 「あなたたちの間に愛があれば」(35)
 ペテロの否認が予告される (36-38)
- 14 イエスは、父に近づく唯一の道 (1-14)
 「私は道であり、真理であり、命です」(6)
 イエスは聖なる力が与えられることを約束する (15-31)
 「父は私より偉大」(28)
- 15 真のブドウの木の例え (1-10)
 キリストのような愛を示すようにとの命令 (11-17)
- 「これより大きな愛はありません」(13)
 世の人々はイエスの弟子を憎む (18-27)
- 16 イエスの弟子は死に直面することがある (1-4前半)
 聖なる力の働き (4後半-16)
 弟子たちの悲しみは喜びに変わる (17-24)
 イエスは世を征服した (25-33)
- 17 イエスが使徒たちと捧げた最後の祈り (1-26)
 永遠の命を得るには神のことを知る必要がある (3)
 クリスマスは世の人々のようではない (14-16)
 「あなたの言葉は真理です」(17)
 「あなたのお名前を……知らせました」(26)
- 18 ユダがイエスを裏切る (1-9)
 ペテロが剣を振るう (10, 11)
 イエスはアンナスの所に連れていかれる (12-14)
 ペテロの1度目の否認 (15-18)
 イエスはアンナスの前に立つ (19-24)
 ペテロの2度目と3度目の否認 (25-27)
 イエスはピラトの前に立つ (28-40)
 「私の王国はこの世界のものではありません」(36)
- 19 イエスはむち打たれ、あざけられる (1-7)
 ピラトが再びイエスに質問する (8-16前半)
 イエスはゴルゴタで杭にくぎ付けにされる (16後半-24)
 イエスは母親が世話を受けられるようにする (25-27)
 イエスの死 (28-37)
 イエスは葬られる (38-42)
- 20 空の墓 (1-10)
 イエスはマリア・マグダレネがいる所に現れる (11-18)
 イエスは弟子たちの前に現れる (19-23)
 トマスは疑うが、後に確信する (24-29)
 この書の目的 (30, 31)
- 21 イエスは弟子たちの前に現れる (1-14)
 ペテロがイエスへの愛を言い表す (15-19)
 「私の小さな羊を養いなさい」(17)
 イエスの愛する弟子の将来 (20-23)
 結び (24, 25)

1 初めに、言葉と呼ばれる方がいた。言葉は神と共にいて、言葉は神のようだった。**2** この方は初めに神と共にいた。**3** 全てのものはこの方を通して存在するようになり、彼を過ぎずに存在するようになったものは一つもない。

彼によって存在するようになったものは **4** 命であり、命は人類の光だった。**5** 光は闇の中で輝いているが、闇はこれを征服してはいない。

6 神の代理として遣わされた男性がいた。ヨハネという名前だった。

7 ヨハネは光について証言するため証人として来た。あらゆる人がヨハネを通して信じるためだった。**8** ヨハネはその光だったのではなく、その光について証言することになっていた。

9 どんな人にも光を与える真の光は、世に来ようとしていた。**10** 実のところ彼は世にいて、世は彼を通して存在するようになったのに、世の人々は彼を知らなかった。**11** 彼は自分の民の所に来たのに、民は受け入れなかった。**12** しかし、彼は自分を受け入れた人全てに、神の子供となる権利を与えた。その人たちが彼の名に信仰を抱いていたからである。**13** その人たちが誕生したのは、血筋によるのではなく親の意志によるのでもなく、神による。

1:1 *直訳、「神」。ギリシャ語で冠詞は付いていない。

第1章

(ア) コロ 1:15

啓 19:11,13

(イ) 格 8:22,30

(イ) イザ 9:6

(イ) ヨハ 1:18

フリ 2:5,6

(ヨ) ヨハ 1:10

(ヨ) ヨハ 8:12

(ヨ) ヨハ 3:19

(ヨ) ヨハ 3:1

ルカ 3:2

(ヨ) マタ 3:11

(ヨ) ヨハ 1:19,20

(ヨ) マタ 4:16,17

ヨハ 3:19

ヨハ 12:46

ヨハ 2:8

(ヨ) ヨハ 1:14

(ヨ) 創 1:26

ヨハ 8:6

コロ 1:16

ヘブ 1:2

(ヨ) ロマ 8:14,16

コロ 6:18

エフ 1:5

ヨハ 3:1

(ヨ) ヨハ 3:26

(ヨ) ヨハ 3:3

ペー 1:23

ヨハ 3:9

第2欄

(ア) フィリ 2:7

テモ 3:16

ヘブ 2:14

(イ) ヨハ 3:16

ヨハ 4:9

(ヨ) ヨハ 8:58

(ヨ) 出 31:18

(ヨ) ロマ 3:23,24

エフ 1:5,6

(ヨ) ヨハ 8:31,32

ヨハ 14:6

ヨハ 18:37

(ヨ) 出 33:17,20

ヨハ 6:46

(ヨ) 格 8:22,30

(ヨ) ヨハ 1:1

(ヨ) マタ 11:27

(ヨ) ルカ 3:15

(ヨ) マラ 4:5

(ヨ) 申 18:15

ヨハ 6:14,15

ヨハ 7:37,40

使徒 3:22

14 こうして、言葉は人間となって私たちの間に住み、私たちは彼の栄光、独り子が父から受けた栄光を目にした。彼には神の恵みと真理が満ちていた。**15** (ヨハネは彼について証言し、こう叫んだ。「これこそ私が言っていた方です。『私の後から来る方は私より優れている。私より先に存在したからである』と。)**16** 私たちは皆、彼に満ちていたものの中から受け、しかも惜しみない親切を繰り返し受けた。**17** なぜなら、律法はモーセを通して与えられ、惜しみない親切と真理はイエス・キリストを通して実現したからである。**18** これまで神を見た人はいない。しかし、天の父のそばにいる、神のような独り子が、神について説明した。

19 ヨハネの証言は次の通りだった。ユダヤ人たちが祭司とレビ族の人たちをエルサレムからヨハネの所に遣わして、「あなたは誰ですか」と尋ねさせた時のことである。**20** ヨハネは、「私はキリストではありません」と率直に答えた。**21** その人たちは尋ねた。「では何者ですか。エリヤですか」。ヨハネは言った。「そうではありません」。『例の預言者ですか』。「違います」とヨハネは答えた。**22** その人たちは言った。「あなたは誰です

1:14 *または、「惜しみない親切」。**1:16** *または、「過分の」。**1:18** *直訳、「懐」。特別な好意を受ける立場を指す。

か。私^{わたし}たちを遣^{つか}わした人^{ひと}たち^{こた}に答^{こた}えら
れるように教^{おし}えてください。あなた^{なにも}は
何^{なに}者^{もの}なのですか」。23 ヨハネは言^いった。
『私^{わたし}は、預^よ言^{げん}者^{しや}イザヤ^いが言^いった通^{とお}
り、『エホバ^えの道^{みち}を真^まつすぐにせよ』と
こ^{こう}う^やさげ^{もの}の^は荒野^{こう}で叫^よぶ者^{もの}です。24 ところで、こ
の人^{ひと}たちはパリサイ派^はから遣^{つか}わされて
いた。25 それでヨハネにこ^{しつもん}う質^{しつもん}問^{もん}
した。「では、キリスト^{れい}でもエリヤ^{えり}でも
例^{れい}の預^よ言^{げん}者^{しや}でもないなら、なぜバプテ
スマ[＊]を施^{ほどこ}すのですか」。26 ヨハネは
こ^{こた}え^{わたし}た。『私^{わたし}は水^{みづ}でバプテスマ[＊]を施^{ほどこ}
します。あなた^なの方^{かた}の間に、あなた^なの方^{かた}の知^し
らない方^{かた}がいます。27 私^{わたし}の後^{あと}から
来^くる方^{かた}で、私^{わたし}はそ^{かた}の方^{かた}のサンダル^{あいたい}のひ
もをほ^{あいたい}どくにも値^むしません。28 こ
れら^{かた}のこ^{かた}とはヨルダン川^{かた}の向^むこうのベ
タニヤ^おで起^おきた。ヨハネはそ^おこでバプ
テスマ[＊]を施^{ほどこ}していた。

29 次の日^{つぎ}、ヨハネはイエス^ひがやっ
て来^くるのを見^みて、言^いった。「見^みなさい、
人^{じん}類^{るい}の罪[＊]を取^とり去^さる、神^{かみ}の子羊^{こひつじ}です！
30 まさに私^{わたし}が言^いっていた方^{かた}です。『私^{わたし}
の後^{あと}から来^くる方^{かた}がいる。私^{わたし}より優^よれた
方^{かた}である。私^{わたし}より先^{さき}に存^{そんざい}在^{ざい}したからで
ある』と。31 私^{わたし}もこ^{かた}の方^{かた}を知^しりませ
んでしたが、私^{わたし}が水^{みづ}でバプテスマ[＊]を施^{ほどこ}
したのは、こ^{かた}の方^{かた}がイスラエル^いにはつ
きり知^しられるため^{ため}でした。32 また
ヨハネ^{しやうげん}はこ^{せい}う証^{ちやう}言^{げん}した。「聖^{せい}なる力^{ちから}が
てん^{てん}からハト^{くた}のよう^みに下^{くだ}ってくるのを見^み

1:23 *付録A5参照。 1:25,32 *用語集参照。
1:29 *直訳、「世」。

第1章

(例) マタ 3:1,3
マル 1:3
ルカ 1:67,76
ルカ 3:3,4
ルカ 7:27,28

(例) イザ 40:3

(例) マタ 3:11

(例) マタ 3:1,6

(例) ヨハ 6:51
ヨ一 2:1,2
ヨ一 4:14

(例) イザ 53:7,11
コ一 15:3
ヘブ 9:13,14
ペ一 2:24
ヨ一 3:5

(例) 使徒 8:32,35
ペ一 1:18,19
啓 5:6

(例) ヨハ 1:15

(例) 使徒 19:4

第2欄

(例) マタ 3:16
マル 1:10
ルカ 3:22

(例) マタ 3:16

(例) マタ 3:11
使徒 1:5
使徒 2:1,4

(例) マタ 3:17

(例) 啓 5:12

(例) マタ 4:18

(例) ダニ 9:25

(例) マタ 10:2
使徒 15:14

ましたが、それはこ^{かた}の方^{かた}の上^{うへ}にとどま
りました。33 私^{わたし}もこ^{かた}の方^{かた}を知^しりませ
んでしたが、水^{みづ}でバプテスマ[＊]を施^{ほどこ}すよ
うに私^{わたし}を遣^{つか}わした神^{かみ}が言^いいました。
『聖^{せい}なる力^{ちから}が下^{くだ}ってある人^{ひと}の上^{うへ}にとど
まるが、そ^{かた}の人^{ひと}こそ、人^{ひと}々に聖^{せい}なる力^{ちから}で
バプテスマ[＊]を施^{ほどこ}す者^{もの}である』。34 私^{わたし}
はそれを見^みたので、こ^{かた}の方^{かた}こそ神^{かみ}の子^こ
だと証^{しやうげん}言^{げん}したのです。

35 また次^{つぎ}の日^ひ、ヨハネは弟^で子^し2人^{ふたり}
と立^たって、36 イエス^{ある}が歩^{ある}いてい
るのを見^みて、言^いった。「見^みなさい、神^{かみ}の
子^こ羊^{ひつじ}です！」37 弟^で子^し2人^{ふたり}はそれを見^み
てイエスに付^ついてい^いった。38 イ
エスは振^ふり向^むき、2人^{ふたり}が付^ついてくるの
を見^みて、「何^{なん}の用^{よう}でしようか」と言^いった。
2人^{ふたり}は言^いった。「ラビ^{らび}（先生^{せんせい}）という意
味^み）、ど^たこに滞^{たいざい}在^{ざい}しているのですか」。

39 イエスは言^いった。「一^{いっしよ}緒^{しよ}に來^きなさ
い。そうすれば分^わかりま^ふす。2人^{ふたり}は行^い
き、イエスが滞^{たいざい}在^{ざい}している所^{ところ}を見^み、そ^{かた}の
日^ひイエスのもとにとどまった。午後4時^じ
ごろのことだった。40 ヨハネが言^いっ
たことを聞^きいてイエスに付^ついてい^いった
2人^{ふたり}のうち^{ひとり}の1人^{ひとり}は、シモン・ペテロ^みの
兄^{きやうだい}弟^{だい}アンデレ^{だい}だった。41 アンデレ
はま^じず自^じ分^{ぶん}の兄^{きやうだい}弟^{だい}シモン^みを見^みつけて、
言^いった。「私^{わたし}たちはメシア[＊]（「キリスト」
という意^い味^み）を見^みつけた。42 そし
てシモン^みをイエス[＊]の所^{ところ}に連^つれてい^いっ
た。イエスは彼^{かれ}を見^みて、言^いった。「ヨハ
ネ^この子^こシモン[＊]、あなた^なはケファ[＊]（「ペテ

口」と訳される)と呼ばれます」。

43 次の日、イエスはガリラヤに向かおうとした。そしてフィリポを見つけ、「私の弟子にならなさい」と言った。

44 フィリポは、アンデレやペテロの町ベツサイダから来ていた。**45** フィリポはナタナエルを見つけて、言った。「私たちは、モーセの律法と預言者の書に記されている人を見つけた。ヨセフの子で、ナザレから来たイエスだ」。

46 しかしナタナエルは言った。「何か良いものがナザレから出るだろうか」。フィリポは言った。「来れば分かる」。**47** イエスは、ナタナエルがやって来るのを見て、彼についてこう言った。「見なさい、まさにイスラエル人、心に偽りがない人です」。**48** ナタナエルは言った。「どうして私のことを知っているのですか」。イエスは答えた。「フィリポがあなたを呼ぶ前に、あなたがイチジクの木の下にいるのを見ました」。**49** それでナタナエルは言った。「ラビ、あなたは神の子です。イスラエルの王です」。**50** イエスは言った。「イチジクの木の下にいるのを見たと言ったから信じるのですか。あなたはもっと驚くようなことを目にします」。**51** さらにこう言った。「はっきり言っておきますが、あなたたちは、天が開いて神の天使たちが人の子のもとに下っては天に上るのを見ます」。

1:43 *または、「私の後に従い」。**1:51** *イエスのこと。用語集参照。

第1章

(7) マタ 16:18

(1) マタ 10:2,3

(7) マタ 10:2,3
ルカ 6:13,14

(2) マタ 1:16
マタ 13:55
ルカ 2:4

(7) ヨハ 2:24,25

(7) マタ 27:11
ルカ 1:31,32
ヨハ 12:13

(4) 創 28:10,12
詩 104:4
ダニ 7:13
マタ 4:11
ルカ 22:43

第2欄

第2章

(7) マル 7:3

2 3目にガリラヤのカナで結婚の披露宴があり、イエスの母親がそこにいた。**2** イエスと弟子たちも披露宴に招かれていた。

3 ぶどう酒が足りなくなった時、イエスは母親から、「ぶどう酒がありません」と言われた。**4** しかしイエスは母親に言った。「それは私たちが心配することですか。私の時はまだ来ていません」。**5** イエスの母親は給仕たちに、「彼が言うことは何でもしてください」と言った。**6** そこには、ユダヤ人の清めのしきたり通りに石の水がめが6つ置いてあり、各容量は五、六十リットルだった。**7** イエスが給仕たちに、「かめいっぱい水を入れなさい」と言うと、彼らは縁までいっぱいに入れた。**8** イエスは言った。「さあ、少しくんで、宴会の幹事の所に持っていきなさい」。彼らは持っていった。**9** 宴会の幹事はぶどう酒に変えられた水を味見したが、その出どころを知らなかった。(水をくんできた給仕たちは知っていた。)それで花婿を呼んで、**10** こう言った。「普通は最初に上等のぶどう酒を出し、みんなが酔った頃に劣ったのを出しますが、あなたは上等のぶどう酒を今まで取っておいたのですね」。**11** イエスはこれを最初の奇跡としてガリラヤのカナで

2:4 *直訳、「女性よ、私とあなたとは何が」。異議を示す慣用語。「女性よ」というのは不敬な表現ではない。**2:11** *直訳、「しるし」。

おこな じぶん ちから* あき (例) でし
行い、自分の力を明らかにした。弟子
たちはイエスに信仰を持った。

12 この後、イエスと母親と弟たち、
また弟子たちは、カペルナウムに下っ
ていったが、そこに長くは滞在しな
かった。

13 さて、ユダヤ人の過ぎ越しの
祭りが近かったので、イエスはエル
サレムに上っていった。14 そして
神殿で、牛や羊やハトを売る人たち
と、座っている両替人たちを目にし
た。15 それで、縄でむちを作ると、
羊や牛と一緒にその人たちを皆神殿
から追い出し、両替屋の硬貨をまき
散らし、彼らの台を倒した。16 そし
て、ハトを売る人たちに言った。「これ
らの物を運び出さない! 私の父の
家を商売の家にするのはやめな
さい!」17 弟子たちは、「私はあなた
の家に對する熱い思いを抑え切れない
」と書いてあるのを思い出した。

18 そのため、ユダヤ人たちはイエ
スに言った。「こうしたことをするから
には、どんなしるしを見せてくれるの
か」。19 イエスは答えた。「この神
殿を壊してみなさい。3日で建て直し
ます。20 ユダヤ人たちは言った。
「この神殿は46年かけて建てられた
のに、3日で建て直すのか」。21 しか
し、イエスが語っていた神殿とは自分
の体のことだった。22 弟子たちは、

2:11 *直訳、「栄光」。2:16 *または、「市場」、
「店」。

第2章

(例) イザ 9:1,2
ヨハ 1:14
(例) マタ 13:55
マル 3:31
ルカ 8:19
使徒 1:14
(例) マタ 4:13
(出) 12:14
民 28:16
申 16:1
ヨハ 11:55
(例) レビ 1:14
(例) マタ 21:12
マル 11:15,16
ルカ 19:45
(例) エレ 7:11
マタ 21:13
マル 11:17
ルカ 19:46
(例) 詩 69:9
(例) マタ 12:38
マタ 16:1
ヨハ 4:48
ヨハ 6:30
(例) マタ 26:59-61
マタ 27:39,40
マル 11:57,58
(例) マタ 16:21

第2欄

(例) ルカ 24:6-8
(例) マタ 9:3,4
マル 2:6-8
ヨハ 1:47,48
ヨハ 6:64
啓 2:23

第3章

(例) ヨハ 7:50,51
ヨハ 19:39
(出) ヨハ 12:42
(例) ヨハ 1:38
(例) ヨハ 14:11
使徒 2:22
使徒 10:38
(例) ヨハ 2:11
(例) ヨハ 1:12,13
ペー 1:3,23
ヨ一 3:9
(例) コー 15:50
(例) マタ 28:19
使徒 8:36
使徒 10:47
(例) マタ 3:11
使徒 1:5
使徒 10:45
使徒 19:5,6

イエスが生き返った時になって、イエ
スがよくそう言っていたのを思い出
した。そして聖書とイエスが語った言葉
を信じた。

23 過ぎ越しの祭りの際にイエスが
エルサレムにいた時、多くの人がイエ
スの行方奇跡を見て、彼の名に信仰を
持った。24 しかしイエスは、その人
たちを信用したわけではなかった。人
間がどういふものかを知っていたから
であり、25 人間について誰かに教
えてもらう必要はなかったからである。
人間の心に何があるかを知っていた
のである。

3 パリサイ派の人で、ニコデモとい
う男性がいた。ユダヤ人の支配
者の1人だった。2 この男性が夜に
イエスの所に来て、言った。「ラビ、私
たちは、あなたが教師として神のもと
から来たことを知っています。神が共
にいない限り、あなたがするよう奇
跡は行えないからです。3 それに
對してイエスは言った。「はっきり言っ
ておきますが、再び生まれなければ、
誰も神の王国を見ることはできません」。
4 ニコデモは言った。「年を
取ってから、どうして生まれることがで
きるでしょうか。母親の腹にもう一度
入って生まれてくることなどできませ
ん」。5 イエスは答えた。「はっきり
言っておきますが、水と聖なる力によ
ると、2:23; 3:2 *直訳、「しるし」。3:3 *もしかす
と、「上から」。

て生まれなければ、誰も神の王国に入
ることはできません。6 人間の親に
よって生まれるのは人間の子供であ
り、神の聖なる力によって生まれるの
は神の子供です。7 再び生まれなけ
ればならないと私が言ったことで、驚
いてはなりません。8 風はその望む
ところへ吹き、あなたはその音を聞いても、
それがどこから来てどこへ行くのかを
知りません。聖なる力によって生まれ
た全ての者についても、同じです。

9 そこでニコデモは言った。「どう
してそのようなことが起きるのでしょ
うか。10 イエスは答えた。「あなた
はイスラエルの教師なのに、こうした
ことが分からないのですか。11 はっ
きり言っておきますが、私たちは知っ
ていることを話し、見たことを証言し
ます。しかし、あなた方は私たちの証
言を受け入れません。12 私が地上
の事柄を話しても信じないのですから、
天の事柄を話すとしても、どうして信じ
てでしょうか。13 しかも、誰も天に
上ったことはありません。しかし、人
の子は天から下ってきました。14 そし
て、モーセが荒野で蛇をさおに掲げた
のと同じように、人の子も掲げられな
ければなりません。15 彼を信じる
人が皆、永遠の命を受けるためです。

16 神は、自分の独り子を与える
ほどに人類を愛したのです。そのよう

3:13 *イエスのこと。用語集参照。 3:16 *直
訳、「世」。

第3章

(7) ロマ 8:14, 16

(1) 使徒 2:34

(2) ヨハ 6:38
ヨハ 8:23, 42

(2) 民 21:8, 9

(2) ヨハ 8:28
ガラ 3:13(2) ヨハ 3:36
ヨハ 20:31(4) ロマ 5:8
ロマ 8:32
ヨ一 4:9, 10
ヨ一 4:19

第2欄

(7) ヨハ 6:40
ヨハ 20:31
ロマ 6:23
テモ 2:3, 15
ヨ一 5:13(1) ルカ 19:10
ヨハ 12:47
コ一 15:22
コニ 5:18, 19
テモ一 1:15
ヨ一 2:1, 2
ヨ一 4:14

(2) ヨハ 5:24

(2) マタ 10:33
ヘブ 10:29(2) ヨハ 1:9
ヨハ 8:12
ヨハ 9:5
ヨハ 12:46(2) ヨハ 12:36, 46
ヨ一 1:7

(4) ヨハ 4:2

(2) マル 1:10
使徒 8:38

(2) マタ 3:1, 5, 6

(2) マタ 14:3
ルカ 3:19, 20

にして、独り子に信仰を抱く人が皆、
滅ばされないで永遠の命を受けられ
るようにしました。17 神が自分の
子を世に遣わしたのは、彼が世を断
罪するためではなく、世が彼を通して
救われるためです。18 彼に信仰を
抱く人は裁かれません。信仰を抱か
ない人はすでに裁かれています。その
人は、神の独り子の名に信仰を抱い
ていないからです。19 さて、裁きの
根拠は次の通りです。光が世に来て
いるのに、人々は光ではなく闇を愛し
ました。邪悪なことを行っていたから
です。20 悪を行っている人は、光を
憎んで、光の所に来ません。自分の行
いが暴露されないようにするため
です。21 しかし、正しいことを行う人
は光の所に来ます。自分の行いが神
の意志に沿っていることが明らかにな
るようになります。

22 この後、イエスと弟子たちはユ
ダヤの田舎に行った。イエスはその
しばらく弟子たちと過ごし、パプテス
マを施していた。23 一方ヨハネも、
サリムに近いアイノンでパプテスマを
施していた。そこに水がたくさんあっ
たからで、人々が次々にやって来てパ
プテスマを受けていた。24 ヨハネ
はまだ、牢屋に入れられていなかった。

25 さて、ヨハネの弟子たちが清め
に関して、あるユダヤ人と議論した。
26 弟子たちはヨハネの所に来て、

3:20 *または、「戒められ」。

言った。「ラビ、あなたはヨルダン川の
向こうで一緒にいた人について証言

しましたが、その人がバプテスマを施
して、みんながそのもとにやって
います。27 ヨハネは答えた。「天
から与えられているのでない限り、人
は何一つ受けることができません。

28『私はキリストではなく、その方よ
り前に遣わされた者だ』と私が言った
ことを、あなたたち自身が証言できま
す。29 花嫁を迎えるのは花婿です。
しかし花婿の友人も、そばに立って花
婿の言葉を聞くと、非常に喜びます。
それで私は喜びに満たされています。

30 あの方の活動は盛んになってい
き、私の方は衰えていかなければなり
ません。

31 上から来る者は他の全ての者の
上にいる。地からの者は、地から
の者なので地の事柄を話す。天か
ら来る者は他の全ての者の上にいる。

32 その者は見聞きしたことを証言す
るが、誰もその証言を受け入れない。

33 彼の証言を受け入れた人は、神
が真実を語る方であることを認めた
のである。34 神が遣わした者は神が
言ったことを話すのであり、神は聖なる
力を惜しみながら与えたりはしない。

35 父は子を愛していて、全てのもの
を子に委ねた。36 子に信仰を抱く
人は永遠の命を受ける。子に従わな

3:33 *直訳、「に証印を押した」。3:34 *また
は、「量って」。

第3章

(ヨ) ヨハ 1:33, 34

(イ) ヨハ 1:19, 20

(ヨ) マタ 11:7, 10
ルカ 1:13, 17(ヨ) コリ 11:2
エフ 5:25
啓 21:9

(ヨ) ヨハ 8:23

(ヨ) マタ 3:11

(ヨ) ヨハ 8:26
ヨハ 15:15(ヨ) ヨハ 1:11
ヨハ 3:11

(ヨ) ヨー 5:10

(ヨ) ヨハ 7:16

(ヨ) ヨハ 5:20
ヨハ 15:9, 10(ヨ) マタ 11:27
ルカ 10:22(ヨ) ヨハ 3:16
ヨハ 6:47
ロマ 1:17
ヘブ 5:9

第2欄

(ヨ) テサニ 1:7, 8
ヨ一 5:12(イ) エフ 5:5, 6
ヘブ 10:26, 27

第4章

(ヨ) ヨハ 3:22

(ヨ) 創 33:18, 19
ヨシ 24:32

(ヨ) ヨハ 4:12

(ヨ) 王二 17:24
使徒 10:28

(ヨ) エフ 2:8

(ヨ) ヨハ 7:37

ひと いのち え ひと かみ いきどお ひと
い人は命を得ず、神の憤りがその人の
うへにとどまる。

4 主イエスはヨハネより多くの人を
弟子とし、バプテスマを施してい
た。そのことがパリサイ派の人たちの
耳に入ったことに気付いた時 2 (バ
プテスマを施していたのはイエス自身
ではなく弟子たちだったが)、3 イエ
スはユダヤを去って再びガリラヤに向
かった。4 しかし、サマリアを通過
していく必要があった。5 そして、スカル
というサマリアの町にきた。かつてヤ
コブが息子のヨセフに与えた野原の
近くである。6 実際、ヤコブの井戸
がそこにあった。イエスは、旅のため
にすっかり疲れて、井戸の所に座って
いた。昼の12時ごろだった。

7 サマリアの女性が水をくみに来
た。イエスは、「水を飲ませてくだ
さい」と言った。8 (弟子たちは食料を
買いに町に行っていた。) 9 サマリ
ア女性は言った。「どうして水を飲
ませてほしいと言うのですか。あなた
はユダヤ人で、私はサマリア人の女で
すよ」。(ユダヤ人はサマリア人と関
わりを持たないのである。) 10 イエ
スは答えた。「もしあなたが神の無償の
贈り物について知っていて、『水を飲
ませてください』と言ったのが誰なの
か分かっていたなら、あなたはそ
のひとに求め、その人は生きた水を与えた
ことでしょう。11 女性は言った。「巨

4:6 *または、「泉」。

な 那さま、あなたは水をくむ物も持っ
ていませんし、この井戸は深いです。そ
の生きた水をどこから持ってくるの
ですか。12 あなたは私たちの父祖ヤ
コブより偉い方ではありませんよね。
ヤコブは息子や家畜たちと一緒にこ
この井戸から飲み、それを私たちに残し
ました」。13 イエスは答えた。「この
水を飲む人は皆、また喉が渇きます。
14 しかし、私が与える水を飲む人は
決して喉が渇くことがなく、私が与え
る水はその人の中で泉となつて、永遠
の命を与える水を湧き上がらせませ
う。15 女性は言った。「旦那さま、その水
を下さい。もう喉が渇かないように、こ
こまで水をくみに来なくてもいいよう
にしてください。」

16 イエスは言った。「行って、夫を
よ 呼んできなさい」。17 女性は、「夫
はいません」と答えた。イエスは言っ
た。「『夫はいません』とあなたは正し
く答えました。18 5人の夫がいまし
たが、今いるのは夫ではないからです。
あなたは本当のことを言いました」。
19 女性は言った。「旦那さま、あなた
は預言者ですね。20 私たちの父祖
はこの山で崇拜しましたが、あなた方
は、エルサレムで崇拜しなければなら
ないと言います。21 イエスは言っ
た。「いいですか。あなた方がこの山
でもエルサレムでもない所で天の父を
崇拜する時が来ます。22 あなた方
は知らないものを崇拜しています。私

第4章
(ヨ) ヨハ 6:35

(イ) ヨハ 7:38
ロマ 6:23
ヨ一 5:20

(ヨ) ルカ 7:16
ヨハ 9:17

(ヨ) 申 12:5,6
王一 9:3
代二 7:12
詩 122

(ヨ) 王二 17:29,33

第2欄
(イ) イザ 2:3
ロマ 9:4

(イ) 代二 16:9

(ヨ) コリ 3:17
テモ一 1:17
ヘブ 12:27

(ヨ) ロマ 12:1

(ヨ) ヨハ 9:35-37

(ヨ) ヨハ 1:38

たちは知っているものを崇拜していま
す。救いはユダヤ人から始まるからで
す。23 とはいえ、真の崇拜者が聖
なる力と真理に導かれて父を崇拜す
る時が来ます。今がその時です。実際、
父は、自分をそのように崇拜する人た
ちを求めています。24 神は目に見
えない方であり、神を崇拜する人は聖
なる力と真理に導かれて崇拜しなけ
ればなりません。25 女性は言っ
た。「私は、メシアが来ることを知って
います。キリストと呼ばれる方です。そ
の方が来たら、全てのことをはっきり
知らせてくださいます。26 イエス
は言った。「あなたと話している私が
そうです」。

27 ちょうどその時、弟子たちが戻っ
てきて、イエスが女性と話しているこ
とに驚いた。もちろん誰も、「彼女
に何を求めているのですか」とか、「な
ぜ彼女と話しているのですか」とは
言わなかった。28 女性は水がめを
残して町に行き、人々にこう告げた。
29 「見に来てください。私がしたこと
を全て言い当てた人がいます。もしか
したら、この人がキリストではないで
しょうか。30 人々は町を出て、イエ
スの所に行つた。

31 その間に弟子たちは、「ラビ、食
べてください」と勧めていた。32 し
かしイエスは、「私にはあなたたちが
知らない食べ物があります」と言っ

4:23, 24 *ギリシャ語、ブネウマ。用語集参照。

た。33 それで弟子たちは、「誰も食
べる物を渡していないよな」と互に
言った。34 イエスは言った。「私の
食べ物とは、私を遣わした方の望むこ
とを行い、与えられた仕事を成し遂げ
ることです。35 あなたたちは、収穫
までまだ4カ月あると言っています
か。しかし、目を上げて畑を見なさい。
もう色づいて収穫できます。すでに、
36 刈り取る人は報酬を受け取って、
永遠の命に至る実を集めています。こ
うして、まく人と刈り取る人は共に喜
びます。37 この点で、1人がまき、も
う1人が刈り取る、という言葉は真実
です。38 私は、自分たちではまかな
かったものを刈り取らせるために、あ
なたたちを遣わしました。ほかの人た
ちが苦労してまき、その恩恵をあなた
たちは一緒に受けているのです。」

39 その町から来た大勢のサマリ
ア人はイエスに信仰を持った。あの女
性が、「私がしたことを全て言い当て
ました」という証言をしたからである。
40 サマリヤ人たちはイエスのもとに
来て、自分たちの所に滞在するよう頼
んだ。それでイエスは2日滞在した。
41 こうして、さらに多くの人が、イエ
スが語ることを聞いて信じ、42 女性
にこう言った。「もう、あなたが言った
から信じているのではない。自分で聞
いて、この人は確かに救世主だとい
うことが分かったのだ」。

4:35 *直訳、「白くて」。

第4章
(例) ヨハ 6:38

(例) ヨハ 5:30, 36
ヨハ 17:4
ヨハ 19:30

(例) マタ 9:37

(例) コー 3:8

(例) ヨハ 4:29

(例) マタ 1:21
ヨハ 1:29
テモ一 1:15
ヨ一 4:14

第2欄
(例) マタ 13:57
マル 6:4
ルカ 4:24

(例) 申 16:16

(例) ヨハ 2:23

(例) ヨハ 2:1-11

(例) マタ 16:1
ヨー 1:22

(例) マタ 8:13
マル 7:29, 30

(例) マタ 8:13

43 2日後、イエスはそこを去ってガ
リリヤに向かった。44 (イエスは、
預言者が自分の故郷では敬われない
と語った。) 45 ガリリヤに着くと、ガ
リリヤ人たちはイエスを迎えた。その
人たちはエルサレムでの祭りに行っ
て、イエスが祭りの際にした全てのこ
とを見ていたからである。

46 イエスは再びガリリヤのカナ
に行った。水をぶどう酒に変えた所
である。さて、カペルナウムに王の役
人がいて、息子が病気になるにいた。
47 この役人は、イエスがユダヤから
ガリリヤに来たことを聞くと、出掛けて
いき、下ってきた息子を癒やしてくれ
るようにと頼んだ。息子は死にかけて
いたのである。48 しかしイエスは言
った。「あなた方は奇跡や不思議なこ
とを見なければ、決して信じません」。
49 王の役人は言った。「主よ、私の
子供が死なないうちに来てください」。
50 イエスは、「行きなさい。息子さん
は治ります」と言った。役人はイエス
の言葉を信じて去った。51 戻る途
中、奴隷たちが来て、男の子が治
ったと言った。52 役人は、息子が何
時に良くなったかを尋ねた。奴隷たち
は答えた。「昨日の午後1時ごろに熱
が下がりました」。53 父親は、それ
が、「息子さんは治ります」とイエスが
言ったその時刻だと分かった。こうし
て、

4:48 *直訳、「しるし」。 4:51 *または、「生き
ている」。

て役人^{やくにん}とその家^{いえ}の人たち^{ひと}全員^{ぜんいん}が信じ^{しん}た。54 これは、イエスがユダヤからガリラヤ^{ガリラヤ}に来た時^{とき}に行った2番目^{おこな}の奇跡^{きせき}だった。

5 この後^{あと}、ユダヤ人^{じん}の祭り^{まつり}があった。イエスはエルサレム^{エルサレム}に上^{のぼ}って

いった。2 さて、エルサレム^{エルサレム}にある羊の門^{ひつじのもん}の所に^{ところ}、ヘブライ語^{へぶらいご}でベツザタ^{ベツザタ}と呼ばれる池^{いけ}があり、そこに5つの柱廊^{ちゅうろう}

があった。3 その柱廊^{ちゅうろう}には、病気のひと^{びょうきのひと}、目が見えな^{めみえな}い人^{ひと}、足が不自由^{ふじゆう}な人^{ひと}、体がまひした人^{からだまひしたひと}などが大勢^{おおい勢}、横たわ^{ねんかん}って

ていた。4 — 5 そこに、38年間も病気の男性^{びょうきのだんせい}がいた。6 イエスはこの男性^{だんせい}が横たわ^{よこたわ}っているのを見^み、もう長いこと病気^{びょうき}であるのに気付^{きづ}いて、「良

くなりた^{よくなりた}いですか」と言^いった。7 病気の男性^{びょうきのだんせい}は答^{こた}えた。「旦那さま^{だんなさま}、私^{わたし}に

は、水^{みづ}が揺れる時^{ゆれるとき}に池^{いけ}に入^いれてくれる人^{ひと}がいませ^なん。私^{わたし}が行^いこうとすると、ほか^{ほか}の人^{ひと}が先^{さき}にお^お下^{くだ}りてしま^{しま}います」。

8 イエスは言^いった。「起き^{おき}上がり、その敷物^{しきもの}を持^もって、歩^{ある}きなさい」。9 すると男性^{だんせい}はすぐ^{すぐ}に良^よくなり、敷物^{しきもの}を持^もって歩^{ある}き始^{はじ}めた。

その日^ひは安息日^{あんそくび}だった。10 それでユダヤ人^{じん}たちは、治^なった人^{ひと}に言^いいだした。「安息日^{あんそくび}だから、敷物^{しきもの}を運^{はこ}んではい^いけな^いい」。11 男性^{だんせい}は答^{こた}えた。「治^なしてくださ^{かた}った方^{かた}が、『敷物^{しきもの}を持^もって、歩^{ある}きなさい』と言^いいました」。

4:54 *直訳、「しるし」。5:3 *または、「なえた」。5:4 *付録A3参照。

第4章

(ヨ) ヨハ 2:11

第5章

(イ) 出 12:14
申 16:1, 16
ヨハ 2:13
ヨハ 6:4

(ヨ) ネヘ 3:1

(ヨ) イザ 53:3

(ヨ) マタ 9:6
マル 2:10, 11
ルカ 5:24(ヨ) 出 20:9, 10
マタ 12:2
ルカ 6:2

第2欄

(ヨ) ヨハ 9:4
ヨハ 14:10

(イ) ヨハ 14:28

(ヨ) フィリ 2:5, 6

(ヨ) ヨハ 5:30
ヨハ 8:28
ヨハ 12:49(ヨ) マタ 3:17
ヨハ 3:35
ヨハ 10:17
ペニ 1:17

12 ユダヤ人^{じん}たちは、「『それを持^もって、歩^{ある}きなさい』と言^いったのは誰^{だれ}だ」と尋^{たず}ねた。13 しかし、癒^いやされた人^{ひと}はそれが誰^{だれ}かを知ら^しなかった。イエスはその場^ばの群衆^{ぐんしゅう}に紛^{まぎ}れ込^こんでしま^{しま}っていた。

14 この後^{あと}、イエスはその男性^{だんせい}を神殿^{でん}で見^みつけて、言^いった。「あなたは良^よくなりました。もう罪^{つみ}を犯^{おか}してはな^なりませ^なん。も^もっとひどいこと^{こと}があ^あなたの身^みに起^{おこ}きないため^{ため}です」。15 男性^{だんせい}は去^さっていき、治^{なお}してくれたのはイエスだとユダヤ人^{じん}たちに告^つげた。16 そのため、ユダヤ人^{じん}たちはイエスを迫害^{はくがい}しました。安息日^{あんそくび}にそうしたことをしてい^いたからである。17 それに對^{たい}してイエスは言^いった。「私の父^{わたしちち}は今^{いま}までず^ずっと働^{はたら}いてき^きました。それで私^{わたし}も働^{はたら}き続^{つづ}けていま^{いま}す」。18 このため、ユダヤ人^{じん}たちはま^ますま^ますイエスを殺^{ころ}そうとす^するよ^ようにな^なった。安息日^{あんそくび}を破^{やぶ}っているだけ^{だけ}でなく、神^{かみ}を自^じ分の父^ふと呼^よんで自^じ分^{ぶん}を神^{かみ}のよ^ような者^{もの}としてい^いる、という理^り由^{ゆう}だ^だった。

19 それでイエスはユダヤ人^{じん}たちにこ^こう言^いった。「は^はつきり言^いってお^おきま^ます^すが、子^こは自^じ分^{ぶん}から^なは^な何^{なに}一つ^{ひと}行^いえ^えず、父^{ちち}がし^しているこ^こを^み見^みて行^いえ^えるに^おな^なぎ^ぎま^ませ^せん。何^{なん}でも父^{ちち}がす^するこ^こを^お子^こも同^{おな}じ^じよう^{よう}に行^いいま^ます。20 父^{ちち}は子^こに愛^{あい}情^{じょう}を抱^{いだ}いてい^いて、自^じ分^{ぶん}がす^するこ^こを^{しめ}全^{おこな}てを^{すべ}子^こに示^{しめ}しま^ます。また、こ^こうした行^いい^{より}

5:18 *直訳、「神に等しい者」。

偉大なことを子に示し、あなた方は驚くこととなります。 **21** 父が死者を生き返らせて命を与えるように、子も自分が望む人に命を与えるからです。

22 父は誰一人裁かず、裁くことをすべて子に委ねています。 **23** 全ての人が、父を尊ぶように子を尊ぶためです。子を尊ばない人は、子を遣わした父を尊んでいません。 **24** はっきり言っておきますが、私の言葉を聞いて、私を遣わした方を信じる人は、永遠の命を受けます。断罪されず、死から命へと移っています。

25 はっきり言っておきますが、死者が神の子の声を聞き、注意を払った人たちが生きる時が来ます。今がその時です。 **26** 父は、自分が命を与える力を持つように、子が命を与える力を持つことを許したからです。 **27** そして、裁きを行う権威を彼に与えました。

28 このことに驚いてはなりません。記念の墓の中にいる人が皆、彼の声を聞いて出てくる時が来るのです。 **29** 良いことをした人は命の復活へ、悪いことを行った人は裁きの復活へと出てきます。 **30** 私は自分からは何一つ行いません。聞く通りに裁きます。私の裁きは正しいものです。自分の意志ではなく、私を遣わした方の意志に沿って行なうからです。

31 もし私だけが私について証言するのであれば、私の証言は真実ではありません。 **32** 私について証言する方が別にいて、その方がする証言は真実であることを私は知っています。

33 あなた方はヨハネの所に人々を遣わし、ヨハネは真理について証言しました。 **34** 私は人からの証言を必要としませんが、あなた方が救われるために、このことを言います。 **35** 彼は燃えて輝くランプでした。そして、あなた方はしばらくの間、彼の光を受けて喜びにあふれたと思っています。

36 しかし、ヨハネの証言に勝る証拠があります。天の父が私に与えて成し遂げさせる仕事そのもの、つまり私がしていることです。それが、父が私を遣わしたことの証拠となるのです。 **37** また、私を遣わした父が私について証言してくださいました。あなた方はこれまで父の声を聞いたことがなく、その姿を見たこともありません。 **38** そして、あなた方の心には父の言葉がとどまっています。父が遣わした者を信じないからです。

39 あなた方は聖書によって永遠の命を受けられると考えて、それを調べています。それこそ私について証言するものです。 **40** それなのに、あなた方は命を受けるために私の所に来ようとしません。 **41** 私は人からの称賛を受け入れたりはしません。 **42** 一方、あなた方は心に神への愛を

第5章

ヨハ 8:25

ヨハ 6:10,11

ヨハ 6:19

ヨハ 4:32-34

ヨハ 11:35

ヨハ 7:12,14

ルカ 8:52-54

ヨハ 11:25

使徒 10:42

使徒 17:31

コリ 5:10

テモ 2:41

ヨハ 10:16

ヨハ 3:16

ヨハ 6:40

ヨハ 8:51

ヨハ 3:14

詩 36:9

使徒 17:28

ヨハ 11:25

ヨハ 5:22

テモ 2:41

ダニ 7:13

ヨハ 14:13

イザ 25:8

イザ 26:19

啓 20:12,15

イザ 11:4

マタ 26:39

ヨハ 4:34

ヨハ 6:38

第2欄

ヨハ 19:15

マタ 3:17

マル 9:7

ヨハ 12:28-30

ヨハ 5:9

ヨハ 1:15,32

マタ 3:1,5,6

マル 6:20

マタ 11:5

ヨハ 3:2

ヨハ 7:31

ヨハ 10:25

マル 1:11

ヨハ 8:18

ヨハ 4:11,12

ヨハ 1:18

ヨハ 6:46

ヨハ 11:52

ヨハ 18:15

イザ 53:3

ヨハ 1:11

5:24 *直訳、「裁きに至らず」。 5:26 *直訳、「自分の内に命を」。 5:27 *イエスのこと。用語集参照。

31 もし私だけが私について証言するのであれば、私の証言は真実ではありません。 32 私について証言する方が別にいて、その方がする証言は真実であることを私は知っています。 33 あなた方はヨハネの所に人々を遣わし、ヨハネは真理について証言しました。 34 私は人からの証言を必要としませんが、あなた方が救われるために、このことを言います。 35 彼は燃えて輝くランプでした。そして、あなた方はしばらくの間、彼の光を受けて喜びにあふれたと思っています。 36 しかし、ヨハネの証言に勝る証拠があります。天の父が私に与えて成し遂げさせる仕事そのもの、つまり私がしていることです。それが、父が私を遣わしたことの証拠となるのです。 37 また、私を遣わした父が私について証言してくださいました。あなた方はこれまで父の声を聞いたことがなく、その姿を見たこともありません。 38 そして、あなた方の心には父の言葉がとどまっています。父が遣わした者を信じないからです。

39 あなた方は聖書によって永遠の命を受けられると考えて、それを調べています。それこそ私について証言するものです。 40 それなのに、あなた方は命を受けるために私の所に来ようとしません。 41 私は人からの称賛を受け入れたりはしません。 42 一方、あなた方は心に神への愛を

抱いだいていません。私わたしはそのことをよく知しっています。43 私わたしが天てんの父ちちの名なによって来きているのに、あなた方がたは私わたしを受け入うれませんが。ほかの人ひとが自分じぶんの名なによって来くれば、あなた方がたはその人ひとを受け入うけるでしょう。44 あなた方がたは互たがいに称しょう賛さんし合あって、唯一ゆいいつの神かみからしょうさんの称しょう賛さんを求もとめていないのですから、どうして信しんじることができるといえるでしょう。45 私わたしがあなた方がたを父ちちに訴うえるとは考かんがえないでください。あなた方がたを訴うえている人ひとがいます。あなた方がたが望のぞみを置おいているモーセです。46 実じつ際さい、あなた方がたが本ほん当とうにモーセを信しんじているなら、私わたしを信しんじるはずで。モーセは私わたしについて書かいたからで。47 しかし、モーセが書かいた物ものを信しんじないのであれば、どうして私わたしが言いうことを信しんじるのでしょうか。

6 この後あと、イエスはガリラヤ湖こつまりティベリア湖こむいの向むかうへ行いった。2 大勢おおぜいの人ひとがその場所ばしょに向むかかっていいった。イエスが奇跡きせきを行おこなって病びょうき気きの人ひとたちを癒なをやすのを見みたからで。3 イエスは山やまに登のぼり、そこで弟子でしたちと座すわった。4 さて、ユダヤ人じんの祭まつりである過すぎ越こしが近ちかかった。5 イエスは目めを上げて大勢おおぜいの人ひとがややって来きるのを見み、「この人ひと々たちが食たべるパンをどこで買かいましょうか」とフィリポに言いった。6 彼かれを試ためすためにそう言いったのであり、どうするかは考かんがえてあ

第5章
(ヨ) ヨハ 12:42, 43

(イ) 申 31:26, 27
ヨハ 7:19

(ヨ) 申 18:15
ルカ 24:44
ヨハ 1:45

第6章
(ヨ) マタ 14:13
ルカ 9:10

(ヨ) マル 6:33

(ヨ) ルカ 9:11

(ヨ) ヨハ 2:13
ヨハ 5:1

(ヨ) マタ 14:14-17
マル 6:35-38
ルカ 9:12, 13

第2欄
(ヨ) 王二 4:42-44

(イ) マタ 14:19-21
マル 6:39-44
ルカ 9:14-17

(ヨ) 申 18:15, 18

(ヨ) マタ 14:23
マル 6:45

(ヨ) ヨハ 17:16
ヨハ 18:36

(ヨ) マタ 14:22

た。7 フィリポは答こたえた。「200デナリ分のパンでも足りません。一人一人にほんの少すこしずつ配くばることもできないでしょう」。8 弟子でしの1人ひとりでシモン・ペテロきょうだいの兄弟おおむぎであるアンデレちいが言いった。9 「ここに大麦さかなのパン5つと小ひきさな魚も2匹しょうねんを持もっている少年おおせいがいます。でも、これほど大勢おおぜいでは何なにになるでしょうか」。

10 イエスは、「人々ひとびとを座すわらせなさい」と言いった。その場所ばしょには草くさがたくさん生はえていて、人々ひとびとはそこすわに座すわった。約5000人やくにんの男だんせい性がいいた。11 イエスはパンを取り、感謝かんしゃの祈いのりをししてから、座すわっている人々ひとびとに配くばった。小ささな魚さかなについても同おなじようにし、人々ひとびとは好すきなだけ食たべた。12 人々ひとびとが満腹まんぷくになった時とき、イエスは弟子でしたちに言いった。「余あまったけらを集あつめ、何なにも無駄むだにならないようにしなさい」。13 弟子でしたちがかけらを集あつめると、12個この籠かごがいっぱいになった。もともと5つだった大麦むぎのパンたを食たべた人々ひとたちが残のこしたもので。14 人々ひとびとはイエスが行おこなった奇跡きせきを見みて、「これこそ、世よに来くることになっ

た預言者よげんしゃだ」と言いいだした。15 イエスは、人々ひとびとが自分じぶんを王おうにするために捕とらえに来きようとしているのを知しり、ただ独ひとりりふたたび山やまに去さっていった。

16 夕方ゆうがたになる頃ころ、弟子でしたちみづらみは湖おに下くだりていった。17 そして舟ふねに乗

り、湖を渡ってカペルナウムに向かった。もう暗くなっていたが、イエスはまだ弟子たちの所に来ていなかった。

18 また、強い風が吹いていて、湖は荒れだした。19 ところが、弟子たちは5, 6キロほどこいた時、イエスが湖の上を歩いて舟に近づいてくるのを見た。そして恐ろしくなった。20 しかしイエスは、「私です。恐れることはありません!」と言った。21 それで弟子たちは、喜んでイエスを舟に迎え入れた。舟はすぐに、行こうとしていた土地に着いた。

22 次の日、湖の向こう側にいた群衆は、そこに舟がないことに気付いた。弟子たちだけがそこにあった小舟で去っていて、イエスは一緒に乗ってはいかなかったのである。23 すると、主イエスが感謝の祈りをしてから人々にパンを食べさせた場所の近くに、ティベリアから数艘の舟が着いた。24 群衆はイエスも弟子たちもそこにはいないのを見て、それらの舟に乗り、イエスを捜しにカペルナウムに行った。

25 人々は湖を渡ってイエスを見つけると、「ラビ、いつここに來たのですか」と言った。26 イエスは答えた。「はつきり言っておきますが、皆さんが私を捜しているのは、奇跡を見たからではなく、パンを食べて満足したからです。27 腐ってしまう食物のためではなく、なくならないで永遠の命をも

第6章

[ヨ] マル 6:47-51

[イ] マタ 8:24
マタ 14:24-33[ヨ] マタ 14:27
マル 6:50

[ヨ] マタ 14:34

[ヨ] ヨハ 1:38

[ヨ] ヨハ 6:11

第2欄

[ヨ] ヨハ 4:14
ヨハ 17:3
ロマ 6:23[イ] マタ 3:17
使徒 2:22
ペニ 1:17[ヨ] 使徒 16:31
ヨハ 3:23[ヨ] マタ 12:38
マル 8:12
ヨハ 2:18
ヨハ 1:22[ヨ] 出 16:15
民 11:7[ヨ] 詩 78:24
詩 105:40[ヨ] ヨハ 4:14
ヨハ 7:37
啓 22:17

[ヨ] ヨハ 6:64

たらず食物のために働きなさい。人の子がそれを与えます。父すなわち神が彼を認めていることを示したからです」。

28 人々は言った。「神の求めることを行うには何をしなければなりませんか」。29 イエスは答えた。「神の求めること、それは神が遣わした人に信仰を抱くことです」。30 人々は言った。「私たちがあなたを信じられるよう、あなたはしるしとしてどんな奇跡を見せてくれますか。どんなことをするのですか。31 私たちの父祖は荒野でマナを食べました。『神は天からパンを与えて食べさせた』と書いてある通りです」。32 イエスは言った。「はつきり言っておきます。モーセは天からのパンを与えませんでした。しかし、私の父は、天からの真のパンを皆さんに与えています。33 天から下てきて人類に命を与える人が神のパンだからです」。34 人々は言った。「主よ、いつもそのパンを下さい」。

35 イエスは言った。「私が命のパンです。私のもとに来る人は全く飢えず、私に信仰を抱く人は決して喉が渇きません。36 しかし私が言ったように、皆さんは確かに私を見たのに信じません。37 父が私に託してくださる人は皆、私のもとに来ます。そして私は自分のもとに来る人を決して追い

6:27 * イエスのこと。用語集参照。# 直訳、「この者に証印を押した」。6:33 * 直訳、「世」。

はら 38 私が天から
くだ 38 下ってきたのは、自分の望むことでは
なく、私を遣わした方の望むことを行
うためだからです。39 私を遣わし
た方が望むことは、私が、託された
全ての人を一人も失うことなく終わり
の日に復活させることです。40 私の
父が望むのは、子を認めて信仰を抱く
人が皆、永遠の命を受けることなので
す。私はその人を終わりの日に復活さ
せませす」。

41 ユダヤ人たちは、「私は天から
くだ 41 下ってきたパンだ」とイエスが言った
ことで不満を口にし始めた。42 こう
い 42 言いだした。「これはヨセフの子イ
エスではないか。私たちは彼の父親
も母親も知っている。今になって、『私
は天から下ってきた』と言うのはど
うしてか」。43 それでイエスは言っ
た。「不満を口にするのはやめなさい。

44 私を遣わした父が引き寄せてくだ
さらない限り、誰も私のもとに来るこ
とはできません。私はその人を終わりの
日に復活させます。45 預言者の書
に、『彼らは皆エホバに教えられる』
と書いてあります。父から聞いて学ん
だ人は皆、私のもとに来ます。46 誰
かが父を見たというわけではありません
。神の所から来た人だけが父を見
ました。47 はっきり言っておきます
が、信じる人は永遠の命を受けます。

48 私は命のパンです。49 父祖

第6章

ヨハ 11:28, 29
ヨハ 17:6

ヨハ 3:13
ヨハ 8:23, 42

ヨハ 26:39
ヨハ 5:30

ヨハ 5:28, 29
ロマ 6:5

ヨハ 10:27, 28

ヨハ 11:24
使徒 17:31
テサ 4:16
啓 20:12

ヨハ 6:33

マル 6:3

ヨハ 6:65

ヨハ 11:24

イザ 54:13

出 33:17, 20

ヨハ 11:27
ルカ 10:22
ヨハ 1:18

ヨハ 3:16

ヨハ 6:33

第2欄

ヨハ 6:31

ヘブ 10:10

ヨハ 6:33

ヨハ 6:40
コ 15:51, 52
テサ 4:16

ヨハ 15:4

ヨハ 5:26
ヨハ 15:22

ヨハ 6:51

たちは荒野でマナを食べましたが、そ
れでも死にました。50 しかし、天か
ら下ってくるパンを食べる人は死にま
せん。51 私は天から下ってきた命
のパンです。このパンを食べる人は永
遠に生きます。そして、私が与えるパン
とは私の肉であり、人類が生きるため
のものです」。

52 そこでユダヤ人たちは、「どうし
てこの人は自分の肉を与えて食べさ
せることができるのか」と言い合いを
始めた。53 イエスは言った。「はっ
きり言っておきますが、人の子の肉を
食べず、その血を飲まない限り、自分
の内に命を持てません。54 私の肉
を食べ、私の血を飲む人は永遠の命
を受け、私はその人を終わりの日に復
活させます。55 私の肉は真の食物、
私の血は真の飲み物です。56 私の
肉を食べ、私の血を飲む人は、ずっと
私と結び付いており、私もその人と結
び付いています。57 生きている父
が私を遣わし、私が父によって生きて
いるのと同じように、私を食べる人も
私によって生きます。58 これが天か
ら下ってきたパンです。父祖たちが食
べはしても死んだのとは違い、このパ
ンを食べる人は永遠に生きます」。

59 イエスはこうしたことを、カペルナ
ウムの会堂で教えていた時に語った。

60 イエスの弟子のうち多くの人が、

6:51 *直訳、「世」。6:59 *もしかすると、「公
の集会」。用語集参照。

これを聞いた時に、「この話はひどい。
誰が聞いていられるだろうか」と言
った。61 しかしイエスは、弟子たちが
このことで不満を口にしているのを
知って、こう言った。「このことで反感を
抱いているのですか。62 では、人の
子が元いたところの上っていくのを見たら、
どうでしょうか。63 命を与えるの
は聖なる力です。人間の努力は何の
役にも立ちません。私があなたたち
に話した言葉は聖なる力によるもので
あり、命を与えます。64 しかし、あ
なたたちの中には信じない人もいま
す」。イエスは初めから、信じない人た
ちと自分を裏切る人を知っていたので
ある。65 さらにこう言った。「それで
私は、父に許されたのでない限り誰も
私のもつてに来ることはできない、とあな
たたちに言ったのです」。

66 このために、弟子のうち多くの
人が以前の事柄に戻っていき、もはや
イエスと共に歩もうとはしなかった。

67 それでイエスは12人に言った。
「あなたたちも去っていききたいですか」。

68 シモン・ペテロが答えた。「主よ、
私たちは誰の所に行けばよいのでしょ
う。あなたは永遠の命の言葉を持っ
ています。69 私たちは、あなたが神
の聖なる方であることを信じ、知るよう
になりました」。70 イエスは答えた。
「私があなたたち12人を選んだので
はありませんか。しかし、あなたたち

第6章

ヨハ 3:13
ヨハ 6:38
ヨハ 8:23
使徒 1:9

イ ガラ 6:8

ヨ 申 8:3
マタ 4:4

ヨ マタ 9:3,4
ヨハ 2:24,25
ヨハ 13:11

ヨ ヨハ 6:44

ヨ ルカ 9:62

ヨ マタ 16:16
マル 8:29

ヨ ヨハ 6:63
ヨハ 17:3

ヨ ルカ 9:20

ヨ ルカ 6:13

第2欄

ヨ ルカ 22:3
ヨハ 13:18

イ マタ 26:14,15
ヨハ 12:4

第7章

ヨ ヨハ 5:18

ヨ レビ 23:34

ヨ マタ 12:46
マル 6:3
ルカ 8:19
ヨハ 2:12
使徒 1:14
ガラ 1:19

ヨ マル 3:21

ヨ ヨハ 2:4
ヨハ 7:30

ヨ ヨハ 3:19
ヨハ 15:19

ヨ ヨハ 8:20

ひとり ちゅうしょう ひと* の1人は中傷する人です」。71 イエ
スは、シモン・イスカリオテの子ユダに
ついて話していたのである。この人は
12人の1人でありながらイエスを裏切
ろうとしていた。

7 この後、イエスは引き続きガリラ
ヤを回った。ユダヤを回ろうとは
思わなかった。ユダヤ人たちがイエス
を殺そうとしていたからである。2 さ
て、ユダヤ人の幕屋の祭りが近づい
ていた。3 それでイエスの弟たちが
言った。「ここを去ってユダヤに入り
なさい。そこにいる弟子たちも、あな
たが行っていることを見るためです。
4 公に知られることを求めながら、
物事をひそかにを行う人はいません。
行っていることを人々に見せなさい」。

5 イエスの弟たちはイエスに信仰を
抱いていなかった。6 それでイエス
は言った。「私の時はまだ来ていま
せんが、あなたたちはいつ行っても大丈
夫です。7 世の人々があなたたちを
憎む理由はあります。しかし、私の
ことは憎みます。世の行いが邪悪であ
ることを明らかにするからです。8 あ
なたたちは祭りに行きなさい。私はま
だ行きません。私の時はまだ来ていな
いからです。9 イエスはこう話した
後、ガリラヤにとどまっていた。

10 しかし、弟たちが祭りに行った
後で、自分もひそかに行った。11 ユ

6:70 *または、「悪魔のよう」。7:2 *または、「
「仮小屋」。7:4 *直訳、「世」。

ダヤ人たちは祭りの時にイエスを捜して、「あの男はどこにいるのか」と言い始めた。12 群衆の間では、イエスのことがいろいろささやかれていた。ある人は、「彼は善い人だ」と言い、ほかの人は、「いや、群衆を惑わしている」と言った。13 もちろん、ユダヤ人たちは恐れていたもので、誰もイエスについて表立って話そうとはしなかった。

14 祭りも半ばを過ぎた時、イエスは神殿に上って行って、教え始めた。15 ユダヤ人たちは非常に驚いて言った。「どうしてこの人は、学校で学んだこともないのにこんなに聖書の知識があるのだろう」。16 それに対してイエスは言った。「私の教えは私のものではなく、私を遣わした神のものです。17 この方の望むことを行いたいと願う人なら、この教えが神からのものか、それとも私が独自の考えで話しているのかが分かります。18 独自の考えで話す人は、自分が称賛されることを願っています。しかし、自分を遣わした方が称賛されることを願う人は、真実を語り、その人の内に偽りはありません。19 モーセが律法を与えたのではありませんか。それなのに、あなたがたの誰も律法に従っていません。なぜ私を殺そうとするのですか」。20 群衆は答えた。「あなたは悪悪な天使に

第7章
ヨハ 9:16

ヨハ 9:22
ヨハ 12:42
ヨハ 19:38

ルカ 4:16,17

マタ 13:54
マル 6:2
ルカ 2:46,47
使徒 4:13

ヨハ 8:28
ヨハ 12:49
ヨハ 14:10

ヨハ 8:47

ヨハ 5:41
ヨハ 8:50

出 24:3

マタ 12:14
マル 3:6

第2欄
レビ 12:2,3

創 17:9,10

ヨハ 5:8,9

イザ 11:3,4
マタ 23:23

ヨハ 5:18

マタ 13:55

ヨハ 8:42

ヨハ 8:54,55

マタ 11:27
ヨハ 1:18
ヨハ 10:15

マル 11:18
ルカ 19:47

と取りつかれています。誰が殺そうとしているのですか」。21 イエスは答えた。「私が行った奇跡のことで、あなた方は皆、驚いています。22 でも考えてみてください。モーセが割れを与え(モーセから始まったのではなく父祖たちからですが)、あなた方は安息日に割れを施しています。23 モーセの律法を破らないように安息日にかつれいほどこわたり割れを施しているのに、私が安息日に人をすっきり健康にすると、激しく怒るのですか。24 見掛けで裁くのをやめ、正しい裁きをしなさい」。

25 エルサレムの住民のある人たちが言いだした。「これは、支配者たちが殺そうとしている人ではないか。26 それなのに、公然と話しており、支配者たちは何も言わない。この人がキリストだとはっきり分かったのだから。27 でも私たちは、この人がどこから来たのかを知っている。キリストが来る時には、どこから来たのかを誰も知らないはずだ。28 神殿で教えていたイエスは、大声でこう言った。「あなた方は、私が誰でもどこから来たのかを知っています。私は自分の考えで来たのではなく、私を遣わした方がいます。あなた方はその方を知りません。29 私はその方を知っています。私は代理としてその方に遣わされたからです。30 支配者たちはイエスを捕まえようとしたが、誰もそうできない

かった。まだその時は来ていなかったからである。31 しかし、群衆の多くがイエスに信仰を持ち、こう言った。「キリストが来ても、この人ほど多くの奇跡は行わないのではないか」。

32 パリサイ派の人たちは、群衆がイエスについてひそひそ話すのを聞いた。それで祭司長とパリサイ派の人たちは、イエスを捕まえようとして下役たちを遣わした。33 イエスは言った。「私はもうしばらくあなた方と共にいて、それから自分を遣わした方のもとに行きます。34 あなた方は私を捜しますが、見つけることができず、私がいる所に来ることができません」。

35 それでユダヤ人たちは互いに言った。「この人はどこへ行って見つからないようにするつもりなのか。ギリシャ人に離散しているユダヤ人の所へ行って、ギリシャ人を教えるつもりなのだろうか。36 『あなた方は私を捜すが、見つけることができず、私がいる所に来ることができない』というのはどういう意味なのか」。

37 最後の日、祭りの最も重要な日に、イエスは立って、こう叫んだ。「喉が渇いている人がいるなら、私の所に来て飲みなさい。38 私に信仰を持つ人は、聖書にある通り、『その人の奥深くから、生きた水が流れ出す』」。

39 イエスは、信仰を持つ人が受けよ

第7章
ヨハ 8:20

ヨハ 2:23
ヨハ 8:30
ヨハ 10:40, 42
ヨハ 11:45

ヨハ 13:33
ヨハ 16:16

ヨハ 8:21, 22

ヨハ 7:2

ヨハ 4:14
ヨハ 6:35

出 17:6
民 20:8
ヨハ 4:14

第2欄
ヨハ 12:16
ヨハ 13:31, 32
テモ— 3:16

ヨハ 2:28
ヨハ 16:7
使徒 2:17

ヨハ 18:18
ヨハ 6:14

ヨハ 4:40, 42
ヨハ 6:68, 69

ヨハ 1:46
ヨハ 7:52

代 13:5
詩 89:3, 4
詩 132:11
エレ 23:5

サ— 16:1

ミカ 5:2
ルカ 2:4

マタ 7:28, 29
ルカ 4:22

ヨハ 12:42
使徒 6:7

ヨハ 1:16, 17

うとしていた聖なる力について言っていたのである。イエスがまだ栄光を受けていなかったために、人はまだ聖なる力を受けていなかった。40 群衆のある人たちは、この言葉を聞いて、「これこそ確かにあの預言者だ」と言い始めた。41 「これがキリストだ」と言う人もいたが、次のように言う人もいた。「キリストがガリラヤから出るはずがない。42 聖書は、キリストがダビデの子孫で、ダビデがいた村ベツレヘムから出ると言っているではないか。43 こうして、群衆はイエスを巡って意見が分かれた。44 イエスを捕まえたいと思う人もいたが、そうする人はいなかった。

45 そして下役たちが戻ると、祭司長とパリサイ派の人たちは、「どうして彼を連れてこなかったのか」と言った。46 下役たちは答えた。「あのように話した人はこれまでにませんでした」。

47 それに対してパリサイ派の人たちは言った。「あなたたちまで惑わされたというのか。48 支配者やパリサイ派の中に彼に信仰を持った人がいるか。49 律法を知らないあの群衆は神に見放されているのだ。50 パリサイ派の人で以前にイエスのもとに来たニコデモが言った。51 『私たちの律法では、まず本人の話を聞いて、行っていることを確認してから、裁くのではないか。52 それに対して彼らは言った。『あなたもガリラヤの人に

でもなったのか。預言者はガリラヤからは現れないことを調べてみなさい。

8 **12** イエスは再び言った。「私は世の光です。私の後に従う人は決して闇の中を歩むことがなく、命を与える光を持つようになります。」

13 パリサイ派の人たちは言った。「あなたは自分について証言しています。それを信じることはできません。」

14 それに対してイエスは言った。「私が自分について証言していても、その証言は真実です。私は、自分がどこから来て、どこへ行くかを知っているからです。しかしあなた方は、私がどこから来て、どこへ行くかを知りません。」

15 あなた方は人間的な考えで裁きます。私は誰をも裁きません。

16 もし私が裁くとしても、正しく裁きます。私は1人ではなく、私を遣わした父と一緒にいるからです。**17** あなた方自身の律法にも、『2人の証言があれば真実である』と書いてあります。

18 私について、私自身が証言し、私を遣わした父も証言します。**19** パリサイ派の人たちは言った。「あなたの父親はどこにいるのですか」。イエスは答えた。「あなた方は私も私の父も知りません。もし私を知っているなら、私の父をも知っているはずです。」

20 イエスはこれらのことを、神殿の寄付箱の辺りで教えていた時に話し

7:52 * 幾つかの権威ある古代写本は、53節から8章11節までを省いている。

第8章

〔イ〕イザ 9:2
イザ 49:6
マタ 4:16
ヨハ 1:5
ヨハ 12:35

〔イ〕ヨハ 12:46
ペー 2:9
ヨ一 2:8

〔イ〕ヨハ 7:28
ヨハ 13:3
ヨハ 16:28

〔イ〕ヨハ 7:24

〔イ〕ヨハ 14:10

〔イ〕申 17:6
申 19:15

〔イ〕ヨハ 5:37
ペ二 1:17
ヨ一 5:9

〔イ〕ヨハ 16:3

〔イ〕マタ 11:27
ヨハ 14:7

〔イ〕マル 12:41

第2欄

〔イ〕ヨハ 7:30

〔イ〕ヨハ 8:24

〔イ〕ヨハ 7:34
ヨハ 13:33

〔イ〕ヨハ 3:31
ヨハ 16:28

〔イ〕ヨハ 18:19, 20

た。しかし誰もイエスを捕まえなかった。イエスの時はまだ来ていなかったからである。

21 イエスは再び言った。「私は去っていきます。あなた方は私を捜しますが、罪を負ったまま死にます。私が行く所へあなた方は来ることができません。」「**22** それでユダヤ人たちは言い始めた。『彼は自殺するつもりではないだろう。でも、『私が行く所へあなた方は来ることができない』と言っている。』**23** イエスはさらに言った。『あなた方は地上の領域の者ですが、私は天の領域の者です。あなた方はこの世界に属していますが、私はそう

ではありません。』**24** それで、『あなた方は罪を負ったまま死ぬ』と言いました。私がその者であることを信じないなら、あなた方は罪を負ったまま死ぬことになるのです。』**25** ユダヤ人たちは、「あなたは誰なのでしょう」と言いだした。イエスは答えた。「一体、私は何のためにあなた方に話しているのでしょうか。」「**26** 私には、あなた方について話すべきこと、また裁くべきことがたくさんあります。私は、真実を語る方から世に遣わされ、その方から聞いたことを話しているのです。』

27 ユダヤ人たちは、イエスが父について話しているということを理解できなかった。**28** それでイエスは言った。「あなた方は、人の子を杭に掛け

8:28 * イエスのこと。用語集参照。

あとに、私がその者で、何事も自分の
 考えで行っていたのではないことを知
 ります。私は、父が教えてくださった
 とお通りに、これらのことを話しています。
 29 そして、私を遣わした方は共にい
 てくださり、私を独りだけにはしません
 でした。私は常に、その方が喜ぶこと
 を行うからです。30 多くの人がか
 れらのことを聞いてイエスに信仰を
 持った。

31 イエスは、信じたユダヤ人たち
 にさらに言った。「私の教えを常に守
 るなら、あなた方は本当に私の弟子で
 あり、32 真理を知り、真理によって
 自由になります。33 ほかに人た
 ちが言った。「私たちはアブラハムの子
 孫で、誰の奴隷になったこともありま
 せん。どうして『自由になる』と言うの
 ですか。34 イエスは答えた。「はっ
 きり言っておきますが、罪を犯す人は
 皆、罪の奴隷です。35 そして、奴隷
 は主人の家にいつまでもいるわけ
 はありません。子はいつまでもいます。
 36 それで、子である私が自由にする
 なら、あなた方は本当に自由にな
 ります。37 あなた方がアブラハムの
 子孫であることは知っています。しか
 し、あなた方は私を殺そうとしていま
 す。私の教えを受け入れられないか
 らです。38 私は自分の父のもとで
 見たことを話し、あなた方は自分た
 ちの父から聞いたことを行っています。
 39 その人たちは答えた。「私たちの

第8章

(例) 民 21:8,9
 ダニ 7:13
 マタ 26:64
 ヨハ 3:14
 ヨハ 12:32,33
 ガラ 3:13

(例) マタ 27:54

(例) ヨハ 5:19,30

(例) ヨハ 4:34
 ヨハ 14:10
 ヘブ 1:9

(例) ヨハ 17:17
 ヨハ 18:37

(例) ロマ 6:14,22
 ヤコ 1:25

(例) ロマ 6:6,16
 ロマ 7:14

(例) ヨハ 5:19

第2欄

(例) ロマ 2:28,29
 ロマ 9:7,8
 ガラ 3:7,29

(例) ヨハ 8:26

(例) ヨハ 16:27
 ヨハ 5:1

(例) ヨハ 3:16
 ヨハ 5:19,30

(例) 創 3:15

(例) ヨハ 3:8

(例) 創 3:4
 コ二 11:3
 啓 12:9

父はアブラハムです」。イエスは言っ
 た。「もしアブラハムの子なら、アブラ
 ハムに倣って行動しているはずで
 す。40 しかし、あなたがたは今、神から聞
 いた真理を告げた者、つまり私を殺そ
 うとしています。アブラハムはそう
 なことはしませんでした。41 あなた
 方は自分たちの父に倣って行動して
 います。その人たちは言った。「私た
 ちは姦淫によって生まれたのではあり
 ません。私たちにひとり父、神が
 います」。

42 イエスは言った。「もし神があ
 なた方の父なら、あなたがたは私を愛す
 るはずで。私は神のもとから来てこ
 こにいるからです。自分の考えで来た
 のではなく、その方に遣わされました。

43 私が言っていることをあなた方が
 理解できないのはなぜでしょうか。そ
 れは、私の教えを受け入れようとしな
 いからです。44 あなた方は、あなた
 方の父、悪魔から出ていて、自分たち
 の父が欲することを行おうとしていま
 す。その者はその始まりから人殺しで、
 真理から離れた。真理を好まない
 からです。彼にとって、うそを語るの
 は自然なことです。うそつきで、うその根
 源だからです。45 しかし、私は真理
 を告げるので、あなた方は私を信じま
 せん。46 あなた方のうちの誰が、
 私に罪があると証明できるのですか。

8:41 *または、「性的不道徳」。ギリシャ語、パル
 ネイア。用語集参照。8:44 *直訳、「父」。

わたし しんじつ はな がた
私が真実を話しているなら、あなた方
が私を信じないのはどうしてですか。

47 神の所から来た人は神の言うこと
を聞きます。あなた方は聞きません。
かみ とこころ き ひと かみ い
神の所から来ていないからです」。

48 それに対してユダヤ人たちは
言った。『あなたはサマリア人^(イ)で、邪
悪な天使に取りつかれている』と私た
ちが言うのも当然ではありませんか」。

49 イエスは答えた。「邪悪な天使
に取りつかれてはいません。私は父
とうと がた わたし はずかし
を尊んでいて、あなた方は私を辱め
わたし しょうさん
ています。50 私は称賛されることを

願っているではありません。それを
ねが はんだん かみ
願ひ、判断するのは神です。51 はっ

きり言っておきますが、私の言葉を守
る人は、決して死にません」。

52 ユ
ダヤ人たちは言った。「今、あなたが
じゃあく てん し と
邪悪な天使に取りつかれていること

がはっきり分かります。アブラハムも
よ げんしゃ し
預言者たちも死んだのに、あなたは、

『私の言葉を守る人は、決して死を迎
えな』と言っています。53 あなた

は私たちの父アブラハムより偉くは
ないでしょう。アブラハムは死に、預
げんしゃ し じぶん だれ
言者たちも死にました。自分を誰だと

思っているのですか」。54 イエスは
こた わたし じぶん しょうさん
答えた。「私が自分を称賛するなら、
わたし しょうさん
私の称賛はむなしいものです。私を

称賛してくださるのは私の父で、あな
た方が自分たちの神だと言う方です。

55 しかし、あなた方はその方を知り
ません。私は知っています。私が、その

第8章
(イ) ヨハ 18:37

(イ) ヨハ 10:26
ヨ一 4:6

(イ) ヨハ 4:9

(ロ) マタ 12:24
ヨハ 7:20
ヨハ 10:20

(イ) ヨハ 5:41
ヨハ 7:18

(イ) ヨハ 5:24
ヨハ 11:25, 26
コ一 15:54
啓 20:6

(イ) ヨハ 5:41
ヨハ 13:31, 32
使徒 3:13

(イ) ヨハ 7:28

(イ) ヨハ 7:29

第2欄

(イ) マタ 13:17
ヘブ 11:13

(イ) 格 8:22
ヨハ 17:5
フィリ 2:6, 7
コロ 1:15-17

第9章

(イ) ヨハ 1:38

(ロ) ヨハ 11:2-4

(イ) ヨハ 4:34
ヨハ 11:9

(イ) イザ 49:6
イザ 61:1
ヨハ 1:5
ヨハ 8:12

(イ) マル 8:23

かた し い
方を知らないと言ったら、あなた方の
ようにうそつきになるでしょう。私は確

かにその方を知っていて、その方の言
葉をまも
守っています。56 あなた方の

父アブラハムは、私^(イ)が来る日をとても
たの しみ にして、その時を思い描い
て喜びました」。

57 ユダヤ人たちは
言った。「50歳になってもいないのに、
アブラハムを見たことがあるのです

か」。58 イエスは言った。「はっきり
言っておきますが、アブラハムが存在

する前から私はいます」。

59 そこで
ユダヤ人たちは石を拾って、イエスに
投げ付けようとした。しかしイエスは

身を隠し、神殿から出ていった。

9 イエスが歩いていくと、生まれ
つき目が見えない男性^(イ)がいた。

2 弟子たちがイエスに尋ねた。「ラビ、
この人が生まれつき目が見えないの
は、誰が罪を犯したからですか。本人

ですか、それとも親ですか」。3 イエ
スは答えた。「この人や親が罪を犯し

たからではありません。この件で、神
の力が明らかにされます。4 私たち

は昼のうちに、私を遣わした方の望
むことを行わなければなりません。誰

も働くことができない夜が来ようと
しています。5 私は世にいる間、世

の光です。6 イエスはそう言っか
ら、地面に唾を吐いて泥を作り、その

男性の両目に塗って、7 こう言った。

8:56 *または、「それを見て」。9:3 *直訳、
「働き」。

「シロアム(「湧き出る」と訳される)の池^{いけ}に行^いって洗^{あら}いなさい」。それで男性^{だんせい}は行^いって洗^{あら}い、見えるようになって戻^{もど}ってきた。

8 隣人^{りんじん}たちや、その男性^{だんせい}が物^{もの}乞^こいだと知^しっていた人々^{ひとびと}は、「これは、座^{すわ}って物乞^{ものこ}いをしていた男^{おとこ}ではないか」と言^いい始^{はじ}めた。9 「その人^{ひと}だ」と言^いう人もいれば、「違^{ちが}う、でも似^にている」と言^いう人もいた。男性^{だんせい}は、「私^{わたし}がその人^{ひと}です」と言^いっていた。10 それで人々^{ひとびと}は尋^{たず}ねた。「では、どうして目^めが見^みえるようになったのか」。11 男性^{だんせい}は答^{こた}えた。「イエスという人^{ひと}が泥^{どろ}を作^{つく}って私の両目^{りょうめ}に塗^ぬり、『シロアムに行^いって洗^{あら}いなさい』と言^いいました。それで、行^いって洗^{あら}ったら、見えるようになりました」。12 人々^{ひとびと}が、「その人^{ひと}はどこにいますか」と言^いうと、男性^{だんせい}は、「知りませ^しん」と言^いった。

13 目^めが見^みえなかったその男性^{だんせい}はパリサイ派^はの人^{ひと}たち^{ところ}に連^つれていかれた。14 なお、イエスが泥^{どろ}を作^{つく}って彼の目^めを開^{ひら}けたのは安息日^{あんそくび}だった。15 それで今^{こんど}度はパリサイ派^はの人^{ひと}たちが、どうして見^みえるようになったのかを男性^{だんせい}に尋^{たず}ね始^{はじ}めた。男性^{だんせい}は言^いった。「その人^{ひと}が私の両目^{りょうめ}に泥^{どろ}を付^つけ、私^{わたし}は洗^{あら}いました。今^{いま}は見^みえます」。16 パリサイ派^はのある人^{ひと}たちは、「その人^{ひと}は神^{かみ}の所^{ところ}から来^きたのではない。安息日^{あんそくび}を守^{まも}っていない」と言^いいだした。ほかの人^{ひと}たちは、「罪人^{つみびと}だったら、どうして

第9章

(ヨ)王二 5:10,14

(ヨ)ヨハ 9:7

(ヨ)ヨハ 9:6

(ヨ)ルカ 13:14
ヨハ 5:8,9

(ヨ)出 20:9,10

第2欄

(ヨ)ヨハ 3:2

(ヨ)ルカ 12:51
ヨハ 7:12,43
ヨハ 10:19(ヨ)ヨハ 7:13
ヨハ 19:38(ヨ)ヨハ 12:42
ヨハ 16:2

こんな奇跡^{きせき}を行^{おこな}えるだろうか」と言^いった。こうして意見^{いけん}が分^わかれた。17 そのため男性^{だんせい}に再^{また}び言^いった。「あなた^めの目^めを開^{ひら}けた人^{ひと}だが、何^{なに}者^{もの}だと思^{おも}うか」。男性^{だんせい}は言^いった。「あ^あの人^{ひと}は預言者^{よげんしゃ}です」。

18 しかしユダヤ人^{じん}たちは、目^めが見^みえなかったのに見^みえるようになったとは信^{しん}じず、その人^{ひと}の両親^{りょうしん}を呼^よぶことにした。19 そしてこう尋^{たず}ねた。「これは、生^うまれつき目^めが見^みえなかった息子^{むすこ}か。今^{いま}は見^みえるのはどうしてか」。20 両親^{りょうしん}は答^{こた}えた。「これは息子^{むすこ}で、生^うまれつき目^めが見^みえませんでした。21 でも、どうして今^{いま}見^みえるのかは知りませ^{だれ}んし、誰^{だれ}が目^めを開^あけたのかも知りませ^しん。本人^{ほんにん}に聞^きいてください。もう大人^{おとな}です。自分^{じぶん}で話^{はな}すはずです」。22 こう言^いったのはユダヤ人^{じん}たち^{おそ}を恐^{おそ}れていたからだ。ユダヤ人^{じん}たちは、イエスをキリストと認^めめる人^{ひと}がいれば会堂^{かいどう}から追放^{ついほう}するとの合意^{ごうい}に達^{たっ}していた。23 それで両親^{りょうしん}は、「もう大人^{おとな}です。本人^{ほんにん}に尋^{たず}ねてください」と言^いったのである。

24 ユダヤ人^{じん}たちは、目^めが見^みえなかった男性^{だんせい}をもう一度^{いちど}呼^よんで、こう言^いった。「神^{かみ}の前^{まえ}で本当^{ほんとう}のことを言^いいなさい。私^{わたし}たちはその人^{ひと}が罪人^{つみびと}であること^{こと}を知^しっているのだ」。25 男性^{だんせい}は答^{こた}えた。「その人^{ひと}が罪人^{つみびと}かどうかは分^わかり

9:16 *直訳、「しるし」。9:24 *直訳、「神に栄光を与えなさい」。

ません。ただ、一つ分かるのは、私は
目が見えなかったのに、今は見えると
いうことです。26 ユダヤ人たちは
言った。「彼はあなたに何をしたのか。
どうやって目を開けたのか」。27 男
性は答えた。「すでに話しましたが、あ
なた方は聞きませんでした。なぜもう
一度聞きたいのですか。あなた方も
あの人の弟子になりたいわけではな
いでしょう」。28 するとユダヤ人た
ちはあざけるように言った。「あなた
はあの男の弟子だが、私たちはモー
セの弟子だ。29 神がモーセに語っ
たということは知っている。だが、あの
男については、どこからの者か知ら
ない」。30 男性は答えた。「それ
は驚きです。あの人がどこからの人
か知らないのですか。あの人は私の
目を開けました。31 ご存じの通り、
神は、罪人たちの願いは聞きません
が、神を畏れて神の望むことを行う人
の願いなら、聞きます。32 生まれつ
き目が見えない人の目を開けたとい
う話は今まで聞いたことがありませ
ん。33 神の所から来た人でなけれ
ば、何もできないはずです。34 そ
れに対してユダヤ人たちは言った。
「罪にまみれて生まれながら、私たち
を教えるというのか」。そして、その男
性を追い出してしまった。

35 イエスはその男性が追い出さ
れたことを聞き、彼を見つけると、こう

第9章
(イ) 詩 66:18
格 28:9
イザ 1:15

(イ) 詩 34:15
格 15:29

(イ) ヨハ 5:36

(イ) ヨハ 9:22
ヨハ 16:2

第2欄
(イ) ルカ 4:18
ヨハ 12:46

(イ) マタ 11:25
マタ 13:13
ヨハ 3:19

(イ) ヨハ 15:22

第10章
(イ) マタ 7:15

(イ) マタ 26:31
マル 14:27
ヨハ 10:11

(イ) ルカ 1:17
ヨハ 3:28

(イ) ヨハ 10:27

言った。「人の子に信仰を持っていま
すか」。36 男性は答えた。「旦那さ
ま、それはどなたですか。その方に信
仰を持ちたいのですが」。37 イエス
は言った。「あなたはその人につ
くことがあります。しかも、その人は
今あなたと話しています」。38 男性
は、「主よ、本当に信仰を持っていま
す」と言った。そしてイエスに敬意を
表した。39 イエスは言った。「私が
この世に来たのは裁きのため、すなわ
ち、見えない人に見えるようになり、見
える人が見えないようになるため
です。40 その場にいたパリサイ派の
人たちがこれを聞いてイエスに言
った。「私たちも目が見えないというわ
けではないでしょうね」。41 イエス
は言った。「目が見えなかったなら、あ
なた方には罪がないでしょう。しかし
あなた方は今、『見える』と言ってい
ます。あなた方の罪は見過ぎされま
せん」。

10 「はっきり言っておきます。羊
の囲いに、戸口を通してでは
なくほかの所を乗り越えて入る人は、
どろぼう・ごうとう・泥棒や強盗です。2 一方、羊飼いは
戸口を通して入ります。3 戸口番は
羊飼いにに対して戸口を開け、羊は彼の
声を聞きます。羊飼いは自分の羊の
名前を呼んで連れ出します。4 自
分の羊を全て外に出すと、その先頭

9:35 *イエスのこと。用語集参照。9:38 *ま
たは、「ひざまずいた」。

を行います。羊は後に付いていきます。羊飼いの声を知っているからです。5 知らない人には決して付いていかず、かえて逃げます。その人たちの声を知らないからです。6 イエスはこの例えを話したが、ユダヤ人たちはイエスが言っていることを理解できなかった。

7 それでイエスは再び言った。「はっきり言っておきますが、私は羊が通る戸口です。8 私のふりをして来た人は皆、泥棒や強盗です。しかし羊は彼らの言うことを聞きませんでした。」

9 私は戸口です。私を通して入るなら救われ、出入りして牧草地を見つめます。10 泥棒は、盗み、殺し、滅ぼすためにしか来ません。私は、羊が命を得て生き続けるために来ました。

11 私は立派な羊飼いです。立派な羊飼いは羊のために命をなげうちます。

12 雇われ人は、羊飼いで羊の所有者でもないの、オオカミが来るのを見と、羊を見捨てて逃げます。(オオカミは羊を襲い、散らします。) 13 彼は雇われ人で、羊のことを気に掛けなからず。14 私は立派な羊飼いで、自分の羊を知っており、私の羊も私を知っています。15 ちょうど天の父が私を知っており、私が父を知っているのと同じです。そして私は羊のために命をなげうちます。

16 私にはほかの羊がいますが、この世のものではありません。私はそ

第10章

(ヨ) ヨハ 14:6

(イ) ヨハ 21:17

(ヨ) マタ 7:15

(ヨ) エゼ 34:23
マタ 9:36(ヨ) サー 17:34,35
マタ 20:28
ヘブ 13:20

(ヨ) ヨハ 10:27

(ヨ) マタ 11:27

(ヨ) マタ 20:28
ヨハ 15:13
ヨ一 3:16

(ヨ) ルカ 12:32

第2欄

(ヨ) エゼ 34:23
エゼ 37:24
ペ一 5:4

(イ) ヨハ 17:23

(ヨ) イザ 53:12
フィリ 2:8
ヘブ 2:9
ヘブ 12:2

(ヨ) 使徒 2:23,24

(ヨ) ルカ 12:51
ヨハ 7:12
ヨハ 9:16

(ヨ) 使徒 3:11

(ヨ) ヨハ 3:2
ヨハ 5:36
ヨハ 10:38
ヨハ 14:10
使徒 2:22

(ヨ) ヨハ 8:47

の羊たちも連れてこなければならず、それらも私の声を聞きます。こうして、1つの群れ、1人の羊飼いとなります。17 父は私を愛してくださいませ。私が命をなげうつからです。それは私が再び命を受けるためです。18 誰かが私の命を奪うではありません。私自身もなげうつのです。私は命をなげうつ権限があり、再び受ける権限があります。この命令は父から受けました。」

19 ユダヤ人たちはこの話を聞いて、再び意見が分かれた。20 多くの人が、「彼は邪悪な天使に取りつかれ、頭がおかしくなっている。なぜ彼の言うことを聞くのか」と言っていた。21 一方、「あのような話は邪悪な天使に取りつかれた人にはできない。邪悪な天使が、目が見えない人の目を開けられるはずがない」と言う人もいた。

22 その頃、エルサレムで献納の祭りがおこなわれた。それは冬で、23 イエスは、神殿にあるソロモンの柱廊を歩いていた。24 ユダヤ人たちがイエスを取り巻いて、こう言いだした。「いつまで私たちを迷わせるのですか。あなたがキリストなら、はっきりそう言ってください。」25 イエスは答えた。「私は言いましたが、あなた方は信じません。父の名によって私が行っている事柄を見れば、私が誰かは明らかです。26 しかしあなた方は信じません。私の羊ではないからです。」

27 私の羊は私の声を聞きます。私は彼らを知っており、彼らは私に付いて

きます。28 私は彼らに永遠の命を与え、彼らは決して滅ばされません。私の手から彼らを奪う者はいません。

29 天の父が私に与えてくださった羊は、ほかの全てのものより大切であり、誰も父の手からそれを奪うことはできません。30 私と父とは一つです。

31 ユダヤ人たちはまたしても、石を拾ってイエスを石打ちにしようとした。

32 それでイエスは言った。「私は、天の父が命じた立派な行いをあなたの方の前で数多くしました。そのうちのどの行いのために、私を石打ちにするのですか。33 ユダヤ人たちは答えた。

「石打ちにするのは、立派な行いのためではなく、冒瀆のためだ。人間なのに自分を神とするからだ。34 イエスは答えた。「律法の中に、『私は言った。『あなたたちは神だ』』と書か

れていませんか。35 神にとがめられた人たちが『神』と呼ばれ、その聖句は取り消せないのに、36 父が神聖なものとして世に遣わした私が、自分

は神の子だと言うと、『神を冒瀆している』と言うのですか。37 私が父の望むことを行っていないなら、私を信じてはなりません。38 しかし行っているなら、たとえ私を信じないとしても、その行いを信じなさい。そうす

10:30 *または、「一致しています」。 10:34 *または、「神のような者」。

第10章

(ヨ) ヨハ 10:3

(イ) ヨハ 5:24
ヨハ 17:1,2(ヨ) ヨハ 6:37
ヨハ 18:9

(ヨ) ペー 1:4,5

(ヨ) ヨハ 10:38
ヨハ 17:11,21

(ヨ) レビ 24:16

(イ) 詩 82:6
コー 8:5

(ヨ) 詩 82:1

(ヨ) ルカ 1:35
ヨハ 5:18

(ヨ) ヨハ 5:36

第2欄

(ヨ) ヨハ 14:10
ヨハ 17:21

(イ) ヨハ 1:28

(ヨ) ヨハ 1:29

第11章

(ヨ) ルカ 10:38

(ヨ) マタ 26:6,7
マル 14:3
ヨハ 12:3

(ヨ) ヨハ 9:1-3

れば、父と私が結び付いていることが分かり、さらによく分かるようになります。39 そこでユダヤ人たちは再びイエスを捕まえようとしたが、イエスは彼らの手が届かない所へ逃れた。

40 イエスは再びヨルダン川を渡り、ヨハネが最初にバプテスマを施していた所へ行って、そこにとどまった。

41 すると、大勢の人が来て、こう言いました。「ヨハネは奇跡を一つも行わなかったが、ヨハネがこの人について言ったことは全て本当だった」。

42 そこでは多くの人がイエスに信仰を持った。

11 さて、ラザロという男性が病氣だった。マリアとその姉妹マルタの村ベタニヤの人である。2 このマリアは、主イエスに香油を注ぎ、イエスの足を髪のもで拭いて乾かした人である。その兄弟ラザロが病氣だった。

3 この姉妹たちは人を遣わしてイエスに次のように伝えた。「主よ、あなたが愛情を抱いているものが病氣です」。

4 しかしイエスはそれを聞いて、こう言った。「この病氣は死で終わるのではなく、神に栄光をもたらし、神の子も栄光を受けます」。

5 イエスはマルタとマリアとラザロを愛していた。6 しかし、ラザロが病氣だと聞いても、同じ所にさらに2日とどまっていた。7 その後、弟子たち

10:41 *直訳、「しるし」。

に、「もう一度ユダヤに行きましよう」と言った。**8** 弟子たちは言った。「ラビ、ついこの間ユダヤ人たちに石打ちにされそうになったのに、また行くのですか」。**9** イエスは答えた。「昼間は12時間あるのではないでしようか。誰でも昼間に歩くなら何にもぶつかりません。人々のための光によって見る事ができるからです。**10** しかし、誰でも夜歩くななら何かにぶつかります。光がその人の内にないからです」。

11 イエスはこれらのことを述べた後、さらにこう言った。「友のラザロは眠っていますが、私は起こしに行きます」。**12** 弟子たちは言った。「主よ、眠っているのであれば、良くなるでしょう」。**13** イエスは実際にはラザロの死について話していたが、弟子たちは、眠って休んでいることについて話していると思った。**14** それでイエスははっきり言った。「ラザロは死にました」。**15** 私がそこにいなかったことは、あなたたちのためになります。あなたたちの信仰は強められます。さあ、行きましよう」。**16** そこで、双子と呼ばれるトマスが仲間の弟子たちに言った。「私たちも行つて、共に死のうではないか」。

17 イエスが到着した時、ラザロが墓に入れられて4日たっていた。

18 ところで、ベタニヤはエルサレム

11:9 *直訳、「世」。**11:17, 31** *または、「記念の墓」。

第11章

(ヨ) ヨハ 1:38

(イ) ヨハ 8:59
ヨハ 10:31(ヨ) ヨハ 9:4
ヨハ 12:35(ヨ) 詩 13:3
マタ 9:24
使徒 7:59, 60
ロー 15:6

(ヨ) 伝 9:5

(ヨ) ヨハ 11:8

第2欄

(ヨ) ルカ 10:38, 39

(イ) イザ 26:19
ヨハ 5:28, 29
使徒 24:15
ヘブ 11:35
啓 20:12

(ヨ) ヨハ 14:6

(ヨ) ヨハ 8:51

(ヨ) マタ 23:8
ヨハ 13:13

(ヨ) ヨハ 11:17

から3キロほどの所にあった。**19** それで大勢のユダヤ人が、兄弟を亡くしたマルタとマリアを慰めに来ていた。

20 マルタはイエスが来ると聞いて会いに行つたが、マリアは家で座っていた。**21** そしてマルタはイエスに言った。「主よ、もしここにいてくださつたなら、私の兄弟は死ななかつたでしょう」。

22 でも、あなたが求めるどんなことも神がかなえてくださると今でも信じています」。**23** イエスは言った。「あなた

の兄弟は生き返ります」。**24** マルタは言った。「終わりの日の復活の時に彼が生き返ることは知っています」。

25 イエスは言った。「私は復活であり、命です。私に信仰を抱く人は死んでも生き返ります」。**26** そして、生きていて私に信仰を抱く人は皆、決して死

ぬことはありません。このことを信じますか」。**27** マルタは言った。「はい、主よ。あなたがキリスト、神の子で、世に来ることになっていた方だと信じています」。**28** マルタはそう言つてから、去つていつて姉妹のマリアを呼び、そつと言つた。「先生が来ていて、あなたを呼んでいます」。**29** マリアはそれを聞くと急いで立ち上がり、イエスの所に行った。

30 イエスはまだ村に入つておらず、マルタと会つた場所にいた。**31** 家でマリアを慰めていたユダヤ人たちは、マリアが急いで立つて出ていったので、墓に行つて泣くのだらうと思い、

あと^つに付いていった。32 マリアは、イエスが^{ところ}いる所に^つ着いてイエスを見つ^{あしと}けると、その足元にひれ伏して、「主よ、もしここに^{わたし}いてくださったなら、私の兄弟は死ななかつたでしょう」と言った。33 イエスは、マリアが泣き、一緒に来たユダヤ人たちも泣いているのを見ると、心の中^{なか}でうめき、苦悩した。34 そして、「ラザロをどこに横たえたのですか」と言った。人々は、「主よ、一緒に来てください」と言った。35 イエスは涙を流した。36 それでユダヤ人たちは言いだした。「見なさい、本当に愛情を抱^{なみだ}いていたのだ」。37 しかし、ある人たちは言^いった。「この人は目が見えない人の目を開けたが、彼が死ぬのは防げなかつたのだらうか」。

38 イエスは、再び心の中^{ふたた}でうめい^{ころ}てから、墓^{はか}に^き来た。それは洞窟^{どうくつ}で、入り口が石でふさがれていた。39 イエスは、「石をどけてください」と言った。兄弟を亡くしたマルタが言^いった。「主よ、もう臭くなっているに違いありません。4日たっています」。40 イエスは言^いった。「信じるなら神の輝かしい力^{ちから}を見る、とあなたに言^いいませんでしたか」。41 石がどけられると、イエスは天を見上げて、こう言^いった。「父よ、わたしの願いを聞いてくださり、感謝いたします。42 いつも聞^きいてくださることとは知^しっていますが、周りに立^たつ人々

第11章

(イ) ルカ 19:41
ヘブ 4:15

(イ) ヨハ 9:6,7

(イ) ヨハ 9:1-3

(マ) マタ 14:19
マル 7:34,35

第2欄

(イ) ヨハ 12:28-30
ヨハ 17:8

(イ) ルカ 7:12,14

(イ) ヨハ 2:23
ヨハ 10:42
ヨハ 12:10,11

(マ) ヨハ 12:37
使徒 4:15,16

(イ) マタ 26:3
ルカ 3:2
使徒 4:5,6

のために言^いっています。あなたが私^{わたし}を遣^{つか}わされたことをこの人々が信^{ひとびと}じるためです」。43 イエスはそう言^いい終え^いると、大声^{おおこえ}で叫^{さけ}んだ。「ラザロ、出てきなさい!」44 すると、死^しんでいたラザロが、手足に布を巻かれたまま出てきた。顔にも布が巻かれていた。イエスは言^いった。「ほどいて、歩^{ある}けるようにしてあげなさい」。

45 こうして、マリアの所^{ところ}に来ていたユダヤ人の多くが、イエスがしたことを見て信仰^{しんこう}を持^もった。46 しかし、ある人たちはパリサイ派の人たちの所^{ところ}に行^いって、イエスがしたことを話^{はな}した。

47 そのため、祭司長^{さいしちょう}とパリサイ派^はの人^{ひと}たちはサンヘドリンを招集^{しょうしゅう}して、こう言^いった。「この男^{おとこ}が多く^{おほ}の奇跡^{きせき}を行^{おこな}っているが、私^{わたし}たちはどうすべきだろうか。48 このまま放^{ほう}っておいたら、皆^{みな}が彼^{かれ}に信仰^{しんこう}を持^もち、ローマ人がや^{じん}って来^きて、私^{わたし}たちの神殿^{しんでん}も国民^{こくみん}も奪^{うば}い去^さってしまう」。49 その年^{とし}に大祭司^{だいさいし}だったカヤファという人^{ひと}がいて、こう言^いった。「皆さんは何も分^わかっていません。50 国民全体^{こくみんぜんたい}が滅^{ほろ}ぼされるよりも1人^{ひとり}の人が民のために死^しぬ方が皆^{みな}さんにとつてよい、ということを考えていませ^{かんが}ん」。51 カヤファはこれを独自^{どくじ}の考^{かんが}えで言^いったのではなく、その年^{とし}に大祭司^{だいさいし}だったので預言^{よげん}していたのである。すなわち、イエスが国民^{こくみん}のために死^し

11:47 *用語集参照。#直訳、「しるし」。11:

48 *直訳、「場所」。

11:38 *または、「記念の墓」。

ぬこと、**52** しかもそれはこの国民の
 ためだけではなく各地に散る神の子
 供たちを一つに集めるためでもあるこ
 とを預言していたのである。**53** その
 場にいた人たちはその日以来、イエス
 を殺そうとして相談した。

54 このため、イエスはもうユダヤ
 人の間を表明して歩くことはせず、荒
 野に近い地方のエフラ임という町に
 行き、弟子たちと共にそこにどまっ
 た。**55** ユダヤ人の過ぎ越しの祭り
 が近づいていたので、多くの人が儀式
 上の清めをするために、過ぎ越しの前
 に地方からエルサレムに上っていっ
 た。**56** 人々はイエスを捜し、神殿
 内のあちこちに立って互いにこう言っ
 ていた。「どう思う。彼は祭りに来な
 いと思うか」。**57** 祭司長とパリサイ
 派の人たちは、イエスがどこにいるか
 を知ったら通報するようにという命令
 を出していた。イエスを捕まえるため
 だった。

12 イエスは過ぎ越しの6日前に
 ベタニヤに到着した。そこ
 に、イエスが生き返らせたラザロがい
 た。**2** イエスのためにそこで夕食会
 が設けられた。マルタは給仕してい
 て、ラザロはイエスと一緒に食事をして
 いる人々の中にいた。**3** その時マ
 リアは、非常に高価な香油、純粋のナ
 ルドを300グラム持ってきて、イエスの
 足に注ぎ、髪のもで拭いて乾かした。

12:2 *または、「食卓で横になって」。

第11章

(ヨ) サ 13:23
 代 12:13-19

(イ) 出 12:14

申 16:1

ヨハ 2:13

ヨハ 5:1

ヨハ 6:4

ヨハ 12:1

第12章

(ヨ) ヨハ 11:1,43

(ヨ) ルカ 10:40

第2欄

(ヨ) マタ 26:6-10

マル 14:3-6

(イ) マタ 26:47

マル 14:10

ルカ 22:48

ヨハ 13:29

使徒 1:16

(ヨ) マタ 26:12

マル 14:8

ヨハ 19:40

(ヨ) 申 15:11

(ヨ) マタ 26:11

マル 14:7

(ヨ) ヨハ 11:43,44

(ヨ) ヨハ 7:31

ヨハ 11:44,45

(ヨ) 詩 118:25,26

マタ 21:8,9

マル 11:8,9

ヨハ 1:49

(ヨ) マタ 21:7

マル 11:7

ルカ 19:35

家は香油の香りでいっぱいになった。
4 しかし、弟子の1人で、イエスを裏
 切ろうとしていたユダ・イスカリオテが
 言った。**5** 「どうしてこの香油を300
 デナリで売って、貧しい人たちに施し
 をしなかったのか」。**6** とはいえ、ユ
 ダがそう言ったのは、貧しい人たちの
 ことを気に掛けていたからではなく、
 彼が泥棒で、管理していた金箱からよ
 く盗んでいたからだった。**7** そこで
 イエスは言った。「マリアをそのままに
 しておきなさい。私が葬られる日のた
 めに行っているのです。**8** 貧しい人
 たちはずっといますが、私はずっといる
 わけではありません」。

9 その間に、大勢のユダヤ人が、イ
 エスがそこにいることを知ってやっ
 て来た。イエスだけではなく、生き
 返らされたラザロも見るためだった。
10 祭司長たちはラザロも殺そうと相
 談した。**11** ラザロのために、多くの
 ユダヤ人がベタニヤへ行き、イエスに
 信仰を持つようになったからである。

12 次の日、祭りに来ていた大勢の
 人たちは、イエスがエルサレムに来
 ることを聞いた。**13** そしてヤシの木
 の枝を取ってイエスを迎えに出て、こ
 う叫び始めた。「お救いください、この
 方を！ エホバの名によって来る方、イ
 スラエルの王が祝福されますように！」

14 イエスは、若いロバを見つけて
 乗った。こう書いてある通りである。

12:5 *付録 B14 参照。 12:13 *付録 A5 参照。

15 「恐れることはない、シオン^{*}。あなたの王が来る。ロバの子に乗っている」。16 弟子たちは初めこれらのことを理解できなかったが、イエスが栄光を受けた時に、イエスについて書いてある通りのが起きたということが分かった。

17 イエスがラザロ^{ほか*}を墓^よから呼び出して生き返らせるのを見た人々は、そのことを語り続けた。18 それもあって、多くの人が、イエスがこの奇跡を行ったことを聞いて、会いに行った。19 それでパリサイ派の人たちは互いにこう言った。「全然うまくいかない。見なさい、誰も^{*}が彼に付いていってしまった」。

20 さて、崇拜のために祭りに来た人々の中にギリシャ人たちがいた。

21 その人たちは、ガリラヤのベツサイダ^{ひと}の人フィリポの所に来て、「イエスに会いたいのですが」と頼み始めた。

22 フィリポは行ってアンデレに伝え、2人は行ってイエスに伝えた。

23 イエスはこう答えた。「人の子が栄光を受ける時が来ました。24 はっきり言っておきます。1粒^{つぶ}の小麦は地面に落ちて死なない限り、ただ1粒のままです。しかし、死ぬなら、多くの実を結びます。25 自分の命に執着する人はそれを失いますが、この世界で

12:15 *直訳、「シオンの娘」。12:17 *または、「記念の墓」。12:18 *直訳、「しるし」。12:19 *直訳、「世」。12:23 *イエスのこと。用語集参照。

第12章

〔イ〕王1:33,34
イザ62:11
ゼカ9:9
マタ21:5

〔イ〕ヨハ7:39

〔イ〕ルカ24:45
ヨハ14:26

〔イ〕ヨハ11:1,43

〔イ〕マタ21:15
ルカ19:37

〔イ〕ヨハ11:48

〔イ〕ヨハ1:44

〔イ〕ヨハ13:31,32
ヨハ17:1

〔イ〕マタ16:21
ロマ14:9
コ一15:36

第2欄

〔イ〕啓12:11

〔イ〕マタ16:25
マル8:35
ルカ9:24

〔イ〕ヨハ14:3
ヨハ17:24
テサー4:17

〔イ〕マタ26:38
マル14:34

〔イ〕ルカ12:50
ルカ22:41,42
ヘブ5:7

〔イ〕マタ3:17
マタ17:5

マル11:11
マル9:7
ルカ3:22
ルカ9:35
ペ二1:17

〔イ〕ヨハ17:1

〔イ〕ヨハ14:30
ヨハ16:11
使徒26:17,18

コ二4:3,4
エフ2:1,2
ヨ一5:19

〔イ〕ルカ10:18
啓12:9

〔イ〕ヨハ8:28

〔イ〕使徒5:30

〔イ〕詩89:35,36
詩110:4
イザ9:7

〔イ〕ヨハ3:14

自分の命を惜しまない人は、それを保って永遠の命を得ます。26 私に仕えようと思う人は、私の後に従いなさい。私がいる所にその人もいることになります。私に仕えようと思う人は、天の父に尊ばれます。27 今、私の心は騒いでいます。何と言えよいのでしょう。父よ、私をこの事態から救い出してください。しかしやはり、私はまさにこのために来たのです。28 父よ、お名前を栄光あるものとしてください。すると、天から声があった。「私はすでにそれを栄光あるものとし、再び栄光あるものとする」。

29 そこに立っていた群衆はそれを聞いて、雷が鳴ったのだと言いました。「天使が彼に話し掛けたのだ」と言う人もいた。30 それに対してイエスは言った。「この声^{こえ}がしたのは、私のためではなく、皆さんのためです。31 今、この世は裁かれています。もうこの世の支配者は追い出されます。32 私の方は、地面から上げられたなら、あらゆる人を私に引き寄せます」。33 イエスは、自分がどんな死を遂げようとしているかを示すためにそう言っていた。34 それに対して群衆は言った。「私たちは、キリストが永久にとどまると律法にあるのを聞きました。人の子^{ひと}が上げられなければならないと言うのはなぜですか。人の子とは誰ですか」。35 イエスは言っ

12:32 *杭に掛けられるということ。

た。^{ひかり}「光はもうしばらく皆さんの間にあります。光があるうちに歩きなさい。闇に征服されないためです。闇の中を歩く人は、自分がどこへ行くのかを知らません。³⁶ 光があるうちに光に信仰を抱きなさい。光の子となるためです」。

イエスはこれらのことを言って去っていき、身を隠した。³⁷ イエスが人々の前で非常に多くの奇跡を行ってきたのに、人々はイエスに信仰を持たず、³⁸ 預言者イザヤのこの言葉が実現した。「エホバ、私たちから聞いた事に誰が信仰を持ったでしょうか。エホバの力は誰に示されたでしょうか」。³⁹ イザヤは、彼らが信じることができなかった理由について、こうも言っている。⁴⁰ 「私は彼らの目を見えなくし、彼らの心を固くさせた。彼らが目で見ず、心で理解せず、生き方を変えず、私が彼らを癒やすことのないためである」。⁴¹ イザヤはキリストの栄光を見たので、彼についてこれらのことを語った。⁴² 実際には、多くの支配者たちもイエスに信仰を持った。しかしパリサイ派を恐れて、会堂から追放されないために、公言しようとはしなかった。⁴³ 神からの称賛よりも人からの称賛を愛したのである。

⁴⁴ イエスは大声で言った。「私に信仰を持つ人は、私だけでなく、私

第12章

[ヨ]ヨハ 11:10

[イ]エフ 5:8

[ロ]ロマ 10:16

[コ]イザ 53:1

[ヨ]イザ 6:10
マタ 13:14
マル 4:11,12
使徒 28:27

[ヨ]イザ 6:1,8

[ヨ]ヨハ 19:38

[ヨ]ヨハ 9:22
ヨハ 16:2

[ヨ]ヨハ 5:44

第2欄

[ヨ]マタ 10:40

マル 9:37

[イ]ヨハ 14:9

[ヨ]ヨハ 3:19
ヨハ 8:12
ヨハ 9:5

[コ]ヨハ 12:35

[ヨ]ヨハ 3:16,17

[ヨ]ヨハ 8:38
ヨハ 14:10

[ヨ]ヨハ 6:40

[ヨ]ヨハ 3:34

第13章

[ヨ]ヨハ 16:28

ヨハ 17:11

[コ]マタ 26:2
ヨハ 12:23
ヨハ 17:1

[ヨ]ヨハ 15:9
エフ 5:2
ヨ一 3:16

[ヨ]ルカ 22:3,4
ヨハ 13:27

[コ]マタ 26:14-16
マタ 26:24
マル 14:10,11

[ヨ]ヨハ 16:28

をつか かわ しんこう もつ づか
を遣わした方にも信仰を持ちます。

⁴⁵ また、私を見る人は、私を遣わした方をも見ます。⁴⁶ 私は光として世に來ました。私に信仰を持つ人が誰も闇の中にとどまることのないためです。⁴⁷ とはいえ、私の言葉を聞いて守らない人がいても、私は裁きません。私が來たのは、世を断罪するためではなく、世を救うためだからです。⁴⁸ 私を無視して私の言葉を受け入れない人は裁かれます。私が話した言葉が終わりの日に裁くのです。⁴⁹ 私は自分の考えで話したのではなく、私を遣わした天の父が、何を言い何を教えるべきかを命じました。⁵⁰ 私は、永遠の命を得るには父のおきてに従う必要があることを知っています。それで、何でも父から告げられた通りに話しています」。

13 イエスは、過ぎ越しの祭りの前に、自分がこの世を去って天の父のもとに行くべき時が來たことを知った。そして、世にいて自分に従う人々たちを、それまでも愛してきたが、最後まで愛した。² 食事が進んでいが、悪魔はすでに、シモンの子ユダ・イスカリオテにイエスを裏切る考えを抱かせていた。³ イエスは、父が全てのものを与えてくださったことと、自分が神のもとから來て神のもとに行こうとしていることを知っていた。⁴ 食事の席から立ち、外衣を脇

に置いて、拭き布を取って腰にくっ
 5 それから、たらいに水を入れて
 弟子たちの足を洗い、腰にくった
 布で拭き始めた。6 こうしてシモン・
 ペテロの所に來た。ペテロは、「主
 よ、あなたが私の足を洗うのですか」
 と言った。7 イエスは答えた。「あ
 なたは私がしていることを今は理解し
 ていませんが、後になれば理解でき
 ます」。8 ペテロは言った。「足を
 洗っていただくことなどできません」。
 イエスは答えた。「私が洗わないとし
 たら、あなたは私の仲間ではありません」。
 9 シモン・ペテロは、「主よ、足
 だけでなく、手も頭もお願いします」と
 言った。10 イエスは言った。「体を
 洗った人は全身が清く、足以外は洗う
 必要がありません。あなたたちは清い
 のです。しかし全員ではありません」。
 11 イエスは、自分を裏切ろうとしてい
 る者を知っていたので、「全員が清い
 のではない」と言ったのである。

12 イエスは弟子たちの足を洗い、
 外衣を着てから、再び食卓に着き、こ
 う言った。「あなたたちにしたことが理
 解できますか。13 あなたたちは私
 を『先生』や『主』と呼びます。それは
 正しいことです。私はそういう者だか
 らです。14 それで、主であり先生で
 ある私があなたたちの足を洗ったの
 であれば、あなたたちも足を洗い合う
 べきです。15 私はあなたたちのた

第13章

(7) フィリ 2:5-7

(1) コー 6:11
 エフ 5:25,26
 テト 3:5
 ヘブ 10:22

(7) ヨハ 6:64

(1) マタ 23:8

(7) ルカ 22:27

(7) マタ 20:26,27
 ルカ 9:48
 ルカ 22:26
 ロマ 12:10
 ペー 5:5

第2欄

(7) フィリ 2:5
 ペー 2:21
 ヨー 2:6

(1) マタ 7:24,25
 ルカ 11:28
 ヤコ 1:25

(7) 詩 41:9
 マタ 26:23

(1) ヨハ 17:12

(7) ヨハ 14:29
 ヨハ 16:4

(7) マタ 25:40

(7) マタ 10:40

(7) マタ 26:21
 マル 14:18
 ルカ 22:21
 ヨハ 6:70

(7) マタ 26:22
 ルカ 22:23

(1) ヨハ 19:26
 ヨハ 20:2

めに模範を示しました。あなたたちも
 同じようにするためです。16 はつき
 り言っておきますが、奴隷は主人より
 偉くなく、遣わされた人は遣わした人
 より偉くありません。17 あなたたち
 はこうしたことを知っていますが、そ
 れを実行するとき、幸いです。18 全
 員について語っているのではありません。
 私は自分が選んだ者たちのこ
 とを知っています。しかし、『一緒にパ
 ンを食べていた人が私が敵対するよう
 になった』という聖句が実現します。
 19 私は、それが起きることを今あな
 たたちに告げます。それが実際に起き
 る時に、私のことが言われていたと分
 かるようになります。20 はっきり言っ
 ておきますが、私が遣わした人を受け入
 れる人は私をも受け入れ、私を受け入
 れる人は私を遣わした方をも受け入
 れます」。

21 イエスはこれらのことを言って
 から、ひどく苦悩し、「はっきり言ってお
 きますが、あなたたちの1人が私を裏
 切ります」と断言した。22 弟子たち
 は、誰のことかと戸惑いながら顔を見
 合せていた。23 弟子の1人でイ
 エスが愛する人が、イエスのそばに横
 になっていた。24 そこでシモン・ペ
 テロはその人に頼で合図して言った。
 「誰のことを言っているのか分かる
 か」。25 それで、その人はイエスの

13:18 *直訳、「向かってかかとを上げた」。
 13:23 *直訳、「懷」。

むなもと からだ そ しゅ だれ
胸元に体を反らせて、「主よ、それは誰
ですか」と言った。 26 イエスは答え
た。「私がパン切れを鉢に浸して与え
るのがその人です」。そしてパンを浸し
てから、シモン・イスカリオテの子ユダ
に与えた。 27 パンを受け取ると、ユ
ダにサタンが入った。そこでイエスは
ユダに言った。「あなたがしていること
をもっと早くしなさい」。 28 しかし、
食卓に着いていた人は誰も、なぜイエ
スがそう言ったのか分からなかった。
29 とはいえ、ある人たちは、ユダが金
箱を保管していたので、イエスが、「祭
りのために必要な物を買いなさい」と
か、貧しい人たちに何かを与えるよう
にと命じていると思っていた。 30 ユ
ダはパンを受け取った後、すぐに出て
いった。夜であった。

31 こうしてユダが出ていくと、イ
エスは言った。「今、人の子は栄光
を受け、神は人の子によって栄光を受
けています。 32 神は自ら人の子に
栄光を与え、しかもすぐにそうします。
33 友よ、私はもうしばらくあなたたち
と一緒にいます。あなたたちは私を捜
すようになります。私はユダヤ人たち
に、『私が行く所へあなた方は来るこ
とができない』と言いましたが、今は
あなたたちにも同じように言います。
34 私はあなたたちに新しいおきてを
与えます。それは、互いに愛し合うこ

13:28 *直訳、「で横になって」。 13:31 *イエ
スのこと。用語集参照。

第13章

(ヨ) ヨハ 21:20

(イ) マタ 26:23

(ヨ) ルカ 22:3,4

(ヨ) ヨハ 12:4-6

(ヨ) マタ 26:20

(ヨ) ヨハ 12:23

(イ) ヨハ 17:1

(ヨ) ヨハ 7:34
ヨハ 8:21

第2欄

(ヨ) ヨハ 15:9

(イ) レビ 19:18

ヨハ 15:12

テサ一 4:9

ヤコ 2:8

ペ一 1:22

ヨ一 3:14

(ヨ) ロマ 13:8
コ一 13:8,13
ヨ一 4:20

(ヨ) ヨハ 14:3

(ヨ) マタ 26:33

マル 14:29

ルカ 22:33

(ヨ) マタ 26:34

マル 14:30

ルカ 22:34

ヨハ 18:27

第14章

(イ) ヨハ 14:27

(ヨ) マル 11:22

ペ一 1:21

(ヨ) ルカ 12:32

ペ一 1:3,4

(ヨ) ヨハ 17:24

ロマ 8:17

フィリ 1:23

テサ一 4:16,

17

(ヨ) ヨハ 11:16

とです。私があなたたちを愛した通り
に、あなたたちも互いを愛しなさい。
35 あなたたちの間に愛があれば、全
ての人は、あなたたちが私の弟子であ
ることを知ります。

36 シモン・ペテロが言った。「主
よ、どこへ行くのですか」。イエスは
答えた。「あなたは私が行こうとして
いる所へ今は付いてくることができま
せん。しかし後で来ることになりま
す」。 37 ペテロは言った。「主よ、ど
うして今は付いていけないのですか。
あなたのためなら命もなげうちます」。
38 イエスは答えた。「私のために命
をなげうつというのですか。はつきり
言っておきますが、おんどりが鳴くまで
の間に、あなたは3度、私を知らないとい
言います」。

14 「動揺してはなりません。神
に信仰を抱き、私にも信仰
を抱きなさい。 2 私の父の家には住
む所がたくさんあります。そうでなかつ
たなら、そのことを告げたことでしょ
う。 3 行っ
て場所を整えたら、再び来てあなたた
ちを私の所に迎えます。私がいる所
にあなたたちもいるようにするのです。
4 私の行こうとしている所、そこへの
道をあなたたちは知っています」。

5 トマスが言った。「主よ、あなたの
行こうとしている所が分からないのに、

どうしてその道^{みち}が分かるでしょうか」。

6 イエスは言った。「^{わたし}私は道であり、^{真理}真理であり、命です。私を通してでなければ、誰も父のもとに行くことはできません。7 あなたたちが私を知っていたなら、私の父をも知っていたでしょう。あなたたちは今から父を知りますが、^{じっさい}実際にはすでに見ていました」。

8 フィリポが言った。「主よ、^{わたし}私たちに父を見せてください。それで十分です」。

9 イエスは言った。「こんなに長い間一緒に過ごしてきたのに、^{わたし}フィリポ、あなたはまだ私を知らないのですか。私を見た人は、父をも見たのです。どうして、『父を見せてください』と言うのですか。10 私と父が結び付いていることを信じていないのですか。あなたたちに言うことは、^{ご自分}独自の考えで言っているわけではありません。私とずっと結び付いている父が私を通して行動しているのです。11 私と父が結び付いていると言う私を信じなさい。それが難しければ、行動そのものを見て信じなさい。12 はっきり言っておきますが、^{わたし}私に信仰を抱く人も、私がしていることを行います。しかも、もっと大きなことを行います。私が父のもとに行くからです。13 また、あなたたちが私の名によって願ひ求めることが何であつても、私はそれを行います。父が子に関して称賛を受けるた

第14章

(ヨ) ヨハ 10:9
エフ 2:18
ヘブ 10:19,20

(イ) ヨハ 1:17
エフ 4:21

(ヨ) ヨハ 1:3,4
ヨハ 6:63
ヨハ 17:3
ロマ 6:23

(ヨ) 使徒 4:12

(ヨ) マタ 11:27
ヨハ 1:18

(ヨ) ヨハ 12:45
コロ 1:15
ヘブ 1:3

(ヨ) ヨハ 10:38
ヨハ 17:21

(ヨ) ヨハ 7:16
ヨハ 8:28
ヨハ 12:49

(ヨ) ヨハ 5:36

(ヨ) マタ 21:21
使徒 1:8
使徒 2:41

(ヨ) 使徒 2:32,33

第2欄

(ヨ) ヨハ 15:16
ヨハ 16:23

(イ) ヨハ 13:34
ヨハ 15:10
ヤコ 1:22

(ヨ) ルカ 24:49
ヨハ 15:26
ヨハ 16:7
使徒 1:5
使徒 2:1,4
ロマ 8:26

(ヨ) マタ 10:19,20
ヨハ 16:13
コー 2:12
ヨ一 2:27

(ヨ) コー 2:14

(ヨ) マタ 28:20

(ヨ) 使徒 10:40,41

(ヨ) ヨハ 10:38
ヨハ 17:21

(ヨ) ルカ 6:13,16
使徒 1:13

めです。14 あなたたちが私の名によって何か願ひ求めるなら、私はそれを行います。

15 あなたたちは、私を愛しているなら、私のおきてを守ります。16 私は天の父にお願いします。父は別の援助者を与えて、あなたたちと共に永久にいるようにしてくださいませ。17 それは真理を伝える聖なる力です。世の人々はそれを受けることができません。それを見ることも知ることもないからです。あなたたちはそれを知っています。それはあなたたちのもとにとどまり、あなたたちの内にあるからです。18 私はあなたたちを取り残されたままにはしません。あなたたちのもとに来ます。19 もうしばらくすれば、世の人々は私を見なくなります。しかしあなたたちは見ます。私は生きていて、あなたたちも生きるからです。20 その日にあなたたちは、私が父と結び付いていて、あなたたちと私が結び付いていることを知ります。21 私のおきてを受け入れてそれに従う人は私を愛しています。さらに、私を愛する人は父に愛されます。そして私はその人を愛して、自分のことをはっきり知らせます」。

22 イスカリオテでないユダが言った。「主よ、私たちには自分のことをはっきり知らせようとし、世の人々には」

14:16 * または、「慰める者」。 14:18 * または、「孤児」。

そうしようとしな、い、うのはどうい
うことですか。

23 イエスは答えた。「私^{わたし}を愛^{あい}する
人^{ひと}は私^{わたし}の言葉^{ことば}を守^{まも}ります。私^{わたし}の父^{ちち}
はそ^{ひと}の人^{あい}を愛^{わたし}し、私^{わたし}たち^{わたし}はそ^{ひと}の人^{ところ}の所^{ところ}に
行^いって一^{いっしょ}緒^{いっしょ}にいま^いす。**24** 私^{わたし}を愛^{あい}さ
ない人^{ひと}は私^{わたし}の言葉^{ことば}を守^{まも}りませ^なん。あな
た^きたち^{わたし}が聞^きいてい^いる言^{こと}葉^ばは私^{わたし}のもの
ではな^なく、私^{わたし}を遣^{つか}わした父^{ちち}のもの^{もの}です。

25 私^{わたし}は、あな^あなた^{なた}たち^{たち}と一^{いっしょ}緒^{いっしょ}にいま
間^{あいだ}にこ^こうしたこ^{こと}を話^{はな}しまし^た。 **26** し
かし、父^{ちち}が私^{わたし}の名^なによ^よって遣^{つか}わす援^{えん}助^{じょ}
者^{しや}つ^せまり聖^{せい}なる力^{ちから}が、あな^あなた^{なた}たち^{たち}に、
全^{すべ}てのこ^{こと}を教^{おし}えら^はなるとも^もに、私^{わたし}が話^{はな}
した全^{すべ}てのこ^{こと}を思^{おも}い起^{おこ}させま^すす。

27 私^{わたし}はあな^あなた^{なた}たち^{たち}が受^うけてい^いる平^{へい}
和^わをこ^これか^からも与^{あた}えま^すす。そ^それは世^よが
与^{あた}える平^{へい}和^わとは違^{ちが}いま^ます。動^{どう}揺^{よう}しては
な^なら^らず、弱^{よわ}気^きにな^なってま^まなりませ^なん。

28 あな^あなた^{なた}たちは、私^{わたし}は去^さってい^いき
ま^また戻^{もど}って来^きる』と私^{わたし}が言^いったの^のを聞^き
きま^ました。私^{わたし}を愛^{あい}してい^いるなら、私^{わたし}が
ち^ちち^ちのもと^いに行^いくこ^ことしてい^いるこ^こを喜^{よろこ}
ぶ^はずです。父^{ちち}は私^{わたし}より偉^い大^{だい}だか^からで
す。

29 今^{いま}、そ^そうな^なる前^{まえ}に私^{わたし}はあな^あ
た^たち^ちに告^つげま^ました。実^{じっ}際^{さい}にそ^そうな^なった
と^{とき}にあな^あなた^{なた}たち^ちが信^{しん}じるた^{ため}です。

30 私^{わたし}はも^もうあな^あなた^{なた}たち^ちと多^{おほ}くは語^{かた}
りませ^なん。世^よの支^し配^{はい}者^{しや}が来^きようとし^てい^い
るか^からで^すす。も^もつと^も、そ^その者^{もの}は私^{わたし}に
たい^{たい}して何^{なん}の力^{ちから}もあ^ありませ^なん。**31** し^し
かし、私^{わたし}が父^{ちち}を愛^{あい}してい^いるこ^こを世^よの
人^{ひと}々^{びと}が知^しるた^{ため}に、父^{ちち}が命^{めい}じ^じた通^{とお}
り

第14章

(例) ヨハ 15:10

(例) ヨー 2:24
啓 3:20

(例) ヨハ 5:19

ヨハ 7:16

ヨハ 12:49

(例) ルカ 24:49

ヨハ 15:26

ヨハ 16:13

ヨー 2:27

(例) ヨハ 16:33

エフ 2:14

フリ 4:6, 7

コロ 3:15

テサ 2:3-16

(例) ヨハ 20:17

コー 11:3

コー 15:28

フリ 2:5, 6

(例) ヨハ 13:19

ヨハ 16:4

(例) ヨハ 12:31

ヨハ 16:11

(例) ヨハ 16:33

第2欄

(例) ヨハ 10:18

ヨハ 12:49

ヨハ 15:10

フリ 2:8

第15章

(例) ペ二 1:8

(例) ヨハ 13:10

ヨハ 17:17

(例) ヨハ 6:56

コー 12:27

エフ 4:16

(例) ヨハ 15:16

(例) マタ 7:7

ヨハ 16:23

(例) マタ 5:16

ヨハ 13:35

フリ 1:9, 11

(例) ヨハ 3:35

にしてい^います。立^たちなさい。出^で掛^かけま
し^しょう。

15 私^{わたし}は真^{まこと}のブドウ^{ぶどう}の木^き、私^{わたし}の父^{ちち}
は耕^{こう}作者^{さくしや}です。**2** 父^{ちち}は、私^{わたし}
に^いある枝^{えだ}で実^みを結^{むす}んでい^いない枝^{えだ}を全^{すべ}
て切^きり落^おとし、実^みを結^{むす}んでい^いる枝^{えだ}を全^{すべ}
て手^て入^いれし^て、さ^さらに実^みを結^{むす}ぶよう^{よう}に
しま^すす。**3** あな^あなた^{なた}たちは、私^{わたし}が話^{はな}
した言^{こと}葉^ばによ^よってす^すでに清^きくな^なっていま^ま
す。**4** 私^{わたし}と結^{むす}び付^ついてい^いなさい。私^{わたし}

はあな^あなた^{なた}たち^ちと結^{むす}び付^ついたま^までいま^ま
す。枝^{えだ}がブドウ^{ぶどう}の木^きに付^きいてい^いなけれ^れ
ば実^みを結^{むす}べな^ないよう^{よう}に、あな^あなた^{なた}ちも
私^{わたし}と結^{むす}び付^ついてい^いなけれ^れば実^みを結^{むす}べ
ませ^なん。**5** 私^{わたし}はブドウ^{ぶどう}の木^き、あな^あなた^{なた}
たちはそ^その枝^{えだ}です。私^{わたし}と結^{むす}び付^ついてい^い
て、私^{わたし}が結^{むす}び付^ついてい^いる人^{ひと}、そ^その人^{ひと}は
多^{おほ}くの実^みを結^{むす}びま^ます。あな^あなた^{なた}たちは私^{わたし}
から離^{はな}れては何^{なん}も行^いえませ^なん。**6** 私^{わたし}
と結^{むす}び付^ついたま^までい^いない人^{ひと}は、投^なげ
ず捨^すてら^られて枯^かれてしま^いう枝^{えだ}のよう^{よう}です。

人^{ひと}々^{びと}はそ^そうした枝^{えだ}を集^{あつ}めて火^ひに投^なげ
込^こみ、燃^もやしてしま^いいます。**7** あな^あなた^{なた}
たち^ちが私^{わたし}と結^{むす}び付^ついたま^までい^いて、私^{わたし}
が言^いったこ^ころがあな^あなた^{なた}ちの心^{こころ}にとど
ま^まっているなら、自^じ分^{ぶん}が願^{ねが}うど^どんなこ^こと
でも求^{もと}めなさい。そ^それはかな^{かな}えられま^ま
す。**8** あな^あなた^{なた}ちが多^{おほ}くの実^みを結^{むす}び
続^{つづ}け、私^{わたし}の弟^{でし}子^しであるこ^ことを示^{しめ}すこ^こ
によ^よって、私^{わたし}の父^{ちち}は称^{しょう}賛^{さん}を受^うけま^ます。
9 父^{ちち}が私^{わたし}を愛^{あい}したよう^{よう}に、私^{わたし}はあな^あなた

15:2 *直訳、「清くして」。

たちを愛しました。いつも私に愛されるようにしてなさい。 **10** 私のおきてを守るなら、いつも私に愛されます。私が父のおきてを守っていつも父に愛されるようにしているのと同じです。

11 私がこれらのことを話したのは、あなたがたと同じ喜びを感じ、喜びに満たされるためです。 **12** 私があなたたちを愛した通りにあなたたちが互いを愛すること、これが私のおきてです。 **13** 友のために自分の命をなげうつこと、これより大きな愛はありません。 **14** 私が命じていることを行うなら、あなたたちは私の友です。

15 私はあなたたちをもう奴隷とは呼びません。奴隷は主人が行うことを知らないからです。私はあなたたちを友と呼びました。天の父から聞いたことを全てあなたたちに知らせたからです。 **16** あなたたちが私を選んだのではありません。私があなたたちを選び、あなたがたが実を結び続けるようにしたのであり、その実は残ります。そして、あなたがたが私の名によって父に何を求めても、父が与えてくださるのです。

17 私がこれらのことを命じるのは、あなたがたが互いに愛し合うためです。 **18** もし世の人々があなたたちを憎むなら、あなたたちを憎む前に私を憎んだということを思い出しなさい。

19 あなたたちが世の人々のようだっ

15:18 *または、「あなたたちは知ります」。

第15章

(7) ヨハ 16:24
ヨハ 17:13

(1) マル 12:31
ヨハ 13:34
テサ 4:9
ペー 4:8

(7) ヨハ 10:11
ロマ 5:7,8
エフ 5:1,2
ヨ一 3:16

(2) マタ 12:50
ヨハ 14:23

(7) ヨハ 14:13

(7) ヨハ 13:34
ヨ一 3:23

(7) マタ 10:22
ヨハ 17:14

第2欄

(7) ヤコ 4:4

(1) ルカ 6:22
ヨハ 17:14
ペー 4:4

(7) マタ 5:11
マタ 10:22
マタ 24:9
デモニ 3:12
ペー 2:21

(2) ヨハ 16:2,3

(7) ヨハ 9:41

(7) マタ 11:21

(7) ヨハ 5:23
ヨ一 2:23

(7) マタ 11:23
ヨハ 7:31
ヨハ 11:47

(7) 詩 35:19
詩 69:4
ルカ 23:22

(2) ルカ 24:49
ヨハ 14:26

(7) ヨ一 5:6

(2) ルカ 24:48
使徒 1:8
使徒 2:22
使徒 5:32

たら、世から好まれることでしよう。ところが、あなたたちは、私が世から選り出され、世の人々のようではないので、世から憎まれます。 **20** 奴隷は主人より偉くない、という私の言葉を覚えておきなさい。世の人々が私を迫害したのであれば、あなたたちをも迫害します。私の言葉を守ったのであれば、あなたたちの言葉も守ります。 **21** しかし世の人々は、私の名のためにこのようなひどいことをあなたたちに對して行います。私を遣わした方を知らないからです。 **22** もし私が来て世の人々に話していなかったなら、彼らには何の罪もないでしょう。しかし今となつては、自分たちの罪について何の言い訳もできません。 **23** 私を憎む人は、私の父をも憎みます。 **24** 私は、ほかの誰もしなかったことを世の人々の間で行いました。もし私がそうしていなかったなら、彼らには何の罪もないでしょう。しかし今、彼らは私を見た上で憎み、私の父をも憎みました。 **25** とはいえこれは、『彼らは不当にも私を憎んだ』という、律法にある言葉が実現するためです。 **26** 私は父のもとから援助者を遣わします。それは真理を伝える聖なる力で、父のもとから来ます。それが来て、私について証言します。 **27** そして今後は、あなたがたが証言します。あなたたちは私が伝道を始めた時から一緒にいるからです。

16 ^{わたし}私がこれらのことを言ったの
は、^{しんこう うしな}あなたが信仰を失わ

ないためです。 **2** 人々はあなたが
会堂から追放します。 ^{かいどう}実際、あなたが
人々を殺す人が皆、^{ころ ひどい}自分は神に神聖な
奉仕をしたと思う時が来ます。 **3** そ
うしたことをするのは、^{てん}天の父をも私を
も知らないからです。 **4** これらのこと
を話したのは、^{はな}そういうことが起きた
ときに、^{わたし}私がそれを話していたことを
あなたが思い出すためです。

これらのことを最初に話さなかった
のは、あなたが一緒にいたからで
す。 **5** しかし今、私は自分を遣わし
た方のもとに行こうとしています。 ^{かた}それでも、あなたがたの誰も、『どこに行
くのですか』とは尋ねません。 **6** か
えって、^{わたし}私がこれらのことを話したため
に、^{かな}悲しみに暮れています。 **7** しか
し実を言うと、^{じつ}私が去っていくことは
あなたがたのために来ます。 ^{わたし}私が去
らなければ、^{えんじょしや}援助者はあなたがたの
もとに来ませんが、^き去ったら、^{わたし}私はそ
の者を遣わすからです。 **8** その者は
来たら、^き罪に関し、^{きん}正しさに関し、^さ裁き
に關して、^{なつとく}納得のいく証拠を世に与え
ます。 **9** まず、^{つみ}罪に關してというの
は、^よ世の人々が私に信仰を抱いてい
ないからです。 **10** 次に、^{つぎ}正しさに関
してというのは、^{わたし}私が父のもとに行く
からです。 ^{わたし}あなたがたはもう私を見ま
せん。 **11** そして、^{さば}裁きに關してとい

16:1 *または、「罪を犯さない」。

第16章

(7) ヨハ 9:22

(4) マタ 24:9

使徒 8:1

使徒 12:1,2

使徒 26:11

(7) ヨハ 8:19

ヨハ 15:20,21

ロマ 10:2

コ一 2:8

(4) ヨハ 13:19

ヨハ 14:29

(7) ヨハ 7:33

ヨハ 13:3

(7) ヨハ 16:22

(4) ヨハ 14:16,26

ヨハ 15:26

使徒 2:32,33

(7) ヨハ 15:22

(7) ヨハ 5:37,38

第2欄

(7) ヨハ 12:31

ヨハ 14:30

(4) ヨハ 16:7

(7) 使徒 11:28

使徒 21:10,11

テモ一 4:1

(4) ヨ一 4:2

(7) ヨハ 15:26

ヨ一 2:27

(7) ヨハ 17:10

(4) ヨハ 7:33

ヨハ 14:19

うのは、この世の支配者が裁かれた
からです。

12 あなたたちに言うべきことがま
だたくさんありますが、あなたがたは
今はそれを理解できません。 **13** し
かし、その者、すなわち真理を伝える
聖なる力が来ると、^{せい}真理を十分に理解
できるように導いてくれます。 ^{その}その者
は自分の考えで話すのではなく、^き聞い
たことを話し、^つ将来のことを告げます。

14 そして私は誉れを受けます。その
者は私から聞いたことをあなたがたに
告げるからです。 **15** 父が持っている
ものは全て私のものです。それで私は、
その者は私から聞いたことをあなたが
たに告げると言ったのです。 **16** し
ばらくしたら、あなたがたはもう私を見
ません。でも、しばらくしたら、あなたが
たは私を見ます。

17 そこで弟子の何人かが互いにこ
う言った。『しばらくしたら私を見ない、
でもしばらくしたら私を見る』、『私
が父のもとに行くからだ』と言ってい
るが、どういう意味だろう。 **18** そし
て、『しばらく』と言うのはどういう意
味だろう。何のことを話しているのか
わからない。と言っていた。 **19** イエ
スは弟子たちが自分に質問したがっ
ているのを知って、こう言った。『しば
らくしたら私を見ない、でもしばらくし
たら私を見る』と言ったので、そのこと
を話し合っているのですか。 **20** はっ

16:12 *または、「に耐えられません」。

きり言っておきますが、あなたたちは泣き叫びますが、世の人々は喜びます。あなたたちは深く悲しみますが、悲しみは喜びに変わります。21 女性は、出産の時が来ると苦しみます。しかし、子供を産み終えると、人が世に生まれた喜びのためにもう苦痛を覚えていません。22 それで、あなたたちも今は悲しんでいますが、再び私に会い、心から喜びます。誰もその喜びを奪えません。23 その日、あなたたちは私に何も質問しません。はっきり言っておきますが、あなたたちが天の父に何か求めるなら、父は私の名によって与えてくださいます。24 今まで、あなたたちは私の名によって何一つ求めたことはありません。求めなさい。そうすれば受け、喜びに満たされます。

25 私はこれらのことを例えで話しましたが、もう例えで話さず、天の父に関してはっきり知らせる時が来ます。

26 その日、あなたたちは私の名によって父に願ひ求めます。私があなたたちのために願ひ求めるものではありません。27 父はあなたたちに愛情を抱いているのです。あなたたちは、私に愛情を抱き、私が神の代理として来たことを信じているからです。28 私は父の代理として世に来ました。そして今、世を去って父のもとに行こうとしています」。

29 弟子たちは言った。「今あなた

16:21 *または、「悲しみ」。

第16章

(マ) マタ 28:8
ルカ 24:39-41
ヨハ 20:19,20

(イ) ルカ 24:51,52

(ヨ) フィリ 4:6

(マ) ヨハ 14:13
ヨハ 15:16
ヨハ 5:14

(ヨ) ヨハ 14:21

(ヨ) ヨハ 17:7,8

(マ) ヨハ 13:3
ヘブ 9:24

第2欄

(マ) ゼカ 13:7
マタ 26:31
マル 14:27

(イ) ヨハ 8:29

(ヨ) ヨハ 14:27
エフ 2:14

(マ) ヨハ 14:30
使徒 14:22
ヨハ 4:4
ヨハ 5:4
啓 3:21

第17章

(ヨ) ヨハ 12:23
ヨハ 18:31,32

(ヨ) フィリ 2:9,10

(マ) ヨハ 6:37

(ヨ) ヨハ 4:14
ヨハ 6:27

(ヨ) ルカ 10:25-28

(ヨ) ヨハ 5:20

(ヨ) エフ 4:11,13
ペコ 3:18

(イ) ヨハ 4:34

(マ) ヨハ 13:31

ははっきりと話し、例えを使いません。

30 あなたが人の考えを知っていて、誰かがあなたに質問する必要などないことがわかりました。あなたが神のもとから来たことを信じます。31 イエスは答えた。「あなたたちは今、信じているのですね。32 あなたたちが散らされてそれぞれ自分の家に帰り、私を独りにする時が来ます。いえ、もう来ています。とはいえ、私は独りではありません。父と一緒にいてくださるからです。33 これらのことを言ったのは、あなたたちが私によって平和な気持ちになるためです。あなたたちは世で苦難に遭いますが、勇気を出さない! 私を世を征服したのです」。

17 イエスはこれらのことを話してから、天を見上げて、こう言った。「父よ、時は来しました。あなたの子に栄光をお与えください。子によってあなたが栄光をお受けになるためです。2 あなたは全人類に対する權威を子にお与えになりました。子がいふに託された人全てに永遠の命を与えるためです。3 永遠の命を得るには、唯一の真の神であるあなたと、あなたが遣わされたイエス・キリストの必要があります。4 私は、あなたから委ねられたことを成し遂げて、地上であなたをたたえました。5 父よ、人類が誕生する前に私があ

17:3 *または、「についての知識を取り入れる」。このギリシャ語動詞は、継続的な行為を表している。

あなたのそばで栄光を受けていたように、
今、私をそばに置いて栄光をお与えください。

6 私は、あなたが世から取って託してくださった人たちにあなたの名前を明らかにしました。この人たちはあなたのものでしたが、私に託してくださいました。彼らはあなたの言葉を守っています。7 彼らは今、あなたが私に与えてくださったもの全てがあなたからのものであることを知ようになりました。8 あなたが告げてくださった言葉を私が彼らに告げたからです。彼らはそれを受け入れて、私があなたの代理として来たことを本当に知り、あなたが私を遣わされたことを信じました。9 彼らに関してお願ひします。世に關してではなく、私に託してくださいました人たちに關してです。彼らはあなたのものだからです。10 私のものは皆あなたのもので、あなたのものは私のものです。私は彼らから称賛を受けました。

11 私は世からいなくなりますが、この人たちは世にいます。私はあなたのもとに向かいます。聖なる父よ、あなたは私にあなたの名前を託してくださいました。そのお名前のためにこの人たちを見守ってください。私たちが一つであるように、彼らも一つになるためです。12 私は、彼らと一緒にい

17:6 *または、「知らせ」。「または、「に従って」。
17:11 *または、「一致している」。「または、「一致する」。

第17章

ヨハ 1:1
ヨハ 8:58
コロ 1:15

イ 詩 22:22
使徒 15:14
ヘブ 2:12

ヨハ 6:68
ヨハ 8:28
ヨハ 12:49
ヨハ 14:10

ヨハ 16:27

ヨハ 16:30

ヨハ 16:15

ヨハ 13:1

ペー 1:5
ユダ 24

ヨハ 10:30
ヨハ 17:21

第2欄

ヨハ 6:39
ヨハ 10:28

ヨハ 18:9

マル 14:21

詩 41:9
詩 109:8
使徒 1:20

ヨハ 15:11

ヨハ 15:19
ヤコ 4:4

マタ 6:13
テサ二 3:3
ヨ一 5:18

ヨハ 18:36

コロ 1:13

エフ 5:25,26
テサ一 5:23
テサ二 2:13
ペー 1:22

詩 12:6
詩 119:151,
160

ヨハ 20:21

時、私に託してくださいましたお名前のためにいつも彼らを見守りました。私は彼らを守り、誰も滅びていません。滅びるあの者のみですが、それは聖句が実現するためでした。13 しかし今、私はあなたのもとに向かいます。私が世にいる間にこれらのことを言っているのは、彼らが私と同じ喜びに満たされるためです。14 私はあなたの言葉を彼らに伝えましたが、世の人々は彼らを憎みました。私が世の人々のようではないのと同じように、彼らも世の人々のようではないからです。

15 この人たちを世から取り去ることではなく、悪なる者から守ってください。16 私が世の人々のようではないのと同じように、彼らも世の人々のようではありません。17 真理によって彼らを神聖なものとしてください。あなたの言葉は真理です。18 あなたが私を世に遣わされたように、私も彼らを世に遣わしました。19 私は彼らのために自分を神聖なものとしています。彼らも真理によって神聖なものとなるためです。

20 私は、この人たちだけでなく、彼らの言葉によって私に信仰を持つ人々についても願ひします。21 それは、父よ、あなたと私が結び付いて

17:15 *サタンのこと。17:17 *または、「取り分けて」、「聖なるものとして」。

いるように、彼ら全員が一つになるためです。また、彼らも私たちと結び付いているようにしてください。あなたが私を遣わされたことを世の人々が信じるためです。22 私に誉れを与えてくださったように、私は彼らに誉れを与えました。私たちが一つであるように、彼らも一つになるためです。23 私は彼らと結び付いていて、あなたは私と結び付いておられます。彼らが完全に一つになるためです。そして世の人々が、あなたが私を遣わされ、私を愛してくださったように彼らを愛されたことを知るためです。24 父よ、私に託してください人々が私のいる所に一緒にいるようにと願います。世が始まる前に私を愛して与えてくださった栄光を彼らが見るためです。25 公正な父よ、確かに世の人々はあなたを知りませんが、私はあなたを知っており、この人たちが、あなたが私を遣わされたことを知っています。26 私はあなたのお名前を彼らに知らせました。これから知らせます。あなたが私を愛してくださったように彼らが愛を示し、私が彼らと結び付いているためです。

18 イエスはこれらのことを言い終えてから、弟子たちと一緒に外に出て、キデロンの谷を渡っ

17:23 *または、「一致する」。17:25 *または、「正しい」。17:26 *直訳、「愛してくださった愛が彼らの内にあり」。18:1 *または、「キデロンの冬の奔流」。

第17章

(イ) ヨハ 10:38
ヨハ 14:10

(イ) ロマ 12:5
コ一 1:10
ガラ 3:28

(イ) ヨハ 14:20
ヨハ 17:11
ヨ一 3:24

(イ) ルカ 22:28-30
テサー 4:17

(イ) ヨハ 17:5

(イ) ヨハ 8:55
ヨハ 15:21

(イ) マタ 11:27

(イ) マタ 6:9
ヨハ 17:6

(イ) ヨハ 15:9

第18章

(イ) サニ 15:23

第2欄

(イ) マタ 26:36
マル 14:32
ルカ 22:39

(イ) マタ 26:47
マル 14:43

(イ) マタ 2:23

(イ) ルカ 22:47

(イ) ヨハ 7:46

(イ) ヨハ 6:39
ヨハ 17:12

(イ) マタ 26:51
マル 14:47
ルカ 22:50

(イ) マタ 26:52
ルカ 22:51
ヨハ 18:36

(イ) マタ 20:22
マタ 26:42

て庭園がある所に行き、中に入った。2 裏切り者のユダもその場所を知っていた。イエスはそこで弟子たちとよく集まっていたからである。3 ユダは、兵士の一隊と、祭司長とパリサイ派に遣わされた下役たちを連れ、たいまつやランプや武器を携えてやって来た。4 イエスは、自分に起きることを全て知っていて、進み出て、「誰を捜しているのですか」と言った。5 その人たちは、「ナザレ人イエスだ」と答えた。イエスは言った。「それは私です」。裏切り者のユダもそこに立っていた。

6 「それは私です」とイエスが言った時、その人たちは後ずさりして地面に倒れた。7 イエスは再び、「誰を捜しているのですか」と尋ねた。「ナザレ人イエスだ」とその人たちは言った。8 イエスは言った。「それは私だと言いました。私を捜しているのであれば、この人たちは行かせなさい」。9 これは、「託してくださった人のうち、ひとり一人も失いませんでした」という言葉が実現するためだった。

10 その時、シモン・ペテロが、持っていた剣を抜き、大祭司の奴隷に襲い掛かって右耳を切り落とした。奴隷の名前はマルコスといった。11 しかしイエスはペテロに言った。「剣をさやに収めなさい。私は父が与えてくださった杯を飲むべきではありませんか」。

12 その時、兵士たちと軍司令官と

ユダヤ人^{じん}の下役^{したやく}たちはイエス^とを捕らえ^{とら}て縛り^{しば}, 13 まずアンナス^{あんなんす}の所^{ところ}に引いていった。アンナス^{あんなんす}は, その年^{とし}に大祭司^{だいさいし}司^{つかさど}だったカヤファ^{かやふ}のしゅうとであつた。14 カヤファ^{かやふ}は, 1人^{ひとり}の人が民^{たみ}のために死ぬ方^{しにう}が皆^{みな}の得^{とく}になる, とユダヤ人^{じゅだやじん}たちに助言^{じょげん}した人である。

15 さて, シモン・ペテロ^{しもん・ぺてろ}ともう1人^{ひとり}の弟子^{でし}がイエス^{いす}に付いていった。その弟子^{でし}は大祭司^{だいさいし}に知られていて, イエス^{いす}と一緒に大祭司^{だいさいし}の家の中庭^{なかにわ}に入^{はい}っていった。16 ペテロ^{ぺてろ}は外^{そと}で戸口^{とぐち}の所^{ところ}に立^たっていた。それで, 大祭司^{だいさいし}に知られていた弟子^{でし}が出ていって戸口番^{とぐちばん}に話^{はな}し, ペテロ^{ぺてろ}を中^{なか}に入^いれた。17 その際^{さい}, 戸口番^{とぐちばん}である召し使^{めつか}いの女性^{じょせい}がペテロ^{ぺてろ}に言^いった。「あなたもあの人^{ひと}の弟子^{でし}ではないでしょうね」。ペテロ^{ぺてろ}は, 「違う^{ちがう}」と言^いった。18 奴隷^{ぬれい}や下役^{したやく}たちは, 寒^{さむ}かったので炭火^{すみび}をおこし, 周り^{まわ}に立^たって体^{からだ}を温^{あた}めていた。ペテロ^{ぺてろ}も一緒に体^{からだ}を温^{あた}めていた。

19 祭司長^{さいしちやう}はイエス^{いす}に, 弟子^{でし}たちや教え^{おし}について質問^{しつもん}した。20 イエス^{いす}は答^{こた}えた。「私は皆^{わたし}の前^{みな}で話^{まを}してききました。全てのユダヤ人^{すべじん}が集^{あつ}まる神殿^{しんでん}や会堂^{かいどう}でいつも教^{おし}え, 何もひそかに話^{はな}したりはしませんでした。21 なぜ私^{わたし}に質問^{しつもん}するのですか。私が話^{はな}したことを聞^きいた人^{ひと}たちに質問^{しつもん}しなさい。私が言^いったことを知^しっています。22 イエス^{いす}がこう言^いうと, そばに立^たっていた

18:16 *または, 「入り口」。

第18章

ヨハ 26:57
ヨハ 18:24

ヨハ 3:2
使徒 4:5,6

ヨハ 11:49,50

マタ 26:58
マル 14:54
ルカ 22:54

マタ 26:69,70
マル 14:66-68
ルカ 22:55-57
ヨハ 18:25

マタ 26:55
ルカ 4:15
ルカ 19:47
ヨハ 7:14

第2欄

ヨハ 50:6

ヨハ 26:57

マタ 26:69,70
マル 14:69,70
ルカ 22:58

ヨハ 18:10

マタ 26:74
マル 14:72
ルカ 22:60
ヨハ 13:38

マタ 27:2
マル 15:1
ルカ 23:1

使徒 10:28

下役^{したやく}がイエス^{いす}の顔^{かお}を平手^{ひらて}打ち^うちし, 「祭司長^{さいし}にそんな答^{こた}え方^{かた}をするのか」と言^いった。23 イエス^{いす}は答^{こた}えた。「私が間違^{まちが}ったことを言^いったなら, 何が間違^{まちが}っているのかを言^いいなさい。しかし, 正しいなら, なぜたたくのですか」。

24 それからアンナス^{あんなんす}は, イエス^{いす}を縛^{しば}ったまま大祭司^{だいさいし}カヤファ^{かやふ}のもとに送^{おく}った。

25 さて, シモン・ペテロ^{しもん・ぺてろ}は立^たって体^{からだ}を温^{あた}めていた。すると人々^{ひとびと}が言^いった。「あなたも彼の弟子^{でし}ではないだろうな」。ペテロ^{ぺてろ}は否定^{ひてい}して, 「違う^{ちがう}」と言^いった。26 大祭司^{だいさいし}の奴隷^{ぬれい}の1人^{ひとり}で, ペテロ^{ぺてろ}に耳^{みみ}を切り落^きとされた男性^{だんせい}の親族^{しんぞく}が言^いった。「私はあなた^{わたし}が庭園^{ていえん}で彼^{かれ}と一緒にいたのを見^みたぞ」。27 しかし, ペテロ^{ぺてろ}はまた否定^{ひてい}した。するとすぐに, おんどりが鳴^ないた。

28 ユダヤ人^{じゅだやじん}たちはイエス^{いす}をカヤファ^{かやふ}の所^{ところ}から総督^{そうとく}の邸宅^{ていたく}に引いていった。もう早朝^{そうちやう}になっていた。しかし彼^{かれ}らは邸宅^{ていたく}に入^{はい}らなかつた。汚^{けが}されることなく, 過ぎ越し^{しよくじ}の食事^{しょくじ}をするためである。29 それでピラト^{ピラト}は彼ら^{かれ}がいる所^{ところ}に出てきて, 言^いった。「どんな理由^{りゆう}でこの人^{ひと}を訴^うえるのか」。30 ユダヤ人^{じゅだやじん}たちは答^{こた}えた。「この男^{おとこ}が悪事^{あくじ}をしていなければ, あなたに引き渡^{ひわた}したりはしません」。31 そこでピラト^{ピラト}は言^いった。「彼^{かれ}を連れていき, 自分^{じぶん}たちの律^{りつ}

18:23 *または, 「問違いを証明し」。18:30 *または, 「犯罪」。

ばう したが さば (刑) じん
法に従って裁きなさい。ユダヤ人た
ちは言った。「私たちが人を殺すこ
とは許されていません」。32 これは、
自分がどんな死を遂げようとしている
かについて述べたイエスの言葉が実
現するためだった。

33 それでピラトは再び総督の邸
宅に入り、イエスを呼んで、こう言っ
た。「あなたはユダヤ人の王なのか」。

34 イエスは答えた。「自分の考えで
そう尋ねているのですか。それとも、
ほかの人が私について告げたのです
か」。

35 ピラトは答えた。「私がユ
ダヤ人だともいうのか。あなたの国
の人々と祭司長たちがあなたを私に
引き渡したのだ。あなたは何をした
のか」。

36 イエスは答えた。「私の
王国はこの世界のものではありません
。もしそうだったなら、私に付き従
う者たちは、私をユダヤ人たちに渡さ
ないように戦ったでしょう。しかし実際
は、私の王国はこの世界からのものでは
ありません」。

37 ピラトは言った。
「それでは、あなたは王なのだな」。イ
エスは答えた。「その通りです。真理を
明らかにすること、このために私は生
まれ、このために私は世にきました。
真理に従う人は皆、私の声を聞きま
す」。

38 ピラトは言った。「真理とは
何か」。

そう言うってから、再びユダヤ人た
ち

18:37 *直訳、「あなた自身が私が王だと言っ
ています」。肯定を意味する慣用表現。*または、
「について証言する」。

第18章

(刑) ヨハ 19:6

(刑) ヨハ 19:10

(刑) マタ 20:18, 19

ヨハ 3:14

ヨハ 12:32

(刑) マタ 27:11

ヨハ 12:13

(刑) テモ— 6:13

(刑) イザ 9:6

ダニ 2:44

ダニ 7:14

(刑) マタ 26:52, 53

ヨハ 18:11

(刑) マタ 27:11

(刑) ヨハ 1:14, 17

ヨハ 14:6

第2欄

(刑) マタ 27:24

ルカ 23:4

ヨハ 15:25

(刑) マタ 27:15

マル 15:6

(刑) 民 35:31

ルカ 23:18, 19

使徒 3:14

第19章

(刑) イザ 50:6

マタ 20:18, 19

マタ 27:26

マル 15:15

(刑) マタ 27:27-29

マル 15:16, 17

ルカ 23:11

(刑) イザ 53:3

(刑) ルカ 23:4

ヨハ 18:38

(刑) マタ 27:22

マル 15:13

ルカ 23:21

(刑) ヨハ 18:31

(刑) レビ 24:16

(刑) マタ 26:63-65

ヨハ 5:18

の所に出て行って、言った。「彼には何
の過失も見つからない。39 それに、
あなた方の習慣に従って、過ぎ越しの
時に1人を釈放することになっている。
ユダヤ人の王を釈放してほしいか」。

40 ユダヤ人たちは再び叫んだ。「こ
の男ではなく、バラバを！」バラバは
強盗だった。

19 それからピラトはイエスを連
れていき、むち打った。2 兵
士たちはいばらで冠を編んでイエス
にかぶらせ、紫の長い衣を着せた。

3 そして近寄っていったは、「ごあいさ
つ申し上げます、ユダヤ人の王よ！」と
言った。また、顔を平手打ちするのだっ
た。4 ピラトはまた外へ行って、ユダ
ヤ人たちに言った。「さあ、彼をあなた
方の前に連れ出す。何の過失も見つ
けられないのだ」。

5 イエスは、いば
らの冠と紫の長い衣を身に着けて
外に出てきた。ピラトはユダヤ人た
ちに言った。「見なさい、この人だ！」

6 しかし、祭司長や下役たちはイエス
を見ると、「杭に掛けろ！杭に掛け
ろ！」と叫んだ。ピラトは言った。「自
分たちで連れて行って杭に掛けなさ
い。私は彼に何の過失も見つけれ
ない」。

7 ユダヤ人たちは答えた。
「私たちに法律があり、その律法に
よれば、彼は死に値します。自分を神
の子としたからです」。

19:3 *または、「万歳」。19:6 *または、「杭に
掛けて処刑しろ」。

8 ピラトはそれを聞いて、ますます
おそ 恐ろしくなった。 9 そして、また総督
の邸宅に入り、イエスに言った。「あな
たはどこから来たのか」。しかしイエ
スは何も答えなかった。 10 それで
ピラトは言った。「黙っているつもり
か。あなたを釈放する権限も処刑する
権限も私にあることを知らないのか」。
11 イエスは答えた。「天から与えら
れていなかったなら、あなたは私に
対して何の権限もないでしょう。それ
で、私をあなたに引き渡した人の罪は
もっと重いのです」。

12 そのため、ピラトはイエスを何と
か釈放しようとしたが、ユダヤ人た
ちはこう叫んだ。「この男を釈放するな
ら、あなたはカエサルの友ではありません。
自分を王とする者は皆、カエサ
ルに逆らっているのです」。 13 ピラ
トはこうした言葉を聞いてから、イエス
を連れ出し、石畳、ヘブライ語ではガ
バタと呼ばれる場所にある裁きの座
に座った。 14 それは過ぎ越しの準
備の日で、昼の12時ごろだった。ピラ
トはユダヤ人たちに言った。「見なさ
い、あなたの方の王だ!」 15 しかし彼
らは、「殺せ! 殺せ! 杭に掛けろ!」
と叫んだ。ピラトは言った。「あなたの方
の王を私が処刑するのか」。祭司長た
ちは、「私たちにはカエサルのほかに
王はいません」と答えた。 16 それ

19:10 *または、「杭に掛けて処刑」。

第19章

(ア) イザ 53:7
マタ 27:12, 14

(イ) ルカ 23:2
使徒 17:6, 7

(ウ) ヨハ 19:31

第2欄

(ア) ダニ 9:26
マタ 27:26, 31
マル 15:15
ルカ 23:24, 25

(イ) ヘブ 13:12

(ウ) マタ 27:32, 33
マル 15:22

(ウ) ヨハ 3:14
使徒 5:30
ガラ 3:13

(ウ) イザ 53:9
ルカ 23:33

(ウ) マタ 27:37
マル 15:26
ルカ 23:38

(ウ) マタ 27:35
マル 15:24
ルカ 23:34

で、ピラトはイエスを杭に掛けて処刑
するために引き渡した。

兵士たちはイエスを連れていった。
17 イエスは自分で苦しみの杭を担
いで、どくろの場所といわれる所へ出
ていった。そこはヘブライ語でゴルゴ
タと呼ばれている。 18 兵士たちは
そこでイエスを杭にくぎ付けにした。
ほかに2人の男をイエスの両側に1人
ずつくぎ付けにした。 19 またピラ
トは罪名を書いて、苦しみの杭に掲げ
た。それには、「ナザレ人イエス、ユダ
ヤ人の王」と書かれていた。 20 大
勢のユダヤ人がこれを読んだ。イエス
がくぎ付けにされた場所は都に近
かったからである。それはヘブライ語、
ラテン語、ギリシャ語で書かれていた。
21 しかし、ユダヤ人の祭司長たちは
ピラトに言った。『「ユダヤ人の王」と
ではなく、『自称ユダヤ人の王』と書
いてください』。 22 ピラトは答えた。
「私が書いたことだ」。

23 兵士たちはイエスを杭にくぎ
付けにしてから、イエスの外衣を取っ
て4つに分け、1人1つずつ手に入れ
た。内衣も取ったが、それは縫い目が
なく、上から下まで織ったものだった。
24 そこで彼らは互いに言った。「これ
は裂かないで、誰のものにするかをく
じで決めよう」。これは次の聖句が実
現するためだった。「彼らは私の服を
分け合い、私の衣服のためにくじを引

19:17 *用語集参照。

いた^(イ)。兵士^{へいし}たちはこの通り^{とお}にしたのである。

25 ところで、イエスの苦^{くる}しみの杭^{くい}のそばには、イエスの母親^{ははおや(イ)}と母親^{ははおや}の姉妹^{まい}、クロパの妻^{つま}マリアとマリア・マグダレネ^たが立^(イ)っていた。**26** イエスは、自分^{ぶん}の母親^{ははおや}と、愛^{あい}する弟子^{でし}がそばに立^たっているのを見て、母親^{ははおや}に言^いった。「見なさい、あなたの子^こです!」**27** 次に、その弟子^{でし}に言^いった。「見なさい、あなたの母親^{ははおや}です!」その時^{とき}から、その弟子^{でし}はイエスの母親^{ははおや}を自宅^{じたく}に引き取^ひった。

28 この後^{あと}、イエスは、それま^{すべ}でに全^{ぜん}てのことが成^なし遂^とげられたのを知^しって、聖句^{せい}が実現^{じつげん}するために、「喉^{のど}が渴^{かわ}いた」と言^いった。**29** そこには、酸味^{さんみ}の強い^{つよ}ぶどう酒^{しゅ}がいっばい入^{はい}ったつぼが置^おいてあ^{ひとびと}った。それで人々^{ひとびと}は、そのぶどう酒^{しゅ}を海綿^{かいめん}に十分^{じゅうぶん}ふくませてヒソブ^{*}の茎^きに付^つけ、イエスの口元^{くちもと}に持^もていった。**30** イエスはそのぶどう酒^{しゅ}を口^{くち}にしてから、「成^なし遂^とげられた!」と言^いい、頭^{あたま}を垂^たれて息^{いき}を引き取^ひった。

31 それは準備^{じゅんび}の日^ひだったので、安^{あん}息^{そく}日^びに死^し体が苦^{くる}しみの杭^{くい}に残^{のこ}ったま^ままにならな^いように(その安息^{あんそく}日^びは大^{だい}安息^{あんそく}日^びだった)、ユダヤ人^{じん}たちは、脚^{あし}を折^おって死^し体を下^{くだ}ろしてくれ^るようピラト^{たの}に頼^{たの}んだ。**32** それで兵士^{へいし}たちが来^きて、イエスの両脇^{りょうわき}で杭^{くい}に掛^かけられ^るた2人^{ふたり}の男^{おとこ}の両脚^{りょうあし}を折^おった。**33** し

第19章

(イ) 詩 22:18

(イ) ルカ 2:34, 35

(イ) マタ 27:55, 56

マタ 27:61

マル 15:40

ルカ 23:49

(イ) ヨハ 13:23

ヨハ 21:7, 20

(イ) 詩 22:15

(イ) 詩 69:21

マタ 27:48

マル 15:36

ルカ 23:36

(イ) ヨハ 17:4

(イ) イザ 53:12

マタ 27:50

マル 15:37

ルカ 23:46

(イ) ヨハ 19:14

(イ) 申 21:22, 23

(イ) レビ 23:5-7

第2欄

(イ) イザ 53:5

ゼカ 12:10

ヨハ 20:25

(イ) ヨハ 20:31

ヨハ 21:24

(イ) 出 12:46

民 9:12

詩 34:20

(イ) ゼカ 12:10

啓 1:7

(イ) ヨハ 7:13

ヨハ 9:22

(イ) 申 21:22, 23

マタ 27:57-60

マル 15:43-46

(イ) ヨハ 3:1, 2

ヨハ 7:50-52

(イ) ルカ 23:55, 56

(イ) ヨハ 20:7

(イ) イザ 53:9

(イ) ヨハ 19:14

かし、イエスの所^{ところ}に来てみると、すでに死^しんでいたので、脚^{あし}を折^おらなかつた。**34** けれども、兵士^{へいし}の1人^{ひとり}が脇腹^{わきばら}をや^やりで突^つき刺^さした。すると、すぐ^{すみず}に血^ちと水^{みづ}が出^でた。**35** 目撃^{もくげき}した人^{ひと}がこう証言^{しょうげん}しているのであり、その証言^{しょうげん}は真実^{しんじつ}である。その人^{ひと}は、自分^{自分}が言^いうことが真実^{しんじつ}だと知^しっていて、あなた^{あなた}方も信^{しん}じるために、語^{かた}った。**36** 事実^{じじつ}、これらのこと^{こと}は、「その骨^{ほね}は一つ^{ひとつ}も折^おれられない」という聖句^{せい}が実現^{じつげん}するために起^おきた。

37 また別の聖句^{べつ}に、「彼ら^{かれ}は自分^{自分}たち^{たち}が刺^さし通^{とお}した人^{ひと}を見^みつめる」とある。

38 こうしたことの後^{あと}、アリマタヤのヨセフ^{ヨセフ}がピラトに、イエスの体^{からだ}を下^おろさせてほ^{たの}しいと頼^{たの}んだ。ユダヤ人^だたちを恐^{おそ}れてひそかにイエスの弟子^{でし}とな^なっていた男性^{だんせい}である。この男性^{だんせい}はピラトの許可^{きょか}を得^えると、行^いってイエスの体^{からだ}を下^おろした。**39** 以前^(イ)、夜^{よる}にイエスの所^{ところ}に来^きたニコデモ^(イ)も、没薬^{もつやく}と沈香^{じんこう}を混^まぜ合^あわせたもの^{*}を30キロほど持^もってや^やって来^きた。**40** こうして彼ら^{かれ}はイエスの体^{からだ}を受け取^うり、葬^{ほうむ}の際^{さい}にユダヤ人^{じん}の習慣^{しゅうかん}通り^{とおり}、香料^{こうりょう}と一緒に^{いっしょ}に亜麻布^{あまふ}に包^{つつ}んだ。

41 とこで、イエスが処刑^{しょけい}された場^ば所^{しょ}には庭園^{ていえん}があり、そこ^{だれ}に、まだ誰^{だれ}も葬^{ほうむ}られたことがない新^{しん}しい墓^{はか}があ^あった。**42** ユダヤ人^{じん}の準備^{じゅんび}の日^ひで、その墓^{はか}が近^{ちか}かったの^{はか}で、そこ^{はか}にイエスを葬^{ほうむ}った。

19:36 *または、「砕^{くだ}いた」。 **19:39** *もしかすると、「巻^まいた」。 **19:41** *または、「記念^{きねん}の墓^{はか}」。

19:29 *用語集参照。 **19:30** *または、「自分の生命力^{せいめいりき}を引き渡^{わた}した」。

20 週の最初の日、マリア・マグダレネは朝早くまだ暗いうちに墓に来た。すると、すでに墓の入り口から石がどけられていた。**2** それで走って、シモン・ペテロ、およびイエスが愛情を持っていたもう1人の弟子の所に行き、こう言った。「誰かが主を墓から運び去りました。どこに持っていたのか分かりません」。

3 ペテロともう1人の弟子は墓に向かった。**4** 2人は一緒に走り出したが、もう1人の弟子の方が速く、先に墓に着いた。**5** そして前かがみになってのぞくと、亜麻布が置いてあるのが見えたが、中には入らなかった。**6** 次にシモン・ペテロが来て、墓の中に入った。亜麻布が置いてあるのが見えた。**7** イエスの頭を包んでいた布は、体に巻かれていた布とは別の場所しめて置いてあった。**8** その時、墓に先に着いた方の弟子も中に入り、見て信じた。**9** 2人は、イエスが必ず生き返るという聖句をまだ理解していなかった。**10** それで自分の家に戻っていった。

11 一方、マリアは墓の外に立ったまま泣いていた。泣きながら前かがみになって墓の中のをのぞくと、**12** イエスの体が置いてあった所に、白い衣服をまとった天使2人が座っていた。1人は頭の所、1人は足の所にある。**13** 2人は言った。「なぜ泣

20:1 *または、「記念の墓」。

第20章

(マ) マタ 28:1
マル 16:1,2

(イ) ルカ 24:1-3

(ヨ) ヨハ 13:23
ヨハ 19:26
ヨハ 21:24

(ヨ) ヨハ 19:41,42

(ヨ) ヨハ 19:40

(ヨ) 詩 16:10
マタ 16:21
使徒 2:27

(キ) マル 16:5

第2欄

(イ) ルカ 24:15,16
ルカ 24:30,31
ヨハ 21:4

(イ) マタ 28:10

(ヨ) ヨハ 14:28
ヨハ 16:28

(ヨ) コー 11:3
エフ 1:17
コロ 1:3

(ヨ) ルカ 24:9,10

(ヨ) ルカ 24:36

(キ) ヨハ 19:34

(ヨ) ヨハ 16:22

いているのですか」。マリアは言った。「誰かが私の主を運び去り、どこに持っていったのか分からないのです」。**14** こう言った後、振り返ると、人が立っているのが見えたが、それがイエスだとは気付かなかった。**15** イエスはマリアに言った。「なぜ泣いているのですか。誰を捜しているのですか」。マリアは、それが庭師だと思って、こう言った。「もし主を移動させたのでしたら、どこに置いたのか教えてください。私が引き取ります」。**16** イエスは、「マリア!」と言った。マリアは向き直ると、ヘブライ語で、「ラボニ!」(「先生」という意味)と言った。**17** イエスは言った。「私にすがり付くのはやめなさい。私はまだ父のもとへ上っていません。でも、私の兄弟たちの所に行つて、こう伝えなさい。『私は、私の父であなたたちの父である方、私の神であなたたちの神である方のもとへ上る』」。**18** マリア・マグダレネは行って、「主を見ました!」と弟子たちに知らせ、イエスが言ったことを伝えた。

19 週の最初であるその日の遅く、弟子たちがユダヤ人々への恐れのために戸に鍵を掛けていたのに、イエスが現れて皆の真ん中に立ち、「あなたたちに平和がありますように」と言った。**20** そう言うってから、両手と脇腹を見せた。こうして弟子たちは主を見て喜んだ。**21** イエスは再び

言った。「あなたが^{へい}に平和がありま^わすように。天の父が私を遣わしたよう^つに、私もあなたたちを遣わします」。

22 そう言った後で、弟子たちに息を吹き掛けて、言った。「聖なる力を受けなさい。23 あなたたちが人の罪を許すなら、それは許されています。あなたたちが人の罪を許さないなら、それは許されていません」。

24 12人の1人で、双子と呼ばれるトマスは、イエスが現れた時、その場にいなかった。25 それでほかの弟子たちはトマスに、「私たちは主を見た!」と言っていた。しかしトマスは言った。「その手にくぎの痕を見て、私の指をくぎの痕に入れ、手をその脇腹に当ててみない限り、決して信じない」。

26 8日後、弟子たちは再び室内にいて、トマスも一緒だった。戸に鍵が掛かっていたのに、イエスが現れて皆の真ん中に立ち、「あなたが^{へい}に平和がありますように」と言った。27 次にトマスに言った。「指でここを触り、私の手を見て、私の脇腹に手を当てなさい。そして、疑うのをやめ、信じなさい」。28 それに対してトマスは言った。「私の主、私の神!」29 イエスは言った。「私を見たので信じたのですか。見なくても信じる人は幸福です」。

30 確かにイエスは、弟子たちの前でほかにも多くの奇跡を行ったが、それはこの書には記されていない。

20:30 *直訳、「しるし」。

第20章

(イ) ルカ 24:36

(イ) イザ 61:1
ヨハ 5:36

(イ) マタ 28:19,20
ヨハ 17:18

(イ) 使徒 2:2,4

(イ) ヨハ 11:16

(イ) ヨハ 19:34

(イ) ヨハ 20:19

(イ) ヨハ 21:25

第2欄

(イ) ヨハ 3:15
ヨハ 5:24
ペー 1:8,9
ヨ一 5:13

第21章

(イ) ヨハ 11:16
ヨハ 20:24

(イ) ヨハ 1:45

(イ) マタ 4:21

(イ) ルカ 5:4,5

(イ) ルカ 24:15,16
ヨハ 20:11,14

(イ) ルカ 5:4,6

(イ) ヨハ 13:23
ヨハ 19:26
ヨハ 20:2

31 とはいえ、あなたが^{がた}が、イエスが^{かみ}神の子キリストであることを信じるため、そして信じてイエスの名によって命を受けるために、以上のことが記されたのである。

21 この後、イエスはティベリア湖で弟子たちの前に再び現れた。その様子はこうであった。2 シモン・ペテロ、双子と呼ばれるトマス、ガリラヤのカナの人ナタナエル、ゼバダイの子たち、それにあと2人の弟子が一緒にいた。3 シモン・ペテロが、「漁に行ってくる」と言うと、他の人たちも、「私たちも行く」と言った。皆で出掛け、舟に乗ったが、その夜は何も捕れなかった。

4 ちょうど夜が明ける頃、イエスが浜辺に立ったが、弟子たちはそれがイエスだと気付かなかった。5 イエスは言った。「友よ、食べる物がありませんね」。弟子たちは、「ありません」と答えた。6 イエスは言った。「舟の右側に網を投げなさい。そうすれば捕れます。そこで弟子たちは網を投げたが、魚があまりに多くて網を引き寄せられなかった。7 それで、イエスの愛する弟子がペテロに、「主だ!」と言った。裸だったシモン・ペテロは、主だと聞くと、服を着て湖に飛び込んだ。8 しかしほかの弟子たちは、魚でいっぱい網を引きながら、小舟で

21:5 *または、「魚」。21:7 *または、「半裸」。

やって来た。岸からそれほど遠くなく、
わずかに90メートルほどだった。

9 弟子たちが岸に着いた時、炭火の上に魚が置いてあり、パンもあった。

10 イエスは言った。「今捕った魚を少し持ってきたさい」。

11 それでシモン・ペテロは舟に乗り、大きな魚が153匹も入った網を岸に引き上げた。

それほど多かったのに、網は破れなかった。

12 イエスは、「さあ、朝食を取りなさい」と言った。弟子たちのうち誰も、「あなたは誰ですか」とあえて尋ねはしなかった。主だと分かっていたからである。

13 イエスはパンを取って弟子たちに与え、魚も同じようにした。

14 イエスが生き返ってから弟子たちの前に現れたのは、これで3度目だった。

15 弟子たちが朝食を終えると、イエスはシモン・ペテロに言った。「ヨハネの子シモン、これら以上に私を愛していますか」。

ペテロは答えた。「はい、主よ、私があなたに愛情を抱いていることをあなたは知っています」。

イエスは言った。「私の子羊を養いなさい」。

16 また2度目に、「ヨハネの子シモン、私を愛していますか」と言った。

ペテロは答えた。「はい、主よ、私があなたに愛情を抱いていることをあなたは知っています」。

イエスは言った。「私の小さな羊を世話なさい」。

17 そして3度目に、「ヨハネの子シモン、私に愛情を抱いていますか」と言った。

3度目に、「私に愛情を抱いていますか」と言われ、ペテロは悲しくなって、こう言った。「主よ、あなたは全て分かっています。私があなたに愛情を抱いていることを知っています」。

イエスは言った。「私の小さな羊を養いなさい」。

第21章

(ヨハ 20:19, 26)

(ヨハ 22:32)

使徒 20:28

ペー 5:2, 3

(ヨハ 使徒 1:15)

ヘブ 13:20

ペー 2:25

第2欄

(ヨハ 10:14, 15)

(ヨハ 19:28)

ヨハ 12:26

啓 14:4

(ヨハ 13:23)

ヨハ 20:2

ン、私に愛情を抱いていますか」と言った。

3度目に、「私に愛情を抱いていますか」と言われ、ペテロは悲しくなって、こう言った。

「主よ、あなたは全て分かっています。私があなたに愛情を抱いていることを知っています」。

イエスは言った。「私の小さな羊を養いなさい」。

18 はっきり言っておきますが、あなたはもっと若かった時、いつも自分で服を着て、歩きたい所を歩き回りました。

しかし年を取ると、手を伸ばし、服を着せられ、望まない所に連れていかれます」。

19 こう言ったのは、ペテロがどのような死によって神に栄光をもたらすかを示すためだった。

それからペテロに言った。「引き続き私の後に従いなさい」。

20 ペテロが振り向くと、イエスの愛する弟子が付いてくのが見えた。

食事の時にイエスの胸元に体を反らせて、「主よ、あなたを裏切るのは誰ですか」と言った人である。

21 ペテロはその弟子を見た時、イエスに言った。「主よ、この人はどうなりますか」。

22 イエスは言った。「私が来る時まで彼がいることが私の願いだとしても、あなたにどんな関係があるのですか」。

あなたは引き続き私の後に従いなさい」。

23 それで、その弟子は死なない、という話が弟子たちの間に広まった。

しかしイエスは、彼は死なないと言ったのではなく、「私が来る時まで

彼がいることが私の願いだとしても、
あなたにどんな関係があるのですか」
と言ったのである。

24 これらのことについて証言し、書
いたのはこの弟子であり、私たちは彼

第21章

ヨハ 13:23
ヨハ 19:26
ヨハ 20:2
ヨハ 21:7

第2欄

ヨハ 20:30,31

の証言が真実であることを知っている。
25 事実、イエスが行ったことはほ
かにも多くある。それを詳細に書いた
としたら、その巻物は世界に収まり切
らないと思う。

使徒の活動

概要

- テオフィロへの言葉 (1-5)
地の果てにまで証人となる (6-8)
イエスは天に昇る (9-11)
弟子たちが一致して集まる (12-14)
マツヤがユダの代わりに選ばれる (15-26)
- ペンテコステの日に聖なる力が注がれる
(1-13)
ペテロの話 (14-36)
人々がペテロの話に反応する (37-41)
3000人がバプテスマを受ける (41)
クリスチャンの絆 (42-47)
- ペテロは足が不自由な物乞いの人を癒やす
(1-10)
ソロモンの柱廊でのペテロの話 (11-26)
「全ての事柄の回復」(21)
モーセのような預言者 (22)
- ペテロとヨハネが捕らえられる (1-4)
男性の信者が5000人になる (4)
サンヘドリンでの裁判 (5-22)
「話すのをやめるわけにはいきません」(20)
大胆さを祈り求める (23-31)
弟子たちが所有物を分け合う (32-37)
- アナニアとサツピラ (1-11)
使徒たちが多くの奇跡を行う (12-16)
投獄され、その後、自由にされる (17-21前半)
再びサンヘドリンに連れていかれる (21後半-32)
「人ではなく神に」従う (29)
ガマリエルの意見 (33-40)
家から家へと伝道する (41, 42)
- 7人が奉仕のために選ばれる (1-7)
ステファノが冒瀆で訴えられる (8-15)
- ステファノがサンヘドリンで話す (1-53)
族長時代 (2-16)
モーセが民を導く。イスラエルは偶像を崇拝する (17-43)
神は人が造った神殿には住まない (44-50)
ステファノが石打ちにされる (54-60)
- サウロが会衆を迫害する (1-3)
サマリアでのフィリポの奉仕が実を結ぶ (4-13)
ペテロとヨハネがサマリアに遣わされる (14-17)
シモンが聖なる力をお金で買おうとする (18-25)
エチオピアの高官 (26-40)
- サウロがダマスカスに向かう (1-9)
サウロを助けるためにアナニアが遣わされる (10-19前半)
サウロはダマスカスでイエスについて伝道する (19後半-25)
サウロはエルサレムを訪れる (26-31)
ペテロがアイネアを癒やす (32-35)
惜しみなく与えるドルカスの復活 (36-43)
- コルネリオが幻を見る (1-8)
ペテロは清められた動物の幻を見る (9-16)
ペテロはコルネリオを訪ねる (17-33)
ペテロは異国の人々に良い知らせを伝える (34-43)
神は「不公平ではない」(34, 35)

- 異国の人々が聖なる力を受け、バプテスマを受ける (44-48)
- 11 ペテロは使徒たちに報告する (1-18)
シリアのアンティオキアでのバルナバとサウロ (19-26)
弟子たちが初めてクリスチャンと呼ばれる (26)
アガボが飢饉を予告する (27-30)
- 12 ヤコブが殺され、ペテロが牢屋に入れられる (1-5)
ペテロは奇跡的に自由にされる (6-19)
ヘロデが天使に打たれる (20-25)
- 13 バルナバとサウロが宣教者として遣わされる (1-3)
キプロス島での奉仕 (4-12)
パウロはピシディアのアンティオキアで話す (13-41)
異国の人々に伝道しに行くことに関する預言 (42-52)
- 14 イコニオムでの増加と反対 (1-7)
ルステラで神々と間違えられる (8-18)
パウロは石打ちにされるが、生き延びる (19, 20)
会衆を力づける (21-23)
シリアのアンティオキアに戻る (24-28)
- 15 アンティオキアで割礼に関する議論が生じる (1, 2)
問題がエルサレムに提出される (3-5)
長老や使徒たちが集まる (6-21)
統治体からの手紙 (22-29)
血を避ける (28, 29)
会衆は手紙によって励まされる (30-35)
パウロとバルナバは別れる (36-41)
- 16 パウロはテモテを選ぶ (1-5)
マケドニアの男性の幻 (6-10)
フィリピでルデアが信者になる (11-15)
パウロとシラスが投獄される (16-24)
牢番と家の人たちがバプテスマを受ける (25-34)
パウロは公の謝罪を求める (35-40)
- 17 テサロニケでのパウロとシラス (1-9)
ベレアでのパウロとシラス (10-15)
アテネでのパウロ (16-22前半)
- パウロはアレオパゴスで話す (22後半-34)
- 18 コリントでのパウロの奉仕 (1-17)
シリアのアンティオキアに戻る (18-22)
パウロはガラテアとフリギアに向かう (23)
雄弁なアポロが援助を受ける (24-28)
- 19 エフェソスでのパウロ、再びバプテスマを受けた人たち (1-7)
パウロは教える (8-10)
邪悪な天使の影響を取り除く (11-20)
エフェソスでの暴動 (21-41)
- 20 マケドニアとギリシャでのパウロ (1-6)
トロアスでのユテコの復活 (7-12)
トロアスからミレトスへ (13-16)
パウロはエフェソスの長老たちと会う (17-38)
家から家へと教える (20)
「与える方が幸福」 (35)
- 21 エルサレムへの道中 (1-14)
エルサレムに到着する (15-19)
パウロは長老たちの助言に従う (20-26)
神殿で暴動が起き、パウロが捕まる (27-36)
パウロは群衆に話すことを許される (37-40)
- 22 群衆の前でのパウロの弁明 (1-21)
パウロはローマ市民権を行使する (22-29)
サンヘドリンが集まる (30)
- 23 パウロはサンヘドリンで話す (1-10)
パウロは主によって力づけられる (11)
パウロを殺す陰謀 (12-22)
パウロはカエサリアに移される (23-35)
- 24 パウロに対する訴え (1-9)
フェリクスの前でのパウロの弁明 (10-21)
パウロの件が扱われずに2年がたつ (22-27)
- 25 フェストの前でのパウロの裁判 (1-12)
「カエサルに上訴します!」 (11)
フェストがアグリッパ王に相談する (13-22)
パウロはアグリッパの前に立つ (23-27)
- 26 アグリッパの前でのパウロの弁明 (1-11)
パウロはクリスチャンになった経緯を話す (12-23)
フェストとアグリッパの反応 (24-32)
- 27 パウロは船でローマに向かう (1-12)
船が嵐に遭う (13-38)

難船する (39-44)

28 マルタ島に着く (1-6)

ポプリオの父親が癒やされる (7-10)

ローマへの道中 (11-16)

パウロはローマのユダヤ人に語る (17-29)

パウロは2年間、大胆に伝道する (30, 31)

1 テオフィロ様、私は最初の記述
で、イエスがいきなり、教え始めた

すべての事柄についてまとめました。

2 イエスが、選んだ使徒たちに聖なる
力によって指示を与えた後に、天に上
げられた日までの事です。**3** イエス

は苦難を味わった後、自分が生きて
いることを多くの確かな証拠によって

使徒たちに示しました。40日にわ
たてて現れ、神の王国について話しま

した。**4** そして、使徒たちと集まって

いた時に、こう命じました。「エルサレ

ムを離れないで、天の父が約束したも

の、私から聞いたものを待っていないさ

い。**5** ヨハネは水でバプテスマを施

しましたが、あなたたちは何日もしな

いうちに聖なる力でバプテスマを施さ

れます」。

6 それで、使徒たちは集合した時、

イエスに尋ねた。「主よ、今イスラエル

に王国を回復するのですか」。**7** イ

エスは言った。「天の父の権限で定め

られた時や時期について、あなたたち

が知る必要はありません。**8** しかし、

聖なる力があなたたちに働く時、あな

たたちは力を受け、エルサレムで、ユ

ダヤとサマリアの全土で、また地上の

第1章

(ア) ルカ 1:3
ルカ 3:23

(イ) ヨハ 15:16

(ウ) テモ 3:16

(エ) マタ 28:9
ヨハ 20:19
コリ 15:4-7

(オ) ルカ 24:27

(カ) ルカ 24:49

(キ) ヨハ 14:16, 17
使徒 2:33

(ク) ヨエ 2:28
マタ 3:11
マル 1:8

(ケ) ルカ 19:11
ルカ 24:21

(コ) ダニ 2:20, 21
マタ 24:36

(ク) 使徒 4:33

(ケ) 使徒 5:27, 28

(コ) 使徒 8:14

第2欄

(ア) コロ 1:23

(イ) イザ 43:10
ルカ 24:48
ヨハ 15:26, 27

(ウ) ルカ 24:51
ヨハ 6:62

(エ) マタ 28:2, 3

(オ) ルカ 24:52

(カ) マタ 10:2-4
マル 3:16-19

(キ) ルカ 23:49

(ク) マタ 13:55
ヨハ 7:5
ガラ 1:19

最も遠い所にまで、私の証人となりま

す」。**9** イエスはこう言った後、使徒

たちが見守る中で上げられ、雲のため

に見えなくなった。**10** イエスが上っ

ていく間、使徒たちが空を見つめてい

ると、突然、白い服を着た2人の人が

そばに立ち、**11** こう言った。「ガリ

ヤの人たち、なぜ空を眺めて立ってい

るのですか。空へ上げられたこのイエ

スは、空に入っていくのをあなたたち

が見たのと同じ仕方です」。

12 それから使徒たちは、オリーブ

山からエルサレムに帰った。その山は

エルサレムに近く、安息日に移動が許

される距離だった。**13** 使徒たちは

到着すると、滞在していた階上の部屋

に上がった。ペテロ、ヨハネとヤコブ

とアンデレ、フィリポとトマス、バルト

ロマイとマタイ、アルパヨの子ヤコブと

熱心な人シモン、ヤコブの子ユダであ

る。**14** 皆、思いを一つにしてひたす

ら祈り続けた。何人かの女性、イエス

の母親マリヤ、イエスの弟たちも一緒

だった。

15 そうした日のこと、ペテロは兄

弟たち(人数は全部で約120人)の真

ん、兄弟たち、ダビデが聖なる力に
よって語ったユダに関する預言は実現
する必要があります。ユダは、イエ

スを捕らえた人たちを案内しました。

17 彼はかつて私たちの1人で、一緒

にこの奉仕を行いました。18 (この

人は悪い行いに対する報酬で土地を

買い取りましたが、真逆さまに落ち

て、体は裂け、内臓が全部出てしま

いました。19 このことはエルサレムの

全住民に知られるようになり、その土

地は、アケルダマすなわち「血の土地」

と呼ばれました。) 20 詩編の書に、

『彼が住む所が荒廃し、そこに誰も住

まなくなりますように』、また、『監督

職にほかの人が就きますように』と書

いてあります。21 それで次のことが

必要です。主イエスが私たちと一緒に

活動した間ずっと私たちに同行してい

た人たち、22 つまり、主がヨハネに

よるバプテスマを受けてから天に上げ

られる日まで同行していた人たち、そ

のうちの1人が私たちと共に主の復活

の証人となるべきです。

23 そこで兄弟たちは2人の人を候

補に挙げた。バルサバと呼ばれ、別名

ユストというヨセフと、マツヤである。

24 そしてこう祈った。「全ての人の心

を知っておられるエホバ、この2人のう

ちどちらを選ばれたかをお示くださ

い。25 この奉仕と使徒職を担う人

第1章

(ア) 詩 41:9

詩 55:12

ヨハ 13:18

(イ) ルカ 22:47

ヨハ 18:3

(ウ) マタ 10:2,4

ルカ 6:12-16

ヨハ 6:70,71

(エ) ゼカ 11:12

マタ 26:14,15

(オ) マタ 27:5-8

(カ) 詩 69:25

(キ) 詩 109:8

(ク) マタ 3:13

(ケ) ルカ 24:51

使徒 1:9

(コ) マタ 28:5,6

マル 16:6

(コ) サー 16:7

代一 28:9

エレ 11:20

第2欄

(ア) ヨハ 6:70

(イ) 格 16:33

第2章

(ウ) レビ 23:16

申 16:9-11

(エ) 使徒 4:31

(オ) マル 1:8

ヨハ 14:26

(カ) 使徒 10:45,46

コ一 12:8,10

(キ) 出 23:17

(ク) マル 14:70

使徒 1:11

(ケ) 王二 17:6

(コ) ダニ 8:1,2

(ケ) ペー 1:1

をです。ユダはそれを捨てて自分の道
を歩きました。26 こうして2人につ
いてくじを引くと、くじはマツヤに当
たり、マツヤは11人の使徒に加えら
れることになった。

2 さて、ペンテコステの祭りの日、
弟子たちは皆一緒に同じ場所に

いた。2 突然、激しい風が吹き付け

るような音が天からして、彼らが座っ

ていた家全体に響き渡った。3 そし

て、炎のような舌が幾つも現れ、散っ

て一人一人の上に1つずつとどま

り、4 皆が聖なる力に満たされ、さま

ざまな言語で話し始めた。聖なる力

が、話せるようにしたのである。

5 この時、エルサレムには、神を畏

れるユダヤ人が世界のあらゆる国から

来ていた。6 この音がした時、大勢

の人が集まってきて、あっけに取られ

た。誰もが自分の言語で弟子たちが

話すのを聞いたからである。7 人々

はすっかり驚いて、こう言った。「見な

さい、話しているこの人たちは皆ガリ

ラヤ人ではないか。8 では、私たちが

それぞれ自分の母語を耳にしてい

るのはどうしてか。9 ここには、バル

チヤ人、メディア人、エラム人、メソポ

タミアの住民や、ユダヤとカパドキア、

ポントスとアジア州、10 フリギアと

パンフリヤ、エジプト、リビアの中でキ

1:26 *つまり、他の11人と同じと見られた。2:
4 *または、「舌」。2:8 *または、「生まれた国の
言語」。

1:18 *または、「真ん中から裂け」。1:24 *付
録 A5 参照。

レネに^{ちか}近い^ち地方^{ほう}の^{じゅうみん}住民^き、ローマから来^きて滞^{たいざい}在^{ひと}している^{じん}人^{じん}がいる。ユダヤ人^{かいしゅうしや}や改^か宗^{しゅう}者^{しや}だ。11 クレタ人^{じん}、アラビア人^{じん}もいる。その私^{わたし}たちが、神^{かみ}の偉^い大な^{だいな}働^{はたら}きについて彼^{かれ}らが私^{わたし}たちの言^{げん}語^ごで話^{はな}すのを聞^きているのだ。12 人々^{みな}は皆^{みな}、非常^{ひじょう}に驚^{おどろ}き、また当^{どう}惑^{わく}して、「これ^{これ}はどうい^{たが}うこと^いなのか^い」と互^{たが}いに言^いった。13 一方^{いっほう}、弟^{でし}子^したち^{でし}を^{でし}あざけ^{あま}って、^{*}「甘^{あま}い^{*}ぶどう酒^{しゅ}に酔^よっているのだ^{ひと}」と言^いう人^{ひと}もいた。

14 しかしペテロ^{にん}が11人と一^{いっしよ}緒^{しよ}に立^たち上^あがり、大^{だい}声^{せい}でこ^おう話^おした。「ユダヤ^{ひと}の人^{じん}たち、そし^そてエルサレ^{じゅうさる}ムの^{みん}住^し民^{じん}の皆^{みな}さん、知^しっていた^{わたし}だ^いき^きたい^きことがあ^あります。私^{わたし}が言^いうこと^{ひと}をよ^よく聞^きいてく^{かた}ださい。15 この人^{ひと}たちは、あ^あなた^お方^{かた}が思^{おも}うよ^ように酔^よっているのではあ^いりま^あせん。今^{いま}は朝^{あさ}の9時^じな^なです。16 そ^それど^れこ^ころか、こ^これは預^よ言^{げん}者^{しや}ヨエル^とを通^{とお}して言^いわ^{かみ}れたこと^{かみ}です。17 『神^{かみ}は言^いう。お^お終^じわ^だりの^わ時^{せい}代^{だい}に、私^{わたし}は聖^{せい}なる力^{ちから}をあら^{ひと}ゆる人^{ひと}に注^{そそ}ぐ。あ^あなた^あた^あち^あの^あ息^{むすこ}子^こや娘^{むすめ}は預^よ言^{げん}し、若^わ者^{しや}は幻^{まぼろし}を見^み、老^{ろう}人^{じん}は夢^むを見^み。18 そ^その時^{とき}代^{だい}に、私^{わたし}は聖^{せい}なる力^{ちから}を私^{わたし}の男^{おとこ}奴^な隷^{れい}と女^{おんな}奴^な隷^{れい}にも注^{そそ}ぎ、彼^{かれ}らは預^よ言^{げん}する。19 私^{わたし}は、上^{かみ}は天^{てん}に不^ふ思^し議^ぎなこ^ことを、下^{した}は地^ちにしるしを^を与^{あた}える。血^ちと火^ひと濃^こい煙^{けむり}である。20 太^{たい}陽^{よう}は闇^{やみ}に、月^{つき}は血^ちに^か変^かわる。エ^{*}ホバ^おの大^おいなる輝^{かがや}かしい日^ひが来^きる前^{まえ}

2:13 *または、「新しい」。2:20, 21, 25 *付録A5参照。

第2章
[例] 出12:48

[例] 使徒1:13

[例] ヨエ2:28

[例] コー12:8,10

第2欄
[例] ヨエ2:28-32
ロマ10:13

[例] ヨハ5:36
ヨハ14:10

[例] ヨハ19:10,11
使徒4:27,28
ペー1:20

[例] ルカ23:33
使徒5:30
使徒7:52

[例] 使徒3:15
ロマ4:24
コー6:14
コロ2:12
ヘブ13:20

[例] ヨハ10:17,18

[例] 使徒13:35

[例] 詩16:8-11

に。21 エホバの名^なを呼^よぶ人^{ひと}は皆^{みな}救^{きう}われる。』。

22 イスラエルの皆^{みな}さん、この言^{こと}葉^はを聞^きいてく^{かみ}ださい。神^{かみ}は、あ^あなた^が方^がが知^しっている通^{とお}り、ナザレ人^{なざれじん}イエスを^と通^{とお}してあ^あなた^が方^がのた^なだ中^{なか}で強^{きやうりよく}力^{りよく}な^{おこな}行^{ぎやう}い^{*}と不^ふ思^し議^ぎなこ^ことと奇^き跡^{せき}を行^いい、イエスをあ^あなた^が方^がには^{しめ}き^いり^いに^いは^いき^いり^い示^ししま^いした。23 あ^あなた^が方^がは、神^{かみ}の意^い志^しと予^よ知^ちの通^{とお}り^にに^にき^にわた^がされた^{かた}この^い方^いを、不^ふ法^{はう}な人^{ひと}たちによ^くて^う杭^つに打^{うち}付^つけて殺^{ころ}しま^しした。24 しかし神^{かみ}は、こ^この方^{かた}を死^しの苦^{くる}しみから解^{かい}放^{ほう}して復^ふ活^{かつ}させま^いした。こ^この方^{かた}が死^しに捕^とらえら^えれているこ^ころなどあり得^えな^いか^いったか^いらです。25 ダビデはこの方^{かた}についてこ^こう言^いっていま^いす。『私^{わたし}はエホバ^{*}を絶^たえず自^じ分^{ぶん}の前^{まえ}に置^おく。神^{かみ}が私^{わたし}の右^{みぎ}にいてく^くださるので、決^{けつ}して動^{どう}揺^{よう}するこ^ころはな^ない。26 そ^そのため、私^{わたし}のこ^ころは楽^{たの}しくな^なり、私^{わたし}は喜^{よろこ}びに満^みたさ^{かた}れて語^{かた}った。そ^そして希^き望^{ぼう}を^も持^もって生^いきる。27 あ^あなた^が方^がは私^{わたし}を墓^{はう}に放^{はな}つてお^おか^かず、あ^あなた^がに尽^{つく}す人^{ひと}の体^{からだ}が腐^ふ敗^{はい}するこ^ころも許^{ゆる}さ^いないか^いらだ。28 あ^あなた^がは命^{いのち}の道^{みち}を知^しら^しせてく^くださ^えった。そ^そして、あ^あなた^がの前^{まえ}で私^{わたし}を喜^{よろこ}びで満^みた^えしてく^くださ^える。』

29 皆^{みな}さん、兄^{きやうだい}弟^ふたち、父^ふ祖^そダビデに

2:22 *または、「奇跡」。「直訳、「しるし」。2:24 *もしかすると、「縄」。2:25 *または、「目の前」。2:26 *直訳、「そして私の肉体は」。2:27 *ギリシャ語、ハデス。用語集参照。*または、「を揺るぎなく支持する」、「から離れない」。2:28 *または、「顔の前」。

ついで、彼が死んで葬られ、その墓が今日までこの都市にあることを自信を持って語ることができます。30 ダビデは預言者で、子孫の1人を彼の王座につかせることを神が誓って約束してくださったので、31 キリストの復活を予見し、キリストが墓に見捨てられず、その体も腐敗しないと語りました。32 神はこのイエスを復活させました。私たちは皆そのことの証人です。33 それで、この方は天に昇って神の右に座り、約束の聖なる力を天の父から受けたので、それを注ぎました。その聖なる力の働きをあなた方は見聞きしているのです。34 ダビデは天に昇りませんでした、こう言っています。『エホバは私の主に言った。『私の右に座っていなさい。35 私があなたの敵たちをあなたの足台として置くまで』。36 ですから、イスラエル国民は皆、神がその方を主ともキリストともしたことをはっきりと知ってください。そのイエスをあなた方は杭に掛けて処刑したのです。』

37 人々はこれを聞くと、心を刺され、ペテロやほかの使徒たちに言った。「皆さん、兄弟たち、私たちはどうしたらよいのですか」。38 ペテロは言った。「悔い改めなさい。そしてひとりひとり、罪の許しのためにイエス・

2:30 *直訳、「腰の実」。2:31 *ギリシャ語、ハデス。用語集参照。2:34, 39, 47 *付録A5参照。

第2章

(イ) 王1-2:10

(イ) サニ 7:12, 13
詩 89:3, 4
詩 132:11

(イ) 詩 16:10

(イ) ルカ 24:46-48
使徒 1:8
使徒 3:15(イ) ロマ 8:34
フィリ 2:9-11
ペー 3:22

(イ) ヨハ 14:26

(イ) 詩 110:1
ルカ 20:42, 43
コー 15:25
ヘブ 10:12, 13(イ) マタ 28:18
ヨハ 3:35
使徒 5:31

(イ) ヨハ 19:6

(イ) ルカ 24:46, 47
使徒 17:30
使徒 26:20

第2欄

(イ) マタ 26:27, 28
エフ 1:7

(イ) マタ 28:19

(イ) ヨエ 2:28

(イ) ヨエ 2:32

(イ) 申 32:5
詩 78:8(イ) 使徒 8:12
使徒 18:8(イ) 使徒 4:4
使徒 5:14

(イ) 使徒 2:46

(イ) 使徒 1:14

(イ) 使徒 5:12

(イ) マタ 19:21

(イ) 使徒 4:32, 34

(イ) 使徒 5:14
使徒 11:21
コー 3:7

キリストの名によってバプテスマを受けるなさい。そうすれば、無償の贈り物である聖なる力を受けます。39 この約束はあなたがたの方の子どもたち、また速くいる全ての人、エホバ神が招く全ての人に対するものです。40 ペテロはさらに多くを語って徹底的に教え、「この曲がった世代から救われなさい」と勧め続けた。41 それで、ペテロの言葉を喜んで受け入れた人はバプテスマを受け、その日に約3000人が加わった。42 弟子たちはひたすら使徒たちから学び、交友を深め、食事を取り、祈った。

43 全ての人がおそれるようになった。多くの不思議なことや奇跡が使徒たちを通して起こり始めた。

44 信者となった人は皆一緒にいて全ての物を共有し、45 所有物や財産を売っては、収益を全ての人にそれぞれ必要に応じて分配した。46 そして、思いを一つにして毎日神殿に行き、互いの家で食事をし、喜びにあふれて心から食物を分け合い、47 神を賛美し、民の全てから好意を得た。同時にエホバは、救われる人を毎日加えていった。

3 さて、ペテロとヨハネは午後3時の祈りの時間に神殿に上っていった。2 すると、生まれた時から足が不自由な男性が運ばれていくと

2:42 *または、「互いに分け合い」。2:43 *直訳、「しるし」。

期がエホバから来て、**20** あなた方のために任命されたキリスト、つまりイエスが遣わされます。**21** イエスは、神が昔の聖なる預言者たちを通して語った全ての事柄の回復の時まで、天で待っていなければなりません。**22** モーセは言いました。『エホバ神は、皆さんのために兄弟たちの中から私のような預言者を立てます。その人が語るどんなことにも従わなければなりません。**23** その預言者に従わない人は民の中から除かれます』。**24** そして、サムエル以来の全ての預言者も、この時代のことをはっきり告げました。**25** あなた方は預言者たちの子孫、また神が父祖たちと結んだ契約を受け継ぐ子孫です。神はアブラハムに、『あなたの子孫によって地上の全ての家族が祝福を受ける』と言いました。**26** 神は、ご自分に仕えるイエスを立てた後、あなた方一人一人が邪悪な行為をやめて祝福を受けられるように、その方をまずあなた方の所に遣わしました。

4 ふたりひとびとは、祭司たち、神殿の指揮官、サドカイ派の人たちがやって来た。**2** ふたりがひとびとを教え、イエスが復活したことをはっきり告げているので、いら立っていました。**3** それでふた人を捕らえ、すでに夕

3:19 *直訳、「エホバの顔」。付録A5参照。**3:22** *付録A5参照。**4:2** *または、「イエスを例にして死者の復活」。

第3章

(7) 申 34:10
使徒 7:37

(1) 申 18:15, 18

(2) 申 18:19

(10) ルカ 24:27
使徒 10:43

(7) ロマ 9:4

(7) 創 22:18
ガラ 3:8

(16) 使徒 13:45, 46
ロマ 1:16

第4章

(7) 使徒 23:8

(7) 使徒 4:33
使徒 17:18

第2欄

(7) ルカ 21:12

(1) 使徒 2:41
使徒 6:7

(7) ヨハ 18:13

(10) マタ 26:57
ルカ 3:2
ヨハ 11:49-51

(7) 使徒 7:55

(7) 使徒 3:7

(16) 使徒 2:36

(7) 使徒 2:24
使徒 5:30

(7) 使徒 3:6

(10) 詩 118:22
イザ 28:16
マタ 21:42
ペー 2:7

(16) マタ 1:21
使徒 10:43
フィリ 2:9, 10

(10) ヨハ 1:12
ヨハ 14:6

テモイ 2:5, 6

方だったので次の日まで拘束した。**4** しかし、話を聞いた大勢の人が信じ、男性の数は約5000人になった。

5 次の日、支配者と長老と律法学者たちがエルサレムで集まった。**6** 祭司長アンナス、カヤファ、ヨハネ、アレクサンデル、また祭司長の親族全員も集まった。**7** この人たちはペテロとヨハネを真ん中に立たせて、質問し始めた。「どんな権限で、また誰の名によって、このようなことをしたのか」。**8** その時、ペテロは聖なる力に満たされてこう言った。

「支配者と長老の皆さん、**9** もし私たちが今日、体が不自由な人に対する善行について調べを受けており、この人を誰が治したのかを知りたいのであれば、**10** あなた方全員とイスラエルの民全員に知っていただきたいことがあります。あなた方が杭に掛けて処刑し神が生き返らせたナザレ人イエス・キリストの名によって、その方によって、この人はあなた方の前に元気な姿で立っています。**11** その方が、『あなた方建築者たちによって無視されたのに主要な隅石となった石』です。**12** さらに、ほかの誰も私たちを救うことはできません。地上の人々に与えられた名のうち、その方の名によってしか救いは得られません」。

13 支配者と長老たちは、ペテロと

4:11 *直訳、「隅の頭」。用語集参照。

ヨハネの大胆な話を見た時、2人が教育のない普通の人であることを知って、非常に驚いた。そして、2人がイエスと一緒にいたことに気付くようになった。14 治された男性が2人と一緒に目の前に立っていて、何も言ひ返せなかった。15 そこでサンヘドリン広間の外に出よう3人に命令し、協議を始めた。16 「この人たちをどうしたらよいだろうか。人目を引く奇跡が彼らを通して実際に行われ、エルサレムの住民に知れ渡っている。私たちがそれを否定はできない。17 このことが民の間にこれ以上広まらないよう、脅しをかけ、もうこの名によって誰にも語ってはならないと命じておこう」。

18 そして2人を呼び、イエスの名によって何も言ったり教えたりしてはならないと命じた。19 しかし、ペテロとヨハネはこう答えた。「神よりもあなたの方の言うことを聞く方が、神から見ただけ正しいことなのかどうかは、自分たちで判断してください。20 しかし、私たちとしては、見聞きしたことについて話すのをやめるわけにはいきません。21 それで、支配者と長老たちは2人をさらに脅してから釈放した。罰する理由が何も見つからなかった

4:13 *または、「率直な」。「または、「無学な」。ラビの学校で教育を受けていないということ。読み書きができないということではない。4:15 *用語集参照。4:16, 22 *直訳, 「しるし」。

第4章

(7) マタ 11:25
コ 1:26, 27

(1) ヨハ 7:14, 15

(2) 使徒 3:11

(3) ルカ 21:15

(4) ヨハ 11:47

(5) 使徒 3:9, 10

(6) 使徒 5:40

(7) 使徒 5:29

第2欄

(1) ルカ 22:2
使徒 5:26

(1) 出 20:11
ネハ 9:6
詩 146:6

(1) サニ 23:1, 2

(2) 詩 2:1, 2

(1) ルカ 23:12

(1) 詩 45:7
使徒 10:38

からであり、また民のこともあった。起きたことについて皆が神をたたえていたのである。22 この奇跡によって癒やされた男性は40歳を過ぎていた。

23 2人は釈放された後、仲間の所に行き、祭司長や長老たちが言ったことを伝えた。24 それを聞くと、皆は思いを一つにし、神に向かって声を上げて言った。

「主権者である主よ、あなたは、天と地と海とその中の全てのものを造られた方であり、25 聖なる力によって、あなたに仕えた父祖ダビデを通して言われました。『なぜ国々は動揺し、人々はむなしい事柄を思い巡らしたのか。26 地上の王たちは態勢を整え、支配者たちは集まって、エホバに、また神が選んだ者に逆らった』。

27 まさにヘロデとポンテオ・ピラトは、イスラエルの人々と他の国々の人と共にこの都市に集まって、あなたに仕える聖なる方イエス、あなたが選んだ方に逆らいました。28 あなたの力と意志によって前もって定められたことを行うためでした。29 それでいま、エホバよ、彼らの脅しに注意を向け、あなたの奴隷たちができる限り大胆にあなたの言葉を語り続けられるようにしてください。30 そして、癒や

4:26, 29 *付録 A5 参照。4:26 *または、「神のキリスト」。直訳, 「[神が]油を注いだ者」。用語集の「油を注ぐ」参照。4:27 *直訳, 「油を注いだ」。

(4) イザ 53:10
ルカ 24:44
使徒 2:23
ペ 1:20

しのために手を伸ばしてください、あなたに仕える聖なる方イエスの名によって奇跡や不思議なことが起きますように。

31 弟子たちが祈願を終えると、集まっていた場所は揺れ動いた。そして一人残らず聖なる力に満たされて、神の言葉を大胆に語ったのだ。

32 さらに、大勢の信者は心と思い一つにし、誰一人、自分の所有物を自分のものだとは言わず、全ての物を共有した。**33** 使徒たちは主イエスの復活に関する証言を力強く続け、神からの惜しみない親切を豊かに受けた。**34** 実際、信者の中に困窮している人は一人もいなかった。畑や家を持っていた人は皆それを売り、その代金を持ってきて、**35** 使徒たちの足元に置くのだった。そして、それぞれの必要に応じて分配がなされた。

36 ヨセフという人は、使徒たちからバルナバ(「慰めの子」という意味)とも呼ばれ、キプロス生まれのレビ族で、**37** 持っていた土地を売り、そのお金を持ってきて使徒たちの足元に置いた。

5 しかし、アナニアという男性は妻のサツピラと一緒に所有物を売り、**2** 妻も承知の上で、その代金の一部をひそかに取っておいて、残りを持ってきて使徒たちの足元に置い

4:30 *直訳、「しるし」。4:31 *または、「真剣な祈り」。4:33 *または、「過分の」。

第4章
[7] 使徒 3:16

[1] 使徒 2:43
使徒 5:12

[2] 使徒 2:2,4

[2] テサー 2:2

[2] 使徒 2:44,45

[2] 使徒 1:21,22
使徒 4:2

[2] 使徒 2:44,45

[2] 使徒 5:1,2

[2] 使徒 6:1

[2] 使徒 11:22
使徒 12:25

[2] ルカ 12:33

第2欄

第5章
[2] 使徒 4:34,35

[1] 詩 101:7
使徒 5:9
エフ 4:25
コロ 3:9

3 ペテロは言った。「アナニア、なぜサタン(サタン)のなすがままに大胆になって、聖なる力をだまそうとし、畑の代金(代金)の一部をひそかに取っておいただけですか。**4** 畑は売(う)る前(まえ)、あなたのものであったではありませんか。売(う)った後も、代金(だいきん)はあなたが自由(じゆう)にできたはず(はず)です。どうしてこのようなことをしようと思ったのですか。あなたは、人ではなく神(かみ)にうそをつきました」。**5** この言葉を聞くと、アナニアは倒れて死(し)んだ。そのことを聞いた人は皆、非常に畏(おそ)れた。**6** 若者(わかもの)たちが立ち上がり、アナニアを布(ぬ)に包んで運び出し、葬(ほうむ)った。

7 3時間(じかん)ほどたってから、妻(つま)のサツピラが、起きたことを知らずに入(はい)ってきた。**8** ペテロは言った。「教えてください。あなた方はこの金額(きんがく)で畑(はたけ)を売(う)ったのですか」。サツピラは、「はい、その額(がく)です」と言った。**9** ペテロは言った。「なぜあなた方は2人で一緒(いっしょ)になってエホバの聖なる力を欺(あざむ)こうとしたのですか。あなたの夫(おっと)を葬(ほうむ)った人(ひと)たちが戸口(とぐち)の所(ところ)にいて、あなたを運び出(はこ)します」。**10** サツピラはたちまちペテロの足元(あしもと)に倒れて死(し)んだ。若者(わかもの)たちが入(はい)ってきて、サツピラが死(し)んでいるのを見(み)、運び出(はこ)して夫(おっと)の脇(わき)に葬(ほうむ)った。**11** 会衆(かいしゅう)全体(ぜんたい)、またそのことを聞いた人(ひと)は皆、非常に畏(おそ)れた。

5:9 *付録 A5参照。5:11 *用語集参照。

12 また、使徒たちはその後も民の間で多くの奇跡や不思議なことを行った。皆ソロモンの柱廊によく集まっていた。13 弟子たちに加わる勇氣がある人はいなかった。それでも人々は弟子たちを褒めるのだった。14 そして主を信じるものが、男性も女性もますます増えていった。15 人々は病人を大通りに連れ出して小さな寝床や敷物に横にならせ、ペテロがそばを通る時にせめてその影が病人の誰かに掛かるようにした。16 また、エルサレム周辺の町から大勢の人が、病気の人や邪悪な天使に苦しめられている人たちを連れてきた。その人たちは一人残らず治された。

17 しかし、大祭司とその仲間たち、すなわちサドカイ派の人たちは激しく嫉妬して立ち上がり、18 使徒たちを捕らえて牢屋に入れた。19 ところが、夜にエホバの天使が牢屋の戸を開き、使徒たちを連れ出して、こう言った。20 「行って、神殿の中に立ち、この命に関する言葉全てを人々に語り続けなさい」。21 これを聞いた使徒たちは、夜明けに神殿に入って教え始めた。

一方、大祭司とその仲間たちはやって来て、サンヘドリンとイスラエル人の長老会の全員を招集し、使徒たちを連れてこさせるため下役たちを牢屋

第5章

(7) 使徒 4:29, 30
使徒 6:8
使徒 14:3
使徒 15:12
ロマ 15:18, 19
コリ 12:12

(イ) ヨハ 10:23
使徒 3:11

(7) 使徒 6:7

(ロ) マタ 9:20, 21

(8) ルカ 21:12

(9) 詩 34:7
使徒 12:7
使徒 16:26
ヘブ 1:7, 14

第2欄

(9) ルカ 20:19

(イ) 使徒 4:18

(9) マタ 27:25
使徒 3:14, 15

(ロ) ダニ 3:17, 18
使徒 4:19, 20

(9) 使徒 2:23, 24

(9) マタ 1:21
使徒 3:15
ヘブ 2:10

(9) 使徒 2:32, 33
フィリ 2:9

に遣わした。22 しかし下役たちが着いた時、牢屋に彼らはいなかった。それで戻って報告し、23 こう言った。「牢屋にはしっかり鍵が掛かっていて、戸の所には見張りが立っていましたが、開けてみると、中には誰もいませんでした」。24 神殿の指揮官も祭司長たちもこの報告を聞くと、これからいったいどうなるのかと困惑した。25 そこに、ある人が来て、「あなた方が牢屋に入れた人たちが神殿で民を教えています」と報告した。26 そこで指揮官は下役たちと出掛け、使徒たちを連れてきたが、手荒なことはしなかった。民に石打ちにされるのが怖かったからである。

27 こうして使徒たちは連れてこられ、サンヘドリンの前に立たされた。大祭司が質問して、28 言った。「もうあの名によって教えてはならないときっぱり命じたのに、あなたたちはエルサレム中で教えを広め、あの男が死んだ責任を私たちに負わせようとしている」。29 ペテロとほかの使徒たちは答えた。「私たちは、人ではなく神に従わなければなりません。30 私たちの父祖の神は、あなた方が杭に掛けて殺したイエスを生き返らせました。31 神はこの方を、命と救いへと導く方として自分の右の地位に就けました。イスラエルが悔い改めて罪の

5:29 *または、「統治者に従うように従わなければ」。5:30 *または、「木」。

許しを受けるためです。32 私たちはこれらのことの証人であり、聖なる力が助けてくれます。神はご自分に従う人に聖なる力を与えました。

33 これを聞くと、そこにいた人たちは激怒し、使徒たちを殺してしまいたいと思った。34 しかし、民に重んじられている律法教師で、パリサイ派のガマリエルという人がサンヘドリンで立ち上がり、使徒たちをしばらく外に出すようにと命令した。35 それ

から、こう言った。「イスラエルの皆さん、この人たちをどうするかについては注意してください。36 例えば、以前チウダが立ち上がって自分は偉い人物だと主張し、約400人の男が一味に加わりました。しかし、彼は殺され、従っていた者たちも皆追い散らされて、跡形もなくなりました。37 その後、登録があった頃にガリラヤ人ユダが立ち上がり、人々を自分に付かせました。しかし、その男も死に、従っていた者たちも皆散り散りになりました。38 ですから、今のところ、この人たちに手出しせず、放っておきなさい。この計画や活動が人間から出たものであれば、それは阻止されます。39 しかし、それが神からのものであれば、阻止することはできません。手出しするのなら、神に対して戦う者となってしまいかねません」。40 皆はガマリエル

5:33 *または、「切られるように感じ」。

第5章

(イ) イザ 53:11
使徒 2:38
使徒 10:43

(イ) ルカ 24:46-48
使徒 1:8

(イ) ヨハ 15:26

(イ) 使徒 22:3

(イ) 格 21:30

(イ) 使徒 26:14

第2欄

(イ) マタ 10:17
マル 13:9

(イ) マタ 5:12
使徒 16:25
ロマ 5:3
コニ 12:10
フィリ 1:29
ヘブ 10:34
ペー 4:13

(イ) 使徒 20:20

(イ) 使徒 4:31

第6章

(イ) 使徒 4:34,35
テモ一 5:3
ヤコ 1:27

(イ) 出 18:17,18

(イ) 使徒 6:8,10

(イ) 使徒 16:1,2
テモ一 3:7

(イ) 申 1:13

(イ) 使徒 21:8

の意見を受け入れ、使徒たちを呼び出して打ちたたき、イエスの名によって語るのはやめるようにと命じてから去らせた。

41 使徒たちは、イエスの名のために辱められるという栄誉を与えられたことを喜びつつ、サンヘドリンの前から出ていった。42 そして毎日、神殿で、また家から家へと行って教え、キリストであるイエスについての良い知らせをひろく広め続けて、やめなかった。

6 弟子が増えていたその頃、ギリシャ語を話すユダヤ人から、ヘブライ語を話すユダヤ人に対する苦情が出始めた。ギリシャ語を話すやもめたちが毎日の配給を受けていなかったからである。2 そこで12人は、大勢いた弟子を呼び集めて、こう言った。「食卓に食物を配るために私たちが神

の言葉を教えることができないのはよくありません。3 それで兄弟たち、あなたたちの中から、聖なる力と知恵に満ちた評判の良い男性を7人選出してください。私たちがこの必要な仕事のためにその人たちを任命します。4 私たちは、祈ることと神の言葉を教えることに専念します」。5 皆はそのことを喜び、信仰が強く聖なる力に満ちた人ステファノ、フィリポ、プロコロ、ニカノル、テモン、パルメナ、またアン

ティオキアの改宗者ニコラオを選び出した。

6:4 *または、「神の言葉の奉仕」。

した。6 そして使徒たちの所に連れていった。使徒たちは祈ってから7人に手を置いた。

7 その結果、神の言葉は広まっていた。弟子の数はエルサレムで大幅に増加していった。そして非常に大勢の祭司たちが信じるようになった。

8 さて、神から恵みと力を豊かに受けたステファノは、とても不思議なことで奇跡を民の間で行っていた。9 ところが、いわゆる「自由民の会堂」の人たちが、キレネやアレクサンドリアの人たち、またキリキヤやアジアからの人たちと一緒に進み出て、ステファノと議論した。10 しかし、知恵と聖なる力に満ちて語るステファノには対抗できなかった。11 そこでその人たちは

ひそかに人々を促し、「私たちは、彼がモーセと神を冒瀆する言葉を吐くの聞いた」と言わせた。12 そして民と長老と律法学者たちをあおり立てた。この人たちはステファノに不意に襲い掛かって力づくで捕らえ、サンヘドリンに引いていった。13 そして偽の証人たちを立てて、こう言わせた。「この男はこの聖なる場所と律法に逆らうことを語るのをやめません。14 例え、彼は、あのナザレ人イエスはこの場所を壊し、モーセから伝えられた習慣を変える、と言っていました。」

15 サンヘドリンで座っている人が

6:8 *直訳、「しるし」。6:9; 7:8 *用語集参照。

第6章

(7) 申 34:9
使徒 8:14, 17
使徒 13:2, 3
テモ一 5:22
テモ二 1:6

(7) 使徒 12:24
使徒 19:20

(7) 使徒 2:47

(7) ヨハ 12:42
使徒 15:5

(7) イザ 54:17
ルカ 21:15
使徒 6:3

第2欄

第7章

(7) 創 11:31

(7) 創 12:1

(7) 創 11:32

(7) 創 12:4, 5
ヘブ 11:8

(7) 創 12:7
創 13:14, 15
創 17:1, 8

(7) 創 15:13
出 12:40

(7) 創 15:14

(7) 出 3:12

(7) 創 17:9, 10

(7) 創 21:1-3

(7) 創 21:4

みな皆ステファノを見つめると、その顔は天使の顔のように見えた。

7 大祭司は、「その通りなのか」と言った。2 ステファノは答えた。

「皆さん、兄弟たちも年長の方々も、聞いてください。父祖アブラハムがハラ

ンに住む前、メソポタミアにいる間に、栄光の神がアブラハムに現れて、3 『あなたの土地や親族を離れ、私が示す土地に行きなさい』と言いました。4 それでアブラハムはカルデア人の土地を出て、ハランに住みました。そして神はアブラハムを、彼の父の死後、あなた方が住んでいるこの土地に移住させました。5 でも、そこでは土地を少しも与えませんでした。足

の幅ほどもです。しかし、そこをアブラハムとその子孫に所有地として与えることを約束しました。それはまだ彼に子供がい

ない時でした。6 さらに神は、アブラハムの子孫がよその国で外国人として暮らし、奴隷にされて400年間苦しめられる、と告げました。7 またこう言いました。『私は、彼らを奴隷にした国民を処罰する。その後、彼らはその国を出て、この場所で私に神聖な奉仕をする』。

8 そして神はアブラハムと割礼の契約を結びました。アブラハムは、生まれた子イサクに8日目に割礼を施し、イサクにもヤコブが生まれ、ヤコブ

7:6 *または、「虐待される」。

にも12人の子が生まれて彼らは家長
となりました。9 家長たちは兄弟の
ヨセフに嫉妬し、エジプトへ売りまし
た。しかし神はヨセフと共にいて、
10 あらゆる苦難から救い出し、エジ
プトの王ファラオの前で恵みを得て知
恵を示せるようにしました。それで王
はヨセフを、エジプトと王家全体を治
める立場に任命しました。11 さて、
エジプトとカナン全土が飢饉に襲
われ、深刻な事態になり、父祖たちは
食べる物が手に入らなくなりました。
12 しかしヤコブはエジプトに食糧が
あると聞き、息子たちを遣わしました。
13 2度目の時に、ヨセフは自分のこ
とを兄弟たちに明かし、ヨセフの家族
のことがファラオに知らされました。
14 ヨセフは伝言を伝えて、父親のヤ
コブと親族全員、全部で75人を呼び
寄せました。15 こうしてヤコブはエ
ジプトへ下り、ヤコブと息子たちはそ
こで死にました。16 彼らはシェケム
に運ばれ、アブラハムがシェケムのハ
モルの子から銀で買った墓に葬られ
ました。

17 神がアブラハムに告げた約束
の実現の時が近づいていた頃、民は
増えてエジプト中に広がり、18 やが
て、ヨセフのことを知らない別の王が
エジプトを治め始めました。19 こ
の王は私たちの民族に対して悪知恵

7:8 *または、「族長」。7:12 *または、「穀物」。
7:16 *または、「お金」。

第7章

(7) 創 37:9-11

(7) 創 37:28
創 45:4

(7) 創 39:2,3

(7) 創 41:40-46

(7) 創 41:54
創 42:5

(7) 創 42:2,6

(7) 創 45:1,16

(7) 創 46:27
申 10:22

(7) 創 45:9-11

(7) 創 46:29
申 26:5

(7) 創 49:33

(7) 出 1:6

(7) 創 23:16
出 13:19
ヨシ 24:32

(7) 出 1:7,8

第2欄

(7) 出 1:10,22

(7) 出 2:2
ヘブ 11:23

(7) 出 2:3

(7) 出 2:5,10

(7) 出 11:3

(7) 出 2:11-15

を働かせ、非道にも父たちに幼児を捨て
させ、幼児が生き続けられないよう
にしました。20 モーセが生まれた
のはその頃です。極めて美しい子でし
た。そして3カ月間自分の父親の家で
育てられました。21 しかし、捨てら
れた時、ファラオの娘に拾われ、彼女
の子として育てられました。22 モー
セはエジプト人のあらゆる知恵を教
えられ、話も行動も力強いものでした。

23 モーセは40歳の時、自分の兄
弟であるイスラエルの民の所に行く
ことにしました。24 そして民の1人
をエジプト人が不当に扱っているの
を見ると、虐待されていた人をかば
い、そのエジプト人を打ち倒して復讐
しました。25 モーセは、神が自分を
使って兄弟たちを救おうとしているこ
とを理解してもらえと思ったのです
が、兄弟たちは理解しませんでした。

26 次の日、モーセは兄弟たちが争っ
ているところに現れ、仲直りさせようと
して、『あなたたちは兄弟です。どうし
て痛めつけ合うのですか』と言いまし
た。27 ところが、仲間を痛めつけて
いた人がモーセを押しやって、言いま
した。『誰があなたをわれわれの支配
者や裁判人にしたのか。28 昨日エ
ジプト人にしたようにして私を殺そう
とでもいうのか。29 これを聞いて
モーセは逃げ、ミディアン地方で外国
7:20 *または、「神から見て」。7:23 *または、
「を見て回る」。

人として暮らし、そこで2人の息子をも
うけました。

30 それから40年が過ぎ、シナイ山の荒野で、燃え盛るいばらの木の中に天使が現れました。**31** それを見たモーセはとても驚きました。しかし調べようとして近づいていくと、エホバの声がしました。**32** 『私はあなたの父祖の神、アブラハムとイサクとヤコブの神である』。モーセは震えだし、それ以上調べようとはしませんでした。**33** エホバは言いました。『サンダルを脱ぎなさい。あなたが立っているのは聖なる場所だからだ。**34** 私は、エジプトにいる私の民が虐待されるのを確かに見、うめくのを聞いて、彼らを救い出すために下ってきた。さあ、あなたをエジプトに遣わす』。**35** 民が『誰があなたを支配者や裁判人にしたのか』と言って退けたそのモーセが、いばらの木の中に現れた天使によって、支配者また救出者として神から遣わされたのです。**36** この人が民を連れ出し、エジプトで、紅海で、荒野で40年にわたって不思議なことで奇跡を行いました。

37 このモーセがイスラエルの民に、『神は皆さんのために兄弟たちの中から私のような預言者を立てる』と言いました。**38** モーセは、荒野で父祖たちと共に会衆の中にて、シナイ山

7:31、33 *付録A5参照。7:36 *直訳、「しるし」。

第7章

(7) 出 2:21,22
出 18:2-4

(7) 出 3:2-10

(7) 出 3:6

マル 12:26
ルカ 20:37

(7) 出 2:23,24

(7) 出 2:14
使徒 7:27

(7) 出 4:19

(7) 出 12:41

(7) 出 14:21,22
出 15:4,5

(7) 出 16:35
民 14:33,34

(7) 出 7:3

(7) 申 18:15
使徒 3:22

第2欄

(7) 使徒 7:53
ガラ 3:19

(7) 出 19:3
申 5:27

(7) 出 21:1
申 9:10

(7) 民 14:3,4

(7) 出 16:3

(7) 出 32:1,23

(7) 出 32:4,6

(7) 王二 17:16

(7) 王一 11:7

(7) エレ 25:11
アモ 5:25-27

(7) 出 25:40

(7) 創 17:1,8
ヨシ 23:9
ヨシ 24:18

(7) 申 3:28
申 31:3
ヨシ 3:14

で天使に語り掛けられました。そして、生きている神聖な宣言を受けて私たちに伝えました。**39** 父祖たちはこの人に従おうとせず、彼を押しつけ、心の中ではエジプトに引き返し、**40** アロンにこう言いました。『私たちの前を行く神々を作ってください。私たちがエジプトから連れ出したあのモーセがどうなったか、分からないからです』。**41** 民が子牛の像を作ったのはその頃で、偶像に犠牲を捧げ、自分たちの手で作った物の前で楽しみ始めました。**42** それで神は背を向け、彼らが天の星に神聖な奉仕をするまにしました。預言書にこう記されて

いる通りです。『イスラエルよ、あなたたちは荒野での40年間、捧げ物と犠牲を私には捧げなかったではないか。』

43 あなたたちが担いだのは、モロクの大幕やレファン神の星、それらを崇拝するために作った像だった。それで、私はあなたたちをバビロンの向こうに強制移住させる』。

44 荒野で父祖たちには幕屋がありました。それは、見せた型に従って造るようにと神がモーセに命じたものでした。**45** 幕屋を引き継いだ父祖たちは、ヨシュアと共に、神が追い払ってくださった国民の土地にそれを運び入れました。それはダビデの時代までここにありました。**46** ダビデは神の

7:44 *直訳、「証しの天幕」。

前^{まえ}で恵^{めぐ}みを得^え、ヤコブ^{かみ}の神^{いえ}のための家^{いえ}を建て^たさせていた^ただきたいと願^{ねが}ひました。47 しかし、神^{かみ}のための家^{いえ}を建て^たのはソロモン^のでした。48 とはいえ、至高^{しこうしゃ}者は人^{ひと}が造^{つく}った家^{いえ}には住^すみません。預言者^{よげんしゃ}もこう述^のべています。49 『エホバ^いは言う^{てん}。天^{わかし}は私の王座^{おうざ}、地^ちは私の足台^{あしだい}である。あなたたち^たは私のためにどん^いな家^{いえ}を建て^たるのか。また、私^{わたし}が休^{やす}む場所^{ばしょ}はどこか。50 私の手^てがこの全^{すべ}てを造^{つく}ったのではない^か』。

51 強情^{ごうじやう}で、耳^{みみ}をふさぎ、心^{こころ}を変^かえようとし^しない人^{ひと}たち、あなた方^{がた}はいつも聖^{せい}なる力^{ちから}に抵抗^{ていこう}しています。自分^{じぶん}たちの父祖^{ふそ}と同じよう^{おな}に行動^{こうどう}しているのです。52 あなた方^{がた}の父祖^{ふそ}たちが迫^{はく}害^{がい}しなかった預言者^{よげんしゃ}がいますで^かしょう^か。しかも父祖^{ふそ}たちは、正^{ただ}しい方^{かた}の到来^{とうらい}を前^{まえ}もって告^つげた人^{ひと}たちを殺^{ころ}しました。そしてあなた方^{がた}は、到来^{とうらい}したそ^かの方^{かた}を裏切^{うらぎ}って殺^{ころ}しました。53 あなた方^{がた}は、天使^{てんし}によって伝^{つた}えられた律法^{りっぽう}を受^うけたのに、守^{まも}りませんでした^し」。

54 これを聞^きいた人^{ひと}たちは、心^{こころ}の中^{なか}で激怒^{げきど}し、ステファノ^{すてふ}に向^むかって歯^はぎしりし^はじめた。55 しかしステファノ^{すてふ}は聖^{せい}なる力^{ちから}に満^みち、天^{てん}を見^みつめて、神^{かみ}の栄光^{えいこう}と神^{かみ}の右^{みぎ}に立^たつイエス^いを目^めにし、56 こう言^いった。「見て^みください^き」。

7:49, 60 *付録A5参照。7:51 *直訳、「心と耳に割礼を施されていない」。7:54 *または、「心臓まで切られるように感じ」。

第7章

【サニ7:2
代-22:7
詩132:1-5

【イ王6:1

【イ使徒17:24

【ヨ詩11:4

【ヨマタ5:34,35

【ヨイザ66:1,2
へ3:4

【ヨイザ63:10

【ヨ代二36:16

【ヨマタ23:31

【ヨイザ53:8
使徒3:13,14

【ヨ使徒7:38
ガラ3:19

【ヨ詩110:1
マタ26:64

第2欄

【ヨダニ7:13

【ヨロマ8:34

【ヨレビ24:14,16
マタ23:37
ヨハ16:2

【ヨ申17:7

【ヨ使徒8:1
使徒22:20

【ヨマタ5:44

第8章

【ヨ使徒7:58

【ヨマタ10:23
使徒11:19

【ヨ使徒9:1,2
使徒22:4
使徒26:10

【ガラ1:13
フィリ3:5,6

【ヨ使徒11:19

【ヨヨハ4:39-42
使徒1:8

天^{てん}が開^{ひら}いて、人^{ひと}の子^こが神^{かみ}の右^{みぎ}に立^たっているのが見^みえます。57 すると彼^{かれ}らは力^{ちから}の限^{かぎ}り叫^{さけ}び、手^てを耳^{みみ}に当^{あた}て、彼^{かれ}に向^むかって一^{いつせい}斉^{とっしん}に突^つ進^{しん}した。58 そし、ま^{まち}そ^そ外^おに追^おい出^だした後^{あと}、石^{いし}打^{うち}ちに始^{はじ}めた。ステファノ^{すてふ}を訴^うえた証人^{しょうにん}たちは外^あ衣^いをサウロ^{さう}という若^わ者^{しや}の足^{あし}元に置^おいた。59 そして石^{いし}を投^なげ続^{つづ}けた。ステファノ^{すてふ}は、「主^{しゅ}イエス^い、私^{わたし}の命^{いのち}を受^うけ取^とってください」と訴^うえた。60 それからひざま^とずき、強^{こえ}い声^{こゑ}で、「エホバ^い、この罪^{つみ}を彼^{かれ}らに負^おわせな^いいでください」と叫^{さけ}んだ。そう言^いってから、死^しの眠^{ねむ}りに就^ついた。

8 サウロ^{さう}は、ステファノ^{すてふ}の殺^{ころ}害^{がい}に賛^{さん}成^{せい}していた。

その日^ひ、エルサレム^{えいしやう}の会衆^{たい}に対しては激^{はげ}しい迫^{はく}害^{がい}が始^{はじ}まった。使徒^{しと}たち^{たい}以外^いは全^{ぜん}員^{いん}、ユダヤ^{よだ}とサマリア^{さま}の全^{ぜん}域^{いき}に散^{さん}らされた。2 しかし、神^{かみ}を畏^{おそ}れる人^{ひと}たちはステファノ^{すてふ}を運^{はこ}んで葬^{くわい}り、彼^{かれ}の死^しをひどく嘆^{なげ}き悲^{かな}しんだ。3 一方^{いつぱう}サウロ^{さう}は、会衆^{かいしゅう}に手荒^{てあ}なことをするようにな^いった。次^{つぎ}々^{つぎ}と家^{いえ}に侵^{しん}入^{にゅう}しては男^{だん}性^{せい}も女^{にょ}性^{せい}も引^ひきずり出^だし、牢^{ろう}屋^やに送^{おく}った。

4 さて、散^ちらされた人^{ひと}々^{びと}は各^{かく}地^ちを回^{まわ}って神^{かみ}の言^{こと}ばの良^よい知^しらせを広^{ひろ}めた。5 フィリポ^{ふり}はサマリア^{さま}の町^{まち}にくだり、キリスト^{きりす}について伝^{でん}道^{どう}し始^{はじ}めた。6 群衆^{ぐんしゅう}は皆^{みな}、フィリポ^{ふり}が言^いうことじと耳^{みみ}を傾^{かたむ}け、フィリポ^{ふり}が行^{おこな}う奇跡^{きせき}

7:56 *イエスのこと。用語集参照。7:59 *または、「生命力」。8:6 *直訳、「しるし」。

を見た。7 邪悪な天使たちが、取りついていた大勢の人から、大声で叫んでは出ていった。また、体がまひした人や足が不自由な人も大勢治された。

8 その町の人々は非常に喜んだ。

9 その町にはシモンという男性がいた。それまで魔術を行ってサマリアの人々を驚かせ、自分は偉大な人物だと主張していた。10 身分の低い人から高い人まで、誰もがシモンに注目し、「神の力、偉大な力と呼ぶべき人だ」と言っていた。11 かなりの間、魔術によって驚かされてきたため、シモンに注目するのだった。

12 しかし、フィリポが神の王国とイエス・キリストの名についての良い知らせを広めると、人々は信じ、男性も女性もバプテスマを受けた。13 シモンも信じるようになり、バプテスマを受けてからは、フィリポとずっと一緒にいた。そして、奇跡や非常に強力な行いがなされるのを見て驚いた。

14 エルサレムにいる使徒たちは、サマリアの人々が神の言葉を受け入れたことを聞くと、ペテロとヨハネを遣わした。15 2人はサマリアに下り、人々が聖なる力を受けるようにと祈った。16 その人々のうちの誰もまだ聖なる力を受けておらず、主イエスの名によってバプテスマを受けていただけだった。17 それで2人が人々に

8:13 *直訳、「しるし」。「または、「奇跡」。

第8章

(7) マタ 10:1
マル 6:7

(1) ルカ 8:1

(7) マタ 28:19
使徒 18:8

(12) 使徒 6:5

(14) 使徒 11:1

(7) マタ 16:19

(14) 使徒 10:47,48
使徒 19:2,3

第2欄

(7) 使徒 6:5,6
使徒 19:6
テモニ 1:6

(1) マタ 10:8
使徒 10:45

(7) マタ 9:35
使徒 1:8

(12) ヘブ 1:7,14
啓 14:6

て手を置いていくと、聖なる力を受けるようになった。

18 シモンは、使徒たちが手を置いて人に聖なる力が与えられるのを見た時、お金を渡そうとして、19 こう言った。「私にもその権威を与え、私の手を置く人が聖なる力を受けられるようにしてください」。20 しかしペテロは言った。「あなたのお金もあなたも消えてしまいなさい。神の無償の贈り物をお金で手に入れられると考えたからです。21 あなたはこのことに一切関わることはできません。神から見て心が真つすぐではないからです。22 それで、この悪い行いを悔い改め、あなたの悪い考えをできれば許してもらえるようエホバに祈願なさい。23 私は、あなたが苦い毒、不正の奴隷であることが分かります」。24 それでシモンは言った。「あなたが言ったことが何も私に起きないよう、私のためにエホバに祈願をしてください」。

25 こうして、2人は徹底的に教えてエホバの言葉を語ってから、エルサレムへの帰路に就き、サマリアの多くの村に良い知らせを広めていった。

26 ところで、エホバの天使がフィリポに言った。「さあ、南へ、エルサレムからガザへ下る道を行きなさい」。(これは砂漠の道である。) 27 そこで

8:20 *直訳、「銀」。8:22, 24-26 *付録 A5 参照。8:23 *直訳、「胆汁」。

フィリポが^で掛^かけていくと、エチオピアの^{かん}官^{がん}がいた。エチオピアの女^{じょ}王^{わう}カンダケの^{こう}官^{かん}で、その財宝^{ざいほう}全てを^かん^り理^りする人^{ひと}だった。この人は崇拝^{すうはい}のためにエルサレム^いに行^いって^{きて}、**28** その帰^{かえ}りに、兵車^{へいしや}の中に座^なって預言者^{よげんしや}イザヤの書^{しょ}を朗読^{ろうどく}しているところだった。**29** 神^{かみ}が聖^{せい}なる力^{ちから}によってフィリポに言^いった。「行^いって、この兵車^{へいしや}に近^{ちか}づきなさい」。**30** フィリポは並^{なら}んで走^{はし}り、^{こう}官^{かん}が預言者^{よげんしや}イザヤの書^{しょ}を朗読^{ろうどく}しているのを聞^きいて、「読^よんでいる内容^{ないよう}が分^わかりますか」と言^いった。**31** ^{だれ}高^{たか}官^{くわん}は、「誰^{たれ}かが教^{おし}えてくれなければ、どうして分^わかるでしようか」と言^いった。そして、乗^のって一^{いっしよ}緒^{しよ}に座^{すわ}るようフィリポに頼^{たの}んだ。**32** 読^よんでいたのは聖書^{せいしよ}のこの部^ぶ分^{ぶん}だった。「彼^{かれ}は羊^{やう}のように、殺^{ころ}されるために連^つれて去^さられた。そして、毛^けを刈^かる人^{ひと}の前^{まえ}で黙^{だま}っている子羊^{こひつじ}のように、口^{くち}を開^{ひら}かない。**33** 辱^{はづかし}めを受^うけている間^{あいだ}、公^{こう}正^{せい}は彼^{かれ}から取^とり去^さられた。誰^{だれ}が彼^{かれ}の家系^{けい}の詳細^{しょうさい}を語^{かた}るだろうか。彼の命^{いのち}は地上^{ちじよう}から取^とり去^さられるからである」。

34 ^{こう}官^{かん}はフィリポに言^いった。「教^{おし}えてください。預言者^{よげんしや}は誰^{だれ}について言^いっているのでしょうか。自分自身^{じぶんじしん}ですか、それとも誰^{だれ}かほかの人^{ひと}ですか」。**35** フィリポは話^{はな}し始^{はじ}め、この聖句^{せいく}を手^て始^{はじ}めに、イエスについての良^よい知^しらせ

8:27 *または、「廷臣」。

第8章
[7] 代二 6:32, 33

[4] ペー 2:23

[7] マタ 26:59

[10] イザ 53:7, 8
ダニ 9:26
フィリ 2:8

第2欄
[7] 使徒 21:8

第9章
[4] 使徒 8:3
使徒 22:4
使徒 26:10, 11
ガラ 1:13
テモ一 1:12, 13

[7] 使徒 11:26
使徒 22:4

[10] 使徒 22:6-11
使徒 26:13-18

[7] コー 15:8

[7] マタ 25:45

を告^つげた。**36** 道^{みち}を進^{すす}んでいくと、水^{みづ}がある所^{ところ}に來^きた。すると高^{こう}官^{くわん}は言^いった。「見てください、水^{みづ}があります。私^{わたし}がバプテスマ^{りゆう}を受^うけられな理由^{りゆう}が何^{なに}かあるでしようか」。**37** — **38** 高^{こう}官^{くわん}は兵車^{へいしや}を止^とめさせた。フィリポは高^{こう}官^{くわん}と水^{みづ}の中に下^{くだ}りていき、バプテスマ^{りゆう}を施^{ほどこ}した。**39** 2人^{ふたり}が水^{みづ}から上^あがってくると、フィリポはエソバの聖^{せい}なる力^{ちから}によってすぐ^つに連^つれ去^さられた。高^{こう}官^{くわん}はもう彼^{かれ}の姿^{すがた}を見^みなかつたが、喜^{よろこ}びながら進^{すす}んでい^いった。**40** フィリポはアシュドド^{あしどど}に來^きていた。そして、その地^ち域^{いき}を通^{とほ}ってカエサレア^{かえさ}に着^つくまで全^{すべ}ての町^{まち}に良^よい知^しらせを広^{ひろ}めてい^いった。

9 サウロは、なおも主^{しゅ}イエスの弟^で子^したちを脅^{おど}し、殺^{ころ}そうと意^{いき}気^き込^ごんで、大祭司^{だいさいし}の所^{ところ}に行^いき、**2** ダマスカス^{だま}にある会堂^{かいどう}への手紙^{てがみ}を求^{もと}めた。こ^れれ^{のみち}に從^{したが}う人^{ひと}を見^みつけたら、男^{おとこ}性^{せい}も女^{めい}性^{せい}も縛^{しば}ってエルサレム^いに連^つれてくるた^めだった。

3 サウロが旅^{たび}をしてダマスカス^{だま}に近^{ちか}づいた時^{とき}、突^{とつ}然^{ぜん}、天^{てん}から光^{ひかり}が彼^{かれ}の周^{まわ}りを照^てらした、**4** サウロは地^ち面^{めん}に倒^{たお}

れ、「サウロ、サウロ、なぜ私^{わたし}を迫害^{はくがい}しているのですか」と言^いう声^{こゑ}を聞^きいた。

5 サウロが、「主^{しゅ}よ、あなたは何^{なん}なたですか」と言^いうと、答^{こた}えがあ^あった。「イエスです。あなたを私^{わたし}を迫^{はくがい}害^{がい}しています」。

6 起^おきて町^{まち}に入りなさい。そうすれば、

8:37 *付録A3参照。**8:39** *付録A5参照。**9:2** *用語集参照。

なにをすべきか告げられます」。7 いっしょに旅をしていた人たちは、声の響きには聞こえたが誰も見えず、何も言えずに立っていた。8 サウロは地面から起き上がった。目は開いているのに何も見えなかった。それで手を引いてもらってダマスカスに入った。9 そして3日間、何も見えず、食べることも飲むこともしなかった。

10 ダマスカスにはアナニアという弟子がいた。幻の中で主が、「アナニア!」と呼ぶと、アナニアは言った。「主よ、何でしょうか」。11 主は言った。「さあ、『真つすぐ』という通りに行き、サウロという人を探しなさい。タルソス出身で、ユダの家にいます。今サウロは祈っています。12 サウロは幻の中で、アナニアという人が入ってきて、目が見えるように手を置いてくれるのを見ました」。13 アナニアは答えた。「主よ、私は多くの人からこの男について聞いています。エルサレムにいる聖なる人たちにいろいろと危害を加えたとのことです。14 ここでは、あなたの名を呼ぶ人を皆捕らえようと、祭司長たちから権限を受けています。15 しかし主は言った。「行きなさい。この人は私が選んだ器であり、異国の人々に、また王たちやイスラエルの民に私の名を知らせるからです。16 私は彼に、私の名のために

9:14, 21 * または、「の弟子」。

第9章
(7) 使徒 22:9

(1) 使徒 13:11

(7) 使徒 22:12

(4) 使徒 21:39
使徒 22:3

(8) 使徒 9:17

(7) 使徒 9:1,2

(4) 使徒 13:2
ロマ 1:1
テモ一 1:12

(7) ロマ 1:5
ガラ 2:7
テモ一 2:7

(7) 使徒 26:1
使徒 27:24

第2欄
(7) 使徒 20:22,23
使徒 21:11
コ二 11:23-28
コロ 1:24
テモ二 1:12

(1) 使徒 22:12,13

(7) 使徒 26:19,20

(4) 使徒 8:3
ガラ 1:13,23

(8) 使徒 9:1,2

(7) 使徒 17:2,3

(4) 使徒 20:2,3
使徒 23:12
コ二 11:23

どれほど多くの苦しみを受けなければならぬかをはっきり示します。

17 そこでアナニアは行ってその家に入り、サウロに手を置いてこう言った。「サウロ、兄弟、道中であなたに現れた主イエスが私を遣わしました。あなたが視力を取り戻し、聖なる力に満たされるためです」。18 するとすぐに、目からうろこのような物が落ち、サウロは視力を取り戻した。そして、立ち上がってバプテスマを受け、19 食事をして元氣になった。

サウロは何日かダマスカスの弟子たちと一緒にいて、20 すぐに会堂でイエスについて、この方こそ神の子だと伝え始めた。21 しかし、サウロの言葉に聞き、ひとみな非常に驚き、こう言うのだった。「これは、エルサレムでイエスの名を呼ぶ人たちに手荒なことをした人ではないか。ここに來たのも、そうした人たちを捕らえて祭司長たちのもとに連れていくためではないのか」。22 しかしサウロはますます力を得、この方がキリストであることを論証して、ダマスカスに住むユダヤ人たちを戸惑わせた。

23 かなりの日数がたってから、ユダヤ人たちはサウロを殺そうとたくらんだ。24 しかし、そのたくらみはサウロに知られた。ユダヤ人はサウロを殺そうとして、町の門を昼も夜もじっと

9:21 # 直訳、「縛って祭司長たちのもとに引いて」。

見^み張^はっていた。25 そこで、サウロの弟子^{でし}たちは彼^{かれ}を連れていき、夜^{よる}の間に籠^{かご}に乗^のせて城壁^{じょうへき}の窓^{まど}から下^おろした。

26 サウロはエルサレム^{えろさるむ}に到着^{とうちやく}すると、弟子^{でし}たちに加わろうと努力^{どりよく}したが、皆^{みな}は、彼^{かれ}が弟子^{でし}であることを信^{しん}じず、恐^{おそ}れていた。27 そこでバルナバ^{バルナバ}が助け^{たす}けに来て使徒^{しと}たちの所^{ところ}に連れていき、サウロが旅^{たび}の途^と中で主^{しゅ}を見て語^{かた}り掛け^かられたこと^{こと}や、ダマスкасでイエスの名^なによって大胆^{だいたん}に語^{かた}った様子^{ようす}を詳^{くわ}しく話^{はな}した。28 サウロは使徒^{しと}たちのも^もとにとどまって、エルサレムを自由^{じゆう}に動^{うご}き回^{まわ}り、主^{しゅ}の名^なによって大胆^{だいたん}に語^{かた}った。29 そして、ギリシャ語^{ぎりしゃご}を話^{はな}すユダヤ人^{ぎゆだやじん}たちと話^{はな}したり議論^{ぎろん}したりしていたが、この人^{ひと}たちがサウロの殺害^{さつがい}を図^{はか}った。30 これに気付^{きづ}いた兄弟^{きょうだい}たちはサウロをカエサレア^{かえせうら}に連^つれていき、タルソス^{たろす}に送^{おく}り出^だした。

31 こうして会衆^{かいしゅう}は、ユダヤ、ガリラヤ、サマリアの全^{ぜん}域^{いき}にわたって平和^{へい}な時^{とき}期^きに入り、強化^{きやうか}されていった。そして、エホバを畏^{おそ}れて聖^{せい}なる力^{ちから}による慰^{なぐさ}めを受けながら歩^{あゆ}み、人^{にん}数^{ずう}が増加^{ぞうか}していった。

32 さて、ペテロは至^{いた}る所^{ところ}を巡^{めぐ}り、ルダ^{るだ}に住^すむ聖^{せい}なる人^{ひと}たちの所^{ところ}にも来^きた。

33 その場所^{ばしょ}でアイネアという男^{おとこ}性をみつけた。アイネアは体^{からだ}がまひしていて、8年間^{ねんかん}寝^ねたきりだった。34 ペテ

第9章

(7) コリ 11:32,33

(7) ガラ 1:18

(7) 使徒 4:36,37

(2) 使徒 9:3,4
コ一 9:1

(7) 使徒 9:19,20

(7) コリ 11:23,26

(7) 使徒 11:25
ガラ 1:21

(7) 使徒 8:1

(7) ヨハ 14:16

(2) 使徒 9:38

第2欄

(7) マタ 10:8
使徒 4:9,10

(7) 使徒 3:6

(7) ルカ 8:51

(2) マタ 9:24,25
ルカ 7:14,15
ヨハ 11:43,44

(7) 王一 17:23

ロは言^いった。「アイネア、イエス・キリスト^いがあなたを癒^いやします。起^おきて寝床^{ねどこ}を整^{ととの}えなさい」。するとアイネアはすぐに起^あき上がった。35 ルダとシャロ^{へい}ン平野^やに住^すむ人^{ひと}々は皆^{みな}アイネアを見^みて、主^{しゅ}を信^{しん}じるようになった。

36 ヨッパにタビタという弟^{でし}子^こがいた。この名前^{なまえ}はギリシャ語^{ぎりしゃご}に訳^{やく}すとドルカスである。タビタはたくさん^{たくさん}の善^{ぜん}行^{ぎやう}と憐れみ^{れんみ}の施^せしをする女性^{じやうせい}だった。

37 しかしその頃^{ころ}病氣^{びやうき}になって死^しんでしまったため、弟子^{でし}たちは遺体^{いたい}を洗^{あら}い、階上^{かいじやう}の部屋^{へや}に横^{よこ}たえた。38 弟子^{でし}たちはペテロがルダにいと聞^きき、その町^{まち}はヨッパに近^{ちか}かったので、2人^{ふたり}の人^{ひと}を遣^{つか}わして、「どうかすぐに来てください」と頼^{たの}んだ。39 ペテロは立^たって一^{いっ}緒^{しよ}に行^いき、到着^{とうちやく}すると、階上^{かいじやう}の部屋^{へや}に案内^{あんない}された。やもめたちが皆^{みな}出てきて、ドルカスが作^{つく}った外衣^{がいい}などのたくさんの服^{ふく}を泣^なきながら見^みせた。40 ペテロは皆^{みな}を外^{そと}に出^だし、ひざまずいて祈^{いの}ってから、遺体^{いたい}の方^{ほう}に向^むいて、「タビタ、起^おきなさい!」と言^いった。タビタは目^めを開^あけ、ペテロを見^みると、体^{からだ}を起^おこした。41 ペテロは手^てを貸^かして立^たたせ、聖^{せい}なる人^{ひと}たちとやもめたちを呼^よんで、タビタが生^いきているのを見^みせた。42 このことはヨッパ中^{じゅう}に知^しられ、多^{おほ}くの人^{ひと}が主^{しゅ}を信^{しん}じるようになった。

9:36 *ギリシャ語名ドルカスもアラム語名タビタも「ガゼル」という意味。9:39 *または、「長い服」。

た。43 ペテロはかなりの日数ヨッパにとどまり、皮なめし職人シモンの所にいた。

10 さて、カエサレアにコルネリオという男性がいた。イタリア隊と呼ばれる部隊の士官である。

2 神を畏れる人で、家の人全員と一緒に神を崇拝し、民に憐れみの施しを多く行い、いつも神に祈願をしていた。

3 ある日の午後3時ごろ、コルネリオは幻の中で、神の天使が入ってきて「コルネリオ!」と言うのをはっきり見た。

4 そして天使を見つめておびえ、「主よ、何でしょうか」と言った。天使は言った。「神はあなたの祈りと憐れみの施しに注目し、覚えています。

5 それで今、ヨッパに人を遣わして、ペテロと呼ばれるシモンという人と呼ばなさい。

6 皮なめし職人シモンの所に泊まっていた、その家は海辺にあります」。

7 コルネリオは自分に話した天使が去るとすぐ、2人の召し使いと、従者の中から神を畏れる1人の兵士を呼び、8 一切のことを話してヨッパに遣わした。

9 次の日、3人が旅を続けてその町に近づいた頃、ペテロは祈りをするため昼の12時ごろ屋上に上がった。

10 しかし非常に空腹になり、何かを食べたくなった。食事が準備されて

10:1 *600人の兵士から成るローマの部隊。

#または、「百人隊長」。100人の兵士を率いた。

10:6 *または、「にもてなされて」。

第9章

(ヨ) ヨハ 11:44, 45

(イ) 使徒 10:6, 32

第10章

(イ) 使徒 3:1

(ヨ) 詩 65:2

第2欄

(イ) 使徒 11:5-10

(イ) レビ 11:4
レビ 11:13-20
レビ 20:25
申 14:3, 19
エゼ 4:14

(イ) 使徒 11:11

(ヨ) 使徒 13:2
使徒 15:28
使徒 16:6
使徒 20:23

いる間に恍惚状態になり、11 天が開いて、何かが下ってくるのを見た。1 枚の大きな亜麻布が四隅をつさされて地上に下ろされるかのようにだった。12 その中には、あらゆる四つ足の動物や爬虫類や鳥が入っていた。

13 そして、「立ちなさい、ペテロ。これらをほふって食べなさい!」という声がした。14 しかしペテロは言った。「それはできません、主よ。汚れたものや清くないものはこれまで食べたことがありません」。15 すると、2度目の声がした。「神が清めたものを、汚れていると言ってはなりません」。16 こうしたことが3度起き、それはすぐ天に上げられた。

17 ペテロが自分の見た幻は何を意味するのだろうかと戸惑っていると、コルネリオから遣わされた人たちがシモンの家を訪ねて、門の所に立った。18 そして声を掛けて、ペテロと呼ばれるシモンが泊まっているかどうかを尋ねた。19 ペテロが幻について思い巡らしていると、神が聖なる力によって言った。「3人の人が会いに来ています。20 立て、下に下り、何も疑わなげで一緒に行きなさい。私が遣わした人たちです」。21 ペテロはその人たちの所に下りていって、こう言った。「私をお捜しのようですが、なぜ来られたのですか」。22 その人た

10:12 *または、「地面を動く生き物」。

*または、「殺して」。

ちは言った。「神を畏れる正しい人で、ユダヤ国民全体からも評判の良い士官コルネリオが、聖なる天使から神の指示を受けました。あなたを家に呼んで、あなたの話すことを聞くようにという指示です」。23 それでペテロは、その人たちを招き入れてもてなした。

次の日、ペテロは支度をして一緒に出掛けた。ヨッパの兄弟たちも何人か一緒にいった。24 その翌日、ペテロはカエサレアに入った。コルネリオは待ち受けていて、親族や親しい友人たちを呼び集めていた。25 ペテロが入ると、コルネリオは出迎え、その足元にひれ伏して敬意を表した。26 しかし、ペテロはコルネリオを起き上がらせて言った。「立ってください。私も人間です」。27 そして語り合いながら中に入ると、大勢の人が集まっていた。28 ペテロは言った。「よくご存じの通り、ユダヤ人にとって、別の人種の人と交友を持ったりそのもとを訪れたりするのは許されないことです。しかし神は、誰のことも汚れて

いるとか清くないとか言ってはならないことを私に示しました。29 それで呼ばれた時、迷わずに来たのです。教えてください、私を呼んだのはなぜですか」。

30 コルネリオは言った。「4日前の今ごろ、午後3時に家で祈っていました。すると、輝く衣服を着た人が私の

第10章

〔イ〕使徒 10:1

〔イ〕ルカ 4:8
使徒 14:12-15
啓 19:10
啓 22:8,9

〔イ〕ヨハ 18:28

〔イ〕使徒 10:45
エフ 3:5,6

第2欄

〔イ〕使徒 9:43

〔イ〕申 10:17
代二 19:7
ロマ 2:11〔イ〕ロマ 2:13
ロー 12:13
ガラ 3:28〔イ〕イザ 52:7
ナホ 1:15〔イ〕マタ 28:18
ロマ 14:9
啓 19:11,16

〔イ〕ルカ 4:14

〔イ〕イザ 11:2
イザ 42:1
イザ 61:1
マタ 3:16

〔イ〕ルカ 13:16

〔イ〕ヨハ 3:1,2

前に立って、31 こう言いました。『コルネリオ、神はあなたの祈りを聞いており、憐れみの施しを覚えています。

32 ですから、ヨッパに人を遣わして、ペテロと呼ばれるシモンという人を呼びなさい。この人は、海辺にある、皮なめし職人シモンの家に泊まっています』。33 それで私はすぐあなたのもとに人を遣わしました。よく来てくださいました。今、私たちは皆、あなたが話すようにとエホバが命じた事柄を、全て聞くために神の前にいます」。

34 そこでペテロは話し始めた。「神が不公平ではないことがよく分かりました。35 神を畏れて正しいことを行う人はどの国の人でも神に受け入れられるのです。36 神はイスラエルの民に、イエス・キリストによる平和についての良い知らせを広めました。イエスは全ての者の主です。37 皆さんは、ユダヤ全土で話題になった事柄を知っています。それは、ヨハネがバプテスマについて伝えた後にガリラヤから広まりました。38 ナザレの人イエスのことであり、神は聖なる力によってイエスを選び、力を与えました。イエスは各地を回って、善いことを行い、悪魔に虐待されている人を全て癒やしました。神が共にいたからです。39 私たちは、イエスがユダヤ人の土地やエルサレムで行った全てのこ

10:33 *付録A5参照。10:38 *直訳、「に油を注ぎ」。用語集の「油を注ぐ」参照。

との証人です。ユダヤ人はそのイエスを杭に掛けて殺しました。40 神は3日目にこの方を生き返らせ、人々の前に現れるようにしました。41 全ての人ではなく、前もって神から任命された証人たち、私たちにです。私たちの、生き返ったこの方と食べたり飲んだりしました。42 この方は、自分が生きている人と死んでいる人を裁くために神によって定められた者であることを、民に伝道して徹底的に知らせるように、と命じました。43 預言者は皆、イエスに信仰を持つ人は誰でもイエスの名によって罪の許しを受けると語っています。

44 これらのことについてペテロが話しているうちに、神の言葉を聞く全ての人が聖なる力を受けた。45 ペテロと一緒に来ている割礼を受けた信者たちはとても驚いた。無償の贈り物である聖なる力が異国の人々にも注がれていたからである。46 信者たちは、その人々が外国語で話して神をあがめるのを聞いた。それでペテロは言った。47 「この人たちは私たちと同じように聖なる力を受けました。水でバプテスマを受けることを誰が禁じられるでしょうか。48 そして、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けるようにと命じた。その人々々はペテロに、何日かとどまるよう頼んだ。

10:39 *または、「木」。 10:45 *または、「忠実な人」。

第10章

(イ) ヨナ 1:17
ヨナ 2:10
使徒 2:23, 24

(イ) ルカ 24:30, 31
ヨハ 21:13, 14

(イ) 使徒 17:31
ロマ 14:9
コニ 5:10
テモニ 4:1
ペー 4:5

(イ) マタ 28:19, 20
使徒 1:8

(イ) イザ 53:11
エレ 31:34
ダニ 9:24

(イ) ルカ 24:27
啓 19:10

(イ) 使徒 4:31
使徒 8:14, 15

(イ) 使徒 2:1, 4
使徒 19:6

(イ) マタ 3:11
使徒 8:36
使徒 11:17

(イ) マタ 16:19
使徒 2:38

第2欄

第11章

(イ) 使徒 10:45
ガラ 2:12

(イ) 使徒 10:10-16

(イ) 使徒 10:17-20

11 ユダヤにいる使徒と兄弟たち

ちは、異国の人も神の言葉を受け入れたことを聞いた。2 ペテロがエルサレムに上ってくると、割礼を支持する人々はペテロを批判し始め、3 「あなたは割礼を受けていない人の家に入って一緒に食事をした」と言った。4 そこでペテロは詳しく説明し始めた。

5 「ヨッパの町にいて祈っていると、恍惚状態になり、幻を見ました。何かが下ってきて、私の所まで来ました。1枚の大きな亜麻布が四隅をつるされて天から下ろされるかのようでした。

6 そのなかをのぞき込むと、四つ足の動物、野獣、爬虫類、鳥が見えました。

7 また、『立ちなさい、ペテロ。これらをほふって食べなさい!』という声が聞こえました。8 しかし私は、『それではできません、主よ。汚れたものや清くないものはこれまで口に入れたことはありません』と言いました。9 天から2度目の声がしました。『神が清めたものを、汚れていると言ってはなりません』。10 こうしたことが3度起き、全てのものは天に引き上げられました。11 また、ちょうどその時、3人の人が、私たちがいた家の前に立っていました。カエサレアから私の所に遣わされた人たちです。12 神は聖なる力によって私に、何も疑わないで—

11:2 *または、「と言い争いを」。 11:6 *または、「地面を動く生き物」。

緒^{しよ}に行くようにと告^つげました。この6人^{にん}の兄弟^{きょうだい}たちも一緒^{いっしょ}に行き、私^{わたし}たちはその人^{ひと}の家^{いえ}に入^{はい}りました。

13 その人^{ひと}は、天使^{てんし}が家^{いえ}の中^{なか}に現^{あらわ}れた時^{とき}のことを話^{はな}してくれました。天使^{てんし}はこう言^いいました。『ヨッパに人^{ひと}を遣^{つか}わして、ペテロと呼^よばれるシモンとい^いう人^{ひと}を呼^よびなさい。14 どうすればあなと家^{いえ}の人^{ひと}たち全^{すべ}てが救^{すく}われるか^かを話^{はな}してくれます』。15 私^{わたし}が話^{はな}し始め^{はじめ}ると、その人^{ひと}たちは聖^{せい}なる力^{ちから}を受け^うけました。初^{はじ}めに私^{わたし}たちが受^うけたようにです。16 そこで私^{わたし}は、主^{しゅ}イエスの言^{こと}葉^はを思^{おも}い出^だしました。主^{しゅ}は、『ヨハネは水^{みづ}でバプテスマを施^{ほどこ}したが、あなたちは聖^{せい}なる力^{ちから}でバプテスマを施^{ほどこ}される』とい^いっていました。17 それで、神^{かみ}が、主^{しゅ}イエス・キリスト^{しん わたし}を信^{しん}じた私^{わたし}たち^{かみ}に与^{あた}えたのと同じ無償^{むしょう}の贈^{おく}り物^{もの}をそ^その人^{ひと}たちに与^{あた}えた以上^{いじょう}、どうしてこの私^{わたし}が神^{かみ}を妨^{さまた}げることなどでき^きたでし^しうか。

18 兄弟^{きょうだい}たちはこれらのこと^{こと}を聞^きくと、反^{はん}対^{たい}をやめ、神^{かみ}をた^かたえ^えてこう言^いった。「それでは、神^{かみ}は異^い国^{こく}の人^{ひと}々^々が侮^{あは}れ改^{あらた}め^えて命^{いのち}を得^えることも望^{のぞ}んでいるのだ」。

19 ステファノのこ^こで起^おきた迫^{はくが}害^{がい}のため^{ため}に散^ちらされ^はた人^{ひと}たちは、フェニキア^{フェニ}、キプロス^{キプロ}、アンティオキア^{アン}にまで行^いったが、ユダヤ^い人^{じん}にしか伝^{でん}道^{どう}しな

11:17 * または、「の前に立ちふさがる」。

第11章

(7) 使徒 10:30-33

(1) 使徒 2:1,4
使徒 10:44,45

(2) マタ 3:11
マル 1:8
ルカ 3:16
使徒 1:5

(3) ヨエ 2:28
ヨハ 1:33
使徒 2:17

(4) 使徒 10:47

(5) イザ 11:10
使徒 17:30
ロマ 10:12
ロマ 15:8,9

(6) 使徒 8:1

第2欄

(7) マタ 10:5,6

(1) 使徒 2:47
使徒 9:35

(2) 使徒 4:36,37

(3) 使徒 13:43
使徒 14:21,22

(4) 使徒 2:47
使徒 4:4
使徒 5:14
使徒 9:31

(5) 使徒 21:39

(6) 使徒 9:2

(7) コー 12:28
エフ 4:11

(8) 使徒 21:10,11

(9) マタ 24:7

か^かった。20 しかし、キプロス^{キプロ}やキレネ^{キレ}からの人^{ひと}たちの何^{なん}人^{にん}かは、アンティオキア^{アン}に^に来^きて、ギリシャ^{ギリ}語^ごを話^{はな}す人^{ひと}々^々にも語^{かた}り始^{はじめ}め、主^{しゅ}イエスの良^よい知^しらせを広^{ひろ}めた。21 さ^さらに、エホバ^{エホ}が彼^{かれ}らと共^{とも}にいて、大^{おお}勢^{ぜい}の人^{ひと}が信^{しん}じるようにな^いって主^{しゅ}に従^{したが}った。

22 その話^{はなし}がエルサレム^{かいしゅう}の会^{かい}衆^{しゅう}に伝^{つた}わり、バルナバ^{バル}がアンティオキア^{アン}にまで遣^{つか}わされ^れた。23 バルナバ^{バル}は到^{とう}着^{ちゃく}して、神^{かみ}からの惜^おしみない親^{しん}切^{せつ}を見^みて、喜^{よろこ}んだ。そ^そして皆^{みな}を、心^{こころ}から^{けつ}の決^{けつ}意^いを抱^{いだ}いて主^{しゅ}に従^{したが}つ、続^{つづ}けるよう励^{はげ}まし始^{はじめ}めた。24 バルナバ^{バル}は善^よい人^{ひと}で、信^{しん}仰^{こう}が強^{かう}くて聖^{せい}なる力^{ちから}に満^みちてい^いた。こ^こうして、か^かなり多^{おほ}くの人^{ひと}が主^{しゅ}を信^{しん}じるようにな^いった。25 それで、バルナバ^{バル}はサウロ^{さが}を捜^{さが}し出^だそうと^としてタルソス^{タル}に行^いった。26 そ^そして、見^みつけ^みてから、アンティオキア^{アン}に^に連^つれて^れきた。2人^{ふたり}はまるねん^{まる}、かいしゅう^{ねん}、いっしょ^いあつ^つ丸^{まる}1年^{ねん}、会^{かい}衆^{しゅう}と一^{いっ}緒^{しょ}に集^{あつ}ま^まって、か^かなり大^{おお}勢^{ぜい}の人^{ひと}を教^{おし}えた。弟^で子^したち^{かみ}が神^{かみ}の導^{みちび}きによ^よってクリスチャン^{クリ}と呼^よばれたのは、アンティオキア^{アン}が最^{さい}初^{しよ}だ^だった。

27 その頃^{ころ}、預^よ言^{げん}者^{しゃ}たち^{たち}がエルサレム^{エル}からアンティオキア^{アン}に^に下^{くだ}つて^てきた。28 その1人^{ひとり}の^{ひと}アガポ^{アガ}とい^いう人^{ひと}が立^たち上^あがり、全^{ぜん}土^どに大^{だい}飢^{きん}饉^{しん}が生^{しょう}じようとしてい^いることを聖^{せい}なる力^{ちから}によ^よって予^よ告^{こく}した。これはクラウディウス^{クラ}の時^{とき}に実^{じつ}際^{さい}に起^おきた。29 それで弟^で子^したち^{たち}は、そ

11:21 * 付録 A5 参照。

ください」と言^いった。そ^でして出^でていき、
別^{べつ}の場^{ばしょ}所^たに旅^{たび}立^だった。

18 夜^よが明^あけると、ペテロはどこへ
行^いったのかと、兵^{へい}士^しの間^{あいだ}で大^{おお}騒^{さわ}ぎに
な^なった。19 ヘロデはペテロを急^さに
り^らに捜^{さが}したが、見^みつから^ないので、見^み
張^{はり}りの兵^{へい}士^したちと^とし^しら^らべ^べ、処^{しょ}罰^{ばつ}のた^た
め^めに引^ひいてい^いくよう^{よう}にと命^{めい}令^{れい}した。そ^の
後^ご、ヘロデはユダヤ^よからカエサ^かレ^れア
に下^{くだ}っていき、し^ずば^らく過^くごした。

20 ヘロデはティルス^ひやシ^とド^{たい}ンの
人^{ひと}々^とに対^{たい}して腹^{はら}を立^たてていた。そ^のた^た
め^め、そ^の人^{ひと}々^とは皆^{みな}でヘロデ^のの^{ところ}にや^や
つて来^きて、王^{おう}の家^{いえ}の事^{こと}柄^{がら}を世^せ話^わするプ^ら
ラ^すトに頼^{たの}み込^こんでから、和^わ平^{へい}を求^{もと}めた。
かれ^の他^たの地^ち方^{ほう}は王^{おう}の国^{こく}土^どから食^{しょく}物^{もつ}を得^え
ていたからである。21 ある特^{とく}別^{べつ}な
日^ひに、ヘロデは王^{おう}の服^{ふく}をま^まと^とつて裁^{さい}き
の座^ざに座^{すわ}り、演^{えん}説^{ぜつ}を始^はめた。22 集^{あつ}
ま^まつていた人^{ひと}々^とは、「神^{かみ}の^{こえ}声^{こえ}だ、人^{ひと}の^{こえ}声^{こえ}
ではない!」と叫^{さけ}び始^はめた。23 たち^ち
ま^まちエホバ^のの天^{てん}使^しがヘロデ^のを打^うった。
ヘロデ^のが神^{かみ}をた^たえな^なか^かつたからであ^あ
る。ヘロデは虫^{むし}に食^くわ^われて死^しんだ。

24 エホバ^のの言^{こと}葉^はは広^{ひろ}ま^まつていき、
さ^さらに多^{おほ}くの人^{ひと}が信^{しん}じた。

25 バルナバ^のとサウロ^のは、エルサレ^きム^{ゆう}で救^{きう}援^{えん}の仕^し事^{ごと}を十^{じゅう}分^{ぶん}に果^はた^たしてか^か
ら帰^{かえ}途^とに就^つき、マルコ^のとも呼^よばれるヨ^よ
ハネ^のを連^れてい^いった。

12:20 *または、「戦^{せん}闘^{とう}的な気^き構^くえで」。『直^ち訳^{やく}、
「王^{おう}の寝^ね室^{しつ}」。12:23, 24; 13:2 *付^つ録^{ろく} A5
参^{さん}照^{しょう}。

第12章
(7) 使徒 16:27

(1) 使徒 6:7
使徒 19:20
コロ 1:6

(7) 使徒 4:36, 37

(12) 使徒 11:29, 30

(12) 使徒 13:5
使徒 15:37, 38

第2欄

第13章
(7) コー 12:28
エフ 4:11, 12

(1) 使徒 9:15

(7) テモ 2:7

13 さて、アンテ^{かい}オキ^{しゅう}アの会^{かい}衆^{しゅう}
には預^よ言^{げん}者^{しゃ}や教^{おし}え^{ひと}る人^{ひと}たち
がいた。バルナバ^の、ニゲル^のと呼ば^よれる
シメオン^の、キレネ^ののルキオ^の、地^ち域^{いき}支^{はい}配^{しや}者^者
ヘロデ^のと一^{いっ}緒^{しゅう}に教^{きょう}育^{いく}を受^うけたマナエ^の
ン、サウロ^のである。2 これらの人^{ひと}がエ
ホバ^のに仕^しえ、断^{だん}食^{じき}をしてい^いると、神^{かみ}が
聖^{せい}なる力^{ちから}によ^いつてこ^こう言^いった。「バルナ
バとサウロを私^{わたし}のため^とに取^とり分^わけな^な
さい。私^{わたし}はある活^{かつ}動^{どう}を行^{おこな}わせるた^ために
ふた^{ふた}り^{えら}を選^{えら}びまし^した」。3 そ^のれで断^{だん}食^{じき}を
し^いて祈^{いの}つてから、2人^{ふた}りに手^てを置^おき、送^{おく}
り出^だした。

4 この人^{ひと}たちは聖^{せい}なる力^{ちから}によ^おつて送^{おく}
り出^だされてセレウキ^のアに行^いき、そ^のこ^こから
船^{ふね}でキプロス^の島^{とう}に向^むか^かつた。5 そし
てサラミ^のスに着^{じん}くと、ユダヤ^の人^{じん}の会^{かい}堂^{どう}
で神^{かみ}の言^{こと}葉^はを広^{ひろ}め始^はめた。付^つき添^そい
としてヨハネ^のを連^れていた。

6 一^{いっ}行^{こう}は島^{しま}中^{ちゅう}を回^{まわ}ってパフォス^のまで
来^きた時^{とき}、バルイ^のエス^{じん}というユダヤ^の人^{じん}に
出^で会^あった。呪^{じゆ}術^{じゆつ}師^しで偽^{にせ}預^よ言^{げん}者^者だ^だ
った。7 バルイ^のエス^{じん}は、執^{しつ}政^{せい}官^{かん}代^{だい}理^りで
知^し的^{てき}な人^{ひと}セルギ^のオ・パウロ^のと一^{いっ}緒^{しゅう}にい^い
た。この人^{ひと}はバルナバ^のとサウロ^のを呼^よん
で、神^{かみ}の言^{こと}葉^はを聞^ききたが^がつた。8 と
ころが、そ^の呪^{じゆ}術^{じゆつ}師^しエルマ^の(エルマ^のは
じ^じゆ^じつ^しという意^い味^み)は2人^{ふた}りに反^{はん}対^{たい}し
始^はめ、執^{しつ}政^{せい}官^{かん}代^{だい}理^りが信^{しん}仰^{こう}を持^もつ^つのを
邪^{じや}魔^ましよう^{しよう}とした。9 パウロ^のとも呼^よ
ばれるサウロ^のは聖^{せい}なる力^{ちから}に満^みたされ、

13:5 *または、「助^{すけ}手^て」。13:7 *ローマ^のの属^{ぞく}州^{しゅう}
総^{そう}督^{とく}。用^{よう}語^ご集^{しゅう}参^{さん}照^{しょう}。

(12) 使徒 12:25

エルマをじっと見て、**10** こう言った。「ああ、あらゆる詐欺と罪惡に満ちた者、悪魔の子、あらゆる正しいことの敵よ、エホバの正しい道をゆがめるのをやめないのですか。**11** さあ、エホバの手があなたの上にあります。あなたは目が見えなくなり、しばらく日の光を見ません」。たちまちエルマは濃い霧と闇で目が見えなくなり、手を引いてくれる人を探し回った。**12** この時、起きたことを見た執政官代理は、エホバの教えにすっかり驚いて信者となった。

13 次にパウロの一行はパフォスから船に乗って、パンフリアのペルガに着いたが、ヨハネは2人から離れてエルサレムに帰った。**14** しかし2人は、ペルガから進んでピシディアのアンティオキアに来た。そして、安息日に会堂に入って席に着いた。**15** 律法と預言者の言葉が朗読された後、会堂の役員たちからこう頼まれた。「兄弟たち、皆に何か励ましの言葉があれば、話してください」。**16** そこでパウロは立ち上がり、手で合図をして、こう言った。

「皆さん、イスラエルの方も神を畏れるほかの方も、聞いてください。**17** この民イスラエルの神は、私たちの父祖を選び、エジプトで外国人として生活する民を強大にし、力強い腕でそこか

第13章

(7) ヨハ 8:44

(1) 使徒 12:12

(7) 使徒 15:37,38

(2) 使徒 17:1,2

使徒 18:4

使徒 19:8

(7) 使徒 15:21

第2欄

(7) 出 6:1,6

申 7:6,8

(1) 出 16:35

民 14:33,34

(7) 申 7:1

ヨシ 14:1,2

(2) 裁 2:16

サー 3:20

(7) サー 8:4,5

(7) サー 10:21

サー 11:15

(7) サー 16:12,13

詩 89:20

(7) サー 13:13,14

(7) サー 16:1

(7) サ二 7:12

イザ 11:1

ルカ 1:31,32

ルカ 1:68,69

(7) マタ 3:1,6

(7) マタ 3:11

ルカ 3:16

(7) マタ 10:5,6

ルカ 24:47,48

ら連れ出しました。**18** そして約40年間、荒野でその民のことを辛抱しました。**19** カナン地方の7つの国民を滅ぼした後、その土地を私たちの父祖に授けました。**20** この全ては約450年間のことです。

その後、神は預言者サムエルの時まで裁き人たちを与えました。**21** それから民が王を求めると、神は、ベニヤミン族の人、キシユの子サウルを与え、40年治めさせました。**22** 次に、サウルを退けた後、ダビデを王として立て、こう宣言しました。『私は、心にかんずる人、エッサイの子ダビデを見つけた。彼は私の望むことを全て行う』。**23** 神は約束通り、この人の子孫からイスラエルに救い主イエスが出るようにしました。**24** その方がどうしようもな登場する前に、ヨハネがイスラエルの民全てに、悔い改めを象徴するバプテスマについて伝道しました。**25** ヨハネは務めを終えつつあった時、こう言っていました。『私を誰だと思っていますか。私はその方ではありません。しかし、私の後から来る方がいて、私はその方のサンダルひものほどもに値しません』。

26 皆さん、兄弟たち、アブラハムの子孫の方や神を畏れるほかの方たち、この救いの言葉は私たちに伝えられています。**27** エルサレムの住民と支配者たちはこの方を認めませんでしたし

たが、この方^{かた}を裁^{さば}いたことによって、預^よ言者^{げんしゃ}の言葉^{ことば}を実現^{じつげん}しました。その言葉^{ことば}は安息日^{あんそくび}ごとに朗読^{ろうどく}されています。

28 その人^{ひと}たちは、この方^{かた}を死刑^{しけい}にする理由^{りゆう}が見つからなかったにもかかわらず、処刑^{しよけい}するようピラトに要求^{ようきゆう}しました。29 そして、この方^{かた}について書かれていたこと全て^{すべ}を実現^{じつげん}してから、この方^{かた}を杭^{くい}から下ろして墓^おに葬^{はか}りました。30 しかし、神^{かみ}はこの方^{かた}を生き返^{かえ}らしました。31 そしてこの方^{かた}は、ガリラヤからエルサレム^{いっしよき}に一緒に来^きていた人^{ひと}たちに何日^{なんにち}もの間^{あいだ}姿^{すがた}を見せました。その人^{ひと}たちは今^{いま}、この方^{かた}について民^{たみ}に証言^{しょうげん}しています。

32 それで私たちは、父祖^{わたくし}たちになされた約束^{やくそく}に関するよい知らせ^{よし}を皆さん^{みな}に告^つげています。33 神^{かみ}はその約束^{やくそく}を彼^{かれ}らの子孫^{しそん}である私^{わたくし}たちのため^{ため}に完全^{かんぜん}に実現^{じつげん}しました。イエスを復活^{ふっく}させることによってです。詩編^{しへん}2編^{へん}に、『あなたは私^{わたくし}の子^こ。今日^{けふ}、私はあなた^{あなた}の父^{ちち}となった』と書いてある通りです。34 そして、復活^{ふっかつ}させられたイエス^{いへす}は、腐敗^{ふはい}する人間^{にんげん}になることは二度^にとありません。そのことについて、神^{かみ}は、『ダビデに約束^{やくそく}した揺るぎない愛^{あい}をあなた^{あなた}たちに確実^{かくじつ}に示^{しめ}す』と述べています。35 それで、詩編^{しへん}の別^{べつ}の箇所^{かしょ}にも、『あなたは、ご自分に尽^{つく}す人^{ひと}の

第13章

〔イザ 53:7,8

〔イ マタ 26:59,60
ルカ 23:13-15
ヨハ 19:4〔ヨ マタ 27:22,23
ヨハ 19:15〔ヨ マタ 27:59,60
ヨハ 19:40-42〔ヨ マタ 28:5,6
使徒 2:24〔ヨ マタ 28:16
使徒 1:3
使徒 3:15
コリ 15:4-7

〔ヨ ロマ 1:4

〔ヨ 詩 2:7
ヘブ 1:5
ヘブ 5:5

〔ヨ イザ 55:3

第2欄

〔ヨ 詩 16:10
使徒 2:31

〔ヨ 使徒 2:29

〔ヨ 使徒 2:27

〔ヨ ルカ 24:46,47
使徒 5:31
使徒 10:43

〔ヨ ヘブ 10:1

〔ヨ イザ 53:11
ロマ 3:28
ロマ 5:18
ロマ 8:3
ヘブ 7:19

〔ヨ ハバ 1:5

〔ヨ 使徒 11:23
使徒 14:21,22

からだ^{からだ}が腐敗^{ふはい}することを許^{ゆる}さない』とあり、
体が腐敗^{ふはい}することはいっぼう^{いっぼう}許^{ゆる}さない』とあり
ます。36 一方でダビデは、生涯^{しやうがい}ずっと
と神^{かみ}に仕え、死^しの眠^{ねむ}りに就^ついて父祖^{ふそ}たちと共^{とも}に横^{よこ}たえられ、確^{たし}かに腐敗^{ふはい}しました。37 他方^{たほう}、神^{かみ}が生き返^{かえ}らせた方^{かた}は腐敗^{ふはい}しませんでした。

38 ですから、兄弟^{きょうだい}たち、このことを知^しってください。この方^{かた}の死^しによるつみ^{つみ}ゆる^{ゆる}みな^{みな}ひろ^{ひろ}罪^{つみ}の許^{ゆる}しが皆さん^{みな}に広^{ひろ}められており、
39 モーセの律法^{りっぽう}によって無罪^{むざい}とされなかった全て^{すべ}のことについても、信^{しん}じる人^{ひと}は皆^{みな}、この方^{かた}によって無罪^{むざい}とされるのです。40 ですから、預言書^{よげんしょ}で述べられている次^{つぎ}のことが皆さん^{みな}に起きないよう^おに注意^{ちゆうい}してください。41 『あざける者^{もの}たち、見^みて、驚^{おどろ}き、滅^{ほろ}びてしまいなさい。私はあなた^{あなた}たちの時代^{じだい}に1つのことをする。そのことを誰^{だれ}かが詳しく話^{はな}したとしても、あなた^{あなた}たちは決して信^{しん}じない』。

42 2人^{ふたり}が出ていく際^{さい}、人々^{ひとびと}は、こうしたことを次の安息日^{あんそくび}にもぜひ話^{はな}してほしいと頼^{たの}んだ。43 会堂^{かいどう}の集会^{しゅうかい}がかいさん^{かいさん}あと^{あと}おお^{おお}じん^{じん}かみ^{かみ}すう^{すう}解散^{かいさん}した後^{のち}、多くのユダヤ人^{ゆだやじん}や神^{かみ}を崇拝^{かうはい}する改宗者^{かいしゅうしや}がパウロとバルナバに付^ついてきた。2人^{ふたり}はその人^{ひと}たちに話^{はな}して、神^{かみ}の惜^{しみ}しみない親切^{しんせつ}を受け続け^{うづつ}られるようでありなさいと勧め^{勧め}た。

44 次の安息日^{あんそくび}、町^{まち}のほとんどの人^{ひと}がエホバの言葉^{ことば}を聞き^きに集^{あつ}まった。

13:36 *または、「その時代に神の望むことを行い」。13:44 *付録 A5 参照。

13:29 *または、「木」。*または、「記念の墓」。
13:34 *または、「間違いない」。13:35 *または、「揺るぎなく支持する」、「から離れない」。

45 ユダヤ人は群衆を見て激しく嫉妬し、パウロが語ることを冒瀆して反論するようになった。46 パウロとバルナバはユダヤ人に大胆に言った。「神の言葉はまずあなた方に語られることが必要でした。あなた方がそれを退けて、永遠の命に値しない者であることを示すのですから、私たちは異国の人々の方に向かいます。47 エホバは次のような言葉で私たちに命令しています。『私はあなたを国々の光に任命した。あなたは地の果てにまで救いをもたらすのである』。

48 異国の人々はこれを聞いて喜び、エホバの言葉を賛美するようになった。そして、永遠の命を得るための正しい態度を持つ人は皆、信者となった。49 さらに、エホバの言葉はその地方全域に広められていった。50 しかしユダヤ人たちは、神を畏れる著名な女性たちや町の主立った人々たちをあり、パウロとバルナバに対して迫害を起こし、境界の外に追い出した。51 2人は、その人たちに対して足の土を振り払い、イコニオムに行った。52 弟子たちはその後も喜びにあふれ、聖なる力に満たされていた。

14 イコニオムで、パウロとバルナバが一緒にユダヤ人の会堂に入って立派に話をする、ユダヤ

13:47-49; 14:3 *付録A5参照。13:51 *自分に責任がないことを示す動作。

第13章

(7) 使徒 14:1,2
使徒 17:4,5

(1) マタ 10:5,6
使徒 3:25,26
ロマ 1:16

(7) ルカ 2:29-32
使徒 18:5,6
ロマ 10:19

(2) イザ 49:6
使徒 1:8

(2) マタ 23:34
使徒 14:2,19
使徒 17:5

(2) マタ 10:14
ルカ 9:5

(4) マタ 5:12

第2欄

第14章

(7) 使徒 13:45

(1) 使徒 19:11
ヘブ 2:3,4

(7) 使徒 14:19

(2) マタ 10:23

(2) マタ 9:28

(2) イザ 35:6

(4) 使徒 28:3-6

人もギリシャ人も非常に大勢の人が信じるようになった。2 しかし、信じないユダヤ人たちは異国のの人々をあり立て、兄弟たちに対して悪感情を抱かせた。3 それで、2人はかなりの時をそこで過ごしてエホバの権威の下に大胆に語った。神は2人に奇跡や不思議なことを行わせて、惜しみない親切に関する言葉がその通りで

あることを明らかにした。4 しかし、町の人々はユダヤ人の側と使徒の側とに分かれた。5 異国のの人とユダヤ人が支配者たちと共に、2人を侮蔑して石打ちにしようとして企てた時、6 そのことを知った2人は逃げ、ルカオニアの町ルステラとデルベ、またその周辺地方に行った。7 そして、そこで良い知らせを広め続けた。

8 ルステラで、両足が不自由な男性が座っていた。その男性は生まれた時から足が悪く、一度も歩いたことがなかった。9 この男性はパウロが話すのを聞いていた。パウロは彼をじっと見て、癒やしを受けるだけの信仰があるのが分かった、10 大きな声で、「自分の足で立ちなさい」と言った。すると、男性は躍り上がって歩き始めた。11 群衆はパウロが行ったことを見て、ルカオニア語でこう叫んだ。「神々が人間の姿をして下さってきたのだ!」12 そして、バルナバ

14:3 *直訳、「しるし」。

をゼウス、パウロをヘルメスと呼び始めた。パウロがほとんど話していたからである。13 また、町の入り口にあるゼウスの神殿の祭頭は、数頭の雄牛と花輪を門の所に持ってきて、群衆と一緒に犠牲を捧げようとした。

14 しかし、使徒のパルナバとパウロはそのことを聞くと、衣服を引き裂いて群衆の中に飛び込んでいき、こう叫んだ。15 「皆さん、なぜこんなことをするのですか。私たちも、皆さんと同じ弱さを持つ人間です。そして、皆さんに良い知らせを伝えているのは、皆さんがこうした無駄なことをやめて、生きている神を崇拝するためです。神は天と地と海とその中の全ての物を造りました。16 昔、神は全ての国の人々がそれぞれの道を進むままにしました。17 それでも、善いことを行って、ご自分のことを明らかにしました。天からの雨と実りの季節を与え、食物を豊かに供給して人々の心を喜びで満たしたのです。18 2人はこのように言って、やつのことで、群衆が自分たちに犠牲を捧げるのをとどめた。

19 ところが、ユダヤ人たちがアンティオキアやイコニオムからやって来て群衆を説き伏せた。人々はパウロを石打ちにし、彼が死んだと思って町の外に引きずり出した。20 しかし、弟子たちが取り囲んでいると、パウロ

第14章
(7) 使徒 10:25,26

(1) 出 20:11
詩 146:6

(7) 使徒 17:30

(2) 使徒 17:26,27
ロマ 1:20

(2) 詩 147:8
エレ 5:24
マタ 5:45

(2) 詩 145:16

(2) 使徒 17:13

(2) コリ 11:25

第2欄

(7) 使徒 16:1

(1) 使徒 11:22,23

(2) マタ 10:38
ヨハ 15:19
ロマ 8:17
テサロ 3:4

(2) テト 1:5

(2) 使徒 13:2,3

(7) 使徒 13:13

(2) 使徒 13:1,2

(7) 使徒 11:18

第15章

(7) 創 17:9,10
出 12:48
レビ 12:2,3

は起き上がり、町に入った。そして次の日、バルナバと一緒にデルベに向かった。21 2人はその町に良い知らせを広め、かなり大勢の人々が弟子となるよう手助けした後、ルステラ、イコニオム、アンティオキアに戻り、22 弟子たちを力づけ、信仰を保つよう励まして、「私たちは、多くの苦難を経験して神の王国に入らなければなりません」と言った。23 さらに、会衆ごとに長老たちを任命し、断食をして祈り、彼らをエホバに委ねた。彼らが神を信じていたからである。

24 それから2人はピンデアを通してパンフリヤに入り、25 ペルガで神の言葉を広めた後、アタリアに下った。26 そして、船でアンティオキアに向かった。そこは、2人が今回の活動に向けて神の惜しめない親切を受けた場所。そこで、今やその活動は完了した。

27 2人はそこに到着して会衆を集めると、神が自分たちを通して行った多くのこと、また、神が信仰への扉を開いたことを話した。28 こうして弟子たちとかなりの時を過ごした。

15 さて、ある人たちがユダヤから下ってきて、兄弟たちに、「モーセの慣例通り割礼を受けない限り、救われない」と教え始めた。2 それで、パウロとバルナバと、その人たち

14:23 * 付録 A5 参照。

との間で、かなりの対立と議論が生じた。この件で、パウロとバルナバと何人かが、エルサレムにいる使徒や長老たちのもとに上ることになった。

3 この人たちは途中まで会衆に見送られた後、進んでいってフェニキヤやサマリアを通り、異国の人々が信者になったことについて詳しく話したので、兄弟たちは皆、非常に喜んだ。

4 一行はエルサレムに着くと、会衆および使徒や長老たちに親切に迎えられ、神が自分たちを通して行った多くのことを話した。5 しかし、以前はパリサイ派だった信者の何人かが席から立ち、「彼らに割礼を施し、モーセの律法を守るよう命じることが必要だ」と言った。

6 そこで使徒や長老たちは、この件について調べるために集まった。

7 活発な議論が続いた後、ペテロが立ってこう言った。「皆さん、兄弟たち、よくご存じの通り、神は私たちのなかから私をまず選んで異国の人々に良い知らせを伝えさせ、その人たちが聞いて信じるようにしました。8 そして、人の心を知っている神は、私たちと同じようにその人たちにも聖なる力を与え、その人たちを認めていることを示しました。9 また、私たちとその人たちの間に何の差別も設けず、彼らの心を信仰のゆえに清めまし

15:2 *または、「議論のこと」。

第15章

(7) ガラ 2:1

(1) 出 12:48
使徒 11:2,3

(2) 使徒 10:34,35
使徒 11:16,17

(3) 代一 28:9
エレ 11:20

(4) 使徒 10:44,45
使徒 11:15

(5) ガラ 3:28

第2欄

(7) ガラ 2:15,16
ペー 1:22

(1) ガラ 3:10

(2) ガラ 5:1

(3) イザ 53:11
ヨハ 1:17

(4) マタ 20:28

(5) マタ 10:2
使徒 11:13
ペ二 1:1

(6) ペー 2:9,10

(7) アモ 9:11,12

(8) イザ 45:21

(9) 使徒 15:10

た。10 ですから、どうして今、父祖も私たちも負えなかった重荷を弟子たちに課して、神を試したりするのですか。

11 今や私たちは、救いは主イエスの惜しみない親切によるという信仰を持っており、その人たちの救いも同じなのです。

12 すると一同は黙り、バルナバとパウロの話の聞き始めた。2人は、自分たちを通して神が異国の人々の間で行った多くの奇跡や不思議なことに話した。13 2人が話し終えてから、ヤコブが言った。「皆さん、兄弟たち、聞いてください。14 シメオンは、神が初めて異国の人々に注意を向けて、その中からご自分の名のための民を取り出した次第を十分に話してくれました。15 預言者の言葉はこのことと一致しています。こう書いてあります。16 『これらのことの後、私は戻って、倒れたダビデの天幕を再び起こす。その廃墟を建て直して元に

戻す。17 残っている人たちが、全ての国の人々、私の名で呼ばれる人々と共に、心からエホバに仕えるためである。私エホバがそう言っている。私

がこれらのことを行っており、18 昔からそう決めていた』。19 ですから、私の決定は、神を崇拝するようにする異国の人々を煩わさず、20 偶像に

15:12 *直訳、「しるし」。15:16 *または、「仮小屋」、「家」。15:17 *付録A5参照。15:19 *または、「意見」。

よって汚された物と性的不道徳と絞め殺された動物と血を避けるよう書き送ることで。21 モーセの書は安息日ごとに会堂で朗読されていて、それを教える人が昔からどの町にもいます。

22 そこで、使徒や長老たちは会衆全体と共に、自分たちの中から選んだ人たちをパウロとバルナバと一緒にアンティオキアに遣わすことに決めた。バルサバと呼ばれるユダとシラスであり、兄弟たちの中で大きな責任を担っている人たちだった。23 そして、彼らを通して以下のような手紙を送った。

「皆さんの兄弟である使徒や長老たちから、アンティオキア、シリア、キリキアにいる異国人の兄弟たちへ。あいさつを送ります。24 こちらから行ったある人たちが、私たちから何の指示も受けていなかったのに、いろいろなことを言って皆さんを煩わせ、信仰を損なおうとしていることを聞きましたので、25 私たちは、人を選んで、愛するバルナバとパウロと共に皆さんのもとに遣わすことを全員一致で決定しました。26 主イエス・キリストの名のために命を捧げてきた2人と共に、27 ユダとシラスを遣わします。同じことを口頭でも伝えるためです。28 というのは、聖なる力によって私たちは、次の必要な事柄以外、皆さんに何の

第15章

〔訳〕 35:2 出 20:3
コ 10:14
〔イ〕 コ 6:9,10
コ 3:5
テサ 4:3

〔イ〕 創 9:4
レビ 3:17
レビ 7:26
レビ 17:10,13
レビ 19:26
申 12:23
申 15:23
サ 14:32,33

〔イ〕 使徒 13:15
コ 3:15

〔イ〕 テサ 1:1
ペ 5:12

〔イ〕 使徒 11:26

〔イ〕 使徒 15:1

〔イ〕 使徒 13:50
コ 15:30,31
コ 11:23-26

〔イ〕 使徒 16:4

〔イ〕 ヨハ 16:13
使徒 5:32

第2欄

〔イ〕 創 35:2 出 20:3 出 34:15
コ 10:14

〔イ〕 創 9:4
レビ 3:17
レビ 7:26
レビ 17:10
申 12:16,23
サ 14:32,33

〔イ〕 レビ 17:13

〔イ〕 創 39:7-9
コ 6:9,10
エフ 5:5
コ 3:5
テサ 4:3

〔イ〕 使徒 18:23

〔イ〕 コ 11:28

〔イ〕 使徒 13:4,5
コ 4:10
テモ 2:4,11

おちに 重荷も加えないのがよいと考えたからです。29 すなわち、偶像に犠牲として捧げられた物、血、絞め殺された動物、性的不道徳を避けていることです。これらのものから注意深く身を守っていれば、皆さんは穏やかに暮らせませす。健康やかに過ごしてください。

30 こうして、この人たちは送り出されてアンティオキアに下り、皆を集めててがみわたす手紙を渡した。31 人々はそれを読んで、励ましの言葉を喜んだ。32 ユダとシラスは、預言者でもあったので、何度も話をして兄弟たちを励まし、力づけた。33 2人はそこでしばらく過ごした後、兄弟たちから温かく見送られ、自分たちを遣わした人々のもとに戻っていった。34 — 35 しかし、パウロとバルナバはアンティオキアにとどまって教え、ほかの多くの人と一緒にエホバの言葉のよい知らせを広めた。

36 何日か後、パウロはバルナバに言った。「さあ、エホバの言葉を広めたすべての町に戻って兄弟たちを訪ね、どうしているかを見てみましょう」。37 バルナバは、マルコと呼ばれるヨハネを連れていくことに決めていた。38 しかしパウロは、パンフリアでマルコが一緒に行動するのをやめてしまったことがあるので、彼を連れていくことに

15:29 *結びのあいさつの表現。15:34 *付録A3参照。15:35, 36 *付録A5参照。15:36 *もしかすると、「ぜひとも」。

15:20, 29 *ギリシャ語、ポルネイア。用語集参照。15:20, 29 *または、「殺して血を抜いていない」。

賛成できなかった。^(ア)39 そこで怒りが^い激しくぶつかって、^{はげ}2人は別れることになった。^{ふたり わか}バルナバはマルコを連れて船でキプロスに向かった。^(イ)40 パウロはシラスを選び、出発した。^{えら しゅうはつ}出掛ける前に、兄弟たちは、パウロがエホバの惜しみない親切を受けるようにと祈った。^{まえ きょうだい}41 パウロはシリアとキリキヤを通して会衆を強くした。^{お かいしゅう つよ}

16 パウロはデルベに、次いでルステラに着いた。^(ロ)そこにテモテという弟子がいた。^{でし しんじや}信者であるユダヤ人女性の息子で、ギリシャ人の父親を持ち、^{ちんじょせい むすこ}2 ルステラとイコニオムの兄弟たちから良い評判を得ていた。^{きょうだい}3 パウロは、テモテを同行させたいとの願いを述べ、その地域のユダヤ人のために彼に割れを施した。^{ねが の}皆は彼の父親がギリシャ人だと知っていたのである。^{かれ かつれい ほどこ}4 一行は幾つもの町を通って、エルサレムにいる使徒や長老たちが下した決定を守るように伝えた。^{ちちおや じん}5 こうして、会衆は信仰を強められ、日々、人数が増えていった。^{いっこう}

6 また、一行はフリギアとガラテア地方を通していった。^{ち ほう}アジア州で神のことばを語ることを聖なる力によって禁じられたからである。^{い と}7 さらに、ミシアに行った時、^(イ)ピチニアに入ろうと努力したが、イエスは聖なる力によってそれを許さなかった。^{いっこう}8 そこで一行

第15章
(ア) 使徒 13:13

(イ) 使徒 4:36, 37

(ロ) 使徒 14:26

第16章
(ロ) 使徒 14:5-7
テモニ 3:11

(ロ) 使徒 19:22
ロマ 16:21
コリ 4:17
テサロ 3:2
テモニ 1:2

(ロ) コリ 9:20

(イ) 使徒 15:28, 29

(イ) 使徒 18:23

(イ) ペリ 1:1

第2欄
(イ) フィリ 1:1

(イ) 啓 1:11

(イ) 使徒 16:33
使徒 18:8

は、ミシアを通り過ぎてトロアスに行った。^(イ)9 パウロは夜に幻を見た。^たマケドニアの男性が立っていて、「マケドニアへ渡ってきて私たちを助けてください」と頼むのだった。^{たの}10 パウロがその幻を見てからすぐ、私たちは、彼らに良い知らせを広めるために神が私たちを招いたのだと結論して、マケドニアへ行こうとした。^{まね けつろん}

11 それで、私たちはトロアスから船に乗ってサモトラケ島に直行し、翌日ネアポリスに行き、^(イ)12 そこからフィリピに行った。^い植民市で、マケドニア地区の主要な町である。私たちはこの町に何日かとどまった。^(イ)13 そして安息日に、町の門の外に出て川のそばに行った。^いそこに祈りの場所があると思つたのである。^{おも}私たちは腰を下ろし、集まっていた女性たちに話し始めた。^{あつ じょせい}14 テアテラの人で紫布を売る人、神を崇拝するルデアという女性が聞いていた。^(イ)エホバは彼女の心を大きく開いて、パウロが話す事柄を受け入れるようにした。^い15 ルデアは家の人たちと共にバプテスマを受けた時、「もし、私のことをエホバに忠実な人と思つてくださるのでしたら、私の家に泊まりに来てください」と私たちに促した。^いそして、どうしても来てほしいと言って、連れていった。^い

16 その祈りの場所に行く時のこと、

16:8 *または、「通り抜けて」。

じゃあく てんし ちから うらな ^{(イ) め つか}
 邪悪な天使の力で占いをする召し使
 いの女性に出会った。その女性 ^{(イ) レビ 19:31} は運 ^{レビ 20:6}
 勢 ^{せい} 占いで主人たちに多くの利益をも

たらしていた。17 この女性 ^{(イ) マル 1:23,24} がパウ ^{ルカ 4:41}
 ロと私たちにずっと付いてきて、「この
 人たちは至高の神の奴隷で、救いの
 道を広めています」と呼び続けた。

18 これが何日も続いた。ついにパウ ^{(イ) マタ 17:18}
 ロはうんざりし、振り向いて邪悪な天 ^{マル 1:25,26}
 使に言った。「イエス・キリストの名に ^{マル 1:34}
 よって命じます。その人から出な ^{ルカ 9:1}
 さい」。すると、すぐさま出ていった。 ^{ルカ 10:17}

19 その女性の主人たちは利益が ^{(イ) マタ 10:18}
 期待できなくなったのを知って、パウロ ^{(イ) 使徒 17:6}
 とシラスを捕まえ、広場の中、支配者 ^{(イ) テサー 2:2}
 たちの所へ引きずっていった。20 そ ^{(イ) ルカ 21:12}
 して、2人を行政官たちの所に引いて

いき、こう言った。「この男たちは私た ^{(イ) 使徒 5:18-20}
 ちの町をひどく混乱させています。ユ ^{使徒 12:7}
 ダヤ人で、21 私たちローマ人にとっ ^{(イ) 使徒 12:18,19}
 ては取り入れることも行うことも許され ^{(イ) 使徒 12:18,19}
 ない習慣を広めています」。22 群衆 ^{(イ) 使徒 12:18,19}
 は2人に対していきり立った。行政官 ^{(イ) 使徒 12:18,19}
 たちは2人の服を剥ぎ取った後、棒で

打ちたたかようにと命令した。23 そ ^{(イ) 使徒 12:18,19}
 して、何度も打った後、2人を牢屋に ^{(イ) 使徒 12:18,19}
 入れ、牢番に厳重に見張っておくよう ^{(イ) 使徒 12:18,19}
 命じた。24 そのような命令を受け ^{(イ) 使徒 12:18,19}
 たので、牢番は2人を奥の牢屋に入れ、 ^{(イ) 使徒 12:18,19}
 足かせをはめた。

25 しかし、真夜中ごろ、パウロとシ

16:16 *または、「予言をして」。16:19 *また
 は、「市場」。

第16章

(イ) レビ 19:31
 レビ 20:6

(イ) マル 1:23,24
 ルカ 4:41

(イ) マタ 17:18
 マル 1:25,26
 マル 1:34
 ルカ 9:1
 ルカ 10:17

(イ) 使徒 19:24,25

(イ) マタ 10:18

(イ) 使徒 17:6

(イ) テサー 2:2

(イ) ルカ 21:12

第2欄

(イ) エフ 5:19
 コロ 3:16

(イ) 使徒 5:18-20
 使徒 12:7

(イ) 使徒 12:18,19

(イ) ヨハ 3:16
 ヨハ 6:47

(イ) 使徒 8:12

ラスは祈ったり歌で神を賛美したりし ^{(イ) 使徒 13:26}
 ていて、囚人たちはそれを聞いてい ^{(イ) 使徒 13:26}
 た。26 突然、大きな地震が起きて、 ^{(イ) 使徒 13:26}
 牢屋が土台から揺れた。その上、全て ^{(イ) 使徒 13:26}
 の戸が直ちに開き、皆の鎖やかせが ^{(イ) 使徒 13:26}
 外れた。27 牢番は目を覚まして牢 ^{(イ) 使徒 13:26}
 屋の戸が開いているのを見ると、囚人 ^{(イ) 使徒 13:26}
 たちが逃げってしまったものと思い、剣 ^{(イ) 使徒 13:26}
 を抜いて自殺しようとした。28 しか ^{(イ) 使徒 13:26}
 しパウロは大声で、「やめなさい。皆 ^{(イ) 使徒 13:26}
 ここにいます!」と叫んだ。29 牢番 ^{(イ) 使徒 13:26}
 は明かりを持ってこさせてから、中に ^{(イ) 使徒 13:26}
 駆け込み、震えながらパウロとシラス ^{(イ) 使徒 13:26}
 の前にひれ伏した。30 そして、2人 ^{(イ) 使徒 13:26}
 を外に連れ出し、こう言った。「先生 ^{(イ) 使徒 13:26}
 方、救われるには何をしなければなり ^{(イ) 使徒 13:26}
 ませんか」。31 2人は言った。「主 ^{(イ) 使徒 13:26}
 イエスを信じなさい。そうすれば救 ^{(イ) 使徒 13:26}
 われます。あなたも、あなたの家の人 ^{(イ) 使徒 13:26}
 たちも」。32 その後、牢番とその家 ^{(イ) 使徒 13:26}
 の全ての人にエホバの言葉を語っ ^{(イ) 使徒 13:26}
 た。33 牢番は、その夜に2人を連れ ^{(イ) 使徒 13:26}
 ていって傷の手当てをした。そして、家 ^{(イ) 使徒 13:26}
 の人全員と共にすぐにバプテスマを受 ^{(イ) 使徒 13:26}
 けた。34 それから2人を家に連れ ^{(イ) 使徒 13:26}
 てきて、食卓を整え、自分が神を信じ ^{(イ) 使徒 13:26}
 るようになったことを家の人全員と共 ^{(イ) 使徒 13:26}
 に大変喜んだ。

35 夜が明けると、行政官たちは ^{(イ) 使徒 13:26}
 警備の者たちを遣わして、「あの人 ^{(イ) 使徒 13:26}
 たちを釈放するように」と言わせた。

16:32 *付録 A5 参照。

36 牢番^{ろうばん}は彼^{かれ}らの言葉^{ことば}をパウロにこう
 伝^{つた}えた。「行政官^{ぎょうせいかん}たちは、お二人^{ふたり}を釈
 放^{はう}するようにと人をよこしました。です
 から、出^でてきて、安心^{あんしん}して行^いってくだ
 さい」。37 しかしパウロは警備^{けいび}の者^{もの}
 たちに言^いった。「あの人^{ひと}たちはローマ
 市民^{しみん}である私^{わたし}たちを、有罪^{ゆうざい}の宣告^{せんこく}もせ
 ずに人前^{ひとまえ}で打ちたたき、牢屋^{ろうや}に入れま
 した。それを今^{いま}、ひそかに出^だそうとい
 うのですか。それはなりません！ 彼ら^{かれ}
 が出向^{でむ}いてきて、私^{わたし}たちを連れ出^だす
 べきです」。38 警備^{けいび}の者^{もの}たちがこの
 ことば^{ことば}を報告^{ほうこく}すると、行政官^{ぎょうせいかん}たちは2人^{ふたり}
 がローマ市民^{しみん}だと聞いて恐ろしくなっ
 た。39 そのため、やって来^きて2人^{ふたり}に
 懇願^{こんがん}し、牢屋^{ろうや}から連れ出^だした後^{あと}、町^{まち}か
 ら去^さるようにと頼^{たの}んだ。40 しかし、
 2人^{ふたり}は牢屋^{ろうや}を出^でてからルデアの家^{いえ}に
 行^いき、兄弟^{きょうだい}たち^あに会^あって励^{はげ}まし、去^さって
 いった。

17 一行^{いっこう}はアンフィポリスとアポ
 ロニア^とを通^{とお}ってテサロニケに
 来^きた。そこにはユダヤ人^{じん}の会堂^{かいどう}が
 あった。2 それで、パウロは自分の
 習慣^{しゅうかん}とどお^かいどう^{はい}は、3週^{しゅうづ}続^{つづ}けて安息
 日^びに聖書^{せいしょ}から論^{ろん}じ、3 キリストが苦
 しみを受^うけ、そして生^いき返^{かえ}る必要^{ひつよう}が
 あったとい^いうことを説^{せつ}明^{めい}したり、関連^{かんれん}
 する点^{てん}を挙^あげて証^{しょう}明^{めい}したりして、「私^{わたし}が
 伝^{つた}えているこのイエス、この方^{かた}がキリ
 ストです」と言^いった。4 その結果^{けっか}、あ

16:37 *または、「裁判」。17:2 *または、「話
 し合い」。

第16章

(7) 使徒 22:25
 使徒 23:27

(1) 使徒 22:27-
 29

(7) コニ 1:3,4

第17章

(12) テサー 2:1

(10) 使徒 9:19,20
 使徒 13:13,14
 使徒 14:1
 使徒 18:4

(10) 使徒 18:19

(10) 詩 22:7
 詩 34:20
 詩 69:21
 詩 118:22
 イザ 50:6
 イザ 53:3,5

(10) 詩 16:10
 ルカ 24:45,46

第2欄

(7) 使徒 15:22,40

(1) 使徒 13:45

(7) 使徒 16:19-21

(10) ルカ 23:1,2
 ヨハ 19:12

る人^{ひと}たちは信者^{しんじゃ}となってパウロとシラ
 スに加わった。神^{かみ}を崇拝^{すうはい}する非常^{ひじょう}に大
 勢^{ぜい}のギリシャ人^{じん}や、かなり^{かぜ}の数^{かず}の主
 立^だった女性^{じょせい}たちもそうした。

5 しかしユダヤ人^{じん}たちは嫉妬^{しっと}し、広
 場^{ひろば}をぶらつくならず者^{もの}たちを寄せ集^{あつ}め
 て、町^{まち}に騒動^{そうどう}を起^{おこ}し始^{はじめ}めた。そして、
 ヤソンの家^{いえ}を襲撃^{しゅうげき}し、パウロとシラス
 をその暴徒^{ぼうと}の前に引き出^だそうとした。

6 しかし2人^{ふたり}が見^みつけられないので、ヤ
 ソン^{なんにん}と何人^{きょうだい}かの兄弟^またちを町^{まち}の支配^{しはい}
 者^{しゃ}たち^{ところ}の所^ひに引きずっていき、こう叫^{さけ}
 んだ。「至^{いた}る所^{ところ}で騒^{さわ}ぎを起^{おこ}した男^{おとこ}た
 ちがここ^きにまで来^きていて、7 ヤソ^やンが
 迎^{むか}え入^いれました。この男^{おとこ}たちは皆^{みな}カエ
 サルの命令^{めいれい}に逆^{さか}らって行^い動^{どう}し、イエス
 という別^{べつ}の王^{おう}がいてると言^いっています」。
 8 群衆^{ぐんしゅう}と町^{まち}の支配^{しはい}者^{しゃ}たちはこれ^きを聞^き
 いて動揺^{どうよう}し、9 ヤソン^{じやうぶん}たちから十分
 な保証^{ほしょう}を得^えた後^{あと}、去^さらせた。

10 兄弟^{きょうだい}たちはすぐさま夜^{よる}のうちに
 パウロとシラスをベレア^べに送^{おく}り出^だし
 た。2人^{ふたり}は到着^{とうちゃく}すると、ユダヤ人^{じん}の会
 堂^{かいどう}に入^いった。11 この人^{ひと}たちはテ
 サロニケ^{ひと}の人^{ひと}たちより心^{こころ}が広^{ひろ}く、神^{かみ}の
 言葉^{ことば}を非常^{ひじょう}に意欲^{いよく}的に受^うけ入^いれ、聞^き
 いたことがその通^{とお}りかどうかと聖書^{せいしょ}を
 毎日^{まいにち}注意^{ちゅうい}深く調^{しら}べた。12 そのた
 め、そ^{ひと}の人^おたちの多^{おほく}が信者^{しんじゃ}となり、
 評^{ひやう}判^{ばん}の良^よいギリシャ人^{じん}女性^{じょせい}が大勢^{おおぜい}、ま
 た男性^{だんせい}も、信者^{しんじゃ}とな^なった。13 しか

17:9 *または、「保釈金」。

し、テサロニケのユダヤ人たちは、神の言葉がパウロによってペレアでも広められていることを知ると、群衆を駆り立てて騒がせようとしてやってきた。14 それで、兄弟たちはすぐにパウロを港へと送り出した。しかしシラスとテモテはとどまった。15 パウロに同行した人たちは彼をアテネまで連れてきた。そしてパウロから、シラスとテモテはできるだけ早く自分のもとに来るようにという指示を受けて、去っていった。

16 パウロはアテネでシラスとテモテを待っている間に、町の至る所に偶像があるのを見て、いら立つようになった。17 それで、会堂でユダヤ人や神を崇拜するほかの人たちと、また毎日、広場でそこに居合わせる人たちと論じ始めた。18 しかし、エピクロス派とストア派の哲学者のある人たちがパウロと議論するようになった。「このおしゃべりは何を言おうとしているのか」と言う人や、「彼は外国の神々を広める者らしい」と言う人がいた。イエスと復活の良い知らせを広めていたからである。19 人々はパウロを捕まえてアレオパゴスに連れていき、こう言った。「あなたが話しているこの新しい教えがどういうものなのか、分かるようにしてもらえらうか。20 あなたは耳慣れない事柄を持ち込んでいる。どういう意味なのか知りたいのだ。21 事実、アテネの人と

第17章

(7) 使徒 14:2,19

(1) マタ 10:23

(7) 使徒 16:1,2

テサー 3:2

(2) ヨハ 5:28,29

ヨハ 11:25

コリ 15:12

第2欄

(7) 使徒 17:33,34

(1) 使徒 17:16

(7) 詩 146:6

(2) 王一 8:27

(7) 詩 50:12

(7) イザ 42:5

(7) 創 5:2

(7) 創 1:28

(7) 申 2:5,19

申 32:8

詩 74:17

(2) 申 4:29

詩 145:18

ロマ 1:20

そこに滞在している外国人は、暇な時間といえば何か新しいことを語ったり聞いたりして過ごしていた。22 パウロはアレオパゴスの真ん中に立って、こう言った。

「アテネの皆さん、私は皆さんがどんな点でも信心深いのを見ました。神々への畏れを他の人たちよりも抱えています。23 例えば、私は歩きながら、皆さんの崇敬の対象を注意深く見ているうちに、『知られていない神に』と刻み込まれた祭壇も見つけました。皆さんが知らないで崇拜しているもの、それを私は皆さんに伝えているのです。24 世界とその中の全ての物を造った神は、天地の主ですから、人が造った神殿などには住まず、25 人間に世話しってもらう必要もありません。神自身が全ての人に命と息と全ての物を与えているからです。26 そして、ひとりひとりの人から全ての国の人を造って地上全体に住ませ、さまざまな事柄の時を定め、人が住む所の限界を決めました。27 人々が神を知ろうとするため、神を探し求めて本当に見つけるためです。実のところ神は、私たち一人一人から遠く離れてはいません。28 私たちは神によって命を持ち、動き、存在しています。皆さんの詩人の中にも、『われわれもその子供である』と言っている人たちがいます。

17:21 *または、「そこを訪れて」。17:23 *または、「崇拜」。17:28 *または、「子孫」。

29 従^{したが}つて、私^{わたし}たちは神^{かみ}の子供^{こども}なのですから、神^{かみ}のことを金^{きん}や銀^{ぎん}や石^{いし}のよ^{にんげん}うに、人間^{かんが}が考え^だ出して作^{つく}った彫刻^{ちやうこく}のよう^{かんが}に考えるべきではありません。30 確^{たし}かに、神^{かみ}はそうした無知^{むち}の時^じ代^{だい}を見過^みごしてきましたが、今^{いま}では、悔^くい改^かめるべきことをあらゆる場所^{ばしょ}の全^{すべ}ての人^{ひと}に告^つげています。31 なぜなら、自分^{じぶん}が任命^{にんめい}した者^{もの}によつて世界^{せかい}を公^{こう}正^{せい}に裁^{さい}くために日^ひを定め^{さだ}めたからです。そして、その者^{もの}を復活^{ふっかつ}させて全^{すべ}ての人^{ひと}に保証^{ほしょう}を与^{あた}えました」。

32 死者^{ししや}の復活^{ふっかつ}について聞^きくと、あざ笑^{わら}い始め^{はじ}める人もいれば、「その話^{はなし}はまた聞^きこう」と言^いう人もいた。33 こうしてパウロはそこを去^さった。34 パウロに加^{くわ}わつて信者^{しんじや}となつた人もいた。アレオパゴス裁判所^{さいばんしょ}の裁判官^{さいばんかん}デオヌシオ、ダマリスという女性^{じよせい}などである。

18 この後^{あと}、パウロはアテネ^{あてね}を去^さつてコリント^{きんとう}に來^きた。2 そして、ポントス生^うまれ^{じん}のユダヤ人^{じん}であるアクラと妻^あのプリスキラ^{ぷりすくら}に會^あつた。2人は、クラウディウス^{くわうでいす}がユダヤ人^{じん}全^{ぜん}員^{いん}にローマ退去^{たいきょ}を命^{めい}じたために、最近^{さいきん}イタリア^{いたりあ}から來^きたのだつた。パウロは2人^{ふたり}のもとに行^いき、3 職業^{しよくぎやう}が同じだつたのでその家^{いえ}に滞在^{たいざい}し、一^{いっ}緒^{しょ}に働^{はたら}いた。天幕^{てんまく}作り^{づく}が職業^{しよくぎやう}だつた。4 パウロは安息日^{あんそくび}ごとに會堂^{かいどう}で話^{はなし}をし、ユ

17:29 *または、「子孫」。18:4 *または、「論じ」。

第17章

(7) 創 1:27

(1) 申 5:8
イザ 37:19
イザ 40:18-20
イザ 46:5

(7) エフ 4:17,18

(12) 詩 96:13
詩 98:9
ヨハ 5:22
使徒 10:42

(7) ヨハ 11:25
使徒 2:24
使徒 13:32,33

(7) コー 1:23

第18章

(4) 使徒 18:24,26
コー 16:19
テモ二 4:19

(7) 使徒 20:34
コー 4:11,12
コー 9:15
テサー 2:9
テサ二 3:8,10

(7) 使徒 17:2

(7) マタ 4:23

第2欄

(7) 使徒 15:27
使徒 17:14

(1) 使徒 16:1,2
テサー 3:6

(7) 使徒 17:2,3
使徒 28:23

(12) マタ 10:14

(7) エゼ 33:4

(7) 使徒 20:26

(4) 使徒 13:46
使徒 28:28
ロマ 1:16

(7) コー 1:14

(7) マタ 28:20

ダヤ人とギリシャ人を説得^{せつとく}した。

5 シラスとテモテがマケドニアから來ると、パウロは神^{かみ}の言葉^{ことば}を伝えることに専念^{せんねん}し、イエスがキリストであることを証明^{しょうめい}するためにユダヤ人^{じん}たちに話^{はな}した。6 しかし、ユダヤ人^{じん}が反対^{はんたい}して暴言^{ぼうげん}を吐き続けたので、パウロは自分の服^{ふく}に付いた土^{つち}を振り払^{はら}って、言^いった。「あなた方がどうなるとしても、それはあなた方自身^{がた}の責任^{じしん}です。私は潔白^{けつぱく}です。これからは異国^{いこく}の人々^{ひとびと}の所^{ところ}に行^いきます」。7 こうして、パウロは會堂^{かいどう}から移動^{いどう}し、神^{かみ}の崇拜者^{すうはいしや}であるテオ・ユストという男性^{だんせい}の家^{いえ}に入^{いれ}った。その家は會堂^{かいどう}に隣接^{りんせつ}していた。8 また、會堂^{かいどう}の役員^{やくいん}クリソが家^{いえ}の人全^{ぜん}員^{いん}と一緒に主^{しゅ}の信者^{しんじや}となつた。そして、良^{よし}い知^しらせを聞^きいたコリントの多く^{おほい}の人が、信^{しん}じてバプテスマ^{ばぷてすま}を受け^うけるようになった。9 その上^{うへ}、ある夜^{よる}、主^{しゅ}イエスが幻^{まぼろし}の中^{なか}でパウロに言^いった。「恐^{おそ}れないで、語^{かた}り続^{つづ}けなさい。黙^{だま}つていてはなりません。10 私はあなたと共におり、誰もあなたを襲^{おそ}つて危^き害^{がい}を加^{くわ}えたりはしません。この町^{まち}には私の民^{わたしのたみ}が大勢^{おほぜい}います」。11 こうしてパウロはそこに1年6カ月^{ねん げつ}滞^{たいざい}在^{ざい}し、神^{かみ}の言葉^{ことば}を教^{おし}えた。

12 ガリオがアカイアの執政官代理^{しつせいかんだいいり*}だつた時に、ユダヤ人は一団^{いっだん}となつてパウロを襲^{おそ}い、裁^{さい}きの座^ざの前^{まえ}に引^ひいて

18:6 *直訳、「あなた方の血はあなた方自身の頭上に」。18:12 *ローマの属州総督。用語集参照。

いって、**13** 「この男は、法に逆らって神を崇拜するよう人々を説得している」と言った。**14** しかし、パウロが話そうとした時、ガリオが言った。「ユダヤ人たち、もし何らかの不正や重大な犯罪であれば、あなた方の言うことをじっくり聞くのもよいだろう。**15** だが、言葉や名称やあなた方の律法を巡る論争なのだから、自分たちで何とかしなさい。そうしたことは裁きたくない」。**16** そして彼らを裁きの座から追い払った。**17** 皆は会堂の役員ソステネを捕らえ、裁きの座の前で打ちたたいた。しかしガリオはこうしたことに一切関わろうとしなかった。

18 パウロはさらにかなりの日数滞在した後、兄弟たちに別れを告げて船でシリアに向かった。プリスキラとアクラも同行した。パウロは誓約をしていたので、ケンクレアで髪を短く刈った。**19** 一行がエフェソに着くと、パウロはほかの人たちをそこに残し、会堂に入ってユダヤ人たちと論じた。**20** パウロは、もっと長いてほしいと何度も頼まれたが、それには応じず、**21** 別れを告げ、「エホバが望まれるなら、また戻ってきます」と言った。そしてエフェソスで船に乗り、**22** カエサレアに行った。それから、上って行って会衆にあいさつし、アンティオキアに行った。

18:21, 25 *付録 A5 参照。18:22 *エルサレムに行ったことを指すと思われる。

第 18 章

(7) 使徒 23:29
使徒 25:19

(1) コー 1:1

(7) ロマ 16:1

(11) 使徒 17:2

(7) 使徒 15:36

第 2 欄

(7) 使徒 16:6

(1) 使徒 14:21, 22
使徒 15:32

(7) 使徒 19:1
コー 1:12
コー 3:5, 6

(11) ロマ 16:3
コー 16:19

(7) 申 18:15
詩 16:10
イザ 7:14
ミカ 5:2

第 19 章

(7) 使徒 18:24
コー 3:5, 6

(11) コー 16:8, 9

(7) 使徒 2:38

23 パウロはそこでしばらく過ごし、それから出発し、ガラテアとフリギア地方の各所を回って全ての弟子たちを力づけた。

24 さて、アレクサンドリア生まれのアポロというユダヤ人がエフェソスに着いた。雄弁で、聖書によく通じていた。**25** この男性はエホバの道をおし教えられており、聖なる力によって熱意に燃え、イエスに関する事柄を正確に話したりおしえたりしていたが、ヨハネのバプテスマしか知らなかった。

26 アポロは会堂で大胆に話し始めた。プリスキラとアクラは彼が話すのを聞き、連れていって、神の道をより正しく説明した。**27** また、アポロがアカイアに渡っていくことを望んだので、兄弟たちは弟子たちに手紙を書いて、親切に迎えるように勧めた。アポロはそこに着くと、神の惜しみない親切によって信者となっていた人たちをおおいに助けた。**28** 熱意を持って公然と、ユダヤ人の誤りを徹底的に証明し、イエスがキリストであることを聖書から示したのである。

19 さて、アポロがコリントにいた時、パウロは内陸部を通ってエフェソスに行った。そこで何人かの弟子を見つけて、**2** 「信者となった時、聖なる力を受けましたか」と言った。弟子たちは答えた。「いいえ、聖なる力については聞いたことがありません」。**3** パウロは言った。「では、

どんなバプテスマを受けたのですか」。弟子たちは、「ヨハネのバプテスマです」と言った。4 パウロは言った。「ヨハネは、悔い改めを象徴するバプテスマを施して、自分の後から来る方、つまりイエスを信じるよう民に告げました」。5 これを聞くと、弟子たちは主イエスの名によってバプテスマを受けて、6 そして、パウロが彼らに手を置くと、聖なる力を受け、外国語で話して預言し始めた。7 そこには全部で12人ほどの男性がいた。

8 パウロは会堂に入って3カ月間大胆に語り、神の王国について話をし、人々を説得しようとした。9 しかし、ある人たちがあくまで信じようとせず、群衆の前でこの道について悪く言ったとき、パウロは離れていて、弟子たちをその人たちと引き離し、ツラノの学校の講堂で毎日話をした。10 それは2年間続いたので、アジア州に住む人はユダヤ人もギリシャ人も皆、主の言葉を聞いた。

11 神はパウロを通して、並外れた強力な行いを続けた。12 それで、パウロの手拭いや前掛けを病人に持っていくなかで、病気は治り、邪悪な天使たちは出ていった。13 ところが、各地を旅して邪悪な天使を追い出すユダヤ人たちも、邪悪な天使に取りつかれた人たちに対して主イエスの

19:9 *用語集参照。19:11 *または、「並外れた奇跡」。

第19章

(7) 使徒 18:24,25

(1) マタ 3:11
マル 1:4

(7) ヨハ 1:15,30

(12) 使徒 8:14,17

(8) 使徒 2:1,4
使徒 10:45,46
コリ 12:8,10

(7) 使徒 17:2

(4) 使徒 1:3
使徒 28:30,31(7) 使徒 9:1,2
使徒 22:4

(7) マタ 10:14

(12) 使徒 14:3

(7) マル 6:56
使徒 5:15

(12) マタ 10:1

第2欄

(7) 使徒 16:18

(1) マタ 8:28,29
マル 1:23,24
ルカ 4:33,34

(7) 使徒 16:16,17

(12) 申 18:10,11

(7) 使徒 6:7
使徒 12:24
コロ 1:6

(7) コー 16:5

(4) 使徒 20:22

(7) 使徒 23:11

(7) 使徒 16:1,2

(12) テモニ 4:20

な名を使おうとし、「パウロが伝えるイエスによって厳粛に言い渡す」と言うのだった。14 ユダヤ人の祭司長であるスケワの7人の息子がそうしていた。15 しかし邪悪な天使がこう答えた。「イエスを知っているし、パウロもよく知っている。だが、おまえたちは何者だ」。16 そして、邪悪な天使に取りつかれた男がその人たちに飛び掛かり、次々に押さえ付けて打ち負かしたので、その人たちは傷を負って裸でその家から逃げていった。17 このことはエフェソスに住む全ての人に、ユダヤ人にもギリシャ人にも知れ渡った。皆が畏れを感じ、主イエスの名はたたえられていった。18 信者となつていく多くの人がやって来ては自分の行いを告白し、正直に告げるのだった。19 実際、魔術を行っていたかなり大勢の人が自分の書物を持ち寄って、皆の前で燃やした。それらは計算してみると、銀5万枚の価値があった。

20 こうして、エホバの言葉は力強く広まって勢いを増していった。

21 こうしたことが起きた後、パウロは、マケドニアとアカイアを回ってからエルサレムに向かうと心に決め、「そこに行ったら、ローマも見なければならぬ」と言った。22 そして、助手のうちのテモテとエラストの2人をマケドニアに遣わしたが、自分はしばらくアジア州にいた。

19:20 *付録 A5 参照。

23 その時、この道に関して大きな騒動が起きた。24 アルテミス神殿の銀製の模型を作るデメテリオという銀細工人の男性が、職人たちにかなりの利益をもたらしており、25 その職人や同じような仕事をする人たちを集めて、こう言った。「諸君、ご存じの通り、われわれはこの商売のおかげで成功している。26 ところが、諸君が見聞きしているように、このパウロという者は、人が作った神は実際には神ではないと言って、エフェソスだけでなくアジア州のほぼ全域で、かなり多くの人を説き伏せて違った考えを抱かせている。27 このままでは、われわれのこの商売の評判が落ちるだけでなく、偉大な女神アルテミスの神殿が無価値なものとなされ、アジア州全体や世界中で崇拜されている女神の荘厳さが失われることにもなりかねない。28 その人たちはこれを聞いて怒りに燃え、「偉大なのはエフェソスのアルテミス!」と叫びだした。

29 そのため町全体が混乱し、人々は、パウロの同行者でマケドニア人のガイオとアリストタルコを引きずって劇場に連れて込んだ。30 パウロとしては、場内の人々の所へ入っていきたくはあったが、弟子たちに止められた。31 祝祭や競技会の委員で彼と親しい人たちからも、決して劇場に

19:23 *用語集参照。19:28, 34 *直訳,「エフェソスの人たち」。

第19章

(7) 使徒 9:1,2
使徒 19:9
使徒 22:4

(4) コ二 1:8

(7) 使徒 16:16

(4) 使徒 17:29
コ一 8:4

(7) エフ 1:1

(7) 使徒 20:4
コロ 4:10
フィレ 23,24

第2欄

(7) 使徒 19:24

は入らないでほしい、と伝言があった。32 美のところ、群衆は混乱状態、あれこれ叫んでいた。ほとんどの人は自分がなぜ集まったのかも分からなかった。33 群衆の中からアレクサンデルが引き出され、ユダヤ人たちによって前に押しやられた。アレクサンデルは手で合図をし、人々に対して弁明しようとした。34 ところが、彼がユダヤ人だと分かると、皆は一斉に、「偉大なのはエフェソスのアルテミス!」と叫びだし、それは約2時間に及んだ。

35 ついに町の記録官が、群衆を静めてからこう言った。「エフェソスの皆さん、エフェソスが偉大なアルテミスの神殿と天から降ってきた像とを守護する町であることを知らない人などいるでしょうか。36 このことは議論の余地がないのですから、皆さんは平静を保ち、性急に行動しない方がよいでしょう。37 皆さんが連れてきた人たちは、神殿の物を盗んだのでも私たちの女神を冒瀆したのでもありません。38 デメテリオと仲間の職人たちが誰かに対して訴え事があるというのであれば、開廷日もあり、執政官代理たちもいるので、互いに告発できます。39 何かそれ以外のことを求めているのであれば、正規の集会で決めるべきです。40 私たちは今日の

19:35 *または、「市長」。19:38 *ローマの属州総督。用語集参照。

第20章

(ア) コー 15:9
テサー 2:6

(イ) マタ 28:19, 20
テモニ 4:2

(ウ) 使徒 5:42

(エ) マル 1:14, 15

(オ) ルカ 24:46, 47

(カ) 使徒 9:15, 16
使徒 21:4, 11

(キ) テモニ 4:7

(ク) エゼ 33:8

(ケ) マタ 28:19, 20

第2欄

(ア) テモニ 4:16

(イ) テモニ 3:1-7
テト 1:5-9
ヘブ 13:17

(ウ) ヨハ 21:15
エフ 4:11
ペー 5:2-4

(エ) マタ 26:27, 28
ヨー 1:7

(オ) マタ 7:15
テサニ 2:3
ペニ 2:1

(カ) テモニ 4:1
テモニ 4:3, 4
ヨー 2:18, 19

(キ) 使徒 19:9, 10

(ク) エフ 1:18
コロ 1:12

(ケ) サー 12:1, 3
マタ 10:8
コー 9:11, 12
コニ 7:2
テト 1:7

(コ) 使徒 18:3
コー 4:11, 12
テサー 2:9

(サ) エフ 4:28
テサー 4:11, 12
テサニ 3:7, 8

(シ) 格 19:17
マタ 10:8
ルカ 6:38

31 ですから、目^め覚^ざめていなさい。
わたし なんかん^{かん}ひる よる なみだ なが
そして、私が3年間、昼も夜も、涙を流^{なみだ}
して皆さん一人一人を訓戒^{くんけい}続^{つづ}けたこと
を忘^{わす}れないでください。 32 皆さん
が神と神の惜^{かみ}しみない親^{かみ}切^おの言葉^{しんせつ}によ
って守^{こま}られますように。その言葉^{ことば}によ
って皆さんは力^{ちから}づけられ、神聖^{しんせい}にさ
れた者^{もの}たちに与^{あた}えられる財^{ざい}産^{さん}を受け
ることができま^いす。 33 私は誰^{たれ}の銀^{ぎん}
や金^{きん}や服^{ふく}も欲^ほしがったことはありません。
34 私が自分^{わたし}と同行^{どうぎょう}者の生^{せい}活^{かつ}の
ため^{ため}にこの手^てで働^{はたら}いたことを、皆さん
自身^{みづか}りが知^しっています。 35 私は、この
よう^{よう}に真^ま面^め目^めに働^{はたら}いて、弱^{じやく}い^い人^{ひと}たちを
援^{えん}助^{じゆ}しなければなら^{なら}ないこと、また、
主^{しゅ}イエス自身^{みづか}りが述^のべた『受^うけるより与^{あた}
える方^{ほう}が幸^{こう}福^{ふく}である』という言^{こと}葉^ばを覚^{おぼ}
えておかなければなら^{なら}ないことを、あ
らゆる点^{てん}で皆さんに示^{しめ}しました。

36 パウロはこ^いう言^いってか^から、皆^{みな}と

いっしょにひざまずいて祈った。37 皆が多くの涙を流し、パウロを抱いて優しく口づけした。38 私の顔をもう見ることはないと言ったパウロの言葉にとりわけ胸を痛めたのである。そして船までパウロに付き添った。

21 私たちは後ろ髪を引かれる思いで船に乗った後、コスに直行し、次の日にはロードスに、その後パタラに行った。2 そしてフェニキアに渡る船を見つけ、それに乗って出発した。3 キプロス島が見えてくると、それを左にして通り過ぎ、シリアに向かって航海を続け、ティルスに上陸した。船はそこで積み荷を降ろすことになっていた。4 私たちは弟子たちを捜し当て、そこに7日とどまった。弟子たちは聖なる力によって知らせを受け、パウロに、エルサレムに足を踏み入れないようにと繰り返し告げた。5 旅立つ時が来ると、私たちは出発したが、弟子たちは女性や子供を連れて皆で町の外まで付き添ってくれた。そして、一緒に浜辺にひざまずいて祈り、6 互いに別れを告げた。私たちは船に乗り、皆は家に帰った。

7 私たちはティルスからの船旅を終えてプトレマيسに着き、兄弟たちにあいさつをして1日滞在した。8 次の日、そこを出てカエサレアに行き、あの7人の男性の1人である福音伝道者フィリポの家に入って、そこに泊まった。9 この男性の4人の娘は未婚

第20章
(7) 使徒 20:25

第21章
(4) 使徒 21:10-12

(7) 使徒 6:3,5

第2欄
(7) ヨエ 2:28
使徒 2:17
コ一 11:5

(4) 使徒 11:27,28

(7) 使徒 20:22,23
使徒 21:33

(2) 使徒 9:15,16

(7) 使徒 20:24
コ二 4:10,11
テモ二 4:6

(7) 使徒 12:17
使徒 15:13
ガラ 1:19
ガラ 2:9
ヤコ 1:1

で、預言をしていた。10 滞在して何日もたった時、アガボという預言者がユダヤから来た。11 そして私たちの所にやって来て、パウロの帯を取り、自分の両手足を縛って、言った。「神が聖なる力によってこう言っています。『ユダヤ人はこの帯の持ち主をエルサレムでこのように縛り、異国の人々に引き渡す』。12 これを聞いて、私たちもその人たちも、エルサレムに上らないようにとパウロに頼み始めた。13 パウロはこう答えた。「どうして泣いたり私の決意を弱めようとしたりするのですか。大丈夫です。私は、縛られることはもちろん、主イエスの名のためにエルサレムで死ぬ覚悟もできています」。14 パウロが聞き入れようとしないので、私たちは反対するのをやめ、「エホバの望まれることが行われますように」と言った。

15 こうした日が過ぎてから、私たちは旅の支度をして、エルサレムへと出発した。16 カエサレアの弟子たち何人かも同行して、初期の弟子でキプロスの人ムナソンの家へ連れていってくれた。私たちが滞在する家である。17 エルサレムに着くと、兄弟たちが喜んで迎えてくれた。18 翌日、パウロは私たちと一緒にヤコブの所に行った。長老たちが皆そこにいた。19 パウロはあいさつし、自分の伝道

21:13 *または、「心を悲しませ」。21:14 *付録A参照。21:19 *または、「奉仕」。

によって神が異国人の間で行った事柄を詳しく話した始めた。

20 それを聞くと、皆は神をたたえ始めた。しかしパウロにこう言った。「兄弟、知っていると思いますが、ユダヤ人の中には何万人もの信者がいて、皆、律法を守ることに熱心です。

21 しかし、その人たちは、あなたについてこういうわさを聞いています。異国人の間にいるユダヤ人全てにモーセからの背教を説き、子供に割礼を施すことも昔からの慣行に従うこともしないよう告げている、というわけです。**22** どうすべきでしょうか。彼らはあなたが来ていることをきき聞きます。

23 それで、今から言う通りにしてください。誓約を立てた4人の人が私たちの所にいます。**24** この人たちを連れていって一緒に儀式上の清めをし、費用を出してやり、彼らが頭をそってもらえるようにしてください。そうすれば、誰もが、あなたについて聞かされているうわさには何の根拠もなく、あなたが正しく行動して律法を守っていることを知るでしょう。**25** 異国人の信者については、偶像に犠牲として捧げられた物、血、絞め殺された動物、性的不道徳から離れているべきであるという決定を書面で送ってあります。

26 そこでパウロは、次の日にその

21:25 *または、「殺して血を抜いていない」。
#ギリシャ語、ポルネイア。用語集参照。

第21章

(7) 使徒 15:1

(1) ロマ 2:28, 29
コー 7:18-20

(7) コー 9:20

(10) 創 35:2
出 34:15

(7) 創 9:4
レビ 3:17
レビ 17:10
サー 14:32, 33

(7) レビ 17:13
申 12:23, 24

(4) 使徒 15:28, 29
コー 6:9
コロ 3:5
テサー 4:3
ペー 4:3

第2欄

(7) コー 9:20

(1) 使徒 24:5, 6

(7) 使徒 20:4
テモニ 4:20

(10) 使徒 20:22, 23
使徒 21:10, 11

人たちを連れていって一緒に儀式上の清めをした。そして神殿に入り、儀式上の清めの期間が終わって彼ら一人一人のために捧げ物を捧げる日を告げた。

27 その7日間が終わろうとしていた時、アジアから来たユダヤ人たちは、パウロが神殿にいるのを見て、群衆全体をあり立て、パウロを捕まえて、**28** こう叫んだ。「イスラエルの人たち、手伝てくれ! この男は、至る所で、全ての人に、民と律法とこの場所に反することを教えている。その上、ギリシャ人を神殿に連れ込んで、この聖なる場所を汚すことさえしたのだ」。

29 その人たちは、以前にエフェソスの人トロフィモがパウロと一緒に都の中にいるのを見たため、パウロが彼を神殿に連れ込んだと思ったのである。

30 都全体が騒動になり、人々は駆け寄ってきてパウロを捕まえ、神殿の外に引きずり出した。それからすぐに戸が閉じられた。**31** パウロが殺されそうになっている間に、部隊の司令官の所に、エルサレム中が混乱しているとの知らせが届いた。**32** それで軍司令官はすぐに兵士と士官たちを連れて人々の所へと駆け降りた。人々は軍司令官と兵士たちが見えたと、パウロを打ちたたくのをやめた。

33 そこで軍司令官は近づいてパウロを捕まえ、2本の鎖で縛るよう命じた。そして、彼が何者か、何をしたのか

を尋ねた。34 しかし、群衆^{ぐんしゅう}があれこれ叫びだしたので、軍司令官^{ぐんしやうくわん}は騒がしきのために確かなことが何も分からず、パウロを兵營に連れていくように命じた。35 パウロが階段に差し掛かると、群衆に襲われないように兵士たちが担いでいかなければならなかった。36 大勢^{おおせい}の人が、「殺してしまえ!」と叫びながら付いてきたのである。

37 パウロは、兵營に引き入れられようとした時、軍司令官に、「少しよろしいでしょうか」と言った。軍司令官は言った。「ギリシャ語を話せるのか。38 おまえは、この前暴動を起こして、短剣を持った4000人の男を荒野に連れ出したあのエジプト人ではないのか。39 そこでパウロは言った。「私はユダヤ人で、キリキアのタルソス出身、名の知られた町の市民です。ですから、どうか民に話すことを許可してください。40 軍司令官が許可すると、パウロは階段に立ち、民に向かって手で合図をした。すっかり静かになった時、ヘブライ語でこう話した。

22 「皆さん、兄弟たちも年長の方々も、私の弁明をぜひ聞いてください。2 人々はパウロがヘブライ語で話すのを聞いて、ますます静かになった。パウロは言った。3 「私はユダヤ人で、キリキアのタルソスで生まれましたが、この都でガマ

第21章

(7) フィリ 3:4,5

(1) 使徒 22:3

(7) 使徒 26:14

第22章

(2) フィリ 1:7

(8) ロマ 11:1

(7) 使徒 21:39

第2欄

(7) 使徒 5:34

(1) 使徒 26:4,5

(7) ガラ 1:14
フィリ 3:4-6(2) 使徒 8:3
使徒 9:1,2
使徒 26:9-11
デモ—1:12,13(8) 使徒 9:3-8
使徒 26:13-15

(7) 使徒 26:16

リエルから直接教えられ、先祖の律法について厳格な教えを受けており、今みなおなじように神に対して熱心です。4 この道の者を迫害し、男性も女性も縛って牢屋に送り、死に至らせました。5 この点は、大祭司と長老会の全員が証言できます。私はこの人たちからダマスカスの兄弟たちへの手紙も手に入れ、出掛けていきました。そこにいる者たちを縛ってエルサレムに連れてきて、処罰するためです。

6 ところが、旅をしてダマスカスに近づいた時のこと、真昼ごろに、突然天から強烈な光が私の周り一帯を照らし、7 私は地面に倒れ、『サウロ、サウロ、なぜ私を迫害しているのですか』と言う声を聞きました。8 『主よ、あなたはどなたですか』と答えると、『ナザレ人のイエスです。あなたは私を迫害しています』と言われました。9 一緒にいた人たちは、光は確かに見ましたが、私に話している方の声は聞き取れませんでした。10 私が、『主よ、私はどうしたらよいのでしょうか』と言うと、主はこう言いました。『起きて、ダマスカスに入りなさい。そうすれば、あなたが行くことになっている事柄が全て告げられます』。11 しかし私はその光の輝きのために何も見えなかったので、一緒にいた人たちに手を引いてもらってダマスカスに着きました。

22:4 *用語集参照。

12 そこに、アナニアという男性がいました。神を畏れて律法を守る人で、そこに住む全てのユダヤ人から良い評判を得ていました。13 アナニアは私の所に来て、そばに立ち、『パウロ、兄弟、視力を取り戻しなさい!』と言いました。まさにその時、私は彼が見えるようになりました。14 アナニアはこう言いました。『私たちの父祖の神はあなたを選びました。あなたが神の意志を知り、正しいイエスを見、その声を聞くようにです。15 あなたはイエスの証人となり、見聞きした事柄を全ての人に伝えるからです。16 さあ、何をためらっているのですか。立て、バプテスマを受け、イエスの名を呼んであなたの罪を洗い去りなさい』。

17 ところが、エルサレムに帰って神殿で祈っていると、恍惚状態になり、18 イエスが私に、『急いで、早くエルサレムから出なさい。彼らは私に関するあなたの証言を受け入れないからです』と言うのを見ました。19 私は言いました。『主よ、私が会堂に次々と行き、あなたを信じている人々たちを投獄したり打ちたたいたりしたことはよく知られています。20 しかも、あなたの証人ステファノが殺害された時、私はその場において、それに賛成し、彼を殺す者たちの外衣の番をしていました』。21 しかしイエスは、『行きなさい。私はあなたを遠く異国の人々の

第22章

(7) 使徒 9:17, 18

(1) コー 9:1
コー 15:8
ガラ 1:15, 16(7) 使徒 23:11
使徒 26:16

(12) 使徒 10:43

(8) コー 6:11
ヨ一 1:7
啓 1:5(7) 使徒 9:26
ガラ 1:18

(4) 使徒 9:28, 29

(7) 使徒 8:3

(7) 使徒 7:58
使徒 8:1
テモ一 1:13, 15

第2欄

(7) 使徒 9:15
使徒 13:2
ロマ 1:5
ロマ 11:13
ガラ 2:7
テモ一 2:7

(1) サニ 16:13

(7) 使徒 16:37, 38
使徒 23:27

(12) 使徒 16:37

(8) 使徒 25:16

ところに遭わすからです』と言いました。

22 人々はここまですつと聞いていたが、声を上げて言った。「こんな男は地上から消してしまえ。生きている値打ちなどない!」23 そして叫んだり、外衣を投げたり、土を放り上げたりするので、24 軍司令官はパウロを兵営の中に連れていくように命じ、むち打って取り調べるようにと言った。パウロに向かつて人々がなぜこのように叫ぶのかを正確に知ろうとしてだった。25 しかし、パウロはむち打ちのために手を縛られた時、そこに立っている士官にこう言った。「有罪の宣告を受けていないローマ市民をむち打ってもいいのですか。」26 これを聞いた士官は、軍司令官の所に行き報告し、「どうされますか。この人はローマ市民です」と言った。27 そこで軍司令官はパウロの所に来て、言った。「一つ聞か、あなたはローマ市民なのか。」パウロは、「そうです」と言った。28 それに対して軍司令官は言った。「私はこの市民権を大金を払って得たのだ。」パウロは言った。「私は生まれながらのローマ市民です。」

29 そのため、パウロを拷問に掛けて取り調べようとしていた人たちは、すぐに離れた。軍司令官はパウロがローマ市民だと知って、彼を鎖で縛ったことで怖くなった。

22:25 * または、「裁判」。

30 次の日、軍司令官は、パウロがユダヤ人たちから訴えられているのはいったいなぜなのか、確かなことを知りたかったので、彼を解放し、祭司長たちとサンヘドリン全体に集合を命じた。そしてパウロを連れていって、彼らの前に立たせた。

23 パウロはサンヘドリンの人々をじっと見ながら言った。「皆さん、兄弟たち、私は今日まで、神の前で良心に全くやましいところなく行動してきました」。2 すると大祭司アナニアが、パウロの口を打つようにと、そばに立っている人たちに命じた。

3 そこでパウロはアナニアに言った。「白く塗った壁よ、あなたは神に打たれます。律法に従って私を裁くために座っていながら、私を打つように命令して律法を破るのですか」。4 そばに立っている人たちが言った。「おまえは神の大祭司を侮辱するのか」。5 パウロは言った。「兄弟たち、大祭司だとは知りませんでした。確かに、『民の支配者を悪く言うてはならない』と書いてあります」。

6 パウロは、サンヘドリンの一部がサドカイ派でほかがパリサイ派であることに気がついて、こう叫んだ。「皆さん、兄弟たち、私はパリサイ派で、パリサイはひとの子です。死者の復活の希望に関して裁かれていますのです」。7 この言葉で、パリサイ派とサドカイ派の

第22章

(マ) マタ 10:17, 18
ルカ 21:12

第23章

(イ) 使徒 24:15, 16
コ二 1:12
ヘブ 13:18
ペー 3:16

(ウ) 出 22:28

(コ) 使徒 26:4, 5
フィリ 3:4, 5

第2欄

(イ) 使徒 4:1, 2

(イ) 使徒 22:6, 7
使徒 22:17, 18

(ウ) 使徒 18:9

(コ) 使徒 27:23, 24
使徒 28:23
使徒 28:30, 31

あいだ ろんそう お ひとびと わ 間に論争が起き、人々は2つに分かれた。8 サドカイ派は、復活も天使も目に見えない創造物もないと言うのに対し、パリサイ派は、それら全てを受け入れているからである。9 そのため大きな騒動になり、パリサイ派の律ばうがくしゃ た あ はげ しゅちよう 法学者たちが立ち上がって激しく主張し始め、「この人には全く悪いところはない。目に見えない創造物や天使が彼に話したのであれば、一」と言った。10 論争が激しくなった時、軍司令官はパウロが殺されてしまうことを恐れ、兵士たちに、下りていってパウロを彼らから引き離し、兵営に連れていくよう命令した。

11 しかしその夜、主イエスがパウロのそばに立って、言った。「勇気を出しなさい! あなたは私についてエルサレムで徹底的に知らせてきました。同じようにローマでも知らせなければなりません」。

12 夜が明けると、ユダヤ人たちはみな いんぼう 皆で陰謀をたくらみ、パウロを殺すまでは食べたり飲んだりしないと誓った。13 40人以上がそう誓って陰謀に加わっていた。14 この人たちは祭司長と長老たちの所に行つてこう言った。「私たちは、パウロを殺すまでは何も食べないと厳粛に誓いました。15 それで皆さんとサンヘドリンとで、彼の件を徹底的に調べたいふりをして、彼を連れてきてほしいと軍司令

23:3 *または、「偽善者」。

23:8 *または、「広めて」。

官に頼んでください。私たちは、彼が近くに来る前に、殺す段取りをしておきます」。

16 しかし、パウロのおいが彼らの待ち伏せのことを耳にし、兵營に入って、そのことをパウロに伝えた。

17 パウロは士官の1人を呼んで、「この若者を軍司令官の所に連れていてください。お伝えすることがあるのです」と言った。18 それで士官は軍司令官の所に彼を連れていき、「囚人のパウロに呼ばれ、この若者をあなたの所に連れていくよう頼まれました。お話しすることがあるとのことですよ」と言った。19 軍司令官は若者の手を引いて人のいない所に行き、「何を伝えに来たのか」と尋ねた。20 若者は言った。「ユダヤ人たちは、パウロを明日サンヘドリンに連れてくるようあなたに頼むことで合意しました。彼の件をもっと詳しく知りたいふりをするようです。21 でも、聞き入れないでください。ユダヤ人が40人以上待ち伏せていて、パウロを殺すまでは食べたり飲んだりしないと誓っています。もう段取りをして、あなたの承諾を待っています」。22 軍司令官は、「これを私に知らせたことは誰にも言うな」と命じてから、若者を行かせた。

23 それから2人の士官を呼び寄せて、こう言った。「兵士200人、騎兵70人、槍兵200人を夜の9時にそろえ、カエサレアまで行けるようにしなさい」。

第23章

(7) 使徒 23:15

(4) 使徒 23:12

第2欄

(7) 使徒 16:37

使徒 22:25

(4) 使徒 21:31-33

(7) 使徒 22:30

(4) 使徒 25:19

(8) 使徒 23:16

(4) 使徒 23:23,24

(4) 使徒 21:39

使徒 22:3

い。24 パウロが乗る馬も準備し、総督フェリクスのもとに安全に連れていけるようにしなさい。25 そして次のような手紙を書いた。

26 「クラウディウス・ルシアスから、総督フェリクス閣下へ。ごあいさつ申し上げます。27 この男はユダヤ人に捕らえられ、殺されるどころでしたが、ローマ市民だと知りましたので、兵士たちを連れて急行し、救出しました。28 私はユダヤ人が彼を訴える理由を知りたいと思い、彼をサンヘドリンに連れていきました。29 そして、この男がユダヤ人の律法上の問題で訴えられているのであって、死刑や拘禁に値する事柄で告発されているのではないのを知りました。30 しかし、この男に対する陰謀が私に知らされましたので、直ちに彼をあなたのもとにお送りして、告訴人たちには、あなたの前で訴えるようにと命じる次第です」。

31 兵士たちは命令通りにパウロを引き受け、夜の間にアンテパリスに連れていった。32 次の日には、騎兵たちにパウロを任せて、兵營に帰った。33 騎兵たちはカエサレアに入って総督に手紙を渡し、パウロも引き渡した。34 総督は手紙を読み、パウロがどの州の出身かを尋ねて、キリキヤ出身であることを知った。35 総督は、「告訴人たちも到着したら、あなたの言い分を詳しく聞こう」と

ここに^き来^{なんにん}て^{じん}い^{じん}何^{じん}人^{じん}か^{じん}の^{じん}ユ^{じん}ダ^{じん}ヤ^{じん}人^{じん}が^{じん}、

19 何^{なん}か^{なん}私^{わたくし}を^せ責^せめる^せこ^せと^せが^せあ^せる^せとい^せう

な^なら^な、あ^あな^あた^あの^あ前^{まえ}に^で出^でて^で訴^{うった}え^{うった}る^{うった}べ^{うった}き^{うった}で^{うった}

す^す。**20** あ^ある^{ある}い^いは^は、こ^ここ^こに^にい^いる^る方^{かた}た^たち^ち

が^が、私^{わたくし}が^がサ^さン^ンヘ^ヘド^ドリ^リン^ンの^の前^{まえ}に^に立^たっ^たた^た時^{とき}

に^にど^どん^んな^な悪^{わる}い^い点^{てん}を^み見^みつ^つけ^けた^たの^のか^か、自^じ分^{ぶん}

で^で述^のべ^べて^てい^いだ^だき^きたい^{たい}と思^{おも}い^いま^ます^す。

21 も^もっ^っと^とも^も、私^{わたくし}は^はそ^そこ^こに^に立^たっ^たて^てい^いた^た時^{とき}

に^にこ^さう^さけ^けび^びは^はし^しま^まし^した^た。『死^し者^{しや}の^の復^ふ活^{かつ}

に^に関^{かん}し^して^て今^き日^{にち}皆^{きやう}さ^{みな}ん^{みな}の^の前^{まえ}で^で裁^{さい}か^かれ^れて

い^いる^るの^ので^です^す』。

22 し^しか^かし^し、フ^{みち}ェ^{みち}リ^{みち}ク^{みち}ス^{みち}は^{みち}こ^{みち}の^の道^{みち}に^に関^{かん}

す^する^る事^{こと}柄^{がら}を^をか^かな^なり^りよ^よく^く知^しっ^って^てい^いた^たの^ので^で、

こ^この^の件^{けん}を^を先^{さき}送^{おく}り^りに^にし^し、「軍^{ぐん}司^し令^{れい}官^{くわん}シ

ア^あス^すが^が下^{くだ}っ^って^てき^きた^た時^{とき}に^に、本^{ほん}件^{けん}を^を裁^{さい}決^{けつ}し

よ^よう^う」と^と言^いっ^った^た。**23** そ^そし^して^て士^し官^{くわん}に^に命^{めい}

令^{れい}し^して^てパ^{りやう}ウ^{りやう}ロ^ろを^を留^{りゅう}置^ちさ^させ^せた^たが^が、パ^{りやう}ウ^{りやう}ロ^ろ

に^に幾^{いく}ら^らか^かの^の自^じ由^{りゆう}を^を与^{あた}え^え、仲^{ちゆう}間^{かん}の^の者^{もの}が^が

世^せ話^わを^をす^する^るの^のを^を許^{ゆる}し^した^た。

24 何^{なんにち}日^{にち}か^か後^{あと}、フ^{じん}ェ^{じん}リ^{じん}ク^{じん}ス^{じん}は^{じん}ユ^{じん}ダ^{じん}ヤ^{じん}人^{じん}

の^の妻^{つま}ド^きル^きシ^しラ^らと^とや^やっ^って^て来^きた^た。そ^そし^して^てパ

ウ^よロ^だを^を呼^よび^だ出^だし^し、キ^{しん}リ^{しん}ス^{しん}ト^{しん}・イ^{しん}ェ^{しん}ス^{しん}を^を信^{しん}

じ^じる^るこ^こに^につ^{はな}い^{はな}て^{はな}話^{はな}を^を聞^きいた^た。**25** し

か^かし^し、パ^たウ^たロ^たが^が正^{ただ}しい^い行^{おこな}い^いと^と自^じ制^{せい}と^と将^{じやう}

来^{らい}の^の裁^{さい}き^きに^につ^{はな}い^{はな}て^{はな}話^{はな}す^すと^と、フ^{はな}ェ^{はな}リ^{はな}ク^{はな}ス^{はな}は^{はな}

お^おそ^それ^れを^を感^{かん}じ^じ、「も^もう^う下^さが^がっ^って^てよ^よい^い。機

会^{かい}が^があ^あれ^れば^ば、ま^また^た呼^よぶ^ぶこ^こに^にす^する^る」と

言^いっ^った^た。**26** そ^そう^う言^いい^いつ^つつ^つも^も、パ^よウ^よ

か^から^らお^お金^{かね}を^をも^もら^らう^うこ^こと^とを^を期^き待^{たい}し^して^てい^いた^た

の^ので^で、ま^ます^すま^ます^す頻^{ひん}繁^{ばん}に^にパ^よウ^よロ^ろを^を呼^よん^んで^で

は^か語^あり^あ合^あった^た。**27** し^しか^かし^し2^{ねん}年^{ねん}が^が経^{けい}過^か

す^すと^と、ポ^ポル^ルキ^キオ^オ・フ^フェ^フス^スト^トが^がフ^フェ^フリ^リク^クス^ス

第24章

(7) 使徒 25:16

(4) 使徒 23:6

(7) 使徒 9:1,2
使徒 19:9

(4) マタ 10:18

(7) 使徒 17:30,31
コニ 5:10

第2欄

(7) 使徒 25:9

第25章

(4) 使徒 24:27

(7) 使徒 24:1

(4) 使徒 23:20,21

(7) 使徒 25:16

(4) マタ 5:11
ルカ 23:1,2
使徒 24:5

(4) 使徒 24:11,12

(7) 使徒 24:27

の^{あと}後^つを^つ継^つい^つだ^つ。フ^{じん}ェ^{じん}リ^{じん}ク^{じん}ス^{じん}は^{じん}ユ^{じん}ダ^{じん}ヤ^{じん}人^{じん}
に^よ良^よく^よ思^{おも}わ^{おも}れ^{おも}た^{おも}か^{おも}つ^{おも}た^{おも}の^ので^で、パ^のウ^のロ^のを^を
こ^こう^こそ^こく^こ拘^{こう}束^{そく}し^して^てお^おい^いた^た。

25 フェ^{せい}スト^{しちう}は^{はい}ユ^{しやう}ダ^{はい}ヤ^{はい}州^{はい}に入^{はい}っ^って^て
治^{おさ}め^{ほじ}始^かめ^かて^か3^か日^か後^かに^に、カ^のエ^のサ^のレ^のア^の

レ^レア^レか^レら^レエル^レサ^レレ^レム^レに^に上^上っ^った^た。**2** す

る^ると^と、祭^{さい}司^{しちやう}長^{じん}と^とユ^{じん}ダ^{じん}ヤ^{じん}人^{じん}の^の主^{おも}立^だっ^った^た人^{ひと}

た^たち^ちが^がパ^うウ^うロ^ろを^を訴^訴え^えた^た。そ^そし^して^てフ^ふェ^ふ

ス^すト^すに^に願^{ねが}い^い出^でて^て、**3** 好^{こう}意^いの^の印^{しん}と^として

パ^パウ^ウロ^ロを^をエル^えサ^さレ^レム^むに^に呼^よん^んで^でく^くれ^れる^るよ

う^うに^にと^と求^{もと}め^めた^た。道^{みち}の^の途^{とちゆう}中^{ちゆう}で^でパ^まウ^まロ^ろを^を

待^{まち}ち^ち伏^ふせ^せて^て殺^{ころ}す^すつ^つも^もり^りだ^だつ^つた^たの^ので^であ^ある^る。

4 し^しか^かし^しフ^{こう}ェ^{こう}ス^{そく}ト^{そく}は^は、パ^じウ^じロ^{ぶん}は^{ぶん}カ^{ぶん}エ^{ぶん}サ^{ぶん}

レ^レア^レに^に拘^{こう}束^{そく}し^して^てお^おく^くべ^べき^きだ^だし^し、自^じ分^{ぶん}は^は

間^まも^もな^なく^くそ^そこ^こへ^へ戻^{もど}る^ると^と答^{こた}え^えた^た。**5** 「だ

か^{おとこ}ら^{おとこ}、そ^その^の男^{おとこ}に^に悪^{わる}い^い点^{てん}が^が本^{ほん}当^{とう}に^にあ^ある^るな^なら

ば^ば、あ^あな^なた^た方^{かた}の^のう^うち^ちの^の有^{ゆう}力^{りよく}な^な人^{ひと}た^たち^ちが^が

私^{わたし}と^とい^いっ^っし^しょ^しき^きに^にあ^ある^るの^ので^で、彼^{かれ}を^を訴^うえ^えな^なさい^{さい}」と

フ^いェ^いス^いト^いは^い言^いっ^った^た。

6 こ^こう^こし^こて^こ、フ^あェ^あス^あト^あは^あそ^あこ^あで^あ8^あ日^あか^あ

ら^ら10^あ日^あほ^あど^あの^の間^{かん}過^あご^あし^あだ^あけ^あで^あ、カ^かエ^あ

サ^くレ^くア^くに^に下^{くだ}り^り、次^{つぎ}の^の日^{にち}に^には^は裁^{さい}き^きの^の座^ざに^に

座^{すわ}っ^って^て、パ^つウ^つロ^ろを^を連^れれ^れて^てく^くる^るよ^よう^うに^に命^{めい}令^{れい}

し^した^た。**7** パ^{はい}ウ^{はい}ロ^{はい}が^が入^{はい}っ^って^てく^くると^と、エル

サ^きレ^きム^きか^から^ら来^きた^たユ^きダ^きヤ^き人^{じん}た^たち^ちは^は周^{まわ}り^りに^に

立^たっ^って^て重^{じゆう}大^{だい}な^な罪^{ざい}状^{じやう}を^をた^あく^あさ^あん^あ挙^あげ^あた^あ

が^が、証^{しょう}明^{めい}は^はで^でき^きな^なか^かつ^つた^た。

8 一^い方^{っぽう}、パ^{べん}ウ^{べん}ロ^{めい}は^{めい}こ^こう^こ弁^{べん}明^{めい}し^した^た。

「私^{わたし}は^は、ユ^{じん}ダ^{じん}ヤ^{じん}人^{じん}の^の律^{りつ}法^{ぽう}に^に対^{たい}し^して^ても^も、神

殿^{でん}に^に対^{たい}し^して^ても^も、カ^{たい}エ^{たい}サ^{たい}ル^るに^に対^{たい}し^して^ても^も、何

の^の罪^{つみ}も^も犯^{おか}し^して^てお^おり^りま^ませ^せん^ん」。**9** フェ

ス^よト^よは^よユ^よダ^よヤ^よ人^{じん}に^に良^よく^よ思^{おも}わ^{おも}れ^{おも}よ^よう^うと

し^して^て、パ^こウ^こロ^こに^にこ^こう^こ答^{こた}え^えた^た。「エ^えル^えサ

レム^{のぼ}に上^{のぼ}って、そこでこの件^{けん}に関^{かん}して
わたくし まえ さば う かのぞ
私の前^{まへ}で裁^{さい}きを受けることを望^{のぞ}むか。

10 しかしパウロは言^いった。「私はカ
エサル^{さば}の裁^{さい}きの座^ざの前^{まへ}に立^たっており、
ここ^こで裁^{さい}かれるのが当然^{とうぜん}です。ユダヤ
じん わる なに わたくし
人に悪^{わる}いことは何^{なん}もしていません。あ
なたも十分^{じゅうぶん}ご存^{ぞん}じの通り^{とお}です。11 も
わたくし ほんとう あくにん しけい にあつ
し私が本^{ほん}当^{とう}に悪^{あく}人^{にん}で、死^し刑^{けい}に値^ちするこ
とをしたのであれば、慈^じ悲^ひを求^{もと}めたり
はしません。しかし、私^{わたし}に對^{たい}するこれら
ひと うった なん こんきよ
の人^{ひと}たちの訴^うえに何^{なん}の根^{こん}拠^{きよ}もないの
であれば、好^{こう}意^いの印^{いん}として私^{わたし}を彼^{かれ}らに
ひ わた けん り だれ
引^ひき渡^{わた}す権^{けん}利^りは誰^{だれ}にもありませ
ん。カ
エサル^{さば}に上^{のぼ}訴^そします！」12 そこで
フェスト^{ひょうぎいんかい}は話^{はな}し合^あってから、
「あなた^{じょうそ}はカエサルに上^{のぼ}訴^そした。カエ
サル^いのもとに何^{なん}によう^ごに」と答^{こた}えた。

13 何^{なん}日^{にち}か過^すぎてから、アグリッパ王^{おう}
とベルニケ^{ひょうけいほうもん}がフェストへの表^{ひょう}敬^{けい}訪^{ほう}問^{もん}
のためカエサレア^{とうちやく}に到^{ふたり}着^{ふたり}した。14 2人^{ふたり}
がそこで何^{なん}日^{にち}も過^すぎていたので、フェ
ストはパウロ^{おう}のことをアグリッパ王^{おう}に
持^もち出^だして、こ^いう言^いった。

「フェリクス^{のこ}が残^{しゅうじん}っていた囚^{しゅうじん}人の
男^{おとこ}がいまして、15 私^{わたし}がエルサレム
にいた際^{さい}、祭^{さいしちやう}司^{じん}長^{ちやうらう}やユダヤ人^{じん}の長^{ちやうらう}老^{らう}
たち^{かれ}が彼^{かれ}について訴^うえを提^{てい}出^{しゅつ}し、有^{ゆう}罪^{ざい}
の判^{はん}決^{けつ}を下^{くだ}すよう求^{もと}めました。16 し
かし私^{わたし}は、告^{こく}訴^そ人^{にん}たちの前^{まへ}で弁^{べん}明^{めい}する
機^き会^{かい}が与^{あた}えられていない人^{ひと}を、好^{こう}意^い
の印^{いん}として引^ひき渡^{わた}すのはローマ人^{じん}の
やり方^{かた}ではない、と答^{こた}えておきました。17 ユダヤ人^{じん}たちがこ^こに到^{とう}着^{ちやく}した

第25章

(7) 使徒 23:26, 29

(4) 使徒 28:17-19

(7) 使徒 25:2, 3

(4) 使徒 25:5

第2欄

(7) 使徒 25:7

(4) 使徒 18:14, 15

使徒 23:26, 29

(7) 使徒 22:6-8

(4) 使徒 25:9

(7) 使徒 25:11, 12

(7) 使徒 9:15

とき わたくし じんそく こうどう つぎ ひ
時^{とき}、私^{わたし}は迅速^{じんそく}に行動^{こうどう}し、次^{つぎ}の日^ひには裁^{さい}
き^きの座^ざに座^まって、その男^{おとこ}を連^れれてくるよ
うに命^{めい}令^{れい}しました。18 告^{こく}訴^そ人^{にん}たち
は立^たち上^あがりましたが、私^{わたし}が予^よ想^{そう}して
いたよ^あうな悪^{あく}事^じは告^{こく}発^{はつ}しませんでした
た。19 自^じ分^{ぶん}たち^{ぶん}の宗^{しゅう}教^{きやう}とイエスと
い^いう男^{おとこ}に關^{かん}して争^あっているだけでした。
イエス^しは死^しんだのに、パウロ^いは、生^いき
てい^いると主^{しゅ}張^{ちやう}し続^{つづ}けているのです。
20 私^{わたし}はこの論^{ろん}争^{そう}の扱^{あつか}いに困^{こま}り、パウ
ロに、エルサレム^{けん}に行^{けん}ってそこ^こでこの
件^{けん}に關^{かん}して裁^{さい}きを受け^うけたいかどうか尋^{たず}
ねてみ^みました。21 しかしパウロ^{けん}が、
尊^{そん}厳^{げん}者^{げん}による判^{はん}決^{けつ}を受け^うけるために自^じ
分^{ぶん}を拘^{こう}束^{そく}しておいてほ^ほしいと申^{もう}し出^で
たので、私^{わたし}は、カエサル^{かれ}のもとに送^{めい}るまで
彼^{かれ}を拘^{こう}束^{そく}しておくように命^{めい}令^{れい}しました」。

22 アグリッパ^いはフェストに言^いった。
「私^{わたし}もその男^{おとこ}が話^{はな}すことを聞^きいてみた
い^いものです」。フェストは、「明日^{あす}、お
聞^ききになれます」と言^いった。23 それ
で、次^{つぎ}の日^ひ、アグリッパとベルニケ^はは
派^は手^てに着^き飾^{かざ}ってや^きつて来^きて、軍^{ぐん}司^し令^{れい}官^{かん}
たち^{まち}や町^{ちやうめい}の著^{しやく}名^{めい}な人^{ひと}たちと共^{ども}に広^{ひろ}間^ま
に入^{はい}った。フェスト^{めいれい}が命^{めい}令^{れい}を出^だすと、パ
ウロ^つが連^れれてこられた。24 フェスト
は言^いった。「アグリッパ王^{おう}、ならびにご
同^{どう}席^{せき}の皆^{みな}さま、ご覧^{らん}になっ^ているこの
男^{おとこ}について^{おとこ}は、エルサレム^{けん}でもこ^こで
もユダヤ人^{じん}が皆^{みな}、これ以上^{いじやう}生^いかして
はおけ^けないと叫^{さけ}んで私^{わたし}に頼^{たの}み込^こんで

25:19 *または、「神への崇拜」。 25:21 *ローマ皇帝の称号。

きました。25 しかし私は、彼が死刑に値することは何もしていないことを見て取りました。それで、彼が尊厳者に上訴した時、彼を送ることに決めました。26 ところが私には、彼について主に書き送ろうにも、これといったことが何もありません。そのため、皆さまの前、特にアグリッパ王、あなたの前にお連れしました。この取り調べの後、何か書き送ることができるようにです。27 囚人を送りながら罪状を示さないのは、道理に合わないことに思えます。

26 アグリッパはパウロに、「自分のために話すことを許す」と言った。そこでパウロは手を伸ばし、弁明を始めた。

2 「アグリッパ王、ユダヤ人たちが訴えられている全ての事柄に関し、今日、王の前で弁明できますことをうれしく思います。3 とりわけ、王はユダヤ人の間のあらゆる習慣や論争に精通した方だからです。ですから、どうか私の話を辛抱してお聞きください。

4 私が若い頃から、自分の民の間で、またエルサレムでどんな生き方をしてきたかは、全てのユダヤ人がよく知っています。5 その人たちは昔から私の知り合いであり、私が崇拜に関して最も厳格なパリサイ派として生活していたことを、その気があれば証言できます。6 しかし私は今、神によって私たちの父祖になされた約束の実

第25章

(7) 使徒 22:22

第26章

(7) 使徒 25:13

(2) 使徒 24:5,9

(8) ガラ 1:13,14

(7) 使徒 22:3

(8) 使徒 23:6

フィリ 3:4,5

第2欄

(7) 使徒 24:15

(7) 使徒 24:20,21

(7) 使徒 9:1,2,14

(2) ヨハ 16:2

使徒 8:3

コヘ 15:9

ガラ 1:13

テモ 1:13

(8) 使徒 9:3-5

使徒 22:6-8

現を待っているために、裁判を受けています。7 私たちの12部族はこの同じ約束の実現を望んで、神聖な奉仕を昼も夜もひたすら行っています。王よ、私はこの希望に関してユダヤ人から訴えられているのです。

8 神が死者を生き返らせるということとを、皆さんはどうして信じられないのでしょうか。9 私自身、どんな手段を使ってでもナザレ人イエスの名に敵対すべきだと確信していました。10 事実、エルサレムでそれを実行し、祭司長たちから権限を与えられていましたので、聖なる人たちの多くを牢屋に閉じ込めました。そして、その人たちが処刑される時には、賛成の票を投じました。11 全ての会堂で聖なる人たちを何度も苦しめて信仰を捨てようせまかれ、彼らのことでひどく激怒してほかの町々でも迫害するほどでした。

12 そうした目的で、祭司長たちから権限と委任を受けてダマスカスに旅をしていた時、13 王よ、私は真昼に路上で天からの光を見ました。それは太陽の輝きより明るく、私の周り、一緒に旅をしていた者たちの周りを照らしました。14 私たちが皆、地面に倒れてしまった時、ヘブライ語で私にこう言う声が聞こえました。『サウロ、サウロ、なぜ私を迫害しているのですか。あなたは突き棒を蹴り返しては、自分

26:14 動物を突いて動かすための先端のものがった棒。

を傷つけています』。15 私は、『主よ、あなたはどなたですか』と言いました。すると主は言いました。『イエスです。あなたは私を迫害しています。16 起きて自分の足で立ちなさい。私がこうして現れたのは、あなたを選んで、私に関してあなたが見た事柄と私が見せる事柄について、仕える者また証人とするためです。17 私はあなたをこの民と異国のの人々から救い出し、そのもとに遣わして 18 彼らの目を開かせ、彼らを闇から光へと、サタンの権威から神のもとへと導かせます。彼らが私への信仰によって、罪の許しを受け、神聖にされた者たちに与えられる財産を得るためです』。

19 それでアグリッパ王、私は天からのその幻に背くことなく、20 まずダマスカスの人たちに、次いでエルサレムの人たちに、またユダヤ地方全体に、さらには異国のの人々にも、悔い改めるように、そして悔い改めたことを示す行動を取って神を崇拜するようにと知らせていきました。21 ですからユダヤ人たちは私を神殿で捕らえ、殺そうとしたのです。22 しかし、私は神の助けを得てきましたので、今日までずっと、身分が低い人にも高い人にも伝道し続けています。私が語っているのは、預言者たちやモーセが起きると述べたことだけです。23 すなわち、キリストが苦しみを受け、また復活させられる最初の者として、この民に

第26章

(7) 使徒 22:14,15
ガラ 1:11,12
テモ 1:12

(7) 使徒 22:21
ロマ 11:13

(7) イザ 61:1

(7) コロ 1:13

(7) ヨハ 8:12
コ二 4:6

(7) エフ 2:1,2

(7) ヨー 3:5

(7) 使徒 9:22

(7) 使徒 9:28

(7) マタ 3:8

(7) 使徒 21:30,31

(7) ルカ 24:27,44
ロマ 3:21

(7) 詩 22:7
詩 35:19
イザ 50:6
イザ 53:5

(7) 詩 16:10

第2欄

(7) 詩 18:49
イザ 11:10
ルカ 2:30-32

(7) ヨハ 18:20

(7) 使徒 23:26,29
使徒 25:24,25

も異国のの人々にも光を広める、ということです。

24 パウロがこう弁明していると、フェストが大声で言った。「パウロ、あなたは気が狂っている！ 博学のためにおかしくなっているのだ！」25 しかしパウロは言った。「気が狂ってなどいけません、フェスト閣下。真実で理にかなった言葉を述べているのです。26 実際、私が気兼ねなくお話ししております王が、これらのことについてよくご存じです。私は、これらは一つとして王の目に留まらないはずがないと確信しています。片隅で行われてきたことではないからです。27 アグリッパ王、預言者たちを信じておられますか。信じておられることを知っております」。28 アグリッパはパウロに言った。「あなたはわずかな時間で私を説き伏せてクリスチャンにならそうとしている」。29 パウロは言った。「わずかな時間であっても長くかかっても、私は、王だけでなく、今日私の言葉を聞いておられる方全員が、私のような人になってほしいと神に願っております。もっとも、このように拘禁されることを願っているわけではありません」。

30 王は立ち上がり、総督とベルニケ、また一緒に座っていた人たちも立ち上がった。31 そして、そこを去っていき、互いに、「この人は死刑や拘禁に値することは何もしていない」と言うのだった。32 また、アグリッパ

はフェストに、「この人はカエサルに
 上訴していなければ釈放されただろう
 に」と言った。

27 さて、私たちが船でイタリア
 に向かうことが決まると、パ
 ウロとほかの囚人たちは、アウグス
 トゥスの部隊の士官であるユリウスへ
 と引き渡された。**2** 私たちは、アドラ
 ミティオンからの船に乗って出発し
 た。アジア州沿岸の港に寄っていく
 船である。テサロニケのマケドニア人
 アリスタルコも私たちと一緒にいった。
3 次の日には、シドンに上陸した。ユ
 リウスはパウロを親切に扱い、友人た
 ちの所に行って世話を受けることを許
 可した。

4 次いで、私たちはそこから船に
 乗ったが、向かい風だったので、キプ
 ロス島を風よけにしながら進んだ。

5 それから、キリキアとパンフリヤに
 沿って航海し、ルキアのミラに入港し
 た。**6** 士官はそこで、イタリアへ向か
 うアレクサンドリアからの船を見つ
 け、私たちをそれに乗せた。**7** 船は
 何日もの間ゆっくりと進み、やつのこ
 とでクニドスに着いた。その後、風の
 せいで進路を阻まれたので、サルモネ
 の沖を通過してクレタ島を風よけにしな
 がら進んだ。**8** そして、やつのこと
 で沿岸を進み、良い港と呼ばれる場所
 に着いた。ラセアの町の近くである。

9 かなりの時が過ぎ、すでに贖罪の

27:3 *または、「に人間味のある親切を示し」。

第26章

㊦ 使徒 25:11,12

第27章

㊦ 使徒 25:12

第2欄

㊦ レビ 16:29,30
 レビ 23:27

日の断食も終わっていたので、航海は
 危険だった。それでパウロは意見を
 述べて、**10** こう言った。「皆さん、私
 には分かります。この旅をするなら、危
 険な目に遭い、多くが失われます。積
 み荷や船だけでなく、私たちの命も危
 険にさらされるのです」。**11** しかし
 士官は、パウロの言葉ではなく、船長
 や船主の言葉に従った。**12** その港
 は冬を過ごすのに不向きだったので、
 大多数の人の意見は、船を出して、北
 東と南東に入り口があるクレタ島の
 港フォイニクスに何とかして行き、そこ
 で冬を過ごせるかどうかやってみる、と
 いうものだった。

13 南風が穏やかに吹いてくると、
 人々は思い通りにいくと考え、いかり
 を揚げ、クレタ島の海岸に沿って進み
 始めた。**14** ところが、間もなく、ユー
 ラクロンと呼ばれる暴風が激しく吹き
 下ろしてきた。**15** 船はひどくあおら
 れて船首を風に向けておけなくなり、
 私たちはそのまま流されるに任せた。

16 やがてカウダという小さな島を風
 よけにして進んだが、それでも船尾の
 小舟が流されないようにするのがやっ
 とだった。**17** 人々は小舟を船上に
 上げた後、船体を縛って補強し始め
 た。そして、スルテス湾で座礁すること
 を恐れ、帆を縮めてただ流されてい
 くのだった。**18** 船が風にひどくもま

27:14 *北東の風のこと。27:16 *救命ボート
 として使える小舟。27:17 *用語集参照。「ま
 たは、「索具を下ろして」。

れていたで、次の日には、積み荷を捨てて船を軽くし始め、19 3日目は、船の用具を投げ捨ててしまった。

20 何日もの間、太陽も星も現れず、激しい嵐が吹き荒れていたで、助かる見込みはなくなろうとしていた。

21 皆はずっと何も食べずにいた。パウロは皆の真ん中に立て、こう言った。「皆さん、私の意見に従ってクレタ島から船出しないでいれば、こうして危険な目に遭って損失を被ることはなかったでしょう。22 でも今、勇気を出してください。誰も命を失いません。失われるのは船だけです。23 私が崇拜し神聖な奉仕をしている神から天使が遣わされ、昨夜、私のそばに立って、24 こう言いました。『パウロ、恐れることはありません。あなたはカエサルの前に立たなければなりません。神はあなたのために、船に乗っている人を皆、救ってくださいます。』25 それで皆さん、勇気を出してください。神がその通りにしてください。26 とはいえ、私たちはどこかの島に流れ着くことでしょう。』

27 14日目の夜になり、アドリアの海でもまれていると、真夜中に、船乗りたちは、どこかの陸地に近づいているのではないかと感じるようになった。28 深さを測ってみると、36メートルだった。少し進んでからもう一度測つ

第27章

㊦ 使徒 27:9,10

㊦ 使徒 5:18,19
ヘブ 1:7,14

㊦ 使徒 23:11
使徒 25:11,12

㊦ 使徒 28:1

第2欄

㊦ 使徒 27:22

㊦ ヨナ 1:5

㊦ 使徒 28:1

てみると、27メートルだった。29 船乗りたちは、岩場に座礁するのを恐れて、船尾から4つのいかりを投げ、夜明けが来ることを願った。30 ところが、船乗りたちは船から逃げ出そうとした。それで、船首からいかりを下ろすかに見せ掛けて小舟を海に下ろしている、31 パウロが士官と兵士たちに言った。「あの人たちが船にいないければ、皆さんは助かりません」。32 そこで兵士たちは綱を断ち切って小舟を下に落とした。

33 明け方近く、パウロは皆に何か食べるよう勧めて、こう言った。「ずっと待ち続けて今日で14日になります。皆さんはその間何も食べていません。34 何か食べてください。助かるためです。皆さんは誰も、髪の毛1本さえ失うことはありません。35 パウロはこう言うてから、パンを取り、皆の前で神に感謝し、そのパンを割って食べ始めた。36 それで皆は勇気づけられ、食べだした。37 船には、全部で276人いた。38 皆は食べて満足すると、小麦を海に投げ込んで船を軽くした。

39 夜が明けると、船乗りたちは、そこがどこかの陸かは分らなかったが、浜辺のある入り江を見て、できればその浜辺に船を乗り上げようと思った。40 それで、いかりを断ち切って海に落とし、同時にかじの綱をほどいた。

そして、風を受けるために前方の帆を揚げ、浜辺を目指して進んだ。**41** ところが、沖の浅瀬に行き当たり、乗り上げてしまった。船首ははまって動かなくなり、船尾は波でばらばらに壊れ始めた。**42** そこで兵士たちは、囚人たちが誰も泳いで逃げたりしないよう殺すことに決めた。**43** しかし士官はパウロを助けようと思い、兵士たちをとどめた。泳げるものには、海に飛び込んで先に陸に向かうようにと命じ、**44** 残りの者には、厚い板や船の何かにつかまって後に続くようにと命じた。こうして、全員が無事に陸にたどり着いた。

28 私たちは無事に着いてから、その島の名前がマルタであることを知った。**2** 島の人たちは、非常に親切にしてくれた。雨が降り、寒かったので、火をたいて私たち全員を親切に迎えてくれた。**3** しかし、パウロが小枝を集めて火にくべたところ、熱気のために毒蛇が出てきて、パウロの手にかみついた。**4** 島の人たちは、毒蛇がパウロの手にはぶら下がっているのを見て、互いにこう言った。「きっとこの男は人殺しだ。海からは無事に助かったが、正義がこの男を生かしてはおかなかったのだ」。**5** とこ

28:2 *または、「外国語を話す人たち」。
*または、「人間味のある親切を示して」。
28:4 *ギリシャ語、ディーケー。正義の復讐をする女神を指すのかもしれない。

第27章

㊦ 使徒 27:22
コ二 11:25

㊦ 使徒 27:23, 24

第28章

㊦ 使徒 27:26

第2欄

㊦ ルカ 4:38, 39

㊦ マタ 10:8

ろが、パウロは毒蛇を火の中に振り払い、少しも害を受けなかった。**6** 島の人たちは、パウロはきっと腕が腫れ上がるか、急に倒れて死ぬだろうと思っていたが、いくら待ってもパウロに何も悪いことが起きないのを見て、考えを変え、この人は神だと言いだした。

7 その場所の近くに、島の主だった人でポプリオという男性の土地があった。ポプリオは私たちを歓迎し、3日にわたって温かくもてなしてくれた。

8 あいにくポプリオの父親は熱と赤痢に苦しんで横になっていた。それで、パウロはそばに行き祈り、手を置いて癒やした。**9** このことがあってから、島のほかの病人たちもパウロの所に来て、治してもらった。**10** そして、私たちにたくさんのお礼の物をしめて敬意を示し、出帆の時には、必要な物を何でも船に積んでくれた。

11 3カ月後、私たちは、「ゼウスの子たち」の船首像が付いた船で出発した。その船はアレクサンドリアからの船で、この島で冬を越していた。

12 私たちはシラクサの港に寄って3日とどまった後、**13** そこから進んでレグイムに着いた。1日たつと南風が吹き始め、2日目にポテオリに入ることができた。**14** そこで兄弟たちに出会い、頼まれて7日間一緒に過ごし、その後、ローマに向かった。**15** ローマの兄弟たちは私たちについての知らせを聞いて、「アピウスの市場」と三

げんじゅく で もか き
軒宿まで出迎えに来てくれた。パウロ
は兄弟たちを見ると、神に感謝し、勇
気づけられた。16 私たちがついに
ローマに入った時、パウロは兵士の
監視の下に1人で暮らすことを許可さ
れた。

17 3日後、パウロはユダヤ人の主
立った人たちを招いた。そして皆が集
まると、こう言った。「皆さん、兄弟た
ち、私は、民に背くことや父祖たちの
習慣に反することは何もしていなかつ
たのに、エルサレムで囚人とされ、ロー
マ人に引き渡されました。18 ロー
マ人は私を取り調べましたが、処刑の
根拠が何もなかったので、釈放しよう
と思いました。19 ところが、ユダヤ
人が反対したので、私はカエサルに
上訴するしかありませんでした。とは
いえ、自分の国民を訴えようとしたの
ではありません。20 それで、皆さ
んと会って話したい、とお願いした次
第です。私はイスラエルの希望のた
めにこうして鎖につながれているので
す。21 その人たちはパウロに言っ
た。「私たちはあなたについてユダヤ
から手紙を受け取ってはいませんし、
そこから来た兄弟たちの誰かが、あな
たについて何か悪いことを報告したり
話したりしているわけでもありません。
22 でも、あなたの考えをあなたから
聞くのがいいと思います。この一派に
ついては、各地で反対に遭っているこ
とを知っているからです。」

第28章

(例) コ二 1:3,4

(例) 使徒 24:11,12
使徒 25:8

(例) 使徒 21:33

(例) 使徒 24:10

(例) 使徒 23:26,29
使徒 25:24,25
使徒 26:31,32

(例) 使徒 25:11,12

(例) 使徒 23:6
使徒 26:6
エフ 6:19,20
テモ二 1:16

(例) 使徒 24:14

(例) ルカ 2:34
ヨハ 15:19

第2欄

(例) 使徒 17:2,3

(例) ヨハ 5:46

(例) 使徒 26:22,23

(例) ロマ 11:8

(例) イザ 6:9,10
マタ 13:14,15(例) ルカ 3:4,6
使徒 13:45,46
使徒 22:21
ロマ 11:11(例) 詩 67:2
詩 98:3
イザ 11:10

(例) 使徒 28:16

(例) エフ 6:19

23 そこで、パウロと会う日を取り決
めて、もっと大勢で宿舎に来た。パウ
ロは朝から晩まで、神の王国について
徹底的に教えて説明し、イエスにつ
いてモーセの律法と預言者の書の両
方から説得しようとした。24 パウロ
が話したことを信じるようになる人も
いれば、信じようとしなない人もいた。
25 こうして意見が合わず、人々が立
ち去り始めると、パウロはただこう述
べた。

「預言者イザヤは聖なる力によ
って皆さんの父祖たちに適切に語り、

26 こう述べました。『この民の所に
行って言いなさい。「あなたたちは
確かに聞くが、決して理解せず、確
かに目を向けるが、決して見えない。」

27 この民は心が鈍くなり、よく耳を
傾けず、目を閉じてしまったからであ
る。これは、彼らが決して、目で見ず、
耳で聞かず、心で理解せず、私のもとに
帰らず、私が彼らを癒やすことのない
ためである。』28 ですから、知って
おいてください。神からのこの救いは
異国の人々に広められました。彼ら
はきつと耳を傾けます。29 —

30 パウロは、借りた家に丸2年と
どまり、会いに来る人を皆親切に迎え、

31 妨げられることなく、少しも気後れ
せずに、神の王国について伝えたり主
イエス・キリストについて教えたりした。

28:29 *付録 A3参照。 28:31 *または、「でき
る限り大胆に」。

ローマのクリスチャンへの手紙^{てがみ}

概要

- | | |
|--|--|
| <p>1 あいさつの言葉 (1-7)
ローマに行きたいというパウロの願い (8-15)
正しい人は信仰のゆえに生きる (16, 17)
神を敬わない人々は言い訳ができない (18-32)
神の性質は創造された物を通して認められる (20)</p> <p>2 ユダヤ人もギリシャ人も神に裁かれる (1-16)
良心の働き (14, 15)
ユダヤ人と律法 (17-24)
心に施される割礼 (25-29)</p> <p>3 「神は真実な方」 (1-8)
ユダヤ人もギリシャ人も罪の支配下にある (9-20)
信仰によって正しいと認められる (21-31)
全ての人は神の栄光に達しない (23)</p> <p>4 アブラハムは信仰によって正しいと認められた (1-12)
アブラハムは信仰を持つ人たちの父祖 (11)
約束は信仰のゆえに与えられた (13-25)</p> <p>5 キリストを通して神と和解する (1-11)
アダムを通して死が入り、キリストを通して命を得る (12-21)
罪と死が全ての人に広がる (12)
1つの正しい行い (18)</p> <p>6 キリストへのバプテスマによる新たな生き方 (1-11)
体の中で罪が王として支配するのを許してはならない (12-14)
罪の奴隷から神の奴隷に (15-23)
罪の代償は死、神の贈り物は命 (23)</p> <p>7 律法からの解放に関する説明 (1-6)
律法により罪が明らかにされた (7-12)
罪との闘い (13-25)</p> <p>8 聖なる力によって命と自由を得る (1-11)
聖なる力により養子とされる (12-17)
創造物は神の子供の自由を得ることを待っている (18-25)
「聖なる力が願い出してくれる」 (26, 27)
神があらかじめ定めた事柄 (28-30)</p> | <p>神の愛により勝利を収める (31-39)</p> <p>9 パウロはイスラエル人のことを悲しむ (1-5)
アブラハムの子孫とは誰か (6-13)
神が誰を選ぶかに異議を唱えることはできない (14-26)
憤りの器と憐れみの器 (22, 23)
残りの者だけが救われる (27-29)
イスラエルはつまずいた (30-33)</p> <p>10 どうすれば神から正しいと見なされるか (1-15)
人々に伝える (10)
エホバの名を呼ぶ人は救われる (13)
伝道する人たちの足は美しい (15)
良い知らせが退けられる (16-21)</p> <p>11 イスラエルは完全に退けられたのではない (1-16)
オリーブの木の例え (17-32)
神の知恵の深さ (33-36)</p> <p>12 自分の体を生きた犠牲として差し出す (1, 2)
さまざまな能力、1つの体 (3-8)
真のクリスチャンとして生きるための助言 (9-21)</p> <p>13 権威に従う (1-7)
税を納める (6, 7)
愛がある人は律法を実践している (8-10)
昼間のように行動する (11-14)</p> <p>14 批判し合ってはならない (1-12)
人に過ちを犯させてはならない (13-18)
平和と一致のために努力する (19-23)</p> <p>15 キリストに倣って互いを迎え入れる (1-13)
パウロは異国の人々の所へ遣わされた (14-21)
パウロの旅の計画 (22-33)</p> <p>16 パウロは奉仕者フォイベを紹介する (1, 2)
ローマのクリスチャンへのあいさつ (3-16)
分裂についての警告 (17-20)
パウロと共に働く人々からのあいさつ (21-24)
神聖な秘密は今や知られている (25-27)</p> |
|--|--|

1 キリスト・イエスの奴隷であり、招かれて使徒となり、神の良い知らせのために選び出されたパウロから。

2 (その良い知らせは、神が預言者たちを通して聖書の中で予告していたもので、

3 神の子に関するものです。その方は、ダビデの子孫から人間として生まれました。**4** そして復活させられた時、神の子であることが聖なる力によって示されました。この方が私たちの主イエス・キリストです。

5 私たちはキリストを通して惜しみない親切を受け、使徒とされました。全ての国の人々が信仰によって従順になり、その方の名をたたえるようになるためです。

6 全ての国の中から、皆さんも招かれ、イエス・キリストのものとなりました。) **7** 招かれて聖なる人となり、神に愛されている、ローマの皆さんへ。

私たちの父である神と、主イエス・キリストから、皆さんに惜しみない親切が示され、平和が与えられますように。

8 初めに、皆さんについて、イエス・キリストを通して神に感謝します。皆さんの信仰のことが世界中で語られているからです。**9** 私は神の子についての良い知らせを広め、心を込めて神に神聖な奉仕をしています。その神が証人となってくださることで、私はいつも皆さんについて祈っています。**10** 今度こそ皆さんの所に

第1章

〔7〕使徒 9:11, 15

〔1〕サニ 7:8, 12

ルカ 1:32

テモニ 2:8

〔7〕使徒 13:33

〔14〕詩 2:7

ヘブ 1:5

〔7〕テモニ 2:7

〔7〕使徒 15:14

ガラ 2:7

〔14〕テサー 3:10

テモニ 1:3

第2欄

〔7〕テサー 5:11

ヘブ 10:25

〔1〕使徒 19:21

〔7〕マル 8:38

テモニ 1:8

〔14〕ヘブ 11:6

〔7〕使徒 3:25, 26

〔7〕使徒 18:5, 6

〔14〕ヨハ 3:36

ロマ 3:21, 22

〔7〕ハバ 2:4

ガラ 3:11

ヘブ 10:38

〔7〕ロマ 1:25

〔7〕ロマ 2:5

エフ 5:6

行かせてくださるよう、神に懇願しています。**11** 皆さんに会うことを心から願っています。神からの贈り物を与えて、皆さんを力づけるためです。

12 いえ、むしろ、皆さんの信仰と私の信仰によって励まし合うためです。

13 兄弟たち、私が何度もそちらに行こうとしたことを知らずにいてほしくありません。ほかの国の人々の所だけでなく、皆さんの所でも成果を得たと思ったのですが、今まで妨げられてきました。**14** 私には、ギリシャ人にも外国人にも、賢い人にも無学な人にも、果たすべき責任があります。

15 それで、ローマにいる皆さんにも、ぜひ良い知らせを伝えたいのです。

16 私は良い知らせを恥じてはいません。その知らせは、信仰を持つ全てのの人にとって、ユダヤ人をはじめギリシャ人にとっても、救いのための神の力なのです。**17** 信仰があるなら、その知らせによって神の正しさが明らかにされているのが分かり、信仰がいつそう強められます。「正しい人は信仰のゆえに生きる」と書かれている通りです。

18 真理を不正に覆い隠している人々の、神への不敬とあらゆる不正に對して、神は天から憤りを表しています。**19** 神について知り得る事柄は、彼らにもはっきり示されているからで

1:11 *または、「神からの能力を用いて」。

14 *または、「ギリシャ人でない人」。**1:17** *または、「神から見て正しいこと」。

す。それを示したのは神です。 **20** 神の
見えない性質は、世界の創造以来
明らかです。造られた物を見れば、神
が永遠に力を持っていて、確かに神で
あるということが分かります。ですから、
彼らは言い訳ができません。 **21** 彼
らは神を知りながら、その方を神とし
てたたえることも感謝することもしませ
んでした。論理的に考えようとせず、無
感覚な心は暗くなりました。 **22** 自
分は賢いと主張していましたが、愚か
な人となり、 **23** 朽ちない神の代わり
に像をたたえました。朽ちる人間や鳥
や四つ足の生き物や爬虫類に似た像
をです。

24 そのため、神は彼らが心の欲望
に従うままにしました。彼らは、互いに
汚れたことを行つて自分の体を辱め
ました。 **25** 神の真理の代わりに偽
りを信じ、創造した方ではなく創造され
た物を崇拜してそれに神聖な奉仕をし
ました。永遠に賛美されるべきなのは
創造した方です。アーメン。 **26** それ
で、神は彼らが恥ずべき性欲に溺れる
ままにしました。女性はいかに反して
女性同士で関係を持ち、 **27** 男性も
女性と自然な関係を持つ代わりに男
性同士で欲情を激しく燃やし、みだら
なことを行つて十分な罰を受けました。
過ちに対して当然の罰です。

28 彼らが神を認めようとしなかつ

1:23 *または、「地面を動く生き物」。**1:27** *ま
たは、「報い」。

第1章

(7) 詩 19:1
使徒 14:17

(1) イザ 40:26
啓 4:11

(1) エレ 10:12

(1) 詩 103:19
エレ 10:10
啓 15:3

(1) 創 6:5

(1) エレ 2:11
使徒 17:29

(1) ガラ 5:19
テサー 4:4,5

(1) ユダ 7

(1) 創 19:5
レビ 18:22
レビ 20:13
コヘ 6:9,10

(1) ガラ 6:7

第2欄

(7) ガラ 5:19-21

(1) ペー 4:3

(1) 申 5:21

(1) テト 3:3

(1) ヨー 3:15

(1) ペー 2:1

(1) エフ 4:31

(1) ペー 2:1

(1) 申 21:18,21

(1) ロマ 1:21

(1) 啓 21:8

第2章

(1) ロマ 2:9

(1) マタ 7:5

ため、神は彼らが墮落した考え方
をして不適切な事柄を行うに任せまし
た。 **29** 彼らは、あらゆる不正、邪悪、
貪欲、悪に満ち、ねたみや殺意、争
い、欺き、悪意にあふれ、うわさ話を
し、 **30** 陰口をたたき、神を憎み、横
柄で、傲慢で、自慢ばかりし、悪事を
たくらみ、親に不従順で、 **31** 理解力
がなく、合意したことを守らず、自然な
愛情を持たず、憐れみがありませんで
した。 **32** 彼らは、こうした事柄を習
慣にする人は死に値するという、神の
正しい規定を十分に知っているにもか
かわらず、そのようなことを行い続けま
す。それだけでなく、それを習慣にして
いる人たちを肯定しています。

2 ですから、あなたが誰であるとし
ても、人を批判するなら言い訳が
できません。ほかの人を批判するとき、
自分自身を有罪とすることになります。
批判するあなたも同じ事柄を行ってい
るからです。 **2** 私たちは、神が真実
に沿って裁き、こうした事柄を習慣に
する人たちを有罪とすることを知って
います。

3 あなたは、こうした事柄を習慣に
している人たちを批判しながら、自分
も同じことを行っています。それなの
に、自分は神が裁く時に有罪とされな
いと思っているのですか。 **4** それと
もあなたは、神がご親切にも悔い改め

1:28 *または、「神を正確に知るべきことを認め
なかった」。**2** *または、「神に認められない」。**1:**
29 *または、「強欲」。

に導こうと^{みちび}くださっていることを知^しら^らず、神の豊かな親切^{かみ ゆた しんせつ}と寛容^{かんよう}と辛抱^{しんぱう}を軽く見ているのですか。5 あなたは、頑固^{がんこ}さと悔い改^{くわい}めない心^{こころ}により、神の憤り^{いきどお}を身に招^{まね}いています。その憤り^{いきどお}は、神が正しい裁き^{さだ}を行う憤り^{いきどお}の日に表^{あらわ}されます。6 そして、神は一人一人の行い^いに応じて報^{むく}います。7 忍耐^{にんたい}して善^{ぜん}を行い、栄光^{えいこう}と栄誉^{えいよ}と不朽性^{ふきゅうせい}を求め^{もと}めている人には、永遠^{えいえん}の命^{いのち}を与^{あた}えます。8 一方^{いっぽう}、争い^{あらそ}いを好み、真理^{まこと}に従^{したが}わないで不正^{ふせい}を行う人には、憤り^{いきどお}と怒り^{いか}を表^{あらわ}します。9 悪^{あく}を行う人^{ひと}全てには、ユダヤ人^{じん}をはじめギリシャ人^{さい}にも、災難^{くなん}や苦難^{くるなん}があります。10 しかし、善^{ぜん}を行う人^{ひと}全てには、ユダヤ人^{じん}をはじめギリシャ人^{さい}にも、栄光^{えいこう}と栄誉^{えいよ}と平和^{へいわ}があります。11 神は不公平^{ふへい}ではないから^{から}です。

12 律法^{りっぽう}の下^{もと}にいない人は皆^{みな}、罪^{つみ}を犯^{おか}した場合^{ばい}、律法^{りっぽう}の下^{もと}にいても滅^{ほろ}びます。一方^{いっぽう}、律法^{りっぽう}の下^{もと}にいる人は皆^{みな}、罪^{つみ}を犯^{おか}した場合^{ばい}、律法^{りっぽう}によって有罪^{ゆうざい}とされます。13 律法^{りっぽう}を聞^きく人がかみ^{かみ}ただ^{ただ}と認め^{とめ}られるのです。14 律法^{りっぽう}を持たない異国^{いこく}の人々^{ひと}も、律法^{りっぽう}にある事柄^{ことば}を生^うまれつぎ行^{おこな}えます。律法^{りっぽう}を持っていませんが、自分自身^{じぶん}が律法^{りっぽう}のようなものです。15 彼らこそ、律法^{りっぽう}の^ないよう^うこころ^{こころ}か^かを証明^{しょうめい}しています。彼ら^{かれ}の良心^{りょうしん}が彼ら^{かれ}

第2章

(ア) ペニ 3:9

(イ) ロマ 11:22
エフ 1:7

(ウ) ロマ 3:25

(ロ) イザ 30:18

(ロ) テサニ 1:7,8
啓 6:16,17
啓 11:18(ウ) 詩 62:12
格 24:12
マタ 16:27(イ) コー 15:53
啓 20:6(ウ) ロマ 1:18
コロ 3:6
ヘブ 10:26,27(ウ) ヨハ 4:22
使徒 13:45,46

(ロ) 使徒 15:14

(ウ) 申 10:17
代二 19:7
使徒 10:34,35

(ウ) エフ 2:12

(ウ) ロマ 3:19

(ロ) 申 30:14
エゼ 20:11
ヤコ 1:22

(ウ) 詩 147:19,20

第2欄

(ア) ヨハ 5:22
使徒 10:42
ペテ 4:5

(イ) ロマ 9:6

(ウ) 申 4:8

(ロ) マタ 23:2,3

(ウ) 出 20:15

(ウ) 申 5:18

(イ) イザ 52:5
エゼ 36:20

(ウ) 創 17:10

(ウ) コー 7:19
ガラ 5:3

と共に語^{かた}り、彼らは自分^{かんが}の考^{かんが}えによ^よって非難^{ひなん}されたり弁護^{べんご}されたりして^しいるのです。16 私が広^{ひろ}めて^よいる良^よい知^しらせによ^よれば、神がキリスト・イエスを^{かみ}と^とお^おひ^ひと^とかく^{かく}ご^ごと^とさ^さば^ばひ^ひに^に、こ^こう^うしたことがはつきりします。

17 さて、もしあなたがユダヤ人^{じん}と呼^よばれていて、律法^{りっぽう}に頼^{たよ}り、神を誇^{かみ}りとし^しているのなら、18 また、律法^{りっぽう}に基^{もと}づいて教^{おし}えられているために、神の意志^{いし}を知^しり、優^{すぐ}れた事柄^{ことば}の価値^{かち}を認^めめて^みいるのなら、19 そして、自分^{じぶん}は目^めが見^みえない人^{ひと}の案内人^{あんないにん}、暗闇^{くらやみ}にいる人^{ひと}の光^{ひかり}であると確信^{かくしん}し、20 分別^{ぶんべつ}がない人^{ひと}を矯^{きよう}正^{せい}し、幼^こい子^{こども}供^{ども}を教^{おし}え、律法^{りっぽう}のなか^{なか}にある知識^{ちしき}と真理^{しんり}の骨組^{ほぐみ}を持^もっ

ていると考^{かんが}えているのなら— 21 あなたは、ほかの人^{ひと}を教^{おし}えていながら、自分^{じぶん}を教^{おし}えないのですか。「盗^{ぬす}んではいけない」と伝^{つた}えていながら、盗^{ぬす}むのですか。22 「姦淫^{かんいん}をしてはいけな^いい」と言^いっているながら、姦淫^{かんいん}をするのですか。偶像^{くわうざう}を憎^{にく}み嫌^{きら}っているながら、神^{しん}殿^{でん}の物^{もの}を奪^{うば}うのですか。23 律法^{りっぽう}を誇^{ほこ}りとしていながら、律法^{りっぽう}に違反^{いはん}して^し神^{かみ}の名^なを汚^{けが}すのですか。24 書^かかれ^かて^とお^おの^{かみ}の^{かみ}通^{かみ}り、あなたたちのせいで、神^{かみ}の名^なが国々^{くにぐに}の中で冒^な瀆^{ぼうとく}されている^しのです。

25 割^{かつれい}礼^りは、あなたが律法^{りっぽう}を実^{じっ}践^{せん}して初^{はじ}めて価^か値^ちがあります。割^{かつれい}礼^りを受け

2:15 *または、「証言し」。「直訳」、「の間で」。

2:25 *用語集参照。

ていても、律法に違反しているなら、受けていないのと同じです。26 ですから、もし割礼を受けていない人が律法の正しい要求に従うなら、割礼を受けていると見なされます。そうではありませんか。27 そして、体に割礼を受けていないその人は、律法を実践することによってあなたを有罪とするでしょう。あなたは書かれた法典を持ち、割礼を受けていながら、律法に違反しているからです。28 外面がユダヤ人である人が真のユダヤ人なのではありません。また、真の割礼は外面つまり体に施されるものではありません。29 内面がユダヤ人である人が真のユダヤ人なのです。真の割礼は聖なる力によって心に施されるものであり、書かれた法典に基づくものではありません。その人は、人ではなく神から称賛されます。

3 では、ユダヤ人はどんな点で有利ですか。割礼にはどんな利点がありますか。2 あらゆる面でたくさんあります。第一に、神の神聖な宣言を託されたことです。3 では、どうですか。信仰が欠けたユダヤ人がいるので、神は信頼できないということになるのでしょうか。4 決してそのようなことはありません！ すべての人がうそつきだとしても、神は真実な方です。「あなたの言葉によってあなたの正しさが示され、あなたは裁きを受ける時に勝利します」と書かれている通りで

第2章

(7) エフ 2:11

(1) ロマ 4:9,10

(7) ヨハ 8:39
啓 2:9

(1) コー 7:19

(7) ロマ 9:6

(7) エレ 4:4
使徒 7:51
フリ 3:3

(4) ロマ 7:6

(7) ヨハ 5:44
コー 4:5

第3章

(7) 申 4:8
詩 147:19,20
使徒 7:38(1) 民 23:19
詩 116:11(7) イザ 55:10,11
ヨハ 8:26
デモニ 2:13

(1) 詩 51:4

第2欄

(7) 詩 9:8
詩 96:13
詩 98:9
使徒 17:31

(1) ヘブ 2:2,3

(1) ロマ 3:23
ガラ 3:22(1) 格 20:9
伝 7:20

(7) 詩 14:1-3

(7) 詩 5:9

(4) 詩 140:3

す。5 しかし、私たちの正しくない行いが神の正しさを際立たせるのであれば、何と言えがいいのでしょうか。神が憤りを表すのは不当なことなのでしょうか。(私は一般的な意見を述べています。)* 6 もちろん違います! そうでなければ、神は人類を裁けないのではないのでしょうか。

7 では、もし私の偽りによって神の真実さが引き立ち、神がたたえられているのであれば、なぜ私は罪人とされているのでしょうか。8 「良いことが起きるように、悪いことをしよう」と言えがいいではありませんか。ある人たちは、わたしがそう言っているという偽りを語っています。そうした人たちが断罪されるのは正当なことです。

9 そうすると、どうでしょうか。私たちは勝った立場にいますか。そうではありません! すではっきり述べたように、ユダヤ人もギリシャ人も皆、罪の支配下にあるのです。10 次のように書かれている通りです。「正しい人はいない。一人もいない。11 洞察力のある人はいない。神を探し求める人もいない。12 全ての人がそれていき、皆が価値のない人となった。親切にする人はいない。一人もない。13 「彼らの喉は開いた墓。彼らは舌で欺いた」。『毒蛇の毒が唇の裏にある。14 「彼らの口は不幸を願う言葉と悪意であふれてい

3:5 * または、「人間的な言い方をして」。

る」。15「彼らは人を殺そうと急ぐ」。

16「彼らの道には破滅と不幸があり、17 彼らは平和の道を知らない」。

18「彼らの目に神への畏れはない」。

19 さて、私たちが知っているように、律法が述べている事柄は全て、律法の下にいる人たちに対して述べられています。その人たちが皆沈黙させられて、全人類が神からの処罰に値することが明らかになるためです。20 です。誰しも、律法に従った行いによって、神から正しいと認められることはありません。律法によって得られるのは、罪についての正確な知識です。

21 今や、律法によらずに神から正しいと認められる、ということが明らかにされています。律法と預言者の書が表示している通り、22 イエス・キリストへの信仰によって、神から正しいと認められます。信仰を持つ人全てが認められるのであり、差別はありません。23 全ての人は罪人になったので、神の栄光に達することができません。24 キリスト・イエスが払った贖いによって解放され、神の惜しみない親切によって正しいと認められることは、無償の贈り物なのです。25 神はキリストを、償いのための捧げ物として差し出してくださいました。キリストの血への信仰によって神と和解できる

3:15 *直訳、「彼らの足」。3:23 *用語集の「罪」参照。*または、「神の栄光を完全には反映できません」。3:24 *用語集参照。3:25 *または、「贖罪」、「和解」。

第3章

(7) 詩 10:7
ヤコ 3:8,9

(1) 格 1:16

(1) イザ 59:7,8

(1) 詩 36:1

(1) ロマ 2:12

ロマ 5:13

ガラ 3:10

(1) ガラ 2:16

ガラ 3:11

(1) ロマ 7:9,13

ガラ 3:19

(1) ロマ 1:16,17

(1) イザ 53:11

エレ 31:34

ダニ 9:24

(1) ガラ 3:28

(1) 伝 7:20

(1) マタ 20:28

テモ 2:5,6

ペー 2:24

(1) エフ 2:8

(1) ロマ 5:17

(1) イザ 53:11

コニ 5:19

ヨ一 2:1,2

ヨ一 4:10

第2欄

(1) レビ 17:11

使徒 13:39

エフ 1:7

(1) 詩 89:14

(1) コ一 1:30

ヨ一 1:9

(1) 使徒 13:38,39

エフ 2:8,9

(1) ガラ 2:15,16

ヤコ 2:24

(1) 使徒 17:26,27

(1) 使徒 10:4

(1) イザ 54:5

ロマ 10:12

ガラ 3:14

(1) 申 6:4

コ一 8:6

エフ 4:6

(1) コ一 7:18

(1) ガラ 3:8

(1) マタ 5:17

ロマ 8:3,4

ロマ 13:10

ようにしてくださいました。神がキリストを差し出したのは、ご自分が正しいと示すためでした。かつて辛抱しつつ、過去に犯された罪を許していたことは、正しいと示すためでもありません。今イエスに信仰を持つ人を正しいと認めることも、正しいのです。

27 では、誇るべき理由があるでしょうか。全くありません。どんな律法によってそう言えますか。行いの律法ですか。そうではなく、信仰の律法によります。28 人は律法に従った行いによらず、信仰によって正しいと認められる、と私たちは考えるからです。29 それとも、神はユダヤ人だけの神

なのですか。異国の人々の神なのでもありますか。そうです、異国の人々の神でもあります。30 神はただひとりなので、割礼を受けている人たちを信仰のゆえに正しいと認め、割礼を受けていない人たちをも信仰によって正しいと認めます。31 では、私たちは信仰によって律法を無効にするのでしょうか。そうではありません！ かつて、律法を擁護するのです。

4 こうしたことからすると、私たちの父祖アブラハムは何を得たといえるでしょうか。2 例えば、もし行いのゆえに正しいと認められたのなら

3:25 *または、「寛容にも」。

ら、アブラハムには誇る理由があったことでしょう。といっても、神の前では誇れません。3 聖句には何と述べられているでしょうか。「アブラハムはエホバに信仰を持ち、そのことは正しいと見なされた」とあります。4 さて、働く人に与えられる給料は、その人への惜しみない親切ではなく、その人の行いに対する当然の報酬といえます。5 他方、罪人を正しいと認める神に信仰を持つ人は、行いがなくても、信仰のゆえに正しいと見なされます。6 行いによらずに神から正しいと見なされる人の幸せについて、ダビデも次のように語っています。7 「不法な行いを許され、罪を覆われた人は幸せだ。8 罪があるとエホバから見なされない人は幸せだ」。

9 では、この幸せは割礼を受けている人だけのものですか。それとも、割礼を受けていない人のものでもありますか。私たちは、「アブラハムは信仰のゆえに正しいと見なされた」と言います。10 正しいと見なされたのはいつのことでしょうか。割礼を受けた後ですか、それとも受ける前ですか。割礼を受けた後ではなく、受ける前です。11 そしてアブラハムは、割礼というしを付けられました。割礼を受けていない時に信仰によって正しいと見なされたことの証印としてです。それは、

4:3, 8 *付録A5参照。4:4 *または、「ではなく、債務の履行」。4:7 *または、「許された」。4:11 *または、「保証」、「確証」。

第4章

(イ) 創 15:6
ガラ 3:6
ヤコ 2:23

(イ) ガラ 2:15,16

(イ) 詩 32:1,2

(ロ) ロマ 3:30

(イ) ロマ 4:3

(イ) 創 17:1,2,11

第2欄

(イ) ロマ 4:16
ガラ 3:7

(イ) ガラ 3:29

(イ) 創 12:1-3
創 17:5,6
創 22:17,18

(ロ) ヘブ 11:8

(イ) ロマ 3:20
ロマ 5:20
コ二 3:7

(イ) ロマ 5:13

(イ) ロマ 3:24

(イ) ロマ 9:8
ガラ 3:29

(イ) ロマ 4:11

(ロ) 創 17:5

割礼を受けていなくても信仰を持つ人全ての父祖となり、その人たちが正しいと見なされるためでした。12 また、割礼を受けた子孫の父祖ともなるためでした。割礼を固く守る人たちだけでなく、アブラハムが割礼を受けていない時に持っていた信仰の足跡をしっかりとたどる人たちの父祖となるのです。

13 アブラハムとその子孫が、世界を授けられることになると約束されたのは、律法に従ったからではなく、信仰によって正しいと見なされたからでした。14 律法を固く守る人たちが世界を授けられるのなら、信仰は無用となり、約束は無効にされたことになります。15 実のところ、律法は憤りを生じさせるものであり、律法がなければ、違反ありません。

16 ですから、約束は信仰のゆえに与えられました。神の惜しみない親切によって与えられたのです。そのため、その約束はアブラハムの子孫全てにとつて、つまり、律法を固く守る人たちだけでなく、アブラハムの信仰に倣う人たちにとつても、確かなものとなりました。アブラハムは私たち皆の父祖です。17 (「私はあなたを多くの国の人々の父祖とする」と書かれている通りです。) アブラハムが信じていた神から見えてそうになりました。神は、死んだ

4:16 *直訳、「種」。4:17 *または、「神の前で」。

人を生かし、ないものがあるかのよう
に呼ぶ方です。18 かないそうにな
い希望でしたが、それでもアブラハム
は希望に基づいて信仰を持ちました。
「あなたの子孫も星のように多くなる」
と言われた通り、多くの国の人々の父
祖となることを信じたのです。19 自
分の体がすでに死んでも同然である
(およそ100歳だった)ことや、サラが
子供を産めなくなっていることを考え
ましたが、信仰は弱くなりませんでし
た。20 神の約束があったので、信
仰が欠けてふたつくということはなく、
かえって信仰によって強くなりました。
そして、神をたたえ、21 神が約束を
必ず果たされるということを確認して
いました。22 それで、「そのことは
正しいと見なされた」のです。

23 しかし、「そのことは正しいと見
なされた」という言葉が書かれたの
は、アブラハムのためだけではなく、
24 私たちのためでもあります。私たち
も正しいと見なされます。主イエス
を生き返らせた神を信じているからで
す。25 イエスは私たちの過ちのため
に処刑され、私たちが正しいと認め
られるために生き返らされました。

5 従って、私たちは信仰のゆえに正
しいと認められたのですから、主
イエス・キリストを通して神との平和を

4:17 *もしかすると、「存在しないものを存在さ
せる」。4:18 *直訳、「種」。

第4章

(例) 創 15:5
ヘブ 11:17,18

(例) 創 17:17

(例) 創 18:11
ヘブ 11:11,12

(例) ヘブ 11:19

(例) 創 15:6
ヤコ 2:23

(例) ロマ 15:4

(例) 使徒 2:24
使徒 13:30
ペー 1:21

(例) マタ 20:28

(例) イザ 53:11,12
コ二 5:21

第5章

(例) 使徒 13:38,39

第2欄

(例) エフ 2:14

(例) コ二 5:18
エフ 3:11,12
ヘブ 10:19

(例) フィリ 2:17
ペー 4:12,13

(例) 使徒 5:41,42

(例) ヤコ 1:12

(例) フィリ 1:18-20

(例) ヨン 21:45

(例) コ二 1:22
ガラ 4:6
エフ 1:13,14

(例) エフ 2:1,5

(例) イザ 53:12
ヨハ 3:16
エフ 2:4,5
ペー 3:18
ヨー 4:10

(例) 使徒 13:38,39
ヘブ 9:14

(例) テサー 1:10

(例) コ二 5:18
コロ 1:21,22

楽しみましょう。2 私たちはさらに、
キリストを通して、信仰により、惜しみ
ない親切を受けられるようになります。
その親切を今味わっています。神
によって栄光に輝くという希望がある
のですから、喜びましょう。3 それだ
けでなく、苦難に遭っても喜びましょう。
私たちが知っている通り、苦難によっ
て忍耐が身に付くからです。4 そ
して、忍耐すると神から良いと認めら
れ、神から良いと認められると希望を
持てます。5 その希望が失望に至る
ことはありません。私たちに与えられ
た聖なる力によって、神の愛が心の中
に注がれているからです。

6 私たちがまだ弱かった間、キリス
トは定められた時に、神を敬わない人
たちのために死んでくださいました。
7 正しい人のために死ぬ人はまずい
ません。もしかすると、善い人のため
なら、死のうとする人がいるかもしれ
ません。8 しかしキリストは、私たち
がまだ罪人だった間に、私たちのため
に死んでくださいました。そのことに
より、神はご自分の愛を私たちに示し
てくださっています。9 それで、今や
私たちは、キリストの血によって正しい
と認められたのですから、ましてこの方
を通して憤りから救われるはずで
す。

10 敵だった時に神の子の死によって
神と和解したのですから、まして和解

5:1 *もしかすると、「平和な関係にあります」。
5:2, 3 *もしかすると、「喜びます」。

した今、神の子の命によって救われるはずなのです。11 それだけでなく、私たちは、主イエス・キリストのおかげで、神との関係を喜んでいます。キリストを通して神と和解したからです。

12 このような訳で、1人の人によって人類に罪が入り、罪によって死が入り、こうして、全ての人が罪人になったために、死が全ての人に広がったように一。13 律法以前にも人類は罪を抱えていました。もちろん、律法がなければ誰も罪に問われません。

14 それでも死は、アダムからモーセに至るまで、王として支配しました。アダムの違反と同様の罪を犯さなかった人に対してもです。アダムには、来ることになっていた方との類似点がありました。

15 しかし、神の贈り物の場合は、アダムの過ちの場合とは異なっています。1人の人の過ちによって多くの人が死にしましたが、神の惜しみない親切と、1人の人イエス・キリストの惜しみない親切による神の無償の贈り物とは、多くの人にあふれるほど豊かに与えられたからです。16 また、無償の贈り物がもたらした結果は、1人の人が罪を犯した結果とは違います。1つが罪の過ちの後には下された判決は有罪でしたが、多くの過ちの後には与えられた贈り物は、正しいと認めることだったからです。17 1人の人の過ちにより、

第5章

(7) コー 5:19

(イ) 創 2:17
創 3:6
創 3:19
ロー 15:21

(例) 詩 51:5
ロマ 3:23

(ロ) ロマ 4:15

(例) コー 15:45

(例) ヘブ 2:9

(イ) イザ 53:11
マタ 20:28

(例) 創 2:17
創 3:6

(例) 創 3:17-19

(ロ) ロマ 4:25

第2欄

(7) ロマ 5:12,14

(イ) ロマ 3:24

(例) ペー 3:18
啓 1:5,6

(ロ) 啓 5:9,10
啓 20:4

(例) コー 15:21

(例) ロマ 1:16
テモ一 2:3,4

(イ) ヨハ 10:10

(例) ロマ 5:12

(例) イザ 53:11
ヘブ 2:10

(ロ) ロマ 3:20
ガラ 3:19

(例) コー 15:56

(例) ヨハ 3:16
ヨ一 4:9

第6章

(例) ペー 2:24

(例) ヘブ 10:26,27

(例) コー 12:13
ガラ 3:27

(例) マル 10:38,39
ロー 15:29

その人を通して死が王として支配したのですから、まして、惜しみない親切を豊かに示され、無償の豊かな贈り物として正しいと認められる人たちは、1人の人イエス・キリストを通して命を得、王として治めるのです。

18 こうして、1つの過ちによってあらゆる人が有罪宣告を受けたように、1つの正しい行いによってあらゆる人が正しいと認められ、命を得られるようになりました。19 1人の人の不従順によって多くの人が罪人になったように、1人の人の従順によって多くの人が正しい人になるのです。20 律法が登場したことにより、多くの過ちが明らかになりました。しかし、罪が増すと、惜しみない親切がいっそう豊かに示されました。21 何のためでしょう。罪が死と共に王として支配したように、惜しみない親切も正しさを通して王として治め、主イエス・キリストによって永遠の命に導くためです。

6 では、私たちは何と言えがいいでしょうか。惜しみない親切が増すようにするために、罪を犯し続けるべきですか。2 決してそうではありません！ 私たちは罪に関しては死んだのですから、どうして罪を犯す生き方を続けられるでしょうか。3 それとも、皆さんは次のことを知らないのですか。キリスト・イエスへのバプテスマを受けた私たちは皆、キリストの死へ

ストの死へのバプテスマを受けて、キリストと共に葬られたのです。キリストが父の栄光によって生き返られたように、私たちも新たな命を得て生きるためです。5 キリストと同様の死を迎えてキリストと結ばれたのであれば、必ずキリストと同様の復活を遂げてキリストと結ばれます。6 私たちが知っている通り、私たちの古い人格はキリストと共に杭にくぎ付けにされました。罪深い体が力を失い、私たちが罪の奴隷ではなくなるためです。7 死んだ人は自分の罪から放免されているのです。

8 さらに、キリストと共に死んだのであれば、キリストと共に生きようにもなることを私たちは信じています。

9 生き返られたキリストはもう死なない、ということを知っています。死はもはやキリストの主人ではありません。

10 キリストは罪に関して一度限り死にましたが、神に関しては生きているのです。11 同じように皆さんも、罪に関しては死んだものの、キリスト・イエスによって神に関しては生きている、と考えてください。

12 ですから、死んでいく体の中で罪が王として支配するのを許して、体の欲望に従う、ということがもうあってはなりません。13 また、体を不正の武

第6章

(7) コロ 2:12

(7) コロ 3:10
ヨ一 3:14(7) コニ 4:10
フリ 3:10

(7) コ一 15:42, 49

(7) ガラ 5:24

(7) コロ 2:11
コロ 3:5

(7) コニ 7:1

(7) 使徒 13:34

(7) 啓 1:17, 18

(7) ヘブ 9:28
ペ一 3:18

(7) ペ一 2:24

(7) 創 4:7

第2欄

(7) ロマ 12:1

(7) ロマ 7:6
ガラ 5:18
コロ 2:13, 14

(7) ヨハ 1:17

(7) ロマ 5:21

(7) ペ二 2:19

(7) ヨハ 8:34

(7) ロマ 6:23

(7) ヨハ 8:31, 32

(7) ペ一 2:24

(7) ロマ 12:1

器として罪に差し出し続けなくてもなりません。かえって、自分を生き返った者として神に差し出し、体を正義の武器として神に差し出してください。14 罪を主人としてはならないのです。皆さんは律法の下にではなく惜しみない親切の下にいるからです。

15 ではどうなりますか。私たちは律法の下にではなく惜しみない親切の下にいますので、罪を犯してもよいのでしょうか。決してそうではありません！ 16 皆さんは次のことを知らないのですか。自分を奴隷として誰かに差し出して従うなら、従う相手の奴隷になります。罪の奴隷となって死へと導かれるか、従順の奴隷となって正しいことへと導かれるか、どちらかなのです。17 神に感謝すべきことに、かつて罪の奴隷だった皆さんは、今では神から与えられた教えの型に心から従順になりました。18 皆さんは罪から自由になされたので、正しいことの奴隷になったのです。19 私は、皆さんの弱さを考えて、分かりやすく話そうとしています。かつて皆さんは自分のからだ*が汚れと不法の奴隷とし、不法へと導かれていました。しかし今は、体を正しきことと神聖さへと導かれるようにしてください。20 罪の奴隷だった時、皆さんは正しいことについては自由でした。

6:19 *または、「不完全さ」。△または、「人間的な言い方をして」。

6:4 *または、「新たな生き方をする」。6:7 *または、「罪から解放されて」、「罪を許されて」。6:10 *罪を取り除くために、ということ。6:13, 19 *直訳、「器官」。

21 では、当時生み出していたのはどんな実でしたか。皆さんが今では恥じている事柄です。それらの行き着く先は死です。22 しかし、今や皆さんは罪から自由になされて神の奴隷になったので、神聖な生き方という実を生み出しています。行き着く先は永遠の命です。23 罪の代償は死ですが、神が与える贈り物は、私たちの主であるキリスト・イエスによる永遠の命なのです。

7 兄弟たち、皆さんは次のことを知らないのでしょうか。(私は律法を知っている人たちに話しています。) 律法が人の主人であるのは、生きている間だけです。2 例えば、結婚している女性は、夫が生きている間は律法によって夫とつながれています。しかし、夫が死ぬと、女性は夫の律法から解放されます。3 ですから、夫が生きている間に別の男性のものとなるなら、その女性は姦淫をした女と呼ばれます。しかし、夫が死ぬと、女性は夫の律法から自由になるので、別の男性のものとなっても姦淫をしたことにはなりません。

4 私の兄弟たち、皆さんも、キリストの体により律法に対して死んだ者とされ、別の方のもの、生き返らされた方ものとなりました。こうして、私たちは神のために実を結ぶのです。5 私たちが罪深い欲望に従って生きていた

第6章

(ア) ロマ 8:6
ガラ 5:19-21

(イ) ガラ 5:22,23

(ウ) コー 9:25

(ロ) 創 2:17

(例) テモ 1:16

ヨ 2:1,2
ユダ 21

(例) マタ 25:46

ペ 1:3,4

第7章

(イ) コー 7:39

(例) マタ 5:32

マタ 19:9

マル 10:11,12

ルカ 16:18

(例) コー 7:8,9

テモ 5:14

(ロ) コ二 11:2

(例) 使徒 5:30

コ二 5:15

(イ) ガラ 5:22,23

コロ 1:10

第2欄

(例) ヤコ 1:14,15

(イ) ロマ 10:4

エフ 2:15

コロ 2:13,14

(例) ガラ 3:10

(ロ) ロマ 12:11

(例) ロマ 3:20

ガラ 3:19

(例) 出 20:17

申 5:21

(例) ロマ 4:15

ロマ 5:20

(例) コ二 3:6

(例) レビ 18:5

ルカ 10:26-28

(ロ) 申 4:8

詩 19:8

時には、律法によって明らかにされた罪深い欲望が体の中で働いて、死に至る実を生み出していました。6 しかし、今や私たちは、律法から解放されました。私たちを拘束していた律法に対して死んだのです。書かれた法典による、古い意味での奴隷ではなく、聖なる力による、新しい意味での奴隷となるためです。

7 では、私たちは何と云えばいいでしょうか。律法は罪なのですか。決してそうではありません! 律法がなかったなら、私は罪を知ることにはなかったでしょう。例えば、律法が「貪欲になつてはならない」と言っていなかったなら、私は貪欲というものを知らなかったでしょう。8 しかし、罪はおきてによって機会を得て、私の内にあらゆる種類の貪欲を生み出しました。律法がない時、罪は死んでいたので、律法がない時、私は生きていました。しかし、おきてが登場すると、罪は生きるようになり、私は死にましました。10 そして、命に導くはずのおきてが死に導くものであることが分かりました。11 罪はおきてによって機会を得て、私を誘惑し、おきてを通して私を殺したのです。12 こういう理由で、律法自体は聖なるものであり、おきては聖なるもので正しく、良いものです。

13 そうすると、良いものが私に死

7:5 *直訳、「器官」。

6:23 *または、「罪が支払う報酬」。

をもたらしただけですか。決してそうでは
ありません！ 罪がもたらしたのです。
罪は良いものを通して私の内に死を
生み出し、罪がまさに罪であることが
示されました。こうして、罪はおきてを
通していつそう罪深いものとなりました。
14 私たちが知っている通り、律
法は神からのものです。一方、私は、
売られて罪の支配下にいる人間です。
15 私は自分の行っていることが分か
りません。願っていることをいつも行
うわけではなく、憎んでいることを行い
ます。16 しかし、願っていないこと
を行うゆえに、私は律法が良いものだ
と認めていることになります。17 と
はいえ、それを行っているのはもはや
私ではなく、私の内にある罪です。
18 私は自分の体の中に、善いものが
何もないことを知っています。善いこ
とをしたいと望んではいても、実行でき
ないからです。19 自分が願ってい
る善い事柄は行わず、願っていない悪
い事柄をいつも行います。20 それ
で、願っていないことを行うゆえに、そ
れを実行しているのはもはや私では
なく、私の内にある罪なのです。

21 私には次の法則が当てはまり
ます。正しいことをしたいと願うのに、
自分の中に悪がある、ということです。
22 私は、内面では神の律法を本当
に喜んでいます。23 しかし、体の中

7:22 *または、「内面の人としては」。7:23
*直訳、「器官」。

第7章
(例) コー 15:56

(例) ロマ 5:13

(例) 詩 51:5

ヨハ 8:34

ロマ 6:16

(例) 創 8:21

(例) マタ 26:41

(例) エレ 17:9

(例) コニ 4:16

エフ 3:16

エフ 4:23,24

第2欄

(例) ガラ 5:17

ヤコ 4:1

(例) ヨハ 8:34

(例) ロマ 6:13

ガラ 5:17

第8章

(例) ヨハ 8:31,32

ヤコ 1:25

(例) ヘブ 7:18

(例) ロマ 3:20

ヘブ 7:11

(例) ヨー 4:9

(例) ヨハ 1:14

(例) ガラ 5:16,18

(例) ロマ 3:31

(例) ガラ 5:19-21

(例) ガラ 5:22,23

(例) ロマ 6:21

で別の律法が、考えを導く律法と戦
い、私を捕らえて体の中にある罪の
律法に従わせているのが分かります。

24 私は実に惨めな人間です！ こう
して死につつある体から、誰が私を
救ってくれるでしょうか。25 私たち
の主イエス・キリストを通して救って
くださる神に感謝します！ このように、
私自身、考えにおいては神の律法の
奴隷ですが、体においては罪の律法の
奴隷なのです。

8 こういう訳で、キリスト・イエスと
結ばれている人たちは有罪とさ
れていません。2 キリスト・イエスと
結び付いた命を与える、聖なる力の律
法が、あなたを罪と死の律法から自由
にしたからです。3 人間のせいで弱
かった律法が行えなかったことを、神
は行ってくださいました。罪を取り除
くためにご自分の子を罪深い人間と
どうするが、例にんげん、うち、つみ
同様の姿で遣わし、人間の内にある罪
を有罪としたのです。4 それは、私
たちが罪深い欲望に従って歩むので
はなく、聖なる力に導かれて歩むこと
により、律法の正しい要求が満たされ
るためでした。5 罪深い欲望に従っ
て生きる人は、罪深い事柄を考え続け
ますが、聖なる力に導かれて生きる人
は、聖なる力に関する事柄を考え続け
ます。6 罪深い事柄を考え続けるな
ら死に至りますが、聖なる力に関する
事柄を考え続けるなら命と平和を得ま

8:5、6 *または、「と調和した」。

す。7 というのは、罪深い事柄を考
え続けるなら、神の律法に従っている
ことにならず、そもそも従えないため、
神の敵となるからです。8 それで、罪
深い欲望に従っている人は神に喜ば
れません。

9 神の聖なる力が皆さんの内に本
当に宿っているなら、皆さんは罪深い
欲望に従っているのではなく、聖なる
力に導かれています。しかし、キリスト
の精神を持っていない人は、キリスト
のものではありません。10 もしキリ
ストが皆さんと結び付いているなら、
体は罪のゆえに死んでいます、正し
さのゆえに聖なる力が命を与えます。

11 イエスを生き返らせた方の聖なる
力が皆さんの内に宿っているのなら、
キリスト・イエスを生き返らせた方は、
皆さんの内にある聖なる力によって、
皆さんの死んでいく体をも生かしてく
ださるのです。

12 ですから、兄弟たち、私たちには
義務があります。それは、罪深い欲望
に従って生きるという義務ではありません。
13 罪深い欲望に従って生き
るなら、皆さんは必ず死にますが、聖な
る力によって罪深い習慣を断つなら、
生きます。14 神の聖なる力に導か
れる人は皆、神の子なのです。15 皆
さんは、聖なる力により奴隷とされて
再び恐れを抱いたのではなく、聖なる
力により養子とされたのであり、その

第8章

(ア) ガラ 6:7,8

(イ) イザ 59:2
コロ 1:21

(ウ) ガラ 5:25

(ロ) ヨハ 15:4

(ヨ) 使徒 2:24

(ウ) エフ 2:1,5

(キ) ガラ 5:19-21

(ウ) コー 9:27

ガラ 5:24

エフ 4:22

コロ 3:5

(ウ) ガラ 6:7,8

(ロ) ヨハ 1:12

ヨハ 3:5

第2欄

(ア) ガラ 4:4-6

(イ) ヨハ 1:12

ガラ 3:26

ヨハ 3:2

(ウ) コー 2:10,12

コニ 1:22

(ロ) ルカ 12:32

ガラ 3:29

(ウ) コー 15:53

啓 3:21

(ウ) フィリ 1:29

コロ 1:24

(キ) コニ 4:17

ペー 4:13

(ウ) ヨー 3:2

(ウ) 創 3:17-19

(ロ) ヨハ 8:31,32

コニ 15:22

(イ) ガラ 4:4,5

エフ 1:5

啓 21:7

ちからによって私たちは「アバ、父よ!」と
叫びます。16 私たちが神の子供で
あることを、聖なる力が私たちの精神
と共に証明します。17 子供なので
すから、相続人でもあります。実に神
の相続人であり、キリストとの共同相
続人です。ただし、共に栄光を受ける
ため、共に苦しむならばのことです。

18 今のいろいろな苦しみは、いず
れ私たちを通して明らかにされる栄光
に比べれば、ささいなものだと思ひ
ます。19 創造物は大きな期待を抱
いて、神の子たちが明らかにされる
のを待っています。20 創造物はむ
なしい状態に置かれていましたが、自分
の意志でそうなったのではなく、神に
よってそのようにされ、同時に希望を
与えられたからです。21 創造物も
腐敗への奴隷状態から自由にされ、
神の子供の輝かしい自由を得るとい
う希望です。22 私たちが知ってい
る通り、創造物全てはこれまでずっと
共にうめき、共に苦痛を感じていま

す。23 それだけではありません。こ
れから来るものしるしである聖なる
力を持つ私たちも、心の中でうめきつ
つ、願いによって自分の体から解放さ
れて養子になることを一心に待ってい
ます。24 私たちはこの希望を抱い
て救われました。待ち望んでいるもの
が見えたなら、待ち望む必要はありま

8:15 *「父よ」という意味のヘブライ語もしくは
アラム語。8:16 *または、「証言」。8:17 *用
語集参照。8:23 *直訳、「初物」。

みちび わたし とお しめ * とお
導かれつつ私と共に示している通り、
わたし こころ おお かな た ま
2 私の心には大きな悲しみと絶え間
ない苦痛があるのです。**3** 私は、自
ぶん きょうだい わたし どうぞく
分の兄弟たち、つまり同族のためな
ら、自分が代わりにキリストから引き
はな わざわ こうむ
離されて災いを被ってもいいとさえ
おも じん
思っています。**4** イスラエル人であ
る彼らには、養子という立場、栄光、契
やく(り)りつぽう(り)しんせい ほう し(り) やくぞく(り)
約、律法、神聖な奉仕、約束がありま
す。**5** また、彼らには父祖たちがい
て、その家系からキリストが人間として
う (り) すべ おさ
生まれました。全てのものを治めてい
る神が永遠に賛美されますように。
アーメン。

6 しかし、神の言葉がその通りにな
らなかったというわけではありません。
イスラエルの子孫が皆、真の「イスラ
エル」なのではないからです。**7** ア
ブラハムの子孫だからといって、皆が
こども (り)
子供なのでもありません。「あなたの
し せん* よ もの で (り)
子孫と呼ばれる者はイサクから出る」
とあります。**8** つまり、血縁の子供が
かみ こども (り) やくぞく こ
神の子供なのではなく、約束による子
ども(り) し せん* み やく
供が子孫と見なされるのです。**9** 約
束の言葉は次の通りでした。「この時
期に私は来ます。サラには男の子が
う (り) ととき
生まれます」。**10** その時だけでなく、
わたし わたし ふ そ
リベカが私たちの父祖イサクによって
ふたご みごもった時に、約束が与え
られました。**11** 誰が神に選ばれる
かは、人の行いにではなく、招く方に

9:1 *または、「証言して」。9:7,8 *直訳、「種」。

第9章

(り) 出 4:22

(り) 使徒 3:25
使徒 7:8

(り) 出 24:12

(り) 使徒 26:7
ヘブ 9:1

(り) ロマ 4:13

(り) 申 10:15

(り) マタ 1:17

(り) ロマ 2:28
啓 2:9(り) ヨハ 8:39
ガラ 3:29(り) 創 21:12
ヘブ 11:18

(り) ヨハ 1:12,13

(り) ガラ 4:28

(り) 創 18:10,14

(り) 創 25:21,24

第2欄

(り) 創 25:23

(り) マラ 1:2,3
ヘブ 12:16(り) 申 32:4
ヨブ 34:10

(り) 出 33:19

(り) テト 3:4,5

(り) 出 9:16

(り) 出 10:1
出 14:4

(り) ヨブ 40:2

(り) イザ 29:16
イザ 45:9

か 懸かっている、ということが示されるよ
う、双子がまだ生まれておらず善も悪
も行っていなかった時に、**12** 「兄が
弟の奴隷に」とリベカに告げら
れたのです。**13** 「私はヤコブを愛
し、エサウを憎んだ」と書かれている
とお 通りです。

14 では、私たちは何とさえい
でしょうか。神に不正なところがある
のですか。決してそのようなことはあ
りません！**15** 神はモーセに、「私
は、憐れみを示したい者に憐れみを
示し、思いやりを示したい者に思いや
りを示す」と言っています。**16** です
から、誰が神に選ばれるかは、人の願
いや努力にではなく、憐れみのある神
に懸かっているのです。**17** 聖句に
は、ファラオに対するこういう言葉があ
ります。「私は次の理由であなをを
かしておいた。あなたのことで私の力
を、わたし ちから
しめ わたし な ちじょうぜんたい ひろ
を、私の名が地上全体に広まるよ
うにするためである」。**18** ですから、
かみ のぞ とお ひと あわ
神は望む通りに、ある人を憐れみ、あ
る人が強情になるままにするのです。

19 そこであなたは私に言うでしょ
う。「それなのになぜ神はとがめるの
か。誰が神の意志に逆らえるだろう
か」と。**20** 神に反論するとは、あな
たは何者なのですか。つくられた物が
つく ひと む わたし
作った人に向かって、「なぜ私をこの
ように作ったのか」と言うのでしょうか。
どうげい か おな ねん ど かたまり
21 陶芸家は、同じ粘土の塊から、1つ
うつわ りつぱ ようと べつ うつわ
の器を立派な用途のために、別の器

をつまらない用途のために作る権限
 を持っていないでしょうか。22 では、
 どうですか。神は、憤りを表して力を知
 らせることを望みながら、滅ばされて
 も当然な憤りの器を辛抱強く容赦して
 いました。23 それは、憐れみの器
 に対してご自分の豊かな栄光を示す
 ためでした。その憐れみの器は、神が
 栄光を与えるために前もって用意した
 もの、24 つまり私たちであり、ユダ
 ヤ人だけでなく異国の人々の中から
 も招かれています。こうしたことを考
 える、どうでしょうか。25 ホセア書
 の中でも神はこう述べています。「私
 は、私の民ではなかった人々を『私の
 民』と呼び、愛されていなかった女
 性を『愛する者』と呼ぶ。26 そして
 彼らは、『あなたたちは私の民ではな
 い』と言われた場所で、『生きている
 神の子たち』と呼ばれる」。

27 さらに、イザヤはイスラエルに
 ついてこう叫んでいます。「イスラエル
 の子孫の数は海の砂のように多いが、
 残りの者だけが救われる。28 エホ
 バは地上の人々に責任を問い、速や
 かにそれを終わらせる。29 イザヤ
 はこうも予告していました。「大軍を率
 いるエホバが私たちに子孫を残してく
 ださなかったなら、私たちはまさに
 ソドムのようになり、ゴモラと同じよう
 になっていただろう」。

9:21 *または、「卑しい」。9:28, 29 *付録A5
 参照。

第9章

(イ) イザ 64:8
 エレ 18:6

(イ) デサー 5:9

(イ) ロマ 11:13
 エフ 3:6

(エ) エフ 2:12

(イ) ホセ 2:23
 マタ 21:43
 ペー 2:10

(イ) ホセ 1:10
 ガラ 3:26

(イ) ホセ 1:10
 ロマ 11:4,5

(イ) イザ 10:22,23

(イ) イザ 1:9

第2欄

(イ) ロマ 4:11
 ロマ 10:20
 フイリ 3:9

(イ) イザ 8:14
 ルカ 20:17,18
 コー 1:23

(イ) 詩 118:22
 マタ 21:42

(イ) イザ 28:16
 ロマ 10:11
 ペー 2:6

第10章

(イ) ロマ 9:3,4

(イ) 使徒 21:20
 ガラ 1:14

(イ) ロマ 1:16,17

(イ) ルカ 16:15
 フイリ 3:9

(イ) ルカ 7:29,30

(イ) マタ 5:17
 ロマ 7:6
 エフ 2:15
 コロ 2:13,14

(イ) ガラ 3:24

(イ) レビ 18:5
 ガラ 3:12

30 では、私たちは何と言えがいい
 でしょうか。異国のの人々は、正しいこと
 を行おうとしていなかったにもかかわらず、
 信仰のゆえに正しにかなうよ
 うになりました。31 一方イスラエル
 は、正しさに導く律法を实践しようとし
 ていたにもかかわらず、その律法にかな
 うことはできませんでした。32 な
 ぜでしょうか。ただ行いによって正し
 いと見なされようとし、信仰を抱かなか
 ったからです。「つまずきの石」につ
 まずいたのです。33 「私はシオンに、
 つまずきの石と過ちの岩を据える。だ
 が、それに信仰を持つ人は失望しな
 い」と書かれている通りです。

10 兄弟たち、私はイスラエル人
 が救われることを心から願っ
 て、神に祈願を捧げています。2 彼
 らが神に仕えたいという熱意を持っ
 ていることを、私は証言できます。しか
 し、その熱意は正確な知識によるもの
 ではありません。3 彼らは神から見
 て何が正しいかを知らず、何が正しい
 かを自分たちで決めようとしたために、
 神から見て正しいことに従わなかつ
 たからです。4 キリストは律法の終
 着点であり、信仰を抱く人は皆、正し
 いと見なされるのです。

5 モーセは、律法による正しさに
 ついて、「それを守る人は生きることがで
 きる」と書いています。6 しかし、信

9:30 *または、「正しいと見なされる」。9:31
 *または、「完全に守る」。9:32 *または、「信
 仰を持たなかった」。

仰^{こう}のゆえ^{ただ}の正しさについては、こう述^のべられていす。「あなた^{ごころ}は心^{なか}の中^みで、『誰^{だれ}が天^{てん}に昇^{のぼ}るか』、つまり、キリストを^つ連れてくるために昇^{のぼ}るか、と言^いってはならない。7 また、『誰^{だれ}が底^{そこ}知^しれぬ深^{ふか}みに下^{くだ}るか』、つまり、キリストを死^しから引き上げるために下^{くだ}るか、と言^いってはならない。8 さらに、何と述^{なん}べられていすか。「その言葉^{ことば}はあなた^{ちか}の近く^{くち}、あなた^{わたし}の口^{くち}と心^{こころ}にある」。これは、私^{わたし}たちが伝^{つた}えている、信仰^{しんこう}の「言葉^げ」、私^{わたし}のことです。9 あなたは、イエスは主^{しゅ}である^{くち}と口^{くち}で人々^{ひと}に伝^{つた}え、神^{かみ}はイエスを生^いき返^{かえ}らせたと心^{こころ}の中^{なか}で信仰^{しんこう}を抱^{いだ}くなら、救^{すく}われるのです。10 人は、心^{こころ}で信仰^{しんこう}を抱^{いだ}くことによ^たって正^{ただ}しいと見^みなされ、口^{くち}で人々^{ひと}に伝^{つた}えることによ^つて救^{すく}われます。

11 聖句^{せいこ}には、「彼^{かれ}に信仰^{しんこう}を持つ人^{ひと}は失望^{しつぱう}しない」とあります。12 ユダヤ人^{じん}とギリシャ人^{じん}とに違^{ちが}いはありません。全^{すべ}ての人^{ひと}を治^{おさ}める主^{しゅ}がいて、そ^{かた}の方^{かた}はご自分^{じぶん}に呼^よび掛^かける全^{すべ}ての人^{ひと}に恵^{めぐ}みを豊^{ゆた}かに与^{あた}えます。13 「エホバ^なの名^なを呼^よぶ人^{ひと}は皆^{みな}救^{すく}われる」のです。14 しかし、信仰^{しんこう}を持^もっていないか^よらば、どうして呼^よび掛^かけられるでしょう^きか。また、聞^きいたことがなければ、どうして信仰^{しんこう}を持^もてるでしょう^きか。また、伝^{でん}道^{どう}する人^{ひと}がいなければ、どうして聞^きけるでしょう^きか。15 また、遣^{つか}わされた

10:10 *または、「表明する」。 10:13, 16 *付録A5参照。

第10章

(7) 申 9:4

(1) 申 30:12

(2) 申 30:13

(3) 申 30:14

(4) 使徒 16:31

(5) コー 9:16

コ二 4:13

ヘブ 13:15

(6) イザ 28:16

ロマ 9:33

(7) 使徒 15:7-9

ガラ 3:28

(8) ヨエ 2:32

使徒 2:21

第2欄

(9) マタ 28:19,20

(10) イザ 52:7

エフ 6:14,15

(11) イザ 53:1

ヨハ 12:37,38

(12) ヨハ 4:42

(13) 詩 19:4

使徒 1:8

(14) マタ 10:5,6

使徒 2:14

(15) 申 32:21

(16) ロマ 9:30

(17) イザ 65:1

(18) イザ 65:2

第11章

(19) サー 12:22

エレ 31:37

のでなければ、どうして伝^{でん}道^{どう}できるでしょう^きか。書^かかれてい^よる通^とり、良^よい事^{こと}柄^{がら}についての良^よい知^しらせを広^{ひろ}める者^{もの}たち^{あし}の足^{なん}は何^{うつつ}と美^{うつく}しいのでしょ^いう!

16 とはいえ、皆^{みな}が良^よい知^しらせに^{したが}従^{したが}ったのではありませ^しん。イザヤは、^{わたし}「エホバ、私^{わたし}たちから聞^きいた事^{こと}に誰^{だれ}が^{しんこう}信仰^{しんこう}を持^もったでし^いょうか」と述^のべてい^{しんこう}ます。17 ですから、信仰^{しんこう}は聞^きいた事^{こと}柄^{がら}から生^{しょう}じます。キリストにつ^{しんこう}いての言^{こと}葉^はを聞^きいて信^{しん}仰^{こう}を持^もつのです。

18 しかし私^{わたし}は尋^{たず}ねます。彼^{かれ}らは聞^きかなかった^しのでしょ^いうか。そ^{おと}うではありませ^せん。「音^{おと}が世^せ界^{かい}中^{ちゅう}に響^きき渡^{わた}り、知^しら^せが世^せ界^{かい}の果^はてにま^{つた}で伝^{でん}わ^わった」ので^{わたし}す。19 私^{わたし}は尋^{たず}ねます。イスラエルは^わ分^わからな^なか^なったのでしょ^いうか。そ^のうで^のはありませ^いん。ま^{わたし}ずモ^{こくみん}ーセはこ^{わたし}う述^しべてい^{こくみん}ます。「私^{わたし}は、国^し民^とで^おはないものによ^{こくみん}ってあ^しなた^おたちを嫉^げ妬^きさせ、愚^{おろ}かな^お国^お民^おによ^{こくみん}ってあ^おなた^おたちを激^げ怒^きさせ^きる」。20 さらに、イザヤは^{だい}大^{だい}胆^{たん}にな^いり、こ^のう述^{わたし}べてい^{さが}ます。「私^{わたし}を探^{さが}してい^{わたし}な^{わたし}か^{わたし}った者^{もの}たち^{わたし}が私^{わたし}を見^みつけ、私^{わたし}を^{わたし}知^しろうとし^{わたし}てい^{わたし}な^{わたし}か^{わたし}った者^{もの}たち^{わたし}が私^{わたし}を知^しった」。21 しかし、イスラエルにつ^のいてはこ^{わたし}う述^{わたし}べてい^{わたし}ます。「私^{わたし}は^{ふじゅうじん}不^ふ従^{じゅう}順^{じゅん}で^{ごうじょう}強^{たみ}情^むな民^いに向^いか^いつて一^{いち}日^{にち}中^{じゅう}両^{りょう}手^てを^{ひろ}広^くげた」。

11 では、私^{わたし}は尋^{たず}ねます。神^{かみ}はご^{じぶん}自^じ分^{ぶん}の民^{たみ}を退^{しりぞ}けたのでしょ^いうか。も^いちろ^いん違^{ちが}います! 私^{わたし}もイスラエル^{じん}人^{にん}で^しあり、ア^しブ^しラ^しハ^しムの子^こ孫^{そん}、ペニ

ヤミン^{そく}族^{もの}の者^{かみ}です。2 神^{さいしよ}は最初^{かみ}に
認^{みと}めた民^{たみ}を退^{しりぞ}けたりはしませんでし
た。皆^{みな}さんは、エリヤ^{かん}に関して聖^{せい}句^くに
述^のべられてい^{こと}る事^しを知ら^しないの^でしよ
うか。エリヤはイスラエル^{かみ}について神^{かみ}
にこ^うう訴^うえています。3 「エホバ、彼^{*}
らはあな^うたの預^よ言^{げん}者^{しや}たちを殺^{ころ}し、あな
たの祭^{さい}壇^{だん}を壊^{こわ}し、私^{わたし}だけが残^{のこ}りまし
た。今^{いま}、彼^{かれ}らは私^{わたし}の命^{いのち}を狙^{ねら}ってい
ま^す。4 しかし、神^{かみ}は何^{なん}と答^{こた}えてい
る^でしよ。5 「私^{わたし}の民^{たみ}で、バアル^{ひと}にひざ
ま^ずか^なか^つた人^{ひと}たち^が、ま^だ7000
人^{にん}い^る」。6 同^{おな}じ^{やう}に今^{いま}も、惜^おし^み
み^ない親^{しん}切^{せつ}によ^{つて}選^{えら}ば^れた残^{のこ}り^{もの}の者^{もの}
が^いま^す。7 惜^おし^みみ^ない親^{しん}切^{せつ}によ^{つて}選^{えら}
ば^れる^ので^すか^ら、も^はや行^{おこな}い^の
ゆ^えに選^{えら}ば^れる^ので^はあ^りま^せん。行^{おこな}
い^のゆ^えに選^{えら}ば^れる^のと^したら、惜^おし^み
み^ない親^{しん}切^{せつ}は惜^おし^みみ^ない親^{しん}切^{せつ}で^はな^く
な^{つて}しま^いま^す。

7 では、どう^おで^すか。イスラエル^おは追^お
い^もと^も求^{もと}め^てい^るもの^を得^えず、選^{えら}ば^れた人^{ひと}
たち^がそれ^を得^えま^した。そ^のほ^かの^人
たち^は無^む感^{かん}覚^{かく}にな^りま^した。8 「神^{かみ}
は今日^{けふ}ま^で、彼^{かれ}ら^の心^{こころ}を深^{ふか}く眠^{ねむ}らせ、目^め
を^みえ^なく^し、耳^{みみ}を聞^{きこ}え^なく^した」と
書^かか^れてい^る通^{とお}り^です。9 また、ダビ
デ^いはこ^う言^いっ^てい^ます。「彼^{かれ}ら^の食^{しょく}卓^{たく}
が^{かれ}彼^{かれ}ら^にと^{つて}、わ^な、仕^し掛^かけ、つま^ずぎ
の石^{いし}、懲^{ちやう}罰^{ばつ}とな^りま^すよ^うに。10 彼^{かれ}
ら^の目^めが暗^{くら}くな^{つて}見^みえ^なく^なり^ます

11:3 *付録A5参照。11:9 *または、「報復」。

第11章

(イ) 出 19:5
詩 94:14

(イ) 王一 19:2,14

(イ) 王一 19:18

(ロ) ロマ 9:27

(ロ) エフ 1:7
エフ 2:8

(イ) ガラ 2:15,16

(イ) ヨハ 1:11,12

(イ) コ二 3:14,15

(イ) イザ 29:10

(ロ) 申 29:4

第2欄

(イ) 詩 69:22,23

(イ) 申 32:21
ロマ 10:19

(イ) ロマ 9:23,24

(ロ) 使徒 9:15
ガラ 1:15,16
エフ 3:8

(イ) 使徒 28:30,
31

コロ 1:23
テモ二 4:5

(イ) マタ 21:43

よ^うに。彼^{かれ}ら^を常^{つね}にか^がま^せて^くだ^さ
い^い。

11 それで私^{わたし}は尋^{たず}ね^ます。イスラ
エル^{じん}人^{じん}はつま^ずい^て完^{かん}全^{ぜん}に倒^{たお}れてしま^つ
た^ので^すか。決^{けつ}てそ^うで^はあ^りま^せん
ん! とはい^え、彼^{かれ}ら^は道^{みち}を踏^ふみ外^{はず}し、
異^い国^{こく}の人^{ひと}々^とが救^{すく}わ^れるこ^とにな^りまし
た。それによ^{つて}イスラエル^{じん}人^{じん}が奮^{ふん}起^き
するた^めで^す。12 彼^{かれ}ら^が道^{みち}を踏^ふみ
外^{はず}すこ^とが世^よの人^{ひと}々^とのた^めにな^り、彼^{かれ}
ら^が弱^{よわ}くな^るこ^とが異^い国^{こく}の人^{ひと}々^とのた^め
にな^るのであ^らば、ま^して、彼^{かれ}ら^の数^{かず}が
そ^ろう^のは素^す晴^はら^いいこ^とで^す。

13 さて、異^い国^{こく}の方^{かた}々^たに言^いいま^す。
私^{わたし}は異^い国^{こく}の人^{ひと}々^とへ^の使^し徒^とと^{して}、自^じ分^{ぶん}
の奉^{ほう}仕^しを大^{たい}切^{せつ}にしま^す。14 そ^うす
るこ^とによ^{つて}、何^{なん}と^か私^{わたし}の同^{どう}族^{ぞく}の人^{ひと}々^と
を奮^{ふん}起^きさ^せ、そ^の一^{いち}部^ぶで^も救^{すく}いた
い^おも^い思^{おも}っ^てい^ます。15 とい^うの^は、彼^{かれ}
ら^が捨^すて去^され^るこ^とが世^よの人^{ひと}々^と
と^{つて}和^わ解^{かい}を意^い味^みする^ので^あら^ば、彼^{かれ}
ら^が迎^{むか}え入^いれ^られるこ^とは、生^いき返^{かえ}
るこ^と以^い外^{がい}の何^{なん}を意^い味^みする^ので^しよ^うか。
16 パン^き生^じ地^じか^ら最^{さい}初^{しよ}に取^きら^れた部^ぶ
分^{ぶん}が聖^{せい}なる^{もの}で^あら^ば、生^き地^じ全^{ぜん}体^{たい}も
聖^{せい}なる^{もの}で^す。ま^た、根^ねが聖^{せい}なる^も
の^であ^らば、枝^{えだ}もそ^うで^す。

17 しかし、一^{いち}部^ぶの枝^{えだ}が折^おり取^とられ、
そ^こに^あな^たが野^や生^{せい}のオリーブ^{やせい}で^あり
な^がら^も接^つぎ木^きさ^れ、残^{のこ}り^の枝^{えだ}と共^{とも}に

11:11 *または、「過ちを犯して」。11:11, 14
*または、「嫉妬」。11:12 *または、「に^にと^とつて
富^ふ」。*または、「滅^{めつ}る」。11:13 *または、「重^{じゆう}
ん^んじ^じま^す」。11:16 *または、「初^{しよ}物^{ぶつ}と^{して}」。

オリーブの根から豊かに養われること
 になったからといって、**18** 折り取ら
 れた枝に対して勝ち誇ってはなりません。
 もし勝ち誇っているなら、あなたが
 根を支えているのではなく、根があな
 たを支えているということを思い起こ
 してください。**19** そこであなたは、
 「私が接ぎ木されるために枝は折り取
 られたのだ」と言うでしょう。**20** そ
 の通りです。彼らは信仰が欠けてい
 たために折り取られました。あなたが
 は信仰によって立っています。傲慢に
 なることなく、畏れを抱いてください。
21 神は元々あった枝を大目に見な
 かったのですから、あなたを大目に見
 ることもありません。**22** それで、神
 の親切と厳しさにについて考えてくださ
 い。倒れた人たちにに対しては厳しさが
 ありますが、あなたに対しては神の親
 切があります。ただし、あなたが神か
 ら親切を受けるに値する人であり続け
 るならばのことです。そうでないと、あ
 なたも切り落とされることになります。
23 また彼らも、信仰を持つようにな
 るなら、接ぎ木されることになります。
 神は彼らを接ぎ木して戻すことができ
 るからです。**24** あなたが野生のオ
 リーブの木から切り取られ、自然に反
 して果樹園のオリーブの木に接ぎ木さ
 れたのであれば、まして、元々あった
 枝である人たちは、接ぎ木されて元の
 オリーブの木に戻れるのではないで
 しょうか。

第11章

(ア) コー 10:12

(イ) 使徒 15:14

(ロ) マタ 21:43

(四) エフ 2:8

(ロ) ロマ 2:4

(ロ) マタ 23:38

(イ) 使徒 2:38

第2欄

(ア) エフ 3:5,6

(イ) ロマ 2:29

ロマ 9:6

ガラ 3:29

(イ) 詩 14:7

(四) イザ 27:9

(ロ) イザ 59:20,21

(ロ) 申 10:15

(イ) エフ 2:1,2

(イ) 使徒 7:51

(イ) 使徒 15:7-9

(ロ) ロマ 3:9

(イ) テモ一 2:3,4

25 兄弟たち、皆さんが自分は賢い
 と思い込まないように、次の神聖な秘
 密について知ってほしいと思います。
 それは、異国の人々が入ってきて数が
 そろうまで、イスラエルの一部が無感
 覚になり、**26** そのようにしてイスラ
 エル全体が救われる、ということです。
 こう書かれている通りです。「救 出者
 がシオンから出て、神への敬虔が欠け
 た行いをヤコブから遠ざける。**27** そ
 して私は彼らの罪を取り去る時、この
 契約を彼らと結ぶ。**28** 彼らは良い
 知らせを退けて敵となり、それは皆さ
 んのためになっています。とはいえ、
 神に選ばれた人たちは父祖たちのゆ
 えに愛されています。**29** 神は、贈り
 物と招きについて嘆くことはありません。
30 皆さんはかつて神に不従順
 でしたが、今は彼らの不従順のゆえに
 憐れみを示されています。同じように、
31 彼らは今不従順になっており、そ
 れゆえに皆さんに憐れみが示されて
 いますが、彼ら自身も今憐れみを示さ
 れます。**32** 神は皆が共に不従順に
 なるままにしましたが、それは皆に憐
 れみを示すためだったのです。

33 ああ、神の祝福は何と豊かで、
 神の知恵と知識は何と深いのでしょ
 う。神の裁きを知り抜くことも、神の道
 を知り尽くすことも決してできません。

34 「誰がエホバの考えを知るように

11:29 *または、「悔やむ」。**11:34** *付録A5
 参照。

なり、誰^{だれ}が^{かた} 誰^{だれ}の方^{じょうふん}の助言者^{しよけんしや}となつたで
しょうか」。35 また、「誰^{だれ}が^{かみ}まず神^{かみ}に
与^{あた}へて、神^{かみ}が報^{むく}いなければならぬよ
うにしたでしようか」。36 全てのもの
は神^{かみ}から生^{しょう}じ、神^{かみ}によつて存^{そん}在^{ざい}してお
り、神^{かみ}のためにあるのです。神^{かみ}が永^{えい}遠^{えん}
にたたえられますように。アーメン。

12 そういふ訳^{わけ}で、兄^{きょう}弟^{だい}たち、神^{かみ}
の思^{おも}ひやりに基^{もと}づいて皆^{みな}さ
んに強^{つよ}く勤^{すず}めます。自分^{じぶん}の体^{からだ}を、生^{いき}
き^ぎた犠^ぎ牲^{せい}、神^{かみ}にうけいれられる聖^{せい}なる機^け
性^{せい}として差^さだし出^だしてください。理^り性^{せい}
を働^{はたら}かせて神^{かみ}聖^{せい}な奉^{ほう}仕^しをするのです。

2 そして、今^{いま}の体制^{たいせい}によつて形^{かたち}作^{つく}られ
るのをやめてください。かえつて、考^{かんが}え
かた^{かた} あたら^{あたら}しくすることによつて自分^{じぶん}を
変^{へん}化^かさせましよう。それは、神^{かみ}の善^よい意^い
志^し、喜^{よろこ}ばしい完全^{かんぜん}な意^い志^しを見^み極^{きよく}める
ためです。

3 私は、示^{しめ}していただいた惜^おしみな
い親^{しん}切^{せつ}に基^{もと}づき、皆^{みな}さんに言^いいます。
自分^{じぶん}のこ^{こと}を必要^{ひつよういじよう}以上^{いじやう}に考^{かんが}えてはなり
ません。各^{おの}自^{おの}が神^{かみ}から与^{あた}えられた信^{しん}
仰^{かう}に応^{おう}じて、健^{けん}全^{ぜん}な考^{かんが}え方^{かた}をしましよ
う。4 1つの体^{からだ}には多^{おほ}くの器^き官^{くわん}があ
りますが、全^{おほ}ての器^き官^{くわん}が同^{おな}じ機^き能^{のう}を持^も
つわけではありません。同^{おな}じように、
5 私^{わたし}たちも人^{にん}数^{ずう}は多^{おほ}いもの、キリ
スとと結^{むす}ばれた1つの体^{からだ}であり、一^{ひとり}
人は器^き官^{くわん}として互^{たが}いに必要^{ひつよう}としてい
ます。6 それで私^{わたし}たちは、示^{しめ}して
いただいた惜^おしみない親^{しん}切^{せつ}によつて、それ

12:2 *または、「時代」。用語集参照。

第11章

(7) イザ 40:13

ダニ 4:35

(1) ヨブ 41:11

第12章

(7) コリ 7:1

ペー 1:15

(10) ロマ 6:13

(7) テモ 2:17

(7) エフ 4:23,24

(10) テモ 4:15

(7) 格 16:18

ガ 6:3

ペー 5:5

(7) エフ 2:8

(10) コー 12:12

(10) コー 12:25

第2欄

(7) エフ 3:7

(1) テモ 5:17

ペー 4:10,11

(7) テモ 2:4

(10) 申 15:11

コニ 8:2

(7) テサー 5:12

ペー 5:2

(7) エフ 4:32

(10) テモ 1:5

ヤコ 3:17

ペー 1:22

(7) 詩 97:10

格 8:13

(7) フィリ 2:3

(10) 格 13:4

(10) 使徒 18:24,25

(10) ロマ 6:22

(10) 使徒 14:22

(10) フィリ 4:6

テサー 5:17

(7) 格 3:27

コー 3:17

(7) ペー 4:9

ヨニ 8

(7) マタ 5:44

ルカ 6:27,28

(7) ヤコ 3:9,10

(7) ルカ 14:10

ルカ 22:24-26

ヨハ 13:14

フィリ 2:3

(10) ヨブ 37:24

格 3:7

それ違^{ちが}う能力^{のうりよく}を持^もっているのですか
ら、それが預^よ言^{げん}であれば、自分^{じぶん}の信^{しん}仰^{かう}
に応^{おう}じて預^よ言^{げん}しましよ。7 それが
奉^{ほう}仕^しであれば、奉^{ほう}仕^ししましよ。教^{おし}える
人^{ひと}は教^{おし}え、8 励^{はげ}ます人^{ひと}は励^{はげ}まし、分^わ
け与^{あた}える人^{ひと}は惜^{あは}しまず与^{あた}え、監^{かん}督^{とく}
する人^{ひと}は勤^{きん}勉^{べん}に監^{かん}督^{とく}し、憐^{あわ}れみを示^{しめ}す
人^{ひと}は快^{こころよ}くしめしましよ。

9 皆^{みな}さんの愛^{あい}に偽^ぎ善^{ぜん}があつてはなり
ません。悪^{わる}いことは憎^{にく}悪^{にく}し、善^よいこと
にはしつかりとつ^つきましよう。10 兄^{きょう}弟^{だい}
愛^{あい}を抱^{いだ}いて、優^{やさ}しい愛^{あい}情^{じよう}を示^{しめ}しあ
いましよう。自分^{じぶん}の方^{かた}から進^{すす}んで人^{ひと}を敬^{うやま}
ててください。11 怠^{なま}けたりせず、よ^よく勤^{きん}
めてください。聖^{せい}なる力^{ちから}によつて熱^{ねつ}意^い
に燃^もえましよう。エホバに一^{いっ}生^{しょう}懸^{けん}命^{めい}仕^し
えてください。12 希^き望^{ぼう}によつて喜^{よろこ}
ばしよ。苦^{くる}難^{なん}に遭^あつても忍^{にん}耐^{たい}しましよ
う。粘^{ねば}り強^{つよ}く祈^{いの}りましよう。13 困^{こま}
っている聖^{せい}なる人^{ひと}たちと分^わけ合^あつてくだ
さい。人^{ひと}をもてなすことに努^{なつ}めましよう。
14 迫^{はく}害^{がい}する人^{ひと}のために祝^{しゅく}福^{ふく}
を願^{ねが}ひ続^{つづ}けてください。祝^{しゅく}福^{ふく}を願^{ねが}うの
であつて、不^ふ幸^{こう}を願^{ねが}つてはなりません。
15 喜^{よろこ}ぶ人^{ひと}と一^{いっ}緒^{しょ}に喜^{よろこ}び、泣^なく人^{ひと}と一^{いっ}
緒^{しょ}に泣^なきましよう。16 自分^{じぶん}を見るの
と同^{おな}じ見^み方^{かた}で他^たの人^{ひと}を見^みてください。
高^{こう}慢^{まん}な考^{かんが}え方^{かた}をせず、謙^{けん}遜^{そん}であつてく
ださい。自分^{じぶん}は賢^{かしこ}いと思^{おも}ひ込^こめではな
りません。

12:6 *または、「贈り物」。12:8 *または、「説
き勧める人は説き勧め」。*または、「率先」。
△または、「真剣に」。12:11 *または、「勤勉で
あつて」、「熱心であつて」。* 付録 A5 参照。

17 悪いことをされても、決して仕返しをしてはなりません。どうすれば誰の目から見てても良いことを行えるかを考えてください。18 できる限りのことをして、どんな人とも平和な関係でいるようにしましょう。19 愛する皆さん、復讐してはなりません。神の憤りに任せましょう。『復讐は私がすることであり、私が報復する』とエホバは言う」と書いてあるからです。20 「敵が飢えているなら、食べさせましょう。喉が渴いているなら、飲む物を与えましょう。そうすれば、燃える炭をその人の頭の上に積むことになるのです。21 悪に征服されてはなりません。善によって悪を征服し続けましょう。

13 全ての人は上位の権威に従わなければなりません。神によらない権威はないからです。存在する権威は神によって相対的な地位に据えられています。2 ですから、権威に反抗する人は、神の取り決めに逆らっていることになります。逆らう人は断罪されます。3 支配者を恐れるのは、善いことを行う人ではなく、悪いことを行う人です。あなたは、権威を恐れずにいたいと思いますか。善いことを行い続けてください。そうすれば、権威者から称賛されます。4 権威者

12:17 *または、「前でも」。12:19 *付録A5 参照。12:20 *いわばその人の固い心を溶かし、態度が和らぐようにする、ということ。13:1 *または、「政府」。*地位の高い低いはあるが、神よりは常に下位ということ。

第12章

(7) テサ 5:15
ペー 2:23
ペー 3:9

(1) テモニ 2:24
ヘブ 12:14
ヤコ 3:18

(2) レビ 19:18
マタ 5:39

(12) 申 32:35
ヘブ 10:30

(12) 格 25:21, 22

(12) 出 23:4
マタ 5:44
ルカ 6:27

第13章

(12) テト 3:1
ペー 2:13, 14

(2) ヨハ 19:10, 11

(2) 使徒 17:26

(12) ペー 2:13, 14

(12) ペー 3:13

第2欄

(7) ペー 2:19
ペー 3:16

(12) マタ 22:21
マル 12:17
ルカ 20:25

(2) 格 24:21

(12) ペー 2:13, 17

(2) コロ 3:14
テモニ 1:5
ヨハ 4:11

(12) ガラ 5:14
ヤコ 2:8

(12) 出 20:14
マタ 5:27, 28
コヘ 6:9, 10

(2) 創 9:6
申 5:17

(2) 出 20:15

(12) 出 20:17

(12) レビ 19:18
マタ 22:39

(12) ルカ 6:31
テモニ 2:24

(12) マタ 22:37-40

は神の奉仕者であり、あなたのために働きます。しかし、もしあなたが悪いことを行っているのであれば、恐れるべきです。権威者は目的もなく剣を帯びているわけではないからです。神の奉仕者なのであり、悪いことを行い続ける人に憤りを表明する復讐者なのです。

5 それでは皆さんは、憤りを招かないためだけでなく、自分の良心のために、ぜひとも従わなければなりません。

6 だからこそ、皆さんは税を納めることとしています。彼らは神の奉仕者であり、いつも公衆のために奉仕しているのです。7 全ての者に、差し出すべきものを差し出してください。税を求める者に税を納め、支払いを求める者に支払いをし、恐れることを求める者を恐れ、敬意を求める者を敬うのです。

8 誰に対しても義務を負わないようにしましょう。ただし、愛し合うことは別です。人を愛する人は律法を實踐しています。9 「姦淫をしてはならない。殺人をしてはならない。盗んではならない。貪欲になつてはならない」という命令も、ほかのどんなおきても、「隣人を自分自身のように愛さなければならぬ」という言葉に要約されるからです。10 愛があれば、隣人に対して悪いことを行いません。ですから、愛があれば、律法を實踐していることになるのです。

13:4 *または、「処罰を加える」。13:6 *または、「公僕」。13:8 *または、「負債」。

11 また、皆さんは今がどんな時かを知っているのですから、こうしたことを行ってください。すでに、眠りから覚めるべき時が来ています。今や、私たちが信仰を持つようになった時よりも、救いは近いのです。12 夜は更け、昼が近づきました。ですから、闇の行いを捨て去り、光の武器を身に着けましょう。13 昼間のように、きちんと行動しましょう。ばか騒ぎや酩酊、不道徳な性関係や恥知らずな行い、争いや嫉妬を避けなければなりません。14 主イエス・キリストに倣ってください。罪深い欲望を満たすために計画するようであってはなりません。

14 信仰に弱いところがある人を迎え入れてください。異なる意見の善しあしを決め付けてはなりません。2 ある人は何でも食べてよいという信仰を持っていますが、弱い人は野菜しか食べません。3 食べる人は食べない人を見下してはならず、食べない人は食べる人を批判してはなりません。神がその人を迎え入れたのです。4 他人の召し使いを批判するとは、あなたは何者なのですか。その人が立つのも倒れるのも、その人と主人との間でのことなのです。実際、その人は立つようにされます。エホバ

13:12 *または、「日」。13:13 *ギリシャ語アセルゲイアの複数形。用語集参照。13:14 *直訳、「身を着けて」。14:1 *もしかすると、「内心の疑問」。14:4, 6, 8, 11 *付録A5参照。

第13章

(例) ルカ 21:36
テサー 5:6

(例) エフ 5:10, 11

(例) コニ 6:4, 7
エフ 6:11
テサー 5:8

(例) ペー 2:12

(例) エフ 4:19
ペー 4:3

(例) コニ 12:20

(例) コー 11:1
ガラ 3:27
エフ 4:24

(例) ガラ 5:16

第14章

(例) ロマ 15:1
テサー 5:14

(例) コロ 2:16

(例) マタ 7:1
ヤコ 4:12

(例) コー 4:4

第2欄

(例) ガラ 4:10

(例) コロ 2:16

(例) テモー 4:4

(例) コー 10:31

(例) コー 6:19, 20

(例) 詩 146:2
ペー 4:1, 2

(例) テサー 4:14

(例) テサー 5:10
啓 1:17, 18

(例) ルカ 6:37
ロマ 14:4

(例) 使徒 10:42
コニ 5:10

(例) イザ 49:18

(例) イザ 45:23

(例) 伝 12:14
マタ 12:36
コニ 5:10

はその人を立たせることができるからです。

5 ある人は、ある日がほかの日に勝ると判断し、別の人は、ある日がほかのどの日とも同じだと判断します。いずれにしても、各自が考えて確信しているべきです。6 ある日を大事にする人は、エホバを敬うゆえにそうします。食べる人も、エホバを敬うゆえに食べ、神に感謝します。また、食べない人も、エホバを敬うゆえに食べませんが、やはり神に感謝します。7 私たちは誰一人、自分のためだけに生きるのではありません。また、自分のためだけに死ぬのでもありません。8 生きるのならエホバのために生き、死ぬのならエホバのために死ぬのです。生きるにしても死ぬにしても、私たちはエホバのものです。9 キリストが、死んだ人の主とも生きている人の主ともなるために、死んで生き返ったからです。10 それなのに、あなたはなぜ兄弟を批判するのですか。なぜ兄弟を見下すのですか。私たちは皆、神の裁きの座の前に立つことになります。11 こう書かれているからです。「エホバは言う。『生きている私自身に懸けて誓う。全ての人は私に向かってひざまずき、神への確信を言い表す』。12 私たち一人一人は、神に責任を問われることになるのです。

14:11 *または、「全ての膝は私に向かってかがみ、全ての舌は神への確信を言い表す」。

13 ですから、もう兄弟を批判すること
がないようにしましょう。同時に、過
ちのもととなることを兄弟の前でしな
いことを決意しましょう。14 私は主
イエスによって次のことを知り、確信
しています。それ自体が汚れている
物は何もありません。人がある物を
汚れていると考える場合にのみ、そ
の人の人にとってそれは汚れているです。

15 食べ物のせいで兄弟の気を悪くさ
せているなら、あなたはもはや愛に
従って歩んではいけません。食べ物に
よって兄弟を破滅させてはなりません。
キリストはその人のために死んでくだ
さったのです。16 それで、善い事柄
であっても悪く言われるようなことは、
行わないようにしましょう。17 神の
王国に入るかどうかは、食べることや
飲むことにではなく、聖なる力による
正しさと平和と喜びに懸かっているか
らです。18 そのようにキリストに一
生懸命仕える人は神に受け入れられ、
人からも認められます。

19 ですから、平和に役立つことや、
励まし合う助けになることを何でも
行いましょう。20 もう食べ物のため
に、神の働きを台無しにしてはなりま
せん。確かに全ての物は清いのです
が、過ちのもととなる場合には、食べる
ことは有害です。21 肉を食べること
やぶどう酒を飲むことなど、兄弟に過

14:13, 20 *または、「信仰の妨げ」。14:20
#または、「間違っています」。

第14章

(7) マタ 7:1

(7) マタ 18:6
コエ 8:9
コエ 10:32(7) マタ 15:11
使徒 10:15
テモ一 4:4

(7) エフ 5:2

(7) コー 8:10, 11

(7) コー 8:8

(7) マタ 5:9
ロマ 12:18(7) コー 14:12
ヘブ 10:24(7) ロマ 14:3
コー 8:11

(7) コー 8:9

第2欄

(7) ロマ 14:13
コー 8:13
コー 10:24

第15章

(7) ロマ 14:1
テサ一 5:14

(7) コー 10:24

(7) コー 9:22
フィリ 2:4(7) マル 10:45
ヨハ 5:30

(7) 詩 69:9

(7) コー 10:11
テモ二 3:16,
17
ペ二 1:19(7) ロマ 5:3, 4
(7) 詩 119:49, 50
ヘブ 3:6
ペ一 1:10(7) コー 1:10
コ二 13:11
フィリ 2:2
ペ一 3:8

ちを犯させるような事柄は何も行わな
いのがよいでしょう。22 あなたが
持っている信仰を、自分と神との間の
ものにしておいてください。自分の決
定に関して自分を責めない人は幸せ
です。23 しかし、迷っているのに食
べる人は、すでに有罪とされています。
信仰に基づいて食べているのではな
いからです。信仰に基づいていないこ
とは全て罪なのです。

15 私たち強い人は、強くない人
の弱いところを担うべきで
あって、自分を喜ばせていてはなり
ません。2 各自が隣人を喜ばせる
ようにしましょう。その人のためにな
ることをし、その人を力づけるのです。
3 キリストでさえ自分を喜ばせるこ
とはしませんでした。「あなたが非難する
人たちの非難が私に降り掛かった」と
書かれている通りです。4 以前に書
かれた事柄は皆、私たちを教えるた
めに書かれました。そのおかげで私
たちは忍耐でき、聖書から慰めを得ら
れるので、希望を持っていられます。
5 忍耐と慰めを与える神が、キリスト・
イエスと同じ考え方を皆さんに持たせ
てくださいますように。6 皆さんが一
つになり、声をそろえて、私たちの主イ
エス・キリストの父である神をたたえ
るためです。

7 それで、神がたたえられるように

14:21 *または、「兄弟の信仰を妨げる」。15:
6 *直訳、「口」。

するため、キリストが皆さんを迎え入れてくださったように、互いを迎え入れてください。8 キリストは、神が真実な方であることを示すために、割礼を受けた人たちの奉仕者となりました。それにより、彼らの父祖に対する神の約束の確かさを証明し、9 異国の人々が神の憐れみのゆえに神をたたえるようにしたのです。こう書かれています。「そのため、私は国々の中であなたへの確信を言い表し、あなたの名を賛美して歌う」。10 また、「国々よ、神の民と共に喜び」とも述べられています。11 さらにこうあります。「全ての国よ、エホバを賛美せよ。全ての民は神を賛美せよ」。12 イザヤはこうも述べています。「エッサイの根である者が、国々を治めるために立ち上がる。人々は希望を抱いて彼を待つ」。13 希望を与える神が、信仰を持つ皆さんをあらゆる喜びと平和で満たしてくださり、皆さんが聖なる力によって希望に満ちあふれますように。

14 私の兄弟たち、私は、皆さんが善良さとあらゆる知識にも満ちていて、教え合うことができる、ということを確信しています。15 とはいえ、幾つかの点については、もう一度思い出してもらうために、特に率直に書いています。なぜなら、私は神に惜しめない親切を示していただき、16 キリスト・

15:7 *または、「受け入れて」。15:11 *付録A5参照。15:14 *または、「訓戒し」。

第15章

(例) ヨハ 6:37

(例) フイレ 10,17

(例) マタ 15:24

ヨハ 1:11

(例) 創 22:16-18

詩 89:3

(例) ロマ 9:23,24

(例) サニ 22:50

詩 18:49

(例) 申 32:43

(例) 詩 117:1

(例) 啓 5:5

(例) 創 49:10

(例) イザ 11:1,10

マタ 12:21

(例) イザ 40:31

第2欄

(例) ロマ 11:13

ガラ 2:7,8

(例) 使徒 20:24

(例) 使徒 15:12

コニ 12:12

(例) 使徒 21:18,19

(例) イザ 52:15

イエスの奉仕者となって異国の人々の所へ遣わされたからです。異国の人が聖なる力によって神聖なものとなされ、受け入れられる捧げ物となるよう、私は神の良い知らせを伝えるという聖なる務めを行っています。

17 それでは私は、キリスト・イエスにより、神に関する事柄について歓喜できます。18 異国の人々を従順にならせるためにキリストが私を通して行った事柄以外は、何も話すつもりはありません。キリストが、私の言葉と行いによって、19 また、奇跡や不思議なことと、神の聖なる力で行った事柄です。私はエルサレムからイルリコに至るまで巡回し、キリストについての良い知らせを徹底的に伝えました。

20 こうして、キリストの名がすでに知らされている所では良い知らせを伝えられないようになりました。ほかの人の土台の上に建てないためです。21 「彼について何も知らされなかった人たちが現れ、聞いたことがない人たちが理解する」と書かれている通りです。

22 それもあって、私は皆さんの所に行くことを何度も妨げられませんでした。23 しかし、もうこの地方に手付かずの場所はありませんし、私は皆さんの所に行きたいと何年も願ってききました。24 それで、スペインに向かう際には、皆さんに会い、まず少しの間

15:16 *または、「公僕」。15:19 *直訳、「しるし」。15:23 *もしかすると、「数年間」。

交流を楽しんでから、途中で皆さんに付き添ってもらいたいと思っています。25 ですが今は、聖なる人たちに奉仕するためエルサレムに行くところです。26 マケドニアとアカイアの兄弟たちが、エルサレムにいる聖なる人たちのうちの貧しい人に寄付するため、自分たちの物を喜んで差し出しているからです。27 その兄弟たちは確かに喜んで寄付していますが、実のところ聖なる人たちに恩義がありました。異国の人は、聖なる人たちが神から受けたものを分けてもらったのですから、自分の持っている物を差し出して聖なる人たちに奉仕する義務があるのです。28 私はこの件を済ませ、聖なる人たちに確実に寄付を届けた後、そこをたて皆さんの所に寄ってからスペインに行きます。29 皆さんの所に行く時には、キリストからの豊かな祝福を分け与えることができるとおもいます。

30 兄弟たち、主イエス・キリストによって、また聖なる力が生み出す愛によって、皆さんにお願いします。私のために、私と共に熱烈に神に祈ってください。31 私がユダヤにいる信仰のない人々から逃れられるように、また私の奉仕がエルサレムの聖なる人たちに受け入れられるようにです。

32 そうすれば、神の意志により、喜びを抱いて皆さんの所に行き、一緒に喪

第15章

(7) 使徒 19:21
使徒 20:22

(4) コー 16:1
コ二 8:1-4
コ二 9:2,12

(7) ガラ 6:6
ヘブ 13:16

(4) コ二 1:11
エフ 6:18
コロ 4:3
テサー 5:25

(4) テサ二 3:1,2

(4) ロマ 15:26

第2欄

(7) コー 14:33
フィリ 4:9

第16章

(4) 使徒 18:18

(7) ロマ 12:13
ヨ一 3:17

(4) 使徒 18:2
使徒 18:24,26
テモ二 4:19

(4) ヨ一 3:16

(4) コー 16:19
コロ 4:15
フィレ 2

(4) ロマ 16:11

やかさを味わえるでしょう。33 平和を与える神が皆さんと共にいてくださいますように。アーメン。

16 皆さんに、ケンクレアの会衆の奉仕者である、私たちの姉妹フォイベを紹介します。2 聖なる人にふさわしく、主に従う人として彼女を迎え入れ、何でも必要な援助をしていただくためです。フォイベは私や他の多くの人を助けてくれました。

3 キリスト・イエスに従って共に働く仲間、プリスカとアクラに、私からのあいさつを伝えてください。4 この2人は私のために命を懸けてくれた人で、私だけでなく国々の全ての会衆も感謝しています。5 2人の家に集まる会衆にもあいさつを伝えてください。アジアで最初にキリストの弟子になった人たちの1人である、愛するエパネトによろしく。6 皆さんのために力を尽くしたマリアによろしく。7 私の同族で、私と同じく捕らわれていたアンデロニコとユニアスによろしく。この2人は使徒たちによく知られていて、私より長い間キリストと結ばれています。

8 主に従う、愛するアンプリアトによろしく。9 キリストに従って共に働く仲間のウルバノと、愛するスタキスによろしく。10 キリストに従って良いと

16:1 *用語集参照。"または、「推薦」。16:5 *直訳、「キリストのための、アジアの初物」。

認められたアペレによろしく。アリスト
プロの家の人たちによろしく。 **11** 私
の同族ヘロデオンによろしく。主に従
う、ナルキソの家の人たちによろしく。
12 主に従って力を尽くしている女性、
トリファナとトリフォサによろしく。主に
従って力を尽くしてきた、私たちの愛
する女性ペルススによろしく。 **13** 主
に従って選ばれたルフォスと、私にとっ
ても母のような、ルフォスの母親によろ
しく。 **14** アスクリト、フレゴン、ヘ
ルメス、パトロバ、ヘルマス、また一緒
にいる兄弟たちによろしく。 **15** フィ
ロロゴとユリア、ネレオと彼の姉妹、そ
してオルンパと、一緒にいる全ての聖
なる人たちによろしく。 **16** 聖なる口
づけによってあいさつを交わしてくだ
さい。キリストの全ての会衆が皆さん
によろしくとっています。

17 兄弟たち、皆さんに勧めます。
分裂を引き起こし、過ちのもととなる
人たちに気を付けてください。皆さん
の学んだ教えに逆らう人たちを避ける
のです。 **18** そのような人たちは、主
キリストの奴隷ではなく、自分の欲望
の奴隷であり、巧みな言葉やお世辞に
よって純真な人たちの心をたぶらかし
ます。 **19** 皆さんの従順は全ての人
に知られており、私はそのことをうれし
く思っています。それでも、皆さんが善
いことについては賢くあり、悪いことに

16:17 *または、「信仰の妨げ」。 **16:18** *また
は、「腹」。

第16章

(例) マタ 7:15
テト 3:10
ヨ二 10

第2欄

(例) コー 14:20

(例) 創 3:15
ヘブ 2:14

(例) ロマ 16:7

(例) コー 1:14

(例) エフ 1:9-12
コロ 1:26,27

(例) ロマ 11:33

ついは無知であってほしいと思っ
ています。 **20** 平和を与える神により、
間もなくサタンは皆さんの足の下で碎
かれます。私たちの主イエスの惜しみ
ない親切が皆さんに示されますように。

21 私と共に働く仲間のテモテが
皆さんによろしくとっています。私の
同族であるルキオ、ヤソン、ソシパトロ
もです。

22 この手紙を記した私テルテオも、
主に従う者として皆さんにあいさつを
送ります。

23 私と会衆全体のために家を提
供してくれているガイオが、皆さんによ
ろしくとっています。市の財務官エ
ラストと、彼の兄弟クワルトもよろしく
とっています。 **24** —

25 神は、私が広める良い知らせと、
イエス・キリストについての伝道によ
り、また神聖な秘密の啓示により、皆
さんを強くすることができる方です。神
聖な秘密は、非常に長い間解き明か
されませんでした。 **26** しかしその秘
密は今や明らかにされ、人々が信仰を
抱いて従順になるよう、永遠の神の命
令により、聖書の預言を通して全ての
国に知られています。 **27** ただひと
り知恵のある神が、イエス・キリストを
通して永遠にたたえられますように。
アーメン。

16:23 *パウロのこと。*または、「管理官」。

16:24 *付録 A3 参照。 **16:26** *または、「啓示
され」。

コリントのクリスチャンへの第一の手紙

概要

- 1 あいさつの言葉 (1-3)
パウロはコリントのクリスチャンのことで神に感謝する (4-9)
団結するようにとの勧め (10-17)
キリストは神の力と知恵の証拠 (18-25)
エホバについてのみ誇る (26-31)
- 2 コリントでのパウロの伝道 (1-5)
神の知恵は優れている (6-10)
聖なる力に導かれる人と、罪深い欲望に従う人 (11-16)
- 3 コリントのクリスチャンはまだ罪深い考え方をしている (1-4)
成長させるのは神 (5-9)
神と共に働く者 (9)
火に耐える材料で建てる (10-15)
皆さんは神の神殿です (16, 17)
世の知恵は神にとっては愚かなもの (18-23)
- 4 管理人は忠実であるべき (1-5)
クリスチャンの奉仕者は謙遜であるべき (6-13)
「書かれている事柄を越えてはならない」(6)
クリスチャンは劇場の見せ物のよう (9)
パウロは父親のように気に掛ける (14-21)
- 5 性的不道德の事例 (1-5)
少しのパン種が生地全体を発酵させる (6-8)
悪い人は除かれるべき (9-13)
- 6 クリスチャンの兄弟間の訴訟 (1-8)
王国を授けられない人々 (9-11)
皆さんの体で神をたたえてください (12-20)
「性的不道德から逃げ去りなさい！」(18)
- 7 独身者と既婚者への助言 (1-16)
招かれた時の状態のままに (17-24)
未婚の人とやもめ (25-40)
独身の利点 (32-35)
「主に従う人だけに」結婚する (39)
- 8 偶像に捧げられた食物について (1-13)
私たちの神はただひとり (5, 6)
- 9 使徒としてのパウロの模範 (1-27)
「牛に口籠を付けてはならない」(9)
「もし良い知らせを広めないなら、それは私にとって悲惨なことです！」(16)
あらゆる人に対してあらゆるものになる (19-23)
命を目指す競走での自制 (24-27)
- 10 過去のイスラエルの悪い例から学ぶ (1-13)
偶像崇拝を避けるようにとの警告 (14-22)
エホバの食卓と、邪悪な天使の食卓 (21)
自由と、他の人への配慮 (23-33)
「全てのことを神の栄光のためにしましょう」(31)
- 11 「私に倣ってください」(1)
頭の立場と頭の覆い (2-16)
主の晩餐を執り行う (17-34)
- 12 神からの贈り物 (1-11)
1つの体、多くの器官 (12-31)
- 13 愛は何よりも勝った道 (1-13)
- 14 聖なる力によって預言する人と、さまざまな言語を話す人 (1-25)
クリスチャンの集会での秩序 (26-40)
会衆の中での女性の立場 (34, 35)
- 15 キリストの復活 (1-11)
復活は信仰の基盤 (12-19)
キリストの復活は保証を与える (20-34)
地上での体と天での体 (35-49)
不滅性と不朽性 (50-57)
主の活動を活発に行う (58)
- 16 エルサレムのクリスチャンのための募金 (1-4)
パウロの旅の計画 (5-9)
テモテとアポロの訪問予定 (10-12)
勧めとあいさつ (13-24)

1 ^{かみ い し}神の意志によって招かれてキリ
^{スト・イエス}スト・イエスの使徒となったパウ
^{ロと}ロと、^私私たちの兄弟^{ソステネ}ソステネから、
2 ^{コリント}コリントにある神の会衆へ。皆さん
 はキリスト・イエスと結ばれて神聖な
 ものとされ、招かれて聖なる人となり
 ました。他のあらゆる場所でも、主イ
 エス・キリストの名を呼んでいる人た
 ちが招かれています。キリストはその
 ひと^{わたし}わたしと私たちの主です。

3 私たちの父である神と、主イ
 エス・キリストから、皆さんに惜しめない
 親切が示され、平和が与えられますよ
 うに。

4 私は、神がキリスト・イエスを通
 して皆さんに惜しめない親切を示した
 ことについて、いつも神に感謝してい
 ます。

5 皆さんはキリストと結ばれ
 てあらゆるものを豊かに受け、話す能
 力も知識も十分に持っているからで
 す。**6** 実際、皆さんはキリストについ
 ての知らせを十分に理解しています。

7 結果として皆さんは、必要なものを
 全て与えられ、主イエス・キリストが明
 らかにされるのをひたすら待っていま
 す。

8 神はまた、皆さんを強くして終
 わりまで支え、主イエス・キリストの日
 に何の非難も受けないようにしてくだ
 さいます。**9** 神は信頼できる方であ
 り、皆さんはその方に招かれて、神の

第1章
 (7) 使徒 9:15

(4) 使徒 18:1

(7) コー 6:11
 ヘブ 9:13,14

(2) マタ 12:18,21
 使徒 4:12

(4) コロ 1:9

(7) 使徒 18:5

(4) ルカ 17:29,30
 テサ二 1:7
 ペー 1:7

(7) コー 4:5
 コー 5:5
 啓 1:10

(7) 申 7:9

第2欄
 (7) ロマ 16:17

(4) ロマ 15:5,6
 コ二 13:11
 エフ 4:1,3
 フイリ 2:2

(7) 使徒 18:24
 コー 3:4,5
 コー 3:21-23

(2) 使徒 18:8

(4) ロマ 16:23

(7) コー 16:15

(4) 使徒 9:15

子である主イエス・キリストと結び付き
 ました。

10 兄弟たち、私たちの主イエス・キ
 リストの名によって勧めます。皆さん
 が語る事柄は一致しているべきです。
 分裂があつてはなりません。同じ思い、
 分業があつてはなりません。同じ思い、
 同じ考え方でしっかりと団結してくだ
 さい。**11** 私の兄弟たち、皆さんの間
 に不和があることをクロエの家の人
 たちから聞きました。**12** 皆さんが
 それぞれ、「私はパウロに従う」、「い
 や、私はアポロに」、「私はケファに」、
 「私はキリストに」と言っているとのこ
 とです。**13** キリストは分裂したので
 しょうか。パウロが皆さんのために杭
 に掛けられて処刑されたのですか。皆
 さんはパウロの名によってバプテスマ
 を受けたのですか。**14** 私は、皆さん
 のうちクリスボとガイオ以外には誰に
 もバプテスマを施さなかったことを神
 に感謝しています。**15** 誰も、私の名
 によってバプテスマを受けたとは言え
 ないからです。**16** もっとも、私はス
 テファナの家の人たちにもバプテスマ
 を施しました。ほかの誰かにバプテス
 マを施したかどうかは覚えていませ
 ん。**17** 私がキリストによって遣わさ
 れたのは、バプテスマを施すためでは
 なく、良い知らせを広めるためでした。
 賢人たちのような話し方をせずに広
 め、キリストの苦しみの杭が無意味な

1:9 *または、「と分け合う関係になり」。**1:12**
 *ペテロとも呼ばれる。**1:17** *または、「巧
 妙な」。

ものにならないようにする必要があり
ました。

18 苦しみの杭^{くさ}についての話は、滅^く
びようとしている人^{ひと}たちにとっては愚^{おろ}
かなことですが、救^{すく}われようとしている
わたし^{わたし}たちにとっては神^{かみ}の力^{ちから}の証^{しょうこ}拠^いです。

19 「私は賢^{わたし}人^{けんじん}たちの知^ち恵^えを滅^くばし、
知識^{ちしきじん}人^{ちせい}たちの知^{しりぞ}性を退^いける」と書いて
あります。**20** 賢^{けんじん}人はどこにいま
すか。律^{りっぽう}法^{がくしや}学者^{がくしや}はどこにいま
すか。今^{いま}の体制^{たいせい}の弁^{べん}論^{ろん}家^かはどこにいま
すか。神^{かみ}は世^よの知^ち恵^えを愚^{おろ}かなもの
のとしたのではないでしょう。 **21** 世^よの人^{ひと}々^{たち}は、
世^よの知^ち恵^えによって神^{かみ}を知ることはでき
ませんでした。それで神^{かみ}は、人^{ひと}々^{たち}に
とって愚^{おろ}かに思^{おも}える知^しらせを伝^{つた}えさせ
て、信^{しん}じる人^{ひと}々^{たち}を救^{すく}うのがよい、と
かんがえました。これはまさ^{かみ}に神^{ちえ}の知^{ちえ}恵^え
でした。

22 ユダヤ人^{じん}はしるしを求め、ギリ
シャ人^{じん}は知^{ちえ}恵^えを求めます。**23** です
が、私^{わたし}たちはキリスト^くが杭^かに掛^かけられ
て処^{しよけい}刑^{けい}されたことを伝^{つた}えます。そのこ
とはユダヤ人^{じん}にとっては信^{しん}仰^{やう}を持^もたな
い理^り由^{ゆう}であり、異^い国^{こく}の人^{ひと}々^{たち}にとっ
ては愚^{おろ}かなことだ。 **24** しかし、ユダヤ
人^{じん}であれギリシャ人^{じん}であれ、招^{まね}かれた
人^{ひと}々^{たち}にとっては、キリスト^{かみ}は神^{かみ}の力^{ちから}と知^{ちえ}
恵^えの証^{しょうこ}拠^いです。 **25** 神^{かみ}による事^{こと}柄^{がら}は、
愚^{おろ}かに思^{おも}えても人^{にんげん}間^{かん}より賢^{かき}く、弱^{よわ}く見^み
えても人^{にんげん}間^{かん}より強^{つよ}いからです。

1:20 *または、「時代」。用語集参照。 1:25
*または、「神のもの」。

第1章

(7) 使徒 17:18
コ 2:14

(1) ロマ 1:16

(7) イザ 29:14

(11) コロ 2:8

(7) ルカ 10:21

(7) コ 2:14
コ 3:18

(7) マタ 12:38
ルカ 11:29

(7) 使徒 17:32

(7) コロ 2:3

(11) コ 13:4

第2欄

(7) ヨハ 7:48
使徒 4:13
ヤコ 2:5

(1) マタ 11:25

(7) コ 2:6

(11) ロマ 10:4
コ 5:21

(7) ヨハ 17:19
ヘブ 10:10

(7) ロマ 3:24
コロ 1:13,14

(7) エレ 9:24
コ 10:17

第2章

(7) エフ 3:5,6
コロ 2:2

(7) コ 1:17

(11) ガラ 6:14

26 兄弟^{きょうだい}たち、招^{まね}かれた皆^{みな}さん自^じ身^{しん}
を見^みれば分^わかります。人^{ひと}から見^みて賢^{かき}い
人^{ひと}、力^{ちから}のある人^{ひと}、高^{こう}貴^きな生^うまれの人^{ひと}は
多^{おほく}ありません。 **27** 神^{かみ}は、世^よの中^{なか}の
愚^{おろ}かなものを選^{えら}んで、賢^{かき}い人^{ひと}が恥^{はじ}をか
くようにし、世^よの中^{なか}の弱^{よわ}いものを選^{えら}ん
で、強^{つよ}いもの^{はじ}が恥^{はじ}をか^かくようにしまし
た。 **28** 神^{かみ}はまた、世^よの中^{なか}の取^とるに
足^たりないものや見^み下^{みくだ}されているもの、
つまり価^か値^ちがないと見^みなされてい
るもの^{えら}を選^{えら}んで、価^か値^ちがあると見^みなされて
いるもの^むが無^む価^か値^ちになるようにしまし
た。 **29** 誰^{たれ}も神^{かみ}の前^{まえ}で誇^{ほこ}ることがな
いようにするためです。 **30** 神^{かみ}によ
って、皆^{みな}さんはキリスト・イエスと結^{むす}ばれ
ています。そしてキリスト^{かみ}は私^{わたし}たち
に神^{かみ}の知^{ちえ}恵^えを明^{あき}らかにし、私^{わたし}たちが正^{ただ}
しいと認^{めと}められ、神^{かみ}聖^{せい}なもの^{あがな}とされ、贖^い
いによって解^{かい}放^{ほう}されるようにしまし
た。 **31** ですから、書^かかれてい^{おと}る通^{とこ}り、^{ほこ}「誇^{ほこ}
る人^{ひと}はエホバについて誇^{ほこ}るべきです」。

2 兄弟^{きょうだい}たち、私^{わたし}は皆^{みな}さん^{ところ}の所^{ところ}
に行^いって神^{かみ}の神^{しん}聖^{せい}な秘^ひ密^{みつ}を伝^{つた}えた
時^{とき}、もったいぶ^{はな}った話^{かた}し方^{かた}をしたり、知^{ちえ}
恵^えをひけらかしたりはしませんでした。

2 杭^かに掛^かけられて処^{しよけい}刑^{けい}されたイエス・
キリスト^{かみ}のことだ^{かな}を皆^{みな}さん^{かた}に語^{かた}ろう
と決^きめたからです。 **3** 私^{わたし}は弱^{よわ}さ^ふと不^ふ
安^{あん}を抱^{おそ}え、非^ひ常^{じょう}に恐^{おそ}れながら、皆^{みな}さん
の所^{ところ}に行^いきました。 **4** そして、話^{はな}した
でんどう^きを伝^{つた}えたりする際^{さい}、知^{ちえ}恵^えの言^{こと}葉^はで説^と

1:26 *または、「立派な家柄」。 1:30 *用語集
参照。 1:31 *付録A5参照。

くなかったからです。今でも、十分に強くなっています。3 皆さんはまだつみぶか かんが かつ しつと あらそ 罪深い考え方をしています。嫉妬や争いがあることからすると、そうではないでしょうか。世の人々と同じように振る舞っているわけではありませんか。4 ある人が「私はパウロに従う」と言い、別の人が「私はアポロに」と言っているなら、世の人々のように行動していることになりませんか。

5 アポロは何者ですか。パウロは何者ですか。それぞれが主から与えられた務めを行い、信仰を持つよう皆さんを助けた奉仕者です。6 私は植え、アポロは水を注ぎました。しかし、成長させたのは神です。7 ですから、大切なのは、植える者でも水を注ぐ者でもなく、成長させる神なのです。8 植える者と水を注ぐ者は一つですが、それぞれがその働きに応じて報われます。9 私たちは神と共に働く者だからです。皆さんは、神が耕している畑、神の建物です。

10 私は、神が示してくださった惜しみない親切により、熟練した建築責任者として土台を据えました。その土台の上に、別の人が建てています。各人は、どのように建てているかにいつも注意を払うべきです。11 据えられている土台はイエス・キリストです。ほかの土台を据えることは誰にもできません。12 土台の上に、金、銀、宝石、木

第3章

[7] ヘブ 5:12-14

[1] ロマ 8:7,8

[7] ガラ 5:19,20

[2] 使徒 18:24,25

[8] コリ 3:5,6

[1] コリ 1:23

[1] テモ 1:12

[7] 使徒 18:4

[4] 使徒 18:26-

[1] 使徒 19:1

[7] ロマ 9:16

[7] ロマ 2:6

[1] コー 4:5

[1] 啓 22:12

[2] エフ 2:22

[1] ペー 2:5

[7] ロマ 15:20

[1] ヘブ 6:1

[2] 詩 118:22

[1] イザ 28:16

[1] マタ 21:42

[1] エフ 2:20

[1] ペー 2:6

第2欄

[7] ペー 4:12

[1] コリ 6:16

[1] エフ 2:21

[1] ペー 2:5

[7] コー 6:19

[2] ペー 2:5

[7] ヨブ 5:13

[7] 詩 94:11

ざい ほ くさ わらで建ててなら、13 各材、干し草、わらで建ててなら、13 各人の成し遂げた仕事がいずれ明らかになります。試練の日に、火によって明らかになります。各人がどんなものを建てたかが、火によって判明するのです。14 土台の上に建てたものが燃えずに残るなら、建てた人は報われます。15 建てたものが燃え尽きるなら、建てた人は損失を被りますが、その人自身は救われます。とはいえ、火をぐぐり抜けるようにして救われることになります。

16 皆さんは、自分たちが神の神殿であり、自分たちの中に神の聖なる力が宿っていることを知らないのですか。17 もし誰かが神の神殿を滅ぼすなら、神はその人を滅ぼします。神の神殿は聖なるものだからです。皆さんはその神殿なのです。

18 誰も自分を欺いてはなりません。皆さんの中に、今の体制において自分は賢いと考えた人があるなら、その人は愚かになりなさい。そうすれば、賢くなるでしょう。19 この世の知恵は神にとっては愚かなものだからです。「神は、賢い人がその人自身のずる賢さに捕らわれるようにする」と書かれています。20 「エホバは、賢い者たちの考え方がむなしいことを知っている」ともあります。21 それで、誰も人間のことについて誇ってはなりま

3:18 *または、「時代」。用語集参照。3:20 *付録 A5参照。

せん。全ては皆さんのものだからです。

22 パウロも、アポロも、ケファも、世も、命も、死も、今あるものも、これから来るものも、全て皆さんのものなのです。23 そして、皆さんはキリストのものであり、キリストは神のものです。

4 私たちは人から、キリストの従者、神の神聖な秘密を託された管理人と見なされるようであるべきです。

2 この点で、管理人に期待されているのは忠実であることです。3 私は皆さんや人間の法廷によって調べられても、気にしません。私自身、自分のことを調べたりしません。4 後ろめたいことは何もないからです。しかし、だからといって、私が正しい人だということにはなりません。私を調べるのはエホバです。5 ですから、さだめの時、つまり主が来る時までには、何事も裁いてはなりません。主は、闇に隠された事柄を明るみに出し、心の中の考えを明らかにします。その時、各人は神から褒めていただけるのです。

6 さて、兄弟たち、私は皆さんのために、こうしたことを私とアポロに当てはめて論じてきました。「書かれています事柄を越えてはならない」という点を学んでもらい、皆さんが思い上がって人をひいきしたり見下したりすることのないためです。7 というのは、あなたの何が他の人より優れているので

3:22 *ベテロとも呼ばれる。4:4 *付録A5参照。4:6 *または、「置き換えて」。

第3章

(ク) コー 1:12

(イ) ヨハ 17:9
コ二 10:7

第4章

(イ) マタ 13:11
ロマ 16:25, 26(イ) 格 21:2
ロマ 14:10
ヘブ 4:13

(イ) マタ 7:1

(イ) 格 10:9
コ二 10:18
テモ一 5:24, 25

(イ) コー 1:12

(イ) ロマ 12:3
コ二 12:20
ヨ三 9

第2欄

(イ) ヨハ 3:27

(イ) 啓 20:4, 6

(イ) テモ二 2:12
啓 3:21(イ) ロマ 8:36
コ一 15:32
コ二 6:4, 9

(イ) ヘブ 10:33

(イ) コー 3:18

(イ) フィリ 4:12

(イ) コ二 11:27

(イ) 使徒 14:19
使徒 23:2
コ二 11:24(イ) 使徒 18:3
使徒 20:34
テサー 2:9(イ) ロマ 12:14
ペー 3:9

(イ) マタ 5:44

(イ) ペー 2:23

すか。あなたが持っているもので、もらったのではないものがあるのですか。もらったのであれば、どうしてももらったのではないかのように誇るのですか。

8 皆さんはすでに満たされているのですか。すでに豊かになっているのですか。私たち抜きで、王として治め始めたのですか。私は、いっそのこと皆さんが王として治め始めていたらよいのと思います。そうであれば、私たちと一緒に王として治められるからです。9 私は、神が私たち使徒を、いわば必ず死ぬ最後の出演者にしたように思えます。私たちは、世に対して、天使たちや人々に対して、劇場の見せ物のようになっているからです。10 私たちはキリストのゆえに、愚かだと見なされているのに、皆さんはキリストのゆえに、自分は思慮深いと思っています。私たちは弱いのに、皆さんは強いのです。皆さんは尊ばれ、私たちはさげすまれています。11 今この時まで、私たちはずっと飢えと渇きを覚え、着るものがなく、打ちたたかれ、家もなく、12 苦勞して自ら働いています。侮辱されても親切にし、迫害されてもしんぼうづよにんたい、13 中傷されても温和に対応します。私たちは今まで、世の中のくず、全ての物のかすのようになってきたのです。

4:12 *または、「祝福を願ひ」。4:13 *または、「ごみ」。

14 こうしたことを書いてるのは、
みな はじ
皆さんに恥をかかせるためではなく、
私の愛する子供である皆さんを訓戒す
るためです。 15 皆さんには、キリス
トに従う1万人の保護者がいるとして
も、父親が多くいるわけではありませ
ん。私はキリスト・イエスにより、よい
知らせを通して皆さんの父親になりま
した。 16 それで、皆さんに勧めます。
私に倣ってください。 17 そのため
に、私が愛するテモテをそちらへ遣わ
します。テモテは主に忠実に仕えてお
り、キリスト・イエスに従う私のやり方
を皆さんに思い出させるでしょう。私
が各地の全ての会衆で教えているや
り方です。

18 ある人たちは、私が皆さんの所
に行かないと考えて、思い上がって
います。 19 しかし、エホバが望ま
れるなら、私は間もなく皆さんの所に
行きます。そして、思い上がっている人
たちの言葉ではなく力を確かめます。
20 神の王国にとって重要なのは、言
葉ではなく力だからです。 21 皆さん
は、私がむちを持ってそちらに行くの
と、愛と温和な精神を抱いて行くのと、
どちらがいいでしょうか。

5 私は皆さんの中で性的不道徳が
行われていると聞いています。異
国の人々の間にさえ見られないような

4:15 *または、「養育係」。 4:17 *直訳、「愛する子」。
*または、「生き方」。 4:19 *付録A5参
照。 5:1 *ギリシャ語、ボルネイア。用語集参照。

第4章

(7) ガラ 4:19
テサー 2:11

(1) コー 11:1
フリ 3:17
テサー 1:6

(7) テモニ 1:13

(4) コニ 13:10

第5章

(7) エフ 5:3

第2欄

(7) レビ 18:8

(1) コニ 7:9

(7) コー 5:13
ヨニ 10

(4) テモー 1:20

(7) コー 1:8

(7) コー 15:33
ガラ 5:9
テモニ 2:16、
17

(7) ヨハ 1:29

(7) ペー 1:19、20
啓 5:12

(7) 出 13:7

(4) ヨー 2:17

性的不道徳で、自分の父親の妻を自
分のものにしている人がいるとのこと
です。 2 しかも、皆さんはそれを誇っ
ているのですか。誇るのではなく嘆き
、そういうことをした人を追放すべきで
はないでしょうか。 3 私の体が皆さ
んの所になくても、私の心はそこにあ
り、私は実際に皆さんと共にいるかの
ように、その人をすでに断罪しました。
4 皆さんは、私たちの主イエスの名に
よって集まる時、主イエスの力と共に
私の心もそこにあることをわきまえ、
5 そのような人をサタンに引き渡して
わる えいきょうりよく のぞ
悪い影響力を除き去らなければなり
ません。主の日に会衆の健全な精神
が守られるようにするためです。

6 皆さんが誇っているのは良くない
ことです。少しのパン種が生地全体
を発酵させることを知らないのですか。
7 古いパン種を取り除き、新しいパン
生地であってください。皆さんの中に
酵母はないはずで、私たちの過ぎ越
しの子羊であるキリストが犠牲にされ
たからです。 8 それで、古いパン種
や、悪意と邪悪のパン種を用いるので
はなく、誠実と真実の無酵母パンを用
いて祭りを行いましょう。

9 私は皆さんへの手紙の中で、性
的に不道徳な人と接するのをやめるよ
うにと書きました。 10 それは、この
世の性的に不道徳な人や、貪欲な人、

5:6 *または、「酵母」。 5:9,10 *用語集の「性
的不道徳」参照。

おど と ひと ぐうぞう すうはい ひと まった
 脅し取る人、偶像を崇拜する人と全く
 ぜつ
 接しないようにという意味ではありません。
 せん。もしそうだとすると、皆さんは世
 から出なければならぬことになりま
 す。11 それで、私は今こう書きます。
 兄弟と呼ばれる人で、性的に不道德な
 ひと*とんよく ひと(何)ぐうぞう すうはい ひと
 人、貪欲な人、偶像を崇拜する人、の
 ひと めいてい ひと(何)おど と ひと(何)
 する人、酩酊する人、脅し取る人がい
 れば、そのような人と接するのをや
 めなさい。一緒に食事をしてもありま
 せん。12 私は外部の人たちを裁く
 たち(何)ば
 立場にあるでしょうか。皆さんは内部
 ひと(何)さば
 の人たちを裁くのであり、13 神が外
 部の人たちを裁くではありません。
 (何)みな なか わる ひと のぞ
 か。「皆さんの中から悪い人を除きな
 さい」。

6 皆さんの中には、仲間と争いが
 しょう(何)せい ひと
 生じたときに、聖なる人たちの
 まえ で ほうてい い
 前には出ず、あえて法廷に行つてクリ
 スチャンではない人たちの前に出る人
 がいるのですか。2 皆さんは、聖な
 ひと じんるい さば(何)
 る人たちが人類を裁くことになるのを
 し じんるい さば
 知らないのですか。人類を裁くので
 こと(何)から しんり どう
 から、ごくささいな事柄を審理でき
 ぜん
 たではないのでしょうか。3 私たちが
 てん(何)し さば *
 天使たちを裁くことになるのを知らな
 いのですか。天使たちを裁くのですか
 いま せい(何)かつじょう こと(何)から あつか どうぜん
 ら、今の生活上の事柄を扱って当然で
 はないのでしょうか。4 それなら、今
 せい(何)かつじょう こと(何)から しんり ちんだい
 の生活上の事柄で審理すべき問題が

5:11; 6:9 *用語集の「性的不道德」参照。6:
 1 *または、「正しくない」。6:3 *または、「に刑
 を執行する」。

第5章

(何)ヨハ 17:15

(何)エフ 5:5

(何)申 21:20,21
ペー 4:3(何)コ一 6:9,10
ガラ 5:19-21(何)民 16:25,26
ロマ 16:17
ヨ二 10

(何)伝 12:14

(何)創 3:23,24
申 17:7
テト 3:10
ヨ二 10

第6章

(何)マタ 18:15-17

(何)啓 2:26,27
啓 20:4

(何)コ一 16:20

第2欄

(何)マタ 18:17

(何)マタ 5:39,40

(何)エフ 5:5
啓 22:15

(何)啓 21:8

(何)コ一 3:5

(何)ヘブ 13:4

(何)ロマ 1:27

(何)テモ一 1:9,10

(何)コ一 5:11

(何)申 21:20,21
格 23:20
ペー 4:3

(何)ヘブ 12:14

(何)使徒 22:16
ヘブ 10:22(何)エフ 5:25,26
テサ二 2:13

ある場合、会衆から信用されていない
 ひと(何)さば わたし
 人たちに裁かせるのですか。5 私が
 ば(何)な(何)は(何)し
 こうしたことを話すのは、恥を知ってほ
 しいからです。皆さんの中に、兄弟た
 ち(何)し(何)ちんだい さば(何)かしこ ひと(何)ひとり
 ち同士の問題を裁ける賢い人は一人
 もないのでしょうか。6 兄弟が兄
 弟を訴えるために法廷に行き、クリス
 チャンではない人たちの前に出ると
 は、いったい何事でしょう。

7 互いに訴訟を起こしている時点
 で、皆さんはすでに敗北しています。な
 ぜ(何)みな(何)は(何)ばいばく
 ぜ不当な扱いを受けるまににしない
 の(何)さ(何)た(何)と
 のですか。8 そうするどころ
 か、皆さんは不当な扱いをし、だまし
 と(何)きょうだい
 取っています。しかも兄弟たちにそう
 するとは、いったい何事でしょう。

9 正しくない人が神の王国を授け
 られることはない、ということをし
 らないのですか。悪い(何)おち(何)ちが(何)ず
 思ひ違いをしてはなりません。性的に不道德な人、偶像を崇
 拝する人、姦淫をする人、同性愛行為
 する人、同性愛にふける人、
 10 盗む人、貪欲な人、酩酊する人、の
 ひと おど と ひと(何)かみ おうこく(何)さず
 のする人、脅し取る人が神の王国を授
 けられることはありません。11 皆
 さんの中には、以前そのような人もいま
 した。しかし、洗われて清くなり、神聖
 なものとされました。主イエス・クリ
 ストの名によって、また私たちの神の聖

6:9 *または、「だまされて」。^同性愛行為にお
 いて女役をする男性のことと考えられる。^直
 訳、「男性と寝る男性」。同性愛行為において男
 役をする男性のことと考えられる。

コリント第一 6:12-7:7

なる力^{ちから}によって、正しい^{ただ}と認められま
した。

12 全てのことが私^{わたし}には許されてい
ますが、全てのことがためになるわけ
ではありません。全てのことが私^{わたし}には
許されていますが、私はどんなものにも
支配^{しよくもつ}されたりしません。13 食物^{しょくもつ}
は腹^{はら}のため、腹^{はら}は食物^{しょくもつ}のためにあり
ます。しかし、その両方^{りょうほう}が神^{かみ}によって存^{ぞん}
在^{ざい}しなくなります。体^{たい}は性的不道德^{せいどく}の
ためにではなく主^{しゅ}のためにあり、主^{しゅ}は
体^{からだ}のためにいます。14 神^{かみ}は力^{ちから}を用
いて主^{しゅ}を生き返らせましたし、私たち^{わたしたち}
をも生き返らせてくださいます。

15 皆さんは、自分の体^{からだ}がキリス
トの体^{からだ}の一部であることを知らないの
ですか。では、私はキリストの体^{からだ}の一
部^ぶを取^とって、それを娼婦^{しょうふ}と結び付け
てよいのでしょうか。決してそうではあり
ません！16 娼婦^{しょうふ}と結ばれる人が娼
婦^{ふう}と一体^{いつたい}になることを知らないのです
か。「2人は一体^{ふたり}となる」と述べられ
ています。17 しかし、主^{しゅ}と結ばれる
人^{ひと}は、精神^{せいしん}の面^{めん}で主^{しゅ}と一つになります。

18 性的不道德^{せいどく}から逃^にげ去^さりなさい！
ほかの罪^{つみ}はどれも人^{ひと}が自分の体^{からだ}の外^{そと}
で犯^{おか}すものですが、性的に不道德^{せいどく}な行
為^ゐをする人^{ひと}は自分の体^{からだ}に対して罪^{つみ}を
犯^{おか}かしているのです。19 皆さんの体^{からだ}が
聖^{せい}なる力^{ちから}の神殿^{しんでん}であることを知らない
のですか。神^{かみ}から受^うけた聖^{せい}なる力^{ちから}が

6:13、18 *ギリシャ語、ポルネイア。用語集参
照。6:15 *直訳、「器官」。

第6章

(7) ロマ 5:18

(7) コー 10:23

(7) ロマ 14:17

(7) テサー 4:3

(7) ロマ 8:11
エフ 1:19,20

(7) 使徒 2:24

(7) コ二 4:14

(7) ロマ 12:4,5
コー 12:18,27
エフ 4:15
エフ 5:29,30(7) 創 2:24
マタ 19:4,5

(7) ヨハ 17:20,21

(7) 創 39:10-12
テサー 4:3

(7) ロマ 1:24,27

(7) コ二 6:16

第2欄

(7) コー 3:16

(7) ロマ 14:8

(7) コー 7:23
ヘブ 9:12
ペー 1:18,19

(7) ロマ 12:1

(7) マタ 5:16

第7章

(7) 格 5:18,19

(7) 創 2:24
ヘブ 13:4(7) 出 21:10
コー 7:5

(7) マタ 19:10,11

皆さんの中^{みな}にあります。そして皆さん^{みな}
は、皆さん^{みな}自身^{じしん}のものではありません。
20 代価^{だいにか}によって買^かわれたからです。
ぜひとも、皆さん^{みな}の体^{からだ}で神^{かみ}をたたえて
ください。

7 さて、皆さん^{みな}からの手紙^{てがみ}に書^か
れていたことを取り上げます。男^{おとこ}
性は女性^{せいせい}に触^ふれない方がよいでしょ
う。2 しかし、性的不道德^{せいどく}が広く見
られるので、男性^{なんせい}はそれぞれ自分の妻^{つま}
を持ち、女性^{せいせい}はそれぞれ自分の夫^{おとこ}を持
ちなさい。3 夫^{おとこ}は、妻^{つま}と与^{あた}えるべき
ものを与^{あた}えなさい。妻^{つま}も、夫^{おとこ}に与^{あた}える
べきものを与^{あた}えなさい。4 妻^{つま}は自分^{おとこ}
の体^{からだ}について権限^{けんげん}を持っておらず、夫^{おとこ}
が持っています。夫^{おとこ}も自分の体^{からだ}につい
て権限^{けんげん}を持っておらず、妻^{つま}が持ってい
ます。5 夫^{おとこ}も妻^{つま}も、与^{あた}えることを拒^{こば}
んではなりません。ただし、同意^{どうい}の上^{うえ}で
いって、一定^{きはん}の期間^{きかん}を置^おく場合は別^{べつ}です。その
ようにして祈^{いの}りに専念^{せんねん}した後^{のち}に再び共
になるのであれば、自制心^{じせいしん}が欠^かけてい
るせいでサタンから誘惑^{ゆうわく}され続けると
いうことはないでしょう。6 私^{わたし}が言^い
っていることはあくまでも譲歩^{じょうほ}であって、
命令^{めいれい}ではありません。7 私^{わたし}は、皆^{みな}が
私^{わたし}のようであればと思います。それで
もやはり、人^{ひと}はそれぞれ神^{かみ}から贈^{おく}り物^{もの}
を頂^{いただ}いています。ある人^{ひと}はこれ、別^{べつ}の
人^{ひと}はあれというようにです。

7:1 *性的な接触を持たないということ。7:2
*ギリシャ語ポルネイアの複数形。用語集の「性
的不道德」参照。7:7 *独身でいる人もいれば
結婚する人も、ということ。

8 結婚^{けっこん}していない人^{ひと}たちとやもめ^{よめ}たちに言^いいます。私^{わたし}と同じように、そのままだいる方がよいでしょう。9 しかし、自制^{じせい}できないなら、結婚^{けっこん}しなさい。情欲^{じょうよく}に燃えるよりは結婚^{けっこん}する方がよいからです。

10 結婚^{けっこん}している人^{ひと}たちに指示^{しじ}を与^{あた}えます。私^{わたし}ではなく主^{しゅ}からの指示^{しじ}です。妻^{つま}は夫^{おつと}から離れるべきではありません。11 しかし、もしも離れたなら、結婚^{けっこん}しないでいるか、さもなくば夫^{おつと}と和解^{わかい}しなさい。夫^{おつと}も妻^{つま}のもとを去^さるべきではありません。

12 他^たの人^{ひと}たちに言^いいます。主^{しゅ}ではなく私^{わたし}がです。ある兄弟^{きょうだい}にクリスチャンではない妻^{つま}がいて、その妻^{つま}が夫^{おつと}と一緒にいることを望^{のぞ}んでいるなら、その兄弟^{きょうだい}は妻^{つま}のもとを去^さってはなりません。13 また、ある女性^{じょせい}にクリスチャンではない夫^{おつと}がいて、その夫^{おつと}が妻^{つま}と一緒にいることを望^{のぞ}んでいるなら、その女性^{じょせい}は夫^{おつと}のもとを去^さってはなりません。14 クリスチャンではない夫^{おつと}は妻^{つま}との関係^{かんけい}で神聖^{しんせい}なものとされ、クリスチャンではない妻^{つま}は夫^{おつと}との関係^{かんけい}で神聖^{しんせい}なものとされているからです。そうでなければ、皆^{みな}さんの子供^{こども}は清^{きよ}くないこととなります。でも実際^{じっさい}には聖^{せい}なるものです。15 しかし、クリスチャンではない人^{ひと}が離れることにするなら、離^{はな}れさせなさい。そういう場合^{ばあい}には、兄弟^{きょうだい}であれ姉妹^{しまい}であれ、相手^{あいて}につなが^なれてはいません。神^{かみ}は皆^{みな}さんを平和^{へい}と

第7章

(7) コー 7:39, 40
コー 9:5

(4) テサー 4:4, 5
テモー 5:11, 14

(7) マタ 5:32
マタ 19:6

(4) マル 10:11
ルカ 16:18

(4) コー 7:25, 40

第2欄

(7) ヘブ 12:14

(4) ペー 3:1, 2

(7) コー 7:7

(4) 使徒 21:20

(4) 使徒 10:45
使徒 15:1, 24
ガラ 5:2

(7) ガラ 6:15
コロ 3:11

(4) 伝 12:13
エレ 7:23
ロマ 2:25
ガラ 5:6
ヨ一 5:3

(7) コー 7:17

(7) ガラ 3:28

(4) ヨハ 8:36
ファイル 15, 16

(7) コー 6:19, 20
ヘブ 9:12
ペー 1:18, 19

へと招^{まね}いたのです。16 妻^{つま}であるあなたは、夫^{おつと}を救^{すく}えないとどうして分かるのですか。夫^{おつと}であるあなたは、妻^{つま}を救^{すく}えないとどうして分かるのですか。

17 いずれにしても、各自^{かくじ}がエホバから与^{あた}えられた分^{ぶん}に応^おじて歩^{あゆ}み、神^{かみ}に招^{まね}かれた時^{とき}のままでいてください。私^{わたし}は全ての会衆^{かいしゅう}でこの指示^{しじ}を与^{あた}えます。

18 招^{まね}かれた時^{とき}にすでに割^{かつ}れを受け^うけていた人^{ひと}がいますか。その人^{ひと}は割^{かつ}れを受け^うける前^{まえ}の状態^{じょうたい}に戻^{もど}そうとしてはなりません。招^{まね}かれた時^{とき}に割^{かつ}れを受け^うけていなかった人^{ひと}がいますか。その人^{ひと}は割^{かつ}れを受け^うけてはなりません。19 割^{かつ}れを受け^うけていることにも受け^うけていないことにも、特に意味^{いみ}はありません。意味^{いみ}があるのは、神^{かみ}のおきてを守^{まも}ることです。20 招^{まね}かれた時^{とき}にどんな状態^{じょうたい}だったとしても、各自^{かくじ}のままでいてください。21 あなたは招^{まね}かれた時^{とき}、奴隷^{どれい}でしたか。そのことで悩^{なや}む必要^{ひつよう}はありません。ですが、自由^{じゆう}になれるなら、その機会^{きかい}を捉^{とら}えるとよいでしょう。22 奴隷^{どれい}の時^{とき}に招^{まね}かれて主^{しゅ}に従^{したが}う人^{ひと}は、解放^{かいほう}されて主^{しゅ}に仕^{つか}える自由^{じゆう}民^{みん}です。どうしようもなしに仕^{つか}える奴隷^{どれい}は、同様に、自由^{じゆう}民^{みん}の時^{とき}に招^{まね}かれた人^{ひと}は、キリストに仕^{つか}える奴隷^{どれい}です。23 皆^{みな}さんは代価^{だいか}によって買^かわれました。もう人間^{にんげん}の奴隷^{どれい}となつてはなりません。24 兄弟^{きょうだい}たち、招^{まね}かれた時^{とき}にどんな状

7:17 *付録 A5 参照。 7:18 *用語集 参照。 7:22 *または、「主に仕える解放奴隷」。用語集 参照。

態^{たい}だったとしても、各自^{かくじ}が神^{かみ}の前^{まえ}でそのままでいてください。

25 さて、未婚^{みこん*}の人^{ひと}について、私^{わたし}は主^{しゅ}から何^{なん}の命令^{めいれい}も受^うけていませんが、主^{しゅ}の憐れみ^{あわれみ}のおかげで忠実^{ちゅうじつ}でいられる者^{もの}として、私^{わたし}の意見^{いけん}を述^のべます。

26 現在^{げんざい}の難^{むずか}しい状況^{じょうきょう}からして、人^{ひと}は今^{いま}のままでいるのが一番^{いちばん}良いと思^{おも}います。

27 あなたは妻^{つま}につながれていますか。解放^{かいほう}を求^{もと}めてはなりません。

28 あなたは妻^{つま}から解^とかれていませんか。妻^{つま}を求^{もと}めてはなりません。

28 とはいえ、結婚^{けっこん}するとしても、罪^{つみ}を犯^{おか}すことにはなりません。

また、未婚^{みこん*}の人^{ひと}が結婚^{けっこん}するとしても、罪^{つみ}を犯^{おか}すことにはなりません。

しかし、結婚^{けっこん}するなら、苦難^{くるなん}を身^みに招^{まね}きます。私^{わたし}は皆^{みな}さんにそういう経験^{けいけん}をさせたくないと思^{おも}っています。

29 兄弟^{きょうだい}たち、私^{わたし}は次^{つぎ}のことを言^いいます。残^{のこ}された時^{とき}は少^{すく}なくなっています。

30 今^{こん}後^ご、妻^{つま}がいる人^{ひと}は妻^{つま}がいらない人^{ひと}のようになっ

てください。30 泣^ないて

いる人^{ひと}は泣^ないていない人^{ひと}のよう

に、喜^{よろこ}んでいる人^{ひと}は喜^{よろこ}んでいない人^{ひと}のよう

に、買^かっている人^{ひと}は持^もっていない人^{ひと}のよう

に、31 世^よを利用^{りよう}している人^{ひと}は世^よを十分^{じゅうぶん}には利用^{りよう}していない人^{ひと}のよう

になってください。今^{いま}の世^よのありさまは変^{かわ}わろうとしているからです。32 私^{わたし}は、皆^{みな}さんに心配^{しんぱい}事^{ごと}がないことを願^{ねが}っています。

結婚^{けっこん}していない男性^{だんせい}は、ど

第7章

(ア) コー 7:12
コー 7:40

(イ) マラ 2:16
マラ 19:6
エフ 5:33

(ロ) ロマ 13:11
ペー 4:7

第2欄

(ア) テモー 5:8

(イ) テモー 5:5

(ロ) マタ 19:12
コー 7:28

(ロ) マタ 19:10, 11

(ロ) コー 7:32

(ロ) ロマ 7:2

(イ) 創 24:2, 3
申 7:3, 4
ネヘ 13:25, 26
コニ 6:14

うすれば主^{しゅ}に喜^{よろこ}ばれるかと、主^{しゅ}の事柄^{ことば}に氣^きを使^{つか}います。33 一^{いっ}方^{ぽう}、結^{いっ}婚^{ぽう}して

いる男性^{だんせい}は、どうすれば妻^{つま}に喜^{よろこ}ばれるかと、世^よの事柄^{ことば}に氣^きを使^{つか}います。34 2つ

に分^{ぶん}断^{だん}されます。また、結^{いっ}婚^{ぽう}していな

い女性^{じょせい}や処女^{しよじょ}は、体^{からだ}と精神^{せいしん}の両面^{りやうめん}で聖^{せい}なるものであろうとして、主^{しゅ}の事柄^{ことば}

に氣^きを使^{つか}います。一^{いっ}方^{ぽう}、結^{いっ}婚^{ぽう}している

女性^{じょせい}は、どうすれば夫^{おつと}に喜^{よろこ}ばれるかと、世^よの事柄^{ことば}に氣^きを使^{つか}います。35 私^{わたし}が

こうしたことを言^いうのは、皆^{みな}さんのためであって、皆^{みな}さんを抑^{おさ}え付けたいか

らではありません。適^{てき}切^{せつ}な行^{こう}動^{どう}へと促^{うなが}し、氣^きを散^ちらさずに絶^たえず主^{しゅ}に仕^{つか}える

よう励^{はげ}ましたいのです。

36 ですが、未婚^{みこん*}の人^{ひと}が欲^{よつ}求^{きゅう}を抑^{おさ}えられな

いと感じていて、若^{わか}さの盛^{さか}りを過^すぎてい

るなら、自^じ分^{ぶん}の望^{のぞ}む通^{とお}りにしなさい。罪^{つみ}を犯^{おか}すことにはなりません。

37 しかし、決^{けつ}心^{しん}がついていて、必要^{ひつよう}もなく、自^じ分^{ぶん}の意^い志^しを制^{せい}することができ、結^{いっ}婚^{ぽう}しないと心^{こころ}の

中^{なか}で決^きめているのであれば、それ^{それ}は立^{りつ}派^ぱなこです。38 それで、結^{いっ}婚^{ぽう}する

人^{ひと}も立^{りつ}派^ぱですが、結^{いっ}婚^{ぽう}しない人^{ひと}はいっ

そう立^{りつ}派^ぱです。

39 妻^{つま}は夫^{おつと}が生^いきている間^{あいだ}はつな

がれています。しかし、もし夫^{おつと}が死^しの眠^{ねむ}り

に就^つくことがあれば、望^{のぞ}みの人^{ひと}と自^じ由^{ゆう}に結^{いっ}婚^{ぽう}できます。た

だし、主^{しゅ}に従^{したが}う人^{ひと}とだけ

です。40 とはいえ、私^{わたし}の意見^{いけん}

7:34 *または、「氣を散らされ」。7:35 *直訳、「皆さんに輪繩を掛け」。7:37 *または、「欲求を抑える」。

では、その女性はそのままでいる方が
幸せです。私は自分も神の聖なる力を
持っていると確信しています。

8 さて、偶像に捧げられた食物に
ついて取り上げます。私たちは
皆、知識を持っています。知識は人を
思い上げさせますが、愛は人を向上さ
せます。 **2** 自分はあることについて
知っていると思う人は、本当に知るべ
きところまでは知っていません。 **3** し
かし、神を愛している人は、神に知ら
れています。

4 偶像に捧げられた食物を食べる
ことに関して、私たちは、偶像には何
の意味もないこと、神はひとりしか
いないことを知っています。 **5** 多く
のものが「神」や「主」と呼ばれてお
り、天や地のさまざまな神が信じられ
ていますが、 **6** 私たちには父である
ひとりの神がいて、この方によって全
てのものがあり、私たちはこの方のた
めに存在しています。また、ひとりの主
イエス・キリストがいて、この方を通し
て全てのものがあり、私たちはこの方
を通して存在しています。

7 とはいえ、全ての人がこの知識を
持っているわけではありません。あ
る人たちは、以前に偶像に関わってい
たので、食物を食べる時にそれが偶像
に捧げられた物であることが頭から離
れず、弱い良心が汚されます。 **8** 本

8:1 *または、「力づけ」。**8:7,12** *または、「訓
練されていない」。

第8章

(7) 使徒 15:20,29

(1) ロマ 14:14
コ 8:10

(7) コ 8:13
コ 13:4,5

(11) 申 32:21
王二 19:17,18
エレ 16:20

(11) 申 6:4
申 32:39

(7) 詩 82:1,6
ヨハ 10:34,35

(11) マラ 2:10
マタ 23:9

(7) テモ 2:5

(7) 使徒 17:28
ロマ 11:36

(11) ヨハ 1:1,3
コロ 1:15,16

(7) ロマ 14:14

(11) コ 10:27,28

(11) ロマ 14:23

第2欄

(7) ロマ 14:17

(11) ヘブ 13:9

(7) ロマ 14:13,20

(11) ロマ 14:15

(7) コ 10:28,29

(7) マタ 18:6
ロマ 14:15,21

第9章

(11) 使徒 9:3-5
コ 15:7,8

とうのところ、食物によって神にいつそう
近づけるわけではありません。食べな
いと何かを得損なうわけでも、食べ
ると何かが得られるわけでもないの
です。 **9** しかし、その選択の権利に
よって弱い人たちに過ちを犯させてし
まうことがないように、常に注意してく
ださい。 **10** もし、知識を持つあなた
が偶像の神殿で食事をしているところ
を、誰か弱い人が見たなら、その人は
大胆になって良心に逆らい、偶像に捧
げられた食物を食べることになってし
まわないでしようか。 **11** あなたは知
識によってその弱い人を破滅させるこ
とになってしまいます。あなたの兄弟
であるその人のために、キリストが死
んでくださったにもかかわらず。
12 そのようにして兄弟に対して罪を
犯し、兄弟の弱い良心を傷つけるな
ら、皆さんはキリストに対して罪を犯
していることになります。 **13** それで、
食物によって私の兄弟に過ちを犯さ
せることになってしまうなら、私はもう
決して肉を食べません。私の兄弟に
過ちを犯させないためです。

9 私は自由ではないのでしょうか。
使徒ではないのでしょうか。私は
主イエスを見たものではありませんか。
皆さんは、私が主のために奉仕した成
果ではありませんか。 **2** 私はほかの
人たちにとっては使徒でないとしても、

8:9 *または、「弱い人たちの信仰を妨げて」。
8:13 *または、「兄弟の信仰を妨げ」。

皆さんにとっては確かに使徒です。皆さんは、主との関係が私が使徒であることを示す証印なのです。

3 私を調べる人たちに、私は次のように弁明します。4 私たちには飲食する権利があります。そうではないでしょうか。5 私たちには、ほかの使徒や主の弟たちやケファと同じように、クリスチャンの妻を伴う権利があります。そうではないでしょうか。6 パルナバと私だけ、生活のための仕事をやる権利がないのですか。7 自費で兵役に就く人などいるでしょうか。ブドウ園を造ったのに、収穫した実を食べない人がいるでしょうか。羊の群れを飼育しているのに、搾った乳を飲まない人がいるでしょうか。

8 私はこうしたことを、単に人間の観点で話しているのでしょうか。律法も同じことを述べているのではありませんか。9 モーセの律法に、「脱穀している牛に口籠を付けてはならない」と書かれています。神が気に掛けているのは牛でしょうか。10 それとも、私たちのために神はそう述べているのでしょうか。それが書かれたのは私たちのためです。耕す人も脱穀する人も、分け前をもらうことを期待して働くものだからです。

11 私たちが皆さんに神からのもの

9:2 *または、「証拠」。9:4, 12 *直訳, 「権威」。9:5 *ペテロとも呼ばれる。*または、「姉妹を妻として」。9:9 *または、「牛の口を覆って」。

第9章

(7) マタ 13:55
ガラ 1:19

(4) ヨハ 1:42

(7) マタ 19:11

(4) 使徒 13:2

(7) 申 20:6
格 27:18

(7) 申 25:4
テモ一 5:18

第2欄

(7) ロマ 15:26, 27
ガラ 6:6
フィリ 4:15-17

(4) 使徒 18:3
使徒 20:34
テサ二 3:7, 8

(7) コ二 6:3
コ二 11:7

(4) レビ 6:14, 16
民 18:30, 31
申 18:1

(7) マタ 10:9, 10
ルカ 10:7, 8

(7) 使徒 18:3
使徒 20:34
コ一 4:11, 12
テサ二 3:8

(*) コ二 11:8-10

(7) エゼ 3:18

(7) ガラ 2:7
エフ 3:1, 2
コロ 1:25

を与えたのであれば、皆さんから生活に必要な物を受けるのは行き過ぎたことでしょうか。12 ほかの人たちが皆さんに援助を求めてよいのであれば、私たちはなおのことそうしてよいのではないのでしょうか。それでも私たちはその権利を行使せず、全てのことを忍耐しています。キリストについての良い知らせが広まるのを決して妨げないようにするためです。13 皆さんは、神聖な務めを果たす人が神殿の物を食べることや、祭壇でいつも奉仕する人が祭壇から分け前を得ることを知らないのですか。14 同じように私は、良い知らせを広める人は良い知らせによって生活するやうにと命じました。

15 しかし私は、そのような権利を一度も利用したことはありません。こうしたことを書いたのも、援助を求めたいからではありません。そうするくらいなら死んだ方がましです。誇る理由を私から奪うことは誰にもできません! 16 私が良い知らせを広めていることは、誇る理由にはなりません。私に与えられた任務だからです。もし良い知らせを広めないなら、それは私にとって悲惨なことです! 17 その任務を進んで果たすなら、私は報いを得ます。しかし、たとえ自分の意志に反して果たすとしても、管理人としての責任があることに変わりはありません。

9:11 *直訳, 「まいた」。*直訳, 「刈り取る」。

18 では、私の報いとは何でしょうか。それは、良い知らせに関する私の権威をむやみに用いることなく、援助を受けずに良い知らせを伝えられるということです。

19 私は自由であり、誰にも束縛されていませんが、全ての人の奴隷になりました。できるだけ多くの人を引き寄せるためです。20 ユダヤ人に対してはユダヤ人のようになりました。ユダヤ人を引き寄せるためです。律法の下にいる人に対しては律法の下にいる人のようになりました。私自身は律法の下にいませんが、律法の下にいる人を引き寄せるためにそうしたのです。21 律法を持たない人に対しては律法を持たない人のようになりましました。私は神の律法を持っていないわけではなく、キリストの律法の下にいますが、律法を持たない人を引き寄せるためにそうしたのです。22 弱い人に対しては弱い人になりました。弱い人を引き寄せるためです。私はあらゆる人に対してあらゆるものになってきました。できる限りのことをして、何人かでも救いたいからです。23 私は良い知らせのために全てのことを行います。良い知らせを人々に伝えるためです。

24 競走では走者全員が走りますが、賞を得るのは1人だけだということを、皆さんは知らないのですか。賞を

9:18 *または、「権利」。*または、「無償で」。

第9章

(7) 使徒 16:3
使徒 18:18

(1) 使徒 21:24,26

(7) ヨハ 13:34

ガラ 6:2

(12) ロマ 14:1

ロマ 15:1

コ二 11:29

(7) 使徒 19:26
テサー 2:8

第2欄

(7) マタ 10:22

フィリ 3:14

テモ二 4:7,8

(1) テモ二 2:5

(7) ヤコ 1:12

(12) ガラ 2:2

フィリ 2:16

ヘブ 12:1

(7) ロマ 8:13

コロ 3:5

第10章

(7) 出 13:21

(14) 出 14:21,22

(7) 出 16:14,15

(7) 出 17:6

(12) 民 20:11

ヨハ 4:10,25

(7) 民 14:29

民 14:35

(12) 民 11:4,34

え得られるような走り方をしてください。

25 また、競技に参加する人は皆、どんなことについても自制します。もちろん、そのようにして彼らが得ようとするのは朽ちる冠ですが、私たちの場合は朽ちない冠です。26 それで私は、どこに向かっていくか分からないような走り方をしてはしません。空振りになるようなこぶしの振るい方もしてはいません。27 自分の体を打ちたたき、奴隷にして従わせます。人々に伝道しておきながら、私自身が何かのことで退けられないためです。

10 さて、兄弟たち、次のことを知ってほしいと思います。私たちの父祖は、皆が雲の下にいて、皆が海の中を通り、2 皆が雲と海によってモーセへのバプテスマを受け、3 皆が神からの食物を食べ、4 皆が神からの飲み物を飲みました。いつも神からの岩がそばにあり、そこから飲んでいました。その岩はキリストを表していました。5 しかし、神は父祖たちの大半のことを喜びませんでした。彼らは荒野で死ぬことになったのです。

6 こうした例から学べることがあります。私たちは、彼らのように悪い事柄を行おうとはなりません。7 彼らのうちのある人たちのように、偶像

9:25 *または、「運動選手」。9:27 *または、「処罰し」、「厳しく訓練し」。*または、「失格にならない」。10:4 *直訳、「付いてきて」。*または、「キリストでした」。

を崇拝してはなりません。「民は座つて
食べたり飲んだりし、立ち上がって楽しんだ」と書かれています。 **8** 彼らのうちのある人たちのように、性的に不道德な行為をしてはなりません。性的に不道德な行為をしたため、1日に2万3000人が死にました。 **9** 彼らのうちのある人たちのように、エホバを試してはなりません。試した人たちは、蛇によって滅びました。 **10** 彼らのうちのある人たちのように、不満を口にしてはなりません。不満を口にしたら滅ぼす者によって滅ぼされました。 **11** こうしたことが彼らに起きたのは、私たちが過去の例から学ぶためです。これらの出来事は、今の体制が終わる時に生きている私たちへの警告として書かれたのです。

12 それで、立っていると思う人は、倒れることがないように気を付けてください。 **13** 皆さんが受けてきた誘惑は、多くの人が同じように経験してきた誘惑です。神は信頼できる方で、皆さんが耐えられないほど誘惑を受けるままにはしません。出口を設けて、誘惑に耐え切れるようにしてください。

14 ですから、愛する皆さん、偶像崇拜から逃げ去ってください。 **15** 私は、皆さんのことを識別力がある人だと思っ話します。私の言うことを

10:8 *用語集の「性的不道德」参照。 **10:9, 21, 22** *付録A5参照。 **10:10** *天使のこととされる。 **10:11** *または、「さまたげ」。

第10章

(7) 出 32:4,6

(1) 民 25:1,9

(2) 申 6:16

(12) 民 21:5,6
マタ 4:7

(1) 民 14:2

(1) 民 14:36,37

(1) 口マ 15:4

(1) 格 28:14
ルカ 22:33,34
ガラ 6:1

(1) ペー 5:8,9

(1) ルカ 22:31,32
ペ二 2:9

(1) イザ 40:29
フィリ 4:13

(1) 申 4:25,26
コ二 6:17
ヨ一 5:21

第2欄

(1) マタ 26:27,28

(1) マタ 26:26
ルカ 22:19
コ一 12:18

(1) 口マ 12:5

(1) レビ 7:15

(1) 申 32:17

(1) ユダ 6

(1) エゼ 41:22
マラ 1:12

(1) 出 34:14

申 32:21

自分で判断してください。 **16** 私たちが感謝の祈りをし、感謝の杯から飲むことは、キリストの血を分け合うことではありません。私たちがパンを割って食べることは、キリストの体を分け合うことではありませんか。 **17** パンは1つなので、私たちは大勢いても1つの体です。私たちは皆、その1つのパンを食べているからです。

18 イスラエル人について考えてください。犠牲として捧げられた物を食べる人は、祭壇と分け合っているのではないのでしょうか。 **19** 私が何を言いたいのか分かりますか。偶像に犠牲として捧げられたものには何か意味がある、あるいは、偶像には何か意味があるということでしょうか。 **20** そうではありません。異国のの人々が犠牲として捧げる物は神ではなく邪悪な天使たちに捧げているということです。皆さんには、邪悪な天使と分け合ってほしくありません。 **21** エホバの杯と邪悪な天使の杯の両方から飲むことはできません。「エホバの食卓」と邪悪な天使の食卓の両方で食べることはできません。 **22** それとも、「私たちはエホバを嫉妬させるのですか」。私たちの方が強いわけではないでしょう。

23 全てのことが許されています、全てのことがためになるわけではありません。全てのことが許されています

10:22 *または、「怒らせる」。

が、全てのことが励みになるわけでは
ありません。24 各自、自分のため
になることではなく、人のためになる
ことをいつも優先しましょう。

25 肉市場で売っている物はどれも
食べて構いません。自分の良心のた
めにいちいち尋ねる必要はありません。
26 「地球とそこにあるもの全て
はエホバのもの」だからです。27 ク
リスマンではない人から招かれ、行
きたいと思う場合、出される物はどれ
も食べて構いません。自分の良心の
ためにいちいち尋ねる必要はありません。
28 しかし、もし誰かに「これは
犠牲として捧げられた物です」と言わ
れたなら、食べてはなりません。そう
言った人のために、また良心のために
です。29 私が言っているのは皆さんの
良心のことではなく、相手の良心の
ことです。というのも、私の自由がほか
の人の良心によって批判されるような
ことになってよいでしょうか。30 私
が感謝して食べているのに、私が感謝
している物について悪く言われるよう
なことになってよいでしょうか。

31 それで、食べるにしても、飲むに
しても、ほかのどんなことをするにしま
しても、全てのことを神の栄光のためにし
ましょう。32 ユダヤ人にとっても、ギ
リシャ人にとっても、神の会衆にとつ
ても、信仰の妨げにならないようにしま

10:26 *付録A5参照。10:32 *または、「過ち
のもと」。

第10章

(7) ロマ 14:19
ロマ 15:2

(4) コー 10:32, 33
コー 13:4, 5
フィリ 2:4

(例) 詩 24:1
テモ一 4:4

(4) コー 8:7, 10

(例) ロマ 14:15, 16
コー 8:12

(例) ロマ 14:6
テモ一 4:3

(4) マタ 5:16
コロ 3:17

第2欄

(7) ロマ 14:13
コー 8:13
コ二 6:3

(4) ロマ 15:2
フィリ 2:4

(例) コー 9:22

第11章

(4) フィリ 3:17
テサ二 3:9

(例) ロマ 14:9
エフ 4:15
コロ 2:10

(例) エフ 5:23
ペー 3:1

(4) コー 15:27, 28

(例) ヨエ 2:28
使徒 21:8, 9

(例) 創 1:27

(例) 創 2:22, 23

しよう。33 私も、自分ではなく多く
の人のためになることを優先し、全て
のことについて全ての人を喜ばせるよ
うにしています。多くの人が救われて
ほしいからです。

11 キリストに倣っている私に
倣ってください。

2 皆さんはとも立派です。あらゆる
面で私のことを覚えていて、私が伝
えたことをしっかり守っているからで
す。3 しかし、次のことを知ってほし
いと思います。全ての男性の頭はキリ
ストであり、女性の頭は男性であり、キ
リストの頭は神です。4 男性が祈
ったり預言したりする時に頭を覆うな
ら、自分の頭を辱めることになります。
5 一方、女性が祈ったり預言したりす
る時に頭を覆わないなら、自分の頭
を辱めることになります。頭をそられ
た女性自然だからです。6 女性は覆
いを着けないなら、髪を切るべきなの
です。しかし、女性にとって髪を切った
りそったりするのは恥なのですから、覆
いを着けるべきです。
7 男性は頭を覆うべきではありません
。男性は神に似た者として造られた
のであり、神の栄光だからです。一方、
女性は男性の栄光です。8 男性が
女性から造られたのではなく、女性が
男性から造られたからです。9 また、
男性が女性のために創造されたので

11:2 *または、「伝統」。

はなく、女性^{じょせい}が男性^{だんせい}のために創造^{そうぞう}されたのです。10 ですから女性^{じょせい}は、天使^{てんし}たちのためにも、頭^{かしら}に権威^{けんい}のしるしを^{しるし}着^きけるべきです。

11 さらに、主^{しゅ}の下^{もと}では、女性^{じょせい}を男性^{だんせい}と切り離^{はな}すことはできず、男性^{だんせい}を女性^{じょせい}と切り離^{はな}すこともできません。12 女性^{じょせい}が男性^{だんせい}から造^{つく}られたように、男性^{だんせい}は女性^{じょせい}から生^うまれるからです。もちろん、全^{かん}てのものは神^{かみ}によって造^{つく}られました。

13 皆さん自身^{みん}で判断^{はん}してください。女性^{じょせい}が頭^{あたま}を覆^{おお}わないで神^{かみ}に祈^{いの}るのは適切^{てきせつ}なことでしょうか。14 私^{わたし}たちの自然^{しぜん}な感覚^{かんかく}によれば、男性^{だんせい}にとって髪^{かみ}を長^{なが}くするのは恥^{はじ}ではないでしょうか。

15 一方^{いっぽう}、女性^{じょせい}にとって髪^{かみ}を長^{なが}くするのは栄光^{えいこう}ではないでしょうか。女性^{じょせい}の髪^{かみ}は覆^{おお}いの代わり^かに与^{あた}えられているのです。16 たとえ何^{なん}かほかの習慣^{しゅうかん}を支持^しする人^{ひと}がいても、これ^い以外の習慣^{しゅうかん}は、私^{わたし}たちにも、神^{かみ}のどの会衆^{かいしゅう}にもありません。

17 こうした指示^{しじ}を与えるに当^{あた}たり、私^{わたし}は皆さんを褒^ほめることはしません。集^{あつ}まること^{こと}が、皆さんにとつてた^ためにな^なるどころか害^{がい}になっているからです。

18 まず、会衆^{かいしゅう}として集^{あつ}まる時^{とき}、皆さん^{みな}の間に分裂^{ぶんれつ}があると聞^きいています。私^{わたし}はある程度^{ていど}その話^{はなし}を信^{しん}じています。

19 やがて皆さん^{みな}の間に分派^{ぶんぱ}も生^{しょう}じるに違^{ちが}いありません。その結果^{けつ}、誰^{だれ}が神^{かみ}

第11章

〔創〕2:18

〔イ〕コ―4:9

〔創〕2:21,22

〔ロ〕コ―8:6

〔使〕徒20:29,

30

コ―1:12

テモ―4:1

ペ二2:1

第2欄

〔ルカ〕22:19,20

〔イ〕マタ26:20

ルカ22:14

〔イ〕マタ26:26

マル14:22

ロマ7:4

コ―10:17

〔ロ〕ルカ22:19

〔イ〕マタ26:27

マル14:23

コ―10:16

〔ロ〕ルカ22:20

ヘブ9:13,14

ペ一1:18,19

〔イ〕エレ31:31

ヘブ8:8

ヘブ9:15

〔イ〕出12:14

から良^よいと認^{みと}められているかも明^{あき}らかになるでしょう。

20 皆さんは1つの場所^{ばしょ}に集^{あつ}まっではいても、主^{しゅ}の晩餐^{ばんさん}を食^たべるためにそ^そうしているとは言^いえませんが。21 自分^{じぶん}の食^{しょく}事を先^{さき}に済^すませていて、主^{しゅ}の晩餐^{ばんさん}の時^{とき}には酔^よっている人もい^ひれば、一方^{いっぽう}で空腹^{くうふく}の人もい^ひるからです。22 皆さんには食^たべたり飲^のんだりするた^ための会^い家^かがないのですか。それとも、神^{かみ}の会^{かい}衆^{しゅう}を軽視^{けいし}し、食^{しょく}べる物^{ぶつ}がない人^{ひと}たちに恥^{はじ}ずかしい思^{おも}いをさせたいのですか。私^{わたし}は皆さんに何^{なん}と言^いえばよいでしょう。か。褒^ほめるべきで^はしょうか。このこと^{こと}につ^ついては褒^ほめません。

23 私^{わたし}は、主^{しゅ}から受^うけたことを皆^{みな}さんに伝^{つた}えました。主^{しゅ}イエスは、裏切^{うらぎ}られようとしていた夜^{よる}、パンを取り、24 感謝^{かんしゃ}の祈^{いの}りをしてからそれを割^わり、こう言^いいました。「これはあなたたちのための私^{わたし}の体^{からだ}を表^{あらわ}しています。このことを行^{おこな}っていき、私^{わたし}のことを思^{おも}い起^{おこ}しなさい」。25 食^{しょく}事が済^すんでから、杯^{さかずき}につ^ついても同^{おな}じようにして、こう言^いいました。「この杯^{さかずき}は私^{わたし}の血^ちによるあ^あたら^けいやく^{やく}を表^{あらわ}しています。それを飲^のむた^たびに、このことを行^{おこな}い、私^{わたし}のことを思^{おも}い起^{おこ}しなさい」。26 皆さんは、このパン^{パン}を食^たべ、この杯^{さかずき}から飲^のむた^たびに、主^{しゅ}の死^しを告^つげ知らせるのであり、主^{しゅ}が来^くるまでそれ^{それ}を続^{つづ}けるのです。

27 ですから、不適^{ふてきせつ}切^{たいど}な態^{たいど}度^どでその

11:24、25 *または、「記念し」。11:27 *または、「状態」。

11:10 *または、「権威に従っていること」。

す。キリストも同様です。13 私たちは皆、ユダヤ人であれギリシャ人であれ、奴隷であれ自由民であれ、1つの聖なる力によってバプテスマを受けて1つの体になり、1つの聖なる力を飲んだからです。

14 体は確かに、1つの器官ではなく多くの器官で構成されています。

15 もし足が、「私は手ではないから、体の一部ではない」と言ったとしても、体の一部でないことにはなりません。

16 また、もし耳が、「私は目ではないから、体の一部ではない」と言ったとしても、体の一部でないことにはなりません。

17 もし全身が目としたら、どこで聞くのですか。もし全身が耳だとしたら、どこでおいを嗅ぐのですか。18 神は望みのままに体の各器官を配置したのです。

19 もし全てが同じ1つの器官だとしたら、体は成り立つでしょうか。

20 実際には多くの器官があり、それでも体は1つです。21 目は手に、「私にあなたは必要ない」とは言えず、頭も足に、「私にあなたは必要ない」とは言えません。

22 それどころか、ほかより弱く見える器官がかえって必要なのです。23 また私たちは、ほかより貴くないと思える部分を、いっそう貴重なものに見なします。私たちの見栄えのしない部分がいっそう大事にされるためです。24 一方、見栄え

第12章

[例] ロマ 12:4,5

[例] エフ 4:16

[例] 創 3:7,21

第2欄

[例] ロマ 12:10

ガラ 6:2

エフ 4:25

[例] ヘブ 13:3

[例] ロマ 12:15

[例] エフ 1:22,23

[例] ロマ 12:4,5

[例] エフ 2:20

[例] 使徒 13:1

[例] エフ 4:11

[例] ガラ 3:5

[例] 使徒 5:16

[例] ヘブ 13:17

[例] 使徒 2:6,7

[例] コー 14:4

[例] コー 14:5

[例] コー 14:1

[例] コー 13:8

のする部分は何も必要としません。とはいえ、神がそのように体を造り上げたのであり、貴くないとされる部分を神はいっそう貴重なものと見ています。25 体に分裂がないようにし、各器官が気遣い合うようにするために。26 1つの器官が苦しめば、ほかの器官全てと一緒に苦しみ、1つの器官が称賛されれば、ほかの器官全てと一緒に喜ぶのです。

27 皆さんはキリストの体であり、ひとりひとりが器官です。28 そして神は衆内の人たちにそれぞれの役割を与えました。第一に使徒、第二に預言者、第三に教える人、次いで奇跡をおこなう人、次いで癒やす能力を持つ人、人々を世話する人、指揮する能力がある人、さまざまな言語を話す人です。

29 皆が使徒ではないでしょう。皆が預言者ではないでしょう。皆が教える人ではないでしょう。皆が奇跡を行うわけではないでしょう。30 皆が癒やす能力を持つわけではないでしょう。皆がさまざまな言語を話すわけではないでしょう。皆が通訳者ではないでしょう。31 それでも、より優れた贈り物を頂けるように努力し続けてください。とはいえ、私は何よりも勝った道を皆さんに教えます。

13 たとえ私が人間や天使のさまざまな言語を話しても、愛がなければ、うるさく鳴るどらや、やか

12:28 *または、「役立つ仕事を行う」。12:30 *または、「翻訳者」。12:31 *または、「能力」。

12:23 *または、「として覆います」。

ましく響くシンバルのようです。2 た
え私が預言する能力を持ち、全ての
神聖な秘密と全ての知識を理解して
いても、また、たとえ山を動かすほどの
強い信仰を持っても、愛がなければ
無価値です。3 たとえ私が持ち物
を全て差し出してほかの人が食物を
得られるようにしても、また、たとえ体
をなげうって自分を誇れるようにして
も、愛がなければ何も得られません。

4 愛は辛抱強く、親切です。愛は嫉
妬しません。愛は自慢せず、思い上が
らず、5 下品な振る舞いをせず、自分
のことはかえり、いら立ちません。
愛は傷つけられても根に持ちません。
6 愛は不正を喜ばないで、真実を喜
びます。7 愛は全てのことに耐え、全
てのことを信じ、全てのことを希望し、
全てのことを忍耐します。

8 愛は決して絶えません。一方、預
言する能力があっても、それは除き去
られます。さまざまな言語があっても、
それはなくなります。知識があっても、
それは除き去られます。9 私たち
は部分的な知識しか持っておらず、
部分的なことしか預言していません。
10 完全なものが来ると、部分的な
ものは除き去られます。11 私はこ
ども供だった時、子供の話し方をし、子供

13:2 *または、「移す」。*または、「役に立ちま
せん」。13:5 *または、「無礼な」。*または、
「不当な仕打ちを受けても」。13:8 *奇跡的に
別の言語を話すということ。*奇跡的に知識を
与えられるということ。

第13章

[ア] コー 12:8

[イ] ヨー 4:20

[ロ] マタ 6:2

[ロ] コニ 9:7

[ロ] ヨー 4:8

[ロ] テサー 5:14

[ロ] ロマ 13:10

エフ 4:32

[ロ] ガラ 5:26

[ロ] ペー 5:5

[ロ] ロマ 13:13

コー 14:40

[ロ] コー 10:24

フイリ 2:4

[ロ] マタ 5:39

ヤコ 1:19

[ロ] エフ 4:32

コロ 3:13

[ロ] ロマ 12:9

[ロ] ペー 4:8

[ロ] 使徒 17:11

[ロ] ロマ 8:25

ロマ 12:12

[ロ] テサー 1:3

[ロ] 格 4:18

第2欄

[ロ] マタ 22:37

ロマ 13:10

第14章

[イ] テサー 5:20

[ロ] コー 13:2

[ロ] コー 14:5

[ロ] コー 12:30

[ロ] ヨエ 2:28

使徒 2:17

使徒 21:8,9

の考え方をし、子供の捉え方をしてい
ました。しかし、大人になった今、子
供の特徴を捨て去りました。12 現
在私たちは金属の鏡でぼんやりした
輪郭を見ているが、やがて顔と顔を
合わせるかのようにはっきり見ます。
現在私は部分的なことしか知りません
が、やがて正確に知ります。ちょうど
私が正確に知られているようにです。
13 いずれにしても、信仰、希望、愛、こ
の3つは残ります。そのうち最も優れ
ているのは愛です。

14 努めて愛を示してください。
そして、神からの贈り物を頂
けるように努力し続けてください。特
に、預言できるようにになるとよいでし
う。2 別の言語を話す人は、人にで
はなく神に話します。聖なる力によ
って神聖な秘密を話しますが、誰も理解
できません。3 しかし、預言する人
は、言葉によって人を力づけ、励まし、
慰めます。4 別の言語を話す人は自
分を力づけますが、預言する人は会衆
を力づけます。5 私は皆さん全員に
さまざまな言語を話してほしいと思
いますが、それよりも皆さんが預言する
ことを願います。さまざまな言語を話
す人は通訳しない限り、会衆を力づけ
ることはできないので、預言する人の
方が優れているのです。6 また、兄

13:11 *または、「推論の仕方」。13:12 *また
は、「で不明瞭にしか見えていません」。*また
は、「十分に」。14:1 *または、「能力」。14:5
*または、「翻訳」。

だいた、わかし、いまみな、ところ、い
 第たち、私が今皆さんの所に力で行ってさ
 まざまな言語を話すとしても、啓示、知
 識、預言、教えを話さないのであれば、
 なん、何のためになるでしょうか。

7 笛やたて琴など、命のない楽器
 についても同じことが言えます。音程
 がなければ、笛やたて琴でどんな曲を
 演奏しているかどうして分かるでしょう

か。8 ラッパの出す合図が不明瞭で
 あれば、いったい誰が戦いの用意をす
 るでしょうか。9 同じように、皆さん
 も舌を使って理解しやすい言葉話をさ
 ないなら、何を言っているのかどうして

分かるでしょうか。空気に話している
 ことになってしまいます。10 世界に
 は多くの種類の言葉がありますが、意
 味のないものはありません。11 も
 し私がある言葉の意味を理解できな
 いなら、それを話している人にとって

私は外国人であり、話している人も私
 にとって外国人であることになります。
 12 皆さんも、聖なる力による贈り物
 を熱心に求めているのですから、会衆
 を力づける贈り物を豊かに頂けるよう
 に努めてください。

13 それで、別の言語を話す人は、
 自分で通訳できるように祈ってください。
 14 私が別の言語で祈っている
 場合、聖なる力による能力で祈ってい
 るのであって、自分の知力を働かせて
 いるわけではありません。15 では、

14:12 *または、「能力」。14:13 *または、「翻
 訳」。14:14 *または、「贈り物」。

第14章

(例)ガラ1:11,12
 ガラ2:2

(例)コ12:8

(例)コ12:7
 コ14:4,26

(例)コ12:8,10
 コ14:5

第2欄

(例)コ14:4

(例)エフ4:14

(例)ロマ16:19

(例)ヘブ5:13,14

(例)イザ28:11,12

(例)使徒2:4,13

どうするとよいでしょうか。わたし、聖なる
 ちから、のうりよく、いの、せい
 力による能力で祈りますが、自分の知
 りよく、つか、いの、わかし、せい、ちから
 力も使って祈ります。私は聖なる力に
 による能力で賛美の歌を歌いますが、自
 分の知力も使って賛美の歌を歌いま
 す。16 そうでなければ、聖なる力に
 による能力で賛美と感謝の祈りを捧げて
 も、その場にいる普通の人は「アーメ
 ン」とどうして言えるでしょうか。何を
 祈っているのか分からないからです。

17 12派に感謝の祈りを捧げている
 のは確かですが、ほかの人は力づけら
 れていません。18 私は、皆さんより
 も多くの言語を話せることを神に感謝
 しています。19 それでも、会衆では、
 別の言語で1万の単語を話すよりも、
 自分の知力を使って5つの単語を話し
 たいと思います。ほかの人たちを教え
 るためです。

20 兄弟たち、理解力の点で、幼い
 子供になってはなりません。悪に関し
 ては幼い子供になり、理解力の点では
 大人になってください。21 律法にこ
 う書いてあります。「『外国人の言語と
 よそ者の言葉で、私はこの民に語るが、
 彼らは私の言うことを聞こうとしない』
 と、エホバは言う」。22 ですから、さ
 まざまな言語を話すことは、クリスチ
 ャンのためではなく、クリスチャンでは
 ない人のためのしるしです。一方、預
 言は、クリスチャンではない人のため

14:19 *または、「理解力」。14:21 *付録A5
 参照。

ではなく、クリスチャンのためのもので
す。**23** 会衆全体が1つの場所に集
まって皆がさまざまな言語を話してい
る時に、普通の人やクリスチャンでは
ない人が入ってきたなら、その人は皆
さんのことを正気ではないと言うので
はないでしょうか。**24** しかし、皆さ
んが預言している時にクリスチャンで
はない人や普通の人が入ってきたな
ら、その人は皆から戒められて詳しく
調べられたと感じます。**25** そして心
の中の秘密が明らかになり、その人は
ひれ伏して神を崇拜し、「神は確かに
皆さんの中にいます」と言います。

26 では、兄弟たち、どうするとい
いましょうか。皆さんが集まる時、ある人
は賛美の歌を歌い、ある人は教え、あ
る人は啓示を告げ、ある人は別の言語
を話し、ある人は通訳します。何をする
にしても、会衆を力づけるために行っ
てください。**27** 誰かが別の言語を
話す場合は、多くても2人か3人に限
り、順番に話そうにしてください。**28** 通
訳者がいないなら、会衆の中では黙っ
ていて、心の中で神に話すべきです。
29 預言者の場合は2人か3人が話
し、ほかの人たちはその意味を理解す
るようにつめてください。**30** しかし、
座っている別の人が啓示を受けたな
ら、話していた人は黙ってください。
31 そうすれば1人ずつ預言でき、皆

14:27 *または、「翻訳」。**14:28** *または、「翻
訳者」。

第14章

(ア) イザ 45:14
ゼカ 8:23

(イ) コー 12:8,10

(ウ) コー 14:5

(ロ) 使徒 13:1

第2欄

(ア) ヘブ 10:24,25

(イ) コー 14:40
コロ 2:5

(ウ) テモ一 2:11,
12

(ロ) コー 11:3
エフ 5:22
コロ 3:18
テト 2:5
ペー 3:1

(ウ) テサー 5:20

(ウ) コー 14:27

(ウ) コー 14:33
コロ 2:5

第15章

(ウ) 使徒 18:1,11

が学んで励みを得られます。**32** 預
言者は、聖なる力による贈り物を秩序
正しく用いるべきです。**33** 神は無秩
序の神ではなく、平和の神だからです。

聖なる人たちの他の会衆全てと同
じように、**34** 女性は会衆の中では
黙っていてください。話すことは許
されていないからです。律法にもある
通り、女性は男性に従ってください。
35 何かを学びたいなら、家で夫に尋
ねるとよいでしょう。女性が会衆の中
で話すのは恥だからです。

36 神の言葉は、皆さんから出たの
でしょうか。あるいは、皆さんの所にだ
け伝わったのでしょうか。

37 自分は預言者であるとか、聖
なる力による贈り物を受けていると考
える人は、私が書いている事柄が主のお
きてであることを認めなければなり
ません。**38** それを認めない人は退
けられます。**39** それで、私の兄弟た
ち、預言できるように努力し続けてくだ
さい。ですが、さまざまな言語を話すこ
とを禁じはなりません。**40** 全ての
ことを適正に、取り決めに沿って行い
ましょう。

15 さて、兄弟たち、良い知らせ
のことを思い起こしてください。
私が皆さんに伝え、皆さんが受け
入れて従ってきた知らせです。**2** 私

14:32 *または、「能力」。**33** *または、「自制しな
がら」。**14:38** *もしかすると、「それを知ろうと
しない人は、知らないうちに」。**14:40** *また
は、「秩序正しく」。

の伝えた^{つた}良い^よ知らせ^しを固^{かた}く信^{しん}じている
なら、皆さんはその知らせによって救^{すく}
われています。そうでなければ、クリス
チャンになったことは無駄^{むだ}になります。

3 私が皆さんに伝えた最も大切な
点の中に、私自身も学んだ事柄があ
ります。それは、聖書にある通りキリス
トが私たちの罪のために死んでくださ
り、4 そして葬られ、聖書にある通り
3日目に生き返^{かえ}らされ、5 ケファの前
に現れ、それから12人の前に現れた
ことです。6 その後、キリストは一度
に500人以上の兄弟の前に現れまし
た。その中には死の眠りに就いた人
が^いるものの、ほとんどは今も生きて
います。7 その後、キリストはヤコブ
の前に、それから全ての使徒たちの前
に現れました。8 そして最後に、私
の前にも現れてくださいました。あた
かも早産で生まれた子^この前に現れる
かのようにです。

9 私は使徒のうち最も小さな者で、
使徒と呼ばれるに値^{あたい}しません。神の
会衆を迫害したからです。10 今の
私があるのは、神の惜しみない親切
のおかげです。私に示されたその惜
しみない親切は無駄^{むだ}になりませんで
した。私はほかのどの使徒よりも多
く働きました。といっても、それは私の
力ではなく、神の惜しみない親切によ
ります。11 とにかく、私もほかの使

15:5 *ペテロとも呼ばれる。

第15章

(イ) 詩 22:15
イザ 53:8,12
ダニ 9:26
ペー 2:24

(イ) イザ 53:9
マタ 27:59,60

(イ) 詩 16:10

(イ) ヨナ 1:17
ルカ 24:46

(イ) マタ 28:7

(イ) マタ 10:2
ルカ 24:33,34

(イ) ヨハ 20:26

(イ) マタ 28:16,17

(イ) 使徒 12:17

(イ) 使徒 1:3,6

(イ) 使徒 9:3-5

(イ) 使徒 8:3
ガラ 1:13

第2欄

(イ) 使徒 4:2
使徒 17:31

(イ) 使徒 3:15

(イ) 使徒 2:24
使徒 4:10
使徒 13:30,31

(イ) ロマ 4:25
ヘブ 7:25

(イ) 使徒 7:59
コー 15:14
ペー 1:3

と徒たちもこのように知らせ^しを伝^{つた}え、皆
さんはそれを信^{しん}じました。

12 では、キリストは生き返^{かえ}らされ
たと私たちが伝道^{でんどう}しているのに、皆さ
んの中に、死者の復活などないと言^いう
人^{ひと}がいるのはどうしてですか。13 死
者^{しや}の復活^{ふっかつ}がないのであれば、キリス
トも生き返^{かえ}らされなかったことになりま
す。14 そして、キリストが生き返^{かえ}らさ
れなかったとすれば、私たちの伝道^{でんどう}は
全く無駄^{むだ}になり、皆さんの信^{しん}仰^{かう}も無駄^{むだ}
になります。15 その上、私たちは神
について偽^{いつわ}りの証言^{しょうげん}をしてきたことに
なります。死者^{しや}が生き返^{かえ}らされないの
であれば、神はキリストを生き返^{かえ}らせ
なかったことになり、私たちは、神は
キリストを生き返^{かえ}らせたと言^いって、神
がしていないことを証言^{しょうげん}したことにな
るのです。16 死者^{しや}が生き返^{かえ}らされ
ないのであれば、キリストも生き返^{かえ}らさ
れなかったことになります。17 そし
て、キリストが生き返^{かえ}らされなかったと
すれば、皆さんの信^{しん}仰^{かう}は無意味^{むいみ}になり
ます。皆さんは罪^みを許^{ゆる}されてないこ
とになります。18 また、キリストと結
ばれて死の眠りに就いた人たちは、滅
びたことになります。19 キリストを
信^{しん}じて希望^{きぼう}を抱^{いだ}いてきたのに今の命^{いのち}
しかないのであれば、私たちは誰^{だれ}より
も惨^{みじ}めになります。

20 しかし、キリストは生き返^{かえ}らされ、
死^しの眠^{ねむ}りに就^ついた人^{ひと}たちの中で最初^{さいしょ}

15:20 *直訳,「人たちの初物」。**15:23** *直訳,「初物である」。[#]用語集参照。

第15章

(タ) ロマ 6:4

第2欄

(才) 三-3:2

かし
 き返されないのであれば、どうしてそ
 の
 ような者となるためにバプテスマを
 う
 受けているのでしょうか。 **30** どうし
 わたし
 て私たちは常に危険にさらされている
 の
 でしょうか。 **31** 私は日々、死に面
 して
 しています。兄弟たち、それは、主であ
 る
 キリスト・イエスのゆえに私が皆さ
 ん
 について歓喜しているのと同じほど
 たし
 確かなことです。 **32** あなたのち
 うに私がエフェソスで野獣と戦ったこと
 とは、私にとって何の意味があるでしょ
 うか。死者が生き返されないのであ
 れば、「食べたり飲んだりしましょう。
 明日には死ぬからです」。 **33** だまされ
 てはなりません。悪い交友は良い
 しゅうかん、だいいな **34** 正しい
 習慣を台無しにします。 **34** 正しい
 おこな
 ことを行て、本心に立ち返ってくださ
 い。罪を犯し続けてはなりません。皆
 さんの中に、神についての知識がない
 ひと
 人たちがいます。私がこうしたことを
 はな
 すのは、恥を知ってほしいからです。

35 しかし、^{なか}中には、「^{せじ}死者はどのよ
うに^{かえ}生き返^{かえ}られるのか。いったいど
んな^{からだ}体で^く来るのか」と言う^い人が^{ひと}いるこ
とでしょう。36 そう言う^いあなた^{ふん}は分
べ^{べつ}がない^{ひと}人です。あなたが^ままくも^はの、
まず^し死^しななければ、^い生きた^いものになり
ません。37 そして、あなたが^ままくも^はの
は、^{あと}後^{あと}から^{からだ}できる^{からだ}体ではなく、ただの
^{たね}種^{たね}です。^こ小麦^こか^こほ^こかの^{なに}何^{なに}かの^{たね}種^{たね}です。

15:32 *もしかすると、「人間の観点からすると」。

15:33 *または、「思い違いをして」。 #または、「道徳心をむしばみます」。

38 しかし神は、望みのままにその種に体を与え、一つ一つの種にそれぞれ体を与えます。39 全ての体が同じ体ではありません。人間の体があり、家畜の体、鳥の体、魚の体があります。40 そして、天での体と地上での体があります。天での体の栄光と地上での体の栄光は、種類が異なります。41 太陽の栄光と月の栄光と星の栄光も、それぞれ種類が異なります。さらに、一つ一つの星の栄光も異なります。

42 死者の復活も同様です。朽ちるものとしてまかれ、朽ちないものとして生き返らされます。43 卑しいものとしてまかれ、栄光あるものとして生き返らされます。弱いものとしてまかれ、強いものとして生き返らされます。44 地上での体でまかれ、天での体で生き返らされます。地上での体があるなら、天での体もあります。45 「最初の人アダムは生きた人になった」と書かれています。最後のアダムは、命を与える、目に見えない存在になりました。46 とはいえ、天での体がありません。地上での体があり、その後、天での体です。47 最初の人とは地からの者で、土で造られており、第二の人は天からの方です。48 土

15:44 *または、「肉体」。*または、「肉体でない体」。用語集の「 pneuma 」参照。 15:45 *ギリシャ語、プシケー。用語集参照。*または、「肉体でない体を持つ存在」。ギリシャ語、pneuma。用語集参照。

第15章

【マタ 28:3
ルカ 24:4

【ヘブ 2:6,7

【創 1:16

【ロマ 2:6,7

【コロ 3:4

【啓 20:4

【創 2:7

【ヨハ 5:26
テモ 3:16

【創 2:7

【ヨハ 3:13

第2欄

【フィリ 3:20,21

【創 5:3

【ロマ 8:29

【テサ 4:17

【テサ 4:16

【ロマ 2:6,7

【コリ 2:5

【イザ 25:8
啓 20:6

【ホセ 13:14

【ロマ 6:23

【ロマ 3:20
ロマ 7:12,13

【ヨハ 3:16
使徒 4:12

【コロ 1:23
ヘブ 3:14
ペテ 3:17

で造られた者たちは土で造られた者のようであり、天で生きる者たちは天で生きる方々です。49 私たちは、これまで土で造られた者のようであり、やがて天で生きる方々になります。

50 兄弟たち、言っておきますが、肉体は神の王国を受けることができません。朽ちるものが朽ちないものを受けるとはなりません。51 私は皆さんに神聖な秘密を知らせます。私たちは皆が死の眠りに就くわけではありませんが、皆が変えられます。52 一瞬に、瞬間に、最後のラッパが鳴る間にです。ラッパが鳴ると、死者は朽ちないものとして生き返らされ、私たちは変えられるのです。53 朽ちるものは不朽性を身に付け、死んでいくものは不滅性を身に付けなければなりません。54 朽ちるものが不朽性を身に付け、死んでいくものが不滅性を身に付けた時、「死は永久にのみ込まれる」と書かれている通りになります。55 「死よ、さあ、勝利してみなさい。死よ、さあ、とげで刺してみなさい」。56 死をもたらすとげは罪であり、罪の力は律法によります。57 神に感謝しましう！ 私たちの主イエスキリストを通して勝利を与えてくださるからです。

58 それで、私の愛する兄弟たち、しっかり立て、動じることなく、主の

15:56 *または、「律法が罪に力を与えます」。

かつどう 活動をいつも活発に行ってください。
みな し 皆さんが知っているように、主のため
はたら む だ に働くことは無駄ではないのです。

16 さて、聖なる人たちのための
募金については、私がガラテ
アの諸会衆に与えた指示に従ってく
ださい。 **2** 毎週の初めの日に、各自
が資力に応じて幾らかを取り分けてお
くべきです。私が到着してから募金す
ることにならないようにしてください。
3 私がそちらに着いたら、皆さんから
の手紙の中で推薦されていた人たち
に頼んで、皆さんの親切な贈り物をエル
サレムに届けてもらいます。 **4** 私
もエルサレムに行った方がよければ、
どうこう 同行します。

5 私はまずマケドニアを回り、その
後、皆さんの所に行きます。 **6** そし
て、もしかするとそちらに滞在し、一緒
に冬を過ごすかも知れません。そう
なったら、次の目的地に行く途中まで、
皆さんに付き添っていただければと
思っています。 **7** 皆さんの所にとだ
立ち寄るのではなく、しばらく一緒に
ときを過ごしたいのです。エホバがそう
させてくださるならばですが。 **8** ペ
ンテコステの祭りまでは、ここエフェ
ソにとどまります。 **9** 反対する人も多
くいますが、私の前に活動への大きな
扉が開かれているからです。

10 テモテがそちらに到着したら、

15:58 *または、「たくさん」。16:7, 10 *付録
A5参照。

第15章
(7) ロマ 12:11

(1) 代二 15:7
コ一 3:8
啓 14:13

第16章
(7) 使徒 24:17
ロマ 15:26
コ二 8:3,4

(1) コ二 8:19
(7) 使徒 19:21
コ二 1:15,16

(7) 使徒 20:2
(4) 使徒 19:1
(7) 使徒 19:10,11
(7) 使徒 16:1,2

第2欄
(7) フィリ 2:19,20
(1) 使徒 18:24,25
(7) テサー 5:6
(1) コ一 15:58
フィリ 1:27

(7) 使徒 4:29
(7) エフ 6:10
コロ 1:11
(4) コ一 13:4
ペー 4:8
(7) フィリ 2:29,30
テサー 5:12
テモ一 5:17

(7) コ一 1:16

ふ あん す 不安なく過ごせるようにしてあげてく
ださい。 テモテは私と同じくエホバの
かつどう おこな 活動を行っているからです。 **11** 誰も
テモテを見下してはなりません。無事
に私の所に来られるようにテモテを
み おく わたし きょうだい とも
見送ってください。私は兄弟たちと共に
テモテを待っています。

12 私たちの兄弟アポロには、兄弟
たちと一緒に皆さんの所に行くよう強
く勧めました。今は行くつもりがない
ようでしたが、機会が訪れたら行くこ
とでしょう。

13 目を覚ましていきましょう。信仰
を持ってしっかり立ちましょう。勇敢
に行動し、強い人になってください。

14 何をするにも、愛を抱えて行ってく
ださい。

15 兄弟たち、皆さんに勧めます。
ご存じの通り、ステファナの家の人た
ちはアカイアで最初に弟子になり、
聖なる人たちに献身的に奉仕しまし
た。 **16** そのような人たちや、協力し
ながら一生懸命に働いている人たち
全てに、皆さんも従い続けてください。

17 私はステファナとフォルトナトとア
カイコがそばにいてくれることをうれ
しく思っています。皆さんはここにいま
せんが、代わりに彼らが一緒にいるか
らです。 **18** 彼らは、私の気持ちも皆
さんの気持ちも爽やかにしてくれまし

16:13 *直訳、「男らしくあり」。16:15 *直訳、
「アカイアの初物であり」。

た。こういう人たちに感謝しましょう。

19 アジアの諸会衆が皆さんによりしくと言っています。アクラとプリスカ、そして2人の家に集まる会衆が、主に従う皆さんにぜひともよろしく伝えてくださいと言っています。**20** 兄弟たち皆がよろしくと言っています。聖なる口づけによってあいさつを交わしてください。

16:18 * または、「を高く評価」。

第16章
コロマ 16:3,5
ファイル 2

21 私パウロのあいさつを自分の手でここに記します。

22 主への愛情がない人がいるなら、その人はとがめられますように。私たちの主よ、来てください！ **23** 主イエスの惜しみない親切が皆さんに示されますように。**24** 私の愛が、キリスト・イエスと結ばれた皆さん全員に伝わりますように。

コリントのクリスチャンへの第二の手紙

概要

- | | |
|---|--|
| <p>1 あいさつの言葉 (1, 2)
どんな苦難に遭っても神は慰めてくださる (3-11)
パウロの旅の計画の変更 (12-24)</p> <p>2 喜びの訪問にしたいというパウロの願い (1-4)
罪を犯したものの許されて復帰した人 (5-11)
パウロはトロアスからマケドニアに向かった (12, 13)
神への奉仕は勝利の行進のよう (14-17)
神の言葉を売り歩かない (17)</p> <p>3 推薦の手紙 (1-3)
新しい契約の奉仕者 (4-6)
新しい契約の栄光はいっそう大きい (7-18)</p> <p>4 良い知らせの光 (1-6)
信仰のない人たちは思考を遮られている (4)
宝を土の器に入れて持っている (7-18)</p> <p>5 天での家を身に着ける (1-10)
和解のための奉仕 (11-21)
新しい創造物 (17)
キリストの代理をする大使 (20)</p> <p>6 神の親切を無駄にしてはならない (1, 2)
パウロの奉仕について (3-13)
不釣り合いな結び付きを持てはならない (14-18)</p> | <p>7 汚れを除き去って自分を清める (1)
パウロはコリントのクリスチャンのことで喜ぶ (2-4)
テトスからの良い報告 (5-7)
神の意志に沿った悲しみと悔い改め (8-16)</p> <p>8 ユダヤのクリスチャンのための募金 (1-15)
テトスはコリントに行くことになっている (16-24)</p> <p>9 与えるようにとの励まし (1-15)
神は快く与える人を愛される (7)</p> <p>10 パウロは自分の奉仕の正当性を論じる (1-18)
私たちの武器は人間的なものではない (4, 5)</p> <p>11 パウロと優秀な使徒たち (1-15)
パウロが使徒として経験した苦難 (16-33)</p> <p>12 パウロが見た幻 (1-7前半)
パウロには「体に1つのとげ」がある (7後半-10)
優秀な使徒たちに劣っていない (11-13)
パウロはコリントのクリスチャンのことを心配する (14-21)</p> <p>13 結びの警告と勧めの言葉 (1-14)
「自分がクリスチャンの信条の通りに生きているかどうか、いつも確かめてください」(5)
正され、同じ考え方を (11)</p> |
|---|--|

1 ^{かみ い し}神の意志によってキリスト・イエ ^{し と わたし}スの使徒となったパウロと、私 ^{きょうだい}たちの兄弟テモテから、コリントにある ^{ちの かい い う せ}ちの会衆 ^{ぜん い き}全異邦人 ^{せい}の ^{ひと}人々 ^{たち}へ。

わたし うち かみ しゅ
2 私たちの父である神と、主イエ
ス・キリストから、皆さんに惜しみない
親切が示され、平和が与えられますよ
うに。

3 私たちの主イエス・キリストの父
である神が賞美されますように。神は、
温かな憐れみの父、あらゆる慰めの
神であり、4 私たちがどんな試練に
遭うとしても慰めてくださいます。それ
で私たちは、神からの慰めにより、どん
な試練に遭う人をも慰めることができ
ます。5 私たちはキリストのために
大変苦しんでいますが、キリストを通し
て大変慰められています。6 私たちが
が試練に遭うとすれば、それは皆さん
の慰めと救いのためです。私たちが慰
められているとすれば、それは皆さん
の慰めのためであり、その慰めによっ
て皆さんは私たちと同じ苦しみを忍耐
しやすくなります。7 私たちが皆さん
について抱えている希望は揺るぎま
せん。皆さんが私たちと苦しみを分け
合っているのと同じように慰めをも分
け合うことを、私たちは知っているから
です。

8 兄弟たち、アジア州で私たちが

第1章

(ア) 使徒 16:1,2
フィリ 2:19,20

(イ) テサー 1:8

(2) ヨハ 20:17

(工) 出 34:6
詩 86:5
ミカ 7:18

(オ) イザ 51:3
ロマ 15:5

(カ) 詩 23:4
コ二 7:6

(キ) ロマ 15:4
テサ二 2:16,
17

(ク) エフ 6:21,22
テサー 4:18

(ケ) コー 4:11-13
コロ 1:24

(コ) ロマ 8:18
テモニ 2:11,
12

第2欄

(ア) 使徒 20:18, 19

(イ) コー 15:32

(ウ) コニ 12:10

(エ) 詩 34:7, 19
テモ二 4:18
ペ二 2:9

(オ) ファイル 1:19
ファイル 22

(カ) 使徒 12:5
 ロマ 15:30-32

(*) $\square - 2:4.5$

経験した苦難について知ってほしいとお
思います。私たちは、どうしてもでき
ないほどのひどい圧迫を受け、命さ
え危うい状況でした。9 死の宣告を
受けたように感じました。それにより
私たちは、自分自身ではなく、死者
を生き返らせる神に頼るようになりました。
10 神は差し止めた死の危険
から確かに救ってくださったのであり、
これからも救ってくださいます。私たち
には、神が今後も救ってくださるとい
う希望があります。11 皆さんも、私
たちのために祈願をすることによって、私
たちを助けてください。多くの人々の祈
りのおかげで私たちは神から恵みを
受けることができ、私たちのことで多く
の人が感謝の祈りを捧げるでしょう。

12 私たちは次のことを誇りにして
おり、良心にやまいところなく語れま
す。私たちは世の中で、また皆さんと
接する際にはなおのこと、神聖と神
に倣った誠実さを示し、人間の知恵で
はなく神の惜しみない親切を表してき
ました。13 私たちは、皆さんが読ん
で理解できる事柄以外は何も手紙に
書いていません。私は、こうした事柄
を引き続き十分に理解してほしいと
願っています。14 皆さんは、私たちの
のことを誇れるということを、すでにあ
る程度理解しています。私たちも、主イ
エスの日に皆さんのことを誇れます。

1:12 *または、「私たちの良心も証言しています」。^aまたは、「よりどころにして」。**1:13** *もしかすると、「すでによく知って理解している」。

15 そうした確信の下に、私は皆さんに再び喜んでいただきたいと思
い、まずそちらに行くつもりでした。

16 マケドニアに行く途中で皆さんの所に立ち寄り、その後、マケドニアから皆さんの所に戻り、ユダヤへ見送ってもらつつもりだったのです。17 そう計画した時、私は軽く考えていたのでしょうか。それとも、利己的な考えで物事を進めようとし、「はい、そうで

す」と言ったのに「いいえ、そうではありません」と言っているのでしょうか。18 皆さんへの私たちの言葉が「はい」でありながら「いいえ」であるということはありません。そのことについて神を信頼できます。19 私たち、つまり私とシルワノとテモテは、皆さんに神の子イエス・キリストについて伝道しました。キリストは、「はい」でありながら「いいえ」となったのでは

ありません。「はい」は「はい」となりました。20 神の約束はどんなに多くても、キリストによって「はい」となったからです。それで、私たちはキリストを通して神に「アーメン」と言い、神をたたえます。21 皆さんと私たちがキリストのものであることを保証してくださっている方、私たちを選んでくださった方は神です。22 また、神は私たちに証印を押し、これから来るもの

1:15 *もしかすると、「2度皆さんの役に立ちたい」。1:19 *シラスとも呼ばれる。1:21 *直訳、「に油を注いで」。用語集の「油を注ぐ」参照。

第1章

(例) コー 16:5,6

(例) 使徒 18:5

(例) ロマ 15:8

(例) 啓 3:14

(例) ヨー 2:20,27

(例) エフ 4:30

第2欄

(例) ロマ 8:23
コ二 5:5
エフ 1:13,14

第2章

(例) コ二 7:8,9

(例) コー 5:1

のしるしとして聖なる力を私たちの心の中に与えてくださいました。

23 私は神に証人になっていただき、自分の命に懸けて断言します。私はまだコリントに行かないでいるのは、皆さんのためを思っていることです。24 私たちは皆さんの信仰の主人ではありません。皆さんの喜びのためにはたらく仲間です。皆さんは自分の信仰で立っているからです。

2 私は、皆さんへの次の訪問が悲しみの訪問にならないようにしようと思ひました。2 私が皆さんを悲しませたら、いったい誰が私を元気づけてくれるでしょうか。私が悲しませた人はいません。3 私があのよう
に書いたのは、そちらに行く時、皆さんについて悲しむことがないようにし、喜べるようにするためです。私が喜ぶ事柄を皆さんも喜ぶということを確信しているのです。4 私は大きな苦難と苦悩の中で、涙ながらに手紙を書きました。皆さんを悲しませたかったのではなく、皆さんへの愛の深さを知ってもらいたかったからです。

5 誰かが悲しみをもたらしたのであれば、私をではなく皆さんをいくら悲しませたことになります。いくらかというは和らげた言い方です。6 その人には多数の人からすでに吐責が与えられており、それで十分です。

1:22 *または、「これから来るものの保証(誓約)」,「手付金」。^{*}用語集参照。

7 今は優しく許して慰めるべきです。

その人があまりの悲しみに打ちのめさ

れてしまわないためです。8 それで

皆さんに勧めます。皆さんの愛をその

人に確信させてください。9 私が手

紙を書いたのは、皆さんが全てのこと

について従順かどうかを確かめるた

めでもあります。10 何かのことで皆

さんが誰かを許すなら、私もそうしま

す。私がこれまでに許した事柄はどれ

も(私が何かを許したのであればです

が)、キリストの前で皆さんのためにし

たことです。11 私たちがサタンに付

け込まれないようにするためです。私

たちはサタンの手口を知らないわけ

ではありません。

12 私がキリストについての良い

知らせを広めるためにトロアスに着

き、主の活動への扉が開かれた時、

13 私の兄弟テスに会えなかったの

で気持ちが落ち着きませんでした。そ

れで皆に別れを告げてマケドニアに

向かいました。

14 神に感謝しましょう! 神は、キ

リストと共に勝利の行進をするように私

たちを常に導き、私たちを用いてご自

分についての知識の香りを至る所に

漂わせています。15 救われようとし

ている人たちと滅びようとしている人

たちの中で、私たちは神にとってキリ

ストの甘い香りです。16 それは、滅

2:11 *または、「だまされない」。*または、「策

略」、「意図」。

第2章

(7) ルカ 15:23,24

(1) ヘブ 12:12

(7) ロマ 12:10

(12) ルカ 22:31

テモニ 2:26

(10) エフ 6:11,12

ペー 5:8

(10) 使徒 16:8

(10) ガラ 2:3

テト 1:4

(7) コニ 7:5

第2欄

(7) ヨハ 15:19

コニ 4:3

ペー 2:7,8

(1) コニ 4:2

第3章

(7) コー 9:2

(12) コー 3:5

(10) 出 31:18

出 34:1

(10) 格 3:3

格 7:3

(10) 出 4:12,15

ファイ 2:13

(7) ヘブ 8:6

(7) ロマ 13:9

びようとしている人たちにとっては死

に至る死の臭い、救われようとしてい

る人たちにとっては命に至る命の香り

です。では、こうした務めを果たす資

格が十分にあるのは誰でしょうか。

17 私たちです。私たちは、多くの人

がしているように神の言葉を売り歩い

たりせず、神から遣わされた者として、

神の前でキリストと共に、ひたすら誠

実に語っているからです。

3 私たちはあらためて自分を推薦

しようとしているのでしょうか。そ

れとも、ある人たちのように、皆さんへ

の、または皆さんからの推薦の手紙が

必要なのでしょうか。2 皆さんこそ

私たちの推薦の手紙であり、私たちの

心に書き込まれ、全ての人に知られて

読まれています。3 皆さんは明らか

に、奉仕者である私たちによって書か

れた、キリストからの手紙です。インク

ではなく、生きている神の聖なる力に

より、石の板ではなく人の心の板

に書き込まれています。

4 私たちはキリストを通し、神の

前でこのような確信を抱いています。

5 私たちは自分の力で十分な資格を

得ているわけではなく、自分で何かを

成し遂げていると考えることはできま

せん。十分な資格は神から与えられ

ているのです。6 神は私たちに、新

しい契約の奉仕者としての十分な資

格を与えてくださいました。書かれた

ほうてん(1) ほうし(2) せい(3) ちから(4) ほう

法典の奉仕者ではなく、聖なる力の奉

仕者です。書かれた法典は死を宣告しますが、聖なる力は命を与えます。

7 死をもたらす法典、石に文字が彫り込まれた法典は栄光と共に与えられ、イスラエル人は栄光に輝くモーセの顔を見つめることができませんでした。それは除き去られることになっていった栄光です。そうであれば、8 聖なる力をもたらすことには、いっそう大きな栄光が伴うはずではないでしょうか。9 有罪宣告をもたらす法典に栄光があったのであれば、正しさをもたらすことにはなおさら栄光があるはずです。10 かつては栄光があるとされていたものが、それに勝る栄光のゆえに、栄光を奪い去られたのです。11 除き去れることになっていったものが栄光と共に与えられたのであれば、存続するものの栄光はなおさら大きいはずで。

12 このような希望があるので、私たちは決して気後れすることなく語っています。13 そして、モーセのようなことはしていません。モーセは顔にベールを掛けました。それでイスラエル人は、除き去れることになっていったものの終わりをみつめることはありませんでした。14 彼らの思考は鈍っていました。今日でも、古い契約が読まれる時に、同じベールが掛かったままになっています。それはキリストによってのみ取り除かれるからです。

3:13 *法典のこと。*または、「結果」。

第3章

(7) ガラ 3:10
(1) ヨハ 6:63
(2) 出 31:18
出 32:16
(3) 出 34:29,30
(2) 使徒 2:1,4
(2) ペー 4:14
(4) 申 27:26
(2) 出 34:35
(2) ロマ 3:21,22
(3) コロ 2:16,17
(2) 出 19:16
出 24:17
(3) ヘブ 12:22-24
(2) ペー 1:3,4
(2) 出 34:33-35
(1) ロマ 11:7
(2) ヨハ 12:40
(2) ロマ 7:6
エフ 2:15

第2欄

(7) 使徒 15:21
(1) ロマ 11:8
(2) 出 34:34
(2) ヨハ 4:24
(2) イザ 61:1
ロマ 6:14
ロマ 8:15
ガラ 5:1,13
(2) コ二 4:6
エフ 4:23,24
エフ 5:1

第4章

(4) コ二 2:17
ガラ 1:9
(2) コ二 6:3,4
(2) ヨハ 14:30
エフ 2:2
ヨ一 5:19
(2) コ二 11:14
(2) コロ 1:15
ヘブ 1:3

15 今日に至るまで、モーセの書が読まれる時にはいつも、彼らの心にベールが掛かっています。16 しかし、エホバの方に向き直るなら、ベールは取り除かれます。17 エホバは目に見えない方であり、エホバの聖なる力がある所には自由があります。18 私たちは皆、ベールをしていない顔で鏡のようにエホバの栄光を反映させながら、変化して神に似た者になっています。目に見えない方であるエホバによって変化した、ますます栄光に輝くようになるのです。

4 それで私たちは、示していただきたい憐れみによってこの奉仕をしているのですから、諦めません。2 私たちは恥ずべき隠れた事柄を退けました。ずる賢く行動したり神の言葉をゆがめたりしません。真理を明らかにすることにより、神の前で、全ての人の良心に自分を推薦します。3 もし私たちが広める良い知らせにベールが掛かっているとすれば、それは、滅びようとしている人たちにとってベールが掛かっているということです。4 今の体制の神が、信仰のない人たちの思考を遮り、神に似た者であるキリストについての素晴らしい良い知らせの光が輝き渡らないようにしているの

3:16-18 *付録 A5 参照。3:17, 18 *ギリシャ語、 pneuma。用語集参照。3:18 ^ もしかすると、「エホバの聖なる力によって」。4:2 *または、「に」とって良い手本となり。4:4 *または、「時代」。用語集参照。*または、「心の目をくらまし」。

です。5 私たちは自分について伝道
しているわけではありません。伝えて
いるのは、イエス・キリストは主であ
り、私たちはイエスのために皆さんに
一生懸命仕えている、ということです。

6 神は「光が闇の中から輝き出よ」と
言った方であり、キリストの顔により、
神の素晴らしい知識で私たちの心を
明るく照らしてくださいました。

7 しかし、私たちはこの宝を土の器
に入れて持っています。そのため、普
通を超えた力が私たちから出るので
はなく、神から来るとことが明らか
です。8 私たちは、あらゆる面で圧
迫されながらも、身動きが取れないわ
けではありません。困惑させられなが
らも、逃げ道が全くないわけではあり
ません。9 迫害されながらも、見捨
てられているわけではありません。倒
されながらも、滅ぼされているわけでは
ありません。10 私たちはこの体
で、イエスが経験したひどい仕打ちを
常に耐え忍んでいます。私たちの体によ
ってイエスの生き方が明らかになる
ためです。11 私たちは生きていま
すが、イエスのために絶えず死に面し
ています。私たちの死んでいく肉体に
よってイエスの生き方が明らかになる
ためです。12 それで、私たちの中
では死が働いていますが、皆さんの中
では命が働いています。

4:8 *もしかすると、「絶望するしかない」。4:
10 *または、「死に至らせる」。

第4章

【イザ 60:2
ヨハ 8:12

【イ 創 1:3

【コ ペー 2:9

【コ 二 4:1

【コ 伊ザ 64:8
使徒 9:15
コ ー 15:47

【コ 二 12:9,10
フィリ 4:13

【コ ー 10:13

【コ へブ 13:5

【コ 啓 2:10

【コ フィリ 3:10
ペー 4:13

【コ ロマ 8:36
コ ー 4:9
コ ー 15:31

第2欄

【コ 詩 116:10

【コ ー 6:14

【コ テモ二 2:10

【コ マタ 5:12
ロマ 8:18

【コ 二 5:7
へブ 11:1

第5章

【コ 二 1:13,14

【コ ー 15:50
フィリ 3:20,21

【コ ロマ 6:5
ロマ 8:23
コ ー 15:48,49

13 「信仰を抱いたので、私は語っ
た」と書かれています。私たちも同じ
信仰の精神を持っており、信仰を抱い
ているので語ります。14 イエスを生
き返させた方が、イエスと同じように
私たちを生き返らせ、皆さんと一緒に
立たせてくださることを知っているの
です。15 こうしたこと全ては皆さん
のためです。いっそう多くの人が感謝
の祈りを捧げることにより、惜しみな
い親切がますます豊かに示され、神が
たたえられるでしょう。

16 ですから、私たちは諦めません。
たとえ私たちの外面は衰えていくとし
ても、内面は日々新しくされていくので
す。17 苦難はつかの間で軽いもの
ですが、はるかに重みのある永遠の栄
光を私たちにもたします。18 私た
ちは、見えるものではなく見えないも
のに目を留めます。見えるものは一時
的ですが、見えないものは永遠だから
です。

5 私たちは、地上の家であるこの
天幕が取り壊されても、神からの
建物を持つようになることを知ってい
ます。人が造ったものではない、天で
の永遠の家です。2 今の家にいる私
たちはうめいていて、私たちのための
天での家を身に着けることを心から望
んでいます。3 それを身に着けたな

4:16 *または、「外面の人」。*または、「内面の
人」。4:17 *または、「試験」。*または、「重み
を増していく」。5:1 *地上での体のこと。*天
での体のこと。5:2 *または、「天からの」。

ら、もう裸ではありません。4 この天幕にいる私たちは、重圧を感じてうめいています。これを脱ぎたいわけではありませんが、別のものを身に着けたいと思っています。そのようにして、死んでいくものが命にのみ込まれるのです。5 この命のために私たちを整えてくださった方は神であり、これから来るもののしるしとして聖なる力を与えてくださいました。

6 それで私たちはいつも確信に満ちており、この体を住まいとしている間は主から離れていることを知っています。7 見えるものによってではなく信仰によって歩んでいるのです。8 私たちは確信に満ちており、この体から離れて主のもとに住まいを持ちたいと思っています。9 主のもとに住まいを持つとしても、主から離れているとしても、主に受け入れられることを目指します。10 私たちは皆、キリストの裁きの座の前に出なければならぬからです。そのようにして一人一人が、善いことであれ悪いことであれ、この体にいる間に行った事柄に応じて報いを得るのです。

11 私たちは主への畏れをわきまえているので、人々を説得し続けます。私たちのことは神によく知られています。が、皆さんにもよく知られていることを私は願っています。12 私たちはあ

5:5 *または、「これから来るものの保証(誓約)」、「手付金」。5:6, 8 *または、「勇気」。5:11 *直訳、「皆さんの良心」。

第5章

(例) コー 15:43,44
フィリ 1:21

(例) ペー 1:3,4

(例) エフ 2:10

(例) ロマ 8:23
エフ 1:13,14

(例) ヨハ 14:3

(例) フィリ 1:23

(例) 啓 22:12

第2欄

(例) コニ 10:10

(例) コニ 11:1,16

(例) イザ 53:10
マタ 20:28
テモ一 2:5,6

(例) ロマ 14:7,8

(例) マタ 12:50

(例) ヨハ 20:17

(例) ガラ 6:15

(例) ロマ 5:10
エフ 2:15,16
コロ 1:19,20

(例) 使徒 20:24

(例) ロマ 5:6
ヨ一 2:1,2

らためて自分を皆さんに推薦しているのではなく、私たちのことを誇ってほしいので語っています。心にあるものではなく外見について誇る人たちに、皆さんが答えられるようにです。13 もし私たちが正気でなかったとすれば、それは神のためでした。もし正気であるとするば、それは皆さんのためです。14 キリストの愛が私たちを駆り立てるのです。私たちは次のように考えているからです。1人の人が全ての人のために死にました。ということは、全ての人は死んでいたのです。15 その方が全ての人のために死んだのですから、生きている人たちはもはや自分のために生きるのではなく、自分のために死んで生き返らされた方のために生きるべきです。

16 ですから、私たちは今後、誰をも人間的な観点で見ることはありません。以前キリストを人間的な観点で見ていたとしても、もうそのようには見ません。17 それで、キリストと結ばれている人は新しい創造物です。古いものは過ぎ去り、新しいものが存在するようになったのです。18 全てのものは神から来ています。神のおかげで、私たちはキリストを通して神と和解し、和解のための奉仕をするようになります。19 そして世の人々は、神のおかげでキリストによって神と和解できるようにになりました。神は人々の過ち

5:16 *または、「肉体を持つ方として」。

を責めず、私たちに和解の知らせを託してくださったのです。

20 私たちはキリストの代理をする大使であり、あたかも神が私たちを通して訴え掛けているかのようにです。私たちはキリストの代理としてこう懇願します。「神と和解してください」。

21 神は、罪を犯したことがない方を私たちのための罪の捧げ物としました。その方のおかげで、私たちは神から正しいと見なしていただくことができます。

6 さらに、神と共に働く私たちは皆さんに勧めます。神の惜しみない親切を受けながら、それを無駄にすることがないようにしてください。

2 神は、「私は受け入れられる時にあなたの言うことに耳を傾け、救いの日にあなたを助けた」と言っています。今こそ特に受け入れられる時です。今こそ救いの日です。

3 私たちは決してほかの人の信仰を妨げるようなことはしないようにしています。私たちの奉仕が非難されることにならないためです。**4** かえって、あらゆる点で自分を神の奉仕者として推薦します。すなわち、多くの試練を耐え、苦難、窮乏、困難、**5** 殴打、拘禁、暴動、労苦、眠れない夜、食物の不足に耐えることによって、**6** また、清さ、知識、辛抱強さ、親切、聖な

5:21 *直訳、「私たちのために罪としました」。
6:1 *または、「その目的を見失う」。

第5章

㊦ ロマ 4:25
ロマ 5:18

㊦ マタ 28:19,20
使徒 13:38,39

㊦ フィリ 3:20

㊦ エフ 6:19,20

㊦ ヘブ 4:15
ヘブ 7:26

㊦ ロマ 1:16,17

第6章

㊦ コニ 5:20

㊦ ロマ 2:4

㊦ イザ 49:8

㊦ コー 9:22

㊦ コニ 4:1,2

㊦ コニ 11:23

㊦ 啓 2:10

㊦ コニ 11:25,27

㊦ コロ 3:13
テサ一 5:14

㊦ エフ 4:32

第2欄

㊦ ロマ 12:9

㊦ コー 2:4,5

㊦ コニ 10:4
エフ 6:11

㊦ コニ 4:10,11

㊦ 使徒 14:19
コニ 4:8,9

㊦ フィリ 4:13
啓 2:9

㊦ コニ 12:15

㊦ ペー 2:17
ヨー 4:20

㊦ 出 23:32,33
申 7:3,4
王一 11:4
コ一 7:39

㊦ ヤコ 4:4

る力、偽善のない愛、**7** 真実の言葉、神の力によって、さらに、右手と左手に持つ正義の武器、**8** 栄光や不名誉、悪い評判や良い評判によってです。私

たちは、人を欺いていると見なされていますが、いつも真実を語っています。

9 知られていないと見なされていますが、よく知られています。死にそうだと見なされていますが、生きています。処罰されていると見なされていますが、処刑されてはいません。**10** 悲しんでいると見なされていますが、常に喜んでいます。貧しいと見なされていますが、多くの人を富ませています。何も持っていないと見なされていますが、あらゆる物を持っています。

11 私たちはコリントの皆さんに語るために口を開き、心を大きく開いています。**12** 私たちは皆さんに惜しみなく愛情を示していますが、皆さんは私たちに優しい愛情を十分に示していません。**13** それで、私たちの愛情に応えて、皆さんも心を大きく開いてください。私はわが子に話すように話しています。

14 クリスマンではない人と結び付いてはなりません。それは不釣り合いな関係です。正しいことと不法にいったいどんな関わりがあるでしょうか。光と闇にどんな共通点があるで

6:7 *右手に持つのは攻撃用、左手に持つのは防御用かもしれない。**6:9** *または、「死に値する」。**6:11** *または、「率直に語り」。**6:13** *または、「自分を広くして」。**6:14** *または、「くびきで結ばれて」。

しょうか。⁽⁷⁾ **15** キリストとベリアル^{*}の間にどんな調和があるでしょうか。クリスチャンはクリスチャンではない人⁽⁸⁾と何を共有するのでしょうか。⁽⁹⁾ **16** 神の神殿と偶像にどんな接点があるでしょうか。私たちは、生きている神の神殿です。神が言った通りです。「私は彼らの中に住み、彼らの中を歩く。そして私は彼らの神となり、彼らは私の民となる」。**17** 「エホバはこう言います。『それで、彼らの中から出て、離れなさい。汚れたものに触れるのをやめなさい』。『そうすれば私はあなたたちを受け入れよう』」。**18** 「『そして私はあなたたちの父となり、あなたたちは私の息子や娘となる』と、全能者エホバは言います」。

7 それで、愛する皆さん、私たちにこのような約束があるので、⁽¹⁾ 体と精神のあらゆる汚れを除き去って自分⁽²⁾を清め、神への畏れを抱いて神聖さを完成させていきましょう。

2 私たちを受け入れてください。私たちは誰にも悪いことをしていません。誰をだらくさせていません。誰かを利用したりもししていません。⁽³⁾ このように言うのは、皆さんをとがめるためではありません。前にも言ったように、皆さんは私たちの心の中にいて、私

6:15 *「どうしようもない」という意味のヘブライ語に由来。サタンのこと。*または、「忠実な人」。[△]または、「どんな分け前を持つ」。**6:17, 18** *付録A5参照。**7:2** *または、「に心を開いて」。

第6章

(7) エフ 5:7,8

(8) マタ 4:10
啓 12:7,8

(9) コー 10:21

(10) コー 10:14

(11) コー 3:16

(12) 出 29:45

(13) レビ 26:11,12
エゼ 37:27(14) イザ 52:11
エレ 51:45
啓 18:4(15) エゼ 20:41
コ二 7:1

(16) サニ 7:14

(17) イザ 43:6
ホセ 1:10
ヨハ 1:12

第7章

(18) コ二 6:16

(19) ロマ 12:1
テモ一 1:5
テモ一 3:9
ヨー 3:3(20) ロマ 12:10
コ二 6:12,13(21) 使徒 20:33,34
コ二 12:17

第2欄

(22) フィリ 2:17
フィレ 7

(23) 使徒 20:1

(24) コ二 1:3,4

(25) コ二 2:4

たちと共に死に、共に生きるからです。**4** 私は決して気後れることなく皆さんに語っています。皆さんのことを大へん誇りに思っています。私はとても慰められていて、どんな苦悩を味わっても喜びにあふれています。

5 マケドニアに着いてから、私たちは体を休めることができず、あらゆる苦悩をずっと味わっていました。外には戦い、内には恐れがありました。

6 しかし、気落ちしている人を慰める神が、私たちのそばにテトスをいさせることによって、慰めてくださいました。**7** テトスがいたことに加え、テトスが皆さんに会って慰められたのを聞けたことも、神からの慰めでした。皆さんが私に会いたいと思っていたこと、深く悲しんでいること、私を心から氣遣っていることについて、テトスは報告してくれたのです。それで私は一層うれしくなりました。

8 前の手紙によって私は皆さんを悲しませましたが、後悔していません。初めは(その手紙が、少しの間とはいえ、皆さんを悲ませたことが分かった)ので後悔しましたが、**9** 今は喜んでいきます。皆さんがただ悲しんだのではなく、悲しんで悔い改めたからです。皆さんは神の意志に沿って悲しんだので、私たちがしたことは皆さんにとつて害にはなりません。 **10** 神の意志に沿った悲しみは、救いにつながる悔い改めを生じさせるので、後悔

は残りません。一方、世の考えに基づく悲しみは死をもたらします。11 皆さんが神の意志に沿って悲しんだので、皆さんの中にひたむきな真剣さが生み出されました。汚れを除き、憤りや畏れ、真剣な願い、熱意を抱き、悪を正しました！皆さんは例の件に関して清いことをあらゆる点で証明しました。12 私が皆さんに手紙を書いたのは、悪いことをした人のためでも、悪いことをされた人のためでもありません。皆さんが私たちに対する真剣さを、自分たちの中で、また神の前ではっきり示せるようにするためです。13 だからこそ、私たちは慰められています。慰められたことに加えて、私たちはテトスが喜んでいのを見て、一層うれしくなりました。テトスの心は皆さんによって爽やかにされていました。14 私はテトスの前で皆さんのことを誇りましたが、恥をかくことにはなりませんでした。私たちが皆さんに伝えたことが全て真実だったように、テトスの前で誇った事も真実となったのです。15 テトスは、皆さんがよく従い、丁寧に迎えてくれたことを思い出して、皆さんにますます優しい愛情を抱くようになっていきます。16 私は、どんな面でも皆さんを信頼できることをうれしくおもっています。

7:11 *または、「潔白である」。7:16 *もしかすると、「皆さんのおかげで勇気を持てる」。

第7章

(7) 詩 32:5
ヨ一 1:9

(4) マタ 3:8

(4) コー 5:5

(2) コニ 2:9
ヘブ 13:17

第2欄

第8章

(7) ロマ 15:26

(4) 使徒 11:29
コニ 9:7

(4) マル 12:43,44

(2) ロマ 15:25,26
コー 16:1
コニ 9:1,2

(4) コニ 12:18

(4) テモ一 6:18

(4) マタ 8:20
フィリ 2:7

8 さて、兄弟たち、マケドニアの諸会衆に示された、神の惜しみない親切について知ってほしいと思います。2 彼らは大きな試練に遭って苦悩する中、非常に貧しいにもかかわらず、喜びにあふれ、気前よく与える精神を豊かに示しました。3 彼らは資力に応じて、というより、資力を超えて与えた、と私は言い切れます。4 彼らは自分から、親切に与える機会を下さいと私たちに懇願続けました。聖なる人たちのための救済奉仕に加わることを願ったのです。5 そして、神の意志に沿ってまず自分を主と私たちに差し出し、期待以上のことを行ってくれました。6 それで私たちは、皆さんの所でこの活動を始めたテスに、皆さんが親切に与えるのを最後まで見届けるよう勧めました。7 皆さんが、信仰、言葉、知識、真剣さ、私たちがからの愛など、あらゆる面で豊かであるのと同じく、親切に与える面でも豊かでありますように。

8 こうしたことを言うのは、命令するためではなく、ほかの人たちの真剣さを知ってもらうため、また皆さんの愛の純粋さを試すためです。9 皆さんは、私たちの主イエス・キリストの惜しみない親切を知っています。キリストは豊かだったのに皆さんのために貧しくなり、その貧しさによって皆さんが豊かになれるようにしてくださいました。

10 この活動^{かつどう}について^{わたし}私の^{かんが}考えを^の述べます。この活動^{かつどう}は皆^{みな}さんのため^{みな}になります。すでに皆^{みな}さんは1年前^{ねんぜん}に行^{こうどう}動を起^おこし、行^{おこな}いたいという願^{ねが}いも表^{あらわ}しました。**11** では今^{いま}、始^{はじ}めたことをやり遂^とげてくだい。進^{すす}んで行^{こうどう}う気持^{きもち}ちを貫^ぬき、資^し力^{りき}に応^{おこ}じて与^よえましよう。**12** 進^{すす}んで与^よえる気持^{きもち}ちがあるなら、受^うけ入^いれられます。持^もっている物^{もの}を与^{あた}えればよいのです。持^もっていない物^{もの}までは期^き待^{たい}されていません。**13** ほかの人^{ひと}たちには楽^{らく}をさせ、皆^{みな}さんには大^{たい}変^{へん}な思^{おも}いをさせず、というつもりはありませぬ。**14** 均^{きん}等^{とう}を図^{はか}ることが目的^{もくてき}です。皆^{みな}さんが現^{げん}在^{ざい}多^{おほ}めに持^もっている分^{ぶん}が彼^{かれ}らの足^たりない分^{ぶん}を埋^うめ合^あわせ、彼^{かれ}らが多^{おほ}めに持^もっている分^{ぶん}が皆^{みな}さんとの足^たりない分^{ぶん}を埋^うめ合^あわせると、均^{きん}等^{とう}になります。**15** 「多^{おほ}く持^もっている人^{ひと}は多^{おほ}過ぎることがなく、少^{すく}ししか持^もっていない人^{ひと}も少^{すく}な過ぎることがなかつた^例」と書^かかれてい通^{とお}りです。

16 私は神^{かみ}に感^{かん}謝^{しゃ}しています。私^{わたし}たち抱^{いだ}えている、皆^{みな}さんへの誠^{せい}実^{じつ}な気^き遣^{づか}いを、テス^例の心^{こころ}の中^{なか}に入れてくださったからです。**17** テス^{すす}は動^{どう}めに応^{おこ}じてくれただけでなく、とて熱^{ねつ}心^{しん}で、自^じ分^{ぶん}から進^{すす}んで皆^{みな}さんの所^{ところ}に行^いこうとしています。**18** 私^{わたし}たちはテス^{いっしょ}と一緒に^{きょうだい}兄弟^{ひと}を1人^{ひとり}遣^{つか}わします。良^よい知^しらせのための動^{どう}きがどの会^{かい}衆^{しゅう}でも評^{ひょう}判^{はん}になっっている兄^{きょう}弟^{だい}です。**19** それだけでなく、会^{かい}衆^{しゅう}から任^{にん}命^{めい}されて、

第8章

(例) コー 7:25

(例) 申 16:10, 17
格 3:27, 28

(例) 出 16:18

(例) コ二 12:18

第2欄

(例) コー 16:1

(例) 格 3:4
ペー 2:12(例) ペー 1:22
ペー 2:17

第9章

(例) ロマ 15:26
コー 16:1
コ二 9:12

私^{わたし}たちの旅^{たび}の同^{どう}行^{こう}者^{しゃ}になっ兄^{きょう}弟^{だい}でもあります。私^{わたし}たちは、主^{しゅ}の栄^{えい}光^{こう}のため^{えいこう}に、また進^{すす}んで援^{えん}助^{じょ}する気^き持^{もち}ちを示^{しめ}すために、親^{しん}切^{せつ}な贈^{おく}り物^{もの}を取^とり扱^{あつか}います。**20** こうして、この惜^おしめない寄^き付^ふの取^とり扱^{あつか}いについて誰^{だれ}からも非^ひ難^{なん}されなようにしています。**21** 私^{わたし}たちは、「エホバの前^{まへ}だけでなく人^{ひと}の前^{まへ}でも、何^{なに}事^{ごと}も正^{しょう}直^{じき}に扱^{あつか}う」からです。

22 彼^{かれ}らと一緒に^{いっしょ}兄^{きょう}弟^{だい}をもう1人^{ひとり}遣^{つか}わします。私^{わたし}たちが何^{いっしょ}度も試^しして、多^{おほ}く事^{こと}柄^{がら}に関^{かん}して勤^{きん}勉^{べん}であること^{たし}を確^{たし}かめ人^{ひと}です。兄^{きょう}弟^{だい}は皆^{みな}さん^{こころ}を心^{しん}から信^{しん}頼^{らい}しているの、いっそう勤^{きん}勉^{べん}になっています。**23** テス^なについて何^{いっしょ}かに疑^ぎ問^{もん}があるでしうか。テス^{わたし}は私^{わたし}の友^{とも}、一^{いっしょ}緒^{しょ}に働^{はたら}く仲^{なか}間^まで、皆^{みな}さんのため^{みな}に仕^{つか}えています。私^{わたし}たちの兄^{きょう}弟^{だい}たちについて何^なかに疑^ぎ問^{もん}があるでしうか。兄^{きょう}弟^{だい}たちは各^{かく}地^ちの会^{かい}衆^{しゅう}の使^し徒^たで、キリス^{えいこう}トの栄^{えい}光^{こう}です。**24** ですから、彼^{かれ}らに皆^{みな}さん^あの愛^{あい}の証^{しょう}拠^こを示^{しめ}し、私^{わたし}たちがな^おぜ皆^{みな}さん^{ほこ}のこ^こを誇^かったか^かが各^{かく}地^ちの会^{かい}衆^{しゅう}に分^わかるようにしてください。

9 実^{じつ}のところ、皆^{みな}さんへの手^て紙^{がみ}に、聖^{せい}なる人^{ひと}たちのため^{ほうし}の奉^{ほう}仕^しについて書^かく必要^{ひつよう}があるわけではありませぬ。**2** 皆^{みな}さんの進^{すす}んで行^{こう}う気^き持^{もち}ちを知^しっているからです。私^{わたし}はマケドニア^{マケド}の人^{ひと}たちに、アカイア^{アカイ}では1年^{ねん}前^{まえ}からもう用^{よう}意^いができていとい^いって、皆^{みな}さん^{ほこ}のこ^こを誇^かりました。皆^{みな}さんの

8:21 *付録A5参照。

熱意は彼らの多くを奮い立たせました。3 それでも兄弟たちを遣わすのは、私たちが皆さんについて誇った事がむなしくならないようにするためです。私が言っていた通り、皆さんの用意ができていてほしいのです。4 そうでないと、もしマケドニアの人たちが私と一緒に行って、皆さんの用意ができていないのを見たとしたら、皆さんはもちろんのこと、皆さんを信頼していた私たちも恥をかくことになります。5 それで私は、兄弟たちに先にそちらに行くよう勧める必要があると考えました。以前申し出てくださった親切な贈り物を皆さんに用意していただくためです。そうすれば、それは強要された物ではなく、気前よく与える贈り物になるでしょう。

6 この点で、惜しんで少なく多くは少なく刈り取り、惜しまずに豊かに多く人は豊かに刈り取ります。7 一人一人が、嫌々ながらでも強いられてでもなく、心に決めた通りに行ってください。神は快く与える人を愛されます。

8 さらに神は、皆さんにあらゆる惜しみない親切を豊かに示してください。皆さんが全ての面で決して事欠くことなく、どんな良い活動のためにも十分なものを持てるようにしてください。9 (「その人は広く分配し、まずひとあまたひとただ、貧しい人に与えた。その人の正しさは永遠に変わらない」と書かれている通

第9章

(イ) 格 11:24
格 19:17
格 22:9
伝 11:1
ルカ 6:38

(イ) 申 15:7,10

(イ) 出 22:29
格 11:25
使徒 20:35
ヘブ 13:16

(イ) 格 28:27
マラ 3:10
フィリ 4:18,19

(イ) 詩 112:9

第2欄

(イ) ロマ 15:26,27
コ二 8:14

(イ) マタ 5:16
ヘブ 13:16
ヤコ 1:27
ヨ一 3:17

第10章

(イ) コ一 2:3

(イ) コ二 10:10

(イ) マタ 11:29,30

りです。10 まく人に種を豊かに与え、食物としてパンを豊かに与えてくださる方は、皆さんのまく種も豊かに与え、正しい行いによる収穫物を増やしてください。(11 皆さんは全ての面で豊かにされていて、あらゆる方法で気前よく与えることができるので、その結果、私たちを通して神への感謝の言葉が語られるようになります。12 人々のために行うこの奉仕は、聖なる人たちに必要な物を十分に与えるためだけでなく、神への感謝の言葉が豊かに語られるようになるためのものなのです。13 この救援奉仕によって示される証拠を見て、彼らは神をたたえます。皆さんが、広く伝えてきたキリストについての良い知らせに従順であり、彼らや他の全ての人に気前よく寄付するからです。14 そして、皆さんに示される神の際立った惜しみない親切のゆえに、彼らは皆さんに愛情を表し、皆さんのために祈願します。

15 言葉にできないほど素晴らしい無償の贈り物を下さる神に感謝しましょう。

10 私はそちらの一部の人たちから、顔を合わせている時には弱々しいものの、離れている時には断固とした態度を取る、と思われているようです。その私パウロが、キリストの温和さと親切に倣って、皆さんにお

ねが 願います。2 私がそちらにいったとき、断固とした態度を取らずに済むようにしてください。私たちのことを人間的な考えで歩んでいるものと見なす人たちに對して、厳しい処置を講じたくはありません。3 私たちは人間として生きていますが、人間的な方法で戦ってはいません。4 私たちの戦いのための武器は人間的なものではなく、神によって強力にされたものであり、要塞のように強固なものを打ち砕きます。5 私たちは、神の知識に逆らって立つ一切の高い障壁や、さまざまな理論を打ち砕いています。また、一切の考えをいわば捕虜にし、キリストに従わせています。6 そして、皆さんが全く従順になったなら、不従順な人をすぐに処罰する用意ができています。

7 皆さんは物事のうわべしか見ていません。自分はキリストのものだという自信がある人は、私たちもキリストのものだということを思い返してください。8 私は、主が私たちに与えてくださった権威について多少誇り過ぎたとしても、恥をかくことはないでしょう。その権威は皆さんを打ちのめすためではなく、力づけるためのものです。9 手紙で皆さんをおびえさせようとしているとは思ってほしくありません。10「彼は手紙では威厳があつて力強いが、会ってみると弱々しくて話も下手だ」と言う人たちがいます。

第10章

(ア) マタ 26:52
テモ一 1:18, 19

(イ) コ二 6:4, 7

(ウ) コ一 1:19, 20
コ一 3:19, 20
テモ二 2:24, 25

(エ) テモ一 1:20

(オ) ヘブ 13:17

第2欄

(ア) コ二 12:2

(イ) コ二 5:12

(ウ) 格 26:12
ガラ 6:3

(エ) 徒 9:15
ガラ 2:8

(オ) コ一 3:10
コ一 4:15

(ウ) エレ 9:24
コ一 9:31

11 そのような人は考えてください。私たちは離れている時に手紙に書くことを、そちらに行った時に実際に行います。12 私たちは自分たちのことを、自分自身を推薦する人たちと同類だと考えたり、そういう人たちと比べたりは決してしません。そういう人たちは自分で自分を評価し、互いに比べ合います。何も分かっていないのです。

13 私たちは、任務の範囲を超えてではなく、神が割り当ててくださった地域の範囲内で誇ります。その範囲には皆さんも含まれています。14 範囲に入っていないのにな無理に皆さんを含めている、というわけではありません。キリストについての良い知らせを皆さんに最初に伝えに行ったのは、私たちです。15 私たちは、任務の範囲を超えて誰かほかの人の働きについて誇っているではありません。私たちが願っているのは、皆さんの信仰が強くなっていくにつれて、私たちの地域内で、私たちの行ったことが実を結んでいくことです。そうならば私たちはもっと豊かになり、16 皆さんの所よりも向こうの国々にも良い知らせを広めることができるでしょう。誰かほかの人の地域ですでに成し遂げられた事を誇ることはなりません。17「誇る人はエホバについて誇るべきです」。18 良いと認められ

10:17 * 付録 A5 参照。

るのは、自分自身を推薦する人ではなく、エホバに推薦される人だけです。

11 私のことが少し無分別に思えても、皆さんが許容してく

れたらと願います。いえ、すでに皆さんは許容してくれています。**2** 私は神と同じ思いで、皆さんのことを深く気に掛けています。私が皆さんを、1人の夫つまりキリストと婚約させました。

皆さんを貞潔な処女として差し出したと思っています。**3** しかし、エバが蛇のずる賢さによって惑わされたように、皆さんも何かのことで考え方が腐敗させられて、キリストに示すべき誠実さや貞潔さを保てなくなるのではないかと心配しています。**4** 実際、誰かが来て、私たちが伝えたのとは別のイエスを伝えたり、皆さんが持つようになったのとは別の精神を持たせようとしたり、皆さんが受け入れたのとは別の良い知らせを告げたりすると、皆さんはすぐに許容してしまいます。**5** 私は、そちらの優秀な使徒たちと比べて自分に何一つ劣ったところはないと思っています。**6** たとえ話し方が未熟だとしても、知識については決してそうではありません。私たちが全てのことに關してあらゆる方法で皆さんにはつきり示した通りです。

7 それとも私は、皆さんが重んじら

10:18 *付録A5参照。 **11:2** *直訳、「神の熟意」。*****または、「清い」。**11:3** *または、「清さ」。

第10章
(イ) ルカ 18:10-14

(イ) コー 4:5
テモニ 2:15

第11章

(イ) マル 2:19
エフ 5:23
啓 21:2,9

(ロ) 創 3:4,5
ヨハ 8:44

(イ) テモニ 6:3-5
ヘブ 13:9
ペニ 3:17

(イ) ガラ 1:7,8

(イ) コニ 11:23

(イ) コニ 10:10

第2欄

(イ) 使徒 18:3
コー 9:18

(イ) フィリ 4:10

(イ) フィリ 4:15,16

(ロ) テサー 2:9

(イ) コー 9:14,15

(イ) コー 9:11,12

(イ) ロマ 16:17,18
ペニ 2:1

(イ) ガラ 1:8
テサニ 2:9

れるようになるために謙遜になり、神の良い知らせを喜んで皆さんに無償で伝えたことで、罪を犯したのでしょうか。**8** 私は皆さんに奉仕するため、ほかの会衆から提供された物を受け入れました。いわば奪い取るかのようにはです。**9** 皆さんの所にいて困窮した時、私は誰にも負担を掛けませんでした。マケドニアから来た兄弟たちが必要な物を豊かに与えてくれたからです。私はどんな場合にも皆さんの負担にならないようにしましたし、これからもそうします。**10** そして、私が持っているキリストの真理に懸けて言いますが、アカイア地方でこうしたことを誇るのをやめません。**11** なぜでしょうか。皆さんを愛していないからでしょうか。愛していることを神は知っています。

12 私は、今行っていることをこれからも続けます。立場について誇る人たちに、口実を与えないためです。彼らは、私たちと同等に見られようとして根拠を探しています。**13** そのような人たちは偽使徒であり、人を欺き、キリストの使徒に成り済ましています。

14 それも不思議ではありません。サタンが光の使いに成り済ましているからです。**15** それで、サタンの奉仕者たちが正しい奉仕者に成り済ましているとしても、驚くことではありません。

11:7 *直訳、「高く上げられる」。**11:8** *または、「援助」。**11:12** *または、「口実」。

いづれ彼らは行いに応じた終わりを
迎えます。

16 再び言います。誰も私のことを
無分別だと考えないでください。し
かし、もしそう考えるとしても、私を
無分別な人として受け入れてくださ
い。そうすれば、私もいくらか誇れま
す。**17** 私は今、主の手本に倣ってで
はなく、無分別な人のように誇って自
信満々に話します。**18** 多くの人が
人間的な考えのままに誇っているの
ですから、私も誇ります。**19** 皆さんは
とても“分別がある”ので、無分別な
人々を喜んで許容します。**20** 事実、
皆さんを奴隷にする人、皆さんを食い
物にする人、皆さんから奪い取る人、
皆さんを見下す人、皆さんの顔を殴る
人を許容しています。

21 私がこういうことを言うのは、私
たちにとって不名誉なことでしょう。私
たちが弱々しく行動してきたように見
えるかもしれないからです。

しかし、もしほかの人たちが大胆に
行動するのであれば、私も大胆に行
動します。私は無分別な人のように
話しています。**22** 彼らはヘブライ人
ですか。私もそうです。彼らはイスラ
エル人ですか。私もそうです。彼らは
アブラハムの子孫ですか。私もそう
です。**23** 彼らはキリストの奉仕者で
すか。私は狂人のように言いますが、私
の方がはるかに優れた奉仕者です。
私の方がたくさん働き、多く拘禁され

第11章

(7) マタ 16:27
フィリ 3:18, 19
テモニ 4:14

(1) 使徒 22:3

(7) ロマ 11:1
フィリ 3:4, 5

(1) ロマ 11:13
コリ 15:10

第2欄

(7) 使徒 16:23, 24

(1) 使徒 9:15, 16
コリ 6:4, 5
ペテ 2:20, 21

(7) 申 25:3

(1) 使徒 16:22

(7) 使徒 14:19

(7) 使徒 27:41

(1) 使徒 20:3
使徒 23:10

(7) 使徒 14:5, 6

(7) 使徒 13:50

(1) 使徒 20:31

(7) コー 4:11

(1) コリ 6:4, 5

(1) コリ 2:4
コリ 2:1

(1) 使徒 9:24, 25

ました。数え切れないほど殴打され、
何度も死にかけました。**24** ユダヤ
人々たちからむちで39回打たれたこと
が5度、**25** 棒で打ちたたかれたこと
が3度、石を投げ付けられたことが1
度、難船したことが3度あり、一昼夜海
上を漂ったこともあります。**26** 何
度も旅をし、川での危険、強盗の危
険、同胞からの危険、異国の人々から
の危険、町での危険、荒野での危険、
海での危険、偽兄弟からの危険に遭
い、**27** 苦勞して働き、眠れない夜を
何度も過ごし、飢えと渴きを覚え、食べ
る物が何もないことがよくあり、寒さに震
え、着る物がなかったこともあります。

28 そうした外的なものに加えて、
日々迫ってくるもの、つまり全ての会衆
についての心配があります。**29** 誰
かが弱くなっているのに、私は弱くな
らずにいられるでしょうか。誰かの信
仰が損なわれているのに、私は憤慨
せずにいられるでしょうか。

30 もし誇らなければならないので
あれば、私は自分の弱さを示す事柄
を誇ります。**31** 主イエスの父である
神、永遠に賛美されるべき方は、私が
偽りを語っていないことを知っていま
す。**32** ダマスカスでは、アレタ王の
配下の総督が私を捕らえようとして、
町を見張らせていました。**33** しか
し私は城壁の窓から籠で下ろしてもら
い、逃げることができました。

11:28 *または、「日々の重圧」。

(ケ) コニ 1:6
コロ 1:24
テサー 2:8
ヘブ 13:17

12:12 *直訳,「しるし」。 **12:15** *または,「使い尽くされるつもりです」。

皆さんをこんなにも愛しているのに、
それほどには愛されないのでしょうか。

16 たとえそうだととしても、私は皆さんに負担を掛けませんでした。それなのに皆さんは、私が「ずる賢い」とか「だました」とか言います。17 私はそちらに遣わした人たちによって皆さんを利用したことなどありません。そうではないのでしょうか。18 私はテスにそちらに行くよう勧め、一緒に兄弟を遣わしました。テスが皆さんを利用することなどなかったのではありませんか。私たちは同じ精神を示したのではないでしょうか。同じ歩み方をしたのではないのでしょうか。

19 皆さんはこれまで、わたしが皆さんに弁解していると考えてきたのでしょうか。私たちは神の前で、キリストと結ばれて語っています。愛する皆さん、私たちは全てのことを、皆さんを力づけるために行います。20 私は、そちらに着いた時、皆さんが私の期待通りではなかったり、私も皆さんの期待通りではなかったりしないだろうかと不安に思っています。争い、嫉妬、激怒、不和、陰口、うわさ話、思いがり、無秩序が見られはしないだろうか、と心配しています。21 再びそちらに行く時、私は皆さんの前で私の神に辱められるかもしれません。もしかすると、以前に罪を犯した多くの人が、

12:18 *または、「足跡をたどった」。

第12章

(7) コ二 11:9

第2欄

第13章

(7) 申 19:15
マタ 18:16

(7) ロマ 6:4
ペー 3:18

(7) コー 6:14

(4) テモ二 2:11,
12

(4) コー 11:28
ガラ 6:4

習慣にしていた汚れや性的不道德や
恥知らずな行いを悔い改めておらず、
私は嘆くことになるかもしれないの
です。

13 私が皆さんの所に行こうと
するのはこれで3度目です。

「どんなことも2人か3人の証言によって確かめられなければなりません」。2 私は今そちらにいませんが、あたかも2度目にそちらにいるかのようです。以前に罪を犯した人とほかの人全てに前もって警告します。再びそちらに行くことになれば、大目に見ることはしません。3 キリストが私を通して語っている証拠を、皆さんが求めているからです。キリストは皆さんに対してよわい方ではなく、強い方です。4 キリストは確かに、弱さのゆえに杭に掛けられて処刑されたとはいえ、神の力のゆえに生きています。私たちも確かに、キリストのように弱いとはいえ、皆さんへの神の力のゆえに、キリストと共に生きることになります。

5 自分がクリスチャンの信衆の通りに生きているかどうか、いつも確かめてください。自分がどんな人かをいつも調べてください。皆さんは、イエス・キリストと結ばれていることが分かっていないのですか。もちろん、皆さんが退けられていなければのことです

12:21 *ギリシャ語、ポルネイア。用語集参照。
*ギリシャ語、アセルゲイア。用語集参照。13:1
*直訳、「口」。

が。6 私たちが退けられていないことを皆さんに分かってほしいと、私は心から望んでいます。

7 私たちは、皆さんが何も悪いことを行わないようにと願い、神に祈ります。それは、私たちが受け入れられた人と見られたいからではなく、たとえ退けられた人と見られるとしても、皆さんに立派なことを行ってほしいからです。8 私たちは真理に逆らっては何も行えません。真理のためなら行えます。9 私たちが弱くて皆さんが強い時、私たちは喜びます。そして、皆さんが正されていくことを私たちは祈っています。10 だからこそ、私は離れて

第2欄

第13章

[例] コー4:21

[例] コニ1:3,4

[例] フィリ2:2

[例] テサー5:13

ヤコ3:17

ペー3:11

ペニ3:14

[例] コー14:33

いる間に、こうしたことを書きます。そこらにいる時に、主から与えられた權威を厳しく行使せずに済むようにするためです。その權威は、打ちのめすためではなく力づけるためのものです。

11 最後に、兄弟たち、これからよろしく喜び、正され、慰められ、同じ考え方をし、平和に生活してください。そうすれば、愛と平和の神が共にいてくださいます。12 聖なる口づけによってあいさつを交わしてください。13 聖なる人たちがよろしくと言っています。

14 主イエス・キリストの惜しみない親切と神の愛が皆さんに示され、皆さんが共に聖なる力を受けますように。

ガラテアのクリスチャンへの手紙

概要

- あいさつの言葉 (1-5)
良い知らせはほかにない (6-9)
パウロが伝えた良い知らせは神からのもの (10-12)
パウロの改宗と初期の活動 (13-24)
- パウロはエルサレムで使徒たちに会う (1-10)
パウロはペテロ(ケファ)を正す (11-14)
人は信仰によって正しいと認められる (15-21)
- 律法に従った行いか、信仰か (1-14)
正しい人は信仰のゆえに生きる (11)
祝福は律法ではなくアブラハムへの約束による (15-18)
アブラハムの子孫はキリスト (16)
律法が与えられた方法と目的 (19-25)
信仰のゆえに神の子である (26-29)
キリストのものである人たちはアブラハムの子孫 (29)
- もう奴隷ではなく子である (1-7)
パウロはガラテアのクリスチャンのことを心配する (8-20)
ハガルとサラは2つの契約を表す (21-31)
私たちの母、上にあるエルサレムは自由 (26)
- クリスチャンの自由 (1-15)
聖なる力に導かれて歩む (16-26)
罪深い欲望から出る行い (19-21)
聖なる力が生み出すもの (22, 23)
- 重荷を負い合う (1-10)
まいてるものを刈り取る (7, 8)
割礼は重要ではない (11-16)
新しく創造される (15)
結び (17, 18)

1 ^{ひと}人によってではなく、イエス・キリスト^(イ)と、キリストを生き返らせた父である神^{カミ}とによって使徒とされたパウロから、**2** また、私と一緒^{いっしょ}にいる兄弟^{きょうだい}たちから、ガラテアの諸会衆へ。

3 私たちの父である神と、主イエス・キリストから、皆さんに惜しみない親切^{しんせつ}が示され、平和^{へい}が与えられますように。**4** 父である神の意志の通り、キリストは私たちの罪を取り去るために自分を差し出し、私たちが今の悪い体制^{たいせい}から救い出されるようにしてくださいました。**5** 神がいつまでも永遠にたたえられますように。アーメン。

6 皆さんは、キリストの惜しみない親切^{しんせつ}によって招いてくださった神から早くも離れつつあり、別の種類^{しゅるい}の良し^よ知らせに耳を傾けています。そのことに私は驚いています。**7** 別の良し知らせなどというものはありません。ある人たちが皆さんを惑わし、キリストについての良し知らせをゆがめようとしているのです。**8** たとえ私たちであれ天使であれ、私たちが伝えた良し知らせとは異なる事を良し知らせとして皆さんに伝えるとすれば、その者はとがめられるべきです。**9** 私たちがすでに述べた事を、私は今もう一度言います。皆さんが受け入れたのとは異なる事を良し知らせとして皆さんに伝

1:2 *用語集参照。1:3 *または、「過分の」。
1:4 *または、「時代」。用語集参照。

第1章

(イ) 使徒 9:15
使徒 26:15,16

(イ) 使徒 22:14,15

(イ) テモ— 2:3,4

(イ) ヨ— 2:1,2

(イ) ヨハ 15:19

(イ) コ二 11:3,4
ガラ 5:7

(イ) ガラ 5:10

第2欄

(イ) テサー 2:13

(イ) 使徒 23:6

(イ) 使徒 8:3
使徒 9:1,2
使徒 22:4
使徒 26:9-11

(イ) 使徒 22:3
フィリ 3:4-6

(イ) コー 15:10

(イ) 使徒 9:15
ロマ 11:13

(イ) 使徒 9:19

えている者は、誰であれとがめられるべきです。

10 私が今得ようとしているのは、人の好意^{こうい}でしょうか。それとも神の好意^{こうい}でしょうか。私は人を喜ばせようとしているのでしょうか。いまだに人を喜ばせているとすれば、私はキリストの奴隷^{れい}ではありません。**11** 兄弟たち、私が伝えた良し知らせは人が考え出したものではない、ということを知ってほしいと思います。**12** 私はその知らせを人から受けたのでも、教えられたのでもありません。イエス・キリストから啓示されたのです。

13 皆さんは、私がユダヤ教徒だった頃の振る舞いについて聞いています。私は神の会衆を激しく迫害し、荒らしていました。**14** そして、多くの同年代の同胞よりもユダヤ教に打ち込み、はるかに熱心に父祖たちの伝統^{でんとう}に従っていました。**15** しかし、私を母から誕生させ、惜しみない親切^{しんせつ}によって招いてくださった神が、次のことを良しと考えました。**16** 私を通して神の子を明らかにし、その方についての良し知らせを私が異国の人々に伝えるようにする、ということです。私はこのことについてすぐに人に相談したりはしませんでした。**17** また、私より前に使徒となった人たちがいるエルサレムに上ることもせず、アラビアに行き、それからダマスカスに戻りました。

18 3年後、私はケファを訪ねるためエルサレムに上り、彼の所に15日間滞在しました。19 しかし、ほかの使徒たちには会いませんでした。主の弟であるヤコブに会っただけです。20 私は皆さんに宛てて書いている事柄が偽りではないことを、神の前で断言します。

21 その後、私はシリア地方とキリア地方に行きました。22 しかし、キリストと結ばれたユダヤの諸会衆の人たちに顔を知られていませんでした。23 彼らはこう聞いていただけでした。「以前私たちが迫害し、会衆を荒らしていた人が、今では良い知らせを伝えている」。24 それで、彼らは私のことで神をたたえるようになりました。

2 それから14年後、私はバルナバと一緒に再びエルサレムに上りました。テトスも連れていきました。2 上っていったのは啓示があったからで、異国の人々に伝えている良い知らせについて兄弟たちに話しました。といっても、主立った人たちだけに話しました。自分が無駄に走っていないこと、また無駄に走ってこなかったことを確かめるためです。3 私と一緒にいたテトスはギリシャ人でしたが、割礼を受けるよう強制されることはありませんでした。4 しかし、こっそり入

第1章

(ア) ヨハ 1:42
コ 1:15

(イ) 使徒 9:26

(ウ) マタ 13:55
使徒 12:17

(エ) 使徒 9:29,30

(オ) ガラ 1:13

(カ) 使徒 8:3

第2章

(キ) 使徒 9:27

(ク) 使徒 15:1,2

(コ) コリ 2:13

(ク) 使徒 16:3

第2欄

(ア) 使徒 15:1,24

(イ) コリ 3:17
ガラ 5:1

(ウ) ガラ 4:9

(エ) ガラ 2:14

(オ) ガラ 2:9

(カ) 使徒 22:21
ロマ 11:13
テモ 2:7

(キ) 使徒 9:15

(ク) エフ 3:8

(コ) 使徒 15:13

(ク) 使徒 13:2
使徒 15:25

り込んだ偽兄弟たちのせいで、割礼の問題が持ち上がりました。その人たちは、キリスト・イエスと結ばれた私たちは得ている自由を探索するために忍び込んだのであり、私たちが完全に奴隷にしようとしています。5 私たちは彼らに全く屈服しませんでした。皆さんが良い知らせの真理から離れないようにするためです。

6 重要と見なされている人たちに聞かせてですが(その人たちが以前どんな人だったか、私は気にしません。神はうわべで人を判断したりはしないからです)、私はその主立った人たちから新しいことは何も告げられませんでした。7 彼らは、割礼を受けた人たちにペテロが良い知らせを伝えることになったように、割礼を受けていない人たちに私が良い知らせを伝えることになったのを知りました。8 (割礼を受けた人たちに使徒として仕えるようペテロに力を与えた方は、私にも力を与えて異国の人々に仕えられるようにしてくださいました。) 9 また彼らは、私に示された惜しみない親切についても知りました。それで、柱と見なされていたヤコブとケファとヨハネが、私とバルナバと握手を交わし、こうして私たちは異国のの人々の所へ、彼らは割礼を受けた人たちの所へ行くことになりました。10 私たちが言われたの

2:5 *直訳、「ひとときも」。2:9 #または、「共に働くしとして右手を差し出し」。

1:18; 2:9 *ペテロとも呼ばれる。1:23 *直訳、「信仰」。2:3 *用語集参照。

も 持ったからですか。 **3** 皆さんはど
こまで無分別なのですか。聖なる力に
導かれて歩み始めたのに、人間的な
考え方をして歩みを終えるのですか。
4 皆さんが非常に多くの苦しみを味
わったことは無駄だったのですか。そ
うではないはずです。 **5** では、皆さん
が聖なる力を与えられ、皆さんの間で
奇跡が行われるのは、律法に従った
行いのゆえですか、それとも聞いた事
柄に信仰を持ったからですか。 **6** ア
ブラハムは「エホバに信仰を持ち、そ
のことが正しいと見なされた」のでは
ありませんか。

7 皆さんは、信仰によって生きる人
がアブラハムの子孫であることを知っ
ているはずですよ。 **8** 聖書は、神が異
国のの人々を信仰のゆえに正しいと認
めるようになることを前もって見通し、
アブラハムに良い知らせをこう告げ
ました。「あなたによって全ての国民
が祝福される」。 **9** ですから、信仰に
よって生きる人は、信仰を持っていた
アブラハムと共に祝福されています。

10 律法に従った行いに頼る人は
皆、災いを被ります。こう書かれてい
るからです。「律法の巻物に書かれて
いる事柄全てを守らず、行わない人は
皆、災いを被る」。 **11** 律法に基づ
いて神に正しいと認められる人はい
ない、ということはお明かです。「正し
い人は信仰のゆえに生きる」からで

第3章
[7] エフ 1:13

[1] ガラ 4:9,10

[2] コー 12:8-10

[3] 創 15:6

ロマ 4:3

ヤコ 2:23

[4] ロマ 4:11,12

[5] 創 12:3

創 18:18

[6] ロマ 4:16,17

[7] 申 27:26

使徒 15:10

ヤコ 2:10

[8] ガラ 2:15,16

[9] ハバ 2:4

ロマ 1:17

ヘブ 10:38

第2欄

[1] レビ 18:5

申 30:16

ロマ 10:5

[2] コー 7:23

[3] 申 21:23

使徒 5:30

[4] マタ 26:27,28

ヘブ 9:15

[5] エフ 2:15,16

[6] ヨエ 2:28

[7] 創 12:1-3

創 12:7

創 13:14,15

創 17:7

創 22:17,18

創 24:7

[8] マタ 1:17

[9] 出 12:40,41

す。 **12** 律法は信仰を必要としてい
ません。「それを守る人は生きること
ができる」のです。 **13** キリストは私
たちを買い取ってくださいました。「杭
に掛けられる人は皆、災いを被ってい
る」と書かれている通り、私たちの代
わりに災いを被ることによって、私たち
を律法の災いから解放してくださいまし
た。 **14** それは、アブラハムへの
祝福がキリスト・イエスによって異国
の人々に及ぶようになるため、そして
私たちが、約束されていた聖なる力を
信仰のゆえに受けるようになるため
でした。

15 兄弟たち、日常的なことを例に
して説明しましょう。人間の契約でさ
え、一度結ばれたなら、誰も無効にし
たり何かを付け加えたりはできませ
ん。 **16** さて、約束はアブラハムとそ
の子孫に語られました。子孫が大勢
いるかのように、「あなたの子孫たち」
とは述べられていません。「あなたの
子孫」と述べられており、子孫は1人
で、キリストです。 **17** さらに言うと、
430年後に定められた律法は、神が
前に結んだ契約を無効にするもので
はありません。約束が取り消されたわ
けではないのです。 **18** もし律法に
基づいて財産が与えられるのであれば、
それは約束に基づいて与えられる
ことにはなりません。しかし神は約束

3:13 *または、「忌まわしい」。 **3:16** *直訳、
「種」。

によって、それをアブラハムに親切に
あた^け与えました。

19 では、律法はなぜあるのでしょうか。違反^{いはん}を明らかにするために付け
加えられたのであり、約束^{やくそく}を与えられ
た子孫^{しそん}が来る時までのものでした。律
法^{りっぽう}は天使^{てんし}たちを通して、仲介者^{ちゅうかいしゃ}の手
によって伝えられました。20 さて、関
わっているのが1人^{ひとり}だけなら、仲介者^{ちゅうかいしゃ}
は要りません。神の約束^{しんのかちやくそく}の場合がそう
でした。21 では、律法^{りっぽう}は神の約束^{しんのかちやくそく}
に反しているのでしょうか。決してそう
ではありません！命^{いのち}を与えることがで
きる律法^{りっぽう}が与えられていたなら、人は
律法^{りっぽう}を通して正しいと認められていた
はずです。22 しかし、聖書^{せいしょ}は全ての
人が罪に拘束^{きうそく}されるようにしました。
こうして、イエス・キリストへの信仰^{しんこう}に
基づく約束^{もとやくそく}が、信仰^{しんこう}を抱く人たちに与
えられることになりました。

23 キリストへの信仰^{しんこう}が始まる前^{まえ}、
わたし^{わたし}たちは律法^{りっぽう}に拘束^{きうそく}され、保護^{ほご}されて
おり、やがて明らかにされる信仰^{あきしんこう}に目
を向けていました。24 このように、
律法^{りっぽう}は私たち^{わたし}をキリストに導く保護者^{めいごしや}
となりました。私たちが信仰^{しんこう}のゆえに
正しいと認められるようになるため
です。25 しかし、キリストへの信仰^{しんこう}が
はじまったら、私たちはもう保護者^{いまいわけたし}の下
にはいません。

26 皆さんは、キリスト・イエスへの
3:19, 29 *直訳、「種」。3:24, 25 *または、「養育係」。

第3章

(例) 創 22:17
(イ) ロマ 3:20
(例) ヨハ 1:29
ロマ 10:4
(例) 使徒 7:38, 53
ヘブ 2:2
(例) 出 20:19
申 5:5
ヨハ 1:17
(例) ロマ 10:4
(例) マタ 5:17
(例) 使徒 13:39
ロマ 5:1
ロマ 8:33
(例) コロ 2:17
(例) ヘブ 8:6

第2欄

(例) ヨハ 1:12
(イ) ロマ 8:14
(例) ロマ 13:14
エフ 4:24
(例) ロマ 10:12
(例) コー 12:13
コロ 3:10, 11
(例) 使徒 2:17
ペー 3:7
(例) ヨハ 17:20, 21
(例) ロマ 9:7, 8
(例) 創 22:18
(例) ロマ 8:17

第4章

(例) コロ 2:8
コロ 2:20-22
(例) ヨハ 1:14
ヘブ 2:14
(例) マタ 5:17
(例) コー 7:23
ガラ 3:13
(例) ヨハ 1:12
ロマ 8:23
(例) ヨハ 14:26
(例) ロマ 5:5
(例) ロマ 8:15

信仰^{しんこう}のゆえに神^{かみ}の子^こです。27 キリ
ストへのバプテスマを受けた皆さんは、
キリストを身に着けました。28 ユダ
ヤ人もギリシャ人もなく、奴隷も自由民
もなく、男性も女性もありません。皆が
キリスト・イエスと結ばれて一つになっ
ているからです。29 さらに、皆さん
はキリストのものなので、まさに
アブラハムの子孫^{しそん}であり、約束^{やくそく}によっ
て財産^{ざいさん}を受けることになっています。

4 さて、相続人^{そうぞくしん}は全ての物の持ち
主^{ぬし}ですが、幼い子供^{おきな}である間は
奴隷^かと変わりありません。2 父親^{ちちおや}が
定めた日^{さだめ}までは、保護者^{ほごしや}や家の管理
人^{かんのとく}の監督^{かんとく}下^かにいます。3 同じように
私たち^{わたし}も、子供^{こども}だった時には、世^よの理
念^{ねん}の奴隷^{どれい}になっていました。4 しか
し、時^{とき}が満ちると、神^{かみ}はご自分の子^こを
遣^{つか}わしました。その方^{かた}は女性^{にょせい}から生ま
れ、律法^{りっぽう}の下^{もと}にいました。5 こうして
神^{かみ}は、その方^{かた}が律法^{りっぽう}の下^{もと}にいた人^{ひと}たち
を買い取^かって解放^{かいほう}し、私たちが養子^{ようし}に
されるようにしました。

6 皆さんは子^{みな}なので、神^{かみ}はご自分^{じぶん}
の子^こが持つ聖^{せい}なる力^{ちから}を私たちの心^{こころ}の
中^{なか}に送^{おく}ってくださいました。その聖^{せい}な
る力^{ちから}によって私たちは「アバ、父よ！」
と叫びます。7 ですから、皆さんはも
う奴隷^{どれい}ではなく子^こです。そして、子^こなの

3:27 *用語集参照。3:29 *または、「約束に
よる相続人です」。用語集の「相続人」参照。4:
3 *または、「基礎的な事柄」。4:6 *「父よ」と
いう意味のヘブライ語もしくはアラム語。

で、神によって相続人ともされています。

8 皆さんは神を知らなかった時、偽りの神々の奴隷になっていました。

9 しかし、今は神を知りようになりました。というより、神に知られるようになりました。それなのに、どうしてむなしくて価値のない理念に戻り、再びその奴隷になろうとするのですか。

10 皆さんは日や月や時期や年にこだわっています。11 私は皆さんのことが心配です。皆さんのために苦労したことは無駄だったのだろうか、と思います。

12 兄弟たち、お願いします。私のようになってください。私もかつては皆さんのようでした。皆さんは私に何も悪いことをしませんでした。13 ご存じの通り、私が皆さんに良い知らせを伝えるきっかけになったのは、私の病気でした。14 病気の私を受け入れるのは大変だったはずですが、皆さんは見下したり毛嫌いしたりせず、私が神の天使かキリスト・イエスであるかのように迎えてくれました。15 あの時の皆さんの幸福はどこに行ってしまったのですか。皆さんは、できることなら自分の目をえぐり出して私に与えたいとさえ思っていました。そのことを私は証言できます。16 では私は、皆さんに真理を伝えるので、皆さんの敵になったのですか。17 あ

第4章

(イ) ロマ 8:17
ガラ 3:29
エフ 1:13,14

(イ) ロマ 8:3
ヘブ 7:18,19

(イ) コロ 2:20-22

(イ) コロ 2:16

(イ) ガラ 1:14

(イ) 使徒 23:5
ガラ 6:11

第2欄

(イ) コー 4:15
テサー 2:11
フイレ 10

(イ) 創 16:15

(イ) 創 21:2,3

(イ) 創 16:1,2

(イ) 創 17:15,16

(イ) 出 19:20
出 24:12

(イ) 出 19:18

の人たちは熱心に皆さんを取り込もうとしていますが、その目的は良いものではありません。皆さんを私から引き離したいと思っており、自分たちの支持者にならせようとしているのです。18 しかし、誰かが良い目的で皆さんを熱心に誘うのはいつでも良いことであり、それは私が皆さんと一緒にいるときだけに限りません。19 私の子ども供たち、皆さんの中にキリストが形作られるまで、私は再び産みの苦しみを味わっています。20 今そちらにいて別の話し方ができたいのに、と思います。皆さんのことで困惑しているからです。

21 律法の下にいることを望む皆さん、答えてください。皆さんは律法が述べている事を知らないのですか。

22 例えば、アブラハムには2人の子がいと書いてあります。1人は召し使いの女性から生まれ、1人は自由な女性から生まれました。23 召し使いの女性の子は普通に生まれ、自由な女性の子は約束によって生まれました。24 この出来事には別の意味があります。この女性たちは2つの契約を表しています。1つはシナイ山で結ばれ、奴隷となる子供たちを生み出す契約で、ハガルがこれに相当します。

25 ハガルは、アラビアにあるシナイ山を表し、今のエルサレムに当たります。彼女は自分の子供たちと共に奴

4:25 *エルサレムのこと。*住民のこと。

4:7 *用語集参照。4:9 *または、「基礎的な事柄」。4:14 *または、「唾を掛けたり」。

隷となつてゐるからです。26 一方、
上にあるエルサレムは自由であつて、
私たちの母です。

27 こう書かれています。「子供を産
めない不妊の女よ、喜び。産みの苦し
みを知らない女よ、歓声を上げよ。見
捨てられた女の子供は、夫がいる女
の子供よりも多いからだ」。28 兄弟
たち、皆さんはイスakと同じく約束によ
る子供です。29 当時、普通に生まれ
た子が、聖なる力によって生まれた子
を苦しめるようになりました。今も同
じことが起きています。30 しかし、聖
書は何と言っているでしょうか。「召し
使いの女とその子を追い出してくださ
い。召し使いの女の子供が、自由な女
の子供と一緒に相続人になることは
決してないからです」。31 ですから、
兄弟たち、私たちは召し使いの女性の
子供ではなく、自由な女性の子供です。

5 キリストは、このような自由のた
めに私たちを自由にしてくださ
いました。ですから、しっかり立てく
ださい。再び奴隷になって束縛される、
ということがないようにしましょう。

2 私パウロが皆さんに言います。も
し割礼を受けるなら、キリストが皆さ
んのためにしたことは台無しになつて
しまいます。3 割礼を受ける人全て
にもう一度言つておきますが、そういう
人には律法全体を守る義務がありま
す。4 律法に基づいて正しいと認め
られようとしている皆さんは、キリスト

第4章
(例) イザ 54:1

(例) ロマ 9:8
ガラ 3:29

(例) 創 21:9

(例) ガラ 5:11
テモ二 3:12

(例) 創 21:10

第5章
(例) コー 16:13
フィリ 4:1

(例) 使徒 15:10

(例) ガラ 6:12

(例) ロマ 2:25
ガラ 3:10

第2欄
(例) ロマ 3:20

(例) コー 7:19
ガラ 6:15
コロ 3:10,11

(例) コー 9:24
ガラ 3:3

(例) コー 5:6
コー 15:33
テモ二 2:16-18

(例) ヨハ 17:20,21

(例) ガラ 1:7

(例) コー 1:23

から離れています。キリストの惜しみ
ない親切から離れ落ちてゐるのです。
5 私たちは聖なる力により、信仰のゆ
えに正しいとみなされることを心から
待ち望んでいます。6 キリスト・イエ
スと結ばれた人にとって、割礼を受け
ているかどうかは問題ではありません
。価値があるのは信仰であり、信仰
は愛によって示されます。

7 皆さんはしっかり走ってしまし
た。誰に唆されて、真理に従い続けな
くなったのですか。8 皆さんを招い
ている方は、そのように勧めることは
ありません。9 少しのパン種が生地
全体を発酵させます。10 私は、主
と結ばれている皆さんが別の考えを
持つようなことではないと確信していま
す。皆さんを惑わしている人は誰であ
れ、当然の処罰を受けることになりま
す。11 兄弟たち、もし私がまだ割礼
を推奨しているとすれば、どうして今
も迫害されているのでしょうか。まだ
割礼を推奨しているなら、苦しみの杭
はもはや障害にはなっていないはずで
す。12 私は、皆さんをかき乱そうと
している人たちが自分を去勢してしま
えばいいのに、と思います。

13 兄弟たち、皆さんは招かれて自
由になりました。その自由を、罪深い
欲望を満たすために用いてはなりま

5:7 *または、「妨げられて」。5:11 *用語集参
照。*または、「過ちのもと」。5:12 *そのよう
にして、自分たちが推奨している律法に従えなく
なれば、いい、ということ。

せん。愛を抱いて仲間^(イ)に仕えましょう。

14 律法全体は、隣人を自分自身のように愛さなければならないという1つのおきてによって果たされるからです。15 もしもかみあがり食い合ったりしているなら、互いを破滅させないように気を付けてください。

16 次のことを勧めます。聖なる力に導かれて歩んでください。そうすれば、罪深い欲望のままに行動することは決してありません。17 罪深い欲望は聖なる力に逆らい、聖なる力は罪深い欲望に逆らうからです。これらが対立しているのです、皆さんはしたいと思うことを行いません。18 そして、聖なる力に導かれているのであれば、皆さんは律法の下にはいません。

19 さて、罪深い欲望から出る行いは明らかです。それは、性的不道徳、汚れ、恥知らずな行い、20 偶像崇拝、心霊術、敵意、争い、嫉妬、げきど、ふわ、ぶんれつ、ぶんば、激怒、不和、分裂、分派、21 ねたみ、めいてい、さわ、けいこく、から、わたし、わたくし、けいこく、柄について私はすでに警告しましたが、あらためて警告します。こうした事がら、しゅうかん、むと、かみ、おうこく、さず、柄を習慣にする人が神の王国を授けられることはありません。

22 一方、聖なる力が生み出すものは、愛、喜び、平和、辛抱強さ、親切、善良、信仰、23 温和、自制です。この

5:14 *もしかすると、「に要約される」。5:19 *ギリシャ語、ボルネイア。用語集参照。*ギリシャ語、アセルゲイア。用語集参照。5:20 *または、「魔術」、「薬物の使用」。5:22 *用語集参照。*直訳、「実」。

第5章

- (イ) ペー 2:16
(イ) コー 9:19
(イ) レビ 19:18
マタ 7:12
マタ 22:39
ロマ 13:8,9
ヤコ 2:8
(イ) ヤコ 3:14
(イ) ヤコ 4:1,2
(イ) ロマ 8:5,13
(イ) ロマ 6:12
ペー 2:11
(イ) ロマ 7:15,19
ロマ 7:23
(イ) コー 5:9
エフ 5:3
コロ 3:5
啓 2:20
(イ) マル 7:21,22
エフ 4:19
ペー 2:2
コダ 4
(イ) レビ 19:26,31
申 18:10,11
(イ) 申 21:20,21
イザ 5:11
(イ) ペー 4:3
(イ) コー 6:9,10
(イ) エフ 5:9
(イ) ヤコ 3:17

第2欄

- (イ) ロマ 6:6
(イ) ロマ 8:4
(イ) フリ 2:3
(イ) 伝 4:4
コー 4:7
ガラ 6:4

第6章

- (イ) 格 15:1
コロ 3:12
テモ 6:11
テト 3:2
(イ) ヤコ 3:2
(イ) コー 10:12
(イ) テサー 5:14
(イ) ヨハ 13:34
ヨハ 15:12
ヨ一 4:21
(イ) ロマ 12:3
(イ) コニ 13:5
(イ) ガラ 5:26
(イ) ロマ 14:4
コニ 5:10
(イ) マタ 10:9,10
ルカ 10:7
ロマ 15:27
コー 9:11,14

ようなものを否定する律法はありません。24 キリスト・イエスのものである人たちは、自分の罪深い欲情や欲望をくいにきづけにしました。

25 私たちは聖なる力に導かれて生きているのですから、その力に導かれてきちんと歩んでいきましょう。

26 自己中心的になってはなりません。競い合ったりねたま合ったりしないようにしましょう。

6 兄弟たち、誰かが道を踏み外したなら、たとえ気付かずにそうした場合でも、クリスチャンとして十分に資格がある皆さんは、その人を優しく正すことに努めてください。そして、自分も誘惑されることがないように注意してください。2 仲間同士、重荷を負い合ひましょう。そうすればキリストの律法を実践していることになります。3 本当は何者でもないのに、自分はだした者だと考える人は、間違った見方をしています。4 一人一人、自分の行いについてよく考えましょう。そうすれば、人とくらべて喜ぶのではなく、自分自身のことを喜べます。5 人はそれぞれ、自分の荷を自分で負うのです。

6 神の言葉を教えられている人は、教える人と、良いものを分け合ってください。

5:26 *または、「うぬぼれて」。6:1 *または、「聖なる力に導かれている」。*または、「温和な精神で」。6:5 *または、「責任」。

7 思い違^{おも ちが}いをしてはなりません。神^{かみ}はご自分^{じぶん}を侮^{あなだ}る者^{もの}を大目^{おおめ}に見ることはありません。人は自分^{じぶん}がまいてい^{かな}るものを必ず刈^かり取ることになりま^とす。8 罪^{つみ}深い欲望^{ぶくぼう}のままにまいてい^{ひと}る人は、罪^{つみ}深い欲望^{ぶくぼう}によって腐敗^{ふはい}を刈^かり取り、聖^{せい}なる力^{ちから}に導^{みちび}かれてまいてい^{ひと}る人は、聖^{せい}なる力^{ちから}によって永遠^{えいえん}の命^{いのち}を刈^かり取ることになるのです。9 それ^{あきら}で、諦^{あきら}めずに立派^{りっぱ}なことを行^{おこな}い続けま^としょう。諦^{あきら}めないなら、やがて刈^かり取る^きことになりま^{かい}す。10 ですから、機^き会^{かい}がある限り、全^{かぎ}ての^{すべ}人^{ひと}に、特^{とく}に同^{おな}じ信^{しん}仰^{こう}を持^もつ兄^{きょう}弟^{だいい}姉^し妹^{まい}に、善^よいことを行^{おこな}いま^ししょう。

11 ご覧^{らん}のように、私^{わたし}はこんな^{おお}に大^じきな字^じで、自^じ分^{ぶん}の手^てで皆^{みな}さん^かにこの手^て紙^しを書^かいていま^す。

12 皆^{みな}さんに割^{かつ}礼^{れい}を受け^うさせよう^とと^しているのは、人^{ひと}から良^よく見^みられよう^とと^しする人^{ひと}たち^{たち}です。彼^{かれ}らは、キ^きリ^りス^すトの苦^{くる}しみ^{しみ}の杭^かのため^{ため}に迫^{はく}害^{がい}される^さのを避^さ

6:7 *または、「だまされて」。 6:8,12 *用語集参照。 6:9 *または、「疲れ果ててしまわない」。 6:12 *または、「体面を繕おう」。

第6章
(イ) ロマ 2:6-8

(イ) ロマ 8:6,13

(イ) ヘブ 3:14
ヘブ 12:3
啓 2:10

第2欄
(イ) ヤコ 2:10

(イ) コー 2:2

(イ) コー 7:19
ガラ 5:6
コロ 3:10,11

(イ) コニ 5:17
エフ 2:10

(イ) ロマ 9:6

(イ) コニ 4:10
フィリ 3:10

けただけです。13 割^{かつ}礼^{れい}を受け^うてい^る人^{ひと}たちは、実^{じつ}際^{さい}には律^{りっ}法^{ぽう}を守^{まも}って^いないのに、皆^{みな}さんに割^{かつ}礼^{れい}を受け^うさせたいと思^{おも}っています。割^{かつ}礼^{れい}を受け^うさせ^たことを誇^{ほこ}るため^{ため}です。14 私^{わたし}は、主^{しゅ}イ^いエ^えス・キ^きリ^りス^すトの苦^{くる}しみ^{しみ}の杭^か以外^いのもの^{もの}につ^けいては決^{けつ}して誇^{ほこ}りま^いせん。キ^きリ^りス^すトにより、世^よは私^{わたし}から見^みれば処^{しょ}刑^{けい}され^ており、私^{わたし}は世^よから見^みれば処^{しょ}刑^{けい}され^ていま^す。15 割^{かつ}礼^{れい}を受け^うてい^るかど^うか^かは重^{じゅう}要^{よう}ではありま^いせん。重^{じゅう}要^{よう}なの^なは、新^{あた}しく創^{そう}造^{ぞう}され^ること^{こと}です。16 こ^この指^し針^{しん}に従^{したが}ってき^かち^かんと歩^{あゆ}む人^{ひと}全^{ぜん}てに、つ^つま^つり神^{かみ}のイ^いス^すラ^らエ^えルに、平^{へい}和^わが与^{あた}え^られ、憐^{あわ}れ^れみ^めが示^{しめ}されま^すよう^に。

17 私^{わたし}は今^{こん}後^ご、誰^{だれ}にも煩^{わづら}わされ^たく^くありま^いせん。私^{わたし}の体^{からだ}にはい^いわ^わば、イ^いエ^えス^すの奴^わ隷^{れい}の焼^やき印^{いん}が押^おされ^ていま^す。

18 兄^{きょう}弟^だたち、正^{ただ}しい精^{せい}神^{しん}を示^{しめ}して^てい^いる皆^{みな}さん^{さん}に、主^{しゅ}イ^いエ^えス・キ^きリ^りス^すトが惜^おしみ^{しみ}ない親^{しん}切^{せつ}を示^{しめ}してくださ^さいま^すよ^うに。アーメン。

6:14 *または、「杭に掛けられて」。 6:15 *または、「新しい創造物である」。

エフェソスのクリスチャンへの手紙

概 要

- 1 あいさつの言葉 (1, 2)
聖なる力による祝福 (3-7)
全てのものをキリストの下に集める (8-14)
定められた期間が満ちる時の「管理」(10)

「前もって保証するしるし」として、聖なる力
で証印を押される (13, 14)
パウロはエフェソスのクリスチャンの信仰に
ついて神に感謝し、彼らのことを祈っている
(15-23)

- 2 キリストと共に生かされる (1-10)
2つのグループを隔てていた壁が取り壊される (11-22)
- 3 神聖な秘密には異国の人々も関係している (1-13)
異国の人々もキリストと共に財産を受ける (6)
神の永遠の目的 (11)
エフェソスのクリスチャンが理解を得られるようにとの祈り (14-21)
- 4 キリストの体として一致する (1-16)
人々という贈り物 (8)

- 古い人格と新しい人格 (17-32)
- 5 言葉と行いの面で清くある (1-5)
光の子供として歩む (6-14)
聖なる力に満たされる (15-20)
時間を有効に使う (16)
夫と妻への助言 (21-33)
- 6 子供と親への助言 (1-4)
奴隷と主人への助言 (5-9)
神からの武具を全て身に着ける (10-20)
結びのあいさつ (21-24)

1 神の意志によってキリスト・イエスの使徒となったパウロから、エフェソスにいる、キリスト・イエスと結ばれた忠実な聖なる人たちへ。

2 私たちの父である神と、主イエス・キリストから、皆さんに惜しみない親切が示され、平和が与えられますように。

3 私たちの主イエス・キリストの父である神が賛美されますように。神は、キリストと結ばれた私たちに、聖なる力によって天でのさまざまな祝福を与えてくださっているからです。**4** 神は世が始まる前に、キリストと結ばれるよう私たちを選び、私たちが神の前で、愛のゆえに傷のない聖なる者になれるようにしてくださいました。**5** 神はご自分の望みと意志の通りに、イエス・キリストを通して私たちを養子にすることをあらかじめ決めました。

1:2 *または、「過分の」。1:3 *用語集参照。

第1章

(例) 啓 2:1,3

(例) エフ 2:6

(例) エフ 5:25-27

(例) ロマ 8:28

(例) ロマ 8:15,29
ロマ 8:23

(例) テサ二 2:13
ペー 1:2

第2欄

(例) ヨハ 3:35

(例) ロマ 3:24

(例) 使徒 20:28
ロマ 3:25
啓 5:9

(例) 使徒 13:38
コロ 1:14
コロ 2:13

(例) ロマ 16:25,26

(例) フィリ 2:9,10
コロ 1:19,20

6 ご自分の愛する子によって私たちに示してくださった、際立った惜しみない親切が、称賛されるようにするためです。**7** その豊かな惜しみない親切のおかげで、私たちはキリストの血によって贖われ、解放されています。過ちを許されているのです。

8 神はその惜しみない親切を私たちに豊かに示し、知恵と理解力をふんだんに与えてくださいました。**9** ご自分の意志についての神聖な秘密を知らせてくださったのです。その秘密は、神が望み通りに決めた事柄に関するものです。**10** 神は、定められた期間が満ちる時に物事を管理し、全てのもの、天のものと地のものをキリストの下に集めます。すべてのものがキリストに従うのです。**11** 神は、ご自分の意志のままに決めたことを全て実現させる方です。その方の目的に沿

1:7 *用語集の「贖い」参照。1:8 *または、「分別」。

い、あらかじめ定められていた通り、私
たちはキリストと結ばれており、キリス
トと共に財産を受ける者となりました。

12 それは、キリストに最初に希望を
抱いた私たちのゆえに、神が賛美さ
れ、たたえられるためでした。**13** 皆
さんも、真理の言葉、つまり救いにつ
いての良い知らせを聞き、キリストに
希望を抱きました。そして信じた後、
キリストにより、約束されていた聖なる
力で証印を押されました。**14** それ
は私たちが財産を受けることを前もっ
て保証するしるしであり、その目的は、
贖いによって神の民が解放されて、神
が大いに賛美されることです。

15 だからこそ私も、皆さんが主イ
エスに抱いている信仰や、聖なる人た
ち全てに示している愛について聞き、
16 いつも皆さんのことを神に感謝し
ています。常に皆さんについて祈って
います。**17** 皆さんが、主イエス・キリ
ストの神、栄光に輝く父から力を与え
られて賢くなり、啓示された事柄を理
解し、神について正確に知ることがで
きますように、と祈っています。**18** 神
は皆さんの心の目を啓発し、次のこと
を理解できるようにしました。神が皆
さんを招いてどんな希望を差し伸べた
か、聖なる人たちにどんな素晴らしい
財産を与えようとしているか、**19** 信
じる私たちに示される神の力がどれ
ほど偉大か、ということです。その偉大

1:14 *または、「誓約」、「手付金」。^a 直訳、「所有物」。

第1章

(例) ロマ 8:17
エフ 3:5,6
(例) コロ 1:22
エフ 4:30
啓 7:4
(例) コロ 5:5
ペー 1:3,4
(例) ロマ 8:23
テモ一 2:5,6
(例) ペー 2:9
(例) コロ 1:9
テモ一 2:3,4
(例) ペー 1:3,4
(例) コロ 13:4

第2欄

(例) 詩 110:1
使徒 7:55
(例) 使徒 4:12
フィリ 2:9-11
(例) 詩 8:6
ロー 15:27
ヘブ 2:8
(例) マタ 28:18
エフ 5:23
コロ 1:18
(例) ロマ 12:5
エフ 4:16

第2章

(例) コロ 2:13
(例) ロマ 12:2
エフ 4:17
(例) ヨハ 12:31
(例) コー 2:12
(例) コー 6:9-11
(例) ペー 4:3
(例) ヨハ 3:36
(例) 詩 145:9
(例) ロマ 5:8
ヨ一 4:9,19
(例) コロ 2:12,13

さは、神の強い力が働いた例から分
かります。**20** 神は力を用いてキリス
トを生き返らせ、天でご自分の右に
座らせました。**21** その地位は、今
の体制だけでなくこれから来る体制に
おいても、どんな政府や権威や力や統
治権や名よりはるかに勝っています。
22 神はまた、キリストを全てのもの
の上に立たせ、会衆に関する全ての事
柄を見守る頭としました。**23** 会衆
はキリストの体であり、全てのものを
完全に満たすキリストが満ちています。

2 皆さんは過ちと罪のゆえに死ん
でいましたが、神によって生かさ
れました。**2** 皆さんは以前、今の世
の体制に従って歩んでいました。人々
に影響を及ぼしている空気の支配者
に従って歩んでいたのです。その空気
つまり精神は、不従順な人たちに行き
渡っています。**3** 私たちは皆、以前
はそのような人たちの中で罪深い欲
望に従って生活していました。自分の
意志や考えのままに行動し、ほかの人
たちと同じように、生まれた時から神
の憤りを招く人間でした。**4** しかし、
あわれみ深い神は、私たちを深く愛し、
5 私たちが過ちのゆえに死んでいた
時に、キリストと共に生かしてください
ました。皆さんは惜しみない親切に
よって救われたのです。**6** 神は、キリ
スト・イエスと結ばれた私たちと共に
生き返らせ、天で共に座れるようにし

1:21 *または、「時代」。用語集参照。**1:22**
*用語集参照。**2:2** *または、「流れ」。

てくださいました。^(ア) 7 そして神はこ
れから来る体制^{く たいせい*}において、キリスト・イ
エスと結ばれた私たちに恵み^{むす}を与え、
ご自分の惜しみない親切^{しんせつ}がいかに豊
かであるかを明らかにします。

8 この惜しみない親切のおかげで、
皆さんは信仰^{しんこう}のゆえに救われました。^(イ)
この救いは皆さん自身によるものでは
なく、神からの贈り物です。9 自分の
行いによるものではありませんから、
誰も誇ることはできません。10 私た
ちは神に造られたのであり、キリスト・
イエスと結ばれて善い仕事を行うた
めに創造されました。その仕事は、私
たちが行うよう神が前もって決めてい
たものです。

11 異国の人として生まれた皆さん
は、以前、人の手で体^{い ぜん}に施される割礼^{ひと て からだ ほどこ かつれい*}
を受けた人たちから、割礼を受けてい
ない人と呼ばれていたことを思い起こ
してください。12 その頃、皆さんは
キリストを知らず、イスラエル国民とは
無縁^{む えん}で、約束^{やくそく}に関わる契約^{かか けいやく}とは無関係
でした。希望もなく、神を知らずに世
の中で生活していました。^(イ) 13 しか
し、かつては神から遠く離れていた皆
さんが、今ではキリスト・イエスと結ば
れ、キリストの血によって神に近づき
ました。14 キリストは私たちに平和
をもたらした方です。2つのグループ
を1つにし、その間にあった壁を取り

第2章

(ア) エフ 1:3

(イ) ロマ 4:16

(ロ) ロマ 3:20

(ロ) エフ 1:3, 4

(ロ) ガラ 6:15

(ロ) ロマ 9:4

(イ) イザ 65:1

(ロ) コロ 1:19, 20

(ロ) コロ 3:11

第2欄

(ア) レビ 20:26
コロ 2:13, 14(イ) コー 12:12
ガラ 3:28

(ロ) ヘブ 12:2

(ロ) 使徒 10:28

(ロ) エフ 2:12

(ロ) フィリ 3:20

(イ) テモ— 3:15
ヘブ 3:6

(ロ) コー 12:28

(ロ) イザ 28:16

(ロ) コロ 2:19

(イ) コー 3:16
コー 6:19

(ロ) ペー 2:5

第3章

(イ) エフ 4:1

こわ
壊したのです。^(ア) 15 キリストは自分の
からだによって、敵意のもとになるもの、
つまりおきてや定めから成る律法を無
効にしました。そのようにして、2つの
グループを自分と結び付けて1人の
新しい人とし、平和をもたらしました。
16 また、両者を1つの体とし、苦しみ
の杭を通して神と和解させました。そ
うできたのは、自分自身によって、敵意
のもとになるものを消滅させたから
です。17 キリストは来て、遠く離れ
ていた皆さんにも近くにいた人たちに
も、平和の良い知らせを伝えました。
18 それで、私たち両者がキリストを
通して、同じ聖なる力によって自由に
天の父に近づくことができます。

19 ですから、皆さんはもう無関係
な人でも外国人でもありません。聖な
人たちと同じ国民であり、神の家族
の一員です。20 皆さんは使徒や預
言者たちという土台の上に建てられて
おり、キリスト・イエスは土台の隅石で
す。21 キリストと結ばれること
によって建物全体はしっかりと組み合わ
され、エホバの聖なる神殿になります。
22 皆さんもキリストと結ばれること
によって共に建てられ、神が聖なる力
によって住む場所になります。

3 このような訳で、ユダヤ人ではな
い皆さんとキリスト・イエスの
ために捕らわれている私パウロは—

2:7 *または、「時代」。用語集参照。 2:11, 16
*用語集参照。

2:21 *付録A5参照。 3:1 *14節につながると思われ。

2 皆さんのために神の惜しみない親切を管理する仕事^きが私に与えられた

ことを、皆さんは聞いているでしょう。

3 前に少し書いた通り、私は啓示を受けて神聖な秘密について知ったのです。

4 それで、これを読む時、私が

キリストの神聖な秘密について理解している事を分かっていただけだと思います。

5 この秘密は、過去の世代の人々にははっきり知らされませんでした。

6 今では聖なる力によって聖なる使徒や預言者たちに明らかにされています。

7 私はこの神聖な秘密をつたえる奉仕者になりました。それは、神が力を用いて、惜しみない親切という無償の贈り物を下さったおかげです。

8 聖なる人たちの中の最も小さな者にも及ばない私が、この惜しみない親切を受け、キリストによる計り知れない祝福についての良い知らせを

異国の人々に伝えることになりました。

9 また、全てのものを創造した神によってずっと隠されてきた神聖な秘密がどのように管理されるかを、あらゆる人に知らせることになりました。

10 こうして、極めて多様な神の知恵が、会衆を通して天の政府や権威に知

第3章

(ア) コー 9:16,17
コロ 1:25,26

(イ) コー 4:1
エフ 6:19

(ロ) ロマ 11:25
ロマ 16:25,26

(ロ) エフ 2:15,16

(ロ) コロ 1:25-27

(ロ) コー 15:9

(ロ) テモ 1:13,14

(ロ) エフ 1:9,10

(ロ) ペー 1:10,12

第2欄

(ア) ペー 2:9

(イ) エフ 1:11

(ロ) ヨハ 14:6
ヘブ 4:15,16

(ロ) テモ 2:10

(ロ) コ二 4:16

(ロ) ヨハ 14:23

(ロ) コロ 2:6,7

(ロ) コロ 1:23

(ロ) ロマ 8:35

(ロ) コロ 1:29

らされるようになりました。11 これは、私たちの主であるキリスト・イエスに関連して神が定めた永遠の目的に

沿ったことです。12 私たちはキリストのおかげで気後れせずに語ることが

でき、キリストへの信仰のゆえに確信

を持って神に自由に近づくことができ

ます。13 ですから、皆さんのために

私が苦難を味わっているからといって、

落胆しないでください。こうした苦難

は皆さんに栄光をもたらすのです。

14 このような訳で、私は父に向

かってひざまずきます。15 その方

によって、天と地の全ての家族が存在す

るようになりました。16 私はこう祈

ります。豊かな栄光に輝く父が、聖な

力によって皆さんの内面を強くして

くださいますように。17 皆さんの信

仰のゆえに、キリストが愛と共に皆さ

んの心の中に住みますように。皆さ

んがしっかりと根を張り、強固な土台

の上に建てられますように。18 その

ようにして、全ての聖なる人たちと共

に、真理の幅と長さの高さと深さがど

れほどかを十分に理解できるようにな

り、19 知識以上のものであるキリス

トの愛を知ることができすように。そ

して、神から与えられる良いもの全て

で満たされますように。

20 神は、ご自分の力を私たちの中

で働かせ、私たちのどんな願いや考え

3:15 *または、「氏族」。^アまたは、「名前を与えられました」。

3:16 *または、「内面の人」。

をもはるかに超えた事柄を行うことができ^こます。その方が、^{こと} 21 会衆とキリスト・イエスのゆえに、いつの世代までも永遠にたたえられますように。アーメン。

4 主のゆえに捕らわれている私はみな^{しゅ}に勧めます。招かれた人^とにふさわしい歩み方をし、^い 2 いつも謙遜で温和であり、辛抱し、愛を抱いて互いに寛容であってください。

3 平和という絆で結ばれ、聖なる力による一致を保つよう真剣に努力してください。^{へい} **4** 体は1つ、聖なる力は1つです。皆さんが招かれて差し伸べられた希望も1つです。^い **5** 主はひとり、信仰は1つ、バプテスマは1つです。

6 全ての人の父である神はひとりであり、全ての人の上で、全ての人を通して、全ての人の中で力を働かせています。

7 私たちは一人一人が惜しまない親切を受け、キリストから無償の贈り物を与えられました。^{しんせつ} **8** こう述べられています。「その方は高い所に昇った時、捕虜を連れ去り、人々という贈り物を与えました」。^も **9** この「昇った」という表現からすると、それ以前に、低い所つまり地上に降ったことが明らかではないでしょうか。^お **10** 降りたその方が、全ての天のはるか上に昇ったの

4:2 *または、「自分を低く見て」。**4:3** *または、「精神」。**4:4** *または、「精神」。**4:5** *用語集参照。**4:7** *または、「能力」。

第3章

[7] マル 11:24

第4章

[1] ファレ 9

[7] フィリ 1:27

[2] マタ 11:29

[2] ロマ 12:3

[2] フィリ 2:3

[2] ペー 5:5

[7] テサー 5:14

[7] コー 13:4

[7] コー 1:10

[7] コロ 3:15

[7] コロ 12:5

[7] コー 12:4

[2] ペー 1:3,4

[7] コー 8:6

[7] コー 12:5,6

[7] コー 12:11

[7] 詩 68:18

[7] コー 12:28

[7] エフ 4:11

[7] ヘブ 9:24

第2欄

[7] 使徒 1:9

[7] テモ 3:16

[1] マタ 10:2-4

[7] コー 12:28

[2] 使徒 21:8

[7] 使徒 13:1

[7] ヤコ 3:1

[7] コー 14:26

[7] コー 14:20

[7] ヘブ 13:9

[7] コー 11:3

[7] コロ 1:18

[2] コー 12:27

[7] コロ 2:19

[7] ロマ 1:21

[7] ペー 4:3

です。全てのものを満たすためです。

11 そしてその方は、ある人を使徒、ある人を預言者、ある人を福音伝道者、ある人を牧者また教える人として与えました。^{ひと} **12** その人たちは聖なる人たちを正し、奉仕し、キリストの体を力づけます。^{ひと} **13** そのおかげで私たちは皆、信仰の一致と、神の子についての正確な知識の一致に達し、十分に成長した人となり、キリストの背丈に達するようになります。^{ふん} **14** ですから、私たちはもう子供であってはず、波にもまれるかのように翻弄されたり、風に吹かれるかのようにさまざまな教えに振り回されたりしてはなりません。人に欺かれたり、ずる賢いたくらみに乗せられたりしてはならないのです。^{しんり} **15** 真理を語り、愛によって、頭であるキリストを目指して全ての点で成長していきましょう。^{かしら} **16** キリストの下に、体全体は、各関節が役割を果たすことにより、見事に組み合わされて協力します。各部が正しく機能するとき、体は成長していき、愛によって力づけられます。

17 それで、私は主によって語り、勧めます。もうクリスチャンではない人々のように、むなししい考えに従って歩んではなりません。^{かんが} **18** 彼らは思考が

4:10 *または、「全てのことを実現させる」。**4:11** *または、「良い知らせを伝える人」。**4:12** *または、「訓練し」。**4:13** *または、「建て」。**4:14** *または、「大人」。**4:15** *または、「域」。**4:16** *または、「建てられ」。

う。5 皆さんは次のことを知っています。十分に理解しているはずで、性的に不道徳な人、汚れた人、貪欲な人は、偶像崇拜者であり、キリストと神との王国に関連したどんな財産も受けることはありません。

6 口先だけの言葉にだまされないでください。こうした事柄のために、神は不従順な人たちに憤りを表そうとしています。7 ですから、そういう人たちと関わりを持つてはなりません。8 皆さんはかつて闇でしたが、今は主と結ばれて光となっています。光の子供として歩んでください。9 光はあらゆる善いことと正しいことと真実なことを生み出します。10 何をするにしても、主に受け入れられることかどうかを確かめましょう。11 何も生み出さない闇の行いに関わるのをやめ、そうした行いを暴いてください。12 彼らがひそかに行っているのは、口にするものはばかられる事柄です。13 暴かれる事柄は皆、光によって明らかにされます。明らかにされる事柄は全て光なのです。14 こう述べられています。「眠っている人よ、目を覚まし、生き返りなさい。キリストがあなたを照らす」。

15 それで、自分の歩み方をしっかり見守りましょう。賢くない人ではなく賢い人のように歩み、16 時間を有

第5章

(7) テサー 5:18

(1) 使徒 15:28,29

(7) テモー 3:8
テト 1:7(12) コー 6:9,10
ガラ 5:19,21(7) マタ 5:16
ヨハ 12:36
ペー 2:9

(7) ガラ 5:22,23

(7) ロマ 12:2

(7) ロマ 13:12,13
コニ 6:14(7) エフ 2:1
コロ 2:13

(7) ヨハ 8:12

第2欄

(7) コロ 4:5

(1) ロマ 12:2
テサー 4:3
ペー 4:2

(7) イザ 5:11

(12) 詩 33:2,3

(7) 使徒 16:25
コロ 3:16

(7) ヤコ 5:13

(7) コロ 3:17

(7) テサー 5:18

(7) フィリ 2:3
ペー 5:5(7) コロ 3:18
テト 2:4,5
ペー 3:1

(7) ロマ 7:2

(7) コー 11:3

(7) ペー 3:7

(7) 使徒 20:28

(7) ヨハ 17:17

効に使ってください。今は悪い時代だからです。17 もう無分別なことをしてはなりません。いつでも、エホバが何を望んでいるかを見極めましょう。18 また、酒に酔ってはなりません。墮落につながるからです。いつも聖なる力に満たさせていましょう。19 詩や神への賛美の歌や崇拜の歌によって励まし合い、心から音楽に合わせてエホバに向かって歌いましょう。20 私たちの主イエス・キリストの名によって、常にどんなことについても、私たちの父である神に感謝しましょう。

21 キリストへの畏れを抱えて、従い合ってください。22 妻は、主に従うのと同じように夫に従ってください。23 夫は妻の頭だからです。キリストが会衆という体の頭であるのと同様です。キリストは会衆の救い主でもあります。24 会衆がキリストに従っているのと同じように、妻も全ての面で夫に従うべきです。25 夫は、キリストが会衆を愛したのと同じように、妻を愛し続けてください。キリストは会衆のために自分を差し出しました。

26 それは、会衆を神聖なものとし、神の言葉という水で洗って清めるためであり、27 そのようにして会衆を自分のために美しく整え、汚点やしわや

5:16 *または、「良い時を買い取って」。5:17, 19 *付録A5参照。5:18 *または、「放蕩」。5:19 *もしかすると、「自分を励まし」。^または、「心の中で」。

5:5 *用語集の「性的不道徳」参照。5:13 *または、「戒められる」。

傷^{きず}の全^{まん}くない聖^{せい}なるものとするため^{ため}で
した。

28 同様に、夫^{どうよう}は自^{おっと}分の^{じぶん}体^{からだ}を愛^{あい}する
よう^{よう}に妻^{つま}を愛^{あい}するべきです。妻^{つま}を愛^{あい}する
人^{ひと}は自^{じぶん}分^{ぶん}を愛^{あい}しているのです。**29** 誰^{だれ}
も自^{じぶん}分^{ぶん}の体^{からだ}を憎^{にく}んだりはせず、養^{やしな}って
大切^{たいせつ}にします。キリストも会^{かい}衆^{しゅう}を養^{やしな}っ
て大切^{たいせつ}にします。**30** 私^{わたし}たちがキリス
トの体^{からだ}を構^{こう}成^{せい}して^{して}いるから^{から}です。

31 「それで、男^{おとこ}は父^{ちち}と母^{はは}から離^{はな}れて
妻^{つま}にっ^つかり付^ふき、2人^{ふたり}は一^{いっ}体^{たい}とな^{なり}ま
す」。**32** この神^{しん}聖^{せい}な秘^ひ密^{みつ}は奥^{おく}深^{ふか}いも
の^{もの}です。私^{わたし}はキリストと会^{かい}衆^{しゅう}について
述^のべています。**33** とま^おかく、夫^{おとこ}の皆^{みな}
さん^{さん}はそれぞ^おれ、自^{じぶん}分^{ぶん}を愛^{あい}するよう^{よう}に
妻^{つま}を愛^{あい}さなければな^なりません。一^{いっ}方^{ぽう}、
妻^{つま}は夫^{おとこ}を深^{ふか}く敬^{うやま}うべきです。

6 子^こ供^{ども}は、主^{しゅ}に喜^{よろこ}ばれるよう親^{おや}に
従^{したが}ってください。そうするの^のは正^{ただ}
しいこと^{こと}です。**2** 「父^{ちち}と母^{はは}を敬^{うやま}いなき
い^い」とあり、これ^{これ}は約^{やく}束^{そく}を伴^{ともな}う最^{さい}初^{しよ}の
命^{めい}令^{れい}です。**3** 「そうすべ^{ものごと}ば物^{もの}事はうま
くい^ちき、地^ち上^{じやう}で長^{なが}く生^いきらる^{らる}る」とい
う約^{やく}束^{そく}です。**4** 父^{ちち}親^{おや}は、子^こ供^{ども}をい^だら立^だ
たせな^ないよう^{よう}に^し、エホバが望^{のぞ}み指^し導^{どう}
と助^{すけ}言^{ごん}によって育^{そだ}ててくだ^{くだ}さい。

5 奴^ど隷^{れい}である人^{ひと}は、自^{じぶん}分^{ぶん}の主^{しゅ}人^{じん}に
従^{したが}ってください。畏^{おそ}れと敬^{けい}意^いを抱^{いだ}きつ
つ、誠^{せい}実^{じつ}な心^{こころ}で、キリストに從^{したが}うのと
同^{おな}じよう^{じやう}に從^{したが}うのです。**6** 単^{たん}に人^{ひと}を

5:31 *または、「妻とずっと一緒にいて」。**6:1**
*または、「主と結ばれている」。**6:3** *または、
「そうすれば成功し」。**6:4, 7, 8** *付録A5参照。
6:4 *または、「エホバの考えを入れること」。

第5章

〔エ〕エフ1:4
コロ1:21,22
テト2:13,14
〔イ〕ロマ12:5
エフ1:22,23
〔ウ〕創2:24
マタ19:5
〔エ〕エフ1:9,10
コロ1:26,27
〔オ〕エフ3:5,6
〔カ〕コロ3:19
〔キ〕ペー3:5,6

第6章

〔イ〕格1:8
格6:20
コロ3:20
〔ウ〕出20:12
申5:16
格20:20
格23:22
マタ15:4
〔エ〕コロ3:21
〔ウ〕格13:24
〔イ〕申6:6,7
格3:11
格19:18
格22:6
〔ウ〕テモ一6:1
ペー2:18

第2欄

〔イ〕コロ3:22
〔イ〕ルカ10:27
〔ウ〕コ一10:31
〔エ〕コロ3:23,24
〔ウ〕コ一7:22
〔ウ〕エフ3:16
〔キ〕ロマ13:12
〔イ〕テモニ4:7
〔ウ〕ペニ2:4
〔エ〕コニ6:4,7
〔イ〕イザ11:5
〔イ〕格4:23
イザ59:17

喜^{よろこ}ばせようとして、人^{ひと}目^めがある時^{とき}にだ
け從^{したが}うのではありま^ません。キリストの
ど^どれい^{れい}な^な自^{じぶん}分^{ぶん}をすべ^{すべ}く
奴^{かみ}隷^{れい}として、自^{じぶん}分^{ぶん}の全^{ぜん}てを尽^{つく}して神^{しん}
の望^{のぞ}むこと^{こと}を行^{おこ}な^ない、從^{したが}いましよ
う。**7** 進^{すす}んで一^{いっ}生^{しょう}懸^{けん}念^{ねん}に仕^{つか}えてくだ
さい。人^{ひと}ではなくエホバに仕^{つか}えるよう
に働^{はたら}くのです。**8** 皆^{みな}さん^{さん}も知^しっている
と通^とり、奴^ど隷^{れい}であ^あれ自^じ由^{ゆう}民^{みん}であ^あれ、何^{なに}か
善^よいこと^{こと}をするなら、エホバも善^よいこ
とをし^してくだ^{くだ}さい。**9** 主^{しゅ}人^{じん}である
人^{ひと}も、同^{おな}じよう^{じやう}に奴^ど隷^{れい}に接^{せつ}してくだ^{くだ}さい。
奴^ど隷^{れい}を脅^{おど}しつけたりしてはなりま
せん。ご存^{ぞん}じの通^とり、皆^{みな}さん^{さん}にとつて
奴^ど隷^{れい}にとつても主^{しゅ}人^{じん}である方^{かた}が天^{てん}にい
ます。そ^その方^{かた}は不^ふ公^{こう}平^{へい}ではありま^ません。

10 最^{さい}後^ごに、これ^{これ}からも主^{しゅ}によつて、
また主^{しゅ}の強^{つよ}い力^{ちから}によつて強^{つよ}くなつて
い^いってください。**11** 惡^{あく}魔^まの策^{さく}略^{りやく}に
しっ^たかり立^むち向^むかえるよう^{よう}に、神^{かみ}から
の武^ぶ具^ぐを全^{ぜん}て身^みに着^つけま^ましう。**12** 私^{わたし}
たち^{たち}は戦^{たたか}っているから^{から}です。人^{にん}間^{げん}とで
はなく、政^{せい}府^ふや權^{けん}威^い、この闇^{やみ}の世^よの支^し
配^{はい}者^{しや}たち、天^{てん}に在^ある邪^{じゃ}惡^{あく}な天^{てん}使^しの勢^{せい}
力^{りき}と戦^{たたか}っています。**13** それで、神^{かみ}か
らの武^ぶ具^ぐを全^{ぜん}て身^みに着^つけなければな
りま^ません。そ^そのよう^{よう}にして全^{ぜん}ての準^{すべ}備^び
を整^{ととの}えるなら、惡^{わる}い時^じ代^{だい}の中^{なか}で身^みを守^{まも}
ることができ、しっ^たかり立^たてま^ます。

14 ですから、しっ^たかり立^たつため、真^{まこと}
理^りのバ^{こし}ルト^まを腰^{せう}に巻^まき、正^{せいぎ}義^ぎの胸^{むね}当^{あた}
てを^つ着^はけ、**15** 平^{へい}和^わの良^よい知^しら^らせを^{つた}伝^た

6:11 *または、「ずる賢い行為」。**6:12** *直^ち訳^{やく}、
「格闘をして」。

える用意として履物を履いてください。

16 加えて、信仰の大盾を持ってください。それによって邪悪な者の火矢を全て消すことができます。17 また、救

いのかぶとをかぶり、聖なる力の剣つまり神の言葉を手に取ってください。

18 あらゆる種類の祈りと祈願を捧げ、どんな時も聖なる力に導かれつつ祈りましょう。祈ることを常に意識し、いつも聖なる人たち全てのために祈

願を捧げましょう。19 私のためにも祈ってください。私が口を開くときに適切な言葉が出てくるように祈っていただければ、私は良い知らせの神聖な秘密を大胆に語って人々に知らせることができます。20 私は良い知らせ

6:15 *または、「足に装備を着けて」。6:16 *サタンのこと。6:18 *または、「祈りのために目を覚ましていて」。

第6章

(イ) イザ 52:7
ロマ 10:15

(イ) ヨー 5:4

(イ) ペー 5:8,9

(イ) イザ 59:17
テサー 5:8

(イ) ヘブ 4:12

(イ) コロ 4:2

(イ) ユダ 20

(イ) コロ 4:3

第2欄

(イ) コ二 5:20

(イ) テモ二 4:12
テト 3:12

(イ) コロ 4:7,8

せを広める大使であり、今は鎖につながれています。良い知らせについて大胆に語れるように祈ってください。私は大胆に語らなければならないの

です。21 私のことや私がどうしているかについて、私の愛する兄弟テキコが皆さんに知らせます。テキコは主に従う忠実な奉仕者です。22 私がテキコを遣わすことによって、皆さんは私たちがどうしているかを知り、心を慰めてもらえるでしょう。

23 兄弟たちが、父である神と、主イエス・キリストから平和を与えられ、信仰の伴った愛を抱けますように。

24 私たちの主イエス・キリストをいつまでも愛し続ける人が皆、惜しみない親切を受けますように。

フィリピのクリスチャンへの手紙

概要

- あいさつの言葉 (1, 2)
神への感謝、パウロの祈り (3-11)
苦難の中でも良い知らせは広まっている (12-20)
生きることはキリストのためであり、死ぬことは自分のためになる (21-26)
良い知らせにふさわしく振る舞う (27-30)
- クリスチャンの謙遜さ (1-4)
キリストは謙遜さを示し、さらに上の地位に就けられた (5-11)
救われるために懸命に努力する (12-18)
世の中で光り輝く (15)

- テモテとエパフロデトをフィリビに行かせる (19-30)
- 人間的な事柄に基づいて誇っているわけではない (1-11)
キリストのゆえに、ほかの何もかもを損だと思っている (7-9)
ゴールに向かって身を伸ばしている (12-21)
天に住む (20)
 - 一致、喜び、考えるべき事柄 (1-9)
何も心配してはならない (6, 7)
フィリピのクリスチャンからの贈り物への感謝 (10-20)
結びのあいさつ (21-23)

1 キリスト・イエスの奴隷であるパウロとテモテから、フィリピにいる、キリスト・イエスと結ばれた聖なる人たち全て、また監督たちと援助奉仕者たちへ。

2 私たちの父である神と、主イエス・キリストから、皆さんに惜しみない親切が示され、平和が与えられますように。

3 私は、皆さんのことを思い起こすたびに神に感謝しています。**4** 皆さんのために祈願する時はいつも喜びを感じています。**5** 皆さんが最初の日から今まで、良い知らせを広めることに貢献してきたからです。**6** 私には確信していることがあります。皆さんの中で良い事を行い始めた神が、キリスト・イエスの日までにそれを完了する、ということです。**7** 皆さんについてそのように考えるのは全く正しいことです。皆さんは私の心の中にいます。私と共に、神の惜しみない親切に促されて行動しているからです。拘禁されている私を支えてくれていますし、良い知らせを擁護し、その知らせをひろめる法的権利を得るために、協力してくれています。

8 私はキリスト・イエスのような優しい愛情を抱き、皆さんに会いたいと心から願っています。神がそのことの証人となってくださいます。**9** 私はこう祈り続けています。皆さんが

1:1 *用語集参照。1:2 *または、「過分の」。

第1章

(ア) 使徒 16:12

(イ) テモ— 3:1,8

(ウ) テサー 1:2

(ロ) コー 1:8

(ハ) フィリ 2:13

(カ) エフ 3:1

フィリ 1:13

コロ 4:18

テモ二 1:8

フィレ 13

(キ) 使徒 24:10,14

使徒 25:10-12

第2欄

(ア) ヨハ 17:3

(イ) ヘブ 5:14

(ウ) テサー 3:12

(ロ) ロマ 12:2

(ハ) ロマ 14:13,21

(カ) ヨハ 15:5

(キ) エフ 3:1

(ク) 使徒 28:30,

31

(ケ) フィリ 1:7

正しい知識と十分な識別力を得て、いっそう愛の豊かな人になれますように。**10** 皆さんがより重要なことを見きわめ、キリストの日までずっと純粹でいて、人の信仰を妨げることがありませんように。**11** イエス・キリストによって皆さんが正しい実を豊かに結び、神がたたえられ、賛美されますように。

12 さて、兄弟たち、知ってほしいことがあります。私の身に起きたことにより、良い知らせはとどめられるどころか、かえって広まっています。**13** 私がキリストのために拘禁されていることが、親衛隊の全員とほかのあらゆる人たちに知られるようになっていきます。**14** そして、私が拘禁されていることで、主に従う兄弟たちの大半が確信を持ち、恐れることなく、ますます勇敢に神の言葉を語っています。

15 確かに、ねたみや競争心からキリストについて伝道している人もいますが、他の人たちは良い動機でそうしています。**16** 後者は、私が良い知らせを擁護するために遣わされたのを知っており、愛に促されてキリストのことを広めています。**17** しかし前者は、純粹な動機ではなく対抗心からそうしており、拘禁されている私を苦しめようと考えています。**18** では、どんな結果になっているでしょうか。うわべだけの伝道であれ、心からの伝道であれ、あらゆる方法でキリストのことが広められています。そのことを私は喜んでいきます。そして、これからも

喜びます。19 自分が皆さんの祈願によって、またイエス・キリストが持っている聖なる力の助けによって救われる、ということを確認しているからです。20 それと共に、私が大いに期待し、希望しているのは、どんな点でも恥じることなく、少しも氣後れせずに語り、生きるにしても死ぬにしても、これまでと同じように自分の体でキリストをたえていくことです。

21 私の場合、生きることはキリストのためであり、死ぬことは自分のためになります。22 もしこの体で生き続けるとすれば、私の働きによってキリストがたたえられます。それで、どちらを選ぶかは言いません。23 私はその2つの間で揺れています。本当に願っているのは、解放されてキリストと共にすることです。間違いなく、そうなる方がはるかによいからです。24 しかし、皆さんにとっては、私がこの体のままでいる方がよいのです。25 私はそのことを確信しているので、この体のままで皆さんと一緒にいることになるでしょう。皆さんが進歩し、信仰のゆえに喜べるようになるためです。26 私が再びそちらに行く時、皆さんはキリスト・イエスの弟子であることをいっそう喜ぶようになるでしょう。

27 皆さんに勧めたいのは、ただキリストについての良い知らせにふさわしく振る舞うことです。そうすれば私

1:19 *用語集参照。1:27 *または、「ふさわしく市民として行動する」。

第1章

(例) ヨハ 15:26

(例) コ二 1:11

(例) ロマ 14:8
ペー 4:16

(例) ガラ 2:20

(例) テサ一 4:14
テモ二 4:8
啓 14:13

(例) テモ二 4:6

(例) コ二 5:6,8

(例) エフ 4:1,3
コ口 1:10

第2欄

(例) ロマ 15:5,6
コー 1:10

(例) テサ二 1:6

(例) ルカ 21:19
テサ二 1:4,5

(例) 使徒 5:41

(例) 使徒 16:22,23
テサー 2:2

第2章

(例) コー 1:10
コ二 13:11
ペー 3:8(例) フィリ 1:15,17
ヤコ 3:14,16

(例) ガラ 5:26

(例) マタ 23:11
エフ 4:1,2
エフ 5:21

(例) コー 13:4,5

(例) コー 10:24
コー 10:32,33(例) マタ 11:29
ヨハ 13:14,15(例) コ口 1:15
ヘブ 1:3

は、皆さんに会いに行けるとしても離れているとしても、次のことを聞けるでしょう。皆さんが同じ精神を抱いてしっかり立ち、一致して、良い知らせへの信仰を保てるよう協力合っていて、28 反対者たちを全く恐れていない、ということです。こうした事柄は、反対者たちが滅び、皆さんが救われることの証拠です。それは神からのものです。29 キリストに信仰を持つことだけでなく、キリストのために苦しむことも、皆さんがキリストのゆえに受けている栄誉です。30 皆さんは私が苦闘したのを見、今も苦闘しているのを聞いています。その同じ苦闘を皆さんも経験しています。

2 キリストと結ばれた皆さんは、励まし合い、愛して慰め合い、気遣い合い、優しい愛情と思いやりを示し合っているに違いありません。2 では、同じ思いを持ち、同じ愛を抱き、完全に一致し、同じ考え方をすることによって、私を喜びで満たしてください。3 対抗心を抱いたり、自己中心的になったりしてはなりません。謙遜になり、自分より他の人の方が上だと考えてください。4 自分のごときばかり考えずに、他の人のことにも気を配りましょう。

5 キリスト・イエスと同じ考え方をしてください。6 キリストは神のような方でしたが、神と同等になろうなどと

2:3 *または、「うめばれたり」。*または、「自分を低く見て」。

かんが 考えることさえしませんでした。7 か
えって、全てを捨てて奴隷のようにな
り、人間になりました。8 その上、人
として来た時、謙遜さを示し、死に至
るまで従順でした。苦しみの杭に掛け
られて死ぬことを受け入れたのです。

9 そのため、神はキリストをさらに上
の地位に就け、あらゆる名に勝る名を
喜んで与えました。10 それは、天の
者、地上の者、地下の者 全てがイエ
スの名によってひざまずくようになるた
め、11 また、全ての者がイエス・キリ
ストは主であるという確信を言い表し、
父である神をたたえるようになるため
でした。

12 私の愛する兄弟たち、皆さんは
これまでいつも従ってきました。私が
いる時だけでなく、いない今いっそう
進んで従っています。これからも、畏れ
と敬意を抱きつつ、救われるために懸
念に努力してください。13 神はご
自分の望みを実現させるために皆さん
を力づけてくださいます。行動する
ための意欲と力の両方を与えてくださ
るのです。14 何事も、不満を口にし
たり言い争ったりせずに行っていしま
しょう。15 そうすれば、曲がった不
健全な世代の中で、非難されるところ
がない潔白な人、傷のない神の子供
になれるでしょう。皆さんは世の中で
光り輝き、16 命の言葉をしっかりとつ

2:8 *または、「自分を低く見て」。「または、「」
になりました」。^用語集参照。2:10 *復活して
くる死者のこと。2:11 *直訳、「舌」。

第2章

(例)ヨハ 14:28

(例)イザ 53:2,3

(例)ヨハ 1:14

(例)ヨハ 10:17
ヘブ 2:9
ヘブ 5:8

(例)ガラ 3:13

(例)イザ 52:13
使徒 2:32,33

(例)使徒 4:12
エフ 1:20,21

(例)ヨハ 5:22,23

(例)ロマ 10:9

(例)コー 10:10
ペー 4:9

(例)テモ 2:8

(例)申 32:5

(例)エフ 5:1

(例)マタ 5:14
エフ 5:8,9
ペー 2:9,12

第2欄

(例)ヨハ 6:68
ヘブ 4:12

(例)ヘブ 13:15
ペー 2:5

(例)民 28:6,7
コ二 12:15
テモ二 4:6

(例)コー 4:17
コー 16:10

(例)テモ二 1:2

(例)フィレ 22

かんでいます。私はキリストの日に喜
べるでしょう。かつて走ったり努力し
たりしたことが無駄ではなかったと確
信できるからです。17 私は、皆さん
の信仰による犠牲と聖なる奉仕の上
に、自分が飲み物の捧げ物のように
注ぎ出されるとしても、そのことをうれ
しく思い、皆さんと一緒に喜びます。

18 皆さんも同じようにうれしく思い、
私と一緒に喜んでください。

19 主イエスが望むなら、私はテモ
テを間もなくそちらに遣わしたいと
思っています。皆さんの様子を聞いて
励みを得たいのです。20 テモテは
皆さんのことを心から気遣える人は、
ほかにいません。21 他の人は皆、
自分のことばかり考え、イエス・キリス
トのことを考えていません。22 一
方、皆さんも知っている通り、テモテは
これまで立派にやってきました。父親
と一緒に働く子供のように、私と一緒に
一生懸命良い知らせを広めてきま
した。23 それで私は、自分がどうな
るかが分り次第、すぐにテモテを遣
わしたいと思っています。24 また、
主が望むなら自分も間もなくそちらに
行けるに違いないと思っています。

25 とはいえ、まずは、私の兄弟、共
に働く仲間、共に戦う兵士であるエパ
フロデトを、そちらに帰してあげた方
がよいと考えています。彼は皆さんか
ら遣わされて、私のために仕えてくれ

2:17 *または、「人々のための」。

ています。26 エパフロデトは皆さんに会うことを心から願っていて、自分が病気になったのを皆さんに知られたことで氣落ちしています。27 確かに彼は病気になり、死にそうになりましたが、神から憐れみを示されました。そして神は、彼だけでなく私にも憐れみを示し、私が悲しみに悲しみを重ねることがないようにしてくださいました。28 それで、至急彼を帰します。皆さんは彼との再会を喜べますし、私の心配も和らぐでしょう。29 主に従う人を迎える時に皆さんがいつもしているように、エパフロデトを温かく歓迎してください。そして、彼のような人をいつも敬ってください。30 エパフロデトは皆さんの代わりにこちらに来て私に仕え、キリストの活動のために命を懸け、死にそうになったのです。

3 では、兄弟たち、主のゆえにこれからも喜んでください。私はまた同じことを書いていますが、面倒だとは思っていません。皆さんを守るためです。

2 汚れた人たちに気を付けなさい。有害な人たちに気を付けなさい。体の一部を切り取る人たちに気を付けなさい。3 私たちは本物の割礼を受けた者です。神の聖なる力によって神聖な奉仕をし、キリスト・イエスを誇りとしているのであって、人間的事柄

2:30 *もしかすると、「主の」。3:2 *直訳、「犬」。*割礼が必要だと主張する人たちのこと。3:3, 6 *用語集参照。3:3, 4 *直訳、「肉体」。

第2章

(7) フィリ 4:18

(1) コー 16:18
テサー 5:12, 13

(7) フィレ 10, 13

第3章

(12) コ二 13:11
フィリ 4:4
テサー 5:16

(7) ガラ 5:2

(7) エレ 4:4
ロマ 2:29
コロ 2:11(7) ガラ 6:14
ヘブ 9:13, 14

第2欄

(7) 創 17:12
レビ 12:3

(1) コ二 11:22

(7) 使徒 23:6
使徒 26:4, 5(12) 使徒 8:3
使徒 9:1, 2
ガラ 1:13

(7) マタ 13:44

(7) ガラ 2:15, 16

(7) ロマ 4:5

(7) ロマ 3:20-22

(7) コー 15:22
コ二 13:4

に基づいて誇っているわけではありません。4 もっとも私は、人間的事柄に基づいて誇ることもできます。

人間的事柄に基づいて誇れると思う人がほかにいるとしても、その人より私の方が誇る根拠があります。5 私は生後8日目に割礼を受けており、イスラエルの子孫、ベニヤミン族の者、ヘブライ人から生まれたヘブライ人です。律法に関しては、パリサイ派でした。6 熱心さに関しては、会衆に迫害するほどでした。律法に基づく正しさに関しては、非難されるところがない者でした。7 しかし私は、得だと思っていた事柄を、キリストのゆえに、損だ思うようになりました。

8 それどころか、主であるキリスト・イエスについての知識に極めて大きな価値があるので、ほかの何もかもを損だと思っています。私はキリストのためにあらゆるものを失いましたが、そうしたものを多くのくずのようだと思っています。キリストを得て、9 キリストと結ばれた者と見ていただくためです。それは律法に従うゆえに自分を正しいと見なすからではなく、キリストへの信仰のゆえに正しいと見なされるからです。神は信仰を持つ者を正しいと見なしてくださいます。10 私は、キリストとその復活の力を知ること、キリストと同じ苦しみを味わうことを目

3:3 *または、「自信を持って」。3:7 *もしかすると、「喜んで捨て」。3:8 *または、「ごみ」。

指しています。キリストのような死を受け入れ、**11** 何とかして早い方の復活を経験したいと願っているのです。

12 私はすでに賞を受けているわけでも、すでに完全にされているわけでもありません。私は、キリスト・イエスが私を選んで得させようとしているものを得ようと努めています。**13** 兄弟

たち、私は賞を得たとは思っていませんが、1つのことは確かです。私は後ろのものを忘れ、前のものに向かって身を伸ばし、

14 神からキリスト・イエスを通して天に招かれるという賞を得られるよう、ゴールを目指してひたすら走っています。**15** それで、私たちのうちクリスチャンとして十分に成長

した人は、そのような考え方をしましう。もし皆さんが何かの点で異なる考え方をしているとしても、神は正しい考え方を教えてくださいます。**16** いず

れにしても、私たちはこれまで進歩してきたのですから、この同じ道をきちんと歩んでいきましょう。

17 兄弟たち、皆で私に倣ってください。私たちが示した手本に沿って歩んでいる人たちをよく見てください。

18 キリストの苦しみの杭に敵対して歩んでいる人が多いからです。彼らについては前に何度も述べましたが、今また嘆きながら述べます。**19** 彼らは最終的に滅びます。自分の腹を神とし、恥じるべき事柄を誇りにし、地上

第3章

- (ア) ロマ 8:17
- コ二 4:10
- コロ 1:24
- (イ) ロマ 6:5
- (ウ) テサ一 4:16
- 啓 20:6
- (エ) テモ一 6:12
- (オ) ルカ 13:24
- (カ) ルカ 9:62
- (キ) コ一 9:24
- (ク) ヘブ 3:1
- (ケ) テモ二 4:8
- ヘブ 12:1
- (コ) コ一 14:20
- ヘブ 5:14
- (セ) コ一 4:16
- テサ二 3:9

第2欄

- (ア) ロマ 8:5
- ヤコ 3:15
- (イ) ヨハ 18:36
- エフ 2:6
- コロ 3:1
- (ウ) エフ 2:19
- (エ) コ一 1:7
- テサ一 1:10
- テト 2:13
- ヘブ 9:28
- (オ) コ一 15:27
- ヘブ 2:8
- (カ) コ一 15:42,49

第4章

- (ア) テサ一 2:19
- (ウ) フィリ 1:27
- (イ) ロマ 15:5,6
- コ一 1:10
- コ二 13:11
- フィリ 2:2
- ペ一 3:8
- (ウ) 詩 69:28
- ルカ 10:20
- (イ) 詩 64:10
- テサ一 5:16
- (イ) テト 3:2
- ヤコ 3:17
- (ウ) マタ 6:25
- ルカ 12:22
- (イ) ヨハ 16:23
- ロマ 12:12
- ペ一 5:6,7
- (イ) ヨハ 16:33
- ロマ 5:1

の事柄ばかり考えています。**20** しかし私たちは天に住むのであり、救い主である主イエス・キリストが天から来るのを心から待ち望んでいます。**21** キリストは、あらゆるものを自分に従わせる大きな力によって、私たちのもろい体を、自分と同じような栄光ある体に変えてくださいます。

4 私が愛し、会いたいと願う兄弟たち、皆さんは私にとって喜びの源であり、冠のようです。愛する皆さん、すでに述べたように、主と結ばれてしっかり立ってください。

2 ユウオデアとストケに勧めます。主と結ばれた人として、同じ思いを持ってください。**3** 共に忠実に働く仲間であるあなたにもお願いします。この女性たちを今後も援助してください。**2** 人は、クレメンスやほかの仲間たちと一緒に、良い知らせを広めるために私と肩を並べて一生懸命働いてきました。こうした人たちの名前は命の書に記されています。

4 主のゆえにいつも喜びましょう。もう一度言います。喜びましょう！**5** 分別があることが全ての人に知られるようにしてください。主はすぐ近くにいます。**6** 何も心配せず、いつでも祈り、祈願を捧げ、感謝しつつ、願いを神に知っていただくようにしましょう。

7 そうすれば、神からの平和が、キリ

3:20 *または、「天での市民権を持っており」。
4:3 *特定の兄弟のことと思われる。*または、「苦闘して」。
4:6 *または、「請願」。

スト・イエスを通して皆さんの心と
かんがへ まも (イ) へい わ にんげん り
考えを守ります。その平和は人間の理
かい
解をはるかに超えています。

8 最後に、兄弟たち、真実なこと、
まじめ ただ きよ *
真面目なこと、正しいこと、清いこと、
あい りっぱ こうけつ
愛すべきこと、立派なこと、高潔なこと、
しょうさん あたい かんが せつづ
称賛に値することについて、考え続け
てください。9 皆さんが私から学ん
だことや受け入れたこと、また見たり
き じっせん
聞いたりしたことを、実践してください。
(イ) へい わ かみ とも
そうすれば、平和の神が共にいて
くださいます。

10 皆さんが私を再び氣遣ってくれ
るようになったことを、主と結ばれた
もの (イ) しゅ むす
者としてとてもうれしく思っています。
もちろん、ずっと氣遣ってくれていたに
ちが 違ひありませんが、そのことを表す機
かい
会がなかったのでしょうか。11 こうし
たことを述べているのは、困窮してい
るからではありません。私は、どんな
じょうきょう まんぞく (イ) まな
状況にいても満足する、ということを学
びました。12 貧しい生活も、豊かな
せいかつ し
生活も知っています。満たされている
う もの
ときも飢えているときも、物がたくさん
あるときも少ししかないときも、常にあ
らゆる状況でやっていく秘訣を学びま
した。13 力を与えてくださる方のお
ちから あた かた
かげで、私は強くなり、どんなことも乗
こ せい
り越えられます。

14 それにしても、私が苦難に遭っ
たとき みな しんせつ たす
ていた時、皆さんは親切にも助けて

4:7 *または、「知力」。4:8 *または、「貞潔
な」。*または、「黙想し」。4:13 *または、「行
えます」。

第4章
(イ) コロ 3:15

(イ) コロ 3:2

(イ) フィリ 3:17

(イ) コニ 11:8,9

(イ) テモ一 6:6,8
ヘブ 13:5

(イ) コー 4:11
コニ 6:4,10
コニ 11:27

(イ) イザ 40:29
コニ 4:7
コニ 12:9,10

第2欄
(イ) コニ 11:8,9

(イ) フィリ 2:25

(イ) 出 29:18

(イ) コニ 9:8

(イ) フィリ 1:12,13

くれました。15 ご存じの通り、フィリ
ピの皆さんが良い知らせを初めて知っ
た後、私がマケドニアを出発する際、
わたし えんじょう しゅっぱつ さい
私から援助を受けるだけでなく私を援
じょ かいしゅう
助してくれた会衆はほかになく、皆さ
んだけでした。16 私がテサロニケ
にいた時、皆さんは私に必要な物を
とき みな わたし ひつよう もの
送ってくれました。それも1度だけで
はなく、2度です。17 私は贈り物
が欲しいと思っっているわけではありま
せん。皆さんが善いことを行って報わ
れることを願っているのです。18 私
いま ひつよう もの じゅうぶん とも
は今、必要な物を十分過ぎるほど持っ
ています。皆さんが送ってくれた物を
エパフロデトから受け取ったので、満
ち足りています。その贈り物は甘い香
り (イ) かい よろこ う い
りのようであり、神が喜んで受け入れ
てくださる犠牲です。19 あらゆるも
のゆた も かみ
のを豊かに持っている神は、キリスト・
イエスを通して、皆さんが必要として
いるものを十分に与えてくださいます。
20 わたし ちち かみ
私たちの父である神がいつまで
も永遠にたたえられますように。アー
メン。

21 キリスト・イエスと結ばれた聖
なる人たちに皆に、私からのあいさつを
つた わたし いっしょ きょうだい
伝えてください。私と一緒にいる兄弟
たちが皆さんによろしくと言っていま
す。22 聖なる人たち全て、特にカエ
サルの家の人たちが、皆さんによろし
くと言っています。

23 正しい精神を示している皆さん
に、主イエス・キリストが惜しみない親
しゅ せいしん しめ みな
切を示してくださいように。

コロサイのクリスチャンへの手紙^{て がみ}

概要

- | | |
|--|--|
| <p>1 あいさつの言葉 (1, 2)
コロサイのクリスチャンの信仰に対する感謝 (3-8)
クリスチャンとして成長してほしいという祈り (9-12)
キリストの中心的な役割 (13-23)
パウロは会衆のために一生懸命に努力する (24-29)</p> <p>2 神の神聖な秘密であるキリスト (1-5)
欺く人たちに気を付ける (6-15)</p> | <p>実体はキリスト (16-23)</p> <p>3 古い人格と新しい人格 (1-17)
体の各部をいわば殺す (5)
愛は完全な絆 (14)
クリスチャンの家族への助言 (18-25)</p> <p>4 主人たちへの助言 (1)
「粘り強く祈りましょう」 (2-4)
会衆の一員ではない人と接する際に賢く行動する (5, 6)
結びのあいさつ (7-18)</p> |
|--|--|

1 神の意志によってキリスト・イエスの使徒となったパウロと、私たちの兄弟テモテから、**2** コロサイにいる、キリストと結ばれた聖なる人たち、忠実な兄弟たちへ。

私たちの父である神から、皆さんに惜しみない親切が示され、平和が与えられますように。

3 私たちは、皆さんのために祈る時、主イエス・キリストの父である神にいつも感謝しています。**4** 皆さんがキリスト・イエスに信仰を持っており、聖なる人たちが全てを愛しているというのを聞いたからです。**5** 皆さんがそうしているのは、天で実現する希望があるからです。その希望について知ったのは、良い知らせの真理を聞いた時です。**6** 皆さんにも伝えられた良い知らせは、世界中に広まって実を

1:2 *または、「過分の」。

第1章
[例] コー 4:17

[例] テモニ 4:8
ペー 1:3,4

第2欄
[例] コロ 1:23
テモニ 3:16

[例] コロ 4:12,13
フィレ 23

[例] エフ 1:15,16

[例] テモニ 2:7
ヨー 5:20

[例] フィリ 1:9

結んでいます。そして、皆さんがまさに神の惜しみない親切について聞き、正確に知った日以来、皆さんの間でも実を結んでいます。**7** 皆さんはその親切について、愛するエパfrasから学びました。私たちと共に奴隷として仕えるエパfrasは、キリストの忠実な奉仕者であり、私たちの代理を務めてくれています。**8** 彼は、皆さんが聖なる力による愛を抱えていることを私たちに知らせてくれました。

9 それで私たちは、そのことを聞いた日以来、皆さんのために絶えずこう祈っています。皆さんがあらゆる知恵と、聖なる力による理解力を得て、神の意志についての正確な知識を十分に持ち、**10** エホバに仕える人になさわしい歩み方をし、全ての点で神に喜ばれますように。また、あらゆる善

1:8 *用語集参照。1:10 *付録A5参照。

や過去^{かこ}の世代^{せだい}には知られていません^し。
 でした。しかし今^{いま}や、神^{かみ}の聖^{せい}なる人^{ひと}たち^{たち}に啓示^{けいし}されました。27 神^{かみ}は、素^すばらしい天^たからであるこの神聖^{しんせい}な秘密^{ひみつ}を、
 国々^{くにくに}にいる聖^{せい}なる人^{ひと}たちに知らせること^{こと}にしたのです。その秘密^{ひみつ}とは、皆^{みな}さんと結^{むす}ばれたキリスト^{きりす}のことであり、
 キリスト^{きりす}と共に栄光^{えいこう}を受ける希望^{きぼう}がある^{ある}ということです。28 私^{わたし}たちはこの
 キリスト^{きりす}について広^{ひろ}め、全^{すべ}ての人^{ひと}に説^{せつ}明^{めい}し、知恵^{ちえ}を尽^つくして教^{おし}えています。
 全^{すべ}ての人^{ひと}がキリスト^{きりす}としっか^{むす}り結^{むす}ばれて神^{かみ}の前^{まえ}に立^たてるようにするた^{ため}です。
 29 このために私^{わたし}は、自^じ分^{ぶん}の中^{なか}で力^{ちから}強^{つよ}く働^{はたら}いている神^{かみ}の力^{ちから}に頼^{たよ}りなが^ら、一^{いっ}生^{しょう}懸命^{けんめい}に努^{どり}力^{りき}しています。

2 皆^{みな}さんに知^しっていただ^ききたいこ
 とです^とが、私^{わたし}は皆^{みな}さんのため^{ため}、ラ
 オデキア^{ラオデキア}にいる人^{ひと}たちのため^{ため}、また直^{ちよく}接^{せつ}会^{かい}したことがない人^{ひと}たちのために
 奮^{ふん}闘^{とう}しています。2 それ^{それ}は、皆^{みな}が心^{こころ}を慰^{なぐさ}められ、愛^{あい}によつてしっか^{むす}り結^{むす}ば
 れ、十^{じゅう}分^{ぶん}の理^り解^{かい}と確^{かく}信^{しん}に基^{もと}づく祝^{しゅく}福^{ふく}を
 味^{あじ}わい、神^{かみ}の神聖^{しんせい}な秘密^{ひみつ}であるキリス
 トに關^{かん}する正^{せい}確^{かく}な知^ち識^{しき}を得^えるようにな
 るた^{ため}です。3 キリスト^{きりす}のう^{うち}の内^{ない}には全^{すべ}
 ての貴^き重^{じゆう}な知^ち恵^えと知^ち識^{しき}が秘^ひめられ
 ています。4 私^{わたし}が皆^{みな}さんにこ^{こう}したこ
 とを言^いうのは、誰^{だれ}かの巧^{たく}みな言^{ことば}葉^はにだ
 まされな^いでほ^いしいから^{です}。5 私^{わたし}
 の体^{からだ}は遠^{とほ}く離^{はな}れてい^{ても}、心^{こころ}は皆^{みな}さん
 と共^{とも}にあり^{ます}。皆^{みな}さんが秩^{ちつ}序^{じよ}を守^{まも}り、
 キリスト^{きりす}への強^{つよ}い信^{しん}仰^{かう}を持^もっているの

第1章
 (ア) ルカ 8:10
 コー 2:7
 (イ) ロマ 16:25,26

(ウ) エフ 3:8,9
 (エ) ロマ 8:18
 (オ) エフ 4:13
 (カ) フィリ 4:13

第2章
 (キ) コロ 4:16
 (ク) コロ 1:6
 (ケ) コロ 3:14
 (コ) コー 2:7
 エフ 3:5,6
 (カ) コー 1:30
 コー 2:16
 (シ) コー 14:40
 (ス) コー 15:58
 ヘブ 3:14

第2欄
 (ア) エフ 2:20
 エフ 3:17
 (イ) マタ 7:24,25
 (ウ) エフ 5:20
 テサー 5:18
 (エ) エフ 5:6
 ヘブ 13:9
 (オ) コロ 1:19
 (カ) エフ 1:20,21
 ペー 3:22

(キ) ロマ 6:6
 (ク) ロマ 2:29
 フィリ 3:3
 (ケ) ロマ 6:4
 (コ) エフ 2:6
 コロ 3:1
 (カ) 使徒 2:24
 エフ 1:19,20
 (シ) エフ 2:1,5

を見て、うれしく思^{おも}っています。
 6 皆^{みな}さんは主^{しゅ}であるキリスト^{きりす}・イエ
 スを受け入れたのですから、キリスト^{きりす}と
 結^{むす}ばれて歩^{あゆ}み続^{つづ}けてください。7 教^{おし}
 えられた通^{とお}り、キリスト^{きりす}に根^ねを下^おろし、
 自^じ分^{ぶん}をキリスト^{きりす}の上^{うへ}に建^たて、揺^ゆるぎな
 い信^{しん}仰^{かう}を持^もち、感^{かん}謝^{しゃ}にあふれま^しよう。
 8 哲^{てつ}学^{がく}や、中^{なか}身^みのない欺^{あざむ}きにより、
 誰^{だれ}かに捕^とらわれてしま^うことがないよ
 う気^きを付^きけてください。そうしたもの^はは
 人^{にん}間^{げん}の伝^{でん}統^{とう}や世^よの理^り念^{ねん}に基^{もと}づいてお
 り、キリスト^{きりす}を源^{みなもと}とするもの^はではありま
 せん。9 キリスト^{きりす}には、神^{かみ}の性^{せい}質^{しつ}が
 完^{かん}全^{ぜん}に備^{そな}わっているから^{です}。10 そ
 れで皆^{みな}さんは、キリスト^{きりす}によつて満^みた
 されてい^{ます}。キリスト^{きりす}は全^{すべ}ての政^{せい}府^ふ
 と権^{けん}威^いの頭^{かん}です。11 キリスト^{きりす}との関^{かん}
 係^{けい}により、皆^{みな}さんは割^{かつ}礼^{れい}を受けま^{した}。
 それ^{それ}は手^てで施^{ほどこ}されるもの^はではなく、罪^{つみ}
 深^{ふか}い体^{からだ}を脱^ぬぎ捨^すてること^はであり、キリス
 トに従^{したが}う人^{ひと}はそ^うのよ^うな割^{かつ}礼^{れい}を受けま
 す。12 皆^{みな}さんはキリスト^{きりす}と同^{どう}様^{よう}のパ
 プテスマ^{ぱうてすま}を受け、そ^その方^{かた}と共^{とも}に葬^{ほうむ}られ
 ました。そして、キリスト^{きりす}との関^{かん}係^{けい}によ
 り、そ^その方^{かた}と共^{とも}に生^いき返^{かえ}らされ^{まし}た。
 キリスト^{きりす}を生^いき返^{かえ}らせ^た神^{かみ}の強^き力^{りき}な
 行^{おこな}いに信^{しん}仰^{かう}を持^もったから^{です}。
 13 皆^{みな}さんは、自^じ分^{ぶん}の過^{あやま}ちと、体^{からだ}
 に割^{かつ}礼^{れい}を受け^ていないこと^のゆえに死^し
 んでいま^{した}が、神^{かみ}は皆^{みな}さん^をキリス
 トと共^{とも}に生^いかしてくだ^さしました。私^{わたし}

2:8 *または、「基礎的な事柄」。2:11,12 *用
 語集参照。

ちの過^{あやま}ちを優^{やさ}しく許^{ゆる}し、**14** 私^{わたし}たちを責^せめる手^て書き^{がき}の文^{ぶん}書^{しょ}を無^む効^{こう}にしてくだされました。数^{かず}々の規^き定^{てい}から成^なるそ^その文^{ぶん}書^{しょ}を、苦^{くる}しみ^{しみ}の杭^{くい}にき^ぎづけに^にして取^とり除^ぞいてくだされたのです。**15** 苦^{くる}しみ^{しみ}の杭^{くい}により、神^{かみ}は政^{せい}府^ふや権^{けん}威^いを裸^{はだか}にし、勝^{しょう}利^りの行^{こう}進^{しん}におい^いて捕^ほ虜^{りょ}として歩^{ある}かせ、征^{せい}服^{ふく}されたものとして目^{ひとめ}にさらしました。

16 それで、何^{なに}を食^たべたり飲^のんだりするかに関^{かん}して、あるいは祭^{まつ}りや新^{しん}月^{げつ}や安^{あん}息^{そく}日を祝^{いわ}うかどうかに関^{かん}して、誰^{だれ}も皆^{みな}さんを非^ひ難^{なん}すべきではありませ^せん。

17 そうしたものは後^{のち}に来^くるもの影^{かげ}であつて、そ^その実^じ体^{たい}はキリ^きス^すトです。

18 見^みせ掛^かけの謙^{けん}遜^{そん}さや天^{てん}使^{しん}の崇^{そう}拝^{はい}を好^{この}む人^{ひと}のせいで、賞^{しょう}を得^えられなくなることがないようにしてくだされ。そのよう^{ひと}な人^{じん}は、自^じ分^{ぶん}が見^みえたもの^{もの}の「上^{うへ}に立^たち」、罪^{つみ}深^{ふか}い考^{かんが}え方^{かた}によつて根^{こん}拠^{きよ}もなく思^{おも}い上^あがっています。**19** そ^{ひと}の人^{ひと}は頭^{かしら}である方^{かた}に従^{したが}っていません。そ^{かた}の方^{かた}を通^{とお}して、体^{からだ}全^{ぜん}体^{たい}は養^やわれ、関^{かん}節^{せつ}や鞅^{じん}帯^{たい}によつて見^み事^じに組^{くみ}み合^あわされて、神^{かみ}が成^{せい}長^{ちやう}させてくださるま^まに成^{せい}長^{ちやう}してい^います。

20 皆^{みな}さん^{さん}は、キリ^きス^すトと共^{とも}に死^しんで世^よの理^り念^{ねん}を退^{おき}けたはず^{はず}なのに、なぜ^{なぜ}まだ世^よの一部^{いちぶ}であるか^かのよう^{よう}に生^{せい}活^{かつ}し、規^き則^{そく}に従^{したが}っているのですか。**21** 「手^て

2:14 *または、「抹^す消^{しょう}」。^{用語集参照。} **2:15** *もしかすると、「キリ^きス^すト」。**2:18** *または、「見^みたもの^{もの}に固^こ執^{しつ}」。^{異教の秘儀(入信)の儀式で使われた表現。} **2:20** *または、「基^き礎^そ的な事^じ柄^{がら}」。

第2章

[7] 使徒 2:38
[1] ロマ 7:10
ガラ 3:10
[2] 出 34:27
申 31:24-26
ヘブ 7:18
[2] エフ 2:14,15
[2] ガラ 3:13
ヘブ 9:15
ペー 2:24
[2] ヨー 5:4
啓 3:21
[2] ロマ 14:3,17

[2] 詩 81:3
[2] ロマ 14:6
[2] ヘブ 8:5
ヘブ 10:1
[2] ヨハ 14:6
ヘブ 9:11,12
[2] フィリ 3:14
[2] エフ 1:22,23
[2] エフ 2:21
エフ 4:16
[2] ガラ 4:3
コロ 2:8
[2] エフ 2:15
コロ 2:14

第2欄

[2] マタ 15:9
[1] テモー 4:3

第3章

[2] エフ 2:6
[2] 詩 110:1
ペー 3:22
[2] ヨー 2:15
[2] フィリ 3:20
フィリ 4:8
ペー 1:13
[2] ヨハ 11:25
[2] コー 15:42,43
[2] コー 6:18
エフ 3:3
[2] マル 9:43
ガラ 5:24
[2] コー 6:9-11
エフ 2:3
テト 3:3

にするな、味^{あじ}わうな、触^ふれるな」とい^いった規^き則^{そく}です。**22** そ^そのよう^{よう}な規^き則^{そく}は、使^{つか}われてなくな^なるものにつ^{につ}いて述^すべてい^いるのであり、人^{にん}間^{げん}の命^{めい}令^{れい}や教^{おし}えに基^{もと}づいてい^います。**23** そ^そうした規^き則^{そく}は知^ち恵^えの言^{こと}葉^ばのよう^{よう}に思^{おも}えるかもし^しれ^れま^ませんが、罪^{つみ}深^{ふか}い欲^{よく}望^{ぼう}と闘^{たたか}う点^{てん}で全^{ぜん}く役^{やく}に立^たちませ^せん。そ^それを^{まも}る人^{ひと}たち^はは、自^じ分^{ぶん}勝^{しょう}手^てな崇^{そう}拝^{はい}の仕^し方^{かた}や見^みせ掛^かけの謙^{けん}遜^{そん}さによ^より、体^{てい}を厳^{げん}しく扱^{あつか}っているだ^だけです。

3 皆^{みな}さん^{さん}はキリ^きス^すトと共^{とも}に生^いき返^{かえ}ら^られたので^{ので}す^すから、天^{てん}にあるもの^{もの}を得^えることを願^{ねが}ひ続^{つづ}けてくだされ。キ^きリ^りス^すトは天^{てん}で神^{かみ}の右^{みぎ}に座^{すわ}つてい^います。**2** 地^ち上^{じやう}の事^{こと}柄^{がら}でな^なく、天^{てん}の事^{こと}柄^{がら}につ^{につ}いて考^{かんが}え続^{つづ}けま^ましょう。**3** 皆^{みな}さん^{さん}は死^しんだのであり、皆^{みな}さん^{さん}の命^{いのち}は神^{かみ}の意^い志^しに沿^いつてキリ^きス^すトと共^{とも}に隠^{かく}されてい^います。**4** 私^{わたし}たち^はの命^{いのち}であるキリ^きス^すトが現^{あらわ}れる時^{とき}、皆^{みな}さん^{さん}もキリ^きス^すトと共^{とも}に栄^{えい}光^{こう}を受^うけて現^{あらわ}れることにな^いります。

5 ですから、性^{せい}的^{てき}不^ふ道^{どう}徳^{とく}、汚^{けが}れ、奔^{ほん}放^{ほう}な性^{せい}欲^{よく}、有^{よく}害^{がい}な欲^{よく}望^{ぼう}、ま^また貪^{どん}欲^{よく}つ^つま^まり偶^{ぐう}像^{ざう}崇^{そう}拝^{はい}に陥^{おち}らな^ないよう、地^ち上^{じやう}の体^{からだ}の各^{かく}部^ぶをい^いわば殺^{ころ}しな^ない。**6** そ^そのよう^{よう}な事^{こと}柄^{がら}のた^ために神^{かみ}は憤^{いきどお}りを表^{あらわ}そうとしてい^います。**7** 皆^{みな}さん^{さん}も以^い前^{ぜん}は、そ^そうした事^{こと}柄^{がら}が伴^{ともな}う生^いき方^{かた}をしてい^いまし^した。**8** し^しかし今^{いま}は、そ^それら^らを全^{ぜん}て捨^すて去^すらな^なければな^なりませ^せん。憤^{いきどお}り、怒^{いか}

2:22 *または、「飲^い食^{しょく}によつて」。**3:5** *ギリ^きリ^りシ^しヤ^や語^ご、ボ^ボル^ルニ^ニヤ^や。用^用語^ご集^{しふ}参^{さん}照^{しょう}。

り、悪い行い、^{わる おこな} 暴言、^{ぼうげん} 口から出る下品な言葉^{くち たが}を捨て去りなさい。**9** 互^{たが}にうそをついてはなりません。古い人格とそれに伴う習慣^{しゅうかん}を脱ぎ捨て、**10** 新しい人格^{じんかく}を身に着けましょう。新しい人格は、それを与えてくださる神の性質^{しんかく あたら}に沿って、正確な知識によって新しくされていきます。**11** この点で、ギリシャ人とユダヤ人に違いはなく、割礼を受けている人もいない人も、外国人もスキタイ人も、奴隷も自由民も同じです。キリストが全てであり、全ての人と結び付いています。

12 それで、皆さんは神に選ばれ、神に愛される聖なる人たちですから、あなたがたは、親切、謙遜さ、温和、辛抱強さを身に着けましょう。**13** 引き続き互いに我慢し、寛大に許し合ひましょう。たとえ誰かに不満を感じるとしてもです。エホバが寛大に許してくださったのですから、同じようにしなければなりません。**14** これら全てに加えて、愛を身に着けましょう。愛は完全な絆なのです。

15 また、キリストによる平和が心に満ちるようにしましょう。皆さんは1つの体となって平和を得るために招かれたからです。感謝を表しましょう。

16 キリストの言葉があらゆる知恵と

3:8 *または、「みだらな」。**3:9** *直訳、「人」。**3:10** *または、「創造した」。**3:11** *未開人を指していた。「直訳、「全ての中に」」。**3:12** *または、「自分を低く見る考え方」。**3:13, 16, 22-24** *付録A5参照。**3:15** *または、「心を制御する」。

第3章

[7] ペー 2:1
[1] エフ 4:31
[2] エフ 5:3,4
[2] エフ 4:25
啓 21:8
[2] エフ 4:22
[2] ロマ 12:2
エフ 4:24
[4] 創 1:26,27
ペー 1:16
[2] ガラ 3:28
[2] ペー 2:9
[2] ファリ 2:1,2
[2] ロマ 12:16
[2] テト 3:2
[2] エフ 4:1,2
テサー 5:14
[2] 格 19:11
エフ 4:32
ペー 4:8
[2] マタ 18:15
[2] マタ 6:14
マル 11:25
[2] ヨー 3:23
[2] コー 13:4-7
[2] ヨハ 14:27
フィリ 4:7

第2欄

[2] コー 14:26
[1] エフ 5:19
[2] コー 10:31
[2] エフ 5:22
ペー 3:1
[2] エフ 5:25
ペー 3:7
[2] エフ 4:31
[2] 格 6:20
ルカ 2:51
エフ 6:1
[2] エフ 6:4
[2] エフ 6:5,6
テト 2:9
ペー 2:18
[2] ルカ 10:27
ロマ 12:11
[2] エフ 6:8
ペー 1:3,4
[2] ロマ 2:6
ガラ 6:7
[2] ロマ 2:11
ペー 1:17

共に、皆さんの内に満ちるようにしてください。詩や、神への賛美の歌や、感謝を込めて歌う崇拜の歌によって、教え合い、励まし合ひましょう。エホバに向かつて心から歌いましょう。**17** 何を話すにしても、何をやるにしても、全てのことを主イエスの名によって行い、イエスを通して父である神に感謝しましょう。

18 妻の皆さん、夫に従ってください。それは主に従う人にふさわしいことです。**19** 夫の皆さん、妻を愛し続けてください。ひどく怒ってはなりません。**20** 子供の皆さん、いつも親に従ってください。そうすれば、主にとても喜ばれます。**21** 父親の皆さん、子供をいらいらさせて気落ちさせることがないようにしてください。**22** 奴隷である皆さん、いつも自分の主人に従ってください。単に人を喜ばせようとして、主人が見ている時にだけ従うのではありません。誠実な心で、エホバを畏れつつ従いましょう。**23** 何をしても、人のためではなくエホバのためにするように、自分の全てを尽くして行いましょう。**24** 皆さんは、報いとしてエホバから財産を受けることを知っています。主人であるキリストに一生懸命仕えてください。**25** 悪いことをする人は、行った悪いことの報いを必ず受けます。不公平はありません。

3:16 *または、「丁寧に」。[△]または、「訓戒し」。**3:19** *または、「つらく当たって」。

4 ^{しゅじん}主人である^{みな}皆さん、自分^{じぶん}にも天^{てん}に主人^{しゅじん}がいることをわきまえて、
奴隷^{どれい}を正しく公平^{こうへい}に扱^{あつか}ってください。

2 粘^{ねば}り強く祈^{いの}りましょう。感謝^{かんしゃ}しつ
つ、祈^{いの}ることを常に意識^{いしき}しましょう。

3 私^{わたし}たちのためにも祈^{いの}ってください。
私^{わたし}たちが神^{かみ}の言葉^{ことば}を広^{ひろ}め、キリストに
関^{かん}する神聖^{しんせい}な秘密^{ひみつ}を語^{かた}ることができる
よう、神^{かみ}が扉^{とびら}を開^{ひら}いてくださるようにと
祈^{いの}ってください。その神聖^{しんせい}な秘密^{ひみつ}のた
め^{わたし}に、私^{わたし}は拘禁^{こうきん}されています。**4** そ
の秘密^{ひみつ}を明快^{めいかい}に伝^{つた}えなければならな
いので、私^{わたし}がそうできる^いよう祈^{いの}してくだ
さい。

5 会衆^{かいしゅう}の一員^{いちいん}ではない人^{ひと}と接^{せつ}する
際^{さい}にはいつも賢^{かしこ}く行^{こう}動^{どう}しましょう。時
間^{かん}を有効^{ゆうこう}に使^{つか}ってください。**6** 塩^{しお}
味^{あじ}付けされた快^{こころよ}い言葉^{ことば}を語^{かた}るよう
に心掛^{こころが}けましょう。そうすれば、誰^{たれ}に対^{たい}し
てもど^このように答^{こた}えるべき^わかが分^わかり
ます。

7 私^{わたし}がどうしているかについては、
愛^{あい}する兄弟^{きょうだい}テキコが皆さんに詳^{くわ}しく知^し
らせませう。テキコは主^{しゅ}に従^{したが}う忠実^{ちゅうじつ}な奉
仕^{しや}者^{とも}であり、共^{とも}に主^{しゅ}に仕^{つか}える奴隷^{どれい}です。

8 彼^{かれ}をそちらに遣^{つか}わしますので、皆^{みな}さ
んは私^{わたし}たちの様^{よう}子^すを知^しることができま
すし、心^{こころ}が慰^{なぐさ}められるでしょう。**9** 皆^{みな}
さんの所^{ところ}から来^きた、私^{わたし}の愛^{あい}する忠実^{ちゅうじつ}な
兄弟^{きょうだい}オネシモも、テキコと一^{いっ}緒^{しょ}に行^いき
ます。**2**人はこち^{ふたり}で起^おきていることを
皆^{みな}さんに詳^{くわ}しく知^しらせませう。

4:2 *または、「祈りのために目を覚ましていま
しょう。」「**4:5** *または、「良い時を買い取って」。

第4章

〔イ〕エフ 6:9

〔イ〕ルカ 18:1

ロマ 12:12

エフ 6:18

〔イ〕コロ 3:15

テサー 5:18

〔イ〕ロマ 15:30

〔イ〕エフ 6:19,20

フィリ 1:7

〔イ〕エフ 5:15,16

〔イ〕マタ 5:13

マル 9:50

〔イ〕ペー 3:15

〔イ〕エフ 6:21,22

〔イ〕フィレ 10

第2欄

〔イ〕使徒 19:29

使徒 20:4

使徒 27:2

〔イ〕使徒 12:12

使徒 15:37

フィレ 23,24

〔イ〕ロマ 15:7

〔イ〕コロ 1:7,8

〔イ〕ルカ 1:3

使徒 1:1

〔イ〕フィレ 23,24

〔イ〕ロマ 16:5

ロー 16:19

〔イ〕テサー 5:27

〔イ〕フィレ 1,2

10 私^{わたし}と一緒に捕^とらわれているアリ
スタルコが皆さんによろしくと言^いって
います。バルナバのいとこマルコもよ
ろしくと言^いっています。(皆さんは、
もしマルコがそちらに行^いったら歓迎
するようにとの指^{さし}示^じを受けています。)

11 ユストと呼ばれるイエスもよろしく
と言^いっています。これらは割^かれ礼^{れい}を受^う
けている人^{ひと}たちです。この人^{ひと}たちだけ
が神^{かみ}の王^{おう}国^{こく}のために私^{わたし}と共^{とも}に働^{はたら}いて
おり、私^{わたし}をととても慰^{なぐさ}めてくれています。

12 キリスト・イエスの奴隷^{みな}で、皆さん
の所^{ところ}から来^きたエパfrasが、よろしく
と言^いっています。エパfrasは、皆さん
が最終^{さいしゅう}的に欠^かけたところがない者^{もの}と
なり、神^{かみ}の意^い志^し全^{しず}べて確^{かく}信^{しん}してしっか
り立^たてるよう、いつも熱^{ねつ}烈^{れつ}に祈^{いの}っていま
す。**13** 彼^{かれ}が皆さんのために、またラ
オデキアやヒエラポリスにいる人^{ひと}たち
のために、大^{おお}きな努^{どり}力^{りよく}を払^{はら}っているこ
とを私^{わたし}は証^{しょう}言^{げん}できます。

14 皆^{みな}に愛^{あい}されている医^い者^{しや}ルカがよ
ろしくと言^いっています。デマスもよろし
くと言^いっています。**15** ラオデキアに
いる兄弟^{きょうだい}たちに、またヌンファと彼女^{かのじよ}
の家^{いえ}に集^{あつ}まる会^{かい}衆^{しゅう}に、私^{わたし}からのあい
さつを伝^{つた}えてください。**16** この手紙^{てがみ}
が皆さんの所^{ところ}で読^よまれたら、ラオデキ
アの会^{かい}衆^{しゅう}でも読^よまれるように取り決^とめ
てください。また、ラオデキアから回^{まわ}
てくる手紙^{てがみ}を皆^{みな}さんも読^よむようにしてく
ださい。**17** アルキボにはこう伝^{つた}えて

4:11 *または、「力づけ、助けて」。

ください。「主に従う者として受け入れた、奉仕する務めに注意を払い、それを果たしてください。」

18 私パウロのあいさつを自分の

第2欄

第4章

(7) テサニ 3:17

(1) フィリ 1:7

フィレ 9

手でここに記します。私が拘禁されていることを覚えていてください。皆さんに惜しめない親切が示されますように。

テサロニケのクリスチャンへの第一の手紙

概要

- | | |
|--|--|
| <p>1 あいさつの言葉 (1)
テサロニケのクリスチャンの信仰に対する感謝 (2-10)</p> <p>2 テサロニケでのパウロの奉仕 (1-12)
テサロニケの人たちは神の言葉を受け入れる (13-16)
パウロはテサロニケのクリスチャンに会いたいと強く願う (17-20)</p> <p>3 パウロは心配しながらアテネで待つ (1-5)
テモテの報告に慰められる (6-10)
テサロニケのクリスチャンのための祈り (11-13)</p> | <p>4 性的不道徳を避けるようにとの警告 (1-8)
いっそう愛し合う (9-12)
人に干渉しない (11)
キリストと結ばれて死んだ人たちがまず生き返る (13-18)</p> <p>5 エホバの日が来る (1-5)
「平和だ、安全だ!」(3)
目を覚ましていて、頭がさえた状態を保つ (6-11)
勧めの言葉 (12-24)
結びのあいさつ (25-28)</p> |
|--|--|

1 パウロとシルワノとテモテから、父である神および主イエス・キリストと結ばれているテサロニケの会衆へ。

皆さんに惜しめない親切が示され、平和が与えられますように。

2 私たちは、皆さんについて祈る時、いつも神に感謝しています。**3** 皆さんの忠実な働き、愛に根差した労苦、主イエス・キリストに希望を抱いて示す忍耐を、父である神の前で絶えず思

1:1 *シラスとも呼ばれる。 1:1, 5 *用語集参照。 1:1 △または、「過分の」。

第1章

(7) 使徒 15:22
ペー 5:12

(1) 使徒 16:1,2

(7) テサニ 1:11, 12

(12) ペー 1:3,4

第2欄

(7) テサー 2:14

い起こすからです。**4** 神に愛されている兄弟たち、皆さんが神に選ばれたことを私たちは知っています。**5** 皆さんに良い知らせを伝えた時、私たちはただ単に言葉を述べたのではなく、聖なる力の助けにより語りました。強い確信を込めて語ったその知らせは、皆さんに大きな影響を及ぼしました。わたしが皆さんのためにどのような行動したかは、ご存じの通りです。**6** 皆さんは、大きな苦難の中で、聖なる力による喜びを抱きながら神の言葉を受け入れ、主と私たちに倣うよう

になりました。⁽⁷⁾ 7 そのようにして、マケドニアとアカイアの全てのクリスチャンの手本となりました。

8 実際、エホバの言葉が皆さんからマケドニアとアカイア一帯に伝わっただけでなく、神に対する皆さんの信仰⁽⁸⁾があらゆる場所に知れ渡ったため、私たちは何も言う必要がないほどです。9 人々は、私たちが皆さんに初めて会った時の様子や、皆さんがどのように偶像から離れて、生きている真の神に仕えるようになったかを話しています。10 皆さんは神の子が天から来るのを待つようにもなりました。その方は、神が生き返らせた方つまりイエスであり、神が憤りを表す時に私たちを救ってくださいます。

2 兄弟たち、よく分かっているとお思いますが、私たちが皆さんを訪ねたことは無駄ではありませんでした。2 ご存じのように、私たちはまずフィリピで苦しめられ、侮辱を受けましたが、神の助けにより勇気を奮い起こし、厳しい反対に遭いながらも皆さんに神のよい知らせを伝えました。3 私たちが説き勧める事柄は、間違った考えや不純な動機に基づくものではなく、人とあざむくものでもありません。4 私たちは神から良いと認められ、よい知らせを託されたのですから、人に喜ばれるためではなく、私たちの心を調べ

1:8 * 付録A5参照。2:2 * または、「大胆さ」。
#もしかすると、「悪戦苦闘しながらも」。

第1章

(7) コー 11:1
フィリ 3:17
テサニ 3:9
ペー 2:21

(8) テサニ 1:4

(9) コー 10:14
コー 12:2
ガラ 4:8
ヨー 5:21

(10) 使徒 1:10, 11
テト 2:13

(11) テサー 5:2
ペニ 3:12

第2章

(12) 使徒 17:1, 4

(13) 使徒 16:12
使徒 16:22-24

(14) 使徒 17:1, 2

第2欄

(15) 格 17:3
エレ 11:20

(16) 使徒 20:33

(17) コニ 11:9
テサニ 3:8, 10

(18) ヨハ 15:13

(19) ヨハ 13:35

(20) 使徒 18:3
使徒 20:34
コニ 11:9
テサニ 3:8, 10

(21) 使徒 20:31

(22) コー 4:15

(23) エフ 4:1
コロ 1:10
ペー 1:15

る神に喜ばれるように語ります。

5 実際、ご存じのように、私たちはお世辞を使ったことはなく、本心を隠して貪欲に物を得ようとしたこともありません。そのことについて神が証人となってくださいます! 6 また、人から称賛されようとはしてきませんでした。皆さんからも他の人からものです。キリストの使徒として経済的な負担を掛けることもできましたが、そうしませんでした。7 乳児を優しく世話する母親のように、穏やかに皆さんに接しました。8 私たちは優しい愛情を抱き、皆さんに神のよい知らせを伝えるだけでなく自分たち自身を与えたいと思いました。皆さんを深く愛するようになったからです。

9 兄弟たち、私たちが苦勞して働いたことを覚えていてでしょう。皆さんに神のよい知らせを伝えた時、誰にも経済的な負担を掛けないよう、私たちは昼も夜も働きました。10 信仰を持つ皆さんに接する際、忠実に正しく行動し、非難されるようなことはしませんでした。皆さんはそのことの証人であり、神も証人となってくださいます。11 よくご存じのように、私たちは皆さん一人一人を励まし、慰め、教えました。父親が子供にするようにです。12 神に仕える人にふさわしく歩んでいってほしいからです。神は、ご自

2:5 * または、「うわべを繕って」。2:7 * または、「大切にする」。2:10 * または、「揺るぎない思いを抱いて」。

ぶん おうこく みな えいこう う
分の王国で皆さんが栄光を受けるよ
う、招いてくださっています。

13 それで、私たちは絶えず神に感謝しています。皆さんが私たちから神の言葉を聞いた時、それを人間の言葉としてではなく、まさしく神の言葉として受け入れたからです。その言葉は、信仰を持つ皆さんに良い感化を与えています。**14** 兄弟たち、皆さんは、ユダヤにある、キリスト・イエスと結ばれた神の諸会衆と同様の経験をしています。ユダヤの兄弟たちがユダヤ人から苦しめられているように、皆さんも同胞から苦しめられました。**15** ユダヤ人は、主イエスと預言者たちを殺し、私たちを迫害しました。神に喜ばれておらず、全ての人の害になることをしています。**16** 異国の人々が救われるよう私たちが伝道するのを、彼らは妨げようとしているのです。そのようにして、常に罪を重ねています。そのため、神は彼らに憤りを表そうとしています。

17 兄弟たち、私たちはほんのしばらく皆さんから引き離された時(体は離れていたものの、心は皆さんと共にありました)、皆さんに会いたいと強く願ひ、会うために手を尽くしました。

18 このような訳で、私たちはそちらに行こうとし、私パウロは1度だけでなく2度努力しましたが、サタンに邪魔されました。**19** 私たちの主イエスの

2:14 *または、「に做うようになりました」。

第2章

(イ) ペー 5:10

(イ) ルカ 22:28-30

(イ) テサー 1:2,3

(ロ) 使徒 17:5

(ロ) 使徒 2:22,23
使徒 7:52

(イ) マタ 23:34

(イ) ルカ 11:52
使徒 13:49,50

(イ) ロマ 1:18

第2欄

(イ) テサー 5:23
テサニ 2:14

第3章

(イ) 使徒 17:15

(イ) 使徒 16:1,2
ロマ 16:21
コー 16:10

(ロ) 使徒 14:22
コー 4:9
ペー 2:21

(イ) テサー 2:14

(イ) テサー 3:2

(イ) マタ 4:3
コ二 11:3

(イ) 使徒 18:5

りんざい* さい まえ わたし
臨在の際に、イエスの前で、私たちの
希望、喜びの源、歡喜の冠となるものは何でしょうか。それは皆さんではありませんか。**20** 皆さんは確かに私たちの誇りであり、喜びの源です。

3 私たちは、皆さんに会えないことに耐えられなくなった時、自分たちだけアテネに残ることにし、**2** テモテを遣わしました。テモテは私たちの兄弟であり、キリストについての良い知らせを伝える、神の奉仕者です。彼を遣わしたのは、皆さんの信仰が強くなるよう、皆さんを力づけ、慰めるためです。**3** 誰にもこのような苦難によって動揺してほしくないからです。皆さんもよく分かっているように、私たちは苦しい目に遭うことは避けられませんが、**4** 皆さんと一緒にいた時、私たちはいづれ苦難に遭う、と話していましたが、ご存じのようにその通りになりました。**5** それで私は、皆さんに会えないことに耐えられなくなり、皆さんの忠実さを確かめるためにテモテを遣わしました。誘惑者が何らかの方法で皆さんを誘惑し、私たちの労苦が無駄になってはいないだろうか、と心配になったのです。

6 しかし、ほんの少し前にテモテがそちらから戻ってきて、皆さんの忠実さと愛について良い報告をしてくださいました。皆さんは、私たちとの良い思い出

2:19 *用語集参照。**3:2** *もしかすると、「神と共に働く者」。**3:3** *または、「遭うように定められています」。**3:5** *サタンのこと。

が心に残っていて、私たちが皆さんに
会いたいのと同じように、私たちに会
うことを切望している、とのことでした。

7 そのため、兄弟たち、私たちは心痛
や苦難を経験しているものの、皆さん
が忠実に歩んでいることを知って慰め
られています。

8 皆さんが主に従っ
てしっかり立っている限り、私たちは元
気づけられます。

9 皆さんについて
の感謝の気持ちを、どのように神に表
したらよいでしょうか。皆さんのことで、
私たちは神の前で大きな喜びを感じ
ています。

10 皆さんに会い、必要な
助けを与えて信仰を強められるよう、
昼も夜も熱烈に祈願を捧げています。

11 私たちの父である神と、主イエ
スが、私たちを皆さんの所に行けるよ
うにしてくださいますように。

12 ま
た、主が皆さんの愛を満ちあふれさせ
てください、皆さんが仲間や他の人全
てをいっそう愛するようになりますよ
うに。私たちが皆さんを愛しているの
と同じようにです。

13 そして、主イエ
スが聖なる人たち全てと共に臨在する
際、私たちの父である神の前で皆さん
の心が強められ、神聖さの点で非難
されるところがないものとなりますよ
うに。

4 さて、兄弟たち、皆さんは神に喜
ばれるためにどのように歩むべ
きかについて私たちから指示を受け、

3:7 *直訳、「窮乏」。**3:10** *または、「信仰の
面で欠けている部分を補える」。**3:13** *用語集
参照。

第3章

(7) テサニ 1:4

(1) テサニ 1:3

(7) テサー 4:9

テサニ 1:3

(12) テサー 2:19

テサー 5:23

テサニ 2:1,2

(7) コー 1:8

第4章

(7) コロ 1:10

ペー 2:12

第2欄

(7) ヨハ 17:19

エフ 5:25-27

テサニ 2:13

ペー 1:15,16

(1) エフ 5:3

(7) ロマ 6:19

(12) コロ 3:5

テモニ 2:22

(7) 詩 79:6

エフ 4:17,19

ペー 4:3

(7) コー 6:18

エフ 5:5

(7) ヘブ 12:14

ペー 1:15,16

(7) ヨー 3:24

(7) コー 6:18,19

(12) ロマ 12:10

(7) ヨハ 13:34,35

ペー 1:22

ヨー 4:21

その通りに歩んでいます。今後でもいっ
そう努力して歩んでください。主イエ
スの名によって皆さんにそのことをお
願ひし、勧めます。**2** 私たちが与え
た指示は主イエスからのものであり、
皆さんはその指示を知っているはず
です。

3 神は、皆さんが聖なる者となり、
性的不道徳を避けることを望んでいま
す。**4** 皆さん一人一人は、聖なる者
として品位を保てるよう、自分の体を
どのように制するかを知っているべき
です。

5 神を知らない人々のよう
に、貪欲で奔放な性欲を抱いてはな
りません。**6** 誰もこの点で、不適切
なことをして兄弟に害を及ぼしてはな
りません。私たちが以前に皆さんに伝
え、強く警告した通り、エホバはこうし
た事柄全てに対して処罰を下すからで
す。**7** 神が私たちを招いたのは、私
たちが汚れた者ではなく聖なる者とな
るためです。

8 ですから、こうしたこ
とを軽視する人は、人を軽視している
のではなく、聖なる力を与えてくださる
神を軽視していることになります。

9 兄弟愛に関しては、書き送るまで
もないでしょう。皆さんは神に教えら
れて愛し合っているからです。**10** 実
際、皆さんはマケドニア全域にいる全
ての兄弟たちに愛を示しています。と

4:2 *または、「命令」。**4:3** *ギリシャ語、バル
ネイア。用語集参照。**4:4** *直訳、「器」。**4:6**
*または、「制限を超えることによって」。***付録**
A5 参照。

はいえ、兄弟たち、いっそう愛し合うように勧めます。11 私たちが指示した通り、穏やかに暮らし、人に干渉せず、自ら働くことに努めてください。

12 そうすれば、会衆外の人から、きちんと行動していると見てもらえます。また、困窮することはないでしょう。

13 兄弟たち、死んで眠っている人々について知らないでいてほくありません。希望を持っていない人のように悲しんだりしないためです。

14 私たちは、イエスが死んで生き返ったということに信仰を持っています。ですから、イエスと結ばれて死んで眠っている人々を神が生き返らせ、イエスと共にならせてくださる、ということも信じています。15 エホバの言葉に基づいて、皆さんに次のことを伝えます。私たちのうち、主の臨在の時に生きている者は、死んで眠っている人々より先に天に行くことは決してありません。16 主が天から下り、天使長の声で号令を掛け、神のラッパが鳴り響くと、キリストと結ばれて死んだ人々がまず生き返るからです。17 その後、私たちのうち生きている者が雲に包まれて引き上げられ、彼らと一緒に空中で主に会い、こうして常に主と共にいることになります。18 それで、これらの言葉によって慰め合っていきましょう。

4:15; 5:2 *付録A5参照。4:15 *用語集参照。

第4章

(7) テサニ 3:11, 12

(1) ペー 4:15

(7) コー 4:11, 12

エフ 4:28

テサニ 3:10

テモー 5:8

(14) ロマ 12:17

(7) ヨハ 11:11

使徒 7:59, 60

コー 15:6

(7) コー 15:32

(7) ロマ 14:9

コー 15:3, 4

(7) コー 15:22, 23

フィリ 3:20, 21

テサニ 2:1

啓 20:4

(7) ユダ 9

(14) コー 15:51, 52

(7) 使徒 1:9

(14) テサニ 2:1

(14) ヨハ 14:3

ヨハ 17:24

コニ 5:8

フィリ 1:23

啓 20:6

第2欄

第5章

(7) ゼバ 1:14

(1) マタ 24:36

ペニ 3:10

(7) 詩 37:10

エレ 8:11

(14) ヨハ 12:36

ロマ 13:12

エフ 5:8

(7) ヨハ 8:12

コロ 1:13

ペー 2:9

(7) ロマ 13:11

(7) マタ 24:42

(7) ペー 5:8

(7) ロマ 13:13

(14) エフ 6:14-17

(7) テサニ 2:13

(14) ロマ 5:8

(14) テサー 4:16,

17

5 兄弟たち、時や時期については、皆さんに何も書き送る必要はありません。2 エホバの日が夜に忍び込む泥棒のように来ることを、皆さんはよく知っているからです。3 人々は、「平和だ、安全だ!」と言っている時に、突然滅ぼされることになります。妊婦に起こる陣痛と同じように突然で、彼らは決して逃れられません。4 しかし、兄弟たち、皆さんは暗闇の中にはいませんから、不意に夜が明けて驚く泥棒のように、急にその日が来て驚く、ということはありません。5 皆さんは光の子であり、昼の子です。私たちは夜のものでも闇のものでもありません。

6 ですから私たちは、ほかの人のように眠ってはいけません。目を覚ましていて、頭がさえた状態を保ちましょう。7 眠る人は夜に眠り、酒に酔う人は夜に酔います。8 しかし、昼のものである私たちは、頭がさえた状態を保ち、信仰と愛の胸当てを着け、救いの希望とかぶとをかぶりましょう。9 神が私たちを選んだのは、憤りを表すためではなく、主イエス・キリストを通して救うためです。10 キリストが私たちのために死んでくださったので、私たちは目を覚ましていても眠っていても、キリストと共に生きることが出来ます。11 それで、すでに

5:6, 8 *または、「鋭敏な感覚」、「冷静さ」。5:10 *または、「死んで眠って」。

している通り、これからも励まし合い、
力づけ合ってください。

12 兄弟たち、次のことをお願いします。
みなさんの中で一生懸命に働き、
主に仕えつつ皆さんを監督し助言を
与えている人たちに、敬意を払ってく
ださい。**13** そして、よく働いているそ
の人たちに愛と深い思いやりをしてく
ださい。誰とでも平和な関係でいる
ようにしましょう。**14** 兄弟たち、さら
に勧めます。秩序を無視する人に警告
を与え、気落ちしている人に慰めの言
葉を掛け、弱い人を支え、誰に對して
も辛抱強くあってください。**15** 誰か
に傷つけられても、決して仕返しをし
ないようにしましょう。仲間や他の人
全てに、いつも善いことを行いましょう。

16 常に喜んでください。**17** 絶え
ず祈ってください。**18** 全てのことに
感謝してください。これは、キリスト・
イエスに従う皆さんに神が望んでいる
ことだからです。**19** 聖なる力の働きを妨

5:11 *または、「慰め」。**5:14** *または、「を訓
戒し」。

第5章

(7) ロマ 1:11,12
ロマ 15:2

(1) フィリ 2:29,30
テモ— 5:17
ヘブ 13:7

(7) マル 9:50
コリ 13:11

(12) レビ 19:17
テモニ 4:2

(8) コー 13:4
ガラ 5:22
エフ 4:1,2
コロ 3:13

(7) マタ 5:39

(14) ロマ 12:17,19

(7) コリ 6:4,10
フィリ 4:4

(7) ルカ 18:1
ロマ 12:12

(12) エフ 5:20
コロ 3:17

第2欄

(7) エフ 4:30

(1) コー 14:1

(7) ヨー 4:1

(12) ヨブ 2:3

(7) コー 1:8

(7) ロマ 15:30

(14) コロ 4:16

げてはなりません。**20** 預言を軽く
扱ってはなりません。**21** 全てのこと
を確かめてください。立派なことを行
い続けてください。**22** あらゆる悪
いことを避けてください。

23 平和の神が、皆さんを全く神聖
なものとさせていただきますように。そし
て、皆さんの精神と命と体が、全ての
点で健全であり、私たちの主イエス・キ
リストの臨在の際に非難されるところ
がないものでありますように。**24** 皆
さんを招いているのは信頼できる方で
あり、必ずその通りにしてください。

25 兄弟たち、私たちのために祈り
続けてください。

26 聖なる口づけによって兄弟たち
皆とあいさつを交わしてください。

27 主の名によって真剣にお願いし
ます。この手紙が全ての兄弟たちに対
して読まれるようにしてください。

28 私たちの主イエス・キリストの惜
しみない親切が皆さんに示されますよ
うに。

5:19 *直訳、「火を消しては」。**5:23** *用語集
参照。

テサロニケのクリスチャンへの第二の手紙

概 要

- あいさつの言葉 (1, 2)
テサロニケのクリスチャンの信仰は成長して
いる (3-5)
不従順な人々への報復 (6-10)
会衆のための祈り (11, 12)

- 不法の者 (1-12)
しっかり立つようにとの勧め (13-17)
- 祈り続ける (1-5)
秩序を無視する人に関する警告 (6-15)
結びのあいさつ (16-18)

1 パウロとシルワノとテモテから、
わたし ちち かみ しゅ
私たちの父である神および主イ
エス・キリストと結ばれているテサロ
ニケの会衆へ。

2 父である神と、主イエス・キリスト
から、皆さんに惜しみない親切が示さ
れ、平和が与えられますように。

3 兄弟たち、私たちは皆さんについ
て、いつも神に感謝せずにはいられま
せん。それは適切なことです。皆さん
の信仰が大きい成長し、一人一人
がいつそう愛し合うようになっている
からです。**4** それで、私たちは神の
諸会衆の中で皆さんについて誇らしく
語っています。皆さんはさまざまな迫
害や苦難に遭いながら、忍耐と信仰
を示しています。**5** それは神の正し
い裁きの証拠であり、こうして皆さんは
神の王国にふさわしい者と見なされま
す。皆さんはまさにその王国のために
苦しんでいます。

6 皆さんを苦しめる人たちに、神が
苦難をもって報いることは、確かに正
しいことです。**7** 一方、苦難に遭って
いる皆さんは、主イエスが明らかにさ
れる時に私たちと一緒に安らぎを得ま
す。その際イエスは、強力な天使たち
と共に天から現れ、**8** 燃え盛る火を
伴って、神を認めない人々と、私たち
の主イエスについての良い知らせに

1:1 *シラスとも呼ばれる。**1:1; 2:1** #用語集
参照。**1:2** *または、「過分の」。

第1章
(7) コニ 1:19

(7) テサー 3:12
テサー 4:9,10

(7) テサー 2:19

(24) テサー 1:6
テサー 2:14
ペー 2:21

(24) 使徒 14:22
ロマ 8:17
テモニ 2:12

(24) ロマ 12:19
啓 6:9,10

(24) ルカ 17:29,30
ペー 1:7

(7) マル 8:38

第2欄
(7) ロマ 2:8

(7) ペニ 3:7

(7) ロマ 8:30

第2章
(24) マタ 24:3

(24) テサー 4:17

(24) ヨー 4:1

(24) ゼバ 1:14
ペニ 3:10

したが、ひとびと ほうふく (7)
従わない人々に報復します。**9** こう
ひとびと えいせん ほろ しょうつ
した人々は、永遠の滅びという処罰を
う (7) しゅ まえ しぞ せい いだい
受け、主の前から退けられ、主の偉大
ちから き はな
な力から切り離されます。**10** 主が
く ひ しゅ せい ひと とも
来るその日、主は聖なる人たちと共に
えいこう う しんこう いだ ひどすべ
栄光を受け、信仰を抱いた人全てから
しょうさん わたし かた ことがら
称賛されます。私たちが語った事柄を
き しんこう も みな ば
聞いて信仰を持った皆さんも、その場
にいるでしょう。

11 それで、私たちはいつも皆さん
のために祈っています。皆さんを招い
てくださった神が、引き続き皆さんをそ
の招きにふさわしい者と見なしてくだ
さいますように。そして、神が望む善い
ことがすべて みな しんこう もと
事柄全てと、皆さんが信仰に基づいて
おこな かが ちから な
行うあらゆることが、神の力によって成
し遂げられますように。**12** そのよう
にして、私たちの主イエスの名がみな
の間にわたされ、イエスと結ばれ
た皆さんもたたえられますように。そ
れは、私たちの神と主イエス・キリスト
の惜しみない親切の表れです。

2 ところで、兄弟たち、私たちの主
イエス・キリストの臨在と、私たち
がイエスのもとに集められることに関
れん (24) みな おが かが
連して、皆さんにお願いします。**2** 神
からのものに思える言葉や、口伝えの
し 知らせ、また私たちから送られたかの
ような手紙により、エホバの日が来て
いるという趣旨のことを聞いたとして

2:2 *付録A5参照。

も、すぐに動揺して分別を失ったり、慌てたりしないでください。

3 誰にも、どんな方法によっても惑わされないようにしてください。まず背教が生じて、不法の者つまり滅びるものが明らかにされてからでなければ、その日は来ないからです。**4** その者は、神と呼ばれているものや崇拜されているもの全てに逆らい、自分の方が上だと考え、ついには神殿の中に座って人々の前で神のように振る舞います。**5** 私が皆さんと一緒にいたときに、こういうことを話していたのを、覚えていないでしようか。

6 皆さんは今、不法の者が定めるときまで明らかにされないよう、何が抑制力となっているかを知っています。**7** 不法のひそかな力はすでに働いています、それがひそかなのは、抑制力となっている者が除かれるときまでのことです。**8** その時になると不法の者が明らかにされますが、主イエスは口から出る力によってそのものを焼き去ります。自分の臨在が知れ渡る時にその者を滅ぼすのです。**9** 不法の者が存在するようになるのは、サタンの働きによります。不法の者はサタンの力によって、あらゆる強力な行い、偽りの奇跡、不思議なことを見せ、**10** あらゆる不正な手段を用いて、滅びに向

第2章

(7) テモ一 4:1
テモ二 2:16-18
テモ二 4:3
ペ二 2:1
ヨ一 2:18,19

(7) マタ 7:15
使徒 20:29,30

(7) ペ二 2:1,3

(2) 使徒 20:29,30
コ一 11:18,19
ヨ一 2:18

(7) イザ 11:4
啓 19:15

(7) テモ一 6:13-15
テモ二 4:1,8

(7) コ二 11:3

(7) マタ 24:24

第2欄

(7) マタ 24:11

(7) マタ 24:5
テモ一 4:1
テモ二 4:3,4

(7) ヨハ 6:44
ロマ 8:30

(2) ヨハ 17:17
コ一 6:11
テサ一 4:7

(7) ペ一 5:10

(7) コ一 15:58
コ一 16:13

(7) コ一 11:2

(7) ヨ一 4:10

(7) ペ一 1:3,4

かう人々を欺きます。その人々が滅びるのは当然の報いです。救いをもたらす真理を愛そうとしなかったからです。**11** そのため神は、彼らが欺きの影響を受けて偽りを信じるままにします。**12** こうして彼らは皆、真理を信じないで不正を好んだために、断罪されます。

13 エホバに愛されている兄弟たち、私たちは皆さんについて、いつも神に感謝せずにはいられません。神が初めから、救いのために皆さんを選んでくださったからです。皆さんが真理に信仰を持ったために、神はご自分の聖なる力によって皆さんを神聖なものとしました。**14** 私たちが広めている良い知らせを通して、神は皆さんを招き、皆さんが主イエス・キリストの栄光を受けられるようにしてくださいました。**15** です、ですから、兄弟たち、しっかりと立ててください。口伝えに聞いたことであれ、私たちからの手紙を通して知ったことであれ、教えられた事柄を固く守ってください。**16** 私たちの主イエス・キリストが、また、私たちを愛し、惜しまない親切によって永遠の慰めと良い希望を与えてくださった父である神が、**17** 皆さんの心を慰めてくださいますように。そして、皆さんを強くくださり、皆さんがいつも善

いことを行い、善い言葉^{おこな よことば}を語れますように。

3 最後に^{さいご}、兄弟^{きょうだい}たち、私たちのために^{わたし}に祈り^{いの}続けてください。エホバの

言葉^{ことば}が速やかに^{すみ}広まっていき、皆さん^{みな}が重んじているその言葉^{ことば}が他の人々^{ひとびと}

にも重んじられるように、**2** また、私たち^{わたし}が有害で邪悪な人々^{やうあく}から救われるように祈ってください。誰も^{だれ}が信仰^{しんこう}

を持っているわけではないからです。**3** 主は信頼^{しゆ}できる方で、皆さんを強く^{つよ}

してくださり、邪悪な者^{じゃあくもの}から守ってください。主は、皆さん^{みな}を強く

します。**4** 主に従う私たちは、皆さん^{みな}が私たちの指示^{しじ}をすでに実行^{かくしん}して

いて、今後^{こんご}もそうしていくことを確信^{かくしん}しています。**5** 皆さんが神^{かみ}を愛し、キリス

トのために忍耐^{にんたい}するよう、主が引きつづき皆さん^{みな}の心^{こころ}を導いてくださいますように。

6 兄弟^{きょうだい}たち、主イエス・キリストの名^なによって指示^{しじ}します。私たちから教え

られた事柄^{ことば}を守らず、秩序^{ちつじょ}を無視^{むし}する兄弟^{きょうだい}全てから離れていなさい。**7** 私

たちにどのように做えばよいのか、皆さん^{みな}は知^しっているはず。私たちはそ

ちらにいた時^{とき}、秩序^{ちつじょ}を無視^{むし}したりせず、

8 ただで食べ物^たをもらったりもしません。誰^{だれ}にも経済^{けいざい}的な負担^{ふたん}を掛けないよう、昼も夜も苦勞^{くろう}して働^{はたら}きまし

た。**9** 物をもらう権限^{けんげん}がないわけ

3:1 * 付録 A5 参照。 3:3 * サタンのごと。 3:6 * または、「伝統」。

第3章

(例) ロマ 15:30
テサー 5:25
ヘブ 13:18

(例) 使徒 19:20
テサー 1:8

(例) イザ 25:4

(例) 使徒 28:24
ロマ 10:16

(例) ヨー 5:3

(例) ルカ 21:19
ロマ 5:3

(例) テサー 5:14

(例) コー 11:2
テサー 2:15
テサー 3:14

(例) コー 4:16
テサー 1:6

(例) 使徒 20:34

(例) 使徒 18:3
コー 9:14,15
コ二 11:9
テサー 2:9

第2欄

(例) マタ 10:9,10
コー 9:6,7

(例) コー 11:1
フィリ 3:17

(例) テサー 4:11,12
テモー 5:8

(例) テサー 5:14

(例) テモー 5:13
ペー 4:15

(例) エフ 4:28

(例) テサー 3:6

(例) テサー 5:14

(例) ヨハ 14:27

(例) コー 16:21
コロ 4:18

はありませんが、皆さん^{みな}が做えるように^な手本^{てほん}を示したかったです。**10** 実際^{じつさい}、私たちは皆さん^{みな}と一緒に^{いっしょ}にいた時^{とき}、

「働^{はたら}こうとしない人は食^くべてはならない」と命じていました。**11** それなの

に、聞^きくところによると、皆さん^{みな}の中に^{なか}に秩序^{ちつじょ}を無視^{むし}している人々^{ひと}がいて、全^けく働^{はたら}かず、自分^{じぶん}に関係^{かんけい}のないこと^{こと}に手

出ししているようです。**12** そのような人々^{ひと}たちに、主イエス・キリストの名^なによ

って命^{めい}じ、勸^{すす}めます。人に干渉^{かんしょう}せず

に働^{はたら}き、自分^{じぶん}で稼^{かせ}いで得^えた食^くべ物を食^くべなさい。

13 兄弟^{きょうだい}たち、諦^{あきら}めずに善いこと^よを行^{おこな}い続けましょ。 **14** もし、この手

紙^{がみ}で私^{わたし}たちが述^のべていることに従^{したが}わな

い人がいれば、その人^{ひと}に特^{とく}に注意^{ちゅうい}し、交友^{こうゆう}を持つ^ものをやめなさい。そうすれ

ば、その人^{ひと}は恥^はじるようになるでしよ。 **15** それでも、その人^{ひと}を敵^{てき}と見^みな

すのではなく、兄弟^{きょうだい}として訓戒^{くんかい}し続けてください。

16 平和^{へい}の主^わが、あらゆる方法^{ほうほう}でい

つも皆さん^{みな}に平和^{へい}を与^{あた}えてくださいますように。主^わが皆さん^{みな}と共に^{とも}にいてくだ

さいますように。

17 私^{わたし}パウロのあいさつを自分^{じぶん}の手^てでここに記^{しる}します。どの手紙^{てがみ}も、この筆跡^{ひっせき}で私^{わたし}からのものと分か^わります。

18 私^{わたし}たちの主イエス・キリストの惜^おしみない親切^{しんせつ}が皆さん^{みな}全員^{ぜんいん}に示^{しめ}されますように。

テモテへの第一の手紙

概要

- | | |
|---|--|
| <p>1 あいさつの言葉 (1, 2)
偽りを教える人々に対する警告 (3-11)
パウロは惜しめない親切を示された (12-16)
永遠の王 (17)
立派に戦う (18-20)</p> <p>2 あらゆる人のために祈る (1-7)
神はただひとり、仲介者もただひとり (5)
全ての人のための対応する贖い (6)
男性と女性への指示 (8-15)
慎みが表れた服装をする (9, 10)</p> <p>3 監督の資格 (1-7)
援助奉仕者の資格 (8-13)
神への専心に関する神聖な秘密 (14-16)</p> <p>4 邪悪な天使の教えに関する警告 (1-5)</p> | <p>キリストの立派な奉仕者となる (6-10)
体の訓練と、神への専心 (8)
自分の教えに注意を払う (11-16)</p> <p>5 年長の人や若い人への接し方 (1, 2)
やもめを世話する (3-16)
家族に必要な物を与える (8)
一生懸命に働く長老たちに敬意を払う (17-25)
胃のためにぶどう酒を少し飲む (23)</p> <p>6 奴隷は主人を敬うべき (1, 2)
偽りを教える人、お金を愛すること (3-10)
神に仕える人への指示 (11-16)
立派な行いに励む (17-19)
託されているものを守る (20, 21)</p> |
|---|--|

1 私たちの救い主である神と、私たちの希望であるキリスト・イエスの命令により、キリスト・イエスの使徒となったパウロから、**2** 主に仕えている、心から愛するテモテへ。

父である神と、私たちの主であるキリスト・イエスから、あなたに惜しみない親切と憐れみが示され、平和が与えられますように。

3 私はマケドニアに行こうとしていた時、エフェソスにとどまるようあなたに勧めましたが、また同じことを勧めます。ある人たちに命じてほしいことがあるからです。偽りの教理を教えないようにと、**4** また、作り話や系譜

1:2 *直訳、「真の子」。^a意味、「神を敬う者」。
^aまたは、「過分の」。

第1章

(ア) ペー 1:3,4

(イ) コー 4:17

(ウ) 使徒 16:1,2
フィリ 2:19,20

(ロ) テモ一 4:7
テモ二 4:3,4
テト 1:13,14

第2欄

(ア) テモ一 6:20
テモ二 2:14

(イ) ロマ 13:8

(ウ) ガラ 5:6

(ロ) テモ一 6:20
テモ二 2:16-18

(ウ) ヤコ 3:1

に注意を向けないようにと命じてほしいとおもいます。そういうものは結局のところ何の役にも立たず、臆測を生むだけです。神からのものではなく、信仰を強めることはありません。**5** 私がこの指示を与えているのは、皆が愛を抱くためであり、その愛は清い心と健全な良心と偽善のない信仰に基づいているべきです。**6** ある人たちはこうしたものからそれていき、無意味なことを話すようになりました。**7** 彼らは律法を教える人になりたがっていますが、自分たちが言っていることも、強く主張していることも理解していません。

1:5 *または、「命令」。^aまたは、「晴れ晴れとした」、「正しく機能する」。

8 私たちが知っている通り、律法は正しく適用する限り良いものです。

9 次のことを知っておく必要があります。律法があるのは、正しい人のためではありません。不法な人、反逆する人、神を敬わない人、罪人、不忠実な人、神聖なものを汚す人、父や母や他の人を殺す人のためです。10 さらに、性的に不道德な人、同性愛にふける人、誘拐する人、うそをつく人、偽証する人のため、また健全な教えに反する他のあらゆる事柄のためです。

11 その教えは幸福な神の素晴らしき良い知らせと一致しており、私はその良い知らせを託されました。

12 私は、力を授けてくださった主であるキリスト・イエスに感謝しています。私を忠実な者と見なし、奉仕する務めを与えてくださったからです。

13 以前は神を冒瀆し、神の民を迫害し、横柄だった私が、憐れみを示されました。当時は信仰がなく、よく知らず

に行動していたからです。14 私たちの主は惜しみない親切をあふれるほど豊かに示してください、私が信仰とキリスト・イエスからの愛を得られるようにしてくださいました。15 キリスト・イエスは罪人を救うために世にきた、という言葉は真実であり、全面的に受け入れるべきものです。私はそ

第1章
(イ) ガラ 3:19

(イ) テモニ 1:13
テト 1:7,9

(イ) ガラ 2:7,8

(イ) 使徒 9:15
コニ 3:5,6

(イ) 使徒 8:3
使徒 9:1,2
ガラ 1:13
フィリ 3:5,6

(イ) ルカ 5:32
コニ 5:19
ヨ一 2:1,2

第2欄
(イ) 使徒 9:1,2
コ一 15:9

(イ) ヨハ 6:40
ヨハ 20:31

(イ) ロマ 1:23

(イ) コロ 1:15

(イ) 詩 10:16
詩 90:2
ダニ 6:26
啓 15:3

(イ) イザ 43:10
コ一 8:4

(イ) テモニ 2:3

(イ) テモ一 1:5

(イ) テモニ 2:16-18

(イ) コ一 5:5,11

第2章
(イ) マタ 5:44

(イ) エレ 29:7

(イ) ユダ 25

のような罪人の中でも最も罪深い者です。16 それなのに私は憐れみを受

けました。それは、キリスト・イエスが最も罪深い私にささうに辛抱強さを示し、そのようにして私を、永遠の命を求めてキリストに信仰を持とうとしている人たちの見本とするためでした。

17 朽ちることがなく、目に見えない永遠の王、唯一の神が、栄誉と栄光をいつまでも永遠に受けますように。アーメン。

18 愛するテモテ、あなたについて語られた幾つかの預言に基づいて、こうした指示を与えます。その預言にしたがって立派に戦い、19 信仰と健全な良心を保ちなさい。ある人たちは良心を無視し、船が難破するかのよう信仰を失いました。20 その中にヒメナオとアレクサンデルがいます。私は彼らをサタンに引き渡しました。彼らが矯正され、神を冒瀆してはならないことを学ぶようになるためです。

2 私はまず次のことを勧めます。あらゆる人について、祈願や、嘆願の祈りや、感謝の祈りを捧げることで、2 王や高い地位にいる人たちに、2 ついてもです。そうすれば、私たちは神への専心を貫き、常に誠実に、平和で穏やかな生活をしていけるでしょう。

3 そのように祈ることは、私たちの救い主である神から見て良いことであり、

1:18 *直訳、「私の子」。「または」、「命令」。
1:19 *または、「晴れ晴れとした」、「正しく機能する」。
1:20 *会衆から追放したということ。

1:9 *または、「揺るぎない愛を持たない」。
1:10 *用語集の「性的不道德」参照。「直訳」、「男性と寝る男性」。
*または、「偽りの誓いをする」。
*または、「有益な」。

受け入れられることです。4 神は、あらゆる人が救われて、真理の正確な知識を得ることを望んでいます。5 神はただひとりであり、神と人間との間の仲介者もただひとり、キリスト・イエスです。人間だったその方は、6 全ての人のための対応する贖いとして自分を与えました。このことについては、定められた時に語れることになっています。7 私はそのことを語るために、伝道者また使徒として任命されました。信仰と真理について異国の人人々に教える者とされたのです。私は真実を述べており、偽りを述べてはいません。

8 私は、どこでも男性が清い手を上げて祈り、怒りや口論を避けることを望みます。9 女性は、憤みと健全な考え方が表れた、きちんとした服装をすべきです。凝った髪形をしたり、金や真珠や非常に高価な服を身につけたりするのではなく、10 神への専心を表明している女性にふさわしく、善い行いによって身を飾ってください。

11 女性は全く従順に、静かに学ぶべきです。12 女性が教えたり男性に権威を振るったりすることを、私は許可しません。女性は静かにしているべきです。13 アダムが最初に造ら

2:6; 3:5, 8 *用語集参照。2:8 *または、「神を揺るぎなく支持して」。2:9, 15; 3:2 *または、「良い判断」。2:9 *または、「上品な」。2:11 *または、「穏やかな態度で」。2:12 *または、「いつも穏やかである」。

第2章

(イ) イザ 45:22
(イ) 使徒 17:30
(イ) ロマ 5:18
(イ) テモ一 4:10
(イ) 申 6:4
(イ) ロマ 3:30
(イ) コー 11:25
(イ) ヘブ 8:6
(イ) ヘブ 9:15
(イ) 使徒 4:12
(イ) ロマ 5:15
(イ) テモ二 1:9, 10
(イ) マタ 20:28
(イ) マル 10:45
(イ) コロ 1:13, 14
(イ) 使徒 9:15
(イ) ガラ 2:7, 8
(イ) ガラ 1:15, 16
(イ) 詩 141:2
(イ) ヤコ 1:20
(イ) フィリ 2:14
(イ) ペー 3:3, 4
(イ) 格 31:30
(イ) エフ 5:24
(イ) コー 14:34

第2欄

(イ) 創 2:18, 22
(イ) コー 11:8
(イ) 創 3:6, 13
(イ) テモ一 2:9, 10
(イ) テモ一 5:14

第3章

(イ) 使徒 20:28
(イ) テト 1:5-9
(イ) ロマ 12:3
(イ) ペー 4:7
(イ) 使徒 28:7
(イ) ペー 4:9
(イ) テモ一 5:17
(イ) テモ二 2:24
(イ) テト 1:7, 9
(イ) ロマ 13:13
(イ) フィリ 4:5
(イ) ヤコ 3:17
(イ) ロマ 12:18
(イ) ヤコ 3:18
(イ) ヘブ 13:5
(イ) ペー 5:2
(イ) エフ 6:4
(イ) テモ一 5:22
(イ) 使徒 22:12
(イ) テサー 4:11, 12

れ、その後エバが造られたからです。14 また、アダムは欺かれましたが、エバはすっかり欺かれて違反を犯しました。15 女性は、信仰と愛と清さを保ち、健全な考え方をしているなら、子供を産むことによって守られるでしょう。

3 次の言葉は真実です。監督になるろうと努めている人は、立派な仕事をして望んでいます。2 ですから、監督は、とがめられるところがなく、1人の妻の夫で、節度をわきまえ、健全な考え方をし、秩序正しく行動し、人をよくもてなし、教える資格がなければなりません。3 また、醜態せず、暴力を振るわず、分別があり、争いを好まず、お金の愛せず、4 家庭を立派に治め、子供をよくしつけて従わせているべきです。5 (自分の家庭を治められないのであれば、神の会衆を世話することなどできるでしょうか。) 6 クリスマンになって間もない人であってはなりません。思い上がって、悪魔と同じように断罪されるようなことにならないためです。7 さらに、会衆外の人も人からも良い評判を得るべきです。人々から非難され、悪魔のわなに陥る、ということがないようにするためです。

8 援助奉仕者も、真面目で、二枚舌

2:15 *子育てや家事の忙しさにより、良くない行いをしないように守られる、ということ。3:4 *または、「管理し」。

を使^{つか}わず、多^た量^{りょう}の酒^{さけ}を飲^のまず、貪^{どん}欲^{よく}に不当^{ふとう}な利益^{りえき}を得^えようとせず、**9** やましいところのない良^{りょう}心^{しん}を保^{たも}って、神^{かみ}聖^{せい}な秘^ひ密^{みつ}である信^{しん}仰^{よう}の道^{みち}をしっか^あり歩^{あゆ}んでいるべきです。

10 この人^{ひと}たちは、その仕^し事^{ごと}にふさわしいかどう^かか、ま^まず試^{ため}されなければなりません。非^ひ難^{なん}されるところがなければ、奉^{ほう}仕^し者^{しや}として仕^{つか}えさせることができます。

11 女^{じょ}性^{せい}たちも、真^ま面^め目^めで、中^{ちゅう}傷^{しょう}したりせず、節^{せつ}度^どをわきま^ええ、あ^あら^らゆる点^{てん}で忠^{ちゅう}実^{じつ}であるべきです。

12 援^{えん}助^{じょ}奉^{ほう}仕^し者^{しや}は、1人^{ひとり}の妻^{つま}の夫^{おつと}で、子^こ供^{ども}を従^{したが}わせ、家^か庭^{てい}に立^{りっ}派^ぱに治^{おさ}めてい^いるべきです。**13** 立^{りっ}派^ぱに奉^{ほう}仕^しする人^{ひと}は良^{りょう}い評^{ひょう}価^かを得^え、キ^きリ^りス^すト・イ^いエ^えスへ^への信^{しん}仰^{よう}につ^ついて少^{すこ}しも気^き後^ごれ^れず^ずに^に語^かたることができ^きます。

14 私^{わたし}は間^まもなくあ^あなたの所^{ところ}に行^いきたいと思^{おも}いなが^がら、こ^これ^れら^らのこ^ことを^を書^かいてい^います。**15** 私^{わたし}が遅^{おそ}れたとして^{して}も、あ^あなたに神^{かみ}の家^か族^{ぞく}の一^{いち}員^{いん}として^{して}ど^どう^うに^に行^{こう}動^{どう}すべ^べき^きか^かを知^しって^てもら^らうた^ため^めです。そ^その家^か族^{ぞく}は生^{せい}きてい^いる神^{かみ}の^の会^{かい}衆^{しゅう}であ^あり、真^{しん}理^りの柱^{はしら}また支^さえ^えず^ずです。**16** 神^{かみ}へ^への専^{せん}心^{しん}に^に関^{かん}する神^{しん}聖^{せい}な秘^ひ密^{みつ}は確^{たし}かに偉^い大^{だい}です。「彼^{かれ}は肉^{にく}体^{たい}を持^もつ者^{もの}として明^{あき}らかに^にさ^され、肉^{にく}体^{たい}を持^もたない者^{もの}として正^{ただ}しいと認^{みと}められ、天^{てん}使^した

第3章

(7) 使徒 6:3
テト 1:7
ペー 5:2

(1) テモー 1:5
テモー 1:18,
19
テモニ 1:3
ペー 3:16

(7) ペー 2:12

(1) テモー 5:13

(7) テト 2:3-5

(7) ヘブ 3:6

(7) ヨハ 1:14
フィリ 2:7

(7) ペー 3:18

第2欄

(7) ペー 3:19, 20

(1) コロ 1:23

(7) コロ 1:6

第4章

(1) テサニ 2:1, 2
テモニ 4:3, 4
ペニ 2:1

(7) 使徒 20:29,
30
テモニ 2:16
ペニ 2:3

(7) コー 7:36
コー 9:5

(7) ロマ 14:3

(7) ロマ 14:17
コー 10:25

(7) 創 9:3

(7) 創 1:31

(7) 使徒 10:15

(7) テモニ 2:15

(7) テモー 6:20
テト 1:13, 14

ち^あに^ら現^けれ、国^{くに}々^{ぐに}の中^{なか}で広^{ひろ}められ、世^よの^いひと^ひと^とに^{しん}信^{しん}じられ、天^{てん}に上^あげられて栄^{えい}光^{こう}を受^うけた」のです。

4 神^{かみ}からの言^{こと}葉^はは次^{つぎ}のこ^{こと}を明^{あき}らかに^してい^います。後^{のち}の時^じ代^{だい}にあ^ある人^{ひと}たちは信^{しん}仰^{よう}を捨^すて、神^{かみ}からのもの^{もの}に思^{おも}える偽^{いつわ}りの言^{こと}葉^はや、邪^{じゃ}悪^{あく}な天^{てん}使^しの^の教^{おし}えに注^{ちゅう}意^いを向^むけるようにな^なります。**2** 偽^ぎ善^{ぜん}者^{しや}たち^のの語^{かた}る偽^{いつわ}りに惑^{まど}わされ^れるのです。そ^その偽^ぎ善^{ぜん}者^{しや}たち^のの良^{りょう}心^{しん}は、焼^やき^{いん}印^{いん}を押^おされ^れた皮^ひ膚^ふのよう^{よう}にま^まひ^ひしてい^います。**3** 彼^{かれ}ら^らは結^{けつ}婚^{こん}するこ^{こと}を禁^{きん}じたり、あ^ある食^{しょく}物^{ぶつ}を食^たべないよう^{よう}に命^{めい}じたりし^します。そ^その食^{しょく}物^{ぶつ}は、信^{しん}仰^{よう}を^の持^もち真^{しん}理^りを正^{せい}確^{かく}に知^しる人^{ひと}が感^{かん}謝^{しゃ}して^た食^{かみ}べられ^れるよう^{よう}、神^{かみ}が創^{そう}造^{ぞう}したもので^です。**4** 神^{かみ}の創^{そう}造^{ぞう}物^{ぶつ}は皆^{みな}とも良^{りょう}いもので^であり、感^{かん}謝^{しゃ}して食^たべる限^{かぎ}り、退^{たい}ける^{しりぞ}べきものは何^{なに}一つ^{ひとつ}ありませ^せん。**5** 食^{しょく}物^{ぶつ}は、神^{かみ}の言^{こと}葉^はと、捧^{ささ}げられ^れる祈^{いの}りに^によ^よって、神^{かみ}聖^{せい}なもの^{もの}とされ^れるから^{から}です。

6 こ^こう^うした事^{こと}柄^{がら}を兄^{きょう}弟^{てい}たち^のに教^{おし}えるこ^ことによ^より、あ^あなたはキ^きリ^りス^すト・イ^いエ^えスの^の立^{りっ}派^ぱな奉^{ほう}仕^し者^{しや}とな^なります。真^{しん}理^りの言^{こと}葉^はと、あ^あなたがしっ^しか^かり^り従^{したが}って^てきた良^よい^い教^{おし}えの言^{こと}葉^はで養^{やしな}われ^れた奉^{ほう}仕^し者^{しや}です。

7 あ^ある年^{ねん}配^{はい}の女^{じょ}性^{せい}たち^のが語^{かた}るよう^{よう}な、^ふけ^いい^いつく^くば^なし^しり^ぞ (7) ^かみ^かに^に不^ふ敬^{けい}な作^{さく}り話^わを退^{たい}けなさい。神^{かみ}へ^への専^{せん}心^{しん}をい^いつも示^{しめ}せるよう^{よう}に自^じ分^{ぶん}を訓^{くん}練^{れん}しなさい。**8** 体^{からだ}の訓^{くん}練^{れん}も多^た少^{しょう}はた^ため^めにな^なりますが、神^{かみ}へ^への専^{せん}心^{しん}はあ^あら^らゆる面^{めん}で有益^{ゆうえき}です。今^{いま}の生^{せい}活^{かつ}と将^{しょう}来^{らい}の生^{せい}

4:8 *または、「運動」。

3:8 *または、「人をだますようなことを言わず」。
3:10 *または、「資格があるかどうか」。**3:16**
*イエスのこと。 #ギリシャ語、 pneuma。用語集
参照。

かつ しゅくふく * 活が祝福されるからです。9 これは
 じんじつ ぜんめんてき う い 眞実であり、全面的に受け入れるべ
 きです。10 だからこそ私たちは力を
 つ どりよく (イ) い 尽くし、努力しています。生きている神
 き ぼう いだ かみ に希望を抱えているからです。神は、
 ひと (イ) とく ちゅうじつ ひと あらゆる人、特に忠実な人たちの救い
 めし (イ) 主です。

11 これからもこうした命令を与え、
 おし つづ 教え続けてください。12 あなたが
 わか だれ みる くだ 若いからといって、誰にも見下されな
 いようにしなさい。かえて、言葉や振
 ま あい しんこう きよ * てん ちゅう 舞い、また愛、信仰、清さの点で、忠
 じつ ひと 実な人たちの手本となってください。

13 私がそちらに行くまで、朗読と説
 すず * おし き勤めることと教えることに励んで
 ください。14 預言に基づいて長老

だん て お ととき あた 団があなたに手を置いた時に与えら
 おく もの (イ) けいし れた贈り物を、軽視してはなりません。

15 これらのことについてよく考え、打
 こ ち込みなさい。そうすれば、あなたの
 しん ぼ だれ め あき 進歩は誰の目にも明らかになるでし
 ょう。16 自分自身と自分の教えに絶

えず注意を払いなさい。これらのこと
 ちゅうい ばら (イ) を粘り強く行いなさい。そうするなら、
 おね づよ おこな あなたは自分自身と、あなたの言葉
 じ ぶん じしん じ ぶん おし こと ば
 なみ かたむ ひと すく に耳を傾ける人たちを救うことになり
 (イ) ます。

5 年長の男性を厳しく批判しては
 (イ) なりません。父親に対するように
 せつ * わか だんせい あに おとうと たい
 接し、若い男性には兄や弟に対するよ

4:8 * または、「今の命と将来の命を約束する」。
 4:12 * または、「貞潔さ」。4:13 * または、「励
 ます」。4:14 * または、「能力」。4:15 * また
 は、「黙想し」。5:1 * または、「お願い」。

第4章

(イ) ヨハ 17:3

(イ) ルカ 13:24

(イ) テモ一 2:3,4

(イ) ユダ 25

(イ) コロ 4:16
テサー 5:27(イ) 使徒 6:5,6
使徒 13:2,3
使徒 19:6
テモ二 1:6

(イ) テモ二 4:2

(イ) コー 9:22

第5章

(イ) レビ 19:32

第2欄

(イ) テモ一 5:16

(イ) テモ一 5:8

(イ) マタ 15:4
エフ 6:2

(イ) ヤコ 1:27

(イ) コー 7:34

(イ) ルカ 2:36,37

(イ) マタ 15:4-6

(イ) 使徒 9:39

(イ) テモ一 2:15

(イ) ヘブ 13:2
ペー 4:9

(イ) ヨハ 13:5,14

(イ) テモ一 5:16
ヤコ 1:27

うに、2 年長の女性には母親に対す
 るように、若い女性には姉や妹に対す
 るように全く清い心で接してください。

3 本当に困っているやもめに配慮
 してください。4 しかし、やもめに子
 供や孫がいるなら、彼らに次のことを
 学ばせてください。まず自分の家族を
 世話することによって神への専心を示
 し、親や祖父母から受けた恩に報いる
 べきである、ということです。これは神

に喜ばれることです。5 さて、身寄り
 がなく本当に困っているやもめは、希
 望を抱いて神を待っていて、昼も夜も
 祈願を捧げ、祈り続けます。6 一方、

ひたすら欲望を満たそうとする女性は、
 生きてはいても死んでいきます。7 そ
 れで、こうした指示を与え続けてくだ
 さい。そうすれば、これらの人は誰から
 もとがめられることがないでしょう。

8 もしもある人が、自分の家族、特に
 の一緒に住んでいる人たちに必要な物
 を与えないなら、クリスチャンの信条
 を否定していることになり、信仰のな
 い人より悪いといえます。

9 60歳以上のやもめを名簿に載
 せてください。その人は、1人の夫の妻
 だった人で、10 立派な行いをしたこ
 とで知られているべきです。例えば、子
 供を育て上げたこと、人をよくもてな
 したこと、聖なる人たちの足を洗ったこ
 と、苦しんでいる人を助けたこと、あら

5:2 * または、「貞潔に」。5:3 * 身寄りのない
 やもめのこと。* または、「敬意を払って」。5:6
 * または、「情欲」。5:7 * または、「命令」。

ゆるい活動に励んだことなどです。

11 一方、若いやもめは名簿に載せないでください。その人たちは、情欲のせいでキリストとの関係が弱くなると、結婚することを望むようになります。**12** そして、当初の信仰の表明に背いたために断罪されることになります。

13 また、彼女たちはいつも怠けるようになり、家々をぶらつき回ります。怠けるだけでなく、うわさ話をしたり、人のことに干渉したりして、話すべきでないことを話します。**14** それで、私が望むのは、若いやもめが結婚し、子供を産み、家庭を切り盛りし、反対者に批判の口実を与えないようにすることです。**15** ある人たちはすでにそれで

いき、サタンに従うようになってしまいました。**16** もしやもめの身内にクリスチャンである女性がいるなら、その女性がやもめの世話をし、会衆に負担が掛からないようにすべきです。そうすれば、会衆は本当に困っているやもめを世話することができます。

17 立派に監督している長老たち、とりわけ一生懸命に話したり教えたりしている人たちは、深い敬意を受けるに値します。**18** 聖句にこう述べられているからです。「脱穀している牛に口籠を付けてはならない」。「働く人は報酬を受けるに値する」。**19** 年長の男性性についての訴えは、2人か3人の証

5:12 *または、「以前の約束を破った」。**5:16** *身寄りのないやもめのこと。**5:17** *直訳、「2倍の」。**5:18** *または、「牛の口を覆って」。**5:19** *または、「長老」。

第5章
(例) テサ二 3:11

(例) コー 7:8,9

(例) テモ一 2:15

(例) 申 15:11
テモ一 5:5
ヤコ 1:27

(例) ペー 5:2,3

(例) テサー 5:12
ヘブ 13:7

(例) 使徒 28:10
ヘブ 13:17

(例) 申 25:4
コー 9:7,9

(例) レビ 19:13
マタ 10:9,10
ルカ 10:7
ガラ 6:6

第2欄
(例) 申 19:15
マタ 18:16

(例) コー 15:34
ヨ一 3:9

(例) テト 1:7,9
テト 1:13
啓 3:19

(例) レビ 19:15
ヤコ 3:17

(例) 使徒 6:5,6
使徒 14:23
テモ一 3:2,6
テモ一 4:14

(例) ヨシ 7:11
ヘブ 4:13

(例) マタ 5:16

(例) コー 4:5

第6章
(例) ロマ 13:7
エフ 6:5
コロ 3:22

(例) ペー 2:13,14

人がいない限り受け付けてはなりません。**20** 罪深い行いをやめない人を、皆の前で戒めてください。それは他の人への警告となります。**21** 神と、キリスト・イエスと、選ばれた天使たちの前で、あなたに厳粛に言い渡します。決して偏見を抱いたり不公平になったりすることなく、これらの指示を守りなさい。

22 誰にも性急に手を置いてはなりません。また、他の人の罪に関わってはなりません。常に潔白でありなさい。

23 もう水飲むのをやめて、胃のため、また度々かかる病気のために、ぶどう酒を少し飲むとよいでしょう。

24 ある人たちの罪は人々に知られており、速やかに断罪されます。他の人たちの罪も、後に明らかになります。

25 同じように、立派な行いも人々に知られています。知られていないものも、隠されたままになることはありません。

6 奴隷である人は、自分の主人を心から敬うべきです。神の名と教えが決して悪く言われないようにするためです。**2** クリスチャンである人に仕えている場合、相手が兄弟だからといって敬意を欠いてはなりません。かえって、いっそう早く仕えるべきです。自分の良い奉仕の恩恵を受ける

5:20 *直訳、「そうすれば他の人も恐れるようになります」。**5:22** *誰をも性急に任命してはならないということ。**5:23** *または、「水だけを」。

のはクリスチャンであり、愛する人だからです。

こうした事柄を教えたり勧めたりすることを続けてください。3 もし誰かがほかの教理を教え、私たちの主イエス・キリストからの健全な指示に同意せず、神への専心に関する教えにも同意しないなら、4 その人は思い上がっているものであり、何も理解していません。論争や、言葉を巡る議論にのめり込んでいます。そうしたこと、ねたみ、争い、中傷、悪意のある疑いが生じます。5 また、考え方が腐敗して真理を認めなくなった人たちが、ささいな事柄について絶えず言い争います。その人たちは神への専心を、利益を得る手段と見なしています。6 もちろん、持っている物で満足しつつ神への専心を示すことには、大きな利益があります。7 私たちは何も持たずに世に生まれ、何も持たずに世を去ります。8 です、食物と衣服があれば、それで満足します。

9 しかし、裕福になろうとする人たちは、誘惑とわなに陥り、多くの無分別で有害な欲望を抱き、破壊と滅びに至ります。10 お金を愛することは、あらゆる悪い事柄の根なのです。ある人たちはこの愛にとらわれて信仰を失い、多くの苦痛を身に招きました。

6:3 *または、「有益な」。6:4 *または、「暴言」。6:8 *または、「命を支える物」。*もしくは、「住まい」。直訳、「覆い」。6:10 *または、「クリスチャンの信条から迷い出」。*直訳、「多くの苦痛で自分の全身を刺し」。

第6章

㉔ デモニ 1:13

㉕ テト 1:1,2

㉖ コー 8:2

㉗ デモニ 2:14

テト 1:10

テト 3:9

㉘ コニ 11:3

デモニ 3:8

ユダ 10

㉙ ペー 5:2

㉚ テモー 4:8

㉛ ヨブ 1:21

詩 49:16,17

㉜ 格 30:8,9

ヘブ 13:5

㉝ マタ 13:22

㉞ 格 28:20,22

ヤコ 5:1

㉟ マタ 6:24

第2欄

㊱ 格 15:1

マタ 5:5

ガラ 5:22,23

コロ 3:12

ペー 3:15

㊲ マタ 27:11

ヨハ 18:33,36

ヨハ 19:10,11

㊳ テサニ 2:8

デモニ 4:1,8

㊴ 啓 17:14

啓 19:16

㊵ ヘブ 7:15,16

㊶ 使徒 9:3

啓 1:13,16

㊷ ヨハ 14:19

ペー 3:18

㊸ マタ 13:22

マル 10:23

㊹ 伝 5:19

マタ 6:33

ヤコ 1:17

11 神に仕えるあなたは、こうしたことから逃げ去りなさい。そして、正しさを、神への専心、信仰、愛、忍耐、温和を追い求めなさい。12 信仰の戦いを立派に戦い、永遠の命をしっかり捉えなさい。あなたはその命のために招かれ、その命について多くの証人の前で立派に証言しました。

13 全てのものを生かしている神の前で、また、証人としてポンテオ・ピラトに対して立派に証言したキリスト・イエスの前で、あなたに命じます。14 私たちの主イエス・キリストが現れる時まで、おきてを守り、汚点やがめられるところがないようにしなさい。

15 幸福な唯一の統治者は、定められた時に現れます。その方は王として支配する者たちの王、主として支配する者たちの主であり、16 ただひとり不滅性を持ち、近づくことができない光の中に住んでいます。人は誰もその方を見たことがなく、見ることはできません。この方が栄誉を受け、偉大な力を永遠に保ちますように。アーメン。

17 今の体制で裕福に暮らしている人たちに、高慢にならないように、そして不確かな富ではなく神に希望を抱くように教えてください。神は私たちが楽しむあらゆるものを豊かに与えてくださいます。18 またその人たちが

6:17 *または、「時代」。用語集参照。*または、「命じて」。

に、善いことをし、立派な行いに励み、
惜しみなく与え、進んで分け合うよう
伝えてください。19 そうすれば彼ら
は、いわば宝を蓄え、将来のための良
い土台を築いて、真の命をしっかりと捉
えることができるでしょう。

20 テモテ、あなたに託されている

第6章
㉑ ロマ 12:13
コ二 8:14
ヤコ 1:27
㉒ マタ 6:20
㉓ ルカ 16:9

第2欄
㉑ テモ二 1:13,14
テモ二 3:14
テモ二 4:5
㉒ コー 2:13
コー 3:19
コロ 2:8

ものを守り、聖なる事柄を汚す無駄話
や、矛盾に満ちた偽りの“知識”から
離れていなさい。21 ある人たちは
そうした知識をひけらかし、クリスチャ
ンの信条からそれていきました。
惜しみない親切があなたたちに示
されますように。

テモテへの第二の手紙

概 要

- | | |
|--|--|
| <p>1 あいさつの言葉 (1, 2)
パウロはテモテの信仰について神に感謝する (3-5)
神からの贈り物を熱心に用いる (6-11)
健全な言葉に絶えず従う (12-14)
パウロから離れた人たちと、友人たち (15-18)</p> <p>2 聞いた事柄を忠実な人たちに託す (1-7)
良い知らせのために苦しみを忍耐する (8-13)
神の言葉を正しく用いる (14-19)
若い時に抱きがちな欲望から逃れる (20-22)
反対者への接し方 (23-26)</p> | <p>3 終わりの時代は危機的な時 (1-7)
パウロの手本にしっかり従う (8-13)
学んだ事柄から離れないようにする (14-17)
聖書全体は神の聖なる力の導きによって書かれた (16)</p> <p>4 「自分の奉仕を十分に行いなさい」 (1-5)
熱心に神の言葉を広める (2)
「私は立派に戦いました」 (6-8)
頼み事と所見 (9-18)
結びのあいさつ (19-22)</p> |
|--|--|

1 神の意志により、キリスト・イエ
スを通して得られる命の約束に
沿ってキリスト・イエスの使徒となった
パウロから、**2** 愛するテモテへ。
父である神と、私たちの主であるキ
リスト・イエスから、あなたに惜しみな
い親切と憐れみが示され、平和が与
えられますように。

3 私は神に感謝しており、良心にや

1:2 *直訳、「愛する子」。「または、「過分の」。

第1章
㉑ ヨハ 3:16
ヨハ 6:40,44
ペー 1:3,4

㉒ コー 4:17

第2欄
㉑ テモ一 4:6

まいところなく、父祖たちがしたよう
に神に神聖な奉仕をしています。昼も
夜も捧げる祈願の中であなたを思い
起こさないことはありません。**4** あ
なたの涙を覚えていて、あなたに会っ
て喜びに満たされたいと強く願ってい
ます。**5** あなたの偽善のない信仰を
思い出すからです。あなたの祖母ロイ
スと母ユニケがまず、そのような信仰
を抱きました。そして、あなたも抱いて

いることを私は確信しています。

6 このような訳で、私はあなたに、神からの贈り物を熱心に用いることを思い起こさせたいと思います。あなたはその贈り物を、私があなたに手をおいた時に受けました。7 神が私たちに与えてくださった聖なる力は、臆病な気持ちではなく、力と愛と健全な考え方を生み出します。8 ですから、私たちの主について語ることも、主のために捕らわれている私のことも、恥じてはなりません。あなたも神の力に頼り、良い知らせのために苦しみに耐えなさい。9 神は私たちを救ってください、招いて聖なる者としてくださいましたが、それは私たちの行いのゆえではなく、ご自分の目的と惜しみない親切のゆえです。その親切は、はるか昔にキリスト・イエスと関連して私たちに示されました。10 そして今や、私たちの救い主であるキリスト・イエスが現れることにより、明らかにされました。キリストは死を無効にし、良い知らせによって命と不朽性に光を当ててくださいました。11 その良い知らせのために、私は伝道者、使徒、また教える者として任命されました。12 それで私はこのような苦しみに遭っていますが、そのことを恥じてはいません。自分が信じてきた神を知っており、自分が神に託したものを定める

1:6 *または、「能力」。「直訳、「火のように燃え立たせる」。1:7 *または、「くださった精神」。用語集参照。1:8 *または、「証言する」。

第1章

(7) テモ一 4:14

(7) ロマ 8:15
テサー 2:2

(7) ルカ 24:49
使徒 1:8

(7) ロマ 1:16

(7) フィリ 4:13
コロ 1:11

(7) コロ 1:24
テモ二 2:3

(7) エフ 1:4
ヘブ 3:1

(7) エフ 2:5
エフ 2:8
テト 3:5

(7) ヨハ 1:14
ヘブ 2:9

(7) コー 15:54
ヘブ 2:14

(7) ロマ 1:16

(7) ヨハ 5:24
ヨー 1:2

(7) ペー 1:3,4

(7) 使徒 9:15
テモ一 2:7

(7) 使徒 9:16
エフ 3:1

(7) コ二 4:2

第2欄

(7) テモ二 4:8

(7) テモ一 6:3,4
テト 1:7,9

(7) ロマ 8:11

(7) 使徒 19:10

(7) テモ二 4:19

第2章

(7) テモ一 1:2

(7) テモ二 3:14

(7) テモ一 1:18

日まで守っていただけると確信していますからです。13 私から聞いた健全な言葉の型に絶えず従い、キリスト・イエスと結ばれた人として信仰と愛を示しなさい。14 あなたに託されたその貴重なものを、私たちの内に宿っている聖なる力によって守りなさい。

15 あなたも知っているように、アジア州の人たちは私から離れていきました。その中にフゲロとヘルモゲネがいます。16 主がオネシフォロの家の人たちに憐れみを示してくださいますように。オネシフォロは何度も私の気持ちを爽やかにしてくれて、私が拘禁されていることを恥じたりはしませんでした。17 それどころか、彼がローマにいた時には、私を懸念に捜して見つけてくれました。18 主により、彼が定めの日にエホバからの憐れみを受けますように。彼がエフェソスで行った奉仕については、あなたがよく知っている通りです。

2 あなたに言います。キリスト・イエスの惜しみない親切により、絶えず力を得なさい。2 また、私から聞き、多くの証人によって確かめられた事柄を、忠実な人たちに託しなさい。そうすればその人たちは十分に資格を得て、他の人を教えることができますようになります。3 あなたもキリスト・イエスの立派な兵士として苦しむ

1:13 *または、「有益な」。「または、「輪郭」。
1:14 *健全な言葉の型のこと。1:18 *付録A5参照。2:1 *直訳、「私の子であるあなた」。

に耐えなさい。4 兵役に就いている人は、商売に手を出したりはしません。兵士を募った人から良いと認められるためです。5 競技に参加する人は、規則に従って競技しなければ賞を得られません。6 また、最初に収穫の分け前を得るのは、一生懸命に働く農家の人であるはずで。7 私が述べていることについていつも考えなさい。主は、あなたが全てのことを理解できるようにしてください。

8 イエス・キリストが生き返らされたことと、ダビデの子孫であることを思い起こさない。私はそのことを良い知らせとして伝えました。9 その良い知らせのために私は苦しみに遭い、犯罪者として拘禁されています。とはいえ、神の言葉は縛られています。10 それで私は、選ばれた人たちのために全てのことを忍耐します。その人々もキリスト・イエスを通して救われ、永遠の栄光を受けるようになるためです。11 次の事柄は真実です。私たちは共に死んだのであれば、共に生きることもなります。12 忍耐するなら、共に王として治めることになります。否定するなら、否定されることになります。13 たとえ私たちが不忠実でも、その方は常に信頼できます。ご自分を否定することができないからです。

2:4 *もしかすると、「日常の雑務に煩わされないようにします。2:5 *または、「冠」。2:7 *または、「識別」。

第2章

(7) テモニ 1:8

(1) コー 9:25

(7) 使徒 2:24

(1) 使徒 2:29-32
ロマ 1:3

(7) 使徒 13:23

(7) 使徒 9:16
フィリ 1:7

(1) コロ 4:3,4

(7) コニ 1:6
エフ 3:13
コロ 1:24

(7) ロマ 6:5,8

(7) 啓 3:21
啓 20:4,6

(7) マタ 10:33
ルカ 12:9

第2欄

(7) テモニ 2:4

(1) テモニ 4:7
テモニ 6:20

(7) テモニ 1:20

(1) コー 15:12

(7) 民 16:5

(7) イザ 26:13

14 これらのことをいつも人々に思い起こさせてください。言葉のことで争わないようにと、神の前で教えてください。そうした争いは聞く人たちに害を及ぼし、何のためにもなりません。15 自分を神に差し出して、良いと認められるように力を尽くさない。真理の言葉を正しく用いることができ、恥じることが何もない働き手になるのです。16 そして、聖なる事柄を汚す無駄話を退けなさい。そうした話により人々はますます神を敬わなくなり、17 彼らの言葉は壊傷のように広がっていきます。そういう人たちの中にヒメナオとフィレトがいます。18 この人たちは真理からそれていき、復活はすでに起きたと言って、ある人たちの信仰を損なっています。19 それでも、神が据えた強固な土台は揺らぐことがなく、次の言葉が刻まれています。「エホバはご自分のものである人たちを知っている」。エホバの名を呼ぶ人は皆、不正を退けるべきである。

20 さて、大きな家には、金や銀の器具だけでなく、木や土の器具もあります。立派な用途のための器具もあれば、つまらない用途のための器具もあります。21 それで、後者のような人々から離れている人は、立派な用途のための器具となります。神聖にされたもの、持ち主の役に立つもの、あ

2:14 *または、「を破滅に至らせ」。2:19 *付録A5参照。2:20 *または、「卑しい」。

らゆる^よ良い活動^{かつどう}のために用意^{ようい}ができて^{でき}たものとなります。22 ですから、若い^{わか}時に抱き^{とき}がちな欲望^{いだ}から逃れ^{よくぼう}、清い^{きよ}心^{こころ}で主^{しゅ}に頼る人^{たよ}たちと共に^{ひと}、正し^{ただ}しと信仰^{しんこう}と愛^{あい}と平和^{へい}を追い求め^おなさい。

23 さらに、愚^{おろ}かで無意味^{むい}な議論^{ぎろん}を避^さけなさい。そうした議論^{ぎろん}は争^{あらそ}いを生^うむからです。24 主^{しゅ}の奴隷^{どれい}は争^{あらそ}う必要^{ひつ}はありません。必要^{ひつよう}なのは、誰^{だれ}にでも穏^{おだ}やかに接^{せつ}すること、教^{おし}える資格^{しかく}があること、不当^{ふとう}な扱^{あつか}いを受けても自分^{おの}をおさ^{おさ}へること、25 好意^{こうい}的でない人^{ひと}たちを温和^{おんわ}な態度^{たいど}で教^{おし}えること^{こと}です。もしかし^かしたら神^{かみ}は、その人^{ひと}たちが悔^くい改^{あらた}めて真理^{まこと}の正確^{しやうさく}な知識^{ちしき}を得^えられるように^{よう}にされる^せるかもしれません。26 そしてその人^{ひと}たちは、悪魔^{あくま}に捕^とらわれて悪魔^{あくま}の望^まみ通^とりに行動^{こうどう}していたこと^{こと}に気づ^きき、本心^{ほんしん}に立ち返^{かえ}って悪魔^{あくま}のわな^{わな}から逃^{のが}れる^{はな}るかもしれません。

3 このことを知^しっておきなさい。終^おわりの時代^{じだい}は困難^{こんなん}で危機^{きき}的な時^{とき}になります。2 人々^{ひとびと}は自分^{おの}を愛^{あい}し、お金^{かね}を愛^{あい}し、自慢^{じまん}ばかりし、傲慢^{ごうまん}で、神^{かみ}や人を冒^{おや}瀆^{した}し、親^{かんじや}に従^{したが}わず、感謝^{かんしゃ}せず、不忠実^{ふしゅうじつ}になります。3 自然^{しぜん}な愛情^{あいじやう}をもたず、全^{まった}く人に同意^{どうい}しようとせず、中傷^{ちやうじやう}し、自制心^{じせいしん}がなく、乱暴^{らんぼう}で、善^よいことを愛^{あい}しません。4 人^{ひと}を裏切^{うらぎ}り、強情^{きやうじやう}で、思い上^{おも}がり、神^{かみ}ではなく快楽^{くわいらく}を愛^{あい}し、5 信心^{しんじん}深く見^みえても実際^{じつさい}には神^{かみ}

2:24 *または、「巧みに」。2:25 *または、「考えを変えて」。3:2 *または、「揺るぎない愛を持たなく」。

第2章

(7) テモ一 1:3,4
テモ一 4:7
テト 3:9

(1) テサー 2:7

(7) マタ 5:39

(14) 格 15:1
ガラ 6:1
テト 3:2
ペー 3:15

(8) テモ一 2:3,4

(7) ヨハ 13:27
使徒 5:3
テモ一 1:20

第3章

(14) マタ 24:3
テモ一 4:1
ペニ 3:3
ユダ 17,18

第2欄

(7) マタ 7:15
マタ 7:22,23

(1) 出 7:11,12
出 9:11

(7) コー 4:17
テモニ 1:13

(14) 使徒 13:50

(8) 使徒 14:1,5,6

(7) 使徒 14:19

(14) コニ 2:10

(7) マタ 16:24
ヨハ 15:20
使徒 14:22

(7) テサニ 2:11
テモ一 4:1

(14) テモニ 1:13

を敬^{うやま}っています。こ^ひうい^うう人^{ひと}たち^{たち}から離^{はな}れなさい。6 その中^{なか}のある男^{だんせい}性^{せい}たちは、人々^{ひとびと}の家^{いえ}に入り込み^{はい}、弱^{よわ}い女^{じょ}性^{せい}たち^{たち}をたぶらかし^{たぶ}ります。その女^{じょ}性^{せい}たちは多^{おほ}くの罪^{つみ}を負^おっていて、さまざ^よまな欲^{よく}望^{ぼう}に流^{なが}されてお^おり、7 常^{つね}に学^{まな}びな^ながらも決^{けつ}して真理^{しんり}の正^{せい}確^{かく}な知^ち識^{しき}を得^えることができ^{でき}ません。

8 ヤンネとヤンブレがモーセ^{はん}に反^{はん}対^{たい}したように、これら^{これら}の人^{ひと}も真理^{しんり}に反^{はん}対^{たい}しつ^つづ^づけます。彼^{かれ}らは考^{かんが}え方^{かた}が全^{かんぜん}全^{ぜん}に腐^ふ敗^{はい}してお^おり、クリスチャン^{しんじやう}の信^{しん}条^{じょう}に従^{したが}って^{して}い^いない^いので退^{しりぞ}けられて^ています。

9 彼^{かれ}ら^{かれ}がこれ以上^{いじやうす}進^{しん}むこと^{こと}はありませ^なん。ヤンネとヤンブレの場合^{ばあ}と同じ^{どうじ}よ^ううに、彼^{かれ}ら^{かれ}の愚^{おろ}かさ^あが皆^{みな}に明^{あき}らかにな^なるから^{から}です。10 一^{いっ}方^{ぽう}あなた^{なた}は、私^{わたくし}の教^{おし}え、生^いき方^{かた}、目^め的^{てき}にし^しっかり従^{したが}い、私^{わたくし}の信^{しん}仰^{かう}、辛^{しん}抱^{ぼう}強^{きやう}さ、愛^{あい}、忍^{にん}耐^{たい}に倣^{なら}ってき^きました。11 そし^して、私^{わたくし}がアンティオキ^{あん}ア、イコニオム^い、ルステラ^るで経^{けい}験^{けん}した^{した}よう^{よう}な迫^{はく}害^{がい}や苦^{くる}しみを知^しっていま^{いま}す。私^{わたくし}はそ^そうした迫^{はく}害^{がい}に耐^たえ、主^{しゅ}はそ^その全^{ぜん}てから救^{きう}い出^だしてくださ^さいました。12 神^{かみ}への専^{せん}心^{しん}を貫^{くわん}き、キリスト^{きり}・イエ^いスに從^{したが}って生^いきようとする人^{ひと}は皆^{みな}、同^{どう}じよう^{じやう}に迫^{はく}害^{がい}を受^うけま^ます。13 邪^じ悪^{あく}な人^{ひと}々^{びと}や詐^さ欺^ぎ師^したち^{たち}は、惑^{まど}わしたり惑^わわされたりしながら、ますます悪^{わる}くな^なっていき^いきます。

14 あなた^{あなた}は、自分^{おの}が学^{まな}び、納^な得^{とく}して信^{しん}じるようになった事^{こと}柄^{がら}から離^{はな}れな^ないようにしなさい。あなた^{あなた}はそれ^{それ}を誰^{だれ}

第3章

(ア) 格 22:6

(イ) 使徒 16:1,2

(ウ) ヨハ 5:39

(エ) ヨハ 14:26
ペ二 1:21

(オ) ロマ 15:4

(カ) コー 10:11

第4章

(キ) テモ一 6:14,
15
ペ一 5:4

(ク) 啓 11:15
啓 12:10

(ケ) ヨハ 5:28,29
使徒 10:42

(コ) ヨハ 5:22
使徒 17:31
コ二 5:10

(ク) テモ二 2:15

(シ) テモ二 2:24,
25

(ス) テモ一 5:20
テト 1:7,9
テト 1:13
テト 2:15

(セ) テモ一 1:9, 10
(ソ) テモ一 4:1
(タ) テモ二 1:8
 テモ二 2:3
(チ) ロマ 15:19
 コロ 1:25

第2欄

(ア) 民 28:6,7
(イ) フィリ 1:23
(ウ) コー 9:26
 テモ 6:12
(エ) フィリ 3:14
(オ) コー 9:25
 ヤコ 1:12
(カ) ヨハ 5:22
(キ) ペー 5:4
 啓 2:10
(ク) コロ 4:14
 フィレ 23, 24

(ケ) エフ 6:21
コロ 4:7

(コ) 詩 28:4
詩 62:12
格 24:12

わかし の もの ささ もの
6 私はすでに飲み物の捧げ物のよ
 そそ だ (ワ) かいほう ときけい
 うに注ぎ出されており、解放される時
 せま わかし りっば たなか
 が迫っています。 **7** 私は立派に戦
 (ウ) きょうそう さい ご はし
 いました。競走を最後まで走りました。
 (四) クリスチャンの信条を守りました。
 いま のち わかし せいぎ かんむり さず
8 今から後、私は正義の冠を授けら
 (五) かんむり たら
 れることになっています。その冠は、正
 さば かた しゅ (六) さだ ひ むく
 しく裁く方である主が、定めの日に報
 あた (七) わかし
 いて与えてくださるものです。私だ
 しゅ くらわ ま のぞ
 けにはなく、主が現れるのを待ち望
 ひとすべ あた
 んできた人全てに与えてくださいます。

9 できるだけ早く私の所に来られ
ように努力してください。 10 デマ
スは今の体制を愛して私を見捨て、テ
サロニケに行っていました。クレ
スケンスはガラティアに、テトスはダル
マティアに行きました。 11 私と一緒
にいるのはルカだけです。マルコを連
れてきてください。私の奉仕を支えて
くれるからです。 12 私はテキコをエ
フェソスに遣わしました。 13 こち
へ来る際、私がトロアスでカルボの所
に置いてきたマントと、巻物、特に羊皮
紙のものを持ってきてください。

14 私は銅細工人アレクサन्दル
から多くの危害を受けました。エホ
バが彼の行いに報復することになるで
しょう。 15 あなたも彼に用心しな
さい。彼は私たちの言葉に激しく反対し
たからです。

わたし さいしょ べんめい とき だれ わたし
16 私の最初の弁明の時、誰も私の

4:10 *または、「時代」。用語集参照。 **4:14**
 *付録A5参照。

4 キリスト・イエスは現れる時に、
 おうこく おう 例 い ひと
 王国の王として、生きている人と
 し ひと 例 しば
 死んでいてる人を裁くことになってい
 ます。わたしは神の前で、あ
 なたに厳肅に言い渡します。2 神の
 ことば 例 い わた かし まえ
 言葉を広めなさい。順調な時にも困
 難な時にも熱心に伝道しなさい。いつ
 しん げんぶう かし ぎじゆつ く し 例 いまし
 も辛抱強く、教える技術を駆使して、戒
 め、忠告し、励まさない。3 人々
 例 ちゆうく しば # ひとびと
 が健全な教えを聞こうとしなくなる時
 期が来るからです。彼らは自分たちの
 よくばう したが みみ はなし #
 欲望に従って、耳をくすぐるような話を
 してもらうために教師を寄せ集めます。
 4 そして、真理に耳を傾けなくなり、作
 ばなし ちゆうい む
 り話に注意を向けます。5 しかしあ
 なたは、どんな場合にも頭がさえた状
 たいし たも くる 例 ふくいん だんどうしや
 態を保ち、苦しみに耐え、福音伝道者
 としてはたら じ ぶん ほうし じゅうふん おこな
 として働き、自分の奉仕を十分に行い
 ない。

3:16 *用語集参照。 4:2 *または、「緊急性を意識して」。
*または、「説き勧め」。 4:3 *または、「有益な」。
*または、「自分たちが聞きたい話」。 4:5 *または、「鋭敏な感覚」、「冷静さ」。
*または、「良い知らせを伝え続け」。

側^{がわ}に立^たたず、皆^{みな}が私^{わたし}を見^み捨^すてました。
(そのことで誰^{だれ}も責任^{せきにん}を問^とわれません
ように。) 17 しかし、主^{しゅ}が私^{わたし}のそば
に立^たって、力^{ちから}を与^{あた}えてくださいました。
私^{わたし}を通^{とお}して伝道^{でんどう}が十分^{じゅうぶん}に行^{おこな}われ、全
ての国^{くに}の人^{ひと}々^{びと}が聞^きくようになるため^{ため}で
す。私^{わたし}はライオン^{くち}の口^{くち}から救^{すく}われまし
た。 18 主^{しゅ}は私^{わたし}をあらゆる悪^{わる}い事柄^{ことがら}
から救^{すく}い出し、天^{てん}の王国^{おうこく}に招^{まね}き入れて
くださいます。この方^{かた}がいつまでも永^{えい}
遠^{えん}にたたえられますように。アーメン。

19 プリスカとアクラ、そしてオネ
シフォロの家^{いえ}の人^{ひと}たちに、私^{わたし}からの

第4章
(7) 使徒 9:15

(1) 詩 22:21

(7) 啓 20:4

(12) ロマ 16:3

(7) テモ二 1:16

第2欄
(7) 使徒 19:22

(1) 使徒 21:29

あいさつ^{つた}を伝^{つた}えてください。

20 エラストはコリントにとどまりま
した。トロフィモは病氣^{びようき}になったので、
ミレトスに^{のこ}残^{のこ}してきました。 21 冬^{ふゆ}に
なる前^{まえ}にこちらに着^つくよう努力^{どりよく}してく
ださい。

ユプロがあなたによろしくと^い言^い
います。プデスとリノスとクラウデ
ア、またほかの兄弟^{きょうだい}たちも皆^{みな}よろしくと
言^いっています。

22 主^{しゅ}が、正^{ただ}しい精^{せい}神^{しん}を示^{しめ}している
あなたと共にいて、惜^おしみない親^{しん}切^{せつ}を
示^{しめ}してくださいますように。

テトスへの手紙^{て がみ}

概 要

- 1 あいさつの言葉 (1-4)
テトスはクレタで長老たちを任命する (5-9)
反抗する人たちを戒める (10-16)
- 2 若い人と年長の人への健全な教え (1-15)
神への不敬を退ける (12)

- 立派な行いに励む (14)
- 3 正しい従い方 (1-3)
立派な行いに注意を集中する (4-8)
愚かな論争や分派を退ける (9-11)
指示とあいさつ (12-15)

1 神^{かみ}の奴隷^{どれい}であり、イエス・キリスト^{し と}
の使徒^{かみ}であるパウロから、私^{わたし}
は、神^{かみ}に選^{えら}ばれた人^{ひと}たちが抱^{いだ}く信^{しん}仰^{こう}
と、真理^{しんり}の正^{せい}確^{かく}な知^ち識^{しき}を持^もっています。
それらは神^{かみ}への専^{せん}心^{しん}と結^{むす}び付^ついてお
り、 2 永^{えい}遠^{えん}の命^{いのち}の希^き望^{ぼう}に基^{もと}づいてい
ます。その希望^{きぼう}は神^{かみ}がはるか昔^{むかし}に約^{やく}
束^{そく}したものであり、神^{かみ}は偽^{いつわ}ることがで

第1章
(7) ロマ 6:23

第2欄
(7) 民 23:19

(1) 使徒 9:15

きません。 3 神^{かみ}は定め^{さだ}めの時^{とき}にご自分^{じぶん}
の言^{こと}ばを^{ひろ}く知^しらせたのであり、私^{わたし}
は救^{すく}い主^{ぬし}である神^{かみ}の命^{めい}令^{れい}によ^{でん}って伝^{だう}道^{どう}
を^{ゆだ}委^いねられました。) 4 同^いじ信^{しん}仰^{こう}を持^も
つ、心^{こころ}から愛^{あい}するテトスへ。
父^{ちち}である神^{かみ}と、救^{すく}い主^{ぬし}であるキリス
ト・イエスから、あなたに惜^おしみない[#]
1:4 *直訳、「真の子」。[#]または、「過分の」。

親切^{しんせつ}が示^{しめ}され、平和^{へい}が与^あえられますように。

5 私があなたをクレタに残^{のこ}したの^{わたし}は、私の指示^{しじ}通りに問題^{もんだい}を正^{ただ}し、それ^{まち}ぞれの町^{ちょう}に長老^{ちやうらう}たちを任命^{にんめい}してもらうためです。6 任命^{にんめい}される人^{ひと}は、非難^{ひなん}されるところがなく、1人の妻^{つま}の夫^{おと}でなければなりません。その人^{ひと}の子供^{こども}も信仰^{しんこう}を持っているべきで、堕落^{だらく}していると反抗^{はんかう}的で非難^{ひなん}されているではありません。7 監督^{かんとく}は、神^{かみ}の家^{いえ}の管理^{かんり}人^{にん}ですから、非難^{ひなん}されるところがあつてはならず、意^い地^じを張^はらず、すぐ^{すぐ}に怒^{いら}り、酩酊^{めいとう}せず、暴力^{ぼうりよく}を振^ふるわず、食欲^{しょくよく}に不当^{ふとう}な利益^{りえき}を得^えようとすべきではありません。

8 人^{ひと}をよくもてなし、善^よいことを愛^{あい}し、健全^{けんぜん}な考^{かんが}え方^{かた}を、正^{ただ}しいことを行^{おこな}い、神^{かみ}に尽^つくし、自制^{じせい}心^{しん}があり、9 神^{かみ}の信^{しん}頼^{らい}できる言^{こと}葉^はに仕^{したが}りつた教^{おし}え方^{かた}をしなければなりません。そうすれば、健全^{けんぜん}な教^{おし}えによつて励^{はげ}ますことも、逆^{さか}らう人^{ひと}を戒^いめることもできでしう。

10 実^{じつ}際^{さい}、反^{はん}抗^{かう}する人^{ひと}、無^む益^{えき}な話^{はなし}をする人^{ひと}、欺^{あざむ}く人^{ひと}、特^{とく}に、割^か礼^{れい}に固^こ執^{しつ}する人^{ひと}がた^おくさんいます。11 そうい^{ひと}う人^{ひと}たち^{ひと}の口^{くち}をふさぐ必要^{ひつよう}があります。彼^{かれ}らは、不^ふ当^{とう}な利^り益^{えき}を得^えようとして、教^{おし}えるべきでない事^{こと}柄^{がら}を教^{おし}え、多^{おほ}くの家族^{かぞく}の信^{しん}仰^{かう}を損^{そこ}なっているからです。

1:5 *または、「不十分な点」。1:6 *または、「放蕩」。1:8 *または、「良い判断」。*または、「を揺るぎなく支持し」、「から離れず」。1:9 *または、「確かな」。*または、「従つて教える技術を用いなければ」。1:9; 2:1 *または、「有益な」。1:9 *または、「説き勧める」。1:10 *用語集参照。

第1章

(ア) テモ— 3:2-7

(イ) ペニ 2:10

(ウ) ヤコ 1:19

(ロ) ペー 4:9

(ウ) ロマ 12:3
テモ— 3:2

(ウ) テモ— 2:8

(ウ) テモニ 2:24
ヤコ 3:13

(ウ) テモ— 4:16
テモ— 6:3,4

(ウ) テモ— 1:9,10
テモニ 1:13

(ウ) テモ— 5:20
テモニ 4:2
テト 1:13
啓 3:19

(ウ) 使徒 15:1

第2欄

(ア) ロマ 14:14

(イ) マタ 15:11

(ウ) マタ 7:16-18

第2章

(ウ) テモ— 4:16
テモニ 1:13

12 あるクレタ人^{じん}の預言^{よげん}者^{しや}はこ^いう言^いいました。「クレタ人^{じん}は常^{つね}にうそをつき、^{わる}やじゆう^{やじゆう}たいだ^{たいだ}おおく^{おおく}、^わたちの悪^{あく}い野獣^{やじゆう}のよう^{よう}で、怠^{おこ}惰^{おこ}で大食^{おほく}いである」。

13 この言^{こと}葉^はは真^{しん}実^{じつ}です。ですから、彼^{かれ}ら^きを厳^{げん}しく戒^きめ続^{つづ}けてください。そ^かうすれ^かば、彼^{かれ}ら^きは健^{けん}全^{ぜん}な信^{しん}仰^{かう}を持^もつようになり、14 ユダヤ人^{じん}の作^{つく}り話^{はなし}や、真^{しん}理^りから離^{はな}れてい^{ひと}く人^{ひと}たちのおき^{ちゆう}てに注^む意^いを向^むけることはい^{すべ}たではないでしう。

15 清^{きよ}い人^{ひと}たちにとつては全^{すべ}てのもの^{もの}が清^{きよ}いですが、信^{しん}仰^{かう}が不^{けが}潔^{けつ}れた人^{ひと}たちにとつては何^{なん}も清^{きよ}いもの^{もの}はありません。彼^{かれ}ら^かは考^{かんが}えも良^{りやう}心^{しん}も汚^{けが}れてい^かます。16 彼^{かれ}ら^かは神^{かみ}を知^しっているこ^こう言^いしますが、行^いいによつて神^{かみ}を否^{ひてい}定^{てい}し^{げん}ています。不^ふ快^{かい}で不^ふ従^{じゆう}順^{じゆん}な人^{ひと}たちであり、ど^よんな善^{おこな}い行^いいにもふさわしくあり^ません。

2 あなたは、健^{けん}全^{ぜん}な教^{おし}えに沿^そつた事^{こと}柄^{がら}をい^{かた}つも語^{かた}りなさい。2 年^{ねん}長^{ちやうだん}の男^{せい}性^{せい}は、節^{せつ}度^どをわ^まきま^めえ、真^ま面^め目^めで、健^{けん}全^{ぜん}な考^{かんが}え方^{かた}をし、信^{しん}仰^{かう}と愛^{あい}と忍^{にん}耐^{たい}の点^{てん}で健^{けん}全^{ぜん}であるべきです。3 同^{どう}じよう^{じよう}に年^{ねん}長^{ちやうだん}の女^{にょ}性^{せい}も、神^{かみ}を畏^{おそ}れる人^{ひと}にふさわしい振^ふる舞^まい^{ちゆう}をし、中^{ちゆう}傷^{かう}せず、酒^{さけ}に溺^{おぼ}れず、善^よいことを教^{おし}えるべきです。4 そうすれ^かば、若^{わか}い女^{にょ}性^{せい}に次^{つぎ}のこと^{こと}につい^{じやう}て助^あ言^{げん}を与^{あた}えられるでしう。夫^{おと}を愛^{あい}すること、子^こ供^{ども}を愛^{あい}すること、5 健^{けん}全^{ぜん}な考^{かんが}え方^{かた}をす^{かた}ること、貞^{てい}潔^{けつ}であ^いる。2:4 *または、「意識させることができる」、「訓練を施せる」。

ること、家事^{かじ}をこなすこと、善良^{ぜんりょう}であること、夫^{おつと}に従うこと^{したが}。そのように行動^{こうどう}すれば、神^{かみ}の言葉^{ことば}が悪く言^{わる}われることはないでしょう。

6 若い男性^{わか だんせい}にも、健全^{けんぜん}な考え方^{かんが}をすることをいつも勧めてください。7 あなた自身が、あらゆる面^{めん}で、立派^{りっぱ}な行いの手本^{てほん}となりなさい。清い事柄^{きよ ことば}を真剣^{けん}に教え、8 批判^{ひはん}されることがない健全な言葉^{けんぜん ことば}を使いなさい。そうすれば、反対^{はんたい}する人は私^{わたし}たちについて何も否定的^{ひていてき}なことを言^いえなくなり、恥^はじるようになるでしょう。9 奴隷^{どれい}である人は、全ての点^{てん}で主人^{しゅじん}に従^{したが}い、喜ばれるように努^{つと}めるべきです。口答^{くた}えをせず、10 盗^{ぬす}むこともせず、全く信頼^{しんらい}できることをするなら、あらゆる面^{めん}で、私^{わたし}たちの救い主^{きういしゅ}である神^{かみ}の教えを飾^{かざ}ることになるでしょう。

11 神^{かみ}の惜しみない親切^{しんせつ}が明らか^{あき}に示^{しめ}され、あらゆる人^{ひと}に救^{すく}いがもたらされています。12 その親切^{しんせつ}により私^{わたし}たちは、神^{かみ}への不敬^{ふけい}や世^よの欲望^{よくぼう}を退^{しりぞ}けること、また、今^{いま}の体制^{たいせい}の中^{なか}で健全な考え方^{けんぜん かんが}をし、正しく行動^{こうどう}し、神^{かみ}への専心^{せんしん}を示しながら生活^{せいいかつ}することを学^{まな}んでいます。13 そして、幸福^{こうふく}な希望^{きぼう}が実現^{じつげん}し、偉大な神^{いだい かし}と救い主^{きういしゅ}イエス・キリスト^{えいこう かがや}が栄光^{えいこう}に輝いて現^{あらわ}れるのを待^{まち}っています。14 キリストは私^{わたし}たちのために自分^{じぶん}を与えてくださいました。それは、

2:7 *もしかすると、「清い心で」。2:8 *または、「有益な」。*または、「ひどい」。2:12 *または、「時代」。用語集参照。

第2章

(ア) コー14:34,35
ペー3:1,2

(イ) ロマ12:3
ペー5:5

(例) テモニ2:15

(ロ) コロ3:8

(例) ペー2:15

(例) エフ6:5
テモー6:1
ペー2:18

(例) エフ4:28

(例) マタ5:16

(例) ロマ5:18

(ロ) ヨー2:16

(例) ロマ12:2

(例) ペー1:13

(例) マタ20:28
テモー2:5,6

第2欄

(ア) エフ1:7
コロ1:13,14

(イ) エフ2:10
ヘブ9:14

(例) テモニ2:4,2

第3章

(ロ) マル12:17
ロマ13:1
ペー2:13,14

(例) フイリ4:5
ヤコ3:17

(例) 格15:1
ガラ6:1

エフ4:1,2
テモー6:11
テモニ2:24,25

ペー3:15

(例) ルカ6:35
ロマ2:4
エフ4:32

(例) 申9:5
ロマ3:10
ガラ3:21

(例) ロマ5:15,21
ロマ6:23

(ロ) ロマ5:18

(例) ヨハ3:5
ロマ8:23
コニ5:17

(例) 使徒2:33

私^{わたし}たちをあらゆる不法^{ふぼう}から自由^{じゆう}にし、自分の特別^{じぶん とくべつ}な所有物^{しよゆうぶつ}である民^{たみ}、立派^{りっぱ}な行^いいに励^{はげ}む民^{たみ}を清^{きよ}めるためでした。

15 引き続き^{ひきつづ}き、あなたに与^{あた}えられている権威^{けんい}を十分に用^{もち}いて、これらのことを話^{はな}し、励^{はげ}まし戒^いめを与^{あた}えてください。誰^{たれ}にも見^み下^{くだ}されないようにしなさい。

3 引き続き兄弟^{ひきつづ けいどう}たちに次の事柄^{ことば}を思い起^{おも}こさせてください。政府^{せいふ}や権威者^{けんいしや}に従^{したが}うこと、あらゆる良^よい活動^{かつどう}のために用^{もち}意^いをすること、2 誰^{たれ}のことも悪^{わる}く言^いわず、争^{あらそ}いを好^{この}まず、分別^{ぶんべつ}を働^{はたら}かせ、誰^{たれ}に対^{たい}してもいつも温和^{おんわ}に接^{せつ}することです。3 私^{わたし}たちもかつてはむふんべつ、ふじゅうじゅん、惑^{まど}わされ、さまざま欲望^{よくぼう}や快楽^{かいらく}の奴隷^{どれい}となり、悪意^{あくい}やねたま^{いだ}みを抱^ふき続^{つづ}け、不快^{ふかい}な存在^{そんざい}で、憎^{にく}み合^あっていました。

4 しかし、私^{わたし}たちの救^{すく}い主^{しゅ}である神^{かみ}は、親切^{しんせつ}と人間^{にんげん}への愛^{あい}を示^{しめ}してくださいました。5 私^{わたし}たちが正しいことをおこなったからではなく、ひとえにご自分^{じぶん}の憐れみにより、私^{わたし}たちを救^{すく}ってくださったのです。私^{わたし}たちを清^{きよ}めて命^{いのち}に導^{みちび}き、聖^{せい}なる力^{ちから}により新^{あらた}しくすることによつてです。6 神^{かみ}は、私^{わたし}たちの救^{すく}い主^{しゅ}であるイエス・キリストを通して、聖^{せい}なる力^{ちから}を豊^{あま}かに注^{そそ}いでくださいました。7 こうして私^{わたし}たちは、その方^{かた}の惜しみない親切^{しんせつ}によって正^{ただ}しいと認^{みと}められた

2:14 *直訳、「贖い」、「買い戻し」。*または、「熱心な」。3:5 *または、「洗って」。*用語集参照。3:6 *または、「惜しみなく」。

のち^(イ)えい^{えん} い^{のち} き^{ぼう} と^{もな} ざい^{さん} ^(イ)う^う
後、永遠の命の希望を伴う財産を受
けることができます。

8 これらの言葉は真実であり、私は
あなたに、こうした事柄をいつも強調
してほしいと思っています。そうすれ
ば、神を信じた人たちは、立派な行い
に励むことに注意を集中できるでしょ
う。こうした事柄は立派で、人のため
になります。

9 愚かな論争、系譜の追究、口論、
律法を巡る争いからは離れていなさ
い。そういうことは無益であり、むなし
いからです。10 分派を生じさせる人
については、一度、またもう一度訓戒
した後、退けなさい。11 そのような
人は、悪いと分かっているながら、道か
ら外れて罪を犯しています。

3:10 *または、「警告」。

第3章
(イ) ロマ 3:24
ガラ 2:15,16

(イ) ロマ 6:23

(イ) ロマ 8:17

(イ) テモ 1:3,4
テモ 6:3-5

(イ) コー 11:19
啓 2:6

(イ) テモ 2:4-2

(イ) ロマ 16:17
ヨ二 10

第2欄
(イ) 使徒 20:4
エフ 6:21
テモ 2:4,12

(イ) コー 9:14
ガラ 6:6
ヘブ 13:16

(イ) コー 9:11

(イ) コロ 1:10

12 私がアルテマスかテキコをそ
ちらに遣わしたら、あなたはニコポ
リスに来るよう努力してください。私
はそこで冬を過ごすことにしました。

13 律法に通じているゼナスと、アポ
ロには、必要な物を十分に用意し、不
自由なく旅ができるようにしてあげて
ください。14 他の兄弟たちも、差し
迫った必要が生じたときに助けにな
れるよう、引き続き立派な行いに励
むことを学ぶべきです。実を結ばなく
なってはなりません。

15 私と一緒にいる全員が、あなた
によろしくと言っています。信仰を持
ち、私たちに愛情を抱いてくれている
人たちに、私からのあいさつを伝えて
ください。

あなたたち皆に惜しみない親切が
示されますように。

フィレモンへの手紙

概要

あいさつの言葉 (1-3)
フィレモンの愛と信仰 (4-7)

パウロはオネシモについて願う (8-22)
結びのあいさつ (23-25)

1 キリスト・イエスのために捕らわ
れているパウロと、私たちの兄弟テモ
テから、私たちと共に働く、愛するフィ
レモンへ。2 また、私たちの姉妹ア
フィアと、私たちと共に戦う兵士であ

(イ) エフ 4:1
(イ) 使徒 16:1,2
ヘブ 13:23

第2欄
(イ) コロ 4:17
(イ) ロマ 16:5
コー 16:19

るアルキポと、あなたの家に集まる会
衆へ。

3 私たちの父である神と、主イエ
ス・キリストから、あなたたちに惜しみ

2 *用語集参照。

ない親切が示され、平和が与えられますように。

4 私は、あなたについて祈る時、いつも神に感謝しています。5 あなたが信仰を持ち、主イエスと聖なる人たち全てを愛していることを聞いているからです。6 あなたが私たちと同じ信仰に促されて、キリストを通して得ている全ての良いものを認識するようになることを、私は祈っています。7 あなたの愛について聞き、私はとてもうれしくなり、慰められました。兄弟、あなたのおかげで、聖なる人たちの心が爽やかにされたからです。

8 それで、私はキリストの名によって少しも気後れることなく、あなたが行うべき事柄を命じることもできますが、9 そうはせずに愛に基づいてお願いしたいと思います。年を取り、今はキリスト・イエスのために捕らわれている私パウロが、10 自分の子のようなオネシモについてあなたにお願いします。私は捕らわれている間に、彼にとって父親も同然になりました。11 オネシモは、以前はあなたの役に立ちませんでしたが、今はあなたにとっても私にとっても助けになります。12 私は心から愛するオネシモを、あなたのものに送り返します。

13 本当は、彼にここにいてもらって、私が良い知らせのために拘禁さ

3 *または、「過分の」。7 *または、「優しい愛情が深まった」。

(イ) エフ 1:15,16
テサー 1:2

(イ) コロ 4:9

(イ) コー 4:15

第2欄

(イ) エフ 6:19,20
フィリ 1:7

(イ) コ二 9:7

(イ) コー 7:22

(イ) テモ一 6:2

れている間、あなたの代わりに私に仕えてほしいと思います。14 しかし、あなたの同意なしには何も行いたくありません。あなたが、強いられてではなく、自発的に善いことを行うことを、私は願っています。15 もしかしたら、オネシモが少しの間逃げていたのは、あなたが彼を取り戻していつまでもそばに置くようになるためだったのかもしれませんが。16 もはや奴隷としてではなく、奴隷以上の者、愛する兄弟としてです。オネシモはとりわけ私にとって愛する兄弟ですが、あなたにとつては、世での関係においても主との関係においてもなおのことそうでしょう。17 それで、私を友と想ってくれているのであれば、私を迎えるのと同じようにオネシモを優しく迎えてあげてください。18 また、もし彼があなたに損害を与えたか負債があるなら、それを私への貸しと見なしてください。19 私パウロが自分の手でこれを書いていきます。私が負債を返します。もともと、あなたも私に自分の命を負っています。20 兄弟、同じ主に仕える私を支え、キリストに従って私の心を爽やかにしてください。

21 私はあなたが応じてくれることを確信して書いています。あなたは私が言う以上のことをしてくれるに違いありません。22 ついでながら、私が泊まれる所も用意してください。私は、

20 *または、「優しい愛情を深めて」。

あなたたちの祈りにより、自由にされて
そちらに行けるようになることを
願っています。

フィリ 2:24
コロ 1:7
コロ 4:12,13

第2欄

使徒 19:29
使徒 27:2
コロ 4:10
テモニ 4:10
コロ 4:14

23 キリスト・イエスと結ばれて私
と一緒に捕らわれているエパfras
が、あなたによろしくと言っています。

24 私と共に働く仲間のマルコ、アリ
スタルコ、デマス、ルカもよろしくと
言っています。

25 正しい精神を示しているあなた
たちに、主イエス・キリストが惜しみな
い親切を示してくださいように。

ヘブライ人のクリスチャンへの手紙

概要

- 神はご自分の子によって語る (1-4)
神の子は天使たちに勝っている (5-14)
- 普通以上の注意を払う (1-4)
イエスは全てのものの上に立つ (5-9)
イエスと兄弟たち (10-18)
救いへと導く方 (10)
憐れみ深い大祭司 (17)
- イエスはモーセより偉大な方 (1-6)
全てのものを造ったのは神 (4)
信仰が欠けることに対する警告 (7-19)
「今日、あなたが神のこの声を聞けば
よいのに」 (7, 15)
- 用心していないなら神と共に休めなくなる
(1-10)
神と共に休むようにとの励まし (11-13)
神の言葉は生きている (12)
イエスは偉大な大祭司 (14-16)
- イエスは人間の大祭司より優れている (1-10)
メルキゼデクのように (6, 10)
苦しんだ事柄から従順を学んだ (8)
永遠の救いをもたらす方 (9)
子供のままでいてはならない (11-14)
- 十分に成長するように努力する (1-3)
離れ去った人たちは、神の子をもう一度杭に
くぎ付けにしている (4-8)
希望に対する確信を保つ (9-12)
神の約束は確実 (13-20)
神の約束と誓いは不変 (17, 18)
- 王および祭司であるメルキゼデクは特異な存
在 (1-10)
キリストの祭司職は勝っている (11-28)
キリストは人々を完全に救うことができる
(25)
- 幕屋は天のものを表している (1-6)
古い契約と新しい契約の違い (7-13)
- 地上の聖なる所での神聖な奉仕 (1-10)
キリストは自分の血を携えて天に入る (11-28)
新しい契約の仲介者 (15)
- 動物の犠牲には効果がない (1-4)
律法は影 (1)
キリストの犠牲は一度限り捧げられた (5-18)
聖なる場所に入るための新しい生きた道
(19-25)
仲間と集まることを怠ってはならない
(24, 25)
故意の罪に対する警告 (26-31)
確信と信仰を持って忍耐する (32-39)
- 信仰の定義 (1, 2)
信仰の手本 (3-40)
信仰がなければ、神に喜ばれることはな
い (6)
- イエスは私たちの信仰を完全にしてくださる
方 (1-3)
大勢の証人たち (1)
エホバからの矯正を軽く見てはならない
(4-11)
自分の足のために真つぐな道を作る (12-17)

天のエルサレムに近づく (18-29)

13 結びの勧めの言葉とあいさつ (1-25)

人をもてなすことを忘れてはならない (2)

結婚は尊ばれるべき (4)

教え導いている人たちに従う (7, 17)

賛美の犠牲を捧げる (15, 16)

1 神は昔、預言者たちにより、いろいろな時に、いろいろな方法で、私たちの父祖に語りました。**2** この時代の終わりには、ご自分の子によって私たちに語りました。神は彼を全てのものの相続人に定め、彼を通してさまざまな体制をつくりました。**3** 神の子は、神の栄光を反映し、神の本質を完全に表して、力強い言葉によって全てのものを支えています。そして、私たちを罪から清めた後、天で威光に輝く神の右に座りました。**4** こうして神の子は天使たちよりも優れた名を与えられ、天使たちに勝る者となりました。

5 例えば、神は天使の誰かにこう言ったことがあるでしょうか。「あなたは私の子。今日、私はあなたの父となった」。「私は彼の父となり、彼は私の子となる」。**6** 神はご自分の初子を再び世界に遣わす際、こう言います。「神の天使たちは皆、彼に敬意を表さない」。

7 天使たちについてはこう言います。「神はご自分の天使たちを風と

1:2 *用語集参照。*または、「時代」。用語集参照。**1:4** *または、「立場」。**1:6** *または、「ひざまずき」。

第1章

(ア) 出 24:3
民 12:8
エレ 7:25
(イ) マタ 17:5
(ロ) 詩 2:8
(ロ) ヨハ 1:3
コ一 8:6
コロ 1:16
(ロ) ヨハ 1:14
ヨハ 17:5
(ロ) コロ 1:15
(イ) ヘブ 9:26
(ロ) 詩 110:1
使徒 2:32, 33
使徒 7:55
(イ) 使徒 4:12
フィリ 2:9, 10
(ロ) エフ 1:20, 21
ペー 3:22
(イ) 詩 2:7
(イ) サニ 7:14
マル 1:11
ルカ 9:35
ペニ 1:17
(イ) ヨハ 1:14
ロマ 8:29
コロ 1:15

第2欄

(ア) 詩 91:11
ルカ 22:43
(イ) 詩 104:4
(イ) マタ 28:18
啓 3:21
(イ) イザ 61:1
ルカ 3:21, 22
ルカ 4:18
(ロ) 詩 45:6, 7
(イ) 詩 102:25-27
(イ) 詩 110:1
マタ 22:44
(イ) 詩 34:7
詩 91:11
使徒 5:18, 19

し、ご自分の奉仕者たちを炎とする」。

8 しかし、ご自分の子についてはこう言います。「神はいつまでも永遠にあなたの王座であり、あなたの王国の王笏は公正の王笏である。**9** あなたは正しいことを愛し、不法を憎んだ。それで、あなたの神はあなたを任命し、あなたの仲間を喜ばせる以上にあなたを喜ばせた」。**10** さらにこうあります。「主よ、初めに、あなたは地の土台を据え、天をご自分の手で造りました。**11** 天と地は滅びます。しかしあなたは存在し続けます。天と地は、衣服のように擦り切れます。**12** あなたによってマントのように、衣服のように丸められ、変わります。しかしあなたは変わりません。あなたの年月に終わりはありません」。

13 神は天使の誰かにこう言ったことがあるでしょうか。「私の右に座っていなさい。私があなたの敵たちをあなたの足台として置くまで」。**14** 天使たちは皆、聖なる奉仕をするのであり、救いを得る人たちに仕えるために遣わされるものではありませんか。

1:7 *または、「強くし」。**1:8** *または、「公僕」。**1:9** *または、「神は歓喜の油をあなたの仲間よりもあなたに多く注いだ」。用語集の「油を注ぐ」参照。**1:14** *または、「人々のための」。

2 ですから、私たちは聞いた事柄に普通以上の注意を払う必要があります。決して流されないようにするためです。2 天使たちを通して語られた言葉が確立され、全ての違反と不従順な行いが公正に処罰されたのですから、3 もし私たちがこれほど素晴らしい救いを軽視するなら、どうして処罰を逃れられるでしょうか。この救いについては、主が最初に語り、主の言葉を聞いた人たちが確かなものとして私たちに伝えました。4 また、神も証明してくださいました。さまざま奇跡や不思議なことや強力な行いによって、また望みのままに聖なる力を分け与えることによってです。

5 私たちが話している、これから来る世界を、神は天使たちに治めさせることにはしていません。6 かつて、ある証人がこう述べました。「人間が何者なのであなたは心に留めるのですか。人の子が何者なので気に掛けるのですか。7 あなたは彼を天使たちより少し劣る者とし、栄光と栄誉の冠を授けました。そして、ご自分の手で造ったものを治めさせ、8 全てのものの上に立たせました」。神はその方を全てのものの上に立たせたのですから、その方に従わないものは何一つ残っていないはずですが、しかし、今のところ、私たちは全てのものがその方に

第2章

(7) ルカ 8:15
(1) 詩 73:2
ヘブ 3:12
ペコ 3:17
(2) ガラ 3:19
(3) 申 4:3
ユダ 5
(4) ヘブ 10:28, 29
(5) マル 1:14
(6) 使徒 2:22
(7) コー 12:11
(8) 使徒 17:31
ペコ 3:13
(9) 詩 144:3
(10) 詩 8:4-6
(11) マタ 28:18
コー 15:27
エフ 1:22
(12) ペー 3:22

第2欄

(7) 詩 110:1
(1) フィリ 2:7
(2) 啓 5:9
(3) イザ 53:5, 8
ロマ 5:17
テモ 2:5, 6
(4) ロマ 8:18, 19
コ二 6:18
(5) 使徒 5:31
ヘブ 12:2
(6) ルカ 24:26
ヘブ 5:8
(7) ヨハ 17:19
ヘブ 10:14
(8) ヨハ 20:17
(9) マタ 12:50
ロマ 8:29
(10) 詩 22:22
(11) イザ 8:17
(12) イザ 8:18
(13) ヨハ 1:14
(14) ヨハ 1:19
(15) 創 3:15
ルカ 10:18
ヨハ 8:44
ヨ一 3:8
啓 12:9

(16) イザ 25:8
ロマ 8:20, 21
コー 15:26
(17) ガラ 3:29

したが従っているのを見ていません。9 ただ私たちは、天使たちより少し劣る者とされたイエスが、苦しんで死んだゆえに栄光と栄誉の冠を与えられたのを見ています。神の惜しみない親切により、イエスは全ての人のために死を味わったのです。

10 全てのものは神のために、また神によって存在しています。適切にも神は、多くの子たちに栄光を与えるため、彼らを救いへと導く方に苦しみを味わわせ、その方を完全にしました。

11 人々を神聖にしているイエスも、神聖にされている人々も、皆ひとりの父から出ているのであり、そのためイエスは彼らを兄弟と呼ぶことを恥じません。12 イエスはこう言います。「私はあなたの名を兄弟たちに知らせ、会衆の中であなたを歌によって賛美します」。13 さらにこう言います。「私はこの方に頼ります」。私と、エホバが与えてくださった子供たちとは。

14 それで、「子供たち」が人間なので、イエスも人間になりました。それは、自分の死により、死をもたらす者である悪魔を除き去るため、15 また、死への恐れゆえに生涯ずっと奴隷の状態で人全てを自由にするためでした。16 イエスは天使たちを助けていたのではなく、アブラハムの子孫を助けています。17 従って、イエス

2:9 *または、「過分の」。2:13 *付録A5参照。2:14 *または、「肉体を持つ者」。2:16 *直訳、「種」。

2:1 *または、「漂い出ない」。2:4 *直訳、「しるし」。2:4, 12 *用語集参照。

は全ての点で自分の「兄弟たち」のようにならなければなりませんでした。憐れみ深く忠実な大祭司となって神に奉仕し、人々の罪を償う犠牲を捧げるためです。18 イエスは自分が試練に遭って苦しんだので、試練に遭っている人たちを助けることができます。

3 ですから、共に天に招かれている聖なる兄弟たち、使徒であり大祭司であると私たちが確信しているイエスについて、よく考えてください。

2 イエスは自分を任命した神に忠実でした。モーセが神の家全体の中で忠実に仕えたのと同じです。3 イエスはモーセより大きな栄光を受けるに値すると見なされています。家を作る人は、家そのものよりも大きな栄誉を受けるからです。4 言うまでもなく、家は全て誰かによって造られるのであり、全てのものを造ったのは神です。

5 モーセは、神の家全体の中で従者として忠実に仕え、その奉仕は後に語られる事柄を示していました。6 しかしキリストは、神の家を治める子として忠実でした。そして、私たちこそ神の家です。ただし、終わりで最後れることなく語り続け、誇りとしている希望をしっかりと持ち続けるならばのことです。

7 それで、聖なる力によって次のように述べられています。「今日、あなた

2:17 *または、「人々を神と和解させる」。3:1 *または、「公言」。3:2 *神の会衆のこと。3:5 *または、「を証明するものとなりました」。

第2章

(例) フィリ 2:7

(例) ロマ 3:25

(例) ロマ 5:10

(例) ヨー 2:1,2

(例) ヨー 4:10

(例) ヘブ 4:15

(例) ヘブ 7:25

(例) 啓 3:10

第3章

(例) フィリ 3:14

(例) テサー 2:12

(例) ヘブ 8:1

(例) ヨハ 8:29

(例) 民 12:7

(例) マタ 17:1,2

(例) マタ 17:5

(例) ペー 2:5

(例) サニ 23:2

(例) 使徒 1:16

第2欄

(例) 出 17:7

(例) 出 16:35

(例) 民 32:13

(例) 詩 95:9

(例) 民 14:22,23

(例) 詩 95:7-11

(例) ヘブ 2:1

(例) 詩 95:7

(例) 啓 2:10

(例) 詩 95:7,8

(例) 出 17:1-3

(例) 民 14:2,4

たちが神のこの声を聞けばよいのに。8 『頑固になつてはならない。父祖たちが私を激しく怒らせた時のように。』 9 あなたちの父祖は、40年の間私が行った事柄を見たにもかかわらず、私を試した。10 そのため私はこの世代の人々を不快に思い、こう言った。『彼らは心がいつもそれていき、私の道を知るようにならなかった。』 11 私は怒りを抱いて誓った。『彼らが私と共に休むことはない』。12 兄弟たち、皆さんの誰も、生きている神から離れて、信仰が欠けた悪い心を育てることがないよう、気を付けてください。13 「今日」と呼ばれる時期が続く限り、毎日励まし合い、人を欺く罪の力によって頑固になつてしまふことがないようにしてください。14 初めに抱いた確信を終わるまでしっかりと持ち続けるなら、私たちは本当にキリストと共にいることができます。15 こう述べられています。『今日、あなたたちが神のこの声を聞けばよいのに。』 16 頑固になつてはならない。父祖たちが私を激しく怒らせた時のように』。

16 聞いたのに神を激しく怒らせたのは誰だったのでしょうか。モーセに率いられてエジプトを出た人全てではありませんでしたか。17 また、神は40年の間、誰を不快に思ったのでしょうか。

3:14 *または、「分け合う」。

か。罪を犯し、荒野で死んだ人たちが
 はありませんでした。18 さらに、
 神は誰に対して、ご自分と共に休むこ
 とはないと誓ったのでしょうか。不従
 順に行動した人たちにではありません
 でしたか。19 ですから、彼らが神
 と共に休めなかったのは、信仰が欠け
 ていたからだ、ということが分かります。

4 それで、神と共に休むという約束
 は続いているのですから、誰も

それにふさわしくないと見なされる
 ことがないよう、用心していきましょう。

2 父祖たちと同じように、私たちも良
 い知らせを聞きました。父祖たちの場
 合、聞いた言葉は役に立ちませんでした。
 聞いて従った人たちと同じ信仰
 を持たなかったからです。3 父祖た

ちについて神はこう述べました。「私
 は怒りを抱いて誓った。『彼らが私と
 共に休むことはない』」。しかし、信仰
 を抱いた私たちは、神と共に休むこと
 ができます。実際、神は世が始まった
 時に仕事を終えていました。4 ある
 聖句で7日目についてこう言っている
 通りです。「神は7日目に仕事をやめ
 て休んだ」。5 そして神は、「彼らが
 私と共に休むことはない」と述べたの
 です。

6 ある人たちは神と共に休むこと
 ができ、最初に良い知らせを聞いた
 人たちは不従順のゆえに神と共に休
 めなかったで、7 神はあらためて

4:1 *直訳、「恐れて」。

第3章

(7) 民 14:11
 申 32:21

(1) 民 14:22, 23
 民 14:28-30
 ユダ 5

(7) ヘブ 4:6

第4章

(1) ヘブ 3:12, 13

(7) マタ 4:23
 使徒 15:7
 コロ 1:23

(7) 詩 95:11
 ヘブ 3:11

(7) 出 31:17

(7) 創 2:2, 3

(7) 詩 95:11

(7) 民 14:30
 申 31:27

第2欄

(7) 詩 95:7, 8

(1) 出 24:13
 申 1:38

(7) マル 2:28

(1) 創 2:2, 3

(7) 詩 95:11

(7) エレ 23:29
 テサロ 2:13

(7) エフ 6:17

(7) 詩 7:9
 詩 90:8
 格 15:11

(7) 使徒 17:31
 ロマ 2:16
 ロマ 14:12

(7) マル 1:11

(7) ヘブ 10:23

「今日」という日を際立たせました。
 先に記した通り、長い時間が経過した
 後、ダビデの詩の中でこう述べること
 によってです。「今日、あなたたちが神
 のこの声を聞けばよいのに。『頑固に
 なってはならない』」。8 もしヨシュア
 に導かれた人々が神と共に休んでい
 たのであれば、神が後にほかの日に
 ついて語ることはなかったはずで
 す。9 それで、神の民には、神と共に休む
 安息の日が残っています。10 神と
 共に休む人は、神が仕事を終えて休
 んだのと同じように、以前の行いをや
 めて休むのです。

11 ですから私たちは、神と共に休
 めるよう力を尽くし、誰も不従順な
 たちと同じ過ちを犯さないようにしま
 しょう。12 神の言葉は生きていて、
 ちからを及ぼし、どんな両刃の剣よりも鋭
 く、人の外面と内面、骨と骨髓を分け
 るほど深く刺し通して、心の中にある
 考えや願いを明らかにすることができ
 ます。13 そして、神の目を逃れられ
 る創造物は一つもなく、全てのものは
 神から見て裸で、さらけ出されており、
 私たちはこの方に責任を問われること
 になります。

14 私たちには、天に行った偉大な
 大祭司、神の子イエスがいますので
 す。15 私たちの大祭司は、私た

4:12 *ギリシャ語、プシケー。用語集参照。
 #ギリシャ語、プネウマ。用語集参照。△直訳、
 「関節」。

ちの弱さに同情できないような方では
ありません。あらゆる点で私たちと
同じように試され、しかも罪がない方
です。16 それで、助けが必要な時に
憐れみと惜しみない親切を受けられ
るよう、気後れすることなく祈り、惜し
みない親切を示してくださる神に近づ
きましょう。

5 人の中から選ばれた大祭司は
皆、人のために神に奉仕するよ
う任命され、供え物や罪のための犠牲
を捧げます。2 大祭司は、自分自身
も弱さを抱えているので、無知で過ち
を犯す人を思いやり深く扱うことがで
きます。3 また、民の罪のために捧
げ物をするように、自分の罪のために
も捧げ物をしなければなりません。

4 人は、自分でこの栄誉ある立場
に就くのではなく、神から任命される
ことによって就きます。アロンもそうで
した。5 キリストも、自ら大祭司と
なって栄光を得たのではなく、次のよ
うに述べた方から栄光を与えられまし
た。「あなたは私の子。今日、私はあ
なたの父となった」。6 その方は別
の聖句で、「あなたは永遠にメルキゼ
デクのような祭司である」とも言って
います。

7 キリストは、地上で生きていた
間、自分を死から救える方に祈願を
捧げ、願いを伝えました。大きな声で

4:16 *または、「惜しみない親切の座」。5:2
*または、「身勝手な」。*または、「優しく」、「穏
やかに」。5:7 *直訳、「肉体でいた」。*また
は、「請願」。

第4章

(イ) イザ 53:4
ヘブ 2:17

(イ) ヘブ 7:26
ペー 2:22

(イ) エフ 3:11,12
ヘブ 10:19-22

第5章

(ロ) 出 40:13

(イ) レビ 5:6

(イ) レビ 9:7
レビ 16:6

(イ) 出 28:1

(イ) ヨハ 8:54

(イ) 詩 2:7
使徒 13:33

(ロ) 詩 110:4

第2欄

(イ) ルカ 22:44
ヨハ 12:27

(イ) マタ 26:39
フィリ 2:8

(イ) ヘブ 7:28

(ロ) ヨハ 3:16

(イ) 詩 110:4

(イ) ヘブ 6:1

(イ) エフ 4:14

第6章

(イ) ヘブ 5:12

(イ) コー 14:20
エフ 4:13
ヘブ 5:14

さけ、涙を流しながらそのようにし、神
への畏れゆえに聞き入れられました。

8 キリストは神の子であつたにもかか
わらず、苦しんだ事柄から従順を学び
ました。9 そして、完全にされた後、
自分に従う人全てに永遠の救いをも
たらす方になりました。10 神によ
り、メルキゼデクのような大祭司に指
名されたからです。

11 キリストについて話したいこと
はたくさんありますが、説明しにくく思
います。皆さんは聞く力が鈍くなって
いるからです。12 皆さんはすでに教
える人になっているべきなのに、神の
神聖な宣言の基礎的な事柄を、もう一
度初めから誰かに教えてもらう必要が
あります。そして、固い食物ではなく、
乳を必要とする状態に逆戻りしていま
す。13 いまだに乳を飲んでいる人
は皆、幼い子供であり、神の正しい言
葉をよく理解していません。14 一
方、固い食物は、十分に成長した人の
ためのものです。そのような人は、使う
ことによって識別力を訓練したので、
正しいことも悪いことも見分けること
ができます。

6 それで、私たちはキリストに関す
る初歩の教理より先に進んだの
ですから、十分に成長するように努力
しましょう。基礎的な教えに逆戻りし
てはなりません。すなわち、むなし

5:12, 14 *または、「よくかんで食べる物」。5:
14 *または、「大人」。^または、「知覚力」。6:
1 *直訳、「再び土台を据えては」。*直訳、「死
んでいる」。

おこな く あらた かみ しんこう
行いを悔い改めること、神への信仰、
2 さまざまなバプテスマ、手を置くこ
と、死者の復活、永遠の裁きについて
の教えです。3 神が許してください
なら、努力していきましょう。

4 次のような人たちもいます。一度
啓発を受け、天からの無償の贈り物を
味わい、聖なる力を与えられ、5 神
の良い言葉とこれから来る体制の力
とを味わいながら、6 それでも離れ
去った人たちです。そういう人たちを
再び悔い改めに導くことは不可能で
す。彼らは神の子を自分たちでもう一
度杭にくぎ付けにし、さらし者にしてい
るからです。7 地面は、たびたび降
る雨を吸い込み、耕す人々にとって良
い作物を生み出すとき、神から祝福を
受けます。8 しかし、いばらやアザミ
を生み出すなら、見捨てられ、やがて
災いを被り、最終的には焼かれてしま
います。

9 とはいえ、私たちはこのように
語ってはいても、愛する皆さんはもっと
良い状態にあって救いに至る、という
ことを確信しています。10 皆さんは
これまでずっと聖なる人たちに仕え、
今も仕え続けています。そのようにし
て、神の名を愛していることを示してき
ました。神は不正な方ではないの
で、そうした働きや愛を忘れたりとはさ
れません。11 私たちは、皆さん一人
一人が同じ勤勉さを示し続けて、希望

第6章
[7] 使徒 8:17

[1] マタ 22:31
ヨハ 5:28, 29
ヨハ 11:25

[2] エフ 1:18
ヘブ 10:26

[3] ヨー 2:19

[2] ヘブ 10:29

[2] ヘブ 10:32, 33

第2欄
[7] ペー 1:3, 4

[1] ヘブ 3:14

[2] ロマ 12:11
啓 2:4

[2] 創 22:16

[2] 創 22:17

[2] 創 31:53

[2] ガラ 3:29

[2] 民 23:19
テト 1:2

[2] ペー 1:3, 4

[2] レビ 16:2, 12
ヘブ 9:7
ヘブ 10:19, 20

[2] 詩 110:4
ヘブ 5:6

たい ゆ かくしん [2] い ご
に対する揺るぎない確信を最後まで
保ってほしいと思っています。12 怠
けたりせず、信仰と辛抱のゆえに約束
のものを受ける人たちに倣ってほしい
のです。

13 神は、アブラハムに約束をした
際、ご自分より偉大な者に懸けて誓う
ことができなかったで、ご自分に懸
けて誓い、14 こう言いました。「私
はあなたを必ず祝福し、あなたの子孫
を必ず多くしよう。15 アブラハム
は辛抱した後、そのように約束されま
した。16 人は自分より偉大な者に
懸けて誓い、それによりどんな論争も
終わります。その誓いは法的な保証
だからです。17 同じように神も、ご
自分の目的が変わらないことを、約束
のものを受ける人たちに一層はっきり
示すことにした時、誓いによって保証
を与えました。18 この2つの不変の
事柄に関して、神は偽ることができま
せん。神のもとに逃れてきた私たち
は、その2つの事柄によって大きな励
みを得、自分たちの前に置かれた希
望をしっかりと持ち続けることができま
す。19 この希望は、私たちの命のた
めのいかりであり、確かで揺らぐこと
がなく、私たちを幕の向こう側に導き
入れます。20 そこへ私たちのため
に先に入った方がいます。それは、永
遠にメルキゼデクのような大祭司と
なったイエスです。

6:18 * 神の約束と誓いのこと。

6:2, 19 * 用語集参照。6:4 * または、「経験
し」。6:5 * または、「時代」。用語集参照。

[2] ヘブ 4:14

7 このメルキゼデクは、サレムの王^{おう}で、至高^{しこう}の神^{かみ}に仕える祭司^{つか}であり、王^{おう}たちを打ち破^{やぶ}って帰るアブラハム^{あはらむ}を出迎^{でむか}え、祝福^{しゅくふく}しました。**2** そして、アブラハムは全ての物^{もの}の10分の1^{ぶん}をメルキゼデクに渡しました。この名前^なを訳すと「正義の王^{わた}」という意味で、この人はサレムの王^{おう}つまり「平和の王^{わへい}」でもあります。**3** メルキゼデクは、父親^{ちち}も母親^{はは}も知られておらず、系譜^{けいふ}がなく、いつ生まれていつ死んだかも記録^{きろく}されていません。神の子^{かみ}のようにされ、いつまでも祭司^{つか}であり続けます。

4 この人がいかに偉大^{いだい}だったかを考えてください。家長^{かちょう}アブラハムが、最上^{さいじょう}の戦利品^{せんりひん}の10分の1^{ぶん}をこの人にわたしました。**5** 律法^{りっぽう}によれば、祭司^{さいし}の職^{しやく}を受けるレビの子孫^うは、民^{たみ}すなわち兄弟^{きょうだい}たちから10分の1^{ぶん}を徴収^{しやうしゆう}するよう命^{めい}じられています。その民^{たみ}もアブラハムの子孫^{しそん}であるにもかかわらずです。**6** しかし、彼ら^{かれ}の系譜^{けいふ}にないメルキゼデクが、アブラハムから10分の1^{ぶん}を受け取り、約束^{うやく}を与えられていた彼^{かれ}を祝福^{しゅくふく}しました。**7** 議論^{ぎろん}の余地^{よち}がないのですが、下位^{かゐ}の者が上位^{じやうゐ}の者^{もの}から祝福^{しゅくふく}されます。**8** さらに、一方^{ひと}では、10分の1^{ぶん}を受けるのは死んでいく人^{ひと}たちですが、他方^{たほう}では、それを受け^うけるのは生きて^いいることが示^{しめ}されている人^{ひと}です。**9** そして、10分の1^{ぶん}を受けるレビ^{れゐ}でさえ、アブラハムを通して10分

第7章
(例) 創 14:17-20

(例) 詩 110:4

(例) 創 14:20

(例) 出 40:12,15

(例) 民 18:21,26
申 14:28

(例) 創 12:7
創 14:18-20
創 17:6
創 22:17

(例) ヘブ 7:3

第2欄
(例) 創 14:18

(例) ロマ 3:20
ヘブ 7:19
ヘブ 9:9
ヘブ 10:1

(例) 詩 110:4

(例) ロマ 3:27
コ一 9:21
ガラ 6:2
コロ 2:13,14

(例) 民 18:6,7

(例) 創 49:10
マタ 1:1,3
ルカ 3:23,33

(例) 詩 110:4
ヘブ 3:1
ヘブ 7:26

(例) ロマ 6:9
テモ一 6:16

(例) 詩 110:4

(例) ロマ 8:3
ヘブ 9:9
ヘブ 13:9

(例) 使徒 13:38,39
ガラ 2:15,16
ヘブ 10:1

の1^{おさ}を納^{おさ}めたといえます。**10** メルキゼデクがアブラハムを出迎^{でむか}えた時^{とき}、レビ^{れゐ}はまだ生まれておらず、やがて父祖^{ふそ}アブラハムの子孫^{しそん}となったからです。

11 では、もし人がレビ族^{れゐ}の祭司^{さいし}職^{しやく}(それは民^{たみ}に与^{あた}えられた律法^{りっぽう}の特色^{とくしやく}でした)を通して完全^{とくぜん}になれたのであれば、アロン^{あろん}のようではなくメルキゼデク^{めろきぜどく}のようだといわれる別の祭司^{べつ}が立^たてられる必要^{ひつよう}があるでしょうか。**12** 祭司^{さいし}職^{しやく}が変^へえられつつあるので、律法^{りっぽう}も変^へえる必要^{ひつよう}があります。**13** これらのこと^{こと}が言^いわれている方^{かた}は、別の部族^{べつ}から出^でており、その部族^{ぶそく}の者^{もの}は誰も祭壇^{さいだん}での職務^{しやくむ}を行^{おこな}ったことはありません。**14** 私^{わたし}たちの主^{しゅ}がユダの子孫^{しそん}であることは明^{あき}らかですが、モーセ^{もーせ}はユダ族^{うだ}から祭司^{さいし}が出^でることについては何も語^{かた}りませんでした。

15 以上^{いじょう}のこと^{こと}は、メルキゼデクのような別の祭司^{あき}が立^たてられることにより、ますます明^{あき}らかになります。**16** その方^{かた}は、家系^{かけい}に基づく法的^{もと}な資格^{ほうてき}によつてではなく、滅^{ほろ}びることがない命^{いのち}をもたす力^{ちから}によって祭司^{さいし}となりました。**17** この方^{かた}について、「あなたは永遠^{えいゑん}にメルキゼデクのような祭司^{さいし}である」と言^いわれています。

18 それで、以前^{いぜん}のおきては、弱^{よわ}く効果^{こうか}がないために無効^{むこう}になりました。**19** 律法^{りっぽう}は何^{なん}も完全^{かんぜん}にしませんでしたが、勝^{まさ}った希望^{きぼう}が差^さし伸^のべられ

7:10 * 直訳、「彼はまだ自分の父祖の腰にいた」。

7:2 * 直訳、「配分し」。7:4 * または、「族長」。
7:5 * 用語集参照。"直訳、「腰から出た」。

ることによって完全さがもたらされま
した。その希望によって私たちは神に
近づいています。20 また、この祭司
は誓いなしに立てられたのではありません。
21 (誓いなしに祭司となった
人々がいますが、この方は、次のよう
に述べた神の誓いによって祭司となり
ました。「エホバは誓った。考えを変
えることはない。『あなたは永遠に祭
司である』。’) 22 従って、イエスは
勝った契約を保証する方となりました。
23 さらに、これまでは多くの人が
祭司職を引き継いでいかなければ
なりません。人はやがて死に、
祭司として仕え続けられなくなるから
です。24 しかし、イエスは永遠に生
き続けるので、誰かが祭司職を引き継
ぐことはありません。25 そのためイ
エスは、自分を通して神に近づく人た
ちを完全に救うことができます。常に
生きていて、彼らのために願い出てく
ださるからです。

26 私たちはこのような大祭司を必
要としていました。神に尽くし、潔白
で、汚れがなく、罪人から分けられ、ど
んな天よりも高い地位に就けられた
方です。27 この方は、ほかの大祭
司とは違い、まず自分自身の罪のため
に、次いで民の罪のために、毎日犠牲
を捧げる必要はありません。自分を捧
げた時、一度で永遠に有効な犠牲を

第7章

- (7) ペー 1:3,4
(7) ヨハ 14:6
ヘブ 4:16
(7) 詩 110:4
(7) エレ 31:31
マタ 26:27,28
コー 11:25
ヘブ 8:6
ヘブ 9:15
ヘブ 12:22,24
(7) 代一 6:4
(7) ルカ 1:33
ヘブ 7:15,16
(7) ロマ 8:34
テモ一 2:5
ヘブ 9:24
ヨ一 2:1
(7) イザ 53:9
ペー 2:21,22
(7) エフ 1:20,21
ペー 3:22
(7) レビ 9:8,15
(7) 民 28:3

第2欄

- (7) ロマ 6:10
ヘブ 9:28
ヘブ 10:14
(7) レビ 16:11
(7) 詩 2:7
詩 110:4
(7) ヘブ 2:10
ヘブ 5:9

第8章

- (7) ヘブ 3:1
ヘブ 7:26
(7) 詩 110:1
ヘブ 1:3
(7) ヘブ 9:8,24
(7) エフ 5:2
(7) ヘブ 7:14
(7) ヘブ 9:9,24
(7) コロ 2:16,17
ヘブ 10:1
(7) 出 25:9,40
出 26:30
民 8:4
(7) コー 11:25
ヘブ 7:22
ヘブ 9:15
ヘブ 12:22,24

- (7) テモ一 2:5
(7) 詩 110:4
ロマ 8:17

捧げたからです。28 律法が大祭司
に任命するのは、弱さを持つ人間で
すが、律法の後に述べられた誓いの言
葉が大祭司に任命するのは、永遠に
完全にされた子です。

8 私たちが述べていることの要点
は、次の通りです。私たちにはこ
のような大祭司がいて、その方は天で
威光に輝く神の座の右に座り、2 人
間ではなくエホバが立てた真の天幕
の聖なる場所で奉仕している、という
ことです。3 大祭司は皆、供え物と
犠牲を捧げるために任命されます。で
すから、この方も何か捧げるものが必
要でした。4 もしこの方が地上にい
るとすれば、祭司ではないはずで
す。すでに、律法に従って供え物を捧げる
人たちがいるからです。5 その人た
ちがしている神聖な奉仕は、天にある
ものをかたどったもの、また天にある
ものの影です。そのことは、モーセが
天幕を立てようとしていた時に神から
命じられた次の言葉に示されていま
す。「この山で示された型の通りに全
ての物を作るようにしなさい」。6 し
かし今イエスは、はるかに優れた奉仕
をしています。はるかに勝った契約の
仲介者でもあるからです。その契約は、
勝った約束に基づいて法的に成立し
ています。

7 もし最初の契約が非の打ちどこ

7:28 *神の子のこと。8:2 *または、「公僕と
して奉仕」。8:6 *または、「奉仕を人々のた
めに」。

7:21; 8:2 *付録 A5 参照。7:21 *または、「悔
やむ」。7:26 *または、「を揺るぎなく支持し、
「から離れず」。

ろのないものだったなら、第二の契約は必要なかったでしょう。8 神は民をとがめ、こう述べています。『私がイスラエル国民およびユダ国民と新しい契約を結ぶ時が来る』と、エホバは言う。9 『その契約は、私が彼らの父祖たちの手を取ってエジプトから連れ出した日に、その父祖たちと結んだ契約のようなものではない。彼らが私の契約を守り通さなかったので、私は彼らを世話するのをやめた』と、エホバは言う。

10 エホバはこう言う。『これが、そうした時代の後に私がイスラエル国民と結ぶ契約である。私は、私の律法を彼らの頭の中に入れ、彼らの心の中に書き記す。そして、私は彼らの神となり、彼らは私の民となる。』

11 彼らがそれぞれ、同国民や兄弟を教えて、「エホバを知りなさい!」と言うことはもうなくなる。最も小さな者から最も大きな者まで、皆が私を知るようになるからだ。12 私は彼らの正しくない行いに対して憐れみを示し、彼らの罪をもはや思い出さない。』

13 神は「新しい契約」と言うことにより、以前の契約を廃止されたものとなりました。廃止されて古びていくものは、間もなく消え去ります。

9 以前の契約についていえば、神聖な奉仕に関する法的な要求と、地上の聖なる場所がありました。

第8章
[イ] ヘブ7:11,18
[イ] 出12:51
[イ] ロマ2:29
[ロ] コリ2:16
[イ] エレ31:31-34
[イ] ロマ10:4
ヘブ7:12
[イ] コロ2:13,14

第9章
[イ] 出25:8

第2欄
[イ] 民4:9

[イ] 出40:22-24
[イ] 出26:33
[ロ] 出36:35
[イ] 出26:31,33
[イ] レビ16:12
啓8:3
[イ] 出25:10,11

[イ] 出40:21
[イ] 出16:33
[ロ] 民17:10
[イ] 出32:15
[イ] 出25:18,22
民7:89
[イ] レビ24:3,4
[イ] レビ16:2

[イ] 出30:10
レビ14
[イ] レビ16:6,11
[イ] レビ16:15
[イ] ヘブ10:19,20
[イ] コロ2:16,17
ヘブ8:5
ヘブ10:1
[イ] レビ23:37,38

[イ] ガラ3:21
ヘブ7:11,19

2 天幕には第一の部屋が設けられ、そこにはランプ台と食卓があり、供え物のパンが置かれていました。その部屋は聖所と呼ばれています。3 天幕の第二の幕の後ろには、至聖所と呼ばれる部屋がありました。4 そこには金の香炉と、全面に金をかぶせた契約の箱があり、その箱の中には、マナを入れた金のつば、芽を出したアロンのつえ、契約の石板がありました。5 箱の上には栄光に輝くケルブの像が2つあり、償いのための覆いに影を投げ掛けていました。しかし今は、これらの物について詳しく述べることはしません。

6 これらの物がこのように設けられた後、祭司たちが毎日天幕の第一の部屋に入って神聖な奉仕をします。

7 しかし第二の部屋には、大祭司だけが年に1度入ります。必ず血を携えて入り、それを自分自身のためと、民が知らずに犯した罪のために捧げます。

8 従って、聖なる力がはっきり示しているように、第一の天幕が立っていた間は、聖なる場所への道はまだ明らかにされていませんでした。9 この天幕は今あるものを表しており、その取り決めに従って供え物と犠牲が捧げられています。しかしそれらは、神聖な奉仕をしている人の良心を完全にすることができません。10 食べ物や

9:3 *用語集参照。9:5 *または、「和解」。
#または、「贖罪の場所」。

飲^のみ物^{もの}やさまざまな洗^{あら}いの儀^ぎ式^{しき}に関^{かん}連^{れん}したものにすぎません。それらは体^{からだ}に関^{かん}わる法的^{てき}な要求^{ようきゅう}であって、物事^{ものごと}がただ^{ただ}正^{ただ}される定め^{さだめ}の時^{とき}まで課^かせられていました。

11 しかしキリストは、すでに実現^{じつげん}した良い事柄^{ことば}の大祭司^{だいさいし}として来^きた時^{とき}、より偉大^{いだい}で、より完全^{かんぜん}な天幕^{てんまく}を通^{とお}りました。それは人^{ひと}が造^{つく}ったものではありません。地上^{ちじょう}に立てられたものではないのです。**12** キリストは、ヤギや若い雄牛^{おうし}の血^ちではなく、自分^{じぶん}の血^ちを携^{たずさ}へ、一度限^{いちど}り聖^{せい}なる場所^{ばしょ}に入り、私^{わし}たちを永遠^{えいえん}に救^{すく}ってくださいました。**13** ヤギや雄牛^{おうし}の血^ち、また若い雌牛^{めうし}の灰^{はい}は、けが^{けが}した人^{ひと}に振り掛^かけられると、その人^{ひと}の体^{からだ}を清^{きよ}めて神聖^{しんせい}なものとします。そうであれば、**14** 永遠^{えいえん}の聖^{せい}なる力^{ちから}により自分^{じぶん}を傷^{きず}のない犠牲^{ぎせい}として神^{かみ}に捧^{ささ}げたキリストの血^ちは、なおのこと、むない行^いい行^いいによって汚^けれていた私^{わし}たちの良心^{りょうしん}を清^{きよ}め、生^いきている神^{かみ}への神聖^{しんせい}な奉仕^{ほうし}を行^いえるようにするのではないでしようか。

15 こういう訳^{わけ}で、キリストは新^{あた}しい契約^{けいやく}の仲介^{ちゅうかい}者^{しや}なのです。招^{まね}かれた人^{ひと}たちは、キリストが死^しんだことにより、以前の契約^{けいやく}下^かでの違反^{いはん}から贖^{あがな}いによって解放^{かいほう}され、永遠^{えいえん}の財産^{ざいさん}を与^{あた}えられと約束^{やくそく}されました。**16** 契約^{けいやく}が

9:10 *直訳、「さまざまなバプテスマ」。**9:12** *直訳、「贖って」、「買い戻して」。**9:14** *直訳、「死んでいる」。**9:15** *用語集参照。**9:16** *神と人との間の契約のこと。

第9章
出 30:17-19

民 19:13

ヘブ 12:24
ヘブ 13:20

ダニ 9:24
マタ 20:28
テモ 2:5,6

レビ 16:6,15

民 19:9,17,19

ペー 1:18,19

ヨ 1:7

ロマ 12:1

ルカ 22:20
テモ 2:5
ヘブ 12:22,24

マタ 20:28

ロマ 8:17

第2欄

出 24:6-8

出 29:12
レビ 8:15

レビ 17:11

レビ 9:7-9

ヘブ 8:5
ヘブ 9:9

レビ 16:19,20

コロ 2:16,17

ヘブ 8:1,2

ヘブ 6:19,20
ヘブ 9:12

レビ 16:15
ロマ 8:34

結^{むす}ばれる場合^{ばい}、契約^{けいやく}の締結^{ていけつ}者^{しや}が死^しななければなりません。**17** 契約^{けいやく}は死^しによって有効^{けいやく}になるのであり、契約^{けいやく}の締結^{ていけつ}者^{しや}が生^いきている間^{あいだ}は効力^{こうりき}を持たないからです。**18** ですから、以前^{いぜん}の契約^{けいやく}も、血^ちが流^{なが}されずに発効^{はっこう}したのではありません。**19** モーセは、律法^{りつぽう}のすべてをおきてを民全体^{たみぜんたい}に告^{のち}げた後^{のち}、若い雄牛^{おうし}とヤギの血^ちを水^{みづ}と混ぜ、緋色^{ひいろ}のようも^{ようも}う羊毛^{ようもう}とヒソブを使^{つか}って、書^{しょ}と民全体^{たみぜんたい}に振^ふり掛^かけて、**20** こう言^いいました。「これは、神^{かみ}が皆^{みな}さんに守^{まも}るよう命^{めい}じた契約^{けいやく}の血^ちです」。**21** そして、天幕^{てんまく}と、聖^{せい}なる奉仕^{ほうし}に使^{つか}う全^{すべて}の器^きに、同じよう^{おな}に血^ちを振^ふり掛^かけました。**22** このよう^{よう}に、律法^{りつぽう}によれば、ほとん^{ほとんど}ど全^{すべて}てのもの^{もの}が血^ちによって清^{きよ}められま^す。血^ちが注^つぎ出^でされなければ、罪^{つみ}が許^{ゆる}されること^{こと}はありません。

23 それで、天^{てん}にあるものをかたどったものは、そのような方法^{ほうほう}で清^{きよ}められる必要^{ひつよう}がありました。他方^{たほう}、天^{てん}にあるものには、はるかに勝^{まさ}った犠牲^{ぎせい}が求められます。**24** キリストは、実体^{じつたい}の写^{うつ}しにすぎない、人^{ひと}が造^{つく}った聖^{せい}なる場所^{ばしょ}にではなく、天^{てん}そのものに入りま^{した}。今^{いま}や私^{わし}たちのために神^{かみ}の前^{まえ}に出^でてくださっています。**25** それは、何^{なん}度も自分^{じぶん}を捧^{ささ}げるためではありません。大^{だい}祭司^{さいし}が自分^{じぶん}の血^ちではない血^ちを携^{たずさ}えて毎年^{まいとし}聖^{せい}なる場所^{ばしょ}に入るのとは違^{ちが}いま

9:16, 17 *または、「仲介者」。**9:19** *または、「赤い」。**9:21** *または、「人々のための」。**9:24** *直訳、「顔の前」。

す。26 そうでなければ、キリストは世が始まった時から何度も苦しまなければならなかったでしょう。しかし

今、体制の終結の時に、自分を犠牲として捧げて罪を取り除くために一度限り現れてくださいました。27 人は一度限り死に、その後には裁きを受ける

ことになっています。それで、28 キリストも、多くの人の罪を負うために一度限り自分を捧げました。そして、2度目に現れるのは罪を取り除くためではありません。キリストに救われることを一心に待ち望んでいる人たちに現れるのです。

10 律法は後に来る良いものの影にすぎず、実体ではありません。ですから、毎年同じ犠牲が捧げられても、神に近づく人が律法によって完全になることは決してありません。

2 もし完全になるとすれば、神聖な奉仕をする人は一度清められれば罪の自覚がなくなるので、もう犠牲は捧げられていないはずではないでしょうか。

3 ところが逆に、犠牲は毎年捧げられ、罪を思い出させるものとなっています。4 雄牛やヤギの血は罪を取り去ることができないからです。

5 それで、キリストは世に来る時、こう言いました。『あなたは犠牲や捧げ物を望まず、私に体を与えてくださいました。6 あなたは全焼の捧げ

第9章
[例] レビ 16:2,34

[例] ダニ 9:24
ヘブ 7:27
ペー 3:18

[例] イザ 53:12
ロマ 6:10
ペー 2:24

[例] テモニ 4:8
テト 2:13

第10章
[例] コロ 2:16,17

[例] ヘブ 8:5

[例] ヘブ 7:19
ヘブ 9:9

[例] レビ 16:34

第2欄
[例] 詩 40:6

[例] 詩 40:8

[例] 詩 40:6-8

[例] ガラ 1:4

[例] ヘブ 13:12

[例] サー 2:27,28

[例] 出 29:38
民 28:3

[例] ヘブ 7:18
ヘブ 10:1

[例] ロマ 8:34

[例] 詩 110:1
コエ 15:25

[例] ヘブ 7:19

ものや罪の捧げ物を喜ばれませんでした。7 私は言いました。『ご覧ください、私は来ました。巻物に私について書いてある通り、神よ、あなたの望まれることを行うためにです』。8 キリストは初めにこう言っています。「あなたは、犠牲や捧げ物、全焼の捧げ物や罪の捧げ物を望まず、喜ばれませんでした」。これらは律法に従って捧げられる犠牲です。9 それからこう言っています。「ご覧ください、私はあなたの望まれることを行うために来しました」。キリストは、第二のものを確立するために、第一のものを除き去るのです。10 この「望まれること」により、イエス・キリストの体が一度限り捧げられたので、私たちは神聖なものとされています。

11 また、祭司は皆、毎日持ち場に就き、聖なる奉仕を行い、同じ犠牲を何度も捧げます。そうした犠牲が罪を完全に取り去ることは決してありません。12 しかしキリストは、永遠に罪を取り去る1つの犠牲を捧げて神の右に座り、13 それ以来、自分の敵たちが足台として置かれるまで待っています。14 キリストは、1つの犠牲により、神聖にされている人たちを永遠に完全にしたのです。15 さらに、神は聖なる力によって私たちに保証を与え、まずこう述べています。16 「エホバはこう言う。『これが、そうした時代の

10:11 *または、「人々のための」。10:16 *付録A5参照。

9:26 *または、「時代」。用語集参照。10:1 *もしかすると、「人々」。祭司たちのことかもしれない。

のち わたし かれ むす けいやく わたし
後に私が彼らと結ぶ契約である。私
わたし りつぼう かれ こころ なか い
は、私の律法を彼らの心の中に入れ、
かれ あたま なか か しる 例
彼らの頭の中に書き記す』。17 そ
れからこう述べています。「私は彼ら
つみ ふ ほう おこな おも だ
の罪と不法な行いをもはや思い出さ
ない」。18 罪や不法な行いが許さ
れているのであれば、罪のための捧げ
もの ひつよう
物はもう必要ありません。

19 従って、兄弟たち、私たちはイ
エスの血により、確信を持って、聖な
る場所に入る道を歩むことができます。
20 その道は、イエスが自分の
にくたい まく とお わたし
肉体という幕を通して私たちのために
ひら * あたら い みちが
開いてくださった、新しい生きた道で
す。21 そして私たちには、神の家を
おさ い だい さいし 例
治める偉大な祭司がいます。ですから、
22 誠実な心と揺るぎない信仰を
持って神に近づきましょう。私たちの
こころ ち ふ か けが りようしん
心は血を振り掛けられて、汚れた良心
から清められ、体は清い水で洗われ
ました。23 私たちの希望をしっかりと
ひようめい*
表明し、ふらつかないようにしましよ
う。約束してくださったのは信頼でき
るかた だけからです。24 また、互いのこ
とをよく考えて、愛を表し立派な行い
をするよう勧め合ひましょう。25 仲
間と集まることを怠ってはなりません。
よく欠席する人たちに倣わないよう
にし、いつも励まし合ひましょう。定め

10:19 *または、「大胆に」。
10:20 *直訳、「献じて」。
10:23 *または、「人々に伝え続け」。
10:24 *または、「を氣遣って」,
「に関心を払って」。
*または、「意欲を起こさせ」,
「奮い立たせ」。

第10章

例 エレ 31:33
ヘブ 8:10

例 エレ 31:34
ヘブ 8:12

例 ヘブ 9:8,24

例 マタ 27:51

例 ゼカ 6:13
ヘブ 3:6

例 ヨー 1:7

例 エフ 5:25,26

例 コー 15:58
コロ 1:23

例 コロ 3:23
テモ一 6:18

例 申 31:12
使徒 2:42

例 イザ 35:3
ロマ 1:11,12

第2欄

例 ロマ 13:11
ペ二 3:11,12

例 ペ二 2:21

例 マタ 12:32
ヘブ 6:4-6
ヨー 5:16

例 イザ 26:11

例 申 17:6

例 マタ 26:27,28
ルカ 22:20

例 ヘブ 6:4-6

例 申 32:35,36

例 コ二 4:6
ヘブ 6:4

られた日が近づいているのですから、
ますますこうしたことを行っていきま
しょう。

26 もし私たちが、真理の正確な知
識を得た後に故意に罪を犯し続ける
なら、罪のための犠牲はもう何も残つ
ていません。27 恐れつつ処罰を待
つしかなく、逆らう人は神の燃える憤り
によって焼き尽くされます。28 モー
セの律法を無視した人は誰でも、2人
か3人の証言に基づいて、容赦されず
に死ぬことになります。29 では、あ
る人が神の子を踏みつけ、自分を神
聖にした契約の血をありふれたものと
見なし、神の惜しみない親切の表れで
ある聖なる力をひどく侮った場合、はる
かに厳しい処罰に値すると思いません
か。30 私たちは、「復讐は私がする
ことであり、私が報復する」と述べた方
を知っています。また、「エホバはご自
分の民を裁く」ともあります。31 生
きている神の手に掛かるのは恐ろしい
ことです。

32 以前の日々をいつも思い出し
てください。皆さんは、啓発を受けた
後、数々の苦しみの中に遭いながら大き
な戦いに耐えました。33 ある時には、
人々の前で非難にさらされて苦難
に遭い、別の時には、そのような経験
をしている人たちに寄り添いました。

10:25 *または、「のを見て」。
10:30 *付録
A5参照。
10:31 *または、「神から処罰を受
ける」。
10:33 *または、「劇場の見せ物のよ
うに」。

34 捕らわれている人たちに同情し、持ち物が奪われても喜んで耐え忍びました。もっと良い、永続するものを持っていることを知っているからです。

35 それで、勇気をなくしてはなりません。勇気は豊かに報われます。

36 皆さんには忍耐が必要です。神の望むことを行った後、約束されたものを受けるためです。37 あと「ほんのしばらく」すれば、「来ることになって

いる方は到着します。遅れることはありません。」38 「私に仕える正しい人は信仰のゆえに生きる」、また、「お

じけづくなら、私はその人のことを喜ばない」とあります。39 私たちは、おじけづいて滅びに至る者ではなく、信仰を抱いて生き続ける者です。

11 信仰とは、望んでいる事柄が実現するという確信であり、目に見えないものが実在するという

はっきりとした証拠を持っていることです。2 この信仰によって、昔の人たちは神に高く評価されました。

3 信仰によって私たちは、さまざまな体制が神の言葉によって形作られ、見えるものが見えないものから存在するようになったことを悟ります。

4 信仰によってアベルは、カインの犠牲よりも価値のある犠牲を神に捧

10:35 *または、「大胆さ」、「気後れせずに語る態度」。11:1 *または、「保証」。*または、「納得のいく」。^または、「証拠です」。11:2 *または、「私たちの先祖」。11:3 *または、「時代」。

用語集参照。

第10章

[ア] マタ 5:12

[イ] ルカ 16:9

[ロ] マタ 10:32

コ一 15:58

[ロ] ルカ 21:19

ヤコ 5:11

[ロ] イザ 26:20

[ロ] ハバ 2:3

ペニ 3:9

[ロ] ヨハ 3:16

ロマ 1:17

[ロ] ハバ 2:4

[ロ] ペニ 2:20

第11章

[ロ] ヘブ 11:13

[ロ] 創 4:5

第2欄

[ア] 創 4:4

[イ] 創 4:8,10

[ロ] 創 5:22

ユダ 14

[ロ] 創 5:24

[ロ] 詩 58:11

ゼバ 2:3

マタ 5:12

マタ 6:33

[ロ] 創 6:8,9

[ロ] 創 6:13,17

[ロ] 創 6:14

[ロ] 創 6:22

ペニ 2:5

[ロ] ロマ 4:9,11

[ロ] 創 12:1,4

[ロ] 創 23:4

[ロ] 創 17:6

創 26:3

創 28:13

[ロ] 創 12:8

[ロ] ヘブ 11:16

げ、その信仰のゆえに正しい人と評価されました。神はアベルの供え物を良いと認めたのです。アベルは死にましたが、今も信仰によって語っていると

いえます。

5 信仰によってエノクは、死を見ないように移されました。神によって移されたので、どこにも姿が見えなくなり

ました。移される前に、神に喜ばれて高く評価されたのです。6 信仰がな

ければ、神に喜ばれることはありません。神に近づく人は、神が存在し、熱

心に仕えようと努める人たちに報いてくださる、ということ信じなければな

りません。

7 信仰によってノアは、まだ見ていない事柄について神から警告された

後、神への畏れを示し、自分の家族を救うために箱船を建造しました。そし

て、この信仰により世を断罪し、信仰のゆえに正しいと認められました。

8 信仰によってアブラハムは、神に招かれた時に従い、神から与えられる

ことになる場所へ向かいました。行き先も知らないまま出掛けたのです。

9 そして信仰によって、約束の地で外国人として暮らし、自分と同じ約束を

与えられたイサクやヤコブと共に天幕に住みました。10 アブラハムは真

の土台を持つ都市を待ち望んでいたのです。その都市の設計者および建設

者は神です。

11 信仰によってサラも、すでに老

齢^{れい}になっていたのに子孫^{しそん}をもうける力^{ちから}を得^えました。約束^{やくそく}をした方は信頼^{しんらい}できる方^{かた}である、と信じていたからです。

12 こうして、老齢^{ろうれい}のアブラハム^あ1人^{ひとり}から、たくさん^{たくさん}の子孫^{しそん}が生まれました。その数^{かず}は天^{てん}の星^{ほし}のように多く、海辺^{かいべ}の砂^{すな}のように数え切れません。

13 これらの人は皆、信仰^{しんこう}を抱^{いだ}いて死^しにました。生きている間^{あいだ}には約束^{やくそく}されたものを受け^うけませんでした^けが、それをいわば遠く^とから見て喜^{よろこ}び、自分^{じぶん}たちがよそ者^{よそもの}で一時的^{いちじてき}居住者^{きょじゅうしや}であることをを人々^{ひと}に伝え^{つた}ました。14 そのように語^{かた}る人^{ひと}は、住むことになる場所^{ばしょ}を心^{こころ}から求^{もと}めていることをはっきり示^{しめ}しています。15 もし彼ら^{かれ}が、後^{あと}にした場所^{ばしょ}をいっつも思^{おも}い出^だしていたのであれば、帰^{かえ}る機会^{きかい}もあったことでしょう。16 しかし^{いま}、彼ら^{かれ}は、より良^よい場所^{ばしょ}、つまり天^{てん}と関^{かか}わりのある場所^{ばしょ}を切望^{せつぼう}しています。それで神^{かみ}は、彼ら^{かれ}を恥^かじてはおらず、彼ら^{かれ}から神^{かみ}として呼^よび掛^かけられることも恥^はじていません。彼ら^{かれ}のために都市^{しやうい}を用意^{ようい}しています。

17 信仰^{しんこう}によってアブラハム^あは、試^{ため}された時^{とき}にイサク^{いさく}を捧^{ささ}げたと同然^{どうぜん}でした。約束^{やくそく}を与^{あた}えられて喜^{よろこ}んだ人^{ひと}が、自分^{じぶん}の独^{ひとり}子^ごを捧^{ささ}げようとしたのです。18 「あなたの子孫^{しそん}と呼ば^よばれる者^{もの}はイサク^{いさく}から出^でる」と言^いわれていたにもか

11:11 *または、「子供を産める年齢を過ぎていた」。11:12 *直訳、「死んでいた」。子孫をもうけられなくなっていたということ。11:18 *直訳、「種」。

第11章

(ア) 創 17:17
創 21:2

(イ) ロマ 4:19

(ウ) 創 21:5

(エ) 創 22:17
王一 4:20

(オ) 創 47:9

(カ) ヨハ 8:56

(キ) 創 11:31

(ク) 出 3:6,15

(ケ) ヘブ 11:10
ヘブ 12:22

(コ) 創 22:1,2

(ク) 創 22:9,10
ヨハ 3:16

(コ) 創 21:12

第2欄

(ア) コー 10:11

(イ) 創 27:27-29

(ウ) 創 27:38-40

(エ) 創 47:29

(オ) 創 48:15,16,
20

(カ) 創 47:31

(キ) 創 50:24,25
出 13:19

(ク) 出 2:2

(ケ) 使徒 7:20

(コ) 出 1:16,22

(ク) 出 2:11

(コ) 出 2:10

(エ) 出 10:28

(エ) 出 12:51

かわらずです。19 アブラハムは、イサク^{いさく}が死^しんでも神^{かみ}は生き返^{かえ}らせることができる、と考えました。そして、いわばイサク^{いさく}を死^しから取^とり戻^{もど}し、それは1つの例^{れい}となりました。

20 信仰^{しんこう}によってイサク^{いさく}は、将来^{しょうらい}起きる事柄^{しんこう}に関してヤコブ^{やこぶ}とエサウ^{えさう}のために祝福^{しゅくふく}を願^{ねが}いました。

21 信仰^{しんこう}によってヤコブ^{やこぶ}は、死ぬ間^{しんこう}際にヨセフ^{よせふ}の息子^{むすこ}たちそれぞれのた^{しゅくふく}めに祝福^{しゅくふく}を願^{ねが}い、つえに寄^より掛^かかりながら神^{かみ}を崇拝^{すうはい}しました。

22 信仰^{しんこう}によってヨセフ^{よせふ}は、死^しが近づ^{ちか}づいた時^{とき}にイスラエル^{いすらい}の子孫^{だっしゅつ}の脱出^{だつしゅつ}について語^{かた}り、自分^{じぶん}の骨^{ほね}について指示^{しじ}を与^{あた}えました。

23 信仰^{しんこう}によってモーセ^{りようしん}の両親^{せうじん}は、モーセ^{モーセ}を生^{せい}後^ご3カ月^{げつ}の間隠^{あいかく}しました。その子^こが美^{うつく}しいのを見^みたからであ^おり、王^{おう}の命^{めい}令^{れい}を恐^{おそ}れなかつたのです。

24 信仰^{しんこう}によってモーセ^{モーセ}は、成人^{せいじん}した後^{のち}ファラオ^{ふらう}の娘^{むすめ}の子^こと呼ば^よばれることを拒^{こぼ}み、25 罪^{つみ}のつかの間の快楽^まにふけるよりも神^{かみ}の民^{たみ}と共に虐待^{ぎやくたい}されることを選^{えら}びました。26 任命^{にんめい}された者^{もの}として非難^{ひなん}を受けることは、エジプト^{えじぷと}の宝^{たから}より価値^{かち}がある、と考えたからです。報^{むく}いを一心^{いつしん}に見^みつめたのです。27 信仰^{しんこう}によってモーセ^{モーセ}は、王^{おう}の怒^{いか}りを恐^{おそ}れることなくエジプト^{えじぷと}を去^さりました。目^めに見^みえない方^{かた}を見^みているよ

11:22 *または、「自分を葬ってほしい場所」。
*または、「命令」。11:26 *直訳、「キリスト」。

ください。そうすれば、^{つか}疲れて^{あきら}諦めてしま^ううことはな^いでしょう。

4 皆^{みな}さんは罪^{つみ}と闘^{たたか}っていますが、ま^ちだ血^{なが}を流^{なが}すまで抵抗^{ていこう}したことはありませ^なせん。**5** そ^こで、皆^{みな}さんに子^こと呼^よび掛^かけている次^{つぎ}の言^{こと}葉^ばをす^{わす}っかり忘^{わす}れてしま^っています。「わが子^こよ、エホバか^らの矯^{きよう}正^{せい}を軽^{かる}く見^みてはな^らない。神^{かみ}に正^{ただ}されるとき、諦^{あきら}めてはな^らない。

6 エホバは愛^{あい}する人^{ひと}を矯^{きよう}正^{せい}するから^だ。ご自^じ分^{ぶん}が子^ことして迎^{むか}え入^いれる人^{ひと}を皆^{みな}むち打^{うち}つのである^{（イ）}。

7 皆^{みな}さんは矯^{きよう}正^{せい}の一環^{いつかん}として忍^{にん}耐^{たい}する必要^{ひつよう}があります。神^{かみ}は皆^{みな}さん^を子^ことして扱^{あつか}っています。父^{ちち}親^{おや}から矯^{きよう}正^{せい}を受^うけな^い子^こが^いるで^しょうか。**8** も^し皆^{みな}さんが矯^{きよう}正^{せい}を受^うけて^いない^とすれ^ば、子^ことして正^{せい}式^{しき}に認^めら^れて^いない^こに^なっ^てしま^います。**9** ま^た、私^{わたし}たちは人^{にん}間^{げん}の父^{ちち}親^{おや}から矯^{きよう}正^{せい}を受^うけ、父^{おや}親^{けい}に敬^{けい}意^いを払^{はら}いま^した。で^はな^おのこ^と、天^{てん}の父^{ちち}に^た従^{したが}っ^て生^いき^るべ^きで^はな^いで^しょうか。**10** 人^{にん}間^{げん}の父^{ちち}親^{おや}は、自^じ分^{ぶん}が良^よい^{おも}い^{おも}う^{よう}に私^{わたし}たち^を短^{みじ}い^{あい}だき^{よう}せ^いい^{てん}、天^{てん}の父^{ちち}は、私^{わたし}たち^をのた^めに矯^{きよう}正^{せい}を^あた^わし^{かみ}に^せい^{もの}に^なる^{よう}に^して^くだ^さい^ます。**11** 確^{たし}かに、ど^んな^{きよう}矯^{せい}正^{せい}も、そ^の時^{とき}は喜^{よろこ}ば^いしい^{おも}い^{いた}もの^に思^{おも}え^ず、痛^{いた}み^を伴^{とも}な^いま^す。し^かし^し後^{のち}に、そ^れに^よっ^て

12:5,6 * 付録A5参照。**12:6** * または、「罰する」。**12:7** * または、「訓練」。**12:9** * または、「聖なる力によって生活を導いてくださる父」。**12:11** * または、「耐え難いものです」。

第12章

(イ) ガラ 6:9

(イ) 格 3:11,12

(イ) サ二 7:14

ヘブ 2:10

(イ) 格 13:24

(イ) ヤコ 4:10

(イ) ペー 1:15,16

第2欄

(イ) イザ 35:3

(イ) 格 4:26

(イ) 詩 34:14

ロマ 12:18

ロマ 14:19

(イ) ロマ 6:19

テサー 4:3,4

ヘブ 10:10

(イ) 申 29:18

(イ) 創 25:32,34

(イ) 創 27:34

(イ) 出 19:12

(イ) 出 19:18

(イ) 出 19:16

く^んれん^{ひと} 訓^{へい}練^わされた人^{あじ}は平^{*}和^{ただ}を味^{あじ}わ^いま^す。正^{ただ}しく生^いき^られる^{よう}に^なる^のです。

12 で^すか^ら、垂^たれ^さ下^さが^つた手^てと弱^{よわ}った膝^{ひざ}を強^{つよ}くしま^しょう。**13** そ^して、自^じ分^{ぶん}の足^{あし}のた^めに^いつ^も真^まっ^すぐ^な道^{みち}を^つく^つく^ださ^い。弱^いい部^{よわ}分^{ぶん}が^だっ^きう^う脱^だ白^{はく}し^たり^せず、か^えっ^て癒^いや^され^るよ^うに^しる^ため^です。**14** 全^{すべ}て^{ひと}の人^{へい}と平^わ和^{かん}な^{けい}関^き係^{けい}を^さん^じき^し、神^{しん}聖^{せい}な^もの^とさ^れる^{よう}に^しる^ため^です。神^{しん}聖^{せい}に^され^なけ^れば、誰^{だれ}も^し主^{しゅ}を^みる^こと^はで^きま^せん。

15 誰^{だれ}も^{かみ}神^おから^お惜^{しん}し^めみ^ない^う親^{しん}切^{せつ}を受^うけ^そ損^そな^うこ^とが^ない^{よう}に、注^{ちゅう}意^い深^{しん}く^い見^み守^{しゅ}つ^てく^ださ^い。有^あ毒^{どく}な^お根^ねが^はえ^で出^でて^し問^{もん}題^{だい}を^おこ^し、そ^れに^よっ^て多^{おお}く^の人^{ひと}が^けが^ない^{よう}に^しま^しょう。**16** そ^して、皆^{みな}さん^{の中}に、性^{せい}的^{てき}に^ふ道^{どう}徳^{とく}な^し人^{ひと}や、神^{しん}聖^{せい}な^もの^と事^{ごと}物^{ぶつ}の^か価^か値^ちを^{にん}し^きし^なか^つた^エサ^ウの^うよ^うな^な人^{ひと}が^いない^{よう}に、見^み守^{しゅ}つ^てく^ださ^い。エ^エサ^ウは¹度^どの^し食^{しょく}事^じと^ひき^かえ^に長^{ちやう}男^{なん}と^して^の権^{けん}利^りを^てば^なし^た。**17** ご^{ぞん}と^おお^と、後^{あと}に^なっ^てエ^エサ^ウは^し祝^{しゅ}福^{ふく}を^うけ^るこ^とを^{のぞ}望^{ぞう}み^した^が、退^{しりぞ}け^られ^まし^た。父^{ちち}親^{おや}に^かん^がえ^直し^ても^らお^うと^なみ^だと^なら^ない^たに^こ頼^{たの}み^込み^した^が、無^む駄^だで^した。

18 皆^{みな}さんが^ち近^{ちか}づ^いた^のは、触^ふれ^るこ^とが^でき^るも^ので^はあ^りま^せん。火^ひで^も燃^もえ^てい^るも^ので^はな^く、暗^{くら}い^{くも}雲^うや^こや^みあ^らし^{（イ）}濃^{おお}い^{（イ）}闇^{くら}や^み嵐^{あらし}で^もな^く、**19** ラ^ラッ^ッパ^パの^大

12:11 * 直訳、「平和な実を結び」。**12:16** * 用語集の「性的不道德」参照。

きな音でも言葉^{おとつ}を語る^{こと}声^ばでもありま^{かた}せん。その声^{こえ}を聞いた民^きは、それ以上^い何も語り掛けないでほしいと懇願^{かんがん}しました。20 「たとえ獣^{けもの}でも、山^{やま}に触れるなら石打ち^{いしうち}にしなければならな^ふい」という命令^{めいれい}に、民^{たみ}は縮み^{ちぢ}上がった^あのです。21 また、その光景^{こうけい}があまりにも恐ろしかったので、モーセは、^{おそ}「私^{わたし}はおびえて震えている^{ふる}」と言いま^いした。22 一方^{いっぽう}、皆さんが近づいた^{みな}のは、シオンの山^{やま}、生きている神^いの都市^{とし}である天^{てん}のエルサレム^{えりさるむ}、無数の天使^{むすうてんし}たちが23 集まった大群^{あつたいぐん}、天^{たい}に登録^{てんろく}されている初子^{はつこ}たちの会衆^{かいしゅう}、全ての者^{すべてのもの}を裁く方^{さばかた}である神^{かみ}、聖なる力^{せいなるちから}に導かれ^{みちび}て生きる^{いき}、完全にされた正しい者^{みづかた}たち、24 新しい契約^{あたらしいけいやく}の仲介者^{ちゆうかいしや}であるイエス^{イエス}、そして、アペルの血^ちよりも優れたこと^{すぐ}を語る^{かた}、振り掛けられた血^ちです。

25 皆さんは、語^{みな}っている方^{かた}を無視^{むし}することがないようにしなさい。地上^{ちじやう}で神^{かみ}からの警告^{けいこく}を伝えていた者^{もの}を無視^{むし}した人たちが逃^{ひと}れられなかったのですから、私たちは天^{わたくし}から語る方^{かた}に背^せを向けるなら、なおのこと逃^のれられません。26 あの時にその方^{とき}の声^{こえ}は地^ちを揺り動かし^{ゆり}ました。その方^{うご}は今やこう約束^いしています。「私はもう一度^{わたし}、地^{いち}だけでなく天^{てん}をも揺り動かす^{うご}」。27 「もう一度^い」というこの表現^{ひやうげん}は、揺り動かされ^{ゆり}るものが取り除かれることを示してい

12:22 *または、「幾万もの」。12:25 *または、「に耳を傾けるのを拒む」、「に言い訳をする」。

第12章

例出 19:19
例申 4:11,12
例出 20:18,19
例出 19:12,13
例申 9:19
例啓 14:1
例啓 21:2
例ダニ 7:10
例創 18:25
詩 94:2
イザ 33:22
例ヘブ 12:9
例ヘブ 10:14
例マタ 26:27,28
例テモ一 2:5
ヘブ 9:15
例創 4:8,10
例ヘブ 1:2
ヘブ 2:2-4
例出 19:18
例ハガ 2:6

第2欄

例申 4:24

第13章

例テサー 4:9
ペー 1:22
例ロマ 12:13
テモ一 3:2
例創 18:2,3
例創 19:1-3
例コロ 4:18
例ロマ 12:15
例格 5:16,20
マタ 5:28
例格 6:32
コ一 6:9,10
コ一 6:18
ガラ 5:19,21
例テモ一 6:10
例格 30:8,9
テモ一 6:8

ます。つくられたものが取り除かれ、揺り動かされないものが残^{のこ}るのです。28 それで、私たちは決して揺り動かされない王国^{おうこく}を授けられることになっ^{さず}ているのですから、引き続き惜しみない親切^{しんせつ}を受けられるようにしましう。その親切^{しんせつ}によって私たちは、神^{かみ}に受け入れられる神聖^{しんせい}な奉仕^{ほうし}を行うことができ^{おこな}ます。神^{かみ}を畏^{おそ}れて敬い^{うやま}つつ奉仕^{ほうし}しましう。29 私たちの神^{かみ}は、焼き尽く^やす火^ひなのです。

13 兄弟愛^{きょうだいあい}を持^もち続けてくだ^{つづ}さい。2 人^{ひと}をもてなすこと^をを忘^{わす}れてはなりません。そうすることに^をよってある人^{ひと}たちは、知ら^しずに天使^{てんし}たちをもてなしました。3 捕^とらわれて^{おほ}いる人^{ひと}たちのことを覚えていてくだ^{おほ}さい。自分^{じぶん}たちも一緒^{いっしょ}に捕^とらわれているかのようにです。また、虐待^{ぎやくたい}されている人^{ひと}たちのことも覚えていてくだ^{おほ}さい。皆さんも同じ^{みな}体^{からだ}を構成^{こうせい}しているからで^{*}す。4 結婚^{けっこん}は全て^{すべて}の人^{ひと}に尊^{とうと}ばれるべきであり、夫婦^{ふうふ}の關係^{かんけい}は汚^{けが}れのないものであるべきです。神^{かみ}は性的^{せい}に不道德^{ふどうどく}な人^{ひと}や姦淫^{かんいん}をする人^{ひと}を断罪^{だんざい}するからで^{*}す。5 お金^{かね}を愛^{あい}するよう^いな生き方^{かた}をせず、今あるもので満足^{まんぞく}しましう。神^{かみ}はこう言^いっています。「私は決^{けつ}してあな^みたを離^{はな}れず、決^{けつ}してあなたを見捨^{みす}てな

12:27 *神以外の者によってつくられた事物のこと。13:2 *または、「見知らぬ人に親切にする」。13:3 *もしかすると、「自分たちも一緒に苦しんでいるかのように」。13:4 *用語集の「性的不道德」参照。

い」。6 それで、私たちは勇気を持ってこう言えます。「エホバは私を助けてくださる。私は恐れない。人が私に何を行えるだろう」。

7 皆さんを教え導いている人たちのことを心に留めてください。皆さんに神の言葉を語った人たちです。その人たちの行いがどのような結果になるかをよく見て、その信仰に倣ってください。

8 イエス・キリストは、昨日も、今日も、そして永遠に同じです。

9 さまざまな怪しい教えに惑わされてはなりません。食べ物によって心が強くされるより、惜しみない親切によって心が強くされる方がよいのです。食べ物に気を取られることは当人のためになりません。

10 私たちには祭壇があり、天幕で神聖な奉仕をする人たちにはその祭壇のものを食べる権限がありません。

11 動物の血は罪の捧げ物として大祭司により聖なる場所に持っていかれ、動物の体は宿営の外で焼かれます。12 それでイエスも、自分の血で民を神聖なものとするために、都市の門の外で苦しみました。13 ですから、私たちはイエスが負った非難を負い、宿営の外に出てイエスのもとに行きましょう。14 私たちは永続する都市をここに持っておらず、これから来る

第13章

(例) 申 31:6,8

(例) 詩 118:6

ダニ 3:17

ルカ 12:4

(例) テモ 5:17

ヘブ 13:17

(例) コー 11:1

テサ 2:3-7

(例) ロマ 14:17

コ 8-8

コロ 2:16

(例) コー 9:13

コ 10:18

(例) レビ 16:27

(例) ヘブ 9:13,14

(例) ヨハ 9:17

(例) ロマ 15:3

2テ 12:10

ペ 4:14

第2欄

(例) ヘブ 11:10

ヘブ 12:22

(例) レビ 7:12

詩 50:14,23

(例) ロマ 10:9

(例) 詩 69:30,31

ホセ 14:2

(例) ロマ 12:13

(例) フィリ 4:18

(例) テサー 5:12

(例) エフ 5:21

ペ 5:5

(例) 使徒 20:28

(例) コ 1:12

(例) ペ 5:4

とし 都市を心から待ち望んでいるのです。15 イエスを通して、絶えず神に賛美の犠牲を捧げましょう。神の名を人々に伝えて、言葉で神を賛美するのです。

16 さらに、善を行うことや、持っている物を分け合うことを忘れてはなりません。神はそのような犠牲をとても喜んでくださいます。

17 皆さんを教え導いている人たちに従い、進んで応じてください。その人たちは皆さんを見守っており、そのことに関して責任を問われることになります。それで、その人たちが喜んで働けるようにしてください。もし嘆きながら働くことになれば、それは皆さんのためになりません。

18 私たちのために祈り続けてください。私たちは、鋭敏な良心を持っていますと信じており、何事においても正直に行動したいと願っています。19 特に祈っていただきたいのは、私が早く皆さんの所に帰れるようにということです。

20 平和の神は、羊の偉大な牧者である主イエス、すなわち永遠の契約の血を携えた方を生き返らせました。その神が、21 皆さんにあらゆる良いものを与えて、皆さんが神の望むことを行えるようにしてくださいますように。神がイエス・キリストを通して働き掛けてくださり、私たちが神に喜ばれることを行えますように。神がいつまでも永

13:6 *付録A5参照。13:7, 17 *または、「皆さんの中で率先している」。13:9 *食べ物に関する規則のこと。

13:15 *直訳、「唇の実」。13:18 *または、「曇りのない」、「正直な」。

えん 遠にたたえられますように。アーメン。

22 兄弟たち、ぜひこの励ましの言葉に辛抱強く耳を傾けていただきたいと思います。私は短い手紙を書いたつもりです。23 私たちの兄弟テモテが釈放されたことをお知らせします。彼が早く来れば、一緒に皆さんに会いに行けるでしょう。

第2欄

第13章

㊦ 使徒 27:1

24 皆さんを教導している人たちと他の聖なる人たちが全てに、私からのあいさつを伝えてください。イタリアに人たちが皆さんによろしくと言っています。

25 皆さんに惜しめない親切が示されますように。

13:24 * または、「皆さんの中で率先している」。

ヤコブの手紙

概要

- | | |
|---|---|
| <p>1 あいさつの言葉 (1)
忍耐するなら幸せになる (2-15)
信仰の質が試される (3)
信仰を持って求め続ける (5-8)
欲望は罪と死につながる (14, 15)
良い贈り物は全て天から来る (16-18)
神の言葉を聞いて実践する (19-25)
鏡を見る人 (23, 24)
清く汚れない崇拜 (26, 27)</p> <p>2 えこひいきは罪 (1-13)
愛に関する卓越した律法 (8)
行動が伴わない信仰は死んでいる (14-26)
邪悪な天使たちも信じておびえている (19)
アブラハムはエホバの友と呼ばれた (23)</p> | <p>3 舌を従わせる (1-12)
多くの人が教える人になるべきではない (1)
天からの知恵 (13-18)</p> <p>4 世の友となってはならない (1-12)
悪魔に立ち向かう (7)
神に近づく (8)
誇らないようにとの警告 (13-17)
「もしエホバが望まれるなら」 (15)</p> <p>5 裕福な人への警告 (1-6)
辛抱強く忍耐する人は神に祝福される (7-11)
「はい」は、はいを意味するように (12)
信仰の祈りには力がある (13-18)
戻るよう罪人を助ける (19, 20)</p> |
|---|---|

1 神と主イエス・キリストの奴隷であるヤコブから、各地に散っている12部族へ。

あいさつを送ります。

2 私の兄弟たち、さまざまな試練に遭う時、それを喜ばしいことと考えましょう。3 ご存じの通り、そのように

第1章

㊦ マタ 13:55

㊦ マタ 5:11,12

第2欄

㊦ ペー 1:6,7

㊦ コー 14:20

エフ 4:13

して信仰の質が試されると、忍耐力が身に付くからです。4 忍耐するのをやめないでください。忍耐がその役割を果たす時、皆さんは完全になり、全ての点で健全な、欠けたところがない人になります。

5 皆さんの中に知恵の欠けた人が

いるなら、その人は神に求め続けてください。神はとがめたりせず、全ての人に惜しみなく与えてくださるからです。求め続けければ与えられます。

6 ただし、少しも疑わず、信仰を持って求め続けなければなりません。疑う人は、風に吹かれて揺れ動く海の波のようです。7 そういう人は、エホバから何かを頂けると思ってはなりません。

8 その人は優柔不断で、何をするにも不安定です。

9 身分の低い兄弟は、重んじられるようになったことを喜んでください。

10 裕福な人は、身分が低くなったことを喜んでください。裕福な人は野の花のように朽ちることになるからです。

11 太陽が昇って、焼け付くような暑さになると、花はしおれ、花びらが落ちて美しくなくなります。同じように、裕福な人も 志半ばで消えていくのです。

12 試験に耐え続ける人は幸せです。神から良いと認められるとき、命の冠を受けるからです。その冠は、エホバがご自分を愛し続ける人たちに約束したものです。13 試験に遭う時、「神から試されている」と言ってはなりません。悪い事柄によって神が試されることはなく、誰かを試すこともないからです。14 人はそれぞれ、自分の欲望に引かれて惑わされることによ

1:5 *または、「あら探しをしたり」。1:7, 12 *付録A5参照。1:14 *または、「餌によるのかのように捕らわれる」。

第1章

(例) 王-3:9

マル11:24

ヨ-3:22

(例) マタ7:11

(例) 格2:3-6

ヨハ15:7

ヨ-5:14

(例) マタ21:22

ヘブ11:6

(例) マタ7:7

(例) ヤコ4:8

(例) ヤコ2:5

(例) テモ-6:17

(例) イザ40:6,7

マタ19:24

(例) マタ5:10

ヤコ1:2

(例) テモニ4:8

ペ-5:4

啓2:10

(例) ヤコ2:5

第2欄

(例) 創3:6

ヨ-2:16

(例) ロマ5:21

(例) マタ7:11

(例) エレ31:35

コ-4:6

(例) マラ3:6

(例) ヨハ1:12,13

ロマ8:28

エフ1:13,14

テサニ2:13

ペ-1:23

(例) 啓14:4

(例) 格10:19

格17:27

(例) 伝7:9

マタ5:22

(例) ヤコ3:18

(例) コロ3:8

ペ-2:1

(例) レビ18:5

サ-15:22

マタ7:21

ヨ-3:7

(例) ルカ6:46

ヤコ2:14

り、試されるのです。15 欲望は膨れ上がった時に罪を生みます。そして、罪は犯された時に死をもたらします。

16 私の愛する兄弟たち、思い違いをしてはなりません。17 良い贈り物、完全な贈り物は全て、天から、光の父から来ます。父は移り変わる影のように変化したりはしません。18 父の意志は、私たちを真理の言葉によって生み出すことでした。私たちがある意味で、造られたものから最初に選ばれた者となるためです。

19 私の愛する兄弟たち、覚えておいてください。皆が、人の言うことに進んで耳を傾けるべきです。すぐに話したり、すぐに怒ったりしてはなりません。20 怒りの気持ちからは、神が求める正しさは生まれません。21 ですから、あらゆる汚れや、どんな小さい悪をも捨て去ってください。そして、皆さんを救うことができる言葉を温和に受け入れ、それが心に植え付けられるようにしてください。

22 神の言葉を実践する人になってください。聞くだけの人になってはなりません。間違った考え方をして自分を欺いてはならないのです。23 神の言葉を聞いても実践しない人は、鏡

1:15 *直訳、「身ごもった」。1:16 *または、「だまされて」。1:17 *または、「天体の光」。*または、「父には影の移動による変化もあります」。1:18 *直訳、「造られたものの初物」。1:21 *もしかすると、「あふれるほどの悪を」。

で自分の顔を見る人に例えることができます。24 その人は自分を見ま

すが、そこを離れると、自分がどのような人かをすぐに忘れてしまいます。

25 しかし、自由をもたらす完全な律法をじっくり見て守る人は、聞いてすぐに忘れるのではなく、行動します。そのような人は幸せになります。

26 自分は神を崇拝していると思っ
ていても、舌を制御していないなら、その人は自分の心を欺いています。その人の崇拝は無意味です。27 私たちの父である神から見て、清く汚れない崇拝の型は、困っている孤児ややもめを世話すること、自分を世に汚されないように守ることです。

2 私^{わたし}の兄弟たち、皆さんは栄光に輝く主イエス・キリストに信仰を持^もっているはずなのに、えこひいきをしているのですか。2 例えば、上等な服を着て金の指輪を幾つもはめた人と、汚れた服を着た貧しい人が、皆さんの集まりに来たとします。3 皆さんは、上等な服を着ている人には親切にして、「この良い席にお座りください」と言い、貧しい人には、「立^たってください」とか「私の足元に座^{すわ}ってください」と言いますか。4 もしそうなら、差別をしていることになりません

1:23 *または、「生まれつきの顔」。1:26 *または、「信心深い」。*または、「言葉」。^または、「にくつわを掛けて」。1:27 *または、「宗教」。2:3 *または、「足台のそば」。

第1章

(ア) 詩 19:7

(イ) マタ 7:24
ルカ 11:28
ヨハ 13:17

(ロ) 詩 39:1
格 12:18
格 15:2
ペー 3:10

(ロ) ヨブ 29:12, 13
イザ 58:7

(ロ) 申 14:29
申 27:19
詩 68:5

(ロ) イザ 1:17
テモ 5:3

(ロ) コー 5:7
ヤコ 4:4
啓 18:4

第2章

(ロ) テモ 5:21
ヤコ 3:17

(ロ) レビ 19:15

第2欄

(ア) ガラ 3:28

(イ) 申 1:17

(ロ) 啓 2:9

(ロ) ルカ 22:28-30

(ロ) 使徒 13:50

(ロ) レビ 19:18
マタ 22:39
ロマ 13:10

(ロ) ヤコ 2:1

(ロ) レビ 19:15

(ロ) 申 27:26
ガラ 3:10

(ロ) 出 20:14
申 5:18

(ロ) 出 20:13
申 5:17

(ロ) ヤコ 1:25

か。ひどい判決を下す裁判官のようにならないでしようか。

5 私の愛する兄弟たち、よく聞いてください。神は、世間から見て貧しい人々を選^{えら}んで、豊かな信仰を抱かせ、王国を授けることにしたのでありませんか。その王国は、神を愛する人たちに約束されています。6 それなのに、皆さんは貧しい人々を侮辱しています。皆さんを苦しめ、法廷に引き出すのは、裕福な人々ではないでしようか。7 彼らは皆さんに与えられた立派な名を冒瀆するのはありませんか。8 もし皆さんが、「隣人を自分自身のように愛さなければなら^{ない}」という聖句の通りに、卓越した律法を実践しているのであれば、それはとても良いことです。9 しかし、えこひいきをし続けるなら、罪を犯して^いることになり、その律法によって違反者と宣告されます。

10 律法全体を守っていても、1つの点で踏み外すなら、その人は律法全てに違反したことになります。11 「姦淫をしてはならない」と命じた方は、「殺人をしてはならない」とも命じました。それで、姦淫をしなくても殺人をするなら、律法の違反者となります。12 自由の民の律法によって裁かれる人^{ひと}にふさわしい話^{はな}し方や振る舞い方を心掛けましょう。13 憐れみを示さ

2:8 *または、「王である」。2:9 *または、「として戒められ」。2:12 *直訳、「自由の律法」。

ない人は、憐れみを示されることなく
裁かれます。憐れみは裁きに打ち勝
つのです。

14 私の兄弟たち、誰かが自分に
は信仰があるとと言っても、行動が伴っ
ていないなら、何の価値があるでしょ
うか。その信仰はその人を救えませ
ん。そうではありませんか。 **15** 兄弟
や姉妹が、着る物を持っておらず、その
日に食べる物も十分になりません。

16 それなのに、皆さんのうちの誰か
が、「安心して過ごしてください。温か
くして、たくさん食べてください」と言
うだけで、体に必要な物をその人に
与えないなら、何の価値があるでしょ
うか。 **17** 同じように信仰も、行動が
伴っていないなら、死んでいるのです。

18 ある人はこう言います。「あな
たは信仰を持っていて、私は行動して
います。行動を別にしたあなたの信仰
を見せてください。そうすれば、私
は行動によって自分の信仰を見せま
しょう」。 **19** あなたは、唯一の神が
いることを信じているのですね。それ
はとても良いことです。とはいえ、邪
悪な天使たちも信じておびえています。

20 あなたは浅はかな人です。行動が
伴わない信仰は無意味だということ
を知ろうとしないのですか。 **21** 私た
ちの父祖アブラハムは、息子イサクを
祭壇の上に捧げ、行動によって、正し
いと認められたではありませんか。

第2章

(イ) 格 21:13
マタ 5:7
マタ 6:15
ルカ 6:36

(イ) テト 3:8
ヤコ 1:25

(ウ) コー 13:2

(ロ) 申 15:7,8
マタ 25:35,36
ルカ 3:11
ロマ 12:13
テモ 5:4
ヤコ 1:27
ヨ一 3:17

(ウ) マタ 7:21
ヘブ 10:24

(ウ) マタ 8:28,29
ルカ 4:33,34

(イ) 創 22:9,12

第2欄

(イ) ヘブ 11:17

(イ) 創 15:6
ロマ 4:3
ガラ 3:6

(ウ) 代二 20:7
イザ 41:8

(ロ) ヨシ 2:1,15
ヨシ 6:17
ヘブ 11:31

(ウ) 詩 146:4

(ウ) ロマ 10:10
ヤコ 2:17

第3章

(イ) ルカ 12:48

(ウ) 王一 8:46
格 20:9
ヨ一 1:8

22 アブラハムの信仰は行動が伴う
生きたものだった、ということが分か
ります。その信仰は行動によって完全
にされました。 **23** 「アブラハムはエホ
バに信仰を持ち、そのことは正しいと
見なされた」という聖句の通りになり、
アブラハムはエホバの友と呼ばれる
ようになったのです。

24 もうお分かりでしょう。人は行動
によって、正しいと認められるのです。
信仰だけで認められるではありません
せん。 **25** 娼婦ラハブも、使者たちを親
切に迎えて別の道へ送り出し、行動に
よって、正しいと認められたのではあり
ませんか。 **26** 生命力のない体が死
んでいるのと同じように、行動が伴わ
ない信仰も死んでいるのです。

3 私の兄弟たち、皆さんの多くが
教える人になるべきではありません
せん。教える私たちは、より厳しく裁か
れるからです。 **2** 私たちは皆、何度
も過ちを犯します。言葉で過ちを犯さ
ない人がいれば、それは完全な人で、
からだぜんたい せいぎよく うま したが
体全体を制御できます。 **3** 馬を従わ
せるために口にくつわをかませれば、
うま からだぜんたい あやつ ふね
馬の体全体を操れます。 **4** 船につ
いても考えてください。船はとても大き
く、強い風を受けて動きますが、かじを
と ひと ひじょう ちい つか おも
取る人は非常に小さなかじを使って思
い通りに船を動かします。

2:23 *付録A5参照。 **2:26** *または、「息」。
3:2 *直訳、「つまずき」。^{*}直訳、「つまずか
ない」。

5 同じように、舌は体の小さな部分
ですが、大いに自慢します。ご存じの通り、

ごく小さな火が大きな森を燃やして
しまいます。6 舌は火です。体の器

官のうち、舌は不正で満ちています。体
全体を汚し、人の一生を燃やしてしま

います。ゲヘナの火によって燃え立つ
のです。7 人間は、あらゆる種類の

野生動物、鳥、爬虫類、海の生き物を
従わせることができ、実際にそうしてきま

した。8 しかし、舌を従わせることは
誰にもできません。舌は手に負えない

有害なもので、死をもたらし毒で満ちて
います。9 私たちは舌で、父エホバ

を賛美する一方、「神に似せて」造ら
れた人間の不幸を願います。10 良

い言葉と悪い言葉が、同じ口から出て
くるのです。

私の兄弟たち、こうしたことがあつ
てはなりません。11 真水と苦い水

が同じ泉から湧き出ることはないでは
ありませんか。12 私の兄弟たち、イ

チジクの木にオリーブの実がなったり、
ブドウの木にイチジクの実がなったり

するでしょうか。塩水の泉から真水が
出ることありません。

13 皆さんの中に知恵と理解力が
ある人はいますか。その人は、立派な

振る舞いをし、自分が知恵によって温

3:6 *直訳、「誕生(起源)の車輪」。「用語集参
照。3:7 *または、「地面を動く生き物」。3:9
*付録A5参照。3:10 *または、「祝福を願う」。
*または、「不幸を願う」。

第3章

(例) 格 16:27
マタ 12:36, 37

(例) 詩 39:1
マタ 15:11, 18
マル 7:23

(例) 詩 140:3
格 12:18
格 18:7

(例) 創 1:26, 27
(例) エフ 4:29
(例) マタ 7:16

第2欄

(例) ロマ 13:13
コ一 3:3

(例) エフ 4:31
(例) コ一 13:4

(例) コ一 2:14
フィリ 3:19

(例) 格 14:30
ガラ 5:19-21

(例) ロマ 12:9
テモ一 5:1, 2

(例) コ二 13:11
テサー 5:13
ペコ 3:14

(例) テモ一 3:3
テト 3:2

(例) ガラ 5:22, 23

(例) ヤコ 2:9

(例) ペ一 1:22

(例) マタ 5:9
ペ一 3:11

(例) イザ 32:17
ヘブ 12:11

第4章

(例) ロマ 7:23
ガラ 5:17
ヤコ 3:14
ペ一 2:11

(例) マタ 5:22
ヤコ 3:16

和に行動していることを示してください
い。14 心の中心に強い嫉妬や対抗心

がある人は、自慢してはなりません。
うそを言って真理に逆らってはならな

いのです。15 そのような人の知恵
は、天から来るものではなく、地上のも

の、動物的なもの、悪魔的なものです。
16 嫉妬や対抗心があるところには、

無秩序やあらゆる不快なものがある
からです。

17 一方、天からの知恵を持つ人
は、第一に清く、次いで平和を求め、分

別があり、進んで従い、憐れみと良い
実に満ち、差別をせず、偽善的ではあ

りません。18 さらに、正しさの実は、
平和をつくり出して人たちのため

に、平和な状態の中でまかれた種から
生じます。

4 皆さんの間の衝突や対立の原
因は何ですか。一人一人の内

で争い続ける罪深い欲望ではありません
か。2 皆さんは欲しがりますが、

欲していません。憎しみを募らせ、欲
を膨らませますが、得られません。引

き続き対立し、衝突します。皆さんが
持っていないのは、求めないからです。

3 求めるとしても与えられません。罪
深い欲望を満たそうと、間違った目的

で求めているからです。
4 不忠実な人たち、世との交友は

3:14, 16 *もしかすると、「利己的な野心」。3:
18 *もしかすると、「によって」。4:1 *直訳、「器
官の中」。4:2 *直訳、「殺人をし」。4:4 *直
訳、「姦淫をした女性たち」。

神との敵対であることを知らないのです。世の友になろうとする人は、神の敵になろうとしているのです。5 それとも、聖句が理由もなく、「私たちの内にある精神は絶えずねたみながら渴望する」と述べていると思うのですか。6 しかし、神が示してくださる惜しみない親切は、そのような精神に勝ります。それで、こう述べられています。「神は傲慢な人に敵対し、謙遜な人に惜しみない親切を示してください。」

7 ですから、神に従ってください。悪魔に立ち向かってください。そうすれば、悪魔は逃げ去ります。8 神に近づいてください。そうすれば、神は近づいてくださいます。罪人たち、手を清めてください。優柔不断な人たち、心を清めてください。9 悲しみに暮れ、嘆き、泣いてください。笑いを嘆きに、喜びを失意に変えてください。10 エホバの前で謙遜になってください。そうすれば、神は皆さんを重んじてくださいます。

11 兄弟たち、互いのことを悪く言うのはやめましょう。兄弟を悪く言ったり、兄弟を批判したりする人は、律法を悪く言い、律法を批判していることになります。そして、もし律法を批判するのなら、律法を守る人ではなく、裁く人になってしまいます。12 法を定め

4:6 *または、「過分の」。4:10, 15; 5:4 *付録A5参照。4:10 #直訳、「高く上げて」。

第4章

(7) 代二 19:2
ヨハ 15:19
ヨハ 17:14
ヨハ 18:36
ヨ一 2:15
ヨ一 5:19
(1) 創 6:5
創 8:21
(2) 詩 138:6
(3) 格 3:34
ペ一 5:5
(3) ヘブ 12:9
ペ一 5:6
(3) エフ 4:27
エフ 6:11
(3) マタ 4:10, 11
ルカ 4:13
(2) イザ 44:22
イザ 55:6, 7
(2) イザ 1:16
(3) ヨ一 3:3
(2) ヨ二 7:12
(2) 代二 7:14
代二 33:12, 13
(3) 格 29:23
マタ 23:12
(2) レビ 19:16
格 17:9

第2欄

(2) イザ 33:22
(1) マタ 10:28
(2) マタ 7:1
ルカ 6:37
(3) ロマ 14:4
(3) ルカ 12:18-20
(2) 詩 39:6
格 27:1
伝 6:12
(2) ヨブ 14:1, 2
詩 102:3
ペ一 1:24
(2) 使徒 18:21
ヘブ 6:3
(2) ルカ 12:47
ヨハ 9:41
ヨハ 15:22

第5章

(2) 格 11:28
ルカ 6:24
ルカ 18:25
(3) マタ 6:19
ルカ 12:33
(2) エゼ 7:19
(2) レビ 19:13
申 24:14, 15
エレ 22:13
マラ 3:5

る方、裁く方はただひとりです。救うことも滅ぼすこともできる方です。それなのに隣人を批判するあなたは、いったい何者なのですか。

13 「今日か明日、あの都市に行つてそこで1年過ごし、商売をしてもうけよう」と言う人たち、14 皆さんは自分の命が明日どうなるかも知りません。皆さんは少しの間だけ現れて消える霧だからです。15 それで代わりに、「もしエホバが望まれるなら、私たちは生きていて、あれやこれができるだろう」と言うべきです。16 しかし今、皆さんは思い上がって偉そうに誇っています。そのように誇るのは全て悪いことです。17 正しいことをどのように行ふかを知っているのに行わないなら、それは罪なのです。

5 裕福な人たち、降り掛かろうとしている災難を思つて泣き叫びなさい。2 皆さんの富は朽ち、服は蛾に食われてしまいました。3 皆さんの金や銀はすっかりさびてしまいました。そのさびは皆さんに不利な証拠となり、皆さんの肉体を食い尽くすでしょう。皆さんが蓄えた物は、終わりの時代に火のようになります。4 皆さんが畑の収穫をさせた人たちに支払わなかった報酬が、叫び続けています。助けを求める刈り取り人の叫び声が、大軍を率いるエホバの耳に入りまし

た。5 皆さんは地上でぜいたくに暮

らし、自分の欲を満たしてきました。ほ
ふられる日のために自分の心を太ら
せました。6 皆さんは正しい人を有
罪とし、殺しました。その人は皆さん
に敵対していいのでしょうか。

7 兄弟たち、主の臨在の時まで辛
抱してください。農家の人は大地の貴
重な実りを待ち続け、秋の雨と春の雨
が降るまで辛抱します。8 皆さんも
辛抱し、心を強くしてください。主の臨
在が近づいたからです。

9 兄弟たち、互いへの不満をつぶ
やいてはなりません。断罪されないよ
うにします。裁く方が戸口の前
に立っています。10 兄弟たち、苦し
みに耐え、辛抱する点で、エホバの名
によって語った預言者たちを模範とし
てください。11 私たちは、忍耐した
人は幸せであると考えます。皆さんは
ヨブの忍耐について聞き、ヨブがエホ
バのおかげでどんな結末を迎えたか
を知っています。エホバは優しい愛情
にあふれ、憐れみ深い方なのです。

12 私の兄弟たち、何としても、誓う
ことをやめてください。天に懸けても、
地に懸けても、ほかのどんなものに懸
けても誓ってはなりません。「はい」
は、はいを、「いいえ」は、いいえを意
味するようにしてください。断罪され

5:5 *または、「殺される」。5:6 *もしかすると、
「神」。5:7, 8, 14 *用語集参照。5:10, 11,
14, 15 *付録A5参照。5:11 *または、「祝福
されている」。^または、「思いやり」。

第5章

(7) エレ 12:3

(7) マタ 24:3

(7) 申 11:14

エレ 5:24

(7) ヘブ 6:12

(7) テサー 3:13

(7) コー 4:5

(7) マタ 5:12

(7) ヘブ 6:12

(7) 代二 36:16

(7) ヤコ 1:2-4

(7) ヨブ 1:20, 21

(7) ヨブ 42:10

(7) 詩 103:8

ルカ 6:36

(7) マタ 5:34-37

第2欄

(7) 詩 50:15

(7) コロ 3:16

(7) 使徒 20:28, 35

ペー 5:2

(7) 詩 141:5

マル 6:13

ルカ 10:34

(7) サ二 12:13

詩 32:5

格 28:13

ヨ一 1:9

(7) サ一 12:18

王一 13:6

(7) 王一 17:1

(7) 王一 18:42, 45

(7) ガラ 6:1

(7) テモ一 4:16

ないようにするためです。

13 皆さんの中に、苦しみに耐えて
いる人がいますか。その人は祈り続け
てください。晴れやかな気持ちの人が
いますか。その人は賛美の歌を歌って
ください。14 病気の人がいますか。
その人は会衆の長老たちを呼んでく
ださい。そして、自分のために祈っても
らい、エホバの名によって油を塗って
もらってください。15 信仰の祈りは
病気の人を良くし、エホバがその人を
起き上がらせてくださいます。また、そ
の人が罪を犯したのであれば、許され
ます。

16 ですから、互いに罪を告白し、互
いのために祈ってください。そうすれ
ば癒やされます。正しい人の祈願には
大きな力があります。17 エリヤは、
私たちと同じようにいろいろな感情を
持つ人でしたが、雨が降らないように
と熱烈に祈ったところ、その地域には
3年半の間、雨が降りませんでした。
18 そして再び祈ると、天から雨が降
り、大地に実りが生じました。

19 私の兄弟たち、皆さんの中の誰
かが惑わされて真理から離れたもの
の、別の人に助けられて戻るとします。
20 誤った道から戻るよう罪人を助け
る人は、その罪人を死から救い、多く
の罪を覆うことになります。そのことを
覚えておいてください。

5:15 *もしかすると、「疲れている人」。5:20
*または、「が許されるよう助ける」。

ペテロの第一の手紙

概要

- | | |
|--|--|
| <p>1 あいさつの言葉 (1, 2)
新たに誕生し、生きた希望与えられる (3-12)
従順な子供として聖なる人となる (13-25)</p> <p>2 神の言葉を強く求める気持ちを育む (1-3)
生きた石が、聖なる力によって建てられている家を構成する (4-10)
世の中で外国人として生活する (11, 12)
正しい従い方 (13-25)
キリストは私たちの手本 (21)</p> <p>3 妻と夫 (1-7)
仲間をいたわり、平和を願う (8-12)
正しいことのために苦しむ (13-22)</p> | <p>希望について弁明できるよう準備しておく (15)
バプテスマと健全な良心 (21)</p> <p>4 キリストのように、神の望むことを行うために生きる (1-6)
全てのものの終わりが近づいている (7-11)
クリスチャンとして苦しみを受ける (12-19)</p> <p>5 神の羊の群れを世話する (1-4)
謙遜になり、油断なく見張る (5-11)
心配事を全て神に委ねる (7)
悪魔はほえるライオンのような (8)
結びの言葉 (12-14)</p> |
|--|--|

1 イエス・キリストの使徒ペテロから、ポントス、ガラテア、カパドキア、アジア、ビチニアに散っている、一時的居住者である選ばれた人たちへ。 **2** 皆さんは、父である神の予知に基づいて選ばれ、聖なる力によって神聖なものとされました。従順になつてイエス・キリストの血を振り掛けられるためです。

皆さんが惜しまない親切と平和をますます味わえますように。

3 私たちの主イエス・キリストの父である神が賛美されますように。神は深い憐れみを示してくださり、私たちを新たに誕生させ、イエス・キリストを復活させることによって生きた希望を与え、 **4** 朽ちることも色あせることも

第1章

(ア) マタ 10:2

(イ) 使徒 2:5,9

(ウ) ロマ 8:29

(ロ) テサ二 2:13

(ヨ) ヘブ 12:22,24

(カ) ペー 1:23

(キ) コー 15:20

(ク) 啓 20:6

第2欄

(ア) コー 15:53

テモ二 1:10

ペー 5:4

(イ) ヨハ 14:2

テモ二 4:8

(ウ) コ二 4:17

テモ二 3:12

(ロ) ヤコ 1:2,3

ない、汚れない財産を得られるようにしてくださいました。その財産は皆さんのために天に取っておかれています。 **5** 皆さんは信仰を抱いているので、終わりの期間に明らかにされることになっている救いのために、神の力によって守られています。 **6** こうしたことを皆さんはとても喜んでいきます。しかし、やむを得ないこととして、少しの間さまざまな試練に悩まされてきました。 **7** そのようにして皆さんの信仰の質は試されます。試された信仰は、火によって試された金よりもはるかに価値があります。金は試されたものであっても滅びるからです。そうした信仰を示すなら、皆さんは、イエス・キリストが明らかにされる時に、賛美

1:2 *用語集参照。＃または、「過分の」。

1:7 *または、「精錬された」。

と栄光と榮譽を受けられます。8 皆さんはキリストを見たことはありませんが、キリストを愛しています。今キリストを見てはいませんが、キリストに信仰を抱き、言葉にできないほどの素晴らしい喜びを感じて歡喜しています。9 信仰の結果として救いを得られるからです。

10 皆さんが受ける惜しみない親切について預言した預言者たちは、その救いに関して勤勉に探究し、注意深く調査しました。11 彼らは、自分の内にある聖なる力がキリストに関してどんな時や時期を示しているかを調べ続けました。神が聖なる力によって、キリストの苦しみとそれに続く栄光について事前に告げていたからです。12 預言者たちは、自分たちのためではなく皆さんのために奉仕していることを、啓示によって知りました。預言者たちが述べていた事柄は、天からの聖なる力によって良い知らせを広めた人たちを通して、皆さんに伝わりました。天使たちはそうした事柄を詳しく知りたいと願っています。

13 それで、活動に備えて思考を整え、常に頭がさえた状態を保ってください。イエス・キリストが明らかにされる時に皆さんに惜しみない親切が示されるのを待ち望んでください。14 従順な子供である皆さんは、無知だった時に抱いていた欲望に

1:13 *または、「鋭敏な感覚」、「冷静さ」。

第1章

(7) テサニ 1:7
(4) ロマ 6:22
(7) マタ 13:17
(4) ダニ 9:24-27
(7) イザ 53:5
(7) ヨハ 15:26
使徒 2:4
(4) ルカ 12:35

第2欄

(7) 申 28:9
ロマ 12:1
ヘブ 12:14
(4) レビ 11:44
レビ 19:2
レビ 20:7,26
(7) 申 10:17
(4) コリ 7:1
(7) コー 6:20
(7) 出 12:5
レビ 22:20
ヨハ 1:29
(4) イザ 53:12
ヘブ 9:14
(7) コー 5:7
(7) ヨハ 17:5
エフ 1:4

(4) コロ 1:26,27
(7) ヨハ 14:6
(4) 使徒 2:24
(4) ヘブ 2:9
(4) ロマ 12:9
ヨハ 3:17
(7) テモ一 1:5
(7) ヨハ 3:6
(7) ヨハ 6:63
ヤコ 1:18
(7) ヨハ 3:3
コリ 5:17
ペー 1:3
ヨハ 3:9

よって形作られるのをやめ、15 皆さんを招いた聖なる方のように、何をするにしても聖なる人であってください。16 「あなたたちは聖なる人でなければならぬ。私は聖なる者だからである」と書かれているからです。

17 また、一人一人の行いに応じて公平に裁く方を父と呼んでいるのであれば、一時的居住者として過ごす間、神への畏れを抱いて生活してください。18 ご存じのように、父祖たちから受け継がれてきたむなし生き方から皆さんが自由にされたのは、銀や金といった朽ちる物によるのではなく、傷も汚点もない子羊の血のような貴重な血、つまりキリストの血によるのです。20 世が始まる前から予知されていたキリストは、時代の終わりに皆さんのために現れました。21 皆さんはキリストを通して神を信じています。神はキリストを生き返らせて栄光を与え、皆さんは神に信仰と希望を抱くようになったのです。

22 皆さんは真理に従順であることによって自分を清め、その結果、偽善のない兄弟愛を抱くようになったのですから、心から熱烈に愛し合ってください。23 皆さんは、朽ちる種ではなく朽ちない種により、生きている永遠の神からの言葉を通して、新たに誕生しました。24 こう述べられていま

1:18 *または、「伝統的な」。「直訳、「贖われた」、「買い戻された」」。1:23 *命や実を生み出せる種、つまり聖なる力のこと。

す。「人は皆、草のようであり、人の栄光は全て、野の花のようである。草は枯れ、花は散る。25 しかし、エホバの言葉は永遠に存続する」。この「言葉」が、皆さんに伝えられた良い知らせです。

2 それで、全ての悪、欺き、偽善、ねたみ、あらゆる陰口を捨て去ってください。2 神の言葉にある、不純物のない乳を、生まれて間もない子供のように強く求める気持ちを育んでください。その乳によって成長し、救われるためです。3 皆さんは主が親切であることを味わったはずです。

4 主は生きた石です。人々に退けられましたが、神に選ばれた、神にとって貴重な方です。皆さんはそのもて来、5 自分たちも生きた石として、聖なる力によって建てられている家を構成しています。聖なる祭司となり、聖なる力に導かれつつ、神に受け入れられる犠牲を、イエス・キリストを通して捧げるためです。6 聖書にある通りです。「私はシオンに、選ばれた石、土台の貴重な隅石を据える。その石に信仰を抱く人は決して失望しない」。

7 それで、皆さんにとって主は貴重な方です。皆さんは信仰を持っているからです。しかし、信仰を持っていない人々にとっては、「建築者たちの退けた石、それが主要な隅石となった」

1:25 *付録A5参照。2:2 *または、「純粋な」。2:3 *または、「経験した」。2:6 *直訳、「恥をかかない」。2:7 *直訳、「隅の頭」。用語集参照。

第1章

(例) イザ 40:6-8

(例) テト 1:3

第2章

(例) ガラ 5:16

(例) ヤコ 1:21

(例) マル 10:15

(例) テモニ 3:15

(例) イザ 53:3

(例) ヨハ 19:15

(例) 詩 118:22

(例) イザ 42:1

(例) マタ 21:42

(例) 使徒 4:11

(例) エフ 2:21

(例) ロマ 12:1

(例) ヘブ 13:15

(例) イザ 28:16

(例) 詩 69:8

(例) 詩 118:22

(例) マタ 21:42

(例) ルカ 20:17

(例) 使徒 4:11

第2欄

(例) イザ 8:14

(例) イザ 43:20,21

(例) 啓 5:10

(例) 啓 20:6

(例) 出 19:5,6

(例) 申 7:6

(例) 申 10:15

(例) マラ 3:17

(例) エフ 5:8

(例) コロ 1:13

(例) ホセ 1:10

(例) 使徒 15:14

(例) ロマ 9:25

(例) ホセ 2:23

(例) ペー 1:17

(例) ガラ 5:17

(例) ヤコ 4:1

(例) ロマ 8:5

(例) ガラ 5:24

(例) ロマ 12:17

(例) テモニ 3:7

(例) マタ 5:16

(例) ヤコ 3:13

(例) ロマ 13:1

(例) エフ 6:5

(例) テト 3:1

(例) ペー 2:17

(例) ロマ 13:3,4

(例) テト 2:7,8

(例) ガラ 5:1

のであり、8 「つまずきの石、過ちの岩」なのです。彼らは神の言葉に不従順なため、つまずいています。そうなのは当然のことです。9 しかし皆さんは、神の「卓越性」を広く知らせるための、選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、特別な所有物である民です。神は皆さんを聞かずに自分の輝かしい光の中に招き入れてくださいました。10 皆さんは、かつては神の民ではありませんでしたが、今は神の民です。かつては憐れみを示されていませんでしたが、今は憐れみを示されています。

11 私の愛する人たち、外国人であり一時居住者である皆さんに勧めます。皆さんに戦いを仕掛ける罪深い欲望を常に退けてください。12 世の人々の中でいつも立派に行動してください。そうすれば人々は、皆さんのことを悪人だと非難していても、皆さんの立派な行動を見て、検分の日に神をたたえるようになるでしょう。

13 人間が作ったもの全てに、主のために従ってください。高い地位にいる王にも、14 悪人を処罰して善人を褒めるために王から遣わされた総督にも従うのです。15 皆さんが善をおこなふべつ、神の意志だからです。16 自由の民らしくあってください。悪

2:8 *または、「信仰を持てずに」。2:9 *直訳、「徳」。神の優れた性質や行いのこと。2:13 *または、「制度」。

おこな おお かく * じ ゆう もち
い行いを覆い隠すために自由を用い
てはなりません。あくまでも神の奴隷
として自由を用いてください。 17 あ
らゆる人を敬い、信仰で結ばれた兄弟
たち全員を愛し、神を畏れ、王を敬っ
てください。

18 召し使いは主人に深い敬意を
払いつつ従ってください。善良で分別
のある主人にだけでなく、気難しい主
人にもです。 19 神の前でやまいと
ころのない良心を保つために苦難を
忍耐し、不当な苦しみに耐えるのは、
喜ばしいことだからです。 20 罪を
犯したために打ちたたかれ、忍耐して
も、それに何の価値があるでしょうか。
しかし、善を行ったために苦しみに遭
い、忍耐するなら、それは神にとって喜
ばしいことです。

21 皆さんはこうした道に招かれ
ました。キリストでさえ皆さんのため
に苦しみ、その歩みに皆さんがしっか
り付いてくるよう手本を示しました。
22 キリストは罪を犯さず、欺きを語っ
たこともありませんでした。 23 侮辱
されても、仕返しをしたりしませんでした。
苦しみめられても、お手を脅したり
せず、正しく裁く方に自分を委ねまし
た。 24 杭に掛けられ、私たちの罪
を体に負ってくださいました。私たち
が罪に関して死に、正しく生きられる
ようにするためです。「彼の傷によって

2:16 *または、「悪いことを言う言い訳の」。 2:
19 *または、「悲しみ」、「痛み」。 2:23 *また
は、「のしられ」。 2:24 *または、「木」。 *ま
たは、「罪から解放され」。

第2章

(7) ガラ 5:13
(1) コー 7:22
(1) レビ 19:32
ロマ 12:10
ロマ 13:7
(1) ヨー 2:10
ヨー 4:21
(1) 詩 111:10
格 8:13
コニ 7:1
(1) 格 24:21
(1) エフ 6:5
コロ 3:22
テモ一 6:1
テ一 2:9
(1) ロマ 13:5
(1) ペー 4:15
(1) マタ 5:10
使徒 5:41
ペー 4:14
(1) ペー 3:18
(1) マタ 16:24
ヨハ 13:15
(1) ヨハ 8:46
ヘブ 4:15
(1) イザ 53:9
(1) マタ 27:39
(1) イザ 53:7
ロマ 12:21
(1) ヘブ 5:5
(1) エレ 11:20
ヨハ 8:50
(1) フイリ 2:8
(1) レビ 16:21

第2欄

(1) イザ 53:5
(1) イザ 53:6
(1) 詩 23:1
イザ 40:11

第3章

(1) ロマ 7:2
コー 11:3
エフ 5:22
(1) コー 7:16
(1) ペー 2:12
(1) 格 11:22
(1) エフ 4:24
コロ 3:10,12
テモ一 2:9,10
(1) 創 18:12
エフ 5:33
(1) 格 3:25
フイリ 1:28
(1) エフ 5:25
(1) ガラ 3:28

みな い 7) みな
皆さんは癒やされました。 25 皆さ
んはさまざまの羊のようでしたが、皆さん
の命を守る牧者であり監督である方
のもとに帰ってきました。

3 同じように、妻の皆さん、夫に
従ってください。そうすれば、神
の言葉に従順でない夫であっても、言
葉ではなく妻の振る舞いによって、引
き寄せられるでしょう。 2 皆さんの深
い敬意がこもった清い振る舞いを見る
からです。 3 皆さんを飾るのは、凝っ
た髪形や金の装飾品や上等な服と
いった外面のものであってはなりません。
4 自分の内面を飾りとししまし
う。物静かで温和な精神という朽ちな
い飾りです。それは神から見てもとて
も価値があります。 5 希望を抱いて神
を待っていた昔の聖なる女性たちは、
まさにそのようにして自分を飾り、夫に
従いました。 6 例えば、サラはアブ
ラハムを主人と呼んで従っていました。
皆さんも善を行い続け、忍れに屈しな
いなら、サラに倣えます。

7 同じように、夫の皆さん、知識に
基づいて妻と暮らしてください。女性
はより繊細な器ですから、妻を大切に
しましょう。妻たちも皆さんと一緒に、
命という惜しみない恵みを受けるので
す。妻を大切にするなら、祈りが妨げ
られることはないでしょう。

3:4 *または、「内面の人づまり心」。 3:6 *直
訳、「彼女の子供です」。 3:7 *または、「思いや
りを示しつつ」、「理解を示しつつ」。 *または、
「尊重」。

8 最後に、皆が、一致した考え、仲間をいたわる気持ち、兄弟愛、温かい思いやりを持ち、謙遜であってください。9 傷つけられたり侮辱されたりしても、仕返しをしてはなりません。かえって、相手に親切にしてください。皆さんはこうした道に招かれたからです。この通りにすれば、祝福を受けるでしょう。

10 こう書かれています。「生きることを愛して良い日々を送りたい人は、悪を語ってはならず、欺きを語ってはならない。11 悪から離れて善を行え。平和を願ひ、追求めよ。12 エホバは正しい人に目を留め、その人たちの祈願に耳を傾ける。しかし、エホバは悪を行う人に厳しい顔を向ける」。

13 皆さんが善いことを熱心に行うなら、いったい誰が皆さんに害を加えるでしょうか。14 たとえ正しいことのために苦しむとしても、皆さんは幸せです。人々が恐れるものを恐れたり、動揺したりしてはなりません。15 心の中で主キリストを神聖な方としてください。皆さんの抱く希望について説明を求める人にいつでも弁明できるよう、準備しておきましょう。語る時には、温和な態度と深い敬意を示しましょう。

3:8 *または、「同じ考え方」。3:9 *または、「のために祝福を願って」。3:10 *または、「舌を悪から、唇を欺きを語ることから守れ」。3:12 *付録A5参照。3:14 *もしかすると、「人々の脅し」。

第3章

〔イ〕 コー 1:10
 フィリ 2:2
 〔イ〕 ロマ 12:10
 〔イ〕 ロマ 15:5
 コロ 3:12
 〔イ〕 ペー 2:23
 〔イ〕 ロマ 12:17
 テサー 5:15
 〔イ〕 ロマ 12:14
 コー 4:12
 〔イ〕 ヤコ 3:8
 〔イ〕 格 8:13
 〔イ〕 ヨ三 11
 〔イ〕 テサー 5:13
 ヤコ 3:17
 〔イ〕 ヨ三 3:22
 〔イ〕 テサ 34:12-16
 〔イ〕 ロマ 13:3,4
 〔イ〕 マタ 5:11,12
 使徒 5:41
 ペー 2:19
 〔イ〕 マタ 10:28
 〔イ〕 格 15:1
 テモ二 2:24,25
 テト 3:1,2
 〔イ〕 コロ 4:6

第2欄

〔イ〕 使徒 23:1
 使徒 24:16
 テモ一 1:5
 テモ一 1:18,19
 テモ一 3:9
 〔イ〕 ロマ 12:21
 ペー 2:12
 〔イ〕 テト 2:8
 〔イ〕 コ二 1:7
 コロ 1:24
 〔イ〕 ペー 4:15
 〔イ〕 ロマ 5:6
 〔イ〕 ヘブ 9:28
 〔イ〕 コ二 5:18
 〔イ〕 コー 15:50
 〔イ〕 テモ一 3:16
 〔イ〕 ペ二 2:4
 ユダ 6
 〔イ〕 創 6:2,3
 〔イ〕 創 6:14
 〔イ〕 創 7:13,23
 〔イ〕 ヘブ 9:14
 ヘブ 10:22
 〔イ〕 詩 110:1
 使徒 7:55
 ヘブ 10:12
 〔イ〕 マタ 28:18
 コー 15:25
 エフ 1:20,21
 フィリ 2:9,10
 ヘブ 1:6

第4章

〔イ〕 フィリ 2:8

16 健全な良心を保ってください。そうすれば、皆さんについてどんな悪いことを言う人も、キリストに従う皆さんの良い振る舞いを見て恥ずかしく思うでしょう。17 皆さんが善を行って苦しむことを神が許すなら、そうなる方が悪を行って苦しむよりもよいのです。18 正しい方であるキリストは、正しくない人たちの罪のために一度限り死にました。皆さんを神に導くためです。キリストは人間として死にましたが、天での命を受けました。19 そして、捕らわれている天使たちの所に行って知らせを伝えました。20 その天使たちはノアの時代に不従順だった者たちです。その時代、神が辛抱して待っていた間、箱船が建造され、それに乗ったわずか8人の人が水の中を通して救われました。

21 これに相当するものであるバプテスマ(肉体の汚れを除くことなく、健全な良心を神に願い求めること)により、今皆さんはイエス・キリストの復活を通して救われています。22 キリストは天に行き、神の右にいます。天使たち、権威や力を持つ者たちがキリストに従っています。

4 キリストは人間として苦しんだのですから、皆さんもキリストと同じ精神を身に付けてください。苦

3:16, 21 *または、「晴れ晴れとした」、「正しく機能する」。3:19 *または、「刑の執行について」。3:20 *ギリシャ語、プシケー。用語集参照。3:21 *用語集参照。4:1 *または、「決意を抱いて」。

しんだ人は、罪を捨てた人なのです。

2 その人は残りの生涯を、もはや人間の欲望のためにではなく、神の望む

ことを行うために生きます。3 かつ

て皆さんは、恥知らずな行い、激しい欲情、飲み過ぎ、ばか騒ぎ、飲み比

べ、忌まわしい偶像崇拜にふけてい

ましたが、世の人々の好むことを行うのはもう十分です。4 墮落した放蕩

の道を皆さんが人々と一緒に走り続けることはありません。それで人々は

戸惑い、皆さんのことを悪く言います。

5 しかし、そうした人々は、生きている人と死んでいる人とを裁こうとしてい

る方に責任を問われることになりま

す。6 良い知らせは死んでいる人たちにも伝えられました。その人たちが、人間の観点からは外面に基づいて裁

かれても、神の観点からは聖なる力に

導かれて生きようになるためです。

7 全てのものの終わりが近づいて

います。ですから、健全な考え方をしま

しょう。また、祈ることを常に意識し

ていましょう。8 何よりも、熱烈に愛

し合ってください。愛は多くの罪を覆うからです。9 不満をつぶやくことな

く、もてなし合ってください。10 神の惜しみない親切はさまざまな形で表

第4章

(イ) ロマ 6:11

コロ 3:5

ヨハ 3:6

(イ) コリ 5:15

(イ) ガラ 2:20

エフ 5:17

(イ) ロマ 13:13

コリ 5:11

ガラ 5:19, 21

エフ 4:17-19

(イ) テト 3:3

(イ) ペー 3:16

(イ) 使徒 10:42

使徒 17:31

テモニ 4:1

啓 20:12

(イ) エフ 2:1

(イ) ロマ 12:3

テモニ 3:2

テト 2:6

(イ) コロ 4:2

(イ) コロ 3:14

(イ) 格 10:12

格 17:9

コリ 13:4, 7

(イ) コリ 9:7

ヘブ 13:2

第2欄

(イ) ロマ 12:6-8

(イ) イザ 12:2

エフ 3:20

(イ) コリ 10:31

(イ) ペー 5:9

(イ) ロマ 8:17

コリ 4:10

テモニ 3:12

(イ) 使徒 5:41

ヤコ 1:2

(イ) ペー 1:7

(イ) ヤコ 1:12

ヤコ 5:11

(イ) テモニ 5:13

ペー 2:20

(イ) コロ 1:24

ヘブ 12:2

(イ) ヘブ 3:6

(イ) コリ 11:32

(イ) テサニ 1:7, 8

た立派な管理人として、その能力を生

かして仕え合ってください。11 語る

人は、神からの宣言を語るように語っ

てください。奉仕する人は、神が与え

てくださる力に頼って奉仕してくださ

い。神が全てのことに関して、イエス・

キリストを通してたたえられるためです。栄光と力はいつまでも永遠に神の

ものです。アーメン。

12 愛する皆さん、自分たちが経験

している火のような試練について、異

常なことが起きているかのように驚い

てはなりません。13 かえって、キリス

トと同じ苦しみを味わっていること

を喜んでください。そうすれば、キリス

トの栄光が明らかにされる時にも歓喜

できるでしょう。14 キリストの名の

ために非難されているなら、皆さんは

幸いです。栄光ある聖なる力を神から

受けているからです。

15 皆さんの誰も、殺人や盗みや悪

い行いをしたり、人のことに干渉した

りして、苦しむことになってはなりません。16 しかし、クリスチャンとして苦

しみを受けるのであれば、恥じてはな

りません。クリスチャンであり続けて、

神をたたえてください。17 今は、裁

きが神の家から始まる、定めの時です。

裁きがまず私たちから始まるのであれ

ば、神の良い知らせに従順でない人

たちはどんな結末を迎えるでしょうか。

18 「正しい人が辛うじて救われるの

4:14 *または、「侮等」。

であれば、神を敬わない人や罪人はどうなるでしょうか。19 ですから、神の意志に従って苦しみを受けている人たちは、引き続き善を行いつつ、信頼できる創造者に自分を委ねましょう。

5 私は長老として、またキリストの苦しみの証人、やがて明らかにされる栄光と共に受ける者として、同じ長老の皆さんに勧めます。2 皆さんに委ねられた神の羊の群れを世話してください。強いられてではなく、神の前で進んで監督として奉仕し、不当な利益を得ようとしてではなく、真剣な態度で世話しましょう。3 神の財産である人たちに対して威張ったりせず、群れの模範となりましょう。4 そうすれば、牧者の長が現れる時、皆さんは色あせることのない栄光の冠を受けます。

5 同じように、若い皆さん、年長の人たちに従ってください。そして皆が、人と接する上で謙遜を身に付けてください。神は傲慢な人に敵対し、謙遜な人に惜しみない親切を示してください。

6 神の力強い手の下で謙遜になってください。そうすれば、神はやがて皆さんを重んじてくださいます。7 そして、心配事を全て神に委ねましょう。

5:2 *または、「進んで群れを注意深く見守り」。
5:3 *または、「神から委ねられた」。
5:5 *または、「長老」。
*または、「自分を低く見る考え方」。
5:6 *直訳、「高く上げて」。
5:7 *または、「不安」、「悩み」。

第4章

(イ) 格 11:31
マタ 7:13, 14
(イ) テモニ 1:12

第5章

(イ) ロマ 8:18
(イ) イザ 40:11
ヨハ 21:16
使徒 20:28
(イ) ヨハ 10:11
(イ) テモニ 3:2, 3
(イ) コニ 2:14
(イ) フィリ 3:17
(イ) ヘブ 13:20
(イ) コー 9:25
テモニ 4:8
ペー 1:3, 4
(イ) エフ 5:21
ヤコ 3:17
(イ) 格 3:34
イザ 57:15
ヤコ 4:6
(イ) マタ 23:12
ルカ 14:11
(イ) マタ 6:25

第2欄

(イ) 詩 55:22
(イ) テサー 5:6
(イ) ルカ 22:31
(イ) エフ 6:11
ヤコ 4:7
(イ) 使徒 14:22
テモニ 3:12
(イ) コニ 4:17
テサー 2:12
(イ) テサニ 2:16, 17
(イ) エフ 6:10
(イ) 使徒 15:27
(イ) 使徒 12:12

神は優しく気遣ってください。8 頭がさえた状態を保ち、油断なく見張ってください。敵である悪魔が、ほえるライオンのように歩き回って、誰かをむさぼり食おうとしています。9 揺るぎない信仰を持ち、悪魔に立ち向かってください。ご存じの通り、世界中にいる、信仰で結ばれた兄弟たちが、同じような苦しみを経験しています。10 皆さんが少しの間苦しんだ後、惜しみない親切に満ちる神は、皆さんの訓練を終えます。永遠の栄光を与えるためにキリストを通して招いてくださった神が、皆さんをしっかりと人、強い人、揺らぐことのない人にしてくださるのです。11 神に偉大な力が永遠にありますように。アーメン。

12 私はこの短い手紙を書き送るに当たり、忠実な兄弟シルワノに助けられました。この手紙によって、皆さんが励みを得て、神の惜しみない親切を確信することを願っています。その親切から決して離れないでください。13 バビロンにいる、皆さんと同じように選ばれた女性が、よろしくと言っています。私が愛するマルコムもそうしています。14 愛の口づけであいさつを交わってください。

キリストと結ばれた皆さん全員に、平和が与えられますように。

5:8 *または、「鋭敏な感覚」、「冷静さ」。
*または、「むさぼり食おうと探して」。
5:12 *シラスとも呼ばれる。
5:13 *会衆のことかもしれない。
*直訳、「私の子」。

ペテロの第二の手紙

概要

- | | |
|---|---|
| <p>1 あいさつの言葉 (1)
招かれ選ばれた者であり続ける (2-15)
信仰に加えるべきもの (5-9)
預言の言葉はいつそう確かなものとなった (16-21)</p> <p>2 偽りを教える人たちが現れる (1-3)
偽りを教える人たちは確実に処罰される (4-10前半)
タルタロスに投げ込まれた天使たち (4)</p> | <p>洪水、ソドムとゴモラ (5-7)
偽りを教える人たちの特徴 (10後半-22)</p> <p>3 あざける人たちは滅びが来ることを無視する (1-7)
エホバは遅いのではない (8-10)
自分がどんな人になるべきかを考える (11-16)
新しい天と新しい地 (13)
惑わされないように用心する (17, 18)</p> |
|---|---|

1 イエス・キリストの奴隷であり使徒であるシモン・ペテロから、神と救い主イエス・キリストの正しさに
よって私たちと同じ貴重な信仰を持つ
ようになった人たちへ。

2 皆さんが神と主イエスについて
の正確な知識を得て、惜しめない親
切と平和をますます味わえますように。

3 私たちは神の力により、神について
正確に知ることができ、神への専心を
示して生きるのに役立つ事柄全てを
与えられました。神は、栄光と徳に
よって私たちを招いてくださいました。

4 そしてその栄光と徳によって、貴重
で壮大な約束を与えてくださいまし
た。皆さんが、間違った欲望による世
の腐敗から逃れて、神に似た性質を持
つようになるためです。

1:1 *または、「同じく恵みを受けて信仰」。**1:2** *または、「過分の」。**1:3**, **4** *または、「無償で与え」、「惜しみなく与え」。**1:4** *または、「欲情」。

第1章

(例) コロ 1:9
(例) ヨハ 17:3
(例) ルカ 22:29-30
ヨハ 14:2
ガラ 3:29
(例) コー 15:53
ペー 1:3,4
ヨー 3:2
啓 20:6

第2欄

(例) フィリ 2:12
テモ二 2:15
ヘブ 4:11
ユダ 3
(例) フィリ 4:8
(例) ヨハ 17:3
ヘブ 5:14
(例) コー 9:25
テモ二 2:24
(例) ペ二 2:9
(例) テサー 4:9
(例) テト 3:14
(例) ヨー 2:9
啓 3:17
(例) ヘブ 9:14
(例) ヘブ 3:1
(例) テモ二 4:7,8

5 ですから、真剣な努力を尽くして、
皆さんの信仰に徳を加え、徳に知識
を、**6** 知識に自制を、自制に忍耐を、
忍耐に神への専心を、**7** 神への専
心に兄弟愛を、兄弟愛に愛を加えてく
ださい。**8** これらをあふれるほど豊
かに持っているなら、主イエス・キリ
ストについての正確な知識に基づい
て行動する点で、不活発になったり実
を結ばなくなったりすることはないで
しょう。

9 これらが欠けている人は目が見
えておらず、光に対して目を閉じてい
て、ずっと前の罪から清められたこと
を忘れています。**10** それで、兄弟た
ち、招かれ選ばれた者であり続けられ
るように、いっそう努力してください。
これらのことを行い続けるなら、決して
失敗には至りません。**11** そのよう

1:8 *直訳、「に関して」。**1:9** *もしかすると、「近くしか見えず」。

ペテロ第二 1:12-2:5

にして皆さんは豊かに祝福され、救い
主である主イエス・キリストの永遠の
王国に入るのです。

12 このような訳で、私は常にこう
した事柄を皆さんに思い起こさせたい
と思っています。もっとも、ご存じ
の事柄ですし、皆さんは学んだ真理に
しっかり基づいた生き方をしています。

13 ですが、私がこの幕屋にいる限り、
皆さんに繰り返し思い起こさせるのは
正しいことだと思っています。14 私
は、主イエス・キリストが明らかにし

てくださった通り、自分の幕屋が間もなく
取り除かれるのを知っているからで
す。15 私が去った後にも皆さんが
こうした事柄を思い起こせるよう、私
は常に最善を尽くします。

16 私たちは、主イエス・キリストの
力と臨在について、巧みな作り話に
よって皆さんに知らせたものではありません。
私たちはキリストの荘厳さ
を実際に見たのです。17 「これは私
の愛する子、私はこの子のことを喜ん
でいる」という言葉が荘厳な栄光に
よって伝えられた時、キリストは、父
である神から栄誉と栄光を受けまし
た。18 私たちがキリストと共に聖
なる山にいた時、その言葉が天から聞
こえたのです。

19 それで、私たちに与えられた預言の言

1:11 *または、「栄光に輝き」。1:13 *または、
「天幕」。地上での体のこと。1:15 *または、「語
れる」。1:16, 21; 2:4 *用語集参照。1:17
*または、「を是認した」。

第1章

(ア) マタ 2:44

(イ) ルカ 16:9

ヨハ 3:5

(ウ) コリ 5:1

(エ) ロマ 15:15

ユダ 5

(オ) ヨハ 21:18

(カ) マタ 17:2

マル 9:2

ルカ 9:29

(キ) 詩 2:7

マタ 17:1,5

マル 9:7

ルカ 9:35

第2欄

(ア) 詩 119:105

ヨハ 1:9

(イ) 民 24:17

啓 22:16

(ウ) テモニ 3:16

(エ) サニ 23:2

使徒 1:16

使徒 28:25

ペー 1:11

第2章

(ア) マタ 24:24

テモニ 4:1

(カ) コー 6:20

(キ) ユダ 4

(ク) イザ 52:5

(ケ) ユダ 4

(コ) ペニ 3:9

(ク) 創 6:4

エフ 6:12

(セ) ペー 3:19,20

(ス) ユダ 6

(セ) 創 7:23

ば葉はいっそう確かなものとなりました。
預言の言葉は、暗い所で輝くランプの
ように皆さんの心の中を照らします。
夜が明けて明星が昇るまで、皆さんが
それに注意を払っているのは良いこと
です。20 すでにご存じの通り、聖書
の預言はどれも個人的な解釈に基づ
いてはいません。21 どの預言も、人
間の考えによって語られたものではありません。人が聖なる力に導かれて、神
からの言葉を語ったのです。

2 しかし、民の中には偽預言者も
現れました。皆さんの中にも偽
りを教える人が現れるでしょう。その
人たちは破壊的な分派をひそかにつ
くり、自分たちを買い取った所有者を
ささ否定し、速やかな滅びを身に招き
ます。2 多くの人が彼らの恥知らず
な行いに倣い、そういう人たちのせい
で真理の道が悪く言われるでしょう。
3 また、彼らは貪欲にも、欺きの言葉
を語って皆さんを食物にするでしょ
う。とはいえ、昔から定められていた
処罰は遅れておらず、彼らの滅びはと
められていません。

4 神は、罪を犯した天使たちを処
罰しないでおくことはせず、タルタロス
に投げ込み、刑の執行のために濃い
闇の鎖で縛りました。5 また、古代
の世界を処罰しないでおくことはせず、

1:21 *直訳、「運ばれて」。2:2 *ギリシャ語ア
セルゲイアの複数形。用語集参照。2:4 *もし
かすると、「濃い闇の穴に入れ」。

神を敬わ^{かま}ない人々^{うやま}の世^{ひとびと}に洪水^{せ かい}をもたらしました。ただし、正しい^{こうずい}ことの伝道者^たノアをほかの7人と共に保護^{でん}しました。6 また、2つの町ソドムとゴモラを断罪^{だんざい}し、焼き尽くして灰にし、神を敬^{うやま}わ^{ひと}ない人たちが将来^{しょうらい}どうなるかを示^{しめ}しました。7 そして、不法^{ふ ぽう}な人々の恥知^{はじし}らずな行^{おこな}いに非常^{*}に苦^{くる}んでいた、正しい^{ただ}人^{ひと}口^{くち}を救^{すく}い出^だしました。8 (この正しい^{ただ}人は日^ひ々、同じ町^{まち}に住む人々の不法^{ふとぽう}な行^{おこな}いを見聞^{みきこ}きして、苦悩^{くう}していました。) 9 ですからエホバは、神への専心^{せんしん}を示^{しめ}す人々^{ひとびと}をどのようにに試験^{しけん}から救^{すく}い出^だすかを知^しっています。また、正しくない人々^{ただ}を処罰^{ひとびと}の日にどのようにに確実に滅^{かくじつ}ぼすかも知^しています。10 中でも特に、他の人^{なか}の体^{とく}を汚^{ひと}そうとしたり、権威^{からだ}を侮^がたりする人々^{ひとびと}です。

偽^{いつわ}りを教^{おし}える人^{ひと}たちは強情^{ごうじょう}でふてぶてしく、栄光^{えいこう}ある人々^{ひと}たちを悪^{わる}く言うことを恐^{おそ}れません。11 天使^{おんし}たちは、偽^{おし}りを教^{おし}える人々^{ひと}たちより強^{つよ}さも力^{ちから}も勝^{まさ}っていますが、エホバに敬意^{けい}を抱^{いだ}いているので、彼ら^{かれ}を悪^{わる}く言^いって訴^{うった}えたりはしません。12 しかし、偽^{いつわ}りを教^{おし}える人々^{ひと}たちは、自分^{みづか}が知^しらない事柄^{ことがら}について悪^{わる}く言^いいます。捕^{とら}われて殺^{ころ}されるために生まれ、本能的^{ほんのうてき}に行動^{こうどう}する、理^り性のない動物^{どうぶつ}のようです。自分^{おこな}の破^は壊^{めつ}的な行^{いた}いによって破滅^{ひつめつ}に至^{いた}り、13 自分の

2:7 *ギリシャ語、アセルゲイア。用語集参照。
2:9, 11 *付録A5参照。 2:10 *または、「主人を見下したり」。 2:11 *または、「の前で」。

第2章

(7) ペニ 3:6
(1) 創 6:9
ヘブ 11:7
(2) 創 8:18
(3) 創 19:24, 25
(4) ユダ 7
(5) 創 19:15, 16
(6) 詩 34:19
コ一 10:13
テモ 2:4-18
啓 3:10

(1) ロマ 2:5
ペニ 3:7

(1) ユダ 7
(3) 出 22:28
ユダ 8

(1) ユダ 9
(3) ユダ 10

第2欄

(1) ロマ 13:13
(1) ユダ 12
(1) マタ 5:28
(3) 民 22:5, 6
ユダ 11
啓 2:14
(1) 民 22:7
ネヘ 13:2

(1) 民 22:31, 34
民 31:8

(1) 民 22:28
(1) ユダ 12, 13

(1) ユダ 16
(3) ペニ 2:14

(1) ペー 2:16
(3) ロマ 6:16

(3) ペニ 2:14

ゆうがい おこな むく がい こうむ
有害^{ゆうがい}な行^{おこな}いの報^{むく}いとして害^{がい}を被^{こうむ}ります。
彼らは昼間でも快楽^{かいらく}にふけります。
彼らは汚点^{くれ}であり、傷^{きず}です。皆^{みな}さんと食^{しょく}事^じの席^{せき}を共にしながら、自分^{じぶん}の欺^{あざむ}きの教^{おし}えに酔^よいします。14 しきりに姦淫^{かんいん}を求め、罪^{いん}から離^{はな}れることができませ^{いん}ん。不安定^{ふあんてい}な人^{ひと}を誘惑^{ゆうわく}し、心^{こころ}は貪欲^{どんよく}さに染^そまっています。忌まわしい人^いたちです。15 彼らは真^まつすぐな道^{みち}を捨て、さまよっています。ベオルの子バラム^りの道^{みち}を歩^{あゆ}んできました。バラムは利益^{りえき}を得^えようとして悪い^{わる}ことを行^{おこな}いました。16 しかし、その過^{あやま}ちのために戒め^{いまし}られました。話^{はな}すはずのない口^{くち}バが人間^{にんげん}の声^{こゑ}で話^{はな}し、この預言^{よげん}者の愚^{おろかな}かな行^{こうどう}動^{どう}を妨^{さまた}げたのです。

17 こうした人々^{ひと}たちは枯^かれた泉^{いずみ}、激^{はげ}しい嵐^{あらし}に吹き払^ふわれる霧^{きり}であって、暗^く黒^{くろ}の闇^{やみ}に包^{つつ}まれることになっています。

18 彼らは偉^{あやま}そうに中身^{なかみ}のないことを語^{かた}ります。誤^{あやま}った生^いき方^{かた}をする人々^{ひと}からようやく逃^{ゆうわく}れた人々^{ひと}たちを誘惑^{ゆうわく}しようと、罪^{つみぶか}深い欲望^{よくぼう}に訴^{うった}えたり、恥知^{はじし}らずな行^{おこな}いをしたりします。19 自由^{じゆう}になれ^{じゆう}ると約束^{やくそく}しながら、自分^{じぶん}自身^{じしん}が腐敗^{ふはい}の奴隷^{どれい}になっています。誰^{だれ}かに打^{うち}ち負^まかされる人^{ひと}は、その人^{ひと}の奴隷^{どれい}になるからです。20 救^{すく}い主^{ぬし}である主^{しゅ}イエス・キリスト^{きりす}について正^{せい}確^{かく}に知^しって世^よの汚^{けが}れから逃^{のが}れた後^{のち}、再び^{また}その汚^{けが}れに関^{かか}る

2:13 *または、「ふけり」。 2:14 *直訳、「姦淫に満ちた目を持ち」。 2:18 *ギリシャ語アセルゲイアの複数形。用語集参照。 2:19 *または、「何かに打ち負かされる人は、その奴隷になる」。

わって打ち負かされるなら、結局は最^{けっきよく}初^{はじ}より悪い状態^{じょうたい}になるのです。21 彼^{かれ}らにとっては、正しい道^{みち}を知^しった後^{あと}、学^{まな}んだ聖^{せい}なるおきてから離^{はな}れていくよりは、その道^{みち}を正確^{せいかく}に知^しらないでいた方がよかったです。22 真^ま実^{じつ}の格^{かく}言^{ごん}の通^とりのこと^{こと}が彼^{かれ}らに生^なじていま^{いま}す。「犬^{いぬ}は自分^{じぶん}が吐^はいた物^{もの}を食^くべに戻^{もど}り、豚^{ぶた}は洗^{あら}われてもまた泥^{どろ}の中^{なか}で転^{ころ}げ回^{まわ}る」。

3 愛^{あい}する皆^{みな}さん、私^{わたし}は2通^{つう}目^めの手紙^{てがみ}を書^かいています。最^{さい}初^{しゅ}の手紙^{てがみ}と同じく、皆^{みな}さん^{さん}に幾^{いく}つかの点^{てん}を思^{おも}い起^{おこ}こさせることによっ^よて、明^{めい}敏^{みん}な思^し考^{こう}力^{りき}を呼^よび起^{おこ}こしたいと思^{おも}っています。

2 聖^{せい}なる預^よ言^{げん}者^{しゃ}たちによっ^よて以前^{いぜん}に語^{かた}れた言^{こと}葉^はと、救^{すく}い主^{ぬし}である主^{しゅ}からしと^しとお^おあ^あた^た使^し徒^たたちを通^{とお}して与^{あた}えられたおきてを、忘^{わす}れてほしくないからです。3 まづこのことを心^{こころ}に留^とめてください。終^おわり

の時代^{じだい}には、あざける人^{ひと}たちがやっ^やて来^きてあざけり、欲^{よく}望^{ぼう}のままに行^{こう}動^{どう}し、

4 こう言うでしよう。「約^い束^{やく}され^{やくそく}ていた彼^{かれ}の臨^{りん}在^{ざい}はどうなっているのか。私^{わたし}たち^{たち}の父^ふ祖^そが死^しの眠^みむに就^ついた日^ひから何^{なに}も変^かわっていない。全^{すべ}ての物^{もの}は創^{そう}造^{ぞう}の始^{はじ}め^めの時^{とき}と全^{ぜん}く同^{どう}じではないか」。

5 彼^{かれ}らは故^{これ}意^いに次^{つぎ}のことを無^む視^しし^します。昔^{むかし}から天^{てん}が^{かみ}あ^{ことば}り、神^{かみ}の言^{ことば}葉^はによっ^よて地^ちは水^{みづ}から出^でて、また水^{みづ}に囲^{かこ}まれて、しっ^しかり立^たっていました。6 そして、それによっ^よて当^{とう}時^じの世^せ界^{かい}は洪^{こう}水^{すい}

3:2 *または、「予告された事柄」。3:4 *用語集参照。

第2章

(7) ヘブ 6:4-6
ヘブ 10:26

(1) ルカ 12:47
ヨハ 15:22

(2) 格 26:11

第3章

(14) ロマ 15:15
ペ二 1:13

(16) ユダ 17,18

(20) エレ 17:15
マタ 24:48
ルカ 12:45

(14) エゼ 12:22,27

(2) 創 1:6,9

第2欄

(7) 創 7:11,23
マタ 24:38,39

(1) 申 7:10
テサ二 1:7-9

(2) 詩 90:4

(14) ハバ 2:3

(2) ロマ 2:4

(20) ヨエ 2:31
ゼバ 1:14

(14) テサー 5:2

(2) 啓 21:1

(2) 詩 37:10
イザ 13:9
ゼバ 1:18
啓 6:14

(2) ゼバ 1:14

(2) イザ 34:4

(14) イザ 65:17
イザ 66:22
啓 21:1

(14) イザ 11:4,5

に見^み舞^まわれ、滅^{ほろ}ぼされ^{ほろ}ました。7 同^{おな}じ言^{ことば}葉^はによっ^よて、今^{いま}ある天^{てん}と地^ちは火^ひで滅^{ほろ}ぼされることになっていま^{いま}す。神^{かみ}を敬^{うやま}わ^やない人^{ひと}々^{びと}の処^{しょ}罰^{ばつ}と滅^{ほろ}びの日^ひにそ^そうな^なります。

8 愛^{あい}する皆^{みな}さん、このことを見^み過^すぎ^ぎしてはなりませ^にん。エホバにとつ^にて1日^{いち}は1000年^{ねん}のようであり、1000年^{ねん}は1日^{いち}のよう^{よう}です。9 エホバは約^{やく}束^{そく}を果^はたすのが遅^{おそ}いと考^{かんが}える人^{ひと}もいま^{いま}す^すが、そうではありませ^にん。神^{かみ}は、一人^{ひとり}も滅^{ほろ}ぼされることな^なく、全^{すべ}ての^{ひと}人^らが悔^あい改^{あらた}めることを望^{のぞ}んでいま^{いま}すので、皆^{みな}さん^{さん}のこと^{こと}を辛^{しん}抱^{ぼう}してい^いるの^のです。10 しか^しし、エホバの日^ひは泥^{ぬい}棒^{ぼう}のよう^{よう}に来^きます。その時^{とき}、天^{てん}はごう音^{おん}を立て^たてて消^きえ去^さり、さ^さまざまな要^{よう}素^そは極^{きよく}度^どに熱^{あつ}くな^なって溶^{よう}解^{かい}し、地^ちとそこでの活^{かつ}動^{どう}はすつかり暴^{あば}か^かれ^れます。

11 これらの物^{もの}は全^{すべ}てこのよう^{よう}に溶^{よう}解^{かい}するのですから、自分^{じぶん}がど^どんな人^{ひと}になるべきか^かを考^{かんが}えてください。聖^{せい}なる振^ふ舞^まい^いをし、神^{かみ}への専^{せん}心^{しん}を行^{こう}動^{どう}し、12 エホバの日^ひが来^きるのを待^{まち}望^{ぼう}し、それについ^にてい^いつも考^{かんが}えま^ましょう。その日^ひに天^{てん}は燃^もえて滅^{ほろ}び、さ^さまざまな要^{よう}素^そは極^{きよく}度^どの熱^{あつ}で溶^{よう}けま^ます。

13 しか^しし、私^{わたし}たち^{たち}が神^{かみ}の約^{やく}束^{そく}によっ^よて待^{まち}望^{ぼう}んでいま^{いま}す、新^{あたら}しい天^{てん}と新^{あたら}しい地^ちが^{かみ}ありま^ます。そこには正^{ただ}しいこと^{こと}が^い行^なき渡^{わた}ります。

3:8-10,12 *付録A5参照。3:12 #直訳、「日の臨在を」。△または、「それを切望し」。直訳、「早い」。

14 それで、愛する皆さん、これらのものを待ち望んでいるのですから、最終的に汚点も傷もない平和な人と神に認めていただけるよう、最善を尽くしてください。15 また、私たちの主の辛抱を救いと考えてください。私たちの愛する兄弟パウロも、自分に与えられた知恵に沿って、皆さんにそう書き送りました。16 パウロはどの手紙の中でもこれらのことについて述べていますが、中には理解しにくい箇所もあります。無知で不安定な人たちは、

3:16 *または、「教えられていない」。

第3章
㊦ コ二 13:11

㊦ ロマ 2:4

第2欄
㊦ マタ 24:24
エフ 4:14

そうした箇所や聖書のほかの部分も曲解し、滅びを身に招いています。

17 愛する皆さん、こうしたことを前もって知っているのですから、用心していただきます。不法な人々の間違った考えに惑わされて、しっかり立てなくなることがないようにしましょう。18 救い主である主イエス・キリストの惜しまない親切をいっそう受け、この方についての知識を深めましょう。キリストが、今そして永遠にたたえられますように。アーメン。

3:17 *または、「安定を失う」。

ヨハネの第一の手紙

概要

- 命の言葉 (1-4)
光の中を歩む (5-7)
罪を告白する必要がある (8-10)
- イエスは私たちの罪を償うための犠牲 (1, 2)
神のおきてを守る (3-11)
古いとも新しいともいえるおきて (7, 8)
この手紙を書いている理由 (12-14)
世を愛してはならない (15-17)
反キリストに関する警告 (18-29)
- 私たちは神の子供 (1-3)
神の子供と悪魔の子供 (4-12)
イエスは悪魔の行いを終わらせる (8)

- 愛し合う (13-18)
神は私たちの心より大きい (19-24)
- 神からの預言かどうかを見極める (1-6)
神を知り、愛する (7-21)
「神は愛」 (8, 16)
愛には恐れがない (18)
- イエスへの信仰によって世を征服する (1-12)
神を愛するとは (3)
祈りの力を確信する (13-17)
邪悪な世の中で身を守る (18-21)
全世界は邪悪な者の支配下にある (19)

1 初めから存在したものの、私たちが聞いたもの、自分たちの目で見えたもの、注目して自分たちの手で触れたものについて伝えます。命の言葉

第2欄

第1章
㊦ ヨハ 1:3,4
ヨハ 6:68
㊦ ヨハ 17:3

についてです。2 (その命は明らかにされました。私たちは、天の父のもとにあった命、自分たちに明らかにされた永遠の命を見て、それについて証

げん^(ア) みな^{つた} 言^じし、皆さんに伝えています。) 3 自分^(イ)たちが見て聞いた事^{こと}を伝える^{つた}のは、皆さんにも私たち^{わたし}と結び^{むす}付^ついてほしいからです。私たちは父^{ちち}と、子^こであるイエス・キリスト^{むす}と結び^つ付^(イ)いています。4 これらのこと^{こと}を書^かいているのは、私^{わたし}たちが喜び^{よろこ}に満^みちるようになるためです。

5 私^{わたし}たちがイエスから聞き^きき、皆さん^{みな}に知らせ^しているのは、神^{かみ}は光^{ひかり}であり、神^(イ)の中に闇^{やみ}は全くない、ということです。6 「自分は神^{かみ}と結び^{むす}付^ついている」と言^いいながら闇^{やみ}の中^{なか}を歩き^{ある}つづけるなら、私^{わたし}たちはうそをついているのであり、真理^{しんり}を實踐^{じっせん}していません。7 一方^{かみ}、神^{かみ}が光^{ひかり}の中^{なか}にいるのと同じように私^{わたし}たちが光^{ひかり}の中^{なか}を歩^{あゆ}んでいるなら、私^{わたし}たちは互^{たが}いに結び^{むす}付^ついており、神^{かみ}の子^こイエスの血^ちによって全^{すべ}ての罪^{つみ}から清^{きよ}められます。

8 「自分^{じぶん}には罪^{つみ}がない」と言^いうなら、私^{わたし}たちは自分^{じぶん}を欺^{あざむ}いているのであり、心^(イ)の中^{なか}に真理^{しんり}がありません。9 自分^{じぶん}の罪^{つみ}を告白^{こくはく}するなら、神^{かみ}は信^{しん}頼^{らい}できる正しい^{ただしい}方^{かた}ですから、罪^{つみ}を許^{ゆる}してください。私^{わたし}たちをあらゆる不正^{ふせい}から清^{きよ}めてくださいます。10 「自分は罪^{つみ}を犯^{おか}したことがない」と言^いうなら、私^{わたし}たちは神^{かみ}をうそつきとしているのであり、心^{こころ}の中^{なか}に神^{かみ}の言葉^{ことば}がありません。

2 私^{わたし}の子供^{こども}たち、皆さん^{みな}が罪^{つみ}を犯^{おか}さないように、私^{わたし}はこれらのこと

1:3 *または、「分け合^あって」。1:5 *または、「神^{かみ}と結び^{むす}付^ついて」。

第1章

(ア) ヨハ 21:24
使徒 2:32

(イ) ヨハ 15:26,27
使徒 4:20

(イ) ヨハ 17:20,21

(イ) ヤコ 1:17

(イ) コリ 6:14
エフ 5:8
テト 1:16
ヨ一 2:4

(イ) ロマ 3:25
エフ 1:7
ヘブ 9:14
ヘブ 10:22
啓 1:5

(イ) 王一 8:46
伝 7:20

(イ) 詩 32:5
格 28:13
ヤコ 5:16

第2欄

第2章

(ア) ロマ 8:34
テモ一 2:5
ヘブ 7:25

(イ) イザ 53:5
ロマ 3:25
テモ一 1:15
ヘブ 2:17
ペ一 2:24
ヨ一 4:10

(イ) ヨ一 5:7

(イ) マタ 20:28
ヨハ 1:29

(イ) ヨ一 4:18

(イ) ヨハ 14:20
ヨハ 17:21

(イ) ヨハ 13:15
ペ一 2:21

(イ) ヨハ 13:34
ヨ二 5

(イ) ヨハ 1:9
ヨハ 8:12

かを書^かいています。とはいえ、もし誰^{だれ}か^(イ)が罪^{つみ}を犯^{おか}したとしても、私^{わたし}たちを助け^{たす}てくださる方^{かた}が父^{ちち}のもとにいます。正しい^{ただしい}方^{かた}であるイエス・キリスト^(イ)です。

2 イエスは私^{わたし}たちの罪^{つみ}を償^{つぐな}うための犠^ぎ牲^{せい}です。私^{わたし}たちの罪^{つみ}だけでなく、全^{ぜん}人類^{じんるい}の罪^{つみ}のためです。3 私^{わたし}たちがその方^{かた}のおきてを守^{まも}りつづけるなら、その方^{かた}をよく知^しるようになったといえます。4 「その方^{かた}をよく知^しるようになった」と言^いいながら、その方^{かた}のおきてを守^{まも}らない人^{ひと}は、うそつきであり、心^{こころ}の中^{なか}に真理^{しんり}がありません。5 一方^{いっぽう}、その方^{かた}の言葉^{ことば}を守^{まも}る人^{ひと}は、本^{ほん}当^{とう}に心^{こころ}から神^{かみ}を愛^{あい}しています。このことにより、私^{わたし}たちはその方^{かた}と結び^{むす}付^ついていることを示^{しめ}します。6 その方^{かた}とずつと結び^{むす}付^(イ)いていると言^いう人^{ひと}は、その方^{かた}が歩^{あゆ}んだ通^{とお}りに歩^{あゆ}んでいかなければなりません。

7 愛^{あい}する皆さん^{みな}、私^{わたし}が皆さん^{みな}に書^かいているのは新^{あらた}しいおきてではなく、皆^{みな}さんが初^{はじ}めから持^もっている古^{ふる}いおきてです。この古^{ふる}いおきてとは、皆^{みな}さんが聞^きいた言葉^{ことば}のことです。8 とはいえ、私^{わたし}が書^かいているのは新^{あらた}しいおきてともいえません。イエスはそのおきての通^{とお}りに行^{こう}動^{どう}し、皆さん^{みな}もそうしています。そういえるのは、闇^{やみ}が過^すぎ去^さりつつあり、真^{しん}の光^{ひかり}がすでに輝^{かがや}いているからです。

2:1 *または、「擁^{よう}護^ごして」。2:2 *または、「私^{わたし}たちを神^{かみ}と和解^{わげ}させる」。2:3 *もしかすると、「神^{かみ}」。2:5 *または、「神^{かみ}への完全^{かんぜん}な愛^{あい}を抱^{いだ}いて」。

9 光の中にいると言いながら兄弟を憎む人は、まだ闇の中にいます。

10 兄弟を愛する人は光の中にとどまっており、過ちのもととなるものを持っていません。11 兄弟を憎む人は闇の中にいて、闇の中を歩んでおり、自分がどこへ行くのかを知りません。闇のせいで見えなくなっているからです。

12 子供たち、私が皆さんに書いているのは、皆さんの罪がイエスの名のゆえに許されたからです。13 父親の皆さん、私が書いているのは、皆さんが初めから存在している方をよく知ることになったからです。若い皆さん、私が書いているのは、皆さんが邪悪な者を征服したからです。幼い子供たち、私が皆さんに書くのは、皆さんが天の父をよく知ることになったからです。14 父親の皆さん、私が書くのは、皆さんが初めから存在している方をよく知ることになったからです。若い皆さん、私が書くのは、皆さんが強く、神の言葉を心に刻んでおり、邪悪な者を征服したからです。

15 世も、世の中のものも、愛してはなりません。世を愛する人は、天の父を愛していません。16 世の中のもの、すなわち罪深い欲望、見ることから生じる欲望、持ち物を見せびらかすことは皆、父からのものではなく、世から

2:10 *または、「信仰の妨げ」。2:13, 14 *サタンのこと。2:16 *直訳、「肉体の」。*直訳、「目の」。

第2章

(7) エフ 4:31
コロ 3:8
(1) コー 13:2
ヨ一 3:15
(7) エフ 5:8
(14) ヨ一 4:20
(14) ヨハ 12:35
(14) ルカ 24:47
使徒 4:12
使徒 10:43
(14) ヤコ 4:7
ヨ一 5:19
啓 12:10, 11
(7) ヨハ 17:25
(7) エフ 6:10
(14) ヨ三 3
(14) ロマ 8:37
(14) ロマ 12:2
コー 7:31
テト 2:11, 12
(14) マタ 6:24
ヤコ 4:4
(14) マタ 5:28
ロマ 13:14
(14) 創 3:6
格 27:20
マタ 4:8

第2欄

(7) コー 7:31
ペー 1:24
(14) 詩 37:29
マタ 7:21
ヨハ 6:40
(7) テサニ 2:3
ペニ 2:1
(14) テサニ 2:7
ヨニ 7
ユダ 4
(14) 使徒 20:30
(7) コー 11:19
(14) コニ 1:21
ヨ一 2:27
(7) ヨハ 8:31, 32
(7) ヨハ 8:44
(14) ヨ一 4:3
ヨニ 7
(14) ヨ一 2:18
(14) ヨハ 5:23
ヨニ 9
(14) ロマ 10:9, 10
(14) ヨ一 4:15
(7) ヨハ 14:23
ヨニ 6

で出るものだからです。17 さらに、世も、世の欲望も、過ぎ去りつつあります。一方、神の望むことを行う人は永遠に生きます。

18 幼い子供たち、今は終わりの時期です。反キリストが来ることを皆さんが聞いていた通り、今や多くの反キリストが現れました。このことから、今は終わりの時期だと分かります。19 彼らは私たちから去っていきましたが、もともと仲間ではありませんでした。もし仲間だったなら、ずっと私たちと一緒にいたはずですが、彼らは去っていったので、皆が私たちの仲間なのではないということが明らかになりました。20 皆さんは聖なる方によって選ばれており、全員が知識を持っています。21 私が書くのは、皆さんが真理を知らないからではなく、知っているからです。また、真理から偽りが出ることはいません。

22 イエスがキリストであることを否定する人こそ、うそつきではないでしょう。父と子を否定する人、それが反キリストです。23 子を否定する人は皆、父とも結び付いていません。一方、子を認める人は、父とも結び付いています。24 皆さんは、初めから聞いている事柄が心に刻まれていなければなりません。初めから聞いている事柄が心に刻まれているなら、皆さんは子とも父とも結び付いたままでいら

2:20 *直訳、「油を注がれて」。用語集の「油を注ぐ」参照。

れます。25 さらに、神は私たちに永遠の命を約束してくださっています。

26 私は、皆さんを惑わそうとしていた人たちについて、これらのことを書きました。27 皆さんは神によって選ばれているので、誰から教える必要はありません。選ばれていることは真実であって偽りではなく、そのことによって皆さんは全てのことを教えられるのです。教えられた通り、神とずっと結び付いていなさい。28 子供たち、イエスとずっと結び付いていなさい。そうすれば私たちは、その方が現れる時に気後れせずに語ることができ、その方の臨在の際に恥じて退くことはありません。29 皆さんは、その方が正しいということを知っているのであれば、正しいことを行う人全てが神から生まれたことも知っているはずです。

3 天の父が私たちにどのような愛を示してくださったかを考えてください。私たちは神の子供と呼ばれるほど愛されており、確かに神の子供です。そのため、世の人々は私たちを知りません。神を知らないからです。2 愛する皆さん、今や私たちは神の子供ですが、将来どのようになるかはまだ明らかにされていません。分かっているのは、神がご自分を示す時に私たちが神のようなものになるということです。

2:25, 27; 3:3 *もしかすると、「イエス」。2:27 *直訳、「油を注がれて」。2:28 *もしかすると、「神」。*用語集参照。

第2章

(例) ヨハ 17:3
ヨ一 1:2

(例) コ二 1:21
ヨ一 2:20

(例) ヨハ 14:26
ヨハ 16:13

(例) ヨハ 17:21

(例) ヨ一 4:17

(例) ペ一 1:23
ヨ一 4:7

第3章

(例) ヨハ 3:16

(例) ヨハ 1:12,13

(例) ヨハ 15:19

(例) ヨハ 17:25

(例) ロマ 8:15,16
エフ 1:5

(例) コ一 15:49
フィリ 3:20,21

第2欄

(例) コ二 7:1

(例) レビ 16:21,22
イザ 53:11
ヨハ 1:29

(例) ロマ 6:12

(例) 創 3:14
ヨハ 8:44

(例) ヨハ 16:33
ヘブ 2:14

(例) ヨ一 5:18

(例) ペ一 1:23

(例) ヨ一 4:8

です。神をありのままに見るからです。3 この希望を抱いて神を待つ人は皆、自分を清めます。その方は清いからです。

4 罪を犯し続ける人は皆、不法なことを行い続けています。罪は不法なのです。5 また、皆さんが知っているように、イエスは私たちの罪を取り去るために現れました。イエスには罪がありません。6 イエスとずっと結び付いている人は皆、罪を犯し続けません。罪を犯し続ける人は、イエスを見ておらず、イエスをよく知りません。7 子供たち、誰にも惑わされてはなりません。正しいことを行い続ける人は、イエスが正しいのと同じように正しいのです。8 罪を犯し続ける人は悪魔から出ています。悪魔ははじめから罪を犯してきたからです。神の子が現れたのは、悪魔の行いを終わらせるためです。

9 神から生まれた人は皆、罪を犯し続けません。神の種がその人の内にあるからです。その人は神から生まれたので、罪を犯し続けることができません。10 神の子供と悪魔の子供は次のことから明らかです。正しいことを行い続けられない人や兄弟を愛さない人は神から出ていない、ということです。11 皆さんが初めから聞いている通り、私たちは愛し合う必要があ

3:8 *または、「滅ぼす」。3:9 *命や実を生み出せる種、つまり聖なる力のこと。

ります。^(ア) **12** カインのようであってはなりません。カインは^(イ) 邪悪な者から出て、^(ロ) 弟を殺しました。なぜ殺したのでしょうか。自分の行いが悪く、^(ハ) 弟の行いが正しかったからです。

13 兄弟たち、世の人々に憎まれても、驚くことはありません。**14** 私たちが知っている通り、^(イ) 私たちは兄弟を愛しているのだから命へと移りました。^(ロ) 愛さない人は、死んだ状態のままです。**15** 兄弟を憎む人は皆、人殺しです。皆さんが知っている通り、^(イ) 人殺しは永遠の命を受けません。^(ロ) **16** 私たちが愛を知ったのは、^(イ) イエスが私たちのために命をなげうってくださいからです。それで、^(ロ) 私たちも兄弟のために命をなげうたなければなりません。^(ハ) **17** 生活に必要な物を持っている人が、^(イ) 困窮している兄弟を見ながら思いやりを示さないなら、^(ロ) その人は神を愛しているといえるでしょうか。**18** 子供たち、^(イ) 口先だけの愛になってしまわないよう、^(ロ) 行いによって誠実に愛を表しましょう。

19 そのようにして、^(イ) 私たちは自分^(ロ) が真理から出ていることを確信し、^(ハ) 神の前で安心できます。**20** ^(イ) 心に責められることがあっても安心できるので、^(ロ) 神は私たちの心より大きく、^(ハ) 全てのことを知っているからです。**21** ^(イ) 愛する皆さん、^(ロ) 心に責められることがなけ

3:12 *サタンのこと。 **3:19** *または、「心を納得させることが」。 **3:20** *私たちに以上に私たちのことを知っているということ。

第3章

(ア) ヨハ 13:34
(イ) ヨー 2:7
(ロ) ヨー 5
(ハ) 創 4:8
(ニ) 創 4:5
(ヘ) 創 4:4
(ヘ) 11:4
(マ) マタ 5:11
(ヨ) ヨハ 15:18
(テ) テモ 3:12
(ヨ) ヨー 2:10
(ハ) ヨハ 5:24
(ロ) ロマ 8:2
(イ) ヨハ 3:36
(マ) マタ 5:21,22
(エ) エフ 4:31
(創) 創 9:6
(民) 民 35:31
(啓) 啓 21:8
(ヨ) ヨハ 3:16
(ヨ) ヨハ 13:1
(ヨ) ヨハ 15:13
(イ) ヨハ 13:15
(ロ) ロマ 16:3,4
(テ) テサー 2:8

(イ) 申 15:7,8
(ル) ルカ 3:11
(ロ) ロマ 12:13
(ヤ) ヤコ 2:15,16
(ヨ) ヨー 4:20
(ハ) ロマ 12:9
(イ) ヤコ 1:22
(ヤ) ヤコ 2:17
(ヨ) ペー 1:22
(ヘ) ヘブ 4:13

第2欄

(ア) ヘブ 4:16
(ヨ) ヨー 5:14
(イ) 詩 34:15
(マ) マタ 7:8
(ペ) ペー 3:12
(ヨ) ヨハ 6:29
(イ) ヨハ 13:34
(ヨ) ヨー 2:24
(ハ) ヨハ 14:23

第4章

(イ) テサニ 2:1,2
(テ) テモ 4:1
(ヨ) 啓 22:6
(ペ) ペニ 2:1
(ヨ) ヨハ 1:14
(コ) コー 12:3
(ヨ) ヨー 19:10
(ヨ) ヨー 2:22
(イ) テサニ 2:7
(ヨ) ヨー 2:18
(イ) 使徒 20:29,30
(ハ) ヨー 5:4
(イ) ヨハ 17:21
(エ) エフ 2:2

れば、^(イ) 私たちは^(ロ) 気後れせずに^(ハ) 神に語り掛けることができます。**22** ^(イ) そして、^(ロ) 願う求めることは何でも神に聞き届けられます。^(イ) 私たちが^(ロ) 神のおきてを守り、^(ハ) 神に喜ばれることを行っているからです。**23** ^(イ) 神のおきてとは、^(ロ) 私たちが^(ハ) 神の子イエス・キリストの名に信仰を持ち、^(ニ) イエスから与えられたおきての通り愛し合うことです。**24** ^(イ) 神のおきてを守る人は^(ロ) 神とずっと結び付いており、^(ハ) 神もその人とずっと結び付いています。^(イ) 私たちは、^(ロ) 神から与えられた^(ハ) 聖なる力により、^(ニ) 神が私たちとずっと結び付いていることを確信できます。

4 ^(イ) 愛する皆さん、^(ロ) 預言を何でも信じ^(ハ) るのではなく、^(ニ) 神からのものかどうかを見極めてください。多くの偽預言者が世の中に現れているからです。

2 ^(イ) 預言が^(ロ) 神からのものであるかどうかは、^(ハ) 次のことから分かります。^(イ) イエス・キリストが人間として来たことを認める預言は、^(ロ) 全て^(ハ) 神からのものです。

3 ^(イ) しかし、^(ロ) イエスを認めない預言は、^(ハ) どれも^(ニ) 神からのものではありません。

それは^(イ) 反キリストの^(ロ) 預言です。^(ハ) いずれ語られるようになるとされていたもので、^(ニ) すでに世の中で語られています。

4 ^(イ) 子供たち、^(ロ) 皆さんは^(ハ) 神から出ており、^(ニ) 偽預言者たちを^(ハ) 征服しました。皆さんと結び付いている方は、^(ロ) 世と結び付いている者より強いからです。

3:24 *用語集参照。 **4:1** *ギリシャ語、ブネウマ。用語集の「ブネウマ」参照。

5 偽預言者たちは世から出ています。

そのため、世から出る事柄を語り、世の人々は彼らの言うことに耳を傾けます。

6 私たちは神から出ています。神を知るようになる人は、私たちの言うことに耳を傾けます。神から出ていない人は、私たちの言うことに耳を傾けません。このように、真理の預言と偽りの預言を見分けることができます。

7 愛する皆さん、引き続き愛し合いましょう。愛は神からのものだからです。愛する人は皆、神から生まれ、神を知っています。8 愛さない人は、神をよく知りません。神は愛だからです。

9 神は独り子を世に遣わし、その方によって私たちが命を得られるようにしてくださいました。このことから、神が私たちを愛してくださっていることが明らかになりました。10 私たちが神を愛したというより、神が私たちを愛し、私たちの罪を償う犠牲としてご自分の子を遣わしてくださったのです。これこそが愛です。

11 愛する皆さん、神がこのように私たちを愛してくださったのですから、私たちも愛し合わなければなりません。12 神を見たことがある人は誰もいません。私たちが引き続き愛し合うなら、神は共にいてくださり、神の愛は私たちの中で十分に表されます。13 神はご自分の聖なる力を私たちに与えてくださいました。このこと

第4章

(ヨ) ヨー5:19

(イ) ヨハ15:19

(ヨ) ヨハ10:27

(ヨ) ヨハ8:47

(ヨ) ヨー4:1

(ヨ) ペー1:22

(ヨ) ヨー4:16

(ヨ) 出34:6

ミカ7:18

ヨー4:19

(ヨ) ヨハ1:14

(ヨ) ヨハ3:16

ロマ5:8

ロマ8:32

ヨー5:11

(ヨ) ロマ3:25

ヘブ2:17

ヘブ9:26

ヨー2:1,2

(ヨ) ヨー5:7

(ヨ) マタ18:33

ヨハ15:12

ロマ13:8

ヨー3:16

(ヨ) 出33:20

ヨハ1:18

ヨハ4:24

ヨハ6:46

(ヨ) ヨー2:5

第2欄

(ヨ) マタ1:21

ヨハ3:17

ヨハ12:47

使徒5:31

(イ) ロマ10:9

(ヨ) ヨー2:23,24

(ヨ) ヨハ3:16

(ヨ) ヨー4:8

(ヨ) ヨハ17:21

(ヨ) ヘブ4:16

ヨー2:28

(ヨ) ロマ8:15

(ヨ) ヨー2:5

(ヨ) ヨー4:10

(ヨ) ヨー2:4

(ヨ) ヨー3:17

(ヨ) ヨー4:12

(ヨ) マタ22:37,39

ヨハ13:34

ヨハ15:12

により、私たちが神と結び付いており、神が私たちと結び付いていることが分

かります。14 また、天の父がご自分の子を救世主として遣わしてくださいましたことを、私たちが自身が見て、証言しています。15 神は、イエスが神の子であることを認める人と結び付いていて、その人も神と結び付いています。

16 神が私たちを愛してくださっていることを、私たちは知るようになり、信

じました。神は愛であり、愛を表し続ける人は神とずっと結び付いており、神はその人とずっと結び付いています。17 こ

うして、私たちの中で愛が十分に表されました。それで、私たちは裁きの日に気後れせずに語ることができます。この世の中で私たちはイエスのような者だからです。18 愛には恐れがなく、完全な愛は恐れを締め出します。

恐れは私たちを縛るからです。恐れている人は、完全な愛を持つことができます。19 私たちが愛するのは、神がまず愛してくださったからです。

20 「神を愛している」と言いながら兄弟を憎んでいる人は、うそつきです。自分が見ている兄弟を愛さない人は、見たことがない神を愛することはできないからです。21 そして、その方から次のおきてが与えられています。神を愛する人は、自分の兄弟も愛さなければなりません。

4:17 *または、「確信を持つ」。4:18 *または、「追い払い」。

4:10 *または、「私たちを神と和解させる」。4:12, 17 *または、「完全になり」。

5 イエスがキリストであることを信じる人は皆、神から生まれまし
た。そして、生んでくださった方を愛する人は皆、その方から生まれた子を愛します。**2** 神を愛し、神のおきてを守っているなら、私たちは神の子供たちを愛しているといえます。**3** 神を愛するとは、神のおきてを守ることです。神のおきては重荷ではありません。**4** 神から生まれた人は皆、世を征服するからです。そして、世に対する勝利をもたらすのは、私たちの信仰です。

5 世を征服できるのは誰でしょうか。イエスは神の子であるという信仰を持つ人ではありませんか。**6** イエス・キリストは、水と血によって来た方です。水だけではなく、水と血と共に来しました。聖なる力がそのことを証言しています。聖なる力は真理を明らかにするからです。**7** 証言をするものは3つあります。**8** 聖なる力と水と血であり、その3つは一致しています。

9 私たちは人の証言を受け入れませんが、神による証言の方が勝っています。神による証言とは、ご自分の子について行った証言のことです。**10** 神の子に信仰を持っている人は、その証言を心に留めています。神に信仰を持っていない人は、神をうそつきとしています。神が子について行った証言に信仰を持っていないからです。

11 その証言とは、神が私たちに永

第5章

ヨハ 3:3
ペー 1:3,23
ヨ一 3:9

ヨハ 1:12,13
ロマ 8:14

ヨハ 14:23

申 30:11
ミカ 6:8

ヨハ 16:33
ヨ一 5:18

エフ 6:16
テモ 2:4-7
啓 12:10,11

ヨ一 4:4

ヨハ 20:31

マタ 3:13

使徒 20:28
エフ 1:7
ペー 1:19

マタ 3:16
ヨハ 1:32,33

ルカ 3:22
ルカ 4:18

ルカ 3:21

ヘブ 9:14

ヨハ 3:33

第2欄

ヨハ 17:3

ヨハ 5:26

ヨハ 3:36

ヨハ 20:31

ヨ一 1:2

ヘブ 4:16
ヨ一 3:21

格 15:29

ルカ 11:13
ヨハ 14:13

ヤコ 5:15
ヨ一 1:9

マタ 12:31
マル 3:29

ルカ 12:10
ヘブ 6:4-6
ヘブ 10:26

ヨ一 3:4

遠の命を与えてくださり、その命は子を通して得られる、ということです。**12** 神の子と結び付いている人は、その命を持っています。結び付いていない人は、持っていません。

13 私が皆さんにこれらのことを書くのは、神の子の名に信仰を持つ皆さんが永遠の命を持っていることを知らせるためです。**14** 私たちは神について次の確信を持っています。神は、私たちが神の意志に沿って願い求めることは何でも聞いてくださるのです。**15** また私たちは、願い求めることを神が聞いてくださることを知っているので、神に願い求めたならそのことはかなえられる、と確信しています。

16 死に至らない罪を兄弟が犯しているのを目にした人は、兄弟のために神に願い求めてください。そうすれば、神はその兄弟に命を与えるでしょう。これは、死に至る罪を犯していない人の場合です。死に至る罪があり、そうした罪に関しては、願い求めるようにとはいいません。**17** 正しくないことは全て罪ですが、死に至らない罪もあります。

18 私たちが知っている通り、神から生まれた人は皆、罪を犯し続けません。神から生まれた方がその人を見守るので、邪悪な者がその人を捕ら

5:14 * または、「私たちは気後れせずに神に語り掛けることができます」。**5:18** * 神の子イエス・キリストのこと。* サタンのこと。

えることはできません。^(ア) ^{わたし}19 私たちが
知っている通り、私たちは神から出て
いますが、全世界は邪悪な者の支配
下にあります。^(イ) ^{わたし}20 さらに、私たちが
知っている通り、神の子が来て、私たち
が真実な方について知ることができる

5:19 *サタンのこと。

第5章
(ア) ヨハ 17:15
(イ) マタ 13:19
ルカ 4:6
ヨハ 12:31
(ウ) テモ一 3:16

第2欄
(ア) ヨハ 17:20,21
(イ) ヨハ 17:3
(ウ) コー 10:14

ように洞察力を与えてくださいました。
そして私たちは、子であるイエス・クリ
ストによって、真実な方と結び付いて
います。この方こそ真の神であり、永遠
の命の源です。^(イ) ^{子ども}21 子供たち、偶像
から身を守りなさい。

5:20 *直訳、「知力」。

ヨハネの第二の手紙

概 要

あいさつの言葉 (1-3)
真理に従って歩み続ける (4-6)
人を欺く者に気を付ける (7-11)

あいさつの言葉を掛けてはならない
(10, 11)
訪問の意向とあいさつ (12, 13)

1 年長の者から、選ばれた女性と
その子供たちへ。私はあなたたちを
本当に愛しています。私だけでなく、
真理を知った人たちが皆が、あなたたち
を愛しています。2 それは、私たち
の心に真理が刻まれているからです。
真理は永遠に私たちと共にあります。
3 父である神と、父のイエス・キリス
トからの、惜しみない親切と憐れみと
平和も、真理と愛に加えて、私たちと共
にあります。

4 私はとてもうれしく思っています。
あなたの子供たちの中に、天の父から
与えられたおきての通り、真理に従っ

1 *または、「長老」。* 会衆のことかもしれない。
3 *または、「過分の」。

第2欄
(ア) コ二 4:2
ヨ三 3
(イ) ヨハ 13:34
ヨハ 15:12
ペ一 4:8
ヨ一 2:7
(ウ) ヨハ 14:21
ヨ一 2:5
(エ) マタ 7:15
使徒 20:29,30
テサ二 2:3,7
ペ二 2:1
啓 2:2
(オ) ヨ一 4:2

(ウ) ヨ一 2:18,22
ヨ一 4:3
ユダ 4

て歩んでいる人たちがいるからです。
5 それで今、選ばれた女性であるあ
なたにお願いします。愛し合うように
とのおきてを守ってください。(私は、
新しいおきてではなく、私たちが初め
から持っていたおきてについて書いて
います。) 6 愛とは、天の父のおきて
に従って歩んでいくことです。そしてお
きてとは、あなたたちが初めから聞い
ている通り、愛を示し続けなければな
らないということです。7 これらのこ
とを書いているのは、人を欺く者が世
の中に大勢現れているからです。彼ら
は、イエス・キリストが人間として来た
ことを認めません。人を欺く者であり、
反キリストです。

8 よく^き氣を付けて、私^{わたし}たちが働^{はたら}いて生^うみ出したものを失^{うしな}わないようにし、十分な報^えいを得^えられるようにしなさい。

9 キリスト^{おし}の教^ふえを踏^こみ越^こえ、その教^{おし}えに従^{したが}い続^{つづ}けない人^{ひと}は皆^{みな}、神^{かみ}と結^{むす}び付^ついていません。キリスト^{おし}の教^ふえに従^{したが}い続^{つづ}ける人^{ひと}は、父^{ちち}とも子^ことも結^{むす}び付^ついています。10 キリスト^{おし}の教^ふえに従^{したが}わな[＊]い人^{ひと}があな[＊]た[＊]た[＊]ち[＊]の[＊]所[＊]に[＊]来[＊]たら、家^{いえ}に迎^{むか}え入^いれてはな[＊]りませ[＊]んし、あ[＊]いさ[＊]つ[＊]の[＊]言[＊]葉[＊]を[＊]掛[＊]けてもな[＊]りませ[＊]ん。

10 *または、「とは違うことを教える」。

(例) ヘブ 10:35

(例) ヨハ 14:6
ヨハ 15:6
ヨ三 9

(例) ヘブ 3:14
ヨ一 2:23

(注) 申 17:2-5
ロマ 16:17
コ一 5:11

11 あいさ^{こと}つの言^ば葉^かを掛^かけるなら、その人^{ひと}の悪^{わる}い行^{おこな}いに加^{くわ}わることになりま[＊]す。

12 あな[＊]た[＊]た[＊]ち[＊]に伝^{つた}えたいこと[＊]はた[＊]くさんありま[＊]すが、紙^{かみ}とインク^{つか}を使^{つか}って書^いこうとは思[＊]いませ[＊]ん。そ[＊]ち[＊]ら[＊]に[＊]行[＊]き、顔^{かお}を合^あわ[＊]せて話^{はな}したいと思[＊]っていま[＊]す。そ[＊]う[＊]す[＊]れ[＊]ば、あ[＊]な[＊]た[＊]た[＊]ち[＊]は喜^{よろこ}びに満^みたさ[＊]れるでし[＊]ょう。

13 選^{えら}ばれた者^{もの}であるあ[＊]な[＊]た[＊]の姉^し妹^{まい}の子^こ供^{ども}たち[＊]が、あ[＊]な[＊]た[＊]によ[＊]ろ[＊]しくと[＊]言[＊]っていま[＊]す。

ヨハネの第三の手紙

概要

あいさつの言葉と折り (1-4)
ガイオに対する褒め言葉 (5-8)
野心的なデオトレフェス (9, 10)

良い評判を得ているデメテリオ (11, 12)
訪問の意向とあいさつ (13, 14)

1 年^{ねん}長^{ちやう}の者^{もの}から、愛^{あい}するガイオ[＊]へ。私^{わたし}はあ[＊]な[＊]た[＊]を本^{ほん}当^{とう}に愛^{あい}していま[＊]す。

2 愛^{あい}する兄^{きやう}弟^{だい}、今^{いま}恵^{めぐ}まれていま[＊]るあ[＊]な[＊]が、引^ひき続^{つづ}きあ[＊]ら[＊]ゆる面^{めん}で恵^{めぐ}まれ、健^{けん}康^{こう}であるよ[＊]うに[＊]と、私^{わたし}は祈^{いの}っていま[＊]す。3 兄^{きん}弟^{こう}たち[＊]が来^きて、あ[＊]な[＊]た[＊]が真^{しん}理^りに従^{したが}っていること[＊]を知^しら[＊]せ[＊]てく[＊]れた時^{とき}、私^{わたし}はと[＊]て[＊]もうれ[＊]しく思^{おも}いま[＊]した。確^{たし}かにあ[＊]な[＊]た[＊]は真^{しん}理^りに従^{したが}って歩^{あゆ}ん[＊]でいま[＊]す。4 私^{わたし}の子^こ供^{ども}たち[＊]が真^{しん}理^り

(例) ヨ二 4

第2欄
(例) コ一 4:15
テモ二 1:2
テト 1:4
ファイル 10

(例) ヘブ 13:2

(例) テト 3:13

に従^{したが}って歩^{あゆ}み続^{つづ}けているの[＊]を聞^きくこと[＊]ほ[＊]ど、うれ[＊]しいこと[＊]はあ[＊]りませ[＊]ん。

5 愛^{あい}する兄^{きやう}弟^{だい}、あ[＊]な[＊]た[＊]は忠^{ちゆう}実^{じつ}に兄^{きやう}弟^{だい}たち[＊]を世^せ話^わしていま[＊]す。そ[＊]れ[＊]も、見^み知^みらぬ人^{ひと}たち[＊]をで[＊]す。6 彼^{かれ}らはあ[＊]な[＊]た[＊]が示^{しめ}してく[＊]れた愛^{あい}につ[＊]いて会^{かい}衆^{しゆう}の前^{まへ}で語^{かた}りま[＊]した。ど[＊]う[＊]か、兄^{きやう}弟^{だい}たち[＊]が去^さる時^{とき}に[＊]も、神^{かみ}に喜^{よろこ}ばれるよ[＊]うな手^て助^{すけ}け[＊]をし[＊]てあ[＊]げ[＊]てくだ[＊]さい。7 彼^{かれ}らは

4 *もしかすると、「感謝すべき」。6 *用語集参照。

1 *または、「長老」。

神の名を知らせるために旅をしていて、世の人々からは何も受けていません。8 それで、私たちはそういう兄弟たちをもてなすべきです。そうすれば、真理のために共に働いていることになります。

9 私は会衆に幾らかのことを書き送りました。しかし、会衆で一番上に立とうとしているデオトレフェスは、私たちに敬意を払わず、何も聞き入れようとしません。10 ですから私は、そちらに行ったら、彼がしていることに皆の注意を引こうと思います。彼は私たちについて悪意のあるうわさを広めています。また、それでは飽き足らず、兄弟たちを温かく迎えることを拒み、飲めい、歓迎しようとする人たちを邪魔して会衆から追い出そうとしています。

11 愛する兄弟、悪いことではなく、

(ア) コー 9:11, 12

(イ) マタ 10:41
ファイル 22
ペー 4:9

(ウ) ロマ 12:13

(エ) 使徒 20:29,
30

(オ) ロマ 12:10
フィリ 2:3
ヘブ 13:17

(カ) 詩 101:5
格 6:16, 19

(キ) 使徒 15:25, 27
エフ 6:21
フィリ 2:19
コロ 4:7
テト 1:5

第2欄

(ア) ロマ 12:9
ペー 3:11

(イ) ヨー 3:9

(ウ) ヨー 3:6, 10

善いことに倣いなさい。善いことを行
う人は神から出ています。悪いことを
行う人は神を知りません。12 デメ
テリオは、兄弟たち皆から良い評判を
得ており、真理に従っていることを示し
ています。私たちもそのことを証言し
ます。私たちの証言が真実であることを
あなたは知っています。

13 あなたに伝えたいことはたくさ
んありますが、このままペンとインクで
書いていこうとは思いません。14 近
いうちにあなたに会いに行つて、顔を
合わせて話したいと思っています。

あなたに平和がありますように。
友人たちがあなたによろしくと言っ
ています。そちらの友人たち一人一人
に、私からのあいさつを伝えてくだ
さい。

11 * 直訳、「見ていません」。

ユダの手紙

概要

あいさつの言葉 (1, 2)

偽りを教える人たちは必ず断罪される (3-16)

ミカエルと悪魔が論じ合う (9)

エノクの預言 (14, 15)

神に愛され続ける (17-23)

神は栄光に輝く方 (24, 25)

1 イエス・キリストの奴隷で、ヤコブ
の兄弟であるユダから、父である神に
愛され、イエス・キリストのために守ら
れている、招かれた人たちへ。

(ア) マタ 13:55
マル 6:3
ガラ 2:9
ヤコ 1:1

(イ) ヨハ 17:15
ペー 1:5

(ウ) ヘブ 3:1

2 皆さんが憐れみと平和と愛をま
すまず味わえますように。

3 愛する皆さん、私は、私たちに共
通の救いについて書き送りたいと強く

ねが 願^アっていました。しかし、聖^{せい}なる人^{ひと}たち
に一度限り伝えられた信仰^{しんこう}のために
真剣^{しんけん}に戦^{たたか}うよう、皆さんに勧め^{すす}める必要^{ひつよう}
があると分かりました。4 なぜなら、
皆さんのなか、聖書^{せいしょ}によってずっと前^{まえ}
から有罪^{ゆうざい}とされていた人^{ひと}たちが紛^{まぎ}れ
込^こんでいるからです。その人^{ひと}たちは神^{かみ}
への敬意^{けいぎ}がなく、私^{わたし}たちの神^{かみ}の惜^おしみ
ない親切^{しんせん}に付け込んで恥^{はじ}知らずな行^{こう}
い^いをし、私^{わたし}たちの唯一^{ゆい}の所有者^{しゅしやう}である
主イエス・キリストに不忠実^{ふちゅうじつ}です。

5 皆さんは次の事柄^{ことば}をすべてよく知^し
ていますが、あらためて思い出^{おも}してほ
しいと思います。エホバは民^{たみ}をエジプ
トから救^{すく}い出し、後^{のち}に、信仰^{しんこう}を示さな
い人^{ひと}たちを滅^{ほろ}ぼしました。6 また、本
来の立場^{たちば}にとどまらずに自分の居場^{いば}
所^{しょ}から離れた天使^{てんし}たちを、永遠^{えいゑん}の鎖^{くさり}で
しばし、刑^{けい}を執行^{しっこう}する大いなる日^ひまで濃
い闇^{やみ}の中に閉^とじ込^こめています。7 同
じように、ソドムとゴモラと周^{まわ}りの町^{まち}も、
はなは せいでき ふどうとく* おぼ ふ しぜん
甚^しだしい性的不道德^{せいどく}に溺^{おぼ}れ、不自^ふ然^{ぜん}
な肉欲^{にくよく}を満たそうとしました。そのた
め、永遠^{えいゑん}の火^ひによる処罰^{しよばつ}を受け、私^{わたし}
たちへの警告^{けいこく}となっています。

8 それにもかかわらず、皆さんの中^{なか}
に紛^{まぎ}れ込んだ人^{ひと}たちも、妄想^{もうそう}にふけり、
た ひと からだ けが けんい あなど えいこう
他人^たの人^{ひと}の体を汚^{けが}し、権威^{けんい}を侮^{あなど}り、栄光^{えいこう}
ある人^{ひと}たちを悪^{わる}く言^いっています。9 天
使長ミカエルは、モーセの体^{からだ}のことで

4 *または、「過分の」。^アギリシャ語、アセルガイ
ア。用語集参照。^イまたは、「主人」。^ロ 5, 9, 14
*付録A5参照。7 *用語集参照。* 永遠^{えいゑん}の滅^{めつ}
びを表している。

アヘブ2:3
イエフ6:11
デモ—1:18,
19
デモ—6:12
ウガラ5:19
ウ使徒20:29,
30
ペニ2:1
ウ出12:41
ウ民14:35
コー10:1,5
ヘブ3:16,19
ウ創6:1-4
ペー3:19,20
ウルカ8:30,31
ペニ2:4
啓20:1,2
ウ創19:4,5
レビ18:22
ウ創19:24
ペニ2:6
ウ出22:28
ペニ2:10
ヨ三9,10
ウテサー4:16
ウダニ10:21
ダニ12:1
ウ申34:5,6

第2欄

ウペニ2:11
イゼカ3:2
ウユダ19
ウペニ2:12
ウ創4:5,8
ヨ—3:12
ウ民22:32
ペニ2:15,16
啓2:14
ウ民16:3,32
ウテモ—1:20
ウペニ2:13
ウエゼ34:8
ウペニ2:17
ウイザ57:20
ウヘブ6:4-6
啓21:8
ウ創5:21,22
ウ申33:2
ダニ7:10
ゼカ14:5
ウテサニ1:6
ウマタ12:36
ウコー10:10
フリ2:14

あくま いけん わ ろん あ とき
悪魔^{あくま}と意見^{いけん}が分^わかれて論^{ろん}じ合った時^{とき},
あえて断罪^{だんざい}することも悪^{わる}く言^いうこともせ
ず、「エホバがあなたを叱責^{しっせき}されます
ように」と言^いいました。10 一方^{いつぱう}、皆
さんの中に紛^{まぎ}れ込んだ人^{ひと}たちは、理解^{りかい}
してもしない事柄^{ことば}をことごとく悪^{わる}く言^い
ています。そして、理性^{りせい}のない動物^{どうぶつ}の
ように本能^{ほんのう}で理解^{りかい}している事柄^{ことば}を行^{こう}
って、墮落^{だらく}していきます。

11 本当に惨め^{ほんとう}な人^{ひと}たちです。カイ
ンの道^{みち}をたどり、利益^{りえき}を求め^{もと}てバラム
の誤^{あやま}った歩み^{あゆみ}に陥^{おち}り、コラの反逆^{はんぎやく}的な
言葉^{ことば}を語^{かた}って滅^{ほろ}びを身^みに招^{まね}いたから
です。12 彼^{かれ}らは、皆^{みな}さんと食事^{しょくじ}の席^{せき}
を共にしなげらも潜^{ひそ}んでいる暗礁^{あんしょう}、平
然^{ぜん}と自分^{じぶん}だけを養^{やしな}う羊飼^{ひつじか}い、風^{かぜ}であち
こちに運^{はこ}ばれて雨^{あめ}を降^ふらさない雲^{くも}、晩
秋^{しゅう}になっても実^みを付け^つず、完全^{かんぜん}に死
んで引き抜^ひかれた木^き、13 自分^{じぶん}の恥^{はじ}
を隠^{あわ}た、あらなみ^{あらなみ}、あん
という泡^{あわ}をかき立て^たる荒^あれ、やがて暗
く、やみ えいきゅう つつ ほし
黒^{くろ}の闇^{やみ}に永久^{えいきゅう}に包^{つつ}まれる、さまよう星^{ほし}
です。

14 アダムから7代^{だい}目の人^{ひと}エノクも、
かれ 彼^{かれ}らについてこの預言^{やげん}しました。「エ
ホバは無数^{むすう}の聖^{せい}なる者^{もの}を率^{ひき}いて来^き
ました。15 全^{すべ}ての人^{ひと}を裁^{さば}き、神^{かみ}を敬^{うやま}
わない罪人^{つみびと}を皆^{みな}、断罪^{だんざい}するためです。彼
らが神^{かみ}を敬^{うやま}わらずに行^{おこな}った全^{すべ}ての不敬^{ふけい}
な行^{こう}い、かみ はんこう された 全^{すべ}ての
行為^{かい}と、神^{かみ}に反抗^{はんこう}して語^{だんざい}した 全^{すべ}ての不
快^{かい}な事柄^{ことば}に関^{かん}して、断罪^{だんざい}するのです。

16 彼^{かれ}らは不^ふ満^{まん}を口^{くち}にし、自分^{じぶん}の境

12 *または、「愛餐」。^ア直訳^{ちやく}、「2度」。^ロ 14 *ま
たは、「幾万」。

ぐう もん く い よくぼう
 遇について文句を言い、欲望のままに
 こうどう ア おお じまんばなし
 行動しています。大げさな自慢話をす
 る一方で、利益のために人にへつらっ
 * (イ)
 ています。

17 愛する皆さん、主イエス・キリス
 トの使徒たちが以前に語った言葉を
 思い出してください。18 こう言って
 いました。「終わりの時には、あざける
 ひと あらわ かみ うやま よくぼう
 人たちが現れ、神を敬わずに欲望のま
 まに行動します」。19 こうした人た
 ちは、分裂を引き起こす動物的な人で、
 かみ みちび #
 神に導かれていません。20 しかし、
 あい みな きわ せい しんこう
 愛する皆さんは、極めて聖なる信仰に
 よって自分を力づけ、神の聖なる力に
 みちび けん いの わたし
 導かれつつ祈ってください。21 私
 たちの主イエス・キリストの憐れみに

16 *または、「人を称赞して」。17 *または、「予
 告した事柄」。19 *または、「欲望のままに生
 きる人」。*または、「神の聖なる力を持って」。
 20 *用語集参照。

(イ) ペニ 2:18
 (イ) ヤコ 2:9
 (イ) 使徒 20:29,
 30
 テモ一 4:1
 ペニ 2:3,2,3

(イ) ロマ 16:17
 ヨ三 9,10
 (イ) ロマ 8:26
 エフ 6:18

第2欄

(イ) テト 3:7
 ヨ一 1:2
 ヨ一 2:25

(イ) ヨハ 15:10
 ロマ 8:38,39

(イ) ヤコ 1:6

(イ) マタ 5:7
 マタ 9:13
 ヤコ 2:13

(イ) ガラ 6:1
 ヤコ 5:19,20

(イ) ガラ 5:19-21

(イ) ロマ 8:33
 エフ 1:4
 コロ 1:22

よる えいえん いのち ま (イ) かみ あい
 永遠の命を待ちながら、神に愛さ
 れ続けるためです。22 また、疑いを
 いだ ひと (イ) ひと つづ あわ
 抱いている人たちに引き続き憐れみ
 を示してください。23 火の中からつ
 しめ (イ) ひと なか
 かみ出して救うのです。ほかの人たち
 にも引き続き憐れみを示しましょう。
 とはいえ、用心しながらそうしてくださ
 い。悪い行いによって汚れた服をさ
 え、憎まなければなりません。

24 神は、皆さんが罪を犯さないよ
 うに守ってください、栄光に輝くご自分
 まも えいこう かがや じぶん
 の前に傷のない状態で歓喜して立て
 るようにしてください。25 私た
 ちの救い主であるその唯一の神に、主
 イエス・キリストを通して、栄光、威光、
 ちから けん い えいえん か こ いま
 力、権威が、永遠の過去から、今、そ
 して永遠の将来にまでありますように。
 アーメン。

24 *直訳、「つまずかない」。

ヨハネへの啓示

概要

- 神がイエスを通して与えた啓示 (1-3)
 7つの会衆へのあいさつの言葉 (4-8)
 「私はアルファであり、オメガである」(8)
 ヨハネは聖なる力によって主の日に連れてい
 かれる (9-11)
 栄光を受けたイエスの幻 (12-20)
- エフェソスへの言葉 (1-7)、スミルナへの言葉
 (8-11)、ペルガモンへの言葉 (12-17)、テアデ
 ラへの言葉 (18-29)
- サルデスへの言葉 (1-6)、フィラデルフィアへ
 の言葉 (7-13)、ラオデキアへの言葉 (14-22)

- 天にいるエホバの幻 (1-11)
 王座に座っているエホバ (2)
 座に座っている24人の長老 (4)
 4つの生き物 (6)
- 7つの封印で閉じられた巻物 (1-5)
 子羊が巻物を受け取る (6-8)
 子羊は封印を解くのにふさわしい方 (9-14)
- 子羊は最初の6つの封印を解く (1-17)
 白い馬に乗っている者は征服する (1, 2)
 火のような色の馬に乗っている者は平和を
 取り去る (3, 4)

- 黒い馬に乗っている者は飢饉をもたらす (5, 6)
 青白い馬に乗っている者は「死」という名を持つ (7, 8)
 殺された人たちの血が祭壇の基部にある (9-11)
 大きな地震 (12-17)
- 7 4人の天使が破壊的な風を押さえている (1-3)
 14万4000人に証印が押される (4-8)
 白くて長い衣服を着た大群衆 (9-17)
- 8 第7の封印が解かれる (1-6)
 最初の4つのラッパが吹き鳴らされる (7-12)
 3つの災いの宣告 (13)
- 9 第5のラッパ (1-11)
 1つ目の災いが過ぎ、さらに2つが来る (12)
 第6のラッパ (13-21)
- 10 小さな巻物を持った強い天使 (1-7)
 「もはや猶予はありません」(6)
 神聖な秘密が完了する (7)
 ヨハネは小さな巻物を食べる (8-11)
- 11 2人の証人 (1-13)
 粗布をまとして1260日の間預言する (3)
 殺され、葬られない (7-10)
 3日半の後に生き返らされる (11, 12)
 2つ目の災いが過ぎ、3つ目が来る (14)
 第7のラッパ (15-19)
 私たちの主と、その方のキリストの王国 (15)
 地を損なっている人々は滅ぼされる (18)
- 12 女、男の子、竜 (1-6)
 ミカエルが竜と戦う (7-12)
 竜は地に投げ落とされる (9)
 悪魔は自分に残された時間が短いことを知っている (12)
 竜は女を迫害する (13-17)
- 13 海から上ってきた、7つの頭がある野獣 (1-10)
 地から上ってきた、2本の角がある野獣 (11-13)
 7つの頭がある野獣の像 (14, 15)
 野獣の印である数字 (16-18)
- 14 子羊と14万4000人 (1-5)
 3人の天使の言葉 (6-12)
 良い知らせを携えて空高く飛ぶ天使 (6, 7)
- キリストと結び付いて死ぬ人たちは幸福 (13)
 地から2種類のものが刈り取られる (14-20)
- 15 7つの災厄を携えた7人の天使 (1-8)
 モーセの歌と子羊の歌 (3, 4)
- 16 神の怒りの7つの鉢 (1-21)
 注ぎ出される場所: 陸地 (2), 海 (3), 川と泉 (4-7), 太陽 (8, 9), 野獣の座 (10, 11), 大河ユーフラテス (12-16), 空気 (17-21)
 ハルマゲドンでの神の戦争 (14, 16)
- 17 「大いなるバビロン」に対する処罰 (1-18)
 緋色の野獣の上に座っている大娼婦 (1-3)
 野獣はかつており、今はないが、底知れぬ深みから上る (8)
 10本の角が子羊と戦う (12-14)
 10本の角は娼婦を憎む (16, 17)
- 18 「大いなるバビロン」が倒れる (1-8)
 「私の民よ、彼女から出なさい」(4)
 バビロンが倒れたことを悲しむ者たち (9-19)
 天はバビロンが倒れたことを喜ぶ (20)
 バビロンは石のように海に投げ込まれる (21-24)
- 19 正しく裁くヤハを賛美する (1-10)
 子羊の結婚 (7-9)
 白い馬に乗っている者 (11-16)
 神の盛大な晩餐 (17, 18)
 野獣は敗北する (19-21)
- 20 サタンは1000年間動けないように縛られる (1-3)
 1000年の間キリストと共に治める者たち (4-6)
 サタンは解放され、滅ぼされる (7-10)
 死んだ人々が白い王座の前で裁かれる (11-15)
- 21 新しい天と新しい地 (1-8)
 死はなくなる (4)
 全てのものが新しくされる (5)
 新しいエルサレムの描写 (9-27)
- 22 命の水の川 (1-5)
 結び (6-21)
 来なさい! 命の水を無償で飲みなさい (17)
 「主イエス、来てください」(20)

1 イエス・キリストによる啓示。これは神が、間もなく必ず起きる事柄をご自分の奴隷たちに示すため、イエスに与えたものである。イエスは天使を遣わし、その天使を通して、しるしによって自分の奴隷ヨハネにこの啓示を伝えた。2 ヨハネは、神の言葉と、イエス・キリストが語った事柄について、すなわち自分が見た全てのことについて証言した。3 この預言の言葉を朗読すると、それを聞き、書かれています事柄を示る人たちは、幸福である。定められた時が近いからである。

4 ヨハネから、アジア州にある7つの会衆へ。

「今おられ、かつておられ、これから来られる方」から、そしてその方の座の前にある7つの聖なる力によって、皆さんに惜しみない親切が示され、平和が与えられますように。5 また、**「忠実な証人」**、「生き返った人々の中」の初子、「地上の王たちの統治者」であるイエス・キリストからも、惜しみない親切が示され、平和が与えられますように。

私たちを愛し、自分の血によって私たちを罪から解放してくださった方に

6 (この方は私たちを、自分の父である神に仕える王および祭司としてくださいました)、まさにこの方に、栄光と力が永遠にありますように。アーメン。

1:1 *意味、「明らかにすること」、「覆いを取る」と。「1:1, 4 *用語集参照。1:1 △もしかすると、「神」。

第1章

〔ア〕アモ 3:7

啓 7:3,4

〔イ〕ダニ 2:28

〔ロ〕マタ 10:2

マル 1:19

ヨハ 21:20

〔ロ〕詩 1:2

ルカ 11:28

ヨハ 13:17

ヤコ 1:22

〔ロ〕啓 1:11

〔ロ〕啓 1:8

啓 4:8

啓 11:17

〔ロ〕啓 4:5

〔ロ〕啓 3:14

〔ロ〕コロ 1:18

〔ロ〕詩 89:27

テモ 6:15

啓 19:16

〔ロ〕ヨハ 15:9

〔イ〕ヘブ 9:14

ペー 1:18,19

ヨ一 1:7

〔イ〕出 19:6

ルカ 22:28-30

〔ロ〕ペー 2:5

啓 5:9,10

啓 20:6

第2欄

〔ロ〕マタ 26:64

マル 13:26

〔イ〕マタ 24:30

〔ロ〕イザ 48:12

啓 21:6

啓 22:13

〔イ〕出 6:3

〔ロ〕ロマ 8:17

〔ロ〕マタ 24:9

〔イ〕ルカ 12:32

〔ロ〕マタ 10:22

テモ 2:12

〔ロ〕エフ 1:1

啓 2:1

〔ロ〕啓 2:8

〔イ〕啓 2:12

〔イ〕啓 2:18

〔イ〕啓 3:1

〔イ〕啓 3:7

〔イ〕啓 3:14

〔イ〕啓 1:20

〔イ〕ダニ 7:13

7 見なさい、この方は雲と共に来ます。そして、全ての目はこの方を見ます。この方を刺し通した者たちもです。地上の全ての民族が、この方のゆえに自分の体をたたいて悲しみます。これは確かです。アーメン。

8 エホバ神はこう言います。「私はアルファであり、オメガである。今おり、かつており、これから来る者、全能者である」。

9 私ヨハネは、皆さんの兄弟であり、イエスと結び付いて皆さんと共に苦難に遭い、王国を約束され、忍耐している。神について語り、イエスについて証言したために、パトモスという島にいた。10 さて、私は聖なる力によって主の日に連れていかれ、後ろからラッパの音のような強い声が聞こえた。11 その声は言った。「あなたが見ることを巻物」に書き、それを、エフェソス、スミルナ、ペルガモン、テアテラ、サルデス、フィラデルフィア、ラオデキアにある、7つの会衆に送りなさい」。

12 私は、誰が私に話しかけているのかを見ようとして振り向いた。すると、7つの金のランプ台が見えた。

13 それらのランプ台の真ん中に、人の子のような方がおり、足まで届く衣服を着て、胸に金の帯を締めていた。

14 その方の髪の毛は白い羊毛のよ

1:8 *付録A5参照。*アルファとオメガは、ギリシャ語のアルファベットの最初の文字と最後の文字。

うに、また雪のように白く、目は燃える
 炎のようだった。15 足は炉の中で
 輝いている良質の銅のようであり、声

は大きな滝の音のようだった。16 そ
 の方は右手に7つの星を持ち、口から
 は長く鋭い両刃の剣が突き出てお
 り、顔はさんさんと輝く太陽のようだっ
 た。17 その方を見た時、私は死ん
 だかのようにその足元に倒れた。

するとその方は右手を私の上に置
 いて、こう言った。「恐れてはいけませ
 ン。私は最初にして最後の者であり、
 18 生きている者です。私は死にまし

たが、見なさい、今は生きていて、永遠
 に生き続けます。そして、死と墓の鍵を
 持っています。19 あなたが見たこと
 と、いま起きていることと、これから
 起きることを書き記しなさい。20 あ
 なたが私の右手にあるのを見た7つ
 の星と、7つの金のランプ台に関する
 神聖な秘密は、次の通りです。7つの
 星は7つの会衆の使者たちを表し、7
 つのランプ台は7つの会衆を表してい
 ます。

2 エフェソスにある会衆の使者に
 書き送ります。右手に7つの星
 を持ち、7つの金のランプ台の間を歩
 く者が、こう言います。2 『私はあな
 たの行いと、労苦と忍耐を知っていま
 す。また、あなたが悪い人たちを容赦
 せず、使徒だと自称するものの実は違

1:15 *直訳、「多くの水」。1:18 *ギリシャ語、
 ハデス。用語集参照。

第1章

〔啓 19:12
 〔啓 2:18
 〔啓 1:20
 〔イザ 49:2
 〔マタ 17:1,2
 〔使徒 26:23
 コロ 1:18
 啓 1:5
 〔啓 2:8
 〔コ 15:45
 〔ペ 3:18
 〔コ 6:9
 テモ 6:16
 〔マタ 16:18
 ヨハ 6:54
 ヨハ 11:25
 〔マタ 5:16
 フィリ 2:15

第2章

〔使徒 19:1
 エフ 1:1
 〔啓 1:20
 〔啓 1:12,13

第2欄

〔使徒 20:29,
 30
 コニ 11:13
 ヨー 4:1
 〔ペ 4:14
 〔ガラ 6:9
 〔啓 3:19
 〔啓 1:20
 〔啓 2:16
 〔コ 11:19
 啓 2:15
 〔マタ 11:15
 啓 2:17,29
 〔ヨ 5:4
 〔コ 2:6,7
 啓 2:10
 〔啓 1:13,17
 〔コ 14:9
 〔コ 6:4,10
 テモ 6:18,
 19
 ヤコ 2:5
 〔啓 3:9
 〔マタ 10:28

う人たちを試して、彼らがうそつきだ
 と見抜いたことも知っています。3 さ
 らに、あなたはよく忍耐しており、私の
 名のために辛抱してきました。疲れ果
 ててはいません。4 しかし、とがめる
 べき点があります。あなたが、初めの
 頃に抱いていた愛を失ったことです。

5 それで、自分がどこから落ちたか
 を思い出し、悔い改めて、初めの頃に
 していたことを行いなさい。もしそう
 せず、悔い改めないなら、私はあなた
 の所に行って、あなたのランプ台を取り
 去ります。6 とはいえ、あなたには
 褒めるべき点もあります。ニコラオ派
 の行いを憎んでいることです。私もそ
 れを憎んでいます。7 耳のある人は、
 聖なる力が各地の会衆に告げる次の
 ことを聞きなさい。私は、征服する人
 に、神のパラダイスにある命の木の実
 を食べることを許します。』

8 スミルナにある会衆の使者に書
 き送ります。『最初にして最後の
 者』、死んで生き返った者が、こう言
 います。9 『私はあなたの苦難と貧し
 さを知っています。しかし、あなたは実
 際には豊かです。また私は、ユダヤ人
 だと自称するものの実は違う人たち、
 サタンに従っている人たちから、あな
 たが冒瀆されていることを知っていま
 す。10 受けようとしている苦しみを
 恐れてはなりません。悪魔は、あなた
 たちのうち幾人かを牢屋に投げ込ん

2:9 *直訳、「サタンの会堂である」。

よって殺します。それにより全^{すべて}の会^{かい}
 衆^{しゅう}は、私^{わたし}が人^{ひと}の奥底^{おくそこ}の考^{かんが}えと心^{こころ}を探^{さぐ}
 る者^{もの}であることを知^しるでし^わょう。私^{わたし}はあな
 たたち一人^{ひとり}一人^{ひとり}の行^いいに応^{おう}じて報^{むく}
 います。

24 テアテラにある会衆^{かいしゅう}のほかの^{ひと}人^{ひと}
 たち、つまり、イゼベルの教^けえしに從^{したが}って
 おらず、いわゆる「サタン^{さたん}の奥深^{おくふか}い事^{こと}
 柄^{がら}」を知らない人^{ひと}たちには、こう言^い
 います。私^{わたし}はほかの重荷^{おもに}をあなたたち^{あなた}に
 負^おわ^せることはし^しません。25 ただ、
 私^{わたし}が行^いくまで、あなたたち^{あなた}が持^もっ
 てい^いるものをし^しっかり守^{まも}りなさい。26 征^{せい}
 服^{ふく}する人^{ひと}、私^{わたし}が命^{いのち}じたこと^{こと}を終^おわりま
 で守^{まも}り通^{とお}す人^{ひと}に、私^{わたし}は国^{くに}々^{くに}を治^{おさ}
 める権威^{けんい}を与^{あた}えます。27 その人^{ひと}は、私^{わたし}
 が父^{ちち}から権威^{けんい}を与^{あた}えられたのと同じ
 ように、鉄^{てつ}のつえをもつて人々^{ひとびと}を処^{しょ}
 罰^{ばつ}し、土^{つち}の器^{うつわ}のように粉^{こな}々に砕^{くだ}きます。
 罰^{ばつ}し、土^{つち}の器^{うつわ}のように粉^{こな}々に砕^{くだ}きます。

28 私^{わたし}はその人^{ひと}に明^あけの星^{ほし}を与^{あた}えま
 す。29 耳^{みみ}のある人^{ひと}は、聖^{せい}なる力^{ちから}が各
 地^ちの会衆^{かいしゅう}に告^つげること^{こと}を聞きなさい。』

3 サルデスにある会衆^{かいしゅう}の使^し者^{しや}に書^か
 き送^{おく}りなさい。神^{かみ}の7^{なな}つの聖^{せい}なる
 力^{ちから}と7^{なな}つの星^{ほし}を持つ者^{もの}が、こう言^い
 います。『私^{わたし}はあなた^{あなた}の行^いいを知^しっていま
 す。あなた^{あなた}は生^いきてい^いるといわれてい
 ますが、実^{じつ}は死^しんでいま^いす。2 目^め
 を覚^さましなさい。そして、死^しにかけてい^い
 る残^{のこ}りの人^{ひと}たちを力^{ちから}づけなさい。あなた

2:23 *または、「奥底の感情」。直訳、「腎臓」。
 2:27 *または、「治め」。3:2 *または、「残りの
 ものを強め」。

第2章

[啓] 22:12

[イ] ヨハ8:44

[啓] 3:11

[ヨ] 詩2:8,9

マタ19:28

ルカ22:28-30

啓3:21

啓20:4

[啓] 啓12:5

啓19:15

[啓] 啓22:16

第3章

[啓] 啓1:4

啓4:5

[啓] 啓1:13,16

[啓] ヤコ2:26

[ヨ] ルカ21:34

エフ5:15

テサ一5:6

第2欄

[啓] コ二7:11

[啓] 啓16:15

[啓] マタ24:42

ルカ12:37,39

[ヨ] ヤコ1:27

[啓] 啓6:11

[啓] ヨ一5:4

[啓] 啓4:4

啓19:8

[啓] フイリ4:3

[啓] ルカ12:8

[ヨ] ヨハ6:69

ヘブ7:26

[啓] 啓3:14

啓19:11

[イ] イザ22:22

ルカ1:32

[ヨ] コ一16:9

コ二12:12

おこな わたし かみ み じゅうぶん
 の行^いいは私^{わたし}の神^{かみ}から見^みて十分^{じゅうぶん}である
 とは言^いえませ^えん。3 それで、あなた
 が受^うけたものや聞^きいたことについて
 つね かんが * まも つづ くい あらた
 常^{じょう}に考^{かんが}え、それを守^{まも}り続^{つづ}けて、悔^くい改^{あらた}
 めなさい。あなた^{あなた}が目^め覚^めめないなら、
 わたし かなら どころぼう き けい わたし
 私^{わたし}は必^{かなら}ず泥棒^{どろぼう}のよう^きに来^きます。私^{わたし}がど
 の時^じ刻^{こく}にあなた^{あなた}の所^{ところ}に行^いくか、あなた
 には決^{けつ}して分^わかりませ^えん。

4 とはいえ、サルデスにある会衆^{かいしゅう}
 は、自^{みづか}分の衣^い服^{ふく}を汚^{よご}さなかつた人^{ひと}がわ
 ずかながらいま^{いま}す。その人^{ひと}たち^{ひと}は白^{しろ}
 い衣^い服^{ふく}を着^きて私^{わたし}と共^{とも}に歩^{ある}きます。そうす
 るの^のにふさわしいからです。5 征^{せい}
 服^{ふく}する人^{ひと}は、そのよう^{よう}にして白^{しろ}い衣^い服^{ふく}を
 着^きることになりま^なす。私^{わたし}はそ^{ひと}の^な名^な
 まえ いのち しょう けつ け * わたし ちち
 前^{まへ}を命^{いのち}の書^{しょ}から決^{けつ}して消^けさず、私^{わたし}の父^{ちち}
 と天^{てん}使^したち^{たち}の前^{まへ}でそ^{ひと}の^な名^なを認^{みと}め
 ます。6 耳^{みみ}のある人^{ひと}は、聖^{せい}なる力^{ちから}が
 各^{かく}地^ちの会衆^{かいしゅう}に告^つげること^{こと}を聞きな
 さい。』

7 フィラデルフィアにある会衆^{かいしゅう}の使^し
 者^{しや}に書^かき送^{おく}りなさい。聖^{せい}なる者^{もの}、真^{まこと}実^{じつ}
 なる者^{もの}、ダビデの鍵^{かぎ}を持つ者^{もの}、扉^{かど}を開^{ひら}け
 て誰^{だれ}も閉^とじられ^とないようにし、扉^{かど}を開^{ひら}
 じて誰^{だれ}も閉^とじられ^とないようにする者^{もの}が、
 こう言^いいます。8 『私^{わたし}はあなた^{あなた}の行^い
 いを知^しっています。見^みなさい、私^{わたし}はあ
 なた^{あなた}の前^{まへ}に扉^{かど}を開^{ひら}けました。誰^{だれ}もそれ
 を閉^とじること^{こと}はできませ^えん。私^{わたし}は、あな
 たに少^{すこ}しの力^{ちから}があり、あなた^{あなた}が私^{わたし}の言^{こと}
 葉^はを守^{まも}って、私^{わたし}の名^なを否^{ひてい}定^{てい}しなかつた

3:3 *または、「思い起こし」。3:5 *または、「拭
 い去らず」。

ことを知っています。9 私は、サタンに從っている人たち、すなわち、ユダヤ人だと自称するものの実は違い、うそをついている人たちを来させて、あなたの足元にひれ伏させます。そして、私があなたを愛していることを理解させます。10 あなたが私の忍耐に関する言葉を守ったので、私も、世界中で生じる試練の時にあなたを守ります。その時に、地上に住む人たちは皆、試されます。11 私は速やかに来ます。あなたの冠を誰にも取られないよう、持っているものをしっかり守り続けなさい。

12 征服する人を、私は神の神殿の柱とします。その人はもうそこから去ることはありません。私はその人に名を記します。私の神の名と、私の神の都市すなわち天の神のもとから下る新しいエルサレムの名と、私の新しい名です。13 耳のある人は、聖なる力が各地の会衆に告げることを聞きなさい。』

14 ラオデキアにある会衆の使者に書き送りなさい。アーメンである者、忠実で真実な証人、神に最初に創造された者が、こう言います。15 『私はあなたの行いを知っています。あなたは冷たくも熱くもありません。冷たいか熱いかのどちらかであってほしいと思います。16 あなたが生ぬる

3:9 *直訳、「サタンの会堂の」。*または、「あなたに敬意を示させ」。3:10 *もしかすると、「私の忍耐の手段に従った」。

第3章
[例] ロマ 2:28
啓 2:9

[例] ルカ 8:15
ルカ 21:19
テモ 2:12
ヘブ 10:36
ヘブ 12:3

[例] テサニ 3:3

[例] 啓 2:16

[例] ヤコ 1:12
啓 2:10

[例] 啓 22:3,4

[例] ヘブ 12:22
啓 21:2

[例] 啓 14:1
啓 19:12

[例] コロ 4:16

[例] コ二 1:20

[例] ヨハ 1:14
啓 19:11

[例] ヨハ 18:37
テモ 6:13
啓 1:5

[例] 啓 8:22
コロ 1:15

第2欄

[例] コ二 9:2

[例] 啓 25:13

[例] ホセ 12:8

[例] 啓 16:15

[例] 詩 19:8
テモ 6:17-19

[例] 啓 3:12

[例] 啓 2:5
啓 3:3

[例] ヨー 5:4
啓 12:11

[例] マタ 19:28
ルカ 22:28-30
啓 2:26

[例] ヘブ 10:12

第4章

[例] 王 22:19
イザ 6:1
エゼ 1:26,27
ダニ 7:9
使徒 7:55

[例] 啓 21:10,11

く、熱くも冷たくもないので、私はあなたを口から吐き出そうとしています。

17 あなたは、「私は裕福で、富を得た。何一つ必要なものはない」と言いますが、自分が惨めで、痛ましく、貧しく、目が見えず、裸であることに気付いていません。ですから、18 火で精錬された金と、白い衣服と、目葉を私に買うように勧めます。金は、豊かになるために、白い衣服は、それを着て裸の恥をさらさないために、目葉は、それを塗って見えるようになるためにです。

19 私は愛する人を戒め、矯正します。それで、悔い改めて熱心になさい。20 見なさい、私は戸口に立つて戸をたたいています。私の声を聞いて戸を開ける人の家に私は入り、その人と一緒に夕食を取ります。21 征服する人には、私と共に私の座に座ることを許します。私が征服して、父と共に父の座に座ったようになります。22 耳のある人は、聖なる力が各地の会衆に告げることを聞きなさい。』

4 その後、私が見ると、開かれた扉が天にあった。そして、私に最初に話し掛けた声はラッパの音のようであり、こう言った。「ここに昇ってきなさい。必ず起きることをあなたに示そう。2 それから、すぐに聖なる力が私に働いた。見ると、天に王座があり、その王座に座っている方がいた。

3 座っている方は、碧玉、また赤めの

うのよう[＊]で、王座^{おうざ}の周り^{まわ}にはエメラルド^{にじ}のような虹^{りゅう}があった。

4 王座^{おうざ}の周り^{まわ}には24の座^ざがあり、24人の長老^{にん ちやうろう}が座^{すわ}っていた。長老^{ちやうろう}たちは白い衣服^{しろ いふく}を着て金の冠^{きん かんむり}をかぶっていた。5 王座^{おうざ}からは、稲妻^{いなずま}と声^{こゑ}と雷^{かみなり}が出ていた。また、7つの炎^{ほのお}が王座^{おうざ}の前^{まえ}で燃えており、それらは神^{かみ}の7つの聖なる力^{せい ちから}を表している。6 王座^{おうざ}の前^{まえ}には、水晶^{すいしゅう}に似たガラスの海^{うみ}のよう[＊]なものがあつた。

中央^{ちゆうおう}にある王座^{おうざ}の周り[＊]には、4つの生き物^{いのもの}がいた。その生き物^{いのもの}の体^{からだ}には、前^{まえ}にも後^{うし}にも目^めがたくさんあつた。

7 第1^{だい}の生き物^{いのもの}はライオン^{りいうめん}に似ており、第2^{だい}の生き物^{いのもの}は若い雄牛^{わか おうし}に似ており、第3^{だい}の生き物^{いのもの}は人間^{にんげん}のような顔^{かお}を持ち、第4^{だい}の生き物^{いのもの}は空^{そら}を飛ぶ^とフシに似ていた。8 4つの生き物^{いのもの}にはそれぞれ6つの翼^{つばさ}があり、翼^{つばさ}の表^{おもて}にも裏^{うら}にも目^めがたくさんあつた。そして、それらの生き物^{いのもの}は昼も夜も絶えずこう言う。「聖なる方^{せい なた}、聖なる方^{せい なた}、聖なる方^{せい なた}、全能^{ぜん能}の神^{かみ}エホバ[＊]、かつておられ、今^{いま}おられ、これから来^こられる方^{かた}」。

9 それらの生き物^{いのもの}が、王座^{おうざ}に座^{すわ}っている方^{かた}、永遠^{えいえん}に生きている方^{かた}をたたえ、その方に敬意^{けい}と感謝^{かんしゃ}を表^{あらわ}すたびに、10 24人の長老^{にん ちやうろう}は、王座^{おうざ}に座^{すわ}っている方^{かた}の前^{まえ}でひれ伏し、永遠^{えいえん}に生きている方^{かた}を崇拝^{すうはい}する。そして自分^{じぶん}たちの冠^{かんむり}

4:3 *または、「赤色の宝石」。4:5 *直訳、「ランブ」。4:6 *または、「王座の各側の真ん中」。4:8, 11 *付録A5参照。

第4章

〔イ〕ヨ一1:5

〔イ〕啓4:10

啓5:8

啓11:16

啓19:4

〔イ〕エゼ1:13

〔イ〕出19:16

〔イ〕啓1:4

啓5:6

〔イ〕出30:18

王一7:23

〔イ〕エゼ1:5-10

〔イ〕格28:1

イザ31:4

〔イ〕ヨブ39:9-11

啓6:3

〔イ〕啓6:5

〔イ〕啓6:7

〔イ〕ヨブ39:27,29

エゼ1:10

〔イ〕エゼ10:9,12

〔イ〕イザ6:2,3

〔イ〕啓1:4

〔イ〕詩90:2

ダニ2:7

〔イ〕啓5:8

第2欄

〔イ〕マタ5:16

啓14:7

〔イ〕啓19:10

〔イ〕啓5:13

啓7:12

啓11:17

啓12:10

〔イ〕啓10:6

第5章

〔イ〕啓4:2,3

〔イ〕創49:9,10

ヘブ7:14

〔イ〕サニ2:7,8,12

啓22:16

〔イ〕イザ11:1,10

ロマ15:12

〔イ〕ヨハ16:33

〔イ〕ヨハ19:30

啓5:12

〔イ〕イザ53:7

ヨハ1:29

ペ一1:19

〔イ〕エフ1:22

を王座^{おうざ}の前に投げ出して、こう言う。

11 「私たちの神^{わたし}エホバ[＊]、あなたは栄光^{こうこう}と栄誉^{えいよ}と力^{ちから}を受けるのにふさわしい方^{かた}です。あなたが全てのものを創造^{そうぞう}されたからです。全てのものは、あなたのご意志^{いし}によって存在^{そんざい}するようになり、創造^{そうぞう}されました」。

5 また私は、王座^{おうざ}に座^{すわ}っている方^{かた}の右手^{みぎて}に巻物^{まきもの}があるのを見た。その巻物^{まきもの}は両面^{りょうめん}に文字^{もじ}が書かれており、7つの封印^{ふういん}で閉じられていた。2 そのして私は、強い天使^{わたし}が大声^{つよ てんし}で、「巻物^{まきもの}を開き、その封印^{ふういん}を解くのにふさわしいのは誰^{だれ}でしょうか」と言っているのを見た。3 ところが、天^{てん}にも地^ち上^{じやう}にも地下^{ちか}にも、巻物^{まきもの}を開いて中^{ひら}を見ることのできる者は誰もいなかった。4 巻物^{まきもの}を開いて中^{ひら}を見るのにふさわしい者^{もの}が見つからなかったので、私は激しく泣いた。5 しかし、長老^{ちやうろう}の1人^{ひとり}が私^{わたし}に言った。「泣くのをやめなさい。見なさい、ユダ族^{ぞく}の者^{もの}であるライオン[＊]、ダビデ[＊]の根^ねである方^{かた}が征服^{せいふく}したので、巻物^{まきもの}を開き、7つの封印^{ふういん}を解くことができます」。

6 私^{わたし}が見ると、王座^{おうざ}と4つの生き物^{いのもの}の前に、また長老^{ちやうろう}たちの真ん中^{まなか}に、ほふられたような子羊^{こひつじ}が立っていた。その子羊^{こひつじ}には7つの角^{つの}と7つの目^めがあつた。7つの目は、地上^{ちじやうぜんたい}全体^{おく}に送り出された、神^{かみ}の7つの聖なる力^{せい ちから}を表してい

5:6 *または、「真ん中」。*または、「犠牲にされた」。

る。7 子羊はすぐに前に出て、王座に座っている方の右手から巻物を受け取った。8 子羊が巻物を受け取ると、4つの生き物と24人の長老は子羊の前でひれ伏した。長老たちはそれぞれだて琴と、香がいっぱい入った金の鉢を持っていた。(香は、聖なるものたちの祈りを表している。) 9 そして長老たちは次のような新しい歌を歌っている。「あなたは巻物を受け取ってその封印を解くのにふさわしい方です。あなたはほふられ、自分の血で、あらゆる民族や言語や種族や国のひとびと、なか、神に仕える人々たちを買収したからです。10 そして彼らを、私たちの神に仕える王および祭司とし、彼らは王として地上を治めるのです」。

11 さらに見ていると、王座と生き物と長老たちの周りにいる多くの天使たちの声が聞こえた。天使たちの数は数万の数万倍、数千の数千倍だった。12 天使たちは大声でこう言っていた。「ほふられた子羊は、力と富と知恵と強さと栄誉と栄光と賛美を受けるのにふさわしい方です」。

13 そして、天と地上と地下と海に、いるあらゆる造られたもの、その全てがこう言うのが聞こえた。「王座に座っている方と子羊に、賛美と栄誉と栄光と力がいつまでも永遠にありますように」。14 4つの生き物は「アー

5:12 *または、「祝福」。

第5章

(例) 啓 1:4
(例) 詩 47:8
イザ 6:1
(例) 啓 5:14
啓 19:4
(例) 詩 141:2
啓 8:4
(例) 詩 33:3
詩 144:9
イザ 42:10
啓 14:3
(例) 啓 14:4
(例) マタ 26:27, 28
コヘ 6:20
ペテ 9:12
ペテ 1:18, 19
(例) ルカ 12:32
ルカ 22:28-30
(例) 出 19:6
ペテ 2:9
啓 1:5, 6
(例) マタ 19:28
啓 20:4, 6
啓 22:5
(例) ダニ 7:9, 10
(例) イザ 53:7
啓 5:6
(例) マタ 28:18
(例) フリ 2:9, 10
(例) 啓 4:2, 3
(例) ヨハ 1:29
啓 7:17
(例) ヨハ 5:23
テモ 6:16
(例) ペテ 4:11

第2欄

第6章

(例) 啓 5:6
(例) 啓 5:5
(例) 啓 4:7
(例) 啓 19:11
(例) 啓 14:14
(例) 詩 45:4
詩 110:1, 2
啓 12:7
啓 17:14
(例) 啓 4:7
(例) マタ 24:7
ルカ 21:10
(例) 啓 5:5
(例) 啓 4:7
(例) マタ 20:2
(例) マル 13:8
(例) 啓 4:7

メン!」(例) と言ひ、長老たちはひれ伏して神を崇拜した。

6 私は、子羊が7つの封印の1つを解くのをみた。その時、4つの生き物の1つが雷のような声で「来なさい!」と言うのを聞いた。2 見ていると、白い馬が現れた。それに乗っている者は弓を持っていた。そして冠を与えられ、征服しに、また征服を完了するために出ていった。

3 子羊が第2の封印を解いた時、私は第2の生き物が「来なさい!」と言うのを聞いた。4 すると、別の、火のような色の馬が現れた。それに乗っている者は、地上から平和を取り去って、人々に無残な殺し合いをさせることを許された。そして、大きな剣を与えられた。

5 子羊が第3の封印を解いた時、私は第3の生き物が「来なさい!」と言うのを聞いた。見ていると、黒い馬が現れた。それに乗っている者は、はかりを持っていた。6 そして私は、4つの生き物の真ん中から出たような声がこう言うのを聞いた。「小麦1リットルは1デナリ、大麦3リットルは1デナリ。オリーブ油とぶどう酒を無駄に使ってはならない」。

7 子羊が第4の封印を解いた時、私は第4の生き物の声が「来なさい!」と言うのを聞いた。8 見ていると、

6:6 *1日の賃金に相当したローマの銀貨。付録B14参照。

あおしろ うま あらわ の
青白い馬が現れた。それに乗っている者は「死」という名を持ち、墓がすぐ後に従っていた。そして、地上の4分の1に対する權威がその者たちと与えられた。長い剣と、食糧不足と、死に至る病氣と、地上の野獣によって、人々を殺すのである。

9 子羊が第5の封印を解いた時、わたしころひとち※(例)さいだん(例)き私は殺された人たちの血が祭壇の基部にあるのを見た。神の言葉を守ったために、また伝道したために殺された人たちの血である。10 その人たちは大声でこう叫んだ。「聖なる真実な方、主権者である主よ、あなたはいつまで裁きを行わず、地上に住む人々に対して私たちの復讐をなさらないのですか」。11 すると、一人一人に白くて長い衣服が与えられた。そしてその人たちは、自分たちと同じように殺されようとしている仲間の奴隷、すなわち兄弟たちの数がそろうまで、もうしばらく休むようにと告げられた。

12 さらに見ていると、子羊が第6の封印を解いた時、大きな地震が起こった。そして、太陽は毛織りの粗布のように黒くなり、月は全体が血のように赤くなった。13 また、天の星は地に落ちた。イチジクの木が激しい風に揺さぶられて、熟していない実が落ちる時のようにである。14 天は巻物が巻かれるように取り去られ、全ての山

第6章

(例) ルカ 21:11

(例) エレ 15:2,3
エゼ 14:21

(例) レビ 17:11

(例) レビ 4:7
啓 8:3(例) マタ 24:9,14
ヨハ 18:37
啓 17:6
啓 20:4

(例) ヨー 5:20

(例) 申 32:43
ルカ 18:7
啓 19:1,2

(例) 啓 3:5

(例) マタ 24:9
使徒 9:1
コ二 1:8(例) ヨエ 2:31
マタ 24:29

(例) イザ 34:4

第2欄

(例) 啓 16:20

(例) イザ 2:10,19

(例) ホセ 10:8
ルカ 23:30

(例) 啓 4:2,3

(例) 啓 5:6

(例) ゼバ 1:14,18
ロマ 2:5

(例) ヨエ 2:11

第7章

(例) コ二 1:22

エフ 1:13
エフ 4:30
啓 9:4

(例) 啓 14:1,3

(例) ロマ 2:29
ロマ 9:6
ガラ 6:16
啓 21:12

しま と のぞ (例) ちじょう おう
と島も取り除かれた。15 地上の王、高官、軍司令官、裕福な者、強力な者、また全ての奴隷と自由民は、洞窟や山の岩間に身を隠した。16 そして山と岩に向かってこう言い続ける。「われわれにかぶさつてくれ。王座に座っている方の顔から、また子羊の憤りから、われわれを隠してくれ。

17 あの方々の憤りの大いなる日が来たからだ。誰が立っていられるだろうか。

7 その後、私は4人の天使を見た。天使たちは地の四隅に立ち、地の四方の風をしっかりと押さえて、陸地にも海にもどの木にも風が吹き付けないようにしていた。2 さらに見ていると、別の天使が、生きている神の証印を持って、日の出の方角から上ってきた。その天使は、陸地と海を損なうことを許された4人の天使に大声で呼び掛けて、3 こう言った。「私たちが、私たちの神の奴隷たちの額に証印を押すまでは、陸地も海も木も損なうことはありません。

4 そして私は、証印を押された人たちの数を聞いた。それは14万4000人であり、イスラエルの子孫の全部族の中から人々が証印を押された。

5 ユダ族の中から1万2000人が証印を押され、

ルベン族の中から1万2000人、ガド族の中から1万2000人、

7:2 *または、「東」。

6:8 *ギリシャ語、ハデス。用語集参照。6:9

*ギリシャ語、プシュケー。用語集参照。6:12

*恐らく、ヤギの毛で織ったもの。

6 アシェル族の中から1万2000人、
ナフタリ族の中から1万2000人、
マナセ族の中から1万2000人、
7 シメオン族の中から1万2000人、
レビ族の中から1万2000人、
イッサカル族の中から1万2000人、
8 ゼブルン族の中から1万2000人、
ヨセフ族の中から1万2000人、
ベニヤミン族の中から1万2000人
が証印を押された。

9 その後、私が見ると、全ての国や
民族や種族や言語の人々の中から来
た、誰も数え切れない大群衆が、王座
と子羊の前に立っていた。その人た
ちは白くて長い衣服を着て、ヤシの枝を
も
持っていた。10 そして大声でこう叫
び続ける。「私たちが救われたのは、
王座に座っておられる私たちの神と、
子羊のおかげです」。

11 天使たちは皆、王座と長老たち
と4つの生き物の周りに立っていた。
そして、王座の前にひれ伏して神を
崇拜し、12 こう言った。「アーメン！
賛美と栄光と知恵と感謝と栄誉と力と
質実と栄光と知恵と感謝と栄誉と力と
強さが、いつまでも永遠に私たちの神
にありますように。アーメン」。

13 すると、長老の1人が私に言っ
た。「白くて長い衣服を着たこの人た
ちは誰でしょうか。どこから来たので
しょうか」。14 それで私がすぐその
長老に、「それはあなたが知っておら
れます」と言うと、彼は私に言った。「こ

第7章
[例] 創 41:51

[イ] イザ 2:2
啓 15:4

[例] 啓 7:14
[ロ] レビ 23:40
ヨハ 12:13

[例] 啓 4:2,3

[例] 使徒 4:12
啓 5:6

[例] 啓 4:4
啓 11:16

[例] 啓 4:11

[例] 啓 7:9

第2欄
[例] マタ 24:21
マル 13:19

[イ] ヨハ 1:29
ヘブ 9:14
ヨ一 1:7
啓 1:5

[例] 啓 4:2

[ロ] 詩 15:1
啓 21:3

[例] 詩 121:6
イザ 49:10

[例] 啓 5:6

[例] ヨハ 10:11

[例] 啓 22:1

[例] イザ 25:8
啓 21:4

第8章
[ロ] 啓 6:1

[例] 啓 5:1

[例] 啓 15:1

[例] 啓 5:8

[例] 啓 9:13

[例] 詩 141:2
ルカ 1:10

[例] 出 19:16
啓 4:5

れは大患難から出てくる人々たちです。
この人たちは、自分の長い衣服を子羊
の血で洗って白くしました。15 その
ため、神の王座の前にいて、神殿で昼
も夜も神に神聖な奉仕をしています。
そして、王座に座っておられる方は、こ
の人たちをご自分の天幕で覆います。
16 この人たちはもはや飢えることも
喉が渇くこともなく、照り付ける太陽
の熱や焼け付くような暑さに襲われる
こともありません。17 王座の前にい
る子羊が、この人たちを世話し、命の
水の泉に導くからです。また、神はこ
の人たちの目から全ての涙を拭い去
られます」。

8 子羊が第7の封印を解いた時、
天は30分ほど静まり返った。
2 そして私は、神の前に立つ7人の天
使を見た。その天使たちに7つのラッ
パが与えられた。

3 金の香炉を持った別の天使が来
て、祭壇の所に立つと、たくさんの香
がその天使に与えられた。その香を、
王座の前にある金の祭壇の上で、全て
の聖なる人たちの祈りと共に捧げると
めである。4 香の煙は、天使の手か
ら、聖なる人たちの祈りと共に神の前
に上っていった。5 それから、天使
はすぐに祭壇の火をいくらか取って香
炉に満たし、地に投げ付けた。する
と、雷と声が聞こえ、稲妻が光り、地震

7:17 *または、「真ん中」。*または、「の牧者とな
り」。

が起こった。6 そして、7つのラッパ^(ア)を持つ7人の天使が、ラッパを吹く用意をした。

7 第1の天使がラッパを吹いた。すると、血が交じった、ひょうと火が生じ、それが陸地に投げ付けられた。陸地の3分の1が焼き尽くされ、木々の3分の1が焼き尽くされ、全ての青草が焼き尽くされた。

8 第2の天使がラッパを吹いた。すると、燃えている大きな山のような物が海に投げ込まれ、海の3分の1が血になった。9 海にいる生き物の3分の1が死に、船の3分の1が難破した。

10 第3の天使がラッパを吹いた。すると、天から、燃える炎のような大きな星が、川の3分の1と泉に落ちた。

11 その星の名はニガヨモギという。水の3分の1がニガヨモギに変わり、多くの人がその苦くなった水のせいで死んだ。

12 第4の天使がラッパを吹いた。すると、太陽の3分の1が打たれ、月の3分の1と星の3分の1も打たれた。そのため、それらの3分の1が暗くなり、昼と夜の3分の1の間、光が失われた。

13 さらに見ていると、1羽のワシが空高く飛びながら大声でこう言うのが聞こえた。「地上に住む人には、災い、わざわい、災いがあります！ あと3人の天使が間もなくラッパを吹き、残りのラッパの音が響き渡るからです」。

8:13 *直訳、「中天を」。

第8章

(ア) 啓 8:7,8
啓 8:10,12
啓 9:1,13
啓 11:15

(イ) 啓 16:2

(ウ) 出 9:23-25
詩 97:3,5

(エ) イザ 17:12,13
イザ 57:20

(オ) 出 7:20

(カ) 啓 16:1,3

(キ) 啓 16:1,4

(ク) アモ 5:7

(ケ) 啓 16:1,8

(コ) 出 10:22

(ク) 啓 9:12
啓 11:14

(カ) 啓 8:2

第2欄

第9章

(ア) 啓 8:2

(イ) ルカ 8:30,31
啓 9:11
啓 20:1-3

(ウ) ヨエ 2:2,10

(エ) 出 10:12

(カ) 啓 7:2,3

(キ) 啓 9:10

(ケ) ヨエ 2:4,5

(ク) ヨエ 1:6

9 第5の天使がラッパを吹いた。すると、天から地に落ちた星が見えた。その星である者に、底知れぬ深みに通じる穴を開く鍵が与えられた。2 その者が底知れぬ深みに通じる穴を開くと、大きな炉から出るような煙が穴から立ち上り、その煙によって太陽と空が暗くなった。3 そして、煙の中からバツタの群れが地上に出てきた。そのバツタには、地上のサソリが持つと同じ権威が与えられた。4 バツタに告げられたのは、地上の植物を、どんな草や木も損なってはならないが、額に神の証印がない人々には害を加えてよい、ということだった。

5 バツタに許されたのは、人々を殺すことではなく、5カ月間苦しめることだった。人々が味わう苦しみは、サソリに刺された時の苦しみのおうだった。6 その期間、人々は死のうとするが、死ぬことができない。死にたいと願っても、死が逃げ去っていく。

7 バツタの姿は、戦いの準備が整った馬に似ていた。頭には金の冠のような物をかぶっており、顔は人間の顔のようだった。8 髪は女性の髪のように、歯はライオンの歯のようだった。

9 そして、鉄の胸当てのようなものを着けていた。羽の音は、馬に引かれる多くの兵車戦場へと急ぐ時の音

9:2 *または、「空気」。9:5 *もしかすると、「バツタが与える苦しみは、サソリが刺す」。

のようだった。10 また、バツタはサソリのように針がある尾を持ち、その尾には、人々に5カ月間害を加える権威がある。11 バツタを治める王がおり、それは底知れぬ深みの天使である。その者の名は、ヘブライ語ではアバドンであり、ギリシャ語ではアポロンである。

12 1つ目の災いが過ぎた。この後、さらに2つの災いが来る。

13 第6の天使がラッパを吹いた。すると、神の前にある金の祭壇の角から出る1つの声が聞こえた。14 その声は、ラッパを持つ第6の天使にこう言った。「大河ユーフラテスの所にながれている4人の天使を解放してください」。15 その4人の天使は、その年と月と日と時刻のために用意されていたのであり、人々の3分の1を殺すために解放された。

16 騎兵隊の数は、1万の2万倍だった。私はその数を聞いた。17 私が幻の中で見た馬と、それに乗っている者たちの様子は、次の通りである。その者たちは、火のような赤と、ヒヤシンスのような青と、硫黄のような黄色の胸当てを着けていた。馬は、頭がライオンの頭のようにであり、口から火と煙と硫黄が出ていた。18 その口から出た火と煙と硫黄という3つの災厄によって、人々の3分の1が殺され

9:11 *意味、「滅び」。#意味、「滅ぼす者」。9:14, 15 *または、「使者」。

第9章
[7] ヨエ 2:4,5

[7] 啓 9:5

[7] 啓 9:1
啓 20:1-3

[7] 啓 8:13

[7] 啓 8:6

[7] 啓 11:15

[7] 啓 8:3

[7] 啓 16:1,12
啓 17:1,15

[7] 啓 28:1

第2欄
[7] 詩 115:4-7

第10章
[7] マタ 17:1,2

[7] 啓 5:5

[7] 出 19:16
啓 4:5
啓 11:19

[7] 啓 10:8

[7] 詩 90:2
啓 4:9

[7] 出 20:11
ネへ 9:6
詩 146:6

た。19 馬の権威は、その口と尾にある。尾は蛇に似ていて頭があり、それによって人々に害を加えるのである。

20 これらの災厄によって殺されなかった残りの人々は、自分の手で作った物について悔い改めなかった。彼らは邪悪な天使を崇拜し続け、金、銀、銅、石、木などで作った、見ることも聞くことも歩くこともできない偶像を崇拜

することをやめなかった。21 また、さつじん、心霊術、性的不道徳、盗みをも悔い改めなかった。

10 私がさらに見ていると、別の強い天使が天から下ってきた。雲を身にまとい、頭の上には虹があり、顔は太陽のようで、脚は火の柱のようだった。2 手には開かれた小さな巻物を持っていた。そして、右足を海の上に、左足を陸地の上に据えて、3 ライオンがほえる時のような大声で叫んだ。この天使が叫んだ時、7つの雷の音がした。

4 7つの雷が話した時、私は書き記そうとした。しかし、天から声がした。「7つの雷が話した事は秘めておきなさい。それを書き記してはいけない」。5 私が見た天使、海と陸地のの上に立っている天使は、天に向かって右手を挙げた。6 そして、永遠に生きている方、天と地と海とそれらの中にあるものを創造した方に懸けて、こう誓った。「もはや猶予はありません。

9:21 *ギリシャ語、ポルネイア。用語集参照。

7 第^{だい}7の^{てん}天使^しが^らラッパ^ふを吹^ふこうとする時^{とき}、神^{かみ}が^ご自分の^{じぶん}の^ど奴隷^{れい}である^よ預言者^{よげんしゃ}たちに^お良い^い知らせ^しとして^つ伝^つえた^{しん}神聖^{せい}な^ひ秘密^{みつ}は完了^{かんりよう}します^す。

8 その^{のち}後^{ふた}、再^{また}び^{てん}天^{てん}から^{こえ}声^{こゑ}がして、私^{わたし}に^いこう言^いった。「行^いって、海^{うみ}と陸^{りく}地^ちの上^{うへ}に立^たっている^{てん}天使^しの手^てにある^{ひら}開^{ひら}かれた^{まき}巻^{もの}物^うを受け^と取り^めなさい。9 私^{わたし}はその^{てん}天使^しのもと^いに行^いき、小^{ちい}さな^{まき}巻^{もの}物^うを下^{くだ}さいと言^いった。天^{てん}使^しは私^{わたし}に言^いった。「これを取^とって食^くべなさい。これはあなたのおなかには^{にが}苦^くいものですが、口^{くち}には^{みつ}蜜^{あま}のように甘^{あま}いでしょう。10 私^{わたし}は天^{てん}使^しの手^てから小^{ちい}さな^{まき}巻^{もの}物^うを受け^と取^とって食^くべた。それは口^{くち}の中^{なか}では^{みつ}蜜^{あま}のように甘^{あま}かったが、食^くべ終^{はら}えると腹^{はら}の中^{なか}で^{にが}苦^くいものとな^なった。11 それから私^{わたし}はこ^つう告^こげられた。「あなたは、さまざまな^{しゅそく}種^く族^にや国^{こく}や言^ご語^ごの人^{ひと}々^{びと}、また多^{おほ}くの^{おう}王^{ふうた}について、再^{また}び^{よげん}預言^ししなければなりません。

11 その^{のち}後^{ふた}、私^{わたし}はつえ^{*}のようなアシ^あを^か与^あえられ、こ^つう告^こげられた。「立^たって、神^{かみ}の^{しん}神^{でん}殿^{せい}の^{せい}聖^{とこ}なる^{さい}所^{ところ}と祭^{さい}壇^{だん}とそ^{すう}こで^{はい}崇^{はか}拝^はする人^{ひと}たちを^{しん}測^{そく}りなさい。2 しかし、神^{しん}殿^{でん}の^{せい}聖^{とこ}なる^{そと}所^{ところ}の外^{がわ}側^わにある^{にわ}庭^{ばう}は放^{はか}つておき、測^{そく}つてはな^くりません。それはさまざまな^あ国^{こく}の^{せい}民^{たみ}に与^あえられているからで^かす。彼^{かれ}らは^あ聖^{せい}なる^あ都^あ市^しを^と42^あカ^い月^{だふ}の間^い踏^ふみに^しじります。3 私^{わたし}は、私^{わたし}の^{ふた}り^{にん}の^{しやう}証^{しん}人に^{あら}粗^{あら}布^{ぬの}を^まとわ^せ、1260^に日^あの間^い預言^{よげん}させます^す。

11:1 *または、「物差し」。

第10章

(例) 啓 8:6

(例) 啓 11:15

(例) アモ 3:7

(例) マル 4:11

(例) 啓 10:4

(例) 啓 10:1,2

(例) エゼ 2:8

(例) エレ 15:16

(例) 詩 119:103
エゼ 3:1-3

第11章

(例) エゼ 40:3

(例) 啓 21:2

(例) 啓 13:5

第2欄

(例) ゼカ 4:3,11

(例) ゼカ 4:12
マタ 5:14

(例) ゼカ 4:14

(例) 王一 17:1
ヤコ 5:17

(例) ルカ 4:25

(例) 出 7:19

(例) 啓 12:17
啓 13:7

(例) 啓 11:11

(例) エゼ 37:5,10

4 この^{ふた}2人^{たり}は、2本^{ほん}の^きオリーブ^のの^き木^のと2つの^{だいい}ラン^あプ^わ台^ちによって^あ表^{あら}されて^わおり、地^ちの主^{しゅ}の前^{まへ}に立^たっている。

5 2人^{ふた}に^{がい}害^{くわ}を加^{くわ}えようとする^{もの}者がい^ひれば、火^ひが2人^{ふた}の口^{くち}から出^でて、敵^{てき}たちを^や焼^やき尽^{くわ}くす。害^{くわ}を加^{くわ}えようとする^{もの}者は、必ず^{かな}ずその^こようにして^{ふた}殺^{ころ}される。6 2人^{ふた}には、自分^{じぶん}たちが^{よげん}預言^あする^あ間^あは雨^{あめ}が降^ふらないよう、天^{てん}を^い閉^{しめ}ざす^{くわ}権^さ威^いがある。また、水^{みづ}を^ち血^ちに変^かえ、あ^{なん}らゆる^ど災^の厄^{わざ}に^ちよ^うって^{けん}何^い度^きでも^う望^{けん}む^いだけ地^ちを^う打^うつ^{けん}権^い威^きもある。

7 2人^{ふた}が^{しやう}証^{げん}言^おを終^そえると、底^{そこ}知^しれぬ^ふ深^ふみ^かから上^のて^のつてくる^の野^や獣^{じゅう}が^{かれ}彼^たらと^た戦^{たたか}い、^{かれ}彼^{かれ}ら^{せい}を^ふ征^{せい}服^{ふく}して^{ころ}殺^{ころ}す。8 2人^{ふた}の^い遺^い体^{たい}は、比^ひ喩^ゆ的^{てき}な^い意^い味^みで^おソド^ままた^おエジ^おプ^おト^おと^お呼^おば^おれる^お大^おき^おな^お都^お市^おの^お大^お通^おり^おに^お置^おか^おれる。彼^{かれ}ら^{かれ}の^{しゅ}主^{しゅ}も^{とし}そ^{とし}の^い都^い市^しに^い杭^いに^い掛^かけ^しら^しれて^し死^しん^しだ^しので^ある。9 さまざまな^{しゅそく}種^く族^にや民^{みん}族^{ぞく}や言^ご語^ごや国^{こく}の人^{ひと}々^{びと}は、3日^か半^{はん}の間^{あいだ}その^い遺^い体^{たい}を^みる。そ^いし^いて、^{はか}遺^い体^{たい}が^{なか}墓^{よこ}の中^{なか}に^よ横^{よこ}た^よえ^よら^よれる^よこ^よを^き許^きさ^きない。10 地^ち上^{じやう}に住^すむ^す人^{ひと}々^{びと}は^{ふた}2人^{ふた}の^{よろ}こ^いで^わ喜^わび、^お祝^おつ^おて、^お贈^おり^お物^{もの}を^か交^かわ^かす。この^{ふた}2人^{ふた}の^{よげん}預言^し者^{しや}が^ち地^ち上^{じやう}に住^すむ^す人^{ひと}々^{びと}を^く苦^くし^くめ^くた^くから^あで^ある。

11 3日^か半^{はん}の後^{のち}、神^{かみ}から^{せい}の^い生^{せい}命^{めい}力^{りき}が^{ふた}2人^{ふた}に^{はい}入^いり、^{かれ}彼^たらは^あ立^あち^あ上^あが^あつた。そ^{ふた}れで、^{ふた}2人^{ふた}を^み見^みた^み人^{ひと}々^{びと}は^お非^お常^{じやう}に^お恐^おれ^おた。12 2人^{ふた}は、天^{てん}から^おの^こ大^おき^こな^こ声^{こゑ}が^き「こ^のこ^のに^い昇^{せい}つて^いき^いな^いさい」と^き言^いう^きの^きを^き聞^きく

11:6 *または、「空」。11:11 *または、「命の息」。

いた。そして雲に包まれて天へ昇っていき、敵たちは2人を見た。13 その時、大きな地震が起こり、都市の10分の1が倒壊した。その地震によって7000人が死に、ほかの人々は恐れて天の神をたたえた。

14 2つ目の災いが過ぎた。さらに、3つ目の災いが速やかに来る。

15 第7の天使がラッパを吹いた。すると、天でたくさんの大きな声がした。「世の王国は、私たちの主と、その方のキリストの王国となりました。主はいつまでも永遠に王として治めます」。

16 そして、神の前で自分たちの座に座っていた24人の長老が、ひれ伏して神を崇拜し、17 こう言った。「今おられ、かつておられた方、全能の神エホバ、私たちはあなたに感謝します。あなたはご自分の大きな力をもって、王として治め始められたからです。

18 国々は憤り、あなたご自身も憤りを表し、定めの時が来ました。それは、死んだ人々が裁かれる時であり、あなたの奴隷である預言者たち、聖なる人々、あなたの名を畏れる人々たちが、小さな者も大きな者も報われる時であり、地を損なっている人々が滅ぼされる時です」。

19 また、天にある神の神殿の聖なる所が開かれ、その中に神の契約の箱が見えた。そして、稲妻が光り、声と

第11章

〔啓 9:12

〔啓 8:6

〔啓 代-29:11

詩 22:28

ダニ 4:17,34

啓 12:10

〔詩 2:6

ダニ 7:13,14

ルカ 1:32,33

ルカ 22:28,29

ペテ 1:11

〔詩 145:13

ダニ 2:44

〔啓 4:10

〔啓 1:4

啓 16:5

〔詩 99:1

ゼカ 14:9

啓 19:6

〔アモ 3:7

ヘブ 1:1

ヤコ 5:10

〔コヘ 11:6

〔啓 創 6:11

〔ヨ 王-8:1,6

ヘブ 8:1,2

ヘブ 9:11

第2欄

第12章

〔啓 創 3:15

〔啓 12:9

啓 20:2

〔ヨ 38:7

〔啓 創 6:2

ユダ 6

〔啓 創 3:15

〔啓 11:15

〔啓 詩 2:9

詩 110:2

啓 19:15

〔啓 12:14

〔啓 ダニ 10:13

ダニ 12:1

ユダ 9

雷が聞こえ、地震が起こり、大きなひょうが降った。

12 それから、天に大きな星が見えた。それは太陽を身にまとった女で、月が足の下にあり、12の星の冠をかぶっていた。2 彼女は妊娠しており、出産の痛みや苦しみのために叫んでいた。

3 また、天に別の星が見えた。それは火のような色の大きな竜で、7つの頭と10本の角があり、7つの王冠をかぶっていた。4 竜の尾は天の星の3分の1を引き寄せて、地に投げ落とした。そして竜は、子を産もうとしていた。そして竜は、子を産もうとしていた。彼女が子を産んだ時に、その子をむさぼり食うためだった。

5 女は男の子を産んだ。その男子は、鉄のつえをもって全ての国の民を処罰することになる。その子はすぐに女から取られ、神のもとへ、王座へと連れていかれた。6 女は荒野に逃げた。そこには神が用意した場所があり、彼女は1260日の間養われることになる。

7 そして、天で戦争が起こった。ミカエルと天使たちが竜と戦ったのである。竜と邪悪な天使たちも応戦した。

8 しかし彼らは勝つことができず、天に彼らの居場所はなくなった。9 こ

12:5 *または、「治める」。12:7 *意味、「誰が神のようだろうか」。12:8 *もしかすると、「竜は敗れ」。

うして、大きな竜は投げ落とされた。あの初めの蛇で、悪魔サタンと呼ばれ、全世界を惑わしている者である。彼は地に投げ落とされ、邪悪な天使たちも共に投げ落とされた。10 私は大きな声が天でこう言うのを聞いた。

「今や、私たちの神の救いと力と王国、またその方のキリストの権威が実現しました！ 私たちの兄弟たちを神の前で昼も夜も訴える者が投げ落とされたからです。11 兄弟たちは、子羊の血によって、また自分たちが語る言葉によってその者を征服し、死に面しても自分の命を惜しみませんでした。12 それで、天とそこに住む者たち、喜びなさい！ 地と海には災いが降り掛かります。悪魔が、自分に残された時間が短いことを知り、大きな怒りを抱いてあなたがたの所に下ったからです。」

13 地に投げ落とされた竜は、男の子を産んだ女を迫害した。14 しかし、女は大きなワシの翼を与えられ、荒野にある自分の場所に飛んでいった。蛇から離れたその場所で、一時と二時と半時の間養われることになる。

15 蛇は、口から水を川のように女の後ろに吐き出して、彼女を溺れさせようとした。16 しかし、地が女を助けた。地は口を開けて、竜の口から吐き出された川をのみ込んだのである。

17 それで竜は女に対して激怒し、彼女の子孫のうちの残っている人たち、

12:11 * 直訳、「愛し」。12:17 * 直訳、「種」。

第12章

[7] 啓 12:3
啓 20:2
[イ] 創 3:1
コニ 11:3
啓 12:14
[ウ] マタ 4:1
ヨハ 8:44
ヘブ 2:14
ヤコ 4:7
ペー 5:8
[ウ] 代一 21:1
ヨブ 1:6
ゼカ 3:2
マタ 4:10
ヨハ 13:27
ロマ 16:20
テラニ 2:9
[ウ] コニ 4:4
コニ 11:14
エフ 2:2
ヨ一 5:19
[ウ] ルカ 10:18
啓 12:13
[ウ] ロマ 13:11
ヘブ 9:28
ペー 1:5
[ウ] 啓 11:15, 17
[ウ] ヨブ 1:9
ゼカ 3:1
[ウ] ペー 1:18, 19
[ウ] 使徒 1:8
テモニ 1:8
啓 1:9
[ウ] ヨ一 2:14
[ウ] マタ 16:25
ルカ 14:26
使徒 20:24
[ウ] イザ 57:20
イザ 60:2
啓 17:15
[ウ] マタ 24:34
ロマ 16:20
テモニ 3:1
ペニ 3:3
[ウ] ルカ 10:18
[ウ] 創 3:15
啓 12:1
[ウ] 出 19:4
イザ 40:31
[ウ] 創 3:1
コニ 11:3
[ウ] 啓 12:6
[ウ] 創 3:15

第2欄

[ウ] マタ 24:9
使徒 1:8
啓 1:9
啓 6:9

第13章

[イ] 啓 11:7
啓 13:18
[ウ] イザ 57:20
啓 21:1
[ウ] 啓 12:9
[ウ] ルカ 4:6
[ウ] 啓 13:14
[ウ] 啓 11:2, 3
[ウ] ダニ 7:25
[ウ] 啓 12:12
[ウ] 啓 12:17

すなわち、神のおきてを守り、イエスについて証言する務めを与えられている人々と戦うために去っていった。

13 竜は海辺の砂の上で立ち止まった。

私が見ていると、1匹の野獣が海から上ってきた。10本の角と7つの頭があり、角には10の王冠があり、頭には神を冒瀆する名が記されていた。2 私が見たその野獣はヒョウに似ていたが、足は熊の足のようで、口はライオンの口のように口であった。そして、竜から力と座と大きな権威を与えられた。

3 野獣の頭の1つが傷つけられ、死んだかのように見えた。しかし、その致命的な傷は治り、全世界の人々は感服して野獣に従った。4 そして人々は竜を崇拜した。竜が野獣に権威を与えたからである。さらに人々は野獣をも崇拜し、こう言った。「誰がこの野獣に匹敵するだろうか。誰がこの野獣と戦えるだろうか」。5 野獣には、大きなことと冒瀆的なことを語る口が与えられ、42カ月の間 行動する権威が与えられた。6 そして野獣は口を開いて神を冒瀆した。神の名と住まい、天に住む者たちを冒瀆したのである。7 野獣はさらに、聖なる人々と戦って彼らを征服することを許され、あらゆる民族や種族や言語や国の人々を支配する権威を与えられた。8 地上に住む人々は野獣を崇拜する。よが始まって以来、彼らの名前は

ひとつも、ほふられた子羊の命の巻物
に書かれていない。

9 耳のある人は、聞きなさい。10 捕らわれることになっている人は、捕らわれる。剣で殺す人は、必ず剣で殺される。そのため聖なる人たちには忍耐と信仰が必要になる。

11 さらに見ていると、別の野獣が地から上ってきた。その野獣は、子羊のような2本の角があり、竜のように話し始めた。12 そして、初めの野獣が持っていた権威全てを、その前で行使する。また、地とそこに住む人々に、致命的な傷が治った初めの野獣を崇拜させる。13 さらに、大きな奇跡を行い、人類の前で火を天から地に降らせることさえする。

14 この野獣は、初めの野獣の前で行うことを許された奇跡によって、地上に住む人々を惑わす。また、剣の一撃を受けたものの回復した野獣のために像を造るようにと、地上に住む人々に言う。15 そして、野獣の像に命を吹き込むことを許された。それによって野獣の像は話すようになり、野獣の像を崇拜することを拒む人たち全てを殺せる。

16 初めの野獣はさらに、あらゆる人、すなわち、小さな者にも大きな者にも、裕福な者にも貧しい者にも、自由な者にも奴隷にも、右手か額に印を

第13章

【イザ 53:7

マタ 27:50

啓 5:6,12

【イ 啓 3:5

啓 21:27

【イ マタ 11:15

【イ マタ 26:52

【イ ダニ 7:18

コヘ 6:2

啓 20:6

【イ マタ 24:13

ヘブ 10:36

ヘブ 12:3

【イ 啓 2:10

【イ 啓 16:13

啓 20:2

【イ 啓 13:1

【イ 啓 13:3

【イ 啓 13:3

【イ 啓 19:20

啓 20:4

【イ 啓 19:20

啓 20:4

【イ 啓 19:20

啓 20:4

【イ 啓 19:20

啓 20:4

【イ 啓 19:20

啓 20:4

【イ 啓 19:20

啓 20:4

【イ 啓 19:20

啓 20:4

【イ 啓 19:20

啓 20:4

【イ 啓 19:20

啓 20:4

【イ 啓 19:20

啓 20:4

【イ 啓 19:20

啓 20:4

【イ 啓 19:20

啓 20:4

【イ 啓 19:20

啓 20:4

【イ 啓 19:20

啓 20:4

【イ 啓 19:20

啓 20:4

【イ 啓 19:20

啓 20:4

【イ 啓 19:20

啓 20:4

【イ 啓 19:20

啓 20:4

【イ 啓 19:20

啓 20:4

【イ 啓 19:20

啓 20:4

【イ 啓 19:20

啓 20:4

【イ 啓 19:20

啓 20:4

【イ 啓 19:20

啓 20:4

【イ 啓 19:20

啓 20:4

【イ 啓 19:20

啓 20:4

【イ 啓 19:20

啓 20:4

受けさせる。17 そして、その印、つまり野獣の名である数字を記されている者以外は、誰も売り買いできないようにする。18 ここで知恵が必要になる。洞察力がある人は、野獣の数字を解き明かしなさい。それは人間の数字であり、その数字は666である。

14 私がさらに見ると、子羊がシオンの山に立っていた。そして子羊と共に14万4000人の者たちがいて、彼らの額には子羊の名とその父の名が書かれていた。2 天から、大きな滝の音のような、また大きな雷鳴のような音が聞こえた。私が聞いた音は、たて琴を弾きながら歌う者たちの声のようでもあった。3 彼らは、王座の前および4つの生き物と長老たちの前で、新しい歌のような歌を歌っている。地から買い取られた14万4000人以外、誰もその歌を習得できなかった。4 この者たちは、女によって自分を汚さなかった。童貞なのである。そして、子羊が行く所にはどこにでも従っていく。彼らは神と子羊に捧げられる初物として人類の中から買い取られたのであり、5 偽りを語ることはなかった。彼らは傷のない者たちである。

6 また私は、別の天使が空高く飛んでいるのを見た。その天使は、地上に

13:18 *直訳、「計算し」。14:2 *直訳、「多くの水」。14:4 *用語集参照。14:6 *直訳、「中天を」。

13:10 *もしかすると、「剣で殺されることになっている人」。13:13, 14 *直訳、「しるし」。

住^すひと^{びと}人々^た、すなわち、あらゆる^く国^{くに}や民^{みん}
 族^{ぞく}や言語^{げんご}や種族^{しゅぞく}の人々^{ひとびと}に伝える^{つた}、永^{えい}
 遠^{えん}の良^よい知^ちらせを携^{たず}えていた。7 天^{てん}
 使^しは大声^{おおこえ}でこ^いう言^{かみ}った。「神^{かみ}を畏^{おそ}れ、神^{かみ}
 をたたえなさい。神^{かみ}による裁^{さば}きの時^{とき}が
 来^きたからです。天^{てん}と地^ちと海^{うみ}と泉^{いづみ}を造^{つく}
 た方^{かた}を崇^{すう}拝^{はい}しなさい」。

8 続^{つづ}いて2人^{ふたり}目の天^{てん}使^しが来^きて、こ^い
 う言^かった。「彼女^{かのじょ}は倒^{たお}れました！ 自分^{じぶん}の
 性^{せい}的^{てき}の不^ふ道^{どう}徳^{とく}の欲^{よく}情^{じょう}のぶどう酒^{しゅ}を全^{ぜん}て
 の国^{くに}の民^{たみ}に飲^のませた、大^{だい}いなるバビロ^{おお}
 ン^んは倒^{たお}れました！」

9 さらに続^{つづ}いて3人^{さんにん}目の天^{てん}使^しが来^き
 て、大^{おお}声^{こえ}でこ^いう言^{だれ}った。「誰^{だれ}でも、野^や獣^{じゅう}
 とその像^{さう}を崇^{すう}拝^{はい}し、自分^{じぶん}の額^{ひたい}か手^てに印^{しるし}
 を受^うけるなら、10 その者^{もの}も神^{かみ}の怒^{いか}り
 のぶどう酒^{しゅ}を飲^のむことになりま^す。神^{かみ}
 の憤^{いきどお}りの杯^{さかずき}に薄^{うす}めず注^{そそ}がれたぶ
 ど^{せい}う酒^{しゅ}を飲^のむのです。またその者^{もの}は、聖^{せい}
 なる天^{てん}使^したちと子^こ羊^{ひつじ}の前^{まえ}で、火^ひと硫^{いおう}黄^{おう}
 によ^{くる}って苦^{くる}しめられま^す。11 その苦^{くる}
 し^{けむり}の煙^{えいけい}は永^{えい}久^{きゅう}に立^たち上^{のぼ}り、野^や獣^{じゅう}とそ
 の像^{さう}を崇^{すう}拝^{はい}する者^{もの}、野^や獣^{じゅう}の名^なの印^{しるし}を受^う
 ける者^{もの}は、昼^{ひる}も夜^{よる}も安^{やす}らぐことがで
 きま^{せん}。12 この点^{てん}で、聖^{せい}なる人^{ひと}たち、
 神^{かみ}のおきてを守^{まも}り、イエスへの信^{しん}仰^{こう}を
 持^もち続^{つづ}ける人^{ひと}たちには、忍^{にん}耐^{たい}が必要^{ひつよう}に
 なりま^す」。

13 また、天^{てん}から声^{こえ}がした。「こ^かう書^か
 きなさい。今^{いま}から後^{あと}、主^{しゅ}と結^{むす}び付^ついて

14:8 *ギリシャ語、ポルネイア。用語集参照。
 *または、「怒り」。14:12 *または、「イエスの
 信仰にしっかり倣う」。

第14章

〔マ〕マタ 24:14
 マル 13:10
 使徒 1:8

〔イ〕ペニ 2:9

〔出〕出 20:11
 詩 146:6

〔エ〕エレ 51:7,8
 啓 17:1,2
 啓 18:2,3

〔啓〕啓 17:18

〔イザ〕イザ 21:9
 啓 18:21

〔啓〕啓 13:1

〔啓〕啓 13:15,16

〔詩〕詩 75:8
 啓 11:18
 啓 16:19

〔啓〕啓 21:8

〔マ〕マタ 25:46
 テサニ 1:9
 啓 19:3

〔啓〕啓 13:16-18
 啓 16:2
 啓 20:4

〔ヘ〕ヘブ 10:38

〔啓〕啓 13:10

第2欄

〔コ〕コ一 15:51,52
 テサー 4:16,
 17

〔ダ〕ダニ 7:13

〔マ〕マタ 13:30

〔ヨ〕ヨエ 3:13

〔啓〕啓 19:11,15

死^しぬ人^{ひと}たちは幸^{こう}福^{ふく}です。聖^{せい}なる力^{ちから}はこ
 う言^いいます。彼^{かれ}らは苦^く労^{ろう}から解^{かい}放^{ほう}され
 て休^{やす}みます。彼^{かれ}らの行^いいはすぐに報^{むく}わ
 れるのです*。

14 さらに見^みると、白^{しろ}い雲^{くも}があり、そ
 の雲^{くも}の上^{うへ}に人^{ひと}の子^このような方^{かた}が座^{すわ}っ
 ていた。その方^{かた}は金^{きん}の冠^{かんむり}をかぶっ
 ていた。その方^{かた}は金^{きん}の冠^{かんむり}をかぶっ
 て、鋭^{えい}い鎌^{かま}を持^もっていた。

15 別^{べつ}の天^{てん}使^しが神^{しん}殿^{でん}の聖^{せい}なる所^{ところ}か
 ら現^{あらわ}れて、雲^{くも}の上^{うへ}に座^{すわ}っている方^{かた}に向
 か^むって大^{おお}声^{こえ}でこ^いう言^いった。「あなた
 の鎌^{かま}を使^{つか}って刈^かり取^とってください。刈^か
 り取^とる時^{とき}が来^きたからです。地^ちの作^{さく}物^{もつ}は
 すっか^{じゆく}り熟^{じゆく}しています」。16 すると、
 雲^{くも}の上^{うへ}に座^{すわ}っている方^{かた}が鎌^{かま}を地^ちに突^つ
 き入^いれ、地^ちの作^{さく}物^{もつ}は刈^かり取^とられた。

17 また別^{べつ}の天^{てん}使^しが、天^{てん}にある神^{しん}殿^{でん}
 の聖^{せい}なる所^{ところ}から現^{あらわ}れた。その天^{てん}使^しも
 鋭^{えい}い鎌^{かま}を持^もっていた。

18 さらに別^{べつ}の天^{てん}使^しが祭^{さい}壇^{だん}から現^{あらわ}
 れた。その天^{てん}使^しは火^かに對^{たい}する権^{けん}威^いを
 持^もっており、鋭^{えい}い鎌^{かま}を持^もつ天^{てん}使^しに大^{おお}声^{こえ}
 でこ^いう言^いった。「その鋭^{えい}い鎌^{かま}を使^{つか}って、
 地^ちのブドウの房^{ふさ}を刈^かり取^とって集^{あつ}めな
 さい。ブドウは熟^{じゆく}しているからです」。

19 そこで天^{てん}使^しは鎌^{かま}を地^ちに突^つき入^いれ、
 地^ちのブドウの木^きを刈^かり集^{あつ}めて、神^{かみ}の怒^{いか}
 りの大^{だい}きなブドウ搾^{さく}り場^ばに投^なげ込^こん
 だ。20 ブドウは都^{とし}市^しの外^{そと}で踏^ふまれ、
 搾^{さく}り場^ばから血^ちがで^でて馬^{うま}のくつわに届^{とど}
 ほどの深^{ふか}さになり、300キロにわたっ
 て流^{なが}れた。

14:13 *直訳、「彼らに伴っていく」。

15 また、私は天に別のしるしを
見た。壮大で驚くべきしるし
であり、7人の天使が7つの災厄を携
えていた。それらは最後の災厄であ
る。それによって神の怒りは終わるか
らである。

2 そして私が見ると、ガラスの海の
ようなものに火がまじっていた。また、
野獣とその像と野獣の名である数字
に打ち勝った者たちが、神のたて琴を
持つて、ガラスの海のそばに立ってい
た。**3** 彼らは神の奴隷モーセの歌
と子羊の歌を歌っていた。

「全能の神エホバ、あなたは壮大で
驚くべき事柄を行われます。永遠の
王よ、あなたの道は正しく、真実です。

4 エホバ、誰があなたを畏れず、あな
たの名をたたえないでしょうか。あな
ただけが揺るぎない愛に満ちる方
です。全ての国の民があなたの前に来
て崇拜します。あなたの規定の正し
さが明らかにされたからです」。

5 その後、私が見ると、天で幕屋の
聖なる所が開かれ、**6** 7つの災厄を
携えた7人の天使が聖なる所から現
れた。輝く清い亜麻布の衣服を着て、
金の帯を胸に締めていた。**7** 4つの
生き物の1つが、7人の天使に7つの金
の鉢を与えた。鉢には、永遠に生きて
いる神の怒りが満ちていた。**8** する
と、聖なる所は神の栄光と力のゆえに

15:3, 4; 16:7 * 付録A5参照。15:5 * 直訳、
「証しの天幕」。

第15章

(例) 啓 16:1
(例) 啓 16:17
(例) 王 7:23
啓 4:6
(例) 啓 13:15
(例) 啓 13:18
(例) 啓 2:7
(例) 出 15:1
申 31:30
(例) ヨハ 1:29
(例) 出 6:3
(例) 出 15:11
詩 111:2
詩 139:14
(例) エレ 10:10
テモ 1:17
(例) 申 32:4
詩 145:17
(例) エレ 10:6,7
(例) 詩 86:9
マラ 1:11
(例) 使徒 7:44
ヘブ 8:1,2
ヘブ 9:11
(例) 啓 11:19
(例) 啓 15:1
(例) 詩 75:8
エレ 25:15
啓 14:9,10

第2欄

(例) 出 40:34,35
王 8:10,11
イザ 6:4
エゼ 44:4
(例) 啓 15:1

第16章

(例) 啓 16:17
(例) 詩 69:24
ゼバ 3:8
(例) 啓 8:7
(例) 啓 13:16,18
(例) 啓 13:15
啓 19:20
(例) 出 9:10
(例) 啓 8:8
(例) 出 7:20
(例) イザ 57:20
(例) 啓 8:10
(例) 出 7:20
詩 78:44
(例) 啓 1:4
(例) 詩 145:17
啓 15:4
(例) 申 32:4
詩 119:137
(例) 詩 79:3
(例) イザ 49:26
(例) 啓 18:20
(例) 出 6:3
(例) 詩 19:9
詩 119:137
啓 19:1,2

けむり 煙で満たされた。7人の天使の7つの
災厄が終わるまで、誰も聖なる所に入
れなかった。

16 聖なる所から大きな声がし
て、7人の天使にこう言った。
「行って、神の怒りの7つの鉢の中身を
地に注ぎ出さない」。

2 第1の天使が行って、自分の鉢の中身
を陸地に注ぎ出した。すると、野
獣の印を受け、野獣の像を崇拜して
いた者たちに、ひどい悪性の潰瘍が
生じた。

3 第2の天使が、自分の鉢の中身
を海に注ぎ出した。すると、海は死人
の血のようになり、海の中の生き物が
全て死んだ。

4 第3の天使が、自分の鉢の中身
を川と泉に注ぎ出した。すると、川と
泉は血になった。**5** 私は、水に対す
る権威を持つ天使がこう言うのを聞
いた。「今おられ、かつておられた方、
揺るぎない愛に満ちる方、あなたは正
しい方です。このような裁きをなさった
からです。**6** 聖なる人たちと預言者
たちの血を流した者たちに、あなたは
血を与えて飲ませました。彼らはそう
されて当然です」。**7** また、私は祭壇
がこう言うのを聞いた。「全能の神エ
ホバ、あなたの裁きは確かに真実で
正しいものです」。

8 第4の天使が、自分の鉢の中身

16:7 * または、「法規」。

を太陽に注ぎ出した。すると、太陽
は人々を火で焼くことを許された。

9 人々は、激しい熱で焼かれても、これらの災厄をもたらす権威を持つ神の名を冒瀆し、悔い改めず、神をたたえなかった。

10 第5の天使が、自分の鉢の中身を野獣の座に注ぎ出した。すると、野獣の王国は暗くなり、人々は苦痛のあまり自分の舌をかみ始めた。11 それでも彼らは、苦痛と潰瘍のゆえに天の神を冒瀆し、自分たちの行いを悔い改めなかった。

12 第6の天使が、自分の鉢の中身を大河ユーフラテスに注ぎ出した。すると、大河の水が枯れ、日が昇る方角から来る王たちのための道ができた。

13 さらに見ていると、カエルのように見える3つの汚れた息が、竜の口と野獣の口と偽預言者の口から出てきた。14 それらは邪悪な天使たちの息であって、奇跡を行い、全世界の王たちのもとに向かう。全能の神の大きな日の戦争に王たちを招集するためである。

15 「私は泥棒のように来ます。目ざ覚めていて自分の外衣を守る人は幸福です。その人は、裸で歩いて恥をさらすということがありません。

16 それらの息により、王たちはへ

16:12 *または、「東」。 16:13, 14, 16 *または、「言葉」。ギリシヤ語、プネウマ。用語集参照。 16:14 *直訳、「しるし」。

第16章

(例) 啓 8:12

(例) 出 10:21
イザ 8:22

(例) 啓 9:13, 14

(例) エレ 50:38

(例) イザ 44:27, 28

(例) 啓 12:3

(例) 啓 13:11, 13

(例) イザ 13:6

エレ 25:33

エゼ 30:3

ヨエ 1:15

ヨエ 2:1, 11

ゼバ 1:15

ペニ 3:11, 12

(例) 啓 19:19

(例) テサー 5:2

ペニ 3:10

(例) ルカ 21:36

(例) 啓 3:18

第2欄

(例) 代 2:35, 22

ゼカ 12:11

啓 19:19

(例) 啓 16:1

(例) エゼ 38:19

ダニ 12:1

ヘブ 12:26

(例) 啓 17:18

(例) 啓 18:2

(例) エレ 25:15

啓 15:7

(例) 啓 6:14

(例) ヨブ 38:22, 23

(例) 出 9:24

第17章

(例) 啓 16:1

(例) エレ 51:13

啓 17:15

啓 19:2

(例) ヤコ 4:4

啓 18:9

(例) エレ 51:7

啓 14:8

啓 18:3

ブライ語でハルマゲドンと呼ばれる場所に集められた。

17 第7の天使が、自分の鉢の中身を空気に注ぎ出した。すると、聖なる所から、王座から大きな声が出て、「成し遂げられた!」と言った。18 そして、稲妻が光り、声と雷が聞こえ、大きな地震が起こった。それは、人間が地上に存在するようになって以来起きたことがない、大規模で激しい地震だった。

19 大きな都市は3つに裂け、国々の都市が倒れた。神は大いなるバビロンを思い起こし、彼女にご自分の激しい怒りのぶどう酒が入った杯を与えた。20 また、全ての島は逃げ去り、山々は消えうせた。21 さらに、重さ20キロほどの大きなひょうが天から人々の上に降り、人々はひょうの災厄のゆえに神を冒瀆した。その災厄が甚大な被害をもたらしたからである。

17 7つの鉢を持つ7人の天使の1人が来て、私にこう言った。「来なさい。多くの水の上に座る大娼婦に対する処罰を見せましょう。2 地上の王たちは彼女と性的に不道徳な行為をし、地上に住む人々は彼女との性的不道徳のぶどう酒に酔わされました」。

3 そして天使は、聖なる力によって私を荒野に連れていった。そこで私が

16:16 *または、「アルマゲドン」。「メギドの山」という意味。 17:2 *用語集の「性的不道徳」参照。 *ギリシヤ語、ボルネイア。用語集参照。

見ると、女が緋色の野獣の上に座っていた。野獣は神を冒瀆する名で覆われており、7つの頭と10本の角があった。4 女は紫布と緋色の布の衣服を着て、金と宝石と真珠で身を飾り、金の杯を持っていた。その杯は、極めて不快なものと彼女の性的不道德の汚れで満ちていた。5 女の額には謎めいた名が書かれていた。「娼婦たちと地上の極めて不快なものの母、大なるバビロン」という名である。6 女は聖なる人たちの血とイエスの証人たちの血に酔っていた。

この女を見て、私は非常に驚いた。

7 すると、天使が私に言った。「なぜ驚いたのですか。この女の謎と、女を乗せている、7つの頭と10本の角がある野獣の謎について、あなたに知らせましょう。8 あなたが見た野獣はかつていましたが、今はいません。しかし底知れぬ深みから上ろうとしており、やがて滅びることになります。地上にすむ人々、世が始まって以来、命の巻物に名前が書かれていない人々は、野獣がかつてはいたものの今はおらず、後に現れるのを見る時、驚きます。

9 ここで思考力と知恵が必要になります。7つの頭は7つの山を表しており、その上に女が座っています。10 7人の王がいるということです。5人はすでに倒れ、1人は今おり、もう1人は

17:3 *または、「赤い」。17:4 *ギリシャ語、ボルネイア。用語集参照。

第17章

(イ) ルカ 16:19

(イ) 啓 18:11, 12
啓 18:19

(イ) 啓 18:5

(イ) 啓 19:2

(イ) 啓 6:9

啓 18:24

啓 19:2

(イ) 啓 17:5

(イ) 啓 17:3

(イ) 啓 20:1

(イ) 出 32:32

詩 69:28

フィリ 4:3

(イ) 啓 17:7

第2欄

(イ) 啓 17:8

(イ) ヨハ 1:29

啓 5:6

(イ) マタ 28:18

使徒 2:36

テモ一 6:15

(イ) 啓 19:11, 15

(イ) ロマ 16:20

(イ) イザ 57:20

エレ 51:13

(イ) 啓 17:12

(イ) 啓 17:8

(イ) 啓 17:7

(イ) レビ 21:9

啓 18:8

(イ) ヨシ 11:19, 20

格 21:1

(イ) 啓 17:12

(イ) 啓 17:5

まだ来ていません。来たら、少しの間とどまらなければなりません。11 かつていたものの今はいない野獣は、8人目の王でもあります。7人の王から生まれて、やがて滅びます。

12 あなたが見た10本の角は10人の王を表しています。彼らはまだ王国を受けていませんが、野獣と共にひとときの間、王としての権威を受けます。

13 10人の王は1つの考えを抱き、自分たちの力と権威を野獣に与えます。

14 彼らは子羊と戦いますが、子羊は主の中の主、王の中の王ですから、彼らを征服します。子羊と共にいる者たち、招かれ、選ばれた忠実な者たちも、征服します。

15 天使はさらに私に言った。「あなたが見た水、娼婦が座っている所は、さまざまな種族や群衆や国や言語の人々を表しています。16 そして、あなたが見た10本の角と野獣は、娼婦を憎み、破滅させて裸にし、彼女の肉を食い尽くし、彼女を火で焼き尽くします。17 神が、ご自分の考えを彼らの心に入れて実行させたからです。神の言葉が成し遂げられるまで、彼らが自分たちの王国を野獣に与えて、自分たちの1つの考えを実行するようにしたので。18 あなたが見た女は、地上の王たちを支配している大きな都市を表しています。

17:17 *10人の王のこと。

18 その後、私が^{のち わたし み おお}見ると、大きな^{けん い も べつ てん し てん}権威を持つ別の天使が天から下ってきた。その天使の栄光によって^{くだ てん し えいこう}は明るく照らされた。2 天使は強い声^{つよ こえ}でこう叫んだ。「彼女は倒れました！^{おお たお} 大いなるバビロンは倒れました！^{おお} 彼女は、邪悪な天使たちのすみか、あらゆる汚れた空気^{けが くうき}がこもる場所、あらゆる汚れた忌まわしい鳥が潜む場所^{ぼしよ}となりました。3 彼女の性的不道德の欲情のぶどう酒によって全ての国の民が酔わされ、地上の王たちは彼女と性的に不道德な行為をし、地上の商人たちは彼女の甚だしくぜいたくな暮らしによって富を得たのです。

4 また、天から別の声がした。「私の民よ、彼女から出なさい。彼女の罪に関わったり、災厄に巻き込まれたりしないためである。5 彼女の罪は積み重なって天にまで達し、神は彼女の数々の不正な行いを思い起こしたのである。6 彼女がした仕打ちの通り、彼女に返報しなさい。彼女が行ったことを2倍にして返すのである。彼女が混ぜて作った飲み物の杯に、2倍の量を入れて彼女に渡しなさい。7 彼女がおごり高ぶり、甚だしくぜいたくな暮らしをした分だけ、彼女に苦しみや悲しみを味わわせなさい。彼女は心の中でこう言い続けるからである。

18:2 *もしかすると、「息」、「言葉」。**18:3** *ギリシャ語、ポルネイア。用語集参照。*または、「怒り」。^または、「旅商人」。**18:5** *または、「数々の犯罪」。

第18章

(イ) イザ 21:9
エレ 51:8
啓 14:8

(イ) イザ 13:21
エレ 50:39

(イ) エレ 51:7

(イ) 啓 17:1,2

(イ) イザ 48:20
イザ 52:11
エレ 50:8

(イ) エレ 51:6,45
コ二 6:17

(イ) エレ 51:9

(イ) 啓 16:19

(イ) エレ 50:29
テサ二 1:6

(イ) 詩 137:8
エレ 50:15

(イ) 詩 75:8

(イ) 啓 16:19

第2欄

(イ) イザ 47:7-9

(イ) レビ 21:9

(イ) エレ 50:34

(イ) ダニ 4:30

『私は女王の座についている。やもめなどではない。決して悲しむことはない』。8 そのため、彼女は1日のうちに幾つもの災厄に見舞われる。それは死と悲しみと飢えであり、彼女は火で焼き尽くされる。彼女を裁いたエホバは強い神だからだ。

9 彼女と性的に不道德な行為をし、一緒に甚だしくぜいたくな暮らしをした地上の王たちは、彼女が焼かれる煙を見る時、彼女のことで泣き、自分の体をたたいて悲しむ。10 彼らは彼女が受けた苦しみを恐れて離れた所に立ち、こう言う。『残念だ、残念なことだ、大きな都市、強力な都市であるバビロンよ。あなたはひとときの間に処罰されてしまった！』

11 地上の商人たちも、彼女のことで泣いて悲しむ。自分たちが十分に仕入れた品を買う者がもう誰もいないからである。12 その品は、十分に仕入れた金、銀、宝石、真珠、上等の亜麻布、紫布、絹、緋色の布、香木でできたあらゆる物、また、象牙や高価な木材や銅や鉄や大理石でできたあらゆる種類の物品、13 さらに、シナモン、インド産の香料、香、香油、乳ナウ、^{しゅ}あぶら、^{じょうとう}じょうとう、^{むぎ}むぎ香、ぶどう酒、オリーブ油、上等の麦、^ここむぎ、^{うし}うし、^{ひつじ}ひつじ、^{うま}うま、^{くろい}くろい、^{にんげん}にんげん粉、小麦、牛、羊、馬、車、奴隸、人間の命である。14 あなたが欲した良い物はあなたから遠ざかり、あらゆる

18:8 *付録A5参照。**18:9** *用語集の「性的不道德」参照。**18:14** *または、「熟した果物」。

珍味や豪華な物はあなたの前から消え去った。それらは二度と見られない。

15 これらの物を売り、彼女から富を得た商人たちは、彼女が受けた苦しみを恐れて離れた所に立ち、泣いて悲しみ、 16 こう言う。『残念だ、残念だ、 17 こう言う。『残念だ、残念だ、上等の亜麻布と紫布と緋色のぬのの衣服を着て、金の装飾品と宝石と真珠で身を飾った、大きな都市よ。

17 あれほどたくさんの富が、ひとときの間に滅びてしまった!』

また、船長たち、船で旅をする者や船員たち、海で暮らして立てる者たちは皆、離れた所に立ち、 18 彼女が焼かれる煙を見ながら、こう叫んだ。『この大きな都市に匹敵する都市があるだろうか』。 19 彼らは頭に土をかぶり、泣いて悲しみ、こう叫んだ。『残念だ、残念だ、 20 大きな都市よ。海に船を持つ者は皆、裕福な彼女から富を得たのに、彼女はひとときの間に破滅してしまった!』

20 天よ、また聖なる者たち、使徒たち、預言者たちよ、彼女のことで喜ばない。神はあなたたちのために、彼女に有罪宣告をしたからである。』

21 さらに、強い天使が、大きなひき臼のような石を持ち上げ、海に投げ込んで、こう言った。「大きな都市バビロンは、このように激しい勢いで投げ落とされ、二度と見られなくなります。

22 たて琴を弾きながら歌う者たちの声や、音楽家や笛吹きやラッパ吹きの

第18章

(例) 啓 17:4

(例) イザ 47:11

(例) エレ 51:48

(例) 啓 14:12

(例) 申 32:43

口マ 12:19

啓 6:9,10

啓 19:1,2

(例) エレ 51:63,64

第2欄

(例) イザ 47:9

ガラ 5:19,20

(例) 啓 6:9,10

啓 16:5,6

(例) 創 9:6

エレ 51:49

第19章

(例) 詩 150:6

(例) 申 32:43

詩 19:9

啓 15:3

(例) 申 32:43

王二 9:7

詩 79:10

啓 18:20,24

(例) 詩 117:1

(例) イザ 34:10

(例) 啓 4:4

(例) 啓 4:6

(例) 詩 106:48

音は、二度とあなたの中で聞かれません。どんな仕事をする職人も二度とあなたの中で見られず、ひき臼の音は二度とあなたの中で聞かれません。

23 ランプの光は二度とあなたの中でかがやき、花婿と花嫁の声は二度とあなたの中で聞かれません。あなたの商人は地上で最も有力な者たちで、あなたの心霊術によって全ての国の民が惑わされました。 24 彼女の中には、預言者と聖なる人たちの血、また地上で殺された全ての人の血が見いだされました。

19 その後、私は大きな群衆の大声のようなものが、天でこう言うのを聞いた。「ヤハを賛美しなさい! 救いと栄光と力は私たちの神のものです。 2 神の裁きは真実で正しいからです。性的不道徳によって地を腐敗させた大娼婦を、神は処罰し、彼女の手に付いたご自分の奴隷たちの血の復讐をしました」。 3 そしてすぐ、再びこう言った。「ヤハを賛美しなさい! 彼の国は永遠に燃え続ける煙は永久に立ち上ります」。

4 すると、24人の長老と4つの生き物はひれ伏し、王座に座っている神を崇拜して、こう言った。「アーメン! ヤハを賛美しなさい!」

5 また、王座から声がした。「神を

19:1, 3, 4 *または、「ハレルヤ」。「ヤハ」はエホバの短縮形。 19:2 *ギリシャ語、ボルネニア。用語集参照。

おそ 畏れる すべて の 奴隷たち、 小さな 者も
 おお もの 大い わたし かな さん び
 大きな 者も、 私たちの 神を 賛美しな さい。

6 そして わたし おお ぐんしゅう こえ
 うな、 大きな 滝の 音の ような、 激しい
 らいめい
 雷鳴の ような もの が、 こう 言う のを 聞
 いた。「ヤハを 賛美しなさい！ 全能の
 かみ さん び さん び ぜん の う
 神 エホバ は 王 として 治め 始めた から
 です。 7 喜んで、 歓喜し、 神を たたえ
 ましょう。 子羊 が 結婚 する 時 が 来て、 花
 よめ し たく はな よめ
 嫁の 支度 が できた から です。 8 花嫁
 か が や きよ じょうとう あ ま ぬ の い ふ く
 は、 輝く、 清い、 上等の 亜麻布の 衣服
 き ゆる じょうとう あ
 を 着る こと を 許され ました。 上等の 亜
 ま ぬ の せい ひ と ただ お こ な
 麻布は、 聖なる 人たちの 正しい 行いを
 あらわ ぬ
 表します」。

9 天使は 私に、「こう 書きなさい。
 こりつ に けつこん ばんさん まね もの ぬ
 子羊の 結婚の 晩餐に 招かれた 者たち
 は 幸福 です」と 言い、 さらに こう 言っ
 た。「これらは 神の 真実な 言葉 です」。

10 そこで 私は、 天使を 崇拜 しようと、
 あしもと ふ てん し
 その 足元 に ひれ伏し た。 しかし 天使
 い き つ わたし
 は 言った。「氣を 付けなさい！ そうし
 て は なり ません！ 私は、 あなたや、 イ
 エス について 証言 する 務めを 与えられ
 ている あなたの 兄弟 たちの、 仲間の 奴
 れい いかん にく きょうりよく もの の くに こう ま
 隷に すぎ ません。 神を 崇拜しなさい！
 あき *
 イエス について 明らかに することこそ、
 よげん もく てき ぬ
 預言の 目的 です」。

11 私が 見て いると、 天が 開かれ、
 しろう ま であらわ ぬ
 白い 馬が 現れた。 それに 乗っ ている
 ものの ちゅうじつ ぬし じつ かな た だ
 者は、 忠実 で 真実 な 方 と 呼ばれ、 正し

第19章

(例) 詩 134:1
 詩 135:1

(例) 詩 115:13

(例) 詩 113:1

(例) 出 6:3

(例) 詩 97:1
 イザ 52:7
 啓 11:15

(例) イザ 61:10

エフ 5:25-27
 啓 14:4

(例) マタ 22:2
 マタ 25:10

(例) 使徒 10:25,26
 啓 22:8,9

(例) マタ 28:19,20
 使徒 1:8

(例) マタ 4:10
 ヨハ 4:23

(例) ルカ 24:27
 使徒 10:43
 ペー 1:10,11

(例) 啓 6:2

(例) 啓 1:5

(例) ヨハ 1:14
 啓 3:14

第2欄

(例) イザ 11:4,5
 ヘブ 1:8,9

(例) 啓 13:13,14

(例) ヨハ 1:1

(例) テサ二 2:8
 啓 13:13,16

(例) 詩 2:9
 啓 2:26,27

(例) ヨエ 3:13
 啓 14:19,20

(例) マタ 28:18
 フィリ 2:9-11

デモー 6:15
 啓 17:14

(例) エゼ 39:4,17

(例) エゼ 39:18
 エゼ 39:20

(例) 啓 16:14,16

く 裁き、 正義のために 戦う。 12 この
 かた め も ほのお ぬ
 方の 目は 燃える 炎の ようであり、 頭には
 おお おう かん かた
 は 多くの 王冠 がある。 この 方 には、
 だれ し な
 ほかの 誰も 知らない 名 が 記されて いる。
 13 この 方は 血に 染まった 外衣
 き かみ こ と ばつ ぬ
 を 着て おり、 神の 言葉 という 名 で 呼ば
 れて いる。 14 天の 軍勢 が、 白くて
 きよ じょうとう あ ま ぬ の い ふ く し ろ
 清い 上等の 亜麻布の 衣服 を 着て、 白
 うま の かた あと し た が
 い 馬に 乗り、 この 方 の 後 に 従っ て いた。
 15 この 方 の 口 から は 長く て 鋭い 剣
 つ で 口 から くに ぐに
 が 突き 出 て おり、 それ によって 国々 を
 討 つ。 また、 この 方 は 鉄の つえ を もつ
 ひ と び と し ゃ ぶ つ せん の う か ん は げ い か
 て 人々 を 処罰 し、 全能の 神の 激しい 怒
 し ば ば ふ ぬ
 りの 搾り 場で ブドウ を 踏む。 16 この
 かた が い くに ところ おう
 方 の 外衣 には、 その もの の 所に、 王の
 なか おう し ゅ なか し ゅ な か
 中 の 王 また 主 の 中 の 主 という 名 が 書
 か れ て いる。

17 また 私は、 太陽 の 中 に 立っ て いる
 てん し み たいよう なか た
 天使 を 見た。 その 天使 は、 空 高く 飛
 ぶ べ と り おお ぐえ い
 ぶ 全て の 鳥 に 大声 で こう 言 った。「さ
 き かみ せい だい ばんさん あつ
 あ、 来 なさい。 神の 盛大な 晩餐 に 集ま
 りなさい。 18 そして、 王の 肉、 軍司
 れい かん にく きょうりよく もの の くに こう ま
 令官の 肉、 強力な 者 の 肉、 馬 と それ
 の もの の 肉 に 食べ なさい。 自由民
 だれ い ち い もの おお もの ふく
 や 奴隷、 小さな 者 も 大きな 者 も 含む、
 もの の にく た
 あらゆる 者 たち の 肉 を 食べる の です」。

19 さらに 見ると、 野獣 と 地上 の 王
 たち と その 軍勢 が、 馬 に 乗っ ている
 かた ぐん ぜい たい た た か あつ
 方 と その 軍勢 に対して 戦う ために 集
 ま っ て いた。 20 そして、 野獣 は 捕ら
 や じ ゅ う ま え き せ き お こ な に せ よ
 われ、 野獣 の 前 で 奇跡 を 行っ た 偽預

19:13 *もしかすると、「血が振り掛かった」。
 19:15 *または、「治め」。 19:17 *直訳、「中
 天を」。 19:20 *直訳、「しるし」。

げんしや^(ア) と にせよ げんしや^(イ) やじゅう
言者も捕らわれた。偽預言者は、野獸
しるし^(ウ) もの^(イ) やじゅう^(ウ) そう^(イ) すう
の印を受けた者たちと野獸の像を崇
はい^(ロ) もの^(ロ) きせき* まど
拝する者たちを、奇跡によって惑わし

ていたのである。野獸も偽預言者も生
きたまま、硫黄が燃える火の湖に投げ
こ^(ロ) ま^(ロ) の^(ロ) うま
込まれた。21 ほかの者たちは、馬
に乗っている方の口から出ている長い
つるぎ^(ロ) ころ^(ロ) すべ^(ロ) とり^(ロ) かれ^(ロ) にく
剣で殺された。全ての鳥が彼らの肉
で満腹になった。

20 私がさらに見ていると、底
し^(ロ) ふか^(ロ) かぎ^(ロ) おお^(ロ)
知れぬ深みの鍵と大きな
くさり^(ロ) も^(ロ) てん^(ロ) し^(ロ) てん^(ロ) くだ^(ロ)
鎖を持った天使が天から下ってきた。

2 その天使は、あの初めの蛇である
電、悪魔サタンを捕らえて、1000年間
うご^(ロ) け^(ロ) ない^(ロ) よう^(ロ) に^(ロ) 縛^(ロ) った。3 そして竜
そこ^(ロ) し^(ロ) ふか^(ロ) な^(ロ) こ^(ロ)
を底知れぬ深みに投げ込み、そこを
と^(ロ) ふ^(ロ) いる^(ロ) ねん^(ロ) お^(ロ)
閉じて封印し、1000年が終わるまで
たつ^(ロ) ひと^(ロ) びと^(ロ) まど^(ロ)
竜がもはや人々を惑わさないようにし
た。その後、竜はしばらくの間解放さ
れることになる。

4 また私は、多くの座を見た。それ
らに座っている者たちは、裁く権威を
あた^(ロ) わたし^(ロ) み^(ロ)
与えられた。私が見たのは、イエスに
しょうげん^(ロ) もの^(ロ) かみ^(ロ)
ついて証言し、神について語ったため
に処刑された者たちだった。野獸も野
じゅう^(ロ) そう^(ロ) すう^(ロ) しい^(ロ) ひたい^(ロ) て^(ロ) しるし^(ロ) う
獸の像も崇拜せず、額と手に印を受け
なかつた者たちである。彼らは生き返
り、1000年の間キリストと共に王とし
て治めた。5 (残りの死者は1000
ねん^(ロ) お^(ロ) い^(ロ) かえ^(ロ)
年が終わるまで生き返らなかった。)
これは第一の復活である。6 第一の

19:20 *直訳、「しるし」。20:4 *直訳、「おの
で処刑」。*ギリシャ語、プシケー。用語集参照。

第19章

(ア) 啓 16:13

(イ) 啓 13:16,17

(ロ) 啓 13:15

(ロ) マタ 10:28

ペコ 2:6

ユダ 7

啓 20:14

(ア) 啓 2:16

啓 6:2

(ロ) エゼ 39:4

第20章

(イ) 啓 9:1

(ロ) 創 3:1

(イ) 啓 12:3

(ロ) ヨハ 8:44

(イ) ゼカ 3:1

啓 12:9

(イ) 啓 9:11

(イ) 啓 20:7

(ロ) 啓 13:15-17

(イ) マタ 29:28

ルカ 22:28-30

テモ 2:12

啓 1:6

(イ) 使徒 24:15

(イ) コー 15:23,52

フィリ 3:10,11

テサー 4:16

第2欄

(イ) 啓 14:13

(イ) 啓 2:11

啓 20:14

(イ) コー 15:54

(イ) ペー 2:9

(イ) 啓 1:6

啓 5:9,10

(イ) 王二 1:10

(イ) 啓 13:1

(イ) 啓 19:20

(イ) 啓 4:2,3

(ロ) ペコ 3:7

(イ) 出 32:33

詩 69:28

ダニ 12:1

(イ) ヨハ 5:28,29

(イ) 使徒 10:42

ふつかつ^(イ) い^(イ) かえ^(イ) もの^(イ) こうふく^(イ) もの^(イ) せい
復活で生き返る者は、幸福な者、聖な
もの^(イ) の^(イ) もの^(イ) たい^(イ)
者である。その者たちに対して、第
二の死は何かの力もない。彼らは神と
に^(イ) し^(イ) かん^(イ) ちら^(イ) へ^(イ) かん^(イ) かみ^(イ)
キリストの祭司となり、1000年の間キ
リストと共に王として治める。

7 1000年が終わるとすぐ、サタン
は牢獄から解放される。8 彼は出て
いって、地の四方にいる人々、ゴグと

マゴグを惑わし、戦争のために集め
る。その人々の数は海の砂のようであ
る。9 彼らは地上全体に広がって進
み、聖なる人たちの宿営と愛されてい
る都市を取り囲んだ。しかし、天から

火が降ってきて彼らを焼き尽くした。
10 そして、人々を惑わしていた悪魔
は火と硫黄の湖に投げ込まれた。そ
こにはすでに野獸と偽預言者もあり、
彼らは永久に昼も夜も苦しめられる。

11 また私は、大きな白い王座とそ
れに座っている方を見た。その方の前
から地と天が逃げ去り、もはや見られ
なくなった。12 さらに見ると、死ん
だ人々が、大きな者も小さな者も、王
座の前に立っており、数々の巻物が開
かれた。別の巻物、すなわち命の巻
物も開かれた。死んだ人々は、数々の
巻物に書かれている事柄に基づき、各
自の行いに応じて裁かれた。13 海

はその中の死者を出し、死と墓もその
中の死者を出し、その人々は各自の
行いに応じて裁かれた。14 死と墓

は、死と墓もその
中の死者を出し、その人々は各自の
行いに応じて裁かれた。14 死と墓

は、死と墓もその
中の死者を出し、その人々は各自の
行いに応じて裁かれた。14 死と墓

は、死と墓もその
中の死者を出し、その人々は各自の
行いに応じて裁かれた。14 死と墓

20:6 *または、「権威」。20:8 *または、「国
民」。20:10 *または、「拘束される」。20:13,
14 *ギリシャ語、ハデス。用語集参照。

は火の湖に投げ込まれた。火の湖は
第二の死を表している。15 命の書
に名前が書かれていない者は皆、火
の湖に投げ込まれた。

21 また私は、新しい天と新しい
地を見た。以前の天と以前

の地は過ぎ去っており、海はもはやな
い。2 さらに見ると、聖なる都市であ
る新しいエルサレムが、花婿のために
着飾った花嫁のように、天から、神の
もとから下ってきた。3 その時、王座
から大きな声がした。「見なさい！ 神
の天幕が人々と共にあり、神は人々と
共に住み、人々は神の民となります。
神が人々と共にいるようになるので
す。4 神は人々の目から全ての涙を
ぬき取り去ります。もはや死はなくなり、悲
しみも嘆きも苦痛もなくなります。以
前のものは過ぎ去ったのです。」

5 そして、王座に座っている方が、
「見なさい！ 私は全てのものを新しく
している」と言い、さらにこう言った。
「書きなさい。これらの言葉は信頼で
き、真実である」。6 またその方は
私に言った。「これらの言葉は実現し
た！ 私はアルファであり、オメガであ
る。始まりであり、終わりでである。喉が
渇いている人に、私は命の水の泉から
無償で飲ませよう。7 征服する人は
これらのものを受け、私はその人の神

21:5 *または、「確かで」。21:6 *アルファとオ
メガは、ギリシャ語のアルファベットの最初の文字
と最後の文字。

第20章

(ア) イザ 25:8
ユー 15:26
(イ) マタ 5:22
マタ 18:9
啓 21:8
(ウ) 啓 2:11
啓 20:6
(エ) 啓 17:8
(オ) 啓 10:7

第21章

(カ) イザ 65:17
イザ 66:22
ペニ 3:13
(キ) ペニ 3:10
啓 20:11
(ク) イザ 57:20
(コ) 啓 19:7
(コ) 啓 3:12
(ケ) エゼ 37:27
(セ) 啓 7:17
(シ) イザ 25:8
ユー 15:26
(セ) イザ 35:10
イザ 65:19
(ソ) 啓 4:2,3
(ソ) ペニ 3:13
(ソ) 啓 1:8
啓 22:13
(ソ) 詩 36:9
イザ 55:1
啓 7:17
啓 22:1

第2欄

(ア) ヨー 5:10
(イ) ヨー 3:15
(ウ) エフ 5:5
(エ) ヨハ 8:44
(オ) 啓 19:20
(カ) 啓 10:7
ヘブ 10:26,27
啓 2:11
啓 20:6
(キ) 啓 15:1
(ク) 啓 19:7
(コ) ヘブ 12:22
啓 3:12
啓 21:2
(ケ) イザ 60:1,2
(セ) 出 24:9,10
(ソ) 啓 22:14
(シ) マタ 10:2-4
ルカ 6:13-16
使徒 1:13
(ソ) エゼ 40:3,5

となり、その人は私の子となる。8 し
かし、臆病な者、信仰のない者、極め
て不快な汚れた者、人を殺す者、性的
に不道徳な者、心霊術を行う者、偶
像を崇拜する者、偽りを語る全ての者
は、火と硫黄が燃える湖に投げ込まれ
る。その湖は第二の死を表している。」

9 最後の7つの災厄で満ちた7つの
鉢を持つ7人の天使の1人が来て、私
にこう言った。「来なさい。子羊の妻
となる花嫁を見せましょう」。10 そ
の天使は、聖なる力によって私を大き
な高い山に連れていき、聖なる都市
エルサレムを見せてくれた。その都
市は天から、神のもとから下ってきて、
11 神の栄光によって輝いていた。そ
の輝きは極めて貴重な宝石のようで
あり、澄み切った水晶のように輝く碧
玉に似ていた。12 都市には大きく
て高い城壁があり、12の門があった。
門には12人の天使があり、イスラエル
の子孫の12部族の名前が刻まれてい
た。13 東に3つの門、北に3つの門、
南に3つの門、西に3つの門があった。
14 都市の城壁には12の土台石もあ
り、それには子羊の12使徒の12の名
前が刻まれていた。

15 私と話していた天使は金のアシ
を持っていた。それを物差しとして使
い、都市と門と城壁を測るためだった。

16 都市は四角い形をしており、長さ
と幅は同じである。天使がアシで都市

21:8 *用語集の「性的不道徳」参照。

を測ると、2220キロだった。長さも幅も高さも等しい。17 天使は都市の城壁も測った。それは人間の尺度に よると64メートルであり、天使もその尺度を用いた。18 城壁は碧玉でできていて、都市は澄み切ったガラスの ような純金でできていた。19 都市の城壁の土台はあらゆる種類の宝石 で彩られていた。第1の土台は碧玉、第2はサファイア、第3は玉髓、第4はエメラルド、20 第5は赤しめのう、第6は赤めのう、第7はかんらん石、第8は緑柱石、第9はトパーズ、第10は緑玉髓、第11はヒヤシンス、第12は紫水晶だった。21 また、12の門は12の真珠であり、それぞれの門が1つの真珠でできていた。都市の大通りは、透き通ったガラスのような純金でできていた。

22 都市の中に神殿はなかった。全能の神エホバと子羊が、都市の神殿だからである。23 またこの都市は、太陽や月に照らされる必要がない。神の栄光が都市を明るく照らし、子羊が都市の明かりだからである。24 人々はこの都市の光によって歩み、地上を治める王たちの栄光によって都市はいつそう輝く。25 都市の門は閉じられることがない。ずっと昼間で、夜はないからである。26 人々はこの都市をたたえ、尊ぶ。27 し

第21章

〔啓〕4:3
啓 21:10,11

〔イ〕出 6:3

〔イ〕イザ 60:19,20
啓 22:5

〔イ〕ヨハ 1:9
使徒 26:13,15
ヘブ 1:3

〔イ〕イザ 60:3

〔イ〕イザ 60:11,20

〔イ〕イザ 60:5

第2欄

〔啓〕詩 5:6
イザ 52:1
コ一 6:9,10
ガラ 5:19-21
啓 21:8

〔イ〕ダニ 12:1
フリ 4:3
啓 13:8

第22章

〔イ〕エゼ 47:1

〔イ〕ヨハ 1:29

〔イ〕エゼ 47:12

〔イ〕啓 3:21

〔イ〕マタ 5:8

〔イ〕啓 14:1

〔イ〕啓 21:25

〔イ〕イザ 60:19,20
ヨ一 1:5

〔イ〕ダニ 7:18
啓 3:21

〔イ〕テト 1:2

〔イ〕テモ 2:16

〔イ〕啓 16:15
啓 22:20

〔イ〕ヨハ 13:17
啓 1:3

し、あらゆる汚れたものや、極めて不快なことを行て人を欺く者は、決して都市の中に入れない。子羊の命の巻物に名前が書かれている者だけが入るのである。

22 また天使は、命の水の川を私に見せてくれた。その川は水晶のように澄み切っていて、神と子羊の座から流れ出ており、2 都市の大通りの中央を流れていた。川の両側には命の木があった。それらの木は年に12回、毎月実を結び、木の葉は人々を癒やすためのものだった。

3 もはや災いはなくなる。神と子羊の座が都市の中にあり、神の奴隷たちは神に神聖な奉仕をする。4 彼らは神の顔を見ることになり、額に神の名を記される。5 また、夜はもうなくなり、彼らはランプの光も太陽の光も必要としない。エホバ神が彼らを照らすからである。そして彼らはいつまでも永遠に王として治める。

6 天使は私に言った。「これらの言葉は信頼でき、真実です。預言者たちを聖なる力によって導いた神であるエホバが、間もなく必ず起きる事柄をご自分の奴隷たちに示すため、天使を遣わしたのです。7 私は速やかに来ます。この巻物の預言の言葉を守る人たちは幸福です」。

8 これらのことを聞き、見たのは、私ヨハネである。聞いたり見たりし終

21:17 *直訳、「144キュビト」。付録B14参照。
21:22; 22:5, 6 *付録A5参照。

22:6 *または、「確かで」。

え^{とき}た^{わたし}時、私^みはこれら^{あしもと}のことを見^{あしもと}せてく^{あしもと}れた^{あしもと}天使^{あしもと}を崇^{あしもと}拝^{あしもと}しよう^{あしもと}と、そ^{あしもと}の足^{あしもと}元^{あしもと}にひ^{あしもと}れ伏^{あしもと}した。9 し^{あしもと}か^{あしもと}し^{あしもと}天^{あしもと}使^{あしもと}は言^{あしもと}った。「^{あしもと}き^{あしもと}氣^{あしもと}を付^{あしもと}けな^{あしもと}さい! そ^{あしもと}う^{あしもと}し^{あしもと}てはな^{あしもと}り^{あしもと}ませ^{あしもと}ん! 私^{あしもと}は、あ^{あしもと}な^{あしもと}た^{あしもと}や、預^{あしもと}言^{あしもと}者^{あしもと}で^{あしもと}あるあ^{あしもと}な^{あしもと}た^{あしもと}の兄^{あしもと}弟^{あしもと}た^{あしもと}ち^{あしもと}や、こ^{あしもと}の巻^{あしもと}物^{あしもと}の^{あしもと}言^{あしもと}葉^{あしもと}を^{あしもと}守^{あしもと}つてい^{あしもと}る人^{あしもと}た^{あしもと}ち^{あしもと}の、仲^{あしもと}間^{あしもと}の奴^{あしもと}隷^{あしもと}に^{あしもと}す^{あしもと}ぎ^{あしもと}ませ^{あしもと}ん。神^{あしもと}を崇^{あしもと}拝^{あしもと}しな^{あしもと}さい」。

10 天^{あしもと}使^{あしもと}はさ^{あしもと}らに^{あしもと}言^{あしもと}った。「こ^{あしもと}の巻^{あしもと}物^{あしもと}の預^{あしもと}言^{あしもと}の言^{あしもと}葉^{あしもと}を^{あしもと}秘^{あしもと}めてお^{あしもと}いてはな^{あしもと}り^{あしもと}ませ^{あしもと}ん。定^{あしもと}め^{あしもと}ら^{あしもと}れた^{あしもと}時^{あしもと}が^{あしもと}近^{あしもと}い^{あしもと}から^{あしもと}で^{あしもと}す。11 正^{あしもと}し^{あしもと}く^{あしもと}ない^{あしもと}人^{あしもと}は^{あしもと}正^{あしもと}し^{あしもと}く^{あしもと}ない^{あしもと}こ^{あしもと}と^{あしもと}を^{あしもと}行^{あしもと}い^{あしもと}続^{あしもと}け、汚^{あしもと}れた^{あしもと}人^{あしもと}は^{あしもと}汚^{あしもと}れた^{あしもと}こ^{あしもと}と^{あしもと}を^{あしもと}行^{あしもと}い^{あしもと}続^{あしもと}けるで^{あしもと}し^{あしもと}ょう。し^{あしもと}か^{あしもと}し、正^{あしもと}し^{あしもと}い^{あしもと}人^{あしもと}は^{あしもと}正^{あしもと}し^{あしもと}い^{あしもと}こ^{あしもと}と^{あしもと}を^{あしもと}行^{あしもと}い^{あしもと}続^{あしもと}け、聖^{あしもと}なる^{あしもと}人^{あしもと}は^{あしもと}聖^{あしもと}なる^{あしもと}こ^{あしもと}と^{あしもと}を^{あしもと}行^{あしもと}い^{あしもと}続^{あしもと}けな^{あしもと}ければ^{あしもと}なり^{あしもと}ませ^{あしもと}ん。

12 『私^{あしもと}は^{あしもと}速^{あしもと}や^{あしもと}か^{あしもと}に^{あしもと}来^{あしもと}る。そ^{あしもと}し^{あしもと}て、^{あしもと}人^{あしもと}々^{あしもと}に^{あしもと}報^{あしもと}い^{あしもと}を^{あしもと}与^{あしもと}え^{あしもと}る。各^{あしもと}の^{あしもと}人^{あしもと}の^{あしもと}行^{あしもと}い^{あしもと}に^{あしもと}応^{あしもと}じ^{あしもと}て^{あしもと}報^{あしもと}い^{あしもと}る^{あしもと}ので^{あしもと}あ^{あしもと}る。13 私^{あしもと}は^{あしもと}ア^{あしもと}ル^{あしもと}フ^{あしもと}ア^{あしもと}で^{あしもと}あ^{あしもと}り、オ^{あしもと}メ^{あしもと}ガ^{あしもと}で^{あしもと}あ^{あしもと}る。最^{あしもと}初^{あしもと}で^{あしもと}あ^{あしもと}り、最^{あしもと}後^{あしもと}で^{あしもと}あ^{あしもと}る。始^{あしもと}まり^{あしもと}で^{あしもと}あ^{あしもと}り、終^{あしもと}わり^{あしもと}で^{あしもと}あ^{あしもと}る。14 自^{あしもと}分^{あしもと}た^{あしもと}ち^{あしもと}の^{あしもと}長^{あしもと}い^{あしもと}衣^{あしもと}服^{あしもと}を^{あしもと}洗^{あしもと}う^{あしもと}人^{あしもと}た^{あしもと}ち^{あしもと}は^{あしもと}幸^{あしもと}福^{あしもと}で^{あしもと}あ^{あしもと}る。そ^{あしもと}の^{あしもと}人^{あしもと}た^{あしもと}ち^{あしもと}は^{あしもと}命^{あしもと}の^{あしもと}木^{あしもと}の^{あしもと}所^{あしもと}に^{あしもと}行^{あしもと}く^{あしもと}権^{あしもと}利^{あしもと}を^{あしもと}得^{あしもと}、門^{あしもと}を^{あしもと}通^{あしもと}つて^{あしもと}都^{あしもと}市^{あしもと}の^{あしもと}中^{あしもと}に^{あしもと}入^{あしもと}る^{あしもと}こ^{あしもと}が^{あしもと}で^{あしもと}き^{あしもと}る。

15 都^{あしもと}市^{あしもと}の^{あしもと}外^{あしもと}に^{あしもと}い^{あしもと}る^{あしもと}のは、犬^{あしもと}、心^{あしもと}霊^{あしもと}術^{あしもと}を^{あしもと}行^{あしもと}う^{あしもと}者^{あしもと}、性^{あしもと}的^{あしもと}に^{あしもと}不^{あしもと}道^{あしもと}徳^{あしもと}な^{あしもと}者^{あしもと}、人^{あしもと}を^{あしもと}殺^{あしもと}す^{あしもと}る者^{あしもと}、偶^{あしもと}像^{あしもと}を^{あしもと}崇^{あしもと}拝^{あしもと}する者^{あしもと}、偽^{あしもと}り^{あしもと}を^{あしもと}好^{あしもと}ん^{あしもと}で^{あしもと}人^{あしもと}を^{あしもと}欺^{あしもと}く^{あしもと}者^{あしもと}で^{あしもと}あ^{あしもと}る。』

22:13 *アルファとオメガは、ギリシャ語のアルファベットの最初の文字と最後の文字。22:15

*神から見て極めて不快な事柄を行^{あしもと}う^{あしもと}人^{あしもと}の^{あしもと}こ^{あしもと}と。

*用語集の「性的不道徳」参照。

第22章

(ア) マタ 4:10

使徒 10:25,26

啓 19:10

(イ) 詩 62:12

イザ 40:10

ロマ 2:6

(イ) イザ 44:6

イザ 48:12

啓 1:8

啓 21:6

(ヨ) ヨー 1:7

(ヨ) 啓 2:7

(ヨ) 啓 21:10,12

第2欄

(ア) ガラ 5:19-21

エフ 5:5

啓 21:8

(イ) イザ 11:1,10

イザ 53:2

エレ 23:5

エレ 33:15

啓 5:5

(ヨ) 民 24:17

啓 2:28

(ヨ) 啓 21:9

(ヨ) ヨハ 4:14

(ヨ) イザ 55:1

ヨハ 7:37

啓 7:17

啓 21:6

(ヨ) 申 4:2

申 12:32

ガラ 1:8

ヨ一 4:3

ヨ二 9

(ヨ) 啓 15:1

(ヨ) 啓 2:7

(ヨ) 啓 21:2

(ヨ) 啓 3:11

啓 22:7

もの、ぐうそう、すうはい、もの、いつわ、この、す者、偶像を崇拝する者、偽りを好んで人を欺く者である。』

16 『私イエスは天使を遣わし、各地の会衆のためにこれらのことについてあなたたちに伝えました。私はダビデの根また子孫であり、輝く明けの星です。』

17 聖なる力によって花嫁は、「来なさい!」と言いつづける。それを聞く人も、「来なさい!」と言いなさい。喉が渇いている人は来なさい。命の水が欲しい人は、無償で飲みなさい。

18 『私は、この巻物の預言の言葉を聞く人たちに皆に、次のことを伝えます。これらのことに何かを付け加える人がいれば、神はこの巻物に書かれている災厄をその人に加えます。19 また、この預言の巻物の言葉から何かを取り去る人がいれば、神は、この巻物に書かれている命の木および聖なる都市から、その人が受けられたはずのものを取り去ります。』

20 これらのことについて伝える者がこう言います。『私は速やかに来ます。』

「アーメン! 主イエス、来てください。』

21 主イエスが聖なる人たちに惜しまない親切を示してくださいますように。

22:17 *用語集参照。22:19 *または、「分」。

聖書の各書の一覧

西暦紀元前に書かれたヘブライ語聖書

書名	筆者	書かれた場所	書き終えられた年 (西暦紀元前)	扱われている期間 (西暦紀元前)
創世	モーセ	荒野	1513年	「初めに」から 1657年まで
出エジプト	モーセ	荒野	1512年	1657年-1512年
レビ	モーセ	荒野	1512年	1カ月間(1512年)
民数	モーセ	荒野とモアブの平原	1473年	1512年-1473年
申命	モーセ	モアブの平原	1473年	2カ月間(1473年)
ヨシュア	ヨシュア	カナン	1450年ごろ	1473年-1450年ごろ
裁き人	サムエル	イスラエル	1100年ごろ	1450年ごろ- 1120年ごろ
ルツ	サムエル	イスラエル	1090年ごろ	裁き人が治めた11年間
サムエル第一	サムエル, ガド, ナタン	イスラエル	1078年ごろ	1180年ごろ-1078年
サムエル第二	ガド, ナタン	イスラエル	1040年ごろ	1077年-1040年ごろ
列王第一	エレミヤ	ユダと	1巻	1040年ごろ-580年
列王第二	エレミヤ	エジプト	580年	
歴代第一	エズラ	エルサレム(?)	1巻	歴代第一 10章以降:
歴代第二	エズラ	エルサレム(?)	460年ごろ	1077年ごろ-537年
エズラ	エズラ	エルサレム	460年ごろ	537年-467年ごろ
ネヘミヤ	ネヘミヤ	エルサレム	443年以後	456年-443年以後
エステル	モルデカイ	シュシャン, エラム	475年ごろ	493年-475年ごろ
ヨブ	モーセ	荒野	1473年ごろ	1657年から1473年の 間の140年以上
詩編	ダビデ, 他		460年ごろ	
格言	ソロモン, アグル, レムエル	エルサレム	717年ごろ	
伝道	ソロモン	エルサレム	1000年以前	
ソロモンの歌	ソロモン	エルサレム	1020年ごろ	
イザヤ	イザヤ	エルサレム	732年以後	778年ごろ-732年以後
エレミヤ	エレミヤ	ユダ, エジプト	580年	647年-580年
哀歌	エレミヤ	エルサレム付近	607年	
エゼキエル	エゼキエル	バビロン	591年ごろ	613年-591年ごろ
ダニエル	ダニエル	バビロン	536年ごろ	618年-536年ごろ
ホセア	ホセア	サマリヤ(地方)	745年以後	804年以前-745年以後
ヨエル	ヨエル	ユダ	820年ごろ(?)	
アモス	アモス	ユダ	804年ごろ	
オバデヤ	オバデヤ		607年ごろ	
ヨナ	ヨナ		844年ごろ	
ミカ	ミカ	ユダ	717年以前	777年ごろ-717年
ナホム	ナホム	ユダ	632年以前	
ハバクク	ハバクク	ユダ	628年ごろ(?)	
ゼバニヤ	ゼバニヤ	ユダ	648年以前	
ハガイ	ハガイ	エルサレム	520年	112日間(520年)
ゼカリヤ	ゼカリヤ	エルサレム	518年	520年-518年
マラキ	マラキ	エルサレム	443年以後	

聖書の各書の一覧

西暦紀元後に書かれたギリシャ語聖書

書名	筆者	書かれた場所	書き終えられた年 (西暦)	扱われている期間
マタイ	マタイ	イスラエル	41年ごろ	前2年-33年
マルコ	マルコ	ローマ	60-65年ごろ	29年-33年
ルカ	ルカ	カエサレア	56-58年ごろ	前3年-33年
ヨハネ	使徒ヨハネ	エフェソスかその付近	98年ごろ	1章19節以降: 29年-33年
使徒	ルカ	ローマ	61年ごろ	33年-61年ごろ
ローマ	パウロ	コリント	56年ごろ	
コリント第一	パウロ	エフェソス	55年ごろ	
コリント第二	パウロ	マケドニア	55年ごろ	
ガラテア	パウロ	コリントかシリアの アンティオキア	50-52年ごろ	
エフェソス	パウロ	ローマ	60-61年ごろ	
フィリピ	パウロ	ローマ	60-61年ごろ	
コロサイ	パウロ	ローマ	60-61年ごろ	
テサロニケ第一	パウロ	コリント	50年ごろ	
テサロニケ第二	パウロ	コリント	51年ごろ	
テモテ第一	パウロ	マケドニア	61-64年ごろ	
テモテ第二	パウロ	ローマ	65年ごろ	
テトス	パウロ	マケドニア(?)	61-64年ごろ	
フィレモン	パウロ	ローマ	60-61年ごろ	
ヘブライ	パウロ	ローマ	61年ごろ	
ヤコブ	ヤコブ(イエスの弟)	エルサレム	62年以前	
ペテロ第一	ペテロ	バビロン	62-64年ごろ	
ペテロ第二	ペテロ	バビロン(?)	64年ごろ	
ヨハネ第一	使徒ヨハネ	エフェソスかその付近	98年ごろ	
ヨハネ第二	使徒ヨハネ	エフェソスかその付近	98年ごろ	
ヨハネ第三	使徒ヨハネ	エフェソスかその付近	98年ごろ	
ユダ	ユダ(イエスの弟)	イスラエル(?)	65年ごろ	
啓示	使徒ヨハネ	バトモス	96年ごろ	

[筆者や書かれた場所ははっきりしていないものもあります。年の多くはおおよそのものです。]

聖書語句索引

書名の略号については40ページの一覧をご覧ください。

ア

アーメン 申 27:15 民は皆、__! と答える
コ一 14:16 その場にいる人は__とどうして言えるか
コ二 1:20 キリストを通して神に__と言い
愛 ソロ 8:6 __は死のように強く
マタ 24:12 大半の人の__が冷えます
ヨハ 15:13 命をなげうつこと、これより大きな__は
ロマ 8:39 神の__から私たちを引き離すことは
コ一 8:1 __は人を向上させます
コ一 13:2 __がなければ無価値です
コ一 13:8 __は決して絶えません
コ一 13:13 そのうち最も優れているのは__です
コロ 3:14 __は完全な絆なのです
ヘブ 10:24 よく考えて、__を表し立派な行いをする
ペ一 4:8 __は多くの罪を覆うからです
ヨ一 4:8 神は__だからです
啓 2:4 初めの頃に抱いていた__を失った
あいさつ ヨ二 10 __の言葉を掛けてもなりません
愛情 格 8:30 神が深い__を抱く存在で
マタ 10:37 私より父親や母親に__を抱く人
ヨハ 21:17 シモン、私に__を抱えていますか
愛する マタ 3:17 私の__子、私はこの子のことを
マタ 22:37 神エホバを__さなければならない
ヨハ 13:34 私が__した通りに、互いを__しなさい
ヨハ 14:15 私を__しているなら、私のおきてを守り
コロ 3:19 夫の皆さん、妻を__続けてください
ヨ一 4:10 私たちが神を__したというより、神が
ヨ一 4:20 兄弟を__さない人は、神を__ことは
ヨ一 5:3 神を__とは、神のおきてを守ること
ユダ 21 神に__され続けるためです
啓 3:19 私は__人を戒め、矯正します
会う ヨブ 14:15 手で造った人に再び__いたいと願ひ
願ひ 詩 49:7 彼のための__を神に差し出すことは
マタ 20:18 __として自分の命を与えるために来た
贖う エフ 1:7 キリストの血によって__われ、解放
明かり マタ 6:22 目は体にとって__です
誇る ガラ 6:9 __ずに立派なことを行い続け
悪 詩 37:9 __を行ふ人は取り除かれるが
詩 97:10 エホバを愛する人たち、__を憎め
悪人 詩 37:10 もう少しすれば__はいなくなる
格 15:8 __の犠牲はエホバにとって忌まわしく
格 15:29 エホバは__から遠く離れていて
悪魔 マタ 25:41 __のために用意された永遠の火に
ルカ 8:12 __が心から神の言葉を取り去り
エフ 4:27 __に隙を与えてはなりません
エフ 6:11 __の策略にしっかり立ち向かえるように
ヤコ 4:7 __に立ち向かってください。__は逃げ去り
啓 12:12 __が、怒りを抱いてあなたの方の所に下った

啓 20:10 __は火と硫黄の湖に投げ込まれた
あざける ルカ 22:63 イエスを殴って__り始めた
欺く 詩 34:13 __を語ってはならない
欺く 格 3:32 エホバは、__人をひどく嫌い
使徒 5:9 なぜエホバの聖なる力を__こうとした
足 イザ 52:7 良い知らせを持ってくる者の__は美しい
ヨハ 13:5 たらいに水を入れて弟子たちの__を洗い
ロマ 16:20 サタンは皆さんの__の下で碎かれ
アシ イザ 42:3 傷ついた__を折らず
足が不自由な人 イザ 35:6 __は鹿のように跳びはね
足台 詩 110:1 あなたの敵たちを__として置くまで
味わい知る 詩 34:8 善い神であることを__れ
与える ルカ 12:48 多く__られた人には多くのことが
使徒 20:35 受けるより__方が幸福である
頭 創 3:15 彼はあなたの__を砕き
アダム コ一 15:22 __のゆえに全ての人が死んでいく
コ一 15:45 最後の__は
テモ一 2:14 __は欺かれませんでした、エバは
新しいおきて ヨハ 13:34 __を与えます。互いに愛し
新しい人格 エフ 4:24 __を身に着けましょう
新しい天 ペ二 3:13 __と新しい地があります
啓 21:1 __と新しい地を見た。以前の天と以前の地
新しくする 啓 21:5 私は全てのものを__している
熱い思い 詩 69:9 あなたの家に対する__を抑え
圧迫 伝 7:7 __は賢い人に狂気じみた行動を取らせ
集まる ヘブ 10:25 仲間と__ことを怠っては
集める エフ 1:10 全てのものをキリストの下に__ます
穴 格 26:27 __を掘る人はその中に落ちる
アバ ロマ 8:15 __、父よ! と叫びます
あばら骨 創 2:22 人から取った__で女性を造り
アビガイル サ一 25:3 __は機転が利く美しい人だった
アブラハム 代二 20:7 あなたの友__の子孫に与え
マタ 22:32 __の神、生きている人の神
ロマ 4:3 __は信仰を持ち、正しいと見なされた
アベル マタ 23:35 正しい人__の血から
甘やかす 格 29:21 __と、いずれ感謝しない人になる
過ち 詩 130:3 もしあなたが__に注目するなら
格 19:11 __を見過ぐす人は美しい
ロマ 14:13 __のもととなることを兄弟の前でしない
コ一 8:13 私の兄弟に__を犯させないためです
ヤコ 3:2 皆、何度も__を犯します。言葉で__を
歩み エレ 10:23 自分の__を導くことができない
歩み方 エフ 4:1 招かれた人にふさわしい__をし
コロ 1:10 エホバに仕える人にふさわしい__をし
洗う コ一 6:11 __われて清くなり、神聖なものと
争う テモ二 2:24 主の奴隷は__必要はありません

あらゆる ゼカ 8:23 __言語の国々から来た10人の
 コー 9:22 私は__人に対して__ものになってきました
 アリ 格 6:6 怠ける者、__の所へ行け
 ありさま コー 7:31 今の世の__は変わろうとして
 合わせる 創 33:14 家畜と子供に__てゆっくり旅を
 懷れみ 格 28:13 告白して捨てる人は__を示される
 マタ 9:13 私が望むのは__であって、犠牲ではない
 ヤコ 2:13 __は裁きに打ち勝つのです
 懷れみ深い 詩 78:38 神は__く、過ちを許した
 マタ 5:7 __人たちは幸福です
 ルカ 6:36 天の父が__ように__くありなさい
 安心 詩 94:19 圧倒されそうな時、私を__させ
 安息日 マル 2:27 人のために__が設けられたのであり

イ

言い争い 格 15:18 すぐに怒らない人は__を鎮める
 格 17:14 __になってしまいう前にそこを去れ
 いいかげん エレ 48:10 任務を__に行う者は災いを
 家 詩 127:1 エホバが__を建てるのでなければ
 イザ 56:7 全ての人々のための祈りの__と呼ばれる
 イザ 65:21 人々は__を建てて住み
 ヨハ 2:16 父の__を商売の__にするのはやめなさい
 ヨハ 14:2 私の父の__には住む所がたくさんあります
 使徒 5:42 __から__へと行って教え、やめなかった
 使徒 7:48 至高者は人が造った__には住みません
 ヘブ 3:4 __は全て誰かによって造られる
 イエス マタ 1:21 __と名付けなさい
 マル 1:9 __はヨハネからバプテスマを受けた
 怒り 詩 30:5 神の__はつかの間であり
 格 16:32 __を抑える人は征服する人に勝る
 使徒 15:39 __が激しくぶつかった、2人は別れる
 コロ 3:8 __、暴言を捨て去りなさい
 いかり ヘブ 6:19 希望は、命のための__であり
 怒る 詩 103:8 エホバはすぐに__らす
 息 創 2:7 その鼻に__を吹き込んで命を与えた
 生き返る テサー 4:16 キリストと結ばれた人がまず__
 生きた犠牲 ロマ 12:1 自分の体を、__として差し出し
 生きた水 ヨハ 4:10 その人は__を与えた
 偉業 ヨブ 37:14 神の素晴らしい__についてじっくり
 生きる ルカ 20:38 神にとっては__ている
 ロマ 14:8 __にしても死ぬにしても、エホバのもの
 コニ 5:15 もはや自分のために__のではなく
 意見 ロマ 14:1 異なる__の善しあしを決め付けては
 異国の者々 ルカ 21:24 __の定められた時が満ちる
 石 ルカ 19:40 黙っているなら、__が叫ぶでしょう
 意志 ヨー 5:14 神の__に沿って願い求めることは
 意識 ペー 4:7 折ることを常に__してしましよう
 医者 ルカ 5:31 健康な人に__は必要ではなく
 イゼベル 啓 2:20 あの__のような女性を容認して
 以前 イザ 65:17 __の事柄は思い出されることも
 偉大 ヨハ 14:28 父は私より__だからです
 悼む 伝 7:2 死を__家に行く方がよい
 イチジク 王一 4:25 ブドウの木や__の木の下で安らか

マタ 21:19 __の木は一瞬で枯れた
 マル 13:28 __の木の例えから学びなさい
 一時的居住者 ヘブ 11:13 よそ者で__であることを
 一日一日 詩 90:12 __を大切にできるか教えて
 いっそう テサー 4:1 今後も__努力して歩んでください
 一体 創 2:24 2人は__となるのである
 一致 詩 133:1 兄弟たちが__して共に住むのは
 使徒 15:25 全員__で決定しました
 コー 1:10 語る事柄は__しているべきです
 エフ 4:3 聖なる力による__を保つよう
 偽る テト 1:2 神は__ことができません
 犬 格 26:17 __の耳をつかむ人のようだ
 伝 9:4 生きている__は死んだライオンよりはまし
 ペニ 2:22 __は自分が吐いた物を食べに戻り
 命 申 30:19 あなたの前に、__と死を置きました
 詩 36:9 あなたは__の源。あなたの光によって
 マタ 16:25 私のために__を失う人はそれを得る
 ルカ 9:24 自分の__を救おうと思う人はそれを失い
 ヨハ 11:25 私は復活であり、__です
 使徒 20:24 __を少しも惜しいとは思いません
 命に至る門 マタ 7:14 __は狭くてその道は狭められ
 命の木 創 2:9 庭園の真ん中に__を生えさせた
 啓 22:2 __ががあった。葉は人々を癒やす
 命の書 啓 20:15 __に名前が書かれていない
 命のパン ヨハ 6:35 私が__です
 命の水 啓 22:1 __の川を私に見せてくれた
 命へと導く方 使徒 3:15 __を殺しました
 祈り 詩 65:2 __を聞く方
 詩 141:2 __が、捧げられる香のようになりますよう
 マル 1:35 イエスは静かな場所へ行って、__を始めた
 ヤコ 5:15 信仰の__は病気の人を良くし
 ペー 3:7 __が妨げられることはないでしょう
 折る ダニ 6:13 ダニエルは、日に3度__っています
 マタ 5:44 迫害する人のために__り続けなさい
 マル 11:24 __って求めることはすでに与えられた
 ルカ 5:16 イエスは人けのない場所に行っては__って
 使徒 12:5 会衆はペテロのために神に__っていた
 ロマ 8:26 何を__り求めればよいのか分からない
 フィリ 4:6 心配せず、いつでも__り、祈願を
 テサー 5:17 絶えず__ってください
 テサニ 3:1 私たちのために__り続けてください
 衣服 啓 22:14 長い__を洗う人たちは幸福である
 戒める 詩 141:5 私を__としても、それは油のよう
 格 27:5 __方が、愛を秘めているよりも良い
 今の体制の神 コニ 4:4 __が、思考を遮り
 癒やす 詩 147:3 心が傷ついた人を__
 格 12:18 賢い人たちの舌は人を__
 イザ 61:1 心が傷ついた人を__し
 ルカ 9:11 治療が必要な人々を__した
 意欲 フィリ 2:13 __と力の両方を与えてくださる
 いら立たせる エフ 6:4 子供を__ないようにし
 入れ墨 レビ 19:28 体に__をしてはならない
 岩 申 32:4 神は__のような方で、行うことは完全
 淫行「性的不道徳」参照

ウ

上 フィリ 2:3 自分より他の人の方が__だと考えて
 飢える イザ 65:13 食べるが、あなたたちは__
 植える コー 3:6 私は__, アバロは水を注ぎました
 受け入れる コニ 6:2 今こそ特に__られる時です
 エフ 5:10 主に__られることかどうかを確かめ
 受ける ヨブ 2:10 神から良いことだけを__だろうかと
 後ろ フィリ 3:13 __のものを忘れ、前ものに向かって
 うそ 詩 101:7 __をつくり人が私の前に立つことはない
 格 19:22 __をつくりより貧しい方がよい
 ヨハ 8:44 悪魔は__つきで、__の根源だからです
 歌 使徒 16:25 パウロとシラスは__で神を賛美したり
 エフ 5:19 神への賛美の__によって励まし合い
 疑う ヤコ 1:6 少しも__わず、信仰を持って求め続け
 打ち込む テモ 4:15 よく考え、__みなさい
 打ちたたく コー 9:27 自分の体を__き、奴隷にして
 打ちのめす 格 18:14 __された心には誰が耐え
 美しい地 ダニ 11:45 __の聖なる山との間に
 美しさ 格 31:30 __もまたはかない
 エゼ 28:17 自分の__のゆえに傲慢になった
 写し 申 17:18 律法の__を作らなければなりません
 訴える ロマ 8:33 誰が__られるでしょうか
 啓 12:10 兄弟たちを__者が投げ落とされた
 腕 イザ 59:1 エホバの__が短過ぎて救えないという
 生まれる 詩 51:5 私は過ちのある者として__
 生み出すもの ガラ 5:22 聖なる力が__は
 うめき ロマ 8:26 声にならない__と共に、聖なる力が
 うめく ロマ 8:22 創造物全てはずっと共に__き
 敬う 出 20:12 父と母を__いなさい
 格 3:9 全ての産物の初物を捧げてエホバを__え
 ロマ 12:10 自分の方から進んで人を__ってください
 裏切る マタ 26:21 あなたたちの1人が私を__ります
 恨み レビ 19:18 隣人に__を抱いたりしてはならない
 うらやむ 詩 37:1 悪人を__んではならない
 売り歩く コニ 2:17 神の言葉を__いたりせず
 うわさ 格 20:19 __好きの人と交友を持ては
 テモ 5:13 __話をしたり、人のことに干渉し
 うわべ ガラ 2:6 神は__で人を判断したりはしない

エ

永遠 創 3:22 食べて__に生きるといふことのない
 詩 37:29 正しい人は地上で__に暮らす
 伝 3:11 神は人に、__を思う心さへ与えた
 ペー 1:25 エホバの言葉は__に存続する
 永遠の命 ヨハ 3:16 滅ぼされないで__を受けられる
 ヨハ 6:27 __をもたらず食物のために働きなさい
 ヨハ 17:3 __を得るには、神の__を知る必要が
 使徒 13:48 __を得るための正しい態度を持つ人
 ロマ 6:23 神が与える贈り物は、__なのです
 永遠の死 マタ 25:46 この人たちは__を迎え
 永遠の火 マタ 25:41 悪魔のために用意された__に
 栄光 マタ 25:31 人の子は来ると、__の座に座ります

ロマ 3:23 神の__に達することができません
 コー 10:31 全てのことを神の__のためにしましょう
 啓 4:11 あなたは__を受けるのにふさわしい方
 栄誉 フィリ 1:29 キリストのために苦しむことも、__
 えこひくい ヤコ 2:9 __をし続けるなら、罪を犯して
 エサウ ヘブ 12:16 神聖な物事を認識しなかった__
 エッサイ イザ 11:1 __の切り株から小枝が生え出る
 エホバ 出 3:15 __が永遠に私の名であり
 出 7:5 私が__であることを必ず知る
 出 20:7 神__の名をむやみに用いてはならない
 申 6:5 心を尽くして、__を愛さなければ
 申 7:9 __は真の神、信頼できる神であり
 詩 83:18 __という名を持つあなただけが至高者
 イザ 42:8 私は__。それが私の名
 マル 12:29 私たちの神__はただひとりの__であり
 エホバの怒りの日 ゼバ 2:2 __が訪れる前に
 エホバの大きい日 ゼバ 1:14 __は近い それは近く
 エホバの激怒の日 ゼバ 1:18 __には銀も金も助けに
 エホバの日 ヨエ 2:1 __が来るからだ! それは近い
 テサー 5:2 __が泥棒のように来ることを
 ペニ 3:12 __が来るのを待ち望み
 エホバのもの ロマ 14:8 死ぬにしても、私たちは__
 エホバの山 イザ 2:3 __に登ろう。ヤコブの神の家に
 選ばれた者 マタ 24:22 __たちのために、短くされます
 マタ 24:31 天使たちは、__たちを集めます
 選ぶ ヨシ 24:15 誰に仕えるかを自分で__びなさい
 エリヤ ヤコ 5:17 __は、私たちと同じような感情を持つ
 エルサレム ダニ 9:25 __を修復して建て直せという
 ルカ 2:41 過ぎ越しの祭りのために__に毎年行く
 ルカ 21:20 __が軍隊に囲まれるのを見たら
 ルカ 21:24 __は、異国のの人々に踏みじられ
 使徒 5:28 きっぱり命じたのに、__中で教えを広め
 使徒 15:2 __にいる使徒や長老たちのもとに上る
 啓 21:2 新しい__が、花嫁のように、天から下って
 宴 イザ 25:6 豪華な料理の__、ぶどう酒の__を催す
 援助者 ヨハ 14:26 __つまり聖なる力が教える
 援助奉仕者 テモ 3:8 __も、真面目で、二枚舌を

オ

王 格 21:1 __の心はエホバの手にある水の流れ
 ゼカ 14:9 エホバは地上全体の__となる
 コー 15:25 キリストは__として治めるのです
 啓 1:6 神に仕える__および祭司として
 啓 5:10 彼らは__として地上を治めるのです
 啓 18:3 __たちは彼女と性的に不道德な行為をし
 王国 出 19:6 祭司たちが治める__、聖なる国民と
 ダニ 2:44 神は滅ぼされることのない__を建てます
 ダニ 7:14 その者に統治権と栄誉と__が与えられ
 ダニ 7:18 至上者の聖なる者たちが__を受け
 マタ 4:8 悪魔は世界の全ての__を見せ
 マタ 6:10 __が来ますように。あなたの望まれること
 マタ 6:33 __と神から見て正しいことを第一に
 マタ 24:14 __の良い知らせは、世界中で伝え
 マタ 25:34 さあ、用意されている__を受けなさい

ルカ 18:29 神の__のために、親に別れを告げた人は
ヨハ 18:36 私の__はこの世界のものではありません
コロ 15:24 キリストは父である神に__を渡します
コロ 1:13 闇から、愛する子の__に入れて
王笏 創 49:10 __はユダから離れず、司令官のつえ
覆い コー 11:6 女性には__を着けないなら
オオカミ イザ 11:6 __が子羊と共に過ごし
使徒 20:29 圧制的な__が入り込んで群れを
多く ルカ 12:48 __与えられた人には__のことが要求
大勢の証人 ヘブ 12:1 これほど__たちに囲まれている
大盾 エフ 6:16 信仰の__を持ってください
おきて マル 12:28 どの__が第一ですか
マル 12:31 これらより重要な__はほかにありません
奥底の考え 啓 2:23 __と心を探る者である
奥の部屋 イザ 26:20 __に入り、扉を閉めなさい
臆病 テモニ 1:7 聖なる力は、__な気持ちではなく
奥深い コー 2:10 聖なる力は神の__事柄さえも
贈り物 コー 7:7 人はそれぞれ神から__を頂いて
エフ 4:8 捕虜を連れ去り、人々という__を与え
ヤコ 1:17 良い__は全て、天から来ます
遅れる ハバ 2:3 たとえ__としても、待ち続けよ
起こす ヨハ 11:11 私はラザロを__しに行きます
怒る 格 14:17 すぐに__人は愚かなことをし
エフ 4:26 __ったまま日が沈むことがないように
幼い テモニ 3:15 __時から聖なる書物に親しんで
治める 創 1:28 あらゆる生き物を__なさい
教え 詩 119:24 私はあなたの__を大切に思う
ヨハ 7:16 私の__は私のものではありません、私を遣わした
教え方 マタ 7:28 群衆はその__に大変驚いていた
教え導く ヘブ 13:7, 17 __いている人たち
教える 申 6:7 その言葉を自分の子にしっかり__
ネヘ 8:8 律法の書の意味を__た
詩 32:8 あなたに洞察力を与え、進むべき道を__
詩 143:10 私を__、あなたの望むことを行えるように
イザ 48:17 あなたのためになる生き方を__
イザ 54:13 あなたの子たちは皆エホバに__られ
マタ 28:20 命令した事柄全てを守るように__なさい
ロマ 2:21 ほかに人を__ていながら、自分を__ない
ロマ 15:4 私たちを__ために書かれました
教える技術 テモニ 4:2 いつも辛抱強く、__を駆使して
惜みない親切 コー 15:10 神の__のおかげです
コニ 6:1 神の__を受けながら、それを無駄にする
惜しみなく 格 11:25 __与える人は報われ
テモニ 6:18 __与え、進んで分け合うよう伝えて
ヤコ 1:5 神は全ての人に__与えてくださる
惜しむ ヨナ 4:11 ニネベを__のはもっともなこと
お世辞 格 26:28 __を言う口は破壊をもたらす
ロマ 16:18 __によって心をたぶらかし
遅い ルカ 12:45 主人は来るのが__と心の中で言い
恐れ 詩 19:9 エホバへの__は純粋で
恐れ 格 29:25 人への__はわなとなる
ルカ 21:26 __と予想から気を失います

ヨ一 4:18 愛には__がなく、完全な愛は__を締め出し
畏れる 詩 111:10 知恵はエホバを__ことから始まる
格 8:13 エホバを__とは悪を憎むこと
恐れる 代二 20:15 大軍のごとて__てはならない
詩 56:4 神に頼る。私は__ない
詩 118:6 エホバは私の側にいる。私は__ない
ルカ 12:4 体は殺せても何もできない人を__ては
恐ろしい ヘブ 10:31 神の手に掛かるのは__こと
穏やか 格 14:30 __な心は体に良く
格 25:15 __な言葉は強い反対を克服する
落ち穂 レビ 19:9 収穫の__を捨ててはならない
夫 コー 7:14 クリスマスではない__は妻との関係で
エフ 5:25 __は、妻を愛し続けてください
エフ 5:28 __は自分の体を愛するように妻を愛する
コロ 3:18 妻の皆さん、__に従ってください
大人 コー 14:20 理解力の点では__になってください
脅かす ミカ 4:4 誰にも__されない
覚える 伝 12:1 若いうちに偉大な創造者を__なさい
思い起こす ルカ 22:19 私のことを__しなさい
思い出す ヨブ 14:13 期限を定め、時が来たら私を__し
イザ 65:17 以前の事柄は__されることも、心に浮かぶ
思い違い ガラ 6:7 __をしてはなりません。神は
重い皮膚病 ルカ 5:12 全身__の男性がいた
思い巡らす 創 24:63 イサクは__しながら野原を
詩 77:12 あなたの全ての行いを__
格 15:28 正しい人は答える前に心の中で__し
思いも寄らない 伝 9:11 __ことが誰にでも起きる
思いやり 出 34:6 エホバ、憐れみ深く、__がある神
コロ 3:12 温かい__を身に着けましょう
ヨ一 3:17 困窮している兄弟に__を示さないなら
思いやる 詩 41:1 立場が低い人を__人は幸せだ
重荷 詩 55:22 __をエホバに委ねよ
使徒 15:28 次の事柄以外、何の__も加えない
ガラ 6:2 仲間同士、__を食い合いましょ
ヘブ 12:1 あらゆる__と、すぐに絡み付く罪を捨て
ヨ一 5:3 神のおきては__ではありません
親 エフ 6:1 子供は、__に従ってください
愚か 詩 14:1 __な人は言う。エホバはいない
格 22:15 __さが少年の心に深く根ざっている
終わりの時代 テモニ 3:1 __は困難で危機的な時
終わりの時 ダニ 12:4 __までこれらの言葉を秘密に
温厚 詩 37:11 __な人は地上に住み続け
ゼバ 2:3 エホバのもとに行け、地上の__な人たちよ
おんどり マタ 26:34 __が鳴く前に、あなたは3度
温和 マタ 5:5 __な人たちは、地球を与えられ
コー 4:13 中傷されても__に対応します
ペー 3:4 物静かで__な精神という朽ちない飾り

力

外国人居住者 出 22:21 __を虐待したり圧迫したり
申 10:19 __を愛さなければなりません
会衆 詩 26:12 大きな__の中でエホバを賛美します
詩 40:9 大きな__の中で良い知らせを広めます

ロマ 16:5 2人の家に集まる__にもあいさつを
 階段 創 28:12 __が伸びていて、天にまで達して
 買い取る 啓 5:9 血で、神に仕える人たちを__った
 買い戻す 詩 49:7 誰一人として兄弟を__ことは
 カイン ヨー 3:12 __は弟を殺しました
 買う コー 7:23 代価によって__われました
 カエサル マタ 22:21 __のものは__に、神のものは神に
 マル 12:17 __のものは__に、神のものは
 使徒 25:11 __に上訴します!
 返す 詩 116:12 私は何をしてエホバにお__しよう
 鏡 コニ 3:18 __のようにエホバの栄光を反映させ
 ヲコ 1:23 __で自分の顔を見る人に例えることが
 鍵 マタ 16:19 あなたに天の王国の__を与えます
 啓 1:18 死と墓の__を持っています
 確信 格 3:26 エホバはあなたに__を持たせて
 ロマ 4:21 神が約束を果たされることを__して
 隠す 格 28:13 自分の違反を__人は成功しない
 ルカ 8:17 __されているものは全て明らかになり
 隠れが 詩 91:1 至高者が与える__に住む人は
 影 コロ 2:17 後に来るものの__であって、実体は
 ヤコ 1:17 父は移り変わる__のように変化したりは
 籠 マタ 14:20 かけらを拾うと12個の__がいっぱいに
 飾る テト 2:10 神の教えを__ことになる
 ペー 3:3 __のは、外面のものであってはなりません
 賢い 格 3:7 自分は__と思っではならない
 格 13:20 __人たちと共に歩むと賢くなり
 格 15:20 __子は父親を喜ばせ、愚かな人は母親を
 イザ 5:21 自分は__と思い込み、思慮深いと自負して
 マタ 11:25 __知識人たちから隠し、幼い子供
 ロマ 12:16 自分は__と思い込んではありません
 エフ 5:15 __くない人ではなく__人のように歩み
 頭 コー 11:3 女性の__は男性であり
 エフ 5:23 キリストが会衆という体の__である
 貸す 格 19:17 親切にする人はエホバに__しており
 ルカ 6:35 返してもらうことを期待せずに__こと
 風 伝 11:4 __を見守っている者は種をまかない
 肩 ゼバ 3:9 __を並べて神に仕えるためである
 固い ヘブ 5:14 __食物は、十分に成長した人の
 家畜 格 12:10 正しい人は__を大切にする
 活動 ペー 1:13 __に備えて思考を整え
 かつとなる 格 19:19 すぐ__人は罰を受ける
 活発 コー 15:58 主の活動をいつも__に行ってください
 カナ ヨハ 2:1 __で結婚の披露宴があり
 悲しみ イザ 35:10 __やため息は逃げ去る
 コニ 2:7 __に打ちのめされてしまわない
 悲しむ 詩 78:41 イスラエルの聖なる方を__ませた
 エフ 4:30 神の聖なる力を__ませではありません
 テサー 4:13 希望を持っていない人のように__んだり
 金 伝 5:10 お__を愛する人は、いくらお__を手に
 伝 7:12 お__は身の守りであり、知恵も身の守り
 伝 10:19 一方、お__は何をするにも役に立つ
 テモー 6:10 お__を愛することは、悪い事柄の根

可能 マタ 19:26 神には全てのことが__です
 かぶと エフ 6:17 救いの__をかぶり
 神 申 10:17 エホバは__の中の__、主の中の主
 使徒 17:23 知られていない__に、と刻み込まれた
 コー 8:4 __はひとりしかいないことを知って
 コー 8:5 多くのものが__や主と呼ばれており
 コニ 4:4 今の体制の__が、思考を遮り
 ヨー 4:8 __は愛だからです
 髪 マタ 10:30 __の毛まで全て数えられています
 ルカ 21:18 __の毛1本も失われません
 神の子 ヨブ 38:7 __たちが、称赞の叫び声を上げ始め
 神の言葉 イザ 40:8 私たちの__は永遠に存続する
 マル 7:13 伝統によって__を否定している
 テサー 2:13 __を聞いた時、人間の言葉としてでは
 ヘブ 4:12 __は生きていて、力を及ぼし
 神の導き マタ 5:3 __が必要であることを自覚して
 神への専心 テモー 4:8 __はあらゆる面で有益です
 テモー 5:4 家族を世話することによって__を示し
 テモニ 3:12 __を貰き、同じように迫害を受け
 体 マタ 10:28 __は殺せても命を奪えない人を恐れ
 マタ 26:26 これは私の__を表しています
 空振り コー 9:26 __になるようなこぶしの振るい方
 刈り尽くす レビ 23:22 畑の端まで__してはならない
 刈り取る コニ 9:6 惜しまずにまく人は豊かに__り
 ガラ 6:7 まいてあるものを必ず__ことになりませ
 ガラ 6:9 諦めないなら、__ことになりませ
 借りる 格 22:7 __人は貸す人の奴隷になる
 軽んじる イザ 53:3 彼は__られ、人々に避けられた
 かわいそう マタ 9:36 群衆を見て、__に思った
 マタ 20:34 イエスは__に思い、2人の目に触れた
 渴く イザ 49:10 飢えることも、喉が__こともなく
 イザ 55:1 喉が__いている全ての人たち、来なさい
 変わる マタ 3:6 私はエホバであり、私は__らない
 姦淫 出 20:14 __をしてはならない
 マタ 5:28 すでに心の中で__をしたのです
 マタ 19:9 別の女性と結婚する人は、__をすること
 コー 6:9 __をする人は、神の王国を授けられない
 考え 詩 26:2 奥底の__と心を清めてください
 詩 146:4 人は息絶えると、その人の__は消えさる
 格 3:5 自分の__に頼ってはいけません
 格 20:5 人の心の__は深い所にある水のような
 イザ 55:8 私の__はあなたたちの__とは違い
 ロマ 7:25 __においては神の律法の奴隷ですが
 啓 17:17 ご自分の__を彼らの心にに入れて実行させた
 考え方 創 8:21 人の__は子供の時から悪い
 ロマ 12:2 __を新しくすることによって変化させ
 エフ 4:23 __を新しくする努力を続けましょう
 フリ 2:5 キリスト・イエスと同じ__をしてください
 考え続ける ロマ 8:6 罪深い事柄を__なら死に至り
 フリ 4:8 真実なこと、真面目なことについて__て
 コロ 3:2 天の事柄について__しましょう
 考える ガラ 6:4 自分の行いについて__しましょう
 感謝 詩 92:1 エホバに__するのは良いことだ

格 29:21 甘やかすと、いずれ__しない人になる
 コー 1:4 いつも神に__しています
 干渉 テサ 4:11 人に__せず、自ら働くことに努めて
 テモ 5:13 人のことに__したりして、話すべきで
 感情 ヤコ 5:17 同じようにいろいろな__を持つ人
 関節 エフ 4:16 体全体は、各__が役割を果たすこと
 完全 マタ 5:48 父が__であるように__でなければ
 監督 使徒 20:28 聖なる力によって__に任命しました
 テモ 3:1 __になろうと努めている人は、立派な
 ペー 2:25 皆さんの命を守る牧者であり__である方
 冠 格 12:4 有能な妻は夫の__であり
 コー 9:25 私たちの場合は朽ちない__です
 寛容 エフ 4:2 愛を抱いて仲間__であってください
 管理 エフ 1:10 物事を__し、全てのものを
 管理人 ルカ 12:42 忠実な__、思慮深い者はいったい
 コー 4:2 __に期待されているのは忠実であること

キ

木 詩 1:3 水の流れのほとりに植えられた__の
 気落ち フィリ 2:26 エホバロデトは__しています
 コロ 3:21 子供を__させることがないように
 テサ 5:14 __している人に慰めの言葉を掛け
 機会 ガラ 6:10 __がある限り、善いことを行い
 器官 ロマ 12:4 全ての__が同じ機能を持つわけ
 コー 12:18 神は望みのままに体の各__を配置した
 コー 12:26 1つの__が苦しみれば、ほかの__全て
 祈願 ヤコ 5:16 正しい人の__には大きな力が
 危機的 テモ 3:1 困難で__な時になります
 飢饉 アモ 8:11 エホバの言葉の__である
 聞く 格 1:5 賢い人は__いてさらに教えを受け
 エゼ 2:7 __いても__なくても、話さなければ
 ルカ 10:16 あなたたちの言葉を__人は私の言葉も__
 危険 格 22:3 聡明な人は__に気付いて身を隠す
 傷 格 27:6 忠実な友は__を負わせ
 絆 エフ 4:3 平和という__で結ばれ
 コロ 3:14 愛は完全な__なのです
 犠牲 ホセ 6:6 喜びのは__ではなく、揺るぎない愛で
 偽善 ロマ 12:9 皆さんの愛に__があってはなりません
 競い合う ガラ 5:26 __つたりねたみ合ったりしない
 期待 格 13:12 __がなかなか実現しないと落ち込む
 貴重 格 3:9 __なものを捧げてエホバを敬え
 ハガ 2:7 あらゆる国の__なものが入ってくる
 氣遣う ペー 5:7 神は優しく__てくださるからです
 キツネ マタ 8:20 __には穴がありますが、人の子には
 来なさい 啓 22:17 聞く人も、__!と言いなさい
 記念の墓 ヨハ 5:28 __にいる人が、彼の声を聞いて
 希望 詩 146:5 その人の__の源は神エホバにある
 ロマ 12:12 __によって喜びましょう
 ヘブ 6:19 この__は、命のためのいかりであり
 ヘブ 10:23 私たちの__をしっかり表明し
 氣前よく 格 11:24 __を与えて、より豊かになる
 気持ち 詩 62:8 あなたの__を全て神に伝えよ
 虐待 ヘブ 11:25 神の民と共に__されることを選び

救出 ルカ 21:28 あなたたちの__が近づいている
 清い言語 セバ 3:9 私は国々の言語を__に変える
 清い心 代一 29:17 __を喜ばれる
 詩 51:10 私の内に__をつくってください
 強固 コニ 10:4 要塞のように__なものを打ち砕き
 矯正 格 3:11 エホバの__を拒否してはならない
 ヘブ 12:11 どんな__も、喜ばしいものと思えず
 啓 3:19 私は愛する人を__します
 競走 伝 9:11 足の速い人がいつも__に勝つわけでも
 テモ 4:7 __を最後まで走りました
 兄弟 格 18:24 __以上の絆で結ばれる友もいる
 マタ 23:8 あなたたちは皆、__だからです
 マタ 25:40 私の__のうち最も目立たない人の1人
 コー 5:11 __と呼ばれる人で、性的に不道德な人
 ペー 5:9 世界中にいる、信仰で結ばれた__たちが
 兄弟愛 ロマ 12:10 __を抱いて、優しい愛情を示し
 教理 マタ 15:9 人間の命令を__として教えるから
 協力し合う エフ 4:16 見事に組み合わせられて__います
 清める 詩 51:2 私を罪から__てください
 コニ 7:1 あらゆる汚れを除き去って自分を__
 霧 ヤコ 4:14 少しの間だけ現れて消える__だから
 キリスト マタ 16:16 __、生きている神の子です
 ガラ 6:2 __の律法を実践していることに
 記録の書 マラ 3:16 神の前で__が記された
 極めて不快なもの ダニ 12:11 荒廃をもたらす__が
 マタ 24:15 荒廃をもたらす__が
 金 イザ 60:17 私は銅を__に替え、鉄を銀に
 均等 コニ 8:14 __を図ることが目的です
 勤勉 格 10:4 __な手は富をもたらす
 格 12:27 __さは人の貴重な宝である
 格 14:23 あらゆる__な働きには価値がある
 格 21:5 __な人の計画は必ず成功につながり
 ヘブ 6:11 同じ__さを示し続けて

ク

杭 マル 15:25 イエスを__にきぎ付けにした
 悔い改め ロマ 2:4 神がご親切にも__に導こうとして
 悔い改める ルカ 15:7 __罪人については、喜びが天
 使徒 3:19 __て生き方を変えなさい
 使徒 26:20 __たことを示す行動を取って神を崇拝する
 空気 コー 14:9 __に話していることに
 エフ 2:2 人々に影響を及ぼしている__の支配者
 偶像 詩 115:4 __は人が手で作った
 コー 10:14 __崇拝から逃げ去ってください
 くじ 詩 22:18 私の衣服のために__を引く
 ぐず フィリ 3:8 多くの__のようだと思っています
 業 格 17:22 喜びにあふれた心は良い__になり
 口 ロマ 10:10 __で人々に伝えることによって救われ
 エフ 5:3 __に上ることさえあってはなりません
 口が利けない人 イザ 35:6 __は歓声を上げる
 唇 イザ 29:13 __で私を敬うが、心は私から遠く離れて
 口籠 申 25:4 脱穀している牛に__を付けては
 苦難 サニ 22:7 __の時に私はエホバに呼び掛け

詩 34:19 正しい人は多くの__に遭う
 詩 46:1 神は__の時、すぐに助けになってくださる
 格 17:17 __の時に頼れる兄弟である
 使徒 14:22 多くの__を経験して神の王国に
 コー 7:28 結婚するなら、__を身に招きます
 コニ 4:17 __はつかの間で軽いものですが
 テサニ 1:4 __に遭いながら、忍耐と信仰を示し
 苦悩 ヨブ 36:15 苦しむ人たちを__から助け出します
 ルカ 21:25 逃げ道を知らない人々が__します
 熊 イザ 11:7 雌牛と__と一緒に食べ
 雲 伝 11:4 __を眺めている者は刈り取らない
 マタ 24:30 人の子が天の__に乗って来るのを見ます
 比べる ガラ 6:4 人と__て喜ぶのではなく
 クリスマン 使徒 11:26 神の導きによって__と呼ば
 苦し 啓 2:10 __を恐れてはなりません
 苦しみの杭 ルカ 9:23 自分を捨て、__を持ち上げ
 苦しむ 詩 119:50 __んでいる私は慰められる
 詩 119:71 私が__んだのは良いこと
 ペー 3:14 正しいことのために__としても、幸せです
 群衆 出 23:2 悪を行う__に従ってはならない
 軍勢 啓 19:14 天の__が、この方の後に従っていた
 軍隊 ゼカ 4:6 __によるのでも、力によるのでもなく
 訓練 ペー 5:10 神は、皆さんの__を終えます

ケ

敬意 テサー 5:12 監督している人たちに、__を払って
 テモー 5:17 長老たちは、深い__を受けるに値します
 ペー 3:15 語る時には、温和な態度と深い__を示し
 計画 格 15:22 相談しないと__は失敗し
 格 19:21 人の心にある__は多いが、エホバの
 経験 詩 19:7 エホバの教えは__の浅い人を賢くする
 格 22:3 __のない人たちは当然の報いを受ける
 傾向 代一 28:9 神は考えの__を全て見極める方
 警告 エゼ 33:4 __に注意を払わず、剣によって命を
 エゼ 33:9 __し、悪い行いをやめるよう諭した
 コー 10:11 私たちへの__として書かれた
 軽視 テサー 4:8 人ではなく、神を__している
 啓示 アモ 3:7 内密のことを預言者に__してから
 マタ 11:25 幼い子供たちに__されたからです
 刑罰 伝 8:11 __が速やかに下されていない
 契約 創 15:18 エホバはアブラムと__を結び
 エレ 31:31 新しい__を結ぶ時が来る
 ルカ 22:20 私の血による新しい__
 ルカ 22:29 王国のための__を結び
 契約の血 マタ 26:28 私の__を表しており
 汚れ コニ 7:1 あらゆる__を除き去って自分を清め
 汚れた人 ヨブ 14:4 __から清い人が生まれません
 劇場 コー 4:9 __の見せ物のようにになっている
 欠陥 レビ 22:21 犠牲は、どんな__があってもならない
 結婚 マタ 19:12 天の王国のために__しない人も
 マタ 22:30 復活の際、男性も女性も__しません
 コー 7:9 情欲に燃えるよりは__する方がよい
 コー 7:36 罪を犯すことにはなりません。__しない

コー 7:38 __しない人はいっそう立派です
 ヘブ 13:4 __は全ての人に尊ばれるべきであり
 潔白 詩 25:21 __であることにより、保護され
 結末 イザ 46:10 __を初めから、予告する
 結論 伝 12:13 全てを聞いた今、__はこうだ
 下品 コロ 3:8 __な言葉を捨て去りなさい
 ゲヘナ マタ 10:28 命も体も__で滅ぼせる方を畏れ
 権威 マタ 28:18 全ての__が与えられています
 ルカ 4:6 全ての__と栄光をあげましょう
 言語 創 11:7 __を混乱させ、互いの__を理解
 健全な言葉 テモニ 1:13 聞いた__の型に絶えず従い
 謙遜 格 15:33 荣誉に先立つのは__さである
 イザ 57:15 打ちのめされた__な人たちと共にいる
 マタ 18:4 この幼い子供のように__になる人が
 フィリ 2:3 __になり、自分より他の人の方が上だと
 ペー 5:6 神の力強い手の下で__になってください

コ

子 裁 13:8 生まれてくる__をどう育てたらよいかを
 故意 ヘブ 10:26 __に罪を犯し続けるなら
 高官 詩 45:16 あなたは彼らを全世界で__に任命する
 高潔 詩 26:11 私は__さを捨てずに歩みます
 洪水 創 9:11 __で滅ぼされることは二度とない
 マタ 24:38 __前のその時代、人々は食べたり飲んだり
 公正 ヨブ 34:12 全能者は絶対に__を曲げません
 ミカ 6:8 ただ__を守り、揺るぎない愛を抱き
 ルカ 18:7 神は、必ず__をもちまして
 行動 ペー 2:12 人々の中でいつも立派に__して
 購入証書 エレ 32:12 __に記した証人たちと
 幸福 使徒 20:35 受けるより与える方が__である
 テモー 1:11 __な神の素晴らしい良い知らせ
 高慢 格 16:5 心が__な人はエホバにとって忌まわし
 傲慢 ヤコ 4:6 神は__な人に敵対し
 交友 コー 15:33 悪い__は良い習慣を台無しにします
 テサニ 2:34 特に注意し、__を持つのをやめなさい
 ヤコ 4:4 世との__は神との敵対である
 口論 格 6:19 兄弟の間に__を引き起こす者
 声 ヨハ 10:27 私の羊は私の__を聞きます
 越える コー 4:6 書かれている事柄を__ては
 告白 詩 32:5 ついに自分の罪をあなたに__した
 ヨー 1:9 罪を__するなら、神は罪を許して
 国民 詩 33:12 エホバを神とする__は幸せだ
 マタ 24:7 __は__に敵対して立ち上がり
 小声 詩 1:2 律法を喜び、昼も夜も__で読む
 心 申 6:6 これらの言葉が__に入っていないければ
 エズ 7:10 エズラは、__を整えていた
 詩 51:17 打ちのめされた__を、神は退けません
 格 4:23 ほかの何よりも、あなたの__を守れ
 格 17:3 エホバは__を調べる方である
 格 17:22 喜びにあふれた__は良い薬になり
 格 27:11 わが子よ、賢くあって、私の__を喜ばせよ
 エレ 17:9 __はほかのどんなものよりも信用できず
 エレ 17:10 私エホバは、__を探り、奥底の考えを

エレ 31:33 私は、律法を彼らの__の中に書き記す
 マタ 13:15 この民は__が鈍くなり、よく耳を傾けず
 マタ 15:19 __から、邪悪な考えが出てきます。殺人
 マタ 22:37 __を尽くして、神エホバを愛さなければ
 マタ 26:41 __は強く願っていても、肉体は弱い
 ルカ 12:34 宝のある所、そこにあなたたちの__もある
 ルカ 24:32 説明してくれた時、__は燃えていた
 ヘブ 3:12 神から離れて、悪い__を育てないよう
 コー 3:20 神は私たちの__より大きく

心が傷ついた人 詩 34:18 エホバは__のそばにいる
 詩 147:3 __を癒やす。傷を包んでくださる

心から応じる 出 35:21 __た人たちが持ってきた
 心の全て 代 16:9 __がご自分に向いている人

快く与える コニ 9:7 神は__人を愛されます

孤児 詩 68:5 __の父、やもめを保護する方
 ヤコ 1:27 困っている__やもめを世話すること

答え 格 15:1 穏やかな__は激しい怒りを静め

答え 格 15:28 正しい人は__前に思い巡らし

格 27:11 私をあざける者に私が__ためである

言葉 ヨブ 6:3 だから私は__が過ぎたのだ

格 10:19 __が多ければ失敗を避けられない

格 17:27 知識のある人は__を控え

ヨハ 1:1 __は神と共にいて、__は神のようだった

ヘブ 13:15 __で神を賛美するので

子供 申 31:12 民を、__も、集合させなさい

詩 8:2 幼い__たちの口から出る言葉によって

マタ 18:3 幼い__のようにならなければ、王國に

マタ 19:14 天の王國はこの__たちのような人のもの

ルカ 9:47 幼い__を自分の脇に立たせ

ルカ 10:21 賢い知識人から隠し、幼い__に啓示された

コー 14:20 悪に関しては幼い__になり

エフ 6:1 __は、親に従ってください

拒む コー 7:5 夫も妻も、与えることを__んでは

子羊 ヨハ 1:29 人類の罪を取り去る、神の__です

ヨハ 21:15 私を愛していますか。私の__を養いなさい

コブラ イザ 11:8 __の巣の上で遊び

懲らしめ 格 13:24 子供を愛する人は__を怠らない

懲らしめる 格 19:18 望みがあるうちにあなたの子を__

格 23:13 少年を__の控えてはならない

孤立 格 18:1 自分を__させる人は自分の欲求

殺す ヨハ 16:2 __人が、神に神聖な奉仕をしたと思う

コロ 3:5 体の各部分をいわば__しなさい

サ

最後 ヨハ 13:1 イエスは、__まで愛した

最後の日々 イザ 2:2 __に、エホバの家の山は

財産 詩 127:3 子供はエホバからの__

コロ 3:24 エホバから__を受けることを知っています

ペー 1:4 朽ちることも色あせることもない__を

祭司 ミカ 3:11 __たちは代価のために教え

最初 マタ 19:30 多くの__の人たちが最後に

祭壇 創 8:20 ノアはエホバのために__を作り

出 27:1 アカシア材で__を作る

マタ 5:24 供え物を__の前に残して、出掛けていき

サウロ 使徒 9:4 __、なぜ私を迫害している

探し求める 代一 28:9 神を__なら、神を見つけられる

イザ 55:6 見いだせるうちにエホバを__よ

杯 マタ 20:22 私が飲もうとしている__から飲むこと

ルカ 22:42 望まれるようでしたら、__を取り除いて

コー 11:25 この__は私の血による新しい契約

魚 ヨナ 1:17 __を送り、ヨナをのみ込ませた

酒 エフ 5:18 __に酔ってはなりません

差し出す コニ 12:15 尽くし、何もかも__します

刺し通す イザ 53:5 私たちの違反のために__され

定められた時 ハバ 2:3 この幻は__のためのもので

ルカ 21:24 異国の人々の__が満ちるまで

サタン ヨブ 1:6 エホバの前に立つ日に、__も来た

ゼカ 3:2 __、エホバがあなたを叱責されますように

マタ 4:10 離れ去れ、__！あなたが崇拝すべきなのは

マタ 16:23 ペテロに言った。私の後ろに下がれ、__！

コニ 11:14 __が光の使いに成り済ましているからです

啓 12:9 あの初めの蛇で、悪魔__と呼ばれ

裁きの座 ロマ 14:10 皆、神の__の前に立つことに

砂漠 イザ 35:1 __平原は喜びに満ちて

イザ 35:6 __平原に川が流れる

裁く マタ 7:2 __いっているのと同じ仕方、自分も

ルカ 6:37 __のをやめなさい。そうすれば__かれ

ルカ 22:30 王座に座りイスラエルの12部族を__

ヨハ 5:22 父は、__ことを全て子に委ね

裁く方 イザ 33:22 エホバは私たちを__、私たちの王

サラ ペー 3:6 __はアブラハムを主人と呼んで従って

爽やか マタ 11:28 そうすれば、__にしてあげましょう

使徒 3:19 そうすれば__にする時期がエホバから来て

触る マタ 8:3 男性に__り、そう望みます

サンゴ 格 8:11 知恵は__に勝り

賛美 ホセ 14:2 若い雄牛を捧げるように__の言葉を

シ

死 詩 89:48 __を見ないで生き続けられる人が

イザ 25:8 神は__を永久にのみ込む

エゼ 18:32 私は誰の__をも喜ばない

ロマ 5:12 こうして、__が全ての人に広がった

コー 15:26 最後の敵である__が除去去られます

ヘブ 2:9 イエスは全ての人のために__を味わった

啓 21:4 もはや__はなくなり、悲しみも嘆きも

幸せ 詩 32:1 罪を覆われる人は__だ

詩 84:12 あなたに頼る人は__です

詩 94:12 あなたに正される人は__だ

詩 144:15 エホバを神とする民は__です

伝 8:15 食べ、飲み、喜びこと、これ以上の__は

シェオル「墓」参照

塩 コロ 4:6 __で味付けされた快い言葉を語るように

シオン 詩 2:6 私が聖なる山__に私の王を立てた

啓 14:1 子羊が__の山に立っていた

仕返し ロマ 12:17 悪いことをされても、__をしては

資格 コニ 3:5 十分な__は神から与えられている

時間 エフ 5:16 __を有効に使ってください

識別力 マタ 24:15 読者は__を働かせなさい
自己満足 格 1:32 愚かな人は__のために滅びる
資産 イザ 60:5 国々の__があなたのもとに来る
使者 マラ 3:1 私は__を遣わす。私の前に道を整え
地震 ルカ 21:11 大きな__があり、あちこちで
自衛過剰 格 14:16 愚かな人は無謀で、__である
滴 イザ 40:15 国々はおけからこぼれる__のよう
子孫 創 22:18 あなたの__によって全ての国民が祝福
ガラ 3:16 __は1人で、キリストです
舌 格 18:21 死も命も__の力に支配される
口 ヤコ 1:26 __を制御していないなら、心を欺いて
ヤコ 3:8 __を従わせることは誰にもできません
慕う 詩 84:2 エホバの庭を__気持ちにあふれます
イザ 26:9 あなたを__気持ちでいっぱいになり
従う サー 15:22 犠牲よりも、__ことが重要であり
ルカ 2:51 イエスはその後両親に__っていた
ヨハ 3:36 子に__わない人は命を得ず
使徒 5:29 人ではなく神に__わなければなりません
エフ 6:6 人目がある時にだけ__ではありません
ヘブ 13:17 教え導いている人たちに__い、進んで応じ
十戒 出 34:28 神は、__を石板に書いた
しっかり 創 2:24 父と母から離れて妻に__付き
ヨシ 23:8 神エホバに__付かなければなりません
ロマ 12:9 善いことには__と付きましよう
コー 16:13 信仰を持って__立ちましよう
しつめる 格 29:15 __られていない子は母親に恥を
実現 マタ 5:17 律法を__するために来しました
叱責 伝 7:5 賢い人の__を聞く方がよい
実践 フィリ 4:9 学んだことを、__してください
ヤコ 1:22 神の言葉を__する人になってください
嫉妬 格 14:30 __は骨を腐らせる
コー 13:4 愛は__しません
失望 ロマ 5:5 希望が__に至ることはありません
ロマ 9:33 信仰を持つ人は__ない
指導者 格 28:16 識別力のない__は力を乱用し
マタ 23:10 あなたたちの__はキリストひとりだから
死ぬ 創 3:4 あなたたちは決して__にません
ヨブ 14:14 人は__と、もう一度生きられるでしょうか
ルカ 15:24 息子が__んでいたのに生き返ったのです
ヨハ 11:25 信仰を抱く人は__んで生き返ります
コ二 5:15 自分のために__んだ方のために生きる
死の責任 エゼ 3:18 私はその人の__をあなたに問う
支配 創 3:16 夫はあなたを__することになる
格 29:2 悪人が__すると、民はうめく
伝 8:9 人は人を__し、害を及ぼしてきた
ロマ 6:12 体の中で罪が王として__するのを許して
支配者 ヨハ 12:31 この世の__は追い出されます
ヨハ 12:42 多くの__たちもイエスに信仰を持った
自発的 出 36:2 心から応じて__に働こうとする人
縛る マタ 16:19 地上で__ものは天ですでに__られて
自分のこと フィリ 2:4 __ばかり考えずに、他の人の
自分の全て エフ 6:6 __を尽くして神の望むことを
四方 啓 7:1 天使たちは、地の__の風を押さえて

シモン 使徒 8:18 __は、お金を渡そうとして
邪悪な天使 マタ 8:28 __に取りつかれた2人の男が
使徒 16:16 __の力で占いをする召し使い
エフ 6:12 天にいる__の勢力と戦っています
ヤコ 2:19 __たちも信じておびえています
邪悪な者 ヨー 5:19 全世界は__の支配下にあります
主 マタ 7:22 __よ、__よ、あなたの名によって預言し
コー 7:39 自由に結婚できます。__に従う人だけ
自由 ヨハ 8:32 真理によって__になります
ロマ 6:18 皆さんは罪から__にされたので
ロマ 8:21 創造物も腐敗への奴隷状態から__にされ
ペー 2:16 悪い行いを覆い隠すために__を用いては
収穫 伝 9:37 __は多いですが、働き手は少ない
充実感 伝 2:24 食べ、飲み、一生懸命働く__
従順 王ー 3:9 民を裁くため、__な心をお与えください
ロマ 5:19 1人の人の__によって多くの人が正しい人
ロマ 6:17 教えの型に心から__になりました
フィリ 2:8 死に至るまで__でした
ヘブ 5:8 キリストは苦しんだ事柄から__を学び
重要 フィリ 1:10 より__なことを見極め
祝福 創 1:28 神は2人を__し、こう言った
申 30:19 あなたの前に、__と災いを置きました
格 10:22 エホバの__が人を富ませる
ヨハ 12:13 エホバの名によって来る方が__され
ロマ 12:14 迫害する人のために__を願ひ続け
熟練 格 22:29 仕事に__した人を見たことがあるか
主権者である主 詩 73:28 __エホバのもとに避難し
主人 マタ 6:24 誰も2人の__の奴隷にはなりません
マタ 9:38 収穫の__にお願いしなさい
出血 マタ 9:20 12年間も__に悩む女性が後ろから
主の晩餐 コー 11:20 __を食べるために
寿命 ヨブ 14:1 __は短く、悩みの多い日々を送り
マタ 6:27 誰が自分の__を延ばせるでしょうか
順序 ルカ 1:3 __立てて書いてお伝えすることに
純粹 マタ 5:8 心の__な人たちは幸福です
順調 テモニ 4:2 __な時にも困難な時にも熱心に伝道
順番 コー 15:23 各自、__に従って、最初にキリスト
賞 コロ 2:18 __を得られなくなることがないように
上位の権威 ロマ 13:1 __に従わなければならない
証印 コ二 1:22 神は私たちに__を押し、しるし
エフ 1:13 約束されていた聖なる力で__を押され
啓 7:3 額に__を押すまでは、損なっています
証言 申 19:15 1人の__だけで有罪の宣告をしては
不行 18:16 2人が3人の__によって確かめ
称赞 格 27:2 別の人があなたを__するようにせよ
格 27:21 __によって人は試される
ヨハ 12:43 神からの__よりも人からの__を
正直 伝 13:18 何事においても__に行動したい
証人 イザ 43:10 あなたたちは私の__である
使徒 1:8 最も遠い所にまで、私の__となります
テモニ 5:19 2人が3人の__がいらない限り受け付けて
少年 格 22:6 __を行くべき道に沿って育てよ
娼婦 啓 17:16 __を憎み、破滅させて裸にし

将来 格 24:20 悪い人に__はなく
 贖罪 レビ 16:34 年に1度__を行うためである
 食事 コー 5:11 一緒に__をしなくてもなりません
 食卓 コー 10:21 エホバの__と邪悪な天使の__の
 食物 詩 145:15 季節ごとに__を与える
 マタ 24:45 適切な時に__を与えるため
 使徒 14:17 __を豊かに供給して心を喜びで満たした
 食糧不足 マタ 24:7 あちこちで__があります
 助言者 格 11:14 __が多ければ成功する
 格 15:22 __が多ければ達成される
 女性 テモ 2:12 __が教えることを、許可しません
 書物 伝 12:12 多くの__を作ることにより終わりがなく
 知らずに テモ 1:13 よく__行動していたからです
 調べる 詩 26:2 エホバ、私を__、心を清めてください
 格 21:2 エホバは心を__
 格 25:2 物事を徹底的に__ことである
 使徒 17:11 聖書を毎日注意深く__た
 コー 2:15 聖なる力に導かれる人は全ての事柄を__
 思慮深い マタ 24:45 忠実に__奴隷はいったい誰で
 知る マル 14:30 3度、私を__らないと言います
 ガラ 4:9 神に__られるようになりました
 印 エゼ 9:4 嘆き悲しむ人の顔に、__を付けなさい
 しるし マタ 24:3 臨在と体制の終結の__は何ですか
 マタ 24:30 人の子の__が天に現れます
 ルカ 21:25 太陽と月と星に__があり
 試験 ヤコ 1:2 __に遭う時、それを喜ばしいことと考え
 ヤコ 1:12 __に耐え続ける人は幸せです
 白い馬 啓 6:2 __に乗っている者は弓を持っていた
 信仰 ハバ 2:4 しっかりした__によって生きる
 マタ 21:21 __を持って疑わないなら、この山に
 ルカ 17:2 目立たない人1人の__を妨げるよりは
 ルカ 17:6 からしの種ほどの__があったなら
 ヨハ 3:16 独り子に__を抱く人が皆、永遠の命を
 ヨハ 11:26 私に__を抱く人は皆、決して死ぬことが
 コー 10:32 __の妨げにならないようにしましょう
 コニ 5:7 見えるものではなく__によって歩んで
 テサニ 3:2 誰も__を持っているわけではない
 ヘブ 11:1 __とは、望んでいる事柄が実現するという
 ヘブ 11:6 __がなければ、神に喜ばれることは
 ヘブ 13:7 その__に倣ってください
 ヤコ 2:26 行動が伴わない__も死んでいる
 ペー 1:7 __の質は試されます
 ペー 2:17 __で結ばれた兄弟たち全員を愛し
 真実 出 23:1 __でない話を広めてはならない
 エフ 4:25 隣人に__を語りましょう
 真珠 マタ 7:6 __を豚の前に投げてでもなりませんが
 信じる ヨハ 20:29 見なくても__人は幸福です
 神聖 ルカ 11:2 お名前が__なものだとされますように
 神聖な秘密 ロマ 16:25 __は、長い間解き明かされ
 神聖な奉仕 ロマ 12:1 理性を働かせて__をする
 親切 格 11:17 __であることは自分のためになり
 格 31:26 いつも__の律法に従って話す
 死んだ人 伝 9:5 __は何も知らない

ルカ 20:38 __の神ではなく、生きている人の神
 心痛 格 17:25 愚かな子は、母親に__を与える
 陣痛 イザ 66:7 彼女は__が起こる前に子を産んだ
 神殿 詩 27:4 神の__を感嘆して眺めることを
 真の命 テモ 6:19 __をしっかり捉えることができる
 心配 マタ 6:34 次の日のことを決して__しては
 マタ 10:19 何をどう話そうかと__してはなりません
 ルカ 12:25 __して、寿命を延ばせるでしょうか
 心配事 格 12:25 __があると心が沈み
 ルカ 8:14 生活上の__や快楽によって気を散らされて
 ルカ 21:34 生活上の__で心が圧迫されないよう
 進歩 フィリ 3:16 __してきたのですから、この同じ道を
 テモ 4:15 __は誰の目にも明らかになる
 辛抱 ペニ 3:9 エホバは、皆さんのことを__している
 辛抱強い コー 13:4 愛は__く、親切です
 テサ 5:14 誰に対しても__くあててください
 親友 格 17:9 くとくと言う人は__を引き離す
 真理 詩 119:160 あなたの言葉は__そのもの
 格 23:23 __を買え。決して売るな
 ヨハ 8:32 __を知り、__によって自由になります
 ヨハ 14:6 私は道であり、__であり、命です
 ヨハ 16:13 聖なる力が来ると、__を十分に理解
 ヨハ 17:17 あなたの言葉は__です
 ヨハ 18:37 __を明らかにするために私は世にきました
 ヨハ 18:38 プラトは言った、__とは何か
 テモ 2:15 __の言葉を正しく用いることができ
 ペニ 1:12 __にしっかりと基づいた生き方をして
 心霊術 ガラ 5:20 偶像崇拜、__、敵意

ス

推薦 コニ 6:4 自分を神の奉仕者として__します
 崇拜 マタ 4:10 __すべきなのはエホバ神であり
 マタ 15:9 私を__し続けても無駄である
 ヨハ 4:24 聖なる力と真理に導かれて__しなければ
 すき ルカ 9:62 __に手を掛けてから後ものを見る
 過ぎ越し コー 5:7 __の子羊であるキリストが犠牲に
 救い 代ニ 20:17 しっかり立ち、エホバの__を見なさい
 救い出す ペニ 2:9 どのように__かを知っています
 救い主 サニ 22:3 神は安全な避難所。私の__
 救いへと導く方 使徒 5:31 命と__として自分の右に
 救う ルカ 19:10 迷い出た人を捜して__ために来た
 フィリ 2:12 __われるために懸命に努力して
 スズメ マタ 10:29 __羽は小額の硬貨1枚で売って
 進んで 代ニ 29:17 全てを誠実な心で__捧げました
 詩 51:12 __従う気持ちを呼び起こして
 コニ 8:12 __を与える気持ちがあるなら
 捨てる 詩 27:10 たとえ父と母に__られても
 マタ 16:24 自分を__、苦しみの杖を持ち上げ
 素晴らしい助言者 イザ 9:6 __、力強い神と呼ばれる
 隅石 詩 118:22 退けた石が主要な__となった
 マタ 21:42 建築者たちの退けた石が主要な__と
 エフ 2:20 イエスは土台の__です
 住む イザ 45:18 人を__まわせるために形作った方

セ

税 ルカ 20:22 カエサルに__を払ってよいでしょうか
 ロマ 13:7 __を求める者に__を納め
 成果 イザ 55:11 言葉も、__を収めずに戻ることはない
 正確な知識 ロマ 10:2 __によるものではありません
 コロ 3:10 新しい人格は、__によって新しくされて
 テモ 2:4 あらゆる人が、__を得ることを望んで
 正義 イザ 32:1 1人の王が__のために統治する
 性急 格 19:2 __に行動するなら罪を犯す
 格 29:20 __に話す人を見たか。愚かな人の方がまだ
 成功 ヨシ 1:8 そうすればあなたは__し、賢く行動
 詩 1:3 行うことは全て__する
 性質 ロマ 1:20 神の見えない__は、世界の創造以来
 聖書 テモ 3:16 __全体は聖なる力の導きによって
 精神 詩 51:10 新たな__、揺らぐことがない__を
 制する テサー 4:4 体をどのように__かを知っている
 成長 コー 3:6 しかし、__させたのは神です
 エフ 4:13 十分に__した人となり、キリストの
 ヘブ 6:1 十分に__するように努力しましょう
 性的不道德 マタ 15:19 心から、__が出てきます
 コー 6:18 __から逃げ去らない
 聖なる レビ 19:2 __人であるべきである。私は__者
 ダニ 7:18 __者たちが王国を受け
 啓 4:8 __方、__方、__方、全能の神エホバ
 聖なる力 サニ 23:2 エホバの__によって語った
 ヨエ 2:28 __をあらゆる人に注ぐ
 ゼカ 4:6 軍隊によるのではなく、__による
 マタ 3:16 __がハトのように下ってイエスの上に
 マタ 12:31 __に対する冒瀆は許されません
 ルカ 1:35 __が、あなたを覆います
 ルカ 3:22 __がハトのような形をとって
 ルカ 11:13 父は、求めている人に__を与えてくださる
 ヨハ 14:26 __が、教えるとともに、思い起こさせます
 ヨハ 16:13 __が来ること、真理を十分に理解できる
 使徒 2:4 __に満たされ、さまざまな言語で話し
 ロマ 8:6 __に関する事柄を考えるなら平和を得ます
 ロマ 8:26 うめきと共に、__が願い出してくれる
 コロ 3:17 エホバの__がある所には自由があります
 ガラ 5:16 __に導かれて歩んでください
 エフ 4:30 神の__を悲しませてはなりません
 聖なる所 詩 73:17 神の偉大な__に入るまでは
 聖なる山 イザ 11:9 __のどこにも、危害を加えたり
 征服 ヨハ 16:33 勇気を出さない! 私は世を__した
 ロマ 12:21 善によって悪を__し続けましょう
 啓 6:2 __を完了するために出ていった
 生命力 詩 104:29 __を取り去ると、死んで土に戻る
 伝 12:7 __も真の神のもとにない。神が与えた
 誓約 申 23:21 エホバに__したなら、先延ばしせず
 精力的 ルカ 13:24 __に励みなさい
 精錬 ゼカ 13:9 銀を__するかのうに彼らを__し
 責任 ロマ 1:14 賢い人にも無学な人にも、__があり
 ロマ 14:12 一人一人は、神に__を問われる
 世間知らず 格 14:15 __の人は全ての言葉を信じ

世代 マタ 24:34 この__は決して過ぎ去りません
 接する コー 5:9 不道德な人と__のをやめるように
 説得 コニ 5:11 人々を__し続けよう
 狭い門 マタ 7:13 __を通して入りなさい
 世話 使徒 20:28 神の会衆を牧者として__する
 ペー 5:2 委ねられた神の羊の群れを__して
 千 ダニ 7:10 その方に仕えている者は__の__倍
 善 格 3:27 __を行うべき相手にそうせずにはいては
 イザ 5:20 __を悪と言い、悪を__と言う人たち
 善悪 創 3:5 神のようになって__を知るように
 善悪の知識の木 創 2:9 __を生えさせた
 繊細 ペー 3:7 女性により__な器ですから
 戦争 啓 12:7 天で__が起こった。ミカエルと
 啓 16:14 全能の神の偉大な日の__に王たちを招集

ソ

像 出 20:4 どんな彫刻__や形も作ってはならない
 憎悪 ロマ 12:9 悪いことは__し、善いことには
 創造 詩 104:30 聖なる力を送り出すと、__される
 ロマ 1:20 神の性質は、世界の__以来明らか
 コロ 1:16 全ては、神の子を通して__された
 啓 3:14 神に最初に__された者
 啓 4:11 あなたの心意によって__された
 創造者 伝 12:1 若いうちにあなたの偉大な__を覚え
 創造物 ロマ 8:20 __はむなしい状態に置かれましたが
 相続人 ロマ 8:17 神の__であり、キリストとの共同__
 相対的 ロマ 13:1 神によって__な地位に据えられて
 相談 格 15:22 __しないと計画は失敗し
 聡明 格 22:3 __な人は危険に気付いて身を隠す
 走路 使徒 20:24 __を走り通し、奉仕をやり遂げる
 底知れぬ深み 啓 11:7 __から上ってくる野獸
 啓 17:8 野獸は__から上ろうとして
 啓 20:3 竜を__に投げ込み、そこを閉じて封印し
 損なう 啓 11:18 地を__している人々が滅ぼされる時
 育てる 裁 13:8 子をどう__たらよいかを教えて
 格 22:6 少年を彼の行くべき道に沿って__よ
 損 フィリ 3:7 キリストのゆえに、__だと思うように

タ

代価 コー 7:23 皆さんは__によって買われました
 大患難 マタ 24:21 二度と起きないような__がある
 啓 7:14 これは__から出てくる人たちです
 大軍 詩 68:11 良い知らせを広める女性は__を成し
 大群衆 啓 7:9 誰も数え切れない__が
 対抗 王二 10:16 エホバに__するものを一切認めない
 大使 コニ 5:20 キリストの代理をする__
 胎児 詩 139:16 あなたの目は__の私を見ました
 大娼婦 啓 17:1 多くの水の上に座る__に対する
 体制 マタ 28:20 __の終結までいつの日もあなたたち
 大切 ダニ 9:23 あなたは__な人だからです
 マタ 16:22 主よ、自分を__にしてください
 大胆 使徒 4:31 神の言葉を__に語る
 エフ 6:20 __に語れるように祈ってください

第二の死 啓 20:6 __は何の力もない

啓 20:14 火の湖は__を表している

太陽 マタ 5:45 悪人にも善人にも__を昇らせて

耐え忍ぶ マタ 24:13 終わるまで__んだ人が救われ

倒れる 伝 4:10 1人が__ても、もう1人が起こして

コ 10:12 __ことがないように気を付けてください

宝 格 2:4 隠された__を探るように探し続ける

マタ 6:20 自分のために天に__を蓄えなさい

ルカ 12:33 決して尽きることのない__を天に持ち

コ 4:7 この__を土の器に入れて持っています

たくさんの物 ルカ 12:15 __を持っても、命は

託す 詩 31:5 私は命をあなたの手に__

出し惜しみ 詩 84:11 エホバは良いものを__しません

確かめる コ 13:5 いつも__てください

テサー 5:21 全てのことを__、立派なことを

訪ねる 使徒 15:36 広めた町に戻って兄弟たちを__

ただ マタ 10:8 __で受けたのです。__で与えなさい

戦い サ 17:47 __はエホバのものだからだ

詩 46:9 神は全ての場所で__を終わらせる

イザ 2:4 彼らはもはや__を学ばない

ホセ 2:18 この土地から弓と剣と__をなくし

テモ 6:12 信仰の__を立派に戦い、永遠の命を

戦う 代 20:17 あなたたちが__必要はない

使徒 5:39 神に対して__者となつてしまひ

ユダ 3 信仰のために真剣に__よう

正しいこと 創 18:25 裁く方は、__を行われる

詩 45:7 __を愛し、悪いことを憎んだ

ゼバ 2:3 __をせよ。温厚であるようにせよ

ペ 3:13 そこは__が行き渡ります

正しい人 詩 34:19 __は多くの苦難に遭う

詩 37:25 __が見捨てられるのを見たことも

格 24:16 __は7回倒れても、また立ち上がる

格 28:1 __はライオンのように動かない

使徒 24:15 神が__も正しくない人も復活させて

ペ 3:12 エホバは__に目を留め、祈願に耳を傾ける

正しさ イザ 26:9 地上の住民は__について学びます

正す 詩 94:12 あなたに__される人は幸せだ

ガラ 6:1 その人を優しく__ことに努めてください

立場が低い人 サ 2:8 __を地面から起き上げらせ

詩 41:1 __を思いやる人は幸せだ

竜 啓 12:9 __は投げ落とされた。初めの蛇で

立つ コ 10:12 __っていると思う人は、倒れること

建てる イザ 65:21 人々は家を__で住み

例え マタ 13:34 __を使わずに話そうとはしなかった

マル 4:2 多くのことを__で教え始め

種 伝 11:6 朝に__をまき、夕方になるまで手を

ダビデ ルカ 1:32 父__の王座を彼に与え

使徒 2:34 __は天に昇りませんでした

食べ物 ヨハ 4:34 __とは、遣わした方の望むことを

だまし取る レビ 19:13 仲間から__ってはならず

コ 6:7 なぜ__られるまにしないのですか

だます エレ 20:7 エホバ、あなたは私を__し

試す マラ 3:10 私を__してほしいと、エホバは言う

コ 10:9 エホバを__してはなりません

ヤコ 1:3 信仰の質が__されると、忍耐力が身に付く

頼る 詩 56:11 神に__。人間が私に何を行えると

詩 146:3 権力者にも人の子にも__ってはならない

格 3:5 心を尽くしてエホバに__れ

格 28:26 自分に__人は愚かであり

短気 格 14:29 __な人は愚かさをあらわにしている

探究 ペ 1:10 勤勉に__し、注意深く調査しました

誕生日 創 40:20 ファラオの__だった

マタ 14:6 ヘロデの__祝いの時

チ

地 詩 115:16 __は人間に与えられたもの

イザ 45:18 __を、人を住まわせるために形作った

血 創 9:4 __を食ってはならない。__は命だから

レビ 7:26 __は一切食ってはならない

使徒 15:29 __を避けていることです

使徒 20:28 神は自分の子の__によって買い取った

ヨ 1:7 イエスの__によって全ての罪から清め

小さなこと ルカ 16:10 ごく__に忠実な人は多くのこと

小さな群れ ルカ 12:32 __よ。父は、王国を与える

小さな者 イザ 60:22 __が千人にもなり

ルカ 9:48 より__として行動する人こそ偉い

知恵 詩 111:10 __はエホバを畏れることから始まる

格 2:6 エホバご自身が__を与えてくださるから

格 3:21 役立つ__と思考力を守れ

格 4:7 __は最も重要なもののので、__を得なさい

格 24:3 家庭は__によって築き上げられ

伝 7:12 知識や__の利点は、人の命を保たせる

伝 10:10 一方、__がある人は成功できる

マタ 11:19 __は行動によって明らかになります

ルカ 16:8 役立つ__を上手に使うのです

コ 3:19 この世の__は神にとっては愚かなもの

ヤコ 1:5 __の欠けた人があるなら、その人は神に

ヤコ 3:17 天からの__を持つ人は、第一に清く

違い マラ 3:18 神に仕える人と仕えない人の__を目に

近く 詩 145:18 ご自分に呼び掛ける人の__にいる

近づく ヤコ 4:8 神に__いてください。神は__いて

力 格 3:27 あなたに助ける__があるときに

イザ 40:29 神は疲れた人にも__を与え

イザ 40:31 エホバを待つ人は、再び__を得る

コ 4:7 普通を超えた__が、神から来る

コ 12:10 私が弱い時、私には__があるからです

フィリ 4:13 __を与えてくださる方のおかげで、強く

ペ 4:11 神が与えてくださる__に頼って

力づける ルカ 22:32 立ち直った後、兄弟を__なさい

知識 格 1:7 __はエホバを畏れることから始まる

格 24:5 人は__によって力を増す

イザ 11:9 エホバについての__が地上に満ちる

ダ 12:4 人が巡り歩き、真の__が満ちあふれます

マラ 2:7 祭司の唇は__を保つべきであり

コ 8:1 __は人を思い上げさせます

コ 10:5 神の__に逆らって立つ一切の高い障壁

地上 創 1:28 __全体に広がり、地球を管理し

詩 37:11 温厚な人は__に住み続け、豊かな平和を
詩 37:29 正しい人は__に住み続け、永遠に暮らす
格 2:21 正直な人だけが__に住み
父 マタ 6:9 天におられる私たちの__よ、お名前が
マタ 23:9 地上の誰をも__と呼んではなりません
ヨハ 10:30 私と__とは一つです
ヨハ 14:6 誰も__のもとに行くことはできません
ヨハ 14:28 __は私より偉大だからです
コロ 6:18 私はあなたたち__となり、あなたたちは
乳 イザ 60:16 国々の__を飲み、王たちの乳房を吸う
ヘブ 5:12 __を必要とする状態に逆戻りしています
ペテ 2:2 神の言葉にある__を、強く求める気持ち
父親のいない子供 詩 146:9 エホバは__を支える
秩序 テサー 5:14 __を無視する人に警告を与え
地の塩 マタ 5:13 あなたたちは__です
注意を払う 使徒 20:28 自分自身に__してください
テモ 4:16 自分自身と自分の教えに__しないさい
ヘブ 2:1 聞いた事柄に普通以上の__必要があり
仲介者 テモ 2:5 神と人間との間の__もたひどり
忠実 ルカ 16:10 小さなことに__な人は多くのことに
コ 4:2 管理人に期待されているのは__
中傷 格 16:28 __する人は親友たちを引き離す
忠誠 ヨブ 27:5 私は死ぬまで__を貫く
注目 マタ 6:1 __されようとして人前で善行をする

ツ

仕える マタ 20:28 人の子も、__ために来ました
疲れた人 イザ 40:29 神は__に力を与え
疲れる イザ 40:28 __果てることも、弱ることもない
ヘブ 12:3 __て諦めてしまうことはない
遣わす イザ 6:8 ここに私がおります！私を__して
行く ヨハ 10:27 私の羊は私に__いてきます
尽くす 詩 16:10 あなたに__人に墓穴を見せたりは
詩 37:28 ご自分に__人を見捨てることはない
コロ 3:23 エホバのためにするように、全てを__して
償う ヨ 2:2 イエスは私たちの罪を__ための犠牲
者話 テモ 1:4 __や系譜に注意を向けないよう
造る 詩 139:14 驚くほどに素晴らしく__られている
使徒 17:24 世界とその中の全ての物を__った神は
付け込む コダ 4 親切に__んで恥知らずな行いをし
都合の良い時 ルカ 4:13 悪魔は、別の__まで
伝える マタ 9:35 イエスは、王国の良い知らせを__
土 創 2:7 地面の__で人を形作り
創 3:19 あなたは__なので__に戻る
詩 103:14 私たちが__でできていることを覚えて
憤み 格 11:2 知恵は、__のある人たちと共にある
ミカ 6:8 __を持って神と共に歩むことである
テモ 2:9 __が表れたきんとした服装をすべき
綱 伝 4:12 三つよりの__は素早く断ち切ることが
翼 マタ 23:37 めんどりが__の下にひなを集めるように
妻 格 5:18 若い時からの__と喜ぶように
格 12:4 有能な__は夫の冠であり
格 18:22 良い__を見つけた人は幸せを見つけた

格 21:19 争いを好む怒りっぽい__というよりは
格 31:10 有能な__はサンゴよりもはるかに貴い
マラ 2:15 若い時からの__を裏切ってはならない
エフ 5:33 __は夫を深く敬うべきです
つまずく 詩 119:165 律法を愛する人は__かない
罪 創 39:9 神に対して__を犯すことなど
サニ 12:13 私はエホバに対して__を犯しました
王 8:46 __を犯さない人は一人もいません
イザ 38:17 私の全ての__をご自分の後ろに投げ捨て
イザ 53:12 彼は多くの人の__を担い
エレ 31:34 彼らの__をもはや思い出さない
マタ 5:29 もし右目があなたに__を犯せているなら
マタ 18:15 あなたと彼の間だけで__を明らかに
ヨハ 8:34 __を犯す人は皆、__の奴隷です
ロマ 5:12 1人の人によって人類に__が入り
ロマ 6:23 __の代償は死です
ヤコ 4:17 知っているのに行わないなら、__です
罪人 ロマ 3:23 全ての人は__になったので
ロマ 5:8 私たちがまだ__だった間に、死んで
露 申 32:2 私の言葉は__のように滴る
詩 110:3 あなたが率いる若者たちは、__のよう
強くする イザ 35:3 弱った手を__し、震える膝を
イザ 41:10 私はあなたを__し、必ず助ける
コ 1:8 神は、皆さんを__して支え
剣 格 12:18 心ない発言は__のように突き刺し
イザ 2:4 __をすきに、やりを鎌に作り替える
マタ 26:52 __を取る人は皆、__で滅びます
エフ 6:17 聖なる力の__つまり神の言葉を
ヘブ 4:12 神の言葉はどんな両刃の__よりも鋭く

テ

手 詩 145:16 あなたは__を開いて、願いをかなえる
敵 詩 110:2 __の中に入っている__を征服し
マタ 5:44 __を愛し続け、迫害する人のために祈り
マタ 10:36 自分の家の人たちが__になる
ロマ 12:20 __が飢えているなら、食べさせましょう
敵意 創 3:15 あなたと女の間に__を置く
適正 コ 14:40 全てのことを__に、取り決めに沿って
適切な時 格 15:23 __に話される言葉は、何と良い
格 25:11 __に話される言葉は、金のリンゴのようだ
敵対 ロマ 8:31 誰が私たちに__できるでしょうか
適度 エレ 30:11 あなたを__に矯正し、処罰せずには
手口 コ 2:11 サタン__を知らないわけでは
出口 コ 10:13 __を設けて、誘惑に耐え切れるよう
弟子 マタ 19:21 来て、私の__になりなさい
マタ 28:19 全ての国の人々を__としなさい
ヨハ 8:31 私の教えを守るなら、本当に私の__であり
ヨハ 13:35 愛があれば、私の__であることを
出過ぎたこと 詩 19:13 __をしないようどめて
格 11:2 __をすると、恥をかく
出過ぎる サー 15:23 __た行動は偶像を使うのと同じ
鉄 格 27:17 __が__を研ぐように
哲学 コロ 2:8 __に捕らわれてしまうことがないよう
徹底的 使徒 28:23 神の王国について__に教えて

手本 ペー 2:21 キリストは皆さんに__を示しました
 出る 啓 18:4 私の民よ、彼女から__なさい
 天 詩 19:1 __は神の栄光を知らせ
 ヨハ 3:13 誰も__に上ったことはありません
 コロ 3:2 __の事柄について考え続けよう
 天使 創 28:12 __たちが上下下りしていた
 王二 19:35 エホバの__が18万5000人を討った
 詩 34:7 エホバの__は神を畏れる人の周りに
 ダニ 3:28 __を遣わして、ご自分に仕える者を救った
 マタ 22:30 復活の際、__のようにになります
 マタ 24:31 __たちは、選ばれた者たちを集めます
 使徒 5:19 __が牢屋の戸を開き
 ヘブ 13:2 知らずに__たちをもてなしました
 ペー 1:12 __たちはそうした事柄を詳しく知りた
 ユダ 6 自分の居場所から離れた__たちを
 啓 5:11 __の数は数万の数万倍、数千の数千倍
 天使長 ユダ 9 __ミカエルは、悪魔と意見が
 天での体 コー 15:44 __で生き返らされます
 伝統 マタ 15:3 __によって神のおきてを破っている
 マル 7:13 __によって神の言葉を否定している
 伝道 ロマ 10:14 __する人がいなければ、どうして聞け
 伝道者 ペニ 2:5 正しいことの__ノアを
 天幕 詩 15:1 あなたの__にとどまるのは誰ですか
 使徒 18:3 一緒に働いた__作りが職業だった
 啓 21:3 神の__が人々と共にあり、神は人々と共に

ト

塔 格 18:10 エホバの名は強固な__
 ルカ 13:4 シロアムの__が倒れて死んだ18人は
 ルカ 14:28 __を建てようと思う場合、まず座って
 動機 16:2 エホバは__を調べる
 陶芸家 イザ 64:8 私たちは粘土で、あなたは__です
 洞察力 格 19:11 __があればすぐに怒ることはない
 ダニ 12:3 __がある人たちは、明るく輝きます
 同情 ヘブ 4:15 弱さに__できないような方では
 同性愛 コー 6:9 __にふける人は、王国を授けられない
 同等 フィリ 2:6 キリストは神と__になろうなどと
 動物 伝 3:19 人にも__にも終わりがあ
 ホセ 2:18 野生__と契約を結び
 動揺 テサニ 2:2 __して分別を失ったり、慌てたり
 時 伝 3:1 何事にも__がある
 ダニ 2:21 神は__や時期を変え
 使徒 1:7 天の父の権限で定められた__や時期に
 コー 7:29 残された__は少なくなっています
 解く マタ 18:18 地上で__ものは天ですでに__かれて
 特別な所有物 出 19:5 選ばれて私の__となる
 とげ ホセ 13:14 死よ、さあ、__で刺してみよ
 コニ 12:7 私は、体に1つの__を刺されました
 年 詩 92:14 __を取っても衰えない
 土台 ルカ 6:48 岩の上に__を据えた人のよう
 コー 3:11 __はイエス・キリストです。ほかの__を
 突然 ルカ 21:34 その日が全く__に訪れます
 どっち付かず 王一 18:21 __の態度を取っている

整う テモニ 3:17 良い活動を行う用意が__います
 扉 コー 16:9 活動への大きな__が開かれています
 戸惑う ペー 4:4 人々は__い、皆さんのことを悪く
 富 格 11:4 __は激怒の日には何の役にも立たないが
 格 18:11 __は想像の中では防壁である
 友 詩 25:14 ご自分を畏れる人を親しい__とし
 格 14:20 裕福な人は__が多い
 格 17:17 真の__はどんな時にも愛を示す
 格 18:24 兄弟以上の絆で結ばれる__もいる
 格 27:6 忠実な__は傷を負わせ
 ゼカ 14:13 __の手に対して手を上げる
 ルカ 16:9 この世の富によって__をつくり
 ヨハ 15:13 __のために自分の命をなげうつこと
 ヨハ 15:14 命じていることを行うなら、私の__です
 ヤコ 2:23 アブラハムはエホバの__と呼ばれ
 捕らわれている人 ヘブ 13:3 __たちのことを覚えて
 鳥 マタ 6:26 __をよく観察しなさい
 とりで 詩 18:2 エホバは私の大岩、私の__
 努力 ペニ 1:5 真剣な__を尽くして
 取り分ける コー 16:2 毎週の初めの日に、__でおく
 捕る ルカ 5:10 あなたは人を生きたまま__のです
 取るに足りないもの コー 1:28 神は、__を選んで
 奴隷 マタ 6:24 神と富との__にはなれません
 マタ 24:45 忠実に思慮深い__はいったい誰
 マタ 25:21 よく頑張りました! 忠実な良い__です
 泥棒 テサー 5:2 エホバの日が忍び込む__のように
 食欲 ルカ 12:15 あらゆる__に警戒しなさい

ナ

名 出 20:7 神エホバの__をむやみに用いては
 サー 17:45 大軍を率いるエホバの__によって向かって
 格 18:10 エホバの__は強固な塔
 格 22:1 多くの富よりも良い__を選べ
 伝 7:1 良い__は良い油よりも価値がある
 エゼ 39:25 私の聖なる__を熱心に擁護する
 マラ 1:11 国々の中で私の__が偉大なものとなる
 ルカ 21:12 私の__のために王や総督の前に連れて
 ヨハ 14:14 私の__によって何か願い求めるなら
 使徒 4:12 その方の__によってしか救いは得られない
 使徒 5:41 イエスの__のために辱められるという栄誉
 使徒 15:14 ご自分の__のための民を取り出した
 ロマ 10:13 エホバの__を呼ぶ人は皆救われる
 内幕 格 20:19 中傷する人は__のことを漏らして
 格 25:9 聞いた__の話を明かしてはならない
 アモ 3:7 __のことを預言者に啓示してから
 内面 ロマ 7:22 __では神の律法を本当に喜んでいま
 コニ 4:16 __は日々新しくされていく
 エフ 3:16 皆さんの__を強くしてくださいように
 治す ルカ 10:9 病気の人を__し、神の王国は近くに
 使徒 5:16 その人たちは一人残らず__された
 仲直り マタ 5:24 仲間と__し、それから戻ってきて
 慰め ロマ 15:4 聖書から__を得られる
 コニ 1:3 神は、あらゆる__の神であり
 慰める イザ 61:2 嘆き悲しむ人全てを__

マタ 5:4 嘆き悲しむ人たちは幸福です。__られる
 コニ 1:4 試練に遭う人も__ことができます
 嘆き悲しむ エゼ 9:4 __んでいる人の顔に、印を
 夏 マタ 24:32 葉を出すと、__が近いことが分かります
 納得 テモニ 3:14 学び、__して信じるようになった
 名前 ガラ 6:3 __でもないのに、自分は大神した者だと
 何前 マタ 6:9 お__が神聖なものとされまうように
 ヨハ 17:26 私はあなたのお__を彼らに知らせました
 怠け者 格 10:26 __は、目に煙のようなもの
 格 20:4 __は冬に耕さず、収穫期に物乞いをする
 生ぬるい 啓 3:16 __く、熱くも冷たくもない
 涙 王ニ 20:5 あなたの__を見た。あなたを癒やそう
 詩 126:5 __を流しながら種をまく人は
 伝 4:1 虐げられている人の__を見た
 啓 21:4 神は人々の目から全ての__を拭い去り
 做う コー 11:1 キリストに__っている私に__って
 エフ 5:1 子供として、神に__ってください
 なる 出 3:14 私は自分が__ろうとするものと__
 難破 テモニ 1:19 船が__するかのように信仰を失い

二

荷 詩 68:19 毎日私たちの__を負ってくださるエホバ
 マタ 11:30 私が負わせる__は軽いのです
 ルカ 11:46 担うのが大変な__を人に負わせますが
 ガラ 6:5 人はそれぞれ、自分の__を負うのです
 肉体 ヨブ 33:25 彼の__を若い頃よりも元気にし
 コー 15:50 __は神の王国を受けることができず
 憎む 格 6:16 エホバが__ものが6つある
 マタ 24:9 私の名のために人々から__まれます
 ルカ 6:27 あなたたちを__人に善を行い続け
 ヨー 3:15 兄弟を__人は皆、人殺しです
 逃げる コー 6:18 性的不道徳から__りなさい!
 虹 創 9:13 __を懸ける。契約のしるしである
 偽キリスト マタ 24:24 __や偽預言者が現れ
 偽預言者 マタ 7:15 羊のふりをしてやって来る__に
 マタ 24:11 __が現れ、多くの人を惑わします
 似た者 創 1:26 私たちに__として人を造ろう
 担う ロマ 15:1 強くない人の弱いところを__べき
 鈍い ヘブ 5:11 聞く力が__くなっている
 妊娠 出 21:22 __している女性にぶつかってけがを
 忍耐 ルカ 21:19 __によって命を受けます
 ロマ 12:12 苦難に遭っても__しましょう
 ヤコ 1:4 __がその役割を果たす時
 忍耐力 ロマ 5:3 苦難によって__が身に付く

又

盗む コー 6:10 __人が神の王国を授けられることは
 エフ 4:28 __んでいる人は、もう__んではなりません

ネ

願い 詩 37:4 神は心の__をかなくてくださる
 詩 145:16 生きている全てのものの__をかええる
 願い出る ロマ 8:34 イエスが、私たちのために__て
 ねたましい 詩 73:3 高慢な人を__く思った

熱意 ロマ 10:2 その__は正確な知識によるものでは
 熱心 イザ 37:32 大軍を率いる__な神エホバが
 寝床 詩 4:4 言いたいことは__で心の中で言い
 根に持つ コー 13:5 愛は傷つけられても__ちません
 年 申 16:16 __に3回、全ての男性は神の前に出る
 年月を経た方 ダニ 7:9 __が座った
 粘土 イザ 64:8 私たちは__て、あなたは陶芸家です

ノ

ノア マタ 24:37 臨在の時は__の時代ようになります
 能力 マタ 25:15 各自の__に応じて与えて
 ロマ 12:6 それぞれ違う__を持っている
 残っている人 啓 12:17 子孫のうちの__たちと戦う
 除く コー 5:13 皆さんの中から悪い人を__きなさい
 望む マタ 7:21 私の父の__ことを行う人だけが入り
 ヨハ 6:38 私を遣わした方の__ことを行うため
 ロマ 7:18 善いことをしたいと__んではいても
 飲み物の捧げ物 フィリ 2:17 __のように注ぎ出される

ハ

はい マタ 5:37 __は、__を、いいえは、いいえを
 排せつ物 申 23:13 外で__を覆うべきです
 パウロ 「サウロ」も参照 コー 1:12 私は__に従う
 墓 ヨブ 14:13 私を__に隠してください!
 伝 9:10 __では、働くことも学ぶこともできない
 ホセ 13:14 私は__から彼らを救い出す
 使徒 2:31 キリストが__に見捨てられず
 啓 20:13 死と__もその中の死者を出し
 ばか騒ぎ ガラ 5:21 酩酊、__、こうした事柄を習慣に
 はかり レビ 19:36 正確な__、正確な重りを使うべき
 量る ルカ 6:38 __って与えるのと同じはかりで、人から
 履物 エフ 6:15 良い知らせを伝える用意として__を
 迫害 マタ 5:10 __されてきた人たちは幸福です
 ヨハ 15:20 私を__したのであれば、あなたたちも
 ロマ 12:14 __する人のために祝福を願い続け
 コニ 4:9 __されながらも、見捨てられているわけ
 白髪 格 16:31 __は美しい冠である
 はげ頭 王ニ 2:23 __、上っていけ! __、上っていけ
 励まし合う ロマ 1:12 皆さんと私の信仰によって__
 ロマ 14:19 __助けになることを何でも行いましょう
 ヘブ 10:25 いつも__いましょう。定められた日が
 励ます テト 1:9 教えるによって__ことも、戒める
 励み コー 10:23 全てのことが__になるわけでは
 箱船 創 6:14 樹脂の多い木で__を造りなさい
 恥知らずな行い ガラ 5:19 性的不道徳、__
 始まり ゼカ 4:10 小さな__の日を軽く見たのは誰か
 マタ 24:8 これら全ては苦しみの激痛の__です
 柱 出 13:22 昼は雲の__が、夜は火の__が
 テモニ 3:15 神の会衆であり、真理の__また支えです
 走り方 コー 9:24 賞を得られるような__をして
 コー 9:26 どこに向かっていくか分からない__
 恥じる ロマ 1:16 私は良い知らせを__てはいません
 ペー 4:16 苦しみを受けるのであれば、__ては

畑 マタ 13:38 __は世界です
 ヨハ 4:35 __を見なさい。もう色づいて収穫でき
 働き手 格 8:30 優れた__として神のそばにいた
 働く ヨハ 5:17 父は今までずっと__いてきました
 コー 3:9 私たちは神と共に__者
 テサー 2:9 負担を掛けないう、昼も夜も__きました
 テサニ 3:10 __こうとしない人は食べてはならない
 蜂蜜 格 25:27 __を食べ過ぎるのは良くない
 初子 コロ 1:15 全創造物の中の__です
 ハデス「墓」参照
 ハト マタ 3:16 神の聖なる力が__のように下って
 マタ 10:16 蛇のように用心深く、__のように純真なこと
 離れる 使徒 17:27 神は、私たちから遠く__ては
 母 ルカ 8:21 私の__とは、神の言葉を聞いて実行する
 母親 格 23:22 __が年を取っても、軽んじては
 ヨハ 19:27 弟子に言った。見なさい、あなたの__です
 テサー 2:7 乳児を優しく世話する__のように
 ハビロン エレ 51:6 __の中から逃げなさい
 エレ 51:37 __は、がれきの山となり
 啓 18:2 大いなる__は倒れました!
 バプテスマ マタ 3:13 イエスは、ヨハネから__を受ける
 マタ 28:19 父と子と聖なる力の名によって__を施し
 ルカ 3:3 悔い改めを象徴する__について伝道した
 使徒 2:41 __を受け、その日に約3000人が
 使徒 8:36 私が__を受けられない理由が何か
 パラダイス ルカ 23:43 あなたは私と共に__にすることは
 かに超えた事柄 エフ 3:20 __を行うことができ
 ハルマゲドン 啓 16:16 ヘブライ語で__と呼ばれる場所
 パン マタ 4:4 人は、__だけではなくエホバの言葉に
 マタ 6:11 今日、この日のための__をお与え
 反逆 詩 78:40 人々は何度荒野で神に__し
 反対 テサー 2:2 厳しい__に遭いながらも良い知らせ
 反対者 ルカ 21:15 __は抵抗も反論もできません
 パン種 マタ 13:33 天の王国は__のようです
 コー 5:6 少しの__が生地全体を発酵させる

ヒ

火 コー 3:13 試練の日に、__によって判明する
 緋 イザ 1:18 罪は__のようだが、雪のように白く
 光 詩 36:9 あなたの__によって私たちは__を
 詩 119:105 あなたの言葉は私の進む道を照らす__
 マタ 5:16 あなたの__を人々の前に輝かせなさい
 光る フィリ 2:15 世の中で__り輝き
 引き綱 マタ 13:47 天の王国は、__のようです
 引き離す ロマ 8:39 神の愛から私たちを__ことは
 引き寄せる ヨハ 6:44 父が__てくだらない限り
 秘訣 フィリ 4:12 あらゆる状況でやっていく__を学び
 額 エゼ 9:4 嘆き悲しむ人の__に、印を付けなさい
 必死 エレ 17:9 心は信用できず、__になる
 羊 詩 100:3 私たちは神の民、神の牧草地の__
 イザ 53:7 __のように、殺されるために連れて
 マタ 25:32 羊飼いが__をヤギから分けるように
 羊飼 い イザ 40:11 神は__のように群れを世話する

マタ 9:36 __のいない羊のように痛めつけられ
 ヨハ 10:11 立派な__は羊のために命をなげうちます
 ヨハ 10:14 立派な__で、自分の羊を知っており
 ヨハ 10:16 1つの群れ、1人の__となります
 必要 マタ 6:32 父は、__と知っていることを知っています
 ロマ 12:3 自分のことを__以上に考えては
 必要な物 テモ 5:8 自分の家族に__を与えないなら
 否定 テト 1:16 行いによって神を__しています
 否定的 テト 2:8 何も__なことを言えなくなり
 人 エゼ 18:4 罪を犯す__は、死ぬことになる
 人殺し ヨハ 8:44 その者は始まりから__で
 日と時刻 マタ 24:36 その__については誰も知りません
 人の子 ダニ 7:13 天の雲と共に__のような者が来た
 ルカ 21:27 __が大きな栄光を帯びて雲と共に来る
 瞳 詩 17:8 私をあなたの__のように守って
 ゼカ 2:12 触れる者たちは私の__に触れている
 独り ヨハ 8:29 私を__だけにはしませんでした
 ヨハ 16:32 私は__ではありません
 ひとり コー 8:6 __の神がいて、__の主イエス
 独り子 ヨハ 3:16 __を与えるほどに人類を愛した
 非難 マタ 5:11 私のために__されるとき、幸福です
 テト 1:7 監督は、__されるときがあっては
 避難所 詩 9:9 エホバは虐げられている人の__
 避難の町 民 35:11 都合の良い町を選び、__とすべき
 火の湖 啓 19:20 硫黄が燃える__に投げ込まれた
 批判 テモ 5:1 年長の男性を__してはなりません
 秘密 格 11:13 信頼できる人は__を守る
 百倍 マル 10:30 この時期には__を得ます
 費用 ルカ 14:28 座って__を計算し
 病氣 詩 41:3 __の間、あなたは彼の世話をする
 イザ 33:24 私は__だ、と言う住民はいなくなる
 イザ 53:4 彼はまさしく私たちの__を担い
 マタ 9:9 イエスはあらゆる__や不調を治した
 ヤコ 5:14 __の人は会衆の長老たちを呼んで
 広場 使徒 17:17 __に居合わせる人々と論じ始めた
 広める テモニ 4:2 神の言葉を__なさい。順調な時も

フ

封印 ダニ 12:9 言葉は終わりの時まで、__される
 不快 エフ 4:29 __な言葉を口から出してはなりません
 深い ロマ 11:33 神の知恵と知識は何と__のでしょう
 深さ エフ 3:18 真理の__を十分に理解できるように
 不活発 ペニ 1:8 __になったり実を結ばなくなったり
 武器 イザ 54:17 どんな__も役に立たず
 武具 エフ 6:11 神からの__を全て身に付けましょう
 福音伝道者 テモニ 4:5 __として働き
 復讐 申 32:35 __は私がすることであり、報復も
 ロマ 12:19 __してはなりません。__は私がする
 不幸 ロマ 12:14 祝福を願うのであって、__を願って
 不公平 申 10:17 神は、誰をも__に扱わず
 使徒 10:34 神が__ではないことがよく分かりました
 ふさわしい人 マタ 10:11 __を探し出し

ふさわしく フィリ 1:27 良い知らせに__振る舞うこと
侮辱 ヨブ 2:5 面と向かってあなたを__します
ヨブ 2:9 妻は言った。神を__して死んで
ペー 2:23 __されても、仕返しをしたり
不正 ロマ 9:14 神に__なところはありません
普通 使徒 4:13 2人が教育のない__の人である
復活 マタ 22:30 __の際、男性も女性も結婚しません
ヨハ 5:29 良いことをした人は命の__へ、悪いことを
ヨハ 11:25 私は__であり、命です
使徒 2:24 神は、この方を__させました
使徒 24:15 正しい人も正しくない人も__させて
不当 格 15:27 __な利益を得る人は苦しい目に遭う
コー 6:7 __な扱いを受けるままにしないのですか
ぶどう酒 レビ 10:9 会見の天幕に入る時は__を
詩 104:15 心を喜びで満たす__を
格 20:1 __によってばかげたことをし
伝 10:19 __は人生を楽しむものにする
イザ 25:6 上等の__の宴を催す
テモ 5:23 胃のために__を少し飲むとよい
懐 イザ 40:11 腕で子羊を集め、__に抱いて運ぶ
不法 マタ 24:12 __なことが増えるために、愛が冷え
不法な者 ルカ 22:37 彼は__たちと共に数えられた
不法の者 テサニ 2:3 背教が生じて、__が明らかにされ
不満 フィリ 2:14 __を口にしたり言い争ったりせずに
コロ 3:13 誰かに__を感じるとしてもです
不明瞭 コー 14:8 ラッパの出す合図が__であれば
古い人格 コロ 3:9 __とそれに伴う習慣を脱ぎ捨て
振る舞い ペー 3:1 言葉ではなく妻の__によって
ペー 3:16 良い__を見て恥ずかしく思う
触れる イザ 52:11 汚れたものには一切__な!
コロ 6:17 離れなさい。汚れたものに__のをやめ
分 民 18:20 私があなたの__であり、私が養う
分派 テト 3:10 __を生じさせる人については、退け
分別 フィリ 4:5 __があることが全ての人に知られる
分裂 マタ 10:35 __を生じさせるために来た
コー 1:10 __があってはなりません



平和 詩 37:11 豊かな__をこの上なく喜ぶ
詩 72:7 __が行き渡る。月がなくなる時まで
詩 119:165 豊かな__は律法を愛する人のもの
格 17:1 __な所で1切れの乾いたパンを食べる方が
イザ 48:18 __は川の流れるように豊かになり
イザ 57:21 悪悪な者たちに__はない
エレ 6:14 __だ! と言う。__ではないにもかかわらず
マタ 5:9 __をつくる人たちは幸福です
マル 9:50 互いに__を保ちなさい
ロマ 5:1 イエスを通して神との__を楽しみましょう
ロマ 12:18 どんな人とも__な関係でいるように
ロマ 14:19 __に役立つことを何でも行いましょう
フィリ 4:7 神からの__が、皆さんの心と考えを守り
テサニ 5:3 __だ、安全だ! と言っている時に、突然
平和の契約 エゼ 34:25 __を結び、どう猛な野獣を
平和の統治者 イザ 9:6 永遠の父、__と呼ばれる

ペール コニ 3:15 彼らの心に__が掛かっています
バツレヘム ミカ 5:2 __・エフラタよ、統治者になる者
変化 ロマ 12:2 自分を__させましょう
返事 格 18:13 聞かないうちに__をする人は、愚か
弁明 ペー 3:15 いつでも__できるよう、準備して

ホ

法 詩 94:20 __の名の下に問題を巻き起こしている
暴言 エフ 4:31 憤り、わめき、__などを捨て去って
報告 レビ 5:1 証人である人が、__しないなら、罪を
格 25:25 遠い土地からの良い__は、冷たい水のように
奉仕 コニ 4:1 憐れみによってこの__をしている
コロ 6:3 __が非難されることにならないため
テモ 4:5 自分の__を十分に行いなさい
奉仕者 マル 10:43 偉くなりたい人は__でなければ
コロ 6:4 あらゆる点で自分を神の__として推薦し
法廷 ダニ 7:10 __が開廷し、書物が開かれた
マル 13:9 地方__に引き渡され、会堂で打ちたたかれ
コー 6:6 兄弟を訴えるために__に行き
法的権利 フィリ 1:7 良い知らせを広める__を得るため
冒瀆 マル 3:29 聖なる力を__する人は
放免 ロマ 6:7 死んだ人は罪から__されている
暴力 詩 5:6 エホバは、__的で人を欺く者を嫌う
詩 11:5 エホバは__を愛する人を憎む
類 マタ 5:39 右の__を平手打ちする人には、もう一方
ほかの羊 ヨハ 10:16 __がいますが、この囲いの
牧者 詩 23:1 エホバは私の__。何も不足しない
誇り 格 8:13 私は、思い上がりや__を憎む
格 16:18 __は崩壊につながり、傲慢な精神は転落に
誇る コー 1:31 __人はエホバについて__べきです
星 詩 147:4 神は__の数を数え、__を名で呼ぶ
保証 使徒 17:31 復活させて全ての人に__を与え
保証人 格 11:15 __になるなら苦しい目に遭う
骨 創 2:23 これこそ私の__の__、私の肉の肉
王二 13:21 エリシャの__に触れると、生き返り
詩 34:20 その人の__を全て守る。1本も折られ
エレ 20:9 __の中に閉じ込められた火のように
ヨハ 19:36 __は一つも折られない
骨組み ロマ 2:20 真理の__を持っていると
捕虜 コニ 10:5 一切の考えをいわば__にし
滅び テサニ 1:9 永遠の__という処罰を受け
ペニ 3:7 神を敬わない人々の__の日に

マ

まいているもの ガラ 6:7 人は自分が__を刈り取る
毎日 使徒 17:11 聖書を__注意深く調べた
まき 格 26:20 __がなければ火は消え、中傷する人
巻物 啓 20:12 数々の__が開かれた。命の__も
マケドニア 使徒 16:9 __へ渡ってきて助けてください
マゴグ エゼ 38:2 __の地のゴグに厳しい顔を向け
啓 20:8 ゴグと__を惑わし、戦争のために集める
魔術 使徒 19:19 __の書物を持ち寄って、燃やした
貧しい 詩 9:18 __人が忘れられたままでいること

詩 69:33 エホバは__人たちの言葉を聞いて
 格 30:8 私を__くも祝福にもしないでください
 貧しくなる 格 30:9 __って盗みを働き
 待つ 詩 37:7 辛抱して神を__て
 ミカ 7:7 救いの神を辛抱強く__。神は聞いて
 全くの専心 出 34:14 エホバは__を要求する
 祭り レビ 23:4 エホバの季節ごとの__、聖なる大会
 まひ ルカ 5:24 __した男性に言った。起きて担架を
 幻 ダニ 10:14 __は将来に関するものだからです
 守る ヨハ 14:15 私を愛しているなら、おきてを__り
 フィリ 3:1 同じことを書いているのは、__ため
 迷い出る 詩 119:176 __た羊のようにさまよっている
 マリア ルカ 10:42 __は良いものを選びました
 ヨハ 12:3 __は、非常に高価な香油を注ぎ
 丸い地 イザ 40:22 __の上に住む方がいる
 マルタ ルカ 10:41 __、あなたは心をかき乱されて
 満足 フィリ 4:11 どんな状況でも__することを学び
 テモ 6:8 食物と衣服があれば、__します
 ヘブ 13:5 今あるもので__しましょう

ミ

実 創 3:3 庭園の真ん中にある木の__について
 マタ 7:20 __によって見分けられるのです
 マタ 21:43 望ましい__を生み出す国民に与え
 ルカ 8:15 耐え忍んで__を結ぶ人です
 ヨハ 15:8 多くの__を結ぶことによって、父は称赞を
 見えない方 コニ 3:17 エホバは目に__であり
 見えないもの コニ 4:18 __目を留めます
 ミカエル ダニ 12:1 偉大な長__が行動を起こします
 啓 12:7 __と天使たちが竜と戦った
 見掛け ヨハ 7:24 __で載のをやめ
 右手 イザ 41:10 正義の__であなたをしっかりと支える
 マタ 6:3 __がしていることを左手に知らせては
 見極める フィリ 1:10 皆さんがより重要なことを__
 ヨー 4:1 神からのものかどうかを__て
 惨め コー 15:19 今の命しかないなら、誰よりも__に
 水 格 25:25 疲れた人にとっての冷たい__のようだ
 見過ごす ハバ 1:13 あなたは悪を__ことが
 水ため 格 5:15 あなた自身の__から水を飲め
 見捨てる 申 31:8 エホバが__たりはしません
 サー 12:22 エホバは、民を__ことはしません
 詩 37:28 エホバはご自分に尽くす人を__ことはない
 マタ 24:46 私の神、なぜ私を__たのですか
 ヘブ 13:5 私はあなたを離れず、あなたを__ない
 見せびらかす ヨー 2:16 持ち物を__ことは
 道 格 4:18 正しい人たちの__は夜明けの光のようだ
 格 16:25 正しい__に思っても、最終的に死に至る道
 イザ 30:21 これが__である。この__を歩みなさい
 ヨハ 14:6 私は__であり、真理であり、命です
 使徒 9:2 この__に従う人を見つけたら
 満ちあふれる ルカ 6:45 心に__ているものが口から
 満ち足りる 格 30:9 私が__てあなたを裏切り
 導く エレ 10:23 自分の歩みを__ことができない

見張る マタ 26:41 ずっと__っていて絶えず祈り
 見守る エフ 5:15 歩み方をしっかりと__りましょう
 耳 テモニ 4:3 __をくすぐるような話をしてもらう
 耳が聞こえない人 イザ 35:5 __は聞こえるようになる
 マル 7:37 __を聞こえるようにする
 耳を傾ける マラ 3:16 エホバはじつと__ていた
 ヤコ 1:19 人の言うことに進んで__べき
 見る ヨハ 1:18 これまで神を__た人はいない
 ヨハ 14:9 私を__た人は、父をも__たのです
 見分ける ヘブ 5:14 正しいことも悪いことも__

ム

無価値 詩 101:3 私は__なものを目の前に置かない
 無感覚 マル 3:5 人々の心が__なのを深く悲しんで
 報い 格 27:12 経験のない人は当然の__を受ける
 ダニ 12:13 日々の終わりに、__を受けるために
 無償 啓 22:17 命の水を__て飲みなさい
 結び合わせたもの マタ 19:6 神が__を、人が離して
 結び付く コニ 6:14 クリスマスでない人__いて
 啓 14:13 主と__いて死ぬ人たちは幸福です
 無駄 コー 15:58 主のために働くことは__ではない
 むち 格 13:24 __を控える人は子供を憎んでいる
 無秩序 コー 14:33 神は__の神ではなく、平和の神
 むなし 伝 1:2 何と__ことか! 全ては__!
 エフ 4:17 __考えに従って歩んではなりません
 胸当て エフ 6:14 正義の__を着け
 むやみに用いる コー 9:18 私の権威を__ことなく

メ

目 代ニ 16:9 エホバは、世界中に__を行き届かせて
 詩 115:5 __があっても、見ることはできない
 格 15:3 エホバの__はあらゆる所にあって
 ハバ 1:13 あなたの__は清いので、悪を見続けること
 マタ 5:38 __には、歯には歯
 マタ 6:22 __の焦点が合っていれば、体全体が明るい
 酩酊 コー 6:10 __する人が王国を授けられることは
 目が見えない マタ 15:14 __案内人です
 目が見えない人 レビ 19:14 __の前に障害物を置いて
 イザ 35:5 __は見えるようになり
 メシア ダニ 9:25 指導者である__が現れるまでに
 ヨハ 4:25 __が来ることを知っています。キリストと
 目に見えない方 ヘブ 11:27 __を見ているように
 メルキゼデク 創 14:18 サレムの王__は、祭司だった
 詩 110:4 永遠に祭司、__のような祭司
 目を覚ます コー 16:13 __していきましょう。信仰を
 テサー 5:6 __して、頭がさえた状態を保ち

モ

燃える ロマ 12:11 聖なる力によって熱意に__
 燃える炭 ロマ 12:20 __をその人の頭の上に積み
 黙想 詩 19:14 心の__を喜んでくださいますように
 もてなす ルカ 10:40 マルタは__ための種々の用事に
 ロマ 12:13 人を__ことに努めましょう
 テト 1:7, 8 監督は、人をよく__し

求める マタ 6:8 父は、__前から、必要とするもの
 マタ 7:7 __続けなさい。そうすれば与えられます
 戻る ヨエ 2:12 心を尽くして私のものに__れ
 マラ 3:7 私のものに__ってきなさい。私も
 模範 ヨハ 13:15 私はあなたたちのために__を示し
 ペー 5:3 群れの__となりましょう
 燃やす 使徒 19:19 書物を持ち寄って、皆の前で__し

ヤ

矢 詩 127:4 強靱な人の手にある__のようだ
 約束 王ー 8:56 神がなさった__は、一言といえ
 コニ 1:20 神の__は、キリストによって、はいと
 ヘブ 10:23 __してくださったのは信頼できる方だから
 役立つ テモニ 3:16 聖書全体は、__ちます
 役に立たない ルカ 17:10 私たちは__奴隷です
 養う ヨハ 21:17 私の小さな羊を__いなさい
 ヤハ 出 15:2 私の強さ、私の力は__
 詩 146:1 __を賛美せよ!
 詩 150:6 生きている全てのものは__を賛美せよ
 啓 19:1 __を賛美しなさい!
 間 ヨエ 2:31 太陽は__に変わる
 ヨハ 3:19 人々は光ではなく__を愛した
 エフ 4:18 思考が__に覆われていて
 ペー 2:9 __から輝かしい光の中に招き入れて
 やり方 コー 4:17 私の__を皆さんに思い出させる

ユ

勇気 ヨシ 1:7 __を出し、__に強くありなさい
 使徒 28:15 パウロは兄弟を見たと、__づけられた
 優柔不断 ヤコ 1:8 __で、何をするにも不安定です
 有能な女性 格 31:29 __は多いが、あなたは誰より
 裕福 レビ 19:15 __な人を優遇したりしてはならない
 格 30:8 私を貧しくも__にもしないでください
 テモー 6:9 __になろうとする人たちは、誘惑と
 誘惑 格 7:21 甘い言葉で__する
 マタ 6:13 __に陥らせないで、悪悪な者から救い出し
 コー 10:13 多くの人が同じように経験してきた__です
 ゆがめる コニ 4:2 神の言葉を__たり
 雪 イザ 1:18 緋のようだが、__のように白くされる
 ユダ 創 49:10 王笏は__から離れず
 マタ 27:3 __は後悔し、銀30枚を返して
 豊かに 詩 72:16 地上には穀物が__実り
 委ねる ペー 2:23 正しく裁く方に自分を__ました
 ユダヤ人 ゼカ 8:23 1人の__の長い服をつかむ
 コー 9:20 __に対しては__のようになりました
 指 出 31:18 神の__によって書かれた石板
 ユリ ルカ 12:27 __がどのように育つかを考えなさい
 揺るぎない愛 サニ 22:26 __を示す人に、__を示す
 詩 136:1-26 神の__は永遠に続く
 ホセ 6:6 私が喜ぶのは犠牲ではなく、__である
 ミカ 6:8 公正を守り、__を抱き
 許す ネヘ 9:17 あなたは快く__神で、思いやりと
 詩 25:11 __してください。私の大きな過ちを
 格 17:9 違反を__人は愛を示しており

イザ 55:7 神は寛大に__してくださる
 マタ 6:14 人の過ちを__なら、天の父も
 コー 6:12 全てのことが__されていますが
 コロ 3:13 エホバが寛大に__してくださった

ヨ

世 ヨハ 15:19 __の人々のようではないので、__から
 ヨハ 17:16 彼らも__の人々のようではありません
 ヨー 2:15 __も、__の中のものも、愛しては
 ヨー 2:17 __も、__の欲望も、過ぎ去りつつあります
 善い ロマ 5:7 __人のためなら、死のうとする人が
 ロマ 7:19 自分が願っている__事柄は行わず
 ガラ 6:10 兄弟姉妹に、__ことを行いましょう
 良い知らせ マタ 24:14 王国の__は、世界中で伝え
 ルカ 4:43 ほかの町にも神の王国の__を広めなければ
 ロマ 1:16 私は__を恥じてはいません
 コー 9:23 全てのことを、__のために行います
 用意 マタ 24:44 __ができていることを示しなさい
 擁護 フィリ 1:7 良い知らせを__し、法的権利を得る
 容姿 サー 16:7 __や背の高さに注目してはいけない
 養子 ロマ 8:15 聖なる力により__された
 ロマ 8:23 贖いによって解放されて__になる
 用心深い 格 14:16 賢い人は__く、悪から遠ざかり
 マタ 10:16 蛇のように__く、ハトのように純真
 予期 マタ 24:44 人の子は__しない時刻に来るから
 抑制力 テサニ 2:7 __となつている者が除かれる時まで
 欲望 コー 2:14 罪深い__に従う人は、神の聖なる力
 エフ 2:3 以前は罪深い__に従って生活していた
 テモニ 2:22 若い時に抱きがちな__から逃れ
 ヤコ 1:14 自分の__に引かれて惑われる
 ヨー 2:16 罪深い__、見ることから生じる__
 預言 ヨエ 2:28 あなたたちの息子や娘は__し
 ペー 1:19 __の言葉はいっそう確かなものとなり
 ペー 1:21 __は、人間の考えによって語られたのでは
 予想 ルカ 21:26 恐れと__から気を失います
 酔っぱらい 格 23:21 __や大食いには貧しくなり
 ヨナタン サー 23:16 __はダビデを強めるよう助けた
 世の光 マタ 5:14 あなたたちは__です
 ヨハ 8:12 私は__です。私の後に従う人は
 ヨブ ヤコ 5:11 __の忍耐について聞き
 呼ぶ ロマ 10:13 エホバの名を__人は皆救われる
 読む 申 17:19 生涯ずっと__まなければなりません
 使徒 8:30 __んでいる内容が分かりますか
 ヨルダン川 ヨシ 3:13 足の裏が__の水に触れると
 王ニ 5:10 __に行き、7回体を洗いなさい
 喜び ネヘ 8:10 エホバからの__は皆さんの力となる
 詩 37:4 エホバに仕えるのは最高の__
 ルカ 15:7 悔い改める罪人については、__が天にある
 ロマ 15:13 神が、あらゆる__と平和で満たして
 テサー 1:6 聖なる力による__を抱きながら神の言葉を
 ヘブ 12:2 イエスは、前途にある__のために耐え
 喜ぶ 詩 40:8 あなたの望まれることを__んで行い
 詩 100:2 __んでエホバに仕えよ。歡声を上げ
 詩 110:3 あなたの民は__んで自分を差し出す

詩 149:4 エホバはご自分の民のことを__
 イザ 65:13 私に仕える者は__が、あなたたちは恥を
 ルカ 3:22 愛する子、あなたのことを__んで
 ヨハ 8:29 私は常に、その方が__ことを行う
 ロマ 5:3 苦難に遭っても__びましょう
 ロマ 7:22 内面では神の律法を本当に__んでいます
 ロマ 12:15 __人と一緒に__び、泣く人と一緒に泣き
 ロマ 15:3 キリストでさえ自分を__ばせることは
 フィリ 4:4 主のゆえにいつも__びましょう
 弱い ロマ 14:1 信仰に__ところがある人を迎え入れて

ラ

ライオン 詩 91:13 若い__とコブラを踏みつけ
 イザ 65:25 __は雄牛のようにわらを食べる
 ペー 5:8 悪魔が、ほえる__のように歩き回って
 ラクダ マタ 19:24 __が針の穴を通る方が簡単です
 落胆 格 24:10 苦難の時に__するなら、力が失われる
 ランプ 詩 119:105 あなたの言葉は足元を照らす__

リ

理解 詩 119:27 あなたの命令の意味を__させて
 理解力 コー 14:20 __の点では大人になってください
 離婚 マラ 2:16 私は__を憎むと、エホバは言う
 マタ 19:9 性的不道德以外の理由で妻を__して
 マル 10:11 妻を__して別の女性と結婚する
 立派 テト 2:14 __な行いに励む民を清める
 律法 詩 19:7 エホバの__は完全で、力を吹き込む
 詩 119:97 私はあなたの__を愛してやまない!
 マタ 23:23 __の中のもっと重大な事柄、公正と
 ロマ 10:4 キリストは__の終着点であり
 ロマ 13:8 人を愛する人は__を実践しています
 ガラ 3:24 __は私たちをキリストに導く保護者と
 理念 ガラ 4:9 むなしくて価値のない__に戻り
 流行病 ルカ 21:11 食糧不足や__があります
 流ちょう 出 4:10 私は__に話せません
 利用 コー 7:31 世を__している人は世を十分には
 コニ 7:2 誰かを__したりもしていません
 漁師 マタ 4:19 魚ではなく人を集める__にして
 良心 ロマ 2:15 __が彼らと共に語り
 コー 8:12 兄弟の弱い__を傷つけるなら
 テモ 4:2 __は、焼き印を押された皮膚のように
 ペー 3:16 健全な__を保ってください
 ペー 3:21 健全な__を神に願ひ求めること
 臨在 マタ 24:3 __と体制の終結のしるしは何ですか
 マタ 24:37 人の子の__の時はノアの時代のように
 隣人 ルカ 10:27 __を自分自身のように愛さなければ
 ルカ 10:36 3人のうち誰が、__になったと思いますか

ロ

労苦 イザ 65:23 彼らは無駄に__することはなく
 牢屋 使徒 16:26 __が土台から揺れた
 老齢 詩 71:9 __の時に私を捨てないでください
 ロト ルカ 17:32 __の妻のことを思い出しなさい
 ペニ 2:7 正しい人__を救い出しました

ロバ ゼカ 9:9 あなたの王が、__に乗っている
 論じる 使徒 17:2 3週続けて安息日に聖書から__

ワ

賄賂 伝 7:7 __は心を堕落させる
 和解 ロマ 5:10 神の子の死によって神と__した
 コニ 5:20 神と__してください
 若い ヨブ 33:25 肉体を__頃よりも元気に
 詩 71:17 私が__時から教えてくださいました
 テモ 4:12 __からといって、見下されないように
 若い雄牛 ホセ 14:2 __を捧げるように賛美の言葉を
 若い人 格 20:29 __の素晴らしさは力であり
 若さの盛り コー 7:36 __を過ぎているなら
 別れ マタ 19:29 家に__を告げた人は、永遠の命を
 分け合う ロマ 12:13 困っている聖なる人たちと__って
 分ける マタ 25:32 人の子は、人々を__ます
 災い 啓 12:12 地と海には__が降り掛かります
 ワシ イザ 40:31 __のように翼を広げて舞い上がる
 忘れる イザ 49:15 私があなたを__ことは決してない
 ヘブ 6:10 神は働きや愛を__たりはされません
 わな ルカ 21:34, 35 その日が突然に訪れ、__のよう
 わら マタ 7:3 仲間目の目にある__を見ながら
 笑いもの エレ 20:7 私は一日中、__にされ
 笑う 格 14:13 __っていても心が痛むことがあります
 悪い ロマ 7:19 願っていない__事柄をいつも行います

0-9

1 民 14:34 __年に対して__日、__年に対して__日
 詩 84:10 あなたの庭での__日は、1000日よりも
 エゼ 4:6 __年に対して__日、__年に対して__日を
 マル 9:35 __番でありたい人は、みんなの最後となり
 使徒 17:26 __人の人から全ての国の人を造って
 ペニ 3:8 __日は1000年のようであり
 2 ルカ 10:1 70人を指名し、__人ずつ遣わした
 7 格 24:16 __回倒れても、また立ち上がる
 12 マル 3:14 __人を使徒と呼んだ
 24 啓 4:4 __の座があり、__人の長老が座っていた
 70 詩 90:10 寿命は__年、丈夫な人でも80年
 ダニ 9:2 荒廃が終わるまでの年数は__年だった
 9 出 24 __週が定められました
 77 マタ 18:22 7回ではなく__回です
 100 マタ 13:8 ある種は__倍の実を付けました
 マタ 18:12 __匹の羊がいて、その1匹が迷い出る
 500 コー 15:6 __人以上の兄弟の前に現れました
 666 啓 13:18 その数字は__である
 1000 啓 20:2 サタンを捕らえて、__年間縛った
 啓 20:4 __年の間キリストと共に王として治めた
 4000 マル 8:20 7つのパンを__人のために割った
 5000 マタ 14:21 食べた男性は約__人で
 14万4000人 啓 7:4 __が証印を押された
 啓 14:3 地から買い取られた__
 18万5000人 王ニ 19:35 天使が__を討った

聖書用語集

ア

アーメン 「そうなりますように」または「確かに」という意味。「忠実である」、「信頼できる」という意味の、ヘブライ語の語根語アーメンに由来する。誓いや祈りや発言への同意を表すために「アーメン」と言う習慣があった。「啓示」の書ではイエスの称号として使われている。(申 27:26。代一 16:36。啓 3:14)

哀歌 深い悲しみを表現した詩や歌。家族や友人と死別した悲しみなどを歌ったもの。(サニ 1:17。詩 7:表題)

アカイア ギリシャ語聖書に出てくるローマの属州。ギリシャ南部に位置し、州都はコリントだった。ペロポネソス半島全体と、ギリシャの大陸部分の中央部が含まれていた。(使徒 18:12) 付録B13参照。

証し ほとんどの場合、モーセに与えられた2枚の石板に記された十戒を指す。(出 31:18)

贖い 捕らわれた状態、処罰、苦しみ、罪、あるいは何らかの義務から人を解放するために支払われる代価。金銭とは限らない。(イザ 43:3) 贖いが必要な状況は幾つかあった。例えば、イスラエル人の長男や動物の雄の初子はエホバのものであり、エホバへの奉仕だけに用いられることになっていたが、それを免除されるには、贖い、つまり買い戻しの代価が支払われなければならない。(民 3:45, 46; 18:15, 16) 危険な牛がきちんと管理されずに人を殺した場合、所有者は死刑を免れるために贖いを支払う必要があった。(出 21:29, 30) しかし、故意に殺人を犯した人のための贖いは受け入れられなかった。(民 35:31) 最も重要な例として、聖書はキリストが支払った贖いを際立たせている。キリストは従順な人間を罪と死から解放するために、自分の命を犠牲にした。(詩 49:7, 8。マタ 20:28。エフ 1:7)

明かり消し 幕屋や神殿で使われた、金や銅でできた道具。ランプの芯を切るためのはさみのようなものだったのかもしれない。(王二 25:14)

悪魔 ギリシャ語聖書でサタンを指す名称で、意味

は「中傷する者」。サタンが「悪魔」という名を与えられたのは、エホバと、エホバの良い言葉と、エホバの聖なる名を中傷し、偽りの非難を浴びせてきた最悪の存在であるため。(マタ 4:1。ヨハ 8:44。啓 12:9)

明けの星 「明星」参照。

アザゼル ヘブライ語の名称で、「いなくなるヤギ」を意味すると考えられる。贖罪の日に、アザゼルのために指定されたヤギは荒野に送り出され、過去1年間に国民が犯した罪を象徴的な意味で運び去った。(レビ 16:8, 10)

アシ よく湿地に生えているさまざまな植物の総称。多くの場合、ダンチク(*Arundo donax*)のことだと考えられる。(ヨブ 8:11。イザ 42:3。マタ 27:29。啓 11:1) 「アシの物差し」参照。

アジア ギリシャ語聖書の中では、ローマの属州の名称。現在のトルコ西部と、サモス島やパトモス島などの沿岸の島々を含んでいた。州都はエフェソスだった。(使徒 20:16。啓 1:4) 付録B13参照。

足かせ 処罰のために人の動作を束縛する刑具。基本的に足にはめるものだったが、足かせ台の場合は体全体を不自然な体勢で拘束したと思われる。両足だけでなく両手と首も固定されたのかもしれない。(エレ 20:2。使徒 16:24)

アシの物差し 長さが6キュビトあった。通常のキュビトで計算すると2.67メートル、長キュビトで計算すると3.11メートルになる。(エゼ 40:3, 5。啓 11:1) 付録B14参照。

アシュトレテ カナン人の女神。戦争と豊作の女神で、バアルの妻。(サー 7:3)

アセルゲイア 「恥知らずな行い」参照。

アダル ユダヤの暦で、春から1年が始まる宗教暦の第12の月(秋から1年が始まる政治暦の第6の月)の、バビロン捕囚後の名称。2月半ばから3月半ばまでの期間に相当する。(エス 3:7) 付録B15参照。

アビブ ユダヤの宗教暦の第1の月(政治暦の第7の月)の元の名称。「緑の穂」という意味で、3月

半ばから4月半ばまでの期間に相当する。ユダヤ人がバビロンから帰還した後、ニサンと呼ばれるようになった。(申 16:1) 付録B15参照。

アブ ユダヤの宗教暦の第5の月(政治暦の第11の月)の、バビロン捕囚後の名称。7月半ばから8月半ばまでの期間に相当する。聖書の中でこの名称は使われておらず、「第5の月」と呼ばれている。(民 33:38。エズ 7:9) 付録B15参照。

油を注ぐ 元のヘブライ語の基本的な意味は「液体を塗る」。人が特別な奉仕のために選ばれたことや、物が特別な用途のために献じられたことの象徴として、その人や物に油が注がれた。原語の「油を注ぐ」という表現は単に「選ぶ」という意味で使われることがあり、必ずしも実際に油が注がれたわけではない。ギリシャ語聖書では、天で生きる見込みを持つ者として選ばれた人たちに聖なる力が注がれることを指して使われている。(出 28:41。サー 16:13。コリ 1:21, 脚注)

粗布 穀物を入れる袋などに使われた粗い布。たいてい黒っぽいヤギの毛を編んで作られ、嘆き悲しむ時に身に着ける習慣があった。(創 37:34。ルカ 10:13)

アラバ ヘルモン山の麓から南に延びる地溝。その中にガリラヤ湖やヨルダン川があり、海面よりずっと低く落ち込んで死海のくぼ地を形成し、さらに南方に続いて紅海のアカバ湾に至る。(申 1:7。ヨシ 11:16。エレ 39:4)

アラム、アラム人 アラム人はセムの子アラムの子孫。住んでいたのは主に、レバノン山脈からメソポタミアまで、また北のタウロス山脈からダマスカスの南方までの地域だった。ヘブライ語でアラムと呼ばれたこの地域は、後にシリアと呼ばれるようになり、そこに住む人たちはシリア人と呼ばれた。(創 25:20。申 26:5。ホセ 12:12)

アラム語 セム語の1つで、ヘブライ語と近い関係にあり、同じアルファベットが使われている。元々アラム人が話していたが、後に国際的な言語としてアッシリア帝国とバビロニア帝国で交易や意思伝達に使われた。ペルシャ帝国の行政の公用語でもあった。(エズ 4:7) エズラ記、エレミヤ書、ダニエル書の一部はアラム語で書かれた。(エズ 4:8-6:18; 7:12-26。エレ 10:11。ダニ 2:4後半-7:28)

アラモト 「乙女」を意味する音楽用語で、おそらく

若い女性のソプラノの声を示唆している。曲や伴奏を高い音域で演奏するようにという指示だったと思われる。(代一 15:20。詩 46:表題)

アルファとオメガ ギリシャ語のアルファベットの最初の文字と最後の文字。「啓示」の書の中で神の称号として、セットで3回使われている。それらの箇所では、「最初であり、最後である」、また「始まりであり、終わりである」と同じ意味を持つ。(啓 1:8; 21:6; 22:13)

アレオパゴス アテネのアクロポリスの北西に位置する高い丘。そこで集まりを持った評議会(法廷)の名称でもあった。パウロは、ストア派やエピクロス派の哲学者たちによってアレオパゴスに連れていかれ、信じている事柄について説明した。(使徒 17:19)

アロンの子たち レビのひ孫アロンの子孫。アロンはモーセの律法の下で最初の大祭司に選ばれた。アロンの子たちは幕屋と神殿で祭司として奉仕した。(代一 23:28)

憐れみの施し 困窮している人を助けるための贈り物のこと。ヘブライ語聖書には直接言及されていないが、モーセの律法の下にいたイスラエル人には、貧しい人に対する責務が明確に規定されていた。(マタ 6:2)

安息日 元のヘブライ語には、「休む」、「やめる」という意味がある。ユダヤ暦の週の第7日(金曜日の日没から土曜日の日没まで)。幾つかの祭日や、7年目と50年目も安息の時だった。安息日には、聖なる所での祭司の奉仕以外の仕事を行ってはならなかった。安息年には、土地は耕作されず、仲間のヘブライ人から負債の返済を迫られることはなかった。モーセの律法の中の安息日に関する制約は無理のないものだったが、宗教指導者たちが徐々に細かい規則を加えたため、イエスの時代には守るのが難しくなっていた。(出 20:8。レビ 25:4。ルカ 13:14-16。コロ 2:16)

イ

石投げ器 動物のけんや毛やイグサなどの材料を編んだものや、革ひもでできた武器。幅が広がっている真ん中の部分に、投げる物(大抵は石)を置いた。一方の端を手か手首に結わえ付け、他方の端を手で握り、振り回しながら離れた。古代の国の軍隊には石投げ器を使う兵士たちがいた。(裁 20:16。サー 17:50)

イスラエル 神がヤコブに与えた名前。やがて、その時々のヤコブの子孫全体を指すようになった。ヤコブの12人の息子の子孫は、イスラエルの子たち、イスラエル国民、イスラエルの民、イスラエル人などと呼ばれた。イスラエルは、南の王国から分離した北の10部族王国の名称ともなった。後には、神によって選ばれたクリスチャンたちが「神のイスラエル」と呼ばれるようになった。(ガラ 6:16。創 32:28。サニ 7:23。ロマ 9:6)

命の木 エデンの園にあった木。聖書は、命の木の実に命を与える力が備わっていたとは述べていない。この木は、神がその実を食べることを許す人に永遠の命を保証することを表していた。(創 2:9; 3:22)

違反 定められた律法やおきてを踏み越え、破ること。聖書の中では「罪」と同様の意味で使われている。(詩 51:3。ロマ 5:14)

衣服を引き裂く 悲嘆や憤りなどの強い感情を表す行為。大抵は胸元をはだける程度に裂いたのであって、衣服を完全に引き裂いて着られないようにしたわけではない。(創 37:34。エス 4:1。使徒 14:14)

イルリコ ローマの属州。ギリシャの北西に位置していた。パウロは「イルリコに至るまで」良い知らせを伝えたが、実際にイルリコで伝道したのか、そこまで行っただけなのかははっきりしない。(ロマ 15:19) 付録B13参照。

淫行 「性的不道徳」参照。

印章 所有権や信頼性や合意を示す印を、粘土やろうに押すために使われた道具。古代の印章は、石や象牙や木など硬い材質の物に、反転させた文字や模様を彫り込んであった。証印や封印は、本物であることや、所有されていること、秘められていることなどを比喩的に表す場合もある。(出 28:11。ネヘ 9:38。啓 5:1; 9:4)

印章付きの指輪 指にはめたり、ひもを通して首に掛けたりした。認印指輪とも呼ばれ、支配者や役人の権威の象徴だった。(創 41:42) 「印章」参照。

ウ

臼 丸い石の上に別の丸い石を載せた道具で、穀物をひいて粉にするのに使われた。聖書時代には大抵の家で女性がひき臼を使った。ひき臼がないと家族が毎日食べるパンを作れなかったの

で、モーセの律法ではひき臼やその上石を担保として取ることは禁じられていた。ある種の臼では、下石の中央に差し込まれた棒が上石の回転軸になった。同様の構造の大きな臼は、動物が回した。(申 24:6。マル 9:42)

占い師 将来に起きることを予告できると言う人。聖書に出てくる魔術師や占星術師なども含まれる。(レビ 19:31。申 18:11。使徒 16:16)

ウリムとトンミム 大祭司が用いた、くじのようなもの。国家に関わる重大な問題が持ち上がってエホバからの答えが必要な時に、神の意志を確認するために使われた。大祭司は幕屋に入る際、ウリムとトンミムを胸掛けの中に入れた。エルサレムがバビロニア人によって滅ぼされた時から使われなくなったと思われる。(出 28:30。ネヘ 7:65)

エ

疫病 急速に人から人へ感染する病気。広範囲にまん延し、大勢の死者が出ることがある。神が下す処罰に含まれることも多い。(民 14:12。エゼ 38:22, 23。アモ 4:10)

エタニム ユダヤの宗教暦の第7の月(政治暦の第1の月)の名称。9月半ばから10月半ばまでの期間に相当する。ユダヤ人がバビロンから帰還した後、ティシュリと呼ばれるようになった。(王一 8:2) 付録B15参照。

エチオピア 古代エチオピアはエジプトの南に位置し、現代のエジプトの最南部と現在のスーダンが含まれていた。ヘブライ語の「クシュ」が「エチオピア」と訳されることがある。(エス 1:1)

エドトン 詩編 39編, 62編, 77編の表題にある、意味がはっきりしない語。それらの表題は歌い方や演奏に関する指示だったと思われ、曲のスタイルや使う楽器を指定していたのかもしれない。レビ族の音楽家でエドトンという名前の人がいたので、彼かその子たちと関連のあるスタイルや楽器を指していた可能性がある。

エドム イサクの息子エサウに付けられた別名。エサウ(エドム)の子孫は、死海とアカバ湾の間の山地であるセイル地方を占領し、そこはエドムと呼ばれるようになった。(創 25:30; 36:8) 付録B3とB4参照。

エピクロス派 ギリシャの哲学者エピクロス(西暦

前341-270年)の信奉者たち。彼らの哲学は、個人の快楽こそ人生の究極の目標であるという考えを中心としていた。(使徒 17:18)

エファ 穀物を量るのに使われた、乾量の単位および容器の名称。液量単位のパトに相当し、22リットルだった。(ゼカ 5:6, 脚注) 付録B14参照。

エフォド 祭司が身に着けた、エプロンのような衣装。大祭司が身に着けたエフォドは特別なもので、前面に12の宝石で飾られた胸掛けが付けられた。(出 28:4, 6) 付録B5参照。

エフライム ヨセフの2番目の息子の名前で、後にイスラエルの1つの部族の名前になった。イスラエルが分裂した後は、最も有力な部族だったエフライムが、10部族王国全体を表すようになった。(創 41:52。エレ 7:15)

エホバ 神の固有の名前を表すヘブライ語の4つの文字であるテトラグラマトンの訳。この「新世界訳」で7000回以上使われている。付録A4とA5参照。

エルル ユダヤの宗教暦の第6の月(政治暦の第12の月)の、バビロン捕囚後の名称。8月半ばから9月半ばまでの期間に相当する。(ネヘ 6:15) 付録B15参照。

援助奉仕者 「奉仕者」や「召し使い」とも訳されるギリシャ語ディアコノスの訳の1つ。「援助奉仕者」は会衆の長老団を補佐する人を指す。この特別な奉仕を行う資格にかなうには、聖書に示されている基準を満たさなければならない。(テモ- 3:8-10, 12)

オ

王笏 王権の象徴として支配者が手に持った棒もしくはつえ。(創 49:10。ヘブ 1:8)

惜しめない親切 好ましく魅力的という中心的な考えを持つギリシャ語の訳。その語は親切な贈り物や親切な与え方を指して使われることが多い。神の惜しめない親切を指す場合、神がお返しを期待せずに気前よく与える無償の贈り物を表す。従って、神が人間に豊かに与えることや、惜しみなく愛や親切を示すことを表している。元のギリシャ語は「恵み」や「親切な贈り物」とも訳される。労せずに与えられる過分の贈り物で、ひとえに与える側の気前の良さによるもの。(コニ 6:1。エフ 1:7)

落ち穂拾い 農作物を収穫した人が意図的にもし

くは意図せずに採り残したものを、別の人が集めること。モーセの律法には、畑の端まで刈り尽くすことがないように、またオリーブやブドウを全て集めてしまわないようにという指示があった。困窮している人、外国人居住者、父親のいない子供、やもめは、収穫後に採り残されたものを集める権利を神から与えられていた。(ルツ 2:7)

オメル 乾量の単位。1エファの10分の1、つまり2.2リットルに相当した。付録B14参照。

重い皮膚病 皮膚に重度の病変が生じる病気。今でいうハンセン病が含まれると思われるが、それに限定されてはいない。原語は服や家に発生するカビを指す場合もある。(レビ 14:54, 55。ルカ 5:12)

オルギュイア 水の深さを測る単位。1.8メートルに相当した。付録B14参照。

終わりの時代 聖書預言の中で、「終わりの時代」や「最後の日々」といった表現は、歴史上の出来事が最終局面を迎える時を指している。(使徒 2:17。エゼ 38:16。ダニ 10:14) 預言の内容によって、この期間は数年の場合もあれば、何十年にも及ぶ場合もある。特に注目できる点として、聖書は現在の体制の「終わりの時代」について述べており、これは目に見えないイエスの臨在の期間と重なっている。(テモニ 3:1。ヤコ 5:3。ペニ 3:3)

カ

会見の天幕 荒野に設営されたモーセの天幕と聖なる幕屋を指す表現。「会見の天幕」と呼ばれたのは、民がエホバに何かを尋ねたい時にそこへ行き、いわばエホバと会見したためだと考えられる。(出 33:7; 39:32)

会衆 特定の目的や活動のために集められた人々の集団。ヘブライ語聖書では大抵、イスラエル国民を指す。ギリシャ語聖書ではクリスチャンの個々の会衆を指すこともあるが、クリスチャン全体を指す場合の方が多い。(王- 8:22。使徒 9:31。ロマ 16:5)

改宗者 聖書の中では、ユダヤ教に改宗した人を指す。男性の場合は割礼を受けた。(マタ 23:15。使徒 13:43)

会堂 原語(シュナゴーグ)の意味は「集めること」または「集会」だが、ほとんどの聖句ではユダヤ人が聖書の朗読を聞き、教えを受け、伝道し、

祈るために集まった建物や場所を指す。イエスの時代にはイスラエルの大抵の町に会堂があり、大きな町には2つ以上ある場合もあった。(ルカ 4:16。使徒 13:14, 15)

カエサル ローマの家名で、ローマ皇帝の称号となった。聖書に名前が出てくるカエサルは、アウグストゥス、ティベリウス、クラウディウスの3人。ネロは名前を挙げられていないが、やはりカエサルだった。ギリシャ語聖書の中で「カエサル」は、政府や国家を指すこともある。(マル 12:17。使徒 25:12)

カシア シナモンの木と同じ科の、カシアの木(*Cinnamomum cassia*)の産物。カシアは香料として使われ、聖なる注ぎ油の成分だった。(出 30:24。詩 45:8。エゼ 27:19)

割礼 男性器の包皮を取り除くこと。アブラハムとその子孫は割礼を受ける義務を課されたが、クリスチャンには求められていない。さまざまな聖句で比喩的な意味でも使われている。(創 17:10。コヘ 7:19。フィリ 3:3)

カナン ノアの孫で、ハムの4番目の息子。カナンの子孫である11の部族は、やがて地中海東部の沿岸地域(エジプトとシリアの間)に住み着いた。その地域は「カナン地方」と呼ばれた。(レビ 18:3。創 9:18。使徒 13:19) 付録B4参照。

カブ 乾量の単位。バトの推定容量からすると、1.22リットルに当たる。付録B14参照。

神の王国 主に、神の主権に基づく天の政府を指す。神の子であるキリスト・イエスが王国の王として世界を治める。(マタ 12:28。ルカ 4:43。コヘ 15:50)

神への専心 エホバ神を深く敬い、崇拝し、その方に仕えること。宇宙の主権者であるエホバから離れず、揺るぎなく支持することも含まれる。(テモ 4:8。テモ 3:12)

飯小屋の祭り 幕屋の祭り、また取り入れの祭りとも呼ばれ、エタニム15日から21日にかけて行われた。イスラエルの農耕年の終わりに収穫を祝うもので、エホバの祝福により作物が取れたことを喜んで感謝を表す時だった。祭りの期間中、人々はエジプトからの脱出を思い起こすために飯小屋に住んだ。男性がエルサレムに行って祝うよう求められた年3回の祭りのうちの1つだった。(レビ 23:34。エズ 3:4)

カルデア、カルデア人 元々はチグリス川とユーフ

ラテス川のデルタ地帯の土地と住民のこと。やがてバビロニア全体とその国民を指すようになった。科学、歴史、言語、天文学を学び、魔術や占星術を行った、知識階級の人々も「カルデア人」と呼ばれた。(エズ 5:12。ダニ 4:7。使徒 7:4)

革袋 ヤギや羊などの動物の皮を丸ごと剥いて作る袋。ぶどう酒を入れるのに使われた。ぶどう酒が発酵すると炭酸ガスが発生し、革袋に圧力がかかるため、ぶどう酒は新しい革袋に入れられた。新しい革は伸びるが、古くなって弾力を失った革は圧力に耐えられずに張り裂ける。(ヨシ 9:4。マタ 9:17)

姦淫 既婚者が配偶者ではない人と意図的に性関係を持つこと。(出 20:14。マタ 5:27; 19:9)

宦官 文字通りの意味は、去勢された男性。宮廷では多くの場合、そのような人が王妃や側室たちの従者や世話係に任命された。この語は、宮廷で王に仕える役人で、文字通りの宦官ではない人をも指す。原語は比喩的な意味でも使われており、その場合には「天の王国のために結婚しない人」、すなわち神への奉仕にいつそう打ち込むために自制する人を指す。(マタ 19:12。エズ 2:15。使徒 8:27)

感謝の捧げ物 神が与えてくださった物や神の揺るぎない愛に関して神を賛美するための、共食の捧げ物。捧げられた動物の肉と、酵母が入っているパンと入っていないパンの両方を食べることになっていた。肉はその日のうちに食べなければならなかった。(代二 29:31)

監督 会衆を見守り世話することが主な責任で、男性が務めた。ギリシャ語エписコポスの基本的な意味は、保護し、監督すること。「監督」と「長老」(ギリシャ語πρεσβυτερος)はクリスチャン会衆の中で同じ立場を指す。「長老」という語は任命された人がクリスチャンとして十分に成長していることを示しており、「監督」という語は任命に伴う務めを強調している。(使徒 20:28。テモ 3:2-7。ペー 5:2)

キ

義兄弟結婚 男性が、息子を持たずに死んだ兄弟の妻と結婚し、兄弟の家系を継ぐ子供が生まれるようにした習慣のことで、モーセの律法の一部にもなった。レビレート婚としても知られる。(創 38:8。申 25:5)

キスレウ ユダヤの宗教暦の第9の月(政治暦の第3の月)の、バビロン捕囚後の名称。11月半ばから12月半ばまでの期間に相当する。(ネヘ 1:1。ゼカ 7:1) 付録B15参照。

犠牲 神に感謝を表したり、罪を認めていることを示したり、神との良い関係を取り戻したりするために、神に捧げられる物。アベルの時から、人間は動物などさまざまな犠牲を自発的に捧げた。モーセの律法契約の下では犠牲が求められた。イエスが自分の命を完全な犠牲として捧げてからは、動物の犠牲は必要なくなった。とはいえ、クリスチャンは比喩的な意味で神に犠牲を捧げている。(創 4:4。ヘブ 13:15, 16。ヨ一 4:10)

奇跡、強力な行い 人間の理解を超えた行いや現象。超自然的な力によるもの。聖書では同様の意味を伝える「しるし」や「不思議なこと」といった表現も使われている。(出 4:21。使徒 4:22。ヘブ 2:4)

ギテト 意味がはっきりしない音楽用語。ヘブライ語ガトに由来すると思われる。ガトがブドウの搾り場を指すため、ギテトはぶどう酒造りにちなんだ歌と関係のある曲調ではないかと考える人もいる。(詩 81:表題)

記念の墓 遺体を葬った場所。ギリシャ語ムネーメイオンの訳。この語は「思い出させる」という意味の動詞に由来し、亡くなった人のことが記憶にとどめられることを示唆している。(ヨハ 5:28, 29)

キュビト 長さの単位。大体、肘から中指の先までの長さ。イスラエル人が通常用いたキュビトは約44.5センチだったが、それに手の幅1つ分を加えた約51.8センチの長キュビトも使われた。(ルカ 12:25, 脚注) 付録B14参照。

清い 聖書の中でこの言葉は、身体的に清いだけでなく、道徳や崇拜の面で傷や汚点がなく、汚したり、不純にしたり、腐敗させたりするものが何もない状態を保っていること、もしくはそういう状態に戻すことを指す。モーセの律法の下では、儀式上清いことを指す。(レビ 10:10。詩 51:7。マタ 8:2, 脚注。コ一 6:11)

共食の捧げ物 エホバとの平和を願って捧げられた犠牲。崇拜者と家族、儀式を執り行った祭司、職務を果たしていた祭司たちが皆、捧げ物を食べた。エホバは、燃える脂肪の香ばしい煙をいわ

ば受け取った。命を表す血もエホバに捧げられた。祭司たちと崇拜者たちがエホバと共に食事の席に着いたかのようであり、平和な関係を表すものだった。(レビ 7:29, 32。申 27:7)

行政官 バビロンの統治下で、行政官は管轄地域の役人だった。法律に通じており、一定の司法上の権限を与えられていた。ローマの植民市の行政官は、本国政府による行政を担っていた。その責務には、治安を維持し、財政を管理し、法律に違反した人を裁き、処罰の執行を命じることが含まれていた。(ダニ 3:2。使徒 16:20)

ギリシャ語 ギリシャ人が話す言語。聖書中の1世紀に記された書はギリシャ語で書かれた。(ただし、マタイの福音書は最初にヘブライ語で書かれた。)ヘブライ語聖書全巻の最初の翻訳であるセプトウアギンタ訳もギリシャ語だった。

ギリシャ人 ギリシャ生まれの人やギリシャ系の人々。ギリシャ語聖書でもっと広い意味でも使われており、ユダヤ人ではない民族全て、あるいはギリシャの言語や文化の影響を受けた民族を指すこともある。(ヨエ 3:6。ヨハ 12:20)

キリスト イエスの称号で、ギリシャ語クリストスに由来する。「メシア」つまり「選ばれた者」と訳されるヘブライ語に相当する。(マタ 1:16。ヨハ 1:41)

ギレアデ 厳密には、ヨルダン川の東で、ヤボクの谷の南北に広がる肥沃な地域を指す。ルベン族とガド族、マナセ族の半分が住んでいた、ヨルダン川の東にあるイスラエル人の領地全体を指すこともある。(民 32:1。ヨシ 12:2。王二 10:33) 付録B4参照。

ク

杭 真つすぐに立てられた棒で、人を掛けた。ある国々で刑具として使われ、見せしめやさらし者にするために死体を掛けることもあった。残忍な戦争行為で知られるアッシリア人は、捕虜を杭に掛ける際、先のとがった杭を腹部から胸部まで刺し通した。ユダヤ人の律法では、冒瀆や偶像崇拜などの重罪を犯した人はまず石打ちなどの方法で殺され、それから死体が見せしめとして杭や木に掛けられた。(申 21:22, 23。サニ 21:6, 9) ローマ人は罪人を杭に単に縛り付けることもあり、日ざらしにされた罪人は大抵、痛み、喉の渇き、飢えなどで数日間苦しんだ後に死んだ。イエスを処刑した時のように、罪人の両手両足をくぎで

杭に打ち付ける場合もあった。(ルカ 24:20。ヨハ 19:14-16; 20:25。使徒 2:23, 36)「苦しみの杭」参照。

悔い改め 聖書の中では、以前の生き方や間違っていた行動、または行うべきことをしなかったことを心から悔いて、考えを改めることを意味する。真の悔い改めには、生き方や行動の変化が伴う。(マタ 3:8。使徒 3:19。ペニ 3:9)

偶像, 偶像崇拜 偶像は、現実のものであれ想像上のものであれ何かをかたどったもので、たいてい崇拜のために用いられる。偶像崇拜とは、偶像を敬い、愛し、拝み、あがめること。(詩 115:4。使徒 17:16。コー 10:14)

くじ 決定や判断を行うために、小石や木切れなどがくじとして使われた。衣服のひだや容器に入れたくじを揺すり、1つを引いたり、飛び出たものを見たりした。多くの場合、折ってからくじが引かれた。原語は「分け前」や「分」という考えを伝えており、比喩的な意味でも使われている。(ヨシ 14:2。詩 16:5, 脚注。格 16:33。マタ 27:35)

くびき 農機具や荷車を引く2頭の動物(大抵は牛)の首に掛ける横木または木枠。原語は「てんびん棒」とも訳される。「てんびん棒」参照。

クリスチャン イエス・キリストの弟子たちを指す名称で、神により与えられた。(使徒 11:26; 26:28)

苦しみの杭 真すぐに立てられた杭または棒を意味する、ギリシャ語スタウロスの訳。イエスは処刑された時それに掛けられた。このギリシャ語が十字架を意味するという証拠はない。十字架は、キリストが到来する何世紀も前から異教で宗教的象徴として使われていた。スタウロスという語は、イエスの弟子たちが痛めつけられ、苦しめられ、辱められることも示唆しているので、「苦しみの杭」は原語の意味を十分に伝える表現である。(マタ 16:24。ヘブ 12:2)「杭」参照。

ケ

契約 神と人間の間の、もしくは人間の二者の間の、正式な合意や協定。あることを行う、または行わないことを決めたもの。当事者の一方だけが義務を負う場合(片務契約といい、約束もこれに当たる)と、当事者の双方が義務を負う場合(双務契約)があった。聖書には、神が人間と結んだ契約以外にも、個人や部族や国民や集団の間で結ばれた契約について述べられている。広範

に影響を及ぼしてきた契約としては、神がアブラハムと結んだ契約、ダビデと結んだ契約、イスラエル国民と結んだ契約(律法契約)、神のイスラエルと結んだ契約(新しい契約)などがある。(創 9:11; 15:18; 21:27。出 24:7。代二 21:7)

契約の箱 アカシア材で作られ、金がかぶせられた箱。幕屋の至聖所、また後代にはソロモンが建てた神殿の至聖所に置かれた。ふたは純金でできており、両端には向かい合う2つのケルブがあった。箱の中には、十戒が記された2枚の石板が入っていた。(申 31:26。王一 6:19。ヘブ 9:4) 付録 B5と B8参照。

汚れている 文字通り汚い状態や、道徳律を破ったことを指す。聖書の中では多くの場合、モーセの律法の規定では受け入れられない、清くない物事や状態を指す。(レビ 5:2; 13:45。使徒 10:14。エフ 5:5)「清い」参照。

ゲヘナ 古代エルサレムの南から南西に位置するヒンノムの谷の、ギリシャ語の名称。(エレ 7:31) この谷は預言の中では、死体が散乱する場所として描かれている。(エレ 7:32; 19:6) 動物や人間が生きたままゲヘナに投げ込まれて焼かれ、苦しめられた、という証拠はない。そのため、ゲヘナが目に見えない領域のことで、人間の靈魂が文字通りの火によって永遠に苦しめられる場所を指す、ということはない。イエスも弟子たちもゲヘナという語を、「第二の死」すなわち永遠の滅びという処罰の象徴として用いている。(啓 20:14。マタ 5:22; 10:28)

ケモシュ モアブ人の主神。(王一 11:33)

ゲラ 重量の単位。20分の1シェケル、すなわち0.57グラムに相当した。付録 B14参照。

ケルブ 特別な役目を持つ高位の天使。セラフとは異なる。(創 3:24。出 25:20。イザ 37:16。ヘブ 9:5)

献じられたことの聖なる印 ヘブライ語で「神聖さはエホバのもの」という言葉が刻まれた、輝く純金の板。大祭司のターバンの前面に付けられた。(出 39:30) 付録 B5参照。

献納の祭り アンティオコス・エピファネスによって汚された神殿が清められたことを記念する、年に1度の祝い。キスレウ25日に始まり、8日間続いた。(ヨハ 10:22)

コ

子 聖書では、「子」や「息子」は実子だけでなく

孫や子孫を指す場合がある。「父」も祖父や先祖を指す場合がある。「娘」や「母」についても同様。(代一 8:3-5。マタ 1:1)

コイニクス 乾量の単位。一般に、1リットルより少し多かったと考えられている。付録B14参照。

香 芳香性の樹脂やバルサムを混ぜ合わせたもので、ゆっくり燃えながら良い香りを放つ。幕屋や神殿では、4種類の材料を混ぜた特別な香が使われた。朝と晩に、聖所にある香の祭壇でたかれた。贖罪の日には、至聖所の中でたかれた。香は、神に忠実に仕える人たちが捧げる、神に喜ばれる祈りを象徴していた。クリスチャンは香を使うよう指示されていない。(出 30:34, 35。レビ 16:13。啓 5:8)

香入れ または、炭入れ、燃えかす入れ。幕屋や神殿で使用された、金や銀や銅でできた器具。香をたいたり、犠牲を捧げる祭壇から炭を取り除いたり、金のランプ台の芯の燃えかすを入れたりするのに使われた。香炉とも呼ばれた。(出 27:3; 37:23。レビ 10:1。代二 26:19。ヘブ 9:4)

コル 乾量および液量の単位。バトの推定容量からすると、220リットルに相当する。付録B14参照。

サ

祭司 民のために働いて正式に神の代理を務め、神や神の律法について民に教えた人。また、神の前で民を代表し、犠牲を捧げたり民のために仲裁したり願い出たりした。モーセの律法が制定される前は、家長が家族のために祭司の役目を果たした。モーセの律法の下では、レビ族のアロンの家系の男子が祭司となり、他のレビ族の男子が補佐した。新しい契約が発効した時、「神のイスラエル」が祭司の国民となった(大祭司はイエス・キリスト)。(ガラ 6:16。出 28:41。ヘブ 9:24。啓 5:10)

祭司長 ヘブライ語聖書では「大祭司」の別称。ギリシャ語聖書では、祭司たちの中の主立った人々を指していたと考えられる。退任した大祭司や、祭司の24の組の長たちが含まれていたのかもしれない。(代二 26:20。エズ 7:5。マタ 2:4。マル 8:31)

祭壇 崇拜の際に犠牲や香を捧げるために使われた壇。土や石や岩で作ったもの、木で作って金属をかぶせたものなどがあった。幕屋と神殿の第一の部屋には、香を捧げるための小さな「金の祭

壇」があった。それは木で作られ、金で覆われていた。庭には大きな「銅の祭壇」があり、全焼の犠牲のために使われた。(出 27:1; 39:38, 39。代二 4:1。創 8:20。王一 6:20。ルカ 1:11) 付録B5とB8参照。

祭壇の角 祭壇の四隅から張り出した、角のような突起物。(レビ 8:15。王一 2:28) 付録B5とB8参照。

ザクロ リンゴのような形の果物で、先端が花や冠に似た形状になる。硬い外皮の中には、果汁をたっぷり含んだ小さな粒状の実が詰まっており、それぞれの実にピンクや赤の小さい種がある。大祭司が着る青い袖なしの上着の裾や、神殿の前に立つ2本の柱ヤキンとボアズの柱頭には、ザクロの形の飾りが付いていた。(出 28:34。民 13:23。王一 7:18)

サタン 「反抗する者」という意味のヘブライ語の言葉。原語でこの語に定冠詞が付いている場合は、神の主な敵である悪魔サタンを指す。(ヨブ 1:6。マタ 4:10。啓 12:9)

サドカイ派 ユダヤ教の著名な教派。成員は裕福な貴族や祭司で、神殿での活動において大きな権威を振るっていた。パリサイ派が守っていた多くの口頭伝承や、パリサイ派の他の信条を退けた。復活や天使の存在を信じておらず、イエスに反対した。(マタ 16:1。使徒 23:8)

裁きの座 たいいてい屋外にあった壇。役人は階段でそこに上って座り、集まった人々に話をしたり判決を告げたりした。「神の裁きの座」、「キリストの裁きの座」という表現は、エホバが人類を裁くための取り決めを象徴している。(ロマ 14:10。コニ 5:10。ヨハ 19:13)

裁きの日 あるグループや国民や人々全般が、神に行動の責任を問われる日または期間のこと。死に値すると判断された人々にとっては処刑される時となり、ある人々にとっては救われて永遠の命を得る機会となる。イエス・キリストと使徒たちが言及した将来の「裁きの日」には、生きている人々だけでなく過去に死んだ人々も裁きを受ける。(マタ 12:36)

裁き人 イスラエルに人間の王がいた時代よりも前に、エホバがご自分の民の救出者として立たれた人々。(裁 2:16)

サマリア 200年余りにわたって北のイスラエルの

10部族王国の首都だった都市。王国の領土全体もサマリアと呼ばれる。都市はサマリアという名前の山の上に建てられた。イエスの時代には、サマリアは北のガリラヤと南のユダヤの間にあった地域の名称だった。イエスは通常サマリアでの伝道を控えたが、時折その地域を通して住民と話した。サマリア人が聖なる力を受けた時、ペテロは天の王国に入る機会を開く比喩的な鍵の2番目を使った。(王 16:24。ヨハ 4:7。使徒 8:14) 付録 B10参照。

サマリア人 当初は北の10部族王国のイスラエル人を指していたが、サマリアがアッシリア人に征服された西暦前740年以降は、アッシリア人が連れてきた外国人も含むようになった。イエスの時代には、「サマリア人」という語は普通、人種的もしくは政治的な含みを持つものではなく、古代のシェケムやサマリアの付近を本拠地とした宗派に属する人たちを指した。この宗派の信条は、ユダヤ教とは大きく異なっていた。(ヨハ 8:48)

サンゴ 小さな海洋生物の群体が作り出す、硬い石のような物質。赤、白、黒など、さまざまな色のものがある。特に紅海でたくさん採れた。聖書時代に赤いサンゴは貴重なものとされ、ビーズなどの装飾品に使われた。(格 8:11)

サンヘドリン エルサレムにあった、ユダヤ人の高等法廷。イエスの時代には71人の成員がいた。成員には、大祭司、元大祭司、大祭司の親族、長老、部族の長や家長、律法学者などが含まれていた。(マル 15:1。使徒 5:34; 23:1, 6)

シ

ジウ ユダヤの宗教暦の第2の月(政治暦の第8の月)の元の名称。4月半ばから5月半ばまでの期間に相当する。ユダヤ教のタルムードや、バビロン捕囚後の他の著作では、イヤルと呼ばれている。(王 6:37) 付録 B15参照。

シェオル ギリシャ語の「ハデス」に相当するヘブライ語の言葉。「墓」と訳されるが、個人の墓のことではなく、死んだ人たちが眠っている比喩的な場所のこと。(創 37:35, 脚注。詩 16:10, 脚注。使徒 2:31, 脚注)

シェケル ヘブライ人が用いた、重量と貨幣の基本単位。重さは11.4グラムだった。「聖なる場所の標準重り」(直訳、「聖なる場所のシェケル」という表現は、重さが厳密であるべきこと、あるい

は幕屋に保管されていた標準重りと一致しているべきことを強調していたのかもしれない。一般のシェケルとは異なる王室用のシェケル、もしくは王宮に保管されていた標準重りもあったのかもしれない。(出 30:13, 脚注)

シェバト ユダヤの宗教暦の第11の月(政治暦の第5の月)の、バビロン捕囚後の名称。1月半ばから2月半ばまでの期間に相当する。(ゼカ 1:7) 付録 B15参照。

シェミニト 直訳すると「第8」という意味の音楽用語で、低い音域や音階を指すのかもしれない。楽器を指すとすれば、おそらくバスの音階を演奏するためのもの。歌が関係している場合、低音域の伴奏に合わせて歌うことを指すと思われる。(代 15:21。詩 6:表題; 12:表題)

シオン、シオンの山 エルサレムの南東の丘にあった、エブス人のとりでだった町エブスの別名。ダビデはシオンのとりでを攻め取った後に王宮を建て、その場所は「ダビデの町」と呼ばれるようになった。(サニ 5:7, 9) ダビデがそこに契約の箱を移した時、シオンはエホバにとって特別に聖なる山となった。後に「シオン」という名称はモリヤ山の神殿域を包含するようになり、エルサレムの都市全体を指す場合もあった。ギリシャ語聖書ではしばしば象徴的な意味で使われている。(詩 2:6。ペー 2:6。啓 14:1)

指揮者 「詩編」での使われ方を見ると、元のヘブライ語は、歌を編曲して歌唱を指導したり、レビ族の歌い手たちに稽古を付けたり、公式の場で歌う際にリードしたりした人を指すと思われる。この語を「楽長」とか「音楽監督」と訳している聖書もある。(詩 4:表題; 5:表題)

至聖所 幕屋と神殿の奥の部屋。契約の箱が置かれていた。最も聖なる所とも呼ばれている。モーセの律法によれば、至聖所に入ることが許されていたのは大祭司だけで、入ることができたのは年に1度の贖罪の日だけだった。(出 26:33。レビ 16:2, 17。王 6:16。ヘブ 9:3)

執政官代理 ローマ元老院の管轄下にある属州の主な統治者。司法権と軍事権を持っていた。元老院によって行動を監査されたものの、属州の最高権力者だった。(使徒 13:7; 18:12)

使徒 原語の基本的な意味は「遣わされた人」。イエスをはじめ、他の人に仕えるために遣わされ

た人を指して使われている。イエスが選び、自分の代表者として任命した12人の弟子たちを指す場合が最も多い。(マル 3:14。使徒 14:14)

詩編 神への賛美の歌を集めた書。「詩編」の詩には曲が付けられ、人々がエルサレムの神殿でエホバ神を崇拝する際に歌われた。(ルカ 20:42。使徒 13:33。ヤコ 5:13)

しまめのう 準宝石で、めのうの硬い種類のもの、またはしまのある玉髓の一種。白い層が、黒、茶色、赤、灰色、緑などの層と交互に重なっている。大祭司の特別な服に使われた。(出 28:9, 12。代一 29:2。ヨブ 28:16)

邪悪な天使 人間よりはるかに強い力を持つ、目に見えない邪悪な存在。創世 6章2節で「真の神の子たち」と呼ばれ、ユダ 6節で「天使たち」と呼ばれていることから分かるように、もともと邪悪な者として創造されたわけではない。ノアの時代にある天使たちが神に従わなくなり、サタンに加わってエホバに反逆し、自ら神の敵となった。(申 32:17。ルカ 8:30。使徒 16:16。ヤコ 2:19)

邪悪な者 神と神の正しい基準に反対している、悪魔サタンを指す名称。(マタ 6:13。ヨ一 5:19)

収穫の祭り 「ペンテコステ」参照。

10分の1 特に宗教的な目的で与えられたり、貢ぎ物として納められたりする、ある物の10%。(申 26:12。マタ 3:10。マタ 23:23) モーセの律法の下では毎年、レビ族を養うために、土地の産物の10分の1と、牛や羊の増加分の10分の1を与えた。レビ族は受けた物のさらに10分の1を、アロンの家系の祭司たちに与えた。他の用途のために取り分けられた10分の1もあった。クリスチャンは10分の1を納めることを求められていない。

自由民 ローマの支配下で、「自由民」は生まれながらに自由であり、市民権を与えられていた。一方、奴隷状態から解放されて「自由民」になった人(解放奴隷)もいた。公式に解放された人はローマの市民権を得たが、官職に就くことはできなかった。非公式に解放された人は、奴隷状態からは解放されたものの、市民としての権利を全面的に与えられたわけではなかった。(コ一 7:22)

主権者 最高の力や権威を持つ者。創造者である

エホバ神は、宇宙の主権者であり、人間を含む全ての創造物を治めて法を定める権利を持っている。「主権者である主」という称号はそのことを強調している。(申 3:24。使徒 4:24)

呪術 邪悪な天使を源とする力を使うこと。(代二 33:6)

主の晩餐 キリストの体を象徴する無酵母パンを食べ、血を象徴するぶどう酒を飲む食事。イエスの死を思い起こすための式。聖書の中でクリスチャンが行うよう命じられている式であり、「記念式」とも呼ばれる。(コ一 11:20, 23-26)

準備の日 安息日の前日の名称。この日にユダヤ人は安息日のために必要な準備を行った。今という金曜日の日没をもって終わり、安息日が始まった。ユダヤ人の1日は夕方から夕方までだった。(マル 15:42。ルカ 23:54)

娼婦 配偶者ではない相手と性関係を持つ女性。特にその行為によってお金を得る人を指す。(元のギリシャ語ポルネーは、「売る」という意味の語根に由来する。) 聖書は男娼にも言及している。売春はモーセの律法で禁じられており、売春行為の報酬はエホバの聖なる所のための寄付として受け入れられなかった。対照的に、異教では神殿娼婦や神殿男娼が収入源となった。(申 23:17, 18。王一 14:24) 聖書の中で「娼婦」という語は比喩表現としても使われており、神を崇拝していると言いつつ何らかの偶像崇拝を行う人や国や組織を指す。例えば「啓示」の書では、「大いなるバビロン」と呼ばれる宗教的な存在が、権力や利益を得ようとして世界の支配者たちと関係を持ったために娼婦として描写されている。(啓 17:1-5; 18:3。代一 5:25, 脚注)

書記 ヘブライ語聖書の写しを作った人。秘書官を指すこともあった。(エズ 7:6, 脚注)

贖罪 ヘブライ語聖書の中で、贖罪には、人々が神に近づいて崇拝できるようにするために犠牲を捧げることが関係していた。モーセの律法の下では、毎年の贖罪の日には捧げられた犠牲をはじめ、さまざまな犠牲が捧げられ、個人や国民全体が罪を犯しても神と和解することを可能にした。そうした犠牲はイエスの犠牲を予告していた。一度限り捧げられたイエスの犠牲は、人類の罪を完全に贖い、人々がエホバと和解できるようにした。(レビ 5:10; 23:28。コロ 1:20。ヘブ 9:12)

贖罪の日 イスラエル人にとって最も重要な聖なる日。ヨム・キプール(「覆いの日」という意味のヘブライ語ヨム ハツキップリムに由来)とも呼ばれ、エタニム10日に祝われた。年に1度、この日にだけ、大祭司は幕屋や後代の神殿の至聖所に入った。そこで、自分自身の罪、レビ族の他の人たちの罪、民の罪のために、犠牲の血を捧げた。この日には聖なる大会が開かれ、断食が行われた。安息日でもあり、通常の仕事をしてはならなかった。(レビ 23:27, 28)

シリア, シリア人 「アラム, アラム人」参照。

しるし 現在もしくは将来の何らかの物事を示す、物体、行為、状況、不思議な現象など。(創 9:12, 13。王二 20:9。マタ 24:3。啓 1:1)

シワン ユダヤの宗教暦の第3の月(政治暦の第9の月)の、バビロン捕囚後の名称。5月半ばから6月半ばまでの期間に相当する。(エス 8:9) 付録 B15参照。

親衛隊 ローマ皇帝の護衛のために組織されたローマ兵の団。やがて強力な政治勢力となり、皇帝を支持したり失脚させたりした。(フィリ 1:13)

新月 ユダヤ人の暦で各月の最初の日に当たり、皆で集まって宴を催し、特別な犠牲を捧げた。後代には、新月の日は国の重要な祭りとなり、人々はその日に仕事をしなかった。(民 10:10。代二 8:13。コロ 2:16)

神聖さ エホバに備わっている性質。道徳的に全く純粋で汚れない、聖なる状態。(出 28:36。サー 2:2。格 9:10。イザ 6:3) 元のヘブライ語の言葉は、人間(出 19:6。王二 4:9)、動物(民 18:17)、物(出 28:38; 30:25。レビ 27:14)、場所(出 3:5。イザ 27:13)、期間(出 16:23。レビ 25:12)、活動(出 36:4)に関して使われる場合、聖なる神のために別にされる、神のためだけに用いられる、神から見て清くされるという考えを伝えている。エホバへの奉仕のために取り分けられていることを指す。ギリシャ語聖書でも、「聖なる」、「神聖さ」と訳されている語は、神のために別にされるという意味を伝えている。人の行動の清さを指して使われることもある。(マル 6:20。コ二 7:1。ペー 1:15, 16)

神聖な秘密 神を源とし、神が予定した時まで秘められ、神が選んだ人たちにだけ啓示される、神

の目的の一面。(マル 4:11。コロ 1:26)

神聖な奉仕 神への崇拜と直接関係がある、神聖な務めや仕事。(ロマ 12:1。啓 7:15)

神聖なものとする エホバ神への奉仕のために、あるいはエホバ神が用いるために、聖なるものとしたり、清めたり、取り分けたりすること。エホバがご自分を神聖なものとすると言う場合には、ご自分の神聖さを創造物全ての前で明らかにすることを指す。(エゼ 38:23。マタ 6:9。ヨハ 17:17。コー 1:2)

芯つまみ 金でできた道具で、トング状の火箸のようなものだったのかもしれない。幕屋と神殿で、ランプの火を消すのに使われた。(出 37:23)

神殿 イスラエル人の崇拜の中心的な場所として、持ち運びができる幕屋の代わりにエルサレムに建てられた建造物。最初の神殿はソロモンによって建てられ、バビロニア人に滅ぼされた。第二神殿はバビロン捕囚からの帰還後にゼルバベルによって建てられ、後にヘロデ大王によって再建された。聖書の中で神殿は「エホバの家」と呼ばれていることが多い。(エズ 1:3; 6:14, 15。代一 29:1。代二 2:4。マタ 24:1) 付録 B8と B11参照。

真の神 ヘブライ語で定冠詞が付いている「神」という語の訳。多くの場合、ヘブライ語では定冠詞を用いることにより、唯一の真の神であるエホバを偽りの神々と区別している。「真の神」という訳は、元のヘブライ語が伝えている意味を正確に表現している。(創 5:22, 24; 46:3。申 4:39)

神罰 エホバが処罰のためにもたらす災厄や病氣。(民 16:49)

申命記 「申命」は「繰り返し命じる」という意味。「申命記」という書名は、「2番目の律法」、「律法の反復」を意味する。ギリシャ語セプトゥアギンタ訳の書名に由来する。

振揺の捧げ物 差し出す犠牲を持っている崇拜者の手の下に、祭司が自分の手を添え、揺り動かしたと考えられる。あるいは、祭司自身が捧げ物を揺り動かした。この行為は、犠牲をエホバに差し出すことを表していた。(レビ 7:30)

心霊術 死んだ人の霊魂が肉体の死後も生き続け、生きている人意思を通わせることができるという信条に基づく慣行。特に、霊媒師を通して死者と接触を持つとすること。「心霊術」と訳

されるギリシャ語ファルマキアは、直訳すると「薬物の使用」という意味。古代において、呪術を行うために邪悪な天使に力を願う求める際に薬物が使われたため、この語が心靈術と結び付けられるようになった。(ガラ 5:20。啓 21:8)

ス

過ぎ越し 毎年アビブ(後のニサン)14日に行われた祭りで、イスラエル人がエジプトから救出されたことを記念した。子羊(または子ヤギ)をほつて焼き、苦菜と無酵母パンと一緒に食べた。(出 12:27。ヨハ 6:4。コヘ 5:7)

スタディオン 長さの単位。1ローマ・マイル(1479.5メートル)の8分の1である、185メートルに相当した。付録B14参照。

ストア派 ギリシャ哲学の一派。理性と自然に従って生きることが幸福につながると信じていた。彼らの見方によれば、真の賢人とは苦痛にも快楽にも無頓着な人だった。(使徒 17:18)

スペルト小麦 質の劣る小麦(*Triticum spelta*)で、穀粒がもみ殻から分離しにくい。(出 9:32)

隅石 建物の壁と壁が出合う角に据えられた石で、2つの壁をつなぎ合わせる上で重要な役割を果たした。最も重要な隅石は土台の隅石で、公共の建物や都市の城壁を建てる際には普通、特に頑丈な石が選ばれた。この語は地球の始まりに関連して比喩的な意味で使われており、イエスは家に例えられているクリスチャン会衆の「土台の隅石」と呼ばれている。(エフ 2:20。ヨブ 38:6)

スルテス湾 北アフリカのリビア沿岸にあった2つの大きな浅い湾。潮によって絶えず位置が変わる砂州があり、危険だったため、古代の船乗りたちに恐れられていた。(使徒 27:17) 付録B13参照。

セ

セア 乾量の単位。液量の単位であるバトに基づいて計算すると、7.33リットルになる。付録B14参照。

正義 「正しいこと、正しさ」参照。

聖所 幕屋や神殿の第一の部屋。2つある部屋のうちの大きい方で、奥の部屋である至聖所と区別される。幕屋の聖所には、金のランプ台、金をかぶせた香の祭壇、供えのパンの食卓、金でできた器具があった。神殿の聖所には、金の祭壇が1つ、金のランプ台が10個、供えのパンの食卓が10

個あった。(出 26:33。ヘブ 9:2) 付録B5とB8参照。

聖柱 大抵は直立した石柱で、バアルや他の偽りの神々の陰茎を象徴していたと考えられる。(出 23:24)

性的不道徳 ギリシャ語ポルネイアの訳で、この語は聖書の中で、神に禁じられた性的な行動を指して使われている。姦淫、売春、結婚していない人同士の性関係、同性愛、獣姦などが含まれる。「啓示」の書では比喩的な意味で使われ、「大いなるバビロン」と呼ばれる宗教上の娼婦が権力や利益を得ようとして世界の支配者たちと関係を持ったことを表している。(啓 14:8; 17:2; 18:3。マタ 5:32。使徒 15:29。ガラ 5:19)「娼婦」参照。

聖なる 神聖であること。「神聖さ」参照。

聖なる力 神がご自分の望むことを成し遂げるために送り出す、目に見えない力。一般的に「聖霊」と呼ばれることが多い。聖なる力といえるのは、最高度に清く正しい方であるエホバを源とする力であり、エホバが聖なる事柄を成し遂げるために用いるからである。(ルカ 1:35。使徒 1:8)

聖なる所 崇拜のために取り分けられた聖なる場所。ほとんどの場合、幕屋かエルサレムの神殿を指す。神の天の住まいを指す場合もある。(出 25:8, 9。王二 10:25。代一 28:10。啓 11:19)

聖木 元のヘブライ語アシェラーは、(1) カナン人の豊作の女神アシェラを表す聖木か、(2) 女神アシェラそのものを指す。聖木は真つすぐに立てられ、少なくとも一部が木製だったと思われる。彫刻が施されていない木の柱か、もしかすると樹木だったのかもしれない。(申 16:21。裁 6:26。王一 15:13)

誓約 神に対して行う厳粛な約束。何かを行うこと、捧げ物や供え物をする、何らかの奉仕を始めること、それ自体は違法ではない物事を避けることなどを誓う。(民 6:2。伝 5:4。マタ 5:33)

誓約の捧げ物 人が特定の誓約をした際に自発的に捧げた捧げ物。(レビ 23:38。サー 1:21)

ゼウス 多神教を奉じるギリシャ人の最高神。ルステラの人々は誤ってバルナバをゼウスだと考えた。ルステラの付近で発見された古代の碑文は、「ゼウスの祭司たち」や「太陽神ゼウス」に言及している。パウロがマルタ島から乗った船に

は、「ゼウスの子たち」つまり双子の兄弟カストルとポリュクスの船首像が付いていた。(使徒 14:12; 28:11)

雪花石こう エジプトのアラバストロン付近で採掘されていた石で、香油を入れる小さなつぼを作るのに使われた。つぼは普通、貴重な香油が漏れないように栓をするため、首の部分が細くなっていた。(マル 14:3, 脚注)

セラ 音楽や朗唱に関係した専門用語で、「詩編」とハバクク書に出てくる。黙想のために、あるいは表現された感情を際立たせるために、歌唱が演奏かその両方を休止するという意味かもしれない。ギリシャ語セプトウアギンタ訳ではディアブサルマと訳されており、その語は「間奏」と定義されている。(詩 3:4。ハバ 3:3)

セラフ 天のエホバの王座の周りで仕えている天使。ヘブライ語のセラフイームは、直訳すると「燃えている者たち」という意味。(イザ 6:2, 6)

善悪の知識の木 エデンの園にあった木。神はこの木を、人間にとって何が「善」で何が「悪」かの基準を定めるご自分の権利の象徴として用いた。(創 2:9, 17)

戦車 「兵車」参照。

全焼の捧げ物 祭壇の上で動物(雄牛, 雄羊, 雄ヤギ, ヤマバト, 若いイエバト)を焼いた犠牲で、全てが神に捧げられた。動物の一部が崇拝者の手に残ることはなかった。(出 29:18。レビ 6:9)

占星術師 太陽や月や星の動きを観察し、将来に起きる事柄を予告する人。(ダニ 2:27。マタ 2:1)

ソ

相続人 聖書の中で「相続人」という語は多くの場合、神から財産を受ける人という意味で使われている。財産とは、王権や永遠の命といった、神からの祝福を表している。「相続人」は神の子供として財産を授けられるが、当然のことながら神が死ぬわけではない。

底知れぬ深み 「非常に深い」、「計り知れない」、「果てしない」といった意味のギリシャ語アビュッソスの訳。ギリシャ語聖書の中で、拘禁するための場所や拘禁されている状態を指して用いられている。墓をも指すが、その意味に限定されている。(ルカ 8:31。ロマ 10:7。啓 20:3)

供えのパン 幕屋や神殿の聖所にあった食卓の上に、6つずつ重ねて2つの山にして置かれた12個

のパン。「重ねのパン」や「供え物のパン」とも呼ばれる。安息日ごとに新しいパンが神に捧げられた。取り除かれた古いパンは、通常、祭司だけが食べた。(代二 2:4。マタ 12:4。出 25:30。レビ 24:5-9。ヘブ 9:2) 付録B5参照。

そばめ 正妻ではない妻のこと。多くの場合、奴隷の女性だった。(出 21:8)

ソロモンの柱廊 イエスの時代の神殿の、外側の庭の東側にあった、屋根のある通路。一般にソロモンの神殿の名残だったと考えられている。イエスはある「冬」にそこを歩いた。また、初期のクリスチャンは崇拝のためにそこに集まった。(ヨハ 10:22, 23。使徒 5:12) 付録B11参照。

タ

ターバン 頭飾りとして頭に巻く布。大祭司は上等の亜麻布のターバンを着け、その前面には青ひもで金の板が固定された。王は冠の下にターバンを着けた。ターバンが比喩表現として用いられた例として、ヨブは自分の公正さをターバンになぞらえた。(出 28:36, 37。ヨブ 29:14。エゼ 21:26)

大患難 「患難」に相当するギリシャ語は、切迫した状況によって生じる苦難という考えを伝えている。イエスは、エルサレムが前例のない「大患難」に見舞われると述べた。また、将来自分が「栄光を帯びて……来る」時、全人類が「大患難」に直面することに注意を引いた。(マタ 24:21, 29-31) パウロは大患難を、「神を認めない人々」とイエス・キリストについての「良い知らせに従わない人々」に対して神が取る正当な行動として描いている。啓示 19章によれば、イエスは天の軍勢を率いて「野獣と地上の王たちとその軍勢」と戦うことになる。(テサニ 1:6-8。啓 19:11-21) 「大衆衆」が大患難を生き延びることになっている。(啓 7:9, 14) 「ハルマゲドン」参照。

大祭司 モーセの律法の下、神の前で民を代表した主要な祭司。他の祭司たちを監督した。「祭司長」とも呼ばれる。(代二 26:20。エズ 7:5) 大祭司だけが、幕屋や後代の神殿の奥の部屋である至聖所に入ることができた。年に1度の贖罪の日だけに入った。イエス・キリストも「大祭司」と呼ばれている。(レビ 16:2, 17; 21:10。マタ 26:3。ヘブ 4:14)

太守 バビロニア帝国とペルシャ帝国で、王の代

理として州を治めた人。主要な支配者として王により任命された。(エズ 8:36。ダニ 6:1)

体制 ギリシャ語アイオーンの訳で、特定の期間、時期、または時代を特色づける情勢や特徴を指す。聖書が述べる「今の体制」とは、世の中の状況や世俗的な生き方のこと。(テモニ 4:10) 神は律法契約により、イスラエル人の時代もしくはユダヤ人の時代とも呼べる体制が始まるようにした。イエス・キリストは神に用いられ、贖いの犠牲によって別の体制をもたらした。それは聖なる力によって選ばれたクリスチャンの会衆が主に関係する体制で、律法契約によって予告されていた実体の特徴とする新しい時代の始まりだった。「体制」という表現は、これまでに存在した、またはこれから存在するようになるさまざまな体制つまり情勢を指すこともある。(マタ 24:3。マル 4:19。ロマ 12:2。コー 10:11)

体制の終結 サタンに支配された体制もしくは物事の状態が、終わりに至る時期のこと。キリストの臨在の期間と重なっている。イエスの導きの下、天使たちが「正しい人の中から邪悪な人をより分け、滅ぼす。(マタ 13:40-42, 49) イエスの弟子たちは、その「終結」がいつなのかに関心を持っていた。(マタ 24:3) イエスは天に戻る前に、体制の終結まで弟子たちと共にいると約束した。(マタ 28:20)

高い場所 丘や山や人工の土台の上に設けられた、崇拜のための場所。真の神の崇拜のために使われることもあったが、多くの場合、異教の偽りの神々を崇拜するために用いられた。(民 33:52。王一 3:2。エレ 19:5)

ダゴン フィリスティア人の神。語源は不明だが、ヘブライ語のダーク(魚)と結び付ける学者もいる。(裁 16:23。サー 5:4)

正しいこと、正しさ 聖書の中では、正邪に関する神の基準に基づく正しい事柄や状態のこと。「正義」とも表現される。(格 8:20; 11:4。創 15:6。申 6:25。ゼバ 2:3。マタ 6:33)

正しいと認める 原語の表現には、いかなる嫌疑をも晴らす、無罪とする、潔白な正しい者と見なすといった考えが含まれている。人が正しいと認められるのは、自分の功績によるのではなく、あくまでもエホバ神の惜しみない親切による。(ロマ 3:20, 26。ガラ 2:16)

脱穀 穀粒を茎やもみ殻から分ける作業。その作業を行う場所を脱穀場という。棒を使って手作業で行うか、量が多い場合には動物が引く脱穀そりやローラーなどの特別な器具を使った。脱穀場は普通、風が吹く小高い場所にある平らな円形の場所で、地面に穀物の束を広げてその上で動物に器具を引かせた。(レビ 26:5。イザ 41:15。マタ 3:12)

ダビデの子 しばしばイエスを指して使われる表現。ダビデと結ばれた契約に基づき、イエスがダビデの子孫として王国を受け継ぐ者である、ということ強調している。(マタ 12:23; 21:9)

ダビデの町 ダビデがエブスを征服し、そこに王宮を建てた後、その町に付けられた名前。シオンとも呼ばれる。エルサレムの南東部に位置し、エルサレムで最も古い部分に当たる。(サニ 5:7。代一 11:4, 5)

タラント ヘブライ人が用いた重量と貨幣の単位のうち最大のもの。重さは34.2キログラムだった。ギリシャのタラントはもっと軽く、約20.4キログラム。(マタ 18:24) 付録B14参照。

ダリク ペルシャの金貨で、重さは8.4グラム。(代一 29:7) 付録B14参照。

タルシシュの船 元々は古代タルシシュ(現在のスペイン)まで航海した船の呼称だった。やがて、長距離航海が可能な大型船を指すようになったと思われる。ソロモンとエホシャファトはそうした船を使って貿易を行った。(王一 9:26; 10:22; 22:48)

タルタロス ギリシャ語聖書で言及されている、牢獄のような卑しめられた状態のこと。ノアの時代に不従順な天使たちがそこに投げ込まれた。ペテロ第二 2章4節でタルタロオー(「タルタロスに投げ込む」という動詞が使われているが、それは「罪を犯した天使たち」が異教の神話に出てくるタルタロス(劣った神々が入られる地下牢および暗闇の場所)に投げ込まれたという意味ではない。不従順な天使たちは神によって卑しめられ、天での持ち場や務めを失い、極めて深い精神的暗闇の中にいて、神の輝かしい目的を認識できない状態にある。彼らの行く末も暗く、聖書によれば、彼らの支配者である悪魔サタンと共に永遠に滅ぼされることになる。従ってタルタロスは、反逆した天使たちの最も低く卑しめられた状態

を指している。啓示 20章1-3節で述べられている「底知れぬ深み」とは違う。

断食 一定の期間、何も食べないこと。イスラエル人は、贖罪の日に、また苦難の時や神の導きが必要な時に、断食をした。ユダヤ人は歴史上の悲惨な出来事を思い起こすために、年に4回の断食を定めた。クリスチャンに断食は求められていない。(エズ 8:21。イザ 58:6。ルカ 18:12)

男娼 配偶者ではない相手と性関係を持つ男性。「娼婦」参照。

担保 借金を返済することの保証として、借り手が貸し手に渡した所有物。モーセの律法には担保に関する規定があり、国民の中の貧しくて立場の弱い人たちが保護された。(出 22:26。エゼ 18:7)

タンムズ (1) 神の名前。背教したヘブライ人の女性たちがエルサレムでこの神のために泣いた。元々は人間の王で死後に神格化された、と考えられてきた。シュメール語の文書の中でタンムズはドゥムジと呼ばれ、豊作の女神イナンナ(バビロンのイシュタル)の夫または愛人とされている。(エゼ 8:14) (2) ユダヤの宗教暦の第4の月(政治暦の第10の月)の、バビロン捕囚後の名称。6月半ばから7月半ばまでの期間に相当する。付録B15参照。

チ

誓い ある事柄が真実だとはっきり宣誓することや、特定のことを行う、もしくは行わないと厳粛に約束すること。誓いは多くの場合、上位者、特に神に対してなされる誓約である。エホバは誓いにより、アブラハムとの契約の確かさを示した。(創 14:22。ヘブ 6:16, 17)

仲介者 二者を和解させるため間に入る人。聖書の中で、モーセは律法契約の仲介者、イエスは新しい契約の仲介者である。(ガラ 3:19。テモ 2:5)

柱頭 柱の最上部の、装飾が施された部分。ソロモンの神殿の前に立っていた、ヤキンとボアズという2本の柱には、大きな柱頭があった。(王 7:16) 付録B8参照。

長官 バビロニアの政府で、太守より低い地位の役人。聖書によれば、バビロンの宮廷の賢人たちの上に立つ人だった。メディア人のダリウス王の治世中の記述でも言及されている。(ダニ 2:48; 6:7)

長老、年長者 年長の男性のことだが、聖書の中では特に、国や共同体で権威や責任のある立場に就いている人を指す。「啓示」の書では、天にいる者たちが「長老」と呼ばれている。ギリシャ語プレスビュテロスは、会衆内で教え導く責任を持つ人たちを指す場合に「長老」と訳される。(出 4:29。格 31:23。テモ 5:17。啓 4:4)

ツ

塚 元のヘブライ語ミロは、「満たす」という意味の語根語に由来する。セプトゥアギンタ訳では「要塞」と訳されている。「ダビデの町」の地理上または構造上の特徴だったと思われるが、厳密にどのようなものだったかは分かっていない。(サニ 5:9。王 11:27)

突き棒 先端にとがった金具が付いた長い棒で、動物を突いて動かすのに使われた。聖書は突き棒を賢い人の言葉に、すなわち聞いた人を行動へと促す知恵のある助言に例えている。「突き棒を蹴[る]」という比喩表現は、棒で突かれた時に蹴り返して痛い目に遭う強情な牛の行動に由来する。(使徒 26:14。裁 3:31)

償い 「贖罪」参照。

償いのための覆い 契約の箱の覆い、つまりふた。大祭司は贖罪の日にその覆いの前に罪の捧げ物の血をはな掛けた。元のヘブライ語の表現は、「(罪を)覆い隠す」または「(罪を)拭い去る」という意味の語根動詞に由来する。覆いは純金でできていて、両端にケルブが1つずつあった。単に「ふた」と呼ばれていることもある。(出 25:17-22。代 1:28。ヘブ 9:5) 付録B5参照。

角 動物の角は、飲み物や油の容器、インクや化粧品の入る物、楽器、合図のための道具として使われた。(サ 16:1, 13。王 1:39。エゼ 9:2) 「角」はしばしば、力、征服、勝利を表す比喩表現としても使われている。(申 33:17。ミカ 4:13。ゼカ 1:19)

罪 「罪」と訳されるヘブライ語とギリシャ語の言葉は、目標的を「外す」ことを意味している。いわゆる犯罪にとどまらず、正しさに関する神の基準から外れたあらゆる事柄が含まれる。聖書にある通り、最初の人間が神に逆らって罪を負ったため、全ての人間は生まれながらに罪を受け継いでいる。(詩 51:3。ヨハ 8:34。ロマ 5:12)

罪の捧げ物 不完全な人間の弱さのゆえに、意図

せずに犯した罪のために捧げられた犠牲。罪が贖われる人の立場や状況に応じて、雄牛からイエバトまでさまざまな動物が捧げられた。(レビ 4:27, 29。ヘブ 10:8)

テ

ティシュリ 「エタニム」と付録B15参照。

デカポリス ギリシャ語で「10」を意味するデカと、「町」を意味するポリスに由来する。ギリシャ人の町の連盟で、元々は10の町だった。それらの町の大半があった、ガリラヤ湖とヨルダン川の東の地方の名称でもあった。町はギリシャ人の文化や交易の中心地だった。イエスはその地方を通ったが、いずれかの町に入ったという記録はない。(マタ 4:25。マル 5:20) 付録A7とB10参照。

デナリ ローマの銀貨で、重さが約3.85グラムあり、片面にカエサルの肖像があった。労働者の1日分の賃金に相当し、ローマ人がユダヤ人から取り立てた「人頭税」の硬貨だった。(マタ 22:17。ルカ 20:24) 付録B14参照。

デベト ユダヤの宗教暦の第10の月(政治暦の第4の月)の、バビロン捕囚後の名称。12月半ばから1月半ばまでの期間に相当する。単に「第10の月」と呼ばれていることが多い。(エス 2:16) 付録B15参照。

テラフィム 家の神または偶像。人々は吉凶を判断するためにそれに何いを立てることがあった。(エゼ 21:21) 人の形をした等身大のものもあれば、ずっと小さなものもあった。(創 31:34。サー 19:13, 16) メソポタミアで出土した文書によると、テラフィム像を持つことは家族の相続財産を得ることと関係があったと思われる。(ラケルが父親のテラフィムを取ったのも、このためかもしれない。) イスラエルではそのような慣習はなかったようだが、裁き人や王たちの時代にテラフィムが偶像崇拝に使われていた。忠実なヨシヤ王が除き去った物の中にテラフィムも含まれていた。(裁 17:5。王二 23:24。ホセ 3:4)

手を置く 人に手を置くことによって、特別な仕事のために任命したり、祝福があるように願ったり、癒やしたり、神の聖なる力による贈り物を授けたりした。犠牲として捧げる動物に手を置くことも行われた。(出 29:15。民 27:18。使徒 19:6。テモ 5:22)

天使 ヘブライ語のマルアークおよびギリシャ語の

アングロスの訳。どちらの語も直訳すると「使者」であるが、天からの使者を指す場合は「天使」と訳される。(創 16:7; 32:3。ヤコ 2:25。啓 22:8) 天使は目に見えない強力な存在で、人間が創造されるよりもずっと前に神によって創造された。聖書の中で、「無数の聖なる者」、「神の子たち」、「明けの星」とも呼ばれている。(申 33:2。ヨブ 1:6; 38:7) 生殖するには造られておらず、個々に創造された。数は優に1億を超える。(ダニ 7:10) 聖書によれば天使はそれぞれ名前と個性を持つが、謙遜にも崇拜されることを拒み、大抵は自分の名前さえ明らかにしない。(創 32:29。ルカ 1:26。啓 22:8, 9) 幾つかの階級があり、さまざまな役割を与えられている。例えば、エホバの王座の前で仕え、エホバの言葉を伝え、地上でエホバに仕えている人たちのために行動し、神による刑を執行し、良い知らせの伝道を後押しする。(王二 19:35。詩 34:7。ルカ 1:30, 31。啓 5:11; 14:6) 将来にはハルマゲドンの戦いでイエスと共に戦う。(啓 19:14, 15)

天使長 聖書の中で「天使長」と訳されている語は単数形であるため、天使長はひとりしかいないことが示唆されている。聖書によれば天使長はミカエルという名前を持つ。(ダニ 12:1。ユダ 9。啓 12:7)

天の女王 エレミヤの時代の背教したイスラエル人が崇拝していた女神の称号。バビロンの女神イシュタル(アスタルテ)のことだという見方もある。イシュタルはシュメールでイナンナと呼ばれていた女神に相当し、イナンナという名前には「天の女王」という意味がある。この女神は天と結び付けられていただけでなく、豊作の女神でもあった。アスタルテもエジプトの碑文の中で「天の淑女」と呼ばれている。(エレ 44:19)

てんびん棒 両端に荷物をぶら下げて肩に担ぐ棒。奴隷はよくてんびん棒を使って重い荷を運んだため、原語(「くびき」とも訳される)は、奴隷状態や誰かに服従していること、また圧迫や苦しみを表す比喩表現として使われている。てんびん棒やくびきを取り除いたり折ったりすることは、束縛や圧迫や搾取からの解放を意味した。(レビ 26:13, 脚注。マタ 11:29, 30, 脚注)

ト

陶芸家 粘土を使ってつばや皿などを作る人。元のヘブライ語は直訳すると「形作者」という意

味。陶芸家は粘土を意のままにできるため、個人や国家に対するエホバの主権を示す例えとして度々使われる。(イザ 64:8。ロマ 9:21)

ドラクマ ギリシャ語聖書では、ギリシャの銀貨を指す。当時の重さは3.4グラムだった。ヘブライ語聖書に出てくる、ペルシャ時代のドラクマ金貨は、ダリクと同一視されている。(ネヘ 7:70。マタ 17:24) 付録B14参照。

奴隷 聖書時代には奴隷を持つことが一般的だった。奴隷は必ずしも主人から厳しく扱われたわけではなく、大切にされて重要な仕事を任せられることもあった。クリスチャンは、イエスの貴重な血によって買われたので、奴隷と呼ばれている。クリスチャンのバプテスマを受ける人は奴隷として、主人であるエホバ神とイエス・キリストに進んで仕える。(出 21:2。ロマ 1:1。ペー 2:16)

ナ

ナザレ人 ナザレという町の出身であるイエスがそう呼ばれた。イザヤ 11章1節で「芽」と訳されているヘブライ語と関連がある語と思われる。後にイエスの弟子たちもナザレ人と呼ばれた。(マタ 2:23。使徒 24:5)

ナジル 「選び出された者」、「献じられた者」、「分けられた者」という意味のヘブライ語に基づく言葉。ナジルには2種類あり、自ら申し出た人たちと、神により任命された人たちがいた。男女を問わず、エホバに特別な誓約をして一定期間ナジルとして生活することができた。自らこの誓約をする人には、主に3つの制限があった。酒を飲んだりブドウを食べたりしてはならず、髪を切ってはならず、死体に触れてはならなかった。神により任命された人は、生涯ナジルとして暮らし、エホバが定めた要求に従った。(民 6:2-7。裁 13:5)

七週の祭り 「ペンテコステ」参照。

ナルド カンシヨウ(*Nardostachys jatamansi*)から採られた、赤みがかった高価な香油。高級品だったため、質の劣った油が混ぜられることが多く、偽物が出回ることもあった。注目できる点として、マルコもヨハネも「純粋のナルド」がイエスに注がれたと述べている。(マタ 14:3。ヨハ 12:3)

ニ

ニガヨモギ 強烈な苦味と強い芳香がある、さまざまな植物の総称。聖書の中で、不道徳、奴隷状態、不公正、背教の苦しい影響を表す比喻表

現として使われている。啓示 8章11節に出てくる「ニガヨモギ」は、アブサンとも呼ばれる苦い毒物を指している。(申 29:18。格 5:4。エレ 9:15。アモ 5:7)

ニサン ユダヤの宗教暦の第1の月(政治暦の第7の月)であるアビブの、バビロン捕囚後の名称。3月半ばから4月半ばまでの期間に相当する。(ネヘ 2:1) 付録B15参照。

乳香 ボスウェリア属の樹木から採れる樹脂。燃やすと芳香を放つ。幕屋と神殿で使われた聖なる香の成分だった。乳香は、穀物の捧げ物や、聖所に2つの山にして置かれた供えのパンに添えられた。(出 30:34-36。レビ 2:1; 24:7。マタ 2:11)

庭 幕屋の周りの、また後には神殿の主な建物の周りの、囲われた場所。幕屋の庭や神殿の内側の庭には、全焼の捧げ物の祭壇があった。(付録B5, B8, B11参照。) 聖書には家や宮殿の庭も出てくる。(出 8:13; 27:9。王一 7:12。エス 4:11。マタ 26:3)

ネ

ネティニム 神殿の使用人または奉仕者で、イスラエル人ではない人たち。ヘブライ語を直訳すると「与えられた人たち」という意味で、神殿での仕事のために与えられたという考えが示唆されている。ネティニムの多くはギベオンの人たちの子孫だったと思われる。ヨシュアはギベオンの人たちを「民およびエホバの祭壇のためにまきを集める者、水をくむ者」とした。(ヨシ 9:23, 27。代一 9:2。エズ 8:17)

ネヒロト 詩編 5編の表題にある、意味がはっきりしない語。ハーリール(笛)と関連のあるヘブライ語の語根語と結び付けて、管楽器を指すのではないかと考える人々もいる。しかし、ある旋律を指すのかもしれない。

ネフィリム ノアの時代の大洪水より前に、肉体を着けた天使たちと人間の女性たちとの間に生まれた子供たちで、凶暴だった。(創 6:4)

ネフェシュ 一般的に「魂」と訳されることがあるヘブライ語の言葉。これに相当するギリシャ語はプシュケー。これらの語が聖書の中でどのように使われているかを調べると、基本的に以下のものを指していることが分かる。(1) 人、(2) 動物、(3) 人や動物の命。(創 1:20; 2:7。民 31:

28. ペー 3:20. それぞれの脚注も参照。) 多くの宗教が教える「魂」の概念とは異なり、聖書によれば、地球上の生き物に関して用いられているネフェシュとプシュケーは、目に見える有形のもので触れることができ、不滅ではない存在を指す。「新世界訳」では、これらの語が文脈に応じて、「命」、「生き物」、「人」、「自分の全て」といった表現に訳されている。単に「私」などの人称代名詞になっている箇所もある。「自分の全て」を尽くして何かを行うという場合、全身全霊、誠心誠意、人生を懸けて、といった意味合いを持つ。(申 6:5. マタ 22:37) 文脈によってはネフェシュやプシュケーが、生き物の持つ願望や食欲、死んだ人や死体を指すこともある。(民 6:6. 格 23:2. イザ 56:11. ハガ 2:13)

ノ

飲み物の捧げ物 祭壇の上に注がれたぶどう酒の捧げ物。他のほとんどの捧げ物と一緒に捧げられた。パウロはこの捧げ物に言及し、クリスチャンの仲間のために自分を進んで差し出す気持ちを表現した。(民 15:5, 7. フィリ 2:17)

ハ

派 特定の教義や指導者に従い、独自の信条を持つ人々の集団。ユダヤ教の2つの著名な教派は、バリサイ派とサドカイ派と呼ばれた。クリスチャンではない人たちがキリスト教を「ナザレ人一派」などと呼んだのは、ユダヤ教から分離した一派と見なしていたからかもしれない。やがてクリスチャン会衆の中でも分派が生じた。「啓示」の書では「ニコラオ派」に言及されている。(使徒 5:17; 15:5; 24:5; 28:22. 啓 2:6. ペニ 2:1)

バアル カナン人の神で、天空の所有者と見なされ、雨や豊作をもたらすと信じられていた。さまざまな地方神も「バアル」と呼ばれていた。このヘブライ語には、「所有者」また「主人」という意味がある。(王一 18:21. ロマ 11:4)

背教 元のギリシャ語アポスタシアは、「離れて立つ」という意味の動詞に由来する。この名詞には、「遺棄」、「放棄」、「反逆」といった意味がある。ギリシャ語聖書の中で「背教」という言葉は、主に真の崇拜を捨てて離れていく人たちに用いて使われている。(格 11:9. 使徒 21:21. テサ二 2:3)

墓 個々の人が葬られた場所を指す場合と、死ん

だ人たちが眠っている比喩的な場所を指す場合がある。比喩的な場所の場合、ヘブライ語では「シェオル」、ギリシャ語では「ハデス」という言葉が使われている。聖書によれば、それは全く無活動で無意識の状態を表す。(創 47:30. 伝 9:10. 使徒 2:31)

恥知らずな行い ギリシャ語アセルゲイアの訳。神の律法に対する重大な違反であり、恥知らずで厚かましい態度が表れた行為を指す。権威や律法や基準に対する不敬や、それらを軽蔑する精神が見られる。軽微な悪い行いを指すのではない。(ガラ 5:19. ペニ 2:7)

柱 建物を支える直立した構造物、またそれに似た形状の物。記念碑を指すこともある。ソロモンが建てた神殿や王宮には、多くの柱があった。異教の民は偽りの宗教に関連した聖柱を立て、イスラエル人もその慣習の影響を受けた。(裁 16:29. 王一 7:21; 14:23) 「柱頭」参照。

初子 主に、父親にとって最年長の息子のこと(必ずしも母親が最初に産んだ子ではない)。聖書時代に長男は家族の中で栄誉ある立場を持ち、父親が死んだ時に家長となった。この語は動物の最初の雄の子をも指す。(創 25:33. 出 11:5; 13:12. コロ 1:15)

バッタ 大群で移動する習性を持つバッタ類の総称。モーセの律法では食べてよい清いものとされていた。行く手にある植物などを食い尽くし、土地をひどく荒廃させるバッタの大群は、災厄と見なされた。(出 10:14. マタ 3:4)

初物 収穫の季節に最初に取れた物、また何らかの物事の最初の結果や産物。エホバはイスラエル国民に、人であれ動物であれ作物であれ、最初のものご自分に捧げるよう求めた。イスラエル国民は無酵母パンの祭りとペンテコステの際に、初物を神に捧げた。キリストと選ばれた弟子たちは比喩的な意味で「初物」と呼ばれている。(民 15:21. 格 3:9. コー 15:23, 脚注. 啓 14:4)

ハデス ヘブライ語の「シェオル」に相当するギリシャ語で、死んだ人たちが眠っている比喩的な場所を指す。「墓」と訳されている。「墓」参照。

バト 液量の単位。この語が書かれたつぼのかけらなどの出土品からすると、約22リットルだったと推定される。聖書に出てくる他の乾量や液量の

単位のほとんどは、バトの推定容量に基づいて計算される。付録B14参照。

パピルス アシに似た水生植物で、籠や器や舟を作るのに使われた。一種の紙の材料にもなり、巻物に広く使われた。(出 2:3)

バプテスマ 「バプテスマを施す」と訳されるギリシャ語の動詞には、「浸す」つまり水に沈めるという意味がある。イエスは、自分の弟子になる人はバプテスマを受けなければならないと述べた。聖書は、ヨハネのバプテスマ、聖なる力によるバプテスマ、火によるバプテスマなどにも言及している。(マタ 3:11, 16; 28:19。ヨハ 3:23。ペー 3:21)

パラダイス、楽園 美しい庭園、または庭園のような場所。最初のパラダイスはエデンの園であり、エホバが最初の人間のために造った。イエスは苦しみの杭に掛けられた時、隣にいた犯罪者とのやりとりの中で、地球がパラダイスになることを示した。コリント第二 12章4節は将来のパラダイスについて述べていると考えられる。啓示 2章7節は天のパラダイスに言及している。(ソロ 4:13。ルカ 23:43)

パリサイ派 西暦1世紀のユダヤ教の著名な教派。パリサイ派の人たちは祭司の家系の出ではなかったが、モーセの律法を細部まで厳格に守り、口頭伝承を律法と同じほど重視した。(マタ 23:23) ギリシャ文化の影響を排除しようとし、律法と伝承に通じている者として一般の人々に対して絶大な権力を振るった。(マタ 23:2-6) パリサイ派の中にはサンヘドリンの成員もいた。パリサイ派の人たちは、安息日や伝統を守ること、罪人や徴税人と交流を持つことを巡って、しばしばイエスと対立した。中にはタルソスのサウロのようにクリスチャンになった人もいる。(マタ 9:11; 12:14。マル 7:5。ルカ 6:2。使徒 26:5)

ハルマゲドン 元のヘブライ語ハル メギッドーンは「メギドの山」を意味する。この語は「全能の神の偉大な日の戦争」と結び付けられており、その時には「全世界の王たち」がエホバと戦うために集まる。(啓 16:14, 16; 19:11-21) 「大患難」参照。

反キリスト 元のギリシャ語には二重の意味がある。まず、キリストに反対している者を指す。また、偽キリスト、すなわちキリストのふりをする者も指

し得る。個人であれ組織であれ団体であれ、キリストの代理を務めていると偽ったり、メシアだと主張したり、キリストとその弟子たちに反対したりする場合、反キリストと呼ぶことができる。(ヨ一 2:22)

パン種、酵母 パン生地や液体を発酵させるために加える物質。特に、発酵させたパン生地の一部を取っておいたもの。聖書では罪や腐敗の象徴としてよく用いられる。目に見えない成長が広がっていく様子を指すこともある。(出 12:20。マタ 13:33。ガラ 5:9)

ヒ

ヒガヨン 音楽上の指示である専門用語。詩編 9編16節で使われている。たて琴による荘重な間奏か、黙想を促す厳かな休止のことかもしれない。

ヒソブ 細かい枝葉のある植物で、清めの儀式の際に血や水を振り掛けるために使われた。マジョラムの類似(*Origanum maru*, *Origanum syriacum*)かもしれない。ヨハネ 19章29節のヒソブは、枝に結わえ付けたマジョラムか、モロコシ(*Sorghum vulgare*)の一種であるアズキモロコシだったのかもしれない。アズキモロコシは茎が長いので、酸味の強いぶどう酒を含ませた海綿をイエスの口元に差し出すのに使えたと考えられる。(出 12:22。詩 51:7)

人の子 原語の表現は福音書に約80回出ており、イエス・キリストを指す。イエスが単に肉体を着けた天使ではなく、人から生まれた人間だったことを示している。また、イエスがダニエル 7章13、14節の預言を実現する方であることも示唆している。ヘブライ語聖書では、エゼキエルとダニエルが「人の子」と呼ばれており、代弁者である人間と、彼らが伝えた言葉の源である神との違いが強調されている。(エゼ 3:17。ダニ 8:17。マタ 19:28; 20:28)

避難の町 意図せずに人を殺してしまった人が、復讐者から逃れるために避難することができた、レビ族の町。エホバの導きの下、モーセにより、また後にはヨシュアにより、6つの町が指定され、約束の地に点在していた。逃げてきた人は避難の町に着くと、町の門の所で長老たちに事情を話し、温かく迎えられた。故意に人を殺した人がこの取り決めを悪用するのを防ぐため、逃げてきた人は殺人が起きた町で裁判を受け、身の潔白を証明しなければならなかった。潔白が証明され

ると、その人は避難の町に戻された。そして、残りの生涯、もしくは大祭司が死ぬまで、その町の境界内にとどまらなければならなかった。(民 35:6, 11-15, 22-29。ヨシ 20:2-8)

火の湖 「火と硫黄が燃える」象徴的な場所。「第二の死」とも描写されている。罪を悔い改めない人、悪魔、死や「墓」(ハデス)もそこに投げ込まれる。邪悪な天使や死やハデスといった、火の影響を受けないものが投げ込まれることから、火の湖は永遠の責め苦の象徴ではなく、永遠の滅びの象徴であることが分かる。(啓 19:20; 20:14, 15; 21:8)

ピム 重量の単位。また、フィリスティア人が金属製の道具を研ぐ時に請求した代金。イスラエルで発掘された幾つかの石の重りには、「ピム」に相当する古代ヘブライ語の子音字が書かれている。それらの石の重さは平均7.8グラムで、1シェケルのおよそ3分の2に当たる。

病害 菌類によって引き起こされる、植物の病気。聖書でいう病害は黒さび病(病原: *Puccinia graminis*)かもしれないという見方がある。(王 1:8:37)

表題 「詩編」の詩の冒頭にある見出し。作者を明らかにしたり、詩の背景を紹介したり、音楽上の指示を与えたり、詩の用途や目的を示したりする。詩編 3編、4編、5編、6編、7編、30編、38編、60編、92編、102編の表題を参照。

開いた手の幅 大体、手を開いた状態で親指の先から小指の先までの長さ。44.5センチのキュビトを基にして計算すると、約22.2センチになる。付録B14参照。

ヒン 液量の単位および容器の名称。歴史家ヨセフスの著述に基づき、3.67リットルに相当したと考えられている。付録B14参照。

フ

ファラオ エジプトの王の称号。聖書では5人のファラオの名前(シシャク、ソ、ティルハカ、ネコ、ホフラ)が挙げられているが、他のファラオの名前は記されていない。アブラハム、モーセ、ヨセフとの関わりが大きかったファラオたちの名前は分からない。(出 15:4。ロマ 9:17)

フィリスティア、フィリスティア人 イスラエルの南部沿岸地方がフィリスティアと呼ばれるようになった。クレタ島からそこに移住した人たちが

フィリスティア人と呼ばれた。ダビデに征服されたが、独立した状態で存続し、イスラエルの敵であり続けた。(出 13:17。サー 17:4。アモ 9:7) 付録B4参照。

武具 兵士たちが身に着けた、身を守るための装備。かぶと、よろい、ベルト、すね当て、盾など。(サー 31:9。エフ 6:13-17)

ブシュケー 一般的に「魂」と訳されることがあるギリシャ語の言葉。ヘブライ語のネフェシュに相当する。「ネフェシュ」参照。

復活 生き返ること。元のギリシャ語アナスタシスは、直訳すると「起き上がらせること」、「立ち上がる」という意味。聖書には復活の例が9つ記されている。例えば、イエスはエホバ神により復活させられた。他の復活は、エリヤ、エリシャ、イエス、ペテロ、パウロを通して行われたが、明らかに神の力による奇跡だった。「正しい人も正しくない人も」地上に復活することは、神の目的が果たされる上で欠かせない。(使徒 24:15) 聖書は天への復活にも言及している。その復活は「早い方の」復活とか「第一の」復活と呼ばれており、聖なる力によって選ばれた、イエスの兄弟たちの復活を指す。(フィリ 3:11。啓 20:5, 6。ヨハ 5:28, 29; 11:25)

ブドウ搾り場 大抵、天然の石灰岩をくりぬいた2つのくぼみを小さな溝でつないだもの。高い方のくぼみでブドウをつぶすと、低い方のくぼみに果汁が流れ込んだ。この言葉は、神による処罰を表す比喩表現としても使われている。(イザ 5:2。啓 19:15)

ブネウマ 一般的に「霊」と訳されることが多いギリシャ語の言葉。ヘブライ語のルーアハに相当し、いろいろな意味を持つ。「ルーアハ」参照。

プリム 毎年アダル月の14日と15日に行われた祭り。エステル王妃の時代にユダヤ人が滅ぼされずに済んだことを祝った。プリムは「くじ」を意味する語で、ヘブライ語ではない。「プリムの祭り」つまり「くじの祭り」という名称は、ハマンがユダヤ人を撲滅する企てを実行する日を決めるためにブル(くじ)を引いたことに由来する。(エス 3:7; 9:26)

ブル ユダヤの宗教暦の第8の月(政治暦の第2の月)の名称。「生み出す」という意味の語根に由来し、10月半ばから11月半ばまでの期間に相当する。(王 1:6:38) 付録B15参照。

へ

兵車 戦車とも言う。馬で引く2輪の車で、主に戦争で使われた。(出 14:23。裁 4:13。使徒 8:28)

ベエルゼブブ 邪悪な天使の支配者であるサタンを指す名称。フィリスティア人がエクロンで崇拝していたバアルである「バアル・ゼブブ」の変化形かもしれない。(王二 1:3。マタ 12:24)

ヘブライ語 ヘブライ人の言語。イエスの時代には、ヘブライ語にアラム語の表現が多く取り入れられていた。イエスも弟子たちもヘブライ語を話した。(使徒 26:14)

ヘブライ人 最初はアブラム(アブラハム)を指して使われた名称。近隣のアモリ人と区別するためにこう呼ばれた。その後、アブラハムの孫ヤコブの子孫を指すようになった。(創 14:13。出 5:3)

ペルシャ、ペルシャ人 メディア人と共に言及されることの多い国また民族。メディア人と血縁関係にあったと考えられる。ペルシャ人は初期にはイラン高原の南西部だけを領有していた。キュロス大王(古代の歴史家によると、父親はペルシャ人で母親はメディア人)の統治下で、ペルシャ人はメディア人に対して優位に立つようになったが、帝国は共同で治められた。キュロスは西暦前539年にバビロニア帝国を征服し、捕囚にされていたユダヤ人が故国に戻ることを許した。ペルシャ帝国の領土は、東はインダス川、西はエーゲ海にまで及んだ。西暦前331年にアレクサンドロス大王がペルシャ人を打ち破るまで、ユダヤ人はペルシャの統治下にあった。ペルシャ帝国はダニエルが見た幻の中で台頭が予見され、聖書のエズラ記、ネヘミヤ記、エステル記にも出てくる。(エズ 1:1。ダニ 5:28; 8:20) 付録B9参照。

ヘルメス ギリシャの神で、ゼウスの子。ルステラの人々は誤ってパウロをヘルメスと見なした。それは、ヘルメスが神々の使者、また雄弁の神として知られていたことによる。(使徒 14:12)

ヘロデ ローマ帝国によって任命され、ユダヤ人を治めた王家の名称。ヘロデ大王は、エルサレムの神殿を再建したこと、イエスを殺すために幼児を虐殺する命令を出したことで知られている。(マタ 2:16。ルカ 1:5) 息子のヘロデ・アケラオとヘロデ・アンテパスは、ヘロデ大王の領土の一部を譲り受けた。(マタ 2:22) アンテパスは四

分領太守で、一般に「王」と呼ばれている。イエスの3年半に及ぶ宣教の期間中を含め、使徒12章に記されている期間まで治めた。(マル 6:14-17。ルカ 3:1, 19, 20; 13:31, 32; 23:6-15。使徒 4:27; 13:1) その後、ヘロデ大王の孫に当たるヘロデ・アグリッパ1世が、短い期間治めた後、神の天使によって処刑された。(使徒 12:1-6, 18-23) 次いで、アグリッパ1世の息子であるヘロデ・アグリッパ2世が治め始め、その支配はユダヤ人がローマに対して反乱を起こす頃まで続いた。(使徒 23:35; 25:13, 22-27; 26:1, 2, 19-32)

ヘロデ党の人たち ローマから支配権を与えていたヘロデ家の政治目標を支持した国家主義者たち。サドカイ派には、ヘロデ党に属していた人たちがいたと思われる。ヘロデ党の人たちはパリサイ派と手を組んでイエスに反対した。(マル 3:6)

ペンテコステ エルサレムで祝うようユダヤ人の男性全員に義務付けられた年3回の主な祭りのうち、2番目に行われたもの。「50番目(50日目)」を意味するペンテコステはギリシャ語聖書で使われている名称で、ヘブライ語聖書では収穫の祭りまたは七週の祭りと呼ばれている。ニサン16日から数えて50日目に行われた。(出 23:16; 34:22。使徒 2:1)

ホ

捕囚 捕らわれて故国や故郷から追放されること。多くの場合、征服者により布告された。元のヘブライ語の意味は「出発」。イスラエル人は主に2度の捕囚を経験した。北の10部族王国がアッシリア人によって捕囚にされ、後に南の2部族王国がバビロニア人によって捕囚にされた。その後、残りの者がペルシャの支配者キュロスにより故国への帰還を許された。(王二 17:6; 24:15, 16。エズ 6:21)

ホメル 乾量の単位。液量の単位であるコルに相当する。バトの推定容量からすると、220リットルに当たる。付録B14参照。

ボルネイア 「性的不道德」参照。

ホレブ、ホレブ山 シナイ山の周りの山地。シナイ山の別名。(出 3:1。申 5:2) 付録B3参照。

マ

巻物 羊皮紙やパピルス長く貼り合わせ、片面に文字を記したもの。たいいてい軸に巻き付けら

れた。聖書は、当時の一般的な書物の形態だった巻物に記され、書き写された。(エレ 36:4, 18, 23。ルカ 4:17-20。テモニ 4:13)

幕 美しく織られた布。幕屋と神殿で聖所と至聖所を隔てるために使われた幕には、ケルブの刺しゅうが施されていた。(出 26:31。代ニ 3:14。マタ 27:51。ヘブ 9:3) 幕屋の入り口と庭の入り口にも幕があった。(出 26:36; 27:16) 付録B5参照。

幕屋 イスラエル人がエジプトから脱出した後に用いた、持ち運びができる崇拜用の天幕。中にエホバの臨在を表す契約の箱が置かれていた。犠牲を捧げて崇拜を行うための場所で、「会見の天幕」とも呼ばれる。木枠を組み合わせた構造で、ケルブの絵が刺しゅうされた亜麻布で覆われていた。2つの部屋に分かれていて、手前の部屋は聖所、奥の部屋は至聖所と呼ばれた。(ヨシ 18:1。出 25:9) 付録B5参照。

マケドニア ギリシャの北方にあった地域。アレクサンドロス大王の統治下で注目され、ローマに征服されるまでは独立した王国だった。使徒パウロがヨーロッパを初めて訪れた時には、ローマの属州だった。パウロはマケドニアを3度訪れている。(使徒 16:9) 付録B13参照。

マスシル 「詩編」の13の詩の表題にある、意味がはっきりしないヘブライ語。「黙想詩」という意味かもしれない。「思慮深く仕え[る]」と訳されている、よく似た別の語と関連した意味ではないかという見方もある。(代ニ 30:22。詩 32:表題)

全くの専心 神への全くの専心とは、神を熱烈に愛し、自分の心の中で神が占めるべき地位をほかの何ものにも奪われないようにして、そのことが行動にも表れていること。(出 20:5)

マナ イスラエル人が荒野で40年過ごした間の主な食物。エホバが奇跡によって与えた。安息日を除く毎朝、辺り一面に降りた露の下にマナが現れた。初めてそれを見たイスラエル人は、ヘブライ語で「マーン フー」つまり「これは何だろう」と言った。(出 16:13-15, 35) マナは、「天の穀物」(詩 78:24)、「天からのパン」(詩 105:40)、「力の強い者たちのパン」(詩 78:25)とも呼ばれている。イエスも比喩的な意味でマナに言及した。(ヨハ 6:49, 50)

マハラト 音楽用語と考えられる。詩編 53編と88

編の表題にある。「弱くなる」、「病気になる」という意味のヘブライ語の語根動詞と関連があるかもしれない、暗く悲しい曲調を指している可能性がある。そうであれば、「詩編」の2つの歌の陰鬱な内容とも一致する。

幻 昼間や夜間に神が奇跡的な方法で人に見せた光景や情景。人が恍惚状態にある時や夢を見ている時に幻を見ることがあった。(創 46:2。ダニ 8:2。使徒 10:3; 11:5)

マルカム おそらく、アンモン人の主神モレクと同じ神。(ゼバ 1:5) 「モレク」参照。

ミ

ミクタム 「詩編」の6つの詩(詩 16, 56-60)の表題にあるヘブライ語。専門用語で意味ははっきりしないが、「碑銘」という語と関連があるのかもしれない。

道 聖書の中で、特定の行動様式を指す比喻表現として使われる。エホバに受け入れられる道もあれば、退けられる道もある。イエス・キリストの弟子になった人たちは、「この道」の者と言われた。それは、弟子たちがイエス・キリストへの信仰を中心にした生き方をし、イエスの手本に倣っていることを指していた。(使徒 19:9)

導く方 元のギリシャ語の基本的な意味は、「主要な指導者」。「導く方」であるイエス・キリストは、忠実な人間を罪の致死的な影響から解放し、永遠の命へ導くという極めて重要な役割を果たす。(使徒 3:15; 5:31。ヘブ 2:10; 12:2)

ミナ 重量と貨幣の単位。考古学上の証拠によれば1ミナは50シケルで、1シケルは11.4グラムだったので、ヘブライ語聖書の1ミナは570グラムだった。キュビットと同様、ミナにも2つの値があった可能性があり、王室用のミナがあったのかもしれない。ギリシャ語聖書で1ミナは100ドラクマであり、340グラムだった。60ミナは1タラントだった。(ルカ 19:13) 付録B14参照。

見張り 多くの場合、夜間に、人や財産に危害が加えられないように監視する人。危険が迫っている時に警報を鳴らすこともある。都市に近づいてくる者がいないかどうかを見るため、たいてい城壁や塔の上に配置された。軍隊では番兵が見張りを行った。預言者は比喩的な意味でイスラエル国民の見張りとして仕え、滅びが迫っていることを警告した。(王ニ 9:20。エゼ 3:17)

都へ上る時の歌 詩編 120編から134編の表題。原語の表現の意味については諸説あるが、この15の詩はイスラエル人の崇拜者たちが喜びにあふれてエルサレムに上っていく時に歌ったものと考えられている。イスラエル人は毎年、3つの大きな祭りに参加するために、ユダの山地の高い所にあったエルサレムに上った。

明星 または、「明けの星」。日の出前に、東の地平線から最後に上る星で、新しい1日が始まる前触れとなった。(啓 22:16。ペニ 1:19)

ミルコム アンモン人が崇拜した神。おそらく、モレクと同じ神。(王一 11:5, 7) ソロモンは統治の終わりのころ、この偽りの神のために高い場所を築いた。「モレク」参照。

ム

無酵母パンの祭り イスラエル人が祝った年3回の主な祭りの最初のもの。過ぎ越しの翌日のニサン15日に始まり、7日間続いた。エジプトからの脱出を記念して、無酵母パンだけを食べた。(出 13:15。マル 14:1)

むち打ち 結び目やとげなどのあるむちで打ちたくこと。(ヨハ 19:1)

ムト・ラベン 詩編 9編の表題にある語。「息子の死に関して」という意味だと言い伝えられてきた。この詩を歌う時に使われたなじみ深い旋律を持つ曲の、名前が出だしの言葉かもしれないという見方もある。

胸掛け イスラエルの大祭司が聖所に入る時に心臓の所に当てた、宝石で飾られた袋。エホバの判断を伺うために使われたウリムとトンミムが入っていたので、「判断の胸掛け」と呼ばれた。(出 28:15-30) 付録 B5参照。

メ

メシア 「油を注がれた者」つまり選ばれた者を意味するヘブライ語に由来する言葉。これに相当する「キリスト」は、同じ意味のギリシャ語に由来する。(ダニ 9:25。ヨハ 1:41)

メディア、メディア人 メディア人はヤベテの子マダイの子孫。山の多いイラン高原に定住し、そこがメディアという国になった。メディア人はバビロンと手を組んでアッシリアを打ち破った。当時、ベルシャはメディアに従属していたが、キュロスが反逆し、メディアをベルシャに併合した。こうして形成されたメディア・ベルシャ帝国は、西暦

前539年に新バビロニア帝国を打ち破った。西暦33年のペンテコステの時に、エルサレムにはメディア人もいた。(ダニ 5:28, 31。使徒 2:9) 付録 B9参照。

メロダク バビロンの主神。バビロニアの王で法典を制定したハンムラビがバビロンを首都とした後、メロダク(マルドゥク)の地位は高まった。メロダクはそれ以前の幾つもの神々に取って代わり、バビロニアの神々の中で主神となった。後代には、メロダク(マルドゥク)という名前の代わりに「ベル」(所有者)という称号が使われるようになり、メロダクは一般にベルと呼ばれた。(エレ 50:2)

モ

喪、嘆き悲しむ 人の死を悼んだり、他の悲惨な出来事に対する悲しみを表したりすること。聖書時代には喪に服する習慣があった。声を上げて泣くことに加え、喪服を着たり、頭に灰をかぶったり、衣服を引き裂いたり、胸をたたいたりした。葬儀の際に、嘆き悲しむ人が雇われることもあった。(創 23:2。エス 4:3。啓 21:4)

モーセの律法 エホバがモーセを通してイスラエルに与えた律法。西暦前1513年にシナイの荒野で与えられた。聖書の最初の5つの書を指して「律法」と言うことが多い。(ヨシ 23:6。ルカ 24:44)

没薬 コンミフォラ属の、とげのあるさまざまな低木から採れる芳香性の樹脂。一般にミルラとしても知られている。没薬は聖なる注ぎ油の成分の1つだった。衣服やベッドに香りを付けるのに使われたり、マッサージ用のオイルやボディーローションに加えられたりした。遺体を葬る際の準備にも使われた。(出 30:23。格 7:17。ヨハ 19:39)

もみ殻 脱穀の過程で穀粒から分けられる殻の部分。もみ殻は無価値なものや不要なものを表す比喻表現として使われている。(詩 1:4。マタ 3:12)

モレク アンモン人の神。マルカム、ミルコム、モロクと同じ神かもしれない。神の名前というより称号だった可能性もある。モーセの律法では、子供を犠牲としてモレクに捧げる人は死刑にされることになっていた。(レビ 20:2。エレ 32:35。使徒 7:43)

モロク 「モレク」参照。

ヤ

ヤコブ イサクとリベカの息子。後に神からイスラエルという名前を与えられ、イスラエルの民の族長になった。(イスラエルの民はイスラエル人とも呼ばれ、後にユダヤ人と呼ばれるようになった。)ヤコブは12人の息子を持ち、彼らと子孫はイスラエルの12部族を構成するようになった。ヤコブという名前は引き続き、イスラエル国民を指して使われた。(創 32:28。マタ 22:32)

ユ

有罪の捧げ物 個人の罪のための犠牲。罪の捧げ物と少し異なる点として、侵害された他者の権利の償いをするため、また、悔い改めた人が自分の罪のゆえに失った権利を取り戻し、罰を受けずに済むようにするために捧げられた。(レビ 7:37; 19:22。イザ 53:10)

ユーフラテス川 南西アジアで最も長く、最も重要な川で、メソポタミアの主要な2つの川の1つ。エデンを源とする4つの川の1つとして、創世 2章 14節で初めて言及されている。単に「川」と呼ばれることも多い。(創 31:21) イスラエルに与えられた領地の北の境界だった。(創 15:18。啓 6:12) 付録 B2参照。

ユダ ヤコブの妻レアが産んだ4番目の息子。ヤコブは死ぬ直前に語った預言の中で、永続的に治める偉大な統治者がユダの家系から出ることを予告した。このユダの家系にイエスは生まれた。ユダは部族の名称になり、後には王国の名称にもなった。南王国と呼ばれたユダは、イスラエル人の部族のうちユダ族とベニヤミン族から成り、祭司とレビ族も含まれていた。エルサレムと神殿がある、国の南部を占めていた。(創 29:35; 49:10。王一 4:20。ヘブ 7:14)

ユダヤ人 ユダ族の人のことで、イスラエルの10部族王国が滅んだ後に使われるようになった表現。(王二 16:6) バビロン捕囚の後には、故国に戻ったさまざまな部族のイスラエル人を指して使われた。(エズ 4:12) 後代には、イスラエル人をそれ以外の国民と区別する名称として世界中で使われるようになった。(エズ 3:6) 使徒パウロは、クリスチャン会衆では国籍は重要でないことを論じた際に、ユダヤ人という語を比喩として用いた。(ロマ 2:28, 29。ガラ 3:28)

揺るぎない愛 ヘブライ語ヘセドの訳として使わ

れることが多い表現。対象から離れることなく一貫して支持する、変わらない深い愛情のこと。神が人間に示す愛として言及される場合が多いが、人間同士でも示される。(出 34:6。ルツ 3:10)

ヨ

良い知らせ ギリシャ語聖書の中では、神の王国についての良い知らせや、イエス・キリストへの信仰による救いについての良い知らせのこと。(ルカ 4:18, 43。使徒 5:42。啓 14:6)

羊皮紙 羊やヤギや子牛の皮で作られた、一種の紙。パピルスよりも耐久性があり、聖書の巻物に使われた。パウロがテモテに持ってくるよう頼んだ羊皮紙の巻物は、ヘブライ語聖書の一部だったかもしれない。死海写本の多くは羊皮紙に記された。(テモニ 4:13)

預言 神からの言葉。神の意志の啓示や布告。神からの道徳上の教え、神の命令や裁きの表明、これから起きることに関する宣言などが含まれる。(エゼ 37:9, 10。ダニ 9:24。マタ 13:14。ペニ 1:20, 21)

予見者 神により、神の意志を認識できるようにされた人。一般の人には分からない事柄を理解できるよう、いわば目を開かれた人。元のヘブライ語は、文字通りもしくは比喩的な意味で「見る」ことを意味する語根語に由来する。人々は問題に直面した時、賢明な助言を求めて予見者に相談した。(サー 9:9)

預言者 神の目的などを知らせる人。神の代弁者となり、将来に起きることだけでなく、エホバの教えや命令や裁きを伝えた。(アモ 3:7。ペニ 1:21)

ヨベル イスラエルが約束の地に入った時から数えて、50年ごとの年。ヨベルの年には土地を耕作せずに休ませ、ヘブライ人の奴隷は解放された。売り渡された相続地は返還された。ヨベルはある意味で祭りの年、自由の年であり、イスラエルは神によって最初に国民とされた時の正しい状態に戻された。(レビ 25:10)

ラ

ラッパ 合図や演奏のために使われた、金属製の管楽器。民数 10章 2節によると、エホバは銀のラッパを2つ作るようにと指示した。そのラッパは、民を呼び集めたり、宿営を畳んだり、戦いを宣言したりする際に、特定の合図を出すのに使われた。角笛のような曲がった形ではなく、真っすぐ

なものだったと思われる。神殿で使われた楽器の中にもラッパがあったが、形状はよく分かっていない。エホバの裁きが宣告される時や、神が何らかの重大な出来事を生じさせる時に、たびたび象徴的なラッパの音が伴う。(代二 29:26。エズ 3:10。コエ 15:52。啓 8:7-11:15)

ラハブ ヨブ記、「詩編」、イザヤ書の中で象徴的な意味で使われている表現。(ヨシュア記に出てくるラハブという女性とは異なる。) ヨブ記の文脈から分かるように、ラハブは海の大きな生き物を指している。他の文脈でこの生き物はエジプトを表している。(ヨブ 9:13。詩 87:4。イザ 30:7; 51:9, 10)

リ

律法 多くの場合、モーセの律法、もしくは聖書の最初の5つの書を指す。モーセの律法の個々の法や、律法の根底にある原則を指す場合もある。(民 15:16。申 4:8。マタ 7:12。ガラ 3:24)

律法学者 律法に精通した階級の人たち。イエスに反対した。(マル 12:38, 39; 14:1)

臨在 ギリシャ語聖書の中で、イエス・キリストが王として在位していることを指して使われる言葉。キリストの臨在は、メシアである王として目に見えない状態で即位した時から、この体制の終わりの時代の間続く。到来してすぐに去るようなものではなく、一定の期間に及ぶ。(マタ 24:3)

ル

ルーアハ 一般的に「霊」と訳されることが多いヘブライ語の言葉。ギリシャ語のプネウマに相当し、いろいろな意味を持つ。人間の目には見えない何らかの力が働いていることを示すものを指す。以下のものが含まれる。(1) 風、(2) 地球上の生物の生命力、(3) 人の心から生じ、何らかの言動へと駆り立てる力、(4) 目に見えない源からの力を受けた言葉や表現、(5) 神や天使など、目に見えない存在、(6) 神が送り出す聖なる力。(出 35:21。詩 104:29。マタ 12:43。ルカ 11:13)

レ

霊媒師 死者と話せると言う人。(レビ 20:27。申 18:10-12。王二 21:6)

レバノン山脈 レバノン山系を形成している2つの山脈のうちの1つ。西にレバノン山脈、東にアン

ティ・レバノン山脈がある。2つの山脈は長い肥沃な谷によって隔てられている。レバノン山脈は地中海沿岸から急傾斜でせり上がり、標高2000メートル級の山々が連なる。昔は見事な杉で覆われ、杉材は周辺の国々で重宝されていた。(申 1:7。詩 29:6; 92:12) 付録B7参照。

レビ、レビ族 ヤコブの妻レアが産んだ3番目の息子。レビの子孫がレビ族となった。レビの3人の息子から、レビ族の3つの主な氏族が生じた。「レビ族」という語は部族全体を指す場合もあるが、普通はアロンの家系の祭司たちを含まない。レビ族は約束の地で土地を割り当てられなかったが、他の部族に配分された土地の中にあった48の町を与えられた。(申 10:8。代一 6:1。ヘブ 7:11)

レビヤタン たいいてい水と関連付けられている動物。何らかの水生動物と思われる。ヨブ 3章8節と41章1節では、ワニが他の大型の、力が強い水生動物のことと考えられている。詩編 104編26節のレビヤタンは、ある種のクジラなのかもしれない。他の箇所では比喩表現として使われており、特定の動物と結び付けることはできない。(詩 74:14。イザ 27:1)

レプタ ギリシャ語聖書の時代の、ユダヤ人の最小額の銅貨または青銅貨。(マル 12:42。脚注。ルカ 21:2。脚注) 付録B14参照。

ロ

炉 鉱石から金属を取り出したり、金属を溶かしたり、陶磁器を焼いたりするために使われた。聖書時代の炉は、れんがや石で作られた。陶磁器や石灰を焼くための炉は、窯とも言う。(創 15:17。ダニ 3:17。啓 9:2)

ログ 聖書に出てくる最小の液量単位。ユダヤ教のタルムードで1ヒンの12分の1とされていることを基にして計算すると、1ログは0.31リットルになる。付録B14参照。

ワ

ワジ 雨期以外にはたいいてい干上がっている谷または川床。川そのものを指す場合もある。泉の水が流れ込んで年間を通じて流れている川もあった。原語は多くの場合「谷」と訳されている。(創 26:19。民 34:5。申 8:7。王一 18:5。ヨブ 6:15)

付録A

聖書翻訳の基本原則	A1
この改訂版の特色	A2
聖書はどのように現代にまで伝えられてきたか	A3
ヘブライ語聖書中の神の名前	A4
ギリシャ語聖書中の神の名前	A5
ユダとイスラエルの王と預言者たち	A6
イエスの生涯中の主な出来事	A7

聖書翻訳の基本原則

聖書はもともと古代のヘブライ語、アラム語、ギリシャ語で書かれました。現在、聖書の全巻または一部が3000以上の言語で読めます。ほとんどの人は聖書の原語を理解することができないため、翻訳されたものを読みます。聖書はどんな基本原則に基づいて翻訳されるとよいのでしょうか。「新世界訳聖書」はどのようにその基本原則に沿っているのでしょうか。

原語で述べられていることが読者に最もきちんと伝わる翻訳とは、厳密な逐語訳を行間に載せたものかと思えるかもしれません。しかし、必ずしもそうではありません。以下のような理由があります。

- 文法や語彙や文の構造が全く同じという言語はありません。ヘブライ語の教授S・R・ドライバーによれば、言語というものはそれぞれ「文法や語根だけでなく……概念を文にする方法も異なって」います。言語が違うと、考え方も大きく違います。「従って文の形も言語によって異なっている」とドライバー教授は言います。
- 現代語の中に、聖書のヘブライ語、アラム語、ギリシャ語と全く同じ語彙や文法を持つ言語はありません。そのため、聖書を逐語的に訳すと、分かりにくくなったり間違った意味が伝わったりしかねません。
- 言葉や表現の意味は文脈によって変わります。

翻訳者は、箇所によっては原語の直訳を使えますが、慎重にそうしなければなりません。

以下は、逐語訳が間違った意味を伝えてしまう例です。

- 聖書は、「眠る」や「眠りに就く」という表現を、睡眠と死の眠りの両方を指して用いています。(マタイ 28:13。使徒 7:60) 死についての文脈でそういった表現が使われている場合、聖書翻訳者は、読者

に誤解させないよう、「死の眠りに就く」という言い方をします。(コリント第一 7:39。テサロニケ第一 4:13。ペテロ第二 3:4)

- 使徒パウロはエフェソス 4章14節で、直訳すると「人間のさいころの遊び」となる表現を使っています。これは、さいころを使う時の人をだます行為に暗に触れた古代の慣用句です。この慣用句を直訳しても、ほとんどの言語では意味を成しません。「人に欺かれる」と訳せば、意味がはっきり伝わります。
- テトス 1章12節では、直訳すると「腹」となるギリシャ語が使われています。この言葉だと本来の意味が伝わらないため、この聖書では「大食い」と訳されています。
- イエスは有名な山上の垂訓で、「心の貧しい人々は、幸いである」とよく訳される表現を使いました。(マタイ 5:3, 「新共同訳」, 日本聖書協会) 多くの言語で、この表現の厳密な直訳は意味が曖昧になります。精神的に不安定だとか、生気や意志力がないといった意味に取れてしまう言葉もあります。しかし、イエスが教えていたのは、幸福というものは衣食住の必要が満たされるかどうかではなく、神の導きが必要であると認めるかどうかにかかっているということです。(ルカ 6:20) それで、「神の導きが必要であることを自覚している人たち」とか「自分に神が必要であることを知っている人たち」といった訳の方がもともとの表現の意味が正しく伝わります。(マタイ 5:3, 「現代英語による新約聖書」)
- 多くの文脈で、「嫉妬」と訳されるヘブライ語には、その日本語と同じ意味があります。近しい人の裏切りに対する怒りや、他人の所有物へのねたみです。(格言 6:34。イザヤ 11:13) しかし、同じヘブライ語には良い意味合いもあります。その語は、エホバがご自分に仕える人たちを守ろうとして示す情熱や「熱心」さ、また「全くの専心を要求する」ことを指して使われることがあります。(出エジプト 34:14。列王第二 19:31。エゼキエル 5:13。ゼカリヤ 8:2) さらには、忠実な人たちが抱く、神や崇拜への「熱い思い」や、神に「対抗する

ΟΙ ΠΤΩΧΟΙ
ΤΩ ΠΝΕΥΜΑΤΙ
マタイ 5:3

伝統的な訳:
「心の貧しい人々」

意味を伝える訳:
「神の導きが必要で
あることを自覚
している人たち」

ものを容認せず」にしていることを指しても使われます。(詩編 69:9; 119:139。民数 25:13)

- 人の手を指すヘブライ語には広い意味があります。その語は文脈によって、「権力」、「気前よく」、「力」などと訳されます。(サムエル第二 8:3。列王第一 10:13。格言 18:21)「新世界訳聖書」の日本語版では、100通り以上の訳し方がされています。

㇏

「手」と訳される
ヘブライ語ヤードは、
文脈によっては、
「権力」、「気前よく」、
「力」などさまざまな
言葉に訳される。

こうした理由で、聖書翻訳では、原語の言葉を毎回同じ語に訳せばよいというわけではありません。原語の文章の考えを目標言語(例えば日本語)で伝えるのにぴったりの言葉を適切に選択していかなければなりません。目標言語の文法に沿った文を作り、読みやすくすることも必要です。

同時に、あまりにも言い換えることは避けなければなりません。全体の考えを自分なりに解釈して聖書を自由に言い換えるなら、本来の意味をゆがめてしまうことになります。原文の意味について個人の意見を誤って加えたり、原文に含

まれている重要な情報を省いてしまったりしかねないのです。自由に言い換えると読みやすくなるかもしれませんが、原文が本当に言いたいことが読者に伝わりません。

間違った教理が訳に影響する場合があります。例えば、マタイ 7章13節には、「滅びに至る……道は広々として」いるとあります。本来は「滅び」という意味のギリシャ語を「地獄」と訳した翻訳者もいます。誤った教理の影響と思われる。

聖書が一般的な日常語で書かれたということも覚えておかなければなりません。農民、羊飼、漁師といったごく普通の人を使う言葉で書かれたのです。(ネヘミヤ 8:8, 12。使徒 4:13)ですから、聖書の良い翻訳とは、生い立ちや身分にかかわらず誠実な人たちが内容を読んで理解できる訳です。ごく普通の人があまり使わない言葉よりも、誰でも知っていて、分かりやすい、はっきりした表現の方が望ましいと言えます。

古代の聖書写本には神の名前エホバが出ているにもかかわらず、現代のかなりの翻訳者が不当にもその名前を省いてきました。(付録A4を

ご覧ください。) 多くの翻訳聖書で、神の名前が「主」などの称号に置き換えられています。中には、神に名前があるという事実さえも覆い隠されている翻訳もあります。例えば、ヨハネ 17 章のイエスの祈りが「あなたのことを彼らに知らせました」(26 節)とか、「与えてくださった人たちにあなたのことを明らかにしました」(6 節)などと訳されていることがあります。正しくは、「あなたのお名前を彼らに知らせました」、「託してくださった人たちにあなたのお名前を明らかにしました」です。

英語の「新世界訳」の初版の前書きにはこうあります。「聖書の言葉を自由に言い換えることはしていません。現代英語の特質の許す限り、字義訳のぎこちなさのゆえに意味が不明瞭にならない限り、できるだけ字義通りの訳をするよう一貫した努力が払われました」。新世界訳聖書翻訳委員会は、原語に近い言葉や句を使うことと、ぎこちない言い回しをしたり本来の考えをあやふやにしたりしないこととのバランスを取るよう努めてきました。これにより読者は聖書を楽に読めると同時に、神からのメッセージが正しく訳されているという確信を持って読めます。(テサロニケ第一 2:13)

信頼できる翻訳とは

- 神の名前を聖書のあるべき箇所に復元することによって、神の名前を神聖なものとしている。(マタイ 6:9)
- 神の聖なる力の導きによって書かれた、もともとの内容を正確に伝えている。(テモテ第二 3:16)
- 原語の文面を直訳しても目標言語の言い方や文の構造に問題が生じない場合は、そうしている。
- 直訳すると意味がゆがんだり曖昧になったりする場合は、直訳せず、言葉や句の正しい意味を伝えている。
- 読みたいと思えるような自然で分かりやすい言葉を使っている。(ネヘミヤ 8:8, 12)

1950年に「クリスチャン・ギリシャ語聖書 新世界訳」が英語で発表され（日本語版は1973年）、1961年には「新世界訳聖書」全巻が発表されました（日本語版は1982年）。以来、原語からの正確で読みやすいこの翻訳は、210以上の言語で多くの人に読まれ、親しまれてきました。

とはいえ、この半世紀の間に言葉は変化してきました。現在の新世界訳聖書翻訳委員会は、そうした変化に対応すべきであると考えました。現代の読者の心に響くようにするためです。それで、英語の改訂版が2013年に発表され、文体や語彙にかなりの変更が加えられました。同様に、今回、日本語版にも変更が加えられています。目的は以下の通りです。

- **理解しやすい現代の言葉を使う。**例えば、「僕^{しもべ}」という語は古めかしく、現代では一般にあまり使われません。それで、元の原語は、文脈に応じて、「召し使い」、「家来」、「仕える人」、「奉仕者」、「従者」などと訳されています。（創世 26:14。出エジプト 5:21。申命 32:36。ヨシュア 1:7。サムエル第一 25:10）箇所によっては、そうした訳の代わりに、原語にある低姿勢なニュアンスが敬語表現によって訳出されています。（創世 18:5）「奉仕の僕」は「援助奉仕者」に変更されました。（テモテ第一 3:8）

「義」も古風で意味がつかみにくい語です。この改訂版では、「正しいこと」といった表現に訳されています。（マタイ 5:10）「忠節」も現代ではあまり使われず、上位者に仕えるという意味合いがあるこの語を至高者エホバについて用いるのは不適切とも考えられるため、改訂版では使用されていません。文脈に応じて、「揺るぎない」、「尽くす」などの表現を使って訳されています。（創世 24:14。詩編 4:3；18:25）基本的に「淫行」は「性的不道德」に、「みだらな行い」は「恥知らずな行い」になっています。（ガラテア 5:19）「定めのない時」は、各文脈で本来の意味が伝わるよう、「永遠」、「ずっと続く」、「ずっと昔」といった表現に言い換えられています。（創世 3:22。出エジプト 31:16。伝道 1:10）

古代ヘブライ語とギリシャ語の「種」は、植物の種だけでなく、人間の子孫や精液も指します。しかし、日本語で「種^{たね}（胤）」を人間に使うの

は、今は一般的ではないため、各文脈で本来の意味が伝わる表現に言い換えられています。(創世 1:11; 22:17; 48:4。ルカ 1:55) 創世 3 章15節のエデンの約束に言及している場合はたいい、「子孫」と訳されています。

- **聖書用語を分かりやすくする。**「新世界訳」の以前の版で使われていた用語の中には、説明がないと正しく理解できない語もありました。例えば、ヘブライ語のシェオルとギリシャ語のハデスは聖書の中で、死んだ人たちが眠っている比喩的な場所を指す語として使われています。これらの語はほとんど知られておらず、ハデスの方はギリシャ神話に出てきて別の意味も持っています。そこで、どちらの語も聖書筆者の意図が伝わる「墓」という語に置き換えられました。シェオルとハデスは脚注で触れられています。(詩編 16:10。使徒 2:27)

これまでの版で、ヘブライ語のネフェシュとギリシャ語のプシュケーは、一貫して「魂」と訳されてきました。一般に、「魂」という言葉の誤った理解が多いため、一貫して「魂」と訳すことで、これらの原語を聖書筆者が本来どう使っていたかが読者に分かるようになっていました。原語は文脈に応じて、(1) 人、(2) 人の命、(3) 生き物、(4) 人の願望や食欲を指し、(5) 死んだ人を意味することもあります。しかし、通常こうした意味で日本語の「魂」を使うことはないため、改訂版では、原語を本来の意味に沿って訳すことにしました。一部、原語や用語集を参照する脚注が付けられています。(創世 1:20; 2:7。レビ 19:28。民数 6:6。申命 6:5。格言 23:2。マタイ 22:37)

「霊」という語も、一般的な使われ方や理解に照らして、使用が見直されました。人によってはこの語を心霊術や死後の世界と結び付けるため、誤解を避けられるよう、より適切で意味がはっきりした表現を使うことにしました。以前の版でよく「霊」と訳されたヘブライ語ルーアハとギリシャ語ブネウマには、次のような幾つもの意味があります。(1) 風、(2) 地球上の生物の生命力、(3) 人の心から生じ、何らかの言動へと駆り立てる力、(4) 目に見えない源からの力を受けた言葉や表現、(5) 目に見えない存在、(6) 神が送り出す力です。それで、上記のうち文脈に合った意味が、自然で分かりやすい言葉で表現されています。「風」(1)、「生命力」(2)、「精神」(3)、「預言」(4)、「目に見えない方」や「天使」(5)といった具合です。(エゼキエル 37:9。詩編 104:29。ローマ 8:9。ヨハネ第一 4:1。コリント第二 3:17。列王第一 22:21。マタイ 10:1)「聖霊」は「聖なる力」(6)に変更され、エ

ホバが送り出す力が言及されている箇所では使われています。(ペテロ第二 1:21) また、誤解を与えかねない「霊的」や「靈感」や「霊性」といった語も、「神」や「聖なる力」を含んだ言い回しに置き換えられ、各文脈で正しく意味が伝わるよう工夫されています。(ローマ 1:11。コリント第一 2:13。テモテ第二 3:16。ユダ 19)

以前の版でよく「忠誠」と訳されたヘブライ語にも、さまざまな意味合いがあります。原語は基本的に、正しいことを貫き通すという考えを伝えており、聖書中の用法や実例からすると、エホバへの専心を貫くことが主に論じられています。この改訂版では、それぞれの文脈で考えをよりつかみやすいように訳されています。箇所によっては、「高潔」、「清い」、「潔白」といった語が使われ、「忠誠」の脚注が付いている場合もあります。(格言 2:7。列王第一 9:4。詩編 25:21) エホバ神への専心を貫くことが主に取り上げられている箇所では、「忠誠」が本文で使われています。(ヨブ 2:9)

「油注がれた」という表現も再考されました。この用語は、天に行く希望を持つクリスチャンなど、任命された人が実際の油を注がれていない場合にも使われていました。それで、誤解を避けるため、文脈によっては、「選ばれた」などと訳され、直訳が脚注に挙げられています。(コリント第二 1:21)

- **読みやすくする。**「新世界訳」のこれまでの版では、補助表現を使うことによって、ヘブライ語動詞の未完了態と完了態の違いをできるだけ出していました。例えば、動詞の未完了態で表される継続的行為を、「次いで……した」、「……していった」、「……し続けた」などの表現によって訳出していました。その結果、こうした表現が非常に多く使われていました。この改訂版では、継続的行為を訳出する妥当な理由がある文脈で、「何度も」、「よく」、「続け」といった表現が使われています。(創世 3:9; 34:1。格言 2:4) 一方、原文の意味を伝える上で補助表現が必須でない箇所では、読みやすくするために省かれています。

読みやすくするため、日本語の特性に基づいて主語の使用を適度に抑えることもされています。各文をできるだけシンプルにするため、文脈上不可欠ではない場合に主語が文に含められていないことがあります。同時に、読者が文脈で関係している人や場所を追っていきやすいよう、必要な場合には、代名詞を多用する代わりに人名や地名が明示されています。また、接続詞の使用も見直され、読者の注意を妨げないよう、控えめに使われています。

聖書本文への変更は全て、祈りながら、慎重に、そして最初の新世界訳聖書翻訳委員会への深い敬意を抱きつつ、行われました。

改訂版のその他の特色

この改訂版では、多くはないものの脚注が付けられています。主に以下の4種類の脚注です。

「または」	同様の意味を伝える、原語の別の訳し方。(創世 1:2, 「送り出す力」の脚注。詩編 1:2, 「小声で読む」の脚注)
「もしかすると」	違う意味を伝えているものの妥当な、原語の別の訳し方。(創世 21:6, 「私と一緒に笑う」の脚注。ゼカリヤ 14:21, 「カナン人」の脚注)
「直訳」	原語の逐語訳か、原語の表現の基本的な意味。(創世 30:22, 「子供ができるようにした」の脚注。出エジプト 3:8, 「非常に肥沃な土地」の脚注)
意味や 参考情報	名前の意味。(創世 3:17, 「アダム」の脚注。出エジプト 15:23, 「マラ」の脚注) 重さや単位。(歴代第二 3:3, 「以前の尺度」の脚注) 代名詞が指すもの。(サムエル第一 1:28, 「彼」の脚注) 付録や用語集の参考情報。(創世 37:35, 「墓」の脚注。マタイ 5:22, 「ゲヘナ」の脚注)

本書の最初には、「初めて聖書を読む方へ」という部分があり、聖書の基本的な教えがまとめられています。聖書本文の直後には、「聖書の各書の一覧」、「聖書語句索引」、「聖書用語集」があります。用語集は、さまざまな用語の聖書中での用法や意味を理解するのに役立ちます。付録Aには、「聖書翻訳の基本原則」、「この改訂版の特色」、「聖書はどのように現代にまで伝えられてきたか」、「ヘブライ語聖書中の神の名前」、「ギリシャ語聖書中の神の名前」、「ユダとイスラエルの王と預言者たち」、「イエスの生涯中の主な出来事」があります。付録Bには、地図や図表、そのほか聖書研究に役立つ情報が載っています。

聖書本文の方では、各書に概要が付いていて、章ごとの内容が節番号付きでまとめられているので、書全体を概観できます。各ページの中央の欄には、以前の版から厳選された欄外参照聖句が載せられ、関連する聖句を参照できます。

聖書はどのように 現代にまで伝えられてきたか

聖書の著者で、聖書を作った方は、聖書が損なわれないよう守ってもきました。その方は次の言葉を記録させた神です。

「私たちの神の言葉は永遠に存続する」。
(イザヤ 40:8)

ヘブライ語・アラム語聖書^{*}もギリシャ語聖書も原本は残っていませんが、上記の言葉は真実です。現在私たちが手にする聖書の内容は、神の聖なる力の導きによって最初に書かれたものと同じであるといえます。どうしてでしょうか。

神の言葉を後代に伝えた写字生

ヘブライ語聖書についていえば、その答えは神が定めた古代の慣行にあります。神は聖書を書き写すようにと言いました[#]。例えば、エホバはイスラエルの王に自分用の律法の写しを作るよう指示しました。(申命 17:18) レビ族には、律法を保管し、律法を民に教える務めを与えました。(申命 31:26。ネヘミヤ 8:7) ユダヤ人のバビロン捕囚の後には、写字生つまり書記(ソフェリム)の階級ができました。(エズラ 7:6) 時たつうちに、それら写字生によってヘブライ語聖書の39の書の写しがたくさん作られました。

何世紀にもわたり、写字生たちは細心の注意を払って書き写しました。中世には、マソラ学者と呼ばれるユダヤ人の写字生たちがその作業を行いました。マソラ学者による完全にそろった写本で最も古いのはレニングラード写本で、西暦1008年か1009年のものです。20世紀半

^{*} 以後は、「ヘブライ語聖書」とします。

[#] 写しが作られた1つの理由は、原文が腐敗する素材に書かれていたことにあります。

死海写本のイザヤ 40章
(西暦前125-100年のもの)

1000年後のヘブライ語写本
と比べても、ささいな差異
しかなく、ほとんどは
つづりの違いである。



アレppo写本のイザヤ 40章
(西暦930年ごろの重要な
ヘブライ語マソラ写本)



拠資料は、古典作品の証拠資料をはるかにしのいでいる。もし新約聖書が一般の著作を集めたものであったなら、その信ぴょう性に疑問が投げ掛けられるようなことは決していなかろう。

ヘブライ語^{ほんもん}本文：「ヘブライ語聖書 新世界訳」（1953-1960年[英語]）は、ルドルフ・キッテルによる「ピブリア・ヘブライカ」に基づいていました。その改訂版である「ピブリア・ヘブライカ・シュトゥットガルテンシア」と「ピブリア・ヘブライカ・クインタ」には、死海写本などの古代の写本の最新の研究結果が含まれるようになりました。これらには、レニングラード写本が^{ほんぶん}本文に載せられ、脚注には「サマリア五書」、死海写本、ギリシャ語セプトウアギンタ訳、アラム語タルグム、ラテン語ウルガタ訳、シリア語ペンタ訳などに基づく別の言い回しが比較用に載せられています。「新世界訳」のこの改訂版の作成の際、「ピブリア・ヘブライカ・シュトゥットガルテンシア」と「ピブリア・ヘブライカ・クインタ」の両方が用いられました。

ギリシャ語^{ほんもん}本文：19世紀後半、学者のB・F・ウェストコットとF・J・A・ホートが原文に最も近いギリシャ語聖書定本を作ろうと、聖書の写本や断片を比較研究しました。新世界訳聖書翻訳委員会は20世紀半ばにその定本を基に翻訳し、西暦2、3世紀のものとされる他のパピルス写本も使いました。それ以後、さらにほかのパピルス写本も活用できるようになっています。最新の研究結果を含めたネストレとアーラントによる定本や聖書協会世界連盟による定本もあります。こうした調査による発見がこの改訂版に生かされています。

これらの定本によると、「ジェームズ王欽定訳^{きんていやく}」（英語）など古い翻訳に出ているギリシャ語聖書の幾つかの節は明らかに、聖書にもともとあったわけではなく、後代に写字生が付け加えたものです。しかし、聖書翻訳で広く採用されている節の区分は16世紀に確立されたもので、たいいていの聖書ではそうした節を削除し、前後の節番号はそのままにしています。その節とは、マタイ 17章21節、18章11節、23章14節、マルコ 7章16節、9章44、46節、11章26節、15章28節、ルカ 17章36節、23章17節、ヨハネ 5章4節、使徒 8章37節、15章34節、24章7節、28章29節、ローマ 16章24節です。この改訂版では、それらの箇所について脚注で、節が削除されていることが示されています。

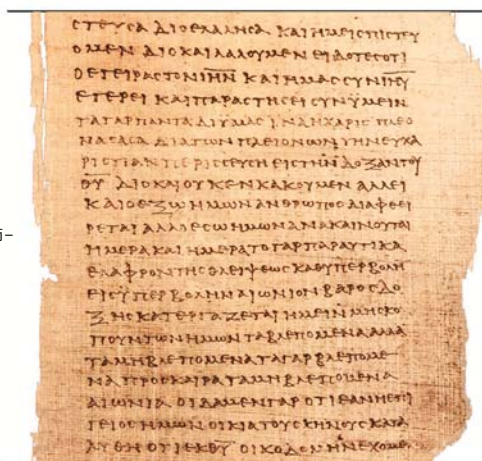
マルコ 16章の長い結び(9-20節)と短い結び、ヨハネ 7章53節から8

章11節の言葉はどれも、明らかに原文の記述ではありません。改訂版では、そうした加筆された部分は含まれていません*。

学者たちが原文に確実にあったと考えているものを含めるために変更された箇所もあります。例えば、幾つかの写本によると、マタイ7章13節は、「狭い門を通して入りなさい。滅びに至る門は広くてその道は広々としており」となります。「新世界訳」のこれまでの版では、この後者の「門」は含まれていませんでしたが、写本の研究が進み、原文に「門」があったことが確かめられたため、改訂版には含まれています。同様の校訂が幾つもなされていますが、どれも軽微なもので、神の言葉の基本的な内容は変わっていません。

* 加筆といえる理由について詳しくは、1985年発行の「新世界訳聖書 — 参照資料付き」の脚注をご覧ください。

西暦200年ごろのパピルス
写本のコリント第二 4章13節-
5章4節



ヘブライ語の4つの子音字 יהוה で記される神の名前は、ヘブライ語聖書の中に7000回近く出てきます。テトラグラマトンとして知られるその4文字を、「新世界訳聖書」は「エホバ」と訳しています。聖書の中でほかのどんな名前よりも圧倒的に多く出てくる名前です。聖なる力に導かれた筆者たちは神について「全能者」、「至高者」、「主」といった多くの称号や表現を使っていますが、唯一の神の名前として挙げているのはテトラグラマトンだけです。

エホバ神はご自分の名前を使うよう聖書筆者たちを導きました。例えば、預言者ヨエルは聖なる力の導きによって、「エホバの名を呼ぶ人は皆救われる」と書きました。(ヨエル 2:32) 詩編作者も神の導きにより、「人々があなたのことを知りますように。エホバという名を持つあなただけが、地球全体を治める至高者であるということを書いています。(詩編 83:18) 「詩編」の中だけでも神の名前は約700回出てきます。「詩編」は詩を集めた書で、神の民はその詩を歌ったり朗読したりしました。では、多くの翻訳聖書に神の名前が出ていないのはどうしてでしょうか。「新世界訳」はなぜ「エホバ(Jehovah)」という形を用いているのでしょうか。エホバという名前にはどんな意味があるのでしょうか。

多くの翻訳聖書に神の名前が出ていないのはどう

してか。理由はさまざまです。人によっては、全能の神は自分を他者と区別するために名前を必要としたりはしないと考えます。神の名前を汚すのではという恐れからか、使用を避けてきたユダヤ人の伝統に影響されている人もいます。また、神の名前の正確な発音は誰にも分からないのだから、「主」や「神」といった称号を使った方がよいと考える人もいます。しかし、そうした意見は妥当とはいえません。以下のような理由があります。

- 全能の神は名前を必要としないと言う人は、キリストの時代以前のものなど神の言葉の初期の写本に神の名前が出ているという事実を無視しています。前述の通り、神は自分の名前が聖書の中に7000回近く含まれ

יהוה

バビロン捕囚前に
使われていた古代
ヘブライ文字で
書かれた神の名前

יהוה

バビロン捕囚後に
使われたヘブライ
文字で書かれた
神の名前



1世紀前半の死海写本に含まれる「詩編」の一部。本文はバビロン捕囚後に一般的に使われるようになったヘブライ文字で書かれているが、繰り返し出てくるテトラグラマトンは古代のヘブライ文字で書かれているので目立っている。

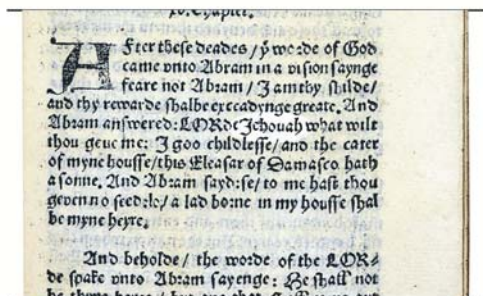
るようにしました。私たちが神の名前を知って使うことを神が望んでいるのは明らかです。

- ユダヤ人の伝統に従って神の名前を取り除く翻訳者は、大切なことを見落としています。ユダヤ人の一部の写字生は、神の名前を発音することをしなかったものの、聖書の写しから取り除くことはしませんでした。死海近くのクムランで見つかった古い写本には、多くの箇所に神の名前が出ています。聖書翻訳者の中には、神の名前を大文字の「主 (LORD)」という称号に置き換えて、神の名前が原文にあったことを示唆する人もいます。それでも、疑問が残ります。翻訳者たちは、神の名前が聖書に何千回も出ていることを知りながら、どうしてそれを置き換えたり取り除いたりしてもよいと考えるのでしょうか。どんな許可を得てそうしたのでしょうか。
- 正確な発音が分からないから神の名前を使うべきではないと言う人も、イエスという名前はためらわずに使います。しかし、イエスの1世紀の弟子たちの発音は、現在のほとんどのクリスチャンの言い方とはかなり違っていました。ユダヤ人のクリスチャンは、イエスという名前を「エーシューア」、キリストという称号を「マーシーアハ」（つまり「メシア」）と発音しました。ギリシャ語を話すクリスチャンは「イエスース・クリストス」と呼び、ラテン語を話すクリスチャンは「イエスース・クリストゥス」と呼びました。神の導きの下、聖書にはイエスの名前のギリシャ語訳が記されました。1世紀のクリスチャンは、自分たちの言語で普通の言い方をするのが理にかなっていると考え、そうしたのです。同じように、新世界訳聖書翻訳委員会は、「エホバ (Jehovah)」という訳が古代ヘブライ語での発音と同じではないとしても、それを使うのは妥当だと考えています。

「新世界訳」はなぜ「エホバ (Jehovah)」という形を用いているのか。テトラグラマトンの4文字 (יהוה) は、英語では YHWH という子音字で表されます。古代ヘブライ語は書く時には母音を記さないため、テトラグラマトンにも母音がありません。古代ヘブライ語が日常で使われていた時代には、読者は容易に適切な母音を補って読むことができました。

ヘブライ語聖書が書き終えられてから1000年ほどたった頃、ユダヤ人の学者たちは、ヘブライ語を読む時に補う母音を明示するため、発音符号を作り上げました。しかし、その頃には多くのユダヤ人が神の名前を口に出してはならないという迷信的な考えを抱いており、「主」などの代わりの言葉を使っていました。それで、テトラグラマトンを書き写す時に、神の名前を表す4つの子音字に「主」などの代わりの言葉の母音を付けたようです。そのため、それ

ウィリアム・ティンダルが
翻訳したモーセ五書
(1530年)の創世 15章
2節にある神の名前



らの母音符号が付けられた写本は、もともとヘブライ語で神の名前がどう発音されていたかを明らかにするものではありません。神の名前は「ヤハウェ (Yahweh)」と発音されていたと考える人もいれば、ほかの可能性を挙げる人もいます。ギリシャ語で書かれたレビ記の一部を載せた死海写本では、神の名前が「イアオ」と翻字されています。「イアオ」に加え、初期のギリシャの著述家たちは「イアエ」、「イアベ」、「イアウーエ」といった発音も挙げていますが、どれが正しいと断定することはできません。神に仕えた古代の人たちがヘブライ語で神の名前をどう発音していたかは分らないのです。(創世 13:4。出エジプト 3:15) 分かっているのは、神が人々と話す時に自分の名前を繰り返し使っていたこと、また人々が神にその名前呼び掛け、誰かと話す時にもその名前を自由に使っていたことです。(出エジプト 6:2。列王第一 8:23。詩編 99:9)

では、「新世界訳」はなぜ「エホバ (Jehovah)」という形を用いているのでしょうか。その形が英語でも日本語でも長い間使われてきたからです。

神の名前の訳が英語の聖書に初めて登場したのは1530年のことです。ウィリアム・ティンダルがモーセ五書の訳の中で lehouah というつづりを使いました。その後、時と共に英語は変化し、神の名前のつづりも変わっていきました。例えば、ヘンリー・エインズワースは1612年に、「詩編」の翻訳の中で lehovah を使いましたが、1639年にその翻訳を改訂してモーセ五書と一緒に出版した時には、Jehovah というつづりを使いました。1901年、「アメリカ標準訳」(英語)を発行した翻訳者たちは、ヘブライ語本文に神の名前が出ていた箇所では Jehovah という形を使いました。

著名な聖書学者ジョセフ・ブライアント・ロザハムは、1911年の著作「詩編の研究」(英語)の中で Yahweh ではなく Jehovah を使った理由について、「聖書の一般読者にとっていっそうよく知られている(同時に、文句なく受

け入れられる)名の語形」を使いたかったと記しています。1930年に学者のA・F・カークパトリックは、Jehovahを使うことに関して同様の考えを次のように述べました。「近年の文法学者たちはYahvehとかYahavehと読むべきだと主張するが、JEHOVAHは英語として定着しているように思える。本当に重要なのは厳密な発音ではない。それが『主』といった単なる呼称ではなく、固有名であるという認識こそが重要なのである」。

同じように、日本語でも「エホバ」が広く使われてきました。1883年発行の漢訳聖書「^{くんとんきゅうやく}訓點舊約全書」では、「耶和華」の字に「エホバ」の振り仮名が付いています。その後も、1887年発行の「^{きゅうしんやく}舊新約全書」などで「エホバ」が使われ、今も出版されている「文語訳聖書」(日本聖書協会)でも神の名前が「エホバ」と訳されています。現在の多くの国語辞典の見出しに「エホバ」が載せられていて、「〔旧約聖書で〕イスラエル民族が崇拝した唯一最高の神ヤハウェの伝統的な読み方」などと説明されています。(「新明解国語辞典」,三省堂発行)

エホバという名前にはどんな意味があるか。エホバという名前のヘブライ語は、「なる」という意味の動詞から来ており、多くの学者によると、その動詞の使役形ようです。それで、新世界訳聖書翻訳委員会は、神の名前には「彼はならせる」という意味があると考えています。学者の見解はさまざまなので、この意味だと断定することはできません。ですが、この意味は、エホバが全てのものの創造者で、目的を果たす方であることと合致しています。エホバは宇宙や天使や人間が存在するようにしました。そして、その後の出来事の中でも、望んだことや目的としたことがその通りになるようにしています。

ですから、エホバという名前の意味は、出エジプト3章14節の説明に限定されてはいません。その聖句では、関連する動詞の訳として、「私は自分になろうとするものとなる」または「私は自分になるところのものとなる」とあり、神は目的を果たすために状況に応じて必要なものとなる、ということが分かります。ですが、この言葉は神の名前の意味を言い尽くしてはならず、神の人格特性の一面を明らかにしているにすぎません。エホバという名前の意味には、目的の達成のため、自分が何らかのものになることだけでなく、創造したものを何らかのものにならせ、物事を導くことも含まれるのです。

יהוה
YHWH
(テトラグラマトン):
「彼はならせる」

יהו
HWHという動詞:
「なる」

ギリシャ語聖書中の神の名前

聖書学者たちは、テトラグラマトン(יהוה)で記される神の名前が、ヘブライ語聖書の原文に7000回近く出ていることを認めています。しかし、ギリシャ語聖書の原文には神の名前が出ていなかったと考えている学者が多くいます。そのため、現代の大半の英訳聖書では、いわゆる新約聖書の中でエホバという名前が使われていません。テトラグラマトンが出ているヘブライ語聖書からの引用文の訳にも、神の名前の代わりに「主」という言葉が使われています。

「新世界訳聖書」はそれとは違い、ギリシャ語聖書の中でエホバという名前を合計237回使っています。その決定に当たり、次の2つの重要な点を考慮しました。(1) 現存するギリシャ語写本は原本ではない。現在残っている何千もの写本の大半は、原本が書かれてから少なくとも200年後に作られた。(2) その頃、写本を作る人たちは、テトラグラマトンを「キュリオス」(ギリシャ語で「主」という意味)という語に置き換えるか、すでにそう置き換えられていた写本を写していた。

新世界訳聖書翻訳委員会は、ギリシャ語の原本にテトラグラマトンが出ていたと言える十分な根拠があると確信しています。以下のような根拠です。

- イエスや使徒たちの時代に使われていたヘブライ語聖書の写本には、全体にわたってテトラグラマトンが出ていた。以前から、これに異議を唱える人はほとんどいませんでした。今では、クムランの近くで1世紀のヘブライ語聖書の写本が見つかったため、疑問の余地がありません。
- イエスや使徒たちの時代には、ヘブライ語聖書のギリシャ語訳にもテトラグラマトンが出ていた。学者たちは何世紀もの間、ヘブライ語聖書のギリシャ語セプトゥアギンタ訳の写本にテトラグラマトンは出ていなかったと考えていました。ところが、20世紀半ばに、イエスの時代に使われていた非常に古いギリシャ語セプトゥアギンタ訳の断片が見つかり、学者たちの注目を集めました。それらの断片には、ヘブライ文字で神の名前が記されていました。ですから、イエスの時代

には、聖書のギリシャ語訳の写本に神の名前が出ていたのです。それなのに、4世紀ごろのギリシャ語セプトゥアギンタ訳の主立った写本(バチカン写本やシナイ写本など)では、創世記からマラキ書までの全体から神の名前がなくなっています。同じ時代の写本のギリシャ語聖書の部分(いわゆる新約聖書)にも神の名前が出ていませんが、こうしたことからすると、それも意外なことではないといえます。

- **ギリシャ語聖書そのものに、イエスが何度も神の名前について話し、神の名前を人々に知らせたことが記録されている。**(ヨハネ 17: 6, 11, 12, 26) イエスははっきりと、自分は「天の父の名によって来ている」と言いました。また、自分がしているのは「父の名によって」行っていることだとも言いました。(ヨハネ 5:43; 10:25)

イエスははっきりと、自分は「天の父の名によって来ている」と言い、自分がしているのは「父の名によって」行っていることだと言った。

- **ギリシャ語聖書は、聖なる力の導きによってヘブライ語聖書に追加されたものであるため、そこから突然エホバの名前がなくなっている**と一貫性に欠けることになる。1世紀の中ごろ、弟子ヤコブはエルサレムの長老たちにこう言いました。「シメオンは、神が初めて異国の人々に注意を向けて、その中からご自分の名のための民を取り出した次第を十分に話してくれました」。(使徒 15:14) もし1世紀当時誰も神の名前を知らず、使っていないかったとすれば、ヤコブのこの言葉は全く意味を成さなかったことになります。

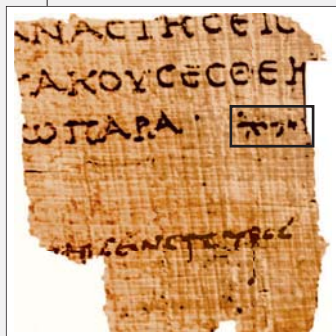
- **ギリシャ語聖書に神の名前が省略形で出ている。**啓示 19章1, 3, 4, 6節の「ハレルヤ」という言葉には、神の名前が含まれています。元のヘブライ語表現は直訳すると「ヤハを賛美しなさい」となり、「ヤハ」はエホバという名前の短縮形です。また、ギリシャ語聖書に出てくる多くの名前は、神の名前に由来しています。参考文献によると、イエスという名前にも「エホバは救い」という意味があります。

- **初期のユダヤ教の文献からすると、ユダヤ人のクリスチャンは自分たちの書物の中で神の名前を使っていた。**西暦300年ごろまでに完成した、口伝律法を集めた書物であるトセフタには、安息日に燃やさ



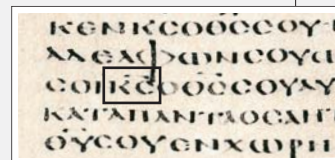
申命 6章4節
ナッシュ・パピルス
前2世紀または前1世紀

古代のヘブライ語本文。
神の名前が2カ所に見られる。



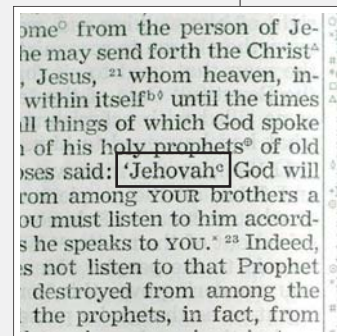
申命 18章15, 16節の断片
ファド・パピルス266
前1世紀

ギリシャ語セプトウアギンタ訳。
神の名前がヘブライ文字で
記されている。



申命 18章15, 16節
アレクサンドリア写本
5世紀

神の名前が取り除かれて、
ギリシャ語キュリオス(主)の
省略形であるKCやKYに
置き換えられている。



申命 18章15節が引用されている
使徒 3章22節「新世界訳」
20世紀

「新世界訳」は神の名前を
復元している。

れたクリスチャンの書物についてこう書かれています。「福音史家の書物やミニム[ユダヤ人のクリスチャンと思われる人々]の書物を火から救うことはしない。それらはその場で焼き捨てることが許される。書物自体も、神名に言及している箇所も焼かれる」。この資料には、2世紀初めのガリラヤ人ラビ・ヨセの言葉も引用されています。ヨセは、安息日以外の日には「それら[クリスチャンの書物と考えられているもの]の中で神名に言及している部分を切り取って別にしておき、残りを焼き捨てる」と言ったとされています。

- ギリシャ語聖書にあるヘブライ語聖書からの引用箇所神の名前

が出ていたろう、と一部の聖書学者たちも述べている。「アンカー聖書辞典」(英語)の「新約におけるテトラグラマトン」という見出しの下には、こう書かれています。「新約が書かれた当初、旧約からの引用箇所の一部もしくは全部に、テトラグラマトンつまり神の名やハウエが出ていた、と言える証拠がある。ジョージ・ハワードという学者はこう言っています。「初期教会の聖書はギリシャ語聖書[セプトウアギンタ訳]の写本であるが、その中になおテトラグラマトンが書かれていた以上、新約の筆者が聖書から引用するとき、聖書本文中にテトラグラマトンを保存したことは当然に考えられる」。

- 著名な聖書翻訳者たちがギリシャ語聖書中で神の名前を使っている。「新世界訳」が出版されるずっと前にそうしていた翻訳者もいます。以下は、その翻訳者と英訳聖書の例です。ハーマン・ハインフェッターの「パチカン写本に基づく……新約聖書の字義訳」（1863年）、ベンジャミン・ウィルソンの「エンファティック・ダイアグロット訳」（1864年）、ジョージ・バーカー・スティーブンスの「現代英語によるパウロの書簡」（1898年）、W・G・ラザフォードの「ローマ人への聖パウロの書簡」（1900年）、ロンドン主教J・W・C・ウォンドの「新



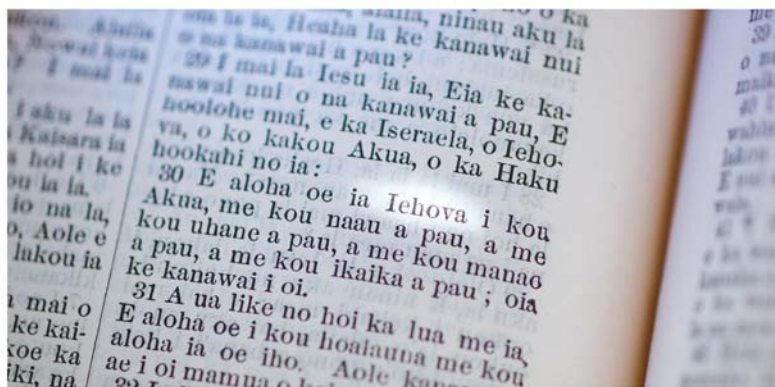
ベンジャミン・ウィルソンの「エンファティック・ダイアグロット訳」（1864年）の使徒 2章34節にある神の名前

約聖書の手紙」（1946年）。さらに、20世紀初頭のスペイン語訳聖書の中で、翻訳者のパブロ・ベソンはルカ 2章15節とユダ 14節で Jehová を使っており、ほかにも神の名前があったと思われる箇所を100回以上脚注で示しています。また、これらの翻訳聖書のはるか前、16世紀以降に出版されたギリシャ語聖書の種々のヘブライ語訳で、多くの聖句にテトラグラマトンが出ています。ドイツ語では、少なくとも11の翻訳聖書のギリシャ語聖書中で「エホバ」（もしくはヘブライ語の「ヤハウェ」を翻字したもの）が使われており、4つの翻訳聖

書は「主」という言葉の後に丸括弧で神の名前を載せています。神の名前が脚注や注釈に出ているドイツ語訳聖書は70以上あります。

- 100以上の言語の翻訳聖書のギリシャ語聖書中に、神の名前が出ています。アフリカ, アジア, ヨーロッパ, 太平洋の島々, アメリカ先住民の多くの言語の聖書で、神の名前が数多く使われています。(2062-2063ページの表をご覧ください。) それらの聖書の翻訳者たちも、上に挙げたのと同じような理由で神の名前を使うことにしました。その中には、比較的最近出版されたものもあります。Jihovaを48の節で51回使っているロトゥマ語聖書(1999年), Jahowaを110回使っているインドネシアのバタク語(トバ)訳聖書(1989年)などです。

このように、ギリシャ語聖書中に神の名前エホバを復元することには、はっきりした根拠があります。それで、「新世界訳」の翻訳者たちはそうしました。神の名前に深い敬意を持ち、原文にあったものを決して取り除いてはいけないという気持ちを抱いているのです。(啓示 22:18,19)



ハワイ語訳聖書のマルコ 12章29, 30節にある
神の名前

ギリシャ語聖書の本文に 神の名前が出ている言語や方言

言語または方言: 神の名前

アネイチウム語: Ihova
アラワク語: Jehovah
アワバカル語: Yehóa
イラ語: Yaave
イリク語 (ルセンゴ語の方言): Yawe
インドネシア語: YAHWEH
ウェールズ語: lehofah
ウリビブ語: Iova
ウンブドゥ語: Yehova
英語: Jehovah
エウエ語: Yehowa
エファテ語 (北部): Yehova
エフィク語: Jehovah
オランダ語: Jehovah
ガー語: lehowa
カラ・ラゴ・ヤ語: lehovan
カランガ語: Yehova, Yahwe
カレンジン語: Jehovah
韓国・朝鮮語: 여호와
ギバリオ語 (ケレウォ語の方言): lehova
キプシギス語: Jehoba
ギリバス語: lehova
クアヌア語: leova
グレボ語: Jehova
クロアチア語: Jehova
ケレウォ語: lehova
コーサ語: Yehova
コスラエ語: Jeova
サカオ語: Ihova, lehova
サモア語: leova
ザンデ語: Yekova
シエ語: lehöva
ズールー語: Jehova, YAHWE

スクマ語: Yahuwa, Jakwe
スペイン語: Jehová, Yahvé, YHWH,
Yahweh
スラナン語: Jehova
セソト語: Yehofa
セネカ語: Ya'wën
センゲレ語: Yawe
ソング語: Yehowa
タイ語: Yahowa
ダコタ語: Jehowa
タヒチ語: lehova
チェロキー語: Yihowa
チッペワ語: Jehovah
チャコボ語: Jahué
チューク語: Jiowa
チョクトー語: Chihowa
チルバ語: Yehowa
チン語 (ハカ): Zahova
ツワナ語: Jehofa, Yehova, Yehofa
テケ・エブー語: Yawe
テムネ語: Yehófa, Yehofa
トアリビ語: Jehova, lehova
ドイツ語: Jehovah, Jehova
ドゥアラ語: Yehowa
ドブ語: leoba
トンガ語 (トンガ): Jihova, Sihova
トンガ語 (モザンビーク): Jehova
ナウル語: Jehova
ナガ語, アンガミ: Jihova
ナガ語, コニャク: Jihova
ナガ語, サンクタム: Jihova
ナガ語, 北部レングマ: Jihova
ナガ語, マオ: Jihova

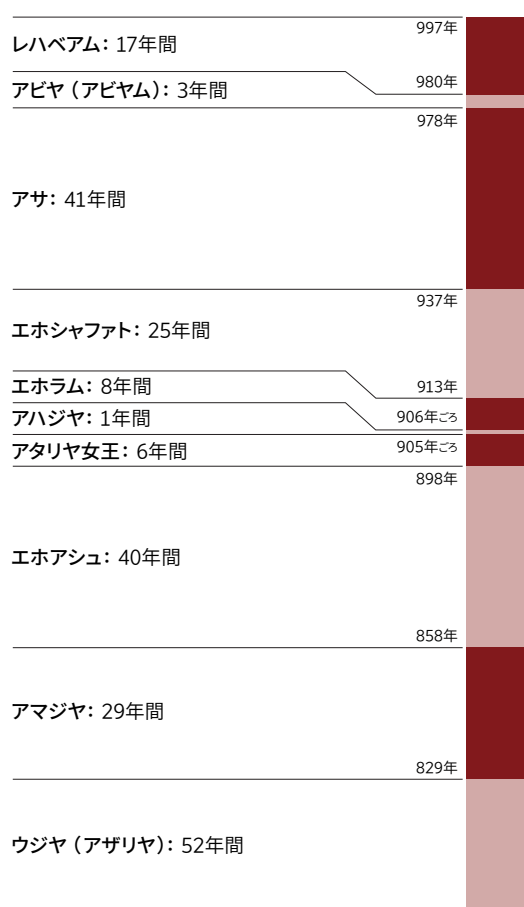
ナガ語, ロタ: Jihova
ナバホ語: Jiho'vah
ナランジェリ語: Jehovah
ナンディ語: Jehova
ヌクオロ語: Jehova
ネムベ語: Jehovah
ネンゴネ語 (またはマレ語): lehova
バタク語 (トバ): Jahowa
ハワイ語: lehova
バンギ語: Yawe
ヒリモツ語: lehova
ヒンドウスターニー語: Yihováh
ファン語: Jehôva
フィジー語: Jiova
ブベ語: Jehovah
フランス語: IHVH, ywh
ブルム・ソ語: Jehovah
ヘブライ語: יהוה
ベンガ語: Jěhova
ホーチャンク語 (ウィネベゴ): Jehowa
ポーランド語: Jehowa
ボリア語: Yawe
ボルトガル語: Iáhe
マーシャル語: Jeova
マスケリン語: Iova
マスコギ語: Cehofv
マダガスカル語: Jehovah, lehôvah
マルケサス語: lehova
マロ語: Iova
ミエネ語: Yeôva
ミシマ・パネアティ語: lehova
ミゾ語: Jehovan, Jihova'n
ムボングウェ語 (ミエネ語の方言): Jehova

メリアム語: lehoua
メンタワイ語: Jehoba
モートロック語: Jioua
モツ語: lehova
モホーク語: Yehovah
モンゴ語: Yawe, Yova
ラオ語: Yehowa
ラロトンガ語: Jehova, lehova
リンガラ語: Yawe
ルイムビ語: Yehova
ルオ語: Yawe
ルグバラ語: Yehova
ルナ語: Yeoba
ルバ語: Yehova
ルバレ語: Yehova
ルンダ語: Yehova
レウオ語: Yehova
レレ語: Jehova
レレブ語: Iova
ロゴ語: Yehova
ロトゥマ語: Jihova
ロンウォルウォル語: Jehovah
ワンパノアグ語: Jehovah
ンガンド語: Yawe
ンダウ語: Jehova
ントンバ語: Yawe

(ほかに、脚注や注釈に神の名前が
出ている言語や方言が幾つもあります。)

120以上の言語

南のユダの2部族王国の王たち



前1000年

前950年

前900年

前850年

前800年

エリヤ

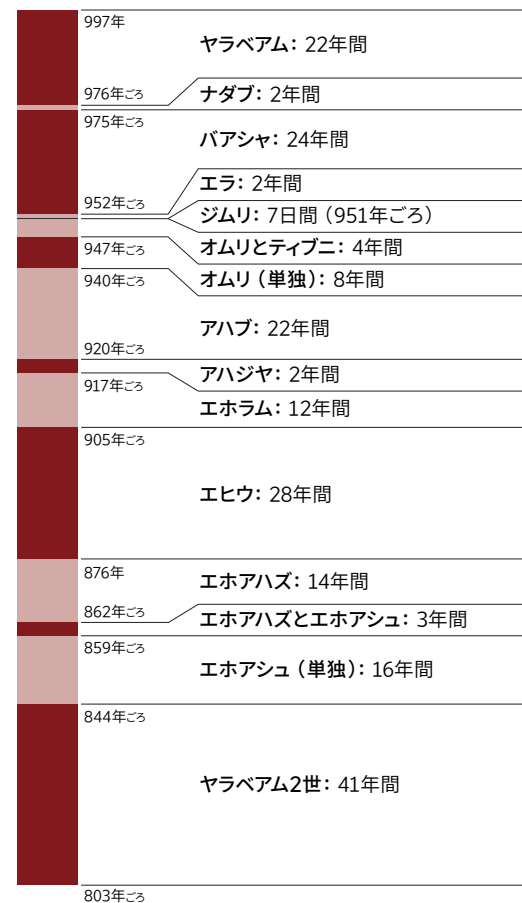
エリシヤ

ヨナ

ヨエル

アモス

北のイスラエルの10部族王国の王たち



南王国の王たち (続き)

ウジヤ (アザリヤ): 52年間

ヨタム: 16年間

アハズ: 16年間

ヒゼキヤ: 29年間

マナセ: 55年間

アモン: 2年間

ヨシヤ: 31年間

エホアハズ: 3カ月間

エホヤキム: 11年間

エホヤキン: 3カ月と10日間

ゼデキヤ: 11年間

エルサレムと神殿が、ネブカドネザル率いるバビロニア軍により侵略され、滅ぼされる。ダビデの血を引く地上の最後の王ゼデキヤが退位させられる。

前800年

ホセア

ミカ
イザヤ

前750年

前700年

ナホム

ゼバニヤ
エレミヤ

ハバクク

オバデヤ

エゼキエル

ダニエル

前650年

前600年

北王国の王たち (続き)

803年ごろ
• ゼカリヤ: 記録に残っているのは6カ月間のみ

791年ごろ
シャルム: 1カ月間

780年ごろ
メナヘム: 10年間

778年ごろ
ペカフヤ: 2年間

ペカハ: 20年間

758年ごろ
• ホセア: 748年ごろから9年間

748年ごろ

740年

アッシリアがサマリアを征服し、イスラエルを支配下に置く。北のイスラエルの10部族王国は終わりを迎える。

ホセアの統治が確立された (おそらくはアッシリアの帝王ティグラト・ピレセル3世の後押しによる) のは748年ごろと思われる。

ゼカリヤは何らかの形で統治を始めたが、792年ごろまでは王権が確立されていなかったと思われる。

イエスの生涯中の主な出来事

4福音書の記録の年表

参照用の地図には、イエスが旅や伝道旅行で訪れた場所が載っています。
矢印は厳密なルートではなく移動の方向を表しています。

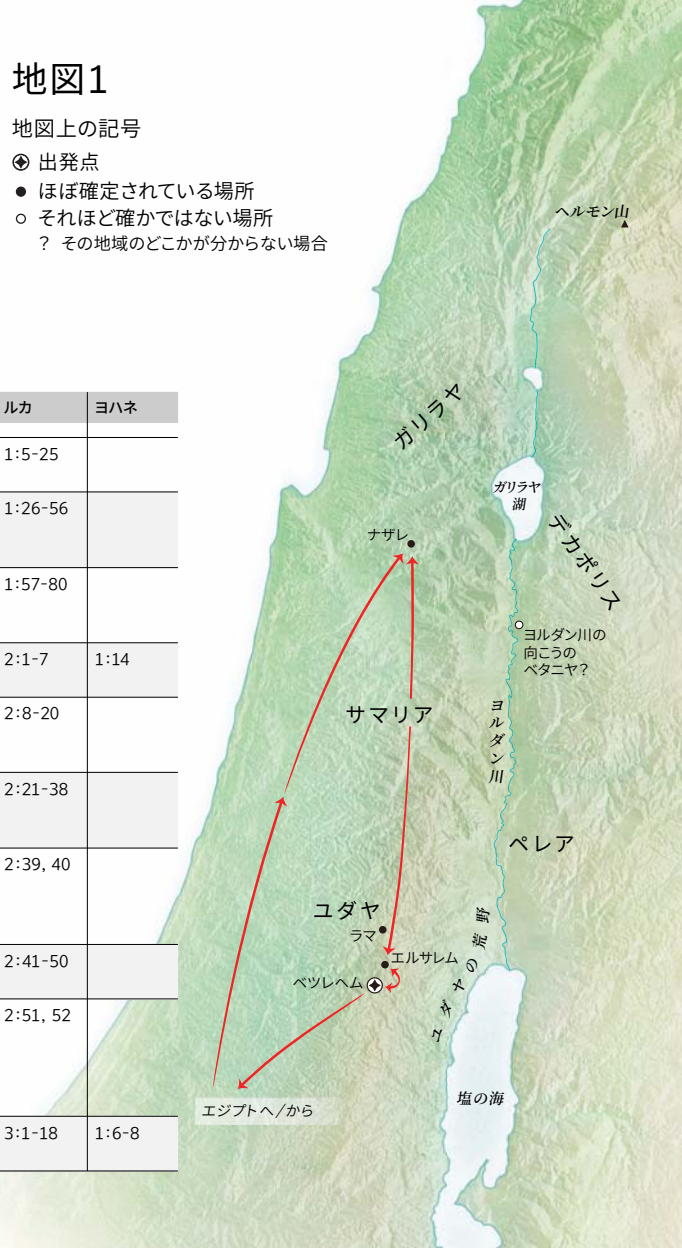
宣教を開始するまで

時	場所	出来事	マタイ	マルコ	ルカ	ヨハネ
前3年	エルサレム, 神殿	天使ガブリエルがバプテストのヨハネの誕生をゼカリヤに予告する。			1:5-25	
前2年ごろ	ナザレ, ユダヤ	天使ガブリエルがイエスの誕生をマリアに予告する。マリアは親族のエリサベツを訪ねる。			1:26-56	
前2年	ユダヤの丘陵地	バプテストのヨハネが生まれ、名付けられる。ゼカリヤが預言する。ヨハネは荒野で生活する。			1:57-80	
前2年の 10月1日ごろ	ベツレヘム	イエスが生まれる。「言葉は人間とな」る。	1:1-25		2:1-7	1:14
	ベツレヘム付近, ベツレヘム	天使が羊飼いたちに良い知らせを伝える。天使たちは神を賛美する。羊飼いたちは赤ん坊を訪ねる。			2:8-20	
	ベツレヘム, エルサレム	イエスは割礼を施される(生後8日目)。神殿で両親がイエスを差し出す(生後40日後)。			2:21-38	
前1年 または1年	エルサレム, ベツレヘム, エジプト, ナザレ	占星術師たちが訪ねてくる。家族はエジプトに逃げる。ヘロデが男の子たちを殺す。家族はエジプトから戻り、ナザレに住む。	2:1-23		2:39, 40	
12年の 過ぎ越し	エルサレム	12歳のイエスは神殿で教師たちに質問する。			2:41-50	
	ナザレ	ナザレに戻る。引き続き両親に従う。大工仕事を習う。マリアはほかの息子4人と娘たちも育てる。(マタ 13:55, 56。マル 6:3)			2:51, 52	
29年の春	荒野, ヨルダン川	バプテストのヨハネが宣教を開始する。	3:1-12	1:1-8	3:1-18	1:6-8

地図1

地図上の記号

- ④ 出発点
- ほぼ確定されている場所
- それほど確かではない場所
- ? その地域のどこかが分からない場合



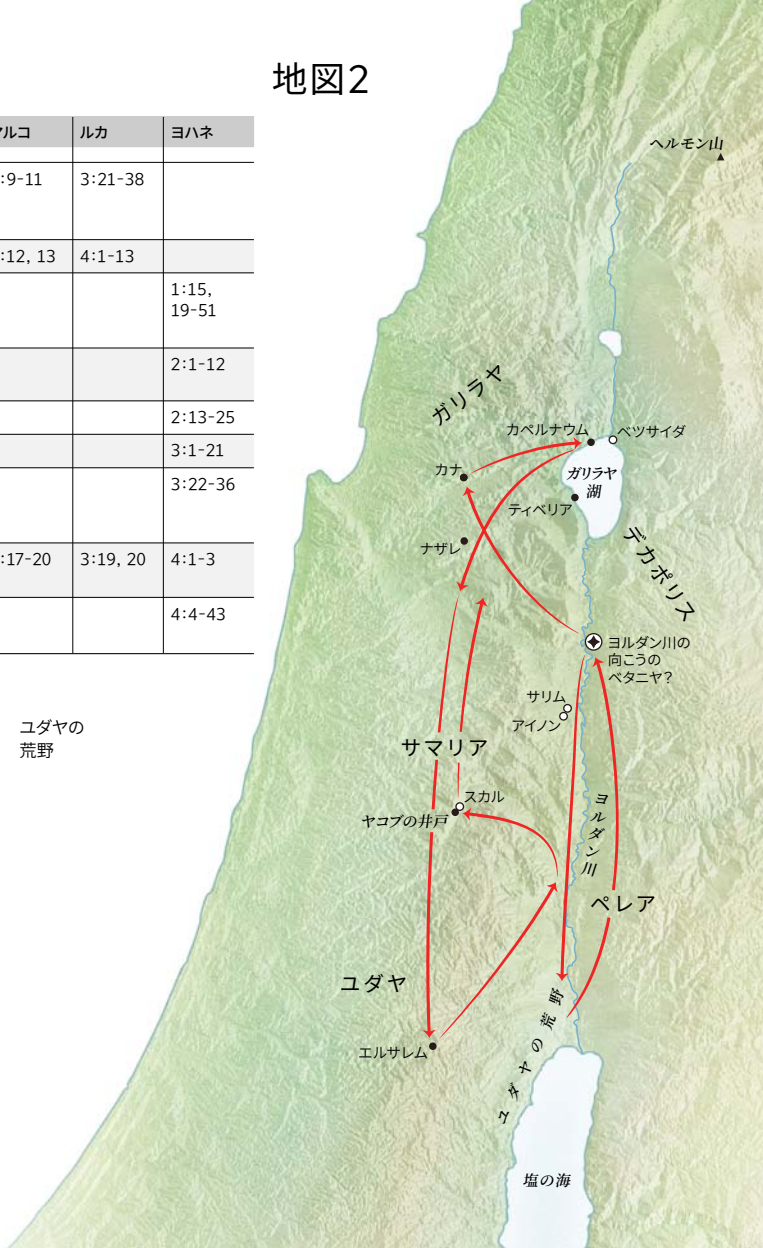
初期の宣教

時	場所	出来事	マタイ	マルコ	ルカ	ヨハネ
29年の秋	ヨルダン川, おそらくヨルダン川の向こうのベタニヤかその付近	イエスはバプテスマを受け、聖なる力を注がれる。エホバはイエスを自分の子と宣言し、イエスのことを喜んでいいると言う。	3:13-17	1:9-11	3:21-38	
	ユダヤの荒野	悪魔から誘惑を受ける。	4:1-11	1:12, 13	4:1-13	
	ヨルダン川の向こうのベタニヤ	バプテストのヨハネは、イエスが神の子羊であると言う。最初の弟子たちがイエスに同行する。				1:15, 19-51
	ガリラヤのカナ, カペルナウム	結婚式で水をぶどう酒に変えるという最初の奇跡を行う。カペルナウムを訪れる。				2:1-12
30年の過ぎ越し	エルサレム	神殿を清める。 ニコデモと話す。				2:13-25 3:1-21
	ユダヤ, アイノン	ユダヤの田舎に行き、弟子たちがバプテスマを施す。ヨハネはイエスについて最後の証言をする。				3:22-36
	ティベリア, ユダヤ	ヨハネは牢屋に入れられる。イエスはガリラヤに向かう。	4:12; 14:3-5	6:17-20	3:19, 20	4:1-3
	サマリアのスカル	ガリラヤに行く途中でサマリア人を教える。				4:4-43



ユダヤの荒野

地図2



ガリラヤ中での宣教

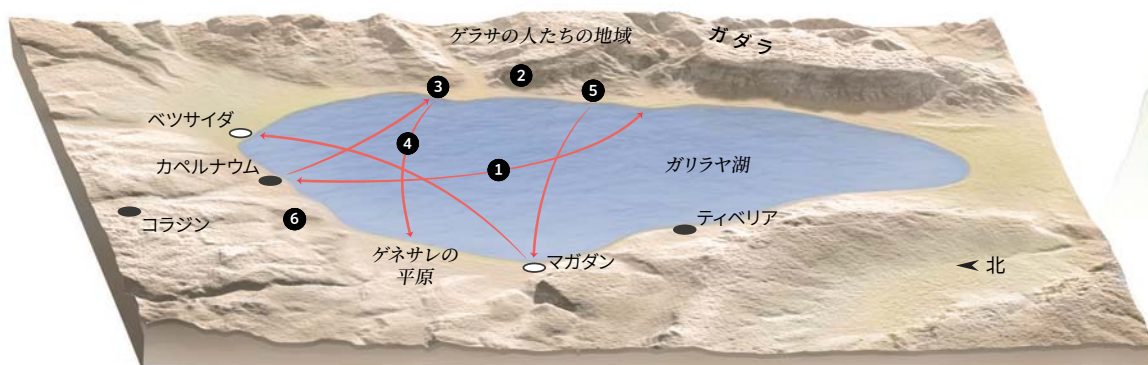
時	場所	出来事	マタイ	マルコ	ルカ	ヨハネ
30年	ガリラヤ	イエスは「天の王国は近づいた」と伝え始める。	4:17	1:14, 15	4:14, 15	4:44, 45
	カナ, ナザレ, カペルナウム	役人の息子を癒やす。イザヤの巻物を読む。カペルナウムに行く。	4:13-16		4:16-31	4:46-54
	ガリラヤ湖 (カペルナウム付近)	シモンとアンデレ、ヤコブとヨハネの4人に呼び掛け、弟子にする。	4:18-22	1:16-20	5:1-11	
	カペルナウム	シモンのしゅうとめや他の人たちを癒やす。	8:14-17	1:21-34	4:31-41	
	ガリラヤ	1回目の伝道旅行(4人の弟子と)。	4:23-25	1:35-39	4:42, 43	
		重い皮膚病の人を癒やす。大勢の人が後に従う。	8:1-4	1:40-45	5:12-16	
	カペルナウム	まひした男性を癒やす。	9:1-8	2:1-12	5:17-26	
		マタイを弟子にする。徴税人たちと食事をする。断食に関する質問。	9:9-17	2:13-22	5:27-39	
31年の 過ぎ越し	ユダヤ	会堂で伝道する。			4:44	
	エルサレム	ベツザタで病氣の人を癒やす。ユダヤ人たちがイエスを殺そうとする。				5:1-47
	エルサレムからの帰途(?)	弟子たちが安息日に穀物の穂をむしる。イエスは「安息日の主」。	12:1-8	2:23-28	6:1-5	
	ガリラヤ, ガリラヤ湖	安息日に男性の手を癒やす。大勢の人が付いていく。さらに多くの人を癒やす。	12:9-21	3:1-12	6:6-11	
	カペルナウム付近の山	12使徒を選ぶ。		3:13-19	6:12-16	
	カペルナウム付近	山上の垂訓。	5:1-7:29		6:17-49	
	カペルナウム	士官の召し使いを癒やす。	8:5-13		7:1-10	
	ナイン	やもめの息子を復活させる。			7:11-17	
	ティベリア, ガリラヤ (ナインかその付近)	ヨハネが弟子たちをイエスのもとに遣わす。真理が幼い子供たちに啓示される。イエスと共に働くことは心地よい。	11:2-30		7:18-35	
	ガリラヤ (ナインかその付近)	罪深い女性がイエスの足に香油を注ぐ。お金を借りた人たちの例え。			7:36-50	
	ガリラヤ	2回目の伝道旅行(12使徒と)。			8:1-3	
		邪悪な天使を追い出す。許されない罪。	12:22-37	3:19-30		
		ヨナの上りし以外に上りしは与えない。	12:38-45			
		母親と弟たちが来る。イエスは弟子たちが家族だと言う。	12:46-50	3:31-35	8:19-21	

地図3A



時	場所	出来事	マタイ	マルコ	ルカ	ヨハネ
31年か32年	カペルナウム付近	イエスは王国に関する例えを話す。	13:1-53	4:1-34	8:4-18	
	ガリラヤ湖	舟の上から嵐を静める。	8:18, 23-27	4:35-41	8:22-25	
	ガダラ地方	邪悪な天使たちを豚の中に送り込む。	8:28-34	5:1-20	8:26-39	
	おそらくカペルナウム	出血に悩む女性を癒やす。ヤイロの娘を復活させる。	9:18-26	5:21-43	8:40-56	
	カペルナウム(?)	目が見えない人と口が利けない人を癒やす。	9:27-34			
	ナザレ	郷里で再び受け入れられない。	13:54-58	6:1-5		
	ガリラヤ	ガリラヤでの3回目の伝道旅行。使徒たちを遣わして、より広く伝道する。	9:35-11:1	6:6-13	9:1-6	
	ティベリア	ヘロデガバプテストのヨハネの首をはねる。ヘロデはイエスのことで当惑する。	14:1-12	6:14-29	9:7-9	
32年の 過ぎ越し近く (ヨハ 6:4)	カペルナウム(?), ガリラヤ湖の北東	使徒たちが伝道旅行から戻る。イエスは5000人に食事をさせる。	14:13-21	6:30-44	9:10-17	6:1-13
	ガリラヤ湖の北東, ゲネサレ	人々がイエスを王にしようとする。イエスは湖の上を歩く。多くの人を癒やす。	14:22-36	6:45-56		6:14-21
	カペルナウム	「私は命のパンです」と言う。多くの人が反感を抱き、イエスのもとを去る。				6:22-71
32年の 過ぎ越しの後	おそらくカペルナウム	人間の伝統の間違いを暴く。	15:1-20	7:1-23		7:1
	フェニキア, デカポリス	シリアのフェニキアの女性の娘を癒やす。4000人に食事をさせる。	15:21-38	7:24-8:9		
	マガダン	ヨナのしるし以外にしるしは与えない。	15:39-16:4	8:10-12		

地図3B



ガリラヤ湖で行ったこと
(別名: ゲネサレ湖, ティベリア湖)

- ① 舟の上から嵐を静める
- ② 邪悪な天使たちを豚の中に送り込む
- ③ 5000人に食事をさせる
- ④ 湖の上を歩く
- ⑤ 4000人に食事をさせる
- ⑥ 山上の垂訓をしたとされている場所

時	場所	出来事	マタイ	マルコ	ルカ	ヨハネ
32年の 過ぎ越しの後	ガリラヤ湖、ベツサイダ	ベツサイダに向かう舟の上で、イエスはパリサイ派のパン種について警告する。目が見えない男性を癒やす。	16:5-12	8:13-26		
	カエサレア・フィリビ地方	王国の鍵。自分の死と復活を予告する。	16:13-28	8:27-9:1	9:18-27	
	おそらくヘルモン山	イエスの姿が変わる。エホバが話す。	17:1-13	9:2-13	9:28-36	
	カエサレア・フィリビ地方	邪悪な天使に取りつかれた少年を癒やす。	17:14-20	9:14-29	9:37-43	
	ガリラヤ	自分の死を再び予告する。	17:22, 23	9:30-32	9:43-45	
	カペルナウム	魚の口にある硬貨で税を払う。	17:24-27			
		王国で一番偉い者。迷い出た羊の例え、許そうとしない奴隷の例え。	18:1-35	9:33-50	9:46-50	
	ガリラヤ - サマリア	エルサレムへの道中、どんなものよりも王国のことを優先するよう弟子たちに教える。	8:19-22		9:51-62	7:2-10

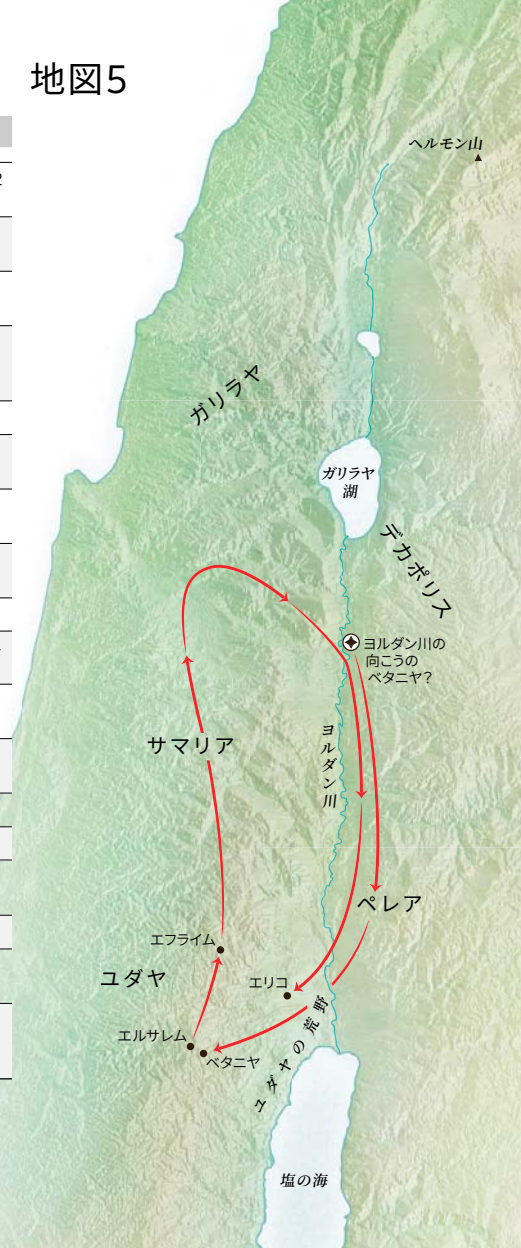
ユダヤでの後期の宣教

32年の 幕屋の祭り (飯小屋の祭り)	エルサレム	祭りの時に教える。イエスを捕まえるために下役たちが遣わされる。				7:11-52
		「私は世の光です」と言う。生まれつき目が見えない男性を癒やす。				8:12-9:41
	おそらくユダヤ	70人を遣わす。70人は喜びながら帰ってくる。			10:1-24	
	ユダヤ、ベタニヤ	親切的なサマリア人の例え。マリアとマルタの家を訪ねる。			10:25-42	
	おそらくユダヤ	模範的な祈りを再び教える。しつこく頼む友人の例え。			11:1-13	
		邪悪な天使を神の力によって追い出す。再度ヨナのしるししか与えない。			11:14-36	
		パリサイ派の人と食事をする。パリサイ派の人たちの偽善をとがめる。			11:37-54	
		裕福で無分別な人の例え、忠実な管理人の例え。			12:1-59	
		体が不自由な女性を安息日に癒やす。からしの種の例え、パン種の例え。			13:1-21	
32年の 献納の祭り	エルサレム	立派な羊飼いと羊の囲いの例え。ユダヤ人はイエスを石打ちにしようとする。ヨルダン川の向こうのベタニヤに向かう。				10:1-39

地図4



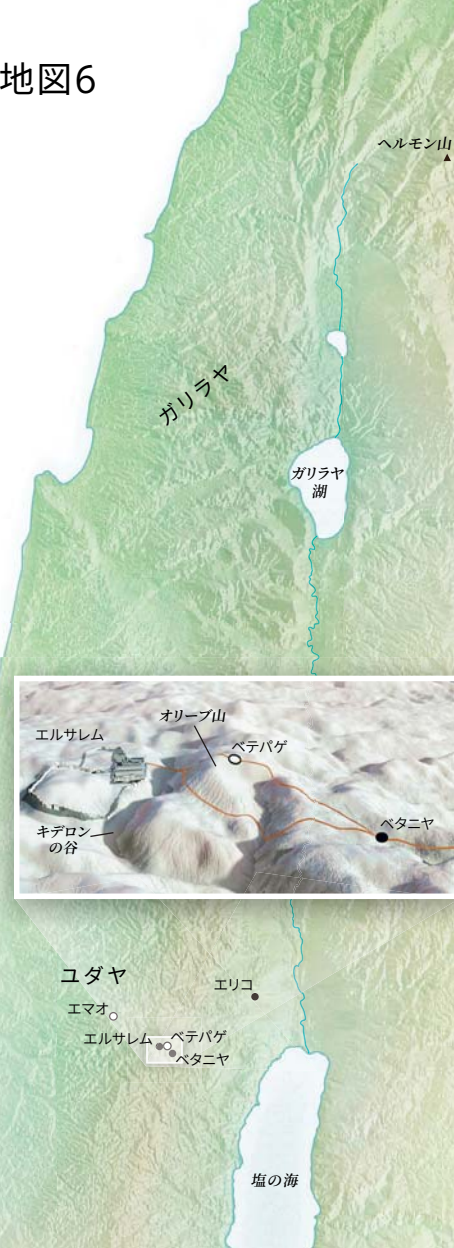
時	場所	出来事	マタイ	マルコ	ルカ	ヨハネ
32年の 献納の祭り の後	ヨルダン川の向こうの ベタニヤ	イエスはヨハネがバプテスマを施していた 所に行く。多くの人がイエスに信仰を持つ。				10:40-42
	ベレア	町や村で教えながらエルサレムへの旅を する。			13:22	
		狭い戸口に入るよう勧める。エルサレムの ことを嘆く。			13:23-35	
	おそらくベレア	謙遜さについて教える。最も目立つ場所の 例え、言い訳をした客たちの例え。			14:1-24	
		弟子になるのに必要なこと。			14:25-35	
		迷い出た羊の例え、なくした硬貨の例え、 いなくなった息子の例え。			15:1-32	
		不正を行う管理人の例え、裕福な人と ラザロの例え。			16:1-31	
		信仰の妨げ、許し、信仰について教える。			17:1-10	
	ベタニヤ	ラザロが死に、復活させられる。				11:1-46
	エルサレム、エフライム	イエスを殺すたくらみ。イエスは去って別の 町に行く。				11:47-54
	サマリア、ガリラヤ	重い皮膚病の人10人を癒やす。神の王国が どのように来るかを話す。			17:11-37	
	サマリアかガリラヤ	何度も訴えるやもめの例え、パリサイ派の 人と徴税人の例え。			18:1-14	
	ベレア	結婚と離婚について教える。	19:1-12	10:1-12		
		子供たちに祝福があるようにと願う。	19:13-15	10:13-16	18:15-17	
		裕福な男性の質問。ブドウ園の労働者たち に同じ賃金が与えられる例え。	19:16- 20:16	10:17-31	18:18-30	
	おそらくベレア	自分の死について3度目の予告をする。	20:17-19	10:32-34	18:31-34	
		ヤコブとヨハネの王国での立場について のお願い。	20:20-28	10:35-45		
	エリコ	通り掛かりに、目が見えない2人の人を 癒やす。ザアカイの家に行く。10ミナの 例え。	20:29-34	10:46-52	18:35- 19:28	



エルサレムでの最後の宣教

時	場所	出来事	マタイ	マルコ	ルカ	ヨハネ
33年の ニサン8日	ベタニヤ	イエスは過ぎ越しの6日前に到着する。				11:55-12:1
ニサン9日	ベタニヤ	マリアがイエスの頭と足に香油を注ぐ。	26:6-13	14:3-9		12:2-11
	ベタニヤ - ペテバゲ - エルサレム	ロバに乗ってエルサレムに入る。	21:1-11, 14-17	11:1-11	19:29-44	12:12-19
ニサン10日	ベタニヤ - エルサレム	イチジクの木に災いを宣告する。再び神殿を清める。	21:18, 19; 21:12, 13	11:12-17	19:45, 46	
	エルサレム	祭司長と律法学者たちがイエスを殺そうとたくらむ。 エホバが話す。イエスは自分の死を予告する。ユダヤ人たちは信仰を持たず、イザヤの預言が実現する。		11:18, 19	19:47, 48	12:20-50
ニサン11日	ベタニヤ - エルサレム	枯れたイチジクの木の教訓。	21:19-22	11:20-25		
	エルサレム、神殿	イエスの権威に異議が唱えられる。2人の子の例え。	21:23-32	11:27-33	20:1-8	
		残忍な耕作人たちの例え、結婚披露宴の例え。	21:33-22:14	12:1-12	20:9-19	
		神とカエサル、復活、最も重要なおきてに関する質問に答える。	22:15-40	12:13-34	20:20-40	
		人々に、キリストがダビデの子か尋ねる。	22:41-46	12:35-37	20:41-44	
		律法学者とパリサイ派の人たちには災いがある。	23:1-39	12:38-40	20:45-47	
		やもめの寄付に注目する。		12:41-44	21:1-4	
	オリーブ山	将来の臨在のしるしを教える。	24:1-51	13:1-37	21:5-38	
		10人の乙女の例え、タラントの例え、羊とヤギの例え。	25:1-46			
ニサン12日	エルサレム	ユダヤ人の指導者たちがイエスを殺そうとたくらむ。	26:1-5	14:1, 2	22:1, 2	
		ユダが裏切りを画策する。	26:14-16	14:10, 11	22:3-6	
ニサン13日 (木曜日の午後)	エルサレム付近 および市内	最後の過ぎ越しの準備をする。	26:17-19	14:12-16	22:7-13	
ニサン14日	エルサレム	使徒たちと過ぎ越しの食事をする。	26:20, 21	14:17, 18	22:14-18	
		使徒たちの足を洗う。				13:1-20

地図6



時	場所	出来事	マタイ	マルコ	ルカ	ヨハネ
ニサン14日	エルサレム	イエスはユダが反逆者であることを明らかにし、ユダを去らせる。	26:21-25	14:18-21	22:21-23	13:21-30
		主の晩餐を制定する。(コー 11:23-25)	26:26-29	14:22-25	22:19, 20, 24-30	
		ペテロの否認と使徒たちが散り散りになることを予告する。	26:31-35	14:27-31	22:31-38	13:31-38
		援助者について約束する。真のブドウの木の場合。愛するようにと命じる。使徒たちとの最後の祈り。				14:1-17:26
	ゲッセマネ	庭園での苦悩。イエスは裏切られ、捕らえられる。	26:30, 36-56	14:26, 32-52	22:39-53	18:1-12
	エルサレム	アンナスに質問される。カヤファとサンヘドリンによる裁判。ペテロがイエスとの関係を否定する。	26:57-27:1	14:53-15:1	22:54-71	18:13-27
		裏切り者のユダが首をつって死ぬ。(使徒 1:18, 19)	27:3-10			
		ピラトの前、次いでヘロデの前に立ち、再びピラトのもとへ。	27:2, 11-14	15:1-5	23:1-12	18:28-38
ピラトはイエスを釈放しようとするが、ユダヤ人たちはバラバの釈放を求める。苦しみの杭での死を宣告される。		27:15-30	15:6-19	23:13-25	18:39-19:16	
(金曜日の午後3時ごろ)	ゴルゴタ	苦しみの杭に掛けられて死ぬ。	27:31-56	15:20-41	23:26-49	19:16-30
	エルサレム	体が杭から下ろされ、墓に葬られる。	27:57-61	15:42-47	23:50-56	19:31-42
ニサン15日	エルサレム	祭司とパリサイ派の人たちが墓を封じ、警備させる。	27:62-66			
ニサン16日	エルサレムとその近辺、エマオ	イエスは復活する。5回弟子たちの前に現れる。	28:1-15	16:1-8	24:1-49	20:1-25
ニサン16日の後	エルサレム、ガリラヤ	弟子たちの前にさらに現れる。(コー 15:5-7。使徒 1:3-8) 指示する。人々を弟子とする任務を与える。	28:16-20			20:26-21:25
イヤル25日	オリーブ山、ベタニヤ付近	イエスは復活後40日目に天に昇る。(使徒 1:9-12)			24:50-53	



付録B

	聖書の中心テーマ	B1
地図	創世記と族長たちの世界	B2
地図上の記号	エジプトからの脱出	B3
● ほぼ確定されている場所	約束の地の征服	B4
○ それほど確かではない場所 ？ その地域のどこかが 分からない場合	約束の地での領地	B6
— 道	ダビデとソロモンの王国	B7
地図はどれも上が北です。	ダニエルが予告した世界強国	B9
地名の別名がある場合、 同じ時代の別名はカンマで 区切られています。	イエスの時代のイスラエル	B10
違う時代の別名は丸括弧に 入れられています。	キリスト教の広まり	B13
図解	幕屋と大祭司	B5
	ソロモンが建てた神殿	B8
	1世紀の神殿の丘	B11
時	イエスの地上での最後の週	B12
	ヘブライ人の暦	B15
単位	度量衡と貨幣	B14

聖書の中心テーマ

エホバ神は統治する権利を持っています。エホバの統治の仕方は最も優れています。
人間は地球で、エホバが当初考えていた通りの生活を送れるようになります。



西暦前4026年の後

エホバの統治する権利と統治の仕方に、「蛇」が疑問を投げ掛ける。エホバは、蛇であるサタンを砕くことになる「子孫」を立てると約束する。(創世 3:1-5, 15) 蛇の影響の下で人間が人間を治めることをエホバは許し、そのための時間を与える。



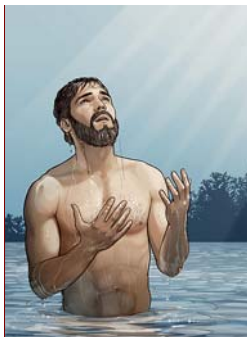
西暦前1943年

エホバは、アブラハムの子孫の中から約束の「子孫」が出ると言う。(創世 22:18)



西暦前1070年の後

エホバは、ダビデ王の子孫またダビデの子孫ロモンの子孫の中から、約束の「子孫」が生まれると告げる。(サムエル第二 7:12, 16。列王第一 9:3-5。イザヤ 9:6, 7)



西暦29年

エホバは、イエスがダビデの王座を継ぐ約束の「子孫」であることを明らかにする。(ガラテア 3:16。ルカ 1:31-33; 3:21, 22)



西暦33年

蛇であるサタンは、イエスが殺されるようにし、約束の「子孫」にいったん痛手を負わせる。エホバはイエスを天での命へと復活させ、イエスの完全な命の価値を受け入れる。そのようにして、罪を許してアダムの子孫に永遠の命を与えるための根拠を据える。(創世 3:15。使徒 2:32-36。コリント第一 15:21, 22)



西暦1914年以後

イエスは蛇であるサタンを天から地に投げ落とし、そこにサタンは短い間とどめられる。(啓示 12:7-9, 12)



将来

イエスは1000年の間サタンを閉じ込め、その後滅ぼすことにより、いわばサタンの頭を砕く。人間は地球で、エホバが当初考えていた通りの生活を送れるようになる。汚された神の名は清められ、エホバの治め方が正しいことが立証される。(啓示 20:1-3, 10; 21:3, 4)

創世記と 族長たちの世界

▼ アダムが創造される 前4026年
▼ アブラハム契約が発効する 前1943年
▼ ヨセフが死ぬ 前1657年

前4000年 前2000年 西暦紀元 2000年

大海



0マイル 100
0キロ 100

ヨシュアがモーセの後継者として
任命される 前1473年
イスラエル人がエジプトを出る
モーセの律法契約 前1513年

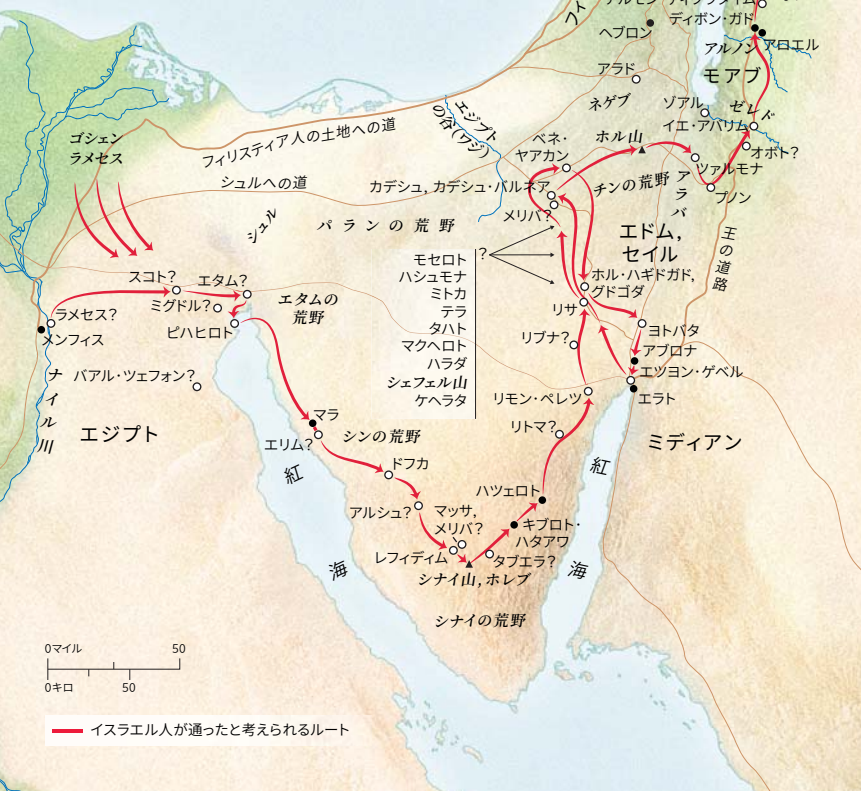
前4000年

前2000年

西暦紀元

2000年

大海, フィリスティア人の海



イスラエル人がカナンに入る 前1473年
約束の地の征服がほぼ完了する 前1467年

前4000年

前2000年

西暦紀元

2000年

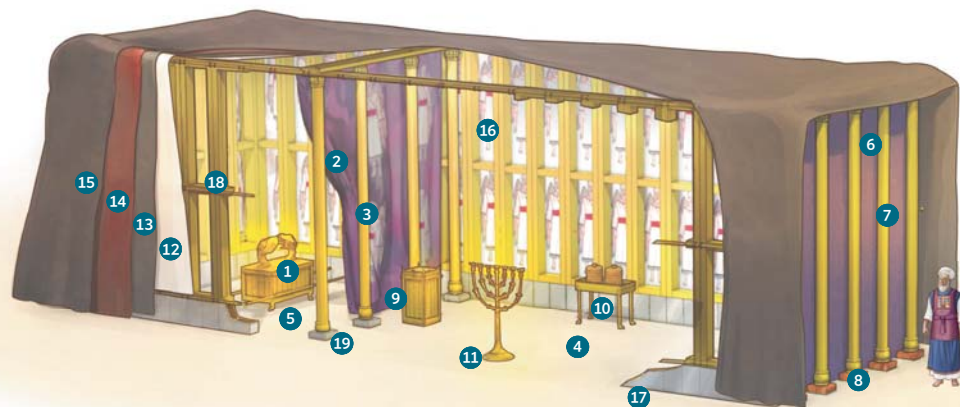
大海,
西の海



0マイル 20
0キロ 20

— 征服のルート

■ カナン

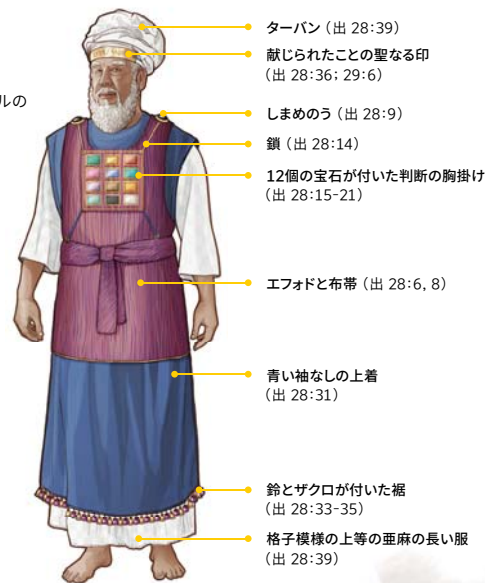


幕屋の各部

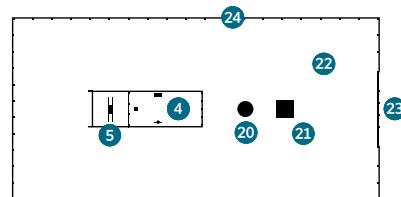
- ① 箱 (出 25:10-22; 26:33)
- ② 間仕切りの幕 (出 26:31-33)
- ③ 間仕切りの幕のための柱 (出 26:31, 32)
- ④ 聖所 (出 26:33)
- ⑤ 至聖所 (出 26:33)
- ⑥ 入り口の幕 (出 26:36)
- ⑦ 入り口の幕のための柱 (出 26:37)
- ⑧ 銅の受け台 (出 26:37)
- ⑨ 香の祭壇 (出 30:1-6)
- ⑩ 供えのパンの食卓 (出 25:23-30; 26:35)
- ⑪ ランプ台 (出 25:31-40; 26:35)
- ⑫ 亜麻の布 (出 26:1-6)
- ⑬ ヤギの毛の布 (出 26:7-13)
- ⑭ 雄羊の皮の覆い (出 26:14)
- ⑮ アザランの皮の覆い (出 26:14)
- ⑯ 木枠 (出 26:15-18, 29)
- ⑰ 木枠の下銀の受け台 (出 26:19-21)
- ⑱ 横木 (出 26:26-29)
- ⑲ 銀の受け台 (出 26:32)

大祭司

出エジプト 28章で、イスラエルの大祭司の職服について詳しく説明されている。



- ⑳ 銅の水盤 (出 30:18-21)
- ㉑ 全焼の捧げ物の祭壇 (出 27:1-8)
- ㉒ 庭 (出 27:17, 18)
- ㉓ 入り口 (出 27:16)
- ㉔ 亜麻の横幕 (出 27:9-15)



征服後に土地が各部族に与えられる
前1467年

サウルが油を注がれて王になる
前1117年

前4000年 前2000年 西暦紀元 2000年

裁き人たち

- ① オテニエル
- ② エフド
- ③ シヤムガル
- ④ バラク
- ⑤ ギデオオン
- ⑥ トラ
- ⑦ ヤイル
- ⑧ エフタ
- ⑨ イブツァン
- ⑩ エロン
- ⑪ アブドン
- ⑫ サムソン

大海, 西の海



- シメオンの飛び地の町
- マナセの飛び地の町
- 避難の町

ダビデと ソロモンの王国

ダビデの治世 前1077-1038年 ソロモンの治世 前1037-998年
ダビデ契約 前1070年ごろ

前4000年 前2000年 西暦紀元 2000年

- ダビデ王の領土
- ソロモン王の領土
- 輸入
- 輸出

タルシシュから：
金、銀、象牙、猿、クジャク

ティルスから：
杉、ネズ、金

ティルスへ：
大麦、小麦、
ぶどう酒、
オリーブ油

エジプトの谷(ワジ)

エジプトから：
馬、兵車

オフィルから：
金、宝石、木材

アラビアから：
金、銀

0マイル 20
0キロ 20

アラビア砂漠

ユーフラテス川

シリア(アラム)

ハマト

ハマト

シリア、ヘト人へ：
馬、兵車

タドモル
(バルミラ)

シリア砂漠

ツェダト、アラム・ツォバ
ツォバ、アラム・ツォバ

ゲバル

銅

レボ・ハマト

ペロタイ

アン・ティ・レ・マン・山脈

ヘルモン山

マアカ、アラム・マアカ

アルゴブ

バシヤン

ゲシュル

ヘラム

サレカ

トブ

スコト

マハナイン

ギレアデ

アンモン

ラバ

ヘシュボン

メデバ

アロエル

ミツベ

エドム

銅

ブノン

エジプトの谷(ワジ)

ネゲブ

タマル

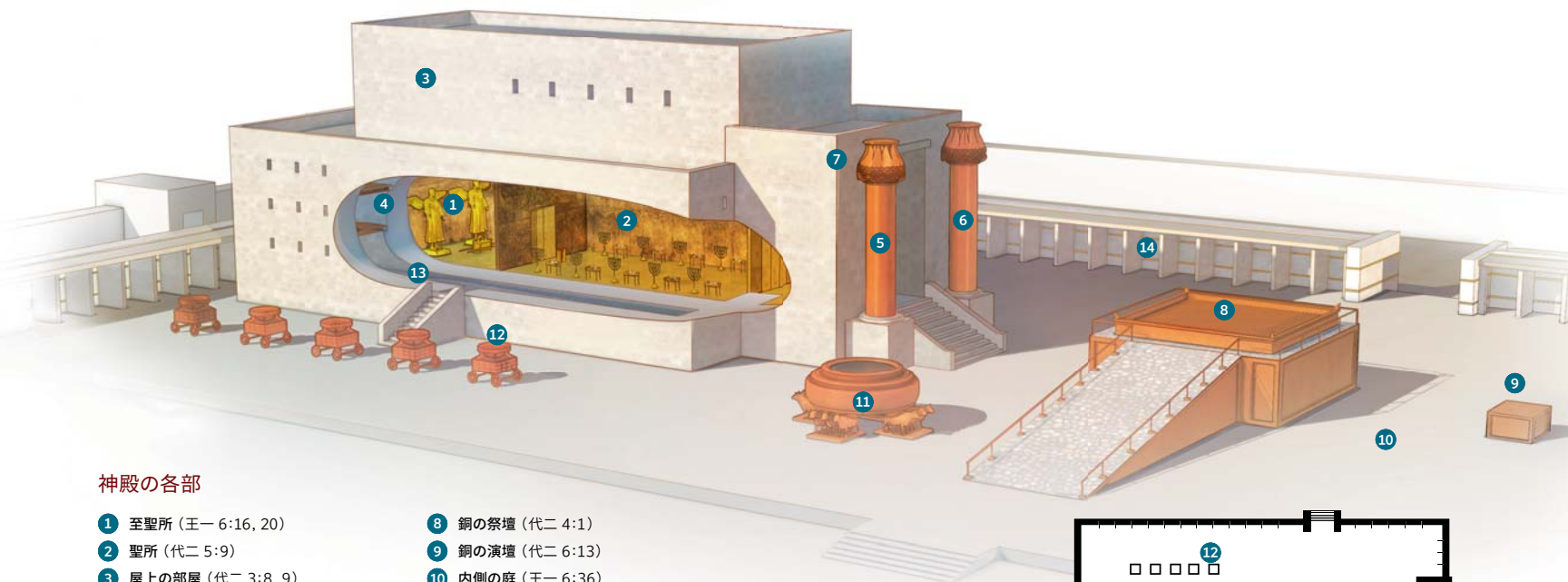
エドム

アラビア砂漠

エツヨン・ゲバル

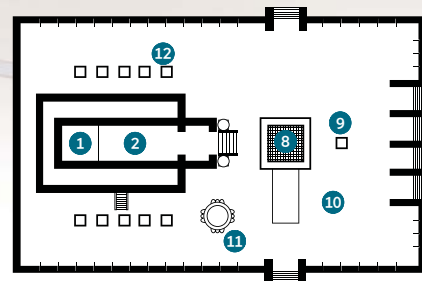
エロト、エラト





神殿の各部

- | | |
|------------------------|-------------------|
| ① 至聖所（王一 6:16, 20） | ⑧ 銅の祭壇（代二 4:1） |
| ② 聖所（代二 5:9） | ⑨ 銅の演壇（代二 6:13） |
| ③ 屋上の部屋（代二 3:8, 9） | ⑩ 内側の庭（王一 6:36） |
| ④ 小部屋（王一 6:5, 6, 10） | ⑪ 鑄物の「海」（王一 7:23） |
| ⑤ ヤキン（王一 7:21。代二 3:17） | ⑫ 台車（王一 7:27） |
| ⑥ ボアズ（王一 7:21。代二 3:17） | ⑬ 小屋屋の入り口（王一 6:8） |
| ⑦ 玄関（王一 6:3。代二 3:4） | ⑭ 食堂（代一 28:12） |



ダニエルが予告した 世界強国

バビロンがエルサレムを陥落させる 前607年

前4000年 前2000年 西暦紀元 2000年



バビロン

ダニエル 2:32, 36-38; 7:4

前607年 ネブカドネザル王がエルサレムを陥落させる



メディア・ペルシャ

ダニエル 2:32, 39; 7:5

前539年 バビロンを征服する
前537年 キュロスがユダヤ人のエルサレム帰還を許可する布告を出す



ギリシャ

ダニエル 2:32, 39; 7:6

前331年 アレクサンドロス大王がペルシャを征服する



ローマ

ダニエル 2:33, 40; 7:7

前63年 イスラエルを支配下に置く
70年 エルサレムを陥落させる

英米

ダニエル 2:33, 41-43

1914-1918年 第1次世界大戦中に英米世界強国が存在するようになる

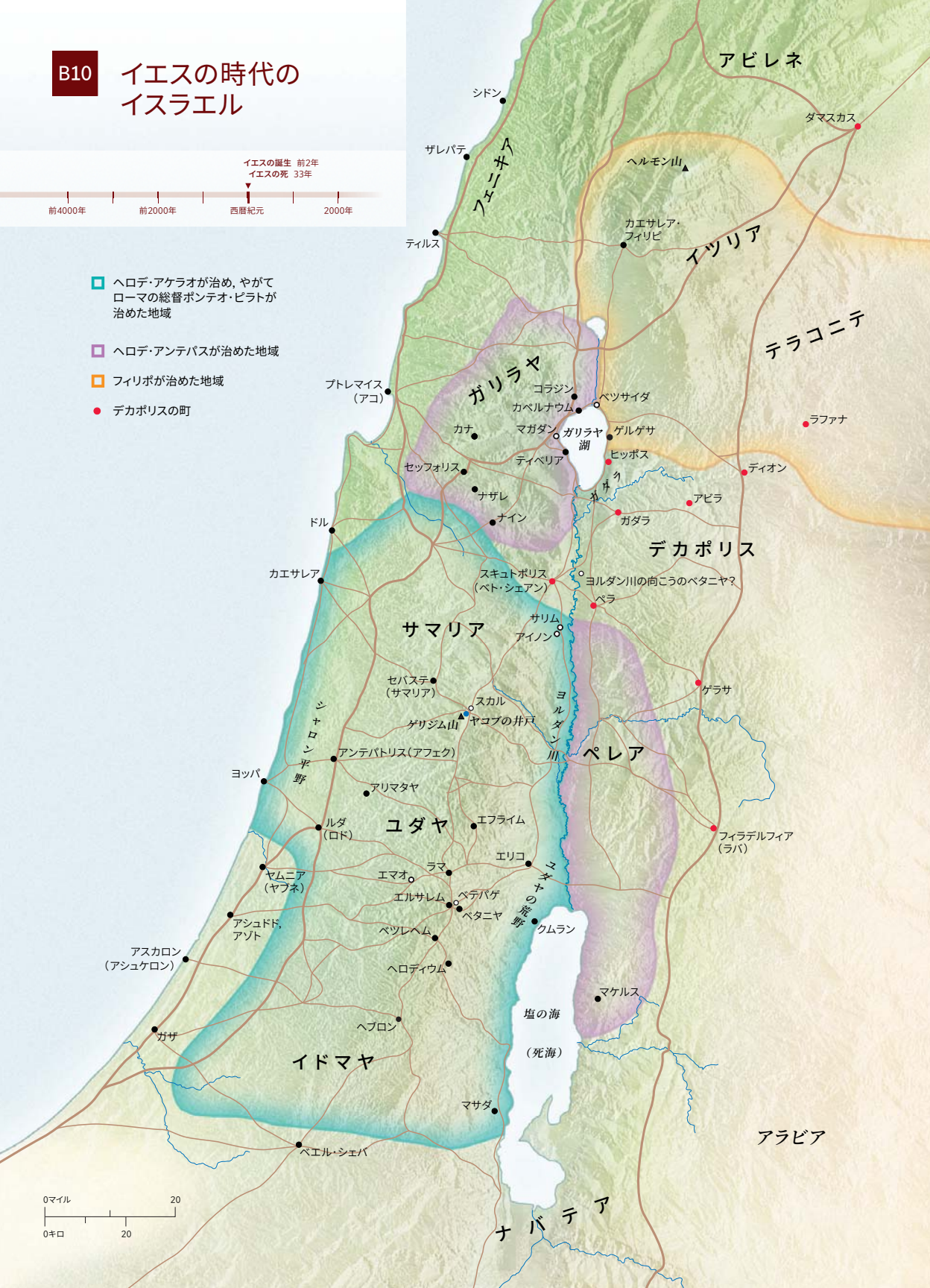


イエスの時代の イスラエル

イエスの誕生 前2年
イエスの死 33年

前4000年 前2000年 西暦紀元 2000年

- ヘロデ・アケラオが治め、やがてローマの総督ポンテオ・ピラトが治めた地域
- ヘロデ・アンテパスが治めた地域
- フィリボが治めた地域
- デカポリスの町

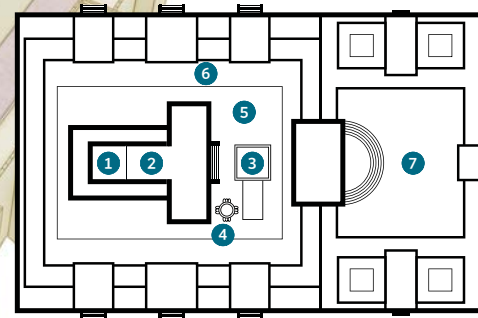


第二神殿の土台が据えられる 前536年 神殿が陥落する 70年

前4000年 前2000年 西暦紀元 2000年

神殿の各部

- | | |
|-------------|------------|
| ① 至聖所 | ⑦ 女性の庭 |
| ② 聖所 | ⑧ 異国人の庭 |
| ③ 全焼の捧げ物の祭壇 | ⑨ 障壁（ソーレグ） |
| ④ 鑄物の「海」 | ⑩ 王の柱廊 |
| ⑤ 祭司の庭 | ⑪ ソロモンの柱廊 |
| ⑥ イスラエルの庭 | ⑫ アントニアの要塞 |

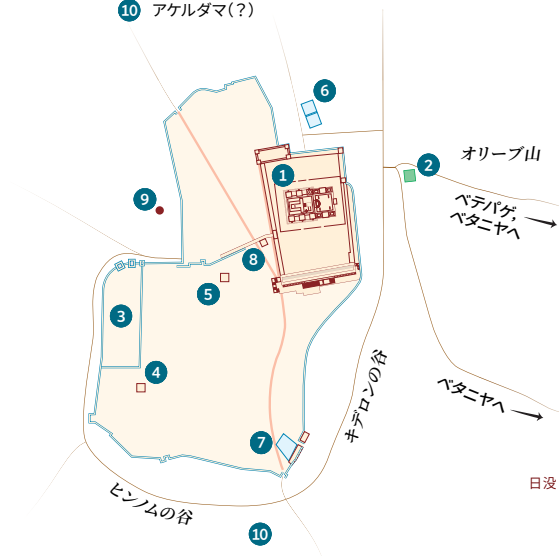


イエスの地上での最後の週



エルサレムとその周辺

- ① 神殿
- ② ゲッセマネの庭園(?)
- ③ 総督の邸宅
- ④ カヤファの家(?)
- ⑤ ヘロデ・アンテパスが使った邸宅(?)
- ⑥ ベツザタの池
- ⑦ シロアムの池
- ⑧ サンヘドリン広間(?)
- ⑨ ゴルゴタ(?)
- ⑩ アケルダマ(?)



ニサン8日(安息日)

- 過ぎ越しの6日前にベタニヤに到着する

ヨハネ 11:55-12:1

ニサン9日

- 重い皮膚病だったシモンと食事をする
- マリアがイエスにナルドを注ぐ
- ユダヤ人たちがイエスとラザロの所にやって来る

マタイ 26:6-13

マルコ 14:3-9

ヨハネ 12:2-11



- エルサレムに入る
- 神殿で教える ①

マタイ 21:1-11, 14-17

マルコ 11:1-11

ルカ 19:29-44

ヨハネ 12:12-19

ニサン10日

- ベタニヤで夜を過ごす



- 朝早くエルサレムに向かう
- 神殿を清める
- エホバが天から話す

マタイ 21:18, 19; 21:12, 13

マルコ 11:12-19

ルカ 19:45-48

ヨハネ 12:20-50

ニサン11日

- 神殿で例えを使って教える
- バリサイ派の人たちをとがめる
- やもめの寄付に注目する
- オリーブ山で、エルサレムの陥落を予告し、将来の臨在のしるしを教える

マタイ 21:19-25:46

マルコ 11:20-13:37

ルカ 20:1-21:38

ニサン12日



- 弟子たちと静かな1日を過ごす
- ユダが裏切りを画策する

マタイ 26:1-5, 14-16

マルコ 14:1, 2, 10, 11

ルカ 22:1-6

ニサン13日



- ペテロとヨハネが過ぎ越しの準備をする
- イエスと他の使徒たちは午後遅くに到着する

マタイ 26:17-19

マルコ 14:12-16

ルカ 22:7-13

ニサン14日



- 使徒たちと過ぎ越しの食事をする
- 使徒たちの足を洗う
- ユダを去らせる
- 主の晩餐を制定する

マタイ 26:20-35

マルコ 14:17-31

ルカ 22:14-38

ヨハネ 13:1-17:26



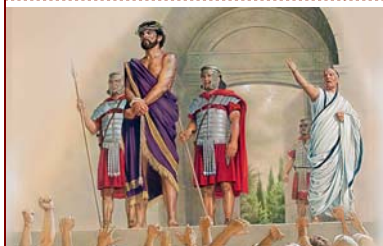
- ゲッセマネで裏切られ、捕らえられる ②
- 使徒たちは逃げる
- カヤファの家でサンヘドリンにより裁判を受ける ④
- ペテロがイエスとの関係を否定する

マタイ 26:36-75

マルコ 14:32-72

ルカ 22:39-65

ヨハネ 18:1-27



- 再びサンヘドリンの前に立つ ⑥
- ピラトのもとに、③
- 次いでヘロデのもとに連れていかれ、⑤
- 再びピラトのもとへ ③
- 死刑を宣告され、ゴルゴタで処刑される ⑨
- 午後3時ごろ亡くなる
- 遺体が下ろされ、葬られる

マタイ 27:1-61

マルコ 15:1-47

ルカ 22:66-23:56

ヨハネ 18:28-19:42



ニサン15日 (安息日)

- イエスの墓に警備隊を置くことをピラトが許可する

マタイ 27:62-66

ニサン16日

- 葬られた遺体のために追加の香料が買われる

マルコ 16:1



- 復活する
- 弟子たちの前に現れる

マタイ 28:1-15

マルコ 16:2-8

ルカ 24:1-49

ヨハネ 20:1-25

B13 キリスト教の広まり



パウロの旅

- 47-48年ごろ 第1回宣教旅行
- 49-52年ごろ 第2回宣教旅行
- 52-56年ごろ 第3回宣教旅行
- 58-61年ごろ ローマへの旅と拘禁

● 宣教旅行の出発点

● 「ヨハネへの啓示」に出てくる町



聖書本文の数値は多くの場合、厳密な換算値ではなく、読みやすい数にしています。

液量の単位

コル (10バト/60ヒン)
220リットル

バト (6ヒン)
22リットル

ヒン (12ログ)
3.67リットル

ログ (1/12 ヒン)
0.31リットル

乾量の単位

ホメル (1コル/10エファ)
220リットル

エファ
(3セア/10オメル)
22リットル

セア (3 1/3 オメル)
7.33リットル

オメル (1 4/5 カブ)
2.2リットル

カブ
1.22リットル

コイニクス
1.08リットル

長さの単位

長いアシ (6長キュビト)
3.11メートル

アシ (6キュビト)
2.67メートル

オルギュイア
1.8メートル

長キュビト
(手の幅×7)
51.8センチ

キュビト (開いた手の
幅×2/手の幅×6)
44.5センチ

短キュビト
38センチ

① 指の幅 (手の幅×1/4)

1.85センチ

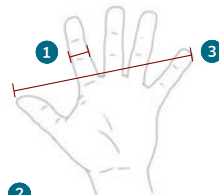
② 手の幅 (指の幅×4)

7.4センチ

③ 開いた手の幅

(手の幅×3)

22.2センチ



ローマ・スタディオン
(1/8ローマ・マイル)
185メートル



ヘブライ語聖書中の 通貨と重量



ゲラ (1/20 シェケル)
0.57グラム
10ゲラ = 1ペカ

ペカ
5.7グラム
2ペカ = 1シェケル

ビム
7.8グラム
1ビム = 2/3 シェケル

シェケル
11.4グラム
50シェケル = 1ミナ

ミナ
570グラム
60ミナ = 1タラント

タラント
34.2キロ



シェケルの重り



ダリク
(ペルシャの金貨)
8.4グラム
エズラ 8:27



ポンド (ローマ)
327グラム
ヨハネ 12:3

「香油、純粹のナルドを300グラム
[ギリシャ語, 「1ポンド」]」



ミナ
100ドラクマ
340グラム
ルカ 19:13
= 約100日分の賃金



タラント
60ミナ
20.4キロ
マタイ 18:24
啓示 16:21
= 約20年分の賃金

ギリシャ語聖書中の 通貨と重量



レプタ
(ユダヤの銅貨または
青銅貨)
1/2 クワドランス
ルカ 21:2



クワドランス
(ローマの銅貨または
青銅貨)
2レプタ
マタイ 5:26



アサリオン
(ローマと属州の銅貨
または青銅貨)
4クワドランス
マタイ 10:29



デナリ
(ローマの銀貨)
64クワドランス
3.85グラム
マタイ 20:10



ドラクマ
(ギリシャの銀貨)
3.4グラム
ルカ 15:8



ディドラクマ
(ギリシャの銀貨)
2ドラクマ
6.8グラム
マタイ 17:24



テトラドラクマ
(ギリシャの銀貨。スタテル銀貨
とも呼ばれる。)
4ドラクマ
13.6グラム
マタイ 17:27

ティルス
のテトラドラクマ
(ティルスのシェケル銀貨)

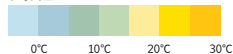


1日分の賃金
(12時間)

2日分の賃金

3日分の賃金

4日分の賃金



— 4月 —	ニサン (アビブ)	14日 過ぎ越し 15-21日 無酵母パンの祭り 16日 初物を捧げる日	雨と雪解け水で ヨルダン川が 増水する。 	大麦 
— 5月 —	イヤル (ジウ)	14日 月遅れの過ぎ越し	乾期が始まる。 晴天の日が多い。 	小麦 
— 6月 —	シワン	6日 七週の祭り (ペンテコステ)	夏の暑さが訪れる。 澄み切った空。 	小麦, 早い時期になる イチジク 
— 7月 —	タンムズ		暑さが増す。各地で 多量の雪が降る。 	初物のブドウ 
— 8月 —	アブ		暑さが最も厳しくなる。 	夏の果物 
— 9月 —	エルル		暑さが続く。 	ナツメヤシ, ブドウ, イチジク 
— 10月 —	ティシュリ (エタニム)	1日 ラッパを吹く日 10日 贖罪の日 15-21日 仮小屋の祭り 22日 特別な集まり	夏が終わる。秋の 雨が降り始める。 	畑を耕す 
— 11月 —	ヘシュワン (ブル)		小雨が降る。 	オリーブ 
— 12月 —	キスレウ	25日 献納の祭り	雨の日が多くなり, 霜が降る。 山には雪が降る。 	羊の冬ごもり 
— 1月 —	テベト		寒さが最も厳しく なり、雨がよく降る。 山には雪が降る。 	草木の生育 
— 2月 —	シェバト		寒さが和らぐ。 雨は続く。 	アーモンドの 開花 
— 3月 —	アダル	14, 15日 プリム	よく雷が鳴り, ひょうが降る。 	亜麻 
—	ベアダル	うるう月 (19年に7回加えられた)		

詳しい情報を得たい方は www.jw.org をご覧になるか、下記のご都合のよい宛先の、エホバの証人(Jehovah's Witnesses)にお知らせください。